servicenow

Xanadu API リファレンス

最終更新日: **2024年11月7日**

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

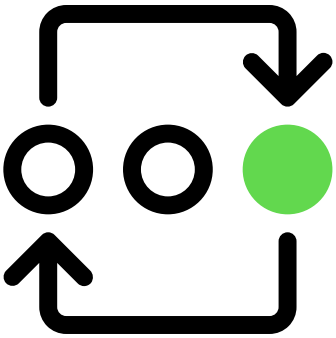
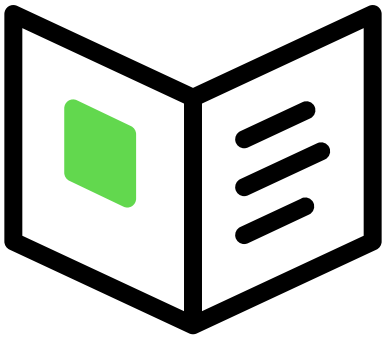
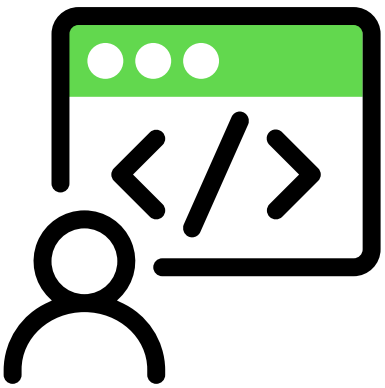
API の実装とリファレンス....4
API 実装....5
スクリプティング....5
Web サービス....315
API リファレンス....588
サーバー API リファレンス....590
クライアント API リファレンス....3687
UIB API リファレンス....3923
クライアントモバイル API リファレンス....3959
Mobile SDK API リファレンス....3991
REST API リファレンス....4287
ServiceNow Fluent....8284
製品別に API を参照....8287
開発者ガイド....8307
アラーム管理オープン API 開発者ガイド....8308
イベント通知管理オープン API 開発者ガイド....8311
GlideGeoPoint 開発者ガイド....8316
Mobile SDK デベロッパー ガイド - Android....8319
Mobile SDK 開発者ガイド - iOS....8358
プロデューサーイベント通知フレームワーク開発者ガイド....8395
製品注文オープン API 開発者ガイド....8405
リソースインベントリオープン API 開発者ガイド....8408
ScopedCacheManager API 開発者ガイド....8409
サービスオーダーオープン API 開発者ガイド....8410
トラブルチケットオープン API 開発者ガイド....8413

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

API の実装とリファレンス

ガイド、リソース、およびリファレンスドキュメントで ServiceNow API の使用を開始します。

API 実装	API リファレンス	開発者ガイド
		
ServiceNow API にアクセスするための Web サービスを設定します。	クライアント、サーバー、および REST API のリファレンスドキュメントを検索します。	学習、構築、開発のためのプログラムリソースを検索します。

自動翻訳

API 実装

Web サービスを使用して、 ServiceNow アプリケーションを他のソフトウェアアプリケーションに接続します。

この項では、次の項目について説明します。

- コア システムでは利用できない機能を実装するための便利なサーバー側スクリプト。
- スクリプトのデバッグ方法の詳細
- クライアントスクリプティングの手法とユースケース (メッセージなど)。
- Web サービスを使用して、 ServiceNow アプリケーションを他のソフトウェアアプリケーションに接続します。

API リファレンス

機能を変更したり、Now Platform に機能を追加したりするために使用できる ServiceNow API を確認します。

このセクションには、次の参照が含まれています。

- Web ブラウザー内での Now Platform の機能と表示方法を制御するクライアント JavaScript API。
- アプリケーションを変更および開発するためのサーバーサイド JavaScript API。
- Now Platform上のデータにアクセスして更新するための REST API。

開発者ガイド

ServiceNow製品または API の Now Platform で API 構成を設定または拡張します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

API 実装

JavaScript API を使用して、アプリケーションサーバーとクライアントの機能を拡張できます。Web サービスを使用して、 ServiceNow アプリケーションを他のソフトウェアアプリケーションに接続します。

スクリプト	Web サービス
アプリケーションサーバーとクライアントの機能を拡張します。	ServiceNow とサードパーティアプリケーション間の通信

スクリプト

スクリプトでサーバー JavaScript API を使用して、アプリケーションの機能を変更したり、アプリケーションを作成したりします。クライアントサイドの JavaScript API を使用して、Web ブラウザー内でのインスタンスの表示方法と機能を制御します。

一般的なユースケース:

- 期間を計算して、タスクまたはプロセスの期限をユーザーが指定できるようにします。
- アラート、確認、またはその他のメッセージを含むプロンプトを表示します。
- デバッグ、情報、警告、エラーなど、さまざまな出力レベルでイベントログ記録を実装します。
- レコードのクエリー、更新、作成、削除
- すべての日付/時刻フィールドの入力を検証します。

Web サービス

インバウンド (プロバイダー) およびアウトバウンド (コンシューマー) の Web サービスを使用すると、多様なアプリケーションで情報を交換できます。

一般的なユースケース:

- サードパーティアプリケーションの ServiceNow インスタンスからの REST API 要求情報を使用します。
- 提供されている ServiceNow REST API では利用できないカスタム要求に対して、スクリプト化された REST API を作成します。
- コンポーネントまたはサードパーティシステムからレコードデータをクエリするカスタム GraphQL API を作成します。
- インスタンスに関連付けられたデータベースへの読み取り専用アクセスには、Open Database Connectivity (ODBC) ドライバーを使用します。
- ドメインセパレーションを使用して、データ、プロセス、および管理タスクを論理グループに分離します。

スクリプティング

スクリプトを使用して、標準構成を超えてインスタンスを拡張します。スクリプトを使用すると、プロセスの自動化、機能の追加、インスタンスと外部アプリケーションの統合などを行うことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

API (アプリケーションプログラミングインターフェイス) は、スクリプトで使用できるクラスとメソッドを提供し、機能を定義します。ServiceNow は、統合のための JavaScript クラス、Web サービス、およびその他の接続ポイントとして API を提供します。一般的に使用される JavaScript オブジェクト (DOM や Window など) にはアクセスできないことに注意してください。Jelly スクリプトは一部のモジュールでも使用されます。Jelly は XML を HTML に変換するために使用され、クライアントサイドとサーバーサイドの両方のスクリプトを含めることができます。

スクリプトは、サーバーサイドにするか (サーバーまたはデータベースで実行)、クライアントサイドにするか (ユーザーのブラウザーで実行)、または MID サーバーで実行できます。

注: スクリプトを作成する際には、予約語 を使用できません。

インスタンスのカスタマイズを開始する前に JavaScript を理解し、Jelly スクリプトを展開する場合は Jelly も理解しておきます。

サーバーサイドスクリプト

データベース操作を実行します。たとえば、サーバーサイドスクリプトを使用してレコードを更新します。スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープでスクリプトを作成します。各実行コンテキストには、使用可能な API のセットが含まれています。

スコープ付き環境

スコープ対象のアプリケーションでスクリプティングする場合は、スコープ付き API を使用します。スコープ付き `Glide` API には、グローバル `Glide` API に含まれているすべてのメソッドは含まれていません。また、スコープ対象のアプリケーションではグローバル `Glide` API を呼び出すことはできません。

グローバル環境

グローバルスコープは、アプリケーションスコープが実装される前に開発されたアプリケーションや、他のすべてのグローバルアプリケーションにアクセスできることを意図したアプリケーションを識別する、特別なアプリケーションスコープです。グローバルスコープでスクリプティングする場合はグローバル API を使用します。

サーバーサイドスクリプトの詳細については、「サーバーサイドスクリプト」を参照してください。アプリケーションスコープの詳細については、「アプリケーションスコープ 」を参照してください。

クライアントサイドのスクリプト

フォームの外観を変更したり、入力された値に基づいてさまざまなフィールドを表示したり、その他のカスタム表示オプションを変更したりします。

- onLoad クライアントスクリプトは、フォームまたはページが読み込まれたときに実行されます
- onChange クライアントスクリプトは、特定のものが変更され、かつフォームやページが読み込まれたときに実行されます
- onSubmit クライアントスクリプトは、フォームが送信されたときに実行されます

クライアントスクリプトは、UI ポリシーを含む他のスクリプトまたはモジュールで呼び出すこともできます。クライアントサイドスクリプトの詳細については、「クライアント側スクリプティング」を参照してください。

利用可能なスクリプトタイプ

スクリプトは多くの場所で使用できます。最も重要な点は、スクリプトがクライアントまたはサーバーのどちらで実行されるかです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトのタイプと実行場所

スクリプト	説明	実行場所
アクセス制御	指定された操作のアクセス権が特定のエンティティに付与されるかどうかを決定します。 • 保護されているエンティティのタイプ • 保護されている操作 • オブジェクトを説明する一意の識別子 ロール、条件式、またはスクリプトで定義できます。	サーバー - スクリプトと条件はサーバーで実行されます。
Ajax スクリプト	クライアントがサーバーからデータを取得して、ページ全体を再ロードすることなくページに動的に組み込むことができるようにします。 • Ajax クライアントスクリプトは、情報やアクション、またはその両方を要求します。 • Ajax サーバースクリプトは、Ajax クライアントスクリプトの要求を実行します。	• クライアント - Ajax クライアントスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - Ajax サーバースクリプトはサーバーで実行されます。
ビジネスルール	システムの動作をカスタマイズします。 • データベースアクション (クエリ、挿入、更新、または削除) が発生したときに実行されます。 • スクリプトは次のように実行される可能性があります。 ◦ データベースアクションの実行前または後 (データベース操作の一部として実行) ◦ 非同期 (データベース操作後の特定の時点) ◦ 表示中 (データをフォームに表示する場合)	サーバー - スクリプトと条件はサーバーで実行されます。
サービスカタログ UI ポリシー	変数セットまたはカタログアイテム (サービスカタログから) の表示を定義します。	• クライアント - [True の場合実行] フィールドまたは [False の場合実行] フィールドのスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - すべての条件はサーバーで実行されます。
クライアントスクリプト	フォームの外観を変更したり、入力された値やその他のカスタム表示オプションに基づいてさまざまなフィールドを表示したりするために使用されます。	クライアント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

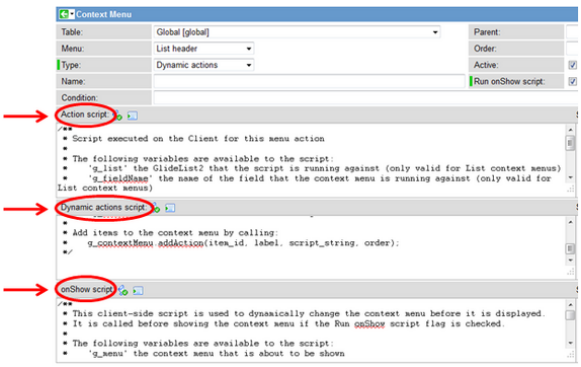
スクリプトのタイプと実行場所 (続く)

スクリプト	説明	実行場所
	• onLoad は、フォームまたはページが読み込まれたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します。 • onChange は、特定のものが変更され、かつフォームやページが読み込まれたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します。 • onSubmit は、フォームが送信されたときにクライアントスクリプトが実行されることを意味します。 クライアントスクリプトは、UI ポリシーを含む他のスクリプトまたはモジュールで呼び出すこともできます。	
スクリプトアクション	イベントが発生したときに実行されるスクリプトが含まれています。以下にそのイベントの例を示します。 • 承認がキャンセルされた • 変更が承認された • 問題が割り当てられた それが true のときにスクリプトを実行する条件を指定できます。通常は、スクリプトインクルードを呼び出すために使用されます。	サーバー - スクリプトと条件はサーバーで実行されます。
スクリプトインクルード	関数またはクラスにすることができるスクリプトが含まれます。これらのスクリプトは、他のスクリプト (多くの場合、ビジネスルール) によって呼び出された場合にのみ実行されます。 複雑なまたは再利用可能なサーバースクリプト (とりわけ、複雑なビジネスルール) は、スクリプトインクルードにする必要があります。	server
変換マップ	データのインポートに使用されます。 • テーブル間のマッピング関係を定義します。 • そのデータをインポートするために、ビジネスルール、その他のスクリプトやその他のオプションを使用できます。 スクリプトが含まれないこともあります。	server

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

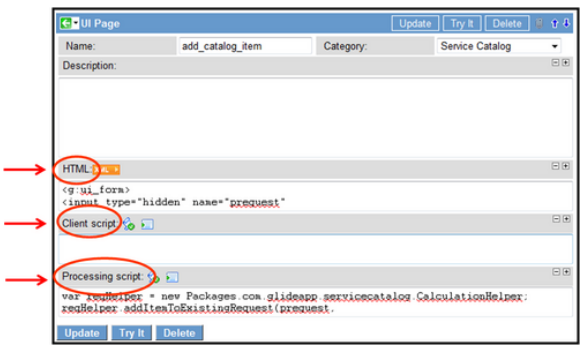
スクリプトのタイプと実行場所 (続く)

スクリプト	説明	実行場所
UI アクション	ボタンやリンクのクリックなどの特定のアクションを選択する機能を作成します。 UI アクションは、次のアイテムをフォームとリストに配置します。 • ボタン • リンク • コンテキストメニューアイテム • リスト選択肢	• クライアント - [クライアント] ボックスをオンにすると、スクリプトフィールドのスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - [クライアント] ボックスをオフにすると、スクリプトフィールドのスクリプトはサーバーで実行されます。 • クライアント - [クライアント] ボックスをオンにすると、onClick スクリプトが使用可能になります。このスクリプトには JavaScript を含めることができますが、通常はスクリプトフィールドで指定された関数を呼び出します。 • サーバー - すべての条件はサーバーで実行されます。
UI コンテキスト メニュー	どの「右クリックメニュー」をどの領域にポップアップさせるか、および利用可能なメニューの選択肢を定義します  注: 左利き用のマウス構成を使用する場合、「右クリック」とは「反対側のボタンをクリックする」ことを意味します。	• クライアント - onShow スクリプトはクライアントで実行されます。 • クライアント - アクションスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - 動的アクションスクリプトはサーバーで実行されます。 • サーバー - すべての条件はサーバーで実行されます。
UI マクロ	Jelly を含めることができ、UI ページによって呼び出されるモジュール式の再利用可能なコンポーネントが含まれます。また、さまざまなタイプのスクリプトが含まれており、同じページで複数回呼び出される場合があります。 注: Jelly は XML を HTML に変換します。	• サーバー - UI マクロ自体はサーバーで実行されます。 • サーバー - サーバー上で実行されるコンテンツ (Jelly 式または Jelly 構成内の JavaScript) が含まれる場合があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトのタイプと実行場所 (続く)

スクリプト	説明	実行場所
		• クライアント - クライアントで実行される出力を生成する場合があります (次に埋め込まれた JavaScript：<script> tags)
UI ページ	フォーム、ダイアログ、リスト、その他の UI コンポーネントの作成と表示に使用されます。スタンドアロンベースで表示することも、使用可能なコンポーネントとして、より大きなページの一部として呼び出すこともできます。  次が含まれる可能性があります。 • クライアントスクリプト • 処理スクリプト (サーバースクリプト) • HTML • Jelly • UI マクロ • また、他のスクリプトを呼び出すこともあります。 注: Jelly は XML を HTML に変換します。	• サーバー - Jelly XML がサーバー上で実行され、HTML が生成されます。 • クライアント - HTML には、クライアントで実行される埋め込み JavaScript が含まれている場合があります。 • クライアント - クライアントスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - 処理スクリプトはサーバーで実行されます。
UI ポリシー	フォーム上のフィールドの動作と可視化を定義します。 • 必須 • 表示 • 読み取り専用 可能な場合は常に、クライアントスクリプトではなく UI ポリシーを使用します。 • UI ポリシーは常に 1 つのテーブルに添付されます • UI ポリシーには多くの場合、それが true の場合に実行する条件を持ちます。	• クライアント - [True の場合実行] フィールドまたは [False の場合実行] フィールドのスクリプトはクライアントで実行されます。 • サーバー - すべての条件はサーバーで実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトのタイプと実行場所 (続く)

スクリプト	説明	実行場所
UI プロパティ	インスタンスがどのように表示されるかを指定します。	• サーバー - プロパティはサーバーで設定されます。 • クライアント - 結果はクライアントに表示されます。 スクリプトなし
UI スクリプト	再利用のために格納されたクライアントスクリプトが含まれます。他のスクリプトから呼び出された場合にのみ使用されます。 使用は推奨されません。	クライアント
妥当性検証スクリプト	値が指定された形式になっていることを検証します。 たとえば、検証スクリプトは、特定のフィールドで許可されている値が整数のみであることを確認できます。	クライアント
ワークフローエディター	ワークフローを作成または変更するために使用されます。スクリプトは、ワークフロー内の任意の時点で実行することができます。異なるスクリプトは異なる時点で実行できます。 スクリプトはすべてのワークフローアクティビティ内にあり、変更することもできます (ただし、その際は十分注意してください)。	サーバー - スクリプトと条件はサーバーで実行されます。

Glide クラスの概要

ServiceNow Glide クラスは、JavaScript の API を公開しており、スクリプトを使用してテーブルを便利に操作することができます。

Glide API を使用すると、SQL クエリを記述せずにデータベース操作を実行したり、UI ページを表示したり、UI アクションを定義したりできます。次の表に、Glide クラスの要約と詳細情報へのリンクを示します。

サーバーサイドの **Glide** クラス

クラス	説明
GlideRecord	SQL クエリを記述する代わりに、このクラスをデータベース操作に使用します。GlideRecord は、JavaScript でネイティブ JavaScript クラスとまったく同じように使用できる特別な Java クラスです。GlideRecord は、1 つのテーブルのレコードを含むオブジェクトです。「GlideRecord」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバーサイドの **Glide** クラス (続く)

クラス	説明
GlideElement	このクラスを使用して、現在の GlideRecord のフィールドを操作します。「GlideElement」を参照してください。
GlideSystem	このクラスを使用して、システムに関する情報を取得します。「GlideSystem」を参照してください。
GlideAggregate	このクラスを使用して、COUNT、SUM、MIN、MAX、AVG などのデータベース集計クエリを実行し、計算されたフィールドでカスタマイズされたレポートや計算を作成します。「GlideAggregate」を参照してください。
GlideDateTime	このクラスを使用して、date-time 計算、date-time の書式設定、date-time 形式間の変換などの date-time の操作を実行します。「GlideDateTime」を参照してください。

クライアントサイドの **Glide** クラス

クラス	説明
GlideAjax	このクラスを使用して、クライアントからサーバーサイドコードを実行します。「GlideAjax」を参照してください。
GlideDialogWindow	このクラスを使用して、ダイアログウィンドウを表示します。「GlideDialogWindow」を参照してください。
GlideForm	このクラスを使用して、フォームをカスタマイズします。「GlideForm」を参照してください。
GlideList2	このクラスを使用して、通常リストや関連リストを含む (v2) リストをカスタマイズします。「GlideList2」を参照してください。
GlideMenu	このクラスを使用して、UI コンテキストメニューのアイテムをカスタマイズします。「GlideMenu」を参照してください。
GlideUser	このクラスを使用して、現在のユーザーと現在のユーザーロールに関するセッション情報を取得します。「GlideUser」を参照してください。

Glide スタック

Glide は、Java で記述された拡張可能な Web 2.0 開発プラットフォームであり、フォームベースのワークフローアプリケーション (作業指示書、トラブルチケット、プロジェクト管理 (PM)など) の迅速な開発を支援します。

ユーザーインターフェイススタックのテクノロジーマップ

Java パッケージ		使用されているテクノロジー
	ユーザーインターフェイス (ブラウザー)	• AngularJS • HTML • CSS • JavaScript
com.glide.ui	GlideServlet	Apache Jelly

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーインターフェイススタックのテクノロジーマップ (続く)

Java パッケージ		使用されているテクノロジー
com.glide.jelly		
com.glide.script	ビジネスルール	Mozilla Rhino
com.glide.db	永続	JDBC

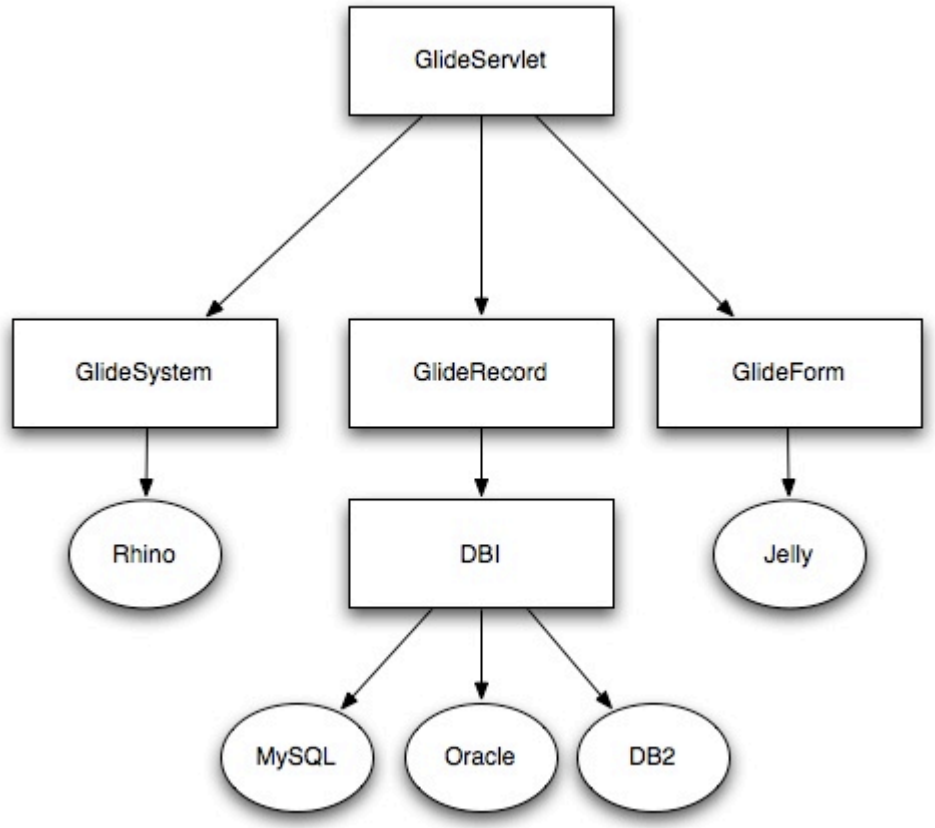
ユーザーインターフェイススタックのテクノロジーマップの説明

名前	説明	属性
GlideServlet	Glide のプライマリドライバーであり、システム内の唯一のサーブレットは GlideServlet.java にあります。GlideServlet は次を実行します。	• 受信アクション要求を処理 • ページを表示 • データをフォームと結合 • ユーザーに提示 • スクリプトレイヤーを使用したインターフェイス
ビジネスルール		• Mozilla Rhino に基づく ECMA/JavaScript の実装 • JDBC レコードセットインターフェイスを使用した永続レイヤーがあるインターフェイス • 簡単な相関付けのために永続レイヤーのメタデータをデータと結合
永続		• 永続は任意の格納を意味 ◦ RDBMS ◦ LDAP ◦ ファイルシステム • 格納のタイプに関係なくアクセスを統一 • QUID およびメタデータ機能を提供 • インターフェイスを発信者に提示 ◦ RecordSet ◦ TableDescriptor ◦ ElementDescriptor

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Glide サーブレット



スクリプトとエンジンの実行順序

スクリプト、アサインルール、ビジネスルール、ワークフロー、エスカレーション、およびエンジンはすべて、挿入や更新などのデータベース操作に関連して有効です。多くの場合、これらのイベントの順序は重要です。

注: ブラウザで Ajax を使用したり JavaScript として実行したりするクライアントベースのコードは、常にサーバーへフォームを送信する前に実行されます。

実行順序は次のとおりです。

1. ビジネスルールの前：1000 未満の順番でデータベース操作の前に実行するように構成されたスクリプト
2. エンジンの前：以下は、特定の順序で実行されません。
   - 承認エンジン (タスクおよび sys_approval_approver テーブル用)
   - 割り当てルールエンジン (タスクテーブル用)
   - データポリシーエンジン
   - エスカレーションエンジン
   - フィールド正規化エンジン
   - ロールエンジン - sys_user_has_role テーブルと同期してロール変更を保持 (sys_user、sys_user_group、sys_user_grmember、および sys_user_role テーブル用)
   - 実行計画エンジン (タスクテーブル用)
   - バージョン エンジンの更新 - sys_update_xml エントリが書き込まれるときにバージョン エントリを作成 (sys_update_xml テーブル用)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データ検索エンジンの挿入または更新
- ワークフローエンジン (デフォルトのワークフロー用)

3. ビジネスルールの前：1000 以上の順番でデータベース操作の前に実行するように構成されたスクリプト
4. データベース操作 (挿入、更新、削除)
5. ビジネスルールの後：1000 未満の順番でデータベース操作の前に実行するように構成されたスクリプト
6. エンジンの後：以下は、特定の順序で実行されません。
   - ラベルエンジン
   - リスナーエンジン
   - テーブル通知エンジン
   - ロールエンジン - sys_user_has_role テーブルと同期してロール変更を保持 (sys_user、sys_user_group、sys_user_grmember、および sys_user_role テーブル用)
   - テキストインデックス作成エンジン
   - 同期エンジンの更新
   - ワークフローエンジン (保留ワークフロー用)
   - トリガーエンジン (すべての フローデザイナー フロー用)
7. メール通知：通知レコードの重みに基づいて、以下が実行されます。
   - 挿入、更新、または削除時に送信される通知
   - イベントベースの通知
8. ビジネスルールの後 (アクティブなレコードのみ)。1000 以上の順序のデータベース運用の後に実行するように構成されたスクリプト。

自動翻訳

データタイプ別のフィールドのスクリプト評価

スクリプトフィールドは、入力のフィールドタイプに基づいてデータを評価します。

データタイプ別のフィールドの評価

タイプ	スクリプト内での評価	例
文字列	文字列	"dog" > "dog"
10 進数	小数点以下第 2 位までの数字	12.34 > 12.34
整数	小数点以下の桁がない数字	12 > 12
True/False	true または false	☑ > true ☐ > false

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ別のフィールドの評価 (続く)

タイプ	スクリプト内での評価	例
日付	yyyy-mm-dd 形式の日付	2008-11-04
日付と時刻	yyyy-mm-dd hh:mm:ss 形式の日時	2008-11-04 06:46:20
期間	「1970 年 1 月 1 日 00:00:00 + 保存された期間」の日付 **注:** この日付はシステムのタイムゾーンに対応しています。別のユーザーのタイムゾーンが指定されている場合、そのユーザーには異なる日付と時刻の値が表示されることがあります。	> "1970-01-01 00:00:00" > "1970-01-02 02:03:04"
選択肢	その選択肢に関連付けられた `sys_choice` レコードの値フィールドの内容を返しま	> "2" (この値は文字列であることに注意してください)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ別のフィールドの評価 (続く)

タイプ	スクリプト内での評価	例
	す。選択リスト内の特定のアイテムに関連付けられた値を返す方法の詳細については、「選択リスト」を参照してください。	
ジャーナル	そのジャーナルフィールドに対して作成されたすべてのエントリの文字列を返します。ジャーナルタイプフィールドのスクリプティングについては、「ジャーナルフィールド」を参照してください	Web サーバーが停止している > Web サーバーが停止している
参照	参照されるレコードの `sys_id` を返します	> "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
画像	画像へのパスを返します	> images/icons/image_name.gif
URL	文字列を返します	> "http://www.service-now.com"
Glide リスト	カンマ区切りのシステム ID の文字列を返します	> 5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007,46d14f04a9fe19810142e40c6b071512

アラート、情報、およびエラーメッセージのスクリプティング

メッセージは、アラート、情報メッセージ、またはエラーメッセージとして顧客に送信できます。

ビジネスルールおよびその他の汎用スクリプト

スクリプト	結果
`current.field_name.setError("Hello World");`	赤色のエラーメッセージで、指定されたフィールドの下に `Hello World` を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルールおよびその他の汎用スクリプト (続く)

スクリプト	結果
`gs.addInfoMessage("Hello World");`	青色の情報メッセージで、ブラウザーウィンドウの上部に `Hello World` を追加します。
`gs.addErrorMessage("Hello World");`	赤色のエラーメッセージで、ブラウザーウィンドウの上部に `Hello World` を追加します。
`gs.print("Hello World");`	`Hello World` をファイルシステムのテキストログに書き込みますが、データベースの sys_log テーブルには書き込みません。
`gs.log("Hello World");`	`Hello World` をデータベースとログファイルに書き込みます。 **注:** gs.log を頻繁に使用すると、パフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。

クライアントサイドスクリプト

スクリプト	結果
`alert("Hello World");`	`Hello World` が表示さた、**[OK]** ボタンがあるウィンドウを表示します。
`confirm("Hello World");`	`Hello World` が表示された、**[OK]** ボタンと [キャンセル] ボタンがあるウィンドウを表示します。
`g_form.showFieldMsg("field_name", "Hello World", "error");`	赤色のエラーメッセージで、指定されたフィールドの下に `Hello World` を追加します。
`g_form.hideFieldMsg("field_name");`	指定されたフィールドの最新のメッセージを非表示にします。

重要: この表のメソッドは、クライアントスクリプトでのみ使用します。

必要に応じてクライアントスクリプトを使用して、他のカスタムメッセージをフォームに追加することもできます。

画面上部の情報およびエラーメッセージのテキストサイズはカスタマイズ可能です。2 つのプロパティでこれを制御します。フォームを構成したら、次のプロパティの追加が必要になる場合があります。

注: クライアントスクリプトアラートオプションは、自動テストフレームワーク (ATF) では使用できません。

エラーおよびアラートのテキストサイズのプロパティ

プロパティ	説明
`css.outputmsg.info.text.font-size`	情報メッセージのサイズを設定します。デフォルトは 11 ポイントです。
`css.outputmsg.error.text.font-size`	エラーメッセージのサイズを設定します。デフォルトは 11 ポイントです。

自動翻訳

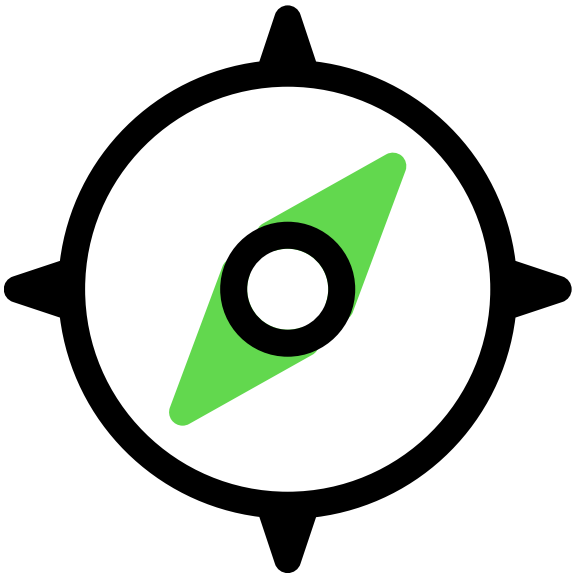
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist によるコード生成

ServiceNow® Now Assist をコード生成に使用すると、テキストやコードプロンプトに基づいて、AI が生成したコードを使用してスクリプトをすばやく記述できます。

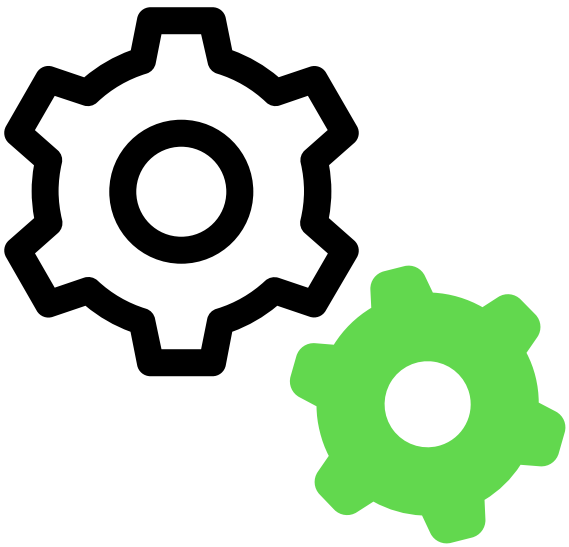
開始するには

探索



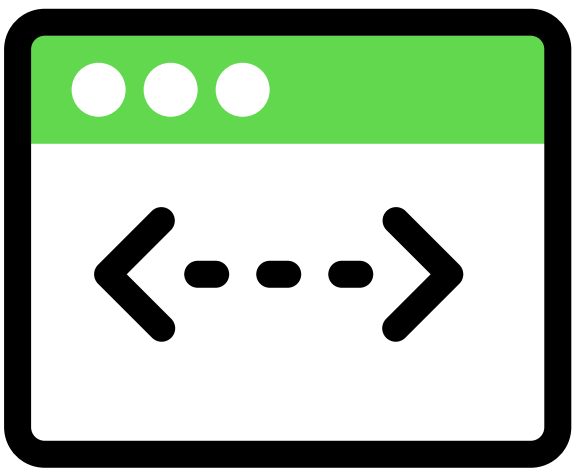
AI が生成したコードを使用して開発者がスクリプトを作成する方法について説明します。

Configure (構成)



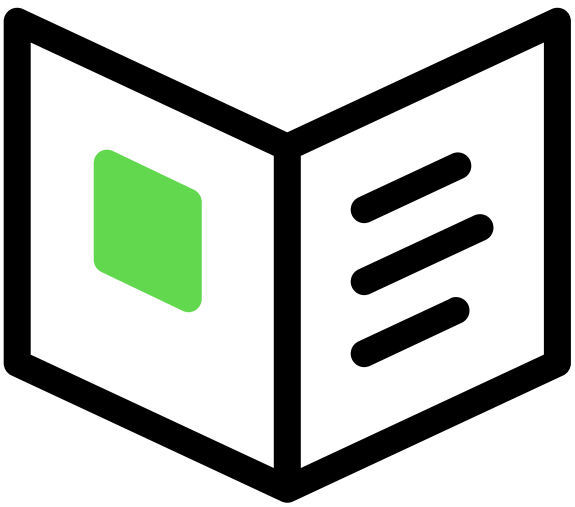
インスタンスのコード生成機能を構成します。

プロンプトからスクリプトを生成



AI が生成したコードを使用してスクリプトをすばやく記述します。

参照



プロパティ、ロールなどの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、ユースケースに適した精度についてこのアプリケーションの使用をテストおよび評価し、必要に応じて人間によるレビューを採用し、意思決定の目的のために AI で生成された出力のみに依存しないようにすることを強くお勧めします。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは ：コード生成用の Now Assist が呼び出されるスクリプト (および関連するスクリプトレコード) に関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、Now Assistドキュメント を参照してください。

コード生成の詳細

AI が生成するコードが、Now Platform でスクリプトを作成する開発者にとってどれだけ役立つかを説明します。

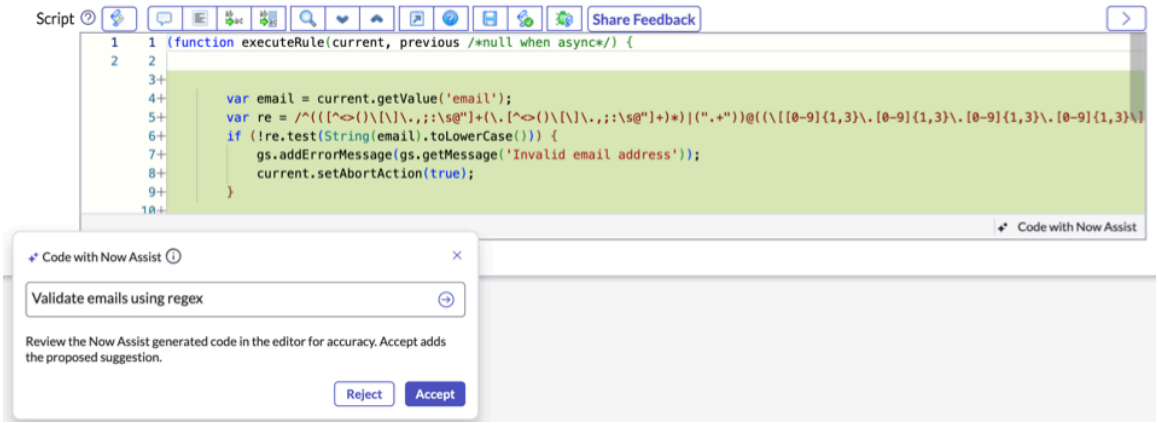
コード生成の概要

クリエーターの Now Assist は、コード生成スキルをアクティブ化します。コード生成は、生成するコードを説明するテキストを提供し、Now Platform のフォームおよび フローデザイナー のスクリプトステップで JavaScript エディターのコード提案を取得します。コード生成を使用すると、Now Platform でのスクリプティング経験レベルにかかわらず、あらゆる開発者がカスタムスクリプトの作成を開始したり、スクリプトをより効率的に反復したりすることができます。

コード提案を生成するには、生成するコードのゴールを、[Now Assist を使用したコード (Code with Now Assist)] ダイアログボックスで説明します。コード提案はプロンプトの後の行に表示されますが、承認されるまでスクリプトには追加されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

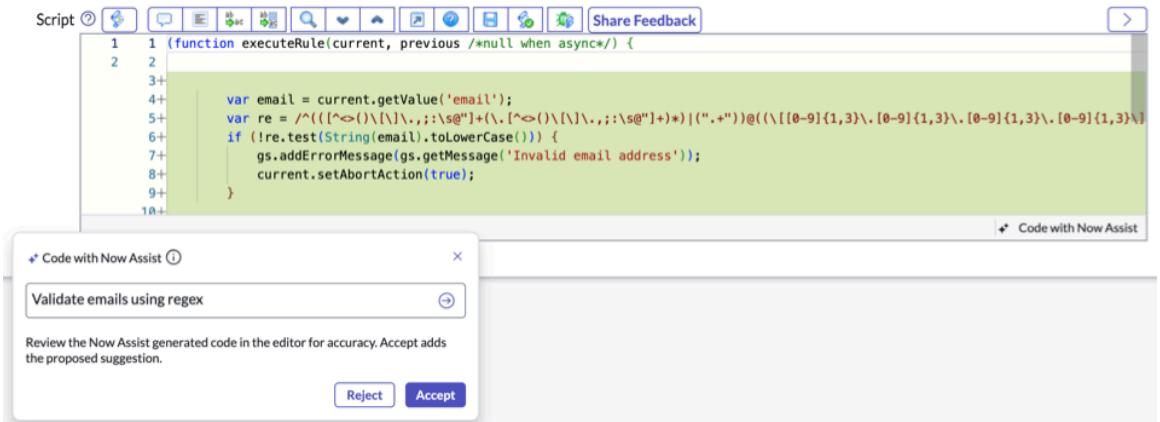


注: コード生成を使用するには、開発者に now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。コード生成の使用の詳細については、「AI によるコード生成を使用してスクリプトを生成する」を参照してください。

コード生成ワークフロー

1. 開発者は、スクリプトエディターから [Now Assist を使用したコード (Code with Now Assist)] ダイアログボックスを開き、生成するコードを記述します。
2. 開発者は、コード提案の生成をトリガーします。

   次の例では、開発者が [Now Assist を使用したコード (Code with Now Assist)] ダイアログボックスでスクリプトの実行内容を記述します。コード提案がスクリプトエディターでハイライト表示されます。

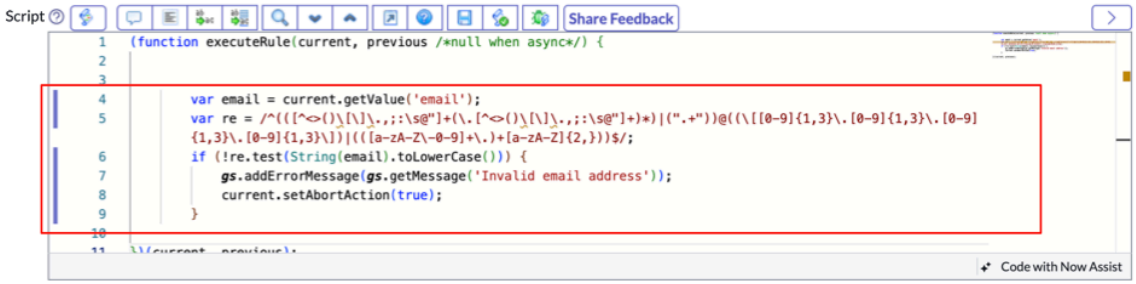


3. 開発者は、AI が生成したコード提案をレビューし、承認または却下します。
   - 承認すると、コードがスクリプトに追加され、レビューに基づいて必要な編集を行うことができます。
   - 却下すると、コードはスクリプトに追加されず、プロンプトを変更して新しいコード提案を生成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、行番号の横に線が表示されていますが、これは AI によって作成され、編集されていないコードを示しています。AI が生成したコードを編集した場合、それらのコード行に行インジケーターは表示されません。

AI が生成したコード行



オプションで、コード補完機能をオンにして、コード生成用の Now Assist とともに、スクリプトエディターでコードまたは単発プロンプトを使用できます。

コード生成のメリット

メリット	機能	ユーザー
スクリプトの品質を向上させ、反復的なコーディングタスクを自動化し、コードの検索や呼び出しにかかる時間を短縮します。	テキストからコードへ、およびコード補完	開発者
AI が生成したコード提案を自動的に取得する	自動コード提案	開発者、アドミニストレーター
AI が生成したコードを特定する	AI が生成したコードの追跡	開発者、アドミニストレーター

コード生成の一般的なガイドライン

コード生成に関するこれらの一般的なガイドラインを使用して、より適切なコード提案を取得し、有用で正確なスクリプトを作成します。

プロンプトを記述する

明確で具体的、かつ簡潔なプロンプトを作成する

期待される結果とコンテキストを指定し、タスク要件、特定の API (既知の場合)、制約などの必要な詳細を含めます。

さまざまなプロンプトを試す

改善と試行錯誤を繰り返すにつれて、Now LLM サービス はこのフィードバックを利用して学習と改善を行います。

- タスクの指示を調整し、例を組み込んで、プロンプトのスタイルと詳細レベルの変更によりコード提案がどのように変わるかを確認します。
- 単一のプロンプトでスクリプトを開始する方法の例として、短いコードスニペットを含めてみてください。
- 変更や仕様を満たすプロンプトを生成するための指示を含めて、プロンプトを追跡します。この追跡によって、比較分析のために過去の結果を簡単に再生成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード生成のプロンプトの例

強力なプロンプト	弱いプロンプト	メモ
関連タスクを含むインシデントを取得する	タスクを含むインシデントを取得する	十分な詳細が含まれています。
Glide アグリゲートを使用し、3 月 3 日から 4 月 13 日の間にアドミンにアサインされたクローズ済みの P1 インシデントの数をカウントする	3-3 と 4-13 の間の P1 インシデントをカウントする	API 名とより具体的な言語が含まれています。
オープンな変更要求が P1 の場合、作成者でない限り重大度を引き下げることはできない	P1 変更要求の変更は許可しない	変更すべきではない点について、より具体的な指示が含まれています。
直近の変更の Gliderecord	最新の変更	API 名とより具体的な言語が含まれています。

コードをレビューする

レビューコード

厳密で詳細なレビューを実施して、AI によって生成されたコードの精度、効率、コーディング標準への準拠レベルを判断します。

テストコード

管理された環境でテストケースに対してコードを実行し、要件に従って機能することを確認します。

コード生成の構成

開発者がインスタンスでコード生成をどのように使用できるかを構成します。

コード生成用に **Now Assist** をインストールする

ServiceNow® Store から ServiceNow® クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールして、コード生成のために Now Assist を取得します。

始める前に

- 次のものをレビュー クリエーターの Now Assist 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性に関する情報を ServiceNow Store に一覧表示するアプリケーション。 クリエーターの Now Assist は、 Now Assist for Code Generation アプリケーション (sn_now_assist_code) をインストールします。

必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow Store の クリエーターの Now Assist アプリケーションページで、[アプリを要求] を選択します。
2. 承認が付与された後、インスタンスで すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
3. 検索バーを使用して、クリエーターの Now Assist アプリケーション (sn_now_creator) を検索します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

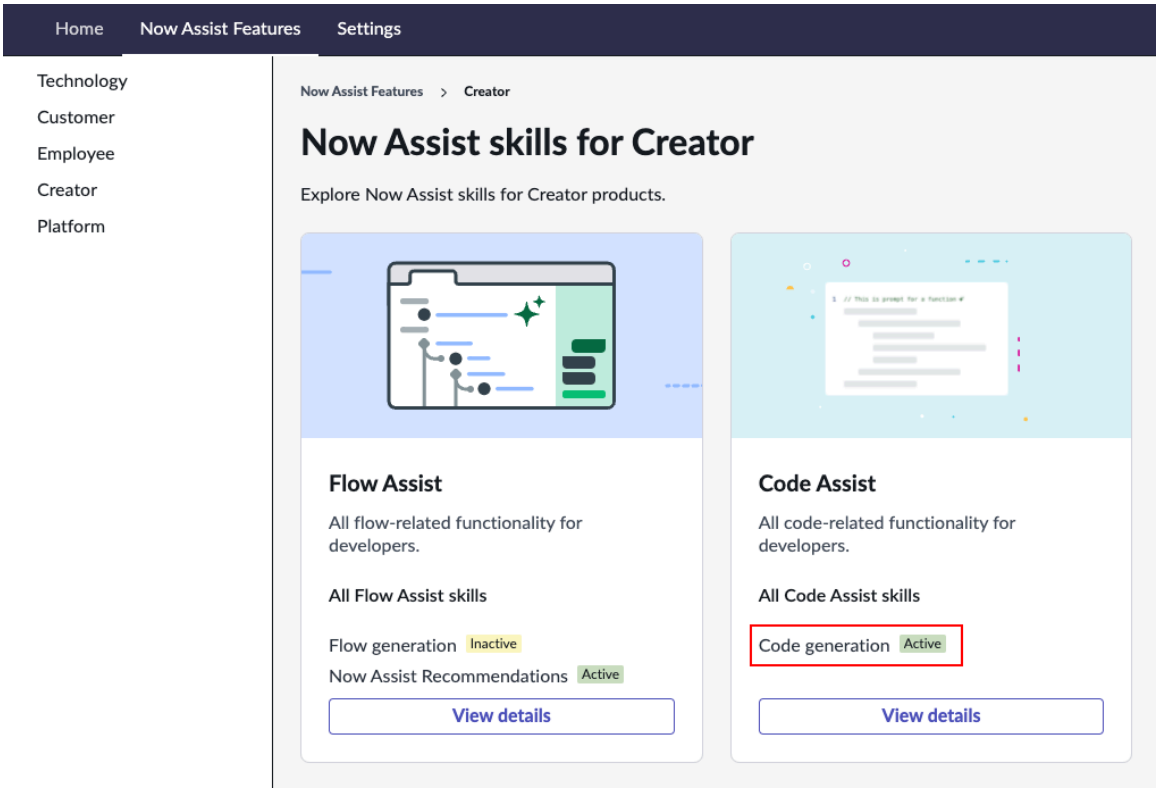
自動翻訳

4. [インストール] を選択します。
5. クリエーターの Now Assist がインストールされていることを確認します。

   a. 移動先 すべて > *Now Assist* アドミン > 機能.

   b. ワークフローリストで、[作成者] を選択します。

   c. コード補完カードで、コード生成スキルがアクティブであることを確認します。



Now Assist アドミン の詳細については、「Now Assist」を参照してください。

次のタスク
コード生成を使用する各ユーザーに、now.assist.creator ロールを付与します。

関連情報

Now Assist for Creator のインストール

コード補完を有効にする

スクリプトエディターでコード補完を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「`sys_properties.list`」と入力します。
2. [名前] 列のフィルターに *sn_now_assist_code.enable_promptless_experience* を入力し、システムのプロパティ [sys_properties] リストをフィルタリングします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. *sn_now_assist_code.enable_promptless_experience* を選択し、プロパティレコードを開きます。
4. [値] フィールドに「`true`」と入力します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果

スクリプトエディターで、開発者がコードまたはコードとテキストの組み合わせをコードコメントに入力して、AI が生成したコード提案を取得できます。詳細については、「コードからスクリプトを生成する」を参照してください。

自動コード提案をオンにする

コード生成を手動でトリガーすることなく、スクリプトエディターで AI が生成したコード提案を取得します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

デフォルトでは、キーボードショートカットを使用してスクリプトエディターでコード提案の生成をトリガーする必要があります。自動コード提案では、プロンプトを入力し、入力またはカーソルの移動を 2.5 秒間停止した後に、コード提案を受信します。次のいずれかの条件に該当する場合、コード提案を自動的に受信しません。

- 最後に入力されたキーがスペース、タブ、改行などのホワイトスペースである。
- 入力したプロンプトが無効である。
- 最後の編集が行の途中で行われた。
- 最後の変更がコード提案の承認だった。

また 2.5 秒が経過する前に、コード提案の生成を手動でトリガーし続けることもできます。

有効にすると、インスタンスでコード生成を使用するすべての開発者が、自動コード提案を受け取ります。

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「`sys_properties.list`」と入力します。
2. [名前] 列のフィルターに *sn_now_assist_code.enable_auto_trigger* を入力し、システムのプロパティ [sys_properties] リストをフィルタリングします。
3. *sn_now_assist_code.enable_auto_trigger* を選択し、プロパティレコードを開きます。
4. [値] フィールドに「`true`」と入力します。
5. [更新] を選択します。

AI が生成したコードの追跡

コードが AI によって生成されたものであることを追跡し、それを表示するタイミングを制御します。

コード提案を受け入れると、AI が生成したコード行が追跡され、スクリプトエディターの行番号の横に線で示されます。AI が生成したコードを編集した場合、それらのコード行に行インジケーターは表示されません。

AI が生成したコードの追跡のオンとオフを切り替えたり、スクリプトエディターで AI が生成したコードを記録および識別する期間を設定したりできます。デフォルトでは、AI が生成したコードは 6 か月間、記録および識別されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

AI が生成したコードを表示する期間を構成する

コード提案を受け入れた後に、指定された期間、AI がコードを生成したことをスクリプトエディターに表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. ナビゲーションフィルターで「`sys_auto_flush.list`」と入力します。
2. **[Tablename]** 列のフィルターに *sn_now_assist_code_ai_generated_lines* を入力し、自動フラッシュ [sys_auto_flush] リストをフィルタリングします。
3. *sn_now_assist_code_ai_generated_lines* を選択してレコードを開きます。
4. [経過時間 (秒)] フィールドに、AI が生成したコードを作成後に記録し表示する期間を秒単位で入力します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
設定された期間より前に作成された AI 生成コードは記録されず、スクリプトエディターに表示されません。

AI が生成したコードの追跡をオフにする

AI が生成したコードを追跡して表示する機能をオフにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
AI が生成したコードを追跡して表示するには、更新セットに含まれる変更が必要です。更新セットにこれに関連する変更を含めない場合は、AI が生成したコードを追跡して表示する機能をオフにすることができます。

手順
1. ナビゲーションフィルターで、「`sys_properties.list`」と入力します。
2. [名前] 列のフィルターに *sn_now_assist_code.show_ai_code_line_marker* を入力し、システムのプロパティ [sys_properties] リストをフィルタリングします。
3. *sn_now_assist_code.show_ai_code_line_marker* を選択し、プロパティレコードを開きます。
4. [値] フィールドに「`false`」と入力します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
AI 生成コードは記録されず、スクリプトエディターに表示されません。

AI によるコード生成を使用してスクリプトを生成する

AI によるコード生成を使用して、テキスト、コード、またはその両方の組み合わせからスクリプトを生成します。

インスタンスでコード生成が有効になっている場合、スクリプトエディターに [Now Assist] アイコン (✨) が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード生成を使用するには、開発者に now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。

テキストからスクリプトを生成する

スクリプトの実行内容を Now Assist に伝えることで、AI が生成したコードを使用してスクリプトをすばやく記述できます。

始める前に

より適切なコード提案を生成するためのプロンプトを記述する方法について説明します。詳細については、「コード生成の一般的なガイドライン」を参照してください。

必要なロール：now.assist.creator

手順

1. スクリプトフィールドのあるフォームに移動します。

   Example
   たとえば、スクリプトインクルードフォームを開くには、 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード をクリックし 、**[New**] を選択するか、ナビゲーションフィルターに「sys_script_include.do 」と入力します。

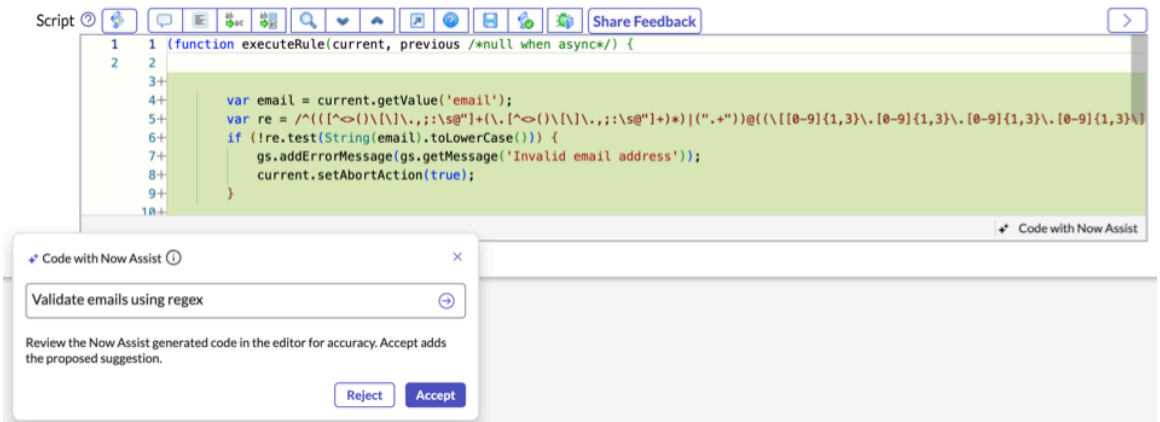
2. スクリプトエディターで、コードを追加する場所にカーソルを置きます。
3. 右クリックして **[Now Assist** でコードを開く **(Open Code with Now Assist)]** を選択するか、次のキーボードショートカットのいずれかを使用します。
   - Windows：Ctrl-Enter
   - Mac：Cmd-Enter

   ヒント: [ヘルプ] アイコン ( ) を選択すると、関連するキーボードショートカットのリストにアクセスできます。

4. **[Now Assist** を使用したコード **(Code with Now Assist)]** ダイアログボックスで、生成するコードのゴールを説明するテキストを入力します。

   入力するテキストは 1,000 文字未満にする必要があります。

5. Enter キーを押して、コード提案を生成します。
   コード提案がスクリプトエディターでハイライト表示されます。



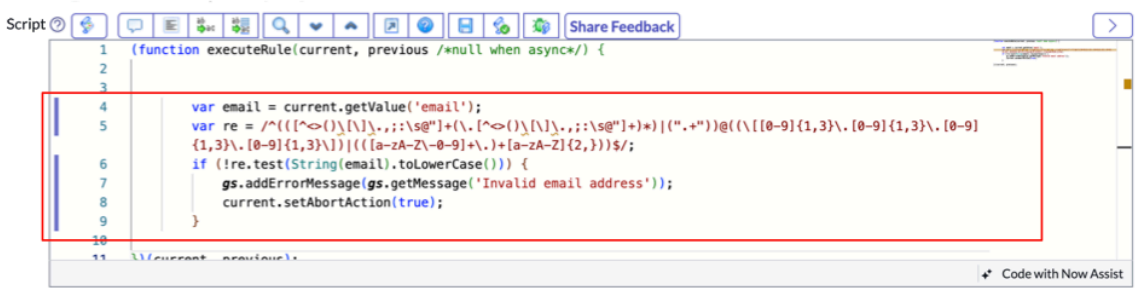
6. コード提案を確認し、次のいずれかの手順を実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スクリプトに含めて編集するには、[承認] を選択します。
- 提案を再生成するには、ダイアログボックスのテキストを変更し、矢印アイコン ( ) を選択します。
- スクリプトから削除するには、[却下] を選択します。

コード提案を承認すると、行番号の横に線が表示され、どのコードが AI によって作成され、編集されていないかが示されます。AI が生成したコードを編集した場合、それらのコード行に行インジケーターは表示されません。



Trouble?
コード提案が要件を満たしていない場合は、プロンプトのガイダンスに従ってプロンプトを変更して、別のコード提案を生成してください。

7. [送信] または [更新] を選択し、変更を保存します。

コードからスクリプトを生成する

AI が生成したコード補完により、スクリプトをすばやく記述できます。

始める前に

インスタンスのコード補完をオンにする必要があります。詳細については、「コード補完を有効にする」を参照してください。

必要なロール：now.assist.creator

手順

1. スクリプトフィールドのあるフォームに移動します。

Example
たとえば、スクリプトインクルードフォームを開くには、 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード をクリックし 、**[New**] を選択するか、ナビゲーションフィルターに「sys_script_include.do 」と入力します。

2. スクリプトフィールドに、コード、またはテキストとコードの組み合わせを入力します。

Example

- 関数やその他のコードの先頭を入力すると、自動的に補完されます。例：

```
var email = current.getValue('email');
var regex =
```

- コードコメントに、生成するコードのゴールを説明するテキストの組み合わせと、それに続いてコードの開始方法の例を入力します。例：

```
// Validate emails using regex
var email = current.getValue('email');
var regex =
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 右クリックして [コード補完を自動生成 **(Auto-generate code completion)]** を選択するか、次のキーボードショートカットのいずれかを使用して、コード提案を生成します。
   - Windows：Ctrl-Windows ロゴキー-Enter
   - Mac：Ctrl-Cmd-Enter

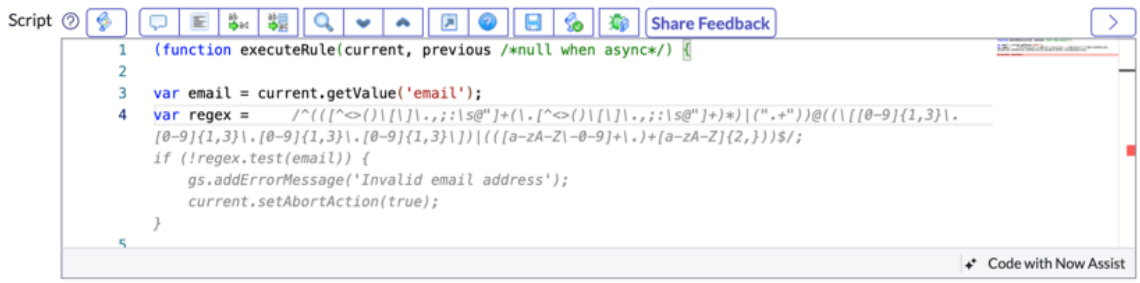
   ヒント: [ヘルプ] アイコン ( ) を選択すると、関連するキーボードショートカットのリストにアクセスできます。

   コード生成をトリガーする場合、カーソルの前のコードは 1,000 文字未満である必要があります。

   注: 自動コード提案が有効になっている場合、プロンプトを入力し、入力またはカーソルの移動を 2.5 秒間停止すると、自動的にコード提案が取得されます。詳細については、「自動コード提案をオンにする」を参照してください。

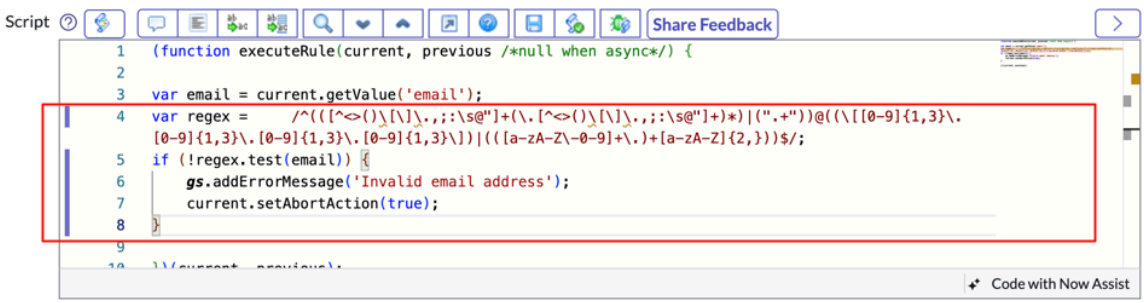
   コード生成をトリガーした後にプロンプトを編集することはできません。コード提案が返される前にプロンプトを編集する必要がある場合は、Backspace キーを押してコード生成をキャンセルできます。

   提案を生成している間、スピナーアイコン ( ) が表示されます。コード提案はプロンプトの後の行に表示されますが、承認するまでスクリプトには追加されません。



4. スクリプトに含める場合はコードを承認し、スクリプトから削除する場合はコードを却下します。
   - 承認：Tab キーまたは右矢印キーを押します。提案されたコード内で選択しても、提案は承認されます。
   - 却下：Esc キー、左矢印キー、または上矢印キーを押します。スクリプト内で提案されたコードの外側で入力または選択すると、その提案も削除されます。

   コード提案を承認すると、行番号の横に線が表示され、どのコードが AI によって作成され、編集されていないかが示されます。AI が生成したコードを編集した場合、それらのコード行に行インジケーターは表示されません。



Trouble?
コード提案が要件を満たしていない場合は、コードを変更して別のコード提案を生成してください。

5. [送信] または [更新] を選択し、変更を保存します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード生成のリファレンス

参照トピックには、構成プロパティ、ロールなどに関するその他の情報が記載されています。

コード生成プロパティ

いくつかの詳細プロパティを使用して、コード生成がインスタンスでどのように機能するかを調整できます。

注: システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「`sys_properties.list`」と入力します。

コード生成のプロパティ

プロパティ	説明
sn_now_assist_code.enable_code_assist	サポートされているスクリプトエディターでコード生成を使用できるようにします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細：Now Assist アドミン からコード生成を有効にすることもできます。詳細については、「Now Assist スキルのアクティブ化」を参照してください。
sn_now_assist_code.enable_promptless_experience	スクリプトエディターでコード補完を使用できるようにします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： コード補完を有効にする
sn_now_assist_code.enable_prompt_modal	[Now Assist を使用したコード (Code with Now Assist)] ダイアログボックスを使用してテキストプロンプトを指定できるようにします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード生成のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： テキストからスクリプトを生成する
sn_now_assist_code.show_ai_code_line_marker	AI が生成したコード行を追跡できるようにします。このコードは、スクリプトエディターのコード行の横に線で示されます。AI が生成したコードを編集する場合、それらのコード行に行インジケーターは表示されません。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： AI が生成したコードの追跡
sn_now_assist_code.enable_auto_trigger	プロンプトを入力した後、2.5 秒間入力またはカーソルの移動を行わなかった場合に、コード提案が自動的に返されるかどうかを指定します。また 2.5 秒が経過する前に、コード提案の生成を手動でトリガーし続けることもできます。 false の場合は、キーボードショートカットを使用して手動でコード生成をトリガーする必要があります。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： 自動コード提案をオンにする
sn_now_assist_code.collect_schema_for_code_assist	コード生成を使用するときに、ビジネスルールまたはクライアントスクリプトが実行されるテーブルのデータスキーマを収集するかどうかを指定します。このプロパティを false に設定すると、コード提案が迅速に返されますが、コンテキストに関連した提案が少なくなる可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コード生成のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

コード生成ロール

コード生成で使用するために、次のロールがインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

Now Assist Creator [now.assist.creator]

AI を利用したコード生成を使用してスクリプトを記述します。

グループ

このロールはデフォルトでどのグループにもアサインされません。

ロールを含む

このロールに含まれるロールはありません。

昇格

このロールは昇格したロールではありません。

特別な考慮事項

なし

JavaScript シンタックスエディター

シンタックスエディターは、JavaScript スクリプトの編集をサポートしています。

シンタックスエディターには次のような機能があります。

- JavaScript 構文の自動色分け、インデント、行番号、閉じ括弧と引用符の自動作成
- JavaScript のサポート
- ESLint ユーティリティを使用したリンティング

  注: システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.ui.syntax_editor.linter.eslint_config* プロパティにアクセスして、デフォルトのリンティング構成を変更または表示します。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

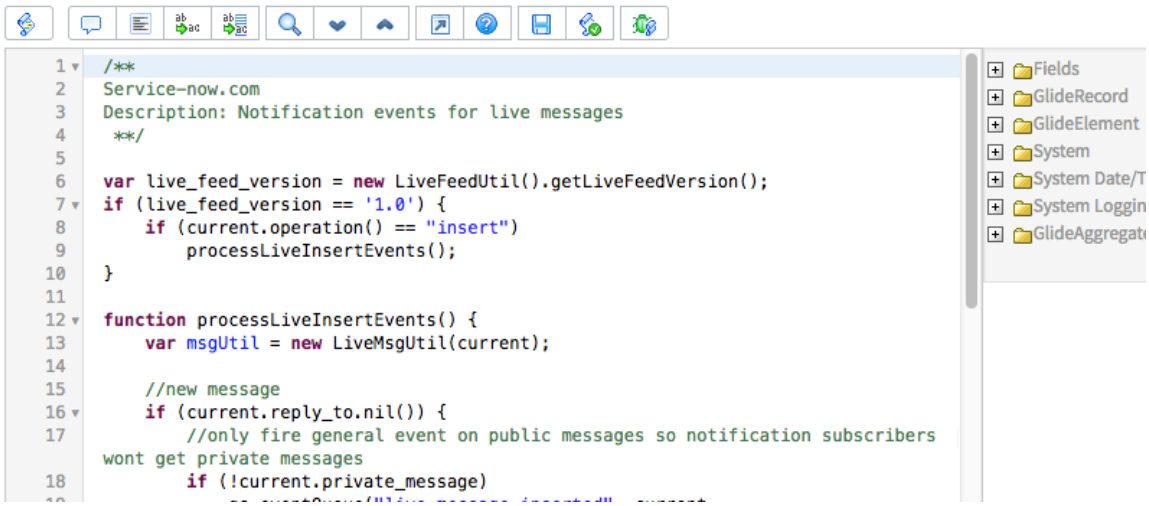
- スクリプトインクルード、API、テーブルのコンテキストメニュー
- 一般的なコードのショートカットのためのスクリプトマクロ

この機能には、シンタックスエディター (com.glide.syntax_editor) プラグインが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JavaScript エディター



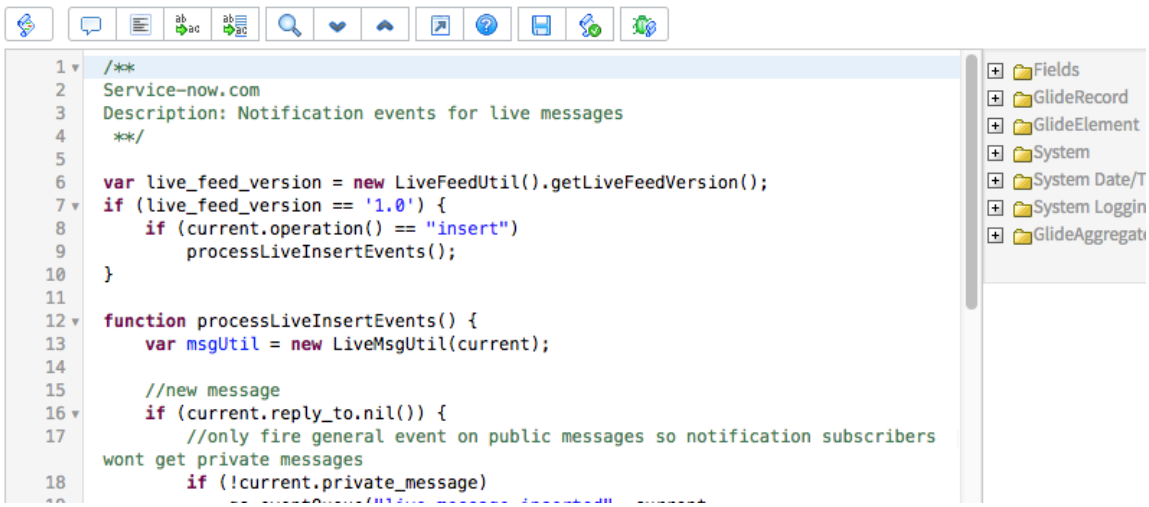
シンタックスエディタープラグイン

シンタックスエディターを使用するには、シンタックスエディタープラグインを有効にします。

シンタックスエディターは、すべてのスクリプトフィールドで次の機能を有効にします。

- JavaScript 構文の自動色分け、インデント、行番号、閉じ括弧と引用符の自動作成
- コード編集機能
- コード構文チェック
- 一般的なコードのショートカットのためのスクリプトマクロ

JavaScript シンタックスエディター



シンタックスエディターを無効または有効にするには、sys_properties.list の *glide.ui.javascript_editor* プロパティを変更します。さらに、アドミニストレーターは *glide.ui.syntax_editor.show_warnings_errors* プロパティを変更することで、エラーを含むコード行の横にエラーインジケーターと警告インジケーターを表示するようにシンタックスエディターを構成できます。sys_properties.list の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

注: アドミニストレーターは、ユーザー設定に関係なく、すべてのユーザーに対してシンタックスエディターを無効または有効にすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シンタックスエディターの **JavaScript** のサポート

シンタックスエディターは、JavaScript スクリプトの編集をサポートする編集機能を備えています。

JavaScript 編集機能

アイコン	キーボードショートカット	名前	説明
	適用外	シンタックスエディターの切り替え	シンタックスエディターを無効にします。もう一度ボタンをクリックすると、シンタックスエディターは有効になります。
	アクセスキー + R	コードの書式設定	スクリプトに適切なインデントを適用します。
	アクセスキー + C	選択したコードのコメント化	選択したコードをコメント化します。
	アクセスキー + U	選択したコードのコメント解除	選択したコードからコメントコードを削除します。
	適用外	構文のチェック	コードの構文エラーをチェックします。デフォルトでは、スクリプトフィールドの入力時に、自動的に構文エラーがチェックされます。エラーまたは警告が見つかった場合、シンタックスエディターではエラーまたは警告を含むスクリプト行の横に中黒が表示されます。このチェックはすべてのスクリプトフィールドで行われます。
	アクセスキー + \	検索の開始	スクリプトフィールド内で、検索語のすべての出現箇所をハイライト表示して、最初の出現箇所を見つけます。アイコンをクリックし、検索用語を入力して、**Enter** キーを押します。正規表現 をスラッシュで囲んで、検索用語を定義できます。たとえば、*/a{3}/* と入力すると、*aaa* を検出できます。
	アクセスキー + [	次を探す	スクリプトフィールドで、現在の検索語の次の出現箇所を検出します。[検索の開始] を使用して、現在の検索用語を変更します。
	アクセスキー +]	前を探す	スクリプトフィールドで現在の検索語の前の出現箇所を検出します。[検索の開始] を使用して、現在の検索用語を変更します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	キーボードショートカット	名前	説明
	アクセスキー + W	置換	スクリプトフィールド内でテキスト文字列の次の出現箇所を置き換えます。 1. アイコンをクリックし、置換する文字列を入力し、**Enter** キーを押します。正規表現をスラッシュで囲んで、置換する文字列を定義できます。たとえば、*/a{3}/* と入力すると、*aaa* を検出できます。 2. 置換文字列を入力して、**Enter** キーを押します。
	アクセスキー + ;	すべて置換	スクリプトフィールド内で、特定のテキスト文字列のすべての出現箇所を置き換えます。 1. アイコンをクリックし、置換する文字列を入力し、**Enter** キーを押します。正規表現をスラッシュで囲んで、置換する文字列を定義できます。たとえば、*/a{3}/* と入力すると、*aaa* を検出できます。 2. 置換文字列を入力して、**Enter** キーを押します。
	適用外	保存	現在のビューを離れずに変更を保存します。このボタンを全画面モードで使用すると、標準のフォームビューに戻らずに保存できます。
	アクセスキー + L	全画面表示モードの切り替え	スクリプトフィールドを展開して、全画面のフォームビューで編集しやすくします。このボタンをもう一度クリックすると、標準フォーム ビューに戻ります。この機能は Internet Explorer では使用できません。
	アクセスキー + P	ヘルプ	キーボードショートカットのヘルプ画面を表示します。

JavaScript 編集のヒント

- コードブロックを折りたたむには、ブロックの最初の行の横にあるマイナス記号をクリックします。マイナス記号は、折りたたみ可能なブロックの横にのみ表示されます。コードブロックを展開するには、プラス記号をクリックします。
- コード内の任意の位置に固定スペースを挿入するには、Tab キーを押します。
- コードの 1 行をインデントするには、行の先頭の空白をクリックして Tab キーを押します。
- コードの 1 行以上の行をインデントするには、対象のコードを選択して Tab キーを押します。インデントを減らすには、Shift + Tab キーを押します。
- コードの行の先頭から 1 つのタブを削除するには、行内をクリックし、Shift + Tab キーを押します。

JavaScript のリソース

スクリプトは ECMA 262 標準の JavaScript を使用します。役立つリソースには、次のようなものがあります。

- Mozilla：http://developer.mozilla.org/en/docs/Core_JavaScript_1.5_Reference
- ECMA 標準 (PDF 形式)： http://www.ecma-international.org/publications/files/ECMA-ST/Ecma-262.pdf

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

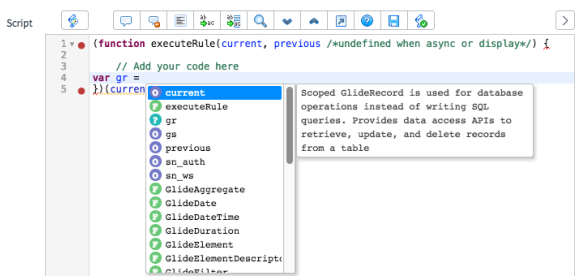
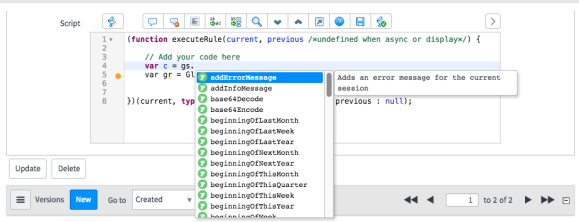
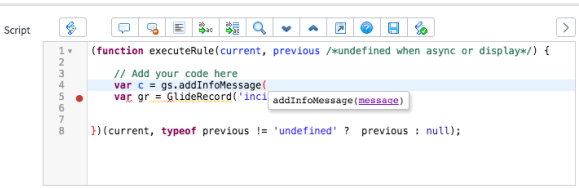
自動翻訳

- 履歴と概要：http://javascript.crockford.com/survey.html
- JavaScript 番号参照：http://www.hunlock.com/blogs/The_Complete_Javascript_Number_Reference

シンタックスエディターのキーボードショートカットとアクション

シンタックスエディターには、コードの記述を支援するキーボードショートカットとアクションが用意されています。

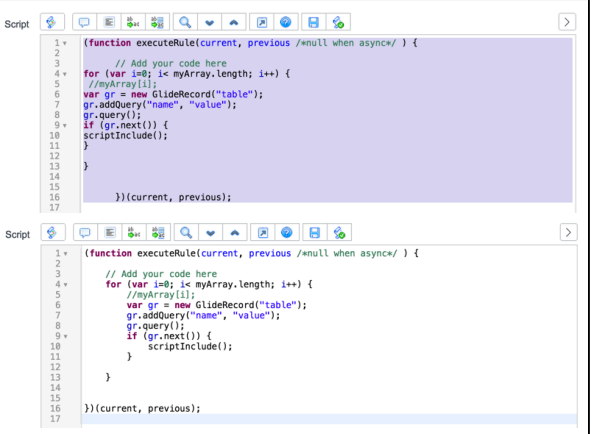
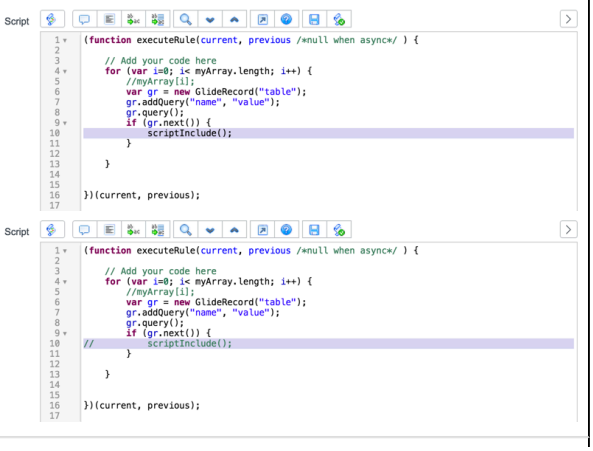
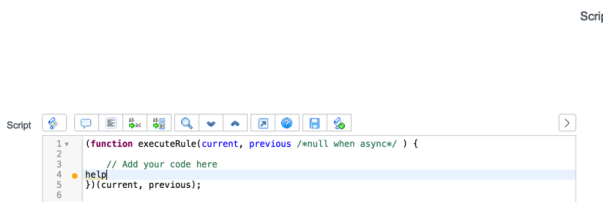
コードを記述するためのシンタックスエディターのキーボードショートカットとアクション

キーボードショートカットまたはアクション	説明	例
コードの記述		
スクリプト支援機能 Control + スペースバー	挿入ポイントに次のような有効な要素のリストを表示します。 • クラス名 • 関数名 • オブジェクト名 • 変数名 エントリーをダブルクリックして、スクリプトに追加します。 **注:** これらの要素は、サーバーまたはクライアントタイプのスクリプトに基づいています。ただし、使用できる要素は選択した UI タイプに基づいたものです。たとえば、spUtil はサービスポータルのクライアントスクリプトに使用でき、g_navigation はデスクトップスクリプトに使用できます。	
有効なクラス名の後にピリオド文字を入力します。	クラスのメソッドのリストを表示します。 エントリーをダブルクリックして、スクリプトに追加します。	
有効なクラス、関数、メソッド名の後に開き丸括弧文字を入力します。	クラスまたはメソッドに想定されるパラメーターを表示します。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

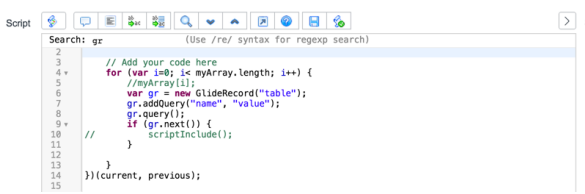
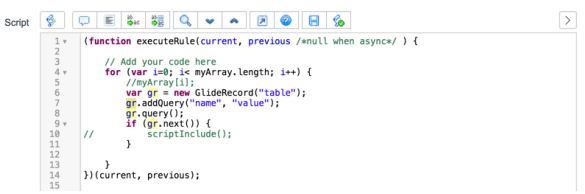
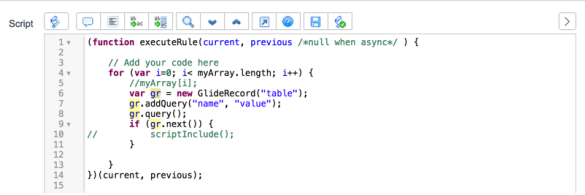
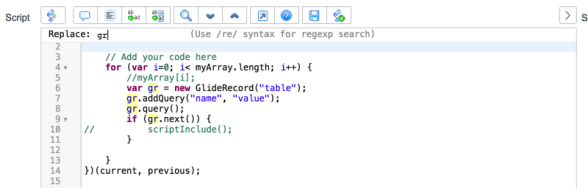
コードを記述するためのシンタックスエディターのキーボードショートカットとアクション (続く)

キーボードショートカットまたはアクション	説明	例
	必要に応じて、想定されるパラメーターを入力します。	
全画面表示モードの切り替え Control + M	フォームの全画面表示と通常表示を切り替えます。	
コードの書式設定 • Windows：Control + Shift + B • Mac：Command + Shift + B	選択した行を書式設定して読みやすくします。	
コメントの切り替え • Windows：Control+/ • Mac：Command +/	選択した行のコメント文字 `//` を追加または削除します。	
マクロテキストの挿入 1. [スクリプト] フィールドに、マクロキーワードのテキストを入力します。たとえば、	現在の位置にマクロテキストを挿入します。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

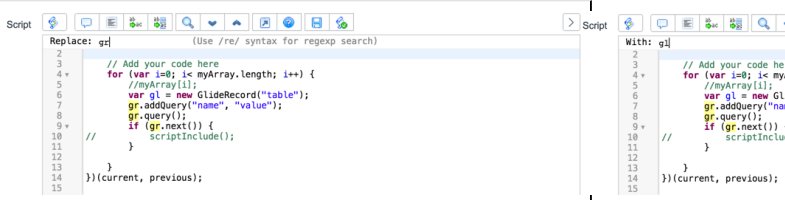
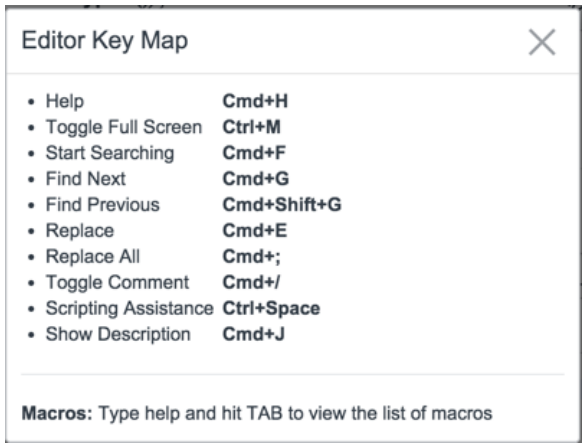
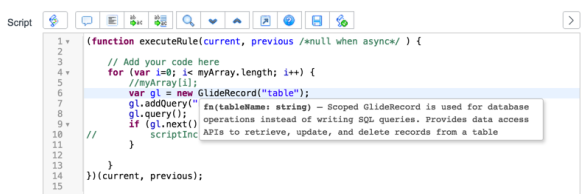
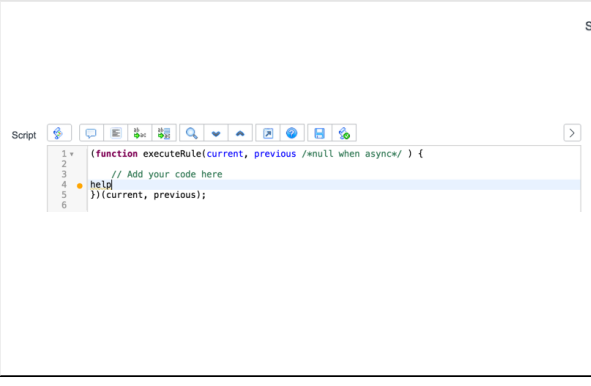
コードを記述するためのシンタックスエディターのキーボードショートカットとアクション (続く)

キーボードショートカットまたはアクション	説明	例
「help」です。 2. Tab キーを押します。		
検索		
検索の開始 • Windows：Control + F • Mac：Command + F	スクリプトフィールド内で、検索語のすべての出現箇所をハイライト表示して、最初の出現箇所を見つけます。 検索用語をスラッシュ文字で囲むことで、正規表現 を作成できます。たとえば、検索用語 `/a{3}/` を入力すると、文字列 `aaa` を検出できます。	
次を探す • Windows：Control + G • Mac：Command + G	スクリプトフィールドで、現在の検索語の次の出現箇所を検出します。[検索の開始] を使用して、現在の検索用語を変更します。	
前を探す • Windows：Control + Shift + G • Mac：Command + Shift + G	スクリプトフィールドで現在の検索語の前の出現箇所を検出します。[検索の開始] を使用して、現在の検索用語を変更します。	
置換 • Windows：Control + E • Mac：Command + E	スクリプトフィールド内でテキスト文字列の次の出現箇所を置き換えます。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コードを記述するためのシンタックスエディターのキーボードショートカットとアクション (続く)

キーボードショートカットまたはアクション	説明	例
すべて置換 • Windows：Control + ; • Mac：Command + ;	スクリプトフィールド内で、特定のテキスト文字列のすべての出現箇所を置き換えます。	
ヘルプ		
ヘルプ • Windows：Control + H • Mac：Command + H	シンタックスエディターキーボードショートカットのリストを表示します。	
説明を表示 • Windows：Control + J • Mac：Command + J	現在のカーソル位置にあるスクリプト要素の API ドキュメントを表示します。	
マクロを表示 1. [スクリプト] フィールドに「`help`」と入力します。 2. Tab キーを押します。	利用可能なシンタックスエディターマクロのリストをスクリプトフィールド内にテキストとして表示します。	

シンタックスエディターマクロ

スクリプトマクロは、よく使用されるコードを入力するためのショートカットを提供します。スクリプトフィールドにマクロテキストを挿入するには、 マクロキーワードに続けてタブを入力します。

vargr

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 単一の値に対する標準の *GlideRecord* クエリを挿入します。
- 出力：

```
var now_GR = new GlideRecord("");
gr.addQuery("name", "value");
gr.query();
if (gr.next()) {

}
```

vargror

- OR 条件で 2 つの値の *GlideRecord* クエリを挿入します。
- 出力：

```
var now_GR = new GlideRecord('');

var qc = gr.addQuery('field', 'value1');

qc.addOrCondition('field', 'value2');
gr.query();

while (gr.next()) {

}
```

for

- アレイを使用して標準の再帰ループを挿入します。
- 出力：

```
for (var i=0; i< myArray.length; i++) {
 //myArray[i];

}
```

情報

- *GlideSystem* 情報メッセージを挿入します。
- 出力：

```
gs.addInfoMessage("");
```

メソッド

- 空白の JavaScript 関数テンプレートを挿入します。
- 出力：

```
/*_____________________________________________________________
_______
   * Description:
   * Parameters:
   * Returns:


 ____________________________________________________________
    */
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
: function() {

},
```

doc

- 関数またはパラメーターを説明するためのコメントブロックを挿入します。
- 出力：

```
/**

 * Description:

 * Parameters:

 * Returns:
*/
```

スクリプトマクロのメンテナンス

アドミニストレーターは、新しいスクリプトマクロを定義したり、既存のスクリプトマクロを変更したりすることができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
スクリプトマクロは、よく使用されるコードを入力するためのショートカットを提供します。いくつかのスクリプトマクロがデフォルトで利用可能です。アドミニストレーターは、新しいスクリプトマクロを定義したり、既存のスクリプトマクロを変更したりすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > シンタックスエディターマクロ.
2. [新規] をクリックするか、編集するマクロを選択します。
3. 以下のテーブルにリストされているフィールドを使用して、マクロの詳細を定義します。

エディターマクロのフィールド

フィールド	説明
名前	ユーザーがマクロテキストを挿入するために入力するマクロキーワードテキスト。
コメント	マクロの説明。このテキストは、ユーザーが「*help*」と入力すると表示されます。
テキスト	エディター内でマクロ名を置き換える完全なマクロテキスト。

シンタックスエディターのコンテキストメニュー

JavaScript シンタックスエディターで、スクリプトインクルード、Glide API、およびテーブルのコンテキストメニューを表示します。

コンテキストメニューオプションを使用して、ユーザーは次の場所に移動できます。

- スクリプトインクルード定義
- Glide API ドキュメント
- システムおよびカスタムテーブルの定義とデータ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シンタックスエディターでは、コンテキストメニューがあるトークンに太字フォントが使用されます。トークンを右クリックすると、コンテキストメニューオプションが表示されます。Mac を使用している場合は、Command キーを押しながらクリックするショートカットを使用できます。

コンテキストメニューのオプション

トークンタイプ	コンテキストメニューのオプション	説明
スクリプトインクルード	定義を開く	新しいウィンドウでのスクリプトインクルードの定義。
	参照を検索	スクリプトインクルードを参照するファイルのリスト。 **注:** • ファイルのプレビューを表示するには、[スクリプトをプレビュー] アイコン をクリックします。 新しいウィンドウでファイルを開くには、[ファイルを開く] をクリックします。 • スクリプトインクルードを参照するすべてのファイルを表示するには、[すべてのファイルを表示] をクリックします。
Glide API	ドキュメントを表示	Glide API のドキュメントページ。
テーブル	定義を表示	システムテーブルまたはカスタムテーブルの定義を新しいウィンドウで表示します。
	データを表示	現在のユーザーのロールに基いて、テーブル内のレコードを表示します。

システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.ui.syntax_editor.context_menu* プロパティを使用して、スクリプトエディターのコンテキストメニューを有効または無効にします。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

注: コンテキストメニューのオプションにアクセスできるのは、ブラウザーが SharedWorker をサポートしている場合のみです。たとえば、GoogleChrome および Mozilla Firefox です。

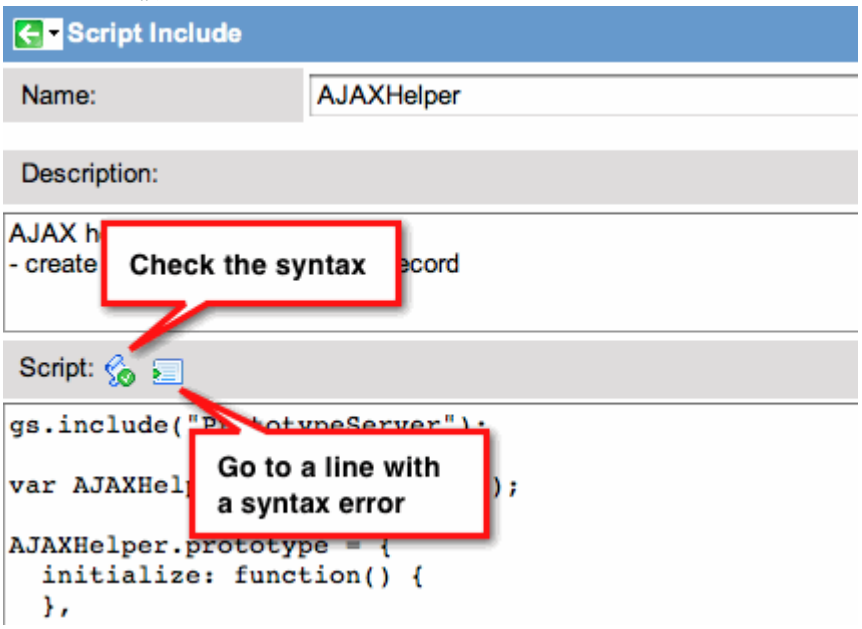
スクリプト構文エラーチェック

すべてのスクリプトフィールドで、エラーの構文をチェックし、エラーが発生した場合は、その場所を簡単に見つけるためのコントロールを提供します。スクリプトエディターでは、構文エラーの箇所にカーソルを置き、スクリプト内のエラーの行番号を検索できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

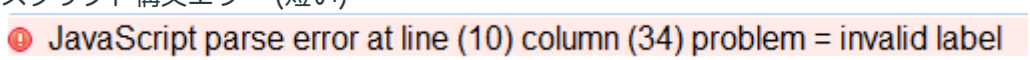
スクリプト構文チェック



スクリプトエディターは、次の状況でスクリプトの構文エラーを通知します。

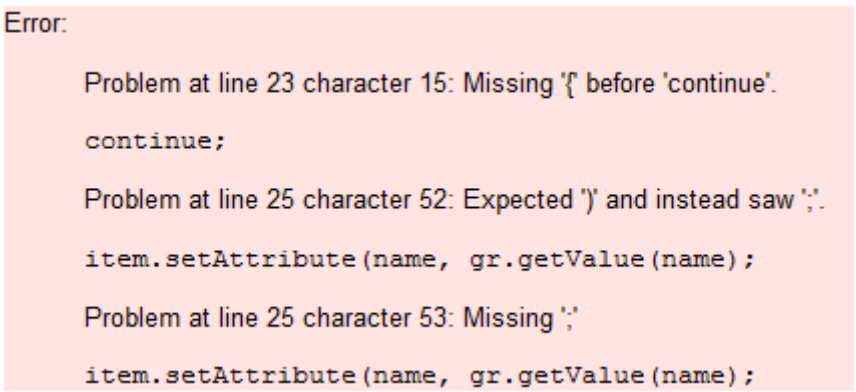
- 新しいレコードを保存するか、既存のレコードを更新したとき。最初のエラーの場所 (行番号と列番号) を示すバナーがエディターの下部に表示され、エラーの箇所にカーソルが表示されます。保存または更新時に提示される警告では、一度に 1 つのエラーのみが表示されます。

スクリプト構文エラー (短い)



- レコードを保存または更新する前に、構文チェックアイコンをクリックしたとき。スクリプト内のすべてのエラーの場所を示すバナーがエディターの下部に表示され、最初のエラーの箇所にカーソルが表示されます。

スクリプト構文エラー



行ごとのエラーの検索

大きなスクリプト内でエラーの正確な位置を特定するには、[行に移動] アイコンをクリックします。

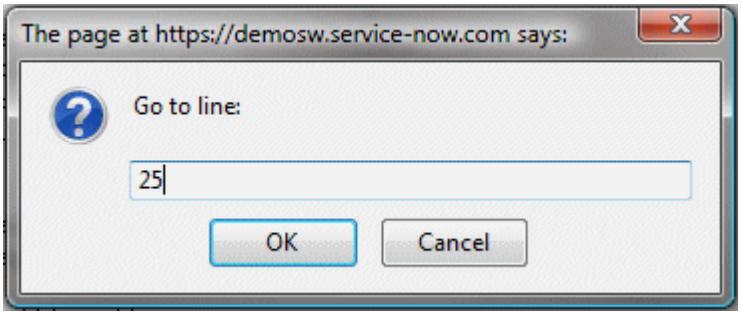
この機能は、ServiceNow レコード自体ではなくログファイルで構文エラーが発生した場合に特に役立ちます。この場合に、レコードに移動して、エラーの行番号を検索できます。表示されるダイアログボックスで、エラーの行番号を入力し、**[OK]** をクリックします。エラーの場所にビューが移動し、カーソルによって正しい行と列がマークされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: この機能を使用するには、シンタックスエディターを無効にする必要があります。

スクリプトエラーに移動



行番号に移動

シンタックスエディターが無効になっている場合、ユーザーは [行に移動] アイコン ( ) を使用して、コード内の特定の行に移動できます。

始める前に
シンタックスエディターを無効にします。

必要なロール：admin

手順

1. [行に移動] アイコン ( ) をクリックします。

注: このアイコンは、エディターが有効になっている場合は使用できません。

2. フィールドに番号を入力し、**Enter** キーを押します。

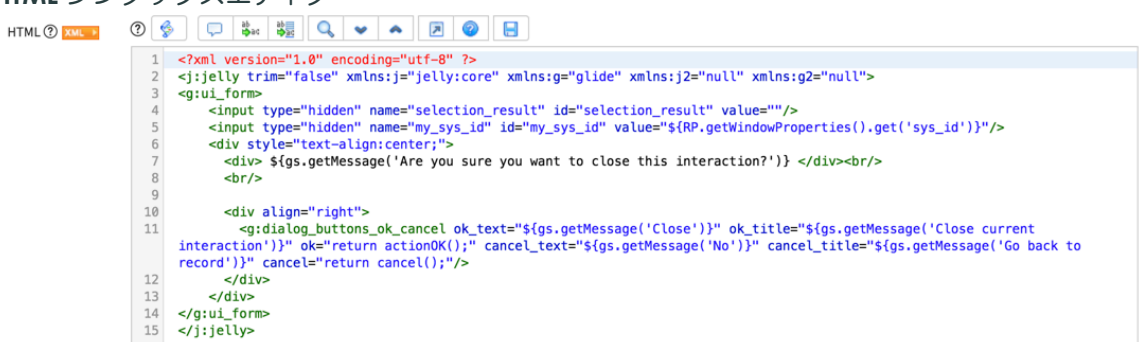
HTML シンタックスエディター

HTML シンタックスエディターは、HTML および Jelly スクリプトの編集をサポートし、ページが表示されるときにレンダリングされる内容を定義します。HTML シンタックスエディターには、静的 XHTML または Jelly として定義された動的に生成されたコンテンツを含めることができ、スクリプトインクルードと UI マクロを呼び出すことができます。

シンタックスエディターには次のような機能があります。

- HTML および Jelly スクリプトのサポート
- HTML および Jelly 構文の自動色分け、インデント、行番号、閉じ括弧と引用符の自動作成
- HTML および Jelly タグの自動提案
- 一般的なコードのショートカットのためのスクリプトマクロ

HTML シンタックスエディター



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTML および Jelly 編集機能

アイコン	キーボードショートカット	名前	説明
	適用外	シンタックスエディターの切り替え	シンタックスエディターを無効にします。[シンタックスエディターの切り替え] アイコン ( ) を再度クリックすると、シンタックスエディターは有効になります。
	Cmd +/	コメントの切り替え	選択したコードをコメント化します。
	Cmd +E	置換	スクリプトフィールド内でテキスト文字列の次の出現箇所を置き換えます。 1. [置換] アイコン ( ) をクリックして、置換する文字列を入力し、Enter キーを押します。正規表現をスラッシュで囲んで、置換する文字列を定義できます。たとえば、`/a{3}/` と入力すると、`aaa` を検出できます。 2. 置換文字列を入力して、Enter キーを押します。
	Cmd	すべて置換	スクリプトフィールド内で、特定のテキスト文字列のすべての出現箇所を置き換えます。 1. [すべて置換] アイコン ( ) をクリックして、置換する文字列を入力し、Enter キーを押します。正規表現をスラッシュで囲んで、置換する文字列を定義できます。たとえば、`/a{3}/` と入力すると、`aaa` を検出できます。 2. 置換文字列を入力して、Enter キーを押します。
	Cmd +F	検索の開始	スクリプトフィールド内で、検索語のすべての出現箇所をハイライト表示して、最初の出現箇所を見つけます。[検索の開始] アイコン ( ) をクリックして、検索語を入力し、Enter キーを押します。
	Cmd +G	次を探す	スクリプトフィールドで、現在の検索語の次の出現箇所を検出します。[検索の開始] アイコン ( ) をクリックして、現在の検索語を変更します。
	Cmd +Shift +G	前を探す	スクリプトフィールドで現在の検索語の前の出現箇所を検出します。[検索の開始] アイコン ( ) をクリックして、現在の検索語を変更します。
	Ctrl +M	全画面表示の切り替え	スクリプトフィールドを展開して、全画面のフォームビューで編集しやすくします。[全画面表示の切り替え] アイコン ( ) を再度クリックすると、標準のフォームビューに戻ります。この機能は Internet Explorer では利用できません。
	Cmd +H	ヘルプ	キーボードショートカットのヘルプ画面を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTML および Jelly 編集機能 (続く)

アイコン	キーボードショートカット	名前	説明
	適用外	保存	現在のビューを離れずに変更を保存します。全画面モードで [保存] アイコン ( ) をクリックすると、標準フォームビューに戻らずに保存を実行できます。

編集のヒント

- コード内の任意の位置に固定スペースを挿入するには、Tab キーを押します。
- コードの 1 行をインデントするには、行の先頭の空白をクリックして Tab キーを押します。
- コードの 1 行以上の行をインデントするには、対象のコードを選択して Tab キーを押します。インデントを減らすには、Shift+Tab キーを押します。
- コードの行の先頭から 1 つのタブを削除するには、行をクリックして Shift+Tab キーを押します。

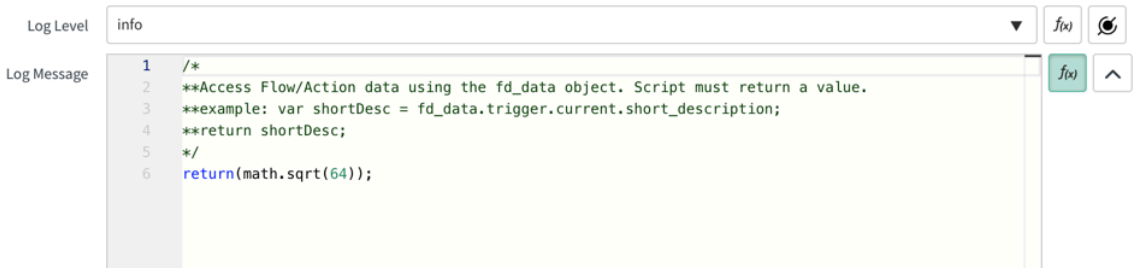
コードエディター

コードエディターは、テキストエディターでプログラミング言語サービスを使用するためのサポートを提供し、スクリプトで使用されます。

コードエディターには、サポートされている言語サービスおよびインラインスクリプト 用の機能があります。

- 構文の色分け、インデント、行番号、閉じ括弧と引用符の自動作成
- 自動提案およびオートコンプリート

コードエディター



編集のヒント

- コード内の任意の位置に固定スペースを挿入するには、Tab キーを押します。
- コードの 1 行をインデントするには、行の先頭の空白をクリックして Tab キーを押します。
- コードの 1 行以上の行をインデントするには、対象のコードを選択して Tab キーを押します。インデントを減らすには、Shift+Tab キーを押します。
- コードの行の先頭から 1 つのタブを削除するには、行をクリックして Shift+Tab キーを押します。
- 変数を宣言するには、`var` キーワードを使用して、適切な JavaScript スコープ内に留まるようにします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバーサイドスクリプト

サーバースクリプトはサーバーまたはデータベースで実行されます。それらは ServiceNow の外観や動作を変更したり、レコードやテーブルがアクセスまたは変更されたときのビジネスルールとして実行したりできます。

サーバーサイド Glide API (アプリケーションプログラミングインターフェイス) は、サーバーサイドのタスクを実行するためにスクリプトで使用できるクラスとメソッドを提供します。

即時実行関数

スクリプトが変換マップの作成 などの単一のコンテキストで実行されると、即時実行関数が使用されます。複数のコンテキストから実行される関数は、代わりにスクリプトインクルードを使用します。

即時実行関数でスクリプトを囲むと、次のことができます。

- グローバル変数の上書きなどによって、スクリプトが製品の他の領域に影響を与えないようにすることができます。
- 有用な変数またはオブジェクトをパラメーターとして渡します。
- スタックトレースで関数名を特定します。
- 個別の関数呼び出しを行う必要がなくなります。

即時実行関数式は次の形式で記述します。

```
(function functionName(parameter){

  //The script you want to run

})('value');//Note the parenthesis indicating this function should run.
```

即時実行関数の中で関数を宣言できます。これらの内部関数は、即時実行関数内からのみアクセスできます。

```
(function functionName(parameter){

  function helperFunction(parameter){//return some value}

  var value = helperFunction(parameter);//Valid function call.

  //perform any other script actions

})('value');

var value2 = helperFunction(parameter);//Invalid. This function is not
 accessible from outside the self-executing function.
```

Glide サーバー API

ServiceNow は Glide サーバー用の API を提供します。

GlideAggregate

GlideAggregate クラスは *GlideRecord* の拡張であり、データベース集計 (COUNT、SUM、MIN、MAX、AVG) クエリを実行できます。これは、カスタマイズされたレポートの作成や計算フィールドの計算に役立ちます。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、GlideAggregate API を参照してください。

GlideAggregate の例

GlideAggregate は *GlideRecord* の拡張であり、一連の例を参照することでその使用法を最もよく理解できます。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

以下は、テーブル内のレコード数を取得する簡単な例です。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if(count.next())
   incidents = count.getAggregate('COUNT');
```

前の例に関連付けられたクエリはありません。オープンであったインシデントの数を取得する場合は、*GlideRecord* を使用するときと同じようにクエリを追加するだけです。アクティブなインシデントの数を取得する例を次に示します。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addQuery('active','true');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if(count.next())
   incidents = count.getAggregate('COUNT');
```

すべてのオープンインシデントの数をカテゴリ別に取得する場合、コードは次のようになります。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addQuery('active','true');
count.addAggregate('COUNT','category');
count.query();
while(count.next()){
  var category = count.category;
  var categoryCount = count.getAggregate('COUNT','category');
  gs.log("The are currently "+ categoryCount +" incidents with a category
 of "+ category);}
```

出力は次のとおりです。

```
*** Script: The are currently 1.0 incidents with a category of Data
      *** Script: The are currently 11.0 incidents with a category of
 Enhancement
      *** Script: The are currently 1.0 incidents with a category of
 Implementation
      *** Script: The are currently 197.0 incidents with a category of
 inquiry
      *** Script: The are currently 13.0 incidents with a category of
 Issue
      *** Script: The are currently 1.0 incidents with a category of
      *** Script: The are currently 47.0 incidents with a category of
 request
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、複数の集計を使用して、[最小値]、[最大値]、および [平均] の値を使用してレコードが変更された回数を確認します。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN','sys_mod_count');
count.addAggregate('MAX','sys_mod_count');
count.addAggregate('AVG','sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
while(count.next()){
  var min = count.getAggregate('MIN','sys_mod_count');
  var max = count.getAggregate('MAX','sys_mod_count');
  var avg = count.getAggregate('AVG','sys_mod_count');
  var category = count.category.getDisplayValue();
  gs.log(category +" Update counts: MIN = "+ min +" MAX = "+ max +" AVG =
 "+ avg);}
```

出力は次のとおりです。

```
      *** Script: Data Import Update counts: MIN = 4.0 MAX = 21.0 AVG =
 9.3333
      *** Script: Enhancement Update counts: MIN = 1.0 MAX = 44.0 AVG =
 9.6711
      *** Script: Implementation Update counts: MIN = 4.0 MAX = 8.0 AVG
 = 6.0
      *** Script: inquiry Update counts: MIN = 0.0 MAX = 60.0 AVG =
 5.9715
      *** Script: Inquiry / Help Update counts: MIN = 1.0 MAX = 3.0 AVG
 = 2.0
      *** Script: Issue Update counts: MIN = 0.0 MAX = 63.0 AVG =
 14.9459
      *** Script: Monitor Update counts: MIN = 0.0 MAX = 63.0 AVG =
 3.6561
      *** Script: request Update counts: MIN = 0.0 MAX = 53.0 AVG =
 5.0987
```

次のさらに複雑な例は、ある月と翌月のアクティビティを比較する方法を示しています。

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count','category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at','>=','javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at','<=','javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while(agg.next()){
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count','category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at','>=','javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at','<=','javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var last ="";
  while(agg2.next()){
     last = agg2.getAggregate('count','category');}
  gs.log(category +": Last month:"+ count +" Previous Month:"+ last);

}
```

出力は次のとおりです。

```
*** Script: Monitor: Last month:6866.0 Previous Month:4468.0
*** Script: inquiry: Last month:142.0 Previous Month:177.0
*** Script: request: Last month:105.0 Previous Month:26.0
*** Script: Issue: Last month:8.0 Previous Month:7.0
*** Script: Enhancement: Last month:5.0 Previous Month:5.0
*** Script: Implementation: Last month:1.0 Previous Month:0
```

次の例は、グループクエリでフィールドの個別のカウントを取得する方法です。

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count');
agg.addAggregate('count(distinct','category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
//
agg.groupBy('priority');
agg.query();
while (agg.next()) {
// Expected count of incidents and count of categories within each
 priority value (group)
  gs.info('Incidents in priority ' + agg.priority + ' = ' +
 agg.getAggregate('count') +
            ' (' + agg.getAggregate('count(distinct','category') + '
 categories)');
}
```

出力は次のとおりです。

```
*** Script: Incidents in priority 1 = 13 (3 categories)
*** Script: Incidents in priority 2 = 10 (5 categories)
*** Script: Incidents in priority 3 = 5 (3 categories)
*** Script: Incidents in priority 4 = 22 (6 categories)
```

SUM 集計は、*groupBy()* メソッドの使用の有無にかかわらず実施できます。*groupBy()* メソッドを使用しない場合、SUM の結果は、SUM を要求したフィールドのさまざまな値の累積値になります。たとえば、固定資産テーブルの total_cost フィールドを SUM で集計する場合、固定資産テーブルに合計で 12 のレコードが含まれていると、次のようになります。

- total_cost が $12 である 3 つのレコード
- total_cost が $10 である 4 つのレコード
- total_cost が $5 である 5 つのレコード

レコードセットを SUM で集計すると、*getAggregate()* メソッドは $36、$40、$25 の 3 つの異なる合計を返します。

次のコードは、*groupBy()* メソッドを使用せずに SUM 集計を実施する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var totalCostSum = new GlideAggregate('fixed_asset');
totalCostSum.addAggregate('SUM', 'total_cost');
totalCostSum.query();

while (totalCostSum.next()) {
  var allTotalCost = 0;
  allTotalCost = totalCostSum.getAggregate('SUM', 'total_cost');
  aTotalCost = totalCostSum.getValue('total_cost');
  gs.print('Unique field value: ' + aTotalCost + ', SUM = ' +
 allTotalCost + ', ' + allTotalCost/aTotalCost + ' records');
}
```

この例の出力は次のとおりです。

```
*** Script: Unique field value: 12, SUM = 36, 3 records
*** Script: Unique field value: 10, SUM = 40, 4 records
*** Script: Unique field value: 5, SUM = 25, 5 records
```

前の例と同じデータポイントを使用して、*groupBy()* メソッドを使用すると、SUM 集計は指定されたフィールドのすべての値の合計を返します。

次の例は、*groupBy()* メソッドを使用して SUM 集計を実施する方法を示しています。

```
var totalCostSum = new GlideAggregate('fixed_asset');
totalCostSum.addAggregate('SUM', 'total_cost');
totalCostSum.groupBy('total_cost');
totalCostSum.query();
if(totalCostSum.next()){  // in case there is no result
   var allTotalCost = 0;
   allTotalCost = totalCostSum.getAggregate('SUM', 'total_cost');
   gs.print('SUM of total_cost: = ' + allTotalCost);
}
```

この例の出力は次のとおりです。

```
*** Script: SUM of total_cost: 101
```

GlideRecord

*GlideRecord*は、JavaScript でネイティブ JavaScript クラスとまったく同じように使用できる特別な Java クラス (*GlideRecord.java*) です。

GlideRecord:

- SQL クエリを記述する代わりにデータベース操作に使用されます。
- 1 つのテーブルからの 0 個以上のレコードを含むオブジェクトです。別の言い方をすると、GlideRecord は順序付きリストです。

GlideRecord にはレコード (行) とフィールド (列) の両方が含まれます。フィールド名は、基礎となるデータベースの列名と同じです。詳細については、「GlideRecord - スコープ対象」を参照してください。

注: `gs.sql()` スクリプト構文の使用は Geneva で廃止されました。代わりに標準*GlideRecord*構文を使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideRecordSecure の使用

GlideRecordSecure は *GlideRecord* から継承されるクラスであり、*GlideRecord* と同じ関数を実行し、ACL も適用します。

書き込み不可能なフィールド

GlideRecordSecure を使用すると、書き込み不可能なフィールドがデータベースへの書き込み試行時に NULL に設定されることに注意してください。デフォルトでは、列上の *canCreate()* が列上の *canWrite()* で置き換えられます。false を返す場合、列の値は NULL に設定されます。

NULL 値の確認

ACL がアクセスを制限するために要素を読み取ることができない場合、このレコードのメモリに NULL 値を作成します。GlideRecord を使用する場合、レコードへの読み取りアクセスを制限する可能性のある ACL を明示的にチェックする必要があります。これを行うには、レコードを読み取ることができるかどうかを確認する、次のような if ステートメントが必要です。

```
if ( !grs.canRead() ) continue;
```

GlideRecordSecure を使用する場合、*canRead()* を使用して読み取りアクセスを明示的にチェックする必要はありません。代わりに、*next()* 自体を使用して次のレコードに移動できます。次の例は、*GlideRecord* と *GlideRecordSecure* の比較を示しています。

```
var count  = 0;
var now_GR  = new GlideRecord('mytable');
now_GR. query();
while (now_GR. next()) {
    if (!now_GR. canRead()) continue;
    if (!now_GR. canWrite()) continue;
    if (!now_GR. val. canRead() || !now_GR. val. canWrite())
        now_GR. val = null;
    else
        now_GR. val = "val-" + now_GR. id;
    if (now_GR. update())
        count ++;
}
```

```
var count  = 0;
var grs  = new GlideRecordSecure('mytable');
grs. query();
while (grs. next()) {
    grs. val = "val-" + grs. id;
    if (grs. update())
        count ++;
}
```

例

これらは *GlideRecordSecure* を使用する簡単な 2 つの例です。

```
var att  = new GlideRecordSecure ('sys_attachment');
att. get('$[sys_attachment.sys_id]');
var sm  = GlideSecurityManager.get();
var checkMe  = 'record/sys_attachment/delete';
var canDelete  = sm.hasRightsTo(checkMe,att);
gs. log('canDelete: ' + canDelete);
canDelete;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var grs = new GlideRecordSecure('task_ci');
grs.addQuery();
grs.query();
var count  = grs. getRowCount();
if (count  > 0 ) {
    var allocation  = parseInt(10000/count) / 100;
    while (grs.next()) {
      grs.u_allocation = allocation;
      grs.update();
    }
}
```

GlideSystem

GlideSystem API は、情報を取得するためのメソッドを提供します。

GlideSystem (ビジネスルールでは変数名「*gs*」で参照) は、システムや現在ログインしているユーザーなどの情報を取得するための多数の便利なメソッドを提供しています。たとえば、メソッド *addInfoMessage()* は、ユーザーとの通信を許可します。

```
gs.addInfoMessage('Email address added for notification');
```

GlideSystem メソッドの多くは、日付をクエリ範囲に簡単に含めることができ、フィルターとレポートで最もよく使用されます。

詳細については、「GlideSystem」を参照してください。

GlideDateTime

GlideDateTime クラスは、*GlideDateTime* オブジェクトのインスタンス化や *glide_date_time* フィールドの操作など、*GlideDateTime* オブジェクトに対する操作を実行するためのメソッドを提供します。

上で説明したインスタンス化メソッドに加えて、*getGlideObject()* メソッドを使用して *glide_date_time* フィールドから GlideDateTime オブジェクトをインスタンス化できます (例：`var gdt = gr.my_datetime_field.getGlideObject();`)。

一部のメソッドでは、日付と時刻の値を取得または変更するときに Java 仮想マシンのタイムゾーンを使用します。このようなメソッドを使用すると、予期しない動作が発生する可能性があります。可能な限り、同等の現地時間と UTC メソッドを使用してください。

GlideDate と GlideDateTime の例

GlideDate および *GlideDateTime* API を使用して、日時の値を操作します。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

詳細については、「GlideDate API」および「GlideDateTime API」を参照してください。

GlideDate オブジェクトを *GlideDateTime* コンストラクターにパラメーターとして渡すことで、*GlideDate* オブジェクトから *GlideDateTime* オブジェクトを作成できます。デフォルトでは、*GlideDateTime* オブジェクトは、内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss とシステムタイムゾーン UTC で表されます。

```
var gDate = new GlideDate();
gDate.setValue('2015-01-01');
gs.info(gDate);

var gDT = new GlideDateTime(gDate);
gs.info(gDT);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
2015-01-01
2015-01-01 00:00:00
```

「GlideDateTime フィールド値の変更」も参照してください。

スクリプトでの期間フィールド値の設定

期間フィールド値の設定に使用できる JavaScript の例。

注: 負の期間値はサポートされていません。

GlideDateTime.subtract() メソッドの使用

GlideDateTime の *subtract(GlideDateTime start, GlideDateTime end)* メソッドを使用すると、指定された開始日時と終了日時を使用して期間値を設定できます。タスクがオープンされた時間に期間を設定する方法の例：

```
var duration = GlideDateTime.subtract(start, end);
```

数値で返される値を日付または期間の計算に使用する場合は、戻り値をミリ秒に変換します。

```
var time = GlideDateTime.subtract(start,end).getNumericValue();
```

イベントと現在の日付/時刻の間の時間に期間を設定する場合：

```
<duration_field> = GlideDateTime.subtract(new
 GlideDateTime(<start_time>.getValue()),gs.nowDateTime());
```

GlideDateTime.subtract に示される時間値は、ユーザーのタイムゾーン、ユーザーの形式であることが予期されます。

期間フィールドのデフォルト値の設定

期間フィールドのデフォルト値の設定は、前のトピックで使用した方法と似ています。

クライアントスクリプトでの期間フィールド値の設定

このスクリプトは、クライアントスクリプトで *duration_field* 値を設定します。インスタンスのフィールド名で *duration_field* を置き換えます。

```
g_form.setValue('<duration_field>','11 01:02:03');
```

クライアントスクリプトを使用した期間の計算と設定

クライアントスクリプトを使用して値を返したり入力したりする方法の例を次に示します。

次のコードを含む `onChange` クライアントスクリプトを作成します。`onLoad` スクリプトまたはその他の方法で計算を実行する必要がある場合は、このスクリプトを変更できます。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading){
var strt = g_form.getValue('<start_field>');
var end = g_form.getValue('<end_field>');
var ajax = new GlideAjax('AjaxDurCalc');
  ajax.addParam('sysparm_name','durCalc');
  ajax.addParam('sysparm_strt',strt);
  ajax.addParam('sysparm_end',end);
  ajax.getXMLWait();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var answer = ajax.getAnswer();
  g_form.setValue('<duration_field>', answer);}
```

要求を処理する *AjaxDurCalc* というシステムスクリプトインクルードファイルを作成します。これは他の関数でも再利用できます。

```
var AjaxDurCalc = Class.create();
AjaxDurCalc.prototype = Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor,{
 durCalc:function(){return
 GlideDuration.subtract(this.getParameter('sysparm_strt'),this.getParamet
er('sysparm_end'));}});
```

期間フィールド値の変更

時間を加算/減算して期間の値を操作する場合は、期間の数値を取得および設定できる関数を使用します。期間の数値の測定単位はミリ秒です。次の例は、現在のレコードの *duration* フィールドに 11 秒を追加します。

```
var timems = current.duration.dateNumericValue();
timems = timems + 11*1000;
current.duration.setDateNumericValue(timems);
```

解決時間の書式設定

[解決時間] または [ビジネス解決時間] フィールドを期間として書式設定して、大きい整数ではなく期間として表示するには、これらのフィールドに次の属性を追加します。

```
format=glide_duration
```

フィールドの辞書エントリを変更し、 属性を追加します。既存の属性がある場合は、複数の属性をカンマで区切ります。

最大測定単位の設定

max_unit 辞書属性は、期間で使用される時間の最大単位を定義します。たとえば、`max_unit=minutes` の場合、期間が 3 時間 5 分 15 秒であれば、185 分 15 秒と表示されます。期間の最大測定単位を設定するには、次の辞書属性を *duration* フィールドに追加します。

```
max_unit=<unit>
```

日付形式のガイドライン

特定の日付と時刻パターンの文字列シーケンスを使用して、日付形式を指定できます。パターン文字列は、A から Z までの 1 つ以上の大文字と小文字で構成されます。引用符で囲まれたテキストは無視され、代わりに日付出力にコピーされます。

文字列	説明	出力形式	例
G	年代指定子	テキスト	AD
y	年	年	2019; 19
Y	年の週	年	2019; 19
M	年の月 (日付内)	月次	July; Jul; 07
L	年の月 (スタンドアロン値)	月次	July; Jul; 07
w	年の週	番号	52

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

文字列	説明	出力形式	例
W	月の週	番号	1
D	年の日	番号	365
d	月の日	番号	2
F	月の曜日	番号	3
E	曜日名	テキスト	水曜日; 水
u	週の日の番号	番号	3
a	午前または午後	テキスト	p.m.
H	0 ～ 23 の日の時間	番号	0
k	1 ～ 24 の日の時間	番号	24
K	午前または午後 0 時から 11 時までの時間	番号	0
h	午前または午後 1 時から 12 時までの時間	番号	12
m	分	番号	59
s	秒	番号	1
S	ミリ秒	番号	500
z	デフォルト形式のタイムゾーン	デフォルト形式のタイムゾーン	太平洋標準時; PST
Z	RFC 822 形式のタイムゾーン	RFC 822 形式のタイムゾーン	-0800
X	ISO 8601 形式のタイムゾーン	ISO 8601 形式のタイムゾーン	-08; -0800; -08:00

自動翻訳

クラシックビジネスルール

ビジネスルールとは、レコードが表示、挿入、更新、または削除されるとき、またはテーブルに対してクエリが実行されるときに実行する、サーバー側スクリプトです。

ビジネスルールは、特定のサーバー側の条件が満たされたときに実行されるスクリプトです。ビジネスルール条件には、データベース操作に関連してビジネスルールを実行するタイミングと、ビジネスルールが適用されるレコード操作が含まれます。クライアントスクリプトや UI アクションなど、クライアント側の条件に関してプラットフォームで利用できる他のスクリプトオプションがあります。

注: ビジネスルールは、スクリプティングに依存する従来の自動化ソリューションです。新しいプロセス自動化に フローデザイナー を使用して、拡張、再利用、理解、アップグレードが容易な自動化を作成します。多くの組織が本番環境でビジネスルールを用意しているため、このドキュメントを使用して既存のビジネスルールを操作する方法を学習してください。

ビジネスルールの仕組み

ビジネスルールを構成するには、最初にビジネスルールを実行するタイミングと実行するアクションを決定する必要があります。

ビジネスルールの実行タイミング

ビジネスルールは次の 2 つの基準セットに基づいて実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データベース操作に関連してビジネスルールを実行するタイミング。
- ビジネスルールが適用されるレコード操作。

ビジネスルールを実行するタイミングを決定するために、次のオプションが提供されています。

ビジネスルールを実行するタイミング

オプション	ルールが実行されるタイミング
前	ユーザーがフォームを送信した後で、データベース内のレコードに対してアクションが実行される前。
後	ユーザーがフォームを送信した後で、さらにデータベース内のレコードに対してアクションが実行された後。
非同期	ユーザーがフォームを送信した後と、ビジネスルールから作成されたスケジュール済みジョブがスケジューラーによって実行された後。ユーザーがフォームを送信してから、データベース内のレコードに対して何らかのアクションが実行されるまでに、システムがビジネスルールからスケジュール済みジョブを作成します。 **注:** 新しく作成されたビジネスルールはアップグレード中に実行されます。 レコードのデータに基づいて意思決定を行う非同期ビジネスルールがレコードにある場合、レコードを立て続けに複数回更新すると、ビジネスルールが順序どおりに実行されなかったり、正しく実行されなかったりする可能性があります。 複数の非同期ビジネスルールが同じレコードを更新する場合、実行順序が保証されていないため、あるスクリプトによって実行された更新が別のスクリプトによって上書きされたり、予期しない順序で更新されたりする可能性があります。このような状況では、ビジネスルールの [後] オプションまたはシステムイベント を代わりに使用できます。
表示	フォームがユーザーに提示された後で、データがデータベースから読み取られた直後。

注:

- 非同期ビジネスルールは、以前のバージョンのレコードにはアクセスできません。そのため、`changes()`、`changesTo()`、および `changesFrom()` `GlideElement` メソッドは非同期ルールスクリプトでは機能しません。ただし、条件ビルダーと条件フィールド (詳細ビュー) はどちらも `changes()`、`changesTo()`、および `changesFrom()` メソッドをサポートしています。
- ビジネスルールは、優先するように指定されるまで ACL を優先しません。詳細については、「ビジネスルールとアクセス制御ルール (ACL) の関係 」を参照してください。

ビジネスルールを適用するレコード操作を決定するために、次のオプションが提供されています。

ビジネスルールが適用されるレコード操作

オプション	ルールが実行されるタイミング
挿入	ユーザーが新しいレコードを作成し、システムがそれをデータベースに挿入するとき。
更新	ユーザーが既存のレコードを変更したとき。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

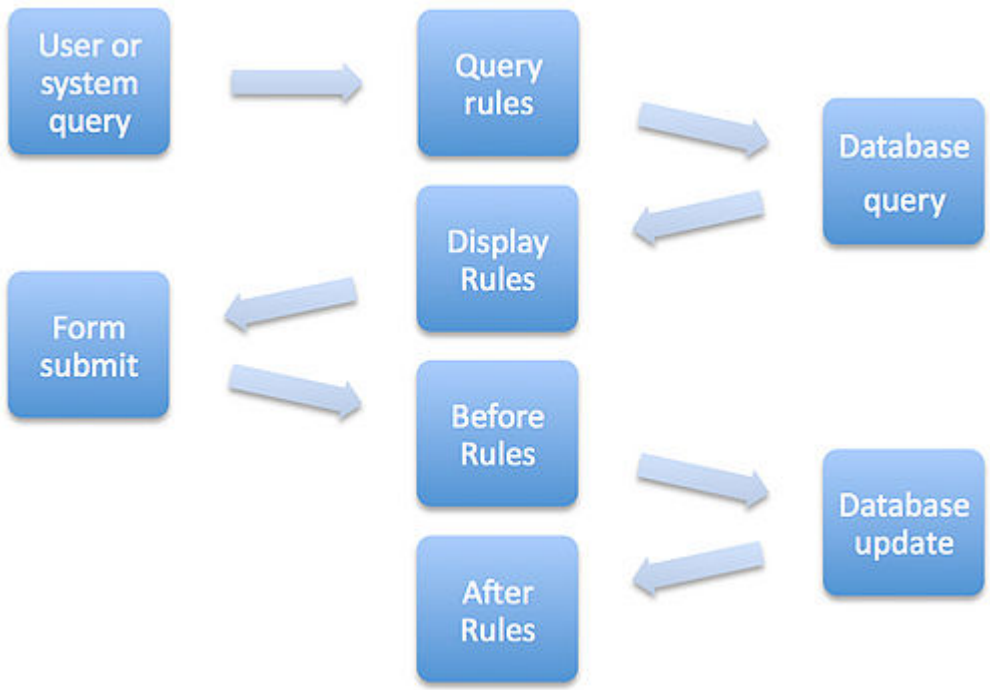
ビジネスルールが適用されるレコード操作 (続く)

オプション	ルールが実行されるタイミング
クエリ	レコードまたはレコードリストのクエリをユーザーがデータベースに送信したとき。通常は、ビジネスルールの前にクエリ操作を使用する必要があります。
削除	ユーザーがレコードを削除したとき。

注: ビジネスルールでは、GlideRecord API から呼び出された場合にのみレコード操作が実行されます。一部のアプリケーションは、意図的にビジネスルールの処理をバイパスして、レコード操作を直接実行します。さらに、ビジネスルールは setWorkflow() メソッドを false に設定して実行された API 呼び出しを無視します。

この画像は、さまざまなタイプのビジネスルールの実行タイミングを示しています。

ビジネスルールの処理フロー



注: ビジネスルールは、フォーム、リスト、または Web サービスからアクセスできるかどうかには関係なく、一貫してレコードに適用されます。これは、ビジネスルールと、フォームの編集時にのみ適用されるクライアントスクリプトとの間の大きな違いの 1 つです。

ビジネスルールのアクション

ビジネスルールはさまざまなアクションを実行できます。一般的なアクションのタイプは次のとおりです。

- ユーザーが更新しているフォームのフィールド値を変更します。フィールド値は、そのフィールドで使用可能な特定の値、他のフィールドからコピーされた値、およびユーザーのロールによって決定される相対値に設定できます。
- ユーザーに情報メッセージを表示します。
- 親タスクの変更に基づいて子タスクの値を変更します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーがフォーム上の特定のフィールドにアクセスしたり、フィールドを変更したりできないようにします。
- 現在のデータベーストランザクションを中止します。たとえば、特定の条件が満たされている場合に、ユーザーがデータベースにレコードを保存できないようにします。

アドミニストレーターは、スクリプトを作成せずにフィールド値の設定、情報メッセージの作成、トランザクションの中止を行うことができます。

再帰ビジネスルールの防止

ビジネスルールスクリプトでは `current.update()` を使用しないでください。`update()` メソッドは、挿入操作と更新操作のために同じテーブルで実行するビジネスルールをトリガーします。これにより、ビジネスルールが繰り返し呼び出されます。前のビジネスルールがすべて完了すると、前のビジネスルールに加えられた変更は自動的に保存されます。後のビジネスルールは、関連する、現行のものではないオブジェクトの更新に最適です。再帰ビジネスルールが検出されると、システムはそれを停止し、システムログにエラーを記録します。`current.update()` はシステムパフォーマンスの問題を引き起こすため、必要ありません。

false パラメーターを指定して `setWorkflow()` メソッドを使用すると、再帰ビジネスルールを防ぐことができます。`update()` および `setWorkflow()` メソッドの組み合わせは、上記の通常の前と後のガイドラインが要件を満たさない特別な状況でのみ推奨されます。

スコープ対象アプリケーションのビジネスルール

すべてのビジネスルールは、プライベートアプリケーションスコープまたはグローバルスコープのいずれかに割り当てられます。

作成できるビジネスルールのタイプとそれらのルールへのアクセス方法は、ビジネスルールのスコープと、それが実行されるテーブルのスコープによって異なります。

注: グローバルという用語は、ビジネスルールの 2 つの異なる側面、つまり、それが実行されるテーブルと、それが実行されるスコープを指します。ビジネスルールは、特定のテーブルに対して実行することも、グローバルにすることもできます。また、グローバルスコープまたはプライベートアプリケーションスコープに含めることもできます。

特定のテーブルのビジネスルール

ほとんどのビジネスルールは、[テーブル] フィールドで定義されている特定のテーブルで実行されます。同じスコープ内のテーブル、および別のアプリケーションスコープからの構成レコードを許可するテーブルに対して、ビジネスルールを作成できます。

ビジネスルールレコードとは異なるスコープ内のテーブルの場合は、ルールのタイプが制限されます。

- 次のいずれかのオプションを使用して、[時期] が [非同期] のルールを作成できます。
  - 、、および のデータベース操作。 は選択できない。
  - アクションとスクリプト (フィールド)。
- 次のいずれかのオプションを使用して、[時期] が [次の前] であるルールを作成できます。
  - 、、および のデータベース操作。 は選択できない。
  - アクションのみ。スクリプトを書くことはできず、データベース トランザクションを中断することはできません。
- 異なるスコープのテーブルに他のタイプのビジネスルールを作成することはできません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のテーブルに対するビジネスルールに、他のビジネスルールやスクリプトからアクセスすることはできません。

グローバルビジネスルール

⚠ **警告:** グローバルビジネスルールの代わりにスクリプトインクルードを使用することを検討してください。スクリプトインクルードは要求時にのみロードされますが、グローバルビジネスルールはシステム内のすべてのページでロードされます。

グローバルビジネスルールは、[テーブル] フィールドが [グローバル] に設定されているビジネスルールですグローバルビジネスルールは、スコープ保護に応じて、複数のテーブルでアクセスでき、他のスクリプトからアクセスできます。グローバルビジネスルールの場合は、[アクセス元] フィールドを設定して、スコープの保護を定義します。

- [このアプリケーションスコープのみ]：ビジネスルールとは異なるスコープ内のアプリケーションがこのビジネスルールを呼び出すことを防止します。
- [すべてのアプリケーションスコープ]：任意のアプリケーションによるこのビジネスルールの呼び出しを許可します。

注: グローバルビジネスルールはドメインセパレーションをサポートしていません。

スコープ対象のビジネスルールのスクリプト

ビジネスルールでスクリプトを作成すると、以下にアクセスできます。

- ビジネスルールと同じスコープ内のすべてのスクリプトインクルードとグローバルビジネスルール。
- 異なるスコープ内のアプリケーションに呼び出しを許可するスクリプトインクルードとグローバルビジネスルール。別のスコープから関数を呼び出すには、関数のスコープを指定する必要があります。
- 一意のスコープにあるビジネスルールの場合は、スコープ対象のシステム API にのみアクセスできます。

ビジネスルールの作成

レコードが表示、挿入、更新、または削除されるとき、あるいはテーブルに対してクエリが行われるときに実行される、任意のタイプのビジネスルールを作成できます。

このタスクについて

注: これらの手順と例は、この機能を実装する方法に関する一般的なガイダンスを提供します。独自のユースケースについては、 開発者コミュニティフォーラム を参照してください。ここでは、質問をしたり、他の開発者とやり取りしたり、既存のソリューションを検索したりすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

注: すべてのフィールドを表示するようにフォームを設定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルールのフィールド

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの名前を入力します。
テーブル	ビジネスルールが実行されるテーブルを選択します。 注: リストには、ビジネスルールのスコープ保護を満たすテーブルとデータベースビューのみが表示されます。データベースビューに対して定義されたビジネスルールは、クエリでのみ実行できます。データベースビューのビジネスルールは、挿入、更新、または削除では実行できません。
アプリケーション	このビジネスルールを含むアプリケーション。
アクセス可能	グローバルビジネスルールのスコープ保護。 注: このフィールドは、[テーブル] フィールドが [グローバル] に設定されている場合にのみ表示されます。特定のテーブルで実行されるルールには適用されません。
アクティブ	ビジネスルールを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
詳細	フォームの詳細バージョンを表示するには、このチェックボックスをオンにします。
実行タイミング	
時期	[上級] ビジネスルールの実行タイミングを選択します：データベース操作の完了に関連して、[表示]、[次の前]、[非同期]、または [次の後] から選択します。 注: 関連するスケジュール済みジョブを作成するときにこの値が使用されるため、非同期ビジネスルールに対して [順番] を設定することを検討してください。 新しく作成された非同期ビジネスルールは、アップグレード時に自動的に実行されます。 既存の非同期ビジネスルールを移行して、新しい非同期動作を使用できます。
順番	[上級] このビジネスルールを実行する順序を示す番号を入力します。特定のアクティビティに複数のルールがある場合、ルールはここで指定された順序 (昇順) で実行されます。
挿入	レコードがデータベースに挿入されたときにビジネスルールを実行するには、このチェックボックスをオンにします。
更新	レコードが更新されたときにビジネスルールを実行するには、このチェックボックスをオンにします。
削除	[上級] レコードがデータベースから削除されたときにビジネスルールを実行するには、このチェックボックスをオンにします。
クエリ	[上級] テーブルに対してクエリが実行されたときにビジネスルールを実行するには、このチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルター条件	選択したテーブルのフィールド値に基づいてビジネスルールを実行する必要があるタイミングを決定するには、条件ビルダーを使用します。[条件] フィールドを使用して、スクリプトで条件をビルドすることもできます。 注: 文字列の比較に基づくフィルターでは、大文字と小文字が区別されます。
ロールの条件	テーブル内のレコードを変更するユーザーが実行するビジネスルールに対して保持している必要があるロールを選択します。
アクション	
フィールド値の設定	選択リストを使用して、選択したテーブルのフィールドの値を設定します。 ◦ フィールド ◦ 割り当てオペレーター： ▪ 次の値：厳密にそのとおりの値 ▪ 次から取得：別のフィールドの値 ▪ 次の値 (動的)： ビジネスルールを構成するユーザーまたは特定のロールを持つユーザーに関連する値 ◦ 値
メッセージの追加	このチェックボックスをオンにし、このビジネスルールが実行されたときに表示されるメッセージを入力します
アクションの中止	現在のデータベーストランザクションを中止するには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、挿入前のビジネスルールで、条件が満たされている場合は、レコードをデータベースに挿入しません。 このオプションを選択した場合、レコードに対する追加のアクション (フィールド値の設定やスクリプトの実行など) は実行できません。[メッセージの追加] チェックボックスをオンにしてメッセージを作成することにより、引き続きユーザーにメッセージを表示できます。
詳細	
条件	ビジネスルールの実行タイミングを指定する JavaScript 条件ステートメントを作成します。このフィールドに条件ステートメントを追加することで、条件を個別に評価し、条件が true の場合にのみビジネスルールを実行するようにシステムに指示します。[スクリプト] フィールドに条件ステートメントを含める場合、または条件ビルダーを使用する場合は、このフィールドを空のままにします。非同期ビジネスルールを実行する前にインスタンスで条件ステートメントを再評価するには、システムプロパティ *glide.businessrule.async_condition_check* を追加し、値を true に設定します。
スクリプト	[上級] 定義された条件が true である場合に実行されるスクリプトを作成します。 ◦ onAfter ◦ onAsync

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ onBefore ◦ onDisplay 詳細と例については、「サンプルのビジネスルールスクリプト」を参照してください。
関連リスト：バージョン	
バージョン	ビジネスルールのすべてのバージョンを表示します。バージョンを比較したり以前のバージョンに戻したりするには、このリストを使用します。

4. [送信] をクリックします。

ビジネスルールのグローバル変数

ビジネスルールで使用するための定義済みのグローバル変数があります。

次の事前定義されたグローバル変数を使用して、ビジネスルールスクリプトでシステムを参照します。

グローバル変数	説明
current	参照されるレコードの現在の状態。この変数を使用する前に、以下の「null ポインター例外の防止」を参照して null を確認してください。
previous	実行コンテキスト中に行われた更新の前に参照されたレコードの状態。実行コンテキストは、最初の更新または削除操作で始まり、スクリプトと参照されたビジネスルールが実行された後に終了します。1 つの実行コンテキスト内でレコードに複数の更新が行われた場合、*previous* は最初の更新または削除操作の前のレコードの状態を保持し続けます。更新および削除操作でのみ使用できます。非同期操作では使用できません。この変数を使用する前に、以下の「null ポインター例外の防止」を参照して null を確認してください。
g_scratchpad	スクラッチパッドオブジェクトは表示ルールで使用でき、クライアントスクリプトからアクセスできるようにクライアントに情報を渡すために使用されます。
gs	GlideSystem 関数への参照。

変数 *current*、*previous*、*g_scratchpad* は、トランザクションに対して実行されるすべてのビジネスルールでグローバルです。

null ポインター例外の防止

場合によっては、ビジネスルールの実行時にレコードの *current* の状態または *previous* の状態がないことがあります。これは、変数が null であることを意味します。変数を使用する前に null をチェックするには、次のコードをビジネスルールに追加します。

```
if (current == null) // to prevent null pointer exceptions.
return;
```

変数の定義

ユーザー定義変数のスコープは、デフォルトでグローバルです。新しい変数が順序 100 のビジネスルールで宣言されている場合、次に実行される順序 200 のビジネスルールも変数にアクセスできます。これにより、予期しない動作が発生する可能性があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このような予期しない動作を防ぐために、コードは必ず関数でラップしてください。これにより変数が、関数でラップされていない他のビジネスルール内のシステム変数やグローバル変数との競合を防ぐことができます。また、*current* などの変数を使用するには、関数が呼び出されたときに使用可能になっている必要があります。

次のスクリプトは、他のコードとの競合に対して脆弱です。変数 *now_GR* が他のルールで使用されている場合、変数の値が予期せず変更される可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {

   //do something

}
```

このスクリプトが関数でラップされている場合、変数はその関数内でのみ使用でき、*now_GR*という名前の変数を使用する他の関数と競合することはありません。

```
myFunction();

function myFunction() {
  var now_GR = new GlideRecord('incident');
  now_GR.query();
  while(now_GR.next()) {
    //do something
} }
```

ビジネスルールとクライアントスクリプトを使用したフィールド値の制御

フィールドにビジネスルールとクライアントスクリプトの両方を実装し、ユーザーがフォームとリストの両方を使用してレコード値を正しく設定できるようにします。また、編集が行われるときにフォームの値が即座に変更されるようにします。

クライアントスクリプトまたはビジネスルールのみを使用してフィールドの更新を制御する場合の問題は、フォームまたはリストのいずれかでフィールドが変更される可能性があるということです。クライアントスクリプトと UI ポリシーはフォームでのみ実行され (クライアントサイド)、リストの編集には適用されません。フォーム内のフィールドでクライアントスクリプトを実行している状態でのリスト編集を許可すると、正しくないデータがレコードに保存されるおそれがあります。クライアントスクリプトまたは UI ポリシーがフォームに適用されるシステムでは、リスト編集を無効にするか、適切なビジネスルールまたはアクセス制御を作成して、リストエディターでの値の設定を制御します。この副作用として、クライアントスクリプトに実装されたセキュリティ対策は簡単に回避されるようになります。ユーザーに必要とされるのはリスト内のフィールドを編集することだけです。

フォームのビジネスルールは動的ではありません。変更を表示するには、ユーザーがレコードを更新する必要があります。そのために、クライアントスクリプトを使用してフォームのフィールド値を制御することをお勧めします。

ビジネスルールとクライアントスクリプトの両方を使用してフィールド値を制御する場合、更新動作はシステム全体で同じです。これは、フォームのリストを使用して変更するかどうかでは、更新される値は異ならないことを意味します。これは、同じ機能を 2 回 (クライアントスクリプトに 1 回、ビジネスルールまたはアクセス制御に 1 回) 実装する必要があることを意味します。

例：ユーザーレコードのインポート中にビジネスルールを使用してメールアドレスを作成する

組織には、ユーザーのメールアドレスを `first.last@company.com` に設定するクライアントスクリプトがあります。アドミニストレーターがこれを行うと、ユーザーの情報を入力すると即座にメールアドレスが表示されます。次に、アドミニストレーターは、ユーザーの姓と名を含むスプレッド

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シートからユーザーの一括インポートを実行します。各ユーザーのメールアドレスは、フォームの編集時に自動的に設定されることが想定されています。クライアントスクリプトはフォーム (レコードへのインターフェイス) でのみ実行されるため、そのインターフェイスの外部からレコードにインポートされたデータに影響はなく、メールアドレスは作成されません。この問題を解決するために、アドミニストレーターはインポート時に実行されるビジネスルールを実装し、メールアドレスを作成します。

例：フォームで編集できないフィールドのリスト編集を防止する

組織は、アサイン先グループが [開発] の場合、インシデントフォームの [優先度] フィールドを非表示にします。これを行うためにインシデントフォームで UI ポリシーを作成しますが、ユーザーは引き続きリストエディターを使用して [優先度] フィールドを表示および編集できます。これを修正するには、アサイン先グループが [開発] のときに [優先度] フィールドへの読み取りアクセスを防止するアクセス制御を適用します。

フィールド値としての **NULL** の使用

文字列 NULL は、スクリプト内で特定のロールを持つ予約語です。

予約語はすべて大文字の NULL です。**Null** や **null** などの値を持つフィールドは受け入れ可能です。NULL は、特定のフィールドをクリアするためにのみ使用します。

インポートセットデータソースから取得された NULL フィールド値は、空のフィールド値としてステージングテーブルに挿入されます。インポートセット変換マップや、[名] フィールドまたは [姓] フィールドでは、フィールド値として NULL という用語を使用しないでください。また、参照フィールドでは NULL を使用しないでください。この値は予約語ではなく用語 NULL を含む文字列として解釈されます。

ビジネスルールの表示

表示ルールは、ユーザーがレコードフォームを要求したときに処理されます。

データベースからデータが読み込まれ、表示ルールが実行されて、フォームがユーザーに表示されます。current のオブジェクトが利用可能で、データベースから取得されたレコードを表します。フィールドの変更はまだデータベースに送信されていないため、一時的なものです。クライアントには、フォームの値はデータベースの値のように見えます。値が表示ルールから変更された形跡は示されません。これは計算フィールドと同様の概念です。

表示ルールの主な目的は共有されるスクラッチパッドオブジェクト *g_scratchpad* を使用することです。このオブジェクトはフォームの一部としてクライアントにも送信されます。この動作は、表示されるレコードには通常含まれていないサーバーデータを必要とするクライアントスクリプトをビルドする場合に役立つことがあります。ほとんどの場合、これによってクライアントスクリプトはサーバーへのコールバックが必要になります。フォームが表示される前にデータを判別できる場合は、初期ロード時にクライアントにデータを提供する方が効率的です。フォームスクラッチパッドオブジェクトは、デフォルトでは空のオブジェクトであり、データの名前:値ペアを格納するためにのみ使用されます。

表示ルールからデータをフォームスクラッチパッドに入力するには、次のようにします。

```
// From display business rule
g_scratchpad.someName = "someValue";
g_scratchpad.anotherName = "anotherValue";

// If you want the client to have access to record fields not being
 displayed on the form
g_scratchpad.created_by = current.sys_created_by;
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// These are simple examples, in most cases you will probably perform
 some other
// queries to test or get data
```

クライアントスクリプトからのフォームスクラッチパッドデータにアクセスするには、次のようにします。

```
// From client script
if(g_scratchpad.someName == "someValue") {
  //do something special
}
```

タスクアクティブ状況管理ビジネスルール

このビジネスルールは、[状態] フィールドの変更に基づいてアクティブなフィールドの値を変更する必要があるかどうかを判断します。

タスクアクティブ状況管理ビジネスルールは、タスクレコードの状態が変更されたときに実行されます。実行順序は 50 で、他のほとんどのタスクビジネスルールの前に実行されます。

現在のタスクテーブルで、テーブルに *close_states* 属性が定義されている場合、または上位レベルのテーブルからそれが継承されている場合は、アクティブなフィールドを変更する必要があるかどうかがルールによって決定されます。これは、前の状況値と現在の状況値を比較することによって行われます。

- 状態がアクティブ状態から非アクティブ状態に変わると、[アクティブ] フィールドは false に設定されます。
- 状態が非アクティブ状態からアクティブ状態に変わると、[アクティブ] フィールドは true に設定され、タスクを効果的に再アクティブ化または再オープンします。

タスクを非アクティブまたはアクティブとしてマークする各タスクテーブルでルールを作成するのではなく、ビジネスルールで *(current.active.changesTo([true/false])* アクションを活用することをお勧めします。

サンプルのビジネスルールスクリプト

組織の要件に役立つサンプルのビジネスルールスクリプトを検索します。

注: これらの手順と例は、この機能を実装する方法に関する一般的なガイダンスを提供します。独自のユースケースについては、開発者コミュニティフォーラム を参照してください。ここでは、質問をしたり、他の開発者とやり取りしたり、既存のソリューションを検索したりすることができます。

ビジネスルールでの日付フィールドの比較

ビジネスルール内の 2 つの日付フィールドまたは 2 つの日付と時刻のフィールドを比較し、それらが正しくない場合はレコードの挿入または更新を中止できます。

たとえば、開始日を終了日より前にすることが必要になる場合があります。スクリプトの例を次に示します。

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.u_date1.setError('start must be before end') ;
    current.setAbortAction(true);
 } }
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例はグローバルスクリプトでテストされています。スコープ付きスクリプトで機能させるためには、変更が必要になる場合があります。API の変更が必要になる可能性があることに加えて、スコープ付きスクリプトではセキュリティがより厳格になります。

ビジネスルールは、挿入および更新アクションの前のルールにすることをお勧めします。サンプルのスクリプトは次のようになります。

- *u_date1* と *u_date2* は 2 つの日付フィールドの名前です。これらの名前を独自のフィールド名に置き換えます。
- 最初の行では、両方のフィールドに実際に値があることを確認します。
- 次の 2 つの行では、日付の数値を持つ変数を作成します。
- 次の 2 つの行では、エンドユーザーに対して異なるアラートメッセージを作成します。1 つはフォームの上部に、もう 1 つはフォームの *[u_date1]* フィールドの横に表示されます。
- 日付フィールドが正しくない場合、最終行で挿入または更新は中止されます。

上記の比較のより複雑な例を次に示します。開始日と終了日のペアが複数ある場合は、アレイを次のように使用できます。また、このスクリプトでは、入力日付が特定の範囲内である必要があります。このケースでは、過去は 30 日以上、将来は 365 日以内です。

```
// Enter all start and end date fields you wish to check, as well as the
 previous values
// Make sure that you keep the placement in the sequence the same for all
 pairs
var startDate = new Array(current.start_date,current.work_start);
var prevStartDate = new Array(previous.start_date,previous.work_start);
var endDate = new Array(current.end_date,current.work_end);
var prevEndDate = new Array(previous.end_date,previous.work_end);

// The text string below is added to the front of ' start must be before
 end'
var userAlert = new Array('Planned','Work');

// Set the number of Previous Days you want to check
var pd = 30;
// Set the number of Future Days you want to check
var fd = 365;

// You shouldn't have to modify anything below this line

var nowdt = new GlideDateTime();
nowdt.setDisplayValue(gs.nowDateTime());
var nowMs = nowdt.getNumericValue();
var pdms = nowMs;

// Subtract the product of previous days to get value in milliseconds
pdms -= pd * 24 * 60 * 60 * 1000;
var fdms = nowMs;

// Add the product of future days to get value in miliseconds
fdms += fd * 24 * 60 * 60 * 1000;
var badDate = false;

 // Iterate through all start and end date / time fields
for (x = 0; x < startDate.length; x ++) {
  if ((!startDate[x].nil()) && (!endDate[x].nil())) {
    var start = startDate[x].getGlideObject().getNumericValue();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var end = endDate[x].getGlideObject().getNumericValue();
    if (start > end) {
      gs.addInfoMessage(userAlert[x] + ' start must be before end');
      startDate[x].setError(userAlert[x] + ' start must be before end');
      badDate = true; }
    else if ((prevStartDate[x]) != (startDate[x])) {
      if (start < pdms) {
         gs.addInfoMessage(userAlert[x] + ' start must be fewer than ' +
 pd + ' days ago');
         startDate[x].setError(userAlert[x] + ' start must be fewer than
 ' + pd  + ' days ago');
         badDate = true; } }
    else if ((prevEndDate[x]) != (endDate[x])) {
      if (end > fdms) {
         gs.addInfoMessage(userAlert[x] + ' end must be fewer than ' + fd
 + ' days ahead');
         endDate[x].setError(userAlert[x] + ' end must be fewer than ' +
 fd + ' days ahead');
         badDate  = true ;
} } } }
if (badDate == true ) {
  current. setAbortAction ( true ) ; }
```

XML ペイロードの解析

XML 形式のフィールドは、システムの *getXMLText* 関数を使用して解析できます。

ecc_event 行のペイロードなど、XML 形式でデータベースに挿入されるフィールドは、システムの *getXMLText* 関数を使用して解析できます。*getXMLText* 関数は、文字列と XPATH 式を受け取ります。例：

```
var name = gs.getXMLText("<name>joe</name>", "//name");
```

文字列「joe」を返します。

フィールド「payload」に XML が含まれていると仮定すると、関数呼び出しは次のようになります。

```
var name = gs.getXMLText(current.payload, "//name");
```

XPATH の詳細については、「w3schools」を参照してください。

前のビジネスルールでのデータベースアクションの中止

前のビジネスルールスクリプトで、*setAbortAction()* メソッドを使用して現在のデータベースアクションをキャンセルまたは中止できます。

たとえば、前のビジネスルールが挿入アクション中に実行され、スクリプトに current.setAbortAction(true) を呼び出す条件がある場合、current に保存される新しいレコードはデータベース内には作成されません。このビジネスルールは *setAbortAction()* を呼び出した後も実行を継続し、後続のすべてのビジネスルールは正常に実行されます。このメソッドを呼び出すと、データベースアクションの実行のみが防止されます。

isActionAborted() メソッドを使用して、現在のデータベースアクション (挿入、更新、削除) を中止するかどうかを決定できます。*isActionAborted()* は新しいスレッド用に初期化され、*next()* メソッドはその値を明示的に false に設定します。

> **注:** *setAbortAction()* は、アクションが中止されるレコードと同じスコープからのみ実行できます。current.setAbortAction は、別のスコープで定義されているビジネスルールで実行された場合、優先されません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスルールでトリガーされる操作の決定

複数のデータベースアクションでトリガーされるビジネスルールのスクリプトを作成できます。

イベントをトリガーしたアクションに応じてビジネスルールスクリプトを動的に分岐させる場合は、*operation()* 関数を使用できます。例：

```
if(current.operation() == "update") {
  current.updates ++; }
  if(current.operation() == "insert") {
    current.updates = 0; }
```

ビジネスルールでの **OR** 条件の使用

OR 条件は、ビジネスルール内の任意のクエリ部分に追加できます。

OR 条件は、*addOrCondition()* メソッドによってビジネスルール内の任意のクエリ部分に追加できます。次の例は、優先度が 1 または 2 のすべてのインシデントを検索するためのクエリを示しています。最初の *addQuery()* 条件は変数として定義され、**OR** 条件で使用されます。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
var qc = inc.addQuery('priority','1');
qc.addOrCondition('priority','2');
inc.query();
while(inc.next()) {
  // processing for the incident goes here
}
```

次のスクリプトはより複雑な例で、2 つのクエリ条件変数を使用して、`(priority = 1 OR priority = 2) AND (impact = 2 OR impact = 3)` と同等の実行をします。**OR** 条件の結果は、2 つの変数 *qc1* と *qc2* を使用して実行されます。これにより、`IF` 条件や `WHILE` ループ内など、スクリプトの後半でクエリ条件オブジェクトを操作できます。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
var qc1 = inc.addQuery('priority','1');
qc1.addOrCondition('priority','2');
var qc2 = inc.addQuery('impact','2');
qc2.addOrCondition('impact','3');
inc.query();
while(inc.next()) {
  // processing for the incident goes here
}
```

ビジネスルールからの **Glide** リストの参照

Glide リストとして定義されたフィールドは、単一のフィールドに格納される値のアレイです。

ビジネスルールを記述するときに glide_list フィールドを処理する方法の例を次に示します。通常、glide_list フィールドには、他のテーブルへの参照値のリストが含まれています。

例

たとえば、タスク内の [ウォッチリスト] フィールドは、ユーザーレコードへの参照を含む glide_list です。

次のコードに、フィールドを参照する方法を示します。

```
// list will contain a series of reference (sys_id) values separated by a
 comma
// array will be a javascript array of reference values
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var list = current.watch_list.toString();
var array = list.split(",");
for (var i=0; i < array.length; i++) {
   gs.print("Reference value is: " + array[i]);
}
```

出力：

```
*** Script: Reference value is: 62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1
*** Script: Reference value is: c2826bf03710200044e0bfc8bcbe5d45
*** Script: Reference value is: 5f74e421c0a8010e01ec0d74a7ee2cc6
*** Script: Reference value is: 06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d57
```

また、次に示すように *getDisplayValue()* メソッドを使用して、参照値に関連付けられた表示値を取得することもできます。

```
// list will contain a series of display values separated by a comma
// array will be a javascript array of display values
var list = current.watch_list.getDisplayValue();
var array = list.split(",");
for (var i=0; i < array.length; i++) {
   gs.print("Display value is: " + array[i]);
}
```

出力：

```
*** Script: Display value is: Abel Tuter
*** Script: Display value is:  Ashley Leonesio
*** Script: Display value is:  Charles Beckley
*** Script: Display value is:  Cherie Fuhri
```

indexOf("searchString") を使用して Glide リスト内の文字列を検索する

Glide リストフィールド (ウォッチリストなど) に少なくとも 1 つの値がある場合は、*indexOf*("*searchString*") を使用してメソッドに渡される文字列の場所を返します。

フィールドが空の場合は、`undefined` が返されます。未定義の値を返さないようにするには、次のいずれかを実行します。

- フィールドを強制的に文字列にします。例：*watch_list.toString().indexOf*("*searchString*")
- *indexOf()* を使用する前に、条件がある空の Glide リストフィールドを確認します。例：if (*watch_list.nil()* || *watch_list.indexOf*("*searchString*") == -1)

ユーザーアカウントのロック

ユーザーがアクティブでない場合は、ユーザーアカウントをロックできます。

次のビジネスルールスクリプトは、ユーザーが LDAP ディレクトリでアクティブでない場合、またはユーザーがインスタンスへのセルフサービス、itil、またはアドミニストレーターアクセス権を持っていない場合に、ユーザーアカウントをロックします。

```
// Lock accounts if bcNetIDStatus != active in LDAP and user does not
// have self-service, itil or admin role
var rls = current.accumulated_roles.toString();
if(current.u_bcnetidstatus == 'active' && (rls.indexOf(',itil,') > 0 ||
  rls.indexOf(',admin,') > 0 ||
  rls.indexOf(',ess,') > 0 )) {
  current.locked_out = false; }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
else {
  current.locked_out = true; }

var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
  now_GR.update();
  gs.info("updating " + gr.getDisplayValue());
}
```

デフォルトのクエリ前ビジネスルール

データベースクエリの実行前に実行されるクエリビジネスルールを使用できます。

このクエリビジネスルールを使用して、ユーザーが特定のレコードにアクセスできないようにします。インシデントレコードへのアクセスを制限するデフォルトのビジネスルールの以下の例を考慮してください。

- 名前：incident query
- テーブル：インシデント
- タイミング：クエリ前
- スクリプト：

```
if(!gs.hasRole("itil") && gs.isInteractive()) {
  var u = gs.getUserID();
  var qc =
 current.addQuery("caller_id",u).addOrCondition("opened_by",u).addOrCondi
tion("watch_list","CONTAINS",u);
  gs.print("query restricted to user: " + u); }
```

この例では、ユーザーは、itil ロールを持っているか、または **[Caller]** あるいは **[Opened by]** フィールドでリストされていない限り、インシデントレコードにアクセスできません。そのため、セルフサービスユーザーがインシデントのリストを開くと、自分が送信したインシデントしか表示されません。

注: ユーザーに表示されるレコードは、アクセス制御を使用して制限することもできます。

スクリプトインクルード

スクリプトインクルードは、サーバー上で実行される JavaScript の格納に使用されます。

スクリプトインクルードを作成して、サーバースクリプトで使用できるように JavaScript の関数およびクラスを格納します。各スクリプトインクルードは、オブジェクトクラスまたは関数のいずれかを定義します。

スクリプトインクルードは要求時にのみロードされるため、グローバルビジネスルールの代わりにスクリプトインクルードを使用することを検討してください。詳細については、「クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定」と「ディスカバリースクリプトインクルード」を参照してください。

スクリプトのその他の例については、「 有用なスクリプト」を参照してください。

スクリプトインクルードフォーム

スクリプトインクルードには、名前、説明、およびスクリプトがあります。また、それらがアクティブかどうか、およびクライアントスクリプトから呼び出すことができるかどうかも指定します。スクリプトインクルードフォームを使用して、既存のスクリプトインクルードを表示するか、新しいスクリプトインクルードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルードにアクセスするには、[システム定義] > [スクリプトインクルード] に移動します。

スクリプトインクルードフォーム

フィールド	説明
名前	スクリプトインクルードの名前。クラスを定義する場合、これはクラスの名前、プロトタイプ、およびタイプと一致する必要があります。クラスレス (オンデマンド) スクリプトインクルードを使用する場合、名前は関数名と一致する必要があります。
API 名	読み取り専用で自動入力される API 名。
クライアント呼び出し可能	スクリプトインクルードをクライアントスクリプト、リスト/レポートフィルター、参照修飾子として使用できるように、または URL の一部として指定できるようにします。選択すると、[アクセス制御] 関連リンクが使用可能になります。詳細については、「クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定」を参照してください。
アプリケーション	このスクリプトインクルードが存在するアプリケーション。
アクセス可能	このスクリプトインクルードにアクセスできるアプリケーションを設定します。 すべてのアプリケーションスコープ 任意のアプリケーションスコープからアクセスできます。 このアプリケーションスコープのみ 現在のアプリケーションスコープからのみアクセスできます。
アクティブ	選択すると、スクリプトインクルードが有効になります。アクティブなフィールドの選択を解除して、スクリプトインクルードを無効にします。
説明	スクリプトインクルードに関する説明的なコンテンツを提供します。
スクリプト	他のスクリプトから呼び出されたときに実行するサーバーサイドスクリプトを定義します。 スクリプトは、単一の JavaScript クラスまたはグローバル関数を定義する必要があります。クラス名または関数名は [名前] フィールドと一致する必要があります。
パッケージ	このスクリプトインクルードを含むパッケージ。
作成者	このスクリプトインクルードを作成したユーザー。
更新者	このスクリプトインクルードを最後に更新したユーザー。
保護ポリシー	スクリプトインクルードの保護レベルを設定します。 なし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルードフォーム (続く)

フィールド	説明
	このダウンロードまたはインストールされたスクリプトインクルードの読み取りと編集をすべてのユーザーに許可します。 読み取り専用 このダウンロードまたはインストールされたスクリプトインクルードからの値の読み取りをすべてのユーザーに許可します。スクリプトインクルードをダウンロードまたはインストールするインスタンスのスクリプト値は、どのユーザーも変更できません。 保護 アプリケーション開発者に知的財産権保護を提供します。スクリプトインクルードをダウンロードした顧客は、スクリプトフィールドの内容を表示できません。スクリプトは、権限のないユーザーがプレーンテキストで表示することを防ぐために、メモリ内で暗号化されます。
フォームビューの関連リスト：	
バージョン	スクリプトインクルードのすべてのバージョンを表示します。バージョンを比較したり以前のバージョンに戻したりするには、このリストを使用します。「バージョン」を参照してください。
アクセス制御	[クライアント呼び出し可能] チェックボックスがオンになっていて、かつ標準のスクリプトインクルードから非表示になっている場合に使用可能になります。パブリックアクセスが許可されていない場合に、CCSI を不正使用から保護するために使用します。

スクリプトインクルードの使用

スクリプトインクルードは [システム定義] または [システム UI] の下にあります。既存のスクリプトインクルードをスクリプトから呼び出すことも、新しいスクリプトインクルードを作成することもできます。

まったく新しいスクリプトインクルードを作成するときには、既存のいずれかのスクリプトインクルードの形式に従うこともできます。この例では、スクリプトインクルードの名前は *NewInclude* であり、`myFunction` と呼ばれる 1 つの関数があります。スクリプトインクルードの名前が、クラスの名前、プロトタイプ、およびタイプと一致することが重要です。新しいスクリプトインクルードを作成して名前を付けると、クラスとプロトタイプが適切に設定されたコードスニペットが提供されます。

```
var NewInclude =Class.create();

NewInclude.prototype={
  initialize :function(){},

  myFunction :function(){<Put function code here>},

  type :'NewInclude'};
```

次のように `myFunction` 行を使用できます。

```
var foo =new NewInclude();
foo.myFunction();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クライアント呼び出し可能スクリプトインクルード

クライアント呼び出し可能スクリプトインクルード (CCSI) は、クライアントスクリプト、リスト/レポートフィルター、参照修飾子、または URL の一部として指定された場合に、スクリプトインクルードを使用できるようにします。

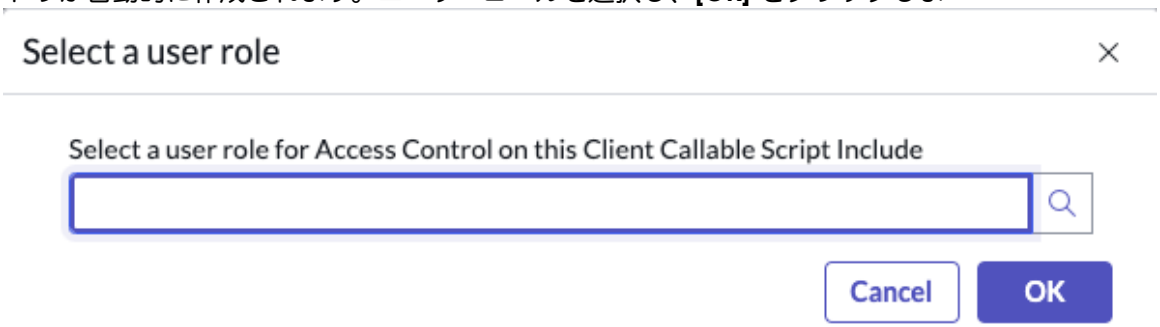
始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム定義 > スクリプトインクルード.
2. [新規] を選択するか、表示または編集する既存のスクリプトインクルードを選択します。
   スクリプトインクルードの記述の詳細については、「スクリプトインクルードの使用」を参照してください。
3. フォームを完成させて、[クライアント呼び出し可能] チェックボックスを選択します。

   ユーザーロールを選択するためのロールセレクターがポップアップし、アクセス制御エントリが自動的に作成されます。ユーザーロールを選択し、**[OK]** をクリックします。

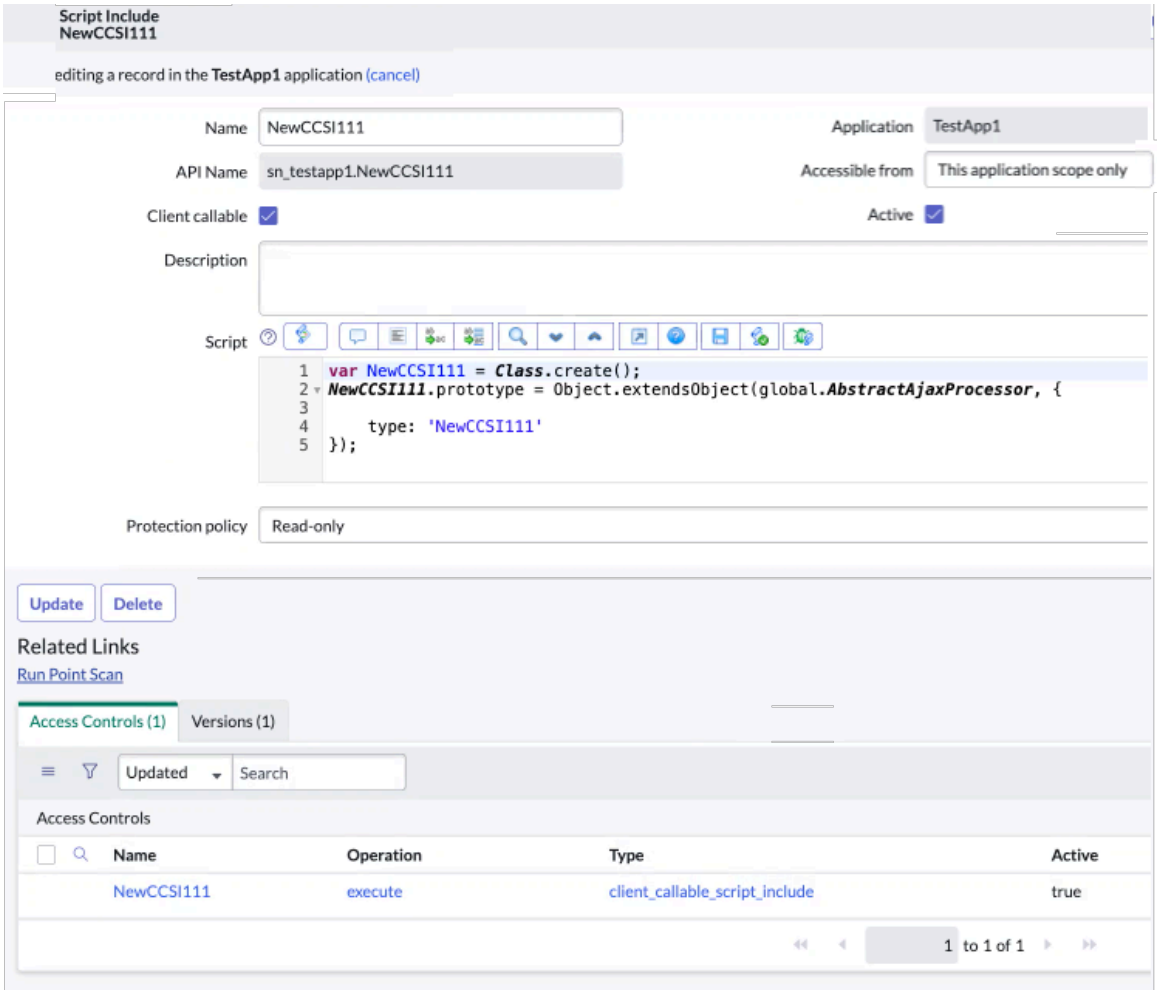


> **注:** ロールセレクターウィンドウを無効にするには、*glide.script.ccsi.enable_acl_create_ux* を **false** に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールベースのアクセス制御を持つ新しい CCSI レコードが作成されます。アクセス制御関連リンクは、[クライアント呼び出し可能] チェックボックスをオンにすると利用可能になります。



クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定

クライアント呼び出し可能スクリプトインクルード (CCSI) のプライバシー設定により、クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードにアクセスできるユーザーが決定されます。

プライベートプライバシー設定

プライベートプライバシー設定は、公開ページにアクセスするゲストがクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードにアクセスできないことを意味します。非公開スクリプトは、ログインしていないユーザーは実行できません。

公開プライバシー設定

公開プライバシー設定は、適切な HTTP 要求を作成するログインしていないユーザーが、クライアントスクリプトを実行できることを意味します。クライアントスクリプトが機密情報を提供する場合、これによりセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。

次のスクリプトインクルードは、デフォルトでは公開のままです。これは、UI ページを公開または非公開にする が、次のスクリプトインクルードにアクセスする必要があるためです。

- GlideSystemAjax
- SysMessageAjax
- KnowledgeMessagingAjax

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- KnowledgeAjax
- PasswordResetAjax

クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシーの設定

すべてのクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定の変更

すべてのクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードをさらに制御するために、アドミニストレーターは *glide.script.ccsi.ispublic* プロパティを追加できます。このプロパティは、すべてのクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードを公開または非公開にすることで、その可視化を変更します。プロパティを以下のとおり構成します。

プロパティの構成

タイトル	プロパティ
名前	glide.script.ccsi.ispublic
タイプ	true | false
値	false

注: このプロパティの詳細については、「インスタンスセキュリティ強化設定」の「クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー」を参照してください。

単一のクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定の変更

isPublic() 関数を追加することにより、単一のクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシー設定を変更します。

isPublic() 設定は *glide.script.ccsi.ispublic* プロパティよりも優先されます。たとえば、このプロパティが **false** に設定されていて、すべてのクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードが非公開で、かつスクリプトで *isPublic()* が **true** に設定されている場合、そのスクリプトは公開されます。

単一のクライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのプライバシーを変更するには、次のメソッドをスクリプトインクルードに追加します。

```
isPublic:function(){return[true/false];},
```

NewInclude クライアントスクリプトを非公開にします。

```
var NewInclude =Class.create();

NewInclude.prototype={
   initialize:function(){},

   myFunction:function(){//Put function code here},
   isPublic:function(){return  false;},

   type:'NewInclude'};
```

クライアント呼び出し可能スクリプトインクルードのセキュリティ

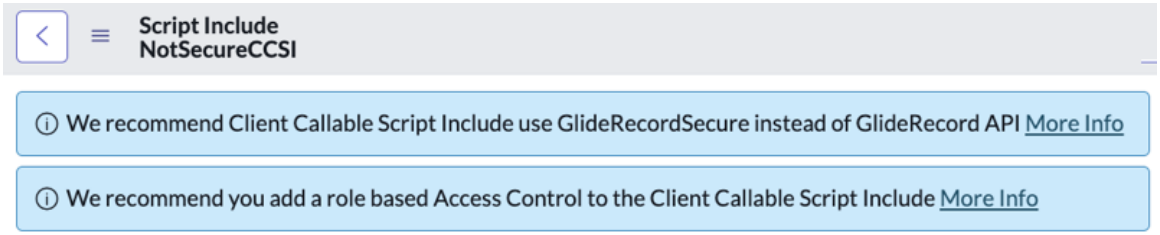
クライアント呼び出し可能スクリプトインクルード (CCSI) を不正使用から保護します。顧客アプリケーションで作成されたすべての CCSI レコードについて、セキュリティリスクを軽減するための推奨事項が表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CCSI を作成するときに、次のセキュリティ推奨事項がまだ構成されていない場合は、それらの推奨事項が表示されます。

- CCSI にパブリックアクセスがない場合は、アクセス制御を追加または定義します。
- スクリプトがデータベースにクエリを実行する場合は、*GlideRecord* API の代わりに *GlideRecordSecure* を使用してセキュリティを強化します。



注: セキュリティ推奨メッセージを無効にするには、sys_properties テーブルでプロパティ *glide.script.ccsi.customer_scoped.security_msgs_enabled* を **false** に設定します。デフォルト値は **true** になっています。

セキュリティコンプライアンスの詳細については、「インスタンスセキュリティ強化設定」を参照してください。

ディスカバリースクリプトインクルード

ディスカバリー スクリプトインクルードは、ディスカバリー タスクを実行するために使用できる JavaScript クラスを定義します。

注: discovery_admin ロールを持つユーザーは、スクリプトインクルードを書き込むことができます。サーバー側およびクライアント側のスクリプティングのベストプラクティスに従って、セキュリティ上の問題を防止します。詳細については、ナレッジ記事「KB0550828」を参照してください。

GlideRecordUtil を使用した GlideRecord の操作

GlideRecordUtil は、ディスカバリー 実行時に、GlideRecord 操作に役立つメソッドを提供するユーティリティクラスです。使用可能なメソッドの説明については、「GlideRecordUtil」を参照してください。

GlideRecord インスタンスの取得

指定された構成アイテムの、正しいクラスとテーブルの *GlideRecord* インスタンスを取得するには、*getCIGR(sys_id)* メソッドを使用します。たとえば次のコードは、CI の GlideRecord を取得します。その sys_id は 2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56 です。

```
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getCIGR("2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56");
```

クラスタイプが未知の場合に階層テーブルを取得するには、*getGR(base_table, sys_id)* メソッドを使用します。たとえば、コンピュータークラス CI の GlideRecord を取得するには、コンピュータークラス、Windows サーバー、または Linux サーバークラスを区別することが必要になる場合があります。このメソッドを使用すると、GlideRecord が正しいクラスを持っていることが保証されます。異なるクラスには異なる属性があります。このユースケースでは、Windows サーバーは Linux サーバーとは異なる属性を持ちます。次の例は、正しいクラスの GlideRecord をその属性とともに取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getGR( "cmdb_ci_computer", "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe
5d56");
```

GlideRecord のすべてのフィールドの取得

getFields(now_GR) メソッドは、指定された GlideRecord に存在するすべてのフィールドまたは属性の JavaScript オブジェクト (ハッシュマップなど) を返します。

```
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer", "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5
d56");
var fields = new GlideRecordUtil().getFields(now_GR);
gs.log(fields.join(" ")); // List all the fields that are in a computer CI
```

GlideRecord オブジェクトフィールドの入力

populateFromGR(hashmap, gr,ignore) メソッドを使用すると、GlideRecord オブジェクトを取得して、そのフィールドと値を JavaScript オブジェクトに入力できます。3 番目の引数 (*ignore*) は、特定のフィールドを除外できるようにするオプションの JavaScript オブジェクトです。たとえば、GlideRecord の *sys_created_by* または *sys_updated_by* フィールドを気にする必要がない場合があります。

```
var objectToPopulate = { };
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer", "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5
d56");
var ignore = {"sys_created_on": true, "sys_updated_by": true};
new GlideRecordUtil().populateFromGR(objectToPopulate, now_GR, ignore);
// Now the objectToPopulate contains field/value pairs from the computer GlideRecord
```

mergeToGR(hashmap, gr,ignore) メソッドを使用すると、GlideRecord にフィールド/値のペアのオブジェクトを入力できます。ignore 引数は、指定されたフィールドの更新を停止します。次のコード例では、コンピューターレコードの *name* フィールドと *os* フィールドが更新されますが、*sys_created_by* フィールドは更新されません。

```
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer", "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5
d56");
var obj = {"name": "xyz", "os": "windows 2000", "sys_created_by", "aleck.lin"};
var ignore = {"sys_created_by": true};
new GlideRecordUtil().mergeToGR(obj, gr, ignore);
gr.update();
```

テーブル階層の取得

getTables(table) メソッドは、次の例に示すように、テーブル階層のリストを返します。

```
var tables = new GlideRecordUtil().getTables("cmdb_ci_linux_server");
gs.log(tables.join(","));
// The result would be "cmdb_ci, cmdb_ci_computer, cmdb_ci_server,
 cmdb_ci_linux_server".
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DiscoveryException と AutomationException の使用

ディスカバリー センサーとセンサー関連のスクリプトを記述するときに、 DiscoveryException または AutomationException を使用して、ディスカバリー から例外が発生したことを示すことができます。

DiscoveryException スクリプトインクルードは *AutomationException* を拡張し、それは *GenericException* クラスを拡張します。次の例では、*DiscoveryException* を使用して例外をスローします。

```
function foo() {
  if (//condition matches) throw new DiscoveryException("The message", "The cause"); }
```

最初の引数は例外のメッセージを受け取り、2 番目の引数 (オプション) は例外の原因を受け取ります。次の例に示すように、例外を捕捉してログに記録することもできます。

```
try {
  foo();
}
catch(e) {
   if(e instanceof DiscoveryException)
     gs.log("A DiscoveryException occurred. It is " + e. getMessage() + " caused by
" + e.getCause()); }
```

上記の例は、*AutomationException* にも適用されます。*DiscoveryException* は通常、特にディスカバリーに例外処理を提供するために使用され、*AutomationException* はオーケストレーションと ディスカバリー の両方に適用される例外処理に使用されます。

プロセッサー

プロセッサーは、任意のサーバーサイド JavaScript コードを実行して TEXT または JSON などを出力できる、カスタマイズ可能な URL エンドポイントを提供します。カスタムプロセッサーの作成は廃止されました。

注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、Scripted REST APIs を使用します。

警告: プロセッサーを作成するときは、必ずプロセッサーに固有のパラメーター名を使用してください。たとえば、プロセッサーが法務レコードリストをエクスポートし、必要なパラメーターが受信者のメールアドレスである場合に、「email」といった語をパラメーター名として使用しないでください。プロセッサーの固有度が高いパラメーター名 (legal_export_recipient_email など) を作成します。これに従わずに、id、table、sys_id、service、catalog_id、view などをインスタンスパラメーター名として使用すると、予期しない結果が生じる可能性があります。

プロセッサーを作成するタイミング

カスタムプロセッサーを作成しないでください。この機能は廃止されました。カスタムプロセッサーを作成する代わりに REST API を使用してください。残りの情報は既存のプロセッサーのためにのみ残されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロセッサーフォーム

フィールド	説明
名前	プロセッサーの一意の名前。
タイプ	プロセッサースクリプトのプログラミング言語。 次のオプションが含まれます。 • java：このオプションを選択しないでください • スクリプト
アプリケーション	このレコードを含んでいるアプリケーションです。
アクティブ	レコードを有効または無効にするフラグ。
CSRF 保護	インスタンスが CSRF トークンを使用しない限り、プロセッサーが実行されないように保護するオプション。
説明	プロセッサーの機能または目的の説明。
パラメーター	利用可能な入力パラメーターのリスト。 URL のパラメーター値を *<parameter name>=<parameter value>*として指定します。 **注:** パラメーター名はプロセッサー固有である必要があります。他のプロセッサーが使用する可能性がある一般的なパラメーター名は選択しないでください。プロセッサーで `id`、`sys_id`、`table` などの一般的なパラメーター名を使用すると、他の機能が中断させられる可能性があります。これは、そのパラメーターが URL に存在する場合に、プロセッサーの方が優先されるためです。たとえば、`id` パラメーターを持つプロセッサーは、同じレコード内のパス値に関係なく、ページ識別のためにそのパラメーターに依存する サービスポータル を中断します。
パス	このプロセッサーを呼び出すために使用される URI パス。 URL から次のようにプロセッサーを呼び出します。 `https://<instance name>.service-now.com/<Path>.do`
スクリプト	システムがこのプロセッサーを呼び出すときに実行される、即時実行関数。 この関数は、次の API オブジェクトの入力パラメーターを自動的に提供します。 • g_request • g_response • g_processor

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
保護ポリシー	このレコードのスクリプトを保護するために使用するポリシー。 次のオプションが含まれます。 • なし • 読み取り専用 • 保護

プロセッサー API コンポーネント

プロセッサーは、専用の API クラス、オブジェクト、およびメソッドにアクセスできます。

プロセッサー API コンポーネント

クラス、オブジェクト、またはメソッド	説明
`g_response`	HttpServletResponse タイプのオブジェクト。「GlideServletResponse」を参照してください。
`setContentType('text/html;charset=UTF-8')`	クライアントに送信される応答のコンテンツタイプを設定する GlideServletResponse メソッド。
`g_request`	HttpServletRequest タイプのオブジェクト。「HttpServletRequest」を参照してください。
`getParameter()`	URL パラメーターの値を取得する Glide メソッド。
`canRead()`	ユーザーがテーブルからデータを読み取ることができるかどうかを判断する GlideRecord メソッド。「GlideRecord」を参照してください。
`g_processor`	プロセッサー用の簡素化されたサーブレット。「GlideScriptedProcessor」を参照してください。
`writeOutput()`	クライアントに情報を表示する GlideScriptedProcessor メソッド。
`g_target`	プロセッサー URL のターゲットテーブル名を含むオブジェクト。たとえば、`incident.do` という URI を含むプロセッサーは、インシデントテーブルに適用されます。

プロセッサーのセキュリティ保護

ロール制限を使用してプロセッサーを不正使用から保護し、CSRF トークンを要求することで保護できます。

このタスクについて

注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、Scripted REST APIs を使用します。

テーブルのユーザーロール制限を再利用して、プロセッサーによるアクセスから保護することができます。この保護方法では、プロセッサーがテーブルデータにアクセスすることを前提としています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロセッサースクリプトが呼び出すテーブルにアクセスできるユーザーロールを作成または選択します。
2. 移動先 システム定義 > プロセッサ.
3. [スクリプト] で、次のコードブロックを追加します。

```
var now_GR = new GlideRecord('your_table_name');
// canRead() compares the table's ACL to the user making this request,
 and returns true if the logged-in user has read access to this table
if(gr.canRead())
{
  // Perform table query here
  g_processor.writeOutput('Success!');
} else {
  g_processor.writeOutput('You do not have permission to read table
 your_table_name');
}
```

4. 必要に応じて他のアクセス制限を使用するようにコードブロックを更新します。

   使用可能なアクセス関数には、次のものがあります。

   - *canCreate()*
   - *canRead()*
   - *canWrite()*
   - *canDelete()*

5. [更新] をクリックします。

CSRF トークンによるプロセッサーの保護

CSRF トークンを要求することで、プロセッサーを保護できます。

このタスクについて
スクリプトタイプのプロセッサーは、プロセッサーの実行前に CSRF トークンチェックを要求できます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プロセッサ.
2. プロセッサーレコードを開きます。
3. **[CSRF** 保護] オプションを選択します。
4. [更新] をクリックします。

単純なプロセッサーの作成

URL クエリからスクリプトを実行する単純なプロセッサーを作成します。この機能は廃止されました。

始める前に
独自のデモインスタンスが必要です。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、Scripted REST APIs を使用します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プロセッサ.
2. [新規] を選択します。
3. 以下の情報を入力します。

フィールド	値
名前	こんにちは
タイプ	スクリプト
パス	こんにちは
スクリプト	`var name= g_request.getParameter("name"); g_processor.writeOutput("text/plain","Hello "+name);`

4. [送信] を選択します。
5. インスタンスへの URL クエリを `https://instance.service-now.com/processor_name.do?parameter=value` の形式で入力します。
例：`https://<instancename>.service-now.com/Hello.do?name=world`

複数テーブルプロセッサーの作成

インスタンス上のテーブルの行数をレポートする複数テーブルプロセッサーを作成します。この機能は廃止されました。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、 Scripted REST APIs

複数テーブルプロセッサーは、ユーザーがテーブルを読み取る権限を持っていることを確認することで、パフォーマンスとセキュリティの違反から保護します。大きすぎて安全に照会できない特定のテーブルについてはレポートしません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プロセッサ.
プロセッサーのリストが表示されます。
2. [新規] を選択します。
3. 以下の情報を入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	TableSize
タイプ	**Javascript** を選択します
説明	テーブル内のレコード数を返します
パラメーター	サイズ
パス	<leave empty>

スクリプト：

```
g_response.setContentType('text/html;charset=UTF-8');
if(g_target === 'sys_email' || g_target === 'sys_log' )
{
  g_processor.writeOutput(g_target + ' table is too large to quickly
 count');
  } else {
    var count = new GlideAggregate(g_target);
    if( count.canRead() ) {
      count.addAggregate('COUNT');
      count.query();
      var records = 0;
      if (count.next()) {
        records = count.getAggregate('COUNT');
       }
       g_processor.writeOutput('table ' + g_target + ' has ' + records
 + ' records');
      } else {
       g_processor.writeOutput('You do not have access to table ' +
 g_target);
  }
}
```

4. [保存] を選択します。
5. 次の URL を入力して、新しいプロセッサーをテストします。
   `https://<instancename>.service-now.com/incident.do?SIZE` および `https://<instancename>.service-now.com/sys_user.do?SIZE`
   インスタンスはテーブル内のレコードの数をレポートします。たとえば、テーブルインシデントには `82` のレコードがあります。

カスタムプロセッサを作成

URL クエリからスクリプトを実行するカスタムプロセッサーを作成します。この機能は廃止されました。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、Scripted REST APIs を使用します。

完了すると、次のタスクを実行できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 新しいプロセッサーの作成
- URL クエリからのスクリプトの実行

次の手順の例では、独自のデモンストレーション インスタンスがあることを前提としています。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プロセッサ.
2. [新規] を選択します。
3. [名前] フィールドに「`Hello`」と入力します。
4. [タイプ] フィールドで [スクリプト] を選択します。
5. [パス] フィールドに「`Hello`」と入力します。
6. [スクリプト] フィールドに次のコードを入力します。

```
var name = g_request.getParameter("name");
g_processor.writeOutput("text/plain", "Hello " + name);
```

7. [送信] を選択します。
8. インスタンスからログアウトし、新しいブラウザーウィンドウを開きます。
9. インスタンスへの URL クエリを `https://instance.service-now.com/processor_name.do?parameter=value` の形式で入力します。
   例：`https://<instance name>.service-now.com/Hello.do?name=world`
10. プロンプトが表示されたら、有効なユーザーの認証情報を入力します。

[スクリプト - バックグラウンド] モジュール

アドミニストレーターは [スクリプト - バックグラウンド] モジュールを使用して、サーバーから任意の JavaScript コードを実行できます。

[スクリプト - バックグラウンド] モジュールは、次のコンポーネントで構成されています。

- JavaScript を入力するテキストボックス
- アプリケーションスコープを指定するセレクター
- [スクリプトの実行 **(Run script)]** ボタン
- 利用可能なスコープのリスト
- [ロールバック用に記録？ **(Record for rollback?)]** チェックボックス。デフォルトで選択されています。スクリプト実行のロールバックコンテキストを作成します。スクリプトが実行された後、[スクリプトの実行と利用可能な復旧はこちら **(Script execution and recovery available here)]** リンクをクリックして、スクリプトをロールバックできる [スクリプト実行履歴] フォームに移動します。
- [サンドボックスで実行？ **(Execute in sandbox?)]** チェックボックス。制限などのサンドボックスでスクリプトを実行できるようにします。オンにした場合、データの挿入、更新、削除ができなくなります。
- [スクリプトレットとして実行？ **(Execute as scriptlet?)]** チェックボックス。スクリプトをスクリプトレットとして実行できるようにします。これにより、グローバルスコープおよびサーバー側の機能またはオブジェクトへのアクセス権がスクリプトに付与されます。チェックボックスがオフの場合、スクリプトはグローバルスコープで実行されますが、サーバー側の機能やオブジェクトにはアクセスできません。
- **[4** 時間後にキャンセル **(Cancel after 4 hours)]** チェック ボックス。デフォルトで選択されています。スクリプトが 4 時間経過しても実行されている場合は、スクリプトの実行をキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スクリプトが実行されると、インスタンスは結果、情報、エラーメッセージを画面上部に表示します。

注: フリーフォームの JavaScript を実行すると、システムが中断されたりデータが失われたりする可能性があります。本番インスタンスからはフリーフォームのスクリプトを実行しないでください。

デフォルトで、アドミニストレーターは権限を昇格させずにこのモジュールにアクセスできます。このモジュールにアクセスするために昇格された権限が必要な場合は、システムプロパティ *glide.script_processor.admin* を *security_admin* に設定します。

インストール設定

インストール設定は、計算された名前を持つグローバルビジネスルールです。インストール設定は、レコードが表示される直前に計算され、アクセス権とロールの動的な決定が容易になります。インストール設定では、設定をプログラムで決定できます。

フィールドとレコードへのアクセスを制御するインストール設定は、次のとおりです。

- CanRead()
- CanWrite()
- CanCreate()
- CanDelete()

これらの関数は、アクセスが許可されている場合は true を返し、許可されていない場合は false を返します。ロールを使用して計算された権限を使用する戻り値はありません。この関数は、変数 current コードを介して現在のレコードにアクセスします。

レコードの権限をチェックする関数の名前は、次のように設定名の前にレコード名を付けることによって形成されます。

```
record_nameCanRead()
```

同様に、レコード内のフィールドに対する権限は、関数名の前にレコード名、アンダースコア、およびフィールド名を付けることによって形成されます。

```
record_name_field_nameCanRead()
```

命名の例：

```
function incidentCanWrite() {} //  can user write to this record?
 function incident_numberCanWrite() {}  // can user write to the number
 field?
```

このサンプルビジネスルールは、以下に示すように、エントリが存在する場合に、sys_dictionary ファイルの名前フィールドの書き込みを制限します。

```
  // the element name cannot be written unless this is a new record (not
 yet in database)
  function sys_dictionary_nameCanWrite() {
    if (current.isNewRecord())
      return;

    return false;
  }
```

DurationCalculator を使用して期日を計算する

DurationCalculator スクリプトインクルードを使用すると、単純な期間またはスケジュールに基づく相対期間を使用して、期日を計算できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のスクリプトは、グローバル API DurationCalculator を使用して期日を計算する方法を示しています。スクリプトの最初の部分は、setStartDateTime() メソッドを使用して開始日時を設定し、calcDuration() メソッドを使用して、指定された開始日時から経過した連続時間「x」(秒数) で期日を決定する方法を示しています。スクリプトの後半は、*DurationCalculator* を使用してスケジュールに基づいて期日を計算する方法を示しています。スケジュールを使用すると、計算に勤務週の日数のみを含めるなど、将来の時間に対して「フィルター」を適用できます。たとえば、期間の計算に「平日」(月曜日から金曜日のみを含む) というスケジュールを適用し、開始日時が金曜日の 5:00 pm だとすると、2 日間の期間が追加されたときに、期日は火曜日の 5:00 pm となります。スケジュールを使用しなかった場合、期日は日曜日の 5:00 pm になります。スケジュールの詳細については、「スケジュールの作成と使用」を参照してください。

このスクリプトは切り取って、[スクリプト - バックグラウンド] ページに貼り付け、そのまま実行できます。また、ビジネスルールや UI アクションを作成するためのサンプルとして役立てることができ、サーバーサイドスクリプトを作成できるその他の場所でも使用できます。

```
/**
 * Demonstrate the use of DurationCalculator to compute a due date.
 *
 * You must have a start date and a duration. Then you can compute a
 * due date using the constraints of a schedule.
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */
function executeSample(){

    // First we need a DurationCalculator object.
    var dc = new DurationCalculator();

    // --------------- No schedule examples ------------------

    // Simple computation of a due date without using a schedule. Seconds
    // are added to the start date continuously to get to a due date.
    var gdt = new GlideDateTime("2012-05-01 00:00:00");
    dc.setStartDateTime(gdt);
    if(!dc.calcDuration(2*24*3600)){ // 2 days
      gs.log("*** Error calculating duration");
      return;
    }
    gs.log("calcDuration no schedule: " + dc.getEndDateTime()); //
 "2012-05-03 00:00:00" two days later

    // Start in the middle of the night (2:00 am) and compute a due date
 1 hour in the future
    // Without a schedule this yields 3:00 am.
    var gdt = new GlideDateTime("2012-05-03 02:00:00");
    dc.setStartDateTime(gdt);
    if(!dc.calcDuration(3600)){
      gs.log("*** Error calculating duration");
      return;
     }
    gs.log("Middle of night + 1 hour (no schedule): "+
 dc.getEndDateTime()); // No scheduled start date, just add 1 hour
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   // -------------- Add a schedule to the date calculator
---------------------
   addSchedule(dc);

   // Start in the middle of the night and compute a due date 1 hour in
the future.
   // Since we start at 2:00 am the computation adds the 1 hour from the
start
   // of the day, 8:00am to get to 9:00am
   var gdt = new GlideDateTime("2012-05-03 02:00:00");
   dc.setStartDateTime(gdt);
   if(!dc.calcDuration(3600)){
     gs.log("*** Error calculating duration");
     return;
   }
   gs.log("Middle of night + 1 hour (with 8-5 schedule): " +
dc.getEndDateTime()); // 9:00 am

   // Start in the afternoon and add hours beyond quiting time. Our
schedule says the work day
   // ends at 5:00pm, if the duration extends beyond that, we roll over
to the next work day.
   // In this example we are adding 4 hours to 3:00pm which gives us
10:00 am the next day.
   var gdt = new GlideDateTime("2012-05-03 15:00:00");
   dc.setStartDateTime(gdt);

   if(!dc.calcDuration(4*3600)){
     gs.log("*** Error calculating duration");
     return;}
   gs.log("Afternoon + 4 hour (with 8-5 schedule): " +
dc.getEndDateTime()); // 10:00 am.

   // This is a demo of adding 2 hours repeatedly and examine the
result. This
   // is a good way to visualize the result of a due date calculation.
   var gdt = new GlideDateTime("2012-05-03 15:00:00");
   dc.setStartDateTime(gdt);
   for(var i=2; i<24; i+=1){
     if(!dc.calcDuration(i*3600)){
       gs.log("*** Error calculating duration");
       return;
     }
     gs.log("add "+ i +" hours gives due date: " + dc.getEndDateTime());
   }

   // Setting the timezone causes the schedule to be interpreted in the
specified timezone.
   // Run the same code as above with different timezone. Note that the
8 to 5 workday is
   // offset by the two hours as specified in our timezone.
   dc.setTimeZone("GMT-2");
   var gdt = new GlideDateTime("2012-05-03 15:00:00");
   dc.setStartDateTime(gdt);
   for(var i=2; i<24; i+=1){
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      if(!dc.calcDuration(i*3600)){
        gs.log("*** Error calculating duration");
        return;
      }
        gs.log("add "+ i +" hours gives due date (GMT-2): " +
 dc.getEndDateTime());
    }
}

/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */
function addSchedule(durationCalculator){
    // Load the "8-5 weekdays excluding holidays" schedule into our
 duration calculator.
    var scheduleName = "8-5 weekdays excluding holidays";
    var grSched = new GlideRecord('cmn_schedule');
    grSched.addQuery('name', scheduleName);
    grSched.query();
    if(!grSched.next()){
      gs.log('*** Could not find schedule "'+ scheduleName +'"');
      return;
    }
    durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue(),"GMT");
}
```

DurationCalculator を使用した単純な期間の計算

単純な期間とは、2 つの日時の間の秒数です。

スケジュールを使用しない場合は、単純な日時減算になります。スケジュールを使用する場合は、スケジュールを参照して非勤務時間を計算から除外します。「休日を除く平日の 8:00 am ～ 5:00 pm」というスケジュールを使用するとします。この場合、月曜日の正午から火曜日の正午までの勤務時間は 9 時間です。単純な期間を計算するには、グローバル API *DurationCalculator* を初期化し、calcScheduleDuration() メソッドを呼び出します。

このスクリプトは、*DurationCalculator* を使用して単純な期間を計算する方法を示しています。

```
/**
 * Sample script demonstrating use of DurationCalculator to compute
 simple durations
 *
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */
function executeSample(){

    // First we need a DurationCalculator object.
    var dc = new DurationCalculator();

    // Compute a simple duration without any schedule. The arguments
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    // can also be of type GlideDateTime, such as fields from a
 GlideRecord.
    var dur = dc.calcScheduleDuration("2012-05-01", "2012-05-02");
    gs.log("calcScheduleDuration no schedule: " + dur); // 86400 seconds
 (24 hours)

    // The above sample is useful in limited cases. We almost always want
 to
    // use some schedule in a duration computation, let's load a
 schedule.
    addSchedule(dc);

    // Compute a duration using the schedule. The schedule
    // specifies a nine hour work day. The output of this is 32400
 seconds, or
    // a nine hour span.
    dur = dc.calcScheduleDuration("2012-05-23 12:00:00","2012-05-24
 12:00:00");
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule: " + dur); // 32400
 seconds (9 hours)

    // Compute a duration that spans a weekend and holiday. Even though
 this
    // spans three days, it only spans 9 work hours based on the
 schedule.
    dur = dc.calcScheduleDuration("2012-05-25 12:00:00", "2012-05-29
 12:00:00");
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule spaning holiday: " +
 dur); // 32400 seconds (9 hours)

    // Use the current date time in a calculation. The output of this is
    // dependent on when you run it.
    var now = new Date();
    dur = dc.calcScheduleDuration("2012-05-15", new GlideDateTime());
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule to now: " + dur); //
 Different on every run.
}

/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */
function addSchedule(durationCalculator){
    // Load the "8-5 weekdays excluding holidays" schedule into our
 duration calculator.
    var scheduleName = "8-5 weekdays excluding holidays";
    var grSched = new GlideRecord('cmn_schedule');
    grSched.addQuery('name', scheduleName);
    grSched.query();
    if(!grSched.next()){
        gs.log('*** Could not find schedule "'+ scheduleName +'"');
        return;
    }
    durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相対期間の使用

相対期間は、差分計算から除外する 1 日の部分をスクリプトを使用して決定すること以外は、単純な期間とよく似ています。

このスクリプトはテーブルcmn_relative_durationに格納されており、次の場所に移動して調べることができます。 システムスケジューラ > スケジュール > 相対期間. すぐに利用可能なインスタンスには、相対期間スクリプトの例がいくつかあります。

相対期間 sys_id は、初期化後にグローバル API DurationCalculator クラスのメソッド *calcRelativeDuration()* に渡されます。このメソッドが呼び出されると、DurationCalculator オブジェクトが変数 *calculator* として相対期間スクリプト (テーブル cmn_relative_duration に格納) に渡されます。したがって、作成して cmn_relative_duration に格納した相対期間スクリプトは、実行中の DurationCalculator に変数 *calculator* を介してアクセスでき ます。

次のスクリプトは、*DurationCalculator* を使用して相対期間を計算する方法を示しています。

```
/**
 * Sample use of relative duration calculation.
 *
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */
function executeSample(){

    // First we need a DurationCalculator object. We will also use
    // the out-of-box relative duration "2 bus days by 4pm"
    var dc = new DurationCalculator();
    var relDur = "3bf802c20a0a0b52008e2859cd8abcf2"; // 2 bus days by 4pm
 if before 10am
    addSchedule(dc);

    // Since our start date is before 10:00am our result is two days
 from// now at 4:00pm.
    var gdt = new GlideDateTime("2012-05-01 09:00:00");
    dc.setStartDateTime(gdt);
    if(!dc.calcRelativeDuration(relDur)){
      gs.log("*** calcRelativeDuration failed");
      return;
    }
    gs.log("Two days later 4:00pm: "+ dc.getEndDateTime());

    // Since our start date is after 10:00am our result is three days
 from
    // now at 4:00pm.
    var gdt = new GlideDateTime("2012-05-01 11:00:00");
    dc.setStartDateTime(gdt);
    if(!dc.calcRelativeDuration(relDur)){
      gs.log("*** calcRelativeDuration failed");
      return;
    }
    gs.log("Three days later 4:00pm: "+ dc.getEndDateTime());}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */
function addSchedule(durationCalculator){
    // Load the "8-5 weekdays excluding holidays" schedule into our
 duration calculator.
    var scheduleName ="8-5 weekdays excluding holidays";
    var grSched =new GlideRecord('cmn_schedule');
    grSched.addQuery('name', scheduleName);
    grSched.query();
    if(!grSched.next()){
      gs.log('*** Could not find schedule "'+ scheduleName +'"');
      return;}
    durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue(),"GMT");}
```

スクリプトでのテーブルのクエリ

GlideRecord API のメソッドを使用すると、テーブルからすべてのレコードを返したり、テーブルから特定の条件を満たすレコードを返したり、テキストインデックスグループ内の単一のテーブルまたは複数のテーブルから文字列を含むレコードを返したりできます。

GlideRecord API を使用してテーブルにクエリを実行します。API リファレンスについては、「GlideRecord - スコープ対象」を参照してください。

テーブルからすべてのレコードを返す

テーブルにクエリを実行するには、最初に GlideRecord オブジェクトを作成します。GlideRecord を作成するには、スクリプトで次を作成します。

```
var target = new GlideRecord('incident');
```

GlideRecord を作成すると、インシデントテーブルの GlideRecord オブジェクトである `target` 変数が作成されます。

インシデントテーブルのすべてのレコードを処理するには、次のスクリプトを追加します。

```
target.query(); // Issue the query to the database to get all records
while (target.next()) {
  // add code here to process the incident record
}
```

このスクリプトは、データベースに *`query()`* を発行します。*`next()`* を呼び出すたびに、処理のために次のレコードがロードされます。

クエリ条件を満たすテーブルからレコードを返す

ほとんどの場合、特定のレコードまたは特定のレコードのセットを取得する必要があり、取得するレコードを定義するいくつかの基準 (クエリ条件) があります。たとえば、優先度の値が 1 のすべてのインシデントレコードを取得する必要があるとします。これを実行するコードを次に示します。

```
var target = new GlideRecord('incident');
target.addQuery('priority',1);
target.query(); // Issue the query to the database to get relevant
 records
while (target.next()) {
  // add code here to process the incident record
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルスクリプトに `target.addQuery('priority', 1);` が含まれていることに注目してください。この行は、*priority* フィールドが 1 に等しいレコードのみを要求していることを示しています。一般に、実行するクエリのほとんどは等価クエリです。つまり指定した値と等しいフィールドを持つレコードを検索するクエリです。そのため、等価演算子を指定する必要はありません。ただし、たとえば *priority* フィールドが 1 より大きいすべてのインシデントを検索するとします。この場合には、クエリに適用する演算子を指定します。

```
var target = new GlideRecord('incident') ;
target.addQuery('priority','>',1);
target.query(); // Issue the query to the database to get relevant
 records
while (target.next()) {
  // add code here to process the incident record
}
```

テーブルから文字列を含むレコードを返す

予約名 `'123TEXTQUERY321'` を使用して、テーブルのすべてのフィールドで一致する文字列を検索します。たとえば、このスクリプトは、文字列 'email' を含むフィールド値を持つレコードをインシデントテーブルから返します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gr.addQuery('123TEXTQUERY321', 'email');
gr.query();
```

`'123TEXTQUERY321'` は、`addQuery()` メソッドの *name* パラメーターの予約済みオプションです。このオプションは、エンコードされたクエリ文字列で使用できます。たとえば、`gr.addQuery('123TEXTQUERY321', 'email');` の代わりに、`gr.addEncodedQuery('123TEXTQUERY321=email')` を使用できます。

文字列の検索では大文字と小文字が区別されません。`email`、`Email`、または `EMAIL` のいずれを検索しても、同じ結果が返されます。

注: 文字列検索を使用してクエリを実行する前に、検索するテーブルのテキストインデックス作成 (およびオプションで検索属性) を構成する必要があります。詳細については、「インデックス作成と検索のための単一のテーブルの構成」を参照してください。

テキストインデックスグループの複数のテーブルから文字列を含むレコードを返す

テキストインデックスグループのテーブル内の文字列を検索するには、`'123TEXTINDEXGROUP321'` 予約名を使用します。このオプションは、テキストインデックスグループの設定を使用して計算された関連性スコアの結果を返します。

注: テキストインデックスグループで一度にクエリできるテーブルは 1 つだけです。複数の単一テーブルクエリを発行して結果を結合し、関連性スコアで並べ替える場合は、このオプションを使用します。このオプションの利点は、個々のテーブルクエリの検索結果の関連性スコアが、テキストインデックスグループ内のすべてのテーブルで一貫して正規化されることです。

たとえば、このスクリプトは、「portal」インデックスグループに対して計算された関連性スコアと、キーワード「email」を含むレコードをナレッジテーブルから返します。

```
var now_GR = new GlideRecord('kb_knowledge');
gr.addQuery('123TEXTQUERY321', 'email');
gr.addQuery('123TEXTINDEXGROUP321', 'portal');
gr.query();
```

検索する「ポータル」インデックスグループ内の追加のテーブルごとに同様のクエリを作成し、個々のクエリの結果を結合して、関連性スコアが最も高い結果を最初に表示することができます。これら

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の検索クエリはすべて同じテキストインデックスグループ検索設定を使用するため、結果の関連性スコアはすべて一貫して正規化されます。`gr.addQuery('123TEXTINDEXGROUP321', 'portal')` メソッドを使用せずに同じテーブルセットを検索した場合、個々のクエリの関連性スコアは異なる方法で正規化され、結合された結果セットをソートするための基準として役立ちません。

`'123TEXTINDEXGROUP321'` は、`addQuery()` メソッドの *name* パラメーターの予約済みオプションです。このオプションは、エンコードされたクエリ文字列で使用できます。たとえば、`gr.addQuery('123TEXTINDEXGROUP321', 'portal');` の代わりに、`gr.addEncodedQuery('123TEXTINDEXGROUP321=portal')` を使用できます。

複数のテーブルの文字列の検索では大文字と小文字が区別されません。`email`、`Email`、または `EMAIL` のいずれを検索しても、同じ結果が返されます。

注: インデックスグループ内のテーブルをクエリする前に、それらのテーブルのテキストインデックス作成と検索属性を構成し、インデックスグループにそれらを含める必要があります。詳細については、「インデックス作成と検索用の複数のテーブルの構成」を参照してください。インデックスグループ内のすべてのテーブルは、V4 インデックス形式を使用する必要があります。

使用可能な JavaScript 演算子

addQuery() 要求内で使用できる演算子について説明します。

使用可能な **JavaScript** 演算子

フィールド	定義	addQuery
=	フィールドは、指定された値と等しい必要があります。	addQuery('priority', '=', 1);
>	フィールドは、指定された値より大きい必要があります。	addQuery('priority', '>', 1);
<	フィールドは、指定された値より小さい必要があります。	addQuery('priority', '<', 3);
>=	フィールドは、指定された値以上である必要があります。	addQuery('priority', '>=', 1);
<=	フィールドは、指定された値以下である必要があります。	addQuery('priority', '<=', 3);
!=	フィールドは、指定された値と等しくなっていない必要があります。	addQuery('priority', '!=', 1);
STARTSWITH	フィールドは、指定された値で始まる必要があります。右側の例は、*short_description* フィールドが「Error」というテキストで始まるすべてのレコードを返します。	addQuery('short_description', 'STARTSWITH', 'Error');
CONTAINS	フィールドは、テキストのどこかに、指定された値が含まれている必要があります。右側の例では、*short_description* フィールド内のどこかに「Error」というテキストが含まれているすべてのレコードが返されます。 **注:** LIKE 演算はサポートされていません。アドミニストレーターは、クエリで CONTAINS を使用する必要があります。	addQuery('short_description', 'CONTAINS', 'Error');

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能な **JavaScript** 演算子 (続く)

フィールド	定義	addQuery
IN	カンマを許可する値のマップを取得し、他の要件を満たすレコードのコレクションを収集します。`Select * from <table> where short_description IN ('Error', 'Success', 'Failure')` と同じように動作します。これは `Select * from <table> where short_description='Error'` と同じです。たとえば、特定のアクティビティに属するすべての変数値のクエリを実行するには、*IN* 節を使用して、その sys_id をマップまたはカンマ区切りリストに格納します。次に、変数値テーブルにクエリを実行し、この sys_id のリストを指定します。	addQuery('short_description', 'IN', 'Error,Success,Failure');
ENDSWITH	フィールドは、指定された値で終了する必要があります。右側の例では、*short_description* フィールドが「Error」というテキストで終わるすべてのレコードを返します。	addQuery('short_description', 'ENDSWITH', 'Error');
DOES NOT CONTAIN	フィールドのパターンに一致しないレコードを選択します。この演算子は空のフィールドを取得しません。空の値の場合は、「is empty」または「is not empty」という演算子を使用します。右側の例では、*short_description* フィールドに「Error」という語が含まれていないすべてのレコードが返されます。	addQuery('short_description', 'DOES NOT CONTAIN', 'Error');
NOT IN	カンマを許可する値のマップを取得し、他の要件を満たすレコードのコレクションを収集します。次と同じように動作します。`Select * from <table> where short_description NOT IN ('Error')`	addQuery('short_description', 'NOT IN', 'Error,Success,Failure');
INSTANCEOF	拡張テーブルの指定された「クラス」のレコードのみを取得する特殊な演算子。右側のコード例は、コンピューターとして分類されているすべての構成アイテムを取得する方法を示しています。	addQuery('sys_class_name', 'INSTANCEOF', 'cmdb_ci_computer');

自動翻訳

フィルターとクエリに使用できる演算子の詳細については、「フィルターとクエリに使用できる演算子」を参照してください。

NULL または NOT NULL のデータを検索するために使用できる特殊なメソッドもあります。*short_description* フィールドが指定されていない (null である) すべてのインシデントを検索するには、次のクエリを使用します。

```
var target = new GlideRecord('incident');
target.addNullQuery('short_description');
target.query(); // Issue the query to the database to get all records
while (target.next()) {
  // add code here to process the incident record
}
```

short_description が指定されているすべてのインシデントを検索するには、次のクエリを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var target = new GlideRecord('incident');
target.addNotNullQuery('short_description');
target.query(); // Issue the query to the database to get all records
while (target.next()) {
  // add code here to process the incident record
}
```

GlideRecord API とその使用可能なメソッドの詳細については、「GlideRecord」を参照してください。

GlideRecord クエリの例

これらの例は、さまざまな *GlideRecord* クエリを実行する方法を示しています。

クエリ

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
while(rec.next()) {
  gs.print(rec.number + ' exists'); }
```

update

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',true);
rec.query();
while(rec.next()) {
  rec.active = false;
  gs.print('Active incident ' + rec.number = ' closed');
  rec.update(); }
```

insert

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.initialize();
rec.short_description = 'Network problem';
rec.caller_id.setDisplayValue('Joe Employee');
rec.insert();
```

delete

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',false);
rec.query();
while(rec.next()) {
  gs.print('Inactive incident ' + rec.number + ' deleted');
  rec.deleteRecord(); }
```

サービスカタログテーブルのクエリ

サービスカタログ要求アイテムテーブル [sc_req_item] の変数について直接クエリを実行することはできません。代わりに、変数名用と値用の 2 つのクエリを追加して、変数所有権テーブル [sc_item_option_mtom] にクエリを実行します。クエリは、要求アイテムにドット連結することができる多対多の関係を返します。次の例では、変数 *item_name* がありその値が *item_value* である要求アイテムを検索し、要求アイテム番号を表示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('sc_item_option_mtom');
gr.addQuery('sc_item_option.item_option_new.name','item_name');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gr.addQuery('sc_item_option.value','item_value');
gr.query();

while(gr.next()) {
  gs.addInfoMessage(gr.request_item.number); }
```

詳細については、「GlideRecord」を参照してください。

注文ガイドの自動実行

サービスカタログ注文ガイドを使用すると、複数の注文アイテムを生成できる単一のサービスカタログ要求を作成できます。アドミニストレーターは注文ガイドを自動的に実行するように構成でき、サービスカタログ要求を手動で送信しなくてもワークフローまたはスクリプトから注文済みアイテムのセットを生成できます。アドミニストレーターは、注文ガイドの失敗を確認して再処理することもできます。

ユースケースとして、新しい従業員のオンボーディングワークフローで自動的に注文ガイドを実行し、その従業員のアイテムを注文できます。

注: 注文ガイド (つまり、最初のランディングページのオプション) ではなく、カタログアイテムのみを保存できます。

スクリプトからの注文ガイドの実行

サーバーサイドスクリプトを使用した注文ガイドの実行は、ワークフローを使用する場合よりも複雑ですが、柔軟性が高く、ワークフロー以外の状況でも使用できます。

たとえば、UI アクションまたはサーバーサイドのビジネスルールで注文ガイドスクリプトを使用できます。

注: 注文ガイドが自動的に実行されると、注文ガイドの UI ポリシーは適用されません。また、[オプションを選択] 画面のオプションは選択できないため、注文ガイドルールでこれらのオプションの合理的なデフォルトを定義して、処理の失敗を回避してください。

`SNC.ScriptableOrderGuide` Java クラスを使用して、スクリプトで注文ガイドを実行します。

`SNC.ScriptableOrderGuide(String orderGuideId)` コンストラクターを使用して、新しい ScriptableOrderGuide オブジェクトを作成します。

メソッドの概要

メソッド	リターン値	説明
process(String json)	ブーリアン	注文ガイドの入力として JSON エンコード文字列パラメーターを使用して、注文ガイドを実行します。処理が成功したかどうかに応じて *true* または *false* が返されます。 **注:** *`opened_by`* と *`requested_for`* の両方のパラメーターを注文ガイドに渡す必要があり、その両方に、有効なユーザーレコードの sys_id 値が必要です。 処理が成功し、注文ガイドによって要求が作成された場合は、*`getRequest()`* を使用して要求 GlideRecord を取得できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メソッド	リターン値	説明
		処理に失敗した場合は、`getFailure()` を使用して失敗した GlideRecord を取得し、reprocess を使用して再処理のためにスクリプトを送信できます。
reprocess(GlideRecord failure)	ブーリアン	失敗した GlideRecord に格納されている JSON エンコード文字列パラメーターを使用して、注文ガイドを再度実行します。
getMessage()	文字列	処理または再処理後に入力されたメッセージを取得します。
getRequest()	GlideRecord	要求 GlideRecord を取得します。
getFailure()	GlideRecord	スクリプト可能注文ガイド失敗 [sc_script_order_guide_failure] テーブルから、失敗 GlideRecord を取得します。

スクリプトの例

このスクリプトは、*IT Onboarding SOG* と呼ばれる注文ガイドを処理します。

```
// Creating the object to later be JSON encoded
var json =
 {"opened_by":"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1","requested_for":"06826bf
03710200044e0bfc8bcbe5d8a","department":"221f3db5c6112284009f4becd3039cc9
"};

var now_GR = new GlideRecord("sc_cat_item_guide");
if (gr.get("name","IT Onboarding SOG")) {
  var sog = new SNC.ScriptableOrderGuide(gr.getValue("sys_id"));
  var result = sog.process(new JSON().encode(json));
  if(!result)
    gs.log("Processing the scriptable order guide failed with message: "
 + sog.getMessage());
  else {
    var request = sog.getRequest();
    gs.log("Request created - " + request.sys_id); } }
```

ワークフローからの注文ガイドの実行

より広範なワークフローベースのプロセスの一部として注文ガイドを含める場合は、ワークフローからの注文ガイドの実行が適しています。

たとえば、新しい従業員のオンボーディングワークフロー内のアクティビティで自動的に注文ガイドを実行し、その従業員のアイテムを注文できます。

注: 注文ガイドが自動的に実行されると、注文ガイドの UI ポリシーは適用されません。また、[オプションを選択] 画面のオプションは選択できないため、注文ガイドルールでこれらのオプションの合理的なデフォルトを定義して、処理の失敗を回避してください。

ワークフローから注文ガイドを実行するには、[スクリプト可能注文ガイド] ワークフローアクティビティを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローからの注文ガイドの実行

フィールド	説明
注文ガイド	このアクティビティが処理する注文ガイドの名前。たとえば、「サンプルの従業員オンボーディング **IT**」などです。
スクリプト	注文ガイドに情報を渡すスクリプトです。この情報は、*answer* 変数に割り当てられた JSON エンコード文字列パラメーターとして送信されます。 スクリプトは次の要件を満たす必要があります。 • スクリプト内の変数の名前は、注文ガイド内で使用されている名前と一致する必要があります。たとえば、注文ガイドがルール条件で *department* 変数を使用する場合、スクリプトは *department* パラメーターも渡す必要があります。 • *opened_by* と *requested_for* の両方のパラメーターを注文ガイドに渡す必要があり、その両方に、有効なユーザーレコードの sys_id 値が必要です。

結果

- 成功：アクティビティが注文ガイドを正常に処理しました。これは、要求が作成されたことを意味するものではありません。要求が作成された場合、要求 sys_id が、*sc_request* 変数の下のワークフロースクラッチパッドに追加されます。
- 失敗：注文ガイドの処理中にエラーが発生し、失敗レコードが作成されました。処理が失敗した場合は、失敗レコードを表示して編集できます。

ワークフローの例

サンプルの従業員オンボーディング **IT** ワークフローというワークフローでは、この例を使用して、オンボーディングプロセスの一部として新しい従業員の IT カタログアイテムを生成します。

アクティビティは、このスクリプトを使用して次のことを行います。

1. 以前に HR 変更レコードから生成された JSON 文字列を取得します。
2. その文字列に必須の *opened_by* および *requested_for* パラメーターを追加します。
3. 注文ガイドで処理する新しい文字列を送信します。

```
var parameters  = new JSON().decode(current.payload);

// Need to amend the json object to include additional values.
parameters.opened_by = current.opened_by + "";
parameters.requested_for = current.opened_for + "";

answer = new JSON().encode(parameters);
```

注文ガイドの失敗の表示

たとえば、実行中の注文ガイドが存在しない場合、注文ガイドの処理は失敗する可能性があります。注文ガイドの処理中にエラーが発生した場合、[失敗した注文ガイド処理] サブモジュールを使用して、エラーを確認して再処理できます。各失敗のレコードが作成されます。初期エラーの原因となったエラーを修正した後で、失敗した注文ガイドを再処理できます。

このタスクについて

失敗が発生した場合、スクリプト可能注文ガイド失敗 [sc_script_order_guide_failure] テーブルで失敗レコードが作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

障害の詳細を表示するには、次の場所に移動します サービスカタログ > カタログ管理 > 失敗した注文ガイド処理をクリックし、失敗レコードを開きます。

再処理の失敗:初期失敗の原因となったエラーを修正した場合は、失敗した注文ガイドを再処理できます。

手順

1. 移動先 サービスカタログ > カタログ管理 > 失敗した注文ガイド処理.
2. 失敗レコードを開きます。
3. [再処理] 関連リンクをクリックします。

1 つ以上の失敗を再処理するには、次のようにします。

a. 移動先 サービスカタログ > カタログ管理 > 失敗した注文ガイド処理.
b. 再処理する 1 つ以上のレコードの横にあるチェックボックスをオンにします。
c. [アクション] 選択リストから [再処理] を選択します。

実行計画のスクリプト可能なアサイン

各カタログアイテムには実行計画が関連付けられており、そのタイプのアイテムが注文されるたびに使用されます。計画が指定されていない場合は、デフォルトの計画が使用されます。このデフォルトはほとんどの組織で有効ですが、追加の基準に基づいて、実行計画を変更することが必要になる場合があります。

たとえば、基本システムのサービスカタログでは、新しい PC の要求は常に PC 配送計画を使用します。ただし、要求者がリモートの場所で作業している場合など、例外的な状況では、この計画を変更する必要があります。

この柔軟性を提供するために、スクリプトを使用して特定のカタログアイテムのデフォルトの実行計画を上書きできます。

スクリプト実行時の制限

実行計画スクリプトには、実装時に考慮する必要がある制限があります。

実行計画スクリプトの実行中：

- カタログタスクは実行計画が選択された後にのみ作成されるため、カタログタスクを操作することはできません。
- [合計配送時間] や [期日] などの一部のフィールドはまだ計算されていませんが、要求自体は `current.request()` を介してスクリプト内で使用できます。
- 承認はまだ生成されていません。

スクリプトの作成

実行計画スクリプトを記述するときは、次のガイドラインに従ってください。

実行計画スクリプトは、他のサーバーサイドの実行計画と同じグローバル変数や他の関数にアクセスできます。

- `current` は現在要求されているカタログアイテム `sc_req_item` です。
- `current.delivery_plan()` は、このカタログアイテムにアサインされた実行計画です。

スクリプトからの評価値は、実行計画の `sys_id` として使用されます。

簡単な例：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
current.delivery_plan.setDisplayValue('PC Delivery Plan')
```

未定義または見つからないなどの無効な値が返された場合は、既存のアサイン値が使用されます。

複雑な例：

```
getexecutionplan();
function getexecutionplan() {
var location = current.request.requested_for.location.getDisplayValue();
// if we're in Atlanta
if (location == 'Atlanta') {
   // use the remote pc delivery plan instead of the normal one
   var remote_plan = new GlideRecord('sc_cat_item_delivery_plan');
   remote_plan.addQuery('name', 'Remote PC Delivery Plan');
   remote_plan.query();
   remote_plan.next();
   current.delivery_plan = remote_plan.sys_id;
   return remote_plan_sys_id;
   }
   return current_delivery_plan;
}
```

この例では、要求が Atlanta のユーザーに対するものである場合は常に、ServiceNow はリモート PC 配送計画を使用します。そうでない場合、実行計画は上書きされず、ServiceNow はカタログアイテムの通常の実行計画である PC 配送計画を使用します。

スクリプトのカタログアイテムへの追加

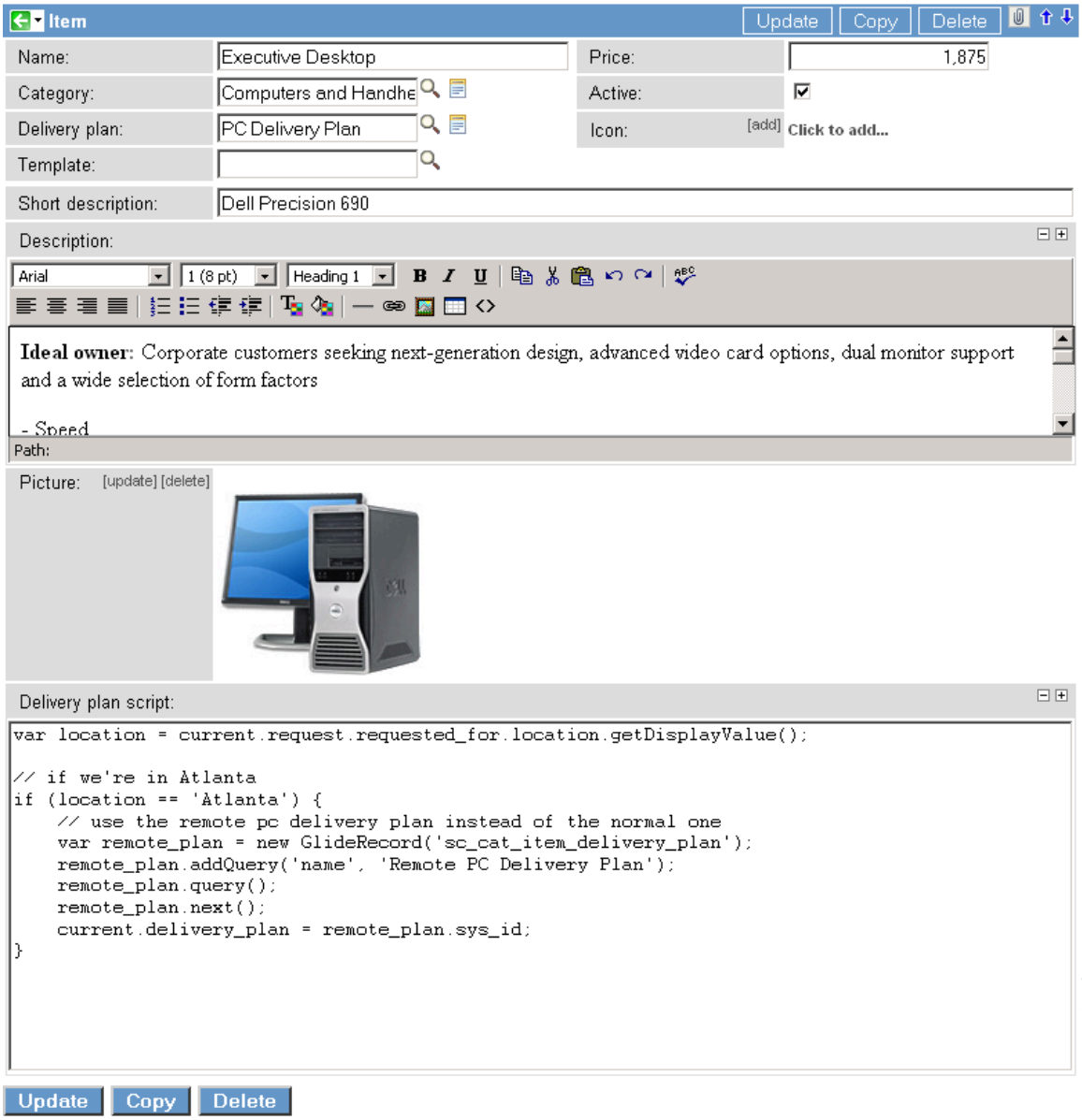
カタログアイテムにスクリプトを追加して、ユーザーがそのアイテムを要求するたびにスクリプトが実行されるようにすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > アイテムの管理.
2. スクリプトを追加する関連カタログアイテムを選択します。
3. カタログアイテムフォームを構成して、実行計画スクリプトフィールド (たいていは「配送計画スクリプト」という名前) を追加します。
4. スクリプトの詳細を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. アイテムフォームを変更して更新します。

タスクの結果
アイテムが要求されるたびにスクリプトが実行され、そのアイテムで実行する実行計画が選択されます。

スクリプトを使用した実行計画の承認

承認ルールスクリプトを使用して、実行計画を承認できます。

手順

1. 承認計画承認タスクを取得します。

2. [承認スクリプト] フィールドを表示します。

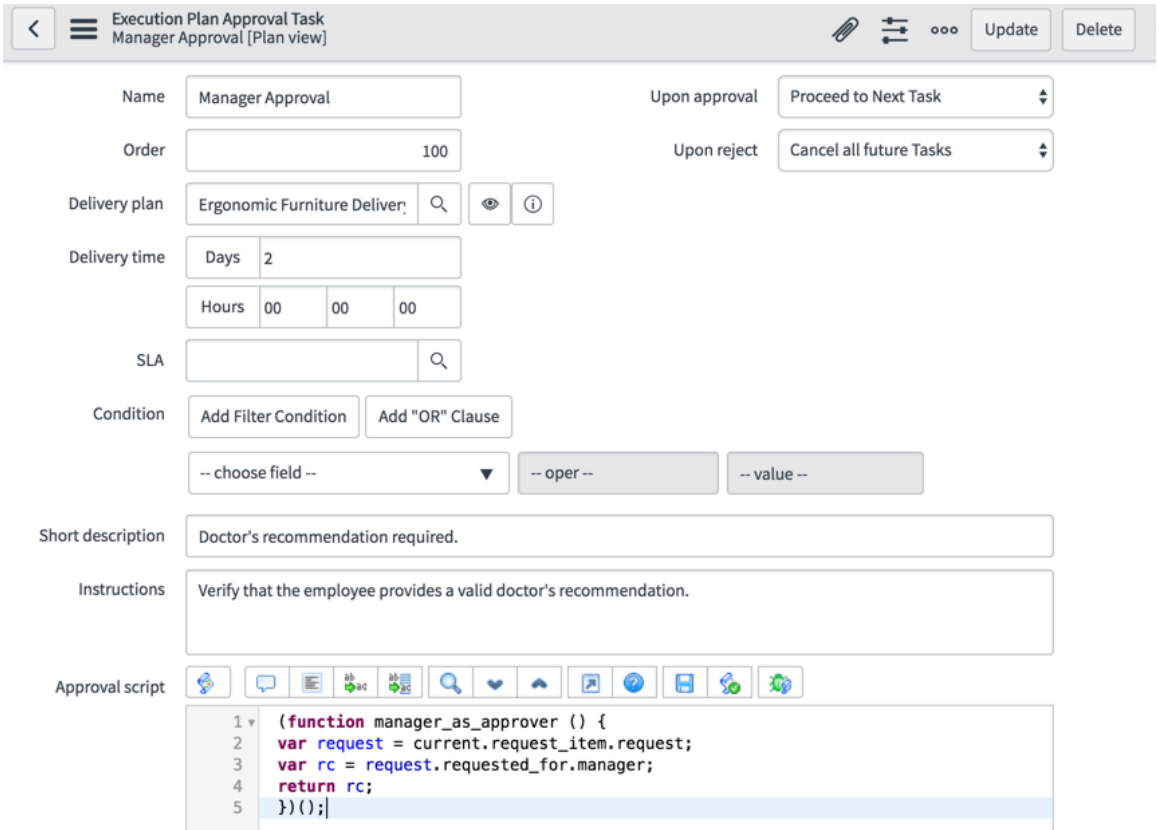
3. 承認ルールで使用するものと同じ構文とルールを使用して、承認スクリプトを入力します。

Example:
たとえば、以下のスクリプトでは、要求者のマネージャーが承認者です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認者を指定するスクリプト



サーバーサイドスクリプトでの正規表現の使用

JavaScript 正規表現では、拡張された正規表現エンジンが自動的に使用されます。これにより、パフォーマンスが向上し、Mozilla JavaScript で定義されている標準正規表現のすべての動作がサポートされます。拡張正規表現エンジンは、正規表現での Java 構文の使用をサポートしています。

SNC.Regex API はスコープ対象のアプリケーションには使用できません。スコープ対象のアプリケーションの場合は、*SNC.Regex* API を削除し、標準の JavaScript 正規表現を使用します。

JavaScript 正規表現の詳細については、正規表現 と RegExp に関する Mozilla JavaScript のドキュメントを参照してください。

JavaScript 正規表現での Java 構文の使用

拡張正規表現エンジンには、Java 構文を JavaScript 正規表現で使用できるようにするための追加のフラグが含まれています。

追加フラグを含む正規表現は、正規表現が予期される `String.prototype.split` や `String.prototype.replace` などのすべての場所で機能します。正規表現で Java 構文を使用するには、Java インラインフラグ「j」を使用します。例： `/(?ims)ex(am)ple/j`

拡張正規表現フラグ

フラグ	説明
j	Java 正規表現エンジンを使用して実行する正規表現を定義します。これを使用すると、正規表現の Java 専用機能 (後読み、否定後読みなど) にアクセスしたり、Java 正規表現を JavaScript 正規表現に変換せずに使用したりすることができます。例： `var regex = /ex(am)ple/j;`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SNC 正規表現を拡張正規表現に変換

Eureka パッチ 5 以降のリリースにアップグレードする場合は、*SNC.Regex* API を使用するスクリプトを、正規の JavaScript 式を使用するように変換する必要があります。

手順

1. `SNC.Regex("/expr/is");` などの元の式から、スラッシュを削除したパターンを使用して、新しい正規表現オブジェクトを作成します。

   Example

   ```
   new RegExp('expr');
   ```

2. Java のインラインフラグの特別な構成を使用して、*SNC.Regex* フラグを式の先頭に移動します。

   Example

   ```
   new RegExp('(?is)expr');
   ```

3. `RegExp` に「*j*」フラグを追加して、式を Java 式として扱うようにエンジンに指示します。

   注: 変換されるスクリプトが Java 構文を使用していないとわかっている場合は、「*j*」フラグを使用する必要はありません。

   Example

   ```
   new RegExp('(?is)expr', 'j');
   ```

4. 複数の一致またはグローバル置換を処理するには、「*g*」フラグを追加します。

   Example

   ```
   new RegExp('(?is)expr', 'jg');
   ```

Example:
SNC の使用。正規表現:

```
var r = new SNC.Regex('/world/');
var str = 'helloworld';
var replaced = r.replaceAll(str, 'there');
// replaced == 'hellothere'
```

JavaScript 正規表現の使用:

```
var r = new RegExp('world', 'jg');
var str = 'helloworld';
var replaced = str.replace(r, 'there');
// replaced == 'hellothere'
```

スクリプト可能サービスカタログ変数

スクリプティングを使用して、スコープ指定された環境およびスコープ指定されていない環境内のテーブルから任意の要求アイテム変数を参照できます。

変数参照の例を次に示します。

```
current.variables.<variable_name>
```

ここで current は現在のレコードを指し、*<variable_name>* は変数の名前です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: JavaScript から変数を参照するには、その変数に名前が必要です。

変数が変数セットの一部である場合、変数を current.variables.<variable_name> または current.variables.<variable_set_name>.<variable_name> として参照できます。

変数セットは、サービスカタログの第一級要素でもあります。変数と同様に、変数セットには読み取り、書き込み、作成の各ロールがあります。変数セットにロールが指定されている場合、ロールはそのセット内の変数に適用されます。個々の変数のロールは、変数セットのロールによって上書きされます。

変数を出力する

```
var original = current.variables.original_number;
gs.print(original);
```

変数を設定する

```
current.variables.name = "Auto-Generated:" + current.variables.asset_tag;
```

変数からフィールドセットでインベントリアイテムを作成する

```
doCreation();

function doCreation ( ) {
var create = current.variables.create_item;
if (create == 'true') { // we want to create an asset
  var computer = new GlideRecord('cmdb_ci_computer');
  computer.initialize();
  computer.asset_tag = current.variables.asset_tag;
  computer.serial_number = current.variables.serial_number;
  computer.name = current.variables.name;
  computer.manufacturer = current.variables.company;
  computer.insert(); } }
```

GlideRecord に関連付けられた変数と変数セットの GlideElementVariable を取得する

```
now_GR.variables
```

GlideRecord に関連付けられた変数の名前の値のペアを取得する

```
now_GR.variables.getVariableValue();
```

タスクレコード内の変数の GlideElementVariable のリストを取得する

```
now_GR.variables.getElements();
```

タスクレコード内の変数 (複数行の変数セットを含む) の GlideElementVariable のリストを取得する

```
now_GR.variables.getElements(true);
```

注: `getElements()` メソッドは、ラベル、ブレーク、コンテナ終了、コンテナ分割などのフォーマッター変数を除く、指定されたタスクレコードに存在するすべての変数を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideElementVariable の API

- *now_GR.variables.<var_name>.isMultiRow()*：GlideElementVariable が複数行の変数セットであるか変数であるかどうかを取得します。
- *now_GR.variables.<var_name>.getQuestion()*：変数の Question オブジェクトを取得します。変数 (*isMultiRow()* は false) にのみ適用され、複数行の変数セットには適用されません。
- *now_GR.variables.<var_name>.getLabel()*：GlideElementVariable のラベルを取得します。変数には、変数のラベルが返されます。複数行の変数セットには、変数セットのタイトルが返されます。
- *now_GR.variables.<var_name>.canRead()*：ユーザーが変数または複数行の変数セットを表示できるかどうかを取得します。
- *now_GR.variables.<var_name>.canWrite()*：ユーザーが変数または複数行の変数セットを編集できるかどうかを取得します。
- *now_GR.variables.<var_name>.getDecryptedValue()*：マスク済み変数の復号化された値を取得します。マスク済み変数にのみ適用されます。
- *now_GR.variables.<var_name>.getRows()*：複数行の変数セットの行オブジェクトのリストを取得します。複数行の変数セット (*isMultiRow()* は true) にのみ適用されます。
- *now_GR.variables.<var_name>.getRowCount()*：複数行の変数セットの行数を取得します。複数行の変数セット (*isMultiRow()* は true) にのみ適用されます。

タスクテーブルの GlideRecord の変数にアクセスする例

```
var now_GR = new GlideRecord('sc_req_item');
if (now_GR.get('635a1f5387320300e0ef0cf888cb0b73')) {
    var variables = now_GR.variables.getElements();
    for (var i=0;i<variables.length;i++) {
        var question = variables[i].getQuestion();
        gs.log(question.getLabel() + ":" + question.getValue())
    }
}
```

タスクテーブルの GlideRecord の複数行の変数セットにアクセスする例

```
var now_GR = new GlideRecord('sc_req_item');
now_GR.get('02c38dcd87013300e0ef0cf888cb0bb2');

var vars = now_GR.variables.getElements(true);

for (var i=0; i<vars.length; i++) {
    var now_V = vars[i];
    if (now_V.isMultiRow()) {
        var rows = now_V.getRows();
        for (var j=0; j<now_V.getRowCount(); j++) {
            var row = rows[j];
            var cells = row.getCells();
            for (var k=0; k<cells.length; k++) {
                var cell = cells[k];
                gs.info(cell.getLabel() + ":" +
 cell.getCellDisplayValue())
            }
        }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

複数行の変数セット

複数行の変数セット

運用	使用法
テーブルの操作	
JSON アレイの値を文字列として返す	`now_GR.variables.table_var`
複数行の変数セットの値を設定する	`now_GR.variables.table_var = <val>` 注: 順序付けされた (キー、値) ペアのアレイも入力として適用できます。
複数行変数セットの列 var1 の値を取得する	`now_GR.variables.table_var.var1`
変数セット var1 の値を設定する	`now_GR.variables.table_var.var1 = <val>` 注: 順序付けされた (キー、値) ペアのアレイも入力として適用できます。
行の操作	
現在の行数を取得する	`now_GR.variables.table_var.getRowCount()`
変数「i」で指定された行を返す - getRow(<int> i)	`var row = now_GR.variables.table_var.getRow(<int> i);`
<var_name> にマップされた質問列のセル値を取得する	`row.<var_name>`
<var_name> にマップされた質問列のセル値を設定する	`row.setCellValue('<var_name>',value)`
<var_name> にマップされた質問列のセル値を設定する	`row.<var_name> = value`
テーブルの最後に空の行を追加し、スクリプト可能オブジェクトを返す	`var row = now_GR.variables.table_var.addRow()`
行を削除する	`row.deleteRow()`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注意と制限

- // table_Var の単一の列
- now_GR.variables.table_var.var1
- now_GR.variables.table_var.var1 = <val>

1. 前のビジネスルールに変数を設定することのみが可能です。後のルールに設定された変数はデータベースに書き込まれません。
2. 変数との名前空間の衝突を防ぐ方法は用意されていません。computer_speed という名前の 2 つの変数を作成すると、そのうちの 1 つだけが表示され、2 番目の変数で最初の変数が上書きされます。
3. 日付/時刻変数は、システム内の他のすべての日付と同じタイムゾーンのフォーマットおよびストレージルールを使用します。それらは GMT で内部的に保存されますが、表示用にはユーザーのローカルのタイムゾーンと形式に変換されます。

GlideRecord 変数を null に設定

GlideRecord 変数 (current を含む) は、データベース内での初期状態は null です。これらを空の文字列、スペース、または JavaScript null 値に戻しても、この初期状態には戻りません。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

初期状態に設定を戻すには、値を「NULL」に設定します。*update()* 関数は、現在のオブジェクトではなくレコードで実行されることに注意してください。オブジェクトは、レコードから再度呼び出されるまで初期値を表示します。

注: ここで説明する機能には、**admin** ロールが必要です。

例 1

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.addNotNullQuery("assigned_to");
grIncident.query();
if (grIncident.next()) {
  gs.log(“The incident record that is going to be updated is ” +
 grIncident.number);
  gs.log("Previous Value of 'Assigned To' field: " +
 grIncident.assigned_to);
  grIncident.assigned_to = "NULL";
  grIncident.update();
  gs.log("Current Value of 'Assigned To' field: " +
 grIncident.assigned_to);
}
```

例 2 (ビジネスルール)

```
current.u_affected_value = 'NULL';
current.update();
```

スケジュールページ

スケジュールページは、カレンダーまたはタイムライン表示のカスタム生成を可能にする、スクリプトのコレクションを含むレコードです。

タイムラインスケジュールページを作成するには、ページ/イベントフローを理解し、クライアントおよびサーバーサイドの JavaScript を作成できる必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スケジュールページフォーム

スケジュールページにアクセスするには、 システムスケジューラ > スケジュール > スケジュールページ.

フォームには、選択したビュータイプに応じて次のフィールドが表示されます。

スケジュールページフォーム

フィールド	フィールドタイプ	説明
名前	文字列	現在のスケジュールページの識別に使用する一般名。
スケジュールタイプ	文字列	スケジュールタイプは、「sysparm_page_schedule_type」URI パラメーターを介してスケジュールを一意に識別するために使用する文字列です。たとえば、次のようにスケジュールページにアクセスします。 `/show_schedule_page.do?sysparm_type=gantt_chart&sysparm_timeline_task_id=d530bf907f0000015ce594fd9` または、「*sysparm_page_sys_id*」URI パラメーターをスケジュールページの 32 文字からなる 1 構成される一意のシステム識別子に設定すると、スケジュールページにもアクセスできます。
ビュータイプ	選択肢	各ビュータイプには、異なるフィールドの組み合わせが表示されます。利用可能なオプションは 2 つです。 • カレンダー • タイムライン
説明	文字列	現在のスケジュールページに関する詳細情報を表示する一般的な説明。このフィールドは必須ではあん。
Init 関数名	文字列	**注:** この機能は、[カレンダー] タイプのスケジュールページでのみ使用されます。 init 関数名は、[カレンダー] タイプのスケジュールページの [クライアントスクリプト] 関数内で呼び JavaScript 関数の名前を指定します。
HTML	文字列	**注:** この機能は、[カレンダー] タイプのスケジュールページでのみ使用されます。 HTML フィールドは、Jelly によって解析され、カレンダーの残りの部分より前に表示ページに挿入さ クリプト可能セクションです。これはサーバーから変数を渡すために使用し、必要かつ余分なフィー 義できます。
クライアントスクリプト	文字列	クライアントスクリプトは、スケジュールページの表示オプションを設定できるスクリプト作成可能 ションです。API はスケジュールページのビュータイプによって異なり、説明は次のとおりです。
サーバー AJAX プロ	文字列	**注:** この機能は、[カレンダー] タイプのスケジュールページでのみ使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールページフォーム (続く)

フィールド	フィールドタイプ	説明
セッサー		サーバー AJAX プロセッサーは、カレンダータイプのスケジュールページに特有のもので、表示するジュールアイテムとスパンのセットを返すために使用されます。

タイムラインスケジュールページ

タイムラインスケジュールページは、時間ベースのポイントとスパンを「タイムライン」のような形式で表示するための構成情報を含む特定のレコードです。

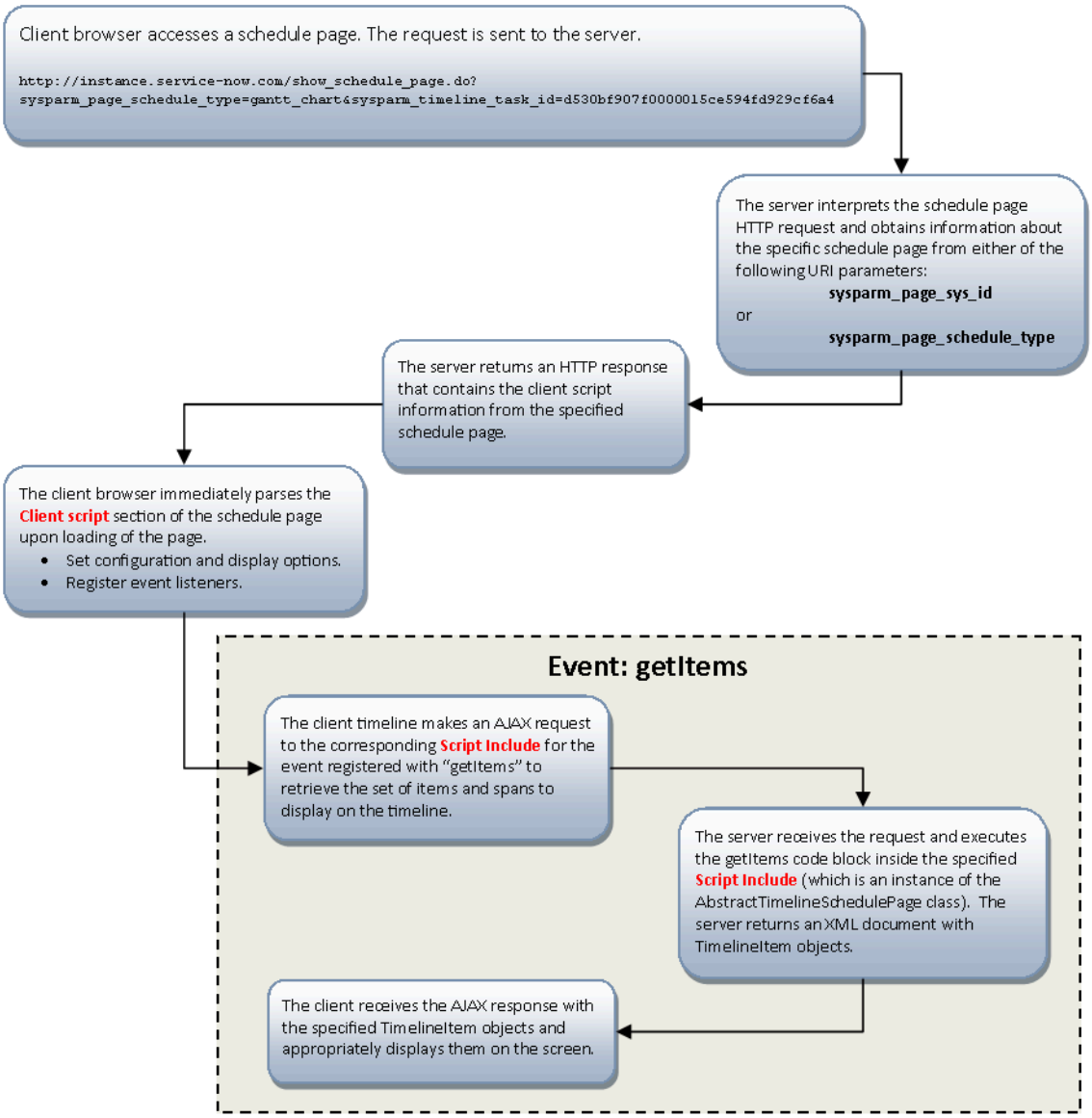
タイムラインスケジュールページは、AbstractTimelineSchedulePage から拡張されたスクリプトインクルードを参照して、さまざまなイベントや条件に基づいてタイムラインを動的に変更します。スケジュールページとタイムライン生成用のスクリプトインクルードはどちらも、高度なカスタマイズが可能です。対応するアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を以下に示します。

次の図は、タイムラインのスケジュールページにアクセスしたときに発生する一連のイベントを示しています。タイムラインがロードされると、タイムラインのインタラクション (タイムラインスパンの移動など) から発生するイベントなど、後続のすべてのイベントは、灰色のイベントボックスに表示されるものと同じロジックフローに従います。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムラインフロー



スケジュールページを使用してタイムラインを生成するアプリケーション

- プロジェクト管理
- メンテナンススケジュール
- グループオンコールローテーション
- フィールドサービス管理 (FSM)

タイムラインスケジュールページの例

次の例は、上記の API の大部分を利用して、対応するスクリプトインクルードでタイムラインスケジュールページを作成する方法を示しています。

この例では、プロジェクトサポートマネージャーのインシデントサマリータイムラインを作成して、すべての新しいインシデントをビジュアル化します。すべての新しいインシデントは、ポイントアイコンの違いでインシデントの優先度が区別される、単一のポイントとして表示されます。さらに、すべてのクローズ済みインシデントは、クローズされる前のインシデントの期間を示す別のグループとしてタイムラインに表示する必要があります。プロジェクトマネージャーは、解決済みの新しいアイテムをフォームリストを使用せずに簡単にクローズできる必要があるため、垂直移動イベントを処理

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

して、新しいインシデントをクローズ済みインシデントグループまたはその中のアイテムにドラッグできるようにします。

スケジュールページ

次のプロパティで新しいスケジュールページを作成します。

- 名前：ハードウェアインシデント
- スケジュールタイプ：incident_timeline
- ビュータイプ：タイムライン
- クライアントスクリプト：

```
// Set our page configuration
glideTimeline.setReadOnly(false);
glideTimeline.showLeftPane(true);
glideTimeline.showLeftPaneAsTree(true);
glideTimeline.showTimelineText(true);
glideTimeline.showDependencyLines(false);
glideTimeline.groupByParent(true);
glideTimeline.setDefaultPointIconClass('milestone');

// We will define what items to display and provide a custom event
 handler for moving new items to the closed state
glideTimeline.registerEvent('getItems', 'IncidentTimelineScriptInclude');
glideTimeline.registerEvent('elementMoveY',
 'IncidentTimelineScriptInclude');
```

スクリプトインクルード

スケジュールページが作成されたので、登録されたイベントの一致するスクリプトインクルードを生成する必要があります。次のプロパティで新しいスクリプトインクルードを作成します。

- 名前： IncidentTimelineScriptInclude
- アクティブ：オン
- クライアント呼び出し可能：オン
- **Script :**

```
// Class Imports

var IncidentTimelineScriptInclude = Class.create();
IncidentTimelineScriptInclude.prototype =
 Object.extendsObject(AbstractTimelineSchedulePage, {

  ////////////////////// //
 GET_ITEMS ////////////////////////////////////
  getItems:function() {
    // Specify the page title
    this.setPageTitle('My Custom Incident Summary Timeline');

    var groupNew = new GlideTimelineItem('new');
    groupNew.setLeftLabelText('New Incidents');
    groupNew.setImage('../images/icons/all.gifx');
    groupNew.setTextBold(true);
    this.add(groupNew);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var groupClosed = new GlideTimelineItem('closed');
    groupClosed.setLeftLabelText('Closed Incidents');
    groupClosed.setImage('../images/icons/all.gifx');
    groupClosed.setTextBold(true);
    groupClosed.setIsDroppable(true);

    // This allows us to drag an open incident onto the closed group row.
    this.add(groupClosed);

    // Get all the incidents and let's add only the new/closed ones
 appropriately
    var now_GR = new GlideRecord('incident');
    gr.query();
    while(gr.next()) {
       // Only loop through new/closed incidents
       if(gr.incident_state != '1' && gr.incident_state != '7') continue;

       // Ok, we have a new/closed incident. Create the item and the span
 first.
       var item = new GlideTimelineItem(gr.getTableName(), gr.sys_id);
       var span = item.createTimelineSpan(gr.getTableName(), gr.sys_id);

       // Specific properties for a new incident
       if(gr.incident_state == '1') { // New
         item.setParent(groupNew.getSysId());
         item.setImage('../images/icons/open.gifx');

 span.setTimeSpan(gr.getElement('opened_at').getGlideObject().getNumericV
alue(),

 gr.getElement('opened_at').getGlideObject().getNumericValue());

         // We will show different colors based upon the priorities only
 for new incidents
         switch(gr.getElement('priority').toString()) {
           case '1': span.setPointIconClass('red_circle'); break;
           case '2': span.setPointIconClass('red_square'); break;
           case '3': span.setPointIconClass('blue_circle'); break;
           case '4': span.setPointIconClass('blue_square'); break;
           case '5': span.setPointIconClass('sepia_circle'); break;
           default: // Otherwise, the default point icon class will be
 used (Milestone)
          }
         }
        // Specific properties for a closed incident
        else if(gr.incident_state == '7') {
          item.setParent(groupClosed.getSysId());
          item.setImage('../images/icons/closed.gifx');

 span.setTimeSpan(gr.getElement('opened_at').getGlideObject().getNumericV
alue(),

 gr.getElement('closed_at').getGlideObject().getNumericValue()); }

        // Common item properties
        item.setLeftLabelText(gr.short_description);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        // Common span properties
        span.setSpanText(gr.short_description);
        span.setTooltip('<strong>' +
GlideStringUtil.escapeHTML(gr.short_description) + '</strong><br>' +
gr.number);
        span.setAllowXMove(false);
        span.setAllowYMove(gr.canWrite() ? true:false);
        span.setAllowYMovePredecessor(false);
        span.setAllowXDragLeft(false);
        span.setAllowXDragRight(false);

        // Now we add the actual item
        this.add(item);
        } } ,


   ////////////////////////// //
ELEMENT_MOVE_Y //
////////////////////////////////////////////////////////////

   /**
   * This is one of the AbstractTimelineSchedulePage event handler
methods that corresponds to a vertical
   * move. The arguments for this function are defined in the API section
of the event handler methods.
   */
 elementMoveY: function(spanId, itemId, newItemId) {

    // Get information about the current incident
    var now_GR = new GlideRecord('incident');
    gr.addQuery('sys_id', spanId);
    gr.query();
    if(!gr.next())
      return this.setStatusError('Error', 'Unable to lookup the current
incident.');

    // Only allow the new incidents to have their state adjusted.
    if(gr.incident_state != '1')
      return this.setStatusError('Error','Only new incidents can have
their state adjusted.');

    // Get information about the dropped GlideTimelineItem. If it was
dropped in an item on the "New Incidents"
    // group let's do nothing. If it was dropped in the "Closed
Incidents" then let's adjust the state automatically.
    var grDropped = new GlideRecord('incident');
    grDropped.addQuery('sys_id', newItemId );
    grDropped.query();
    if(!grDropped.next() || grDropped.incident_state == '7') {
       // This means the dropped item was either the 'Closed Incidents'
group (which has no record or sys_id) or an
       // existing incident that is closed. The 'New Incidents' also has
no sys_id; however, the default behavior for
       // items without a sysId is to be non-droppable. This is why we
explicitly denoted the 'Closed Incidents' to
       // be marked as "droppable".
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      // Return a dialog prompt
      this.setStatusPrompt('Confirm', 'Are you sure you want to close: '
+
             '<div style="margin:10px 0 10px
14px;padding:4px;background-color:#EBEBEB;"><strong>' +
              GlideStringUtil.escapeHTML(gr.short_description) +
              '</strong><br/><div class="font_smaller">' + now_GR.
number + '</div></div>',
              'this._elementMoveYHandler_DoClose', // This function is
for when the OK button is clicked.
              'this._elementMoveYHandler_DoNothing', // This function is
for when the Cancel button is clicked.
              'this._elementMoveYHandler_DoNothing'); // This function
is for when the Close button is clicked.
      } } ,

 _elementMoveYHandler_DoClose: function(spanId, itemId, newItemId) {
   // Notice that this function takes the same function arguments as the
original function for which it
   // is a custom event handler for.

   // Update the database record from 'New' to 'Closed'.
   var now_GR = new GlideRecord('incident');
   gr.addQuery('sys_id', spanId);
   gr.query();
   gr.next();
   gr.setValue('incident_state', '7');
   gr.update();

   // This will re-render the timeline showing the updated item in the
closed group.
   this.setDoReRenderTimeline(true);

   // Let's show a success message
   this.setStatusSuccess('Success', '<strong>' + gr.short_description +
'</strong> was successfully closed.'); } ,

 // Since the user clicked cancel or close we simply do nothing.
 _elementMoveYHandler_DoNothing: function(spanId, itemId, newItemId) { }

});
```

スクリーンショット/結果

1. 移動先：

   ```
   http://[YOURINSTANCE]:8080/show_schedule_page.do?
   sysparm_page_schedule_type=incident_timeline
   ```

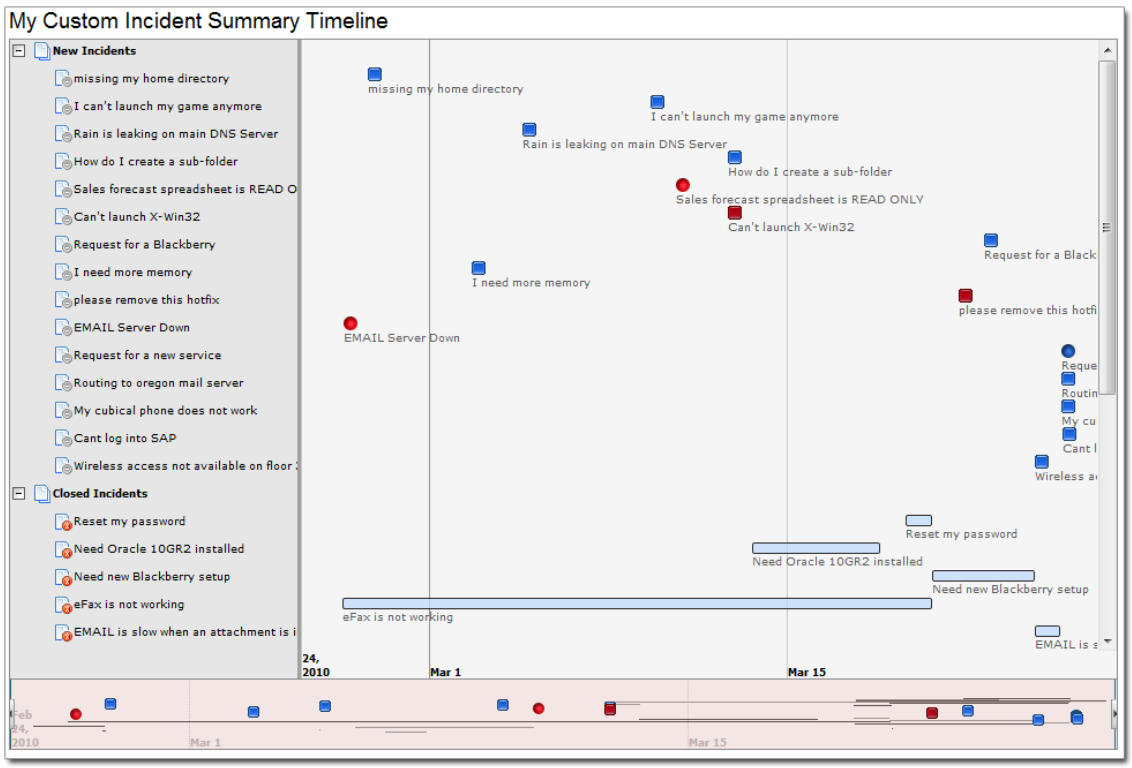
   太字のテキストは、スケジュールページの [スケジュールタイプ] フィールドの値です。

2. ページには、スケジュールページで指定されたタイムラインと作成されたスクリプトインクルードが表示されます。このページへのリンクを作成し、必要に応じてモジュールまたは UI アクションとして配置できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

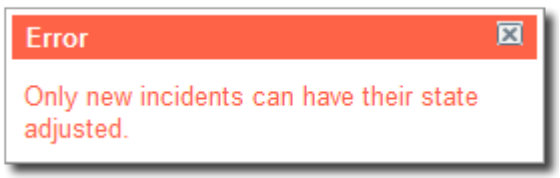
自動翻訳

タイムラインのインシデントのプレビューの例



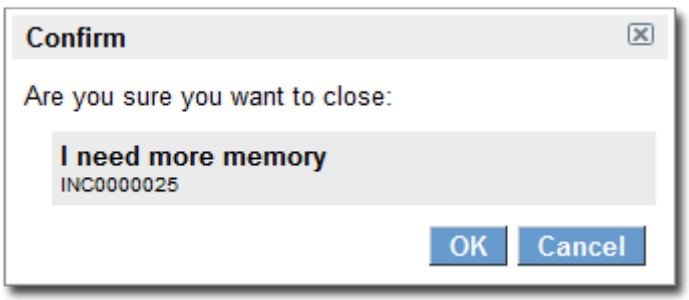
3. クローズ済みインシデントをいずれかの場所に移動しようとすると、予想されるエラーメッセージが表示されます。

タイムラインの移動エラーの例



4. インシデントの移動：次の確認ボックスに「さらにメモリが必要 *(I need more memory)*」と表示されます 。

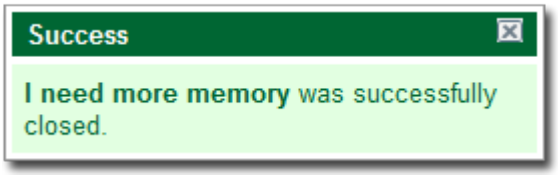
タイムラインのクローズ確認の例



5. [キャンセル] ボタンをクリックすると、オーバーレイが閉じられます。**[OK]** ボタンをクリックすると、実際にはレコードの incident_state が更新され、次の成功ボックスが表示されます。

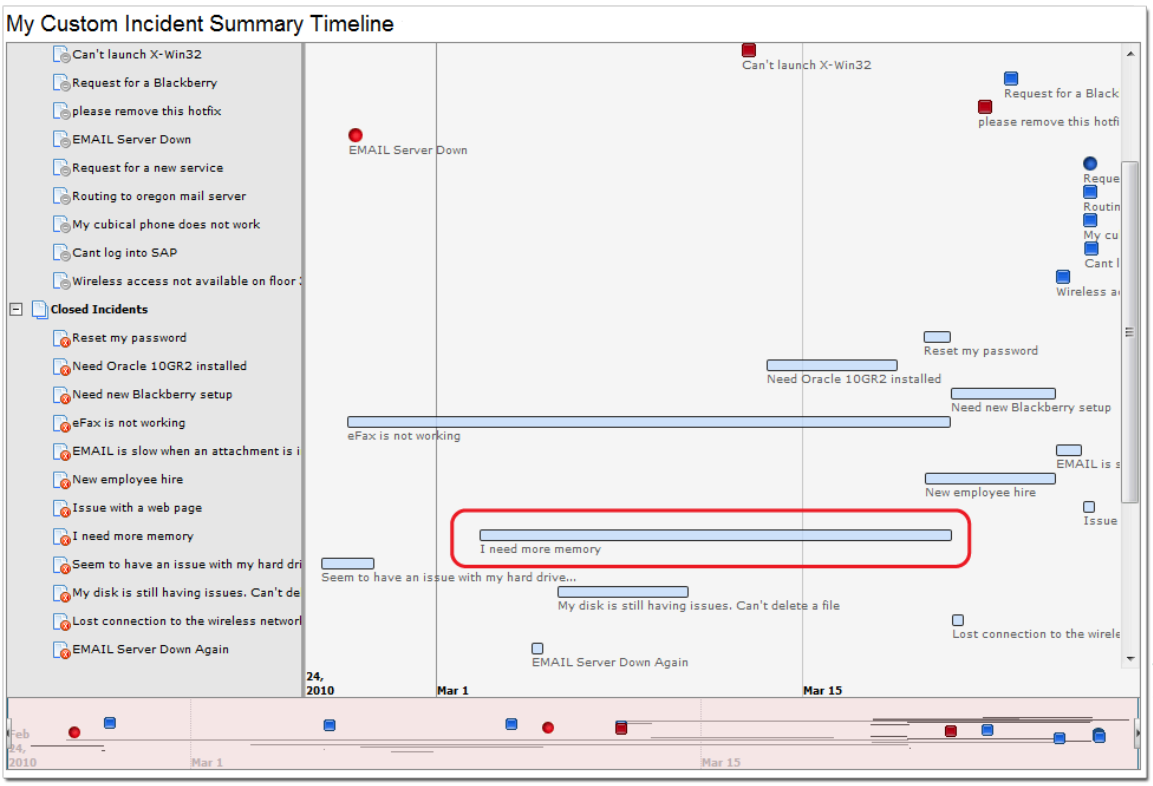
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムラインのクローズ成功の例



6. **[OK]** をクリックすると、インシデントは [クローズ済みインシデント] グループにリストされるようになります。

タイムラインのインシデント更新の例



XMLDocument スクリプトオブジェクト

XML ドキュメント (文字列) から XML データを解析および抽出するための JavaScript オブジェクトラッパー。

この Javascript クラスを使用して、XML 文字列からオブジェクト (通常は Web サービスの呼び出しからの戻り値)、または ECC キューの XML ペイロードをインスタンス化します。Javascript ビジネスルールで XMLDocument オブジェクトを使用すると、XML 要素と属性から直接、値のクエリを実行できます。

コンストラクター

スクリプトオブジェクトのコンストラクターは、使用するオブジェクトの新しいインスタンスを作成します。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "   <number>1234</number>" +
                "</test>";

var xmldoc = new XMLDocument(xmlString);
```

名前空間で修飾された XML 文字列の XML 解析を実行するには、XMLDocument コンストラクターの 2 番目の引数に「true」を指定します。次の例は、要素の名前空間修飾を含む XML 文字列の解析です。

```
var xmlString = "<bk:book xmlns:bk='urn:loc.gov:books'
 xmlns:isbn='urn:ISBN:0-395-36341-6'>" +
                  "<bk:title>Cheaper by the Dozen</bk:title>" +
                  "<isbn:number>1568491379</isbn:number>" +
                "</bk:book>";

var xmldoc = new XMLDocument(xmlString, true); // XML document is name
 space aware
```

ノードと要素の配置

XMLDocument オブジェクトを準備できたので、次の API を呼び出して、XML ドキュメントのノードと要素を検索したり、そこからテキストを直接抽出したりできます。ノードと属性を検索するためのクエリ構文は、XPath に基づいています。

注: このオブジェクトの XML 解析は名前空間を認識しません。つまり、名前空間があるノード名 (たとえば「<names:myelement> ...」など) を検索する場合に、XPath 検索文字列は「//myelement」になります。

XPath でノードを検索し、結果のノードからテキスト値を取得する例を次に示します。

```
var str = xmldoc.getNodeText("//two"); // returns the first occurrence of
 the node
// str == "abcd1234"

str = xmldoc.getNodeText("//three");
// str == "1234abcd"

str = xmldoc.getNodeText("/test/one/*");
// str == "abcd1234"

str = xmldoc.getNodeInt("//number");
// str == 1234
```

次の例では、XPath でノードを検索し、ノードと要素で API を使用して属性と値を取得します。

```
var node = xmldoc.getNode("/test/one/two");
// node.getNodeName() == "two"
// node.getNodeType() == "1" // 1 == ELEMENT_NODE
// node.getLastChild().getNodeType() == "3" // 3 == TEXT_NODE
// node.getLastChild().getNodeValue() == "abcd1234"
```

または、次の便利な関数を使用してノード名とタイプを取得することもできます

```
str = xmldoc.getNodeName("//three");
// str == "three"

str = xmldoc.getNodeType("//three");
// str == "1"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

反復できる、または位置により直接アクセスできるノードのリストを取得することもできます

```
var nodelist = xmldoc.getNodes("//one/*"); // two, three, and two
// nodelist.getLength() == "3"
// nodelist.item(0).getNodeName() == "two"
// nodelist.item(1).getNodeName() == "three"
```

次の例は、名前空間で修飾された XML 文字列の解析です。

```
var xmlString = "<bk:book xmlns:bk='urn:loc.gov:books'
 xmlns:isbn='urn:ISBN:0-395-36341-6'>" +
                  "<bk:title>Cheaper by the Dozen</bk:title>" +
                  "<isbn:number>1568491379</isbn:number>" +
                "</bk:book>";

var xmldoc = new XMLDocument(xmlString, true);
var str = xmldoc.getNodeText("//bk:title"); // returns the first
 occurence of the node
gs.log(str);

str = xmldoc.getNodeText("/bk:book/*");
gs.log(str);

str = xmldoc.getNodeInt("//isbn:number");
gs.log(str);
```

属性値の取得

属性は単なるノードの拡張であるため、まったく同じ API を持ちます。

次の例は、ノードにクエリを実行して、その属性を位置で取得する方法を示しています

```
node = xmldoc.getNode("//two");
// node.getAttributes().item(0).getNodeValue() == "xxx"

str = xmldoc.getAttribute("//two", "att");
// str == "xxx"
```

XPath には、属性ノードを直接検索するためのクエリ構文もあります。以下に例を示します。

```
str = xmldoc.getNodeText("//*[@att=\"yyy\"]");
// str == "1234abcd"

str = xmldoc.getNode("//@boo").getNodeValue();
// str == "yah"
```

新しい要素の作成

XML ドキュメントが作成されれば、XML ドキュメントのどのレベルでも XML 要素を作成できます。*setCurrent* 関数を使用して新しい要素を子要素として作成する位置を指定し、*createElement* 関数を使用して要素を作成します。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "</test>";

var xmldoc = new XMLDocument(xmlString);
xmldoc.createElement("new", "test"); // creates the new element at the
 document element level if setCurrent is never called
xmldoc.createElement("new2"); // calling without a value will create a
 new element by itself

var el = xmldoc.createElement("new3");
xmldoc.setCurrent(el); // this is now the parent of any new elements
 created subsequently using createElement()
xmldoc.createElement("newChild", "test");
```

結果の XML ドキュメントは次のようになります

```
<test>
  <one>
    <two att="xxx">abcd1234</two>
    <three boo="yah" att="yyy">1234abcd</three>
    <two>another</two>
  </one>
  <number>1234</number>
  <new>test<new>
  <new2/>
  <new3>
      <newChild>test</newChild>
  </new3>
</test>
```

XMLHelper

XML ヘルパースクリプトインクルードを使用すると、スクリプト内の XML を簡単に解析できます。

XML を JSON に、または JSON を XML にエクスポートするには、次のメソッドを使用します。

- *toObject()* メソッドは、XML 要素を JSON プロパティとして返します。このメソッドは、指定されたパラメーターが XML ドキュメントまたは XML 文字列のどちらであるとしても正常に機能します。このメソッドには、 コンストラクターで XML 入力を指定する代替として、変換の XML 入力のオプションのパラメーターがあります。
- *toXMLDoc()* メソッドは、XML 要素として提供された JSON を返します。

注: XML 内のアンパサンド文字 (&) はエスケープする必要があります。そうしないと、変換はサイレントで失敗します。

例

次の例は、XML ドキュメントを JSON に変換し、再帰関数を使用して各メンバーを出力する方法を示しています。再帰関数は、XML ドキュメント構造が JSON としてどのようにレンダリングされるかを示すのに役立ちます。

```
var xmlString = "<company>" + "<employee>" + "<id>10</id>"
 + "<firstname>Tom</firstname>" + "<lastname>Cruise</lastname>" +
 "<test>test1</test>"
 + "<test>test3</test>" + "</employee>" + "<employee>" + "<id>20</id>" +
 "<firstname>Paul</firstname>"
 + "<lastname>Enderson</lastname>" + "<test>test6</test>" +
 "<test>test5</test>" + "</employee>" + "<employee>"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 + "<id>30</id>" + "<firstname>Paul</firstname>" +
 "<lastname>Bush</lastname>" + "<test>test2</test>"
 + "<test>test4</test>" + "</employee>" + "</company>";
var helper = new XMLHelper(xmlString);
var obj = helper.toObject();
logObj(obj, "*");

function logObj(obj, sep) {
  for (x in obj) {
    if (typeof obj[x] != "function") {
      gs.log(sep + x + ":: " + obj[x]);
    }
    logObj(obj[x], sep + "*");
  }
}
```

出力：

```
*** Script: *employee:: [object Object],[object Object],[object Object]
*** Script: **2:: [object Object]
*** Script: ***id:: 30
*** Script: ***test:: test2,test4
*** Script: ****0:: test2
*** Script: ****1:: test4
*** Script: ***firstname:: Paul
*** Script: ***lastname:: Bush
*** Script: **0:: [object Object]
*** Script: ***id:: 10
*** Script: ***test:: test1,test3
*** Script: ****0:: test1
*** Script: ****1:: test3
*** Script: ***firstname:: Tom
*** Script: ***lastname:: Cruise
*** Script: **1:: [object Object]
*** Script: ***id:: 20
*** Script: ***test:: test6,test5
*** Script: ****0:: test6
*** Script: ****1:: test5
*** Script: ***firstname:: Paul
*** Script: ***lastname:: Enderson
```

自動翻訳

プラットフォーム上の **JavaScript** エンジン

サーバーサイドスクリプトを評価する JavaScript エンジンは、ECMAScript 2021 (ES12) 標準をサポートしています。

新しい JavaScript エンジンをインストールする際に、プラグインやプロパティは必要ありません。

新しいエンジンのメリットは次のとおりです。

- オプションのチェーン、デストラクチャリング、const 宣言、let 宣言、アロー関数などの最新のライブラリコードとスクリプト機能
- 標準 ECMAScript 2021 に準拠した動作

留意点

JavaScript エンジンは、スクリプトを開発するための改善された環境を提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Xanadu リリース以降、新しいスクリプトを作成すると、アプリケーションに構成されている JavaScript モードに関係なく、ECMAScript 2021 (ES12) モードがデフォルトでオンになります。
- Tokyo リリース以降、新規および既存のスコープ対象のアプリケーションは ECMAScript 2021 (ES12) モードで実行できます。
- 互換モードは、従来の JavaScript エンジンに対する従来の変更点をサポートしています。
- 従来のコードは引き続き機能します。

JavaScript エンジンが使用するモードは、アプリケーションのデザインおよびランタイム設定で構成します。使用可能なモードは、ECMAScript 2021 (ES12)、ES5 標準、および互換性です。

関連情報

カスタムアプリケーションレコードを更新する

JavaScript モード

JavaScript モードは、カスタムアプリケーションとスクリプトの設計および実行時の設定です。既存のサーバー側スクリプトと、ECMAScript 2021 標準に合わせて新しく開発されたスクリプトをサポートするために、JavaScript エンジンには ECMAScript 2021 (ES12)、ES5 標準、および互換の 3 つのモードがあります。

JavaScript モードは、アプリケーションまたはスクリプトでアクセスできる JavaScript 機能を制御します。新しいスコープ対象のアプリケーションのデフォルトモードは ECMAScript 2021 (ES12) で、新しいグローバルアプリケーションのデフォルトモードは ES5 標準です。ES5 標準または互換モードを使用するアプリケーションの個々のスクリプトに対して、ECMAScript 2021 (ES12) モードを有効にすることもできます。

ECMAScript 2021 (ES12) および ES5 標準モードでサポートされている機能の詳細については、「JavaScript エンジン機能のサポート」を参照してください。

ECMAScript 2021 (ES12) モード

スコープ対象のアプリケーションを新しく作成する場合は、ECMAScript 2021 (ES12) モードがデフォルトモードになります。新しいスクリプトを作成すると、アプリケーションで構成されている JavaScript モードに関係なく、ECMAScript 2021 (ES12) モードがデフォルトでオンになります。このモードは、Tokyo より前の JavaScript エンジンの従来動作を保持せず、グローバルスクリプトを操作しません。

ECMAScript 2021 (ES12) モードは、ECMAScript 2021 (ES12) および ECMAScript 2022 (ES13) 構文と機能のサブセットをサポートしており、それには次の機能が含まれます。

- デフォルトの関数パラメーター
- Rest パラメーター
- For-of ループ
- テンプレートリテラル
- デストラクチャリング
  - 宣言
  - アサイン
  - パラメーター
- const 宣言
- let 宣言
- アロー関数

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- class 宣言
- マップセット
- オプションのチェーン演算子 `(?.)`

特定の ECMAScript 2021 (ES12) 機能については、ServiceNow 開発プログラム YouTube チャネルの「Let's Learn ECMAScript 2021 (ECMAScript 2021 を学びましょう)」のビデオを参照してください。

ES5 標準モード

ES5 標準モードは、グローバルアプリケーションのデフォルトモードであり、スコープ対象のアプリケーションのオプションです。このモードは、Helsinki より前の JavaScript エンジンの従来動作を保持することはありません。

ES5 標準モードは、ECMAScript5 構文と機能をサポートしており、それには次の機能が含まれます。

- 「use strict」宣言
- オブジェクトの拡張性の制御
- オブジェクトの get プロパティと set プロパティ (アクセサー)
- オブジェクトプロパティの書き込み、構成、および列挙の制御
- 新しい Array メソッドと Date メソッド
- ネイティブ JSON のサポート
- lodash.js や moment.js などの最新のサードパーティ製ライブラリのサポート

互換モード

互換性モードは、ES5 標準モードが追加される前に開発されたすべてのスクリプトに使用されます。互換性モードには、以前の JavaScript エンジンとは異なる点があります。

JSON サポートの変更 :

- `JSON.stringify()` および `JSON.parse()` は、ES5 ネイティブ JSON オブジェクトを使用して実装されています。
- 新しい `JSON().encode()` と新しい `JSON().decode()` は引き続きサポートされますが、レガシー動作が必要となる場合にのみ使用してください。

サードパーティの JavaScript ライブラリの使用は、互換性モードではサポート対象外です。

アプリケーションの JavaScript モードを設定する

JavaScript モードを選択して、アプリケーションで使用できる ECMAScript 機能を構成します。

始める前に

必要なロール：フルアクセスまたはアドミン権限を付与する委任開発者ロール

このタスクについて

JavaScript モードは、カスタムアプリケーションとスクリプトの設計および実行時の設定です。既存のサーバー側スクリプトと、ECMAScript 2021 標準に合わせて新しく開発されたスクリプトをサポートするために、JavaScript エンジンには ECMAScript 2021 (ES12)、ES5 標準、および互換の 3 つのモードがあります。各モードの詳細については、「JavaScript モード」を参照してください。

ES5 標準または互換モードを使用するアプリケーションでは、アプリケーションの個々のスクリプトに対して ECMAScript 2021 (ES12) を有効にすることもできます。詳細については、「スクリプトの ECMAScript 2021 (ES12) モードを有効にする」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 既存のアプリケーションで JavaScript モードを ECMAScript 2021 (ES12) に切り替えると、スクリプトの動作が変わる場合があります。詳細については、「」を参照してください。

手順

1. アプリケーションナビゲーターで、`sys_app.list` と入力します。
2. アプリケーションを選択します。
3. **[JavaScript** モード] フィールドで、使用するモードを選択します。
   - ECMAScript 2021 **(ES12)**：ECMAScript 2021 (ES12) および ECMAScript 2022 (ES13) 構文と機能のサブセットをサポートします。
   - ES5 Standards モード：ECMAScript5 の構文と機能をサポートします。
   - 互換モード：ES5 標準モードが追加される前に開発されたすべてのスクリプトに使用されます。
4. [更新] を選択します。

関連情報

カスタムアプリケーションレコードを更新する

スクリプトの **ECMAScript 2021 (ES12)** モードを有効にする

ES5 標準モードまたは互換モードを使用するアプリケーションのサーバー側スクリプトで、ECMAScript 2021 (ES12) モードでサポートされている最新の JavaScript 機能を使用します。

始める前に
必要なロール：委任開発者ロールまたは admin

このタスクについて
ES5 標準モードまたは互換モードを使用するように構成されたグローバルまたはスコープ対象のアプリケーションのスクリプトには、個々のスクリプトで ECMAScript 2021 (ES12) モードをオンにするオプションがあります。JavaScript モードが ECMAScript 2021 (ES12) に設定されているアプリケーションのすべてのスクリプトは、ECMAScript 2021 (ES12) を使用します。既存のスクリプトの JavaScript モードを ECMAScript 2021 (ES12) に切り替えると、スクリプトの動作が変わる可能性があります。

注: グローバルアプリケーションは、個々のスクリプトで ECMAScript 2021 (ES12) モードを使用できますが、アプリケーション全体では使用できません。

手順

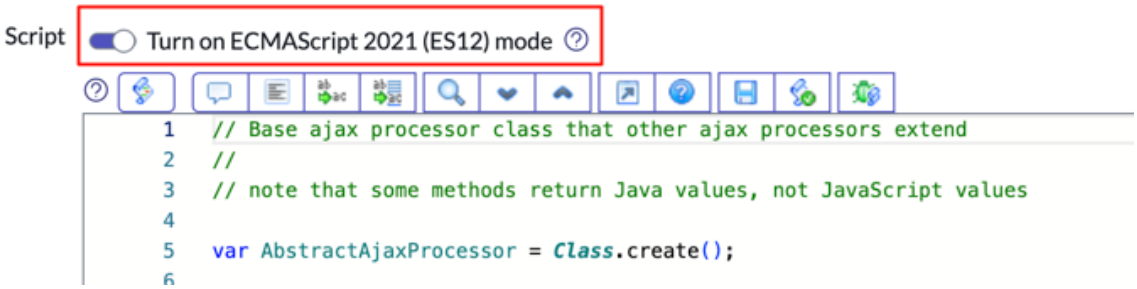
1. スクリプトフィールドのあるフォームに移動します。

   Example
   たとえば、スクリプトインクルードフォームを開くには、 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード またはナビゲーションフィルターに 「sys_script_include.list 」と入力します。
2. 既存のスクリプトまたは [新規] を選択します。
3. **[ECMAScript 2021 (ES12)** モードをオンにする] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



4. [送信] または [更新] を選択し、変更を保存します。

ES5 標準モードのスクリプトへのコードの移植

ES5 標準モードでは、互換モードで許容されるエラーが捕捉されます。

ES5 標準モードを使用して既存のスクリプトから新しいスコープ対象のスクリプトにコードを移植する場合は、次の動作の変化を考慮してください。

- ECMAScript5 は、`new Boolean(false)` という語を true に評価します。互換モードでは false と評価されていました。
- 存在しないプロパティが参照されると、ECMAScript5 は EcmaError をスローします。互換モードでは、エラーはスローされませんでした。
- 存在しない関数が呼び出されると、ECMAScript5 は EcmaError をスローします。互換モードでは、エラーはスローされませんでした。
- ECMAScript5 は新しい行を正しく処理します。以前は、コメントの後の改行文字が認識されていましたが、これは誤りです。この例では、互換モードで 3 つの関数がすべて呼び出されます。ECMAScript5 では、最初の関数のみが呼び出されます。

```
var expr = doFoo();  // do foo
           doBar();  // do bar
           finish();    // all done
 eval(expr);
```

- ECMAScript5 では、末尾インクリメントとデクリメントが正しく処理されます。この例では、互換モードの場合に変数 *x* がインクリメントされた値を取得しますが、これは誤りです。

```
var x = gr.limit++;
```

JavaScript エンジン機能のサポート

Xanadu の ECMAScript 2021 (ES12) と ES5 標準 JavaScript モード間の ECMAScript 機能を比較します。どちらのモードも ECMAScript 機能のサブセットをサポートしています。

これらの機能の詳細については、Ecma International の Web サイトで ECMAScript 言語仕様 (ECMA-262) を参照してください。

サポート定義

サポート対象

この機能はテストおよび検証済みです。

サポート対象外

この機能は現在のリリースでは検証されていません。

許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この機能は Now Platform プログラミングモデルに適合していないか、セキュリティまたはパフォーマンス上のリスクがあります。許可されていない機能はエラーになります。

ECMAScript 2022 (ES13) の機能

重要: コードを本番環境に展開する前に、サポートされている ECMAScript 2022 (ES13) 機能を使用してスクリプトを十分にテストする必要があります。これは、この ECMAScript バージョン全体で機能が新しく追加され、部分的にサポートされているためです。

インスタンスクラスのフィールド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
public instance class fields	サポート対象	サポート対象外
private instance class fields basic support	サポート対象外	サポート対象外
private instance class fields initializers	サポート対象外	サポート対象外
optional private instance class fields access	サポート対象外	サポート対象外
optional deep private instance class fields access	サポート対象外	サポート対象外
computed instance class fields	サポート対象	サポート対象外

Static class fields

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
public static class fields	サポート対象	サポート対象外
static class fields use [[Define]]	サポート対象	サポート対象外
private static class fields	サポート対象	サポート対象外
computed static class fields	サポート対象	サポート対象外

プライベートクラスのメソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
private instance methods	サポート対象外	サポート対象外
private static methods	サポート対象	サポート対象外
private accessor properties	サポート対象外	サポート対象外
private static accessor properties	サポート対象	サポート対象外

組み込みインデックス可能オブジェクトの **.at()** メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.at()	サポート対象外	サポート対象外
String.prototype.at()	サポート対象	サポート対象外
%TypedArray%.prototype.at()	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Object.hasOwn

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Basic functionality	サポート対象	サポート対象外
ToObject called before ToPropertyKey	サポート対象	サポート対象外

Error.cause プロパティ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Error has cause	サポート対象	サポート対象外
Error.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
EvalError has cause	サポート対象	サポート対象外
EvalError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
RangeError has cause	サポート対象	サポート対象外
RangeError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
ReferenceError has cause	サポート対象	サポート対象外
ReferenceError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
SyntaxError has cause	サポート対象	サポート対象外
SyntaxError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
TypeError has cause	サポート対象	サポート対象外
TypeError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
URIError has cause	サポート対象	サポート対象外
URIError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外
AggregateError has cause	サポート対象	サポート対象外
AggregateError.prototype lacks cause	サポート対象	サポート対象外

正規表現一致インデックス (「hasIndices」/「d」フラグ)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
constructor supports it	サポート対象外	サポート対象外
shows up in flags	サポート対象外	サポート対象外

Ergonomic brand checks for private fields

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Ergonomic brand checks for private fields	サポート対象外	サポート対象外

Class static initialization blocks

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Class static initialization blocks	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ECMAScript 2021 (ES12) の機能

Promise.any

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
fulfillment	許可されていない	許可されていない
AggregateError	許可されていない	許可されていない

WeakReferences

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
WeakRef minimal support	許可されていない	許可されていない
FinalizationRegistry minimal support	許可されていない	許可されていない

論理アサイン

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
||= basic support	サポート対象	サポート対象外
||= short-circuiting behavior	サポート対象	サポート対象外
||= setter not unnecessarily invoked	サポート対象	サポート対象外
&&= basic support	サポート対象	サポート対象外
&&= short-circuiting behavior	サポート対象	サポート対象外
&&= setter not unnecessarily invoked	サポート対象	サポート対象外
??= basic support	サポート対象	サポート対象外
??= short-circuiting behavior	サポート対象	サポート対象外
??= setter not unnecessarily invoked	サポート対象	サポート対象外

数値セパレーター

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
numeric separators	サポート対象	サポート対象外

String.prototype.replaceAll

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
String.prototype.replaceAll	サポート対象	サポート対象

ECMAScript 2020 (ES11) の機能

String.prototype.matchAll

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

String.prototype.matchAll (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
throws on non-global regex	サポート対象	サポート対象外

BigInt

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象外	サポート対象外
constructor	サポート対象外	サポート対象外
BigInt.asUintN	サポート対象外	サポート対象外
BigInt.asIntN	サポート対象外	サポート対象外
BigInt64Array	サポート対象外	サポート対象外
BigUint64Array	サポート対象外	サポート対象外
DataView.prototype.getBigInt64	サポート対象外	サポート対象外
DataView.prototype.getBigUint64	サポート対象外	サポート対象外

globalThis

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
"globalThis" global property is global object	許可されていない	許可されていない
"globalThis" global property has correct property descriptor	許可されていない	許可されていない

Optional chaining operator (?.)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
optional property access	サポート対象	サポート対象外
optional bracket access	サポート対象	サポート対象外
optional method call	サポート対象	サポート対象外
optional function call	サポート対象	サポート対象外
spread parameters after optional chaining	サポート対象	サポート対象外

Promise.allSettled

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Promise.allSettled	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Nullish coalescing operator (??)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
nullish coalescing operator (??)	サポート対象	サポート対象外

ECMAScript 2019 (ES10) の機能

Symbol.prototype.description

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic	サポート対象	サポート対象外
empty description	サポート対象	サポート対象外
undefined description	サポート対象	サポート対象外

文字列のトリミング

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
String.prototype.trimLeft	サポート対象	サポート対象
String.prototype.trimRight	サポート対象	サポート対象
String.prototype.trimStart	サポート対象	サポート対象外
String.prototype.trimEnd	サポート対象	サポート対象外

Array.prototype.{flat, flatMap}

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.flat	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.flatMap	サポート対象	サポート対象外
flat and flatMap in Array.prototype[@@unscopables]	サポート対象	サポート対象外

Object.fromEntries

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.fromEntries	サポート対象	サポート対象外

オプションのキャッチバインディング

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic	許可されていない	許可されていない
await	許可されていない	許可されていない
yield	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Function.prototype.toString revision

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
functions created with the Function constructor	許可されていない	許可されていない
arrows	許可されていない	許可されていない
[native code]	許可されていない	許可されていない
class expression with implicit constructor	許可されていない	許可されていない
class expression with explicit constructor	許可されていない	許可されていない
unicode escape sequences in identifiers	許可されていない	許可されていない
methods and computed property names	許可されていない	許可されていない

JSON スーパーセット

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Line separator can appear in string literals	許可されていない	許可されていない
Paragraph separator can appear in string literals	許可されていない	許可されていない

Well-formed JSON.stringify

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Well-formed JSON.stringify	許可されていない	許可されていない

ECMAScript 2018 (ES9) の機能

オブジェクト REST/分散プロパティ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
object rest properties	サポート対象	サポート対象外
object spread properties	サポート対象	サポート対象外

Promise.prototype.finally

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic support	許可されていない	許可されていない
don't change resolution value	許可されていない	許可されていない
change rejection value	許可されていない	許可されていない

非同期反復子

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
async generators	許可されていない	許可されていない
for-await-of loops	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

s (dotAll) flag for regular expressions

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
s (dotAll) flag for regular expressions	サポート対象	サポート対象外

RegExp named capture groups

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
RegExp named capture groups	サポート対象	サポート対象外

RegExp Lookbehind Assertions

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
RegExp Lookbehind Assertions	サポート対象外	サポート対象外

RegExp Unicode Property Escapes

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
RegExp Unicode Property Escapes	サポート対象外	サポート対象外

テンプレートリテラルリビジョン

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
template literal revision	許可されていない	許可されていない

ECMAScript 2017 (ES8) の機能

オブジェクト静的メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.value	サポート対象	サポート対象外
Object.entries	サポート対象	サポート対象外
Object.getOwnPropertyDescriptors	サポート対象	サポート対象外
Object.getOwnPropertyDescriptors doesn't provide undefined descriptors	サポート対象外	サポート対象外

文字列のパディング

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
String.prototype.padStart	サポート対象	サポート対象外
String.prototype.padEnd	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数構文末尾のカンマ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
in parameter lists	サポート対象	サポート対象外
in argument lists	サポート対象	サポート対象外

非同期関数

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
return	許可されていない	許可されていない
throw	許可されていない	許可されていない
no line break between async and function	許可されていない	許可されていない
no "prototype" property	許可されていない	許可されていない
await	許可されていない	許可されていない
await, rejection	許可されていない	許可されていない
must await a value	許可されていない	許可されていない
can await non-Promise values	許可されていない	許可されていない
cannot await in parameters	許可されていない	許可されていない
async methods, object literals	許可されていない	許可されていない
async methods, classes	許可されていない	許可されていない
async arrow functions in methods, classes	許可されていない	許可されていない
async arrow functions	許可されていない	許可されていない
correct prototype chain	許可されていない	許可されていない
async function prototype, Symbol.toStringTag	許可されていない	許可されていない
async function constructor	許可されていない	許可されていない

共有メモリとアトミック

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
SharedArrayBuffer	許可されていない	許可されていない
SharedArrayBuffer[Symbol.species]	許可されていない	許可されていない
SharedArrayBuffer.prototype.byteLength	許可されていない	許可されていない
SharedArrayBuffer.prototype.slice	許可されていない	許可されていない
SharedArrayBuffer.prototype[Symbol.toStringTag]	許可されていない	許可されていない
Atomics.add	許可されていない	許可されていない
Atomics.and	許可されていない	許可されていない
Atomics.compareExchange	許可されていない	許可されていない
Atomics.exchange	許可されていない	許可されていない
Atomics.wait	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有メモリとアトミック (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Atomics.wake	許可されていない	許可されていない
Atomics.isLockFree	許可されていない	許可されていない
Atomics.load	許可されていない	許可されていない
Atomics.or	許可されていない	許可されていない
Atomics.store	許可されていない	許可されていない
Atomics.sub	許可されていない	許可されていない
Atomics.xor	許可されていない	許可されていない

Object.prototype の getter/setter メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
__defineGetter__	許可されていない	許可されていない
__defineGetter__, symbols	許可されていない	許可されていない
__defineGetter__, ToObject(this)	許可されていない	許可されていない
__defineSetter__	許可されていない	許可されていない
__defineSetter__, symbols	許可されていない	許可されていない
__defineSetter__, ToObject(this)	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__, prototype chain	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__, symbols	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__, ToObject(this)	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__, data properties can shadow accessors	許可されていない	許可されていない
__lookupSetter__	許可されていない	許可されていない
__lookupSetter__, prototype chain	許可されていない	許可されていない
__lookupSetter__, symbols	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Object.prototype の **getter/setter** メソッド (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
__lookupSetter__, ToObject(this)	許可されていない	許可されていない
__lookupSetter__, data properties can shadow accessors	許可されていない	許可されていない

プロキシ内部呼び出し、getter/**setter** メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
__defineGetter__	許可されていない	許可されていない
__defineSetter__	許可されていない	許可されていない
__lookupGetter__	許可されていない	許可されていない
__lookupSetter__	許可されていない	許可されていない

ECMAScript 2016 (ES7) の機能

べき乗 **(**)** 演算子

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic support	サポート対象	サポート対象外
assignment	サポート対象	サポート対象外
early syntax error for unary negation without parentheses	許可されていない	許可されていない

Array.prototype.include

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.include	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.includes is generic	サポート対象外	サポート対象外
%TypedArray%.prototype.includes	許可されていない	許可されていない

ECMAScript 2015 (ES6) の機能

適切な末尾呼び出し (末尾呼び出しの最適化)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
direct recursion	許可されていない	許可されていない
mutual recursion	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの関数パラメーター

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
explicit undefined defers to the default	サポート対象	サポート対象外
defaults can refer to previous parameters	サポート対象	サポート対象外
arguments object interaction	サポート対象	サポート対象外
temporal dead zone	許可されていない	許可されていない
separate scope	サポート対象	サポート対象外
new Function() support	許可されていない	許可されていない

Rest パラメーター

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
function 'length' property	サポート対象	サポート対象外
arguments object interaction	サポート対象外	サポート対象外
can't be used in setters	許可されていない	許可されていない
new Function() support	許可されていない	許可されていない

反復可能なオブジェクトのスプレッド構文

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with arrays, in function calls	サポート対象	サポート対象外
with arrays, in array literals	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays, in function calls	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays, in array literals	サポート対象	サポート対象外
with strings, in function calls	サポート対象	サポート対象外
with strings, in array literals	サポート対象	サポート対象外
with astral plane strings, in function calls	サポート対象	サポート対象外
with astral plane strings, in array literals	サポート対象	サポート対象外
with generator instances, in calls	許可されていない	許可されていない
with generator instances, in arrays	許可されていない	許可されていない
with generic iterables, in calls	サポート対象	サポート対象外
with generic iterables, in arrays	サポート対象	サポート対象外
with instances of iterables, in calls	サポート対象	サポート対象外
with instances of iterables, in arrays	サポート対象	サポート対象外
spreading non-iterables is a runtime error	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクトリテラル拡張

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
computed properties	サポート対象	サポート対象外
shorthand properties	サポート対象	サポート対象外
shorthand methods	サポート対象	サポート対象外
string-keyed shorthand methods	サポート対象	サポート対象外
computed shorthand methods	サポート対象	サポート対象外
computed accessors	サポート対象	サポート対象外

For-of ループ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with arrays	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays	サポート対象	サポート対象外
with strings	サポート対象	サポート対象外
with astral plane strings	サポート対象	サポート対象外
with generator instances	許可されていない	許可されていない
with generic iterables	サポート対象	サポート対象外
with instances of generic iterables	サポート対象	サポート対象外
iterator closing, break	サポート対象	サポート対象外
iterator closing, throw	サポート対象	サポート対象外

Octal and binary literals

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
octal literals	サポート対象	サポート対象外
binary literals	サポート対象	サポート対象外
octal supported by Number()	サポート対象外	サポート対象外
binary supported by Number()	サポート対象外	サポート対象外

テンプレートリテラル

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
toString conversion	サポート対象	サポート対象外
tagged template literals	サポート対象	サポート対象外
passed array is frozen	サポート対象	サポート対象外
line break normalization	許可されていない	許可されていない
TemplateStrings call site caching	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレートリテラル (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
TemplateStrings permanent caching	サポート対象	サポート対象外

正規表現の「y」および「u」フラグ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
"y" flag	サポート対象	サポート対象外
"y" flag, lastIndex	サポート対象	サポート対象外
"u" flag	サポート対象外	サポート対象外
"u" flag, non-BMP Unicode characters	サポート対象外	サポート対象外
"u" flag, Unicode code point escapes	サポート対象外	サポート対象外
"u" flag, case folding	サポート対象外	サポート対象外

デストラクチャリング、宣言

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with arrays	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays	サポート対象	サポート対象外
with strings	サポート対象	サポート対象外
with astral plane strings	サポート対象	サポート対象外
with generator instances	許可されていない	許可されていない
with generic iterables	サポート対象	サポート対象外
with instances of generic iterables	サポート対象	サポート対象外
iterator closing	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in iterable patterns	サポート対象	サポート対象外
with objects	サポート対象	サポート対象外
object destructuring with primitives	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in object patterns	サポート対象	サポート対象外
throws on null and undefined	サポート対象	サポート対象外
computed properties	サポート対象	サポート対象外
multiples in a single var statement	サポート対象	サポート対象外
nested	サポート対象	サポート対象外
in for-in loop heads	サポート対象	サポート対象外
in for-of loop heads	サポート対象	サポート対象外
in catch heads	サポート対象	サポート対象外
rest	サポート対象	サポート対象外
defaults	サポート対象	サポート対象外

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デストラクチャリング、宣言 (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
defaults, let temporal dead zone	許可されていない	許可されていない

Destructuring, assignment

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with arrays	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays	サポート対象	サポート対象外
with strings	サポート対象	サポート対象外
with astral plane strings	サポート対象	サポート対象外
with generator instances	許可されていない	許可されていない
with generic iterables	サポート対象	サポート対象外
with instances of generic iterables	サポート対象	サポート対象外
iterator closing	サポート対象	サポート対象外
iterable destructuring expression	サポート対象	サポート対象外
chained iterable destructuring	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in iterable patterns	サポート対象	サポート対象外
with objects	サポート対象	サポート対象外
object destructuring with primitives	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in object patterns	サポート対象	サポート対象外
object destructuring expression	サポート対象	サポート対象外
parenthesized left-hand-side is a syntax error	許可されていない	許可されていない
chained object destructuring	サポート対象	サポート対象外
throws on null and undefined	サポート対象	サポート対象外
computed properties	サポート対象	サポート対象外
nested	サポート対象	サポート対象外
rest	サポート対象	サポート対象外
nested rest	サポート対象	サポート対象外
empty patterns	サポート対象	サポート対象外
defaults	サポート対象	サポート対象外

デストラクチャリング、パラメーター

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with arrays	サポート対象	サポート対象外
with sparse arrays	サポート対象	サポート対象外
with strings	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デストラクチャリング、パラメーター (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
with astral plane strings	サポート対象	サポート対象外
with generator instances	許可されていない	許可されていない
with generic iterables	サポート対象	サポート対象外
with instances of generic iterables	サポート対象	サポート対象外
iterator closing	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in iterable patterns	サポート対象	サポート対象外
with objects	サポート対象	サポート対象外
object destructuring with primitives	サポート対象	サポート対象外
trailing commas in object patterns	サポート対象	サポート対象外
throws on null and undefined	サポート対象	サポート対象外
computed properties	サポート対象	サポート対象外
nested	サポート対象	サポート対象外
'arguments' interaction	サポート対象	サポート対象外
new Function() support	許可されていない	許可されていない
in parameters, function 'length' property	サポート対象	サポート対象外
rest	サポート対象	サポート対象外
empty patterns	サポート対象	サポート対象外
defaults	サポート対象	サポート対象外
defaults, separate scope	サポート対象	サポート対象外
defaults, new Function() support	許可されていない	許可されていない
aliased defaults, arrow function	サポート対象	サポート対象外
shorthand defaults, arrow function	サポート対象	サポート対象外
duplicate identifier	許可されていない	許可されていない

Unicode code point escapes

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
in strings	サポート対象	サポート対象外
in identifiers	サポート対象外	サポート対象外
in property key definitions	サポート対象外	サポート対象外
in property key accesses	サポート対象外	サポート対象外

New.target

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
in constructors	サポート対象外	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

New.target (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
assignment is an early error	許可されていない	許可されていない

定数

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic support	サポート対象	サポート対象
is block-scoped	サポート対象	サポート対象外
scope shadow resolution	サポート対象	サポート対象外
cannot be in statements	許可されていない	許可されていない
redefining a const is an error	許可されていない	許可されていない
for loop statement scope	サポート対象	サポート対象外
for-in loop iteration scope	サポート対象	サポート対象外
for-of loop iteration scope	サポート対象	サポート対象外
temporal dead zone	サポート対象外	サポート対象外
basic support (strict mode)	サポート対象	サポート対象
is block-scoped (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
scope shadow resolution (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
cannot be in statements (strict mode)	許可されていない	許可されていない
redefining a const (strict mode)	許可されていない	許可されていない
for loop statement scope (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
for-in loop iteration scope (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
for-of loop iteration scope (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
temporal dead zone (strict mode)	サポート対象外	サポート対象外

Let

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic support	サポート対象	サポート対象外
is block-scoped	サポート対象	サポート対象外
scope shadow resolution	サポート対象	サポート対象外
cannot be in statements	許可されていない	許可されていない
for loop statement scope	サポート対象	サポート対象外
temporal dead zone	サポート対象外	サポート対象外
for/for-in loop iteration scope	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Let (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
for-in loop binding shadowing parameter	許可されていない	許可されていない
basic support (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
is block-scoped (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
scope shadow resolution (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
cannot be in statements (strict mode)	許可されていない	許可されていない
for loop statement scope (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
temporal dead zone (strict mode)	サポート対象外	サポート対象外
for/for-in loop iteration scope (strict mode)	サポート対象	サポート対象外
for-in loop binding shadowing parameter (strict mode)	許可されていない	許可されていない

ブロックレベルの関数宣言

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
block-level function declaration	サポート対象	サポート対象外

アロー関数

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
0 parameters	サポート対象	サポート対象外
1 parameter, no brackets	サポート対象	サポート対象外
multiple parameters	サポート対象	サポート対象外
lexical "this" binding	サポート対象	サポート対象外
"this" unchanged by call or apply	サポート対象	サポート対象外
can't be bound, can be curried	サポート対象	サポート対象外
lexical "arguments" binding	サポート対象	サポート対象外
no line break between parameters and `=>`	許可されていない	許可されていない
correct precedence	許可されていない	許可されていない
no "prototype" property	サポート対象外	サポート対象外
lexical "super" binding in constructors	サポート対象	サポート対象外
lexical "super" binding in methods	サポート対象	サポート対象外
lexical "new.target" binding	サポート対象外	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラス

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
class statement	サポート対象	サポート対象外
is block-scoped	サポート対象	サポート対象外
class expression	サポート対象	サポート対象外
anonymous class	サポート対象	サポート対象外
constructor	サポート対象	サポート対象外
prototype methods	サポート対象	サポート対象外
string-keyed methods	サポート対象	サポート対象外
computed prototype methods	サポート対象	サポート対象外
optional semicolons	サポート対象	サポート対象外
static methods	サポート対象	サポート対象外
computed static methods	サポート対象	サポート対象外
accessor properties	サポート対象	サポート対象外
computed accessor properties	サポート対象	サポート対象外
static accessor properties	サポート対象	サポート対象外
computed static accessor properties	サポート対象	サポート対象外
class name is lexically scoped	サポート対象	サポート対象外
computed names, temporal dead zone	サポート対象外	サポート対象外
methods aren't enumerable	サポート対象	サポート対象外
implicit strict mode	サポート対象外	サポート対象外
constructor requires new	サポート対象	サポート対象外
拡張	サポート対象	サポート対象外
extends expressions	サポート対象	サポート対象外
extends null	サポート対象	サポート対象外
new.target	サポート対象	サポート対象外

Super

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
statement in constructors	サポート対象	サポート対象外
expression in constructors	サポート対象	サポート対象外
in methods, property access	サポート対象	サポート対象外
in methods, method calls	サポート対象	サポート対象外
method calls use correct "this" binding	サポート対象	サポート対象外
constructor calls use correct "new.target" binding	サポート対象	サポート対象外
is statically bound	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Super (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
super() invokes the correct constructor	サポート対象	サポート対象外

ジェネレータ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
generator function expressions	許可されていない	許可されていない
correct "this" binding	許可されていない	許可されていない
can't use "this" with new	許可されていない	許可されていない
sending	許可されていない	許可されていない
%GeneratorPrototype%	許可されていない	許可されていない
%GeneratorPrototype% prototype chain	許可されていない	許可されていない
%GeneratorPrototype%.constructor	許可されていない	許可されていない
%GeneratorPrototype%.throw	許可されていない	許可されていない
%GeneratorPrototype%.return	許可されていない	許可されていない
yield operator precedence	許可されていない	許可されていない
yield *, arrays	許可されていない	許可されていない
yield *, sparse arrays	許可されていない	許可されていない
yield *, strings	許可されていない	許可されていない
yield *, astral plane strings	許可されていない	許可されていない
yield *, generator instances	許可されていない	許可されていない
yield *, generic iterables	許可されていない	許可されていない
yield *, instances of iterables	許可されていない	許可されていない
yield * on non-iterables is a runtime error	許可されていない	許可されていない
yield *, iterator closing	許可されていない	許可されていない
yield *, iterator closing via throw()	許可されていない	許可されていない
shorthand generator methods	許可されていない	許可されていない
string-keyed shorthand generator methods	許可されていない	許可されていない
computed shorthand generators	許可されていない	許可されていない
shorthand generator methods, classes	許可されていない	許可されていない
computed shorthand generators, classes	許可されていない	許可されていない
shorthand generators can't be constructors	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

型付きアレイ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Int8Array	許可されていない	許可されていない
Uint8Array	許可されていない	許可されていない
Uint8ClampedArray	許可されていない	許可されていない
Int16Array	許可されていない	許可されていない
Uint16Array	許可されていない	許可されていない
Int32Array	許可されていない	許可されていない
Uint32Array	許可されていない	許可されていない
Float32Array	許可されていない	許可されていない
Float64Array	許可されていない	許可されていない
DataView (Int8)	許可されていない	許可されていない
DataView (Uint8)	許可されていない	許可されていない
DataView (Int16)	許可されていない	許可されていない
DataView (Uint16)	許可されていない	許可されていない
DataView (Int32)	許可されていない	許可されていない
DataView (Uint32)	許可されていない	許可されていない
DataView (Float32)	許可されていない	許可されていない
DataView (Float64)	許可されていない	許可されていない
ArrayBuffer[Symbol.species]	許可されていない	許可されていない
constructors require new	許可されていない	許可されていない
constructors accept generic iterables	許可されていない	許可されていない
correct prototype chains	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.from	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.of	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.subarray	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.join	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.indexOf	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.lastIndexOf	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.slice	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.every	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.filter	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.forEach	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.map	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.reduce	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.reduceRight	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

型付きアレイ (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
%TypedArray%.prototype.reverse	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.some	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.sort	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.copyWithin	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.find	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.findIndex	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.fill	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.keys	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.value	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype.entries	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%.prototype[Symbol.iterator]	許可されていない	許可されていない
%TypedArray%[Symbol.species]	許可されていない	許可されていない

マップ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
constructor arguments	サポート対象	サポート対象外
constructor requires new	サポート対象	サポート対象外
constructor accepts null	サポート対象	サポート対象外
constructor invokes set	サポート対象	サポート対象外
iterator closing	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.set returns this	サポート対象	サポート対象外
-0 key converts to +0	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.size	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.delete	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.clear	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.forEach	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.keys	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.value	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype.entries	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype[Symbol.iterator]	サポート対象	サポート対象外
Map.prototype isn't an instance	サポート対象	サポート対象外
Map iterator prototype chain	サポート対象	サポート対象外
Map[Symbol.species]	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セット

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
constructor arguments	サポート対象	サポート対象外
constructor requires new	サポート対象	サポート対象外
constructor accepts null	サポート対象	サポート対象外
constructor invokes add	サポート対象	サポート対象外
iterator closing	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.add returns this	サポート対象	サポート対象外
-0 key converts to +0	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.size	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.delete	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.clear	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.forEach	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.keys	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.values	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype.entries	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype[Symbol.iterator]	サポート対象	サポート対象外
Set.prototype isn't an instance	サポート対象	サポート対象外
Set iterator prototype chain	サポート対象	サポート対象外
Set[Symbol.species]	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

WeakMap

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
constructor arguments	許可されていない	許可されていない
constructor requires new	許可されていない	許可されていない
constructor accepts null	許可されていない	許可されていない
constructor invokes set	許可されていない	許可されていない
frozen objects as keys	許可されていない	許可されていない
iterator closing	許可されていない	許可されていない
WeakMap.prototype.set returns this	許可されていない	許可されていない
WeakMap.prototype.delete	許可されていない	許可されていない
no WeakMap.prototype.clear method	許可されていない	許可されていない
.has, .get and .delete methods accept primitives	許可されていない	許可されていない
WeakMap.prototype isn't an instance	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WeakSet

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
constructor arguments	許可されていない	許可されていない
constructor requires new	許可されていない	許可されていない
constructor accepts null	許可されていない	許可されていない
constructor invokes add	許可されていない	許可されていない
iterator closing	許可されていない	許可されていない
WeakSet.prototype.add returns this	許可されていない	許可されていない
WeakSet.prototype.delete	許可されていない	許可されていない
no WeakSet.prototype.clear method	許可されていない	許可されていない
.has and .delete methods accept primitives	許可されていない	許可されていない
WeakSet.prototype isn't an instance	許可されていない	許可されていない

プロキシ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
constructor requires new	許可されていない	許可されていない
no "prototype" property	許可されていない	許可されていない
"get" handler	許可されていない	許可されていない
"get" handler, instances of proxies	許可されていない	許可されていない
"get" handler invariants	許可されていない	許可されていない
"set" handler	許可されていない	許可されていない
"set" handler, instances of proxies	許可されていない	許可されていない
"set" handler invariants	許可されていない	許可されていない
"has" handler	許可されていない	許可されていない
"has" handler, instances of proxies	許可されていない	許可されていない
"has" handler invariants	許可されていない	許可されていない
"deleteProperty" handler	許可されていない	許可されていない
"deleteProperty" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"getOwnPropertyDescriptor" handler	許可されていない	許可されていない
"getOwnPropertyDescriptor" handler invariants	許可されていない	許可されていない
"defineProperty" handler	許可されていない	許可されていない
"defineProperty" handler invariants	許可されていない	許可されていない
"getPrototypeOf" handler	許可されていない	許可されていない
"getPrototypeOf" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"setPrototypeOf" handler	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロキシ (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
"setPrototypeOf" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"isExtensible" handler	許可されていない	許可されていない
"isExtensible" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"preventExtensions" handler	許可されていない	許可されていない
"preventExtensions" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"ownKeys" handler	許可されていない	許可されていない
"ownKeys" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"apply" handler	許可されていない	許可されていない
"apply" handler invariant	許可されていない	許可されていない
"construct" handler	許可されていない	許可されていない
"construct" handler invariants	許可されていない	許可されていない
Proxy.revocable	許可されていない	許可されていない
Array.isArray support	許可されていない	許可されていない
JSON.stringify support	許可されていない	許可されていない

リフレクション

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Reflect.get	許可されていない	許可されていない
Reflect.set	許可されていない	許可されていない
Reflect.has	許可されていない	許可されていない
Reflect.deleteProperty	許可されていない	許可されていない
Reflect.getOwnPropertyDescriptor	許可されていない	許可されていない
Reflect.defineProperty	許可されていない	許可されていない
Reflect.getPrototypeOf	許可されていない	許可されていない
Reflect.setPrototypeOf	許可されていない	許可されていない
Reflect.isExtensible	許可されていない	許可されていない
Reflect.preventExtensions	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リフレクション (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Reflect.ownKeys, string keys	許可されていない	許可されていない
Reflect.ownKeys, symbol keys	許可されていない	許可されていない
Reflect.apply	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct sets new.target meta-property	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct creates instances from third argument	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct, Array subclassing	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct, RegExp subclassing	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct, Function subclassing	許可されていない	許可されていない
Reflect.construct, Promise subclassing	許可されていない	許可されていない

Promise

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
constructor requires new	許可されていない	許可されていない
Promise.prototype isn't an instance	許可されていない	許可されていない
Promise.all	許可されていない	許可されていない
Promise.all, generic iterables	許可されていない	許可されていない
Promise.race	許可されていない	許可されていない
Promise.race, generic iterables	許可されていない	許可されていない
Promise[Symbol.species]	許可されていない	許可されていない

記号

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	サポート対象	サポート対象外
typeof support	サポート対象	サポート対象外
symbol keys are hidden to pre-ES6 code	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

記号 (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.defineProperty support	サポート対象	サポート対象外
symbols inherit from Symbol.prototype	サポート対象	サポート対象外
cannot coerce to string or number	サポート対象外	サポート対象外
can convert with String()	サポート対象外	サポート対象外
new Symbol() throws	サポート対象	サポート対象外
Object(symbol)	サポート対象外	サポート対象外
JSON.stringify ignores symbol primitives	サポート対象	サポート対象外
JSON.stringify ignores symbol objects	サポート対象外	サポート対象外
global symbol registry	サポート対象	サポート対象外

既知の記号

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Symbol.hasInstance	許可されていない	許可されていない
Symbol.isConcatSpreadable	許可されていない	許可されていない
Symbol.iterator, existence	許可されていない	許可されていない
Symbol.iterator, arguments object	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, existence	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Array.prototype.concat	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Array.prototype.filter	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Array.prototype.map	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Array.prototype.slice	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Array.prototype.splice	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, RegExp.prototype[Symbol.split]	許可されていない	許可されていない
Symbol.species, Promise.prototype.then	許可されていない	許可されていない
Symbol.replace	許可されていない	許可されていない
Symbol.search	許可されていない	許可されていない
Symbol.split	許可されていない	許可されていない
Symbol.match	許可されていない	許可されていない
Symbol.match, RegExp constructor	許可されていない	許可されていない
Symbol.match, String.prototype.startsWith	許可されていない	許可されていない
Symbol.match, String.prototype.endsWith	許可されていない	許可されていない
Symbol.match, String.prototype.includes	許可されていない	許可されていない
Symbol.toPrimitive	許可されていない	許可されていない
Symbol.toStringTag	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既知の記号 (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Symbol.toStringTag affects existing built-ins	許可されていない	許可されていない
Symbol.toStringTag, new built-ins	許可されていない	許可されていない
Symbol.toStringTag, misc. built-ins	許可されていない	許可されていない
Symbol.unscopables	許可されていない	許可されていない

オブジェクト静的メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.assign	サポート対象	サポート対象外
Object.is	サポート対象	サポート対象外
Object.getOwnPropertySymbols	サポート対象	サポート対象外
Object.setPrototypeOf	サポート対象外	サポート対象外

関数の「name」プロパティ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
function statements	サポート対象	サポート対象
function expressions	サポート対象	サポート対象
new Function	サポート対象外	サポート対象外
bound functions	サポート対象外	サポート対象外
variables (function)	サポート対象	サポート対象外
object methods (function)	サポート対象	サポート対象外
accessor properties	サポート対象外	サポート対象外
shorthand methods	サポート対象	サポート対象外
shorthand methods (no lexical binding)	サポート対象	サポート対象外
symbol-keyed methods	サポート対象外	サポート対象外
class statements	サポート対象	サポート対象外
class expressions	サポート対象	サポート対象外
variables (class)	サポート対象	サポート対象外
object methods (class)	サポート対象外	サポート対象外
class prototype methods	サポート対象	サポート対象外
class static methods	サポート対象	サポート対象外
isn't writable, is configurable	サポート対象外	サポート対象外

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

文字列静的メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
String.raw	サポート対象	サポート対象外
String.fromCodePoint	サポート対象	サポート対象外

String.prototype methods

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
String.prototype.codePointAt	サポート対象	サポート対象
String.prototype.normalize	サポート対象	サポート対象
String.prototype.repeat	サポート対象	サポート対象
String.prototype.startsWith	サポート対象	サポート対象
String.prototype.startsWith throws on RegExp	サポート対象外	サポート対象外
String.prototype.endsWith	サポート対象	サポート対象
String.prototype.endsWith throws on RegExp	サポート対象外	サポート対象外
String.prototype.includes	サポート対象	サポート対象
String.prototype[Symbol.iterator]	サポート対象	サポート対象外
String iterator prototype chain	サポート対象	サポート対象外

RegExp.prototype properties

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
RegExp.prototype.flag	サポート対象	サポート対象外
RegExp.prototype[Symbol.match]	サポート対象外	サポート対象外
RegExp.prototype[Symbol.replace]	サポート対象	サポート対象外
RegExp.prototype[Symbol.split]	サポート対象	サポート対象外
RegExp.prototype[Symbol.search]	サポート対象外	サポート対象外
RegExp[Symbol.species]	サポート対象	サポート対象外

Array static methods

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.from, array-like objects	サポート対象	サポート対象外
Array.from, generator instances	許可されていない	許可されていない
Array.from, generic iterables	サポート対象	サポート対象外
Array.from, instances of generic iterables	サポート対象	サポート対象外
Array.from map function, array-like objects	サポート対象	サポート対象外
Array.from map function, generator instances	許可されていない	許可されていない
Array.from map function, generic iterables	サポート対象	サポート対象外

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Array static methods (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.from map function, instances of iterables	サポート対象	サポート対象外
Array.from, iterator closing	サポート対象	サポート対象外
Array.of	サポート対象	サポート対象外
Array[Symbol.species]	サポート対象	サポート対象外

Array.prototype methods

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.copyWithin	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.find	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.findIndex	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.fill	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.keys	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.value	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype.entries	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype[Symbol.iterator]	サポート対象	サポート対象外
Array iterator prototype chain	サポート対象	サポート対象外
Array.prototype[Symbol.unscopables]	サポート対象	サポート対象外

数値プロパティ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Number.isFinite	サポート対象	サポート対象外
Number.isInteger	サポート対象	サポート対象外
Number.isSafeInteger	サポート対象	サポート対象外
Number.isNaN	サポート対象	サポート対象外
Number.parseFloat	許可されていない	許可されていない
Number.parseInt	許可されていない	許可されていない
Number.EPSILON	サポート対象	サポート対象外
Number.MIN_SAFE_INTEGER	サポート対象	サポート対象外
Number.MAX_SAFE_INTEGER	サポート対象	サポート対象外

計算メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Math.clz32	サポート対象	サポート対象外
Math.imul	サポート対象	サポート対象外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算メソッド (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Math.sign	サポート対象	サポート対象外
Math.log10	サポート対象	サポート対象外
Math.log2	サポート対象	サポート対象外
Math.log1p	サポート対象	サポート対象外
Math.expm1	サポート対象	サポート対象外
Math.cosh	サポート対象	サポート対象外
Math.sinh	サポート対象	サポート対象外
Math.tanh	サポート対象	サポート対象外
Math.acosh	サポート対象	サポート対象外
Math.asinh	サポート対象	サポート対象外
Math.atanh	サポート対象	サポート対象外
Math.trunc	サポート対象	サポート対象外
Math.fround	サポート対象	サポート対象外
Math.cbrt	サポート対象	サポート対象外
Math.hypot	サポート対象	サポート対象外

Date.prototype[Symbol.toPrimitive]

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Date.prototype[Symbol.toPrimitive]	サポート対象	サポート対象外

アレイはサブクラス化可能

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
length property (accessing)	許可されていない	許可されていない
length property (setting)	許可されていない	許可されていない
correct prototype chain	許可されていない	許可されていない
Array.isArray support	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.concat	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.filter	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.map	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.slice	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.splic	許可されていない	許可されていない
Array.from	許可されていない	許可されていない
Array.of	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規表現はサブクラス化可能

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
correct prototype chain	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype.exec	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype.test	許可されていない	許可されていない

関数はサブクラス化可能

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
can be called	許可されていない	許可されていない
correct prototype chain	許可されていない	許可されていない
can be used with "new"	許可されていない	許可されていない
Function.prototype.call	許可されていない	許可されていない
Function.prototype.apply	許可されていない	許可されていない
Function.prototype.bind	許可されていない	許可されていない

Promise はサブクラス化可能

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
correct prototype chain	許可されていない	許可されていない
Promise.all	許可されていない	許可されていない
Promise.race	許可されていない	許可されていない

その他のサブクラス化可能

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Boolean is subclassable	許可されていない	許可されていない
Number is subclassable	許可されていない	許可されていない
String is subclassable	許可されていない	許可されていない
Error is subclassable	許可されていない	許可されていない
Map is subclassable	許可されていない	許可されていない
Set is subclassable	許可されていない	許可されていない

バインドされた関数のプロトタイプ

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functions	許可されていない	許可されていない
generator functions	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バインドされた関数のプロトタイプ (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
arrow functions	許可されていない	許可されていない
classes	許可されていない	許可されていない
subclasses	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「get」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
ToPrimitive	許可されていない	許可されていない
CreateListFromArrayLike	許可されていない	許可されていない
instanceof operator	許可されていない	許可されていない
HasBinding	許可されていない	許可されていない
CreateDynamicFunction	許可されていない	許可されていない
ClassDefinitionEvaluation	許可されていない	許可されていない
IteratorComplete, IteratorValue	許可されていない	許可されていない
ToPropertyDescriptor	許可されていない	許可されていない
Object.assign	許可されていない	許可されていない
Object.defineProperties	許可されていない	許可されていない
Function.prototype.bind	許可されていない	許可されていない
Error.prototype.toString	許可されていない	許可されていない
String.raw	許可されていない	許可されていない
RegExp constructor	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype.flag	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype.test	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype.toString	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype[Symbol.match]	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype[Symbol.replace]	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype[Symbol.search]	許可されていない	許可されていない
RegExp.prototype[Symbol.split]	許可されていない	許可されていない
Array.from	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.concat	許可されていない	許可されていない
Array.prototype iteration methods	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.pop	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.reverse	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.shift	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.splic	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロキシ、内部「get」呼び出し (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.toString	許可されていない	許可されていない
JSON.stringify	許可されていない	許可されていない
Promise resolve functions	許可されていない	許可されていない
String.prototype.match	許可されていない	許可されていない
String.prototype.replace	許可されていない	許可されていない
String.prototype.search	許可されていない	許可されていない
String.prototype.split	許可されていない	許可されていない
Date.prototype.toJSON	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「set」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.assign	許可されていない	許可されていない
Array.from	許可されていない	許可されていない
Array.of	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.copyWithin	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.fill	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.pop	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.push	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.reverse	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.shift	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.splic	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.unshift	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「defineProperty」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
[[Set]]	許可されていない	許可されていない
SetIntegrityLevel	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「deleteProperty」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.copyWithin	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.pop	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.reverse	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.shift	許可されていない	許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロキシ、内部「deleteProperty」呼び出し (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.prototype.splic	許可されていない	許可されていない
Array.prototype.unshift	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「getOwnPropertyDescriptor」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
[[Set]]	許可されていない	許可されていない
Object.assign	許可されていない	許可されていない
Object.prototype.hasOwnProperty	許可されていない	許可されていない
Function.prototype.bind	許可されていない	許可されていない

プロキシ、内部「ownKeys」呼び出し

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
SetIntegrityLevel	許可されていない	許可されていない
TestIntegrityLevel	許可されていない	許可されていない
SerializeJSONObject	許可されていない	許可されていない

オブジェクトの静的メソッドはプリミティブを受け入れる

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.getPrototypeOf	許可されていない	許可されていない
Object.getOwnPropertyDescriptor	許可されていない	許可されていない
Object.getOwnPropertyNames	許可されていない	許可されていない
Object.seal	許可されていない	許可されていない
Object.freeze	許可されていない	許可されていない
Object.preventExtensions	許可されていない	許可されていない
Object.isSealed	許可されていない	許可されていない
Object.isFrozen	許可されていない	許可されていない
Object.isExtensible	許可されていない	許可されていない
Object.keys	許可されていない	許可されていない

独自のプロパティ順序

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.keys	許可されていない	許可されていない
Object.getOwnPropertyNames	許可されていない	許可されていない
Object.assign	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

独自のプロパティ順序 (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
JSON.stringify	許可されていない	許可されていない
JSON.parse	許可されていない	許可されていない
Reflect.ownKeys, string key order	許可されていない	許可されていない
Reflect.ownKeys, symbol key order	許可されていない	許可されていない

更新された識別子構文

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
var â¸¯;	許可されていない	許可されていない
var ð ‹€;	許可されていない	許可されていない
no escaped reserved words as identifiers	許可されていない	許可されていない

非 **strict** 関数セマンティクス

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
hoisted block-level function declaration	許可されていない	許可されていない
labeled function statements	許可されていない	許可されていない
function statements in if-statement clauses	許可されていない	許可されていない

__proto__ in object literals

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic support	許可されていない	許可されていない
multiple __proto__ is an error	許可されていない	許可されていない
not a computed property	許可されていない	許可されていない
not a shorthand property	許可されていない	許可されていない
not a shorthand method	許可されていない	許可されていない

Object.prototype.__proto__

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
get prototype	許可されていない	許可されていない
set prototype	許可されていない	許可されていない
absent from Object.create(null)	許可されていない	許可されていない
present in hasOwnProperty()	許可されていない	許可されていない
correct property descriptor	許可されていない	許可されていない
present in Object.getOwnPropertyNames()	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

String.prototype HTML メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
existence	許可されていない	許可されていない
tags' names are lowercase	許可されていない	許可されていない
quotes in arguments are escaped	許可されていない	許可されていない

RegExp.prototype.compile

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
basic functionality	許可されていない	許可されていない
returns this	許可されていない	許可されていない

正規表現構文拡張

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
hyphens in character sets	許可されていない	許可されていない
invalid character escapes	許可されていない	許可されていない
invalid control-character escapes	許可されていない	許可されていない
invalid Unicode escapes	許可されていない	許可されていない
invalid hexadecimal escapes	許可されていない	許可されていない
incomplete patterns and quantifiers	許可されていない	許可されていない
octal escape sequences	許可されていない	許可されていない
invalid backreferences become octal escapes	許可されていない	許可されていない

ECMAScript 2009 (ES5) の機能

オブジェクト/アレイリテラル拡張

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Getter accessors	サポート対象	サポート対象
Setter accessors	サポート対象	サポート対象
Trailing commas in object literals	サポート対象	サポート対象
Trailing commas in array literals	サポート対象	サポート対象
Reserved words as property names	サポート対象	サポート対象

オブジェクト静的メソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.create	サポート対象	サポート対象
Object.defineProperty	サポート対象	サポート対象

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト静的メソッド (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Object.defineProperties	サポート対象	サポート対象
Object.getPrototypeOf	サポート対象	サポート対象
Object.keys	サポート対象	サポート対象
Object.seal	サポート対象	サポート対象
Object.freeze	サポート対象	サポート対象
Object.preventExtensions	サポート対象	サポート対象
Object.isSealed	サポート対象	サポート対象
Object.isFrozen	サポート対象	サポート対象
Object.isExtensible	サポート対象	サポート対象
Object.getOwnPropertyDescriptor	サポート対象	サポート対象
Object.getOwnPropertyNames	サポート対象	サポート対象

アレイメソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Array.isArray	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.indexOf	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.lastIndexOf	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.every	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.some	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.forEach	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.map	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.filter	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.reduce	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.reduceRight	サポート対象	サポート対象
Array.prototype.sort: compareFn must be function or undefined	サポート対象外	サポート対象外
Array.prototype.sort: compareFn may be explicit undefined	サポート対象	サポート対象

文字列のプロパティおよびメソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Property access on strings	サポート対象	サポート対象
String.prototype.split	サポート対象	サポート対象外
String.prototype.trim	サポート対象	サポート対象

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

日付のメソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Date.prototype.toISOString	サポート対象	サポート対象
Date.now	サポート対象	サポート対象
Date.prototype.toJSON	サポート対象外	サポート対象外

不変グローバル

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
未定義	サポート対象	サポート対象
NaN	サポート対象	サポート対象
Infinity	サポート対象	サポート対象

数値のメソッド

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Number.prototype.toExponential rounds properly	サポート対象	サポート対象
Number.prototype.toExponential throws on Â±Infinity fractionDigits	サポート対象	サポート対象
Number.prototype.toExponential does not throw on edge cases	サポート対象	サポート対象

Strict モード (Strict mode)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
reserved words	許可されていない	許可されていない
"this" is undefined in functions	許可されていない	許可されていない
"this" is not coerced to object in primitive methods	許可されていない	許可されていない
"this" is not coerced to object in primitive accessors	許可されていない	許可されていない
legacy octal is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない
assignment to unresolvable identifiers is a ReferenceError	許可されていない	許可されていない
assignment to eval or arguments is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Strict モード (Strict mode) (続く)

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
assignment to non-writable properties is a TypeError	許可されていない	許可されていない
eval or arguments bindings is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない
arguments.caller removed or is a TypeError	許可されていない	許可されていない
arguments.callee is a TypeError	許可されていない	許可されていない
(function(){}).caller and (function(){}).arguments is a TypeError	許可されていない	許可されていない
arguments is unmapped	許可されていない	許可されていない
eval() can't create bindings	許可されていない	許可されていない
deleting bindings is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない
deleting non-configurable properties is a TypeError	許可されていない	許可されていない
"with" is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない
repeated parameter names is a SyntaxError	許可されていない	許可されていない
function expressions with matching name and argument are valid	許可されていない	許可されていない

Function.prototype.bind

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
Function.prototype.bind	サポート対象	サポート対象

JSON

機能	ECMAScript 2021 (ES12)	ES5 標準
JSON	サポート対象	サポート対象

JavaScript API コンテキスト依存ヘルプ

構文エディターでは、コンテキスト依存の API 情報を表示できます。

JavaScript API コンテキスト依存ヘルプには、次の事柄を実行できる機能があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- カーソルの位置で有効なスクリプト要素を一覧表示します。ポップアップウィンドウに提案が表示されます。
- 選択したスクリプト要素をカーソルの位置に追加します。カーソルが部分的なエントリ内にあるかそれに隣接している場合は、選択したスクリプト要素でエントリを完了します。
- 選択した提案の API ドキュメントを表示します。
- 現在のスクリプト要素の想定されるパラメーターと形式を表示します。

カーソルがテキスト文字列に隣接している場合、このテキスト文字列で始まるスクリプト要素が検索されます。たとえば、カーソルが文字列 `GlideR` 内にあるかまたは隣接している間は、次のようなスクリプト要素が表示されます。

- *`GlideRecord`*
- *`GlideRecordSecure`*

コンテキスト依存の提案は、スクリプトタイプに基づきます。たとえば、ビジネスルールで作業している場合は、サーバー API からの提案と *`current`* や *`previous`* などのオブジェクトのみが表示されます。クライアントスクリプトの作業中は、クライアント API からの提案のみが表示されます。

クライアント側スクリプティング

フォームの読み込み時、フォームの送信後、フィールドの値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生したときに、クライアント (Web ブラウザー) で JavaScript を実行します。

クライアント側の Glide API は、クライアントスクリプトで使用できるクラスとメソッドを提供します。

事前準備

スクリプティング環境の制限を理解します。たとえば、サービスポータル またはモバイル環境のフォームで実行されるクライアントスクリプトには、特定の API のみを含めることができます。詳細については、「モバイル クライアント GlideForm (g フォーム) のスクリプトと移行」を参照してください。

クライアント側のスクリプティングの設計と処理

クライアントスクリプトを適切に設計すれば、ユーザーのフォーム入力時間を短縮できます。

クライアント側の処理が適切に行われるようにするには、最初にフォームを読み込みます。フォームの読み込み前にレコードを更新すると、予期しない結果が発生し、クライアント側の処理がバイパスされる可能性があります。

フォームのフィールド値を制御するクライアントスクリプトを作成する場合は、別の方法を使用してリスト内でこれらのフィールド値を制御する必要があります。以下のようにすることができます。

- テーブルのリスト編集を無効にします。
- リスト編集に適したビジネスルールまたはアクセス制御を作成します。
- データポリシーを作成します。
- onCellEdit クライアントスクリプトを別に作成します。

リストの編集の制限

フォーム上のフィールドに対して UI ポリシーまたはクライアントスクリプトを作成する場合、別の方法を使用して、それらのフィールドのデータがリストで同様に制御されるようにする必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

onCellEdit クライアントスクリプトを除き、UI ポリシーとクライアントスクリプトはフォームにのみ適用されます。クライアントスクリプトを使用する場合は、次の方法を使用してリストの編集を制限します。

- テーブルのリスト編集を無効にします。
- リスト編集に適したビジネスルールまたはアクセス制御を作成します。
- データポリシーを作成します。
- onCellEdit クライアントスクリプトを別に作成します。

サーバールックアップを最小限に抑制

クライアントデータをできるだけ使用することで、時間のかかるサーバールックアップが必要なくなります。

クライアントスクリプティングでは、クライアントで利用可能なデータまたはサーバーから取得したデータのいずれかを使用します。サーバーから情報を取得する主な方法は、g_scratchpad と非同期 GlideAjax ルックアップです。

これらの方法の主な違いは、g_scratchpad ではフォームがロードされたときに 1 回送信される (情報がサーバーからクライアントにプッシュされる) のに対し、GlideAjax はクライアントがサーバーに情報を要求すると動的にトリガーされることです。

注: サーバー情報を取得するためには GlideRecord および g_form.getReference() も利用できます。ただし、パフォーマンスに影響するため、これらの方法は推奨されなくなりました。多くの場合、必要なフィールドは 1 つだけですが、どちらの方法でも要求された GlideRecord 内のすべてのフィールドが取得されます。

Example: g_scratchpad を使用したサーバーデータの取得

g_scratchpad オブジェクトは、クライアントがフォーム上で利用できない情報を必要とする場合に、サーバーからクライアントに情報を渡します。

たとえば、フィールド u_retrieve にアクセスする必要があるクライアントスクリプトがあり、そのフィールドがフォーム上にない場合、クライアントスクリプトはデータを使用できません。この状況の一般的な解決策は、フォームにフィールドを配置してから、クライアントスクリプトまたは UI ポリシーを使用して常に非表示にすることです。このソリューションは素早く構成できますが、実行は遅くなります。

フォームがロードされる前にクライアントがサーバーから必要とする情報がわかっている場合は、表示ビジネスルールでこの情報を保持する g_scratchpad プロパティを作成できます。g_scratchpad は、フォームが要求されるとクライアントに送信され、クライアント側のすべてのスクリプティングメソッドで使用できるようになります。これは、サーバーからクライアントに情報を送信する非常に効率的な手段です。ただし、この方法でデータをロードできるのは、フォームがロードされている場合のみです。ビジネスルールを動的にトリガーすることはできません。このような場合は、非同期 GlideAjax 呼び出しを使用します。

たとえば、インシデントをオープンし、次の情報をクライアントに渡す必要があるとします。

- システムプロパティ css.base.color の値
- 現在のレコードに添付ファイルがあるかどうか
- 呼び出し側のマネージャーの名前

表示ビジネスルールは、次のスクリプトを使用してこの情報をクライアントに送信します。

```
g_scratchpad.css = gs.getProperty('css.base.color');
g_scratchpad.hasAttachments = current.hasAttachments();
g_scratchpad.managerName = current.caller_id.manager.getDisplayValue();
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントスクリプトを使用してスクラッチパッドデータにアクセスするには、次のようにします。

```
// Check if the form has attachments
if (g_scratchpad.hasAttachments)
    // do something interesting here
else
    alert('You need to attach a form signed by ' +
 g_scratchpad.managerName);
```

Example: 非同期 GlideAjax を使用したサーバーデータの取得

非同期 GlideAjax を使用すると、サーバーからの情報を動的に要求できます。

このスクリプトは、CI のサポートグループとインシデントのアサイン先グループを名前で比較します。

```
//Alert if the assignment groups name matches the support group
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {

    if (isLoading)
        return;

    var ga = new GlideAjax('ciCheck');

    ga.addParam('sysparm_name', 'getCiSupportGroup');
    ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
    ga.addParam('sysparm_ag', g_form.getValue('assignment_group'));
    ga.getXML(doAlert); // Always try to use asynchronous (getXML) calls
 rather than synchronous (getXMLWait)
}

// Callback function to process the response returned from the server
function doAlert(response) {

    var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");

    alert(answer);
}
```

このスクリプトは、付随するスクリプトインクルードに依存しています。

```
var ciCheck = Class.create();

ciCheck.prototype = Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor, {

    getCiSupportGroup: function() {

        var retVal = ''; // Return value
        var ciID   = this.getParameter('sysparm_ci');
        var agID   = this.getParameter('sysparm_ag');
        var ciRec  = new GlideRecord('cmdb_ci');

        // If we can read the record, check if the sys_ids match
        if (ciRec.get(ciID)) {
            if (ciRec.getValue('support_group') == agID)
                retVal = 'CI support group and assignment group match';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            else
                retVal = 'CI support group and assignment group do not
 match';

            // Can't read the CI, then they don't match
        } else {
            retVal = 'CI support group and assignment group do not
 match';
        }

        return retVal;
    }

});
```

参照フィールドに **setValue() displayValue** パラメーターを使用

参照フィールドで setValue() を使用する場合は、追加のサーバー呼び出しを回避するために displayValue パラメーターを含めます。

参照フィールドで *setValue()* を使用する場合は、必ず参照フィールドの表示値を 3 番目のパラメーターとして含めてください。displayValue なしで値を設定すると、インスタンスは同期呼び出しを実行して、指定したレコードの表示値を取得します。サーバーとの余分なやり取りが発生することで、パフォーマンスに影響する可能性があります。

この例は、setValue を呼び出す間違った方法を示しています。

```
var id = '5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005';

g_form.setValue('assigned_to', id); // Client needs to go back to the
 server to
                                    // fetch the name that goes with this
 ID
```

代わりに、表示値をオプションのパラメーターとして *setValue()* に含めます。

```
var id = '5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005';
var name = 'Fred Luddy';

g_form.setValue('assigned_to', id, name); // No server call required
```

クライアントスクリプトの代わりに **UI** ポリシーを使用する

可能な場合は、クライアントスクリプトの代わりに UI ポリシーを使用することを検討してください。

UI ポリシーには、クライアントスクリプトに比べて次のメリットがあります。

- UI ポリシーには、クライアント側の操作が実行される順序を完全に制御できる [順序] フィールドがあります。
- UI ポリシーでは、フィールドを必須、読み取り専用にしたり、表示させたりするためのスクリプティングは必要ありません。

注: UI ポリシーはクライアントスクリプトの後に適用されます。

クライアントスクリプトを使用した入力の検証

クライアントスクリプトは、ユーザーからの入力を検証するのに最適です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この検証により、ユーザーは情報を送信する前にデータの問題があるかどうかを確認できるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

検証の例として、[影響度] フィールドの値が [優先度] フィールドの値とともに有効であることを確認します。この例では、[低] の影響度を [高] の優先度にすることはできません。

```
if (g_form.getValue('impact') == '3' && g_form.getValue('priority') ==
 '1')
   g_form.showFieldMsg('impact', getMessage('Low impact now allowed with
 High priority'), 'error');
```

クライアントスクリプトの順序の設定

[順序] フィールドを使用して、クライアントスクリプトの実行順序を制御します。2 つ以上のクライアントスクリプトが同時に実行されて競合することを避けるために、スクリプトを実行する順序を追加できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
クライアントスクリプトに順序を追加すると、番号が小さいものから大きいものの順に処理シーケンスが作成されます。2 つのスクリプトが競合する場合は、番号の小さいクライアントスクリプトが最初に実行されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > クライアントスクリプト をクリックし、既存のクライアントスクリプトを開くか、[新規] をクリックします。
2. [順序] フィールドを含むようにフォームレイアウトを構成 します。
3. 他のクライアントスクリプトとの関連で実行する順序に基づいて、[順序] フィールドに番号を追加します。
   最初に実行するスクリプトの数値は小さくしてください。

DOM 操作の回避

可能であれば、ドキュメントオブジェクトモデル (DOM) の操作は避けてください。ブラウザーが更新されたときに、保守性の問題が発生する可能性があります。

代わりに、GlideForm API を使用するか、別の方法での解決を検討してください。一般に、DOM 操作メソッドを使用する場合は、ID または CSS セレクターを使用して DOM 内の要素を参照する必要があります。すぐに利用可能な DOM 要素を参照する場合、DOM 内の要素 ID または配置が変更され、コードが機能しなくなったり、エラーが生成されたりするリスクがあります。事前に慎重に検討し、発生しているリスクを十分に理解してください。これらのオブジェクトを確認し、DOM 操作メソッドの使用をできるだけ減らします。

グローバルクライアントスクリプトを避ける

グローバルクライアントスクリプトは、選択したテーブルがグローバルである任意のクライアントスクリプトです。グローバルクライアントスクリプトにはテーブルの制限がないため、システム内のすべてのページでロードされ、プロセスでブラウザーのロード遅延が発生します。

この種のスクリプトをすべてのページにロードするメリットはありません。

別の方法として、すべての子/拡張テーブルから派生できるベーステーブル (タスク [task] や構成アイテム [cmdb_ci] など) にクライアントスクリプトを移動する、よりモジュール式でスケーラブルなアプローチを検討してください。これにより、スクリプトをめったに必要としないホームページやサービスカタログ など、UI のすべてのフォームでスクリプトをロードする必要がなくなります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数でコードを囲む

関数内のクライアントスクリプトでコードを囲みます。

関数のないクライアントスクリプトは、変数スコープに関する問題の原因となります。コードが関数で囲まれていない場合、変数やその他のオブジェクトは使用可能で、他のすべてのクライアント側のスクリプトで共有されます。同じ変数名を使用している場合は、競合する可能性があります。これにより、トラブルシューティングが困難な予期しない結果が生じる可能性があります。

次の例を考えてみましょう。

```
var state = "6";

function onSubmit() {

   if(g_form.getValue('incident_state') == state) {
     alert("This incident is Resolved");
   }
}
```

state 変数は関数で囲まれていないため、すべてのクライアント側のスクリプトからアクセスできます。他のスクリプトでも、共通の変数名 *state* を使用できます。重複する名前は競合し、予期しない結果につながる可能性があります。これらの問題は、切り分けて解決することが困難です。この問題を回避するには、すべてのコードが関数で囲まれていることを確認します。

```
function onSubmit() {

   var state = "6";

   if(g_form.getValue('incident_state') == state) {
     alert("This incident is Resolved");
   }
}
```

このソリューションは、変数 *state* のスコープが onSubmit() 関数に制限されているため、はるかに安全です。したがって、*state* 変数は、他のクライアント側のスクリプトの *state* 変数と競合しません。

必要なスクリプトのみを実行する

時間のかかるスクリプトを不必要に実行しないようにするには、クライアントスクリプトが必要なタスクのみを実行するようにします。

次の例は、最初のコードサンプルの改善を示しています。各例は、パフォーマンスを向上させ、不要な呼び出しを回避するためのスクリプトの特定の拡張を示しています。

クライアントスクリプトには [条件] フィールドがないことに注意してください。これは、適切なフォームがロードされるたびに、onLoad() および onChange() スクリプト全体が実行されることを意味します。この例は、[構成アイテム] フィールドが変更されたときに実行されるように設定された非効率的な onChange() クライアントスクリプトです。

```
//Set Assignment Group to CI's support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {

    var ciSupportGroup = g_form.getReference('cmdb_ci').support_group;

    if (ciSupportGroup != '' && g_form.getValue('assignment_group') != '')
        g_form.setValue('assignment_group', ciRec.support_group.sys_id);
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、getReference() または GlideRecord ルックアップを非同期 GlideAjax 呼び出しに置き換えることで、最初の例を改善しています。

```
//Set Assignment Group to support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {

    var ga = new GlideAjax('ciCheck');

    ga.addParam('sysparm_name', 'getSupportGroup');
    ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
    ga.getXML(setAssignmentGroup);
}

function setAssignmentGroup(response) {

    var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");

    g_form.setValue('assignment_group', answer);
}
```

isLoading フラグは、onChange スクリプトでブラウザーが不要なコードに時間を取られないようにする最も簡単な方法です。*isLoading* フラグは、フォームのロード中に実行する必要のないスクリプトの先頭で使用する必要があります。フィールドが最後に変更されたときにロジックが既に実行されているため、フォームのロード時にこのスクリプトを実行する必要はありません。スクリプトに *isLoading* チェックを追加すると、フォームをロードするたびに cmdb_ci ルックアップが実行されなくなります。

isTemplate フラグは、テンプレートがロード中であることを示します。

```
//Set Assignment Group to CI's support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {

    if (isLoading)
        return;

    var ga = new GlideAjax('ciCheck');

    ga.addParam('sysparm_name', 'getSupportGroup');
    ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
    ga.getXML(setAssignmentGroup);
}

function setAssignmentGroup(response) {

    var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");

    g_form.setValue('assignment_group', answer);
}
```

ロード中に onChange スクリプトを実行する必要がある場合は、次の規則を使用します。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {

    if (isLoading) {}; // run during loading

    // rest of script here
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

newValue チェックは、関連するフィールドに有効な値がある場合にのみ続行するようにこのスクリプトに指示します。これにより、フィールド値が削除または空白になったときにスクリプトが実行されなくなります。これにより、残りのスクリプトが実行されたときに常に有効な値が使用可能になります。

```
//Set Assignment Group to CI's support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {

    if (isLoading)
        return;

    if (newValue) {
        var ga = new GlideAjax('ciCheck');

        ga.addParam('sysparm_name', 'getSupportGroup');
        ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
        ga.getXML(setAssignmentGroup);
    }
}

function setAssignmentGroup(response) {

   var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");

   g_form.setValue('assignment_group', answer);
}
```

フォームのロード後に変更される値にスクリプトが反応するようにするには、newValue != oldValue チェックを使用します。

注: この例では、ユーザーが値を変更してから元の値に戻すことはできません。

```
//Set Assignment Group to CI's support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {

    if (isLoading)
        return;

    if (newValue) {
        if (newValue != oldValue) {
            var ga = new GlideAjax('ciCheck');

            ga.addParam('sysparm_name', 'getSupportGroup');
            ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
            ga.getXML(setAssignmentGroup);
        }
    }
}

function setAssignmentGroup(response) {

   var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   g_form.setValue('assignment_group', answer);
}
```

この例では、サーバー呼び出しを実行する前にクライアントが利用できるものをできるだけ多くチェックするようにスクリプトを再配置することで、GlideAjax 呼び出しを 1 レベル深く埋めています。スクリプトは、GlideAjax 呼び出しを実行する前にアサインをチェックします。これにより、**assignment_group** フィールドが既に設定されている場合、サーバールックアップが防止されます。

```
//Set Assignment Group to CI's support group if assignment group is empty
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {

    if (isLoading)
       return;

    if (newValue) {
        if (newValue != oldValue) {
            if (g_form.getValue('assignment_group') == '') {
                var ga = new GlideAjax('ciCheck');

                ga.addParam('sysparm_name', 'getSupportGroup');
                ga.addParam('sysparm_ci', g_form.getValue('cmdb_ci'));
                ga.getXML(setAssignmentGroup);
            }
        }
    }
}

function setAssignmentGroup(response) {

   var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");

   g_form.setValue('assignment_group', answer);
}
```

クライアントスクリプト

クライアントスクリプトを使用すると、フォームの読み込み時、フォームの送信後、フィールドの値の変更時など、クライアントベースのイベントが発生したときに、システムがクライアント (Web ブラウザー) で JavaScript を実行できます。

クライアントスクリプト、スクリプトタイプ、API、および推奨プラクティスの概要

クライアントスクリプトを使用して、ユーザーがフォームを使用しているときに、フォーム、フォームフィールド、およびフィールド値を設定します。クライアントスクリプトでは次を行うことができます。

- フィールドの非表示または表示を切り替える
- フィールドを読み取り専用または書き込み可能にする
- ユーザーのロールに基づいてフィールドをオプションまたは必須にする
- 他のフィールドの値に基づいて 1 つのフィールドの値を設定する
- ユーザーのロールに基づいて選択リストのオプションを変更する
- フィールドの値に基づいてメッセージを表示する

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントスクリプトが実行される場所

onCellEdit クライアントスクリプトを除き、クライアントスクリプトはフォームおよび検索ページにのみ適用されます。フォームのフィールド値を制御するクライアントスクリプトを作成する場合は、別の方法を使用してリスト内のフィールド値を制御する必要があります。

- フィールド値を編集できるユーザーを制限するアクセス制御を作成します。
- コンテンツを検証するビジネスルールを作成します。
- コンテンツを検証するデータポリシーを作成します。
- *onCellEdit()* クライアントスクリプトを作成してコンテンツを検証します。
- テーブルのリスト編集を無効にします。

注: クライアントスクリプトは ServiceNow モバイル アプリケーションではサポートされていません。

クライアントスクリプトフォーム

フィールド	説明
名前	クライアントスクリプトの名前。
テーブル	クライアントスクリプトを適用するテーブル。
UI タイプ	クライアントスクリプトを適用するターゲットユーザーインターフェイス。
タイプ	*onLoad()*：システムが最初にフォームをレンダリングするとき、およびユーザーがデータを入力できるようになる前に実行されます。通常、*onLoad()* クライアントスクリプトは、現在のフォームをクライアントサイドで操作するためやデフォルトのレコード値を設定するために使用されます。 *onSubmit()*：フォームが送信されると実行されます。通常、*onSubmit()* クライアントスクリプトがフォーム上のデータを検証して、フォームが正しく送信されるようにします。*onSubmit()* クライアントスクリプトから false を返すことでフォームの送信を取り消すこともできます。 *onChange()*：フォーム上の特定のフィールド値が変更されたときに実行されます。*onChange()* クライアントスクリプトには、以下のパラメーターを指定する必要があります。 • *control*：値が変更された DHTML ウィジェット。 **注:** *control* にはモバイルおよび サービスポータルではアクセスできません。 • *oldValue*：レコードがロードされたときのウィジェットの値。 **注:** HTML フィールドタイプに対して古い値は返されません。 • *newValue*：変更後のウィジェットの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• *isLoading*：フォームのロードの一環として変更が行われるかどうかを示します。 • *isTemplate*：テンプレートのロードの一環として変更が行われるかどうかを示します。 *onCellEdit()*：リストエディターがセル値を変更したときに実行されます。*onCellEdit()* クライアントスクリプトには、以下のパラメーターを指定する必要があります。 • *sysIDs*：編集中の全アイテムの sys_id のアレイ。 • *table*：編集中のアイテムのテーブル。 • *oldValues*：編集中のセルの古い値。 • *newValue*：編集中のセルの新しい値。 • *callback*：コールバックによって、関連するその他のセル編集スクリプトの実行に進みます。*true* がパラメーターとして渡されると、他のスクリプトが実行されるか、他にスクリプトがない場合は変更がコミットされます。*false* がパラメーターとして渡されると、それ以上のスクリプトは実行されず、変更はコミットされません。
フィールド名	スクリプトが適用されるフィールドの名前。スクリプトがフィールド値の変更に応答する場合にのみ使用できます (onChange または onCellEdit スクリプトタイプ)。
アプリケーション	このクライアントスクリプトが存在するアプリケーション。
アクティブ	選択すると、クライアントスクリプトが有効になります。クライアントスクリプトを無効にするには、このフィールドの選択を解除します。
継承	クライアントスクリプトが拡張テーブルに適用されるかどうかを示します。
グローバル	true の場合、クライアントスクリプトはテーブルのすべてのビューで実行されます。
表示	[グローバル] が選択されていない場合にのみ表示されます。クライアントスクリプトが実行されるビュー。
説明	クライアントスクリプトの機能と目的を説明するコンテンツ。
メッセージ	*getMessage('[message]')* を使用したローカライズ済みメッセージとして、クライアントスクリプトに提供されるテキスト文字列 (各行に 1 つ)。詳細については、「クライアントスクリプトメッセージの翻訳」を参照してください。
スクリプト	クライアントスクリプトが含まれています。
スクリプトを隔離	新しいクライアントスクリプトは、DOM への直接アクセスを無効にして、Strict モードで実行されます。jQuery、prototype、および window オブジェクトへのアクセスも無効になります。スクリプト単位でこれを無効にするには、このフォームを構成して [スクリプトを隔離] チェックボックスをオンにします。すべての新しいグローバルスコープのクライアント側スクリプトに対してこの機能を無効にするには、システムプロパティ glide.script.block.client.globals を false に設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI スクリプト

UI スクリプトを使用すると、クライアント側の JavaScript を再利用可能な形式にパッケージ化できます。これは、スクリプトインクルードがサーバー側の JavaScript を格納する方法と似ています。アドミニストレーターは、UI スクリプトを作成し、それらをクライアントスクリプト、他のクライアント側のスクリプトオブジェクト、および HTML コードから実行できます。

UI スクリプトはモバイルではサポートされていません。

グローバル UI スクリプト

UI スクリプトを作成してグローバルとして指定すると、システム内の任意のフォームでスクリプトを使用できるようになります。スコープ対象のアプリケーションからグローバル UI スクリプトを作成することはできません。

UI スクリプトをグローバルとして指定すると、システム内の任意のフォームが使用できるようになります。たとえば、関数 *helloWorld()* を持ち、[グローバル] フィールドがオンになっている UI スクリプトを作成できます。

```
function helloWorld() {
  alert('Hi');
}
```

このグローバル UI スクリプトを作成した後、作成したクライアントスクリプトまたは UI ポリシーから *helloWorld()* 関数を呼び出すことができます。

UI スクリプトの作成

再利用可能なクライアント側の JavaScript コードを定義する UI スクリプトを作成します。

手順

UI スクリプトを作成するには、 システム **UI** > **UI** スクリプト をクリックし、レコードを作成または編集します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

UI スクリプト

フィールド	説明
スクリプト名	UI スクリプトの名前。名前がシステム上で一意であることを確認してください。
API 名	スコープとスクリプト名を含む、UI スクリプトの API 名 (x_custom_app.HelloWorld など)。
アプリケーション	UI スクリプトを含むアプリケーション。
アクティブ	UI スクリプトがアクティブかどうかを示すインジケーター。アクティブな UI スクリプトのみを実行できます。
グローバル	スクリプトがシステム内のすべてのページでロードされるかどうかを示すインジケーター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: パフォーマンスに影響を与える可能性があるため、グローバル UI スクリプトを作成するときは注意が必要です。スコープ対象のアプリケーションからグローバル UI スクリプトを作成することはできません。
説明	スクリプトの目的の概要。
スクリプト	他のスクリプトから呼び出されたときに実行するクライアント側のスクリプト。

UI スクリプトの実行

UI スクリプトを実行するときは、次のガイドラインに従ってください。

フォームからの UI スクリプトの実行

フォームで UI スクリプトを実行するには、フォーマッターを作成してフォームに追加します。関連する UI マクロで、 `g:requires` タグを含め、*name=*パラメーターを UI スクリプト名の後に .jsdbx 拡張子を付けて指定します。フォームビューにフォーマッターを追加します。

このコードにより、UI スクリプトの定義と結果をブラウザーですぐに利用できるようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g2:evaluate var="jvar_stamp">
        var now_GR = new GlideRecord('sys_ui_script');
        gr.orderByDesc('sys_updated_on');
        gr.query();
        gr.next();
        gr.getValue('sys_updated_on');
    </g2:evaluate>
    <g:requires name="<UI SCRIPT NAME>.jsdbx"
 params="cache=$[jvar_stamp]" />
</j:jelly>
```

HTML での UI スクリプトの呼び出し

HTML コードから UI スクリプトを実行するには、 `<![CDATA[<script>]]>` タグを使用し、 `src=` 引数を UI スクリプトの API 名の後に .jsdbx 拡張子を付けて指定します。たとえば、*CoolClock* という名前の UI スクリプトを次のコードに含めます。

```
<script language="javascript" src="CoolClock.jsdbx" />
```

クライアント側のコードからの UI スクリプトの呼び出し

g_ui_scripts グローバルオブジェクトを使用して、クライアント側のコード内から UI スクリプトにアクセスします。詳細については、次を参照してください。 GlideUIScript -クライアント.

注: [グローバル] フィールドが true に設定されている UI スクリプトは、このクラスではサポートされません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カタログクライアントスクリプト

クライアント側のスクリプトは、フォームに動的な効果と検証を追加できます。スクリプトはサービスカタログアイテムまたは変数セットに適用できるため、アドミニストレーターは他のフォームで利用可能なものと同じ機能を使用できます。

クライアント側のサイドスクリプトを使用して、次のことができます。

- 変数値を取得または設定します。
- 変数を非表示にするか表示します。
- 変数を必須にするかどうかを指定します。
- フォームの送信を検証します。
- カートに追加します。
- すぐに注文します。

カタログクライアントスクリプトの考慮事項

カタログクライアントスクリプトを作成するときは、次の考慮事項に注意してください。

- カタログクライアントスクリプトは、ユーザーがサービスカタログからアイテムを注文したときに実行されます。カタログクライアントスクリプトは、ユーザーがカタログアイテムを要求したときにカタログアイテムの変数または変数セットが表示されるときにも実行できます。
- カタログクライアントスクリプトを使用して変数にアクセスできるようにするには、変数名が必要です。名前のない変数は、利用可能な変数のリストに表示されません。
- [要求アイテム] フォームまたは [カタログタスク] フォームで標準のクライアントスクリプトを使用する場合は、変数と同じ名前のフィールドをメモしておきます。同じ名前のテーブルフィールドと変数の両方がフォームに存在する場合、スクリプトを使用してアクセスするとテーブルフィールドが照合されます。これが発生した場合は、変数に「`variables.variable name`」という名前を付けて、具体的に対処します。例：`g_form.setValue('variables.replacement', 'false');`
- レコードプロデューサーを使用して サービスカタログ から他のタイプのレコードに変数を渡す場合、これらの変数は、[変更要求] フォームの変更変数エディター UI フォーマッターなどの変数エディターを使用して、それらのレコードに表示されます。これらの変数は、標準のクライアントスクリプトメソッド (`setDisplay`、`setMandatory`、`setValue`、`getValue` など) を使用して操作できます。
- カタログクライアントスクリプトは、ウィザードに含まれるカタログアイテムに使用できます。
- `g_form.refreshSlushbucket(fieldName)` API を使用して、リストコレクター変数を更新できます。

カタログクライアントスクリプトの違い

カタログクライアントスクリプトは、標準のクライアントスクリプトとよく似ていますが、いくつかの重要な違いがあります。

- スクリプトの [インシデント] などのテーブルを選択する代わりに、カタログアイテムまたは変数セットを選択します。システムには多数のカタログアイテムがある場合があるため、標準の [クライアントスクリプト] フォームで使用される選択リストではなく、参照フィールドを使用してカタログアイテムまたは変数セットを選択する必要があります。
- *`onChange()`* カタログクライアントスクリプトを使用すると、フィールドではなく特定の変数にリンクされます。変数名選択リストには、選択したカタログアイテムまたは変数セットの名前付き変数が自動的に入力されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カタログクライアントスクリプトの作成

カタログクライアントスクリプトを作成するには、次の手順に従います。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログ管理 > カタログクライアントスクリプト.
   現在のカスタムカタログクライアントスクリプトのリストが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフィールドに入力します (表を参照)。

フィールド	説明
名前	カタログクライアントスクリプトの一意の名前を入力します。
適用先	このクライアントスクリプトが適用されるアイテムタイプを選択します。 ◦カタログアイテム：[カタログアイテム] フィールドを有効にします。 ◦変数セット：変数セットフィールドを有効にします。
アクティブ	クライアントスクリプトを有効にするチェックボックスをオンにします。スクリプトを無効にするには、このチェックボックスをオフにします。
UI タイプ	デスクトップ、モバイル、またはその両方に適用するかどうかを指定します。
スクリプト	サービスカタログアイテムで実行するべきクライアントスクリプトを入力します。
タイプ	**onLoad** や **onSubmit** などのスクリプトを実行するタイミングを選択します。
カタログアイテムまたは変数セット	リストからカタログアイテムまたは変数セットを選択します。使用可能なフィールド名とオプションは、[適用先] フィールドの選択によって異なります。
カタログアイテムビューに適用	サービスカタログの注文画面に表示されているカタログアイテムにカタログクライアントスクリプトを適用する場合、このチェックボックスをオンにします。要求者のビューで利用可能です。
要求アイテムに適用	アイテムが要求された後、[要求アイテム] フォームにカタログクライアントスクリプトを適用する場合、このチェックボックスをオンにします。履行者のビューで利用可能です。「VEditor」を参照してください。
カタログタスクに適用	アイテムの [カタログタスク] フォームの表示中にカタログクライアントスクリプトを適用する場合、このチェックボックスをオンにします。履行者のビューで利用可能です。「VEditor」を参照してください。
ターゲットレコードに適用	レコードプロデューサーを使用してタスク拡張テーブル用に作成されたレコードでカタログ UI ポリシーをサポートするには、このチェックボックスをオンにします。「デフォルトの変数エディター」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

カタログクライアントスクリプトの例

一般的なアクションを実行するクライアントスクリプトの例。

Example: 変数の値の取得

カタログ変数の値を取得するには、次の構文を使用します。変数には名前が必要であることに注意してください。「`variable_name`」を変数の名前に置き換えます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
g_form.getValue('variable_name');
```

Example: ユーザーが変数に入力できる文字数を制限する

これは、アイテムが注文されたときではなく、変数が表示されたときに実行されるスクリプトの例です。

```
function onLoad(){
  var sd = g_form.getControl('short_description');
  sd.maxLength=80;
}
```

モバイル クライアント GlideForm (g フォーム) のスクリプトと移行

モバイル用のクライアントスクリプトは、Web 用のスクリプトと同じですが、いくつかの例外があります。すべての新しいスクリプトは特定のガイドラインに準拠する必要があります。モバイルプラットフォームで影響を受けるアイテムは、クライアントスクリプト、UI ポリシー、ナビゲーターモジュール、および UI アクションです。

クライアントスクリプト

新しいスクリプトまたは既存のスクリプトをモバイルで有効にするには、次の要件に準拠する必要があります。

- *g_form.getControl()* の代わりに、新しいモバイルメソッドを使用する。
- 使用禁止メソッドは使用しない。
- サポート対象外のブラウザーオブジェクトは参照しない。
- 同期 JavaScript、*GlideAjax*、*GlideRecord* 呼び出しを使用しない。
- モバイルでは利用できないメソッドは呼び出さない。
- スクリプトをモバイル UI で実行できるようにする。

要件

新しいモバイルメソッドを使用する	HTML を直接操作するのではなく、フォームフィールドを変更するための新しいメソッドがいくつか用意されています。これらのメソッドにより、以前使用していた *g_form.getControl()* は置き換えられ、モバイルプラットフォームで使用禁止になります。既存のスクリプトでは、モバイルプラットフォームで無効になったメソッドの代わりに、新しいメソッドが使用されるようにします。これらの新しいメソッドの詳細については、「Mobile GlideForm() API」を参照してください。
使用禁止メソッドを使用しない	HTML 要素への直接アクセスが許可されていないため、モバイルプラットフォームで次のメソッドが使用禁止になりました。 • *g_form.getControl()* • *g_form.getFormElement()* • *g_form.getElement()* 既存のスクリプトに互換性があることを確認するには、使用禁止メソッドへのすべての呼び出しをコードから削除します。新しいスクリプトの場合、スクリプトをモバイルで有効にするには、使用禁止メソッドを使用しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件 (続く)

	g_form.getControl() の場合、以前にこのメソッドに含まれていた機能のいくつかが個々のメソッドに抽出されています。*g_form.getControl()* の代わりに、開発者サイトに記載されている新しいメソッドを使用します。
サポート対象外のブラウザーオブジェクトは参照しない	モバイルスクリプトでは、次のブラウザーオブジェクトはサポートされていません。 • ウィンドウ • jQuery または Prototype ($、$j、または $$) • ドキュメント 新しいスクリプトがこれらのオブジェクトを使用していないことを確認し、既存のスクリプトからこれらのオブジェクトを削除します。代わりに、*GlideForm (g_form)* を使用します。同じタスクを実行するために、*setLabel()*、*addDecoration()*、および *hasField()* などのメソッドが提供されています。

同期 JavaScript 呼び出しを使用しない	モバイルプラットフォームでは、同期 JavaScript 呼び出しは許可されていません。*g_form.getReference()* メソッドでは、コールバックパラメーターを定義しておく必要があります。例：
	`g_form.getReference(fieldName, callback)`
	すべての *g_form.getReference()* 呼び出しにコールバックパラメーターが含まれるようにします。たとえば、次のスクリプトにはコールバックが含まれないため、モバイルプラットフォームとは互換性がありません。
	`var userName = g_form.getReference('assigned_to').user_name; g_form.setValue('u_assigned_user_name', userName);`
	次のスクリプトは、コールバックが含まれるように更新されたため、モバイルプラットフォームと互換性があります。
	`g_form.getReference('assigned_to', function(now_GR) { g_form.setValue('u_assigned_user_name', gr.user_name); });`

同期 Ajax 呼び出しを使用しない	モバイルプラットフォームは、同期 *GlideAjax* 呼び出しを許可していません。*GlideAjax* で *getXMLWait()* をどのように使用しても、モバイルプラットフォームでは機能しません。すべての *GlideAjax* 呼び出しが常に非同期になるようにします。*GlideAjax* 呼び出しと *getXMLWait()* の同期と非同期の詳細については、「AJAX」を参照してください。利用可能な *GlideAjax* メソッドの詳細については、「GlideAjax API」を参照してください。
同期 *GlideRecord* 呼び出しを使用しない	モバイルプラットフォームでは同期 GlideRecord 呼び出しは使用できません。既存の *GlideRecord* 呼び出しにコールバックが含まれるようにします。たとえば、次のスクリプトにはコールバックが含まれないため、モバイルプラットフォームとは互換性がありません。 `var now_GR = new GlideRecord('incident'); gr.addQuery('number', g_form.getValue('related_incident'));`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件 (続く)

```
gr.query();
gr.next();
g_form.setValue('u_related_incident_description',
gr.short_description);
```

次のスクリプトは、コールバックが含まれるように更新されたため、モバイルプラットフォームと互換性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gr.addQuery('number', g_form.getValue('related_incident'));
gr.query(function(now_GR) {
    gr.next();
    g_form.setValue('u_related_incident_description',
gr.short_description);
});
```

モバイルプラットフォームで利用できないメソッドは使用しないでください	モバイルプラットフォームによって課せられる制限と機能の低下により、次のメソッドは使用禁止されることはありませんが、モバイルプラットフォームでは利用できません。モバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。 • *showRelatedList ()* • *hideRelatedList ()* • *showRelatedLists ()* • *hideRelatedLists()* • *flash()* • *getSections()* • *enableAttachments()* • *disableAttachments()* • *setReadonly()* (*setReadOnly()* は利用可能です) • *getParameter()*
モバイル用スクリプトを有効にする	モバイルプラットフォームでスクリプトを有効にする必要があります。

注: モバイルフォームでの要素のフォーカスはサポートされていません。

UI ポリシー

モバイルプラットフォーム、デスクトップ、またはその両方でスクリプトを実行するかどうかを決定するには、**[UI** タイプでスクリプトを実行] フィールドを使用します。既存のポリシーがモバイルプラットフォームまたはその両方に適用されるように既存のポリシーを更新します。新しいスクリプトの場合は、モバイルオプションまたはその両方が選択されていることも確認します。

ナビゲーターモジュール

既存のコードの場合、モジュールをモバイルプラットフォームで使用するには、sys_ui_application または sys_ui_module のいずれかのテーブルに転送する必要があります。新しいコードを開発する場合は、すべてのモジュールが sys_ui_application または sys_ui_module テーブルで作成されるようにしてください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI アクション

UI アクションをモバイルプラットフォームで表示するには、sys_ui_ng_action テーブルに転送する必要があります。使用禁止メソッドを使用しない UI アクションスクリプトでは、スクリプト自体を変更する必要はありません。新しい UI アクションの場合は、sys_ui_ng_action テーブルで作成されるようにしてください。

AJAX

AJAX (非同期 JavaScript および XML) は、非同期 Web アプリケーションの作成に使用される、相互に関連するクライアントサイド開発手法の集まりです。

AJAX を使用すると、Web アプリケーションは、表示される Web ページのユーザーエクスペリエンスに影響を与えることなく、バックグラウンドでサーバーとの間で情報を送受信できます。

GlideAjax

GlideAjax クラスを使用すると、クライアントからサーバーサイドのコードを実行できます。*GlideAjax* 呼び出しはスクリプトインクルードにパラメーターを渡し、命名規則を使用してこれらのパラメーターを使用できるようにします。

注: この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

GlideAjax の使用：

- 使用するスクリプトインクルードの名前で *GlideAjax* を初期化します。
- スクリプトインクルードを作成するときは、名前フィールドをクラス名とまったく同じに設定する必要があります。
- スクリプトインクルードを作成するときは、[クライアント呼び出し可能] チェックボックスをオンにする必要があります。
- パラメーター *sysparm_name* を指定します。*GlideAjax* は *sysparm_name* を使用して、使用する関数を検索します。
- 追加のパラメーターを渡すことができます。すべてのパラメーターは「*sysparm_*」で始まる必要があります。事前定義されたパラメーター名は使用しないでください。
  - *sysparm_name*
  - *sysparm_function*
  - *sysparm_value*
  - *sysparm_type*
- 次に、*getXML()* または *getXMLWait()* 関数を使用してコードが実行されます。

詳細については、GlideAjax API を参照してください。

非同期 GlideAjax の例

非同期 *GlideAjax* スクリプトには、クライアント側のコードとサーバー側のコードの 2 つの部分があります。

Hello World：サーバーから値を返す

Example: クライアント側

このコードはクライアント (Web ブラウザー) で実行されます。クライアントスクリプト を通常通りに作成します。これにより、パラメーターがサーバーに送信され、サーバーが処理を行います。クライアントが結果を待たないように、コールバック関数を使用して結果を返し、*getXML()* 関数に渡します(この場合は「`HelloWorldParse`」と呼ばれます)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

getXMLWait() 関数には個別のコールバック関数は必要ありませんが、これによりクライアントがブロックされます。クライアント/サーバー間の通信に時間がかかる場合 (ネットワークが遅い場合など)、アプリケーションが応答せず、速度が低下しているように感じます。*getXMLWait()* の例は、次のセクションにあります。

```
var ga = new GlideAjax('HelloWorld');
ga.addParam('sysparm_name', 'helloWorld');
ga.addParam('sysparm_user_name', "Bob");
ga.getXML(HelloWorldParse);

function HelloWorldParse(response) {
  var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");
  alert(answer); }
```

Example: サーバー側

上記の関数のサーバー側のコード。ビジネスルールを作成せず、代わりに システム定義>スクリプトインクルード 新しいスクリプトを作成します以下のコードを貼り付けます。

> **注:** スクリプトインクルードの名前を「`HelloWorld`」に設定する必要があります。

- *sys_script_include* コードは、*AbstractAjaxProcessor* クラスを拡張し、クライアントが呼び出すことができる必要があります。
- 「_」で始まる関数名はプライベートと見なされ、クライアントから呼び出すことはできません。
- 「`initialize`」を含む *AbstractAjaxProcessor* のメソッドは上書きしないでください。上書きしたスーパークラスオブジェクトのメソッドを呼び出すことはできますが、複雑なため、総じて避けることをお勧めします。

```
var HelloWorld = Class.create();
HelloWorld.prototype = Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor, {
   helloWorld:function() { return "Hello " +
 this.getParameter('sysparm_user_name') + "!"; } ,
   _privateFunction: function() { // this function is not client callable
    }
 });
```

これにより、フォームを訪問すると「Hello Bob!」というアラートボックスが表示されます。

複数の値を返す

応答は XML ドキュメントであるため、単一の `answer` 値しか返せないわけではありません。複数の XML ノードと属性を返す、より複雑な例を次に示します。

Example: AJAX プロセッサースクリプトインクルード

```
/*
 * MyFavoritesAjax script include Description - sample AJAX processor
 returning multiple value pairs
 */
var MyFavoritesAjax = Class.create();
MyFavoritesAjax.prototype = Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor, {

  /*
  * method available to client scripts call using:
  * var gajax = new GlideAjax("MyFavoritesAjax");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  * gajax.addParam("sysparm_name","getFavorites");
  */
 getFavorites: function() { // build new response xml element for result
        var result = this.newItem("result");
   result.setAttribute("message","returning all favorites");

   //add some favorite nodes with name and value attributes
        this._addFavorite("color","blue");
        this._addFavorite("beer","lager");
        this._addFavorite("pet","dog");
      },
  // all items are returned to the client through the inherited methods
 of AbstractAjaxProcessor
  _addFavorite: function(name, value) {
         var favs = this.newItem("favorite");
    favs.setAttribute("name",name);
    favs.setAttribute("value",value); },

 type:"MyFavoritesAjax"

 });
```

Example: クライアントスクリプト

```
// new GlideAjax object referencing name of AJAX script include
var ga = new GlideAjax("MyFavoritesAjax");
// add name parameter to define which function we want to call
// method name in script include will be getFavorites
ga.addParam("sysparm_name","getFavorites");

// submit request to server, call ajaxResponse function with server
 response

ga.getXML(ajaxResponse);

function ajaxResponse(serverResponse) {
  // get result element and attributes
  var result = serverResponse.responseXML.getElementsByTagName("result");
  var message = result[0].getAttribute("message");

  //check for message attribute and alert user
  if(message) alert(message);

  //build output to display on client for testing
  var output = "";

  // get favorite elements
  var favorites =
 serverResponse.responseXML.getElementsByTagName("favorite");
  for(var i = 0; i < favorites.length; i ++) {
    var name = favorites[i].getAttribute("name");
    var value = favorites[i].getAttribute("value");
    output += name + " = " + value + "\n "; }

  alert(output); }
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: XML 応答

```
<xml sysparm_max= "15" sysparm_name="getFavorites"
 sysparm_processor="MyFavoritesAjax">
  <result message = "returning all favorites"></result>
  <favorite name = "color" value = "blue"></favorite>
  <favorite name = "beer" value = "lager"></favorite>
  <favorite name = "pet" value = "dog"></favorite>
</xml>
```

同期 GlideAjax の例

GlideAjax 応答がないとスクリプトを続行できない場合は、同期を使用します。これにより、応答を受信するまでセッションが停止します。

ユースケースで、*GlideAjax* 応答を受信するまでそれ以上の処理を実行できないようにする必要がある場合は、*getXMLWait()* を使用できます。ただし、これによりコードの速度が低下し、応答を受信するまでユーザーセッションがロックされるため、通常はコールバック関数とともに *getXML()* を使用することをお勧めします。

注: *AJAXEvaluateSynChronusly* は使用しないでください。

getXMLWait() メソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

このコードにより、クライアント側でアラートが生成され、「The Server Says Hello Bob!」と表示されます。

クライアントコード。

```
var ga = new GlideAjax('HelloWorld') ;
ga.addParam('sysparm_name','helloWorld');
ga.addParam('sysparm_user_name',"Bob");
ga.getXMLWait();
alert(ga.getAnswer());
```

サーバー側のスクリプトインクルードコード。

```
var HelloWorld = Class.create();
HelloWorld.prototype = Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor, {
helloWorld: function()
 { return "The Server Says Hello " +
 this.getParameter('sysparm_user_name') + "!"; } } );
```

AJAXClientHelper

Ajax クライアントから値を取得するためのヘルパー関数を Ajax クライアントに提供します。

使用する状況

Ajax クライアントから値を取得する必要がある場合は、このスクリプトインクルードを使用します。

メソッドの概要

メソッドの概要	説明
getDisplay()	選択リストから表示値を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メソッドの詳細

API メソッド	説明	入力パラメーター	出力リターン
getDisplay()	選択リストから表示値を取得します。	なし	表示値。

Example: cURL

```
// getDisplay
(function(table, sysId) {
    var ga = new GlideAjax('AjaxClientHelper');
    ga.addParam("sysparm_name", "getDisplay");
    ga.addParam('sysparm_table', 'incident');
    ga.addParam('sysparm_value', "0598b22b877313003c1c8467a7cb0b71");
    ga.getXMLWait();
    return ga.getAnswer();
}("incident", "0598b22b877313003c1c8467a7cb0b71")); // Returns
 'INC0010001'
```

有用なスクリプト

コアシステムに含まれていない便利な機能を提供するスクリプト。

ユーザーオブジェクトを取得する

ビジネスルールやその他のサーバースクリプトでは、*gs.getUser()* メソッドがユーザーオブジェクトを返します。ユーザーオブジェクトは、現在ログインしているユーザーの内部表現であり、ユーザーやさまざまなユーティリティ機能に関する情報を提供します。

このタスクについて

ユーザーオブジェクトで利用可能なスコープ対象メソッドのリストと説明については、「GlideUser」を参照してください。

手順

1. 現在のユーザーを取得します。

```
var myUserObject = gs.getUser()
```

2. *getUserByID* メソッドを使用し、ターゲットレコードの `user_name` フィールドまたは `sys_id` を使用して別のユーザーをフェッチします。
   例：

```
var ourUser = gs.getUser();
gs.print(ourUser.getFirstName()); //print the first name of the user
 you are currently logged in as
newUser = ourUser.getUserByID(<user_sys_id>); //fetch a different user,
 using the sys_id of the target user record.
gs.print(newUser.getFirstName()); //first name of the user you fetched
 above
gs.print(newUser.isMemberOf(-'Capacity Mgmt'));
```

ビジネスルールからワークフロースクラッチパッドへのアクセス

カタログアイテムが要求され、添付されたワークフローにスクラッチパッドに値を入力するスクリプト実行アクティビティが含まれている。要求アイテムで実行されているビジネスルールから、スクラッチパッドの値を取得または設定したいとします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

前提条件

必要なロール：admin。

名前:ビジネスルールからワークフロースクラッチパッドにアクセスします。

タイプ:ビジネスルール。

テーブル:sc_req_item (要求アイテム)

説明：カタログアイテムが要求されました。添付されたワークフローには、スクラッチパッドに値を入力するスクリプト実行アクティビティが含まれています。要求アイテムで実行されているビジネスルールから、スクラッチパッドの値を取得または設定したいとします。

パラメータ:該当なし。

スクリプト：

```
//the run script activity sets a value in the scratchpad
workflow.scratchpad.important_msg = "scratch me";

//get the workflow script include helper
var workflow = new Workflow();

//get the requested items workflow context
//this will get all contexts so you will need to get the proper one if
 you have multiple workflows for a record
var context = workflow.getContexts(current);
//make sure we have a valid context
if (context.next()) {
  //get a value from the scratchpad
  var msg = context.scratchpad.important_msg;
  //msg now equals "scratch me", that was set in the run script activity

  //add or modify a scratchpad value
  context.scratchpad.status = "completed";
  //we need to save the context record to save the scratchpad
  context.update();
}
```

サービスカタログのチェックアウトへのフィールドの追加

これは、カート以外のレイアウトマクロを使用して、[要求元：] フィールドの下のチェックアウトに [会社 **(Company)]** フィールドを追加する例です。つまり、*glide.sc.use_cart_layouts* は `false`です。

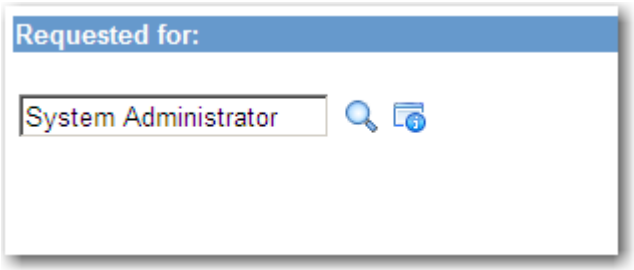
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

フィールドの要求元



このフィールドは、そのフィールドの値をサービスカタログ要求の [会社] フィールドに渡します。

この例は、以下を前提としています。

- この例は、2 ステップチェックアウトを使用するインスタンス用です。2 ステップチェックアウトが有効になっていない場合は、開始する前に有効にしてください。
- この例では、サービスカタログ要求フォームの [会社] フィールドに値を入力します。フィールドがフォームに表示されない場合は、開始する前にフォームを構成します。

手順

1. [システム **UI**] > **[UI** マクロ] に移動し、**[servicecatalog_cart_template]** を選択します。
2. 非表示の変数が宣言されている箇所を見つけて、次の行を追加します。

```
<input type="HIDDEN" name="cart_id" id="cart_id"
 value="$[sc_cart.sys_id]" />
```

3. 要求元コードを生成する次のコードを探します。

```
<tr class="header">
<td width = "30%">
  ${gs.getMessage('Requested for')}:
  </td>
  <td width="70%">
    <label for="requestor_location">${gs.getMessage('Deliver
 to')}:</label>
  </td>
</tr>
<tr><td>$[SP]</td>
</tr>
  <tr><td valign="top">
    <j2:if test="$[jvar_can_delta_rf == false]">
      $[sc_cart.requested_for.getDisplayValue()]
    </j2:if>
    <j2:if test="$[jvar_can_delta_rf != false]">
      <g2:catalog_requested_for />
    </j2:if>
  </td>
  <td>
    <textarea id="requestor_location" style="width:100%"
 rows="4"       name="requestor_location" wrap="soft"
 onChange="catDeliveryAddress('$[sc_cart.sys_id]',
 'requestor_location');">
      $[sc_cart.delivery_address]
    </textarea>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  </td>
</tr>
<tr>
  <td>$[SP]</td>
</tr>
```

4. 後で次のコードを追加します。

```
<tr class="header">
  <td colspan="2">Company</td>
</tr>
<tr>
  <td>$[SP]</td>
</tr>
<tr>
  <td colspan="2">
    <g2:ui_reference name="core_company" table="core_company"
 onchange="setCartValue()"/>
  </td>
</tr>
<tr>
  <td>$[SP]</td>
</tr>
```

注: `ui_reference` マクロは参照フィールドを定義します。さまざまなフィールドタイプにいくつかのマクロがあります。これらのフィールドタイプの例は、[システム **UI] -> [UI** マクロ]で確認できます。これらのマクロは先頭が「 `ui_`」で始まります。この例では、作成される参照フィールドの名前は **core_company** です。

5. [システム **UI] > [UI** ページ] に移動し、**[servicecatalog_checkout_one]** UI ページを選択します。
6. 次のスクリプトを [クライアントスクリプト] フィールドに追加します。

```
function setCartValue() {
  var newField = gel('core_company');
  var myCart = gel('cart_id');
  var cart_item = new GlideRecord('sc_cart_item');
  cart_item.addQuery('cart', myCart.value);
  cart_item.query();
  if(cart_item.next()) {
    cart_item.hints = "<hints><entry key='sysparm_processing_hint'
 value='setfield:request.company=" + newField.value + "'/></hints>";
    cart_item.update();
  }
}
```

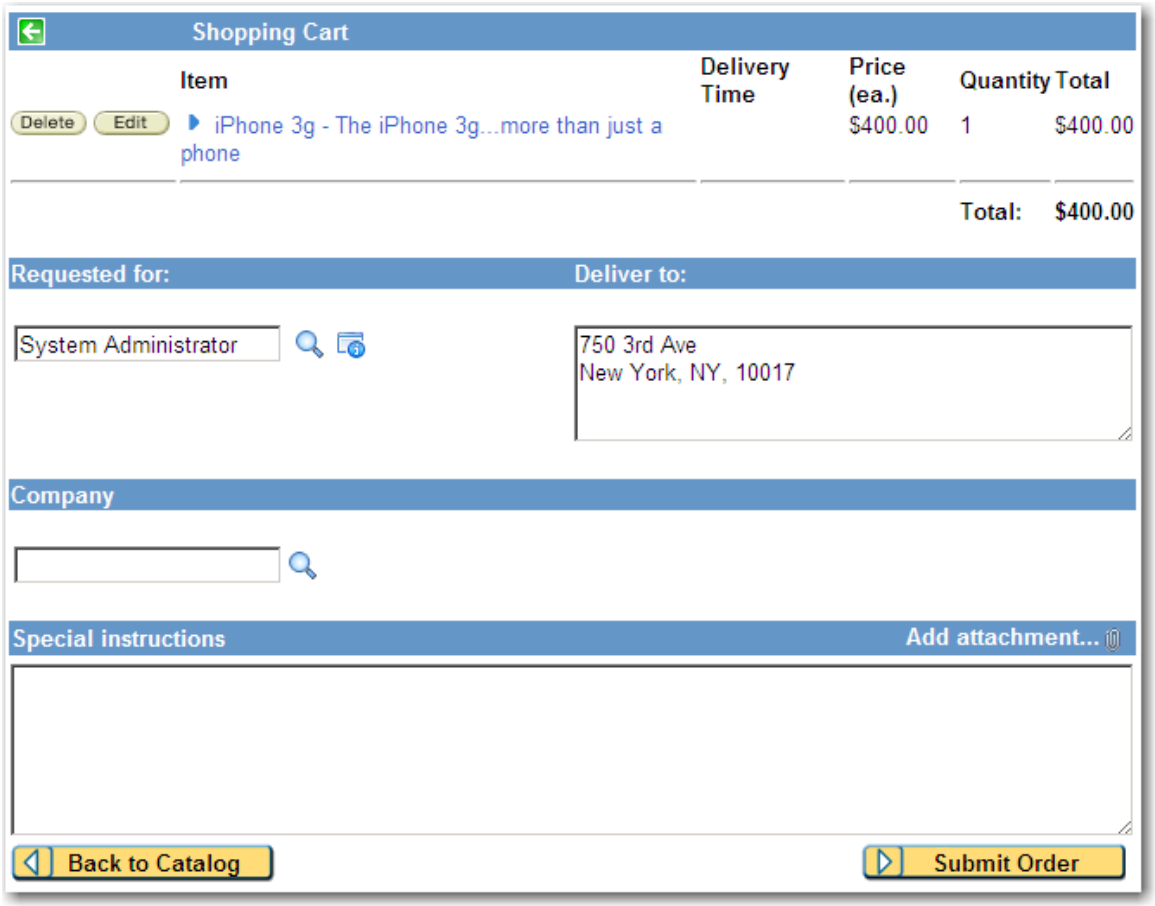
この例では、参照フィールドは **core_company** と呼ばれ、要求に応じて入力されるフィールドは **company** です。異なるフィールドを使用する場合：

- 次の行を探します。`var company = gel('core_company');`。次に、**core_company** をチェックアウトのフィールドの名前に置き換えます。
- 先頭が「`cart_item.hints`」で始まる行で、「`request.company`」を要求チケットに応じて入力されるフィールドの名前に置き換えます。ここで、「`request`」は生成される要求であり、「`company`」はフィールドの名前です。

タスクの結果

アイテムが注文されると、会社フィールドがカタログフォームに表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



配送計画タスクに基づいたカタログアイテムのグループへのアサイン

デスクトップグループにアサインされたカタログタスクを持つ配送計画を使用する場合は、サービスカタログアイテムをデータベースグループにアサインします。

必須条件

必要なロール：admin

⚠ **警告:** ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

名前:配送計画タスクに基づいてカタログアイテムをグループにアサインします。

タイプ:アサインルール。

説明：このアサインルールは、デスクトップグループにアサインされたカタログタスクを持つ配送計画を使用する場合に、サービスカタログアイテムをデータベースグループにアサインします。

スクリプト：

```
//Return catalog items that have no group but do have a delivery plan
 assigned var ri  = new GlideRecord ( "sc_cat_item" ) ;
ri.addQuery("group", "=", null);
ri.addQuery("delivery_plan", "!=", null);
ri.query();
while(ri.next()) {
    gs.log("Found an item");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    //Return tasks that point to the same delivery plan as the above item
    var dptask = new GlideRecord("sc_cat_item_delivery_task");
    dptask.addQuery("delivery_plan", "=", ri. delivery_plan);
    dptask.query();
    while(dptask.next()) {
        gs.log("Found a task");
        var gp = dptask.group.getDisplayValue();
        gs.log(gp);
        //If the task is assigned to desktop, assign the item's group to
desktop
       if (dptask.group.getDisplayValue() == "Desktop") {
           ri.group.setDisplayValue("Desktop");
           gs.log("updating " + ri.getDisplayValue());
           ri.update();
           break; } } }
```

ステータス変更時のフォームの色の変更

ステータス変更時にフォームのフォームフィールドの色を変更します。スクリプトは、HTML DOM を介してアクセス可能なページ上のオブジェクトのプロパティを調整するために、簡単に変更できます。

⚠ **警告:** ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

名前：ステータス変更時のフォームの色の変更

タイプ：クライアントスクリプト

テーブル：

説明：ステータス変更時にフォームのフォームフィールドの色を変更します。スクリプトは、HTML DOM を介してアクセス可能なページ上のオブジェクトのプロパティを調整するために、簡単に変更できます。

パラメーター：

スクリプト：

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
  var elementID = gel("incident.priority");
    switch(newValue) {
      case "1": elementID.style.backgroundColor = "red"; break;
      case "2": elementID.style.backgroundColor = "tomato"; break;
      case "3": elementID.style.backgroundColor = "orange"; break;
      case "4": elementID.style.backgroundColor = "yellow"; break;
      case "5": elementID.style.backgroundColor = "green"; break;
      default: elementID.style.backgroundColor = "white"; break; } }
```

UI ルーティングアクションの作成

このソリューションを使用すると、インシデントまたは要求アイテムのどちらであるかを知らなくても、サービスデスクでレコードを作成できます。その後、サービスデスクはレコードを適切なテーブルにルーティングできます。

このタスクについて

ℹ **注:** ここで説明する機能には、**admin** ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

UI ルーティングアクションの作成方法：

手順

1. `タスク`テーブルを拡張する新しいテーブルを作成します (「新規コール」など)。
2. 新しい新規コールレコードを作成するモジュールを作成します。
3. 新規コールテーブルに必要なフィールドを作成します。

   新規コールをインシデントまたは要求アイテムのどちらにルーティングするかを決定するために必要なフィールドのみが必要とされます。フォームに、インシデントまたは要求アイテムに渡すフィールドが含まれていることを確認します。この例では、フォームに次のものが作成されます。

   - 要求元 (参照)
   - 場所 (参照)
   - コールタイプ (インシデントと要求の 2 つの値を持つ選択肢)
   - 要求アイテム (`sc_cat_item` アイテムテーブルへの参照)
4. いくつかの UI ポリシーを追加して、いくつかのフィールドを必須に設定し、[コールタイプ] の選択に基づいて [要求アイテム] フィールドを非表示にします。
5. 不要なボタンや機能をフォームから削除します。
6. 新しい UI アクションボタンを作成します。
   このボタンにより、ユーザーはインシデントまたは要求にリダイレクトされます。また、インシデントレコードが作成され、インシデントと要求アイテムフォームに値がコピーされます。

```
var reqItem = current.u_item;
var requestedFor = current.u_requested_for;
var location = current.location;

if(current.u_incident_request == 'Incident'){
  //Create a new incident record and redirect to the new incident
  var rec = new GlideRecord('incident');
  rec.initialize();
  rec.caller_id = requestedFor;
  rec.location = location;
  rec.insert();
  action.setRedirectURL(rec);
}

if(current.u_incident_request == 'Request'){
  //Build the url and route the user to the request item
  var url = '';
  if(current.u_item.sys_class_name == 'sc_cat_item_guide'){
    url =
 'com.glideapp.servicecatalog_cat_item_guide_view.do?sysparm_initial=tr
ue&sysparm_guide=' +
      reqItem + '&sysparm_user=' + requestedFor + '&sysparm_location='
 + location;
  }
  else{
    url = 'com.glideapp.servicecatalog_cat_item_view.do?sysparm_id=' +
 reqItem + '&sysparm_user=' +
      requestedFor + '&sysparm_location=' + location;
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  action.setRedirectURL(url);
}
```

7. 前の例の [ルーティング] ボタンは、URL の [要求元] と [場所] の値を [要求アイテム] フォームに渡します。
次のクライアントスクリプトを使用して、これらの値をマッピングするアイテム、レコードプロデューサー、または注文ガイドに *requested_for* および *location* と呼ばれる変数があることを確認します。URL の長さには制限があるため、渡すことができる情報の量には制限があります。この方法を使用して長いテキストフィールドからの情報は送信しないでください。

```
function onLoad() {
  var url = document.location.toString();
  var userKey = 'sysparm_user=';
  var locKey = 'sysparm_location=';
  var userPosition = url.indexOf(userKey);
  var locPosition = url.indexOf(locKey)
  if (userPosition != -1) {
    var user = url.substr(userPosition+userKey.length, 32);
    g_form.setValue('requested_for',user);
  }
  if (locPosition != -1) {
    var loc = url.substr(locPosition+locKey.length, 32);
    g_form.setValue('location',loc);
  }
}
```

カスタムキューを使用してイベントを処理する

大量のイベントや処理に時間がかかるイベントを作成するアプリケーションには、カスタムキューを使用できます。このタスクでは、カスタムキューとその監視プロセスを作成し、スクリプトを使用してキューにイベントを送信する方法を示します。

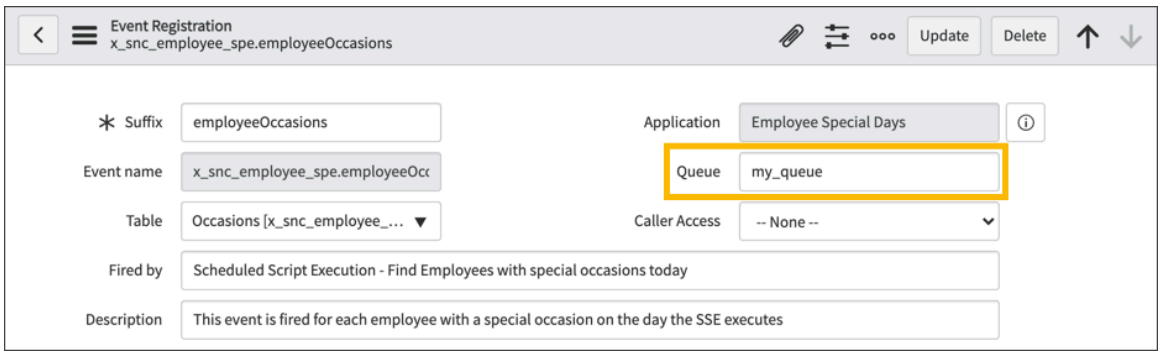
始める前に

必要なロール：admin

注: この情報は、イベント処理を理解している上級ユーザーを対象としています。

手順

1. 移動先 システムポリシー > イベント > レジストリ.
2. カスタムキューを作成するイベントを選択します。
[イベント登録] フォームが表示されます。
3. イベント登録でイベントの [キュー] フィールドに入力します。
小文字のみを使用し、アンダースコア (_) 以外の特殊文字は使用しないでください。



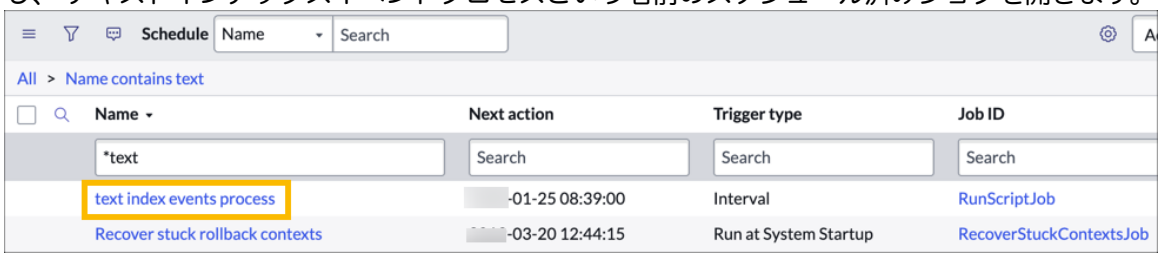
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [送信] をクリックします。
新しいイベントがイベント [sysevent] テーブルに一覧表示されます。

次の例では、employeeOccasion イベントが生成されると my_queue に追加されます。イベントはキューに留まります。この問題を解決するには、イベントのキューを監視するプロセスを作成します。

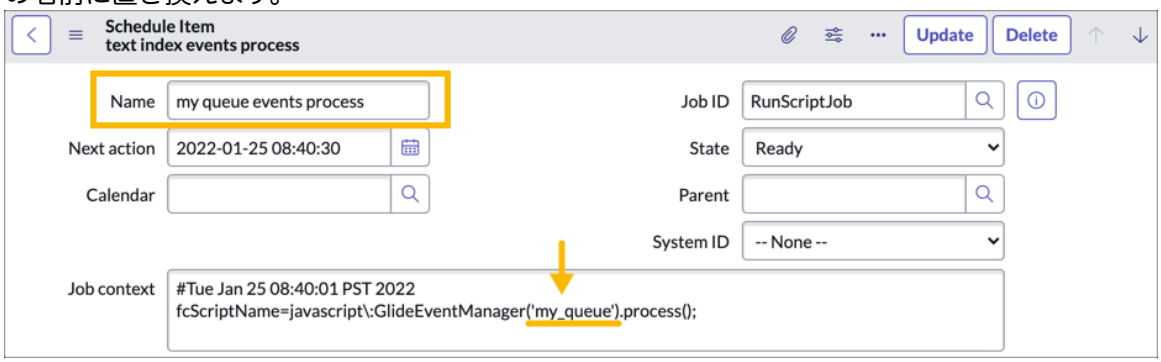
5. 移動先 システムスケジューラ > スケジュール済みジョブ > スケジュール済みジョブ をクリックし、 テキストインデックスイベントプロセスという名前のスケジュール済みジョブを開きます。



6. [他のアクション] メニューアイコン () をクリックし、[挿入と維持] を選択して [テキストインデックスイベントの処理] のコピーを作成します。

> **重要:** かならずジョブをコピーし、[テキストインデックスイベントの処理] のスケジュール済みジョブを上書きしないようにしてください。

7. コピーしたスケジュールアイテムで、[名前] フィールドの値を変更します。
8. [ジョブコンテキスト] フィールドで、*GlideEventManager()* パラメーターの値を新しいキューの名前に置き換えます。



キュー監視プロセスは、サンプルの **my_queue** イベントキューでイベントを検索して処理します。

9. *gs.eventQueue()* メソッドの 5 番目のパラメーターを使用して、カスタムキューにイベントを送信します。

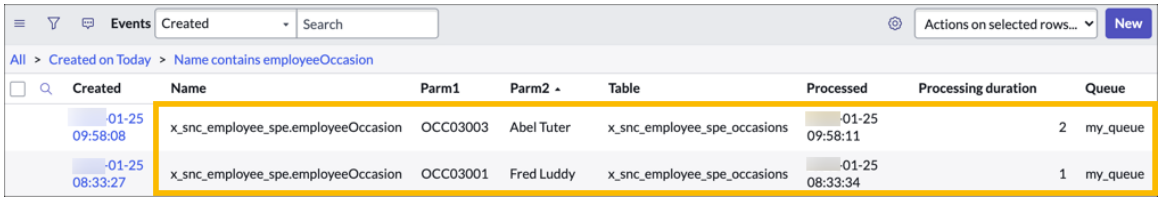
次のコードは、my_queue カスタムキューにイベントを送信する方法を示しています。

```
gs.eventQueue('x_60157_employee_spe.employeeOccasion', todaysOccasions,
 todaysOccasions.number, todaysOccasions.u_employee.name, 'my_queue');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: イベントが [イベント登録] にあり、キュー名が *gs.eventQueue* に指定されていない場合でも、[イベント登録] からのキューがイベントに割り当てられます。たとえば、`gs.eventQueue('x_60157_employee_spe.employeeOccasion')` は引き続きイベントを `my_queue` に関連付けます。`gs.eventQueue()` 呼び出しでキュー名が指定されている場合は、キューが優先されます。

[イベント] [sysevent] テーブルをチェックすることで、呼び出されたイベントが処理されたことを確認できます。



関連情報

GlideEventManager - process()

GlideSystem - eventQueue()

フィールドメッセージの表示

JavaScript *alert()* を使用する代わりに、見た目をすっきりさせるために、フォーム自体にエラーを表示できます。メソッド *showFieldMsg()* および *hideFieldMsg()* を使用して、フィールド自体のすぐ下にメッセージを表示できます。

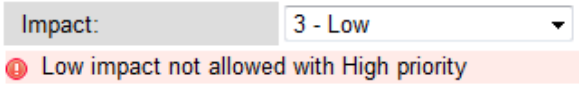
showFieldMsg と *hideFieldMsg* は、*g_form* オブジェクトで使用できるメソッドです。

これらのメソッドは、レコード (インシデント、問題、および変更フォーム) のフォームビューを変更するために使用されます。これらのメソッドは他のクライアントスクリプトでも使用できますが、期待どおりに機能するかどうかを確認するためにテストする必要があります。

ロード時にフォームにフィールドメッセージが表示されると、フォームがスクロールしてフィールドメッセージが表示されます。フィールドメッセージが画面の外にあったためにユーザーが見落とすということがないようにします。

グローバルプロパティ *glide.ui.scroll_to_message_field* は、フォームフィールドが画面外にある場合の自動メッセージのスクロール (フォームからコントロールまたはフィールドまでスクロール) を制御します。

メソッドの詳細

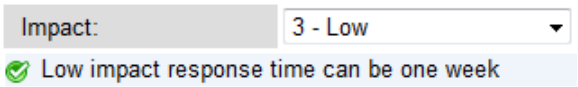
メソッドの詳細	パラメーター	例
showFieldMsg(input, message, type, [scrollform])	• 入力：フィールドまたはコントロールの名前 • メッセージ：表示するメッセージ • タイプ：「情報」、「エラー」、または「警告」。指定しない場合のデフォルトは「情報」 • スクロールフォーム：(オプション) フィー	エラーメッセージ `g_form.showFieldMsg('impact','Low impact not allowed with High priority','error');`  情報メッセージ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メソッドの詳細 (続く)

メソッドの詳細	パラメーター	例

	ルドメッセージが画面外にスクロールしないようにするには、*scrollForm* を false に設定します	`g_form.showFieldMsg('impact','Low impact response time can be one week','info');`
		`//or this defaults to info type`
		`//`
		`g_form.showFieldMsg('impact','Low impact response time can be one week');`
		 

hideFieldMsg(input)	• 入力：フィールドまたはコントロールの名前
	• clearAll：(オプション) すべてのメッセージをクリアするかどうかを示すブールパラメーター。true の場合、フィールドのすべてのメッセージがクリアされます。false または空の場合、最初のメッセージのみが削除されます
		メッセージの削除
		`//this will clear the first message printed to the field`
		`g_form.hideFieldMsg('impact');`

従来のサポート

showErrorBox() と *hideErrorBox()* は引き続き使用できますが、これらはエラータイプの新しいメソッドを呼び出すだけです。新しいメソッドを使用する必要があります。

ログ出力

GSLog は、呼び出し元ごとに識別される sys_properties 値によって選択可能なログ出力のレベルを実装することで、スクリプトのログ記録とデバッグを簡素化するスクリプトインクルードです。

ログレベル

ログは、debug、info、notice、warning、err、または crit のレベルを指定できます (BSD syslog.h 以降とフォロワー)。デフォルトのログ記録レベルは notice であるため、状況に応じてレベルを選択する必要があります。

使用する状況

イベントログ記録を実装するサーバー側スクリプトに使用します。

API リファレンスについては、「GSLog()」を参照してください。

詳細については、「スクリプトのデバッグ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideDateTime フィールド値の変更

この例では、サーバーサイドスクリプトを使用して *GlideDateTime* フィールド値を変更する方法を示します。

GlideDateTime フィールドまたはスクリプトオブジェクトを指定して、値を簡単に変更するさまざまな方法を示します。同じ概念が *GlideDate* オブジェクトにも適用されます。

注: 次のスクリプトは、グローバルアプリケーションのみを対象としています。

```
//You first need a GlideDateTime object
//this can be from instantiating a new object "var gdt = new
 GlideDateTime()"
//or getting the object from a GlideDateTime field
//getting the field value (for example: var gdt = current.start_date)
 only returns the string value, not the object
//to get the object use var gdt = current.start_date.getGlideObject();
//now gdt is a GlideDateTime object
var gdt = current.start_date.getGlideObject();

//All methods can use negative values to subtract intervals

//add 1 hour (60 mins * 60 secs)
gdt.addSeconds(3600);

//add 1 day
gdt.addDaysLocalTime(1);

//subtract 1 day
gdt.addDaysLocalTime(-1);

//add 3 weeks
gdt.addWeeksLocalTime(3);

//subtract 6 months
gdt.addMonthsLocalTime(-6);

//add 1 year, representing the date and time using the UTC timezone
 instead of the local user's timezone.
gdt.addYearsUTC(1);

//set the value of the GlideDateTime object to the current session
 timezone/format
GlideSession.get().setTimeZoneName('US/Eastern');
gdt.setDisplayValue('2018-2-28 00:00:00');
gs.info('In ' + GlideSession.get().getTimeZoneName() + ": " +
 gdt.getDisplayValue());
```

cookie を使用した C Sharp リダイレクトによるサンプル ASP.NET

このサンプル ASP.NET コードは、簡易認証ポータルを作成し、暗号化されていない HTTP ヘッダーを cookie として渡します。

注: ここで説明する機能には、**admin** ロールが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: cookie はドメイン固有であり、異なるネットワークドメイン間で使用することはできません。cookie を読み取ることができる唯一のドメインは、それを設定するドメインです。どのようなドメイン名を設定するかは関係ありません。SSO ポータルを ServiceNow インスタンスと同じネットワークドメインに置くことを選択できない場合 (たとえば、オンプレミス展開の場合)、代わりに URL *GET* または *POST* パラメーターを使用して SSO トークンを渡します。

この例では、以下を前提としています。

- Web サーバーは ASP .NET と C# をサポートしている
- ターゲットServiceNowインスタンスは `https://<instance name>.service-now.com/`
- SiteMinder または別のシングルサインオンアプリケーションがユーザーを事前認証している
- ターゲット ServiceNow インスタンスは、HTTP ヘッダー SM_USER を予期しています

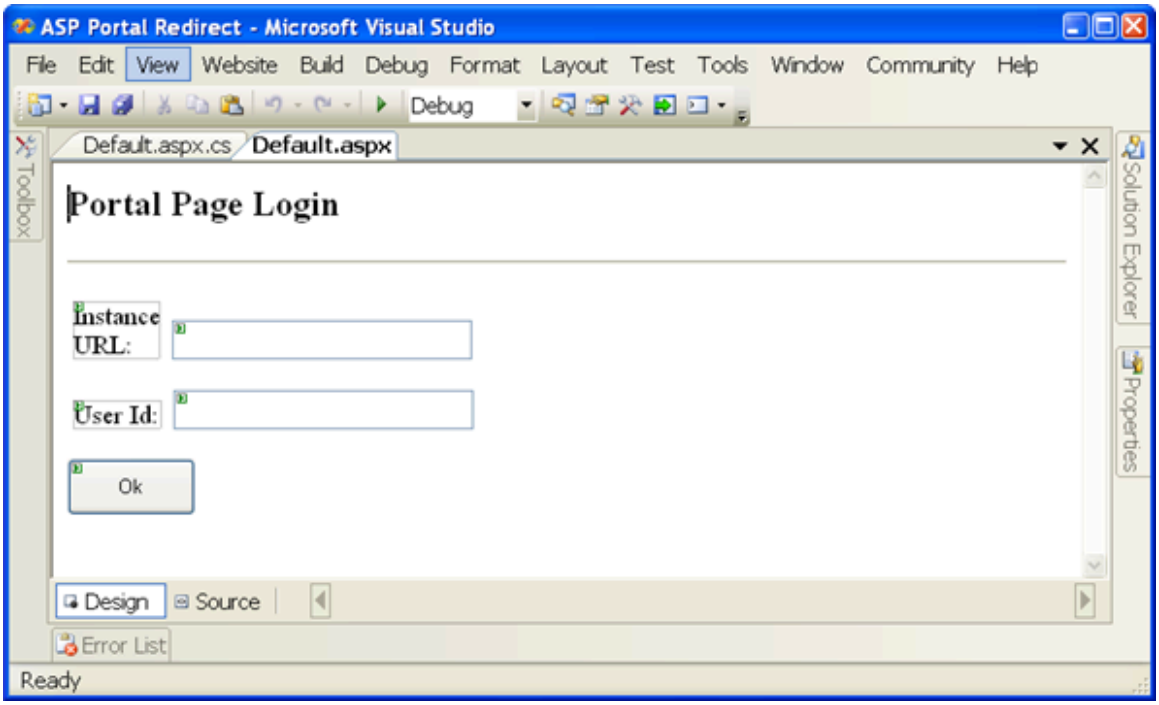
ユーザーを適切な ServiceNow インスタンスにリダイレクトするように ASP コードを変更します。

```
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" >
<head runat="server">
    <title>Portal Page Login</title>
<%--    <meta http-equiv="REFRESH" content="0;url=https://<instance
 name>.service-now.com/">--%>

</head>
<body>
    <form id="form1" runat="server">
    <h2><b> Portal Page Login </b></h2>
        <hr style="position: static" />
         <br />
         <asp:Label ID="Label2" runat="server" Font-Size="Larger"
 Height="21px" Style="position: static"
            Text="Instance URL:" Width="113px"></asp:Label>
        <asp:TextBox ID="urlBox" runat="server" Font-Size="Large"
 Style="position: static"></asp:TextBox><br />
        <br />
         <asp:Label ID="Label1" runat="server" Font-Size="Larger"
 Height="17px" Style="position: static;" Text="User Id:"
 Width="113px"></asp:Label>
        <asp:TextBox ID="userNameBox" runat="server" Font-Size="Large"
 Style="position: static;"></asp:TextBox>

        <br />
        <br />
        <asp:Button ID="Button1" runat="server" Height="39px"
 Style="position: static;" Text="Ok"
            Width="88px" OnClick="Button1_click" />
    </form>
</body>
</html>
</asp>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ASP ポータルリダイレクト



次の C# コードは、フォームの *OnClick* ボタンイベントを処理します。コード：

- cookie「SM_USER」を作成します
- ASP フォームで指定された URL へのリダイレクトを実行します。

C# コードを変更して、適切な cookie 名を作成します。

```
using System;
using System.Data;
using System.Configuration;
using System.Web;
using System.Web.Security;

public partial class _Default : System.Web.UI.Page
{
    protected void Page_Load(object sender, EventArgs e)
    {

    }
    protected void Button1_click(object sender, EventArgs e)
    {
        try
        {
            HttpCookie myCookie = new HttpCookie("SM_USER");
            myCookie.Value = userNameBox.Text;
            Response.Cookies.Add(myCookie);
            Response.Redirect(urlBox.Text);

        }catch {}
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

有用な承認アサインスクリプト

これは、有用な承認およびアサインスクリプトの検索可能なバージョンです。

> ⚠ **警告:** ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

使いやすいバージョンについては、「有用なスクリプトポータル」を参照してください。

ESS 要求のグループのアサイン

タイプ:アサインルール。

説明：このスクリプトは、すべての ESS 要求に対してグループを自動的にアサインします。

スクリプトの例：

```
if(current.opened_by.roles==""){
    current.assignment_group.setDisplayValue('Network');
    current.update();}
```

配送計画タスクに基づいたカタログアイテムのグループへのアサイン

タイプ:アサインルール。

説明：このアサインルールは、デスクトップグループにアサインされたカタログタスクを持つ配送計画を使用する場合に、サービスカタログアイテムをデータベースグループにアサインします。

```
//Return catalog items that have no group but do have a delivery plan
 assigned
var ri =new GlideRecord("sc_cat_item");
ri.addQuery("group","=",null);
ri.addQuery("delivery_plan","!=",null);
ri.query();
while(ri.next()){
    gs.log("Found an item");
    //Return tasks that point to the same delivery plan as the above item
    var dptask =new GlideRecord("sc_cat_item_delivery_task");
    dptask.addQuery("delivery_plan","=",ri.delivery_plan);
    dptask.query();while(dptask.next()){
        gs.log("Found a task");var gp = dptask.group.getDisplayValue();
        gs.log(gp);//If the task is assigned to desktop, assign the
 item's group to desktop
        if(dptask.group.getDisplayValue()=="Desktop"){
            ri.group.setDisplayValue("Desktop");
            gs.log("updating "+ ri.getDisplayValue());
            ri.update();break;}}}
```

1 つのタスクでアイテムをアサイン

タイプ:アサインルール。

説明：特定のグループに関連付けられた 1 つのタスクのみを持つカタログアイテムを自動的にアサインします。

```
//Get the catalog item for the current requested item
var scCatItem =new GlideRecord("sc_cat_item");
if(scCatItem.get('sys_id', current.cat_item)){
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// If the catalog item already has an assignment group or if using
 workflow we don't need to make an assignment
  if(!scCatItem.delivery_plan.nil()&& scCatItem.group.nil()){
        var dpTask =new GlideRecord("sc_cat_item_delivery_task");
        dpTask.addQuery("delivery_plan","=",scCatItem.delivery_plan);
        dpTask.query();
        if(dpTask.getRowCount()==1&& dpTask.next()){
        // Check that there is only 1 record in the GlideRecord
            dpTask.group;}}}
```

作業負荷に基づく割り当て

タイプ:ビジネスルール。

説明:アクティブなインシデントの数が最も少ないアサイン先グループメンバーに基づいて、アサイン先を入力します。

パラメーター：

- order：>1000 (アサインルールの後に実行する場合)
- condition：current.assigned_to == '' && current.assignment_group != ''
- when：before, insert/update

```
var assignTo = getLowestUser();
gs.addInfoMessage("assigning to is "+ assignTo);
current.assigned_to= assignTo;

function getLowestUser(){
  var userList =new Array();
  var cg =new GlideRecord('sys_user_grmember');
  cg.addQuery('group', current.assignment_group);
  cg.query();
  while(cg.next()){
    var tech = cg.user.toString();
    var cnt = countTickets(tech);
    gs.addInfoMessage("Tech counts "+ cg.user.name+' '+ cnt +" "+ tech);
    userList.push({ sys_id: tech,name: cg.user.name, count: cnt });}

  for(var i=0; i < userList.length; i++){
    gs.addInfoMessage(userList[i].sys_id+" "+ userList[i].name+" "+
 userList[i].count);}
  userList.sort(function(a, b){
    gs.addInfoMessage("Sorting: "+ a.sys_id+"("+ a.count+");
    "+ b.sys_id+"("+ b.count+")");
    return a.count- b.count;});

  if(userList.length<=0)return"";
  return userList[0].sys_id;}

function countTickets(tech){
  var ct =new GlideRecord('incident');
  ct.addQuery('assigned_to',tech);
  ct.addQuery('active',true);
  ct.query();
  return ct.getRowCount();}
```

カテゴリが変更されたときにアサインルールを実行

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タイプ:クライアントスクリプト。

テーブル:インシデント。

説明：この例は、インシデント内のカテゴリフィールドの onChange クライアントスクリプトです。注意：このスクリプトは、同期 AJAX を使用していました (非同期動作は ajaxRequest 呼び出しの 3 番目のパラメーターで指定されます)。以下の実装では、非同期 AJAX を使用しています。同期バージョンを使用する場合の短所は、ネットワーク応答の問題によってブラウザーがハングアップする可能性があることです。

```
// Make an AJAX request to the server to get who this incident would be
// assigned to given the current values in the record. This runs the
 assignment
// rules thathave been defined in System Policy and returns the
 assigned_to and
// the assignment_group

function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading){
  if(isLoading){return;
  // No change, do not do anything
  }

   // Construct the URL to ask the server for the assignment
  var url
 ="xmlhttp.do?sysparm_processor=AJAXAssignment&sys_target=incident";
  var uv = gel('sys_uniqueValue');
  if(uv){
        url +="&sys_uniqueValue="+ uv.value;}
  // Make the AJAX request to the server and get the response
  var serial = g_form.serialize();
  // get all values currently assigned to the incident
  var response = ajaxRequest(url, serial,true, responseFunc);}

// This callback function handles the AJAX response.
function responseFunc(response){
  varitem= response.responseXML.getElementsByTagName("item")[0];
  // Process the item returned by the server
  if(item){
  // Get the assigned_to ID and its display value and put them on the
 form
    varname=item.getAttribute("name");
    var name_label =item.getAttribute("name_label");
    if(name_label &&name){
      g_form.setValue('assigned_to',name, name_label);}
    else{
      g_form.setValue('assigned_to','','');}
    // Get the assignment_group ID and its display value and put then on
 the form
    var group =item.getAttribute("group");
    var group_label =item.getAttribute("group_label");
    if(group_label && group){
      g_form.setValue('assignment_group', group, group_label);}
    else{
      g_form.setValue('assignment_group','','');}}}
```

カスタム承認 UI マクロ

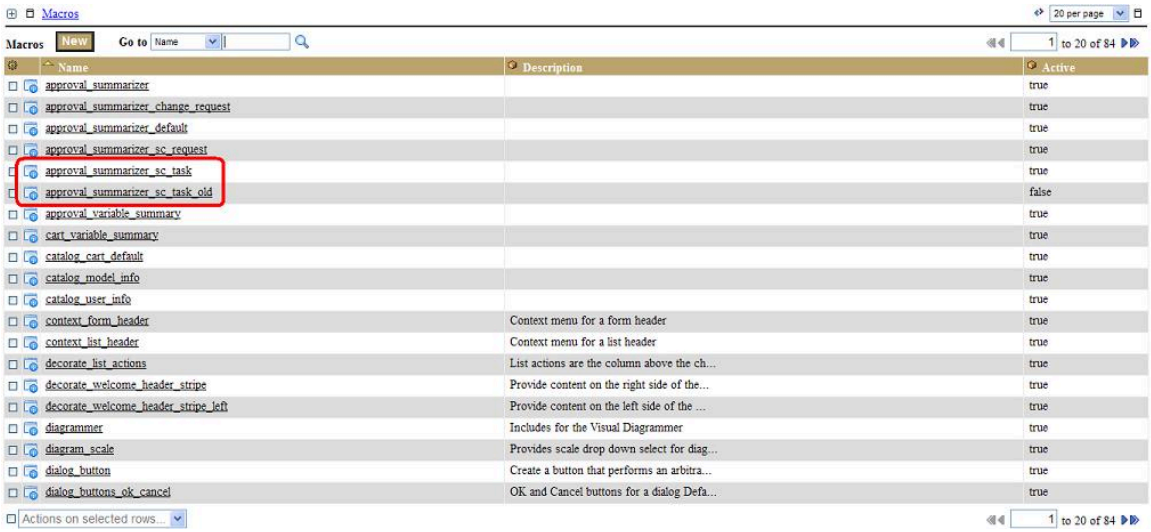
タイプ:UI マクロ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のオプションは、新しい UI マクロを作成して、実行計画の [自分の承認] ビューから詳細を取得する方法を示しています。

- [システム **UI]** に移動して、**[UI** マクロ] をクリックします。
- 既存の「approval_summarizer_sc_task」という名前を「approval_summarizer_sc_task_old」などに変更して、無効にします。
- 同じ名前を使用して新しいマクロを作成します (「approval_summarizer_sc_task」)。名前は基本的に、マクロの実行内容と適用対象を示すものにする必要があります。ここでは、既存のものを置き換えるため、既存の名前を再利用することにしました。



次に、この記事の下部にある xml スクリプトを、新しい UI マクロの xml コードウィンドウにコピーします。これは、サービスカタログ実行計画内の承認タスクを使って品目の承認を行うときに、承認者に何らかの詳細を提供するのに最適な方法です。

さまざまな方法

従来の方法

これは、従来の方法を使用して承認タスクを使用するときに [自分の承認] に表示されるビューです。

承認者が実際に何を承認しようとしているのか、あまり詳しく書かれていないことに注意してください。タスクの簡単な説明は表示されますが、アイテムに関する情報はあまり表示されません。

新しい方法

これは、OOB (Out-Of-Box) UI マクロの代わりに以下の xml スクリプトを使用した場合に表示されるビューです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この方法を使用すると、要求の承認と同様に詳細を表示できます。注文したアイテムへのリンク、簡単な説明 (アイテムから変数を展開する機能を含む)、価格、数量、合計価格があります。このメソッドは、より詳細な情報を表示するという点で、承認者に役立ちます。承認者は、実際に承認しているものを確認できるようになりました。

有用なフィールドスクリプト

フィールドカスタマイズスクリプトの一般的なユースケース。

警告: ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

詳細については、「サーバー API リファレンス」を参照してください。

フィールドの自動入力

次の例は、クライアントスクリプトを使用して、選択した [サブカテゴリ] に基づいて簡単な説明を自動入力する方法を示しています。

この場合、テーブルには [サブカテゴリ] = パスワード、[簡単な説明] = パスワードリセットのレコードがあります。ユーザーがインシデントフォームで [サブカテゴリ] に [パスワード] を選択した場合、クライアントスクリプトは一致するレコードを検索し、[簡単な説明] をパスワードリセットに設定します。

クライアントスクリプト設定：

- *Type* = onChange
- *Table name* = incident
- *Field name* = Subcategory

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading){
    if(isLoading){return;}
    var newrec = gel('sys_row');
    //Check if new record
    if (newrec.value == -1) {
        var lookup = new GlideRecord('u_short_desc_lookup');
        lookup.addQuery('u_subcategory', g_form.getValue('subcategory'));
        lookup.query();
        var temp; //temp var - reusable
        if(lookup.next()){
            temp = lookup.u_short_description;
            if(null != temp) {
                //Set the form value from lookup if there is a lookup
 value
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
                g_form.setValue('short_description', temp);
            } else {
                g_form.setValue('short_description',"");
                }
          } else {
              //If a lookup record does not exist based on
 lookup.addQuery
              //Then set to UNDEFINED or NULL depending on type
              g_form.setValue('short_description',"");
              }
     }
}
```

説明の HTML タグを無効にする

このコードは、HTML タグを非実行バージョンに置き換えることで、[説明] および [簡単な説明] フィールド内の HTML タグを無効にします。

```
doit();

function doit(){
 var desc = current.description.toString();
 var shdesc = current.short_description.toString();
 if(desc.indexOf('script>')>-1|| shdesc.indexOf('script>')>-1){
   desc = desc.replace(/<script>/g,"(script)");
   current.description = desc.replace(/<\/script>/g,"(\/script)");
   shdesc = shdesc.replace(/<script>/g,"(script)");
   current.short_description =
 shdesc.replace(/<\/script>/g,"(\/script)");}
}
```

フィールドの先頭と末尾のスペースの削除

このスクリプトの例では、sys_user の *FirstName* および *LastName* フィールドの末尾と先頭のスペースをトリミングします。

```
doit();

function doit(){
  var now_GR =new GlideRecord('sys_user');
  gr.query();
  while(gr.next()){
    if((gr.first_name.toString().length!=
 gr.first_name.toString().trim().length)||(gr.last_name.toString().leng
th!= gr.last_name.toString().trim().length)){
     gr.first_name= gr.first_name.toString().trim();
     gr.last_name= gr.last_name.toString().trim();
     gr.autoSysFields(false);
     gr.update();}}
}
```

フィールドラベルを点滅させる

次のクライアントスクリプトの例は、インシデントの番号フィールド用です。ラベルが 2 秒間点滅します。

```
g_form.flash("incident.number","#FFFACD",0);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

flash メソッドの引数は次のとおりです。

- *tablename.fieldname*
- RGB カラーまたは受け入れ可能な CSS カラー (「blue」や「tomato」など)
- ラベルの点滅時間を決定する整数：
  - 1 秒間点滅の場合は 2
  - 2 秒間点滅の場合は 0
  - 3 秒間点滅の場合は -2
  - 4 秒間点滅の場合は -4

注: 指定した色でフィールドラベルを表示する場合は、この引数を指定しないでください。

フィールドラベルを太字にする

このクライアントスクリプトは、特定のフィールドのラベルを太字にします。この場合、フィールドは [インシデントテーブル] の [簡単な説明] です。

```
function onLoad(){
  var l = g_form.getLabel('incident.short_description');
  l.style.fontWeight = 'bold';}
```

フィールドを読み取り専用にする

この onLoad クライアントスクリプトにより、インシデント [incident] テーブルの次のフィールドは読み取り専用になります。

- インシデント状況
- 影響
- 緊急度
- 優先度
- 構成アイテム
- アサイン先

また、このスクリプトにより、読み取り専用の参照フィールド ([構成アイテム] および [アサイン先]) の虫眼鏡が削除されます。

```
function onLoad(){
var incidentState = g_form.getValue('incident_state');
if( incidentState == '6'|| incidentState == '7'){
   g_form.setReadonly('incident_state',true);
   g_form.setReadonly('impact',true);
   g_form.setReadonly('urgency',true);
   g_form.setReadonly('priority',true);
   g_form.setReadonly('cmdb_ci',true);
   g_form.setReadonly('assigned_to',true);}}
```

フィールドへの現在の日付/時刻の設定

クライアントスクリプトとスクリプトインクルードで日付と時刻の値を設定できます。

クライアントスクリプト

次の 2 行を使用して、日付/時刻フィールドに現在の日付と時刻を設定できます。このアプローチでは、値の適切な形式とタイムゾーンへの変換の問題を回避できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var ajax = new GlideAjax('MyDateTimeAjax');
  ajax.addParam('sysparm_name','nowDateTime');
  ajax.getXML(function(){
    g_form.setValue('put your field name here',
 ajax.getAnswer());});
```

クライアントでのサーバーサイドスクリプトの実行の詳細については、「GlideAjax」を参照してください。

システムスクリプトインクルード

```
// Be sure the "Client callable" checkbox is checked

var MyDateTimeAjax = Class.create();
MyDateTimeAjax.prototype =
 Object.extendsObject(AbstractAjaxProcessor,{
  nowDateTime:function(){
    return gs.nowDateTime();}});
```

フィールド名でのタイマーフィールドの切り替え

次のクライアントスクリプトは、特定のフィールド名に基づいてタイマーフィールドを切り替えます。

```
function toggleTimerByFieldName(fieldName){
 //Step 1: Find the timer object
 //timeObjectName: the timer objects name as it would normally be
 referenced
 //timeObjectHidden: the hidden input node in the field td
 //timeObjectParent: the parent td node containing the field and it's
 constituent nodes
 //timeObjectFields: anchor tag with onclick to stop timer

 var timeObjectName = fieldName;
 var timeObjectHidden = gel(timeObjectName);

 //Step 2: simulate click stop button
 var timeObjectParent;
 var timeObjectFields;

 //verify that we got the correct object
 if(timeObjectHidden.type=="hidden"){

    //Get Parent td node
    timeObjectParent = timeObjectHidden.parentNode;

    //Get input fields
    timeObjectFields = timeObjectParent.getElementsByTagName("input");

    //simulate click of stop button
    var timerTestString ="paused";
    var timerImg;

    //loop through input objects looking for the pause timer object
    for(var elIt=0; elIt < timeObjectFields.length; elIt++){
      if(timeObjectFields[elIt].id.match(timerTestString)){
        if(timeObjectFields[elIt].value=="false"){
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            timeObjectFields[elIt].value="true";
            timerImg = timeObjectParent.getElementsByTagName("img")[0];
            timerImg.src="images/timer_start.gifx";}
        elseif(timeObjectFields[elIt].value=="true"){
            timeObjectFields[elIt].value="false";
            timerImg = timeObjectParent.getElementsByTagName("img")[0];
            timerImg.src="images/timer_stop.gifx";}}}}}
```

GlideDateTime フィールド値の変更

次の例では、サーバーサイドスクリプトを使用して *GlideDateTime* フィールドにアクセスします。

次のサーバーサイドスクリプトの例は、*GlideDateTime* API を使用して値を変更する方法を示しています。同じ概念が *GlideDate* オブジェクトにも適用されます。

```
//You first need a GlideDateTime object
//this can be from instantiating a new object "var gdt = new
 GlideDateTime()"
//or getting the object from a GlideDateTime field
//getting the field value (for example: var gdt = current.start_date)
//only returns the string value, not the object
//to get the object use var gdt = current.start_date.getGlideObject();
//now gdt is a GlideDateTime object
var gdt = current.start_date.getGlideObject();

//All methods can use negative values to subtract intervals

//add 1 hour (60 mins * 60 secs)
gdt.addSecondsLocalTime(3600);

//add 1 day
gdt.addDaysLocalTime(1);

//subtract 1 day
gdt.addDaysLocalTime(-1);

//add 3 weeks
gdt.addWeeksLocalTime(3);

//subtract 6 months.
gdt.addMonthsLocalTime(-6);

//add 1 year, representing the date and time using the UTC timezone
 instead of the local user's timezone.
gdt.addYearsUTC(1);
```

有用なスケジュールスクリプト

ビジネスルールスクリプトは、ビジネスルールが実行するアクションを指定します。通常、スクリプトには、現在のレコードなどの、システム内のアイテムを参照するための事前定義されたグローバル変数が含まれています。グローバル変数はすべてのビジネスルールで使用できます。

⚠ **警告:** ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スケジュールを指定して期間を計算

タイプ： ビジネスルールの更新/挿入前。

説明：ビジネス期間は、特定の「スケジュールの作成と使用」に基づいて、インシデントのオープンからクローズまでの期間を計算します。スケジュールが指定されていない場合、スクリプトはクエリによって返された最初のスケジュールだけを使用します。

スクリプトの例：

次の例では、インシデント状況が解決済みに移行するときの解決期間を設定します。

```
var gr_rec = new GlideRecord('incident');
gr_rec.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');
if (gr_rec.incident_state == 6) {
var dur = calcDurationSchedule(gr_rec.opened_at, gr_rec.sys_updated_on);
}

function calcDurationSchedule(start, end){
  // Get the user
  var usr = new GlideRecord('sys_user');
  usr.get(gs.getUserID());
  // Create schedule - pass in the sys_id of your standard work day
 schedule and pass in the users timezone
  var sched = new
 GlideSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae',usr.time_zone);
  // Get duration based on schedule/timezone
  return(sched.duration(start.getGlideObject(), end.getGlideObject()));
}
```

今後の終了日を確認

タイプ：スケジュール設定済みスクリプト。

説明：このスクリプトは、今後 90 日、50 日、または 10 日以内 (契約期間フィールドでの指定に応じる) に終了する契約の終了日を夜間にチェックします。

スクリプトの例：

```
function contractNoticeDue(){
  var now_GR = new GlideRecord("contract");
  now_GR.addQuery("u_contract_status","Active");
  now_GR.query();
  while(now_GR.next()){
    if((now_GR.u_termination_date<=
 gs.daysAgo(-90))&&(now_GR.u_contract_duration=="Long")){
      now_GR.u_contract_status="In review";}
    elseif((now_GR.u_termination_date<=
 gs.daysAgo(-50))&&(now_GR.u_contract_duration=="Medium")){
      now_GR.u_contract_status="In review";}
    elseif((now_GR.u_termination_date <=
 gs.daysAgo(-10))&&(now_GR.u_contract_duration=="Short")){
      now_GR.u_contract_status="In review";}
    now_GR.update();
  }
}
```

ビジネスルールでスクリプトを使用して、次のような一般的なタスクを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 2 つの日付フィールドを比較します。
- XML ペイロードを解析します。
- ビジネスルール内のデータベースアクションを中止します。

スクリプトでは、次のこともできます。

- ビジネスルールをトリガーする操作を指定します。
- スクラッチパッドと表示ビジネスルールを使用して、ユーザーがフォームをロードする直前にフォームの値を変更します。
- 条件ビルダーの場合と同様に OR 条件を使用します。

サーバーサイドスクリプトで使用可能なシステムのスクリプティング機能を利用することもできます。

ビジネスルールフォームのオプションを使用すると、スクリプトを記述せずに条件をビルドし、フィールド値を設定して、アラートメッセージを表示できます。

ビジネスルール内のデータベースアクションの中止

前のビジネスルールスクリプトの実行中に、current.setAbortAction(true) メソッドを使用して現在のデータベースアクションをキャンセルまたは中止できます。

たとえば、前のビジネスルールが挿入アクション中に実行され、スクリプトに current.setAbortAction(true) を呼び出す条件がある場合、current に保存される新しいレコードはデータベース内には作成されません。

オートフィル機能の追加

オートフィル機能の追加は、インシデントテンプレート、自動アサイン、クイックコール、コールスクリプト、または自動入力とも呼ばれます。

選択した [サブカテゴリ] に基づいて [簡単な説明] を自動入力するとします。まず、ルックアップテーブルを作成し、キーフィールド (この場合は [サブカテゴリ]) とオートフィルされるフィールド [簡単な説明] に値を入力します。テーブルに、[サブカテゴリ] = パスワード、[簡単な説明] = パスワードリセットのレコードがあるとします。ユーザーがインシデントフォームで [サブカテゴリ] にパスワードを選択した場合、クライアントスクリプトは一致するレコードを検索し、[簡単な説明] をパスワードリセットに設定します。クライアントスクリプト設定...[タイプ] = *onChange*、[テーブル名] = インシデント、[フィールド名] = サブカテゴリ。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
  if (isLoading) { return; }
  var newrec = gel('sys_row');
  //Check if new record
  if (newrec.value == -1) {
    var lookup = new GlideRecord('u_short_desc_lookup');
    lookup.addQuery('u_subcategory', g_form.getValue('subcategory'));
    lookup.query();
    var temp; //temp var - reusable
    if (lookup.next()) {
      temp = lookup.u_short_description;
        if (null != temp) { //Set the form value from lookup if there is
 a lookup value
          g_form.setValue('short_description', temp); }
        else {
          g_form.setValue('short_description', "" ); } }
   else {
     //If a lookup record does not exist based on lookup.addQuery
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
     //Then set to UNDEFINED or NULL depending on type
      g_form.setValue('short_description', ""); } }

 }
```

多くのフィールドに値を入力したり、コールスクリプトの質問を [コメント] フィールドに入力して、コールセンターの担当者が技術者に提供する適切な情報を収集することもできます。類似の機能を実行するアサインルール、テンプレート、およびウィザードが既に組み込まれています。

スクリプト例：デフォルトのクエリ前のビジネスルール

データベースクエリの前に実行されるクエリビジネスルールを使用して、ユーザーが特定のレコードにアクセスできないようにすることができます。

警告: ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

インシデントレコードへのアクセスを制限するデフォルトのビジネスルールの以下の例を考慮してください。

デフォルトのビジネスルールでのインシデントレコードへのアクセスの制限

名前	テーブル	時期
インシデントクエリ	インシデント	クエリ前

スクリプト例

この例では、ユーザーが [問い合わせユーザー*(Caller)*] または [作成者] フィールドにリストされている itil ロールを持っている場合を除き、インシデントレコードにアクセスできません。そのため、セルフサービスユーザーがインシデントのリストを開くと、自分が送信したインシデントしか表示されません。

```
if(!gs.hasRole("itil")&& gs.isInteractive()){
  var u = gs.getUserID();
  var qc = current.addQuery("caller_id", u).addOrCondition("opened_by",
 u).addOrCondition("watch_list","CONTAINS", u);
  gs.print("query restricted to user: "+ u);}
```

注: ユーザーに表示されるレコードは、アクセス制御を使用して制限することもできます。

平日のスケジュールスクリプト

タイプ:ビジネスルール/クライアントスクリプト

このスクリプトは平日のスクリプトをスケジュールします。「スクリプトをここに入力 (Your Script here)」と表示されている場所にスクリプトを挿入します。

```
var go ='false';
var now =new Date();

// Correct time zone, which is by default GMT -7
now.setHours(now.getHours()+8);
var day = now.getDay();

// No go on Saturday or Sunday
if(day !=0&& day !=6){
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// (your script here)

}
```

現在の日付に基づく日付フィールドの設定

このスクリプトは、現在の曜日に応じて日付フィールドを設定します。この例では、日が月曜日から水曜日の場合、日付は次の月曜日に設定されます。それ以外の場合は、日付フィールドは次の月曜日に設定されます。

```
function setCabDate(){
var today =new Date();
var thisDay = today.getDay();
//returns 0 for Sunday, 1 for Monday, etc. thru 6 for Saturday.
var thisMon =new GlideDateTime();
thisMon.setDisplayValue(gs.beginningOfThisWeek());
var nextMon = thisMon.getNumericValue();
nextMon +=(1000*60*60*24*7);

if((thisDay <4)&&(thisDay >0))
  //if today is Mon thru Wed (thisDay = 1, 2, or 3), set cab to this
 coming Monday.

 current.u_req_cab_rev_date.setDateNumericValue(thisMon.getNumericValue(
));
elseif((thisDay >=4)||(thisDay ==0))
  //if today is Thurs thru Sun (thisDay = 4, 5, 6, or 0), set cab to next
 Monday.
  current.u_req_cab_rev_date.setDateNumericValue(nextMon);
}
```

すべての日付/時刻フィールドの入力を検証するには、検証スクリプト (システム定義 > 妥当性検証スクリプト). このスクリプトでは日付/時刻形式がハードコードされているため、インスタンスの日付/時刻形式と一致する必要があります。インスタンスの日付/時刻形式が変更された場合は、検証スクリプトを更新する必要があります。

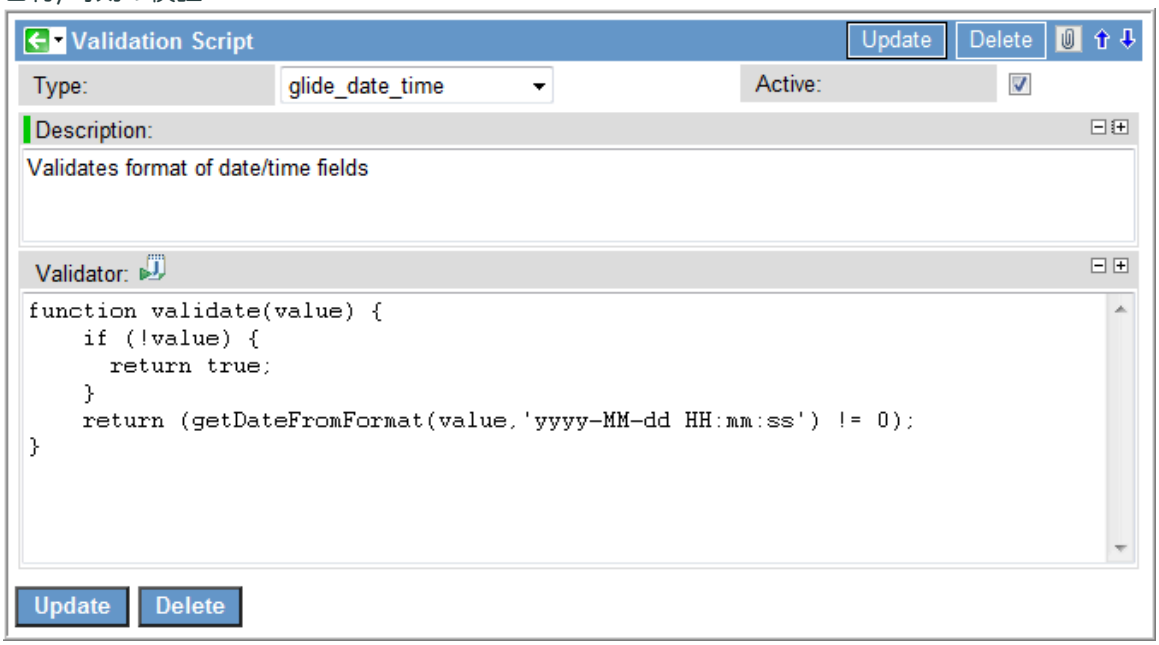
検証スクリプトのタイプを [日付/時刻] に設定します。この検証スクリプトでは、ユーザーが日付/時刻フィールドに誤った形式を入力した場合に、エラーメッセージが表示されます。

```
function validate(value){
// empty fields are still valid dates
if(!value)returntrue;

// We "should" have the global date format defined always defined. but
 there's always that edge case...
if(typeof g_user_date_time_format !=='undefined')return isDate(value,
 g_user_date_time_format);

// if we don't have that defined, we can always try guessing
return parseDate(value)!==null;}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

日付/時刻の検証



UI アクションでのクライアントおよびサーバーコードの使用

スクリプトを使用して、サーバー側でレコードを更新する前に、クライアント側で UI アクションがクリックされたときに入力を検証できます。ユーザーは、必須フィールドを検証してレコードを更新するのにボタンを 2 回クリックする必要はありません。

スクリプトはクライアント側の検証のためにクライアント関数を呼び出し、合格すると UI アクションがタスクを完了します。`onclick` なしで実行されるコードのステートメントは 、クライアント関数が実行されなくなるまでサーバー側の関数が実行されないようにします。成功すると、サーバー側の関数が実行され、レコードが更新されます。

```
// Client-side onclick function
function resolveIncident() {
  // Set the 'Incident state' and 'State' values to 'Resolved', and
 display mandatory fields
  g_form.setValue('incident_state', 6);
  g_form.setValue('state', 6);
  g_form.setValue('resolved_by', g_user.userID);

  // Call the UI action and skip the 'onclick' function
  gsftSubmit(null, g_form.getFormElement(), 'resolve_incident'); //MUST
 call the 'Action name' set in this UI Action
}

// Code that runs without 'onclick'
// Ensure call to server-side function with no browser errors
if (typeof window == 'undefined')
  serverResolve();

// Server-side function
function serverResolve() {
  current.incident_state = IncidentState.RESOLVED;
  current.state = IncidentState.RESOLVED;
  current.resolved_by = gs.getUserID();
  current.update();
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

gsftSubmit(文字列 **control**, オブジェクト **form**, 文字列 **action_name**)

必須フィールドを確認し、*onSubmit()* クライアントスクリプトを実行した後、ユーザーが UI アクションをクリックした場合と同様にフォームを送信します。単一の UI アクションでクライアント側のコードとサーバー側のコードを呼び出すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
コントロール	文字列	ユーザーのクリックをシミュレートするフォームボタンの名前。それ以外の場合は `null` を使用します。
フォーム	オブジェクト	オプション。送信された入力を含むフォーム要素。この値を取得するには、*g_form.getFormElement()* メソッドを呼び出します。
action_name	文字列	アクション名。この値は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされているレコードで提供されます。 たとえば、`'resolve_incident'` は、インシデント [incident] テーブルの [解決] ボタンのアクション名です。

関連情報

GlideForm - getFormElement()

スコープ対象 GlideSystem - **eventQueue**(文字列 name, オブジェクト instance, 文字列 parm1, 文字列 parm2, 文字列 queue)

GlideUser - クライアント

UI アクション

暗号化されていないシングルサインオンの **ASP** スクリプト例

このサンプル ASP.NET コードは、簡易認証ポータルを作成し、暗号化されていない HTTP ヘッダーを URL パラメーターとして渡します。

この例では、以下を前提としています。

- Web サーバーが ASP .NET をサポートしている
- ターゲットインスタンスが `https://<instance name>.service-now.com/` である
- SiteMinder または別のシングルサインオンアプリケーションがユーザーを事前認証している
- ターゲットインスタンスは HTTP ヘッダー SM_USER を予期している

ASP コードを変更して、ユーザーを適切なインスタンスにリダイレクトし、適切な HTTP ヘッダーを作成するようにします。

```
<html xmlns = "http://www.w3.org/1999/xhtml" > <head  runat =
 "server" > <title >Portal Page Login </ title > <%--    <meta
 http-equiv = "REFRESH" content = "0;url=https://<instance
 name>.service-now.com/">--%>

     <script  runat = "server" >

        public void go_to(object sender, EventArgs e)
        {
            ////Send URL parameters
            String URL = urlBox.Text + "?SM_USER=" + userNameBox.Text;
```

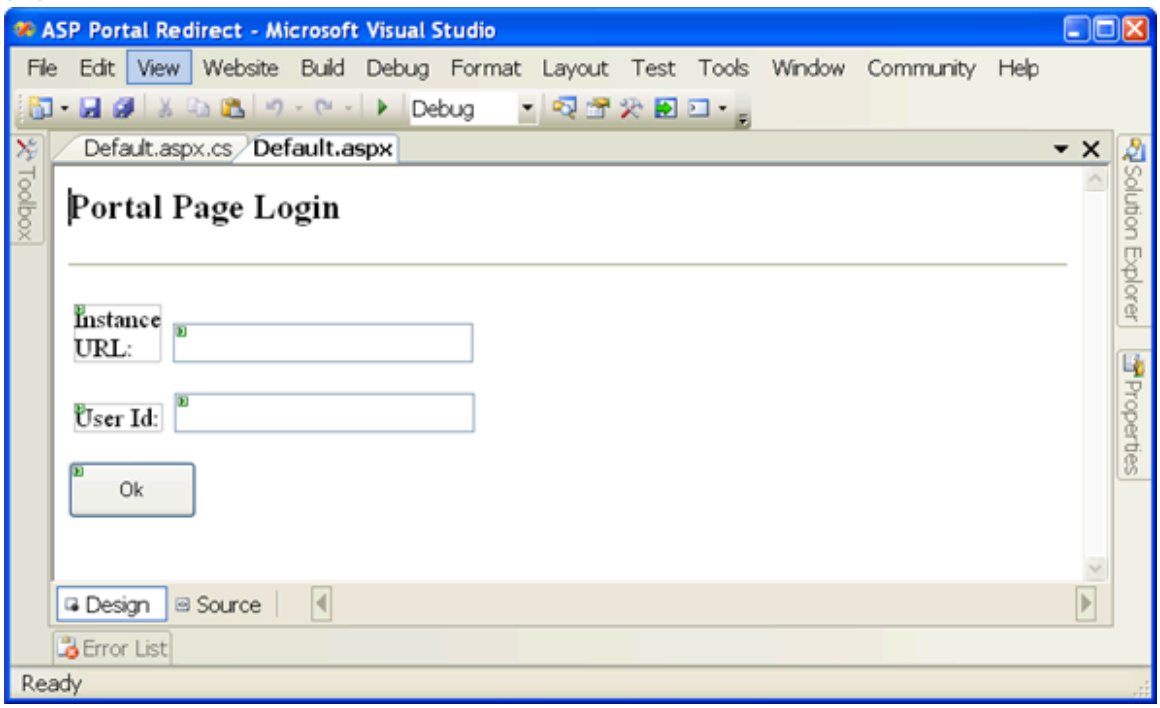
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
            Response.Redirect(URL);
        }
    </ script >
```

```
 </ head > <body > <form id = "form1"  runat = "server" > <h2 >< b
> Portal Page Login  </ b >< / h2 > <hr style = "position: static" /
> <br / > <asp:Label ID = "Label2"  runat = "server"  Font- Size =
"Larger" Height = "21px" Style = "position: static"Text = "Instance
URL:" Width = "113px" >< / asp:Label> <asp:TextBox ID = "urlBox"
runat = "server"  Font- Size = "Large" Style = "position: static"
>< / asp:TextBox> <br / > <br / > <asp:Label ID = "Label1"  runat =
"server"  Font- Size = "Larger" Height = "17px" Style = "position:
static;"Text = "User Id:" Width = "113px" >< / asp:Label> <asp:TextBox
ID = "userNameBox"  runat = "server"  Font- Size = "Large" Style =
"position: static;" >< / asp:TextBox> <br / > <br / > <asp:Button ID =
"Button1"  runat = "server" Height = "39px" Style = "position: static;"
Text = "Ok"Width = "88px" OnClick = "go_to" / > </ form > </ body > </
html >
```

デザイナー



自動翻訳

日付と時刻の検証

すべての日付/時刻フィールドの入力を検証するには、検証スクリプト (システム定義 > 妥当性検証スクリプト).

このスクリプトでは日付/時刻形式がハードコードされているため、インスタンスの日付/時刻形式と一致する必要があります。インスタンスの日付/時刻形式が変更された場合は、検証スクリプトを更新する必要があります。

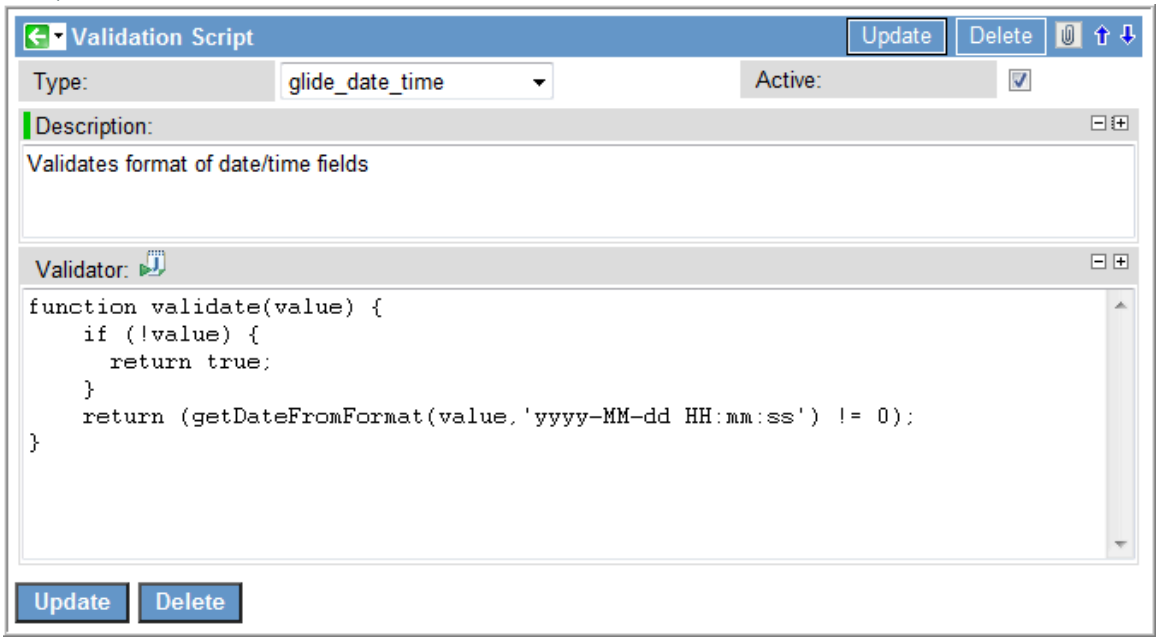
検証スクリプトのタイプを「`glide_date_time`」に設定します。このようにすると、この検証スクリプトでユーザーが日付/時刻フィールドに誤った形式を入力した場合に、エラーメッセージを受け取ることになります。

```
function validate (value ) { if ( !value ) { return true ; } return
 (getDateFromFormat (value , 'yyyy-MM-dd HH:mm:ss' ) != 0 ) ;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

日付/時刻の検証



期間の計算

タスクまたはプロセスの期限を指定する方法のユーザーへの提供が必要になることがよくあります。DurationCalculator スクリプトインクルードを使用すると、単純な期間または相対期間を使用して期日を計算できます。

通常、期日を設定するには、合計時間ではなく作業時間を計算する必要があります。期日を決定する際に考慮するのは、1 日のうちの作業が行われる部分のみです。たとえば、ある作業が 10 時間かかるものの、平日のスケジュールで制限されている場合などです。作業が月曜日の 10 am に開始される場合、以下で計算するように、火曜日の 12 pm が期限になります。

```
10am-5pm on Monday (6 hours) + 8am-12pm on Tuesday (4 hours)
```

DurationCalculator メソッドへの入力として使用できるスケジュールについては、「スケジュールの作成と使用」を参照してください。

このスクリプトは、DurationCalculator を使用して期日を計算する方法を示しています。

```
/**
 * Demonstrate the use of DurationCalculator to compute a due date.
 *
 * You must have a start date and a duration. Then you can compute a
 * due date using the constraints of a schedule.
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */function executeSample(){
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// First we need a DurationCalculator object.var dc =new DurationCalculator();

// ---------- No schedule examples ----------

// Simple computation of a due date without using a schedule. Seconds// are added to the start date continuously to get to a due date.
dc.setStartDateTime("5/1/2012");if(!dc.calcDuration(2*24*3600)){// 2 days
 gs.log("*** Error calculating duration");return;}
gs.log("calcDuration no schedule: "+ dc.getEndDateTime());// "2012-05-03 00:00:00" two days later

// Start in the middle of the night (2:00 am) and compute a due date 1 hour in the future// Without a schedule this yields 3:00 am.
dc.setStartDateTime("5/3/2012 02:00:00");if(!dc.calcDuration(3600)){
    gs.log("*** Error calculating duration");return;}
gs.log("Middle of night + 1 hour (no schedule): "+ dc.getEndDateTime());// No scheduled start date, just add 1 hour


// ---------- Add a schedule to the date calculator ----------
addSchedule(dc);

// Start in the middle of the night and compute a due date 1 hour in the future.// Since we start at 2:00 am the computation adds the 1 hour from the start// of the day, 8:00am to get to 9:00am
dc.setStartDateTime("5/3/2012 02:00:00");if(!dc.calcDuration(3600)){//
    gs.log("*** Error calculating duration");return;}
gs.log("Middle of night + 1 hour (with 8-5 schedule): "+ dc.getEndDateTime());// 9:00 am

// Start in the afternoon and add hours beyond quiting time. Our schedule says the work day// ends at 5:00pm, if the duration extends beyond that, we roll over to the next work day.// In this example we are adding 4 hours to 3:00pm which gives us 10:00 am the next day.
dc.setStartDateTime("5/3/2012 15:00:00");if(!dc.calcDuration(4*3600)){//
    gs.log("*** Error calculating duration");return;}
gs.log("Afternoon + 4 hour (with 8-5 schedule): "+ dc.getEndDateTime());// 10:00 am.

// This is a demo of adding 2 hours repeatedly and examine the result. This// is a good way to visualize the result of a due date calculation.
dc.setStartDateTime("5/3/2012 15:00:00");// for(var i=2; i<24; i+=1){if(!dc.calcDuration(i*3600)){//
        gs.log("*** Error calculating duration");return;}
    gs.log("add "+ i +" hours gives due date: "+ dc.getEndDateTime());}

// Setting the timezone causes the schedule to be interpreted in the specified timezone.// Run the same code as above with different timezone. Note that the 8 to 5 workday is// offset by the two hours as specified in our timezone.
dc.setTimeZone("GMT-2");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    dc.setStartDateTime("5/3/2012 15:00:00");for(var i=2; i<24;
 i+=1){if(!dc.calcDuration(i*3600)){//
            gs.log("*** Error calculating duration");return;}
        gs.log("add "+ i +" hours gives due date (GMT-2): "+
 dc.getEndDateTime());}}

/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */function addSchedule(durationCalculator){// Load the "8-5 weekdays excluding
 holidays" schedule into our duration calculator.var scheduleName ="8-5 weekdays
 excluding holidays";var grSched =new GlideRecord('cmn_schedule');
    grSched.addQuery('name', scheduleName);
    grSched.query();if(!grSched.next()){
        gs.log("*** Could not find schedule '"+ scheduleName +"'");return;}
    durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue(),"GMT");}
```

単純な期間と相対期間

タスクを完了するために必要な作業量を「相対期間」で表すことができます。

相対期間では、開始時間との相対関係で予想できる期限となる日時が決定されます。相対期間の例としては、「翌営業日の午後 4 時まで」や「2 営業日後の午前 10 時 30 分まで」などがあります。

相対期間を計算するには、「翌営業日」が何を意味するかを判断するために、カレンダーとタイムゾーンを考慮する必要があります。これは、有効な営業日とはいつであるかを定義しているのがカレンダーであり、タイムゾーンも結果に影響するためです。例として、「翌営業日の 4 pm まで」を考えてみます。

- 開始が月曜日の 12 pm の場合：翌営業日の 4 pm => 火曜日の 4 pm
- 開始が金曜日の 2 pm の場合：翌営業日の 4 pm => 次の月曜日の 4 pm

注: 多くの場合、「翌営業日」は開始日時によって定義されます。たとえば、「2 pm より前であれば翌営業日の 4 pm」は、現在の時刻が営業日の 2 pm を過ぎていると、実際にはその日から 2 営業日後が期日になることを意味します。

単純な期間の計算

このビジネスルールとスクリプトの例は、単純な期間を計算する方法を示しています。

```
var dur =new DurationCalculator();
dur.setSchedule(current.schedule);
dur.setStartDateTime("");

if(current.duration_type==""){

 dur.calcDuration(current.duration.getGlideObject().getNumericValue()/100
0);}else{
         dur.calcRelativeDuration(current.duration_type);}

    current.end_date_time= dur.getEndDateTime();
    current.work_seconds= dur.getSeconds();
```

このスクリプトは、DurationCalculator を使用して単純な期間を計算する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
/**
 * Sample script demonstrating use of DurationCalculator to compute
 simple durations
 *
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */
function executeSample(){

    // First we need a DurationCalculator object.
    var dc =new DurationCalculator();

    // Compute a simple duration without any schedule. The arguments
    // can also be of type GlideDateTime, such as fields from a
 GlideRecord.
    var dur = dc.calcScheduleDuration("5/1/2012","5/2/2012");
    gs.log("calcScheduleDuration no schedule: "+ dur);
    // 86400 seconds (24 hours)

    // The above sample is useful in limited cases. We almost always want
 to
    // use some schedule in a duration computation, let's load a
 schedule.
    addSchedule(dc);

    // Compute a duration using the schedule. The schedule
    // specifies a nine hour work day. The output of this is 32400
 seconds, or
    // a nine hour span.
    dur = dc.calcScheduleDuration("5/23/2012 12:00","5/24/2012 12:00");
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule: "+ dur);
    // 32400 seconds (9 hours)

    // Compute a duration that spans a weekend and holiday. Even though
 this
    // spans three days, it only spans 9 work hours based on the
 schedule.
    dur = dc.calcScheduleDuration("5/25/2012 12:00","5/29/2012 12:00");
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule spaning holiday: "+ dur);
    // 32400 seconds (9 hours)

    // Use the current date time in a calculation. The output of this is
    // dependent on when you run it.
    var now =new Date();
    dur = dc.calcScheduleDuration("5/15/2012",new GlideDateTime());
    gs.log("calcScheduleDuration with schedule to now: "+ dur);
    // Different on every run.}

/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */
function addSchedule(durationCalculator){
   //  Load the "8-5 weekdays excluding holidays" schedule into our
 duration calculator.
   var scheduleName ="8-5 weekdays excluding holidays";
   var grSched =new GlideRecord('cmn_schedule');
   grSched.addQuery('name', scheduleName);
   grSched.query();if(!grSched.next()){
        gs.log('*** Could not find schedule "'+ scheduleName +'"');
        return;}
    durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue());}
```

相対期間の計算

相対期間計算スクリプトの例。

このスクリプトは、「10 am を過ぎていれば翌日 4 pm」の相対期間を計算します。

```
// Next day at 4pm if before 10am
var days =1;
if(calculator.isAfter(calculator.startDateTime,"10:00:00"))
      days++;

calculator.calcRelativeDueDate(calculator.startDateTime,
 days,"16:00:00");
```

このスクリプトは、DurationCalculator を使用して相対期間を計算する方法を示しています。

```
/**
 * Sample use of relative duration calculation.
 *
 */

gs.include('DurationCalculator');
executeSample();

/**
 * Function to house the sample script.
 */
function executeSample(){

    // First we need a DurationCalculator object. We will also use
    // the out-of-box relative duration "2 bus days by 4pm"
    var dc =new DurationCalculator();
    var relDur ="3bf802c20a0a0b52008e2859cd8abcf2";
    // 2 bus days by 4pm if before 10am
    addSchedule(dc);

    // Since our start date is before 10:00am our result is two days from
    // now at 4:00pm.
    dc.setStartDateTime("5/1/2012 09:00:00");
    if(!dc.calcRelativeDuration(relDur)){
        gs.log("*** calcRelativeDuration failed");
        return;}
    gs.log("Two days later 4:00pm: "+ dc.getEndDateTime());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // Since our start date is after 10:00am our result is three days
 from
    // now at 4:00pm.
    dc.setStartDateTime("5/1/2012 11:00:00");
    if(!dc.calcRelativeDuration(relDur)){
        gs.log("*** calcRelativeDuration failed");
        return;}
    gs.log("Three days later 4:00pm: "+ dc.getEndDateTime());}

/**
 * Add a specific schedule to the DurationCalculator object.
 *
 * @param durationCalculator An instance of DurationCalculator
 */
function addSchedule(durationCalculator){
  //  Load the "8-5 weekdays excluding holidays" schedule into our
 duration calculator.
  var scheduleName ="8-5 weekdays excluding holidays";
  var grSched =new GlideRecord('cmn_schedule');
  grSched.addQuery('name', scheduleName);
  grSched.query();
  if(!grSched.next()){
        gs.log('*** Could not find schedule "'+ scheduleName +'"');
        return;}
  durationCalculator.setSchedule(grSched.getUniqueValue(),"GMT");}
```

相対期間の実装方法

cmn_relative_duration テーブルと *DurationCalculator* スクリプトインクルードを作成することで、相対期間を実装できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. cmn_relative_duration テーブルを作成します。
2. DurationCalculator スクリプトインクルードを作成します。
3. サンプルの相対期間エントリを作成します (たとえば、「4 pm までであれば翌営業日」)。
4. 相対期間をサポートするために必要なフィールドを SLA テーブルに追加します。
5. SLA の期間計算を変更します。
6. SLA の SLA パーセンテージタイマー計算を変更します (これは work_seconds を使用する必要があります)。
7. ワークフローにスケジュールフィールドを追加します： スケジュールとタイムゾーン (ワークフローテーブルのフィールドに基づいて選択)。
8. 期間サポートフィールドをワークフロータスクアクティビティに追加します。
9. タスクアクティビティの期間計算スクリプトを実装します。

相対期間テーブルと DurationCalculator メソッド

cmn_relative_duration テーブルは、期間または相対期間のどちらかでの期日の定義をサポートしています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このテーブルは、[名前] と [スクリプト] の 2 つのフィールドで構成されています。[スクリプト] フィールドには、相対期間計算スクリプトが含まれています。このスクリプトには、期日の計算に使用される「calculator」変数が含まれています。

DurationCalculator スクリプトインクルードを使用して、期間の計算を実行できます。このスクリプトインクルードで使用できるメソッドは次のとおりです。

DurationCalculator スクリプトインクルードテーブル

メソッド	説明
setSchedule(String schedID, [String timezone])	期日の計算に使用するスケジュールとタイムゾーンを設定します。
setStartDateTime(GlideDateTime start)	期間計算のための開始時刻を設定します。[開始] が空の場合、現在の日付/時刻が使用されます。
calcDuration(int seconds)	終了日時を計算します。完了すると、this.endDateTime および this.seconds プロパティは、計算の結果を示すように設定されます。
calcRelativeDuration(String relativeDurationID)	指定された相対期間スクリプトを使用して期間を計算します。完了すると、this.endDateTime および this.seconds プロパティは、計算の結果を示すように設定されます。
getEndDateTime()	期間の終了日時を示す、calcDuration/calcRelativeDuration によって設定された this.endDateTime プロパティを取得します。
getSeconds()	期間中に実行される作業の合計秒数を示す、calcDuration/calcRelativeDuration によって設定された this.seconds プロパティを取得します。 **注:** これは、開始時間と終了時間の合計時間ではなく、合計作業時間であり、作業時間のパーセンテージを決定するために使用されます。
getTotalSeconds()	期間の開始時刻から終了時刻までの合計秒数を示す、calcDuration/calcRelativeDuration によって設定された this.totalSeconds プロパティを取得します。

相対期間スクリプトでは、次の関数が使用されます。

相対期間スクリプト関数

関数	説明
boolean isAfter(GlideDateTime dt, String time)	「time」は「dt」で指定された時刻より後になっているかどうか。dt が空白の場合、現在の日付/時刻が使用されます。時間は 24 時間形式の「hh:mm:ss」で表されます。
calcRelativeDueDate(GlideDateTime start, int days, String endTime)	「start」で始まり、スケジュールとタイムゾーンを使用して「days」を追加して、期日を計算します。作業の期日を特定できたら、その日の「endTime」に時間を設定します。完了すると、this.endDateTime および this.seconds プロパティは、計算の結果を示すように設定されます。「endTime」が空白の場合は、作業終了日の終了時間を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム UI ページと UI マクロの作成

UI ページを使用して、アプリケーションのカスタムページと、カスタムコントロールまたはインターフェイスの UI マクロを作成します。

すべての UI ページは Jelly テンプレートです。Jelly は XML を実行可能コードに変換します。UI ページは、AngularJS アプリケーションでの index.html ファイルの使用方法と同様に使用できます。UI ページフォームの HTML フィールドの Jelly タグには、AngularJS ロジックが含まれています。

UI マクロ を作成するには、Jelly スクリプトの知識が必要です。例および提案されたアプローチについては、既存の UI マクロを確認してください。JavaScript テクノロジーを使用してカスタムインターフェイスをビルドする場合は、代替手段としてサービスポータルを検討してください。

UI ページ

UI ページは、フォーム、ダイアログ、リスト、その他の UI コンポーネントの作成と表示に使用できます。

ダッシュボードのウィジェットとして UI ページを使用します。UI ページを見つけるには、次の場所に移動します。 システム **UI** > **UI** ページ.

この機能を使用するには、HTML または Jelly のナレッジが必要です。UI ページを使用して簡単な AngularJS アプリケーションを作成することもできます。

UI ページフォームには、次のフィールドが含まれています。

UI ページ

フィールド	説明
名前	URL を介してページを呼び出すために使用される名前 (スペースを含めることはできません)。
アプリケーション	現在のアプリケーションスコープを表示します。
説明	UI ページの説明とその使用目的。
直接	直接 UI ページ [sys_ui_page] の場合は、このチェックボックスをオンにします。直接 UI ページには、一般的な HTML、CSS、およびスクリプトは含まれません。この設定では、ページで使用するカスタム CSS と JavaScript を追加する必要があります。
HTML	ページが表示されるときに何をレンダリングするかを定義する、ページのメインコンポーネント。静的 XHTML、Jelly として定義された動的に生成されたコンテンツを含めるか、またはスクリプトインクルードと UI マクロを呼び出すことができます。 注: *GlideRecord/GlideDBQuery* を *GlideRecordSecure* の代わりに使用すると、セキュリティ推奨メッセージが表示されます。
クライアントスクリプト	ボタンによって呼び出される機能など、ブラウザーで実行されるクライアント側の JavaScript を含みます。これは、ページがロードされた後にフィールドやその他のインタラクティブな DHTML 機能にフォーカスを設定するなど、必要なクライアント側の処理を実行することを目的としています。 UI ページのクライアントスクリプトは *<script/>* タグ内でブラウザーに展開されるため、HTML フィールド内で同様にコンテンツを定義できます。代わりに [クライアントスクリプト] フィールドを使用してこれらのスクリプトを簡潔に定義し、Jelly および HTML の管理性を維持することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ページ (続く)

フィールド	説明
処理スクリプト	ページが送信されたときにサーバーで実行されるスクリプト。これは、ページに <g:ui_form/> または <g:form/> タグで定義されたフォームがある場合に便利です。 注: *GlideRecord/GlideDBQuery* を *GlideRecordSecure* の代わりに使用すると、セキュリティ推奨メッセージが表示されます。
obsolete-custom-processors	注: この機能は廃止されました。従来の既存のカスタムプロセッサーは引き続きサポートされますが、新しいカスタムプロセッサーの作成は廃止されました。代わりに、Scripted REST APIs を使用します。
フォームビューの関連リスト：	
アクセス制御	UI ページのアクセス制御を表示および設定します。詳細については、「UI ページでアクセス制御を使用する」を参照してください。
バージョン	UI ページのすべてのバージョンを表示します。バージョンを比較したり以前のバージョンに戻したりするには、このリストを使用します。

アクセス制御

UI ページは、次のパラメーターを指定して ACL を作成することで保護できます。

- タイプ：*ui_page*
- 操作：読み取り
- 名前：保護する UI ページの名前
- ロール：レコードへのアクセスが許可されているユーザーロール

新しい UI ページを保存すると、アクセス制御のロールを割り当てるように求められます。

注: UI ページと同じ名前のエントリーがアクセス制御テーブルに作成されます。

ACL ルールの作成の詳細については、「ACL ルールを作成する」を参照してください。

高リスク UI ページ

次のいずれかの属性がある UI ページは、高リスクと見なされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *GlideRecordSecure* の代わりに *GlideRecord* または *GlideDBQuery* を使用している

  注: これは *[HTML]* および [処理] スクリプトフィールドに適用され、クライアントスクリプトには適用されません。

- 対応する ACL が設定されていない
- パブリック UI ページであると示され、*sys_public* レコードに入力されている
- 高リスク UI ページを示すメッセージを表示している
- *glide.installation.developer* が **true** に設定されているインスタンスの場合。
- リソースが顧客インスタンスのカスタマイズされたコンテンツである場合

UI ページへのアクセス

各 UI ページには、アプリケーションスコープ、ページ名、および .do ファイル拡張子から計算された URL があります。

たとえば、glidewindow_example というページをデモシステムで表示するには、`https://<instance name>.service-now.com/glidewindow_example.do` に移動します。ページが example_app と呼ばれるカスタムアプリケーションの一部である場合は、代わりに `https://<instance name>.service-now.com/x_example_app_glidewindow_example.do` に移動します。

ページの HTML セクション内で jelly 変数としてアクセスできる追加のパラメーターを URL に追加することもできます。つまり、引数を `/my_test_page.do?sysparm_verbose=true` のように URL に追加すると、次のようにアクセスできる *verbose* と呼ばれる jelly 変数が作成されます。

```
<j2:if test="$[!empty(sysparm_verbose)]"> <span>show extra stuff </span>
 </j2:if >
```

これの一般的で実用的な例は、表示用のデータベースレコードの取得です。ユーザーのロールのリストをビルドするには、ユーザーの sys_id を使用してパラメーターを渡します。次の UI ページを呼び出して、そのユーザーのロールのリストを Jelly コードで次のように表示します。

`role_select.do?sysparm_user=5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007`

```
<j:set var = "jvar_user_id" value = "${sysparm_user}" />

  <g:evaluate> var userRoles = new GlideRecord('sys_user_has_role');
    userRoles.addQuery('user','${jvar_user_id}');
    userRoles.query();
  </g:evaluate>

  <select id='select_role'>
      <j:while test = "${userRoles.next()}">
          <option value = "${userRoles.sys_id}"> ${userRoles.role.name}
 </option>
      </j:while>
  </select>
```

ただし、予約済みの変数名 sys_id は注意すべき例外です。この変数には、URL の指定に関係なく、常に UI ページ自体の ID が含まれます。一般的な代替変数名は sysparm_id です。

URL パラメーターを使用してクライアントスクリプトを UI ページにロードしないでください。システムは、URL パラメーターによって渡されたスクリプトを評価しなくなりました。ご利用の実装がこの動作に依存している場合は、システムプロパ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ティ [glide.security.disable_ui_pages_sysparm_client_script] を追加して **false** に設定すると、UI ページでスクリプトを渡す URL パラメーターの評価が一時的に許可されます。

UI ページでアクセス制御を使用する

UI ページレコードを作成または編集するときに、[UI ページ] フォームから直接アクセス制御を確認し、ロールベースのアクセス制御を追加します。

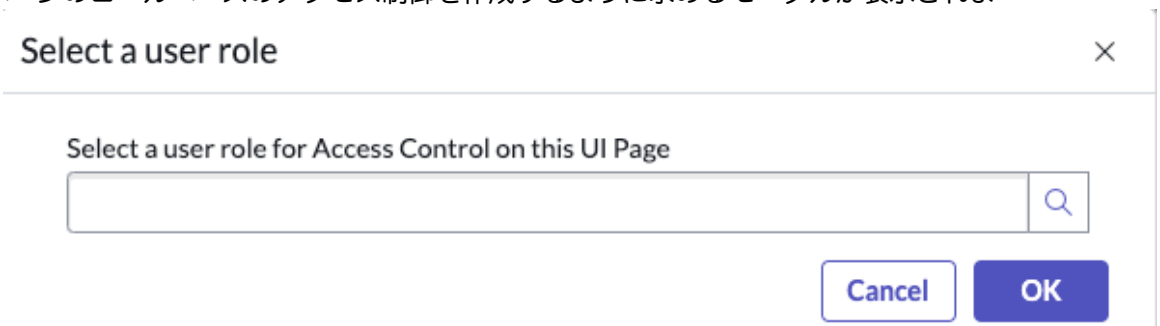
始める前に

既存の UI ページに追加されたアクセス制御は、関連リンクの下にある UI ページレコードを開くことでアクセスおよび編集できます。

必要なロール：security_admin および admin

手順

1. **security_admin** ロールに昇格させます。
   ロールの昇格の詳細については、「特権ロールへの昇格 」を参照してください。
2. 移動先 すべて > システム **UI** > **UI** ページ.
3. [新規] を選択します。
4. フォームに入力します。
   UI フィールドの詳細については、「UI ページ」を参照してください。
5. [送信] または [保存] を選択します。
   UI ページのロールベースのアクセス制御を作成するように求めるモーダルが表示されます。



6. ロールを選択します。
7. **[OK]** を選択してロールをアサインします。
   UI ページのリストに戻ります。

既存の UI ページのアクセス制御を追加、編集、または表示します。

8. UI ページテーブルから UI ページを開きます。
9. 関連リストの [アクセス制御] を表示します。
10. [新規] を選択して新しいアクセス制御を作成するか、既存のエントリを選択して編集します。
    [アクセス制御] フォームがロードされます。UI ページの詳細が表示されます。
11. フォームに入力し、UI ページにロールを割り当てます。
    アクセス制御の詳細については、「ACL ルールの作成 」を参照してください。
12. 新しいアクセス制御の場合は [送信] を、編集する場合は [更新] を選択します。

> **注:** UI ページごとに複数のアクセス制御を設定できます。

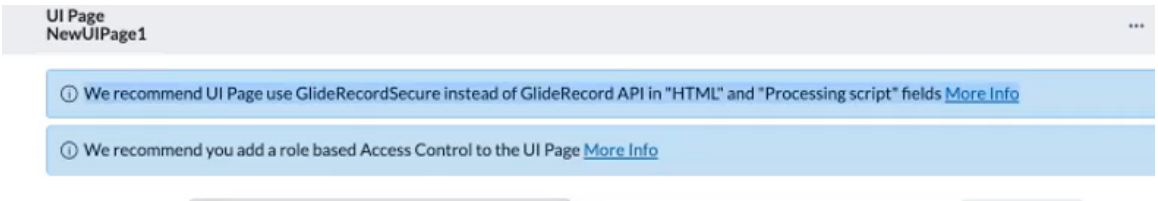
保護された UI ページ

アクセス制御と関連するセキュリティメッセージは、セキュリティを強化するためにリスクの高い UI ページに統合されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

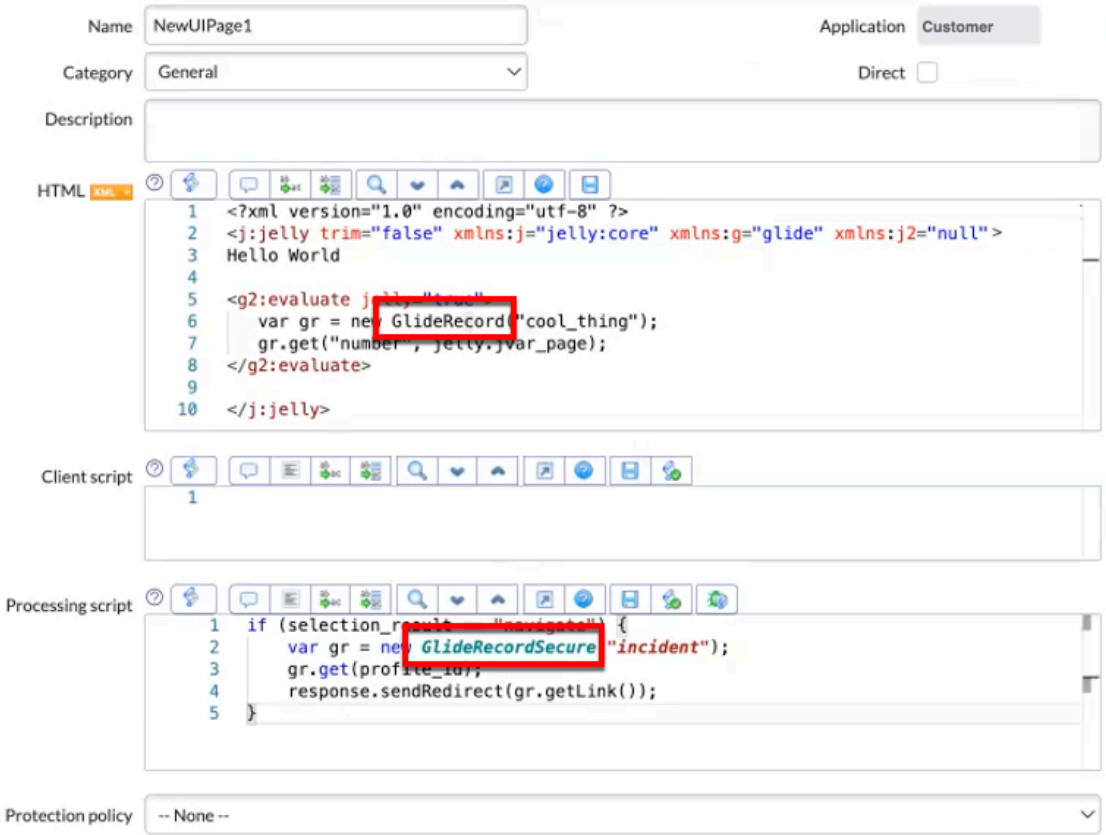
自動翻訳

高リスク UI ページに情報メッセージが表示され、ロールベースのアクセス制御を UI ページに追加するように顧客に通知されます。



このメッセージは、次の条件で表示されます。

- ACL (アクセス制御リスト) がない場合
- **[HTML]** セクションまたは [処理スクリプト] セクション



で

`GlideRecordSecure` の代わりに `GlideRecord/GlideDBQuery` が使用されている場合

- `sys_public` で UI ページがパブリックとして設定されている場合

> **注:** パブリック UI ページまたは `GlideRecord` を使用する場合は、ACL 欠落の警告は表示されません。

高リスク UI ページの詳細については、「UI ページ」を参照してください。

セキュリティに関する推奨事項のメッセージが表示される条件

このメッセージは、次の条件で表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *glide.installation.developer*=*true* であるすべての内部インスタンス eclipse/IJ
- 顧客のすべてのスコープ対象 UI ページのリソース
- *glide.script.ui_page.customer_scoped.security_msgs_enabled* プロパティが *true* に設定されている場合のカスタマイズされた UI ページ(デフォルト値は *true*)。

セキュリティに関する推奨事項のメッセージが表示されない条件

次の条件では、メッセージは表示されません。

- UI ページが公開されていない
- UI ページが [グローバル] スコープにある
- *glide.script.ui_page.customer_scoped.security_msgs_enabled* が *false* に設定されている

注: ロールベースの ACL 作成プロンプトを無効にするには、*glide.ui_page.enable_acl_create_ux* プロパティを **[false]** に設定します。プロパティはデフォルトで **[true]** に設定されています。

UI ページプロセススクリプト

UI ページにフォームが含まれている (*<g:form>* タグを使用している) 場合は、フォームを送信してプロセススクリプトを実行できます。

処理スクリプトは、フォーム上のフィールドに自然にアクセスできます。たとえば、フォームに *application_sys_id* フィールドが含まれている場合は、次のようにします。

```
<g:ui_form>
  <p>Click OK to run the processing script.</p>
  <g:dialog_buttons_ok_cancel ok="return true" />
  <input type="hidden" name="application_sys_id"
 value="499836460a0a0b1700003e7ad950b5da" />
</g:ui_form>
```

このフィールドには、*application_sys_id* を使用してアクセスできます。

```
var application = new GlideRecord('hr_application');
 application.get(application_sys_id);
 application.status = "Rejected";
 application.update();
 var urlOnStack = GlideSession.get().getStack().bottom();
 response.sendRedirect(urlOnStack);
```

重要: 上記のスクリプトは、グローバルアプリケーションでのみ使用できます。

ダイアログの UI ページを使用している場合は、上記のコードを使用してスタック上の最新の URL を参照し、その場所に応答を送信することもできます。これは、ダイアログの処理スクリプトで何らかの内容を更新し、ダイアログが表示された画面を再表示する場合に便利です。

UI マクロ

UI マクロは、アドミニストレーターがユーザーインターフェイスに追加できる個別のスクリプト化されたコンポーネントです。

通常、UI マクロは既存のフィールド タイプによって提供されない入力または情報を提供するコントロールです。デフォルトでは、以下のようなさまざまなユーザーインターフェイス要素の UI マクロが提供されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- すべてのフォーマッター
- サービスカタログカート
- フィールドの横にあるアクション アイコン
- フォームおよびリストのアクション アイコン
- コンテンツ管理システムのウィジェット
- オーケストレーションアクティビティデザイナー

アドミニストレーターは、独自の UI マクロを作成して、カスタムコントロールまたはインターフェイスを提供できます。UI マクロを作成するには、Jelly スクリプト の知識が必要です。例および提案されたアプローチについては、既存の UI マクロを確認してください。JavaScript テクノロジーを使用してカスタムインターフェイスをビルドする場合は、代替手段としてサービスポータルを検討してください。

注: 使用可能な UI マクロを表示するには、[すべて] > [システム **UI]** > **[UI** マクロ] に移動します。

UI マクロの基本

UI マクロを使用すると、使用可能なカタログ変数タイプを使用してビルドできないソリューションをビルドできます。

アクセス可能な UI マクロ

UI マクロ [ui_macros] テーブルでは、いくつかの UI マクロを使用できます。これらの UI マクロの名前は `ui_` で始まり、UI ページで使用する標準フォームフィールドタイプのサブセットの動作をエミュレートします。たとえば、ui_date_time UI マクロは、UI ページの glide_date_time フィールドのように機能し、入力可能な入力フィールドに日時セレクターを提供できます。

UI マクロは、<g:> Jelly タグを使用して UI ページに含めることができます。次の例には、UI マクロに 2 つのオプション属性を提供する ui_date_time UI マクロが含まれています。

```
<g:ui_date_time name="due_date" value="2023-11-24 08:30:00"
 onchange="checkDateValue()" />
```

<g:> Jelly タグの属性値は、jvar プリフィックス付き変数として UI マクロに提供されます。UI マクロは、その XML で jvar プリフィックス付き変数を使用できます。

jvar プリフィックス付き変数として使用される Jelly タグ属性

属性	jvar プリフィックス付き変数
name	jvar_name
value	jvar_value
onchange	jvar_onchange

注: これらの UI マクロは、対応するフォームフィールドタイプのすべての機能をサポートすることは意図されていません。多くの場合、マクロは特定の ServiceNow アプリケーションユースケースのみを対象としています。

`ui_` プリフィックスが付いた UI マクロには、UI ページの <g:> Jelly タグで指定できる (または指定する必要がある) サポート対象属性を指定する説明が含まれています。使用可能な UI マクロを表示するには、[すべて] > [システム **UI]** > **[UI** マクロ] に移動します。

/

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カスタム UI マクロ

ui_example UI マクロは、3 つの jvar プリフィックス付き変数 (jvar_name、jvar_test_attribute、jvar_laptop_type) を使用します。これらの変数は、UI ページの <g:> Jelly タグで、name、test_attribute、および laptop_type 属性として UI マクロに提供できます。

ui_example UI マクロの作成

[すべて] > [システム **UI**] > **[UI** マクロ] に移動し、[新規] を選択します。

マクロに「`ui_example`」という名前を付け、次のスクリプトを **[XML]** フィールドに追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="true" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide">
    <div>name jvar: ${jvar_name}</div>
    <div>test_attribute jvar: ${jvar_test_attribute}</div>
    <div>laptop_type jvar: ${jvar_laptop_type}</div>
</j:jelly>
```

UI ページでのマクロの使用

[すべて] > [システム **UI**] > **[UI** ページ] に移動し、[新規] を選択します。アドミンロールの選択を求められます。

UI ページに名前を付け、次のスクリプトを **[HTML]** フィールドに追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <div style="text-decoration:underline">Template include
 one:</div>
    <g:ui_example name="Fred Luddy" test_attribute="I am an
 attribute" laptop_type="ThinkPad" />
    <hr/>
    <div style="text-decoration:underline">Template include
 two:</div>
    <g:ui_example name="Pat Casey" test_attribute="I am a
 different attribute" laptop_type="Macbook Pro" />
</j:jelly>
```

出力の確認

UI ページで、[試行] をクリックして結果を表示できます。

注: マクロを作成しても UI ページに想定どおりに表示されない場合は、キャッシュをクリアすると解決することがあります。インスタンスのキャッシュをクリアするには、ブラウザで「`<server_url>/cache.do`」と入力します。

関連情報

- UI ページ
- Jelly のタグ
- <g:ui_form/>
- <g:ui_input_field />
- <g:ui_checkbox/>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI マクロの呼び出し

アドミニストレーターは、ユーザーインターフェイスに関連付けられた特定のレコードタイプから UI マクロを呼び出すことができます。

レコードタイプ別の UI マクロの呼び出し

レコードタイプ	例
辞書属性	参照フィールドのアイコンを表示します。 `ref_contributions=ui_macro_name`
UI ページ	UI ページに何かを表示します。 `<g:macro_invoke macro="ui_macro_name" />`

UI マクロ	別の UI マクロから UI マクロを呼び出します。
	`<?xml version= "1.0" encoding="utf-8" ?>`
	`<j:jelly trim= "false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"`
	`xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">`
	`<g:ui_macro_name />`
	`<g:ui_macro_name_2 />`
	`</j:jelly>`

UI マクロフォーム

各 UI マクロレコードは、Jelly コードで記述された名前と XML ドキュメントで構成されます。

UI マクロフィールド

フィールド	説明
名前	一意でわかりやすいマクロの名前。
アクティブ	チェックボックスをオンにすると、要素が定義されたとおりにレンダリングされます。コードを削除せずに要素を無効にするには、チェックボックスをオフにします。たとえば、**email_reply** マクロはデフォルトでは非アクティブです。
説明	マクロとそれに渡されるパラメーターの目的を説明します。
XML	マクロを定義する Jelly スクリプト。

カスタム承認 UI マクロ

このセクションでは、カスタム承認 UI マクロの作成方法について説明します。

⚠ **警告:** ここに記載されているカスタマイズは、特定のインスタンスで使用するために開発されたものであり、Now Support ではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

スクリプト名：カスタム承認 UI マクロ

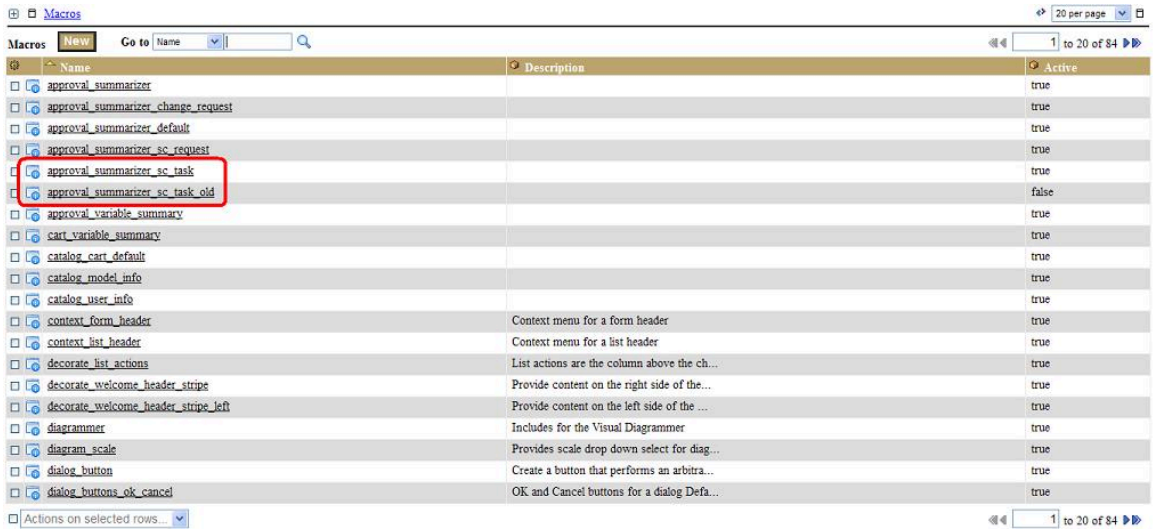
タイプ：UI マクロ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

説明：実行計画の [自分の承認] ビューから詳細を取得するオプションがあります。これは、新しい UI マクロを作成することで実行できます。[システム **UI]** に移動して、**[UI** マクロ] をクリックします。まず、既存の `approval_summarizer_sc_task` という名前を `approval_summarizer_sc_task_old` などに変更して、無効にする必要があります。次に、同じ名前 (`approval_summarizer_sc_task`) を使用して新しいマクロを作成する必要があります。名前は基本的に、マクロの実行内容と適用対象を示すものにする必要があります。ここでは、既存のものを置き換えるため、既存の名前を再利用することにしました。

承認マクロ



次に、この記事の下部にある xml スクリプトを、新しい UI マクロの xml コードウィンドウにコピーする必要があります。これは、サービスカタログ実行計画内の承認タスクを介してアイテムを承認する際に、承認者に何らかの詳細を提供するのに最適な方法です。

従来の方法

これは、従来の方法で承認タスクを使用するときに [自分の承認] に表示されるビューです。

自分の承認 (従来の方法)

承認者が実際に何を承認しようとしているのか、あまり詳しく書かれていないことに注意してください。タスクの簡単な説明は確認できますが、アイテムの詳細はわかりません。

新しい方法

これは、OOB (Out-Of-Box：すぐに利用可能な) UI マクロの代わりに以下の xml スクリプトを使用した場合に表示されるビューです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自分の承認

この方法を使用すると、要求の承認と同様に詳細を表示できます。注文したアイテムへのリンク、簡単な説明 (アイテムから変数を展開する機能を含む)、価格、数量、合計価格があります。これは、より詳細な情報を示すという点で、承認者の助けとなります。実際に承認しているものを確認できるようになりました。

スクリプト：

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
    <j:jelly trim="true" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <tr>
        <td class="label_left" width="100%">
            <label style="margin-left: 10px">
                ${gs.getMessage('Summary of Item being approved')}:
                <input style="visibility: hidden"
 NAME="make_spacing_ok"></input>
            </label>
        </td>
    </tr>
    <g:evaluate var="jvar_ni" expression="
        var sc_task = ${ref}.sysapproval;
        var sc_req_labels = new GlideRecord('sc_req_item');
        sc_req_labels.initialize();
        var sc_req_item = new GlideRecord('sc_req_item');
        sc_req_item.addQuery('request_item',
 sc_task.request_item.sys_id);
        sc_req_item.query();
    " />
    <tr>
        <td width="100%">
            <table width="100%">
                <tr>
                    <td class="label_left" width="150px">
                        <label style="margin-left: 10px">

 ${sc_task.request_item.request.opened_by.sys_meta.label}:
                        </label>
                    </td>
                    <td>

 ${sc_task.request_item.request.opened_by.getDisplayValue()}
                    </td>
                </tr>
                <tr>
                    <td class="label_left" width="150px">
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        <label style="margin-left: 10px">

${sc_task.request_item.request.requested_for.sys_meta.label}:
                        </label>
                    </td>
                    <td>

${sc_task.request_item.request.requested_for.getDisplayValue()}
                    </td>
                </tr>
                <tr>
                    <td class="label_left" width="150px">
                        <label style="margin-left:
10px">${gs.getMessage('Total')}:</label>
                    </td>
                    <td>
                        <g:currency_format
value="${sc_task.request_item.request.price}" />
                    </td>
                </tr>
            </table>
        </td>
    </tr>
    <j:set var="jvar_line_num" value="0" />
    <tr>
        <td width="100%">
            <table width="100%">
                <tr class="header">
                    <td colspan="2">
                        ${sc_req_labels.number.sys_meta.label}
                    </td>
                    <td>
                        ${sc_req_labels.description.sys_meta.label}
                    </td>
                    <td>
                        ${sc_req_labels.price.sys_meta.label}
                    </td>
                    <td>
                        ${sc_req_labels.quantity.sys_meta.label}
                    </td>
                    <td>
                        ${gs.getMessage('Total')}
                    </td>
                </tr>
                <j:set var="jvar_item_price"
value="${sc_task.request_item.price * sc_task.request_item.quantity}"/>
                <j:set var="jvar_overall_total"
value="${jvar_overall_total + jvar_item_price}"/>
                <j:set var="jvar_line_color" value="odd"/>
                <j:set var="jvar_line_num" value="${jvar_line_num + 1}"/>
                <j:if test="${jvar_line_num % 2 == 0}">
                    <j:set var="jvar_line_color" value="even"/>
                </j:if>
                <g:evaluate var="ni" expression="
                    var smart_description =
sc_task.request_item.cat_item.short_description;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    if (smart_description == null || smart_description ==
'' || smart_description == 'undefined')
                        smart_description =
sc_task.request_item.cat_item.name;
                "/>
                <tr class="${jvar_line_color}">
                    <td valign="top">
                        <g2:evaluate var="jvar_pop_target"
expression="$[ref].getRecordClassName()" />
                        <a class="linked"
target="gsft_main"
href="sc_req_item.do?sys_id=${sc_task.request_item.sys_id}"
                      onmousemove="popListDiv(event, 'sc_req_item',
'${sc_task.request_item.sys_id}','${sysparm_view}')"
        onmouseout="lockPopup(event)">
                            <img src="images/icons/hover_icon.gifx"
class="clsshort"/>
                        </a>
                    </td>
                    <td valign="top">
                        <a class="linked"
target="gsft_main"
href="sc_req_item.do?sys_id=${sc_task.request_item.sys_id}">
                            ${sc_task.request_item.number}
                        </a>
                    </td>
                    <td valign="top" width="50%">
                        <g:call function="variable_summary_approval.xml"

question_name="${sc_task.request_item.sys_id}"
                            question_help_tag="${smart_description}"
                            sc_req_item="${sc_task.request_item.sys_id}"
                            help_class="${jvar_line_color}"/>
                    </td>
                    <td valign="top"> <g:currency_format
value="${sc_task.request_item.price}"/> </td>
                    <td valign="top">
${sc_task.request_item.quantity}</td>
                    <td valign="top"> <g:currency_format
value="${jvar_item_price}"/></td>
                </tr>
            </table>
        </td>
    </tr>
</j:jelly>
```

Jelly のタグ

Jelly を使用して XML を HTML に変換します。

Now Platform で Jelly を使用する方法については、次の紹介ビデオをご覧ください。

- Jelly スクリプティングの概要 - 第 1 回 (ビデオ)
- Jelly スクリプティングの概要 - 第 2 回 (ビデオ)
- Jelly スクリプティングの概要 - 第 3 回 (ビデオ)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Jelly のタグ

if

- 説明：`if` タグは、文字どおりの `if` タグです。これはプログラミング言語の `if` ステートメントに似ていますが、`elseif` タグも `else` タグもないことに注意してください。そういった構造を作成する場合は、 `choose/when/otherwise` 構文を使用してください。
- パラメーター：`test` - ブロックが実行されるかどうかを判断するために評価する条件。
- 例：

```
<g:evaluate var="jvar_now_GR" object="true">
   var now_GR = new GlideRecord("incident");
   now_GR.addQuery("active", true);
   now_GR.query();
   now_GR;
</g:evaluate>

<j:if test="${!jvar_now_GR.hasNext()}">
   We did not find any active incidents.
</j:if>
<j:if test="${jvar_now_GR.next()}">
   We found ${jvar_now_GR.getRowCount()} active incidents.
</j:if>
```

while

- 説明：`while` タグは while ループを実行します。
- パラメーター：`test` - ステートメントがループしているかどうかを判断するために評価する条件。これは、true または false に評価される `${}` または `$[]` で囲まれた式である必要があります。
- 例：

```
<g:evaluate var="jvar_now_GR" object="true">
   var now_GR = new GlideRecord("incident");
   now_GR.addQuery("active", true);
   now_GR.query();
   now_GR;
</g:evaluate>

<j:while test="${jvar_now_GR.next()}">
  <a
 href="incident.do?sys_id=${jvar_now_GR.getValue('sys_id')
}">${jvar_now_GR.getValue('number')}</a>
</j:while>
```

set

- 説明：`set` タグは変数を設定します。
- パラメーター：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `var`：設定する変数。多くの場合、これらの変数には一貫性のために `jvar_` というプリフィックスが付けられます。
- `value`：`var` に設定する値。多くの場合、これは `${}` または `$[]` で囲まれた式です。
- `defaultValue`：値が null または空の場合、この値は `var` に格納されます。

- 例：

```
<j:set var="jvar_incident_number"
 value="${jvar_now_GR.getValue('number')}"/>
```

set_if

- 説明：`set` タグは test に基づいて変数を設定します。このタグは、他のプログラミング言語の `ternary` 演算子 (`var = <test> ? <if_true> : <if_false>`) に類似しています。
- パラメーター：
  - `var`：設定する変数。多くの場合、これらの変数には一貫性のために `jvar_` というプリフィックスが付けられます。
  - `test`：ステートメントが true 値を評価するか false 値を評価するかを決定するために評価する条件。これは、true または false に評価される `${}` または `$[]` で囲まれた式である必要があります。
  - `true`：`test` が `true` と評価された場合に変数に設定する値。このパラメーターはオプションであるため、フィールドが空白で、テストが true と評価された場合、変数は空白のままになります。
  - `false`：`test` が false と評価された場合に変数に設定する値。このパラメーターはオプションであるため、フィールドが空白で、test が false と評価された場合、変数は空白のままになります。

choose

- 説明：`choose` タグは、コードの choose ブロックを開始するのに使用します。これは、ほとんどのプログラミング言語の `if-elseif-else` 構文に似ています。`choose` タグでは、`when` タグと `otherwise` タグを使用して、他のコードブロックを指定できます。
- パラメーター名：なし
- 例：

```
<j:choose>
   <j:when test="${jvar_now_GR.getRowCount() ${AMP}lt; 1}">We
 found multiple records!</j:when>
   <j:when test="${jvar_now_GR.next()}">We found record
 ${jvar_now_GR.getValue('number')}</j:when>
   <j:otherwise>Sorry, we could not find the record you
 specified.</j:otherwise>
</j:choose>
```

when

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 説明：`when` タグは、条件を示すために choose ブロック内で使用されます。このタグは、条件を指定し、内部コンテンツを実行し、`if-elseif` 構造を終了するために最後にブレークを指定するという点で、`if` または `elseif` に似ています。
- パラメーター：`test` - ステートメントがループしているかどうかを判断するために評価する条件。これは、true または false に評価される `${}` または `$[]` で囲まれた式である必要があります。
- 例：

```
<j:choose>
   <j:when test="${jvar_now_GR.getRowCount() ${AMP}lt; 1}">We
 found multiple records!</j:when>
   <j:when test="${jvar_now_GR.next()}">We found record
 ${jvar_now_GR.getValue('number')}</j:when>
   <j:otherwise>Sorry, we could not find the record you
 specified.</j:otherwise>
</j:choose>
```

otherwise

- 説明：`otherwise` タグは、`choose`/`when`/`otherwise` ブロック内で使用され、`else` または `default` に似ています。
- パラメーター名：なし
- 例：

```
<j:choose>
   <j:when test="${jvar_now_GR.getRowCount() ${AMP}lt; 1}">We
 found multiple records!</j:when>
   <j:when test="${jvar_now_GR.next()}">We found record
 ${jvar_now_GR.getValue('number')}</j:when>
   <j:otherwise>Sorry, we could not find the record you
 specified.</j:otherwise>
</j:choose>
```

Glide タグ

evaluate

- 説明：`evaluate` タグは JavaScript コード (サーバー側) を評価し、将来のコードで変数を表示できるようにします。他のタグとは異なり、`evaluate` タグは、タグ内のコンテンツをサーバー側の JavaScript として評価します。

  コンテキストは、システムのスクリプトインクルードと同じです。その他のスクリプトインクルード、グローバルビジネスルール、*GlideRecord*、*GlideSystem*、および Jelly 変数 (パラメーター `jelly="true"` が設定されている場合は、先頭に jelly が付きます) を使用できます。

- パラメーター：
  - `var`：スクリプトの結果に設定される変数の名前。
  - オブジェクト：`true` に設定すると、式の結果はプリミティブ変数 (文字列または整数の変数値) ではなくオブジェクトとして扱われます。
  - `jelly`：`true` に設定すると、Jelly コンテキスト変数をスクリプトで参照できるようになります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 式：これは、`var` に入力する値に対して実行される式です。式は 2 つの場所のいずれかで使用できます。まず、`evaluate` タグ自体の属性にすることができます。それ以外の場合は、開始タグと終了タグの間のコンテンツが式になります。式の最後の行は、`var` に渡される実際の値です。

- 例：

```
<g:evaluate var="jvar_now_GR" object="true">
  var now_GR = new GlideRecord("incident");
  now_GR.addQuery("active", "true");
  now_GR.query();
  now_GR; // this is the variable put into the variable
 jvar_now_GR
</g:evaluate>
```

```
<g:evaluate var="jvar_now_GR" object="true" expression="
  var now_GR = new GlideRecord('incident');
  now_GR.addQuery('active', 'true');
  now_GR.query();
  now_GR; // this is the variable put into the variable
 jvar_now_GR" />
```

messages

- 説明：`messages` タグは翻訳に役立ちます。*`gs.getMessage()`* がページ上の任意の場所で呼び出された場合、翻訳が見つかる可能性のある場所は 2 か所あります。まず、ページで翻訳のローカルキャッシュをチェックします。次に、ページでサーバーに対して AJAX 呼び出しを行い、翻訳を検索します。`g:messages` の機能は、ページが特定のメッセージをキャッシュできるようにすることです。
- パラメーター名：なし
- 例：

```
<g:messages>
  Yes
  No
  Cancel
</g:messages>
```

breakpoint

- 説明：`breakpoint` タグが呼び出されると、現時点での Jelly 内のすべての変数のリストがそれぞれの値とともに出力されます。変数が指定されている場合は、要求された変数とその値が出力されます。出力はシステムログに格納されます。
- パラメーター：`var` - (オプション) 値をログに記録する変数。`var` が指定されていない場合、すべての変数がログにダンプされます。
- 例：

```
<g:breakpoint />
```

```
<g:breakpoint var="sysparm_view"/>
```

no_escape

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 説明：システムは、デフォルトで、セキュリティ対策としてエスケープされた出力を使用します。`no_escape` タグ内に配置された出力は、出力の前にエスケープされません。これらのタグを使用する場合は注意が必要です。ここにユーザー入力が表示されると、ページのセキュリティ脆弱性が生じる可能性があります。
- パラメーター名：なし
- 例 (フェーズ 1) – 含まれているすべての ${} 式の自動出力エスケープを無効にします。

```
<g:no_escape>
 ${jvar_raw_html_data}
</g:no_escape>
```

- 例 (フェーズ 2) – `NOESC` を使用して、指定された文字列のエスケープを無効にします。これは、式が文字列に評価される必要があることを意味します。

```
<g:no_escape>$[NOESC:jvar_expr]</g:no_escape>
```

フェーズ 1 とフェーズ 2 の評価の詳細については、このセクションの最初にリストされている Jelly の紹介ビデオを参照してください。

macro_invoke

- 説明：`macro_invoke` タグは、データベースで指定した UI マクロを呼び出します。タグ名で指定して UI マクロを呼び出すこともできます。たとえば、my_macro という名前の UI マクロがある場合、そのマクロを `<g:my_macro/>` タグで呼び出すことができます。詳細については、「UI マクロ」を参照してください。
- パラメーター：
  - マクロ：実行する UI マクロの名前。タグ名が「`g:macro_invoke`」の場合、マクロ属性はマクロの名前を指定します。タグ名にマクロの名前が含まれている場合は、マクロ属性を含める必要はありません。
  - その他の属性：指定した属性ごとに、その名前の変数が UI マクロのコンテキストで使用可能になり、プリフィックス「`jvar_`」が付きます。
- 例：

```
<!-- Will invoke the contents of the UI macro named
 "sample_macro", which will have the variable jvar_message
 available within it-->
<g:macro_invoke macro="sample_macro" message="This is a
 sample macro variable." />
```

```
<!-- Will invoke the contents of the UI macro named
 "sample_macro", which will have the variable jvar_message
 available within it-->
<g:sample_macro message="This is a sample macro variable." />
```

if_polaris

- 説明：`if_polaris` タグは、現在のページで ネクストエクスペリエンス が有効かどうかを確認します。子タグ `<g:then />` または `<g:else />` の少なくとも 1 つを含める必要があります。
- パラメーター名：なし
- 例：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<g:if_polaris>
    <g:then><g:inline template="polaris_nav"/></g:then>
    <g:else><g:inline template="classic_nav"/></g:else>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:then><a href="…">Click here to see what's
 new!</a></g:then>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:else>Core UI only code here!</g:else>
</g:if_polaris>
```

次に

- 説明：`then` タグは、ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合に、`if_polaris` ブロック内でページコンテンツを設定するために使用されます。
- パラメーター名：なし
- 例：

```
<g:if_polaris>
    <g:then><g:inline template="polaris_nav"/></g:then>
    <g:else><g:inline template="classic_nav"/></g:else>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:then><a href="…">Click here to see what's
 new!</a></g:then>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:else>Core UI only code here!</g:else>
</g:if_polaris>
```

それ以外の場合

- 説明：`else` タグは、ネクストエクスペリエンス が有効になっていない場合に、`if_polaris` ブロック内でページコンテンツを設定するために使用されます。
- パラメーター名：なし
- 例：

```
<g:if_polaris>
    <g:then><g:inline template="polaris_nav"/></g:then>
    <g:else><g:inline template="classic_nav"/></g:else>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:then><a href="…">Click here to see what's
 new!</a></g:then>
</g:if_polaris>

<g:if_polaris>
    <g:else>Core UI only code here!</g:else>
</g:if_polaris>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Jelly エスケープタイプ

JavaScript と HTML で文字をエスケープする場合は、別の方法を使用します。JavaScript はバックスラッシュ文字を使用し、HTML はアンパサンド文字を使用します。

> **注:** この機能を使用するには、JavaScript、HTML、および Apache Jelly (XML を実行可能コードに変換するための Java および XML ベースのスクリプティングおよび処理エンジン) の知識が必要です。

Jelly から出力を生成するときに必要なエスケープには、次の 2 つのタイプがあります。

- JavaScript
- HTML

これらのそれぞれのエスケープは、次のタイプで構成されます。

Jelly エスケープタイプ

タイプ	送信元	宛先
JavaScript	' (一重引用符)	\'
	" (二重引用符)	\"
	CR (キャリッジリターン)	(可能性)
	NL (改行)	\n (「\」の後に「n」)
HTML	& (アンパサンド)	&
	< (次の値未満)	<
	> (次の値を超える)	>

getHTMLValue() 関数を使用して HTML をエスケープすることもできます。これにより、すべての改行が強制され、上記の文字がエスケープされます。次のように使用できます。

```
${test.getHTMLValue()}
```

Jelly 置換へのエスケープの追加

Jelly ファイルで文字エスケープを処理できます。XML エスケープの動作は、security_admin ロールを持つユーザーのみが変更できます。

このタスクについて

> **注:** この機能を使用するには、JavaScript、HTML、および Apache Jelly (XML を実行可能コードに変換するための Java および XML ベースのスクリプティングおよび処理エンジン) の知識が必要です。

手順

実行するエスケープを示すプリフィックスを ${式} または $[式] に追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
${JS:expression}
${HTML:expression}
```

プリフィックスは、式の結果を取得し、出力する前にエスケープするようにシステムに指示します。エスケープは、プリフィックスのカンマ区切りリストを指定することで組み合わせることができます。

```
${JS,HTML:expression}
```

Jelly 構文の拡張

Apache の Jelly 構文は、フォーム、リスト、UI ページ、および ServiceNow でレンダリングされるその他の多くのものをレンダリングするために使用されます。

Jelly を使用すると、ロジックを静的コンテンツ内に埋め込み、計算された値を静的コンテンツに挿入できます。

重要: この機能を使用するには、Apache Jelly (XML を実行可能コードに変換するための Java および XML ベースのスクリプティングおよび処理エンジン) の知識が必要です。

Apache のページ http://commons.apache.org/jelly/tags.html には、標準の Jelly タグの概要が記載されています。

名前空間

Jelly は、タグを呼び出すときに複数の名前空間を含めることがよくあります。

「j」名前空間は標準の Jelly ですが、「g」名前空間は ServiceNow スクリプトに固有です。たとえば、<g:evaluate> タグは ServiceNow によって提供され、JavaScript を使用して値を計算できるようにします。標準の Jelly タグ <j:test> は条件を評価するために使用されます。

フェーズ

通常、名前空間によって示されるフェーズには、<j> と <j2> および <g> と <g2> の 2 つがあります。

「2」のない名前空間は処理の最初のフェーズで発生し、UI ページで使用される場合を除いてキャッシュされます。「2」が付いているものはキャッシュされません。効率を向上させて正しい結果を得るために、フェーズ 1 とフェーズ 2 のどちらを使用するかを選択するときは注意が必要です。

名前空間に加えて、静的コンテンツに値を挿入するために使用される構文は、値を指定するフェーズによって異なります。ドル記号と中括弧で値を囲むことで、値がフェーズ 1 に挿入されます。たとえば、`${jvar_ref}` は、jelly プロセスのフェーズ 1 で値 `jvar_ref` を挿入します。ドル記号と角括弧で値を囲むことで、値がフェーズ 1 に挿入されます。たとえば、`${jvar_ref}` は、フェーズ 2 で値 `jvar_ref` を挿入します。引用符に囲まれた値は文字列として処理されます。たとえば、`'[jvar_ref]'` は、フェーズ 2 で値 `jvar_ref` を文字列として挿入します。

```
 <script>
if (confirm("$[gs.getMessage('home.delete.confirm') ]"))
   ...
</script>
```

```
<input type="hidden" id="${jvar_name}" name="${jvar_name}"
 value="${jvar_value}" class="${jvar_class}" />
```

If test

Jelly スクリプトでも if ステートメントを使用できます。

true かどうかのテストをするには、次のようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<j:if test="${jvar_something}">...do something...</j:if>
<j:if test="${!jvar_something}">...do something...</j:if>
```

このステートメントが機能するのは、Jelly では jvar_something のような用語は以下の場合に if タグ内で「真」になるためです。

1. ブール値で true
2. 文字列で「true」、「yes」、「on」、または「1」

存在するかどうかのテストをするには、次のようにします。

```
<j:if test="${empty(jvar_something)}">...do something...</j:if>
```

このステートメントが機能するのは、JEXL の empty 関数は引数が次の場合に true を返すためです。

1. null
2. 空白文字列
3. 長さゼロのコレクション
4. キーのないマップ
5. 空白のアレイ

注: JEXL 式で javascript 変数と jvar 変数を混在させることはできません。これらは個別の式に分割する必要があります。

set_if

test が true か false かに応じて、変数を 2 つの異なる値のいずれかに設定します。

```
<g2:set_if var="jvar_style" test="$[gs.getPreference('table.compact') !=
 'false']"
   true="margin-top:0px; margin-bottom:0px;"
   false="margin-top:2px; margin-bottom:2px;" />
```

<g:insert>、<g:inline>、および **<g:call>**

このページでは、<g:insert>、<g:inline>、および <g:call> の 3 つのタグの比較説明を行います。

<g:insert>

<g:insert> タグは、Jelly ファイルを新しいコンテキストで Jelly に挿入します。これは、Jelly で以前に確立した変数にアクセスできないことを意味します。

```
<g:insert template="get_target_form_function.xml" />
```

<g:inline>

<g:inline> タグは、Jelly ファイルを同じコンテキストで Jelly に挿入します。これは、挿入された Jelly が以前に確立した変数にアクセスでき、それらの変数の値を変更できることを意味します。

```
<g:inline template="element_default.xml" />
```

<g:call>

より適切にカプセル化するには、<g:call> タグを使用します。関数は、渡された値にのみアクセスできます。Jelly コンテキストは、コール後もコール前と同じように見えます。つまり、ここでグロー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バル変数を設定して後で読み込むことはできません。また、誤って「jvar_temp」というグローバル変数を設定して、他のユーザーが依存していた変数を上書きすることもできません。

値を渡す必要がある場合は、<g:call> 行にパラメーターの名前を含め、その後に等号と引用符で囲んだ値を続けることで、明示的に行うことができます。

```
<g:call function="collapsing_image.xml" id="${jvar_section_id}"
 image="$[jvar_cimg]"
   first_section_id="${jvar_first_section_id}"
 image_alt="${jvar_cimg_alt}"/>
```

値が渡され、デフォルトまたは必須のパラメーターが必要な場合は、関数で参照される Jelly に、パラメーターが必須かデフォルト値があるかを宣言する行を含める必要があります。

```
<g:function id="REQUIRED" image="REQUIRED" image_prefix=""
 image_alt="REQUIRED"/>
```

上記の例は、3 つのパラメーターが必須であり、1 つのパラメーターが空のデフォルト値を持つオプションであることを示しています。値を渡さない場合、またはデフォルト値や必須値が必要な場合は、<g:function> 行を含める必要はありません。ただし、一般的には <g:function> 行を含めます。

パラメーターの名前の先頭に「jvar_」プリフィックスを追加することで、値をテンプレートで参照できるようになります。

```
<img id="img.${jvar_id}" src="images/${jvar_image}"
 alt="${jvar_image_alt}"     onclick="toggleSectionDisplay('${jvar_id}',
 '${jvar_image_prefix}','${jvar_first_section_id}');"/>
```

<g:call> では、「arguments」パラメーターの名前付き変数のリストとしてパラメーターを暗黙的に渡すこともできます。

```
 <g:call function="item_link_default.xml"
 arguments="sysparm_view,ref_parent,jvar_target_text"/>
```

個別のタグ引数を介して関数に変数を渡す代わりに、単一の「arguments」引数で変数のリストを渡すことができます。*argument* パラメーターの名前 (カンマ区切り) で識別されるすべての変数は、まったく同じ名前で関数内に再導入されます (たとえば、関数テンプレート内では、変数 sysparm_view、ref_parent、および jvar_target_text を使用できます)。

関数テンプレートは、`return=` 属性を使用して呼び出し元テンプレートに値を返すことができます。関数内では、`jvar_answer` 変数で戻り値を設定します。

```
<g:call function="item_body_cell_calc_style.xml" arguments="jvar_type"
 return="jvar_style"/>
```

<g:evaluate>

<g:evaluate> タグは、Rhino JavaScript で記述された式を評価するために使用され、場合によっては変数を式の値に設定するために使用されます。

式の最後のステートメントは、変数に含まれる値です。

```
<g2:evaluate var="jvar_page" jelly="true">
     var page = "";
     var pageTitle = "";
     var pageGR = new GlideRecord("cmn_schedule_page");
     pageGR.addQuery("type", jelly.jvar_type");
     pageGR.query();
     if (pageGR.next()) {
        page = pageGR.getValue("sys_id");
        pageTitle = pageGR.getDisplayValue();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
     }
     page;
</g2:evaluate>
```

```
<g2:evaluate var="not_important" expression="sc_req_item.popCurrent()"/>
```

object="true"

評価でオブジェクト (アレイなど) を返す場合は、引数 object="true" を使用します。

```
<g2:evaluate object="true" var="jvar_items"
 expression="SncRelationships.getCMDBViews()" />
```

jelly="true"

評価内の Jelly 変数にアクセスする場合は、評価に jelly="true" を含め、Jelly 変数の名前の前に「jelly.」を追加します。たとえば、GlideJellyContext にアクセスするには、次のようにします。

```
<g2:evaluate var="jvar_row_no" jelly="true">
   var gf = jelly.context.getGlideForm();
   var row = gf.getRowNumber();
   row;
</g2:evaluate>
```

jelly="true" パラメーターを使用して jvar にアクセスする別の例を示します。`jvar_h` の値は以前に設定されており、`evaluate` 内でアクセスできます。

```
$[NLBR:jvar_h.getHTMLValue('newvalue')]
<g2:evaluate var="jvar_fix_escaping" jelly="true">
    var auditValue = jelly.jvar_h.getHTMLValue('newvalue');
    gs.log("************ " + auditValue);
</g2:evaluate>
```

copyToPhase2="true"

フェーズ 1 での評価結果を取得してフェーズ 2 に伝播する必要がある場合は、copyToPhase2="true" を使用します。この使い方をする場合、エスケープに対する保護がいくつかあります。例：

```
<g:evaluate var="jvar_has_special_inc" copyToPhase2="true">
   var specialInc = gs.tableExists("special_incident");
   specialInc;
</g:evaluate>
$[jvar_has_special_inc]
```

何も評価する必要がない場合は、より直接的に行うことができます。この時、エスケープの問題に注意してください (この例では、jvar_rows 内の二重引用符で問題が発生します)。

```
<j2:set var="jvar_rows" value="${jvar_rows}"/>
```

<g:breakpoint/>

このタグを使用して、現在の Jelly 変数とその値をログに表示できます。

本番環境に移行する前に、このタグを必ず削除してください。

<g:ui_form/>

このタグは、UI ページのフォームを定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、フォームに `application_sys_id` フィールドが含まれている場合、g:ui_form で処理スクリプトを使用するメリットがある可能性があります。

```
<g:ui_form>
    <p>Click OK to run the processing script.</p>
    <g:dialog_buttons_ok_cancel ok="return true" />
    <input type="hidden" name="application_sys_id"
 value="499836460a0a0b1700003e7ad950b5da"/>
 </g:ui_form>
```

詳細については、「UI マクロ」を参照してください。

<g:ui_input_field />

このタグを使用することで、ユーザーが情報を入力できるページに入力フィールドを作成する UI マクロへの参照を追加できます。`ui_input_field` は、ラベル、名前、値、サイズを UI マクロに渡します。

UI ページの例を次に示します。

```
<g:ui_input_field label="sys_id" name="sysid"
 value="9d385017c611228701d22104cc95c371" size="50"/>
```

詳細については、「UI マクロ」を参照してください。

<g:ui_checkbox/>

このタグを使用することで、ユーザーが編集可能なチェックマークをページに配置することができます。名前と値は UI マクロに渡されます。

UI ページのテーブルの例を次に示します。

```
<table>
    <tr>
      <td nowrap="true">
          <label>Time Card Active:</label>
      </td>
      <td>
          <g:ui_checkbox name="timecard_active"
 value="${sysparm_timecard_active}"/>
      </td>
   </tr>
</table>
```

詳細については、「UI マクロ」を参照してください。

<g:dialog_buttons_ok_cancel/>

このタグを使用することで、タグが true を返した場合に、指定された処理スクリプトを実行するボタンを UI ページに配置することができます。

UI ページにフォームが含まれている (<g:form> タグを使用している) 場合は、フォームを送信して処理スクリプトを実行できます。処理スクリプトは、フォーム上のフィールドに自然にアクセスできます。たとえば、フォームに application_sys_id フィールドが含まれている場合は、次のようにします。

```
<g:ui_form>
    <p>Click OK to run the processing script.</p>
    <g:dialog_buttons_ok_cancel ok="return true" />
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    <input type="hidden" name="application_sys_id"
 value="499836460a0a0b1700003e7ad950b5da"/>
 </g:ui_form>
```

<g:ui_reference/>

このタグは、処理スクリプトで参照できるページへの参照を追加します。

次の例では、タグ内の名前、ID、およびテーブルパラメーターで定義された参照を作成します。

```
<g:ui_reference name="QUERY:active=true^roles=itil" id="assigned_to"
 table="sys_user" />
```

次に、処理スクリプトで、次のように [名前] フィールドを参照します。

```
newTask.assigned_to =
 request.getParameter("QUERY:active=true^roles=itil");
```

参照修飾子を指定して、「name」属性を一意にすることができます。次の例では、タグ内の名前、ID、およびテーブルパラメーターで定義された参照を作成します。

注: 「columns」属性はオートコンプリーターにのみ適用されます。

```
<g:ui_reference name="parent_id" id="parent_id" table="pm_project"
 query="active=true" completer="AJAXTableCompleter"
columns="project_manager;short_description"/>
```

アンパサンド

Jelly は XML であるため、Jelly でアンパサンドを使用すると問題が発生する可能性があります。

Jelly でアンパサンドを挿入するには、`${AMP}` を使用します。実際にブラウザーで実行される UI ページや UI マクロなどの HTML 部分に表示される JavaScript を記述する場合は、このコードを [クライアントスクリプト] フィールドに入力することをお勧めします。そうすることで、エスケープの問題を回避できます。ただし、どうしても [HTML] フィールドに入力する必要がある場合は、次のようにする必要があります。

```
ta = ta[1].split('$[AMP]');
```

AND

`${AND}` を使用して、Jelly で JavaScript を挿入します。

例：

```
if (d ${AND} e)
   var color = d.value;
```

または、Jelly の test では「`&amp&amp`」を使用します。例：

```
<j:if test="${jvar_form_name == 'sys_form_template' && !RP.isDialog()}">
```

次の値未満

アンパサンドと同様に、Jelly は XML であるため、小なり記号 (「<」) でも問題が発生する可能性があります。これは、test が不要になるように変更するか、小なり記号の代わりに `${AMP}lt;` を使用することで解決できます。

```
<g2:evaluate var="jvar_text">
     var days = "";
     var selectedDays = '$[${ref}]';
     for (var i = 1; i ${AMP}lt;= 7; i++) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
        if (selectedDays.indexOf(i.toString()) >= 0) {
           days += gs.getMessage("dow" + i);
           days += " ";
        }
     }
     days;
 </g2:evaluate>
```

多くの場合、エスケープの問題がない「次の値に等しくない」演算子を使用するだけで、「次の値未満」演算子をまとめて回避できます。例：

```
for (var i=0; i != ta.length; i++) {
}
```

whitespace

通常、空白は Jelly によって削除されます。保持するには、トリミングされないように指定する必要があります。

たとえば、次の例では、コロンの後にスペースが保持されます。

```
<j2:whitespace trim="false">${gs.getMessage('Did you mean')}:
 </j2:whitespace>
```

スペース

改行なしスペース ( ) をエンコードするには、 `$[SP]` を使用できます。

例：

```
<span id="gsft_domain" style="display: inline">
    ${gs.getMessage('Domain')}:$[SP]
    <span id="domainDD" class="drop_down_element" style="text-decoration:
 none; color: white">
        ${gs.getMessage("Loading...")}
   </span>
</span>
```

Jelly のトレース

ServiceNow には、Jelly の評価をトレースできる機能があります。

トレースがログに送信されます。多くのログが生成されるため、これはデバッグ中にのみオンにしてください。トレースをオンにするには、プロパティ glide.ui.template.trace を true に設定します。たとえば、次のスクリプトを実行してこれを行うことができます。

```
GlideProperties.set ( 'glide.ui.template.trace' , true ) ;
```

各ページの下部にある Web ブラウザーでログエントリを確認する場合は、 システム診断 > デバッグログ.

スクリプトのデバッグ

セッションログと Now Platform デバッグツール (ウォークスルースクリプトデバッガーや UI に表示されるエラーメッセージなど) を使用して、スクリプトをデバッグします。

サーバーサイドスクリプトのデバッグ

スクリプトデバッガーとセッションログを使用して、サーバーサイドのコードをデバッグします。詳細については、「スクリプトデバッガおよびセッションログ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

セッションデバッグを使用して、クライアントサイドの変更の結果として実行されるサーバーサイドのスクリプトに関連するエラーメッセージを表示することもできます。詳細については、「セッションのデバッグ」を参照してください。

GSLog は、呼び出し元ごとに識別される sys_properties 値によって選択可能なログ出力のレベルを実装することで、スクリプトのログ記録とデバッグを簡素化するスクリプトインクルードです。 詳細については、「GSLog API」を参照してください。

クライアントサイドスクリプトのデバッグ

セッションデバッグを使用して、ユーザーインターフェイスにデバッグメッセージを表示します。詳細については、「セッションのデバッグ」を参照してください。セッションログを使用して、エージェントワークスペース などのスクリプトインクルードおよびカスタム UI のログ情報を表示します。

ブラウザーベースの開発者ツールを使用して、クライアントサイドのスクリプトをデバッグすることもできます。

アプリケーションとスコープのデバッグ

アプリケーションデバッグオプションを使用して、スクリプトのアプリケーションスコープがアプリケーション、テーブル、またはレコードにどのように影響するかを理解してください。スコープアクセスの問題をトラブルシューティングするには、クロススコープ権限を更新することが必要になる場合があります。「アプリケーションのデバッグ」を参照してください。

スクリプトデバッガおよびセッションログ

スクリプトデバッガを使用すると、script_debugger ロールを持つユーザーはサーバー側の JavaScript をデバッグできます。log_debugger ロールを持つユーザーは、 セッションログ を使用して必要なログを表示およびダウンロードできます。

script_debugger ロールを持つユーザーは、スクリプトデバッガを使用して次のアクションを実行できます。

- 現在のセッションにのみ適用される専用のデバッグトランザクションがあります。
- ブレークポイントの設定および削除
- ブレークポイントでの現在のセッションの一時停止
- ランタイム中の式の評価
- コードの行ごとのステップ実行
- 関数へのステップイン、ステップアウトとメソッド呼び出し
- ローカル変数とグローバル変数の値の表示
- 関数クロージャからのプライベート変数の値の表示
- コールスタックの表示
- システムが処理しているトランザクションの表示
- スクリプトデバッガーをオフにして、一時停止したスクリプトの実行を再開

[セッションログ] タブを使用して、ビジネスルール、スクリプトインクルード、および GraphQL コンポーネントを持つ ServiceNow® エージェントワークスペース などのカスタム UI を取得します。log_debugger ロールを持つユーザーは、次のことができます。

- 別のタブへのセッションログの表示
- ログのダウンロード

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エージェントワークスペース のログの表示
- デバッグオプションを指定して、必要なログのみを表示またはダウンロード

デフォルトでは、100 件のトランザクションと 10,000 件のメッセージが [セッションログ] タブに表示されます。トランザクション数またはメッセージ数がデフォルト値を超えると、セッションログはクリアされ、次のトランザクションまたはメッセージが表示されます。このトランザクション数とメッセージ数は、それぞれ *glide.debugger.log.transaction.count* および *glide.debugger.log_messages_limit* のユーザー設定を使用して設定できます。*glide.debugger.log.transaction.count* および *glide.debugger.log_messages_limit* のユーザー設定の詳細については、「ユーザー設定」を参照してください。

注: *glide.debugger.log.ui* システムプロパティを使用して、セッションログをスクリプトデバッガ付きの別のタブとして有効にします。

- [ページ] オプションでは、フォームとリストの下、および [セッションログ] タブにログが表示されます。
- [セッション] オプションでは、[セッションログ] タブにのみログが表示されます。

glide.debugger.log.ui システムプロパティの詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

コンソールでステートメントを実行すると、実行されたステートメントはブラウザーのキャッシュに格納されます。上向き矢印キーを使用すれば前のステートメントを、下向き矢印キーを使用すれば次のステートメントを、ブラウザーのキャッシュから取得できます。ユーザー設定 *glide.debugger.console.cached_stmt_limit* は、ブラウザーセッションにキャッシュされるステートメントの数を定義します。デフォルトのステートメントキャッシュ値は 20 で、最大値は 100 です。ユーザー設定からのステートメントキャッシュ値を設定できます。

注: ブラウザーのキャッシュがクリアされた場合、または別のブラウザーや別のコンピューターからログインした場合は、キャッシュされたステートメントを使用できません。

スクリプトデバッガでは、続行のために応答を必要とする対話型トランザクション (ビジネスルール、スクリプトインクルード、スクリプトアクション、UI アクションなど) で実行されているサーバーサイドスクリプトを一時停止することができます。コンテキストでスクリプトを実行したときに GlideSystem メソッドの *isInteractive()* が **True** を返す場合、スクリプトデバッガでスクリプトを一時停止できます。

注: スクリプトインクルードなどの一部のスクリプトオブジェクトは、複数のコンテキストから呼び出すことができます。例：

- ビジネスルールがフォーム送信の際に、フォームデータの変更を待機してから続行するインタラクティブトランザクションであるスクリプトインクルードを実行する場合。
- スケジュール済みジョブが、他のスクリプトを同時に実行できる非インタラクティブなバックグラウンドトランザクションである同じスクリプトインクルードを実行する場合。

クライアントサイドスクリプトをデバッグするには、ブラウザーベースの開発者ツールを使用できます。

ユーザーセッションが有効である限り、デバッガートランザクションは開いたままです。ユーザーがログアウトするか、セッションがタイムアウトすると、システムはデバッガートランザクションをクローズします。

デバッグログを表示するには、「デバッグログの表示」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: スクリプトデバッガを有効にすると、コードは解釈済みモードで実行されます。スクリプトの一部が Strict モードで実行されるように設定されている場合、デバッガーは正しいオブジェクトを見つけることができず、失敗します。スクリプトデバッガは、Strict モード以外のスクリプトで実行する必要があります。

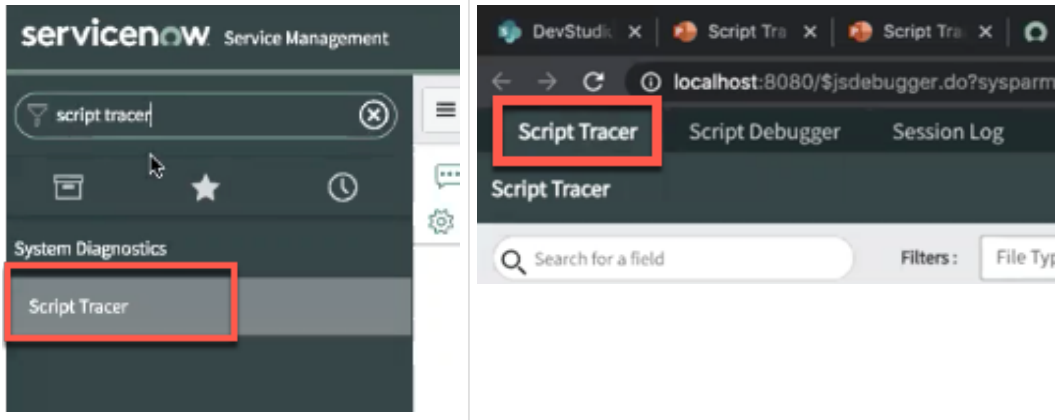
スクリプトトレーサーとデバッグスクリプト

スクリプトトレーサーは、デバッグ検索をフィルタリングして、スクリプトの問題を絞り込む際に役立ちます。Glide レコードの中で、実行時に変更が加えられたスクリプトの行を特定することができます。広範囲に検索するのではなく、このような特定の行を見つけることで、時間を節約し、生産性を向上させることが可能です。

概要

スクリプトとビジネスルールをより効率的にデバッグできるように、スクリプトトレーサーを使用して検索を絞り込みます。スクリプトトレーサーは、左側のナビゲーションペインで検索して見つけることができます。

注: スクリプトトレーサーを使用するには、ロールが admin である必要があります。



スクリプトトレーサーを有効にして UI トランザクションを実行すると、トレーサーによって実行中のすべてのスクリプトに対して検索が行われます。次のフィルターを使用できます。

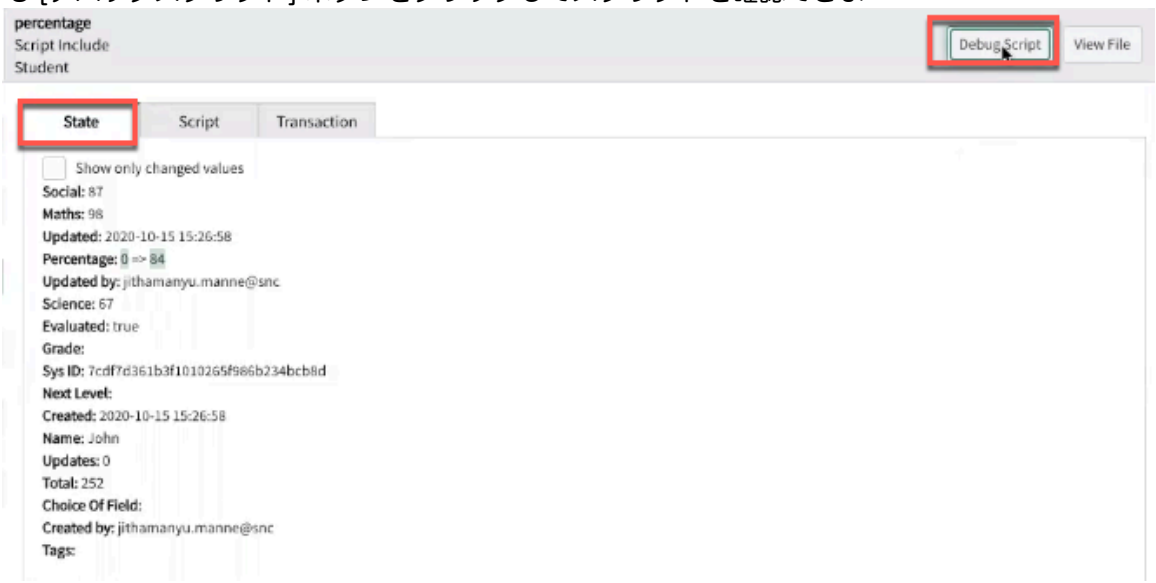
- [ファイルタイプ]：特定のファイルタイプを検索します
- [テーブル]：特定のテーブルで、実行中のスクリプトを検索します

Script Tracer により、実行時のスクリプトの変更点が検索され、一覧で表示されます。ユーザーはこれを確認することができます。[トレーサーを開始] をクリックすると、Glide レコード内で変更点の検索が開始されます。い

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

つでも [デバッグスクリプト] ボタンをクリックしてスクリプトを確認できま



す。

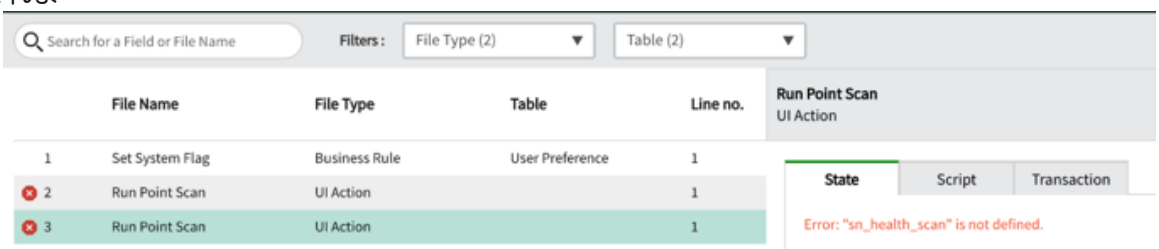
トレーサーから特定の情報を表示するには、以下のタブを使用します。

[状態] タブは、古いスクリプトと新しいスクリプトの差異を表示します。

- デフォルトでは、[変更された値のみを表示] チェックボックスがオンになっているため、変更されていないフィールドは表示されません。
- 変更されていないものも含めてすべてのフィールドを表示するには、このチェックボックスをオフにします。

注: ファイルがトレースステートメントに反映されない場合は、Glide レコードの変更がシステムによって認識されていないことを意味します。

エラーがある場合は、[状態] タブの上部に表示され、行番号とエラーメッセージが発生順に表示されま



す。

- [スクリプト]：実行時に Glide レコードで変更されたスクリプトの行を表示します。[スクリプトを表示] ボタンをクリックすると、スクリプトの全体行を表示できます。
- [トランザクション]：トレースのすべてのトランザクションレコードを表示します
- [デバッグスクリプト]：スクリプトをデバッグするためにデバッガーでスクリプトを開きます
- [ファイルを表示]： ServiceNow プラットフォームで編集のためにスクリプトを開きます
- [トレースをクリア]：終了したときにトレースをクリアします。

トレーサーの制限

生成されるリターンが多すぎないように、トレースに制限を設定することができます。デフォルトでは、最大 1,000 行のスクリプトがトレースされます。この数に達すると、トレースをクリアしてトレースを再開する必要があります。トレースの最大行数を変更するには、プロパティ *glide.debug.trace.trace_line_limit* を使用して制限を構成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

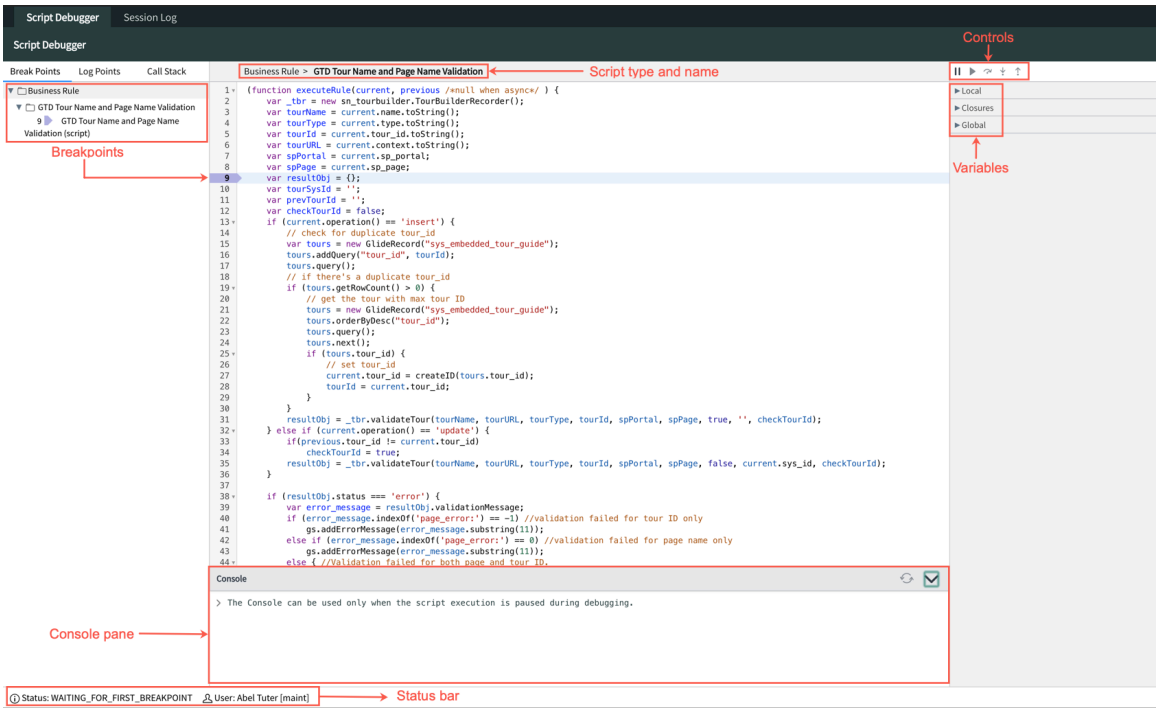
実行する各トレースは新規であるため、1 つのトレースの結果を読み終えてから、それをクリアして別のトレースを開始してください。

詳細については、「スクリプトのデバッグ」を参照してください。

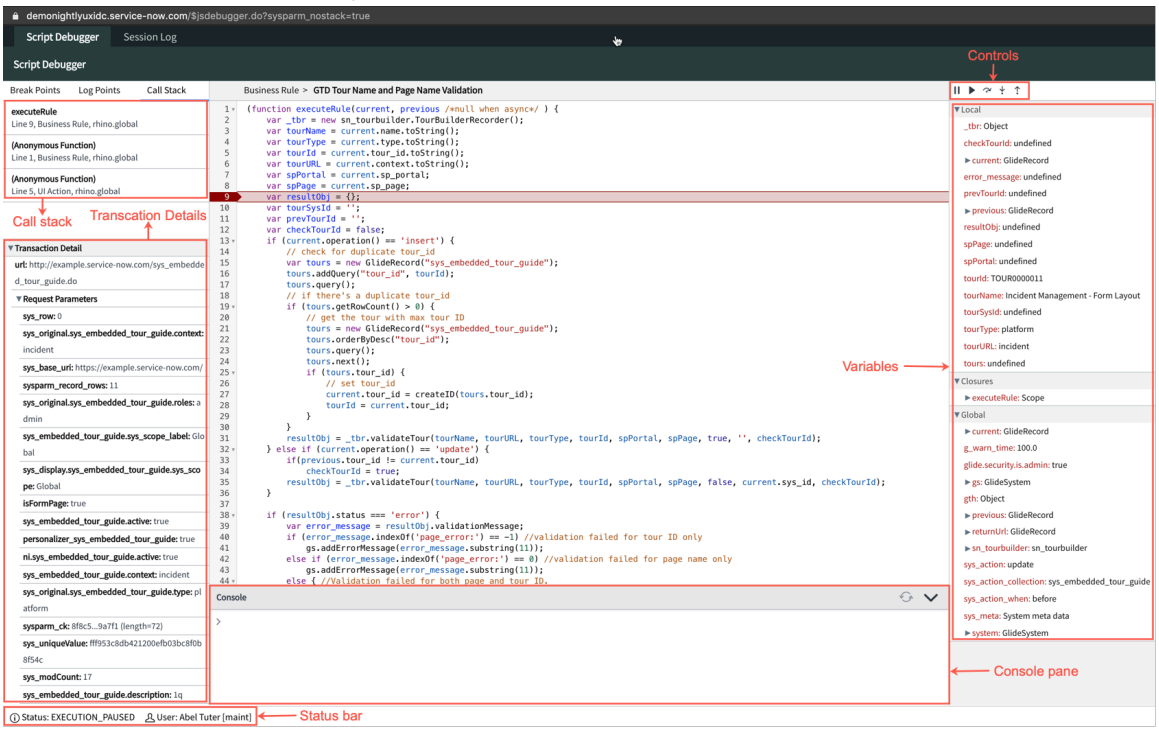
ユーザーインターフェイスの構成要素

スクリプトデバッガインターフェイスには、設定されたブレークポイント、現在実行中のスクリプト行のコールスタックと行番号、変数とトランザクションに関する詳細、およびコンソールのステータスが表示されます。

スクリプトデバッガーが一時停止していない



スクリプトデバッガーが一時停止している



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトデバッガーの構成要素

ユーザーインターフェイス要素	説明
ブレークポイント	スクリプトタイプ、スクリプト名、および行番号で設定されたブレークポイントのリストを表示します。ブレークポイントが追加されたり削除されたりすると、デバッガーによってこのリストが更新されます。
コールスタック	現在の行番号に先行する、または現在の行番号を呼び出したスクリプトコールのリストを表示します。この情報は、ブレークポイントでデバッガーが一時停止している場合にのみ表示されます。
トランザクションの詳細	現在のトランザクションに関する情報を表示します。この情報は、ブレークポイントでデバッガーが一時停止している場合にのみ表示されます。
ステータス	デバッガーがブレークポイントを待機しているのか、ブレークポイントで一時停止しているのか、それとも例外が発生したのかを表示します。
ユーザー	現在のデバッガーセッションを実行しているユーザーの名前を表示します。
コーディングペインヘッダー	コーディングペインにあるスクリプトのタイプと名前が表示されます。
ブレークポイントアイコン	現在のスクリプトを評価するときにデバッガーが一時停止する行番号を示します。
[デバッグの一時停止 (Pause debugging)]ボタン	現在のデバッグセッションを停止し、現在のユーザーのスクリプトデバッガを無効にします。スクリプトデバッガは、再開するまで現在のユーザーのブレークポイントで一時停止しません。
コンソール	実行時に式を評価するために使用されるコマンドラインインターフェイスを表示します。コンソールは、スクリプトの実行が一時停止されている場合にのみ使用できます。
[スクリプト実行を再開] ボタン	現在のブレークポイントから次のブレークポイントに進みます。他のブレークポイントがない場合、スクリプトは完了するまで実行されます。
[次の関数呼び出しをステップオーバー (Step over next function call)] ボタン	呼び出そうとしているメソッドを通り越し、メソッドを単一のステップとして実行します。
次の関数呼び出しにステップイン	メソッド呼び出し内の実行されたコードの最初の行に進みます。メソッドにステップインすると、コールスタック内の現在の位置が更新されます。ユーザーがメソッド呼び出しの読み取りアクセス権を持たない場合、このコントロールは代わりにステップオーバーのように動作します。

自動翻訳

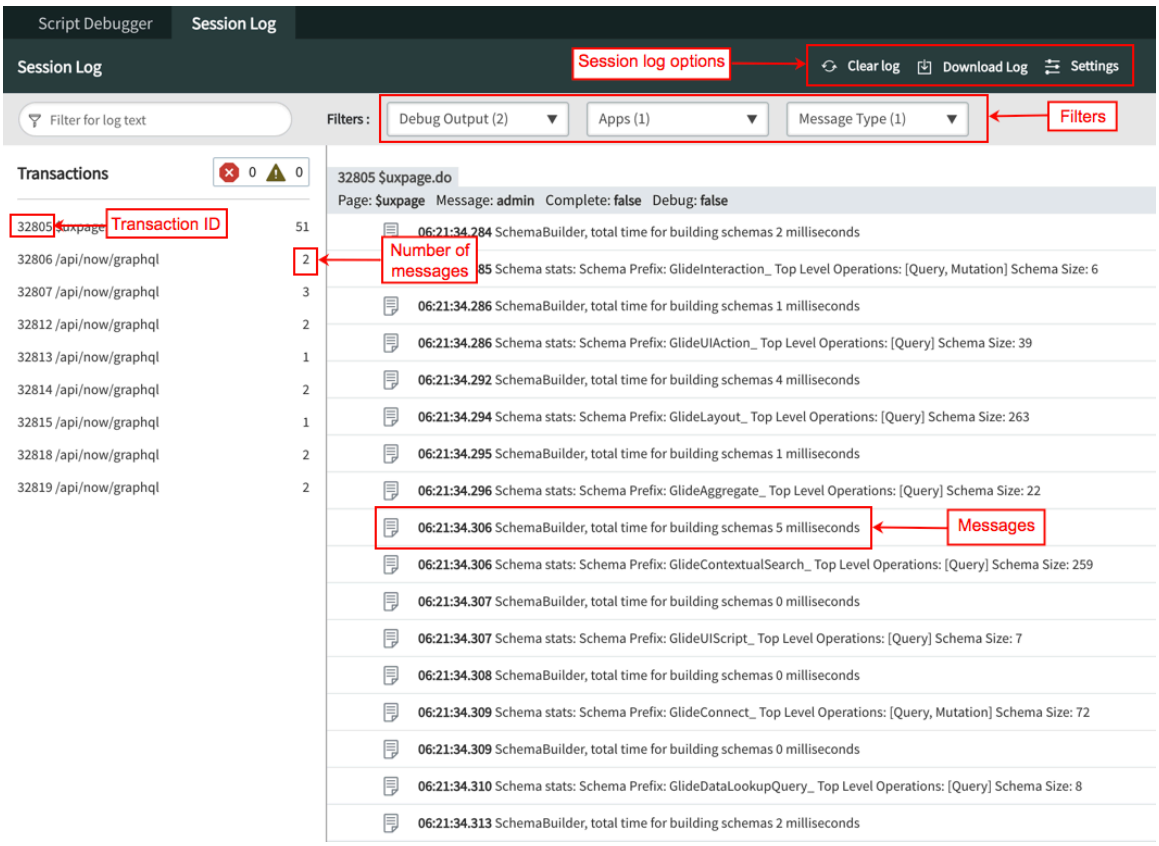
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトデバッガーの構成要素 (続く)

ユーザーインターフェイス要素	説明
現在の関数をステップアウト	現在のメソッド呼び出しを終了し、コールスタックから呼び出し元スクリプトに戻ります。ユーザーがメソッド呼び出し内にいない場合、このコントロールは代わりにステップオーバーのように動作します。
ローカル	ローカルスコープの JavaScript 変数名とその値のリストを表示します。この情報は、ブレークポイントでデバッガーが一時停止している場合にのみ表示されます。
クローズ	関数クロージャによって設定されたグローバルスコープの JavaScript 変数名と値のリストを表示します。この情報は、ブレークポイントでデバッガーが一時停止している場合にのみ表示されます。
グローバル	グローバルスコープの JavaScript 変数名とその値のリストを表示します。この情報は、ブレークポイントでデバッガーが一時停止している場合にのみ表示されます。

セッションログ

セッションログ



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションログ ユーザーインターフェイス要素

ユーザーインターフェイス要素	説明
トランザクション	トランザクション ID。現在のトランザクションに関する情報を表示します。
ログテキストのフィルター	特定のテキストを含むログをフィルタリングするテキストを入力するフィールド。
デバッグ出力	動的にロードされたデバッグ出力タイプに基づいてログをフィルタリングするオプション。例： セキュリティルール。
アプリケーション	動的にロードされたアプリに基づいてログをフィルタリングするオプション。例： サービスマネジメント統合。
メッセージタイプ	動的なログレベルに基づいてログをフィルタリングするオプション。たとえば、**Info** などです。
ログを消去	すべてのログをクリアします。
ログをダウンロード	ログを HTML ファイル形式でダウンロードします。
設定	セッションのデバッグオプション。デバッグオプションの詳細については、「セッションのデバッグ」を参照してください。

スクリプトデバッガーのステップスルーおよびコンソールコントロール

スクリプトデバッガ がスクリプトを一時停止した後、ステップスルーコントロールを使用してスクリプト行間を移動し、コールスタック内のスクリプト間を移動します。コンソールの展開、コンソールの折りたたみ、コンソールのクリア、式の再実行を行うには、コンソールコントロールを使用します。

ステップスルーコントロール

コントロール	アイコン	説明
デバッグを停止 SHIFT+F2	⏸	現在のデバッグセッションを停止し、現在のユーザーのスクリプトデバッガを無効にします。スクリプトデバッガが再開されるまで、現在のユーザーのブレークポイントでは一時停止しません。
デバッガーを起動 - F2	⏻	現在のユーザーのスクリプトデバッガを有効にします。スクリプトデバッガはブレークポイントで一時停止します。
スクリプト実行を再開 - F9	▶	現在のブレークポイントから次のブレークポイントに進みます。他のブレークポイントがない場合、スクリプトは完了するまで実行されます。
次の関数呼び出しをステップ	↷	現在の条件に基づいて次の評価済みスクリプト行に進みます。条件が満たされないために実行する必要がないコードのすべての行は、スクリプトデバッガでスキップされます。たとえば、`if` ステートメントの条件が true でない場合、デバッガーはその条件のコードブロックをスキップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステップスルーコントロール (続く)

コントロール	アイコン	説明
オーバー - OPTION +F9		
次の関数呼び出しにステップイン - OPTION +F10		スクリプトデバッガがメソッド呼び出しで一時停止した際に、このコントロールにより、ユーザーはメソッド呼び出し内で実行されたコードの最初の行に進むことができます。メソッドにステップインすると、コールスタック内の現在の位置が更新されます。ユーザーがメソッド呼び出しの読み取りアクセス権を持たない場合、このコントロールは代わりにステップオーバーのように動作します。
現在の関数をステップアウト - OPTION +F11		スクリプトデバッガがメソッド呼び出し内で一時停止した際に、ユーザーはこのコントロールを使用して現在のメソッド呼び出しを終了し、コールスタックから呼び出しスクリプトに戻ることができます。ユーザーがメソッド呼び出し内にいない場合、このコントロールは代わりにステップオーバーのように動作します。

コンソールコントロール

コントロール	アイコン	説明
コンソールを開く		コンソールを展開します。
コンソールを閉じる		コンソールを折りたたみます。
式をクリア		コンソールのすべての式をクリアします。
式を再実行		既に実行されている式を再実行します。

関連情報

ブレークポイントの設定または削除

コンソールを使用したランタイムでの式の評価

コンソールを使用してランタイムにスクリプトをデバッグするときに、新しい変数と関数を定義、宣言、および検証します。コンソールを使用するには、スクリプトの実行を一時停止する必要があります。

始める前に

- コンソールの使用に関する制限 のレビュー
- 必要なロール：script_debugger、admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

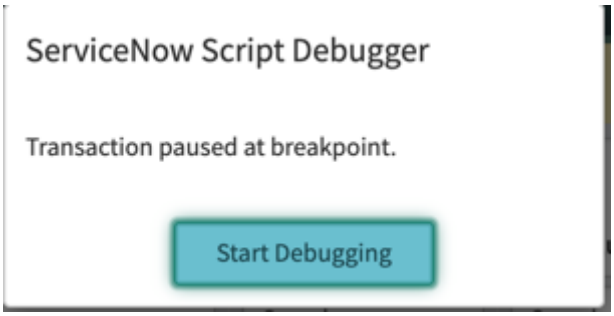
手順

1. 次のいずれかの方法でスクリプトデバッガーを起動します。

アプリケーション	ナビゲーションパス
アプリケーションナビゲーター	[システム診断] > [スクリプトデバッガー] に移動します。
Studio	[ファイル] > [スクリプトデバッガーを起動] に移動します。
シンタックスエディター	[スクリプトデバッガー] アイコン をクリックします。

スクリプトデバッガーのモーダルが表示されます。

2. スクリプトをトリガーします。
たとえば、ビジネスルールの挿入スクリプトをトリガーするレコードを作成します。スクリプトデバッガーは、ブレークポイントを含む最初の行でスクリプトを一時停止し、[ServiceNow スクリプトデバッガー] 確認ウィンドウが表示されます。



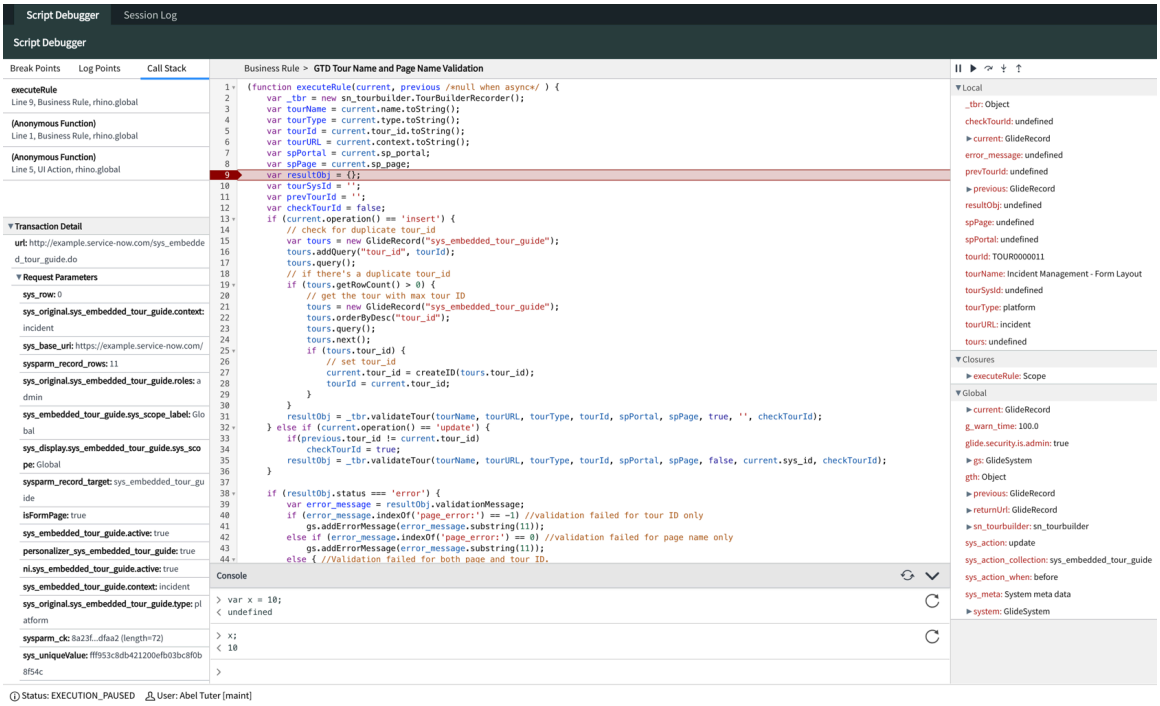
3. [デバッグを開始] をクリックします。
フォーカスが [スクリプトデバッガー] ウィンドウに移動し、最初のブレークポイントで一時停止したターゲットスクリプトが表示されます。

> **注:** スクリプトデバッガーのステータスが EXECUTION_PAUSED であることを確認します。コンソールは、スクリプトの実行がデバッグ中に一時停止された場合にのみ使用できます。

4. 展開コンソール( )をクリックして、[Console] ペインを展開します。
式の評価を開始するには、コンソールに 1 つ以上の式を入力して Enter キーを押します。たとえば、「`var x = 10;`」と入力して Enter キーを押します。複数行の式を入力するには、各行の後に Shift+Enter を押し、最後の式の後に Enter キーを押します。コンソール内のすべての式をクリアするには、「コンソールをクリア」アイコン( )をクリックします。コンソールのコントロールの詳細については、「スクリプトデバッガーのステップスルーおよびコンソールコントロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ステートメントが実行されると、ブラウザーのキャッシュに格納されます。上向き矢印キーを使用すれば前のステートメントを、下向き矢印キーを使用すれば次のステートメントをブラウザーのキャッシュから取得できます。ユーザー設定で、セッションでキャッシュされるステートメントの数を設定できます。ユーザー設定の詳細については、「スクリプトデバッガーとセッションログ」を参照してください。

タスクの結果

ステートメントが実行されると、ブラウザーのキャッシュに格納されます。上向き矢印キーを使用すれば前のステートメントを、下向き矢印キーを使用すれば次のステートメントを、ブラウザーのキャッシュから取得できます。ユーザー設定で、セッションでキャッシュされるステートメントの数を設定できます。ユーザー設定の詳細については、「スクリプトデバッガーとセッションログ」を参照してください。

関連情報

コンソールの使用に関する制限

コンソールの使用に関する制限

ランタイムにスクリプトをデバッグする際にコンソールを使用して式を評価する場合には、いくつかの制限に注意する必要があります。

- オブジェクトのプロパティと値はコンソールに表示されません。オブジェクトをコンソールに表示しようとすると、オブジェクトの文字列のみが表示されます。
- コンソールでは、info() や print() などの GlideSystem 印刷メソッドはサポートされていません。
- コンソールでは *this* キーワードは使用できません。
- コンソールでの式の評価中にスクリプトデバッガーのタイムアウトが発生します。
- 長いスクリプトの実行時に「`Awaiting response from server`」という応答があった場合、再開コントロールや停止コントロールを使用したデバッグの再開や停止ができなくなります。

スクリプトデバッガ の起動

開発者は、アプリケーションナビゲーター、スタジオ、またはシンタックスエディターから スクリプトデバッガ を起動できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：

- admin
- script_debugger

手順

開始点に基づいてパスを選択します。

開始点	ナビゲーションパス
アプリケーションナビゲーター	移動先 システム診断 > スクリプトデバッガ.
スタジオ	移動先 ファイル > スクリプトデバッガを起動.
シンタックスエディター	[スクリプトデバッガー] アイコンをクリックします。

新しいウィンドウで スクリプトデバッガ が開きます。

ブレークポイントの設定または削除

ブレークポイントまたは条件付きブレークポイントを設定して、特定の行でスクリプトを一時停止し、デバッグが完了したらブレークポイントを削除します。

始める前に
必要なロール：

- admin
- script_debugger

このタスクについて
ブレークポイントは、それを設定した開発者に属します。開発者が各自のブレークポイントを設定および削除する必要があります。

注: 特定の行にログポイントまたはブレークポイントのいずれかを設定できますが、両方を設定することはできません。

手順

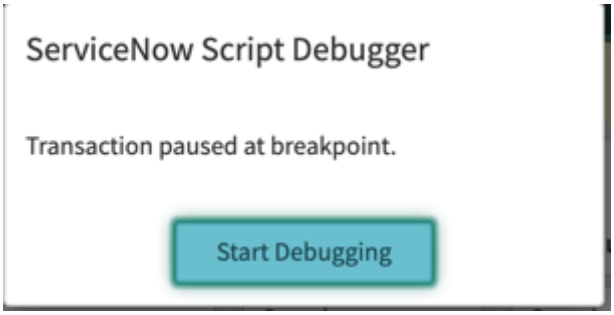
1. デバッグするサーバースクリプトに移動します。
   たとえば、 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. シンタックスエディターで、スクリプト行の横にあるガターをクリックします。

アクション	説明
ブレークポイントを設定	空白行をクリックしてブレークポイントを設定します。
条件付きブレークポイントを設定	空白行を右クリックし、[条件付きブレークポイントを追加] をクリックして条件付きブレークポイントを設定します。
ブレークポイントを削除	ブレークポイントをクリックして削除します。
条件付きブレークポイントを削除	条件付きブレークポイントを右クリックし、[ブレークポイントを削除] を選択して削除します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. シンタックスエディターのツールバーから、[スクリプトデバッガーを開く] アイコンをクリックします。
   スクリプトデバッガ ウィンドウが開きます。
4. スクリプトをトリガーします。
   たとえば、ビジネスルールの挿入スクリプトをトリガーするレコードを作成します。
   スクリプトデバッガは、ブレークポイントを含む最初の行でスクリプトを一時停止します。確認ウィンドウが表示されます。



5. [デバッグを開始] をクリックします。
   スクリプトデバッガウィンドウにフォーカスが切り替わり、最初のブレークポイントで一時停止したターゲットスクリプトが表示されます。 コンソールペインが有効になります。
6. デバッグが完了したら、スクリプトからブレークポイントを削除します。

関連情報

スクリプトデバッガーのステップスルーおよびコンソールコントロール

ログポイントの設定または削除

ブレークポイントまたは条件付きログポイントを設定して、特定の行でコンソールにメッセージを記録し、デバッグが完了したらログポイントを削除します。

始める前に

- *glide.debug.log_point* システムプロパティを `[true]` に設定します。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。
- 必要なロールは admin または script_debugger です。

このタスクについて

ログポイントは、それを設定した開発者に属します。開発者が各自のログポイントを設定および削除する必要があります。

注: 特定の行にログポイントまたはブレークポイントのいずれかを設定できますが、両方を設定することはできません。

手順

1. デバッグするサーバースクリプトに移動します。
   たとえば、 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. シンタックスエディターで、スクリプト行の横にあるガターをクリックします。

アクション	説明
ログポイントを設定	空白の行を右クリックし、[ログポイントを追加] をクリックしてログポイントを設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクション	説明
ログポイントを削除	ログポイントを右クリックし、[ログポイントを削除] を選択して削除します。
ログポイントを編集	ログポイントを右クリックし、[ログポイントを編集] を選択して削除します。

注: ログポイントに入力するスクリプトは、GSLog および GSInfo スクリプトインクルードのスクリプトと同じ形式にする必要があります。

3. シンタックスエディターツールバーから、[スクリプトデバッガーを開く] アイコン ( ) をクリックします。
4. [スクリプトデバッガ] ウィンドウで、スクリプトをトリガーします。
たとえば、ビジネスルールの挿入スクリプトをトリガーするレコードを作成します。

注: [スクリプトデバッガ] ウィンドウでログポイントを追加することもできます。

5. [スクリプトデバッガー] ウィンドウで、[セッションログ] をクリックしてログポイントを表示します。
6. デバッグが完了したら、スクリプトからログポイントを削除します。

スクリプトデバッガのステータス

スクリプトデバッガのステータスによって、利用可能なデバッグアクションと表示できる情報が決まります。

スクリプトデバッガでは、ユーザーインターフェイスの左下にステータスが表示されます。

サンプルのスクリプトデバッガステータス

Status: EXECUTION_PAUSED

可能な スクリプトデバッガ ステータス値

ステータス	発生するタイミング	説明	利用可能なアクション
WAITING_FOR_FIRST_BREAKPOINT	スクリプトが [スクリプトデバッガ] ウィンドウまたはタブを開いたとき。	スクリプトデバッガはスクリプトを一時停止してデバッグ情報を表示する準備ができています。	コールスタックの最初のブレークポイントでスクリプトを一時停止します。
EXECUTION_PAUSED	• スクリプトデバッガがブレークポイントで一時停止したとき。 • ユーザーが、評価されたコードの次の行にステップオーバー、ステップイン、またはステップアウトしたとき。	スクリプトデバッガはコードの行で一時停止し、ユーザーはスクリプトをデバッグできます。コンソールが有効になります。	• スクリプトデバッガは次のブレークポイントに達するまで処理を再開します。 • スクリプトをステップスルーします。 • コールスタックを表示します。 • トランザクション情報を表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可能な スクリプトデバッガ ステータス値 (続く)

ステータス	発生するタイミング	説明	利用可能なアクション
			• 変数値を表示します。 • ランタイム中にコンソールで式を評価します。
WAITING_FOR_BREAKPOINT	• ユーザーが処理を再開し、スクリプトデバッガが次のブレークポイントに達するまで。 • ユーザーがスクリプトをステップスルーし、評価する次のコード行にスクリプトデバッガが到達するか、トランザクションが完了するまで。	スクリプトデバッガは、一時停止する次のコード行を検索しています。スクリプトデバッガは評価する次のブレークポイントまたはスクリプト行を見つけた後にステータスを変更するため、通常はこのステータスがユーザーに表示されることはありません。	• 次のブレークポイントでスクリプトを一時停止します。 • 評価が必要な次のスクリプト行でスクリプトを一時停止します。
OFF	• ユーザーがスクリプトデバッガを一時停止したとき。 • ユーザーがスクリプトデバッガウィンドウまたはタブを閉じたとき。 • 何らかの理由でユーザーセッションが終了されたとき。 • アドミニストレーターが、`[debugger_reset.do]` ページに移動して、すべてのスクリプトデバッガインスタンスをリセットしたとき。	スクリプトデバッガは非アクティブになっていて、スクリプトを一時停止したり、デバッグ情報を表示したりすることはありません。	• スクリプトデバッガを開始します。 • [スクリプトデバッガ] ウィンドウまたはタブを開きます。

ログエントリ

デバッグトランザクションの実行が終了するたびに、`DEBUGGED` プリフィックスが付いたログエントリが作成されます。例：

```
2016-08-15 15:57:32 (197) Default-thread-3
 900F510167112200C4098C7942415A75 *** End
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

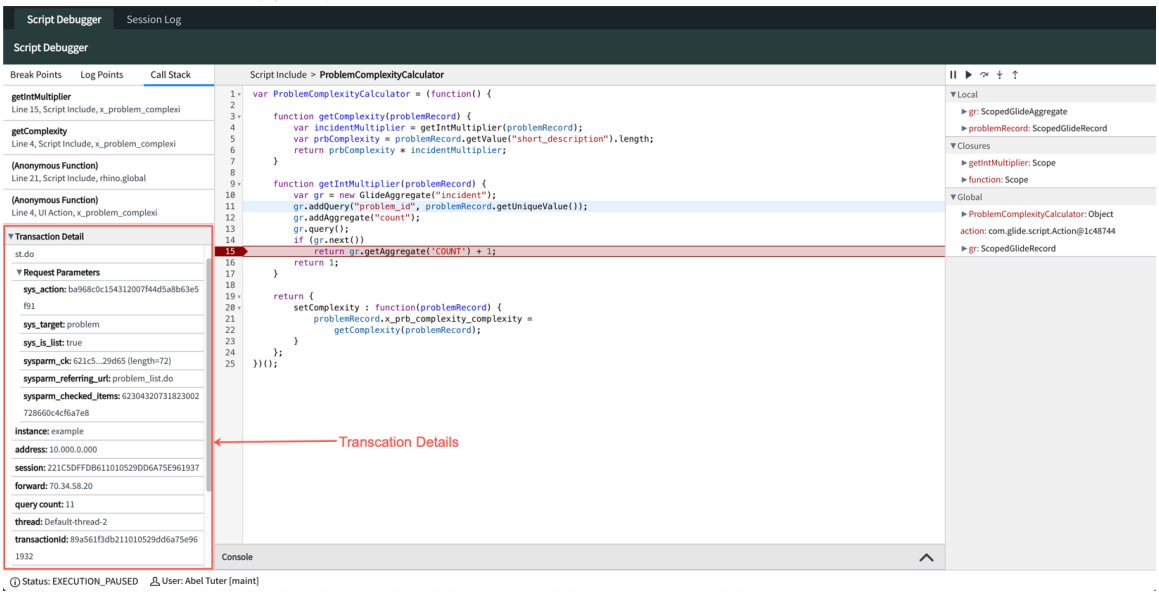
```
#39, path: /my-app.do, user: admin, DEBUGGED total transaction time:
 0:00:11.010,
transaction processing time: 0:00:11.010, network: 0:00:00.000, chars:
 6,058, uncompressed
chars: 20,731, SQL time: 50 (count: 34), business rule: 0 (count: 0),
 phase 1
form length 56,464, largest chunk written: 10,428, request parms size:
 40, largest input read: 0
```

トランザクションの詳細

スクリプトデバッガには、現在一時停止されているユーザーセッションのトランザクションの詳細が表示されます。

トランザクションの詳細は、スクリプトデバッガの左下にある、[呼び出しスタック] の下部にあるサイズ変更可能な専用セクションで確認できます。

トランザクションの詳細の例



スクリプトデバッガは、スクリプトで一時停止した場合にのみ、トランザクションの詳細を表示します。開発者は、トランザクションの詳細を次の目的に使用できます。

- 現在一時停止されているトランザクションの URL の調査
- 現在一時停止されているトランザクションの要求パラメーターの調査
- 現在のトランザクションに関するネットワーク情報の調査
- デバッグトランザクションを開始したユーザーとセッション ID の調査

関連情報

使用可能なトランザクションの詳細

使用可能なトランザクションの詳細

スクリプトデバッガは、開発者がスクリプトをデバッグおよびトラブルシューティングするためのトランザクションの詳細の標準セットを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なトランザクションの詳細

トランザクション要素	説明
url	現在一時停止されているトランザクションの URL。
要求パラメーター	このトランザクションの要求パラメーターのリスト。各トランザクションには独自の要求パラメーターのリストがありますが、レコードトランザクションには通常、レコードの挿入、更新、または削除に使用されるフィールド値が含まれています。
instance	インスタンス名。
address	エンドユーザーのクライアントシステムの IP アドレス。
session	ユーザーセッション ID。
forward	ロードバランサーの IP アドレス。
query count	スクリプトデバッガが行ったデータベースクエリの数。
thread	スクリプトデバッガインスタンスを実行しているスレッドの名前。
transactionid	現在のトランザクションの Sys ID。
token	現在一時停止されているトランザクションのスクリプトデバッガトークン。システムはこのトークンを使用して、各種のスクリプトデバッガインスタンスを識別します。
name	現在一時停止されているトランザクションの名前。この名前を使用して、ログ内のトランザクションを識別できます。
processor	現在のトランザクションを処理しているプロセッサーの名前 (存在する場合)。
method	現在一時停止しているトランザクションが使用する HTTP 要求メソッド。
startTime	スクリプトデバッガインスタンスが開始された日時スタンプ。
page	トランザクションに関連付けられている現在のテーブルまたは UI ページ。
user	デバッグトランザクションをトリガーしたユーザー。
nodeid	スクリプトデバッガインスタンスを実行しているノードの Sys ID。

関連情報

トランザクションの詳細

スクリプトデバッガの複数開発者のサポート

スクリプトデバッガでは、複数の開発者が互いに影響を与えることなく、各自のトランザクションをデバッグすることができます。

スクリプトデバッガでは、各開発者は現在デバッグしているセッションに関連する次のようなアイテムの確認と操作のみを行うことができます。

- ブレークポイント
- コールスタック
- コンソール
- トランザクション
- ステータス

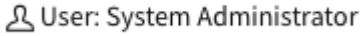
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開発者がスクリプトデバッガを使用して別のデバッグセッションを表示したり、変更したりすることはできません。ただし、アドミニストレーターは、別のユーザーとしてスクリプトデバッガを開き、代理で操作しているユーザーが生成したトランザクションをデバッグすることができます。

デバッグセッションのユーザーは、スクリプトデバッガのユーザーインターフェイスの左下部に表示されます。

サンプルのスクリプトデバッガユーザー



スクリプトデバッガの同時使用

デフォルトでは、システムにより [(インスタンス上のセマフォの数)/4] 件の同時実行トランザクションのデバッグがサポートされています。アドミニストレーターは、*glide.debugger.config.max_node_concurrency* システムプロパティを設定することにより、システムがデバッグできる同時実行トランザクションの数を指定できます。システムは最大で [(インスタンス上のセマフォの数) - 2] 件の同時実行トランザクションをデバッグできます。

デバッグセッションの管理

デバッグセッションは、次の状態になるまで (EXECUTION_PAUSED または WAITING_FOR_BREAKPOINT ステータスで) アクティブにデバッグを続行できます。

- ユーザーがスクリプトデバッガを一時停止したとき。
- ユーザーがスクリプトデバッガを閉じたとき。
- ユーザーセッションが終了したとき。

アドミニストレーターは、`xmlstats.do` ページに移動して、現在実行中のデバッガーセッションを表示できます。

アドミニストレーターは、`debugger_reset.do` ページに移動して、現在実行中のすべてのデバッグセッションを停止できます。admin ロールを持つユーザーのみが、このページにアクセスできます。

関連情報

スクリプトデバッガの代理操作サポート

スクリプトデバッガの代理操作サポート

別のユーザーで代理操作を行っているときにスクリプトデバッガを使用できます。ただし、代理で操作しているユーザーが script_debugger ロールを持ち、ターゲットスクリプトの読み取りアクセス権を持っている場合に限ります。

別のユーザーとして操作している間に、次の操作を実行できます。

- 操作されたユーザーに属するブレークポイントの表示と変更
- 操作されたユーザーが読み取りアクセス権を持つスクリプトの表示と一時停止
- 代理操作しているユーザーに代わってコンソールで式を評価

スクリプトデバッガのステップスルーコントロールでも、代理操作をしているユーザーの読み取りアクセス権が使用されます。たとえば、代理操作しているユーザーに呼び出しスタック内の関数への読み取りアクセス権がない場合、ステップインアクションは代わりにステップオーバーアクションになります。

操作されたデバッグセッションは、次の場合に終了します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ユーザーとしての操作を停止した場合
- ログアウトするか、またはユーザーセッションを終了した場合
- スクリプトデバッガを一時停止した場合
- スクリプトデバッガを閉じた場合

関連情報

スクリプトデバッガの複数開発者のサポート

スクリプトデバッガのスクリプト - バックグラウンドサポート

スクリプト - バックグラウンドモジュールは、スクリプトフィールドでの直接のブレークポイントの設定をサポートしていません。ただし、スクリプト - バックグラウンドモジュールによって呼び出される、またはトリガーされるスクリプトオブジェクトにブレークポイントを設定できます。

スクリプト - バックグラウンドモジュールで任意の JavaScript コードを実行している間、スクリプトデバッガは次の場合にのみスクリプトを一時停止できます。

- ブレークポイントを含むスクリプトインクルードを呼び出した場合。
- ブレークポイントを含むビジネスルールをトリガーした場合。
- ブレークポイントを含むスクリプトアクションをトリガーした場合。

ドメインセパレーションと スクリプトデバッガ

ドメインセパレーションは スクリプトデバッガ でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

スクリプトデバッガにおけるドメインセパレーションの仕組み

スクリプトデバッガは完全なアプリケーションではなく、プラットフォームスイートの一機能です。つまり、ドメインセパレーションを含む他の機能と連携して機能します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションのデバッグ

セッションデバッグを有効にして、ユーザーインターフェイスにデバッグメッセージを表示します。

[セッションのデバッグ] 機能を使用して、パフォーマンスの低下をトラブルシューティングします。

各ページロードの下部の豊富なログ記録は、すべての領域を有効にすることができます。また、各モジュールを 1 つずつ有効にして、このセッション中、特に前のトランザクションで起きたことについてより詳細な情報を得ることもできます。下のセッションデバッグオプションを選択します。 システム診断 > セッションのデバッグ. 有効にすると、セッションデバッグはユーザーセッション中または無効になるまでアクティブになります。デバッグログを表示するには、「デバッグログの表示」を参照してください。

システムには、次のセッションデバッグオプションがあります。

セッションデバッグオプション

デバッグオプション	説明
すべて有効化	利用可能なすべてのデバッグメッセージを表示します。
すべて無効化	すべてのデバッグメッセージの表示を停止します。
ビジネスルールのデバッグ	ビジネスルールのデバッグメッセージを表示します。複数のアプリケーションからのビジネスルールがテーブルまたはレコードに影響を与える場合、ビジネスルールがどのアプリケーションからのものであるかが表示されます。
アップグレードのデバッグ	前回のファミリ間またはパッチバージョンのアップグレードセッション中に処理されたレコードの詳細情報を表示します。「アップグレードのデバッグ 」を参照してください。
デバッグビジネスルール (詳細)	ビジネスルールのデバッグメッセージと、ビジネスルールによって加えられた変更を表示します。複数のアプリケーションからのビジネスルールがテーブルまたはレコードに影響を与える場合、ビジネスルールがどのアプリケーションからのものであるかが表示されます。
デバッグログ	すべてのログエントリを表示します。
NLQ をデバッグ	自然言語クエリ (NLQ) クエリのデバッグメッセージを表示します。
デバッグ日時	要求されている形式と入力が一致しない場合に、日付/時刻のエラーを表示します。
SQL のデバッグ	SQL クエリのデバッグメッセージを表示します。
SQL のデバッグ (詳細)	SQL ステートメントのデバッグメッセージと、SQL ステートメントによって行われた変更を表示します。
セキュリティのデバッグ	アクセス制御のデバッグメッセージを表示します。複数のアプリケーションからのアクセス制御がテーブルまたはレコードに影響を与える場合、どのアプリケーションからのアクセス制御であるかが表示されます。
エスカレーショ	SLA および SLO のエスカレーションのデバッグメッセージを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションデバッグオプション (続く)

デバッグオプション	説明
ンのデバッグ	
AI 検索をデバッグ	AI 検索 のデバッグメッセージを表示します。
メトリクスの統計情報のデバッグ	パフォーマンスデータのアグリゲートビュー (遅いトランザクション、スクリプト、クエリ、イベント、ミューテックス) を表示します。これらの集計メトリクスは、ページのパフォーマンスに影響を与えるアイテムを識別するために、トランザクション別にソートされます。
テキスト検索のデバッグ	検索結果の関連性とインデックス作成のデバッグメッセージを表示します。
UI ポリシーのデバッグ	UI ポリシーのデバッグメッセージを表示します。
UI ポリシーデバッグの無効化	UI ポリシーのデバッグメッセージの表示を中止します。
UI マクロのデバッグ	DOM 内の UI マクロの開始と終了を HTML コメントとして表示します。コメントは、テーブル名と UI マクロ名で構成されます。
UI マクロのデバッグの無効化	DOM 内の UI マクロの開始と終了を HTML コメントとして表示することを停止します。
データポリシーのデバッグ	データポリシーのデバッグメッセージを表示します。
クォータのデバッグ	トランザクション割り当てのデバッグメッセージを表示します。
ホームページレンダラのデバッグ	ホームページのデバッグメッセージを表示します。
スコープのデバッグ	スクリプトオブジェクトの実行時にアプリケーションスコープを開始または終了するためのデバッグメッセージを表示します。

デバッグ用のログの表示

セッションデバッグログを表示して、スクリプトとアプリケーションの問題を診断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セッションのデバッグ をクリックし、[**Enable All**] を選択します。
2. [セッションのデバッグ] で、[デバッグログ] を選択します。
   デバッグログが表示されます。

アプリケーションのデバッグ

アプリケーション開発者は、設定レコードに関するデバッグメッセージを表示して、問題のトラブルシューティングに役立てることができます。デバッグスコープモジュールは、サーバーサイドスクリプトを実行するカスタムアプリケーション間のシステム切り替えに関する情報を提供します。

システムには、アプリケーションが設定レコードに与える影響をアプリケーション開発者が判断する際に役立つ、次のデバッグオプションがあります。

アプリケーションデバッグオプション

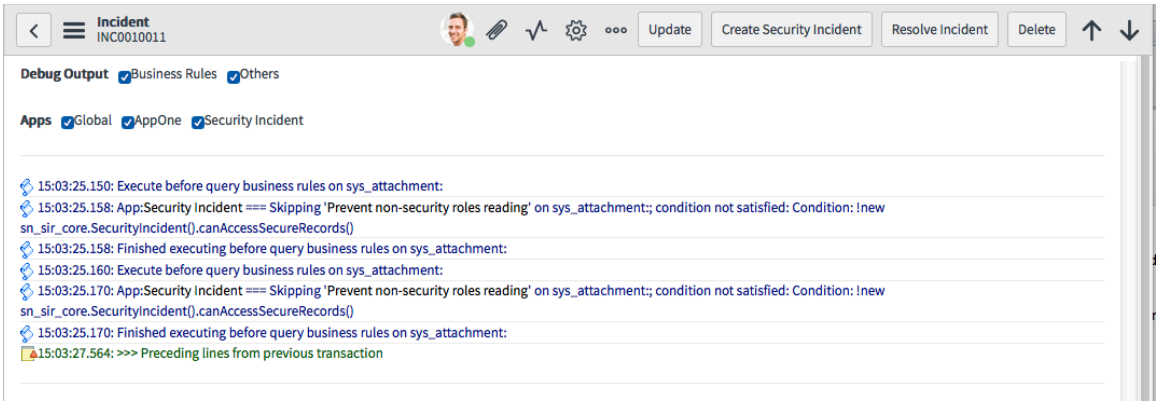
デバッグオプション	説明
ビジネスルールのデバッグ	このモジュールを使用して、どのアプリケーションのビジネスルールがテーブルに対して実行されているかを判断します。異なるアプリケーションスコープのビジネスルールが同じテーブルで実行されている場合にのみ、アプリケーション情報が表示されます。
デバッグビジネスルール (詳細)	このモジュールを使用して、テーブルに対するビジネスルールの実行の結果を判断します。異なるアプリケーションスコープのビジネスルールが同じテーブルで実行されている場合にのみ、アプリケーション情報が表示されます。
セキュリティのデバッグ	このモジュールを使用して、指定されたテーブルまたはレコードに適用されるアプリケーションのアクセス制御を決定します。
スコープのデバッグ	このモジュールを使用して、スクリプトが実行されるアプリケーションスコープコンテキストを決定します。あるスクリプトが別のスクリプトを呼び出すことがあるため、一連のスクリプトの実行中にアプリケーションスコープコンテキストが複数回変更される可能性があります。
セッションのデバッグを有効化	この関連リンクを使用して、特定のアプリケーションのログメッセージの生成を有効にします。GlideSystem ログ記録メソッドを使用するアプリケーションスクリプトは、指定された詳細レベルでログに出力を生成します。

複数のアプリケーションがデバッグ出力に寄与する場合、システムは [アプリ] と呼ばれる新しいセクションを追加して、セッションログに書き込むアプリケーションのリストを表示します。アプリケーション名の横にあるチェックボックスをクリックすると、アプリケーションの関連デバッグメッセージの表示/非表示が切り替わります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルールのサンプルアプリケーションデバッグ出力

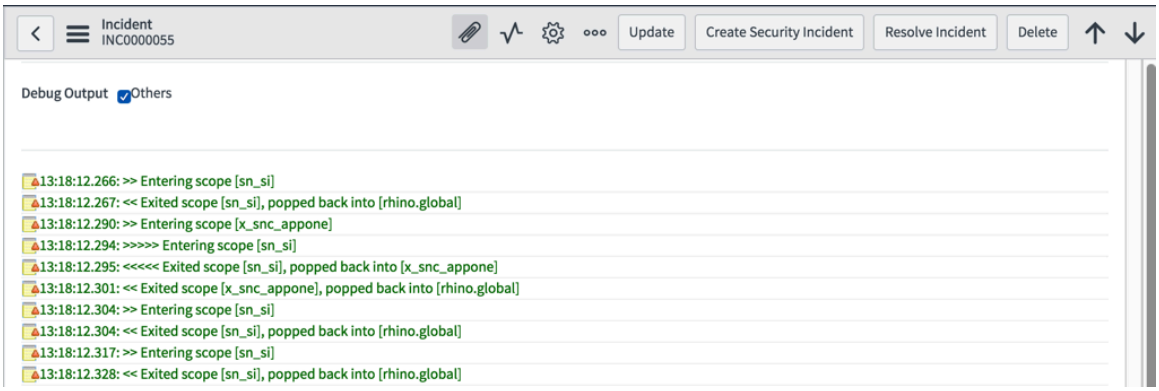


スコープのデバッグ

アプリケーション開発者は、デバッグスコープモジュールを使用して、サーバーサイドスクリプトを実行するカスタムアプリケーション間のシステム切り替えに関する情報を表示します。

有効にすると、システムがカスタムアプリケーションに切り替えてサーバーサイドスクリプトを実行するたびにメッセージが表示されます。

インシデントテーブルからのサンプルデバッグスコープ出力



自動翻訳

システムがサーバーサイドスクリプトオブジェクトを実行するたびに、スクリプトのスコープコンテキストに入ります。スクリプトの実行が終了すると、スクリプトはスコープコンテキストを終了します。デバッグメッセージは、スクリプトスコープコンテキストの変更を追跡します。

デバッグメッセージは、システムがスクリプトオブジェクトのコンテキストに入るたびに大なり記号「>」を表示し、システムがスクリプトオブジェクトのコンテキストを終了するたびに小なり記号「<」を表示します。あるスクリプトが別のスクリプトを呼び出す場合は、各呼び出しのパスに、デバッグメッセージでさらに大なり記号が追加されます。たとえば、ビジネスルールがスクリプトインクルードを呼び出し、さらに別のスクリプトオブジェクトを呼び出す場合、パスには次のように 3 つの記号が含まれることになります。

```
> Entering scope [x_app_one]
>> Entering scope [x_app_two]
>>> Entering scope [x_app_three]
```

注: グローバルスコープ内のスクリプトオブジェクトの開始メッセージまたは終了メッセージは表示されません。

アプリケーション開発者は、このオプションとともに他のデバッグオプションを有効にして、デバッグビジネスルールなどのサーバーサイドスクリプトの選択可能なソースに関する情報を表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルールのデバッグ

デバッグビジネスルールは、ServiceNow 製品で使用可能なリソースをで実施できます。

1. ツール

このプロセスの最初のステップは、問題の把握に役立つツールを特定することです。

デバッグツール

デバッグツール	説明
システム辞書	移動先 システム定義 > ディクショナリ. 辞書は、インスタンス内のすべてのテーブルのリストを提供し、情報を見つける際に非常に役立ちます。
システムログ	移動先 システムログ > システムログ. ログに情報を書き込むことができるビジネスルール内にアラートステートメントを配置できます。
デバッグビジネスルール (詳細)	移動先 システム診断 > セッションのデバッグ > デバッグビジネスルール (詳細). このデバッグモジュールは、結果のビジネスルールを表示します。このモジュールを使用して、条件が満たされ、値が想定どおりに設定されているかどうかを確認します。
アラートメッセージ	ページ、フィールド、またはログファイルにメッセージを出力できるようにする、いくつかのシステム機能があります。「アラート、情報、およびエラーメッセージのスクリプティング」を参照してください。
ビジネスルールの例	ビジネスルールのエラーメッセージなど、他のユーザーが記述したスクリプトの中から目的のものが見つかることも、OR クエリをビルドすることで見つかることもあります。
GlideRecord 情報	これは、データベースに対して情報のクエリを実行するために使用される基本構文です。「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。GlideRecord には集計サポートも含まれます。

2. 変数

次のステップでは、ビジネスルールの動作についてのインサイトを得ることができます。挿入を除くすべてのアクションでは、クエリを使用してレコードを取得する可能性が高くなります。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',true);
rec.query();
while (rec.next()) {
 gs.print(rec.number + ' exists');
 }
```

クエリが実際にレコードを返すかどうかを確認するには、*gs.addInfoMessage* を使用して画面の上部に情報を表示します。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',true);
rec.query();
gs.addInfoMessage("This is rec.next: " + rec.next());
while (rec.next()) {
 gs.print(rec.number + ' exists');
 }
```

クエリがレコードを返さない場合は、次のように表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
This is rec.next: false
```

この手法を使用して、ビジネスルール内のすべての変数に想定される値が含まれていることを確認します。

ヒント: 必要に応じて、スクリプトを個々の部分に分割し、各部分が全体から切り離されても機能することを確認してから、一度に 1 ステップずつ元に戻します。

3. 情報の検索

最後のステップは、ルールが探している情報がどこで見つかるかを確認することです。

ServiceNow アプリケーションでは、テーブルが別のテーブルを拡張できます。これは、情報を検索するときに、探している情報を見つけるために、拡張テーブルの sys_id を親テーブルに照会する必要があることを意味します。

良い例は、タスクテーブルを拡張する sc_task テーブルです。次のスクリプトは、現在の sys_id の拡張テーブル (sc_task) を照会し、一致する sys_id を持つレコードの親テーブル (task) を照会して、[作業メモ] フィールドを出力します。

```
var kids = new GlideRecord('sc_task');
kids.query();

gs.addInfoMessage("This is requested item number: " + current.number);
gs.print("This is the requested item number: " + current.number);

while (kids.next()) {
 var parents = new GlideRecord('task');
 parents.addQuery('sys_id', '=', kids.sys_id);
 parents.query();

 while(parents.next()) {
  gs.addInfoMessage("This is task number: " + parents.number);
  gs.print("This is task number: " + parents.number);
  gs.addInfoMessage("These are the work notes: " + parents.work_notes);
  gs.print("These are the work notes: " + parents.work_notes);
  }

 }
```

分類のデバッグ

分類のデバッグを有効にするには、システムプロパティを追加する必要があります。

分類のデバッグ

結果のログエントリーには、分類子の基準に使用できるすべての名前と値とともに、実行されている各分類子の名前が一覧表示されます。分類に関するデバッグ情報を記録するには、次のシステムプロパティを追加します。

システムのプロパティ	説明
glide.discovery.debug.ci_identification	プロセス分類のデバッグ情報を有効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムのプロパティ	説明
	• タイプ：true | false • デフォルト値: false • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

フィールド監視

フィールド監視ツールは、選択したフォームフィールドで実行されるすべてのアクションを追跡して表示します。

注: フィールド監視は、Utah の ネクストエクスペリエンス ではサポートされていません。ネクストエクスペリエンス でサポートされている機能の詳細については、「Next Experience の有効化に関する考慮事項」を参照してください。

アドミニストレーターは、フィールド監視を使用して、ビジネスルールの発動やデータポリシーの適用などのイベントが発生したときに、フィールドで何が起こるか、フィールドの値がどのように変化するかを把握できます。アドミニストレーターは、非アドミンユーザーの代理操作を行い、それらのユーザーがインスタンスを変更した場合に発生する事柄をデバッグすることもできます。一度に監視できるフィールドは 1 つだけです。代理操作ロールを持つ非アドミンユーザーは、フィールド監視機能にアクセスできます。

フィールド監視の仕組み

フィールド監視ツールは、フィールドで次のいずれかのイベントが発生したときにアクティビティを記録します。

- デフォルト値がフィールドに設定された。
- ACL または辞書設定により、フィールドのユーザーアクセス権が変更された。
- データポリシーによって、値の設定が防がれた。
- フィールド値の参照修飾子クエリが実行された。
- UI ポリシーによって、フィールドが読み取り専用、表示、必須、または編集可能に変更された。
- 別のフィールド内の依存値によって、フィールドの選択肢が制限された。
- フィールドの値が、以下に基づいて設定または変更された。
  - アサインルール
  - ワークフローエンジンなどのエンジンからのアクション
  - ビジネスルール
  - ユーザーエントリー
  - クライアントスクリプト
  - UI アクション

注: フィールド監視はフォームフィールドでのみ機能します。リストフィールドでは使用できません。また、フィールド監視は、パスワードで保護されたフィールドまたは暗号化されたフィールドでは使用できません。フィールド監視は UI フレーム内でのみ使用できます。新しいタブなど、UI フレームの外部でレコードを開いた場合、フィールドを監視するオプションはコンテキストメニューに表示されません。

フィールド監視の使用

フィールド監視を使用して、フィールドレベルのデバッグ情報にアクセスします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. フィールドレベルのデバッグ情報を表示するフォームに移動します。
2. フォーム上の任意のフィールドラベルを右クリックしてフィールド監視を有効にし、[監視 **- <field name>]** を選択します。

   フィールドラベルの横にデバッグアイコン ( ) が表示されます。この時点から、フィールド監視は選択したフィールドで実行されるすべてのアクションを記録します。たとえば、[優先度] フィールドを監視している場合、優先度が [中] から [低] に変更され、レコードが更新されると、フィールド監視はその変更に関する情報を表示します。
3. デバッグアイコンをクリックして、フィールド監視ログを表示します。
   画面の下部に新しいペインが開き、[フィールド監視] タブが表示されます。JavaScript ログ記録と JavaScript デバッガー用のタブも表示されます。
4. 必要に応じて [フィールド監視] タブをクリックします。
5. フィールドの監視を停止するには、フィールドを右クリックし、[監視を解除 **- <field name>]** を選択します。
   別のフィールドを監視するには、そのフィールドを右クリックして、[監視 **- <field name>]** を選択します。
6. [ログを消去] ボタン ( ) をクリックして、フィールド監視ログを消去します。
7. スプリッターバーを上下にドラッグして、フィールド監視ペインのサイズを変更します。
   スプリッターバーを画面の下部にドラッグすると、フィールド監視ペインが閉じます。デバッグアイコンを再度クリックして、ペインを再度開きます。

[フィールド監視] タブの詳細

フィールド監視には、フィールド情報と構成オプションが表示されます。

[フィールド監視] タブの左側には、監視対象フィールドに関する次の情報が表示されます。

- テーブル：フィールドが属するテーブル。
- 要素：フィールドラベル。
- タイプ：フィールドに格納されるデータのタイプ。
- 依存：現在のフィールドが依存するフィールド。
- 参照：フィールドの値の発生元のテーブル (該当する場合)。
- 参照修飾子：フィールドのデータを制限する可能性がある参照修飾子。
- 属性：そのフィールドのディクショナリーエントリーで指定されているフィールドの属性。

[フィールド監視] タブの右側で、選択したフィールドについて表示するアクティビティ情報のタイプを選択します。不要な情報タイプのチェックボックスはオフにしてください。

非表示のフィールドの監視

アドミニストレーターは、非表示のフィールドを監視する必要があります。

手順

1. 辞書を使用してフィールドの列名を決定します。
2. 特権を security_admin ロールに昇格させます。
3. 移動先 システム定義 > スクリプトバックグラウンド.

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [スクリプトを実行 (サーバー上で実行される *JavaScript)]* で、次のコマンドを入力します。

```
gs.getSession ( ). setWatchField ( "hidden_field" ) ;
```

hidden_field を非表示フィールドの列名に置き換えます。

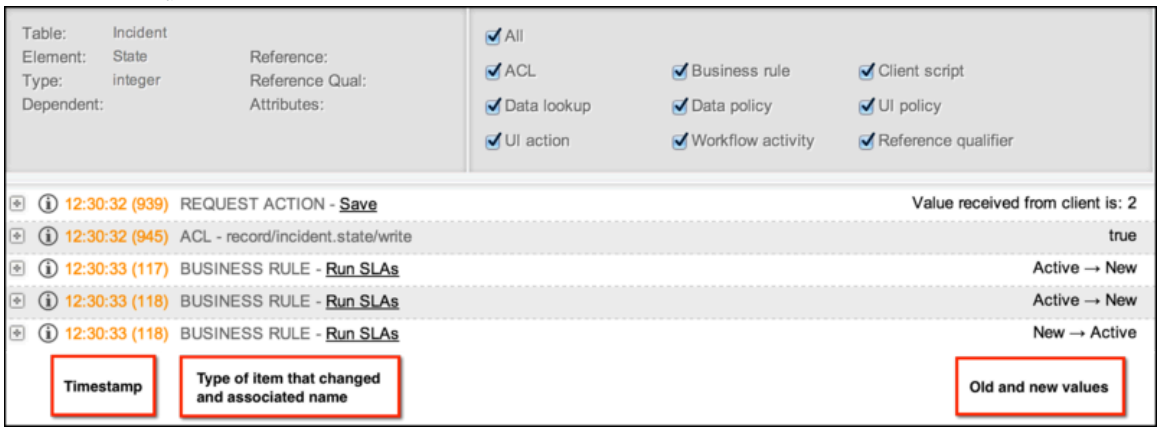
5. 欠落しているフィールドを含むフォームに移動します。

[フィールド監視] タブの出力には、非表示のフィールドに関する情報が含まれています。

監視対象フィールドの情報の表示

監視対象フィールドの情報が変更され、レコードが更新されると、[フィールド監視] タブの下部に関連情報が表示されます。

フィールド監視表示データ



フィールド監視情報には次のものが含まれます。

- タイムスタンプ：HH:MM:SS (ミリ秒) 形式を使用した、フィールドが変更された時刻。
  - オレンジ色のテキスト：ACL などのサーバーサイドの変更。
  - 青色のテキスト：クライアントスクリプトなどのクライアントサイドの変更。
- フィールドを変更したオブジェクトのタイプとその関連名：フィールドで変更されたアイテムのタイプ。たとえば、クライアントスクリプト、ビジネスルール、**ACL** などです。スクリプト、ビジネスルール、またはその他の構成タイプのフィールドの場合、フィールド監視はフィールドを変更したスクリプトまたはビジネスルールがあれば、その名前を表示します。名前をクリックすると、そのアイテムのレコードに直接移動します。
- 古い値と新しい値：フィールドの古い値と新しい値 (値が変更された場合) レコードの作成時にデフォルトで値がフォームに挿入された場合、フィールド監視はその値を記録しません。
- 追加情報：フィールドを変更したスクリプトエンジンまたはワークフローの名前などのコールトレース情報。選択を展開するには、プラスアイコンをクリックします。
  - オレンジ色のテキスト：サーバーサイドのアクティビティを示します。
  - 青色のテキスト：クライアントサイドのアクティビティを示します。

例：インシデントの優先度の監視

次の例は、[影響度] と [緊急度] の両方のフィールドが変更された場合に、インシデントフォームの [優先度] フィールドに起きる事柄を示しています。

インシデントフォームには、優先度を変更する 2 つのクライアントサイドデータルックアップがあります。また、レコードが保存されると、サーバーサイド ACL とデータルックアップエンジンが起動します。最後に、クライアントサイドの UI ポリシーにより、[優先度] フィールドがデフォルト設定の読み取り専用に戻されます。

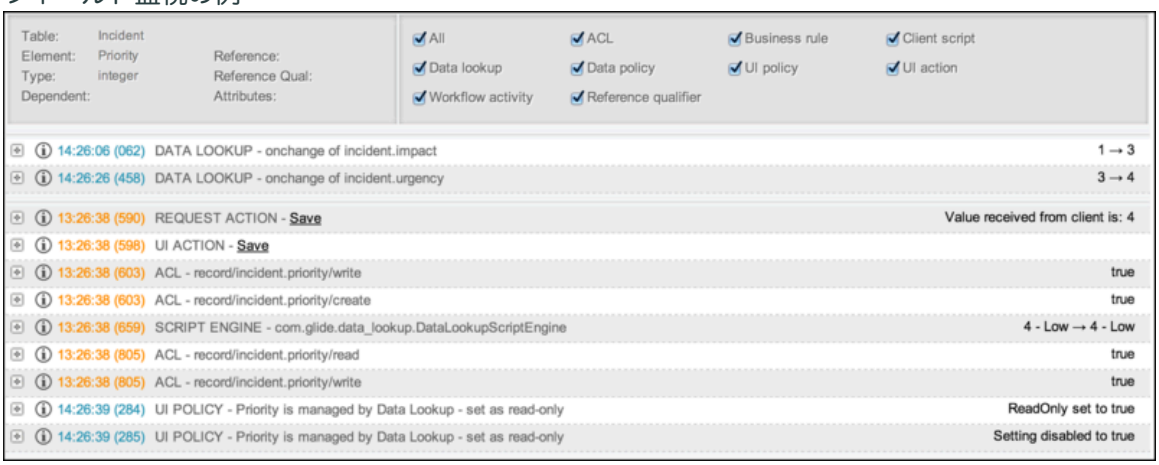
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インシデントの優先度の監視

元の値
• 優先度：1 - 重大 • 影響：1 - 高 • 緊急度：1 - 高
最初の変更
1. ユーザーが [影響度] の値を **[3 -** 低] に変更します。 2. ServiceNow インシデントでデフォルトで使用される [優先度ルックアップ] データルックアップ定義に基づいて、優先度が自動的に **[3 -** 中] に変更されます。 注: この時点では、レコードは保存されていません。
2 番目の変更
1. ユーザーが [緊急度] の値を **[2 -** 中] に変更します。 2. 優先度は、同じ [優先度ルックアップ] データルックアップ定義に基づいて、自動的に **[4 -** 低] に変更されます。 3. ユーザーは、フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択してレコードを保存します。

フィールド監視の例



注: 1 から 3 へ、さらに 3 から 4 へと変化する値は、選択リスト内の数値を参照します。

デバッグログへの書き込み

クライアントサイドの JavaScript または UI ポリシーでデバッグログに書き込むには、グローバル関数 `jslog()` を呼び出します。

JavaScript で `jslog()` を使用する例：

```
function logData (r ) {
    lastLogDate  = r. responseXML. documentElement. getAttribute
 ( "last_log_entry" ) ; var items  = r. responseXML. getElementsByTagName
 ( "log" ) ;
    jslog ( "response=" + r. responseText ) ; }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

また、 クライアントスクリプトが実行されると、クライアントスクリプトの名前とタイミング情報が表示されます。これは、どの スクリプトが実行中であるか、およびそれらがパフォーマンスに影響しているかどうかの判断に役立ちます。

UI ポリシーのデバッグ

glide.ui.ui_policy_debug プロパティを有効にすると、UI アクションの処理を監視できます。

以下は、incident_state がクローズされている場合にフィールドを読み取り専用に設定する、インシデントポリシーのログイベントの例です。

```
GlideFieldPolicy: Evaluating condition
GlideFieldPolicy:     incident_state (7) = 7 -> true
GlideFieldPolicy: --->>> TRUE
GlideFieldPolicy:    Setting opened_at disabled to true
GlideFieldPolicy:    Setting opened_by disabled to true
GlideFieldPolicy:    Setting closed_at disabled to true
GlideFieldPolicy:    Setting closed_by disabled to true
GlideFieldPolicy:    Setting company disabled to true
```

JavaScript ログへのアクセス

ブラウザーで実行される JavaScript (クライアントスクリプトなど) には、情報を JavaScript ログに送信するための jslog() への呼び出しを含めることができます。admin ロールを持つユーザーが、このログにアクセスできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
JavaScript デバッグウィンドウにアクセスする手順は、使用している UI バージョンによって異なります。

> **注:** Utah の ネクストエクスペリエンス では JavaScript デバッグウィンドウはサポートされていません。ネクストエクスペリエンス でサポートされている機能の詳細については、「のアクティブ化に関する考慮事項 ネクストエクスペリエンス 」を参照してください。

手順

1. 使用している UI のバージョンの適切な場所に移動して、JavaScript ログを開きます。

コア UI	**a.** バナーフレームの歯車アイコンをクリックします。 **b.** [開発者] セクションをクリックします。 **c.** **[JavaScript** ログとフィールド監視] スイッチをオンにします。
UI15	**a.** バナーフレームの歯車アイコンをクリックします。 **b.** **[JavaScript** ログとフィールド監視] をクリックします。
UI11	バナーフレームのデバッグアイコン ( ) をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

画面の下部で新しいペインが開きます。[JavaScript ログ] タブが表示されます。[フィールド監視] タブも表示される場合があります。

2. 必要に応じて、**[JavaScript** ログ] タブを選択します。
3. 必要に応じて、[クリア] アイコン ( ) をクリックして、ログの内容をクリアします。

JavaScript デバッグウィンドウ

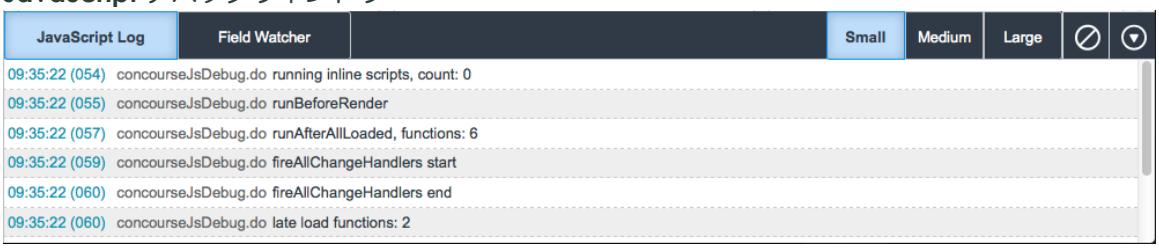
アドミニストレーターがデバッグをオンにすると、ユーザーインターフェイスの下部ペインに JavaScript デバッグウィンドウが表示されます。

> **注:** Utah の ネクストエクスペリエンス では JavaScript デバッグウィンドウはサポートされていません。ネクストエクスペリエンス でサポートされている機能の詳細については、「Next Experience の有効化に関する考慮事項」を参照してください。

これらのツールにアクセスするには、デバッグウィンドウを使用します。

- JavaScript ログ：ブラウザーで実行される JavaScript (クライアントスクリプトなど) には、情報を JavaScript ログに送信するための `jslog()` への呼び出しを含めることができます。
- フィールド監視：選択したフォームフィールドで実行されるすべてのアクションを追跡して表示するツールです。

JavaScript デバッグウィンドウ



JavaScript デバッグウィンドウの使用

JavaScript デバッグウィンドウでは、JavaScript ログとフィールド監視ツールにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

JavaScript デバッグウィンドウにアクセスする手順は、使用している UI バージョンによって異なります。

> **注:** Utah の ネクストエクスペリエンス では JavaScript デバッグウィンドウはサポートされていません。ネクストエクスペリエンス でサポートされている機能の詳細については、「のアクティブ化に関する考慮事項 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. UI のバージョンに適した場所に移動して、JavaScript デバッグウィンドウを開きます。

コア UI	a. バナーフレームの歯車アイコンをクリックします。 b. [開発者] セクションをクリックします。 c. **[JavaScript** ログとフィールド監視] スイッチをオンにします。
UI15	a. バナーフレームの歯車アイコンをクリックします。 b. **[JavaScript** ログとフィールド監視] をクリックします。
UI11	バナーフレームのデバッグアイコン ( ) をクリックします。

画面の下部に JavaScript デバッグウィンドウが再度開きます。ウィンドウを閉じたときに最後にアクティブだったタブが、ウィンドウを開いたときにアクティブなタブになります。

2. タブをクリックして、いずれかのデバッグウィンドウ機能を使用します。
   - JavaScript ログ
   - フィールド監視

関連情報

デバッグログへの書き込み

フィールド監視

JS コードカバレッジのデバッグ

JS コードカバレッジのデバッグ アプリケーションを使用すると、アドミニストレーターとアプリケーション開発者は、ユーザーセッション中にトリガーされたスクリプトを記録し、システムが実行したコードの行を確認できます。

js_coverage_debugger ロールを持つユーザーは、ブレークポイントを設定したり画面上のデバッグメッセージを確認したりすることなく、スクリプトをデバッグできます。代わりに、スクリプト使用データは JavaScript コードカバレッジ [sys_js_code_coverage] テーブルに保存されます。各 JavaScript コードカバレッジレコードには、次のものが含まれます。

- スクリプトを呼び出したユーザーセッション。
- テーブル、sys_id、およびスクリプトフィールドで識別される、システムが呼び出したスクリプトレコード。
- タイプと名前で識別される、システムが呼び出したスクリプトレコード。
- スクリプトを呼び出したトランザクション。
- トランザクションの開始時間。
- システムが実行した行を示すためにハイライト表示されたスクリプトフィールドの内容。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルコード範囲のハイライト表示

Script

```
var build = gs.getProperty("glide.buildname");
if (GlideStringUtil.notNil(build))
    build = build.substring(0,1).toLowerCase();

var collision = new GlideRecord("sys_embedded_help_content");
collision.addActiveQuery();
collision.addQuery("page", current.page);
collision.addQuery("modifier", current.modifier);
collision.addQuery("product", current.product);
if (current.isValidRecord() && GlideStringUtil.notNil(current.sys_id))
    collision.addQuery("sys_id", "!=", current.sys_id);

if (GlideStringUtil.notNil(current.qualifier))
    collision.addQuery("qualifier", current.qualifier);
else
    collision.addNullQuery("qualifier");

if (current.version == "all" && GlideStringUtil.notNil(build))
    collision.addQuery("version", build).addOrCondition("version", "all");
else
    collision.addQuery("version", current.version);

collision.query();
if (collision.next()) {
    if (collision.canWrite())
        gs.addErrorMessage(gs.getMessage("Embedded Help Composite Key Validation"));
```

JS コード範囲のハイライト表示

JS コードカバレッジアプリケーションは、システムが各行を実行したかスキップしたかを示すために、スクリプトフィールドをハイライト表示します。

サンプルコードのハイライト表示

Script

```
var build = gs.getProperty("glide.buildname");
if (GlideStringUtil.notNil(build))
    build = build.substring(0,1).toLowerCase();

var collision = new GlideRecord("sys_embedded_help_content");
collision.addActiveQuery();
collision.addQuery("page", current.page);
collision.addQuery("modifier", current.modifier);
collision.addQuery("product", current.product);
if (current.isValidRecord() && GlideStringUtil.notNil(current.sys_id))
    collision.addQuery("sys_id", "!=", current.sys_id);

if (GlideStringUtil.notNil(current.qualifier))
    collision.addQuery("qualifier", current.qualifier);
else
    collision.addNullQuery("qualifier");

if (current.version == "all" && GlideStringUtil.notNil(build))
    collision.addQuery("version", build).addOrCondition("version", "all");
else
    collision.addQuery("version", current.version);

collision.query();
if (collision.next()) {
    if (collision.canWrite())
        gs.addErrorMessage(gs.getMessage("Embedded Help Composite Key Validation"));
```

ハイライト表示の色は、システムがコード行をどのように評価したかを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コードのハイライト表示の意味

ハイライト表示の色	意味
緑	これは、セッション中にシステムが実行した実行可能なコード行です。
赤	これは、何らかの理由でシステムがスキップした実行可能なコード行です。必要なスクリプト条件が満たされていないか、スクリプト関数が一度も呼び出されていないために、システムが実行可能なコード行をスキップした可能性があります。スクリプトデバッガ を使用して、システムが実行可能なコード行をスキップした理由を特定できます。
グレイ	これは、空白、コードコメント、または単独では実行できない複数の行にまたがる式の一部など、実行不可能なコード行です。

アドミニストレーターとアプリケーション開発者は、この情報を使用して、スクリプトデバッガ を使用してスクリプト条件が満たされていない理由を特定するなど、よりターゲットを絞ったデバッグアクティビティを行うことができます。

JS コードカバレッジのデバッグ のアクティブ化

admin ロールを持っている場合は、JS コードカバレッジのデバッグ プラグイン (com.glide.js.coverage) をアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。

次のタスク
プラグインがインストールしたコンポーネントを表示するには、プラグインフォームを更新して [プラグインファイル] 関連リストを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JS コードカバレッジのデバッグ を使用したデバッグ

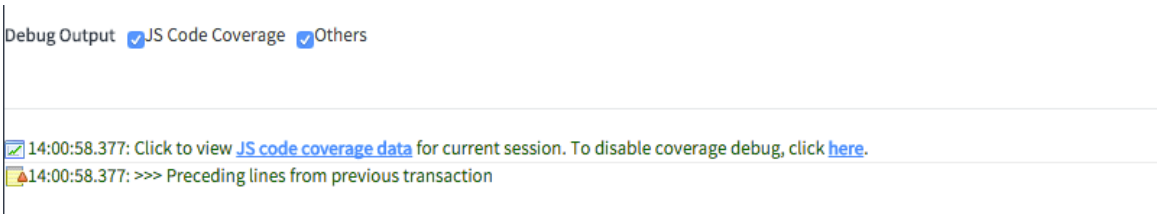
JS コードカバレッジのデバッグ を使用してユーザーセッションを記録し、システムが実行したスクリプトとコード行を確認します。

始める前に

必要なロール：admin または js_coverage_debugger

手順

1. 移動先 すべて > **JS Code Coverage Debug** > 補償の有効化.
   システムは、システムが実行するスクリプトとコード行をログに記録し、JS コードカバレッジ名前空間にセッションデバッグメッセージを表示します。



2. ロジックをテストするテーブルまたはページに移動します。

   Example
   たとえば、 インシデント > 新規作成.

3. テストするスクリプトをトリガーします。

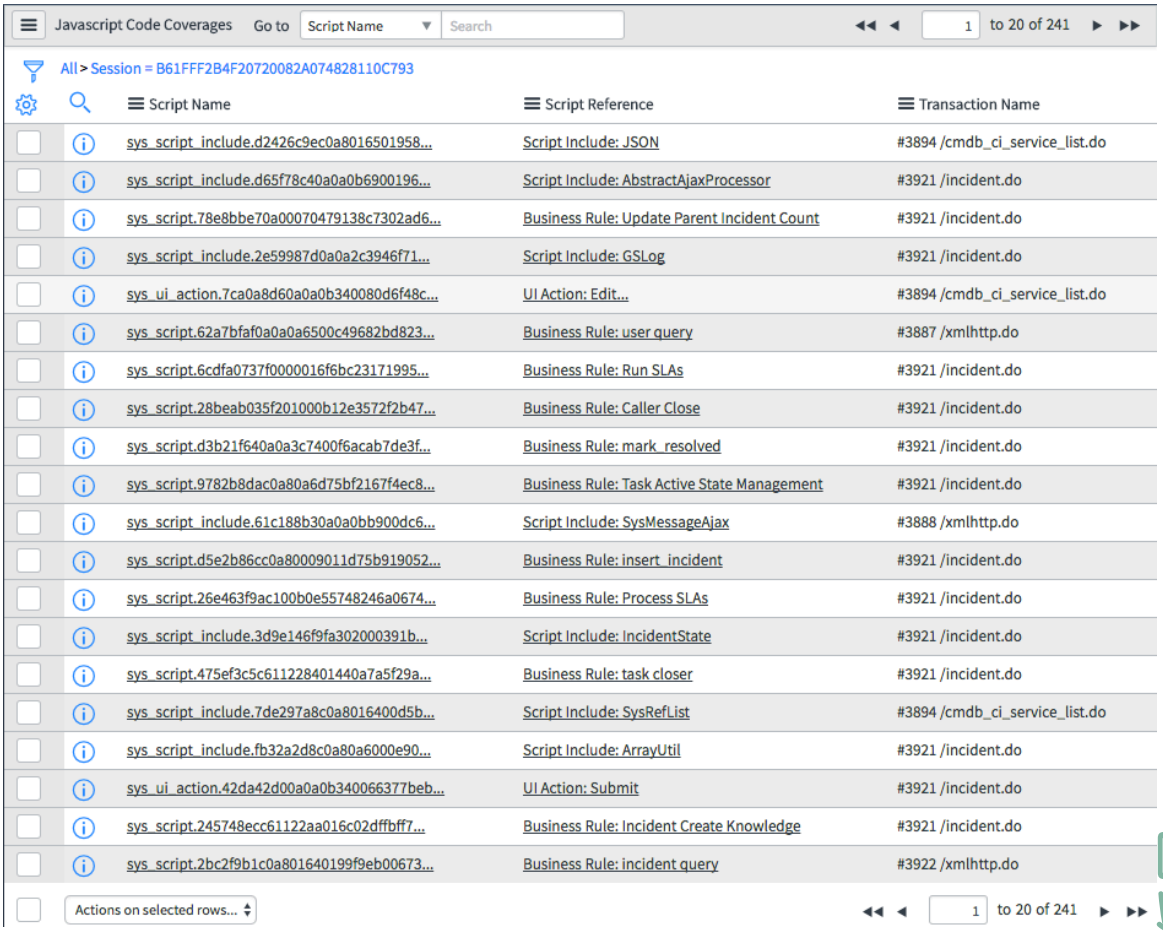
   Example
   たとえば、関連付けられた CI アイテムを使用してインシデントを作成し、複数のビジネスルールをテストします。

4. テストが完了したら、 **JS Code Coverage Debug** > 補償の無効化.
   ログスクリプトとコード行の実行が停止します。

5. 移動先 **JS Code Coverage Debug** > 補償データ.
   現在のユーザーセッションに関連付けられているカバレッジデータのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



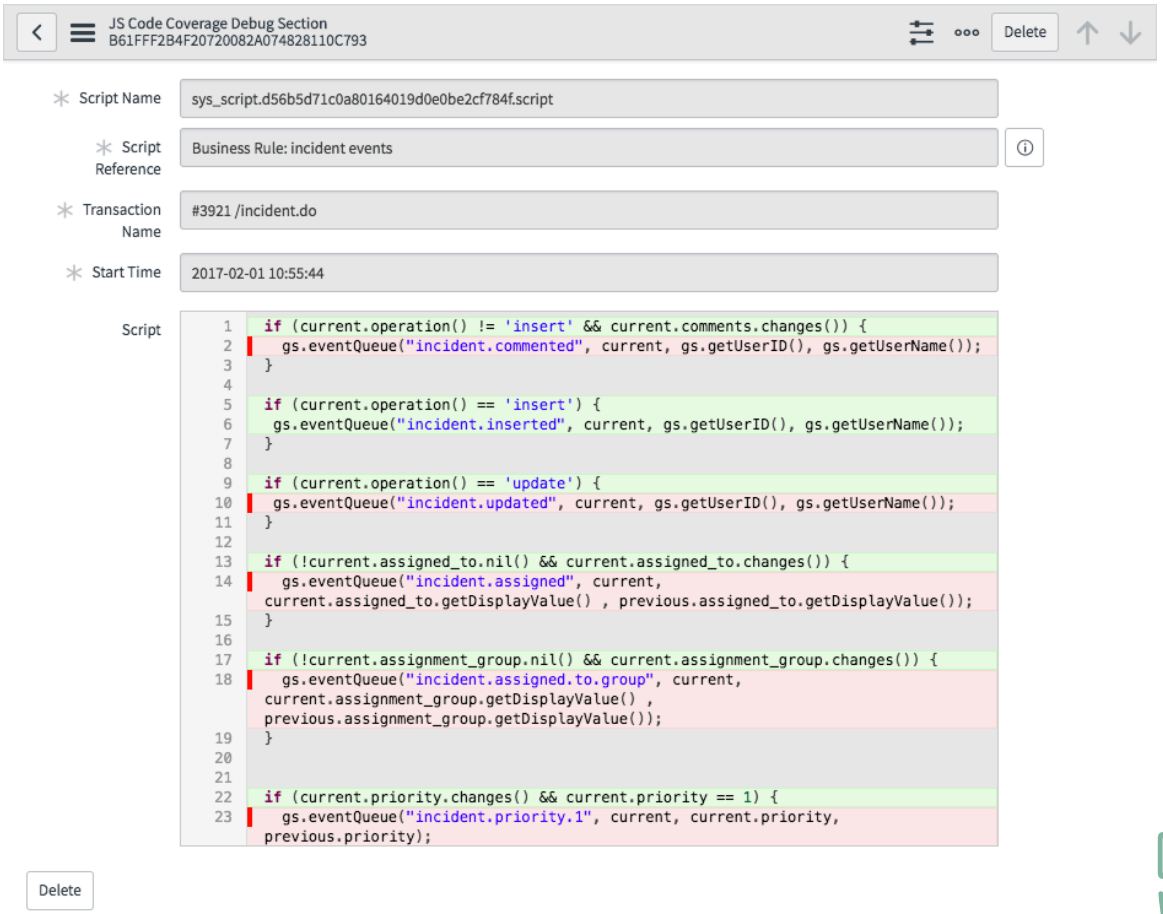
6. レビューするスクリプトまたはトランザクションを選択します。

JavaScript コードカバレッジのフィールド

フィールド	説明
スクリプト名	スクリプト実行をテーブル名、sys_id 値、およびスクリプトフィールドで表示します。
スクリプト参照	スクリプト実行をスクリプトのタイプと名前で表示します。
トランザクション名	スクリプトを呼び出したトランザクションをスレッド ID と URI で表示します。

Example
たとえば、「スクリプト参照ビジネスルール：インシデントイベント」を選択します。
JS コードカバレッジのデバッグレコードが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [スクリプト] フィールドを確認して、システムが実行したコード行を特定します。

Example
たとえば、ビジネスルールによって incident.inserted イベントがイベントキューに追加されたとします。

タスクの結果
システムが実行したコード行を特定します。

次のタスク
コードカバレッジ情報を使用して、スクリプトデバッガ によってブレークポイントの設定や変数値の確認など、よりターゲットを絞ったデバッグアクティビティを実行します。

パッケージコール削除ツール

パッケージコール削除ツールには、スクリプトが含まれている可能性があるフィールドを識別し、ServiceNow Java クラスへのパッケージコールを含むスクリプトを検索し、それらのパッケージコールを排除するための提案されたスクリプト変更を調べるモジュールが用意されています。

注: このツールはデフォルトでは有効になっておらず、admin ロールを持つユーザーのみが使用できます。

ServiceNow Java クラスへのパッケージコールは、将来のリリースでは利用できなくなります。パッケージコール削除ツールは、インスタンスで新しい API を使用するための準備に役立ちます。このツールには、次のスクリプトとページが含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パッケージフィールドを探すスクリプトは、ServiceNow Java クラスへのパッケージコールのスクリプトをスキャンします。
- パッケージコールを探すスクリプトは、パッケージコールを削除するか、それらを GlideScriptable 名に置き換える変更を提案します。
- [パッケージコールアイテム] ページには、スクリプトに対する提案された変更が一覧表示され、作業することができます。

このツールでは、ServiceNow Java クラスへのパッケージコールに対する優先的でスクリプト可能な代替手段を生成しようとするときに、エラーが生成される場合があります。

注: パッケージコール削除ツールの実行による変更を移行する前に、更新セットを作成します。詳細については、「更新セットでスタートする」を参照してください。

パッケージコール削除ツールを有効にする

ツールにアクセスするには、Packages Call Removal Tool プラグインをアクティブにする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用して Packages Call Removal Tool プラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます：「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。

パッケージコールを探す

パッケージフィールドを探すスクリプトを実行してパッケージコールを検索するフィールドのリストを定義した後、パッケージコールを探すスクリプトを実行して、ServiceNow Java クラスへのパッケージコールを含むフィールドのリストを生成します。スクリプトは変更の提案も行います。

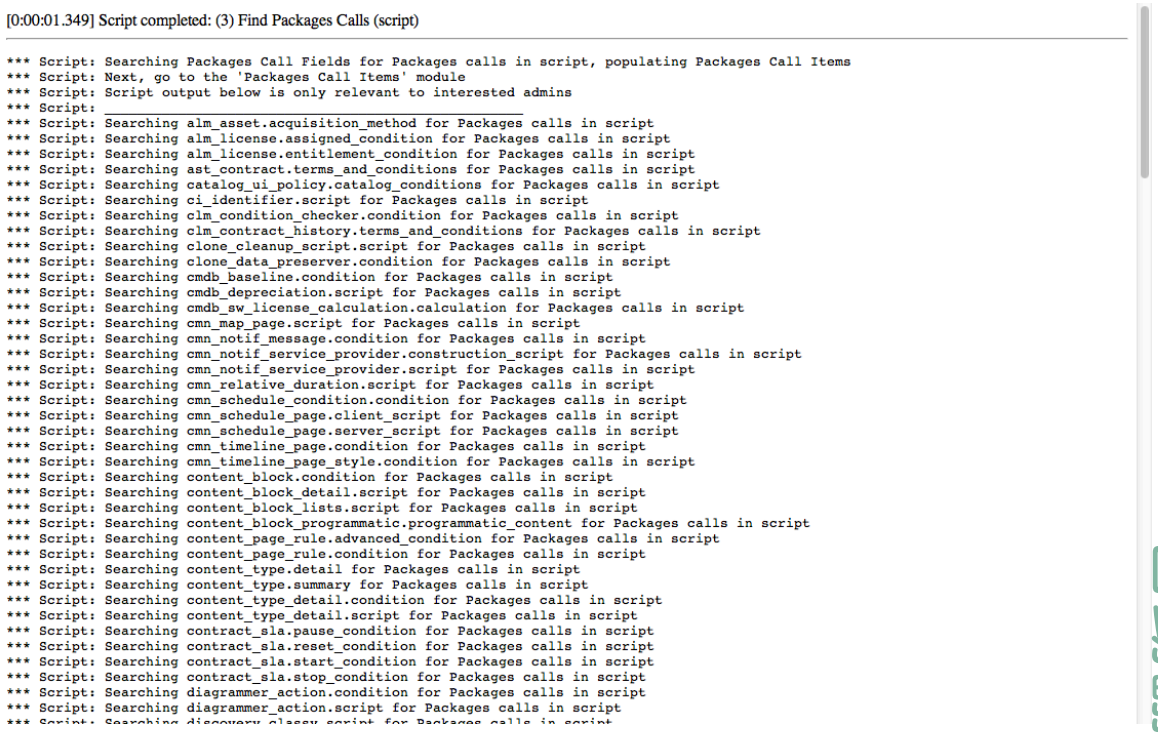
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **[(3)** パッケージコールを探す (スクリプト)] をクリックして、パッケージコールに対するフィールドを検索するスクリプトを実行し、パッケージコールアイテムリストに提案された変更を入力します。

   Example

   パッケージコールを探す

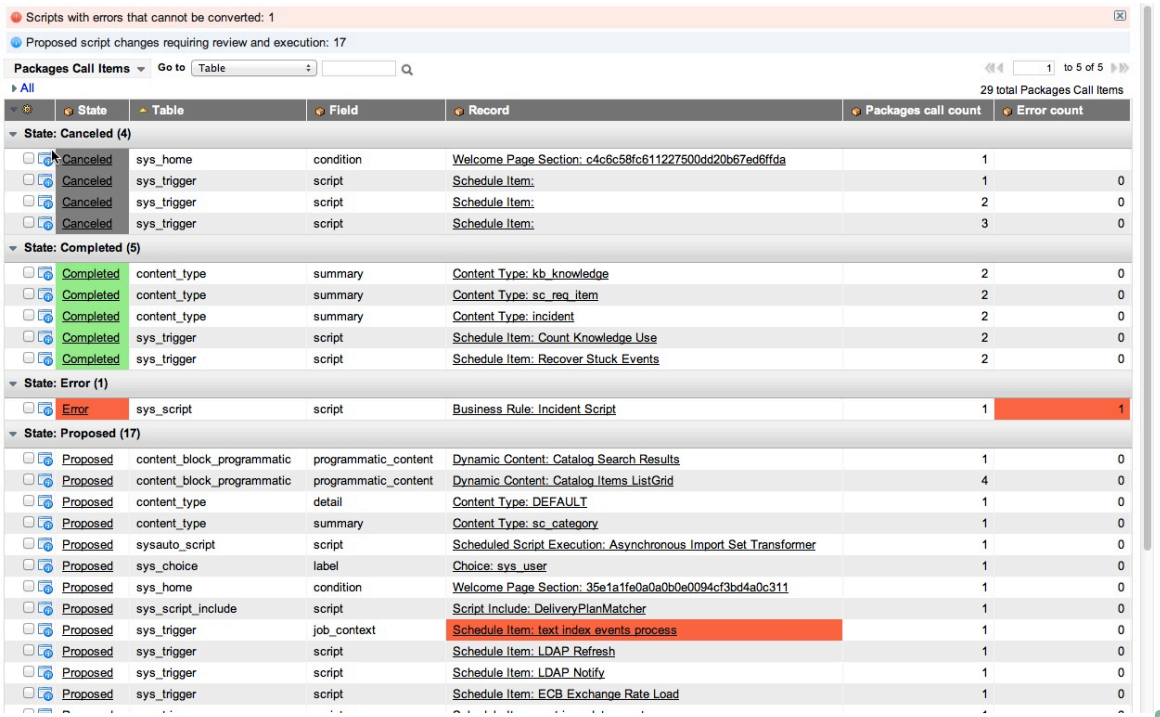
2. **[(4)** パッケージコールアイテム] をクリックすると、影響を受けるフィールドのリストが [パッケージコールアイテム] ページに表示されます。
   [パッケージコールアイテム] ページには、パッケージコールを含むアイテムが一覧表示され、各アイテムの現在のステータス、フィールドを含むテーブル、影響を受けるレコード、フィールドのスクリプトに含まれるパッケージコールの数、および提案されたスクリプトの生成時に発生したエラーの数が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

パッケージコールアイテム



State	Table	Field	Record	Packages call count	Error count
State: Canceled (4)					
Canceled	sys_home	condition	Welcome Page Section: c4c6c58fc611227500dd20b67ed6ffda	1	
Canceled	sys_trigger	script	Schedule Item:	1	0
Canceled	sys_trigger	script	Schedule Item:	2	0
Canceled	sys_trigger	script	Schedule Item:	3	0
State: Completed (5)					
Completed	content_type	summary	Content Type: kb_knowledge	2	0
Completed	content_type	summary	Content Type: sc_req_item	2	0
Completed	content_type	summary	Content Type: incident	2	0
Completed	sys_trigger	script	Schedule Item: Count Knowledge Use	2	0
Completed	sys_trigger	script	Schedule Item: Recover Stuck Events	2	0
State: Error (1)					
Error	sys_script	script	Business Rule: Incident Script	1	1
State: Proposed (17)					
Proposed	content_block_programmatic	programmatic_content	Dynamic Content: Catalog Search Results	1	0
Proposed	content_block_programmatic	programmatic_content	Dynamic Content: Catalog Items ListGrid	4	0
Proposed	content_type	detail	Content Type: DEFAULT	1	0
Proposed	content_type	summary	Content Type: sc_category	1	0
Proposed	sysauto_script	script	Scheduled Script Execution: Asynchronous Import Set Transformer	1	0
Proposed	sys_choice	label	Choice: sys_user	1	0
Proposed	sys_home	condition	Welcome Page Section: 35e1a1fe0a0a0b0e0094cf3bd4a0c311	1	0
Proposed	sys_script_include	script	Script Include: DeliveryPlanMatcher	1	0
Proposed	sys_trigger	job_context	Schedule Item: text index events process	1	0
Proposed	sys_trigger	script	Schedule Item: LDAP Refresh	1	0
Proposed	sys_trigger	script	Schedule Item: LDAP Notify	1	0
Proposed	sys_trigger	script	Schedule Item: ECB Exchange Rate Load	1	0

3. [パッケージコールアイテム] ページで、リストされているアイテムのレコードをクリックしてフォームを開き、「パッケージコールの置き換え」の説明に従って変更します。

   リストの処理を行うと、アイテムの状況が更新され、アイテムが次のステータス別にグループ化されます。

   - 提案済み：フィールドに提案されたリビジョンが存在します。
   - エラー (赤)：提案されたスクリプトの生成時に 1 つ以上のエラーが発生しました。
   - 却下 (グレイ)：提案された変更は却下されました。
   - 完了 (緑)：ServiceNow Java クラスへのパッケージコールを削除するよう、フィールドが正常に変更されました。
   - キャンセル済み (グレイ)：提案された変更が生成された後に、元のスクリプトが変更されて変更が不要になったか、元のレコードが存在しなくなりました。

Glide オブジェクト名

パッケージコールを置き換える新しい Glide オブジェクトの名前は、パッケージコールで使用される Java パッケージ名から派生します。

このタスクについて
ツールは、検出された各パッケージコールを自動的に新しいスクリプト可能な名前に置き換えますが、パッケージコールを同等の新しいスクリプト可能オブジェクトに手動で置き換える方法を知っておくと便利な場合もあります。以下の手順を使用して、パッケージコール名から新しいスクリプトオブジェクト名を決定します。置換オブジェクトには、置き換えるオブジェクトと同じメソッドとプロパティが含まれます。

新しいオブジェクト名を決定するには：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Java パッケージ名の 3 番目の用語に注意してください。
   この用語は、通常は glide ですが、snc または glideapp の場合もあります。
2. すべてのプリフィックス用語を削除し、最後の用語のみを残します。
   たとえば、`Packages.com.glide.monitor.AbstractBucketCollector` は AbstractBucketCollector になります。
3. 上記の最初のステップで言及した用語の最初の文字を大文字にし、ステップ 2 で定義した用語の前に追加します。
   たとえば、`Packages.com.glide.monitor.AbstractBucketCollector` は GlideAbstractBucketCollector に、`Packages.com.snc.cmdb.BaselineCMDB` は SncBaselineCMDB になります。
4. スクリプトバックグラウンドで、引用符なしで名前のみを指定して gs.print() コマンドを実行し、名前が有効であることを確認します。
   例：

   ```
   gs.print( SncBaselineCMDB );
   ```

   *** スクリプト：`[JavaClass com.snc.cmdb.BaselineCMDB]`

   このルールには例外があります。たとえば、「Packages.com.glide.Glide」に代わる「Glide」、「Packages.com.glide.junit.misc.TestExtension」に代わる「TestExtension」、「Packages.com.glide.ui.UINotification」に代わる「UINotification」などです。

Glide オブジェクト置換リスト

次の表は、Glide クラスとそれらが置き換えるパッケージコールを示しています。

> **注:** このリストの公開は、これらのスクリプト可能オブジェクトが顧客、コンサルタント、およびパートナーによって使用されることを意味するものではありません。Glide プリフィックスの使用は、これらのスクリプト可能オブジェクトが GlideRecord などのオブジェクトと同じカテゴリにあるか、同じステータスであることを意味しません。「API リファレンス」でドキュメントが提供されている場合を除き、これらの文書化されていない API は一般的な使用を意図しておらず、ServiceNow, Inc., はそれらを文書化したり、それらに関する質問に回答したり、現在の形式で無期限に維持したりする確約を一切行いません。ServiceNow, Inc. は、今後これらのオブジェクトによって表される機能のサブセットを文書化された API に移行し、それ以外は削除する予定です。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト

GlideScriptable クラス	パッケージコール
Glide	Packages.com.glide.Glide
GlideAbstractBucketCollector	Packages.com.glide.monitor.AbstractBucketCollector
GlideAbstractDomainProvider	Packages.com.glide.db.domain.AbstractDomainProvider
GlideAbstractExecutionPlan	Packages.com.glide.execution_plan.AbstractExecutionPlan
GlideAbstractListener	Packages.com.glide.listener.AbstractListener
GlideAbstractRenderer	Packages.com.glide.ui.portal.AbstractRenderer
GlideAction	Packages.com.glide.script.Action
GlideActionManager	Packages.com.glide.ui.action.ActionManager
GlideAJAXScheduleItem	Packages.com.glide.schedules.AJAXScheduleItem

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideAJAXSchedulePage	Packages.com.glide.schedules.AJAXSchedulePage
GlideAlertActions	Packages.com.glide.alerts.AlertActions
GlideappAbstractChoiceListQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.AbstractChoiceListQue
GlideappADSILoader	Packages.com.glideapp.ecc.ADSILoader
GlideappAJAXMapPage	Packages.com.glideapp.google_maps.AJAXMapPage
GlideappCalculationHelper	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CalculationHelper
GlideappCart	Packages.com.glideapp.servicecatalog.Cart
GlideappCartItem	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CartItem
GlideappCatalogCategoryBatcher	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CatalogCategoryB
GlideappCatalogItem	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CatalogItem
GlideappCategory	Packages.com.glideapp.servicecatalog.Category
GlideappCategoryPopper	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CategoryPopper
GlideappCatItemPopper	Packages.com.glideapp.servicecatalog.CatItemPopper
GlideappChartParameters	Packages.com.glideapp.chart.ChartParameters
GlideappChatRoom	Packages.com.glideapp.live.db.ChatRoom
GlideappChatRoom$Error	Packages.com.glideapp.live.db.ChatRoom.Error
GlideappCheckBoxQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.CheckBoxQuestion
GlideappCMDBHelper	Packages.com.glideapp.ecc.CMDBHelper
GlideappCMDBSoftwareHelper	Packages.com.glideapp.ecc.CMDBSoftwareHelper
GlideappContainerAwareQuestionSet	Packages.com.glideapp.questionset.ContainerAwareQuest
GlideappContextDiagramProcessor	Packages.com.glideapp.workflow.ui.ContextDiagramProce
GlideappDateQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.DateQuestion
GlideappDateTimeQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.DateTimeQuestion
GlideappDeliveryPlan	Packages.com.glideapp.servicecatalog.DeliveryPlan
GlideappECCInputMessage	Packages.com.glideapp.ecc.ECCInputMessage
GlideappECCOutputMessage	Packages.com.glideapp.ecc.ECCOutputMessage
Glideapp ECCQueueConnector	Packages.com.glideapp.ecc.ECCQueueConnector
GlideappECCQueueProcessor	Packages.com.glideapp.ecc.ECCQueueProcessor
GlideappECCResponseMessage	Packages.com.glideapp.ecc.ECCResponseMessage
GlideappExpandableText	Packages.com.glideapp.live_feed.HTMLTransformers.Expand
GlideappExpertPanelCatalogOrder	Packages.com.glideapp.servicecatalog.ExpertPanelCatalo
GlideappFixes	Packages.com.glideapp.servicecatalog.Fixes
GlideappHome	Packages.com.glideapp.home.Home
GlideappHomePage	Packages.com.glideapp.home.HomePage

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideappHomePageFactory	Packages.com.glideapp.home.HomePageFactory
GlideappIECC	Packages.com.glideapp.ecc.IECC
GlideappIOUpgrade	Packages.com.glideapp.servicecatalog.IOUpgrade
GlideappItemOptionsQuestionSet	Packages.com.glideapp.servicecatalog.ItemOptionsQuesti
GlideappJMSECCReceiver	Packages.com.glideapp.jms.JMSECCReceiver
GlideappJMSECCSender	Packages.com.glideapp.jms.JMSECCSender
GlideappKBIncludes	Packages.com.glideapp.knowledge.KBIncludes
GlideApplication	Packages.com.glide.sys.Application
GlideApplicationModule	Packages.com.glide.processors.ApplicationModule
GlideappListCollectorQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.ListCollectorQuestion
GlideappLiveFeedEventHandler	Packages.com.glideapp.live_feed.LiveFeedEventHandler
GlideappLiveFeedJournalWriter	Packages.com.glideapp.live_feed.LiveFeedJournalWriter
GlideappLiveFeedUIAction	Packages.com.glideapp.live_feed.LiveFeedUIAction
GlideappLiveProfile	Packages.com.glideapp.live_common.LiveProfile
GlideappLiveUtils	Packages.com.glideapp.live.LiveUtils
GlideappLookupSelectQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.LookupSelectQuestion
GlideappMessageTag	Packages.com.glideapp.live_feed.MessageTag
GlideappOrderGuide	Packages.com.glideapp.servicecatalog.OrderGuide
GlideappProcessQueue	Packages.com.glideapp.ecc.ccmdb.ProcessQueue
GlideappQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.Question
GlideappQuestionChoice	Packages.com.glideapp.questionset.QuestionChoice
GlideappQueueHelper	Packages.com.glideapp.ecc.QueueHelper
GlideappQueueReader	Packages.com.glideapp.ecc.QueueReader
GlideappReferenceQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.ReferenceQuestion
GlideappRequestItemWorkflow	Packages.com.glideapp.servicecatalog.RequestItemWorkfl
GlideappRequestNew	Packages.com.glideapp.servicecatalog.RequestNew
GlideappScriptHelper	Packages.com.glideapp.servicecatalog.ScriptHelper
GlideappSecurityMask	Packages.com.glideapp.servicecatalog.SecurityMask
GlideappSequencedQuestionSet	Packages.com.glideapp.questionset.SequencedQuestionSe
GlideappTaskApprovalHelper	Packages.com.glideapp.servicecatalog.TaskApprovalHelpe
GlideappTimeAgo	Packages.com.glideapp.live_feed.TimeAgo
GlideappUpdateVersion	Packages.com.glideapp.version.UpdateVersion
GlideappUpgradeQuestions	Packages.com.glideapp.survey.UpgradeQuestions
GlideappValveProcessor	Packages.com.glideapp.servicecatalog.valve.ValveProcess

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideappVariable	Packages.com.glideapp.servicecatalog.variables.Variable
GlideappVariablePoolQuestionSet	Packages.com.glideapp.servicecatalog.variables.VariableP
GlideappWizardIntercept	Packages.com.glideapp.wizard.WizardIntercept
GlideappWMILoader	Packages.com.glideapp.ecc.WMILoader
GlideappWorkflow	Packages.com.glideapp.workflow.Workflow
GlideappWorkflowHelper	Packages.com.glideapp.workflow.WorkflowHelper
GlideappYesNoQuestion	Packages.com.glideapp.questionset.YesNoQuestion
GlideAQueryExplanation	Packages.com.glide.db.explain.AQueryExplanation
GlideArchiver	Packages.com.glide.db.auxiliary.Archiver
GlideArchiver	Packages.com.glide.db.auxiliary.ArchiveRecord
GlideArchiveRestore	Packages.com.glide.db.auxiliary.ArchiveRestore
GlideArchiveStatus	Packages.com.glide.db.auxiliary.ArchiveStatus
GlideArchiveTable	Packages.com.glide.db.auxiliary.ArchiveTable
GlideARecurrence	Packages.com.glide.schedule.recurrence.ARecurrence
GlideAttachmentIndexDocument	Packages.com.glide.lucene.attachments.AttachmentIndex
GlideAttachmentIndexTypes	Packages.com.glide.lucene.attachments.AttachmentIndex
GlideAttributes	Packages.com.glide.util.GlideAttributes
GlideAuditDelete	Packages.com.glide.audit.AuditDelete
GlideAuditor	Packages.com.glide.script.Auditor
GlideAutomationEncrypter	Packages.com.glide.util.AutomationEncrypter
GlideBaseTag	Packages.com.glide.ui.jelly.tags.BaseTag
GlideBootstrap	Packages.com.glide.db.impex.Bootstrap
GlideBoundedIntProperty	Packages.com.glide.util.BoundedIntProperty
GlideCacheManager	Packages.com.glide.sys.cache.CacheManager
GlideCalendar	Packages.com.glide.schedule.GlideCalendar
GlideCalendarWeekEntry	Packages.com.glide.calendar.GlideCalendarWeekEntry
GlideCanceledUITransaction	Packages.com.glide.ui.CanceledUITransaction
GlideCascadeFromDelete	Packages.com.glide.db.CascadeFromDelete
GlideCatalogCloneWorker	Packages.com.glide.catalog.cloner.CatalogCloneWorker
GlideChannel	Packages.com.glide.channel.Channel
GlideChannelManager	Packages.com.glide.channel.ChannelManager
GlideChannelMessage	Packages.com.glide.channel.ChannelMessage
GlideChartFieldColors	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.ChartFieldColors
GlideChartGeneratorFactory	Packages.com.glide.ui.chart.ChartGeneratorFactory

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideChartUtil	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.ChartUtil
GlideChartValue	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.ChartValue
GlideChecksum	Packages.com.glide.util.Checksum
GlideChoice	Packages.com.glide.choice.Choice
GlideChoiceList	Packages.com.glide.choice.ChoiceList
GlideChoiceListGenerator	Packages.com.glide.choice.ChoiceListGenerator
GlideChoiceListSet	Packages.com.glide.choice.ChoiceListSet
GlideChoiceListUpdateSaver	Packages.com.glide.update.saver.ChoiceListUpdateSaver
GlideClientBrowserTimes	Packages.com.glide.client_transaction.ClientBrowserTimes
GlideClientNetworkTimes	Packages.com.glide.client_transaction.ClientNetworkTimes
GlideClusterMessage	Packages.com.glide.cluster.ClusterMessage
GlideClusterState	Packages.com.glide.cluster.ClusterState
GlideClusterSynchronizer	Packages.com.glide.cluster.ClusterSynchronizer
GlideCMSLinkHelper	Packages.com.glide.cms.CMSLinkHelper
GlideCMSPageLink	Packages.com.glide.cms.CMSPageLink
GlideCollectionEnumerator	Packages.com.glide.util.CollectionEnumerator
GlideCollectionQueryCalculator	Packages.com.glide.ui.CollectionQueryCalculator
GlideCollisionDetector	Packages.com.glide.update.collisions.CollisionDetector
GlideColumnAttributes	Packages.com.glide.db.impex.ColumnAttributes
GlideCompanyResolver	Packages.com.glide.misc.CompanyResolver
GlideCompiler	Packages.com.glide.script.Compiler
GlideCompositeElement	Packages.com.glide.db.CompositeElement
GlideConfiguration	Packages.com.glide.notification.Configuration
GlideContentConfig	Packages.com.glide.cms.ContentConfig
GlideContentPage	Packages.com.glide.cms.ContentPage
GlideContentSite	Packages.com.glide.cms.ContentSite
GlideContentType	Packages.com.glide.cms.ContentType
GlideContextMenu	Packages.com.glide.db_context_menu.ContextMenu
GlideContextMenuItem	Packages.com.glide.db_context_menu.ContextMenuItem
GlideContextualSecurityManager	Packages.com.glide.sys.security.ContextualSecurityManage
GlideController	Packages.com.glide.script.GlideController
GlideConverter	Packages.com.glide.currency.Converter
GlideCookieMan	Packages.com.glide.ui.CookieMan
GlideCounter	Packages.com.glide.util.Counter

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideCredentials	Packages.com.glide.communications.crypto.Credentials
GlideCryptoService	Packages.com.glide.security.CryptoService
GlideCSVExporter	Packages.com.glide.generators.CSVExporter
GlideCustomerScriptFixer	Packages.com.glide.script.api.CustomerScriptFixer
GlideDatabaseVerifier	Packages.com.glide.db.DatabaseVerifier
GlideDatabaseViewLink	Packages.com.glide.database_views.DatabaseViewLink
GlideDataSource	Packages.com.glide.db.impex.datasource.DataSource
GlideDate	Packages.com.glide.glideobject.GlideDate
GlideDateTime	Packages.com.glide.glideobject.GlideDateTime
GlideDateUtil	Packages.com.glide.util.DateUtil
GlideDBAction	Packages.com.glide.db.DBAction
GlideDBAggregateQuery	Packages.com.glide.db.DBAggregateQuery
GlideDBAggregateUtil	Packages.com.glide.db.DBAggregateUtil
GlideDBCategoryDebug	Packages.com.glide.secondary_db_pools.DBCategoryDebu
GlideDBChangeManager	Packages.com.glide.db.change.DBChangeManager
GlideDBCompositeAction	Packages.com.glide.db.DBCompositeAction
GlideDBConfiguration	Packages.com.glide.db.DBConfiguration
GlideDBConfigurationManager	Packages.com.glide.db.DBConfigurationManager
GlideDBConfigurationManagerEventHandler	Packages.com.glide.db.DBConfigurationManagerEventHan
GlideDBConfigurationParms	Packages.com.glide.db.DBConfigurationParms
GlideDBConfigurationV2Migrator	Packages.com.glide.db.DBConfigurationV2Migrator
GlideDBConnection	Packages.com.glide.db.pool.DBConnection
GlideDBConnectionPool	Packages.com.glide.db.pool.DBConnectionPool
GlideDBConnectionPooler	Packages.com.glide.db.pool.DBConnectionPooler
GlideDBDelete	Packages.com.glide.db.DBDelete
GlideDBI	Packages.com.glide.db.DBI
GlideDBImageProvider	Packages.com.glide.db_image.DBImageProvider
GlideDBIMySQL	Packages.com.glide.db.rdbms.mysql.DBIMySQL
GlideDBIndex	Packages.com.glide.db.DBIndex
GlideDBKeyStoreFactory	Packages.com.glide.certificates.DBKeyStoreFactory
GlideDBMacro	Packages.com.glide.ui.jelly.tags.form.DBMacro
GlideDBMicroStats	Packages.com.glide.db.DBMicroStats
GlideDBMultiTargetAction	Packages.com.glide.db.DBMultiTargetAction
GlideDBObjectManager	Packages.com.glide.db.DBObjectManager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideDBObjectToken	Packages.com.glide.db.DBObjectToken
GlideDBPoolTest	Packages.com.glide.secondary_db_pools.DBPoolTest
GlideDBPropertiesConfig	Packages.com.glide.db.DBPropertiesConfig
GlideDBQuery	Packages.com.glide.db.DBQuery
GlideDBTypes	Packages.com.glide.db.DBTypes
GlideDBUpdate	Packages.com.glide.db.DBUpdate
GlideDBUtil	Packages.com.glide.db.DBUtil
GlideDBView	Packages.com.glide.db.DBView
GlideDebugEvaluator	Packages.com.glide.jsdebug.DebugEvaluator
GlideDefaultUpdateSaver	Packages.com.glide.update.saver.DefaultUpdateSaver
GlideDiagram	Packages.com.glide.diagrammer.Diagram
GlideDiagramAction	Packages.com.glide.diagrammer.DiagramAction
GlideDiagramEdge	Packages.com.glide.diagrammer.DiagramEdge
GlideDiagramElement	Packages.com.glide.diagrammer.DiagramElement
GlideDiagramNode	Packages.com.glide.diagrammer.DiagramNode
GlideDistUpgradeRunner	Packages.com.glide.dist.upgrade.runner.DistUpgradeRunner
GlideDocument	Packages.com.glide.util.GlideDocument
GlideDomain	Packages.com.glide.db.domain.Domain
GlideDomainDisplay	Packages.com.glide.db.domain.DomainDisplay
GlideDomainHierarchy	Packages.com.glide.db.domain.DomainHierarchy
GlideDomainNumberProvider	Packages.com.glide.db.domain.DomainNumberProvider
GlideDomainPathDisplay	Packages.com.glide.db.domain.DomainPathDisplay
GlideDomainPathProvider	Packages.com.glide.db.domain.DomainPathProvider
GlideDomainSpoolProvider	Packages.com.glide.db.domain.DomainSpoolProvider
GlideDomainSupport	Packages.com.glide.db.domain.DomainSupport
GlideDomainTree	Packages.com.glide.db.domain.DomainTree
GlideDomainUtil	Packages.com.glide.db.domain.DomainUtil
GlideDomainValidator	Packages.com.glide.db.domain.DomainValidator
GlideDuration	Packages.com.glide.glideobject.GlideDuration
GlideECBDownloader	Packages.com.glide.currency.ECBDownloader
GlideECCQueueTransformer	Packages.com.glide.db.impex.ECCQueueTransformer
GlideElement	Packages.com.glide.script.GlideElement
GlideElementDescriptor	Packages.com.glide.db.ElementDescriptor
GlideElementIterator	Packages.com.glide.util.ElementIterator

参考翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideElementUserImage	Packages.com.glide.script.glide_elements.GlideElementUse
GlideElementXMLSerializer	Packages.com.glide.script.GlideElementXMLSerializer
GlideEmail	Packages.com.glide.notification.Email
GlideEmailAction	Packages.com.glide.notification.outbound.EmailAction
GlideEmailFormatter	Packages.com.glide.notification.outbound.EmailFormatter
GlideEmailInbound	Packages.com.glide.notification.inbound.EmailInbound
GlideEmailOutbound	Packages.com.glide.notification.outbound.EmailOutbound
GlideEmailReader	Packages.com.glide.notification.inbound.EmailReader
GlideEmailSender	Packages.com.glide.notification.outbound.EmailSender
GlideEmailWatermark	Packages.com.glide.notification.EmailWatermark
GlideEmitter	Packages.com.glide.ui.jelly.Emitter
GlideEncrypter	Packages.com.glide.util.Encrypter
GlideEncryptionContext	Packages.com.glide.sys.EncryptionContext
GlideEncryptionContextCipher	Packages.com.glide.sys.security.EncryptionContextCipher
GlideEncryptionWrapperDB	Packages.com.glide.sys.security.EncryptionWrapperDB
GlideEncryptionWrapperDBAdmin	Packages.com.glide.sys.security.EncryptionWrapperDBAdmi
GlideEncryptionWrapperNAE	Packages.com.glide.sys.security.EncryptionWrapperNAE
GlideEncryptionWrapperNAEAdmin	Packages.com.glide.sys.security.EncryptionWrapperNAEAdr
GlideEscalationManager	Packages.com.glide.escalation.EscalationManager
GlideEscalationTimerJobMarkII	Packages.com.glide.job.EscalationTimerJobMarkII
GlideEvaluator	Packages.com.glide.script.Evaluator
GlideEvent	Packages.com.glide.policy.Event
GlideEventManager	Packages.com.glide.policy.EventManager
GlideExcelExporter	Packages.com.glide.generators.ExcelExporter
GlideExcelLoader2	Packages.com.glide.db.impex.ExcelLoader2
GlideExecutionPlan	Packages.com.glide.execution_plan.ExecutionPlan
GlideExpressionWrapper	Packages.com.glide.ui.jelly.GlideExpressionWrapper
GlideExtensionPoint	Packages.com.glide.sys.ExtensionPoint
GlideFieldList	Packages.com.glide.processors.FieldList
GlideFile	Packages.com.glide.script.proxy.File
GlideFileUtil	Packages.com.glide.util.FileUtil
GlideFilter	Packages.com.glide.script.Filter
GlideFilterList	Packages.com.glide.script.FilterList
GlideFixCatalogPlans	Packages.com.glide.fixes.FixCatalogPlans

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideFixDeliveryPlans	Packages.com.glide.fixes.FixDeliveryPlans
GlideFixGroups	Packages.com.glide.fixes.FixGroups
GlideFixItemOptionsAgain	Packages.com.glide.fixes.FixItemOptionsAgain
GlideFixRules	Packages.com.glide.fixes.FixRules
GlideFixSpellCheck	Packages.com.glide.fixes.FixSpellCheck
GlideFixStuff	Packages.com.glide.fixes.FixStuff
GlideFixUsers	Packages.com.glide.fixes.FixUsers
GlideForm	Packages.com.glide.ui.GlideForm
GlideFormCommon	Packages.com.glide.ui.GlideFormCommon
GlideFormulator	Packages.com.glide.ui.GlideFormulator
GlideGauge	Packages.com.glide.report.Gauge
GlideGovernor	Packages.com.glide.sys.util.Governor
GlideGregorianCalendar	Packages.com.glide.util.GlideGregorianCalendar
GlideGroup	Packages.com.glide.sys.Group
GlideGroupByListTag	Packages.com.glide.ui.jelly.tags.form.GroupByListTag
GlideGuid	Packages.com.glide.util.Guid
GlideHierarchicalReference	Packages.com.glide.glideobject.HierarchicalReference
GlideHistorySet	Packages.com.glide.audit.HistorySet
GlideHistoryTag2	Packages.com.glide.ui.jelly.tags.mergedata.HistoryTag2
GlideHostUtil	Packages.com.glide.util.HostUtil
GlideHTTPClient	https://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpag
GlideHTTPRequest	Packages.com.glide.communications.HTTPRequest
GlideHTTPResponse	Packages.com.glide.communications.HTTPResponse
GlideI18NStyle	Packages.com.glide.ui.I18NStyle
GlideICALUtil	Packages.com.glide.policy.ICALUtil
GlideIConstants	Packages.com.glide.util.IConstants
GlideIGlideRecord	Packages.com.glide.util.IGlideRecord
GlideImageLoader	Packages.com.glide.script.ImageLoader
GlideImpersonate	Packages.com.glide.sys.Impersonate
GlideImportLog	Packages.com.glide.db.impex.ImportLog
GlideImportMap	Packages.com.glide.db.impex.ImportMap
GlideImportMapField	Packages.com.glide.db.impex.ImportMapField
GlideImportSet	Packages.com.glide.system_import_set.ImportSet
GlideImportSetLoader	Packages.com.glide.system_import_set.ImportSetLoader

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideImportSetRun	Packages.com.glide.system_import_set.ImportSetRun
GlideImportSetTransformer	Packages.com.glide.system_import_set.ImportSetTransforme
GlideImportSetTransformerWorker	Packages.com.glide.system_import_set.ImportSetTransforme
GlideIndexDescriptor	Packages.com.glide.db.IndexDescriptor
GlideIndexUtils	Packages.com.glide.db.IndexUtils
GlideIntegerTime	Packages.com.glide.glideobject.IntegerTime
GlideInternalElementTypeChoiceList	Packages.com.glide.script.InternalElementTypeChoiceList
GlideInternalMonitor	Packages.com.glide.ui.monitor.InternalMonitor
GlideIOMonitor	Packages.com.glide.ui.monitor.IOMonitor
GlideIOStats	Packages.com.glide.db.IOStats
GlideIPAddressUtil	Packages.com.glide.util.IPAddressUtil
GlideIQueryCondition	Packages.com.glide.util.IQueryCondition
GlideIRow	Packages.com.glide.db.meta.IRow
GlideIRQuerySummary	Packages.com.glide.db.ir.IRQuerySummary
GlideIRQuerySummarySimple	Packages.com.glide.db.ir.IRQuerySummarySimple
GlideISecurityManager	Packages.com.glide.sys.security.ISecurityManager
GlideITableIterator	Packages.com.glide.db.access.ITableIterator
GlideJDBCLoader	Packages.com.glide.db.impex.JDBCLoader
GlideJDBCProbeTestWorker	Packages.com.glide.db.impex.JDBCProbeTestWorker
GlideJellyContext	Packages.com.glide.ui.jelly.GlideJellyContext
GlideJellyRunner	Packages.com.glide.ui.jelly.JellyRunner
GlideJID	Packages.com.glide.xmpp.JID
GlideJSTestUtil	Packages.com.glide.autotester.JSTestUtil
GlideJSUtil	Packages.com.glide.script.JSUtil
GlideLabelEventHandler	Packages.com.glide.labels.LabelEventHandler
GlideLabelGenerator	Packages.com.glide.db.LabelGenerator
GlideLabelUtil	Packages.com.glide.labels.LabelUtil
GlideLDAP	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAP
GlideLDAPConfig	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPConfig
GlideLDAPConfigurations	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPConfigurations
GlideLDAPErrorAnalyzer	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPErrorAnalyzer
GlideLDAPGroups	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPGroups
GlideLDAPRefresh	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPRefresh
GlideLDAPResult	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPResult

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideLDAPTarget	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPTarget
GlideLDAPTransformQueue	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPTransformQueue
GlideLDAPUsers	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPUsers
GlideLDAPUserUpdate	Packages.com.glide.sys.ldap.LDAPUserUpdate
GlideList	Packages.com.glide.glideobject.GlideList
GlideListGroupProperties	Packages.com.glide.list_v2.ListGroupProperties
GlideListLabel	Packages.com.glide.ui.ListLabel
GlideListM2MBacking	Packages.com.glide.glideobject.GlideListM2MBacking
GlideListProperties	Packages.com.glide.list_v2.ListProperties
GlideListSearchQuery	Packages.com.glide.ui.ListSearchQuery
GlideLoader	Packages.com.glide.db.impex.Loader
GlideLoadTestDirector	Packages.com.glide.load_test.LoadTestDirector
GlideLocale	Packages.com.glide.sys.GlideLocale
GlideLocaleLoader	Packages.com.glide.currency.LocaleLoader
GlideLock	Packages.com.glide.script.Lock
GlideLog	Packages.com.glide.util.Log
GlideLogCleanup	Packages.com.glide.util.LogCleanup
GlideLogFileReader	Packages.com.glide.log_file.LogFileReader
GlideLRUCache	Packages.com.glide.sys.cache.LRUCache
GlideLuceneTextIndexEvent	Packages.com.glide.lucene.TextIndexEvent
GlideMarkupWriter	Packages.com.glide.util.MarkupWriter
GlideMemoryActive	Packages.com.glide.ui.monitor.MemoryActive
GlideMemoryCache	Packages.com.glide.ui.monitor.MemoryCache
GlideMemoryRecord	Packages.com.glide.script.GlideMemoryRecord
GlideMemorySwap	Packages.com.glide.ui.monitor.MemorySwap
GlideMemoryTable	Packages.com.glide.util.MemoryTable
GlideMemoryTotal	Packages.com.glide.ui.monitor.MemoryTotal
GlideMetaData	Packages.com.glide.script.MetaData
GlideMIDServerInfoAccessor	Packages.com.glide.script.MIDServerInfoAccessor
GlideMobileExtensions	Packages.com.glide.ui.MobileExtensions
GlideModule	Packages.com.glide.sys.Module
GlideMultipleAction	Packages.com.glide.db.MultipleAction
GlideMultipleDelete	Packages.com.glide.db.MultipleDelete
GlideMultipleInsert	Packages.com.glide.db.MultipleInsert

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideMultipleUpdate	Packages.com.glide.db.MultipleUpdate
GlideMutex	Packages.com.glide.sys.lock.Mutex
GlideMySQLWatch	Packages.com.glide.sys.stats.MySQLWatch
GlideNumber	Packages.com.glide.script.glide_elements.GlideNumber
GlideNumberManager	Packages.com.glide.db.NumberManager
GlideObjectManager	Packages.com.glide.glideobject.GlideObjectManager
GlideObjectUtil	Packages.com.glide.util.ObjectUtil
GlideOrderingDefinitionCreator	Packages.com.glide.sorting.OrderingDefinitionCreator
GlideOrderingManager	Packages.com.glide.sorting.OrderingManager
GlideOutputWriter	Packages.com.glide.ui.io.GlideOutputWriter
GlideOutputWriterFactory	Packages.com.glide.ui.io.GlideOutputWriterFactory
GlideOverLoadedChoices	Packages.com.glide.script.OverLoadedChoices
GlidePartitionMonitor	Packages.com.glide.ui.monitor.PartitionMonitor
GlidePivotTableSummaryTableWriter	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.PivotTableSummaryTa
GlidePlugin	Packages.com.glide.sys.Plugin
GlidePluginManager	Packages.com.glide.sys.PluginManager
GlidePluginManagerWorker	Packages.com.glide.sys.PluginManagerWorker
GlidePluginUtils	Packages.com.glide.sys.PluginUtils
GlidePOP3Reader	Packages.com.glide.notification.inbound.POP3Reader
GlidePOP3ReaderJob	Packages.com.glide.job.POP3ReaderJob
GlidePopup	Packages.com.glide.ui.Popup
GlidePriceGenerator	Packages.com.glide.currency.PriceGenerator
GlidePriceLoader	Packages.com.glide.currency.PriceLoader
GlideProcessor	Packages.com.glide.processors.Processor
GlideProcessRunner	Packages.com.glide.util.ProcessRunner
GlideProgressMonitor	Packages.com.glide.worker.ProgressMonitor
GlideProgressWorker	Packages.com.glide.worker.ProgressWorker
GlideProperties	Packages.com.glide.util.GlideProperties
GlidePropertiesDB	Packages.com.glide.util.GlidePropertiesDB
GlideProperty	Packages.com.glide.util.GlideProperty
GlidePublicPage	Packages.com.glide.ui.PublicPage
GlideQueryBreadcrumbs	Packages.com.glide.misc.QueryBreadcrumbs
GlideQueryCondition	Packages.com.glide.db.conditions.QueryCondition
GlideQueryFormatter	Packages.com.glide.ui.jelly.tags.form.QueryFormatter

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideQueryString	Packages.com.glide.db.QueryString
GlideQueryTerm	Packages.com.glide.db.QueryTerm
GlideRecord	Packages.com.glide.script.GlideRecord
GlideRecordCache	Packages.com.glide.sys.RecordCache
GlideRecordEnsurer	Packages.com.glide.misc.RecordEnsurer
GlideRecordFactory	Packages.com.glide.script.GlideRecordFactory
GlideRecordKeySetLoader	Packages.com.glide.script.GlideRecordKeySetLoader
GlideRecordLock	Packages.com.glide.script.RecordLock
GlideRecordPopupGenerator	Packages.com.glide.calendar.RecordPopupGenerator
GlideRecordRollback	Packages.com.glide.script.GlideRecordRollback
GlideRecordSet	Packages.com.glide.script.GlideRecordSet
GlideRecordSimpleSerializer	Packages.com.glide.script.GlideRecordSimpleSerializer
GlideRecordXMLSerializer	Packages.com.glide.script.GlideRecordXMLSerializer
GlideReferenceField	Packages.com.glide.script.ReferenceField
GlideRegexUtil	Packages.com.glide.util.RegexUtil
GlideRegisterEscalationEvents	Packages.com.glide.fixes.RegisterEscalationEvents
GlideRelatedListReconciler	Packages.com.glide.misc.RelatedListReconciler
GlideRelationship	Packages.com.glide.sys.Relationship
GlideRelationships	Packages.com.glide.db.Relationships
GlideRelationshipUtil	Packages.com.glide.sys.RelationshipUtil
GlideRemoteGlideRecord	Packages.com.glide.communications.RemoteGlideRecord
GlideRenderProperties	Packages.com.glide.ui.RenderProperties
GlideReplaceUpdateFiles	Packages.com.glide.util.ReplaceUpdateFiles
GlideReplicationEngine	Packages.com.glide.replicator.ReplicationEngine
GlideReport	Packages.com.glide.report.Report
GlideReportChoiceList	Packages.com.glide.script.ReportChoiceList
GlideReportViewManagement	Packages.com.glide.report.ReportViewManagement
GlideRequestMap	Packages.com.glide.util.RequestMap
GlideRevertToOutOfBox	Packages.com.glide.update.RevertToOutOfBox
GlideRhinoEnvironment	Packages.com.glide.script.GlideRhinoEnvironment
GlideRhinoHelper	Packages.com.glide.script.GlideRhinoHelper
GlideRhinoScope	Packages.com.glide.script.RhinoScope
GlideRhinoScopeHandler	Packages.com.glide.script.GlideRhinoScopeHandler
GlideRhinoTestCase	Packages.com.glide.autotester.RhinoTestCase

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideRRDBAlertProcessor	Packages.com.glide.rrdb.alerts.RRDBAlertProcessor
GlideRRDBDefinition	Packages.com.glide.rrdb.RRDBDefinition
GlideRunScriptJob	Packages.com.glide.job.RunScriptJob
GlideSchedule	• Packages.com.glide.schedules.Schedule • Packages.java.util.TimeZone
GlideScheduleDateTime	Packages.com.glide.glideobject.ScheduleDateTime
GlideScheduleDateTimeSpan	Packages.com.glide.schedules.ScheduleDateTimeSpan
GlideScheduleItem	Packages.com.glide.schedules.ScheduleItem
GlideScheduler	Packages.com.glide.schedule.GlideScheduler
GlideScheduleTimeMap	Packages.com.glide.schedules.ScheduleTimeMap
GlideScheduleTimeSpan	Packages.com.glide.schedules.ScheduleTimeSpan
GlideScriptChoiceList	Packages.com.glide.script.ChoiceList
GlideScriptedProgressWorker	Packages.com.glide.worker.ScriptedProgressWorker
GlideScriptEvaluator	Packages.com.glide.script.ScriptEvaluator
GlideScriptGlobals	Packages.com.glide.script.GlideScriptGlobals
GlideScriptListener	Packages.com.glide.listener.ScriptListener
GlideScriptProcessor	Packages.com.glide.processors.ScriptProcessor
GlideScriptRecordUtil	Packages.com.glide.script.GlideRecordUtil
GlideScriptSystemUtilDB	Packages.com.glide.script.GlideSystemUtilDB
GlideScriptViewManager	Packages.com.glide.ui.ViewManager
GlideScriptWriter	Packages.com.glide.script.ScriptWriter
GlideSearchQueryFormatter	Packages.com.glide.text_search.SearchQueryFormatter
GlideSecondaryDatabaseBehindnessChecker	Packages.com.glide.secondary_db_pools.SecondaryDatab
GlideSecondaryDatabaseConfiguration	Packages.com.glide.secondary_db_pools.SecondaryDatab
GlideSecurityManager	Packages.com.glide.sys.security.GlideSecurityManager
GlideSecurityQueryCalculator	Packages.com.glide.sys.security.SecurityQueryCalculator
GlideSecurityUtils	Packages.com.glide.util.SecurityUtils
GlideSelfCleaningMutex	Packages.com.glide.sys.lock.SelfCleaningMutex
GlideServiceAPIWrapper	Packages.com.glide.service_api.ServiceAPIWrapper
GlideServlet	Packages.com.glide.ui.GlideServlet
GlideServletRequest	Packages.com.glide.ui.GlideServletRequest
GlideServletResponse	Packages.com.glide.ui.GlideServletResponse
GlideServletStatus	Packages.com.glide.ui.ServletStatus

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideSession	Packages.com.glide.sys.GlideSession
GlideSessionDebug	Packages.com.glide.sys.SessionDebug
GlideSessions	Packages.com.glide.ui.Sessions
GlideSessionSandbox	Packages.com.glide.script.GlideSessionSandbox
GlideShellCommand	Packages.com.glide.util.ShellCommand
GlideSimmerDown	Packages.com.glide.db.change.command.SimmerDown
GlideSimmerUp	Packages.com.glide.db.change.command.SimmerUp
GlideSimpleDateFormatEx	• Packages.com.glide.util.SimpleDateFormatEx • Packages.com.glide.util.SimpleDateFormat 注: Packages.com.glide.util.SimpleDateFormatEx パック は、Packages.com.glide.util.SimpleDateFormat パッケー す。
GlideSimpleHTTPClient	Packages.com.glide.communications.SimpleHTTPClient
GlideSimpleScriptListener	Packages.com.glide.listener.SimpleScriptListener
GlideSMTPConnection	Packages.com.glide.notification.outbound.SMTPConnection
GlideSMTPSender	Packages.com.glide.notification.outbound.SMTPSender
GlideSMTPSenderJob	Packages.com.glide.job.SMTPSenderJob
GlideSOAPDocument	Packages.com.glide.communications.soap.SOAPDocumen
GlideSOAPRequest	Packages.com.glide.communications.soap.SOAPRequest
GlideSOAPResponse	Packages.com.glide.communications.soap.SOAPResponse
GlideSOAPSecurity	Packages.com.glide.processors.soap.SOAPSecurity
GlideSOAPSigner	Packages.com.glide.communications.soap.SOAPSigner
GlideSocket	Packages.com.glide.script.proxy.Socket
GlidesoftGlideAttributesImpl	Packages.com.glidesoft.util.xml.GlideAttributesImpl
GlidesoftXMLMemoryTable	Packages.com.glidesoft.util.xml.XMLMemoryTable
GlideSQLChildMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLChildMonitor
GlideSQLDebug	Packages.com.glide.ui.diagnostics.SQLDebug
GlideSQLDeleteMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLDeleteMonitor
GlideSQLInsertMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLInsertMonitor
GlideSQLResponseMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLResponseMonitor
GlideSQLSelectMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLSelectMonitor
GlideSQLUpdateMonitor	Packages.com.glide.monitor.sql.SQLUpdateMonitor
GlideSSHClient	Packages.com.glide.communications.SSHClient
GlideStack	Packages.com.glide.sys.GlideStack

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideStatistician	Packages.com.glide.sys.stats.Statistician
GlideStatsInfo	Packages.com.glide.monitor.StatsInfo
GlideStatus	Packages.com.glide.util.GlideStatus
GlideStopWatch	Packages.com.glide.util.StopWatch
GlideStorageUtils	Packages.com.glide.db.meta.StorageUtils
GlideStringCache	Packages.com.glide.sys.cache.StringCache
GlideStringInputStream	Packages.com.glide.util.StringInputStream
GlideStringList	Packages.com.glide.collections.StringList
GlideStringUtil	Packages.com.glide.util.StringUtil
GlideSubQuery	Packages.com.glide.db.conditions.SubQuery
GlideSubstituteURL	Packages.com.glide.notification.substitution.SubstituteURL
GlideSummaryTableGroupReader	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.SummaryTableGroupR
GlideSummaryTableOrderedReader	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.SummaryTableOrdere
GlideSummaryTableReader	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.SummaryTableReader
GlideSummaryTableWriter	Packages.com.glide.ui.chart.dataset.SummaryTableWriter
GlideSynchronizedLRUCache	Packages.com.glide.sys.cache.SynchronizedLRUCache
GlideSysAttachment	Packages.com.glide.ui.SysAttachment
GlideSysAttachmentInputStream	Packages.com.glide.ui.SysAttachmentInputStream
GlideSysBRThreadMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysBRThreadMonitor
GlideSysChoice	Packages.com.glide.script.SysChoice
GlideSysConcurrencyMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysConcurrencyMonito
GlideSysCPUThreadMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysCPUThreadMonitor
GlideSysDateUtil	Packages.com.glide.sys.util.SysDateUtil
GlideSysDBThreadMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysDBThreadMonitor
GlideSysField	Packages.com.glide.db.SysField
GlideSysFileUtil	Packages.com.glide.sys.util.SysFileUtil
GlideSysForm	Packages.com.glide.ui.SysForm
GlideSysForms	Packages.com.glide.ui.SysForms
GlideSysList	Packages.com.glide.ui.SysList
GlideSysListControl	Packages.com.glide.ui.SysListControl
GlideSysLog	Packages.com.glide.sys.SysLog
GlideSYSMany2Many	Packages.com.glide.db.SYSMany2Many
GlideSysMessage	Packages.com.glide.ui.SysMessage
GlideSysNetThreadMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysNetThreadMonitor

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideSysRelatedList	Packages.com.glide.ui.SysRelatedList
GlideSysSection	Packages.com.glide.ui.SysSection
GlideSysSemaphore	Packages.com.glide.sys.util.SysSemaphore
GlideSystem	Packages.com.glide.script.GlideSystem
GlideSystemDateUtil	Packages.com.glide.script.system.GlideSystemDateUtil
GlideSystemUtil	Packages.com.glide.util.SystemUtil
GlideSystemUtilDB	Packages.com.glide.script.system.GlideSystemUtilDB
GlideSystemUtilScript	Packages.com.glide.script.system.GlideSystemUtilScript
GlideSysThreadMonitor	Packages.com.glide.monitor.threads.SysThreadMonitor
GlideSysUserList	Packages.com.glide.ui.SysUserList
GlideTable	Packages.com.glide.db.meta.Table
GlideTableChoiceList	Packages.com.glide.script.TableChoiceList
GlideTableCleaner	Packages.com.glide.misc.TableCleaner
GlideTableCleanerJob	Packages.com.glide.job.TableCleanerJob
GlideTableCreator	Packages.com.glide.db.impex.TableCreator
GlideTableDescriptor	Packages.com.glide.db.TableDescriptor
GlideTableGroupMover	Packages.com.glide.db.auxiliary.TableGroupMover
GlideTableManager	Packages.com.glide.db.TableManager
GlideTableMover	Packages.com.glide.db.auxiliary.TableMover
GlideTableParentChange	Packages.com.glide.db.table.TableParentChange
GlideTableParentColumnChange	Packages.com.glide.db.table.TableParentColumnChange
GlideTaskToken	Packages.com.glide.execution_plan.TaskToken
GlideTemplate	Packages.com.glide.script.Template
GlideTestAgent	Packages.com.glide.autotester.GlideTestAgent
GlideTextIndexEvent	Packages.com.glide.ts.event.TextIndexEvent
GlideThreadAttributes	Packages.com.glide.ui.GlideThreadAttributes
GlideThreadUtil	Packages.com.glide.util.ThreadUtil
GlideTime	Packages.com.glide.glideobject.GlideTime
GlideTimelineFrameSeparator	Packages.com.glide.schedules.TimelineFrameSeparator
GlideTimelineItem	Packages.com.glide.schedules.TimelineItem
GlideTimelineSpan	Packages.com.glide.schedules.TimelineSpan
GlideTomcatHelper	Packages.com.glide.startup.TomcatHelper
GlideTransaction	Packages.com.glide.sys.Transaction
GlideTransactionManager	Packages.com.glide.sys.TransactionManager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideTransferAuditDataHelper	Packages.com.glide.audit.TransferAuditDataHelper
GlideTransformer	Packages.com.glide.db.impex.transformer.Transformer
GlideTreePicker	Packages.com.glide.ui.TreePicker
GlideTSAnalysisViewer	Packages.com.glide.ts.cluster.TSAnalysisViewer
GlideTSAnalyticsProcessor	Packages.com.glide.ts.cluster.TSAnalyticsProcessor
GlideTSChainsHandler	Packages.com.glide.ts.trends.TSChainsHandler
GlideTSChainsLoader	Packages.com.glide.ts.trends.TSChainsLoader
GlideTSChainsPusher	Packages.com.glide.ts.trends.TSChainsPusher
GlideTSChainsSummarizer	Packages.com.glide.ts.trends.TSChainsSummarizer
GlideTSClusterDefinitions	Packages.com.glide.ts.cluster.TSClusterDefinitions
GlideTSDebug	Packages.com.glide.ts.util.TSDebug
GlideTSDidYouMean	Packages.com.glide.ts.util.TSDidYouMean
GlideTSGlobalKeywordSummarizer	Packages.com.glide.ts.trends.TSGlobalKeywordSummarizer
GlideTSIndexStatistician	Packages.com.glide.ts.stats.TSIndexStatistician
GlideTSIndexStopGenerator	Packages.com.glide.ts.stats.TSIndexStopGenerator
GlideTSIndexTables	Packages.com.glide.ts.indexer.TSIndexTables
GlideTSKeywordHandler	Packages.com.glide.ts.trends.TSKeywordHandler
GlideTSKeywordLoader	Packages.com.glide.ts.trends.TSKeywordLoader
GlideTSKeywordPusher	Packages.com.glide.ts.trends.TSKeywordPusher
GlideTSMoversViewer	Packages.com.glide.ts.cluster.TSMoversViewer
GlideTSSearchStatistician	Packages.com.glide.ts.stats.TSSearchStatistician
GlideTSSearchSummary	Packages.com.glide.ts.trends.TSSearchSummary
GlideTSTopSearches	Packages.com.glide.ts.util.TSTopSearches
GlideTSUtil	Packages.com.glide.ts.util.TSUtil
GlideTSVersion	Packages.com.glide.ts.TSVersion
GlideUIAction	Packages.com.glide.ui.action.UIAction
GlideUISession	Packages.com.glide.ui.Session
GlideUnloader	Packages.com.glide.db.impex.Unloader
GlideUpdateManager2	Packages.com.glide.update.UpdateManager2
GlideUpdateSet	Packages.com.glide.update.UpdateSet
GlideUpdateSetController	Packages.com.glide.system_update_set.UpdateSetControlle
GlideUpdateSetPreviewer	Packages.com.glide.update.UpdateSetPreviewer
GlideUpdateSetWorker	Packages.com.glide.update.UpdateSetWorker
GlideUpdateSyncher	Packages.com.glide.policy.UpdateSyncher

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
GlideUpdateTableChoiceList	Packages.com.glide.script.UpdateTableChoiceList
GlideUpgrade	Packages.com.glide.sys.Upgrade
GlideUpgradeArtifactManager	Packages.com.glide.misc.UpgradeArtifactManager
GlideUpgradeLog	Packages.com.glide.update.UpgradeLog
GlideUpgradeMonitor	Packages.com.glide.update.UpgradeMonitor
GlideURI	Packages.com.glide.ui.GlideURI
GlideURL	Packages.com.glide.util.GlideURL
GlideURLUTF8Encoder	Packages.com.glide.util.URLUTF8Encoder
GlideURLUtil	Packages.com.glide.util.URLUtil
GlideUser	Packages.com.glide.sys.User
GlideUserAuthenticator	Packages.com.glide.sys.UserAuthenticator
GlideUserGroup	Packages.com.glide.sys.UserGroup
GlideUtil	Packages.com.glide.util.GlideUtil
GlideViewRuleNavigator	Packages.com.glide.ui.ViewRuleNavigator
GlideWarDeleter	Packages.com.glide.misc.WarDeleter
GlideWarDownloader	Packages.com.glide.misc.WarDownloader
GlideWhiteListManager	Packages.com.glide.script.api.GlideWhiteListManager
GlideWikiModel	Packages.com.glide.wiki.GlideWikiModel
GlideWorkerThread	Packages.com.glide.worker.WorkerThread
GlideWorkerThreadManager	Packages.com.glide.sys.WorkerThreadManager
GlideWSClient	Packages.com.glide.util.WSClient
GlideWSDefinition	Packages.com.glide.wsdlreader.WSDefinition
GlideWSDLReader	Packages.com.glide.wsdlreader.GlideWSDLReader
GlideXMLChoiceListSerializer	Packages.com.glide.choice.XMLChoiceListSerializer
GlideXMLDocument	Packages.com.glide.util.XMLDocument
GlideXMLElementIterator	Packages.com.glide.util.XMLElementIterator
GlideXMLGlideRecordSerializer	Packages.com.glide.processors.xmlhttp.XMLGlideRecordSer
GlideXMLParameters	Packages.com.glide.util.XMLParameters
GlideXMLStats	Packages.com.glide.ui.XMLStats
GlideXMLSysMetaSerializer	Packages.com.glide.processors.xmlhttp.XMLSysMetaSerialize
GlideXMLUtil	Packages.com.glide.util.XMLUtil
GlideZipUtil	Packages.com.glide.util.ZipUtil
RhinoEnvironment	Packages.com.glide.script.RhinoEnvironment
RhinoHelper	Packages.com.glide.script.RhinoHelper

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
SecurelyAccess	Packages.com.glide.sys.util.SecurelyAccess
ServiceAPI	Packages.com.glide.service_api.ServiceAPI
SncAddress32Bit	Packages.com.snc.commons.networks.Address32Bit
SncAliasApplier	Packages.com.snc.field_normalization.AliasApplier
SncAppFiles	Packages.com.snc.apps.api.AppFiles
SncApplicationFileListener	Packages.com.snc.apps.db.ApplicationFileListener
SncAppsAccess	Packages.com.snc.apps.api.AppsAccess
SncAppsUI	Packages.com.snc.apps.api.AppsUI
SncASensor	Packages.com.snc.discovery.sensor.ASensor
SncAuthentication	Packages.com.snc.authentication.digest.Authentication
SncBaselineCMDB	Packages.com.snc.cmdb.BaselineCMDB
SncBulkCopy	Packages.com.snc.ha.clone.BulkCopy
SncClassifiedProcess	Packages.com.snc.discovery.sensor.ClassifiedProcess
SncClassify	Packages.com.snc.discovery.sensor.snmp.Classify
SncCloneController	Packages.com.snc.ha.clone.CloneController
SncCloneInstance	Packages.com.snc.ha.clone.instance.Instance
SncCloneLogger	Packages.com.snc.ha.clone.CloneLogger
SncCloneTask	Packages.com.snc.ha.clone.CloneTask
SncCloneUtils	Packages.com.snc.ha.clone.CloneUtils
SncConfiguration	Packages.com.snc.field_normalization.db.Configuration
SncConfigurations	Packages.com.snc.field_normalization.Configurations
SncConnectionTest	Packages.com.snc.ha.connectivity.ConnectionTest
SncDBChangeManagerFactoryHA	Packages.com.snc.db.clone.change.DBChangeManagerF
SncDeviceHistory	Packages.com.snc.discovery.logging.DeviceHistory
SncDiscoveryCancel	Packages.com.snc.discovery.DiscoveryCancel
SncDiscoveryClassification	Packages.com.snc.discovery.DiscoveryClassification
SncDiscoveryLog	Packages.com.snc.discovery.logging.DiscoveryLog
SncDiscoveryRanges	Packages.com.snc.commons.networks.DiscoveryRanges
SncDiscoveryRangesDB	Packages.com.snc.discovery.DiscoveryRangesDB
SncDiscoveryReconciler	Packages.com.snc.discovery.database.DiscoveryReconcile
SncDiscoverySNMPClassification	Packages.com.snc.discovery.sensor.snmp.DiscoverySNMPCl
SncDiscoveryUtils	Packages.com.snc.discovery.DiscoveryUtils
SncDropBackupTablesTask	Packages.com.snc.ha.clone.instance.DropBackupTablesTas
SncDropTablesTask	Packages.com.snc.ha.clone.DropTablesTask

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
SncEC2Properties	Packages.com.snc.ec2.EC2Properties
SncECMDBUtil	Packages.com.snc.cmdb.ECMDBUtil
SncElrondClient	Packages.com.snc.customer_logon.ElrondClient
SncExpert	Packages.com.snc.expert.Expert
SncExpertInstance	Packages.com.snc.expert.ExpertInstance
SncExpertPanel	Packages.com.snc.expert.ExpertPanel
SncExtantDataJob	Packages.com.snc.field_normalization.db.ExtantDataJob
SncExtantDataJobState	Packages.com.snc.field_normalization.ExtantDataJobState
SncFailoverController	Packages.com.snc.da.gateway.replication.FailoverControlle
SncFileTree	Packages.com.snc.apps.file.FileTree
SncGatewayCache	Packages.com.snc.da.gateway.GatewayCache
SncGatewayClone	Packages.com.snc.da.gateway.clone.GatewayClone
SncGatewayConnectivity	Packages.com.snc.da.gateway.GatewayConnectivity
SncGatewayPluginStartup	Packages.com.snc.da.gateway.replication.GatewayPluginS
SncGatewayTruncateHierarchy	Packages.com.snc.da.gateway.clone.GatewayTruncateHie
SncGlideGateways	Packages.com.snc.da.gateway.GlideGateways
SncHAClone	Packages.com.snc.ha.clone.HAClone
SncHAConnectionTest	Packages.com.snc.ha.connectivity.HAConnectionTest
SncHADatabaseCheck	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HADatabaseCheck
SncHAPairingUtils	Packages.com.snc.ha.HAPairingUtils
SncHAReplicationController	Packages.com.snc.ha.HAReplicationController
SncHAReplicationQueueSnapshotBuilder	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HAReplicationQueueSna
SncHATableCheck	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HATableCheck
SncHATableCheckThread	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HATableCheckThread
SncHATableQuickCheck	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HATableQuickCheck
SncHATableRepair	Packages.com.snc.ha.tablecheck.HATableRepair
SncHAUtils	Packages.com.snc.ha.HAUtils
SncHostname	Packages.com.snc.discovery.utils.Hostname
SncInstanceClone	Packages.com.snc.ha.clone.instance.InstanceClone
SncInstanceConnectionTest	Packages.com.snc.ha.connectivity.InstanceConnectionTest
SncInstanceRollback	Packages.com.snc.ha.clone.instance.InstanceRollback
SncIPAddressV4	Packages.com.snc.commons.networks.IPAddressV4
SncIPAddressV6	Packages.com.snc.commons.networks.IPAddressV6
SncIPAuthenticator	Packages.com.snc.ipauthenticator.IPAuthenticator

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
SncIPIterator	Packages.com.snc.commons.networks.IPIterator
SncIPList	Packages.com.snc.commons.networks.IPList
SncIPMetaCollection	Packages.com.snc.commons.networks.IPMetaCollection
SncIPNetmaskV4	Packages.com.snc.commons.networks.IPNetmaskV4
SncIPNetworkV4	Packages.com.snc.commons.networks.IPNetworkV4
SncIPRangeV4	Packages.com.snc.commons.networks.IPRangeV4
SncJRobinGraphDef	Packages.com.snc.jrobin.JRobinGraphDef
SncLayer7Connections	Packages.com.snc.discovery.Layer7Connections
SncMACAddress	Packages.com.snc.commons.networks.MACAddress
SncMACAddressMfr	Packages.com.snc.commons.networks.MACAddressMfr
SncMakeAndModel	Packages.com.snc.cmdb.MakeAndModel
SncMIDConfigParameter	Packages.com.snc.commons.MIDConfigParameter
SncMIDServerRangesDB	Packages.com.snc.discovery.MIDServerRangesDB
SncNormalCoalescer	Packages.com.snc.field_normalization.NormalCoalescer
SncNormalizer	Packages.com.snc.field_normalization.Normalizer
SncNormalValueChanger	Packages.com.snc.field_normalization.NormalValueChange
SncNotifySNC	Packages.com.snc.system.NotifySNC
SncOnCallRotation	Packages.com.snc.on_call_rotation.OnCallRotation
SncPendingValueCollector	Packages.com.snc.field_normalization.PendingValueCollec
SncPreferences	Packages.com.snc.field_normalization.Preferences
SncPrintServerHelper	Packages.com.snc.discovery.database.PrintServerHelper
SncProbe	Packages.com.snc.discovery.Probe
SncProbeRunTime	Packages.com.snc.discovery.perfmon.ProbeRunTime
SncRBSensorProcessor	Packages.com.snc.discovery_automation.RBSensorProcesso
SncReadTest	Packages.com.snc.ha.ReadTest
SncReclassifyCI	Packages.com.snc.cmdb.ReclassifyCI
SncRelationships	Packages.com.snc.cmdb.Relationships
SncReplicationAdvisor	Packages.com.snc.db.replicate.ReplicationAdvisor
SncReplicationEngine	Packages.com.snc.db.replicate.ReplicationEngine
SncReplicationQueue	Packages.com.snc.db.replicate.ReplicationQueue
SncRequestCredentials	Packages.com.snc.customer_logon.RequestCredentials
SncRrdGlideBackendFactory	Packages.com.snc.jrobin.RrdGlideBackendFactory
SncRuleApplier	Packages.com.snc.field_normalization.RuleApplier
SncRuleToPending	Packages.com.snc.field_normalization.RuleToPending

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScriptable オブジェクト置換リスト (続く)

GlideScriptable クラス	パッケージコール
SncSAMCounter	Packages.com.snc.software_asset_management.SAMCoun
SncScheduleDropBackupTablesTask	Packages.com.snc.ha.clone.instance.ScheduleDropBackup
SncScrapeIANAEnterpriseNumbers	Packages.com.snc.discovery.database.ScrapeIANAEnterpri
SncScrapeIEEENICCodes	Packages.com.snc.discovery.database.ScrapeIEEENICCode
SncSendNotificationTask	Packages.com.snc.ha.clone.instance.SendNotificationTask
SncSensorProcessor	Packages.com.snc.discovery.SensorProcessor
SncSerialNumber	Packages.com.snc.discovery.SerialNumber
SncSerialNumberList	Packages.com.snc.discovery.SerialNumberList
SncSessionMate	Packages.com.snc.discovery.SessionMate
SncSimmerControl	Packages.com.snc.ha.clone.instance.SimmerControl
SncTableEditor	Packages.com.snc.apps.api.TableEditor
SncTableRotation	Packages.com.snc.db.replicate.TableRotation
SncTableRotationExtension	Packages.com.snc.db.replicate.TableRotationExtension
SncTableRotationExtensions	Packages.com.snc.db.replicate.TableRotationExtensions
SncTableRotationWatcher	Packages.com.snc.db.replicate.TableRotationWatcher
SncTransformApplier	Packages.com.snc.field_normalization.TransformApplier
SncTreeBuilder	Packages.com.snc.apps.tree.TreeBuilder
SncTriggerSynchronizer	Packages.com.snc.automation.TriggerSynchronizer
SncValue	Packages.com.snc.field_normalization.db.Value
TestExtension	Packages.com.glide.junit.misc.TestExtension
UINotification	Packages.com.glide.ui.UINotification

パッケージコール削除ツールのエラータイプ

パッケージコール削除ツールによって生成される可能性のあるエラータイプを次に示します。

エラータイプ

エラーメッセージ	説明	ソリューション
クラス名を解析できませんでした	スクリプトの行にパッケージコールのような記述 (`Packages.com.glide` を含む行など) が含まれていますが、調べたところ、スクリプト可能オブジェクト名に対応するクラス名を解析するためのテキストが不十分です。	通常、このエラータイプは問題になりませんが、何らの理由でパーサーが解析できない有効なクラスをスクプトが参照している場合は、エラーとしてフラグが付られます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラータイプ (続く)

エラーメッセージ	説明	ソリューション
クラスが存在しません	スクリプトの行に、存在しない Java クラスへの識別可能なパッケージコールがあります。これは、誤って入力されたか、Java クラスが存在しなくなったことが原因である可能性があります。いずれの場合も、スクリプトの行は現在何も実行しておらず、実行されると常にエラーが生成される可能性があります。	このエラータイプは通常、作成者が意図したことをが ては実行していたとしても、現在は実行していない リプトを示します。元のスクリプトを再確認し、無効 パッケージコールを削除する必要があります。
クラスがスクリプト可能クラスではありません	スクリプトの行に、現在スクリプト可能とマークされていない既存の ServiceNow Java クラスへの識別可能なパッケージコールがあります。現在、対応するスクリプト可能な名前がないため、コールを置き換えることはできません。	このスクリプトを変換するには、Java クラスを使用 ないようにスクリプトを書き換えるか、ServiceNow Inc., がクラスにスクリプト可能な名前を提供するま 待ちます。
クラスにスクリプト可能な名前がありません	スクリプトの行に、現在スクリプト可能な名前のない既存の ServiceNow Java クラスへの識別可能なパッケージコールがあります。	このエラーは「クラスがスクリプト可能クラスでは ありません」エラーよりも発生する可能性は低いです が、そのエラーと同様、このスクリプトを変換するに は、Java クラスを使用しないようにスクリプトを書 換えるか、ServiceNow, Inc., がクラスにスクリプト 能な名前を提供するまで待ちます。
アサインされる変数名がスクリプト可能な名前と競合しています	変数名がスクリプト可能な名前と同じです。たとえば、変数名 `GlideSession` が GlideSession Java クラスのスクリプト可能な名前と同じであるため、`var GlideSession = Packages.com.glide.sys.GlideSession.get();` でこのエラーが生成されます。	このスクリプトを変換するには、その変数名をスクリプト内のすべての出現箇所で変更する必要があります。この例では、該当行を `var gsession = Packages.com.glide.sys.GlideSession.get` に変更して、競合を解消できます。また、スクリプトで使用されている他のすべての場所でも、必ず変数名 変更します。
内部エラー - 置	ツールで、パッケージコールの置換を現在評価しているスクリプトテキストを見つけることができません。	このエラータイプが発生することはほとんどありません。発生した場合は、コードを調べてエラーを修正します。それでもエラーメッセージが表示される場合は、 クニカルサポートでインシデントを開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラータイプ (続く)

エラーメッセージ	説明	ソリューション
換する文字列が見つかりません		

Web サービス

HTTP ベースの Web サービスにより、さまざまなアプリケーションが相互に通信できます。ServiceNow は受信 (プロバイダー) と送信 (コンシューマー) の両方の Web サービスをサポートしています。

受信 Web サービス

受信 Web サービスでは、クライアントアプリケーションを使用して ServiceNow データにアクセスして変更できます。

- REST API
- Scripted REST APIs
- GraphQL API フレームワークを使用したレコードデータのクエリ
- SOAP Web サービス
- JSONv2 Web サービス
- RSS Web サービス
- Scripted SOAP Web Services

送信 Web サービス

送信 Web サービスでは、SOAP および REST メッセージを外部 Web サービスプロバイダーに送信できます。

- 送信 SOAP Web Service
- 送信 REST Web サービス

受信 Web サービス

REST、SOAP、JSONv2、RSS などの各種 Web サービスを使用して、ServiceNow アプリケーションと統合できます。

SOAP Web サービス

Simple Object Access Protocol (SOAP) は、HTTP 経由で Web サービスにアクセスするための XML ベースのプロトコルです。

SOAP を使用してインスタンスのデータにアクセスできます。利用可能な SOAP Web サービスは、WS-I Basic Profile 1.0 で概説されているように、WS-I に準拠しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web サービスプロバイダー

ServiceNow は、次の Web サービスメソッドを使用して、基礎となるテーブル構造と関連データを公開します。

- ダイレクト Web サービス：URL クエリを使用してテーブルの WSDL を要求します。
- SOAP Web サービスインポートセット：インポートテーブルと変換マップを使用して、テーブルの Web サービス要求を自動化します。
- スクリプト化された SOAP Web サービス：カスタム JavaScript を使用して SOAP Web サービス要求を実行します。

注: SOAP メッセージは、受信者が XML に準拠していることを前提として送信されます。SOAP メッセージにエンコードは適用されません。SOAP は応答を常に UTF-8 としてデコードし、XML エンコーディングヘッダーは使用されません。

WSDL

すべてのテーブルとインポート セットは、そのテーブルスキーマと利用可能な操作を記述する Web サービス定義言語 (WSDL) XML ドキュメントを動的に生成します。

テーブルの WSDL を取得するには、テーブルの名前と **WSDL** パラメーターを含むインスタンスへの URL 呼び出しを発行します。例：

```
https://myinstance.service-now.com/incident.do?WSDL
```

動的に生成され、HTTP を介してアクセス可能なすべての ServiceNow WSDL は、Open Source Initiative OSI - Apache ライセンス、バージョン 2.0 のライセンス契約で定義された条件に基づいて使用できます。

長時間実行される SOAP 要求のサポート

Now Platform は、要求の処理中にネットワーク接続の滞留アクティビティによるソケットタイムアウトを防ぐことで、実行時間の長い SOAP 要求をサポートします。

この機能により、多数のレコードを要求するとき、集計クエリを実行するとき、またはソートが必要な order by 式を使用するときに、ODBC Driver の効率が向上します。

デフォルトでは、ServiceNow によって提供される ODBC Driver や MID Server などの Web サービスクライアントに対してタイムアウト保護が提供されます。システムプロパティを使用して、カスタム Web サービスにタイムアウト保護を追加できます。

タイムアウト保護

Web サービスクライアントは、307-Temporary Redirect を受信して長時間セッションを維持し、ソケットの滞留によるタイムアウトを防止します。ステータスコードをサポートする Web サービスクライアントは、307-Temporary Redirect により、HTTP 場所ヘッダーで指定された場所に最後の要求を繰り返します。場所ヘッダーの値は、Web サービスクライアントが最初に指定した URL と同じです。307-Temporary Redirect の使用は WS-I に準拠しています。

glide.soap.request_processing_timeout で指定されたタイムアウト制限を超えた Web サービス要求は、次の条件が「すべて」満たされた場合にのみ 307-Temporary Redirect を受信できます。

- *glide.soapprocessor.allow_long_running_threads* の値が true です。
- 要求に *redirectSupported=true* URL パラメーターが含まれています。
- 要求がセッション認識型です (HTTP cookie をサポートしています)。
- リダイレクトの数が *glide.soap.max_redirects* で設定された値を超えていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらの条件のいずれかが満たされない場合、Web サービスクライアントは 408 要求タイムアウトエラーを受け取ります。

注: アプリケーションで 408 要求タイムアウトではなくソケットタイムアウトが発生するようにするには、アプリケーションとインスタンス間の接続で有効な最短ソケットタイムアウト設定 (ホストされているインスタンスの場合は 300 秒) よりも大きい値に *glide.soap.request_processing_timeout* プロパティを設定します。

SOAP Web サービスのセキュリティ

インスタンスは、HTTP プロトコルを介した基本のチャレンジ/レスポンス認証と Contextual Security を使用したシステムレベルのアクセス制御リスト (ACL) との組み合わせを使用して、Web サービスセキュリティを強制します。管理者は、Web サービスユーザーに SOAP ロールの 1 つを付与することで、ユーザーがアクセスできるシステムリソースを制御できます。

SOAP ロール

SOAP Web サービスを使用するには、実行する操作に適したロールが必要です。また、ターゲットテーブルにアクセスするために必要な他のロールも必要です。

SOAP ロール

ロール	説明
soap	すべての SOAP 操作を実行できます。
soap_create	新規レコードを挿入できます。
soap_delete	既存のレコードを削除できます。
soap_ecc	キュー `[ecc_queue]` テーブルのレコードをクエリ、挿入、削除できます。
soap_query	レコード情報のクエリを実行できます。
soap_query_update	拡張クエリパラメーター
soap_script	.do エンドポイントを指定するスクリプトを実行できます。このロールは、スクリプト化された Web サービスを実行するために必要です。
soap_update	レコードを更新できます。
import_admin	インポートセットとインポートのあらゆる側面を管理できます。インポートセット行 [sys_import_set_row] テーブルへのアクセスに必要です。
import_transformer	インポートセットの変換マップを管理し、変換を実行できます。インポートセット行 [sys_import_set_row] テーブルへのアクセスに必要です。

デフォルトの Web サービスロールの要件

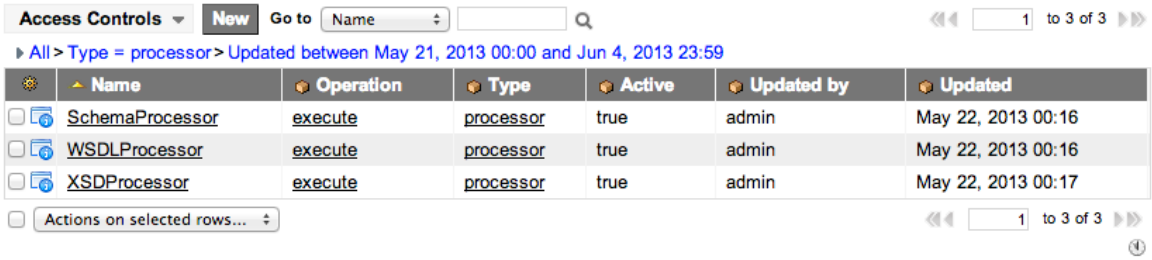
デフォルトでは、プロセッサーの一連の ACL ルールでは、WSDL、XSD、および XML スキーマ要求を行うために soap_query ロールが必要です。

これらのロール要件を変更する場合は、ACL ルールを無効にすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web サービスプロセッサーの ACL



基本認証

WSDL または SOAP メッセージ要求ごとにインスタンスに関連付けられたユーザーに対して基本認証を強制するために、管理者はプロパティ `glide.basicauth.required` を **true** に設定できます。

有効にすると、WSDL および SOAP の各要求には、基本認証 プロトコルで指定されているように「認証」ヘッダーを含める必要があります。

Web サービス要求は非インタラクティブであるため、要求の実行中は常に認証ヘッダーが必要になります。

注: 設定されている場合、基本認証はローカル資格情報または LDAP 認証を参照します。

(必要かどうかに関わらず) すべての要求で基本認証資格情報を提供すると、基本認証資格情報で提供されたユーザーを Web サービスの呼び出しに関連付けることができるというメリットがあります。たとえば、インシデントレコードの作成時、ジャーナルフィールドには、デフォルトのゲストユーザーではなく、基本認証ヘッダーに含まれるユーザー ID のリストが表示されます。

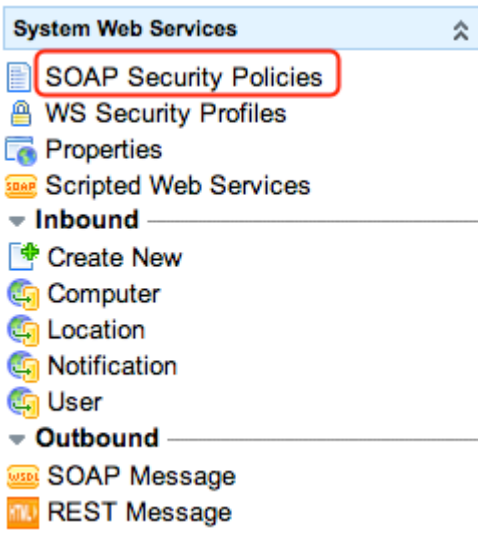
SOAP セキュリティポリシー

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインは、SOAP セキュリティポリシーモジュールをシステム Web サービス アプリケーションに追加します。このモジュールを使用すると、管理者は次のセキュリティポリシーを設定できます。

- 外部 Web サービスの使用時に SOAP 要求の署名を有効または無効にします。
- WS-Security を介して通信するときに SOAP 要求が満たす必要がある認証要件を指定します。

SOAP アクセスポリシーの詳細については、「SOAP API アクセスポリシー」を参照してください。

SOAP セキュリティポリシー



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

署名済み SOAP 要求に必要な証明書

WS-Security 通信の SOAP 要求に署名するには、次の証明書が必要です。

- 要求者からの X.509 証明書
- 要求者の証明書に署名した認証局の X.509 CA 証明書

SOAP デフォルトセキュリティポリシー

管理者は、インスタンスが使用する SOAP セキュリティポリシーをシステムプロパティ `glide.soap.default_security_policy`で指定できます。`glide.soap.default_security_policy` システムプロパティは、Web Services-Security (WSS) を受信要求に強制するときにインスタンスが使用する SOAP セキュリティポリシーの名前を指定します。

SOAP デフォルトセキュリティポリシー設定

フィールド	説明
タイプ	文字列
デフォルト値	デフォルトセキュリティポリシー
場所	システムプロパティをシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加する

WS セキュリティを使用

WS-Security を使用して、署名済み Web サービス要求を検証できます。WS-Security を有効にして、次のことを行います。

- 既知の送信者からの SOAP メッセージの確認
- 送信中に SOAP メッセージが変更されていないことの確認

ServiceNow では WS-Security 1.1 をサポートして、署名済み Web サービス要求を検証します。

注: WS-Security は暗号化メカニズムとして使用されません。HTTPS プロトコルを使用してすべての通信が暗号化されます。

WS-Security は基本認証で動作するように意図されています。インスタンスが SOAP メッセージを受信すると、基本認証ヘッダーを確認して、SOAP ユーザーがインスタンスに対する権限を持っているかどうかを判断します。WS-Security ヘッダーを確認して、受信メッセージの有効性を判断します。中間者攻撃などの攻撃の影響を受ける要求は、無効な WS-Security ヘッダーを持っており、ブロックされます。

WS-Security プロファイル

WS-Security プロファイルは、WS-Security が有効になっている場合の Web サービスメッセージの認証方法を決定します。次のメカニズムを使用して、Web サービス要求を認証できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

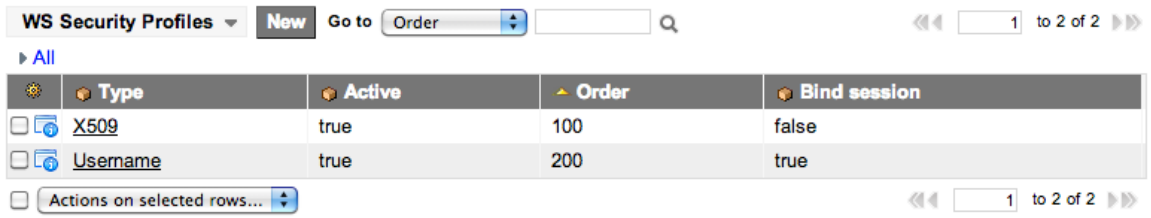
Web サービスの認証メカニズム

認証メカニズム	説明
証明書の検証	要求に関連付けられた証明書を検証します。要求の証明書を検証するには、要求者の証明書と認証局をアップロードする必要があります。
ユーザー資格情報	要求に関連付けられたユーザー資格情報を確認して、Web サービス要求を認証します。このタイプの認証では、要求の資格情報が既存のユーザーの資格情報と一致すること、または要求の資格情報がプロファイルレコードで指定されたユーザー名とパスワードと一致することを確認できます。

新しい WS-Security プロファイルを作成するときに使用する認証メカニズムを指定します。

WS-Security プロファイルモジュールには、現在有効な WS-Security プロファイルがリストされます。

WS-Security プロファイルモジュール



WS-Security エラーログ記録

`glide.processor.debug.SOAPProcessor` システムプロパティを使用すると、WS-Security に関するエラーメッセージをトランザクションログに表示できます。

システムプロパティ `glide.processor.debug.SOAPProcessor` は、証明書やキーストアのチェックなどの SOAP 処理のデバッグメッセージを有効 (true) または無効 (false) にします。

glide.processor.debug.SOAPProcessor フィールド

フィールド	説明
タイプ	True | False
デフォルト値	false
場所	システムプロパティをシステムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加する

WSS X.509 トークンプロファイル

WSS X.509 セキュリティプロファイルには、X.509 フレームワークを使用します。X.509 証明書は、着信 SOAP メッセージの署名に使用される公開鍵を検証するために使用されます。公開鍵と、少なくとも以下を含む一連の属性の間のバインディングを指定します。

- サブジェクト名
- 発行者名
- シリアル番号
- 有効間隔

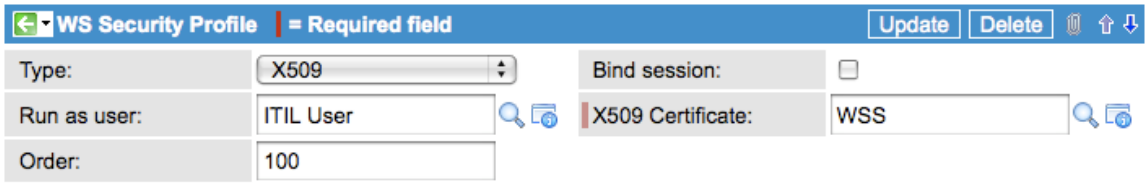
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web Services Security: SOAP Message Security specification (Web サービスセキュリティ：SOAP メッセージセキュリティ仕様) で定義されている通りに X.509 認証フレームワーク を使用します。

証明書をアップロードして、**[X509** 証明書] フィールドで参照します。バインドされたセッションの場合は、WS-Security 認証が成功したときになりすますユーザーを選択します。

WSS X.509 セキュリティプロファイル



WSS ユーザー名トークンプロファイル

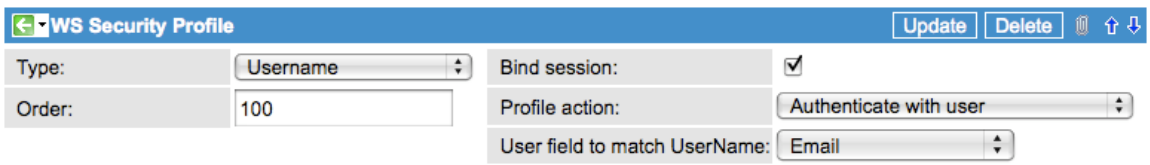
X.509 トークンプロファイルを指定するときに、SOAP 要求のユーザー名トークンも指定できます。

ユーザー名トークンは、「ユーザー名」で要求者を識別する手段として使用され、オプションでパスワード、共有シークレット、またはパスワードと同等のものを使用して、その ID を証明します。

ユーザー名トークンを認証する方法は 2 種類あります。

1. 既存のユーザー資格情報を使用して認証する方法。

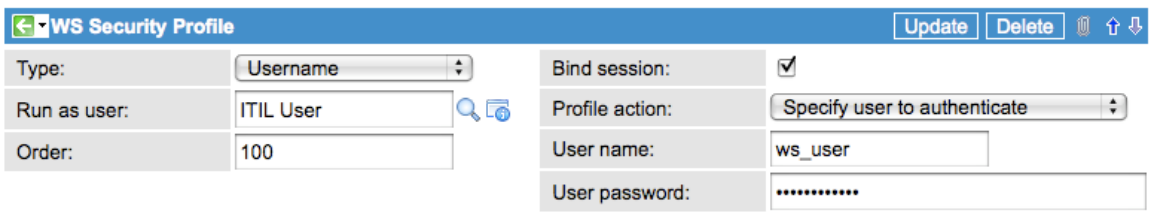
既存のユーザー資格情報を使用した認証



受信 SOAP 要求のユーザー名を使用して、指定された [ユーザー] フィールドで **UserName** 値に一致するユーザーを検索します。受信ユーザー名トークンのパスワード値を使用して、要求が認証されます。[セッションのバインド] オプションを選択すると、認証に成功したユーザーがセッションに使用されます。

2. 指定されたユーザー資格情報を使用して認証する方法。

指定されたユーザー資格情報を使用した認証



ユーザーテーブル内のユーザーに関連しないログイン資格情報を使用して認証します。[セッションのバインド] オプションが選択されている場合、[ユーザーとして実行] フィールドで指定されているユーザーがセッションに使用されます。

注: ユーザー名トークンプロファイル は、X.509 トークンプロファイルから独立して使用することはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Web サービスの厳格なセキュリティ

デフォルトでは、Web サービスの基本認証では、ユーザーが SOAP 接続を使用してインスタンスにアクセスする権限があるかどうかのみが判断されます。許可されると、すべてのユーザーが Web サービスとして公開されたテーブルにアクセスできるようになります。

システムプロパティ [着信 **SOAP** 要求に厳格なセキュリティを強制します] は、この動作を変更し、ユーザーが Web サービスからインスタンスリソースにアクセスするには コンテキスト依存セキュリティマネージャー の要件を満たす必要があります。

このプロパティを有効にすると、適切な SOAP ロールを持ち、テーブルと操作の ACL 条件を満たすユーザーのみが、SOAP 接続からその操作を実行できます。

Web サービスの相互認証

相互認証は、送信 Web サービスでサポートされています。

SOAP セッションの管理とレポート

SOAP セッションは、Web サービスクライアントアプリケーション、ServiceNow MID Server、ServiceNow ODBC Driver などの外部 SOAP クライアントによりインスタンスで確立された Glide セッションです。SOAP セッションは、次の場所にあるユーザーセッションのリストに含まれています。 ユーザー管理 > ログインユーザー.`?SOAP` URL は SOAP セッションを識別します。

SOAP セッションプロパティ

SOAP セッションの維持方法を制御するプロパティがあります。

SOAP セッションプロパティ

プロパティ	説明
glide.soap.invalidate_session_timeout	アクティブなセッションを開いたままにする期間 (秒)。この期間に達すると、インスタンスはセッションを非アクティブ化し、システムリソースを再利用します。タイムアウト期間に達した後にクライアントが別の要求を送信すると、インスタンスは新しいセッションを確立します。 このプロパティは、5 ～ 1200 秒 (20 分) の値を受け入れます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60 • 場所：システムのプロパティ `[sys_properties]` テーブルに追加

注: SOAP Web サービスの処理に影響するプロパティの詳細については、「インスタンスセキュリティ強化設定」の以下のトピックを参照してください。

- アクセス制御 アクセス制御 (インスタンスセキュリティ強化)
- 基本認証：SOAP 要求

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Scripted SOAP Web Services

Scripted SOAP Web Services により、ServiceNow 管理者はカスタム受信 SOAP Web Services を作成できます。

SOAP Web Service の入力パラメーターと出力パラメーターを定義し、JavaScript を使用して操作を実行できます。この機能は非常に強力ですが、可能な場合は、実装と管理が簡単なダイレクト Web サービスまたは SOAP Web サービスインポートセットを使用してください。

セキュリティ

Scripted SOAP Web Services にはすべての SOAP Web Services と同じ基底セキュリティオプションがあります。SOAP Web Services のセキュリティの詳細については、「SOAP Web サービスのセキュリティ」を参照してください。

システムに厳格なセキュリティが適用されている場合、HTTP 認証されたユーザーがスクリプト化された Web サービスを実行するには soap_script ロールが必要です。

WSDL

すべての ServiceNow テーブルとインポートセットは、そのテーブルスキーマと利用可能な操作を記述する Web サービス定義言語 (WSDL) XML ドキュメントを動的に生成します。

WSDL 準拠の適用

WSDL で定義されているのと同じ順序で応答の出力値をリストできます。

Scripted SOAP Web Service を作成すると、入力パラメーターと出力パラメーターの関連リストに基づいて WSDL が生成されます。スクリプト化されたサービスによって送信される実際の SOAP 応答は、[スクリプト] によって決定されます。この動作により、WSDL で定義されているものとは異なる順序でスクリプトから出力値が返される可能性があります。

関連リストで定義された出力パラメーターの順序を強制するには、**[WSDL** コンプライアンス] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、Web サービスは WSDL の順序と一致するようにスクリプトによって返されるパラメーターを並べ替えます。

> **注:** 追加の応答パラメーターがスクリプトによって返されても、応答パラメーターの関連リストで定義されていない場合、それらのパラメーターは **[WSDL** コンプライアンス] の選択時に応答から除外されます。

出力パラメーターの関連リスト

パラメーター	順番
Param 1	200
Param 2	300
Param 3	100

定義された出力パラメーターの値を設定するスクリプトは次のとおりです。このスクリプト例では、パラメーターは出力パラメーターの関連リストで定義されている順序とは異なることに注意してください。関連リストで定義されていない追加のパラメーター *param4* にも注意してください。

```
Response.param1 = 1;
Response.param4 = 4;
Response.param3 = 3;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[WSDL コンプライアンス] チェックボックスが **[false]** の場合、スクリプトによって生成される SOAP 応答は次のようになります。

```
<response>
                <param1>1</param1>
                <param4>4</param1>
                <param3>3</param1>
</response>
```

[WSDL コンプライアンス] チェックボックスが **[true]** の場合、スクリプトによって生成される SOAP 応答は次のようになります。

```
<response>
                <param3>3</param1>
                <param1>1</param1>
</response>
```

スタティック **WSDL**

一部の Web サービスクライアントでは、特定の WSDL 形式を使用したインスタンスへの SOAP アクセスが必要です。この必須形式は、標準の ServiceNow WSDL 形式とは異なる場合があります。この場合、必須形式に一致するスタティック WSDL を作成できます。

グローバル変数

受信 SOAP 要求のカスタム処理を容易にするために、スクリプトコンテキストで次のグローバル変数を使用できます。

- *soapRequestDocument*：受信 SOAP エンベロープを表す Java org.w3c.dom.Document オブジェクト。
- *soapRequestXML*：受信 SOAP エンベロープ XML を表す文字列オブジェクト。
- *request*：受信 SOAP エンベロープのマッピングされた値 (入力パラメーター名にマッピング) を含む Javascript オブジェクト。
- *response*：応答値をカスタマイズできる Javascript オブジェクト。「応答のカスタマイズ」を参照してください。

新しい **Scripted SOAP Web Service** の作成

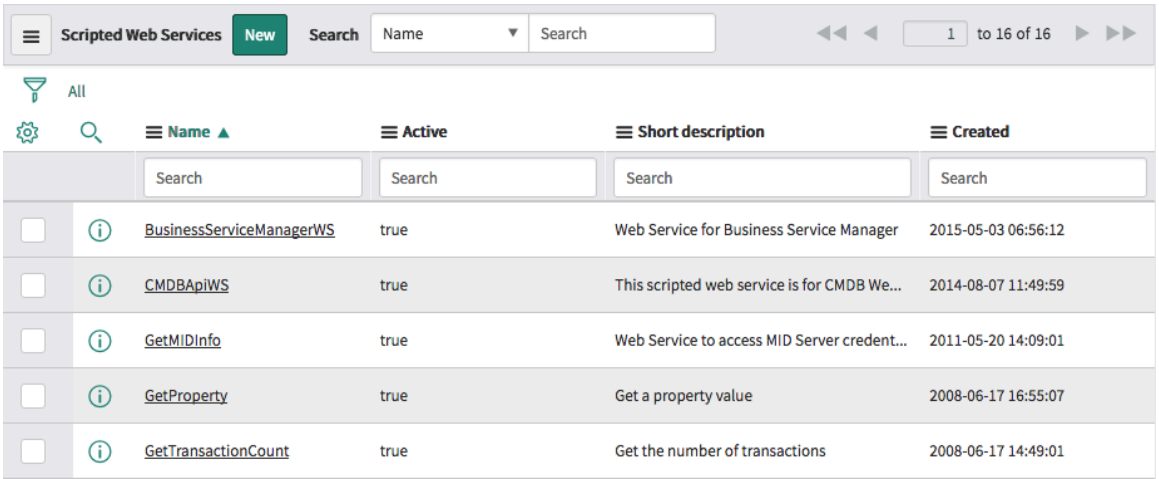
新しい Scripted SOAP Web Service を作成するには、次の例に従ってください。

Web Services Provider - Scripted プラグインを有効にすると、*System Web Services* アプリケーションで新しいモジュール [スクリプト利用 *Web* サービス] を使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

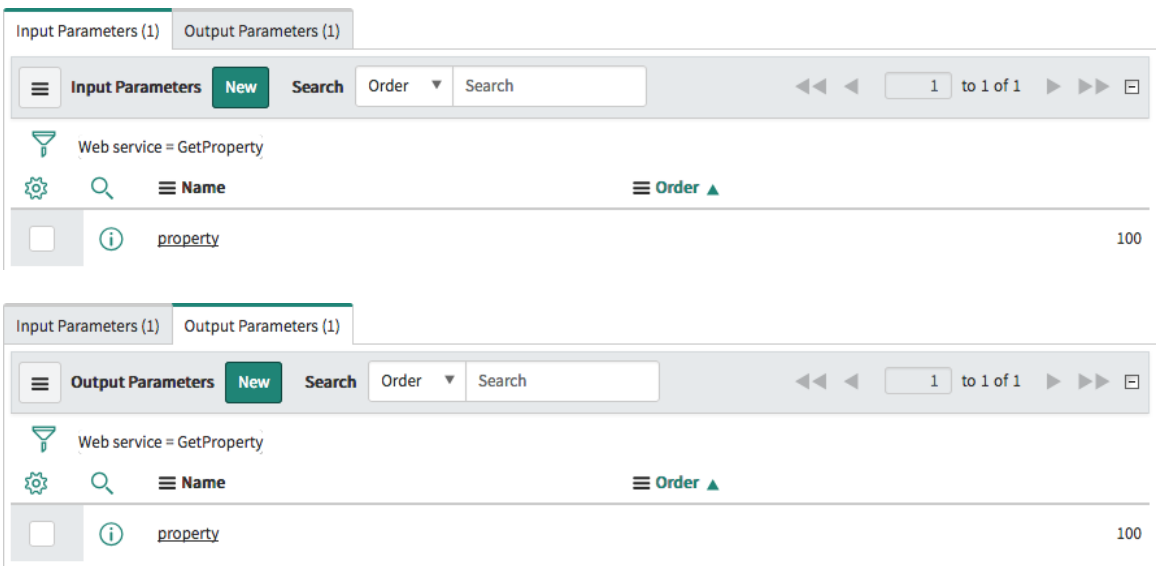
Scripted SOAP Web Services



例 1：システムプロパティの取得

最初のステップは、受信パラメーターと戻りパラメーターを定義することです。これを行うには、[入力パラメーター] と [出力パラメーター] にエントリを追加します。これらのパラメーターは意味のある WSDL を構築して表示するために使用され、実際の Web サービス自体を処理する機能を追加するものではありません。

GetProperty の入力および出力パラメーター



パラメーターは Web サービスのスクリプトで参照されます。入力パラメーターは次の構文を使用して取得されます。

```
var a= request.property;
```

出力パラメーターは次の構文を使用して設定されます。

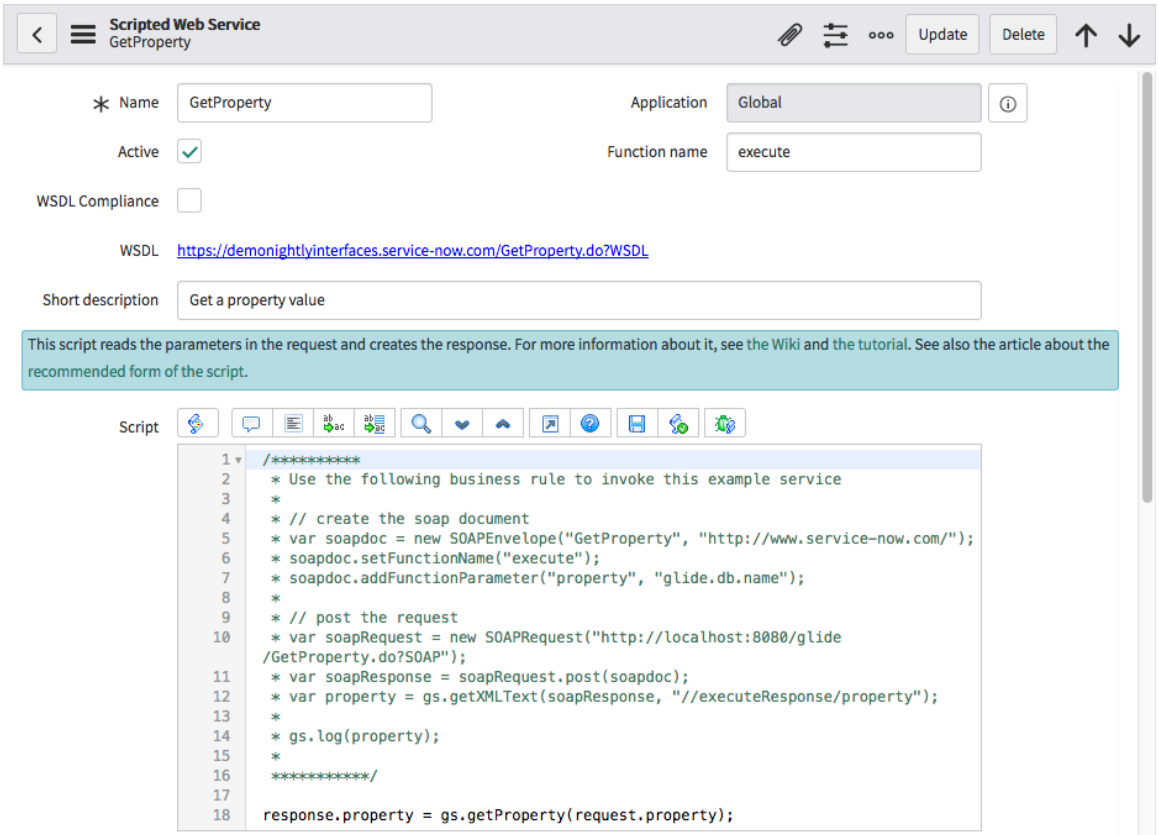
```
response.property="ABC";
```

次の例は、システムプロパティを取得し、SOAP 応答の一部として返す方法を示しています。この例は、カスタムのスクリプト利用 Web サービスを作成して、ベース ServiceNow システムのダイレクト Web サービスでは実行できない処理を行う方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

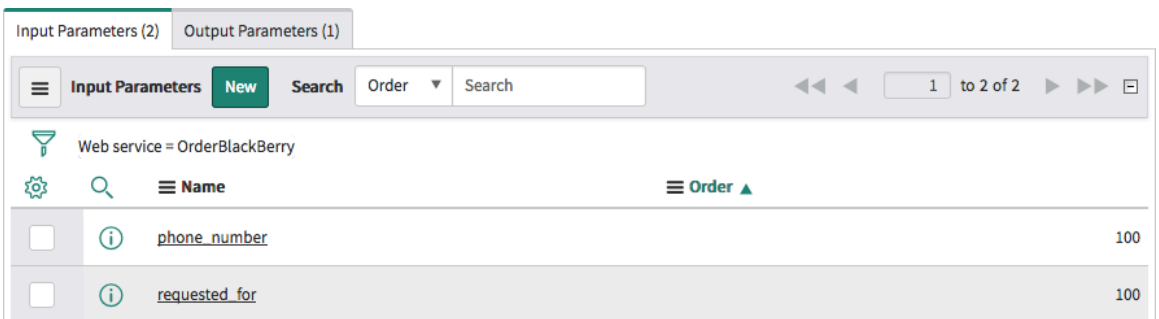
GetProperty Web サービス

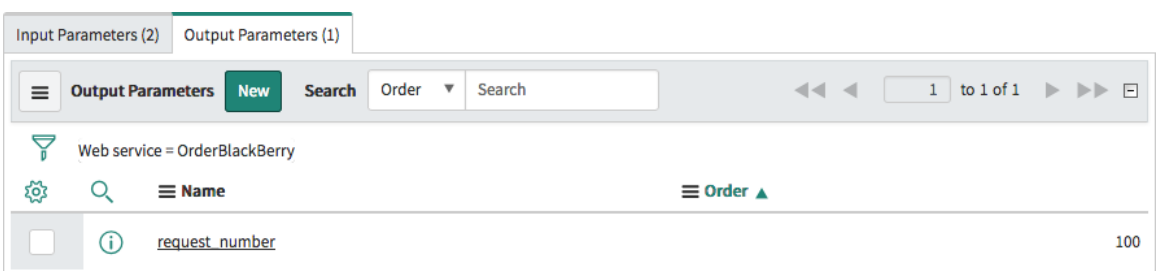


例 2：Blackberry の注文

ダイレクト Web サービスは、テーブルとそのデータを操作します。次の例は、スクリプト利用 Web サービスを呼び出すことによって、Blackberry の注文などのビジネスソリューションを開始する方法を示しています。次の入力パラメーターと出力パラメーターは、 Blackberry の例をサポートしています。

Blackberry の入力と出力





自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このスクリプトは、上記のパラメーターを使用して Blackberry を Service Catalog のカートに追加して注文する方法を示しています。要求番号は、SOAP 応答の *[request_number]* フィールドで返されます。

```
var cart = new Cart();
var item = cart.addItem('e2132865c0a8016500108d9cee411699');
cart.setVariable(item,'original', request.phone_number);

// set the requested for
var gr = new GlideRecord("sys_user");
gr.addQuery("user_name", request.requested_for);
gr.query();

if(gr.next()){
  var cartGR = cart.getCart();
  cartGR.requested_for = gr.getUniqueValue();
  cartGR.update();
}

var rc = cart.placeOrder();
response.request_number= rc.getValue('number');
```

応答のカスタマイズ

この例に従って、SOAP 応答の XML ペイロードをカスタマイズおよび制御します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. XMLDocument スクリプトインクルードオブジェクトを使用して、カスタマイズされた XML ドキュメントを作成します。

   注: スコープ対象のアプリケーションでスクリプト化された Web サービスを作成する場合は、 XMLDocument2 API を使用する必要があります。

2. ドキュメント要素をスクリプト利用 Web サービスの変数 *response.soapResponseElement* に設定します。

   たとえば、次のスクリプト利用 Web サービススクリプトの場合

   ```
   var xmldoc = new XMLDocument2();
       xmldoc.parseXML("<myResponse></myResponse>");
       xmldoc.createElementWithTextValue("element_one", "test");
       xmldoc.createElementWithTextValue("element_two", "new2 value");

       var el = xmldoc.createElement("element_three");
       xmldoc.setCurrentElement(el);
       xmldoc.createElementWithTextValue("newChild", "test child
    element");

       response.soapResponseElement = xmldoc.getDocumentElement();
   ```

   次の要求を受け入れるために使用されます。

   ```
   <soapenv:Envelope
      xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
      xmlns:tes="http://www.service-now.com/TestCustomResponse">
   ```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <tes:execute/>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

これは、次の SOAP 応答で応答します。

```
<soapenv:Envelope
    xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
    xmlns:tes="http://www.service-now.com/TestCustomResponse">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <myResponse>
         <element_one>test</element_one>
         <element_two>new2 value</element_two>
         <element_three>
            <newChild>test child element</newChild>
         </element_three>
      </myResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

WSDL サポートは外部で作成する必要があります。SOAP エンドポイントは、問題のスクリプト利用 Web サービスを再び参照する必要があります。

スタティック **WSDL** を使用した **Scripted SOAP Web Service** の作成

スタティック WSDL を使用して Scripted SOAP Web Service を作成するには、次の例に従ってください。

スタティック **WSDL** を使用したスクリプト利用 **Web** サービスの作成

スタティック WSDL を使用するには、スクリプト利用 Web サービスを作成します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > システム **Web** サービス > スクリプト **Web** サービス.
2. [新規] をクリックします。
3. FakeStockValue などの Scripted SOAP Web Service の [名前] を入力します。
4. 実行する Web サービスの [スクリプト] を入力します。
5. [送信] をクリックします。

スクリプト利用 **Web** サービスの例

この例は、FakeStockValue Web サービスの処理スクリプトを示します。

```
var vProcessor  = new FakeStockValue (soapRequestXML ) ;

 var responseElement  = vProcessor. process ( ) ; if (responseElement
 != null ) {
 response. soapResponseElement = responseElement ; } else {
 response. soapResponseElement = vProcessor. generateSoapFault
( "unknown error" ) ; }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタティック **WSDL** の作成

必須形式のスタティック WSDL を作成して、スクリプト利用 Web サービスの標準 WSDL を上書きします。

始める前に

必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スタティック **WSDL**.
2. FakeStockValue などのスクリプト利用 Web サービスと同じ名前を使用して、スタティック WSDL レコードを作成します。
3. **[WSDL]** フィールドにカスタム WSDL を入力します。
4. [送信] をクリックします。

スタティック **WSDL** の例

この例は、FakeStockValue WSDL を示しています。

```
<?xml version= "1.0" ?><definitions name = "StockQuote"targetNamespace
 = "http://example.com/stockquote.wsdl"xmlns:tns
 = "http://example.com/stockquote.wsdl"xmlns:xsd1
 = "http://example.com/stockquote.xsd"xmlns:soap
 = "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"xmlns =
 "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" >

  <types><schema targetNamespace =
 "http://example.com/stockquote.xsd"xmlns =
 "http://www.w3.org/2000/10/XMLSchema" ><element name =
 "TradePriceRequest" ><complexType><all><element name = "tickerSymbol"
 type = "string" /></all></complexType></element><element name =
 "TradePrice" ><complexType><all><element name = "price" type =
 "float" /></all></complexType></element></schema></types>

  <message name = "GetLastTradePriceInput" ><part name = "body" element =
 "xsd1:TradePriceRequest" /></message>

  <message name = "GetLastTradePriceOutput" ><part name = "body" element
 = "xsd1:TradePrice" /></message>

  <portType name = "StockQuotePortType" ><operation
 name = "GetLastTradePrice" ><input message =
 "tns:GetLastTradePriceInput" /><output message =
 "tns:GetLastTradePriceOutput" /></operation></portType>

  <binding name = "StockQuoteSoapBinding" type =
 "tns:StockQuotePortType" ><soap:binding style = "document"
 transport = "http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" /><operation
 name = "GetLastTradePrice" ><soap:operation soapAction =
 "" /><input><soap:body use = "literal" /></input><output><soap:body use
 = "literal" /></output></operation></binding>

  <service name = "StockQuoteService" ><documentation>My first
 service</documentation><port name = "StockQuotePort" binding
 = "tns:StockQuoteSoapBinding" ><soap:address location =
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "https://myinstance.service-now.com/FakeStockValue.do?SOAP" /
></port></service>

</definitions>
```

スタティック **WSDL** スクリプトインクルードの作成

スタティック WSDL 要求を処理するために使用するコードの大部分を定義するスクリプトインクルードを作成します。

始める前に
必要なロール：script_include_admin または admin

このタスクについて
スクリプトインクルードにカスタム機能の大半を実装することで、スクリプトインクルードを複数のエリアで再利用できます。

手順

1. 移動先 すべて > システム **UI** > スクリプトインクルード.
2. [新規] をクリックします。
3. スタティック WSDL の名前と一致するスクリプトインクルードの [名前] (FakeStockValue など) を入力します。
4. [スクリプト] フィールドにスクリプトインクルードコードを入力します。
5. [送信] をクリックします。

スタティック **WSDL** スクリプトインクルードの例

この例は、スタティック WSDL の動作の多くを実装する FakeStockValue スクリプトインクルードを示しています。

```
var FakeStockValue = Class.create();

FakeStockValue.prototype = {
  initialize : function(requestXML) {
    //Use some backend XML utilities...you could use string tools if you
 wish
    this.xmlutil = Packages.com.glide.util.XMLUtil;
    //converting the string to an XML Document
    this.fSoapDoc = new XMLDocument(requestXML);
  },

  process : function() {
    var soapBody = this.fSoapDoc.getNode("/Envelope/Body");
    //Our WSDL was formatted to have the only first child element be the
 function
    var funcNode = this.xmlutil.getFirstChildElement(soapBody);
    var nodeName = this.xmlutil.getNodeNameNS(funcNode);

    //If the function for this SOAP request is TradePriceRequest, perform
 the necessary actions
    if (nodeName == "TradePriceRequest") {
      return this.fakeOutTradePriceRequest(funcNode);
    }

    //Couldn't find any supported functions in this SOAP request
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    return this.generateSoapFault("un-supported API call: " + nodeName);
  },

  fakeOutTradePriceRequest : function (funcNode) {
    //Create the beginnings of our XML response
    var r = new XMLDocument("<GetLastTradePriceOutput
xmlns='https://www.service-now.com/vws/FakeStockValue'/>");

    //Do the necessary actions here...we're going to get the USER ID of
the user
    //used to make this SOAP call.  Then we will return the
    //stock symbol they were asking about
    var usersysid = gs.getUserID();
    var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
    gr.get(usersysid);
    var username = gr.user_name;
    var quoteSymbol = this.xmlutil.getText(funcNode);
    //Create a "message" element to store our response message
    r.createElement("message", username + ", You were looking for a quote
on "+quoteSymbol);
    return r.getDocumentElement();
  },


  generateSoapFault : function (str) {
     var f = "<SOAP-ENV:Fault>" +
               "<faultcode
xsi:type='xsd:string'>SOAP-ENV:FakeStockValue</faultcode>" +
               "<faultstring xsi:type='xsd:string'>" + str +
               "</faultstring>" +
             "</SOAP-ENV:Fault>"
     var s = new XMLDocument(f);
     return s.getDocumentElement();
  }
}
```

initialize 関数

initialize 関数は XML 要求文字列を受け取り、ライブラリを使用して移動および操作できる XML Document オブジェクトに変換します。XML 要求を文字列のままにして、正規表現を使用して移動することもできます。

process 関数

process 関数は、スクリプト利用 Web サービスによって呼び出されます。この関数は、XML 内で本文要素の後の最初の子要素を取得します。WSDL はこの子要素を使用して、使用する関数を決定します。この WSDL には 1 つの関数しかありませんが、ほとんどの WSDL には多くの関数があります。より多くの関数が利用可能な場合、さまざまな関数名の最初の子要素をテストする「if」ステートメントが多くなります。

falseOutTradePriceRequest 関数

FakeOutTradePriceRequest 関数は、WSDL で唯一使用できる関数の実装です。この関数は、SOAP 要求で認証されたユーザーを検索して **[user_name]** を取得し、それを SOAP クライアントに返します。FakeOutTradePriceRequest 関数を拡張して、銘柄コードの検索や前回の取引価格を返すなど、便利なアクティビティを実行できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

generateSoapFault 関数

generateSoapFault 関数は、問題がある場合に呼び出し可能な SOAP エラーを返します。

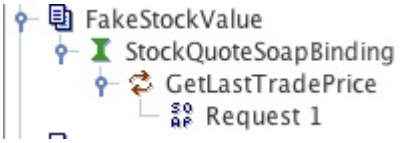
スタティック WSDL の使用

スタティック WSDL を SOAP クライアントにロードして、SOAP Web サービスに要求を行います。

Web サービスクライアントは次を提供します。

- FakeStockValue プロジェクト
- StockQuoteBinding Web サービス
- GetLastTradePrice SOAP 関数この関数は、実行時に要求レコードを生成します。

ロードされた WSDL



スタティック WSDL でデフォルトの要求 XML を変更して、銘柄コードを含めることができます。

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:stoc="http://example.com/stockquote.xsd">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <stoc:TradePriceRequest>IBM</stoc:TradePriceRequest>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

この Web サービスエンドポイントに SOAP 要求を送信すると、要求元の SOAP クライアントに次が返されます。

```
<SOAP-ENV:Envelope
 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
   <SOAP-ENV:Body>
      <GetLastTradePriceOutput
 xmlns="https://www.service-now.com/vws/FakeStockValue">
         <message>admin2, You were looking for a quote on IBM</message>
      </GetLastTradePriceOutput>
   </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

ダイレクト Web サービス

適切なアクセス制御リストが設定されている場合は、システム内の任意のテーブルでダイレクト Web サービスを使用できます。

サポートされている受信メッセージの形式は、ドキュメントスタイルリテラル XML SOAP ドキュメント (ドキュメント/リテラル) です。ダイレクト Web サービスの WSDL 記述および XML スキーマを取得するには、相対 URL `<tablename>.do?WSDL` をポイントします。たとえば、オンラインデモシステムのインシデントテーブルの WSDL を取得するには、以下の URL を使用します。`https://<instance name>.service-now.com/incident.do?WSDL`。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

拡張クエリパラメーター

拡張クエリパラメーターを使用すると、*get*、*getKeys*、および *getRecords* 関数の使用時に、SOAP クエリで返される結果をフィルタリングして変更できます。

注: 拡張クエリ要素名の前には 2 つのアンダースコア文字が付きます。

使用可能な拡張クエリパラメーター

パラメーター	説明	例
__encoded_query	返された結果のフィルタリングに使用するエンコードされたクエリ文字列を指定します。エンコードされたクエリ文字列の形式は、`sysparm_query` URL パラメーターで指定できる値に似ています。RSS フィードジェネレーターの例で、エンコードされたクエリの構築例を参照してください。	`<__encoded_query>active=true^category='hardware'</__enco`
__order_by	返された結果が指定されたフィールド順に並べ替えられるように指示します。	`<__order_by>priority</__order_by>`
__order_by_desc	返された結果が指定されたフィールド順に降順で並べ替えられるように指示します。	`<__order_by_desc>opened_date</__order_by_desc>`
__exclude_columns	結果セットから除外するカンマ区切りフィールド名のリストを指定します。	`<__exclude_columns>sys_created_on,sys_created_by,caller_ __exclude_columns>`
__limit	返されるレコードの数を制限します。	`<__limit>100</__limit>`
__first_row	セットの先頭からこのレコード数だけ結果をオ	`<__first_row>250</__first_row>`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能な拡張クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明	例
	フセットするように指示します。`__last_row` とともに使用すると、結果のウィンドウをクエリする効果があります。結果には最初の行番号が含まれます。	
__last_row	セットの先頭または `__start_row` 値 (指定されている場合) からこのレコード数で結果を制限するように指示します。`__first_row` とともに使用すると、結果のウィンドウをクエリする効果があります。結果は最後の行番号未満であり、最後の行は含まれません。	`<__last_row>500</__last_row>`
__use_view	返される結果を制限および展開するために使用するフォームビューを名前で指定します。フォームビューに **caller_id.email** などの詳細参照フィールドが含まれている場合、このフィールドも結果で返されます。	`<__use_view>soap_view</__use_view>`

自動翻訳

ダイレクト Web サービス名前空間

各テーブルの一意の名前空間の指定

glide.wsdl.definition.use_unique_namespace プロパティは、各テーブルのダイレクト Web サービス WSDL に確実に一意の *targetNamespace* 属性が含まれるようにします。このプロ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パティはデフォルトで **true** になっており、この場合はテーブルのダイレクト Web サービス WSDL で *targetNamespace* 値が `http://www.service-now.com/<table name>`である必要があります。**false** の場合 (またはプロパティが存在しない場合)、すべてのテーブルで *targetNamespace* 値に同じ `http://www.service-now.com` が使用されます。すべてのテーブルでも同じ操作名が共有されるため、複数の ServiceNow Web サービスを使用しようとする Web サービスクライアントは、複数のテーブル間の要求を区別できません。一意の *targetNamespace* 値を使用すると、Web サービスクライアントは複数のテーブル間の要求を区別できます。

たとえば、インシデントテーブルのダイレクト Web サービス WSDL は、次の *targetNamepsace* 値を使用します。

```
<wsdl:definitions xmlns:soapenc=
 "http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"xmlns:wsdl
 = "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"xmlns:http =
 "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"xmlns:tns
 = "http://www.service-now.com/incident"xmlns:xsd
 = "http://www.w3.org/2001/XMLSchema"xmlns:mime =
 "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"xmlns:soap =
 "http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"targetNamespace =
 "http://www.service-now.com/incident" ><wsdl:types><xsd:schema
 elementFormDefault = "unqualified"targetNamespace =
 "http://www.service-now.com/incident" >
```

名前空間要件の設定

ServiceNow の WSDL スキーマでは、デフォルトで *elementFormDefault="unqualified"* 属性が宣言されます。この属性は、インスタンスドキュメント内でローカルに宣言された要素を *targetNamepsace* で修飾する必要があるかどうかを示します。この属性の値が **unqualified** の場合、ローカルに宣言された要素を *targetNamepsace* で修飾することはできません。この属性の値が **qualified** の場合、ローカルに宣言された要素を *targetNamepsace* で修飾する必要があります。

ただし、これは、WSDL から生成されたクライアント (.NET、Axis2、webMethods など) が埋め込みスキーマを処理する方法と互換性がありません。結果としてスキーマ名前空間が削除され、Web サービス応答が解析不能になります。

この互換性の問題を解決するため
に、*glide.wsdl.schema.UnqualifiedElementFormDefault* と呼ばれるブールプロパティが導入されています。このプロパティのデフォルトの値は **true** です。**false** に設定すると、WSDL から生成されたクライアントが Web サービス呼び出しの戻り値を解析できるようになります。このプロパティは、次の場所にある Web サービスのプロパティページを使用して変更できます。 システムプロパティ > **Web** サービス.

重複サービス名の許可

デフォルトでは、動的に生成された WSDL のサービス名は一意であり、次の形式になります。

```
ServiceNow_<table name>
```

サービス名の重複を許可するには、管理者は *glide.wsdl.unique_service_name* プロパティを **false** に設定できます。プロパティが存在しない場合は作成します。

関連情報

SOAP Web サービス

フォームを使用したクエリ応答の制限または拡張

場合によっては、SOAP クエリが返すフィールド値の数を制限する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォームビューを使用して、SOAP クエリによって返されるフィールド値の数を制限できます。フォームビューを指定すると、次の影響があります。

1. ビューのフィールドのみを含むように応答要素を制限します。
2. **caller_id.email** などの参照フィールドから参照レコードフィールド値を指定します。これにより、呼び出し元のメールの値が SOAP 応答で返されます。

SOAP クエリのフォームビューを有効にするには、すべての SOAP クエリ応答に使用するビューの名前を含むように *com.glide.soap.view* プロパティを設定します。デフォルトは *soap_response* です。SOAP 呼び出しを行うときに、ビュー名を URL パラメーター *sysparm_view=<view name>* として指定することもできます。例：

```
https://<instance name>.service-now.com/incident.do?SOAP&sysparm_view=ess
```

デフォルトでは、指定されたビュー名が存在しない場合、応答にはすべてのフィールドが含まれます。

参照変数の表示値を返す

get または *getRecords* 関数を使用してレコードをクエリすると、インスタンスは、そのレコードに関連付けられたすべてのフィールドを返します。多くの場合、フィールドは別のテーブルのレコードの sys_id を含む参照フィールドです。

sys_id の代わりにフィールドの表示値を返すようにする場合は、次のいずれかのオプションを使用します。

1. *glide.soap.return_displayValue* プロパティをシステムプロパティに追加すると、すべての SOAP 要求が参照フィールドの表示値を返します。
2. *displayvalue=true* パラメーターを SOAP 要求 URL に追加すると、そのパラメーターを含む SOAP 要求は、sys_id の代わりに参照フィールドの表示値を文字列として返します。SOAP URL は次のようになります。`https://<instance name>.service-now.com/incident.do?displayvalue=true&SOAP`。
3. *displayvalue=all* パラメーターを SOAP 要求 URL に追加すると、そのパラメーターを含む SOAP 要求は、sys_id に加えて参照フィールドの表示値を返します。表示値フィールドの応答要素名には、`dv_caller_id` のように、`dv` というプリフィックスが付きます。

ターゲットインスタンスからの値のクリア

SOAP パラメーターを介して空の値を渡して、ターゲットインスタンスのそれぞれの値をクリアすることができます。

また、*&allow_empty_value=true* SOAP クエリパラメーターを介して空の (null) 値を渡して、ターゲットインスタンスのそれぞれの値をクリアすることもできます。

たとえば、`https://<instance name>.service-now.com/incident.do?SOAP&allow_empty_value=true` を使用すると、インスタンス内のインシデントレコードに空の値を渡すことができます。

その後、SOAP 要求に次のような行を入力できます。

```
<assigned_to>value</assigned_to>
<assignment_group>value</assignment_group>
<category></category>
```

上記の例では、次のようになります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `<assigned_to>value</assigned_to>` は、[アサイン先] フィールドの値を SOAP 要求で指定された値に変更します。
- `<assignment_group>value</assignment_group>` は、[アサイン先グループ] フィールドの値を SOAP 要求で指定された値に変更します。
- `<category></category>` は、[カテゴリ] フィールドの値をクリアします。

ダイレクト Web サービスを使用したジャーナルエントリーの取得

ジャーナルフィールドの内容を取得するには、sys_journal_field テーブルに対して 2 回目の SOAP 要求を行い、問題のレコードの適切なジャーナルレコードを取り出します。

WSDL の URL は次の形式になります。

```
https://instance-name.service-now.com/sys_journal_field.do?WSDL
```

ジャーナルエントリーを取得するには、最初にインシデントの sys_id 値をクエリし、それを *getRecords* 呼び出しで `element_id` 値として指定する必要があります。**comments** フィールドにのみレコードを指定するには、**element** フィールドに値 `comments` を指定します。たとえば、SOAP 要求は次のようになります。

```
<soapenv:Envelope xmlns:soapenv=
 "http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/" xmlns:sys=
 "http://www.service-now.com/sys_journal_field"
 ><soapenv:Header /
><soapenv:Body><sys:getRecords><element>comments</element><element_id>9d3
85017c611228701d22104cc95c371</element_id></sys:getRecords></soapenv:Body
></soapenv:Envelope>
```

ダイレクト Web サービスを使用した選択肢フィールドの取得

選択肢フィールドを取得または設定するには、[ラベル] ではなく [値] の選択肢を使用します。

たとえば、すべてのクローズ済みインシデントのリストを取得する場合は、[クローズ済み] の数値 (デフォルトでは **7**) を使用します。

```
<state>7</state>
```

選択値のリストを表示するには：

1. 選択肢フィールドを含むフォームに移動します。たとえば、[インシデント] > [オープン] に移動して、インシデントを選択します。
2. 選択値フィールドを右クリックし、[辞書を設定] を選択します。たとえば、[進捗状況] フィールドに辞書を設定します。
3. [選択肢] 関連リストで、クエリするラベルの値をメモします。たとえば、[クローズ済み] 選択肢の値が **7**であることをメモします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Choices Go to Table

Choices

Table	Element	Language	Value	Label
incident	state	en	1	New
incident	state	en	2	Active
incident	state	en	3	Awaiting Problem
incident	state	en	4	Awaiting User Info
incident	state	en	5	Awaiting Evidence
incident	state	en	6	Resolved
incident	state	en	7	Closed
problem	state	en	1	Open
problem	state	en	3	Pending Change
problem	state	en	2	Known Error
problem	state	en	4	Closed/Resolved
task	state	en	-5	Pending
task	state	en	1	Open
task	state	en	2	Work in Progress
task	state	en	3	Closed Complete
task	state	en	4	Closed Incomplete
task	state	en	7	Closed Skipped

すべての **SOAP** 呼び出しにわたる **HTTP** セッションの保持

SOAP クライアントが短時間に多数の呼び出しを行う場合は、すべての SOAP 呼び出しに対して単一の HTTP セッションを再利用することができます。

各 SOAP 呼び出しは、期限切れになるまで存続する新しいユーザーセッションを作成します。単一のユーザーセッションを作成してすべての受信 SOAP 呼び出しに再利用するには、次のガイドラインに従って SOAP クライアントを開発してください。

- HTTP::Cookies のようなモジュールを使用して「cookie jar」を作成します。
- 各要求の後に ServiceNow によって返された cookie を保存します (HTTP::Cookies によって自動的に処理されます)。
- 後続の各要求で cookie jar 内の cookie を再送信します。

注: セッションローテーションの高セキュリティ設定を有効にした場合、最初の応答ヘッダーとともにサーバーから返された JSESSIONID はすぐに無効になります。2 番目の応答に新しい JSESSIONID が含まれています。

perl では、次のコードで自動的にクッキーを保存して送信することができます。

```
use HTTP::Cookies;

#we want to store and re-send cookies
my $cookies = HTTP::Cookies->new(ignore_discard => 1);

my $soap = SOAP::Lite
    -> proxy('http://localhost:8080/glide/ecc_queue.do?SOAP');

#Set the cookie jar
$soap->transport->cookie_jar($cookies);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP ダイレクト Web サービス API 関数

標準の SOAP API は、ターゲットのリソースで実行できる、グローバルに定義された小さな関数のセットです。

ターゲットリソース (またはテーブル) は、`https://<インスタンス名>.service-now.com/<table name>.do` という形式の URL で定義されます。

データ変更 **API**

メソッドの概要	説明
insert	URL でターゲットとなるテーブルの新規レコードを作成します。
insertMultiple	URL でターゲットとなるテーブルの複数の新規レコードを作成します。複数の挿入を有効にするには、 Web サービスインポートセット を有効にします。
更新	必須の **sys_id** フィールドで識別される、URL 内のターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。
deleteRecord	`sys_id` を指定して、ターゲットテーブルからレコードを削除します。
deleteMultiple	例の値を使用して、ターゲット テーブルから複数のレコードを削除します。

データ検索 **API**

メソッドの概要	説明
getKeys	サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、カンマ区切りの `sys_id` リストを返します。
getRecords	サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、一致するすべてのレコードとそのフィールドを返します。
get	ターゲットテーブルの単一のレコードを `sys_id` でクエリし、レコードとそのフィールドを返します。
aggregate	集計関数 SUM、COUNT MIN、MAX、LAST、および AVG を使用してクエリします。集計関数を有効にするには、Aggregate Web Service プラグインを有効にします。

データ検索 API

データ検索 API メソッドのサマリーと説明。

データ検索 **API**

メソッドの概要	説明
getKeys	サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、カンマ区切りの `sys_id` リストを返します。
getRecords	サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、一致するすべてのレコードとそのフィールドを返します。
get	ターゲットテーブルの単一のレコードを `sys_id` でクエリし、レコードとそのフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ検索 **API** (続く)

メソッドの概要	説明
aggregate	集計関数 SUM、COUNT MIN、MAX、LAST、および AVG を使用してクエリします。集計関数を有効にするには、Aggregate Web Service プラグインを有効にします。

関連情報

データ変更 API

getKeys

サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、カンマ区切りの `sys_id` リストを返します。

入力フィールド

ターゲットテーブルの任意のフィールド値。

出力フィールド

一意のレコード識別子 (sys_id) 値のカンマ区切りリストを含む SOAP 応答要素 *sys_id*。

サンプル **SOAP** メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:getKeys>
         <category>hardware</category>
      </inc:getKeys>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

サンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <getKeysResponse>

 <sys_id>46e18c0fa9fe19810066a0083f76bd56,46e57642a9fe1981000b96a5dca501f
f,46f1784ba9fe19810018aa27fbb23482</sys_id>
         <count>7</count>
      </getKeysResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *getKeys* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Python

getRecords

サンプル値でターゲットテーブルをクエリし、一致するすべてのレコードとそのフィールドを返します。

入力フィールド

ターゲットテーブルの任意のフィールド値。

出力フィールド

getRecordResponse 要素には、クエリに一致するレコードのフィールド値を表す要素をカプセル化する 1 つ以上の getRecordsResult 要素を含めることができます。

サンプル SOAP メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:getRecords>
         <number>INC0000002</number>
      </inc:getRecords>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

エンコードクエリを使用してインシデント番号が INC0000001 または INC0000002 である場所をフィルタリングするサンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:getRecords>

 <__encoded_query>number=INC0000001^ORnumber=INC0000002</__encoded_query>
      </inc:getRecords>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

1 つのレコードを含むサンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <getRecordsResponse>
         <getRecordsResult>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            <caller_id>5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007</caller_id>
            <caller_id.email>david.loo@service-now.com</caller_id.email>
            <closed_at/>
            <number>INC0000002</number>
            <opened_at>2009-12-14 23:07:12</opened_at>
            <short_description>Can't get to network file
 shares</short_description>
         </getRecordsResult>
      </getRecordsResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

複数のレコードを含むサンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <getRecordsResponse>
         <getRecordsResult>
            <caller_id>5137153cc611227c000bbd1bd8cd2006</caller_id>

 <caller_id.email>rick.berzle@yourcompany.com</caller_id.email>
            <closed_at>2009-12-17 22:55:16</closed_at>
            <number>INC0000009</number>
            <opened_at>2009-12-16 22:50:23</opened_at>
            <short_description>Reset my password</short_description>
         </getRecordsResult>
         <getRecordsResult>
            <caller_id>5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005</caller_id>
            <caller_id.email>fred.luddy@yourcompany.com</caller_id.email>
            <closed_at>2009-12-15 22:54:55</closed_at>
            <number>INC0000010</number>
            <opened_at>2009-12-10 22:53:02</opened_at>
            <short_description>Need Oracle 10GR2
 installed</short_description>
         </getRecordsResult>
      </getRecordsResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *getRecords* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Microsoft .NET Web サービスクライアントの例

Python

取得

ターゲットテーブルの単一のレコードを `sys_id` でクエリし、レコードとそのフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力フィールド

取得するレコードの sys_id を識別する要素 <sys_id>。

出力フィールド

取得されたレコードのすべてのフィールド値をカプセル化する `getResponse` 要素。

サンプル **SOAP** メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:get>
         <sys_id>46e18c0fa9fe19810066a0083f76bd56</sys_id>
      </inc:get>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

`get` 関数呼び出しの結果として生じる応答は、次のようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<soap:Envelope xmlns:soap="http://schemaap/envelope/"
               xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
               xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <soap:Body>
    <getResponse xmlns="http://www.service-now.com/incident">
      <active>1</active>
      <approval>not requested</approval>
      <assigned_to>46c6f9efa9fe198101ddf5eed9adf6e7</assigned_to>
      <caller_id>46b673a6a9fe19810007ab03cbd5849d</caller_id>
      <category>network</category>
      <cmdb_ci>0c43f35dc61122750182c132a29e3243</cmdb_ci>
      <comments>Testing</comments>
      <contact_type>phone</contact_type>
      <due_date>2007-10-28 13:29:45</due_date>
      <escalation>0</escalation>
      <impact>3</impact>
      <incident_state>1</incident_state>
      <knowledge>0</knowledge>
      <location>1081761cc611227501d063fd3475a2de</location>
      <made_sla>1</made_sla>
      <notify>1</notify>
      <number>INC10055</number>
      <opened_at>2007-09-18 00:32:09</opened_at>
      <opened_by>46bac3d6a9fe1981005f299d979b8869</opened_by>
      <priority>0</priority>
      <reassignment_count>0</reassignment_count>
      <severity>0</severity>
    </getResponse>
  </soap:Body>
</soap:Envelope>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

aggregate

aggregate 関数 (SUM、COUNT、MIN、MAX、LAST、AVG など) を使用してテーブルをクエリします。

注: ここで説明する機能には、Aggregate Web Service プラグインが必要です。

入力フィールド

ターゲットテーブルの任意の要素。さらに、1 つ以上の *aggregate* 関数 (SUM、COUNT、MIN、MAX、LAST、AVG)。

GROUP BY と HAVING 節を追加することもできます。

出力フィールド

取得されたレコードのすべてのフィールド値をカプセル化する *aggregateResponse* 要素。

サンプル SOAP メッセージ

COUNT 集計関数を使用したサンプル SOAP 要求。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"

 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregate>
      <COUNT>number</COUNT>
      <active>true</active>
    </aggregate>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

COUNT 集計関数呼び出しの結果として生じる応答は、次のようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope
 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"

 xmlns:SOAP-ENC="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregateResponse>
        <aggregateResult>
          <avg>2.7200</avg>
        </aggregateResult>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    </aggregateResponse>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

GROUP BY 節を含む AVG 集計関数を使用するサンプル SOAP 要求。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope
 xmlns:SOAP-ENC="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"

 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregate xmlns="http://www.service-now.com">
      <GROUP_BY>category</GROUP_BY>
      <active>true</active>
      <AVG>severity</AVG>
    </aggregate>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

GROUP BY 節を含む AVG 集計関数呼び出しの結果として生じる応答は、次のようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope
 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"

 xmlns:SOAP-ENC="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregateResponse>
        <aggregateResult>
          <avg>1.0000</avg>
          <category>database</category>
        </aggregateResult>
        <aggregateResult>
          <avg>3.0000</avg>
          <category>hardware</category>
        </aggregateResult>
        <aggregateResult>
          <avg>3.0000</avg>
          <category>inquiry</category>
        </aggregateResult>
        <aggregateResult>
          <avg>2.0000</avg>
          <category>network</category>
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        </aggregateResult>
        <aggregateResult>
          <avg>2.6923</avg>
          <category>software</category>
        </aggregateResult>
    </aggregateResponse>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

エンコードクエリを使用して集計をフィルタリングするサンプル SOAP 要求：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"

 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregate>
      <COUNT>number</COUNT>
      <active>true</active>

 <__encoded_query>number=INC0000001^ORnumber=INC0000002</__encoded_query>
    </aggregate>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

HAVING を使用して結果を絞り込むサンプル集計要求。

HAVING は 4 つのフィールドを取ります。各フィールド (集計タイプ、集計のフィールド、操作タイプ、および比較する値) は「^」で区切られます。

複数の HAVING を要求に追加できるため、HAVING 式を使用できますが、OR はサポートされていません。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SOAP-ENV:Envelope xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"

 xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
                  xmlns:m="http://www.service-now.com"
                  xmlns:tns="http://www.service-now.com/map"
                  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
                  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"

 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
  <SOAP-ENV:Body>
    <aggregate>
      <COUNT>sys_id</COUNT>
      <GROUP_BY>internal_type</GROUP_BY>
      <HAVING>COUNT^*^>^10</HAVING>
      <HAVING>COUNT^*^<^20</HAVING>
      <COUNT>sys_id</COUNT>
      <active>true</active>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    </aggregate>
  </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

データ変更 **API**

データ変更 API メソッドのサマリーと説明。

データ変更 **API**

メソッドの概要	説明
insert	URL でターゲットとなるテーブルの新規レコードを作成します。
insertMultiple	URL でターゲットとなるテーブルの複数の新規レコードを作成します。複数の挿入を有効にするには、 Web サービスインポートセット を有効にします。
更新	必須の **sys_id** フィールドで識別される、URL 内のターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。
deleteRecord	`sys_id` を指定して、ターゲットテーブルからレコードを削除します。
deleteMultiple	例の値を使用して、ターゲット テーブルから複数のレコードを削除します。

関連情報

データ検索 API

insert

URL でターゲットとなるテーブルの新規レコードを作成します。

入力フィールド

システムフィールドを除く、ターゲットテーブルのすべてのフィールド。システムディクショナリーで必須として設定されたフィールドは、属性 `minOccurs=1` で WSDL に反映されます。

出力フィールド

メソッド出力フィールドの挿入

テーブルのタイプ	出力フィールド
正規	**sys_id** フィールドとターゲットテーブル (`table`) の表示値が返されます。
インポートセット	インポートセット行の **sys_id**、変換されたターゲットテーブル (`table`) の名前、変換されたターゲットテーブルの **display_name**、変換されたターゲット行の **display_value**、および **status** フィールド (**inserted**、**updated**、または **error**)。 `status=error` の場合は、オプションの **status_message** フィールドまたは **error_message** フィールド値を指定できます。 挿入によってターゲット行が変換されなかった (キー値が指定されていないためにスキップされた) 場合、**sys_id** フィールドには、ターゲットの変換テーブルではなくインポートセット行の sys_id が含まれます。
複数の変換を含む	このタイプの挿入からの応答には、`multiInsertResponse` 親要素にラップされた通常のインポートセットテーブル挿入からの複数のフィールドセットが含まれます。各

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メソッド出力フィールドの挿入 (続く)

テーブルのタイプ	出力フィールド
インポートセット	セットには、どの変換マップが応答を作成したかを示す **map** フィールドが含まれています。

通常のテーブルのサンプル SOAP メッセージ

次の例は、簡単な説明のみを指定する挿入を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<SOAP-ENV:Envelope xmlns:tns="http://www.service-now.com/incident"
  xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
  xmlns:SOAP-ENC="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
  xmlns:m="http://www.service-now.com"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
    <SOAP-ENV:Body>
        <insert xmlns="http://www.service-now.com">
            <short_description xsi:type="xsd:string">This is a
 test</short_description>
        </insert>
    </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

結果として生じる応答は、次のようになります。

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<SOAP-ENV:Envelope
 SOAP-ENV:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
  xmlns:SOAP-ENC="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
  xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
  xmlns:m="http://www.service-now.com"
  xmlns:tns="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
    <SOAP-ENV:Body>
        <insertResponse xmlns="http://www.service-now.com">
            <sys_id>6b06494fc611227d00b5f87caf618831</sys_id>
        </insertResponse>
    </SOAP-ENV:Body>
</SOAP-ENV:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *insert* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Python

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

insertMultiple

URL でターゲットとなるテーブルの複数の新規レコードを作成します。

入力フィールド

insertMultiple 要素には、システムフィールドを除くターゲットテーブルのすべてのフィールドを含む 1 つ以上のレコードタグを含めることができます。1 回の操作で挿入されるレコードの数は 200 以下に制限してください。増加してもインスタンスのパフォーマンスに悪影響を及ぼさない場合は、その後のエクスポートでこの数を徐々に増やすことができます。

出力フィールド

insertMultipleResponse タグの後に、次を含む 1 つ以上のレコードタグが続きます。

メソッド出力フィールドの挿入

テーブルのタイプ	出力フィールド
正規	**sys_id** フィールドとターゲットテーブル (table) の表示値が返されます。
インポートセット	インポートセット行の **sys_id**、変換されたターゲットテーブル (table) の名前、変換されたターゲットテーブルの **display_name**、変換されたターゲット行の **display_value**、および **status** フィールド (**inserted**、**updated**、または **error**)。 status=error の場合は、オプションの **status_message** フィールドまたは **error_message** フィールド値を指定できます。 挿入によってターゲット行が変換されなかった (キー値が指定されていないためにスキップされた) 場合、**sys_id** フィールドには、ターゲットの変換テーブルではなくインポートセット行の sys_id が含まれます。
複数の変換を含むインポートセット	このタイプの挿入からの応答には、multiInsertResponse 親要素にラップされた通常のインポートセットテーブル挿入からの複数のフィールドセットが含まれます。各セットには、どの変換マップが応答を作成したかを示す **map** フィールドが含まれています。

通常のテーブルのサンプル SOAP メッセージ

次の例は、簡単な説明のみを指定する挿入を示しています。

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:insertMultiple>
         <record>
            <short_description>this is test 1</short_description>
         </record>
         <record>
            <short_description>this is test 2</short_description>
         </record>
         <record>
            <short_description>this is test 3</short_description>
         </record>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      </inc:insertMultiple>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

結果として生じる応答は、次のようになります。

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <insertMultipleResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>168160ad4a36231200a89091281dc803</sys_id>
            <number>INC0055180</number>
         </insertResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>1681622e4a36231200a8909115e5c388</sys_id>
            <number>INC0055181</number>
         </insertResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>1681626e4a36231200a89091fa3c0aa8</sys_id>
            <number>INC0055182</number>
         </insertResponse>
      </insertMultipleResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

インポートセットテーブルのサンプル SOAP メッセージ

次の例は、簡単な説明のみを指定する挿入を示しています。

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:imp="http://www.service-now.com/imp_notification">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <imp:insertMultiple>:-->
         <imp:record>
            <imp:message>one</imp:message>
            <imp:uuid>a</imp:uuid>
         </imp:record>
         <imp:record>
            <imp:message>two</imp:message>
            <imp:uuid>b</imp:uuid>
         </imp:record>
         <imp:record>
            <imp:message>three</imp:message>
            <imp:uuid>c</imp:uuid>
         </imp:record>
      </imp:insertMultiple>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

結果として生じる応答は、次のようになります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:imp="http://www.service-now.com/imp_notification">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <insertMultipleResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>1296b3ab0a0a0b5b73e966fbfab7acde</sys_id>
            <table>incident</table>
            <display_name>number</display_name>
            <display_value>INC0010033</display_value>
            <status>ignored</status>
            <status_message>No field values changed</status_message>
         </insertResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>1296b48e0a0a0b5b62513bb5974a7d96</sys_id>
            <table>incident</table>
            <display_name>number</display_name>
            <display_value>INC0010034</display_value>
            <status>ignored</status>
            <status_message>No field values changed</status_message>
         </insertResponse>
         <insertResponse>
            <sys_id>1296b58b0a0a0b5b468f534659538b9a</sys_id>
            <table>incident</table>
            <display_name>number</display_name>
            <display_value>INC0010035</display_value>
            <status>ignored</status>
            <status_message>No field values changed</status_message>
         </insertResponse>
      </insertMultipleResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

自動翻訳

update

必須の **sys_id** フィールドで識別される、URL 内のターゲットテーブルの既存のレコードを更新します。

入力フィールド

既存のレコードの更新に使用される、システムフィールドを除くターゲットテーブルのすべてのフィールド。**sys_id** フィールドは、既存のレコードを特定するために使用されます。

出力フィールド

更新されたレコードの **sys_id** を返します。

サンプル **SOAP** メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      <inc:update>
         <sys_id>46e18c0fa9fe19810066a0083f76bd56</sys_id>
         <short_description>this is updated</short_description>
      </inc:update>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

サンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <updateResponse>
         <sys_id>46e18c0fa9fe19810066a0083f76bd56</sys_id>
      </updateResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *update* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Microsoft .NET

Python

deleteRecord

sys_id を指定して、ターゲットテーブルからレコードを削除します。

入力フィールド

取得するレコードの **sys_id** を識別する要素 <sys_id>。

出力フィールド

削除されたレコードの数を示す *deleteRecordResponse* 親要素内の <count> 要素。deleteRecordの場合、これは常に「1」になります。

サンプル **SOAP** メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:deleteRecord>
         <sys_id>46e18c0fa9fe19810066a0083f76bd56</sys_id>
      </inc:deleteRecord>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <deleteRecordResponse>
         <count>1</count>
      </deleteRecordResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *deleteRecord* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Microsoft .NET

Python

deleteMultiple

例の値を使用して、ターゲットテーブルから複数のレコードを削除します。

入力フィールド

システムフィールドを含むターゲットテーブルのすべてのフィールドが、削除するレコードを特定するために、例示による問い合わせ (QBE) 形式で使用されます。クエリの例のフィールドには、検索機能を制約する特別なプリフィックスを付けることができます。

出力フィールド

削除されたレコードの数を示す *deleteRecordResponse* 親要素内の *<count>* 要素。

サンプル SOAP メッセージ

サンプル SOAP 要求

```
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:deleteMultiple>
         <category>hardware</category>
      </inc:deleteMultiple>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

サンプル SOAP 応答

```
<soapenv:Envelope xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident"
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/">
   <soapenv:Header/>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   <soapenv:Body>
      <deleteMultipleResponse>
         <count>6</count>
      </deleteMultipleResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

言語固有のサンプルメッセージ

言語固有の *deleteRecord* のサンプルについては、次のトピックを参照してください。

Perl SOAP::Lite

Java Apache Axis2

Microsoft .NET

Python

SOAP Web サービスインポートセット

Web サービスインポートセットは、インポートセットテーブルに Web サービスインターフェイスを提供して、ダイレクト Web サービスおよび Scripted SOAP Web Services を補完します。

デフォルトでは、このタイプの Web サービスでは、関連付けられた変換マップに基づいて受信データを同期して変換します。関連するインポートセットモードが [非同期] に設定されている場合、後で変換できるようデータが保存されます。Web サービスインポートセットテーブルは、WSDL のすべてのデフォルト Web サービス機能を公開します。

URL でインポートセットテーブル名 +「.do?WSDL」を指定することで、Web サービスインポートセット WSDL にアクセスできます。

例：

`http://<インスタンス名>.service-now.com/imp_notification.do?WSDL`

関連情報

Web サービスインポートセット

インポートセットの主要な概念

AttachmentCreator SOAP Web サービス

ecc_queue テーブルを対象とする SOAP メッセージを送信して、ServiceNow のレコードにドキュメントを添付します。

重要: AttachmentCreator SOAP Web サービスは推奨されません。代わりに、REST 添付ファイル API を使用して Web サービスの添付ファイルを管理します。

AttachmentCreator SOAP Web サービスを使用すると、1 つのメッセージに最大 5 MB の 1 つのドキュメントを添付できます。URL またはターゲットエンドポイントの例を次に示します。`https://instance_name.service-now.com/ecc_queue.do?WSDL`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

添付ファイルを作成するための **ecc_queue** フィールド

フィールド名	説明	値
agent	要求を送信するエージェントの名前。処理に使用されないため、任意の値を使用できます。	AttachmentCreator
topic	キューレコードのトピック。添付ファイルの作成をトリガーするには、この値を「AttachmentCreator」に設定する必要があります	AttachmentCreator
name	このフィールドには、「:」で区切られたファイル名の値とそのコンテンツタイプを含める必要があります	file_name.xls:application/vnd.ms-excel
source	このフィールドには、「:」で区切られたターゲットテーブルの値とその sys_id を含める必要があります。	incident:dd90c5d70a0a0b39000aac5aee704ae8
payload	このフィールドには、添付するオブジェクトを表す Base 64 でエンコードされた文字列を含める必要があります。	Base 64 でエンコードされた文字列

上の表に記載されている値を送信すると、sys_id `dd90c5d70a0a0b39000aac5aee704ae8` で特定されたレコードのインシデントテーブルに Excel ファイルが添付されます。

セキュリティ

プラットフォームで利用可能な他のすべての HTTP ベースの Web サービスと同様に、AttachementCreator SOAP Web サービスは、デフォルトで基本認証を使用して認証する必要があります。認証に使用されるユーザー ID は、インタラクティブユーザーと同じ方法でアクセス制御されます。

添付ファイルを作成するには、添付ファイル [sys_attachment] レコードを作成するために必要なロールと soap_create ロール、およびターゲット テーブルでレコードを読み書きするために必要なロール (添付ファイルをインシデントレコードに追加する itil ロールなど) を SOAP ユーザーが持っている必要があります。デフォルトでは、添付ファイルを追加できる単一のロールはありません。添付ファイルの追加を明示的に許可するロールを作成し、このロールを SOAP ユーザーに割り当てることができます。

ファイルタイプのセキュリティ

glide.attachment.extensions および *glide.security.file.mime_type.validation* プロパティを設定することで、ユーザーが添付できるファイルタイプを制御できます。

これらのプロパティを AttachmentCreator Web サービスに適用するには、プロパティ *glide.attachment.enforce_security_validation* を true に設定する必要があります。このプロパティはデフォルトで true です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SOAP メッセージの例

次に示すのは、MIME タイプが text/plain のテキストファイル「john1.txt」を取得し、それを GUID が e6eed6950a0a3c59006f32c8e3ff3cf9 であるインシデントに添付する SOAP メッセージの例です。ペイロードはファイル自体の base64 エンコードであることに注意してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
 xmlns:ecc="http://www.service-now.com/ecc_queue">
    <soapenv:Header />
    <soapenv:Body>
        <ecc:insert>
            <agent>AttachmentCreator</agent>
            <topic>AttachmentCreator</topic>
            <name>john1.txt:text/plain</name>
            <source>incident:e6eed6950a0a3c59006f32c8e3ff3cf9</source>

 <payload>SSB3b25kZXIgaWYgc2hlIGtub3ducyB3aGF0IHNoZSdzIGRvaW5nIG5vdy4K</p
ayload>
        </ecc:insert>
    </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

Node.js スクリプトの例

次の例の Node.js スクリプトは、添付ファイルをインシデントレコードに追加します。このスクリプトを、インスタンスではなくクライアントコンピューターから実行します。

```
/**
 *
 * Node.js to ServiceNow attachment upload via SOAP
 *
 * Andrew Venables andrew.venables@servicenow.com
 * July 2014
 *
 * Version 1.0
 *
 */

var soap = require('soap'), // https://github.com/vpulim/node-soap
 mime = require('mime'), // https://github.com/broofa/node-mime
 fs = require("fs");

var WSDL_FILENAME = 'ecc_queue.xml'; // Goto
 https://instancename.service-now.com/ecc_queue.do?WSDL and save a copy
 of the WSDL locally for simplicity
var DIRECTORY_CONTAINING_FILES =
 '/Users/andrew.venables/Documents/Uploads'; // Local path to the
 directory containing all the files we want to upload
var USERNAME = 'andy.venables'; // An admin user account on the instance
var PASSWORD = 'MY_PASSWORD'; // Password for above account
var TARGET_TABLE = 'incident'; // Target table to attach the files to
var TARGET_SYS_ID = '9d385017c611228701d22104cc95c371'; // Target
 record / sys_id to attach the files to. OOTB INC0000002
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var files_to_upload; // Global that will contain our list of files to be
 uploaded
var pos = 0; // Global pointer for our position in the files_to_upload
 list

// Create a SOAP client to use to post to the instance
soap.createClient(WSDL_FILENAME, function(err, client) { // Node uses
 callbacks
 if (err) console.error(err);

 // Set the username and password
 client.setSecurity(new soap.BasicAuthSecurity(USERNAME, PASSWORD));

 // Read all the files in our source directory, will include . and ..
 files_to_upload = fs.readdirSync(DIRECTORY_CONTAINING_FILES);

 console.log('Files to upload: ' + files_to_upload.length + '\n');

 // Start iterating through the list of files to upload
 next(client);

});

// Process the next file in the files_to_upload array
// This is a neat way of dealing with Node and its expectation of
 callbacks
function next(client) {

 // Check we haven't reached the end
 if (pos >= files_to_upload.length) return;

 // Get the next file to upload
 var file_name = files_to_upload[pos];

 // Increment the pointer to the next file
 pos++;

 console.log(pos + '/'+ files_to_upload.length+ ' - Uploading file: ' +
 file_name);

 // A blank file is the end of the list
 if (file_name == '') return;

 // Skip to the next file as this one is invalid
 if (file_name == '.' || file_name == '..' || file_name.indexOf('.') ==
 0)
  next(client);

 // Get the file type using an module called mime
 var file_type = mime.lookup(file_name);
 console.log('   of type: ' + file_type);

 var file_payload;
 // Load the file into a buffer
 fs.readFile(DIRECTORY_CONTAINING_FILES + '/' + file_name, function(err,
 the_data) {
  if (err) console.error(err);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  // Encode the buffer to base64
  file_payload = new Buffer(the_data, 'binary').toString('base64');

  // Set the parameters before we call the Web Service
  var parameters = {
   'agent':  'AttachmentCreator',
         'topic':  'AttachmentCreator',
         'name':  file_name+':'+file_type,
         'source':  TARGET_TABLE+':'+TARGET_SYS_ID,
         'payload':  file_payload
  };

  console.log('      sending...')
  // Make the Web Service call, remember node likes callbacks
  client.insert(parameters, function(err, result) {
   if (err) console.error(err);

   console.log(result);

   // This file is done, next!
   next(client);
  });
 });
}
```

Perl スクリプトの例

次の例の Perl スクリプトは、添付ファイルをインシデントレコードに作成します。

```
use MIME::Base64;
use strict;
use SOAP::Lite;

# the ServiceNow instance
my $SNC_HOST = "https://instance_name.service-now.com";
my $base64;
my $buf;

# upload and attach a file on the local disk, base 64 encode it into a
 string first
open(FILE, "/Users/davidloo/Desktop/test_files/number_test.xls") or die
 "$!";
binmode FILE; #preserves file formatting on Windows
while (read(FILE, $buf, 60*57)) {
  $base64 .= encode_base64($buf);
}

# call the sub routine to attach
attach_incident();

sub attach_incident {
  # target the ecc_queue table
  my $soap = SOAP::Lite->proxy("$SNC_HOST/ecc_queue.do?SOAP");
  $soap->{_transport}->{_proxy}->{ssl_opts}->{verify_hostname} = 0;
  my $method = SOAP::Data->name('insert')->attr({xmlns =>
 'http://www.service-now.com/'});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  # set the ecc_queue parameters
  my @params = (SOAP::Data->name(agent => 'AttachmentCreator'));
  push(@params, SOAP::Data->name(topic => 'AttachmentCreator') );

  # identify the file name and its mime type
  push(@params, SOAP::Data->name(name =>
 'number_test.xls:application/vnd.ms-excel') );

  # attach to the incident, specifying its sys_id
  push(@params, SOAP::Data->name(source =>
 'incident:dd90c5d70a0a0b39000aac5aee704ae8') );

  # set the payload to be the base 64 encoded string representation of
 the file
  push(@params, SOAP::Data->name(payload => $base64) );

  # invoke the web service
  my $result = $soap->call($method => @params);

  print_fault($result);

  print_result($result);
}

sub print_result {
  my ($result) = @_;

  if ($result->body && $result->body->{'insertResponse'}) {
    my %keyHash = %{ $result->body->{'insertResponse'} };
    foreach my $k (keys %keyHash) {
        print "name=$k   value=$keyHash{$k}\n";
    }
  }
}

sub print_fault {
  my ($result) = @_;

  if ($result->fault) {
    print "faultcode=" . $result->fault->{'faultcode'} . "\n";
    print "faultstring=" . $result->fault->{'faultstring'} . "\n";
    print "detail=" . $result->fault->{'detail'} . "\n";
  }
}

# use the itil user for basic auth credentials
sub SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials {
   return 'itil' => 'itil';
}
```

SOAP エンドポイントのオーバーライド

SOAP メッセージが投稿される SOAP エンドポイントアドレスは、WSDL のエンドポイントと一致しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ただし、WSDL が誤ったエンドポイント URL を参照する場合があります。この場合は、新しい URL を含むプロパティ *com.glide.soap_address_base_url* を作成して、生成された URL をオーバーライドする必要があります。これはベースシステムプロパティではないため、プロパティを手動で追加する必要があります。

たとえば、生成された SOAP エンドポイントが次のようになる場合があります。

```
https://instance.service-now.com/incident.do?SOAP
```

次のようにプロパティを設定することで、プロキシを経由するようにエンドポイントを定義するプロパティを指定できます。

```
com.glide.soap_address_base_url =
 "https://myproxy.mycompany.com/service-now/"
```

これにより、生成されるエンドポイントは次のようになります。

```
https://myproxy.mycompany.com/service-now/incident.do?SOAP
```

HTTP 圧縮の有効化

デフォルトでは、SOAP 要求は非圧縮で受け入れられ、要求の結果は非圧縮で返されます。

SOAP 要求での送信時に [gzip] を使用して HTTP 圧縮を有効にするには、次の HTTP ヘッダーを設定します。

```
Content-Encoding: gzip
```

[gzip] を使用して圧縮された SOAP 応答を受信するには、SOAP 要求で次の HTTP ヘッダーを使用して送信します。

```
Accept-Encoding: gzip
```

SOAP メッセージの空の要素の防止

デフォルトでは、インスタンスは空の要素、NULL 値または NIL 値を持つ要素を SOAP メッセージから省略しません。

SOAP 応答に空の要素が含まれないようにするために、管理者は *glide.soap.omit_null_values* と呼ばれるシステムプロパティを作成し、値を **true** に設定できます。SOAP メッセージ内のすべての要素は minOccurs=0 属性を持つため、オプションであることから、この動作は WSDL に準拠しています。さらに、この動作により、インスタンスは多数の空の要素を含む非効率的な SOAP メッセージを作成しなくなります。

このプロパティを **false** に設定すると、SOAP メッセージでは、値が空の既存のフィールドを検索できるようになります。たとえば、管理者が空の [アサイン先] フィールドを含むインシデントを SOAP メッセージから検索する場合、SOAP メッセージはこのフィールドに空の値を送信できる必要があります。

> **注:** このプロパティの値を変更すると、既存の Web サービス統合で意図しないアクションが発生する可能性があります。管理者の方には、新しい動作を慎重にテストして、既存の統合が空の要素を想定どおりに処理することを確認することを強くお勧めします。

SOAP を使用した関連レコードの挿入

テーブルまたは Web サービスインポートセットテーブルへの階層データの挿入がサポートされています。挿入 API の階層データは、ターゲットテーブルの関連レコードに自動的にマッピングされます。

始める前に
必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

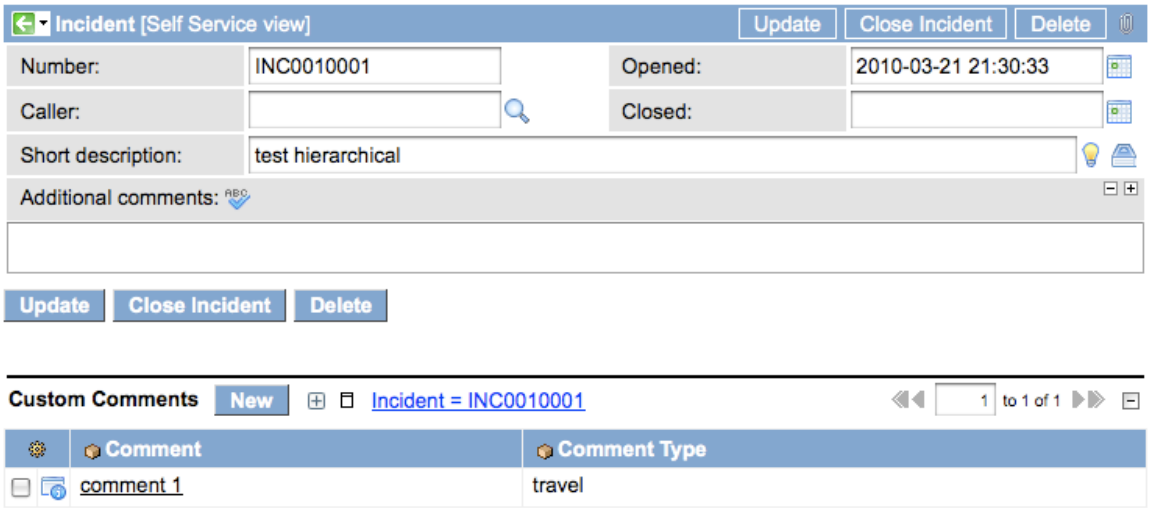
自動翻訳

手順

プロパティ *glide.web_service.hierarchical* を作成して *true* に設定します。
API のクライアントは、URL パラメーター *hierarchical=true* を使用して SOAP Web サービスを呼び出すことで、この値をオーバーライドすることもできます。

Example:
たとえば、`u_custom_comments` というインシデントテーブルの関連リストが作成される場合は、次のようになります。

階層インシデント



次のように、`u_custom_comments` の関連リストとして `u_comment_items` が作成されます。

階層カスタムコメント

関連情報

関連レコードを含む WSDL スキーマ

階層 SOAP メッセージ

関連レコードを含む WSDL スキーマ

ターゲットのインシデントテーブルの WSDL が *hierarchical=true* の追加パラメーターを使用して要求された場合、*Insert* 関数の WSDL スキーマには、階層データペイロードに含まれる可能性のある利用可能な関連レコードが反映されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、インシデントテーブルのスキーマの挿入部分が *hierarchical=true* で要求された場合、その階層は次のように表示されます。

```
https://instance.service-now.com/incident.do?WSDL&hierarchical=true
```

WSDL スキーマ

```
<xsd:element name="insert">
 – <xsd:complexType>
   – <xsd:sequence>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="active" type="xsd:boolean"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="activity_due" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="approval" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="approval_history" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="approval_set" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="assigned_to" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="assignment_group" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="business_duration" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="business_stc" type="xsd:integer"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="calendar_duration" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="calendar_stc" type="xsd:integer"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="caller_id" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="category" type="xsd:string"/>
```

...

WSDL スキーマ (続き)

```
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="work_end" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="work_notes" type="xsd:string"/>
       <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="work_start" type="xsd:string"/>
     – <xsd:element minOccurs="0" name="u_custom_comments">
       – <xsd:complexType>
         – <xsd:sequence>
             <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_comment" type="xsd:string"/>
             <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_comment_type" type="xsd:string"/>
             <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_incident" type="xsd:string"/>
           – <xsd:element minOccurs="0" name="u_comment_items">
             – <xsd:complexType>
               – <xsd:sequence>
                   <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_comment" type="xsd:string"/>
                   <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_name" type="xsd:string"/>
                   <xsd:element maxOccurs="1" minOccurs="0" name="u_value" type="xsd:string"/>
                 </xsd:sequence>
               </xsd:complexType>
             </xsd:element>
           </xsd:sequence>
         </xsd:complexType>
       </xsd:element>
     </xsd:sequence>
   </xsd:complexType>
 </xsd:element>
```

上記の WSDL では、関連するテーブル `u_comment_items` のある関連するテーブル `u_custom_comments` を持つ、インシデント テーブルを示しています。

階層 SOAP メッセージ

WSDL によって記述された階層 Web サービスから SOAP メッセージが構築され、呼び出されると、`incident`、`u_custom_comments`、および `u_comment_items` レコードが作成されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドポイント URL

```
https://instance.service-now.com/incident.do?SOAP&hierarchical=true
```

要求

```
<soapenv:Envelope
    xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
    xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <inc:insert>
         <short_description>test hierarchical</short_description>
         <u_custom_comments>
            <u_comment>comment 1</u_comment>
            <u_comment_type>travel</u_comment_type>
            <u_comment_items>
               <u_name>name 1</u_name>
               <u_value>value 1</u_value>
            </u_comment_items>
         </u_custom_comments>
      </inc:insert>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

応答

```
<soapenv:Envelope
    xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
    xmlns:inc="http://www.service-now.com/incident">
   <soapenv:Header/>
   <soapenv:Body>
      <insertResponse>
         <sys_id>8422ebe7c0a8006e7d23848c2dc8ba47</sys_id>
         <number>INC0010001</number>
      </insertResponse>
   </soapenv:Body>
</soapenv:Envelope>
```

自動翻訳

署名済み SOAP 要求の要件の指定

SOAP セキュリティポリシーを使用して、インスタンスがすべての受信 SOAP トラフィックに対して署名済み SOAP 要求を必要とするかどうかを指定します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin または admin

このタスクについて

デフォルトでは、すべての受信 SOAP トラフィックに署名する必要があります。管理者は、このポリシーを無効にして、ServiceNow Web サービスへの未署名の SOAP 要求を許可することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **SOAP** セキュリティポリシー.
2. [デフォルトポリシー]を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. **[Soap** 要求の署名を要求] チェックボックス (デフォルトで選択されている) をオフにして、この要件を無効にします。
4. [更新] をクリックします。

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインの有効化

管理者は、Enhanced Web Service Provider - Common プラグインを有効にして、未署名の WS-Security 要求を有効にし、SOAP 要求の認証要件を指定できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用して、Enhanced Web Service Provider - Common プラグイン (com.glide.web_service_provider_v2) を検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインでインストールされるコンポーネント

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインでは、次のコンポーネントがインストールされます。

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインでは、次のコンポーネントがインストールされます。

Enhanced Web Service Provider - Common プラグインでインストールされるコンポーネント

コンポーネントタイプ	インストールされるコンポーネント	説明
モジュール	Web Services Security プロファイル	プラグインは、このモジュールを System Web Services アプリケーションに追加します。
システムのプロパティ	`glide.soap.default_security_policy`	Web Services-Security (WSS) の受信要求への強制に使用するデフォルトのセキュリティポリシーを指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP セキュリティの設定

管理者は、ServiceNow インスタンスに対する受信 SOAP 要求に対して Web サービスのセキュリティを設定できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Web サービスのセキュリティを設定して、Web サービスのクライアントごとに異なる証明書を使用することもできます。Web サービスセキュリティを有効にすると、中間者攻撃を防ぐことができます。

> **注:** WS-Security プロファイルまたはセキュリティポリシーを設定すると、MID Server または ODBC Driver からの要求を含むすべての着信 SOAP 要求に対して検証が実行されます。これらのタイプの要求の検証を無効にするには、サービスアカウントを内部統合ユーザーとしてマークします。

手順

1. 証明書をインスタンスにアップロードします。
2. WS-Security プロファイルを作成します。
3. セキュリティポリシーを作成します。
   セキュリティポリシーは、特定の Web サービス要求を評価するために使用される WS-Security プロファイルを定義します。ポリシーが定義されていない場合は、すべての WS-Security プロファイルを使用してすべての要求が評価されます。
4. プロパティ `glide.soap.default_security_policy` の値を新しいセキュリティポリシーの名前に設定します。

SOAP デフォルトセキュリティポリシーの設定

SOAP デフォルトセキュリティポリシーを設定します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > プロパティ.
2. **[WS-Security** が有効な場合に適用するセキュリティポリシー **(Security Policy to enforce if WS-Security is enabled)]** フィールドに、WS-Security を適用するときに使用するデフォルトのセキュリティポリシーを入力します。
3. [保存] をクリックします。

新しいセキュリティポリシーの作成

管理者は、新しいセキュリティポリシーを作成することで、WS-Security 通信が満たす必要があるセキュリティプロファイルを指定できます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **SOAP** セキュリティポリシー.
2. [新規] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. SOAP セキュリティポリシーフォームに必要事項を入力します (表を参照)。

SOAP セキュリティポリシーフォームフィールド

フィールド	説明
名前	セキュリティポリシーの一意の名前を入力します。この名前を使用して、`glide.soap.default_security_policy` プロパティでデフォルトのセキュリティポリシーを設定します。
タイプ	SOAP セキュリティポリシーを受信トラフィックに適用するか、送信トラフィックに適用するかを選択します。
Soap 要求の署名を要求	署名済み SOAP 要求を要求するには、このチェックボックスをオンにします。未署名の SOAP 要求を許可するには、このチェックボックスをオフにします。有効にすると、インスタンスは有効な署名を含まない SOAP 要求に対してエラーを生成します。無効にした場合でも、インスタンスは SOAP 要求に含まれる署名を検証します。
認証	SOAP 要求がすべてのセキュリティプロファイルまたは少なくとも 1 つのセキュリティプロファイルに対して認証する必要がある場合に選択します。
セキュリティプロファイル	この SOAP セキュリティポリシーに適用するセキュリティプロファイルを選択します。少なくとも 1 つのセキュリティプロファイルを選択する必要があります。

4. [送信] をクリックします。

新しい **WS-Security** プロファイルの作成

WS-Security プロファイルを作成して、WS-Security が有効になっている場合の Web サービスメッセージの認証方法を定義します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **WS** セキュリティプロファイル.
2. [新規] をクリックします。
3. WS-Security プロファイルフォームに必要事項を入力します (表を参照)。

WS-Security プロファイルフォームフィールド

フィールド	説明
名前	セキュリティプロファイルの一意の名前を入力します。
タイプ	要求の証明書を検証するには、**[X509]** を選択します。要求のユーザー資格情報を検証するには、[ユーザー名] を選択します。
ユーザー	認証が成功し、[セッションのバインド] フィールドが選択されている場合にインスタンスが代理操作する ServiceNow ユーザーを選択します。すべての Web サービス要求は

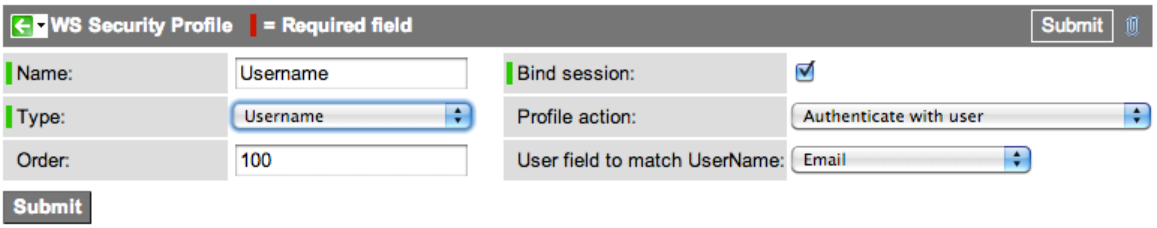
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
として実行	このユーザーに帰属します。たとえば、システム管理者ユーザーを選択すると、インスタンスはすべての Web サービス操作をシステム管理者によって実行されているものとして処理します。`glide.soap.strict_security` 高セキュリティ設定を使用している場合は、選択したユーザーが適切な SOAP 権限を持っていることを確認してください。このフィールドは、タイプが **X509** である場合にのみ表示されます。
順番	インスタンスがセキュリティプロファイルをチェックする順序を入力します。インスタンスは、受信 SOAP 要求を処理するときにすべてのセキュリティプロファイルを確認します。要求がいずれかのセキュリティプロファイル認証要件を満たさない場合、インスタンスは追加のセキュリティプロファイルの処理を停止し、要求は失敗します。
セッションのバインド	[ユーザーとして実行] フィールドにリストされているユーザーをインスタンスで代理操作するには、このチェックボックスをオンにします。このフィールドは、一度に 1 つのプロファイルに対してのみ設定してください。複数のプロファイルでこのフィールドが選択されている場合、ServiceNow は最後に正常に認証された WS-Security プロファイルからのユーザーを代理操作します。このフィールドが選択されたプロファイルがない場合、ServiceNow 基本認証ヘッダーで提供されたユーザーを代理操作するか、デフォルトのユーザー (ゲスト) を代理操作します。
X509 外部審査済み書	Web サービス要求の証明書を含む証明書レコードを選択します。ServiceNow は要求の署名のみを検証します。証明書の認証局 (CA) を自動的に信頼します。このフィールドは、タイプが **X509** である場合にのみ表示されます。
プロファイルアクション	インスタンスでユーザー資格情報を認証する方法を選択します。既存のユーザーレコードに基づいてインスタンスで要求を認証する場合は、[ユーザーで認証] を選択します。要求の資格情報は、既存のユーザーレコードの値と一致する必要があります。すべての Web サービス要求が満たす必要があるユーザー名とパスワードの組み合わせをリストする場合は、[認証するユーザーを指定] を選択します。要求の資格情報は、リストするユーザー名とパスワードと一致する必要があります。このフィールドは、タイプが [ユーザー名] である場合にのみ表示されます。
ユーザー名と照合するユーザーフィールド	要求の UserName と照合する値を含む列をユーザー [sys_user] テーブルから選択します。たとえば、[メール] を選択した場合、要求の UserName ヘッダーには、既存の ServiceNow ユーザーと一致するメールアドレスが含まれている必要があります。このフィールドは、プロファイルアクションが [ユーザーで認証] の場合のみ表示されます。
ユーザー名	すべての Web サービス要求に含める必要があるユーザー名を入力します。このフィールドは、プロファイルアクションが [ユーザー名] の場合のみ表示されます。
ユーザーパスワード	すべての Web サービス要求に含める必要があるパスワードを入力します。このフィールドは、プロファイルアクションがユーザー名の場合にのみ表示されます

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [送信] をクリックします。

関連情報

SOAP Web サービスのセキュリティ

WS セキュリティを使用

WS-Security プロファイル

受信 SOAP の厳格なセキュリティの適用

Web サービスの厳格なセキュリティでは、ユーザーがインスタンスリソースにアクセスするためにコンテキスト依存セキュリティ要件を満たす必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

注: ServiceNow は、SOAP Web サービス呼び出しでデジタル証明書、デジタル署名、またはその他のダイジェストトークンメソッドをサポートしていません。

Web サービス接続に厳格なセキュリティを適用するには：

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > **Web** サービス.
2. [着信 **SOAP** 要求の厳格なセキュリティを実装します] に対して [はい] を選択します。

注: このプロパティの詳細については、「インスタンスセキュリティ強化設定」の「SOAP 要求の厳格なセキュリティ (インスタンスセキュリティ強化)」 を参照してください。

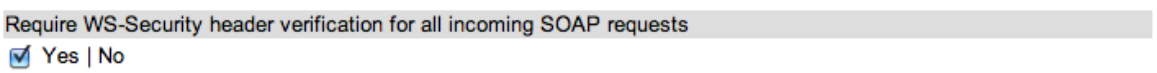
WS-Security 検証の有効化

管理者は、Web サービスのシステムプロパティから Web Services Security (WSS) 検証を有効にできます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > プロパティ.
2. [すべての着信 **SOAP** 要求に **WS-Security** ヘッダー検証を行う] に [はい] を選択します。



注: このオプションを選択すると、すべての受信 SOAP 要求に対して WS-Security が有効になります。一部の要求に対してのみ WS-Security を有効にすることはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [保存] をクリックします。
4. WS-Security プロファイルを作成します。
5. MID サーバー と ODBC ドライバーのユーザーレコードを更新して、これらのユーザーを内部統合ユーザーとしてマークします。
6. 最新の MID サーバー と ODBC ドライバーをダウンロードしてインストールします。
7. SOAP 要求の署名を検証するには、リモート Web サービスの証明書を JKS としてアップロードし、Web サービスの WSS ユーザー名トークンプロファイルを作成します。

   注: ServiceNow WSS 実装は CA 証明書を検証しないため、Web サービスの CA 証明書をアップロードする必要はありません。

関連情報

基本認証

内部統合ユーザーとしてサービス アカウントをマークする

ユーザーアカウントを内部統合ユーザーとしてマークすることで、内部統合通信が WSS 認証要件をバイパスできるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
WS-Security が有効になっている場合、MID Server、ODBC Driver、リモート更新セット、高可用性クローンなどの内部統合通信を含むすべての SOAP 要求に対して認証が必要です。これらの内部統合通信の SOAP 要求は、技術的な問題のため、WS-Security を実装できません。インスタンスでこれらの SOAP インターフェイスを使用する場合は、そのユーザーアカウントを内部統合ユーザーとしてマークすることで、WS-Security 認証要件をバイパスできるようにすることができます。

注: ODBC、MID Server、リモート更新セット、または高可用性クローン以外の Web サービスでは、WS-Security が有効になっている場合は WS-Security ヘッダーを実装する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. MID Server または ODBC Driver のユーザーアカウントを選択します。
3. [内部統合ユーザー] フィールドを追加するようにフォームを設定します。
4. [内部統合ユーザー] チェックボックスをオンにします。
5. [更新] をクリックします。

関連情報

WS-Security 検証の有効化

WS セキュリティを使用

着信 SOAP エンベロープのデバッグ

着信 SOAP エンベロープ XML をシステムログにキャプチャするには、プロパティ *glide.processor.debug.SOAPProcessor* を **true**の値で追加します。

有効にすると、このプロパティは受信 SOAP エンベロープをシステムログの [メッセージ] フィールドに追加します (システムログ > すべて). 作業が終了したらすぐにこのデバッグ機能を無効にし、過度の不要なデバッグ情報でログがいっぱいにならないようにしてください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

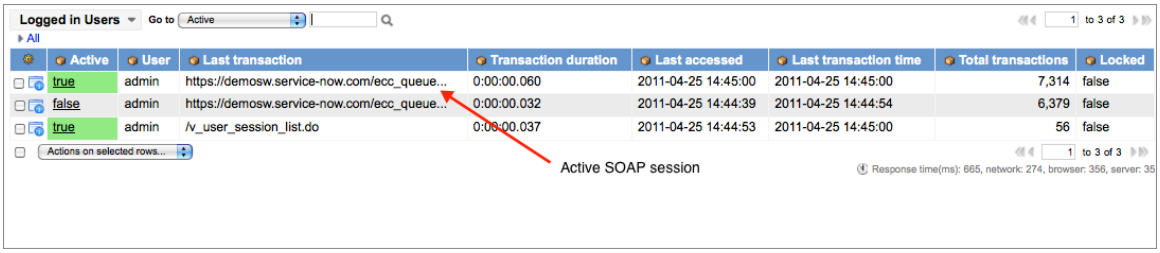
SOAP セッションログの表示

SOAP セッションからユーザーのログを表示できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ログインユーザー.



2. アクティブな SOAP セッションを開いて、トランザクションログを表示します。

   SOAP セッションは、最後のトランザクションから 60 秒以内に非アクティブとしてマークされます。

基本認証コードのサンプル

いくつかのプログラミング言語とバージョンの基本認証コードのサンプルを示します。

Perl および SOAP::Lite ライブラリー

Perl と SOAP::Lite ライブラリーの使用時に基本認証を提供するには、次の機能を実装できます。

```
sub SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials {
   return 'user_name' => 'password';
}
```

C# .NET VS 2005 以前

C# .NET VS 2005 以前のバージョンを使用している場合は、Credentials オブジェクトを利用できます。例：

```
System.Net.ICredentials cred = new
 System.Net.NetworkCredential("user_name", "password");

service.ServiceNow proxy = new service.ServiceNow();
service.get getService = newservice.get();
service.getResponse getServiceResponse = new service.getResponse();

try
{
  proxy.Credentials = cred;
  getService.sys_id = "bf522c350a0a140701972dbf876f1610";
  getServiceResponse = proxy.get(getService);
catch (Exception ex) { }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

C# .NET VS 2008

C# .NET VS 2008 を使用している場合は、ClientCredentials オブジェクトを利用できます。例：

```
Demo_Incident.ServiceNowSoapClient client = new
 Test08WebService.Demo_Incident.ServiceNowSoapClient();
client.ClientCredentials.UserName.UserName = "admin";
client.ClientCredentials.UserName.Password = "admin";
```

次に、`app.config` ファイルで以下を探し、「None」を「Basic」に変更します。

```
<transport clientCredentialType="None" proxyCredentialType="None"
 realm="" />
```

VB .NET

VB .NET を使用している場合は、Credentials オブジェクトを利用すると次のようになります。

```
 Sub Main()
        Dim cred As New System.Net.NetworkCredential("user_name",
 "password")

        Dim proxy As New VB_Democm.incident.ServiceNow
        Dim getIncident As New VB_Democm.incident.get
        Dim getResponse As New VB_Democm.incident.getResponse

        proxy.Credentials = cred

        getIncident.sys_id = "[your sysID here]"

        getResponse = proxy.get(getIncident)

    End Sub
```

ベーシック認証がオンになっており、認証情報が提供されていない場合の結果の応答は、次のようになります。

```
 <html>
 <head>
 <title>Apache Tomcat/5.0.28 - Error report</title>
 <style>   <!--H1
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;color:white;background-color:#525D7
6;font-size:22px;}
  H2
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;color:white;background-color:#525D7
6;font-size:16px;}
  H3
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;color:white;background-color:#525D7
6;font-size:14px;}
  BODY
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;color:black;background-color:whit
e;}
  B
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;color:white;background-color:#525D7
6;}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  P
 {font-family:Tahoma,Arial,sans-serif;background:white;color:black;font-s
ize:12px;}
  A {color: black;}
  A.name {color: black;}
  HR {color: #525D76;}-->
  </style>
  </head>
  <body>
  <h1>HTTP Status 401 -\</h1>
  <HR size="1" noshade="noshade">
  <p><b>type</b> Status report</p>
  <p><b>message</b> <u></u></p>
  <p><b>description</b>
  <u>This request requires HTTP authentication ().</u></p>
  <HR size="1" noshade="noshade">
  <h3>Apache Tomcat/5.0.28</h3>
  </body>
  </html>
```

WS-Security SOAP エンベロープヘッダーの例

有効な WS-Security SOAP エンベロープヘッダーの例を示します。

```
<SOAP-ENV:Header>
 <wsse:Security

 xmlns:wsse="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.x
sd"
  SOAP-ENV:mustUnderstand="1">
  <wsse:BinarySecurityToken

 xmlns:wsu="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-utility-1.0.x
sd"

 EncodingType="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-soap-message-security-1.
0#Base64Binary"

 ValueType="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-x509-token-profile-1.0#X
509v3"
   wsu:Id="CertId-2D914AB929A6719E7F13068829874641"

 xmlns:wsse="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xs
d">
   MIIEgzCCA2ugAwIBAgILAQAAAAABLOZQMtEwDQYJKoZIhvcNAQ
   EFBQAwQDEXMBUGA1UEChMOQ3liZXJ0cnVzdCBJbmMxJTAjBg
   NVBAMTHEN5YmVydHJ1c3QgU3VyZWNyZWRlbnRpYWwgQ0Ew
   HhcNMTAxMjE0MTgyMjU1WhcNMTECMjE0MTgyMjU1WjB3MQsw
   CQYDVQQGEwJVUzEUMBIGA1UEChMLU2VydmljZS1Ob3cxKDA
   mBgkqhkiG9w0BCQEWGWRhdmlkLmxvb0BzZXJ2aWNlLW5vdy5jb
   20xKDAmBgNVBAMTH1NlcnZpY2UtTm93IFBhcn3uZXIgRGV2ZWx
   vcG1lbnQwggEiMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4IBDwAwggEKAoIB
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   AQCvtcRIb6zkGnN9uyhtcSDNSIuCW6FgnTbTDUvw2nGlNA9y9iEV
   wTp5TG3eELOOFBCuRLeY5x28lN+cJ72v+zCwi/rZcbEPj8oWyLVA
   OqJThgrzhDabj0vDM/zU8bvAXcw6FoCUDFKkc64WC7Y4HpBdfW4
   JT7FBgDQ3LEudq80Up+TfETiGwrEA3jRgy9fF92TKD7MN3Vkyhz2
   xZLOFiN5HJixl9juNJmLWugqqIG04yZSuCutc1gjCy0U+f0NXKgh0Q
   rRheNpwcqWbbJvLbR9Ybso6l3UAYCQ09hrRnI7VaPvfiueUvuLopap
   o4Kel6iL8aMUAfEUDtkf1AbqRIIQ5AgMBAAGjggFFMIIBQTAfBgNVH
   SMEGDAWgBRJTJILzUojts557p5VM2taRMAClTA7BgNVHR8ENDA
   yMDCgLqAshipodHRwOi8vY3JsLm9tbmlyb290LmNvbS9TdXJlQ3JlZ
   GVudGlhbC5jcmwwHQYDVR0OBBYEFB+OqlvcdiYmq0enW6mgaV
   wZp9eaMA8GA1UdEwEB/wQFMAMCAQAwDgYDVR0PAQH/BAQD
   AgTwMBEGCWCGSAGG+EIBAQQEAwIFoDBJBg3rBgEFBQcBA1Q
   9MDswOQYIKwYBBQUHMAKGLWh0dHA6Ly9jYWNlcnQub21uaXJv
   b3QuY29tL3N1cmVjcmVkZW50aWFsLmNydDAkBgNVHREEHTAbg
   RlkYXZpZC5sb29Ac2VydmljZS1ub3cuY29tMB0GA1UdJQQWMBQG
   CCsGAQUFBwMCBggrBgEFBQcDBDANBgkqhkiG9w0BAQUFAAO
   CAQEAmeoP0Bgtx2JN1ldLnnK6WLEqDk25zaHP5wTxqVlFxzJy1zi6
   A0lk5U0T5LKYjjGWRIOoSeK8iBU0p7Mq4PE8QCETkjYNyuWJd9zm
   7GPCHdOoL18rQHQRsU8pTDHA10zG+i3zdxAMrHl/H673E4myzvU
   DkJnxNAZdw4h4Ba/Y1+VFCWhOm2GwZdXtzklyZaKtMp+31qmf3bG
   OSU34M/dW40pXgfLDqdGD+6YDQPg25aYeCqcNhwg6VlAWG566g
   aWXYxRaVj0qotSDMdaK8b+7Vlo7KhGGaE62v7f44OSekJeBvTfZCR
   7zRSK8N+0qUpqP/n8vgDkmYIE5IQrRE0rEWA==
  </wsse:BinarySecurityToken>
  <ds:Signature xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
   Id="Signature-2">
   <ds:SignedInfo xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
    <ds:CanonicalizationMethod
     Algorithm="http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#"
 xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
    <ds:SignatureMethod
 Algorithm="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#rsa-sha1"
     xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
    <ds:Reference URI="#Timestamp-1"
 xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
     <ds:Transforms xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
      <ds:Transform Algorithm="http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#"
       xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
     </ds:Transforms>
     <ds:DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#sha1"
      xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
     <ds:DigestValue
 xmlns:ds="http://
www.w3.org/2000/09/xmldsig#">NIS5sizg8wttGL+aWFQ4003TpPg=</ds:DigestVal
ue>
    </ds:Reference>
    <ds:Reference URI="#id-3"
 xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
     <ds:Transforms xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
      <ds:Transform Algorithm="http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#"
       xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
     </ds:Transforms>
     <ds:DigestMethod Algorithm="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#sha1"
      xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" />
     <ds:DigestValue
 xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">/rXB
+nhBT5BXtDErIUIBOyhoh8Y=</ds:DigestValue>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    </ds:Reference>
   </ds:SignedInfo>
   <ds:SignatureValue xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">

 fwjxJRiDNrNxbVsKoHZflsmKlYADldJf0BoN3R2Fx9rjpszFXI2Gp92eXsP+Sl6rmbPXIdKb
8lLl

 +dv8upl8WYPrKJP61KeJ0ZsKNDX474NYC2XEzdJcXbZNktmqY0dSmKwJZzi8rJtmGrbOUAaH
51GK

 oXV2FLJ0AqILoZMyP/SPWKbOUNUCpssY7vRA+tX8ZmrjTwMUvpOZbo+KInPmwfpZ6n/uarOh
5zjL

 NaYJylTCjuuqXDKPZLvDqy48yrsGAWczB901KwLLrE8C+6aPucFrTBytX91vIhaWiLZuba8N
ouaz
    vUkjUk7LM5o87MGrSFx3OwxbaOD7/cMtdg2bxA==
                        </ds:SignatureValue>
   <ds:KeyInfo Id="KeyId-2D914AB929A6719E7F13068829875022"
    xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#">
    <wsse:SecurityTokenReference

 xmlns:wsu="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-utility-1.0.x
sd"
     wsu:Id="STRId-2D914AB929A6719E7F13068829875053"

 xmlns:wsse="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xs
d">
     <wsse:Reference URI="#CertId-2D914AB929A6719E7F13068829874641"

 ValueType="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-x509-token-profile-1.0#X
509v3"

 xmlns:wsse="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-secext-1.0.xs
d" />
    </wsse:SecurityTokenReference>
   </ds:KeyInfo>
  </ds:Signature>
  <wsu:Timestamp

 xmlns:wsu="http://
docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecurity-utility-1.0.x
sd"
   wsu:Id="Timestamp-1">
   <wsu:Created>2011-05-31T23:03:07.454Z</wsu:Created>
   <wsu:Expires>2011-05-31T23:08:07.454Z</wsu:Expires>
  </wsu:Timestamp>
  <wsse:UsernameToken>
   <wsse:Username>test_user</wsse:Username>
   <wsse:Password>xxxxxx</wsse:Password>
  </wsse:UsernameToken>
 </wsse:Security>
</SOAP-ENV:Header>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WS-Security プロパティ

これらのプロパティは、WS-Security X.509 トークンの動作を制御します。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.soap.msg_digest.algorithm	メソッドダイジェストアルゴリズムを指定します。可能な値は、SHA-1、SHA-256、および SHA-512 です。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：SHA-1 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.soap.signature.algorithm	署名アルゴリズムを指定します。可能な値は、RSA-SHA-1、RSA-SHA-256、および RSA-SHA-512 です。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：RSA-SHA-1 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.soap.canonical.algorithm	正規化アルゴリズムを指定します。可能な値は、Canonical XML 1.0、Canonical XML 1.0 (コメント付き)、Exclusive Canonical XML 1.0、および Exclusive Canonical XML 1.0 (コメント付き) です。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：Exclusive Canonical XML 1.0 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

これらのプロパティで可能な値はそれぞれ、標準の WS-Security アルゴリズムを表します。

プロパティ値の **URL**

値	アルゴリズム
メソッドダイジェストアルゴリズム	
SHA-1	http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#sha1
SHA-256	http://www.w3.org/2001/04/xmlenc#sha256
SHA-512	http://www.w3.org/2001/04/xmlenc#sha512
署名アルゴリズム	
RSA-SHA-1	http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#rsa-sha1
RSA-SHA-256	http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#rsa-sha256
RSA-SHA-512	http://www.w3.org/2001/04/xmldsig-more#rsa-sha512
正規化アルゴリズム	
Canonical XML 1.0	http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ値の **URL** (続く)

値	アルゴリズム
Canonical XML 1.0 (コメント付き)	http://www.w3.org/TR/2001/REC-xml-c14n-20010315#WithComments
Exclusive Canonical XML 1.0	http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#
Exclusive Canonical XML 1.0 (コメント付き)	http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#WithComments

WS-Security エラーメッセージ

インスタンスで WS-Security SOAP メッセージの問題が発生すると、次のいずれかのエラーメッセージが生成されます。

WS-Security エラーメッセージ

エラー	説明
無効なセキュリティポリシーが選択されました。受信した要求の受信ポリシーを選択します。	デフォルトのポリシー名がアウトバウンドポリシーに設定されています。デフォルトのポリシー名を受信セキュリティポリシーに設定します。
SOAP 要求が署名されていません。ポリシーでは署名が必要とされます。	SOAP セキュリティポリシーでは署名が必要とされますが、受信 SOAP 要求は署名されていません。別の SOAP セキュリティポリシーを指定するか、または SOAP 要求に適切な署名を提供してください。
認証するプロファイルがありません。	選択したセキュリティポリシーにセキュリティプロファイル (X509 または UserNameToken) がないか、セキュリティプロファイルが非アクティブです。少なくとも 1 つのセキュリティプロファイルがアクティブであることを確認します。
署名された要求を検証できません。	受信 SOAP 要求に無効な署名が含まれています。署名後に SOAP 要求が変更されました。
要求からのプリンシパルの抽出に失敗しました。	SOAP 要求が改ざんされたか、形式が不適切です。ServiceNow は要求を認証するための資格情報を抽出できません。
WS-Security の認証に失敗しました。不明なタイプです。	SOAP 要求に、サポートされていないセキュリティプロファイルが含まれています。サポートされているセキュリティプロファイルタイプ (X509 または UsernameToken) を使用して要求を再送信します。
WS-Security の認証に失敗しました。	ServiceNow で、指定されたプロファイル資格情報に対する認証に失敗しました。SOAP 要求が適切な資格情報を使用していることを確認します。

WS-Security 参照

WSS X.509 トークンプロファイルおよび WSS ユーザー名トークンプロファイルの形式での WS-Security 1.1 は、受信 SOAP 要求でサポートされます。

WS-Security を使用する構成は、ベーシック認証を強制する要件とは別であり、SOAP エンベロープに WS-Security ヘッダーが含まれている場合に適用されます。

WS セキュリティプロファイル

WS セキュリティプロファイルモジュールには、現在有効な WS-Security プロファイルがリストされます。プロファイルの順序は、受信 SOAP 要求中にすべてのプロファイルがチェックされる認

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

証の順序を示します。プロファイルが認証に失敗すると、次の順番のプロファイルは実行されません。[セッションのバインド] チェックボックスは、セッションの ID を引き継ぐために使用するプロファイルを示します。「バインドされた」セッションは 1 つしか存在できません。

WSS X.509 トークンプロファイル

Web Services Security: SOAP Message Security specification (Web サービス セキュリティ：SOAPメッセージセキュリティ仕様) で定義されている通りに X.509 認証フレームワークを使用します。X.509 証明書は、公開鍵と、(少なくとも) 件名、発行者名、シリアル番号、および有効期間を含む一連の属性とのバインディングを指定します。X.509 証明書は、着信 SOAP メッセージを知らせるために使用される公開鍵を検証するために使用されます。証明書モジュールの証明書をアップロードして、**[X509** 証明書] フィールドで参照します。これがバインドされたセッションの場合は、WS-Security 認証が成功したときになりすますユーザーを選択します。

http://www.oasis-open.org/committees/download.php/16785/wss-v1.1-spec-os-x509TokenProfile.pdf のドキュメントを参照してください。

WSS ユーザー名トークンプロファイル

X.509 トークンプロファイルを指定するのに加えて、SOAP 要求ではユーザー名トークンも指定できます。ユーザー名トークンは、「ユーザー名」で要求者を識別する手段として使用され、オプションでパスワード (または共有秘密キー、またはパスワードと同等のもの) を使用して、その ID をインスタンスに対して証明します。ユーザー名トークンプロファイルは、現在は X.509 トークンプロファイルから独立して使用することはできません。

1. 受信 SOAP 要求のユーザー名を使用して、**UserName** 値に一致する指定されたユーザーフィールドでユーザーを検索します。受信ユーザー名トークンのパスワード値は、要求を認証するために使用されます。[バインドセッション] オプションを選択すると、認証に成功したユーザーがセッションに使用されます。
2. ユーザーテーブル内のユーザーとは無関係な別のユーザー名/パスワードのペアを使用して認証します。バインドセッションオプションが選択されている場合、[ユーザーとして実行] フィールドで指定されているユーザーがセッションに使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WS-Security SOAP エンベロープヘッダーの例

注:

このサンプルは、フレームに収まるように改行を使用してフォーマットされています。

```
<SOAP-ENV:Header><wsse:Securityxmlns:wsse =
 "http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecuri
ty-secext-1.0.xsd"SOAP-ENV:mustUnderstand =
 "1" ><wsse:BinarySecurityTokenxmlns:wsu =
 "http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecuri
ty-utility-1.0.xsd"EncodingType =
 "http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-soap-messa
ge-security-1.0#Base64Binary"ValueType =
 "http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-x509-tok
en-profile-1.0#X509v3"wsu:Id =
 "CertId-2D914AB929A6719E7F13068829874641"xmlns:wsse =
 "http://docs.oasis-open.org/wss/2004/01/oasis-200401-wss-wssecuri
ty-secext-1.0.xsd" >
   MIIEgzCCA2ugAwIBAgILAQAAAAABLOZQMtEwDQYJKoZIhvcNAQ
   EFBQAwQDEXMBUGA1UEChMOQ3liZXJ0cnVzdCBJbmMxJTAjBg
   NVBAMTHEN5YmVydHJ1c3QgU3VyZWNyZWRlbnRpYWwgQ0Ew
   HhcNMTAxMjE0MTgyMjU1WhcNMTECMjE0MTgyMjU1WjB3MQsw
   CQYDVQQGEwJVUzEUMBIGA1UEChMLU2VydmljZS1Ob3cxKDA
   mBgkqhkiG9w0BCQEWGWRhdmlkLmxvb0BzZXJ2aWNlLW5vdy5jb
   20xKDAmBgNVBAMTH1NlcnZpY2UtTm93IFBhcn3uZXIgRGV2ZWx
   vcG1lbnQwggEiMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4IBDwAwggEKAoIB
   AQCvtcRIb6zkGnN9uyhtcSDNSIuCW6FgnTbTDUvw2nGlNA9y9iEV
   wTp5TG3eELOOFBCuRLeY5x28lN+cJ72v+zCwi/rZcbEPj8oWyLVA
   OqJThgrzhDabj0vDM/zU8bvAXcw6FoCUDFKkc64WC7Y4HpBdfW4
   JT7FBgDQ3LEudq80Up+TfETiGwrEA3jRgy9fF92TKD7MN3Vkyhz2
   xZLOFiN5HJixl9juNJmLWugqqIG04yZSuCutc1gjCy0U+f0NXKgh0Q
   rRheNpwcqWbbJvLbR9Ybso6l3UAYCQ09hrRnI7VaPvfiueUvuLopap
   o4Kel6iL8aMUAfEUDtkf1AbqRIIQ5AgMBAAGjggFFMIIBQTAfBgNVH
   SMEGDAWgBRJTJILzUojts557p5VM2taRMAClTA7BgNVHR8ENDA
   yMDCgLqAshipodHRwOi8vY3JsLm9tbmlyb290LmNvbS9TdXJlQ3JlZ
   GVudGlhbC5jcmwwHQYDVR0OBBYEFB+OqlvcdiYmq0enW6mgaV
   wZp9eaMA8GA1UdEwEB/wQFMAMCAQAwDgYDVR0PAQH/BAQD
   AgTwMBEGCWCGSAGG+EIBAQQEAwIFoDBJBg3rBgEFBQcBA1Q
   9MDswOQYIKwYBBQUHMAKGLWh0dHA6Ly9jYWNlcnQub21uaXJv
   b3QuY29tL3N1cmVjcmVkZW50aWFsLmNydDAkBgNVHREEHTAbg
   RlkYXZpZC5sb29Ac2VydmljZS1ub3cuY29tMB0GA1UdJQQWMBQG
   CCsGAQUFBwMCBggrBgEFBQcDBDANBgkqhkiG9w0BAQUFAAO
   CAQEAmeoP0Bgtx2JN1ldLnnK6WLEqDk25zaHP5wTxqVlFxzJy1zi6
   A0lk5U0T5LKYjjGWRIOoSeK8iBU0p7Mq4PE8QCETkjYNyuWJd9zm
   7GPCHdOoL18rQHQRsU8pTDHA10zG+i3zdxAMrHl/H673E4myzvU
   DkJnxNAZdw4h4Ba/Y1+VFCWhOm2GwZdXtzklyZaKtMp+31qmf3bG
   OSU34M/dW40pXgfLDqdGD+6YDQPg25aYeCqcNhwg6VlAWG566g
   aWXYxRaVj0qotSDMdaK8b+7Vlo7KhGGaE62v7f44OSekJeBvTfZCR
   7zRSK8N+0qUpqP/n8vgDkmYIE5IQrRE0rEWA==
  </wsse:BinarySecurityToken><ds:Signature xmlns:ds =
 "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"Id = "Signature-2"
 ><ds:SignedInfo xmlns:ds = "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
 ><ds:CanonicalizationMethodAlgorithm =
 "http://www.w3.org/2001/10/xml-exc-c14n#" xmlns:ds =
 "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" /><ds:SignatureMethod
 Algorithm = "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#rsa-sha1"xmlns:ds
 = "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#" /><ds:Reference URI =
 "#_1" xmlns:ds = "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
 ><ds:Transforms xmlns:ds = "http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

LongRunningSOAPRequestProps

次のプロパティは、長時間実行される SOAP 要求に使用できます。

長時間実行される **SOAP** 要求のプロパティ

プロパティ	説明
glide.http.connection_timeout	送信 HTTP 要求 (Web サービスなど) が接続を確立するために待機する最大ミリ秒数を指定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10000 (10 秒) • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.http.timeout	送信トランザクションがタイムアウトするまで待機する最大ミリ秒数を指定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：175000 (175 秒) • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.soap.max_redirects	SOAP 要求がタイムアウトするまでにサーバーがクライアントに送信する最大リダイレクト数を指定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.soap.request_processing_timeout	接続がタイムアウトするまでに受信 SOAP 要求が処理を終了する必要のある最大秒数を指定します。このプロパティは、プロパティ *glide.http.timeout* の値を 1000 で割ってデフォルト値を計算します。 このプロパティは、5 ～ 1200 秒 (20 分) の値を受け入れます。 顧客がより短いタイムアウトを実装するネットワークインフラストラクチャ (プロキシサーバーなど) を備えている場合もあります。この場合、このプロパティがより短い値に設定されていない限り、ソケット タイム アウトが発生する可能性があります。クライアントアプリ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

長時間実行される **SOAP** 要求のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	ケーションとインスタンス間のネットワーク パス内の、どこでも有効なソケットの非アクティブの最短のタイムアウトよりも、このプロパティを数秒短い値に設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.soapprocessor.allow_long_running_threads	要求に *redirectSupported=true* パラメーターが含まれている場合、307-Temporary Redirect を有効または無効にします。デフォルト設定は **true** (有効) です。
glide.soapprocessor.max_long_running_threads	一度に実行できる長時間実行の SOAP スレッドの最大数を制御します。このプロパティのデフォルト値は、設定された SOAP セマフォの数に基づいて動的に決定されます。この値を変更する必要はありません。

JSONv2 Web サービス

JavaScript 言語の発展による自然な結果として、JSON 形式でデータセットを記述する機能が備わりました。

ServiceNow は、データの入出力形式として JSON オブジェクトで動作する Web サービスインターフェイスをサポートしています。

JSONv2 Web サービスは、SOAP、WSDL、CSV、Excel、および XML のサービスと同様のプラットフォームレベルのプロセッサーによって提供されます。これらのサービスと同様に、JSON Web サービスはスタンドアロンの JSONv2 URL パラメーターによってトリガーされます。例：

```
https://<instance name>.service-now.com/mytable.do?JSONv2
```

JSON オブジェクトを Web サービスのデータ形式として使用できるということは、JSON オブジェクト形式を使用してシステム内のデータを作成 (挿入)、更新、およびクエリし、結果を JSON オブジェクト形式で取得できることを意味します。

セキュリティ

プラットフォームで利用可能な他のすべての HTTP ベースの Web サービスと同様に、JSONv2 Web サービスは、デフォルトで基本認証を使用して認証する必要があります。認証に使用されるユーザー ID は、インタラクティブユーザーと同じ方法でアクセス制御されます。

関連情報

SOAP Web サービスのセキュリティ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON オブジェクト形式

JSON オブジェクトは 2 つの構造で構築されています。

- 名前/値のペアのコレクション。さまざまな言語で、これはオブジェクト、レコード、構造体、ディクショナリー、ハッシュテーブル、キー付きリスト、または結合アレイとして実現されます。
- 値の順序付きリスト。ほとんどの言語では、これはアレイ、ベクトル、リスト、またはシーケンスとして実現されます。

最も単純な形式では、JSON オブジェクトは単なるカンマで区切られた名前/値のペアのセットです。例：

```
{"name one":"value one","name two":"value two"}
```

JSON のインシデントの単一レコードアレイのサンプルを次に示します。

```
{"records":
  [{"closed_by":"",
    "__status": "success",
    "category":"inquiry",
    "escalation":"0",
    "state":"1",
    "location":"",
    "reassignment_count":"0",
    "time_worked":"",
    "order":"0",
    "due_date":"",
    "number":"INC0010180",
    "upon_approval":"proceed",
    "sla_due":"2010-03-04 22:51:49",
    "follow_up":"",
    "notify":"1",
    "business_stc":"0",
    "caused_by":"",
    "rejection_goto":"",
    "assignment_group":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06",
    "incident_state":"1",
    "opened_at":"2010-02-23 22:51:49",
    "wf_activity":"",
    "calendar_duration":"",
    "group_list":"",
    "caller_id":"",
    "comments":"",
    "priority":"3",
    "sys_id":"fd0774860a0a0b380061bab9094733ad",
    "sys_updated_by":"itil",
    "variables":"",
    "delivery_task":"",
    "sys_updated_on":"2010-02-23 22:51:49",
    "parent":"",
    "active":"true",
    "opened_by":"681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd",
    "expected_start":"",
    "sys_meta":"System meta data",
    "watch_list":"",
    "company":"",
    "upon_reject":"cancel",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "work_notes":"",
    "sys_created_by":"itil",
    "cmdb_ci":"",
    "approval_set":"",
    "user_input":"",
    "sys_created_on":"2010-02-23 22:51:49",
    "contact_type":"phone",
    "rfc":"",
    "approval_history":"",
    "activity_due":"",
    "severity":"3",
    "subcategory":"",
    "work_end":"",
    "closed_at":"",
    "close_notes":"",
    "variable_pool":"",
    "business_duration":"",
    "knowledge":"false",
    "approval":"not requested",
    "sys_mod_count":"0",
    "problem_id":"",
    "calendar_stc":"0",
    "work_start":"",
    "sys_domain":"global",
    "sys_response_variables":"",
    "correlation_id":"",
    "sys_class_name":"incident",
    "short_description":"this was inserted with python",
    "impact":"1",
    "description":"",
    "correlation_display":"",
    "urgency":"3",
    "assigned_to":"",
    "made_sla":"true",
    "delivery_plan":""}
  ]
}
```


次に示すのは、エラーのあるインシデント応答のレコードアレイです。


```
{
    "records": [
        {
            "__error": {
                "message": "Invalid Insert into: incident",
                "reason": "Data Policy Exception:  Short description is
 mandatory "
            },
            "__status": "failure",
            "active": "true",
            "activity_due": "",
            "approval": "not requested",
            "approval_history": "",
            "approval_set": "",
            "assigned_to": "",
            "assignment_group": "d625dccec0a8016700a222a0f7900d06",
            "business_duration": "",
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
            "business_stc": "",
            "calendar_duration": "",
            "calendar_stc": "",
            "caller_id": "",
            "category": "inquiry",
            "caused_by": "",
            "child_incidents": "0",
            "close_code": "",
            "close_notes": "",
            "closed_at": "",
            "closed_by": "",
            "cmdb_ci": "",
            "comments": "",
            "comments_and_work_notes": "",
            "company": "",
            "contact_type": "phone",
            "correlation_display": "",
            "correlation_id": "",
            "delivery_plan": "",
            "delivery_task": "",
            "description": "",
            "due_date": "",
            "escalation": "0",
            "expected_start": "",
            "follow_up": "",
            "group_list": "",
            "impact": "3",
            "incident_state": "1",
            "knowledge": "false",
            "location": "",
            "made_sla": "true",
            "notify": "1",
            "number": "INC0010001",
            "opened_at": "2013-07-23 18:01:17",
            "opened_by": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
            "order": "",
            "parent": "",
            "parent_incident": "",
            "priority": "5",
            "problem_id": "",
            "reassignment_count": "0",
            "reopen_count": "0",
            "resolved_at": "",
            "resolved_by": "",
            "rfc": "",
            "severity": "3",
            "short_description": "",
            "skills": "",
            "sla_due": "",
            "state": "1",
            "subcategory": "",
            "sys_class_name": "incident",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_created_on": "2013-07-23 18:01:17",
            "sys_domain": "global",
            "sys_id": "a96479343cb60100a92ec9a477ba9e45",
            "sys_mod_count": "0",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_updated_on": "2013-07-23 18:01:17",
            "time_worked": "",
            "upon_approval": "proceed",
            "upon_reject": "cancel",
            "urgency": "3",
            "user_input": "",
            "watch_list": "",
            "work_end": "",
            "work_notes": "",
            "work_notes_list": "",
            "work_start": ""
        }
    ]
}
```

JSON 応答ステータス

JSONv2 要求は、いくつかの応答ステータスのいずれかを返す場合があります。

JSON 成功応答

JSON の各成功応答には、指定されたアクションによって取得されたレコードを含むレコードアレイが含まれています。前の例で示したように、各 JSON オブジェクトには、各レコードのアクションのステータスに関するメタデータ要素が 1 つ以上含まれ、プリフィックス __ が付けられています。JSON の成功応答では、次の構文を使用します。

__status

```
"__status": "<value>"
```

<value> は成功または失敗です。

JSON 失敗応答

`_status` 要素が失敗を返すと、エラーと理由を特定するために `_error` 要素が追加されます。

```
"__error": { "message": "<error value>", "reason": "<reason value> "}
```

`<error value>` はエラーメッセージテキストであり、`<reason value>` は、エラーがトリガーされた理由です。

JSON エラー応答には、エラー要素と理由要素のみが含まれています。通常、これは JSON 操作全体が失敗し、レコードを処理できないことを示します。

例：

```
{"_error":"Cannot update with empty sysparm_query","reason":null}
```

返される行数の設定

次のシステムプロパティは、JSON が各クエリで返す行数を制御します。

返される行数の設定

プロパティ	説明
glide.processor.json.row_limit	JSON クエリが返す行の最大数を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される行数の設定 (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：10,000 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに glide.processor.json.row_limit を追加します

着信 **JSONv2** 要求に対する基本認証の要求

次のシステムプロパティは、着信 JSONv2 要求に基本認証が必要かどうかを制御します。

着信 **JSONv2** 要求に対する基本認証の要求

プロパティ	説明
glide.basicauth.required.jsonv2	着信 JSONv2 要求に対する基本認証の要求を有効 (true) または無効 (false) にします。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

注: このプロパティの詳細については、「インスタンスセキュリティ強化設定」の 「基本認証: JSONv2 要求 」を参照してください。

アクションパラメーター

アクションパラメーターは、JSON オブジェクトパラメーターが HTTP GET または POST 要求の一部である場合に実行するアクションを指定するため、データパラメーターから分離され、異なるものになっています。

パラメーターは、提供された JSON オブジェクトのフィールドとして指定することもできます。`sysparm_action` の場合はアクションをトリガーし、`sysparm_query` の場合は更新またはクエリの結果をフィルタリングする効果があります。

sysparm_action

`sysparm_action` の有効な値と、API によってトリガーされる対応するアクションは次のとおりです。

データ検索

メソッドの概要	説明
getKeys	エンコードされたクエリ文字列を使用してターゲットテーブルをクエリし、カンマ区切りの `sys_id` 値のリストを返します。
getRecords	エンコードされたクエリ文字列を使用してターゲットテーブルをクエリし、一致するすべてのレコードとそのフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ検索 (続く)

メソッドの概要	説明
get	`sysparm_sys_id` URL パラメーターで `sys_id` を指定してターゲットテーブルの単一のレコードをクエリし、レコードとそのフィールドを返します。

データ変更

メソッドの概要	説明
insert	URL でターゲットとなるテーブルの 1 つ以上の新規レコードを作成します。
insertMultiple	URL でターゲットとなるテーブルに複数の新規レコードを作成します。
update	URL 内のターゲットテーブルの、エンコードされたクエリ文字列でフィルタリングされた既存のレコードを更新します。
deleteRecord	`sysparm_sys_id` URL パラメーターで `sys_id` を指定して、URL でターゲットとなるテーブルからレコードを削除します。
deleteMultiple	URL でターゲットとなるテーブルから、エンコードされたクエリ文字列でフィルタリングされた複数のレコードを削除します。

sysparm_query

get、getRecords、update、または deleteMultiplesysparm_action 値で使用するエンコードされたクエリ文字列を指定します。

sysparm_view

get および getRecords 関数呼び出しの戻り値をカスタマイズするためのフォームビューを指定します。ビューを使用すると、クエリは、ビューで定義されたフィールドのみを参照値を含めて返します。ビュー名がない場合、またはビュー名が有効でない場合、クエリはディクショナリーでアクティブとマークされているすべてのフィールド名を返します。

sysparm_sys_id

get または delete 関数の呼び出し時にターゲットの sys_id を指定します (`sysparm_action` の値)。

sysparm_record_count

この要求に対して取得されるレコードの数を制限する整数値を指定します。この値は *`glide.processor.json.row_limit`* システムプロパティによって制限されることに注意してください。

displayvalue

レコードに参照フィールドがある場合は、その表示値を取得します。たとえば、インシデントレコードには、ユーザーレコードへの参照である `assigned_to` フィールドを含めることができます。ユーザーレコードの sys_id を送信する代わりに、ユーザー名が送信されます。

displayvalue パラメーターには、**true**、**false**、または **all** の 3 種類の値を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **true**：すべての参照フィールドに `sys_id` ではなく表示値が表示されます。
- **false** (デフォルト)：すべての参照フィールドに `sys_id` が表示されます。
- **all**：表示値と `sys_id` が表示されます。たとえば、インシデントレコードの assignedto フィールドは、assigned_to:1234556、dv_assigned_to:Fred Luddy として返されます。

displayvariables

このレコードに添付されているすべての変数を取得するには、get または getRecords 関数の呼び出し時にこのブール値を **true** に設定します。

JSON データ検索 API

インスタンスに HTTPS GET 要求を発行して、データをクエリします。

*sysparm_sys_id*パラメーターが存在する場合、デフォルトでは、GET 要求は get 関数として解釈されます。それ以外の場合は、getRecords 関数として解釈されます。URL パラメーター *sysparm_action=get* を指定することもできます。クエリ応答は常にレコードのレコードハッシュによってカプセル化され、個々のレコードの値自体がフィールド名によってハッシュされます。

参照変数の表示値を返す

get または getRecords 関数からレコードを取得すると、そのレコードに関連付けられたすべてのフィールドが返されます。多くの場合、フィールドは別のテーブルの `sys_id` を含む参照フィールドです。ベースシステムの動作では、これらのフィールドの `sys_id` 値が返されます。フィールドの表示値を返すには、次のいずれかのオプションを使用します。

- プロパティ glide.json.return_displayValue をシステムプロパティに追加すると、すべての JSON 要求が参照フィールドの表示値を返します。
- パラメーター *displayvalue=true* を JSON 要求 URL に追加すると、そのパラメーターを含む JSON 要求は、参照フィールドの `sys_id` の代わりに表示値を返します。JSON URL は次のようになります。

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSON&sysparm_action=getRecords&syspa
rm_query=active=true^category=hardware&displayvalue=true
```

- パラメーター *displayvalue=all* を JSON 要求 URL に追加すると、そのパラメーターを含む JSON 要求は、参照フィールドの表示値と `sys_id` を返します。表示値フィールドの応答要素名には、`dv_caller_id` のように、`dv_` というプリフィックスが付きます。

変数の取得

displayvariables クエリパラメーターを使用して、サービスカタログ アイテムレコードに関連付けられた変数のアレイを返します。変数を取得するには、JSON 要求 URL にパラメーター *displayvariables=true* を追加します。たとえば、サービスカタログ 変数を含む JSON 形式のレコードを取得する URL は次のとおりです。

```
https://<your-instance>.servicenow.com/sc_req_item.do?JSONv2&sysparm_acti
on=getRecords&sysparm_query=sys_id=5018da81742bd410f8771974894916fe&displ
ayvariables=true
```

次に示すのは、レコードから複数行の変数セットを表示する応答の例です。

```
{
   "records":[
      {
         ...
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "variables":[
           {
              "display_value":[
                 {
                    "quantity":"1",
                    "color":"Black",
                    "device_type":"Apple iPhone 8",
                    "storage":"64GB"
                 },
                 {
                    "quantity":"1",
                    "color":"Black",
                    "device_type":"Apple iPhone 8",
                    "storage":"64GB"
                 }
              ],
              "columns_meta":[
                 {
                    "name":"device_type",
                    "label":"Device Type",
                    "id":"da7d3f3241411300964ff05369414eca",
                    "type":5,
                    "order":"0"
                 },
                 {
                    "name":"storage",
                    "label":"Storage",
                    "id":"691e337241411300964ff05369414e31",
                    "type":5,
                    "order":"1"
                 },
                 {
                    "name":"color",
                    "label":"Color",
                    "id":"e89fb772414113009 64ff05369414e74",
                    "type":5,
                    "order":"2"
                 },
                 {
                    "name":"quantity",
                    "label":"Quantity",
                    "id":"2d5f7372414113009 64ff05369414eaf",
                    "type":5,
                    "order":"3"
                 }
              ],
              "max_rows":50,
              "name":"mobile_devices_set",
              "id":"e84d3f3241411300964ff05369414e3e",
              "type":"one_to_many",
              "value":[
                 {
                    "quantity":"1",
                    "color":"black",
                    "device_type":"iphone8",
                    "storage":"64GB"
                 },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    {
                        "quantity":"1",
                        "color":"black",
                        "device_type":"iphone8",
                        "storage":"64GB"
                    }
                ],
                "row_count":2
            },
            {
                "question_text":"Department",
                "name":"department",
                "type":8,
                "value":"Development",
                "order":100
            },
            {
                "question_text":"Who is this request for?",
                "name":"requested_for",
                "type":8,
                "value":"System Administrator",
                "order":100
            },
            {
                "question_text":"When do you need this?",
                "name":"needed_by",
                "type":5,
                "value":"Today",
                "order":200
            },
            {
                "question_text":"Business Justification",
                "name":"business_justification",
                "type":2,
                "value":"Example justification",
                "order":200
            }
        ],
       …
      }
   ]
}
```


応答のキーは次のように定義されます。

キー	説明
display_value	複数行の変数セットの質問の表示値。複数行の変数セットでのみ返されます。
columns_meta	フィールドの sys_id や name など、複数行の変数セットのメタデータのアレイ。変数に複数のフィールドが含まれている場合にのみ返されます。
max_rows	複数行の変数セットで許可される最大行数。複数行の変数セットでのみ返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キー	説明
name	質問の名前。
id	複数行の変数セットの sys_id。複数行の変数セットでのみ返されます。
type	質問のタイプ。
value	質問の値。
row_count	複数行の変数セット内の現在の行数。複数行の変数セットでのみ返されます。
question_text	質問のラベル。単一行の変数セットでのみ返されます。
order	質問の順序。

レコードの順序の制御

JSON 応答に表示されるレコードの順序を制御できます。順序を設定するには、URL エンコードクエリで **ORDERBY** または **ORDERBYDESC** 節を使用します。例を次に示します。

```
sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory
```

この例では、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に結果を番号で昇順に並べ替えた後、カテゴリで降順に並べ替えます。詳細については、「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

getKeys

sysparm_query パラメーターでエンコードされたクエリ文字列を指定して、複数のレコードの `sys_id` を取得します。

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=getKeys&sysparm_
query=active=true^category=hardware
```

get

sysparm_sys_id パラメーターで `sys_id` を指定して、レコードを直接取得します。

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_sys_id=9d385017c6112287
01d22104cc95c371
```

必要に応じて、*sysparm_action* パラメーターを指定することもできます。

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=get&sysparm_sys_
id=9d385017c611228701d22104cc95c371
```

getRecords

sysparm_query パラメーターでエンコードされたクエリ文字列を指定して、すべてのレコードを取得します。

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=getRecords&syspa
rm_query=active=true^category=hardware
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON データ変更 API

HTTPS POST 要求をインスタンスに送信し、JSON Web サービスを使用してデータを変更します。

HTTP POST には、実行するアクションのタイプを示す `sysparm_action` パラメーターと、本文に受信 JSON オブジェクト post が含まれている必要があります。

注: POST の content-type は application/json である必要があります。application/x-www-form-urlencoded または multipart/form-data にすることはできません。

insert

ServiceNow で新しいレコードを作成します。JSON オブジェクトは本文として POST する必要があります (content-type は通常 application/json ですが、強制はされません)。レコード作成からの応答は、作成されたインシデントの JSON オブジェクトです。

次に例を示します。ポストする JSON オブジェクト：

```
{"short_description":"this is a test","priority":"1"}
```

ポスト先の URL：

```
https://your_instance.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=insert
```

これでインシデントが作成されます。

必要に応じて、JSON オブジェクトで sysparm_action を指定することもできます。JSON オブジェクト内のパラメーターは、URL パラメーターよりも優先されます。例：

```
{"sysparm_action":"insert","short_description":"this is a
 test","priority":"1"}
```

insertMultiple

ServiceNow で複数の新しいレコードを作成するには、挿入関数の入力 JSON オブジェクトがアレイである必要があります。レコード作成からの応答は、作成されたインシデントの JSON オブジェクトです。次に例を示します。JSON オブジェクト：

```
{ "records" : [ { "short_description" : "this was inserted with
 python using JSON 1" , "priority" : "1 - Critical" , "impact" : "1" ,
 "caller_id" : "Fred Luddy" } , { "short_description" : "this was
 inserted with python using JSON 2" , "priority" : "1 - Critical" ,
 "impact" : "1" , "caller_id" : "Fred Luddy" } ] }
```

次のいずれかの URL にポスト：

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=insert
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=insertMultiple
```

これで 2 つのインシデントが作成されます。フィールドが **records** フィールドのアレイ値として記述されていることに注意してください。

update

`sysparm_query` URL パラメーターで指定されたエンコードクエリ文字列でフィルタリングされたレコードまたはレコードリストを更新します。JSON オブジェクトは本文として POST する必要があり

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます (content-type は通常 application/json ですが、強制はされません)。レコード作成からの応答は、更新されたレコードを表す JSON オブジェクトのアレイです。

次に例を示します。ポストする JSON オブジェクト：

```
{"short_description":"this was updated with python", "priority": "3",
 "impact":"1"}
```

ポスト先の URL：

```
https://instance_name.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_query=priority=3&sysparm_action=update
```

優先度 3 のすべてのインシデントを更新し、JSON オブジェクトで指定された値を設定します。

deleteRecord

`sysparm_sys_id` パラメーターで識別される単一のレコードをターゲットテーブルから削除します。パラメーターは、入力 JSON オブジェクトでエンコードするか、URL パラメーターとして指定できます。

次に例を示します。ポストする値：

```
{"sysparm_sys_id":"fd4001f80a0a0b380032ffa2b749927b"}
```

ポスト先の URL：

```
http://instance_name.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=deleteRecord
```

sys_id fd4001f80a0a0b380032ffa2b749927b で識別されるインシデントレコードを削除します。

deleteMultiple

`sysparm_query` URL パラメーターで指定されたエンコードクエリ文字列でフィルタリングされた複数のレコードを、ターゲットテーブルから削除します。フィルターは、入力 JSON オブジェクトでエンコードすることもできます。

次に例を示します。ポストする値：

```
{"sysparm_query":"short_description=this was updated with python"}
```

ポスト先の URL：

```
http://instance_name.service-now.com/incident.do?JSONv2&sysparm_action=deleteMultiple
```

`short_description` フィールドに「this was updated with python」という値が含まれているすべてのインシデントレコードを削除します。

RSS Web サービス

RSS (Rich Site Summary) は、定期的に変更される Web ベースの情報を配信するための形式です。

RSS フィードジェネレーター

ServiceNow は RSS フィードの動的な生成をサポートしています。

Web サービスの実装と同様に、情報の RSS フィード表現の取得は、テーブルリストへの URL の末尾に RSS パラメーターを指定するだけで実行されます。たとえば、次の場合、すべてのインシデントのリストが RSS 2.0 形式で返されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリの追加

フィルタリング済みリストが返されるようにクエリをリストに関連付けるには、*sysparm_query* パラメーターを使用します。たとえば、次の場合は、優先度フィールドが 1 (重大) のすべてのインシデントのリストが返されます。

```
https://<instance
name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=priority=1&RSS
```

複数パートからなるクエリがある場合は、^ 文字でパートを区切ります。たとえば、カテゴリがソフトウェアである優先度 1 のインシデントをすべて取得するには、次のようにします。

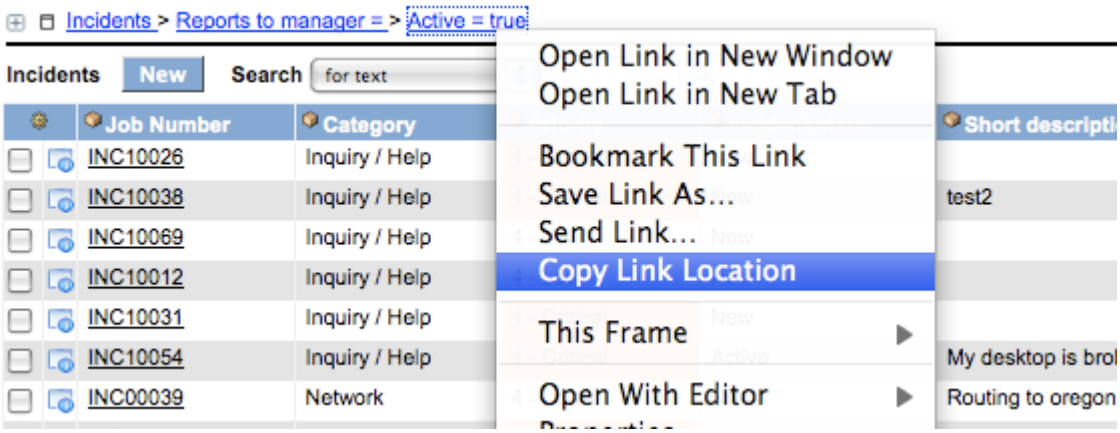
```
https://<instance
name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=priority=1^category=soft
ware&RSS
```

別のファイルへの参照であるフィールドをクエリする場合は、javascript を使用して他のファイルへの参照を解決する必要があります。たとえば、インシデントの assigned_to フィールドがユーザーレコードへの参照であるとします。「ITIL ユーザー」にアサインされたすべてのインシデントを検索する場合は、次のようにします。

```
https://<instance
name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=assigned_to=javascript:G
etIDValue('sys_user','ITIL%20User')&RSS
```

注: ほとんどの場合、U.I. で生成した URL またはお気に入りのモジュールの URL に「&RSS」を追加するだけでできます。URL を取得する最も簡単な方法は、リストビューの最後のブレッドクラムをクリックすることです。「&RSS」を追加すると、この URL を RSS フィードリーダーで使用できます。

ブレッド **URL** の取得



ビューによる結果の制限

返された RSS xml の description 要素は、URL で指定されたビューを使用して構築されます。ビューが指定されていない場合は、デフォルトの名前のないビューが使用されます。

この形式を変更するには、URL に *sysparm_view* パラメーターを指定します。たとえば、次の要求はインシデントリストを返します。ただし、結果は *ess* ビューで利用可能なフィールドのみに制限されます。

```
https://<instance
name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=priority=1&sysparm_view=
ess&RSS
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

また、*sysparm_title_view* URL パラメーターを使用して RSS アイテムのタイトルを変更することもできます。指定すると、ビューで指定されたフィールドを使用してアイテムのタイトルが構築されます。例：

```
https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=priority=1&sysparm_view=
ess&sysparm_title_view=rss_title&RSS
```

結果の書式設定

返される RSS xml の description 要素は、URL パラメーター *sysparm_format=true* を設定し、プロパティ *glide.rss.description_format* で書式設定文字列を指定することで書式設定できます。

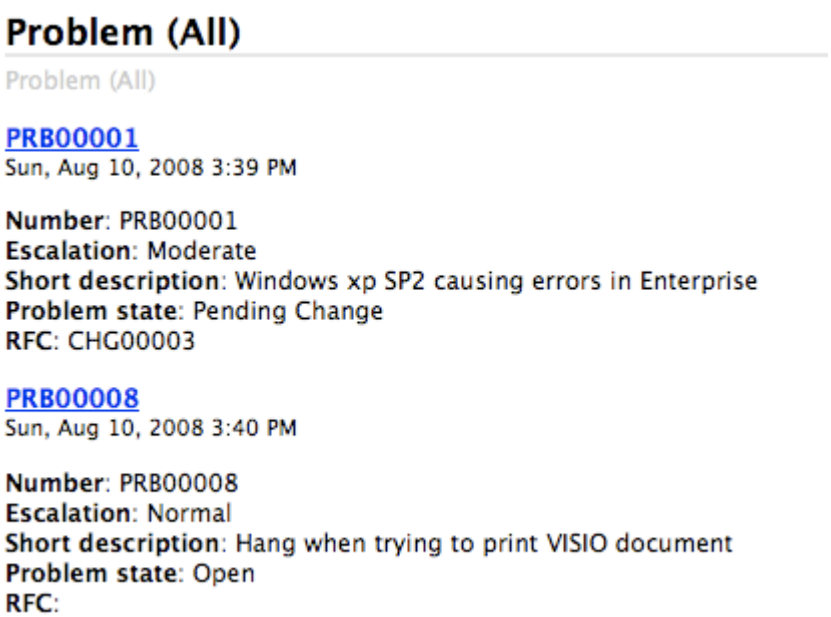
デフォルトでは、URL パラメーターが存在する場合、description 要素は次の書式設定文字列を使用してフィールドラベルと値を含むように書式設定されます。

```
<b>{1}</b>: {2}<br/>
```

- {0}：フィールド名
- {1}：フィールドラベル
- {2}：フィールド値

このデフォルトの書式設定文字列は、プロパティ *glide.rss.description_format* を使用して上書きできます。書式設定された RSS フィードの例は、Firefox の次の画面キャプチャで確認できます。

RSS の書式



RSS 基本認証

RSS フィードの各要求で基本認証を強制するには、*glide.basicauth.required.rss* プロパティを *true* に設定します。

RSS 要求には、認証プロトコルで指定されているように認証ヘッダーを含める必要があります。要求は非インタラクティブであるため、要求の実行中は常に認証ヘッダーが必要になります。

注: RSS 基本認証を無効にする場合は、不正なアクセスから保護するために、プラットフォーム内のテーブルに適切な ACL エントリーがあることを確認してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL で基本認証を指定するには、ユーザー名とパスワードのペアをコロンで区切り、その後に @ 文字を続けてサーバー名の前に入力します。たとえば、ITIL ユーザーのデモ資格情報を送信するには、次の URL を使用します。

```
https://itil:itil@<instance name>.service-now.com/incident.do?RSS
```

Microsoft IE 7 などの一部の古いブラウザーは、直接 URL 認証をサポートしていません。サイトで基本認証が使用されている場合、Internet Explorer はユーザーに、ユーザー名とパスワードの入力を自動的に要求します。場合によっては、ユーザーはプロンプトの [パスワードを記憶する] ボックスをクリックして、後でそのサイトにアクセスするために資格情報を保存できます。

関連情報

http://www.w3.org/Protocols/HTTP/1.0/draft-ietf-http-spec.html#BasicAABasic

http://support.microsoft.com/kb/834489

RSS 要求認証

RSS タイトルの上書き

オプションで、要求 URL に *sysparm_title* パラメーターを追加することで、RSS フィードの自動生成タイトルを上書きできます。

たとえば、次の要求 URL を使用して、「`Priority One Incidents`」というタイトルを指定できます。

```
 https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?sysparm_query=priority=1&sysparm_view=
ess&RSS&sysparm_title=Priority%20One%20Incidents
```

これにより、次のような結果が生成されます。

RSS の出力

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <rss version="2.0">
  - <channel>
      <title>Priority One Incidents</title>
      <link>http://www.service-now.com/demo/nav_to.do?uri=incident.do?sysparm_query=priority=1</link>
      <description>Priority One Incidents</description>
      <copyright>Copyright 2006 Service-now.com</copyright>
      <pubDate>Mon, 12 Jun 2006 11:04:44 PDT</pubDate>
      <lastBuildDate>Mon, 12 Jun 2006 11:04:44 PDT</lastBuildDate>
      <generator>jRSSGenerator by Henrique A. Viecili</generator>
      <docs>http://blogs.law.harvard.edu/tech/rss</docs>
    - <item>
        <title>INC00009</title>
        <link>http://www.service-now.com/demo/nav_to.do?uri=incident.do?
          sys_id=46b66a40a9fe198101f243dfbc79033d%26sysparm_stack=incident_list.do%
          3Fsysparm_query=active=true</link>
        <description>INC00009 2006-02-01 14:50:23 Reset my password</description>
        <author>glide.maint</author>
        <guid>46b66a40a9fe198101f243dfbc79033d</guid>
        <pubDate>Wed, 17 May 2006 18:20:57 PDT</pubDate>
      </item>
    + <item>
    + <item>
    + <item>
    + <item>
    + <item>
    </channel>
</rss>
```

RSS フィードリーダー

UI ページを使用してスクロール可能な RSS フィードリーダーを作成します。

Google Feed API などの RSS API を使用してフィードパーサーを作成する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

開発者ガイド：http://code.google.com/apis/ajaxfeeds/documentation/

API：http://code.google.com/apis/ajaxfeeds/documentation/reference.html

スクロール可能領域

スクロール可能領域は、コンテンツが時間の経過とともに下から上にスクロールする区画です。

HTML コンテンツはいずれもスクロールできます。スクローラー内のすべてのものが、機能するリンクと画像を含む操作可能な HTML です。

スクロール可能な領域を作成するには、多くの場合 UI ページで、スクロールするコンテンツを scrollable_area タグでラップします。

```
   <g:scrollable_area height="100px">
       <g2:evaluate var="jvar_temp" expression="var kb = new
GlideRecord('kb_knowledge');"/>
       <g:inline template="kb_section.xml"/>
   </g:scrollable_area>
```

高さ 100 ピクセルの区画が作成され、コンテンツが自動的に下から上にスクロールされます。たとえば、高さ 1000 ピクセルのテキストブロックがある場合、上位 100 ピクセル、2 ～ 101 ピクセル、3 ～ 102 ピクセルの順に表示されます。最上部に達すると、下に折り返されます。

このサンプルコードは、優先度 1 のインシデントのリストを使用してスクローラーを作成します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
  <g2:evaluate var="jvar_inc">
    var inc = new GlideRecord('incident');
    inc.addActiveQuery();
    inc.addQuery('priority',1);
    inc.query();
  </g2:evaluate>

  <g2:scrollable_area height="100px">
    <table border="0" cellspacing="2" cellpadding="0" width="100%">
      <j2:while test="$[inc.next()]">
        <j2:set var="jvar_inc_link"
value="incident.do?sys_id=$[inc.sys_id]"/>
        <j2:set var="jvar_inc_list_link"
value="incident_list.do?sysparm_query=active=true"/>
<tr>
  <td>
           <a href="$[jvar_inc_link]">
             <IMG SRC="images/services.png"
style="padding-right:10px"></IMG>
           </a>
           <a href="$[jvar_inc_link]" style="padding-right:10px;
color:blue">$[inc.number]</a>
         </td>
         <td>$[inc.short_description]</td>
       </tr>
     </j2:while>
     <tr>
       <td align="center" colspan="2"><a href="$[jvar_inc_list_link]"
style="color:blue">View all active incidents</a></td>
     </tr>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    </table>
  </g2:scrollable_area>
</j:jelly>
```

フォームのスクロール要素の追加

フォームや UI ページにスクロール領域を追加できます。

手順

1. スクリプトを使用して UI マクロを作成します。
2. フォーマッターを作成して、スクリプトを参照します。

優先度 1 のインシデントの例

このスクロール要素の例では、優先度 1 のインシデントのスクロールリストに対する UI マクロを作成する方法を示しています。

次のコード例を使用します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
  <g2:evaluate var="jvar_inc">
    var inc = new GlideRecord('incident');
    inc.addActiveQuery();
    inc.addQuery('priority',1);
    inc.query();
  </g2:evaluate>

  <div style="background-color:DDDDDD; padding-left:10px;
 line-height:19px; border:2px white solid" width="100%" nowrap="true">
    Priority 1 Incidents:
    <input id="make_spacing_ok" style="visibility:hidden;width:0px:"
 title=""/>
  </div>
  <g2:scrollable_area height="100px" width="100%">

      <j2:while test="$[inc.next()]">
        <j2:set var="jvar_inc_link"
 value="incident.do?sys_id=$[inc.sys_id]"/>
        <j2:set var="jvar_inc_list_link"
 value="incident_list.do?sysparm_query=active=true"/>
        <span style="line-height: 10px; padding-left:10px">
          <a href="$[jvar_inc_link]">
            <IMG SRC="images/services.png"
 style="padding-right:10px"></IMG>
          </a>
          <a href="$[jvar_inc_link]" style="padding-right:10px;
 color:blue">$[inc.number]</a>
            $[inc.short_description]
        </span>
        <br style="line-height:5px"/>
      </j2:while>
      <span>
        <a href="$[jvar_inc_list_link]" style="color:blue;
 padding-left:10px">View all active incidents</a>
      </span>
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  </g2:scrollable_area>
</j:jelly>
```

移動先 システム **UI** > フォーマッタ をクリックし、上記の UI マクロを参照するフォーマッターを作成します。

RSS フィードリーダーの例

RSS フィードを使用して RSS フィードリーダーを設定する方法の例を示します。

RSS フィードリーダーの例については、 ServiceNow Community 「**RSS Feed Reader**」を検索します。

複合データタイプへのレコードのエクスポートと変換

URL パラメーターを使用して、テーブルレコードをエクスポートし、JSON、XML、PDF、CSV、XLS などの複合データタイプに変換します。

複合データタイプとしてのレコードのエクスポート

HTTP *GET* 要求を使用して、テーブルからレコードを取得し、指定された形式にすることができます。たとえば、*GET* 要求で *PDF* パラメーターを使用して、テーブルからレコードを PDF ファイルとしてエクスポートしたり、*XLS* パラメーターを使用して、テーブルからレコードを XLS ファイルとしてエクスポートしたりします。たとえば、インシデントレコードリストを XLS ファイルとして取得するには、次の URL を使用して HTTP *GET* を発行します：`https://instance_name.service-now.com/incident.do?XLS`。返されるファイルは `incident.xls`です。`incident.do` は基本的に、インシデントテーブルのレコードリストを返す *GET* です。*XLS* パラメーターは、これらのレコードを XLS ファイルに変換します。

一般的な構文：`https://<serviceNow-instance-name>/<table-name>.do?<Data-type-parameter>`

URL パラメーター

次の表には、*GET* 要求で使用できる URL パラメーター、不要なテーブルレコードを結果から除外するために使用できるフィルター、およびデータタイプをテーブルに直接 *POST* できるかどうかを示しています。パラメーターは、返されるファイルの拡張子になります。たとえば、*XLS* パラメーターを使用すると、`<table-name>.xls` 形式のファイルが返されます。

URL パラメーター

データタイプ	パラメーター	有効なフィルター	テーブルに直接 **POST** しますか？
CSV	CSV	sysparm_query、sysparm_view	Y
Excel	XLS、EXCEL、XLSX	sysparm_query、sysparm_view	Y
JSON	JSONv2	各種あります。「JSON データ検索 API」を参照してください。	Y
PDF	PDF	sysparm_query、sysparm_view	N
RSS	RSS	sysparm_query、sysparm_view など。「ビューによる結果の制限」を参照してください。	N
XML	XML、XSD、SCHEMA	sysparm_query、useUnloadFormat	N

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルレコードの取得と JSON ファイル形式への変換の詳細については、「JSONv2 Web サービス」を参照してください。

テーブルレコードの取得と RSS ファイル形式への変換の詳細については、「RSS フィードジェネレーター」を参照してください。

PDF へのレコードの変換

PDF エクスポートでは、テーブルをターゲットにすることとそのリストをターゲットにすることは区別されます。レコードリストの PDF を生成するには、ターゲットに `_list` のサフィックスを付けます。単一のレコードをターゲットにするには、*`sys_id`* パラメーターを指定して、PDF を生成するレコードを識別する必要があります。

フィルター

すべての URL パラメーターは、テーブルレコードのサブセットをエクスポートできるようにするフィルターとともに機能します。たとえば、*`GET`* 要求の `sysparm_query=active=true` はアクティブなレコードのみをエクスポートします。アクティブなインシデントレコードのみを Excel 形式でエクスポートする例：`https://instance_name.service-now.com/incident.do?EXCEL&sysparm_query=active=true`

一般的な構文：`https://<serviceNow-instance-name>/<table_list>.do?<Data-type-parameter>&<filter>`

フィルターには次のようなものがあります。

- sysparm_query：ファイルをエクスポートする前に、エンコードされたクエリを使用してデータをフィルタリングします。たとえば、`sysparm_query=active=true` はアクティブなレコードのみをエクスポートします。
- sysparm_view：返されるフィールドを制御するリストビューの名前を指定します。たとえば、ESS ビューを返すには、`sysparm_view=ess` を使用します。
- useUnloadFormat：返される XML 形式がアンロード形式であることを示します。アンロード形式は、UI のリストから [エクスポート] > [XML] > [...] を選択した場合に使用される形式と同じです。アンロード形式の XML ファイルをテーブルにインポートし直すことができます。URL からアンロード形式を有効にするには、URL パラメーターの `useUnloadFormat=true` を使用します (例：`https://instance_name.service-now.com/incident.do?XML&useUnloadFormat=true`)。

GET クエリの例

GET 要求の例

データタイプ	サンプルクエリ
CSV	`https://instance_name.service-now.com/incident.do?CSV&sysparm_query=active=true`
Excel	`https://instance_name.service-now.com/incident.do?XLS&sysparm_query=active=true`
PDF	`https://instance_name.service-now.com/incident.do?PDF&sysparm_view=ess`
RSS	`https://instance_name.service-now.com/incident.do?RSS&sysparm_view=ess`
XML	`https://instance_name.service-now.com/incident.do?XML&sysparm_query=active=true`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返されるファイル

GET クエリは、要求で指定された形式でテーブルからレコードを返します。たとえば、*XLS* パラメーターを使用するクエリは、`.xls` 拡張子のファイルのテーブルレコードを返します。

応答の Content-Disposition ヘッダーには、返されたファイルのファイル名と拡張子が表示されます。ファイル名はエクスポート元のテーブルに基づいています (incident.xls、incident.pdf、incident.xml など)。

テーブルへのデータのエクスポート

次のデータタイプをテーブルに直接 *POST* できます。

- CSV
- Excel
- JSON

ファイルヘッダーは、ターゲットテーブルのフィールド列と一致する必要があります。詳細については、 CSV または Excel ファイルをインポートセットに直接投稿 するを参照してください。

受信 **Web** サービスの例

受信 Web サービスの例では、ServiceNow Web サービスにアクセスする方法を示します。

Java Apache Axis2 Web サービスクライアントの例

Axis2 バージョン 1.4 との統合を示す例。

要件

- 「elementFormDefault」の値が「qualified」の場合は、非修飾要素が先祖で定義されたデフォルトの名前空間にあることを意味します。この値が「unqualified」の場合、非修飾要素は空の名前空間 (xmlns="") にあります。デフォルトは「unqualified」です。
- Axis Clientの逆シリアル化の失敗を解決するには、 システムプロパティ > **Web** サービス をクリックし、埋め込み XML スキーマの elementFormDefault 属性を unqualified の値に設定するプロパティのチェックを外します。このプロパティを変更する前にクライアントコードが生成された場合は、プロパティ設定を保存して Axis2 クライアントコードを再生成します。

  #### 要素フォームのデフォルトプロパティ

  This property sets the elementFormDefault attribute of the embedded XML schema to the value of unqualified, if set to true. This attribute indicates whether or not locally declared elements must be qualified by the target namespace in an instance document. If the value of this attribute is 'unqualified', then locally declared elements should not be qualified by the target namespace. If the value of this attribute is 'qualified', then locally declared elements must be qualified by the target namespace. For compatibility with Clients generated from WSDL (.NET Web Reference, Axis2 stub, webMethods, ect.), set this value to false. This value defaults to true.

  For further documentation, follow this URL http://wiki.service-now.com/index.php?title=Web_Services

  ☑ Yes | No

Java Apache Axis2 Web サービスクライアントの例：**insert**

インシデントレコードを挿入するクラスの例。

```
public class Insert  {

  public static void main ( String args [ ] ) { try {
   HttpTransportProperties. Authenticator basicAuthentication  = new
 HttpTransportProperties. Authenticator ( ) ;
   basicAuthentication. setUsername ( "admin" ) ;
   basicAuthentication. setPassword ( "admin" ) ;

   ServiceNowStub proxy  = new ServiceNowStub ( ) ;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  proxy._getServiceClient ( ). getOptions ( ). setProperty (org. apache.
axis2. transport. http. HTTPConstants. CHUNKED,  Boolean. FALSE ) ;
  proxy._getServiceClient ( ). getOptions ( ). setProperty (org.
apache. axis2. transport. http. HTTPConstants. AUTHENTICATE,
basicAuthentication ) ;

  ServiceNowStub. Insert inc  = new ServiceNowStub. Insert ( ) ;
  ServiceNowStub. InsertResponse resp  = new ServiceNowStub.
InsertResponse ( ) ;

  inc. setAssigned_to ( "Christen Mitchell" ) ;
  inc. setCategory ( "hardware" ) ;
  inc. setPriority ( BigInteger. ONE ) ;
  inc. setDescription ( "The WI_FI in the reception area is down" ) ;
  inc. setCaller_id ( "Joe Employee" ) ;

  resp  = proxy. insert (inc ) ;

   System. out. println ( "New Incident: " + resp. getNumber ( ) ) ; }
catch ( Exception e ) { System. out. println (e. toString ( ) ) ; }

 } }
```

Java Apache Axis2 Web サービスクライアントの例：update

getKeys 関数を呼び出して、カテゴリが Hardware であるすべてのインシデントをクエリする Axis クライアントプログラムの例。

getKeys

sys_id のリストが結果として返されます。

```
package com.service_now.www ;

public class DemoClient  {

 public static void main ( String args [ ] ) { try {
  ServiceNowStub proxy  = new ServiceNowStub ( ) ;
  ServiceNowStub. GetKeys getInc  = new ServiceNowStub. GetKeys ( ) ;
  ServiceNowStub. GetKeysResponse resp  = new ServiceNowStub.
GetKeysResponse ( ) ;

  getInc. setActive ( true ) ;
  getInc. setCategory ( "hardware" ) ;

  proxy._getServiceClient ( ). getOptions ( ). setProperty (org. apache.
axis2. transport. http. HTTPConstants. CHUNKED,  Boolean. FALSE ) ;

  resp  = proxy. getKeys (getInc ) ;

   String [ ] keys  = resp. getSys_id ( ) ;

   System. out. println ( "Key: " + keys [ 0 ] ) ; } catch ( Exception
e ) { System. out. println (e. toString ( ) ) ; }

 } }
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

getRecords

```
package com.service_now.www ;

 import com.service_now.www.ServiceNowStub.GetRecordsResult_type0 ;

 public class GetRecords  {

 /**
* @param args
*/ public static void main ( String [ ] args ) { try {
  ServiceNowStub proxy  = new ServiceNowStub ( ) ;
  ServiceNowStub. GetRecords incidents  = new ServiceNowStub. GetRecords
 ( ) ;
  ServiceNowStub. GetRecordsResponse result  = new ServiceNowStub.
 GetRecordsResponse ( ) ;

  incidents. setActive ( true ) ;
  incidents. setCategory ( "hardware" ) ;
  incidents. setSys_created_on ( "> 2009-06-08 10:30:00" ) ;

  proxy._getServiceClient ( ). getOptions ( ). setProperty (org. apache.
 axis2. transport. http. HTTPConstants. CHUNKED,  Boolean. FALSE ) ;

  result  = proxy. getRecords (incidents ) ;

  GetRecordsResult_type0 [ ] keys  = result. getGetRecordsResult ( ) ;

   for ( int key  = 0 ; key  < keys. length ; key ++ ) { System. out.
 println ( "Key: " + keys [ 0 ]. getSys_id ( ) ) ; } } catch ( Exception
 e ) { System. out. println (e. toString ( ) ) ; }


 }

 }
```

Java Apache Axis2 Web サービスクライアントの例：advanced

ServiceNow Web サービスを使用するための Axis2 クライアントの構築方法と使用方法を示す例。

Axis は基本的に SOAP エンジンです。これは、クライアント、サーバー、ゲートウェイなどの SOAP プロセッサーを構築するためのフレームワークです。現行バージョンの Axis は Java で記述されています。このコンテンツは、Java での開発経験が少ないシステム管理者を対象としています。開始するには、Java JDK バージョン 1.4.2 以降および Axis2 バージョン 1.0 以降が必要です。

Java プロジェクトの作成

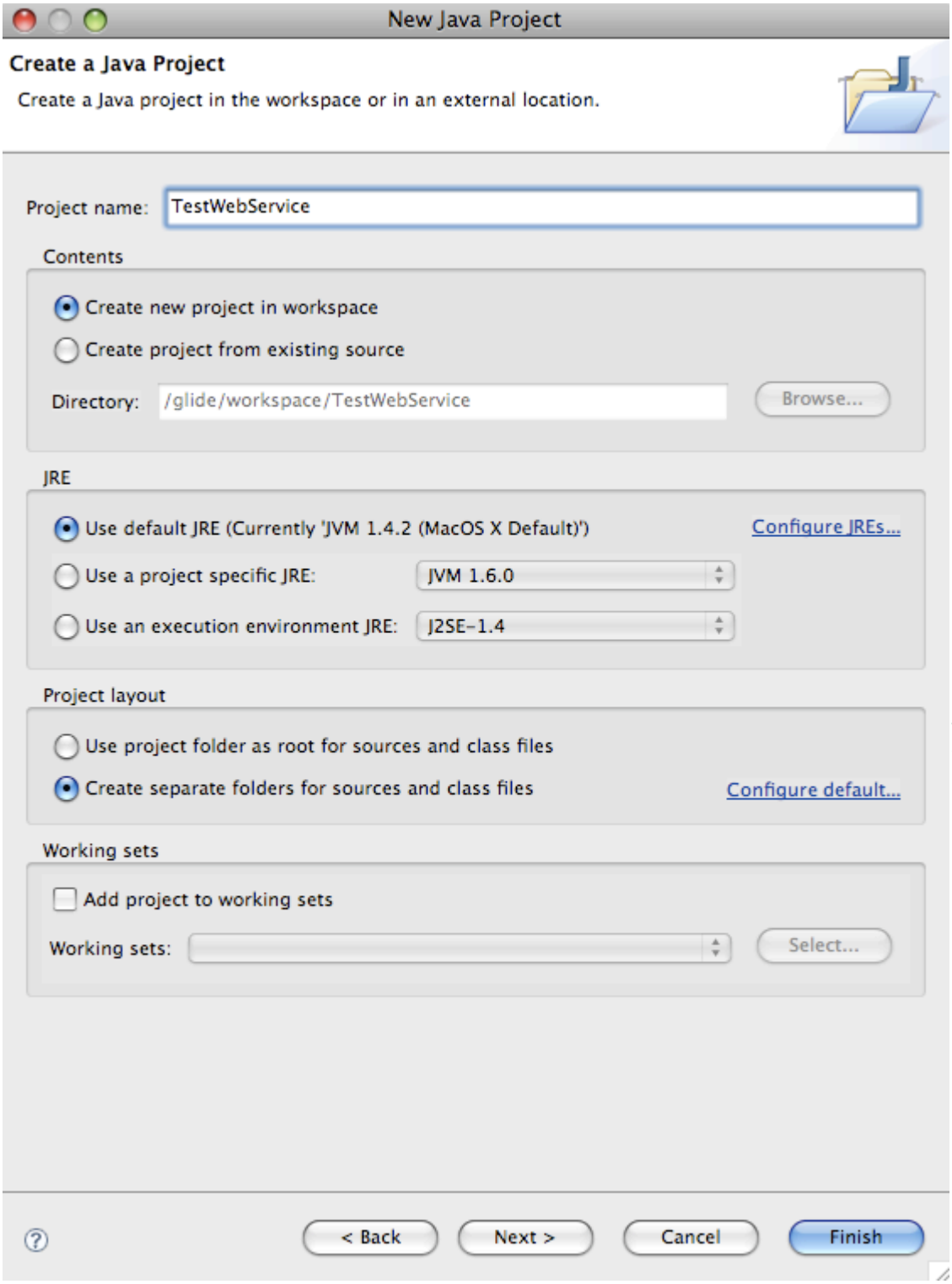
この例では、ソースコードの管理と Web 要求の実行に Eclipse SDK バージョン 3.4.2 を使用します。Eclipse は必須ではありません。

- Eclipseを開き、メニューから ファイル > 新規 > プロジェクト > **Java** プロジェクト.
- プロジェクトに名前を付けます。
- 正しい JRE が指定されていることを確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- wsdl2java を使用している場合は、コマンドラインで「java -version」を実行します。これがプロジェクト固有の JRE に指定するバージョンになります。
- Axis2 Codegen プラグインを使用している場合は、デフォルトの JRE を使用します。

Java プロジェクト



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

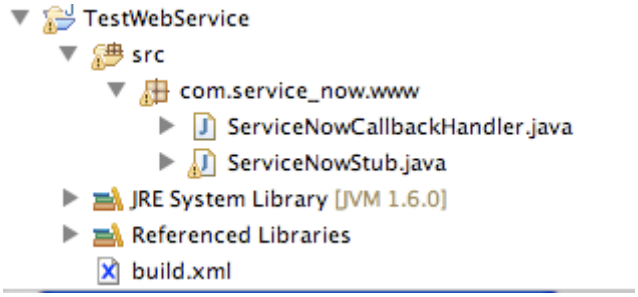
Axis2 クライアントコードの生成

- axis フォルダーの bin ディレクトリーのコマンドラインから次のコマンドを実行します。

```
./wsdl2java.sh -uri https://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?WSDL
 -o /glide/workspace/TestWebService/
```

- 上記の例では、次のようになります。
  - 「-uri」は、wsdl のコピーを「.wsdl」または「.xml」に保存したパス、または WSDL が存在する URL です。
  - 「-o」は、ファイルを書き込むパスです。指定しない場合、ファイルは現在の bin の場所に書き込まれます。
- Eclipse でプロジェクトを更新すると、今度は生成された Stub と CallbackHandler が表示されます。

Axis スタブ



基本認証

```
HttpTransportProperties.Authenticator basicAuthentication  = new
 HttpTransportProperties. Authenticator ( ) ;
basicAuthentication. setUsername ( "admin" ) ;
basicAuthentication. setPassword ( "admin" ) ;
...
 ServiceNowStub proxy  = new ServiceNowStub ( ) ;
...

 proxy._getServiceClient ( ). getOptions ( ). setProperty (org.
 apache. axis2. transport. http. HTTPConstants. AUTHENTICATE,
 basicAuthentication ) ;
```

Axis2 バージョン 1.1 以降との互換性

チャンクのサポートは、HTTP バージョン 1.1 でのみ使用できます。デフォルトでは、バージョン 1.1 以降の Axis2.xml でチャンクが有効になっています。ServiceNow ではチャンクをサポートしていないため、展開時またはランタイムにチャンクを無効にする必要があります。

- 展開時：Axis2.xml から次の要素を削除またはコメントアウトすることで、HTTP チャンクを無効にできます。

```
<parameter name= "Transfer-Encoding" >chunked</parameter>
```

- ランタイム：バージョン 1.1.1 以降でのみ、クライアントまたはスタブの次のプロパティセットを使用してチャンクを無効にできます。

```
options.setProperty (org. apache. axis2. transport. http.
 HTTPConstants. CHUNKED,  Boolean. FALSE ) ;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

一意のパッケージの作成

一意のパッケージ名を作成するには、Axis2 パラメーターの namespace2package (ns2p) を使用します。パラメータの形式は次のとおりです。

```
<Axis path>\bin\wsdl2java.bat -u -p cr2 -ns2p <namespace>=<package name>
 -uri <wsdl to convert>
```

例：

```
<Axis path>\bin\wsdl2java.bat -u -p cr2 -ns2p
 http://www.service-now.com/change_request=my.change_request -uri
 change_request
```

Microsoft .NET Web サービスクライアントの例

Microsoft .NET Web サービスクライアントとの統合を示す例。

要件

.NET 2.0 バージョン以降：

- 「elementFormDefault」の値が「qualified」の場合は、非修飾要素が先祖で定義されたデフォルトの名前空間にあることを意味します。この値が「unqualified」の場合、非修飾要素は空の名前空間 (xmlns="") にあります。デフォルトは「unqualified」です。
- NETクライアントの逆シリアル化エラーを解決するには、 システムプロパティ > **Web** サービス をクリックし、埋め込み XML スキーマの elementFormDefault 属性を unqualified の値に設定するプロパティのチェックを外します。プロパティ設定を保存し、WSDL の Reference.cs クラスを再作成します。以下の「WSDL から生成されたクライアントとの互換性」も参照してください。

要素フォームのデフォルトプロパティ

This property sets the elementFormDefault attribute of the embedded XML schema to the value of unqualified, if set to true. This attribute indicates whether or not locally declared elements must be qualified by the target namespace in an instance document. If the value of this attribute is 'unqualified', then locally declared elements should not be qualified by the target namespace. If the value of this attribute is 'qualified', then locally declared elements must be qualified by the target namespace. For compatibility with Clients generated from WSDL (.NET Web Reference, Axis2 stub, webMethods, ect.), set this value to false. This value defaults to true.

For further documentation, follow this URL http://wiki.service-now.com/index.php?title=Web_Services

☑ Yes | No

Perl Web サービスクライアントの例

Perl Web サービスクライアントとの統合を示す例。

注: 次の例では、Perl 言語 と SOAP::Lite パッケージ を使用する必要があります。

システム要件

Perl 5.8

- SOAP::Lite (前提条件 http://soaplite.com/prereqs.html)
- Crypt::SSLeay
- IO::Socket::SSL

insert

次の例では、インシデントテーブルにレコードを挿入します。

```
#!/usr/bin/perl -w

# declare usage of SOAP::Liteuse SOAP::Lite;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
# specifying this subroutine, causes basic auth
 to use# its credentials when challengedsub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{# login as the itil
 userreturn'itil'=>'itil';}

# declare the SOAP endpoint heremy$soap=
 SOAP::Lite->proxy('https://
myinstance.service-now.com/incident.do?SOAP');

# calling the insert functionmy$method=
 SOAP::Data->name('insert')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# create a new incident with the following short_description and
 categorymy@params=( SOAP::Data->name(short_description =>'This is an
 example short description'));push(@params, SOAP::Data->name(category
 =>'Hardware'));

# invoke the SOAP callmy$result=$soap->call($method=>@params);

# print any SOAP faults that get returned
print_fault($result);# print the SOAP response that get return
print_result($result);

# convenient subroutine for printing all resultssub print_result
 {my($result)=@_;


 if($result->body&&$result->body->{'insertResponse'}){my
%keyHash=%{$result->body->{'insertResponse'}};foreachmy$k(keys%keyHash){p
rint"name=$k   value=$keyHash{$k}\n";}}}

# convenient subroutine for printing all SOAP faultssub print_fault
 {my($result)=@_;


 if($result->fault){print"faultcode=".$result->fault->{'faultcode'}."\n";
print"faultstring=".$result->fault->{'faultstring'}."\n";print"detail=".$
result->fault->{'detail'}."\n";}}
```

insert (XML ペイロードを含む)

次に、ペイロードフィールドが XML ドキュメントである ecc_queue テーブルにレコードを挿入する例を示します。これは、Perl 言語 と SOAP::Lite パッケージを使用して行われます。XML ドキュメントの作成には、XML::Writer パッケージ が使用されます。

```
#!/usr/bin/perl -w#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use
 SOAP::Lite;use XML::Writer;use XML::Writer::String;

## Get parameters passed by OVO
 notification#$OVMSG{id}=$ARGV[0];$OVMSG{node_name}=$ARGV[1];$OVMSG{node_
type}=$ARGV[2];$OVMSG{date_created}=$ARGV[3];$OVMSG{time_created}=$ARGV[
4];$OVMSG{date_received}=$ARGV[5];$OVMSG{time_received}=$ARGV[6];$OVMSG{a
pplication}=$ARGV[7];$OVMSG{msg_group}=$ARGV[8];$OVMSG{object}=$ARGV[9];$
OVMSG{severity}=$ARGV[10];$OVMSG{operator_list}=$ARGV[11];$OVMSG{msg_tex
t}=$ARGV[12];$OVMSG{instruction}=$ARGV[13];
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap= SOAP::Lite->proxy('http://<instance
 name>.service-now.com/ecc_queue.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('insert')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# get all incidents with category
 Networkmy@params=( SOAP::Data->name(agent
 =>'OVO_Notification'));push(@params, SOAP::Data->name(queue
 =>'input'));push(@params, SOAP::Data->name(name =>'HP Openview OVO
 Notification'));push(@params, SOAP::Data->name(source =>$OVMSG{id}));

my$s= XML::Writer::String->new();my$writer=new XML::Writer(OUTPUT =>$s);

#$writer->xmlDecl();$writer->startTag('notification');

write_element('id');
write_element('node_name');
write_element('node_type');
write_element('date_created');
write_element('time_created');
write_element('date_received');
write_element('time_received');
write_element('application');
write_element('msg_group');
write_element('object');
write_element('severity');
write_element('operator_list');
write_element('msg_text');
write_element('instruction');

$writer->endTag('notification');

$writer->end;

sub write_element
 {my
$label=shift;my$value=$OVMSG{$label};$writer->startTag($label);if($val
ue){$writer->characters($value);}$writer->endTag($label);}

push(@params, SOAP::Data->name(payload =>$s->value()));

print$soap->call($method=>@params)->result;</pre>

=== Response to the ''insert''===<source lang="xml"><?xml
 version="1.0" encoding="UTF-8"?><soap:Envelope
 xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
    xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
    xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XML
 Schema-instance"><soap:Body><insertResponse
 xmlns="http://
www.service-now.com/ecc_queue"><sys_id>1a5ad50e0a0a021101bef2e07705f87
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
a</sys_id><name>HP Openview OVO
 Notification</name></insertResponse></soap:Body></soap:Envelope>
```

update

```
#!/usr/bin/perl -w

#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap=
 SOAP::Lite->proxy('http://localhost:8080/glide/incident.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('update')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# update incident by sys_idmy@params=( SOAP::Data->name(sys_id
 =>'e8caedcbc0a80164017df472f39eaed1'));push(@params,
 SOAP::Data->name(short_description =>'this is a new description'));

my$result=$soap->call($method=>@params);

print_fault($result);
print_result($result);

sub print_result {my($result)=@_;


 if($result->body&&$result->body->{'updateResponse'}){my
%keyHash=%{$result->body->{'updateResponse'}};foreachmy$k(keys%keyHash){p
rint"name=$k   value=$keyHash{$k}\n";}}}

sub print_fault {my($result)=@_;


 if($result->fault){print"faultcode=".$result->fault->{'faultcode'}."\n";
print"faultstring=".$result->fault->{'faultstring'}."\n";print"detail=".$
result->fault->{'detail'}."\n";}}
```

getKeys

以下は、がネットワークであるインシデントのレコードのリストを取得する例です。

```
#!/usr/bin/perl -w

#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap= SOAP::Lite->proxy('http://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?SOAP');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
my$method= SOAP::Data->name('getKeys')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# get all incidents with category
 Networkmy@params=( SOAP::Data->name(category =>'Network'));

print$soap->call($method=>@params)->result;
```

取得

次に、sys_id 値を使用してインシデントレコードを取得する例を示します。

```
#!/usr/bin/perl -w#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use
 SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap= SOAP::Lite->proxy('http://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('get')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# get incident by sys_idmy@params=( SOAP::Data->name(sys_id
 =>'9d385017c611228701d22104cc95c371'));

my%keyHash=%{$soap->call($method=>@params)->body->{'getResponse'}};

# iterate through all fields and print
 themforeachmy$k(keys%keyHash){print"$k=$keyHash{$k}\n";}
```

getRecords

インシデント番号の値を使用してインシデントをクエリするには：

```
#!/usr/bin/perl -w#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use
 SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap= SOAP::Lite->proxy('http://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('getRecords')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});# get incident by
 numbermy@params=( SOAP::Data->name(number =>'INC10001'));

my
%keyHash=%{$soap->call($method=>@params)->body->{'getRecordsResponse'}->{
'getRecordsResult'}};

# iterate through all fields and print
 themforeachmy$k(keys%keyHash){print"$k=$keyHash{$k}\n";}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

getRecords (複数の結果を返す)

以下は、 が「ネットワーク」のすべてのインシデントを照会して、インシデントレコードのアレイを取得して表示する例です。

```
#!/usr/bin/perl -w#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use
 SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap= SOAP::Lite->proxy('http://<instance
 name>.service-now.com/incident.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('getRecords')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# get incident by sys_idmy@params=( SOAP::Data->name(category
 =>'Network'));

my
%keyHash=%{$soap->call($method=>@params)->body->{'getRecordsResponse'}};

my$i=0;my$size=@{$keyHash{'getRecordsResult'}};for($i=0;$i<$size;$i++){my
%record=%{$keyHash{'getRecordsResult'}[$i]};print"----------------------
------- $i
 ----------------------------\n";foreachmy$kk(keys%record){print"$kk=$rec
ord{$kk}\n";}}
```

deleteRecord

```
#!/usr/bin/perl -w

#use SOAP::Lite ( +trace => all, maptype => {} );use SOAP::Lite;

sub
 SOAP::Transport::HTTP::Client::get_basic_credentials{return'itil'=>'itil
';}

my$soap=
 SOAP::Lite->proxy('http://localhost:8080/glide/incident.do?SOAP');

my$method= SOAP::Data->name('deleteRecord')->attr({xmlns
 =>'http://www.service-now.com/'});

# delete incident by sys_idmy@params=( SOAP::Data->name(sys_id
 =>'46f67787a9fe198101e06dfcf3a78e99'));

my$result=$soap->call($method=>@params);

print_fault($result);
print_result($result);

sub print_result {my($result)=@_;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 if($result->body&&$result->body->{'deleteRecordResponse'}){my
%keyHash=%{$result->body->{'deleteRecordResponse'}};foreachmy$k(keys%keyH
ash){print"name=$k    value=$keyHash{$k}\n";}}}

sub print_fault {my($result)=@_;


 if($result->fault){print"faultcode=".$result->fault->{'faultcode'}."\n";
print"faultstring=".$result->fault->{'faultstring'}."\n";print"detail=".$
result->fault->{'detail'}."\n";}}
```

Python Web サービスクライアントの例

Python Web サービスクライアントとの統合を示す例。

要件

以下の例では、次の Python モジュールをインストールする必要があります。

- fpconst http://pypi.python.org/pypi/fpconst/0.7.2
- PyXML http://pyxml.sourceforge.net/topics/
- SOAPpy http://pywebsvcs.sourceforge.net/

insert

これはインシデントを挿入する例です。

```
#!/usr/bin/python

 from SOAPpy  import SOAPProxy
 import sys

 def createincident (params_dict ):

         # instance to send to
        instance = 'demo'

         # username/password
        username = 'itil'
        password = 'itil'


         # proxy - NOTE: ALWAYS use https://INSTANCE.service-now.com, not
 https://www.service-now.com/INSTANCE for web services URL from now on!
        proxy  = 'https://%s:%s@%s.service-now.com/incident.do?SOAP' %
 (username , password , instance )
        namespace  = 'http://www.service-now.com/'
        server  = SOAPProxy (proxy , namespace )

         # uncomment these for LOTS of debugging output
 #server.config.dumpHeadersIn = 1 #server.config.dumpHeadersOut = 1
 #server.config.dumpSOAPOut = 1 #server.config.dumpSOAPIn = 1

        response  = server. insert (impact = int (params_dict
 [ 'impact' ] ) , urgency = int (params_dict [ 'urgency' ] ) ,
 priority = int (params_dict [ 'priority' ] ) , category =params_dict
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 [ 'category' ] , location =params_dict [ 'location' ] ,
 caller_id =params_dict [ 'user' ] , assignment_group =params_dict
 [ 'assignment_group' ] , assigned_to =params_dict [ 'assigned_to' ] ,
 short_description =params_dict [ 'short_description' ] , comments
 =params_dict [ 'comments' ] )

         return response

values  = { 'impact':  '1' , 'urgency':  '1' , 'priority':
 '1' , 'category':  'High' , 'location':  'San Diego' , 'user':
  'fred.luddy@yourcompany.com' , 'assignment_group':  'Technical
 Support' , 'assigned_to':  'David Loo' , 'short_description':
 'An incident created using python, SOAPpy, and web services.' ,
 'comments':  'This a test making an incident with python.\n Isn \' t
 life wonderful?' }

new_incident_sysid =createincident (values )

 print "Returned sysid: "+ repr (new_incident_sysid )
```

getKeys

これは、基本認証を使用してデモインスタンスで getKeys を実行する例です。

```
#!/bin/env python

 # use the SOAPpy module from SOAPpy  import SOAPProxy

username , password , instance  = 'admin' , 'admin' , 'demo'
proxy , namespace  =
 'https://username:password@www.service-now.com/'+instance+
 '/incident.do?SOAP' , 'http://www.service-now.com/'

server  = SOAPProxy (proxy ,namespace )
response  = server. getKeys (category  = 'Network' )

 print response. sys_id. split ( ',' )
```

getRecords

この例では、category == "Network" をクエリするインシデントを取得します (基本認証を使用)。

```
#!/bin/env python

 # use the SOAPpy module from SOAPpy  import SOAPProxy

username , password , instance  = 'admin' , 'admin' , 'demo'
proxy , namespace  =
 'https://username:password@www.service-now.com/'+instance+
 '/incident.do?SOAP' , 'http://www.service-now.com/'

server  = SOAPProxy (proxy ,namespace )
response  = server. getRecords (category  = 'Network' )

 for record  in response:
  for item  in record:
   print item
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

get

この例では、`sys_id` でインシデントレコードを取得します (基本認証を使用)。

```
#!/bin/env python

 # use the SOAPpy module from SOAPpy  import SOAPProxy

username , password , instance  = 'admin' , 'admin' , 'demo'
proxy , namespace  =
 'https://username:password@www.service-now.com/'+instance+
 '/incident.do?SOAP' , 'http://www.service-now.com/'

server  = SOAPProxy (proxy ,namespace )
response  = server. get (sys_id  = '9c573169c611228700193229fff72400' )

 for each  in response:
  print each
```

詳細

これは、キーワード *invalid spi* のログファイルを読み込む高度な Python スクリプトの例です。ペイロードが XML 形式のアラートに設定されている ECC キューレコードを作成します。

```
#!/bin/env python

 # kevin.pickard@service-now.com   2008.07.03  initial creation

 from SOAPpy  import SOAPProxy
 from xml. dom. minidom import getDOMImplementation
 import sys , os , socket , pickle , re

 # instance to send to
instance = 'demo'

 # username/pass
username = 'admin'
password = 'admin'

 # log file to watch
syslogfile = '/var/log/cisco.log.ksp'

 # state file
statefile = '/tmp/syslog_ecc.state-test'

 # ECC queue values
soapagent = 'SOAPpy'
ecctopic = 'PIX Error: '
eccname = 'Invalid SPI: '
eccsource = 'Syslog'

 # regex string to match
matchstring = 'invalid spi'

 try:
 state = open (statefile , 'r' )
 lastbyte = pickle. load (state )
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 state. close ( ) except:
 lastbyte = 0

 #print 'DEBUG: lastbyte = '+str(lastbyte)

 try:
 log = open (syslogfile , 'ro' ) except:
 errortopic = 'Script Error'
 errorname = 'Unable to open log file '+syslogfile+ '.'
 errorpayload = 'This message was generated due to an error condition
 encountered in a script.  The name of the script is '+ os. path.
 basename ( sys. argv [ 0 ] )+ ' on server '+ socket. gethostname ( )+
 '.'

 proxy  = 'https://'+username+ ':'+password+ '@'+instance+
 '.service-now.com/ecc_queue.do?SOAP'
 namespace  = 'http://www.service-now.com/'
 server  = SOAPProxy (proxy , namespace )
 server. config. dumpSOAPOut = 1
 server. config. dumpSOAPIn = 1
        response  = server. insert (agent =soapagent , topic
 =errortopic , name =errorname , source = sys. argv [ 0 ] , payload
 =errorpayload )

  sys. exit ( 1 )

 if lastbyte  != 0:
  try:
  log. seek (lastbyte ) except IOError:
   pass

loglines =log. readlines ( )

lastbyte =log. tell ( )

log. close ( )

state = open (statefile , 'w' ) pickle. dump (lastbyte , state )
state. close ( )

 # regex out the line
matchedlines = [ ] for line  in loglines:
  if re. search (matchstring , line ) != None:
  matchedlines. append (line )

 #print 'DEBUG: len->loglines = '+str(len(loglines)) #print
 'DEBUG: lastbyte = '+str(lastbyte) #print 'DEBUG: matchedlines =
 '+str(matchedlines)

 if len (matchedlines ) == 0:
  sys. exit ( 0 )

proxy  = 'https://'+username+ ':'+password+ '@'+instance+
 '.service-now.com/ecc_queue.do?SOAP'
namespace  = 'http://www.service-now.com/'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
server  = SOAPProxy (proxy , namespace ) #server.config.dumpSOAPOut = 1
 #server.config.dumpSOAPIn = 1

entriestosend = { } for line  in matchedlines:
 device =line. split ( ) [ 3 ]
 sourceip =line. split ( ) [- 1 ]
 entriestosend [sourceip ] = [device , line ]

 for key ,value  in entriestosend. iteritems ( ):
  #impl=getDOMImplementation() #newdoc = impl.createDocument(None,
 "log_line", None) #top_element = newdoc.documentElement #text =
 newdoc.createTextNode(value[1]) #top_element.appendChild(text)

 response  = server. insert (agent =soapagent , topic =ecctopic+value
 [ 0 ] , name =eccname+key , source =eccsource , payload =value [ 1 ] )
```

Web サービス C Sharp .NET エンドツーエンドチュートリアル

.NET を使用して ServiceNow Web サービスを使用する方法を示す例。

このチュートリアルでは、.NET クライアントからの Web サービス要求を受け取るために ServiceNow を適切に設定する方法と、C# .NET を使用して Web サービスを使用する方法について説明します。

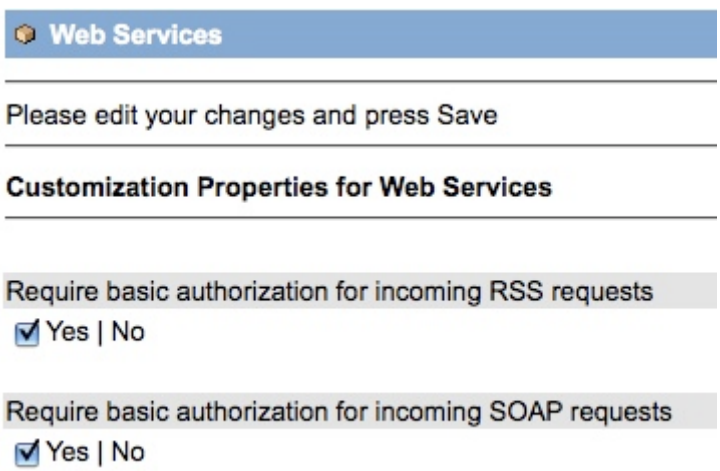
.NET で C sharp を設定する

ServiceNow 内で Web サービスを構成します。

手順

1. ServiceNow 内で Web サービスを設定するには、 システムプロパティ > **Web** サービス 移動します

   このモジュールには、インスタンス内の Web サービスに固有のシステムプロパティが表示されます。セキュリティ上の理由から、着信 SOAP 要求には基本認証が必要であることを確認する必要があります。これにより、Web サービスインポートセットを介しているか、または直接 Web サービスを介して挿入/削除/クエリを実行するかを問わず、認証されたユーザーのみが Web サービスを呼び出すことができるようになります。



2. .NET をクライアントとして使用して ServiceNow に接続する場合、次の手順は非常に重要です。*elementFormDefault* プロパティを false に設定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このプロパティは、WSDL の認定方法を定義します。WSDL を使用せず、単に XML を手動で作成する場合は、このプロパティは無関係です。

This property sets the elementFormDefault attribute of the embedded XML schema to the value of unqualified, if set to true. This attribute indicates whether or not locally declared elements must be qualified by the target namespace in an instance document. If the value of this attribute is 'unqualified', then locally declared elements should not be qualified by the target namespace. If the value of this attribute is 'qualified', then locally declared elements must be qualified by the target namespace. For compatibility with Clients generated from WSDL (.NET Web Reference, Axis2 stub, webMethods, ect.), set this value to false. This value defaults to true.

For further documentation, follow this URL http://wiki.service-now.com/index.php?title=Web_Services

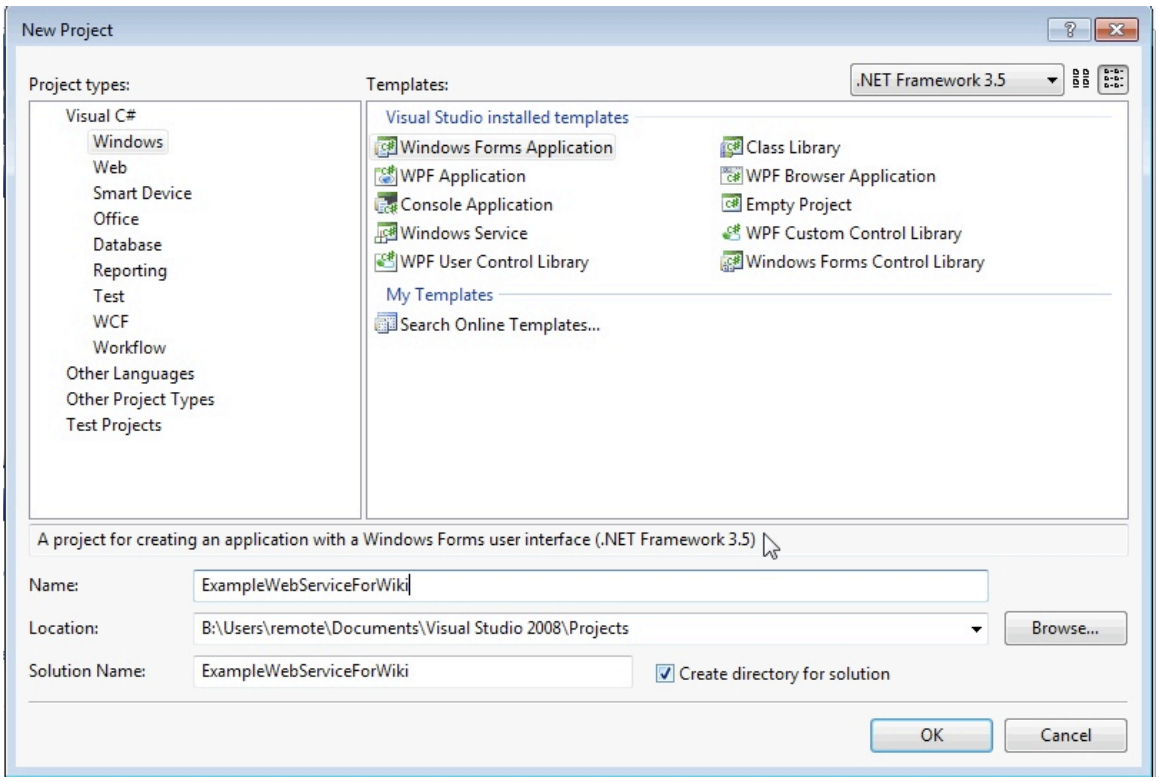
☑ Yes | No

Visual Studio .NET で Web サービスを呼び出す

Visual Studio 2008 を使用して Web サービスを呼び出します。

この例では、Visual Studio 2008 を使用します。まず、この例の新しい Windows フォームアプリケーションを作成します。

ドットネットプロジェクト

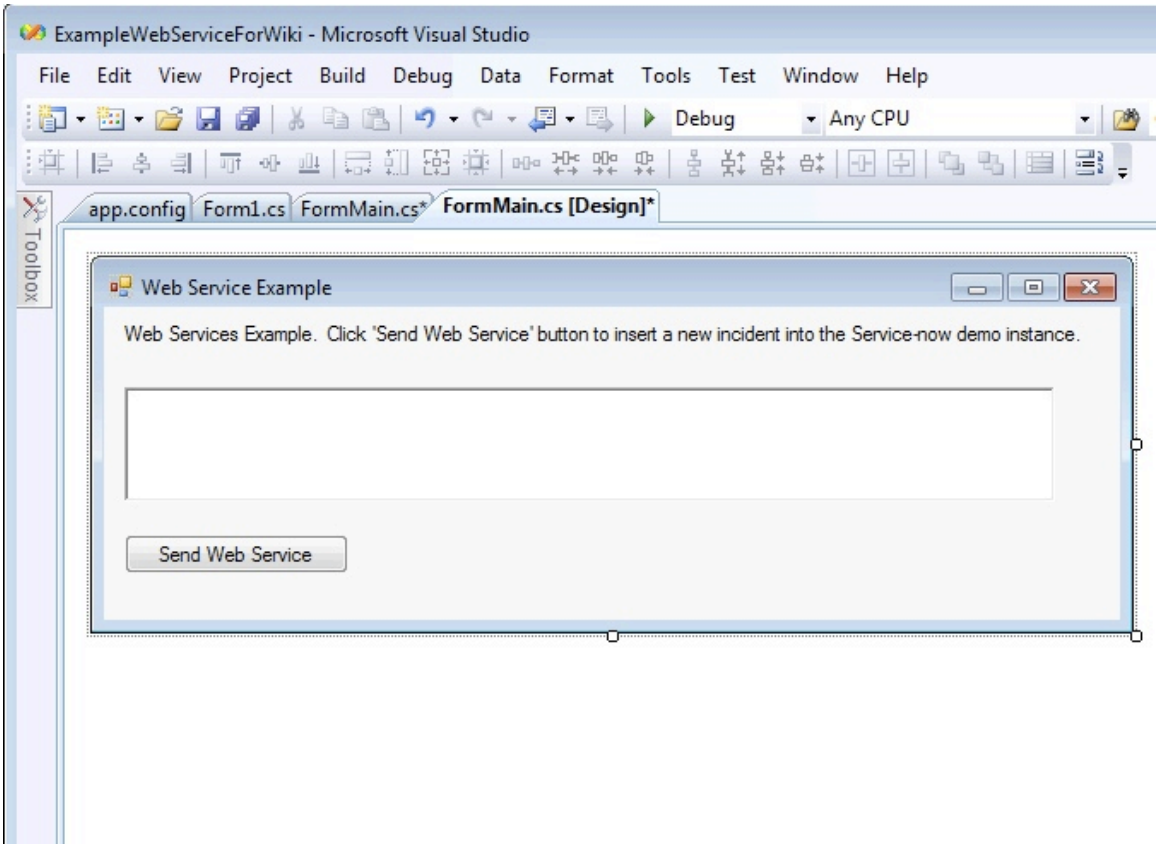


結果のフォームで、(「richTextBoxResult」という名前を付けた) richTextBox と、(buttonResult という名前を付けた) ボタンを作成しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドット ネットのサンプル フォーム



C Sharp の統合でサービス リファレンスを使用する

ウィザードを使用して、C Sharp 統合のサービス参照を追加します。

ソリューションエクスプローラーに移動し、 サービス参照 > サービス参照を追加. ウィザードが表示され、アドレスの入力を求められます。「https://<instance name>.service-now.com/incident.do?WSDL」を使用します。ウィザードの残りの部分についてはデフォルトを受け入れます。

app.config ファイルを開き、セキュリティモードを「Transport」に、clientCredentialType と proxyCredentialType を「Basic」に変更します。

ドットネットアプリの構成

```
<security mode="Transport">
    <transport clientCredentialType="Basic" proxyCredentialType="Basic"
        realm="">
        <extendedProtectionPolicy policyEnforcement="Never" />
    </transport>
    <message clientCredentialType="UserName" algorithmSuite="Default" />
</security>
```

C Sharp 統合での Web 参照の使用

ウィザードを使用して、C Sharp 統合の Web 参照を追加します。

ソリューションエクスプローラーに移動し、 サービス参照 > サービス参照を追加. ウィザードが表示されます。フォームの下部に [詳細設定] ボタンがあります。それをクリックし、新しいウィザードページの下部にある **[Web** 参照の追加] ボタンをクリックします。これにより、**Web** 参照ウィザードが開始されます。URL には「https://<instance name>.service-now.com/incident.do?WSDL」を使用し、Web 参照に「WebReference1」という名前を付けます。ウィザードの残りの部分についてはデフォルトを受け入れます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

C Sharp 統合ソースコード

ソースコードを定義した後、挿入します。

コードを挿入する準備ができました。フォームの **[Web サービスを送信 (Send Web Service)]** ボタンをダブルクリックして、作成されたバックエンドコードをフォームに開きます。デモ インスタンスにレコードを挿入し、応答を読み取るコードを次に示します。

```
using System;
using System.Collections.Generic;
using System.ComponentModel;
using System.Data;
using System.Drawing;
using System.Linq;
using System.Text;
using System.Windows.Forms;

namespace ExampleWebServiceForWiki
{
    public partial class FormMain : Form
    {
        public FormMain()
        {
            InitializeComponent();
        }

        private void buttonSend_Click(object sender, EventArgs e)
        {
            /*  SERVICE REFERENCE-SPECIFIC CODE
            ServiceReference1.ServiceNowSoapClient soapClient = new
 ServiceReference1.ServiceNowSoapClient();
            soapClient.ClientCredentials.UserName.UserName ="itil";
            soapClient.ClientCredentials.UserName.Password ="itil";

            ServiceReference1.insert insert = new
 ExampleWebServiceForWiki.ServiceReference1.insert();
            ServiceReference1.insertResponse response = new
 ExampleWebServiceForWiki.ServiceReference1.insertResponse();
            //   END OF SERVICE REFERENCE CODE    */

            //   WEB REFERENCE-SPECIFIC CODE
            WebReference1.ServiceNow_incident soapClient = new
 ExampleWebServiceForWiki.WebReference1.ServiceNow_incident();
            System.Net.ICredentials cred = new
 System.Net.NetworkCredential("itil", "itil");
            soapClient.Credentials = cred;

            WebReference1.insert insert = new WebReference1.insert();
            WebReference1.insertResponse response = new
 WebReference1.insertResponse();
            //   END OF WEB REFERENCE CODE

            insert.category = "Category";
            insert.comments = "Comments";
            insert.short_description = "My short description";

            try
```

自動翻訳

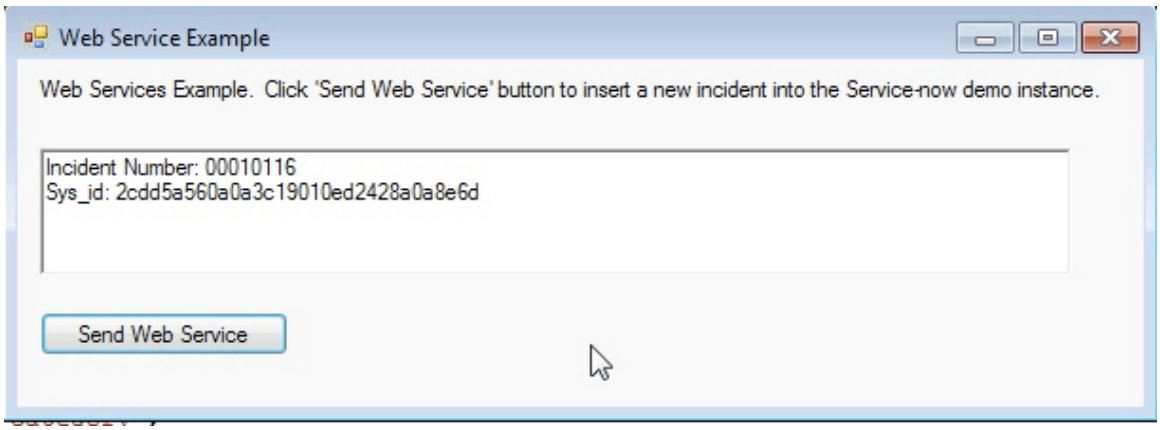
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
                response = soapClient.insert(insert);
                this.richTextBoxResult.Text = "Incident Number: " +
response.number + "\n";
                this.richTextBoxResult.Text += "Sys_id: " +
response.sys_id;
            }
            catch (Exception error)
            {
                this.richTextBoxResult.Text = error.Message;
            }
        }
    }



}
```

C Sharp 統合結果

チュートリアルに適切に従っていれば、サービス参照または Web 参照のいずれを使用した場合でも結果が返されます。

ドット ネットチュートリアルの結果



C Sharp 統合での null 応答のトラブルシューティング

ServiceNow の Web サービスから null 応答を受信しています。

クライアントコードで Web サービスから「null」応答を受信した場合は、このチュートリアルの elementFormDefault 設定を「False」に設定する手順を実行していない可能性があります。

この設定を変更して保存したら、コードを WSDL に対して再コンパイルすることを忘れないでください。

SOAP を使用して大量のレコードを取得する

デフォルトでは、1 つの SOAP 要求で最大 250 レコードを取得できます。

SOAP はメッセージ形式として拡張マークアップ言語 (XML) を使用し、通常はメッセージのネゴシエーションと送信を他のアプリケーション層プロトコル (特にリモートプロシージャコール (RPC) と HTTP) に依存しています。SOAP は、Web サービスプロトコルスタックの基盤となるレイヤーを形成し、Web サービスを構築するための基本的なメッセージングフレームワークを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細な XML 形式であるため、SOAP は他の転送方式よりもかなり遅くなる可能性があります。したがって、SOAP を介して大量のデータを送信することは非効率的であり、お勧めしません。このため、ServiceNow では、1 つのクエリで任意の時点で取得できるレコード数に 250 件というハード制限を設けています。この制限により、統合設計に技術的な課題が生じる場合があります。

SOAP 戦略

必要な情報を取得し、統合をさらに効率的にします。

フィルターを使用して結果の数を制限する

Web サービスの呼び出しを 250 レコードの制限内に収める方法の 1 つは、統合アプリケーションの設計について考えることです。

たとえば、C# でインシデントフォームを作成して、ユーザーにアサインされているインシデントを表示するとします。

問題のあるクエリアプローチ

C# アプリケーションは、ServiceNow 内のすべてのインシデントを取得するために SOAP 呼び出しを行います。アプリケーションは、結果をメモリにローカルに保存します。ユーザーが自分にアサインされたインシデントを表示することを決定すると、アプリケーションは内部アレイをループし、ユーザーにアサインされたインシデントを表示します。

より良いクエリアプローチ

C# アプリケーションは、ServiceNow 内のログインしているユーザーにアサインされたすべてのインシデントを取得するために SOAP 呼び出しを行います。結果はローカルのメモリーに保存されます。ユーザーが自分にアサインされたインシデントを表示することを決定すると、アプリケーションはすべての結果をユーザーに表示します。

パフォーマンスが最適化されたクエリアプローチ

C# アプリケーションは最初は SOAP 呼び出しを行いません。ログインしているユーザーが自分にアサインされたインシデントを表示することを決定すると、アプリケーションはアクティブ、クローズ済みなどの表示の選択をユーザーに提供します。これにより、必要な結果を、SOAP 呼び出しが行われる前であってもフィルタリングすることができます。これによって、ユーザーが見たいと思った結果のみが提示されます。

データをプルするローカル データ ストアを使用する

大量のデータを頻繁にクエリする必要があり、データがリアルタイムである必要がない場合は、対象の ServiceNow テーブルと統合アプリケーションのデータストアとの同期を実行します。

データのプッシュ

- スケジュール設定済みジョブを使用すると、ServiceNow はレポートから csv/xml を生成し、それを特定の場所にメールで送信できます。受信者には、メールの添付ファイルを取得して解析し、データが必要なときにアプリケーションが通信できる内部テーブルを自動入力するトリガーが設定されている場合があります。
- スケジュール設定済みジョブを使用すると、ServiceNow はレポートから csv/xml を生成し、それを公開 FTP/FTPS の場所に FTP 送信できます。統合製品は、この csv ファイルを定期的に使用し、データが必要なときにアプリケーションが通信できる内部テーブルを自動入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 現在、プラットフォームでは、大量のデータを抽出して FTP サーバーに送信する方法は提供されていません。ただし、その機能を実行するためのカスタマイズについては、ここ で説明しています。カスタマイズは、特定の ServiceNow インスタンスで使用するために開発されたものであり、ServiceNow カスタマーサポートではサポートされていません。この方法は現状のまま提供され、実装の前に完全にテストする必要があります。このカスタマイズに関するすべての質問およびコメントは、コミュニティフォーラム に投稿してください。

データのプル

cron ジョブを使用すると、ネットワーク内部のマシンは wget を呼び出して、ServiceNow 内の任意のテーブルから csv/xml データをプルできます。統合製品は、この csv/xml ファイルを定期的に使用し、データが必要なときにアプリケーションが通信できる内部テーブルを自動入力します。使用される wget コマンドの例：

- wget --user=itil --password=itil --no-check-certificate https://<instance name>.service-now.com/incident_list.do?CSV
- wget --user=itil --password=itil --no-check-certificate https://<instance name>.service-now.com/incident_list.do?XML

Java/C#/PHP コードを使用し基本認証を行って XML データを取得する

ローカルデータストアがオプションでない場合、データを取得する別の方法として、CSV/XML プロセッサーを直接呼び出して結果を解析することもできます。

直接 SOAP 呼び出しの場合と同様の方法で、結果のデータを使用します。PHP でのこの例を次に示します。

```
<?php
//This example is in PHP

 $user = "itil";
 $pass = "itil";
        $userPass = $user.':'.$pass;


        $ch = curl_init();
        curl_setopt($ch, CURLOPT_URL, 'https://<instance
 name>.service-now.com/incident_list.do?CSV');
        curl_setopt($ch, CURLOPT_HEADER, 0);
        curl_setopt($ch, CURLOPT_RETURNTRANSFER, 1);
        curl_setopt($ch, CURLOPT_FOLLOWLOCATION, true);
        curl_setopt($ch, CURLOPT_HTTPAUTH, CURLAUTH_BASIC);
        curl_setopt($ch, CURLOPT_USERPWD, $userPass);

        $data = curl_exec($ch);
        $info = curl_getinfo($ch);

        if ($output === false) {
          $output = "No cURL data returned for $addr [".
 $info['http_code']. "]";
          if (curl_error($ch))
              $output .= "\n". curl_error($ch);
          print $output;
        }
        else{
          echo $data;
        }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        curl_close($ch);
?>
```

送信 Web サービス

REST や SOAP などの各種送信 Web サービスを使用して、ServiceNow アプリケーションと統合できます。

送信 REST Web サービス

ServiceNow 送信 REST 機能を使用すると、REST アーキテクチャをサポートする Web サービス サーバー上のデータを取得、作成、更新、または削除できます。

REST メッセージは、REST ワークフローアクティビティまたは RESTMessageV2 スクリプト API を使用して送信できます。メッセージが内部ネットワーク上の REST プロバイダーと通信できるように、MID サーバーから REST メッセージを実行できます。

ServiceNow REST 機能は、多くの Web サービス API に対応できる柔軟性を備えています。ServiceNow で REST メッセージを定義する前に、Web サービスと Web サービスが受け入れるパラメーターについて理解しておいてください。

REST メッセージ要素

送信 REST メッセージは、エンドポイントや HTTP メソッドなどのいくつかの要素で構成されています。

REST メッセージには次の要素が含まれています。

要素

要素	説明
エンドポイント	エンドポイントは取得、更新、または削除されるデータの URL です。すべての REST メッセージでエンドポイントを指定する必要があります。
ヘッダー	REST メッセージの HTTP ヘッダーには、目的の応答形式などの要求に関する情報が含まれています。REST メッセージは、任意の数のヘッダーを指定できます。
認証設定	認証設定には、基本認証や OAuth などの使用する認証のタイプと、使用する資格情報が含まれています。
HTTP メソッド	GET、POST、DELETE などの HTTP メソッドは、エンドポイントでデータを操作します。 必要に応じて、さまざまなエンドポイント、認証資格情報、またはヘッダーを指定するなどして、各 HTTP メソッドの親 REST メッセージ構成を上書きできます。 POST などのコンテンツを送信する HTTP メソッドには、このコンテンツの詳細を示すメッセージ本文が含まれています。 REST メッセージでは、複数の HTTP メソッドを指定できます。ワークフローアクティビティやスクリプトなどを通じて REST メッセージを送信する場合は、使用する HTTP メソッドを指定する必要があります。

REST メッセージの作成

REST メッセージレコードを作成して、REST Web サービスエンドポイントに要求を送信します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. [新規] をクリックします。
3. 次のフィールドに入力します。

REST メッセージフォーム

フィールド	説明
名前	このメッセージの説明的な名前を入力します。
エンドポイント	この REST メッセージが送信されるエンドポイントを入力します。エンドポイント値には、*${variable}* 形式の変数を含めることができます。
認証タイプ	使用する認証のタイプ (存在する場合) と、ユーザー資格情報を含むプロファイルレコードを選択します。 送信 REST は基本認証と OAuth 2.0 をサポートしています。送信 REST は基本認証による相互認証のみをサポートしています。 ここで設定された認証は、関連する HTTP メソッドによって継承されます。メッセージレベルで認証設定を上書きする各メソッドの認証を設定できます。
HTTP ヘッダー	**[HTTP** 見出し] の埋め込みリストの行をダブルクリックして、ヘッダーの [名前] と [値] を定義します。 Web サービスプロバイダーが、サポートされているヘッダーまたは必要なヘッダーを決定します。

4. [送信] をクリックします。

REST メッセージを作成すると、REST メッセージレコードの値を使用して GET HTTP メソッドが自動的に作成されます。

次のタスク
HTTP メソッドを作成または編集し、要求を実行します。

REST メッセージの **HTTP** メソッドの定義

GET や POST などの HTTP メソッドを定義して、Web サービスプロバイダーに要求を送信します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

このタスクについて
REST メッセージレコードを作成すると、[エンドポイント] などの REST メッセージレコードから継承された設定を使用して、いくつかのデフォルトの HTTP メソッドが自動的に作成されます。その後の REST メッセージレコードへの変更は、HTTP メソッドに自動的には適用されません。追加の HTTP メソッドを作成したり、デフォルトの HTTP メソッドを変更して新しい動作を実装したりできます。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **REST** メッセージ.
2. HTTP メソッドを定義する REST メッセージを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **[HTTP** メソッド] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 使用する **[HTTP** メソッド] (GET や POST など) を選択します。
5. この HTTP メソッドがアクセスする [エンドポイント] を入力します。
   エンドポイント値には、*${variable}* 形式の変数を含めることができます。
6. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

次のタスク
HTTP メソッドを作成した後、親 REST メッセージからのセキュリティ設定の上書き、HTTP ヘッダーの設定、変数の追加、またはメソッドのテストを行うことができます。PUT、POST、および PATCH メソッドでは、メッセージ本文を定義できます。

REST メッセージの **HTTP** メソッドのテスト

送信 REST メッセージの HTTP メソッドをテストして、要求が有効であり、応答が期待どおりに返されることを確認します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順
1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **REST** メッセージ.
2. テストする HTTP メソッドを含む REST メッセージを選択します。
3. [HTTP メソッド] 関連リストで、テストする HTTP メソッドを選択します。
4. [関連リンク] で [テスト] を選択します。

   HTTP メソッドに変数が含まれている場合、メソッドのテスト時に [変数代替] 関連リストの各変数の [値] が使用されます。

   各テスト実行では、応答ステータス (GET 要求が成功した場合は 200)、完全なエンドポイント URL、要求で渡されたパラメーター、および応答本文などが表示されます。

   > **注:** [テスト実行] フォームのフィールドは情報提供用です。これらのフィールドに対する変更は、REST メッセージまたは HTTP メソッドには適用されません。さまざまな REST メッセージ構成をテストするときに、これらの値を変更しないでください。代わりに、REST メッセージまたは HTTP メソッドを更新してから、新しいテストを実行してください。

タスクの結果
HTTP メソッドの完了したテスト実行が [テスト実行] 関連リストに表示されます。要求の実行中にエラーが発生した場合は、[エラーコード] フィールドと [エラーメッセージ] フィールドが表示されます。

REST メッセージの **HTTP** ヘッダーの定義

REST メッセージまたは HTTP メソッドの HTTP ヘッダーを定義して、REST 要求とともにそのヘッダーを送信します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

このタスクについて
REST メッセージまたは HTTP メソッドの HTTP ヘッダーを指定できます。REST メッセージ用に定義されたヘッダーは、その REST メッセージのすべての HTTP メソッドに適用されます。REST メッセージと子 HTTP メソッドの両方に同じヘッダーを指定すると、HTTP メソッドに定義された値が親 REST メッセージの値を上書きします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージを選択します。
3. オプション: REST メッセージの代わりに HTTP メソッドのヘッダーを指定するには、**[HTTP** メソッド] 関連リストで HTTP メソッドを選択します。
4. **[HTTP** 要求] タブを選択します。
5. **[HTTP** 見出し] 埋め込みリストで、[新しい行を挿入] をクリックします。
6. Content-Type や Accept など、ヘッダーの名前を入力します。
   サポートされているヘッダーは、接続先の REST Web サービスプロバイダーによって異なります。有効または必須のヘッダーを識別するには、Web サービスプロバイダーのドキュメントを参照してください。
7. 新しい行の [値] フィールドをクリックし、このヘッダーに割り当てる値を入力します。
   静的値の代わりに、${変数} という形式の変数を使用できます。REST 要求を送信するときに変数に値を割り当てることができます。
8. [更新] をクリックします。

MID Server 経由での送信 **REST** メッセージの送信

MID Server 経由で送信されるように REST メッセージの HTTP メソッドを設定できます。

MID サーバーを使用すると、ファイアウォールの背後またはプライベートネットワーク内にあるエンドポイントに要求が届きます。

MID サーバーを使用するように HTTP メソッドを設定するには、[HTTP メソッド] フォームの **[MID** サーバーを使用] フィールドで MID サーバーを選択します。この機能を使用するには、インスタンスにアクティブな MID サーバーが必要です。

URI での特殊文字の使用

REST 関数 URI または関数変数では、パイプ (|) 文字などの特殊文字を使用できます。

これらの文字を REST メッセージで使用する場合は、URL エンコードを使用してこれらの文字をエスケープします。たとえば、*user|title* のパラメーター値を使用するには、「`user%7Ctitle`」と入力します。特殊文字を直接入力すると REST メッセージが失敗し、[無効な *URI* <URI>：無効なクエリ *(Invalid uri <URI>: Invalid query)]* という応答が表示される場合があります。

送信 **REST** の認証

送信 REST メッセージは複数のタイプの認証をサポートしています。

Web サービスプロバイダーによって特定のタイプの認証が必要になる場合があります。送信 REST は次の認証形式をサポートしています。

- ユーザー名とパスワードを使用する基本認証
- OAuth プロバイダーとプロファイルを使用する OAuth 2.0
- プロトコルプロファイルを使用する相互認証

REST の認証の上書き

REST メッセージに対して、または HTTP メソッドごとに個別に認証を定義できます。HTTP メソッドの [認証タイプ] が [親から継承] (デフォルト値) の場合、HTTP メソッドは親 REST メッセージレコードから認証を継承します。

[認証タイプ] フィールドを [認証なし] に設定して特定の HTTP メソッドの認証を無効にするか、基本認証または OAuth を選択して親 REST メッセージとは異なる認証を指定できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認証要件

送信 REST は基本認証を使用する相互認証のみをサポートしています。OAuth 2.0 では相互認証を使用できません。

OAuth 2.0 は MID サーバーを使用するように設定されていないメッセージでのみ使用できます。MID Server 経由で OAuth 2.0 認証メッセージを送信することはできません。

認証が設定された新しい REST メッセージをスクリプティングする場合は、 RESTMessageV2 API を使用する必要があります。従来の RESTMessage API は現在の認証形式をサポートしていません。

基本認証を使用する **REST** メッセージの構成

各要求でベーシック認証情報を提供するように送信 REST メッセージを構成します。

始める前に

この手順を開始する前に、基本認証を使用するように構成する REST メッセージレコードがあることを確認してください。

> **注:** この REST メッセージを呼び出すすべてのスクリプトが RESTMessageV2 API を使用していることを確認してください。スクリプト経由で認証 REST メッセージを送信するには、RESTMessageV2 API が必要です。

必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージレコードを選択します。
3. [認証タイプ] フィールドで、[基本] を選択します。

   > **注:** [基本 (簡易)] の選択肢は、Geneva リリースより前の基本認証を使用するように構成された REST メッセージレコードに表示されます。この選択肢は古い REST メッセージとの互換性を目的としており、Geneva リリース以降で作成された REST メッセージには使用しないでください。

4. [基本認証プロファイル] フィールドで、送信する資格情報を含む基本認証プロファイルを選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク

REST メッセージをテストして、想定される応答が返されることを確認します。必要に応じて、この REST メッセージに関連付けられている各 HTTP メソッドに異なる認証設定を指定して、親 REST メッセージの設定を上書きすることができます。

基本認証プロファイルの作成

基本認証プロファイルを作成して、1 つ以上の REST メッセージの基本認証資格情報を指定します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージレコードを選択します。
3. [認証タイプ] フィールドで、[基本] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [基本認証プロファイル] フィールドで、参照ルックアップアイコンをクリックします。
5. [新規] をクリックします。
6. プロファイルの説明的な [名前] を入力します。
7. 基本認証資格情報として送信する [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
8. [送信] をクリックします。

次のタスク
この基本認証プロファイルを使用するように REST メッセージを構成します。

OAuth を使用する REST メッセージの構成

要求で OAuth 資格情報を送信するように、送信 REST メッセージを構成できます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin および oauth_admin
この手順を開始する前に、次を確認してください。

- OAuth を使用するように構成する REST メッセージレコードがあること。
- OAuth アプリケーションレジストリに、使用する OAuth クライアント情報を含む OAuth プロバイダーが設定されていること。
- OAuth プロバイダーに OAuth 2.0 プロファイルが関連付けられていること。
- REST メッセージの HTTP メソッドが MID サーバーを使用するように構成されていないこと。

> **注:** この REST メッセージを呼び出すすべてのスクリプトが RESTMessageV2 API を使用していることを確認してください。スクリプト経由で認証 REST メッセージを送信するには、RESTMessageV2 API が必要です。

手順
1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージレコードを選択します。
3. [認証タイプ] フィールドで、**[OAuth 2.0]** を選択します。
4. **[OAuth** プロファイル] フィールドで、送信する資格情報を指定する OAuth 2.0 プロファイルを選択します。
5. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   新しい OAuth トークンを要求する必要があることを示す情報メッセージがフォームの上部に表示されます。
6. **[OAuth** トークンの取得] 関連リンクをクリックします。
   OAuth プロバイダーによっては、トークンを提供する前に確認を求める別のウィンドウが表示される場合があります。プロバイダーが必要とする手順を実行して、トークンを取得します。

次のタスク
REST メッセージをテストして、想定される応答が返されることを確認します。必要に応じて、この REST メッセージに関連付けられている各 HTTP メソッドに異なる認証設定を指定して、親 REST メッセージの設定を上書きすることができます。

サードパーティ OAuth プロバイダーの使用

OAuth 認証に参加するには、各クライアントアプリケーションをインスタンスに登録する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

注: ServiceNow は、ServiceNow からサードパーティ API への要求を承認するサードパーティ OAuth プロバイダーのみをサポートしています。

たとえば、ユーザーのスケジュール済みイベントを読み取ってイベントを作成するために OAuth 2.0 アクセストークンが必要なサードパーティのカレンダーサービスと統合する場合があります。カレンダーサービスをサードパーティ OAuth プロバイダーとして構成します。この構成では、カレンダーサービスからアクセストークンを取得し、そのトークンを使用して ServiceNow からサービスに対して要求を行うことができます。

手順

1. 移動先 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ をクリックし、[新規] をクリックします。
2. インターセプターページで、[サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] をクリックし、フォームに入力します。

フィールド	説明
名前	アクセスが必要なアプリケーションを識別する一意の名前。
クライアント ID	アプリケーションの一意の ID。インスタンスは、アクセストークンを要求するときにクライアント ID を使用します。認証サーバーからクライアント ID を取得する必要があります。
クライアントシークレット	[必須] インスタンスとアプリケーションが相互の通信を許可するために使用する共有シークレット文字列。正しいクライアントシークレットを入力しないと、トークンは発行されません。
OAuth API スクリプト	このオプションを使用すると、修正済み OAuthUtil スクリプトインクルードを参照できます。デフォルトの OAuthUtil スクリプトインクルードファイルをコピーして名前を変更し、特定の要求と応答がサードパーティの OAuth プロバイダーと一致するようにこのバージョンを修正します。修正済みスクリプト名には、プリフィックス **OAuth** が必要です。適切なメソッドで必要な本文パラメーターを追加するには、「 OAuthUtil 」を参照してください。
ロゴ URL	アプリケーションロゴとして使用するイメージを含む URL。
デフォルトの権限許可タイプ	権限許可のタイプ： ◦ 認証コード：アクセストークンを取得するためにクライアントに付与され、リソースへのアクセス権を取得するために使用されるコード。このオプションを選択する場合は、認証 URL (認証サーバーの URL) が必要です。 ◦ リソース所有者のパスワード認証情報：リソースへのアクセス権の取得を試行するユーザーのユーザー名とパスワード。 ◦ クライアント認証情報：どちらもアクセストークンを取得するために使用されるクライアント ID とクライアントシークレット。このメソッドはリフレッシュトークンを提供しません。 ◦ **JWT** ベアラー：認証サーバーは、ID とセキュリティ情報をセキュリティドメイン間で共有できるようにする JWT トークンを検証します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ **SAML2** ベアラー：SAML2 アサーションを生成し、プロバイダーとアクセストークンのアサーションを交換します。 **注:** SuccessFactors への送信要求では、**[SAML2** ベアラー] をデフォルトの権限許可タイプとして使用します。
リフレッシュトークンの有効期間	リフレッシュトークンの有効期間 (秒)。
アクセス可能	このレジストリにアクセスできるアプリケーションスコープ。
アクティブ	アプリケーションレジストリがアクティブであることを示すチェックボックス。
認証 URL	認証コード権限許可タイプ (ユーザーを許可するエンドポイントの URL) を使用している場合。別の ServiceNow インスタンスにアクセスする場合は、URL に `/oauth_auth.do` を追加します。
トークン URL	トークンを取得および更新するためにインスタンスが使用するトークンエンドポイントの場所。別の ServiceNow インスタンスにアクセスする場合は、URL に `/oauth_token.do` を追加します。
リダイレクト URL	認証コードを受信するアプリケーションエンドポイント。インスタンスで URL を自動生成するには、このフィールドを空白のままにします。別の ServiceNow インスタンスにアクセスする場合は、URL に `/oauth_redirect.do` を追加します。
トークン失効 URL	トークンを取り消すためにインスタンスが使用するエンドポイントの場所。別のインスタンスにアクセスする場合は、URL に `/oauth_revoke.do` を追加します。
コメント	アプリケーションに関連付ける追加情報。
埋め込みリスト	
OAuth エンティティプロファイル	OAuth プロバイダーに関連付けられているプロファイル。プロファイルには権限許可タイプが含まれています。プロファイル名をクリックして、[OAuth エンティティプロファイル] フォームに移動します。
OAuth エンティティスコープ	OAuth プロバイダーに関連付けられているエンティティスコープ。スコープは、アプリケーションがアクセスできるサービスを識別します。スコープ名をクリックして、[OAuth エンティティプロファイル] フォームに移動します。

3. [送信] をクリックします。レコードは、アプリケーションレジストリー [oauth_entity] テーブルに保存されます。
システムにより、タイプが OAuth プロバイダーのレコードがアプリケーションレジストリ [oauth_entity] テーブルに作成されます。また、インスタンスは指定された権限許可タイプを使用してデフォルトプロファイルを自動生成しますが、スコープは作成しません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
スコープのある追加のプロファイルを作成できます。

OAuth プロファイルおよびスコープ

OAuth プロバイダーのシナリオでは、プロファイルとスコープによって権限許可タイプ、認証タイプ、およびアクセスのレベルが指定されます。

OAuth プロバイダーのシナリオでは、OAuth プロファイルは権限許可タイプと少なくとも 1 つのスコープの組み合わせを参照します。スコープは、保護されたリソースに対するユーザーのアクセス権 ([読み取り] または [書き込み] など) を指定します。サードパーティプロバイダーごとにプロファイルを作成し、プロバイダーから特定のスコープのセットを取得できます。詳細については、「OAuth プロファイルの指定」と「OAuth スコープの指定」を参照してください。REST コールで OAuth 2.0 認証が指定されている場合は、インスタンスも OAuth プロファイルを使用します。インスタンスは、作成したサードパーティプロバイダーレコードごとにデフォルトプロファイルを自動作成します。デフォルトプロファイルは 1 つだけです。

OAuth 要求者プロファイル [OAuth_requestor_profile] テーブルに保存される次のパラメーターを指定します。

デフォルトプロファイルサポート用の **OAuth** パラメーター

パラメーター	説明
`oauth_requestor`	オブジェクトの sys_id。これはユーザーレコードまたは電子メールアカウントです。
`oauth_requestor_context`	OAuth リクエスターのコンテキストを提供する記述子。`oauth_requestor` オブジェクトが保存されたテーブルの名前を使用することをお勧めします。
`oauth_provider_profile`	デフォルトの OAuth プロファイルレコードの sys_id (「OAuth プロファイルの指定 」を参照)。

ユーザーが認証を試みると、プロバイダーは OAuth 要求者プロファイルテーブルにアクセスしてユーザーを検索します。ユーザーが見つかると認証に成功します。見つからない場合、プロバイダーはデフォルトプロファイルにアクセスして、権限許可タイプと認証の続行方法を決定します。

OAuth プロファイルの指定

OAuth プロファイルには、サードパーティ OAuth プロバイダーが制限付きリソースへのアクセスを取得するために必要な権限許可タイプが含まれています。

始める前に
必要なロール：admin

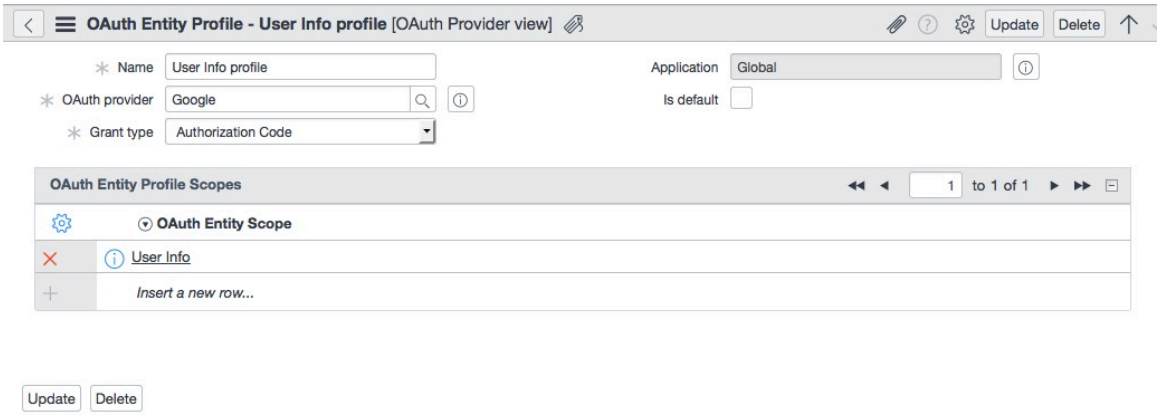
このタスクについて

手順

1. サードパーティ OAuth プロバイダーレコードを開きます。
2. [OAuth エンティティプロファイル] 埋め込みリストで、[新しい行を挿入] をクリックし、プロファイルの名前を入力します。
3. [アプリケーションレジストリ] フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   システムによってプロファイルレコードが作成されます。
4. 作成したプロファイルの名前をクリックし、フォームフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。
OAuth プロバイダー	プロファイルに関連付けられているプロバイダーを確認します。
権限許可タイプ	権限許可タイプを選択します。 ◦ 認証コード：アクセストークンを取得するためにクライアントに付与され、リソースへのアクセス権を取得するために使用されるコード。このオプションを選択する場合は、認証 URL (認証サーバーの URL) が必要です。 ◦ リソース所有者のパスワード認証情報：リソースへのアクセス権の取得を試行するユーザーのユーザー名とパスワード。 ◦ クライアント認証情報：どちらもアクセストークンを取得するために使用されるクライアント ID とクライアントシークレット。このメソッドはリフレッシュトークンを提供しません。 ◦ **JWT** ベアラー：認証サーバーは、ID とセキュリティ情報をセキュリティドメイン間で共有できるようにする JWT トークンを検証します。 ◦ **SAML2** ベアラー：SAML2 アサーションを生成し、プロバイダーとアクセストークンのアサーションを交換します。 **注:** SuccessFactors への送信要求では、**[SAML2** ベアラー] をデフォルトの権限許可タイプとして使用します。
デフォルトである	プロファイルを関連するプロバイダーのデフォルトオプションにするには、このオプションを選択します。
埋め込みリスト	
OAuth エンティティプロファイルスコープ	OAuth エンティティスコープを指定します。

5. [更新] をクリックします。

OAuth スコープの指定

プロバイダーから取得する OAuth スコープを指定します。スコープは、プロバイダーによって指定された任意のレベルのアクセス権 (読み取り、書き込み、または URL を含む任意の文字列) にすることができます。

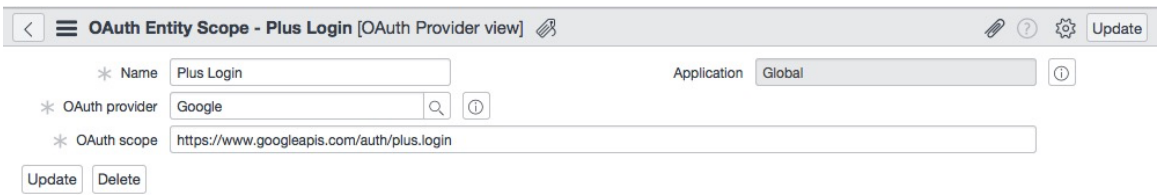
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. サードパーティ OAuth プロバイダーレコードを開きます。
2. プロバイダーに関連付けられているプロファイルを開きます。
3. [OAuth エンティティプロファイルスコープ] 埋め込みリストで、[新しい行を挿入] をクリックし、プロファイルの [名前] を入力します。
4. **[OAuth** エンティティプロファイル] フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。プロファイルレコードが作成されます。
5. 作成したスコープの名前をクリックし、フォームフィールドに入力します。



[OAuth エンティティスコープ] フォームフィールド

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。
OAuth プロバイダー	このスコープに関連付けられているプロバイダーを確認します。
OAuth スコープ	プロバイダーによって付与されたスコープ。一般的なスコープは読み取りと書き込みです。スコープは、プロバイダーが指定する任意の文字列にすることができます。

6. [更新] をクリックします。

OAuth 2.0 を使用する送信 REST チュートリアル：Google Contacts API との統合

このチュートリアルでは、OAuth 2.0 プロファイルを使用して Google との送信 REST メッセージを認証して連絡先情報を取得する方法について説明します。

このチュートリアルで詳細に記載されている手順には、oauth_admin ロールおよび web_service_admin ロールが必要です。このチュートリアルを開始する前に、両方のロールが割り当てられていることを確認してください。

OAuth 2.0 チュートリアル：OAuth プロバイダーとしての Google サービスの構成

Google Developer Console を使用して、OAuth 2.0 プロバイダーを設定します。

始める前に
この手順は、Google Developer Console 内で実行します。このコンソールにアクセスするには Google アカウントが必要です。

必要なロール：なし

このタスクについて
クライアント ID とクライアントシークレットを取得するために Google サービスを設定し、ServiceNow インスタンス URL を OAuth リダイレクト URL として指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: この情報は、2015 年 7 月 22 日時点の Google Developer Console と Contacts API の状態を示しています。それ以降に行われた変更は、このドキュメントに含まれない場合があります。

手順

1. Google Developer Console (`https://console.developers.google.com`) に移動します。
2. Google 資格情報を使用してログインします。
3. [プロジェクトを作成] をクリックします。
4. [プロジェクト名] を入力します。
5. [作成] をクリックします。
   Google でプロジェクトが作成されると、プロジェクトダッシュボードが表示されます。
6. 移動先 **API** とサービス > **API** とサービスの有効化.
7. [**Enable APIs and Services**] ボタンをクリックします。
8. 検索バーに 「Contacts *API*」と入力します。
9. [**Contacts API**] をクリックし、[**Enable API**] をクリックします。
10. オプション: ハンバーガーメニューから **API** とサービスの ホームページに戻り、 **API** とサービス > **OAuth** 同意画面.
11. オプション: [同意画面の構成] をクリックし、ビジネスニーズに応じてアプリ登録ウィザードを完了します。
12. 移動先 **API** とサービス > 認証情報 をクリックし、 認証情報を作成 > **OAuth** クライアント **ID**.
13. ドロップダウンから **[Web** アプリケーション] を選択します。
14. [名前] にわかりやすい OAuth 2.0 クライアントを入力します。
    この名前は、インスタンスで OAuth トークンを承認するときに表示されます。
15. [クライアント **ID** の作成] ウィンドウで、インスタンスの OAuth リダイレクト URI を [承認済みのリダイレクト **URI]** フィールドに追加します。
    この URL の形式は `https://<インスタンス>.service-now.com/oauth_redirect.do` です。
16. [作成] をクリックします。
    クライアント ID 情報が表示されます。
17. [クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] の値を記録します。
    これらの値を使用して、インスタンスで OAuth プロバイダーとして Google サービスを設定します。

OAuth 2.0 チュートリアル：**OAuth** プロバイダーとプロファイルの作成

クライアント情報と Google API URL を入力し、OAuth プロファイルを構成することで、Google サービスを ServiceNow の OAuth プロバイダーとして設定します。

始める前に
Google サービスを OAuth プロバイダーとして構成し、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] の各値を記録しておく必要があります。

必要なロール：oauth_admin

手順

1. 移動先 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ.
2. [新規] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択します。
4. OAuth プロバイダーの [名前] を入力します。
   この例では「`Google`」を使用します。
5. Google から取得した [クライアント **ID**] と [クライアントシークレット] を入力します。
6. [デフォルトの権限許可タイプ] を [認証コード] に設定します。
7. [認証 **URL**] フィールドに 「https://`accounts.google.com/o/oauth2/auth`」と入力します。
8. [トークン **URL**] フィールドに、「`https://www.googleapis.com/oauth2/v3/token`」と入力します。
9. [リダイレクト **URL**] フィールドに、「`https://<インスタンス>.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。
   この URL は、Google に提供されたリダイレクト URL と一致する必要があります。
10. [トークン失効 **URL**] フィールドに、「`https://accounts.google.com/o/oauth2/revoke`」と入力します。
11. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
    新しい OAuth エンティティプロファイルレコードが作成されます。
12. **[OAuth** エンティティスコープ] 埋め込みリストで、[名前] と **[OAuth** スコープ] の値を「`https://www.googleapis.com/auth/contacts.readonly`」に設定して新しい行を追加します。
13. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
14. **[OAuth** エンティティプロファイル] 埋め込みリストで、自動作成されたプロファイルを選択します。
15. **[OAuth** エンティティプロファイルスコープ] 埋め込みリストで、新しい行を追加し、Google Contacts API 読み取り専用スコープを選択します。
16. [更新] をクリックします。

OAuth 2.0 チュートリアル：**REST** メッセージの作成

OAuth 2.0 プロファイルを使用して、Google サービスに接続するための REST メッセージと関連する HTTP メソッドを作成します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin および oauth_admin
Google API 情報と OAuth 資格情報を使用して、OAuth プロバイダーとプロファイルを構成しておく必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. [新規] をクリックします。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. [エンドポイント] フィールドに、「`https://www.google.com/m8/feeds/contacts/default/full`」と入力します。
   特定のユーザー名の代わりにデフォルトを使用することで、Google API は OAuth 資格情報を使用して情報を取得するアカウントを決定します。
5. [認証] タブで、[認証タイプ] フィールドを **[OAuth 2.0]** に設定します。
6. **[OAuth** プロファイル] フィールドで、Google Contacts の OAuth プロファイルを選択します。
7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. **[OAuth** トークンの取得] 関連リンクをクリックし、構成されたクライアント ID とクライアントシークレットを使用して Google に認証トークンを要求します。
9. 表示される [権限の要求 (Request for Permission)] ウィンドウで、[承認] をクリックして Google Contacts へのアクセスを許可します。
   取得したトークンにインスタンスで直接アクセスすることはできません。
10. **[HTTP** メソッド] 関連リストで、**[GET]** メソッドを選択します。
11. 親 REST メッセージレコードから OAuth プロファイルを使用するには、HTTP メソッドの [認証タイプ] を **[--** なし **--]** のままにします。
12. **[HTTP** 要求] タブで、[名前] が「`GData - Version`」で [値] が「`3.0`」の新しい行を **[HTTP** 見出し] 関連リストに追加します。
13. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
14. [テスト] 関連リンクをクリックします。
    テスト結果には、**[HTTP** ステータス] 200 と、Contacts API 呼び出しの結果が表示されます。

送信 **REST** の相互認証

相互認証では、Web サービスプロバイダーとコンシューマーが相互認証してから通信します。

相互認証は MID サーバーを使用する送信 Web サービスでは使用できません。

注: 受信 Web サービスの相互認証については、「 証明書ベースの認証 」を参照してください。

送信 **REST** メッセージの変数代替

送信 REST メッセージを作成するときに変数を使用し、要求を実行するときにそれらの変数に値を割り当てることができます。

変数は、[エンドポイント] URL、HTTP ヘッダー、HTTP クエリパラメーターの [値] フィールド、および POST と PUT メソッドの [コンテンツ] フィールドで許可されます。

変数の構文は ${変数名}です。REST メッセージはこの変数をメソッドの実行時に指定されたパラメーター値に置き換えます。たとえば、REST メッセージの [エンドポイント] が `http://myserver.mycompany.com/offices/${id}` の場合、*id* という名前のパラメーターが存在し、メソッドの実行時に使用できる値が含まれている必要があります。

RESTMessageV2 API の *setStringParameter* メソッドおよび *setStringParameterNoEscape* メソッドを使用して、要求を実行するときに変数に値を割り当てることができます。

変数が含まれている HTTP メソッドをテストする場合、[変数代替] 関連リストの各変数の [値] が使用されます。

REST メッセージ変数の生成

複数の REST メッセージの HTTP メソッドフィールドで定義された変数に基づいて、変数代替のリストを自動的に入力します。

始める前に

この手順を開始する前に、変数を使用する HTTP メソッドを少なくとも 1 つ使用して REST メッセージレコードを作成します。

必要なロール：web_service_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージレコードを選択します。
3. [HTTP メソッド] 関連リストからメソッドを選択します。
4. [変数の自動生成] 関連リンクをクリックします。
   [変数代替] 関連リストは、HTTP メソッド [エンドポイント] フィールドと **[HTTP** 見出し] および **[HTTP** クエリパラメーター **(HTTP Query Parameters)]** 埋め込みリストで定義された変数に対して自動的に入力されます。POST および PUT メッセージの場合は、[コンテンツ] フィールドで定義された変数も使用されます。

次のタスク
REST メッセージのワークフローアクティビティを使用してメッセージを送信するか、[スクリプト使用のプレビュー] をクリックしてサンプルスクリプトを取得できます。サンプルスクリプトには、スクリプト内の変数に値を割り当てることができる、定義された各変数代替の `setStringParameter` 呼び出しが含まれています。

送信 REST のスクリプティング

スクリプティングが許可されている Now Platform 内の任意の場所から送信 REST 要求を送信できます。

たとえば、イベントがトリガーされたときにビジネスルールを使用して REST エンドポイントからデータを返すことができます。スクリプトを最初から作成するか、REST メッセージプレビュー機能で、メソッドレコードで指定したコンテンツとパラメーターに基づいてスクリプトを作成します。

サーバー側の RESTMessageV2 および RESTResponseV2 API の詳細な API 情報については、developer.servicenow.com の API ドキュメントを参照してください。その他のヒントとベスト プラクティスについては、Now Support ナレッジベースの記事「Outbound REST Web Services RESTMessageV2 and SOAPMessageV2 execute() vs executeAsync() vs executeAsync() Best Practices (送信 REST Web サービス RESTMessageV2 および SOAPMessageV2 および SOAPMessageV2 execute() と executeAsync() のベスト プラクティス) [KB0694711] を参照してください。

REST メッセージスクリプトプレビューの生成

メソッドレコードで指定したコンテンツとパラメーターに基づいて、REST メッセージを送信するスクリプト例を生成できます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

このタスクについて
スクリプト例を生成し、送信 REST メッセージのスクリプトを作成するときの開始点として使用します。

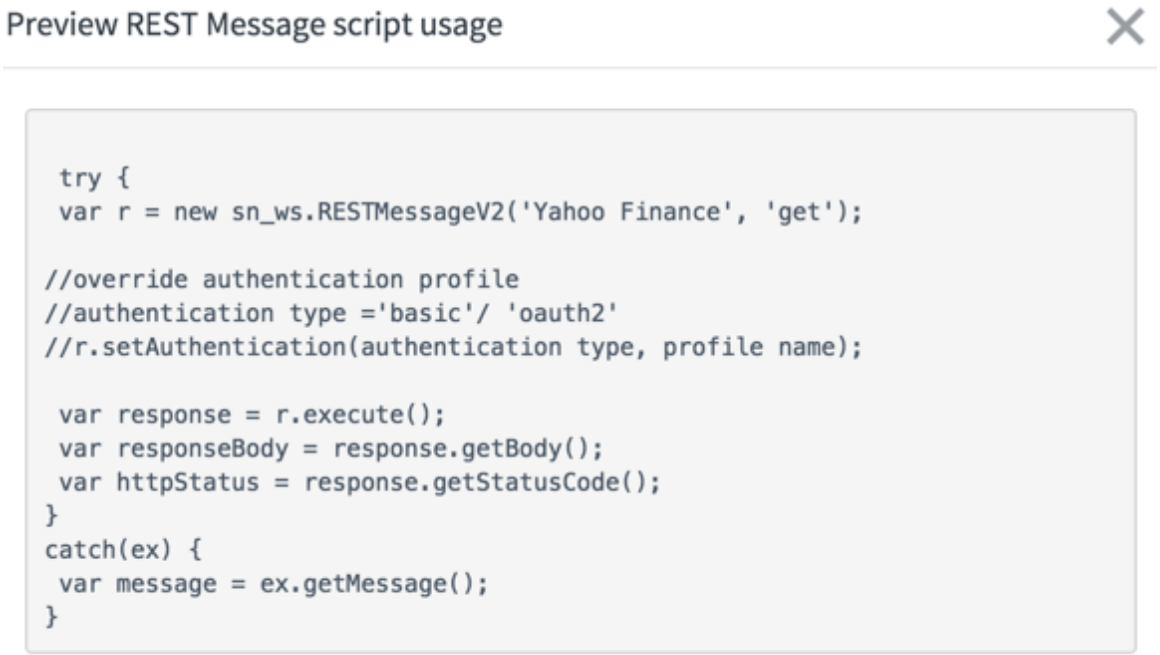
手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** メッセージ.
2. REST メッセージレコードを選択します。
3. **[HTTP** メソッド] 関連リストで、HTTP メソッドレコードを選択します。
4. 変数を含め、必要に応じて HTTP メソッドが設定されていることを確認します。
5. レコードを保存します。
6. [変数代替] 関連リストで、各変数に値を割り当てます。
7. [関連リンク] で、[スクリプト使用のプレビュー] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インスタンスに、このメソッドに対して REST メッセージが生成したスクリプトが表示されます。



8. このスクリプトをコピーし、必要に応じてインスタンス内の別の場所で使用するように変更します。

次のタスク

利用可能なスクリプティングの方法の詳細については、RESTMessageV2 および RESTResponseV2 API を参照してください。送信 REST のスクリプティング例も用意されています。

ダイレクト **RESTMessageV2** の例

送信 REST メッセージをエンドポイントに直接送信できます。

この例では、スクリプトは株価情報を要求する REST メッセージを送信し、応答を待機します。Web サービスプロバイダーからの応答がない場合や、指定された REST メッセージレコードが使用できない場合、スクリプトはエラーをスローし、この例では try-catch ブロックによって処理されます。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
var sm;
try{
 sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance", "get");  // Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
 sm.setBasicAuth("admin","admin");
 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");
 sm.setHttpTimeout(10000); //In milliseconds. Wait at most 10 seconds for
 response from http request.

 response = sm.execute();//Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because of
 encryption/decryption of password.
 responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
gs.info("Request Body: " + requestBody);
gs.info("Response: " + responseBody);
gs.info("HTTP Status: " + status);
```

RESTMessageV2 MID サーバーの例

MID Server 経由で送信 REST メッセージを送信できます。

MID Server 経由でメッセージを送信することで、ファイアウォールの背後またはプライベートネットワーク内にあるエンドポイントにアクセスできます。MID Server 経由で送信される REST メッセージはすべて非同期になります。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
var sm;
try{
 sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance", "get");  // Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
 sm.setBasicAuth("admin","admin");
 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");
 sm.setMIDServer('mid_server_name');
 response = sm.executeAsync(); // Might throw exception if http
 connection timed out or some issue with sending request itself because
 of encryption/decryption of password.

 response.waitForResponse(60); // In seconds. Wait at most 60 seconds to
 get response from ECC Queue/Mid Server //Might throw exception timing
 out waiting for response in ECC queue.

 responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
gs.info("Request Body: " + requestBody);
gs.info("Response: " + responseBody);
gs.info("HTTP Status: " + status);
```

注: この例では、`waitForResponse` を使用して応答を一時停止し、応答の処理方法を詳しく説明します。ただし、`executeAsync` を使用する場合は、`waitForResponse` を使用するのではなく、応答本文を別のビジネスルールで処理して非同期呼び出しを利用する方法を検討してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードレス **RESTMessageV2** の例

RESTMessageV2() コンストラクタをパラメーターなしで使用すると、REST メッセージ全体をスクリプトで定義できます。

このコンストラクタを使用する場合は、エンドポイントと HTTP メソッドを指定する必要があります。この例では、スクリプトは空の REST メッセージを作成し、インシデントレコードを挿入するために必要な値を設定します。

```
var restMessage = new sn_ws.RESTMessageV2();
restMessage.setBasicAuth("admin", "admin");
restMessage.setHttpMethod("post");
restMessage.setEndpoint("http://
<instance>.service-now.com/api/now/table/incident");
restMessage.setRequestBody("{\"short_description\" : \"Test
 incident\"}");
var response = restMessage.execute();
```

送信 **SOAP Web Service**

ビジネスルールやスクリプトで再利用できる送信 SOAP メッセージの開発、プロトタイプ作成、保存を行うために、SOAP Message モジュールを使用できます。

SOAPMessageV2 API および SOAPResponseV2 API を使用して、スクリプトで送信 SOAP メッセージを使用できます。送信 SOAP のスクリプトを作成する方法の詳細な例が利用可能です。

送信 **SOAP** ビデオチュートリアル

次のビデオチュートリアルでは、インスタンスからサードパーティの Web サービスを使用するように送信 SOAP Web Service メッセージを設定する方法を示しています。

送信 SOAP ビデオチュートリアル

SOAP メッセージ

SOAP 要求を送信するために必要な情報は、SOAP メッセージレコードに格納されます。

各レコードは、要求のエンドポイント、Web Services Description Language (WSDL) ファイルとしての要求に必要な形式、認証情報、およびエンドポイントに対して実行できる関数のリストを指定します。

SOAP メッセージの作成

SOAP メッセージを作成して、リモートエンドポイント、WSDL、および認証設定を定義します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **SOAP** メッセージ.
2. [新規] をクリックします。
3. SOAP メッセージを識別する [名前] を入力します。
4. 次のいずれかのオプションを使用して WSDL を指定します。

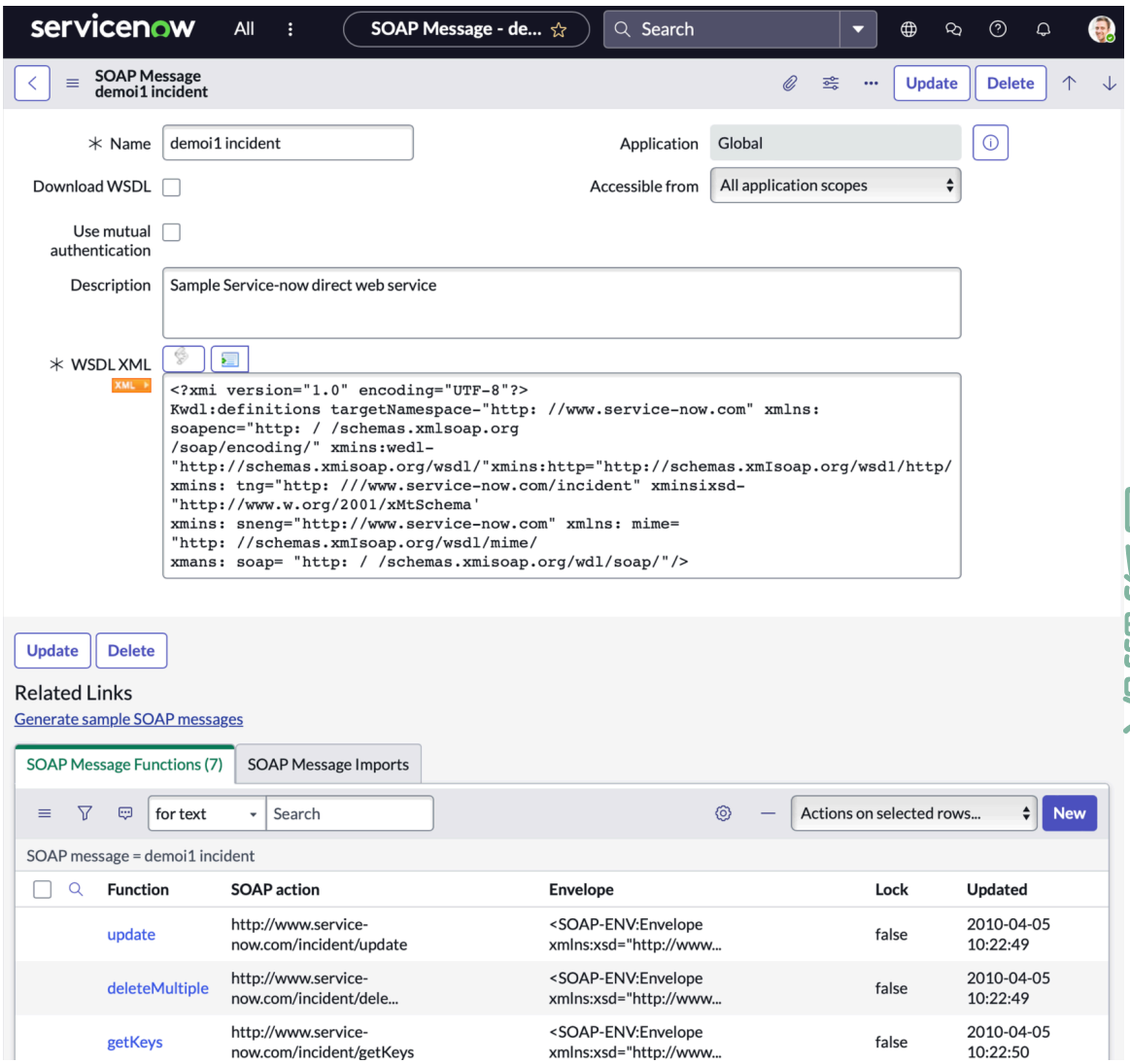
   - オンラインの WSDL ソースをダウンロードして使用するには、**[WSDL** のダウンロード] チェックボックスをオンにし、*[WSDL]* フィールドに WSDL の URL を入力します。
   - WSDL を直接入力するには、**[WSDL** のダウンロード] チェックボックスをオフにし、WSDL XML をコピーして *[WSDL XML]* フィールドに貼り付けます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. エンドポイントが基本認証で保護されている場合は、[基本認証を使用 **(Use basic auth)]** チェックボックスをオンにして資格情報を入力します。
6. エンドポイントが相互認証を必要とする場合は、[相互認証を有効にする **(Enable mutual authentication)]** チェックボックスをオンにして、相互認証に使用するプロトコルプロファイルを選択します。
7. [送信] をクリックします。

この画像は、ServiceNow のデモインスタンスに接続する SOAP メッセージの例です。



SOAP メッセージ関数

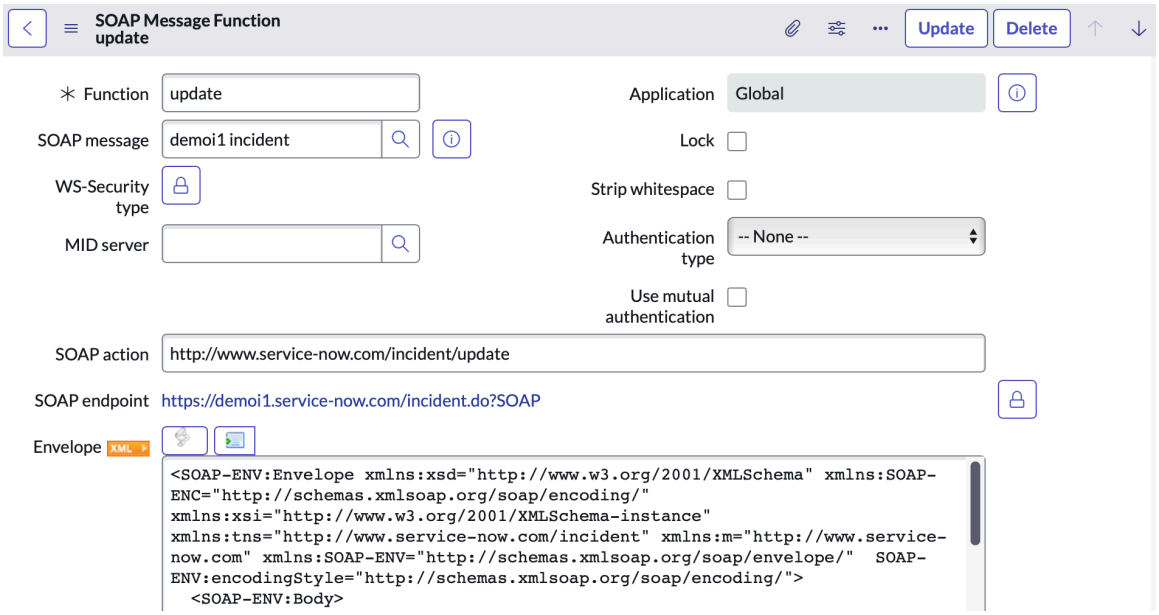
SOAP メッセージレコードを作成した後、[サンプル **SOAP** メッセージの生成] をクリックして *[SOAP* メッセージ関数] 関連リストに入力できます。

インスタンスは、提供された WSDL 定義を読み取ってこれらの関数を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP メッセージ関数



[SOAP アクション]、**[SOAP** エンドポイント]、および [エンベロープ] フィールドは、WSDL 定義に基づいて自動的に入力されます。[エンベロープ] はエンドポイントに送信するメッセージを定義します。この例では、[エンベロープ] 値は次の形式を使用します。

```
...
<!-- optional --><short_description
 xsi:type="xsd:string">String</short_description>
...
```

特定の値を送信するには、適切な XML タグに値を直接入力します。この例の場合、レコードの [簡単な説明] を設定するには、次のように入力します。

```
...
<short_description xsi:type="xsd:string">This is the short
 description</short_description>
...
```

送信 SOAP の変数代替

変数代替を使用するには、特定の値を定義する代わりに、形式 `${<変数名>}` を使用します。

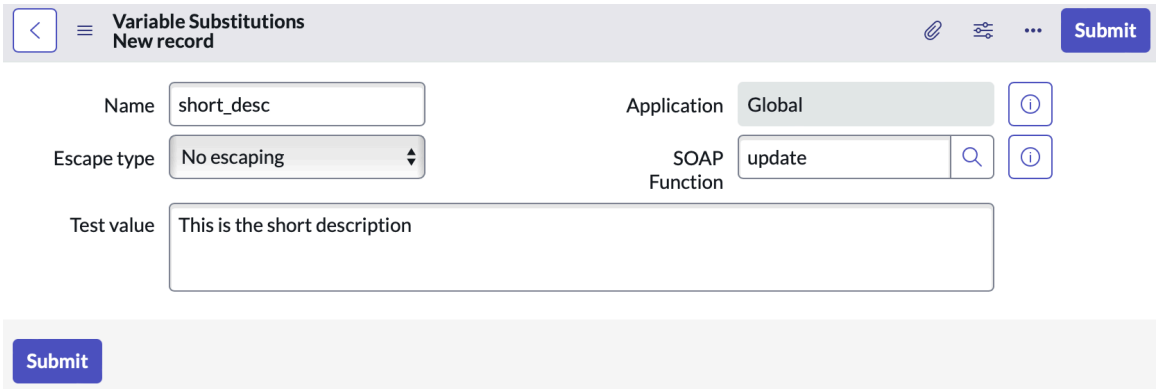
```
...
<short_description
 xsi:type="xsd:string">${short_desc}</short_description>
...
```

SOAP エンベロープを変数で変更した後に変数置換をテストするには、SOAP メッセージ関数の *[SOAP* メッセージパラメーター] 関連リストで変数の値を定義します。たとえば、[新規]をクリックし、次の情報を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP メッセージパラメーター

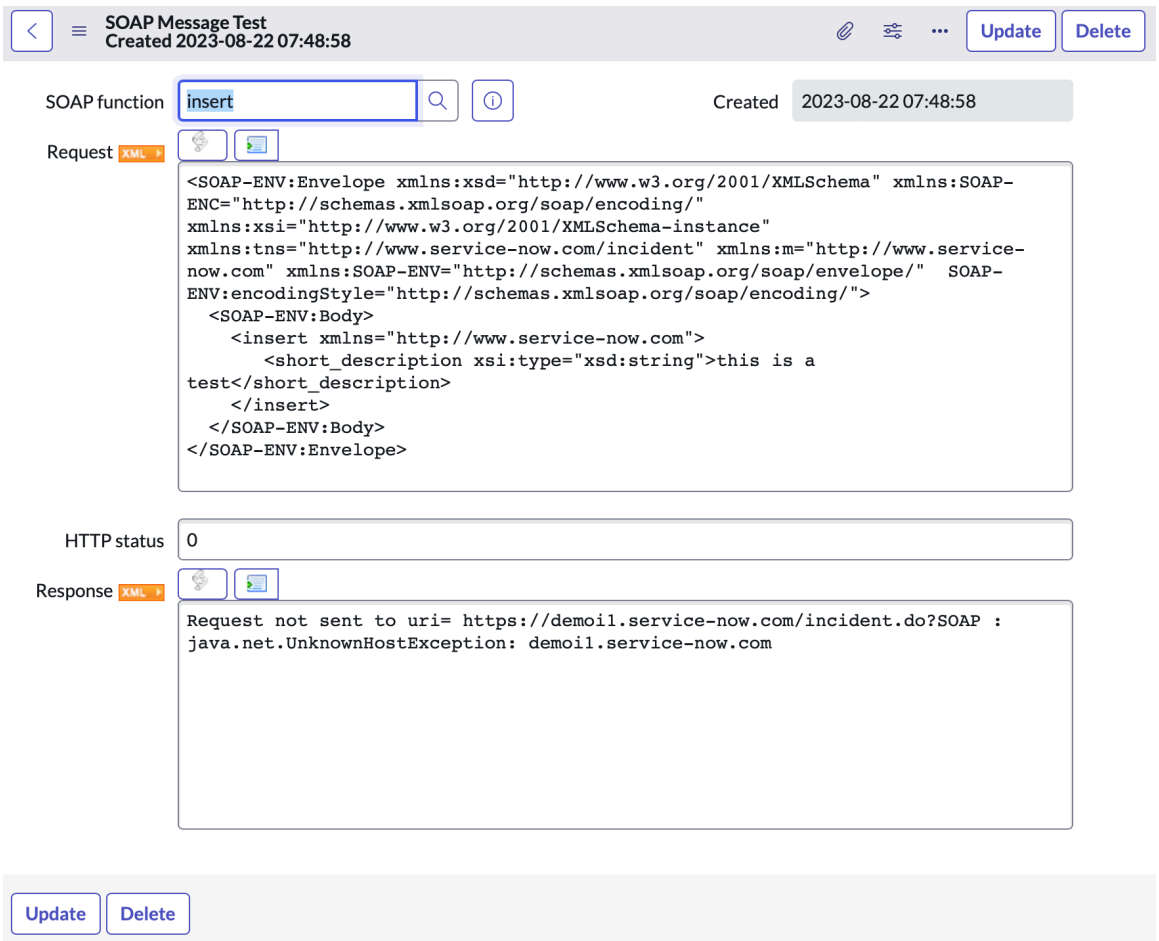


SOAP メッセージのテスト

統合でメッセージを使用する前に、SOAP メッセージをテストして構成を検証します。

SOAP メッセージをテストするには、SOAP メッセージ関数の [テスト] 関連リンクをクリックします。次に示すテスト結果フォームにリダイレクトされます。

SOAP メッセージテスト



この画面には、元の SOAP 要求メッセージ、生成された HTTP ステータスコード、および SOAP 応答が表示されます。[再実行テスト] 関連リンクをクリックして、SOAP 要求を再送信することもできます。

注: 応答が受信されない場合、テスト SOAP メッセージは 60 秒後にタイムアウトします。

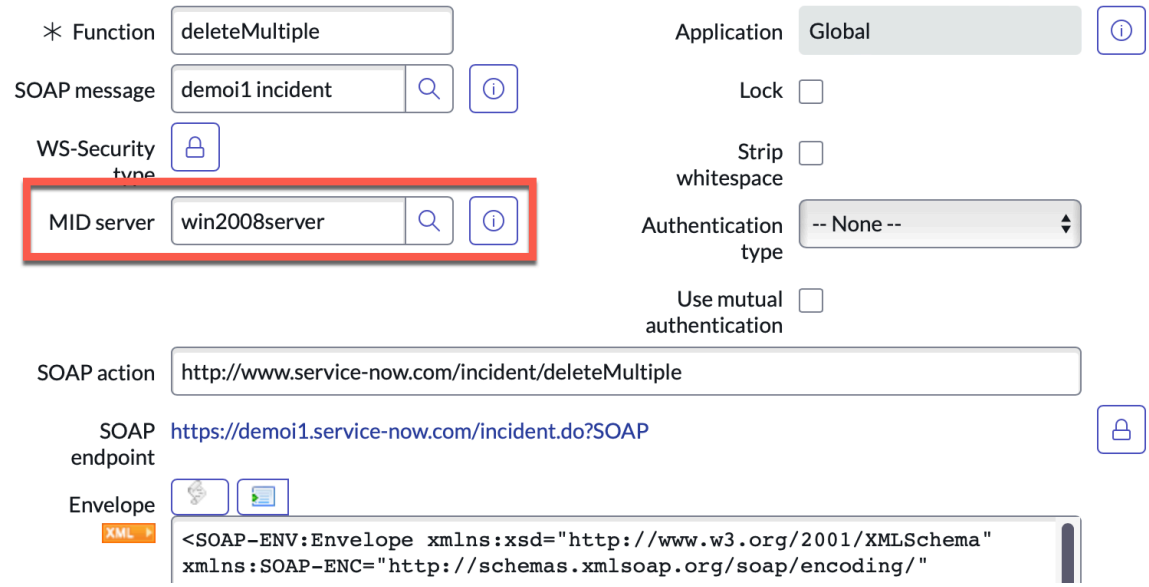
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MID Server 経由での SOAP メッセージの送信

SOAP メッセージ関数を作成するときに、MID サーバーを介して送信されるように関数を構成できます。

この機能を使用するには、インスタンスに関連付けられた実行中の MID サーバーが必要です。MID Server 経由で送信される SOAP メッセージはすべて非同期に行われます。

SOAP メッセージの MID



MID サーバーを指定すると、この SOAP メッセージを使用するすべての SOAP 要求がその MID Server 経由で送信されます。選択した MID サーバーは、スクリプト内で *setMIDServer(MID Server)* API 呼び出しを使用することで上書きできます。

外部 XSD ファイルを参照する WSDL からの SOAP メッセージの作成

WSDL および外部 XSD ファイルから SOAP メッセージを作成します。

始める前に

必要なロール：web_service_admin

このタスクについて

このタスクには、天気予報 SOAP メッセージの WSDL および XSD ファイルの例が含まれています。WSDL および XSD ファイルはさまざまです。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **SOAP** メッセージ 新しいレコードを作成します
2. **[WSDL** のダウンロード] チェックボックスをオフにします。
3. WSDL の内容を **[WSDL XML]** フィールドに貼り付けます。
4. レコードを保存します。
5. **[SOAP** メッセージのインポート] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. XSD ファイルのコンテンツを [外部ドキュメント] フィールドに貼り付けます。
7. [スキーマの場所] フィールドを `db://<参照する XSD ファイルの名前>.xsd` に設定します。
   スキーマの場所を指定すると、インスタンスは参照されている XSD ファイルの場所を認識できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [送信] をクリックします。
9. [サンプル **SOAP** メッセージの生成] をクリックします。

Example: WSDL および XSD ファイルの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<wsdl:definitions xmlns:tm="http://microsoft.com/wsdl/mime/textMatching/"
 xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
 xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
 xmlns:tns="http://www.webservicex.net"
 xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
 xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
 xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
 targetNamespace="http://www.webservicex.net"
 xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">
  <wsdl:documentation xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get
 one week weather forecast for valid zip code or Place name in
 USA</wsdl:documentation>
  <wsdl:types>
    <s:schema elementFormDefault="qualified"
 targetNamespace="http://www.webservicex.net">
       <s:include schemaLocation="WeatherForecast.xsd" />
    </s:schema>
  </wsdl:types>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeSoapIn">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetWeatherByZipCode" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeSoapOut">
    <wsdl:part name="parameters"
 element="tns:GetWeatherByZipCodeResponse" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameSoapIn">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetWeatherByPlaceName" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameSoapOut">
    <wsdl:part name="parameters"
 element="tns:GetWeatherByPlaceNameResponse" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeHttpGetIn">
    <wsdl:part name="ZipCode" type="s:string" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeHttpGetOut">
    <wsdl:part name="Body" element="tns:WeatherForecasts" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameHttpGetIn">
    <wsdl:part name="PlaceName" type="s:string" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameHttpGetOut">
    <wsdl:part name="Body" element="tns:WeatherForecasts" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeHttpPostIn">
    <wsdl:part name="ZipCode" type="s:string" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetWeatherByZipCodeHttpPostOut">
    <wsdl:part name="Body" element="tns:WeatherForecasts" />
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 </wsdl:message>
 <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameHttpPostIn">
   <wsdl:part name="PlaceName" type="s:string" />
 </wsdl:message>
 <wsdl:message name="GetWeatherByPlaceNameHttpPostOut">
   <wsdl:part name="Body" element="tns:WeatherForecasts" />
 </wsdl:message>
 <wsdl:portType name="WeatherForecastSoap">
   <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week weather
forecast for a valid Zip Code(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByZipCodeSoapIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByZipCodeSoapOut" />
   </wsdl:operation>
   <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week  weather
forecast for a place name(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByPlaceNameSoapIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByPlaceNameSoapOut" />
   </wsdl:operation>
 </wsdl:portType>
 <wsdl:portType name="WeatherForecastHttpGet">
   <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week weather
forecast for a valid Zip Code(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByZipCodeHttpGetIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByZipCodeHttpGetOut" />
   </wsdl:operation>
   <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week  weather
forecast for a place name(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByPlaceNameHttpGetIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByPlaceNameHttpGetOut" />
   </wsdl:operation>
 </wsdl:portType>
 <wsdl:portType name="WeatherForecastHttpPost">
   <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week weather
forecast for a valid Zip Code(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByZipCodeHttpPostIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByZipCodeHttpPostOut" />
   </wsdl:operation>
   <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
     <wsdl:documentation
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get one week  weather
forecast for a place name(USA)</wsdl:documentation>
     <wsdl:input message="tns:GetWeatherByPlaceNameHttpPostIn" />
     <wsdl:output message="tns:GetWeatherByPlaceNameHttpPostOut" />
   </wsdl:operation>
 </wsdl:portType>
 <wsdl:binding name="WeatherForecastSoap"
type="tns:WeatherForecastSoap">
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    <soap:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" />
    <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
      <soap:operation
soapAction="http://www.webservicex.net/GetWeatherByZipCode"
style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
    <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
      <soap:operation
soapAction="http://www.webservicex.net/GetWeatherByPlaceName"
style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
 </wsdl:binding>
 <wsdl:binding name="WeatherForecastSoap12"
type="tns:WeatherForecastSoap">
    <soap12:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" />
    <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
      <soap12:operation
soapAction="http://www.webservicex.net/GetWeatherByZipCode"
style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap12:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap12:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
    <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
      <soap12:operation
soapAction="http://www.webservicex.net/GetWeatherByPlaceName"
style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap12:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap12:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
 </wsdl:binding>
 <wsdl:binding name="WeatherForecastHttpGet"
type="tns:WeatherForecastHttpGet">
    <http:binding verb="GET" />
    <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
      <http:operation location="/GetWeatherByZipCode" />
      <wsdl:input>
        <http:urlEncoded />
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <mime:mimeXml part="Body" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
    <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
      <http:operation location="/GetWeatherByPlaceName" />
      <wsdl:input>
        <http:urlEncoded />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <mime:mimeXml part="Body" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
  </wsdl:binding>
  <wsdl:binding name="WeatherForecastHttpPost"
type="tns:WeatherForecastHttpPost">
    <http:binding verb="POST" />
    <wsdl:operation name="GetWeatherByZipCode">
      <http:operation location="/GetWeatherByZipCode" />
      <wsdl:input>
        <mime:content type="application/x-www-form-urlencoded" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <mime:mimeXml part="Body" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
    <wsdl:operation name="GetWeatherByPlaceName">
      <http:operation location="/GetWeatherByPlaceName" />
      <wsdl:input>
        <mime:content type="application/x-www-form-urlencoded" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <mime:mimeXml part="Body" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
  </wsdl:binding>
  <wsdl:service name="WeatherForecast">
    <wsdl:documentation xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">Get
one week weather forecast for valid zip code or Place name in
USA</wsdl:documentation>
    <wsdl:port name="WeatherForecastSoap"
binding="tns:WeatherForecastSoap">
      <soap:address
location="http://www.webservicex.net/WeatherForecast.asmx" />
    </wsdl:port>
    <wsdl:port name="WeatherForecastSoap12"
binding="tns:WeatherForecastSoap12">
      <soap12:address
location="http://www.webservicex.net/WeatherForecast.asmx" />
    </wsdl:port>
    <wsdl:port name="WeatherForecastHttpGet"
binding="tns:WeatherForecastHttpGet">
      <http:address
location="http://www.webservicex.net/WeatherForecast.asmx" />
    </wsdl:port>
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    <wsdl:port name="WeatherForecastHttpPost"
 binding="tns:WeatherForecastHttpPost">
      <http:address
 location="http://www.webservicex.net/WeatherForecast.asmx" />
    </wsdl:port>
  </wsdl:service>
</wsdl:definitions>
```

```
<s:schema elementFormDefault="qualified"
 targetNamespace="http://www.webservicex.net"
 xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 xmlns:tns="http://www.webservicex.net" >
      <s:element name="GetWeatherByZipCode">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="ZipCode"
 type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="GetWeatherByZipCodeResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="1" maxOccurs="1"
 name="GetWeatherByZipCodeResult" type="tns:WeatherForecasts" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:complexType name="WeatherForecasts">
        <s:sequence>
          <s:element minOccurs="1" maxOccurs="1" name="Latitude"
 type="s:float" />
          <s:element minOccurs="1" maxOccurs="1" name="Longitude"
 type="s:float" />
          <s:element minOccurs="1" maxOccurs="1" name="AllocationFactor"
 type="s:float" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="FipsCode"
 type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="PlaceName"
 type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="StateCode"
 type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="Status"
 type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="Details"
 type="tns:ArrayOfWeatherData" />
        </s:sequence>
      </s:complexType>
      <s:complexType name="ArrayOfWeatherData">
        <s:sequence>
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"
 name="WeatherData" type="tns:WeatherData" />
        </s:sequence>
      </s:complexType>
      <s:complexType name="WeatherData">
        <s:sequence>
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="Day"
type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="WeatherImage"
type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="MaxTemperatureF"
type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="MinTemperatureF"
type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="MaxTemperatureC"
type="s:string" />
          <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="MinTemperatureC"
type="s:string" />
        </s:sequence>
      </s:complexType>
      <s:element name="GetWeatherByPlaceName">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="PlaceName"
type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="GetWeatherByPlaceNameResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="1" maxOccurs="1"
name="GetWeatherByPlaceNameResult" type="tns:WeatherForecasts" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="WeatherForecasts" type="tns:WeatherForecasts" />
    </s:schema>
```

接続性の詳細

ServiceNow インスタンスから開始された SOAP 要求がリモートネットワーク内の Web サービスプロバイダーと正常に通信できるようにするには、ServiceNowインスタンスがプロバイダーの SOAP エンドポイントへの HTTP または HTTPS アクセス権を持っている必要があります。

LDAP、Web サービス、JDBC などの統合と同様に、SOAP エンドポイントは、インスタンスからの受信通信をブロックするファイアウォールの背後に存在する場合があります。その場合は、ネットワークへの接続を許可するようにネットワークを変更する必要があります。ファイアウォールと ACL ルールを変更してインスタンスの IP アドレスを許可したり、SOAP メッセージが MID サーバー経由で送信されるように構成したり、仮想プライベートネットワーク (VPN) トンネルを実装してインスタンスがネットワークと通信できるようにしたりすることができます。

注: 非同期 SOAP 要求は ECC キューを介してルーティングされるため、常に MID サーバーを介して送信されるものだとよく誤解されています。ただし、非同期 SOAP 要求は、MID サーバーを使用するように構成されている場合にのみ MID サーバーを使用します。

送信 **SOAP** セキュリティ

さまざまなセキュリティプロトコルを使用して、送信 SOAP メッセージを認証できます。

使用するセキュリティプロトコルは Web サービスプロバイダーの要件によって異なります。相互認証は、送信 Web サービスでサポートされています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

送信 SOAP での基本認証の有効化

エンドポイントにユーザー名とパスワードが必要な場合は、基本認証を使用して資格情報を入力できます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **SOAP** メッセージ.
2. SOAP メッセージレコードを選択します。
3. *[SOAP* メッセージ関数] 関連リストで関数を選択します。
4. [基本認証を使用 **(Use basic auth)]** を選択します。
5. [基本認証ユーザー *ID (Basic auth user ID)]* フィールドにユーザー名を入力します。
6. [基本認証ユーザーパスワード] にそのユーザーのパスワードを入力します。
7. [更新] をクリックします。

送信 SOAP での WS-Security の有効化

ユーザー名とパスワード、またはインスタンスに保存されているキーストアと信頼できるサーバー証明書を使用して、送信 SOAP メッセージに署名できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **SOAP** メッセージ.
2. SOAP メッセージレコードを選択します。
3. **[SOAP** メッセージ関数] 関連リストで関数を選択します。
4. **[WS-Security** タイプ] フィールドで、ユーザー名 や X.509 など、使用する資格情報のタイプを選択します。
   一部の Web サービスプロバイダーでは、両方のタイプの資格情報を送信する必要があります。
5. **[WS-Security X.509** プロファイル] フィールドまたは **[WS-Security** ユーザー名プロファイル] フィールドで、使用する資格情報を含むプロファイルを選択します。
   レコードが Helsinki リリースより前の x.509 セキュリティで設定されていた場合は、**[X509** セキュリティプロファイルに移行] ボタンをクリックしてセキュリティ設定を WS-Security x.509 プロファイルレコードに移行できます。このボタンをクリックすると、セキュリティ設定フィールドの値 ([キーストア]、[証明書]、[キーストアエイリアス]、および [パスワード]) が新しい WS-Security x.509 プロファイルレコードに移行され、そのレコードが SOAP メッセージ関数から参照されます。一致する値がある x.509 プロファイルレコードがすでに存在する場合、そのレコードが参照されます。

   > **注:** 従来のセキュリティ設定を使用する既存の SOAP メッセージ関数は引き続き機能しますが、新しいレコードでは x.509 セキュリティに x.509 プロファイルレコードのみを使用できます。

6. [更新] をクリックします。
   選択したプロファイルの資格情報は、SOAP メッセージヘッダーの一部として送信されます。

関連情報

新しい WS-Security プロファイルの作成

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロキシを使用した SOAP の設定

特定のプロパティは、Web プロキシサーバーを使用するための SOAP 要求をサポートします。

SOAP プロパティ

プロパティ	説明	例
glide.http.proxy_host	プロキシサーバーのホスト名または IP アドレス	proxy.company.com、192.168.34.54
glide.http.proxy_port	プロキシサーバーのポート番号	8080、9100
glide.http.proxy_username	プロキシサーバーがユーザー名とパスワードを使用して認証する場合は、このプロパティの値を入力します	proxyuser
glide.http.proxy_password	プロキシサーバーがユーザー名とパスワードを使用して認証する場合は、このプロパティの値を入力します	password

送信 SOAP のスクリプティング

スクリプティングが許可されている Now Platform 内の任意の場所から送信 SOAP 要求を送信できます。

サーバー側の SOAPMessageV2 および SOAPResponseV2 API の詳細な API 情報については、developer.servicenow.com の API ドキュメントを参照してください。その他のヒントとベスト プラクティスについては、Now Support ナレッジベースの記事「Outbound REST Web Services RESTMessageV2 and SOAPMessageV2 execute() vs executeAsync() vs executeAsync() Best Practices (送信 REST Web サービス RESTMessageV2 および SOAPMessageV2 および SOAPMessageV2 execute() と executeAsync() のベスト プラクティス) [KB0694711] を参照してください。

SOAP メッセージスクリプトのプレビュー

SOAP メッセージを送信するサンプルスクリプトを生成します。

SOAP メッセージを作成してテストした後、[SOAP メッセージ関数] フォームで [スクリプト使用のプレビュー] 関連リンクをクリックします。ダイアログボックスに、スクリプトから SOAP メッセージを呼び出す方法の例が表示されます。

結果の XML 応答本文は、XMLDocument または gs.getXMLText と gs.getXMLNodeList を使用して操作できます。

ダイレクト SOAPMessageV2 の例

送信 SOAP メッセージをエンドポイントに直接送信できます。

この例では、スクリプトは株価情報を要求する SOAP メッセージを送信し、応答を待機します。Web サービスプロバイダーからの応答がない場合、または指定された SOAP メッセージレコードが使用できない場合、スクリプトはエラーをスローし、この例では try-catch ブロックによって処理されます。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var sm;
try{
 sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote", "GetQuote");  // Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope
 sm.setBasicAuth("admin","admin");
 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");
 sm.setHttpTimeout(10000) //In Milli seconds. Wait at most 10 seconds for
 response from http request.

 response = sm.execute();//Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because  of
 encryption/decryption of password and stuff
 responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
gs.info("Request Body: " + requestBody);
gs.info("Response: " + responseBody);
gs.info("HTTP Status: " + status);
```

非同期 **SOAPMessageV2** の例

送信 SOAP メッセージを非同期で送信できます。

非同期メッセージを送信すると、インスタンスは応答を待機せずに続行します。応答の待機はコード内で処理する必要があります。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
var sm;
try{
 sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote", "GetQuote");  // Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope
 sm.setBasicAuth("admin","admin");
 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");
 response = sm.executeAsync(); //Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because of
 encryption/decryption of password

 response.waitForResponse(60);// In Seconds, Wait at most 60 seconds to
 get response from ECC Queue/Mid Server //Might throw exception timing
 out waiting for response in ECC queue

 responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
gs.info("Request Body: " + requestBody);
gs.info("Response: " + responseBody);
gs.info("HTTP Status: " + status);
```

SOAPMessageV2 MID サーバーの例

MID Server 経由で送信 SOAP メッセージを送信できます。

MID Server 経由でメッセージを送信することで、ファイアウォールの背後またはプライベートネットワーク内にあるエンドポイントにアクセスできます。MID Server 経由で送信される SOAP メッセージはすべて非同期になります。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
var sm;
try{
 sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote", "GetQuote");  // Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope
 sm.setBasicAuth("admin","admin");
 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");
 sm.setMIDServer('mid_server_name');
 response = sm.execute();//Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because of
 encryption/decryption of password and stuff

 response.waitForResponse(60);// In Seconds, Wait at most 60 seconds to
 get response from ECC Queue/Mid Server //Might throw exception timing
 out waiting for response in ECC queue

 responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
gs.info("Request Body: " + requestBody);
gs.info("Response: " + responseBody);
gs.info("HTTP Status: " + status);
```

レコードレス SOAPMessageV2 の例

SOAPMessageV2() コンストラクタをパラメーターなしで使用すると、SOAP メッセージ全体をスクリプトで定義できます。

このコンストラクタを使用する場合は、エンドポイントと SOAP アクションを指定する必要があります。この例では、スクリプトは空の SOAP メッセージを作成し、インシデントレコードを挿入するために必要な値を設定します。

```
var s = new sn_ws.SOAPMessageV2(); //create an empty SOAP message
s.setBasicAuth('admin','admin');
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
s.setSOAPAction('http://www.service-now.com/incident/insert'); //set the
 SOAP action to perform
s.setEndpoint('http://<instance>.service-now.com/incident.do?SOAP'); //
set the web service provider endpoint
s.setRequestBody('<soapenv:Envelope
 xmlns:soapenv=\"http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/\"
 xmlns:inc=\"http://www.service-now.com/incident\"><soapenv:Header/><soap
env:Body><inc:insert><short_description>Test Dynamic
 SOAP</short_description></inc:insert></soapenv:Body></soapenv:Envelope>
');
var response = s.execute();
var xmldoc = new XMLDocument(response.getBody());
var incident_sysid = xmldoc.getNodeText('//sys_id');
```

送信 **Web** サービス:ログ記録

REST や SOAP などの送信 Web サービスの要求と応答をログに記録します。

送信要求のログ記録により、インスタンスがアクセスするサードパーティサービスと送信要求の量をより詳細に把握できます。さらに、ログ記録は送信の統合をデバッグする際に役立つ情報を提供します。

送信 Web サービスのログ記録は、送信 REST および SOAP 要求、および GlideHTTPRequest および GlideHTTPClient API を使用して行われた送信要求を追跡します。

送信 Web サービスのログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > 送信 **HTTP** 要求.

すべてのログ情報は読み取り専用です。

送信ログの構成

送信要求のログ記録を構成して、特定のドメインの基本、昇格、またはすべての HTTP 要求と応答情報をログに記録できます。

REST メソッドまたは SOAP メッセージ関数のログレベルを設定するには、設定するレコードに移動して [ログレベルの設定] 関連リンクをクリックし、現在のレコードのログレベルを選択します。

複数の送信要求のログレベルを変更するには、 **System Web Services** > **HTTP** ログレベル リストを使用してログレベルを変更します。特定のログレベルで設定されたすべての送信要求が一覧表示されます。

プロパティ *glide.outbound_http_log.override* および *glide.outbound_http_log.override.level* を使用して、すべての送信要求のログレベルを上書きできます。これらのプロパティは、トラブルシューティング時に限られた時間だけ使用してください。

SOAPMessageV2 API および RESTMessageV2 API の *setLogLevel()* 関数を使用して、スクリプトのログレベルを設定できます。これらの API の使用方法の詳細については、API ドキュメントを参照してください。

関連情報

- RESTMessageV2 - setLogLevel()
- SOAPMessageV2 - setLogLevel()

送信要求のログ レベル

特定の要素は、設定されたログレベルに基づいてログに記録されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ログに記録された要素

要求と応答の次の要素は、設定されたログレベルに応じてログに記録されます。

レベル別のログ記録された要素

フィールド	基本	昇格	すべて
順序	x	x	x
HTTP メソッド	x	x	x
プロトコル	x	x	x
スキーム	x	x	x
ホスト名	x	x	x
パス	x	x	x
HTTP 応答ステータス	x	x	x
要求の長さ	x	x	x
応答の長さ	x	x	x
合計呼び出し時間	x	x	x
Sys ID	x	x	x
ソーステーブル	x	x	x
ソースレコード ID **注:** このフィールドを表示するには、指定された ソーステーブル のレコードに対する読み取りアクセス権が必要です。	x	x	x
スコープ	x	x	x
セッション	x	x	x
トランザクション	x	x	x
ユーザー	x	x	x
MID サーバー	x	x	x
要求ヘッダー		x	x
要求クエリ		x	x
応答ヘッダー		x	x
要求本文			x
応答本文			x

送信要求ログ記録除外ドメインの要件

ドメインの送信要求のログ記録を除外する場合、[ドメイン] フィールドに入力する値は特定の要件を満たす必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件

[ドメイン] フィールドに入力する値は、次の要件を満たす必要があります。

- `HTTP://` または `HTTPS://` で始まる
- ドメインパターンまたは IP アドレスである
- `.com` のように、ピリオドに続く英数字で終わる
- ドメインパターンのスキームと階層部分の直後に最大 1 つのワイルドカード文字を含む

ワイルドカード

ドメインパターンでは単一のワイルドカード文字 (*) を使用できます。すべてのサブドメインを含めるには、ドメインパターンのスキームと階層部分の直後にこのワイルドカードを使用します (`http://*.domain.com` など)。ワイルドカードは、必ずドメインパターンのスキームと階層部分の直後に含めます。ドメインパターンの代わりに IP アドレスを使用する場合は、ワイルドカードを使用せずに完全な IP アドレスを入力する必要があります。

注: 複数のワイルドカードを使用したり、ドメインパターンなしでワイルドカードを指定したりすることはできません。「*」や「*.*」などの値はサポートされていません。

ドメイン一致

要求の Origin ヘッダーを評価する際、ServiceNow ではドメインパターンに完全に一致するルールを優先します。完全に一致するものが見つからない場合は、次に最も近いものが使用されます。

たとえば、ドメインパターン `http://*.blog.mysite.com` および `http://*.mysite.com` のルールがある場合、`http://alice.blog.mysite.com` からの要求は `http://*.blog.mysite.com` パターンに一致します。

有効なドメインと無効なドメインの例

例

有効なドメイン	無効なドメイン
`http://*.ms.net`	`https://*com`
`https://*.ms.com`	`http://*..com`
`https://*.com.au`	`http://192.168.1.*`
`http://192.168.1.1`	`http://*.168.1.126`
`http://*.service-now.com`	`http://blog.*.service-now.com`
`http://*.com`	`http://*com`

発信要求のログ記録の除外

ドメインを除外して、それらのドメインに対する基本レベルのログ記録のみを許可することができます。

ドメインを除外するには、 **System Web Services** > 送信 **HTTP** ログドメイン除外リスト 新しいレコードを作成しますドメインを除外するには、web_service_adminロールが必要です。

送信 **Web** サービスのログ記録プロパティ

これらのプロパティを使用すると、送信 Web サービス要求のログ記録の動作を制御できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	Description (説明)
glide.outbound_http.db.log	デフォルトでは、ログ情報はログファイルとインスタンスデータベースに書き込まれます。データベースログ記録を無効にするには、このプロパティを false に設定します。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.outbound_http.text.content_types	コンテンツタイプのカンマ区切りリスト。これらのコンテンツタイプのいずれかを使用した要求または応答の本文がログに記録されます。デフォルトでは、コンテンツタイプ text/*、application/json、application/xml が常にログに記録されます。このプロパティを使用して、コンテンツタイプを追加します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：なし • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.outbound_http.content.max_limit	要求または応答の本文からログに記録される最大文字数。本文の最初の文字は、この上限までログに記録されます。このプロパティの可能な最大値は 1000 です。 • タイプ：整数 • デフォルト値：100 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.outbound_http_log.override	このプロパティが true に設定されている場合、プロパティ *glide.outbound_http_log.override.level* すべての要求と応答のログレベルを決定します。このログレベルは、他のログレベル設定よりも優先されます。このプロパティは、トラブルシューティング時に限られた時間のみ使用してください。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.outbound_http_log.override.level	*glide.outbound_http_log.override*が true の場合にすべての要求と応答に使用するログレベル。有効な値は、[基本]、[昇格]、および [すべて] です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	Description (説明)
	• タイプ：文字列 • デフォルト値:basic • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

送信 **Web** サービス相互認証

相互認証では、Secure Sockets Layer (SSL) 証明書を交換することによって信頼を確立します。

クライアントは、サーバーに接続する前に SSL 証明書を要求します。サーバーは、応答として、クライアントに独自の証明書を送信するように要求します。どちらも、HTTPS 接続を開始する前に相手の証明書を検証し、確認応答を送信することで応答します。

管理者は、相互認証を必要とする接続のプロトコル プロファイルを定義することで、相互認証を有効にすることができます。プロトコルプロファイルを使用すると、特定の証明書レコードを HTTPS などのプロトコルに関連付けることができます。

たとえば、相互認証用の証明書を使用して、 `mauth` というプロトコルプロファイルを作成できます。その後、エンドポイントで相互認証が必要なときに `mauth://<external-endpoint.com>` を呼び出すことで、HTTPS Web サービス要求を行うことができます。

注: この機能は、SOAP、REST、直接 HTTPS 呼び出しなどの送信 HTTPS 接続でのみ相互認証を有効にします。 ServiceNow は、MID サーバーを介して送信される送信要求の相互認証をサポートしていません。受信 Web サービスの相互認証については、「 証明書ベースの認証 」を参照してください。

プロトコルプロファイルの作成

カスタム HTTPS プロトコルプロファイルを作成して、送信 Web サービスに使用する認証情報と証明書を指定できます。たとえば、相互認証を有効にするカスタム HTTPS プロトコルプロファイルを作成できます。

始める前に

- 必要なロール：admin
- インスタンスへの証明書のアップロード を行い、インスタンスのクライアント証明書を認証します。
- 信頼できるサーバー証明書のアップロード を行い、Web サービスプロバイダーのサーバー証明書を認証します。

このタスクについて

相互認証では、Web サービスプロバイダーとコンシューマーが相互認証してから通信します。相互認証をサポートするように REST または SOAP メッセージを設定する必要があります。

- 送信 REST:ベーシック認証を使用して REST メッセージを作成します。
- 送信 SOAP:相互認証を使用して SOAP メッセージを作成します。

注: MID サーバーを介して送信 Web サービス呼び出しを行う場合は、相互認証を使用できません。

手順

1. 移動先 すべて > システムセキュリティ > プロトコルプロファイル.
2. [新規] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 必要に応じて、フォームのフィールドに入力します。

フォームの名前

フィールド	説明
プロトコル	この HTTPS プロトコルを識別する一意の名前 (`mauth` など) を入力します。プロトコル名を使用すると、通常の HTTPS 接続と、このプロトコルプロファイルを使用する HTTPS 接続を区別できます。入力した名前は、URL のプロトコル名になります。たとえば、`mauth://endpoint.service.com` **注:** ◦ プロトコル名に大文字や特殊文字を含めないでください。 ◦ HTTPS などの既存のプロトコル名を使用してカスタムプロトコルを作成することはできません。
デフォルトポート	このプロトコルを使用する接続のポート番号を入力します。
チェックボックス	プロトコルが Web サービスプロバイダーによる自身を認証するために使用するクライアント証明書を選択します。証明書の [タイプ] の値が [Java Key Store] または [PKCS12 Key Store] である必要があります。

相互認証の有効化

プロトコルプロファイルを使用して、相互認証用に SOAP または REST メッセージを構成できます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > 送信 > **SOAP** メッセージ または **REST**メッセージ。
2. メッセージレコードを選択します。
3. [相互認証を使用] チェックボックスをオンにします。
4. [プロトコル プロファイル] フィールドで、相互認証用に設定されたプロトコル プロファイルを選択します。
5. [更新] をクリックします。

その他の統合リソース

受信および送信 Web サービスを使用して ServiceNow アプリと統合することに加えて、スクリプト化された GraphQL、Javascript、API 開発者ガイドなどの他のリソースを利用できます。

拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する

拡張ポイントを使用して、元のアプリケーションコードを変更せずにアプリケーションの機能を拡張します。選択した Now Platform アプリケーションで使用可能な既存の拡張ポイントを使用できます。また、自分のインスタンスでカスタムアプリケーションを開発する場合は、拡張ポイントを追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

拡張ポイントの使用

拡張ポイントを使用することで、アプリケーションコードのコアコンポーネントを実際に変更することなくカスタマイズを統合できます。拡張ポイントを使用すると、カスタムコードをアプリケーションコードに直接埋め込む場合にアップグレード後に頻繁に発生する、カスタムコードのやり取りの破損を防ぐことができます。

アプリケーションコードに埋め込まれた拡張ポイントは、データをカスタムコードに渡すアウトポイントとして、そして返される結果を処理するインポイントとして機能します。アプリケーションを作成するときに、返されるデータまたはオブジェクトは、拡張ポイントに対して定義した要件に準拠している必要があります。

注: すぐに利用可能な設定済みの CSM クエリルールの一部は、ビジネスルール内の定数でも使用されるため、変更または無効化できません。

拡張ポイントのタイプ

次のタイプのアーティファクトを使用するカスタムコードを処理する拡張ポイントを作成できます。

スクリプト拡張ポイント

JavaScript 関数とオブジェクトクラスが格納されるサーバー側スクリプトインクルードの拡張ポイント。スクリプトインクルードについてと、アプリケーションとカスタムコードでスクリプト拡張ポイントを実装する方法の詳細については、以下を参照してください。

- スクリプトインクルード
- スクリプト拡張ポイントの作成と追加
- 拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する

UI 拡張ポイント

HTML 拡張などのサーバー側 UI マクロで使用される拡張ポイント。

UI マクロは、ユーザーインターフェイスに追加できる個別のスクリプト化されたコンポーネントです。これらを使用すると、ページを直接変更する必要なく、カスタムコンテンツを UI ページに追加できます。たとえば、UI マクロを使用して、KB 記事が表示される標準の ナレッジベース ビュー (kb_view) の UI ページにヘッダーとフッターを追加できます。

UI マクロについてと、アプリケーションとカスタムコードで UI 拡張ポイントを実装する方法の詳細については、以下を参照してください。

- UI マクロ
- UI 拡張ポイントの作成と追加
- 拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する

クライアント拡張ポイント

クライアント側 UI スクリプトで使用される拡張ポイント。通常はフォームの変更に使用されます。

UI スクリプトを使用すると、クライアント側 JavaScript を再利用可能な形式にパッケージ化できます。これは、スクリプトインクルードにサーバー側 JavaScript を格納する方法と似ています。UI スクリプトを作成し、それらをクライアントスクリプト、他のクライアント側スクリプトオブジェクト、および HTML コードから実行できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI スクリプトについてと、アプリケーションとカスタムコードでクライアント拡張ポイントを実装する方法の詳細については、以下を参照してください。

- UI スクリプト
- クライアント拡張ポイントの作成と追加
- 拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する

拡張ポイントを使用してカスタマイズを処理すると、カスタムデータまたは機能をアプリケーションに統合するための定義済みの構造が作成されます。カスタムサーバー側スクリプトインクルード、HTML 拡張などの UI マクロ、クライアント側 UI スクリプトは、すべてアプリケーションコードの外部にあり、指定された拡張ポイントでのみやり取りします。

アプリケーションコード

アプリケーションコードという用語は、以下を指します。

標準アプリケーションコード

Now Platform を構成する標準、つまり基本アプリケーションコード。

事前定義済みの拡張ポイントは、カスタマーサービス管理 (CSM) や フィールドサービス管理 (FSM) などの特定のアプリケーションにすでに埋め込まれています。事前定義済みの拡張ポイントを含む Now Platform アプリケーションの詳細については、以下を参照してください。

アプリケーション	拡張ポイントのトピック
コーチング	Coaching のトラブルシューティング
継続的改善管理	他のアプリケーションとの改善
カスタマーサービス管理 (CSM)	Customer Service Management の拡張ポイント
	カスタムユーザーロールの作成
	変更管理との CSM 統合
	インシデント管理との CSM 統合
	問題管理との CSM 統合
	要求管理との CSM 統合
フィールドサービス管理 (FSM)	フィールドサービス管理 (FSM) の拡張ポイント
ナレッジ管理	ナレッジ管理での拡張ポイントの使用
オーケストレーション	クライアントソフトウェアディストリビューション拡張ネットワーク クライアントソフトウェアディストリビューションと一緒にインストールされるもの
パスワードリセット	Password Reset スクリプトインクルード

自社用に内部開発されたカスタムアプリケーション

アプリケーションの機能を変更または拡張するために使用されるカスタムアーティファクトの登録を処理するための拡張ポイントを追加できます。開発者は、カスタムコードを作成する場合に、特定のカスタムアーティファクトを特定の拡張ポイントに登録またはペアリングします。拡張ポイントを追加すると、ベースコードを変更することなく将来のカスタマイズを統合できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションコード内での拡張ポイントの作成

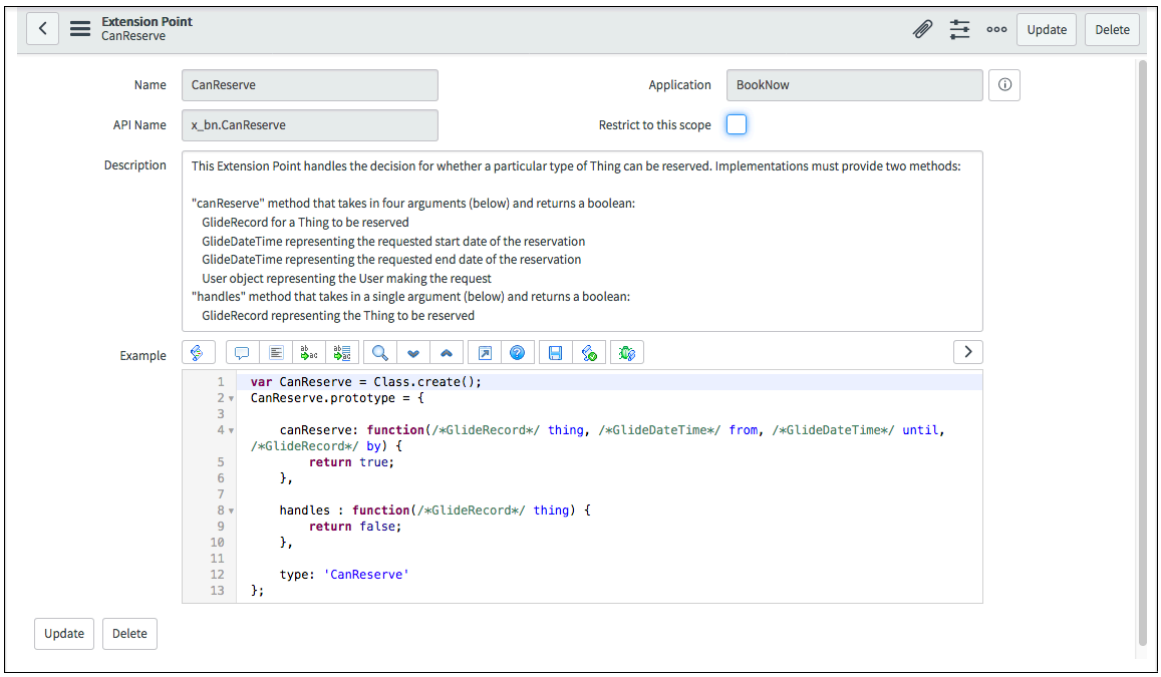
自社用に作成した社内開発のアプリケーションを、必要に応じて適切にカスタマイズ、結合、およびアップグレードできるようにする必要があります。拡張ポイントを使用すると、コアコンポーネントを編集せずにアプリケーションの機能とユーザーインターフェイスを変更できます。拡張ポイントを使用すると、機能拡張のための高度に定義された構造も作成されます。

拡張ポイントを作成するときは、その使用をそれが定義されているアプリケーションスコープに制限したり、拡張ポイントをすべてのスコープでグローバルに実行できることを指定することができます。アプリケーションスコープが制限されている場合、拡張ポイントに対して登録されたカスタマイズは、指定されたアプリケーションスコープでのみ実行できます。拡張ポイントを含むアプリケーションを設計および構築する前に、次のことを実行する必要があります。

- カスタムのスクリプトインクルード、UI マクロ、または UI スクリプトに対応するために、アプリケーションコードのどこに拡張ポイントを配置するかを指定します。
- 決定する 拡張ポイントのコンテンツと構造。この定義では、カスタマイズの構成方法、アプリケーションコードとのやり取りの方法、および拡張ポイントでカスタマイズによって返されるデータを処理する方法について説明します。

拡張ポイントを作成してアプリケーションコードに埋め込むには、次のタスクを実行します。

1. 拡張ポイントを作成し、そのカスタムインターフェイスを定義します。これはスクリプトによる拡張ポイントの例です。

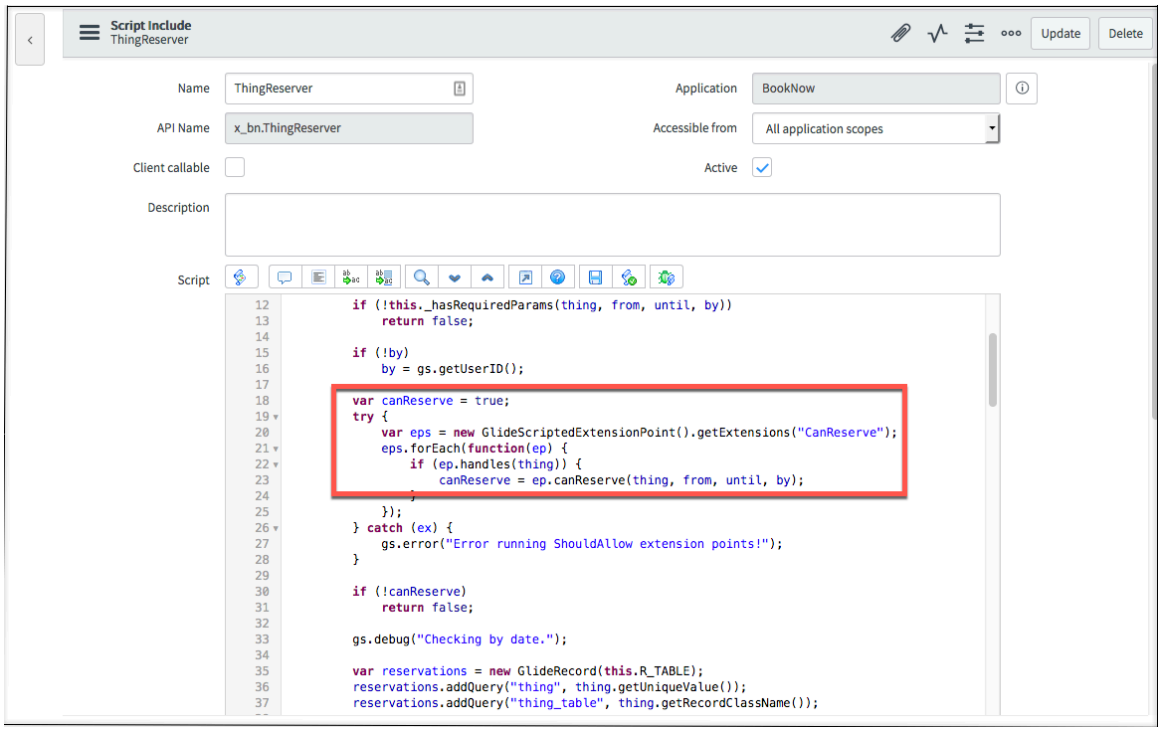


2. データまたはオブジェクトをカスタマイズに送信でき、データが返されるアプリケーションコード内の特定の場所を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. GlideScriptedExtensionPoint - スコープ指定 メソッドを呼び出すアーティファクト (スクリプトインクルード、UI マクロ、UI スクリプトなど) を作成します。このメソッドは、登録されたカスタムアーティファクトがアプリケーションコードで実行される拡張ポイントを識別します。



デバッグとロギングの有効化

拡張ポイントを作成するときは、デバッグとロギングも有効にする必要があります。デバッグとロギングは、拡張ポイントを持つカスタムアーティファクトの使用に関連する問題を特定して修正するのに役立ちます。デバッガーを有効にすると、スクリプトインクルード、UI マクロ、または UI スクリプトにブレークポイントを設定できます。ログを確認して、次の詳細を確認できます。

- 拡張ポイントがアクティブな拡張インスタンスを検出した日時 (検出された拡張インスタンスの総数と各拡張インスタンスが検出された時間を含む)。
- 拡張ポイントが拡張インスタンスを実行した日時 (実行されたカスタムアーティファクトの総数と各実行時間を含む）。実行に失敗した総数と各拡張インスタンスが失敗した時刻も含まれます。

注: デバッグを有効にする方法とその機能の詳細については、以下を参照してください。

- スクリプトデバッガおよびセッションログ
- アプリケーションのデバッグ
- デバッグログへの書き込み

拡張ポイントに対してカスタムアーティファクトを登録する

アプリケーションをカスタマイズするときは、サーバー側スクリプトインクルード、UI マクロ、クライアント側 UI スクリプトなどのカスタムアーティファクトを使用して基本機能を拡張します。カスタムアーティファクトを設計および構築するには、次のタスクを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 作成している特定のタイプのカスタムアーティファクトに適した、使用可能な拡張ポイントのリストを確認します。
   - これらのリストには、作成した拡張ポイントと、Now Platform 機能に埋め込まれた事前定義済みの拡張ポイントが含まれます。
   - 各リストには、カスタムアーティファクトを呼び出すアプリケーションコードの拡張ポイントと、返されるデータまたはオブジェクトに関する情報が含まれます。
2. 拡張ポイントを選択します。
3. カスタムアーティファクトの構成方法を決定します。構造は拡張ポイントの説明に基づいている必要があります。説明には、カスタムコードでアーティファクトを使用するための要件と、基本アプリケーションコード内のアーティファクトが配置される場所が含まれます。
4. 選択した拡張ポイントに対して登録するときにカスタムアーティファクトとコードを作成します。登録では、カスタムアーティファクト内の実装に拡張ポイント定義をリンクする拡張インスタンスレコードを作成します。

登録済みのカスタムアーティファクトの処理方法

アプリケーションコードが実行され、拡張ポイントを含む埋め込み API コールが見つかると、アプリケーションコードは次の処理を実行します。

1. API コールで拡張ポイントを使用して、どのカスタムアーティファクトが登録されているかを判断します。
2. 適切なデータまたはオブジェクトを登録済みのカスタムアーティファクトに送信します。
3. 各カスタムアーティファクトから返された出力を収集します。
4. 返された結果を処理して基本アプリケーションに組み込みます。

サーバー側スクリプトでのスクリプト拡張ポイントの使用

JavaScript 関数とオブジェクトクラスが格納されるサーバー側スクリプトインクルードで拡張ポイントを使用します。拡張ポイントを使用することで、アプリケーションコードのコアコンポーネントを実際に変更することなくカスタマイズを統合できます。

スクリプト拡張ポイントを作成し、それを基本アプリケーションコードのスクリプトインクルードに追加します。基本アプリケーションをカスタマイズする場合は、カスタムスクリプトインクルードを作成してスクリプト拡張ポイントに対して登録することによって、スクリプト拡張ポイントを実装します。

> **注:** スクリプト拡張ポイントの例と、このプロセスの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

スクリプト拡張ポイントの作成と追加

アプリケーションを開発する場合は、スクリプト拡張ポイントを作成し、それをアプリケーションコードのスクリプトインクルードに追加します。スクリプト拡張ポイントを使用して、データまたはオブジェクトを登録済みのカスタムスクリプトインクルードに送信でき、返された結果を処理する特定の場所を指定します。

> **注:** スクリプト拡張ポイントの例については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

スクリプト拡張ポイントの作成

基本アプリケーションコード内のスクリプトインクルードに配置できるスクリプト拡張ポイントを作成します。スクリプト拡張ポイントを配置することで、データまたはオブジェクトをカスタマイズに送信可能でデータが返されるポイントになる、アプリケーションコード内の特定の場所を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：アプリケーションの開発者または管理者の特定のロール、または admin ロールが必要です。

注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

このタスクについて
定義 拡張ポイントのコンテンツと構造。この定義では、カスタマイズの構成方法、アプリケーションコードとのやり取りの方法、および拡張ポイントでカスタマイズによって返されるデータを処理する方法について説明します。

適切な定義を作成することによって、拡張の構造を指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

スクリプト拡張ポイントのフォーム

フィールド	説明
名前	拡張ポイントの一意の名前。名前は最長 100 文字の英数字 (特殊文字を含む) です。
API 名	拡張ポイント API の名前。適用先のアプリケーションスコープが先頭に付加されます。これはシステムによって割り当てられた名前であり、変更することはできません。
アプリケーション	拡張ポイントがアサインされているアプリケーションスコープ。これはシステムによって割り当てられ、変更することはできません。スコーピングを使用することで提供される保護の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
このスコープに制限	拡張ポイントをアプリケーションスコープのみに制限するためのオプション。
説明	カスタムスクリプトの要件 スクリプトインクルード、 UI スクリプトの構成方法やアプリケーションコードでの動作方法などが含まれます。
例	カスタムスクリプトインクルード この拡張ポイントとやり取りする場合は、アプリケーションコードで動作するように構成する必要があります。 の例

4. [送信] をクリックします。

基本アプリケーションコードにスクリプト拡張ポイントを追加する

基本アプリケーションコードのスクリプトインクルードにスクリプト拡張ポイントを追加します。拡張ポイントを追加するには、登録済みのカスタムアーティファクトが実行される場所を識別する API 呼び出しを含めます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

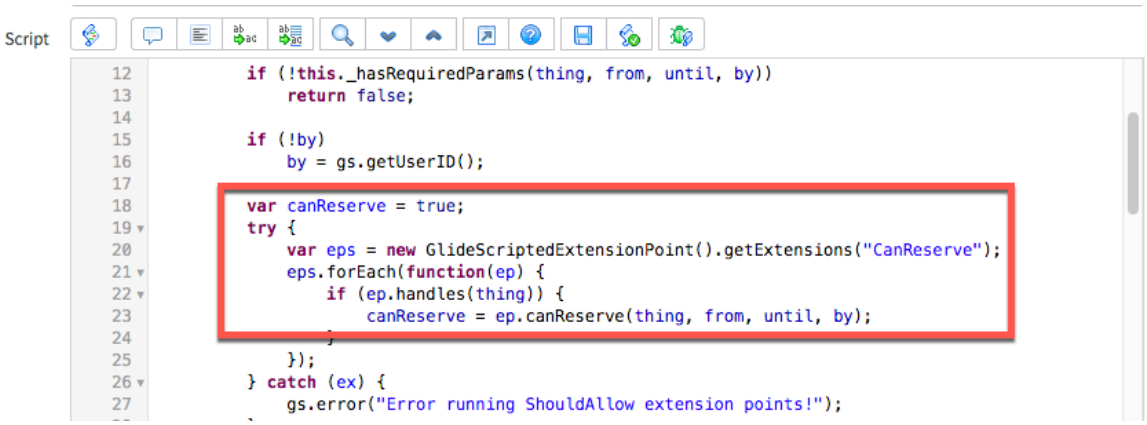
始める前に
必要なロール：アプリケーションの開発者または管理者の特定のロール、または admin ロールが必要です。アプリケーションコードのスクリプトインクルードに追加する前に、スクリプト拡張ポイントを作成する必要があります。

注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

手順

1. アプリケーションコードで、スクリプト拡張ポイントを追加する既存のスクリプトインクルードにアクセスするか、新しいスクリプトインクルードを作成します。
   スクリプトインクルードの作成の詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。
2. スクリプトインクルードで、カスタムスクリプト出力を収集して処理する予定の場所にコード行を追加します。

   コードには、カスタムスクリプトインクルードが登録される拡張ポイントを識別する GlideScriptedExtensionPoint - スコープ指定 メソッドが含まれている必要があります。例：



注: カスタムスクリプトが拡張インスタンスで実行されるときに、アプリケーションカスタマイザーにエラーメッセージを配信することもお勧めします。関数が拡張ポイントに引数を返すときに問題が生じた場合、エラーメッセージにはカスタムスクリプトのトラブルシューティング方法に関する情報が含まれます。

サーバー側 UI マクロの UI 拡張ポイントの使用

HTML 拡張などのサーバー側 UI マクロの UI 拡張ポイントを使用して、ページを直接変更しなくても UI ページにカスタムコンテンツを追加できます。UI 拡張ポイントを使用することで、アプリケーションコードのコアコンポーネントを実際に変更することなくカスタマイズを統合できます。

UI 拡張ポイントを作成し、それを基本アプリケーションコードの UI マクロに追加します。基本アプリケーションをカスタマイズする場合は、カスタム UI マクロを作成し、それを UI 拡張ポイントに対して登録することによって、UI 拡張ポイントを実装します。

注: スクリプト拡張ポイントの実装方法と同様の方法で、UI 拡張ポイントを作成して登録します。スクリプト拡張ポイントの詳細な例と、このプロセスの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

UI 拡張ポイントの作成と追加

アプリケーションを開発する場合は、UI 拡張ポイントを作成して、基本アプリケーションコード内のサーバー側 HTML 拡張などの UI マクロまたは UI ページに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI スクリプト拡張ポイントを使用して、データまたはオブジェクトを登録済みのカスタム UI マクロに送信でき、返された結果を処理する特定の場所を指定します。

UI 拡張ポイントの作成

アプリケーションコード内で、HTML 拡張などの UI マクロに配置できる UI 拡張ポイントを作成します。UI 拡張ポイントを配置することで、データまたはオブジェクトをカスタマイズに送信可能でデータが返されるポイントになる、アプリケーションコード内の特定の場所を指定します。

始める前に

必要なロール：admin、またはアプリケーションの開発者またはアドミニストレーター向けの特定のロール

> **注:** アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理 アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

このタスクについて

定義 拡張ポイントのコンテンツと構造。この定義では、カスタマイズの構成方法、アプリケーションコードとのやり取りの方法、および拡張ポイントでカスタマイズによって返されるデータを処理する方法について説明します。

適切な定義を作成することによって、拡張の機能の構造を指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > **UI** の拡張ポイント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

UI 拡張ポイントのフォーム

フィールド	説明
名前	拡張ポイントの一意の名前。名前は最長 100 文字の英数字 (特殊文字を含む) です。
API 名	拡張ポイント API の名前。適用先のアプリケーションスコープが先頭に付加されます。これはシステムによって割り当てられた名前であり、変更することはできません。
アプリケーション	拡張ポイントがアサインされているアプリケーションスコープ。これはシステムによって割り当てられ、変更することはできません。スコーピングを使用することで提供される保護の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
このスコープに制限	拡張ポイントをアプリケーションスコープのみに制限するためのオプション。
AJAX/REST 経由のアクセスを許可	AJAX または REST を介した UI 拡張ポイントへのアクセスを有効または無効にするためのオプション。 これらの開発アーキテクチャとテクニックの詳細については、「AJAX」と「REST API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	カスタムスクリプトの要件 UI マクロ、 UI スクリプトの構成方法やアプリケーションコードでの動作方法などが含まれます。
例	カスタム UI マクロの例 この拡張ポイントとやり取りする場合は、アプリケーションコードで動作するように構成する必要があります。

4. [送信] をクリックします。

基本アプリケーションコードに UI 拡張ポイントを追加する

基本アプリケーションコードの UI マクロまたは HTML 拡張に UI 拡張ポイントを追加します。拡張ポイントを追加するには、登録されたカスタムアーティファクトが実行される場所を特定する API コールを配置します。

始める前に

必要なロール：admin、またはアプリケーションの開発者またはアドミニストレーター向けの特定のロール

アプリケーションコードに UI マクロまたは UI ページを追加する前に、UI 拡張ポイントを作成する必要があります。

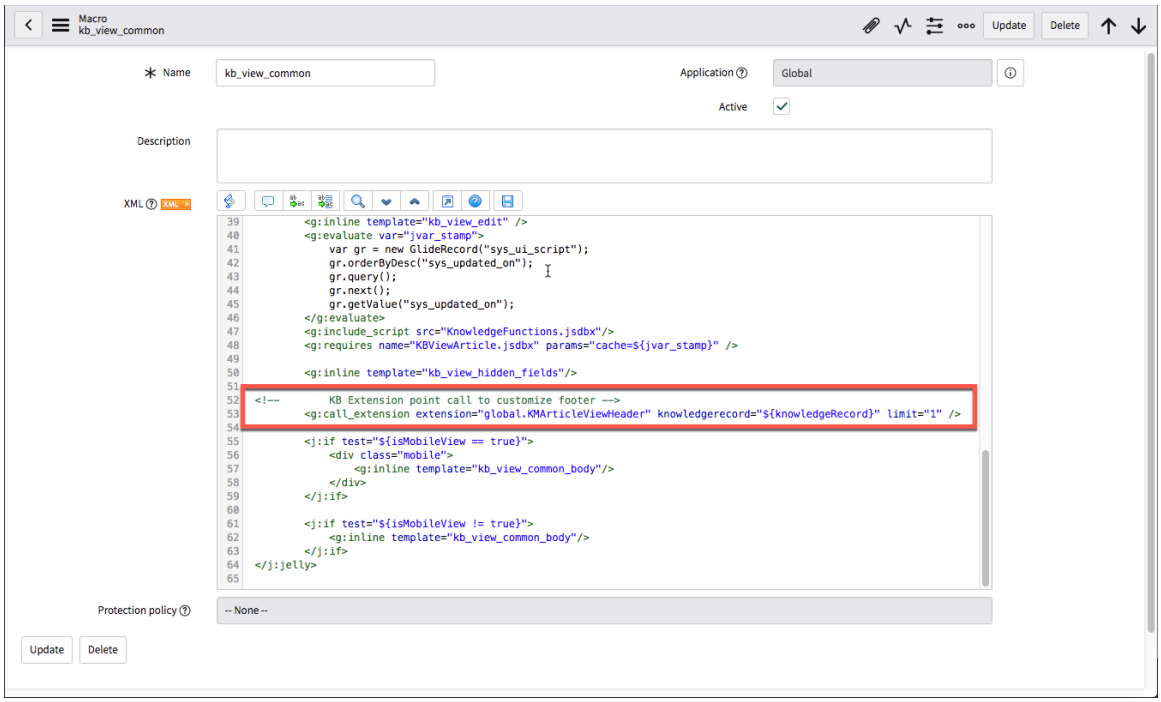
> 注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

手順

1. アプリケーションコードで、スクリプト拡張ポイントを追加する既存の UI マクロにアクセスするか、新しい UI マクロを作成します。
   Jelly タグを使用した UI マクロの作成の詳細については、「UI マクロ」と「Jelly のタグ」を参照してください。
2. UI マクロで、カスタム UI マクロ出力を収集して処理する予定の場所に jelly タグとコード行を追加します。
   通常、このコード行には以下が含まれます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- カスタム UI マクロが登録されている UI 拡張ポイントの名前を特定する `call_extension` コマンド (例：`extension="global.KMArticle.ViewHeader"`)。
- レンダリング時に UI マクロに渡される引数。たとえば、ナレッジベース記事では、`knowledgerecord="${knowledgeRecord}"`は、現在のナレッジレコードを渡します。
- (オプション) この拡張ポイントの実装が複数ある場合は、`limit` コマンドを使用して、x 個の実装を返すように指定します (例：`limit="1"`)。この図は、これらのコマンドを含む UI マクロを示しています。



UI 拡張ポイントに対するカスタム UI マクロの登録

カスタム UI マクロをアプリケーションコード内の選択した UI 拡張ポイントに対して登録します。

カスタム UI マクロの登録では、カスタム UI マクロ内の実装に UI 拡張ポイント定義をリンクする拡張インスタンスレコードを作成します。

カスタム UI マクロの登録

選択した UI 拡張ポイントに対して登録するときにカスタム UI マクロとコードを作成します。

始める前に

必要なロール：アプリケーション固有の開発者、アプリケーション固有の admin、または admin

注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > **UI** の拡張ポイント.
2. UI 拡張ポイント [sys_ui_extension-point] テーブルで、カスタム UI マクロを登録する拡張ポイントを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** このリストには、作成した UI 拡張ポイントと、Now Platform 機能 (カスタマーサービス管理 (CSM) や フィールドサービス管理 (FSM)) に埋め込まれた事前定義済みの UI 拡張ポイントが含まれます。
>
> 事前定義済みの拡張ポイントを含む機能の詳細については、拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する の関連トピックのリンクを参照してください。

3. UI 拡張ポイントレコードで、[実装を作成] 関連リンクをクリックして新しいカスタム UI マクロを作成し、選択した UI 拡張ポイントに登録します。
4. UI マクロフォームで、カスタムコードを作成します。
   UI マクロの作成の詳細については、「UI マクロ」を参照してください。
5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
カスタム UI マクロが作成され、UI 拡張ポイントに対して登録されます。

UI 拡張インスタンスの確認

UI 拡張ポイントに対して登録されているカスタム UI マクロのリストを確認します。拡張インスタンスは、登録済みのカスタム UI マクロが使用されるアプリケーションスコープを示し、それぞれへのリンクを提供します。拡張インスタンスをアクティブ化または非アクティブ化することもできます。

始める前に
必要なロール：admin、またはアプリケーションの開発者またはアドミニストレーター向けの特定のロール

> **注:** アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > **UI** の拡張ポイント.
2. UI 拡張ポイント [sys_ui_extension_point] テーブルで、拡張インスタンスを表示する UI 拡張ポイントを選択します。
3. UI 拡張ポイントレコードの実装関連リストで、UI 拡張インスタンスを選択します。
   UI 拡張インスタンスレコードが表示されます。

UI 拡張インスタンスレコード

フィールド	説明
ポイント	UI 拡張ポイントの一意の名前。名前は最長 100 文字の英数字 (特殊文字を含む) です。
クラス	UI 拡張ポイントが実装されるアプリケーションコード内の UI マクロ。
アプリケーション	拡張ポイントがアサインされているアプリケーションスコープ。これはシステムによって割り当てられ、変更することはできません。スコーピングを使用することで提供される保護の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
アクティブ	現在のインスタンス内のアクティブな拡張ポイントを示します。拡張ポイントを無効にするには、チェック ボックスをオフにします。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

UI マクロ

拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する

クライアント側 UI スクリプトのクライアント拡張ポイントの使用

クライアント側 UI スクリプトでクライアント拡張ポイントを使用してフォームを変更します。そのため、フォームを直接変更する必要はありません。クライアント拡張ポイントを使用することで、アプリケーションコードのコアコンポーネントを実際に変更することなくカスタマイズを統合できます。

クライアント拡張ポイントを作成し、それを基本アプリケーションコードの UI スクリプトに追加します。基本アプリケーションをカスタマイズする場合は、カスタム UI スクリプトを作成し、それをクライアント拡張ポイントに対して登録することによって、クライアント拡張ポイントを実装します。

注: スクリプトと UI 拡張ポイントの実装方法と同様の方法で、クライアント拡張ポイントを作成して登録します。スクリプト拡張ポイントの詳細な例と、このプロセスの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」と「サーバー側 UI マクロの UI 拡張ポイントの使用」を参照してください。

クライアント拡張ポイントの作成と追加

クライアント拡張ポイントを作成し、それを基本アプリケーションコードのクライアント側 UI スクリプトに追加します。

クライアントスクリプト拡張ポイントを使用して、データまたはオブジェクトを登録済みのカスタム UI スクリプトに送信でき、返された結果を処理する特定の場所を指定します。

クライアント拡張ポイントの作成

アプリケーションコード内で、UI スクリプトに配置できるクライアント拡張ポイントを作成します。クライアント拡張ポイントを配置することで、データまたはオブジェクトをカスタマイズに送信でき、データが返されるアプリケーションコード内の特定の場所を指定します。

始める前に

必要なロール：admin、またはアプリケーションの開発者またはアドミニストレーター向けの特定のロール

注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

このタスクについて

定義 拡張ポイントのコンテンツと構造。この定義では、カスタマイズの構成方法、アプリケーションコードとのやり取りの方法、および拡張ポイントでカスタマイズによって返されるデータを処理する方法について説明します。

適切な定義を作成することによって、拡張ポイントの構造を指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > クライアントの拡張ポイント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント拡張ポイントのフォーム

フィールド	説明
名前	拡張ポイントの一意の名前。名前は最長 100 文字の英数字 (特殊文字を含む) です。
API 名	拡張ポイント API の名前。適用先のアプリケーションスコープが先頭に付加されます。これはシステムによって割り当てられた名前であり、変更することはできません。
アプリケーション	拡張ポイントがアサインされているアプリケーションスコープ。これはシステムによって割り当てられ、変更することはできません。スコーピングを使用することで提供される保護の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
このスコープに制限	拡張ポイントをアプリケーションスコープのみに制限するためのオプション。
AJAX/REST 経由のアクセスを許可	AJAX または REST を介したクライアント拡張ポイントへのアクセスを有効にするためのオプション。 これらの開発アーキテクチャとテクニックの詳細については、「AJAX」と「REST API」を参照してください。
説明	カスタムスクリプトの要件 UI スクリプト、 UI スクリプトの構成方法やアプリケーションコードでの動作方法などが含まれます。
例	カスタム UI スクリプトの使用例 この拡張ポイントとやり取りする場合は、アプリケーションコードで動作するように構成する必要があります。

4. [送信] をクリックします。

基本アプリケーションコードにクライアント拡張ポイントを追加する

基本アプリケーションコードの UI スクリプトに UI 拡張ポイントを追加します。拡張ポイントを追加するには、登録されたカスタムアーティファクトが実行される場所を特定する API コールを配置します。

始める前に

アプリケーションコードに UI スクリプトを追加する前に、UI 拡張ポイントを作成する必要があります。必要なロール：admin、またはアプリケーションの開発者またはアドミニストレーター向けの特定のロール

> 注: アプリケーション固有のアドミンロールと委託開発については、「アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール」および「委託開発と展開」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アプリケーションコードで、スクリプト拡張ポイントを追加する既存の UI スクリプトにアクセスするか、新しい UI マクロを作成します。
   UI スクリプトの作成の詳細については、「UI スクリプト」を参照してください。
2. UI スクリプトで、UI カスタムスクリプト出力を収集して処理する予定の場所にコード行を追加します。

   コードには、カスタム UI スクリプトが登録されているクライアント拡張ポイントを特定する `getExtensions` コマンドが含まれている必要があります。このコード行は、スクリプト拡張ポイント用のアプリケーションコードスクリプトインクルードに含まれるものと似ています。例については、「基本アプリケーションコードにスクリプト拡張ポイントを追加する」を参照してください。

接続プールの管理

ベースシステムインスタンスからの送信 HTTP(S) 接続、または MID Server、ODBC Driver、およびその他のクライアントからの受信接続は維持され、可能な場合は再利用されます。

接続プールは、HTTP(S) クライアント接続を追跡して、接続がアライブであり再利用可能かどうかを判断するために使用されます。

ServiceNow HTTP クライアントコードは次のことを意味します。

- ベースシステムインスタンスから送信 HTTP(S) 要求を行うアプリケーションまたはスクリプト。
- 1 つ以上のベースシステムインスタンスに対して HTTP(S) 要求を行う、MID Server または ODBC Driver の ServiceNow コード。

> **注:** この説明は、ブラウザーとインスタンス間の通信には適用されません。ServiceNow とブラウザーベースの通信のための HTTP(S) 接続の管理に関する変更はありません。この説明は、ServiceNow に要求する顧客が開発した Web サービスクライアントにも適用されません。

顧客がすべきこと

ユーザーは、ディスカバリー データのロード時間の短縮や ODBC Driver のパフォーマンスの向上など、パフォーマンスを監視する必要があります。多数のサードパーティ統合や、ベースシステムインスタンスから他の場所に HTTP(S) 要求を生成する大量の自動化されたアクティビティなど、異常に大量の同時送信 HTTP (S) アクティビティがあるシステムの場合は、`max_connections` および `max_connections_per_host` プロパティを確認し、設定が十分であることを確認します。この拡張機能は、ブラウザーからのエンドユーザー接続や、顧客が開発した Web サービスクライアントアプリケーションからの接続には影響しません。

HTTP 接続管理のプロパティ

接続プールは 3 つのプロパティによって制御されます。

これらのプロパティのデフォルト値は、ほとんどの顧客に適しています。Glide プロパティは動的です。つまり、これらのプロパティへの変更はすぐに有効になります。値を更新するために機能停止や再起動は必要ありません。

プロパティ	説明	デフォルト値
glide.http.connection_mgr.max_connections	ベースシステムインスタンスから許可された HTTP(S) 送信接続の合計数を制御します。これはインスタンス全体の値です。	20

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明	デフォルト値
glide.http.connection_mgr.max_connections_per_host	`glide.http.connection_mgr.max_connections` が特定のホストと並列に通信できる数を制御します。通常の操作中にこれらのいずれかの値が最大設定に達すると、スクリプトまたはバックグラウンドスレッドは接続を得るために短時間待機する必要があります。	4
glide.http.outbound.max_timeout	executeAsync メソッドを使用するときに SOAPMessageV2 および RESTMessageV2 を待機する最大タイムアウト (秒)。許容最大値は 30 秒です。この値が 30 秒より大きい値に設定されている場合は、デフォルトで 30 秒になります。	30
glide.http.outbound.max_timeout.enabled	executeAsync メソッドを使用するときに、構成可能なハードの最大待機時間を SOAPMessageV2 および RESTMessageV2 に適用するかどうかを決定します。	true
glide.http.use_connection_mgr	接続プールのオン/オフを切り替えます。新しい動作を無効にするには (非推奨)、`glide.http.use_connection_mgr` を *false* に設定します。	true

ODBC Driver を使用した他のアプリからのデータソースの作成

ServiceNow Open Database Connectivity (ODBC) Driver は、ServiceNow インスタンスに関連付けられたデータベースへの読み取り専用アクセスを提供します。

注: 1.0.15 より古いバージョンの ODBC ドライバーはサポートされなくなりました。

ODBC Driver は Microsoft ODBC のコア API バージョン 3.52 に準拠しています。ServiceNow ODBC Driver は ServiceNow Web サービスサポートをクエリ専用インターフェイスで使用します。ODBC Driver は select ステートメントまたは読み取り専用関数のみをサポートし、インスタンスデータを変更しません。ODBC Driver は Web サービスインターフェイスを使用するため、プラットフォーム全体のアクセス制御 (ACL) が適用され、データセキュリティが確保されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

ODBC Driver には次の制限があります。

- ODBC Driver は select ステートメントまたは読み取り専用関数のみをサポートし、インスタンスデータを変更しません。
- Java クライアントアプリケーションまたは Java JDBC-ODBC ブリッジで ODBC Driver を使用する方法はサポートされていません。
- ODBC を介してビューにアクセスする場合は、512 文字にハードコードされた制限があります。この制限により、最大 11 のテーブル sys_id を ODBC ビュークエリに含めることができます。テーブル数が 11 を超えるとエラーになります。

ODBC の概要

ODBC Driver をインストールする前に、このページのビデオを参照して ODBC ユーザーアカウントを作成し、odbc ロールを割り当て、odbc ロールの ACL ルールを定義します。

このビデオでは、ODBC の前提条件を説明し、ServiceNow インスタンスに関連付けられたデータベースへの読み取り専用アクセスを提供する ServiceNow ODBC Driver をインストール、設定、およびテストする方法を示します。

上の 7 分間のビデオでは、ServiceNow インスタンスに関連付けられたデータベースへの読み取り専用アクセスを提供する ServiceNow ODBC Driver を使用した他のアプリからのデータソースの作成のインストール、構成、およびテストの概要を説明しています。admin ロールを持つ ServiceNow ユーザーは、次の手順を実行できます。

ODBC Driver をダウンロードしてインストールする前に、要件を確認して、使用中の構成に互換性があることを確認してください。

ODBC ユーザー アカウントの作成と odbc ロールの割り当て

ODBC Driver は、ServiceNow インスタンスと特定のユーザーとして通信します。ODBC ユーザーアカウントを作成し、odbc ロールを割り当てて、ユーザーが ODBC を介して通信できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

odbc ロールには、ODBC 要求を行うために必要な soap_query ロールや、インシデントテーブルなどのコアテーブルにアクセスするために必要な itil ロールなど、さまざまなロールが追加で含まれています。必要に応じて子ロールを追加することで、odbc ロールを変更して他のテーブルにアクセスを許可できます。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. [新規] をクリックします。
3. [ユーザー **ID**] フィールドに「`odbc.user`」と入力します。
4. このユーザーの [パスワード] を入力します。
5. フォームコンテキストメニューで、[保存] を選択します。
6. [ロール] 関連リストで、[編集] をクリックします。
7. スラッシュバケットを使用して odbc ロールを追加し、[保存] をクリックします。
8. [送信] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
別のブラウザーセッションで、odbc.user が ServiceNow インスタンスにログインできることを確認します。

odbc ロールに対する ACL ルールの定義

odbc ロールの ACL ルールを定義して、インシデントテーブルへの読み取りアクセス権を付与します。odbc ロールに他の ACL ルールを作成して、他のテーブルへの読み取りアクセス権を付与できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ACL ルールを作成できるように、セッション権限を security_admin に昇格します。
2. 移動先 システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
3. [新規] をクリックします。
4. [操作] 選択リストから、[読み取り] を選択します。
5. [名前] 選択リストから、[インシデント **[incident]]** を選択します。

   2 番目の [名前] 選択リストは [なし] のままにします。
6. フォームコンテキストメニューで、[保存] を選択します。
7. [ロールが必要] 関連リストで、[編集] をクリックします。
8. スラッシュバケットを使用して ODBC ロールを追加し、[保存] をクリックします。
9. [送信] をクリックします。

ODBC Driver のインストール

セットアップ要件を確認し、ODBC Driver インストーラーをダウンロードして、ODBC Driver をコンピューターにインストールします。

ServiceNow ODBC Driver は Microsoft Windows コンピューターにインストールできます。ODBC Driver をインストールするには、ServiceNow インスタンスで ODBC ユーザーを設定し、ODBC Driver をダウンロードしてインストールします。既に ODBC Driver がインストールされている場合は、最新のバージョンにアップグレードできます。

ODBC Driver のインストール要件とサポートされているソフトウェア

ServiceNow ODBC Driver を Microsoft Windows コンピューターにインストールします。

インストール要件

ODBC Driver をインストールする前に、構成がこれらの要件を満たしていることを確認してください。

インストール要件

カテゴリ	要件
アクティブユーザー	クエリを実行するために使用されるインスタンスのユーザーレコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストール要件 (続く)

カテゴリ	要件
	注: ODBC Driver を介してインスタンスに接続するために使用するアカウントは、インスタンスで定義する必要があります。Single Sign-on を使用するアカウントは ODBC Driver ではサポートされていません。
soap_query ロール	インスタンスが *glide.soap.strict_security* の高度なセキュリティ設定を使用する場合、データベースのクエリに使用するユーザーは soap_query ロールを持っている必要があります。 **警告:** *glide.soap.require_ws_security* システムプロパティを設定して、すべての SOAP 要求に対して WS セキュリティを有効にしないでください。ODBC Driver とは互換性がありません。この設定を有効にすると、ODBC Driver と MID サーバーの両方の接続がブロックされます。代わりに基本認証を使用します。
ターゲットテーブル ACL	データベースのクエリに使用するユーザーは、クエリするテーブルの読み取りアクセス権を持っている必要があります。たとえば、itil ロールを持つユーザーは、インシデントなどのタスクテーブルを読み込むことができます。
ターゲットテーブルの Web サービスアクセス	クエリするテーブルは Web サービスのインタラクションを許可する必要があります。アプリケーションのアクセス設定を使用して、Web サービスインタラクションを有効にすることができます。
ODBC ドライバの依存関係 (2.0.0)	依存関係ファイルに記載されているbcpkix-fips-1.0.3.jarとbc-fips-1.0.2.4.jarの ZIP ファイルをからダウンロード します ServiceNow® Store JARをWindowsマシンのローカルフォルダに抽出します。
Java Runtime Environment (JRE)	インスタンスで JRE を有効にする必要があります。
Java 開発キット (JDK)	バージョン 11
オペレーティングシステム	ServiceNow ODBC Driver は、次のオペレーティングシステムでのインストールをサポートしています。 • Windows XP • Windows Server 2003 • Windows Server 2008 • Windows Server 2012 • Windows Server 2016 • Windows Vista • Windows 7 • Windows 8 • Windows 10

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストール要件 (続く)

カテゴリ	要件
ハードウェア	• RAM：1 GB 以上 • ディスクスペース：インストール用に 135 MB、使用時のキャッシュファイルの書き込み用に 200 MB
アカウント	インストールに使用する Windows アカウントには、ODBC Driver をインストールするためのローカル管理者権限が必要です。
ネットワーク	ODBC Driver を使用するには、ServiceNow インスタンスへの HTTPS (ポート 443) 接続が必要です。ODBC ドライバーと ServiceNow インスタンス間の通信では、標準モードの標準 SOAP Web Services が使用されます。
エンドユーザーライセンス契約	ServiceNow ODBC Driver のエンドユーザーライセンス契約を読みます。

詳細については、「アプリケーションのアクセス設定」を参照してください。

サポートされているソフトウェア

次の表に、ODBC Driver の各バージョンと互換性のあるオペレーティングシステムとレポートアプリケーションを示します。

サポートされているソフトウェア

ドライバーバージョン	オペレーティングシステム	Microsoft Excel	Microsoft SQL Server	Crystal Reports	Tableau	Informatica
1.0.13 以降	• Windows XP SP2 • Windows Vista • Windows 7 • Windows 8.x • Windows 10 • Windows Server 2003 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 R2 • Windows Server 2012	• 2007 • 2010 • 2013 • 2016	• 2008 • 2012 • 2014 • 2019 年 • 2022 年 • 2023 年	• 2008 年 • 2011 • 2013	• 8.1 • 8.2 • 8.3 • 9.0	ODBC Driver は、Informatica の基本的なサポートのみを提供します。簡単な操作でのみ、Informatica で ODBC Driver を使用します。本番環境で使用する前に、Informatica との統合を十分にテストしてください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているソフトウェア (続く)

ドライバーバージョン	オペレーティングシステム	Microsoft Excel	Microsoft SQL Server	Crystal Reports	Tableau	Informatica
	• Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2016					
1.0.9 - 1.0.12	• Windows XP SP2 • Windows Vista • Windows 7 • Windows 8.x • Windows Server 2003 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2012 R2					
1.0.8 以前	• Windows XP SP2 • Windows Vista • Windows 7 • Windows 8.x • Windows Server 2003				8.1	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているソフトウェア (続く)

ドライバーバージョン	オペレーティングシステム	Microsoft Excel	Microsoft SQL Server	Crystal Reports	Tableau	Informatica
	• Windows Server 2008 • Windows Server 2008 R2					

ODBC Driver のダウンロードとインストール

ServiceNow ナレッジベースから ODBC Driver をダウンロードし、初めてドライバーをインストールします。

始める前に

ODBC ドライバーをインストールする Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて

ドライバーを初めてインストールする場合、インストーラーは初回インストール モードになり、ドライバーをインストールするように求められます。コンピューターには 1 つのバージョンの ODBC Driver のみをインストールします。ODBC ドライバーが以前にインストールされていた場合、インストーラーはアップグレード モードになり、最初に以前のドライバーを削除するように求められます。

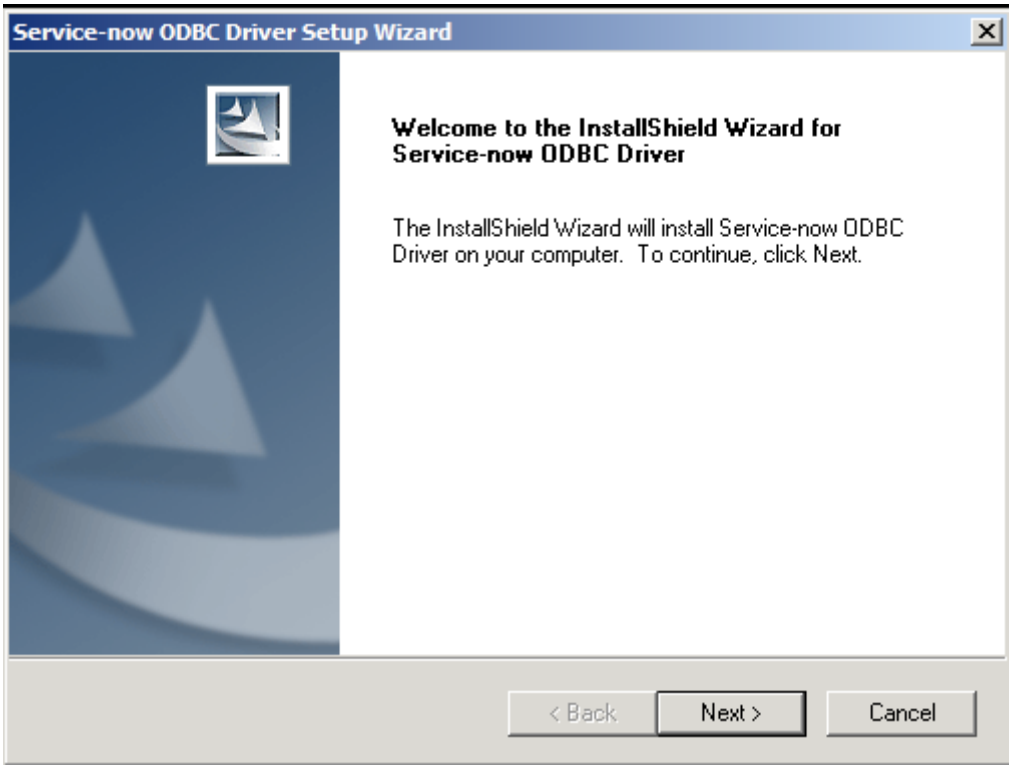
注: 1.0.15 より古いバージョンの ODBC ドライバーはサポートされなくなりました。

手順

1. 最新の ODBC Driver をダウンロードするには、次のリンクをクリックします。
   - 2.0.0 (32-bit) ダウンロード
   - 2.0.0 (64-bit) ダウンロード
2. コンピューターのオペレーティングシステムと互換性のあるバージョンの ODBC Driver と、データベースのクエリに使用しているアプリケーションをダウンロードします。
   ODBC Driver は、32 ビットまたは 64 ビットとして利用可能です。オペレーティングシステムが 64 ビットであっても、ほとんどのアプリケーションでは 32 ビットの ODBC Driver が必要です。
3. 実行可能ファイルを右クリックし、[管理者として実行] を選択してインストーラーを起動します。
   ODBC Driver セットアップウィザードが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [次へ] をクリックします。
5. エンドユーザーライセンス契約を読み、同意します。
   インストーラーから [インストールディレクトリ] の入力が求められます。
6. ServiceNow ODBC Driver をインストールするターゲットディレクトリを選択します。
   デフォルトのディレクトリは `C:\Program Files\Service-now\ODBC` です。
7. サービス名の入力を求められたら、サービスを識別する名前(`ServiceNow_ODBC`など)を入力し、[次へ]を押します。
8. **Java** 仮想マシンの場所の入力を求められたら、次のアクションを実行します。
   - `jvm.dll` ファイルが置かれているディレクトリ (通常は `C:\Program Files\Java\jre<バージョン>\bin\server`) を参照して選択します。
   - インストール時に JRE の場所を入力しない場合は、[次へ] をクリックします。

   ポップアップウィンドウで、[はい] をクリックして JRE の場所を今すぐ入力するか、[いいえ] をクリックして JRE の場所を後で入力します。

   重要: ODBC Driver が機能するには、JRE の場所を指定する必要があります。インストール後、アドミニストレーターとして管理コンソールにアクセスし、サービス > **<Service_Name>** > サービス設定 > **IP** パラメータ をクリックし、*`ServiceJVMLocation`* プロパティに JRE の場所を入力します。

   ヒント: Java サービスの構成の場合、ServiceNow では Java Development Kit (JDK) からサーバーの `jvm.dll` ファイルを使用することを強くお勧めします。

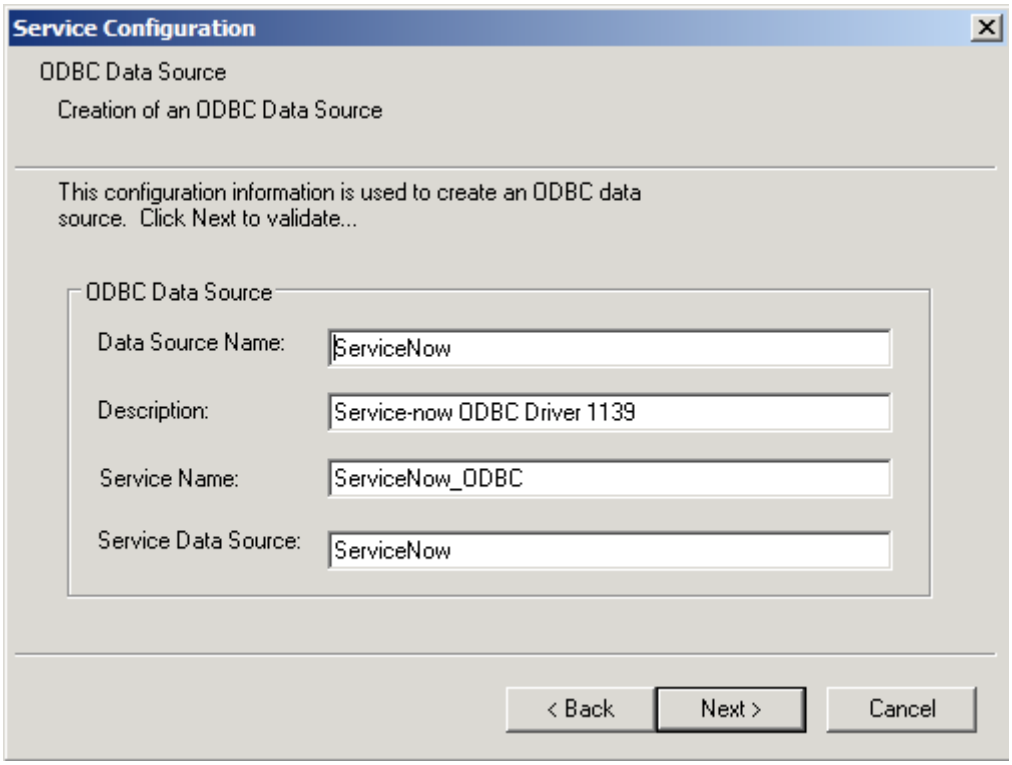
9. **ODBC** データ ソースの詳細の入力を求められたら、次のパラメーターを指定して、DSN の作成に使用できる ODBC データ ソースを作成します。
   - データソース名 **(Data source name)**：このデータソースを識別する短い名前。
   - 説明：ドライバーの簡単な説明。ドライバーのバージョン番号がこの値の末尾に追加されます。

自動翻訳

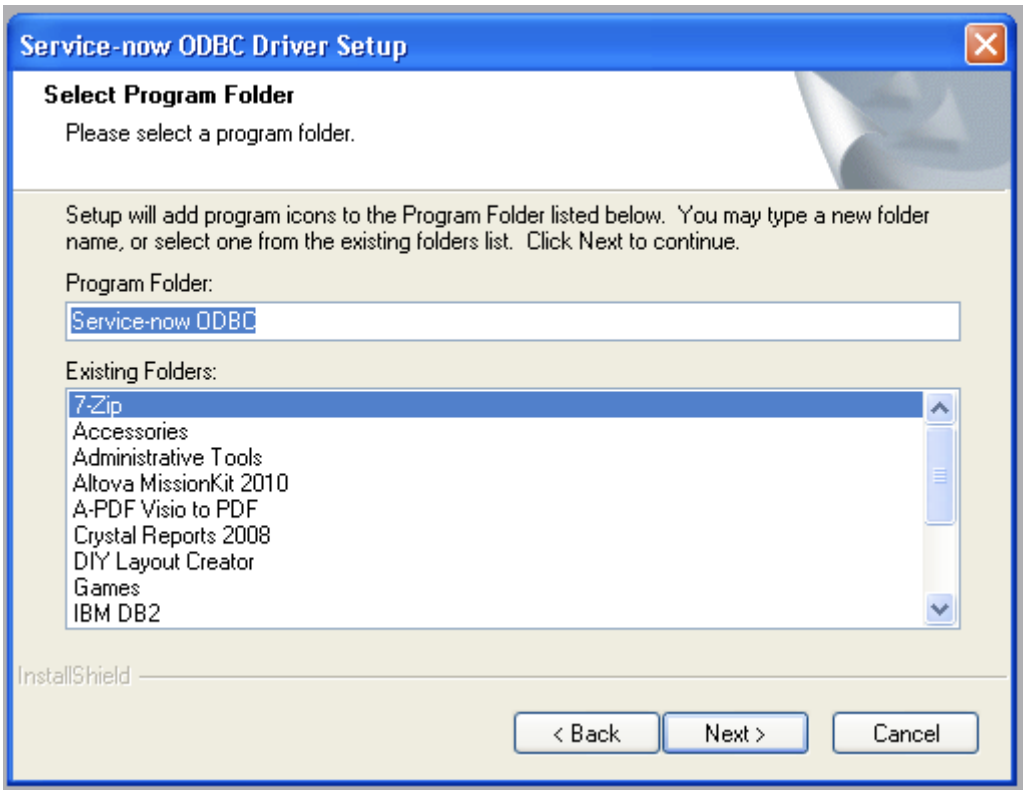
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービス名：ステップ 7 で入力したものと同じ [サービス名] を入力します。
- サービスデータソース **(Service Data Source)**：ODBC アドミニストレーターの [サービスデータソース **(Service Data Source)]** フィールドで選択できる名前。

通常はデフォルト値が適切です。



10. [スタート]メニューで、[プログラムフォルダ]を選択して、ドライバのリンクを作成します。

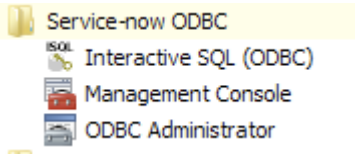


自動翻訳

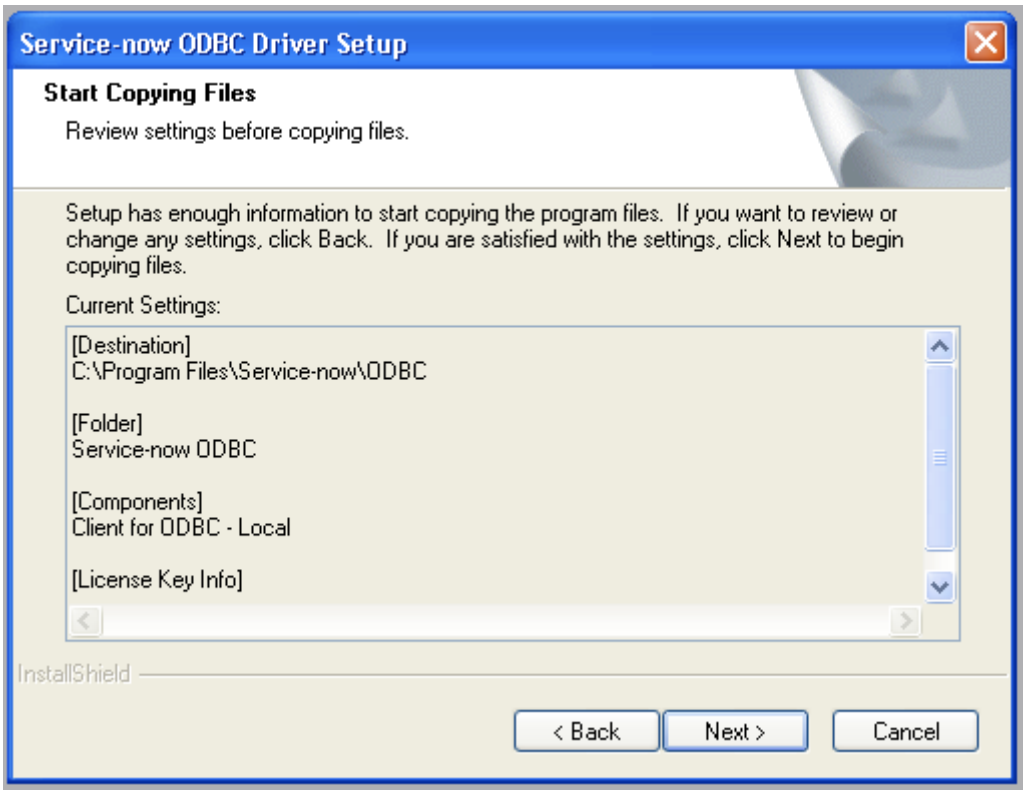
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールにより、メニューに次のリンクが作成されます。

- **Interactive SQL (ODBC)**：SQL ステートメントを直接テストするための Interactive SQL コマンドウィンドウ。
- 管理コンソール：ODBC Driver のデフォルトのプロパティを設定する Microsoft MMC スナップイン。
- **ODBC** アドミニストレーター：Microsoft ODBC アドミニストレータープログラム。



ドライバーコードがターゲットフォルダーにコピーされます。



進捗状況バーが表示されます。

11. メッセージが表示されたら、[完了] をクリックしてインストールを完了します。

ODBC Driver のアップグレード

古いバージョンの ODBC Driver をインストールしている場合は、インストーラーを実行して以前のバージョンをアンインストールしてから、再度インストーラーを実行してアップグレードします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ODBC Driver のビルド日時を確認するには、`Service-Now\ODBC\ip\tools` フォルダーにある **[CheckVersion]** を使用します。この実行可能 Windows ホストスクリプトは、現在のODBCドライバのビルド日時を報告します。ServiceNow テクニカルサポートが実行中の ODBC Driver のビルドを確認するために使用します。**CheckVersion** ツールがない場合、ODBC ドライバーは古くなって

自動翻訳

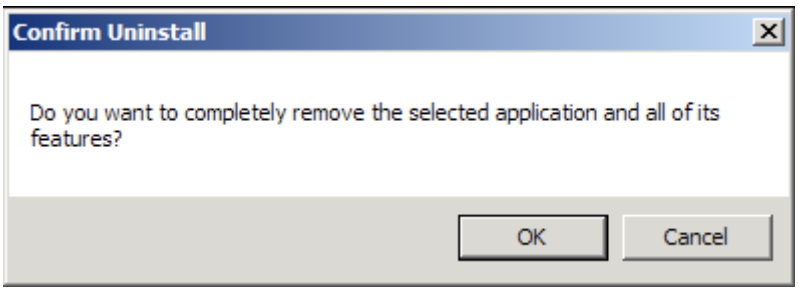
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

います。現在のバージョンにアップグレードします。古い ODBC Driver のバージョンを確認するには、以前のバージョン情報を参照してください。

> **注:** ODBC インストールには `Service-Now\ODBC\tools` フォルダーもありますが、これは CheckVersion ツールの正しいパスではありません。

手順

1. 実行可能ファイルを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

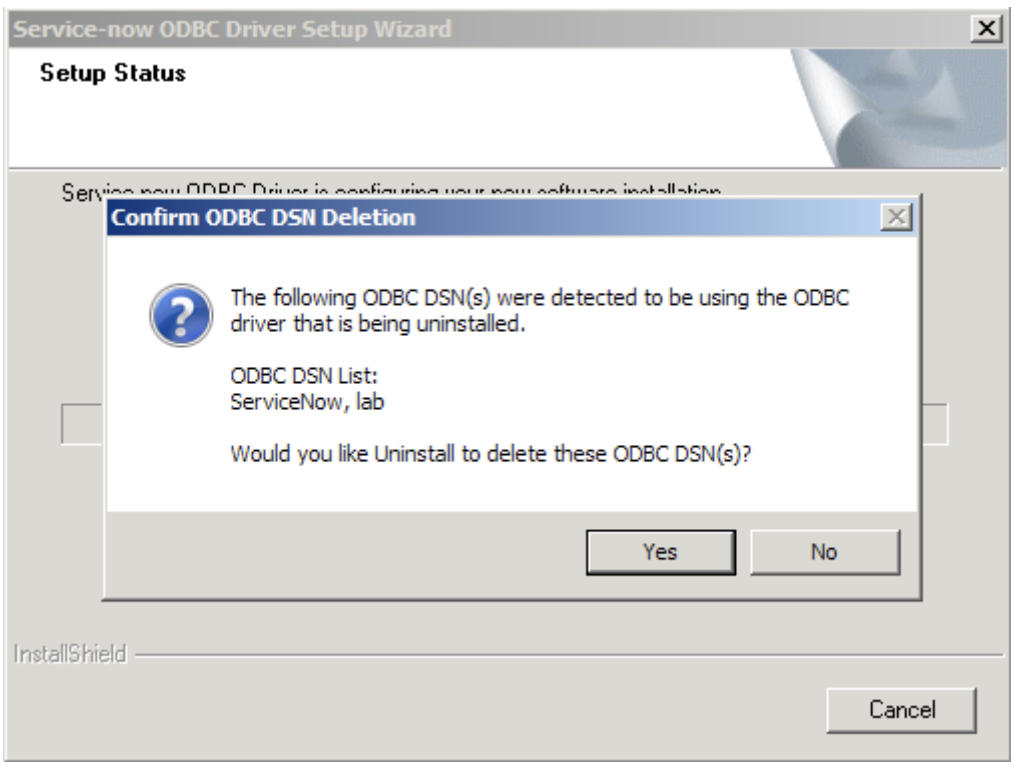


2. 現在のドライバーをアンインストールするように求めるメッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。これは、アップグレードに必要です。

   以前に作成した既存の ODBC DSN 名のリストが表示されます。これらは削除することもできます。

3. 以前のすべての DSN を削除する場合は [はい] を選択し、アップグレードされたドライバーで引き続き使用する場合は [いいえ] を選択します。

   ODBC DSN はアプリケーションで ODBC Driver を使用するための接続「ハンドル」です。Microsoft の詳細については、「ODBC データ ソースを管理する」を参照してください。



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 以前の ODBC ドライバーを削除した後、実行可能ファイルをもう一度ダブルクリックしてインストーラーを実行し、「ODBC ドライバーをダウンロードしてインストールする」の手順に従います。

   ODBC Driver のアンインストール中にエラーが発生した場合は、「ODBC Driver のアンインストールのトラブルシューティング (Troubleshooting uninstalling ODBC driver) 」のナレッジ記事を参照してください。

次のタスク
ODBC Driver をインストールしたら、ServiceNow インスタンスに接続するように構成します。

ODBC Driver パッチのインストール

ServiceNow パッチを使って、 ODBC の主要リリースの間に発生する ODBC の増分修正をインストールします。

始める前に
新しい ODBC ドライバーのパッチを適用する前に、次のアクションを実行します。

- インスタンスに Java Runtime Environment (JRE) がインストールされていることを確認してください。
- 現在 ODBC Driver を使用しているアプリケーションをすべて閉じます。

ODBC ドライバーの更新プログラムをインストールする Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて
増分 ODBC パッチには ODBC Driver の修正のみが含まれており、Progress SDK などのサードパーティ製品の修正は含まれません。サードパーティ製品の修正は、主要な ODBC リリースの更新にのみ含まれています。

手順

1. ServiceNow ナレッジベースの KB0540707 から ODBC パッチの zip ファイルをダウンロードして展開します。
2. zip ファイルを `odbc-patch` という名前のフォルダーに展開します。
3. [スタート] メニューから、[コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
4. コマンドプロンプトウィンドウで `cd` と入力し、手順 2 で作成した `odbc-patch` フォルダーに移動したら、`update.bat` と入力して **[Enter]** を押します。
   インストーラーから ODBC Driver のインストールディレクトリの入力が求められます。デフォルトのインストール場所は `C:\Program Files\ServiceNow\ODBC` です。
5. ODBC ドライバーがデフォルトのインストール場所にインストールされているかどうかは、次のいずれかのアクションを実行します。
   - ODBC Driver が `C:\Program Files\ServiceNow\ODBC` にインストールされている場合は、**[y]** と入力して **[Enter]** を押します。
   - ODBC Driver が `C:\Program Files\ServiceNow\ODBC` にインストールされていない場合は、ODBC インストールディレクトリの完全パスを入力して、**[Enter]** を押します。

   インストーラーがインストール場所を検証します。指定した場所が有効でない場合、インストーラーからインストールされている ODBC Driver の正しい場所が求められます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

有効なインストール場所を入力すると、インストーラーはインストールされているバージョンを確認し、パッチのバージョンと比較します。

- 現在インストールされているバージョンが最新バージョンの場合、インストーラーはインストールプロセスを中止し、次のメッセージを表示します。

```
The version you are trying to install is same as the existing version.
 Installation aborted.
```

- 現在インストールされているバージョンがパッチバージョンと同じ場合、インストーラーはインストールプロセスを中止し、次のメッセージを表示します。

```
The current installed version is the most recent version. Installation
 aborted.
```

- パッチのバージョンが最新バージョンである場合、インストーラーはパッチのインストールを続行します。インストールが完了すると、次の確認メッセージが表示されます。

```
Patch is successfully installed.
```

ODBC Driver の構成

ODBC Driver をインストールした後、ServiceNow インスタンスに接続してプロキシサーバー経由で通信するように設定し (該当する場合)、ODBC の動作を制御するプロパティを設定します。

ODBC Driver の構成

ServiceNow インスタンスに接続するように ODBC Driver を構成します。

始める前に

ODBC Driver を構成するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて

ドライバーをインストールしたら、インスタンス用に設定します。ドライバーは DSN ServiceNow を使用して `https://demoodbc.service-now.com` に接続するように事前設定されています。ドライバーの接続を設定するには、2 つの方法があります。

- 新しく作成されたすべての DSN で使用されるグローバルデフォルトを設定する。
- 新しい DSN をそれぞれ独自の接続で構成する。

手順

1. Windows で、 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** 管理コンソール.
2. コンソールのルートツリーを `ServiceNow ODBC Manager\Manager\<インストール場所>\Services\ServiceNow_ODBC\Data Source Settings\ServiceNow\IP Parameters` に展開します。
3. **[DataSourceIPProperties]** 属性をダブルクリックします。
4. [値] をインスタンスの URL (`https://<インスタンス>.service-now.com` など) に変更します。ODBC Driver を エッジ暗号化 と統合する場合は、[値] を暗号化プロキシの URL に変更します。詳細については、「エッジ暗号化 ODBC ドライバーの統合 」を参照してください。
5. **[OK]** をクリックします。

グローバル DSN デフォルトの構成

新しく作成されたすべての DSN で使用されるグローバルデフォルトを設定する。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

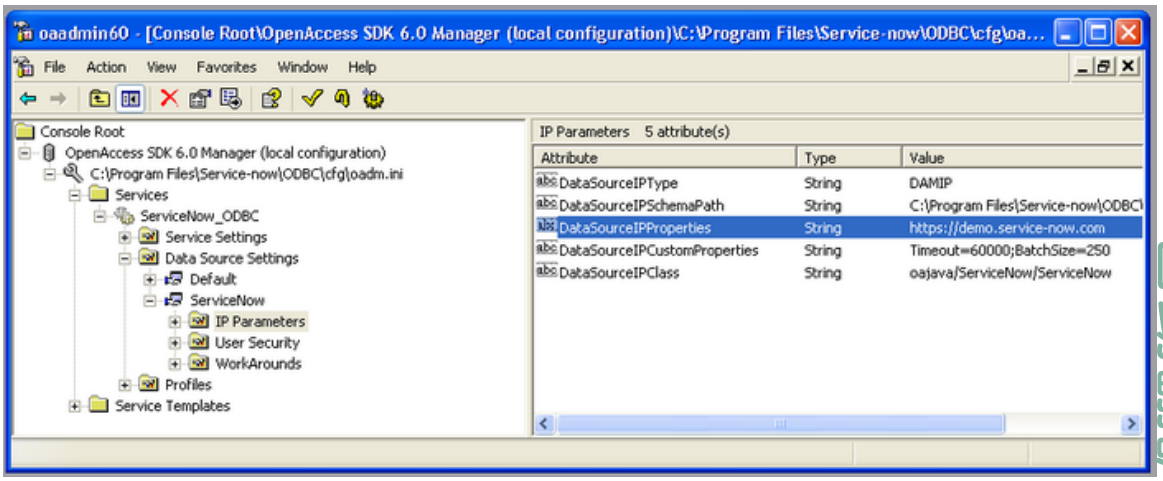
始める前に
グローバル DSN デフォルトを構成するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて
デフォルトの DSN は、ODBC Driver のインストール ServiceNow データソースとともにプリロードされています。このプリロードされた DSN は、`https://demo.service-now.com` に設定されているデフォルトの接続 URL を使用して接続します。インスタンス URL のグローバルデフォルトを変更するには、次の手順を実行します。

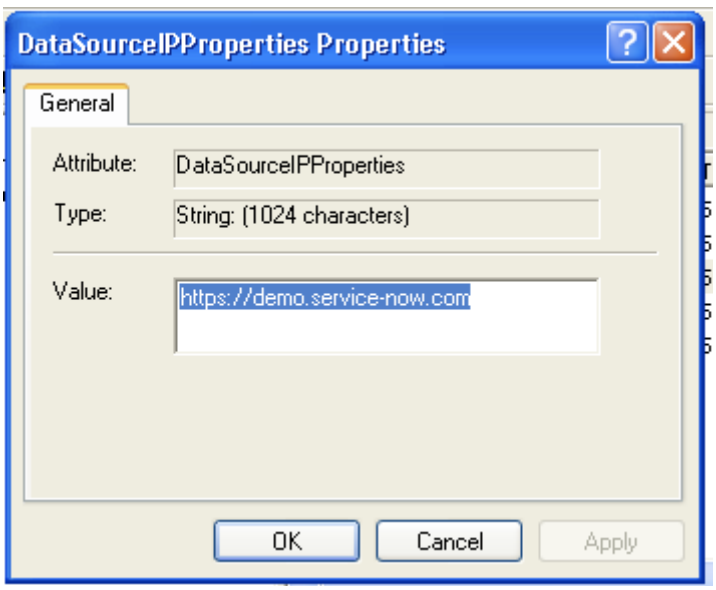
手順

1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > 管理コンソール.
2. 次のパスを使用して、コンソールのルートツリーを展開します。

   ```
   OpenAccess SDK 6.0 Manager\<インストール場所>\Services\ServiceNow_ODBC\Data Source Settings\ServiceNow\IP Parameters
   ```



3. ServiceNow データソース設定の **[DataSourceIPProperties]** 属性をダブルクリックして、[プロパティ] ダイアログボックスを開きます。
4. 次の形式を使用して値をインスタンスの URL に変更し、**[OK]** をクリックします。
   `https://<インスタンス>.service-now.com`



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい **DSN** の作成

ODBC Driver と ServiceNow データソースを使用して、さまざまなインスタンス URL に接続するように構成された DSN を無制限に作成します。

始める前に

新しい DSN を作成する Windows コンピュータに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

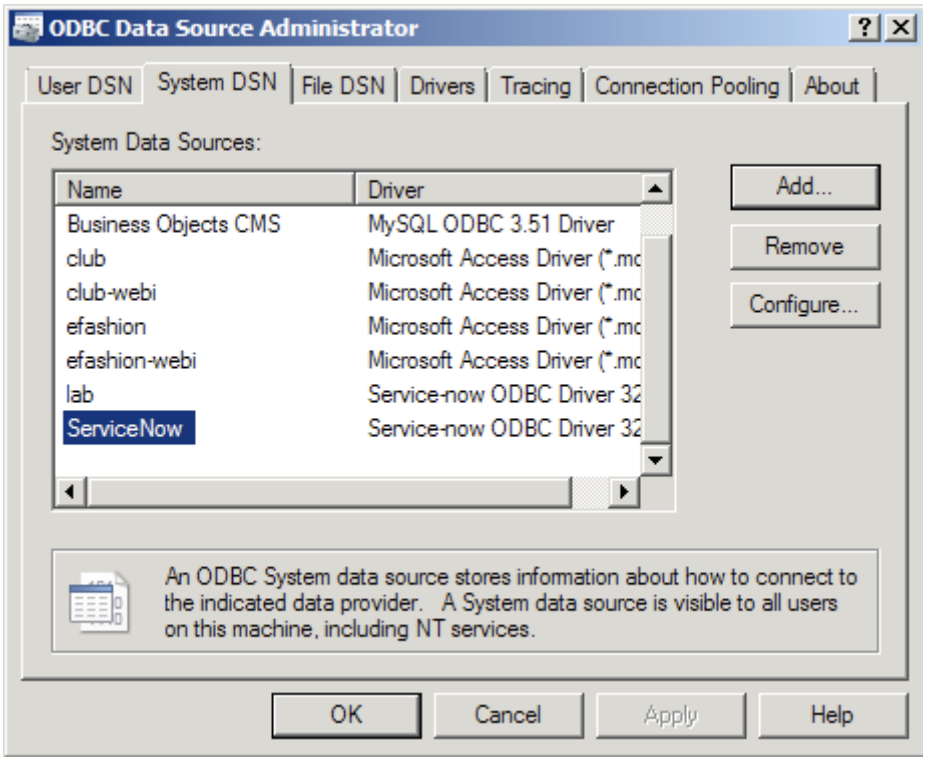
必要なロール：admin

このタスクについて

ODBC 接続のターゲットインスタンスを DSN 名で選択します。インストールまたはアップグレード時のオプションとして、アンインストール時に DSN を保持するように選択できます。
新しい DSN を作成する代わりに、接続文字列の指定により別のインスタンス URL に接続できます。

手順

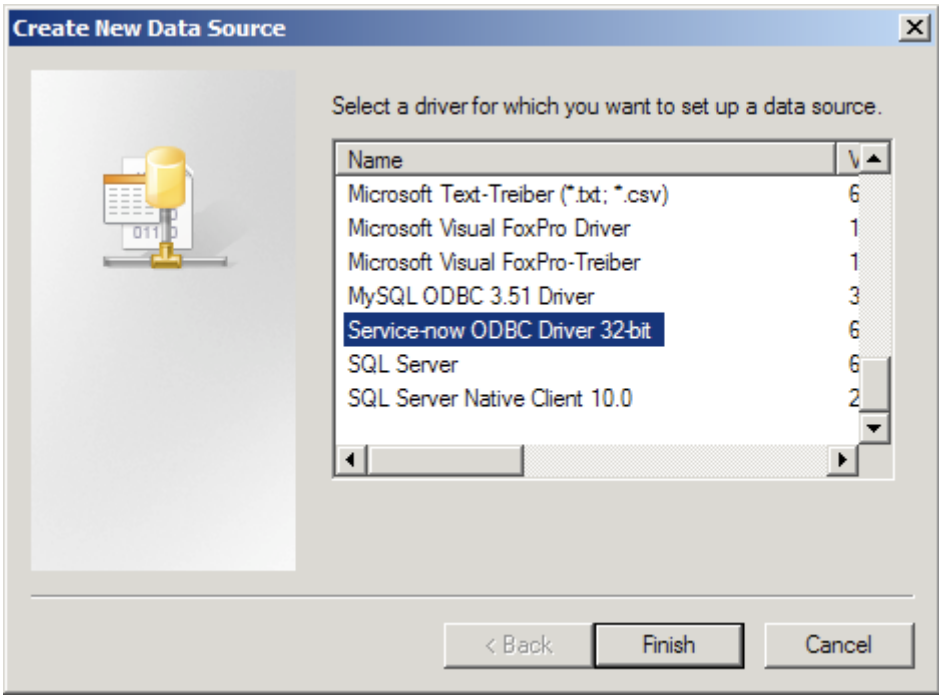
1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **Service-now ODBC** > **ODBC** アドミニストレーター.



2. システム DSN を作成するには、[システム **DSN]** タブを選択し、[追加] をクリックします。

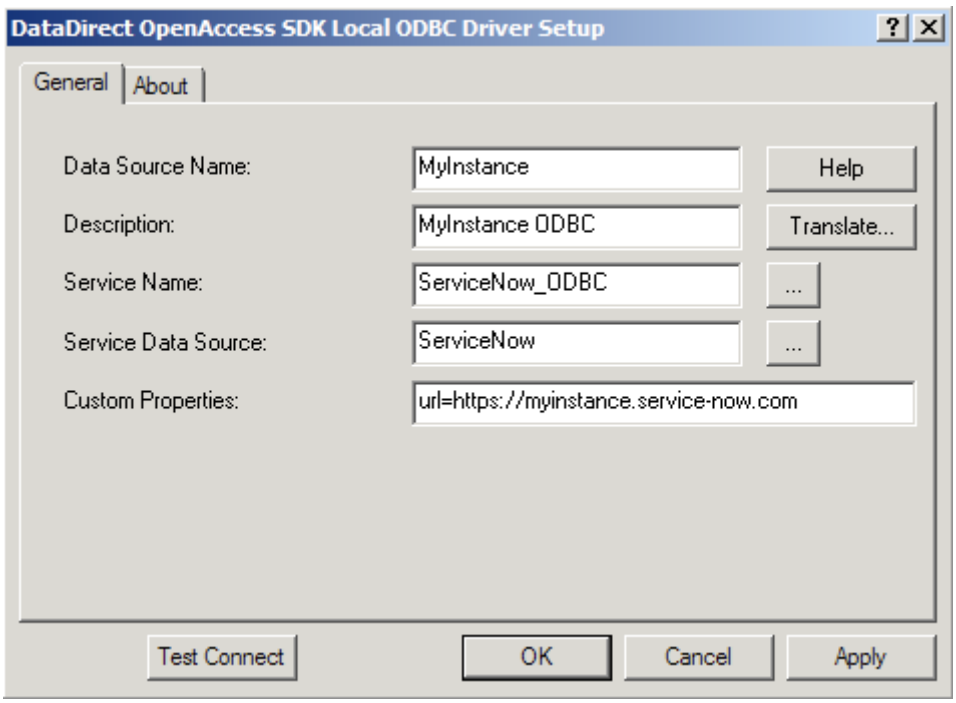
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. リストから ServiceNow **[ODBC Driver 32-bit]** を選択し、[完了] をクリックします。
4. [カスタムプロパティ **(Custom Properties)]** フィールドで url= パラメーター値を指定し、ドライバーとその接続 URL を設定します。

   例: `url=https://myinstance.service-now.com`



5. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果
これで新しいドライバーを使用できるようになりました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続文字列の指定

DSN を定義する代わりに接続文字列を指定することもできます。

始める前に
接続文字列を指定するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて
これは、さまざまなインスタンス URL に接続するための代替方法です。「新しい DSN の作成」も参照してください。

接続文字列は次の形式に従う必要があります。

```
Driver=ServiceNow ODBC driver
 32-
bit;ServiceName=ServiceNow_ODBC;UID=youruser;PWD=yourpassword;ServerDataS
ource=ServiceNow;CustomProperties=url=https://<instance>.service-now.com
```

ドライバー名は 32 ビット版と 64 ビット版のどちらの ODBC Driver を使用しているかによって異なります。ドライバー名を決定するには、次の手順を実行します。

手順

1. Windows で、 開始 > プログラム > **Service-now ODBC** > **ODBC** アドミニストレーター.
2. [システム **DSN]** タブを選択します。
3. ServiceNow データソースの [ドライバ] 列の値をメモします。

ODBC Driver のログ記録レベルの構成

ODBC Driver のログ記録レベルを変更します。

始める前に
ログ記録レベルを構成するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

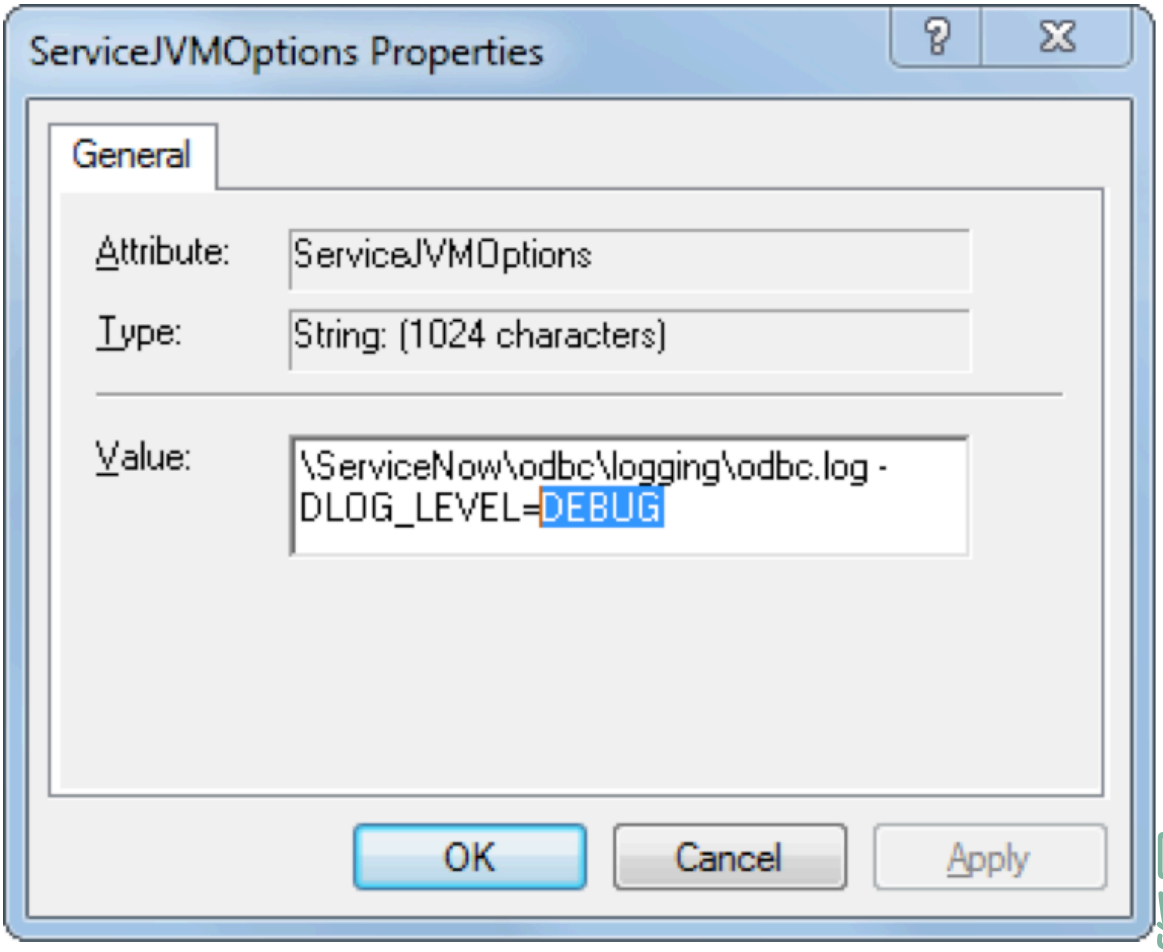
必要なロール：なし

手順

1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > 管理コンソール.
2. [ODBC バージョン 1.0.8]管理コンソール内で、 **<your_installation_directory>** > サービス > **ServiceNow_ODBC** > サービス設定 > **IP** パラメータ.
3. [ODBC バージョン 1.0.8] **[ServiceJVMOptions]** 属性の値を目的のログ記録レベルに変更します。

自動翻訳

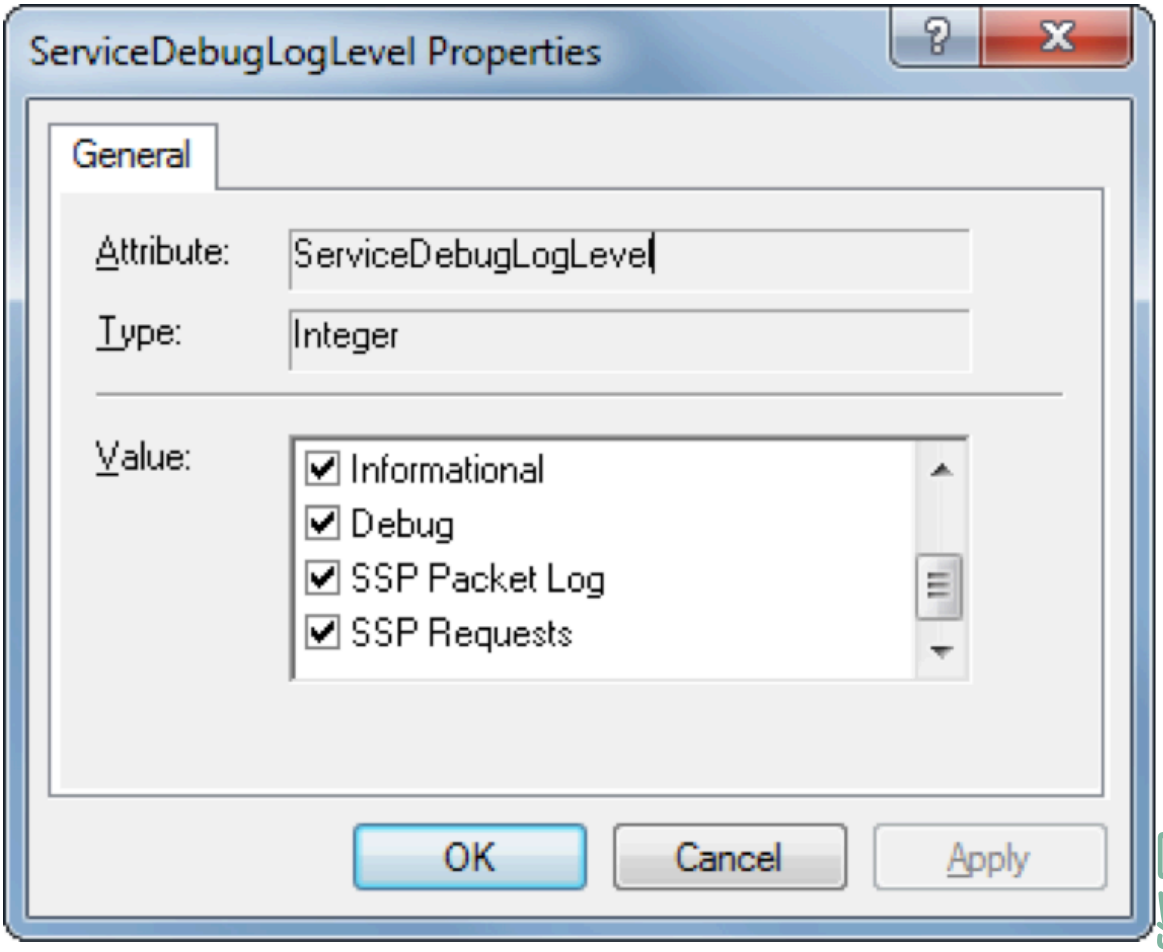
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 管理コンソール内で、 **<your_installation_directory>** > サービス > **ServiceNow_ODBC** > サービス設定 > ログ記録.
5. 利用可能なすべてのチェックボックスをオンにして、**[ServiceDebugLogLevel]** の値を変更します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. Windows で、 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > **ODBC** アドミニストレーター.
7. ODBC アドミニストレーターで、[トレース **(Tracing)]** タブを選択します。
8. [ログファイルパス **(Log File Path)]** フィールドのパスに移動し、古いログファイルを削除します (存在する場合)。
9. [今すぐトレースを開始 **(Start Tracing Now)]** をクリックします。
10. ServiceNow インスタンスの SOAP デバッグを有効にします。

関連情報

デバッグ用のログの生成

着信 SOAP エンベロープのデバッグ

大規模データセット向けの **ODBC Driver** の構成

2 つの ODBC Driver プロパティを設定して、大量のデータを返すクエリの使用時に発生するエラーに対処できます。

始める前に
大量のデータセットに対して ODBC Driver を構成するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて
これらのプロパティは、Windows オペレーティングシステムで利用可能な ODBC 管理コンソールを使用して設定されます。詳細については、「ODBC 管理コンソールプロパティ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > 管理コンソール.
2. 移動先 データソース設定 > **ServiceNow** > **IP** パラメータ.
3. **"Timeout**/タイムアウト" プロパティを glide.soap.request_processing_timeout.odbc の値 (秒単位) より大きい値に設定します。
   ODBC はインスタンスで SOAP 呼び出しを行いま
   す。glide.soap.request_processing_timeout.odbc システム プロパティは、ODBC ドライバのタイムアウトです。
4. 移動先 サービス > サービス設定 > **SQL** エンジン パラメーター.
5. **[ServiceSQLDiskCacheMaxSize]** プロパティを増やします。
   通常、50,000 行を返すクエリを実行する場合は、デフォルト値の 200 MB を増やす必要があります。

プロキシサーバーを使用するための **ODBC** の構成

ODBC Driver は、HTTP プロキシサーバー経由で HTTP SOAP 要求をルーティングするように構成できます。

始める前に

プロキシサーバーを使用するように ODBC を構成するには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて

プロキシサーバーを設定すると、プロキシサーバーから ServiceNow インスタンスへのアクセスを制御でき、使用率の統計情報を監視できるネットワーク構成も可能です。ただし、プロキシサーバーは ServiceNow インスタンスに対する ODBC Driver の要求をインターセプトするため、ドライバーのパフォーマンスが低下します。

> **注:** この機能は、2011 年 7 月 15 日以降の ODBC Driver ビルドで使用することをお勧めします。

プロキシサーバーの使用を有効にするには、最初にプロキシサーバー設定のカスタムプロパティをデータソースに定義する必要があります。その後、これらのプロパティは特定の ODBC DSN によって上書きされます。

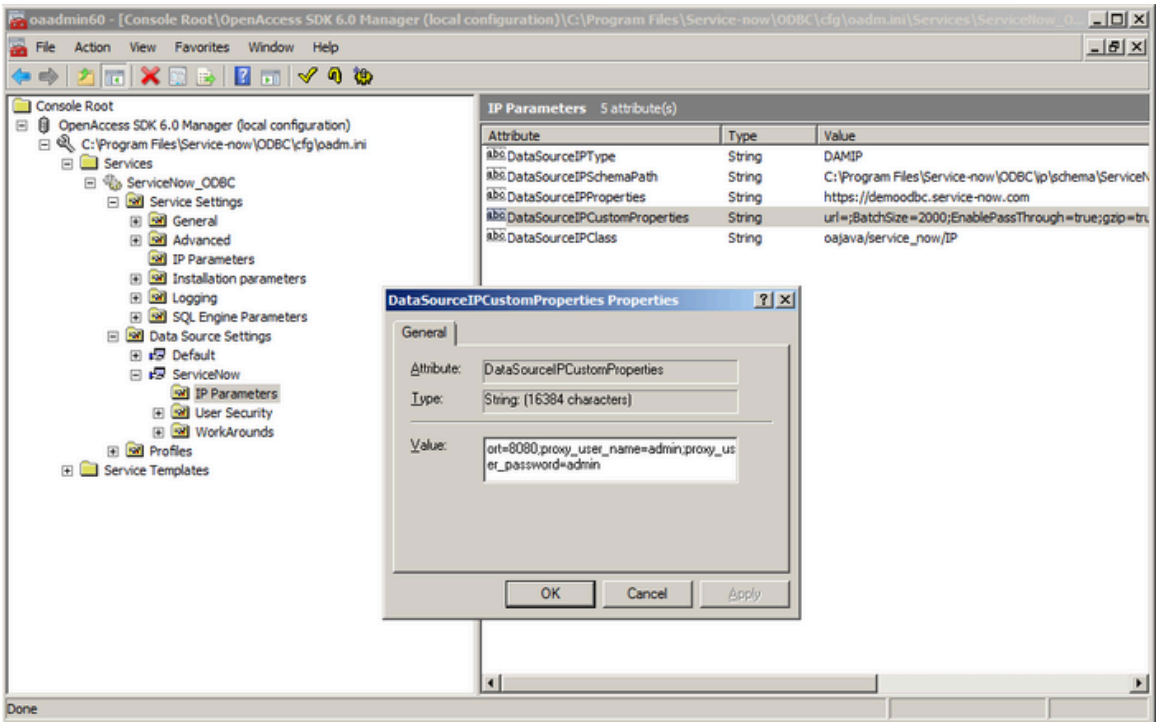
手順

1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > 管理コンソール.
2. コンソールのルートツリーを `ServiceNow ODBC Manager\Manager\<インストール場所>\Services\ServiceNow_ODBC\Data Source Settings\ServiceNow\IP Parameters` に展開します。
3. **DataSourceIpCustomProperties** 属性をダブルクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ODBC プロキシ



4. 次のカスタムプロパティを設定して、ODBC プロキシサーバーを設定します。

プロキシサーバーを使用するための **ODBC** の構成

プロパティ名	説明	例
proxy_host	プロキシサーバーのホスト名または IP アドレス。	proxy.company.com
proxy_port	プロキシサーバーのポート番号。	8080
proxy_user_name	プロキシ構成の認証で使用されるプロキシサーバーのユーザー名または ID。	odbc_user
proxy_user_password	プロキシ構成の認証で proxy_name 値とともに使用されるプロキシサーバーのユーザーパスワード。	*****

ODBC プロパティの設定

次のプロパティは接続をカスタマイズし、ODBC Driver のクエリ動作を最適化します。

ODBC アドミニストレーターのプロパティ

これらのプロパティは、DSN の ODBC データソースアドミニストレーターまたはログインダイアログボックスの [カスタムプロパティ] フィールドで指定します。

ODBC アドミニストレーターのプロパティ

プロパティ名	説明	デフォルト
BatchSize	インスタンスからの結果のフェッチ中に、このバッチサイズはすべての要求でフェッチするレコードの数を設定します。通常、デフォルトは通常のサイ	2000

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ODBC アドミニストレーターのプロパティ (続く)

プロパティ名	説明	デフォルト
	ズの行に最適な数です。レコードのフェッチ中にこの値を小さくする必要があることを示すエラーが発生した場合は、この値を変更してメモリ使用率とパフォーマンスを最適化できます。	
url	これは ServiceNow インスタンス URL またはエンドポイントです。接続する ServiceNow インスタンスへの URL を示す必要があります。	https://demo.service-now.com
EnablePassThrough	集計関数の処理中にパススルーモードを有効にすると、Aggregate Web Service を直接呼び出すことができ、最適化された迅速な応答が得られます。可能な場合は常に、このモードを有効にしておく必要があります。	true
debug	デフォルトでは、デバッグメッセージは生成されません。ISQL コンソールウィンドウから ODBC Driver を操作して HTTP 関連のすべてのネットワーク通信トラフィックをコンソールウィンドウに書き込む場合は、[デバッグ] を **[true]** に設定します。このオプションを使用する場合は、データが圧縮されないように **[gzip]** を **[false]** に設定します。それ以外の場合、データを読み取ることはできません。	false
gzip	デフォルトでは、ネットワーク経由で送信されるデータは圧縮されます。**[debug]** パラメーターを使用してネットワーク通信を **[ISQL]** コンソールに書き込む場合は、データが圧縮されないように **[gzip]** を設定します。	true
timeout	ソケットの非アクティブタイムアウト値を秒単位で指定します。	175
retries	ソケットのタイムアウトエラーが発生した場合に失敗した要求を再試行する回数。	0
mode	複雑な where 句を解析するために使用されるクエリモード。AND または OR 演算子を使用するように ODBC Driver のクエリモードを設定できます。 OR 演算子は複雑なクエリとの互換性が最も優れていますが、通常は AND 演算子の方が効率が高く、データベース操作の回数が少なくなります。	or
EnableDBSchema	ODBC Driver はインスタンスからテーブル名を取得するデータベーススキーマ要求を発行します。この機能はデフォルトで有効になっているため、Microsoft Excel などのレポートアプリケーションは、クエリ元のテーブルのリストを表示できます。特にインスタンスに多数のテーブルがある場合、このプロパティを無効にすると、レポートアプリケーションから送信される最初のクエリのパフォーマンスが向上する可能性があります。	true
ExtendedSchemaCache	ODBC Driver は各接続のデータベーススキーマをキャッシュします。新しい接続が作成されると、ド	false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ODBC アドミニストレーターのプロパティ (続く)

プロパティ名	説明	デフォルト
	ライバーはデータベースキャッシュをクリアし、インスタンスから再度データベーススキーマをクエリします。この動作は、別のデータソースへの接続時またはテーブルスキーマの変更時に役立ちます。一貫性のあるスキーマを使用して単一のデータソースをクエリする場合にこのプロパティを有効にすると、**[EnableDBSchema]** が **[true]** の場合を含め、不要なスキーマ要求が送信されなくなります。	
LegacyDurationTimeZone	ODBC Driver は、バージョン 1.0.10 以降、デフォルトで UTC タイムゾーンのタイマーと期間のフィールド値を返します。このプロパティが **[true]** の場合、ODBC Driver は UI に示されている表示値を使用してタイマーと期間のフィールド値を返します。このプロパティを使用して、表示値に依存する従来の統合との互換性を維持できます。この動作の詳細については、KB0583982 を参照してください。	false

接続でこれらのプロパティを複数使用する必要がある場合は、セミコロン (;) 区切り文字で設定を連結します。たとえば、次の文字列は、URL を特定のインスタンスに設定してバッチサイズを 200 レコードに変更します。

```
url=https://demo1234.service-now.com;BatchSize=200
```

ODBC 管理コンソールプロパティ

これらのプロパティには、 Windows の [スタート] メニューにある ODBC 管理コンソールからアクセスできます。 **ServiceNow ODBC** > 管理コンソール.

ODBC 管理コンソールプロパティ

プロパティ名	説明	デフォルト
ServiceJVMOptions (Services\Service Settings\IP Parameters)	JVM コマンドラインのプロパティとオプション。たとえば、最大 Java ヒープサイズを変更するには、-Xmx150m パラメーターを変更します。	-Xms64m -Xmx150m
DataSourceIPProperties (OpenAccess SDK 6.0 Manager\<インストール場所>\Services\ServiceNow_ODBC\Data Source Settings\ServiceNow\IP Parameters)	すべての ODBC 接続に対するインスタンス URL のグローバルデフォルト。柔軟性を高めるために、デフォルトの URL 構成で新しい DSN を作成することもできます。	https://demo.service-now.com
ServiceSQLDiskCacheMaxSize (Services\Service Settings\SQL Engine Parameters)	ディスクキャッシュファイルの最大サイズを指定します。「`ディスクキャッシュファイルのサイズ制限に達しました (Disk Cache file size limit has reached)`」エラーが表示された場合は、この値を増やします。	200
Timeout	ソケットの非アクティブタイムアウト値を秒単位で指定します。「`GetKeys が`	175

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ODBC 管理コンソールプロパティ (続く)

プロパティ名	説明	デフォルト
(Data Source Settings \ServiceNow\IP Parameters)	失敗しました（ソケットタイムアウト）(GetKeys failed (Socket timeout))」エラーが表示された場合は、この値を glide.soap.request_processing_timeout.odbc より大きくします。	
ServiceJVMLocation	ODBC Driver によって使用される JRE の場所が含まれています。	このプロパティのデフォルト値はありません。インストール時に JRE の場所を入力するように求められます。

サービス **JVM** オプション

-Xmx などの標準 JVM 引数に加えて、これらの値を ServiceJVMOptions パラメーター内で指定できます。

サービス **JVM** オプション

オプション	説明	デフォルト
-DLOG_FILE_NAME	ODBC ログファイルの場所。このプロパティは、ODBC Driver 1.0.7.1 リリース以降で使用できます。	${user.home}\AppData\Local\ServiceNow\odbc\logging\odbc.log
-DLOG_LEVEL	ODBC ログファイルへの書き込み時に使用されるログ記録レベル。ログ記録レベルは、TRACE、INFO、ERROR などの Logback レベルを使用して指定できます。このプロパティは、ODBC Driver 1.0.8 リリース以降で使用できます。	INFO

インスタンスのプロパティ

管理者は、ServiceNow インスタンスでプロパティを追加するか、既存のプロパティを変更することで、これらのプロパティを設定できます。

インスタンスのプロパティ

プロパティ名	説明	デフォルト
glide.db.max.aggregates	集計関数によって返される行の最大数。	100000
glide.db.max_view_records	データベースビューによって返される行の最大数。	10001

ODBC Driver のテスト

ODBC Driver を設定した後、ドライバーが ODBC ユーザーとしてベースインスタンスに接続でき、ターゲットテーブルからデータをクエリできることをテストします。

自動翻訳

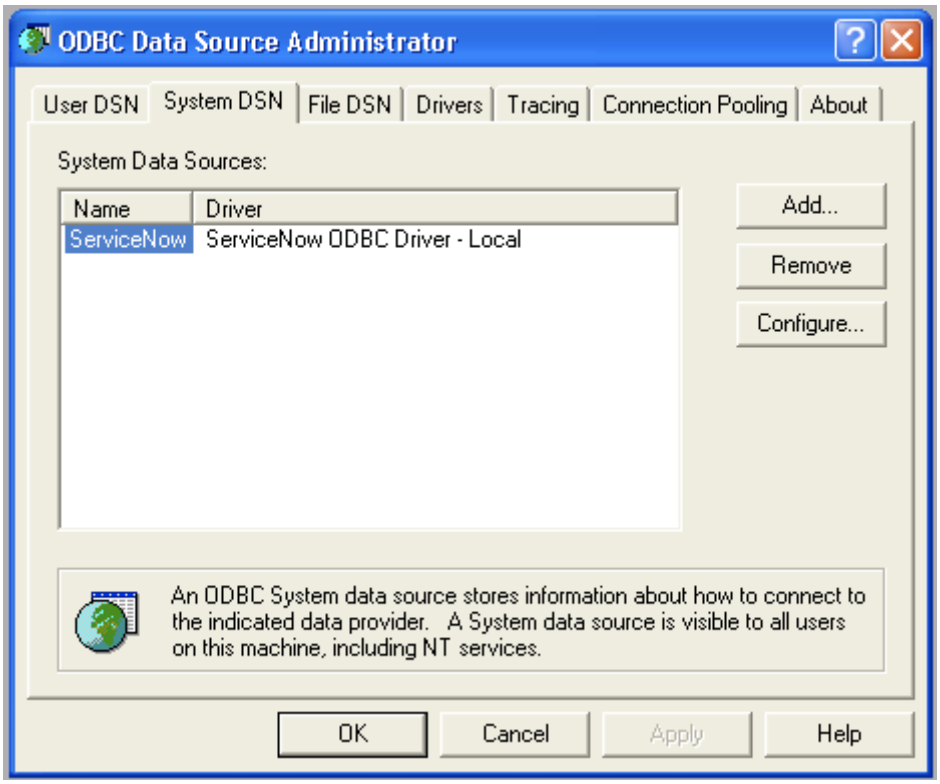
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ODBC Driver をテストするには Windows コンピューターに対する管理者レベルのアクセス権が必要です。

このタスクについて
接続をテストするには、ODBC アドミニストレータープログラムを実行します。

手順

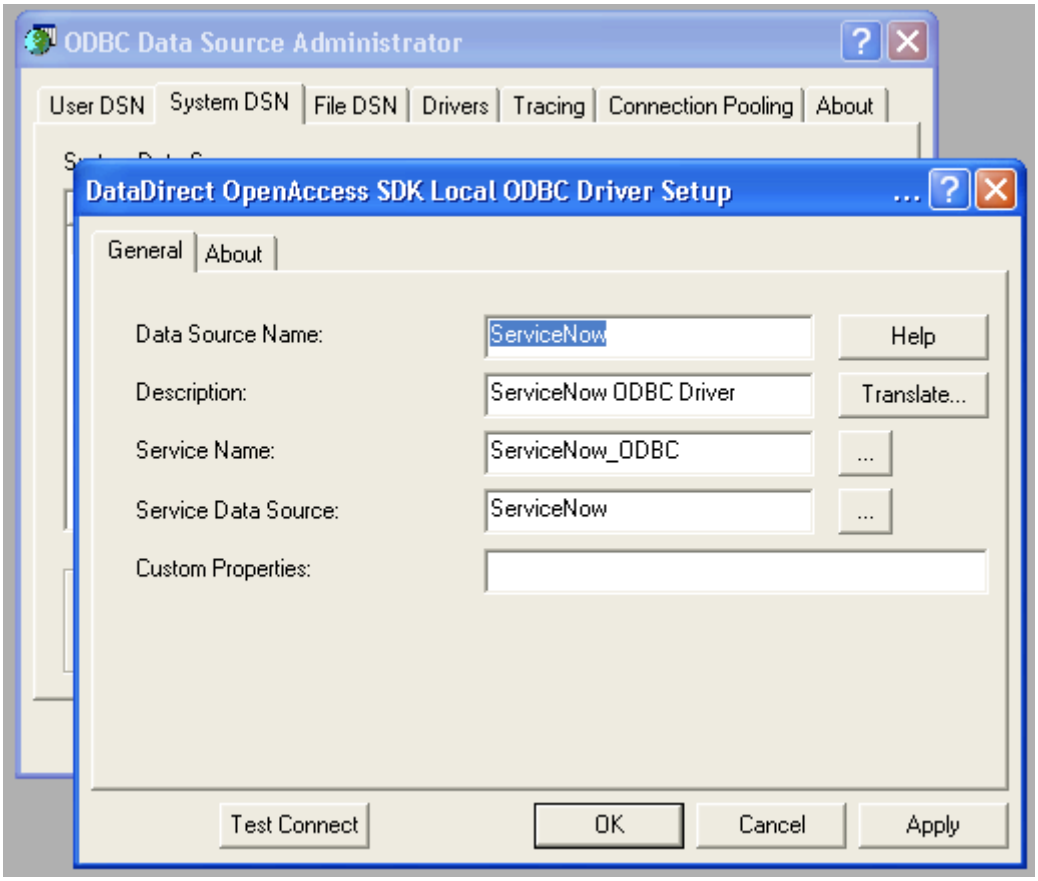
1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > **ODBC** アドミニストレーター.
   ServiceNow ODBC データソースはシステムデータソースとしてインストールされます。
2. [システム **DSN]** タブを選択し、**[ServiceNow]** データソースを選択します。
3. [構成] をクリックします。



4. [ODBC Driver セットアップ] ダイアログボックスで [テスト接続 **(Test Connect)]** をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

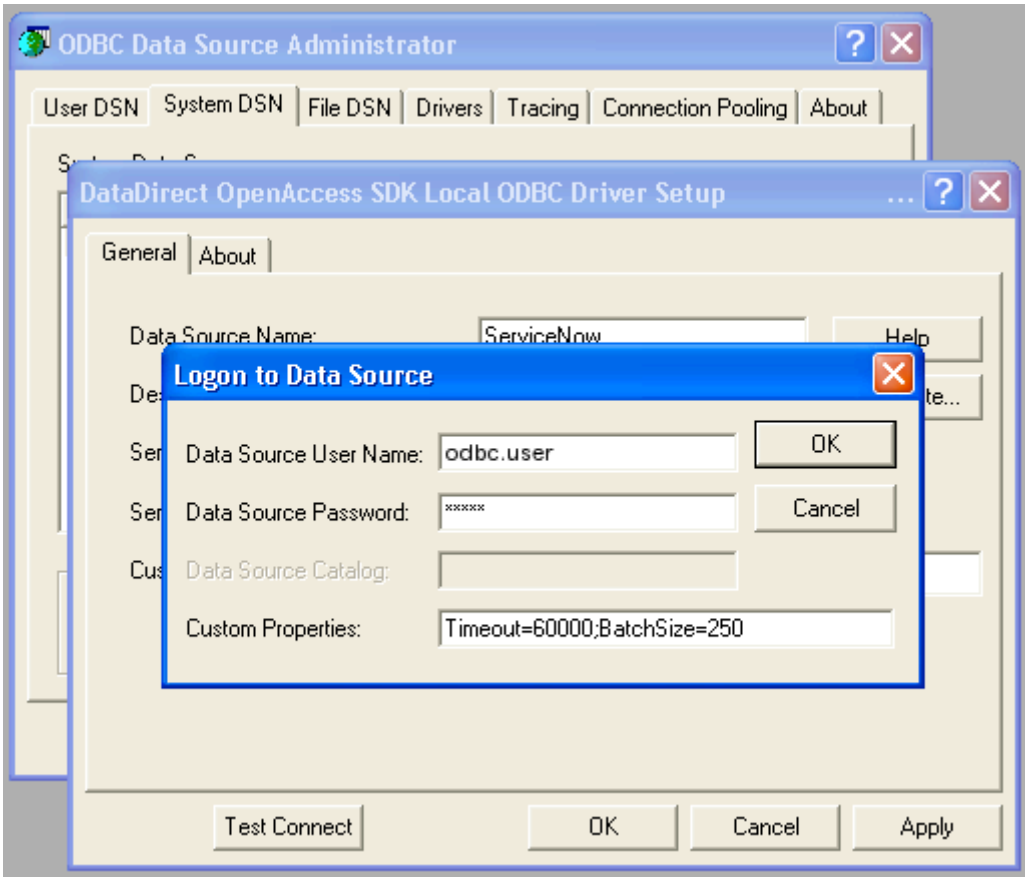


5. ログイン資格情報を入力します。

   これらは、作成した ODBC ユーザーの通常の ServiceNow ベースシステムログイン資格情報です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [OK] をクリックしてデータソースにログインします。

7. 成功メッセージが表示されたら、もう一度 **[OK]** をクリックします。

関連情報

ODBC Driver の構成

デバッグ用のログの生成

ODBC Driver を使用しているときに予期しない動作が発生した場合は、デバッグログを有効にして、問題の特定に役立てることができます。

始める前に

ODBC Driver のログ記録レベルの構成

必要なロール：admin

このタスクについて

デバッグログは、カスタマーサービス & サポートを使用してインシデントを送信するときに役立ちます。

デバッグログを有効にする場合は、インストールされている ODBC Driver、Windows オペレーティングシステム、および ODBC Driver で使用しているクライアントアプリケーションのバージョンとビット数 (32 ビットまたは 64 ビット) をメモします。

デバッグログを生成するには、次の手順に従います。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ODBC Driver を使用している可能性があるすべてのアクティブなアプリケーションを閉じます。
2. オペレーティングシステムに基づいて、これらのパスのいずれかに移動します。
   - *Windows 7* の場合：`C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\ServiceNow\odbc\logging`
   - *Windows XP* 以前の場合：`C:\Program Files\ServiceNow\ODBC\%LOCALAPPDATA%\ServiceNow\odbc\logging`
3. 既存のログデータを削除して、関連する情報のみをログに記録するようにします。
4. 予期しない動作を引き起こすクエリを実行し、すぐにアプリケーションを閉じてログファイルを確認します。

関連情報

ODBC Driver のログ記録レベルの構成

クエリのテスト

ユーザーが ODBC を使用してインスタンスに要求を送信する適切な権限を持っていることを確認するには、Interactive SQL を使用してクエリを実行します。

このタスクについて

テストでは、レコードの [番号] 値を使用するクエリなど、レコードを 1 つだけ返すクエリを使用します。

手順

1. ベースシステムインスタンスで、 インシデント > すべて.
2. インシデントレコードの [番号] を記録します。
3. ODBC ドライバーがインストールされているコンピューターで、 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > インタラクティブ **SQL**.
4. 「`connect "odbc.user"*"password"@ServiceNow`」と入力し、**[Enter]** を押します。
5. 記録したインシデント番号に置き換えて、次のテキストを入力します。
   `番号が <インシデント番号> のインシデントから簡単な説明を選択`
6. **[Enter]** を押します。

タスクの結果

インスタンスからの応答として、インシデントレコードの簡単な説明が返されます。

ODBC のトラブルシューティング

ODBC Driver の問題を解決するには、次のトラブルシューティングのリソースを確認してください。

トラブルシューティング情報については、ODBC Driver の問題のトラブルシューティング と一般的な ODBC エラーメッセージのトラブルシューティング に関するナレッジベース記事を参照してください。

関連情報

ODBC の概要

ODBC ユーザー アカウントの作成と odbc ロールの割り当て

odbc ロールに対する ACL ルールの定義

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ODBC Driver の構成
ODBC Driver のテスト

ODBC の動作

ODBC ドライバーをテストした後、それを使用して、さまざまなクライアントアプリケーションからインスタンスデータベースをクエリーできます。

ODBC 集計関数

ODBC Driver はデータのダウンロードとローカルへの集計関数の適用を試行します。ODBC Driver は次の集計関数をサポートしています。

- COUNT
- SUM
- MIN
- MAX
- AVG

集計 Web サービスプラグインをアクティブ化して、ODBC ドライバーを介した集計クエリのパフォーマンスを向上させます。

ODBC 日付と時刻の値

インスタンスと ODBC Driver がインストールされているマシンは、2 つの異なるタイムゾーンを使用する場合があります。ODBC Driver によって返される日付と時刻の値は ServiceNow インスタンスのタイムゾーンではなく、ドライバーを使用するアプリケーションのローカルタイムゾーンです。

インスタンスと ODBC Driver をホストするマシンの両方に対して、必ず正確なタイムゾーンでクエリしてください。GlideRecord はインスタンスのタイムゾーンに基づいてフィルタリングを実行し、ODBC クライアントは Windows のタイムゾーンに基づいてフィルタリングされます。

たとえば、インスタンスが中部標準時 (CST) で、ODBC Driver が太平洋標準時 (PST) のマシンにインストールされている場合があります。インシデントが `2014-05-20 10:00:00` にインスタンスで作成されると、インシデントが作成された時間は両方のタイムゾーンのユーザーに `10:00:00` と表示されます。ただし、作成日時でこのインシデントを正常にクエリするには、PST のマシンのユーザーは `2014-05-20 10:00:00` ではなく、`2014-05-20 08:00:00` をクエリする必要があります。

期間とタイマータイプのフィールドは、ODBC バージョン 1.0.10 以降、UTC タイムゾーンを使用して返されます。この変更の詳細については、「KB0583982」を参照してください。

ODBC 表示値

ODBC 表示値の使用方法と操作方法の例を以下に示します。

- [選択肢] 列と [参照] 列の表示値：

  タイプが [選択肢]、[参照]、[期間]、または [タイマー] の列をクエリする場合、表示値を含むプリフィックス `dv_` の追加の列を使用できます。たとえば、**[dv_caller_id]** を選択すると、sys_user テーブルに別の要求を行うことなく、インシデントレコードから参照フィールドの **[sys_user.name]** 表示値を返すことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示値を返す

```
ISQL> select number, dv_caller_id, caller_id from incident;
number  dv_caller_id    caller_id

INC0000009      Rick Berzle     5137153cc611227c000bbd1bd8cd2006
INC0000010      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
INC0000011      Don Goodliffe   9ee1b13dc6112271007f9d0efdb69cd0
INC0000012      Don Goodliffe   9ee1b13dc6112271007f9d0efdb69cd0
INC0000013      Joe Employee    681ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7
INC0000014      Bow Ruggeri     f298d2d2c611227b0106c6be7f154bc8
INC0000015      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
INC0000016      Bow Ruggeri     f298d2d2c611227b0106c6be7f154bc8
INC0000017      Joe Employee    681ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7
INC0000018      Taylor Vreeland 46bac3d6a9fe1981005f299d979b8869
INC0000019      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
```

- フィルター条件の表示値：

  表示値はフィルター条件でも使用できます。ODBC Driver はクエリ条件を最適化し、サーバー上のフィルターを処理します。たとえば、**[dv_caller_id]** フィールド名を使用して、インシデントの **[caller_id]** フィールドに対する **[sys_user]** の表示値をクエリします。

  フィルター条件の表示値

```
ISQL> select number, dv_caller_id, caller_id from incident where dv_caller_id = 'Fred Luddy';
number  dv_caller_id    caller_id

INC0000010      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
INC0000015      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
INC0000019      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
INC0000027      Fred Luddy      5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005
```

- 集計クエリの表示値：

  集計クエリでは、group by または where 句で値を指定する場合に表示値を利用できます。たとえば、インシデントの **[caller_id]** フィールドのグループ化や、それに対するフィルターの指定などです。クエリはサーバーに渡されることによって最適化されます。

  集計クエリの表示値

```
ISQL> select count(*), dv_caller_id from incident where dv_caller_id is not null group by dv_caller_id;
COUNT(*)        dv_caller_id

1       Beth Anglin
4       Bow Ruggeri
4       Bud Richman
2       Carol Coughlin
1       Charlie Whitherspoon
1       Christen Mitchell
1       David Loo
3       Don Goodliffe
4       Fred Luddy
1       Jerrod Bennett
11      Joe Employee
1       Luke Wilson
1       Margaret Grey
1       Natasha Ingram
5       Rick Berzle
1       Sam Sorokin
1       Taylor Vreeland
```

テーブル名と列名のクエリ

クエリユーザーの読み取り ACL に基づいて、アクセス可能なテーブルと列のリストを取得できます。

- 次のクエリは、クエリを実行しているユーザーが読み取りアクセス権を持つすべてのテーブルの名前を返します。

```
select * from oa_tables;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クエリするテーブルの名前がわかっている場合、ユーザーが読み取りアクセス権を持つすべての列の名前をクエリできます。クエリユーザーはテーブルと列の両方の読み取りアクセス権を持っている必要があります。

```
select * from oa_columns where table_name='table_name';
```

注: oa_tables テーブルと oa_columns テーブルは内部 ODBC テーブルです。これらのテーブルは ODBC Driver を介してのみアクセスできます。

読み取りレプリカへの **ODBC** 呼び出しのルーティング

クエリルーティングは、プライマリ DB で多数の DB CPU サイクルを消費する SELECT クエリのプライマリデータベースの負荷を軽減するために実行されます。詳細については、「ServiceNow 読み込みレプリカデータベースの概要」を参照してください。

ODBC 呼び出しをリードレプリカにルーティングするには、 すべて > セカンダリデータベース > セカンダリ **DB** カテゴリ をクリックし、 **ODBC** を `true` に設定します。

SQL クエリのフィールド長の拡張

ODBC Driver は、ServiceNow 辞書エントリで定義された最大長に SQL クエリのフィールド長を制限します。データの切り捨てを避けるために、最大フィールド長を増やすことができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ODBC ソースからのデータが辞書エントリのフィールドサイズを超える場合、ServiceNow はフィールドサイズに合わせてクエリ出力を切り捨てます。データが切り捨てられた場合は、次を実行できます。

手順

1. 該当するフィールドの辞書エントリの最大長を増やします。
2. ODBC Driver を再接続して変更を反映します。

注: デフォルトでは、ODBC Driver は VARCHAR データタイプを使用してクエリ文字列出力を格納します。文字列が非常に大きくなると (約 16000 文字)、ODBC Driver は代わりに LONGVARCHAR データタイプを使用します。ただし、LONGVARCHAR データタイプで実行できる SQL コマンドのセットは限られていることに注意してください。たとえば、スカラーデータを使用するクエリはサポートされていません。

ODBC とクライアントアプリケーション

ODBC Driver を使用して他のアプリケーションからデータソースを作成する方法の例については、次のページを参照してください。

ODBC での **Interactive SQL** の使用

Interactive SQL アプリケーションを実行して接続をすばやく検証し、完全なアプリケーションを使用せずにクエリ結果をテストします。

始める前に
必要なロール：admin

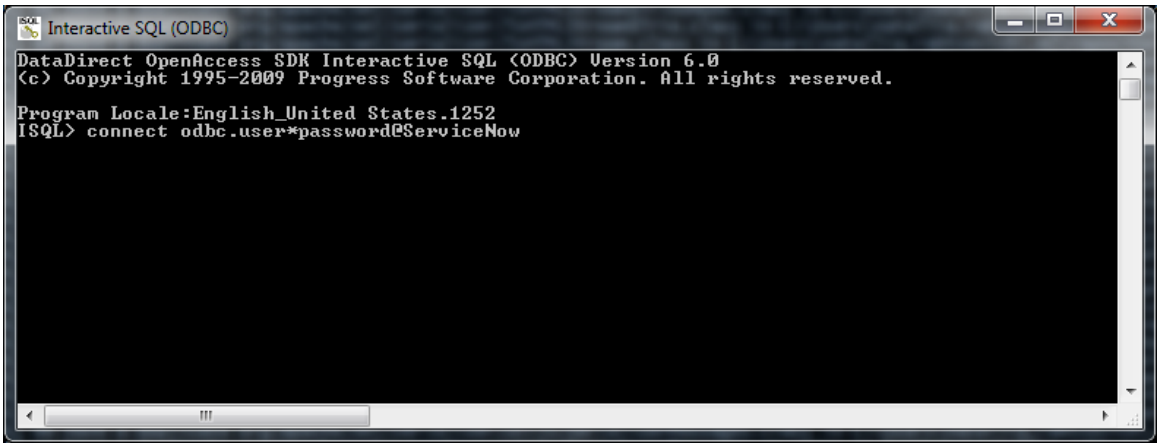
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [Windows] で、次に移動します。 開始 > プログラム > **ServiceNow ODBC** > インタラクティブ **SQL (ODBC)**.
2. 次のコマンドを入力し、ID `*password@DSNName` という特殊文字を含まない形式で適切なユーザー認証情報を選択して、ベースインスタンスに接続します。

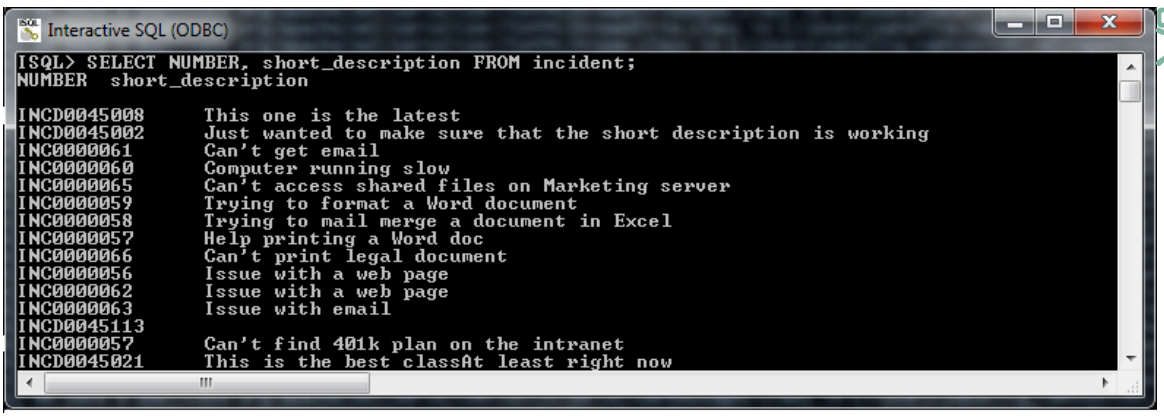
```
CONNECT odbcuser*password@ServiceNow
```



3. `SELECT` SQL コマンドを発行します。

```
SELECT NUMBER, short_description FROM incident;
```

クエリステートメントの最後に必ずセミコロンを含めてください。それ以外の場合は、「続き>」プロンプトが表示されます。



自動翻訳

返される最大行数の指定

デフォルトでは、ServiceNow は各 iSQL クエリで 100 行のデータのみを返します。さらに多くのデータを返す必要がある場合は、iSQL セッションの maxrows パラメーターを設定します。

すべての行を返すには、`maxrows` をゼロに設定します。

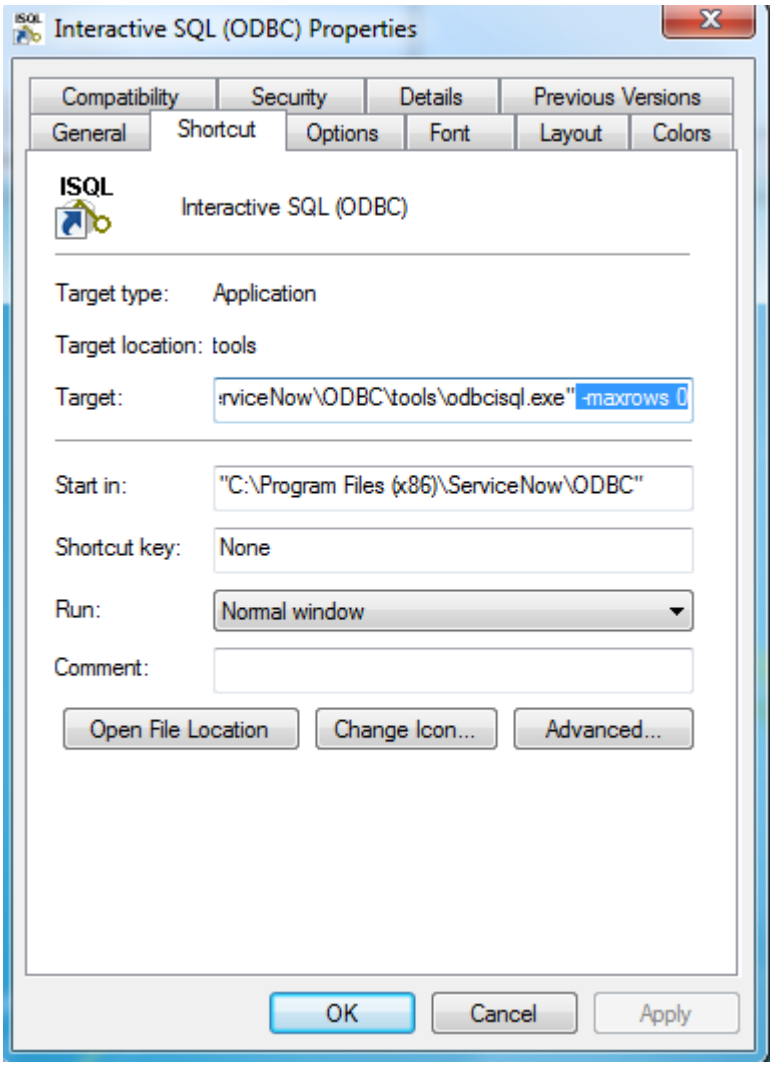
```
maxrows 0
```

100 を超える行を返すには、`maxrows` をより高い値に設定します。たとえば、500 行を返す場合は次のようにします。

```
maxrows 500
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ショートカットから Interactive SQL コンソールを実行する場合は、ショートカットの [ターゲット] を変更して、目的の値を持つ *-maxrows* パラメーターを含める必要があります。



SQL サポート

ODBC Driver には Progress Software の部門である DataDirect のサードパーティ SQL/ODBC エンジンが組み込まれています。

適切な SQL 構文については、DataDirect SQL のリファレンス を参照してください。

注: ServiceNow ODBC Driver は `SELECT` ステートメントのみをサポートしています。`CREATE` や `ALTER` などの他の SQL ステートメントは、ドライバーによって無視されます。

SQL Server での ODBC Driver

SQL Server で ServiceNow ODBC Driver をリンクサーバーとして使用します。

SQL Server で ODBC Driver をリンクサーバー として使用すると、SQL Server は ODBC Driver を介して ServiceNow インスタンスからテーブルを直接クエリできます。SQL Server 2008 および 2012 で説明されている手順のみを使用してください。他のバージョンの SQL Server では、予期しない動作が発生する可能性があります。予期しない動作が発生した場合は、リンクサーバーのトラブルシューティングに関するナレッジベース記事 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須権限

SQL Server のリンクサーバーに必要な権限の詳細については、MSDN のブログ を参照してください。

注: SQL Server で権限エラーが発生した場合はこの情報を確認してください。

ODBC SQL Server ビデオチュートリアル

SQL リンクサーバーを使用した ODBC Driver の構成とトラブルシューティングに関するビデオチュートリアルをご覧ください。

ODBC Driver を使用した Microsoft SQL リンクサーバーの構成

ODBC Driver を使用した Microsoft SQL リンクサーバーの構成

Microsoft SQL リンクサーバー権限のトラブルシューティング

Microsoft SQL リンクサーバー権限のトラブルシューティング

SQL Server の構成

次の例は、Windows Server 2008 にインストールされた SQL Server 2008 で実行された構成です。

始める前に

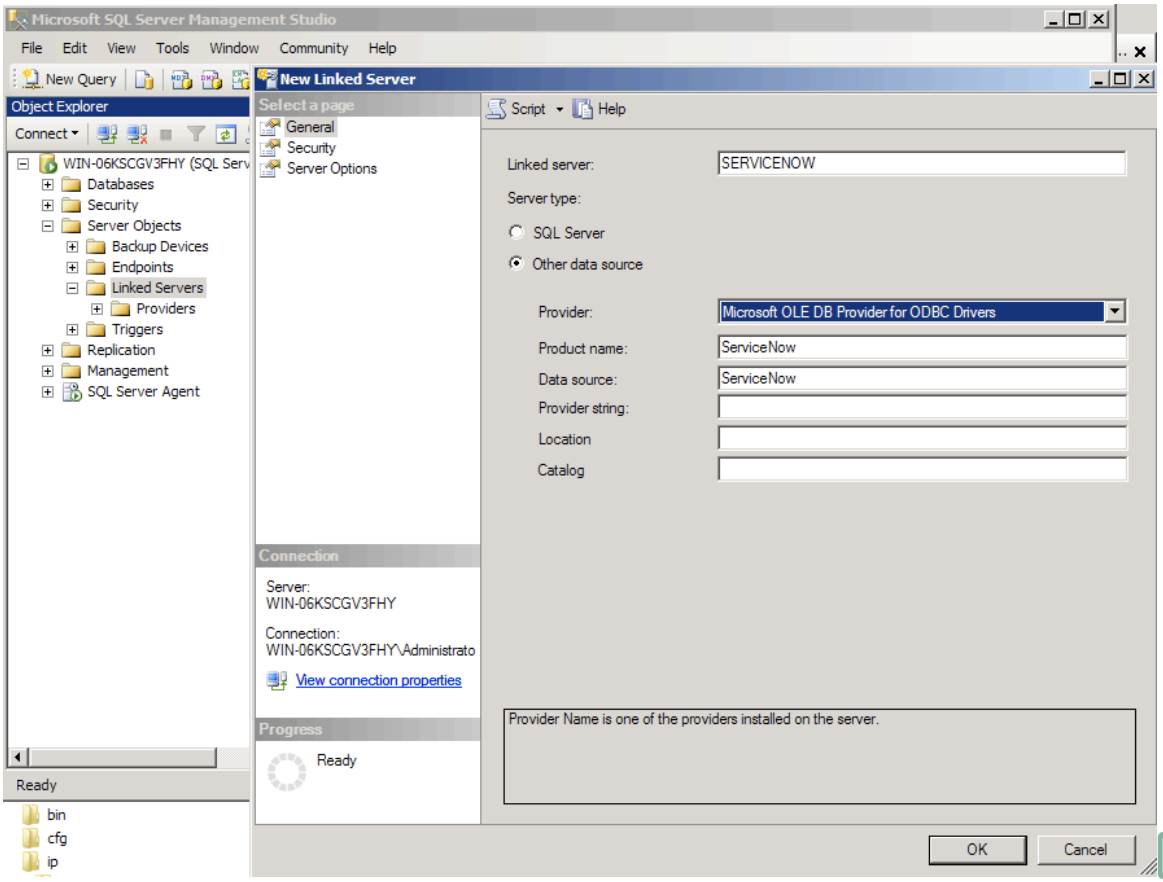
ODBC Driver は、SQL Server がインストールされているものと同じコンピューターにインストールする必要があります。

手順

1. SQL Server Management Studio アプリケーションを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
2. リンクするデータベースにログインします。
3. 右クリック サーバーオブジェクト > リンクサーバー.
4. [新規リンクサーバー **(New Linked Server)]** をクリックします。
5. ダイアログに次の値を入力します。
   - リンクサーバー：`SERVICENOW`。これはリンクサーバーの名前です。
   - プロバイダー：`Microsoft OLE DB Provider for ODBC Drivers`
   - 製品名：`ServiceNow`。これは識別子です。適切な値を入力します。
   - データソース：`ServiceNow`。これは DSN の名前です。

自動翻訳

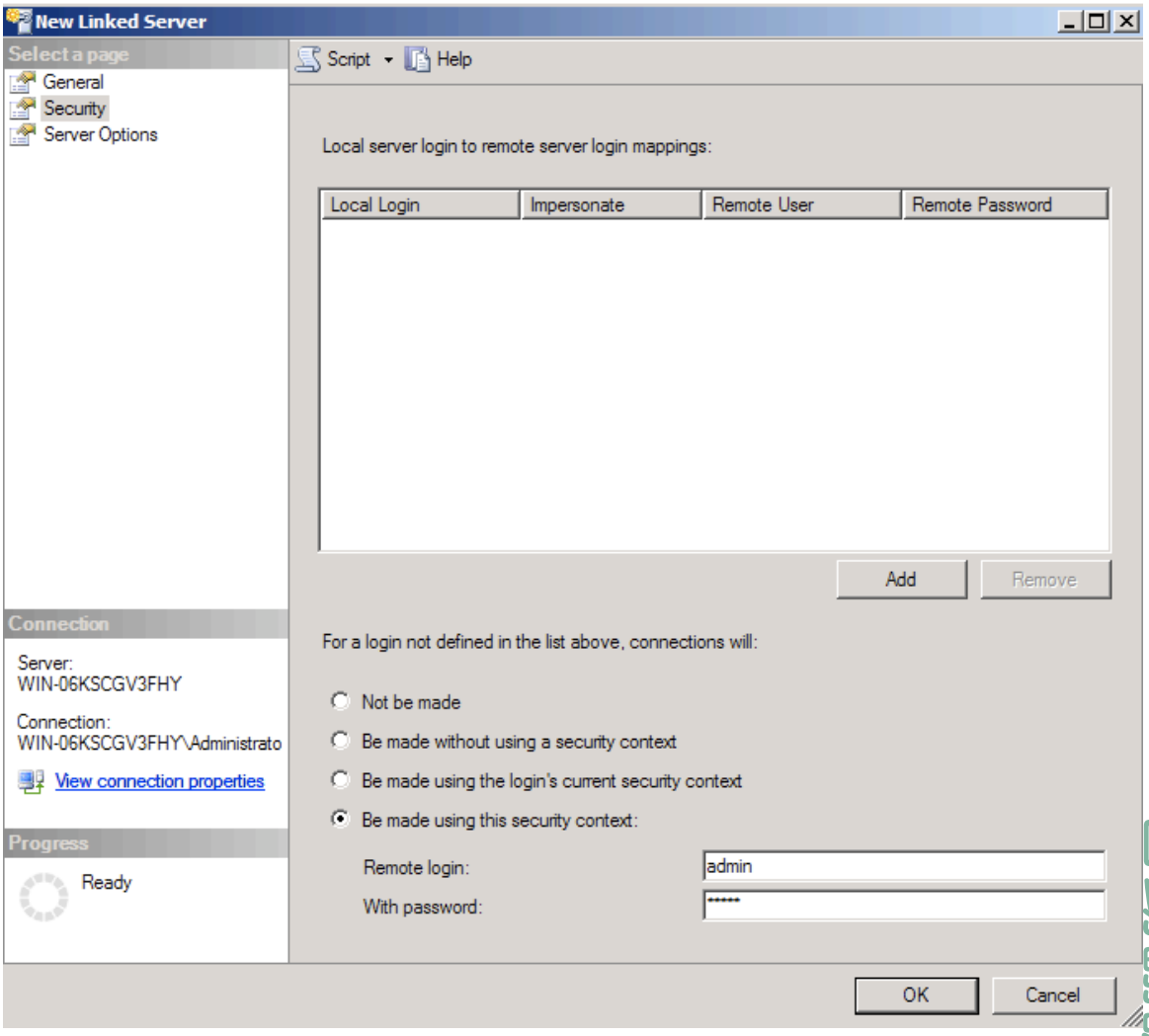
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [ページを選択] リストから **[Security]** を選択し、次のセキュリティ値を入力します。
   a. ログイン接続の場合は、[このセキュリティコンテキストを使用 **(Be made using this security context)]** を選択します。
   b. ServiceNow インスタンスに接続するためのユーザー名とパスワードを入力します。
   c. **[OK]** をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



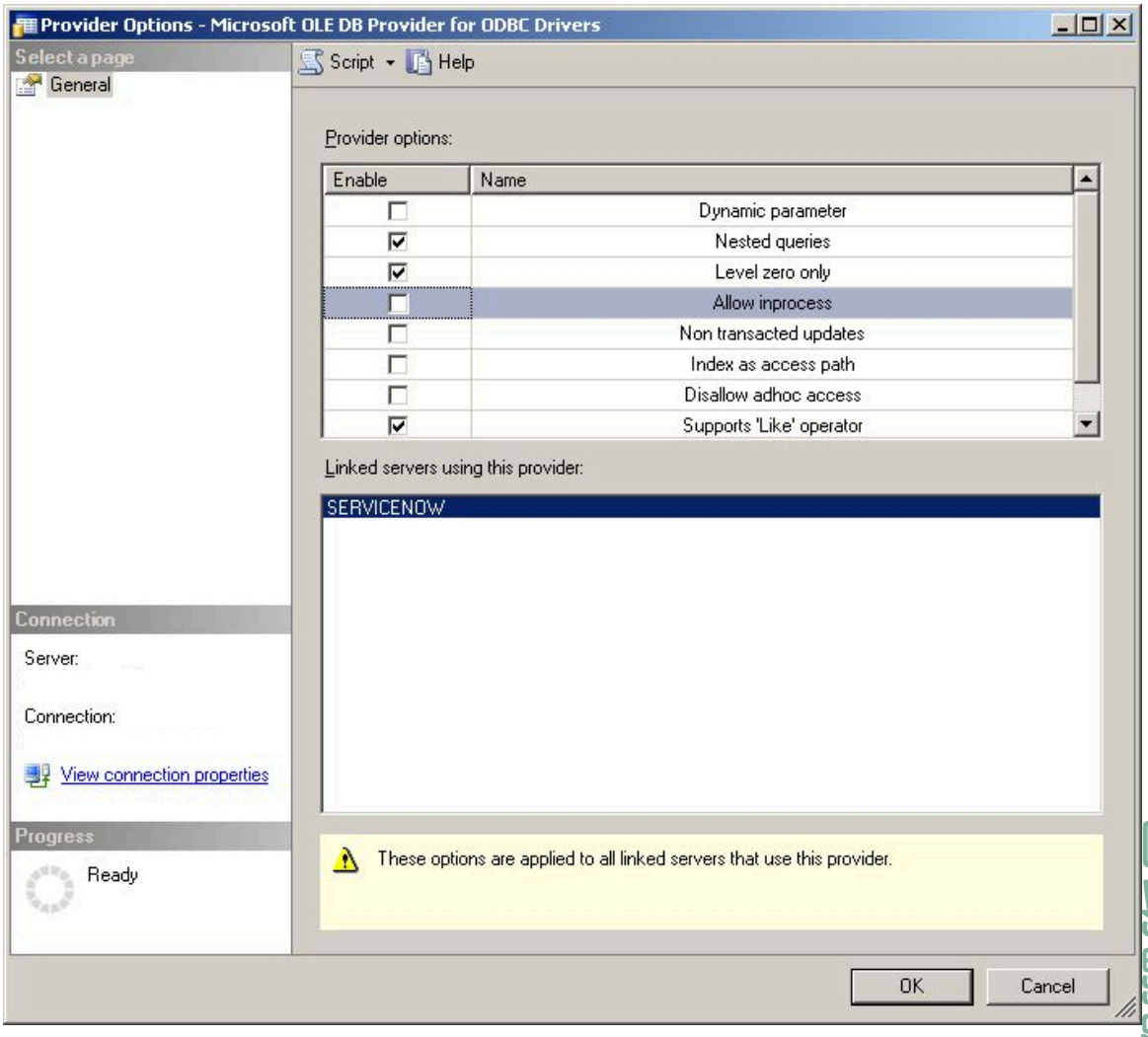
自動翻訳

7. 移動先 サーバーオブジェクト > リンクサーバー > プロバイダー をクリックし、[Microsoft **OLE DB Provider for ODBC Drivers**] をダブルクリックします。
8. 次のオプションを選択します。
   - ネストされたクエリ (Nested Queries)
   - レベル 0 のみ (Level zero only)
   - 「Like」演算子をサポート (Support 'Like' operator)

ヒント:

ServiceNow では、サードパーティのプロバイダーをアウトプロセスモード設定 (AllowInProcess=FALSE) で実行することを推奨しています。プロバイダーをインプロセス (SQL Server と同じプロセス内) で実行すると、プロバイダーに関する問題が SQL Server プロセスに影響を与え、SQL Server がクラッシュする可能性があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

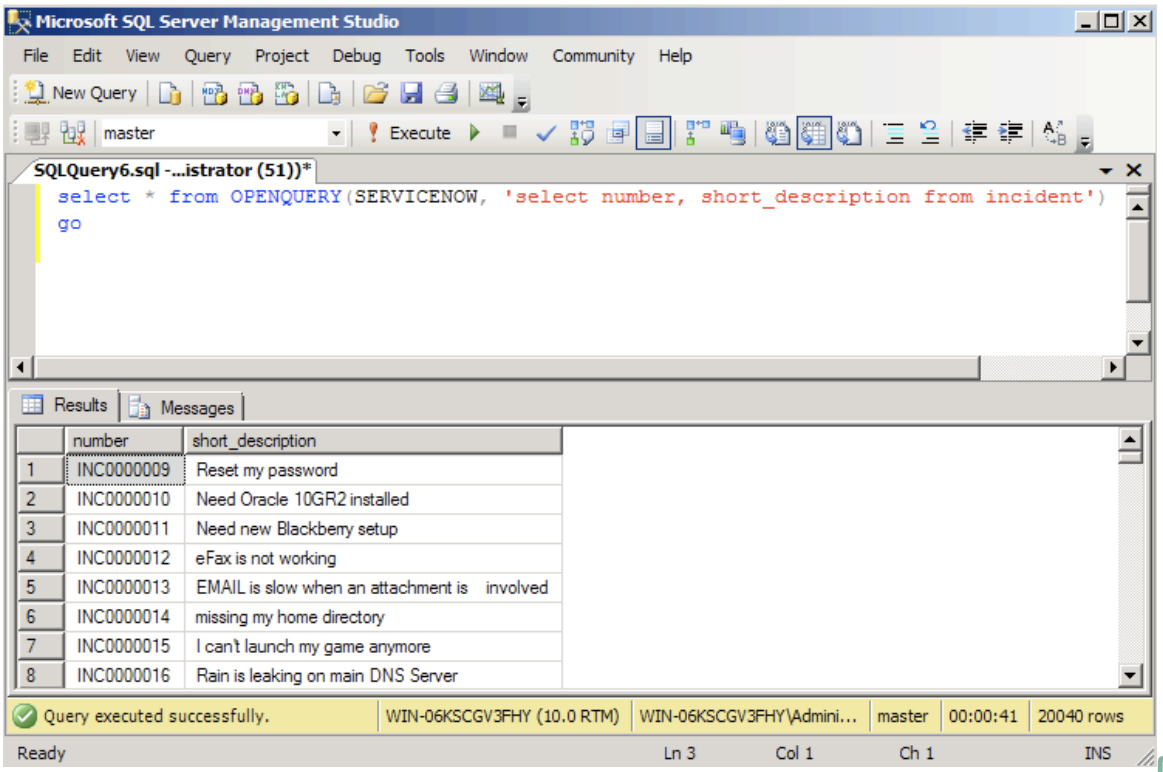


9. 新しく作成されたリンクサーバー *SERVICENOW* を選択し、[テスト接続] を選択して接続をテストします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. クエリビルダーウィンドウで次のクエリを実行して、いくつかの結果を取得します。



次のタスク
数値の小数点以下桁数エラー
ODBC Driver で *OPENQUERY* 構文を使用して 10 進数または数値フィールドの値をクエリすると、小数点以下桁数エラーが発生する可能性があります。この場合、*Cast* 構文を使用して小数点以下桁数を変換します。例：

```
SELECT * FROM OPENQUERY (SERVICENOW , 'select Cast(sys_mod_count as
 Decimal(38,0)), number, short_description from incident' ) GO
```

SQL Server 接続文字列

SQL Server 2008 で ODBC Driver を直接使用するには、次の形式で接続文字列を指定します。

```
Dsn=ServiceNow;uid =username;pwd =password
```

注: SQL のインポートウィザードでユーザーインターフェイスで接続文字列を指定するには、最新の SQL Server 2008 パッチが必要です

sp_addlinkedserver の使用

次の例では、Microsoft OLE DB Provider for ODBC (MSDASQL) と data_source パラメーターを使用する「ServiceNow ODBC」という名前のリンクサーバーを作成します

```
EXEC sp_addlinkedserver
   @server  = N 'ServiceNow ODBC' ,
   @srvproduct  = N '' ,
   @provider  = N 'MSDASQL' ,
   @datasrc  = N 'ServiceNow';
 GO
```

リンクサーバーを作成した後で、プロパティを更新してログイン資格情報を指定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

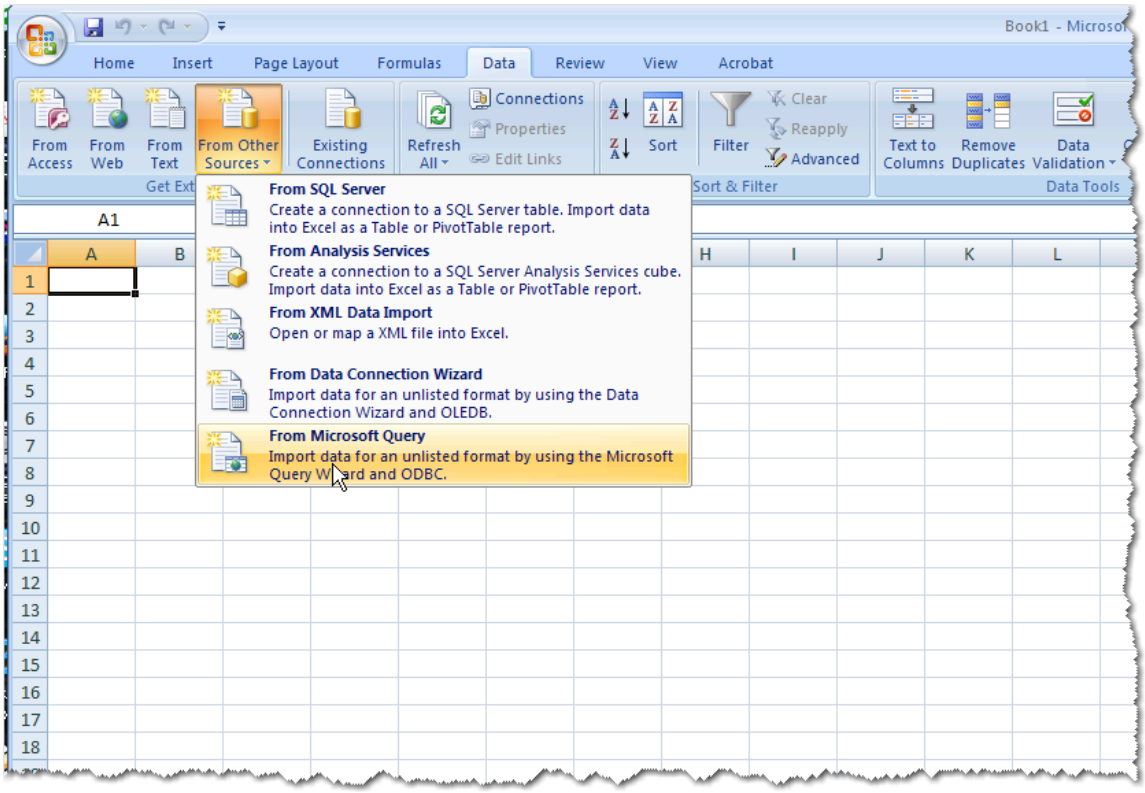
Excel での ODBC Driver の使用

ODBC Driver とそれに関連する DSN をインストールした後、それを Excel でデータソースプロバイダーとして使用します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Excel で [データ] タブを開きます。
2. [その他のソースから] で、 **[Microsoft Query** から] を開きます。

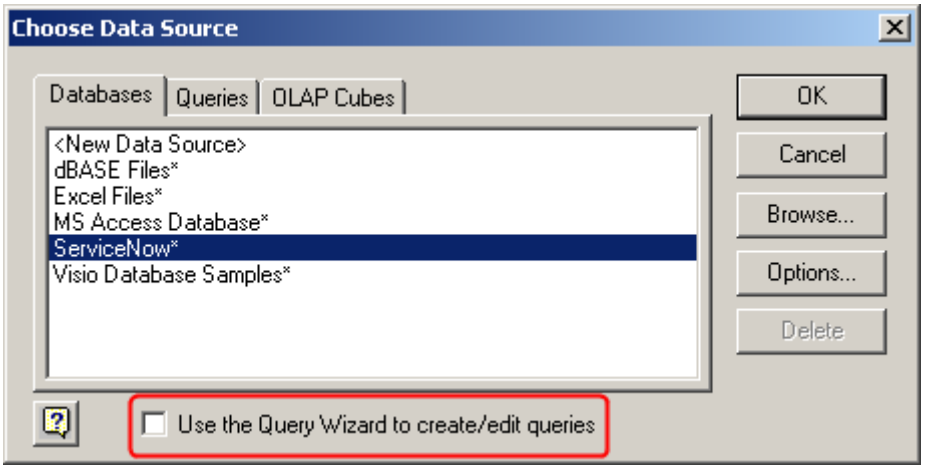


3. データベースとして **[ServiceNow]** を選択します (デフォルトの DSN 名)。
4. [クエリ ウィザードを使ってクエリを作成/編集する] チェックボックスをオフにします。

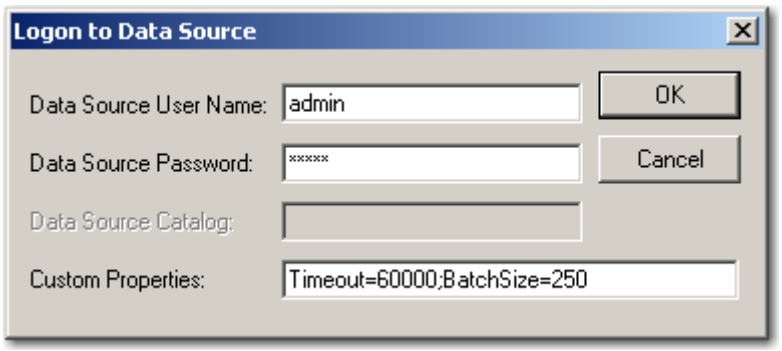
> **注:** Excel クエリウィザードではアンダースコア (_) を含むテーブル名からの列のリストはサポートされていません。このチェックボックスをオフにすると、代わりにこの文字の使用をサポートするクエリビルダーが使用されます。

自動翻訳

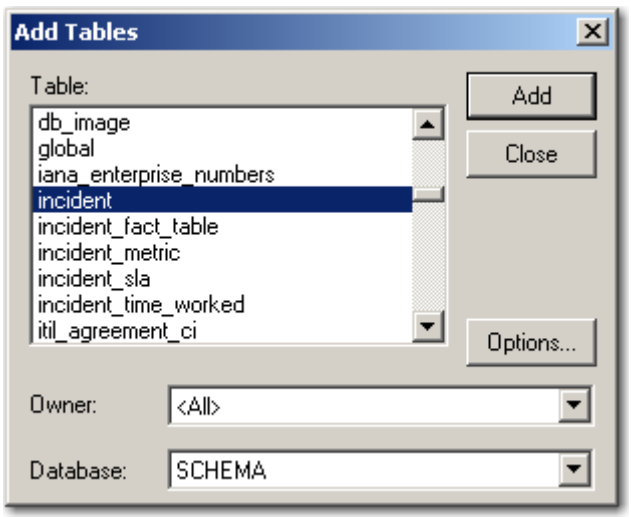
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ServiceNow ユーザー名とパスワードを指定します。



6. ServiceNow インスタンスからテーブルを選択し、[追加] をクリックします。



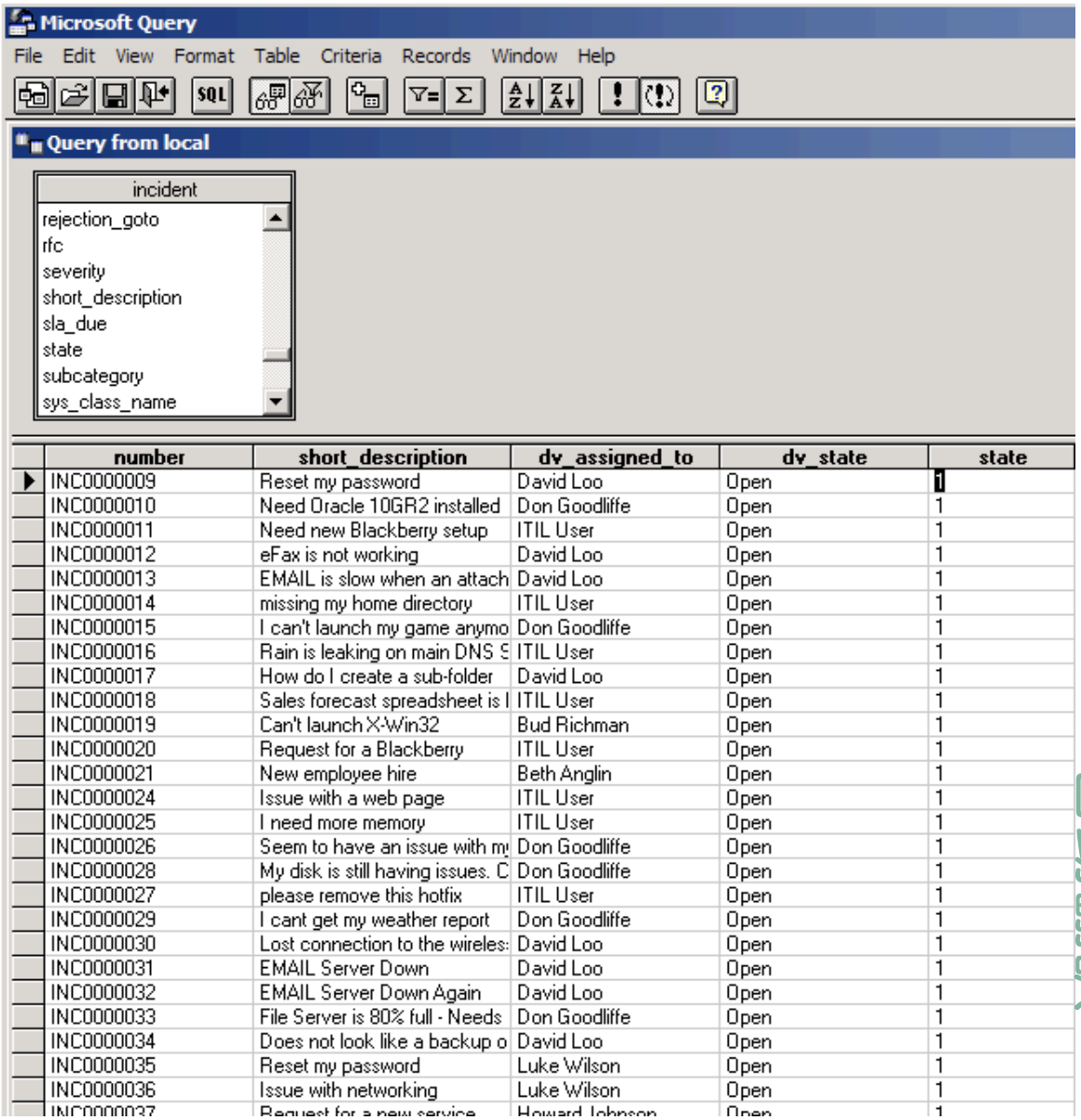
7. ダイアログボックスを閉じます。

8. クエリビルダーがデータを取得するテーブル列を選択します。
表の上にあるリストを使用するか、列に名前を直接入力して、 **Enter** キーを押します。

9. [データを返す] アイコンをクリックするか、[ファイル] **> [Microsoft Office Excel** にデータを返す] を選択して、データを取得して Excel レコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

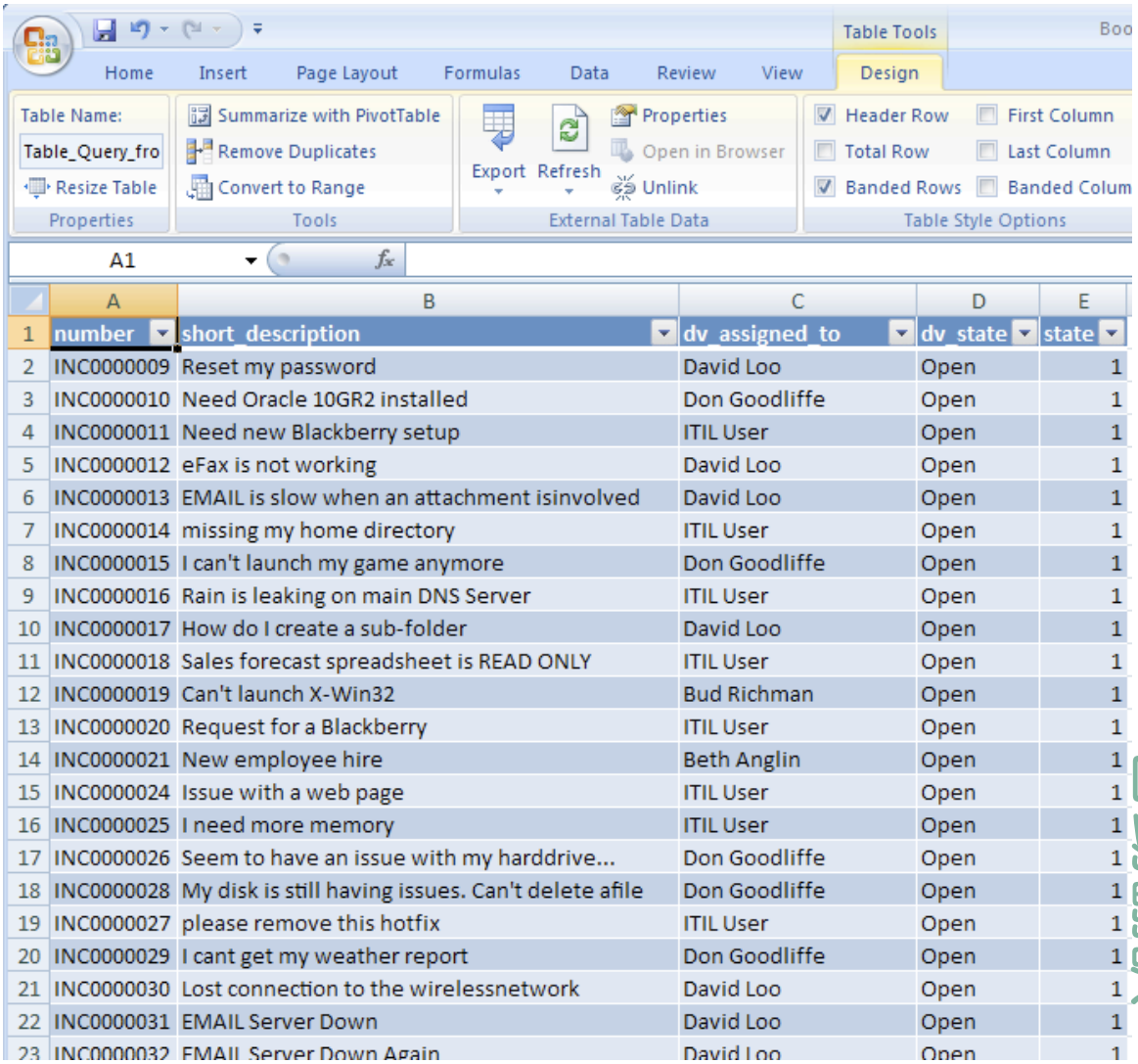


number	short_description	dv_assigned_to	dv_state	state
INC0000009	Reset my password	David Loo	Open	1
INC0000010	Need Oracle 10GR2 installed	Don Goodliffe	Open	1
INC0000011	Need new Blackberry setup	ITIL User	Open	1
INC0000012	eFax is not working	David Loo	Open	1
INC0000013	EMAIL is slow when an attach	David Loo	Open	1
INC0000014	missing my home directory	ITIL User	Open	1
INC0000015	I can't launch my game anymo	Don Goodliffe	Open	1
INC0000016	Rain is leaking on main DNS S	ITIL User	Open	1
INC0000017	How do I create a sub-folder	David Loo	Open	1
INC0000018	Sales forecast spreadsheet is l	ITIL User	Open	1
INC0000019	Can't launch X-Win32	Bud Richman	Open	1
INC0000020	Request for a Blackberry	ITIL User	Open	1
INC0000021	New employee hire	Beth Anglin	Open	1
INC0000024	Issue with a web page	ITIL User	Open	1
INC0000025	I need more memory	ITIL User	Open	1
INC0000026	Seem to have an issue with my	Don Goodliffe	Open	1
INC0000028	My disk is still having issues. C	Don Goodliffe	Open	1
INC0000027	please remove this hotfix	ITIL User	Open	1
INC0000029	I cant get my weather report	Don Goodliffe	Open	1
INC0000030	Lost connection to the wireles:	David Loo	Open	1
INC0000031	EMAIL Server Down	David Loo	Open	1
INC0000032	EMAIL Server Down Again	David Loo	Open	1
INC0000033	File Server is 80% full - Needs	Don Goodliffe	Open	1
INC0000034	Does not look like a backup o	David Loo	Open	1
INC0000035	Reset my password	Luke Wilson	Open	1
INC0000036	Issue with networking	Luke Wilson	Open	1
INC0000037	Request for a new service	Howard Johnson	Open	1

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求されたデータが Excel に取り込まれます。



	A	B	C	D	E
1	number	short_description	dv_assigned_to	dv_state	state
2	INC0000009	Reset my password	David Loo	Open	1
3	INC0000010	Need Oracle 10GR2 installed	Don Goodliffe	Open	1
4	INC0000011	Need new Blackberry setup	ITIL User	Open	1
5	INC0000012	eFax is not working	David Loo	Open	1
6	INC0000013	EMAIL is slow when an attachment isinvolved	David Loo	Open	1
7	INC0000014	missing my home directory	ITIL User	Open	1
8	INC0000015	I can't launch my game anymore	Don Goodliffe	Open	1
9	INC0000016	Rain is leaking on main DNS Server	ITIL User	Open	1
10	INC0000017	How do I create a sub-folder	David Loo	Open	1
11	INC0000018	Sales forecast spreadsheet is READ ONLY	ITIL User	Open	1
12	INC0000019	Can't launch X-Win32	Bud Richman	Open	1
13	INC0000020	Request for a Blackberry	ITIL User	Open	1
14	INC0000021	New employee hire	Beth Anglin	Open	1
15	INC0000024	Issue with a web page	ITIL User	Open	1
16	INC0000025	I need more memory	ITIL User	Open	1
17	INC0000026	Seem to have an issue with my harddrive...	Don Goodliffe	Open	1
18	INC0000028	My disk is still having issues. Can't delete afile	Don Goodliffe	Open	1
19	INC0000027	please remove this hotfix	ITIL User	Open	1
20	INC0000029	I cant get my weather report	Don Goodliffe	Open	1
21	INC0000030	Lost connection to the wirelessnetwork	David Loo	Open	1
22	INC0000031	EMAIL Server Down	David Loo	Open	1
23	INC0000032	EMAIL Server Down Again	David Loo	Open	1

自動翻訳

Crystal Reports での ODBC Driver の使用

ODBC Driver とそれに関連する DSN をインストールした後、それを Crystal Reports でデータソースプロバイダーとして使用します。

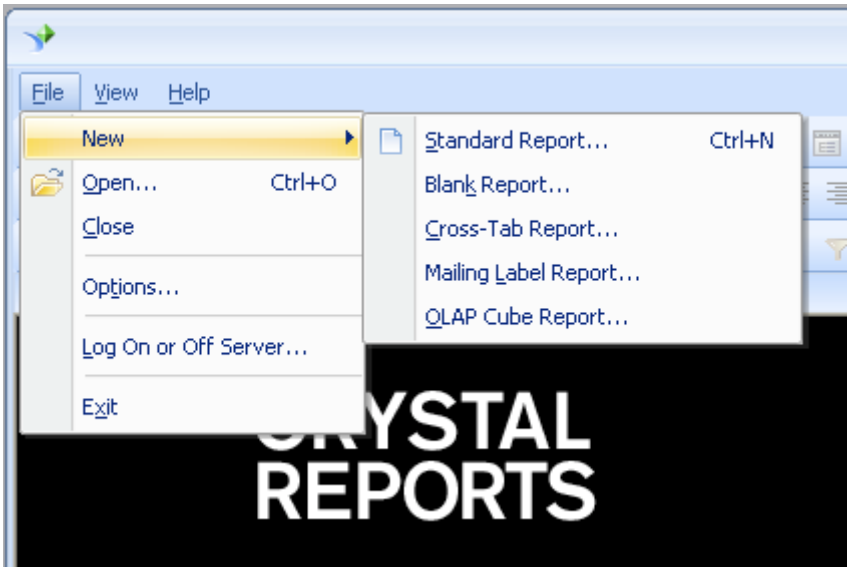
このタスクについて

注: Crystal Reports には、JVM 最小ヒープサイズ (Xms) と最大ヒープサイズ (Xmx) の値を含む構成ファイル CRConfig.xml が含まれています。Crystal Reports で ODBC Driver を構成する際に、Crystal Reports と同じ最小および最大 JVM ヒープサイズを ODBC Driver で使用していることを確認してください。これらの値が一致しない場合は、Crystal Reports の設定ではなく、ODBC Driver の設定を更新します。

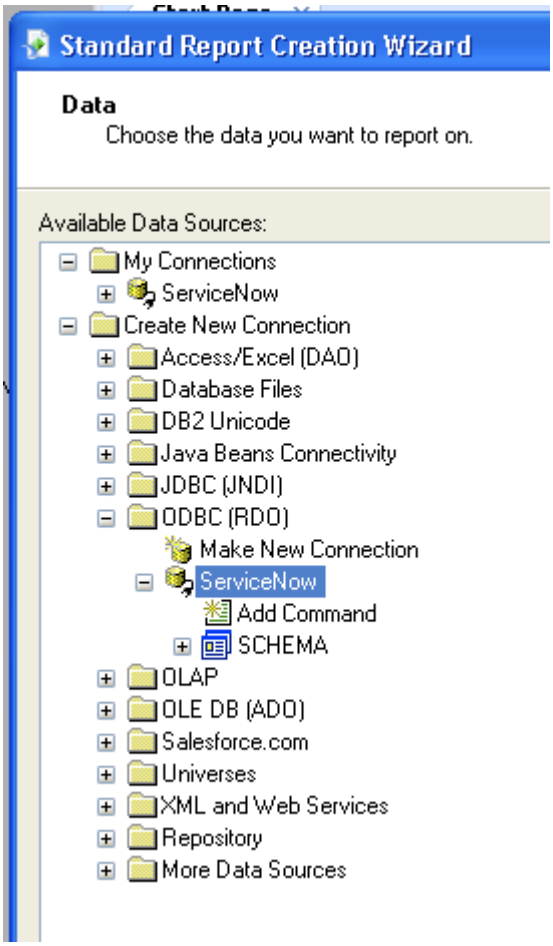
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 新しい標準レポートを作成します。



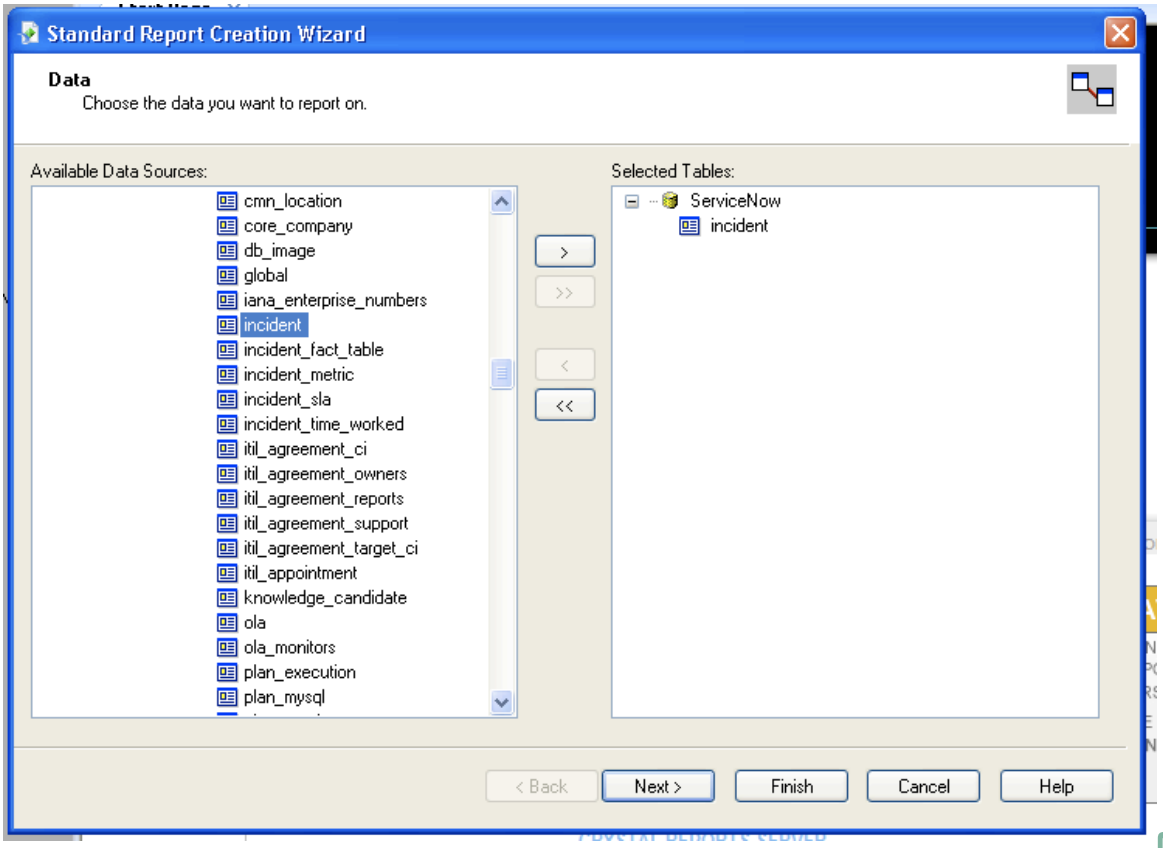
2. ServiceNow DSN を使用して新しい接続を作成します。



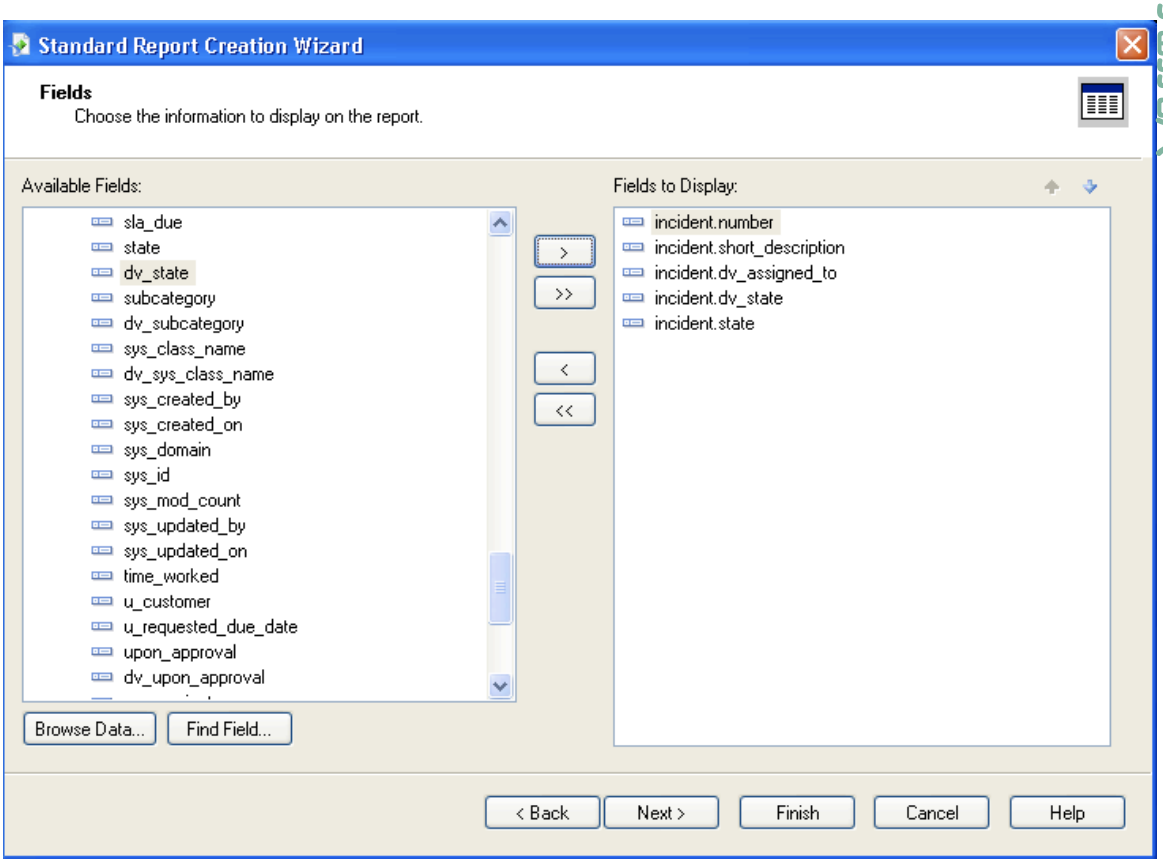
3. 利用可能なテーブルのリストからテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



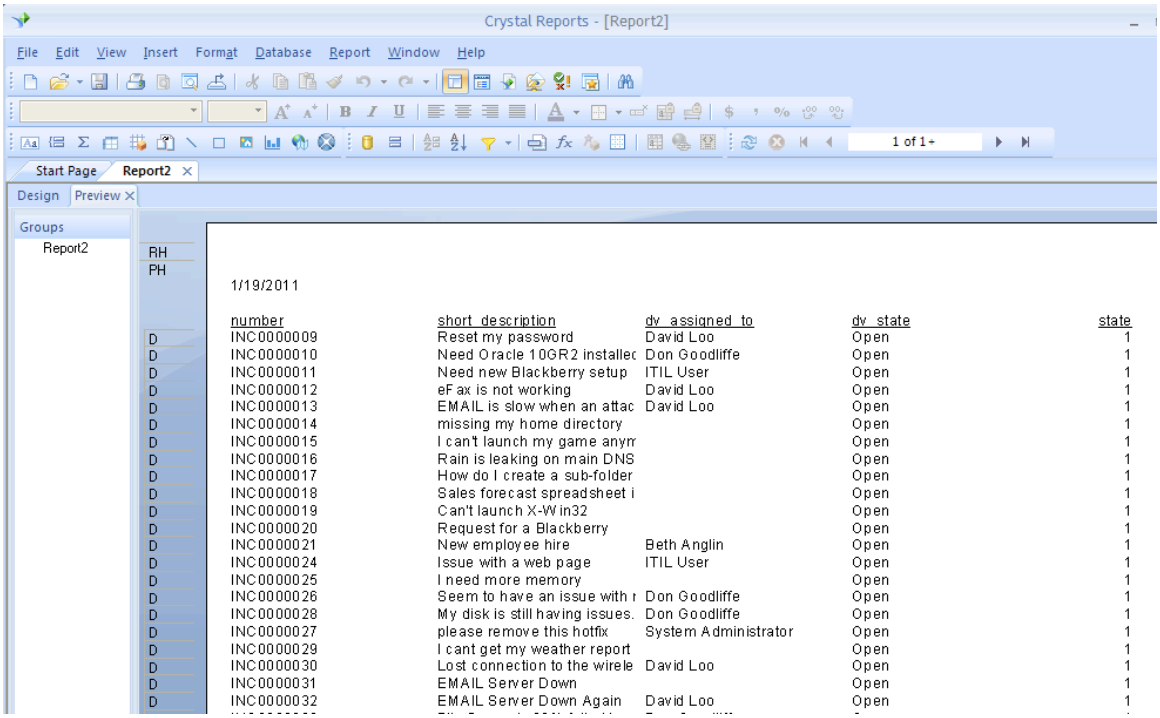
4. 選択したテーブルから利用可能なフィールドを選択します。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [完了] をクリックしてレポートを表示します。



Domain Separation と ODBC Driver

ここでは、Domain Separation と ODBC Driver の概要を説明します。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

サポートレベル：ベーシック*

- アプリケーションのサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックがあります。
- アプリケーションでは、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、集計など、すべてにおいて、実行時にドメインが考慮されます。
- インスタンスの所有者は、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションを設定できる必要があります。

ユースケース：サービスプロバイダーである私は、チャットを使用してテナント顧客のメッセージに私が応答する時に、クライアントが私の応答を確認できるようにする必要があります。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

Domain Separation と Web サービスについて

Domain Separation は Web サービスでサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ベーシックレベルを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

サンプルユースケース：アドミニストレーターは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

REST および SOAP API 使用率の分析

REST および SOAP API 分析により、Web サービスの API 使用率を追跡および分析できます。

分析を使用して次のような質問に答えます。

- 最も使用されている API はどれですか？
- 使用されている API バージョンはどれですか？古いバージョンを廃止できますか？
- 使用されている API メソッドはどれですか？
- どのリソースがアクセスされていますか？
- 各 API とリソースを使用しているのは誰ですか？

インスタンスは、REST テーブル API や SOAP API などのプラットフォーム Web サービスや、Scripted REST APIs や Scripted SOAP Web Services などのすべての受信 Web サービスの分析を追跡します。分析は各リソースと HTTP アクションの組み合わせによって集計されます。

REST メッセージなどの送信 Web サービスは追跡されません。

API に対する分析の収集

分析を収集する API を選択し、各 API の要求者情報を収集するかどうかを選択します。

始める前に

注: API 分析は、UI やモバイルアプリ API などの内部プラットフォーム機能に使用される特定の API では使用できません。

必要なロール：api_analytics_read または admin

このタスクについて

新しい API が追加されると、包含リストレコードが自動的に作成されます。変更または新しい包含リストレコードを作成して、ログに記録する API と要求者情報を手動で設定できます。

手順

移動先 すべて > **System Web Services** > 包含リスト 新しいレコードを作成します

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

API トランザクション統計情報包含リストフィールド

フィールド	説明
API 名	REST APIs の場合は、API 名を入力します。この名前には、API の名前空間と ID のみを含める必要があります。API 名に要求パラメーターを含めないでください。 たとえば、テーブル API エンドポイント `api/now/table/incident` および `api/now/table/problem` の場合、名前空間と ID は **[now/table]** です。 SOAP API は、異なる API に対する個別のログ記録構成をサポートしていません。すべての SOAP API のログ記録を構成するには、SOAP API 包含リストレコードを変更します。
API 統計情報を収集	指定した API の分析を追跡するには、このチェックボックスをオンにします。
API 要求者の統計情報を収集	このチェックボックスをオンにすると、この API に対して要求を行うユーザーを追跡できます。このオプションは、**[API** 統計情報を収集] が選択されている場合にのみ使用できます。

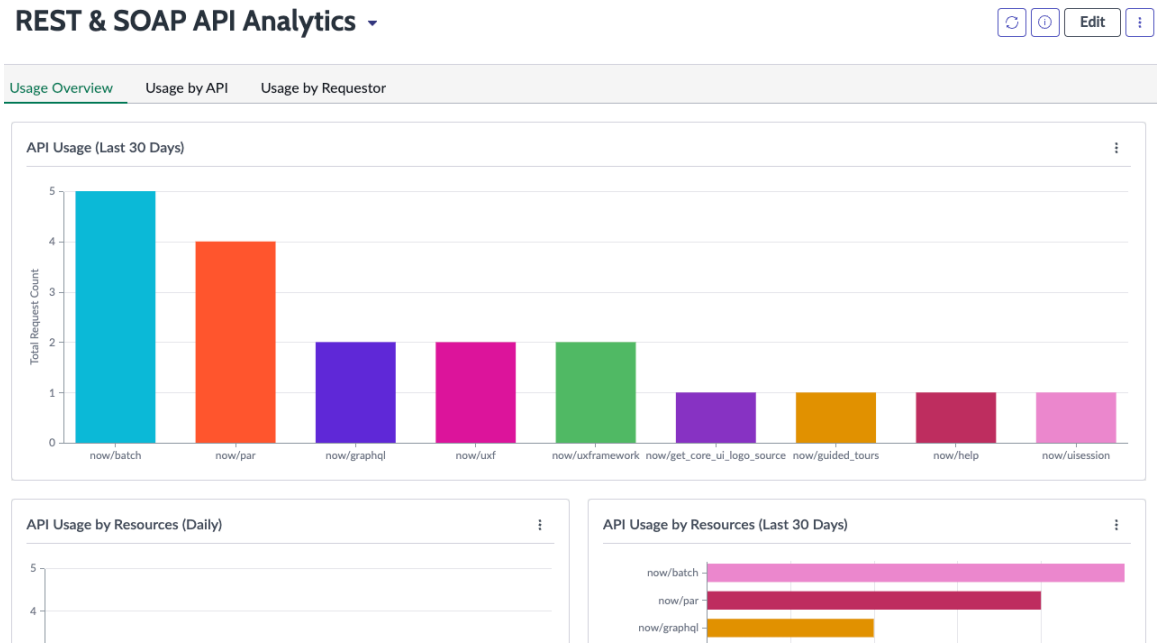
REST & SOAP API 分析の表示

REST & SOAP API アナリティクスダッシュボードで、API アナリティクス全体、API ごとのアナリティクス、または要求ユーザーごとのアナリティクスを表示します。

始める前に
必要なロール:api_analytics_read、web_service_admin、または admin

このタスクについて
REST & SOAP API 分析ダッシュボードには、[使用状況の概要]、[API 別の使用率]、および [要求者別の使用率] の分析が含まれています。[API 別の使用率] タブと [要求者別の使用率] タブから、API でフィルタリングして、要求者がより具体的なインサイトを取得できます。

REST & SOAP API アナリティクスダッシュボード



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > アナリティクス使用率の概要 をクリックして、REST & SOAP API 分析ダッシュボードを開きます。

   ヒント: REST API エクスプローラーのコンテキストメニューから、またはカスタム Web サービスフォームの **API** アナリティクス 関連リンクから、ダッシュボードにアクセスすることもできます。

2. ダッシュボードで次のいずれかのタブを選択します。

オプション	[Action (アクション)]
使用率の概要	すべての REST および SOAP API の一般的な使用統計情報を表示します。
API の使用率	各 API の詳細な使用状況統計を表示します。 **a.** [**API** 別の **API** 統計情報] メニューから、1 つ以上の API を選択します。 **b.** 選択した API を [適用済み] リストに移動します。 **c.** [適用] を選択します。
要求者別の使用率	各要求ユーザーの詳細な使用状況の統計情報を表示します。 **a.** 表示する API リクエスターアナリティクスを指定します。 **i.** [要求者別の **API** 統計情報] メニューから、1 人以上の要求者を選択します。 **ii.** 選択した要求者を [適用済み] リストに移動します。 **iii.** [適用] を選択します。 **b.** 表示する API アナリティクスを指定します。 **i.** [**API** 別の **API** 統計情報] メニューから、1 つ以上の API を選択します。 **ii.** 選択した API を [適用済み] リストに移動します。 **iii.** [適用] を選択します。 選択したユーザーが選択した API に対して要求を行っていない場合、その組み合わせのデータは表示されません。

関連情報

REST API エクスプローラーの使用

のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

REST & SOAP API 分析収集とクリーンアップ

API 分析では、スケジュール設定済みジョブを使用して分析データを収集し、クリーンアップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インスタンスは、包含リストの API に対してすべての Web サービストランザクションを追跡し、リソースと HTTP アクションの組み合わせによって集計された日次履歴を保持します。要求者情報は、要求者、リソース、および HTTP アクションの組み合わせごとに集計され、プロパティ *com.glide.api.stats.daily_ limit* で定義された 1 日の限度まで追跡されます。

ログに記録される要求を確認するには、次のテーブルを参照してください。

ログに記録された要求

API 名	サンプルリソース	応答コード	説明	ログ記録
now/table	/api/now/table/incident	401 以外	リソースとテーブルが有効な	あり
now/table	/api/now/table/invalidResource	400	リソースは有効でテーブルが無効	あり
now/table	/api/now/table/incident	403	要求ユーザーの権限が不十分	あり
now/table	/api/now/table/incident	401	要求ユーザーが未認証	いいえ
myApp/myScriptedApi	myApp/myScriptedApi/myResource	401 以外	リソースが有効	あり
myApp/invalidApiName	• myApp/invalidApiName • myApp/invalidApiName/myResource	400	一致する包含リストエントリがあっても API が無効	いいえ

毎月 2 日に、API 月次統計情報のスケジュールジョブは、各リソースと HTTP アクションの組み合わせに対する月次合計を計算します。API 月次要求者統計情報のスケジュールジョブは毎日、2 日以上経過した日次スコアに基づいて、各リソース、要求者、および HTTP アクションの組み合わせに対する月次合計を計算します。

日次統計情報は 33 日間保持されます。月次合計は 13 か月間維持されます。これらの制限よりも古い分析レコードは、sys_api_stats、sys_api_stats_requestor、および sys_api_stats_requestor_monthly テーブルのテーブルクリーナーによって削除されます。

REST & SOAP API 分析での名前付け

API 分析を追跡するときに使用される **[API 名]** は、REST API やスクリプト化済み SOAP サービスなど、記述されている API のタイプによって決まります。

API タイプ	説明
REST	API 名前空間と、名前空間に続く URI の最初の部分が API 名として使用されます。 たとえば、テーブル API エンドポイント `api/now/table/incident` および `api/now/table/problem` の場合、名前空間と ID は **[now/table]** です。
直接 SOAP (テーブルはインポートセット行テーブルを拡張しません)	直接 SOAP 要求がテーブルにアクセスする場合は、直接 SOAP が API 名として使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

API タイプ	説明
SOAP インポート (テーブルはインポートセット行テーブルを拡張します)	インポートセット SOAP が API 名として使用されます。
スクリプト化済み SOAP サービス	my_service.do など、SOAP 要求のエンドポイントページが API 名として使用されます。

API 分析のプロパティ

特定のプロパティが API 分析の動作を制御します。

プロパティ	説明
com.glide.api.stats.enabled	true の場合、API 使用率統計情報の収集を有効にします。false の場合、包含リストのドメインについても分析は収集されません。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
com.glide.api.stats.max_bytes_nursery_size	ログに書き込まれる前にトランザクションデータの格納に使用される最大メモリ量 (バイト)。トランザクションデータは、*com.glide.api.stats.persist_interval* の値に基づいて定期的にログに書き込まれます。 ログが書き込まれる前に大量のトランザクションがこのメモリ制限を超えると、トランザクションの一部がログに記録されないことがあります。この制限に達すると、イベント api.stats.cache.size.reached が発生します。 このプロパティ値は 1 ～ 3 メガバイトの範囲で指定する必要があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：3145728 • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
com.glide.api.stats.persist_interval	メモリに格納されているトランザクションをログに書き込む頻度 (秒)。このプロパティ値は 30 ～ 120 秒の範囲で指定する必要があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60 • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.glide.api.stats.daily_ limit	インスタンスノードごとの要求者統計情報レコードの 1 日の限度。この値に達すると、その日のデータは集計および格納されなくなります。この制限に達すると、イベント api.stats.requestor.daily.limit.reached が発生します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20000 • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加
glide.api.stats.debug	true の場合、API 統計情報のデバッグログ記録が有効になります。 • タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所：システムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加

GraphQL API フレームワークを使用したレコードデータのクエリ

コンポーネントまたはサードパーティシステムからレコードデータをクエリするカスタム GraphQL API を作成します。

たとえば、SLA に関連付けられたケースを表示するコンポーネントを作成できます。ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク を使用して必要なコンポーネントを開発し、 ケーステーブルのデータを定義する GraphQL スキーマを作成することで、 プラットフォームからケースデータにアクセスできます。

コンポーネント開発の詳細については、「 ワークスペースのコンポーネントの開発 」を参照してください。

GraphQL のメリット

GraphQL は、クライアント側の開発用に最適化された Web クエリ言語です。スクリプト化された GraphQL を使用すると、次のことができます。

- イントロスペクションを通じてクエリ可能なフィールドとオブジェクトを検出します。
- コンポーネントから必要なデータを正確にクエリします。
- REST 要求の複数のエンドポイントとは対照的に、単一の API から複数のクエリを管理します。
- スキーマを公開してサードパーティシステムと統合します。
- コンポーネントから GraphQL クエリを生成し、応答を処理します。

使用前の注意事項

カスタム GraphQL API の作成を開始する前に、次のことを確認します。

- スキーマを作成するための GraphQL の知識
- API の動作を定義するための JavaScript の知識

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Web コンポーネントの概念に関する一般的な知識
- レコードデータを使用するカスタムワークスペースコンポーネント
- スキーマで公開する ServiceNow データモデルの理解
- リゾルバースクリプトでフィールドをレコードデータにマッピングするための GlideRecord の知識

GraphQL の概要

スクリプト化された GraphQL API の作成には、次の部分が含まれます。

GraphQL スキーマ定義言語 (SDL)

: GraphQL クエリで利用可能なフィールドの構造とデータタイプを定義します。GraphQL スクリプト化済みスキーマ [sys_graphql_schema] テーブルの [スキーマ] スクリプトフィールドを使用して、SDL を定義できます。SDL はクエリ操作と変更操作のみをサポートしています。

リゾルバー

: 各フィールドによって返されるデータを定義します。[GraphQL スクリプト化済みスキーマ] フォームで [GraphQL スクリプト化リゾルバー] 関連リストの各フィールドのリゾルバーを定義できます。

タイプリゾルバー

: インターフェイスとユニオンを GraphQL の具象タイプに転換させます。たとえば、ユニオンを `incident` タイプか `problem` タイプに定義します。タイプリゾルバースクリプトを使用して、いつどちらを返すかを定義します。[GraphQL スクリプト化済みスキーマ] フォームで [GraphQL スクリプト化済みタイプリゾルバー (GraphQL Scripted Typeresolvers)] 関連リストのタイプリゾルバーを定義できます。

リゾルバーマッピング

: リゾルバーをスキーマのフィールドにマッピングします。[GraphQL スクリプト化済みスキーマ] フォームで [GraphQL スクリプト化済みリゾルバーマッピング (GraphQL Scripted Resolver Mappings)] 関連リストのリゾルバーマッピングを定義できます。

GraphQL クエリ言語の詳細については、GraphQL の Web サイト を参照してください。

GraphQL API へのクエリをテストするには、統合された GraphQL テストツールである GraphQL エクスプローラーを使用できます。詳細については、「GraphQL Explorer を使用して GraphQL API をテストする」を参照してください。

制限事項

次の GraphQL 機能はサポートされていません。

- サブスクリプションの操作
- カスタムスカラータイプ

イントロスペクション

既定では、カスタム スキーマへのイントロスペクション クエリは有効になっていません。イントロスペクションをオンにする場合は「GraphQL スキーマのイントロスペクションクエリを有効にする」を参照してください。

名前空間

GraphQL API には 2 つの異なる名前空間があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション名前空間

カスタムアプリケーションの名前空間。アプリケーション名前空間の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。

スキーマ名前空間

すべてのクエリが一意になるようにするスキーマの名前空間。1 つのアプリケーションに複数のスキーマ名前空間を含めることができます。

データをクエリするときは、クエリに両方の名前空間を含める必要があります。たとえば、次のクエリは次の名前空間でデータを検索します。

- アプリケーション名前空間：`x_graph_scope`
- スキーマ名前空間：`planet`

```
query {
  x_graph_scope {
    planet {
      findAll {
        name
        mass
        distance
      }
    }
  }
}
```

ディレクティブとグローバル関数

`@source` スキーマディレクティブ

GraphQL フィールドを親オブジェクトのプロパティの値にマッピングします。フィールドに個別のリゾルバースクリプトがある場合、システムは親オブジェクトの代わりに解決されるレコードを使用します。

スキーマスクリプトで `@source` ディレクティブを使用します。

`@defer` クエリディレクティブ

クエリの後半まで GraphQL フラグメントの処理を保留します。このクエリディレクティブを使用して、フラグメント内の応答の遅いフィールドのデータの戻しを遅らせます。保留されたフラグメントのフィールド結果をマルチパート応答としてストリーミングします。

> **注:** `@defer` ディレクティブを使用するには、GraphQL クライアントがマルチパート/混在 HTTP ヘッダーを受け入れる必要があります。たとえば、HTTP ヘッダーを `Accept: multipart/mixed; boundary="-"` に設定します。

`@defer` ディレクティブを使用して、ユーザーのインタラクションまでの時間を短縮します。 パフォーマンスが低下する可能性があるため、このクエリディレクティブを無差別に適用しないでください。パフォーマンステストを実施して、パフォーマンスを向上させるためにどのフィールドを保留できるかを判断してください。

リゾルバー関数

これらの関数はグローバル *`env`* オブジェクトで使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `getArguments()`：前のフィールドの引数を返します。
- `getSource()`：親オブジェクトを返します。

リゾルバースクリプトで使用します。

タイプリゾルバー関数

これらの関数はグローバル `env` オブジェクトで使用できます。

- `getArguments()`：前のフィールドの引数を返します。
- `getObject()`：親オブジェクトを返します。
- `getTypeName()`：インターフェイスまたは共用タイプの名前を返します。

タイプリゾルバースクリプトで使用します。

デモアプリケーション

変更とクエリを含むデモの GraphQL PTO カレンダースキーマを表示するには、GraphQL Framework Demo Application プラグイン (com.glide.graphql.framework.demo) を有効にします。

GraphQL スキーマの作成

GraphQL スキーマを作成して、GraphQL クエリでデータを使用できるようにします。

始める前に
必要なロール:graphql_schema_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **GraphQL** > **GraphQL API**.
2. [新規] を選択します。
3. これらのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	スキーマの名前。
スキーマ名前空間	アプリケーションの名前内で一意である必要があります。
アプリケーション	スキーマが含まれている読み取り専用アプリケーション。
アプリケーション名前空間	読み取り専用です。**Schema** 名前空間と連携して、同じ名前のスキーマとの競合を回避します。
アクティブ	GraphQL スキーマをオンまたはオフにするオプション。
スキーマ	GraphQL SDL 形式に準拠したスキーマ定義。有効な GraphQL 構文である必要があります。そうでない場合は、保存時に構文の問題を示すエラーメッセージが表示されます。 注: 次の GraphQL 機能はサポートされていません。 ◦ サブスクリプションの操作 ◦ カスタムスカラータイプ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキーマでは次のディレクティブを使用できます。

`@source`：GraphQL フィールドを親オブジェクトのプロパティの値にマッピングします。フィールドに個別のリゾルバースクリプトがある場合、システムは親オブジェクトの代わりに解決されるレコードを使用します。

Example

この例では、スキーマでインシデントオブジェクトタイプを定義し、リゾルバースクリプトを使用して、そのタイプをインシデントテーブルから GlideRecord にマッピングします。`@source` ディレクティブを使用すると、インシデントタイプ内のフィールドがインシデント GlideRecord の `value` または `display_value` にマッピングされます。

```
type Incident {
    id: String @source(value: "sys_id.value")
    active: Boolean @source(value: "active.display_value")
    state: String @source(value: "state.display_value")
    priority: String @source(value: "priority.display_value")
    severity: String
    description: DisplayableString
    resolvedBy: User @source(value: "resolved_by.value")
    openedBy: User @source(value: "opened_by.value")
    child_incidents: String
    opened_at: String
    resolved_at: String
    closed_at: String
    work_notes: String
    comments: String @source(value: "comments.display_value")
    parent_incident: String
}
```

4. [セキュリティ] セクションで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
承認が必要	スキーマへのアクセスに認証を要求するには、このオプションを選択します。このオプションをオフにすると、スキーマが公開されます。
ACL 承認が必要	API 全体の ACL 認証を要求するには、このオプションを選択します。[**ACL]** フィールドで、GraphQL タイプの ACL を選択します。 特定のパスに対してのみ ACL 許可を使用する場合は、このオプションをオフのままにして、[パス **ACL** の深さ**(Path ACL depth**)] フィールドで ACL を評価するレベルを指定します。
SNC 内部が必要	スキーマに SNC 内部ロールが必要な場合は、このオプションを選択します。このオプションは、明示的なロールプラグイン (com.glide.explicit_roles) が有効になっている場合にのみ表示されます。
パス ACL の深さ	ACL を適用する GraphQL API のレベルを指定します。パスの深さを 3 以下に設定すると、使用するリソースが少なくなり、クエリ応答を返すのに役立ちます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	パスに使用する ACL を指定するには、GraphQL タイプの ACL を作成し、スキーマ名前空間で始まる正確な API パスを [名前] フィールドに追加する必要があります。例:`/<planet>/<findAll>/<name>` ワイルドカードはサポートされていません。詳細については、「ACL ルールの構成」を参照してください。 注: **[ACLs]** フィールドは API 全体に適用され、特定のパスに適用される ACL とは無関係です。
ACL	受信クエリを確認する GraphQL タイプの ACL を選択します。選択した ACL は API 全体に適用されます。このオプションは、[**ACL** 認証が必要] が選択されている場合にのみ表示されます。

注: API は、スキーマにアクセスできないユーザー、または API がアクセスするために認証を必要とするときに認証されていないユーザーに明確なエラーメッセージを返します。

5. フォームを保存します。
6. オプション: リゾルバースクリプトを作成して、コンポーネントがフィールドをクエリしたときにスキーマが返す値を定義します。
   フィールドのリゾルバーを定義しない場合、クエリは親オブジェクトタイプから一致するフィールド値を返します。たとえば、スキーマに [作業メモ] フィールドを含むインシデントオブジェクトタイプがあるとします。インシデントオブジェクトタイプには、インシデントテーブルから GlideRecord にマッピングするリゾルバーがあります。作業メモフィールドのリゾルバーマッピングを作成しない場合、システムは親オブジェクトのデータソース (インシデントテーブルの GlideRecord) で作業メモフィールドを検索し、関連する値を割り当てます。

   a. [GraphQL スクリプト化リゾルバー (GraphQL Scripted Resolvers)] タブを選択し、[新規] を選択します。

   b. フォームに入力します。

フィールド	説明
名前	リゾルバーの名前。
スキーマ	読み取り専用スキーマ名前空間。
アプリケーション	スキーマが含まれている読み取り専用アプリケーション。
スクリプト	フィールドがクエリされたときに返される値を定義します。グローバル `env` オブジェクトで使用できる関数。 ▪ `getArguments()`: 前のフィールドの引数を返します。 ▪ `getSource()`: 親オブジェクトを返します。 このスクリプトは GlideRecord にアクセスできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example

(Optional) この例では、関連するフィールドがクエリされると、ユーザーテーブルからレコードが返されます。

```
(function process(/*ResolverEnvironment*/ env) {

    var userid = env.getArguments().id != null ?
 env.getArguments().id : env.getSource();
    var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
    gr.addQuery('sys_id', userid);
    gr.queryO;
    return gr;

})(env);
```

c. **[Submit** (送信)] を選択します。

7. オプション: スキーマの型リゾルバーを定義して、インターフェイスと共用体を具象型に解決します。

a. [GraphQL Scripted Type Resolvers (GraphQL スクリプト化型リゾルバー)] タブを選択し、[**New** (新規)] を選択します。

b. フォームに入力します。

フィールド	説明
スキーマ	読み取り専用スキーマ名前空間。
タイプ	スキーマで定義されているインターフェイスまたは共用タイプ。
アプリケーション	スキーマが含まれている読み取り専用アプリケーション。
スクリプト	共用タイプとインターフェイスタイプに対して返される値を定義します。グローバル *env* オブジェクトで使用できる関数。 ▪ *getArguments()*：前のフィールドの引数を返します。 ▪ *getObject()*：親オブジェクトを返します。 ▪ *getTypeName()*：インターフェイスまたは共用タイプの名前を返します。 このスクリプトは GlideRecord にアクセスできます。

c. **[Submit** (送信)] を選択します。

8. オプション: リゾルバーレコードとタイプリゾルバーレコードをスキーマ内のフィールドにマッピングします。
このマッピングは、コンポーネントがフィールドを照会したときに返される値をシステムに指示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [GraphQL Scripted Resolver Mappings (GraphQL スクリプト化リゾルバーマッピング)] タブを選択し、[**New** (新規)] を選択します。

b. フォームに入力します。

フィールド	説明
パス	マッピングするスキーマ内のフィールドへのパス。
リゾルバー	フィールドによって返されるデータを定義するために使用するリゾルバー。
アプリケーション	スキーマが含まれている読み取り専用アプリケーション。
スキーマ	読み取り専用スキーマ名前空間。

c. **[Submit** (送信)] を選択します。

GraphQL スキーマのイントロスペクションクエリを有効にする

イントロスペクションを有効にして、インスタンスのスキーマでサポートされているクエリとミューテーションを検出します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
イントロスペクションクエリが有効になっている場合、GraphQL エクスプローラーはインスタンスのスキーマをドキュメントペインにオートコンプリート提案として表示し、クエリとミューテーションを簡単に見つけることができます。

注: イントロスペクションクエリは本番環境で使用しないでください。

手順

1. 移動先 **System Web Services** > **GraphQL** > プロパティ.
2. [**GlideRecord** スキーマのイントロスペクションクエリを有効/無効にする] オプションを選択します。
3. [サポートされている **GraphQL** クエリとタイプを検出するために、ユーザーがイントロスペクションクエリを有効/無効 にする] オプションを選択します。
4. [保存] を選択します。

GraphQL Explorer を使用して GraphQL API をテストする

統合された GraphQL テストツールを使用して、GraphQL API をテストクエリします。

始める前に
GraphQL API のスキーマを作成します。詳細については、「GraphQL スキーマの作成」を参照してください。

イントロスペクションクエリを有効にすると、GraphQL Explorer はインスタンスのスキーマをドキュメントエクスプローラーに表示し、オートコンプリート提案として表示できるため、クエリとミューテーションを簡単に見つけることができます。詳細については、「GraphQL スキーマのイントロスペクションクエリを有効にする」を参照してください。

注: 本番環境ではイントロスペクションクエリを使用しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール:graphql_schema_admin または admin

このタスクについて
GraphQL エクスプローラーは、GraphiQL IDE を Now Platformに統合します。インターフェイスの詳細については、GraphiQL GitHubリポジトリの GraphiQL の readme を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **GraphQL** > **GraphQL** エクスプローラー.
2. オプション: イントロスペクションを有効にした場合は、左側のサイドバーで [ドキュメントエクスプローラーを表示] アイコン ([ ) を選択して、使用可能なクエリまたはミューテーションを表示および検索します。
3. エディターで、スキーマへのクエリーを入力します。

   アプリケーションとスキーマの両方の名前空間をクエリに含めます。適用できるディレクティブの詳細については、「ディレクティブとグローバル関数」を参照してください。

   Example
   この例では、次のアプリケーションとスキーマの両方の名前空間の使用を示しています。

   - アプリケーション名前空間：`x_graph_scope`
   - スキーマ名前空間：`planet`

```
query {
  x_graph_scope {
    planet {
      findAll {
        name
        mass
        distance
      }
    }
  }
}
```

   この例は、@defer ディレクティブを使用して、最初のインシデント応答の後に [openedBy] フィールドの結果をストリーミングする方法を示しています。

```
query findIncidents {
  now {
    incident {
      findAll {
        description {
          displayValue
        }
        ...
        @defer(label: "my-label", if: true) {
          openedBy {
            firstName
            lastName
          }
        }
      }
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

4. オプション: エディターの下部で [変数] を選択し、必要な変数を入力します。
5. [クエリを実行] アイコン ([ ) を選択します。

   ヒント: キーボードショートカットを使用することもできます。使用可能なキーボードショートカットのリストを表示するには、[ショートカットキーダイアログを開く (Open short keys dialog)] アイコン ([ ) を選択します。

   クエリの結果が右ペインに返されます。
6. オプション: [タブを追加] アイコン ([ ) を選択して、追加のクエリを実行します。

次のタスク

以前のクエリのリストを表示する必要がある場合は、左側のサイドバーで [履歴を表示] アイコン ( ) を選択します。

コンポーネント内のレコードデータにアクセスするには、カスタムコンポーネントを作成し、そのコンポーネントからスクリプト化された GraphQL スキーマをクエリします。詳細については、「コンポーネントからの GraphQL スキーマのクエリ」を参照してください。

コンポーネントからの **GraphQL** スキーマのクエリ

スクリプト化された GraphQL スキーマを照会して、コンポーネント内のレコードデータにアクセスします。

始める前に

必要なロール：admin

1. GraphQL スキーマの作成。
2. GraphQL Explorer を使用して GraphQL API をテストする。
3. イントロスペクションクエリを本番環境で無効化します。
4. カスタムコンポーネントを作成します 。

手順

1. コンポーネントディレクトリに移動します。
2. コンポーネントの `index.js` ファイルでクエリを定義します。

   イントロスペクションクエリを削除する

   イントロスペクションクエリは本番環境に展開されるコンポーネントに使用しないでください。

   該当する名前空間を含める

   アプリケーションとスキーマの両方の名前空間をクエリに含めます。

   応答の遅いフィールドを保留にする

   `@defer` クエリディレクティブをフラグメントに適用して、1 つ以上の応答の遅いフィールドの処理を遅らせることができます。応答の遅いフィールドを保留にすると、クエリで他のフィールドを先に返すことができます。

   ⚠ 警告: パフォーマンスが低下する可能性があるため、このクエリディレクティブを無差別に適用しないでください。パフォーマンステストを実施して、パフォーマンスを向上させるためにどのフィールドを保留できるかを判断してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

Example

```
const incidentQuery = `query ($sys_id: String!) {
    query (sys_id: $sys_id) {
        incident {
            _results {
                sys_id {
                    displayValue
                }
            }
        }
    }
}`;
```

3. 次の行をスクリプトの先頭に追加して、*createGraphQLEffect* API をコンポーネントにインポートします。

```
import {createGraphQLEffect} from '@servicenow/ui-effect-graphql';
```

4. createGraphQLEffect API を使用してクエリを呼び出します。この API の詳細については、開発者サイト を参照してください。
5. クエリの結果を管理するアクションハンドラーを作成します。

Example

```
actionHandlers: {
   [DATA_FETCH_REQUESTED]: dataFetchHandler,
   [DATA_FETCH_STARTED]: ({updateState}) => updateState({loading:
 true}),
   [DATA_FETCH_SUCCEEDED]: ({action, updateState}) =>
 updateState({data: action.payload}),
   [DATA_FETCH_FAILED]: () => { /* handle network error */ },
 }
```

Example:
この例は、クエリ、GraphQL API 呼び出し、および応答を管理するアクションハンドラーを含む完全なコンポーネントを示しています。

```
import {createCustomElement} from '@servicenow/ui-core';
import snabbdom from '@servicenow/ui-renderer-snabbdom';
import {createGraphQLEffect} from '@servicenow/ui-effect-graphql';

const GQL_QUERY = `
query query ($active: Boolean) {
    now {
        mySchema (active: $active) {
            myField {
                value
            }
        }
    }
}`;

const DATA_FETCH_REQUESTED = 'DATA_FETCH_REQUESTED';
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
const DATA_FETCH_STARTED = 'DATA_FETCH_STARTED';
const DATA_FETCH_SUCCEEDED = 'DATA_FETCH_SUCCEEDED';
const DATA_FETCH_FAILED = 'DATA_FETCH_FAILED';

const dataFetchHandler = createGraphQLEffect(GQL_QUERY, {
  variableList: ['active'],
  startActionType: DATA_FETCH_STARTED,    // gql http request started
  successActionType: DATA_FETCH_SUCCEEDED // gql request succeeded with
 result
  errorActionType: DATA_FETCH_FAILED      // gql http network request
 error (actual schema / server errors will succeed with error objects
});

const component = createCustomElement('now-component', {
  renderer: {type: snabbdom},
  view(state) {
    if(state.loading)
      return <div>Loading...</div>;

    if(!state.data)
      return <div>No Data</div>;

    return <div>My value:
 {state.data.data.now.mySchema.myField.value}</div>;
  },
  actionHandlers: {
    [DATA_FETCH_REQUESTED]: dataFetchHandler,
    [DATA_FETCH_STARTED]: ({updateState}) => updateState({loading: true}),
    [DATA_FETCH_SUCCEEDED]: ({action, updateState}) => updateState({data:
 action.payload}),
    [DATA_FETCH_FAILED]: () => { /* handle network error */ },
  }
});
```

GraphQL システムのプロパティ

GraphQL API フレームワークの動作を構成します。たとえば、スキーマへのイントロスペクションクエリを許可するかどうかを設定できます。

移動先 **System Web Services** > **GraphQL** > プロパティ をクリックして GraphQL 設定を変更します。

ラベル	詳細	システムプロパティ
GlideRecord スキーマのイントロスペクションクエリを有効/無効にします	このオプションを有効にすると、GraphQL エクスプローラーは、ドキュメントペインに GlideRecord スキーマを表示し、オートコンプリート提案として表示できます。 • タイプ：ブーリアン • デフォルト：False	*glide.graphql.glide_record_schema.int*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	詳細	システムプロパティ
GraphQL のデバッグログを有効/無効にします	• タイプ：ブーリアン • デフォルト：False	*glide.graphql.debug*
サポートされている GraphQL クエリとタイプをユーザーが検出するためのイントロスペクションクエリを有効/無効にします。イントロスペクション要求には graphql_schema_admin ロールが必要です。	このオプションを有効にすると、GraphQL エクスプローラーは、ドキュメントペインに GraphQL スキーマを表示し、オートコンプリート提案として表示できます。 • タイプ：ブーリアン • デフォルト値：False	*glide.graphql.introspection_enabled*

REST API

REST (REpresentational State Transfer) は、Web 上のコンピューターシステム間の標準を提供し、相互の通信を容易にするシンプルなステートレスアーキテクチャです。

Now Platform は、デフォルトで有効になっているさまざまな REST API を提供します。これらの API には、アプリケーション内のさまざまな ServiceNow 機能とやり取りする機能があります。このような機能には、既存のテーブルでの作成、読み取り、更新、削除 (CRUD) 操作 (テーブル API)、MetricBase データベースに対するデータの挿入、情報の取得、変換の実行 (*MetricBase* 時系列 API)、およびその他多くの機能があります。

利用可能な REST APIs のリストについては、「REST API リファレンス」を参照してください。

注: 受信 API トランザクションはトランザクションログで表示できます。当日のトランザクションを表示するには、次のようなリンクを使用します。

```
https://<instancename>.service-now.com/syslog_transaction_list.do?
sysparm_query=sys_created_onONToday%40javascript
%3Ags.beginningOfToday()%40javascript%3Ags.endOfToday()%5Etype%3Drest
```

REST URI 形式と利用可能なパラメーター

ServiceNow REST API は標準の REST API プロトコルに従います。また、下位互換性を確保するための「カスタム」URI とクエリパラメーターを提供し、結果の長いリストのページネーションなどの追加機能を提供します。以下のセクションで、これらのカスタムパラメーターの背後にある機能について説明します。これらはすべてオプションです。

REST API バージョニング

ServiceNow REST API URI には、`/api/now/v1/table/{tableName}` などのバージョン番号を含めることができます。バージョン番号は、URI がアクセスするエンドポイントのバージョンを識別します。URI にバージョン番号を指定することで、REST API の今後の更新が統合に悪影響を及ぼさないようにすることができます。

URI にバージョン番号を指定しない URI (`/api/now/table/{tableName}` など) は、インスタンスバージョンの最新の REST エンドポイントを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている HTTP 要求メソッド

- GET
- DELETE
- HEAD
- PATCH
- POST
- PUT

これらのメソッドの詳細については、RFC-2616 ハイパーテキスト転送プロトコル のドキュメントを参照してください。

注:

- GET メソッドの代わりに HEAD メソッドを使用して、応答本文なしで応答を返すことができます。
- POST、PUT、および PATCH 操作で複数のレコードを渡すことはできません。これを行うと、最初のレコードのみが処理され、残りは無視されます。
- データベース ビューは読み取り専用であるため、POST、PUT、および PATCH を使用してデータベースビューにレコードを挿入または更新することはできません。

データ形式ヘッダー

REST API には、要求本文または応答本文を含む要求の適切なデータ形式を表す *Accept* および *Content-Type* 要求ヘッダーが必要です。POST、PUT、PATCH、および DELETE 操作では、両方のヘッダーを指定する必要があります。GET および HEAD 操作には *Accept* ヘッダーのみが必要です。必要なヘッダーを指定しないと、「400 要求が正しくありません」エラーが発生します。

ほとんどの ServiceNow REST API では、これらの要求ヘッダーは次の値をサポートしています。

- Accept：*application/json*、*application/xml*
- Content-Type：*application/json*、*application/xml*

各エンドポイントでサポートされている特定の値のリストについては、「REST API リファレンス」を参照してください。

その他のヘッダー

すべての要求には、認証に使用するユーザー資格情報を指定する認証ヘッダーを含めることができます。

X-http-method-override ヘッダーを設定して、GET や POST などの HTTP メソッドを上書きすることもできます。

特別なデータ処理

以下では、REST API 内のデータ処理の一部について細かい点を説明します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データフィールドをクリアする方法：選択フィールドを除き、パラメーターに空の値を渡してデータベースの値をクリアできます。たとえば、{"簡単な説明":""} を送信すると、指定されたレコードの *short_description* フィールドがクリアされます。
- 通貨フィールドの処理方法：返される通貨値は、ユーザーのロケールに基づいて現地通貨に変換されます。データを挿入する場合、変換は実行されません。この動作は、[通貨] または [価格] タイプのフィールドに適用されます。

  たとえば、UK ロケールのユーザーが USD の通貨値でレコードをクエリすると、戻り値は GBP に変換されます。ただし、このユーザーが GBP の通貨フィールド値で新しいレコードを追加すると、値は USD に変換されずに GBP で保存されます。この GBP 値は、US ロケールのユーザーがクエリした場合は USD で表示されます。

- UI データ表示と REST エンドポイントで渡される値：UI には、操作されたデータであるデータベースの表示値 が表示されます。デフォルトでは、REST エンドポイントは実際の値を挿入して更新します。この値は表示値とは異なる場合があります。sysparm_input_display_value 要求パラメーターを true に設定することで、渡された値を REST エンドポイントで表示値として強制的に処理させることができます。

カスタムクエリパラメーター

ServiceNow REST API は、利用可能な API の多くで次のクエリパラメーターを使用し、API 全体で一貫した動作を提供します。これらのパラメーターを使用して、大きなレコードセットをページネーションし、結果をフィルタリングし、単一のクエリで返されるレコードの数を制限します。

sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_input_display_value	表示値または実際の値を使用してフィールド値を設定するかを示すフラグ。さまざまなフィールドタイプに応じて、エンドポイントは、渡された表示値を処理して適正値をデータベースに格納します。たとえば参照フィールドの表示名を送信すると、エンドポイントはその値の sys_id をデータベースに格納します。日付と時刻のフィールドの場合、このパラメーターが true であると、日付と時刻の値は現在のユーザーのタイムゾーンに合わせて調整されます。false の場合、日付と時刻の値は GMT タイムゾーンを使用して挿入されます。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	• true：入力値を表示値として扱い、データベースに適切に格納されるように処理します。 • false：入力値を実際の値として扱い、処理せずにデータベースに格納します。 データタイプ：ブール デフォルト値：false。これは、データ検索 (GET メソッド) 中に返されるデータタイプ (実際の値) と一致します。 注: 暗号化されたフィールドの値を設定するには、このパラメーターを `true` に設定する必要があります。このパラメーターを true に設定しない場合、暗号化されたフィールドに送信される値は保存されません。さらに、要求側ユーザーは、適切な暗号化コンテキストがある状態で要求を送信する必要があります。暗号化されたフィールドは、適切な暗号化コンテキストがないユーザーには表示されません。フィールド暗号化の詳細については、「列レベル暗号化」を参照してください。
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*`sysparm_offset`* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *`sysparm_offset`* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使用して、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><op` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えた後、カテゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

REST API 要求でのドット連結

ドット連結は、これらのパラメーターをサポートする REST API への要求で *sysparm_query* または *sysparm_fields* パラメーターを指定するときに使用できます。

注: インポートセット API はドット連結をサポートしていません。

sysparm_query でのドット連結

sysparm_query パラメーターでドット連結を使用すると、関連レコード値を使用してクエリをフィルタリングできます。たとえば、インシデント [会社] に特定の [銘柄記号] 値のあるすべてのインシデントレコードを取得できます。

```
https://<instance>.service-now.com/api/now/table/incident?
sysparm_query=company.stock_symbol=NYX
```

sysparm_fields でのドット連結

sysparm_fields パラメーターでドット連結を使用すると、複数のテーブルのフィールド値を表示できます。たとえば、特定のロールを持つ各ユーザーの名前、**Sys_id**、および部門と、ロールの名前を取得できます。

要求は、ユーザーとロール間の多対多の関係を定義するユーザーロール [sys_user_has_role] テーブルで実行されます。応答には、ユーザー [sys_user] テーブルとロール [sys_user_role] テーブルのフィールド値が含まれます。

```
https://<instance>.service-now.com/api/now/table/sys_user_has_role?
sysparm_fields=role%2Crole.name%2Cuser%2Cuser.name%2Cuser.sys_id
%2Cuser.department&sysparm_query=role%3D3d43716d0f6002003a2d47bce1050e0d
%5EORrole%3Dac73b52d0f6002003a2d47bce1050eec&sysparm_display_value=true
```

```
{
"result": [
  {
   "user.name": "Fred Johnson",
   "user.sys_id": "f5a3716d0f6002003a2d47bce1050ed4",
   "role.name": "support",
   "user.department": {
      "display_value": "Accounting",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/cmn_department/5b3b135
30f58c2003a2d47bce1050e96"
    },
   "role": {
      "display_value": "support",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/sys_user_role/3d43716d
0f6002003a2d47bce1050e0d"
    },
   "user": {
      "display_value": "Fred Johnson",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/sys_user/f5a3716d0f600
2003a2d47bce1050ed4"
    }
  },
  {
   "user.name": "Fred Johnson",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "user.sys_id": "f5a3716d0f6002003a2d47bce1050ed4",
   "role.name": "asset_mgmt",
      "user.department": {
      "display_value": "Accounting",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/cmn_department/5b3b135
30f58c2003a2d47bce1050e96"
     },
    "role": {
       "display_value": "asset_mgmt",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/sys_user_role/ac73b52d
0f6002003a2d47bce1050eec"
      },
    "user": {
       "display_value": "Fred Johnson",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/sys_user/f5a3716d0f600
2003a2d47bce1050ed4"
       }
    }
  ]
}
```


REST API HTTP 応答コード

REST エンドポイントに対する呼び出しは、HTTP 応答コードを返します。これらの応答コードを使用して、REST API が適切に実行されたことを確認できます。そうでない場合、エンドポイントはエラー応答コードを返します。エラー応答の情報を使用して、呼び出しの形式の問題をトラブルシューティングします。エンドポイントが返す可能性がある標準的な応答コードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。特定の ServiceNow REST API で返される応答コードのリストについては、「REST API リファレンス」を参照してください。

REST API セキュリティ

デフォルトでは、ServiceNow REST API は基本認証または OAuth を使用して、REST API/エンドポイントへのユーザーアクセスを許可します。マルチファクター認証を使用して REST API にアクセスするようにインスタンスを設定することもできます。

REST エンドポイント呼び出しで指定するユーザー ID は、インタラクティブユーザーと同じ方法でアクセス制御されます。各要求には、ユーザー名やパスワードなどの適切な認証情報が必要です。各エンドポイント要求に、エンドポイントにアクセスするための十分な資格情報を持つ認証ヘッダーが含まれていることを確認します。

ServiceNow REST API は、既存のセッションへのバインディングをアクティブ化する cookie もサポートしています。

証明書を使用して API を呼び出す方法と相互認証の詳細については、「証明書ベースの認証」を参照してください。

IP、ロール、グループなどのフィルター基準を持つ REST API アクセスポリシーを使用し、API のスコープを制限するには、REST API 認証スコープ を使用できます。REST API アクセスポリシーの詳細については、「REST API アクセスポリシー」を参照してください。

グローバル REST API レベルでは信頼できるネットワークの外部から REST API アクセスポリシーを使用して、あるいは基本的な REST 認証レベルで、受信要求をブロックする単一のポリシーを作成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

REST API ロール

ユーザー認証に加えて、各 REST エンドポイントには、エンドポイントへのアクセスに必要なロールに関して異なる要件がある場合があります。admin ロールが必要なものもあれば、API 固有のロールが必要なものもあります。ロール要件は、REST API/エンドポイントに関連付けられたアクセス制御リスト (ACL) で指定されます。各 REST API/エンドポイントの有効なロールの詳細については、「REST API リファレンス」を参照するか、 **[System Security]** > [アクセス制御 **(ACL)]** から、インスタンス内の API/エンドポイントに関連する ACL を探してください。

REST API ACL

REST API ACL は、必要なロールや、ユーザーが ServiceNow REST API またはエンドポイントにアクセスするために満たす必要がある条件などの基準を定義します。単一の ACL は、テーブル API や添付ファイル API ACL などの REST API 全体に対して、または メトリックベース PUT メソッドにのみ適用される clotho_rest_put ACL などの個々のエンドポイントに対して定義できます。

次の ServiceNow REST API ACL はベースシステムで使用できますが、デフォルトでは非アクティブ化されています。その他すべての ServiceNow REST API ACL はデフォルトでアクティブです。

- テーブル API
- 集計 API
- インポートセット API
- 添付ファイル API

ACL の詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

重要: REST API ACL の名前を変更することはできません。

REST API テーブルアクセス

デフォルトでは、ベースシステムテーブル、グローバルテーブル、およびスコープ対象のテーブルを含むすべてのテーブルに Web サービスを介してアクセスできます。Web サービスを介してテーブルにアクセスするには、基本認証や ACL など、Web サービスのセキュリティ要件を満たす必要があります。ACL が原因で呼び出し元エンティティが権限を持たないフィールドは、REST クエリ応答では返されません。

認証や認可なしでテーブルにアクセスできるようにするには、そのテーブル名をアクティブステータスで公開ページ [sys_public] テーブルに追加します。REST インターフェイスでも、定義された ACL が関連テーブルに適用されます。ACL の適用が望ましい動作でない場合は、テーブルの ACL を非アクティブ化する必要があります。ただし、API を公開にすると、インスタンス内のデータを更新するためのパブリックアクセスが許可されるため、API を公開することはお勧めしません。

テーブルアプリケーションのアクセス設定の **[Web** サービスからのアクセス許可] チェックボックスを使用して、テーブルへの直接の Web サービスアクセスを制御することもできます。Web サービスとテーブルのインタラクションをアクティブ化するには、このチェックボックスをオンにする必要があります。

注: [読込可能] や [作成可能] などの CRUD 操作を制御するアプリケーションアクセスフィールドは、Web サービス要求には適用されません。

受信 **REST** のマルチファクター認証

ユーザーアカウントに対してマルチファクター認証が有効になっている場合は、そのユーザーとして REST 要求を行うときに、基本認証資格情報を使用して MFA トークンを送信する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

REST 要求で MFA トークンを送信するには、基本認証の username:password 文字列のユーザーのパスワードの末尾にトークンを追加します (`joe.employee:password62161147` など)。base64 エンコーディングを使用して MFA トークンを含む完全な文字列をエンコードし、エンコードされた文字列を認証ヘッダーで送信します。

マルチファクター認証の REST 応答

MFA 認証要求への応答は、指定された認証情報と MFA トークンの有効性によって異なります。

応答

結果	説明
基本認証資格情報と MFA トークンが有効です	ユーザーが認証され、セッションが作成されます。要求は正常に処理されます。
基本認証資格情報は有効ですが、MFA トークンが無効であるか、見つかりません	応答はエラー 401 を返します。応答には、値が **invalid** の X-MFA_TOKEN ヘッダーが含まれています。
基本認証資格情報が無効です	応答はエラー 401 を返します。X-MFA_TOKEN ヘッダーは応答に含まれません。

REST API CORS サポート

REST API は、クロスオリジンリソース共有 (CORS) セキュリティをサポートしています。CORS サポートにより、各 REST API にアクセスできるドメインを定義できます。ドメインの CORS ルールを定義することで、そのドメインからのクロスオリジン要求を許可できます。CORS ルールのないドメインからクロスオリジン要求を作成することはできません。

> **注:** CORS サポートは、スクリプト化された REST Web サービスを含む REST API にのみ適用されます。SOAP API などの他の Web サービス API は CORS をサポートしていません。

他のドメインから特定の API/エンドポイント、HTTP メソッド、およびヘッダーのみへのアクセスを許可するように CORS を設定できます。たとえば、特定のドメインからのテーブル API への要求を制限して、GET 操作のみを許可することができます。

インスタンスで定義されている CORS ルールを表示するには、 **System Web Services** > **CORS** ルール.

インスタンスの CORS サポートを非アクティブ化するには、*glide.rest.cors.enabled* プロパティを **[false]** に設定します。**false** の場合、着信 REST 要求で CORS 評価は実行されません。このプロパティはデフォルトで **true** に設定されています。

REST API エクスプローラー

REST API エクスプローラーは、インスタンスからの情報を使用して、REST 要求の構築および送信に使用できるエンドポイント、メソッド、および変数のリストを提供する ServiceNow ツールです。

要求を構築すると、REST API エクスプローラーは、要求を開始するために使用できる複数のプログラミング言語のコードサンプルと、詳細な要求および応答情報を提供します。

REST API Explorer にアクセスするには、インスタンスで **System Web Services** > **REST API** エクスプローラー. REST API Explorer にアクセスするには、rest_api_explorer ロールが必要です。詳細については、「REST API エクスプローラーの使用」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ **警告:** REST API エクスプローラーは、現在のインスタンスのデータを操作します。本番インスタンスでデータを作成、編集、または削除する要求を処理する場合は注意してください。

Automated Test Framework のサポート

Automated Test Framework (ATF) は、受信 REST テストステップをサポートしています。作成したカスタム受信 REST API の自動テストを作成できます。カスタム REST API のテストを作成すると、アップグレードのテストが簡素化され、REST API の変更に下位互換性があることを確認することが可能になります。

REST クライアントアプリケーションのサンプル

REST Web サービスを使用した統合のデモには、いくつかの REST クライアントアプリケーションとソースコードのサンプルが用意されています。REST クライアントアプリケーションのサンプルでは、NodeJS や iOS アプリケーションなどの外部アプリケーションで ServiceNow REST API を使用する方法を示しています。

重要: これらのアプリケーションは REST 機能のデモとしてのみ提供されており、正式にはサポートされていません。

サンプルはオープンソースであり、コミュニティで利用できます。これらのサンプルアプリケーションを使用して、REST 機能に慣れることができます。また、独自の REST クライアントアプリケーションを作成するための出発点として使用することもできます。

rest_api_explorerロールを持つユーザーは、次の場所に移動して、利用可能なクライアントアプリケーションのリストにアクセスできます。 **System Web Services** > **REST** > サンプルクライアントアプリ.

アプリケーションのリストを表示しているときに、アプリケーションをクリックすると、GitHub でホストされているソースコードと追加のドキュメントが表示されます。

開発者トレーニング

ServiceNow® 開発者サイトでは、受信 REST 統合 と送信 REST 統合 のトレーニングを受けることができます。

追加情報

REST API セクションの残りの部分には、ServiceNow REST API を使用した特定の実装について説明する「ハウツー」トピックが含まれ、ServiceNow REST API で使用されるさまざまなデータ要素を説明する参照情報が提供されます。

関連情報

REST API の FAQ

REST API エクスプローラーの使用

このチュートリアルでは、REST API エクスプローラーを使用して ServiceNow REST API をテストします。

REST API エクスプローラーを使用すると、ServiceNow REST API を検出し、要求を迅速に作成して実行し、ServiceNow REST API からの応答をブラウザー内で表示できます。開始する前に、ユーザーアカウントに rest_api_explorer ロールと web_service_admin roles ロールがあることを確認してください。手順の例を完了するには、これらのロールが必要です。ロールの割り当ての詳細については、「 ロールの管理 」を参照してください。

REST API エクスプローラーにアクセスする

REST API エクスプローラーを使用して、利用可能な REST API リソースを確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

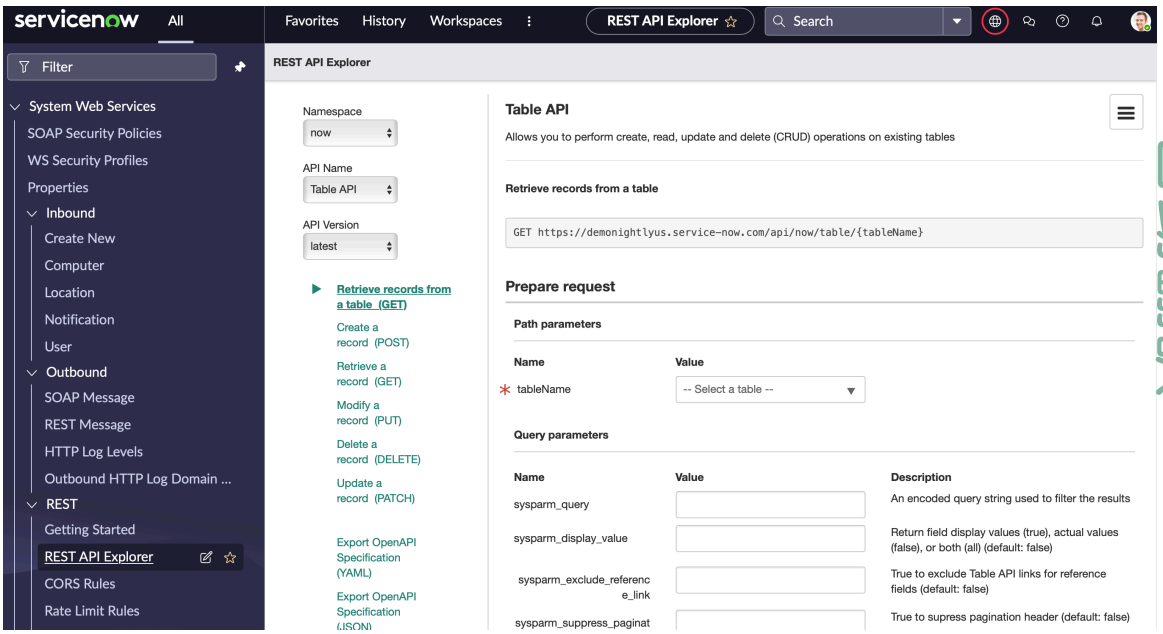
自動翻訳

始める前に
必要なロール：web_service_admin、rest_api_explorer、または admin

このタスクについて
REST API Explorer (REST API エクスプローラー) を使用して、利用可能な API、API バージョン、および各 API のメソッドを参照できます。エクスプローラーを使用すると、ユーザーインターフェイスから直接 REST API 要求をテストできます。

手順

1. ServiceNow インスタンスで、上部のナビゲーションメニューにある [すべて] をクリックします。
   [すべてのフィルター] ナビゲーションが開きます。
2. [すべて] メニューから、次のいずれかの操作を行います。
   - 次のモジュールパスを展開します。 **System Web Services** > **REST** > **REST API** エクスプローラー.
   - フィルター検索バーに「REST API Explorer」と入力します。
3. REST API Explorer モジュールをクリックします。
4. [探索]をクリックします。
   [REST API Explorer (REST API エクスプローラー)] ページが開きます。



タスクの結果
[名前空間]、[API 名]、および [バージョン] ドロップダウンオプションを変更して、特定の REST API に絞り込むことができます。

既存のインシデントを取得する

GET 要求を使用して、既存のインシデントレコードを表示します。

始める前に
必要なロール：admin、web_service_admin、または rest_api_explorer

このタスクについて
REST API エクスプローラーを使用して、次の要求を送信します。

```
GET https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/incident
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. REST API エクスプローラーの左上で、[テーブル **API]** およびバージョン **[v1]** を選択します。
2. [テーブルからレコードを取得 **(GET) (Retrieve records from a table (GET))]** をクリックします。この API エンドポイントの詳細については、「テーブル - GET /now/table/{tableName}」を参照してください。
3. [パスパラメーター] セクションで、[インシデント **(incident)]** テーブルを選択します。
4. ページの下部までスクロールし、[送信] をクリックします。

応答には、インスタンスからのインシデントレコードが含まれます。REST API エクスプローラーでは、クエリは一度に 10 レコードに制限されています。最初の 10 件のインシデントレコードのみが表示されます。応答には、次の 10 件のインシデントレコードをクエリするための URL を提供するリンクヘッダーも含まれています。

応答には、要求の [ステータスコード] と [実行時間] (ミリ秒) も示されます。

Response

Status code	200 OK
Execution time (ms)	85
Headers	
Cache-control	no-cache,no-store,must-revalidate,max-age=-1
Content-encoding	gzip
Content-type	application/json;charset=UTF-8
Date	Tue, 11 Sep 2018 18:46:42 GMT
Expires	0
Link	<https:// /api/now/v1/table/incident?sysparm_limit=1&sysparm_offset=0>;rel="first",<https:// /api/now/v1/table/incident?sysparm_limit=1&sysparm_offset=-1>;rel="prev",<https:// /api/now/v1/table/incident?sysparm_limit=1&sysparm_offset=1>;rel="next",<https:// /api/now/v1/table/incident?sysparm_limit=1&sysparm_offset=3>;rel="last"
Pragma	no-store,no-cache
Server	ServiceNow
Strict-transport-security	max-age=63072000; includeSubDomains
Transfer-encoding	chunked
X-is-logged-in	true
X-total-count	4
X-transaction-id	b955872c13e4

Response Body


```
{
  "result": [
    {
      "parent": "",
      "made_sla": "true",
      "caused_by": "",
      "watch_list": "",
      "upon_reject": "cancel",
      "sys_updated_on": "2018-08-02 16:40:36",
      "child_incidents": "0",
      "hold_reason": "",
      "approval_history": "",
      "skills": "",
      "number": "INC0010005",
      "resolved_by": "",
      "sys_updated_by": "admin",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントレコードを作成する

POST 要求を使用して新しいレコードを作成します。

始める前に

必要なロール：admin、web_service_admin、または rest_api_explorer

このタスクについて

REST API エクスプローラーを使用して、次の要求を送信します。

```
POST https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/incident
```

手順

1. REST API エクスプローラーの左上で、[テーブル **API]** およびバージョン **[v1]** を選択します。
2. [レコードを作成 **(POST)]** をクリックします。
   この API エンドポイントの詳細については、「テーブル - POST /now/table/{tableName}」を参照してください。
3. [パスパラメーター] セクションで、[インシデント **(incident)]** テーブルを選択します。
4. [要求本文] セクションで、[フィールドを追加してください] をクリックします。
5. フィールドを選択し、そのフィールドの値を指定します。
6. オプション: プラス記号 (**+**) をクリックし、値を割り当てる追加のフィールドを指定します。
   要求の本文は、エントリ (`{"short_description":"Test incident creation through REST", "comments":"These are my comments"}` など) に基づいて自動的に更新されます。
7. 要求を作成したら、[送信] をクリックします。

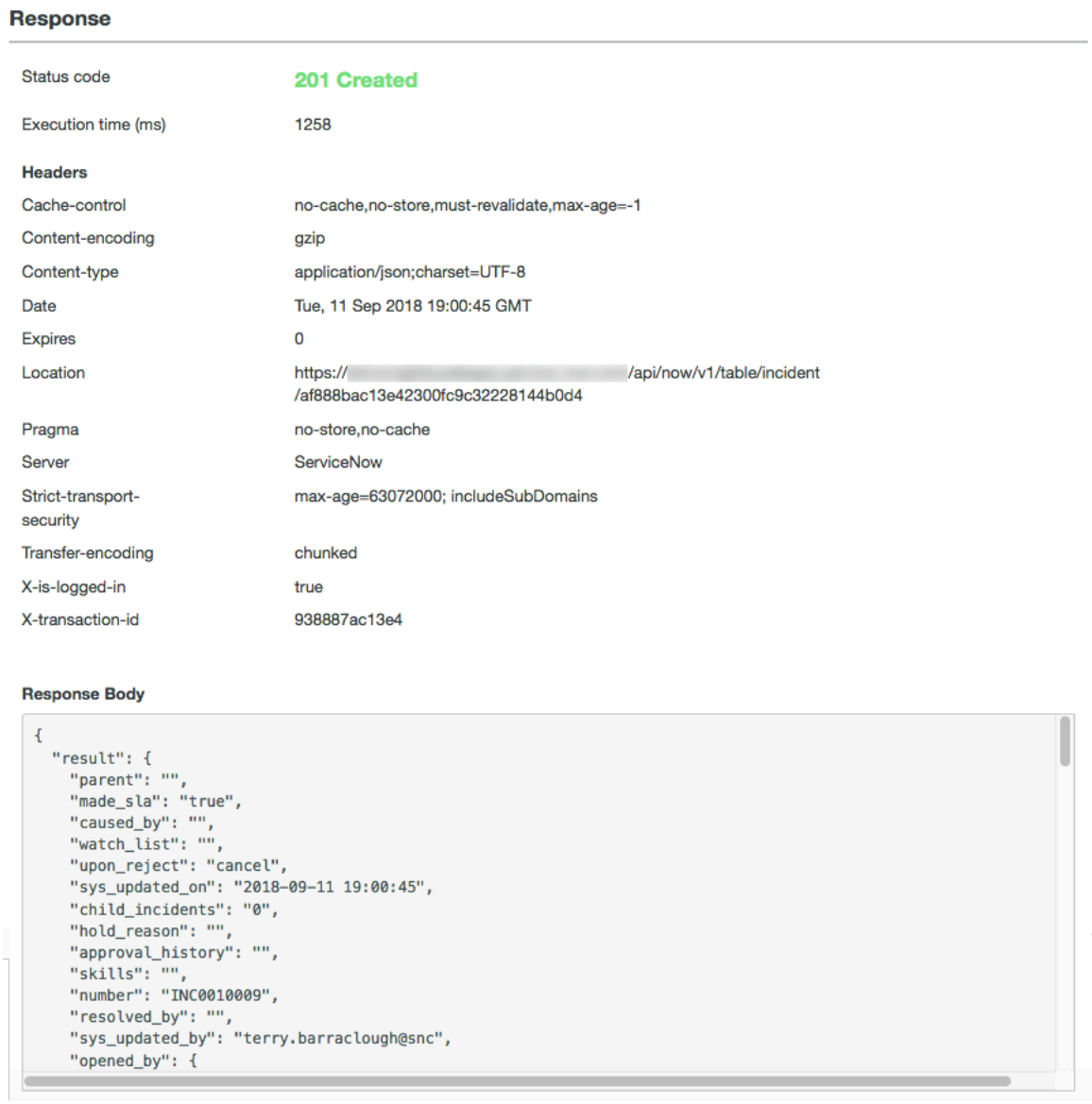
   応答には、インシデントが作成された場所を指定する Location ヘッダーとインシデントの取得方法が含まれています。

   ヒント: このガイドの後続の部分で使用するために、このヘッダーを記録します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答には、要求の [ステータスコード] と [実行時間] (ミリ秒) も示されます。



自動翻訳

挿入されたインシデントを読み込む

POST 応答の Location ヘッダーを使用して、GET 要求を実行します。

始める前に

必要なロール：admin、web_service_admin、または rest_api_explorer

このタスクについて

REST API エクスプローラーを使用して、次の要求を送信します。

```
GET https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/incident/{sys_id}
```

手順

1. REST API エクスプローラーの左上で、[レコードを取得 **(GET) (Retrieve a record (GET))]** をクリックします。
2. [パスパラメーター] セクションで、インシデントテーブルを選択します。
3. **[sys_id]** フィールドに、作成したレコードの sys_id を入力します。

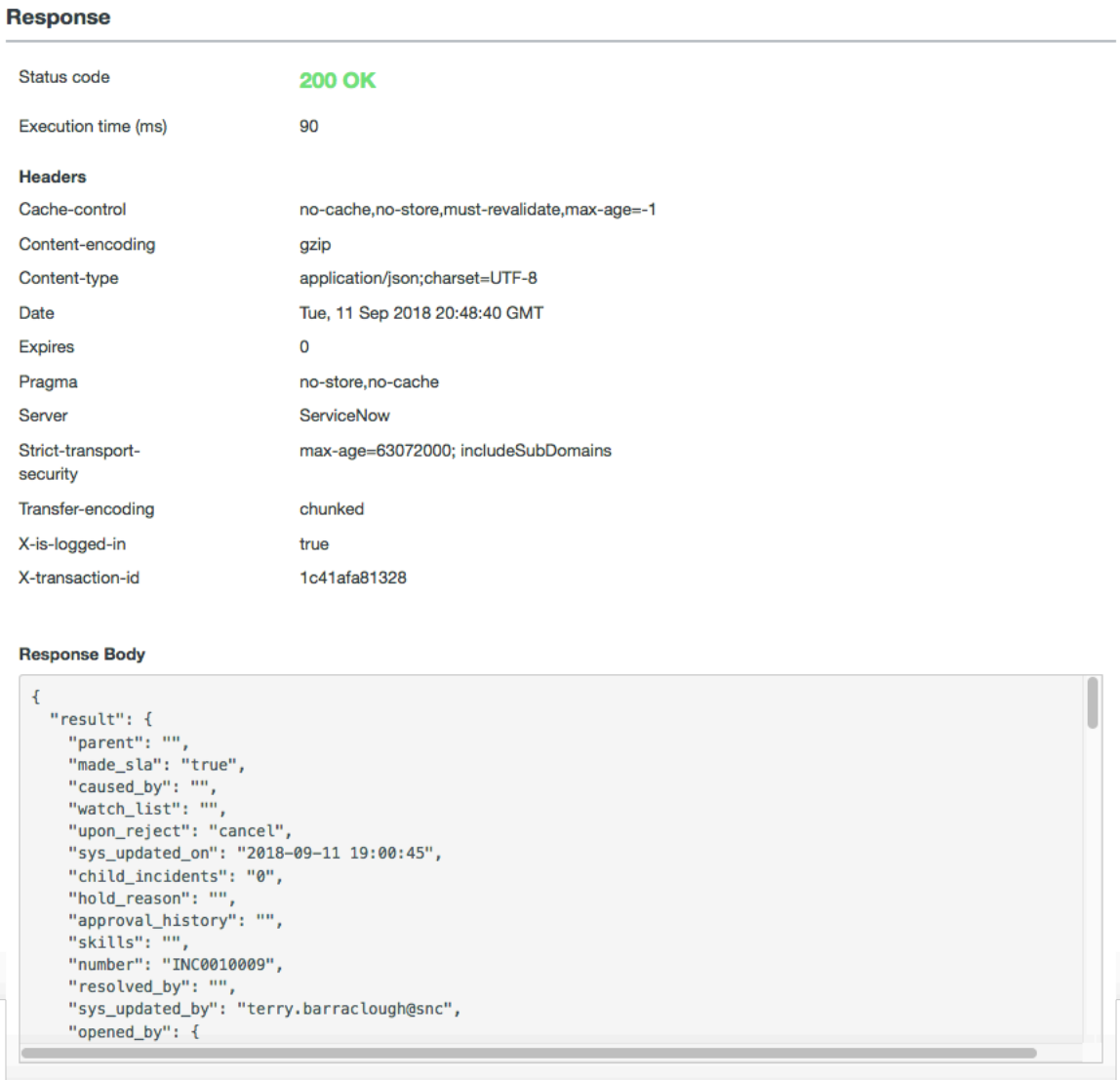
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードの sys_id は、POST 応答の Location ヘッダーの末尾に 32 文字の文字列として表示されます。

4. [送信] をクリックします。

応答本文には、レコードのテキスト表現が含まれています。[応答形式] フィールドを使用して、応答の形式 (JSON や XML など) を制御できます。

応答には、要求の [ステータスコード] と [実行時間] (ミリ秒) も示されます。



自動翻訳

インシデントを更新する

PUT または PATCH 機能を使用してインシデントレコードを更新します。

始める前に

必要なロール：admin、web_service_admin、または rest_api_explorer

このタスクについて

REST API エクスプローラーを使用して、次の要求を送信します。

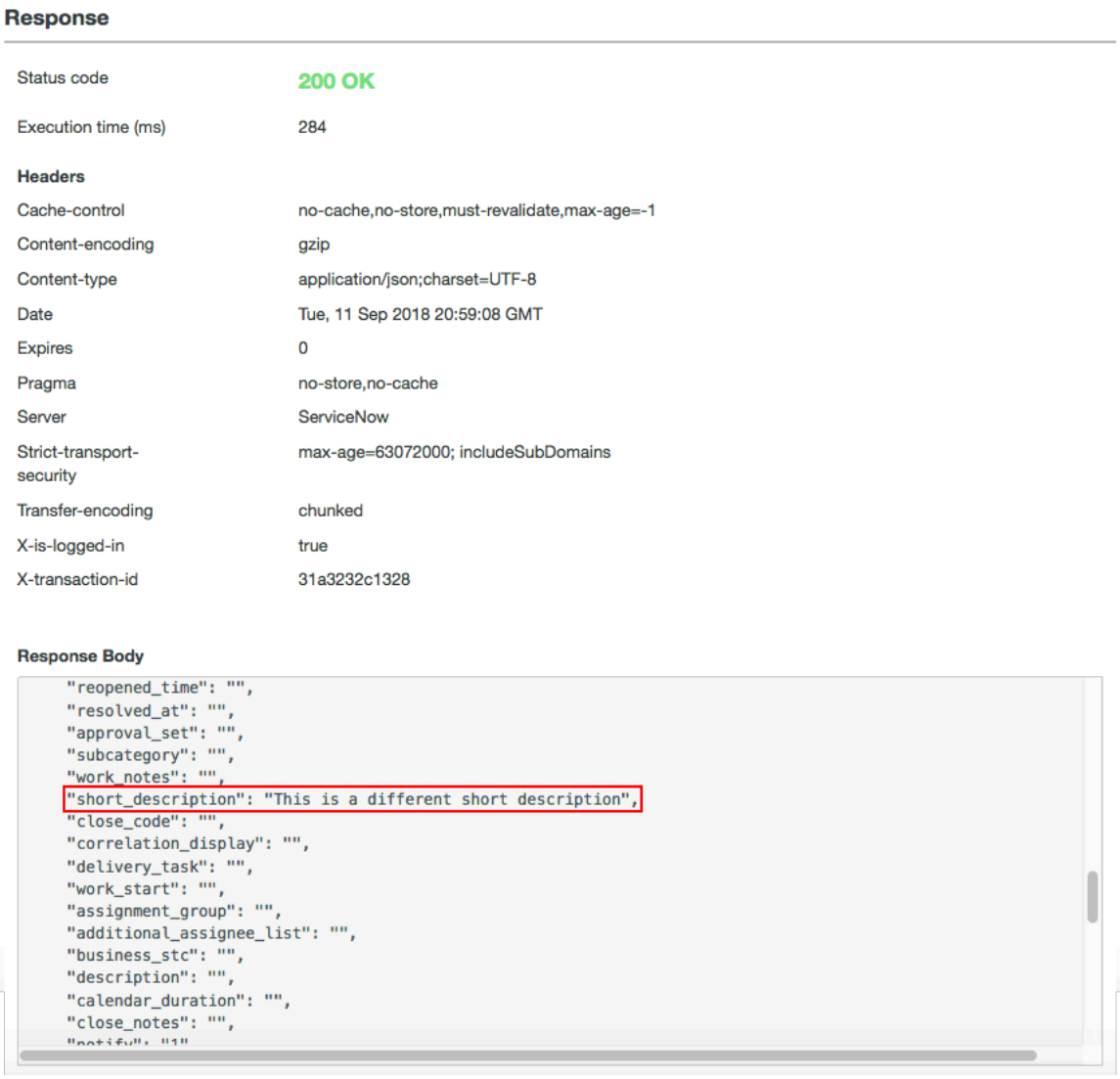
```
PUT https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/incident/{sys_id}?
sysparm_exclude_ref_link=true
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. REST API エクスプローラーの左上で、[レコードを変更 **(PUT) (Modify a record (PUT))]** または [レコードを更新 **(PATCH)]** をクリックします。
2. [パスパラメーター] セクションで、[インシデント **(incident)]** テーブルを選択します。
3. **[sys_id]** フィールドに、作成したレコードの sys_id を入力します。
4. [要求本文] セクションで、[フィールドを追加してください] をクリックします。
5. [簡単な説明] フィールドを選択し、新しい値を指定します。
6. [送信] をクリックします。

   応答に、要求の [ステータスコード] と [実行時間] (ミリ秒) が示されます。



7. 応答の本文に更新された **short_description** の値が記載されていることを確認します。

インシデントを削除する

DELETE 要求を使用してインシデントを削除します。

始める前に

必要なロール：admin、web_service_admin、または rest_api_explorer

自動翻訳

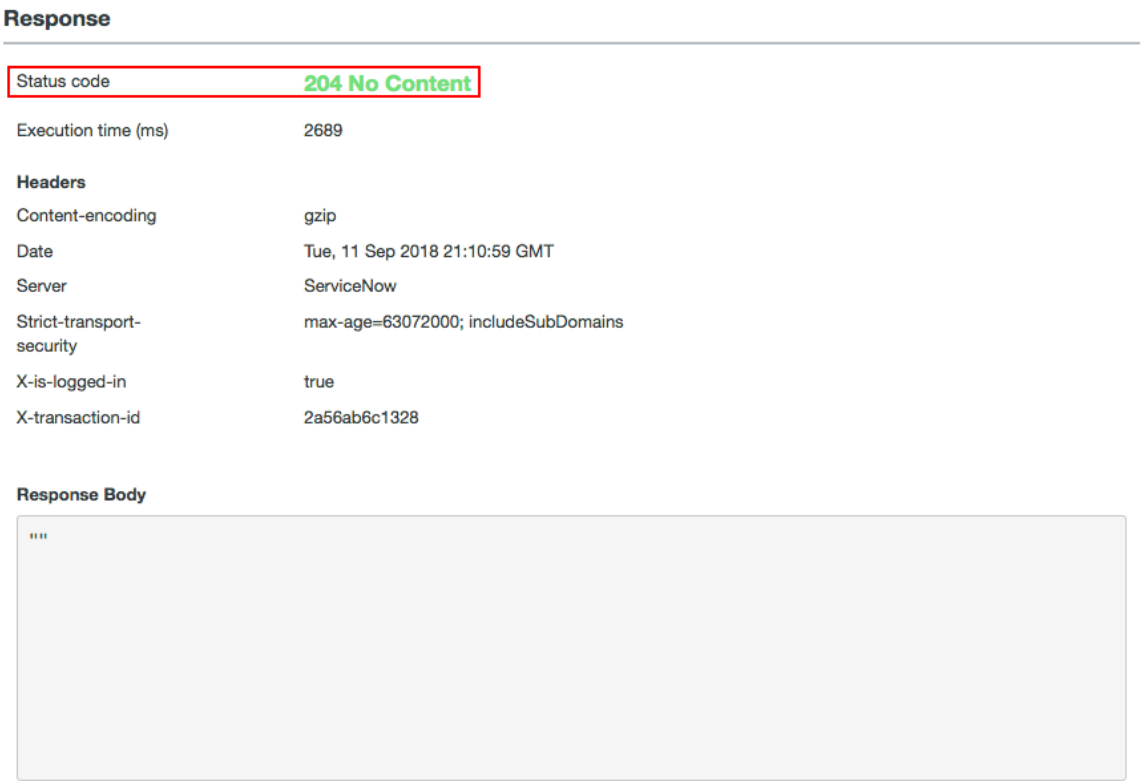
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
REST API エクスプローラーを使用して、次の要求を送信します。

```
DELETE https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/incident/{sys_id}
```

手順
1. REST API エクスプローラーの左上で、[レコードを削除 **(DELETE) (Delete a record (DELETE))]** をクリックします。
2. [パスパラメーター] セクションで、[インシデント **(incident)]** テーブルを選択します。
3. **[sys_id]** フィールドに、作成したレコードの sys_id を入力します。
4. [送信] をクリックします。

   応答に、要求の [ステータスコード] と [実行時間] (ミリ秒) が示されます。



5. 応答の [ステータスコード] が `[204]` になっていることを確認します。

テーブルの **REST API** を確認する
そのテーブルから直接、テーブルの REST API を探索できます。REST API エクスプローラーを使用して API を探索し、そのテーブルに対する REST 要求をすばやく作成してテストします。

始める前に
必要なロール：itil、personalize_dictionary、および rest_api_explorer

手順
1. 任意のフォームまたはリストに移動します。
2. フォームで、フォームヘッダーを右クリックし、 **Configure** (構成) > テーブル.
3. リストで、リストのバージョンに合わせて適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスト v2 の場合は、任意の列見出しを右クリックし、 **Configure** (構成) > テーブル.
- リスト v3 の場合は、リストのタイトルメニューを開き、[構成] を選択して、[テーブル] をクリックします。

4. **[REST API** の探索] 関連リンクをクリックします。
   REST API エクスプローラーが開き、選択したテーブルのテーブル API が表示されます。テーブルで Web サービスのインタラクションが許可されていない場合は、代わりに警告が表示されます。

次のタスク
REST API エクスプローラーを使用して、テーブルに対する REST 要求を作成してテストします。

OpenAPI 仕様へのエクスポート

REST API を OpenAPI 仕様としてエクスポートして、別の Web サービスツールにインポートします。

始める前に
必要なロール：web_service_admin、rest_api_explorer、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > **REST API** エクスプローラー.
2. エクスポートする API を選択します。

   Example
   たとえば、次の選択肢を使用して、エクスポートするテーブル API を選択します。

フィールド	値
名前空間	今
API 名	テーブル API
API バージョン	最新

3. API メソッドのリストの下で、使用するエクスポート形式のリンクを選択します。

オプション	説明
OpenAPI 仕様をエクスポート (YAML)	YAML 形式でエクスポートします。
OpenAPI 仕様をエクスポート (JSON)	JSON 形式でエクスポートします。

   ブラウザーにダウンロード場所を選択するウィンドウが表示されます。
4. ダウンロード場所とファイル名を選択します。
5. ファイルを保存します。

タスクの結果
選択した形式で API がダウンロードされます。

次のタスク
Postman や Insomnia などの Web サービスツールに API をインポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

受信 REST API のレート制限

過剰な受信 REST API 要求を防ぐために、1 時間あたりに処理される受信 REST API 要求の数を制限するルールを設定します。特定のユーザー、特定のロールを持つユーザー、またはすべてのユーザーの要求を制限するルールを作成できます。

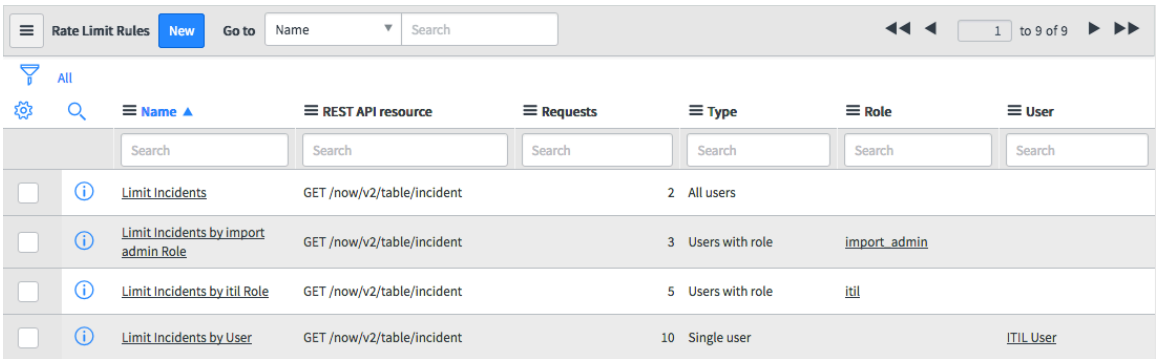
注: 要求がインスタンスに達したときに、各ノードはユーザーごとのレート制限数を維持します。30 秒ごとに、カウントがデータベースにコミットされます。その結果、レート制限ルールが最大 30 秒間有効にならない場合があります。

レート制限の優先度

受信 REST API 要求が同じリソースの複数のレート制限ルールに一致する場合、レート制限の優先度は次のように強制されます。

- [単一ユーザー] 用に設定されたルールは、[すべてのユーザー] 用のルールおよび [ロールを持つユーザー] 用のルールより優先されます。
- [ロールを持つユーザー] 用に設定されたルールは、[すべてのユーザー] 用のルールより優先されます。

この例では、同じ REST API リソース `GET /now/v2/table/incident` に 4 つのレート制限ルールがあります。



これらのレート制限ルールは、次の順序で適用されます。

1. [ユーザーによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by User)]** は、1 時間あたり最大 10 件の要求を送信できる ITIL ユーザーに適用されます。
2. **[import admin** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by import admin Role)]** は、import_admin ロールを持つ各ユーザーに適用されます。import_admin ロールを持つ各ユーザーは、1 時間あたり最大 3 件の要求を送信できます。
3. **[itil** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by itil Role)]** は、itil ロールを持つ各ユーザーに適用されます。itil ロールを持つ各ユーザーは、1 時間あたり最大 5 件の要求を送信できます。
4. [インシデントの制限 **(Limit Incidents)]** はすべてのユーザーに適用されます。各ユーザーは、1 時間あたり最大 2 件の要求を送信できます。

ITIL ユーザーが要求 `GET /now/v2/table/incident` を行うと、その要求は、[インシデントの制限 **(Limit Incidents)]**、**[itil** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by itil Role)]**、[ユーザーによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by User)]** の 3 つのルールの基準に一致します。[ユーザーによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by User)]** ルールは他のルールよりも優先されるため、このルールのみが適用されます。結果として、ITIL ユーザーは 1 時間あたり最大 10 件の要求を送信できます。

ユーザーが REST API リソースの複数のレート制限ルールの基準に一致する 2 つ以上のロールを持っている場合、要求を許可する数が最も少ないルールが、リソースに対するユーザーの要求に適用さ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

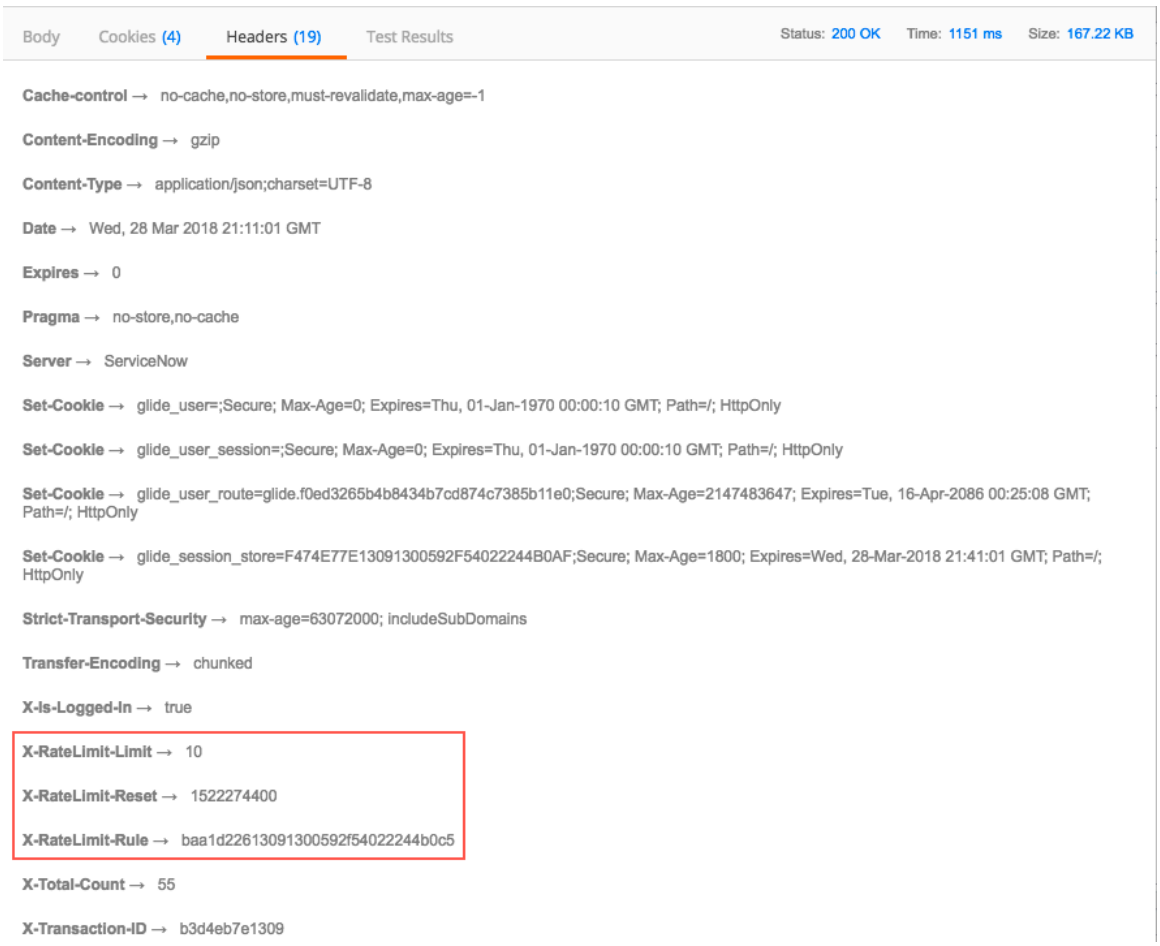
自動翻訳

れます。上の図の例のルールで、ユーザー Abel Tuter が import_admin ロールと itil ロールの両方を持っているとします。Abel Tuter が送信する要求は、**[admin** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by admin Role)]** ルールと**[itil** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by itil Role)]** ルールの両方の基準を満たします。最も少ない数の要求を許可するため、**[admin** ロールによるインシデントの制限 **(Limit Incidents by admin Role)]** ルールのみが適用されます。結果として、Abel Tuter は 1 時間あたり最大 3 件の要求を送信できます。

REST API 応答ヘッダー

REST API エクスプローラーの使用 または HTTP クライアント (Postman など) を使用して、受信 REST API 要求を生成できます。要求がレート制限ルールに一致する場合、いくつかの HTTP 応答ヘッダーがレート制限に関する情報を提供します。

- **X-RateLimit-Limit** には、1 時間あたりに許可された要求の数が表示されます。
- **X-RateLimit-Reset** には、次にスケジュールされているリセットまでの Unix 時間が表示されます。
- **X-RateLimit-Rule** には、適用されているレート制限ルールの sys_id が表示されます。



レート制限を超えたために要求が拒否された場合、システムはレート制限に関する応答ヘッダーに加えて、**Retry After** 応答ヘッダーを返します。**Retry After** 応答ヘッダーには、何秒経過した後にレート制限の超過を回避するために要求を再試行できるかという秒数が表示されます。次のエラー応答が返されます。

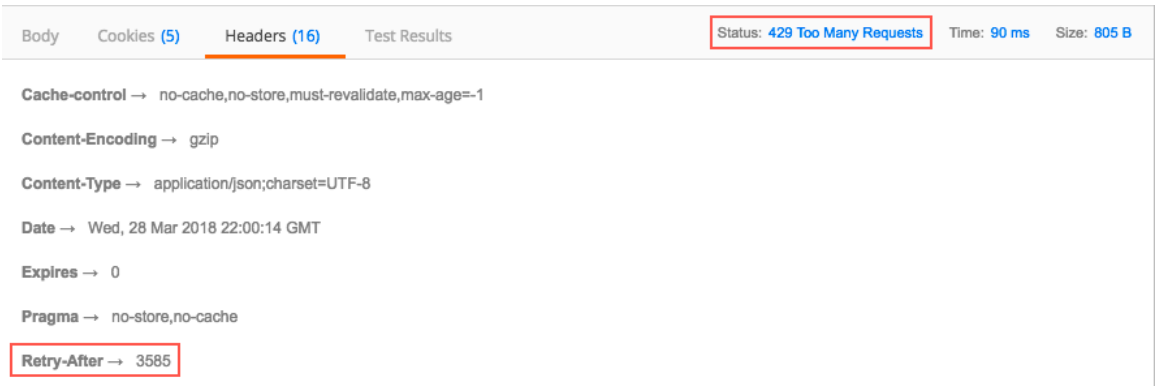
```
{
    "error": {
        "message": "Rate limit exceeded",
        "detail": "Rate limit of 10 requests per hour for Table API
 exceeded"
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "status": "failure"
}
```

拒否された要求のステータスは、[429 要求が多すぎます (429 Too Many Requests)]です。



受信 REST API レート制限を作成する

レート制限ルールを作成して、1 時間あたりに処理される受信 REST API 要求の数を制限します。

始める前に

必要なロール：rate_limit_admin

このタスクについて

すべてのユーザー、特定のロールを持つユーザー、またはすべてのユーザーに対してレート制限を設定します。

注: 要求がインスタンスに達したときに、各ノードはユーザーごとのレート制限数を維持します。30 秒ごとに、カウントがデータベースにコミットされます。その結果、レート制限ルールが最大 30 秒間有効にならない場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > レート制限ルール.
2. [新規] をクリックし、次のフィールドの値を入力します。

REST API レート制限ルールフォーム

フィールド	説明
REST API リソース	次のフィールドに入力された値から導出された値。
名前	レート制限ルールの一意の名前。
REST API	インスタンスのすべての外部向け REST API のリストから選択された REST API。
バージョン	**REST API** のバージョン。リストされる値は、選択した **REST API** によって異なります。
リソース	バージョンのリソース。リストされる値は、選択したバージョンによって異なります。
テーブル	ターゲットにするテーブル。**[REST API]** として [テーブル **API]** を選択した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インポート セット テーブル	ターゲットにするインポートセットテーブル。**[REST API]** として [インポートセット **API]** を選択した場合にのみ表示されます。
アクティブ	レート制限ルールが有効であることを示すチェックボックス 。 レート制限ルールは、作成されるとデフォルトで直ちに有効になります。レート制限ルールを無効にしてレート制限の適用を停止したり、レート制限ルールを有効にしてレート制限の適用を再開したりすることができます。
1 時間当たりの要求制限	1 時間あたりに許可される最大要求数です。 **注:** このフィールドの値を更新するたびに、Now Platform により要求数が 0 にリセットされ、現在の時間のすべての違反が削除されます。
適用先	このルールで制限を受けるユーザー： ◦ [単一ユーザー] では、特定のユーザーにレート制限を適用します。 ◦ [ロールを持つユーザー] では、特定のロールを持つすべてのユーザーにレート制限を適用します。 ◦ [すべてのユーザー] では、すべてのユーザーにレート制限を適用します。
ロール	レート制限が適用されるロール。[適用先] フィールドで [ロールを持つユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。
ユーザー	レート制限が適用されるユーザー。[適用先] フィールドで [単一ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。

3. [送信] をクリックします。
   新しいレート制限が有効になります。

次のタスク

ルールを送信すると、Now Platform によって次の関連リストがルールレコードに追加されます。

レート制限の数

このレート制限ルールの影響を受ける受信 REST API 要求の数をユーザー別に一覧表示します。

レート制限違反

このレート制限ルールの違反をユーザー別に一覧表示します。

これらの関連リストを使用すると、「受信 REST API のレート制限数と違反を監視する」を行うことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インバウンド REST API レート制限をリセットする

レート制限ルールをリセットしてレート制限数をゼロ (0) にリセットし、現在の時間の違反を削除します。

始める前に
必要なロール：rate_limit_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > レート制限ルール.
2. レート制限数をリセットするレート制限ルールを選択します。
3. [レート制限数をリセット] 関連リンクをクリックします。

タスクの結果
現在の時間について、レート制限ルールのレート制限数がゼロ (0) にリセットされ、すべての違反が削除されます。処理する REST API 要求が受信されると、システムはレート制限カウントと違反のインクリメントを開始します。

受信 REST API のレート制限数と違反を監視する

レート制限ルールが適切に設定されているかどうかを判断するには、ルールによって制限される受信 REST API 要求の数と違反を監視します。

始める前に
必要なロール：rate_limit_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > レート制限.
2. レート制限数と違反を監視するためのレート制限ルールを選択します。
3. 次の関連リストで情報を確認します。
   - [レート制限数] 関連リストで、ルールによって制限されている受信 REST API 要求の数を確認します。このリストは毎日消去されます。
   - [レート制限違反] 関連リストで、ルールの **[1** 時間当たりの要求制限] の値を超えた受信 REST API 要求の数を確認します。このリストは 2 週間に 1 度消去されます。

受信 REST API レート制限の違反を調べる

レート制限違反を調べて、超過のあるレート制限ルールと、それらのレート制限を超えているユーザーを特定します。

始める前に
必要なロール：rate_limit_admin

このタスクについて
受信 REST API 要求が、その時間の特定の REST API の最大許容要求数に達すると、違反が作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > レート制限違反.
2. [レート制限違反] ページで、調査するレート制限ルールを選択します。
3. [レート制限違反] 関連リストで、ユーザー別に違反を確認します。このリストは 2 週間に 1 度消去されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
レート制限ルールの違反数に応じて、そのルールの **[1** 時間当たりの要求制限] 値の再評価が必要になる場合があります。特定のユーザーがレート制限ルールに違反した回数によっては、レート制限についてユーザーの教育が必要になる場合もあります。

受信 **REST** クエリーのデバッグ

セッションデバッグログを確認することで、受信 REST クエリをデバッグできます。

*glide.rest.debug*プロパティが **true** の場合、すべての受信 REST 処理がセッションデバッグログに記録されます。

REST ログには、処理期間、ヘッダー、および要求本文が含まれます。このプロパティの長期使用はパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、REST 処理のデバッグ中にこのプロパティを使用し、その後はプロパティの設定を **false** に戻すことが推奨されます。

注: REST 要求を処理したアプリケーションノードとは異なるノードで作業している場合は、結果のログステートメントが表示されないことがあります。この場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

要求で X-WantSessionDebugMessages ヘッダーを渡すことで、REST 応答本文にセッションデバッグログを含めることができます。詳細については、「REST 応答でセッションデバッグログを返す」を参照してください。デバッグログを表示するには、「デバッグログの表示」を参照してください。

ログの出力例

```
2014-03-19 11:10:37 (633) http-12 New transaction
083A6031D7231100261253B2B252035C #28 /api/now/table/incident
2014-03-19 11:10:37 (653) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Started initializing REST Request
2014-03-19 11:10:37 (653) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Method:POST
2014-03-19 11:10:37 (656) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: host:localhost:8080
2014-03-19 11:10:37 (656) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: user-agent:Mozilla/5.0 (Macintosh;
Intel Mac OS X 10.7; rv:12.0) Gecko/20100101 Firefox/12.0
2014-03-19 11:10:37 (656) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: accept:application/json
2014-03-19 11:10:37 (656) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: accept-encoding:gzip, deflate
2014-03-19 11:10:37 (656) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: connection:keep-alive
2014-03-19 11:10:37 (657) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: content-type:application/json;
charset=UTF-8
2014-03-19 11:10:37 (657) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: content-length:31
2014-03-19 11:10:37 (657) REST API-thread-1 SYSTEM
DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor : Request Header:
cookie:glide_user_route=glide.20e7f4cd6bdc0d444810117aacc0eeae;
JSESSIONID=F07CE6ACF8AF237CB239AF43B7F360BF;
glide_user="U0N2Mjo0MDNhNjAzMWQ3MjMxMTAwMjYxMjUzYjJiMjUyMDM2OTo2ODE2Zjc5
Y2MwYTgwMTY0MDFjNWEzM2JlMDRiZTQ0MQ==";
glide_user_session="U0N2Mjo0MDNhNjAzMWQ3MjMxMTAwMjYxMjUzYjJiMjUyMDM2OTo2
ODE2Zjc5Y2MwYTgwMTY0MDFjNWEzM2JlMDRiZTQ0MQ=="
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2014-03-19 11:10:37 (657) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: pragma:no-cache
2014-03-19 11:10:37 (657) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Request Header: cache-control:no-cache
2014-03-19 11:10:38 (357) REST API-thread-1 SYSTEM [REST API]
RouteRegistry : Loaded Routes to Cache
2014-03-19 11:10:38 (357) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RouteRegistry : Route loading time 0:00:00.105
2014-03-19 11:10:38 (357) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
URIHandler : Resolving URI: /now/table/incident
2014-03-19 11:10:38 (391) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : URI Resolving Duration 387570:10:38.391
2014-03-19 11:10:38 (424) REST API-thread-1 SYSTEM DEBUG: [REST API]
RESTAPIProcessor : Finished initializing REST Request
2014-03-19 11:10:38 (540) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C #28 /api/now/table/incident Parameters
-------------------------
api=api
2014-03-19 11:10:38 (541) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor :
Processing REST Request /api/now/table/incident
2014-03-19 11:10:38 (541) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor :
Pre-Service processing duration 0:00:00.000
2014-03-19 11:10:38 (548) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler :
Invoking Service TableAPIService
2014-03-19 11:10:38 (552) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] TableAPIService :
Inserting record
2014-03-19 11:10:38 (560) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RequestDeserializer :
Incoming Request Body:{"short_description":"test me"}
2014-03-19 11:10:39 (508) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] TableAPIService :
Glide Record Insert Duration 0:00:00.956
2014-03-19 11:10:39 (508) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] TableAPIService :
Querying for inserted record
2014-03-19 11:10:39 (513) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C #### Compiler Stats ####
2014-03-19 11:10:39 (514) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C Compiles: 600, time: 1,130ms
2014-03-19 11:10:39 (514) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C Cache name: "syscache_expression", max:
8,192, size: 599, seeks: 34,182, hits: 32,980, misses: 1,202, flushed: 0
2014-03-19 11:10:39 (514) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C Total classes: 1,402, bytecode length:
3,263,462
2014-03-19 11:10:39 (514) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C Total loaders created: 601, unloaded:
0, existing: 601
2014-03-19 11:10:39 (652) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] TableAPIService :
Creating service result for insert request
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2014-03-19 11:10:39 (655) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler : End
of Service InvocationTableAPIService
2014-03-19 11:10:39 (655) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler :
Service Invocation Duration 0:00:01.107
2014-03-19 11:10:39 (660) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler :
Serializing Response
2014-03-19 11:10:39 (706) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler : End
of Response Serialization
2014-03-19 11:10:39 (706) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] ServiceHandler :
Response Serialization Duration 0:00:00.046
2014-03-19 11:10:39 (706) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor :
Service handling duration 0:00:01.165
2014-03-19 11:10:39 (706) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor :
End of Request Processing
2014-03-19 11:10:39 (706) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C DEBUG: [REST API] RESTAPIProcessor :
REST Request Processing time 0:00:01.165
2014-03-19 11:10:39 (707) REST API-thread-1
083A6031D7231100261253B2B252035C #28 /api/now/table/incident -- total
transaction time: 0:00:02.074, total wait time: 0:00:00.001, session
wait: 0:00:00.000, semaphore wait: 0:00:00.001, source: 127.0.0.1
```

REST 応答でセッションデバッグログを返す

要求で X-WantSessionDebugMessages ヘッダーを渡すことで、REST 応答本文にセッションデバッグログを含めることができます。

現在のセッションでセッションデバッグが有効になっている場合にセッションデバッグメッセージを返すには、REST 要求でヘッダー X-WantSessionDebugMessages を **true** に設定します。

注: このヘッダーを送信する前に、セッションのデバッグを有効にする必要があります。

Example: 要求

この例では、*Session Debug SQL* を有効にした REST API エクスプローラーを使用して行ったテーブル API 要求を示しています。

```
GET api/now/table/incident/9c573169c611228700193229fff72400
X-WantSessionDebugMessages:true
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Accept: application/json, text/plain,*/*
X-UserToken: <user token>
```

Example: 応答本文

```
{
  "result":{
    "description":"User can't access email on mail.company.com.",
    "number":"INC0000001"
  },
  "session":{
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "debug_logs":[
       {
         "type":"sql",
         "customerUpdate":false,
         "line":"17:17:27.777: Time: 0:00:00.000 for:
 glide_master_db[glide.5] ..... sys_user_session0.`id` =
 '3BEA7001EB230200C46AC2EEF106FE2A'</span>",
         "debugClassSet":""
       },
      {
        "type":"sql",
        "customerUpdate":false,
        "line":"17:17:27.779: Time: 0:00:00.002
 for: glide_master_db[glide.6]  ... `sys_id` =
 '7fea7001eb230200c46ac2eef106fe2a'</span>",
        "debugClassSet":""
       }
    ]
  }
}
```


関連情報

セッションのデバッグ

CORS ドメイン要件

クロスオリジンリソース共有 (CORS) ルールを定義する場合、[ドメイン] フィールドに入力する値は特定の要件を満たす必要があります。各 CORS ルールは、受信する Origin ヘッダーと一致する単一のワイルドカードをサポートしています。

要件

[ドメイン] フィールドに入力する値は、次の要件を満たす必要があります。

- `HTTP://` または `HTTPS://` で始まる
- ドメインパターンまたは IP アドレスである
- `.com` のように、ピリオドに続く英数字で終わる
- ドメインパターンのスキームと階層部分の直後に最大 1 つのワイルドカード文字を含む

ワイルドカード

ドメインパターンでは単一のワイルドカード文字 (*) を使用できます。すべてのサブドメインを含めるには、ドメインパターンのスキームと階層部分の直後にこのワイルドカードを使用します (`http://*.domain.com` など)。ワイルドカードは、必ずドメインパターンのスキームと階層部分の直後に含めます。ドメインパターンの代わりに IP アドレスを使用する場合は、ワイルドカードを使用せずに完全な IP アドレスを入力する必要があります。

注: 複数のワイルドカードを使用したり、ドメインパターンなしでワイルドカードを指定したりすることはできません。「*」や「*.*」などの値はサポートされていません。

ドメイン一致

要求の Origin ヘッダーを評価する際、ServiceNow ではドメインパターンに完全に一致するルールを優先します。完全に一致するものが見つからない場合は、次に最も近いものが使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、ドメインパターン `http://*.blog.mysite.com` および `http://*.mysite.com` のルールがある場合、`http://alice.blog.mysite.com` からの要求は `http://*.blog.mysite.com` パターンに一致します。

有効なドメインと無効なドメインの例

例

有効なドメイン	無効なドメイン
`http://*.ms.net`	`https://*com`
`https://*.ms.com`	`http://*..com`
`https://*.com.au`	`http://192.168.1.*`
`http://192.168.1.1`	`http://*.168.1.126`
`http://*.service-now.com`	`http://blog.*.service-now.com`
`http://*.com`	`http://*com`

CORS ルールの定義

CORS ルールを定義して、REST API エンドポイントやその他の Web リソースにアクセスできるドメインを制御できます。

始める前に
必要なロール:cors_rule_admin、web_service_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > **REST** > **CORS** ルール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

CORS ルールフォーム

フィールド	説明
名前	ルールの一意の名前を入力します。
リソースパスを使用	Web リソースへのパスを指定するには、このオプションを選択します。REST API の場合は、このオプションをオフのままにします。
REST API	テーブル API など、アクセスするドメインの REST API を選択します。
Web リソースパス	[リソースパスを使用] を選択した場合は、ドメインがアクセスする Web リソースへのパスを入力します。
ドメイン	指定された REST API または Web リソースにアクセスするためのドメインを入力します。この CORS ルールは、指定されたドメインからの要求に対して評価されます。 ドメインパターンまたは IP アドレスを指定できます。ドメインパターンを使用する場合は、ワイルドカード文字 (`*`) を使用して、受信したオリジンヘッダーと一致させることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最大経過時間	クライアントセッションをキャッシュする秒数を入力します。最初の CORS 要求の後、指定された時間内に同じクライアントからさらに要求された場合、プリフライトメッセージは必要ありません。 値を指定しない場合、デフォルト値の 0 は、すべての要求にプリフライトメッセージが必要であることを示します。
埋め込み可能項目の場合	将来の使用のために予約されています。
アクティブ	このオプションを選択すると、CORS ルールがオンになります。

4. [**HTTP** メソッド] タブと許可される HTTP メソッドを選択します。
選択したメソッドのみを、指定されたドメインから呼び出すことができます。
5. [**HTTP** ヘッダー] タブを選択し、フィールドに入力します。

[HTTP ヘッダー] セクション

フィールド	**Description** (説明)
Access-Control-Allow-Credentials	要求での認証情報の送信を許可するオプション。このオプションが有効になっている場合、[ドメイン] フィールドでワイルドカードを使用することはできません。
Access-Control-Allow-Headers	要求で許可する HTTP ヘッダーのカンマ区切りリストを入力するか、任意のヘッダーを許可するワイルドカード文字 (*) を入力します。
Access-Control-Expose-Headers	応答で送信する HTTP ヘッダーのカンマ区切りリストを入力します。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

受信 **REST** での **OAuth** の有効化

OAuth を使用すると、ユーザー ID とパスワードを 1 回渡すだけで、要求ごとに資格情報を送信する代わりに、後続の REST 要求でトークンを使用できます。

このタスクについて

OAuth は、ユーザーの資格情報を送信する回数を減らすことで、システムのセキュリティを向上させることができます。OAuth を使用して REST 要求を認証できます。

このビデオでは、OAuth を使用して REST API への認証を行う方法を紹介します。

OAuth を使用して REST API への認証を行う方法

手順

1. OAuth 2.0 プラグインを有効にします。
プラグインをアクティブ化する方法については、「 プラグインを有効にする 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. システムプロパティ *com.snc.platform.security.oauth.is.active* を [true] に設定します。
3. 移動先 システム **OAuth** >アプリケーションレジストリ.
4. [新規] をクリックし、続いて [外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントを作成します] をクリックします。
5. アクセストークンを要求するときに使用するため、前のステップの **client_id** と **client_secret** の値を記録します。

   注: 示されている例は、パスワード権限許可タイプを使用した OAuth API エンドポイントの作成に関するものです。他の権限許可タイプを使用して OAuth API エンドポイントを設定することもできます。詳細については、「OAuth 受信」を参照してください。

6. アクセストークンを取得するには、cURL や Postman などの REST クライアントを使用して、OAuth エンドポイント (`oauth_token.do`) に要求を送信します。

   要求の形式を URL エンコードされた HTTP POST 本文として整え、必要なパラメーターを含めます。

7. 応答からアクセストークンとリフレッシュトークンを記録します。
8. 後続の REST 要求でアクセストークンを送信します。

REST OAuth の例

この例では、OAuth を使用して受信 REST 要求を認証する方法を示します。

この例では、OAuth トークンの `client_id` が `a329c4515612210071a5e0c298ee2be8` で、`client_secret` が `password22` です。

アクセストークンの取得

```
curl -d
 "grant_type=password&client_id=a329c4515612210071a5e0c298ee2be8&client_s
ecret=password22&username=RESTUser&password=RESTUserPassword"
 https://<instance>.service-now.com/oauth_token.do
```

トークン応答のサンプル

```
{
:"scope": "useraccount",
:"token_type": "Bearer",
:"expires_in": 1799,
:"refresh_token":
 "jZPdkEVrWvtMjrspldNjIS0uWM4D7QV9mgmcQXDVo5Qa_GVvmdR6NOp7OM038EHJnd6nZpW
ocFer1NcJz4zwdw",
:"access_token":
 "2wRlsRCT2SYjCCJP91kwo2EFzj5qg4O3I3aC09e0-0hz6Ib3YK7If-LMiNorNuglfqbkL4A
fkYC92KYHUCcbpQ"
}
```

OAuth トークンを使用した REST 要求

```
curl -H "Accept:application/json" -H "Authorization:Bearer
 2wRlsRCT2SYjCCJP91kwo2EFzj5qg4O3I3aC09e0-0hz6Ib3YK7If-LMiNorNuglfqbkL4Af
kYC92KYHUCcbpQ"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/table/incident
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

REST API HTTP 応答コード

インスタンスに送信された REST メッセージは、特定の HTTP 応答コードを返します。

ステータスコード	メッセージ	詳細
200	成功	応答本文ありで成功しました。
201	作成済み	応答本文ありで成功しました。
204	成功	応答本文なしで成功しました。
400	要求が不正確	要求 URI がシステム内の API と一致しないか、不明な理由で操作が失敗しました。無効なヘッダーによっても、このエラーが発生する場合があります。
401	権限なし	ユーザーには API を使用する権限がありません。
403	禁止	要求された操作はユーザーに対して許可されていません。このエラーは、ACL の失敗、またはビジネスルールやデータポリシーの制約によっても発生する場合があります。
404	非検出	要求されたリソースが見つかりませんでした。これは、ACL の制約か、またはリソースが存在しないことが原因である可能性があります。
405	メソッドが不許可	要求された REST API で HTTP アクションが許可されていないか、またはどの API でもサポートされていません。
406	許容範囲外	エンドポイントは、要求の Accept ヘッダーで指定された応答形式をサポートしていません。
415	サポートされていないメディアタイプ	エンドポイントが要求本文の形式をサポートしていません。
500	内部サーバーエラー	要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。
502	ゲートウェイが正しくありません	サーバーがゲートウェイまたはプロキシとして機能しているときに、アップストリーム サーバーから無効な応答を受信しました。
503	サービス利用不可	サーバーは現在、要求を処理できません。

Scripted REST APIs

Scripted REST API 機能を使用すると、アプリケーション開発者はカスタム Web サービス API を構築できます。

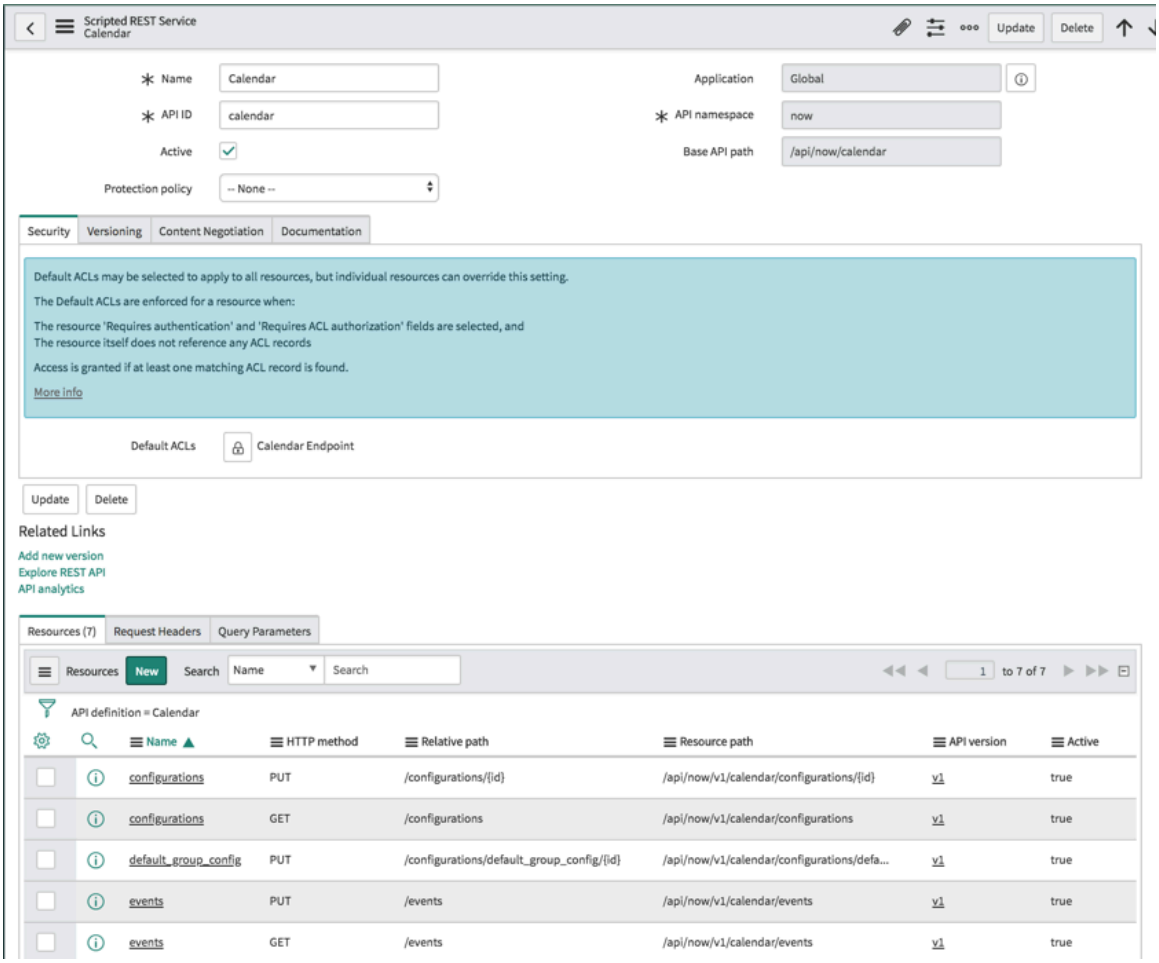
サービスエンドポイント、クエリパラメーター、Scripted REST API のヘッダー、および要求と応答を管理するスクリプトを定義できます。

Scripted REST APIs は通常 REST アーキテクチャに従いますが、別の規則を使用するようにカスタマイズできます。Scripted REST APIs を定義するには、[スクリプト利用 **Web** サービス] → **[Scripted REST APIs]** にある [スクリプト化済み REST サービス] フォームを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプト化済み **REST** サービスフォーム



次のビデオでは、スクリプト化された REST API に関する追加情報を提供しています。

- スクリプト済み REST API – 設計
- スクリプト済み REST API – 実装

Scripted REST API URI

Scripted REST API URI の形式は次のとおりです。

```
https://<instance.service-now.com>/api/<name_space>/<version>/<api_id>/
<relative_path>
```

この URI の場合：

- *<instance.service-now.com>*：ユーザーが Scripted REST API にアクセスする ServiceNow インスタンスへのパス。
- *<name_space>*：グローバルスコープ内の Web サービスの場合、名前空間はプロパティ *glide.appcreator.company.code* の値です。スコープ対象のアプリケーションの Web サービスの場合、名前空間は x_company_appname などのスコープ名です。名前空間の詳細については、「アプリケーションスコープ」を参照してください。
- *<version>*：オプション。API が **v1** などのバージョニングを使用する場合にアクセスするエンドポイントのバージョン。バージョン番号なしで URI を指定することで、バージョニングされた API のデフォルトバージョンにアクセスできます。
- *<api_id>*：[スクリプト化済み REST サービス] フォームの **[API ID]** フィールドの値。デフォルトでは、この値はサービス名に基づいています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *<relative_path>*: [スクリプト化済み REST サービス] フォームでリソースに定義された相対パス。相対リソースパスを指定すると、GET などの同じ HTTP メソッドを 1 つの Web サービスで使用して複数のリソースを指定できます。たとえば、リソースは Web サービスに GET リソースが 1 つしかない場合はパス `/{id}` を指定し、Web サービスにユーザーレコードとメッセージレコードを要求するために異なるリソースがある場合は `/user/{id}` および `/message/{id}` を指定します。

Scripted REST API バージョニング

Scripted REST API URI には、`/api/management/v1/table/{tableName}` などのバージョン番号を含めることができます。バージョン番号は URI がアクセスするエンドポイントのバージョンを識別します。URI にバージョン番号を指定することで、既存の統合に影響を与えることなく変更をテストおよび展開できます。

デフォルトの API バージョン

バージョンがデフォルトとしてマークされている場合があります。デフォルトバージョンを指定すると、ユーザーはバージョン番号なしでスクリプト化された REST エンドポイントを使用してそのバージョンにアクセスできます。デフォルトとしてマークされているバージョンがない場合は、最新バージョンがデフォルトとして使用されます。

Scripted REST API リソース

Scripted REST API リソースは REST エンドポイントに相当します。実行する HTTP メソッド、処理スクリプト、および親 API からの任意の上書き設定を定義します。API ごとに 1 つ以上のリソースを定義できます。

Scripted REST API クエリパラメーター

クエリパラメーターは要求ユーザーが要求で渡すことができる値を定義します。Scripted REST API を作成するときに、各要求で使用可能なパラメーターと必須パラメーターを指定できます。クエリパラメーターを複数のリソースに関連付けることもできます。

要求オブジェクトの *`queryParams`* フィールドを使用して、スクリプトの要求パラメーターにアクセスします。

Scripted REST API ロール

Scripted REST APIs を使用するには、Web サービス管理者 [web_service_admin] ロールが必要です。このロールを持つユーザーは、Scripted REST APIs および Web サービスリソースを読み込み、作成、変更、削除できます。

注: これらのロールは Scripted REST API エンドポイントへのアクセスには必要ありません。

要求および応答の形式

デフォルトでは、API 内のすべてのリソースは、application/json、application/xml、および text/xml の要求および応答形式をサポートしています。API レベルでデフォルトの形式を上書きできます。個々のリソースでデフォルトを上書きしない限り、新しい形式は API に属するすべてのリソースに適用されます。

Scripted REST API セキュリティ

必要なセキュリティレベルで Scripted REST APIs を設定できます。セキュリティを必要としないパブリック API/エンドポイントから、すべてのリソースに対するアクセス制御が厳格なユーザー認証を必要とする安全性の高い API/エンドポイントまで設定できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

API アクセスポリシー機能を使用して、API の認証方法を制御します。詳細については、「API アクセスポリシー」を参照してください。

Scripted REST API アクセス制御

アクセス制御リスト (ACL) は、必要なロールや、ユーザーが Scripted REST API またはエンドポイントにアクセスするために満たす必要がある条件などの基準を定義します。要求ユーザーは少なくとも 1 つの ACL を満たす必要があります。選択したすべての ACL を満たす必要はありません。REST API 全体または個々のエンドポイントに対して単一の ACL を定義できます。

注: デフォルトでは、Scripted REST APIs には snc_external ロールを持つユーザーが API に要求を行うことを禁止する ACL が含まれています。

Scripted REST API ACL を定義する場合は、[タイプ] の値を **[REST_Endpoint]** にする必要があります。

ACL の詳細については、「アクセス制御リストのルール と Scripted REST API リソースを構成して ACL を要求する」を参照してください。

Scripted REST API セキュリティマトリクス

Scripted REST APIs には複数のセキュリティ設定があります。このテーブルを使用して、ニーズに最適な Scripted REST API セキュリティ構成と、その構成を実装するフィールド値を特定します。

Scripted REST API セキュリティ

設定	Scripted REST API	スクリプト化済み REST リソース		
	デフォルト **ACL**	承認が必要	**ACL** 承認が必要	**ACL**
リソースは公開されています。認証または ACL は必要ありません。	任意の値	False	任意の値	任意の値
リソースには基本認証のみが必要です。ACL は必要ありません。	任意の値	True	False	任意の値
リソースには基本認証のみが必要です。ACL が必要です。	ACL が選択されていません	True	True	ACL が選択されていません
リソースレコードで選択された ACL が必要です。	任意の値	True	True	1 つ以上の ACL が選択されています
Scripted REST API レコードで選択された ACL が必要です。	1 つ以上の ACL が選択されています	True	True	ACL が選択されていません

Scripted REST API エラーオブジェクト

Scripted REST APIs にはエラーオブジェクトが含まれており、これを使用して要求の処理中にエラーが発生したときに標準の HTTP エラーメッセージで要求に応答できます。Scripted REST API リソースでエラーオブジェクトを使用して、要求元のクライアントにエラーを警告できます。エラーオブジェクトは、サーバー側のコード内のエラーを検出するためではなく、受信要求に応答するために使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラー応答形式

応答のコンテンツタイプは要求の Accept ヘッダーによって異なります。Accept ヘッダーでサポートされていない形式 (image/jpeg など) が指定されている場合、エラー応答は JSON を使用します。

エラー応答は次の形式に従います。

```
{
  "error": {
    "message": "My error message",
    "detail": "My details"
  },
  "status": "failure"
}
```

数値のステータスコード (404 など) は、応答本文ではなく、応答の Status code ヘッダーに含まれます。

Automated Test Framework のサポート

Automated Test Framework (ATF) は、受信 REST テストステップをサポートしています。作成したカスタム受信 REST API の自動テストを作成できます。カスタム REST API のテストを作成すると、アップグレードのテストが簡素化され、REST API の変更に下位互換性があることを検証することが可能になります。「REST テストステップ構成の管理」および「ATF REST テストステップ構成」を参照してください。

開発者トレーニング

ServiceNow® 開発者サイト には、Scripted REST APIs のトレーニングがあります。

Scripted REST API の作成

Scripted REST API を作成して、Web サービスエンドポイントを定義します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

このタスクについて
デフォルトでは、Scripted REST APIs には snc_external ロールを持つユーザーが API に要求を行うことを禁止する ACL が含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. [新規] をクリックします。
3. サービスの [名前] を入力します。
   [API ID] は、[名前] に基づいて自動的に設定されます。**[API ID]** は必要に応じて変更できます。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
API を作成したら、リソースの作成、ACL の割り当て、サポートされている要求と応答の形式の指定などにより、サービスを設定します。

Scripted REST API リソースの作成

Scripted REST API リソースを作成して、HTTP メソッド、処理スクリプトを定義し、親サービスの設定を上書きします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
リソースを作成する前に、Scripted REST API を定義する必要があります。
必要なロール：web_service_admin

このタスクについて
デフォルトでは、作成するすべての新しい Scripted REST API リソースには snc_external ロールを持つユーザーが API に要求を行うことを禁止する ACL が含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API レコードを選択します。
3. [リソース] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [名前] を入力します。
   リソース名は、API に要求を送信するための URI に影響します。
5. このリソースが実装する **[HTTP** メソッド] (**GET** など) を選択します。
6. [スクリプト] フィールドで、操作で要求を解析して応答する方法を定義します。
7. オプション: 必要に応じて、さまざまなセキュリティ設定や有効なコンテンツタイプを指定するなどして、親 REST API の設定を上書きします。
8. オプション: [ドキュメント] タブで、リソースへのアクセス方法を説明する [簡単な説明] を入力します。
   この情報は、REST API エクスプローラーを使用してこのリソースを探索するときに表示されます。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
リソースを作成したら、ヘッダーとクエリパラメーターを関連付けることができます。詳細については、「スクリプト化された REST API ヘッダーの定義」および「利用可能なクエリパラメーターの定義」を参照してください。

Scripted REST API ヘッダーの定義

Scripted REST API ヘッダーを定義して、API が受け入れ、応答できるヘッダーを制御します。

始める前に
ヘッダーを作成する前に、Scripted REST API を定義する必要があります。
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API レコードを選択します。
3. [要求ヘッダー] 関連リストで、[新規] を選択します。
4. [ヘッダー名] を入力します。
5. [簡単な説明] と [例の値] を入力して、ヘッダーの使用方法を説明します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。
7. オプション: [要求ヘッダー] タブでヘッダー名を見つけて [必要] を [true] に設定し、必要に応じてこの要求ヘッダーを文書化します。

   注: [必須] を「true」に設定した場合、スクリプト化された REST サービスではヘッダーの要求は強制されません。ヘッダーの要求を強制するには、必要なヘッダーが欠落している要求を拒否するロジックをスクリプト化された REST API リソースに追加する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
利用可能なヘッダーを定義したら、ヘッダーをスクリプト化された REST リソースに関連付けます。

利用可能なクエリパラメーターの定義

利用可能なクエリパラメーターを定義して、要求ユーザーが要求 URI で渡すことができる値を制御します。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API レコードを選択します。
3. [クエリパラメーター] 関連リストで、[新規] を選択します。
4. [クエリーパラメーター名] を指定します。
5. [簡単な説明] と [例の値] を入力して、パラメーターの使用方法を説明します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。
7. オプション: [クエリパラメーター] タブでクエリパラメーターを見つけて [**Is required**] を [true] に設定し、必要に応じてこのクエリパラメーターを文書化します。

   注: [必須] を「true」に設定した場合、スクリプト化された REST サービスではパラメーターの要求は強制されません。クエリパラメーターの要求を強制するには、必須パラメーターが欠落している要求を拒否するロジックをスクリプト化された REST API リソースに追加する必要があります。

次のタスク
利用可能なクエリパラメーターを定義したら、パラメーターをスクリプト化済み REST リソースに関連付けます。詳細については、「クエリパラメーターのリソースへの関連付け」を参照してください。

クエリパラメーターのリソースへの関連付け

Scripted REST API クエリパラメーターをリソースに関連付けます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API レコードを選択します。
3. [リソース] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. **[API** クエリーパラメーター] で、リソースに関連付けるクエリパラメーターを選択または入力します。
5. **[API** リソース] で、クエリパラメーターに関連付ける Scripted REST API リソースを選択または入力します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
パラメーターをスクリプト化済み REST リソースに関連付けた後、API またはエンドポイントに必要な ACL を設定します。詳細については、「Scripted REST API リソースを構成して ACL を要求する」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Scripted REST API を構成して ACL を要求する

Scripted REST APIs への要求はプラットフォーム ACL を考慮し、要求ユーザーはインスタンスデータにアクセスするためにテーブルの ACL 要件をすべて満たす必要があります。さらに、特定の ACL を要求するように Scripted REST API を設定することもできます。

始める前に
必要なロール：web_service_admin

このタスクについて
このタスクで選択した ACL は、すべての API エンドポイントに適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API を選択します。
3. [デフォルト **ACL**] フィールドで、API のセキュリティニーズを満たす ACL を 1 つ以上選択します。[タイプ] が **[REST_Endpoint]** の ACL のみを選択します。
   要求ユーザーは、選択された ACL の少なくとも 1 つを満たす必要があります。選択したすべての ACL を満たす必要はありません。
4. [更新] をクリックします。

次のタスク
個々の API リソース/エンドポイントの API セキュリティ設定を上書きできます。詳細については、「Scripted REST API リソースを構成して ACL を要求する」を参照してください。

Scripted REST API リソースを構成して ACL を要求する

デフォルトでは、API リソース/エンドポイントは親 API からセキュリティ設定を継承します。特定のリソース/エンドポイントのカスタム ACL を定義して、継承された設定を上書きします。

始める前に
必要なロール：web_service_admin または admin

このタスクについて
ACL は認証されたユーザーに対してのみチェックされます。

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API を選択します。
3. [リソース] 関連リストで、リソースを選択します。
4. [セキュリティ] タブで、[認証が必要] チェックボックスをオンにします。
   リソースの ACL を要求するには、このチェックボックスをオンにする必要があります。このチェックボックスをオフにすると、リソースは公開され、資格情報は不要になります。親 REST サービスに ACL が必要な場合でも、非認証要求によるリソースへのアクセスを許可する場合は、このチェックボックスをオフにします。
5. **[ACL** 承認が必要] チェックボックスを選択します。
6. **[ACL]** フィールドで、エンドポイントのセキュリティニーズを満たす ACL を 1 つ以上選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] が **[REST_Endpoint]** の ACL のみを選択します。選択した REST_Endpoint タイプの ACL で定義されたロールを持つユーザーのみが、このリソースへのアクセスを許可されます。

リソースの ACL を選択すると、親 Web サービスに対して選択されたすべての ACL が上書きされます。親 Web サービス用に選択された ACL を使用するには、このフィールドを空白のままにします。

関連情報

Scripted REST API を構成して ACL を要求する

Scripted REST API のバージョン管理の有効化

既存の統合との互換性を維持しながら、複数のバージョンの API を提供するために、Scripted REST API のバージョニングを有効にします。

始める前に
バージョニングを有効にする前に、Scripted REST API を定義する必要があります。
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API を選択します。
3. [関連リンク] で、[バージョニングの有効化] をクリックします。
   [バージョニングの有効化] ポップアップが表示されます。[バージョン **v1** をデフォルトにする] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。
4. オプション: デフォルトバージョンなしでバージョニングを有効にするには、[バージョン **v1** をデフォルトにする] チェックボックスをオフにします。
   デフォルトバージョンなしでバージョニングされた API は、バージョン固有の URI を使用する場合にのみアクセスできます。バージョン v1 をデフォルトにするか、バージョニングを有効にした後にデフォルトとして別のバージョンを選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   [バージョニング] 埋め込みリストが [スクリプト化済み REST サービス] フォームに追加されます。このリストに新しいバージョンを追加したり、このリストからデフォルトにするバージョンを制御したりできます。

Scripted REST API へのバージョンの追加

バージョニングされた Scripted REST API に新しいバージョンを追加して、古いバージョンに影響を与えずに新しい API の動作を定義します。

始める前に
新しいバージョンを追加する前に、バージョニングが有効になっているスクリプト化済み REST サービスが必要です。
必要なロール：web_service_admin

手順

1. 移動先 すべて > **System Web Services** > スクリプト済み **REST API**.
2. Scripted REST API を選択します。
3. [関連リンク] で、[新規バージョンを追加] をクリックします。
   [新規バージョンを追加] ポップアップが表示されます。
4. オプション: 新しいバージョンをデフォルトバージョンとして使用するように REST サービスを設定するには、[このバージョンをデフォルトにする] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: [次のバージョンから既存のリソースをコピー] 選択リストで既存のバージョンを選択して、そのバージョンから新しいバージョンにすべてのリソースをコピーします。
6. **[OK]** をクリックします。

要求と応答のコンテンツタイプの制御

Scripted REST API 要求と応答で許可されるコンテンツタイプを制御します。

デフォルトでは、Scripted REST APIs は `application/json`、`application/xml`、および `text/xml` をサポートしています。ユーザー定義のカスタムコンテンツタイプ (`json` または `xml` サブタイプ) もサポートされています。たとえば、`application/vnd.collection+json` および `application/vnd.adobe.xdp+xml` は、それぞれ JSON および XML として扱われます。

重要: 要求本文の形式が `json` または `xml` サブタイプでない場合は、要求本文の `[dataStream]` フィールドのみを使用して要求本文にアクセスします。要求本文の `data`、`dataString`、`nextEntry()`、または `hasNext()` を非 json または非 xml 形式で使用すると、`500` エラー応答が返されます。

デフォルトの設定

[デフォルトでサポートされる要求フォーマット] および [デフォルトでサポートされる応答フォーマット] フィールドを使用して、API のデフォルト値を設定できます。これらのフィールドは、ユーザーが Content-Type ヘッダーと Accept request ヘッダーでそれぞれ渡すことができる許容値を定義します。要求ユーザーが API またはリソースでサポートされていない Accept または Content-Type ヘッダーを指定すると、インスタンスは HTTP エラーコード `406` または `415` で応答します。

各リソースのこれらの値は、[スクリプト化済み REST サービス] フォームの [サポートされる要求フォーマット] および [サポートされる応答フォーマット] を使用して上書きできます。

注: [サポートされる要求フォーマット] フィールドは、PUT、POST、および PATCH リソースに対してのみ表示されます。

ワイルドカード値の使用

有効なコンテンツタイプを指定する場合は、ワイルドカード値を使用できます。

- 1 文字のワイルドカード検索を実行するには、パーセント記号 (%) 文字を使用します。このワイルドカードでは、パーセント記号文字の任意の 1 文字を含む単語が検索されます。たとえば、text や test などの単語を検索するには、`te%t` を検索します。
- 複数文字のワイルドカード検索を実行するには、アスタリスク (*) 文字を使用します。このワイルドカードは、アスタリスク文字の代わりに 0 個以上の文字を含む単語を検索します。たとえば、planned や placed などの単語を検索するには、`pl*d` を検索します。

x-www-form-urlencoded コンテンツタイプの使用

REST API またはリソースが `application/x-www-form-urlencoded` コンテンツタイプを受け入れる場合、要求で指定された urlencoded 値を JSON マップとして取得できます。これらの URL コード化されたキーと値のペアは、クエリパラメーターとして、要求本文、またはその両方で指定できます。これらは結合されて要求パラメーターに格納されます。`request.queryParams` オブジェクトを介してこれらのパラメーターにアクセスします。

たとえば、`application/x-www-form-urlencoded` コンテンツタイプを受け入れるように API が定義され、API が次のように実装されている場合

```
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 response.setBody(request.queryParams);

})(request, response);
```

次の要求がそれぞれの応答を生成します。

```
POST to
 localhost:8080/api/now/some_api/some_resource?name3=value3&name4=value4
```

本文：

```
name1=value1&name2=value2
```

応答：

```
{ "result":
    { "name4": [ "value4" ], "name3": [ "value3" ], "name2":
 [ "value2" ],
      "name1": [ "value1" ]
    }
}
```

応答でのバイナリタイプの送信

応答でバイナリタイプを送信する場合は、応答コンテンツタイプを設定し、`RESTAPIResponseStream` オブジェクトを使用してバイナリストリームを直接書き込む必要があります。このオブジェクトにアクセスするには、応答オブジェクトで `getStreamwriter()` を呼び出します。詳しくは、「」を参照してください。

最大要求サイズの制御

Scripted REST API 要求ペイロードで許可される最大ファイルサイズを指定できます。

ファイルサイズ制限は、 RESTAPIRequestBody オブジェクトから次のいずれかの変数または関数にアクセスするときに適用されます。

- *`data`*
- *`dataString`*
- *`nextEntry()`*
- *`hasNext()`*

最大サイズを超える要求ペイロードでこれらの変数または関数にアクセスすると、サービスはエラーコード 400 で応答します。

ファイルサイズ制限は、*`dataStream`* 変数にアクセスするときは適用されません。

最大要求サイズのプロパティ

いくつかのプロパティで最大許容要求サイズを制御します。これらのプロパティをシステムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加して、最大要求サイズを指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

プロパティ	デフォルト値	説明
glide.rest.scripted.max_inbound_content_length_mb	10	gzip 圧縮されていないスクリプト化された RES (メガバイト)。
glide.rest.scripted.max_inbound_gzip_content_length_mb	1	gzip 圧縮されたスクリプト化された REST 要求 バイト)。
glide.rest.max_content_length	10	gzip 圧縮されたかどうかを区別しないスクリプ 文の最大サイズ (メガバイト)。 最大：25 その結果、*glide.rest.scripted.max_inbound* または *glide.rest.scripted.max_inbound_gzi* が設定されていても、要求本文は *glide.rest.max_content_length* の値に

Scripted REST APIs の推奨プラクティス

Scripted REST APIs を設計および実装するときは、次のガイドラインに従ってください。

REST API の規則に従う

REST API 標準を使用して、一貫性のある使いやすいインターフェイスをクライアントに提供します。REST API の規則はメソッドのタイプごとに特定の動作を定義します。API を設計する際の開始点として、次のガイドラインを使用してください。

- *GET* 操作はデータのクエリのみを行います。GET 要求でデータを変更することはできません。
- *POST* の操作では新しいレコードが作成されますが、既存のレコードは変更されません。
- *PUT* および *PATCH* の操作は既存のレコードを変更します。
- *DELETE* の操作ではレコードが破棄されます。

バージョニングを使用して API の変更を制御する

バージョニングを使用して新しい機能を実装し、既存の統合を中断しないようにします。API の機能を大幅に変更する場合は、まず API の新しいバージョンを作成します。公開されたバージョンで既存の統合を中断する動作を導入しないでください。

バージョニングを使用すると、既存のクライアントを中断することなく API に大幅な変更を実装できます。その後、既存のクライアントが自分のペースでアップグレードできるようにすると同時に、新しいクライアント用に新しいバージョンの API をリリースできます。

バージョン固有の API を使用するようにクライアントに勧めるか、デフォルトのバージョンを指定せずに API を構成して、クライアントにバージョンの指定を強制します。既存のバージョンにオプションのパラメーターを追加することで、新しいオプションの動作を利用可能にすることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

有益な HTTP ステータスコードを返す

要求の成功または失敗を要求者に通知するステータスコードを返します。クライアントが要求の結果を理解するのに役立つ HTTP ステータスコードを返します。一般的なステータスコードについては、次のガイドラインを使用してください。

一般的なステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。
201	レコードが正常に作成されたことを示します。
204	レコードが正常に削除されたことを示します。
40X (401, 404)	400 の範囲のステータスコードは、無効な要求構文の 400 など、クライアントエラーを示します。
50X (500, 503)	500 の範囲のステータスコードは、サーバーエラーが発生したことを示します。クライアント要求が有効または無効である可能性がありますが、サーバーで問題が発生し、要求を処理できませんでした。

有用なエラー情報を返す

クライアントが API ドキュメントを参照しなくても問題を理解できるように、エラーメッセージに十分な情報を提供してください。エラー応答には、役に立つエラーメッセージとエラーステータスコードを含める必要があります。

たとえば、クライアントが存在しないレコードを照会すると、「指定されたレコードが存在しません。ID <id 値> のレコードがアプリケーションに存在します。(The specified record does not exist. Ensure that a record with the ID of <id value> exists in the application.)」というエラーメッセージが 404 ステータスコードとともに表示されます。

Scripted REST API 機能には、よく発生するエラーに使用できる事前設定されたエラーオブジェクトと、事前設定されたエラーオブジェクトがニーズを満たしていない場合に使用できるカスタマイズ可能な ServiceRequest エラーオブジェクトが含まれています。

アクセス制御を適用してテストする

既存のアクセス制御を適用します。データを変更するには追加のアクセス権が必要です。API にアクセスするための認証に加えて、データにアクセスするための認証が必要です。Scripted REST API スクリプトで *GlideRecordSecure* API を使用します。この API は、基になるデータに対して定義されたアクセス制御が要求ユーザーに適用されるようにします。

データを変更する操作には追加のアクセス制御が必要です。PUT、POST、および DELETE などの要求には、GET よりも高いレベルのアクセス権が必要です。より厳格な ACL を要求するようにこれらの API リソースを設定します。

API をリリースする前に、認証と認可の両方のアクセス制御をテストします。

機能を検証するテストを構築する

開発プロセスの一部として、スクリプト化された REST Web サービスの機能を検証するテストを構築します。反復可能なテストを使用して、API が想定どおりに機能することを確認します。テストは、行った変更がバージョンのリリース後に予想される API の動作に影響しないことを確認するのに

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

も役立ちます。Postman などの自動テストをサポートする REST クライアントアプリケーションを使用して、テストを容易にすることができます。

テストでは、実装するリソースごとに応答コード、ヘッダー、および本文の内容を検証する必要があります。テストを使用して認証要件を検証し、エラーが有用な応答を返すことを確認することもできます。

Scripted REST API の例

Scripted REST APIs の作成と使用方法を示す複数の例が用意されています。

Scripted REST API の例 - スクリプトサンプル

これらの例は、Scripted REST API のさまざまなリソーススクリプトを作成する方法を示しています。

クエリパラメーター GET の例

この例では、要求からクエリパラメーター値を取得する方法を示しています。

```
/**
 * GET - Sample Request API - Query Params
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var uri = request.uri;
    var url = request.url;
    var queryParams = request.queryParams;
    var customHeader = request.getHeader('X-Custom');

    return {
        "uri": uri,
        "url": url,
        "queryParams": queryParams,
        "customHeader": customHeader
    };

})(request, response);
```

パスパラメーター GET の例

この例では、要求からパスパラメーター値を取得する方法を示しています。

```
/**
 * GET - Sample Request API - Path Params
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var uri = request.uri;
    var url = request.url;
    var path = request.pathParams;

    return {
        "uri": uri,
        "url": url,
        "path_params": path,
        "path.id": path.id
    };
})(request, response);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルード GET の例

この例は、スクリプトインクルードを使用して応答を提供する方法を示しています。スクリプトインクルードを使用すると、共通のコードを再利用し、REST サービススクリプトの読みやすさを維持できます。

```
/**
 * GET - Sample Request API - Script Include
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var responseObj = global.SampleDataUtil.getSampleJSON();
    return responseObj;
})(request, response);
```

文字列 POST の例

この例では、文字列本文を含む POST メッセージを解析し、要求に基づいて応答を送信する方法を示しています。

```
/**
 *  POST - Sample Request API - dataString
 *  sample usage:
 *  var requestBody = request.body;
 *  var requestString = requestBody.dataString;
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var requestBody = request.body;
    var requestString = requestBody.dataString;
    return {"requestString": requestString};
})(request, response);
```

バイナリ POST の例

この例では、バイナリ本文を含む POST メッセージを解析し、要求に基づいて応答を送信する方法を示しています。

```
/**
 * POST - Sample Request API - Body
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var body = request.body.data;
    //do any additional processing on the request body, such as inserting
 a new record.
    return {
        "body.id": body.id
    };
})(request, response);
```

許容範囲外エラーの例

この例は、許容範囲外エラーで応答する方法を示しています。このエラータイプは、要求の Accept ヘッダー値が Web サービスでサポートされていない場合に使用します。

```
/**
 * Sample Not Acceptable Error Sample
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    response.setError(new sn_ws_err.NotAcceptableError('sample error
 message'));
})(request, response);
```

「要求が正しくありません」エラーの例

この例は、「要求が正しくありません」エラーで応答する方法を示しています。このエラータイプを使用して、要求構文の誤りを示します。

```
/**
 * Bad Request Error Sample
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    response.setError(new sn_ws_err.BadRequestError('sample error
 message'));
})(request, response);
```

競合エラーの例

この例は、競合エラーで応答する方法を示しています。同じレコードに対する複数の更新など、競合する複数の要求がある場合はこのエラータイプを使用します。

```
/**
 * Error Response: Conflict Error Sample
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    response.setError(new sn_ws_err.ConflictError('sample error
 message'));
})(request, response);
```

「見つかりません」エラーの例

この例は、「見つかりません」エラーで応答する方法を示しています。要求されたリソースが存在しないか利用できない場合は、このエラータイプを使用します。

```
/**
 * Error Response: Not Found Error Sample
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    response.setError(new sn_ws_err.NotFoundError('sample error
 message'));
})(request, response);
```

サポートされていないメディアタイプのエラーの例

この例は、サポートされていないメディアタイプのエラーで応答する方法を示しています。このエラータイプを使用して、要求のコンテンツタイプがサポートされていないことを示します。

```
/**
 * Error Response: Unsupported Media Type Error Sample
 */
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    response.setError(new sn_ws_err.UnsupportedMediaTypeError('sample
 error message'));
})(request, response);
```

サービスエラーの例

この例は、一般的なサービスエラーで応答する方法を示しています。ServiceError オブジェクトを使用すると、ステータスコード、メッセージ、およびエラーの詳細を定義できます。事前定義されたエラータイプがニーズを満たさない場合は、ServiceError を使用します。

```
/**
 * Error Response: Custom Error Sample
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var myError = new sn_ws_err.ServiceError();
    myError.setStatus(418);
    myError.setMessage("I am a Teapot");
    myError.setDetail("Here are the details about this error");
    response.setError(myError);
})(request, response);
```

スクリプト化済み **REST** リソーススクリプトの例

このサンプル REST API リソーススクリプトは、要求本文の *name* および *id* の値を解析し、それらの値を応答で返します。

```
/**
 * POST - Sample Request API - Body
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
var body = request.body.data,
id0,name0,id1,name1;
name0 = body[0].name; // 'user0'
id0 = body[0].id; // '1234'
name1 = body[1].name; // 'user1'
id1 = body[1].id; // '5678'

return {
"id": id0,
"name": name0,
"id1": id1,
"name1": name1
};
})(request, response);
```

要求

API は、XML 要求と JSON 要求の両方を受け入れることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求

JSON 要求

```
POST /
api/sn_demo_api/v1/example/body
 HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Accept: application/json
Host: <instance>.service-now.com
Connection: close
Content-Length: 91

[
  { "name": "user0",
    "id": 1234
  },
  {
    "name": "user1",
    "id": 5678
  }
]
```

XML 要求

```
POST /
api/sn_demo_api/v1/example/body
 HTTP/1.1
Content-Type: application/xml
Accept: application/json
Host: <instance>.service-now.com
Connection: close
Content-Length: 152

<request><entry>
      <name>user0</name>
      <id>1234</id>
   </entry>
   <entry>
      <name>user1</name>
      <id>5678</id>
   </entry>
</request>
```

応答

どちらの要求も Accept ヘッダー値として application/json を指定します。要求のコンテンツタイプが XML の場合でも、両方の応答に JSON 形式が使用されます。

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Transfer-Encoding: chunked
Date: Tue, 04 Aug 2015 15:20:44 GMT
Server: ServiceNow
Connection: close
Set-Cookie: BIGipServerpool_<Instance>=880838154.47166.0000; path=/

{"result":{"id":1234,"id1":5678,"name":"user0","name1":"user1"}}
```

Scripted REST API の例 - ストリーミングとオブジェクトの直列化

これらの例は、ストリーミングとデフォルトオブジェクトの直列化を使用して JSON 応答を送信する方法を示しています。

ストリーミングとオブジェクトの直列化

応答を送信するときは、応答をストリームとして送信するか、オブジェクトを直列化できます。どちらのアプローチにも長所と短所があります。統合のニーズに基づいて手法を選択してください。

一般に、応答オブジェクトがシンプルであり、XML または JSON として表現でき、サイズが一貫している場合は、オブジェクトの直列化を使用します。XML または JSON 以外の形式を使用する場合、または応答のサイズが異なる場合は、ストリーミングを使用します。

応答のストリーミング

応答のストリーミングを使用すると、応答時間、インスタンスのパフォーマンス、およびコンテンツの柔軟性が向上しますが、スクリプトが複雑になります。ストリーミングを使用する場合は、応答の

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

書式設定、応答ステータスの設定、および Content-Type ヘッダーの設定を行う必要があります。応答をストリーミングする場合、ストリーミングを開始する前に応答全体を作成する必要がないため、要求ユーザーはすぐに応答を受信します。

この例は、ストリーミングを使用してインシデントレコードのアレイを返すスクリプト化された REST リソーススクリプトを示しています。

```
/**
 *  Sample Scripted REST Resource that returns custom JSON objects with
 properties from Incident GlideRecords
 *  This sample uses ServiceNow JavaScript API to query incident records
 *  and then iterates over those records to build and stream a custom
 JSON object that
 *  includes some values from the incidents
 */
(function runOperation(/*RESTServiceRequest*/
 request, /*RESTServiceResult*/ response) {
    var writer = response.getStreamWriter(),
        hdrs = {},
        table = 'incident',
        record_limit = 100,
        gr = new GlideRecord(table);


    hdrs['Content-Type'] = 'application/json';
    response.setStatus(200);
    response.setHeaders(hdrs);

    gr.setLimit(record_limit);
    gr.query();

    //  start building response object
    writer.writeString("{\"results\":[");


    //  iterate over incident records and build JSON representations to
 be streamed out.
    while (gr.next()) {
        var incidentObj = {};

        incidentObj.number = gr.number + '';
        incidentObj.short_description = gr.short_description + '';
        writer.writeString(global.JSON.stringify(incidentObj));

        if (gr.hasNext()) {
            writer.writeString(",");
        }
    }

    //  close the response object
    writer.writeString("]}");
})(request, response);
```

このリソースへの要求は、次の応答を返します。

```

//  sample response
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
/*
 HTTP/1.1 200 OK
 Content-Type: application/json
 Server: ServiceNow

  // sample response number of records returned has been truncated for
 this example

 {
 "results": [
 {
 "number": "INC0011301",
 "short_description": "lorem ipsum short description 0 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011302",
 "short_description": "lorem ipsum short description 1 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011303",
 "short_description": "lorem ipsum short description 2 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011304",
 "short_description": "lorem ipsum short description 3 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011309",
 "short_description": "lorem ipsum short description 8 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011310",
 "short_description": "lorem ipsum short description 9 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011311",
 "short_description": "lorem ipsum short description 0 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011312",
 "short_description": "lorem ipsum short description 1 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011313",
 "short_description": "lorem ipsum short description 2 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011314",
 "short_description": "lorem ipsum short description 3 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011315",
 "short_description": "lorem ipsum short description 4 my new incident"
 },
 {
 "number": "INC0011326",
 "short_description": "lorem ipsum short description 15 my new incident"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
]
}
*/
```

ストリーミングページネーション

クエリごとに限られた数のレコードのみを送信するように大きなテーブルをページネーションするには、 スコープ対象/グローバル GlideRecord - chooseWindow(数値 firstRow, 数値 lastRow, ブーリアン forceCount) メソッドを使用します。コミュニティ記事「 ページネーションされた Glide レコード + 拡張された GR メソッドのサポート 」では、 `chooseWindow()` を使用してページネーションを実現する方法を例示しています。このページネーションは、独自のユースケースに適応させることができます。

オブジェクトの構築

オブジェクトの直列化を使用すると、ServiceNow が提供する直列化とコンテンツネゴシエーションを利用できます。ストリーミングではなくオブジェクトを直列化する場合は、クライアントが応答を受信する前にオブジェクト全体を作成して直列化する必要があります。これにより、応答が遅延するか、応答オブジェクトが非常に大きい場合は大量のシステムリソースが必要になる可能性があります。オブジェクトの直列化は XML または JSON 応答でのみ使用できます。別の形式を使用する応答では、ストリーミングを使用する必要があります。

この例は、ストリーミングの例と同じインシデントデータを返しますが、応答を送信する前にすべての応答データをアレイに収集します。

```
/**
 *  Sample Scripted REST Resource returns an array of custom JSON objects
 that include 2 incident properties.
 *  This sample uses ServiceNow JavaScript API to query incident records
 and then iterates
 *  over those records building a custom JSON object that includes 2
 values from the incident records.
 *  note that because we are returning a simple JSON object we can rely
 on built in serialization
 *  to set the content-type header as well as response status. The
 'result_arr' object will not be returned
 *  until it has been completely built and stored
 */
(function runOperation(/*RESTServiceRequest*/
 request, /*RESTServiceResult*/ response) {
    var table = 'incident',
        record_limit = 100,
        result_arr = [],
        gr = new GlideRecord(table);


    gr.setLimit(record_limit);
    gr.query();


    //  iterate over incident records and build JSON representations to
 be streamed out.
    while (gr.next()) {
        var incidentObj = {};

        incidentObj.number = gr.number + '';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        incidentObj.short_description = gr.short_description + '';

        result_arr.push(incidentObj);
    }

    return result_arr;
})(request, response);
```

このリソースへの要求は、次の応答を返します。

```
/*
 HTTP/1.1 200 OK
 Content-Type: application/json;charset=UTF-8
 Server: ServiceNow

 // sample response number of records returned has been truncated for
 this example

 {
 "result": [{
 "short_description": "lorem ipsum short description 0 my new incident",
 "number": "INC0011301"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 1 my new incident",
 "number": "INC0011302"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 2 my new incident",
 "number": "INC0011303"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 3 my new incident",
 "number": "INC0011304"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 4 my new incident",
 "number": "INC0011305"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 5 my new incident",
 "number": "INC0011306"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 6 my new incident",
 "number": "INC0011307"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 7 my new incident",
 "number": "INC0011308"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 8 my new incident",
 "number": "INC0011309"
 }, {
 "short_description": "lorem ipsum short description 9 my new incident",
 "number": "INC0011310"
 }]
 }
 */
```

Scripted REST API の例 - 添付ファイルのストリーミング

この例では、画像添付ファイルをバイナリストリームとして要求ユーザーに送信する方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
/**
 *  Sample Scripted REST Resource that returns a stream of binary
 representing an attachment
 *  This sample uses ServiceNow JavaScript API
 GlideSysAttachmentInputStream to get an attachment as a stream then
 *  users WriteStream to stream the response.
 */
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {
    var hdrs = {},
        attachment_sys_id = '1852fd52471321009db4b5b08b9a71a9';

    hdrs['Content-Type'] = 'image/jpeg';
    response.setStatus(200);
    response.setHeaders(hdrs);

    var writer = response.getStreamWriter();
    var attachmentStream = new
 GlideSysAttachmentInputStream(attachment_sys_id);
    writer.writeStream(attachmentStream);
})(request, response);
```

このリソースへの要求は、次の応答を返します。

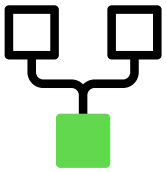
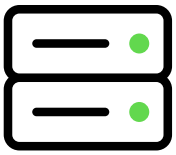
```
//  sample response
/*
 HTTP/1.1 200 OK
 Set-Cookie: glide_session_store=SYSTEM; Expires=Fri, 30-Oct-2015
 21:57:00 GMT; Path=/; HttpOnly
 Content-Type: image/jpeg
 Transfer-Encoding: chunked
 Date: Fri, 30 Oct 2015 21:26:59 GMT
 Connection: close
 Server: ServiceNow

 <binary response body excluded from this sample>
 */
```

自動翻訳

API リファレンス

ServiceNow API を使用して機能を変更し、Now Platform に機能を追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント	クライアントモバイル	UI ビルダー	サーバー	REST	製品別に API を参照
					
Web ブラウザー内での Now Platform の機能と表示方法を制御します。	Now Platform ネイティブモバイルアプリ内にカスタムモバイルエクスペリエンスを構築します。	UI ビルダーでクライアントスクリプトをビルドします。	アプリケーションをビルドおよび更新します。	データにアクセスして更新します。	ServiceNow 製品で使用する API を検索します。

クライアント

クライアントサイドの JavaScript API を使用して、Web ブラウザー内での Now Platform の機能と表示を制御します。クライアント側 API は、クライアントスクリプトや UI ポリシースクリプトなどのクライアント側スクリプトから API を呼び出すことによってインスタンスに追加できる一般的な機能を提供します。

一般的なユースケース:

- GlideAjax API を使用して、クライアントスクリプトからサーバーサイドコードを呼び出します。
- GlideForm API を使用してフォームをカスタマイズします。

クライアントモバイル

Cabrillo JS は、ネイティブモバイルアプリケーション内の機能にアクセスするためのクライアント側 Now Platform JavaScript API です。 Cabrillo JS は、ネイティブデバイス機能、ネイティブモバイル UI、およびその他の Now Platform モバイル機能を使用するメソッドを提供します。

UI ビルダー

UI ビルダー でクライアントスクリプトを開発する場合は、UI ビルダー API を使用します。クライアントスクリプトは、次のようにページ上で起こるものに応答して実行されます。

- ボタンのクリックなどのユーザーインタラクションイベント/アクション。
- データブローカーの実行の開始などのライフサイクルイベント。

サーバー

サーバーサイドの JavaScript API を使用して、既存のアプリケーションの機能を変更したり、新しいアプリケーションをビルドしたりします。サーバーサイド API は、ビジネスルールやスクリプトインクルードなどのサーバーサイドスクリプトから API を呼び出すことによってインスタンスに追加できる一般的な機能を提供します。スコープ付き API はスコープ対象のアプリケーションでの使用を目的としており、グローバル API はグローバルスコープ内のアプリケーションでの使用を目的としてい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。通常、新しいアプリケーションはスコープ対象です。グローバルスコープのアプリケーションは、通常、レガシーアプリケーションです。

一般的なユースケース:

- GlideRecord または GlideQuery API を使用して、サーバーサイドスクリプトからレコードデータの作成、読み取り、更新、および削除操作を実行します。
- GlideSystem API を使用して、インスタンスまたは現在のユーザーセッションに関する情報にアクセスし、情報メッセージまたはエラーメッセージを書き込みます。
- FlowAPI メソッドを使用して、サーバーサイドスクリプトからフロー、サブフロー、およびアクションをトリガーします。

REST

REST API を使用して、 Now Platform上のデータにアクセスして更新します。REST API Explorer (REST API エクスプローラー) を使用して、インスタンス内からこれらの API を検出できます。ニーズを満たす API が見つからない場合は、スクリプト済み REST API 機能を使用してカスタム REST API を作成できます。ServiceNow REST API は、要求を認証するためのベーシック認証と OAuth 2.0 をサポートしています。

一般的なユースケース:

- 添付ファイル API を使用して、添付ファイルをアップロードおよびクエリします。
- メール API を使用してメールメッセージを送受信します。
- テーブル API を使用して、テーブル内のレコードを作成、読み取り、更新、および削除します。

サーバー API リファレンス

スクリプトでサーバー API を使用して、アプリケーションの機能を変更したり、新しいアプリケーションを作成したりします。

StaticMethods - グローバル

静的メソッドは、サーバーサイドの JavaScript 内で使用できるメソッドですが、クラスや API の一部ではありません。

これらのメソッドには、使用前にコンストラクターやその他のタイプのインスタンス化を行うことなく、サーバースクリプト内で直接アクセスできます。

静的メソッド:updateVirtualField(GlideRecord **remoteTaskGr, String virtualField, String virtualValue, String virtualDisplayValue)**

サービスブリッジリモートタスクを使用するときに、ターゲットインスタンスのタスクテーブルの仮想フィールドに入力します。

仮想フィールドは、ターゲットタスクテーブルには存在するが、ソースタスクテーブルには存在しないフィールドです。このメソッドを使用して、ソースインスタンスからターゲットインスタンスに仮想フィールドの値を渡します。このメソッドは、指定された リモートタスク のフォームセクションに、仮想フィールドに指定された値を JSON として保存します。このリモートタスクはターゲットインスタンスに同期され、ターゲットタスクテーブルのマッピングされたフィールドに値が格納されます。

仮想フィールドは、リモートタスク定義で定義されます。リモートタスク定義には、ソースインスタンスとターゲットインスタンスのタスクテーブル間でフィールドをマッピングする受信マッピングテーブルと送信マッピングテーブルが含まれています。ターゲットテーブルに存在するフィールドがソーステーブルに含まれていない場合、そのフィールドはリモートタスク定義で仮想フィールドとして構成されます。その後、コンシューマーは、 サービスブリッジ 変換またはこのメソッドを使用して、関連するターゲットタスクレコード内のこれらの仮想フィールド値を更新できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のセクションでは、仮想フィールドを実装し、 `updateVirtualField()` メソッドを使用して仮想フィールドに値を入力する方法の使用例について説明します。この例では、リモートタスク定義によって結合されている 2 つのタスクテーブルは、プロバイダーのケーステーブルとコンシューマーのインシデントテーブルです。コンシューマーインスタンスでインシデントレコードが作成または更新されると、プロバイダーのケーステーブルと同期するように構成されます。ケーステーブルの [影響を受けるインスタンス] フィールドは必須フィールドですが、インシデントテーブルに存在しません。この状況に対処するには、関連するリモートタスク定義の受信マッピングで、[影響を受けるインスタンス] フィールドを仮想フィールドとして定義する必要があります。

1. プロバイダーは、プロバイダーのケーステーブルとコンシューマーのインシデントテーブルのリモートタスク定義を作成します。
2. プロバイダーは、リモートタスク定義の [関連リンク] の [受信フィールド] タブで、インシデントテーブルとケーステーブルの間のフィールドをマッピングします。

   [影響を受けるインスタンス] フィールドを定義するときに、プロバイダーは [仮想] チェックボックスをオンにして、[ターゲットマッピング] タブの [ターゲット] フィールドから [影響を受けるインスタンス] を選択します。

   注: 仮想フィールドを定義する場合、ソースフィールドは存在しないため定義されません。

3. その後、プロバイダーはリモートタスク定義を公開し、コンシューマーインスタンスに同期します。
4. コンシューマーは、インシデントテーブルのリモートタスクを作成します。仮想フィールドの情報を含む、マッピングされたフィールドのすべての値を保持する JSON ペイロードは、リモートタスクのフォームセクションに含まれています。
5. コンシューマーインスタンスは、インシデントテーブルのレコードが更新されたときに実行されるビジネスルールなどで `updateVirtualField()` メソッドを呼び出して、リモートタスクの [影響を受けるインスタンス] フィールドの値を設定します。

   注: ターゲットテーブルのデータはいつでも入力できますが、仮想フィールドとして設定された必須フィールドは、リモートタスクがプロデューサーインスタンスに送信される前にリモートタスクに入力する必要があります。

6. リモートタスクはプロバイダーインスタンスに同期され、プロバイダーインスタンスにケースレコードが作成されます。

リモートタスク定義の作成方法については、「 サービスブリッジ for Providers でのリモートタスク定義の作成 」を参照してください。

サービスブリッジ変換の作成方法については、「 サービスブリッジ 変換フレームワークを使用したデータの変換 」を参照してください。

警告: このメソッドは、呼び出されたリモートタスクを更新するときにのみ、前のビジネスルールで呼び出す必要があります。後のビジネスルールでこのメソッドを呼び出す場合は、無限ループが発生する可能性があるため、リモートタスクの仮想フィールドの更新によってビジネスルールがトリガーされないようにする厳密な条件を含める必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
リモートタスクGr	GlideRecord	指定された仮想フィールド値を設定するリモートタスクの GlideRecord オブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
仮想フィールド	文字列	フィールド 関連付け情報を更新する仮想フィールドのフィールド名。関連付けられたリモートタスク定義の [送信フィールド] 関連タブで定義されます。
仮想値	文字列	ターゲットインスタンスのこのフィールドに設定する値。
仮想表示値	文字列	ターゲットインスタンスでこのフィールドに設定する表示値

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var remoteTaskGr = new GlideRecord("");
/** Remote Task table name,
** Table name vary based on which instance the script is being executed.
**/

remoteTaskGr.get(""); // Remote Task record sys_id

global.sb.updateVirtualField(remoteTaskGr,"<virtual outbound field
 name>", "<value to set on target field>", "<display value to set on
 target field>");
```

AbstractDBObject - グローバル

AbstractDBObject スクリプトインクルードは、データベース内のレコードに基づくクラスに共通のメソッドを提供します。

このスクリプト インクルードを基底クラスとして使用して、独自のデータベース オブジェクト クラスを作成します。

AbstractDBObject - isValid()

現在のデータベース レコードが有効かどうかを判定します。

「IPService - グローバル」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	データベース レコードが有効な場合は true を返し、そうでない場合は false を返します。 データベースレコードが有効かどうかを示すフラグです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true：データベースレコードは有効です。 • false：データベースレコードは無効です。

次の例は、IP サービス [cmdb_ip_service] テーブルから IPService() クラスを使用して有効なインスタンスのリストを取得する方法を示しています。IPService クラスは、AbstractDBObject() クラスを拡張します。

```
/**
 * IPService class Encapsulates the notion of an IP Service. Instances in
 which isValid() returns true have the
 * following properties initialized:
 *  sysID:       sys_id of this record
 *  port:        the TCP or UDP port used by the service
 *  protocol:    protocol used by the service ("UDP", "TCP", or
 "TCP/UDP")
 *  name:        short name or handle
 *  serviceName: long, descriptive English name
 *  creates:     table that this service creates entries in
 *  description: description
 */

var result = [];
// Array of sys_id's from the IP Service class which we want to get the
 abstract details
var list = ['db9840e10ab3015500f5e3fe8f78da42',
 'a1505ebc7782330099808d1168106179', 'abc05ebc7782330099808d1168106112'];

// query for the records on the list
var ipservice = new GlideRecord('cmdb_ip_service');
ipservice.addQuery('sys_id', 'IN', list.toString());
ipservice.query();
while (ipservice.next()) {
    var ip = new IPService(ipservice); // IPService class extends
 AbstractDBObject class and this class
    if (ip.isValid())      // check whether the record is valid or not
        result.push(ip);   // if valid get the properties for
}

gs.info(JSON.stringify(result, null, 2));
```

出力:

```
[
  {
    "valid": true,
    "sysID": "a1505ebc7782330099808d1168106179",
    "port": "8882",
    "protocol": "TCP",
    "name": "blkbry-uem-enroll",
    "serviceName": "Blackberry Enrollment Request",
    "creates": null,
    "description": null
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  },
  {
    "valid": true,
    "sysID": "db9840e10ab3015500f5e3fe8f78da42",
    "port": "548",
    "protocol": "TCP",
    "name": "afp",
    "serviceName": "Apple File Protocol",
    "creates": null,
    "description": null
  }
]
```

AbstractReconciler - グローバル

AbstractReconciler スクリプトインクルードは、独自のディスカバリー調整を作成するための基底クラスとして使用するメソッドを提供します。

これは、XMLMemoryTable 内の新しく発見されたデータをデータベース内の関連リストと照合するための抽象基底クラスです。*AbstractReconciler* スクリプトインクルードは、特定の CMDB アイテムの関連リストを MemoryTable インスタンスに存在する検出された情報と照合するための共通ロジックとヘルパーメソッドを実装します。

このロジックの大半は非常に単純ですが、1 つのビットは、以前に調整されたレコードへの参照の解決ではありません。この機能は、関連する 1 つのリストを調整しながら情報を収集し、その情報を別の関連リストの調整者に渡すことによって機能します。たとえば、スイッチ パーティションが調整されている間に、パーティションのインターフェイス番号をパーティション テーブルのパーティション レコードの sys_id にマップする情報がマップ インスタンスで収集されます。その後、スイッチ ポートが調整されているときに、スイッチ ポートを含むスイッチ パーティションへの参照は、このマップを使用して解決できます。

AbstractReconciler - getReconciliationField()

新しく検出されたデータが、現在のアイテムのデータベースに既に存在するデータと異なるかどうかを判別します。

このメソッドは、再発見されたアイテムに対してのみ呼び出されます。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	データが変更されている場合は true。

AbstractReconciler - getReconciliationKey()

新しく検出されたデータのレコードを検索するためのキーとして使用されるフィールドの文字列値を取得します。

この値は、 *getReconciliationKey()* メソッドで返された列を使用して、検出されたデータのレコードを検索するために使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	検出されたデータへのキーとして使用する値

AbstractReconciler - hasChanged()

新しく検出されたデータが、このアイテムのデータベースに既に存在するデータと異なる場合は true を返します。

このメソッドは、再発見されたアイテムに対してのみ呼び出されます。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	発見されたデータが既にデータベースにあるデータと異なる場合は true です。

AbstractReconciler - markAbsent()

インストール ステータスを「不在」に設定することで、CI を不在としてマークします。その他のテーブルは、(仮定された現在の) フィールド「不在」を true に設定することによってマークされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - markPresent()

インストール ステータスを「インストール済」に設定することで、CI を存在としてマークします。その他のテーブルは、(仮定された現在の) フィールド「不在」を false に設定することによってマークされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - process()

新しく検出されたデータをデータベースに既に存在するデータと照合し、以前に照合したデータへの参照を解決します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - readDatabaseFields()

新しく検出されたデータの現在のメモリ テーブル レコードを読み取り、その有効性をチェックします。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	データが有効であれば true。

AbstractReconciler - readDiscovered()

新しく検出されたデータの現在のメモリ テーブル レコードを読み取り、その有効性をチェックします。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	データが有効であれば true。

AbstractReconciler - resolveReferenceFields()

現在のデータベース レコードのフィールドをインスタンス メンバー フィールドに読み込みます。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - setDatabaseFields()

現在のレコードのデータベース フィールドを、新しく検出された情報の値に設定します。

このメソッドは、検出されたデータが変更されたときに、新しいデータベース レコードと既存のデータベース レコードの両方に対して呼び出されます。

必須メソッドは、すべての具象サブクラスで上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - setup()

特別なセットアップが必要な具象サブクラスのためのオプションの上書き。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractReconciler - track(文字列 **sys_id)**

参照フィールドを解決する必要のある具象サブクラスで上書きするオプションのメソッド。

このメソッドは、有効な検出データが読み取られた後に呼び出されます。一般に、実装では、この検出データの一部を、参照された情報を保持するデータベース レコードの sys_id を返すマップ (インスタンス化されたときに具象リコンサイラー クラスに渡されます) へのキーとして使用します。ただし、実装でこの方法を使用することは必須ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	現在のデータベース レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractScriptProcessor - グローバル

`AbstractScriptProcessor` スクリプトインクルードは、他の JavaScript プロセッサーが拡張する基本 JavaScript プロセッサークラスです。

このクラスを拡張して、独自の JavaScript プロセッサーを作成します。

AbstractScriptProcessor - initialize(文字列 **request**, 文字列 **response**, 文字列 **process)**

オブジェクト構築中に Prototype JavaScript フレームワークによって呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
要求	文字列	リクエスト
response	文字列	対応
process	文字列	プロセス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractScriptProcessor - process()

オブジェクト処理中に Prototype JavaScript フレームワークによって呼び出されます。このメソッドを直接呼び出さないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - グローバル

AbstractTimelineSchedulePage スクリプトインクルードは、タイムラインに表示されるデータの操作を容易にするヘルパークラスです。

タイムライン内に表示されるデータの処理は、指定されたスクリプト インクルードの対応する関数を実行することによって開始されます。その他のスクリプト インクルードのように、言語構文は JavaScript であり、このタイプのリソースのデフォルトのセキュリティ制約に従います。ただし、さまざまな種類の表示オプションが複雑なため、ヘルパー クラスが作成されました。タイムラインを表示するには、 *AbstractTimelineSchedulePage* クラスを拡張し、それに対応するスケジュール ページとペアリングします。最低限、クラスの拡張により、*getItems()* メソッドが上書きされる必要があります。このメソッドは、クライアントに表示されるアイテムを返すための主要なイベント ハンドラーであるためです。

クライアントは、*AbstractTimelineSchedulePage* が 2 つのフェーズで戻すデータを処理します。最初のフェーズでは、タイムラインの実際の更新が行われます。構成されている場合、その直後に、第 2 フェーズに成功メッセージボックス、エラーメッセージボックス、またはダイアログメッセージプロンプトが表示されます。フェーズ 1 で、データを操作するために使用できるオプションは次のとおりです。

- どのアイテムも更新しない:これはデフォルトの動作です。フェーズ 1 で残りのステップを実行しないでください。
- 特定の項目で更新する: これは、 *add()* を使用して行われます。
- *getItems()* 関数を使用してタイムラインをレンダリングします。 これは、`setDoReRenderTimeline(true)` を使用して行われます。

> **注:** 両方の *TimelineItem* が返され、*setDoReRenderTimeline* が **true** に設定されている場合、システムは *setDoReRenderTimeline* プロパティを無視し、*add()* 関数によって追加された *TimelineItem* のみを明示的に表示します。

フェーズ 2 で利用できるオプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- メッセージ ボックスを表示しない: これは既定の動作です。
- 成功ダイアログボックスの表示: これは、setStatusSuccess()を使用して行われます。
- エラーダイアログボックスを表示します。 これは、 *setStatusError()*を使用して行われます。
- 確認ダイアログを表示する: これは、setStatusPrompt()を使用して行われます。

注:

AbstractTimelineSchedulePage を拡張するスクリプトインクルードクラスは、プリフィックスが `sysparm_timeline_` で始まる元の URL からすべての URI パラメーターを自動的に受け取ります。これらの値にアクセスするには、拡張クラスの中で `this.getParameter("sysparm_timeline_VARIABLE");` を使用します。

これは、リストからのコンテキストメニューなど、動的要素からスケジュール ページを表示する必要がある場合に便利です。URL を介して動的データを渡すことにより、スケジュールページにはこれらのパラメーターが Ajax 呼び出し内に自動的に含まれるため、*AbstractTimelineSchedulePage* スクリプトインクルード内でアクセスできるようになります。

AbstractTimelineSchedulePage - add(Object ObjTimeline)

クライアントに返され、タイムラインに適切に表示される *TimelineItem* オブジェクトを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ObjTimeline	オブジェクト	タイムラインに追加する *TimelineItem* オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - addSeparator()

タイムライン アイテムのリストに水平フレーム セパレーターを追加します。*add()* を介して今後追加されるすべてのアイテムは、後続のタイムライン フレームに追加されます。

add() メソッドを使用して今後追加されるすべてのアイテムは、後続のタイムラインフレームに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Inside of a script include that extends AbstractTimelineSchedulePage
      this.addSeparator();
```

AbstractTimelineSchedulePage - elementMoveX(文字列 **spanSysId**, 文字列 **newStartDateTimeMs)**

タイムライン スパンが水平方向に移動する場合のイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	調整中の現在のスパンのSys ID
newStartDateTimeMs	文字列	スパンの新しい開始時刻 (ミリ秒)。数値比較を実行する前に、必ず *`parseInt`* を使用して文字列を解析してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - elementMoveXY(文字列 **spanSysId**, 文字列 **itemSysId**, 文字列 **itemSysId**, 文字列 **newItemSysId**, 文字列 **newStartDateTimeMs)**

タイムライン スパンが水平方向と垂直方向の両方に移動する場合のイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	調整中の現在のスパンのSys ID
itemSysId	文字列	現在のスパンに関連付けられたタイムライン アイテムのSys ID
newItemSysId	文字列	現在のスパンがドラッグされたタイムライン アイテム (行) のSys ID
newStartDateTimeMs	文字列	スパンの新しい開始時刻 (ミリ秒)。数値比較を実行する前に、必ず *`parseInt()`* を使用して文字列を解析してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - elementMoveY(文字列 **spanSysId**, 文字列 **itemSysId**, 文字列 **newItemSysId)**

タイムライン スパンが垂直方向に移動する場合のイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	調整中の現在のスパンのSys ID
itemSysId	文字列	現在のスパンに関連付けられたタイムライン アイテムのSys ID
newItemSysId	文字列	現在のスパンがドラッグされたタイムライン アイテム (行) のSys ID

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - elementSuccessor(文字列 **spanSysId**, 文字列 **newSuccSpanId)**

2 つのスパンの間にタイムライン関係が作成された場合のイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	新しく作成された関係の先行となる現在のスパンのSys ID
newSuccSpanId	文字列	作成された関係からの後続スパンのSys ID

返される内容

タイプ	説明
なし	ReturnValue

AbstractTimelineSchedulePage - elementMoveX(String spanSysId, String newStartDateTimeMs)

タイムライン スパンの終了日が変更されたときのイベント ハンドラー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	調整中の現在のスパンのSys ID
newEndDateTimeMs	文字列	スパンの新しい終了時刻 (ミリ秒単位)。数値比較を実行する前に、必ず `parseInt()` を使用して文字列を解析してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - elementMoveX(String spanSysId, String newStartDateTimeMs)

タイムライン スパンの開始日が変更されたときのイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
spanSysId	文字列	調整中の現在のスパンのSys ID
newStartDateTimeMs	文字列	スパンの新しい開始時刻 (ミリ秒)。数値比較を実行する前に、必ず `parseInt()` を使用して文字列を解析してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - getItems()

タイムラインに表示するスケジュール項目を返すイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - inputBox(文字列 **strInputText)**

文字列が左ペインの入力ボックスに入力されたときのイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
strInputText	文字列	左ペインの入力ボックスに入力されたテキスト

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - itemMove(文字列 **itemSysId**, 文字列 **newItemSysId)**

タイムラインの行アイテムが移動され、別の行アイテムにドラッグされたときのイベント ハンドラー

パラメーター

名前	タイプ	説明
itemSysId	文字列	現在のスパンに関連付けられたタイムライン アイテムのSys ID
newItemSysId	文字列	現在のスパンがドラッグされたタイムライン アイテム (行) のSys ID

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - setDoReRenderTimeline(ブール **b)**

`getItems()` 関数を使用してすべてのタイムライン アイテムを再レンダリングするかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**true** の場合、サーバーの *`getItems()`* ハンドラーへの新しいイベント コールを作成してタイムラインを再レンダリングします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - setStatusSuccess(String strTitle)

タイムラインのタイトルとして表示するテキストを指定します。

ページ タイトルは、任意のインタラクティブ イベントから設定 (および更新) できます。ただし、`getItems()` イベント中に設定することをお勧めします

パラメーター

名前	タイプ	説明
strTitle	文字列	タイムライン タイトルに表示されるテキスト

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - setStatusSuccess(String strTitle, String strMessage)

現在のイベント要求を、指定されたタイトルと `GlideTimeline` イベント処理のフェーズ 2 に表示するメッセージを指定したエラー ステータスに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strTitle	文字列	ダイアログ ボックスのタイトルに表示されるテキスト
strMessage	文字列	ダイアログ ボックス内に表示されるテキスト。テキストに HTML 書式を含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AbstractTimelineSchedulePage - setStatusPrompt(文字列 **strTitle**, 文字列 **strOkFunction**, 文字列 **strCancelFunction**, 文字列 **strCloseFunction)**

現在のイベント要求を、指定されたタイトルと `GlideTimeline` イベント処理のフェーズ 2 の間に確認ダイアログ ボックスに表示するメッセージを指定したプロンプト エラー ステータスに設定します。 確認ボックスには、 および ボタンが表示され、各ボタンによりパラメーター引数を指定した関数を呼び出す新しいイベントが生成されます。、、および のカスタム定義関数は、現在のイベントと同じパラメーター引数を受け取ります。

確認ボックスには、 および ボタンが表示され、各ボタンによりパラメーター引数を指定した関数を呼び出す新しいイベントが生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 、、および のカスタム定義関数は、現在のイベントと同じパラメーター引数を受け取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strTitle	文字列	ダイアログ ボックスに表示するテキスト。テキストに HTML 書式を含めることができます。
strOkFunction	文字列	ユーザーが ボタンをクリックした場合に、現在のスクリプト インクルード クラスで呼び出す関数
strCancelFunction	文字列	ユーザーが ボタンをクリックした場合に、現在のスクリプト インクルード クラスで呼び出す関数
strCloseFunction	文字列	ユーザーが ボタンをクリックした場合に、現在のスクリプト インクルード クラスで呼び出す関数

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var MyTimelineScriptIncludeClass = Class.create();
      MyTimelineScriptIncludeClass.prototype =
 Object.extendsObject(AbstractTimelineSchedulePage, {

      getItems: function() {
      //...
      },

      elementTimeAdjustEnd: function(spanSysId, newEndDateTimeMs) {
      // Display a status prompt dialog box
      this.setStatusPrompt('Confirm Action', 'Are you sure you want to do
 that?',
      'this._myOkHandlerFunction',
      'this._myCancelHandlerFunction',
      'this._myCloseHandlerFunction');
      },

      _myOkHandlerFunction: function(spanSysId, newEndDateTimeMs)
 { // ... },

      _myCancelHandlerFunction: function(spanSysId, newEndDateTimeMs)
 { // ... },

      _myCloseHandlerFunction: function(spanSysId, newEndDateTimeMs)
 { // ... }
      };
```

AbstractTimelineSchedulePage - setStatusSuccess(文字列 **strTitle**, 文字列 **strMessage)**

現在のイベント要求を、指定されたタイトルと *GlideTimeline*イベント処理のフェーズ 2 に表示するメッセージを指定した成功ステータスに設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
strTitle	文字列	ダイアログ ボックスのタイトルに表示されるテキスト
strMessage	文字列	ダイアログ ボックス内に表示されるテキスト。テキストに HTML 書式を含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

AccAgentsAPI :スコープ指定

AccAgentsAPI スクリプトインクルードを使用すると、利用可能なエージェントで管理アクションを実行できます。

このスクリプトインクルードには エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_agent` 名前空間内で提供されます。詳細については、「エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

REST API ソリューションについては、「エージェントクライアントコレクター API」を参照してください。

このスクリプトインクルードは、以下を有効にするメソッドを提供します。

- 1 つ以上のエージェントの詳細情報を取得
- 要求を送信してエージェントログを取得し、要求の進捗状況に関する情報を取得
- データ収集を開始または停止
- エージェントを再起動
- エージェントで検出を実行

AccAgentsAPI - AccAgentsAPI()

AccAgentsAPI インスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*AccAgentsAPI* を初期化する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
```

AccAgentsAPI - checkGrabLogRequestProgress(文字列 requestId)

ログ取得要求のステータスを確認します。

submitGrabLogRequest() メソッドを実行して、要求 ID を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestId	文字列	Agent Client Collector Requests [sn_agent_request] テーブル内の要求の sys_id。

返される内容

プロパティ	説明
<Object>	ログ取得要求のステータスを含む JSON オブジェクト。 `{ "status": Number, "output": "String" }`
status	ログ取得要求のステータスを示す数値。 可能な値： • 0：ログ取得要求が完了しました。 • 1：ログ取得要求は処理中です。 • 2：ログ取得要求はタイムアウトしました。 • 3：ログ取得要求でエラーが発生しました。 • 4：ログ取得要求が見つかりませんでした。
output	ステータスを説明する情報。

次の例は、要求 ID を使用してログ取得要求のステータスを取得する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var logRequestStatus =
 agentsApi.checkGrabLogRequestProgress("<request_ID>");

gs.info(JSON.stringify(logRequestStatus, null, 2));
```

出力：

```
{
  "status": 2,
  "output": "Grab Log Request Timed Out"
}
```

AccAgentsAPI - getAgent(文字列 **agentID)**

指定されたエージェントの情報を取得します。

エージェント ID のリストを取得するには：

- *getAgentsList()* メソッドを実行します。
- Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列を確認します。
- Agent Client Collector GET list REST API を実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentID	文字列	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。

返される内容

プロパティ	説明
<Object>	エージェントの詳細情報を含むオブジェクト。 `{ "error": String, "agent": Object }`
error	エラーメッセージ。エラーがない場合は Null。 データタイプ：文字列
エージェント	`"agent": { "agent_id": "String", "data_collection": Number, "ip_address": "String", "is_duplicate": Boolean, "is_restart_enabled": Boolean, "name": "String", "number_of_running_checks": Number, "status": Number, "up_since": "String", "version": "String" }`
agent.agent_id	送信されたエージェントの ID。 データタイプ：文字列
agent.data_collection	データ収集は、スケジュールされたチェックを実行するかどうかを示します。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 可能な値： • 0：オン - チェックがスケジュールどおりに実行されます。 • 1：オフ (手動) – チェックは手動で無効にされています。 • 2：オフ (自動) - CPU の消費量が多いため、チェックが自動的に無効になりました データタイプ：数値
agent.ip_address	エージェントの IP アドレス。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
agent.is_duplicate	このエージェントが別のエージェントの複製であるかどうかを示すフラグ。指定されたホストには 1 つのエージェントのみが存在している必要があります。 可能な値： • true：エージェントは、異なるエージェント ID を持つアライブ/稼動エージェントと同じホストを持っています。重複をオフにするかアンインストールします • false：このエージェントには、アライブ/稼働ステータスの重複はありません。 データタイプ：ブール
agent.is_restart_enabled	再起動が有効かどうかを示すフラグ。エージェントの再起動は構成できません。OS と、エージェントが実行されている OS のバージョンによって異なります。 可能な値： • true：このエージェントの再起動が有効です。 • false：このエージェントの再起動が無効です。 データタイプ：ブール
agent.name	エージェントの名前。 データタイプ：文字列
agent.number_of_running_checks	エージェントの実行がスケジュールされているチェックの数。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 データタイプ：数値
agent.status	エージェントのステータス。 可能な値： • 0：アライブ/稼動 – エージェントはアクティブです。 • 1：警告 - エージェントは過去数分間にキープアライブメッセージを受信していません。 • 2：停止 - エージェントが長期間にわたってキープアライブメッセージを受信していません。 • 3：再起動中 - エージェントを再起動しています。 データタイプ：数値
agent.up_since	エージェントのステータスがアライブ/稼働になってからの UTC 時間。値は GlideDateTime 形式です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：文字列
agent.version	エージェントが実行している エージェントクライアントコレクター のバージョン。 データタイプ：文字列

次の例は、エージェントのステータスを表示する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var agentInfo = agentsAPI.getAgent("<agent_ID>");

if (!gs.nil(agentInfo.error))
 gs.error(agentInfo.error);
else
 gs.info("agent status: " + agentInfo.agent.status);
```

出力：

```
agent status: 2
```

次の例は、すべてのエージェントの詳細を取得する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var agentInfo = agentsAPI.getAgent("<agent_ID>");

gs.info(JSON.stringify(agentInfo, null, 2));
```

出力：

```
{
  "error": null,
  "agent": {
    "name": "win2016-dc-64bit",
    "status": 0,
    "agent_id": "<agent_ID>",
    "ip_address": "10.222.333.42",
    "number_of_running_checks": 1,
    "data_collection": 0,
    "is_restart_enabled": true,
    "is_duplicate": false,
    "up_since": "2021-03-24 11:04:38",
    "version": "2.4.0"
  }
}
```

AccAgentsAPI – getAgentsList(文字列 **encodedQuery**, 数値 **limit)**

関連情報を含むエージェントのリストを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
encodedQuery	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。
limit	数値	オプション。結果をエージェントの最大数に制限します。必要ない場合は、両方に null または undefined を使用します。 デフォルト/最大：20,000

返される内容

プロパティ	説明
<Array>	エージェントの詳細情報を含む JSON オブジェクトのアレイ。 `[ { "agent_id": "String", "data_collection": Number, "ip_address": "String", "is_duplicate": Boolean, "is_restart_enabled": Boolean, "name": "String", "number_of_running_checks": Number, "status": Number, "up_since": "String", "version": "String" } ]`
agent_id	送信されたエージェントの ID。 データタイプ：文字列
data_collection	データ収集は、スケジュールされたチェックを実行するかどうかを示します。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 可能な値： • 0：オン - チェックがスケジュールどおりに実行されます。 • 1：オフ (手動) – チェックは手動で無効にされています。 • 2：オフ (自動) - CPU の消費量が多いため、チェックが自動的に無効になりました データタイプ：数値
ip_address	エージェントの IP アドレス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
is_duplicate	このエージェントが別のエージェントの複製であるかどうかを示すフラグ。指定されたホストには 1 つのエージェントのみが存在している必要があります。 可能な値： • true：エージェントは、異なるエージェント ID を持つアライブ/稼動エージェントと同じホストを持っています。重複をオフにするかアンインストールします • false：このエージェントには、アライブ/稼働ステータスの重複はありません。 データタイプ：ブール
is_restart_enabled	再起動が有効かどうかを示すフラグ。エージェントの再起動は構成できません。OS と、エージェントが実行されている OS のバージョンによって異なります。 可能な値： • true：このエージェントの再起動が有効です。 • false：このエージェントの再起動が無効です。 データタイプ：ブール
name	エージェントの名前。 データタイプ：文字列
number_of_running_checks	エージェントの実行がスケジュールされているチェックの数。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 データタイプ：数値
status	エージェントのステータス。 可能な値： • 0：アライブ/稼動 – エージェントはアクティブです。 • 1：警告 - エージェントは過去数分間にキープアライブメッセージを受信していません。 • 2：停止 - エージェントが長期間にわたってキープアライブメッセージを受信していません。 • 3：再起動中 - エージェントを再起動しています。 データタイプ：数値
up_since	エージェントのステータスがアライブ/稼働になってからの UTC 時間。値は GlideDateTime 形式です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：文字列
version	エージェントが実行している エージェントクライアントコレクター のバージョン。 データタイプ：文字列

次の例は、クエリーと数値によって結果を制限する方法を示しています。このクエリーは、ダウンステータスでないすべてのエージェントを最大 2 つの結果とともに返します。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var agentList = agentsApi.getAgentsList("agent_extended_info.status!=2",
 2);

gs.info(JSON.stringify(agentList, null, 2));
```

出力：

```
[
  {
    "name": "007-175",
    "status": 0,
    "agent_id": "007-175",
    "ip_address": "11.222.63.66",
    "number_of_running_checks": 0,
    "data_collection": 0,
    "is_restart_enabled": false,
    "is_duplicate": false,
    "up_since": "2021-03-24 14:36:45",
    "version": "2.4.0"
  },
  {
    "name": "win2016-dc-64bit",
    "status": 0,
    "agent_id": "007-64",
    "ip_address": "10.222.333.42",
    "number_of_running_checks": 1,
    "data_collection": 0,
    "is_restart_enabled": true,
    "is_duplicate": false,
    "up_since": "2021-03-24 11:04:38",
    "version": "2.4.0"
  }
]
```

次の例は、システム内のすべてのエージェントを一覧表示する方法を示しています。この例では、クエリーと結果の最大数を使用していません。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var agentList = agentsApi.getAgentsList(null, 0);

gs.info(JSON.stringify(agentList, null, 2));
```

次の例は、提供された結果を反復処理して各エージェント ID を表示する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();

var agentsList = agentsApi.getAgentsList(null, 0);
for (var i = 0; i < agentsList.length; i++)
   gs.info("agent with id: " + agentsList[i].agent_id);
```

出力：

```
sn_agent: agent with id: 000a00e0aa1aa3a4
sn_agent: agent with id: 000a00e1aa1aa3a4
sn_agent: agent with id: 000a00e2aa1aa3a4
```

AccAgentsAPI - restartAgent(文字列 **agentID)**

アライブ/稼働ステータスの指定されたエージェントを再起動します。

エージェントクライアントコレクター のパフォーマンスの問題が発生した場合は、エージェントを再起動できます。手動再起動は次の環境でサポートされています。

- `systemd` を使用する Linux ベースのエージェント
- Windows エージェント

エージェント ID のリストを取得するには：

- *`getAgentsList()`* メソッドを実行します。
- Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列を確認します。
- Agent Client Collector GET list REST API を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentID	文字列	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	該当する場合はエラーメッセージ、それ以外の場合は null

次の例は、 エージェントを再起動する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();

var err = agentsApi.restartAgent("<agent_ID>");
if (!gs.nil(err))
 gs.error(err);
```

AccAgentsAPI - runDiscovery(文字列 **agentID)**

検出チェックを実行して、エージェントに関連する CI を特定します。指定されたエージェントは、アライブ/稼働ステータスである必要があります。

エージェント ID のリストを取得するには：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *getAgentsList()* メソッドを実行します。
- Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列を確認します。
- Agent Client Collector GET list REST API を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentID	文字列	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	該当する場合はエラーメッセージ、それ以外の場合は null。例：`Agent With ID: <agentID> Is Not Up: no thrown error`

次の例は、アライブ/稼働ステータスのエージェントで検出を実行する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();

var err = agentsApi.runDiscovery("<agent_ID>");

if (!gs.nil(err))
 gs.error(err);
```

AccAgentsAPI - setDataCollectionStatus(文字列 **agentID**, ブール **status)**

指定されたエージェントの指定されたデータ収集ステータス (true/false、有効かどうか) を設定します。

エージェント ID のリストを取得するには：

- *getAgentsList()* メソッドを実行します。
- Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列を確認します。
- Agent Client Collector GET list REST API を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentID	文字列	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。
status	ブーリアン	エージェントのデータ収集が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このエージェントのデータ収集を有効にします。 • false：このエージェントのデータ収集を無効にします。 デフォルト：true

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	該当する場合はエラーメッセージ、それ以外の場合は null。例：`Agent With ID: <agentID> Is Not Up: no thrown error`

次の例は、エージェントのデータ収集を有効にする方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var err = agentsApi.setDataCollectionStatus("<agentID>", true);
if (!gs.nil(err))
   gs.error(err);
```

次の例は、エージェントのデータ収集を無効にする方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var err = agentsApi.setDataCollectionStatus("<agentID>", false);
if (!gs.nil(err))
   gs.error(err);
```

AccAgentsAPI - sendGrabLogRequest(文字列 **agentId)**

アライブ/稼働ステータスの指定されたエージェントのログを要求します。

注: ログを取得してその進捗状況を確認するには、返された要求 ID を *`checkGrabLogRequestProgress()`* メソッドに渡します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentID	文字列	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。

返される内容

プロパティ	説明
<Object>	要求 ID とエラー情報を含む JSON オブジェクト。 `{ "error": "String", "request_id": "String" }`
error	エラーメッセージ。エラーがない場合は Null。 データタイプ：文字列
request_id	Agent Client Collector Requests [sn_agent_request] テーブル内の要求の sys_id。 この ID を使用し、*`GET /agents/{request_id}/`*により要求のステータスを取得できます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、ログ要求 ID を取得する方法を示しています。

```
var agentsApi = new sn_agent.AccAgentsAPI();
var submittedRequest = agentsApi.submitGrabLogRequest("<agentID>");

if (!gs.nil(submittedRequest.error))
   gs.error(submittedRequest.error);
else
   gs.info("Request ID: " + submittedRequest.request_id);
```

出力：

```
Request ID: <sys_id>
```

AccCheckDefsAPI :スコープ指定

AccCheckDefsAPI スクリプトインクルードを使用すると、チェック定義と関連パラメーターを管理できます。

このスクリプトインクルードには エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_agent` 名前空間内で提供されます。このスクリプトインクルードには agent_client_collector_admin ロールが必要です。詳細については、「 エージェントクライアントコレクター 」を参照してください。

このスクリプトインクルードには、インスタンスを作成するためのコンストラクタはありません。*AccCheckDefsAPI* 静的クラスを次の形式で使用して、各メソッドを呼び出します。

```
sn_agent.AccCheckDefsAPI.<method>
```

REST API ソリューションについては、「 エージェントクライアントコレクター API」を参照してください。

このスクリプトインクルードは、以下を有効にするメソッドを提供します。

- 指定されたチェック定義を取得
- チェック定義のリストを取得
- チェックとチェックパラメーターを更新

AccCheckDefsAPI - getCheck(文字列 checkDefId, ブール withParams)

詳細を含む指定されたチェック定義を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkDefId	文字列	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。
withParams	ブール	既存のチェックパラメーターの詳細が返されるかどうかを示すフラグ。標準およびセキュアな各チェックパラメーターの情報は、JSON オブジェクトに含まれています。 有効な値： • true：チェックパラメーターの詳細を返します。 • false：チェックパラメーターの詳細を返しません。 デフォルト値：False

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

プロパティ	説明
check	指定されたチェック定義の詳細。 `"check ": { "background": Boolean, "check_group": "String", "check_type": "String", "command": "String", "error": "String", "name": "String", "params": [Array], "plugins": [Array], "proxy_valid": Boolean, "secure_params": [Array], "sys_id": "String", "timeout": Number }`
check.background	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始し、実行が終了するのを待たないチェックです。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。 データタイプ：ブール
check.check_group	このチェック定義に指定されたグループ。 データタイプ：文字列
check.check_type	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
check.command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。 データタイプ：文字列
check.error	エラーがある場合のメッセージ。それ以外の場合は Null です。 データタイプ：文字列
check.name	チェックの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
check.params	チェック定義に関連付けられたパラメーター定義のリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"params": [ { "active": Boolean, "default_value": "String", "mandatory": Boolean, "name": "String", "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
check.params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
check.params.default_value	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。 データタイプ：文字列
check.params.mandatory	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。 データタイプ：ブール
check.params.name	チェックパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
check.params.sys_id	チェックセキュアパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
check.plugins	このチェックに関連付けられている エージェントクライアントコレクター プラグイン のリスト。 データタイプ：アレイ
check.proxy_valid	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。 データタイプ：ブール
check.secure_params	このチェックにアサインされたリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
check.secure_params.active	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
check.secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
check.secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値
check.secure_params.sys_id	チェックセキュアなパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
check.sys_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列
check.timeout	タイムアウト (秒)。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、指定されたチェック定義の情報を取得する方法を示しています。

```
var checkDefId = "94436b237f705300f128134f8dfa91a4";
var withParams = true;

var checkDef = sn_agent.AccCheckDefsAPI.getCheck(checkDefId, withParams);

gs.info(JSON.stringify(checkDef, null, 2));
```

出力:

```
{
  "check": {
    "name": "app.apache.metrics-apache",
    "command": "metrics-apache-graphite.rb -p {{.labels.params_port}}
 --path {{.labels.params_path}} -h {{.labels.params_host}}",
    "plugins": [
      "monitoring-plugin-common"
    ],
    "timeout": 60,
    "proxy_valid": true,
    "background": false,
    "check_type": "Metrics",
    "check_group": "Apache",
    "sys_id": "94436b237f705300f128134f8dfa91a4",
    "params": [
      {
        "name": "port",
        "active": true,
        "mandatory": true,
        "default_value": "80",
        "sys_id": "58436b237f705300f128134f8dfa91a8"
      },
      {
        "name": "path",
        "active": true,
        "mandatory": true,
        "default_value": "/server-status?auto",
        "sys_id": "98436b237f705300f128134f8dfa91aa"
      },
      {
        "name": "scheme",
        "active": false,
        "mandatory": false,
        "default_value": null,
        "sys_id": "a4e57a96db3bbb4035305c55dc9619f6"
      },
      {
        "name": "host",
        "active": true,
        "mandatory": true,
        "default_value": "127.0.0.1",
        "sys_id": "d4436b237f705300f128134f8dfa91a6"
      },
      {
        "name": "ssl_secure_connection",
        "active": false,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "mandatory": false,
        "default_value": null,
        "sys_id": "e3b272c4530100106ffeddeeff7b1275"
      }
    ],
    "secure_params": [
      {
        "name": "cred_user_name",
        "active": true,
        "order": 1,
        "sys_id": "2494cd6e53170010f42cddeeff7b1273"
      },
      {
        "name": "cred_password",
        "active": true,
        "order": 2,
        "sys_id": "35948d6e53170010f42cddeeff7b127f"
      }
    ]
  },
  "error": null
}
```


AccCheckDefsAPI - getChecksList(文字列 **encodedQuery**, 数値 **limit**, ブール **withParams**)
詳細を含むチェック定義のリストを取得します。

「チェックとポリシー」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
encodedQuery	文字列	チェック定義の結果リストをフィルタリングするための エンコードされたクエリ文字列 。システム内のチェック定義のフィルタリングされていないリストには null を使用します。
limit	番号	返されるレコードの数を制限します。デフォルト値を使用するには、null に設定します。 デフォルト：20,000
withParams	ブール	既存のチェックパラメーターの詳細が返されるかどうかを示すフラグ。標準およびセキュアな各チェックパラメーターの情報は、JSON オブジェクトに含まれています。 有効な値： • true：チェックパラメーターの詳細を返します。 • false：チェックパラメーターの詳細を返しません。 デフォルト値：False

返される内容

プロパティ	説明
チェック定義	JSON オブジェクトとして指定されたチェック定義と詳細のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

プロパティ	説明

	<pre>[
	  {
	  "background": Boolean,
	  "check_group": "String",
	  "check_type": "String",
	  "command": "String",
	  "name": "String",
	  "params": [Array],
	  "plugins": [Array],
	  "proxy_valid": Boolean,
	  "secure_params": [Array],
	  "sys_id": "String",
	  "timeout": Number
	  }
	]</pre>
	データタイプ：アレイ

background	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始し、実行が終了するのを待たないチェックです。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。 データタイプ：ブール
check_group	このチェック定義に指定されたグループ。 データタイプ：文字列
check_type	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。 データタイプ：文字列
name	チェックの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
params	チェック定義に関連付けられたパラメーター定義のリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"params": [ { "active": Boolean, "default_value": "String", "mandatory": Boolean, "name": "String", "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
params.default_value	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。 データタイプ：文字列
params.mandatory	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。 データタイプ：ブール
params.name	チェックパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
params.sys_id	チェックセキュアパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
プラグイン	このチェックに関連付けられている エージェントクライアントコレクター プラグイン のリスト。 データタイプ：アレイ
proxy_valid	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。 データタイプ：ブール
secure_params	このチェックにアサインされたリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
secure_params.active	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値
secure_params.sys_id	チェックセキュアなパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列
timeout	タイムアウト (秒)。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、パラメーター値を持つ 2 つのチェック定義のリストを取得する方法を示しています。

```
var encQuery = "nameSTARTSWITHchecks_";
var limit = 2;
var withParams = true;

var checkDefs = sn_agent.AccCheckDefsAPI.getChecksList(encQuery, limit,
 withParams);

gs.info(JSON.stringify(checkDefs, null, 2));
```

出力：

```
[
  {
    "name": "checks_api_test",
    "command": "echo hello",
    "plugins": [],
    "timeout": 9,
    "proxy_valid": true,
    "background": false,
    "check_type": "TestCheck",
    "check_group": "computer",
    "sys_id": "7f1f9026dba530106f4810284b96194f",
    "params": [],
    "secure_params": [
      {
        "name": "check_api_test_check_secure_param2",
        "active": true,
        "order": 2,
        "sys_id": "2d30a066dba530106f4810284b9619c1"
      },
      {
        "name": "check_api_test_check_secure_param1",
        "active": true,
        "order": 100,
        "sys_id": "4c20a066dba530106f4810284b9619a8"
      }
    ]
  },
  {
    "name": "checks_api_test222",
    "command": "echo hello1212121",
    "plugins": [],
    "timeout": 60,
    "proxy_valid": true,
    "background": false,
    "check_type": "TestCheck",
    "check_group": "computer",
    "sys_id": "99e12466dba530106f4810284b961976",
    "params": [
      {
        "name": "check_api_test_check_param_222",
        "active": true,
        "mandatory": false,
        "default_value": "test_test_test",
        "sys_id": "44026466dba530106f4810284b9619b2"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    ],
    "secure_params": []
  }
]
```

AccCheckDefsAPI - updateCheck(文字列 **checkDefId**, オブジェクト **updateJson)**

指定されたチェック定義の 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

「チェックとポリシー」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkDefId	文字列	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。
updateJson	オブジェクト	新しい値に更新されるチェック定義フィールドのマップ。チェック定義のフィールドとタイプの包括的なリストについては、データディクショナリを参照してください。 `{ "background": Boolean, "check_group": "String", "check_type": "String", "command": "String", "name": "String", "plugins": [Array], "proxy_valid": Boolean, "timeout": Number }`
updateJson.active	番号	このチェック定義がアクティブかどうかを示します。 有効な値： • 0：このチェック定義は非アクティブです。 • 1：このチェック定義はアクティブです。
updateJson.background	ブール	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始し、実行が終了するのを待たないチェックです。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。
updateJson.check_group	文字列	このチェック定義に指定されたグループ。
updateJson.check_type	文字列	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
updateJson.command	文字列	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。
updateJson.name	文字列	チェックの名前。
updateJson.plugin	プラグイン	のリスト エージェントクライアントコレクター プラグイン このチェックに関連付けられています。
updateJson.proxy_enabled	ブール値	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。
updateJson.timeout	番号	タイムアウト (秒)。

返される内容

タイプ	説明
なし	失敗した場合のエラーメッセージ。

次の例は、チェック定義を無効にする方法を示しています。

```
var checkJson =
 sn_agent.AccCheckDefsAPI.getCheck(activeCheckDefs[0].sys_id, true);
if (!gs.nil(checkJson.error))
 gs.error(checkJson.error);

var updateJson = {active: "0"}; // deactivate the check definition
sn_agent.AccCheckDefsAPI.updateCheck(checkJson.check.sys_id, updateJson);
```

AccCheckDefsAPI - updateCheckParam(文字列 **checkDefParamId**, オブジェクト **updateJson)**

指定されたチェックパラメーターの 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkDefParamId	文字列	チェックパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。
updateJson	オブジェクト	新しい値に更新されるチェックパラメーターフィールドのマップ。チェックセキュアパラメーター定義のフィールドとタイプの包括的なリストについては、データディクショナリを参照してください。 `{ "active": Boolean, "default_value": "String", "mandatory": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"name": "String"
		}</pre>

updateJson.active	ブーリアン	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。
updateJson.default_value	文字列	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。
updateJson.mandatory	ブーリアン	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ 。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。
updateJson.name	文字列	チェックパラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	失敗した場合のエラーメッセージ。

次の例は、チェックパラメーターを有効にする方法を示しています。

```
var checkParmSysId = "cd922ce6dba530106f4810284b961966";
var updateJson = {"active": "true"};
sn_agent.AccCheckDefsAPI.updateCheckSecureParam(checkParmSysId,
 updateJson);
```

AccCheckDefsAPI - updateCheckSecureParam(文字列 **checkDefSecureParamId**, オブジェクト **updateJson)**

指定されたチェックセキュアパラメーターの 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkDefSecureParamId	文字列	チェックセキュアパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。

updateJson	オブジェクト	新しい値に更新されるチェックセキュアパラメーターフィールドのマップ。チェックセキュアパラメーター定義のフィールドとタイプの包括的なリストについては、データディクショナリを参照してください。
		<pre>{
		"active": Boolean,</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>{
		"name": "String",
		"order": Number
		}</pre>

updateJson.active	ブーリアン	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。
updateJson.name	文字列	セキュアパラメーターの名前。
updateJson.order	番号	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。

返される内容

タイプ	説明
なし	失敗した場合のエラーメッセージ。

次の例は、チェックセキュアパラメーターを有効にする方法を示しています。

```
var checkSecParmSysId = "<sys_id>";
var updateJson = {"active": "true"};
sn_agent.AccCheckDefsAPI.updateCheckSecureParam(checkSecParmSysId,
 updateJson);
```

ActivityHistoryRecord - グローバル

ActivityHistoryRecord API には、WorkflowModelManager オブジェクトとの対話を容易にするメソッドが用意されています。これは、 *WorkflowModelManager* クラスのメンバーであるデータ オブジェクトです。

この API は基本的に、アクティビティ履歴 [wf_history] テーブルの Glide レコードからのデータのコピーです。このクラスにもいくつかのヘルパー メソッドが定義されています。このクラスの単純なデータ要素にアクセサーまたはミューテーターはありません。

ActivityHistoryRecord - addArrivedActivityToJoin(文字列 アレイ activityIds)

既知の ID の *arrivedState* を **true** に変更します。

このメソッドは、既知の ID の *arrivedState* を **true**に変更すると直ちに、結合が満たされるかどうかをテストして確認します。満たされる場合、モデルウォークを続行できます。満たされない場合は、次の適切な移行に進む必要があります。これは再生時に、結合への予期される *wf_activities* フローとして呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
activityIds	文字列アレイ	結合に向かう wf_activity.sys_ids のアレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

ActivityHistoryRecord - addJoinFromActivityIds(文字列 アレイ **activityIds)**

この結合を通過することが予想されるすべての予期される `wf_activity` sys_ids をシードし、その arriveState を false に設定します。

予期される各アクティビティは結合のこのインスタンスに移行するため、状態は **true** に戻ります。このメソッドは、メモリ内にキャッシュされたモデルを構築する一環として呼び出され、再生中は呼び出されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
activityIds	文字列アレイ	結合に向かう wf_activity.sys_ids のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ActivityHistoryRecord - addTransition(オブジェクト **InTransition)**

モデルが `_getExecutedTransitions()` によってキャッシュされると、このメソッドは、このアクティビティを .to アクティビティに移行したトランジションを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
InTransition	オブジェクト	このアクティビティを追加する ExecutedTransition Javascript オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

ActivityHistoryRecord - debugDump( )

デバッグ情報を出力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドの使用方法を示しています。ベースインスタンスの最も古いワークフロー履歴レコードを使用します。

```
// These are associated with the Change Request - Normal workflow for
 CHG0000037.
var wfhGR = new GlideRecord ('wf_history');
wfhGR.addQuery('context.id', '41cdb152db252200a6a2b31be0b8f527');
wfhGR.addQuery('context.table', 'change_request');
wfhGR.orderBy ('activity_index');
wfhGR.query();
while (wfhGR.next())  {
  var script_name = 'AHR';
  //
  //  Acquire the execution history of the workflow's activities.
  //  Do this just once while processing the first activity.

  if(wfhGR.activity_index == 0) {
    var model = new WorkflowModelManager( wfhGR.context );
    model.getExecutedHistory();
  }

//
// Access a hash of ActivityHistoryRecord javascript objects,
// hashed by the sys_id of the wf_history record.
// There will be one ActivityHistoryRecord for each activity.

  var ActivityHistoryRecord =
 model.getActivityHistoryRecordById(wfhGR.sys_id);

//
// Use ActivityHistoryRecord methods to display selected values

  gs.log('Log String [' + ActivityHistoryRecord.getLogString() + ']',
 script_name);
  gs.log('debugDump START', script_name);
  ActivityHistoryRecord.debugDump();
  gs.log('debugDump END', script_name);
  gs.log('Turnstile?[' + ActivityHistoryRecord.isTurnstile() + ']',
 script_name);
  gs.log('Transition Count[' + ActivityHistoryRecord.getTransitionCount()
 + ']\n', script_name );
}
```

出力：

```
[0:00:00.133] Script completed in scope global: script
Script execution history and recovery available here
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a  History INDEX:0  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Begin  WF Activity
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 DEF ID:c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76  WF Activity DEF NAME:Begin
 Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a
*** Script:         History INDEX: 0
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659881000
*** Script:        History INDEX: 0
*** Script:       WF Activity ID: e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:     WF Activity NAME: Begin
*** Script:   WF Activity DEF ID: c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76
*** Script: WF Activity DEF NAME: Begin
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d  History INDEX:1  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Change moves to
 Assess  WF Activity DEF ID:d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035  WF Activity
 DEF NAME:Wait for condition  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) :
 false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d
*** Script:         History INDEX: 1
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659881000
*** Script:        History INDEX: 1
*** Script:       WF Activity ID: 2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:     WF Activity NAME: Change moves to Assess
*** Script:   WF Activity DEF ID: d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035
*** Script: WF Activity DEF NAME: Wait for condition
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e  History INDEX:2  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Requested  WF
 Activity DEF ID:50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5  WF Activity DEF
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 NAME:Approval Action  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e
*** Script:         History INDEX: 2
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659881000
*** Script:        History INDEX: 2
*** Script:       WF Activity ID: 6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:     WF Activity NAME: Requested
*** Script:   WF Activity DEF ID: 50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval Action
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc  History INDEX:3  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26  WF Activity NAME:Technical
 approvals  WF Activity DEF ID:354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f  WF
 Activity DEF NAME:Approval - Group  Transition Count: 1  Is Turnstile
 (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc
*** Script:         History INDEX: 3
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659891000
*** Script:        History INDEX: 3
*** Script:       WF Activity ID: 2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26
*** Script:     WF Activity NAME: Technical approvals
*** Script:   WF Activity DEF ID: 354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval - Group
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce  History INDEX:4  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b  WF Activity NAME:Check if Change
 is "On hold"  WF Activity DEF ID:98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e  WF
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 Activity DEF NAME:If  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce
*** Script:         History INDEX: 4
*** Script:   History START TIME: 1585659891000
*** Script:     History END TIME: 1585659891000
*** Script:        History INDEX: 4
*** Script:       WF Activity ID: 6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b
*** Script:     WF Activity NAME: Check if Change is "On hold"
*** Script:   WF Activity DEF ID: 98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e
*** Script: WF Activity DEF NAME: If
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501  History INDEX:5  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Move to Authorize
  WF Activity DEF ID:1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c  WF Activity DEF
 NAME:Set Values  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is
 Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501
*** Script:         History INDEX: 5
*** Script:   History START TIME: 1585659891000
*** Script:     History END TIME: 1585659891000
*** Script:        History INDEX: 5
*** Script:       WF Activity ID: e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:     WF Activity NAME: Move to Authorize
*** Script:   WF Activity DEF ID: 1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c
*** Script: WF Activity DEF NAME: Set Values
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

ActivityHistoryRecord - doesJoinContainActivity( )

この履歴レコードにシードされると見なされる受信した wf_activity sys_id をテストします。この結合を介して行われるアクティビティであるかどうかを調べるためにテストされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	この結合を介して行われるアクティビティの場合は true です。

ActivityHistoryRecord - getLogString( )

履歴レコードからログ文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログ文字列

次のコード例は、このメソッドの使用方法を示しています。ベースインスタンスの最も古いワークフロー履歴レコードを使用します。

```
// These are associated with the Change Request - Normal workflow for
 CHG0000037.
var wfhGR = new GlideRecord ('wf_history');
wfhGR.addQuery('context.id', '41cdb152db252200a6a2b31be0b8f527');
wfhGR.addQuery('context.table', 'change_request');
wfhGR.orderBy ('activity_index');
wfhGR.query();
while (wfhGR.next())  {
  var script_name = 'AHR';
  //
  //  Acquire the execution history of the workflow's activities.
  //  Do this just once while processing the first activity.

  if(wfhGR.activity_index == 0) {
    var model = new WorkflowModelManager( wfhGR.context );
    model.getExecutedHistory();
  }

//
// Access a hash of ActivityHistoryRecord javascript objects,
// hashed by the sys_id of the wf_history record.
// There will be one ActivityHistoryRecord for each activity.

  var ActivityHistoryRecord =
 model.getActivityHistoryRecordById(wfhGR.sys_id);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//
// Use ActivityHistoryRecord methods to display selected values

  gs.log('Log String [' + ActivityHistoryRecord.getLogString() + ']',
 script_name);
  gs.log('debugDump START', script_name);
  ActivityHistoryRecord.debugDump();
  gs.log('debugDump END', script_name);
  gs.log('Turnstile?[' + ActivityHistoryRecord.isTurnstile() + ']',
 script_name);
  gs.log('Transition Count[' + ActivityHistoryRecord.getTransitionCount()
 + ']\n', script_name );
}
```

出力：

```
[0:00:00.133] Script completed in scope global: script
Script execution history and recovery available here
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a  History INDEX:0  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Begin  WF Activity
 DEF ID:c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76  WF Activity DEF NAME:Begin
 Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a
*** Script:         History INDEX: 0
*** Script:    History START TIME: 1585659881000
*** Script:      History END TIME: 1585659881000
*** Script:         History INDEX: 0
*** Script:        WF Activity ID: e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:      WF Activity NAME: Begin
*** Script:    WF Activity DEF ID: c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76
*** Script: WF Activity DEF NAME: Begin
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d  History INDEX:1  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Change moves to
 Assess  WF Activity DEF ID:d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035  WF Activity
 DEF NAME:Wait for condition  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) :
 false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d
*** Script:         History INDEX: 1
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659881000
*** Script:        History INDEX: 1
*** Script:       WF Activity ID: 2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:     WF Activity NAME: Change moves to Assess
*** Script:   WF Activity DEF ID: d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035
*** Script: WF Activity DEF NAME: Wait for condition
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

```
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e  History INDEX:2  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Requested  WF
 Activity DEF ID:50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5  WF Activity DEF
 NAME:Approval Action  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e
*** Script:         History INDEX: 2
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
*** Script:     History END TIME: 1585659881000
*** Script:        History INDEX: 2
*** Script:       WF Activity ID: 6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:     WF Activity NAME: Requested
*** Script:   WF Activity DEF ID: 50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval Action
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

```
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc  History INDEX:3  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26  WF Activity NAME:Technical
 approvals  WF Activity DEF ID:354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f  WF
 Activity DEF NAME:Approval - Group  Transition Count: 1  Is Turnstile
 (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc
*** Script:         History INDEX: 3
*** Script:   History START TIME: 1585659881000
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:     History END TIME: 1585659891000
*** Script:        History INDEX: 3
*** Script:       WF Activity ID: 2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26
*** Script:     WF Activity NAME: Technical approvals
*** Script:   WF Activity DEF ID: 354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval - Group
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce  History INDEX:4  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b  WF Activity NAME:Check if Change
 is "On hold"  WF Activity DEF ID:98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e  WF
 Activity DEF NAME:If  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce
*** Script:         History INDEX: 4
*** Script:    History START TIME: 1585659891000
*** Script:      History END TIME: 1585659891000
*** Script:         History INDEX: 4
*** Script:       WF Activity ID: 6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b
*** Script:     WF Activity NAME: Check if Change is "On hold"
*** Script:   WF Activity DEF ID: 98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e
*** Script: WF Activity DEF NAME: If
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501  History INDEX:5  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Move to Authorize
  WF Activity DEF ID:1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c  WF Activity DEF
 NAME:Set Values  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is
 Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501
*** Script:         History INDEX: 5
*** Script:    History START TIME: 1585659891000
*** Script:      History END TIME: 1585659891000
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:        History INDEX: 5
*** Script:       WF Activity ID: e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:     WF Activity NAME: Move to Authorize
*** Script:   WF Activity DEF ID: 1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c
*** Script: WF Activity DEF NAME: Set Values
*** Script:     Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

ActivityHistoryRecord - getSatisfiedJoinActivities( )

既に実行された Join アクティビティに移行する履歴レコードの sys_ids を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	この Join アクティビティに移行する履歴レコードの sys_id のアレイ。

ActivityHistoryRecord - getTransitionCount( )

このアクティビティの移行回数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	このアクティビティからの移行の数

次のコード例は、このメソッドの使用方法を示しています。ベースインスタンスの最も古いワークフロー履歴レコードを使用します。

```
// These are associated with the Change Request - Normal workflow for
 CHG0000037.
var wfhGR = new GlideRecord ('wf_history');
wfhGR.addQuery('context.id', '41cdb152db252200a6a2b31be0b8f527');
wfhGR.addQuery('context.table', 'change_request');
wfhGR.orderBy ('activity_index');
wfhGR.query();
while (wfhGR.next())  {
  var script_name = 'AHR';
  //
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  //  Acquire the execution history of the workflow's activities.
  //  Do this just once while processing the first activity.

  if(wfhGR.activity_index == 0) {
    var model = new WorkflowModelManager( wfhGR.context );
    model.getExecutedHistory();
  }

//
// Access a hash of ActivityHistoryRecord javascript objects,
// hashed by the sys_id of the wf_history record.
// There will be one ActivityHistoryRecord for each activity.

  var ActivityHistoryRecord =
 model.getActivityHistoryRecordById(wfhGR.sys_id);

//
// Use ActivityHistoryRecord methods to display selected values

  gs.log('Log String [' + ActivityHistoryRecord.getLogString() + ']',
 script_name);
  gs.log('debugDump START', script_name);
  ActivityHistoryRecord.debugDump();
  gs.log('debugDump END', script_name);
  gs.log('Turnstile?[' + ActivityHistoryRecord.isTurnstile() + ']',
 script_name);
  gs.log('Transition Count[' + ActivityHistoryRecord.getTransitionCount()
 + ']\n', script_name );
}
```

出力：

```
[0:00:00.133] Script completed in scope global: script
Script execution history and recovery available here
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a  History INDEX:0  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Begin  WF Activity
 DEF ID:c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76  WF Activity DEF NAME:Begin
 Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57a
*** Script:         History INDEX: 0
*** Script:    History START TIME: 1585659881000
*** Script:      History END TIME: 1585659881000
*** Script:         History INDEX: 0
*** Script:        WF Activity ID: e233b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:      WF Activity NAME: Begin
*** Script:    WF Activity DEF ID: c7a5e32c0a0a0b3a002377c24ed8ea76
*** Script: WF Activity DEF NAME: Begin
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:               Is Join: false
AHR: debugDump END
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d  History INDEX:1  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Change moves to
 Assess  WF Activity DEF ID:d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035  WF Activity
 DEF NAME:Wait for condition  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) :
 false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: a228c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57d
*** Script:         History INDEX: 1
*** Script:    History START TIME: 1585659881000
*** Script:      History END TIME: 1585659881000
*** Script:         History INDEX: 1
*** Script:        WF Activity ID: 2e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:      WF Activity NAME: Change moves to Assess
*** Script:    WF Activity DEF ID: d93a02ae0a0a0aa30077abad3fdac035
*** Script: WF Activity DEF NAME: Wait for condition
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e  History INDEX:2  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659881000  WF Activity
 ID:6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f  WF Activity NAME:Requested  WF
 Activity DEF ID:50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5  WF Activity DEF
 NAME:Approval Action  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 3e28c4b6dba52200a6a2b31be0b8f57e
*** Script:         History INDEX: 2
*** Script:    History START TIME: 1585659881000
*** Script:      History END TIME: 1585659881000
*** Script:         History INDEX: 2
*** Script:        WF Activity ID: 6e33b949cb020200d71cb9c0c24c9c1f
*** Script:      WF Activity NAME: Requested
*** Script:    WF Activity DEF ID: 50a78fa50a6a803f66d064255f7201a5
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval Action
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc  History INDEX:3  History START
 TIME:1585659881000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26  WF Activity NAME:Technical
 approvals  WF Activity DEF ID:354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f  WF
 Activity DEF NAME:Approval - Group  Transition Count: 1  Is Turnstile
 (loop) : false  Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: 0d38c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5cc
*** Script:         History INDEX: 3
*** Script:    History START TIME: 1585659881000
*** Script:      History END TIME: 1585659891000
*** Script:         History INDEX: 3
*** Script:        WF Activity ID: 2a33b949cb020200d71cb9c0c24c9c26
*** Script:      WF Activity NAME: Technical approvals
*** Script:    WF Activity DEF ID: 354e911f0a0a029a00e6a0e6ad74206f
*** Script: WF Activity DEF NAME: Approval - Group
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]


AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce  History INDEX:4  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b  WF Activity NAME:Check if Change
 is "On hold"  WF Activity DEF ID:98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e  WF
 Activity DEF NAME:If  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false
 Is Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: c538c4b6dba52200a6a2b31be0b8f5ce
*** Script:         History INDEX: 4
*** Script:    History START TIME: 1585659891000
*** Script:      History END TIME: 1585659891000
*** Script:         History INDEX: 4
*** Script:        WF Activity ID: 6233b949cb020200d71cb9c0c24c9c5b
*** Script:      WF Activity NAME: Check if Change is "On hold"
*** Script:    WF Activity DEF ID: 98f621ca0a0a0b5900f7c291f5e45a0e
*** Script: WF Activity DEF NAME: If
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:              Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
AHR: Log String [HISTORY RECORD:  History
 ID:cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501  History INDEX:5  History START
 TIME:1585659891000  History END TIME:1585659891000  WF Activity
 ID:e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20  WF Activity NAME:Move to Authorize
  WF Activity DEF ID:1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c  WF Activity DEF
 NAME:Set Values  Transition Count: 1  Is Turnstile (loop) : false  Is
 Join: false]
AHR: debugDump START
*** Script:
*** Script: WF HISTORY RECORD:
*** Script:           History ID: cd3808b6dba52200a6a2b31be0b8f501
*** Script:         History INDEX: 5
*** Script:    History START TIME: 1585659891000
*** Script:      History END TIME: 1585659891000
*** Script:         History INDEX: 5
*** Script:        WF Activity ID: e633b949cb020200d71cb9c0c24c9c20
*** Script:      WF Activity NAME: Move to Authorize
*** Script:    WF Activity DEF ID: 1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c
*** Script: WF Activity DEF NAME: Set Values
*** Script:      Transition Count: 1
*** Script: Roll Back Originator:
*** Script:  Is Turnstile (loop): false
*** Script:               Is Join: false
AHR: debugDump END
AHR: Turnstile? [false]
AHR: Transition Count [1]
```

ActivityHistoryRecord - getUnSatisfiedJoinActivities( )

結合がまだ待機しているこの Join アクティビティに移行する履歴レコードの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	この Join アクティビティに移行する履歴レコードの sys_id のアレイ。

ActivityHistoryRecord - isARollback( )

このアクティビティがロールバックアクティビティの 1 つかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティがロールバックアクティビティの 1 つであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アクティビティはロールバックです。 • false：アクティビティはロールバックではありません。

ActivityHistoryRecord - isIdADestination(文字列 **ahrSys_id)**

渡された sys_id が、*ActivityHistoryRecord*のインスタンスに関連付けられているいずれかの移行の宛先かどうかを判定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ahrSys_id	文字列	テーブル wf_history のアクティビティ履歴 sys_id

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	渡された sys_id がいずれかの移行の宛先である場合は true。

ActivityHistoryRecord - isJoin( )

このアクティビティが結合であるかどうかを判定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティが「結合」の場合は true。

ActivityHistoryRecord - isJoinSatisfied( )

arriveState の値を調べます。

移行の sys_id への移行が、結合であるアクティビティを指している場合は再生中に呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	結合が満たされている場合は true。

ActivityHistoryRecord - isJoinWaitingForActivity(文字列 アレイ **activityIds)**

この履歴レコードにシードされると見なされる受信した wf_activity sys_id をテストします。

そうであれば、それが既に完了しているかどうかをテストします。完了している場合、この結合はこのアクティビティで待機しておらず、待機中のものをさらに下流で探す必要があります。このテストは、モデルが連結されているときに順番に呼び出されるため、ロールバックやループのインスタンスで想定されます。sys_id がここにあり、フラグが **true** である場合、この待機中の結合はさらにシーケンスの上方になります。結合の履歴レコードが履歴テーブルから削除されると、このような確認が必要になるため、レコードが対応する履歴テーブルに一致することなく移行テーブルに存在する可能性があります。ただし、依然として以前に実行された同じ結合のインスタンスに対する適切な一致となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
activityIds	文字列アレイ	結合に向かう wf_activity.sys_ids のアレイ

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティが既に終了している場合は true。

ActivityHistoryRecord - isRolledBack( )

このワークフローがロールバックされたかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	このワークフローがロールバックされた場合は true。

ActivityHistoryRecord - isTurnstile( )

現在のアクティビティがターンスタイルかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティが ターンスタイル かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アクティビティはターンスタイルです。 • false：アクティビティはターンスタイルではありません。

次のコード例は、このメソッドを使用してターンスタイルを検出する方法を示しています。これは、[ロールバック] ワークフローアクティビティ にあるワークフローに基づいています。このスクリプトの出力を確認するには、要求アイテム (RITM) フォームで [ワークフローを表示] しているときに、[ワークフローアクティビティ履歴] タブを調べます。

```
var wfhGR = new GlideRecord ('wf_history');
wfhGR.addQuery ('context.id','cc45480d2f9b8110b99eb2e72799b6f9'); //
 sys_id of the RITM
wfhGR.addQuery ('context.table','sc_req_item'); // Table for the RITM
wfhGR.orderBy  ('activity_index');
wfhGR.query();
var turnstile_count = 0;
while (wfhGR.next())  {
  var script_name = 'AHR';
  //
  // Acquire the execution history of the workflow's activities.
  // Do this just once while processing the first activity.

  if(wfhGR.activity_index == 0) {
    var model = new WorkflowModelManager(wfhGR.context);
    model.getExecutedHistory();
  }

  //
  // Access a hash of ActivityHistoryRecord javascript objects,
  // hashed by the sys_id of the wf_history record.
  // There will be one ActivityHistoryRecord for each activity.

  var ActivityHistoryRecord =
 model.getActivityHistoryRecordById(wfhGR.sys_id);

  //
  // Use ActivityHistoryRecord methods to display turnstile activities.

  if(ActivityHistoryRecord.isTurnstile()) {
    var log_string = ActivityHistoryRecord.getLogString();
    var name_start = log_string.indexOf('WF Activity NAME:');
    var name_end = log_string.indexOf('WF Activity DEF ID:');
    var name = log_string.substring(name_start, name_end).trim();
    gs.log(name + ' Activity ' + wfhGR.activity_index + ' is a
 turnstile.', script_name);
    turnstile_count++;
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.log ('Turnstile activities detected: ' + turnstile_count,
 script_name);
```

出力：

```
AHR: WF Activity NAME:Prevent infinite loops Activity 8 is a turnstile.
AHR: WF Activity NAME:Prevent infinite loops Activity 13 is a turnstile.
AHR: WF Activity NAME:Prevent infinite loops Activity 18 is a turnstile.
AHR: WF Activity NAME:Prevent infinite loops Activity 23 is a turnstile.
AHR: Turnstile activities detected: 4
```

action - スコープ対象、グローバル

アクション API は、UI アクションスクリプト内の URL のデータを処理するメソッドを提供します。

この API を使用して、ユーザーが操作できる UI アクションを構成します。UI アクション [sys_ui_action] テーブル内のこれらのスクリプトを使用します。詳細については、「UI アクション」を参照してください。

この API のメソッドは、サーバー側の JavaScript で「action」という変数名で参照されます。詳細については、「UI アクションによるインタラクションの作成」を参照してください。

action - getGlideURI()

ユーザービューを決定する GlideURI オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザービューの URI パラメーターを表す GlideURI オブジェクト。 • GlideURI - スコープ指定 • GlideURI - グローバル 注: null を含むその他の戻り値はエラーと見なされます。

次の例は、ユーザービューを取得し、サービスカタログのホームページへのリダイレクト URL を設定する方法を示しています。

```
var uri = action.getGlideURI();
var path = 'catalog_home.do';

uri.set('sysparm_view', 'catalog_default');
action.setRedirectURL(uri.toString(path));
```

action - getReturnURL()

UI アクションが完了した後に表示されるページの URL を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	UI アクションが完了した後に表示されるページの URL。

```
action.getReturnURL();
```

action - getURLParameter(文字列 **parameterName)**

URL パラメーターの値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parameterName	文字列	URL パラメーター値を照会する URL パラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	URL パラメーター値。

```
action.getURLParameter('sysparm_query');
```

action - openGlideRecord(オブジェクト **gr)**

ユーザービューで GlideRecord を含むページを開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gr	GlideRecord	ユーザービューで開くページの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、インタラクションレコードから作成された発信者名とインシデントの説明を含める方法を示しています。詳細については、「ワークスペースでのカスタム UI アクションの設定」を参照してください。

```
if(current.update()){
  var inc = new GlideRecord("incident");
  inc.newRecord();
  inc.caller_id = current.opened_for;
  inc.short_description = current.short_description;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  action.openGlideRecord(inc);
}
```

action - setNoPop(ブール noPop)

現在のビューのページでポップアップウィンドウを有効にするか無効にするかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
noPop	ブーリアン	ページでポップアップウィンドウを有効にするか無効にするかを示すフラグ。 • true：ポップアップウィンドウを無効にします。 • false：デフォルトです。ポップアップウィンドウを有効にします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、UI アクションのポップアップウィンドウを無効にする方法を示しています。

```
action.setNoPop(true);
```

action - setRedirectURL(オブジェクト URL)

このトランザクションのリダイレクト URI を設定します。リダイレクト URI は、ユーザーに表示される次のページを決定します。

ユースケース：

- UI ルーティングアクションの作成
- HR ケースからのナレッジ記事の作成
- UI アクションによるタスク関係

パラメーター

名前	タイプ	説明
URL	オブジェクト	リダイレクトとして設定する URL。URL は文字列または GlideRecordとして指定できます。URL を GlideRecord として渡すと、この値によってそのレコードのフォームにフォーカスが移動します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 current 変数を使用して UI アクションから URL にユーザーをリダイレクトする方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var fixchg = new GlideRecord("change_request");
fixchg.short_description= current.short_description;
fixchg.comments= current.comments.getHTMLValue();
// fixchg.parent = current.sys_id;
fixchg.insert();
FixChange();

gs.addInfoMessage("Change "+ fixchg.number+" created");
action.setRedirectURL(current);
action.setReturnURL(fixchg);

function FixChange(){
var m2m = new GlideRecord('task_rel_task');
m2m.initialize();
m2m.child= current.sys_id;
m2m.parent= fixchg.sys_id;
m2m.type.setDisplayValue("Fixes::Fixed by");
m2m.insert();}
```

次の例は、新しいインシデントレコードを作成し、UI アクションの完了後に新しいインシデントにリダイレクトする方法を示しています。

```
var reqItem = current.u_item;
var requestedFor = current.u_requested_for;
var location = current.location;

if(current.u_incident_request == 'Incident'){
  //Create a new incident record and redirect to the new incident
  var rec = new GlideRecord('incident');
  rec.initialize();
  rec.caller_id = requestedFor;
  rec.location = location;
  rec.insert();
  action.setRedirectURL(rec);
}

if(current.u_incident_request == 'Request'){
  //Build the url and route the user to the request item
  var url = '';
  if(current.u_item.sys_class_name == 'sc_cat_item_guide'){
    url =
 'com.glideapp.servicecatalog_cat_item_guide_view.do?sysparm_initial=true
&sysparm_guide=' +
      reqItem + '&sysparm_user=' + requestedFor + '&sysparm_location=' +
 location;
  }
  else{
    url = 'com.glideapp.servicecatalog_cat_item_view.do?sysparm_id=' +
 reqItem + '&sysparm_user=' +
      requestedFor + '&sysparm_location=' + location;
  }
  action.setRedirectURL(url);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

action - setReturnURL(オブジェクト URL)

UI アクションが完了した後に、このトランザクションのリターン URI を設定します。このメソッドを使用して、ユーザーが送信から戻ったときに表示されるページを決定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
URL	オブジェクト	UI アクションが完了した後に戻る場所として設定する URI。URL は文字列または GlideRecordとして指定できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、ユーザーが UI アクションを選択し、問題レコードと変更テンプレートの情報を使用して変更レコードを作成できるようにしています。変更後、ユーザーは 現在の ビューに戻ります。詳細については、「スクリプト化されたテンプレート」を参照してください。その他のユースケースについては、「UI アクションによるタスク関係」を参照してください。

```
var change = new GlideRecord("change_request");
change.initialize();
change.short_description = current.short_description;
change.description = current.u_details;
change.cmdb_ci = current.u_service;
change.priority = current.priority;
change.requested_by = current.caller_id;
change.assignment_group.setDisplayValue('Change & Release');
change.u_status = 'New';
change.parent = current.number;
change.applyTemplate("standard_rfc");
current.rfc = change.insert();
current.comments = 'Change ' + change.number + ' created.';

var mySysID = current.update();

gs.addInfoMessage("Change " + change.number + " created");
action.setRedirectURL(change);
action.setReturnURL(current);
```

action - setURLParameter(文字列 parameterName, 文字列 parameterValue)

URL パラメーターの名前と値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parameterName	文字列	URL パラメーターの名前。
parameterValue	文字列	パラメーターの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
action.setURLParameter('sysparm_query', 'priority=2^active=true');
```

エージェント - グローバル

エージェント API は、エージェントのプレゼンスとチャネルの可用性を取得または設定するためのメソッドを提供します。

エージェント API は、sn_awa 名前空間内で提供されます。

以下が必要です。

- 高度な作業アサインプラグイン (com.glide.awa)
- ロール：awa_integration_user または admin

Agent - get(文字列 user_sys_id)

sys_id によってエージェントを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
user_sys_id	文字列	sys_user テーブルに記載されているユーザーの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが存在する場合は true、それ以外の場合は false。

```
var agent = sn_awa.Agent.get("<user_sys_id>");
var presence  = agent.getPresence();
```

Agent – getPresence()

指定されたエージェントの現在の在席状況とチャネルの可用性を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	在席状況 sys_id、在席状況名、チャネル情報。それ以外の場合はエラーメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var agent = sn_awa.Agent.get("<user_sys_id>");
        var presence  = agent.getPresence();
```

Agent – setPresence(オブジェクト setRequest)

指定されたエージェントのプレゼンスのステータスを設定し、そのステータスに対するエージェントのチャネルの可用性を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
setRequest	オブジェクト	setRequest.sys_id と setRequest.channels.
setRequest.sys_id	文字列	AWA 在席状況 [awa_presence_state] テーブルからの presence_sys_id。
setRequest.channel	名前/値ペア	オプション。 • sys_id:awa_service_channelテーブルからChannel_sys_id。 • available:このチャネルの作業を受け取るエージェントの可用性 (true または false)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	成功した場合は true、それ以外の場合は false。

```
var agent = sn_awa.Agent.get("<user_sys_id>");
var presence = agent.setPresence({
    sys_id: <presence_sys_id>,
    channels: [{
        sys_id: "<channel_sys_id>",
        available: true // or false
    }]
});
```

AgentMetrics - グローバル

AgentMetrics スクリプトインクルードは、受信MID サーバーメトリクスを処理するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、次のテーブルを更新します。

- ECC エージェントカウンタメトリクス [ecc_agent_counter_metric]
- ECC エージェント メモリメトリクス [ecc_agent_memory_metric]
- ECC エージェント RGR メトリクス [ecc_agent_rgr_metric]
- ECC エージェント スカラー指標 [ecc_agent_scalar_metric]

サーバー スクリプトでこれらのメソッドを使用します。

AgentMetrics - AgentMetrics()

AgentMetrics のインスタンスを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、*AgentMetrics()* を使用して AgentMetrics オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleMemory('memory', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
amtc.updateMetric('ecc_agent_memory_metric', 'm_values', 'memory',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentMetrics - handleCounter(文字列 **metric**, 文字列 **name**, 文字列 **midId)**

エージェントからのカウンター測定基準を、ECC エージェント カウンター測定基準テーブル (ecc_agent_counter_metric) の更新に使用できるアレイに格納することによって処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metric	文字列	エージェントからのカウンター オブジェクト
name	文字列	デバイス名
midID	文字列	MID サーバーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleCounter('count', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentMetrics - handleMemory(文字列 **metric**, 文字列 **name**, 文字列 **midId)**

指定されたエージェントのメモリー測定基準を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metric	文字列	エージェントからのメモリー オブジェクト
name	文字列	デバイス名
midID	文字列	MID サーバーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleMemory('mem_obj', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentMetrics - handleRGR(文字列 **metric**, 文字列 **name**, 文字列 **midId)**

リモート Glide レコードからのメトリック情報をアレイに格納することによって処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metric	文字列	エージェントからのリモート オブジェクト
name	文字列	デバイス名
midID	文字列	MID サーバーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleRGR('remote_obj', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentMetrics - handleScalar(文字列 **metric**, 文字列 **name**, 文字列 **midId)**

エージェントのスカラ値をアレイに格納して処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metric	文字列	エージェントからのカウンター オブジェクト
name	文字列	デバイス名
midID	文字列	MID サーバーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleScalar('scalar', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentMetrics - updateMetric(文字列 **tableName**, 文字列 **values**, 文字列 **metric**, 文字列 **midID)**

指定した測定基準テーブルを新しい測定基準情報で更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	更新するメトリック表
値	文字列	テーブルに追加する値を含むオブジェクト
metric	文字列	表に追加する測定基準タイプ
midID	文字列	MID サーバーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var amtc = new AgentMetrics();
amtc.handleMemory('memory', 'server_name',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
amtc.updateMetric('ecc_agent_memory_metric', 'm_values', 'memory',
 '1098888bbb9483abcd89981ffaeff');
```

AgentNowHandler - スコープ指定

AgentNowHandler スクリプトインクルードは、チェック定義をオンデマンドで実行し、オンデマンド実行とテストチェック実行のステータスをチェックし、オンデマンドで実行されたバックグラウンドチェックを停止するためのメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードには エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_agent` 名前空間内で提供されます。詳細については、「エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

REST API ソリューションについては、「エージェントクライアントコレクター API」を参照してください。

AgentNowHandler：**AgentNowHandler()**

AgentNowHandler インスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*AgentNowHandler* を初期化する方法を示しています。

```
var handler = new sn_agent.AgentNowHandler();
```

AgentNowHandler - getRequestStatus(文字列 **requestId)**

指定された ID の要求のステータスを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestId	文字列	`runCheckForCis()` メソッドの呼び出しによって生成されるチェック要求 ID。

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	要求のステータスと該当するエラーメッセージ。
status	要求ステータス。 可能な値： • done - チェックに成功しました。 • failure – チェックに失敗しました。詳細はエラーメッセージを参照してください。 • mid_flow – 要求の出力は MID サーバーによって処理されています。 • processing – チェックが進行中です。 • timeout – チェックの処理が `runCheckForCis()` メソッドで設定された時間制限を超えました。 データタイプ：文字列
err_msg	エラーメッセージ (存在する場合)。 可能な値： • 関連する CI のエージェントが見つかりません。 • 指定された ID のバックグラウンドチェック要求はありません。 • 指定された ID の要求はありません。 • 指定された ID のテスト結果はありません。 • 要求タイムアウト。 データタイプ：文字列

次の例は、要求のステータスを取得する方法を示しています。

```
var handler = new sn_agent.AgentNowHandler();
var check = {checkDefId: "158279505372b30034b8ddeeff7b1270"};
var computerGr = new GlideRecord("cmdb_ci_computer");
computerGr.query();
var requestId = handler.runCheckForCis(computerGr, check, 0, 60);

var reqStatusJson = handler.getRequestStatus(requestId);
gs.info(JSON.stringify(reqStatusJson));
```

AgentNowHandler - getTestResultStatus(文字列 **testResultId)**

指定されたテスト結果のテストチェックステータスを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
testResultId	文字列	テストチェック要求の作成によって生成されるテスト結果 ID。

返される内容

プロパティ	説明
status	テスト結果のステータス。 可能な値： • 0：処理待ち • 1：処理中 • 2：完了 • 3：指定された ID のテスト結果なし データタイプ：文字列
output	ステータスを説明する出力。 データタイプ：文字列

次の例は、完了したテストチェック要求の結果ステータスを取得する方法を示しています。

```
var testCheckStatusJson = handler.getTestResultStatus("testResultId");
gs.info(JSON.stringify(testCheckStatusJson));
```

AgentNowHandler - runCheckForCis(オブジェクト **cis**, オブジェクト **check**, 数値 **priority**, 数値 **timeout)**

指定された構成アイテムに対してチェックを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
CI	GlideRecord	チェック対象となる CMDB テーブル (任意のアプリケーション、ホスト、またはエージェント) の GlideRecord。
check	オブジェクト	チェック ID とオプションのチェックパラメーター。 `{ "checkDefId": "String", "params": {Object} }`
check.checkDefId	文字列	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルのチェック定義の sys_id。
check.params	オブジェクト	オプション。パラメーターの名前と値のマップ。これらの設定を使用して、チェック定義のパラメーターレコードとその指定された値を上書きできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		`"params": { "<parameter name>": "String" }`
priority	番号	ECC キューに設定される要求の優先度。 可能な値： • 0：インタラクティブ • 1：迅速化済み • 2：標準
timeout	番号	要求のタイムアウト値 (秒)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	生成されたバックグラウンドチェック要求の sys_id。

次の例は、バックグラウンドチェックを実行してその要求 ID を取得する方法を示しています。

```
var handler = new sn_agent.AgentNowHandler();
var check = {checkDefId: "028fcd5067c80010b7b72dbd2685ef4f"};
var computerGr = new GlideRecord("cmdb_ci_computer");
computerGr.query();
var requestId = handler.runCheckForCis(computerGr, check, 0, 60);

gs.info(requestId);
```

出力：

```
b9cf14aedb5e30106f4810284b961990
```

AgentNowHandler - stopBackgroundCheck(文字列 **requestId)**

バックグラウンドチェックを停止します。

バックグラウンドチェックを開始するには、*runCheckForCis()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestId	文字列	*runCheckForCis()* メソッドの呼び出しによって生成されるバックグラウンドチェック要求の ID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、バックグラウンドチェックの実行を停止する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
handler.stopBackgroundCheck(backRequestId);
```

APCHandler - グローバル

APCHandler スクリプトインクルードは、APC によって作られた無停電電源装置、環境モニター、および配電装置の SNMP 分類と識別を処理するメソッドを提供します。

SNMP の分類と識別にこの API を使用します。

APCHandler - classifyAndIdentify()

APC デバイスを分類および識別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ApcPduOutletReconciler - グローバル

ApcPduOutletReconciler API は、配電ユニットのコンセントを調整するメソッドを提供します。

SNMP 関連の検出にこの API を使用します。

ApcPduOutletReconciler - getReconcilationField()

調整フィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整フィールド

ApcPduOutletReconciler - getReconcilationKey()

調整キーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整キー

ApcPduOutletReconciler - hasChanged()

コンセントの状態が変更されたかどうかを判定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アウトレット状態が変更された場合は true。それ以外の場合は false。

ApcPduOutletReconciler - readDatabaseFields()

アウトレット データベースのフィールドを読み取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ApcPduOutletReconciler - readDiscovered()

発見されたアウトレット データベース フィールドを読み込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ApcPduOutletReconciler - setDatabaseFields()

アウトレット データベースのフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ArrayUtil - グローバル

ArrayUtil スクリプトインクルードは、JavaScript 配列を処理するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドは、任意のサーバー側のスクリプトで使用できます。

ArrayUtil - concat(アレイ parent, アレイ child)

2 つのアレイをマージします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
親	アレイ	マージするアレイ
子	アレイ	マージするアレイ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	両方の入力アレイからの要素のアレイ。重複は削除されません。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c");
var a2 = new Array("c", "d", "e");

gs.print("concat a1, a2: " + arrayUtil.concat(a1, a2));
```

出力：concat a1, a2: a,b,c,c,d,e

ArrayUtil - contains(アレイ array, オブジェクト element)

指定された要素をアレイ内で検索します。要素がアレイに存在する場合は true を返し、そうでない場合は false を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アレイ	アレイ	検索対象のアレイです。
要素	オブジェクト	検索する要素です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要素がアレイ内で見つかったかどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：要素がアレイ内で見つかりました。 • false：要素がアレイ内で見つかりませんでした。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c");

gs.print("Contains b: " + arrayUtil.contains(a1, "b"));
gs.print("Contains x: " + arrayUtil.contains(a1, "x"));
```

出力 :

```
Contains b: true
Contains x: false
```

ArrayUtil - convertArray(オブジェクト **a)**

Java オブジェクトをアレイに変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
a	オブジェクト	変換するオブジェクトです。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	オブジェクトから作成されるアレイ

この例は、Java オブジェクトをアレイに変換しています。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
// Returns a JavaObject with the logged in user's groups
var groupObj = gs.getUser().getMyGroups();
gs.print('groupObj: ' + Object.prototype.toString.call(groupObj));

var groupArr = arrayUtil.convertArray(groupObj);
gs.print('groupArr: ' + Object.prototype.toString.call(groupArr));
```

出力:

```
groupObj: [object JavaObject]
groupArr: [object Array]
```

ArrayUtil - diff(アレイ **a**, アレイ **b)**

2 つ以上のアレイの相違点を検出します。

任意の数のアレイをパラメーターとして提供することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
a	アレイ	アレイ
b	アレイ	アレイ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	アレイ b または c、または他の入力アレイに見つからなかったアレイ a からのアイテムのアレイを返します。重複は結果から削除されます。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c");
var a2 = new Array("c", "d", "e");
gs.print(arrayUtil.diff(a1, a2));
```

出力：a,b

ArrayUtil - ensureArray(オブジェクト **object)**

指定されたオブジェクトからアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オブジェクト	オブジェクト	アレイの作成元のオブジェクトです。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	オブジェクトから作成されるアレイです。

次の例は、オブジェクトからアレイを作成し、作成したアレイを表示する方法を示しています。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var o1 = {a:"1",b:"2",c:"3"};
gs.print('o1 is array: ' + Array.isArray(o1));
gs.print('o1 stringified: ' + JSON.stringify(o1));

var a1 = arrayUtil.ensureArray(o1);
gs.print('a1 is array: ' + Array.isArray(a1));
gs.print('a1 stringified: ' + JSON.stringify(a1));
```

出力：

```
o1 is array: false
o1 stringified: {"a":"1","b":"2","c":"3"}
a1 is array: true
a1 stringified: [{"a":"1","b":"2","c":"3"}]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、オブジェクトからアレイを作成し、アレイの内容を表示する方法を示しています。

```
var stock = { 'name': 'Servicenow', 'sym': 'NOW' };

var arr = new ArrayUtil();
var stArray = arr.ensureArray(stock);

gs.info("Name is " + stArray[0]['name']);
gs.info("Symbol is " + stArray[0]['sym']);
```

出力：

```
Name is Servicenow
Symbol is NOW
```

ArrayUtil - indexOf(アレイ **array**, オブジェクト **element**)

要素のアレイを検索します。要素インデックスを返します。見つからない場合は -1 を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アレイ	アレイ	検索対象のアレイです。
要素	オブジェクト	検索する要素です。

返される内容

タイプ	説明
番号	アレイ内の要素の位置です。要素が見つからない場合は -1 です。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var arr = new Array("a", "b", "c", "x", "y", "z");
gs.print("Array: " + arr);

gs.print("Index of a: " + arrayUtil.indexOf(arr, "a"));
gs.print("Index of a starting at 2: " + arrayUtil.indexOf(arr, "a", 2));

gs.print("Index of c: " + arrayUtil.indexOf(arr, "c"));
gs.print("Index of c starting at 1: " + arrayUtil.indexOf(arr, "c", 1));

gs.print("Index of z: " + arrayUtil.indexOf(arr, "z"));
gs.print("Index of z starting at 4: " + arrayUtil.indexOf(arr, "z", 4));

// If negative value is sent as startIndex then (startIndex + length of
 array ) is considered as start index.

// startIndex = -1+(6); startIndex is considered as 5 in this case
gs.print("Index of c starting at -1 (Re-Calculated to 5): " +
 arrayUtil.indexOf(arr, "c", -1));

// startIndex = -10+(6) which is -4,if negative value again then
 startIndex is considered as 0
gs.print("Index of c starting at -10 (Re-Calculated to 0): " +
 arrayUtil.indexOf(arr, "c", -10));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
Array: a,b,c,x,y,z
Index of a: 0
Index of a starting at 2: -1
Index of c: 2
Index of c starting at 1: 2
Index of z: 5
Index of z starting at 4: 5
Index of c starting at -1 (Re-Calculated to 5): -1
Index of c starting at -10 (Re-Calculated to 0): 2
```

ArrayUtil - indexOf(アレイ **array**, オブジェクト **element**, 数値 **startIndex)**

指定されたインデックスで始まる要素をアレイ内で検索します。要素のインデックスを返します。見つからない場合は -1 を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アレイ	アレイ	検索対象のアレイです。
要素	オブジェクト	検索する要素です。
startIndex	番号	検索を開始するインデックスです。

返される内容

タイプ	説明
番号	アレイ内の要素の位置です。要素が見つからない場合は -1 です。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var arr = new Array("a", "b", "c", "x", "y", "z");
gs.print("Array: " + arr);

gs.print("Index of a: " + arrayUtil.indexOf(arr, "a"));
gs.print("Index of a starting at 2: " + arrayUtil.indexOf(arr, "a", 2));

gs.print("Index of c: " + arrayUtil.indexOf(arr, "c"));
gs.print("Index of c starting at 1: " + arrayUtil.indexOf(arr, "c", 1));

gs.print("Index of z: " + arrayUtil.indexOf(arr, "z"));
gs.print("Index of z starting at 4: " + arrayUtil.indexOf(arr, "z", 4));

// If negative value is sent as startIndex then (startIndex + length of
 array ) is considered as start index.

// startIndex = -1+(6); startIndex is considered as 5 in this case
gs.print("Index of c starting at -1 (Re-Calculated to 5): " +
 arrayUtil.indexOf(arr, "c", -1));

// startIndex = -10+(6) which is -4,if negative value again then
 startIndex is considered as 0
gs.print("Index of c starting at -10 (Re-Calculated to 0): " +
 arrayUtil.indexOf(arr, "c", -10));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
Array: a,b,c,x,y,z
Index of a: 0
Index of a starting at 2: -1
Index of c: 2
Index of c starting at 1: 2
Index of z: 5
Index of z starting at 4: 5
Index of c starting at -1 (Re-Calculated to 5): -1
Index of c starting at -10 (Re-Calculated to 0): 2
```

ArrayUtil - intersect(アレイ **a**, アレイ **b)**

すべてのアレイに存在する要素を検索します。

任意の数のアレイをパラメーターとして提供することができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
a	アレイ	アレイ
b	アレイ	アレイ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	他のすべての入力アレイで見つかったアレイの要素のアレイ。重複は削除されます。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c");
var a2 = new Array("c", "d", "e");
gs.print(arrayUtil.intersect(a1, a2));
```

出力：c

ArrayUtil - union(アレイ **a**, アレイ **b)**

2 つ以上のアレイをマージします。

任意の数のアレイをパラメーターとして提供することができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
a	アレイ	アレイ
b	アレイ	アレイ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	すべての入力アレイからの項目のアレイ。重複は削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c");
var a2 = new Array("c", "d", "e");
gs.print(arrayUtil.union(a1, a2));
```

出力：a,b,c,d,e

ArrayUtil - unique(アレイ **a)**

アレイから重複した項目を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
a	アレイ	重複する要素をチェックするアレイ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	入力アレイからの一意のアイテムのアレイ

```
var arrayUtil = new ArrayUtil();
var a1 = new Array("a", "b", "c", "c", "b");
gs.print(arrayUtil.unique(a1));
```

出力：a,c,b

AssessmentCreation - グローバル

AssessmentCreation API は、アドミニストレーターがアセスメントとサーベイを生成するために使用できるメソッドを提供します。

createAssessments() メソッドを呼び出す方法は複数あります。測定基準タイプまたはサーベイ定義を特定するには、すべてのケースで *typeID* パラメーターを設定する必要があります。

メソッドの動作方法に影響を及ぼす一部の要因は次のとおりです。

- ターゲットがアセスメントかサーベイか
- アセスメント スケジュールのタイプがオンデマンドかスケジュール済みか
- サーベイスケジュールの期間
- 提供されたパラメーター

例えば、*typeID* パラメーターのみを設定してこのメソッドを呼び出すと、招待状の送信先のステークホルダーまたはサーベイユーザーが検索されます。一方、*typeID* および *userID* パラメーターを設定してこのメソッドを呼び出すと、指定されたユーザーへの招待状の送信が試みられます。

AssessmentCreation - createAssessments (文字列 **typeID**, 文字列 **sourceRecordID**, 文字列 **userID)**

指定した測定基準タイプまたはサーベイ定義の 1 つ以上のアセスメントまたはサーベイを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
typeID	文字列	評価やサーベイを生成するための測定基準タイプやサーベイ定義のsys_id
sourceRecordID	文字列	生成されるアセスメントに含める 1 つ以上のサーベイ定義 sys_id のカンマ区切りリスト。各ソース レコードの指定された測定基準タイプに関連付けられた評価可能なレコードが存在する必要があります。このパラメーターを空白のままにすると、生成されるアセスメントには、指定されたタイプのアセスメント可能なレコードがすべて含まれます。このパラメーターは、アセスメントにのみ使用します。
userID	文字列	評価インスタンスまたはサーベイ インスタンスを送信するユーザーの、カンマで区切られた1つ以上の sys_id。このパラメーターを空白のままにすると、アセスメントのステークホルダーまたはサーベイ ユーザーはインスタンスを受け取ります。このパラメーターは、オンデマンドアセスメントのために必要です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メソッドが成功した場合は、次の値を持つ7a2ad2253784200044e0bfc8bcbe5de1, 10, b7e8b5d4c0a80169008b49e468920048 (インスタンス ID, インスタンス数, グループ ID) などのカンマで区切られた文字列を返します。 • instanceID：作成されたアセスメントまたはサーベイ インスタンスの sys_id (インスタンスが 1 つのみある場合)。いずれかのインスタンスの (複数のインスタンスがある場合)。複数のインスタンスがある場合は、グループ ID を使用してデータを取得します。 • #instances：作成したアセスメントインスタンスまたはサーベイ インスタンスの数 • groupID：作成されたアセスメントインスタンスまたはサーベイ インスタンスを含むアセスメントグループの sys_id メソッドでアセスメントまたはサーベイを生成することができない場合は、エラー コードのいずれかを返します。 エラーコード • isscheduled：*userID* または *sourceRecordID* パラメーターを使用すべきでなかったことを示します。*typeID* 値が、[スケジュールタイプ] フィールドが [スケジュール済み] に設定された測定基準タイプを表す場合、使用できるパラメーターは *typeID* パラメーターのみです。 • draft_state：*typeID* 値が、公開されていない測定基準タイプまたはサーベイ定義であることを示します。測定基準タイプまたはサーベイ定義を公開します。 • invalidtype：*typeID* 値と一致する既存の測定基準タイプはないことを示します。 • inactive：*typeID* 値が、アクティブでない測定基準タイプまたはサーベイ定義であることを示します。測定基準タイプまたはサーベイ定義に移動し、 チェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• not_available：*typeID*値が、測定基準がない測定基準タイプ、またはサーベイの質問がないサーベイ定義であることを示します。少なくとも 1 つの測定基準またはサーベイの質問を追加します。 • notyet：*userID*値の少なくとも 1 人のユーザーに、指定されたサーベイ定義のサーベイインスタンスが割り当てられており、まだ期限切れになっていないことを示します。エラーコードは有効期限を返します。 • wip：*userID*値の少なくとも 1 人のユーザーにサーベイのサーベイインスタンスが既に割り当てられていることを示します。 • not_authorized：*userID*値の少なくとも 1 人のユーザーはサーベイへの回答を許可されていないことを示します。次のいずれかが true であることを確認します。 ◦指定されたサーベイ定義のためのサーベイ ユーザーは存在しません。 ◦*userID*値のすべてのユーザーは、指定されたサーベイ定義のサーベイ ユーザーとして保存されます。 • completed：*typeID*値が、[繰り返し期間] フィールドが [1 回のみ] に設定されたサーベイ定義であること、および *userID*値の少なくとも 1 人のユーザーがそのサーベイ定義のサーベイインスタンスを既に完了したことを示します。 • nousers：*userID*パラメーターが使用されておらず、次のいずれか 1 つが当てはまることを示します。 ◦指定された測定基準タイプに関連するステークホルダーは存在しません。*userID*パラメーターを設定するか、少なくとも 1 人のステークホルダーを作成します。 ◦指定されたサーベイ定義に関連するサーベイ ユーザーは存在しません。*userID*パラメーターを設定するか、少なくとも 1 人のサーベイユーザーを作成します。 • nosources： *typeID*値が、[スケジュールタイプ] フィールドが [オンデマンド] に設定された測定基準タイプであること、および *userID*パラメーターも *sourceRecordID*パラメーターも使用されていないことを示します。これらのパラメーターの少なくとも 1 つを設定します。

このコード例は、サービスポータルウィジェットでアセスメントインスタンスを生成する方法を示しています。この例は、 [スケジュールタイプ] が [オンデマンド] に設定されている場合には機能しません。

```
(function() {
  var gdtSurvey = new GlideDateTime();
  if (gdtSurvey.getDayOfMonthUTC() == 23) {
    (new
 SNC.AssessmentCreation()).createAssessments('d902e09a075730101263f19d7c1
ed03a', // Assessment metric type sys_id
      '4baec2fe07d3f0101263f19d7c1ed0a6', // Assessable record which is
 the source of the assessment
      gs.getUserID()); // Users ID to send the assessment instances to
  }
})();
```

返される結果：

```
bbf0b9b8072330101263f19d7c1ed00b,1,33f0f978072330101263f19d7c1ed05f
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

AuthCredential - スコープ付き

AuthCredential() API は、REST 要求の資格情報を構築できるようにするメソッドを提供します。

次の順序でこれらの API を使用して、送信署名要求を生成します。

1. *HttpRequestData*：API 要求を構築します。
2. *AuthCredential*：資格情報オブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新します。資格情報を使用して、*RequestAuthAPI* クラスで要求に署名します。
3. *RequestAuthAPI*：要求に署名し、HttpRequestAuthedData オブジェクトを返します。
4. *HttpRequestAuthedData*：署名された要求に関する情報を取得します。
5. *GlideHTTPRequest*：署名された要求を送信します。

これらの API を使用する前に、認証 アルゴリズムを構成し て要求に署名し、要求の認証に使用する認証情報に関連付ける必要があります。

空の AuthCredential オブジェクトを作成するか、既存の AuthCredential オブジェクトをインスタンス化するか、または *StandardCredentialsProvider* クラスを使用し、資格情報 [discovery_credentials] テーブルの資格情報レコードを使用して AuthCredential オブジェクトをインスタンス化することができます。空の AuthCredential オブジェクトを作成した場合は、*setAttribute()* メソッドを使用してオブジェクトにプロパティを追加します。

次の例は、 *StandardCredentialsProvider* を使用して *AuthCredential* をインスタンス化する方法を示しています。

```
// Return an AuthCredential object using a Credential sys_id
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");
```

sn_auth 名前空間識別子を持つスコープ対象スクリプトで *AuthCredential* API を使用します。

AuthCredential - AuthCredential(オブジェクト authCredential)

新しい AuthCredential オブジェクトをインスタンス化するか、既存のものを変更します。

空の AuthCredential オブジェクトを作成するか、既存の AuthCredential オブジェクトをインスタンス化するか、または *StandardCredentialsProvider* クラスを使用し、資格情報 [discovery_credentials] テーブルの資格情報レコードを使用して AuthCredential オブジェクトをインスタンス化することができます。空の AuthCredential オブジェクトを作成した場合は、*setAttribute()* メソッドを使用してオブジェクトにプロパティを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
authCredential	オブジェクト	オプション。既存の AuthCredential オブジェクトを更新するには、このパラメーターを含めます。

AuthCredential - getAttribute(文字列 key)

AuthCredential 属性の値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	値を返す属性のキーです。 空の *AuthCredential* オブジェクトを作成した場合は、 *setAttribute()* メソッドを使用してオブジェクトにプロパティを追加する必要があります。 資格情報レコードを使用して *AuthCredential* オブジェクトをインスタンス化した場合は、資格情報 [discovery_credentials] テーブルからフィールド名を渡して値にアクセスします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );

// Get AuthCredential object and set an attribute
var credential = new sn_auth.AuthCredential();
credential.setAttribute("user_name", "admin");

// Sign the request and return an AuthCredential attribute value
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var signingCredential = signingAPI.getAuthCredential();
name = signingCredential.getAttribute("name");
```

AuthCredential - setAttribute(文字列 **key**, 文字列 **value)**

AuthCredential オブジェクトの属性を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	設定する属性の名前です。空の *AuthCredential* オブジェクトを作成した場合、このメソッドを使用してオブジェクトにプロパティを追加する必要があります。資格情報レコードを使用して *AuthCredential* オブジェクトをインスタンス化した場合は、資格情報 [discovery_credentials] テーブルからフィールド資格名を渡して値を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
value	文字列	属性の値です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

// Get AuthCredential object and set an attribute
var credential = new sn_auth.AuthCredential();
credential.setAttribute("user_name", "admin");
```

AutomationException - グローバル

AutomationException スクリプトインクルードは、自動化のための汎用例外ラッピングを提供します。

エラー処理を実装するために、自動化コードにこれを含めます。

AutomationException - getMessage()

エラー メッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラー メッセージ

```
var ae = new AutomationException("This is an error message");
gs.print(ae.getMessage());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
This is an error message
```

BusinessServiceManager - グローバル

BusinessServiceManager API は、手動で作成されたサービスをアプリケーションサービスに変換し、アプリケーションサービスを設定し、構成アイテムと接続を追加/削除することで、サービス管理を統合するメソッドを提供します。

グローバルサーバースクリプトで *BusinessServiceManager* メソッドを使用します。この API を呼び出すには、アプリケーションサービスアドミニストレーター [app_service_admin] ロールが必要です。

BusinessServiceManager - BusinessServiceManager()

BusinessServiceManager オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
```

BusinessServiceManager - addCI(文字列 service_id, 文字列 source_id, 文字列 target_id)

手動で作成されたアプリケーションサービスに CI を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
service_id	文字列	CI を追加するアプリケーションサービスのSys_id。cmdb_ci_service_discoveredタイプである必要があります。
source_id	文字列	発信接続がターゲット CI に参加する CI のSys_id。
target_id	文字列	サービスに追加する CI のSys_id。除外アイテムにすることはできません。除外されるアイテムは、手動 CI 包含/除外 [svc_manual_ci_exclusions_inclusions.list] テーブルで構成された CI です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Application service is 'PeopleSoft Portals'
//Source CI is windows server 'PS Apache01'
//Target CI is 'SAP WEB01'

var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var appService =
 bsManager.addCI('2fce42d80a0a0bb4004af34d7e3984c8','3a27d4370a0a0bb40063
16812bf45439', '3a6cadc1c0a8ce01001f1e5d0d7d68fa');
```

新しいエントリポイントを追加

addCI() メソッドを使用して、要求で次のパラメーター値を指定することにより、サービスに新しいエントリーポイントを追加します。

- 通常どおりservice_IDを入力します。
- source_ID値は空のままにします。たとえば、 `''` を使用します。
- target_IDには、新しいエントリーポイントを追加する CI の Sys ID を入力します。

その結果、 *addCI()* メソッドは、指定されたターゲット CI への接続を持つ新しいエントリーポイントを作成します。新しいエントリポイントを追加する方法の例を次に示します。

```
//Application service sys_id is '49de2b3187cd9d50d5c8a6880cbb35ea'
//Source CI is passed as an empty string as ''
//Target CI sys id is '15ca5fb187129910d5c8a6880cbb3537'

var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService = bsManager.addCI('49de2b3187cd9d50d5c8a6880cbb35ea','',
 '15ca5fb187129910d5c8a6880cbb3537');
```

BusinessServiceManager - addEntryPoint(serviceId, endpointGr)

アプリケーションサービスにエントリーポイントを追加し、そのエントリーポイントでディスカバリーを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
serviceId	刺す	接続を追加するアプリケーションサービスのSys_id。
endpointGr	文字列	アプリケーションサービスに追加する CI エンドポイント [cmdb_ci_endpoint] テーブルまたはその子テーブルの Glide レコードオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エントリーポイントがアプリケーションサービスに正常に追加されたことを示すフラグ。 可能な値： • true:追加に成功しました。 • false:追加は成功しませんでした。

次の addEntryPoint() メソッドは、アプリケーションサービスに新しいエントリーポイントを追加する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("cmdb_ci_endpoint_tcp");
now_GR.initialize();
now_GR.setValue("host", "10.196.39.251");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
now_GR.setValue("port", "8080");
now_GR.insert();
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var serviceId = "5bf65ebeedb91300964f6fa662989533";
bsManager.addEntryPoint(serviceId,now_GR);
```

出力:

```
true
```

BusinessServiceManager - addEntryPointWithoutStartDiscovery(serviceId, endpointGr)

検出を開始せずに新しいエントリーポイントを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
serviceId	文字列	接続を追加するアプリケーションサービスのSys_id。
endpointGr	文字列	アプリケーションサービスに追加する CI エンドポイント [cmdb_ci_endpoint] テーブルまたはその子テーブルの Glide レコードオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エントリーポイントがアプリケーションサービスに正常に追加されたことを示すフラグ。 可能な値： • true:追加に成功しました。 • false:追加は成功しませんでした。

次の例は、addEntryPointWithoutStartDiscovery() メソッドを使用して、ディスカバリーを開始せずにアプリケーションサービスに新しいエントリーポイントを追加する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("cmdb_ci_endpoint_tcp");
now_GR.initialize();
now_GR.setValue("host", "10.196.39.251");
now_GR.setValue("port", "8080");
now_GR.insert();
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var serviceId = "5bf65ebeedb91300964f6fa662989533";
bsManager.addEntryPointWithoutStartDiscovery(serviceId,now_GR);
```

出力:

```
true
```

BusinessServiceManager - addManualConnection(文字列 **source_id**, オブジェクト **manual_endpoint**, 文字列 **service_id)**

手動で作成した接続をアプリケーションサービスに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source_id	文字列	接続に追加する CI のSys ID
manual_endpoint	オブジェクト	アプリケーション サービスに追加する cmdb_ci_endpoint_manual table テーブルの GlideRecord オブジェクト
service_id	文字列	接続を追加するアプリケーションサービスのSys ID

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord("cmdb_ci_endpoint_manual");
now_GR.initialize();
now_GR.name='myEndpoint';
now_GR.insert();

var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService =
 bsManager.addManualConnection("3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f",
 now_GR, "2fce42d80a0a0bb4004af34d7e3984c8");
```

BusinessServiceManager - isReadingPermitted(オブジェクト **gr**, 文字列 **userSysID)**

指定されたユーザーのロールと、指定されたサービス/サービスグループに設定された権限データを確認し、ユーザーがサービス/サービスグループを表示できるかどうかを示すブール値を返します。

次に、ユーザーがサービス/サービスグループを表示できるかどうかを判断するためにメソッドが使用するプロセスフローを定義します。

1. 指定されたレコードがサービスグループの場合、ユーザーロールとグループポリシーを確認します。サービスグループに割り当てられたロールの詳細については、「サービスグループへのロールのアサイン」を参照してください。
2. ロールリストに「itil」が含まれていて、「app_service_admin」と「sam_core_user」が含まれていない場合は、true を返します。
3. ロールリストに「maint」が含まれている場合は、trueを返します。
4. ロールリストに「app_serivce_user」が含まれていても「app_service_admin」と「sm_app_owner」が含まれておらず、サービスが運用されていない場合は、false を返します。
5. サービスのグループを確認します。
   a. サービスが単一のグループに属し、そのグループが「すべて」の場合、trueを返します。
   b. 「すべて」以外のグループの場合、サービスグループへのロールのアサイン で指定されたルールに基づいて、ユーザーロールとグループのポリシーをチェックします。いずれかが true を返す場合は、true を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gr	GlideRecord	サービス/サービスグループの GlideRecord。この GlideRecord は、次のいずれかのテーブルから取得できます。 • アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] • アプリケーションサービスグループ [cmdb_ci_service_group] • ダイナミック CI グループ [cmdb_ci_query_based_service] • 手動サービス [cmdb_ci_service_manual] • マップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] • サービス [cmdb_ci_service]
userSysId	文字列	ユーザーレコードの Sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたサービス/サービスグループを表示する権限がユーザーにあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ユーザーは指定されたサービス/サービスグループを表示できます。 • false:ユーザーは指定されたサービスまたはサービスグループを表示できません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出して、指定したユーザーが指定したサービス グループにアクセスできるかどうかを確認する方法を示しています。

```
var cmdbServGr = new GlideRecord('cmdb_ci_service_discovered');
cmdbServGr.addQuery('sys_id', "12312312312312312312123");
cmdbServGr.query();
var userId = gs.getUserID();

var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
while (cmdbServGr.next()) {
  var answer = bsManager.isReadingPermitted(cmdbServGr, userId);

  //do something with / according to the answer

}
```

BusinessServiceManager - migrateManualToApplicationService(文字列 **service_id)**

手動サービスをアプリケーションサービスに変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
service_id	文字列	変換する手動サービスのSys ID

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アプリケーションサービスへの移行が成功した場合は true。

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService =
 bsManager.migrateManualToApplicationService("451047c6c0a8016400de0ae6df9
b9d76");
```

BusinessServiceManager - populateApplicationService(文字列 **service_id**, 数値 **levels**, 文字列 **black_listed_relation_types)**

指定されたエントリーポイントからの関係および CI でアプリケーションサービスを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
service_id	文字列	追加するアプリケーションサービスのSys ID
レベル	番号	CMDB から追加する CI のレベル数
black_listed_relation_types	文字列	アプリケーションサービスを追加するときに除外する関係のタイプ

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	操作が成功した場合は true。

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService =
 bsManager.populateApplicationService("5bf65ebeedb91300964f6fa662989533",
 10, "Depends on::Used by");
```

BusinessServiceManager - removeCI(文字列 **service_id**, 文字列 **target_id)**

アプリケーションサービスから手動で作成された CI を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
service_id	文字列	CI を削除するアプリケーションサービスのSys ID **注:** GlideRecord オブジェクトを渡すこともサポートされています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
target_id	文字列	アプリケーションサービスから削除する CI のSys ID 注: GlideRecord オブジェクトを渡すこともサポートされています。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService = bsManager.removeCI("2fce42d80a0a0bb4004af34d7e3984c8",
 "3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf");
```

BusinessServiceManager - removeEntryPoint(serviceId, endpointSysId)

アプリケーションサービスから既存のエントリーポイントを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
serviceId	文字列	接続を追加するアプリケーションサービスのSys_id。
エンドポイント SysID	文字列	削除するエントリーポイントエンドポイントのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エントリーポイントがアプリケーションサービスから正常に削除されたことを示すフラグ。 可能な値： • true:更新は成功しました。 • false:更新は成功しませんでした。

次の例ではSys_id指定されたアプリケーションサービスから
「aa65ebeedb91300964f6fa6629895ss」に関連付けられたエントリポイントを削除します。

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var serviceId = "5bf65ebeedb91300964f6fa662989533";
var entrypointId = "aa65ebeedb91300964f6fa6629895ss";
bsManager.removeEntryPoint(serviceId, entrypointId);
```

出力:

```
true
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

usinessServiceManager - removeManualConnection(String source_id, String endpoint_id, String service_id)

手動で作成された接続と接続された CI をアプリケーションサービスから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source_id	文字列	エンドポイントに接続されている CI のSys ID
endpoint_id	文字列	アプリケーションサービスから削除するために手動で作成された接続のSys ID
service_id	文字列	接続を削除するアプリケーションサービスのSys ID

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var appService =
 bsManager.removeManualConnection("3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f",
 "60ce3176edb91300964f6fa6629895d1", "2fce42d80a0a0bb4004af34d7e3984c8");
```

BusinessServiceManager - updateEntryPoint(serviceId, endpointGr)

アプリケーションサービスの既存のエントリーポイントを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
serviceId	文字列	接続を追加するアプリケーションサービスのSys_id。
endpointGr	オブジェクト	アプリケーションサービスに追加する CI エンドポイント [cmdb_ci_endpoint] テーブルまたはその子テーブルの Glide レコードオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	更新がエントリポイントに正常に適用されたことを示すフラグ。 可能な値： • true:更新は成功しました。 • false:更新は成功しませんでした。

次の updateEntryPoint() の例は、新しいエントリポイントで接続を更新する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("cmdb_ci_endpoint_http");
now_GR.get("11f65ebeedb91300964f6fa66298951");
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
now_GR.setValue("protocol", "https");
var bsManager = new SNC.BusinessServiceManager();
var serviceId = "5bf65ebeedb91300964f6fa662989533";
bsManager.updateEntryPoint(serviceId,now_GR);
```

出力:

```
true
```

CatalogJS - スコープ付き

CatalogJS API には、カタログ固有のプロパティを確認および取得するためのメソッドが用意されています。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_sc` 名前空間識別子を使用します。デフォルトで有効になっている Service Catalog Scoped API プラグイン (com.glideapp.servicecatalog.scoped.api) は、*CatalogJS* API にアクセスするために必要です。

CatalogJS - Catalog(GlideRecord now_GR)

指定された Glide レコード オブジェクトのカタログ クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	オブジェクト	sc_catalog テーブルを指す Glide レコード

この例は、Catalog クラスの新しいインスタンスを作成する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sc_catalog');
 now_GR.addQuery('sys_id','e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4');
 now_GR.query();
 var catalog = new sn_sc.Catalog(now_GR);
```

CatalogJS Catalog(文字列 sys_id)

指定された sys_id を使用して Catalog クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	カタログの sys_id

この例は、指定された sys_id を使用して Catalog クラスのインスタンスを作成する方法を示しています。

```
new sn_sc.Catalog(catalog_sys_id);
var catalog = new sn_sc.Catalog("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
```

CatalogJS - canView(ブール mobile, 文字列 userId)

ユーザーが現在のカテゴリをモバイルデバイスまたはデスクトップで表示できるかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mobile	ブーリアン	ユーザーが現在のカタログをモバイルビューまたはデスクトップビューで表示できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：モバイルビュー • false：デスクトップビュー
userId	文字列	オプション。カタログを表示できるかどうかを確認するユーザーの sys_id。 デフォルト：現在のユーザー

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	カタログがユーザーによって表示可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：カタログはユーザーによって表示可能です。 • false：カタログはユーザーによって表示不可能です。

例：

```
var catalog = new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.canView(true));
```

出力：

```
true
```

CatalogJS - getAvailableCatalog()

利用できるアクティブなカタログを返します。

アクティブなカタログが 1 つしか存在しない場合、このメソッドはそのカタログを返します。それ以外の場合は、ユーザーが表示できるカタログのリストから、作成された最も古いカタログを返します。利用できるカタログがない場合、このメソッドは null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーが表示できる最も古いカタログを指すオブジェクト。利用できるカタログがない場合は、null です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、現在のユーザーが利用できるカタログを返します。

```
var catalog = sn_sc.Catalog.getAvailableCatalog()
```

CatalogJS - getBackgroundColor()

カタログの背景色を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログの背景色

この例は、関連するカタログの背景色を返します。

```
var catalog = new sn_sc.Catalog("0f910a2ac3112200b12d9f2974d3ae3c");
gs.info("Catalog background: " + catalog.getBackgroundColor());
```

出力：

```
Catalog background: white
```

CatalogJS - getCatalogCount()

カタログテーブルでアクティブなカタログの数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
整数	カタログ表で使用可能なカタログの数

例：

```
console.log(sn_sc.Catalog.getCatalogCount());
```

出力：

```
3
```

CatalogJS - getCategories()

現在のカタログのカテゴリを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	現在のカタログのカテゴリを返します。

この例は、現在のカタログオブジェクトで利用可能なカテゴリを返します。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
console.log(catalog.getCategories());
```

出力：

```
0 :
 {header_image: "", sys_id: "e15706fc0a0a0aa7007fc21e1ab70c2f", descripti
on: "Your IT gateway. Report issues and submit requests.", title: "Can We
 Help You?"}
1 :
 {header_image: "", sys_id: "95fc11615f1211001c9b2572f2b477c6", descripti
on: "Services offered by different departments in the
 organization", title: "Departmental Services"}
2 :
 {header_image: "", sys_id: "900682363731300054b6a3549dbe5d5f", descripti
on: "Desktop computers for your work area.", title: "Desktops"}
3 :
 {header_image: "", sys_id: "d2f716fcc611227a015a142fa0b262c1", descripti
on: "Order new furniture, and fixtures, or request for cubicle
 modifications can also be ordered here.", title: "Furniture and Decor"}
4 :
 {header_image: "", sys_id: "d258b953c611227a0146101fb1be7c31", descripti
on: "Order from a variety of hardware to meet your business needs,
 including phones, tablets and laptops.", title: "Hardware"}
```

CatalogJS - getCategoryIds()

現在のカタログ内のカテゴリの sys_id を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	現在のカタログ内のカテゴリの sys_id を返します。

この例は、現在のカタログで利用可能なカテゴリの sys_id を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
console.log(catalog.getCategoryIds());
```

出力：

```
0:"e15706fc0a0a0aa7007fc21e1ab70c2f"
1 : "95fc11615f1211001c9b2572f2b477c6"
2 : "900682363731300054b6a3549dbe5d5f"
3 : "d2f716fcc611227a015a142fa0b262c1"
```

CatalogJS - getDescription()

現在のカタログの記述を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログの説明

この例は、現在のカタログの名前を返します。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
console.log(catalog.getDescription());
```

出力：

```
Service Catalog - IT Now
```

CatalogJS - getDesktopImageSRC()

カタログデスクトップ画像のファイル名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログデスクトップ画像のファイル名。

この例は、現在のカタログデスクトップ画像のファイル名を返します。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
console.log(catalog.getDesktopImageSRC());
```

出力：

```
adbcc271475211002ee987e8dee49001.iix
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CatalogJS - getGr()

現在のカタログの GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	現在のカタログの GlideRecord。

この例は、指定されたカタログの GlideRecord を返します。

```
var catalog = new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
data.history = catalog.getGr();
```

CatalogJS - getHeaderIconSRC()

現在のカタログのヘッダーアイコンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログ ヘッダー アイコン

この例は、カタログのヘッダーアイコンの名前を取得する方法を示しています。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.getHeaderIconSRC());
```

出力：

```
service_catalog_header.png
```

CatalogJS - getID()

現在のカタログの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカタログの sys_id。

この例は、現在のカタログの sys_id を返します。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
console.log(catalog.getId());
```

出力：

```
e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4
```

CatalogJS - getTitle()

現在のカタログのタイトルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカタログのタイトル。

この例は、現在のカタログのタイトルを返します。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.getTitle());
```

出力：

```
Service Catalog
```

CatalogJS - hasCategories()

現在のカタログにカテゴリが含まれているかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のカタログにカテゴリが含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：カタログにカテゴリが含まれています。 • false：カタログにカテゴリは含まれていません。

この例は、現在のカタログにカテゴリが含まれているかどうかを判断する方法を示しています。

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.hasCategories());
```

出力：

```
false
```

CatalogJS - hasItems()

現在のカタログにカタログアイテムが含まれているかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のカタログにカタログアイテムが含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：カタログにカタログアイテムが含まれています。 • false：カタログにカタログアイテムは含まれていません。

例：

```
var catalog=new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.hasItems());
```

出力：

```
true
```

CatalogJS - isWishlistEnabled()

現在のカタログでウィッシュリストが有効になっているかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のカタログがウィッシュリストをサポートするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：カタログはウィッシュリストをサポートしています。 • false：カタログはウィッシュリストをサポートしていません。

この例は、現在のカタログでウィッシュリストが有効になっているかどうかを確認する方法を示しています。

```
var catalog = new sn_sc.Catalog("e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4");
gs.info(catalog.isWishlistEnabled());
```

出力：

```
true
```

CatalogSearch - スコープ指定

CatalogSearch API には、カタログアイテムを検索できるメソッドが用意されています。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_sc` 名前空間識別子を使用します。デフォルトで有効になっている Service Catalog スコープ付き API プラグイン (ID：com.glideapp.servicecatalog.scoped.api) は、*CatalogSearch* API にアクセスするために必要です。

カタログ検索 - CatalogSearch()

CatalogSearch クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var catSearchGR = new sn_sc.CatalogSearch().search('', '', 'Apple',
 false, true);
catSearchGR.query();
while(catSearchGR.next()) {
  gs.info(catSearchGR.getValue('name'));
}
```

CatalogSearch - 検索 (文字列 catalogID, 文字列 categoryID, 文字列 term, ブール mobile, ブール noDepthSearch)

検索用語に基づいてカタログアイテムを検索します。検索はカタログカテゴリレベルに絞り込むことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalogID	文字列	検索するカタログの識別子です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
categoryID	文字列	検索するカタログカテゴリの識別子です。
term	文字列	検索用語
mobile	ブーリアン	モバイル用に公開されたカタログアイテムを検索するかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：モバイル用のカタログアイテムを検索します。 • false：モバイル用のカタログアイテムを検索しません。
noDepthSearch	ブーリアン	サブカテゴリを検索するかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：サブカテゴリを検索しません。 • false：サブカテゴリを検索します。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	検索結果と一致する sc_cat_item の GlideRecord を返します。

この例は、すべてのカタログとすべてのカテゴリで「ServiceNow」という用語を検索する方法を示します。

```
var now_GR = new sn_sc.CatalogSearch().search('', '', 'ServiceNow',
 false, false);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
  gs.log(now_GR.name);
}
```

出力:

```
ServiceNow T-shirt
```

CatalogItemVariable - スコープ指定

CatalogItemVariable API には、スクリプトを使用してサービスカタログアイテム変数を作成および変更できるメソッドが用意されています。

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。

CatalogItemVariable - create(ブール standardUpdate)

指定されたカタログアイテム変数を挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入された変数レコードの sys_id を返します。

CatalogItemVariable - deleteRecord(ブール **standardUpdate)**

定義されたカタログアイテム変数を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

CatalogItemVariable - read(オブジェクト **columns**, ブール **standardUpdate)**

カタログアイテム変数の属性値のマッピングを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
列	オブジェクト	値を返す列のセットです。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクトです。

CatalogItemVariable - setAttributes(オブジェクト **attributes**)

このカタログアイテム変数の属性値を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

CatalogItemVariable - update(オブジェクト **columnValues**, ブール **standardUpdate**)

現在のカタログアイテム変数を設定値で更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

CatalogClientScript - スコープ指定

CatalogClientScript API は、カタログクライアントスクリプトレコードを作成、変更、または削除するためのメソッドを提供します。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_sc` 名前空間識別子を使用します。デフォルトで有効になっている Service Catalog Scoped API プラグイン (ID：com.glideapp.servicecatalog.scoped.api) は、*CatalogClientScript* API にアクセスするために必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CatalogClientScript - CatalogClientScript()

CatalogClientScript クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
```

CatalogClientScript - addScript(文字列スクリプト)

カタログクライアントスクリプトにスクリプトを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	カタログクライアントスクリプトに追加するスクリプト

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、このメソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.addScript("function onLoad(){Enter the script}");
```

CatalogClientScript - appliesToCatalogItem (ブールフラグ)

カタログクライアントスクリプトがカタログアイテムで実行されるかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フラグ	ブーリアン	true の場合、カタログクライアントスクリプトはカタログアイテムで実行されます。false の場合、カタログクライアントスクリプトはカタログアイテムで実行されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.appliesToCatalogItem(true);
```

CatalogClientScript - appliesToCatalogTask (ブールフラグ)

カタログクライアントスクリプトがカタログ タスクで実行されるかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フラグ	ブーリアン	true の場合、カタログクライアントスクリプトはカタログ タスクで実行されます。false の場合、カタログクライアントスクリプトはカタログ タスクでは実行されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、このメソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.appliesToCatalogTask(true);
```

CatalogClientScript - appliesToRequestedItem (ブールフラグ)

カタログクライアントスクリプトが要求されたアイテムで実行されるかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フラグ	ブーリアン	true の場合、カタログクライアントスクリプトは要求されたアイテムで実行されます。false の場合、カタログクライアントスクリプトは要求されたアイテムで実行されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.appliesToRequestedItem(true);
```

CatalogClientScript - appliesToTargetRecord (ブールフラグ)

カタログクライアントスクリプトが要求されたアイテムで実行されるかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フラグ	ブーリアン	true の場合、カタログクライアントスクリプトはターゲット レコードで実行されます。false の場合、カタログクライアントスクリプトはターゲット レコードで実行されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.appliesToTargetRecord(true);
```

CatalogClientScript - create(ブール値 standardUpdate)

定義済みのカタログ クライアント スクリプトを catalog_script_client テーブルに挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログクライアントスクリプトの sys_id です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.setAttributes({"name": "My Catalog Item",
 "applies_to": "item", "ui_type": "desktop", "type": "onLoad"});
catalogClientScript.appliesToCatalogItem(true);
catalogClientScript.appliesToRequestedItem(true);
catalogClientScript.appliesToCatalogTask(true);
catalogClientScript.appliesToTargetRecord(true);
var catalogClientScriptId = catalogClientScript.create();
gs.info(catalogClientScriptId);
```

出力:

```
039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc
```

CatalogClientScript - deleteRecord(文字列 sys_id, ブール値 standardUpdate)

定義済みのカタログクライアントスクリプトを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	カタログクライアントスクリプトの sys_id です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、カタログクライアントスクリプトを削除する方法を示しています。

```
var sys_id = "039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc";
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.deleteRecord("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc");
```

CatalogClientScript - setAttributes (マップ属性)

カタログクライアントスクリプトの属性値を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	マップ	フィールドと値のペアのマッピングを持つ JSON オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.setAttributes({"name": "My Catalog Item",
 "applies_to": "catalog_item", "ui_type": "desktop", "type": "onLoad"});
```

CatalogClientScript - setCatalogItem(文字列 sys_id)

カタログアイテムをカタログクライアントスクリプトに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	カタログアイテムの sys_id です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、カタログアイテムを現在のカタログクライアントスクリプトに関連付ける方法を示しています。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.setCatalogItem("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc");
```

CatalogClientScript - setOnChangeVariable(文字列 sys_id)

変数値が更新されたときにカタログクライアントスクリプトを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	変数の sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.setOnChangeVariable("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc
");
```

CatalogClientScript - setVariableSet(文字列 sys_id)

変数セットをカタログクライアントスクリプトに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	変数セットの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var catalogClientScript = new sn_sc.CatalogClientScript();
catalogClientScript.setVariableSet("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc");
```

CatalogItemVariableSet - スコープ指定

CatalogItemVariableSet API は、スクリプトを使用してサービスカタログアイテム変数セットを作成および変更できるメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。

CatalogItemVariableSet - create(ブール standardUpdate)

定義されたカタログアイテム変数セットを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローの実行を有効にします。 • false：エンジンとワークフローの実行を有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入された変数レコードの sys_id です。

```
// Given an existing catalog item
var catItemSysId = "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4";
addVariableSets(catItemSysId);

function addVariableSets(catItemSysId) {
  // List of all variable sets to attach
  var myVarSets = [];

  // Create variable set
  var myVarSetAttrs = {"name": "Requester details", "order": "100"};
  var myVarSet = new sn_sc.CatalogItemVariableSet();
  myVarSet.setAttributes(myVarSetAttrs);
  var myVarSetId = myVarSet.create(true);
  myVarSets.push(myVarSetId);
}
```

CatalogItemVariableSet - deleteRecord(ブール standardUpdate)

変数セットを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、My Variable Set を使用しているすべてのカタログアイテムから My Variable Set を削除して、My Variable Set レコードを削除します。

```
// Get the sys_id of the variable set you want to delete
var vSet = new GlideRecord('item_option_new_set');
vSet.addEncodedQuery('title=My Variable Set'); // find My Variable Set
vSet.query();
if (vSet.next()) {

    // first remove the variable set from all catalog items
    var catItemVset = new GlideRecord('io_set_item'); // M2M table
 linking variable set and catalog item
    catItemVset.addQuery('variable_set', vSet.getUniqueValue); // find
 all catalog items using My Variable Set
    catItemVset.query();
    while (catItemVset.next()) {
        var vsetM2M = new
 sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M(catItemVset.getUniqueValue()); //
 io_set_item M2M record sys_id
        vsetM2M.deleteRecord(true); // delete M2M record
    }

    // then delete the variable set record
    var varset = new sn_sc.CatalogItemVariableSet(vSet.getUniqueValue());
    varset.deleteRecord(true);
}
```

CatalogItemVariableSet - read(オブジェクト **columns**, ブール **standardUpdate)**

カタログアイテム変数セットの属性値のマッピングを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
列	オブジェクト	値を希望する列のセットを指定します。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクトです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CatalogItemVariableSet - setAttributes(オブジェクト attributes)

変数セットの属性を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、変数セットを作成して、新しい変数セットに変数を追加します。

```
createVariableSet('My Variable Set', 'This is my test variable set',
 '100', 'one_to_one');

function createVariableSet(name, description, order, type) {
    var myVarSet = new sn_sc.CatalogItemVariableSet();
    // fields used in object are from table item_option_new_set
    var myVarSetAttrs = {
        "name": name,
        "description": description,
        "order": order,
        "type": type
    };
    myVarSet.setAttributes(myVarSetAttrs);
    var myVarSetId = myVarSet.create(true); // returns the sys_id of the
 created variable set
    gs.info('Variable set created in table item_option_new_set with
 sys_id ' + myVarSetId);

    // add a variable to the newly created variable set
    var myVar = new sn_sc.CatalogItemVariable();
    var myVarAttrs = {
        "type": "6", // type 6 is single line text
        "variable_set": myVarSetId.toString(),
        "question_text": "Example question",
        "name": "example_question",
        "order": 200
    };
    myVar.setAttributes(myVarAttrs);
    myVar.create(true);
}
```

出力:

```
Variable set created in table item_option_new_set with sys_id
 e21df65a1bff7c10593876a61a4bcbc4
```

CatalogItemVariableSet - update(オブジェクト columnValues, ブール standardUpdate)

変数セットを更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、Standard Employee Questions 変数セットの説明と順序を更新します。

```
// Get the sys_id of the variable set you want to update
var vSet = new GlideRecord('item_option_new_set');
vSet.addEncodedQuery('title=Standard Employee Questions'); // find the
 Standard Employee Questions variable set
vSet.query();
if (vSet.next()) {
    var varset = new sn_sc.CatalogItemVariableSet(vSet.getUniqueValue());
    var attr = {
        'description': 'This should be used for all end user requests
 such as phones, tablets, etc. \n My description line',
        'order': '500'
    };
    varset.update(attr, true);
}
```

CatalogItemVariableSetM2M - スコープ指定

CatalogItemVariableSetM2M API は、スクリプトを使用してサービスカタログアイテム多対多 (M2M) の変数セットを作成および変更できるようにするメソッドを提供します。

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。

CatalogItemVariableSetM2M - create(ブール standardUpdate)

定義されたカタログアイテム変数セット M2M を挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入された変数レコードの sys_id です。

この例は、Standard Employee Questions 変数セットを iPhone 6s カタログアイテムに追加し、カタログ変数セットテーブル [io_set_item] でそれらをリンクするレコードを作成します。

```
var cat_item_sys_id = 'bd6fa75a4f334200086eeed18110c79e'; // catalog item
 - iPhone 6s
var variable_set_sys_id = 'e01cab1a4f334200086eeed18110c71f'; // variable
 set - Standard Employee Questions
var app_scope = 'global'; // sys_id id in case of scoped app
var varset = new sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M();
var attr = {
    'variable_set': variable_set_sys_id, // required
    'sc_cat_item': cat_item_sys_id, // required
    'sys_scope': app_scope, // optional
    'order': 10 // optional
};
varset.setAttributes(attr);
var m2mRec = varset.create(true);
gs.info('Variable set added to catalog item and M2M record created in
 table io_set_item with sys_id ' + m2mRec);
```

出力:

```
Variable set added to catalog item and M2M record created in table
 io_set_item with sys_id c5c87af187eb30103a730f2d0ebb3578
```

CatalogItemVariableSetM2M - deleteRecord(ブール standardUpdate)

定義されたカタログアイテム変数セット M2M を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、iPhone 6s カタログアイテムから Standard Employee Questions 変数セットを削除し、カタログ変数セットテーブル [io_set_item] でそれらをリンクするレコードを削除します。

```
var vset = new GlideRecord('io_set_item');
vset.addQuery('sc_cat_item', 'bd6fa75a4f334200086eeed18110c79e'); //
 catalog item - iPhone 6s
vset.addQuery('variable_set', 'e01cab1a4f334200086eeed18110c71f'); //
 variable set - Standard Employee Questions
vset.query();
if (vset.next()) {
    var varset = new
 sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M(vset.getUniqueValue()); // pass sys_id
 of io_set_item record
    varset.deleteRecord(true);
}
```

CatalogItemVariableSetM2M - read(オブジェクト **columns**, ブール **standardUpdate)**

カタログアイテム変数セット M2M の属性値のマッピングを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
列	オブジェクト	値を希望する列のセットです。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト

この例は、iPhone 6s カタログアイテムで使用されるすべての変数セットを読み取ります。

```
var vset = new GlideRecord('io_set_item');
vset.addQuery('sc_cat_item', 'bd6fa75a4f334200086eeed18110c79e'); //
 catalog item - iPhone 6s
vset.query();
while (vset.next()) {
    var varset = new
 sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M(vset.getUniqueValue()); // pass sys_id
 of io_set_item record
    //add the fields you want to read from the record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var attr = {
        'sys_name': '', // optional
        'sys_scope': '', // optional
        'order': '' // optional
    };
    var m2mRec = varset.read(attr, true);
    gs.info(JSON.stringify(m2mRec));
}
```

出力：

```
{"sys_name":"HTML Description.iPhone
 6s","sys_scope":"global","order":"10"}
{"sys_name":"Standard Employee Questions.iPhone
 6s","sys_scope":"global","order":"20"}
```

CatalogItemVariableSetM2M - setAttributes(オブジェクト attributes)

このカタログアイテム変数セット M2M の属性値を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、Standard Employee Questions 変数セットを iPhone 6s カタログアイテムに追加し、カタログ変数セットテーブル [io_set_item] にレコードを作成します。

```
var cat_item_sys_id = 'bd6fa75a4f334200086eeed18110c79e'; // catalog item
 - iPhone 6s
var variable_set_sys_id = 'e01cab1a4f334200086eeed18110c71f'; // variable
 set - Standard Employee Questions
var app_scope = 'global'; // sys_id id in case of scoped app
var varset = new sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M();
var attr = {
    'variable_set': variable_set_sys_id,
    'sc_cat_item': cat_item_sys_id,
    'sys_scope': app_scope,
    'order': 10
};
varset.setAttributes(attr);
var m2mRec = varset.create(true);
gs.info('Variable set added to catalog item and M2M record created in
 table io_set_item with sys_id ' + m2mRec);
```

出力：

```
Variable set added to catalog item and M2M record created in table
 io_set_item with sys_id c5c87af187eb30103a730f2d0ebb3578
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CatalogItemVariableSetM2M - update(オブジェクト columnValues, ブール standardUpdate)

現在のカタログアイテム変数セット M2M を設定値で更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列名を値にマッピングするオブジェクト
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、iPhone 6s カタログアイテムの Standard Employee Questions 変数セットの順序を更新します。

```
var vset = new GlideRecord('io_set_item');
vset.addQuery('sc_cat_item', 'bd6fa75a4f334200086eeed18110c79e'); //
 catalog item - iPhone 6s
vset.addQuery('variable_set', 'e01cab1a4f334200086eeed18110c71f'); //
 variable set - Standard Employee Questions
vset.query();
if (vset.next()) {
    var varset = new
 sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M(vset.getUniqueValue()); // pass sys_id
 of io_set_item record
    var attr = {
        'order': '30' // update order to 30
    };
    varset.update(attr, true);
    var readAttr = {
        'sys_name': '',
        'order': ''
    };
    var m2mRec = varset.read(readAttr, true); // read the record to
 confirm the update
    gs.info(JSON.stringify(m2mRec));
}
```

出力：

```
{"sys_name":"Standard Employee Questions.iPhone 6s","order":"30"}
```

CatCategory - スコープ対象

`CatCategory` API は、スクリプトを使用してサービスカタログカテゴリを作成および変更できるメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。

重要: この API はアクセス可能です。ただし、推奨される実装は サービスカタログ REST API です。

CatCategory - availableForUserCriteria(文字列 **action**, アレイ **criteriaIDs**)

Available For ユーザー基準を現在のカタログカテゴリに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行するアクション。 • `add`：ユーザー基準を [利用可能] リストに追加します。 • `delete`：ユーザー基準を [利用可能] リストから削除します。
criteriaIDs	アレイ	ユーザー基準 sys_id のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var item = new sn_sc.CatCategory("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
item.availableForUserCriteria("add",
 ["0c441abbc6112275000025157c651c89"]);
```

CatCategory - canView(ブール **isMobile**, 文字列 **userSysId**)

指定されたユーザーが指定されたカテゴリをモバイルデバイスまたはデスクトップで表示できるかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
isMobile	ブーリアン	モバイルデバイスまたはデスクトップでユーザーのアクセスを検証するかどうかを示すフラグ。 • true：モバイルで検証します。 • false：デスクトップで検証します。
userSysId	文字列	検証するユーザーの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが関連するカテゴリを表示できるかどうかを示すフラグ。 • true：ユーザーはカテゴリを表示できます。 • false：ユーザーはカテゴリを表示できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var scopedCategoryObj = new
 sn_sc.CatCategory('7b1262b9530033007444ddeeff7b12ae');
scopedCategoryObj.canView(false, '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1');
```

CatCategory - create(ブール standardUpdate)

定義されたカテゴリを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入された変数レコードの sys_id です。

```
var categoryCreate = new sn_sc.CatCategory();
categoryCreate.setAttributes({"title" : "test a scoped category",
 "sc_catalog" : "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4"});
var categorySysId = categoryCreate.create();
var isValidSysId = categorySysId.match(/^[0-9a-fA-F]{32}$/) == null ?
 false : true;
global.Assert.assertEquals(true, isValidSysId,"CategorySysId: ["+
 categorySysId +"] is not valid", true, isValidSysId);
```

CatCategory - deleteRecord(ブール standardUpdate)

CatCategory クラスが最初にインスタンス化されたカテゴリレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var categoryDelete = new sn_sc.CatCategory(categorySysId);
categoryDelete.deleteRecord();
var category = new sn_sc.CatCategory(categorySysId);
values = category.read({"title" : "", "sc_catalog":""}, false);
global.Assert.assertEquals("", values.title,"Category should title");
```

CatCategory - getID()

現在のカテゴリの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカテゴリの sys_id。

例：

```
var cart = new sn_sc.CatCategory("2809952237b1300054b6a3549dbe5dd4");
var categoryID = cart.getID();
gs.info(categoryID);
```

出力：

```
2809952237b1300054b6a3549dbe5dd4
```

CatCategory - notAvailableForUserCriteria(文字列 action, アレイ[] criteriaIDs)

Not Available For ユーザー基準を現在のカタログカテゴリに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行するアクション。 • `add`：ユーザー基準を [利用不可] リストに追加します。 • `delete`：ユーザー基準を [利用不可] リストから削除します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var item = new sn_sc.CatCategory("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
item. notAvailableForUserCriteria("add",
 ["0c441abbc6112275000025157c651c89"]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CatCategory - read(オブジェクト columns, ブール standardUpdate)

カテゴリのマッピングを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
列	オブジェクト	値を希望する列のセットです。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名と値のマッピング。

```
var category = new sn_sc.CatCategory("a96277509f300200b407b89a442e704e");
var values = category.read({"title" : ""}, true);
gs.log(values.title);
```

CatCategory - setAttributes(オブジェクト attributes)

このカテゴリの属性値を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	オブジェクト	新しいフィールドと値のペアの属性。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var categoryCreate = new sn_sc.CatCategory();
categoryCreate.setAttributes({"title" : "test a scoped category",
 "sc_catalog" : "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4"});
var categorySysId = categoryCreate.create();
var isValidSysId = categorySysId.match(/^[0-9a-fA-F]{32}$/) == null ?
 false : true;
global.Assert.assertEquals(true, isValidSysId,"CategorySysId: ["+
 categorySysId +"] is not valid", true, isValidSysId);
```

CatCategory - setTableName(文字列 tableName)

このカテゴリのテーブル名を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	sc_category を拡張するテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var categoryRead = new sn_sc.CatCategory(categorySysId);
categoryRead.setTableName("test_category");
var values = categoryRead.read({"title" : "", "sc_catalog":"", "test":
 ""}, false);
gs.info(categorySysId);
gs.info(values.title);
gs.info(values.test);
global.Assert.assertEquals("testValue", values.test,"Category extends
 sc_category and stores its extended value");
```

CatCategory - update(オブジェクト **columnValues**, ブール **standardUpdate)**

現在のカテゴリを指定された名前/値ペアで更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列名と値のマッピング。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローを有効にします。 • false：エンジンとワークフローを有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var categoryUpdate = new sn_sc.CatCategory(categorySysId);
categoryUpdate.update({"title" : "test changed scoped category"}, true);
values = categoryUpdate.read({"title" : "", "sc_catalog":""}, false);
global.Assert.assertEquals("test changed scoped category",
 values.title,"Category should title");
```

CatItem - スコープ指定

CatItem API には、スクリプトを使用してサービスカタログアイテムを作成および変更できるメソッドが用意されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。

CatItem - availableForUserCriteria(文字列 action, アレイ criteriaIDs)

Available For ユーザー基準を現在のカタログアイテムに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行するアクション。 • `add`：ユーザー基準を [利用可能] リストに追加します。 • `delete`：ユーザー基準を [利用可能] リストから削除します。
criteriaIDs	アレイ	ユーザー基準 sys_id のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、指定された *Available For* ユーザー基準を追加する方法を示しています。

```
var item = new sn_sc.CatItem("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
item.availableForUserCriteria("add",
 ["0c441abbc6112275000025157c651c89"]);
```

CatItem - canViewInDomain()

選択されたドメイン (ドメインピッカーで選択されたドメイン) で、現在のカタログアイテムが表示可能かどうかを検証します。

グローバルドメインのカタログアイテムは、すべてのドメインで利用可能です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	選択されたドメインで現在のカタログアイテムが表示可能かどうかを検証するフラグ。 有効な値： • true：ドメインでカタログアイテムは表示可能です。 • false：ドメインでカタログアイテムは表示可能ではありません。

この例は、現在選択されているドメインでカタログアイテムが表示可能かどうかを検証する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("060f3afa3731300054b6a3549dbe5d3e");
gs.info(catItem.canViewInDomain());
```

CatItem - canViewOnSearch(ブール isMobile)

ユーザーがグローバル検索でカタログアイテムを表示するためのアクセス権を持っているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
isMobile	ブーリアン	モバイルビューまたはデスクトップビューで検索を実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：モバイルビューで検索を実行します。 • false：デスクトップビューで検索を実行します。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーがグローバル検索でカタログアイテムを表示するためのアクセス権を持っているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーはグローバル検索でカタログアイテムを表示するためのアクセス権を持っています。 • false：ユーザーはグローバル検索でカタログアイテムを表示するためのアクセス権を持っていません。

このコード例は、ユーザーがデスクトップビューでのグローバル検索でカタログアイテムを表示するためのアクセス権を持っているかどうかを確認する方法を示しています。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd");
var canView = catItem.canViewOnSearch('false');
gs.info("Can view on global search: " + canView);
```

出力：

```
Can view on global search: true
```

CatItem - create(ブール standardUpdate)

定義されたカタログアイテムを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリ	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	アン	有効な値： • true：エンジンとワークフローの実行を有効にします。 • false：エンジンとワークフローの実行を有効にしません。テーブル内で既に作成、更新されているシステム日付列は更新されないことに留意してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	新たに作成されたカタログアイテムの sys_id。

この例は、新しいカタログアイテムを作成し、変数と変数セットを追加します。

```
createCatalogItem('Catalog Item Name', 'Short Description',
 'e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4', '109f0438c6112276003ae8ac13e7009d');

function createCatalogItem(name, short_desc, catalogId, categoryId) {
    var catalogItem = new sn_sc.CatItem();
    catalogItem.setAttributes({
        "name": name,
        "short_description": short_desc
    });
    catalogItem.setCatalogs(catalogId); // set catalog
    catalogItem.setCategories(categoryId); // set category

    var catItemSysId = catalogItem.create(); // create new catalog item
    gs.info('Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id ' +
 catItemSysId);

    // add variables and variable set
    addDefaultVariables(catItemSysId);
    addDefaultVariableSet(catItemSysId);
}

// creates a new variable and adds it to the catalog item
function addDefaultVariables(catItemSysId) {
    var myVarAttrs = {
        "type": "6", // type 6 is single line text
        "cat_item": catItemSysId,
        "question_text": "First Name",
        "name": "first_name",
        'order': 50
    };
    var myVar = new sn_sc.CatalogItemVariable();
    myVar.setAttributes(myVarAttrs);
    var varRec = myVar.create(true);
    gs.info('Variable added to catalog item and record created in table
 item_option_new with sys_id ' + varRec);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// adds an existing variable set to the catalog item
function addDefaultVariableSet(catItemSysId) {
    var varset = new sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M();
    // fields used in object are from table io_set_item
    var attr = {
        'variable_set': 'e01cab1a4f334200086eeed18110c71f', // required
        'sc_cat_item': catItemSysId, // required
        'order': 100 // optional
    };
    varset.setAttributes(attr);
    var m2mRec = varset.create(true);
    gs.info('Variable set added to catalog item and M2M record created in
 table io_set_item with sys_id ' + m2mRec);
}
```

出力：

```
Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id
 be5c771e876370103a730f2d0ebb3556
Variable added to catalog item and record created in table
 item_option_new with sys_id b65cb71e876370103a730f2d0ebb3535
Variable set added to catalog item and M2M record created in table
 io_set_item with sys_id 8b5cb71e876370103a730f2d0ebb354b
```

CatItem - deleteRecord(ブール standardUpdate)

カタログアイテムを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローの実行を有効にします。 • false：エンジンとワークフローの実行を有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、非アクティブなすべてのカタログアイテムを削除します。

```
var catalogItem = new GlideRecord('sc_cat_item');
catalogItem.addQuery('active', 'false'); // get all inactive catalog
 items
catalogItem.query();
while (catalogItem.next()) {

    // before deleting a catalog item, delete its associated variable set
 M2M records
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var variableSetM2M = new GlideRecord('io_set_item'); // M2M table
 linking variable set and catalog item
    variableSetM2M.addQuery('sc_cat_item',
 catalogItem.getUniqueValue()); // get M2M records for the catalog item
    variableSetM2M.query();
    while (variableSetM2M.next()) {
        var varset = new
 sn_sc.CatalogItemVariableSetM2M(variableSetM2M.getUniqueValue()); // M2M
 record sys_id
        varset.deleteRecord(true); // delete M2M record
    }

    // then delete the catalog item
    var item = new sn_sc.CatItem(catalogItem.getUniqueValue());
    item.deleteRecord(true);
}
```

CatItem - getFirstAccessibleCategoryForSearch(文字列 catalogId)

ユーザーがカタログで表示できる最初のカテゴリを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalogId	文字列	カタログの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーがカタログで表示できる最初のカテゴリの sys_id。

例：

```
var CatItem=new sn_sc.CatItem("04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd");
 console.log(CatItem.getFirstAccessibleCategoryForSearch("e0d08b13c333010
0c8b837659bba8fb4"));
```

出力：

```
d258b953c611227a0146101fb1be7c31
```

CatItem - getInvalidDelegatedUsers(アレイ requestForUsers)

関連付けられたアイテムの委任 (代理で要求) が許可されていないユーザーのアレイを返します 。

このメソッドは、アレイで渡された各ユーザーを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestForUsers	オブジェ	関連付けられたユーザーが現在のアイテムを取得できるかどうか、またそのアイテムは代理で要求できるかどうかを確認するためのユーザー sys_id のアレイ。ユーザー sys_id はユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	クト	

返される内容

タイプ	説明
アレイ	代理人によるアイテムの要求が許可されていないユーザーの名前 (ユーザー [sys_user] テーブルの Name 列) のリスト。

この例は、代理人によるアイテムの要求が許可されていないユーザーの名前のリストを取得する方法を示しています。

```
function getInvalidDelegatedUsers(itemId, userIds) {
var catItem = new sn_sc.CatItem(itemId);
var invalidUsers = catItem.getInvalidDelegatedUsers(userIds);
return invalidUsers;
}
```

出力：

```
[
  "Joe Smith",
  "Jenny Brown",
  "Fred Bennet",
  "Alice Jones"
]
```

CatItem - getRecordClass()

現在のカタログアイテムレコードのクラス名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカタログアイテムレコードのクラス名

例：

```
var CatItem=new sn_sc.CatItem("04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd");
 console.log(CatItem.getRecordClass());
```

出力：

```
sc_cat_item
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CatItem - isDelegationAllowed(文字列 delegatedUser)

指定された代理人ユーザーが現在のサービスカタログアイテムに対する取得権を持っているかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
delegatedUser	文字列	オプション。サービスカタログアイテムを要求するユーザー (代理人) の sys_id。このメソッドは、ユーザーがアイテムに対する取得権を持っているかどうかを検証します。 デフォルト：呼び出し元ユーザーがアイテムに対する取得権を持っているかどうかを確認します。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが現在のサービスカタログアイテムに対する取得権を持っているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーはアイテムに対する取得権を持っています。 • false：ユーザーはアイテムに対する取得権を持っていません。

このコード例は、カタログアイテムの委任が許可されているかどうかを判断する方法を示しています。

```
function canRequestFor(itemId, user) {
  var catItem = new sn_sc.CatItem(itemId);
  var result = catItem.isDelegationAllowed(user);
  return result;
}
```

出力：true

CatItem - isVisibleServicePortal()

現在のカタログアイテムがサービスポータルで利用可能かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	カタログアイテムが Service Portal で利用可能かどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true：Service Portal で利用可能です。 • true：Service Portal で利用可能ではありません。

例：

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd");
var catItemAvail = catItem.isVisibleServicePortal();
gs.info("Is item available on Service Portal: " + catItemAvail);
```

出力：

```
Is item available on Service Portal: true
```

CatItem - notAvailableForUserCriteria(文字列 **action**, アレイ **criteriaIDs)**

Not Available For ユーザー基準をカタログアイテムに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行するアクション。 • `add`：ユーザー基準を [利用不可] リストに追加します。 • `delete`：ユーザー基準を [利用不可] リストから削除します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、指定された *Not Available For* ユーザー基準を追加する方法を示しています。

```
var item = new sn_sc.CatItem("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
item. notAvailableForUserCriteria("add",
 ["0c441abbc6112275000025157c651c89"]);
```

CatItem - read(オブジェクト **columns**, ブール **standardUpdate)**

カタログアイテムの属性値のマッピングを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
列	オブジェクト	値を返す列の名前/値ペア。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：エンジンとワークフローの実行を有効にします。 • false：エンジンとワークフローの実行を有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名と値のマッピング。

この例は、カタログアイテムの name フィールドと price フィールドを読み取ります。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("a96277509f300200b407b89a442e704e");
var values = catItem.read({"name" : "", "price" : ""}, true);
gs.info("Catalog item name: " + values.name);
gs.info("Catalog item price: " + values.price);
```

出力：

```
Catalog item name: Standard Laptop
Catalog item price: 1100
```

CatItem - setAttributes(オブジェクト **attributes)**

カタログアイテムの属性を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
属性	オブジェクト	設定する列の名前/値ペア。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、新しいカタログアイテムの属性を設定します。

```
createCatalogItem('Name of your Catalog Item', 'Short Description
 of your Catalog Item', 'e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4',
 '109f0438c6112276003ae8ac13e7009d');

function createCatalogItem(name, short_desc, catalogId, categoryId) {
    var catalogItem = new sn_sc.CatItem();
    // catalog item column values
    var attributes ={
        "name": name,
        "short_description": short_desc,
  "description": "<p>This is a test catalog item.</p>",
  "workflow":"0287f2c64a36232700820846b1f8bdce" // sys_id of workflow
    };
    catalogItem.setAttributes(attributes); // set catalog item attributes
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    catalogItem.setCatalogs(catalogId); // set catalog
    catalogItem.setCategories(categoryId); // set category

    var catItemSysId = catalogItem.create(); // create new catalog item
    gs.info('Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id ' +
 catItemSysId);
}
```

出力：

```
Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id
 706948a287e370103a730f2d0ebb351e
```

CatItem - setCatalogs(文字列 **catalogs)**

このカタログアイテムに関連付けるカタログを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalogs	文字列	アイテムに関連付けるカタログの sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、カタログアイテムを 2 つのカタログに関連付けます。

```
var short_desc = 'This is a short description of my catalog item.';
var catalogItem = new sn_sc.CatItem();
catalogItem.setAttributes({
    "name": 'My Catalog Item',
    "short_description": short_desc
});
catalogItem.setCatalogs('e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4,742ce428d721110
0f2d224837e61036d'); // set Service Catalog and Technical Catalog

var catItemSysId = catalogItem.create(); // create new catalog item
gs.info('Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id ' +
 catItemSysId);
```

出力：

```
Catalog item created in table sc_cat_item with sys_id
 d0c5dcaa872770103a730f2d0ebb35cb
```

CatItem - setCategories(文字列 **categories)**

このカタログアイテムを関連付けるカテゴリを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
カテゴリ	文字列	アイテムに関連付けるカテゴリの sys_id のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、2 つのカテゴリをアイテムに関連付ける方法を示しています。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("060f3afa3731300054b6a3549dbe5d3e");
catItem.setCatagories("af443cfa5f130100a9ad2572f2b47747",
 "d467125fd7500200d74460affd6103a1");
```

CatItem - setImage(文字列 **dbImageSysId**, 文字列 **type)**

カタログアイテムに画像を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dbImageSysId	文字列	画像テーブル [db_image] の画像の sys_id。
type	文字列	画像のタイプ。 有効な値： • 画像 • アイコン

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、カタログアイテムに画像を追加します。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("1fc0bd968777301093d5ec6d0ebb3548"); //
 sys_id of catalog item to update
// update fields if needed
var attr = {
    'name': 'New Name of Catalog Item - 123',
    'description': '<p>This is an updated description.</p><p> My
 description new line 1</p><p>My description new line 2</p>',
    'short_description': 'New Short Description of Catalog Item'
};
catItem.update(attr, true);
catItem.setImage('1b443cfa5f130100a9ad2572f2b47746', 'picture'); //
 sys_id of image from table db_image
```

CatItem - setTableName(文字列 **tableName)**

このカタログアイテムのテーブル名を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	カタログアイテム [sc_cat_item] を拡張するテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、拡張されるテーブルの名前を設定する方法を示しています。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem();
catItem.setTableName("New_catalog_table");
```

CatItem - submitProducer(オブジェクト **values)**

指定された サービスカタログ レコードプロデューサーを使用してレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
値	オブジェクト	レコードの作成時に使用するフィールド値とレコードプロデューサーが含まれます。 `{ "variables": {Object}, "sysparm_id": "String" }`
values.variables	オブジェクト	新しいレコードのために設定するフィールド値。 `{ "field": "String", "field": "String" }`
values.sysparm_id	文字列	レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer] テーブルから使用するレコードプロデューサーの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	作成されたレコードに関する情報が含まれます。 `{ "number": "String", "parent_id": "String", "parent_table": "String", "record": "String", "redirect_portal_url": "String", "redirect_to": "String", "redirect_url": "String", "sys_id": "String", "table": "String" }`
<Object>.number	作成されたレコードの **Number** フィールドの値。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.parent_id	親レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.parent_table	レコードが作成されたテーブルの親テーブル。 データタイプ：文字列
<Object>.record	作成されたレコードの XML。 データタイプ：文字列
<Object>.redirect_portal_url	サービスポータル のリダイレクト先 URL。 データタイプ：文字列
<Object>.redirect_to	リダイレクト値 データタイプ：文字列
<Object>.redirect_url	作成されたレコードの URL。 データタイプ：文字列
<Object>.sys_id	作成されたレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.table	レコードが作成されたテーブル。 データタイプ：文字列

この例は、Create Incident レコードプロデューサーを使用してインシデントを作成します。

```
var catalogItem = new sn_sc.CatItem('3f1dd0320a0a0b99000a53f7604a2ef9');
  //sys_id of the Create Incident record producer
var values = {
   "variables": {"urgency" : "2", "comments" : "Laptop is in a brick
 state"},
   "sysparm_id": "3f1dd0320a0a0b99000a53f7604a2ef9"
}
var targetRecordDetails = catalogItem.submitProducer(values);
gs.info(JSON.stringify(targetRecordDetails, null, 3));
```

出力：

```
{
   "sys_id": "133b2ee1875f30103a730f2d0ebb35f9",
   "number": "INC0010002",
   "parent_id": null,
   "record": "api/now/table/incident/133b2ee1875f30103a730f2d0ebb35f9",
   "redirect_portal_url": "",
   "parent_table": "task",
   "redirect_url":
 "incident.do?sys_id=133b2ee1875f30103a730f2d0ebb35f9&sysparm_view=ess",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "table": "incident",
   "redirect_to": "generated_record"
}
```

CatItem - update(オブジェクト **columnValues**, ブール **standardUpdate)**

カタログアイテムの指定されたフィールドの値を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	更新するフィールドの名前/値ペアとそれに関連付けられた値。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エンジンとワークフローの実行を有効にします。 • false：エンジンとワークフローの実行を有効にしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、既存のカタログアイテムの名前、簡単な説明、および価格を更新します。

```
var catItem = new sn_sc.CatItem("1fc0bd968777301093d5ec6d0ebb3548"); //
 sys_id of catalog item to update
printCatalogItem(); // print current catalog item values
// object containing fields to update
var attr = {
    "name": "New Name of Catalog Item",
    "short_description": "New Short Description of Catalog Item",
    "price": "450"
};
catItem.update(attr, true);
printCatalogItem(); // print new catalog item values

// prints the name, short description, and price of the catalog item
function printCatalogItem(){
    // object containing fields to read
    var readValues = {
        "name" : "",
        "short_description" : "",
        "price" : ""
    };
    var values = catItem.read(readValues, true); // read the field values
    gs.info("Catalog item name: " + values.name);
    gs.info("Catalog item short description: " +
 values.short_description);
    gs.info("Catalog item price: " + values.price);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
Catalog item name: Example Catalog Item
Catalog item short description: Example Short Description
Catalog item price: 300
Catalog item name: New Name of Catalog Item
Catalog item short description: New Short Description of Catalog Item
Catalog item price: 450
```

CartJS - スコープ指定

CartJS API には、ユーザーのショッピングカートにアクセスできるメソッドが用意されています。

この API は `sn_sc` 名前空間で実行されます。*CartJS* API にアクセスするには、デフォルトで有効になっている Service Catalog Scoped API プラグイン (ID：com.glideapp.servicecatalog.scoped.api) が必要です。

CartJS - CartJS(文字列 cartName)

現在ログインしているユーザーの定義済のカートの名前を持つ CartJS クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cartName	文字列	オプション。現在ログインしているユーザーの定義済のカートの名前

```
var cart = new sn_sc.CartJS(cart1);
```

CartJS - addToCart(マップ request)

現在のカートにカタログアイテムの要求を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
request	マップ	カートに追加するカタログアイテムの詳細を含む JSON オブジェクト。 要求オブジェクトの構造は次のとおりです。 `{ 'sysparm_id': item_id, 'sysparm_quantity': item_quantity, 'variables':{ 'var_name': 'var_value', ... } }` • item_id：カートに追加するアイテムの sys_id • item_quantity：追加するアイテムの数。デフォルト値は 1 です。 • var_name：質問の名前 • var_value：回答の値 (表示値ではありません)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
JSON	現在のカートの構造 `{ 'subtotal': value, 'items':[ { itemName:'', quantity:'', price:'', recurring_price:'' } ...] }`

この例は、複数のアイテムをカートに追加する方法を示しています。`var cart = new sn_sc.CartJS();` がループ内にあることに留意してください。複数のアイテムをカートに追加するには、`sn_sc.CartJS()` を複数回呼び出す必要があります。

```
for (i = 0; i < 2; i++) {
var cart = new sn_sc.CartJS();
var item =
{
'sysparm_id': '0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02',
'sysparm_quantity': '1',
'variables':{
'carrier': 'at_and_t_mobility',
'data_plan': '500MB',
'duration': 'eighteen_months',
'color': 'slate',
'storage': 'sixtyfour'
}};
var cartDetails = cart.addToCart(item);
gs.info(JSON.stringify(cartDetails));
}
```

出力

```
//The cart after the first item is added
{
  "cart_id": "c0f5828a1b476010593876a61a4bcb71",
  "subtotal": "$599.99",
  "items": [
    {
      "catalog_item_id": "0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02",
      "quantity": "1",
      "localized_price": "$599.99",
      "price": "$599.99",
      "recurring_frequency": "Monthly",
      "localized_recurring_price": "$30.00",
      "recurring_price": "$29.00",
      "item_name": "Apple iPhone 5",
      "cart_item_id": "40f5828a1b476010593876a61a4bcb72"
    }
  ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

//The cart after the second item is added
{
  "cart_id": "c0f5828a1b476010593876a61a4bcb71",
  "subtotal": "$1,199.98",
  "items": [
    {
      "catalog_item_id": "0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02",
      "quantity": "1",
      "localized_price": "$599.99",
      "price": "$599.99",
      "recurring_frequency": "Monthly",
      "localized_recurring_price": "$30.00",
      "recurring_price": "$29.00",
      "item_name": "Apple iPhone 5",
      "cart_item_id": "40f5828a1b476010593876a61a4bcb72"
    },
    {
      "catalog_item_id": "0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02",
      "quantity": "1",
      "localized_price": "$599.99",
      "price": "$599.99",
      "recurring_frequency": "Monthly",
      "localized_recurring_price": "$30.00",
      "recurring_price": "$29.00",
      "item_name": "Apple iPhone 5",
      "cart_item_id": "98f5828a1b476010593876a61a4bcb75"
    }
  ]
}
```

CartJS - canViewRF()

現在のユーザーに、**Request for** フィールドを編集するために必要なロールがあるかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが要求されたフィールドを編集するために必要なロールを持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ユーザーには必要なロールがあります。 • false:必要なロールがユーザーにありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このバックグラウンドスクリプトのコード例は、現在のユーザーが [要求元] フィールドの編集に必要なロールを持っているかどうかを確認する方法を示しています。

```
gs.log(sn_sc.CartJS.canViewRF());
```

応答：

```
true
```

CartJS - checkoutCart()

カートのチェックアウトを実行します。2 ステップ チェックアウトが有効な場合は、注文概要を返します。2 ステップ チェックアウトが無効になっている場合、カートが送信され、生成された要求の詳細が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSON	2 ステップ チェックアウトが有効な場合、カート内のアイテムの概要が返されます。 `{ "subtotal_price":"", "subtotal_recurring_frequency":"", "delivery_address":"", "special_instructions":"", "total_title":"", "requested_for_user":"System Administrator", "requested_for":"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441", "daily": ["frequency_subtotal":"", "items":[{}, {}, ...], …], "monthly":["frequency_subtotal":"", "items":[{}, {}, ...], …], "annually":["frequency_subtotal":"", "items":[{}, {}, ...], …], "none":["frequency_subtotal":"", "items":[{}, {}, ...], …], }` 2 ステップ チェックアウトが無効になっている場合： `{ 'request_id' : "sys_id of the generated request", "request_number" : "Number of the generated request" }`

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var checkoutInfo = cart.checkoutCart();
gs.info(checkoutInfo);
```

出力

```
If two step checkout enabled:
{"subtotal_price":"$2,748.49","subtotal_recurring_frequency":"","delivery_address":"","special_instructions":"","total_title":"Total","requested_for_user":"System
 Administrator","requested_for":"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441","weekly":{"subtotal_price":"$399.50","subtotal_recurring_frequency":"Weekly","s
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ubtotal_recurring_price":"$0.00","total_title":"Total","items":[{"catalog
_item_id":"e90a0f7237153000158bbfc8bcbe5d7f","variables":{},"quantity":"1
","localized_price":"$399.50","price":"$399.50","recurring_frequency":"We
ekly","localized_recurring_price":"$0.00","recurring_price":"$0.00","item
_name":"Brother Network-Ready Color Laser
 Printer","cart_item_id":"f3f5c9b3c322320076173b0ac3d3ae00","delivery_tim
e":"2
 Days"}],"show_subtotal_price":"true","subtotal_title":"Subtotal"},"show_
subtotal_price":"true","cart_id":"251c0562c326320076173b0ac3d3aeb4","subt
otal_recurring_price":"$131.00","monthly":{"subtotal_price":"$849.99","su
btotal_recurring_frequency":"Monthly","subtotal_recurring_price":"$31.00"
,"total_title":"Total","items":[{"catalog_item_id":"d82ea085102472009647f7
7ffeec6c4ee","variables":{"Monthly data
 allowance":"500MB","Storage":"64GB","Color":"Space
 Gray","Is this a replacement for a lost or
 broken iPhone?":"No","What was the original phone
 number?":""},"quantity":"1","localized_price":"$799.99","price":"$849.99
","recurring_frequency":"Monthly","localized_recurring_price":"$30.00","r
ecurring_price":"$31.00","item_name":"Apple iPhone 6s
 Plus","cart_item_id":"18c509b3c322320076173b0ac3d3aef4","delivery_time"
:"2
 Days"}],"show_subtotal_price":"true","subtotal_title":"Subtotal"},"yearl
y":{"subtotal_price":"$1,499.00","subtotal_recurring_frequency":"Annually
","subtotal_recurring_price":"$100.00","total_title":"Total","items":[{"c
atalog_item_id":"774906834fbb4200086eeed18110c737","variables":{"Adobe
 Photoshop":"false","Adobe Acrobat":"false","Optional
 Software":"","Additional software requirements":"","Eclipse
 IDE":"true"},"quantity":"1","localized_price":"$1,499.00","price":"$1,49
9.00","recurring_frequency":"Annually","localized_recurring_price":"$100.
00","recurring_price":"$100.00","item_name":"Developer Laptop
 (Mac)","cart_item_id":"6306c9b3c322320076173b0ac3d3ae89","delivery_time"
:"5
 Days"}],"show_subtotal_price":"true","subtotal_title":"Subtotal"},"subto
tal_title":"Subtotal"}
If two step checkout disabled:
{"request_number":"REQ0010001","request_id":"2f2789f3c322320076173b0ac3d3
ae62"}
```


CartJS - empty()

現在のカートを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
      cart.empty();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CartJS - getCartDetails()

カートの詳細を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の買い物かごの詳細を示すオブジェクト

例：

```
var cart=new sn_sc.CartJS();
 console.log (cart.getCartDetails());
```

出力：

```
delivery_address : "Brasilia,Brasil"
        name : "DEFAULT"
        requested_for : "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"
        requested_for_display_name : "Abel Tuter"
        special_instructions : ""
        sys_id : "c2ac090087150300318d05a888cb0bd7"
```

CartJS - getCartID()

現在の買い物かごの ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の買い物かごの sys_id。

現在の買い物かごの sys_id を返します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var cartId = cart.getCartID();
gs.info(cartId);
```

出力

```
039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc
```

CartJS - getCartItems()

現在の買い物かご内のアイテムのレコードを含む GlideRecord オブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	現在の買い物かご内のアイテムを記述するアイテム [sc_cart_item] テーブルのレコードとフィールドを含む GlideRecord オブジェクト。

現在の買い物かご内のアイテムの数量とカタログアイテムフィールドの値を返します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();

var cartItems = cart.getCartItems();
while (cartItems.next()) {
  gs.info(cartItems.getElement('quantity').getDisplayValue()
  + " x "
  + cartItems.getElement('cat_item').getDisplayValue());
}
```

出力

```

1 x Apple iPhone 6s Plus
1 x Apple iPhone 6s
1 x Apple MacBook Pro 15"
```

CartJS - getDeliveryAddress()

現在の買い物かごの配送先を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカートの配送先住所

現在の買い物かごの配送先を設定して返します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
cart.setDeliveryAddress("Brasilia, Brasil");
var deliveryAddress = cart.getDeliveryAddress();
gs.info(deliveryAddress);
```

出力

```
Brasilia, Brasil
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CartJS - getRequestedFor()

買い物かごの要求対象ユーザーの sys_user を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	買い物かごの要求対象ユーザーの sys_user レコード。 これはユーザー [sys_user] テーブルにあります。

買い物かごに関連付けられているユーザーの sys_id を返します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
cart.setRequestedFor("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc")
var userId = cart.getRequestedFor();
gs.info(userId);
```

出力

```
039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc
```

CartJS - getRequestedForDisplayName()

現在の買い物かごの要求対象ユーザーの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の買い物かごの要求対象ユーザーの名前。これはユーザー [sys_user] テーブルにあります。

買い物かごに関連付けられているユーザーの名前を返します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var userName = cart.getRequestedForDisplayName();
gs.info(userName);
```

出力

```
Abel Tuter
```

CartJS - getSpecialInstructions()

現在の買い物かごに対する特別な指示を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のカートのための特別な指示

この例は、現在の買い物に対して特別な指示を設定および取得する方法を示します。

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
cart.setSpecialInstructions("Delivery before 8 AM.");
var specInstruction = cart.getSpecialInstructions();
gs.info(specInstruction);
```

出力

```
Delivery before 8 AM.
```

CartJS - orderNow(マップ request)

単一のアイテムを注文します。2 ステップチェックアウトが有効になっている場合、このメソッドは、指定されたアイテムをカートに追加し、買い物かごの sys_id を返します。2 ステップチェックアウトが無効になっている場合、このメソッドは、指定されたアイテムの購入を完了し、生成された要求の sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
request	マップ	注文するカタログアイテムの詳細を含む JSON オブジェクト。
request.delivery_address	文字列	アイテムの配送先住所 デフォルト：ユーザーの住所
request.sysparm_id	文字列	必須です。購入するアイテムの sys_id。
request.special_instructions	文字列	注文を処理するときに従うべき指示。
request.sysparm_quantity	文字列	指定された購入アイテムの数量。 デフォルト値：1
request.sysparm_requested_for	文字列	アイテムの要求対象ユーザーの sys_id。 デフォルト：セッションユーザー
request.variables	アレイ	アイテムに関連付けられた質問と顧客の回答。
request.variables.var_name	文字列	質問の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
request.variables.var_value	文字列	関連付けられた質問に対する顧客の回答。

返される内容

タイプ	説明

JSON キー/値ペア	2 ステップチェックアウトが有効な場合の出力：
	`{ 'cart_id' : '<sys_id of the cart to which the items were added>' }`
	2 ステップチェックアウトが無効な場合の出力：
	`{ 'request_id' : '<sys_id of the generated request>', 'request_number' : '<Number of the generated request>' }`

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var request =
{
  'sysparm_id': '0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02',
  'sysparm_quantity': '1',
  'variables':{
    'carrier': 'at_and_t_mobility',
    'data_plan': '500MB',
    'duration': 'eighteen_months',
    'color': 'slate',
    'storage': 'sixtyfour'
  }
}
var cartDetails = cart.orderNow(request);
gs.info(cartDetails);
```

出力

```
// If two-step checkout is enabled:
{"cart_id":"55384df3c322320076173b0ac3d3aec5"}

// If two-step checkout is disabled:
{"request_id":"4c690137c322320076173b0ac3d3ae03", "request_number":
 "REQ0010003"}
```

CartJS - setDeliveryAddress(文字列 address)

現在のカートの配送先住所を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
address	文字列	現在のカートの配送先住所

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
cart.setDeliveryAddress("Brasilia, Brasil");
```

CartJS - setRequestedFor(文字列 user)

カートが要求されたユーザーの sys_user レコードに sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ユーザー	文字列	カートが要求されたユーザーの sys_user レコードに設定される sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
cart.setRequestedFor("039c516237b1300054b6a3549dbe5dfc")
```

CartJS - setSpecialInstructions(文字列 specialInstructions)

現在のカートの特別な指示を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
specialInstructions	文字列	現在のカートのための特別な指示

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    cart.setSpecialInstructions("Delivery before 8 AM.");
```

CartJS - submitOrder(マップ request)

request パラメーターから特別な指示、要求元、配送先を更新し、買い物かごのチェックアウトを実行します。この API を使用して、前述のカートのパラメーターを変更し、カートのチェックアウトを同時に実行します。*request* オブジェクトにないパラメーターには、デフォルト値が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
request	マップ	送信されるカートの詳細を含む JSON オブジェクト。 `{ 'special_instructions': "String", 'requested_for': '"String", 'delivery_address': "String" }`
request.special_instructions	文字列	注文に含める特別な指示。
request.requested_for	文字列	注文を要求したユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 デフォルト:現在のユーザー。
request.delivery_address	文字列	注文の配送先住所。

返される内容

タイプ	説明
JSON	カートの構造 `{ 'request_id' : 'sys_id of the generated Request', 'request_number' : 'Number of the generated Request' }`

例：

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var request =
{
  'special_instructions' : 'Delivery only in working hours',
  'requested_for' : '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1',
  'delivery_address' : "Brasilia, Brasil",
};
var requestDetails = cart.submitOrder(request);
gs.info(JSON.stringify(requestDetails));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"request_id":"6eed229047801200e0ef563dbb9a71c2", "request_number":
 "REQ0000001"}
```

CartJS - updateItem(マップ **request**, 文字列 **cart_item_id)**

カート内のアイテムを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
request	マップ	更新されるカタログアイテムの詳細を含む JSON オブジェクト。 要求オブジェクトの構造は次のとおりです。 `{ 'sysparm_quantity' : item_quantity, 'sysparm_requested_for' : requested_for, 'variables' : { 'var_name' : 'var_value', ... } }` • item_quantity：追加するアイテムの数。デフォルト値は 1 です。 • var_name：質問の名前 • var_value：回答の値 (表示値ではありません)
cart_item_id	文字列	変更するカート アイテムの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
JSON	カートの詳細。 `{ 'subtotal': value, 'items':[ { itemName:'', quantity:'', price:'', recurring_price:'' } ...], ... }`

```
var cart = new sn_sc.CartJS();
var request =
{
  'sysparm_quantity': '1',
  'variables':{
    'carrier': 'at_and_t_mobility',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    'data_plan': '500MB',
    'duration': 'eighteen_months',
    'color': 'slate',
    'storage': 'sixtyfour'
  }
};
var cart_item_id = "4d69b672c322320076173b0ac3d3ae79";
var cartDetails = cart.updateItem(request, cart_item_id);
gs.info(cartDetails);
```

出力

```
{ "cart_id":"35ec9e8947a13200e0ef563dbb9a7109",
 "items":[ { "cart_item_id":"35ec9e8947a13200e0ef563dbb9a710a",
 "catalog_item_id":"0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02",
 "item_name":"Apple iPhone 5", "localized_price":"$799.99",
 "localized_recurring_price":"$30.00", "price":"$799.99", "quantity":"1",
 "recurring_frequency":"Monthly", "recurring_price":"$29.00" } ]
 "subtotal":"$799.99" }
```

CdmQuery - スコープ指定

CdmQuery スクリプトインクルードは、CDMデータモデルツリーのクエリを可能にするメソッドを提供します。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルの特定のフィールド/列であるノードオブジェクトのリストを返します。これらの値は、オブジェクトのプロパティとして返されます。すべてのオブジェクトはデータモデル内のノードです。

このスクリプトインクルードは流暢です。つまり、ほとんどのメソッドがチェーンをサポートし、CdmQuery オブジェクトを返します。このスクリプトインクルード内のメソッドは、さまざまなタイプに分類されます。これらは、タイプに基づいて、呼び出し内で特定の順序で指定する必要があります。結果メソッドを除くすべてのメソッドはチェーン可能です。

注: このドキュメントでは、スナップショット データのクエリでの *CdmQuery* スクリプトインクルードの使用についてのみ説明しているため、現時点ではこのプロセスに必要なメソッドのみが文書化されています。スナップショットデータのクエリは、データ検証用の PaCE ポリシースクリプトとデータエクスポート用の CDM エクスポータースクリプトを記述するときに必要です。

メソッドタイプ:

- entry メソッド: このメソッドは、エントリノードを指定します。*CdmQuery* は、クエリをエントリ ノードとその子孫ノードに制限します。入力ノードの指定は必須です。

  CdmQuery - snapshotId(文字列 snapshotSysID)

- query method:このメソッドは、指定されたクエリを実行します。

  CdmQuery - query()

- result メソッド: これらのメソッドは、特定の結果データのセットを返します。
  - CdmQuery - forEach(関数、関数)
  - CdmQuery - getTree(ブール simpleTree, ブール prettify)
  - CdmQuery - getValue (文字列フィールド名)
  - CdmQuery - 次の()
- メソッドの設定: これらのメソッドは、 *CdmQuery()* の動作を変更します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- CdmQuery - decryptPassword(ブール復号)
- CdmQuery - followIncludes(ブール値 followIncludes)
- CdmQuery - includeFileMetadata()
- CdmQuery - substituteVariable(ブール値置換)
- CdmQuery - useCache(ブール useCache)

`snapshotId()` メソッドと `query()` メソッドは必須です。filterメソッドとsettingメソッドは、`query()` メソッドの前、 `snapshotId()` メソッドの後に追加する必要があります。フィルター メソッドと設定メソッドを追加する順序は、競合する場合を除き重要ではなく、最新の関連するメソッドが優先されます。結果をフェッチするには、 `getTree()` などの結果メソッドを `query()` メソッドの後に追加する必要があります。

例：

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
  .decryptPassword(true)
  .includeFileMetadata()
  .query()
  .getTree(true, false);
```

この API は `sn_cdm` 名前空間で実行され、さまざまなメソッドにアクセスするには sn_cdm.cdm_viewer または sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。

CdmQuery - CdmQuery()

CdmQuery オブジェクトをインスタンス化します。他の `CdmQuery` メソッドを呼び出す前に、このメソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次のコード例は、 `CdmQuery` メソッドを呼び出して、sn_cdm 名前空間で CdmQuery オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
.decryptPassword(true)
.query()
.getTree();
```

CdmQuery - decryptPassword(ブール復号)

暗号化された構成データ項目 (CDI) および変数ノードの復号化された値を結果に返すかどうかを指定できます。

ユーザーが必要な sn_cdm.cdm_secrets ロールを持っていない場合は、エラーがスローされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
復号化	ブーリアン	オプション。CDI ノードと変数ノードの復号化された値を返すかどうかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true:CDI ノードと変数ノードの復号化された値を返します。 • false:CDI ノードと変数ノードの暗号化された値を返します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、 *CdmQuery()* API を呼び出し、CDI ノードと変数ノードの暗号化された値を返すように指定する方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
.decryptPassword(false)
.query()
.getTree(true,true);

gs.info(primarySnapshot);
```

返される結果：

```
{
  "Development_1": {
    "vars": {},
    "services": {
      "vars": {},
      "paymentComponent": {
        "applicationSLA": "24x7",
        "paymentService": {
          "database": {
            "backup": {
              "dbServer": "db23.paymentx.be"
            },
            "dbIpAddress": "10.20.40.50",
            "dbName": "paymentX_dev2",
            "dbPort": "8050",
            "dbServer": "db22.paymentx.be",
            "dbUserName": "root",
            "dbPassword": "*******"
          }
        }
      }
    }
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、 *CdmQuery()* API を呼び出し、CDI ノードと変数ノードの復号化された値を返すように指定する方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
.decryptPassword(true)
.query()
.getTree(true,true);

gs.info(primarySnapshot);
```

返される結果：

```
{
  "Development_1": {
    "vars": {},
    "services": {
      "vars": {},
      "paymentComponent": {
        "applicationSLA": "24x7",
        "paymentService": {
          "database": {
            "backup": {
              "dbServer": "db23.paymentx.be"
            },
            "dbIpAddress": "10.20.40.50",
            "dbName": "paymentX_dev2",
            "dbPort": "8050",
            "dbServer": "db22.paymentx.be",
            "dbUserName": "root",
            "dbPassword": "dev1-password"
          }
        }
      }
    }
  }
}
```

CdmQuery - followIncludes(ブール値 followIncludes)

参照先ノードの子孫ノードがリンクされたノードの下に表示されるように、リンクされたノードを完全に解決するかどうかを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フォローインクルード	ブーリアン	オプション。リンクされたノードが完全に解決されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:リンクされたノードは完全に解決されています。 • false:リンクされたノードは完全には解決されていません。 デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、完全に解決されたデータ (*followIncludes* = true) を返す方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
  .followIncludes(true)
  .query()
  .getTree(false, true);
```

返されるデータの例:

```
{
  "sys_id": "62a0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
  "type": "sn_cdm_node_deployable",
  "main_id": "111673",
  "name": "Development_1",
  "node_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "main_id_encoded": "K<1",
  "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
  "status": "valid",
  "level": "2",
  "children": [
    {
      "sys_id": "2aa0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
      "type": "sn_cdm_node_folder",
      "main_id": "111674",
      "name": "vars",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "main_id_encoded": "K<2",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development/vars",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [],
      "hasParent": true
    },
    {
      "sys_id": "2ca1600047352150fd6ce977746d4391",
      "type": "sn_cdm_node_linked",
      "main_id": "111693",
      "name": "services",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "main_id_encoded": "K<G",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [
        {
          "sys_id": "2bb0e0cc47f12150fd6ce977746d43e2",
          "type": "sn_cdm_node_folder",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "main_id": "111680",
          "name": "vars",
          "node_path": "!K<+!K</!K<7!K<8",
          "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<8",
          "main_id_encoded": "K<8",
          "node_classifier": "/application/collections/vars",
          "status": "valid",
          "level": "3",
          "children": [],
          "hasParent": true
        },
        {
          "sys_id": "ccf1640047352150fd6ce977746d438b",
          "type": "sn_cdm_node_component",
          "main_id": "111697",
          "name": "paymentComponent",
          "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "main_id_encoded": "K<K",
          "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
          "status": "valid",
          "level": "4",
          "children": [
            {
              "sys_id": "7fd064cc47f12150fd6ce977746d4372",
              "type": "sn_cdm_node_cdi",
              "main_id": "111682",
              "name": "applicationSLA",
              "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<:",
              "value": "24x7",
              "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<:",
              "main_id_encoded": "K<:",
              "node_classifier": "/application/components",
              "status": "valid",
              "level": "3",
              "children": [],
              "hasParent": true
            },
            {
              "sys_id": "44f1a40047352150fd6ce977746d43dc",
              "type": "sn_cdm_node_component",
              "main_id": "111698",
              "name": "paymentService",
              "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
              "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
              "main_id_encoded": "K<L",
              "node_classifier":
"/application/deployables/env:Development",
              "status": "valid",
              "level": "5",
              "children": [
                {
                  "sys_id": "8cf1a40047352150fd6ce977746d43dc",
                  "type": "sn_cdm_node_component",
                  "main_id": "111699",
                  "name": "database",
                  "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
                "main_id_encoded": "K<M",
                "node_classifier":
"/application/deployables/env:Development",
                "status": "valid",
                "level": "6",
                "children": [
                  {
                    "sys_id": "b3d064cc47f12150fd6ce977746d4374",
                    "type": "sn_cdm_node_component",
                    "main_id": "111685",
                    "name": "backup",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<?",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?",
                    "main_id_encoded": "K<?",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [
                      {
                        "sys_id": "7bd064cc47f12150fd6ce977746d4374",
                        "type": "sn_cdm_node_cdi",
                        "main_id": "111686",
                        "name": "dbServer",
                        "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<?!K<@",
                        "value": "db23.paymentx.be",
                        "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?!K<@",
                        "main_id_encoded": "K<@",
                        "node_classifier": "/application/components",
                        "status": "valid",
                        "level": "6",
                        "children": [],
                        "hasParent": true
                      }
                    ],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "33d064cc47f12150fd6ce977746d4375",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111687",
                    "name": "dbIpAddress",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<A",
                    "value": "10.20.40.50",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<A",
                    "main_id_encoded": "K<A",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "f7d064cc47f12150fd6ce977746d4375",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111688",
                    "name": "dbName",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<B",
                    "value": "paymentX_dev2",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<B",
                    "main_id_encoded": "K<B",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "77d064cc47f12150fd6ce977746d4376",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111690",
                    "name": "dbPort",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<D",
                    "value": "8050",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<D",
                    "main_id_encoded": "K<D",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "3fd064cc47f12150fd6ce977746d4376",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111691",
                    "name": "dbServer",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<E",
                    "value": "db22.paymentx.be",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<E",
                    "main_id_encoded": "K<E",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "f3d064cc47f12150fd6ce977746d4377",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111692",
                    "name": "dbUserName",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<F",
                    "value": "root",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<F",
                    "main_id_encoded": "K<F",
                    "node_classifier": "/application/components",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                      "status": "valid",
                      "level": "5",
                      "children": [],
                      "hasParent": true
                    },
                    {
                      "sys_id": "c4f1a40047352150fd6ce977746d43dd",
                      "type": "sn_cdm_node_cdi",
                      "main_id": "111700",
                      "name": "dbPassword",
                      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                      "secure_value":
 "###dac329a2476c6110fd6ce977746d43e1##1##w8YJ85PO5byT5YNmeG_HwQ==WrNQP3
9n-PWKFs_VXFSjr3TJsGxS1ESKpyl4PUE=##",
                      "effective_path":
 "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                      "main_id_encoded": "K<N",
                      "node_classifier":
 "/application/deployables/env:Development",
                      "status": "valid",
                      "level": "7",
                      "masked_value": "*******",
                      "children": [],
                      "hasParent": true
                    }
                  ],
                  "hasParent": true
                }
              ],
              "hasParent": true
            }
          ],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    }
  ]
}
```


次のコード例は、完全に解決されていないデータ (*followIncludes* = false) を返す方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
  .followIncludes(false)
  .query()
  .getTree(false, true);
```

返されるデータの例:


```
{
  "sys_id": "62a0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
  "type": "sn_cdm_node_deployable",
  "main_id": "111673",
  "name": "Development_1",
  "node_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1",
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "main_id_encoded": "K<1",
  "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
  "status": "valid",
  "level": "2",
  "children": [
    {
      "sys_id": "2aa0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
      "type": "sn_cdm_node_folder",
      "main_id": "111674",
      "name": "vars",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "main_id_encoded": "K<2",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development/vars",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [],
      "hasParent": true
    },
    {
      "sys_id": "2ca1600047352150fd6ce977746d4391",
      "type": "sn_cdm_node_linked",
      "main_id": "111693",
      "name": "services",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "main_id_encoded": "K<G",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [
        {
          "sys_id": "ccf1640047352150fd6ce977746d438b",
          "type": "sn_cdm_node_component",
          "main_id": "111697",
          "name": "paymentComponent",
          "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "main_id_encoded": "K<K",
          "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
          "status": "valid",
          "level": "4",
          "children": [
            {
              "sys_id": "44f1a40047352150fd6ce977746d43dc",
              "type": "sn_cdm_node_component",
              "main_id": "111698",
              "name": "paymentService",
              "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
              "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
              "main_id_encoded": "K<L",
              "node_classifier":
"/application/deployables/env:Development",
              "status": "valid",
              "level": "5",
              "children": [
                {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                  "sys_id": "8cf1a40047352150fd6ce977746d43dc",
                  "type": "sn_cdm_node_component",
                  "main_id": "111699",
                  "name": "database",
                  "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
                  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
                  "main_id_encoded": "K<M",
                  "node_classifier":
 "/application/deployables/env:Development",
                  "status": "valid",
                  "level": "6",
                  "children": [
                    {
                      "sys_id": "c4f1a40047352150fd6ce977746d43dd",
                      "type": "sn_cdm_node_cdi",
                      "main_id": "111700",
                      "name": "dbPassword",
                      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                      "secure_value":
 "###dac329a2476c6110fd6ce977746d43e1##1##w8YJ85PO5byT5YNmeG_HwQ==WrNQP3
9n-PWKFs_VXFSjr3TJsGxS1ESKpyl4PUE=##",
                      "effective_path":
 "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                      "main_id_encoded": "K<N",
                      "node_classifier":
 "/application/deployables/env:Development",
                      "status": "valid",
                      "level": "7",
                      "masked_value": "*******",
                      "children": [],
                      "hasParent": true
                    }
                  ],
                  "hasParent": true
                }
              ],
              "hasParent": true
            }
          ],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    }
  ]
}
```


CdmQuery - forEach(関数、関数)

各結果ノードを反復処理し、CdmNode オブジェクトを受け入れる指定された関数を適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
関数	関数	CdmNode オブジェクトに適用する関数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、 *forEach()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
CdmQuery.forEach(function (node) {
  gs.info("Node - {0}:{1} ", [node.getValue("name"),
 node.getValue("value")]);
});
```

CdmQuery - getTree(ブール simpleTree, ブール prettify)

指定された CDM クエリ結果を返します。

呼び出し内で関連するフラグを設定することで、返すコンテンツのレベルと形式を指定できます。デフォルトでは、ノードメタデータとその子ノードを含み、エントリノードが最上位ノードとなるフォーマットされた文字列が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
シンプルツリー	ブーリアン	オプション。返すコンテンツのレベルを示すフラグ。 有効な値： • true:すべてのノードメタデータを除いた、階層的なキーと値のペアの簡略化された JSON オブジェクトを返します。 • false:ノードメタデータとそのすべての子ノードを含む JSON オブジェクトを返し、エントリノードがトップノードである場所を指定します。 デフォルト値：false
飾り立てる	ブーリアン	オプション。JSON オブジェクトの代わりに書式設定された文字列を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:コンテンツを JSON オブジェクトで返します。 • false:コンテンツを書式設定された文字列として返します。このオプションは、応答に改行とエスケープ文字を追加するため、UI およびエクスポーターでのみ使用します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
CdmQuery	指定されたクエリ情報を含む CdmQuery オブジェクト。

次のコード例は、デフォルト設定を使用して *getTree()* メソッドを呼び出す方法を示しています。これは、ノードメタデータとそのすべての子ノードを含むフォーマットされた文字列を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
  .query()
  .getTree();

gs.info(JSON.stringify(primarySnapshot));
```

返される結果：


```
{"sys_id":"62a0a0cc47f12150fd6ce977746d431a","type":"sn_cdm_node_deployab
le","main_id":"111673","name":"Development_1","node_path":"!K<+!
K<0!K<1","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1","main_id_encoded":"K<1","node_classifier":"/application/deployab
les/env:Development","status":"valid","level":"2","children":[{"sys_id":"
2aa0a0cc47f12150fd6ce977746d431a","type":"sn_cdm_node_folder","main_id":"
111674","name":"vars","node_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<2","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<2","main_id_encoded":"K<2","node_classifier":"/application/depl
oyables/env:Development/vars","status":"valid","level":"3","children":[],
"hasParent":true},{"sys_id":"2ca1600047352150fd6ce977746d4391","type":"sn
_cdm_node_linked","main_id":"111693","name":"services","node_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G","main_id_encoded":"K<G","node_classifier":"/application/depl
oyables/env:Development","status":"valid","level":"3","children":[{"sys_i
d":"2bb0e0cc47f12150fd6ce977746d43e2","type":"sn_cdm_node_folder","main_i
d":"111680","name":"vars","node_path":"!K<+!
K</!K<7!K<8","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<8","main_id_encoded":"K<8","node_classifier":"/applicati
on/collections/vars","status":"valid","level":"3","children":[],"hasParen
t":true},{"sys_id":"ccf1640047352150fd6ce977746d438b","type":"sn_cdm_node
_component","main_id":"111697","name":"paymentComponent","node_path":"!K<
+!K<0!K<1!K<G!K<K","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K","main_id_encoded":"K<K","node_classifier":"/applicati
on/deployables/env:Development","status":"valid","level":"4","children":[
{"sys_id":"7fd064cc47f12150fd6ce977746d4372","type":"sn_cdm_node_cdi","ma
in_id":"111682","name":"applicationSLA","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<:","value":"24x7","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<:","main_id_encoded":"K<:","node_classifier":"/applicat
ion/components","status":"valid","level":"3","children":[],"hasParent":tr
ue},{"sys_id":"44f1a40047352150fd6ce977746d43dc","type":"sn_cdm_node_comp
onent","main_id":"111698","name":"paymentService","node_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L","main_id_encoded":"K<L","node_classifier":"/applicat
ion/deployables/env:Development","status":"valid","level":"5","childre
n":[{"sys_id":"8cf1a40047352150fd6ce977746d43dc","type":"sn_cdm_node_comp
onent","main_id":"111699","name":"database","node_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M","main_id_encoded":"K<M","node_classifier":"/appl
ication/deployables/env:Development","status":"valid","level":"6","childr
en":[{"sys_id":"b3d064cc47f12150fd6ce977746d4374","type":"sn_cdm_node_com
ponent","main_id":"111685","name":"backup","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<?","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?","main_id_encoded":"K<?","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[{"sys
_id":"7bd064cc47f12150fd6ce977746d4374","type":"sn_cdm_node_cdi","main_id
":"111686","name":"dbServer","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<?!K<@","value":"db23.paymentx.be","effective_path":"!K<
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?!K<@","main_id_encoded":"K<@","node_classifier
":"/application/components","status":"valid","level":"6","children":[],"h
asParent":true}],"hasParent":true},{"sys_id":"33d064cc47f12150fd6ce977746
d4375","type":"sn_cdm_node_cdi","main_id":"111687","name":"dbIpAddress","
node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<A","value":"10.20.40.50","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<A","main_id_encoded":"K<A","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[],"ha
sParent":true},{"sys_id":"f7d064cc47f12150fd6ce977746d4375","type":"sn_cd
m_node_cdi","main_id":"111688","name":"dbName","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<B","value":"paymentX_dev2","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<B","main_id_encoded":"K<B","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[],"ha
sParent":true},{"sys_id":"77d064cc47f12150fd6ce977746d4376","type":"sn_cd
m_node_cdi","main_id":"111690","name":"dbPort","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<D","value":"8050","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<D","main_id_encoded":"K<D","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[],"ha
sParent":true},{"sys_id":"3fd064cc47f12150fd6ce977746d4376","type":"sn_cd
m_node_cdi","main_id":"111691","name":"dbServer","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<E","value":"db22.paymentx.be","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<E","main_id_encoded":"K<E","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[],"ha
sParent":true},{"sys_id":"f3d064cc47f12150fd6ce977746d4377","type":"sn_cd
m_node_cdi","main_id":"111692","name":"dbUserName","node_path":"!K<+!
K<,!K<9!K<;!K<<!K<F","value":"root","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<F","main_id_encoded":"K<F","node_classifier"
:"/application/components","status":"valid","level":"5","children":[],"ha
sParent":true},{"sys_id":"c4f1a40047352150fd6ce977746d43dd","type":"sn_cd
m_node_cdi","main_id":"111700","name":"dbPassword","node_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N","secure_value":"###dac329a2476c6110fd6ce9777
46d43e1##1##w8YJ85PO5byT5YNmeG_HwQ==WrNQP39n-PWKFs_VXFSjr3TJsGxS1ESKpyl4P
UE=##","effective_path":"!K<+!
K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N","main_id_encoded":"K<N","node_classifier"
:"/application/deployables/env:Development","status":"valid","level":"7",
"masked_value":"*******","children":[],"hasParent":true}],"hasParent":tru
e}],"hasParent":true}],"hasParent":true}],"hasParent":true}]}
```


次のコード例は、*getTree()* メソッドを呼び出して、階層的なキーと値のペアの簡略化された JSON オブジェクトを返す方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
  .query()
  .getTree(true, true);

gs.info(JSON.stringify(primarySnapshot));
```

返される結果：


```
{
  "Development_1": {
    "vars": {},
    "services": {
      "vars": {},
      "paymentComponent": {
        "applicationSLA": "24x7",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "paymentService": {
          "database": {
            "backup": {
              "dbServer": "db23.paymentx.be"
            },
            "dbIpAddress": "10.20.40.50",
            "dbName": "paymentX_dev2",
            "dbPort": "8050",
            "dbServer": "db22.paymentx.be",
            "dbUserName": "root",
            "dbPassword": "*******"
          }
        }
      }
    }
  }
}
```

次のコード例は、*getTree()* メソッドを呼び出して、ノードメタデータとそのすべての子ノードを含む JSON オブジェクトを返す方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("9f12a80047352150fd6ce977746d4364")
  .query()
  .getTree(false, true);

gs.info(JSON.stringify(primarySnapshot));
```

返される結果：

```
{
  "sys_id": "62a0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
  "type": "sn_cdm_node_deployable",
  "main_id": "111673",
  "name": "Development_1",
  "node_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "main_id_encoded": "K<1",
  "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
  "status": "valid",
  "level": "2",
  "children": [
    {
      "sys_id": "2aa0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
      "type": "sn_cdm_node_folder",
      "main_id": "111674",
      "name": "vars",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "main_id_encoded": "K<2",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development/vars",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [],
      "hasParent": true
    },
    {
      "sys_id": "2ca1600047352150fd6ce977746d4391",
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "type": "sn_cdm_node_linked",
      "main_id": "111693",
      "name": "services",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "main_id_encoded": "K<G",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [
        {
          "sys_id": "2bb0e0cc47f12150fd6ce977746d43e2",
          "type": "sn_cdm_node_folder",
          "main_id": "111680",
          "name": "vars",
          "node_path": "!K<+!K</!K<7!K<8",
          "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<8",
          "main_id_encoded": "K<8",
          "node_classifier": "/application/collections/vars",
          "status": "valid",
          "level": "3",
          "children": [],
          "hasParent": true
        },
        {
          "sys_id": "ccf1640047352150fd6ce977746d438b",
          "type": "sn_cdm_node_component",
          "main_id": "111697",
          "name": "paymentComponent",
          "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K",
          "main_id_encoded": "K<K",
          "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
          "status": "valid",
          "level": "4",
          "children": [
            {
              "sys_id": "7fd064cc47f12150fd6ce977746d4372",
              "type": "sn_cdm_node_cdi",
              "main_id": "111682",
              "name": "applicationSLA",
              "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<:",
              "value": "24x7",
              "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<:",
              "main_id_encoded": "K<:",
              "node_classifier": "/application/components",
              "status": "valid",
              "level": "3",
              "children": [],
              "hasParent": true
            },
            {
              "sys_id": "44f1a40047352150fd6ce977746d43dc",
              "type": "sn_cdm_node_component",
              "main_id": "111698",
              "name": "paymentService",
              "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
              "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L",
              "main_id_encoded": "K<L",
              "node_classifier":
"/application/deployables/env:Development",
              "status": "valid",
              "level": "5",
              "children": [
                {
                  "sys_id": "8cf1a40047352150fd6ce977746d43dc",
                  "type": "sn_cdm_node_component",
                  "main_id": "111699",
                  "name": "database",
                  "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
                  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M",
                  "main_id_encoded": "K<M",
                  "node_classifier":
"/application/deployables/env:Development",
                  "status": "valid",
                  "level": "6",
                  "children": [
                    {
                      "sys_id": "b3d064cc47f12150fd6ce977746d4374",
                      "type": "sn_cdm_node_component",
                      "main_id": "111685",
                      "name": "backup",
                      "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<?",
                      "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?",
                      "main_id_encoded": "K<?",
                      "node_classifier": "/application/components",
                      "status": "valid",
                      "level": "5",
                      "children": [
                        {
                          "sys_id": "7bd064cc47f12150fd6ce977746d4374",
                          "type": "sn_cdm_node_cdi",
                          "main_id": "111686",
                          "name": "dbServer",
                          "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<?!K<@",
                          "value": "db23.paymentx.be",
                          "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<?!K<@",
                          "main_id_encoded": "K<@",
                          "node_classifier": "/application/components",
                          "status": "valid",
                          "level": "6",
                          "children": [],
                          "hasParent": true
                        }
                      ],
                      "hasParent": true
                    },
                    {
                      "sys_id": "33d064cc47f12150fd6ce977746d4375",
                      "type": "sn_cdm_node_cdi",
                      "main_id": "111687",
                      "name": "dbIpAddress",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<A",
                    "value": "10.20.40.50",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<A",
                    "main_id_encoded": "K<A",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "f7d064cc47f12150fd6ce977746d4375",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111688",
                    "name": "dbName",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<B",
                    "value": "paymentX_dev2",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<B",
                    "main_id_encoded": "K<B",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "77d064cc47f12150fd6ce977746d4376",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111690",
                    "name": "dbPort",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<D",
                    "value": "8050",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<D",
                    "main_id_encoded": "K<D",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "3fd064cc47f12150fd6ce977746d4376",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111691",
                    "name": "dbServer",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<E",
                    "value": "db22.paymentx.be",
                    "effective_path":
"!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<E",
                    "main_id_encoded": "K<E",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "f3d064cc47f12150fd6ce977746d4377",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111692",
                    "name": "dbUserName",
                    "node_path": "!K<+!K<,!K<9!K<;!K<<!K<F",
                    "value": "root",
                    "effective_path":
 "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<F",
                    "main_id_encoded": "K<F",
                    "node_classifier": "/application/components",
                    "status": "valid",
                    "level": "5",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  },
                  {
                    "sys_id": "c4f1a40047352150fd6ce977746d43dd",
                    "type": "sn_cdm_node_cdi",
                    "main_id": "111700",
                    "name": "dbPassword",
                    "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                    "secure_value":
 "###dac329a2476c6110fd6ce977746d43e1##1##w8YJ85PO5byT5YNmeG_HwQ==WrNQP3
9n-PWKFs_VXFSjr3TJsGxS1ESKpyl4PUE=##",
                    "effective_path":
 "!K<+!K<0!K<1!K<G!K<K!K<L!K<M!K<N",
                    "main_id_encoded": "K<N",
                    "node_classifier":
 "/application/deployables/env:Development",
                    "status": "valid",
                    "level": "7",
                    "masked_value": "*******",
                    "children": [],
                    "hasParent": true
                  }
                ],
                "hasParent": true
              }
            ],
            "hasParent": true
          }
        ],
        "hasParent": true
      }
    ],
    "hasParent": true
  }
]
}
```


CdmQuery - getValue (文字列フィールド名)

現在の反復ノードの結果の指定されたフィールドの値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	返されるスナップショットレコードを持つフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、 *getValue()* メソッドを使用して必要なデータを抽出する方法を示しています。

```
var cdmQuery = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
  .decryptPassword(true)
  .query();

var output = [];
  while(cdmQuery.next()) {
    var name = cdmQuery.getValue('name');
    var type = cdmQuery.getValue('type');

    if (type == 'sg_cdm_node_cdi' || type == 'sg_cdm_node_variable') {
      var value = cdmQuery.getValue('value');
      output.push(gs.getMessage("{0} : {1} [{2}]", [name, value, type]));
    } else {
      output.push(gs.getMessage("{0} [{1}]", [name, type]));
  }
}
```

戻り値:

```
[
  "test_login_service [sg_cdm_node_deployable]",
  "vars [sg_cdm_node_folder]",
  "service_password : service12345 [sg_cdm_node_variable]",
  "login_service [sg_cdm_node_linked]",
  "vars [sg_cdm_node_folder]",
  "core_component [sg_cdm_node_component]",
  "user_name : admin [sg_cdm_node_cdi]",
  "user_password : service12345 [sg_cdm_node_cdi]"
]
```

CdmQuery - includeFileMetadata()

ファイルノードのファイルメタデータ情報をフェッチするかどうかを指定できます。ファイルのメタデータには、attachment_id、file_name、content_type、およびチェックサムが含まれています。

注: メタデータは、単純でないツリーに対してのみ返されます。このタイプのデータ戻りの詳細については、「CdmQuery - getTree(ブール simpleTree, ブール prettify)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、 *CdmQuery()* API を呼び出し、ファイルのメタデータ情報を返す方法を示しています。

```
var cdmQuery = new CdmQuery()
.snapshotId("20c365a2476c6110fd6ce977746d4336")
.includeFileMetadata()
.query()
.getTree(false, true);
```

返される内容：

```
{
  "sys_id": "62a0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
  "type": "sn_cdm_node_deployable",
  "main_id": "111673",
  "name": "Development_1",
  "node_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "effective_path": "!K<+!K<0!K<1",
  "main_id_encoded": "K<1",
  "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
  "status": "valid",
  "level": "2",
  "children": [
    {
      "sys_id": "2aa0a0cc47f12150fd6ce977746d431a",
      "type": "sn_cdm_node_folder",
      "main_id": "111674",
      "name": "vars",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<2",
      "main_id_encoded": "K<2",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development/vars",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "children": [],
      "hasParent": true
    },
    {
      "sys_id": "b83eb65fffdf6110f0cfffffffffff7d",
      "type": "sn_cdm_node_file",
      "main_id": "111675",
      "name": "deploy_config.xml",
      "node_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "file:
 http://instance.servicenow.com/sys_attachment.do?sys_id=bc3eb65fffdf6110
f0ccfffffffff7d",
      "effective_path": "!K<+!K<0!K<1!K<G",
      "main_id_encoded": "V",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "status": "valid",
      "level": "3",
      "file_metadata": {
        "attachment_id": "bc3eb65fffdf6110f0ccfffffffff7d",
        "file_name": "deploy_config.xml",
        "content_type": "application/xml",
        "checksum": "UbWkF5HZOQTQ89bFrqyFBg=="
      },
      "children": [],
      "hasParent": true
    }
  ]
}
```

CdmQuery - 次の()

次のノードの結果まで反復処理し、存在する場合はそれを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
CdmQuery	利用可能な場合は、次のノードの CdmQuery オブジェクト。 使用可能な追加のノードがない場合は、null または undefined を返します。

次のコード例は、 *next()* メソッドが使用可能なノードを反復処理する方法を示しています。

```
var cdmQuery = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
  .decryptPassword(true)
  .query();

var output = [];
while(cdmQuery.next()) {
  var name = cdmQuery.getValue('name');
  var type = cdmQuery.getValue('type');
    if (type == 'sg_cdm_node_cdi' || type == 'sg_cdm_node_variable') {
      var value = cdmQuery.getValue('value');
      output.push(gs.getMessage("{0} : {1} [{2}]", [name, value, type]));
  } else {
    output.push(gs.getMessage("{0} [{1}]", [name, type]));
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される結果：

```
[
  "test_login_service [sg_cdm_node_deployable]",
  "vars [sg_cdm_node_folder]",
  "service_password : service12345 [sg_cdm_node_variable]",
  "login_service [sg_cdm_node_linked]",
  "vars [sg_cdm_node_folder]",
  "core_component [sg_cdm_node_component]",
  "user_name : username [sg_cdm_node_cdi]",
  "user_password : service12345 [sg_cdm_node_cdi]"
]
```

CdmQuery - query()

設定、入力ノード、フィルター設定に基づいて、 CDM データベースまたはキャッシュに対して指定されたクエリを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
CdmQuery	CdmQuery オブジェクトです。

次のコード例は、 *CdmQuery()* API を呼び出し、クエリする展開可能なスナップショットを指定する方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
.decryptPassword(true)
.query()
.getTree();
```

返される結果：

```
{
  "_decryptPassword": true,
  "sys_id": "d73d6666c3a27010cc0a259d7640dde7",
  "type": "sg_cdm_node_deployable",
  "main_id": "731",
  "name": "test_login_service",
  "node_path": "!1+!1/!10",
  "effective_path": "!1+!1/!10",
  "main_id_encoded": "10",
  "node_classifier": "/application/deployables/dep:test_login_service",
  "status": "valid",
  "children": [
    {
      "_decryptPassword": true,
      "sys_id": "9f3d6666c3a27010cc0a259d7640dde7",
      "type": "sg_cdm_node_folder",
      "main_id": "732",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "vars",
      "node_path": "!1+!1/!10!11",
      "effective_path": "!1+!1/!10!11",
      "main_id_encoded": "11",
      "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service/vars",
      "status": "valid",
      "children": [
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "49dd2e66c3a27010cc0a259d7640ddf9",
          "type": "sg_cdm_node_variable",
          "main_id": "741",
          "name": "service_password",
          "node_path": "!1+!1/!10!11!1:",
          "value": "service12345",
          "effective_path": "!1+!1/!10!11!1:",
          "main_id_encoded": "1:",
          "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service/vars",
          "status": "valid",
          "children": [],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    },
    {
      "_decryptPassword": true,
      "sys_id": "26bd2e66c3a27010cc0a259d7640dd74",
      "type": "sg_cdm_node_linked",
      "main_id": "740",
      "name": "login_service",
      "node_path": "!1+!1/!10!19",
      "effective_path": "!1+!1/!10!19",
      "main_id_encoded": "19",
      "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service",
      "status": "valid",
      "children": [
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "eeadea66c3a27010cc0a259d7640dd8c",
          "type": "sg_cdm_node_folder",
          "main_id": "738",
          "name": "vars",
          "node_path": "!1+!1.!16!17",
          "effective_path": "!1+!1/!10!19!17",
          "main_id_encoded": "17",
          "node_classifier": "/application/collections/vars",
          "status": "valid",
          "children": [],
          "hasParent": true
        },
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "da1f22e6c3a27010cc0a259d7640dda2",
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "type": "sg_cdm_node_component",
          "main_id": "742",
          "name": "core_component",
          "node_path": "!1+!1/!10!19!1;",
          "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;",
          "main_id_encoded": "1;",
          "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service",
          "status": "valid",
          "children": [
            {
              "_decryptPassword": true,
              "sys_id": "921f22e6c3a27010cc0a259d7640dda3",
              "type": "sg_cdm_node_cdi",
              "main_id": "743",
              "name": "user_name",
              "node_path": "!1+!1/!10!19!1;!1<",
              "value": "admin",
              "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;!1<",
              "main_id_encoded": "1<",
              "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service",
              "status": "valid",
              "children": [],
              "hasParent": true
            },
            {
              "_decryptPassword": true,
              "sys_id": "5a1f22e6c3a27010cc0a259d7640dda3",
              "type": "sg_cdm_node_cdi",
              "main_id": "744",
              "name": "user_password",
              "node_path": "!1+!1/!10!19!1;!1?",
              "value": "service12345",
              "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;!1?",
              "main_id_encoded": "1?",
              "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service",
              "status": "valid",
              "children": [],
              "hasParent": true
            }
          ],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    }
  ],
  "hasParent": false
}
```


CdmQuery - snapshotId(文字列 **snapshotSysID)**

入力ノードを指定します。*CdmQuery* API は、そのクエリをエントリ ノードとその子孫ノードに制限します。このメソッドの呼び出しは必須です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スナップショット SysID	文字列	クエリする展開可能スナップショットのSys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 内部的には、変更セットのsys_idと展開可能なノードのsys_idを設定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、 *CdmQuery()* API を呼び出し、クエリする展開可能なスナップショットを指定する方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
.decryptPassword(true)
.query()
.getTree();
```

返される結果：

```
{
  "_decryptPassword": true,
  "sys_id": "d73d6666c3a27010cc0a259d7640dde7",
  "type": "sg_cdm_node_deployable",
  "main_id": "731",
  "name": "test_login_service",
  "node_path": "!1+!1/!10",
  "effective_path": "!1+!1/!10",
  "main_id_encoded": "10",
  "node_classifier": "/application/deployables/dep:test_login_service",
  "status": "valid",
  "children": [
    {
      "_decryptPassword": true,
      "sys_id": "9f3d6666c3a27010cc0a259d7640dde7",
      "type": "sg_cdm_node_folder",
      "main_id": "732",
      "name": "vars",
      "node_path": "!1+!1/!10!11",
      "effective_path": "!1+!1/!10!11",
      "main_id_encoded": "11",
      "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service/vars",
      "status": "valid",
      "children": [
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "49dd2e66c3a27010cc0a259d7640ddf9",
          "type": "sg_cdm_node_variable",
          "main_id": "741",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "service_password",
          "node_path": "!1+!1/!10!11!1:",
          "value": "service12345",
          "effective_path": "!1+!1/!10!11!1:",
          "main_id_encoded": "1:",
          "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service/vars",
          "status": "valid",
          "children": [],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    },
    {
      "_decryptPassword": true,
      "sys_id": "26bd2e66c3a27010cc0a259d7640dd74",
      "type": "sg_cdm_node_linked",
      "main_id": "740",
      "name": "login_service",
      "node_path": "!1+!1/!10!19",
      "effective_path": "!1+!1/!10!19",
      "main_id_encoded": "19",
      "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service",
      "status": "valid",
      "children": [
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "eeadea66c3a27010cc0a259d7640dd8c",
          "type": "sg_cdm_node_folder",
          "main_id": "738",
          "name": "vars",
          "node_path": "!1+!1.!16!17",
          "effective_path": "!1+!1/!10!19!17",
          "main_id_encoded": "17",
          "node_classifier": "/application/collections/vars",
          "status": "valid",
          "children": [],
          "hasParent": true
        },
        {
          "_decryptPassword": true,
          "sys_id": "da1f22e6c3a27010cc0a259d7640dda2",
          "type": "sg_cdm_node_component",
          "main_id": "742",
          "name": "core_component",
          "node_path": "!1+!1/!10!19!1;",
          "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;",
          "main_id_encoded": "1;",
          "node_classifier":
"/application/deployables/dep:test_login_service",
          "status": "valid",
          "children": [
            {
              "_decryptPassword": true,
              "sys_id": "921f22e6c3a27010cc0a259d7640dda3",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
              "type": "sg_cdm_node_cdi",
              "main_id": "743",
              "name": "user_name",
              "node_path": "!1+!1/!10!19!1;!1<",
              "value": "admin",
              "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;!1<",
              "main_id_encoded": "1<",
              "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service",
              "status": "valid",
              "children": [],
              "hasParent": true
            },
            {
              "_decryptPassword": true,
              "sys_id": "5a1f22e6c3a27010cc0a259d7640dda3",
              "type": "sg_cdm_node_cdi",
              "main_id": "744",
              "name": "user_password",
              "node_path": "!1+!1/!10!19!1;!1?",
              "value": "service12345",
              "effective_path": "!1+!1/!10!19!1;!1?",
              "main_id_encoded": "1?",
              "node_classifier":
 "/application/deployables/dep:test_login_service",
              "status": "valid",
              "children": [],
              "hasParent": true
            }
          ],
          "hasParent": true
        }
      ],
      "hasParent": true
    }
  ],
  "hasParent": false
}
```


CdmQuery - substituteVariable(ブール値置換)

構成データ項目 (CDI) ノードの変数参照を参照先の変数ノードの値に置き換えるかどうかを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
代える	ブーリアン	オプション。CDI ノードの変数参照を参照先の変数ノードの値に置き換えるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:CDI ノードの変数参照を参照先の変数ノードの値に置き換えます。 • false:CDI ノードの変数参照を参照先の変数ノードの値に置き換えません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、CDI ノードで変数参照の置換をオフにする方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("20c365a2476c6110fd6ce977746d4336")
.substituteVariable(false)
.query()
.getTree(true, true);

gs.info(primarySnapshot);
```

返される結果の例：

```
{
  "paymentService-V1.1": {
    "featureToggles": {
      "paymentRefund": "enabled",
      "myPreferredPaymentMethods": "enabled",
      "invoicePrinting": "enabled",
      "payOnDelivery": "disabled",
      "payByVoucher": "enabled"
    },
    "vars": {
      "paymentService": {
        "database": {
          "dbName": "paymentX_dev2",
          "dbUserName": "root",
          "dbPassword": "admin123",
          "dbServer": "db22.paymentx.be",
          "dbPort": "8050",
          "dbIpAddress": "10.20.40.50",
          "backup": {
            "dbServer": "db23.paymentx.be"
          }
        }
      },
      "applicationSLA": "24x7"
    },
    "settings": {
      "merchantId": "10334",
      "paymentMethods": "1,3,5,6",
      "allowed.billing.countries": "74,76,88,136,139,176,197",
      "creditcards.cacf.type.ids": "43,44,45,46,48,49,50",
      "creditcards.oney.type.ids": "33,34,35",
      "included.availabilityids": "999",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "included.warrantiestypeids.cacf":
 "19002,19005,19006,19009,19010,19011,19014,19016",
      "dbIPAddress": "@@paymentService/database/dbIpAddress@@",
      "dbPort": "@@paymentService/database/dbPort@@",
      "dbConnectionString":
 "@@paymentService/database/dbUserName@@:@@paymentService/database/dbPass
word@@
 @@paymentService/database/dbServer@@:@@paymentService/database/dbPort@@
 @@paymentService/database/dbName@@",
      "dbConnectionStringBackup":
 "@@paymentService/database/dbUserName@@:@@paymentService/database/dbPass
word@@ @@paymentService/database/backup/dbServer@@
 @@paymentService/database/dbName@@",
      "paypal": "enabled",
      "applePay": "disabled",
      "ogone": "enabled"
    }
  }
}
```

次のコード例は、CDI ノードの変数参照の置換と、同じレコードに関連する戻り結果をオンにする方法を示しています。

```
var primarySnapshot = new sn_cdm.CdmQuery()
.snapshotId("20c365a2476c6110fd6ce977746d4336")
.substituteVariable(true)
.query()
.getTree(false, true);

gs.info(primarySnapshot);
```

返される結果の例：

```
{
  "paymentService-V1.1": {
    "featureToggles": {
      "paymentRefund": "enabled",
      "myPreferredPaymentMethods": "enabled",
      "invoicePrinting": "enabled",
      "payOnDelivery": "disabled",
      "payByVoucher": "enabled"
    },
    "vars": {
      "paymentService": {
        "database": {
          "dbName": "paymentX_dev2",
          "dbUserName": "root",
          "dbPassword": "admin123",
          "dbServer": "db22.paymentx.be",
          "dbPort": "8050",
          "dbIpAddress": "10.20.40.50",
          "backup": {
            "dbServer": "db23.paymentx.be"
          }
        }
      },
      "applicationSLA": "24x7"
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "settings": {
      "merchantId": "10334",
      "paymentMethods": "1,3,5,6",
      "allowed.billing.countries": "74,76,88,136,139,176,197",
      "creditcards.cacf.type.ids": "43,44,45,46,48,49,50",
      "creditcards.oney.type.ids": "33,34,35",
      "included.availabilityids": "999",
      "included.warrantiestypeids.cacf":
 "19002,19005,19006,19009,19010,19011,19014,19016",
      "dbIPAddress": "10.20.40.50",
      "dbPort": "8050",
      "dbConnectionString": "root:admin123 db22.paymentx.be:8050
 paymentX_dev2",
      "dbConnectionStringBackup": "root:admin123 db23.paymentx.be
 paymentX_dev2",
      "paypal": "enabled",
      "applePay": "disabled",
      "ogone": "enabled"
    }
  }
}
```

CdmQuery - useCache(ブール useCache)

データベースにクエリを実行する代わりに、キャッシュからデータを取得するかどうかを指定できます。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
useCache	ブーリアン	オプション。データベースに対してクエリを実行する代わりに、キャッシュからデータを取得するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:キャッシュからデータを取得します。 • false:データベースにクエリを実行してデータを取得します。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、データの取得にキャッシュの使用をオフにする方法を示しています。

```
var cdmQuery = new sn_cdm.CdmQuery()
  .snapshotId("1a2fe2e6c3a27010cc0a259d7640dd59")
  .decryptPassword(true)
  .useCache(false)
  .query();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cell - スコープ付き、グローバル

Cell オブジェクトをテーブルのセルとして作成します。この API を使用して、セルを書式設定し、パラグラフや画像などの追加ブロックを含めることができます。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

Cell - Cell(数値 rowspan, 数値 colspan)

新しい *Cell* オブジェクトをインスタンス化します。テーブル内でカスタムサイズのセルスペースを占有するセルを作成します。

注: いずれかのパラメーターに負の数を指定すると、値は 1 に設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rowspan	番号	このセルが占有する行数。 デフォルト：0
colspan	番号	このセルが占有する列数。 デフォルト：0

次の例は、1 行 1 列の *Cell* オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);
```

Cell – addImage(画像 image)

テーブルセルに画像を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
image	画像	テーブルセルに追加する画像。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存の画像の添付ファイルをインスタンス化してテーブル内のセルに追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);

var image = new Image("<attachment_sys_id>");

cell.addImage(image);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cell – addParagraph(パラグラフ paragraph)

テーブルセルにテキストを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paragraph	パラグラフ	テーブルセルに追加するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフオブジェクトをインスタンス化し、テーブルにコンテンツセルを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);
var para = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text.");
cell.addParagraph(para);
```

Cell – addStyle(スタイル style)

テーブルセルに、事前定義されたスタイルを適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	スタイル	この要素に適用するスタイル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、テーブルセルにスタイルを適用する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
style.setBold();

cell.addStyle(style);
```

Cell – addTable(テーブル table)

セルにテーブルを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル	テーブル	セルに追加するテーブル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、テーブルオブジェクトをインスタンス化してセルに追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);

var columnWidths = [100, 50, 50];

var table = new Table(columnWidths, false);

cell.addTable(table);
```

Cell – getColumn()

セルが配置されている列の番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	セルの列位置の番号。

次の例は、セルの列位置の番号を取得する方法を示しています。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);

var columnWidths = [100, 50, 50];

var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, columnWidths, false);

table.addCell(cell);

var colNum = cell.getColumn();

gs.info("The column position for cell is " + colNum);
```

出力：

```
The column position for cell is 1
```

Cell – getRow()

セルが配置されている行の番号を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	セルの行位置の番号。

次の例は、セルの行位置の番号を取得する方法を示しています。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);

var rowWidths = [100, 50, 50];

var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, rowWidths, false);

table.addCell(cell);

var rowNum = cell.getRow();

gs.info("The row position for cell is " + rowNum);
```

出力：

```
The row position for cell is 4927
```

Cell – setBackGroundColor(色 color)

セルの背景色を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	Color	背景色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの背景色を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1, 0.9, 0.9]); // provided as
 array of RGB float values

cell.setBackGroundColor(color);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cell – setBorder(数値 width)

セルの 4 つのエッジすべてに境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、1 ポイントのセル境界線をセルの 4 つのエッジすべてに設定する方法を示しています。ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1.0;

cell.setBorder(width);
```

Cell – setBorderBottom(数値 width)

セルの下側の境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1.0;

cell.setBorder(width);
```

Cell – setBorderLeft(数値 width)

セルの左側の境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの左側の境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1.0;

cell.setLeftBorder(width);
```

Cell – setBorderRight(数値 width)

セルの右側の境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの右側の境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1.0;

cell.setRightBorder(width);
```

Cell – setBorderTop(数値 width)

セルの上側の境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの上側の境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1.0;

cell.setBorderTop(width);
```

Cell – setColoredBorder(色 color, 数値 width)

セルの 4 つのエッジすべてに色付きの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	セルの境界色。
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルに色付きの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var width = 1.0;

cell.setColoredBorder(borderColor, width);
```

Cell – setColoredBorderBottom(色 color, 数値 width)

セルの下側に色付きの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	セルの境界色。
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの下側に色付きの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var width = 1.0;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
cell.setColoredBorderBottom(borderColor, width);
```

Cell – setColoredBorderLeft(色 color, 数値 width)

セルの左側に色付きの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	セルの境界色。
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの左側に色付きの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var width = 1.0;

cell.setColoredBorderLeft(borderColor, width);
```

Cell – setColoredBorderRight(色 color, 数値 width)

セルの右側に色付きの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	セルの境界色。
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの右側に色付きの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var width = 1.0;

cell.setColoredBorderRight(borderColor, width);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cell – setColoredBorderTop(色 color, 数値 width)

セルの上側に色付きの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	セルの境界色。
width	番号	セルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの上側に色付きの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var width = 1.0;

cell.setColoredBorderTop(borderColor, width);
```

Cell – setHeight(数値 height)

セルの高さを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	番号	セルの高さ (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの高さを 10 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var height = 10;

cell.setHeight(height);
```

Cell – setHorizontalAlignment(文字列 alignment)

このセルの水平配置を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	水平配置設定。 有効な値： • center：コンテンツを中央に配置します。 • left：コンテンツを左に配置します。 • right：コンテンツを右に配置します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの水平配置を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var alignment = "center";

cell.setHorizontalAlignment(alignment);
```

Cell – setMaxHeight(数値 value)

セルの最大高さを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	番号	セルの最大高さ (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの最大高さを 409 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var height = 409;

cell.setMaxHeight(height);
```

Cell – setMaxWidth(浮動小数点数 value)

セルの最大幅を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	番号	セルの最大幅 (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの最大幅を 1530 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 1530;

cell.setMaxWidth(width);
```

Cell – setMinHeight(数値 value)

セルの最小高さを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	番号	セルの最小高さ (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの最小高さを 12.75 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var height = 12.75;

cell.setMinHeight(height);
```

Cell – setMinWidth(数値 value)

セルの最小幅を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	番号	セルの最小幅 (単位：ポイント)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの最小幅を 50.58 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var width = 50.58;

cell.setMinWidth(width);
```

Cell – setOpacity(数値 opacity)

セルのコンテンツ、境界線、および背景の不透明度を設定します。

注: この設定は、セルのすべての子要素に影響します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
opacity	番号	0 ～ 1 の浮動小数点値。0 は透明で、1 は完全に不透明です。 デフォルト：0

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの不透明度を設定する方法を示しています。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var opacity = 0.5;

cell.setOpacity(opacity);
```

Cell – setPadding(数値 padding)

セルの 4 辺すべてのパディングを同じ幅に設定します。

関連項目：

- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()
- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、最下部のセルを 1 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var padding = 1.0;

cell.setPadding(padding);
```

Cell – setPaddingBottom(数値 padding)

セルの下パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingLeft()
- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの下部パディングを 1 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var padding = 1.0;

cell.setPaddingBottom(padding);
```

Cell – setPaddingLeft(数値 padding)

セルの左パディング幅の値を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの左パディングを 1 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var padding = 1.0;

cell.setPaddingLeft(padding);
```

Cell – setPaddingRight(数値 **padding)**

セルの右パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの右パディングを 1 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var padding = 1.0;

cell.setPaddingRight(padding);
```

Cell – setPaddingTop(数値 padding)

セルの上パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()
- setPaddingRight()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの上パディングを 1 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var padding = 1.0;

cell.setPaddingTop(padding);
```

Cell – setTextAlignment(文字列 alignment)

このセルのテキスト配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	テキストの位置調整。 有効な値： • text-center：テキストを中央揃えにします。 • text-justified：文字間のスペースを変更して、左側と右側の間をテキストで完全に埋めます。最後の行は左揃えで表示されます。 • text- Justified-all：最後の行を含むテキストの配置を調整します。 • text-left：テキストを左揃えにします。 • text-right：テキストを右揃えにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルテキストを左揃えに設定する方法を示しています。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var alignment = "text-left";

cell.setTextAlignment(alignment);
```

Cell – setVerticalAlignment(文字列 alignment)

このセルの垂直配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	垂直配置設定。 有効な値： • bottom：コンテンツを下揃えにします。 • center：コンテンツを中央揃えにします。 • top：コンテンツを上揃えにします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、セルの垂直配置を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var cell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 3);

var alignment = "mid";

cell.setVerticalAlignment(alignment);
```

CertificateEncryption - スコープ指定

CertificateEncryption API は、スコープ対象のアプリケーションで証明書を暗号化するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドを使用して、証明書のハッシュを生成し、秘密鍵を使用してデータに署名し、メッセージ認証コードを生成します。

CertificateEncryption - CertificateEncryption()

スコープ対象のアプリケーションで CertificateEncryption オブジェクトをインスタンス化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

CertificateEncryption - generateMac(文字列 **key**, 文字列 **algorithm**, 文字列 **data)**

メッセージの認証に使用されるメッセージ認証コード (MAC) を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	メッセージへの署名に使用するキーです。Base64 でエンコードする必要があります。
アルゴリズム	文字列	MAC の生成に使用するアルゴリズムです (HmacSHA256、HmacSHA1、HmacMD5)。
データ	文字列	処理するデータです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式の MAC

この例は、data として sample_key を使用し、algorithm として HmacSHA256 を使用する方法を示しています。

```
var mac = new CertificateEncryption;
var key = "sample_key";
key = gs.base64Encode(key);
mac.generateMac(key, "HmacSHA256", "sample_data");
```

CertificateEncryption - getThumbPrint(文字列 **certificateID**, 文字列 **algorithm)**

信頼できるストア証明書からの証明書のハッシュ (SHA-1、SHA-256 など) を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id です。
アルゴリズム	文字列	ハッシュの作成に使用するアルゴリズムです (SHA-1、SHA-256 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式のサムプリント

この例は、AzureAAD 証明書のサムプリント (ハッシュ) を生成する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Create a GlideRecord to the certificate table
var x509GR = new GlideRecord('sys_certificate');

//If there is a certificate of a name of AzureAAD, get the certificate
 thumbprint
if(x509GR.get('name', 'AzureAAD')){

//Use the sys_id and algorithm we want to create a thumbprint
var thumbPrint =
 CertificateEncryption.getThumbPrint(x509GR.getUniqueValue(), "SHA-1");

//Print the created thumbprint
gs.print("Thumbprint for " + x509GR.getDisplayValue() + " is " +
 thumbPrint);
}
```

出力:

```
V1X+aguDBTZVVbWMGTXxdzJLmaY=
```

CertificateEncryption - getThumbPrintFromKeyStore(文字列 **certificateID**, 文字列 **alias**, 文字列 **algorithm)**

キーストア エントリから証明書のハッシュ (SHA-1、SHA-256など) を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id です。
エイリアス	文字列	証明書のエイリアス名
アルゴリズム	文字列	ハッシュの作成に使用するアルゴリズムです (SHA-1、SHA-256 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式のサムプリント

CertificateEncryption - sign(文字列 **certificateID**, 文字列 **alias**, 文字列 **aliaspassword**, 文字列 **algorithm**, 文字列 **datatosign)**

秘密鍵と指定されたアルゴリズムを使用してデータに署名します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id
エイリアス	文字列	秘密キー名
aliaspassword	文字列	秘密キーのパスワード

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
アルゴリズム	文字列	使用するアルゴリズムです。次のいずれかの値を使用する必要があります。 • NONEwithRSA • MD2withRSA • MD5withRSA • SHA1withRSA • SHA224withRSA • SHA256withRSA • SHA384withRSA • SHA512withRSA • NONEwithDSA • SHA1withDSA • SHA224withDSA • SHA256withDSA • NONEwithECDSA • SHA1withECDSA • SHA224withECDSA • SHA256withECDSA • SHA384withECDSA • SHA512withECDSA
datatosign	文字列	署名するデータ

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式で署名されたデータ

```
var ce = new CertificateEncryption;
ce.sign("recordID", "alias", "password", "SHA1withRSA", "sign this
 data");
```

ChangeCollisionHelper - グローバル

ChangeCollisionHelper スクリプトインクルードは、変更管理 - 衝突の検出 (com.snc.change.collision) プラグインにあるヘルパーメソッドを提供します。

これらのメソッドは、サーバーサイドスクリプトで使用するか、クライアントで Ajax 呼び出しを使用する場合に使用します。これらの方法を使用するには、「変更管理 - 衝突の検出」プラグインがインストールされている必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ChangeCollisionHelper - addCiToChangeAffectedCis(文字列 **ci**, 文字列 **changeId)**

変更の影響を受ける CI リストに CI を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id
changeId	文字列	変更レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

ChangeCollisionHelper - getAffectedCisByChangeId(文字列 **changeId)**

指定された変更の影響を受ける CI sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
changeId	文字列	変更レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
アレイ	影響を受ける CI の sys_id のアレイ

ChangeCollisionHelper - getBlackoutsByDate(GlideDateTime startDate, GlideDateTime endDate)

startDate と endDate で定義された期間と重複するブラックアウトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	GlideDateTime	開始日
endDate	GlideDateTime	終了日

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ブラックアウトのアレイ (blackoutId:stringSpan)

ChangeCollisionHelper - getChangesWithAffectedCi(文字列 **ci**, **GlideDateTime startDate**, **GlideDateTime endDate)**

影響を受けた CI リストで指定された CI を持つ (startDateとendDateで定義される) タイムスパンでスケジュールされた変更を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id
startDate	GlideDateTime	開始日
endDate	GlideDateTime	タイムスパンの終了日

返される内容

タイプ	説明
アレイ	変更レコードの sys_id のアレイ

ChangeCollisionHelper - getChangesWithCi(文字列 **ci**, **GlideDateTime startDate**, **GlideDateTime endDate)**

タイムスパン (startDate、endDate) 内にあり、指定された CI にリンクされている変更を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id
startDate	GlideDateTime	開始日
endDate	GlideDateTime	タイムスパンの終了日

返される内容

タイプ	説明
アレイ	変更レコードの sys_id の配列

ChangeCollisionHelper - getCiMaintenanceSchedule(文字列 **ci)**

CI のメンテナンス スケジュールを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

ChangeCollisionHelper - getDependants(文字列 **ci)**

指定された CI に依存するすべての CI を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id

返される内容

タイプ	説明
アレイ	CI のアレイ

ChangeCollisionHelper - getDependencies(文字列 **ci)**

指定された CI が依存するすべての CI を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id

返される内容

タイプ	説明
アレイ	CI のアレイ

ChangeCollisionHelper - isCiInAffectedCis(文字列 **ci**, 文字列 **changeId)**

変更の影響を受ける CI リストに CI が既に含まれているかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ci	文字列	構成アイテムの sys_id
changeId	文字列	変更レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	変更の影響を受ける CI リストに CI が既に含まれている場合は true です。

ChangeCollisionHelper - isDateInCiMaintenanceWindows(GlideDateTime startDate, GlideDateTime endDate, 文字列 **maintenanceWindow)**

startDate および endDate で定義されたタイムスパンが CI のメンテナンス期間内にあるかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	GlideDateTime	開始日

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
endDate	GlideDateTime	終了日
maintenanceWindow	文字列	構成アイテムの sys_id

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	タイムスパンが CI のメンテナンス期間内にある場合は true

ChangeSuccess - スコープ付き

ChangeSuccess スクリプトインクルードは、変更要求 (グループに基づく元の変更の成功スコア)、変更モデル、および変更タイプのパフォーマンスアナリティクス (PA) 成功スコアを返すメソッドを提供します。

また、このスクリプトインクルードにはヘルパーメソッドも用意されており、*getScoresForChange()* メソッドの戻り値を変更できます。このメソッドはデフォルトで 3 つの成功スコアをすべて返します。これらのヘルパーメソッドを使用して、いずれかの成功スコアを返すかどうかを決定できます。これらのヘルパーメソッドを使用すると、成功スコアを返すメソッドで、さまざまなタイプのスコアの生成に使用される成功スコア評価または PA インジケーターを、返される結果に含めることもできます。さらに、関連メソッドが各メソッドでデフォルトで実行されるアクセス権のセキュリティチェックをバイパスするように要求できます。

ヘルパーメソッドをプライマリメソッドに関連付けるには、次のようなドット表記を使用します。

```
new sn_chg_score.ChangeSuccess().withTeamScore(false).withTypeScore(false).withSecurity(fal
```

```
new sn_chg_score.ChangeSuccess().withRatings().withIndicatorScores().getTeamScoreForGroupId
```

また、com.snc.change_management.success_score.minimum_score、com.snc.change_management.success_s など、特定の 変更管理 システムプロパティの現在の値を取得できるメソッドもあります。機能の説明については、「変更管理プロパティ」を参照してください。

この API は `sn_chg_score` 名前空間で実行します。Change Management - 変更の成功スコア (com.snc.change_management.change_success_score) プラグインを有効にする必要があります。

ChangeSuccess - getEntryLevelTeamScore()

システムプロパティ com.snc.change_management.success_score.entry_level_score で指定された値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
番号	com.snc.change_management.success_score.entry_level_score の現在の値。このシステムプロパティが存在しない場合、メソッドは成功スコアの計算にデフォルト値の 500 を使用します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
gs.info(new sn_chg_score.ChangeSuccess().getEntryLevelTeamScore());
```

返される結果：

```
500
```

ChangeSuccess - getMaximumPermittedTeamScore()

システムプロパティ com.snc.change_management.success_score.maximum_score で指定された値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	com.snc.change_management.success_score.maximum_score の現在の値。 このシステムプロパティが存在しない場合、メソッドは成功スコアの計算にデフォルト値の 850 を使用します。

このコード例は、許容される最大チームスコア (com.snc.change_management.success_score.maximum_score) 値を取得する方法を示しています。

```
gs.info(new sn_chg_score.ChangeSuccess().getMaximumPermittedTeamScore());
```

返される結果：

```
850
```

ChangeSuccess - getMinimumPermittedTeamScore()

システムプロパティ com.snc.change_management.success_score.minimum_score で指定された値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	com.snc.change_management.success_score.minimum_score の現在の値。 このシステムプロパティが存在しない場合、メソッドは成功スコアの計算にデフォルト値の 0 を使用します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
gs.info(new sn_chg_score.ChangeSuccess().getMinimumPermittedTeamScore());
```

返される結果：

```
0
```

ChangeSuccess - getModelScoreForChange(オブジェクト **chgGr)**

指定された変更要求 GlideRecord に基づいた最新のモデルの成功スコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
chgGr	オブジェクト	モデルの成功スコアを返す対象の変更要求 GlideRecord。

返される内容

要素	説明
can_read	指定された変更要求のモデル成功スコアを取得できたかどう 有効な値： • true：モデル成功スコアが取得されました。 • false：モデル成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

chg_model	指定された変更要求によって参照される変更モデル [chg_m
	各オブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、valu
	す。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユー
	HH24:MM:SS のdisplay_value_internalプロパティも返しま
	`"chg_model": {`
	`"active": {Object},`
	`"advanced_security": {Object},`
	`"available_in_ui": {Object},`
	`"color": {Object},`
	`"default_change_model": {Object},`
	`"description": {Object},`
	`"implementation_states": {Object},`
	`"name": {Object},`
	`"read_roles": {Object},`
	`"record_preset": {Object},`
	`"state_field": {Object},`
	`"sys_class_name": {Object},`
	`"sys_created_by": {Object},`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	<pre>"sys_created_on": {Object},
	"sys_domain": {Object},
	"sys_domain_path": {Object},
	"sys_id": {Object},
	"sys_mod_count": {Object},
	"sys_name": {Object},
	"sys_tags": {Object},
	"sys_updated_by": {Object},
	"sys_updated_name": {Object},
	"sys_updated_on": {Object},
	"table_name": {Object},
	"write_roles": {Object}
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

chg_model.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内
	
	有効な値：
	• true：変更モデルはアクティブです。
	• false：変更モデルはアクティブではありません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"active": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

chg_model.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

chg_model.advanced_security	この変更モデルに対して、ロールベースのセキュリティに加
	かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：高度なセキュリティが使用されます。
	• false：高度なセキュリティは使用されません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"advanced_security": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

chg_model.advanced_security.display_value	advanced_security フラグの値を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
chg_model.advanced_security.value	advanced_security フラグの内部値。 データタイプ：ブール

chg_model.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内
	有効な値：
	• true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用でき
	• false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用でき
	データタイプ：オブジェクト
	`"available_in_ui": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": Boolean`
	`}`

chg_model.available_in_ui.display_value	available_in_ui フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.available_in_ui.value	available_in_ui フラグの値。 データタイプ：ブール

chg_model.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。
	データタイプ：オブジェクト
	`"color": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかど 可能な値： • true：デフォルトです。 • false：デフォルトではありません データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	<pre>"default_change_model": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

chg_model.default_change_model.display_value	デフォルトの変更モデルフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.default_change_model.value	デフォルトの変更モデルフラグの内部値。 データタイプ：ブール

chg_model.description	変更モデルの目的の簡単な説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_model.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.implementation_states	このモデルを使用して変更要求を実装できるステータスの s
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"implementation_states": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_model.implementation_states.display_value	read_roles の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.implementation_states.value	read_roles の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.name	変更モデルの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"name": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
chg_model.name.display_value	名前の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.read_roles	変更モデルレコードを読み込むために必要なセキュリティロ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"read_roles": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.read_roles.display_value	read_roles の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.read_roles.value	read_roles の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられ
	ア。値はキャレット記号で区切られます。
	
	例：
	
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f2002`
	`Change^EQ"`
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"record_preset": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.record_preset.display_value	record_preset の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.record_preset.value	record_preset の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.state_field	*table_name* で指定された値に基づいて選択肢を収集する
	「state」に設定されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"state_field": {`
	`  "display_value": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

chg_model.state_field.display_value	state_field の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.state_field.value	state_field の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_class_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザー
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_by": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_model.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_on": {
	"display_value": "String",
	"display_value_internal": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
chg_model.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュ データタイプ：オブジェクト `"sys_domain": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けら データタイプ：オブジェクト `"sys_domain_path": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_domain_path.display_value	sys_domain_path の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain_path.value	sys_domain_path の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。 データタイプ：オブジェクト `"sys_id": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_id.display_value	sys_id の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
chg_model.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_mod_count": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": Number`
	`}`

chg_model.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

chg_model.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_name": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_tags	変更モデルレコードに関連付けられたシステムタグ。
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_tags": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_tags.value	sys_tags の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル 定されます。 データタイプ：オブジェクト `"table_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.table_name.display_value	table_name の表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
chg_model.table_name.value	table_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.write_roles	変更モデルレコードを書き込むために必要なセキュリティロ
	データタイプ：オブジェクト
	`"write_roles": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.write_roles.display_value	write_roles の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.write_roles.value	write_roles の内部値。 データタイプ：文字列

score	返されたスコアインジケーターの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"score": {`
	`  "delta": {Object},`
	`  "display_value": "String",`
	`  "has_score": Boolean,`
	`  "indicator": {Object},`
	`  "value": Number`
	`}`

score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	データタイプ：オブジェクト
	`"delta": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示 データタイプ：文字列
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのそ データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの s データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

このコード例は、現在の変更モデル GlideRecord の最新のモデルの成功スコアを取得し、ユーザーがその変更モデルへの読み取りアクセス権を持っているかどうかを確認し、読み取りアクセス権を持っている場合に成功スコア値が 50% 未満であれば作業メモに入力する方法を示しています。

```
var changeModelSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getModelScoreForChange(current);

gs.info(JSON.stringify(changeModelSuccess,null,2));

if (changeModelSuccess.can_read && changeModelSuccess.score.has_score &&
 changeModelSuccess.score.value < 50) {
   chgGr.work_notes.setJournalEntry("The selected Change Model of
 \"" + changeModelSuccess.chg_model.name.display_value + "\" has
 a success rate of less than 50% (current success rate is: " +
 changeModelSuccess.score.display_value + "%).\nConsider using a
 different Model or adding additional approvers or discuss with your
 Change Manager.");
   chgGr.update();
}
```

このメソッドを呼び出したときに返される結果の例：

```
{
  "can_read": true,
  "chg_model": {
    "color": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "default_change_model": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "description": {
      "display_value": "This model can be used to capture unauthorized
change events that were detected.",
      "value": "This model can be used to capture unauthorized change
events that were detected."
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-10-21 11:10:57",
      "value": "2020-10-21 10:10:57",
      "display_value_internal": "2020-10-21 11:10:57"
    },
    "table_name": {
      "display_value": "change_request",
      "value": "change_request"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Model",
      "value": "chg_model"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296",
      "value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "write_roles": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-10-02 14:50:20",
      "value": "2020-10-02 13:50:20",
      "display_value_internal": "2020-10-02 14:50:20"
    },
    "read_roles": {
      "display_value": "itil,sn_change_read",
      "value": "itil,sn_change_read"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Unauthorized Change",
      "value": "Unauthorized Change"
    },
    "advanced_security": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "admin"
    },
    "record_preset": {
      "display_value": "type=emergency^short_description=An unauthorized
 change has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ",
      "value": "type=emergency^short_description=An unauthorized change
 has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ"
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "9",
      "value": 9
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "available_in_ui": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "state_field": {
      "display_value": "state",
      "value": "state"
    },
    "name": {
      "display_value": "Unauthorized Change",
      "value": "Unauthorized Change"
    },
    "implementation_states": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    }
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change Model: % Successful and Successful With Issues",
      "sys_id": "604f98dfc302011005aea539e540dd75"
    },
    "value": 76.92307692307693,
    "display_value": "76.92",
    "delta": {
      "value": "0",
      "display_value": ""
    },
    "has_score": true
  }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ChangeSuccess - getModelScoreForModelId(文字列 **sys_id**, 文字列 **domain_id)**

指定されたモデルの sys_id について最新のモデルの成功スコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	モデルの成功スコアを返す対象のグループの sys_id。これはユーザーグループ [sys_user_group] テーブルにあります。
domain_id	文字列	オプション。モデルの成功スコアについて パフォーマンスアナリティクス でクエリを実行するときに使用するドメインの sys_id。

返される内容

要素	説明
can_read	指定された変更要求のモデル成功スコアを取得できたかどう 有効な値： • true：モデル成功スコアが取得されました。 • false：モデル成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール
chg_model	指定された変更要求によって参照される変更モデル [chg_m 各オブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、valu す。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユー HH24:MM:SS のdisplay_value_internalプロパティも返しま

```
"chg_model": {
  "active": {Object},
  "advanced_security": {Object},
  "available_in_ui": {Object},
  "color": {Object},
  "default_change_model": {Object},
  "description": {Object},
  "implementation_states": {Object},
  "name": {Object},
  "read_roles": {Object},
  "record_preset": {Object},
  "state_field": {Object},
  "sys_class_name": {Object},
  "sys_created_by": {Object},
  "sys_created_on": {Object},
  "sys_domain": {Object},
  "sys_domain_path": {Object},
  "sys_id": {Object},
  "sys_mod_count": {Object},
  "sys_name": {Object},
  "sys_tags": {Object},
  "sys_updated_by": {Object},
  "sys_updated_name": {Object},
  "sys_updated_on": {Object},
  "table_name": {Object},
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	<pre> "write_roles": {Object} }</pre> データタイプ: オブジェクト

chg_model.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内
	
	有効な値：
	• true：変更モデルはアクティブです。
	• false：変更モデルはアクティブではありません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"active": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

chg_model.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

chg_model.advanced_security	この変更モデルに対して、ロールベースのセキュリティに加
	かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：高度なセキュリティが使用されます。
	• false：高度なセキュリティは使用されません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"advanced_security": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

chg_model.advanced_security.display_value	advanced_security フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.advanced_security.value	advanced_security フラグの内部値。 データタイプ：ブール
chg_model.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	• true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用でき • false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用でき データタイプ：オブジェクト `"available_in_ui": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
chg_model.available_in_ui.display_value	available_in_ui フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.available_in_ui.value	available_in_ui フラグの値。 データタイプ：ブール
chg_model.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。 データタイプ：オブジェクト `"color": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかど 可能な値： • true：デフォルトです。 • false：デフォルトではありません データタイプ：オブジェクト `"default_change_model": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
chg_model.default_change_model.display_value	デフォルトの変更モデルフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.default_change_model.value	デフォルトの変更モデルフラグの内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：ブール
chg_model.description	変更モデルの目的の簡単な説明。 データタイプ：オブジェクト `"description": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.implementation_states	このモデルを使用して変更要求を実装できるステータスの s データタイプ：オブジェクト `"implementation_states": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.implementation_states.display_value	read_roles の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.implementation_states.value	read_roles の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.name	変更モデルの名前。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.name.display_value	名前の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.read_roles	変更モデルレコードを読み込むために必要なセキュリティロ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：オブジェクト `"read_roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.read_roles.display_value	read_roles の値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_model.read_roles.value	read_roles の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられ
	ア。値はキャレット記号で区切られます。
	例：
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f2002`
	`Change^EQ"`
	データタイプ：オブジェクト
	`"record_preset": { "display_value": "String", "value": "String" }`

chg_model.record_preset.display_value	record_preset の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.record_preset.value	record_preset の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.state_field	*table_name* で指定された値に基づいて選択肢を収集する 「state」に設定されます。 データタイプ：オブジェクト `"state_field": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.state_field.display_value	state_field の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.state_field.value	state_field の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列

chg_model.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_class_name": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザー
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_created_by": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_created_on": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "display_value_internal": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュ データタイプ：オブジェクト `"sys_domain": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けら データタイプ：オブジェクト `"sys_domain_path": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_domain_path.display_value	sys_domain_path の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_domain_path.value	sys_domain_path の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。 データタイプ：オブジェクト `"sys_id": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_model.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_mod_count": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": Number`
	`}`

chg_model.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

chg_model.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_name": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_tags	変更モデルレコードに関連付けられたシステムタグ。
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_tags": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

chg_model.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_tags.value	sys_tags の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名
	データタイプ：オブジェクト
	`"sys_updated_by": {`
	`"display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

chg_model.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"sys_updated_on": {
	"display_value": "String",
	"display_value_internal": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_model.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

chg_model.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル
	定されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"table_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_model.table_name.display_value	table_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.table_name.value	table_name の内部値。 データタイプ：文字列
chg_model.write_roles	変更モデルレコードを書き込むために必要なセキュリティロ データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明

	<pre>"write_roles": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_model.write_roles.display_value	write_roles の表示値。 データタイプ：文字列
chg_model.write_roles.value	write_roles の内部値。 データタイプ：文字列

score	返されたスコアインジケーターの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score": {
	  "delta": {Object},
	  "display_value": "String",
	  "has_score": Boolean,
	  "indicator": {Object},
	  "value": Number
	}</pre>

score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"delta": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示 データタイプ：文字列
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラ 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

要素	説明
	データタイプ：ブール
score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのそ データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの s データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

次のコード例は、*getTeamScoreForModelId()* メソッドを使用して、関連する変更モデルについてアクティブなすべてのレコードのモデルスコアを取得し、要求されたレコードをフィルタリングして、65% 未満のすべてのモデルスコアとその関連デルタを、関連する変更モデルレコードのイベントキュー `change_success.model.warning` に入れる方法を示しています。

```
var chgModelGr = new GlideRecord("chg_model");
chgModelGr.addActiveQuery();
chgModelGr.query();

while (chgModelGr.next()) {
    var changeModelSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getModelScoreForModelId(chgModelGr.getUniqu
eValue());
    if (changeModelSuccess.can_read && changeModelSuccess.score.has_score
 && changeModelSuccess.score.value < 65)
        gs.eventQueue("change_success.model.warning", chgModelGr,
 changeModelSuccess.score.value, changeModelSuccess.score.delta.value);
}
```

出力:

```
{
  "can_read": true,
  "chg_model": {
    "color": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "default_change_model": {
      "display_value": "false",
      "value": false
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "description": {
      "display_value": "This model can be used to capture unauthorized
change events that were detected.",
      "value": "This model can be used to capture unauthorized change
events that were detected."
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-10-21 11:10:57",
      "value": "2020-10-21 10:10:57",
      "display_value_internal": "2020-10-21 11:10:57"
    },
    "table_name": {
      "display_value": "change_request",
      "value": "change_request"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Model",
      "value": "chg_model"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296",
      "value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "write_roles": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-10-02 14:50:20",
      "value": "2020-10-02 13:50:20",
      "display_value_internal": "2020-10-02 14:50:20"
    },
    "read_roles": {
      "display_value": "itil,sn_change_read",
      "value": "itil,sn_change_read"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Unauthorized Change",
      "value": "Unauthorized Change"
    },
    "advanced_security": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "record_preset": {
      "display_value": "type=emergency^short_description=An unauthorized
change has been
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ",
      "value": "type=emergency^short_description=An unauthorized change
 has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ"
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "9",
      "value": 9
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "available_in_ui": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "state_field": {
      "display_value": "state",
      "value": "state"
    },
    "name": {
      "display_value": "Unauthorized Change",
      "value": "Unauthorized Change"
    },
    "implementation_states": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    }
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change Model: % Successful and Successful With Issues",
      "sys_id": "604f98dfc302011005aea539e540dd75"
    },
    "value": 76.92307692307693,
    "display_value": "76.92",
    "delta": {
      "value": "0",
      "display_value": ""
    },
    "has_score": true
  }
}
```

ChangeSuccess - getScoresForChange(オブジェクト **chgGr)**

指定された変更要求 GlideRecord に基づいた最新のチームの変更の成功スコア (グループに基づくオリジナルの変更の成功スコア)、モデルの成功スコア、およびタイプの成功スコアを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
chgGr	オブジェクト	変更要求 GlideRecord。

返される内容

パラメーター	説明

model_success_score	モデルの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"model_success_score" {`
	`  "can_read": Boolean,`
	`  "chg_model": {Object},`
	`  "score": {Object}`
	`}`

model_success_score.can_read	指定された変更要求のモデル成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：モデル成功スコアが取得されました。 • false：モデル成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model	指定された変更要求によって参照される変更モデル [chg_model] レコード内の各フィールドの個々のオブジェクト。各オブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、value プロパティと display_value プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS の display_value_internalプロパティも返します。
	
	`"chg_model": {`
	`  "active": {Object},`
	`  "advanced_security": {Object},`
	`  "available_in_ui": {Object},`
	`  "color": {Object},`
	`  "default_change_model":`
	`{Object},`
	`  "description": {Object},`
	`  "implementation_states":`
	`{Object},`
	`  "name": {Object},`
	`  "read_roles": {Object},`
	`  "record_preset": {Object},`
	`  "state_field": {Object},`
	`  "sys_class_name": {Object},`
	`  "sys_created_by": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_created_on": {Object},
	"sys_domain": {Object},
	"sys_domain_path": {Object},
	"sys_id": {Object},
	"sys_mod_count": {Object},
	"sys_name": {Object},
	"sys_tags": {Object},
	"sys_updated_by": {Object},
	"sys_updated_name": {Object},
	"sys_updated_on": {Object},
	"table_name": {Object},
	"write_roles": {Object}
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

model_success_score.chg_model.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：変更モデルはアクティブです。
	• false：変更モデルはアクティブではありません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"active": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

model_success_score.chg_model.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
model_success_score.chg_model.advanced_security	この変更モデルに対して、ロールベースのセキュリティに加えて、ユーザー基準ベースのセキュリティが使用されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：高度なセキュリティが使用されます。 • false：高度なセキュリティは使用されません。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"advanced_security": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

model_success_score.chg_model.advanced_security.display_value	advanced_security フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.advanced_security.value	advanced_security フラグの内部値。 データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内で使用可能かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できます。
	• false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"available_in_ui": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

model_success_score.chg_model.available_in_ui.display_value	available_in_ui フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.available_in_ui.value	available_in_ui フラグの値。 データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"color": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.color.value	色の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトです。 • false：デフォルトではありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
model_success_score.chg_model.default_change_model.display_value	デフォルトの変更モデルフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.default_change_model.value	デフォルトの変更モデルフラグの内部値。 データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model.description	変更モデルの目的の簡単な説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"description": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

model_success_score.chg_model.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.implementation_states	このモデルを使用して変更要求を実装できるステータスの sys_id のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"implementation_states": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

model_success_score.chg_model.implementation_states.display_value	implementation_states の値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.implementation_states.value	implementation_states の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.name	変更モデルの名前。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.name.display_value	名前の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.read_roles	変更モデルレコードを読み込むために必要なセキュリティロール。 データタイプ：オブジェクト `"read_roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.read_roles.display_value	read_roles の値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.read_roles.value	read_roles の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられた値とともに自動的に入力されるフィールドの名前と値のペア。値はキャレット記号で区切られます。
	
	例：
	
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f200200292Change^EQ"`
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"record_preset": { "display_value": "String", "value": "String" }`

model_success_score.chg_model.record_preset.display_value	record_preset の表示値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.record_preset_code	record_preset の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.state_field	*table_name* で指定された値に基づいて選択肢を収集する選択リストフィールド。変更モデルの場合、これは常に「state」に設定されます。 データタイプ：オブジェクト `"state_field": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.state_field.display_value	state_field の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.state_field.value	state_field の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_model です。 データタイプ：オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_domain": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレコードが存在するドメインパス。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_domain_path": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_domain_path.display_value	sys_domain_path の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain_path.value	sys_domain_path の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

model_success_score.chg_model.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_name": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	"value": "String" }
model_success_score.chg_model.sys_name	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_name	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_tags	変更モデルレコードに関連付けられたシステムタグ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	"sys_tags": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}

model_success_score.chg_model.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_tags.value	sys_tags の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	"sys_updated_by": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}

model_success_score.chg_model.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト "sys_updated_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル。変更モデルの場合、これは常に「change_request」に設定されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"table_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.table_name.display_value	table_name の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.table_name.value	table_name の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score": {
	"delta": {Object},
	"display_value": "String",
	"has_score": Boolean,
	"indicator": {Object},
	"value": Number
	}</pre>

model_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"delta": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
model_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

model_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"indicator": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

model_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

team_success_score	チームの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"team_success_score" {`
	`  "can_read": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"chg_success_score_rating": {Object},
	"score": {Object},
	"sys_user_group":{Object}
	}</pre>

team_success_score.can_read	指定された変更要求の変更チームの成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チームの成功スコアが取得されました。 • false：チームの成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

team_success_score.chg_success_score_rating	返されたスコアに一致する変更の成功スコア評価 [chg_success_score_rating] レコードの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"chg_success_score_rating": {
	"active": {Object},
	"color": {Object},
	"rating": {Object},
	"score_end": {Object},
	"score_start": {Object},
	"sys_class_name": {Object},
	"sys_created_by": {Object},
	"sys_created_on": {Object},
	"sys_domain": {Object},
	"sys_id": {Object},
	"sys_mod_count": {Object},
	"sys_name": {Object},
	"sys_overrides": {Object},
	"sys_tags": {Object},
	"sys_updated_by": {Object},
	"sys_updated_on": {Object}
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
team_success_score.chg_success_score_rating.active	関連する変更の成功スコアレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更の成功スコアレコードはアクティブです。 • false：変更の成功スコアレコードはアクティブではありません。 データタイプ：オブジェクト `"active": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
team_success_score.chg_success_score_rating.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
team_success_score.chg_success_score_rating.color	変更要求の変更の成功スコアカードに表示される、関連する変更の成功スコアの色。 データタイプ：オブジェクト `"color": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.rating	低または高などの変更の成功スコア評価。 データタイプ：オブジェクト `"rating": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.rating.display_value	評価の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.評価の内部値。	評価の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.変更の成功スコアの最高値。	変更の成功スコアの最高値。 データタイプ：オブジェクト `"score_end": { "display_value": "String", "value": Number }`
team_success_score.chg_success_score_rating.score_end の表示値。	score_end の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.score_end の内部値。	score_end の内部値。 データタイプ：数値
team_success_score.chg_success_score_rating.変更の成功スコアの最低値。	変更の成功スコアの最低値。 データタイプ：オブジェクト `"score_start": { "display_value": "String", "value": Number }`
team_success_score.chg_success_score_rating.score_start の表示値。	score_start の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.score_start の内部値。	score_start の内部値。 データタイプ：数値
team_success_score.chg_success_score_rating.変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。	変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。 データタイプ：オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_class_name の表示値。	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_class_name の内部値。	sys_class_name の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by	関連する変更の成功スコア評価レコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by.display_value	sys_created_byの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by.value	sys_created_byの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on	変更の成功スコア評価レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value	sys_created_onの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_onの内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.value	sys_created_onの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更の成功スコアレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_domain": { "display_value": "String", "value": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id	関連する変更の成功スコアレコードの一意の識別子。 データタイプ：オブジェクト `"sys_id": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count	関連する変更の成功スコアレコードが変更された回数。 データタイプ：オブジェクト `"sys_mod_count": { "display_value": "String", "value": Number }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値
team_success_score.chg_success_score_rating.value	変更の成功スコア評価の名前。 可能な値： • 優秀 • 高 • 低 • 中 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	`"sys_name": { "display_value": "String", "value": Number }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides	同じテーブル内にあるが、現在のレコードより上位のドメインにあるレコードの sys_id。これにより、下位のドメインのレコードがその上位のドメインのレコードを上書きできます。 たとえば、「global」ドメインで定義された評価レコードがあっても、ドメイン「TOP/ACME」では「global」のレコードが上書きされます。 データタイプ：オブジェクト `"sys_overrides": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides.display_value	sys_overrides の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides.value	sys_overrides の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags	変更の成功スコアレコードに関連付けられたシステムタグのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_tags": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags.value	sys_tags の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by	関連する変更の成功スコアレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on	関連する変更の成功スコアレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": Number
	}</pre>

team_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"delta": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

team_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"indicator": {
	"name": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

team_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group	指定された変更要求によって参照されるグループ [sys_user_group] レコードからの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_user_group": {`
	`"active": {Object},`
	`"cost_center": {Object},`
	`"default_assignee": {Object},`
	`"description": {Object},`
	`"email": {Object},`
	`"exclude_manager": {Object},`
	`"include_members": {Object},`
	`"manager": {Object},`
	`"name": {Object},`
	`"parent": {Object},`
	`"roles": {Object},`
	`"source": {Object},`
	`"sys_created_by": {Object},`
	`"sys_created_on": {Object},`
	`"sys_id": {Object},`
	`"sys_mod_count": {Object},`
	`"sys_tags": {Object},`
	`"sys_updated_by": {Object},`
	`"sys_updated_on": {Object},`
	`"type": {Object}`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.active	グループがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：グループはアクティブです。 • false：グループは非アクティブ化されています。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"active": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

team_success_score.sys_user_group.cost_center	グループに関連付けられているコストセンターの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"cost_center": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.cost_center.display_value	cost_center の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.cost_center.value	cost_center の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.default_assignee	グループのデフォルトのアサイニーであるユーザーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"default_assignee": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.default_assignee.display_value	default_assignee の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.default_assignee.value	default_assignee の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.description	グループの説明
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.email	グループのメールアドレス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.email.display_value	メールの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.email.value	メールの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.exclude_manager	グループのマネージャーがグループメールを受信するかどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：マネージャーはグループメールを受信しません。
	• false：マネージャーはグループメールを受信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"exclude_manager": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.exclude_manager.display_value	exclude_manager の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.exclude_manager.value	exclude_manager の内部値。 データタイプ：ブール
team_success_score.sys_user_group.include_members	誰かがグループのメールアドレスにメールを送信したときに、グループメンバーが個々のメー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	ルを受信するかどうかを示すフラグ。この機能の唯一の例外は承認通知です。選択に関係なく、グループのすべてのメンバーが承認通知を受信します。
	
	有効な値：
	
	• true：グループ全体にメールを送信します。
	• false：default_assignee にのみメールを送信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"include_members": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": Boolean`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.include_members.display_value	include_members の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.include_members.value	include_members の内部値。 データタイプ：ブール

team_success_score.sys_user_group.manager	グループのマネージャーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"manager": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.manager.display_value	マネージャーの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.manager.value	マネージャーの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.name	グループの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.name.display_value	名前の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.parent	このグループの親の sys_id。グループに親がある場合、子グループは親グループのロールを継承します。ただし、子グループのメンバーは親グループのメンバーではありません。たとえば、インシデントが親グループにアサインされているときに [アサイン先] ルックアップアイコンをクリックすると、親グループのメンバーのみが利用可能になります。子グループのメンバーは利用できません。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.sys_user_group.parent.display_value	親の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.parent.value	親の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.roles	グループにアサインされたユーザーロール。 データタイプ：オブジェクト `"roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.sys_user_group.roles.display_value	ロールの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.roles.value	ロールの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.source	グループのソース。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.source.display_value	ソースの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.source.value	ソースの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_created_by	グループレコードを作成したユーザー。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_by": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_created_on	グループレコードが最初に作成された日時。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_on": {
	"display_value": "String",
	"display_value_internal":
	"String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_id	グループの sys_id。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count	関連するレコード情報が変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by	グループ情報を最後に更新したユーザー。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_by": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on	グループ情報が最後に更新された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_on": {
	  "display_value": "String",
	  "display_value_internal":
	 "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.internal_value	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.type	グループのタイプ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"type": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.type.display_value	タイプの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.type.value	タイプの内部値。 データタイプ：文字列

type_success_score	タイプの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"type_success_score": {
	"can_read": Boolean,
	"score": {Object},
	"type": {Object}
	}</pre>

type_success_score.can_read	指定された変更要求のタイプ成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：タイプ成功スコアが取得されました。 • false：タイプ成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール
type_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
type_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。 データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
type_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
type_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
type_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

type_success_score.type	タイプの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

type_success_score.type.display_value	選択肢のラベル。 データタイプ：文字列
type_success_score.type.sys_id	指定された変更タイプの選択肢 [sys_choice] レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
type_success_score.type.value	選択肢の値。 データタイプ：文字列

このコード例は、*getScoresForChange()* メソッドを使用して、現在の GlideRecord に基づいた最新のチームの変更の成功スコア (グループに基づくオリジナルの変更の成功スコア)、モデルの成功スコア、およびタイプの成功スコアを取得して、さまざまな属性を使用して結果をフィルタリングし、作成された成功スコアサマリーを作業メモに保存する方法を示しています。

```
var changeSuccessScores = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getScoresForChange(current);

gs.info(JSON.stringify(changeSuccessScores, null, 2));

var changeSuccessScoresSummary = "";
if (changeSuccessScores.team_success_score.can_read &&
 changeSuccessScores.team_success_score.score.has_score)
   changeSuccessScoresSummary += "Assignment group \"" +
 chgGr.assignment_group.getDisplayValue() + "\" has a success rating of
 \"" +
 changeSuccessScores.team_success_score.chg_success_score_rating.rating.d
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
isplay_value + "\" (Current team success score: " +
 changeSuccessScores.team_success_score.score.display_value + ")\n";
if (changeSuccessScores.model_success_score.can_read &&
 changeSuccessScores.model_success_score.score.has_score)
   changeSuccessScoresSummary += "Model \"" +
 changeSuccessScores.model_success_score.chg_model.name.display_value +
 "\" has a success rate of " +
 changeSuccessScores.model_success_score.score.display_value + "%\n";
if (changeSuccessScores.type_success_score.can_read &&
 changeSuccessScores.type_success_score.score.has_score)
   changeSuccessScoresSummary += "Type \"" +
 changeSuccessScores.type_success_score.type.display_value + "\" has a
 success rate of " +
 changeSuccessScores.type_success_score.score.display_value + "%\n";

if (changeSuccessScoresSummary !== "") {
   changeSuccessScoresSummary = "Change success scores summary:\n\n" +
 changeSuccessScoresSummary;
   chgGr.work_notes.setJournalEntry(changeSuccessScoresSummary);
   chgGr.update();
}
```

返される結果の例：

```
{
  "team_success_score": {
    "can_read": true,
    "sys_user_group": {
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "manager": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "roles": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "0",
        "value": 0
      },
      "description": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "source": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_updated_on": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
        "value": "2018-03-07 21:00:41",
        "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
      },
      "type": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352",
        "value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "glide.maint",
        "value": "glide.maint"
      },
      "cost_center": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "default_assignee": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
        "value": "2018-03-07 21:00:41",
        "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
      },
      "name": {
        "display_value": "IT Securities",
        "value": "IT Securities"
      },
      "exclude_manager": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "email": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "include_members": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "glide.maint",
        "value": "glide.maint"
      }
    },
    "score": {
      "indicator": {
        "name": "Change success scores",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "sys_id": "0ff316e173081010491d235f04f6a758"
      },
      "value": 465,
      "display_value": "465",
      "delta": {
        "value": 0,
        "display_value": "0"
      },
      "has_score": true
    },
    "chg_success_score_rating": {
      "score_start": {
        "display_value": "0",
        "value": 0
      },
      "score_end": {
        "display_value": "499",
        "value": 499
      },
      "color": {
        "display_value": "#FCCAC9",
        "value": "#FCCAC9"
      },
      "rating": {
        "display_value": "Low",
        "value": "Low"
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "0",
        "value": 0
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "sys_overrides": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
        "value": "2020-03-27 07:43:29",
        "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Success Score Rating",
        "value": "chg_success_score_rating"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717",
        "value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717"
      },
      "sys_updated_by": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
        "value": "2020-03-27 07:43:29",
        "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
      },
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "value": "global"
      },
      "sys_name": {
        "display_value": "Low",
        "value": "Low"
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      }
    }
  },
  "model_success_score": {
    "can_read": true,
    "chg_model": {
      "color": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "default_change_model": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "description": {
        "display_value": "This model can be used to capture unauthorized
change events that were detected.",
        "value": "This model can be used to capture unauthorized change
events that were detected."
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2020-10-21 11:10:57",
        "value": "2020-10-21 10:10:57",
        "display_value_internal": "2020-10-21 11:10:57"
      },
      "table_name": {
        "display_value": "change_request",
        "value": "change_request"
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Model",
        "value": "chg_model"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296",
        "value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296"
      },
      "sys_updated_by": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "write_roles": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2020-10-02 14:50:20",
        "value": "2020-10-02 13:50:20",
        "display_value_internal": "2020-10-02 14:50:20"
      },
      "read_roles": {
        "display_value": "itil,sn_change_read",
        "value": "itil,sn_change_read"
      },
      "sys_name": {
        "display_value": "Unauthorized Change",
        "value": "Unauthorized Change"
      },
      "advanced_security": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "record_preset": {
        "display_value": "type=emergency^short_description=An
 unauthorized change has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ",
        "value": "type=emergency^short_description=An unauthorized change
 has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ"
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "9",
        "value": 9
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "available_in_ui": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "state_field": {
        "display_value": "state",
        "value": "state"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "name": {
        "display_value": "Unauthorized Change",
        "value": "Unauthorized Change"
      },
      "implementation_states": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    },
    "score": {
      "indicator": {
        "name": "Change Model: % Successful and Successful With Issues",
        "sys_id": "604f98dfc302011005aea539e540dd75"
      },
      "value": 76.92307692307693,
      "display_value": "76.92",
      "delta": {
        "value": 0,
        "display_value": "0.00"
      },
      "has_score": true
    }
  },
  "type_success_score": {
    "can_read": true,
    "type": {
      "sys_id": "e7a27d53cb100200d71cb9c0c24c9c2f",
      "value": "normal",
      "display_value": "Normal"
    },
    "score": {
      "indicator": {
        "name": "Change Type: % Successful and Successful With Issues",
        "sys_id": "f9d25995c3ce011005aea539e540ddee"
      },
      "value": 74.29906542056075,
      "display_value": "74.30",
      "delta": {
        "value": 0,
        "display_value": "0.00"
      },
      "has_score": true
    }
  }
}
```


ChangeSuccess - getTeamScoreForChange(オブジェクト **chgGr)**

指定された変更要求 GlideRecord に基づくチームの変更の最新の成功スコア (グループに基づいたオリジナルの変更の成功スコア) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
chgGr	オブジェクト	チームの変更の成功スコアを返す変更要求 GlideRecord。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

パラメーター	説明
can_read	指定された変更要求の変更チームの成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チームの成功スコアが取得されました。 • false：チームの成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

chg_success_score_rating	返されたスコアに一致する変更の成功スコア評価 [chg_success_score_rating] レコードの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"chg_success_score_rating": {`
	`  "active": {Object},`
	`  "color": {Object},`
	`  "rating": {Object},`
	`  "score_end": {Object},`
	`  "score_start": {Object},`
	`  "sys_class_name": {Object},`
	`  "sys_created_by": {Object},`
	`  "sys_created_on": {Object},`
	`  "sys_domain": {Object},`
	`  "sys_id": {Object},`
	`  "sys_mod_count": {Object},`
	`  "sys_name": {Object},`
	`  "sys_overrides": {Object},`
	`  "sys_tags": {Object},`
	`  "sys_updated_by": {Object},`
	`  "sys_updated_on": {Object}`
	`}`

chg_success_score_rating.active	関連する変更の成功スコアレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• true：変更の成功スコアレコードはアクティブです。 • false：変更の成功スコアレコードはアクティブではありません。 データタイプ：オブジェクト `"active": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
chg_success_score_rating.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
chg_success_score_rating.color	変更要求の変更の成功スコアカードに表示される、関連する変更の成功スコアの色。 データタイプ：オブジェクト `"color": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.rating	低または高などの変更の成功スコア評価。 データタイプ：オブジェクト `"rating": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.rating.display_value	評価の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.rating.value	評価の内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
chg_success_score_rating.score_end	変更の成功スコアの最高値。 データタイプ：オブジェクト `"score_end": { "display_value": "String", "value": Number }`
chg_success_score_rating.score_end.display_value	score_end の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.score_end.value	score_end の内部値。 データタイプ：数値
chg_success_score_rating.score_start	変更の成功スコアの最低値。 データタイプ：オブジェクト `"score_start": { "display_value": "String", "value": Number }`
chg_success_score_rating.score_start.display_value	score_start の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.score_start.value	score_start の内部値。 データタイプ：数値
chg_success_score_rating.sys_class_name	変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。 データタイプ：オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_by	関連する変更の成功スコア評価レコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_created_by": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_created_on	変更の成功スコア評価レコードが最初に作成された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_on": {
	  "display_value": "String",
	  "display_value_internal":
	 "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更の成功スコアレコードが関連付けられているドメインの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_domain": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_domain.value	sys_domain の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_id	関連する変更の成功スコアレコードの一意の識別子。 データタイプ：オブジェクト `"sys_id": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_mod_count	関連する変更の成功スコアレコードが変更された回数。 データタイプ：オブジェクト `"sys_mod_count": { "display_value": "String", "value": Number }`
chg_success_score_rating.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値
chg_success_score_rating.sys_name	変更の成功スコア評価の名前。 可能な値： • 優秀 • 高 • 低 • 中 データタイプ：オブジェクト `"sys_name": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": Number
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_overrides	同じテーブル内にあるが、現在のレコードより上位のドメインにあるレコードの sys_id。これにより、下位のドメインのレコードがその上位のドメインのレコードを上書きできます。
	
	たとえば、「global」ドメインで定義された評価レコードがあっても、ドメイン「TOP/ACME」では「global」のレコードが上書きされます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"sys_overrides": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_overrides.display_value	sys_overrides の表示値。 データタイプ：文字列
tchg_success_score_rating.sys_overrides.value	sys_overrides の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_tags	変更の成功スコアレコードに関連付けられたシステムタグのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"sys_tags": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_tags.value	sys_tags の内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
chg_success_score_rating.sys_updated_by	関連する変更の成功スコアレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_on	関連する変更の成功スコアレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列
score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
score.delta	前のスコアからのスコアの変化。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
sys_user_group	指定された変更要求によって参照されるグループ [sys_user_group] レコードからの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。 データタイプ: オブジェクト `"sys_user_group": { "active": {Object}, "cost_center": {Object}, "default_assignee": {Object}, "description": {Object}, "email": {Object}, "exclude_manager": {Object}, "include_members": {Object}, "manager": {Object}, "name": {Object}, "parent": {Object}, "roles": {Object}, "source": {Object}, "sys_created_by": {Object}, "sys_created_on": {Object}, "sys_id": {Object}, "sys_mod_count": {Object}, "sys_tags": {Object}, "sys_updated_by": {Object}, "sys_updated_on": {Object}, "type": {Object} }`
sys_user_group.active	グループがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：グループはアクティブです。 • false：グループは非アクティブ化されています。 データタイプ：オブジェクト `"active": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
sys_user_group.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
sys_user_group.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
sys_user_group.cost_center	グループに関連付けられているコストセンターの sys_id。 データタイプ：オブジェクト `"cost_center": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.cost_center.display_value	cost_center の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.cost_center.value	cost_center の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.default_assignee	グループのデフォルトのアサイニーであるユーザーの sys_id。 データタイプ：オブジェクト `"default_assignee": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.default_assignee.display_value	default_assignee の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.default_assignee.value	default_assignee の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.description	グループの説明 データタイプ：オブジェクト `"description": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
sys_user_group.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.email	グループのメールアドレス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"description": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

sys_user_group.email.display_value	メールの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.email.value	メールの内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.exclude_manager	グループのマネージャーがグループメールを受信するかどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	
	• true：マネージャーはグループメールを受信しません。
	• false：マネージャーはグループメールを受信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"exclude_manager": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": Boolean`
	`}`

sys_user_group.exclude_manager.display_value	exclude_manager の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.exclude_manager.value	exclude_manager の内部値。 データタイプ：ブール
sys_user_group.include_members	誰かがグループのメールアドレスにメールを送信したときに、グループメンバーが個々のメールを受信するかどうかを示すフラグ。この機能の唯一の例外は承認通知です。選択に関係なく、グループのすべてのメンバーが承認通知を受信します。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• true：グループ全体にメールを送信します。 • false：default_assignee にのみメールを送信します。 データタイプ：オブジェクト `"include_members": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
sys_user_group.include_members.display_value	include_members の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.include_members.value	include_members の内部値。 データタイプ：ブール
sys_user_group.manager	グループのマネージャーの sys_id。 データタイプ：オブジェクト `"manager": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.manager.display_value	マネージャーの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.manager.value	マネージャーの内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.name	グループの名前。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.name.display_value	名前の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
sys_user_group.parent	このグループの親の sys_id。グループに親がある場合、子グループは親グループのロールを継承します。ただし、子グループのメンバーは親グループのメンバーではありません。たとえば、インシデントが親グループにアサインされているときに [アサイン先] ルックアップアイコンをクリックすると、親グループのメンバーのみが利用可能になります。子グループのメンバーは利用できません。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.parent.display_value	親の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.parent.value	親の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.roles	グループにアサインされたユーザーロール。 データタイプ：オブジェクト `"roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.roles.display_value	ロールの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.roles.value	ロールの内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.source	グループのソース。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.source.display_value	ソースの表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
sys_user_group.source.value	ソースの内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_by	グループレコードを作成したユーザー。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_on	グループレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_id	グループの sys_id。 データタイプ：オブジェクト `"sys_id": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.sys_id.display_value	sys_id の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_mod_count	関連するレコード情報が変更された回数。 データタイプ：オブジェクト `"sys_mod_count": { "display_value": "String", "value": Number }`
sys_user_group.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値
sys_user_group.sys_updated_by	グループ情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_on	グループ情報が最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
sys_user_group.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.type	グループのタイプ。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.type.display_value	タイプの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.type.value	タイプの内部値。 データタイプ：文字列

この例は、現在の変更要求 GlideRecord に対して *getTeamScoreForChange()* メソッドを使用して、変更要求に対するチームスコアを取得し、さまざまな属性を使用してスコアサマリーを作成し、作業メモに書き込む方法を示しています。

```
var changeTeamSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getTeamScoreForChange(current);

gs.info(JSON.stringify(changeTeamSuccess, null, 2));

if (changeTeamSuccess.can_read && changeTeamSuccess.score.has_score &&
 changeTeamSuccess.chg_success_score_rating.rating.value === "Low") {
    chgGr.work_notes.setJournalEntry("The selected assignment group
 \"" + chgGr.assignment_group.getDisplayValue() + "\" has a " +
 changeTeamSuccess.chg_success_score_rating.rating.display_value
 + " success rating (current success score is: " +
 changeTeamSuccess.score.display_value + ").\nConsider adding additional
 approvers or discuss with your Change Manager.");
    chgGr.update();
}
```

返される結果のサンプル：

```
{
  "can_read": true,
  "sys_user_group": {
    "parent": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "manager": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "roles": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "description": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "source": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
      "value": "2018-03-07 21:00:41",
      "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
    },
    "type": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352",
      "value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "glide.maint",
      "value": "glide.maint"
    },
    "cost_center": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "default_assignee": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
      "value": "2018-03-07 21:00:41",
      "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "name": {
      "display_value": "IT Securities",
      "value": "IT Securities"
    },
    "exclude_manager": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "email": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "include_members": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "glide.maint",
      "value": "glide.maint"
    }
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change success scores",
      "sys_id": "0ff316e173081010491d235f04f6a758"
    },
    "value": 465,
    "display_value": "465",
    "delta": {
      "value": 0,
      "display_value": "0"
    },
    "has_score": true
  },
  "chg_success_score_rating": {
    "score_start": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "score_end": {
      "display_value": "499",
      "value": 499
    },
    "color": {
      "display_value": "#FCCAC9",
      "value": "#FCCAC9"
    },
    "rating": {
      "display_value": "Low",
      "value": "Low"
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "active": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_overrides": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
      "value": "2020-03-27 07:43:29",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Success Score Rating",
      "value": "chg_success_score_rating"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717",
      "value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
      "value": "2020-03-27 07:43:29",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Low",
      "value": "Low"
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    }
  }
}
```


ChangeSuccess - getTeamScoreForGroupId(文字列 **sys_id**, 文字列 **domain_id)**

指定されたグループについて最新のチームの変更の成功スコア (グループに基づいたオリジナルの変更の成功スコア) を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	チームの変更の成功スコアを返す対象のグループの sys_id。これはユーザーグループ [sys_user_group] テーブルにあります。
domain_id	文字列	オプション。チームの成功スコアについて パフォーマンスアナリティクス でクエリを実行するときに使用するドメインの sys_id。

返される内容

パラメーター	説明
can_read	指定された変更要求の変更チームの成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チームの成功スコアが取得されました。 • false：チームの成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

chg_success_score_rating	返されたスコアに一致する変更の成功スコア評価 [chg_success_score_rating] レコードの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"chg_success_score_rating": {`
	`"active": {Object},`
	`"color": {Object},`
	`"rating": {Object},`
	`"score_end": {Object},`
	`"score_start": {Object},`
	`"sys_class_name": {Object},`
	`"sys_created_by": {Object},`
	`"sys_created_on": {Object},`
	`"sys_domain": {Object},`
	`"sys_id": {Object},`
	`"sys_mod_count": {Object},`
	`"sys_name": {Object},`
	`"sys_overrides": {Object},`
	`"sys_tags": {Object},`
	`"sys_updated_by": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	<pre> "sys_updated_on": {Object} }</pre>

chg_success_score_rating.active	関連する変更の成功スコアレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：変更の成功スコアレコードはアクティブです。
	• false：変更の成功スコアレコードはアクティブではありません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"active": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

chg_success_score_rating.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

chg_success_score_rating.color	変更要求の変更の成功スコアカードに表示される、関連する変更の成功スコアの色。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"color": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.rating	低または高などの変更の成功スコア評価。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"rating": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.rating.display_value	評価の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.rating.value	評価の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.score_end	変更の成功スコアの最高値。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"score_end": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

chg_success_score_rating.score_end.display_value	score_end の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.score_end.value	score_end の内部値。 データタイプ：数値

chg_success_score_rating.score_start	変更の成功スコアの最低値。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"score_start": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

chg_success_score_rating.score_start.display_value	score_start の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.score_start.value	score_start の内部値。 データタイプ：数値

chg_success_score_rating.sys_class_name	変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"sys_class_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
chg_success_score_rating.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_by	関連する変更の成功スコア評価レコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_on	変更の成功スコア評価レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更の成功スコアレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_domain": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_id	関連する変更の成功スコアレコードの一意の識別子。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_mod_count	関連する変更の成功スコアレコードが変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

chg_success_score_rating.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値
chg_success_score_rating.sys_name	変更の成功スコア評価の名前。 可能な値： • 優秀 • 高

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• 低 • 中 データタイプ：オブジェクト `"sys_name": { "display_value": "String", "value": Number }`
chg_success_score_rating.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_overrides	同じテーブル内にあるが、現在のレコードより上位のドメインにあるレコードの sys_id。これにより、下位のドメインのレコードがその上位のドメインのレコードを上書きできます。 たとえば、「global」ドメインで定義された評価レコードがあっても、ドメイン「TOP/ACME」では「global」のレコードが上書きされます。 データタイプ：オブジェクト `"sys_overrides": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_overrides.display_value	sys_overrides の表示値。 データタイプ：文字列
tchg_success_score_rating.sys_overrides.value	sys_overrides の内部値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_tags	変更の成功スコアレコードに関連付けられたシステムタグのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_tags": { "display_value": "String", "value": "String" }`
chg_success_score_rating.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_tags.value	sys_tags の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_updated_by	関連する変更の成功スコアレコードを最後に更新したユーザーの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_updated_by": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_success_score_rating.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

chg_success_score_rating.sys_updated_on	関連する変更の成功スコアレコードが最後に更新された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_created_on": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "display_value_internal":`
	` "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
chg_success_score_rating.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

score	返されたスコアインジケーターの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"score": {`
	`  "delta": {Object},`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"has_score": Boolean,
	"indicator": {Object},
	"value": Number
	}</pre>

score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"delta": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"indicator": {
	"name": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

sys_user_group	指定された変更要求によって参照されるグループ [sys_user_group] レコードからの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_user_group": {`
	`  "active": {Object},`
	`  "cost_center": {Object},`
	`  "default_assignee": {Object},`
	`  "description": {Object},`
	`  "email": {Object},`
	`  "exclude_manager": {Object},`
	`  "include_members": {Object},`
	`  "manager": {Object},`
	`  "name": {Object},`
	`  "parent": {Object},`
	`  "roles": {Object},`
	`  "source": {Object},`
	`  "sys_created_by": {Object},`
	`  "sys_created_on": {Object},`
	`  "sys_id": {Object},`
	`  "sys_mod_count": {Object},`
	`  "sys_tags": {Object},`
	`  "sys_updated_by": {Object},`
	`  "sys_updated_on": {Object},`
	`  "type": {Object}`
	`}`

sys_user_group.active	グループがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：グループはアクティブです。 • false：グループは非アクティブ化されています。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"active": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

sys_user_group.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
sys_user_group.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

sys_user_group.cost_center	グループに関連付けられているコストセンターの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"cost_center": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.cost_center.display_value	cost_center の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.cost_center.value	cost_center の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.default_assignee	グループのデフォルトのアサイニーであるユーザーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"default_assignee": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.default_assignee.display_value	default_assignee の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.default_assignee.value	default_assignee の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.description	グループの説明
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
sys_user_group.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.email	グループのメールアドレス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"description": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.email.display_value	メールの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.email.value	メールの内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.exclude_manager	グループのマネージャーがグループメールを受信するかどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	
	• true：マネージャーはグループメールを受信しません。
	• false：マネージャーはグループメールを受信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"exclude_manager": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

sys_user_group.exclude_manager.display_value	exclude_manager の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.exclude_manager.value	exclude_manager の内部値。 データタイプ：ブール
sys_user_group.include_members	誰かがグループのメールアドレスにメールを送信したときに、グループメンバーが個々のメー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	ルを受信するかどうかを示すフラグ。この機能の唯一の例外は承認通知です。選択に関係なく、グループのすべてのメンバーが承認通知を受信します。
	
	有効な値：
	
	• true：グループ全体にメールを送信します。
	• false：default_assignee にのみメールを送信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"include_members": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": Boolean`
	`}`

sys_user_group.include_members.display_value	include_members の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.include_members.value	include_members の内部値。 データタイプ：ブール

sys_user_group.manager	グループのマネージャーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"manager": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

sys_user_group.manager.display_value	マネージャーの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.manager.value	マネージャーの内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.name	グループの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

sys_user_group.name.display_value	名前の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
sys_user_group.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.parent	このグループの親の sys_id。グループに親がある場合、子グループは親グループのロールを継承します。ただし、子グループのメンバーは親グループのメンバーではありません。たとえば、インシデントが親グループにアサインされているときに [アサイン先] ルックアップアイコンをクリックすると、親グループのメンバーのみが利用可能になります。子グループのメンバーは利用できません。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.parent.display_value	親の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.parent.value	親の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.roles	グループにアサインされたユーザーロール。 データタイプ：オブジェクト `"roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
sys_user_group.roles.display_value	ロールの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.roles.value	ロールの内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.source	グループのソース。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.source.display_value	ソースの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.source.value	ソースの内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.sys_created_by	グループレコードを作成したユーザー。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_by": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.sys_created_on	グループレコードが最初に作成された日時。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_on": {
	"display_value": "String",
	"display_value_internal":
	"String",
	"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_id	グループの sys_id。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.sys_mod_count	関連するレコード情報が変更された回数。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

sys_user_group.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

sys_user_group.sys_updated_by	グループ情報を最後に更新したユーザー。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_by": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.sys_updated_on	グループ情報が最後に更新された日時。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_on": {
	  "display_value": "String",
	  "display_value_internal":
	 "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

sys_user_group.type	グループのタイプ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"type": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

sys_user_group.type.display_value	タイプの表示値。 データタイプ：文字列
sys_user_group.type.value	タイプの内部値。 データタイプ：文字列

次のコード例は、*getTeamScoreForGroupId()* メソッドを使用してグループのチームスコアを取得して、要求されたレコードをフィルタリングし、すべての低グループスコアとデルタを、関連するグループレコードのイベントキュー `change_success.team.warning` に入れます。

```
var chgGroupGr = new GlideAggregate("change_request");
chgGroupGr.addInactiveQuery();
chgGroupGr.addNotNullQuery("close_code");
chgGroupGr.groupBy("assignment_group");
chgGroupGr.query();

while (chgGroupGr.next()) {
    var groupId = chgGroupGr.getValue("assignment_group");
    var changeTeamSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getTeamScoreForGroupId(groupId);
    if (changeTeamSuccess.can_read && changeTeamSuccess.score.has_score
 && changeTeamSuccess.chg_success_score_rating.rating.value === "Low") {
        var grpGr = new GlideRecord("sys_user_group");
        grpGr.get(groupId);
        gs.eventQueue("change_success.team.warning", grpGr,
 changeTeamSuccess.score.value, changeTeamSuccess.score.delta.value);
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドを呼び出したときに返される結果の例：


```
{
  "can_read": true,
  "sys_user_group": {
    "parent": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "manager": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "roles": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "1",
      "value": 1
    },
    "description": {
      "display_value": "LDAP admins group",
      "value": "LDAP admins group"
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "source": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2013-07-26 22:48:47",
      "value": "2013-07-26 21:48:47",
      "display_value_internal": "2013-07-26 22:48:47"
    },
    "type": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "dc0db135c332010016194ffe5bba8f23",
      "value": "dc0db135c332010016194ffe5bba8f23"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "cost_center": {
      "display_value": "",
      "value": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "default_assignee": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2013-07-26 22:12:56",
      "value": "2013-07-26 21:12:56",
      "display_value_internal": "2013-07-26 22:12:56"
    },
    "name": {
      "display_value": "LDAP Admins",
      "value": "LDAP Admins"
    },
    "exclude_manager": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "email": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "include_members": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    }
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change success scores",
      "sys_id": "0ff316e173081010491d235f04f6a758"
    },
    "value": 510,
    "display_value": "510",
    "delta": {
      "value": 0,
      "display_value": "0"
    },
    "has_score": true
  },
  "chg_success_score_rating": {
    "score_start": {
      "display_value": "500",
      "value": 500
    },
    "score_end": {
      "display_value": "599",
      "value": 599
    },
    "color": {
      "display_value": "#FDEEC5",
      "value": "#FDEEC5"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "rating": {
      "display_value": "Medium",
      "value": "Medium"
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_overrides": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:44:07",
      "value": "2020-03-27 07:44:07",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:44:07"
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Success Score Rating",
      "value": "chg_success_score_rating"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "5dc448fd73330010491d235f04f6a7de",
      "value": "5dc448fd73330010491d235f04f6a7de"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:44:07",
      "value": "2020-03-27 07:44:07",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:44:07"
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Medium",
      "value": "Medium"
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    }
  }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ChangeSuccess - getTypeScoreForChange(オブジェクト **chgGr)**

指定された変更要求 GlideRecord に基づいた最新のタイプの成功スコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
chgGr	オブジェクト	タイプの成功スコアを返す対象の変更要求 GlideRecord。

返される内容

パラメーター	説明
can_read	指定された変更要求のタイプ成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：タイプ成功スコアが取得されました。 • false：タイプ成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール
score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
score.delta	前のスコアからのスコアの変化。 データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"indicator": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

type	タイプの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

type.display_value	選択肢のラベル。 データタイプ：文字列
type.sys_id	指定された変更タイプの選択肢 [sys_choice] レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
type.value	選択肢の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列

このコード例は、ユーザーが読み取りアクセス権を持っている変更モデルの現在の GlideRecord に基づいた最新のタイプの成功スコアを取得し、50% 未満の成功スコア値を得る方法を示しています。コードはその後、スコア値を作業メモに保存します。

```
var changeTypeSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getTypeScoreForChange(current);

gs.info(JSON.stringify(changeTypeSuccess, null, 2));

if (changeTypeSuccess.can_read && changeTypeSuccess.score.has_score &&
 changeTypeSuccess.score.value < 50) {
   current.work_notes.setJournalEntry("The selected Change
 Type of \"" + changeTypeSuccess.type.display_value + "\" has
 a success rate of less than 50% (current success rate is: " +
 changeTypeSuccess.score.display_value + "%).\nConsider using a different
 Type or adding additional approvers or discuss with your Change
 Manager.");
   current.update();
}
```

このメソッドを呼び出したときに返される結果の例：

```
{
  "can_read": true,
  "type": {
    "sys_id": "e7a27d53cb100200d71cb9c0c24c9c2f",
    "value": "normal",
    "display_value": "Normal"
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change Type: % Successful and Successful With Issues",
      "sys_id": "f9d25995c3ce011005aea539e540ddee"
    },
    "value": 74.29906542056075,
    "display_value": "74.30",
    "delta": {
      "value": 0,
      "display_value": "0.00"
    },
    "has_score": true
  }
}
```

ChangeSuccess - getTypeScoreForType(文字列 **type**, 文字列 **domain_id)**

指定された変更タイプについて最新のタイプの成功スコアを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	タイプの成功スコアを返す対象の変更要求のタイプ (「emergency」など)
domain_id	文字列	オプション。タイプの成功スコアについて パフォーマンスアナリティクス でクエリを実行するときに使用するドメインの sys_id。

返される内容

パラメーター	説明
can_read	指定された変更要求のタイプ成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：タイプ成功スコアが取得されました。 • false：タイプ成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール
score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
score.delta	前のスコアからのスコアの変化。 データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列
type	タイプの成功スコアの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "sys_id": "String", "value": "String" }`
type.sys_id	指定された変更タイプの選択肢 [sys_choice] レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
type.value	選択肢の値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
type.display_value	選択肢のラベル。 データタイプ：文字列

次のコード例は、*getTypeScoreForType()* メソッドを使用して、指定されたタイプ (name、element、language) についてタイプスコアを取得し、要求されたレコードをフィルタリングする方法を示しています。次に、65% 未満のすべてのタイプスコアを、関連する sys_choice レコードのイベントキュー change_success.type.warning に入れます。

```
var chgTypeGr = new GlideRecord("sys_choice");
chgTypeGr.addQuery("name", "change_request");
chgTypeGr.addQuery("element", "type");
chgTypeGr.addQuery("language", "en");
chgTypeGr.query();

while (chgTypeGr.next()) {
    var changeTypeSuccess = new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().getTypeScoreForType(chgTypeGr.getValue("val
ue"));
    if (changeTypeSuccess.can_read && changeTypeSuccess.score.has_score
 && changeTypeSuccess.score.value < 65)
        gs.eventQueue("change_success.type.warning", chgTypeGr,
 changeTypeSuccess.score.value, changeTypeSuccess.score.delta.value);
}
```

このメソッドを呼び出したときに返される結果の例：

```
{
  "can_read": true,
  "type": {
    "sys_id": "2ba27d53cb100200d71cb9c0c24c9c2f",
    "value": "emergency",
    "display_value": "Emergency"
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change Type: % Successful and Successful With Issues",
      "sys_id": "f9d25995c3ce011005aea539e540ddee"
    },
    "value": 82.97872340425532,
    "display_value": "82.98",
    "delta": {
      "value": 0,
      "display_value": "0.00"
    },
    "has_score": true
  }
}
```

ChangeSuccess - withIndicatorScores(ブール **toggle)**

関連するメソッドがさまざまなタイプのスコア (チーム、モデル、タイプ) をそれぞれ生成するために使用される パフォーマンスアナリティクス (PA) インジケーターの詳細を返すかどうかを制御します。デフォルトでは、この情報は返されません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトのこのデータの返却のオンとオフを切り替えます。このメソッドはヘルパーメソッドであり、次のような成功スコアを返す他のメソッドのいずれかと組み合わせて使用する必要があります。

- ChangeSuccess - getScoresForChange(オブジェクト chgGr)
- ChangeSuccess - getTeamScoreForChange(オブジェクト chgGr)
- ChangeSuccess - getModelScoreForModelId(文字列 sys_id, 文字列 domain_id)

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	PA インジケーターの詳細を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：PA インジケーターの詳細を返します。 • false：PA インジケーターの詳細を返しません。 デフォルト値：false

返される内容

パラメーター	説明
indicator_scores	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
indicator_scores.delta	前のスコアからのスコアの変化。 データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
indicator_scores.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
indicator_scores.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
indicator_scores.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
indicator_scores.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
indicator_scores.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
indicator_scores.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
indicator_scores.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
indicator_scores.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

次の例は、*getScoresForChange()* 呼び出しでインジケータースコアを返さないように要求する方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");

gs.info(JSON.stringify(new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withIndicatorScores(false).getScoresForChan
ge(chgGr), null, 2));
```

次の出力は、このヘルパーが true に設定されている場合に返されるインジケータースコア値のみを示しています。このヘルパーがアタッチされているメソッドに基づいて、他の値も返される場合があります。

```
"indicator_scores": [
  {
    "indicator": {
      "name": "Total changes",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "sys_id": "966e899173401010491d235f04f6a7ef"
    },
    "value": 11,
    "display_value": "11",
    "delta": {
      "value": 0,
      "display_value": "0"
    },
    "has_score": true
  }
]
```

ChangeSuccess - withModelScore(ブール toggle)

getScoresForChange() メソッドで呼び出された場合にのみ有効です。*getScoresForChange()* メソッドがモデルスコアを返すかどうかを制御します。デフォルトでは、モデルスコアは返されます。

このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトのこのデータの返却のオンとオフを切り替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	モデルの成功スコアを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：モデルの成功スコアを返します。 • false：モデルの成功スコアを返しません。 デフォルト：true

返される内容

パラメーター	説明
model_success_score	モデルの成功スコアの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"model_success_score" { "can_read": Boolean, "chg_model": {Object}, "score": {Object} }`
model_success_score.can_read	指定された変更要求のモデル成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：モデル成功スコアが取得されました。 • false：モデル成功スコアが取得されませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model	指定された変更要求によって参照される変更モデル [chg_model] レコード内の各フィールドの個々のオブジェクト。各オブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、value プロパティと display_value プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS の display_value_internalプロパティも返します。
	<pre>"chg_model": {
	  "active": {Object},
	  "advanced_security": {Object},
	  "available_in_ui": {Object},
	  "color": {Object},
	  "default_change_model":
	 {Object},
	  "description": {Object},
	  "implementation_states":
	 {Object},
	  "name": {Object},
	  "read_roles": {Object},
	  "record_preset": {Object},
	  "state_field": {Object},
	  "sys_class_name": {Object},
	  "sys_created_by": {Object},
	  "sys_created_on": {Object},
	  "sys_domain": {Object},
	  "sys_domain_path": {Object},
	  "sys_id": {Object},
	  "sys_mod_count": {Object},
	  "sys_name": {Object},
	  "sys_tags": {Object},
	  "sys_updated_by": {Object},
	  "sys_updated_name": {Object},
	  "sys_updated_on": {Object},
	  "table_name": {Object},
	  "write_roles": {Object}
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

model_success_score.chg_model.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更モデルはアクティブです。 • false：変更モデルはアクティブではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：オブジェクト `"active": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
model_success_score.chg_model.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
model_success_score.chg_model.advanced_security	この変更モデルに対して、ロールベースのセキュリティに加えて、ユーザー基準ベースのセキュリティが使用されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：高度なセキュリティが使用されます。 • false：高度なセキュリティは使用されません。 データタイプ：オブジェクト `"advanced_security": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
model_success_score.chg_model.advanced_security.display_value	advanced_security フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.advanced_security.value	advanced_security フラグの内部値。 データタイプ：ブール
model_success_score.chg_model.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できます。 • false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できません。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"available_in_ui": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

model_success_score.chg_model.available_in_ui.display_value	available_in_ui フラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.available_in_ui.value	available_in_ui フラグの値。 データタイプ：ブール

model_success_score.chg_model.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"color": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかどうかを示すフラグ。
	
	可能な値：
	• true：デフォルトです。
	• false：デフォルトではありません
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"default_change_model": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

model_success_score.chg_model.default_change_model.display_value	デフォルトの変更モデルフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.default_change_model.value	デフォルトの変更モデルフラグの内部値。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
model_success_score.chg_model.description	変更モデルの目的の簡単な説明。 データタイプ：オブジェクト `"description": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.name	変更モデルの名前。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.name.display_value	名前の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられた値とともに自動的に入力されるフィールドの名前と値のペア。値はキャレット記号で区切られます。
	
	例：
	
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f200200292 Change^EQ"`
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"record_preset": { "display_value": "String", "value": "String" }`

model_success_score.chg_model.record_preset.display_value	record_preset の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.record_preset.value	record_preset の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.state_field	*table_name* で指定された値に基づいて選択肢を収集する選択リストフィールド。変更モデルの場合、これは常に「state」に設定されます。 データタイプ：オブジェクト `"state_field": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.state_field.display_value	state_field の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.state_field.value	state_field の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_model です。 データタイプ：オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_domain": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレコードが存在するドメインパス。 データタイプ：オブジェクト `"sys_domain_path": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_domain_path.display_value	sys_domain_path の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_domain_path.value	sys_domain_path の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_id": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

model_success_score.chg_model.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

model_success_score.chg_model.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

model_success_score.chg_model.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
model_success_score.chg_model.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
model_success_score.chg_model.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.chg_model.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル。変更モデルの場合、これは常に「change_request」に設定されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	最大長：80
model_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String", "has_score": Boolean, "indicator": {Object}, "value": Number }`
model_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。 データタイプ：オブジェクト `"delta": { "display_value": "String", "value": "String" }`
model_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール
model_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"indicator": { "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

model_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
model_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

次の例は、*getScoresForChange()* 呼び出しでモデルスコア情報が返されないように要求する方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");

gs.info(JSON.stringify(new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withModelScore(false).getScoresForChange(ch
gGr), null, 2));
```

次の出力は、このヘルパーが true に設定されている場合に返されるモデルの成功スコア値のみを示しています。返される可能性がある他のスコアを確認するには、getScoresForChange() を参照してください。

```
"model_success_score": {
    "can_read": true,
    "chg_model": {
      "color": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "default_change_model": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "description": {
        "display_value": "This model can be used to capture unauthorized
 change events that were detected.",
        "value": "This model can be used to capture unauthorized change
 events that were detected."
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2020-10-21 11:10:57",
        "value": "2020-10-21 10:10:57",
        "display_value_internal": "2020-10-21 11:10:57"
      },
      "table_name": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "change_request",
        "value": "change_request"
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Model",
        "value": "chg_model"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296",
        "value": "aedc6a625323101034d1ddeeff7b1296"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "write_roles": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2020-10-02 14:50:20",
        "value": "2020-10-02 13:50:20",
        "display_value_internal": "2020-10-02 14:50:20"
      },
      "read_roles": {
        "display_value": "itil,sn_change_read",
        "value": "itil,sn_change_read"
      },
      "sys_name": {
        "display_value": "Unauthorized Change",
        "value": "Unauthorized Change"
      },
      "advanced_security": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "record_preset": {
        "display_value": "type=emergency^short_description=An
 unauthorized change has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ",
        "value": "type=emergency^short_description=An unauthorized change
 has been
 detected^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^work_start=ja
vascript:gs.nowDateTime()^unauthorized=true^EQ"
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "9",
        "value": 9
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
        "value": true
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "available_in_ui": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "state_field": {
        "display_value": "state",
        "value": "state"
      },
      "name": {
        "display_value": "Unauthorized Change",
        "value": "Unauthorized Change"
      },
      "implementation_states": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    },
    "score": {
      "indicator": {
        "name": "Change Model: % Successful and Successful With Issues",
        "sys_id": "604f98dfc302011005aea539e540dd75"
      },
      "value": 76.92307692307693,
      "display_value": "76.92",
      "delta": {
        "value": 0,
        "display_value": "0.00"
      },
      "has_score": true
    }
  }
```


ChangeSuccess - withSecurity(ブール **toggle)**

メソッドが関連メソッドを呼び出すユーザーを検証し、要求されたコンテンツの読み取り権限をユーザーが持っていることを確認するかどうかを制御します。

例：

- チームの成功スコアの場合：ユーザーが関連グループに対する読み取り権限を持っていることを確認します。
- モデルスコアの場合：ユーザーが変更モデルレコードに対する読み取り権限を持っていることを確認します。
- タイプスコアの場合：ユーザーがその変更タイプの選択肢レコードに対する読み取り権限を持っていることを確認します。

デフォルトでは、すべての *ChangeSuccess* メソッドはこの検証を実行します。このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトの検証のオン/オフを切り替えます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	関連メソッドを呼び出すユーザーを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：関連メソッドを呼び出すユーザーを検証します。 • false：関連メソッドを呼び出すユーザーを検証しません。 デフォルト：true

返される内容

パラメーター	説明
なし	

次の例は、*getScoresForChange()* メソッドを呼び出すときにユーザーセキュリティチェックをオフにする方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");
new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withSecurity(false).getScoresForChange(chgGr);
```

出力：

```
None
```

ChangeSuccess - withTeamScore(ブール **toggle)**

getScoresForChange() メソッドで呼び出された場合にのみ有効です。*getScoresForChange()* メソッドがチームスコアを返すかどうかを制御します。デフォルトでは、チームスコアは返されます。

このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトのこのデータの返却のオンとオフを切り替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	チームの成功スコアを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チームの成功スコアを返します。 • false：チームの成功スコアを返しません。 デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

パラメーター	説明
team_success_score	チームの成功スコアの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"team_success_score" { "can_read": Boolean, "chg_success_score_rating": {Object}, "score": {Object}, "sys_user_group":{Object} }`
team_success_score.can_read	指定された変更要求の変更チームの成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チームの成功スコアが取得されました。 • false：チームの成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール
team_success_score.chg_success_score_rating	返されたスコアに一致する変更の成功スコア評価 [chg_success_score_rating] レコードの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。 データタイプ: オブジェクト `"chg_success_score_rating": { "active": {Object}, "color": {Object}, "rating": {Object}, "score_end": {Object}, "score_start": {Object}, "sys_class_name": {Object}, "sys_created_by": {Object}, "sys_created_on": {Object}, "sys_domain": {Object}, "sys_id": {Object}, "sys_mod_count": {Object}, "sys_name": {Object}, "sys_overrides": {Object}, "sys_tags": {Object}, "sys_updated_by": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_updated_on": {Object}
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.active	関連する変更の成功スコアレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：変更の成功スコアレコードはアクティブです。
	• false：変更の成功スコアレコードはアクティブではありません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"active": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

team_success_score.chg_success_score_rating.color	変更要求の変更の成功スコアカードに表示される、関連する変更の成功スコアの色。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"color": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.chg_success_score_rating.rating	低または高などの変更の成功スコア評価。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"rating": {
	"display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.評価の表示値.display_value	評価の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.評価の内部値.value	評価の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.chg_success_score_rating.score_end	変更の成功スコアの最高値。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score_end": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.score_end.display_value	score_endの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.score_end.value	score_endの内部値。 データタイプ：数値

team_success_score.chg_success_score_rating.score_start	変更の成功スコアの最低値。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score_start": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.score_start.display_value	score_startの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.score_start.value	score_startの内部値。 データタイプ：数値

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_class_name	変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_class_name": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by	関連する変更の成功スコア評価レコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on	変更の成功スコア評価レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更の成功スコアレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_domain": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id	関連する変更の成功スコアレコードの一意の識別子。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count	関連する変更の成功スコアレコードが変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値
team_success_score.chg_success_score_rating.name	変更の成功スコア評価の名前。 可能な値： • 優秀 • 高

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• 低 • 中 データタイプ：オブジェクト `"sys_name": { "display_value": "String", "value": Number }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides	同じテーブル内にあるが、現在のレコードより上位のドメインにあるレコードの sys_id。これにより、下位のドメインのレコードがその上位のドメインのレコードを上書きできます。 たとえば、「global」ドメインで定義された評価レコードがあっても、ドメイン「TOP/ACME」では「global」のレコードが上書きされます。 データタイプ：オブジェクト `"sys_overrides": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides.display_value	sys_overrides の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_overrides.value	sys_overrides の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags	変更の成功スコアレコードに関連付けられたシステムタグのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_tags": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags.value	sys_tags の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_tags	sys_tagsの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by	関連する変更の成功スコアレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_updated_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by.display_value	sys_updated_byの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_by.value	sys_updated_byの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_created_on	関連する変更の成功スコアレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value	sys_updated_onの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_onの内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.chg_success_score_rating.sys_updated_on.value	sys_updated_onの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"score": { "delta": {Object}, "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"has_score": Boolean,
	"indicator": {Object},
	"value": Number
	}</pre>

team_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"delta": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

team_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"indicator": {
	"name": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

team_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
team_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group	指定された変更要求によって参照されるグループ [sys_user_group] レコードからの各フィールドの個々のオブジェクト。各フィールドオブジェクトには、フィールド名であるキーがあり、 *value* プロパティと *display_value* プロパティが含まれています。フィールドタイプが日付/時刻の場合、メソッドはユーザーのタイムゾーンにあるがシステム形式 YYYY-MM-DD HH24:MM:SS である *display_value_internal* プロパティも返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_user_group": {`
	`"active": {Object},`
	`"cost_center": {Object},`
	`"default_assignee": {Object},`
	`"description": {Object},`
	`"email": {Object},`
	`"exclude_manager": {Object},`
	`"include_members": {Object},`
	`"manager": {Object},`
	`"name": {Object},`
	`"parent": {Object},`
	`"roles": {Object},`
	`"source": {Object},`
	`"sys_created_by": {Object},`
	`"sys_created_on": {Object},`
	`"sys_id": {Object},`
	`"sys_mod_count": {Object},`
	`"sys_tags": {Object},`
	`"sys_updated_by": {Object},`
	`"sys_updated_on": {Object},`
	`"type": {Object}`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.active	グループがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：グループはアクティブです。 • false：グループは非アクティブ化されています。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"active": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Boolean
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール

team_success_score.sys_user_group.cost_center	グループに関連付けられているコストセンターの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"cost_center": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.cost_center.display_value	cost_center の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.cost_center.value	cost_center の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.default_assignee	グループのデフォルトのアサイニーであるユーザーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"default_assignee": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.default_assignee.display_value	default_assignee の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.default_assignee.value	default_assignee の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.description	グループの説明
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	  "display_value": "String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.description.display_value	説明の値を表示します。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.description.value	説明の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.email	グループのメールアドレス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"description": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.email.display_value	メールの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.email.value	メールの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.exclude_manager	グループのマネージャーがグループメールを受信するかどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	• true：マネージャーはグループメールを受信しません。
	• false：マネージャーはグループメールを受信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"exclude_manager": {
	"display_value": "String",
	"value": Boolean
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.exclude_manager.display_value	exclude_manager の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.exclude_manager.value	exclude_manager の内部値。 データタイプ：ブール
team_success_score.sys_user_group.include_members	誰かがグループのメールアドレスにメールを送信したときに、グループメンバーが個々のメー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	ルを受信するかどうかを示すフラグ。この機能の唯一の例外は承認通知です。選択に関係なく、グループのすべてのメンバーが承認通知を受信します。
	
	有効な値：
	
	• true：グループ全体にメールを送信します。
	• false：default_assignee にのみメールを送信します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"include_members": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": Boolean`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.include_members.display_value	include_members の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.include_members.value	include_members の内部値。 データタイプ：ブール

team_success_score.sys_user_group.manager	グループのマネージャーの sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"manager": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.manager.display_value	マネージャーの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.manager.value	マネージャーの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.name	グループの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

team_success_score.sys_user_group.name.display_value	名前の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.name.value	名前の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.parent	このグループの親の sys_id。グループに親がある場合、子グループは親グループのロールを継承します。ただし、子グループのメンバーは親グループのメンバーではありません。たとえば、インシデントが親グループにアサインされているときに [アサイン先] ルックアップアイコンをクリックすると、親グループのメンバーのみが利用可能になります。子グループのメンバーは利用できません。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.sys_user_group.parent.display_value	親の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.parent.value	親の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.roles	グループにアサインされたユーザーロール。 データタイプ：オブジェクト `"roles": { "display_value": "String", "value": "String" }`
team_success_score.sys_user_group.roles.display_value	ロールの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.roles.value	ロールの内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.source	グループのソース。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.source.display_value	ソースの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.source.value	ソースの内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_created_by	グループレコードを作成したユーザー。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_by": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_created_on	グループレコードが最初に作成された日時。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_created_on": {
	"display_value": "String",
	"display_value_internal":
	"String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_id	グループの sys_id。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"sys_id": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count	関連するレコード情報が変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_mod_count": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by	グループ情報を最後に更新したユーザー。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_by": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on	グループ情報が最後に更新された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_updated_on": {
	  "display_value": "String",
	  "display_value_internal":
	 "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.internal_value	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

team_success_score.sys_user_group.type	グループのタイプ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"type": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

team_success_score.sys_user_group.type.display_value	タイプの表示値。 データタイプ：文字列
team_success_score.sys_user_group.type.value	タイプの内部値。 データタイプ：文字列

次のコード例は、このメソッドを使用して、チームスコアを返す応答を false に設定する方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");

gs.info(JSON.stringify(new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withTeamScore(false).getScoresForChange(chg
Gr), null, 2));
```

次の出力は、このヘルパーが true に設定されている場合に返されるチームスコア値のみを示しています。返される可能性がある他のスコアを確認するには、getScoresForChange() を参照してください。

```
{
  "team_success_score": {
    "can_read": true,
    "sys_user_group": {
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "manager": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "roles": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "description": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "source": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
      "value": "2018-03-07 21:00:41",
      "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
    },
    "type": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352",
      "value": "5f6441efc0a8010e0177fcb589156352"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "glide.maint",
      "value": "glide.maint"
    },
    "cost_center": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "default_assignee": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2018-03-07 21:00:41",
      "value": "2018-03-07 21:00:41",
      "display_value_internal": "2018-03-07 21:00:41"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": {
        "display_value": "IT Securities",
        "value": "IT Securities"
      },
      "exclude_manager": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "email": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "include_members": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "glide.maint",
        "value": "glide.maint"
      }
    },
    "score": {
      "indicator": {
        "name": "Change success scores",
        "sys_id": "0ff316e173081010491d235f04f6a758"
      },
      "value": 465,
      "display_value": "465",
      "delta": {
        "value": 0,
        "display_value": "0"
      },
      "has_score": true
    },
    "chg_success_score_rating": {
      "score_start": {
        "display_value": "0",
        "value": 0
      },
      "score_end": {
        "display_value": "499",
        "value": 499
      },
      "color": {
        "display_value": "#FCCAC9",
        "value": "#FCCAC9"
      },
      "rating": {
        "display_value": "Low",
        "value": "Low"
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "0",
        "value": 0
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": true
      },
      "sys_overrides": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
        "value": "2020-03-27 07:43:29",
        "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Success Score Rating",
        "value": "chg_success_score_rating"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717",
        "value": "7ad380b573330010491d235f04f6a717"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2020-03-27 07:43:29",
        "value": "2020-03-27 07:43:29",
        "display_value_internal": "2020-03-27 07:43:29"
      },
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "value": "global"
      },
      "sys_name": {
        "display_value": "Low",
        "value": "Low"
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      }
    }
  }
```


ChangeSuccess - withTeamScoreRatings(ブール **toggle)**

関連メソッドがすべての変更の成功スコア評価レコードの詳細を返すかどうかを制御します。デフォルトでは、この情報は返されません。

このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトのこのデータの返却のオンとオフを切り替えます。このメソッドはヘルパーメソッドであり、次のような成功スコアを返す他のメソッドのいずれかと組み合わせて使用する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ChangeSuccess - getScoresForChange(オブジェクト chgGr)
- ChangeSuccess - getTeamScoreForChange(オブジェクト chgGr)
- ChangeSuccess - getModelScoreForModelId(文字列 sys_id, 文字列 domain_id)

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	すべてのチームの成功スコア評価レコードの詳細を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての変更の成功スコア評価レコードの詳細を返します。 • false：すべての変更の成功スコア評価レコードの詳細を返しません。 デフォルト値：false

返される内容

パラメーター	説明
ratings	
ratings.active	関連する変更の成功スコアレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更の成功スコアレコードはアクティブです。 • false：変更の成功スコアレコードはアクティブではありません。 データタイプ：オブジェクト `"active": { "display_value": "String", "value": Boolean }`
ratings.active.display_value	アクティブフラグの値を表示します。 データタイプ：文字列
ratings.active.value	アクティブフラグの内部値。 データタイプ：ブール
ratings.color	変更要求の変更の成功スコアカードに表示される、関連する変更の成功スコアの色。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"color": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

ratings.color.display_value	色の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.color.value	色の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.rating	低または高などの変更の成功スコア評価。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"rating": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

ratings.rating.display_value	評価の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.rating.value	評価の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.score_end	変更の成功スコアの最高値。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score_end": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

ratings.score_end.display_value	score_end の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.score_end.value	score_end の内部値。 データタイプ：数値

ratings.score_start	変更の成功スコアの最低値。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"score_start": {
	  "display_value": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
ratings.score_start.display_value	score_start の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.score_start.value	score_start の内部値。 データタイプ：数値
ratings.sys_class_name	変更の成功スコア評価テーブル名。常に変更の成功スコア評価/chg_success_score_rating。 データタイプ：オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
ratings.sys_class_name.display_value	sys_class_name の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_class_name.value	sys_class_name の内部値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_created_by	関連する変更の成功スコア評価レコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_by": { "display_value": "String", "value": "String" }`
ratings.sys_created_by.display_value	sys_created_by の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_created_by.value	sys_created_by の内部値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_created_on	変更の成功スコア評価レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：オブジェクト `"sys_created_on": { "display_value": "String", "display_value_internal": "String", "value": "String" }`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
ratings.sys_created_on.display_value	sys_created_on の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_created_on.display_value_internal	sys_created_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_created_on.value	sys_created_on の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更の成功スコアレコードが関連付けられているドメインの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_domain": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

ratings.sys_domain.display_value	sys_domain の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_domain.value	sys_domain の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_id	関連する変更の成功スコアレコードの一意の識別子。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_id": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

ratings.sys_id.display_value	sys_id の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_id.value	sys_id の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_mod_count	関連する変更の成功スコアレコードが変更された回数。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_mod_count": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"value": Number
	}</pre>

ratings.sys_mod_count.display_value	sys_mod_count の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_mod_count.value	sys_mod_count の内部値。 データタイプ：数値

ratings.sys_name	変更の成功スコア評価の名前。
	可能な値：
	• 優秀
	• 高
	• 低
	• 中
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_name": {
	"display_value": "String",
	"value": Number
	}</pre>

ratings.sys_name.display_value	sys_name の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_name.value	sys_name の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_overrides	同じテーブル内にあるが、現在のレコードより上位のドメインにあるレコードの sys_id。これにより、下位のドメインのレコードがその上位のドメインのレコードを上書きできます。
	たとえば、「global」ドメインで定義された評価レコードがあっても、ドメイン「TOP/ACME」では「global」のレコードが上書きされます。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_overrides": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

ratings.sys_overrides.display_value	sys_overrides の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
ratings.sys_overrides.value	sys_overrides の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_tags	変更の成功スコアレコードに関連付けられたシステムタグのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_tags": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

ratings.sys_tags.display_value	sys_tags の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_tags.value	sys_tags の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_updated_by	関連する変更の成功スコアレコードを最後に更新したユーザーの名前。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_updated_by": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

ratings.sys_updated_by.display_value	sys_updated_by の表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_updated_by.value	sys_updated_by の内部値。 データタイプ：文字列

ratings.sys_updated_on	関連する変更の成功スコアレコードが最後に更新された日時。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sys_created_on": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "display_value_internal":`
	` "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

ratings.sys_updated_on.display_value	sys_updated_on の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
ratings.sys_updated_on.display_value_internal	sys_updated_on の内部表示値。 データタイプ：文字列
ratings.sys_updated_on.value	sys_updated_on の内部値。 データタイプ：文字列

次のコード例は、このメソッドを使用して、チームスコア評価を返す応答を false に設定する方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");

gs.info(JSON.stringify(new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withTeamScoreRatings(false).getTeamScoreFor
Change(chgGr), null, 2));
```

次の出力は、このヘルパーが true に設定されている場合に返されるチームスコア値のみを示しています。返される可能性がある他のスコアを確認するには、このヘルパーを関連付けるメソッドを参照してください。

```
"ratings": [
  {
    "score_start": {
      "display_value": "700",
      "value": 700
    },
    "score_end": {
      "display_value": "850",
      "value": 850
    },
    "color": {
      "display_value": "#A4EDA8",
      "value": "#A4EDA8"
    },
    "rating": {
      "display_value": "Excellent",
      "value": "Excellent"
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "1",
      "value": 1
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_overrides": {
      "display_value": "",
      "value": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:45:36",
      "value": "2020-03-27 07:45:36",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:45:36"
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Success Score Rating",
      "value": "chg_success_score_rating"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "76e440fd73330010491d235f04f6a7df",
      "value": "76e440fd73330010491d235f04f6a7df"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-03-27 07:44:46",
      "value": "2020-03-27 07:44:46",
      "display_value_internal": "2020-03-27 07:44:46"
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Excellent",
      "value": "Excellent"
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    }
  }
]
```


ChangeSuccess - withTypeScore(ブール **toggle)**

getScoresForChange() メソッドで呼び出された場合にのみ有効です。*getScoresForChange()* メソッドがタイプスコアを返すかどうかを制御します。デフォルトでは、タイプスコアは返されます。

このメソッドを使用して、現在の ChangeSuccess オブジェクトのこのデータの返却のオンとオフを切り替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トグル	ブーリアン	タイプの成功スコアを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：タイプの成功スコアを返します。 • false：タイプの成功スコアを返しません。 デフォルト：true

返される内容

パラメーター	説明

type_success_score	タイプの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type_success_score": {`
	`  "can_read": Boolean,`
	`  "score": {Object},`
	`  "type": {Object}`
	`}`

type_success_score.can_read	指定された変更要求のタイプ成功スコアを取得できたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：タイプ成功スコアが取得されました。 • false：タイプ成功スコアが取得されませんでした。 データタイプ：ブール

type_success_score.score	返されたスコアインジケーターの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"score": {`
	`  "delta": {Object},`
	`  "display_value": "String",`
	`  "has_score": Boolean,`
	`  "indicator": {Object},`
	`  "value": Number`
	`}`

type_success_score.score.delta	前のスコアからのスコアの変化。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"delta": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

type_success_score.score.delta.display_value	delta の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
type_success_score.score.delta.value	delta の内部値。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.display_value	パフォーマンスアナリティクス (PA) によって返された表示値。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.has_score	指定された変更要求のスコアが返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スコアが返されました。 • false：スコアが返されませんでした。 データタイプ：ブール

type_success_score.score.indicator	スコアを取得するために使用される PA インジケーターのその他の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"indicator": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

type_success_score.score.indicator.name	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの名前。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.indicator.sys_id	スコアを取得するために使用される PA インジケーターの sys_id。 データタイプ：文字列
type_success_score.score.value	PA によって返される成功スコアの値。 データタイプ：文字列

type_success_score.type	タイプの成功スコアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
type_success_score.type.display_value	選択肢のラベル。 データタイプ：文字列
type_success_score.type.sys_id	指定された変更タイプの選択肢 [sys_choice] レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
type_success_score.type.value	選択肢の値。 データタイプ：文字列

次のコード例は、このメソッドを使用して、目的のタイプスコアを返す応答を設定する方法を示しています。

```
var chgGr = new GlideRecord("change_request");
chgGr.get("number", "CHG0030305");

gs.info(JSON.stringify(new
 sn_chg_score.ChangeSuccess().withTypeScore(true).getScoresForChange(chgG
r), null, 2));
```

次の出力は、このヘルパーが true に設定されている場合に返されるタイプの成功スコア値のみを示しています。返される可能性がある他のスコアを確認するには、getScoresForChange() を参照してください。

```
"type_success_score": {
  "can_read": true,
  "type": {
    "sys_id": "e7a27d53cb100200d71cb9c0c24c9c2f",
    "value": "normal",
    "display_value": "Normal"
  },
  "score": {
    "indicator": {
      "name": "Change Type: % Successful and Successful With Issues",
      "sys_id": "f9d25995c3ce011005aea539e540ddee"
    },
    "value": null,
    "display_value": "",
    "delta": {
      "value": "0",
      "display_value": ""
    },
    "has_score": false
  }
}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CheckDefinitionTestBuilder - スコープ指定

CheckDefinitionTestBuilder スクリプトインクルードは、チェック定義に対するチェックテスト要求を作成できるようにするメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードには エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_agent` 名前空間内で提供されます。詳細については、「エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

REST API ソリューションについては、「エージェントクライアントコレクター API」を参照してください。

このスクリプトインクルードは、以下を有効にするメソッドを提供します。

- テストするチェック定義を設定
- テストを実行するための構成アイテムを設定

テスト中に使用する次のいずれかの識別子を指定することもできます。

- 資格情報 sys_id
- 資格情報エイリアス ID
- 資格情報名

CheckDefinitionTestBuilder - CheckDefinitionTestBuilder()

CheckDefinitionTestBuilder インスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*CheckDefinitionTestBuilder* を初期化する方法を示しています。

```
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
```

CheckDefinitionTestBuilder - build()

引数を設定してテストチェック要求を構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	テスト結果レコード ID とエラーの 2 つの属性を持つ JSON オブジェクト。ビルドが成功した場合、テスト結果 ID が返され、エラーは null です。ビルド中にエラーが発生した場合、テスト結果 ID は null になり、エラーが表示されます。

次の例は、テストチェック要求の構築方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();

var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();

if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCheckId(文字列 **checkId)**

テストするチェック定義の sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkId	文字列	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックの作成方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCiId(文字列 **ciId)**

テストを実行する対象の構成アイテムの sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciId	文字列	CMDB 構成アイテムの sys_id

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェック要求の作成方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCredentialsAliasId(文字列 credentialsAliasId)

テスト中に使用する資格情報エイリアスの sys_id を設定します。

> **注:** これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsAliasId	文字列	資格情報レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報エイリアス ID を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credAlias = "<sys_id>";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsAliasId(credAlias).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCredentialsAliasName(文字列 credentialsAliasName)

テスト中に使用する資格情報エイリアス名を設定します。指定された値が複数の資格情報エイリアスレコードの名前と一致する場合、そのうちの 1 つがランダムに選択されます。

> **注:** これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsAliasName	文字列	資格情報エイリアスの名前。

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報エイリアス名を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credentialsAliasName = "credentialsAliasName";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsAliasName(credentialsAliasNa
me).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCredentialsId(文字列 credentialsId)

テスト中に使用する資格情報の sys_id を設定します。

> **注:** これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsId	文字列	資格情報レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報 ID を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credID = "<sys_id>";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsId(credID).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckDefinitionTestBuilder - withCredentialsName(文字列 credentialsName)

テスト中に使用する資格情報名を設定します。指定された値が複数の資格情報レコードの名前である場合、そのうちの 1 つがランダムに選択されます。

> **注:** これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsName	文字列	資格情報レコードの名前。

返される内容

タイプ	説明
CheckDefinitionTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報名を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credname = "credentialsName";
var builder = new sn_agent.CheckDefinitionTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsName(credName).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - スコープ指定

CheckInstanceTestBuilder スクリプトインクルードは、チェックインスタンスでテストチェック要求をビルドできるようにするメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードには エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_agent` 名前空間内で提供されます。詳細については、「エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

REST API ソリューションについては、「エージェントクライアントコレクター API」を参照してください。

このスクリプトインクルードは、以下を有効にするメソッドを提供します。

- テストするチェックインスタンスを設定
- テストを実行するための構成アイテムを設定

テスト中に使用する次のいずれかの識別子を指定することもできます。

- 資格情報 sys_id
- 資格情報エイリアス ID
- 資格情報名

CheckInstanceTestBuilder - CheckInstanceTestBuilder()

CheckInstanceTestBuilder インスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*CheckInstanceTestBuilder* を初期化する方法を示しています。

```
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
```

CheckInstanceTestBuilder - build()

引数を設定してテストチェック要求を構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	テスト結果レコード ID とエラーの 2 つの属性を持つ JSON オブジェクト。ビルドが成功した場合、テスト結果 ID が返され、エラーは null です。ビルド中にエラーが発生した場合、テスト結果 ID は null になり、エラーが表示されます。

次の例は、テストチェック要求の構築方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();

var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();

if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCheckId(文字列 checkId)

テストするチェック定義の sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
checkId	文字列	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックの作成方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCiId(文字列 ciId)

テストを実行する対象の構成アイテムの sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciId	文字列	CMDB 構成アイテムの sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェック要求の作成方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var ciId = "cc0dcc855374301062d1ddeeff7b12b0";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson = builder.withCheckId(checkId).withCiId(ciId).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCredentialsAliasId(文字列 **credentialsAliasId)**

テスト中に使用する資格情報エイリアスの sys_id を設定します。

注: これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsAliasId	文字列	資格情報エイリアスレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報エイリアス ID を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credAlias = "<sys_id>";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsAliasId(credAlias).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCredentialsAliasName(文字列 **credentialsAliasName)**

テスト中に使用する資格情報エイリアス名を設定します。指定された値が複数の資格情報エイリアスレコードの名前と一致する場合、そのうちの 1 つがランダムに選択されます。

注: これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsAliasName	文字列	資格情報エイリアスの名前。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報エイリアス名を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credentialsAliasName = "credentialsAliasName";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsAliasName(credentialsAliasNa
me).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCredentialsId(文字列 **credentialsId)**

テスト中に使用する資格情報の sys_id を設定します。

> **注:** これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsId	文字列	資格情報レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報 ID を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credID = "<sys_id>";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsId(credID).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withCredentialsName(文字列 **credentialsName)**

テスト中に使用する資格情報名を設定します。指定された値が複数の資格情報レコードの名前である場合、そのうちの 1 つがランダムに選択されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: これを実行すると、withCredentialsName、withCredentialsAliasId、または withCredentialsAliasName を呼び出すことによって行われた以前の割り当てがすべて削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credentialsName	文字列	資格情報レコードの名前。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成して資格情報名を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var credname = "credentialsName";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withCredentialsName(credName).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

CheckInstanceTestBuilder - withProxyAgentId(文字列 agentId)

テストを実行するエージェントを設定します。テスト対象のチェックインスタンスとポリシーがプロキシの場合にのみ許可されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentId	文字列	このチェックを実行するエージェントプロキシの一意の ID。この値は、Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされます。

返される内容

タイプ	説明
CheckInstanceTestBuilder	メソッドが呼び出された対象のビルダーインスタンス。

次の例は、テストチェックを作成してプロキシエージェント ID を設定する方法を示しています。

```
var checkId = "158279505372b30034b8ddeeff7b1270";
var agentId = "<agentID>";
var builder = new sn_agent.CheckInstanceTestBuilder();
var testResultJson =
 builder.withCheckId(checkId).withAgentId(agentId).build();
if (!gs.nil(testResultJson.error))
 gs.error(testResultJson.error);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIActionEngine - スコープ指定

CIActionEngine API には、構成アイテム (CI) に対する任意のアクションの実行、アクション実行前のユーザーの承認の確認、およびアクション実行要求の状態とアクション出力の取得を可能にするメソッドが用意されています。

CI アクションは、メトリクスおよび CI アクションフレームワークアプリケーションに関連付けられています。スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、 `sn_cimaf` 名前空間識別子を使用します。*CIActionEngine* API にはメトリクスおよび CI アクションフレームワーク (com.snc.sn_cimaf) プラグインが必要であり、`sn_cimaf` 名前空間内で提供されます。

CIActionEngine - execute()

設定されたアクションパラメーターを使用して CI に対して任意のアクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アクション	文字列または Glide レコード	Action [sn_cimaf_action] テーブルの Sys_id または GlideRecord。
CI	文字列または Glide レコード	アクションを実行する必要がある CMDB [cmdb_ci] テーブルの Sys_id または GlideRecord
actionParams	オブジェクト	オプション。アクションパラメーターの名前と値のマップ。 `{ "<parameter name>": <parameter value> }` 注: パラメーター値は、アクションパラメーター [sn_cimaf_action_parameter] テーブルで定義されたタイプである必要があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	新規または既存の重複する進行中のアクション要求のSys_id。

次の例は、CI でプロセスを強制終了する方法を示しています。

```
var actionSysId = "6303db0d53b99910ae50ddeeff7b121e";
//Sys_id of the Action - End Process
var ciSysId = "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1"; //Sys_id of the CI
var actionParams = {
    process_id: 23342 //Process id of the process to be killed
};

var ciActionEngine = new sn_cimaf.CIActionEngine();
var actionRequestId = ciActionEngine.execute(actionSysId, ciSysId,
 actionParams);

gs.info("Action Request Id: " + actionRequestId);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
Action Request Id: e34e3a199d16a510f877a45cc5e8a492
```

CIActionEngine - getActionRequestOutput()

アクション実行要求のステータスとアクション出力を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アクション要求	Glide レコード	アクション要求 [sn_cimaf_action_request] テーブルの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	オブジェクトには、指定されたアクション要求のアクション出力のステータスとリストが含まれています。 `{ "sys_id": "String", "state": "String", //Possible values: completed, in_progress, failed "sn_cimaf_action_output": [{ "sys_id": "String", "action_command": "String", //Sys_id of the Action Configuration Step table "payload": "String", "state": "String", //Possible values: completed, in_progress, failed, validation_failure "request_id": "String" //Unique id returned by Provider on executing action_command }] }`

次の例は、任意のアクション要求のステータスとアクション出力を取得する方法を示しています。

```
var actionRequestGr = new GlideRecord('sn_cimaf_action_request');
actionRequestGr.get('e34e3a199d16a510f877a45cc5e8a492');

var ciActionEngine = new sn_cimaf.CIActionEngine();
var actionRequestOutput =
 ciActionEngine.getActionRequestOutput(actionRequestGr);
gs.info("Action Request Output: " + JSON.stringify(actionRequestOutput,
 null, 2));
```

出力:

```
{
  "sys_id": "e34e3a199d16a510f877a45cc5e8a492",
  "state": "completed",
  "sn_cimaf_action_output": [
    {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "sys_id": "405ef2599d16a510f877a45cc5e8a41e",
      "action_command": "b0e43efb53259510ae50ddeeff7b129b",
      "payload": "{\"output\":\"SUCCESS: The process with PID 23342 has
 been terminated.\\r\\n\",\"cmd\":\"taskkill /pid 23342 /f\"}",
      "state": "completed",
      "request_id": "cc5ef2599d16a510f877a45cc5e8a41d"
    }
  ]
}
```

CIActionEngine - isAuthorized()

指定された構成に従ってアクションを実行する前に、サインインしているユーザーの権限を確認します。

構成は、アクションロール [sn_cimaf_action_role]、ユーザー基準のアクションの包含 [sn_cimaf_action_user_criteria_mtom]、およびユーザー基準のアクションの除外 [sn_cimaf_action_user_criteria_no_mtom] テーブルで定義されます。

注: デフォルトでは、これらのテーブルのいずれにもアクションの構成がない場合、認証は失敗します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アクション	Glide レコード	Action [sn_cimaf_action] テーブルの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーの認可が成功したことを示すフラグ。 有効な値： • true:ユーザーにはアクションを実行する権限があります。 • false:ユーザーにアクションの実行権限があります。

次の例では、 *isAuthorized()* メソッドを使用して、CI でアクションを実行するユーザーの権限を確認します。

```
var actionSysId = "6303db0d53b99910ae50ddeeff7b121e" //Sys_id of the
 Action
var actionGr = new GlideRecord('sn_cimaf_action');
actionGr.get('6303db0d53b99910ae50ddeeff7b121e');

var ciActionEngine = new sn_cimaf.CIActionEngine();
var isAuthorized = ciActionEngine.isAuthorized(actionGr);
gs.info("Is user authorized: " + isAuthorized);
```

```
Is user authorized: true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIData - グローバル

CIData スクリプトインクルードは、JavaScript で構成アイテム (CI) データ構造を操作するためのメソッドを提供するユーティリティクラスです。

このスクリプトインクルードには、 ディスカバリー (com.snc.discovery.core) プラグインが必要です。これは、任意のサーバー側 ディスカバリー スクリプトで使用できます。

このクラスのインスタンスは、CI (基本レコードと関連リストの両方) を表し、提供されたメソッドは、基本レコードと関連リストの両方からの読み込みまたはこれらを格納することを許可します。

このクラスは、プロパティ名と値のペアのマップとして機能する単純なクラスのコンテナとして機能します。このクラスには、このような3種類のマップが含まれています。

- ベースCIテーブルエントリを表す単一のマップ(cmdb_ci_linux_serverとそのスーパークラスなど)。このマップは、 CIData - getData() メソッドを使用して取得できます。
- 関連するリストのインスタンスを表すマップのアレイ。各アレイは単一の関連リストとその関連リストの単一の行を表すそのようなアレイの各要素を表します。これらの配列は、 CIData - getRelatedList(Stringテーブル、String refField) メソッドで取得できます。
- 多対多表のインスタンスを表すマップのアレイ。各アレイは単一の多対多表を表し、そのようなアレイの各要素はその多対多表の単一行を表します。これらの配列は、 CIData - getM2MTable(文字列 table, 文字列 refField) メソッドで取得できます。

CIData - CIData(文字列 debugFlag)

CIData クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
debugFlag	文字列	デバッグログを有効にするかどうかを示すフラグです。 有効な値： • True：デバッグログは有効になります。 • False：デバッグログは有効になりません。

この例は、関連リストを作成して CIData オブジェクトに追加します。

```
var ciDataObj = new CIData();
var rl = new CIRelatedList('cmdb_serial_number', 'cmdb_ci');
var sr = {};
sr['serial_number_type'] = "bios";
sr['serial_number'] = "1BC5E4z89246";
sr['valid'] =  "true";
rl.addRec(sr);
ciDataObj.addRelatedList(rl);
```

CIData - addRelatedList(アレイ relatedList)

指定された関連リストをこのインスタンスに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
relatedList	アレイ	追加する関連リストです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、関連リストを作成して CIData オブジェクトに追加します。

```
var ciDataObj = new CIData();
var rl = new CIRelatedList('cmdb_serial_number', 'cmdb_ci');
var sr = {};
sr['serial_number_type'] = "bios";
sr['serial_number'] = "1BC5E4z89246";
sr['valid'] =  "true";
rl.addRec(sr);
ciDataObj.addRelatedList(rl);
```

CIData - convertRelatedList(String sensor、String tableName、String refField、String keyName)

指定された関連リストを、指定されたセンサーの関連リストに変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
センサー	文字列	センサー
tableName	文字列	テーブル名
refField	文字列	参照フィールド
keyName	文字列	キー名

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIData - fromXML(文字列 xml)

指定された XML 文字列から現在の CIData インスタンスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xml	文字列	XML 文字列です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、検出中に収集された XML 形式のテスト CI データを取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var xmlCIData = '<CIData><data><fld name="cpu_name">Intel(R)
 Xeon(R) CPU E5-2686 v4 @ 2.30GHz</fld><fld
 name="host_name">ip-172-31-19-95</fld><fld
 name="kernel_release">3.10.0-1160.45.1.el7.x86_64</fld><fld
 name="os">Linux CentOS</fld></data></CIData>';

var ciData = new CIData();

ciData.fromXML(xmlCIData);
gs.log(ciData);
```

出力:

```
CIData instance:
  cpu_name: Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2686 v4 @ 2.30GHz
  host_name: ip-172-31-19-95
  kernel_release: 3.10.0-1160.45.1.el7.x86_64
  os: Linux CentOS
[object Object]
```

CIData - getData()

ベース CI レコードのデータマップを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データマップ

CIData - getM2MTable(文字列 table, 文字列 refField)

指定された多対多リスト内のデータマップのアレイを (この CI に) 返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	関連リストを含むテーブルの名前。多対多リストの場合、これはターゲット テーブルではなく、多対多テーブルの名前になります。
refField	文字列	このCIを参照する関連リスト内のフィールドの名前。多対多リストの場合、ターゲット テーブルではなく、他タイ他テーブルの参照フィールドの名前になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された多対多リスト内のデータマップのリストです。リストは順不同になります。 多対多リストでない場合、空のアレイを返します。

この例は、cmdb_software_instance テーブルの installed_on フィールドの多対多の関係を取得する方法を示しています。

```
function () {
  //Instantiate a new CIData class object
  var cdta = new CIData();

  //Load the current data from a CI record.
  cdta.loadFromCI('b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1');

  // Returns an Array of Objects (records) of a given M2M related list
  var records = cdta.getM2MTable('cmdb_software_instance',
 'installed_on');

  gs.info(JSON.stringify(records, null, 4));

})();
```

出力：

```
[
  {
    "sys_id": "208983661b3330106cdf0f26624bcb4b",
    "software": "46c1ec3ca9fe198100beafe77332be9a",
    "sys_updated_on": "2021-11-16 18:32:35",
    "sys_created_on": "2021-11-16 18:32:35",
    "name": "3D Groove Playback Engine-*ANNIE-IBM",
    "installed_on": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1"
  },
  {
    "sys_id": "288983661b3330106cdf0f26624bcb4a",
    "software": "0c43bc5fc61122750182c13269a7a3ef",
    "sys_updated_on": "2021-11-16 18:32:35",
    "sys_created_on": "2021-11-16 18:32:35",
    "name": ".NET SDK 2003-*ANNIE-IBM",
    "installed_on": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1"
  }
]
```

CIData - getRelatedList(Stringテーブル、String refField)

指定された関連リスト(この CI への)のデータのマップのアレイを取得します。

このアレイは特定の順番ではありません。多対多リストの場合、これは多対多テーブルではなく、ターゲット テーブルのインスタンスのアレイになります。例えば、 'cmdb_software_instance'と 'installed_on'(多対多テーブルと CI を参照するフィールド)を指定すると、このメソッドは cmdb_ci_spkg(ターゲット テーブル)インスタンスを表すマップのアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	関連リストを含むテーブルの名前。多対多リストの場合、これはターゲット テーブルではなく、多対多テーブルの名前になります。
refField	文字列	このCIを参照する関連リスト内のフィールドの名前。多対多リストの場合、ターゲット テーブルではなく、他タイ他テーブルの参照フィールドの名前になります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された関連リスト内のデータのマップのアレイ

CIData getRelatedListInstance(String table、String **refField)**

指定されたリストの CIRelatedList のインスタンスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	関連リストを含むテーブルの名前。多対多リストの場合、これはターゲット テーブルではなく、多対多テーブルの名前になります。
refField	文字列	このCIを参照する関連リスト内のフィールドの名前。多対多リストの場合、ターゲット テーブルではなく、他タイ他テーブルの参照フィールドの名前になります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたリストの `CIRelatedList` のインスタンスです。

次のコード例は、*`getRelatedListInstance()`* メソッドを使用して、削除する関連リストの関係を検索します。

```
removeAllRelatedList: function(ci_id) {
  var cdta = new CIData('false');
  cdta.init();
  cdta.loadFromCI(ci_id); // Get a Computer CI Instance
  var cirelatedlist = cdta.getRelatedListInstance('cmdb_rel_ci',
 'parent'); // Get the CIRelatedList instance holding all relationships
 of the above CI.
  cirelatedlist.remove(); // Remove all the CI Relationships
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIData - init()

新しい CI を読み込む準備としてこのインスタンスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cdta = CIData('false');
cdta.init();
```

CIData - loadFromCI(文字列 cmdb_ci)

指定された sys_id から現在のデータをロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cmdb_ci	文字列	CI の sys_id

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された CI からの現在のデータ

```
var cdta = CIData('false');
cdta.init();
cdta.loadFromCI('ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7');
```

CIData - toString()

この CIData インスタンスの名前を文字列に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	インスタンスの名前

この例は、現在の CI から CIData をロードし、この新しい CIData インスタンスを文字列形式に変換します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var cidata = new CIData(); // Instantiate a new CIData class object
cidata.loadFromCI('0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f'); // Load the
 current data from a CI record. Use sys_id or ci name.
cidata.toString(); // Convert the name of this CIData instance to a
 string.
gs.info(cidata); // Display name value pairs of the current CI
```

出力：

```
CIData instance:
  sys_id: 0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f
  operational_status: 1
  os_service_pack: Service Pack 1
  cpu_manufacturer: 0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4
  sys_updated_on: 2022-01-11 07:44:05
  discovery_source: Other Automated
  ram: 503
  cpu_speed: 1993
  sys_domain_path: /
  disk_space: 37.26
  cost_center: d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652
  assigned: 2020-08-31 08:00:00
  cd_speed: -1
  can_print: 0
  sys_class_name: cmdb_ci_computer
  manufacturer: add7b97737e3100044e0bfc8bcbe5d96
  cpu_count: 1
  vendor: adb3d8ce37413000158bbfc8bcbe5d15
  assigned_to: 5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007
  os_version: 5.1.2600
  cd_rom: 0
  unverified: 0
  asset: aac1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5d3b
  skip_sync: 0
  sys_created_on: 2005-05-24 01:14:19
  sys_domain: global
  cpu_type: GenuineIntel
  install_date: 2020-05-19 07:00:00
  asset_tag: P1000143
  install_status: 1
  name: ANDREWDWXP
  subcategory: Computer
  virtual: 0
  sys_class_path: /!!/!2/!(
  company: 31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec
  department: 221f3db5c6112284009f4becd3039cc9
  cost: 1299.99
  os: Windows XP Professional
  attestation_status: Not Yet Reviewed
  monitor: 0
  ip_address: 195.11.1.1
  cost_cc: USD
  location: db9a923c0a0a0a6501068d6eaec25ee0
  category: Hardware
  fault_count: 0
[object Object]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIData - toXML()

このインスタンスのシリアル化されたバージョン(関連リストを含む)を含む XML 文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	このインスタンスと関連するリストのシリアル化されたバージョンを含む XML 文字列

```
var cdta = CIData();
cdta.toXML();
```

CIIdentification - グローバル

CIIdentification スクリプトインクルードは、構成アイテム (CI) ID のディスカバリー方法を提供します。

このスクリプトインクルードは、CI 識別用のサーバー側ディスカバリースクリプトとともに使用します。

CIIdentification - CIIdentification(文字列 **ciData**, 文字列 **logger)**

CIIdentificationクラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciData	文字列	識別する CI データ
ロガー	文字列	検出ロガー

CIIdentification - debug(文字列 **msg)**

デバッグロギングがオンになっている場合は、CI 識別ログにメッセージを記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	記録するメッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIIdentification - process()

CI を識別します。これは、CI 識別プロセス全体のエントリーポイントです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
IDResult	識別子によって返された結果

CIIdentifierResult :グローバル

CIIdentifierResult スクリプトインクルードは、構成アイテム識別子によって返された結果を返すメソッドを提供します。

サーバー側の検出スクリプトで使用します。

CIIdentifierResult - CIIdentifierResult(アレイ **matched**, ブール **matchable**, ブール **terminatedChain)**

CIIdentifierResult クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
一致	アレイ	一致する CI の sys_id のアレイ。ゼロを含む任意の数の項目を有することができます。
適合可能	ブーリアン	一致するに十分なデータが識別子に含まれていれば true。
terminatedChain	ブーリアン	識別子チェーンがフィルターの処理を停止する必要がある場合は true。続行すると False です。

CimCIData - グローバル

CimCIData スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) 構成アイテム (CI) データ操作のラッパーを提供します。

サーバー側の検出スクリプトで使用します。

CimCIData - addSerial(文字列 **type**, 文字列 **serial)**

現在の構成アイテム (CI) にシリアル番号をタイプ別に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	シリアル番号のタイプです。ベースシステムの場合は、CimCIData.serialType 列挙を使用します。
シリアル番号	文字列	追加するシリアル番号です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の CI

次の例は、現在の CI から CI データをロードし、データオブジェクトを *CimCIData.addSerial()* メソッドに渡します。これにより、シリアル番号が CimCIData と CIData に追加されます。

```
var cidata = new CIData();  //Instantiate a new CIData class object
cidata.loadFromCI('0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f');  // Load the
 current data from a CI record. use sys_id or ci name
var cimcidata = new CimCIData(cidata);  // Instantiate a new CimCIData
 class object and pass the CIdata
var cimdata = cimcidata.addSerial('baseboard','XK0HKSN6');  // Add serial
 number to the CIData and CimCIData
gs.info(JSON.stringify(cimdata, null ,4));  // The JSON payload in string
 format with added serial number and serial number type
gs.info("serial number : "+cimdata.serials.records[1].serial_number);  //
 Display serial number which is added
gs.info("serial type : "+ cimdata.serials.records[1].serial_number_type);
  // Display serial type which is added
```

出力:

```
{
  "cidata": {
    "ignoreFields": {
      "sys_created_by": true,
      "sys_updated_by": true,
      "sys_mod_count": true
    },
    "GlideRecordUtil": {},
      "debug_flag": false,
      "data": {
        "sys_id": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
        "operational_status": "1",
        "os_service_pack": "Service Pack 1",
        "cpu_manufacturer": "0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4",
        "sys_updated_on": "2021-07-05 18:03:59",
        "discovery_source": "Other Automated",
        "ram": "503",
        "cpu_speed": "1993",
        "sys_domain_path": "/",
        "disk_space": "37.26",
        "cost_center": "d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
        "assigned": "2020-08-31 08:00:00",
        "cd_speed": "-1",
        "can_print": "0",
        "sys_class_name": "cmdb_ci_computer",
        "manufacturer": "add7b97737e3100044e0bfc8bcbe5d96",
        "cpu_count": "1",
        "vendor": "adb3d8ce37413000158bbfc8bcbe5d15",
        "assigned_to": "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007",
        "os_version": "5.1.2600",
        "cd_rom": "0",
        "unverified": "0",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "asset": "aac1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5d3b",
      "skip_sync": "0",
      "sys_created_on": "2005-05-24 01:14:19",
      "sys_domain": "global",
      "cpu_type": "GenuineIntel",
      "install_date": "2020-05-19 07:00:00",
      "asset_tag": "P1000143",
      "install_status": "1",
      "name": "ANDREWDWXP",
      "subcategory": "Computer",
      "virtual": "0",
      "sys_class_path": "/!!/!2/!(",
      "company": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
      "department": "221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
      "cost": "1299.99",
      "os": "Windows XP Professional",
      "monitor": "0",
      "model_id": "0c43b0c6c611227501522de2b64679ac",
      "cost_cc": "USD",
      "location": "db9a923c0a0a0a6501068d6eaec25ee0",
      "category": "Hardware",
      "fault_count": "0",
      "serial_number": "XK0HKSN6"
    },
    "rl_map": {
      "cmdb_serial_number:cmdb_ci": {
        "GlideRecordUtil": {},
        "ignoreFields": {
          "sys_created_by": true,
          "sys_updated_by": true,
          "sys_mod_count": true
        },
        "records": [
          {
            "serial_number_type": "baseboard",
            "serial_number": "XK0HKSN6",
            "valid": true
          }
        ],
        "m2m_records": [],
        "table_name": "cmdb_serial_number",
        "field_name": "cmdb_ci",
        "cmdb_ci": "ANDREWDWXP",
        "debug_flag": false,
        "isM2M": false,
        "target_table_name": null,
        "target_ref_field_name": null
      }
    },
    "cmdb_ci": "ANDREWDWXP",
    "related": {}
  },
  "data": {
    "sys_id": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
    "operational_status": "1",
    "os_service_pack": "Service Pack 1",
    "cpu_manufacturer": "0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_updated_on": "2021-07-05 18:03:59",
    "discovery_source": "Other Automated",
    "ram": "503",
    "cpu_speed": "1993",
    "sys_domain_path": "/",
    "disk_space": "37.26",
    "cost_center": "d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
    "assigned": "2020-08-31 08:00:00",
    "cd_speed": "-1",
    "can_print": "0",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_computer",
    "manufacturer": "add7b97737e3100044e0bfc8bcbe5d96",
    "cpu_count": "1",
    "vendor": "adb3d8ce37413000158bbfc8bcbe5d15",
    "assigned_to": "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007",
    "os_version": "5.1.2600",
    "cd_rom": "0",
    "unverified": "0",
    "asset": "aac1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5d3b",
    "skip_sync": "0",
    "sys_created_on": "2005-05-24 01:14:19",
    "sys_domain": "global",
    "cpu_type": "GenuineIntel",
    "install_date": "2020-05-19 07:00:00",
    "asset_tag": "P1000143",
    "install_status": "1",
    "name": "ANDREWDWXP",
    "subcategory": "Computer",
    "virtual": "0",
    "sys_class_path": "/!!/!2/!(",
    "company": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
    "department": "221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
    "cost": "1299.99",
    "os": "Windows XP Professional",
    "monitor": "0",
    "model_id": "0c43b0c6c611227501522de2b64679ac",
    "cost_cc": "USD",
    "location": "db9a923c0a0a0a6501068d6eaec25ee0",
    "category": "Hardware",
    "fault_count": "0",
    "serial_number": "XK0HKSN6"
  },
  "serials": {
    "GlideRecordUtil": {},
    "ignoreFields": {
      "sys_created_by": true,
      "sys_updated_by": true,
      "sys_mod_count": true
    },
    "records": [
      {
        "serial_number_type": "baseboard",
        "serial_number": "XK0HKSN6",
        "valid": true
      }
    ],
    "m2m_records": [],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "table_name": "cmdb_serial_number",
      "field_name": "cmdb_ci",
      "cmdb_ci": "ANDREWDWXP",
      "debug_flag": false,
      "isM2M": false,
      "target_table_name": null,
      "target_ref_field_name": null
    },
    "serialMap": {
      "baseboard": {
        "XK0HKSN6": true
      }
    }
  }

serial number : XK0HKSN6
serial type : baseboard
```

CimCIData - SerialRecord(文字列 **type**, 文字列 **serial)**

新しいシリアルレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	CI に割り当てるシリアルタイプ。すぐに使用できる場合は、CimCIData.serialType 列挙型を使用します。
シリアル番号	文字列	割り当てるシリアル番号

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimCIData - setMakeAndModel(文字列 **make**, 文字列 **model)**

現在の構成アイテム (CI) のメーカーとモデルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
製造	文字列	設定する CI のメーカーの名前です。
モデル	文字列	設定する CI のモデルの名前です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、*setMakeAndModel()* メソッドを使用して、指定された CI のメーカーとモデルを設定する方法を示しています。

```
var cidata = new CIData(); // Instantiate a new CIData class object
cidata.loadFromCI('0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f'); // Load the
 current data from a CI record. Use sys_id or CI name
var cimcidata = new CimCIData(cidata); // Instantiate a new CimCIData
 class object and pass the CIdata
cimcidata.setMakeAndModel('IBM','Thinkpad T20'); // Set
 make(manufacturer) and model in the CIData and CimCIData
gs.info(JSON.stringify(cimcidata, null, 4)); // Display JSON payload in
 string format with added manufacturer sys_id
gs.info("model= "+cimcidata.data.model_id); // Display model sys_id which
 is added from cmdb_hardware_product_model table
```

出力:


```
{
    "cidata": {
        "ignoreFields": {
            "sys_created_by": true,
            "sys_updated_by": true,
            "sys_mod_count": true
        },
        "GlideRecordUtil": {},
        "debug_flag": false,
        "data": {
            "sys_id": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
            "operational_status": "1",
            "os_service_pack": "Service Pack 1",
            "cpu_manufacturer": "0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4",
            "sys_updated_on": "2022-01-06 18:07:50",
            "discovery_source": "Other Automated",
            "ram": "503",
            "cpu_speed": "1993",
            "sys_domain_path": "/",
            "disk_space": "37.26",
            "cost_center": "d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
            "assigned": "2020-08-31 08:00:00",
            "cd_speed": "-1",
            "can_print": "0",
            "sys_class_name": "cmdb_ci_computer",
            "manufacturer": "b7e7c073c0a801690143e7b7d29eb408",
            "cpu_count": "1",
            "vendor": "adb3d8ce37413000158bbfc8bcbe5d15",
            "assigned_to": "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007",
            "os_version": "5.1.2600",
            "cd_rom": "0",
            "unverified": "0",
            "asset": "aac1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5d3b",
            "skip_sync": "0",
            "sys_created_on": "2005-05-24 01:14:19",
            "sys_domain": "global",
            "cpu_type": "GenuineIntel",
            "install_date": "2020-05-19 07:00:00",
            "asset_tag": "P1000143",
            "install_status": "1",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "name": "ANDREWDWXP",
            "subcategory": "Computer",
            "virtual": "0",
            "sys_class_path": "/!!/!2/!(",
            "company": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
            "department": "221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
            "cost": "1299.99",
            "os": "Windows XP Professional",
            "monitor": "0",
            "ip_address": "198.11.23.111",
            "cost_cc": "USD",
            "location": "db9a923c0a0a0a6501068d6eaec25ee0",
            "category": "Hardware",
            "fault_count": "0",
            "model_id": "0c43b124c611227501522de2a381613e"
        },
        "rl_map": {},
        "cmdb_ci": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
        "related": {}
    },
    "data": {
        "sys_id": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
        "operational_status": "1",
        "os_service_pack": "Service Pack 1",
        "cpu_manufacturer": "0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4",
        "sys_updated_on": "2022-01-06 18:07:50",
        "discovery_source": "Other Automated",
        "ram": "503",
        "cpu_speed": "1993",
        "sys_domain_path": "/",
        "disk_space": "37.26",
        "cost_center": "d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
        "assigned": "2020-08-31 08:00:00",
        "cd_speed": "-1",
        "can_print": "0",
        "sys_class_name": "cmdb_ci_computer",
        "manufacturer": "b7e7c073c0a801690143e7b7d29eb408",
        "cpu_count": "1",
        "vendor": "adb3d8ce37413000158bbfc8bcbe5d15",
        "assigned_to": "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007",
        "os_version": "5.1.2600",
        "cd_rom": "0",
        "unverified": "0",
        "asset": "aac1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5d3b",
        "skip_sync": "0",
        "sys_created_on": "2005-05-24 01:14:19",
        "sys_domain": "global",
        "cpu_type": "GenuineIntel",
        "install_date": "2020-05-19 07:00:00",
        "asset_tag": "P1000143",
        "install_status": "1",
        "name": "ANDREWDWXP",
        "subcategory": "Computer",
        "virtual": "0",
        "sys_class_path": "/!!/!2/!(",
        "company": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
        "department": "221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "cost": "1299.99",
        "os": "Windows XP Professional",
        "monitor": "0",
        "ip_address": "198.11.23.111",
        "cost_cc": "USD",
        "location": "db9a923c0a0a0a6501068d6eaec25ee0",
        "category": "Hardware",
        "fault_count": "0",
        "model_id": "0c43b124c611227501522de2a381613e"
    },
    "serials": null,
    "serialMap": {}
}
model= 0c43b124c611227501522de2a381613e
```

CimIDSensor - グローバル

CimIDSensor スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) プローブ結果の識別を実行するメソッドを提供します。

任意のサーバー側スクリプトで使用して、CIM プローブ結果の識別を実行します。

CimIDSensor - configureTriggeredProbe(文字列 probe)

トリガーされたプローブを起動する前に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
プローブ	文字列	発射準備が整っている、すでに設定されているプローブ

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	このプローブを起動する場合は true、スキップする場合は false です。

CimIDSensor - getInstanceHashToken()

インスタンスハッシュトークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ハッシュトークン

CimIDSensor - prepare()

プローブの結果を準備します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimIDSensor - process(オブジェクト **results, CimCIData cimData, CimIDSensor sensor)**
CIM ID センサーのすべての CIM プローブ照会結果を処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
結果	オブジェクト	クエリー結果
cimData	CimCIData API	識別されているデバイスのCIデータ
センサー	CimIDS センサー	ラッピングセンサー、CimIDSensor を拡張

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimIDSensor - runMultiProbeScript(String script、Object probeResult、String **probeRecord)**
プローブ結果に対してマルチプローブスクリプトを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	スクリプト
probeResult	オブジェクト	プローブの結果
プローブレコード	文字列	プローブ ID

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimIDSensor - updateDeviceCount()
デバイス数を更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimInstanceToken - グローバル

CimInstanceToken スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) インスタンスの一意のクエリ ID を表すメソッドを提供します。

サーバー側の検出スクリプトで使用します。

CimInstanceToken - getHashToken(文字列 cimomip)

インスタンストークンを解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cimomip	文字列	

返される内容

タイプ	説明
文字列	ハッシュトークン

CimInstanceToken - parse(XMLObj instance)

インスタンストークンを解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インスタンス	XMLObj	CIM インスタンス

返される内容

タイプ	説明
文字列	解析されたインスタンストークン、例えば CIM_ClassName {Key1 = 'Value1',Key2 = 'Value2'}

CimProbe - グローバル

CimProbe スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) プローブのメタデータを維持するためのメソッドを提供します。

CIM プローブを維持する必要のあるサーバー側スクリプトで使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CimProbe - getNamedQueries()

現在の CIM プローブの名前付きクエリーをすべて返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

CimProbe - getQueries()

現在の CIM プローブのすべてのクエリーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	クエリー文字列のアレイ

CimProbe - getQueryRecords()

CIM プローブテーブルのすべてのレコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	クエリー結果

CimProbeResult :グローバル

CimProbeResult スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) プローブの結果を処理するメソッドを提供します。

任意のサーバー側検出スクリプトで CIM プローブの結果を処理するために使用します。

CimProbeResult - getNamedInstances(文字列 namedQueries)

指定された名前付きクエリーの名前付きインスタンスを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
namedQueries	文字列	名前付きクエリー

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたインスタンス

CimProbeResult - getQueries()

現在の CIM プローブのすべてのクエリーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	すべてのクエリー

CIRelatedList - グローバル

CIRelatedList スクリプトインクルードは、構成アイテム (CI) 関連リストを操作するためのメソッドを提供するユーティリティクラスです。

このスクリプトインクルードの各インスタンスには、特定の CI に関連する単一のリストの詳細が含まれています。このリストの内容とリストの内容が含まれています。

サーバー側の検出スクリプトで使用します。

CIRelatedList - addRec(オブジェクト record)

指定されたレコードを関連リストに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	オブジェクト	オブジェクトの各メンバーは、関連テーブル内の列名です。例えば、cmdb_serial_number テーブルを参照する場合、この値には次のようなものが含まれます。 `{"serial_number_type":"bios","serial_number":"1BC5E4z89246","valid":"true"}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、CI 関連リストにレコードを追加する方法を示しています。

```
var ciDataObj = new CIData(); // Instantiate a new CIData class object

// sys_id of the CI to which the related list is attached.
var rl = new CIRelatedList('cmdb_serial_number',
 'cmdb_ci','0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f','true');

// Create an object and add the serial numbers
var sr =
 {"serial_number_type":"bios","serial_number":"1BC5E4z89246","valid":"tru
e"};
rl.addRec(sr); // Add the related list. Sets the given records to the
 related list.
ciDataObj.addRelatedList(rl); // Adding the related list to the cidata
gs.info(JSON.stringify(rl, null, 4)); // Display the added related list
```

出力:

```
{
  "GlideRecordUtil": {},
  "ignoreFields": {
    "sys_created_by": true,
    "sys_updated_by": true,
    "sys_mod_count": true
  },
  "records": [
    {
      "serial_number_type": "bios",
      "serial_number": "1BC5E4z89246",
      "valid": "true"
    }
  ],
  "m2m_records": [],
  "table_name": "cmdb_serial_number",
  "field_name": "cmdb_ci",
  "cmdb_ci": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
  "debug_flag": "true",
  "isM2M": false,
  "target_table_name": null,
  "target_ref_field_name": null
}
```

CIRelatedList - addRecs(アレイ **records)**

指定されたレコードを関連リストに設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
レコード	オブジェクトのアレイ	各オブジェクトは、関連テーブル内のレコードを表します。オブジェクトの各メンバーはそのテーブル内の列名です。例えば、cmdb_serial_number テーブルを参照する場合、この値には次のようなものが含まれます。 `[{"serial_number_type":"bios","serial_number":"1BC5E4z89246","valid":"true"},{"serial_number_type":"baseboard","serial_number":"w4z89246","valid":"true"}]`

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、CI 関連リストに複数のレコードを追加する方法を示しています。

```
var ciDataObj = new CIData(); // Instantiate a new CIData class object

// sys_id of the CI to which the related list is attached.
var rl = new CIRelatedList('cmdb_serial_number',
 'cmdb_ci','0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f','true');

// Create an object and add the serial numbers
var sr =
 [{"serial_number_type":"bios","serial_number":"1BC5E4z89246","valid":"tr
ue"},{"serial_number_type":"baseboard","serial_number":"w4z89246","valid"
:"true"}];

rl.addRecs(sr); // Add the related list. Sets the given records to the
 related list.

ciDataObj.addRelatedList(rl); // Adding the related list to the cidata
gs.info(JSON.stringify(rl, null, 4)); // Display the added related list
```

出力:

```
{
  "GlideRecordUtil": {},
  "ignoreFields": {
    "sys_created_by": true,
    "sys_updated_by": true,
    "sys_mod_count": true
  },
  "records": [
    {
      "serial_number_type": "bios",
      "serial_number": "1BC5E4z89246",
      "valid": "true"
    },
    {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "serial_number_type": "baseboard",
      "serial_number": "w4z89246",
      "valid": "true"
    }
  ],
  "m2m_records": [],
  "table_name": "cmdb_serial_number",
  "field_name": "cmdb_ci",
  "cmdb_ci": "0c43b0f5c6112275019abd2bb3dcd78f",
  "debug_flag": "true",
  "isM2M": false,
  "target_table_name": null,
  "target_ref_field_name": null
}
```

CIRelatedList - appendXMLChildFld(文字列 **parent**, 文字列 **name**, 文字列 **datum)**

フィールドに XML の子を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	文字列	親要素
name	文字列	要素名
データ	文字列	追加するデータ

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIRelatedList - appendXMLChildRecord(文字列 **parent**, 文字列 **name**, 文字列 **record)**

XML 子をレコードに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	文字列	親要素
name	文字列	要素名
record	文字列	レコード

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIRelatedList - checkSysCollection()

これが SysCollection テーブルであるかどうかを確認します。ターゲット テーブル名のセット、参照フィールド名の場合。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
CIRelatedList	指定されたリストの CIRelatedList のインスタンス

CIRelatedList - checkSysM2M()

これが Sys の多対多テーブルかどうかを確認します。ターゲット テーブル名のセット、参照フィールド名の場合。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	sysの多対多テーブルの場合は true。それ以外の場合は false です。

CIRelatedList - CIRelatedList(文字列 **table**, 文字列 **refField**, 文字列 **cmdb_ci**, 文字列 **debugFlag)**

CIRelatedList クラスのインスタンスを作成します。引数がなければ、空のインスタンスを作成するだけです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	関連リストを含むテーブル。多対多の場合は、多対多テーブル。
refField	文字列	この関連リストの表の参照フィールド
cmdb_ci	文字列	このリストのsys_idは、このリストに関連しています。
debugFlag	文字列	true の場合、デバッグログが有効になります。

CIRelatedList - fromXML(文字列 **element)**

このインスタンスを指定されたXML要素から初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
要素	文字列	XML 要素

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIRelatedList - populate()

このインスタンスの `this.records` フィールドに値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIRelatedList - toString(アレイ result)

このインスタンスの文字列表現を作成し、各行を指定された結果アレイの最後にプッシュします。

このメソッドは *`CIData.toString()`* から呼び出され、関連するリスト行が 2 つのスペースで字下げされると仮定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
result	アレイ	変換する結果

返される内容

タイプ	説明
なし	

CIRelatedList - toXML(String document、String element)

このインスタンスを指定されたドキュメントおよび <rl> 要素の XML にシリアル化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ドキュメント	文字列	ドキュメント
要素	文字列	rl 要素

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CIRelatedList - remove()

関連するすべてのリスト項目を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、名前が *JEMPLOYEE-IBM の CI アイテムにマッピングされた関連レコードを削除します。この例は、非 M2M テーブルの場合です。

```
//Get a configuration item record which has a related list. Example:  CI
 items with the name = *JEMPLOYEE-IBM.
var ciRecord = new GlideRecord("cmdb_ci_computer");
ciRecord.addQuery("name", "*JEMPLOYEE-IBM");
ciRecord.query();
if (ciRecord.next()) {

    var relRecordTable = 'cmdb_ci_network_adapter'; // The table
 containing the related list (if many-to-many, the many-to-many table)
    var relRecordField = 'cmdb_ci'; // The reference field in the table
 for this related list
    var cmdb_ciHasRelRecord = ciRecord.sys_id; // The sys_id of the CI
 this list is related to.
    var debugFlag = 'true'; // True if debug logging is enabled.

    // Get the related record List
    var CIRelatedList = new CIRelatedList(relRecordTable, relRecordField,
 cmdb_ciHasRelRecord, debugFlag);
    CIRelatedList.remove(); // Delete all related records
}
```

CIRelatedList - xmlToRecord(文字列 **records**, 文字列 **element**)

関連リストを XML からレコード形式に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
レコード	文字列	作成するレコード
要素	文字列	XML 要素

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CIUtils - グローバル

CIUtils スクリプトインクルードは、構成アイテム (CI) を操作するためのメソッドを提供するユーティリティクラスです。

デフォルトでは、CI 関係を走査するときにシステムで使用される最大深度は 10 です。この値を上書きするには、*glide.relationship.max_depth* プロパティを変更します。

返されるアイテムの最大数は 1000 です。この値を上書きするには、*glide.relationship.threshold* プロパティを変更します。

CIUtils クラスはサーバー側のスクリプトで使用できます。

CIUtils - servicesAffectedByCI(文字列 CI_sys_id)

特定の構成アイテム (CI) の影響を受けるビジネスサービスを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
CI_sys_id	文字列	チェックする構成アイテム (cmdb_ci) の sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定されたアイテムの下流にある (または影響を受ける) cmdb_ci レコードの sys_id 値のアレイ

この例は、名前が lnux100 の CI アイテムの影響を受けるサービスの名前を表示します。

```
var CIUtil = new CIUtils();

//get a server record
var server = new GlideRecord("cmdb_ci_server");
server.addQuery("name", "lnux100");
server.query();
if (server.next()) {
  //get the affected services, array of ids
  var serviceIds = CIUtil.servicesAffectedByCI(server.getUniqueValue());
  for (var i=0; i < serviceIds.length; i++) {
    //get the service record
    var service = new GlideRecord("cmdb_ci_service");
    service.get(serviceIds[i]);
    gs.print(service.getDisplayValue());
  }
}
```

出力:

```
Client Services
IT Services
Bond Trading
```

CIUtils - servicesAffectedByTask(GlideRecord task)

指定されたタスクの影響を受けるビジネスサービスを判断します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
task	GlideRecord	タスク GlideRecord (インシデント、change_request、問題など)。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	タスクの cmdb_ci フィールドによって参照される構成アイテムの下流の (または構成アイテムの影響を受ける) CI のsys_id値のリスト。

この例は、 インシデント INC00050 の影響を受けるサービスの名前を示しています 。

```
var CIUtil = new CIUtils();

//get an incident record
var inc = new GlideRecord("incident");
inc.addQuery("number", "INC00050");
inc.query();
if (inc.next()) {
  //get the affected services, array of ids
  var serviceIds = CIUtil.servicesAffectedByTask(inc);
  for (var i=0; i < serviceIds.length; i++) {
    //get the service record
    var service = new GlideRecord("cmdb_ci_service");
    service.get(serviceIds[i]);
    gs.print(service.getDisplayValue());
  }
}
```

出力:

```
IT Services
Email
Windows Mobile
Electronic Messaging
Outlook Web Access (OWA)
Blackberry
```

ClassificationSolutionStore - グローバル

ソリューション の保存と取得を有効にします 。

`ClassificationSolutionStore` API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

ClassificationSolutionStore - add(オブジェクト mlSolution)

新しいソリューション オブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。

> **注:** ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlSolution	ClassificationSoluti	*ClassificationSolution()* ストアに追加する

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成されたソリューション名。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示しています ソリューション ソリューション*ClassificationSolution - submitTrainingJob()* ストアに追加した後にトレーニングジョブを実行します。 を使用

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution);
```

ClassificationSolutionStore - deleteObject(文字列 **name)**

指定されたソリューションオブジェクトをストアから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*ClassificationSolution()* 削除するオブジェクト。の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアからソリューションを削除する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
sn_ml.ClassificationSolutionStore.deleteObject("ml_sn_global_global_solut
ion");
```

ClassificationSolutionStore - get(文字列 name)

ソリューションオブジェクトをストアから取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストア内のソリューションの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClassificationSolutionVersion* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

次の例は、*get()* メソッドを使用してストアからソリューションオブジェクトを取得し、ClassificationSolution - getActiveVersion() および ClassificationSolutionVersion - getStatus() メソッドです。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(), null, 2)));
```

出力:

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

ClassificationSolutionStore - getAllNames(オブジェクト options)

ストア内のすべてのソリューション定義レコードの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String", "domainName": "String", "scope": "String" };`
options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の文字列表現ソリューションオブジェクトの名前のリスト。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.ClassificationSolutionStore.getAllNames()), null, 2));
```

出力:

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_3",
  "ml_incident_assignment",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_2",
  "ml_sn_global_global_incident_service"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my solution definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.ClassificationSolutionStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition"
]
```

ClassificationSolutionStore - update(文字列 name, オブジェクト mlSolution)

ストア内の既存のオブジェクトをパラメーターとして渡されたオブジェクトに置き換えます。指定されたオブジェクト名は空であるか、一致している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するソリューションの名前。
mlSolution	*ClassificationSolution()*	更新するオブジェクトプロパティ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションオブジェクトを更新する方法を示しています。

```
var solutionUpdate = new sn_ml.ClassificationSolution({
  'label': 'my solution definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.ClassificationSolutionStore.update('ml_sn_global_global_incident_service', solutionUpdate);
```

ClassificationSolutionVersion - グローバル

ClassificationSolutionVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

この API は、ClassificationSolution ストア内の ClassificationSolution API オブジェクトに基づいてソリューションバージョンを操作するために使用されます。

ソリューション定義をトレーニングするたびに、ソリューションのバージョンが作成されます。ほとんどのバージョンは、スケジュール設定済みのソリューショントレーニング中に作成されます。

この API のメソッドには、次の ClassificationSolution - グローバル メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

ClassificationSolutionVersion - getPredictionPerformance(オブジェクト options)

ソリューションの精度と範囲を計算します。

このメソッドを使用するには、最初に *setPredictionSettings()* メソッドを使用して設定を作成する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	日付スパン内で取得する測定基準を選択します。詳細については、「ターゲットメトリクスの設定」を参照してください。 `{ "fromDate": "String", "metricName": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"toDate": "String"
		}</pre>

options.fromDate	文字列	オプション。測定基準をシステム日時形式で取得する開始日。
options.metricName	文字列	メトリクスの名前。 有効な値： • *precision* • *coverage*
options.toDate	文字列	オプション。メトリクスの取得終了日。 形式:システムの日時形式。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	入力測定基準の結果を含む解析可能な JavaScript オブジェクト。
	<pre>{
	"metricName" : "String",
	"metricValue" : "String",
	"numberOfPredictionsConsidered" : "String"
	}</pre>

Object.metricName	入力として選択された測定基準の名前。 データタイプ：文字列
Object.metricValue	選択された測定基準の値。 データタイプ：文字列
Object.numberOfRecords	計算で考慮される予測結果 [ml_predictor_results] テーブル内のレコードの数。 データタイプ：文字列

次の例は、ソリューションのアクティブバージョンから精度の値を取得する方法を示しています。

```
// Get precision value
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPredi
ctionPerformance({"metricName": "precision"})), null, 2));
```

出力：

```
{
  "metricName": "precision",
  "metricValue": "70.10",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "numberOfPredictionsConsidered": "10"
}
```

ClassificationSolutionVersion - getPredictionSettings()

ML ソリューション [ml_solution] テーブルから推定精度、推定範囲、推定リコールの値を取得し、クラスの信頼性 [ml_class] テーブルからレコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各クラスの予測設定を返します。データには、ML ソリューション [ml_solution] テーブルのトレーニング済みモデルに含まれるすべてのクラスの精度、範囲、リコール、および分布の値が含まれます。詳細については、「予測モデルのコンポーネント」を参照してください。 `{ "<class name>": {Object} }`
<Object>.<クラス名>	クラス信頼度 [ml_class] テーブルのトレーニング統計データ。詳細については、「ターゲットメトリクスの設定」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト `{ "precision": "String", "coverage": "String", "recall": "String" }`
<Object>.<クラス名>.precision	このクラスの推定ソリューション精度の測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)
<Object>.<クラス名>.coverage	このクラスの推定ソリューション範囲の測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)
<Object>.<クラス名>.recall	このクラスの推定ソリューションリコールの測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)

次の例は、ソリューションのアクティブバージョンの精度設定を取得する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPredictionSettings()), null, 2));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
{
  "solutionSettings": {
    "precision": "61.69",
    "coverage": "66.75",
    "recall": "57.54"
  },
  "classSettings": {
    "Approvals": {
      "precision": "100",
      "coverage": "0",
      "recall": "0"
    },
    "Authentication": {
      "precision": "38.71",
      "coverage": "98.44",
      "recall": "56.25"
    },
    "Automation": {
      "precision": "100",
      "coverage": "0",
      "recall": "0"
    }, ...
```

ClassificationSolutionVersion - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します バージョン番号。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと ClassificationSolution のバージョンの詳細。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "algorithmConfig": { "algorithm": "String", "targetClassRecall": "String" }, "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "inputFieldNames": [Array], "isActive": Boolean, "label": "String", "name": "String", "predictedFieldName": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "stopwords": [Array],
	  "stopwords": [Array],
	  "trainingFrequency": "String",
	  "versionNumber": "Number"
	}</pre>

<Object>.algorithmConfig	ソリューションをエンコードするメソッド。 データタイプ: オブジェクト
<Object>.algorithmConfig.algorithm	このソリューションをトレーニングするためのエンコーディングアルゴリズムの名前。 可能な値： • *xgboost*：トレーニングを最適化するための XGBoost エンコーディング。 • *logisticRegression*：名目値や序数などのカテゴリターゲットにロジスティック回帰モデルを使用する方法。 データタイプ：文字列
<Object>.algorithmConfig.targetClassRecall	特定のクラスをバイアスするソリューションのトレーニングを操作するためのクラスリコールパラメーター。リコール値は、パーセンテージを表す 0 ～ 100 の数値です。 データタイプ：文字列

<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>{
	  "encodedQuery": "String",
	  "fieldDetails": [Array],
	  "fieldNames": [Array],
	  "tableName": "String"
	}</pre>

<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ
<Object>.datasetProperties.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>[
	  {
	  "name": "String",
	  "type": "String"
	  }
	]</pre>

<Object>.datasetProperties.fieldNames	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.fieldTypes	機械学習 Definition オブジェクト。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 データタイプ：文字列
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト
<Object>.groupByFieldName	レコードをグループ化して分類ソリューションを構築するために使用するフィールド名。 データタイプ：文字列
<Object>.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列

<Object>.label	予測タスクを識別します。
	<pre>{
	  "label": "my first prediction"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列
<Object>.predictedField	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列
<Object>.versionNumber	のバージョン番号 *ClassificationSolution* オブジェクト。 データタイプ：文字列

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

```
// Get properties
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPrope
rties()), null, 2));
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
*** Script: {
  "datasetProperties": {
    "encodedQuery": "activeANYTHING^EQ",
    "fieldNames": [
      "short_description",
      "category"
    ],
    "tableName": "incident"
  },
  "domainName": "global",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "isActive": "true",
  "label": "Incident Categorization_Trainer",
  "name": "ml_incident_categorization",
  "predictedFieldName": "category",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "versionNumber": "1"
}
```

ClassificationSolutionVersion - getStatus(ブール **includeDetails)**

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ClassificationSolution オブジェクト のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String", "details": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>。state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded* プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete` • `training_request_received` • `training_request_timed_out` (terminal) • `training_solution` • `Uploading_solution` • `waiting_for_training` データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Solution Complete"} // This information is only returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var solutionName = 'ml_x_snc_global_global_classification_solution';
var mlSolution = sn_ml.ClassificationSolutionStore.get(solutionName);
var trainingStatus = mlSolution.getLatestVersion().getStatus();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_error",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

ClassificationSolutionVersion - getTrainingStatistics()

指定されたソリューションのすべてのトレーニング統計情報を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	トレーニングに含まれる各クラスの統計情報とトレーニングから除外された各クラスの値を含む JavaScript オブジェクト。詳細については、「予測モデルのコンポーネント」を参照してください。 `{ "includedClasses": {Object}, "excludedClasses": {Object} }`
<Object>.includedClasses	トレーニング済みモデル内の各クラスの精度、範囲、リコール、および分布の値を含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"includedClasses": {
	"<class name>": {
	"distribution": "String",
	"statistics": [Array]
	},</pre>

<Object>.includedClasses.<クラス名>.distribution	このクラスの結果確率分布の値。 データタイプ：文字列

<Object>.includedClasses.<クラス名>.statistics	トレーニング統計データを提供するオブジェクトのリスト。詳細については、「ターゲットメトリクスの設定」を参照してください。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>[
	{
	"coverage": "String",
	"precision": "String",
	"recall": "String",
	"selected": "String"
	}
	]</pre>

<Object>.includedClasses.<クラス名>.statistics.coverage	このクラスの推定ソリューション範囲の測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)
<Object>.includedClasses.<クラス名>.statistics.precision	このクラスの推定ソリューション精度の測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)
<Object>.includedClasses.<クラス名>.statistics.recall	このクラスの推定ソリューションリコールの測定基準。 データタイプ：文字列 (数値)
<Object>.includedClasses.<クラス名>.statistics.selected	このクラスがソリューショントレーニングのレコードを含むかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このクラスは、ソリューションのトレーニングについて選択されたレコードを含んでいます。 • false：このクラスはトレーニングから除外されています。 データタイプ：文字列 (ブール値) デフォルト値：false
<Object>.excludedClasses	トレーニングから除外されたすべてのクラスの分布と行数。 データタイプ: オブジェクト <pre>"excludedClasses": {</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"<class name>": {
	"distribution": "0.11",
	"rowCount": "9"
	}</pre>

<Object>.excludedClasses.<クラス名>.distribution	このクラスの結果確率分布の値。 データタイプ：文字列
<Object>.excludedClasses.<クラス名>.rowCount	トレーニングから除外された行の数。 データタイプ：文字列 (数値)

次の例は、アクティブなソリューションからトレーニング統計情報を取得する方法を示しています。

```
// Get training stats
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getTrain
ingStatistics()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "includedClasses": {
    "Approvals": {
      "distribution": "0.43",
      "statistics": [
        {
          "precision": "100",
          "coverage": "0",
          "recall": "0",
          "selected": "true"
        }
      ]
    },
    "Authentication": {
      "distribution": "4.3",
      "statistics": [
        {
          "precision": "39.33",
          "coverage": "95.31",
          "recall": "54.69",
          "selected": "false"
        },
        {
          "precision": "100",
          "coverage": "0",
          "recall": "0",
          "selected": "false"
        },
     ...
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
    ...
  "excludedClasses": {
    "ACE": {
      "distribution": "0.11",
      "rowCount": "9"
    },
    "AHA": {
      "distribution": "0.01",
      "rowCount": "1"
    },
    ...
}
```

ClassificationSolutionVersion - getVersionNumber()

ソリューションオブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

```
// Get version number
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getVersionNumb
er()), null, 2));
```

出力：

```
Version number: 1
```

ClassificationSolutionVersion - predict(オブジェクト input, オブジェクト options)

予測の入力データを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	*GlideRecord* または、キーと値のペアとしてフィールド名と値を含む JSON オブジェクトのアレイ。
オプション	オブジェクト	予測結果をフィルタリングするためのオプションの値。 `{ "apply_threshold": Boolean,`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> "top_n": Number }</pre>
options.apply_threshold	ブール	ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：信頼性がしきい値より大きい結果を返します。 • false：すべての結果を返します。 デフォルト：true
options.top_n	番号	指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む JSON オブジェクト。
	<pre>{
	    <identifier>: [Array]
	}</pre>

<Object>.<識別子>	各予測結果の詳細を含むオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre><identifier>: [
	  {
	    "confidence": Number,
	    "predictedSysId": "String",
	    "predictedValue": "String",
	    "threshold": Number
	  }
	]</pre>

<Object>.<識別子>.<object>.confidence	予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 データタイプ：数値
<Object>.<識別子>.<object>.predictedSysId	予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.predictedValue	予測結果を表す値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.<識別子>.<object>.threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、sys_id 別の GlideRecord を入力として受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("<sys_id>");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.getVersion(1).predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：

```
{
  "<sys_id/gr>": [
    {
      "confidence": 62.10782320780268,
      "threshold": 20.36,
      "predictedValue": "Clone Issues",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 6.945237375770391,
      "threshold": 16.63,
      "predictedValue": "Instance Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 5.321061076300759,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、 キーと値のペアを入力のフィールド名のアレイとして受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

// key-value pairs input
var input = [{"short_description":"my email is not working"},
 {short_description:"need help with password"}];

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;
var results = mlSolution.predict(input, options);

// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：


```
{
  "1": [
    {
      "confidence": 37.5023032262591,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 24.439964862166583,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 11.736320486031047,
      "threshold": 100,
      "predictedValue": "Security",
      "predictedSysId": ""
    }
  ],
  "2": [
    {
      "confidence": 99,
      "threshold": 17.77,
      "predictedValue": "Email",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 3.182137005157543,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 2.8773826570713514,
      "threshold": -1,
      "predictedValue": "Email (I/f)",
      "predictedSysId": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ]
}
```

ClassificationSolutionVersion - setPredictionSettings(オブジェクト options)

ソリューションレベルまたはクラスレベルで精度、範囲、またはリコールの値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	測定基準の設定値。これらの機能の詳細については、「ターゲットメトリクスの設定」を参照してください。 `{ "metricName" : "String", "metricValue" : "String", "className" : "String" }`
options.metricName	文字列	設定する測定基準の名前。 有効な値： • *coverage* • *precision* • *recall*
options.metricValue	文字列	測定基準に割り当てる数値。
options.className	文字列	オプション。結果を制限するクラスの名前。*getTrainingStatistics()* メソッドを使用して、ソリューションのクラスの完全なリストを取得します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、`Clone Issues` という名前のクラスの精度測定基準を 89.5 に設定する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_classification');
var input = {"metricName" : "precision", "metricValue" : "89.5",
 "classname" : "Clone Issues"};

mlSolution.getActiveVersion().setTrainingStatistics(input);
```

ClassificationSolution - グローバル

ClassificationSolution API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソリューションのセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *DatasetDefinition* API を使用してデータセットを作成します。
2. オプション。*Encoder* API を使用してエンコーダーを構築します。
3. コンストラクター を使用して、分類ソリューションオブジェクトを作成します。
4. *ClassificationSolutionStore - add()* メソッドを使用して、ソリューションオブジェクトを分類ソリューションストアに追加します。
5. *submitTrainingJob()* メソッドを使用してソリューションをトレーニングします。これにより、*ClassificationSolutionVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。
6. *ClassificationSolutionVersion -predict()* メソッドを使用して予測を取得します。

注: この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

ClassificationSolution - ClassificationSolution(オブジェクト **config)**

分類のソリューションを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト ソリューション。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "dataset": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "minRowCount": "String", "predictedFieldName": "String", "processingLanguage": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String" }`
config.algorithmConfig	オブジェクト	アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 `'algorithmConfig' : { "algorithm": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"targetClassRecall": "String"
		}</pre>

config.algorithmConfig.algorithm	文字列	ソリューションをエンコードする方法。 可能な値： • *xgboost*：トレーニングを最適化するための XGBoost エンコーディング。 • *logisticRegression*：名目値や序数などのカテゴリターゲットにロジスティック回帰モデルを使用する方法。
config.algorithmConfig.targetClassRecall	文字列	クラスリコールパラメーターを適用して、特定のクラスをバイアスするソリューションのトレーニングを操作します。形式は `"<ClassName:RecallValue>"` です。RecallValue はパーセンテージを表す 0 ～ 100 の数値です。例えば、Email クラスでトレーニングするすべてのレコードについて、このソリューションパラメーターを 90% の精度に設定して適用するには、値を `"Email:90"`に設定します。
config.dataset	オブジェクト	*DatasetDefinition* 名。
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。 例：`"global"`。
config.encoder	オブジェクト	オプション。このソリューションに割り当てるトレーニング済みのエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。
config.groupByFieldName	文字列	オプション。レコードをグループ化して分類ソリューションを構築するために使用するフィールド名。 使用方法については、「 分類のためのグループ化の使用 」を参照してください。
config.inputFieldNames	アレイ	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.predictedFieldName	文字列	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。
config.processingLanguage	文字列	オプション。2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 デフォルト値：「en」
config.stopwords	アレイ	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 デフォルト：英語のストップワード
config.trainingFrequency	文字列	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once

次の例は、オブジェクトを作成して ClassificationSolution ストア。

```
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition(
  {
     'tableName' : 'incident',
     'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
     'fieldDetails' : [
       {
         'name' : 'category',
         'type' : 'nominal'
       },
       {
         'name' : 'short_description',
         'type' : 'text'
       }],
     'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
  });
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({
  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'category',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

var myClassificationName =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution);
```

ClassificationSolution - cancelTrainingJob()

トレーニングのために送信されたソリューションオブジェクトのジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var mySolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_sn_global_global_classificatio
n');

mySolution.cancelTrainingJob();
```

ClassificationSolution - getActiveVersion()

アクティブな *ClassificationSolutionVersion* オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *ClassificationSolutionVersion* オブジェクト。

次の例は、 *ClassificationSolution* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_classifica
tion');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClassificationSolution - getAllVersions()

分類のソリューションの のすべてのバージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューションオブジェクトの既存のバージョン。関連項目 *ClassificationSolutionVersion* API。

次の例は、すべての *ClassificationSolution* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* および *getStatus()* ソリューションバージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_classification');

var mlSolutionVersions = mlSolution.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlSolutionVersions.length; i++) {
gs.print("Version " + mlSolutionVersions[i].getVersionNumber() + "
 Status: " + mlSolutionVersions[i].getStatus() +"\n");
};
```

出力：

```
Version 3 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"true"}

Version 2 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"true"}

Version 1 Status:
 {"state":"solution_cancelled","percentComplete":"0","hasJobEnded":"true"}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ClassificationSolution - getLatestVersion()

ソリューション の最新バージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClassificationSolutionVersion* の最新バージョンに対応するオブジェクト*ClassificationSolution()*です。

次の例は、ソリューションの最新バージョンを取得して、トレーニングのステータスを返す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_classification');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getLatestVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClassificationSolution - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ソリューションオブジェクトの名前。

次の例は、 *ClassificationSolution* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update solution
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields('classification'));

var myClassification = new sn_ml.ClassificationSolution({
   'label': "my classification solution",
   'dataset' : myIncidentData,
   'inputFieldNames': eligibleFields['eligibleInputFieldNames'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update solution
sn_ml.ClassificationSolutionStore.update('ml_x_snc_global_global_my_solut
ion_definition_4', myClassification);

// print solution name
gs.print('Solution Name: '+myClassification.getName());
```

出力：

```
Solution Name: ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_4
```

ClassificationSolution - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClassificationSolutionStore* のデータセットのコンテンツと *ClassificationSolution()* オブジェクトの詳細。 `{ "algorithmConfig": { "algorithm": "String", "targetClassRecall": "String" }, "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	"predictedFieldName": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String" }
<Object>.algorithmConfig	ソリューションをエンコードするメソッド。 データタイプ：オブジェクト
<Object>.algorithmConfig.algorithm	このソリューションをトレーニングするためのエンコーディングアルゴリズムの名前。 可能な値： • *xgboost*：トレーニングを最適化するための XGBoost エンコーディング。 • *logisticRegression*：名目値や序数などのカテゴリターゲットにロジスティック回帰モデルを適用する方法。 データタイプ：文字列。
<Object>.algorithmConfig.targetClassRecall	特定のクラスをバイアスするソリューションのトレーニングを操作するためのクラスリコールパラメーター。リコール値は、パーセンテージを表す 0 ～ 100 の数値です。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。 { "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクト
<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	ト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ：オブジェクト
<Object>.groupByFieldName	レコードをグループ化して分類ソリューションを構築するために使用するフィールド名。 データタイプ：文字列
<Object>.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列。
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内のソリューションオブジェクトのプロパティを取得します。

```
var mySolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_sn_global_global_classificatio
n_solution');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mySolution.getProperties()), null,
 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "datasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "category",
      "short_description",
      "priority",
      "assignment_group.name"
    ],
    "fieldDetails": [
      {
        "name": "category",
        "type": "nominal"
      },
      {
        "name": "short_description",
        "type": "text"
      }
    ]
  },
  "domainName": "global",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "label": "my solution definition",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "name": "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_26",
  "predictedFieldName": "category",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "trainingFrequency": "run_once"
}
```

ClassificationSolution - getVersion(文字列 version)

指定されたバージョン番号を使用します。ソリューションを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	ソリューションの既存のバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClassificationSolutionVersion* API メソッドを呼び出すことができる *ClassificationSolution()* オブジェクトの指定されたバージョン。

次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータスを取得する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_classification');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getVersion('1').getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClassificationSolution - setActiveVersion(文字列 version)

ストア内の指定されたバージョンのソリューションをアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *ClassificationSolution()* オブジェクトバージョンの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションバージョンを有効にする方法を示しています。

```
sn_ml.ClassificationSolution.setActiveVersion("ml_incident_categorization
");
```

ClassificationSolution - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

注: このメソッドを実行する前に、まず *ClassificationSolutionStore - add()* メソッドを使用してストアにソリューションを追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClassificationSolutionVersion* に対応するオブジェクト *ClassificationSolution* トレーニング対象

次の例は、データセットを作成してソリューションに適用し、ソリューション をストアに追加して、トレーニングジョブを送信する方法を示しています。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution);

// Train the solution - this is a long running job
var myClassifierVersion = mySolution.submitTrainingJob();
```

ClassifierProbes - グローバル

ClassifierProbes スクリプトインクルードは、分類子プローブの起動機能を提供します。JavaScript アレイまたは XML のシリアル化されたバージョンから初期化されたプローブ情報レコードのアレイをカプセル化します。

分類子プローブの起動ファシリティを定義する必要のあるサーバー側スクリプトで使用します。

ClassifierProbes - launch()

次に優先度の高い分類子をリストの中から優先して起動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クラシファイアが起動されている場合はTrueです。それ以外の場合はfalseです。

ClassifierProbes - launchSupplementary()

補助プローブを起動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ClassifierProbes - size()

プローブの長さを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	プローブの長さ

クライアント - スコープ対象、グローバル

`クライアント` API は、メトリックベース データベースにデータを追加し、メトリックベース データベースで変換を実行し、変換の結果を受信するためのメソッドを提供します。

`Client` クラスは、スコープ対象のサーバースクリプトとグローバルサーバースクリプトの両方で使用できます。このクラスは メトリックベース アプリケーションの一部であり、 `sn_clotho` 名前空間内で実行する必要があります。

Client - Client()

メトリックベースデータベースにアクセスするためのクライアントクラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var client = new sn_clotho.Client();
```

Client - accumulate(GlideRecord now_GR, 文字列 metric)

指定されたタイムスタンプの測定基準値を累積し、値を上書きするのではなく結果をデータベースに保存します。

このメソッドを使用を使用して、電力のキロワット時 (kWh) など、合計して累積できる測定基準を処理します。累積では、指定されたタイムスタンプで各測定基準の呼び出しを行います。たとえば、ヒーター、電気ケトル、洗濯機用に収集されたキロワットは、蓄積の呼び出しが 3 回発生します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	累積値の取得元の系列 GlideRecord の名前。 関連項目：getSeries()
default_value	番号	オプション。 指定されたタイムスタンプでの累積のデフォルト値。指定されたタイムスタンプの値が利用できない場合に、accumulate に対する最初の呼び出し中にのみ使用されます。 ユースケースとして、total_power のワット測定基準の累積が考えられます。電力量計なしでコンセントに接続されたルーターのワット数を累積して測定する必要があります。消費値がわかって

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		いて定数である場合は、定数値をデフォルト値として使用して total_power を累積できます。たとえば、ルーターが常に接続されていて、20 ワットを消費する場合は、20 を使用します。 タイムスタンプ値は、DataBuilder API を使用して指定できます。 デフォルト：0

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、`building_a` というレコード内に `total_power` 測定基準値を累積する方法を示しています。

```
var time = new GlideDateTime();

// total_power is the name of a metric within building_a which stores
 accumulated values

var dataBuilder1 = new sn_clotho.DataBuilder(building_a, "total_power");
// values to be accumulated
dataBuilder1.add(time, 3.5);
new sn_clotho.Client().accumulate(dataBuilder1, 0);

var dataBuilder2 = new sn_clotho.DataBuilder(building_a, "total_power");
// values to be accumulated
dataBuilder2.add(time, 3.5);
new sn_clotho.Client().accumulate(dataBuilder2, 0);

var dataBuilder3 = new sn_clotho.DataBuilder(building_a, "total_power");
// values to be accumulated
dataBuilder3.add(time, 3.5);
new sn_clotho.Client().accumulate(dataBuilder3, 0);

// As a result of these operations client will save value of
// 3.5+12+4.3+0(default value) at the timestamp 'time'
```

Client - deleteMetric(文字列 **tableName**, 文字列 **metricName)**

メトリックベース データベース内の指定されたテーブルから指定された測定基準を削除します。

注: このメソッドは、 メトリックベースデータベースからのデータを削除します。復元する方法ははありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	指定された測定基準を削除するテーブルの名前。
metricName	文字列	測定基準の名前

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、テーブルから測定基準を削除する方法を示しています。

```
var client = new sn_clotho.Client();

// delete metric (Speed) from the Drones table
client.deleteMetric("mb_demo_drone", "mb_demo_mt_speed");
```

Client - deleteSeries(GlideRecord now_GR, 文字列 metric)

指定された GlideRecord 内の指定されたメトリックに関連付けられたデータベースメトリックベースデータベースのデータを削除します。テストデータを削除するには、このメソッドを使用します。

注: このメソッドは、 メトリックベースデータベースからのデータを削除します。復元する方法ははありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	指定したメトリックの時系列データを削除するレコード
metric	文字列	測定基準の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var client = new sn_clotho.Client();
//query drones of a specific model
var drones = new GlideRecord("mb_demo_drone");
drones.addQuery("model", "Kingfisher Phantom");
drones.query();

client.deleteSeries(drones, 'mb_demo_mt_speed');
```

Client - getSeries(GlideRecord now_GR, 文字列 metricName, GlideDateTime lastUpdateBefore)

特定のディメンションからすべての系列を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	系列の取得元のレコード。
metric	文字列	測定基準の名前
lastUpdateBefore	GlideDateTime	オプション。評価期間の終了日を表す将来の日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された測定基準のデータを含む系列を表す文字列 sys_id のリスト。*lastUpdateBefore* パラメーターが指定されている場合、lastUpdateBefore の日付よりも新しいデータがない (非包含) 系列を返します。

次の例は、ドローン [mb_demo_drone] テーブルにリストされている速度値の完全なリストを取得する方法を示しています。

```
var client = new sn_clotho.Client();

// query subject records
var grDrone = new GlideRecord('mb_demo_drone');
grDrone.query();

var series = client.getSeries(grDrone,'mb_demo_mt_speed');
```

Client - put(オブジェクト **metricData)**

測定基準データを メトリックベース データベースに保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metricData	オブジェクト	次のいずれかになります。 • メトリクスデータを含む DataBuilder オブジェクト。 • 測定基準データを含む DataBuilder オブジェクトのアレイ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var time = new GlideDateTime();
// two different GlideRecord instances and metrics
var dataBuilder = new sn_clotho.DataBuilder(now_GR, 'cpu_percentage');
dataBuilder.add(time, 0.6);
var dataBuilder2 = new sn_clotho.DataBuilder(gr2,
 'disk_free_percentage');
dataBuilder2.add(time, 0.2);
new sn_clotho.Client().put([dataBuilder,dataBuilder2]);
```

クラウドランナー **TestGenerationApi – スコープ対象、グローバル**

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行するテストジョブの生成を管理します。この API は、CloudRunnerApi スクリプトインクルードの一部です。

この API は、次のタスクに使用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- テスト生成ジョブを開始します。
- テスト生成ジョブの進行状況を確認します。
- テスト生成ジョブをキャンセルします。

グローバルスコープでは、この API は sn_atf_tg 名前空間内で実行されます。この API を使用するには、 ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインを有効にする必要があります。

関連項目：

- クラウドランナー TestRunnerApi – スコープ対象、グローバル
- クラウドランナー TestUserApi – スコープ指定、グローバル
- クラウドランナーテスト生成 REST API

TestGenerationApi – cancelJob(文字列 **snboqId)**

テスト生成ジョブとそれに関連する更新セットレコードを完了ステータスに設定します。実行中の生成済みテストのルートトラッカーをキャンセルします。キャンセル時にテストジョブが進行中の場合、このメソッドは生成された進行中のテストレコードをスキップに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
null	成功した場合は Null、それ以外の場合はエラーメッセージ。

次の例は、インシデントテーブルのテストの生成を開始し、テストの生成をキャンセルする方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var insertedSnboqId = CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.startJob({
  tableEncodedQuery: "nameISincident",
  catalogEncodedQuery: "sysIdISEMPTY",
  maxTestCount: 10
});

CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.cancelJob({snboqId: insertedSnboqId});
```

TestGenerationApi – progress(文字列 **snboqId)**

提供されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードに対して生成された各テストのステータスを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テストジョブに関する情報。高度なテストの詳細は、生成されたテスト [sn_atf_tg_generated_test] テーブルで確認できます。 `{ "testsFailed": Number, "testsInProgress": Number, "testsPending": Number, "testsSkipped": Number, "testsSucceeded": Number }`
テスト失敗	生成された失敗したテストの数。失敗の理由は、生成されたテスト [sn_atf_tg_generated_test] テーブルに一覧表示されます。 データタイプ：数値
testsInProgress	作成されるユースケースの数。 データタイプ：数値
テスト保留中	生成する残りのユースケースの数。 データタイプ：数値
テストがスキップされました	ジョブのキャンセルによりスキップされたテストの数。 データタイプ：数値
テスト成功	正常に生成されたテストの数。 データタイプ：数値

次の例は、インシデントテーブルのテストの生成を開始し、進捗状況を取得して、テストの生成をキャンセルする方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.startJob({
  "tableEncodedQuery": "nameISincident",
  "catalogEncodedQuery": "sysIdISEMPTY",
  "maxTestCount": 10
});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.progress({snboq
Id: snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.cancelJob({"snboqId": snboqId});
```

出力:

```
{
  "testsSucceeded": 4,
  "testsFailed": 2,
  "testsPending": 2,
  "testsInProgress": 8,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "testsSkipped": 0
}
```

TestGenerationApi – startJob(String tableEncodedQuery, String userEncodedQuery, String catalogEncodedQuery, Number maxTestCount, Number maxTestCountPerTable, Number maxTestCountPerItem, String email)

ブラウザーオーケストレーションキュー (BOQ) [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにレコードを挿入して、テストジョブを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
カタログエンコードクエリ	文字列	オプション。テストを生成するカタログアイテム (CI) を指定するエンコードされたクエリ。 デフォルト:すべての CI (空の文字列)
メール	文字列	オプション。テストの生成が完了したときに通知を送信するメールアドレス。 デフォルト:メールなし (空の文字列)
maxTestCount	番号	オプション。生成するテストの最大数。 可能な値:1 ～ 9999 デフォルト:9999 (最大値)
テーブル当たりの最大テスト数	番号	オプション。テーブルごとに生成するテストの最大数。 可能な値:1 ～ 10 デフォルト:10 (最大値)
アイテム当たりの最大テスト数	番号	オプション。CI ごとに生成するテストの最大数。 可能な値:1 ～ 10 デフォルト:10 (最大値)
separateUpdateSetPerScope	ブーリアン	オプション。生成されたテストをそれぞれのスイート、更新セット、およびスコープに分離するか、テストを 1 つのスイート、更新セット、およびスコープに配置するかを示すフラグ。 有効な値： • true:テストは、各テーブルまたはカタログアイテムのスコープに従って、それぞれのスイートと更新セットに配置されます。 • false:生成されたすべてのテストは、同じスイート、更新セット、およびスコープに配置されます。false の場合、要求に *scopeForGeneratingTests* が必要です。 デフォルト：true

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
scopeForGeneratingTests	文字列	*separateUpdateSetPerScope* が false に設定されている場合は必須です。生成されたすべてのテストを配置するスコープのSys_id。 デフォルト:sys_idなし (空の文字列)
tableEncodedQuery	文字列	オプション。テストを生成するテーブルを指定するエンコードされたクエリ。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 デフォルト:すべてのテーブル (空の文字列)
userEncodedQuery	文字列	オプション。テストを生成するユーザーを指定するエンコードされたクエリ。 デフォルト:すべてのユーザー (空の文字列)

返される内容

タイプ	説明
文字列	ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

次の例は、インシデントテーブルのテストの生成を開始する方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var insertedSnboqId = CloudRunnerAPI.TestGenerationAPI.startJob({
  tableEncodedQuery: "nameISincident",
  catalogEncodedQuery: "sysIdISEMPTY",
  maxTestCount: 10
});

gs.info(insertedSnboqId);
```

出力:

```
<sys_id of inserted BOQ record>
```

クラウドランナー **TestRunnerApi – スコープ対象、グローバル**

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行するテストを管理します。 この API は、CloudRunnerApi スクリプトインクルードの一部です。

この API は、次のタスクに使用できます。

- Cloud Runner ブラウザーで ATF テストまたはテストスイートを開始します。
- テストジョブの進行状況を確認します。
- テストジョブをキャンセルします。

グローバルスコープでは、この API は sn_atf_tg 名前空間内で実行されます。この API を使用するには、 ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインを有効にする必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連項目：

- クラウドランナー TestGenerationApi – スコープ対象、グローバル
- クラウドランナー TestUserApi – スコープ指定、グローバル
- クラウドランナーテストユーザー REST API

TestRunnerApi – cancelJob(文字列 snboqId)

テストランナージョブを完了ステータスに設定し、実行中の生成されたテストのルートトラッカーをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
null	成功した場合は Null、それ以外の場合はエラーメッセージ。

次の例は、ATF テストのテスト実行を開始し、進捗状況を表示し、テスト実行を停止する方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.startJob({
 "testId": "<sys_id>"
});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.progress({"snboqId":
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.cancelJob({"snboqId": snboqId});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
```

TestRunnerApi – progress(文字列 snboqId)

指定されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードに対して実行された各テストのステータスを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テストの進行状況を示す JSON オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	`{ "progress": Number, "state": "String" }`
Object.progress	テストの進行状況完了率を示します。 タイプ：数値
Object.state	BOQ レコードのステータス。 可能な値： • 保留中 – 要求されたテストアクティビティが作成され、実行を待機しています。 • 処理中:インスタンスはレコードをスキャンして、リクエストがクラウドインフラストラクチャに送信される前に、実行トラッカーが Cloud Runner 用にマークされていることを確認します。 • 要求されたブラウザー – テスト生成またはテスト実行のためにブラウザーを起動する要求がクラウドインフラストラクチャに送信されました。 • 実行中 – クラウドインフラストラクチャのブラウザは、保留中のテストを検出して実行します。 • 完了 – テストタスクが完了しました。 • [Failed (失敗)] ステータス – テストタスクが失敗しました。 タイプ：文字列
エラー	失敗した場合、考えられるエラーメッセージ: • BOQ ID が渡されない – 指定された JSON オブジェクトに BOQ ID エントリがありません。JSON オブジェクトが `{snboqId: "<sys_id>"}` として構造化されていることを確認します。 • 無効な BOQ sys_idが渡されました – 指定する ID は、ブラウザオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルの BOQ レコード用である必要があります。

次の例は、ATF テストのテスト実行を開始し、進捗状況を表示し、テスト実行を停止する方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.startJob({
 "testId": "<sys_id>"
});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.progress({"snboqId":
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.cancelJob({"snboqId": snboqId});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
{progress: 64, state: running}
```

TestRunnerApi – startJob(文字列 testId)

Cloud Runner ブラウザーで ATF テストまたはテストスイートを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
testId	文字列	必須。クラウドランナーブラウザーで実行する ATF テストまたはテストスイートのsys_id。次のいずれかのテーブルにあります。 • テスト [sys_atf_test] • テストスイート [sys_atf_test_suite]

返される内容

タイプ	説明
文字列	ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

次の例は、ATF テストのテスト実行を開始し、進捗状況を表示し、テスト実行を停止する方法を示しています。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.startJob({
 "testId": "<sys_id>"
});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.progress({"snboqId":
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestRunnerAPI.cancelJob({"snboqId": snboqId});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
```

クラウドランナー TestUserApi – スコープ指定、グローバル

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行されるテストユーザージョブを管理します。 この API は、CloudRunnerApi スクリプトインクルードの一部です。

この API は、次のタスクに使用できます。

- ユーザーテストジョブを開始します。
- クラウドユーザーを設定します。
- 指定されたユーザーが有効かどうかを確認します。
- ユーザーテストジョブの進捗状況を確認します。
- テストジョブをキャンセルします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グローバルスコープでは、この API は sn_atf_tg 名前空間内で実行されます。この API を使用するには、 ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインを有効にする必要があります。

関連項目：

- クラウドランナー TestGenerationApi – スコープ対象、グローバル
- クラウドランナー TestRunnerApi – スコープ対象、グローバル
- クラウドランナーテストランナー REST API

TestUserApi – cancelJob(文字列 **snboqId)**

ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルのテストユーザージョブのステータスを完了に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
null	成功した場合は Null、それ以外の場合はエラーメッセージ。
エラー	失敗した場合、考えられるエラーメッセージ: • BOQ ID が渡されない – 指定された JSON オブジェクトに BOQ ID エントリがありません。JSON オブジェクトが `{snboqId: "<sys_id>"}` として構造化されていることを確認します。 • 無効な BOQ sys_idが渡されました – 指定する ID は、ブラウザオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルの BOQ レコード用である必要があります。

次の例は、アドミンユーザーのテストユーザーを開始し、進行状況を取得して、テストユーザーをキャンセルする方法を示しています。ロックアウトされたユーザーが有効なクラウドユーザーであることを確認した後、コードはクラウドユーザーを ITIL アドミニストレーターとして設定します。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestUserAPI.startJob({username:
 "abel.tuter"});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.progress({snboqId:
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.cancelJob({snboqId: snboqId});

gs.info(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.isValidCloudUser({username: <name of
 the user who has been locked out>}));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.selectCloudUser({username: "itil_admin"});
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{progress: 64, state: running}
User is missing the following criteria:
 User is locked out
False
```

TestUserApi – isValidCloudUser(文字列ユーザー名)

指定されたユーザーが有効なクラウドユーザーであるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
username	オブジェクト	必須。ユーザー [sys_user] テーブルにリストされている有効なユーザーのユーザー ID。この値は、JSON オブジェクトの文字列として提供されます。たとえば、`{username: "abel.tuter"}` です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたユーザーが有効なクラウドユーザーであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定されたユーザーは有効なクラウドユーザーです。 • false:指定されたユーザーは、次の 1 つ以上の理由で無効です。 ◦ ユーザーが見つかりませんでした。 ◦ ユーザーは非アクティブです。 ◦ ユーザーはロックアウトされています。 ◦ ユーザーはパスワードリセットを必要としている。 ◦ ユーザーに admin ロールがない。 ◦ ユーザーには読み取り専用アクセス権があります。 ◦ ユーザーは Web サービスにのみアクセスできます。

次の例は、アドミンユーザーのテストユーザーを開始し、進行状況を取得して、テストユーザーをキャンセルする方法を示しています。ロックアウトされたユーザーが有効なクラウドユーザーであることを確認した後、コードはクラウドユーザーを ITIL アドミニストレーターとして設定します。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestUserAPI.startJob({username:
 "abel.tuter"});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.progress({snboqId:
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.cancelJob({snboqId: snboqId});

gs.info(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.isValidCloudUser({username: <name of
 the user who has been locked out>}));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
CloudRunnerAPI.TestUserAPI.selectCloudUser({username: "itil_admin"});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
User is missing the following criteria:
 User is locked out
False
```

TestUserApi – progress(文字列 **snboqId)**

指定されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードの各ユーザーテストのステータスを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
snboqId	文字列	必須。ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テストの進行状況を示す JSON オブジェクト。 `{ "progress": Number, "state": "String" }`
Object.progress	テストの進行状況完了率を示します。 タイプ：数値
Object.state	BOQ レコードのステータス。 可能な値： • 保留中 – 要求されたテストアクティビティが作成され、実行を待機しています。 • 処理中:インスタンスはレコードをスキャンして、リクエストがクラウドインフラストラクチャに送信される前に、実行トラッカーが Cloud Runner 用にマークされていることを確認します。 • 要求されたブラウザー – テスト生成またはテスト実行のためにブラウザーを起動する要求がクラウドインフラストラクチャに送信されました。 • 実行中 – クラウドインフラストラクチャのブラウザは、保留中のテストを検出して実行します。 • 完了 – テストタスクが完了しました。 • [Failed (失敗)] ステータス – テストタスクが失敗しました。 タイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
エラー	失敗した場合、考えられるエラーメッセージ: • BOQ ID が渡されない – 指定された JSON オブジェクトに BOQ ID エントリがありません。JSON オブジェクトが `{snboqId: "<sys_id>"}` として構造化されていることを確認します。 • 無効な BOQ sys_idが渡されました – 指定する ID は、ブラウザオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルの BOQ レコード用である必要があります。

次の例は、アドミンユーザーのテストユーザーを開始し、進行状況を取得して、テストユーザーをキャンセルする方法を示しています。ロックアウトされたユーザーが有効なクラウドユーザーであることを確認した後、コードはクラウドユーザーを ITIL アドミニストレーターとして設定します。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestUserAPI.startJob({username:
 "abel.tuter"});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.progress({snboqId:
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.cancelJob({snboqId: snboqId});

gs.info(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.isValidCloudUser({username: <name of
 the user who has been locked out>}));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.selectCloudUser({username: "itil_admin"});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
User is missing the following criteria:
 User is locked out
False
```

TestUserApi – selectCloudUser(文字列ユーザー名)

Cloud Runner でエンドツーエンドのテストユーザージョブを開始します。ユーザーが admin ロールで正しくログインできる場合、クラウドランナーインフラストラクチャでの今後のテスト実行とテスト生成のために、クラウドユーザープロパティがこのユーザーとして設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
username	オブジェクト	必須。ユーザー [sys_user] テーブルにリストされている有効なユーザーのユーザー ID。この値は、JSON オブジェクトの文字列として提供されます。たとえば、`{username: "abel.tuter"}` です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
Null	成功した場合は Null。それ以外の場合はエラーメッセージ。 クラウドユーザーが無効であるため、クラウドユーザーを設定できません - このエラーは、指定されたユーザーが次の 1 つ以上の理由で無効であることを示します。 • ユーザーが見つかりませんでした。 • ユーザーは非アクティブです。 • ユーザーはロックアウトされています。 • ユーザーはパスワードリセットを必要としている。 • ユーザーに admin ロールがない。 • ユーザーには読み取り専用アクセス権があります。 • ユーザーは Web サービスにのみアクセスできます。

次の例は、アドミンユーザーのテストユーザーを開始し、進行状況を取得して、テストユーザーをキャンセルする方法を示しています。ロックアウトされたユーザーが有効なクラウドユーザーであることを確認した後、コードはクラウドユーザーを ITIL アドミニストレーターとして設定します。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestUserAPI.startJob({username:
 "abel.tuter"});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.progress({snboqId:
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.cancelJob({snboqId: snboqId});

gs.info(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.isValidCloudUser({username: <name of
 the user who has been locked out>}));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.selectCloudUser({username: "itil_admin"});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
User is missing the following criteria:
 User is locked out
False
```

TestUserApi – startJob (文字列ユーザー名)

クラウドランナーでエンドツーエンドのテストユーザージョブを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
username	文字列	必須。Cloud Runner のエンドツーエンドインフラストラクチャをテストするsys_userのユーザー名。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブル内の BOQ レコードのsys_id。

次の例は、アドミンユーザーのテストユーザーを開始し、進行状況を取得して、テストユーザーをキャンセルする方法を示しています。ロックアウトされたユーザーが有効なクラウドユーザーであることを確認した後、コードはクラウドユーザーを ITIL アドミニストレーターとして設定します。グローバルスコープでは、sn_atf_tg 名前空間を使用します。

```
var snboqId = CloudRunnerAPI.TestUserAPI.startJob({username:
 "abel.tuter"});

gs.info(JSON.stringify(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.progress({snboqId:
 snboqId})));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.cancelJob({snboqId: snboqId});

gs.info(CloudRunnerAPI.TestUserAPI.isValidCloudUser({username: <name of
 the user who has been locked out>}));

CloudRunnerAPI.TestUserAPI.selectCloudUser({username: "itil_admin"});
```

出力:

```
{progress: 64, state: running}
User is missing the following criteria:
 User is locked out
False
```

ClusteringSolution - グローバル

ClusteringSolution API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

ソリューションのセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *DatasetDefinition* API を使用してデータセットを作成します。
2. K 平均法クラスタリングアルゴリズムを使用する場合は必須です。*Encoder* API を使用してエンコーダーを構築します。
3. コンストラクターを使用して、クラスタリングソリューションオブジェクトを作成します。
4. *ClusteringSolutionStore - add()* メソッドを使用して、ソリューションオブジェクトをクラスタリングソリューションストアに追加します。
5. *submitTrainingJob()* メソッドを使用してソリューションをトレーニングします。これにより、*ClusteringSolutionVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。
6. *ClusteringSolutionVersion - predict()* メソッドを使用して予測を取得します。

> **注:** この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

ClusteringSolution - ClusteringSolution(オブジェクト **config)**
クラスターソリューションを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト ソリューション。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "clusterConcept": "String", "clusterConceptFieldNames": [Array], "dataset": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "groupUnclusteredRecords": Boolean, "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "maxTimeWindowForUpdate" : Number, "minRecordsPerCluster" : Number, "minRowCount": "String", "processingLanguage": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String" }`
config.algorithmConfig	オブジェクト	*encoder* プロパティを設定する場合を除き、必須です。アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 プロパティの設定は、*algorithm* プロパティに設定された値によって異なります。 `'algorithmConfig': { "algorithm": "String", // See algorithmConfig.algorithm`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		`setting description for property settings based on algorithm` `}`

config.algorithmConfig.algorithm	文字列	ソリューションをエンコードする方法。
		
		有効な値：
		
		• *dbscan*：Density-Based Spatial Clustering of Applications with Noise (DBSCAN、ノイズのあるアプリケーションの密度ベース空間クラスタリング) クラスタリングアルゴリズム。このアルゴリズムで使用されるプロパティ：
		◦ *distanceMetric*
		◦ *epsilon*
		◦ *minimumNeighbours*
		• *hdbscan*：Hierarchical Density Based Spatial Clustering of Applications with Noise (HDBSCAN、ノイズのあるアプリケーションの階層密度ベース空間クラスタリング) クラスタリングアルゴリズム。このアルゴリズムで使用されるプロパティ：
		◦ *minimumSamples*
		• *kmeans*：K 平均法クラスタリングアルゴリズム。デフォルトです。このアルゴリズムでは *targetCoverage* プロパティが使用されます。
		
		DBSCAN の使用を好むユーザーもいます。クラスタリングの前にデータ内のクラスター数を指定する必要がないためです。
		
		dbscan のプロパティ：
		`'algorithmConfig': {`
		`"algorithm": "dbscan",`
		`"distanceMetric": "String",`
		`"epsilon": Number,`
		`"minimumNeighbours": Number`
		`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		hdbscan のプロパティ：
		`'algorithmConfig': { "algorithm": "hdbscan", "minimumSamples": Number }`
		
		kmeans のプロパティ：
		`'algorithmConfig': { "algorithm": "kmeans", "targetCoverage": Number }`

config.algorithmConfig.distanceMetric	文字列	DBSCAN アルゴリズムのみ。類似のデータオブジェクトをスキャンする距離測定基準。 有効な値：*levenshteinDistance*
config.algorithmConfig.epsilon	番号	DBSCAN アルゴリズムのみ。近接検索半径のサイズを表す 0 と 1 の間の小数値。
config.algorithmConfig.minimumNeighbours	番号	DBSCAN アルゴリズムのみ。ポイントがクラスターの一部となるために必要な近接の最小数。*levenshteinDistance* の場合、データセットから除外されるポイントがないように、値を 1 にする必要があります。
config.algorithmConfig.minimumSamples	番号	ポイントがコアポイントであるかどうかを判断するために必要な、近隣のデータサンプルの最小数。 デフォルト：なし
config.algorithmConfig.targetCoverage	番号	K 平均法アルゴリズムのみ。互いにあまり類似していないレコードを除外するためのパーセンタイルフィールド。
config.clusterConcept	文字列	オプション。概念タイプ。概念は、頻度の高い順にリストされた一連の単語です。TFIDF ベースのクラスターの概念を生成するには、値を `tfidf`に設定します。概念タイプは、クラスタリング定義 [ml_capability_definition_clustering] テーブルに一覧表示されます。 デフォルト：頻度ベースのクラスターの概念
config.clusterConceptFieldNames	アレイ	オプション。クラスターの概念フィールド名のリスト。これらの値は、ク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ラスターの概念を作成するための外部列であり、クラスターソリューションのトレーニングには使用されません。外部列が指定されている場合、それらの列はクラスターの概念にのみ使用され、クラスタリングソリューションのトレーニングには使用されません。クラスターの概念フィールドはクラスタリング定義 [ml_capability_definition_clustering] テーブルにリストされます。 デフォルト：入力テキスト列でクラスターの概念を生成
config.dataset	オブジェクト	DatasetDefinition オブジェクト名。
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。 例：`"global"`。
config.encoder	オブジェクト	*algorithmConfig* プロパティを `"levenshteinDistance"` に設定する場合を除き、必須です。このソリューションに割り当てるトレーニング済みのエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。
config.groupByFieldName	文字列	オプション。 レコードを 1 つ以上のクラスターにグループ化するためのフィールド名。 次のセットアップ例では、各タイプが個別のクラスターにグループ化され、10 個のクラスターがレンダリングされます。 • *groupByFieldName* の値は `'category'` です • DatasetDefinition *tableName* 値は「incident」です • インシデント [incident] テーブルには 10 個のカテゴリタイプがあります
config.groupUnclusteredRecords	ブーリアン	結果内でクラスター化されていないレコードをグループ化するかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true：結果内でクラスター化されていないレコードを個別にグループ化します。 • false：結果内でクラスター化されていないレコードをグループ化しません。クラスター化されていない値 (-1) は残りの結果とともに表示されます。 デフォルト値：false
config.inputFieldNames	アレイ	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.maxTimeWindowForUpdate	番号	オプション。モデル更新ポイントから遡ってレコードを検索する時間 (分)。例えば、値が 15 の場合、システムは過去 15 分間に作成されたレコードのみを検索します。デフォルトでは、すべてのレコードがスキャンされます。
config.minRecordsPerCluster	番号	オプション。クラスター内で使用可能なレコードの最小数。値は 2 以上でなければなりません。 デフォルト値：2
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.processingLanguage	文字列	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。
config.stopwords	アレイ	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 デフォルト：英語のストップワード
config.trainingFrequency	文字列	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once
config.updateFrequency		ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値： • do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update

次の例は、オブジェクトを作成して ClusteringSolution ストア。この例は、トレーニングのためにオブジェクトを送信する方法も示しています。

```
try{
    var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({
        'tableName' : 'incident',
        'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'state',
 'description'],
        'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
    });

    // get a trained encoder from the store
    var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('<encoder_name >');

    var mySolution = new sn_ml.ClusteringSolution({
        'label': "clustering solution",
        'dataset' : myData,
        'encoder' : myEncoder,
        'inputFieldNames':['short_description'],
        'groupByFieldName' : 'category',
        'algorithmConfig' : {
            'algorithm' : 'kmeans',
            'targetCoverage' : '90'
        }
    });

    // add solution
    var solutionName = sn_ml.ClusteringSolutionStore.add(mySolution);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var solutionVersion = mySolution.submitTrainingJob();
    var trainingStatus = solutionVersion.getStatus();
    gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
} catch(ex){
    gs.print('Exception caught: '+ ex.getMessage());
}
```

出力:

```
{
  "state": "waiting_for_training",
  "percentComplete": "0",
  "hasJobEnded": "false"
}
```

次の例は、'description' フィールドをクラスターの概念フィールドとして含める方法を示しています。

```
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'incident',
    'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'description'],
});

var encodersolutionName = sn_ml.EncoderStore.get('<encoder_name >');

var mySolution = new sn_ml.ClusteringSolution({
 'label': 'clustering_test',
 'dataset': myIncidentData,
 'inputFieldNames': ['short_description'],
 'encoder': encodersolutionName,
 'clusterConceptFieldNames': ['description']
});

var solutionNameFromStore =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.add(mySolution);
var myClassifier = mySolution.submitTrainingJob();
```

ClusteringSolution - cancelTrainingJob()

トレーニングのために送信されたソリューションオブジェクトのジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var mySolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_sn_global_global_clustering');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
mySolution.cancelTrainingJob();
```

ClusteringSolution - getActiveVersion()

アクティブな ClusteringSolutionVersion オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *ClusteringSolutionVersion* オブジェクト。

次の例は、 *ClusteringSolution* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClusteringSolution - getAllVersions()

クラスタリングソリューション のすべてのバージョンを取得します

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューションオブジェクトの既存のバージョン。関連項目 *ClusteringSolutionVersion* API

次の例は、すべての *ClusteringSolution* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* および *getStatus()* ソリューションバージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var mlSolutionVersions = mlSolution.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlSolutionVersions.length; i++) {
gs.print("Version " + mlSolutionVersions[i].getVersionNumber() + "
 Status: " + mlSolutionVersions[i].getStatus() +"\n");
};
```

出力：

```
Version 3 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 2 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 1 Status:
 {"state":"solution_cancelled","percentComplete":"0","hasJobEnded":"tru
e"}
```

ClusteringSolution - getLatestVersion()

の最新バージョンを取得しますソリューション。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClusteringSolutionVersion* の最新バージョンに対応するオブジェクト*ClusteringSolution()* です。

次の例は、ソリューションの最新バージョンを取得して、トレーニングのステータスを返す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getLatestVersion().getStatu
s()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClusteringSolution - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ソリューションオブジェクトの名前。

次の例は、 *ClusteringSolution* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update solution
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields('clustering'));

var myCluster = new sn_ml.ClusteringSolution({
   'label': "my clustering solution",
   'dataset' : myIncidentData,
   'inputFieldNames': eligibleFields['eligibleInputFieldNames'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update solution
sn_ml.ClusteringSolutionStore.update('ml_x_snc_global_global_clustering_s
olution', myCluster);

// print solution name
gs.print('Solution Name: '+myCluster.getName());
```

出力：

```
Solution Name: ml_x_snc_global_global_clustering_solution
```

ClusteringSolution - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClusteringSolutionStore* のデータセットのコンテンツと *ClusteringSolution()* オブジェクトの詳細。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "minRecordsPerCluster" : Number, "name": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String" }`
<Object>.algorithmConfig	アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 プロパティの結果は、*algorithm* プロパティに設定された値によって異なります。 `'algorithmConfig' : { "algorithm": "String", // See algorithmConfig.algorithm setting description for`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	property settings based on algorithm } データタイプ：オブジェクト。
<Object>.algorithmConfig.algorithm	ソリューションをエンコードする方法。 *dbscan* のプロパティ： 'algorithmConfig': { "algorithm": "dbscan", "distanceMetric": "String", "epsilon": Number, "minimumNeighbours": Number } *kmeans* のプロパティ： 'algorithmConfig': { "algorithm": "kmeans", "targetCoverage": Number } データタイプ：文字列。
<Object>.algorithmConfig.distanceMetric	DBSCAN アルゴリズムのみ。類似のデータオブジェクトをスキャンする距離測定基準。 データタイプ：文字列。
<Object>.algorithmConfig.epsilon	DBSCAN アルゴリズムのみ。近接検索半径のサイズを表す 0 と 1 の間の小数値。 データタイプ：数値。
<Object>.algorithmConfig.minimumNeighbours	DBSCAN アルゴリズムのみ。ポイントがクラスターの一部となるために必要な近接の最小数。*levenshteinDistance* の場合、データセットから除外されるポイントがないよう

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	に、値を 1 にする必要があります。 データタイプ：数値。
<Object>.algorithmConfig.targetCoverage	K 平均法アルゴリズムのみ。互いにあまり類似していないレコードを除外するためのパーセンタイルフィールド。 データタイプ：数値。
<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ：オブジェクト
<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre> データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoderProperties	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ：オブジェクト
<Object>.groupByFieldName	レコードを 1 つ以上のクラスターにグループ化するためのフィールド名。 データタイプ：文字列
<Object>.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列。
<Object>.label	予測タスクを識別します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "label": "my first prediction"
	}</pre>
	データタイプ：文字列。

<Object>.minRecordsPerCluster	クラスター内で使用可能なレコードの最小数。 データタイプ：数値。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。
<Object>.updateFrequency	ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値： • do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update データタイプ：文字列

次の例では、ストア内のソリューションオブジェクトのプロパティを取得します。

```
var myCluster = new
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(myCluster.getProperties()), null, 2));
```

データタイプ：数値。

```
*** Script: {
  "algorithmConfig": {
    "algorithm": "kmeans",
    "targetCoverage": "90"
  },
  "datasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "category",
      "short_description",
      "state",
      "description"
    ],
    "encodedQuery": "activeANYTHING"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [
      {
        "tableName": "incident",
        "fieldNames": [
          "assignment_group",
          "short_description",
          "description"
        ],
        "encodedQuery": "activeANYTHING"
      }
    ],
    "domainName": "global",
    "label": "my encoder definition",
    "name": "ml_x_snc_global_global_my_encoder_definition",
    "processingLanguage": "en",
    "scope": "global",
    "stopwords": [
      "Default English Stopwords"
    ],
    "trainingFrequency": "run_once"
  },
  "groupByFieldName": "category",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "label": "clustering solution",
  "minRecordsPerCluster": 2,
  "name": "ml_x_snc_global_global_clustering_solution",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "trainingFrequency": "run_once",
  "updateFrequency": "do_not_update"
}}
```

ClusteringSolution - getVersion(文字列 **version)**

指定されたバージョン番号を使用します。ソリューションを取得します

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	ソリューションの既存のバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClusteringSolutionVersion* API メソッドを呼び出すことができる *ClusteringSolution()* オブジェクトの指定されたバージョン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータスを取得する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getVersion('1').getStatus(
)), null, 2));
```

データタイプ：数値。

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

ClusteringSolution - setActiveVersion(文字列 version)

ストア内の指定されたバージョンのソリューションをアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *ClusteringSolution()* オブジェクトバージョンの名前。 このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションバージョンを有効にする方法を示しています。

```
sn_ml.ClusteringSolution.setActiveVersion("ml_incident_categorization");
```

ClusteringSolution - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

注: このメソッドを実行する前に、まず *ClusteringSolutionStore - add()* メソッドを使用してソリューションをストアに追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClusteringSolutionVersion* に対応するオブジェクト *ClusteringSolution* トレーニング対象

次の例は、データセットを作成してソリューションに適用し、ソリューション をストアに追加して、トレーニングジョブを送信する方法を示しています。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// get a trained encoder from the store
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.ClusteringSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'encoder' : myEncoder,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.ClusteringSolutionStore.add(mySolution);

// Train the solution - this is a long running job
var myClusterVersion = mySolution.submitTrainingJob();
```

ClusteringSolutionStore - グローバル

ソリューション の保存と取得を有効にします 。

ClusteringSolutionStore API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

ClusteringSolutionStore - add(オブジェクト mlSolution)

新しいソリューション オブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。

注: ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlSolution	ClusteringSolution	*ClusteringSolution()* ストアに追加する

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成されたソリューション名。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示しています ソリューションソリューション*ClusteringSolution - SubmitTrainingJob()* ストアに追加した後にトレーニングジョブを実行します。を使用

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// get a trained encoder from the store
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.ClusteringSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'encoder' : myEncoder,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.ClusteringSolutionStore.add(mySolution);
```

ClusteringSolutionStore - deleteObject(文字列 **name)**

指定されたソリューションオブジェクトをストアから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*ClusteringSolution()* 削除するオブジェクト。の名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアからソリューションを削除する方法を示しています。

```
sn_ml.ClusteringSolutionStore.deleteObject("ml_sn_global_global_solution
");
```

ClusteringSolutionStore - get(文字列 name)

ソリューションオブジェクトをストアから取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストア内のソリューションの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*ClusteringSolution* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

次の例は、*get()* メソッドを使用してストアからソリューションオブジェクトを取得し、ClusteringSolution - getActiveVersion() および ClusteringSolutionVersion - getStatus() メソッドです。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

ClusteringSolutionStore - getAllNames(オブジェクト options)

ストア内のすべてのソリューション定義レコードの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"domainName": "String",
		"scope": "String"
		};</pre>

options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の文字列表現ソリューションオブジェクトの名前のリスト。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.ClusteringSolutionStore.getAllNames()), null, 2));
```

出力:

```
[
  "ml_x_snc_global_global_clustering_solution_1",
  "ml_x_snc_global_global_clustering_solution"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my solution definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.ClusteringSolutionStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition"
]
```

ClusteringSolutionStore - update(文字列 **name**, オブジェクト **mlSolution)**

ストア内の既存のオブジェクトをパラメーターとして渡されたオブジェクトに置き換えます。指定されたオブジェクト名は空であるか、一致している必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するソリューションの名前。
mlSolution	*ClusteringSolutClusteringSolution()*	更新するオブジェクトプロパティ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションオブジェクトを更新する方法を示しています。

```
var solutionUpdate = new sn_ml.ClusteringSolution({
  'label': 'my solution definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.ClusteringSolutionStore.update('ml_sn_global_global_incident_service', solutionUpdate);
```

ClusteringSolutionVersion - グローバル

ClusteringSolutionVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

これは、ClusteringSolution ストア内の ClusteringSolution API オブジェクトに基づくソリューションバージョンを操作するために使用されます。

ソリューション定義をトレーニングするたびに、ソリューションのバージョンが作成されます。ほとんどのバージョンは、スケジュール設定済みのソリューショントレーニング中に作成されます。

この API のメソッドは、次の *ClusteringSolution* メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

ClusteringSolutionVersion - cancelUpdateJob()

トレーナーの更新ジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*submitTrainingJob()* メソッドを使用して、送信されたアクティブなトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var myCluster = new
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");
var mlSolutionVersion = myCluster.getActiveVersion();

mlSolutionVersion.cancelUpdateJob();
```

ClusteringSolutionVersion - deleteClusterAssignments(オブジェクト **options)**

テーブルシーケンス内の位置または GlideDateTime に基づいて、行からクラスター割り当てを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	クラスター割り当てを削除するための 1 つのオプションを定義するオブジェクト。 注: 1 つの削除オプションのみが有効です。
options.updated_since	文字列	`updated_since` 値がこの値よりも前であるクラスターの行を削除します。形式は GlideDateTimeとして指定する必要があります。 `{ "updatedUntil" : "String" }`
options.sequence_until	文字列	クラスターの行を削除します ML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルでこの値の前に発生する `insert_sequence` 値。シーケンス位置の開始点の値は 1 です。 `{ "sequenceUntil" : Number }`

返される内容

タイプ	説明
番号	ML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルから削除される行の数。

次の例は、`updated_since` の時間が `'2020-06-28 02:50:53'` よりも前であるクラスターの行を削除する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

var mlSolutionVersion = mlSolution.getActiveVersion();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var options = {};
options.updatedUntil = '2020-06-28 02:50:53';

var results = mlSolutionVersion.deleteClusterAssignments(options);

gs.print("Number of deleted rows: "+results);
```

出力:

```
Number of deleted rows: 6417
```

次の例は、`updated_since` が `1000` よりも前で連続した位置にあるクラスターの行を削除する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

var mlSolutionVersion = mlSolution.getActiveVersion();

var options = {};
options.sequenceUntil = 1000;

var results = mlSolutionVersion.deleteClusterAssignments(options);

gs.print("Number of deleted rows: "+results);
```

出力：

```
Number of deleted rows: 999
```

ClusteringSolutionVersion - getClusterAssignments(オブジェクト **options)**

クラスタリングソリューションの割り当てを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	返された結果を、クラスタリングソリューション内のグループ、レベル、システム更新時間、およびテーブル行番号で絞り込むために使用する値。少なくとも 1 つの引数を指定する必要があります。 `{ "cluster_id": "String", "group_by": "String", "limit": Number, "sequenceSince": Number, "sequenceUntil": Number, "topNPerCluster": Number, "updatedSince": "String", "updatedUntil": "String" }`
options.cluster_i	文字列	オプション。クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルのトレーニング済みソリューションのクラスター ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.group_by	文字列	オプション。クラスターメンバーシップ (assignment_group など) を取得するセグメンテーションフィールドを識別します。 このフィールドは、[クラスタリング定義] フォームの [グループ化] チェックボックスで提供されるオプションと同じグループ化を提供します。表示される情報は、[テーブル] フィールドで選択したテーブルによって異なります。詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。
options.limit	番号	オプション。取得するクラスター割り当ての最大数。
options.sequence	番号	テーブルシーケンスの開始位置。insert_sequence が有効で、ML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルでこの値の後に配置されているクラスターの情報を返します。シーケンス位置の開始点の値は 1 です。
options.sequence_until	番号	クラスターの割り当てを返しますML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルでこの値の前に発生する `insert_sequence` 値。シーケンス位置の開始点の値は 1 です。
options.topNPerCluster	番号	クラスターごとに受信する上位の結果の数。
options.updated_after	文字列	オプション。日付と時刻。 GlideDateTime。
options.updated_before	文字列	オプション。日付と時刻。 GlideDateTime。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	クラスター情報を含むオブジェクトのリスト (cluster_id の昇順)。 `[ { "cluster_id": "String", "group_by": "String", "rec_display_id": "String", "rec_sys_id": "String" } ]`
<object>.cluster_id	クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号。
<object>.group_by	グループ化されている場合、このクラスターに関連付けられているセグメンテーションフィールドの名前。
<object>.rec_display_id	レコードのタイプと番号。
<object>.rec_sys_id	レコード sys_id。

次の例は、*options* オブジェクトを使用してクラスタリング結果をフィルタリングする方法を示しています。

```
var mlSolution = sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("solution_name");

var mlSolutionVersion = mlSolution.getActiveVersion();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var options = {};
options.clusterId = 56;
options.topNPerCluster = 10;
options.updatedUntil = '2020-01-17 23:16:14';
options.updatedSince = '2020-01-17 23:16:13';
options.sequenceUntil = 1000;
options.sequenceSince = 1100;
options.limit = 100;

var results = mlSolutionVersion.getClusterAssignments(options)

gs.print(results);
```

出力：

```
[{"cluster_id":"1","rec_display_id":"Incident":
 "INC0014483","rec_sys_id":"04e33e7adb401300864adfea5e961900","group_by":
"network"},
 {"cluster_id":"1","rec_display_id":"Incident":
 "INC0011133","rec_sys_id":"5bd23af2db401300864adfea5e96194d","group_by":
"network"}]
```

ClusteringSolutionVersion - getClusterInfo(オブジェクト options)

ストア内 指定されたクラスタリングソリューションの情報を取得します。。純度測定は、純度の基になるクラスターフィールドにパーセンテージの形でインサイトを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	オプション。クラスタリングソリューション内で結果のフィルタリングを可能にするプロパティを含むオブジェクト。 `{ "clusterId": "String", "groupBy": "String", "limit": "String", "recSysId": "String", "sequenceSince": Number, "sequenceUntil": Number, "updatedSince": "String", "updatedUntil": "String" }` デフォルト：すべてのクラスターのクラスターメンバーシップを返します。
options.clusterId	文字列	オプション。クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルのトレーニング済みソリューションのクラスター ID。
options.groupBy	文字列	オプション。クラスターメンバーシップ (assignment_group など) を取得するセグメンテーションフィールドを識別します。 このフィールドは、[クラスタリング定義] フォームの [グループ化] チェックボックスで提供されるオプションと同じグループ化を提供します。表示される情報は、[テーブル] フィールドで選択したテーブルによって異なります。詳細については、「 クラス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		タリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。
options.limit	番号	オプション。取得するクラスター割り当ての最大数。
options.recSysId	文字列	オプション。クラスター情報の検索に使用するレコードの sys_id。
options.sequenceSince	番号	テーブルシーケンスの開始位置。insert_sequence が有効で、ML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルでこの値の後に配置されているクラスターの情報を返します。シーケンス位置の開始点の値は 1 です。
options.sequenceUntil	番号	オプション。テーブルシーケンスの終了位置。クラスターの割り当てを返しますML クラスター詳細 [ml_cluster_detail] テーブルでこの値の前に発生する `insert_sequence` 値。シーケンス位置の開始点の値は 1 です。
options.updatedSince	文字列	オプション。日付と時刻。 GlideDateTime 形式。
options.updatedUntil	文字列	オプション。日付と時刻。 GlideDateTime。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	クラスター情報を含むオブジェクトのリスト。 `[ { "cluster_concept": "String", "cluster_id": "String", "cluster_quality": "String", "cluster_size": "String", "group_by": "String", "insert_sequence": "String", "purity": "String", "sys_updated_on": "String" } ]`
<object>.cluster_concept	頻度の降順によるクラスターを説明する単語のセット。 データタイプ：文字列
<object>.cluster_id	クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号。
<object>.cluster_quality	0 ～ 100 の数値。数値が大きいほどクラスター密度が高いことを示します。 データタイプ：文字列
<object>.cluster_size	クラスター内のレコードの数。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<object>.group_by	グループ化されている場合、このクラスターに関連付けられているセグメンテーションフィールドの名前。 データタイプ：文字列
<object>.insert_sequence	クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブル内のクラスターの連続位置番号。 データタイプ：文字列
<object>.purity	クラスター品質の純度を表すパーセンテージ値。
<object>.sys_updated_on	このクラスターが最後に更新された日時を表すシステムの GlideDateTime 値。 データタイプ：文字列

次の例は、options オブジェクトパラメーターを設定し、クラスターのフィルタリング結果を印刷する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

var mlSolutionVersion = mlSolution.getActiveVersion();

var options = {};
options.updatedSince = '2020-05-28 02:09:53';
options.updatedUntil = '2020-05-28 03:15:00';
options.sequenceSince = 1;
options.limit = 10;

var results = mlSolutionVersion.getClusterInfo(options);

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：

```
[
  {
    "cluster_id": "1",
    "cluster_quality": "100",
    "cluster_size": "17",
    "purity": "",
    "insert_sequence": "8",
    "group_by": "VPN   Customer",
    "sys_updated_on": "2020-05-28 02:09:53",
    "cluster_concept": "vpn instance connection ldap user log unable
 usability tunnel"
  },
  {
    "cluster_id": "1",
    "cluster_quality": "100",
    "cluster_size": "10",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "purity": "",
    "insert_sequence": "24",
    "group_by": "Live Feed",
    "sys_updated_on": "2020-05-28 02:09:53",
    "cluster_concept": "feed live user note work disable group default
 usability sort"
  },
  {
    "cluster_id": "1",
    "cluster_quality": "100",
    "cluster_size": "18",
    "purity": "",
    "insert_sequence": "40",
    "group_by": "Integrations",
    "sys_updated_on": "2020-05-28 02:09:53",
    "cluster_concept": "integrate usability certificate error"
  },
...
]
```


ClusteringSolutionVersion - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します バージョン番号。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと ClusteringSolution バージョン詳細。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "groupByFieldName": "String", "inputFieldNames": [Array], "isActive": Boolean, "label": "String", "minRecordsPerCluster": Number, "name": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String", "versionNumber": Number }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.algorithmConfig	アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 プロパティの結果は、*algorithm* プロパティに設定された値によって異なります。 データタイプ: オブジェクト `'algorithmConfig' : { "algorithm": "String", // See algorithmConfig.algorithm setting description for property settings based on algorithm }`

<Object>.algorithmConfig.algorithm	クラスターをエンコードする方法。
	
	dbscan のプロパティ：
	
	`'algorithmConfig': { "algorithm": "dbscan", "distanceMetric": "String", "epsilon": Number, "minimumNeighbours": Number }`
	
	kmeans のプロパティ：
	
	`'algorithmConfig': { "algorithm": "kmeans", "targetCoverage": Number }`
	
	データタイプ：文字列

<Object>.algorithmConfig.distanceMetric	DBSCAN アルゴリズムのみ。類似のデータオブジェクトをスキャンする距離測定基準。 データタイプ：文字列
<Object>.algorithmConfig.epsilon	DBSCAN アルゴリズムのみ。近接検索半径のサイズを表す 0 と 1 の間の小数値。 データタイプ：数値
<Object>.algorithmConfig.minimumNeighbours	DBSCAN アルゴリズムのみ。ポイントがクラスターの一部となるために必要な近接の最小数。*levenshteinDistance* の場合、データセットから除外されるポイントがないように、値を 1 にする必要があります。 データタイプ：数値
<Object>.algorithmConfig.targetCoverage	k-平均法アルゴリズムのみ。互いにあまり類似していないレコードを除外するためのパーセンタイルフィールド。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた DatatsetDefinition オブジェクトのプロパティを一覧表示します。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ: オブジェクト
<Object>.datasetProperties.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.fieldDetails	フィールドのプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `[ { "name": "String", "type": "String" } ]`
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.name	このフィールドの詳細を制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.type	機械学習フィールドのタイプ。 データタイプ：文字列
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。 例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ
<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 データタイプ：文字列
Object.encoderProperties	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
Object.groupByFieldName	レコードを 1 つ以上のクラスターにグループ化するためのフィールド名。 データタイプ：文字列
Object.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列
<Object>.minRecordsPerCluster	クラスター内で使用可能なレコードの最小数。 データタイプ：数値
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列
<Object>.updateFrequency	ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値： • do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update データタイプ：文字列
<Object>.versionNumber	のバージョン番号 *ClusteringSolution* オブジェクト。

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

```
// Get properties
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPrope
rties()), null, 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "algorithmConfig": {
    "algorithm": "kmeans",
    "targetCoverage": "90"
  },
  "datasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "category",
      "short_description",
      "state",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "description"
    ],
    "encodedQuery": "activeANYTHING"
  },
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [
      {
        "tableName": "incident",
        "fieldNames": [
          "assignment_group",
          "short_description",
          "description"
        ],
        "encodedQuery": "activeANYTHING"
      }
    ],
    "domainName": "global",
    "isActive": "true",
    "label": "my encoder definition",
    "name": "ml_x_snc_global_global_my_encoder_definition",
    "processingLanguage": "en",
    "stopwords": [
      "Default English Stopwords"
    ],
    "versionNumber": "1"
  },
  "groupByFieldName": "category",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "isActive": "true",
  "label": "clustering solution",
  "minRecordsPerCluster": 2,
  "name": "ml_x_snc_global_global_clustering_solution",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "updateFrequency": "do_not_update",
  "versionNumber": "1"
}
```


ClusteringSolutionVersion - getStatus(ブール **includeDetails)**

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクトClusteringSolution オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String", "details": {Object} }`
<Object>.state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded*プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete` • `training_request_received` • `training_request_timed_out` (terminal) • `training_solution` • `Uploading_solution` • `waiting_for_training` データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_cluster_soluti
on');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Solution Complete"} // This information is only
 returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var solutionName = 'ml_x_snc_global_global_cluster_solution';
var mlSolution = sn_ml.ClusteringSolutionStore.get(solutionName);
var trainingStatus = mlSolution.getLatestVersion().getStatus();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_error",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

ClusteringSolutionVersion - getTopNPurityInfo(オブジェクト **options)**

クラスタリングソリューションの上位の純度結果を取得します。純度測定は、純度の基になるクラスターフィールドにパーセンテージの形でインサイトを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	上位クラスターの純度結果の数と形式を決定するオプション。 `{ "clusterIds": [Array], "groupBy": [Array], "purityFields": [Array], "topN": Number, "topNFields": Number }`
options.clusterIds	アレイ	オプション。文字列として指定されたクラスター ID のリスト。クラスター ID は、クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルで提供されています。指定された場合、このメソッドは指定された各クラスターの純度クラスター情報を返します。 デフォルト：このメソッドは、すべてのクラスターの純度情報を返します。
options.groupBy	アレイ	オプション。テーブルの group_by フィールド文字列の リストは、システムがクラスター内で最も頻度が高いクラスを特定するのに役立ちます。指定された場合、group_by フィールドを使用してクラスターソリューションの純度情報を返します。クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルには、クラスターおよび関連する group_by 値が一覧表示されます。 このフィールドは、クラスタリング定義で group by を使用するクラスターにのみ適用されます。対象となるフィールドが **Table** フィールドに一覧表示されます。グループ化機能の詳細については、「クラスタリングソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。
options.purityFields	アレイ	オプション。純度フィールド文字列のリスト。指定された場合、このメソッドはこれらの純度フィールドの情報のみを返します。クラスターの純度値は、クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルリストで表示できます。 注: *purity_fields* と *top_n_fields* の両方が指定されている場合、このメソッドは最初に *top_n_fields* を返し、次に *purity_fields* からフィールドを選択します。 デフォルト：クラスターに保存されているすべての純度フィールドの純度情報を返します。
options.topN	番号	オプション。返される予測の数を各純度フィールドの最高値のみに制限します。 最大値：10 デフォルト：各純度フィールドのすべての純度情報を返します。
options.topNFields	番号	オプション。返される純度フィールドの数を、各クラスターの最高純度のフィールドのみに制限します。 最大値：10

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：クラスター内のすべてのフィールドを返します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	純度フィールドおよび詳細を伴うクラスターのリストを含む JSON 形式の文字列。 **注:** 結果は *options* 入力パラメーターの設定によって異なります。 次の情報は、クラスター純度の結果がどのようにソートされ、分類されるかを示しています。実際の出力については、例を参照してください。 `{ "<clusterID>":[ // List sorted by purity per field { "<fieldName>":[ // List sorted by purity per field value {"<field_val1_1>":"<purity>"}, // Additional field values ]}, // Additional fields ], // Additional clusters }`
String.<clusterID>	クラスターごとの純度値の降順に並べられたクラスターのリスト。 データタイプ：アレイ
String.<clusterID>.<field>	フィールドごとの純度値の降順に並べられた純度フィールドを表すオブジェクトのリスト。*options.top_n_fields* 入力オブジェクトのパラメータープロパティによって、返されるフィールドの数が決まります。 `"<field>":[{"<field_val>":"<purity>"}]}` データタイプ：アレイ
String.<clusterID>.<field>.<value>	フィールド値と純度を含むオブジェクトのリスト。例えば、`{"priority":[{"5":"100"}]}` は、スコアが 5 で純度値が 100 パーセントの優先度フィールドです。結果は純度のパーセンテージの降順に一覧表示されます。*options.top_n* 入力オブジェクトのパラメータープロパティによって、返される結果の数が決まります。 データタイプ：アレイ

次の例は、特定のクラスターソリューションのカテゴリフィールドの上位 2 つの純度の結果を取得する方法を示しています。

```
var solution = new GlideRecord('ml_solution');
solution.addQuery('sys_id', '<clustering_solution_sys_id>');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
solution.addQuery('active', 'true');
solution.query();

while (solution.next()) {

  var options = {};
  options.clusterIds = ['1', '3', '5'];
  options.purityFields = ['category'];
  options.topN = '2';
  options.topNFields = '2';

  var clustering = new sn_ml.ClusteringSolutionVersion(solution);
  var results = clustering.getTopNPurityInfo(options);

  gs.info(results);
}
```

出力には、options パラメーターで指定された設定に基づいて純度に関するインサイトが表示されます。

```
{"1":[{"category":[{"network":"99.96"},{"inquiry":"0.04"}]}],"3":[{"categ
ory":[{"Systems Engineering":"100"}]}],
"5":[{"category":[{"Security":"100"}]}]}
```

ClusteringSolutionVersion - getUpdateStatus()

最新のクラスタリングソリューション更新ジョブのステータスを取得します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クラスタリングソリューションの更新のステータス。 ステータス： • 構成またはネットワークエラー • ソリューション更新中にエラーが発生しました • 更新用のファイルをフェッチしています • データを準備しています • 権限なし • 更新完了 • 更新がキャンセルされました • 更新要求を受信しました • 更新要求タイムアウト • ソリューションを更新しています

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• アップロード中 • 待機中

次の例は、クラスタリングソリューションの更新ステータスを取得する方法を示しています。

```
var myCluster = new
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

gs.print(JSON.stringify(myCluster.getActiveVersion().getUpdateStatus()));
```

出力：

```
"Update Complete"
```

ClusteringSolutionVersion - getVersionNumber()

ソリューションオブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

```
// Get version number
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution');

gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getVersionNumb
er()), null, 2));
```

出力：

```
Version number: 1
```

ClusteringSolutionVersion - predict(オブジェクト input, オブジェクト options)

予測の入力データを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	*GlideRecord* または、キーと値のペアとしてフィールド名と値を含む JSON オブジェクトのアレイ。
オプション	オブジェクト	予測結果をフィルタリングするためのオプションの値。 `{ "apply_threshold": Boolean, "top_n": Number }`
options.apply_threshold	ブール	ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：信頼性がしきい値より大きい結果を返します。 • false：すべての結果を返します。 デフォルト：true
options.top_n	番号	指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む JSON オブジェクト。 `{ <identifier>: [Array] }`
<Object>.<識別子>	各予測結果の詳細を含むオブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `<identifier>: [ { "confidence": Number, "predictedSysId": "String", "predictedValue": "String", "threshold": Number } ]`
<Object>.<識別子>.<object>.confidence	予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 データタイプ：数値
<Object>.<識別子>.<object>.predictedSysId	予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.predictedValue	予測結果を表す値。 データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、sys_id 別の GlideRecord を入力として受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("<sys_id>");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.getVersion(1).predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
{
  "<sys_id/gr>": [
    {
      "confidence": 62.10782320780268,
      "threshold": 20.36,
      "predictedValue": "Clone Issues",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 6.945237375770391,
      "threshold": 16.63,
      "predictedValue": "Instance Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 5.321061076300759,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、 キーと値のペアを入力のフィールド名のアレイとして受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_incident_categorization");

// key-value pairs input
var input = [{"short_description":"my email is not working"},
 {short_description:"need help with password"}];

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;
var results = mlSolution.predict(input, options);

// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
{
  "1": [
    {
      "confidence": 37.5023032262591,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 24.439964862166583,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 11.736320486031047,
      "threshold": 100,
      "predictedValue": "Security",
      "predictedSysId": ""
    }
  ],
  "2": [
    {
      "confidence": 99,
      "threshold": 17.77,
      "predictedValue": "Email",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 3.182137005157543,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 2.8773826570713514,
      "threshold": -1,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "predictedValue": "Email (I/f)",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```

ClusteringSolutionVersion - submitUpdateJob(オブジェクト options)

結果を特定のテーブルに絞り込み、一致するレコードをフィルタリングするオプションを使用して、クラスタリング更新ジョブを送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	クラスタリングソリューション更新の基になるオプションを含む JavaScript オブジェクト。 `{ "filter" : "String", "table" : "String" }`
options.filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 指定されたフィルターに基づいて更新ジョブを実行できるようにします。
options.table	文字列	更新ジョブを実行するテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、更新ジョブを送信する方法を示しています。

```
var myCluster = new
 sn_ml.ClusteringSolutionStore.get("ml_x_snc_global_global_clustering_sol
ution");

var options = {"filter" : "precision", "table" : "incident"};

myCluster.getActiveVersion().submitUpdateJob(options);
```

CMDBDuplicateTaskUtils - グローバル

CMDBDuplicateTaskUtils スクリプトインクルードは、独立タイプの重複した構成アイテム (CI) を含む重複排除タスクを作成するメソッドを提供します。

重複排除タスクには、別の重複排除タスクに含まれていない 構成管理データベース (CMDB) CI のみを含めることができます。

CMDBDuplicateTaskUtils - CMDBDuplicateTaskUtils()

CMDBDuplicateTaskUtils クラスのインスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
/**
 * CMDBDeduplicateTaskUtil().createDeduplicateTask() example
 *
 * OVERVIEW
 *
 * This script will allow you to search the CMDB
 * for records that may be duplicates based on the field
 * and filter definitions of your chosing
 *
 */

try {

    //SET INITIAL VARIABLES

    //Set the table that you would like to check for duplicates - note
 this MUST be a CMDB table
    var cmdbTable = 'cmdb_ci';

    //Add a filter as an encoded query if desired - only objects within
 this filter will be matched
    // this query filters items are Apple computers located in New York
 (NY)
    var filterQuery =
 'sys_class_name=cmdb_ci_computer^sys_class_name=cmdb_ci_computer^manufac
turer=b7e9e843c0a80169009a5a485bb2a2b5^sys_class_name=cmdb_ci_computer^ma
nufacturer=b7e9e843c0a80169009a5a485bb2a2b5^locationLIKENY';

    //Which field shall we use to check for duplicates?
    var matchField = 'name';

    //Do matches need to have the same cmdb_ci class? - This prevents
 child device types from matching if enabled i.e. Computer, Server
    var sameClass = true;

    //Should empty values be excluded from match?
    var excludeEmpty = true;

    //Minimum number of duplicates required to create a de-duplication
 task - must be at least 2
    var numberOfMatches = 2;


    //USE GLIDE AGGREGATE TO IDENTIFY POSSIBLE DUPLICATES

    var dupeSetAgg = new GlideAggregate(cmdbTable);
    if (filterQuery) dupeSetAgg.addEncodedQuery(filterQuery);
    dupeSetAgg.addAggregate('COUNT', matchField);
    dupeSetAgg.orderByAggregate('COUNT', matchField);
    dupeSetAgg.groupBy(matchField);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   if (sameClass) dupeSetAgg.groupBy('sys_class_name');
   if (excludeEmpty) dupeSetAgg.addNotNullQuery(matchField);

   //Group by domain if domain separation is enabled (prevent matches
across domains)
   if (gs.getProperty('glide.sys.domain.partitioning') == 'true')
dupeSetAgg.groupBy('sys_domain');

   //Must have at least 2 CI records that match
   if (numberOfMatches < 2) numberOfMatches = 2;
   dupeSetAgg.addHaving('COUNT', matchField, '>=',
parseInt(numberOfMatches));

   dupeSetAgg.query();


   //LOOP THROUGH EACH SET OF MATCHES

   while (dupeSetAgg.next()) {
       var dupeRecordCount = dupeSetAgg.getAggregate('COUNT',
matchField);
       var dupeRecordsList = [];
       var dupeAggQuery = dupeSetAgg.getAggregateEncodedQuery();
       var dedupeShortDesc = 'Found ' + dupeRecordCount + ' records
where ' + matchField + ' = ' + dupeSetAgg.getValue(matchField) + '\n';
       var dedupeDescription = '';

       gs.log(dedupeShortDesc, 'Dedupe Task Script');

       //Prepare notes - Header row
       dedupeDescription += 'NAME | CREATED ON | UPDATED ON'


       //GATHER ADDITIONAL DEVICE DETAILS (NEED SYS_IDs)

       var dupeDevices = new GlideRecord(cmdbTable);
       dupeDevices.addEncodedQuery(dupeAggQuery); //Use the exact query
that the aggregate used for this group
       dupeDevices.query();

       while (dupeDevices.next()) {
           var devName = dupeDevices.getValue('name');
           var devCreated =
dupeDevices.getDisplayValue('sys_created_on');
           var devUpdated =
dupeDevices.getDisplayValue('sys_updated_on');
           var devId = dupeDevices.getUniqueValue();

           //Add CI to notes
           dedupeDescription += '\n' + devName + ' | ' + devCreated + '
| ' + devUpdated;

           //Add sys_id to list of matched records for this group
           dupeRecordsList.push(devId);
       }
       gs.log(dedupeDescription, 'Dedupe Task Script');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        //CREATE DEDUPLICATION TASK

        //Convert array to string - .createDuplicateTask() expects a
 comma separated string
        var deviceIdString = dupeRecordsList.join();

        var dedupeUtil = new CMDBDuplicateTaskUtils();
        var dedupeTaskId =
 dedupeUtil.createDuplicateTask(deviceIdString);


        //UPDATE DEDUPLICATION TASK - ADD DETAILS

        if (dedupeTaskId) {

            var dedupeTask = new GlideRecord('reconcile_duplicate_task');
            dedupeTask.get(dedupeTaskId);
            dedupeTask.setValue('short_description', dedupeShortDesc);
            dedupeTask.work_notes = dedupeDescription;
            dedupeTask.update();

            gs.log('>>>Created de-duplication task ' +
 dedupeTask.getValue('number') + ' for ' + devName, 'Dedupe Task
 Script');

        }

    }

} catch (er) {
    gs.log(er, 'Dedupe Task Script');

}
```

出力 (一意の sys_id)：

```
Dedupe Task Script: Found 2 records where name = MacBook Pro 15"

Dedupe Task Script: NAME | CREATED ON | UPDATED ON
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:21 | 2021-12-17 04:28:17
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:37 | 2021-12-17 04:28:21
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:29 | 2021-12-17 04:28:31
...
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:36 | 2021-12-17 04:30:17
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:32 | 2021-12-17 04:30:14
MacBook Pro 15" | 2012-02-18 00:14:19 | 2021-12-17 04:30:14
Dedupe Task Script: >>>Created de-duplication task DUP0001002 for MacBook
 Pro 15"
```

CMDBDuplicateTaskUtils - createDuplicateTask(文字列 **sysIDs)**

重複 CI のsys_idsが指定されている重複排除タスクを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysIDs	文字列	重複排除タスクを作成するsys_idsのカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成された重複排除タスクのsys_id。 次の場合は null を返します。 • 入力文字列が空です。 • 入力パラメーターに、cmdb_ciテーブルにないsys_idが含まれています。 • 入力パラメーターに、オープンな重複排除タスクにあるsys_idが含まれています

```
// where <sys-id1> and <sys-id2> are sys_IDs of CIs in the cmdb_ci table
var sysIDs = '<sys-id1>,<sys-id2>';
var dupTaskUtil = new CMDBDuplicateTaskUtils();
var deDupTaskID = dupTaskUtil.createDuplicateTask(sysIDs);
gs.info(deDupTaskID);
```

出力 (一意の sys_id)：

```
04c53e2c1bac411079e52131604bcba9
```

CMDBDuplicateTemplateUtil - グローバル

CMDBDuplicateTemplateUtil スクリプトインクルードは、重複排除テンプレートに対して重複排除タスクを追加または削除するメソッドを提供します。

CI の重複排除、重複排除タスク、および重複排除テンプレートの詳細については、「重複 CI の修正」を参照してください。

CMDBDuplicateTemplateUtils - CMDBDuplicateTemplateUtils()

CMDBDuplicateTemplateUtils クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次のコード例は、このメソッドを呼び出して CMDBDuplicateTemplateUtils オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var dupTemp = new CMDBDuplicateTemplateUtils();
```

CMDBDuplicateTemplateUtils - addTasksToTemplate(文字列 templateId, 配列 taskIds)

指定された重複排除テンプレートに 1 つ以上の重複排除タスクを追加します。

このメソッドは既存のテンプレート値を上書きしますが、各テンプレートの以前の値はシステムログに記録します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の一覧では、タスクがテンプレートに追加されず、スキップまたは失敗としてマークされるシナリオについて説明します。

- 指定されたテンプレートは公開済みステータスではありません。すべてのタスクがスキップ済みとしてマークされます。
- 指定したテンプレートが実行されています。すべてのタスクがスキップ済みとしてマークされます。
- タスクがオープンステータスではない。タスクがスキップ済みとしてマークされます。
- タスクは指定されたテンプレートと互換性がありません。たとえば、指定したテンプレートはアプリケーションサーバー Tomcat 用に作成されていても、指定した重複排除タスクは Linux サーバー用に作成されている場合があります。タスクがスキップ済みとしてマークされます。
- 指定されたテンプレートが存在しません。すべてのタスクが失敗としてマークされます。
- タスクのテンプレート列の GlideRecord 更新が失敗する。タスクは失敗としてマークされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateId	文字列	重複排除タスクに関連付ける重複排除テンプレートのSys_id。
taskIds	アレイ	指定されたテンプレートに関連付ける重複排除タスクのsys_idsのリスト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定したテンプレートへの関連付けが試行されたすべてのタスクのステータスを含む結果オブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `{ "failed": [Array], "skipped": [Array], "success": [Array], "summary": "String" }`
failed	テンプレートへの関連付けに失敗したタスクのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"failed": [ { "message": "String", "messageType: "String", "taskId": "String" } ]`
failed.message	タスクをテンプレートに関連付けることができなかった理由を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
failed.messageType	失敗の理由。 データタイプ：文字列
failed.taskId	テンプレートへの関連付けに失敗したタスクのSys_id。 データタイプ：文字列
スキップ	失敗しなかったが、テンプレートに関連付けられなかった (スキップされた) タスクのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"skipped": [ { "message": "String", "messageType: "String", "taskId": "String" } ]`
skipped.message	タスクがスキップされた理由を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
skipped.messageType	タスクがスキップされた理由。 データタイプ：文字列
skipped.taskId	メソッドがテンプレートに関連付けられたスキップしたタスクのSys_id。 データタイプ：文字列
正常終了	テンプレートに正常に関連付けられたタスクのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"success": [ { "message": "String", "messageType: "String", "taskId": "String" } ]`
success.message	現在使用されていません。 データタイプ：文字列
success.messageType	現在使用されていません。 データタイプ：文字列
success.taskId	テンプレートに関連付けられたタスクのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
summary	指定したテンプレートが存在しない場合など、発生した全体的な処理エラーの簡単な説明。 データタイプ：文字列

次のコード例は、このメソッドを呼び出して重複排除タスクを重複排除テンプレートに追加する方法を示しています。

```
// Add tasks to template
var taskIds = [];
taskIds.push("96d2d25113152200eef2dd828144b0a4");
taskIds.push("f785a2c3d7012201de92a5f75e610398");
taskIds.push("635dd3dbc128ce0100655f1ec66ed41d");

var result = new
 CMDBDuplicateTemplateUtils().addTasksToTemplate("6b43105c37301000deeabfc
8bcbe5db2", taskIds);
);
gs.info('Success: ' + result.success);
gs.info('Failed: ' + result.failed);
gs.info('Skipped: ' + result.skipped);
gs.info(Summary: ' + result.summary);
```

出力:

```
Success: [
    {
      "taskId": "f785a2c3d7012201de92a5f75e610398",
      "message": "",
      "messageType": ""
    }
  ]
Failed: [
    {
      "taskId": "96d2d25113152200eef2dd828144b0a4",
      "message": "Failed to add task 96d2d25113152200eef2dd828144b0a4
 to template 6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2 because there were update
 errors.",
      "messageType": "update_failed"
    }
  ]
Skipped: [
    {
      "taskId": "635dd3dbc128ce0100655f1ec66ed41d",
      "message": "Cannot add de-duplication task(s) to template
 6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2 because the template is not published.
 Publish the template before adding tasks.",
      "messageType": "unpublished_template"
    }
  ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Summary:
```

CMDBDuplicateTemplateUtils - removeTemplateFromTask(配列 taskIds)

指定された重複排除タスクレコードの重複排除テンプレート値をクリアします。この値をクリアすると、テンプレートとタスクの関連付けが削除されます。

次の一覧では、テンプレート値がタスク レコードから削除されず、スキップまたは失敗としてマークされるシナリオについて説明します。

- タスクに関連付けられた重複排除テンプレートが実行されています。タスクがスキップ済みとしてマークされます。
- タスクのステータスが「対応中」であるか、タスクが見つかりません。タスクがスキップ済みとしてマークされます。
- タスクのテンプレート列の GlideRecord 更新が失敗する。タスクは失敗としてマークされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskIds	アレイ	重複排除テンプレートの値をクリアする重複排除タスクレコードのsys_idsのリスト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テンプレート値の削除が成功、スキップ、または失敗したタスクの数を含む結果オブジェクト。 `{ "failed": Number, "success": Number, "skipped": Number }`
failed	重複排除テンプレート値の削除に失敗したタスクの数。 データタイプ：数値
正常終了	重複排除テンプレートの値を正常に削除したタスクの数。 データタイプ：数値
スキップ	メソッドが重複排除テンプレート値の削除をスキップしたタスクの数。 データタイプ：数値

次のコード例は、このメソッドを呼び出して、重複排除タスクレコードから重複排除テンプレート値を削除する方法を示しています。

```
// Remove tasks from template
var taskIds = [];
taskIds.push("96d2d25113152200eef2dd828144b0a4");
taskIds.push("f785a2c3d7012201de92a5f75e610398");
taskIds.push("635dd3dbc128ce0100655f1ec66ed41d");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var result = new
 CMDBDuplicateTemplateUtils().removeTemplateFromTasks(taskIds);
);
gs.info('Success: ' + result.success);
gs.info('Failed: ' + result.failed);
gs.info('Skipped: ' + result.skipped);
```

出力:

```
Success: 2
Failed: 0
Skipped: 1
```

CMDBGroupAPI - スコープ指定

CMDBGroupAPI は、構成管理データベース (CMDB) グループに対してアクションを実行するためのメソッドを提供します。

この API はスコープ付き静的クラスです。このクラスを使用するには、CMDBGroupAPI オブジェクトの前に `sn_cmdbgroup` 名前空間識別子を含める必要があります。例：

```
var response = sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getManualCIList(groupSysId,
 false);
```

この API にアクセスするには、itil または asset ロールが必要です。

CMDBGroupAPI - getAllCI(文字列 groupId, ブール requireCompleteSet, ブール requireAllQueryNodesCis)

指定されたグループのすべての構成アイテム (CI) を返します。結果には、すべての手動 CI と、クエリービルダーの保存済みクエリーからの CI のリストが含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	Configuration Management Database (CMDB) グループの sys_id。
requireCompleteSet	ブール	オプションですが、*requireAllQueryNodesCis* を渡す場合は、渡す必要があります。 アクセス制御リスト (ACL) の制限によって CI が除外された場合に空の文字列が返されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：空の文字列を返します。 • false：値を返しません。 デフォルト値：false
requireAllQueryNodesCis	ブール	オプション。クエリのすべての CMDB クラスから CI を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：すべての列から CI を返します。 • false：クエリビルダークエリの開始ノードからのみ CI を返します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
errors	失敗した操作のエラーのリスト。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "error": "String" } ]`
errors.error	エラー名。 可能な値： • GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND • GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY • FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR • FAIL_TO_INSERT_GROUP_QUERY_ID_PAIR • CI_CAN_NOT_FOUND • SAVED_QUERY_ID_NOT_FOUND • ERROR_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • TIMEOUT_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • NOT_COMPLETE_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • MAX_LIMIT_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • GROUP_API_TIMEOUT • EXCEPTION_FROM_EXECUTE_QUERY • SOME_CI_NOT_VISIBLE_DUE_TO_SECURITY_CONSTRAINT データタイプ：文字列
errors.message	エラーメッセージの簡単な説明。 データタイプ：文字列
idList	CMDB CI sys_id のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ
partialCIListDueToACLFlag	ACL の制限のために返された CI のリストが不完全になっているかどうかを示すフラグ。 注: これはエラー条件とは見なされず、対応するエラー情報は返されません。 データタイプ：ブール 有効な値： • true： *idList* は不完全です。 • false： *idList* は完全です。
result	メソッドが正常に完了したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：成功 • false：エラー

```
// Script example:
var getAllCIFunc = function(groupSysId) {
  var parser = new JSONParser();
  var response = sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getAllCI(groupSysId, false);
  var parsed = parser.parse(response);
  if (parsed.result) {
    gs.info("succeed to retrieve ci list: " + parsed.idList);
  } else {
    gs.info("fail to retrieve list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
  }
}
var groupExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
var groupContainsInvalidSavedQuery = "e685a2c3d7012200de92a5f75e610387";
getAllCIFunc(groupExists);
getAllCIFunc(groupContainsInvalidSavedQuery);
```

出力：

```
// Successful response
{
  'result':true,
  'partialCIListDueToACLFlag': false,
  'idList':[
    '3a5dd3dbc0a8ce0100655f1ec66ed42c',
    '6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2'
  ]
}

// Error response
{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  'result':false,
  'errors':[
    {
      'message':'Group does not exist',
      'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'
    }
  ],
  'partialCIListDueToACLFlag':false,
  'idList':[]
}
```

CMDBGroupAPI - getAllCIFromQueryBuilder(文字列 **groupId**, ブール **requireCompleteSet**, ブール **requireAllQueryNodesCis)**

指定されたグループについてクエリービルダーのすべての保存済みクエリー ID から返されたすべての構成アイテム (CI) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	Configuration Management Database (CMDB) グループの sys_id。
requireCompleteSet	ブール	オプションですが、*requireAllQueryNodesCis* を渡す場合は、渡す必要があります。 アクセス制御リスト (ACL) の制限によって CI が除外された場合に空の文字列が返されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：空の文字列を返します。 • false：値を返しません。 デフォルト値：false
requireAllQueryNodesCis	ブール	オプション。クエリのすべての CMDB クラスから CI を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての列から CI を返します。 • false：クエリビルダークエリの開始ノードからのみ CI を返します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
errors	失敗した操作のエラーのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	"errors": [
	  {
	  "message": "String",
	  "error": "String"
	  }
	]

errors.error	エラー名。 可能な値： • GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND • GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY • FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR • FAIL_TO_INSERT_GROUP_QUERY_ID_PAIR • CI_CAN_NOT_FOUND • SAVED_QUERY_ID_NOT_FOUND • ERROR_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • TIMEOUT_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • NOT_COMPLETE_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • MAX_LIMIT_DURING_QUERY_BUILDER_PROCESS_QUERY • GROUP_API_TIMEOUT • EXCEPTION_FROM_EXECUTE_QUERY • SOME_CI_NOT_VISIBLE_DUE_TO_SECURITY_CONSTRAINT データタイプ：文字列
errors.message	エラーメッセージの簡単な説明。 データタイプ：文字列
idList	CMDB CI sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
partialCIListDueToACLFlag	ACL の制限のために返された CI のリストが不完全になっているかどうかを示すフラグ。 **注:** これはエラー条件とは見なされず、対応するエラー情報は返されません。 データタイプ：ブール 有効な値： • true： *idList* は不完全です。 • false： *idList* は完全です。
result	メソッドが正常に完了したかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • true：成功 • false：エラー

```
// Script example:
var getAllCIFromQueryBuilderFunc = function(groupSysId) {
  var parser = new JSONParser();
  var response =
 sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getAllCIFromQueryBuilder(groupSysId, false);
  var parsed = parser.parse(response);
  if (parsed.result) {
    gs.info("succeed to retrieve ci list: " + parsed.idList);
  } else {
    gs.info("fail to retrieve list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
  }
}
var groupExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
var groupContainsInvalidSavedQuery = "e685a2c3d7012200de92a5f75e610387";
getAllCIFromQueryBuilderFunc(groupExists);
getAllCIFromQueryBuilderFunc(groupContainsInvalidSavedQuery);
```

出力：

```
// Successful response
{
  'result':true,
  'partialCIListDueToACLFlag': false,
  'idList':[
    '3a5dd3dbc0a8ce0100655f1ec66ed42c',
    '6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2'
  ]
}

// Error response
{
  'result':false,
  'errors':[
    {'message':'Group does not exist',
    'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'}
  ],
  'partialCIListDueToACLFlag':false,
  'idList':[]
}
```

CMDBGroupAPI - getManualCIList(文字列 **groupId**, ブール **requireCompleteSet)**

CMDB グループの手動 CI リストを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	CMDB グループの sysId
requireCompleteSet	ブーリアン	true の場合、ACL 制限によって CI がフィルターされていればエラー文字列を返します。

返される内容

タイプ	説明

文字列	形式の JSON 形式の文字列
	`{ 'result':false,`
	`'errors':[ {'message':'Group does not exist',`
	`'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'},`
	`{ } // another error if it exists`
	`],`
	`'partialCIListDueToACLFlag':false,`
	`'idList':['sys_id_1', 'sys_id2'] }`
	ここで
	• result - ブール値のフラグ。True の場合、メソッドは成功しています。
	• errors - メッセージとエラーコードを含むエラーのリスト
	• partialCIListDueToACLFlag - ブールフラグ。true の場合、idList は ACL 制限のために不完全です。false の場
	• idList - cmdb_ci の sys_ids のアレイ
	エラーの返される値が以下のものの場合、成功していません。
	GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND、GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY、FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR、F

自動翻訳

```
// Script example for requireCompleteSet being false:
    var getManualCIList = function(groupSysId) {
    var parser = new JSONParser();
    var response = sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getManualCIList(groupSysId,
 false);
    var parsed = parser.parse(response);
    if (parsed.result) {
        gs.info("succeed to retrieve ci list: " + parsed.idList);
    } else {
        gs.info("fail to retrieve list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
    }
}
// create a group in cmdb_group, and add CIs to this group in Edit Manual
 CI form
var groupExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
// use a non-exist group
var groupDoesNotExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4111";
getManualCIList(groupExists);
getManualCIList(groupDoesNotExists);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：(書式設定の改行が追加されました)

```
succeed to retrieve ci
list: 6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2,2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56
fail to retrieve list, errors:
[{"message":"Group does not exist","error":"GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND"}]
```

```
// Script example for requireCompleteSet being true
    var getManualCIList = function(groupSysId) {
    var parser = new JSONParser();
    var response = sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getManualCIList(groupSysId,
 true);
    var parsed = parser.parse(response);
    if (parsed.result) {
        gs.info("succeed to retrieve ci list: " + parsed.idList);
    } else {
        gs.info("fail to retrieve list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
    }
}
// create a group in cmdb_group, and add CIs to this group in Edit Manual
 CI form
var groupExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
getManualCIList(groupExists);
```

出力：(書式設定の改行が追加されました)

```
fail to retrieve list, errors:
[{"message":"Some CI(s) not visible due to security constraint",
"error":"SOME_CI_NOT_VISIBLE_DUE_TO_SECURITY_CONSTRAINT"}]
```

自動翻訳

CMDBGroupAPI - getSavedQueryIdList(String groupId、Boolean **requireCompleteSet)**

指定された CMDB グループのクエリービルダーのクエリー ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	CMDB グループの sysId
requireCompleteSet	ブーリアン	true の場合、ACL の制限によって任意の CI が除外されると空の文字列を返します。

返される内容

タイプ	説明

文字列	形式の JSON 形式の文字列
	`{ 'result':false,`
	`'errors':[ {'message':'Group does not exist',`
	`'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'},`
	`{ } // another error if it exists`
	`],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	'partialCIListDueToACLFlag':false, 'idList':['sys_id_1', 'sys_id2'] } ここで • result - ブール値のフラグ。True の場合、メソッドは成功しています。 • errors - メッセージとエラーコードを含むエラーのリスト • partialCIListDueToACLFlag - ブールフラグ。true の場合、idList は ACL 制限のために不完全です。false の • idList - cmdb_ci の sys_ids のアレイ エラーの返される値が以下のものの場合、成功していません。 GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND、GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY、FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR、F

```
// Script example:
var getSavedQueryIdList = function(groupSysId) {
    var parser = new JSONParser();
    var response =
 sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.getSavedQueryIdList(groupSysId, false);
    var parsed = parser.parse(response);
    if (parsed.result) {
        gs.info("succeed to retrieve saved query id list: " +
 parsed.idList);
    } else {
        gs.info("fail to retrieve list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
    }
}
var groupExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
var groupDoesNotExists = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4111";
getSavedQueryIdList(groupExists);
getSavedQueryIdList(groupDoesNotExists);
```

出力：(書式設定の改行が追加されました)

```
succeed to retrieve saved query id list: 5d498532d7c12200de92a5f75e6103ce
fail to retrieve list, errors:
 [{"message":"Group does not exist","error":"GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND"}]
```

CMDBGroupAPI - setManualCIList(文字列 **groupId**, 文字列 **ciSysIds)**

指定したグループの手動 CI リストを設定します。既存の手動 CI リストは上書きされます。cmdb_ci テーブルにない CI sysIds は無視されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	CMDB グループの sysId
CI_sys_id	文字列	CI システムのコンマ区切りリスト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明

文字列	形式の JSON 形式の文字列
	`{ 'result':false,`
	`'errors':[ {'message':'Group does not exist',`
	`'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'},`
	`{ } // another error if it exists`
	`],`
	`'partialCIListDueToACLFlag':false,`
	`'idList':['sys_id_1', 'sys_id2'] }`
	ここで
	• result - ブール値のフラグ。True の場合、メソッドは成功しています。
	• errors - メッセージとエラーコードを含むエラーのリスト
	• partialCIListDueToACLFlag - ブールフラグ。true の場合、idList は ACL 制限のために不完全です。false の場
	• idList - cmdb_ci の sys_ids のアレイ
	エラーの返される値が以下のものの場合、成功していません。
	GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND、GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY、FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR、F

```
// Script example:
var setManualCIListFunc = function(groupSysId, manualCIList) {
    var parser = new JSONParser();
    var response = sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.setManualCIList(groupSysId,
 manualCIList);
    var parsed = parser.parse(response);
    if (parsed.result) {
        gs.info("succeed to set manual ci list");
    } else {
        gs.info("fail to set manual ci list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
    }
}
var group = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
var groupDoesNotExist = "1234";
var manualCIList = "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1,
 affd3c8437201000deeabfc8bcbe5dc3";
setManualCIListFunc(group, manualCIList);
setManualCIListFunc(groupDoesNotExist, manualCIList);
```

出力：(書式設定の改行が追加されました)

```
succeed to set manual ci list
fail to set manual ci list, errors: [{"message":"Group does not
 exist","error":
"GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND"}]
```

CMDBGroupAPI - setSavedQueryIdList(String groupId、String queryIds)

指定したグループの保存されたクエリー ID リストを設定します。既存のクエリー ID リストは上書きされます。qb_saved_query テーブルにないクエリー sysIds は無視されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	CMDB グループの sysId
queryIds	文字列	カンマで区切られた保存されたクエリー sysId のリスト

返される内容

タイプ	説明

文字列	形式の JSON 形式の文字列
	`{ 'result':false,`
	`'errors':[ {'message':'Group does not exist',`
	`'error':'GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND'},`
	`{ } // another error if it exists`
	`],`
	`'partialCIListDueToACLFlag':false,`
	`'idList':['sys_id_1', 'sys_id2'] }`
	ここで
	• result - ブール値のフラグ。True の場合、メソッドは成功しています。
	• errors - メッセージとエラーコードを含むエラーのリスト
	• partialCIListDueToACLFlag - ブールフラグ。true の場合、idList は ACL 制限のために不完全です。false の場
	• idList - cmdb_ci の sys_ids のアレイ
	エラーの返される値が以下のものの場合、成功していません。
	GROUP_SYS_ID_IS_NOT_FOUND、GROUP_SYS_ID_IS_EMPTY、FAIL_TO_INSERT_GROUP_CI_PAIR、F

```
// Script example:
var setSavedQueryIdListFunc = function(groupSysId, queryIdList) {
    var parser = new JSONParser();
    var response =
 sn_cmdbgroup.CMDBGroupAPI.setSavedQueryIdList(groupSysId, queryIdList);
    var parsed = parser.parse(response);
    if (parsed.result) {
        gs.info("succeed to set saved query id list");
    } else {
        gs.info("fail to set saved query id list, errors: " +
 JSON.stringify(parsed.errors));
    }
}
var group = "d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4";
var savedQueryBuilderIdList = "394585fed7812200de92a5f75e6103e8";
var savedQueryBuilderIdNotExistList = "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1,
   affd3c8437201000deeabfc8bcbe5dc3";

setSavedQueryIdListFunc(group, savedQueryBuilderIdList);
setSavedQueryIdListFunc(group, savedQueryBuilderIdNotExistList);
```

出力：(書式設定の改行が追加されました)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
succeed to set saved query id list
fail to set saved query id list, errors: [{"message":
"Saved query id(b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1) is not found for
group(d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4)","error":
"SAVED_QUERY_ID_NOT_FOUND"},{"message":
"Saved query id(affd3c8437201000deeabfc8bcbe5dc3) is not found for
group(d0d2d25113152200eef2dd828144b0e4)","error":"SAVED_QUERY_ID_NOT_FOUN
D"}]
```

CMDBQBScopedScriptableAPI :スコープ指定

サーバー側スクリプトで 構成管理データベース (CMDB) クエリビルダーの操作を実行するためのメソッドを提供します。

この API は、 CMDBQueryBuilderAPI - グローバル と同等のスコープ付き API です。

この API には、スコープ対象アプリの構成管理プラグイン (com.snc.cmdb.scoped) が必要であり、 `sn_cmdb` 名前空間内で提供されます。

CMDB クエリビルダーの詳細については、「 CMDB クエリビルダー 」を参照してください。

CMDBQBScopedScriptableAPI - createReport(文字列 savedQueryId, 文字列 savedQueryName)

構成管理データベース (CMDB) クエリビルダーのクエリの結果を示すレポートを作成し、レポートの URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	レポートに使用するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	レポートに使用するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	作成されたレポートとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。レポートの作成に失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `INVALID_PARAM` • `QUERY_SYS_ID_INVALID` データタイプ：文字列
<Object>.message	レポート作成の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • `<report-url>` • ユーザーは `CMDBQueryBuilder` クエリレポートの作成を許可されていません • 無効なパラメーター。有効な `sysId` または保存済みクエリの有効な名前を指定してください • `queryId` が無効です。有効な保存済みクエリ `ID` を指定してください データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、保存済みクエリ名を渡してレポートを作成する方法を示します。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.createReport('',
'CMDBQueryTest1')));
```

出力:

```
{

 "message":"\/sys_report_template.do?sysparm_report_source_id=6d299cf81bb
d4210bccf42a3b24bcb7a&sysparm_type=list&sysparm_title=CMDBQueryTest1&sysp
arm_source_type=source&sysparm_from_list=true&sysparm_chart_size=large&sy
sparm_manual_labor=true",
   "status":"success"
}
```

この例は、クエリー sys_idと名前の両方がメソッド呼び出しにない場合のエラーを示しています。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.createReport('',
 '')));
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
   "error":"INVALID_PARAM",
   "message":"Invalid Parameters. Please provide either a valid sysId or
 a valid name of a saved query"
}
```

CMDBQBScopedScriptableAPI - deleteQuery(文字列 **savedQueryId**, 文字列 **savedQueryName)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダーのクエリを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	削除するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	削除するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	削除されたクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。削除操作が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `INVALID_PARAM` • `QUERY_DELETE_FAILED` データタイプ：文字列
<Object>.message	削除操作の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • 保存済みクエリが正常に削除されました • ユーザーは `CMDBQueryBuilder` クエリを削除する権限がありません

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 無効なパラメーター。有効な `sysId` または保存済みクエリの有効な名前を指定してください • 指定された保存済みクエリの削除に失敗しました データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、クエリ名を渡して保存済みクエリを削除する方法を示します。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.deleteQuery('',
 'CMDBQueryTest1')));
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully deleted the saved query",
   "status":"success"
}
```

この例は、クエリー sys_idと名前の両方がメソッド呼び出しにない場合のエラーを示しています。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.deleteQuery('',
 '')));
```

出力:

```
{
   "error":"INVALID_PARAM",
   "message":"Invalid Parameters. Please provide either a valid sysId or
 a valid name of a saved query"
}
```

CMDBQBScopedScriptableAPI - getSavedQueryExecutionDetails(文字列 **savedQueryName**, ブール **executeQuery**, 数値 **timeout)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダークエリの実行の詳細を返します。

必要に応じて、現在の実行の詳細を返すためにクエリを実行できます。

クエリの実行中にタイムアウトまたはメモリの問題が発生した場合は、クエリのバッチサイズを微調整して、これらの問題を軽減できます。詳細については、「クエリビルダーの保存済みクエリのバッチサイズ」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryName	文字列	実行の詳細を取得するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。
executeQuery	ブーリアン	オプション。指定したクエリを実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：指定されたクエリーを実行し、実行の詳細を返します。 • false：指定されたクエリーを実行しません。クエリの最新の実行の詳細を返します。 デフォルト：False
タイムアウト	番号	オプション。デフォルトのクエリー実行タイムアウト制限の 5 分を上書きする整数値。 単位：秒 デフォルト：5 分

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	クエリの実行とエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "query_id": "String", "status": "String", "table_name": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。クエリー実行が失敗した場合、または指定されたクエリーが見つからない場合に返されます。 考えられるエラー: • `QUERY_EXECUTION_NOT_FOUND` • `QUERY_NOT_FOUND` • `QUERY_EXECUTION_FAILED` • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` データタイプ：文字列
<Object>.message	エラーコードの詳細を含むメッセージ。クエリー実行が失敗した場合、または指定されたクエリーが見つからない場合に返されます。 考えられるメッセージ:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• クエリ実行の詳細が見つかりません。クエリを実行してください。 • 指定された保存済みクエリが見つかりません。保存済みクエリの名前を渡していることを確認してください。 • クエリの実行に失敗しました。有効なクエリを使用してください。 • ユーザーには `CMDBQueryBuilder` クエリの実行権限がありません。 データタイプ：文字列
<Object>.query_id	クエリ実行のSys_id。クエリステータス [qb_query_status] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<Object>.status	クエリー実行のステータス。 • COMPLETE：実行が完了しました。 • FAILED：クエリー実行中にエラーが発生しました。 • TIME_OUT：クエリー実行がタイムアウトしました。 • MAX_LIMIT：返される結果の最大数に達しました。 データタイプ：文字列
<Object>.table_name	クエリ実行の詳細を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

この例では、保存済みクエリを実行し、クエリ実行タイムアウト値を 10 分に設定する方法を示します。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.getSavedQueryExecutionDetails('Test', true, 600)));
```

出力:

```
{
   "query_id":"024fd53a7773330033b5270bba106141",

 "table_name":"u_cmdb_qb_result_598918aacb4dbf3f1a8dcf03fce6a5d57151a4e2",
   "status":COMPLETE
}
```

CMDBQBScopedScriptableAPI - saveQuery(文字列 **savedQueryName**, 文字列 **queryJson)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダーのクエリを保存し、保存されたクエリのsys_idを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryName	文字列	クエリを保存する名前。名前は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドに保存されます。
クエリ JSON	文字列	クエリを定義する JSON。JSON は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [クエリ] フィールドに保存されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	保存済みクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。保存操作が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `QUERY_NAME_INVALID` • `QUERY_INVALID` • `QUERY_EXISTS_ALREADY` • `QUERY_SAVE_FAILED` データタイプ：文字列
<Object>.message	保存操作の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • `sysId <sy_id>のクエリが正常に保存されました` • `ユーザーは CMDBQueryBuilder クエリを保存する権限がありません` • `クエリ名が空です。名前を入力してください` • `QueryJson が無効です。有効な queryJson を指定してください` • `クエリ名は既に使用されています。別の名前を使用してください` • `クエリの保存中に予期しない例外が発生しました` データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。保存操作が成功したときに返されます。 値: 成功

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列

この例では、Saved Queries [qb_saved_query] テーブルにクエリを追加する方法を示します。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":337,\"returnValues\":
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Database\",\"unique_id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/database.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_database\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_database\",
\"ci_type_label\":\"Database\",\"sys_id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36\",\"x\":510,\"y
\":340,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"name\":
\"Database
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"className\":
\"cmdb_ci_database\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Database
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\",\"1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5\
"]}],\"usedNames\":{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1}}";
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.saveQuery('CMDBQ
ueryTest1', queryJson)));
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully saved the query with sysId
 d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41",
   "status":"success"
}
```

この例は、無効な JSON クエリが指定された場合のエラーを示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var queryJson = "Test";
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.saveQuery('Tes
t', queryJson)));
```

出力:

```
{
   "error":"QUERY_INVALID",
   "message":"QueryJson is invalid. Please provide a valid queryJson"
}
```

CMDBQBScopedScriptableAPI - updateQuery(文字列 **savedQueryId**, 文字列 **savedQueryName**, 文字列 **queryJson)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダークエリの JSON を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	更新するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	更新するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
クエリ JSON	文字列	クエリの更新に使用する JSON。JSON は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [クエリ] フィールドに保存されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	更新されたクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。更新が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `INVALID_PARAM` • `QUERY_INVALID`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• QUERY_UPDATE_FAILED • UNAUTHORIZED_REPORT_SOURCE_USER データタイプ：文字列
<Object>.message	更新の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • 保存済みクエリが正常に更新されました • ユーザーには CMDBQueryBuilder クエリの更新が許可されていません • 無効なパラメーター。有効な sysId または保存済みクエリの有効な名前を指定してください • QueryJson が無効です。有効な queryJson を指定してください • 指定された保存済みクエリの更新に失敗しました • ユーザーは保存済みクエリのレポートソースを更新する権限がありません データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、クエリ名を渡して保存済みクエリを更新する方法を示します。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":336,\"returnValues\":
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Web
 Server\",\"unique_id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/web_server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"ci_type_label\":\"Web
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 Server\",\"sys_id\":\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"x\":446,\"y
\":330,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"name\":\"Web
 Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"className\":
\"cmdb_ci_web_server\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Web Server
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\"]}],\"usedNames\":
{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1,\"cmdb_ci_web_server\":1}}";
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.updateQuery('',
 'CMDBQueryTest1', queryJson)));
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully updated the saved query",
   "status":"success"
}
```

この例は、クエリー sys_idと名前の両方がメソッド呼び出しにない場合のエラーを示しています。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":336,\"returnValues\":
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Web
 Server\",\"unique_id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/web_server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"ci_type_label\":\"Web
 Server\",\"sys_id\":\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"x\":446,\"y
\":330,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"name\":\"Web
 Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"className\":
\"cmdb_ci_web_server\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Web Server
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\"]}],\"usedNames\":
{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1,\"cmdb_ci_web_server\":1}}";
gs.info(JSON.stringify(sn_cmdb.CMDBQBScopedScriptableAPI.updateQuery('',
 '', queryJson)));
```

出力:

```
{
   "error":"INVALID_PARAM",
   "message":"Invalid Parameters. Please provide either a valid sysId or
 a valid name of a saved query"
}
```

CMDBQueryBuilderAPI - グローバル

サーバー側スクリプトで 構成管理データベース (CMDB) クエリビルダーの操作を実行するためのメソッドを提供します。

この API には、 構成管理データベース (CMDB) アプリケーション (com.snc.cmdb) が必要です。

スコープ対象のアプリケーションでこれらのメソッドを使用するには、「CMDBQBScopedScriptableAPI :スコープ指定」を参照してください。

CMDB クエリビルダーの詳細については、「CMDB クエリビルダー」を参照してください。

CMDBQueryBuilderAPI - createReport(文字列 savedQueryId, 文字列 savedQueryName)

構成管理データベース (CMDB) クエリビルダーのクエリの結果を示すレポートを作成し、レポートの URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	レポートに使用するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	レポートに使用するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	作成されたレポートとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	{
	"error": "String",
	"message": "String",
	"status": "String"
	}

<Object>。エラー	エラーコード。レポートの作成に失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION • INVALID_PARAM • QUERY_SYS_ID_INVALID データタイプ：文字列
<Object>.message	レポート作成の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • <report-url> • ユーザーは CMDBQueryBuilder クエリレポートの作成を許可されていません • 無効なパラメーター。有効な sysId または保存済みクエリの有効な名前を指定してください • queryId が無効です。有効な保存済みクエリ ID を指定してください データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、保存済みクエリ名を渡してレポートを作成する方法を示します。

```
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.createReport('', 'CMDBQueryTest1');
```

出力:

```
{

 "message":"\/sys_report_template.do?sysparm_report_source_id=6d299cf81bbd4210bccf42a3b24bcb7a&sysparm_type=list&sysparm_title=CMDBQueryTest1&sysparm_source_type=source&sysparm_from_list=true&sysparm_chart_size=large&sysparm_manual_labor=true",
   "status":"success"
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例は、指定されたクエリ名が無効な場合のエラーを示しています。

```
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.createReport('', 'Test');
```

出力:

```
{
   "error":"INVALID_PARAM",
   "message":"Invalid Parameters. Please provide either a valid sysId or
 a valid name of a saved query"
}
```

CMDBQueryBuilderAPI - deleteQuery(文字列 **savedQueryId**, 文字列 **savedQueryName)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダーのクエリを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	削除するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	削除するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	削除されたクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。削除操作が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `INVALID_PARAM` • `QUERY_DELETE_FAILED` データタイプ：文字列
<Object>.message	削除操作の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 保存済みクエリが正常に削除されました • ユーザーは `CMDBQueryBuilder` クエリを削除する権限がありません • 無効なパラメーター。有効な `sysId` または保存済みクエリの有効な名前を指定してください • 指定された保存済みクエリの削除に失敗しました データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、クエリ名を渡して保存済みクエリを削除する方法を示します。

```
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.deleteQuery('', 'CMDBQueryTest1');
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully deleted the saved query",
   "status":"success"
}
```

CMDBQueryBuilderAPI - getSavedQueryExecutionDetails(文字列 **savedQueryName**, ブール **executeQuery**, 数値 **timeout)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダークエリの実行の詳細を返します。

必要に応じて、現在の実行の詳細を返すためにクエリを実行できます。

クエリの実行中にタイムアウトまたはメモリの問題が発生した場合は、クエリのバッチサイズを微調整して、これらの問題を軽減できます。詳細については、「クエリビルダーの保存済みクエリのバッチサイズ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryName	文字列	実行の詳細を取得するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。
executeQuery	ブーリアン	オプション。指定したクエリを実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：指定されたクエリーを実行し、実行の詳細を返します。 • false：指定されたクエリーを実行しません。クエリの最新の実行の詳細を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：False
タイムアウト	番号	オプション。デフォルトのクエリー実行タイムアウト制限の 5 分を上書きする整数値。 単位：秒 デフォルト：5 分

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	クエリの実行とエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "query_id": "String", "status": "String", "table_name": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。クエリー実行が失敗した場合、または指定されたクエリーが見つからない場合に返されます。 考えられるエラー: • `QUERY_EXECUTION_NOT_FOUND` • `QUERY_NOT_FOUND` • `QUERY_EXECUTION_FAILED` • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` データタイプ：文字列
<Object>.message	エラーコードの詳細を含むメッセージ。クエリー実行が失敗した場合、または指定されたクエリーが見つからない場合に返されます。 考えられるメッセージ: • クエリ実行の詳細が見つかりません。クエリを実行してください。 • 指定された保存済みクエリが見つかりません。保存済みクエリの名前を渡していることを確認してください。 • クエリの実行に失敗しました。有効なクエリを使用してください。 • ユーザーには `CMDBQueryBuilder` クエリの実行権限がありません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.query_id	クエリ実行のSys_id。クエリステータス [qb_query_status] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<Object>.status	クエリー実行のステータス。 • COMPLETE：実行が完了しました。 • FAILED：クエリー実行中にエラーが発生しました。 • TIME_OUT：クエリー実行がタイムアウトしました。 • MAX_LIMIT：返される結果の最大数に達しました。 データタイプ：文字列
<Object>.table_name	クエリ実行の詳細を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

この例では、保存済みクエリを実行し、クエリ実行タイムアウト値を 10 分に設定する方法を示します。

```
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.getSavedQueryExecutionDetails('Test', true, 600);
```

出力:

```
{
   "query_id":"024fd53a7773330033b5270bba106141",

 "table_name":"u_cmdb_qb_result_598918aacb4dbf3f1a8dcf03fce6a5d57151a4e
2",
   "status":COMPLETE
}
```

CMDBQueryBuilderAPI - saveQuery(文字列 **savedQueryName**, 文字列 **queryJson)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダーのクエリを保存し、保存されたクエリのsys_idを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryName	文字列	クエリを保存する名前。名前は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドに保存されます。
クエリ JSON	文字列	クエリを定義する JSON。JSON は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [クエリ] フィールドに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	保存済みクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。保存操作が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `QUERY_NAME_INVALID` • `QUERY_INVALID` • `QUERY_EXISTS_ALREADY` • `QUERY_SAVE_FAILED` データタイプ：文字列
<Object>.message	保存操作の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • `sysId <sy_id>のクエリが正常に保存されました` • ユーザーは `CMDBQueryBuilder` クエリを保存する権限がありません • クエリ名が空です。名前を入力してください • `QueryJson` が無効です。有効な `queryJson` を指定してください • クエリ名は既に使用されています。別の名前を使用してください • クエリの保存中に予期しない例外が発生しました データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。保存操作が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、Saved Queries [qb_saved_query] テーブルにクエリを追加する方法を示します。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":337,\"returnValues\":
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Database\",\"unique_id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/database.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_database\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_database\",
\"ci_type_label\":\"Database\",\"sys_id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36\",\"x\":510,\"y
\":340,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"name\":
\"Database
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"className\":
\"cmdb_ci_database\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Database
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"b640269c1b310210bccf42a3b24bcb36_4_23_2024_5_50_57\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\",\"1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5\
"]}],\"usedNames\":{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1}}";
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.saveQuery('CMDBQueryTest1', queryJson);
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully saved the query with sysId
 d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41",
   "status":"success"
}
```

この例は、無効な JSON クエリが指定された場合のエラーを示しています。

```
var queryJson = "Test";
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.saveQuery('Test', queryJson);
```

出力:

```
{
   "error":"QUERY_INVALID",
   "message":"QueryJson is invalid. Please provide a valid queryJson"
}
```

CMDBQueryBuilderAPI - updateQuery(文字列 **savedQueryId**, 文字列 **savedQueryName**, 文字列 **queryJson)**

構成管理データベース (CMDB)クエリビルダークエリの JSON を更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
savedQueryId	文字列	更新するクエリのSys_id。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルにあります。 クエリ名が指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
savedQueryName	文字列	更新するクエリの名前。保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [名前] フィールドにあります。 クエリー sys_idが指定されている場合、このパラメーターは必要ありません。
クエリ JSON	文字列	クエリの更新に使用する JSON。JSON は、保存済みクエリ [qb_saved_query] テーブルのクエリレコードの [クエリ] フィールドに保存されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	更新されたクエリとエラーに関する詳細を含むオブジェクト。 `{ "error": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラーコード。更新が失敗した場合、または無効な入力パラメーターが指定された場合に返されます。 考えられるエラー: • `USER_NOT_AUTHORIZED_EXCEPTION` • `INVALID_PARAM` • `QUERY_INVALID` • `QUERY_UPDATE_FAILED` • `UNAUTHORIZED_REPORT_SOURCE_USER` データタイプ：文字列
<Object>.message	更新の成功または失敗に関する詳細を含むメッセージ。 考えられるメッセージ: • 保存済みクエリが正常に更新されました • ユーザーには `CMDBQueryBuilder` クエリの更新が許可されていません • 無効なパラメーター。有効な `sysId` または保存済みクエリの有効な名前を指定してください

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• QueryJson が無効です。有効な queryJson を指定してください • 指定された保存済みクエリの更新に失敗しました • ユーザーは保存済みクエリのレポートソースを更新する権限がありません データタイプ：文字列
<Object>.status	ステータスコード。更新が成功したときに返されます。 値: 成功 データタイプ：文字列

この例では、クエリ名を渡して保存済みクエリを更新する方法を示します。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":336,\"returnValues\":
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Web
 Server\",\"unique_id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/web_server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"ci_type_label\":\"Web
 Server\",\"sys_id\":\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"x\":446,\"y
\":330,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"name\":\"Web
 Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"className\":
\"cmdb_ci_web_server\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Web Server
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\"]}],\"usedNames\":
{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1,\"cmdb_ci_web_server\":1}}";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.log(SNC.CMDBQueryBuilderAPI.updateQuery('', 'CMDBQueryTest1',
 queryJson));
```

出力:

```
{
   "message":"Successfully updated the saved query",
   "status":"success"
}
```

この例は、クエリー sys_idと名前の両方がメソッド呼び出しにない場合のエラーを示しています。

```
var queryJson =
 "{\"type\":\"cmdb\",\"nodes\":[{\"label\":\"Server\",\"unique_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":\"cmdb_ci_server\",
\"ci_type_label\":\"Server\",\"sys_id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41\",\"x\":72,\"y\":336,\"returnValues\":
[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":true,\"nodeId\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"name\":\"Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"className\":
\"cmdb_ci_server\"},{\"label\":\"Web
 Server\",\"unique_id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"nodeType\":\"class\",\"image\":
\"images/app.ngbsm/web_server.svg\",\"properties\":
\"\",\"allowed_connections\":[],\"filters\":{\"platform\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"custom\":\"\"},\"ci_type\":
\"cmdb_ci_web_server\",\"ci_type_label\":\"Web
 Server\",\"sys_id\":\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03\",\"x\":446,\"y
\":330,\"returnValues\":[],\"filters_attrib\":\"\",\"applied_filters\":
\"\",\"isStartNode\":false,\"nodeId\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"name\":\"Web
 Server
 1\",\"type\":\"class\",
\"refFilterApplied\":false,\"focused\":false,\"id\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"className\":
\"cmdb_ci_web_server\"}],\"edges\":[{\"id\":\"Server 1_Web Server
 1\",\"from\":
\"d93f96981b310210bccf42a3b24bcb41_4_23_2024_5_50_54\",\"to\":
\"984f5a981b310210bccf42a3b24bcb03_4_23_2024_6_32_19\",\"isDotted\":fal
se,\"type\":\"relation\",\"isReverse\":false,\"direction\":\"outbound\",
\"hiddenLevel\":0,\"relations\":
[\"607ad1b2c0a8010e01941856b365af90\"]}],\"usedNames\":
{\"cmdb_ci_server\":1,\"cmdb_ci_database\":1,\"cmdb_ci_web_server\":1}}";
SNC.CMDBQueryBuilderAPI.updateQuery('', '', queryJson);
```

出力:

```
{
   "error":"INVALID_PARAM",
   "message":"Invalid Parameters. Please provide either a valid sysId or
 a valid name of a saved query"
}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDBTransformUtil - グローバル

`CMDBTransformUtil` スクリプトインクルードは、識別および調整 (IRE) フレームワークを使用して、重複する構成アイテム (CI) の作成を最小限に抑えます。

また、IRE フレームワークは、`onBefore` 変換マップスクリプトで CMDB を更新するときに、許可されたソースからの情報のみを受け入れることによって CI 属性を調整します。このクラスを他のスクリプトで使用することはできません。IRE フレームワークの動作の詳細については、「CMDB 識別および調整」を参照してください。

CMDBTransformUtil - CMDBTransformUtil()

CMDBTransformUtil オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
```

CMDBTransformUtil getError()

前の *IdentifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッド呼び出しによって生成されたエラーを返します。

onBefore 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用して、エラーを取得します。hasError() メソッドを使用して、*identifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッドからのエラーを最初に検出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*IdentifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* からのエラーメッセージ。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDB API to do Identification and Reconciliation of the current
 row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBTransformUtil - getOutputPayload()

前の *IdentifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッド呼び出しから JSON ペイロードを返します。

onBefore 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテムの結果のリストである JSON 形式の文字列。それぞれの結果文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems	現在、値は返されていません。
<String>.additionalCommittedRelations	現在、値は返されていません。

<String>.items	作成または更新された CI の説明。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"items": {`
	
	` "additionalRelatedItems": [Array],`
	`  "className": "String",`
	`  "duplicateIndices": [Array],`
	`  "errorCount": Number,`
	`  "errors": [Array],`
	
	` "identificationAttempts": [Array],`
	
	` "identifierEntrySysId": "String",`
	`  "info": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre>"inputIndices": [Array], "maskedAttributes": [Array], "operation": "String", "relatedItems": [Array], "relatedSysIds": [Array], "sysId": "String" }</pre>
<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペイロードの一部として提供されなかった追加のルックアップおよび関連アイテムに関する情報のリスト。これらのアイテムは部分的ペイロードからのものです。 現在、この情報は返されていません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ <pre>"additionalRelatedItems": [{ "className": "String", "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" }]</pre>
<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連アイテムまたはルックアップアイテムの場合は、JSON オブジェクトのリストです。 データタイプ：数値のアレイまたはオブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"inputIndices": [
	  {
	  "mainIndex": Number,
	  "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.mainIndex	追加の関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.subIndex	追加の関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	追加の関連アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する CI のインデックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生したエラーのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"identificationAttempts": [ { "attemptResult": "String", "attributes": [Array], "hybridEntryCiAttributes": [Array], "identifierName": "String", "searchOnTable": "String" } ]`
<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功しました。指定された属性と完全に一致する一意の CI が識別子ルールテーブルで見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーのため識別に失敗しました。指定され

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	た属性に対して照合しているときに、識別子ルールテーブルに重複する CI が見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗しました。指定された属性と一致する CI が識別子ルールテーブルで見つかりませんでした。 • SKIPPED：識別は試行されませんでした。この識別子ルールテーブルの検索に必要な属性が指定されなかったため、ルールは適用されませんでした。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用された CI ID エントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次のような使用される要求本文データと識別子によって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", ]`
<String>.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	現在、値は返されていません。
<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用される識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索されたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用される識別子ルールの sys_id。識別子エントリー [cmdb_identifier_entry] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追加情報を含むリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"info": [ { "code": "String", "message": "String", "ruleSysId": "String" } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGRADE • SKIPPED_CLASS_UPGRADE データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由に関する追加のインサイトを提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの sys_id。再分類制限ルールのために IRE が再分類をスキップする場合にのみ適用されます。ペイロードまたはグローバルフラグのために再分類がスキップされた場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 *items* アレイからの CI のインデックス値。 データタイプ：アレイ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従って、権限のないデータソースによる更新がスキップされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems	処理された関連アイテムに関する情報を提供するリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedItems": [ { "className": "String", "errors": [Array], "errorCount": Number, "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors	処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.relatedItems.errorCount	処理中に検出されたエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する関連アイテムのインデックス。 データタイプ：アレイまたは数値 `"inputIndices": [ { "mainIndex": Number, "subIndex": Number } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレイからの関連アイテム (テーブルルックアップアイテム) の sys_id 値のリスト。 重要な値 - null:この関連アイテムのsys_idは識別されませんでした。 データタイプ：アレイ
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.relations	処理された関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relations":[ { "className": "String", "errorCount": Number, "inputIndices": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre>"operation": "String", "sysId": "String" }]</pre>
<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テーブル。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.inputIndices	対応する入力関係のインデックス。 データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT • UPDATE • NO_CHANGE データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDB API to do Identification and Reconciliation of the current
 row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBTransformUtil getOutputRecordSysId()

挿入または更新された構成アイテム (CI) の sys_id を返します。

onBefore 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入または更新された CI の sys_id。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDB API to do Identification and Reconciliation of current row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBTransformUtil - getPayload(オブジェクト source, オブジェクト map, オブジェクト log)

指定された入力から生成された JSON ペイロードを返します。

その後、ペイロードを変更し、*setPayload()* メソッドを使用して更新済みのペイロードを格納できます。ペイロードが変更されて格納されたら、*identifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* を使用してペイロードを処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、受信レコードを保持するグローバルオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
map	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、現在の変換マップレコードを保持するマップオブジェクト。
log	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能なログオブジェクト

返される内容

パラメーター	説明

<String>	入力文字列内の構成アイテ
	リストである JSON 形式の
	
	データタイプ：文字列
	
	{
	
	"additionalCommitt
	s": [Array],
	
	"additionalCommitt
	ons": [Array],
	"hasError": Boole
	"hasWarning": Boo
	"items": [Array],
	"relations": [Arr
	"summary": {Objec
	}

<String>.additionalCommittedItems	現在のペイロードの IRE 処
	ミットされても、現在の入
	ドに存在しなかった CI の
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"additionalCommitte
	[
	{
	"className": "S
	"errorCount": N
	"operation": "S
	
	"identificationAtt
	[Array],
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Arr
	"mergedPayloads
	[Array],
	"sysId": "Strin
	}
	]

<String>.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_clas

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.additionalCommittedItems.errors	この追加の CI の処理中に発生したエラーを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.additionalCommittedItems.errors.error	この追加の CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.errors.message	この追加の CI の処理中に発生したエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts	各オブジェクトがこの追加の CI を識別するために行われた試行を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：オブジェクト `"identificationAtte { "attemptResult" "String", "attributes": [ "hybridEntryCiAttr [Array], "identiferName" "String", "searchOnTable" [Array] } ]`
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の結果。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI 識別試行中に
	る CI ID エントリ属性。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	`"attributes": [`
	`  "serial_number":`
	`  "String",`
	`  "serial_number_ty`
	`  "String",`
	`]`

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI の識別の試行
	される CI ID エントリ属性
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttri`
	`  [`
	`  "name": "String",`
	`  "serial_number":`
	`]`

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に る識別子ルール。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で たテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するた される識別子ルールの sys 注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してくだ
<String>.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求 *items* アレイの CI のイン 値。 データタイプ：数値のアレ `"inputIndices": [ { Number } ]`
<String>.additionalCommittedItems.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ `"markers": []`
<String>.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合 た CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_paylo ブルからの部分的ペイロー 値。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
<String>.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行 作。 データタイプ：文字列 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• DELETE：既存の CI がテーブルから削除されま • INSERT：追加の CI が新ドとしてターゲットテーされます。 • NO_CHANGE：追加の実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテ存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNターゲットテーブル内の が更新され、そのクラス的なクラス (先祖クラス) ます。 • UPDATE_WITH_SWITCゲットテーブル内の既存新され、そのクラスが先たは子孫クラスではない に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRゲットテーブル内の既存新され、そのクラスがよたクラス (子孫クラス) に す。
<String>.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこの sys_id。 データタイプ：文字列 注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ「*errors*」を参照してく
<String>.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生の説明。 データタイプ：オブジェク `"warnings": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発告のタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発 告メッセージ。 データタイプ：文字列

<String>.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本
	relations リストに含まれ
	かった依存関係 CI の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"additionalCommitte`
	`ns": [`
	`  {`
	`  "className": "S`
	`  "inputIndices":`
	`[Array],`
	`  "markers": [Arr`
	`  "mergedPayloadI`
	`[Array],`
	`  "operation": "S`
	`  }`
	`]`

<String>.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 データタイプ：文字列 サポートされている値の み:cmdb_rel_ci:CI 関係テー
<String>.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処 生したエラーの数。 データタイプ：数値

<String>.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処
	生したエラーの説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "Strin`
	`  "message": "Str`
	`  }`
	`]`

<String>.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処 生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処 ラーが発生したエラーメッ データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係性 CI に 要求本文 *relations* アレ 関係 CI オブジェクトのイン 値。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
<String>.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ `"markers": []`
<String>.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処 中にこの CI 用に結合された CMDB IRE 部分的ペイロー [cmdb_ire_partial_paylo ブルからの部分的ペイロー 値。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": "String" ]`
<String>.additionalCommittedRelations.operation	追加の依存関係性 CI に対し れた操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が コードとしてターゲット 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されます • INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• NO_CHANGE：依存関係 て実行された操作はあり • UPDATE：ターゲットテ 存の依存関係 CI が更新さ データタイプ：文字列
<String>.hasError	アイテムまたは関係にエラ どうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.hasWarning	アイテムまたは関係に警告 うかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.items	作成または更新された CI の データタイプ：オブジェク "items": [{ "additionalRelated [Array], "className": "S "duplicateIndic [Array], "errorCount": N "errors": [Arra "identificationAtt [Array], "identifierEntr "String", "incompleteSysI "String", "info": [Array] "inputIndices": [Array], "maskedAttribut [Array], "operation": "S "partialSysIds" "String", "relatedItems": [Array], "relatedSysIds" [Array], "sysId": "Strin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	}]

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペ
	の一部として提供されなか
	ルックアップおよび関連ア
	する情報。これらのアイテ
	ペイロードからのものです
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"additionalRelatedI
	{
	"className": "S
	"inputIndices":
	[Array],
	"mergedPayloadI
	[Array],
	"operation": "S
	"sysId": "Strin
	}
	]

<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_ データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応す *items* アレイからの CI の ス値。 データタイプ：数値のアレ
<String>.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	関連アイテムに結合された 的ペイロードの sys_id のリ ト。CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_paylo ルにあります。 データタイプ：アレイ
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変 んでした。 • UPDATE：既存の CI が した。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	更新または作成された CI データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_
	データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する デックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生した リスト。 データタイプ：オブジェク `"errors": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラ プ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行さ リスト。 データタイプ：オブジェク `"identificationAtte { "attemptResult" "String", "attributes": [ "hybridEntryCiAttr [Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"identifierName
	"String",
	"searchOnTable"
	"String"
	}
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。 データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用され
	ントリ属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	<pre>"attributes": [
	"serial_number":
	"String",
	"serial_number_ty
	"String",
	]</pre>

<String>items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	識別プロセス中に使用され ントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttri`
	`[`
	`"name": "String",`
	`"serial_number":`
	`]`

<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用 子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索され の名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用さ 子ルールの sys_id。識別子 [cmdb_identifier_entry] テ あります。 データタイプ：文字列
<String>.items.incompleteSysIds	アイテムにエラーがあり、 完全ペイロードとして保存 れた場合、このパラメータ は、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy れます。 データタイプ：文字列

<String>.items.info	アイテムの処理に関する追
	
	データタイプ：オブジェク
	`"info": [`
	`{`
	`"code": "String`
	`"message": "Str`
	`"ruleSysId": "S`
	`}`
	`]`

<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイ 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWN • SKIPPED_CLASS_UPGRA データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由 加のインサイトを提供する ジ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルール 再分類制限ルールのために 類をスキップする場合にの ます。ペイロードまたはグ ラグのために再分類がスキ 場合、この値は空になりま データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	対応する入力 CI のインデ 上位レベルのアイテムの場 のリストです。関連 CI また アップ CI の場合は、JSON クトのリストです。 データタイプ：数値のアレ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従っ ないデータソースによる更 プされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし • INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • UPDATE：既存の CI が した。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• UPDATE_WITH_DOWN CI が更新され、クラスが なクラス (先祖クラス) に した。 • UPDATE_WITH_SWITC 更新され、クラスが先祖 ではないクラスに変更さ • UPDATE_WITH_UPDR が更新され、クラスがよ たクラス (子孫クラス) に した。 データタイプ：文字列
<String>.items.partialSysIds	アイテムにエラーがあり、 ロードとして保存された場 ラメーターには部分的ペイ コードの sys_id が含まれま データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems	要求本文 *items_lookup* 関連 CI (テーブルルックア 記述する JSON オブジェク ト。 データタイプ：オブジェク `"relatedItems": [ { "className": "S "errors": [Arra "errorCount": N "incompleteSysI [Array], "inputIndices": [Array], "mergePayloadIc [Array], "operation": "S "partialSysIds" [Array], "sysId": "Strin "warningCount": "warnings": [Ar } ]`
<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テー (sys_class_name)。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.relatedItems.errors	関連アイテムの処理中に発 ラーのリスト。 データタイプ：オブジェク `"errors": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.items.relatedItems.errors.error	関連アイテムの処理中に発 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorCount	関連アイテムの処理中に検 ラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのイ ス。最上位レベルのアイテ は、整数のリストです。関 またはルックアップアイテ は、JSON オブジェクトの す。 データタイプ：数値のアレ ブジェクトのアレイ `"inputIndices": [ { "mainIndex": Num "subIndex": Numb } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対 求本文 *items* アレイからの クス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要 *items.lookup* アレイから デックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中に CI に結合された部 ロードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい関連 C ベースに挿入されました • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし • INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • NO_CHANGE：関連 CI ませんでした。 • UPDATE：既存の関連 C れました。 • UPDATE_WITH_DOWN 関連 CI が更新され、ク 汎用的なクラス (先祖ク されました。 • UPDATE_WITH_SWITC CI が更新され、クラスが 子孫ではないクラスに変 た。 • UPDATE_WITH_UPDR CI が更新され、クラスが れたクラス (子孫クラス) ました。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.relatedItems.partialSysIds	関連アイテムにエラーがあ ペイロードとして保存され れには、CMDB IRE 部分的 [cmdb_ire_partial_paylo ル内の関連レコードの sys_ が含まれます。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.sysId	関連アイテムのSys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warningCount	関連アイテムの処理中に発 の数。 データタイプ：数値

<String>.items.relatedItems.warnings	関連アイテムの処理中に発
	の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"warnings": [
	{
	"error": "Strin
	"message": "Str
	}
	]

<String>.items.relatedItems.warnings.error	関連アイテムの処理中に発 のタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warnings.message	警告に関連付けられたメッ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	関連アイテムのルックアッ 識別中に使用される CI の リスト。 データタイプ：文字列
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI C データタイプ：文字列
<String>.relations	要求本文 *relations* アレ 存関係 CI の説明。 データタイプ：オブジェク

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"relations": [
	  {
	  "className": "S
	  "errorCount": N
	  "errors": [Arra
	  "incompleteSysI
	"String",
	  "inputIndices":
	[Array],
	  "operation": "S
	  "partialSysIds"
	"String",
	  "sysId": "Strir
	  }
	]</pre>

<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テ データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	依存関係 CI の処理中に発生ラーの数。 データタイプ：数値

<String>.relations.errors	この依存関係 CI の処理中にエラーを説明するリスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "Strir
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.relations.errors.error	依存関係 CI の処理中に発生ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中にエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完ロードとして保存された場値は、CMDB IRE 不完全ペ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	[cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列
<String>.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する *relations* アレイ内の依存 ブジェクトのインデックス データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が コードとしてターゲット 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE で不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されまし • INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE で部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：操作は実 せんでした。 • UPDATE：ターゲットテ 既存の依存関係 CI が更新 た。 データタイプ：文字列
<String>.relations.partialSysIds	関連にエラーがあり、部分 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_payloa ル内のレコードの sys_id に データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.summary	クラスごとに挿入または更 イテムの数に関する統計情 る JSON プロパティのリス

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：アレイ
<String>.summary.<class_name>	特定のクラスの統計情報。 データタイプ：オブジェク <class_name>: { "additionalInserte nt": Number, "errorCount": Numb "incompleteItemCou Number, "insertedItemCount Number, "partialItemCount" Number, "skippedItemCount" Number, "unchangedItemCour Number, "updatedItemCount" Number, "warningCount": Nu }
<String>.summary.<class_name>.additionalInsertedItemCount	部分的ペイロードの処理の されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.incompleteItemCount	CMDB IRE 不完全ペイロー [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されたアイ データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.insertedItemCount	作成されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.partialItemCount	部分的ペイロードテーブル [cmdb_ire_partial_paylo されているアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.skippedItemCount	スキップされたアイテムの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.unchangedItemCount	エントリがあっても変更さアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.updatedItemCount	更新されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.warningCount	処理時に警告を生成したア数。 データタイプ：数値

このコード例は、ImportSet のペイロードを取得する方法を示しています。ここでは、ペイロードを更新し、新しいペイロードを設定してから、*cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced()* メソッドを呼び出してペイロードを処理できます。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Ability to modify the payload using get and set APIs
// Call cmdbUtil API to do Identification and Reconciliation of current
 row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
var payload = cmdbUtil.getPayload(source, map, log);
// Modify the payload here
cmdbUtil.setPayload(payload);
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

自動翻訳

CMDBTransformUtil - hasError()

前の *IdentifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッド呼び出しでエラーが発生したかどうかを判断します。

onBefore 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	前に呼び出された *IdentifyAndReconcile()* または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッドでエラーが発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エラーは発生しました。 • false：エラーは発生しませんでした。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDB API to do Identification and Reconciliation of current row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBTransformUtil - identifyAndReconcile(オブジェクト **source**, オブジェクト **map**, オブジェクト **log)**

構成管理データベース (CMDB) で構成アイテム (CI) を挿入または更新します。

onBefore 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。変換に利用せずにこのメソッドを使用して構成アイテムレコードを挿入または更新すると、CMDB で重複エントリーを減らすことができます。詳細については、「インポートセットへの CI 識別および調整の適用」を参照してください。

変換によってレコードが再度追加または更新されないようにするには、`ignore = true` を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、受信レコードを保持するグローバルオブジェクト。
map	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、現在の変換マップレコードを保持するマップオブジェクト。
log	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能なログオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、*identifyAndReconcile()* メソッドを呼び出して入力ペイロードの現在の行を処理する方法を示しています。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDBTransformUtil API to do Identification and Reconciliation of
 the current row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.identifyAndReconcile(source, map, log);
ignore = true;
```

CMDBTransformUtil - identifyAndReconcileEnhanced(オブジェクト **source**, オブジェクト **map**, オブジェクト **log)**

構成管理データベース (CMDB) で構成アイテム (CI) を挿入または更新します。

このメソッドは、*CMDBTransformUtil.identifyAndReconcile()* メソッドの機能を提供することに加えて、以下もサポートしています。

- 部分的ペイロードの処理
- 部分的コミットの処理
- ペイロード内の重複アイテムの削除
- 出力サマリーの生成

識別および調整の詳細、およびこの方法で使用されるデータの詳細な説明については、「識別および調整 (IRE)」 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、受信レコードを保持するグローバルオブジェクト。
map	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能な、現在の変換マップレコードを保持するマップオブジェクト。
log	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能なログオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、*identifyAndReconcileEnhanced()* メソッドを呼び出して、渡されたペイロードを処理する方法を示しています。

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDBTransformUtil API to do Identification and Reconciliation
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;
```

CMDBTransformUtil - logTransformStats(オブジェクト log)

挿入、更新、スキップされた、またはエラーがあった構成アイテム (CI) の数をログに記録します。

onComplete 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
log	オブジェクト	変換マップスクリプトで使用可能なログオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.logTransformStats(log);
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBTransformUtil - setDataSource(文字列 source)

IdentifyAndReconcile() または *IdentifyAndReconcileEnhanced()* メソッドが呼び出されたときに使用するデータソースを設定します。

`onBefore` 変換マップスクリプトでこのメソッドを使用します。このメソッドが呼び出されない場合は、デフォルト値の *ImportSet*が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース構成アイテムレコードのデータソース。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Add this code to the onBefore transform map script
// Call CMDB API to do Identification and Reconciliation of current row
var cmdbUtil = new CMDBTransformUtil();
cmdbUtil.setDataSource('ImportSet');
cmdbUtil.identifyAndReconcileEnhanced(source, map, log);
ignore = true;

if (cmdbUtil.hasError()) {
  var errorMessage = cmdbUtil.getError();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  log.error(errorMessage);
} else {
  log.info('IE Output Payload: ' + cmdbUtil.getOutputPayload());
  log.info('Imported CI: ' + cmdbUtil.getOutputRecordSysId());
}
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

CMDBUtil - グローバル

CMDBUtil API は、構成管理データベース (CMDB) のテーブル関係を作成および管理し、CMDB ベースラインを管理するためのユーティリティメソッドを提供します。

CMDBUtilは、JavaScript でアクセス可能な ScriptableObject です。*CMDBUtil* API には動的メソッドと静的メソッドがあります。ダイナミックメソッドにアクセスするには、SNC.CMDBUtil オブジェクトを作成します。静的メソッドにアクセスするには、SNC.CMDBUtil グローバルオブジェクトを使用してメソッドを呼び出します。

この例では、CMDBUtil オブジェクトを作成します。

```
var cu = new SNC.CMDBUtil();
cu.baselineProposedChangesGenDIFF(current,
 action.get('sysparm_changeset'));
```

この例では、静的メソッドを呼び出します。

```
var output =
 SNC.CMDBUtil.getAllChildrenOfAsCommaList('cmdb_ci_computer');
```

これらのメソッドを使用して、CMDB テーブル関係とベースラインを管理します。

CMDBUtil - baselineProposedChangesApplyChanges(GlideRecord proposedChanges)

タスクに関連付けられたすべての CI の更新セットを表す task_ci レコードに提案された変更を適用します。

これは動的なメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
提案された変更	GlideRecord	変更要求 (CHG) で提案された変更の集合

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Where current is a GlideRecord and action is the current UI action
var base = new SNC.CMDBUtil();
base.baselineProposedChangesApplyChanges(current);
```

CMDBUtil - baselineProposedChangesGenDiff(GlideRecord current, 文字列 changeSet)

提案された変更差分の XML を生成し、それを対応する task_ci レコードに追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これは動的なメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	提案された変更のコレクションを含む GlideRecord
変更セット ID	文字列	使用する変更セットを表す task_ci レコードの sysid

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Where current is a GlideRecord and action is the current UI action
var base = new SNC.CMDBUtil();
base.baselineProposedChangesGenDIFF(current,
 action.get('sysparm_changeset'));
```

CMDBUtil - bootstrap(文字列 **dictFile)**

データベースを作成し、システムディクショナリーテーブルを作成し、システムディクショナリーテーブルを記述することによって、環境をブートストラップします。

これは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictFile	文字列	ロードするディクショナリーのパスを含むファイル名

返される内容

タイプ	説明
なし	

CMDBUtil - createCIRelationship(文字列 **tableName**, 文字列 **parent**, 文字列 **child**, 文字列 **parentField**, 文字列 **childField)**

フィールド間の CI 関係を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	オプション。関係のターゲットテーブルの名前。 デフォルト：CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブル。
親	文字列	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの親 CI レコードの sys_id。
子	文字列	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの子 CI レコードの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parentField	文字列	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにリストされている親関係ラベル。
childField	文字列	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにリストされている子関係ラベル。

返される内容

タイプ	説明
文字列	CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにリストされる新しいレコードの sys_id。

次の例は、親 CI の contains フィールドと子 CI の contains_by フィールド間の CI 関係を作成する方法を示しています。関係は CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにリストされます。

```
var base = new SNC.CMDBUtil();
base.createCIRelationship('<parent_ci_sys_id>', '<child_ci_sys_id>,
 'Contains', 'Contained by');
```

CMDBUtil - getAllChildrenOfAsCommaList(文字列 baseTable)

指定したテーブルのすべての子テーブルをコンマ区切りのリストとして取得します。

これは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ベーステーブル	文字列	ベーステーブル名

返される内容

タイプ	説明
文字列	ベーステーブルを拡張するテーブルの sys_id のコンマ区切りのリスト

```
//Where cmdv_ci_computer is a table.
var output =
 SNC.CMDBUtil.getAllChildrenOfAsCommaList('cmdb_ci_computer');
gs.print(output);
```

CMDBUtil getCMDBViews()

CMDB View [cmdb_view] テーブル内のすべてのレコードを取得します。

このメソッドは動的です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	CMDB ビュー [cmdb_view] テーブル内のレコードリスト。

次の例は、CMDB ビューをリストする方法を示しています。

```
var util = new SNC.CMDBUtil();
var cmdbViews = util.getCMDBViews();
gs.info(cmdbViews);

// Note that the output in the example is type: java.util.ArrayList
// To convert to JS Array, use ArrayUtils (add these lines preceding
 gs.info):
// var arrUtil = new global.ArrayUtil();
// var arrViews = arrUtil.convertArray(cmdbViews);
```

出力：

```
[View 3, View 1, View 2, Another view]
```

CMDBUtil - getTables0(文字列 tableName)

テーブルのすべての親のリストを取得します。

このメソッドは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブル名。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された表の親である表のリスト。

次の例は、サーバー [cmdb_ci_server] テーブルの親テーブルをリストする方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('incident');

// Querying the incident table
gr.addQuery('number','INC0000005');
gr.query();


if(gr.next()){
  // Find the list of parent tables for Configuration item field of this
 Incident
  var ciParent = SNC.CMDBUtil.getTables0(gr.cmdb_ci.sys_class_name);
  gs.print("Parent Tables for the Configuration Item '" + gr.cmdb_ci.name
 + "' belonging to the CMDB Class '"+ gr.cmdb_ci.sys_class_name+ "' are:
 \n" + ciParent);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
Parent Tables for the Configuration Item 'ApplicationServerPeopleSoft'
 belonging to the CMDB Class 'cmdb_ci_server' are:
[cmdb_ci_server, cmdb_ci_computer, cmdb_ci_hardware, cmdb_ci, cmdb]
```

CMDBUtil - isExcludedFromBR(文字列 className)

CI クラスがビジネス ルール除外リスト [cmdb_business_rule_exclusions] テーブルで定義されているかどうかを決定します。ビジネスルールが除外された CI クラスで実行されないようにするには、詳細条件でこのメソッドを使用します。

たとえば、ビジネス ルールを挿入するビジネス ルールの作成では、高度な条件でこのメソッドを使用して、cmdb_ci_qualifier、cmdb_ci_endpoint、cmdb_ci_storage_volume、および cmdb_ci_vcenter_datastore_diskなどの CI クラスのアセットを作成しないようにします。ビジネス ルール除外リスト [cmdb_business_rule_exclusions] テーブルで除外クラスを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
className	文字列	除外を確認するクラスの名前

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クラスがビジネス ルール除外リスト[cmdb_business_rule_exclusions]テーブルで定義されている場合は True です。それ以外の場合は false です。

```
//Returns true if the cmdb_ci_endpoint class is defined
//in the Business Rule Exclusion Lists table
var exclusion = SNC.CMDBUtil.isExcludedFromBR("cmdb_ci_endpoint");

//Advanced condition that prevents business rules from executing on
//classes in the Business Rule Exclusion Lists table
(!SNC.CMDBUtil.isExcludedFromBR(current.getTableName()))
```

CMDBUtil - processCIChange(GlideRecord event, GlideRecord target)

CI 関係の変更を処理する *RelationshipEventProcessor()* への呼び出しをラップします。

これは動的なメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベント	GlideRecord	イベント レコード
target	GlideRecord	ターゲットレコード

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDBUtil - processRelChange(GlideRecord event, GlideRecord current, String relType、String triplet)

指定されたタイプとトリプレットを使用して、CI 関係の変更を処理する *RelationshipEventProcessor()* への呼び出しをラップします。

これは動的なメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベント	GlideRecord	イベントレコード
current	GlideRecord	現在のレコード。これは、現在のプロセスが削除の場合は、関係レコードまたはユーザー レコードのいずれかです。
relType	文字列	変更された関係のタイプ
triplet	文字列	変更された関係からの子、親、およびクラス名

返される内容

タイプ	説明
なし	

CMDBUtil - removeCIRelationship(String tableName, String parentField, String childField, String parentDesc, ObjectchildDesc)

指定された CI 関係を削除します。

これは動的なメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	オプション。テーブル名 デフォルト：CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブル
parentField	文字列	親フィールド
childField	文字列	子フィールド
parentDesc	文字列	親関係記述子
childDesc	オブジェクト	子関係記述子

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、指定された親のすべての関係タイプ 'Depends on::Used by' を削除する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var cu = new SNC.CMDBUtil();
var parentSysID = '27d18f6fc0a8000b00ad14d4929d1b45';
var parentDesc = 'Depends on';
var childDesc = 'Used by'

// Get records with parent equal parentSysID
var relation = new GlideRecord('cmdb_rel_ci');
relation.addQuery('parent', parentSysID);
relation.query();
while(relation.next()){
    // Remove every relation of type: 'Depends on::Used by' for the
 parent
    // If the relation type does not exist, it inserts this relation type
 into [cmdb_rel_type].
    cu.removeCIRelationship('cmdb_rel_ci', parentSysID,
 relation.child.getValue('sys_id'), parentDesc, childDesc)
}
```

CMDBUtil - reParentTable(文字列 **table**, 文字列 **oldParent**, 文字列 **newParent)**

指定されたテーブルの親を新しい親に変更します。

このメソッドは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	親を再指定するためのテーブル。
oldParent	文字列	古い親。
newParent	文字列	新しい親。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	親の変更が成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：親の変更は成功しました。 • false：親の変更は成功しませんでした。

次の例を再作成するには、提供されたコードを使用してカスタムテーブルを作成します。次にレコードを作成し、タスクテーブルで確認します。作成されたカスタムテーブルはタスクテーブルから拡張されています。これは、親の再指定が正常に行われたことを意味します。このコードは、コピーアンドペーストで直接使用するためのものではありません。出力を表示するために、コードを実行する前にカスタムテーブルが作成されています。

```
/*
  Before running the code in the background Script Make Sure 'Record For
 Rollback' is unchecked.

  This API CMDBUtil.reParentTable changes the parent of the table but
 will not allow the OOB tables to change the parent it works only in
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 the custom table. Hence this script contains the creation of the custom
 table.
  API CMDBUtil.reParentTable has 3 parameters (Table, Old Parent , New
 Parent);
  We can make the Parent as Null as well by using this (Table, Old
 Parent, '');

  The code in this example shows how to create a custom table without any
 extension.
  Then creating a record and then again creating a record and checking in
 the task table after it gets extended to the task table.

  If the code returns false means the record is not present in the task
 table as it is not extended. It returns true only when the record is
 found in the task table after the table is extended.

*/

/* Run the following code to create the custom table without an extension
createCustomTable('u_custom_table','Custom Table'); // Creating a custom
 Table (don't create if you have one)
var CreatedRecord = CreateCustomRecord('u_custom_table'); // Creating a
 record in the custom table
gs.print(CheckRecord('u_custom_table'));  // Checking of the record in
 the task table by passing the Class Name (A.K.A your custom Table)

var getParentTables = new
 SNC.CMDBUtil.reParentTable('u_custom_table','','task'); // Extending
 the custom table to task table . This Works only when the table is
 extendable
var CreatedRecordAfter = CreateCustomRecord('u_custom_table'); //
 Creating a record in the custom table
gs.print(CheckRecord('u_custom_table'));  // Checking of the record in
 the task table by passing the Class Name (A.K.A your custom Table)
*/

// If the custom Table is already created, run this. (Do not run these 4
 lines when creating the table)
gs.print(CheckRecord('u_custom_table')); //Checking of the record in the
 task table by passing the Class Name (A.K.A your custom Table)
var getParentTables = new
 SNC.CMDBUtil.reParentTable('u_custom_table','','task'); //Extending
 the custom table to task table . This Works only when the table is
 extendable
var CreatedRecordAfter = CreateCustomRecord('u_custom_table'); //Creating
 a record in the custom table
gs.print(CheckRecord('u_custom_table'));  //Checking of the record in the
 task table by passing the Class Name (A.K.A your custom Table)


function createCustomTable(Name, Label)
{
  var customTable = new GlideRecord('sys_db_object');
  customTable.initialize();
  customTable.name=  Name ;
  customTable.label= Label ;
  customTable.is_extendable= true;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  customTable.insert();
}

function CreateCustomRecord(customTableName)
{
  var customTable = new GlideRecord(customTableName);
  customTable.initialize();
  return customTable.insert();
}

function CheckRecord(customTableName)
{
  var task =new GlideRecord('task');
  task.addQuery('sys_class_name', customTableName);
  task.query();

  if(task.next())
  {
    return true;
  }

  return false;
}
```

出力：

```
*** Script: true
*** Script: true
```

Color -スコープ付き、グローバル

PDF の要素に適用できるセル、テーブル、行などの色属性を定義するために使用する Color オブジェクトを作成します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

Color - Color(アレイ colors)

RGB 値を使用して新しい *`Color`* オブジェクトをインスタンス化します。

Color は次のシナリオに適用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
colors	アレイ	0 ～ 1 の 10 進数値を使用して RGB 値を示す 3 つの数字。たとえば、`[0.1, 0.9, 0.5]` では、最初の位置の値は赤、2 番目は緑、3 番目は青です。また、`[0, 0, 0]` は黒一色、`[0.5, 0.5, 0.5]` はグレー一色、`[1, 1, 1]` は白一色です。

次の例は、*`Color`* オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.1, 0.9, 0.5]); //given as
 object containing RGB values
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Color – equals(色 color)

2 つの異なる Color オブジェクトの値が一致するかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	一致するか確認する Color オブジェクトです。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	2 つの異なる Color オブジェクトの値が一致するかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：色は一致します。 • false：色は一致しません。

次の例は、2 つの Color オブジェクトを作成し、色が一致するかどうかを判断する方法を示しています。

```
var color1 = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1,0.5,0.5]);  // given as an
 array of RGB values
var color2 = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.5,0.5]);         //
 given as an array of RGB values
var isequal = color1.equals(color2);
```

Color – getGrayColor(数値 grayScale)

黒、グレー、または白の Color オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
grayScale	番号	0 ～ 1 の範囲の 10 進数値。0 は黒、1 は白です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたグレースケール値を反映する Color オブジェクトです。

次の例は、50% のグレースケールの Color オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var grayColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color.getGrayColor(0.5);
```

Color – setColorValue(アレイ colors)

指定された値を使用して色を作成し、既存の色の値を変更できるようにします。各値は 0 ～ 1 の範囲でなければなりません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
colors	アレイ	0 ～ 1 の 10 進数値を使用して RGB 値を示す 3 つの数字。たとえば、`[0.1, 0.9, 0.5]` では、最初の位置の値は赤、2 番目は緑、3 番目は青です。また、`[0, 0, 0]` は黒一色、`[0.5, 0.5, 0.5]` はグレー一色、`[1, 1, 1]` は白一色です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存の色の値を変更する方法を示しています。

```
var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1,0.5,0.5]);   //given as
 array of RGB values;
color.setColorValue(color);
```

Color – setOpacity(数値 **opacity)**

色の不透明度のレベルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	0 ～ 1 の浮動小数点値。0 は完全に透明で、1 は完全に不透明です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、Color オブジェクトを作成して不透明度を 50 パーセントに設定する方法を示しています。

```
var color = new Color([1,0.5,0.5]);
color.setOpacity(0.5);
```

ConnectActionResponse - グローバル

ConnectActionResponse API は、Glide レコードを作成するメソッドを提供します。

ConnectActionResponse メソッドには、Connect アクションスクリプトでのみ使用可能なグローバルオブジェクト (レスポンス) を介してアクセスします。

ConnectActionResponse - newRecord(文字列 **table**, オブジェクト **values**, 文字列 **view)**

指定した値で指定されたテーブルに GlideRecord を作成します。

このフォームは、関連する会話のライブグループプロファイルレコードの 表そして資料フィールドを置き換えるテーブルに基づいて UI にフォームを開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	レコードが追加されるテーブルの名前
値	オブジェクト	名前の値のペアのオブジェクト。名前はテーブル内のフィールド名で、値はフィールド値です。
view	文字列	ロードするフォーム ビュー。このパラメーターはオプションです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
response.newRecord("incident", {
 short_description: conversation.document.short_description || "",
 caller_id: conversation.document.opened_by
});
```

ConnectionInfo - スコープ指定、グローバル

ConnectionInfo API を使用すると、接続および資格情報エイリアスを介して接続属性情報を取得できます。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。スコープ指定のスクリプトでは、sn_cc 名前空間識別子を使用します。

接続と資格情報の詳細については、「資格情報と接続情報」を参照してください。

この関数は、指定された接続および資格証明エイリアスによって識別される接続属性情報を取得します。

```
var provider = new sn_cc.ConnectionInfoProvider();

// get a jdbc connection in the current domain with the alias ID
//     "6219afbf9f03320021dd7501942e70fc"
var connectionInfo =
 provider.getConnectionInfo("6219afbf9f03320021dd7501942e70fc");
if (connectionInfo != null) {
  // get data map
  var datamap = connectionInfo.getDataMap();
  gs.info(datamap["name"]);
  gs.info(datamap["connection_url"]);

  // get the same values using getAttribute
  gs.info(connectionInfo.getAttribute("name"));
  gs.info(connectionInfo.getAttribute("connection_url"));

  // get credential attributes
  gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("user_name"));
  gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("password"));

  // get extended attributes
  var extendedAttributes = connectionInfo.getExtendedAttributes();
  gs.info(extendedAttributes["name1"]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

// get a jdbc connection in the ACME domain with the alias ID
//      "cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb"
connectionInfo =
provider.getConnectionInfoByDomain("cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb",
       "c90d4b084a362312013398f051272c0d");
if (connectionInfo != null) {
  // get data map
  var datamap = connectionInfo.getDataMap();
  gs.info(datamap["name"]);
}
```

ScopedConnectionInfo - getAttribute(String name)

指定されたプロパティ名を持つ *ConnectionInfo* 属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*ConnectionInfo* オブジェクトのプロパティの名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された *ConnectionInfo* プロパティの値です。

```
  // get the same values using getAttribute
  gs.info(connectionInfo.getAttribute("name"));
  gs.info(connectionInfo.getAttribute("connection_url"));
```

スコープ付き ConnectionInfo - getCredentialAttribute()

指定された接続の信任状属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	資格情報属性のキー/値ペアのマップです。

```
// get credential attributes
 gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("user_name"));
 gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("password"));
```

スコープ付き ConnectionInfo - getDataMap()

接続属性をキーと値のペアの集合として返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	接続属性のキー/値ペアのマップです。

```
// get data map
 var datamap = connectionInfo.getDataMap();
 gs.info(datamap["name"]);
 gs.info(datamap["connection_url"]);
```

スコープ付き ConnectionInfo - getExtendedAttributes()

拡張属性をキーと値のペアの集合として返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	拡張属性のキー/値ペアのマップです。

```
// get extended attributes
  var extendedAttributes = connectionInfo.getExtendedAttributes();
  gs.info(extendedAttributes["name1"]);
 }
```

ConnectionInfoProvider - スコープ付き、グローバル

ConnectionInfoProvider API は、接続エイリアスを使用して接続情報を選択するメソッドを提供します。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。スコープ指定のスクリプトでは、`sn_cc` 名前空間識別子を使用します。

この関数は、指定された接続エイリアスによって識別される接続情報を取得します。

```
var provider = new sn_cc.ConnectionInfoProvider();

// get a jdbc connection in the current domain with the alias ID
//     "6219afbf9f03320021dd7501942e70fc"
var connectionInfo =
 provider.getConnectionInfo("6219afbf9f03320021dd7501942e70fc");
if (connectionInfo != null) {
  // get data map
  var datamap = connectionInfo.getDataMap();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 gs.info(datamap["name"]);
 gs.info(datamap["connection_url"]);

 // get the same values using getAttribute
 gs.info(connectionInfo.getAttribute("name"));
 gs.info(connectionInfo.getAttribute("connection_url"));

 // get credential attributes
 gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("user_name"));
 gs.info(connectionInfo.getCredentialAttribute("password"));

 // get extended attributes
 var extendedAttributes = connectionInfo.getExtendedAttributes();
 gs.info(extendedAttributes["name1"]);
}

// get a jdbc connection in the ACME domain with the alias ID
//      "cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb"
connectionInfo =
provider.getConnectionInfoByDomain("cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb",
       "c90d4b084a362312013398f051272c0d");
if (connectionInfo != null) {
  // get data map
  var datamap = connectionInfo.getDataMap();
  gs.info(datamap["name"]);
}
```

ConnectionInfoProvider - ConnectionInfoProvider()

接続エイリアスを介して接続情報を選択します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

ConnectionInfoProvider - getConnectionInfo(文字列 aliasID)

現在のドメイン内の指定された aliasID で識別される ConnectionInfo オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aliasID	文字列	接続エイリアスの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
ConnectionInfo	接続に関する情報

```
var provider = new sn_cc.ConnectionInfoProvider();

// get a jdbc connection in the current domain with the alias ID
//     "6219afbf9f03320021dd7501942e70fc"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var connectionInfo =
 provider.getConnectionInfo("6219afbf9f03320021dd7501942e70fc");
```

ConnectionInfoProvider - getConnectionInfoByDomain(文字列 **aliasID**, 文字列 **domainID**)

指定されたドメインの指定された aliasID で識別される ConnectionInfo オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aliasID	文字列	接続エイリアスの sys_id です。
domainID	文字列	ドメインまたは `グローバル` の sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
ConnectionInfo	接続情報。

```
var provider = new sn_cc.ConnectionInfoProvider();

// get a jdbc connection in the ACME domain with the alias ID
 //      "cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb"
 connectionInfo =
 provider.getConnectionInfoByDomain("cd5923ff9f03320021dd7501942e70bb",
        "c90d4b084a362312013398f051272c0d");
```

会話 - スコープ対象

`Conversation` API を使用すると、Connect の会話を作成または変更できます。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_connect` 名前空間識別子を使用します。会話 API にアクセスするには、Connect Scriptable API プラグイン (ID：com.glide.connect.scriptable) を有効にする必要があります。

会話 - addSubscriber(文字列 **sysID**)

会話にユーザーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	会話に追加するユーザーの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var conversation =
 sn_connect.Conversation.get("7caf49111309030034bb58a12244b06c");
conversation.addSubscriber("a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会話 - create(文字列名)

コネクト会話を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	特定の名前の会話を作成します。
type	文字列	特定の会話タイプを含めます。タイプは、タイプ選択リストによって決定されます。基本システムには、次のタイプのオプションがあります。 • 接続 • サポート • グループ • ピア • クンダ • チーム

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	スクリプト可能な会話

```
var conversation = sn_connect.Conversation.create({
    name: "Hello world",
    type: "connect"
});
```

会話:get(文字列 **sysID)**

コネクトの既存の会話をsys_id別に返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	対話レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会話オブジェクト

```
var conversation =
 sn_connect.Conversation.get("27b9844c1385030034bb58a12244b037");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会話 - removeSubscriber(文字列 **sysID)**

会話からユーザーを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
SysID	文字列	会話から削除するユーザーの sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var conversation =
 sn_connect.Conversation.get("7caf49111309030034bb58a12244b06c");
conversation.removeSubscriber("a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a");
```

会話 - sendMessage(文字列 **body**, 文字列 **field)**

会話にメッセージを送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
本文	文字列	メッセージの本文
フィールド	文字列	メッセージを表示するフィールド。レコード会話にメッセージを追加する場合にのみ、このオプションを使用します。work_notes、コメント、またはシステムから選択してください。フィールドシステムを使用すると、メッセージがシステムメッセージとして扱われます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var conversation =
 sn_connect.Conversation.get("2064fa3919010300964f5270e9840fbb");
conversation.sendMessage({body: "Hello world", field: "work_notes"});
```

CostPlanBatchOperations - グローバル

CostPlanBatchOperations スクリプトインクルードは、バッチ処理を使用してデマンドとプロジェクトの多数のコスト計画レコードを作成できるメソッドを提供します。複数のコスト計画レコードをより効率的に作成するには 、GlideRecord の代わりにこのスクリプトインクルードを使用します。

CostPlanBatchOperations.add() メソッドを使用して、任意の数のコスト計画をバッチキューに追加します。必要なすべてのコスト計画を追加したら、

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

`CostPlanBatchOperations.process()` メソッドを使用して、インスタンスでコスト計画を作成/挿入します。`CostPlanBatchOperations.process()` メソッドを呼び出すまで、追加要求はバッチキューに残ります (まだインスタンスには追加されません)。何らかの理由でバッチキュー内のすべてのコスト計画を削除する必要がある場合は、`CostPlanBatchOperations.clear()` メソッドを使用します。

このスクリプトインクルードを使用するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインを有効にする必要があります。

CostPlanBatchOperations - add(オブジェクト costPlan)

指定されたタスク (プロジェクトまたはデマンド) に 1 つ以上のコスト計画を追加します。このメソッドは、複数のコスト計画を作成する際に使用します。

処理されると、コスト計画は指定されたプロジェクトまたはデマンドに挿入されます。その後、インスタンス内でそれらを表示および変更できます。詳細については、「プロジェクトコスト計画の作成」および「デマンドコスト計画の作成」を参照してください。

注: このメソッドは、インスタンスに追加するコスト計画を定義するだけです。コスト計画は、`costPlanBatchOperations.process()` が呼び出されるまでインスタンスに挿入されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
costPlan	オブジェクト	既存のタスクに追加する各コスト計画を記述する 1 つ以上のオブジェクトまたはオブジェクトのアレイ。
costPlan.name	文字列	コスト計画の名前。 最大長：130 文字
costPlan.task	文字列	このコスト計画に関連付けるプロジェクトまたはデマンドの sys_id。この値は、次のいずれかのテーブルにあります。 • プロジェクト [pm_project] • プロジェクトタスク [pm_project_task] • デマンド [dmn_demand]
costPlan.unit_cost	番号	指定されたリソース単体のコスト。
costPlan.resource_type	文字列	このコスト計画に関連付けるコストタイプを定義するレコードの sys_id。このパラメーターに使用可能な値は、コストタイプ定義 [resource_type_definition] テーブルで定義されています。
costPlan.start_fiscal_period	文字列	このコスト計画に関連付ける会計期間の開始を定義するレコードの sys_id。このパラメーターに使用可能な値は、会計期間 [fiscal_period] テーブルで定義されています。
costPlan.end_fiscal_period	文字列	このコスト計画に関連付ける会計期間の終了を定義するレコードの sys_id。このパラメーターに使用可能な値は、会計期間 [fiscal_period] テーブルで定義されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
costPlan.<optional>	不定	オプション。追加のパラメーターを渡してコスト計画に追加できます。使用可能なパラメーターは、作成するコスト計画のタイプによって異なります。 渡すことができる追加のパラメーターのリストについては、コスト計画 [cost_plan] テーブルを参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、シンプルなバッチコスト計画を追加する方法を示しています。

```
//Define Array of Cost Plan records in JSON format
var costPlanRecords= [];
costPlanRecords.push({
   name:'Capital Expense',
   task:'f7a36d1bdb58001025c85a35dc96193a', // sys_id of the task
   unit_cost:1000.00, //decimal
   resource_type:'a546eaf79330120064f572edb67ffb70', // sys_id of the
 cost type definition
   start_fiscal_period:'091b6e60cb111200f2de77a4634c9c2e', // sys_id of
 the start fiscal period record
   end_fiscal_period:'0d1b6e60cb111200f2de77a4634c9c2f',// sys_id of the
 end fiscal period record
   quantity:1 // Optional cost plan record attributes
});

var costPlanBatchOperations = new CostPlanBatchOperations();
costPlanBatchOperations.add(costPlanRecords);
var costPlanSysIds = costPlanBatchOperations.process();
```

CostPlanBatchOperations - clear()

CostPlanBatchOperations.add() メソッドを使用して追加されたすべてのコスト計画オブジェクトを削除します。

注: このメソッドは、追加されたコスト計画に対してのみ有効です。コスト計画が処理されると、このメソッドではコスト計画を削除できません。処理されたコスト計画を削除するには、UI から手動で行う必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、コスト計画を追加した後にバッチキューをクリアする方法を示しています。

```
//Define Array of Cost Plan records in JSON format
var costPlanRecords= [];
costPlanRecords.push({
   name:'Capital Expense',
   task:'f7a36d1bdb58001025c85a35dc96193a', // sys_id of the task
   unit_cost:1000.00, //decimal
   resource_type:'a546eaf79330120064f572edb67ffb70', // sys_id of the
 cost type definition
   start_fiscal_period:'091b6e60cb111200f2de77a4634c9c2e', // sys_id of
 the start fiscal period record
   end_fiscal_period:'0d1b6e60cb111200f2de77a4634c9c2f',// sys_id of the
 end fiscal period record
   quantity:1 // Optional cost plan record attributes
});

var costPlanBatchOperations = new CostPlanBatchOperations();
costPlanBatchOperations.add(costPlanRecords);
var costPlanSysIds = costPlanBatchOperations.process();
costPlanBatchOperations.clear();
```

CostPlanBatchOperations - process()

CostPlanBatchOperations.add() メソッドを使用して追加されたすべてのコスト計画を処理し、対応するコスト計画と関連するロールアップを作成します。

コスト計画が正常に処理されると、コスト計画キューはクリアされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	生成された各コスト計画のSys ID。

この例は、シンプルなバッチコスト計画を処理する方法を示しています。

```
//Define Array of Cost Plan records in JSON format
var costPlanRecords= [];
costPlanRecords.push({
   name:'Capital Expense',
   task:'f7a36d1bdb58001025c85a35dc96193a', // sys_id of the task
   unit_cost:1000.00, //decimal
   resource_type:'a546eaf79330120064f572edb67ffb70', // sys_id of the
 cost type definition
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   start_fiscal_period:'091b6e60cb111200f2de77a4634c9c2e', // sys_id of
 the start fiscal period record
   end_fiscal_period:'0d1b6e60cb111200f2de77a4634c9c2f',// sys_id of the
 end fiscal period record
   quantity:1 // Optional cost plan record attributes
});

var costPlanBatchOperations = new CostPlanBatchOperations();
costPlanBatchOperations.add(costPlanRecords);
var costPlanSysIds = costPlanBatchOperations.process();
```

CriteriaEvaluator - グローバル

CriteriaEvaluator スクリプトインクルードは、汎用基準エバリュエーターを実装するためのメソッドを提供します。

一般的な使用パターンは、クラスを構築し、必要な数の基準を追加してから評価することです。

CriteriaEvaluator - addCriterion(文字列 **lhComparand**, 文字列 **operator**, 文字列 **rhComparand)**

評価する基準を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
lhComparand	文字列	左手のコンパンド。*evaluate()* へ左手の値に名前付き値を入力する必要があります 。
演算子	文字列	オペレーター。equals、starts with、contains、does not contains、ends with、regex matches のいずれかでなければなりません。
rhComparand	文字列	右手のコンパンド。*evaluate()* への右の値、またはリテラル文字列いずれかとして評価することができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

CriteriaEvaluator - evaluate(オブジェクト **lhValues**, 文字列 **rhValues**, ブール **any)**

条件を評価します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
lhValues	オブジェクト	左辺の比較対象を評価するための名前と値のペアのハッシュマップ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
rhValues	文字列	右側の比較対象を評価する際にリテラル値の代わりに使用するオプションの右側の値
任意	ブーリアン	true の場合、true の結果にはどのような基準マッチングでも十分です。falseの場合、すべての条件が true の結果と一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された値が基準を満たす場合は true、そうでない場合は false

CSBScratchpadUtil :スコープ指定

CSBScratchpadUtil API を使用すると、コンシューマーは、他の サービスブリッジ サービスの外部にある "余分な" 情報をプロバイダーと共有できます。

この情報は、名前と値のペアとしてスクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルに格納されます。共有情報は、プロバイダータスクまたはリモートタスクの 2 つのタイプのいずれかのタスクに関連付ける必要があります。

関連付けられたタスクがアクティブな場合、更新されたスクラッチパッド情報がコンシューマーインスタンスに同期されます。タスクが非アクティブ化または削除された場合、スクラッチパッド内の情報も指定された日数後に削除されます。デフォルトでは 3 つです。このデフォルトは、sn_sb.scratchpad.autodelete.days プロパティで定義されています。

プロバイダーとコンシューマーの両方が、スクラッチパッドテーブルに対して情報を追加、更新、削除できます。プロデューサーは、 PSBScratchpadUtil - スコープ指定 API を使用してこの情報を更新します。

この API にアクセスするには、コンシューマー向け サービスブリッジ アプリケーションをインストールする必要があります。この API は `sn_sb_con` 名前空間で実行されます。

CSBScratchpadUtil - get (GlideRecord taskGR, 文字列名)

指定されたスクラッチパッドプロパティの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	値を取得するスクラッチパッドプロパティの名前。スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列または null	要求されたスクラッチパッドプロパティの値。プロパティが見つからない場合は Null。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_con_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

出力:

```
"value1"
```

CSBScratchpadUtil - getAll(GlideRecord taskGR)

指定されたタスクに関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティのプロパティ名と値 (名前と値のペア) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連するスクラッチパッドプロパティを返すアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたタスクに含まれるすべてのプロパティ名と値。フォームでは、次のようになります。 `{ name1: value1, name2: value2, ... }`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_con_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(JSON.stringify(util.getAll(rtGR)));
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
{ "name1": "value1" }
```

CSBScratchpadUtil - getNames(GlideRecord taskGR)

指定されたタスクレコードに関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティの名前のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティの名前のリストを返すアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	指定されたタスクレコードに関連付けられているスクラッチパッドプロパティの名前のリスト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_con_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(JSON.stringify(util.getNames(rtGR)));
}
```

出力:

```
[ "name1" ]
```

CSBScratchpadUtil:populateClientScratchpadBR (GlideRecord taskGR)

指定されたリモートタスクまたはプロバイダータスクに関連付けられたスクラッチパッドプロパティをクライアントg_scratchpadに配置します。

このメソッドは、UI 表示ビジネスルールから呼び出すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連するスクラッチパッドエントリをクライアントg_scratchpadに配置する必要があるアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil().populateClientScratchpadBR(current);
```

CSBScratchpadUtil - remove(GlideRecord taskGR, 文字列名)

指定されたスクラッチパッドプロパティをスクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルから削除します。

注: 削除は他の ServiceNow インスタンスに同期されません。スクラッチパッドのプロパティは、関連するタスクレコードが非アクティブ化または削除されてから、指定された日数が経過すると自動的に削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルから削除するスクラッチパッドプロパティの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_con_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  util.remove(rtGR, "name1");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

出力:

```
undefined
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSBScratchpadUtil - update(GlideRecord taskGR, 文字列名, 文字列値, ブール client_side_accessible)

スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルにプロパティを挿入するか、プロパティの値を更新します。

注: 1 回の呼び出しで更新できるプロパティの最大数は 50 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_con_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_con_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	新規または既存のスクラッチパッドプロパティの名前。この名前は、すべてのスクラッチパッドプロパティで一意である必要があります。
値	文字列	スクラッチパッドプロパティの値。 最大:4,000 文字。
client_side_accessible	ブール	オプション。表示ビジネスルールから *populateClientScratchpadBR* が呼び出されたときに、クライアント側 *g_scratchpad* でこのプロパティを使用できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:プロパティは使用可能です。 • false:プロパティは使用できません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_con_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_con.CSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value2");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

出力:

```
"value2"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CSVParser - スコープ指定

CSVParser API は、カンマ区切り値 (CSV) 形式のレコードをオブジェクトまたは配列に解析するためのメソッドを提供します。

この API は `sn_impex` 名前空間で実行されます。

CSVParser - parseLineToArray(文字列 **cvsLine**, 文字列 **delimiter**, 文字列 **quoteCharacter**)

渡された CSV 形式のコンテンツを解析してアレイに格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
csvLine	文字列	解析する CSV コンテンツ
区切り文字	文字列	オプション。ソース CSV コンテンツのフィールドを区切るために使用する文字です。 デフォルト：カンマ (,)
quoteCharacter	文字列	オプション。ソース CSV コンテンツで引用符として使用する文字です。 デフォルト：二重引用符 ("")

返される内容

タイプ	説明

アレイ	渡された CSV コンテンツの各要素の解析値を格納するアレイです。
	
	例：
	`{`
	`Joe,`
	`Smith,`
	`470 W Carmen, Chicago IL, 60640`
	`}`

この例は、シンプルな CSV 形式のコンテンツを解析してアレイを返す方法を示しています。

```
var csvLine = '\"Joe\",\"Smith\",\"1470 W Carmen, Chicago IL, 60640\"';
var delimiter = ',';
var quoteCharacter = '"';

var x = new sn_impex.CSVParser().parseLineToArray(csvLine, delimiter,
 quoteCharacter);

gs.log(x[0]);
gs.log(x[1]);
gs.log(x[2]);
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Joe
Smith
1470 W Carmen, Chicago IL, 60640
```

CSVParser - parseLineToObject(文字列 **cvsLine**, アレイ **headers**, 文字列 **delimiter**, 文字列 **quoteCharacter)**

渡された CSV 形式のコンテンツを解析してオブジェクトに格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
csvLine	文字列	解析する CSV コンテンツです。
ヘッダー	文字列のアレイ	CSV コンテンツに関連付けられたヘッダーです。これらのヘッダーは、*csvLine* 内の対応するコンテンツと同じ順序で指定する必要があります。例：`var headers = ['first_name', 'last_name', 'address'];`
区切り文字	文字列	オプション。ソース CSV コンテンツのフィールドを区切るために使用する文字です。 デフォルト：カンマ (,)
quoteCharacter	文字列	オプション。ソース CSV コンテンツで引用符として使用する文字です。 デフォルト：二重引用符 ("")

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	渡された CSV コンテンツの各要素のヘッダーとそれに対応する値を格納するオブジェクトです。 例： `{ first_name: Joe, last_name: Smith, address: 1470 W Carmen, Chicago IL, 60640 }`

この例は、CSV 形式のコンテンツを解析してオブジェクトを返す方法を示しています。

```
var csvLine = '\"Joe\",\"Smith\",\"1470 W Carmen, Chicago IL, 60640\"';
var headers = ['first_name', 'last_name', 'address'];
var delimiter = ',';
var quoteCharacter = '"';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var x = new sn_impex.CSVParser().parseLineToObject(csvLine, headers,
 delimiter, quoteCharacter);

gs.log(x.first_name);
gs.log(x.last_name);
gs.log(x.address);
```

出力：

```
Joe
Smith
1470 W Carmen, Chicago IL, 60640
```

この例は、header パラメーターの無効なパスが原因である例外応答を示しています。

```
var csvLine = '\"Joe\",\"Smith\",\"1470 W Carmen, Chicago IL, 60640\"';
var headers = null;
var delimiter = ',';
var quoteCharacter = '"';
try {
var x = new sn_impex.CSVParser().parseLineToObject(csvLine, headers,
 delimiter, quoteCharacter);

gs.log(x.first_name);
gs.log(x.last_name);
gs.log(x.address);
}
catch(ex) {
      gs.info(ex.message);
}
```

出力：

```
CSVParser: Header list is empty: no thrown error
*** Script: CSVParser: Header list is empty
```

CTIOperationRequest：スコープ付き、グローバル

CTIOperationRequest スクリプトインクルードは、現在の CTIOperationRequest オブジェクトのデータを設定および取得するメソッドを提供します。

CTIOperationRequest オブジェクトを使用して、ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワーク内のメッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で情報を渡します。

通常、メッセージトランスフォーマーは、受信する CTI 固有のペイロードを解析し、関連する CTIOperationRequest オブジェクトにペイロードデータを設定する役割を担います。操作ハンドラーは、CTIOperationRequest オブジェクトから情報を取得し、そのデータを使用して要求された操作を処理する役割を担います。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

操作要求を行うコンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーなどの外部ソースから ServiceNow インスタンスにペイロードが渡されます。要求を受信すると、メッセージトランスフォーマーがペイロードを解析し、CTIOperationRequest 設定メソッドを使用して、操作ハンドラー名などのペイロード値を操作および問い合わせ固有の CTIOperationRequest オブジェクトに設定します。

例えば、次のメッセージトランスフォーマースクリプトは、渡された JSON ペイロードを解析し、関連する操作ハンドラーに必要な値を CTIOperationRequest オブジェクトに設定します。

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
 var event = jsonPayload.event;
 if (event) {
   var details = event.Details;
   if (details) {

 operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
     var contactData = details.ContactData;
     if(contactData) {
  // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
 to transcription later
  operationRequest.setParameter('contact.call_id',
 contactData.ContactId);
  for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
    operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
 contactData.CustomerEndpoint[ck]);
        }
        operationRequest.setParameter('contact.id',
 contactData.ContactId);
        operationRequest.setParameter('contact.phone',
 contactData.CustomerEndpoint.Address);
     }
     var parameters = details.Parameters;
     if (parameters) {
  for (var pk in parameters) {
    switch(pk) {
      case 'interactionId':
   operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
   break;
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

メッセージトランスフォーマーが渡されたペイロードの解析を終了すると、ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークは指定された操作ハンドラーをインスタンス化します。操作ハンドラーは、*CTIOperationResponse* スクリプトインクルードの get メソッドを使用して、要求された操作を処理するために必要な情報を関連する CTIOperationRequest オブジェクトから取得します。

例えば、次の操作ハンドラースクリプトは、CTIOperationRequest オブジェクトに設定された値を、コールに関連付けられたインタラクションレコードに格納します。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, ctx) {
  // Returns the sys_id of the interaction record.
  var interactionSysId = request.getInteractionSysId();
  var number = request.getParameter('number');
  var addComment = request.getParameter('add_comment');
  addComment = addComment ? addComment.toLowerCase() : addComment;
  addComment = 'yes' === addComment || 'true' === addComment || '1' ===
 addComment;
  var workNotes = request.getParameter('work_notes');
  var message = gs.getMessage('Thankyou');
  var interactionGr = request.getInteractionRecord();
  var openedFor = interactionGr ? interactionGr.getValue('opened_for') :
 null;
  if (openedFor && number && addComment && workNotes) {
    var now_GR = new GlideRecordSecure('incident');
    now_GR.addQuery('caller_id', openedFor);
    now_GR.addQuery('number', number);
    now_GR.query();
    if (now_GR.next()) {
      now_GR.work_notes += workNotes;
      now_GR.update();
      message = now_GR.getMessage('Your comment was added');
    }
  }
  response.setStatusCode(200);
  response.setMessage(message);
})(request, response, ctx);
```

操作ハンドラーの作成の詳細については、「発信者との自動インタラクションの連絡先フローの構成」を参照してください。

このスクリプトインクルードは `sn_cti_core` 名前空間で実行されます。*CTIOperationRequest* スクリプトインクルードにアクセスするには、ServiceNow 音声アシスト機能(sn_cti_core)プラグインをアクティブにする必要があります。ServiceNow 音声アシスト機能のアクティブ化については、「ServiceNow 音声アシスト機能アプリケーションのインストール」を参照してください。

ServiceNow 音声アシスト機能の詳細については、「ServiceNow 音声アシスト機能」を参照してください。

CTIOperationRequest - CTIOperationRequest(文字列 **origin)**

CTIOperationRequest オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
origin	文字列	オプション。要求の作成元です。通常は、コンピューター電話統合プロバイダーの名前です。 デフォルト：null

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('AWS Connect');
request.setSessionAttribute('contact.phone', '+15552222345');
request.setSessionAttribute('contact.okToCall', true);
request.setSessionAttribute('contact.address', {
    street: '1234 Main St'
    city: 'API City',
    zip: 91335
});
```

CTIOperationRequest - getAuthToken()

関連する CTIOperationRequest オブジェクトに設定された認証トークンを返します。

ハンドラーの *auth_required* フラグが true に設定されている場合、このトークンは、要求された操作ハンドラーを実行する前に ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークによって、現在の ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーを認証するために使用されます。*auth_required* フラグは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルのフィールドです。認証トークンの有効期間は、コールセッションの有効期間である必要がありますが、CTI プロバイダーによって決定されます。

独自の認証操作ハンドラーを作成することで、実装に必要なあらゆる認証/認可処理を定義できます。認証トークンの生成方法に関係なく、メッセージ翻訳者は CTI ペイロードでトークンを返す必要があります。さらに、CTI プロバイダーはこの認証トークンをローカルに保存し、認証が必要な各操作要求で渡す必要があります。

インスタンスが提供する認証操作ハンドラーを使用する場合、ハンドラーはユーザーが入力した 4 桁の PIN に基づいて認証トークンの作成を開始します。次に、CTIOperationResponse オブジェクトの sessionAttributes オブジェクトに認証トークンを設定します。関連するメッセージトランスフォーマーは、sessionAttributes オブジェクトを CTI 固有のペイロードに変換し、CTI プロバイダーに送信します。

注: 認証トークンが渡されない場合、 *auth_required* フラグが設定された操作ハンドラーの実行要求はすべて失敗します。認証を使用しない場合は、認証トークンを維持する必要はありません。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーに関連付けられた認証トークンです。

```
(function( /*CTIProviderResponseExecutionContext*/
 ctx, /*CTIOperationRequest*/ operationRequest, /*CTIOperationResponse*/
 operationResponse, /*HTTPResponse*/ httpResponse) {
  var sessionAttributes = {},
      intentResponse;
  var statusCode = -1;
  var message = 'Unprocessed';
  if (operationResponse) {
    statusCode = operationResponse.getStatusCode();
    sessionAttributes = operationResponse.getSessionAttributes();
    message = operationResponse.getMessage();
    var error = operationResponse.getError();
    if (error) {
      sessionAttributes.error = error;
    }
  }
  if
 (sn_cti_core.CTIRequestDispatcher.Constants.HTTP.Status.AUTH_REQUIRED.c
ode === statusCode) {
    //first call for a secure action without authentication token
    sessionAttributes.statusCode = 401;
    sessionAttributes.message = message;
    intentResponse = {
      sessionAttributes: sessionAttributes,
      dialogAction: {
        type: 'Close',
        fulfillmentState: 'Fulfilled',
        message: {
          contentType: 'PlainText',
          content: 'This operation requires authentication. Say
 authenticate for authentication.'
        }
      }
    };
  } else if ('DialogCodeHook' ===
 operationRequest.getParameter('$$invocationSource')) {
      //pass back authToken and interactionId
      sessionAttributes.authToken = operationRequest.getAuthToken();
      sessionAttributes.interactionId =
 operationRequest.getInteractionSysId();
      var originalSlots = operationRequest.getParameter('$$slots');
      var responseParameters = operationResponse ?
 operationResponse.getParameters() : {};
      responseParameters = responseParameters ? responseParameters : {};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      // See if processing happened and we got a dialogAction
      var responseDialogAction = responseParameters['dialogAction'];
      // Default dialog action
      var dialogAction = {
        type: 'Delegate',
        slots: originalSlots
      };
      // If the response doesn't contain an override replay the inputs
      if (responseDialogAction) {
        // We bypassed dialoghook so delegate and pass through inputs
        dialogAction = responseDialogAction;
      }
      intentResponse = {
        sessionAttributes: sessionAttributes,
        dialogAction: dialogAction
      };
  } else {
    // Override required session attributes
    sessionAttributes.statusCode = statusCode;
    sessionAttributes.message = message;
    // Build response template
    intentResponse = {
      sessionAttributes: sessionAttributes,
      dialogAction: {
        type: 'Close',
        fulfillmentState: 'Fulfilled',
        message: {
          contentType: 'PlainText',
          content: message
        }
      }
    };
  }
  httpResponse.setBody(intentResponse);
})(ctx, operationRequest, operationResponse, httpResponse);
```

CTIOperationRequest - getInteractionRecord()

操作要求に関連付けられたインタラクション GlideRecord を返します。

インタラクションは、チャット、電話、対面を通じて行われる支援に関する顧客の要求を表します。インタラクションは、アサインのためにキューにルーティングするか、エージェントに直接アサインできます。インタラクションレコードは、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。これには、特定のセッションでのサービスアカウントの顧客とのインタラクションを記述するあらゆるタイプのデータを含めることができます。

インタラクションレコードは、CTIOperationRequest - setInteractionSysId(文字列 Id) メソッドを介して CTIOperationRequest オブジェクトに関連付けられます。このメソッドは一般に、メッセージトランスフォーマーによって呼び出されます。呼び出される順番は *getInteractionRecord()* メソッドの前でなければなりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	現在の CTIOperationRequest オブジェクトに関連付けられたインタラクション GlideRecord オブジェクトです。インタラクションレコード sys_id が CTIOperationRequest オブジェクトに設定されていない場合は、null を返します。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, /*Context*/ ctx) {
  var notes = '', lang = request.getLanguage();
  try {
    // Returns the interaction record (GlideRecord) set on the passed in
 CTIOperationRequest object
    var interactionGr = request.getInteractionRecord();

    var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
    if(interactionGr && now_GR.get(interactionGr.opened_for.toString()))
 {
    if(now_GR.locked_out == true) {
        notes += gs.getMessageLang("User record found locked. Unlocking
 the account.\n", lang);
        now_GR.locked_out=false;
        now_GR.update();
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account has been
 unlocked.", lang));
      } else {
        notes += gs.getMessageLang("User record not locked.\n", lang);
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account doesn't seem
 to be locked.", lang));
      }
    } else {
      notes += gs.getMessageLang("User record not found. Transfer to
 agent\n", lang);
      response.setStatusCode(302);
      response.setMessage(gs.getMessageLang("I am unable to find your
 record. Let me transfer to someone who can help.", lang));
    }
    if(interactionGr) {
      interactionGr.work_notes = notes;
      interactionGr.update();
    }
  } catch(e) {
    ctx.setError(e);
  }
})(request, response, ctx);
```

CTIOperationRequest - getInteractionSysId()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに関連付けられたインタラクションレコードの sys_id を返します。

このメソッドを呼び出す前に、CTIOperationRequest - setInteractionSysId(文字列 Id) メソッドを呼び出す必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されているインタラクションレコードの sys_id です。 関連する CTIOperationRequest オブジェクトに sys_id が設定されていない場合、このメソッドは null を返します。

```
(function( /*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, ctx) {
  // Returns the sys_id of the interaction record associated with the
 CTIOperationRequest object.
  var interactionSysId = request.getInteractionSysId();
  var number = request.getParameter('number');
  var addComment = request.getParameter('add_comment');
  addComment = addComment ? addComment.toLowerCase() : addComment;
  addComment = 'yes' === addComment || 'true' === addComment || '1' ===
 addComment;
  var workNotes = request.getParameter('work_notes');
  var message = gs.getMessage('Thankyou');
  var interactionGr = request.getInteractionRecord();
  var openedFor = interactionGr ? interactionGr.getValue('opened_for') :
 null;
  if (openedFor && number && addComment && workNotes) {
    var now_GR = new GlideRecordSecure('incident');
    now_GR.addQuery('caller_id', openedFor);
    now_GR.addQuery('number', number);
    now_GR.query();
    if (now_GR.next()) {
    now_GR.work_notes += workNotes;
    now_GR.update();
      message = gs.getMessage('Your comment was added');
    }
  }
  response.setStatusCode(200);
  response.setMessage(message);
})(request, response, ctx);
```

CTIOperationRequest - getLanguage()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されている ISO 639.1 言語コードを返します。

顧客の優先言語を使用すると、プラットフォームが提供する国際化およびローカライズ機能を使用して、関連する発信者とのメッセージやその他の通信をカスタマイズできます。

通常、操作ハンドラーは getLanguage() メソッドを呼び出し、メッセージトランスフォーマーは CTIOperationRequest - setLanguage(文字列 languageCode) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトに言語を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されている ISO 639.1 言語コードです。言語コードが設定されていない場合は、`en`を返します。

次の例は、*`getLanguage()`* を呼び出して発信者の優先言語を取得する操作ハンドラーを示しています。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response) {
  // Obtain the contact's preferred language
  var notes = "", announcement, lang = request.getLanguage();
  try {

    var interactionGr = request.getInteractionRecord();

    announcement = gs.getMessageLang("We are currently experiencing
 issues with VPN. If you are calling about VPN issues, you may hang up
 the call.", lang);
    // Use the contact's language to customize the response messages and
 notes
    if(announcement) {
      notes = gs.getMessageLang("Listened to announcement: {0}", lang,
 [announcement]);
      response.setStatusCode(200);
    } else {
      announcement = gs.getMessageLang("There are currently no known
 outage announcements", lang);
      //use the status case as the flag to check for announcements in
 contact flow
      response.setStatusCode(404);
    }
    response.setMessage(announcement);

    if(interactionGr && notes) {
      interactionGr.work_notes = notes;
      interactionGr.update();
    }

  } catch(e) {
    ctx.setError(e);
  }

})(request, response);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - getMajorVersion()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されているコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのメジャーバージョンを返します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なる処理動作が必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間で処理の動作がわずかに異なるだけの場合は、操作ハンドラーを 1 つだけにすることができます。その後、要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、処理の違いに対応し、操作ハンドラー内で要求/データを処理できます。必要な処理がバージョン間で大幅に異なる場合は、複数の操作ハンドラーを使用する方が効率的です。

通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setMajorVersion(数値 majorVersion) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにソフトウェアバージョンを設定し、操作ハンドラーは、このメソッドを使用して設定値を使用します。また、CTIOperationRequest - getMinorVersion() および CTIOperationRequest - setMinorVersion(数値 minorVersion) メソッドを使用して、プロバイダーのソフトウェアのマイナーバージョン値も取得/設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	CTI ソフトウェアのメジャーバージョン番号です。 メジャーバージョンが設定されていない場合は、1 を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var majorVersion = request.getMajorVersion();
```

CTIOperationRequest - getMinorVersion()

CTIOperationRequest オブジェクトに関連付けられているコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのマイナーバージョンを返します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なる処理動作が必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間で処理の動作がわずかに異なるだけの場合は、操作ハンドラーを 1 つだけにすることができます。その後、要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、処理の違いに対応し、操作ハンドラー内で要求/データを処理できます。必要な処理がバージョン間で大幅に異なる場合は、複数の操作ハンドラーを使用する方が効率的です。

通常、メッセージトランスフォーマーは CTIOperationRequest - setMinorVersion(Number minorVersion) CTIOperationRequest - setMinorVersion(数値 minorVersion) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにソフトウェアバージョンを設定し、操作ハンドラーはこのメソッドを使用して設定値を消費します。また、CTIOperationRequest - getMajorVersion() CTIOperationRequest - getMajorVersion() メソッドおよび CTIOperationRequest - setMajorVersion(Number majorVersion) CTIOperationRequest - setMajorVersion(数値 majorVersion) メソッドを使用して、プロバイダーのソフトウェアのメジャーバージョン値を取得/設定することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	CTI ソフトウェアのマイナーバージョン番号です。 マイナーバージョンが設定されていない場合は、0 を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var minorVersion = request.getMinorVersion();
```

CTIOperationRequest - getOperationName()

コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーが実行を要求している操作の名前を返します。

操作名によって、要求の処理に使用される操作ハンドラーが決まります。通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setOperationName(文字列 name) メソッドを使用して CTIOperationRequest オブジェクトに操作名を設定します。

注: `getOperationName()` メソッドは、関連する操作ハンドラーをインスタンス化しません。これは ServiceNow 音声アシスト機能フレームワークによって行われます。このメソッドは、関連する操作ハンドラー名を返すだけです。

注: Amazon Connect Lex ボットの実装では、異なる Amazon インテントに同じ名前を使用することはできないため、インテント名に 5 文字のサフィックスが追加されます。ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークでは、インテント名は操作ハンドラー名と同じです。操作ハンドラーは、このサフィックス (myOperation_SUFFX) を含む操作ハンドラー名を持たせてインテントに固有にすることもできれば、汎用にして複数の CTI プロバイダーや異なるユースケース (HR 要求とヘルプデスク要求の処理に同じハンドラー (myOperation) を使用するなど) で使用することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	CTI プロバイダーが実行を要求している操作の名前です。操作名が設定されていない場合は null を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var name = request.getOperationName();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - getOperationSubStepName()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されているサブステップ操作ハンドラー名を返します。

サブステップを使用して、操作を処理する前に初期化や検証などのアクションを実行します。すべての CTI プロバイダーが使用する汎用的な操作ハンドラーとは異なり、サブステップは CTI プロバイダー固有であり、CTI プロバイダーに固有の用語と命名規則を使用します。

ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークは、次の手順を実行して、必要な操作ハンドラーと関連するサブステップ操作ハンドラーを見つけます。

> **注:** Amazon Connect Lex ボットの実装では、異なる Amazon インテントに同じ名前を使用することはできないため、インテント名に 5 文字のサフィックスが追加されます。ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークでは、インテント名は操作ハンドラー名と同じです。操作ハンドラーは、このサフィックス (myOperation_SUFFX) を含む操作ハンドラー名を持たせてインテントに固有にすることもできれば、汎用にして複数の CTI プロバイダーや異なるユースケース (HR 要求とヘルプデスク要求の処理に同じハンドラー (myOperation) を使用するなど) で使用することもできます。

1. 要求に関連付けられた操作ハンドラーを探します。
   - 最初に、`myOperation_SUFFX` という名前の操作ハンドラーをチェックします。
   - 見つからない場合は、操作ハンドラー `myOperation` をチェックします。見つからない場合はエラーになります。
2. ハンドラーが見つかった場合、操作ハンドラーの *`auth_required`* フラグがチェックされます。設定すると、有効な認証トークン (*`getAuthToken()`* メソッドで取得されます) が要求に存在することが確認されます。存在していて有効な場合は処理を続行し、それ以外の場合はエラーをスローします。
3. サブステップで渡された操作ハンドラーを探します。この例では、`subStepName=SubStep` と仮定します。
   - 最初に、`myOperation_SUFFX.SubStep` という名前の操作ハンドラーをチェックします。見つかった場合は、ハンドラーを実行します。
   - 見つからない場合は、操作ハンドラー `myOperation.SubStep` をチェックします。見つかった場合は、ハンドラーを実行します。
   - 見つからない場合は、要求オブジェクトに `subStepNotFoundBehavior` が設定されているかどうかを確認します。
   - 設定されている場合、動作を実行します。設定されていない場合はエラーになります。
4. プライマリ操作ハンドラー (`myOpersation_SUFFX` または `myOperation`) を実行します。

通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setOperationSubStepName(文字列 name) メソッドを使用して CTIOperationRequest オブジェクトにサブステップ名を設定します。CTIOperationRequest - setSubStepNotFoundBehaviour(オブジェクト behaviour) メソッドを呼び出して独自のトランスフォーマーを作成する場合は、この動作を上書きできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	CTIOperationRequest オブジェクトに設定されているサブステップ操作ハンドラーの名前です。存在しない場合は null を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var name = request.getOperationSubStepName();
```

CTIOperationRequest - getParameter(文字列 key)

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに既に設定されている、指定されたキーの値を返します。

get/setParameter メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作要求に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setParameter(文字列キー, オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらのパラメーターを設定し、操作ハンドラーは、このメソッドを使用してそれらを利用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	返されるキーの値の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列または数値	指定されたキーの値です。該当するキーが存在しない場合は、null を返します。

```
(function( /*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, ctx) {
  var interactionSysId = request.getInteractionSysId();
  // Returns the number and add_comment parameters from the
 CTIOperationRequest object
  var number = request.getParameter('number');
  var addComment = request.getParameter('add_comment');
  addComment = addComment ? addComment.toLowerCase() : addComment;
  addComment = 'yes' === addComment || 'true' === addComment || '1' ===
 addComment;
  var workNotes = request.getParameter('work_notes');
  var message = gs.getMessage('Thankyou');
  var interactionGr = request.getInteractionRecord();
  var openedFor = interactionGr ? interactionGr.getValue('opened_for') :
 null;
  if (openedFor && number && addComment && workNotes) {
    var now_GR = new GlideRecordSecure('incident');
    now_GR.addQuery('caller_id', openedFor);
    now_GR.addQuery('number', number);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    now_GR.query();
    if (now_GR.next()) {
    now_GR.work_notes += workNotes;
    now_GR.update();
      message = gs.getMessage('Your comment was added');
    }
  }
  response.setStatusCode(200);
  response.setMessage(message);
})(request, response, ctx);
```

CTIOperationRequest - getParameters()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに既に設定されているすべてのパラメーターのキー/値ペアを返します。

get/setParameter メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作要求に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setParameter(文字列キー, オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらのパラメーターを設定し、操作ハンドラーは、このメソッドを使用してそれらを利用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	CTIOperationRequest オブジェクトに既に設定されているキー/値ペアのマップです。このキー/値ペアは自由形式であり、操作ハンドラーのニーズにより定義されます。戻り値は文字列または数値です。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var parms = request.getParameters();
for(var key in parms) {
    gs.info(key + '=' + parms[key]);
}
```

CTIOperationRequest - getSessionAttribute(文字列 key)

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されている、指定されたセッション属性キーの値を返します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペア (連絡先電話番号など) を 0 個以上含めることができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setSessionAttribute(文字列キー, オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらの属性を設定します。セッション属性は、セッションの存続期間 (コール全体

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

など) の間存続し、そのコールセッション内の各操作要求とともに CTI プロバイダーによって返される必要があるという点で、パラメーターとは異なります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	返されるキーの値の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列または数値	指定されたキーの値です。該当するキーが存在しない場合は、null を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var phoneAttribute = request.getSessionAttribute('contact.phone');
```

CTIOperationRequest - getSessionAttributes()

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに設定されたすべてのセッション属性のキー/値ペアのマップを返します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペア (連絡先電話番号など) を 0 個以上含めることができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest - setSessionAttribute(文字列キー, オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらの属性を設定します。セッション属性は、セッションの存続期間 (コール全体など) の間存続し、そのコールセッション内の各操作要求とともに CTI プロバイダーによって返される必要があるという点で、パラメーターとは異なります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	関連する CTIOperationResponse オブジェクトに設定されたセッション属性のキー/値ペアのマップです。このマップは自由形式であり、操作ハンドラーのニーズにより定義されます。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var parms = request.getSessionAttributes();
for(var key in parms) {
    gs.info(key + '=' + parms[key]);
}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - getSubStepNotFoundBehaviour

サブステップの操作ハンドラーが見つからない場合は、サブステップの処理動作を返します。

サブステップを使用して、操作を処理する前に初期化や検証などのアクションを実行します。すべての CTI プロバイダーが使用する汎用的な操作ハンドラーとは異なり、サブステップは CTI プロバイダー固有であり、CTI プロバイダーに固有の用語と命名規則を使用します。

要求されたサブステップ操作ハンドラーが ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークで見つからない場合は、「step not found behavior」の使用が試みられます。この動作は通常、操作が最初に要求されたときにメッセージトランスフォーマーによって設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
OperationNotFoundBehaviours	操作/サブステップの組み合わせ (*<operation_name>*.SubStep>) の操作ハンドラーが見つからない場合に実行する動作/処理です。定義されていない場合は null を返します。 可能な値： • OperationNotFoundBehaviours.ThrowError：エラーをスローします。 • OperationNotFoundBehaviours.PassThrough：要求に対してそれ以上の処理を実行せず、返すだけです。 • OperationNotFoundBehaviours.RouteToOperation：親操作ハンドラー *<operation_name>* を使用します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
var behavior = request.getSubStepNotFoundBehaviour();
```

CTIOperationRequest - setAuthToken(文字列 id)

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに認証トークンを設定します。

ハンドラーの *auth_required* フラグが true に設定されている場合、このトークンは、要求された操作ハンドラーを実行する前に ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークによって、現在の ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーを認証するために使用されます。*auth_required* フラグは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルのフィールドです。認証トークンの有効期間は、コールセッションの有効期間である必要がありますが、CTI プロバイダーによって決定されます。

独自の認証操作ハンドラーを作成することで、実装に必要なあらゆる認証/認可処理を定義できます。認証トークンの生成方法に関係なく、メッセージ翻訳者は CTI ペイロードでトークンを返す必要があります。さらに、CTI プロバイダーはこの認証トークンをローカルに保存し、認証が必要な各操作要求で渡す必要があります。

インスタンスが提供する認証操作ハンドラーを使用する場合、ハンドラーはユーザーが入力した 4 桁の PIN に基づいて認証トークンの作成を開始します。次に、CTIOperationResponse オブジェクトの sessionAttributes オブジェクトに認証トークンを設定します。関連するメッセージトランス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーマーは、sessionAttributes オブジェクトを CTI 固有のペイロードに変換し、CTI プロバイダーに送信します。

注: 認証トークンが渡されない場合、 *auth_required* フラグが設定された操作ハンドラーの実行要求はすべて失敗します。認証を使用しない場合は、認証トークンを維持する必要はありません。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	関連する ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーの認証トークンです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

渡された認証トークンを保存するメッセージトランスフォーマースクリプトの例です。

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
 var event = jsonPayload.event;
 if (event) {
   var details = event.Details;
   if (details) {

 operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
     var contactData = details.ContactData;
     if(contactData) {
  // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
 to transcription later
  operationRequest.setParameter('contact.call_id',
 contactData.ContactId);
  for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
    operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
 contactData.CustomerEndpoint[ck]);
        }
        operationRequest.setParameter('contact.id',
 contactData.ContactId);
        operationRequest.setParameter('contact.phone',
 contactData.CustomerEndpoint.Address);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    }
    var parameters = details.Parameters;
    if (parameters) {
  for (var pk in parameters) {
    switch(pk) {
      case 'interactionId':
   operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
   break;
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;
      case 'statusCode':
      case 'message':
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationRequest - setInteractionSysId(文字列 **Id)**

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに、操作要求に関連付けられたインタラクションレコードの sys_id を設定します。

問い合わせ固有のインタラクションレコード内で問い合わせインタラクション情報を維持する場合は、ServiceNow 音声アシスト機能 コールセッション全体にわたってインタラクションレコード sys_id を維持する必要があります。

通常、新しい問い合わせコールが開始されると、操作ハンドラーがインタラクションレコードを作成します。次に、CTIOperationRequest - setSessionAttribute(文字列 key, オブジェクト value) メソッドを使用して、関連する CTIOperationResponse オブジェクトに、インタラクションレコード sys_id とテーブル名をセッション属性として設定します。関連するメソッドトランスフォーマーは、この情報をコンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーのペイロードに変換し、CTI プロバイダーに送り返します。

CTI プロバイダーは、問い合わせセッションのインタラクションレコード sys_id をローカルに保存する必要があります。CTI プロバイダーは、この問い合わせセッションの ServiceNow 音声アシスト機能 とのインタラクションのたびに、そのペイロードで対応するインタラクションレコード sys_id を返す必要があります。受信メッセージトランスフォーマーは、ペイロードを解析し、CTIOperationRequest - setInteractionSysId() メソッドを使用して、関連する CTIOperationtRequest オブジェクトにインタラクションレコード sys_id を設定します。

CTIOperationRequest - getInteractionRecord() メソッドは、この sys_id を使用して問い合わせセッションの正しいインタラクションレコードを取得します。インタラクションレコードはインタラクション [interaction] テーブルにあります。インタラクションレコードの詳細については、「」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	要求に関連付けるインタラクションレコードの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

受信ペイロード (パラメーターとして渡される) からインタラクションレコード sys_id を抽出し、関連する CTIOperationRequest オブジェクトに設定するメッセージトランスフォーマースクリプトの例です。

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
 var event = jsonPayload.event;
 if (event) {
   var details = event.Details;
   if (details) {

 operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
     var contactData = details.ContactData;
     if(contactData) {
  // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
 to transcription later
  operationRequest.setParameter('contact.call_id',
 contactData.ContactId);
  for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
    operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
 contactData.CustomerEndpoint[ck]);
        }
        operationRequest.setParameter('contact.id',
 contactData.ContactId);
        operationRequest.setParameter('contact.phone',
 contactData.CustomerEndpoint.Address);
     }
     var parameters = details.Parameters;
     if (parameters) {
  for (var pk in parameters) {
    switch(pk) {
                 // Associate the existing customer interaction record
 with the request
      case 'interactionId':
   operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
   break;
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;
      case 'statusCode':
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      case 'message':
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationRequest - setLanguage(文字列 languageCode)

CTIOperationRequest オブジェクトに関連操作を処理するときに使用する ISO 639.1 言語コードを設定します。

顧客の優先言語を使用すると、プラットフォームが提供する国際化およびローカライズ機能を使用して、関連する発信者とのメッセージやその他の通信をカスタマイズできます。通常、メッセージトランスフォーマーは CTIOperationRequest オブジェクトに言語を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
languageCode	文字列	関連操作を処理するときに使用する ISO 639.1 言語コードです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
 var event = jsonPayload.event;
 if (event) {
   var details = event.Details;
   if (details) {

 operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
     var contactData = details.ContactData;
     if(contactData) {
  // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
 to transcription later
  operationRequest.setParameter('contact.call_id',
 contactData.ContactId);
  for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
    operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
 contactData.CustomerEndpoint[ck]);
        }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        operationRequest.setParameter('contact.id',
 contactData.ContactId);
        operationRequest.setParameter('contact.phone',
 contactData.CustomerEndpoint.Address);
     }
     var parameters = details.Parameters;
     if (parameters) {
  for (var pk in parameters) {
    switch(pk) {
      case 'interactionId':
   operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
   break;
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;
      case 'statusCode':
      case 'message':
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationRequest - setMajorVersion(数値 majorVersion)

関連する CTIOperationRequest オブジェクトに、要求を行うコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのメジャーバージョンを設定します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なる処理動作が必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間で処理の動作がわずかに異なるだけの場合は、操作ハンドラーを 1 つだけにすることができます。その後、要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、処理の違いに対応し、操作ハンドラー内で要求/データを処理できます。必要な処理がバージョン間で大幅に異なる場合は、複数の操作ハンドラーを使用する方が効率的です。

通常、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにソフトウェアバージョンを設定し、操作ハンドラーは、CTIOperationRequest - getMajorVersion() メソッドを使用して設定値を使用します。また、CTIOperationRequest - getMinorVersion() および CTIOperationRequest - setMinorVersion(数値 minorVersion) メソッドを使用して、プロバイダーのソフトウェアのマイナーバージョン値も取得/設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
majorVersion	番号	操作要求を行う CTI プロバイダーソフトウェアのメジャーバージョンです。 この値がまだ設定されていない場合は、1 を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
request.setMajorVersion(2);
```

CTIOperationRequest - setMinorVersion(数値 minorVersion)

要求を行うコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのマイナーバージョンを、関連する CTIOperationRequest オブジェクトに設定します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なる処理動作が必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間で処理の動作がわずかに異なるだけの場合は、操作ハンドラーを 1 つだけにすることができます。その後、要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、処理の違いに対応し、操作ハンドラー内で要求/データを処理できます。必要な処理がバージョン間で大幅に異なる場合は、複数の操作ハンドラーを使用する方が効率的です。

通常、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにソフトウェアバージョンを設定し、操作ハンドラーは、CTIOperationRequest - getMinorVersion() メソッドを使用して設定値を使用します。また、CTIOperationRequest - getMajorVersion() および CTIOperationRequest - setMajorVersion(数値 majorVersion) メソッドを使用して、プロバイダーのソフトウェアのメジャーバージョン値も取得/設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minorVersion	番号	操作要求を行う CTI プロバイダーソフトウェアのマイナーバージョンです。 この値がまだ設定されていない場合は、0を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
...
request.setMinorVersion(3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - setOperationName(文字列 name)

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに、コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーが実行を試みている操作の名前を設定します。

操作名によって、要求の処理に使用される操作ハンドラーが決まります。関連するメッセージトランスフォーマーからこのメソッドを呼び出します。

注: Amazon Connect Lex ボットの実装では、異なる Amazon インテントに同じ名前を使用することはできないため、インテント名に 5 文字のサフィックスが追加されます。ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークでは、インテント名は操作ハンドラー名と同じです。操作ハンドラーは、このサフィックス (myOperation_SUFFX) を含む操作ハンドラー名を持たせてインテントに固有にすることもできれば、汎用にして複数の CTI プロバイダーや異なるユースケース (HR 要求とヘルプデスク要求の処理に同じハンドラー (myOperation) を使用するなど) で使用することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	CTI プロバイダーが現在実行を試みている操作の名前です。 この名前は、要求を処理するために使用する操作ハンドラーの名前と同じでなければなりません。同じでない場合は、エラーがスローされます。操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルで、利用可能な操作ハンドラーを見つけることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
 var event = jsonPayload.event;
 if (event) {
   var details = event.Details;
   if (details) {
          // Set the operation handler to use to process the request

 operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
     var contactData = details.ContactData;
     if(contactData) {
  // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
 to transcription later
  operationRequest.setParameter('contact.call_id',
 contactData.ContactId);
  for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
    operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
 contactData.CustomerEndpoint[ck]);
        }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        operationRequest.setParameter('contact.id',
 contactData.ContactId);
        operationRequest.setParameter('contact.phone',
 contactData.CustomerEndpoint.Address);
     }
     var parameters = details.Parameters;
     if (parameters) {
  for (var pk in parameters) {
    switch(pk) {
      case 'interactionId':
   operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
   break;
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;
      case 'statusCode':
      case 'message':
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationRequest - setOperationSubStepName(文字列 **name)**

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに操作サブステップ名を設定します。

サブステップを使用して、操作を処理する前に初期化や検証などのアクションを実行します。すべての CTI プロバイダーが使用する汎用的な操作ハンドラーとは異なり、サブステップは CTI プロバイダー固有であり、CTI プロバイダーに固有の用語と命名規則を使用します。

ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークは、次の手順を実行して、必要な操作ハンドラーと関連するサブステップ操作ハンドラーを見つけます。

> **注:** Amazon Connect Lex ボットの実装では、異なる Amazon インテントに同じ名前を使用することはできないため、インテント名に 5 文字のサフィックスが追加されます。ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークでは、インテント名は操作ハンドラー名と同じです。操作ハンドラーは、このサフィックス (myOperation_SUFFX) を含む操作ハンドラー名を持たせてインテントに固有にすることもできれば、汎用にして複数の CTI プロバイダーや異なるユースケース (HR 要求とヘルプデスク要求の処理に同じハンドラー (myOperation) を使用するなど) で使用することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 要求に関連付けられた操作ハンドラーを探します。
   - 最初に、`myOperation_SUFFX` という名前の操作ハンドラーをチェックします。
   - 見つからない場合は、操作ハンドラー `myOperation` をチェックします。見つからない場合はエラーになります。
2. ハンドラーが見つかった場合、操作ハンドラーの *auth_required* フラグがチェックされます。設定すると、有効な認証トークン (*getAuthToken()* メソッドで取得されます) が要求に存在することが確認されます。存在していて有効な場合は処理を続行し、それ以外の場合はエラーをスローします。
3. サブステップで渡された操作ハンドラーを探します。この例では、`subStepName=SubStep` と仮定します。
   - 最初に、`myOperation_SUFFX.SubStep` という名前の操作ハンドラーをチェックします。見つかった場合は、ハンドラーを実行します。
   - 見つからない場合は、操作ハンドラー `myOperation.SubStep` をチェックします。見つかった場合は、ハンドラーを実行します。
   - 見つからない場合は、要求オブジェクトに `subStepNotFoundBehavior` が設定されているかどうかを確認します。
   - 設定されている場合、動作を実行します。設定されていない場合はエラーになります。
4. プライマリ操作ハンドラー (`myOpersation_SUFFX` または `myOperation`) を実行します。

サブステップのデフォルトの動作を設定するには、CTIOperationRequest - setSubStepNotFoundBehaviour(オブジェクト behaviour) メソッドを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	CTI プロバイダーが実行を試みているサブステップの名前です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function( /*HTTPRequest*/ httpRequest, /*CTIOperationRequest*/
 operationRequest, /*Context*/ ctx) {
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
      var event = jsonPayload.event;
      if (event) {
        var intent = event.currentIntent;
  var inputTranscript = event.inputTranscript;
  if(inputTranscript) {
    operationRequest.setParameter('$utterance', inputTranscript);
  }
        if (intent) {
          operationRequest.setOperationName(intent.name);
    // Add this because intent name gets changed through the pipeline
    operationRequest.setParameter('$original_intent', intent.name);
          var sessionAttributes = event.sessionAttributes;
          if (sessionAttributes) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            for (var sk in sessionAttributes) {
              switch (sk) {
                case 'interactionId':

operationRequest.setInteractionSysId(sessionAttributes[sk]);
                  break;
                case 'authToken':
                  operationRequest.setAuthToken(sessionAttributes[sk]);
                  break;
   case 'language':
     operationRequest.setLanguage(sessionAttributes[sk]);
     break;
                case 'statusCode':
                case 'message':
                  break;
                default:
                  operationRequest.setSessionAttribute(sk,
sessionAttributes[sk]);
              }
            }
          }
          var slots = intent.slots;
   // Always copy in slots they are the parameters for the operation
          if (slots) {
            for (var pk in slots) {
              operationRequest.setParameter(pk, slots[pk]);
            }
          }
          var invocationSource = event.invocationSource;
   operationRequest.setParameter('$$invocationSource',
invocationSource);
          // Specific handling for dialog hooks with a way to override
for Amazon specific provider
          if (invocationSource === 'DialogCodeHook') {
     // Set substep to trigger forwarding to another handler IF it s
present
     operationRequest.setOperationSubStepName(invocationSource);
     // Allow pass through behavior
     var behaviourToUse =
sn_cti_core.CTIOperationRequest.OperationNotFoundBehaviours.PassThrough;
     operationRequest.setSubStepNotFoundBehaviour(behaviourToUse);
     // Reserved - copy slots in so we can just use delegate as default
if the call isn't handled
     operationRequest.setParameter('$$slots', slots);
          }
        }
     }
   }
  } catch (e) {
     ctx.setError(e);
  }
  return operationRequest;
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - setParameter(文字列 key, オブジェクト value)

指定されたキー/値ペアを現在の CTIOperationRequest オブジェクトのパラメーターオブジェクトに設定します。

get/setParameter メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作要求に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらのパラメーターを設定し、操作ハンドラーは、CTIOperationRequest - getParameter(文字列 key) または CTIOperationRequest - getParameters() メソッドを使用して設定値を使用します。

注: `JSON.parse(JSON.stringify(object))` 操作後も存続できるオブジェクトのみを格納する必要があります。この基準を満たさないオブジェクトは、操作処理チェーン全体を通じて正しく伝播されない可能性があります。

例：

```
var x = {
  "string": 'abc',
  "int": 123,
  "float": 1.234,
  "number": new Number(3),
  "boolean": true,
  "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5),
  "object": {
    "string": 'abc',
    "int": 123,
    "float": 1.234,
    "number": new Number(3),
    "boolean": true,
    "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5)
  },
  "function": function(abc) {

  }
}
var stringify = JSON.stringify(x);
gs.info(stringify);
var hydrate = JSON.parse(stringify);
var stringify2 = JSON.stringify(hydrate);
gs.info(stringify2);
```

結果：

```
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	関連付けられた値を格納するキーの名前です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	格納する値です。 有効なデータタイプ： • 文字列 • int • 浮動小数点数 • 番号 • ブーリアン • 日付 • オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
{
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
var event = jsonPayload.event;
if (event) {
  var details = event.Details;
  if (details) {

operationRequest.setOperationName(details.Parameters['sn_operation']);
    var contactData = details.ContactData;
    if(contactData) {
 // Call id should be surfaced in openframe call log so it can be tied
to transcription later
 operationRequest.setParameter('contact.call_id',
contactData.ContactId);
 for(var ck in contactData.CustomerEndpoint) {
   operationRequest.setParameter('contact.' + ck,
contactData.CustomerEndpoint[ck]);
       }
       operationRequest.setParameter('contact.id',
contactData.ContactId);
       operationRequest.setParameter('contact.phone',
contactData.CustomerEndpoint.Address);
    }
    var parameters = details.Parameters;
    if (parameters) {
 for (var pk in parameters) {
   switch(pk) {
     case 'interactionId':
  operationRequest.setInteractionSysId(parameters[pk]);
  break;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      case 'authToken':
   operationRequest.setAuthToken(parameters[pk]);
   break;
      case 'language':
   operationRequest.setLanguage(parameters[pk]);
   break;
      case 'statusCode':
      case 'message':
   break;

      default:
   operationRequest.setParameter(pk, parameters[pk]);
   }
            }
          }
        }
      }
    }
  } catch(e) {
  ctx.setError(e);
  }
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationRequest - setSessionAttribute(文字列 **key**, オブジェクト **value)**

現在の CTIOperationRequest オブジェクトに、指定されたセッション属性のキー/値ペアを設定します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、メッセージトランスフォーマーと操作ハンドラーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationRequest オブジェクトにこれらの属性を設定し、操作ハンドラーは、CTIOperationRequest - getSessionAttribute(文字列 key) または CTIOperationRequest - getSessionAttribute() メソッドを使用して属性を取得します。

注: `JSON.parse(JSON.stringify(object))` 操作後も存続できるオブジェクトのみを格納する必要があります。この基準を満たさないオブジェクトは、操作処理チェーン全体を通じて正しく伝播されない可能性があります。

例：

```
var x = {
  "string": 'abc',
  "int": 123,
  "float": 1.234,
  "number": new Number(3),
  "boolean": true,
  "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5),
  "object": {
    "string": 'abc',
    "int": 123,
    "float": 1.234,
    "number": new Number(3),
    "boolean": true,
    "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  "function": function(abc) {

  }
}
var stringify = JSON.stringify(x);
gs.info(stringify);
var hydrate = JSON.parse(stringify);
var stringify2 = JSON.stringify(hydrate);
gs.info(stringify2);
```

結果：

```
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	関連付けられた値を格納するキーの名前です。
value	オブジェクト	格納する値です。 有効なデータタイプ： • 文字列 • int • 浮動小数点数 • 番号 • ブーリアン • 日付 • オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationRequest('origin');
request.setSessionAttribute('contact.phone', '+15552222345');
request.setSessionAttribute('contact.okToCall', true);
request.setSessionAttribute('contact.address', {
    street: '1234 Main St'
    city: 'API City',
    zip: 91335
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationRequest - setSubStepNotFoundBehaviour(オブジェクト **behaviour)**

現在のサブステップの操作ハンドラーが見つからない場合に実行する動作を設定します。

このメソッドは、入力メッセージトランスフォーマーによって呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
behaviour	OperationNotFoundBehaviours	処理動作がサブステップに指定されていない場合に使用する動作です。これは、CTIOperationRequest.OperationNotFoundBehaviours オブジェクトで定義された動作でなければなりません。 可能な値： • ThrowError：エラーをスローします。 • PassThrough：要求に対してそれ以上の処理を実行せず、返すだけです。 • RouteToOperation：親操作ハンドラー *<operation_name>* を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function( /*HTTPRequest*/ httpRequest, /*CTIOperationRequest*/
 operationRequest, /*Context*/ ctx) {
  try {
    var jsonPayload = httpRequest.body.data;
    if (jsonPayload) {
      var event = jsonPayload.event;
      if (event) {
        var intent = event.currentIntent;
  var inputTranscript = event.inputTranscript;
  if(inputTranscript) {
    operationRequest.setParameter('$utterance', inputTranscript);
  }
        if (intent) {
          operationRequest.setOperationName(intent.name);
    // Add this because intent name gets changed through the pipeline
    operationRequest.setParameter('$original_intent', intent.name);
          var sessionAttributes = event.sessionAttributes;
          if (sessionAttributes) {
            for (var sk in sessionAttributes) {
              switch (sk) {
                case 'interactionId':

 operationRequest.setInteractionSysId(sessionAttributes[sk]);
                  break;
                case 'authToken':
                  operationRequest.setAuthToken(sessionAttributes[sk]);
                  break;
    case 'language':
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      operationRequest.setLanguage(sessionAttributes[sk]);
      break;
                case 'statusCode':
                case 'message':
                  break;
                default:
                  operationRequest.setSessionAttribute(sk,
sessionAttributes[sk]);
              }
            }
          }
          var slots = intent.slots;
    // Always copy in slots they are the parameters for the operation
          if (slots) {
            for (var pk in slots) {
              operationRequest.setParameter(pk, slots[pk]);
            }
          }
          var invocationSource = event.invocationSource;
    operationRequest.setParameter('$$invocationSource',
invocationSource);
          // Specific handling for dialog hooks with a way to overide for
Amazon specific provider
          if (invocationSource === 'DialogCodeHook') {
      // Set substep to trigger forwarding to another handler IF it s
present
      operationRequest.setOperationSubStepName(invocationSource);
      // Allow pass through behavior
      var behaviourToUse =
sn_cti_core.CTIOperationRequest.OperationNotFoundBehaviours.PassThrough;
      operationRequest.setSubStepNotFoundBehaviour(behaviourToUse);
      // Reserved - copy slots in so we can just use delegate as default
if the call isn't handled
      operationRequest.setParameter('$$slots', slots);
          }
        }
      }
    }
  } catch (e) {
      ctx.setError(e);
  }
  return operationRequest;
})(httpRequest, operationRequest, ctx);
```

CTIOperationResponse：スコープ付き、グローバル

CTIOperationResponse スクリプトインクルードは、現在の CTIOperationResponse オブジェクトのデータを設定および取得するためのメソッドを提供します。

CTIOperationResponse オブジェクトを使用して、ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワーク内において操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で情報を渡します。

通常、操作ハンドラーは、関連付けられた要求を処理するときに CTIOperationResponse オブジェクトに値を設定する役割を担います。メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationRequest オブジェクトから値を取得し、コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーに送り返される CTI 固有のペイロードを構築する役割を担います。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

次の操作ハンドラースクリプトは、さまざまな *CTIOperationResponse* メソッドを使用して CTIOperationResponse オブジェクトに値を設定する方法を示しています。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response) {

  try {
    var state = request.getParameter('$state');
    if(!state) {
      state = 'new';
    }
    var phone = request.getParameter('contact.phone');
    var username = request.getParameter('contact.username');
    var someDataPresent = phone || username;
    if(!someDataPresent) {
      throw 'phone or username must be supplied';
    }
    if('new' === state) {
      var userGr = null;
      if(phone || username) {
        userGr = new GlideRecordSecure('sys_user');
        var qc = null;
        if(phone) {
          qc = userGr.addQuery('phone', phone);
          qc.addOrCondition('mobile_phone', phone);
          qc.addOrCondition("home_phone", phone);
        }
        if(username) {
          if(qc) {
            qc.addOrCondition('user_name', username);
          } else {
            qc = userGr.addQuery('user_name', username);
          }
        }
        // If there was criteria then run the query
        if(qc) {
          userGr.query();
        } else {
          userGr = null;
        }
      }

      var foundUser = userGr && userGr.next();

      var phonelogGr = new GlideRecord('sn_openframe_phone_log');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      phonelogGr.initialize();
      phonelogGr.setValue('call_id', request.getParameter('contact.id'));
      phonelogGr.setValue('phone_number', phone);
      if(foundUser) {
        phonelogGr.setValue('contact', userGr.getUniqueValue());
      }
      phonelogGr.insert();

      var interactionGr = new GlideRecordSecure('interaction');
      interactionGr.initialize();
      interactionGr.setValue('type', 'phone');
      interactionGr.setValue('short_description', 'User Contact via
 Phone: ' + phone);
      interactionGr.setValue('channel_metadata_table',
 'sn_openframe_phone_log');

 interactionGr.setValue('channel_metadata_document',phonelogGr.getUniqueV
alue());

      if(foundUser) {
        interactionGr.setValue('opened_for', userGr.getUniqueValue());
        response.setSessionAttribute('snc_user_first_name',
 userGr.getValue('first_name'));
        response.setSessionAttribute('snc_user_last_name',
 userGr.getValue('last_name'));
        response.setSessionAttribute('snc_user_sys_id',
 userGr.getUniqueValue());
      } else {
        response.setSessionAttribute('snc_user_sys_id',
 "USER_NOT_FOUND");
      }
      interactionGr.setValue('state', 'new');

      var interactionId = interactionGr.insert();

      response.setStatusCode(200);
      response.setMessage('success');
      response.setSessionAttribute('interactionTable', 'interaction');
      response.setSessionAttribute('interactionId', interactionId);

    }
  } catch(e) {
    ctx.setError(e);
  }

})(request, response);
```

操作ハンドラーの作成の詳細については、「発信者との自動インタラクションの連絡先フローの構成」を参照してください。

次のメッセージトランスフォーマースクリプトは、CTIOperationResponse オブジェクトに設定された値を取得して、CTI 固有のペイロードに格納し、CTI プロバイダーに送り返します。

```
(function (/*CTIOperationResponse*/operationResponse, /*HTTPResponse*/
 httpResponse) {
 // AWS Connect Lambda expects name value pairs only
 var out = {};
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 for(var k in operationResponse.getSessionAttributes()) {
  out[k] = operationResponse.getSessionAttributes()[k];
 }
 out.statusCode = operationResponse.getStatusCode();
 out.message = operationResponse.getMessage();
 httpResponse.setBody(out);
})(operationResponse, httpResponse);
```

このスクリプトインクルードは `sn_cti_core` 名前空間で実行されます。*`CTIOperationRequest`* スクリプトインクルードにアクセスする前に、ServiceNow 音声アシスト機能 Core(sn_cti_core)プラグインをインストールする必要があります。このインストールの詳細については、「ServiceNow 音声アシスト機能アプリケーションのインストール」を参照してください。

ServiceNow 音声アシスト機能の詳細については、「ServiceNow 音声アシスト機能」を参照してください。

CTIOperationResponse - CTIOperationResponse(文字列 **origin)**

CTIOperationResponse オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setMinorVersion(3);
```

CTIOperationResponse - getAuthToken()

CTIOperationResponse オブジェクトに設定された認証トークンを返します。

ハンドラーの *`auth_required`* フラグが true に設定されている場合、このトークンは、要求された操作ハンドラーを実行する前に ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークによって、現在の ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーを認証するために使用されます。*`auth_required`* フラグは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルのフィールドです。認証トークンの有効期間は、コールセッションの有効期間である必要がありますが、CTI プロバイダーによって決定されます。

独自の認証操作ハンドラーを作成することで、実装に必要なあらゆる認証/認可処理を定義できます。認証トークンの生成方法に関係なく、メッセージ翻訳者は CTI ペイロードでトークンを返す必要があります。さらに、CTI プロバイダーはこの認証トークンをローカルに保存し、認証が必要な各操作要求で渡す必要があります。

インスタンスが提供する認証操作ハンドラーを使用する場合、ハンドラーはユーザーが入力した 4 桁の PIN に基づいて認証トークンの作成を開始します。次に、CTIOperationResponse オブジェクトの sessionAttributes オブジェクトに認証トークンを設定します。関連するメッセージトランスフォーマーは、sessionAttributes オブジェクトを CTI 固有のペイロードに変換し、CTI プロバイダーに送信します。

> **注:** 認証トークンが渡されない場合、 *`auth_required`* フラグが設定された操作ハンドラーの実行要求はすべて失敗します。認証を使用しない場合は、認証トークンを維持する必要はありません。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	CTIOperationRequest オブジェクトに既に設定された認証トークンです。設定されていない場合は null を返します。

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var token = response.getAuthToken();
```

CTIOperationResponse - getError()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに関連付けられたエラーオブジェクトを返します。

この情報を使用して、コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーに返されるペイロードを作成できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	操作エラー情報です。このオブジェクトの形式は、CTI プロバイダーによって決定されます。エラーが存在しない場合は null を返します。

```
(function( /*CTIProviderResponseExecutionContext*/
 ctx, /*CTIOperationRequest*/ operationRequest, /*CTIOperationResponse*/
 operationResponse, /*HTTPResponse*/ httpResponse) {
    var sessionAttributes = {},
        intentResponse;
    var statusCode = -1;
    var message = 'Unprocessed';
    if (operationResponse) {
        statusCode = operationResponse.getStatusCode();
        sessionAttributes = operationResponse.getSessionAttributes();
        message = operationResponse.getMessage();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        var error = operationResponse.getError();
        if (error) {
            sessionAttributes.error = error;
        }
    }
    if
 (sn_cti_core.CTIRequestDispatcher.Constants.HTTP.Status.AUTH_REQUIRED.c
ode === statusCode) {
        //first call for a secure action without authentication token
        sessionAttributes.statusCode = 401;
        sessionAttributes.message = message;
        intentResponse = {
            sessionAttributes: sessionAttributes,
            dialogAction: {
                type: 'Close',
                fulfillmentState: 'Fulfilled',
                message: {
                    contentType: 'PlainText',
                    content: 'This operation requires authentication. Say
 authenticate for authentication.'
                }
            }
        };
    } else if ('DialogCodeHook' ===
 operationRequest.getParameter('$$invocationSource')) {
        //pass back authToken and interactionId
        sessionAttributes.authToken = operationRequest.getAuthToken();
        sessionAttributes.interactionId =
 operationRequest.getInteractionSysId();
 var originalSlots = operationRequest.getParameter('$$slots');
        var responseParameters = operationResponse ?
 operationResponse.getParameters() : {};
        responseParameters = responseParameters ? responseParameters :
 {};
        // See if we processing happened and we got a dialogAction
 var responseDialogAction = responseParameters['dialogAction'];
 // Default dialog action
        var dialogAction = {
            type: 'Delegate',
            slots: originalSlots
        };
 // If the response doesn't contain an override replay the inputs
        if (responseDialogAction) {
            // We bypassed dialoghook so delegate and pass through inputs
            dialogAction = responseDialogAction;
        }
        intentResponse = {
            sessionAttributes: sessionAttributes,
            dialogAction: dialogAction
        };
    } else {
        // Override required session attributes
        sessionAttributes.statusCode = statusCode;
        sessionAttributes.message = message;
        // Build response template
        intentResponse = {
            sessionAttributes: sessionAttributes,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            dialogAction: {
                type: 'Close',
                fulfillmentState: 'Fulfilled',
                message: {
                    contentType: 'PlainText',
                    content: message
                }
            }
        };
    }
    httpResponse.setBody(intentResponse);
})(ctx, operationRequest, operationResponse, httpResponse);
```

CTIOperationResponse - getInteractionSysId()

CTIOperationResponse オブジェクトに設定されたコールセッションに関連付けられたインタラクションレコードの sys_id を返します。

このメソッドを呼び出す前に、 CTIOperationResponse - setInteractionSysId(String Id) メソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	CTIOperationResponse オブジェクトに設定されたインタラクションレコードの sys_id です。インタラクションレコードはインタラクション [interaction] テーブルにあります。 インタラクションレコード sys_id が設定されていない場合、このメソッドは null を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var interactionId = request.getInteractionSysId();
```

CTIOperationResponse - getMajorVersion()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに設定されているコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのメジャーバージョンを返します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なるペイロードが必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間でペイロードがわずかに異なるだけの場合は、メッセージトランスフォーマーを 1 つだけにすることができます。メッセージトランスフォーマー内で要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、ペイロードの違いに対応できます。必要なペイロードがバージョン間で大幅に異なる場合は、複数のメッセージトランスフォーマーを使用する方が効率的です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	CTI ソフトウェアのメジャーバージョン番号です。 メジャーバージョンが設定されていない場合は、1 を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var majorVersion = response.getMajorVersion();
```

CTIOperationResponse - getMessage()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに設定されているメッセージ文字列を返します。

通常、これは操作が完了したときにユーザーに返されるメッセージです。この値を設定するには、CTIOperationResponse - setMessage(文字列 message) メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージのテキストです。メッセージが存在しない場合は、null を返します。

```
(function (/*CTIOperationResponse*/operationResponse, /*HTTPResponse*/
 httpResponse) {
  // AWS Connect Lambda expects name value pairs only
  var out = {};
  for(var k in operationResponse.getSessionAttributes()) {
    out[k] = operationResponse.getSessionAttributes()[k];
  }
  out.statusCode = operationResponse.getStatusCode();
  out.message = operationResponse.getMessage();
  httpResponse.setBody(out);
})(operationResponse, httpResponse);
```

CTIOperationResponse - getMinorVersion()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに設定されているコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのマイナーバージョンを返します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なるペイロードが必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間でペイロードがわずかに異なるだけの場合は、メッセージトランスフォーマーを 1 つだけにすることができます。メッセージトランス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーマー内で要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、ペイロードの違いに対応できます。必要なペイロードがバージョン間で大幅に異なる場合は、複数のメッセージトランスフォーマーを使用する方が効率的です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	このインタラクションに関連付けられたペイロードのマイナーバージョン番号です。 マイナーバージョンが設定されていない場合は、0 を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var minorVersion = request.getMinorVersion();
```

CTIOperationResponse - getParameter(文字列 key)

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに既に設定されている、指定されたキーの値を返します。

get/setParameter メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作応答に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を生成するときに必要なキー/値ペアを判断します。CTIOperationResponse - setParameter(String key, Object value) メソッドを使用して、現在の CTIOperationResponse オブジェクトのパラメータを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	返されるキーの値の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡されたキーの値です。該当するキーが存在しない場合は、null を返します。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var parm = request.getParameter('contact.phone');
```

CTIOperationResponse - getParameters()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに既に設定されているすべてのパラメーターのキー/値ペアを返します。

get/setParameter メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作応答に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を生成するときに必要なキー/値ペアを判断します。CTIOperationResponse -

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

setParameter(String key, Object value) メソッドを使用して、現在の CTIOperationResponse オブジェクトのパラメータを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	CTIOperationResponse オブジェクトに既に設定されているキー/値ペアのマップです。このキー/値ペアは自由形式であり、操作ハンドラーのニーズにより定義されます。戻り値は文字列または数値です。

```
(function( /*CTIProviderResponseExecutionContext*/
 ctx, /*CTIOperationRequest*/ operationRequest, /*CTIOperationResponse*/
 operationResponse, /*HTTPResponse*/ httpResponse) {
  var sessionAttributes = {},
      intentResponse;
  var statusCode = -1;
  var message = 'Unprocessed';
  if (operationResponse) {
    statusCode = operationResponse.getStatusCode();
    sessionAttributes = operationResponse.getSessionAttributes();
    message = operationResponse.getMessage();
    var error = operationResponse.getError();
    if (error) {
      sessionAttributes.error = error;
    }
  }
  if
 (sn_cti_core.CTIRequestDispatcher.Constants.HTTP.Status.AUTH_REQUIRED.c
ode === statusCode) {
    //first call for a secure action without authentication token
    sessionAttributes.statusCode = 401;
    sessionAttributes.message = message;
    intentResponse = {
      sessionAttributes: sessionAttributes,
      dialogAction: {
        type: 'Close',
        fulfillmentState: 'Fulfilled',
        message: {
          contentType: 'PlainText',
          content: 'This operation requires authentication. Say
 authenticate for authentication.'
        }
      }
    };
  } else if ('DialogCodeHook' ===
 operationRequest.getParameter('$$invocationSource')) {
      //pass back authToken and interactionId
      sessionAttributes.authToken = operationRequest.getAuthToken();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      sessionAttributes.interactionId =
 operationRequest.getInteractionSysId();
      var originalSlots = operationRequest.getParameter('$$slots');
      var responseParameters = operationResponse ?
 operationResponse.getParameters() : {};
      responseParameters = responseParameters ? responseParameters : {};
      // See if processing happened and we got a dialogAction
      var responseDialogAction = responseParameters['dialogAction'];
      // Default dialog action
      var dialogAction = {
        type: 'Delegate',
        slots: originalSlots
      };
      // If the response doesn't contain an override replay the inputs
      if (responseDialogAction) {
        // We bypassed dialoghook so delegate and pass through inputs
        dialogAction = responseDialogAction;
      }
        intentResponse = {
            sessionAttributes: sessionAttributes,
            dialogAction: dialogAction
        };
    } else {
      // Override required session attributes
      sessionAttributes.statusCode = statusCode;
      sessionAttributes.message = message;
      // Build response template
      intentResponse = {
        sessionAttributes: sessionAttributes,
        dialogAction: {
          type: 'Close',
          fulfillmentState: 'Fulfilled',
          message: {
            contentType: 'PlainText',
            content: message
          }
        }
      };
  }
  httpResponse.setBody(intentResponse);
})(ctx, operationRequest, operationResponse, httpResponse);
```

CTIOperationResponse - getSessionAttribute(文字列 **key)**

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに設定されている、指定されたセッション属性キーの値を返します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペア (連絡先電話番号など) を 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、処理中にこれらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、操作ハンドラーは、CTIOperationResponse - setSessionAttribute(文字列キー、オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationResponse オブジェクトにこれらの属性を設定し、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを使用して属性を使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	返されるキーの値の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡されたキーの値です。該当するキーが存在しない場合は、null を返します。

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var phoneAttribute = response.getSessionAttribute('contact.phone');
```

CTIOperationResponse - getSessionAttributes()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに既に設定されているすべてのセッション属性のキー/値ペアを返します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペア (連絡先電話番号など) を 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、処理中にこれらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、操作ハンドラーは、CTIOperationResponse - setSessionAttribute(文字列キー、オブジェクト値) メソッドを呼び出して CTIOperationResponse オブジェクトにこれらの属性を設定し、メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを使用して属性を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	CTIOperationResponse オブジェクトに既に設定されているキー/値ペアのマップです。このキー/値ペアは自由形式であり、操作ハンドラーのニーズにより定義されます。戻り値は文字列または数値です。

```
(function (/*CTIOperationResponse*/operationResponse, /*HTTPResponse*/
 httpResponse) {
  // AWS Connect Lambda expects name value pairs only
  var out = {};
  for(var k in operationResponse.getSessionAttributes()) {
    out[k] = operationResponse.getSessionAttributes()[k];
  }
  out.statusCode = operationResponse.getStatusCode();
  out.message = operationResponse.getMessage();
  httpResponse.setBody(out);
})(operationResponse, httpResponse);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CTIOperationResponse - getStatusCode()

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに設定されているステータスコードを返します。

これらのステータスコードは、標準の HTTP ステータスコード (成功の場合は 200、認証が必要な場合は 401 など) に対応している必要があります。通常、生成されるステータスコードは、操作ハンドラーによって決定され、CTIOperationResponse - setStatusCode(文字列 statusCode) メソッドを使用して CTIOperationResponse オブジェクトに設定されます。メッセージトランスフォーマーは、このメソッドを使用して、コンピューター電話統合プロバイダーに返されるペイロードにステータスコードを含めます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	現在の操作のステータスコードです。ステータスコードが設定されていない場合は -1 を返します。

```
(function (/*CTIOperationResponse*/operationResponse, /*HTTPResponse*/
 httpResponse) {
  // AWS Connect Lambda expects name value pairs only
  var out = {};
  for(var k in operationResponse.getSessionAttributes()) {
    out[k] = operationResponse.getSessionAttributes()[k];
  }
  out.statusCode = operationResponse.getStatusCode();
  out.message = operationResponse.getMessage();
  httpResponse.setBody(out);
})(operationResponse, httpResponse);
```

CTIOperationResponse - setAuthToken(文字列 token)

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに認証トークンを設定します。

ハンドラーの *auth_required* フラグが true に設定されている場合、このトークンは、要求された操作ハンドラーを実行する前に ServiceNow 音声アシスト機能 フレームワークによって、現在の ServiceNow 音声アシスト機能 ユーザーを認証するために使用されます。*auth_required* フラグは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルのフィールドです。認証トークンの有効期間は、コールセッションの有効期間である必要がありますが、CTI プロバイダーによって決定されます。

独自の認証操作ハンドラーを作成することで、実装に必要なあらゆる認証/認可処理を定義できます。認証トークンの生成方法に関係なく、メッセージ翻訳者は CTI ペイロードでトークンを返す必要があります。さらに、CTI プロバイダーはこの認証トークンをローカルに保存し、認証が必要な各操作要求で渡す必要があります。

インスタンスが提供する認証操作ハンドラーを使用する場合、ハンドラーはユーザーが入力した 4 桁の PIN に基づいて認証トークンの作成を開始します。次に、CTIOperationResponse オブジェクトの sessionAttributes オブジェクトに認証トークンを設定します。関連するメッセージトランスフォーマーは、sessionAttributes オブジェクトを CTI 固有のペイロードに変換し、CTI プロバイダーに送信します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 認証トークンが渡されない場合、 *auth_required* フラグが設定された操作ハンドラーの実行要求はすべて失敗します。認証を使用しない場合は、認証トークンを維持する必要はありません。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*auth_required* フラグが設定された操作を認証するために使用する認証トークンです。

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
var authenticate = <Your authentication code here>; // Authenticate the
 user
if (authenticated) {
 var claims = {
  "interactionId":interactionGr.sys_id.toString()
 };
 var jwt = new sn_cti_core.AuthHelpers().generateJWT(claims);
 response.setAuthToken(jwt);
}
```

CTIOperationResponse - setError(オブジェクト error)

現在の CTIOperationResponse オブジェクトにエラーオブジェクトを設定します。

コンポーネントでエラーオブジェクトを使用して、コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーに送信するペイロードを作成できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
error	オブジェクト	要求された操作の処理中に検出されたエラーに関する情報です。このオブジェクトの形式は、CTI プロバイダーによって決定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setError(new Error("You did not supply a field"));
```

CTIOperationResponse - setInteractionSysId(文字列 Id)

現在の CTIOperationResponse オブジェクトに、操作要求に関連付けられたインタラクションレコードの sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	現在のインタラクションに設定する sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setInteractionSysId('98529cc55380001048e5ddeeff7b120b');
```

CTIOperationResponse - setMajorVersion(数値 majorVersion)

関連する CTIOperationResponse オブジェクトに、要求を行うコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのメジャーバージョンを設定します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なるペイロードが必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間でペイロードがわずかに異なるだけの場合は、メッセージトランスフォーマーを 1 つだけにすることができます。メッセージトランスフォーマー内で要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、ペイロードの違いに対応できます。必要なペイロードがバージョン間で大幅に異なる場合は、複数のメッセージトランスフォーマーを使用する方が効率的です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
majorVersion	番号	操作要求を行う CTI プロバイダーソフトウェアのメジャーバージョンです。 この値がまだ設定されていない場合は、`1` を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var request = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
request.setMajorVersion(2);
```

CTIOperationResponse - setMessage(文字列 message)

現在の CTIOperationResponse オブジェクトにテキストメッセージを設定します。

通常、これは操作が完了したときにユーザーに返されるメッセージであり、関連する操作ハンドラーによって設定されます。その後、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationResponse - getMessage() メソッドを使用してメッセージを取得し、コンピューター電話統合プロバイダーに返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	メッセージテキスト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, /*Context*/ ctx) {
  var notes = '', lang = request.getLanguage();
  try {

    var interactionGr = request.getInteractionRecord();

    var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
    if(interactionGr && now_GR.get(interactionGr.opened_for.toString()))
 {
    if(now_GR.locked_out == true) {
        notes += gs.getMessageLang("User record found locked. Unlocking
 the account.\n", lang);
        now_GR.locked_out=false;
        now_GR.update();
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account has been
 unlocked.", lang));
      } else {
        notes += gs.getMessageLang("User record not locked.\n", lang);
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account doesn't seem
 to be locked.", lang));
      }
    } else {
      notes += gs.getMessageLang("User record not found. Transfer to
 agent\n", lang);
      response.setStatusCode(302);
      response.setMessage(gs.getMessageLang("I am unable to find your
 record. Let me transfer to someone who can help.", lang));
    }
    if(interactionGr) {
      interactionGr.work_notes = notes;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      interactionGr.update();
    }
  } catch(e) {
    ctx.setError(e);
  }
})(request, response, ctx);
```

CTIOperationResponse - setMinorVersion(数値 minorVersion)

関連する CTIOperationResponse オブジェクトに、要求を行うコンピューター電話統合 (CTI) ソフトウェアのマイナーバージョンを設定します。

ServiceNow インスタンスに接続されている CTI プロバイダーが複数のバージョンのソフトウェアを実行している場合は、ソフトウェアのバージョンごとに異なるペイロードが必要になる可能性があるため、このメソッドを使用します。ソフトウェアのバージョン間でペイロードがわずかに異なるだけの場合は、メッセージトランスフォーマーを 1 つだけにすることができます。メッセージトランスフォーマー内で要求を行っているソフトウェアのバージョンを確認するだけで、ペイロードの違いに対応できます。必要なペイロードがバージョン間で大幅に異なる場合は、複数のメッセージトランスフォーマーを使用する方が効率的です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minorVersion	番号	操作要求を行う CTI プロバイダーソフトウェアのマイナーバージョンです。 この値がまだ設定されていない場合は、0を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setMinorVersion(3);
```

CTIOperationResponse - setParameter(文字列 key, オブジェクト value)

指定されたキー/値ペアを、関連する CTIOperationResponse オブジェクトに設定します。

get/setParameter メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。パラメーターオブジェクトには、現在の操作要求に直接関連するデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なキー/値ペアを判断します。通常、操作ハンドラーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationResponse オブジェクトにこれらのパラメーターを設定し、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationResponse - getParmeter(文字列 key) または CTIOperationResponse - getSParameters() メソッドを使用して設定値を使用します。

注: `JSON.parse(JSON.stringify(object))` 操作後も存続できるオブジェクトのみを格納する必要があります。この基準を満たさないオブジェクトは、操作処理チェーン全体を通じて正しく伝播されない可能性があります。

例：

```
var x = {
  "string": 'abc',
  "int": 123,
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "float": 1.234,
  "number": new Number(3),
  "boolean": true,
  "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5),
  "object": {
    "string": 'abc',
    "int": 123,
    "float": 1.234,
    "number": new Number(3),
    "boolean": true,
    "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5)
  },
  "function": function(abc) {

  }
}
var stringify = JSON.stringify(x);
gs.info(stringify);
var hydrate = JSON.parse(stringify);
var stringify2 = JSON.stringify(hydrate);
gs.info(stringify2);
```

結果：

```
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
```

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	関連付けられた値を格納するキーの名前です。
value	オブジェクト	格納するキーの値です。 有効なデータタイプ： • 文字列 • int • 浮動小数点数 • 番号 • ブーリアン • 日付 • オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setParameter('contact.phone', '+15552222345');
response.setParameter('contact.okToCall', true);
response.setParameter('contact.address', {
    street: '1234 Main St'
    city: 'API City',
    zip: 91335
});
```

CTIOperationResponse - setSessionAttribute(文字列 **key**, オブジェクト **value)**

指定されたセッション属性のキー/値ペアを、関連する CTIOperationResponse オブジェクトに設定します。

get/setSessionAttribute メソッドを使用すると、操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーの間で実質的に任意の文字列または数値を渡すことができます。sessionAttribute オブジェクトには、コンピューター電話統合プロバイダーが定義したセッションの期間中に有効なデータのキー/値ペアを 0 個以上含めることができます。セッション属性は、問い合わせフロー内でもアクセスできます。操作ハンドラーは、これらの値を使用するときに必要なセッション属性のキー/値ペアを判断します。通常、操作ハンドラーは、このメソッドを呼び出して CTIOperationResponse オブジェクトにこれらの属性を設定し、メッセージトランスフォーマーは、CTIOperationResponse - getSessionAttribute(文字列 key) または CTIOperationResponse - getSessionAttribute() メソッドを使用して属性を取得します。

注: `JSON.parse(JSON.stringify(object))` 操作後も存続できるオブジェクトのみを格納する必要があります。この基準を満たさないオブジェクトは、操作処理チェーン全体を通じて正しく伝播されない可能性があります。

例：

```
var x = {
  "string": 'abc',
  "int": 123,
  "float": 1.234,
  "number": new Number(3),
  "boolean": true,
  "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5),
  "object": {
    "string": 'abc',
    "int": 123,
    "float": 1.234,
    "number": new Number(3),
    "boolean": true,
    "date": new Date(2006, 0, 2, 15, 4, 5)
  },
  "function": function(abc) {

  }
}
var stringify = JSON.stringify(x);
gs.info(stringify);
var hydrate = JSON.parse(stringify);
var stringify2 = JSON.stringify(hydrate);
gs.info(stringify2);
```

結果：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
{"string":"abc","int":123,"float":1.234,"number":3,"boolean":true,"date":
"2006-01-02T23:04:05.000Z","object":{"string":"abc","int":123,"float":1.2
34,"number":3,"boolean":true,"date":"2006-01-02T23:04:05.000Z"}}
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	関連する値を設定するセッション属性キーの名前です。
value	オブジェクト	設定する値です。 有効なデータタイプ： • 文字列 • int • 浮動小数点数 • 番号 • ブーリアン • 日付 • オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var response = new sn_cti_core.CTIOperationResponse();
response.setSessionAttribute('contact.phone', '+15552222345');
response.setSessionAttribute('contact.okToCall', true);
response.setSessionAttribute('contact.address', {
    street: '1234 Main St'
    city: 'API City',
    zip: 91335
});
```

CTIOperationResponse - setStatusCode(数値 **statusCode)**

CTIOperationResponse オブジェクトに、現在の操作要求のステータスコードを設定します。

ステータスは任意の整数値を使用して定義できますが、HTTP ステータスコード (200 = Ok/Success、400 = Bad Request、401 = Unauthorized など) を基にすることをお勧めします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
statusCode	番号	要求された操作のステータスを一意に識別する整数です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, /*Context*/ ctx) {
  var notes = '', lang = request.getLanguage();
  try {

    var interactionGr = request.getInteractionRecord();

    var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
    if(interactionGr && now_GR.get(interactionGr.opened_for.toString()))
 {
    if(now_GR.locked_out == true) {
        notes += gs.getMessageLang("User record found locked. Unlocking
 the account.\n", lang);
        now_GR.locked_out=false;
        now_GR.update();
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account has been
 unlocked.", lang));
      } else {
        notes += gs.getMessageLang("User record not locked.\n", lang);
        response.setStatusCode(200);
        response.setMessage(gs.getMessageLang("Your account doesn't seem
 to be locked.", lang));
      }
    } else {
      notes += gs.getMessageLang("User record not found. Transfer to
 agent\n", lang);
      response.setStatusCode(302);
      response.setMessage(gs.getMessageLang("I am unable to find your
 record. Let me transfer to someone who can help.", lang));
    }
    if(interactionGr) {
      interactionGr.work_notes = notes;
      interactionGr.update();
    }
  } catch(e) {
    ctx.setError(e);
  }
})(request, response, ctx);
```

Data - スコープ付き、グローバル

Data API は、sn_clothoによって実行された変換の結果を含むデータオブジェクトを提供します。Client.transform() メソッドを使用します。

コンストラクタを使用してこのクラスのインスタンスを作成しないでください。代わりに、*sn_clotho.Client.transform()* メソッドを使用してください。

このクラスは、スコープ対象のサーバースクリプトおよびグローバルサーバースクリプトで呼び出すことができます。このクラスは、 `sn_clotho` 名前空間識別子で実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このクラスは、メトリックベース アプリケーションの一部です。

ScopedData - getEnd()

Data オブジェクト内のデータの終了時刻を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	期間の終了

ScopedData - getLabel()

`sn_clotho.ClothoTransform.label()` メソッドによって割り当てられたラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	データに割り当てられたラベル

ScopedData - getMetricName()

データ系列のメトリックの名前を返します。データオブジェクトが複数のデータ系列に関連付けられている場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	基準フィールドの名前データオブジェクトが複数のデータ系列に関連付けられている場合は null を返します。

ScopedData - getPeriod()

期間をミリ秒単位で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	経過時間(秒)

ScopedData - getStart()

Data オブジェクト内のデータの開始時刻を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	最初のデータポイントの時刻

ScopedData - getSubject()

データ系列のサブジェクトを返します。データオブジェクトが複数のデータ系列に関連付けられている場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideRecord の件名フィールド値。これは一般に、対象の GlideRecord の sys_id です。

ScopedData - getTableName()

DataSelector クラスのコンストラクタで割り当てられたテーブルの名前を返します。データオブジェクトが複数のデータ系列に関連付けられている場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名データオブジェクトが複数のデータ系列に関連付けられている場合は null を返します。

ScopedData - getValues()

値のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	数値のアレイ

ScopedData - size()

Data オブジェクト内の値の数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	オブジェクト内の値の数

DataBuilder - スコープ付き、グローバル

DataBuilder API には、メトリクスの一連のデータ ポイントを作成するメソッドが用意されています。*sn_clotho.Client.put()* メソッドを使用して値を保存してください。

このクラスは、スコープ対象のサーバースクリプトおよびグローバルサーバースクリプトで呼び出すことができます。*DataBuilder* クラスを使用する場合は、`sn_clotho`名前空間識別子を使用します。

このクラスは、メトリックベース アプリケーションの一部です。

DataBuilder - DataBuilder(オブジェクト **glideRecord**, 文字列 **subject**, 文字列 **metric)**

DataBuilder クラスのインスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	オブジェクト	ドメインを取得する GlideRecord
件名	文字列	この系列に関連付けられた GlideRecordのsys_id
metric	文字列	メトリックのフィールド名

```
// Where cpu_percentage is the name of the metric
        var dataBuilder = new sn_clotho.DataBuilder(now_GR,
 'cpu_percentage');
```

DataBuilder - add(GlideDateTime start, Array value)

一連のデータ ポイントを DataBuilder オブジェクトに追加します。各データポイントはタイムスタンプと値です。

start パラメーターと保持ポリシーの収集期間を使用して、アレイ内の各値のタイムスタンプを計算します。最初の値には、タイムスタンプとしての開始パラメーターがあります。このメソッドは、MetricBase データベースにデータを保存しません。`sn_clotho.Client.put()` メソッドを使用して値を保存してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDateTime	最初のデータポイントのタイムスタンプ。後続のタイムスタンプは、保持ポリシー収集期間を使用して計算されます。
value	アレイ	数値のアレイ

返される内容

タイプ	説明
DataBuilder	同じ DataBuilder オブジェクトです。

```
var points = [7,0.5,273];
var dataBuilder = new sn_clotho.DataBuilder(now_GR, 'cpu_percentage');
// this creates a GlideDateTime object set to the current date and time
var time = new GlideDateTime();
dataBuilder.add(time, points);
```

DataBuilder - add(GlideDateTime start, 数値)

DataBuilder オブジェクトにデータポイントを追加します。各データポイントはタイムスタンプと値です。このメソッドは、メトリックにデータポイントを保存しません。`sn_clotho.Client.put()` メソッドを使用して値を保存してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDateTime	データポイントのタイムスタンプ
value	番号	データポイントの値

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DataBuilder	DataBuilder オブジェクト

```
var dataBuilder = new sn_clotho.DataBuilder(now_GR, 'cpu_percentage');
// this creates a GlideDateTime object set to the current date and time
var time = new GlideDateTime();
dataBuilder.add(time, 0.6);
```

DCManager - グローバル

DCManager API を使用すると、データをタイプ別にグループ化できます。

この API を使用すると、次のことができます。

- 既存の辞書エントリにデータ分類を割り当てます。
- 特定の辞書エントリのデータ分類を検索します。
- 特定の辞書エントリに関連付けられているすべてのデータ分類を削除します。
- 現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

この API には、データ分類 [com.glide.data_classification] プラグインが必要です。

詳細については、「データ分類」を参照してください。

DCManager - classify(文字列 dictEntries, 文字列 dataClasses)

既存の辞書エントリに事前定義済みまたはユーザー定義のデータ分類を割り当てます。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。
dataClasses	文字列	割り当てるデータ分類の sys_id。sys_id は、データ分類 [data_classification] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	操作の結果を説明するメッセージ。

この例では、社会保障番号を含むレコードを検索し、レコードを機密として分類します。

```
var dcm = new SNC.DCManager();
var confidentialClass = {};
var ssnFields = [];
var dataClasses = JSON.parse(dcm.getAllDataClasses());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Get the Confidential data class record
dataClasses.forEach(function (dataClass) {
  if (dataClass.name == "Confidential")
    confidentialClass = dataClass;
});

// Find fields that seem to be strong social security numbers
var dictionaryGR = new GlideRecord("sys_dictionary");
dictionaryGR.addQuery("element", "ssn").addOrCondition("element",
 "social_security_number");
dictionaryGR.query();
while (dictionaryGR.next())
  ssnFields.push(dictionaryGR.getUniqueValue());

// Classify any found entries as Confidential
if (ssnFields.length > 0)
  dcm.classify(ssnFields.join(), confidentialClass.sys_id);
```

出力：

```
"Successfully stored the data classification configurations"
```

DCManager - clearClassification(文字列 dictEntries)

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を削除します。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類を削除するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	操作の結果を説明するメッセージ。

この例は、辞書エントリのデータ分類を削除します。

```
var dcm = new SNC.DCManager();
gs.info(dcm.clearClassification("445de0a6dba30300efc57416bf9619b0"));
```

出力：

```
"Classifications removed for the specified dictionary entries"
```

DCManager - getAllDataClasses()

現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを返します。

admin、data_classification_admin、または data_classification_auditor ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
<Array>	要求の結果です。利用可能な各データ分類の sys_id と名前を返します。データ分類がない場合は、空のアレイを返します。 データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：アレイ `[ { "parent": {Object}, "sys_id": "String", "name": "String" } ]`
<Array>.parent	親データ分類のエントリです。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "sys_id": "String", "name": "String" }`
<Array>.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Array>.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
<Array>.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Array>.name	データ分類名。 データタイプ：文字列

この例は、利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

```
var dcm = new SNC.DCManager();
gs.info(dcm.getAllDataClasses());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
[
  {
    "parent": {
      "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
      "name": "Confidential"
    },
    "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
    "name": "Personally identifiable information"
  },
  {
    "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
    "name": "Confidential"
  },
  {
    "sys_id": "59b7070b73fc1010ae8dd21efaf6a764",
    "name": "Restricted"
  },
  {
    "sys_id": "11d60fc773fc1010ae8dd21efaf6a744",
    "name": "Internal"
  },
  {
    "sys_id": "f5b4cf4773fc1010ae8dd21efaf6a766",
    "name": "Public"
  }
]
```

DCManager - getClassification(文字列 **dictEntries)**

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類を取得するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
<Object>	各辞書エントリの sys_id と関連データクラスのアレイを含む JSON オブジェクトです。関連するデータ分類がない場合は、操作の結果を記述するメッセージを返します。 データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：オブジェクト { <sys_dictionary_sys_id>: [{

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"parent": {Object},
	"sys_id": "String",
	"name": "String"
	}
	]
	}</pre>

<Object>.parent	親データ分類のエントリです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"parent": {
	"sys_id": "String",
	"name": "String"
	}</pre>

<Object>.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Object>.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
<Object>.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Object>.name	データ分類名。 データタイプ：文字列

この例は、辞書エントリのデータ分類を取得します。

```
var dcm = new SNC.DCManager();
gs.info(dcm.getClassification("445de0a6dba30300efc57416bf9619b0"));
```

出力：

```
{
  "445de0a6dba30300efc57416bf9619b0": [
    {
      "parent": {
        "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
        "name": "Confidential"
      },
      "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
      "name": "Personally identifiable information"
    }
  ]
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ScopedDCManager - スコープ付き

ScopedDCManager API を使用すると、データをタイプ別にグループ化できます。

この API を使用すると、次のことができます。

- 既存の辞書エントリにデータ分類を割り当てます。
- 特定の辞書エントリのデータ分類を検索します。
- 特定の辞書エントリに関連付けられているすべてのデータ分類を削除します。
- 現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

この API には、データ分類 [com.glide.data_classification] プラグインが必要です。

詳細については、「データ分類」を参照してください。

ScopedDCManager - classify(文字列 dictEntries, 文字列 dataClasses)

既存の辞書エントリに事前定義済みまたはユーザー定義のデータ分類を割り当てます。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。
dataClasses	文字列	割り当てるデータ分類の sys_id。sys_id は、データ分類 [data_classification] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	操作の結果を説明するメッセージ。

この例では、社会保障番号を含むレコードを検索し、レコードを機密として分類します。

```
var dcm = new global.ScopedDCManager();
var confidentialClass = {};
var ssnFields = [];
var dataClasses = JSON.parse(dcm.getAllDataClasses());

// Get the Confidential data class record
dataClasses.forEach(function (dataClass) {
  if (dataClass.name == "Confidential")
    confidentialClass = dataClass;
});

// Find the fields that seem to be strong social security numbers
var dictionaryGR = new GlideRecord("sys_dictionary");
dictionaryGR.addQuery("element", "ssn").addOrCondition("element",
 "social_security_number");
dictionaryGR.query();
while (dictionaryGR.next())
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ssnFields.push(dictionaryGR.getUniqueValue());

// Classify any found entries as confidential
if (ssnFields.length > 0)
  dcm.classify(ssnFields.join(), confidentialClass.sys_id);
```

出力：

```
"Successfully stored the data classification configurations"
```

ScopedDCManager - clearClassification(文字列 dictEntries)

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を削除します。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類を削除するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	操作の結果を説明するメッセージ。

この例は、辞書エントリのデータ分類を削除します。

```
var dcm = new global.ScopedDCManager();
gs.info(dcm.clearClassification("445de0a6dba30300efc57416bf9619b0"));
```

出力：

```
"Classifications removed for the specified dictionary entries"
```

ScopedDCManager - getAllDataClasses()

現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを返します。

admin、data_classification_admin、または data_classification_auditor ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
<Array>	要求の結果です。利用可能な各データ分類の sys_id と名前を返します。データ分類がない場合は、空のアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：アレイ `[ { "parent": {Object}, "sys_id": "String", "name": "String" } ]`
<Array>.parent	親データ分類のエントリです。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "sys_id": "String", "name": "String" }`
<Array>.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Array>.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
<Array>.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Array>.name	データ分類名。 データタイプ：文字列

この例は、利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

```
var dcm = new global.ScopedDCManager();
gs.info(dcm.getAllDataClasses());
```

出力：

```
[
  {
    "parent": {
      "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
      "name": "Confidential"
    },
    "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
    "name": "Personally identifiable information"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  {
    "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
    "name": "Confidential"
  },
  {
    "sys_id": "59b7070b73fc1010ae8dd21efaf6a764",
    "name": "Restricted"
  },
  {
    "sys_id": "11d60fc773fc1010ae8dd21efaf6a744",
    "name": "Internal"
  },
  {
    "sys_id": "f5b4cf4773fc1010ae8dd21efaf6a766",
    "name": "Public"
  }
]
```

ScopedDCManager - getClassification(文字列 **dictEntries)**

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を取得します。

admin、data_classification_admin、または data_classification_auditor ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dictEntries	文字列	分類を取得するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。

返される内容

タイプ	説明
<Object>	各辞書エントリの sys_id と関連データクラスのアレイを含む JSON オブジェクトです。関連するデータ分類がない場合は、操作の結果を記述するメッセージを返します。 データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：オブジェクト `{ <sys_dictionary_sys_id>: [ { "parent": {Object}, "sys_id": "String", "name": "String" } ] }`
<Object>.parent	親データ分類のエントリです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクト `"parent": { "sys_id": "String", "name": "String" }`
<Object>.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Object>.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
<Object>.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
<Object>.name	データ分類名。 データタイプ：文字列

この例は、辞書エントリのデータ分類を取得します。

```
var dcm = new global.ScopedDCManager();
gs.info(dcm.getClassification("445de0a6dba30300efc57416bf9619b0"));
```

出力：

```
{
  "445de0a6dba30300efc57416bf9619b0": [
    {
      "parent": {
        "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
        "name": "Confidential"
      },
      "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
      "name": "Personally identifiable information"
    }
  ]
}
```

DatasetDefinition - グローバル

DatasetDefinition API は、ML トレーニングアルゴリズムの入力として使用する、テーブル名、列、および行の選択基準を含むレコードのセット。データセットには実際のデータは含まれていません。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。 詳細については、「予測インテリジェンス」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データセットを使用して、相互情報の *PredictabilityEstimate* を見積もるか、*Encoder* で指定されたデータをトレーニングします。また、データセットを使用して、次のいずれかのソリューションタイプで指定されたデータをトレーニングすることもできます。

- *ClassificationSolution*
- *ClusteringSolution*
- *RegressionSolution*
- *SimilaritySolution*

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

DatasetDefinition - DatasetDefinition(オブジェクト)

DatasetDefinition クラスのインスタンスを作成し、テーブル名、フィールド、およびクエリーでデータセットを定義できるようにします。

テーブルとフィールドのリストを渡してデータセット定義を作成します。クエリーを渡して、特定の特性を持つ行を含めるようにデータセットを制限することもできます。

一度作成された DatasetDefinition オブジェクトは変更できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	データセット定義プロパティを含む JavaScript オブジェクトです。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }`
config.tableName	文字列	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"`
config.fieldNames	アレイ	オプション。 指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` デフォルト：すべてのフィールド
config.fieldDetails	アレイ	オプション。 フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 このプロパティを使用して、機械学習アルゴリズムに、フィールドを特定のタイプとして解釈させます。*fieldNames* プロパティにリストされるすべてのフィールドの詳細を取得する必要はありません。すべての詳細は、*fieldNames* アレイにリストされるフィールドに対応している必要があります。 `[ { "name": "String", "type": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>}
		]</pre>

config.fieldDetails.name	文字列	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 使用する場合、このフィールド名は *fieldNames* プロパティにリストされる、対応する名前と一致する必要があります。
config.fieldDetails.type	文字列	機械学習フィールドタイプ。 データタイプを指定すると、ML トレーナーはそのタイプのフィールドを強制的に解釈します。データタイプを指定しない場合は、システムによってタイプが決定されます。 サポートされるタイプ： • *nominal*：ML は、このフィールドをクラスまたはカテゴリを含むものとして解釈します。 • *numeric*：ML は、このフィールドを数値を含むものとして解釈します。 • *text*：ML は、このフィールドをテキストを含むものとして解釈します。 これらのタイプは、機械学習の観点からデータタイプを識別します。ML のタイプは、ソーステーブルにリストされるタイプとは異なる場合があります。フィールドは文字列タイプにすることができますが、その目的は名目上の値をエンコードすることです。たとえば、「XL」、「L」、「M」などの T シャツ サイズはテーブル内の文字列型ですが、各値は ML の観点から見た名義型属性のカテゴリを表します。
config.encodedQuery	文字列	オプション。 標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「 エンコードされたクエリ文字列 」を参照してください。 クエリーは、絶対的または相対的なクエリーとして構成できます。例えば、クエリーにより、過去 3 か月間 (相対的)、または 5 月から 7 月までの期間 (絶対的) の行を返すことができます。絶対パターンを使用するか相対パターンを使用するかにかかわらず、基になるテーブルの行が変更されると、定義で識別されるデータが変化する可能性があります。

次の例は、データセット定義を作成する方法を示しています 。

```
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition(
  {
     'tableName' : 'incident',
     'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority',
 'assignment_group.name'],
     'fieldDetails' : [
       {
         'name' : 'category',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          'type' : 'nominal'
        },
        {
          'name' : 'short_description',
          'type' : 'text'
        }],
      'encodedQuery' :
 'sys_created_onONLast%202%20quarters@javascript:gs.beginningOfLast2Quart
ers()@javascript:gs.endOfLast2Quarters()^state=3'
  });
```

DatasetDefinition - getEligibleFields(文字列 capability)

指定された機能のソリューション (分類ソリューションなど) に関して、入力フィールド (機能) または予測フィールドのいずれかとして適格なフィールドのリストを返します。適格性は、適切な Glide データタイプのフィールドに基づいて判断されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
機能	文字列	トレーニングに対して適格なフィールドを取得する機能です。このメソッドは現在、分類ソリューションのみをサポートしています。機能に他の値を指定すると、「サポートされていない機能」という例外がスローされます。 有効な値：`"classification"`

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	適格な入力フィールド名と適格な出力フィールド名を含むオブジェクトです。 `{ "eligibleInputFieldNames" : [Array], "eligibleOutputFieldNames" : [Array] }`
<Object>.eligibleInputFieldNames	トレーニングに対して適格な入力フィールドを示す文字列のリストです。 データタイプ：アレイ
<Object>.eligibleOutputFieldNames	トレーニングに対して適格な出力フィールドを示す文字列のリストです。 データタイプ：アレイ

次の例は、分類ソリューションに対して適格なフィールドを表示する方法を示しています。

```
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
  'tableName' : 'incident',
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields('classification'));

gs.print(JSON.stringify(eligibleFields, null, 2));
```

出力:

```
{
  "eligibleInputFieldNames": [
    "resolved_by",
    "short_description",
    "description",
    "notify"
  ],
  "eligibleOutputFieldNames": [
    "parent",
    "caused_by",
    "location",
    "category"
  ]
}
```

DateTimeUtils - グローバル

DateTimeUtils スクリプトインクルードは、日付/時刻関数のコレクションです。

このスクリプトインクルードは任意のサーバーサイドスクリプトで使用でき、GlideAjax を介して利用できます。

DateTimeUtils - int8ToGlideDateTime(数値 int64)

Microsoft AD の整数 8 の DateTime 形式を GlideDateTime 形式に変換します。

Integer8はMicrosoft Filetime 形式とも呼ばれます。このメソッドは、AD ユーザーの日付フィールド(有効期限など)をインポートするときによく使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
int64	番号	1601 年 1 月 1 日 (UTC)以降の 100 ナノ秒間隔の数を表す 64 ビット値

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	GlideDateTime オブジェクトは、Integer8 の日付と時刻に設定されます。

```
//convert and set account expiration date from AD
//this is an example that could be used in an LDAP import transform map
 to import the LDAP account
//expires attribute to a customer created u_account_expires GlideDateTime
 field
var dtUtil = new DateTimeUtils();
target.u_account_expires =
 dtUtil.int8ToGlideDateTime(source.u_accountexpires);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DateTimeUtils - msToGlideDateTime(数値 milliseconds)

ミリ秒を GlideDateTime オブジェクトに変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	番号	ミリ秒数

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	GlideDateTime object

```
//example script to call the method from a client
Replace MILLISECONDSVALUE with your variable
var ga = new GlideAjax('DateTimeUtils');
ga.addParam('sysparm_name','msToGlideDateTime');
ga.addParam('sysparm_value', MILLISECONDSVALUE);
ga.getXMLWait();
var newGDT = ga.getAnswer();
```

DecisionTableAPI - スコープ付き、グローバル

DecisionTableAPI クラスを使用すると、スコープ対象のグローバルサーバー側スクリプトでディシジョンテーブルデータにアクセスできます。

DecisionTableAPI メソッドにアクセスするには、`sn_dt` 名前空間を使用します。この API を使用するには、decision_table_crud_apiロールが必要です。ディシジョンテーブルの詳細については、「ディシジョンテーブル」を参照してください。

DecisionTableAPI - DecisionTableAPI()

DecisionTableAPI オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
```

DecisionTableAPI - createAnswerElementChoices(文字列 decisionID, 配列 questions)

回答要素にリンクされた選択肢 [sys_choice] テーブルに複数のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
選択肢	アレイ	選択肢 [sys_choice] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは 1 つの選択肢レコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>[
		  {
		  answerElementID: "String",
		  label: "String",
		  order: Number,
		  value: "String"
		  }
		]</pre>

choices.answerElementID	文字列	選択肢に関連付ける回答要素のSys_id。結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
choices.label	文字列	選択肢のラベル。
choices.order	番号	オプション。選択の順序。
choices.value	文字列	選択肢の値。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。
	<pre>{
	  "errors": [Array],
	  "results": [Array],
	  "status": "String"
	}</pre>

<Object>。エラー	エラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	  {
	  "message": "String",
	  "type": "String
	  }
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>。業績	各選択肢のステータスに関する情報を含むアレイ。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"results": [
	  {
	  "errors": [Array],
	  "record": GlideRecord,
	  "status": "String"
	  }
	]</pre>

<Object>.results.errors	選択肢のエラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	  {
	  "message": "String",
	  "type": "String
	  }
	]</pre>

<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、選択肢 [sys_choice] テーブルで作成された選択肢を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	選択肢レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、answer 要素に対して 2 つの選択肢を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var answerElementID = '99d197c83d0b9910f8776a598af912df';
var choices = [
   {
      label: 'Hyderabad',
      value: 'hyd',
      answerElementId: answerElementID,
      order: 20
   },
   {
      label: 'Mumbai',
      value: 'mum',
      answerElementId: answerElementID,
      order: 40
   }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createAnswerElementChoices(decisionID, choices);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('First choice sys id - ' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second choice sys id - ' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First choice sys id - 6bc0d3c03d0b9910f8776a598af912c6
Second choice sys id - 6fc0d3c03d0b9910f8776a598af912c9
```

DecisionTableAPI - createAnswerElements(文字列 decisionID, 配列 answerElements)

指定されたディシジョンテーブルに関連する結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルに複数のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
answerElement	アレイ	結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは、1 つの回答要素レコードを作成します。 `[ { label: "String", maxsize: Number, order: Number, reference: "String", type: "String" } ]`
answerElements	文字列	回答要素レコードのラベル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
answerElements.maxsize	番号	オプション。回答要素フィールドに入力できる最大文字数。 このプロパティは、*answerElements.type*が文字列の場合にのみ使用します。 デフォルト値：250
answerElements.order	番号	オプション。回答要素の順序。
answerElements.reference	文字列	*answerElements.type* の値が `Reference` の場合は必須です。answer 要素によって使用される参照テーブルの名前。
answerElements.type	文字列	回答要素の入力タイプ。 有効な値： • ブーリアン • 選択肢 • 通貨 • 10 進数 • Due_date • Glide_date • Glide_date_time • Glide_duration • 整数 • 長整数 • 参照 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "results": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>}
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列

<Object>。業績	各回答要素のステータスに関する情報を含むアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"results": [
	{
	"errors": [Array],
	"record": GlideRecord,
	"status": "String"
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors	answer 要素のエラー情報。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	{
	"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルに作成された answer 要素を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	回答要素レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルの 2 つの回答要素を作成します。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var answerElements = [
   {
      label: 'City name',
      name: 'city',
      type: 'choice',
      comments: 'City name',
   },
   {
      label: 'Assigned To',
      name: 'assigned_to',
      type: 'reference',
      reference: 'sys_user'
   }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createAnswerElements(decisionID, answerElements);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('First answer element sys id - ' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second answer element sys id - ' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First answer element sys id - 41c707803d0b9910f8776a598af91201
Second answer element sys id - 51c707803d0b9910f8776a598af91217
```

DecisionTableAPI - createConditions(文字列 **decisionID**, 配列 **conditions)**

指定されたディシジョンテーブルに関連する意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルに複数のレコードを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
条件	アレイ	意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは、1 つの意思決定条件レコードを作成します。 `[ { decisionInput: "String", defaultOperator: "String", label: "String" } ]`
conditions.decisionInput	文字列	条件に関連付ける意思決定入力のSys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにあります。
conditions.defaultOperator	文字列	オプション。条件のデフォルトの演算子。有効な演算子の一覧については、「フィルターとクエリに使用できる演算子」を参照してください。
conditions.label	文字列	意思決定条件レコードのラベル。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "results": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>。業績	各意思決定条件のステータスに関する情報を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"results": [ { "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" } ]`
<Object>.results.errors	意思決定条件のエラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルで作成された意思決定条件を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	意思決定条件レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルに 2 つの意思決定条件を作成します。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var conditions = [
    {
        label: 'Total count',
        decisionInput: '22bde5003dc39910f8776a598af91292',
        defaultOperator: '!='
    },
    {
        label: 'Is Incident Active',
        decisionInput: '6abde5003dc39910f8776a598af9127e',
        default_operator: 'ISEMPTY',
        order: 10,
        field: 'u_incident.active'
    }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createConditions(decisionID, conditions);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('First condition sys id - ' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second condition sys id - ' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First condition sys id - c1530f4c3dc79910f8776a598af912ef
Second condition sys id - c9530f4c3dc79910f8776a598af912f1
```

DecisionTableAPI:createDecisionTable(オブジェクト **decisionTable)**

ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにディシジョンテーブルレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
意思決定テーブル	オブジェクト	ディシジョンテーブルレコードの作成に使用するフィールド名と値のキーと値のペア。 `{ "accessibleFrom": "String", "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"scope": "String
		}</pre>

decisionTable.accessibleFrom	文字列	オプション。ディシジョンテーブルレコードにアクセスできるスコープ。 有効な値： • package_private • 公開
decisionTable.name	文字列	ディシジョンテーブルの名前。
decisionTable.scope	文字列	ディシジョンテーブルレコードのスコープ。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。
	<pre>{
	"errors": [Array],
	"record": GlideRecord,
	"status": "String"
	}</pre>

<Object>。エラー	エラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	{
	"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord は、ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルで作成されたディシジョンテーブルを参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、緊急変更ポリシーディシジョンテーブルを作成します。

```
var decisionTable = {
    name: 'Emergency Change Policy',
    scope: 'global',
    accessibleFrom: 'public'
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createDecisionTable(decisionTable);
gs.info('Status -' + response.status);
gs.info('Decision Table sys id - ' + response.record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
Decision Table sys id - 665569083d839910f8776a598af91223
```

DecisionTableAPI - createInputChoices(文字列 **decisionID**, 配列 **choices)**

意思決定入力にリンクされた選択肢 [sys_choice] テーブルに複数のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
選択肢	アレイ	選択肢 [sys_choice] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは 1 つの選択肢レコードを作成します。 `[ { inputID: "String", label: "String", order: Number, value: "String" } ]`
choices.inputID	文字列	選択肢に関連付ける意思決定入力のSys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにあります。
choices.label	文字列	選択肢のラベル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
choices.order	番号	オプション。選択の順序。
choices.value	文字列	選択肢の値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "results": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>。業績	各選択肢のステータスに関する情報を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"results": [ { "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" } ]`
<Object>.results.errors	選択肢のエラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、選択肢 [sys_choice] テーブルで作成された選択肢を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	選択肢レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、意思決定入力に対して 2 つの選択肢を作成します。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var inputID = '4d1f8f083d0b9910f8776a598af91274';
var choices = [
   {
      label: 'Hyderabad',
      value: 'hyd',
      inputId: inputID,
      order: 20
   },
   {
      label: 'Mumbai',
      value: 'mum',
      inputId: inputID,
      order: 40
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createInputChoices(decisionID, choices);
gs.info(JSON.stringify(response));
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('First choice sys id - ' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second choice sys id - ' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First choice sys id - 6bc0d3c03d0b9910f8776a598af912c6
Second choice sys id - 6fc0d3c03d0b9910f8776a598af912c9
```

DecisionTableAPI - createInputs(文字列 **decisionID**, 配列 **inputs)**

指定されたディシジョンテーブルに関連する意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルに複数のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
入力	アレイ	意思決定の入力 [sys_decision_input] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは、1 つの意思決定入力レコードを作成します。 `[ { label: "String", maxsize: Number, order: Number, reference: "String", type: "String" } ]`
inputs.label	文字列	意思決定入力レコードのラベル。
inputs.maxSize	番号	オプション。入力フィールドに入力できる最大文字数。 このプロパティは、*inputs.type*が文字列の場合にのみ使用します。 デフォルト値：250
inputs.order	番号	オプション。入力の順序。
inputs.reference	文字列	*inputs.type* の値が `Reference` の場合は必須です。意思決定入力で使用される参照テーブルの名前。
inputs.type	文字列	意思決定の入力タイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • 文字列 • 整数 • True/False • 選択肢 • 参照 • 日付 • 日付/時刻

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "results": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>。業績	各意思決定入力のステータスに関する情報を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"results": [ { "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>}
	]</pre>

<Object>.results.errors	意思決定入力のエラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	{
	"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルで作成された意思決定入力を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	意思決定入力レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルの 2 つの入力を作成します。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var inputs = [
   {
      label: 'Incident',
      type: 'reference',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      reference: 'incident',
      ref_qual: 'active=true^EQ'
   },
   {
      label: 'Total count',
      type: 'integer'
   }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createInputs(decisionID,inputs);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('First input id -' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second input id -' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First input id - 5dbfa58c3d839910f8776a598af91219
Second input id - 95bfe1803dc39910f8776a598af912fa
```

DecisionTableAPI - createQuestions(文字列 **decisionID**, 配列 **questions)**

指定されたディシジョンテーブルに関連する意思決定 [sys_decision_question] テーブルに複数のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
質問	アレイ	意思決定 [sys_decision_question] テーブルにレコードを作成するために使用されるオブジェクトのアレイ。各オブジェクトは 1 つの質問レコードを作成します。 `[ { active: Boolean, answer: [Array], condition: "String", defaultAnswer: Boolean, order: Number } ]`
questions.active	ブーリアン	質問レコードがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:質問レコードはアクティブです。 • false:質問レコードはアクティブではありません。
questions.answer	アレイ	質問に対する可能な回答のアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		結果表が 1 つの場合、配列は 1 つのオブジェクトのみを持つことができます。複数結果表の場合、配列は複数のオブジェクトを持つことができます。 `[ { name: "String", value: "String" } ]`
questions.answer.name	文字列	回答要素の名前。結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
questions.answer.value	文字列	回答要素の値。結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
questions.condition	文字列	この質問に到達するために必要な条件。 条件に使用できるフィールドは、ディシジョンテーブルに関連付けられている意思決定入力です。 条件の作成の詳細については、「フィルターとクエリに使用できる演算子」を参照してください。
questions.defaultAnswer	ブールオン	この質問がディシジョンテーブルのデフォルトの質問であるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:質問がデフォルトの質問です。 • false:質問はデフォルトの質問ではありません。
questions.order	番号	質問の順序。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "results": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列

<Object>。業績	各質問のステータスに関する情報を含むアレイ。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"results": [
	{
	"errors": [Array],
	"record": GlideRecord,
	"status": "String"
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors	質問のエラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	{
	"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.results.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.results.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.results.record	GlideRecord は、意思決定 [sys_decision_question] テーブルで作成された質問を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.results.status	質問レコードが正常に作成されたかどうかを示すステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 成功 • 失敗 データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルに対して 2 つの質問を作成します。

```
var decisionID = 'a45be18c3d839910f8776a598af91269';
var questions = [
   {
      condition: 'u_item=Phone^u_price=500^EQ',
      answer:[
         {
            name: 'u_seller',
            value: '02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d64'
         },
         {
            name: 'u_discount',
            value: '5'
         }
      ],
      active: true,
      defaultAnswer: true,
      order: 300
   },
   {
      condition: 'u_item=Laptop^u_price>800^EQ',
      answer:[
         {
            name: 'u_discount',
            value: '20'
         }
      ],
      active: true,
      defaultAnswer: false,
      order: 150
   }
];

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.createQuestions(decisionID, questions);
gs.info(JSON.stringify(response));
gs.info('Status - ' + response.status);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info('First decision sys id - ' +
 response.results[0].record.getValue('sys_id'));
gs.info('Second decision sys id - ' +
 response.results[1].record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
First decision sys id - 21c8d3003d4b9910f8776a598af91213
Second decision sys id - e9c8d3003d4b9910f8776a598af91218
```

DecisionTableAPI - deleteAnswerElement(文字列 **answerElementID)**

結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
answerElementID (回答要素 ID)	文字列	回答要素レコードのSys_id。結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、answer 要素を削除します。

```
var answerElementID = '51c707803d0b9910f8776a598af91217';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteAnswerElement(answerElementID);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI:deleteChoice(文字列 **choiceID)**

選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
選択肢 ID	文字列	選択レコードのSys_id。選択肢 [sys_choice] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、選択肢を削除します。

```
var choiceID = '4532db883d0b9910f8776a598af912e7';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteChoice(choiceID);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - deleteCondition(文字列 **conditionID)**

意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
条件 ID	文字列	意思決定条件レコードのSys_id。意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"message": "String",
	"type": "String
	}
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、意思決定条件を削除します。

```
var conditionID = 'c9530f4c3dc79910f8776a598af912f1';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteCondition(conditionID);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - deleteDecisionTable(文字列 **decisionID)**

ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。
	<pre>{
	"errors": [Array],</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "status": "String" }</pre>

<Object>。エラー	エラー情報。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	   {
	      "message": "String",
	      "type": "String
	   }
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルを削除します。

```
var decisionID = 'a1f6e14c3d039910f8776a598af9129d';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteDecisionTable(decisionID);
gs.info('Status -' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - deleteInput(文字列 **inputID)**

意思決定の入力 [sys_decision_input] テーブルのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力 ID	文字列	意思決定入力レコードのSys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、意思決定入力を削除します。

```
var inputID = 'a1f6e14c3d039910f8776a598af9129d';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteInput(inputID);
gs.info('Status -' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - deleteQuestion(文字列 **questionID)**

意思決定 [sys_decision_question] テーブルのレコードを削除します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
質問 ID	文字列	質問レコードのSys_id。意思決定 [sys_decision_question] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、質問を削除します。

```
var questionId = '700602fe81d21110f87735acbca2c610';

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.deleteQuestion(questionId);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - getAll()

意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからすべての意思決定テーブルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからのすべての意思決定テーブルとそのフィールドです。各意思決定テーブルには、次のキー/値ペアが含まれています。 • distinctAnswers：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた回答レコードです。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ▪ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ▪ type：文字列。回答要素のタイプ。 ▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答要素の値。 ◦ label：文字列。回答レコードラベル。 ◦ multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ value：文字列。回答レコードの sys_id。 ◦ table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 • referenceQualifier：文字列。内部目的で使用されます。 • inputs：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの意思決定入力です。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ searchField：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ defaultValue：文字列。入力のデフォルト値。 ◦ show_ref_finder：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ use_dependent：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ type：文字列。入力データタイプ。 ◦ mandatory：ブール。入力が必須の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ extended：ブール。入力が別のフィールドを拡張する場合は true。それ以外の場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ local：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ sys_class_name：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ reference：文字列。入力タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ dependent_on：文字列。ドキュメント ID と選択肢の入力が依存するフィールド。 ◦ data_structure：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ readonly：ブール。入力が読み取り専用の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ id：文字列。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの入力の sys_id。 ◦ type_label：文字列。入力データタイプラベル。 ◦ table：文字列。入力タイプが参照の場合の参照フィールドテーブル。 ◦ order：数値。システムが入力を評価する順序。 ◦ ref_qual：文字列。参照テーブルに適用される条件。 ◦ reference_display：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ choiceOption：文字列。ユーザーに推奨値のリストを表示する方法。 ◦ label：文字列。入力レコードのラベル。 ◦ hint：文字列。必要な入力をユーザーが理解するのに役立つヒントテキスト。 ◦ name：文字列。入力レコードの内部名。 ◦ attributes：アレイ。入力レコードに適用されるフィールド属性。 ◦ maxsize：数値。フィールドに入力できる最大文字数。 ◦ columnName：文字列。入力の名前。 • answerElements：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた回答要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルからの回答要素。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ searchField：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ defaultValue：文字列。回答要素のデフォルト値。 ◦ show_ref_finder：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ use_dependent：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ type：文字列。回答要素のデータタイプ。 ◦ mandatory：ブール。回答要素が必須の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ extended：ブール。回答要素が別のフィールドを拡張する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ local：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ sys_class_name：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ reference：文字列。回答要素タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ dependent_on：文字列。ドキュメント ID と選択肢の回答要素が依存するフィールド。 ◦ data_structure：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ readonly：ブール。入力が読み取り専用の場合は true。それ以外の場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ id：文字列。回答要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルからの入力の sys_id。 ◦ type_label：文字列。回答要素のデータタイプラベル。 ◦ table：文字列。回答要素タイプが参照の場合は参照フィールドテーブル。 ◦ order：数値。回答要素の順序。 ◦ ref_qual：文字列。参照テーブルに適用される条件。 ◦ reference_display：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ comments：回答要素の説明。 ◦ choiceOption：文字列。ユーザーに推奨値のリストを表示する方法。 ◦ label：文字列。回答要素レコードのラベル。 ◦ hint：文字列。必要な回答要素をユーザーが理解するのに役立つヒントテキスト。 ◦ name：文字列。回答要素レコードの内部名。 ◦ attributes：アレイ。回答要素レコードに適用されるフィールド属性。 ◦ maxsize：数値。フィールドに入力できる最大文字数。 ◦ columnName：文字列。回答要素の名前。 • domain：文字列。意思決定テーブルが表示されるドメイン。 • answerType：文字列。内部目的で使用されます。 • questions：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた意思決定 [sys_decision_question] テーブルからの意思決定レコード。意思決定レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ defaultAnswer：ブール。この意思決定が意思決定テーブルのデフォルトである場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ condition：文字列。この決定に達するために必要な条件。条件で利用可能なフィールドは、この意思決定テーブルに関連付けられている意思決定入力です。 ◦ answer：オブジェクト。意思決定に関連付けられた回答レコード。回答オブジェクトはこれらのキーと値のペアを含んでいます。 ▪ answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ▪ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ▪ type：文字列。回答要素のタイプ。 ▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答要素の値。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答レコードの sys_id。 ▪ table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 ◦ decisionTable：文字列。意思決定に関連付けられた意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルの sys_id。 ◦ domain：文字列。意思決定が表示されるドメイン。 ◦ active：ブール。意思決定レコードがアクティブな場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ id：文字列。意思決定 [sys_decision] テーブルからの意思決定レコードの sys_id。 ◦ label：文字列。意思決定レコードのラベル。 ◦ order：数値。システムで意思決定を評価する順序。 • accessibleFrom：文字列。レコードにアクセスできるスコープ。 • name：文字列。意思決定テーブルレコードの内部名。 • active：ブール。意思決定テーブルレコードがアクティブな場合は true。それ以外の場合は false。 • multipleAnswerSupported：ブール。意思決定テーブルが複数の回答をサポートする場合は true。それ以外の場合は false。 • id：文字列。意思決定テーブルレコードの sys_id。 • label：文字列。意思決定テーブルレコードのラベル。 • answerTable：オブジェクト。意思決定テーブルに関連付けられた回答テーブル。 ◦ displayValue：文字列。回答レコードを含むテーブルの表示名。 ◦ value：文字列。回答レコードを含むテーブルの内部名。 • conditions：アレイ。意思決定 [sys_decision_question_list] テーブルの条件。ディシジョンビルダー で作成または編集された意思決定テーブルにのみ適用されます。各エントリーには、次のキーと値のペアが含まれています。 ◦ decisionInput：文字列。対応する意思決定入力の sys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにリストされます。 ◦ sysId：文字列。条件レコードの sys_id。 ◦ defaultOperator：文字列。条件のデフォルトの演算子。 ◦ typeName：文字列。条件タイプの名前。 ◦ description：文字列。条件の説明。 ◦ label：文字列。条件のラベル。 ◦ type：文字列。条件タイプの sys_id。 ◦ reference：文字列。条件タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ field：文字列。条件がタイプ参照の入力からドット連結された場合の条件のフィールド。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ decisionTable：文字列。意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルの sys_id。 ◦ fieldLabel: 文字列。条件がタイプ参照の入力からドット連結された場合の条件のフィールドラベル。 ◦ scope：文字列。条件のスコープ。 ◦ domain：文字列。条件が表示されるドメイン。 ◦ typeLabel：文字列。条件タイプのラベル。 ◦ fieldParentTable：条件フィールドのテーブル名。条件が参照入力から非参照フィールドにドット連結された場合に値が返されます。 ◦ order：数値。条件の順序。 形式：JSON

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.getAll();
gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
{"result": [
  {
    "distinctAnswers": [{
      "valid": true,
      "label": "Assignment Group Manager Approval",
      "value": "5684821db701230034d1da23ee11a94d",
      "table": "chg_approval_def"
    }],
    "referenceQualifier": "",
    "inputs": [
      {
        "searchField": null,
        "defaultValue": "0",
        "show_ref_finder": false,
        "use_dependent": false,
        "type": "integer",
        "mandatory": false,
        "extended": false,
        "local": false,
        "sys_class_name": "",
        "reference": "",
        "dependent_on": "",
        "data_structure": "",
        "readonly": false,
        "id": "eca52ca7b701230034d1da23ee11a95a",
        "type_label": "Integer",
        "table": "",
        "order": 100,
        "ref_qual": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "reference_display": "",
        "choiceOption": "",
        "label": "CI Count",
        "hint": "",
        "name": "ci_count",
        "attributes": {"element_mapping_provider":
"com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
        "maxsize": 40,
        "columnName": ""
      },
      {
        "searchField": "number",
        "defaultValue": "",
        "show_ref_finder": false,
        "use_dependent": false,
        "type": "reference",
        "mandatory": false,
        "extended": false,
        "local": false,
        "sys_class_name": "",
        "reference": "change_request",
        "dependent_on": "",
        "data_structure": "",
        "readonly": false,
        "id": "1395e8a7b701230034d1da23ee11a9b6",
        "type_label": "Reference",
        "table": "",
        "order": 100,
        "ref_qual": "",
        "reference_display": "Change Request",
        "choiceOption": "",
        "label": "Change request",
        "hint": "",
        "name": "change_request",
        "attributes": {"element_mapping_provider":
"com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
        "maxsize": 32,
        "columnName": ""
      }
    ],
    "domain": "global",
    "answerType": "reference",
    "questions": [{
      "defaultAnswer": false,
      "condition": "ci_count>=1000^EQ",
      "answer": {
        "valid": true,
        "label": "Assignment Group Manager Approval",
        "value": "5684821db701230034d1da23ee11a94d",
        "table": "chg_approval_def"
      },
      "decisionTable": "e49568a7b701230034d1da23ee11a913",
      "domain": "global",
      "active": true,
      "state": null,
      "id": "2a36eca7b701230034d1da23ee11a961",
      "label": "Mandatory Approval if 1000 CIs or more",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "order": 0
    }],
    "accessibleFrom": "public",
    "name": "Example Standard Change Policy",
    "active": true,
    "id": "e49568a7b701230034d1da23ee11a913",
    "label": "",
    "answerTable": {
      "displayValue": "Change Approval Definition",
      "value": "chg_approval_def"
    }
  },
  {
    "distinctAnswers": [
      {
        "valid": true,
        "label": "CAB Approval",
        "value": "45358a5db701230034d1da23ee11a938",
        "table": "chg_approval_def"
      },
      {
        "valid": true,
        "label": "Assignment Group Manager Approval",
        "value": "5684821db701230034d1da23ee11a94d",
        "table": "chg_approval_def"
      },
      {
        "valid": true,
        "label": "Assignment Group Approval",
        "value": "dc95ca5db701230034d1da23ee11a9e9",
        "table": "chg_approval_def"
      }
    ],
    "referenceQualifier": "",
    "inputs": [
      {
        "searchField": null,
        "defaultValue": "false",
        "show_ref_finder": false,
        "use_dependent": false,
        "type": "boolean",
        "mandatory": false,
        "extended": false,
        "local": false,
        "sys_class_name": "",
        "reference": "",
        "dependent_on": "",
        "data_structure": "",
        "readonly": false,
        "id": "c0a7869db701230034d1da23ee11a9e7",
        "type_label": "True/False",
        "table": "",
        "order": 100,
        "ref_qual": "",
        "reference_display": "",
        "choiceOption": "",
        "label": "Manager approved",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "hint": "",
        "name": "manager_approved",
        "attributes": {"element_mapping_provider":
 "com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
        "maxsize": 40,
        "columnName": ""
      },
      {
        "searchField": "number",
        "defaultValue": "",
        "show_ref_finder": false,
        "use_dependent": false,
        "type": "reference",
        "mandatory": false,
        "extended": false,
        "local": false,
        "sys_class_name": "",
        "reference": "change_request",
        "dependent_on": "",
        "data_structure": "",
        "readonly": false,
        "id": "23164e5db701230034d1da23ee11a9c5",
        "type_label": "Reference",
        "table": "",
        "order": 100,
        "ref_qual": "",
        "reference_display": "Change Request",
        "choiceOption": "",
        "label": "Change request",
        "hint": "",
        "name": "change_request",
        "attributes": {"element_mapping_provider":
 "com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
        "maxsize": 32,
        "columnName": ""
      }
    ],
    "domain": "global",
    "answerType": "reference",
    "questions": [
      {
        "defaultAnswer": false,
        "condition":
 "change_request.state=-3^change_request.riskIN2,3^NQchange_request.state
=-3^change_request.assignment_group.managerISEMPTY^EQ",
        "answer": {
          "valid": true,
          "label": "CAB Approval",
          "value": "45358a5db701230034d1da23ee11a938",
          "table": "chg_approval_def"
        },
        "decisionTable": "5b06ce5db701230034d1da23ee11a965",
        "domain": "global",
        "active": true,
        "state": null,
        "id": "10284a9db701230034d1da23ee11a9c1",
        "label": "Requires CAB Approval",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "order": 0
      },
      {
        "defaultAnswer": false,
        "condition":
 "change_request.state=-3^change_request.risk=4^manager_approved=false^E
Q",
        "answer": {
          "valid": true,
          "label": "Assignment Group Manager Approval",
          "value": "5684821db701230034d1da23ee11a94d",
          "table": "chg_approval_def"
        },
        "decisionTable": "5b06ce5db701230034d1da23ee11a965",
        "domain": "global",
        "active": true,
        "state": null,
        "id": "88e6829db701230034d1da23ee11a9a9",
        "label": "Low Risk Manager approval",
        "order": 0
      },
      {
        "defaultAnswer": false,
        "condition": "change_request.state=-4^EQ",
        "answer": {
          "valid": true,
          "label": "Assignment Group Approval",
          "value": "dc95ca5db701230034d1da23ee11a9e9",
          "table": "chg_approval_def"
        },
        "decisionTable": "5b06ce5db701230034d1da23ee11a965",
        "domain": "global",
        "active": true,
        "state": null,
        "id": "a436029db701230034d1da23ee11a989",
        "label": "Assess Technical Approvals",
        "order": 0
      }
    ],
    "accessibleFrom": "public",
    "name": "Normal Change Policy",
    "active": true,
    "id": "5b06ce5db701230034d1da23ee11a965",
    "label": "",
    "answerTable": {
      "displayValue": "Change Approval Definition",
      "value": "chg_approval_def"
    }
  },

]}
```


DecisionTableAPI - getAnswers(文字列 **decisionID)**

指定された意思決定テーブルに関連付けられた回答を返します。回答は、意思決定 [sys_decision_question] レコードに関連付けられたテーブルのレコードです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	意思決定テーブルに関連付けられた回答レコードです。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 • answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ◦ label：文字列。回答レコードラベル。 ◦ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ◦ type：文字列。回答要素のタイプ。 ◦ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ value：文字列。回答要素の値。 • label：文字列。回答レコードラベル。 • multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。 • valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 • value：文字列。回答レコードの sys_id。 • table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 形式：JSON

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.getAnswers("3c4464a7b701230034d1da23ee11a993");
gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
{
 "result": [
  {
   "answerElementValues": [
    {
     "valid": true,
     "answerElementName": "u_user",
     "label": "Abel Tuter",
     "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
     "table": "sys_user"
   }],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "valid": true,
  "multipleAnswerRecord": true,
  "label": "User: Abel Tuter",
  "value": "76e19cd953d7011097a3ddeeff7b122c",
  "table": "sys_decision_multi_result"
  },
 ]
}
```

DecisionTableAPI - getDecision(文字列 **decisionID**, マップ **inputs**)

指定された入力に基づいて意思決定テーブルを評価し、回答を返します。入力が指定されていない場合は、最初に見つかったデフォルトの回答を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。
inputs	マップ	オプション。指定された意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルの入力値。**Column name** フィールドの値をキーとして使用します。値のデータタイプは、意思決定入力の **Type** フィールドと一致する必要があります。入力が指定されていない場合は、最初に見つかったデフォルトの回答を返します。 **注:** すべての入力と列名は、次の形式に従う必要があります。 • すべて小文字で、プリフィックスとして `u_` を付ける • 空白は `_` に置き換えられます 次に例を示します。 • 入力名:インシデント • 技術名称を入力: u_incident • 結果列名:アサイン先グループ • 結果列の技術名称:u_assignment_group 詳細については、「DecisionTableAPI を使用した JavaScript からの意思決定 - ワークフロー自動化 CoE」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	意思決定テーブルに関連付けられた、正しく評価された回答レコードです。回答レコードは、意思決定 [sys_decision_question] レコードの **Answer table** フィールドで定義されたテーブルのレコードです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 入力が指定されていない場合は、最初に見つかったデフォルトの回答を返します。デフォルトの回答または正しく評価された回答が見つからない場合は、エラーを返します。 • 意思決定テーブルが複数の回答をサポートしている場合、各回答は *result_elements* フィールドにリストされます。

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var inputs = new Object();
inputs['u_age'] = 25;
var response = dt.getDecision('26eea7a9dba07300efc65404ce961961',
 inputs);
var user = response.result_elements.u_user;
```

DecisionTableAPI - getDecisions(文字列 **decisionID**, マップ **inputs)**

指定された入力に基づいて意思決定テーブルを評価し、正しく評価されたすべての回答を返します。入力が指定されていない場合は、すべてのデフォルトの回答を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。
inputs	マップ	オプション。指定された意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルの入力値です。入力が指定されていない場合は、すべてのデフォルトの回答を返します。 **注:** すべての入力と列名は、次の形式に従う必要があります。 • すべて小文字で、プリフィックスとして `u_` を付ける • 空白は `_` に置き換えられます 次に例を示します。 • 入力名:インシデント • 技術名称を入力: u_incident • 結果列名:アサイン先グループ • 結果列の技術名称:u_assignment_group 詳細については、「DecisionTableAPI を使用した JavaScript からの意思決定 - ワークフロー自動化 CoE」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	GlideRecord 形式の回答レコードリストです。回答レコードは、意思決定 [sys_decision_question] レコードに関連付けられたテーブルのレコードです。 • 入力が指定されていない場合は、すべてのデフォルトの回答を返します。 • デフォルトの回答または正しく評価された回答が見つからない場合は、エラーを返します。 • 意思決定テーブルが複数の回答をサポートしている場合、各回答は *result_elements* フィールドにリストされます。

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var input = new Object();
input['u_age'] = 25;
var response = dt.getDecisions('5b06ce5db701230034d1da23ee11a965',
 input);
var firstRecord = response[0];
var user = firstRecord.result_elements.u_user;
```

DecisionTableAPI - getDecisionTable(文字列 **decisionID)**

意思決定テーブル [sys_decision] テーブルから単一の意思決定テーブルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルです。各意思決定テーブルには、次のキー/値ペアが含まれています。 • distinctAnswers：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた回答レコードです。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ▪ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ▪ type：文字列。回答要素のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答要素の値。 ◦ label：文字列。回答レコードラベル。 ◦ multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ value：文字列。回答レコードの sys_id。 ◦ table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 • referenceQualifier：文字列。内部目的で使用されます。 • inputs：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの意思決定入力です。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ searchField：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ defaultValue：文字列。入力のデフォルト値。 ◦ show_ref_finder：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ use_dependent：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ type：文字列。入力データタイプ。 ◦ mandatory：ブール。入力が必須の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ extended：ブール。入力が別のフィールドを拡張する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ local：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ sys_class_name：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ reference：文字列。入力タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ dependent_on：文字列。ドキュメント ID と選択肢の入力が依存するフィールド。 ◦ data_structure：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ readonly：ブール。入力が読み取り専用の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ id：文字列。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの入力の sys_id。 ◦ type_label：文字列。入力データタイプラベル。 ◦ table：文字列。入力タイプが参照の場合の参照フィールドテーブル。 ◦ order：数値。システムが入力を評価する順序。 ◦ ref_qual：文字列。参照テーブルに適用される条件。 ◦ reference_display：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ choiceOption：文字列。ユーザーに推奨値のリストを表示する方法。 ◦ label：文字列。入力レコードのラベル。 ◦ hint：文字列。必要な入力をユーザーが理解するのに役立つヒントテキスト。 ◦ name：文字列。入力レコードの内部名。 ◦ attributes：アレイ。入力レコードに適用されるフィールド属性。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ maxsize：数値。フィールドに入力できる最大文字数。 ◦ columnName：文字列。入力の名前。 • answerElements：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた回答要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルからの回答要素。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ searchField：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ defaultValue：文字列。回答要素のデフォルト値。 ◦ show_ref_finder：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ use_dependent：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ type：文字列。回答要素のデータタイプ。 ◦ mandatory：ブール。回答要素が必須の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ extended：ブール。回答要素が別のフィールドを拡張する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ local：ブール。内部目的で使用されます。 ◦ sys_class_name：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ reference：文字列。回答要素タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ dependent_on：文字列。ドキュメント ID と選択肢の回答要素が依存するフィールド。 ◦ data_structure：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ readonly：ブール。入力が読み取り専用の場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ id：文字列。回答要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルからの入力の sys_id。 ◦ type_label：文字列。回答要素のデータタイプラベル。 ◦ table：文字列。回答要素タイプが参照の場合は参照フィールドテーブル。 ◦ order：数値。回答要素の順序。 ◦ ref_qual：文字列。参照テーブルに適用される条件。 ◦ reference_display：文字列。内部目的で使用されます。 ◦ comments：回答要素の説明。 ◦ choiceOption：文字列。ユーザーに推奨値のリストを表示する方法。 ◦ label：文字列。回答要素レコードのラベル。 ◦ hint：文字列。必要な回答要素をユーザーが理解するのに役立つヒントテキスト。 ◦ name：文字列。回答要素レコードの内部名。 ◦ attributes：アレイ。回答要素レコードに適用されるフィールド属性。 ◦ maxsize：数値。フィールドに入力できる最大文字数。 ◦ columnName：文字列。回答要素の名前。 • domain：文字列。意思決定テーブルが表示されるドメイン。 • answerType：文字列。内部目的で使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• questions：アレイ。意思決定テーブルに関連付けられた意思決定 [sys_decision_question] テーブルからの意思決定レコード。意思決定レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ◦ defaultAnswer：ブール。この意思決定が意思決定テーブルのデフォルトである場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ condition：文字列。この決定に達するために必要な条件。条件で利用可能なフィールドは、この意思決定テーブルに関連付けられている意思決定入力です。 ◦ answer：オブジェクト。意思決定に関連付けられた回答レコード。回答オブジェクトはこれらのキーと値のペアを含んでいます。 ▪ answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ▪ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ▪ type：文字列。回答要素のタイプ。 ▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答要素の値。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答レコードの sys_id。 ▪ table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 ◦ decisionTable：文字列。意思決定に関連付けられた意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルの sys_id。 ◦ domain：文字列。意思決定が表示されるドメイン。 ◦ active：ブール。意思決定レコードがアクティブな場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ id：文字列。意思決定 [sys_decision] テーブルからの意思決定レコードの sys_id。 ◦ label：文字列。意思決定レコードのラベル。 ◦ order：数値。システムで意思決定を評価する順序。 • accessibleFrom：文字列。レコードにアクセスできるスコープ。 • name：文字列。意思決定テーブルレコードの内部名。 • active：ブール。意思決定テーブルレコードがアクティブな場合は true。それ以外の場合は false。 • multipleAnswerSupported：ブール。意思決定テーブルが複数の回答をサポートする場合は true。それ以外の場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• id：文字列。意思決定テーブルレコードの sys_id。 • label：文字列。意思決定テーブルレコードのラベル。 • answerTable：オブジェクト。意思決定テーブルに関連付けられた回答テーブル。 ◦ displayValue：文字列。回答レコードを含むテーブルの表示名。 ◦ value：文字列。回答レコードを含むテーブルの内部名。 • conditions：アレイ。意思決定 [sys_decision_question_list] テーブルの条件。ディシジョンビルダー で作成または編集された意思決定テーブルにのみ適用されます。各エントリーには、次のキーと値のペアが含まれています。 ◦ decisionInput：文字列。対応する意思決定入力の sys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにリストされます。 ◦ sysId：文字列。条件レコードの sys_id。 ◦ defaultOperator：文字列。条件のデフォルトの演算子。 ◦ typeName：文字列。条件タイプの名前。 ◦ description：文字列。条件の説明。 ◦ label：文字列。条件のラベル。 ◦ type：文字列。条件タイプの sys_id。 ◦ reference：文字列。条件タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 ◦ field：文字列。条件がタイプ参照の入力からドット連結された場合の条件のフィールド。 ◦ decisionTable：文字列。意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルの sys_id。 ◦ fieldLabel: 文字列。条件がタイプ参照の入力からドット連結された場合の条件のフィールドラベル。 ◦ scope：文字列。条件のスコープ。 ◦ domain：文字列。条件が表示されるドメイン。 ◦ typeLabel：文字列。条件タイプのラベル。 ◦ fieldParentTable：条件フィールドのテーブル名。条件が参照入力から非参照フィールドにドット連結された場合に値が返されます。 ◦ order：数値。条件の順序。 形式：JSON

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.getDecisionTable("3c4464a7b701230034d1da23ee11a993");
gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
"distinctAnswers": [{
    "valid": true,
    "label": "CAB Approval",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "value": "45358a5db701230034d1da23ee11a938",
    "table": "chg_approval_def"
  }],
  "referenceQualifier": "",
  "inputs": [{
    "searchField": "number",
    "defaultValue": "",
    "show_ref_finder": false,
    "use_dependent": false,
    "type": "reference",
    "mandatory": false,
    "extended": false,
    "local": false,
    "sys_class_name": "",
    "reference": "change_request",
    "dependent_on": "",
    "data_structure": "",
    "readonly": false,
    "id": "634420a7b701230034d1da23ee11a94f",
    "type_label": "Reference",
    "table": "",
    "order": 100,
    "ref_qual": "",
    "reference_display": "Change Request",
    "choiceOption": "",
    "label": "Change request",
    "hint": "",
    "name": "change_request",
    "attributes": {"element_mapping_provider":
"com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
    "maxsize": 32,
    "columnName": ""
  }],
  "domain": "global",
  "answerType": "reference",
  "questions": [{
    "defaultAnswer": true,
    "condition": "change_request.state=-3^EQ",
    "answer": {
      "valid": true,
      "label": "CAB Approval",
      "value": "45358a5db701230034d1da23ee11a938",
      "table": "chg_approval_def"
    },
    "decisionTable": "3c4464a7b701230034d1da23ee11a993",
    "domain": "global",
    "active": true,
    "state": null,
    "id": "2764a4a7b701230034d1da23ee11a989",
    "label": "Requires CAB Approval",
    "order": 0
  }],
  "accessibleFrom": "public",
  "name": "Emergency Change Policy",
  "active": true,
  "id": "3c4464a7b701230034d1da23ee11a993",
  "label": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "answerTable": {
    "displayValue": "Change Approval Definition",
    "value": "chg_approval_def"
  }
}
```

DecisionTableAPI - getInputs(文字列 decisionID)

渡された意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルから意思決定入力を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	意思決定テーブルに関連付けられた意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの意思決定入力です。意思決定テーブル [sys_decision] テーブルの意思決定入力関連リストを使用して、意思決定テーブルに関連付けられた入力を見つけることができます。入力には次のキー/値ペアが含まれています。 • searchField：文字列。内部目的で使用されます。 • defaultValue：文字列。入力のデフォルト値。 • show_ref_finder：ブール。内部目的で使用されます。 • use_dependent：ブール。内部目的で使用されます。 • type：文字列。入力データタイプ。 • mandatory：ブール。入力が必須の場合は true。それ以外の場合は false。 • extended：ブール。入力が別のフィールドを拡張する場合は true。それ以外の場合は false。 • local：ブール。内部目的で使用されます。 • sys_class_name：文字列。内部目的で使用されます。 • reference：文字列。入力タイプが参照の場合に使用される参照テーブル。 • dependent_on：文字列。ドキュメント ID と選択肢の入力が依存するフィールド。 • data_structure：文字列。内部目的で使用されます。 • readonly：ブール。入力が読み取り専用の場合は true。それ以外の場合は false。 • id：文字列。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルからの入力の sys_id。 • type_label：文字列。入力データタイプラベル。 • table：文字列。入力タイプが参照の場合の参照フィールドテーブル。 • order：数値。システムが入力を評価する順序。 • ref_qual：文字列。参照テーブルに適用される条件。 • reference_display：文字列。内部目的で使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• choiceOption：文字列。ユーザーに推奨値のリストを表示する方法。 • label：文字列。入力レコードのラベル。 • hint：文字列。必要な入力をユーザーが理解するのに役立つヒントテキスト。 • name：文字列。入力レコードの内部名。 • attributes：アレイ。入力レコードに適用されるフィールド属性。 • maxsize：数値。フィールドに入力できる最大文字数。 • columnName：文字列。入力の名前。 形式：JSON

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.getInputs("3c4464a7b701230034d1da23ee11a993");
gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
{"result": [{
  "searchField": "number",
  "defaultValue": "",
  "show_ref_finder": false,
  "use_dependent": false,
  "type": "reference",
  "mandatory": false,
  "extended": false,
  "local": false,
  "sys_class_name": "",
  "reference": "change_request",
  "dependent_on": "",
  "data_structure": "",
  "readonly": false,
  "id": "634420a7b701230034d1da23ee11a94f",
  "type_label": "Reference",
  "table": "",
  "order": 100,
  "ref_qual": "",
  "reference_display": "Change Request",
  "choiceOption": "",
  "label": "Change request",
  "hint": "",
  "name": "change_request",
  "attributes": {"element_mapping_provider":
 "com.glide.decision_table.data.DecisionTableVariableMapper"},
  "maxsize": 32,
  "columnName": ""
}]}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DecisionTableAPI - getQuestions(文字列 decisionID)

渡された意思決定テーブルに関連付けられた意思決定 [sys_decision_question] テーブルから意思決定を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルからのディシジョンテーブルレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	意思決定テーブルに関連付けられた意思決定 [sys_decision_question] テーブルからの意思決定です。意思決定テーブル [sys_decision] テーブルの意思決定関連リストを使用して、意思決定テーブルに関連付けられた意思決定を見つけることができます。意思決定レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 • defaultAnswer：ブール。この意思決定が意思決定テーブルのデフォルトである場合は true。それ以外の場合は false。 • condition：文字列。この決定に達するために必要な条件。条件で利用可能なフィールドは、この意思決定テーブルに関連付けられている意思決定入力です。 • answer：オブジェクト。意思決定に関連付けられた回答レコード。回答オブジェクトはこれらのキーと値のペアを含んでいます。 ◦ answerElementValues：アレイ。回答レコードに関連付けられた回答要素の値。各レコードには、次のキー/値ペアが含まれています。 ▪ answerElementName：文字列。回答要素の名前。 ▪ label：文字列。回答レコードラベル。 ▪ table：文字列。回答要素が参照タイプの場合の回答要素のテーブル。 ▪ type：文字列。回答要素のタイプ。 ▪ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ▪ value：文字列。回答要素の値。 ◦ label：文字列。回答レコードラベル。 ◦ multipleAnswerRecord：ブール。複数回答レコードの場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ valid：ブール。レコードがシステムに存在する場合は true。それ以外の場合は false。 ◦ value：文字列。回答レコードの sys_id。 ◦ table：文字列。回答レコードを含むテーブル。 • decisionTable：文字列。意思決定に関連付けられた意思決定テーブル [sys_decision] テーブルからの意思決定テーブルの sys_id。 • domain：文字列。意思決定が表示されるドメイン。 • active：ブール。意思決定レコードがアクティブな場合は true。それ以外の場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• id：文字列。意思決定 [sys_decision] テーブルからの意思決定レコードの sys_id。 • label：文字列。意思決定レコードのラベル。 • order：数値。システムで意思決定を評価する順序。 形式：JSON

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.getQuestions("3c4464a7b701230034d1da23ee11a993");
gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
{"result": [{
  "defaultAnswer": true,
  "condition": "change_request.state=-3^EQ",
  "answer": {
    "valid": true,
    "label": "CAB Approval",
    "value": "45358a5db701230034d1da23ee11a938",
    "table": "chg_approval_def"
  },
  "decisionTable": "3c4464a7b701230034d1da23ee11a993",
  "domain": "global",
  "active": true,
  "state": null,
  "id": "2764a4a7b701230034d1da23ee11a989",
  "label": "Requires CAB Approval",
  "order": 0
}]}
```

DecisionTableAPI:updateAnswerElement(文字列 **answerElementID**, オブジェクト **answerElement)**

結果 [sys_decision_multi_result_element] テーブルのレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
answerElementID (回答要素 ID)	文字列	回答要素レコードのSys_id。結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
answerElement	オブジェクト	回答要素レコードを更新するためのキーと値のペア。 `{ comments: "String", label: "String", maxsize: Number }`
answerElement.comments	文字列	オプション。answer 要素の説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
answerElement.label	文字列	オプション。回答要素レコードのラベル。
answerElement.maxsize	番号	オプション。回答要素フィールドに入力できる最大文字数。 このプロパティは、*answerElement.type*が文字列の場合にのみ使用します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord は、結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルで更新された answer 要素を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、answer 要素のラベルとコメントを更新します。

```
var answerElementID = '51c707803d0b9910f8776a598af91217';
var answerElement = {
   label: 'Product',
   comments: 'hello'
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateAnswerElement(answerElementID, answerElement);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('Result Element label changed to - ' +
 response.record.getValue('label'));
```

出力:

```
Status - Success
Result Element label changed to - Product
```

DecisionTableAPI - updateChoice (文字列 choiceID, オブジェクト選択肢)

選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
選択肢 ID	文字列	選択レコードのSys_id。選択肢 [sys_choice] テーブルにあります。
選択	オブジェクト	選択レコードを更新するキーと値のペア。 `{ label: "String", order: Number, value: "String" }`
choice.label	文字列	オプション。選択肢のラベル。
choice.order	番号	オプション。選択の順序。
choice.value	文字列	オプション。選択肢の値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"errors": [
	  {
	  "message": "String",
	  "type": "String
	  }
	]</pre>

<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord は、選択肢 [sys_choice] テーブルで更新された選択肢を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、選択肢のラベル、値、および順序を更新します。

```
var choiceID = '4532db883d0b9910f8776a598af912e7';
var choices = {
   label: 'Delhi',
   value: 'del',
   order: 50
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateChoice(choiceID, choices);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DecisionTableAPI - updateCondition(文字列 **conditionID**, オブジェクト条件)

意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルのレコードを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
条件 ID	文字列	意思決定条件レコードのSys_id。意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルにあります。
condition	オブジェクト	意思決定条件レコードを更新するキーと値のペア。 `{ defaultOperator: "String", description: "String", label: "String" }`
condition.defaultOperator	文字列	オプション。条件のデフォルトの演算子。有効な演算子の一覧については、「フィルターとクエリに使用できる演算子」を参照してください。
condition.description	文字列	オプション。条件の説明
condition.label	文字列	オプション。意思決定条件レコードのラベル。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord 意思決定条件 [sn_decision_table_decision_condition] テーブルで更新された意思決定条件への参照。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、意思決定条件を更新します。

```
var conditionID = 'c9530f4c3dc79910f8776a598af912f1';
var condition = {
   defaultOperator: '!=',
   label: 'Active Incident',
   description: 'Check if the incident is active'
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateCondition(conditionID, condition);
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('Condition label changed to - ' +
 response.record.getValue('label'));
```

出力:

```
Status - Success
Condition label changed to - Active Incident
```

DecisionTableAPI - updateDecisionTable(文字列 **decisionID**, オブジェクト **decisionTable)**

ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルのレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
decisionID	文字列	意思決定テーブルレコードの sys_id。ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルにあります。
意思決定テーブル	オブジェクト	ディシジョンテーブルレコードを更新するキーと値のペア。 `{ "accessibleFrom": "String", "name": "String" }`
decisionTable.accessibleFrom	文字列	オプション。ディシジョンテーブルレコードにアクセスできるスコープ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• package_private • 公開
decisionTable.name	文字列	オプション。ディシジョンテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	ディシジョンテーブル [sys_decision] テーブルで更新されたディシジョンテーブルへの GlideRecord 参照。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、ディシジョンテーブルを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var decisionID = 'a1f6e14c3d039910f8776a598af9129d';
var decisionTable = {
   name: 'Emergency Change Request',
   accessibleFrom: 'public',
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateDecisionTable(decisionID, decisionTable);
gs.info('Status -' + response.status);
gs.info('Decision Table sys id - ' + response.record.getValue('sys_id'));
```

出力:

```
Status - Success
Decision Table sys id - a1f6e14c3d039910f8776a598af9129d
```

DecisionTableAPI - updateInput(文字列 **inputID**, オブジェクト入力)

意思決定の入力 [sys_decision_input] テーブルのレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力 ID	文字列	意思決定入力レコードのSys_id。意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルにあります。
入力	オブジェクト	意思決定入力レコードを更新するキーと値のペア。 `{ active: Boolean, defaultValue: "String", label: "String", mandatory: Boolean, maxsize: Number, order: Number, readonly: Boolean }`
input.active	ブーリアン	オプション。意思決定入力レコードがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:意思決定入力レコードはアクティブです。 • false:意思決定入力レコードはアクティブではありません。
input.defaultValue	文字列	オプション。入力のデフォルト値。
input.label	文字列	オプション。意思決定入力レコードのラベル。
input.mandatory	ブーリアン	オプション。入力が必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:入力は必須です。 • false:入力は必須ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.maxsize	番号	オプション。入力フィールドに入力できる最大文字数。 このプロパティは、*input.type*が文字列の場合にのみ使用します。
input.order	番号	オプション。入力の順序。
input.readonly	ブーリアン	オプション。入力が読み取り専用かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:入力は読み取り専用です。 • false:入力は読み取り専用ではありません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord は、意思決定入力 [sys_decision_input] テーブルで更新された意思決定入力を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、意思決定入力を更新します。

```
var inputID = 'e862f1803dc39910f8776a598af912da';
var input = {
   label: 'Item name',
   defaultValue: 'Apple',
   maxsize: 100,
};

var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateInput(inputID, input);
gs.info(JSON.stringify(response));
gs.info('Status - ' + response.status);
gs.info('Input label changed to - ' + response.record.getValue('label'));
```

出力:

```
Status - Success
Input label changed to - Item name
```

DecisionTableAPI - updateQuestion(文字列 **questionID**, オブジェクト **question)**

意思決定 [sys_decision_question] テーブルのレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
質問 ID	文字列	質問レコードのSys_id。意思決定 [sys_decision_question] テーブルにあります。
question	オブジェクト	質問レコードを更新するためのキーと値のペア。 `{ active: Boolean, answer: [Array], condition: "String", defaultAnswer: Boolean, label: "String", order: Number }`
question.active	ブーリアン	オプション。質問レコードがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true:質問レコードはアクティブです。 • false:質問レコードはアクティブではありません。
question.answer	アレイ	オプション。質問に対する可能な回答のアレイ。 結果表が 1 つの場合、配列は 1 つのオブジェクトのみを持つことができます。複数結果表の場合、配列は複数のオブジェクトを持つことができます。 `[ { name: "String", value: "String" } ]`
question.answer.name	文字列	オプション。回答要素の名前。結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
question.answer.value	文字列	オプション。回答要素の値。結果要素 [sys_decision_multi_result_element] テーブルにあります。
question.condition	文字列	オプション。この質問に到達するために必要な条件。 条件に使用できるフィールドは、ディシジョンテーブルに関連付けられている意思決定入力です。 条件の作成の詳細については、「フィルターとクエリに使用できる演算子」を参照してください。
question.defaultAnswer	ブーリアン	オプション。この質問がディシジョンテーブルのデフォルトの質問であるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:質問がデフォルトの質問です。 • false:質問はデフォルトの質問ではありません。
question.label	文字列	オプション。質問レコードのラベル。
question.order	番号	オプション。質問の順序。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array], "record": GlideRecord, "status": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>。エラー	エラー情報。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String } ]`
<Object>.errors.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
<Object>.errors.type	エラーのタイプ。 可能な値:INTERNAL_ERROR データタイプ：文字列
<Object>.record	GlideRecord は、意思決定 [sys_decision_question] テーブルで更新された質問を参照します。 データタイプ:GlideRecord
<Object>.status	API 要求のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 データタイプ：文字列

この例では、質問レコードを更新します。

```
var questionId = '70381fcc3d0b9910f8776a598af91219';
var questions = {
   condition: 'u_item=Laptop^u_price>1800^EQ',
   answer:[
      {
         name: 'u_discount',
         value: '40',
      },
      {
         name: 'u_seller',
         value: '02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d64',
      },
   ],
   active: true,
   order: 3000
};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var dt = new sn_dt.DecisionTableAPI();
var response = dt.updateQuestion(questionId, questions);
gs.info('Status - ' + response.status);
```

出力:

```
Status - Success
```

DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - スコープ付き

DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler API を使用すると、カスタム DevOps ツールからのペイロードを処理できます。

カスタム DevOps ツールは、DevOps との統合を持たないツールです。DevOps統合されているツールのリストについては、「DevOps チェンジベロシティ の統合」を参照してください。

この API は、REST エンドポイント DevOps - POST /devops/tool/{capability} で使用されるペイロードの処理を有効にします。*POST /devops/tool/{capability}* エンドポイントを呼び出す前に、この API のメソッドをスクリプトインクルードに実装する必要があります。

この API は `sn_devops` 名前空間で実行されます。DevOps の詳細については、「DevOps コンフィグ」を参照してください。

DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - getNativeIdForOrchestrationTask(オブジェクト payload)

POST /devops/tool/{capability} エンドポイントのペイロードから *orchestrationTaskName* パラメーターの値を返します。

REST エンドポイント DevOps - POST /devops/tool/{capability} を呼び出す前に、このメソッドをスクリプトインクルードに実装する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
payload	オブジェクト	REST エンドポイント *POST /devops/tool/{capability}* によって受け入れられるカスタムツールからのデータを含むペイロードです。ここで *capability* は `orchestration` です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ペイロードの *orchestrationTaskName* パラメーターの値です。

この例では、`DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler` という名前のスクリプトインクルードが、*handleTool* メソッドと *getNativeIdForOrchestrationTask* メソッドを実装しています。*getNativeIdForOrchestrationTask* メソッドは、POST /devops/tool/{capability} のペイロードから *orchestrationTaskName* パラメーターの値を返すために実装されています。

```
var DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler = Class.create();

DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler.prototype = {

    handleTool: function(toolName) {
        if (!gs.nil(toolName) && toolName == 'sn_devops_custom_tool')
            return true;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        return false;
    },

    getNativeIdForOrchestrationTask: function(payload) {
        return payload.orchestrationTaskName;
    },

    type: 'DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler'

};
```

DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - handleTool(文字列 **toolName)**

このハンドラーが、指定されたツールに対して有効かどうかを確認します。

DevOps - POST /devops/tool/{capability} を呼び出す前に、このメソッドをスクリプトインクルードに実装する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
toolName	文字列	ツールの名前です。DevOps ツール統合 [sn_devops_tool_integration] テーブルの **Tool Name** フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	このハンドラーが、指定されたツールに対して有効かどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：このハンドラーは指定されたツールに使用できます。 • false：このハンドラーは指定されたツールに使用できません。

この例では、`DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler` という名前のスクリプトインクルードが、*`handleTool`* メソッドと *`getNativeIdForOrchestrationTask`* メソッドを実装しています。*`handleTool`* メソッドは、渡された名前が正しいツールのものであることを確認するために実装されています。`'sn_devops_custom_tool'` を、使用しているツールの名前に置き換えます。

```
var DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler = Class.create();

DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler.prototype = {

    handleTool: function(toolName) {
        if (!gs.nil(toolName) && toolName == 'sn_devops_custom_tool')
            return true;
        return false;
    },

    getNativeIdForOrchestrationTask: function(payload) {
        return payload.orchestrationTaskName;
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    type: 'DevOpsOrchestrationCustomToolIntegrationHandler'

};
```

DiscoveryAPI - スコープ指定

DiscoveryAPI クラスは、単一の IPv4 アドレスのクイックディスカバリーを起動し、単一の構成アイテム (CI) またはスキャンされたすべての CI について、以前に起動されたディスカバリーステータスのサマリーを返すメソッドを提供します。

このクラスは `sn_discovery` 名前空間で実行されます。

DiscoveryAPI - discoverIpAddress(文字列 ipAddress, 文字列 application, 文字列 source)

指定された IPv4 アドレスを検出します。

指定された IP アドレスまたは指定されたアプリケーションに基づいて、MID サーバーが自動的に選択されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
application	文字列	オプション。MID サーバー用に設定されたアプリケーション。 *source*パラメーターを定義し、*application*パラメーターは定義しない場合は、プレースホルダーとして「NULL」を使用します。 デフォルト:ディスカバリー
ipAddress	文字列	検出する IP アドレス。
source	文字列	オプション。ディスカバリーのソース。これと同じ値がディスカバリーステータスレコードのオプションの [ソース] フィールドに表示されます。これは、ディスカバリーがどのようにトリガーされたかを示します。 デフォルト:Discovery_API

返される内容

タイプ	説明
文字列	ディスカバリーステータスレコードsys_id。 MID サーバーの選択中に次の例外がスローされる可能性があります。 • *NoSuitableMidServerFoundException*: この検出に利用可能な適切な `MID サーバーがありません` • *BadArgumentException*: `MID サーバーの選択中に無効な引数が検出されました`

```
var sysid = sn_discovery.DiscoveryAPI.discoverIpAddress("11.23.125.39");
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

DiscoveryAPI:reportCiIpAddressStatus(オブジェクト **ipAddress**, オブジェクト **discoveryStatusSysId)**

特定のステータスsys_idと IPv4 アドレスを指定して、構成アイテムのディスカバリーステータスのサマリーを返すために使用されます。

次の例外がスローされる可能性があります。

- *DiscoveryStatusNotFoundException*: 次のメッセージが表示されます:Discovery `Status with Sys ID '<invalid value>' is not exist`
- *DiscoveryDeviceHistoryNotFoundException*: 検出ステータス`Sys ID`「<無効な値>」と ipAddress「<無効な値>」のデバイス履歴は存在しません
- *IllegalArgumentException* (無効な入力引数): この引数の例外により、入力値が null になることを防ぎます。
  - `ディスカバリーステータス Sys ID を null にすることはできません`
  - `ipAddress を null にすることはできません`
- *IllegalArgumentException* (データベースに格納されている値): この引数の例外は、属性値が正しくない場合に、誤ったデータが呼び出し元に返されるのを防ぎます。
  - `ディスカバリーステータスの「state」プロパティを null にすることはできません`
  - `デバイス履歴の「source」プロパティを null にすることはできません`
  - `デバイス履歴の「問題」プロパティが整数ではありません:<無効な値>`
  - `デバイス履歴の「問題」プロパティを 0 未満にすることはできません:<無効な値>`

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	スキャンされた IPv4 アドレス。
ディスカバリーステータス SysID	文字列	スキャンされた IP アドレスのディスカバリーステータスレコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	不変の ReportCiStatusOutputJS オブジェクトの JavaScript 配列。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
```

DiscoveryAPI - reportCiStatus(オブジェクト **discoveryStatusSysId)**

特定のディスカバリーステータスsys_idを指定して、CI ディスカバリーステータスのサマリーを返すために使用されます。

次の例外がスローされる可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *DiscoveryStatusNotFoundException*: `Sys ID が「<無効な値>」のディスカバリーステータスは存在しません`
- *DiscoveryDeviceHistoryNotFoundException*: 検出ステータス`Sys ID`「<無効な値>」とipAddress「<無効な値>」のデバイス履歴は存在しません
- *IllegalArgumentException* (無効な入力引数): この引数の例外により、入力値が null になることを防ぎます。
  - `ディスカバリーステータス Sys ID を null にすることはできません`
  - `ipAddress を null にすることはできません`
- *IllegalArgumentException* (データベースに格納されている値): この引数例外は、データベースアクセス値に事後条件を課します。
  - `ディスカバリーステータスの「state」プロパティを null にすることはできません`
  - `デバイス履歴の「source」プロパティを null にすることはできません`
  - `デバイス履歴の「問題」プロパティが整数ではありません:<無効な値>`
  - `デバイス履歴の「問題」プロパティを 0 未満にすることはできません:<無効な値>`

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	ディスカバリーステータスレコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	不変の ReportCiStatusOutputJS オブジェクトの JavaScript 配列。

```
var ipResultObjArray =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiStatus(discoveryStatus);
for(var idx=0; idx < ipResultObjArray.length; idx++) {
var ipResultObj = ipResultObjArray[idx];
```

Document - スコープ付き、グローバル

Document API には、PDF の初期化、コンテンツの追加、PDF のクローズを行うメソッドが用意されています。コンテンツを追加した後、ドキュメントをターゲットレコードに添付できます。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、一連のクラスを利用して、PDF を構成するさまざまな要素を構築します。

- Cell：Cell オブジェクトをテーブルのセルとして作成します。この API を使用して、セルを書式設定し、パラグラフや画像などの追加ブロックを含めることができます。
- Color：PDF の要素に適用できるセル、テーブル、行などの色属性を定義するために使用する Color オブジェクトを作成します。
- Image：画像と PDF に挿入するそのレイアウトを表す Image オブジェクトを作成します。スケール、配置、境界色などの属性を定義できます。
- Line：PDF に線を描画するメソッドを使用して、Line オブジェクトを作成します。
- Paragraph：PDF 内のテキストのブロックを表す Paragraph オブジェクトを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- PdfPage：PDF ページとサイズ、幅、色などのその属性を表す PdfPage オブジェクトを作成します。
- Style：フォントサイズ、境界線、配置などのプロパティを定義するスタイルを作成します。同じスタイルを複数のオブジェクトに同時に適用することができます。
- Table：PDF ドキュメントに追加する Table オブジェクトを作成します。各セルで使用するデータを定義し、スタイル、マージン、配置を設定します。

次の例は、*Document* API といくつかのコンポーネント (テーブル、セル、パラグラフなど) を使用して、ベーシックな PDF を作成する方法を示しています。結果は、PDF 形式のインシデント [incident] テーブルのインシデントのリストです。この例をインスタンスでテストするには、<sys_id> をインシデントレコードの sys_id で置き換えます。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query the Incident table
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var nParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var sParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short Description");

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(nParagraph);
hdrCell2.addParagraph(sParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

var row = 0;

while(gr.next()) {
var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
numCell.addParagraph(numberParagraph);
sdCell.addParagraph(sdParagraph);

if (row % 2 == 1) {
     table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
} else {
     table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
}

table.addCell(numCell);
table.addCell(sdCell);

row = row + 1;
}

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<sys_id>",
 "SampleGenerationTest.pdf");
```

PDF 添付ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルに一覧表示されます。

Number	Short Description
INC0000060	Unable to connect to email
INC0009002	My computer is not detecting the headphone device
INC0000009	Reset my password
INC0000010	Need Oracle 10GR2 installed
INC0000011	Need new Blackberry set up
INC0000012	Customer didn't receive eFax
INC0000013	EMAIL is slow when an attachment is involved
INC0000014	Missing my home directory
INC0000021	New employee hire
INC0000024	Issue with a web page on wiki
INC0000026	Seem to have an issue with my hard drive...
INC0000028	My disk is still having issues. Can't delete a file
INC0000030	Lost connection to the wireless network
INC0000032	EMAIL Server Down Again
INC0000033	File Server is 80% full - Needs upgrade
INC0000034	Does not look like a backup occurred last night
INC0000035	Reset my password
INC0000036	Issue with networking

自動翻訳

Document - Document(PdfPage pageSize)

Document オブジェクトをインスタンス化し、PDF ドキュメントをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageSize	PdfPage	PDF ページのサイズです。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	PDF ドキュメント

次の例は、*Document* オブジェクトを作成し、PDF を返す方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new sn_pdfgeneratorutils.Document(pageSize);
```

Document – addAndStartNewPage()

現在のページを終了して新しいページを作成することで、ドキュメントにページを追加します。

ドキュメントに新しいページを追加するその他の方法：

- addNewPage() – 新しい空白ページをドキュメントに追加します。強制的に改ページして、ドキュメント内で新しい章またはセクションを開始します。
- addNewPageAtIndex() – ドキュメントの指定したインデックスに新しいページを追加します。たとえば、インデックスを 6 に設定すると、6 ページ目が挿入されるか、ドキュメント内の既存の 6 ページ目の位置にページが挿入されます。元の 6 ページは 7 ページになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに新しいページを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var para1 = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This text lands on the
 first page.");
var para2 = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This text lands on the
 new page.");

document.addParagraph(para1);

document.addAndStartNewPage();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.addParagraph(para2);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "newPage.pdf");
```

Document – addAuthor(文字列 **author)**

PDF ドキュメントプロパティの author フィールドに名前を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
author	文字列	ドキュメントの作成者の名前です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 PDF ドキュメントプロパティの author フィールドに名前を追加する方法を示しています 。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var author = "John Do";

document.addAuthor(author);
```

Document – addImage(画像 **image)**

ドキュメントに画像を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
image	画像	ドキュメントに追加する画像です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに画像を追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare image using sys attachment
var image = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<imgAttachment_sys_id>");

// add the image to the doc
document.addImage(image);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "docWithImage.pdf");
```

Document – addNewLine()

ドキュメントに新しい空の行を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに新しい行を追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

document.addNewLine();
```

Document – addNewPage()

新しい空白ページをドキュメントに追加します。強制的に改ページして、ドキュメント内で新しい章またはセクションを開始します。

ドキュメントに新しいページを追加するその他の方法：

- addAndStartNewPage()– 現在のページを終了して新しいページを作成することで、ドキュメントにページを追加します。
- addNewPageAtIndex() – ドキュメントの指定したインデックスに新しいページを追加します。たとえば、インデックスを 6 に設定すると、6 ページ目が挿入されるか、ドキュメント内の既存の 6 ページ目の位置にページが挿入されます。元の 6 ページは 7 ページになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに新しい空白ページを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Usage:
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

document.addNewPage();
```

Document – addNewPageAtIndex(数値 index)

ドキュメントの指定したインデックスに新しいページを追加します。たとえば、インデックスを 6 に設定すると、6 ページ目が挿入されるか、ドキュメント内の既存の 6 ページ目の位置にページが挿入されます。元の 6 ページは 7 ページになります。

ドキュメントに新しいページを追加するその他の方法：

- addAndStartNewPage()– 現在のページを終了して新しいページを作成することで、ドキュメントにページを追加します。
- addNewPage() – 新しい空白ページをドキュメントに追加します。強制的に改ページして、ドキュメント内で新しい章またはセクションを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インデックス	番号	新しいページを挿入する位置です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントの位置 6 に新しい PDF ページを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var index = 6;

document.addNewPageAtIndex(index);
```

Document – addParagraph(パラグラフ paragraph)

ドキュメントにパラグラフを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paragraph	パラグラフ	パラグラフオブジェクトとして指定されたテキストのブロックです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントにパラグラフを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var para = "Lorem ipsum dolor sit amet.";

document.addParagraph(para);
```

Document – addTable(テーブル table)

ドキュメントにテーブルを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル	テーブル	ドキュメントに挿入するテーブルです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントにテーブルを追加する方法を示しています。テーブルの定義方法の詳細については、「テーブル API」を参照してください。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table([70,200], false);

document.addTable(table);
```

Document – close()

ドキュメントを閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、ドキュメントを閉じる方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

document.close();
```

Document – createDocument(PdfPage pageSize)

指定されたページサイズのドキュメントを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageSize	PdfPage	ドキュメントのページサイズです。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	PDF ドキュメントです。

次の例は、ドキュメントを作成する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);
```

Document – getPageCount()

ドキュメントのページ数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	ドキュメントのページ数です。

次の例は、9 ページのドキュメントのページ数を取得する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var count = document.getPageCount();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info("The number of pages is " + count);
```

出力：

```
The number of pages is 9
```

Document – getPageSize()

ドキュメントのデフォルトのページサイズを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	PdfPage API を使用して設定されたデフォルトのページサイズの値です。 可能な値： • A4：595 x 842 ポイント • EXECUTIVE：522 x 756 ポイント • LETTER：612 x 792 ポイント • LEDGER：792 x 1224 ポイント

次の例は、ドキュメントのページサイズを取得する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var pagesize = document.getPageSize();
```

Document – isClosed()

ドキュメントが閉じられているか開かれているかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	ドキュメントが開かれているか閉じられているかを示すフラグです。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：ドキュメントは閉じられています。 • false：ドキュメントは開かれています。 デフォルト：true

次の例は、ドキュメントのページサイズを取得する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var closed = document.isClosed();
```

Document – saveAsAttachment(文字列 **tableName**, 文字列 **tableSysId**, 文字列 **fileName)**

指定されたターゲットテーブルにドキュメントファイルを添付します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	ドキュメントを添付するテーブルの名前です。
tableSysId	文字列	ドキュメントを添付するレコードの sys_id です。
fileName	文字列	添付するドキュメントの名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の添付ドキュメントの sys_id です。

次の例は、インシデントレコードにドキュメントを添付する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// Additional document properties

document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "SampleDocGeneration.pdf");
```

Document – setBaseDirection(文字列 **direction)**

文字認識に基づいて並べ替えるベーステキストのフロー方向を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
direction	文字列	テキストのフロー方向です。 有効な値： • LEFT_TO_RIGHT：テキストフローを左から右に並べます。テキストの方向は、左横書き言語の文字が検出された場合にのみ並べ替えられます。 • RIGHT_TO_LEFT：テキストフローを右から左に並べます。テキストの方向は、右横書き言語の文字が検出された場合にのみ並べ替えられます。 デフォルト：LEFT_TO_RIGHT

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、テキストフローを左横書きに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");

var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

document.setBaseDirection("RIGHT_TO_LEFT");
```

Document – setMargins(数値 **topMargin**, 数値 **rightMargin**, 数値 **bottomMargin**, 数値 **leftMargin)**

ドキュメントのページマージンサイズを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topMargin	数値	上マージンの高さ (ポイント)。
rightMargin	数値	右マージンの幅 (ポイント)。
bottomMargin	数値	下マージンの高さ (ポイント)。
leftMargin	数値	左マージンの幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントのページマージンを設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

document.setMargins(72,36,36,36);
```

DocumentListEntryService - スコープ付き、グローバル

DocumentListEntryService API は、ドキュメント リスト内のドキュメント テンプレートを管理するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

この API のメソッドを使用する前に、ドキュメントテンプレートとそのバージョンを追加し、ドキュメントリストを作成します。 SystemDocumentListEntry API を使用して、ドキュメントをドキュメントリストに追加、またはドキュメントリストから削除します。

この API のメソッドを使用する前に、デフォルトバージョンのドキュメントを追加し、ドキュメントリストを作成する必要があります。

- SystemDocument – ドキュメントオブジェクトを定義します。
- DocumentService – ドキュメントを追加、更新、または削除します。
- SystemDocumentVersion – ドキュメントのバージョンを定義します。
- DocumentVersionService – ドキュメントのバージョンを追加、更新、または削除します。
- SystemDocumentList – ドキュメントリストを定義します。
- DocumentListService – ドキュメントリストを追加、更新、または削除します。

ドキュメントをテンプレートとして定義するには：

- SystemDocument – template() メソッドを true に設定するドキュメントオブジェクトを定義します。DocumentService API のメソッドを使用して、ドキュメントレコードを作成または更新します。
- ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントの [テンプレート] チェックボックスをオンにします。

DocumentListEntryService - DocumentListEntryService()

DocumentListEntryService オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*DocumentListEntryService* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var s = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
```

DocumentListEntryService - createDocumentListEntry(SystemDocumentListEntry entry)

ドキュメントリストにドキュメントテンプレートエントリを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
エントリ	SystemDocumentListEntry	ドキュメントリストエントリオブジェクトのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブル内の新しいレコードの sys_id と成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントエントリを定義してドキュメントリストに追加する方法を示しています。「SystemDocumentListEntry」も参照してください。

```
var docListEntry = new
 sn_doc_services.SystemDocumentListEntry('21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0d
d');
docListEntry.document("9acd7fea24587410f877a6fed1c2b060");
docListEntry.description('birth certificate');

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.createDocumentListEntry(docListEntry),
 null, 2));
```

出力:

```
{
  "message": "Create List Entry , List Entry sysId :
 d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9is successful.",
  "request_id": "d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "status": "success"
}
```

DocumentListEntryService - deleteDocumentListEntry(文字列 **listEntryId)**

ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルからドキュメントリストエントリを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listEntryId	文字列	ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントリストレコードを削除する方法を示しています。「SystemDocumentList」も参照してください。

```
var listEntryId = 'd3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9';

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.deleteDocumentListEntry(listEntryId),
 null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Deleting an entry for the given documentListEntrySysId :
 d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9 is successful.",
  "status": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DocumentListEntryService - updateDocumentListEntry(文字列 **listEntryId**, **SystemDocumentListEntry** エントリー)

既存のドキュメントリストエントリのフィールド値を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listEntryId	文字列	ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。
エントリ	SystemDocumentListEntry	ドキュメントリストエントリオブジェクトのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントリストエントリの説明を更新する方法を示しています。
「SystemDocumentListEntry」も参照してください。

```
var listEntryId = 'd3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9';

var entry = new sn_doc_services.SystemDocumentListEntry();
entry.description('description update');

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.updateDocumentListEntry(listEntryId,
 entry), null, 2));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "message": "Updating an entry for the given documentListEntrySysId :
 d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9 is successful.",
  "request_id": "d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9",
  "status": "success"
}
```

DocumentListService - スコープ付き、グローバル

DocumentListService API には、ドキュメント リストを作成、削除、および更新するためのメソッドが用意されています。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメント管理 プラグインは、ドキュメントに関連付けるドキュメントテンプレートのリストの作成もサポートしています。たとえば、卒業証書、ID、パスポートなどの複数のドキュメントを必要とするジョブアプリケーションなどです。ドキュメントリストを追加した後、ドキュメントテンプレートを追加できます。

- SystemDocumentListEntry：ドキュメントテンプレートのリストエントリを定義します。
- DocumentListEntryService：ドキュメントテンプレートのリストエントリを追加または削除します。

ドキュメントをテンプレートとして定義するには：

- SystemDocument – template() メソッドを true に設定するドキュメントオブジェクトを定義します。DocumentService API のメソッドを使用して、ドキュメントレコードを作成または更新します。
- ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントの [テンプレート] チェックボックスをオンにします。

次の API を使用すると、ドキュメントを定義および管理できます。

- SystemDocument – ドキュメントオブジェクトを定義します。
- DocumentService – ドキュメントを追加、更新、または削除します。

ドキュメントをテンプレートとして定義するには：

- SystemDocument – template() メソッドを true に設定するドキュメントオブジェクトを定義します。DocumentService API のメソッドを使用して、ドキュメントレコードを作成または更新します。
- ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントの [テンプレート] チェックボックスをオンにします。

「SystemDocumentList」も参照してください。

DocumentListService - DocumentListService()

DocumentListService オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の例は、*DocumentListService* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。「SystemDocumentList」も参照してください。

```
var s = new sn_doc_services.DocumentListService();
```

DocumentListService - createDocumentList(SystemDocumentList doc)

ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブル内にドキュメントリストを作成します。

ドキュメント管理 プラグインは、ドキュメントに関連付けるドキュメントテンプレートのリストの作成もサポートしています。たとえば、卒業証書、ID、パスポートなどの複数のドキュメントを必要とするジョブアプリケーションなどです。ドキュメントリストを追加した後、ドキュメントテンプレートを追加できます。

- SystemDocumentListEntry：ドキュメントテンプレートのリストエントリを定義します。
- DocumentListEntryService：ドキュメントテンプレートのリストエントリを追加または削除します。

createDocumentsFromList() メソッドを使用して、ドキュメントテンプレートリストからドキュメントを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
doc	SystemDocumentList	新しいレコードのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティです。名前プロパティは必須であり、*SystemDocumentList* コンストラクタまたは *name()* メソッドを使用して設定できます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルの新しいレコードの sys_id と成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントリストを作成する方法を示しています。「SystemDocumentList」も参照してください。

```
var dL = new sn_doc_services.SystemDocumentList('My document list');

// Define the document list field
dL.description('description');

var docList = new sn_doc_services.DocumentListService();
gs.info(JSON.stringify(docList.createDocumentList(dL), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create List for the given name : My document list, List
 sysId : b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1 is successful.",
  "request_id": "b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1",
  "status": "success"
}
```

DocumentListService - createDocumentsFromList(文字列 **listSysId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **tableSysId)**

ドキュメントテンプレートのリストからドキュメントを作成します。

注: このメソッドを使用する前に、createDocumentList() メソッドを使用してドキュメントテンプレートリストを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listSysId	文字列	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。
tableName	文字列	ドキュメントテンプレート参照のリストの追加元のレコードを含むテーブルの名前です。
tableSysId	文字列	ドキュメントテンプレート参照のリストを追加するコンテンツを含むレコードの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.message	ドキュメントリスト内のドキュメントテンプレートの数を含むメッセージです。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントテンプレート参照のリストをレコードに追加する方法を示しています。ドキュメントは、インシデント [incident] テーブルのレコードに追加されます。

```
var result = new
 sn_doc_services.DocumentListService().createDocumentsFromList('21afddea2
460fc10f877a6fed1c2b0dd', 'incident',
 'd7158da0c0a8016700eef46c8d1f3661');
gs.info(JSON.stringify(result, null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Created 1 document references for the given table name:
 incident, table sysId : d7158da0c0a8016700eef46c8d1f3661 with list SysId
 21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0dd",
  "request_id": "21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0dd",
  "status": "success"
}
```

DocumentListService - deleteDocumentList(文字列 **listSysId)**

ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルからドキュメントレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listSysId	文字列	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントリストレコードを削除する方法を示しています。「SystemDocumentList」も参照してください。

```
var docListID = 'b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1';

var docListSvc = new sn_doc_services.DocumentListService();
gs.info(JSON.stringify(docListSvc.deleteDocumentList(docListID), null,
 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Delete List for the given sysId :
 b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1 is successful.",
  "request_id": "b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1",
  "status": "success"
}
```

DocumentListService - updateDocumentList(文字列 **docSysId**, **SystemDocumentList doc)**

既存のドキュメントリストのフィールド値を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listSysId	文字列	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
doc	SystemDocume	更新するドキュメントリストのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティです。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメントリストの名前と説明を更新する方法を示しています。
「SystemDocumentList」も参照してください。

```
var docListID = 'b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1';

var docListUpdate = new sn_doc_services.SystemDocumentList();
docListUpdate.name('name change');
docListUpdate.description('description update');

var docListSvc = new sn_doc_services.DocumentListService();
gs.info(JSON.stringify(docListSvc.updateDocumentList(docListID ,
 docListUpdate), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Update List for the given sysId :
 b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1 is successful.",
  "request_id": "b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "status": "success"
}
```

DocumentReferenceService - スコープ付き、グローバル

DocumentReferenceService API は、インシデント [incident] テーブルやナレッジ [kb_knowledge] テーブルなどのターゲットテーブル内のドキュメント参照を管理するためのメソッドを提供します。ドキュメント参照を使用して、情報をレコードに関連付けることができます。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

次の API を使用すると、ドキュメントを定義および管理できます。

- SystemDocument – ドキュメントオブジェクトを定義します。
- DocumentService – ドキュメントを追加、更新、または削除します。

DocumentReferenceService - DocumentReferenceService()

DocumentReferenceService オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*DocumentReferenceService* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var result = new sn_doc_services.DocumentReferenceService();
```

DocumentReferenceService - addDocumentReference(文字列 **docSysId**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **tableSysId)**

ターゲットテーブルレコードにドキュメント参照を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。
targetTable	文字列	ドキュメント参照を提供するターゲットテーブルの名前です。
tableSysId	文字列	ドキュメント参照を追加するターゲットテーブルレコードの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ドキュメント参照 [ds_document_reference] テーブルの新しいレコードの sys_id と成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "status": "String" }</pre>
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 成功した場合、ドキュメント参照が追加されたレコードの sys_id が含まれます。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、インシデント [incident] テーブルのレコードにドキュメント参照を追加する方法を示しています。

```
var docReference = new sn_doc_services.DocumentReferenceService();

var result = docReference.addDocumentReference("<docSysId>", "incident",
 "<tableSysId>");

gs.info(JSON.stringify(result, null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentReference for the given docId to
 target table : incident, sysId : <tableSysId> is successful.",
  "status": "success"
}
```

DocumentReferenceService - removeDocumentReference(文字列 **docSysId**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **tableSysId)**

ドキュメント参照 [ds_document_reference] テーブルからドキュメント参照を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。
targetTable	文字列	ドキュメント参照を含むテーブルの名前です。この情報は、ドキュメント参照 [ds_document_reference] テーブルのドキュメントとともに一覧表示されます。
tableSysId	文字列	ドキュメントの参照元レコードの sys_id です。関連情報がドキュメント参照 [ds_document_reference] テーブルのドキュメントとともに一覧表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 成功した場合、ドキュメント参照が削除されたレコードの sys_id が含まれます。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、インシデント [incident] テーブルのレコードからドキュメント参照を削除する方法を示しています。

```
var docReference = new sn_doc_services.DocumentReferenceService();

var result = docReference.removeDocumentReference("<docSysId>",
 "incident", "<tableSysId>");

gs.info(JSON.stringify(result, null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Deleting an entry to DocumentReference for the given docId
 to target table : incident, sysId : <tableSysId> is successful.",
  "status": "success"
}
```

DocumentService - スコープ付き、グローバル

DocumentService API は、ドキュメントを作成、削除、および更新するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメントは、ドキュメントレコードに関する情報の集合です。レコードの作成または更新に使用されるメソッドは、SystemDocument オブジェクトを使用してフィールドを変更します。

ドキュメントコンテンツはバージョンを使用して管理されます。次の API を使用すると、ドキュメントのバージョンを定義および管理できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- SystemDocumentVersion：ドキュメントのバージョンをドキュメントコンテンツのソースとして定義します。 各バージョンは、ドキュメントコンテンツを含む要素であり、単一の URL または添付ファイルを使用して提供されます。添付ファイルはドキュメントバージョン [ds_document_version] テーブルの UI でのみ追加することができ、API を使用して追加することはできません。
- DocumentVersionService：ドキュメントコンテンツはバージョンを使用して管理されます。

DocumentReferenceService API を使用して、インシデント [incident] テーブルやナレッジ [kb_knowledge] テーブルなどのターゲットテーブルで参照されるドキュメントを管理します。

ドキュメント管理 プラグインは、ドキュメントに関連付けるドキュメントテンプレートのリストの作成もサポートしています。たとえば、卒業証書、ID、パスポートなどの複数のドキュメントを必要とするジョブアプリケーションなどです。

- SystemDocumentList：ドキュメントテンプレートのリストを定義します。
- DocumentListService：ドキュメントテンプレートのリストを追加または削除します。
- SystemDocumentListEntry：ドキュメントテンプレートのリストエントリを定義します。
- DocumentListEntryService：ドキュメントテンプレートのリストエントリを追加または削除します。

DocumentService - DocumentService()

DocumentService オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*DocumentService* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var s = new sn_doc_services.DocumentService();
```

DocumentService - createDocument(SystemDocument doc)

ドキュメント [ds_document] テーブルにドキュメントレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
doc	SystemDocume	新しいレコードのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティです。名前プロパティは必須であり、*SystemDocument* コンストラクタまたは *name()* メソッドを使用して設定できます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ドキュメント [ds_document] テーブルの新しいレコードの sys_id と成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "status": "String" }</pre>
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • Create document sysId : <sys_id> is successful. • Document Name is mandatory and should be valid. • Document Name is mandatory and it should not be null or empty. • <SystemDocument property requiring sys_id input> with SysId: "<sys_id>" does not exist データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメント [ds_document] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、*SystemDocument* オブジェクトのプロパティを入力して新しいドキュメントレコードを作成する方法を示しています。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

// Define the document fields
var reviewers =
 '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1,a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a';
d.description('description');
d.classification('restricted');
d.state('review');
d.department('93b25282c0a8000b0b55c8ab34e2f1e6');
d.template(false);
d.type('policy');
d.reviewers(reviewers);
d.audience('external');

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 10404202245034l0f877a6fed1c2b031 is
 successful.",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "request_id": "10404202245034l0f877a6fed1c2b031",
  "status": "success"
}
```

DocumentService - deleteDocument(文字列 docSysId)

ドキュメント [ds_document] テーブルからドキュメントレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメント [ds_document] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、既存のドキュメントレコードを削除する方法を示しています。

```
var docid = "<sys_id>";
var svc = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(svc.deleteDocument(docid), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Delete document sysId : <sys_id> is successful.",
  "request_id": "<sys_id>",
  "status": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DocumentService - updateDocument(文字列 docSysId, SystemDocument doc)

既存のドキュメントレコードのフィールド値を更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。
doc	SystemDocument	更新するドキュメントフィールドを表す 1 つ以上のプロパティです。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功またはエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	ドキュメント [ds_document] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、ドキュメント名を変更する方法を示しています。「SystemDocument」も参照してください。

```
var dId = "19aab54e24103410f877a6fed1c2b03d";
var d = new sn_doc_services.SystemDocument();
d.name("c22.txt");

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.updateDocument(dId, d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Update document sysId : 19aab54e24103410f877a6fed1c2b03d is
 successful.",
  "request_id": "19aab54e24103410f877a6fed1c2b03d",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "status": "success"
}
```

DocumentVersionService - スコープ付き、グローバル

DocumentVersionService API は、ドキュメント バージョンを作成および削除するためのサービスを提供します。 各バージョンは、ドキュメントコンテンツを含む要素であり、単一の URL または添付ファイルを使用して提供されます。添付ファイルはドキュメントバージョン [ds_document_version] テーブルの UI でのみ追加することができ、API を使用して追加することはできません。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメントバージョンを作成する前に、まずドキュメントレコードを定義して追加する必要があります。

- SystemDocument – ドキュメントオブジェクトを定義します。
- DocumentService – ドキュメントを追加、更新、または削除します。

DocumentVersionService - DocumentVersionService()

DocumentVersionService オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*DocumentVersionService* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
```

DocumentVersionService - createDocumentVersion(SystemDocumentVersion docVersion)

バージョン [ds_document_version] テーブルにドキュメントバージョンレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docVersion	SystemDocumentVersion	ドキュメントバージョンのフィールドを表す 1 つ以上のプロパティです。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	バージョン [ds_document_version] テーブル内の新しいレコードの sys_id と成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 成功した場合、ドキュメントレコードのsys_idとその新しいドキュメントバージョンのsys_idが含まれます。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	バージョン [ds_document_version] テーブル内の新しいレコードの sys_id です。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、*SystemDocumentVersion* オブジェクトのプロパティを入力して新規ドキュメントバージョンを作成する方法を示しています。「SystemDocumentVersion」も参照してください。

```
var versionDefinition = new
 sn_doc_services.SystemDocumentVersion('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9
');

versionDefinition.type('url');
versionDefinition.url('http://one/1.0');

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069 is successful.",
  "request_id": "d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069",
  "status": "success"
}
```

DocumentVersionService - deleteDocumentVersion(文字列 **docVersionSysId)**

ドキュメントバージョンを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docVersionSysId	文字列	バージョン [ds_document_version] テーブル内のドキュメントバージョンの sys_id です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功メッセージです。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 成功した場合、削除されたドキュメントバージョンの sys_id が含まれます。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、既存のドキュメントバージョンを削除する方法を示しています。

```
var vId = "<versionSysId>";
var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();

gs.info(JSON.stringify(versionSvc.deleteDocumentVersion(vId), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Deleting an entry to DocumentVersion for the given
 documentVersionSysId : , sysId : <versionSysId> is successful.",
  "status": "success"
}
```

DSCScriptableAPI - グローバル

DSCScriptableAPI には、インスタンスのドメイン構成の正常性を確認するためのメソッドが用意されています。

この API はドメインセパレーションセンターダッシュボードの一部であり、 `SNC` グローバル名前空間で使用できます。

Domain Separation Center ダッシュボードを使用するには、com.glide.domain.msp_extensions.installer プラグインをアクティブ化する必要があります。

DSCScriptableAPI - DSCScriptableAPI()

新しい DSCScriptable オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

DSCScriptableAPI - chkDataInvalidDomainForTables(文字列 **tableNames)**

カンマ区切りテーブルのリストに無効なドメインがないかチェックします。

ドメインログ [syslog_domain] テーブル内の無効なドメインを参照するレコードを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableNames	文字列	テーブル名のカンマ区切りリストです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	無効な参照がある場合は GUID。それ以外の場合は OK です。

```
var dsc = new SNC.DSCScriptableAPI();
dsc.chkDataInvalidDomainForTables('task, sys_user');
```

DSCScriptableAPI - chkDataInvalidPathForTables(文字列 **tableNames)**

カンマ区切りテーブルのリストに無効なドメインパスがないかチェックします。

無効なドメインパスを持つレコードは、syslog_domain テーブルに記録されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableNames	文字列	テーブル名のカンマ区切りリストです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	無効なパスがある場合は GUID。それ以外の場合は OK です。

```
var dsc = new SNC.DSCScriptableAPI();
dsc.chkDataInvalidPathForTables('task, sys_user');
```

DuplicateTemplate - スコープ指定

DuplicateTemplate API は、各メソッドに一連の検証を適用することで、ユーザーが重複排除テンプレートとやり取りするためのメソッドを提供します。

重複排除タスクの修正は、個別に処理する場合、望ましい時間よりも時間がかかることがあります。重複テンプレートを使用すると、一連の重複タスクをグループ化してまとめて実行できます。*DuplicateTemplate* API を使用して、重複排除テンプレートを作成して使用します。この API は sn_cmdb 名前空間で実行され、アクセスするには cmdb_dedup_admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンスは、識別および調整中に重複した構成アイテム (CI) を検出すると、レビューと修正のために重複 CI の各セットを重複排除タスクにグループ化します。重複排除タスクは、すべての重複 CI のリストなど、重複に関する詳細を提供します。詳細については、「重複 CI の修正」を参照してください。

関連項目：IdentificationEngine - スコープ指定

テンプレートのライフサイクル

1. CreateTemplate() メソッドを使用して、ドラフトステータスのテンプレートを作成します。

   テンプレートを取得または更新するには、次の方法を使用できます。

   - getTemplate()
   - canAddTasksToTemplate()
   - updateTemplate()

2. テンプレートをドラフトから公開ステータスに移行するには、 publishTemplate() メソッドを使用します。

   注: unPublishTemplate() メソッドを使用して、公開されたテンプレートをドラフトステータスに戻し、テンプレートを更新します。

3. オプション。CMDBDuplicateTemplateUtil スクリプトインクルードを使用して、タスクを追加または削除します。
4. テンプレートを実行するには、 runTemplate() メソッドを使用します。

   実行中のタスクをキャンセルするには、 requestCancellation() メソッドを使用します。

5. テンプレートが不要になった場合は、 retireTemplate() メソッドを使用してテンプレートを廃止できます。

テンプレートを使用した単一タスクの修正

テンプレートを実行せずに 1 つのタスクを修正するには、重複排除タスクをプレビューして修正します。

1. previewTemplate() メソッドを使用して、テンプレートを使用して単一タスクの修正をプレビューします。
2. remediateTask() メソッドを使用して、テンプレートで重複排除タスクを修正します。

DuplicateTemplate - canAddTasksToTemplate(配列 **taskIds**, 文字列 **templatId**)

指定されたタスクのリストをテンプレートに追加できるかどうかを確認します。

タスクがテンプレートへの追加に適しているかどうかを判断するには、この方法を使用します。たとえば、指定したテンプレートはアプリケーションサーバー Tomcat 用に作成されていても、指定した重複排除タスクは Linux サーバー用に作成されている場合があります。これらのタスクには一致するテンプレートクラスがないため、テンプレートに追加できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskIds	アレイ	テンプレートに追加する重複排除タスクのsys_idsアレイ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	追加、スキップ、または失敗できるタスクを含む結果オブジェクト。 `{ "success": [ "<task_id_1>", "<task_id_2>", "<task_id_3>" ], "failed": [ "<task_id_4>" ], "skipped": [ "<task_id_5>" ] }`
failed	タスクがテンプレートと互換性があるかどうかの確認中にエラーが発生しました。「重複した CI の検出」も参照してください。
スキップ	一致するテンプレートクラスがないため、タスクに互換性がないため、タスクはスキップされました。
正常終了	タスクはテンプレートクラスと一致し、テンプレートに追加できます。

次の例は、テンプレートに追加できるタスクを確認する方法を示しています。

```
var taskIds = [];
taskIds.push(<task_id_1>);
taskIds.push(<task_id_2>);
taskIds.push(<task_id_3>);

var result = sn_cmdb.DuplicateTemplate.canAddTasksToTemplate(taskIds,
 <template_id>);

gs.info('Success:' + result.success);
gs.info('Failed:' + result.failed);
gs.info('Skipped:' + result.skipped);
```

出力:

```
Success: <task_id_1>
Failed: <task_id_2>
Skipped: <task_id_3>
```

DuplicateTemplate - createTemplate (オブジェクトテンプレート)

ドラフトステータスで重複排除テンプレートを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
テンプレート	オブジェクト	テンプレートを作成するためのさまざまなオプションを含むテンプレートオブジェクト。 `{ "allow_master_ci_null_update": Boolean, "allow_null_attribute_update": Boolean, "description": "String", "duplicate_ci_action": "String", "duplicate_ci_updates": [Array], "master_ci_condition": "String", "master_ci_option": "String", "merge_related_items": "String", "merge_related_items_condition": [Array], "merge_relations_condition": "String", "merge_relations": "String", "most_related_items_merge_attributes": "String", "most_relations_merge_attributes": "String", "name": "String", "newest_updated_merge_attributes": "String", "oldest_created_merge_attributes": "String", "table": "String", "task_conditions": "String" }`
template.allow_null_attribute_update	ブール	オプション。重複排除タスク内の CI の属性競合を解決するときに、メイン CI 属性が重複 CI の null 値で更新されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メイン CI 属性は、重複 CI の null 値で更新されます。 • false:メイン CI 属性は重複 CI の null 値で更新されません。 デフォルト：False
template.allow_master_ci_null_update	ブール	オプション。メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新が含まれます。 メイン CI 値が null の場合に、重複 CI からの更新のみを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新を含めます。 • false:すべての重複 CI からの更新を含めます。 デフォルト：False
template.description	文字列	オプション。テンプレートに関する詳細情報を保存するための説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
template.duplicate_ci_action	文字列	オプション。重複 CI を削除するか、一意のカスタム値で更新するかを指定します。 選択可能なオプション： • 削除 • 更新 (*duplicate_ci_updates* 指定が必要)
template.duplicate_ci_updates	アレイ	*duplicate_ci_action* の設定が更新でない限り、オプションです。重複 CI 値の更新方法を指定するオブジェクトのアレイ。 `[ { "element": "String", "element_label": "String", "value": "String", "display": "String" } ]`
template.duplicate_ci_updates.element	文字列	参照フィールドのシステム辞書名。
template.duplicate_ci_updates.element_label	文字列	参照フィールドに表示されるラベル。
template.duplicate_ci_updates.value	文字列	参照フィールドの値、つまり参照フィールドの内容。
template.duplicate_ci_updates.display	文字列	参照フィールドの表示値。
template.master_ci_option	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスクに対してメイン CI を選択する方法を指定します。 選択可能なオプション： • 条件付き (*master_ci_condition* 指定必須) • most_related_items - 最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合される属性。 • most_relations - メイン CI との関係が最も多い CI から結合される属性。 • newest_created - 最後に更新された CI からメイン CI に結合される分離された属性。 • oldest_created - 最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.master_ci_condition 条件	文字列	オプション (*master_ci_option* の値が 条件付きの場合は必須)。メイン CI の選択方法を指定するエンコードされたクエリ。クエリに一致する CI が複数ある場合、またはクエリに一致する CI がない場合、メソッドは最後に更新された CI をメイン CI として選択します。エンコードされたクエリがテンプレートテーブルに対して評価されます。このテーブルは *table* プロパティで識別されます。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
template.merge_relations	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション： • すべて • 条件付きの • なし
template.merge_relations	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション： • すべて • 条件付きの • なし
template.merge_relations_condition	文字列	オプション (*merge_relations* の値が 条件付きの場合は必須)。重複 CI のすべての関係を結合するか、まったく結合しないかを指定するエンコードされたクエリ。クエリは、重複排除タスクに対して選択されたメイン CI で評価されます。クエリが true を返す場合、すべての関係が結合されます。false の場合、関係は結合されません。 エンコードされたクエリがテンプレートテーブルに対して評価されます。このテーブルは *table* プロパティで識別されます。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。
template.merge_related_items	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI のどの関連テーブルをメイン CI に結合するかを指定します。重複排除タスクの修正 (従来) () も参照。 選択可能なオプション： • all_available – デフォルトの関連テーブルと、テンプレートを介して修正された重複排除タスクの重複 CI を参照するすべての関連テーブルが含まれます。 • 条件付きの • default – 重複 CI レメディエーターのデフォルト関連アイテム モジュールによって提供される関連エントリが含まれます。 • なし

template.merge_related_items_condition	アレイ	オプション。関連エントリごとにエンコードされたクエリがある関連エントリのリスト。各クエリーは、タスクに対して選択されたメイン CI で評価されます。クエリーが true を返した場合、重複排除タスクの修正中に関連エントリーが結合されます。false の場合、関連エントリは結合されません。
		
		`"merge_related_items_condition": [`
		`  {`
		`  "related_entry": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"condition": "String"
		}
		]</pre>
		詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

template.most_connected_items_merge_attributes	文字列	オプション。メイン CI との関係が最も大きい CI から結合されるカンマ区切り属性。
template.most_connected_items_merge_attributes	文字列	オプション。最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合されるカンマ区切り属性。
template.name	文字列	テンプレートの名前。
template.newest_updated_merge_attributes	文字列	オプション。最後に更新された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.oldest_created_merge_attributes	文字列	オプション。最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.table	文字列	テンプレートが作成されるテーブル。
template.task_conditions	文字列	オプション。テンプレートの実行時に評価されるエンコードされたクエリ。このクエリは、重複タスク調整データ [reconcile_duplicate_task_data] テーブルで評価されます。このクエリから返されたすべてのタスクが、テンプレート評価時に考慮されます。 **注:** タスクがクエリの一部として返された場合でも、テンプレートの実行によってタスクが処理されるとは限りません。その他の要因により、テンプレートの処理中にタスクがスキップされる可能性があります。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	重複テンプレートの調整 [reconcile_duplicate_template] テーブルで作成されたテンプレートのSys_id。

次の例は、重複排除テンプレートを作成する方法を示しています。

```
var template = {
  "name": "Test Windows Template",
  "table": "cmdb_ci_win_server",
  "description": "This is a Windows server template",
  "master_ci_option": "oldest_created",
  "master_ci_condition": "",
  "allow_null_attribute_update": false,
  "allow_master_ci_null_update": false,
  "oldest_created_merge_attributes": "serial_number,os_version",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "merge_relations": "all",
  "merge_relations_condition": "",
  "merge_related_items": "conditional",
  "merge_related_items_condition": [
    {
      "related_entry": "change_request.cmdb_ci",
      "condition": "ramCONTAINS1024"
    },
    {
      "related_entry": "incident.cmdb_ci",
      "condition": "os_versionCONTAINSWindows"
    }
  ],
  "duplicate_ci_action": "delete",
  "duplicate_ci_updates":   [{
    "element": "ram",
    "element_label": "RAM (MB)",
    "value": "1024",
    "display": "1024"
  }],
  "task_conditions":
 "category=attribute^key=serial_number^value=E2BX1^EQ"
};

var templateId = sn_cmdb.DuplicateTemplate.createTemplate(template);

gs.info(templateId);
```

出力:

```
8dfcd36e042b2510f877c1665753a485
```

DuplicateTemplate - getTemplate(文字列 templateId)

テンプレートオブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テンプレートを作成するためのさまざまなオプションを含むテンプレートオブジェクト。 `{ "allow_master_ci_null_update": Boolean, "allow_null_attribute_update": Boolean, "description": "String", "duplicate_ci_action": "String", "duplicate_ci_updates": [Array], "master_ci_condition": "String", "master_ci_option": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	"merge_related_items": "String", "merge_related_items_condition": [Array], "merge_relations_condition": "String", "merge_relations": "String", "most_related_items_merge_attributes": "String", "most_relations_merge_attributes": "String", "name": "String", "newest_updated_merge_attributes": "String", "oldest_created_merge_attributes": "String", "table": "String", "task_conditions": "String" }
<Object>.allow_null_attribute_update	重複排除タスク内の CI の属性競合を解決するときに、メイン CI 属性が重複 CI の null 値で更新されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メイン CI 属性は、重複 CI の null 値で更新されます。 • false:メイン CI 属性は重複 CI の null 値で更新されません。 データタイプ：ブーリアン
<Object>.allow_master_null_update	メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新が含まれます。 有効な値： • true:メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新を含めます。 • false:すべての重複 CI からの更新を含めます。 データタイプ：ブーリアン
<Object>。形容	テンプレートに関する詳細情報を保存するための説明。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicate_ci_action	重複 CI を削除するか、一意のカスタム値で更新するかを指定します。 選択可能なオプション： • 削除 • 更新 (*duplicate_ci_updates*指定が必要) データタイプ：文字列
<Object>.duplicate_ci_updates	重複 CI 値の更新方法を指定するオブジェクトのアレイ。 [{ "element": "String", "element_label": "String", "value": "String", "display": "String"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	}] データタイプ: オブジェクト
<Object>.duplicateCIUpdates.<element>	参照フィールドのシステム辞書名。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.<element>_label	参照フィールドに表示されるラベル。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.<element>.value	参照フィールドの値、つまり参照フィールドの内容。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.<element>.display	参照フィールドの表示値。 データタイプ：文字列
<Object>.master_ci_オプション	このテンプレートを適用するときに、重複排除タスクに対してメイン CI を選択する方法を指定します。 選択可能なオプション： • 条件付き (*master_ci_condition*指定必須) • most_related_items - 最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合される属性。 • most_relations - メイン CI との関係が最も多い CI から結合される属性。 • newest_created - 最後に更新された CI からメイン CI に結合される分離された属性。 • oldest_created - 最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。 データタイプ：文字列
<Object>.merge_relations	このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション： • すべて • 条件付きの • なし データタイプ：文字列
<Object>.merge_related_items	このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI のどの関連テーブルをメイン CI に結合するかを指定します。重複排除タスクの修正 (従来) () も参照。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	選択可能なオプション： • all_available – デフォルトの関連テーブルと、テンプレートを介して修正された重複排除タスクの重複 CI を参照するすべての関連テーブルが含まれます。 • 条件付きの • default – 重複 CI レメディエーターのデフォルト関連アイテムモジュールによって提供される関連エントリが含まれます。 • なし データタイプ：文字列
<Object>.merge_related_items_条件	関連エントリごとにエンコードされたクエリがある関連エントリのリスト。各クエリーは、タスクに対して選択されたメイン CI で評価されます。クエリーが true を返した場合、重複排除タスクの修正中に関連エントリーが結合されます。false の場合、関連エントリは結合されません。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。 データタイプ：アレイ
<Object>.most_relations_merge_attributes	メイン CI との関係が最も大きい CI から結合されるカンマ区切り属性。 データタイプ：文字列
<Object>.most_related_to_merge_attributes	最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合されるカンマ区切り属性。 データタイプ：文字列
<Object>.name	テンプレートの名前。 データタイプ：文字列
<Object>.newest_updated_merge_attributes	最後に更新された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。 データタイプ：文字列
<Object>.oldest_created_merge_attributes	最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。 データタイプ：文字列
<Object>.table	テンプレートが作成されるテーブル。 データタイプ：文字列
<Object>.task_condition_条件	タスク条件のテーブル、つまり重複タスクデータの調整 [reconcile_duplicate_task_data] テーブルの場所。値は変更されることはなく、テーブルは内部使用のみを目的としています。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.task_conditions	テンプレートの実行時に評価されるエンコードされたクエリ。このクエリは、重複タスク調整データ [reconcile_duplicate_task_data] テーブルで評価されます。このクエリから返されたすべてのタスクが、テンプレート評価時に考慮されます。 注: タスクがクエリの一部として返された場合でも、テンプレートの実行によってタスクが処理されるとは限りません。その他の要因により、テンプレートの処理中にタスクがスキップされる可能性があります。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。 データタイプ：文字列

次の例は、テンプレートを取得する方法を示しています。

```
var template = sn_cmdb.DuplicateTemplate.getTemplate('<template_id>');
gs.info(JSON.stringify(template));
```

出力:

```
{
  "most_relations_merge_attributes": "",
  "task_conditions":
 "category=attribute^key=serial_number^value=E2BX1^EQ",
  "duplicate_ci_updates": "org.mozilla.javascript.NativeArray@5d3b19ef",
  "description": "This is a Windows server template",
  "master_ci_option": "oldest_created",
  "merge_related_items": "conditional",
  "duplicate_ci_action": "delete",
  "newest_updated_merge_attributes": "",
  "merge_related_items_condition": [
    {
      "condition": "os_versionCONTAINSWindows",
      "related_entry": "incident.cmdb_ci"
    },
    {
      "condition": "ramCONTAINS1024",
      "related_entry": "change_request.cmdb_ci"
    }
  ],
  "most_related_items_merge_attributes": "",
  "merge_relations": "all",
  "task_condition_table": "reconcile_duplicate_task_data",
  "name": "Test Windows Template",
  "allow_null_attribute_update": false,
  "table": "cmdb_ci_win_server",
  "allow_master_ci_null_update": false,
  "oldest_created_merge_attributes": "serial_number,os_version"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DuplicateTemplate - previewTemplate(文字列 **templateId**, 文字列 **taskId)**

さまざまなテンプレートオプションが重複排除タスクにどのように適用され、どのように修正されるかを示すプレビューを生成します。

このメソッドは、テンプレートを使用してタスクのプレビューを生成する前に、必要なすべての属性を検証します。テンプレートは、必要な属性を指定せずに作成または更新できます。重複排除タスクをプレビューするには、必要な属性を指定する必要があります。

次の属性が必要です。

- duplicate_ci_action
- master_ci_option
- merge_related_items
- merge_relations
- name
- テーブル

注: この方法ではすべての属性が検証されますが、プレビューではテンプレートが公開済み状態である必要はありません。

重複排除タスクを修正するには、 remediateTask() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。
taskId	文字列	重複修復タスク [reconcile_duplicate_task] テーブルにリストされている重複排除タスクのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テンプレートを使用して重複排除タスクを修正する方法を示す値を含むプレビューオブジェクト。 `{ "allClassCIMap": {Object}, "duplicateCIAction": "String", "duplicateCIUpdates": [Array], "masterCI": "String", "mergeRelations": Boolean, "relatedTablesMerged": [Array], "resolvedFieldCIMap": [Array], "taskId": "String", "tooManyDuplicates": Boolean }`
<Object>.allClassCIMap	CI クラス別にグループ化された、重複排除タスク内のsys_ids CI のリスト。*cmdb_ci_computer*など。 `"allClassCIMap": { "<ci_class_name>": [`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"<ci_sys_id_1>",
	"<ci_sys_id_2>"
	]
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

<Object>.duplicateCIAction	重複 CI を削除するか、一意のカスタム値で更新するかを指定します。 選択可能なオプション： • 削除 • 更新 (*duplicate_ci_updates* 指定が必要) データタイプ：文字列

<Object>.duplicateCIUpdates	重複 CI 値の更新方法を指定するオブジェクトのアレイ。
	<pre>[
	{
	"element": "String",
	"element_label": "String",
	"value": "String",
	"display": "String"
	}
	]</pre>
	データタイプ：アレイ

<Object>.duplicateCIUpdates.element	参照フィールドのシステム辞書名。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.element_label	参照フィールドに表示されるラベル。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.value	参照フィールドの値、つまり参照フィールドの内容。 データタイプ：文字列
<Object>.duplicateCIUpdates.display	参照フィールドの表示値。 データタイプ：文字列
<Object>.masterCI	メイン CI として選択された CI のSys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.mergeRelations	このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• すべて • 条件付きの • なし データタイプ：文字列
<Object>.relatedTablesMerged	このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI のどの関連テーブルをメイン CI に結合するかを指定します。重複排除タスクの修正 (従来) () も参照。 選択可能なオプション： • all_available – デフォルトの関連テーブルと、テンプレートを介して修正された重複排除タスクの重複 CI を参照するすべての関連テーブルが含まれます。 • 条件付きの • default – 重複 CI レメディエーターのデフォルト関連アイテムモジュールによって提供される関連エントリが含まれます。 • なし データタイプ：アレイ
<Object>.resolvedFieldCIMap	重複 CI からメイン CI に結合される要素のアレイ。 `"resolvedFieldCIMap": [ { "element": "String", "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
<Object>.resolvedFieldCIMap.element	重複 CI からメイン CI に結合される要素の名前。 データタイプ：文字列
<Object>.resolvedFieldCIMap.sys_id	重複 CI からメイン CI に結合される要素のSys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.taskId	重複修復タスク [reconcile_duplicate_task] テーブルにリストされている重複排除タスクのSys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.tooManyDuplicates	重複の CI が最大数を超えているかどうかを示すフラグ。しきい値は、システムプロパティ glide.duplicate_ci_ remediator.max.cis の値 (デフォルト値は 1000 CI) を比較することによって決定されます。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:CI のタスク数が CI の最大数を超えています。 • false:CI のタスク数は CI の最大数を超えません。 データタイプ：ブーリアン

次の例は、指定したテンプレートの重複排除修正のプレビューを取得する方法を示しています。

```
var preview = sn_cmdb.DuplicateTemplate.previewTemplate("<template_id>",
 "<task_id>");
gs.info(JSON.stringify(preview));
```

出力:

```
{
  "taskId": "<task_id>",
  "masterCI": "<ci_sys_id_1>",
  "allClassCIMap": {
    "cmdb_ci_computer": [
      "<ci_sys_id_1>",
      "<ci_sys_id_2>"
    ]
  },
  "resolvedFieldCIMap": [
    {
      "element": "ram",
      "sys_id": "<ci_sys_id_2>"
    },
    {
      "element": "os_version",
      "sys_id": "<ci_sys_id_2>"
    }
  ],
  "mergeRelations": true,
  "relatedTablesMerged": [
    "incident.cmdb_ci",
    "change_request.cmdb_ci"
  ],
  "duplicateCIAction": "delete",
  "duplicateCIUpdates": [],
  "tooManyDuplicates": false
}
```

DuplicateTemplate - publishTemplate(文字列 **templateId)**

テンプレートを公開します。成功すると、テンプレートはドラフトから公開済みステータスに移行します。

このメソッドは、テンプレートを公開する前に必要なすべての属性を検証します。必要な属性を指定せずにテンプレートを作成または更新できますが、テンプレートを公開する前に属性を指定する必要があります。

次の属性が必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- duplicate_ci_action
- master_ci_option
- merge_related_items
- merge_relations
- name
- テーブル

公開済みステータスでは、 runTemplate() メソッドを使用してテンプレートを実行できます。

関連項目：

- previewTemplate()
- unPublishTemplate()
- updateTemplate()

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テンプレートが公開されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テンプレートが公開されました。 • false:テンプレートは公開されませんでした。

次の例は、テンプレートを公開して結果を表示する方法を示しています。

```
var isPublished =
 sn_cmdb.DuplicateTemplate.publishTemplate('<template_id>');
gs.info(isPublished);
```

出力:

```
true
```

DuplicateTemplate - remediateTask(文字列 **templateId**, 文字列 **taskId)**

テンプレートを使用して重複排除タスクを修正します。

テンプレートが公開済みステータスでない場合、テンプレートは実行できず、メソッドは例外をスローします。

previewTemplate() メソッドを使用して、重複排除タスクの修正方法をプレビューします。

関連項目。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 重複 CI の修正
- publishTemplate()
- 重複排除タスクの修正 (従来)

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。
taskId	文字列	重複修復タスク [reconcile_duplicate_task] テーブルにリストされている重複排除タスクのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	成功した場合、重複排除タスクの修正の結合解決 ID。この結合解決 ID は、重複 CI 修正 [cmdb_duplicate_ci_remediation] テーブル内のレコードのsys_idです。失敗した場合、テンプレートは公開済みステータスではない可能性があります。

次の例は、重複排除タスクを修正する方法を示しています。

```
var mergeResolutionId =
 sn_cmdb.DuplicateTemplate.remediateTask("<template_id>", "<task_id>");
gs.info(mergeResolutionId);
```

出力:

```
<merge_resolution_id>
```

DuplicateTemplate - requestCancellation(文字列 **templateRunId)**

既存のテンプレートの実行をキャンセルします。

キャンセル要求は、テンプレートがドラフト、準備完了、または実行中ステータスである場合にのみ、実行に対して行うことができます。

テンプレート実行キャンセル要求の後、テンプレート実行ステータスは中間ステージの [キャンセル要求済み] に変わります。

このメソッドを実行しても、準備完了またはドラフトステータスのテンプレートの実行は自動的にキャンセルされません。テンプレートの実行状態は、実行中のタスクがすべて完了するまで [キャンセル] に変わりません。その時点で、修復のためにステージングされている残りのタスクが、キャンセル要求からキャンセルに変わります。

関連項目：

- publishTemplate()
- runTemplate()
- retireTemplate()

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateRunId	文字列	重複排除テンプレートの実行 [reconcile_duplicate_template_run] テーブルにリストされているテンプレート実行のSys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	キャンセル要求が成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:キャンセル要求は成功しました。 • false:キャンセル要求は成功しませんでした。

次の例は、テンプレートの実行をキャンセルし、操作が成功したかどうかを表示する方法を示しています。

```
var isCancelled =
 sn_cmdb.DuplicateTemplate.requestCancellation("487c67e2046b2510f877c1665
753a4cc");
gs.info(isCancelled);
```

出力:

```
true
```

DuplicateTemplate - retireTemplate(文字列 **templateId)**

テンプレートを廃止します。

テンプレートが不要になった場合は、この方法を使用してテンプレートを廃止ステータスに移行します。

テンプレートは廃止できず、メソッドは次の条件で例外をスローします。

- テンプレートのステータスは [公開済み] です。
- テンプレートが実行中であるか、実行がスケジュールされています。

関連項目：

- publishTemplate()
- runTemplate()
- requestCancellation()
- DuplicateTemplate - **unPublishTemplate(**文字列 templateId)

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テンプレートが廃止されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テンプレートは廃止されます。 • false:テンプレートが実行中、実行予定、または公開済みステータスであるため、テンプレートを廃止できませんでした

次の例は、テンプレートを廃止して結果を表示する方法を示しています。

```
var isRetired = sn_cmdb.DuplicateTemplate.retireTemplate(<template_id>);
gs.info(isRetired);
```

出力:

```
true
```

DuplicateTemplate - runTemplate(文字列 **templateId)**

公開済みステータスの重複排除テンプレートの修正実行をスケジュールします。テンプレートは複数回実行できますが、一度にスケジュールできる実行は 1 回のみです。

テンプレートが公開済みステータスでない場合は実行できず、メソッドは例外をスローします。 テンプレートをドラフトから公開ステータスに移行するには、 publishTemplate() メソッドを使用します。

実行中のタスクをキャンセルするには、 requestCancellation() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	重複排除テンプレートの実行 [reconcile_duplicate_template_run] テーブルにリストされている実行されたテンプレートのSys_id。失敗した場合、テンプレートは公開済みステータスではない可能性があります。

次の例は、公開された重複排除テンプレートの実行をスケジュールする方法を示しています。

```
var template = sn_cmdb.DuplicateTemplate.runTemplate('<template_id>');
gs.info(JSON.stringify(template));
```

出力:

```
487c67e2046b2510f877c1665753a4cc
```

DuplicateTemplate - unPublishTemplate(文字列 **templateId)**

テンプレートを非公開にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この方法では、テンプレートが公開済みステータスからドラフトステータスに移行し、テンプレートを更新できるようになります。テンプレートが実行中または実行がスケジュールされている場合、テンプレートを非公開にすることはできません。

関連項目：

- publishTemplate()
- requestCancellation()
- updateTemplate()

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テンプレートが正常に非公開になったかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テンプレートは正常に非公開になりました。 • false:テンプレートは正常に非公開にされませんでした。テンプレートが実行中であるか、実行がスケジュールされている可能性があります。

次の例は、テンプレートを非公開にして結果を表示する方法を示しています。

```
var isUnPublished =
 sn_cmdb.DuplicateTemplate.unPublishTemplate(<template_id>);
gs.info(isUnPublished);
```

出力:

```
true
```

DuplicateTemplate - updateTemplate(文字列 **templateId**, オブジェクト **template)**

ドラフト状況の重複排除テンプレートを更新します。

関連項目：

- unPublishTemplate()
- canAddTasksToTemplate()

パラメーター

名前	タイプ	説明
template_id	文字列	重複調整テンプレート [reconcile_duplicate_template] テーブルにリストされているテンプレートのSys_id。
テンプレート	オブジェクト	テンプレートを作成するためのさまざまなオプションを含むテンプレートオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		{
		"allow_master_ci_null_update": Boolean,
		"allow_null_attribute_update": Boolean,
		"description": "String",
		"duplicate_ci_action": "String",
		"duplicate_ci_updates": [Array],
		"master_ci_condition": "String",
		"master_ci_option": "String",
		"merge_related_items": "String",
		"merge_related_items_condition": [Array],
		"merge_relations_condition": "String",
		"merge_relations": "String",
		"most_related_items_merge_attributes":
		"String",
		"most_relations_merge_attributes": "String",
		"name": "String",
		"newest_updated_merge_attributes": "String",
		"oldest_created_merge_attributes": "String",
		"table": "String",
		"task_conditions": "String"
		}

template.allow_null_attribute_update	ブール	オプション。重複排除タスク内の CI の属性競合を解決するときに、メイン CI 属性が重複 CI の null 値で更新されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メイン CI 属性は、重複 CI の null 値で更新されます。 • false:メイン CI 属性は重複 CI の null 値で更新されません。 デフォルト：False
template.allow_master_ci_null_update	ブール	オプション。メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新が含まれます。 メイン CI 値が null の場合に、重複 CI からの更新のみを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メイン CI 値が null の場合にのみ、重複 CI からの更新を含めます。 • false:すべての重複 CI からの更新を含めます。 デフォルト：False
template.description	文字列	オプション。テンプレートに関する詳細情報を保存するための説明。
template.duplicate_ci_action	文字列	オプション。重複 CI を削除するか、一意のカスタム値で更新するかを指定します。 選択可能なオプション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 削除 • 更新 (*duplicate_ci_updates* 指定が必要)
template.duplicate_ci_updates	アレイ	*duplicate_ci_action* の設定が更新でない限り、オプションです。重複 CI 値の更新方法を指定するオブジェクトのアレイ。 `[ { "element": "String", "element_label": "String", "value": "String", "display": "String" } ]`
template.duplicate_ci_updates.element	文字列	参照フィールドのシステム辞書名。
template.duplicate_ci_updates.element_label	文字列	参照フィールドに表示されるラベル。
template.duplicate_ci_updates.value	文字列	参照フィールドの値、つまり参照フィールドの内容。
template.duplicate_ci_updates.display	文字列	参照フィールドの表示値。
template.master_ci_option	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスクに対してメイン CI を選択する方法を指定します。 選択可能なオプション： • 条件付き (*master_ci_condition* 指定必須) • most_related_items - 最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合される属性。 • most_relations - メイン CI との関係が最も多い CI から結合される属性。 • newest_created - 最後に更新された CI からメイン CI に結合される分離された属性。 • oldest_created - 最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.master_ci_condition	文字列	オプション (*master_ci_option* の値が 条件付きの場合は必須)。メイン CI の選択方法を指定するエンコードされたクエリ。クエリに一致する CI が複数ある場合、またはクエリに一致する CI がない場合、メソッドは最後に更新された CI をメイン CI として選択します。エンコードされたクエリがテンプレートテーブルに対して評価されます。このテーブルは *table* プロパティで識別されます。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。
template.merge_relations	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• すべて • 条件付きの • なし
template.merge_relations	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI の関係を結合する方法を指定します。 選択可能なオプション： • すべて • 条件付きの • なし
template.merge_relations_condition	文字列	オプション (*merge_relations* の値が 条件付きの場合は必須)。重複 CI のすべての関係を結合するか、まったく結合しないかを指定するエンコードされたクエリ。クエリは、重複排除タスクに対して選択されたメイン CI で評価されます。クエリが true を返す場合、すべての関係が結合されます。false の場合、関係は結合されません。 エンコードされたクエリがテンプレートテーブルに対して評価されます。このテーブルは *table* プロパティで識別されます。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。
template.merge_related_items	文字列	オプション。このテンプレートを適用するときに、重複排除タスク内の重複 CI のどの関連テーブルをメイン CI に結合するかを指定します。重複排除タスクの修正 (従来) () も参照。 選択可能なオプション： • all_available – デフォルトの関連テーブルと、テンプレートを介して修正された重複排除タスクの重複 CI を参照するすべての関連テーブルが含まれます。 • 条件付きの • default – 重複 CI レメディエーターのデフォルト関連アイテムモジュールによって提供される関連エントリが含まれます。 • なし
template.merge_related_items_condition	アレイ	オプション。関連エントリごとにエンコードされたクエリがある関連エントリのリスト。各クエリーは、タスクに対して選択されたメイン CI で評価されます。クエリーが true を返した場合、重複排除タスクの修正中に関連エントリーが結合されます。false の場合、関連エントリは結合されません。 `"merge_related_items_condition": [ { "related_entry": "String", "condition": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。
template.most_common_items_merge_attributes	文字列	オプション。メイン CI との関係が最も大きい CI から結合されるカンマ区切り属性。
template.most_related_items_merge_attributes	文字列	オプション。最も関連性の高いアイテムを持つ CI からメイン CI に結合されるカンマ区切り属性。
template.name	文字列	テンプレートの名前。
template.newest_updated_merge_attributes	文字列	オプション。最後に更新された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.oldest_updated_merge_attributes	文字列	オプション。最も古く作成された CI からメイン CI に結合されるカンマ区切りの属性。
template.table	文字列	テンプレートが作成されるテーブル。
template.task_conditions	文字列	オプション。テンプレートの実行時に評価されるエンコードされたクエリ。このクエリは、重複タスク調整データ [reconcile_duplicate_task_data] テーブルで評価されます。このクエリから返されたすべてのタスクが、テンプレート評価時に考慮されます。 **注:** タスクがクエリの一部として返された場合でも、テンプレートの実行によってタスクが処理されるとは限りません。その他の要因により、テンプレートの処理中にタスクがスキップされる可能性があります。 詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テンプレートが更新されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テンプレートが更新されました。 • false:テンプレートが更新されました。テンプレートがドラフト (未公開) ステータスではない可能性があります。

次の例は、既存の重複排除テンプレートのいくつかのプロパティを更新する方法を示しています。

```
var template = {
  "name": "Test Windows Template",
  "table": "cmdb_ci_win_server",
  "description": "This is a windows server template",
  "master_ci_option": "newest_updated",
  "master_ci_condition": "",
  "allow_null_attribute_update": false,
  "allow_master_ci_null_update": false,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "oldest_created_merge_attributes": "",
  "newest_updated_merge_attributes": "ram,cpu_count",
  "most_relations_merge_attributes": "",
  "most_related_items_merge_attributes": "",
  "merge_relations": "all",
  "merge_relations_condition": "",
  "merge_related_items": "conditional",
  "merge_related_items_condition": [
    {
      "related_entry": "change_request.cmdb_ci",
      "condition": "ramCONTAINS1024"
    },
    {
      "related_entry": "incident.cmdb_ci",
      "condition": "os_versionCONTAINSWindows"
    }
  ],
  "duplicate_ci_action": "delete",
  "duplicate_ci_updates": "",
  "task_conditions":
 "category=attribute^key=serial_number^value=E2BX1^EQ"
};

sn_cmdb.DuplicateTemplate.updateTemplate(<template_id>, template);
```

出力:

```
true
```

DurationCalculator - グローバル

DurationCalculator スクリプトインクルードは、期間と期日を計算するためのメソッドを提供します。

DurationCalculator - D

DurationCalculator クラスのコンストラクタ。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var dc = new DurationCalculator();
```

DurationCalculator - calcDuration(数値 seconds)

現在の開始日時と渡された期間 (秒数) に基づいて終了日時を計算します。

このメソッドはまた、*this.endDateTime*、*this.seconds*、および *this.totalSeconds* プロパティに、更新された値を設定します。*seconds* プロパティは、作業スケジュールに基づいて期間中に実行される作業の合計秒数を表します。*totalSeconds* プロパティは、期間の開始時刻から終了時刻までの合計秒数を表します。これには、作業と非作業の両方が含まれます。

このメソッドを呼び出す前に、期間に使用する開始時間を指定して *setStartDateTime()* を呼び出す必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
秒	番号	終了日時、秒数、および合計秒数の値を計算するために開始日時に追加する秒数です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	入力値が数値でない場合は False です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2020-05-01 00:00:00");

var dc = new DurationCalculator();
dc.setStartDateTime(gdt);

if(!dc.calcDuration(2*24*3600)){ // 2 days
  gs.log("*** Error calculating duration");
  return;
}
var secs = dc.getSeconds();
var totalSecs = dc.getTotalSeconds();

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=172800 TOTALSECS=970534 ENDTIME = 2020-05-03
 00:00:00
```

DurationCalculator - calcRelativeDueDate(GlideDateTime start, 数値 days, 文字列 endTime)

渡された開始時刻に、現在のスケジュールとタイムゾーンを使用して日数を追加し、期日を計算します。

*calcRelativeDuration()*によって開始された相対的な継続時間の定義から、`calculator.calcRelativeDueDate(calculator.startDateTime, days)`として呼び出されます。作業の期日が判定されると、このメソッドは渡されたその日の *endTime* に時刻を設定します。スケジュールに十分な日数が残っていない場合は、スケジュールの最終日を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDateTime	計算のための開始日を含む GlideDateTime オブジェクトです。
日	番号	開始日に追加する日数です。
endTime	文字列	計算される期日における作業の完了期限の時刻です。 空白の場合、デフォルトで作業日の終わりになります。 形式：HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	完了日がスケジュールの範囲内かどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：完了日はスケジュールの範囲内です。 • false：完了日はスケジュールの範囲外です。このメソッドを呼び出す前にスケジュールが設定されていない場合は未定義です。

```
var dc = new DurationCalculator();
var startTime = new GlideDateTime();

// Settings for calculations
// Optional: Specify the schedule to use for the following calculations
dc.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
// Optional: Specify a different timezone to use
dc.setTimeZone("Los Angeles");
// Optional: Set a start date and time, otherwise the current time is
 assumed
dc.setStartDateTime("2020-04-10 08:00:00")
// Calculate end time, from number of seconds required in the schedule
dc.calcDuration(3*24*3600); // 3 days
dc.calcRelativeDueDate(startTime, "3", "07:00:00");
```

DurationCalculator - calcRelativeDuration(String relativeDurationID)

指定された相対期間スクリプトを使用して期間を計算します。

完了すると、 *this.endDateTime* そして *this.seconds* プロパティは、計算の結果を示すように設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
relativeDurationID	文字列	相対持続時間スケジュールの sys_id (table cmn_relative_duration)

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	duration スクリプトの結果

```
var dc = new DurationCalculator();
dc.calcRelativeDuration('08fcd0830a0a1b2600074f56b1ad7cb');
```

DurationCalculator - calcScheduleDuration(文字列 startTime, 文字列 endTime)

指定済みのスケジュールの範囲内の *startTime* と *endTime* の間の期間と、オプションで上書きされたタイムゾーンを返します。

このメソッドはまた、現在のスケジュールオブジェクトに *this.endDateTime*、*this.seconds*、および *this.totalSeconds* を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startTime	文字列	オプション。終了時刻の表示値です。 デフォルト：現在の日時 (*setStartDateTime()* を使用して設定) が使用されます。このパラメーターを渡さない場合は、`dur.calcScheduleDuration("", endDateTime);` などのプレースホルダーを渡す必要があります。
endTime	文字列	オプション。開始時刻の表示値です。 デフォルト：現在の日時 (*setEndDateTime()* を使用して設定) を使用します 。

返される内容

タイプ	説明
番号	スケジュール期間です。*endTime* が *startTime* の前である場合は 0 を返します。 単位：秒

```
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule. This is the schedule in which endDateTime,
 seconds, and totalseconds is set
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.calcScheduleDuration("2019-01-02 11:00:00", "2019-01-06 09:00:00");
var secs = dur.getSeconds();
var totalSecs = dur.getTotalSeconds();
var endDateTime = dur.getEndDateTime() + "";

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=97200 TOTALSECS=338400 ENDTIME = 2019-01-06
 09:00:00
```

DurationCalculator - calcScheduleDuration(GlideDateTime startTime, GlideDateTime endTime)

指定済みのスケジュールの範囲内の *startTime* と *endTime* の間の期間と、オプションで上書きされたタイムゾーンを返します。

このメソッドはまた、現在のスケジュールオブジェクトに *this.endDateTime*、*this.seconds*、および *this.totalSeconds* を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startTime	GlideDateTime	オプション。使用する開始時刻を含む GlideDateTime オブジェクトです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：現在の日時 (*setStartDateTime()* を使用して設定) が使用されます。このパラメーターを渡さない場合は、`dur.calcScheduleDuration("", endDateTime);` などのプレースホルダーを渡す必要があります。
endTime	GlideDateTime	オプション。使用する終了時刻を含む GlideDateTime オブジェクトです。 デフォルト：現在の日時 (*setEndDateTime()* を使用して設定) を使用します 。

返される内容

タイプ	説明
番号	スケジュール期間です。*endTime* が *startTime* の前である場合は 0 を返します。 単位：秒

```
var startDateTime = new GlideDateTime("2020-11-02 11:00:00");
// Instantiate a new GlideDateTime object which has the end date as the
 current date and time
var endDateTime = new GlideDateTime();
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule. This is the schedule in which endDateTime,
 seconds, and totalseconds is set
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.calcScheduleDuration(startDateTime, endDateTime);
var secs = dur.getSeconds();
var totalSecs = dur.getTotalSeconds();

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=293734.24 TOTALSECS=970534 ENDTIME =
 2020-11-13 16:35:34
```

DurationCalculator -

期間の終了日時を示す、*calcDuration*/*calcRelativeDuration* によって設定された *endDateTime* プロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	終了時刻

```
var dc = new DurationCalculator();
dc.calcDuration(52);
gs.print(dc.getEndDateTime());
```

2012-04-17 20:57:27

DurationCalculator - getSeconds( )

期間中に実行される作業の合計秒数を示す、*calcDuration*/*calcRelativeDuration* によって設定された *this.seconds* プロパティを返します。

これは、開始時間と終了時間の合計時間ではなく、合計作業時間であり、作業時間のパーセンテージを決定するために使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	総作業時間(秒単位)

```
var startDateTime = new GlideDateTime("2020-11-02 11:00:00");
// Instantiate a new GlideDateTime object which has the end date as the
 current date and time
var endDateTime = new GlideDateTime();
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule. This is the schedule in which endDateTime,
 seconds, and totalseconds is set
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.calcScheduleDuration(startDateTime, endDateTime);
var secs = dur.getSeconds();
var totalSecs = dur.getTotalSeconds();

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=293734.24 TOTALSECS=970534 ENDTIME =
 2020-11-13 16:35:34
```

DurationCalculator - getTotalSeconds( )

calculate(record) の呼び出しによって設定された *totalSeconds* 値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

totalSeconds プロパティは、期間の開始時刻から終了時刻までの合計秒数を表します。これには、作業と非作業の両方が含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	合計秒数

```
var startDateTime = new GlideDateTime("2020-11-02 11:00:00");
// Instantiate a new GlideDateTime object which has the end date as the
 current date and time
var endDateTime = new GlideDateTime();
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule. This is the schedule in which endDateTime,
 seconds, and totalseconds is set
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.calcScheduleDuration(startDateTime, endDateTime);
var secs = dur.getSeconds();
var totalSecs = dur.getTotalSeconds();

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=293734.24 TOTALSECS=970534 ENDTIME =
 2020-11-13 16:35:34
```

DurationCalculator - isAfter(GlideDateTime dt、String tm)

渡された時刻を、GlideDateTime オブジェクトに渡された時刻値と比較します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	GlideDateTime または文字列	渡された *tm* 値と比較する、GlideDateTime オブジェクトまたは日時の表示値のいずれかです。日時の表示値を渡した場合、メソッドはその値を GlideDateTime オブジェクトに変換します。
tm	文字列	GlideDateTime オブジェクトの時刻値と比較する時刻の表示値です。同じ日付であるという前提です。 形式：HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	渡された時刻値 (*tm*) が GlideDateTime オブジェクト (*dt*) の時刻の後かどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：*tm* は *dt* の後です。 • false：*tm* は *dt* の後ではありません。

```
var dc = new DurationCalculator();
gs.print(dc.isAfter("2020-04-10 08:00:00", "09:00:00"));
```

***スクリプト：true

DurationCalculator - setSchedule(String schedId、String **timezone)**

期日の計算に使用するスケジュールとタイムゾーンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedId	文字列	設定するスケジュールの sys_id です。スケジュール [cmn_schedule] テーブルにあります。
タイムゾーン	文字列	オプション。設定するタイムゾーンです。 デフォルト：ユーザーのタイムゾーンです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var startDateTime = new GlideDateTime("2020-11-02 11:00:00");
// Instantiate a new GlideDateTime object which has the end date as the
 current date and time
var endDateTime = new GlideDateTime();
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule. This is the schedule in which endDateTime,
 seconds, and totalseconds is set
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.calcScheduleDuration(startDateTime, endDateTime);
var secs = dur.getSeconds();
var totalSecs = dur.getTotalSeconds();

gs.print("***SCHEDULE DURATION: SECS=" + secs + " TOTALSECS=" + totalSecs
 + " ENDTIME = " + endDateTime);
```

出力

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
***SCHEDULE DURATION: SECS=293734.24 TOTALSECS=970534 ENDTIME =
 2020-11-13 16:35:34
```

DurationCalculator - setStartDateTime(文字列 start)

期間計算のための開始日時を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
開始	文字列	後続の計算のための開始時刻 (GMT) の表示値です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dc = new DurationCalculator();
dc.setStartDateTime("2020-04-10 08:00:00")
```

DurationCalculator - setStartDateTime(GlideDateTime description)

期間計算のための開始日時を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
説明	GlideDateTime	後続の計算のための開始時刻 (GMT) を含む GlideDateTime オブジェクトです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var startDateTime = new GlideDateTime("2020-11-02 11:00:00");
var dur = new DurationCalculator();

// Set 9-5 weekday schedule.
dur.setSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
dur.setStartDateTime(startDateTime);
```

DurationCalculator - setTimeZone(String timezone)

期日の計算に使用するタイムゾーンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
タイムゾーン	文字列	タイムゾーンの値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dc = new DurationCalculator();
dc.setTimeZone("Los Angeles");
```

DynamicSchemaAPI - グローバル

DynamicSchemaAPI には、動的スキーマ実装で使用されるさまざまなキャッシュをクリアするメソッドが用意されています。

clear() メソッドを実行するには、dynamic_schema_writer ロールが必要です。

注: 本番環境では、 *clear()* メソッドを呼び出す必要はありません。これらの方法は、実装のトラブルシューティングを行うときに、古いデータの原因となっているキャッシュの問題があると思われる場合に使用します。

動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。

DynamicSchemaAPI:clearDynamicCategoryCache()

動的カテゴリキャッシュ (DynamicCategoryCache) 全体をクリアします。

DynamicCategoryCache は、すべての動的カテゴリの内部メモリ内キャッシュです。古いカテゴリデータに関する問題が発生した場合は、この方法を使用してキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicCategoryCache();
```

DynamicSchemaAPI:clearDynamicChoiceSetCache()

動的選択肢セットのキャッシュ (DynamicChoiceSets) 全体をクリアします。

DynamicChoiceSets は、すべての動的選択肢セットの内部メモリ内キャッシュです。古い選択セットデータに関する問題が発生した場合は、この方法を使用してキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicChoiceSetCache();
```

DynamicSchemaAPI:clearDynamicAttributeGroupCache()

DynamicAttributeGroups キャッシュと DynamicAttributes キャッシュをクリアします。

これらは、属性および属性グループのデータを含む内部メモリ内キャッシュです。属性またはグループデータが古いという問題が発生した場合は、この方法を使用してキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicAttributeGroupCache();
```

DynamicSchemaAPI - clearDynamicAttributeGroupCacheItem(文字列 sysId)

指定された動的属性グループを DynamicAttributeGroup キャッシュからクリアします。

特定の属性グループの古いデータに関する問題が発生した場合は、この方法を使用してグループのキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	キャッシュからクリアする属性グループのSys_id。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルにあります

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicAttributeGroupCacheItem(sysId);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DynamicSchemaAPI - clearDynamicCategoryCacheItem(文字列 sysId)

指定された動的スキーマカテゴリを DynamicCategoryCache からクリアします。

DynamicCategoryCache は、すべての動的カテゴリの内部メモリ内キャッシュです。特定のカテゴリの古いカテゴリデータに関する問題が発生した場合は、この方法を使用してそのカテゴリのキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	キャッシュからクリアするカテゴリのSys_id。ダイナミックカテゴリ [dynamic_category] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicCategoryCacheItem(sysId);
```

DynamicSchemaAPI - clearDynamicChoiceSetItem(文字列 sysId)

指定された動的スキーマ選択セットを DynamicChoiceSets キャッシュからクリアします。

DynamicChoiceSets は、すべての動的選択肢セットの内部メモリ内キャッシュです。特定の選択肢セットの古いデータに関する問題が発生した場合は、この方法を使用してその選択肢セットのキャッシュをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	キャッシュからクリアするために設定された選択肢のSys_id。ダイナミック選択肢セット [dynamic_choice_set] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
api.clearDynamicChoiceSetItem(sysId);
```

DynamicSchemaAPI:get()

DynamicSchemaAPI シングルトンを返します。

このメソッドは、他の *DynamicSchemaAPI* メソッドを呼び出す前に呼び出す必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var api = DynamicSchemaAPI.get();
```

DynamicTranslation - スコープ指定

DynamicTranslation API は、翻訳サービスプロバイダーを使用してテキストを複数の言語にリアルタイムで翻訳するメソッドを提供します。

また、この API を使用して、特定の文字列の言語を検出し、翻訳サービスに対して *DynamicTranslation* メソッドが有効になっているかどうかをチェックできます。この API を使用して、ユーザーインターフェイスのシームレスなローカライズエクスペリエンスを作成し、1 つのインターフェイスで複数の国にサービスを提供できるようにします。

現在、この API は、Microsoft Azure Translator サービスと Google Cloud Translator サービスの 2 つの翻訳サービスプロバイダーをサポートしています。インスタンス内で他の翻訳サービスを設定し、*DynamicTranslation* API を使用してテキストを翻訳することもできます。

サーバー側スクリプトでこれらのメソッドを使用する場合は、`sn_dt_api` 名前空間識別子を使用します。この API を使用するには、Dynamic Translation (com.glide.dynamic_translation) プラグインをアクティブ化する必要があります。このプラグインの詳細と 動的翻訳に関する追加情報については、「動的翻訳の概要」を参照してください。

DynamicTranslation - getDetectedLanguage(文字列 **text**, オブジェクト **parms**)

渡されたテキストの言語を検出します。

翻訳者を渡すと、 メソッドはその翻訳サービスを使用してソース言語を検出します。それ以外の場合は、デフォルトの翻訳サービスによって検出が実行されます。指定するテキスト文字列に、適切な言語検出を可能にするのに十分な言い回しが含まれていることを確認してください。

応答には、検出された言語に加えて、検出の信頼性レベルと他の考えられる代替言語が含まれています。翻訳者が渡されない場合、このメソッドは言語の検出に使用されるデフォルトの翻訳サービスも返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	言語の検出に使用するテキストです。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parms.translator	文字列	オプション。テキストの翻訳に使用される翻訳サービス (大文字と小文字は区別されません)。 有効な値： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
alternatives	一致する可能性がある他の言語を記述するオブジェクトのアレイです。 データタイプ：アレイ `"alternatives": [ { "code": "String", "confidence": "String", "name": "String" } ]`
alternatives.code	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
alternatives.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
alternatives.name	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"detectedLanguage": {
	  "code": "String",
	  "confidence": "String",
	  "name": "String"
	}</pre>

detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとエラーの根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。 (40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。 (40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「 動的翻訳の概要 」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。 (40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「 翻訳ツール構成の作成 」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。 (40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「 翻訳ツール構成の作成 」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • デフォルトの翻訳者が検出用に構成されていません。 (40011)：[翻訳者構成] で言語検出のデフォルトの翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	サービスが指定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が検出用に構成されていません。(40013)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で言語検出用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。

この例は、IBM の翻訳サービスを使用して英語の文字列を検出する サーバー側スクリプトのコードを示しています。

```
var detectedResponse =
 sn_dt_api.DynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please detect the
 language of this text', {"translator":'IBM'});
 gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力:

```
{
  detectedLanguage:
    { "code": "en", "confidence": "1", "name": "en" }
  alternatives:
    [
      { "code": "vi", "confidence": "0.86", "name": "vi" },
      { "code": "id", "confidence": "0.86", "name": "id" }
    ]
 }
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするサーバースクリプトを示しています。

```
var detectedResponse =
 sn_dt_api.DynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please detect the
 language of this text', {"translator":123});
 gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力:

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is invalid"}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DynamicTranslation - getDetectedLanguages(アレイ **texts**, オブジェクト **parms**)

渡されたテキスト文字列の言語を検出します。

翻訳者を渡すと、 メソッドはその翻訳サービスを使用してソース言語を検出します。それ以外の場合は、デフォルトの翻訳サービスによって検出が実行されます。指定するテキスト文字列に、適切な言語検出を可能にするのに十分な言い回しが含まれていることを確認してください。

応答には、検出された言語に加えて、検出の信頼性レベルと他の考えられる代替言語が含まれています。翻訳者が渡されない場合、このメソッドは言語の検出に使用されるデフォルトの翻訳サービスも返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テキスト	アレイ	言語を検出するために使用するテキスト文字列のリスト。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "translator": "String" }`
parms.translato	文字列	文字列の言語を検出するために使用する翻訳サービス。翻訳サービスは、[翻訳者構成] メニューで構成され、翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルに置かれます。 可能な値 - 大文字と小文字を区別しない： • Google • Microsoft • IBM • <custom> **注:** カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
検出	テキスト文字列の言語検出。 データタイプ：オブジェクト `"detections": { "alternatives": [Array], "detectedLanguage": {Object}, "isError": Boolean`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	] ```

detections.alternatives	一致する可能性がある他の言語を説明するオブジェクトのアレイです。
	
	データタイプ：アレイ
	
	"alternatives": [
	{
	"code": "String",
	"confidence": "String",
	"name": "String"
	}
	]

detections.alternatives.code	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.alternatives.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detections.alternatives.name	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列

detections.detectedLanguage	検出された言語の説明です。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	"detectedLanguage": {
	"code": "String",
	"confidence": "String",
	"name": "String"
	}

detections.detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.detectedLanguage.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detections.detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.isError	テキストの言語の検出がエラーとなったかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：エラーが発生しました。 • false：言語の検出に成功しました。 データタイプ：ブール
status	メソッド呼び出しへの応答のステータス。 可能な値： • エラー • 部分的 • 成功 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとエラーの根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。(40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。(40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに `Dynamic Translation` API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「 動的翻訳の概要 」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された `translator` パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。 (40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「 翻訳ツール構成の作成 」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。 (40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「 翻訳ツール構成の作成 」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • 複数のエラーで要求が失敗しました。 (40010)：言語検出呼び出しで複数のエラーが発生しました。詳細については、個々のテキスト文字列の応答を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• デフォルトの翻訳者が検出用に構成されていません。 (40011)：[翻訳者構成] で言語検出のデフォルトの翻訳サービスが指定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が検出用に構成されていません。 (40013)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で言語検出用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者構成バージョンが無効です。v3 に移行してください。 (40014)：指定された翻訳サービスに関連付けられている翻訳者構成のバージョンは、指定されたテキスト翻訳方法をサポートしていません。詳細については、「翻訳ツール構成のバージョン v3 への移行」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。

この例は、Microsoft の翻訳サービスを使用して、渡された文字列の言語として英語を検出するサーバースクリプトのコードを示しています。

```
var detectedResponse =
 sn_dt_api.DynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First text
 string language to detect", "Second text string language to detect"],
 {"translator": "Microsoft"});
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Success",
  "detections":[
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"},
        {"name":"ms", "code":"ms", "confidence":"0.83"}
      ]
    },
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {"name":"fr", "code":"fr", "confidence":"0.83"},
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"}
      ]
    }
  ]
}
```

この例は、2 つのテキスト文字列が渡されて、そのうちの 1 つが無効である場合に Partial というステータスを返すサーバースクリプトのコードを示しています。

```
var detectedResponse =
 sn_dt_api.DynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First text string
 language to detect", ""], {"translator": "Microsoft"});
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Partial",
  "detections":[
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"},
        {"name":"ms", "code":"ms", "confidence":"0.83"}
      ]
    },
    {
      "isError":true,
      "code":"40000",
      "message":"Text is missing or invalid"
    }
  ]
}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするサーバースクリプトのコードを示しています。

```
var detectedResponse =
 sn_dt_api.DynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First text
 string language to detect", "Second text string language to detect"],
 {"translator": "123"});
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is
 invalid","status":"Error"}
```

DynamicTranslation - getTranslation(文字列 **textToTranslate**, オブジェクト **parms)**

渡されたテキストを 1 つ以上の言語に翻訳します。

この方法では、Microsoft Azure Translator サービスや Google Cloud Translator サービスなどの翻訳サービスを使用して翻訳を実行します。翻訳パラメーターを渡さない場合、メソッドはシステムのデフォルトを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
textToTranslate	文字列	翻訳するテキスト。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "additionalParameters": {Object}, "sourceLanguage": "String", "targetLanguages": [Array], "translator": "String" }`
parms.additionalParameters	アレイ	オプション。JSON オブジェクトのアレイ。各オブジェクトには、翻訳を実行するための追加情報を提供するキーと値のペアが含まれています。 `"additionalParameters": { "parameterName": "String", "parameterValue": "String" }`
parms.additionalParameters.parameterName	文字列	オプション。キー名。 有効な値： textype：翻訳するテキストのタイプ。Microsoft Azure Translator サービスの場合のみ。
parms.additionalParameters.parameterValue	文字列	オプション。関連付けられたキーの値。 有効な値： • plain：標準的なテキスト文字列 • html：HTML テキスト文字列 デフォルト：plain
parms.sourceLanguage	文字列	オプション。ソーステキストの言語コード。 デフォルト：翻訳サービスがソース言語を検出します。
parms.targetLanguages	アレイ	オプション。テキストの翻訳に使用する言語コードのリスト。このメソッドは、言語コードごとに翻訳されたテキストを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：ユーザーの優先言語。
parms.translator	文字列	オプション。テキストの翻訳に使用される翻訳サービス (大文字と小文字は区別されません)。 有効な値： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト `"detectedLanguage": { "code": "String", "name": "String" }`
detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
翻訳	言語翻訳を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `translations": [ {`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"targetLanguage": "String",
	"translatedText": "String"
	}
	]</pre>

translations.targetLanguage	ソーステキストが翻訳された言語コード。 データタイプ：文字列
translations.translatedText	翻訳されたテキスト。 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。(40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。(40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • デフォルトの翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40002)：[翻訳者構成] でデフォルトの翻訳サービスとして選択されている翻訳サービスがありません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。(40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。(40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。(40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。(40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • ターゲット言語 ([targetLanguages] フィールド) が無効です。(40007)： *targetLanguages* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、次のいずれかの理由で有効ではありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ 値がアレイではありません ◦ アレイが空です ◦ 1 つまたは複数のエントリが文字列ではありません • ソース言語 ([sourceLanguage] フィールド) が無効です。(40008)：*sourceLanguage* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、値が文字列ではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • <translator> 翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40012)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] でテキスト翻訳用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • ソース言語が無効です。 (40053)：渡された *sourceLanguage* パラメーターに、対応する翻訳サービスでサポートされていない言語コードが含まれています。 • ターゲット言語が無効です。 (40054)：*targetLanguages* パラメーターで渡された 1 つ以上の言語コードが、対応する翻訳サービスでサポートされていません。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • テキストをターゲット言語に翻訳できません。(40056)：指定された翻訳サービスは、渡されたテキストを指定されたターゲット言語に翻訳できません。

この例は、 Microsoft の翻訳サービスを使用して、プレーンテキストを、(検出された) 英語からフランス語とイタリア語に翻訳するサーバースクリプトを示しています。

```
try {

 gs.info(JSON.stringify(sn_dt_api.DynamicTranslation.getTranslation("Tran
slate this text using platform from server", {
    "targetLanguages": ["fr", "it"],
    "additionalParameters": [{
      "parameterName": "texttype",
      "parameterValue": "plain"
    }],
    "translator": "Microsoft"
  })));
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
} catch (error) {
    gs.info(error.message);
}
```

応答：

```
{"translations":[
    {
      "targetLanguage":"it",
      "translatedText":"Tradurre questo testo utilizzando la piattaforma
 dal server"
    },
    {
      "targetLanguage":"fr",
      "translatedText":"Traduire ce texte en utilisant la plate-forme à
 partir du serveur"
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "detectedLanguage":{"code":"en","name":"en"}
}
```

この例は、無効なターゲット言語が渡されたときにエラーをスローするサーバースクリプトを示しています。

```
try {

 gs.info(JSON.stringify(sn_dt_api.DynamicTranslation.getTranslation("Tran
slate this text using platform from server", {
        "targetLanguages": ["123"],
        "additionalParameters": [{
            "parameterName": "texttype",
            "parameterValue": "plain"
        }],
        "translator": "Microsoft"
    })));
} catch (error) {
    gs.info(error.message);
}
```

応答：

```
{"code":"40054","message":"Target language is invalid"}
```

DynamicTranslation - getTranslations(アレイ **texts**, オブジェクト **parms)**

渡されたテキスト文字列を 1 つ以上の言語に翻訳します。

この方法では、Microsoft Azure Translator サービスや Google Cloud Translator サービスなどの翻訳サービスを使用して翻訳を実行します。翻訳パラメーターを渡さない場合、メソッドはシステムのデフォルトを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テキスト	アレイ	翻訳するテキスト文字列のリストです。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "additionalParameters": {Object}, "sourceLanguage": "String", "targetLanguages": [Array], "translator": "String" }`
parms.additionalParameters	オブジェクト	オプション。JSON オブジェクトのアレイ。各オブジェクトには、翻訳を実行するための追加情報を提供するキーと値のペアが含まれています。 `"additionalParameters": { "parameterName": "String", "parameterValue": "String" }`
parms.additionalParameters.parameterName	文字列	オプション。キー名。 有効な値： textype：翻訳するテキストのタイプ。Microsoft Azure Translator サービスの場合のみ。
parms.additionalParameters.parameterValue	文字列	オプション。関連付けられたキーの値。 有効な値： • plain：標準的なテキスト文字列 • html：HTML テキスト文字列 デフォルト：plain
parms.sourceLanguage	文字列	オプション。ソーステキストの言語コード。 デフォルト：翻訳サービスがソース言語を検出します。
parms.targetLanguages	アレイ	オプション。テキストの翻訳に使用する言語コードのリスト。このメソッドは、言語コードごとに翻訳されたテキストを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：ユーザーの優先言語。
parms.translator	文字列	オプション。テキストの翻訳に使用される翻訳サービス (大文字と小文字は区別されません)。 有効な値： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
status	メソッド呼び出しへの応答のステータス。 可能な値： • エラー • 部分的 • 成功 データタイプ：文字列
翻訳	言語翻訳を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `translations": [ { "isError": Boolean; "detectedLanguage": {Object}, "textTranslations": [Array] } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
translations.isError	テキストの翻訳がエラーとなったかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：エラーが発生しました。 • false：テキストの翻訳に成功しました。 データタイプ：ブーリアン
translations.detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト `"detectedLanguage": { "code": "String", "name": "String" }`
translations.detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
translations.detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
textTranlations	オブジェクトのアレイ。テキスト文字列の翻訳に使用される言語の説明。 `"textTranslation": { "targetLanguage": "String", "translatedText": "String" }`
textTranslations.targetLanguage	ソーステキストが翻訳された言語コード。 データタイプ：文字列
textTranslations.translatedText	翻訳されたテキスト。 データタイプ：文字列
translator	テキストの翻訳に使用される翻訳サービスです。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。 (40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。 (40001)：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • デフォルトの翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40002)：[翻訳者構成] でデフォルトの翻訳サービスとして選択されている翻訳サービスがありません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。(40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。(40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。(40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • ターゲット言語 ([targetLanguages] フィールド) が無効です。 (40007)：*targetLanguages* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、次のいずれかの理由で有効ではありません。 ◦ 値がアレイではありません ◦ アレイが空です ◦ 1 つまたは複数のエントリが文字列ではありません • ソース言語 ([sourceLanguage] フィールド) が無効です。 (40008)：*sourceLanguage* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、値が文字列ではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • 複数のエラーで要求が失敗しました。 (40010)：言語検出呼び出しで複数のエラーが発生しました。詳細については、個々のテキスト文字列の応答を参照してください。 • <translator> 翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40012)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] でテキスト翻訳用に構成されていません。翻訳ツール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者構成バージョンが無効です。v3 に移行してください。 (40014)：指定された翻訳サービスに関連付けられている翻訳者構成のバージョンは、指定されたテキスト翻訳方法をサポートしていません。詳細については、「翻訳ツール構成のバージョン v3 への移行」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • ソース言語が無効です。 (40053)：渡された *sourceLanguage* パラメーターに、対応する翻訳サービスでサポートされていない言語コードが含まれています。 • ターゲット言語が無効です。 (40054)：*targetLanguages* パラメーターで渡された 1 つ以上の言語コードが、対応する翻訳サービスでサポートされていません。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • テキストをターゲット言語に翻訳できません。 (40056)：指定された翻訳サービスは、渡されたテキストを指定されたターゲット言語に翻訳できません。

この例は、Microsoft の翻訳サービスを使用してテキスト文字列のリストをフランス語とイタリア語に翻訳するサーバー側スクリプトのコードを示しています。

```
try {

 gs.info(JSON.stringify(sn_dt_api.DynamicTranslation.getTranslations(["Tr
anslate first text using platform from server", "Translate second text
 using platform from server"], {
    "targetLanguages": ["fr", "it"],
    "additionalParameters": [{"parameterName": "texttype",
 "parameterValue": "plain"}],
    "translator": "Microsoft"
  })));
} catch (error) {
    gs.error(error.message);
}
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答：

```
{
  "translations":[
    {
      "isError":false,
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Traduci il primo testo utilizzando la
 piattaforma dal server"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le premier texte à l'aide de la
 plate-forme à partir du serveur"
        }
      ],
      "detectedLanguage": {"name":"en", "code":"en"}
    },
    {
      "isError":false,
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Traduci il secondo testo utilizzando la
 piattaforma dal server"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le deuxième texte à l'aide de la
 plate-forme à partir du serveur"
        }
      ],
      "detectedLanguage": {"name":"en", "code":"en"}
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Success"
}
```

この例は、渡された 2 つのテキスト文字列のうちの 1 つが無効である場合に Partial というステータスを返すサーバースクリプトを示しています。

```
try {

 gs.info(JSON.stringify(sn_dt_api.DynamicTranslation.getTranslations(["Tr
anslate first text using platform from server", ""], {
    "targetLanguages": ["fr", "it"],
    "additionalParameters": [{"parameterName": "texttype",
 "parameterValue": "plain"}],
    "translator": "Microsoft"
  })));
} catch (error) {
    gs.error(error.message);
}
```

応答：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "translations":[
    {
      "isError":false,
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Traduci il primo testo utilizzando la
 piattaforma dal server"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le premier texte à l'aide de la
 plate-forme à partir du serveur"
        }
      ],
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en"}
    },
    {
      "isError":true,
      "code":"40000",
      "message":"Text is missing or invalid"
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Partial"
}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするサーバースクリプトを示しています。

```
try {

 gs.info(JSON.stringify(sn_dt_api.DynamicTranslation.getTranslations(["Tr
anslate first text using platform from server", "Translate second text
 using platform from server"], {
    "targetLanguages": ["fr", "it"],
    "additionalParameters": [{"parameterName": "texttype",
 "parameterValue": "plain"}],
    "translator": 123
  })));
} catch (error) {
    gs.error(error.message);
}
```

応答：

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is
 invalid","status":"Error"}
```

DynamicTranslation - isEnabled(文字列 translator)

DynamicTranslation API のさまざまなメソッドを翻訳サービスに対して有効にするかどうかを決定します。

特定の翻訳サービスを渡すと、メソッドはその翻訳サービスのメソッドのアクティブ化をチェックします。それ以外の場合、メソッドはデフォルトの翻訳サービスをチェックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
translator	文字列	オプション。メソッドがアクティブかどうかを確認するために使用する翻訳サービス。翻訳サービスは、[翻訳者構成] メニューで構成します。 可能な値 - 大文字と小文字を区別しない： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：デフォルトの翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
batchDetection	`getDetectedLanguages()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
batchTranslation	`getTranslations()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
detection	`getDetectedLanguage()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
translation	`getTranslation()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
エラーメッセージ	API が返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。

この例は、Microsoft Translator に対して *DynamicTranslation* メソッドがアクティブであるかどうかをチェックするサーバースクリプトを示しています。

```
try {
  var response = sn_dt_api.DynamicTranslation.isEnabled('Microsoft');
  gs.info(JSON.stringify(response));
} catch(error) {
    gs.info(error.message);
}
```

出力:

```
{"detection":true,"batchTranslation":true,"batchDetection":true,"translat
ion":true}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするサーバースクリプトを示しています。

```
try {
  var response = sn_dt_api.DynamicTranslation.isEnabled(123);
  gs.info(JSON.stringify(response));
} catch(error) {
    gs.info(error.message);
}
```

出力:

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is invalid"}
```

エンコーダー - グローバル

Encoder API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトを提供します。このオブジェクトは、Encoder 固有の目標と構成に基づいて、入力データを数値のベクトルに変換します。エンコーダーは、エンコーディングを実行するために個別に使用することも、テキスト列をエンコードするソリューションの一部として構成することもできます。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

エンコーダーは、事前にトレーニングされたか、指定した言語データセットに基づいてトレーニングされたテキスト処理オブジェクトです。システムがテキストフィールドをどのように解釈して処理するかを決定するエンコーダーをトレーニングできます。テキストを含む ML ソリューションの場合

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、テキストを処理する方法を指定するようにエンコーダーをトレーニングし、 トレーニング済みの エンコーダーをソリューションで使用できます。

Encoder には構成とバージョンがあり、独自の再トレーニング頻度で個別にトレーニングできます。API で定義された Encoder は、UI で定義された Encoder とは異なります。UI で定義された Encoder の再トレーニングは、それらを使用するソリューションによって制御されるためです。

Encoder のセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *DatasetDefinition* API を使用する 1 つ以上のデータセットを作成します。
2. コンストラクター を使用して、Encoder オブジェクトを作成します。
3. *EncoderStore - add()* メソッドを使用して、エンコーダー オブジェクトをエンコーダー ストアに追加します。
4. *submitTrainingJob()* メソッドを使用して、Encoder をトレーニングします。これにより、*EncoderVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。

Encoder をトレーニングすると、ソリューションオブジェクトで使用できます。

- *ClassificationSolution*
- *ClusteringSolution* (レーベンシュタイン距離アルゴリズムを使用しない場合は必須)
- *RegressionSolution*
- *SimilaritySolution* (必須)

注: この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

Encoder - Encoder(オブジェクト **config)**

Encoder を作成します。

1 つ以上のデータセットの Encoder を取得するには、このコンストラクターを使用して、一意の名前を持つ新しい Encoder オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト エンコーダー。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "datasets": [Array], "domainName": "String", "label": "String", "minRowCount": "String", "processingLanguage": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
config.algorithmConfig	オブジェクト	オプション。 アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 `'algorithmConfig' : { "algorithm": "String" }`
config.algorithmConfig.algorithm	文字列	このエンコーダーをトレーニングするためのアルゴリズムの名前。 可能な値： • *paravec*：パラグラフベクトルワード埋め込み。 • *tf-idf*：用語頻度 - 逆ドキュメント頻度 (TF-IDF) ベースのテキスト。
config.datasets	アレイ	*DatasetDefinition* オブジェクト名のリストです。
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。 例：`"global"`。
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.processingLanguage	文字列	オプション。2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 デフォルト値：「en」
config.stopwords	アレイ	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 デフォルト：英語のストップワード
config.trainingFrequency	文字列	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once

次の例は、Encoder ジョブを作成して Encoder ストアに追加する方法を示しています。

```
var myPrbData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'problem',
    'fieldNames' : ['short_description'],
    'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'incident',
    'fieldNames' : ['short_description', 'description'],
    'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var myEncoder = new sn_ml.Encoder({
    'label': "encoder",
    'datasets' : [myPrbData, myIncidentData],
    'algorithmConfig' : {
        'algorithm' : 'tf-idf'
    }
});
var myEncoderName = sn_ml.EncoderStore.add(myEncoder);
```

Encoder - cancelTrainingJob()

トレーニングのために送信された エンコーダーオブジェクト のジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_sn_global_global_encoder');

myEncoder.cancelTrainingJob();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Encoder - getActiveVersion()

アクティブな EncoderVersion オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *EncoderVersion* オブジェクトです。

次の例は、 *Encoder* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getActiveVersion().getStatus
()), null, 2));
```

出力:

```
{
  "state": "encoder_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

Encoder - getAllVersions()

Encoder のすべてのバージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	Encoder オブジェクトの既存のバージョンです。「*EncoderVersion* API」も参照してください。

次の例は、すべての *Encoder* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* と *getStatus()* の Encoder バージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

var mlEncoderVersions = mlEncoder.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlEncoderVersions.length; i++) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print("Version " + mlEncoderVersions[i].getVersionNumber() + " Status:
 " + mlEncoderVersions[i].getStatus() +"\n");
};
```

出力:

```
Version 3 Status:
 {"state":"encoder_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 2 Status:
 {"state":"encoder_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 1 Status:
 {"state":"encoder_cancelled","percentComplete":"0","hasJobEnded":"true"}
```

Encoder - getLatestVersion()

Encoder の最新バージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*EncoderVersion* の最新バージョンに対応するオブジェクト*Encoder()* を呼び出します。

次の例は、エンコーダーとそのトレーニングステータスを返します。

```
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getLatestVersion().getStatus
()), null, 2));
```

出力:

```
{
  "state": "encoder_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

Encoder - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Encoder オブジェクトの名前です。

次の例は、 *Encoder* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update encoder
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields(encoder));

var myEncoder = new sn_ml.Encoder({
   'label': "my encoder",
   'datasets' : [myIncidentData],
   'inputFieldNames': eligibleFields['eligibleInputFieldNames'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update encoder
sn_ml.EncoderStore.update('ml_x_snc_global_global_my_definition_4',
 myEncoder);

// print encoder name
gs.print('Encoder Name: '+myEncoder.getName());
```

出力:

```
Encoder Name: ml_x_snc_global_global_my_definition_4
```

Encoder - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと *EncoderStore* 内の *Encode()* オブジェクトの詳細です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	
	"algorithmConfig" : {Object},
	
	"datasetsProperties": [Array],
	"domainName": "String",
	"label": "String",
	"name": "String",
	
	"processingLanguage": "String",
	"scope": "String",
	"stopwords": [Array],
	
	"trainingFrequency": "String"
	}</pre>

<Object>.algorithmConfig.algorithm	このエンコーダーをトレーニングするためのアルゴリズムの名前。 可能な値： • *paravec*：パラグラフベクトルワード埋め込み。 • *tf-idf*：用語頻度 - 逆ドキュメント頻度 (TF-IDF) ベースのテキスト。 データタイプ：文字列。

<Object>.algorithmConfig	オプション。 アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。
	
	<pre>'algorithmConfig' :
	{
	"algorithm": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.datasetsProperties	Encoder に関連付けられた *DatasetDefinition()* プロパティのリストです。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。 例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.datasetsProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。 例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.datasetsProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetsProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内の エンコーダーオブジェクト のプロパティを取得します。

```
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_sn_global_global_encoder');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(myEncoder.getProperties()), null, 2));
```

出力:

```
*** Script: {
  "datasetsProperties": [
    {
      "tableName": "incident",
      "fieldNames": [
        "assignment_group",
        "short_description",
        "description"
      ],
      "encodedQuery": "activeANYTHING"
    }
  ],
  "domainName": "global",
  "label": "my encoder definition",
  "name": "ml_x_snc_global_global_my_encoder_definition",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "trainingFrequency": "run_once"
}
```

Encoder - getVersion(文字列 version)

指定されたバージョン番号を使用します。Encoder を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	Encoder ソリューションの既存のバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*EncoderVersion* API メソッドを呼び出すことができる *Encoder()* オブジェクトの指定されたバージョンです。

次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータス エンコーダーをバージョン番号で

```
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_x_snc_global_global_encoder');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getVersion('1').getStatus(
)), null, 2));
```

出力:

```
{
  "state": "encoder_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

Encoder - setActiveVersion(文字列 version)

ストア内の指定されたバージョンの Encoder をアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *Encoder()* オブジェクトバージョンの名前です。 このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内の エンコーダー バージョンを有効にする方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
sn_ml.Encoder.setActiveVersion("ml_incident_categorization");
```

Encoder - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

注: このメソッドを実行する前に、まず *EncoderStore - add()* メソッドを使用して、ストアに Encoder を追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*EncoderVersion* に対応するオブジェクト エンコーダー トレーニング対象

次の例は、データセットを作成してソリューションに適用し エンコーダー、それを次に追加 をストアに追加して、トレーニングジョブを送信する方法を示しています。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create an encoder
var myEncoder = new sn_ml.Encoder({

  'label': "my encoder definition",
  'datasets' : [myData],
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the encoder to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.EncoderStore.add(myEncoder);

// Train the encoder - this is a long running job
var myEncoderVersion = myEncoder.submitTrainingJob();
```

EncoderStore - グローバル

EncoderStore API には、エンコーダーを格納および取得するためのメソッドが用意されています。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EncoderStore - add(オブジェクト mlEncoder)

新しいエンコーダーを追加します オブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。

> **注:** ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlEncoder	Encoder	*Encoder()* ストアに追加する

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成されたソリューション名。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示しています エンコーダー ソリューション 次を使用 *Encoder - submitTrainingJob()* ストアに追加した後にトレーニングジョブを実行します。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create a solution
var myEncoder = new sn_ml.Encoder({

  'label': "my encoder definition",
  'datasets' : [myData],
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the encoder to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.EncoderStore.add(myEncoder);
```

EncoderStore - deleteObject(文字列 name)

指定された Encoder オブジェクトをストアから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*Encoder()* 削除するオブジェクト。 の名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアから Encoder を削除する方法を示しています。

```
sn_ml.EncoderStore.deleteObject("ml_sn_global_global_encoder");
```

EncoderStore - get(文字列 name)

ストアから Encoder オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストア内の Encoder の名前です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*Encoder* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

次の例は、*get()* メソッドを使用してストアから Encoder オブジェクトを取得し、Encoder - getActiveVersion() および EncoderVersion - getStatus() メソッドを使用してそのトレーニングステータスを表示する方法を示しています。

```
// Get status
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(myEncoder.getActiveVersion().getStatus
(), null, 2)));
```

出力:

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

EncoderStore - getAllNames(オブジェクト options)

ストア内のすべての Encoder 定義レコードの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String", "domainName": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"scope": "String"
		};</pre>

options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の Encoder オブジェクトの名前を表す文字列のリストです。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.EncoderStore.getAllNames()),
 null, 2));
```

出力:

```
[
  "ml_x_snc_global_global_classification_word_corpus",
  "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate",
  "GloVe",
  "ml_x_snc_global_global_encoder",
  "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate_1"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my encoder definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.EncoderStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_encoder_definition"
]
```

EncoderStore - update(文字列 **name**, オブジェクト **mlEncoder)**

ストア内の Encoder オブジェクトを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新する Encoder の名前です。
mlEncoder	*Encoder*	*Encoder()* 更新するオブジェクトプロパティ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内の Encoder オブジェクトを更新する方法を示しています。

```
var encoderUpdate = new sn_ml.Encoder({
  'label': 'my encoder definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.EncoderStore.update('ml_sn_global_global_incident_service',
 encoderUpdate);
```

EncoderVersion - グローバル

EncoderVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトを提供します。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

この API は、Encoder ストア内の Encoder API オブジェクトに基づいて、Encoder バージョンを操作するために使用されます。

トレーニングを完了すると、最新バージョンの Encoder がアクティブ化され、一度に 1 つのバージョンのみがアクティブになります。ただし、予測を行うために使用したい以前にトレーニングされたバージョンをアクティブ化することができます。

この API のメソッドは、次の *Encoder* メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

EncoderVersion - getProperties()

Encoder オブジェクトプロパティ バージョン番号 を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと Encoder の詳細です。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "algorithmConfig" : {Object}, "datasetsProperties": [Array], "domainName": "String", "isActive": "String", "label": "String", "name": "String", "predictedFieldName": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String", "versionNumber": "Number" }`
<Object>.algorithmConfig	オプション。 アルゴリズム設定プロパティを含む JavaScript オブジェクト。 `'algorithmConfig' : { "algorithm": "String" }` データタイプ：オブジェクト。
<Object>.algorithmConfig.algorithm	Encoder をトレーニングするためのアルゴリズムの名前。 可能な値： • *paravec*：パラグラフベクトルワード埋め込み。 • *tf-idf*：用語頻度 - 逆ドキュメント頻度 (TF-IDF) ベースのテキスト。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetsProperties	Encoder に関連付けられた *DatasetDefinition()* プロパティのリストです。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.datasetsProperties.fieldNames	指定されたモデルからの文字列としてのフィールド名のリスト。 例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.fullSchema	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetsProperties.timeFieldName	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetsProperties.fullSchema<Object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetsProperties.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス「」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.predictedField	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。
<Object>.versionNumber	のバージョン番号 *Encoder* オブジェクト。 データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

```
// Get properties
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getActiveVersion().getProperties()), null, 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "datasetsProperties": [
    {
      "tableName": "incident",
      "fieldNames": [
        "assignment_group",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "short_description",
        "description"
      ],
      "encodedQuery": "activeANYTHING"
    }
  ],
  "domainName": "global",
  "isActive": "true",
  "label": "my encoder definition",
  "name": "ml_x_snc_global_global_my_encoder_definition",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "versionNumber": "1"
}
```

EncoderVersion - getSentenceVectors(アレイ input)

入力された各文のベクトルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	アレイ	ベクトルの取得元の文である文字列のアレイです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	文のベクトルのアレイです。

次の例は、1 つの文のベクトルを返す方法を示しています。

```
var myEncoderName = 'GloVe';

var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get(myEncoderName);

var input = ["I like to code."];

var vectors = myEncoder.getActiveVersion().getSentenceVectors(input);

gs.print(vectors);
```

出力：

```
*** Script:
 [-0.16243751347064972,0.30614474415779114,0.08489049971103668,
-0.48100000619888306,-0.170997753739357,0.08779674768447876,-0.0784862414
0024185,-0.15123701095581055,
-0.07843250036239624,-1.9505999088287354,0.3007825016975403,-0.0780480057
0011139,-0.04779449850320816,
0.04803549498319626,0.09848674386739731,0.2427891194820404,-0.41138750314
712524,0.10880374908447266,
 … ,
0.21227750182151794,0.18478751182556152,-0.3113832473754883,-0.1656042486
4292145,0.09052124619483948]
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

EncoderVersion - getSimilarWords(アレイ input, オブジェクト options)

入力された各単語の類似単語を類似度が高い順に返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	アレイ	類似単語を見つけるための単語のアレイです。
オプション	オブジェクト	結果を絞り込むためのマップです。 `{ "topN":"String" }`
options.topN	文字列	指定されている場合、指定された数までの上位の結果を返します ワード数。例えば、最も類似する上位 10 個の単語を返すには、`"10"` を使用します。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	入力された単語の類似単語を対応する位置に含む要素のリストです。これらの類似単語は、`[word, similarity score]` 形式のペアのアレイによって表されます。

次の例は、`GloVe` エンコーダーを使用して類似単語を取得する方法を示しています。

```
var myEncoderName = 'GloVe';
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get(myEncoderName);
var input =  ["apple"];
var options = {"topN":"5"};
gs.print(myEncoder.getActiveVersion().getSimilarWords(input, options));
```

出力：

```
*** Script:
 [[["iphone",0.5987],["macintosh",0.5836],["ipod",0.5761],["microsoft",0.
5664],["ipad",0.5628]]]
```

EncoderVersion - getStatus(ブール includeDetails)

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。 デフォルト：False

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	Encoder オブジェクト のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String", "details": {Object} }`
<Object>.state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded* プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete` • `training_request_received` • `training_request_timed_out` (terminal) • `training_solution` • `Uploading_solution` • `waiting_for_training` データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

```
// Get status
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getActiveVersion().getStatus
(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Encoder Complete"} // This information is only
 returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var encoderName = 'ml_x_snc_global_global_encoder';
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get(encoderName);
var trainingStatus = mlEncoder.getLatestVersion().getStatus();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_error",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

EncoderVersion - getVersionNumber()

ソリューションオブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Get version number
var mlEncoder = sn_ml.EncoderStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlEncoder.getActiveVersion().getVersionNumbe
r()), null, 2));
```

出力：

```
Version number: 1
```

EncoderVersion - getWordVectors(アレイ **input)**

入力された各単語のベクトルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	アレイ	ベクトルの取得元の単語である文字列のリストです。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された各単語のベクトルのリストです。

次の例は、`hello` という単語からベクトルを取得する方法を示しています。

```
var myEncoderName = 'GloVe';
var myEncoder = sn_ml.EncoderStore.get(myEncoderName);
var input =  ["hello"];

gs.print(myEncoder.getActiveVersion().getWordVectors(input));
```

出力：

```
*** Script:
 [[-0.337119996547699,-0.2169100046157837,-0.006636499892920256,
-0.41624999046325684,-1.2554999589920044,-0.0284659992903471,-0.721949994
5640564,
-0.5288699865341187,0.0072085000574588776,0.3199700117111206,0.0294250007
7188015,
-0.013236000202596188,0.4351100027561188,0.2571600079536438,0.38995000720
02411,
 … ,
0.3384299874305725,0.4055800139904022,0.18073000013828278,0.6424999833106
995]]
```

イベント - グローバル

`イベント` API は、イベント内の値の設定と取得を可能にするメソッドを提供します。

これらのイベントは MID サーバー から ServiceNow インスタンスに送信されます。イベントを正常に送信するには、MID サーバー と ServiceNow インスタンス間の接続を定義する必要があります。

`Event` API を使用して、イベント内のフィールドを追加/更新します。*`SNEventSenderProvider`* API を使用して、イベント送信者オブジェクトをインスタンス化します。その後で *`IEventSender`* API を使用して、ServiceNow インスタンスにイベントを送信します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API にアクセスするには、Event Management (com.glideapp.itom.snac) プラグインを有効にする必要があります。イベント管理プラグインには、個別のサブスクリプションが必要であり、アクティブ化する必要があります。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだアクティブ化されていない場合はアクティブ化します。

イベント管理の詳細については、「イベント管理」を参照してください。

Event - Event()

Event コンストラクターをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var event = new Event();
var esource = event.getField("source");
var eseverity = event.getField("severity");
```

Event - getField(文字列 field)

渡された Event Management フィールドの現在の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	返される Event Management フィールド値の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求された Event Management フィールドの値です。

```
var event = new Event();
var eventSource = event.getField("source");
var eventSeverity = event.getField("severity");
```

Event - setAdditionalInfo(文字列 additionalInfo)

関連するイベントの既存の *additional_info* フィールドを、渡された JSON 文字列に置き換えます。

注: setField() メソッドを使用して、*additional_info*フィールド内の特定のフィールドを更新できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
additionalInfo	文字列	*additional_info* フィールドに保存する JSON 文字列 (キー/値ペア) です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: このパラメーターは、既存の情報を置き換えます。既存のフィールドは更新されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
event.setAdditionalInfo("{\"evtComponent\":\"Microsoft-Windows-
 WindowsUpdateClient\",\"evtMessage\":\"Installation Failure: Windows
 failed. Error 0x80070490\"}");
```

Event - setField(文字列 **key**, 文字列 **value**)

関連するイベントに指定されたフィールドを設定します。

渡された *key* が事前定義されたイベントフィールドと一致する場合、このメソッドは、対応するイベントフィールドを更新します。それ以外の場合、このメソッドは、渡された *value* を適用する前に *key* パラメーターをイベントの *additional_info* セクションに追加します。

このメソッドを使用して変更できる、事前定義されたイベントフィールドは次のとおりです。

フィールド	説明
additional_info	関連するイベントの *additional_info* フィールドに追加するキー/値ペアです。渡されたキーが既に存在する場合、その値は上書きされます。 最大長：4,000 文字 関連 UI フィールド：追加情報
ci_identifier	構成アイテムを一意に特定する JSON 文字列です。例：`{"name":"SAP ORA01","type":"Oracle"}`。 最大長：1,000 文字
cmdb_ci	イベントをバインドする構成アイテム [cmdb_ci] レコードの sys_id です。 デフォルト：Null
説明	イベントの自由形式の説明です。 最大長：4,000 文字 関連する UI フィールド： 説明 デフォルト：Null
event_class	イベントを生成した Enterprise Message Service (EMS) です。例えば、"Solarwinds" や "SCOM" です。 最大長：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	関連する UI フィールド：ソースインスタンス デフォルト：Null
message_key	一意のイベント識別子です。既存のイベント重大度を上書きするには、同じ *message_key* 値を使用します。 最大長：1,024 文字 関連 UI フィールド：メッセージキー デフォルト：*source*、*node*、*type*、*resource*、および *metric name* の組み合わせです。
resolution_state	イベントの解決ステータスです。 有効な値： • New：対応するイベントの解決ステータスはオープンです。 • Closing：対応するイベントの解決ステータスは終結/クローズ済みです。 関連する UI フィールド：解決ステータス デフォルト：New
resource	イベントに関連付けるノードリソースです。例えば、”Disk C:”、”CPU-1" や、プロセスやサービスの名前です。 最大長：100 文字 関連 UI フィールド：リソース
severity	イベント重大度です。 有効な値： • 0：クリア - アクションは必要ありません。このイベントからはアラートが作成されません。既存のアラートはクローズされています。 • 1： Ok - アラートが作成されました。リソースはまだ機能しています。 • 2： 警告 - リソースはまだ機能していますが、注意が必要です。 • 3：マイナー - 部分的な、重大でない機能停止またはパフォーマンス低下が発生しました。 • 4：メジャー - 主要な機能に深刻な障害が発生するかパフォーマンスが低下しています。 • 5：重大 - 即時アクションが必要です。リソースが機能していないか、リソースに重大な問題が発生する危険性が高まっています。 関連する UI フィールド： 重大度 デフォルト：Null
ソース	イベントをトリガーした EMS のインスタンスです。通常はコネクタインスタンスの名前です。 最大長：200 文字

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	関連 UI フィールド：ソース デフォルト：Null
time_of_event	ソースシステムでイベントが発生した UTC 時間です。 形式："yyyy-MM-dd HH:mm:ss" 最大長：40 文字 関連する UI フィールド：イベントの時刻 デフォルト：現在の日付/時刻
type	イベントが関連する測定基準タイプです (ディスクや CPU など)。この値は、アラートの作成元のイベントレコードを識別するために使用されます。 最大長：100 文字 関連 UI フィールド：タイプ デフォルト：Null

注: また、setText() メソッドを使用して*description*フィールドを更新し、setTimeOfEvent() メソッドを使用してイベント時間を更新することもできます。

イベントの詳細については、「イベント管理」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	イベントで追加または更新するキーの名前です。事前定義されたイベントフィールドの詳細については、「イベント収集のイベントフィールド形式」を参照してください。
値	文字列	関連するイベントフィールドに保存する情報です。 注: *value* 文字列は、格納される前にトリミングされ、複数のスペースが 1 つのスペースに置き換えられます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var event = new Event();
event.setField("source","SAP Solman");
event.setField("severity","3");
event.setField("time_of_event", "2019-18-05 13:12:05");
event.setField("type", "SAP object");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
event.setField("user", "admin"); // parameter will be added to
 additional_info section
```

Event - setText(文字列 text)

関連するイベントの *description* フィールドを渡された値に設定します。

> **注:** Event - setField(文字列 key, 文字列 value) メソッドを使用して、現在のイベントの *text* フィールドを設定することもできます。*setField()* メソッドとは異なり、このメソッドは渡されたテキストをトリミングしません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	関連するイベントの *description* フィールドに保存するテキストです。 最大長：4,000 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var event = new Event();
event.setText("SAP Solman");
```

Event - setTimeOfEvent(文字列 timeOfEvent)

関連するイベントの *time_of_event* フィールドを、渡された UTC 時刻値に設定します。

> **注:** Event - setField(文字列 key, 文字列 value) メソッドを使用して *time_of_event* フィールドを設定することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeOfEvent	文字列	*time_of_event* フィールドに設定する UTC 時刻値です。 形式："yyyy-MM-dd HH:mm:ss" 最大長：40 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var event = new Event();
event.setTimeOfEvent("2019-18-05 13:12:05");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EventProcessorUtilOOB: スコープ指定

EventProcessorUtilOOB スクリプトインクルードは、構成されたメッセージブローカーでイベントをビルドして公開するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードのデフォルト機能を変更するには、 EventProcessorUtil スクリプトインクルードでこれらのメソッドを上書きする必要があります。このスクリプトインクルードを変更するには、admin ロールが必要です。

このスクリプトインクルードは sn_api_notif_mgmt 名前空間で実行されます。

EventProcessorUtilOOB - constructandPublishEvent(オブジェクト inboundEventPayloadRecord、文字列 **eventId)**

渡された情報に基づいて TMF688 準拠のペイロードを構築し、構成された公開プラットフォームにイベントを公開します。

デフォルトの発行プラットフォームは、sn_api_notif_mgmt.publisher_message_bus_config システム プロパティで定義されます。

> **注:** この方法は、キュー管理の中核となるユーティリティ方式です。基になる通知フレームワークを再設計する予定がないかぎり、このメソッドをオーバーライドする必要はありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inboundEventPayloadRecord	オブジェクト	イベントに関連付けられた情報。このペイロードの形式は、イベントタイプによって異なります。基本実装では、これは JSON 形式の関連イベントの Glide レコードデータです。
eventId	文字列	GUID など、公開するイベントの一意の ID。

返される内容

タイプ	説明
tmfEventPayload	イベント用に作成された TMF688 準拠のイベントペイロード。このイベントペイロードのデフォルト形式の説明については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
processIndividualEventRecord: function(inboundQueueGr, node_id) {
  var isError = false;
  var errorMessage;
  try {
    new
 EventProcessorUtil().constructandPublishEvent(JSON.parse(inboundQueueGr.
getValue('payload')), inboundQueueGr.getValue('record_id'));
  } catch (ex) {
    this._logger.logErr("Event processing failed " + ex);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    isError = true;
    errorMessage = JSON.stringify(ex);
  }

  // Update the inbound queue record based on processing
  var inboundQueueObj = new sn_tmt_core.BaseObject();
  if (isError == true) {
    inboundQueueObj.setValue('state',
 sn_tmt_core.Constants.INBOUND_QUEUE_STATE.ERROR);
    inboundQueueObj.setValue('error_message', errorMessage);
  } else {
    inboundQueueObj.setValue('state',
 sn_tmt_core.Constants.INBOUND_QUEUE_STATE.COMPLETED);
  }
    var inboundQueue = new sn_tmt_core.InboundQueue(inboundQueueGr,
 false);
    inboundQueue.updateInboundQueueRecord(inboundQueueObj);
},
```

EventProcessorUtilOOB:fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent(オブジェクト eventSnapshot、文字列、eventType、文字列、eventId)

イベントタイプに基づいてペイロードジェネレーターを呼び出すことで、渡された生のイベントオブジェクトを TMF 準拠のイベントオブジェクトに変換します。

実装が次のいずれかを行う場合は、このメソッドをオーバーライドする必要があります。

- 既存のイベント処理を変更します。
- 新しいイベントタイプを追加します。イベントタイプとそれに関連するペイロードジェネレーターを追加する必要があります。
- プロデューサーイベント通知フレームワークに新しいオブジェクトを追加します。

また、 `TroubleTicketNotificationUtil` スクリプトインクルード内のメソッドを上書きして、返される TMF 準拠のペイロードに属性を追加したり、ペイロードのデフォルト処理を変更したりする必要がある場合もあります。

詳細については、「プロデューサーイベント通知フレームワークを使用したトラブルチケット通知の構成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベントスナップショット	オブジェクト	TMF 準拠のオブジェクトに変換する生データ。 このオブジェクトは、受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルのペイロードフィールドから取得できます。受信キューレコードは、トラブルチケット属性変更イベントなどのビジネスルールによって作成され、インシデント [incident] テーブルに関連付けられます。 イベントスナップショットの形式は、最初にイベントを受信キューにプッシュしたビジネスルールによって定義されます。
eventType	文字列	イベントタイプ。この値は、 *eventSnapshot* ペイロードで渡されるイベントデータのタイプを指定します。渡されたペイロードは、このイベントタイプに基づいて処理されます。イベントタイプは、関連付けられたテーブルの関連付けられたビジネスルール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		によって受信キューレコードにスタンプされます。各イベントタイプには、独自のイベントペイロード構造があります。例： `{ "eventId":"dc2003c2c3bb3550054e20bdc0013136", "@type":"Troubleticket", "eventType":"TroubleTicketCreateEvent", "event":{ "troubleTicket":{ "short_description":"Test payload", "severity":3, "ticketType":"incident" } } }` トラブルチケットイベントタイプのデフォルト値は、sn_api_notif_mgmtの *EVENT_TYPES* パラメーターで定義されます 。定数スクリプト インクルード。
eventId	文字列	変換するイベントの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
tmfEventPayload	TMF 準拠形式のイベントペイロード。渡された *eventSnapshot* オブジェクトから TMF 準拠のペイロードへの変換プロセスを確認するには、`TroubleTicketNotificationUtilOOB` スクリプトインクルードのコードを確認します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
constructandPublishEvent: function(inboundEventPayloadRecord, eventId) {
  if (gs.nil(inboundEventPayloadRecord)) return;
  var tmfEventPayload =
 this.fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent(inboundEventPayloadRecord.eventS
napshot, inboundEventPayloadRecord.eventType, eventId);

  this._logger.debug("Event payload generated for the event id " +
 eventId + " is " + JSON.stringify(tmfEventPayload));

  if (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION)
 ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.OPEN_MESSAGE_B
US) {
    // Publish event in custom message bus
      this.publishEventToOpenMessageBus(tmfEventPayload);

  } else if
 (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION) ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.HERMES) {
    // Publish event in hermes kafka
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    try {
      this.publishMessageToHermesKafka(tmfEventPayload);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  } else if
 (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION) ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.BOTH_MESSAGE_BU
S_CONFIGURATIONS) {
    // Publish event in both custom message bus and hermes kafka
    this.publishEventToOpenMessageBus(tmfEventPayload);
    try {
      this.publishMessageToHermesKafka(tmfEventPayload);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  }
  return tmfEventPayload;
},
```

次のコード例は、 *eventType* パラメーターに基づいて渡されたイベントペイロードを変換する方法を決定するために、このメソッドで使用される switch case ステートメントを示しています。実装に他のイベント・タイプを追加する場合は、このメソッドをオーバーライドし、新しいイベント・タイプの処理を含める必要があります。

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
var eventPayload;
switch (eventType) {
  case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
    eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
    break;

  // New event type in trouble ticket
  case 'troubleTicketPriorityChange'
    eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
    break;

  // New event type of object other than trouble ticket
  case 'domainOrderStatusChange'
    eventPayload = new
 sn_ind_tmt_orm().domainOrderNotification().generatedomainOrderStatusChan
gePayoad(eventSnapshot, eventType, eventId);
    break;

  default:
    this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find the
 matching payload generator");
    eventPayload = null;
  }
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
return eventPayload;
},
```

EventProcessorUtilOOB:publishMessageToHermesKafka(オブジェクト **tmfEventPayload)**

HermesEventPublisher クラスをインスタンス化し、渡されたイベントペイロードを Hermes Kafka メッセージブローカーに公開します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tmfEventPayload	オブジェクト	イベント用に作成された TMF688 準拠のイベントペイロード。このイベントペイロードのデフォルト形式の説明については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
constructandPublishEvent: function(inboundEventPayloadRecord, eventId) {
  if (gs.nil(inboundEventPayloadRecord)) return;
  var tmfEventPayload =
 this.fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent(inboundEventPayloadRecord.eventS
napshot, inboundEventPayloadRecord.eventType, eventId);

  this._logger.debug("Event payload generated for the event id " +
 eventId + " is " + JSON.stringify(tmfEventPayload));

  if (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION)
 ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.OPEN_MESSAGE_B
US) {
    // Publish event in open message bus
    this.publishEventToOpenMessageBus(tmfEventPayload);

  } else if
 (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION) ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.HERMES) {
    // Publish event in Hermes Kafka
    try {
      this.publishMessageToHermesKafka(tmfEventPayload);
    } catch (ex) {
        this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  } else if
 (gs.getProperty(Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION) ==
 Constants.EVENT_PUBLISH_MESSAGE_BUS_CONFIGURATION_VALUES.BOTH_MESSAGE_BU
S_CONFIGURATIONS) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // Publish event in both custom message bus and Hermes Kafka
    this.publishEventToOpenMessageBus(tmfEventPayload);
    try {
      this.publishMessageToHermesKafka(tmfEventPayload);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  }
  return tmfEventPayload;
},
```

EventQueueProcessorOOB :スコープ指定

EventQueueProcessorOOB スクリプトインクルードは、受信イベントキュー (受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあります) でイベント要求を管理するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードのデフォルト機能を変更する場合は、 EventQueueProcessor スクリプトインクルードでこれらのメソッドを上書きする必要があります。このスクリプトインクルードを変更するには、admin ロールが必要です。

このスクリプトインクルードは sn_api_notif_mgmt 名前空間で実行されます。

EventQueueProcessorOOB:transformEventObject(オブジェクトeventSnapshot、オブジェクトeventJson、文字列キュータイプ)

渡されたイベントスナップショットに属性を追加します。

このメソッドはベースインスタンスには実装されていません。イベントを処理して適切なメッセージバスで送信する前に、イベントスナップショットに属性を追加する必要がある場合は、EventQueueProcessor スクリプトインクルードでこのメソッドをオーバーライドする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベントスナップショット	オブジェクト	属性を追加する生のイベントデータ。 このオブジェクトは、受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルのペイロードフィールドからのものです。受信キューレコードは、インシデント [incident] テーブルに関連付けられた、トラブルチケット属性変更イベントなどのビジネスルールによって作成されます。 イベントスナップショットの形式は、最初にイベントを受信キューにプッシュしたビジネスルールによって定義されます。
eventJson	オブジェクト	イベントがトリガーされる原因となった JSON 形式の Glide レコード。これは、受信キューテーブルに格納されたオブジェクトです。このオブジェクトの形式は、インシデントやケースなど、生成元のテーブルによって異なります。
キュータイプ	文字列	イベントがプッシュされたキュー。デフォルトの実装では、これは常に sn_tmt_core_inbound_queueです。インスタンスでイベントキューイングの実装を変更する場合は、イベントレコードを含むキューの名前を渡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
pushEventsToEventQueue: function(eventSnapshot, queueType) {
  if (queueType == Constants.QUEUE_TYPE.INBOUND_QUEUE) {
    var inboundQueueEventJson =
 this.generateInboundQueueObj(eventSnapshot);
    this.transformEventObject(eventSnapshot, inboundQueueEventJson,
 queueType);
    // Passing isSecure as false
    new sn_tmt_core.InboundQueue(null,
 false).createInboundQueueRecord(inboundQueueEventJson);
  }
},
```

ExpenseAllocation - グローバル

ExpenseAllocation スクリプトインクルードは、さまざまなコスト管理プロセスで使用され、スクリプト化された経費割り当てルールからカスタム経費割り当てレコード (*fm_expense_allocation*) を生成するためにも使用できます。

このスクリプトインクルードには、コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインが必要です。

ExpenseAllocation - ExpenseAllocation(GlideRecord expense, GlideRecord rule)

新規作成時に呼び出される*ExpenseAllocation*オブジェクト。

これは、詳細割当ルールをスクリプティングする場合は必要ありません。このオブジェクトはすでに*allocation*変数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
expense	GlideRecord	*GlideRecord* 経費の源泉を特定します。
ルール	GlideRecord	*GlideRecord* 経費ラインを割り当てる際に使用するルールを特定します。

返される内容

タイプ	説明
ExpenseAllocationオブジェクト	作成したばかりの ExpenseAllocation オブジェクト

```
var allocation=new ExpenseAllocation(expenseGlideRecord,
 ruleGlideRecord);
```

ExpenseAllocation - createAllocation(GlideRecord target, 数値 amount)

インスタンス化およびこのメソッドで提供されるパラメーターを参照する経費配賦 (*fm_expense_allocation*)レコードを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
target	GlideRecord	割当の *GlideRecord* ターゲット。たとえば、コストを十進数に割り当てるためのコストセンターレコード - 割当量。
総計	番号	割当量

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	経費配分が正常に行われた場合は true です。

```
var allocation=new ExpenseAllocation(expenseGlideRecord,
 ruleGlideRecord);
allocation.createAllocation(costCenterGlideRecord, 2345.67);
```

ExpenseLine :グローバル

ExpenseLine スクリプトインクルードは、さまざまなコスト管理プロセスで使用され、独自のサーバー側スクリプトから経費ライン (*fm_expense_line*) レコードを生成するためにも使用できます。

このスクリプトインクルードには、コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインが必要です。

ExpenseLine - ExpenseLine (GlideRecord source, 数値 amount, 文字列 description)

ExpenseLine オブジェクトのコンストラクタ。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	GlideRecord	*GlideRecord* は経費の源泉を特定します
総計	番号	経費の金額を示す 10 進数
説明	文字列	(オプション)費用の説明

返される内容

タイプ	説明
ExpenseLine オブジェクト	ExpenseLine オブジェクトはインスタンス化されました。

```
//get some random CI to be used as an expense source
        var ci = new GlideRecord("cmdb_ci_server");
        ci.query();
        ci.next();

        //create expense line
        var exp = new ExpenseLine(ci, 234.56, "Test expense line");
```

ExpenseLine - createExpense()

経費ラインを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	経費ラインが正常に作成された場合は true。

```
//get some random CI to be used as an expense sourcevar ci =new
 GlideRecord("cmdb_ci_server");
ci.query();
ci.next();

//create expense line
var exp =new ExpenseLine(ci,234.56,"Test expense line");
exp.setSummaryType("run_business");
var success = exp.createExpense();
```

ExpenseLine - processCIParents()

createExpense によって内部で使用される経費ソースが cmdb_ci レコードである場合に CI 関係を処理するメソッド。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExpenseLine - setCostSource(GlideRecord costSource)

経費ラインの生成元であるソースレートカードまたは配賦コストを識別します。

これは費用の源泉(CI、タスク)ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
costSource	GlideRecord	*GlideRecord* CI レートカードコスト、配信コスト、またはタスクレートカードのいずれかを選択します。これは一般にシステム生成の経費ラインに対してのみ使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExpenseLine - setDescription(文字列 **description)**

経費の説明を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
説明	文字列	経費の説明

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExpenseLine - setParent(GlideRecord expense)

経費ラインの親フィールドを設定します。

これは一般に、ビジネスサービス集計費用などの間接費を生成するときにのみシステムによって使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
expense	GlideRecord	親の経費ラインレコード

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExpenseLine - setRecurring(ブール **recurring)**

繰返しフィールドをtrueに設定して経費を繰返しとしてフラグを立てます。

経費ラインはデフォルトで false に設定されているため、 `setRecurring(false)` を呼び出す必要はありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
繰り返し	ブーリアン	経費ラインを経費として識別するには、true に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExpenseLine - setSummaryType(文字列 **summaryType)**

summary_type タイプフィールドの設定に使用される値

パラメーター

名前	タイプ	説明
summaryType	文字列	通常は、これを経費ラインのサマリフィールド選択リストですでに指定されている値に設定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//get some random CI to be used as an expense sourcevar ci =new
 GlideRecord("cmdb_ci_server");
ci.query();
ci.next();

//create expense line
var exp =new ExpenseLine(ci,234.56,"Test expense line");
exp.setSummaryType("run_business");
```

ExtractTermsFromAttachment :グローバル

ExtractTermsFromAttachment スクリプトインクルードは、添付ファイルから用語を抽出するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、ScriptedExtractor オブジェクト、SysAttachmentInputStream、添付ファイルのsys_id、および添付ファイルの拡張を使用して呼び出されます。 *getTerms()* メソッドが呼び出され、索引付けする必要がある添付ファイルから用語を抽出します。*getTerms()* メソッドは、その用語を含む文字列を返すだけです。inputStreamではなくファイルを入力したい場合は、 *extractor.getFile()* 添付ファイルを含むFileオブジェクトを取得します。

FinancialsWidgetUtil - スコープ指定

FinancialsWidgetUtil スクリプトインクルードは、プロジェクトワークスペース and 戦略的計画 ワークスペース の [財務] セクションのウィジェットをカスタマイズするためのメソッドを提供します。

次のウィジェットは、デフォルトで プロジェクトワークスペース と 戦略的計画 ワークスペース で使用できます。

- 予算
- 完了時の推定 (EAC)

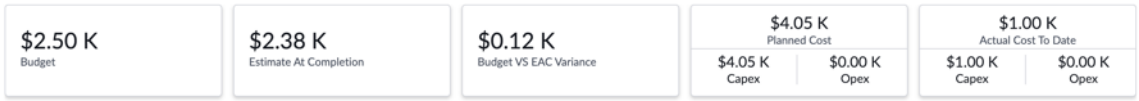
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 計画コスト
- 現在までの実績コスト

FinancialsWidgetUtil スクリプトインクルードを使用して、指定した期間または経費タイプの値を表示する子ウィジェットを追加できます。

の [財務] セクション プロジェクトワークスペース



この プロジェクトワークスペース の例では、計画コストウィジェットには投資と経費の値を表示する子ウィジェットがありますが、予算ウィジェットには子ウィジェットがありません。

このスクリプトインクルードを使用するには、使用可能な財務ウィジェットの 1 つを親として子ウィジェットを作成します。このスクリプトインクルードのメソッドを、子ウィジェットレコードの [スクリプト] フィールドで使用します。

FinancialsWidgetUtil スクリプトインクルードには、Financials Core アプリケーション (sn_invst_pln)、戦略的計画 アプリケーション (sn_apw_advanced) または プロジェクトワークスペース アプリケーション (sn_pw) が必要です。このスクリプトインクルードは、 `sn_invst_pln` 名前空間内で提供されます。

FinancialsWidgetUtil - FinancialsWidgetUtil(GlideRecord investmentGr, オブジェクト **timeScope**, 文字列 **expenseType)**

FinancialsWidgetUtil オブジェクトをインスタンス化します。

このオブジェクトは、投資の予算や計画コストなどの集計値を取得するために使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
InvestmentGr	GlideRecord	集計値を取得する投資。投資 [sn_invst_pln_invst_investment] テーブルにあります。
timeScope	オブジェクト	集計の開始日と終了日として使用する会計期間を含むオブジェクト。 `{ "startFiscalPeriodSysId": "String", "endFiscalPeriodSysId": "String" }`
timeScope.startFiscalPeriodSysId	文字列	集計の開始日として使用する会計期間のSys_id。会計期間 [fiscal_period] テーブルにあります。
timeScope.endFiscalPeriodSysId	文字列	集計の終了日として使用する会計期間のSys_id。会計期間 [fiscal_period] テーブルにあります。
経費タイプ	文字列	オプション。資本的支出 (CapEx) や運用コスト (OpEx) など、集計に含める経費のタイプ。 有効な値： • 投資 • 経費

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、経費タイプが CapEx で期間が `context.timeScope` である投資の集計値を返すために使用できる *`FinancialsWidgetUtil`* オブジェクトをインスタンス化します。

```
var context = JSON.parse(context);
var investment = context.investment;
(function initializeFWU() {
   var invGr = new GlideRecord('sn_invst_pln_invst_investment');
   if (invGr.get(investment.sys_id)) {
      var capexCost = new sn_invst_pln.FinancialsWidgetUtil(invGr,
 context.timeScope, 'capex');
   }
})();
```

FinancialsWidgetUtil - getActuals()

投資にリンクされている計画立案アイテムと作業アイテムの実績コストを返します。

この方法を使用するには、 プロジェクト財務メトリクスのウィジェットの設定 現在までの実績コスト ウィジェットを親として使用します。このメソッドを子ウィジェット レコードの [スクリプト] フィールドで使用します。

実績コスト このメソッドによって返される X は、*`FinancialsWidgetUtil`* オブジェクトをインスタンス化するときに指定された期間と経費タイプに対するものです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	表示値と実績コストの値を含むオブジェクト。 `{ "displayValue": "String", "value": Number }`
<Object>.displayValue	実績コストの表示値 (`$1.00 K` など)。 データタイプ：文字列
<Object>。価値	実績コストの値 (`1000` など)。 データタイプ：数値

この例では、経費の実績コストのみを表示する [現在までの実績コスト] ウィジェットに子ウィジェットを追加します。

```
var context = JSON.parse(context);
var investment = context.investment;
(function getCost() {
   var invGr = new GlideRecord('sn_invst_pln_invst_investment');
   if (invGr.get(investment.sys_id)) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      var opexCost = new sn_invst_pln.FinancialsWidgetUtil(invGr,
 context.timeScope, 'opex').getActuals();
      return {
         displayValue:
 PPMCurrencyHelper.getFormattedAmountWithCurrency(opexCost.value),
         value: opexCost.value
      };
   }
})();
```

FinancialsWidgetUtil - getBudget()

投資にリンクされている計画立案アイテムと作業アイテムの予算を返します。

この方法を使用するには、 プロジェクト財務メトリクスのウィジェットの設定 予算 ウィジェットを親として使用します。このメソッドを子ウィジェット レコードの [スクリプト] フィールドで使用します。

予算 このメソッドによって返される X は、*FinancialsWidgetUtil* オブジェクトをインスタンス化するときに指定された期間と経費タイプに対するものです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	予算の表示値と値を含むオブジェクト。 `{ "displayValue": "String", "value": Number }`
<Object>.displayValue	予算の表示値 (`$2.50 K` など)。 データタイプ：文字列
<Object>。価値	予算の値 (`2500` など)。 データタイプ：数値

この例では、経費の予算のみを表示する子ウィジェットを予算ウィジェットに追加します。

```
var context = JSON.parse(context);
var investment = context.investment;
(function getCost() {
   var invGr = new GlideRecord('sn_invst_pln_invst_investment');
   if (invGr.get(investment.sys_id)) {
      var opexCost = new sn_invst_pln.FinancialsWidgetUtil(invGr,
 context.timeScope, 'opex').getBudget();
      return {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            displayValue:
 PPMCurrencyHelper.getFormattedAmountWithCurrency(opexCost.value),
            value: opexCost.value
         };
      }
})();
```

FinancialsWidgetUtil - getEAC()

投資にリンクされている計画立案アイテムおよび作業アイテムの完了時推定 (EAC) 値を返します。

この方法を使用するには、 プロジェクト財務メトリクスのウィジェットの設定 EAC ウィジェットを親として使用します。このメソッドを子ウィジェット レコードの [スクリプト] フィールドで使用します。

EAC 値 このメソッドによって返される X は、*FinancialsWidgetUtil* オブジェクトをインスタンス化するときに指定された期間と経費タイプに対するものです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	EAC の表示値と値を含むオブジェクト。 `{ "displayValue": "String", "value": Number }`
<Object>.displayValue	EAC の表示値 (`$2.38 K` など)。 データタイプ：文字列
<Object>。価値	EAC の値 (`2380` など)。 データタイプ：数値

この例では、経費の EAC のみを表示する [完了時の推定 (EAC)] ウィジェットに子ウィジェットを追加します。

```
var context = JSON.parse(context);
var investment = context.investment;
(function getCost() {
   var invGr = new GlideRecord('sn_invst_pln_invst_investment');
   if (invGr.get(investment.sys_id)) {
      var opexCost = new sn_invst_pln.FinancialsWidgetUtil(invGr,
 context.timeScope, 'opex').getEAC();
      return {
         displayValue:
 PPMCurrencyHelper.getFormattedAmountWithCurrency(opexCost.value),
         value: opexCost.value
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        };
    }
})();
```

FinancialsWidgetUtil - getPlannedCost()

投資にリンクされている計画立案アイテムと作業アイテムの計画コストを返します。

この方法を使用するには、 プロジェクト財務メトリクスのウィジェットの設定 計画コスト ウィジェットを親として使用します。このメソッドを子ウィジェット レコードの [スクリプト] フィールドで使用します。

計画コスト このメソッドによって返される X は、*`FinancialsWidgetUtil`* オブジェクトをインスタンス化するときに指定された期間と経費タイプに対するものです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	表示値と計画コストの値を含むオブジェクト。 `{ "displayValue": "String", "value": Number }`
<Object>.displayValue	計画コストの表示値 (`$4.05 K` など)。 データタイプ：文字列
<Object>。価値	計画コストの値 (`4050` など)。 データタイプ：数値

この例では、経費の計画コストのみを表示する計画コストウィジェットに子ウィジェットを追加します。

```
var context = JSON.parse(context);
var investment = context.investment;
(function getCost() {
   var invGr = new GlideRecord('sn_invst_pln_invst_investment');
   if (invGr.get(investment.sys_id)) {
      var opexCost = new sn_invst_pln.FinancialsWidgetUtil(invGr,
 context.timeScope, 'opex').getPlannedCost();
      return {
         displayValue:
 PPMCurrencyHelper.getFormattedAmountWithCurrency(opexCost.value),
         value: opexCost.value
      };
   }
})();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索結果 - スコープ対象、グローバル

Findings API は、インスタンススキャンチェックによる検出結果の生成方法を処理するためのメソッドを提供します。

この API は インスタンススキャン (com.glide.instance_scan) プラグインに含まれており、sn_instance_scan 名前空間で実行されます。詳細については、「Instance Scan」を参照してください。

Instance Scan では、インスタンスでスキャンのスコープ内の各レコードに対してチェックが実行され、検出結果が生成されます。各検出結果には、問題レコードと違反したチェックに関する情報が含まれます。検出結果 メソッドは、ユーザーに渡されるエンジンオブジェクトの一部として、 インスタンススキャン チェックで使用されます。チェックフォームの [スクリプト] フィールドにコードを追加します。

関連項目：

- チェックの概要
- 結果

Findings - increment()

現在の検出結果の数を増やします。

結果数は、スキャンでチェックにより分析する各レコードでゼロから始まります。このメソッドを呼び出すと、結果数がインクリメントされます。結果数は、現在のレコードに対して検出結果が生成されることを示します。

このメソッドを複数回呼び出すと、検出結果には現在のレコードの複数のチェック違反が含まれている旨を表すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、テーブルタイプチェックで失敗ステータスのレコードの数をカウントする方法を示しています。詳細については、「テーブルタイプチェックの作成」を参照してください。

```
(function(engine) {
  if (current.getValue("state") == "failed") {
    engine.finding.increment();
  }
})(engine);
```

Findings - incrementWithNode(オブジェクト node)

現在の検出結果がリンターチェックのものである場合、このメソッドは、現在の結果数をインクリメントし、同時にリンターノードオブジェクトを検出結果に渡します。

このメソッドは、リンターチェックフォーム の [スクリプト] フィールドで使用します。このメソッドは、現在の検出結果の詳細列の行番号など、指定されたノードに関する情報を保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連項目：

- 詳細リンターチェックスクリプト
- LinterCheckAstNode API

パラメーター

名前	タイプ	説明
node	オブジェクト	リンターチェックのノードオブジェクトです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、リンターチェックでリンタータイプのノードをインクリメントする方法を示しています。リンターチェックメソッドの使用方法については、「LinterCheckAstNode API」を参照してください。

```
(function(engine) {
  engine.rootNode.visit(function(node) {
    if (node.getTypeName() === "NAME" &&
        node.getNameIdentifier() === "soughtFunction" &&
        node.getParent().getTypeName() === "CALL") {
      engine.finding.incrementWithNode(node);
    }
  });
})(engine);
```

Findings - setCurrentSource(GlideRecord source)

指定された GlideRecord に基づいて現在の検出結果のソースを設定します。

このメソッドは、[スクリプトのみ] のチェックの [スクリプト] フィールドで使用します。このメソッドは他のチェックには使用されません。他のチェックではスキャン中にソースが現在のレコードとして自動的に設定されるためです。詳細については、「 スクリプトのみのチェックの作成 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	GlideRecord	現在の検出結果のソースレコードとして設定するレコードです。この値は、スキャン結果 [scan_finding] テーブルの [ソース] フィールドに参照として追加されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スクリプトのみのチェックで現在のソースをインシデントレコードに設定する方法を示しています。詳細については、「 スクリプトのみのチェックの作成 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
(function(engine) {
  var gr = new GlideRecord('incident');
  gr.get('2f99f330730210100a5310c92bf6a798');
  engine.finding.setCurrentSource(gr);
  engine.finding.increment();
})(engine);
```

FormInfoHeader - グローバル

FormInfoHeader スクリプトインクルードは、HTML メッセージをフォーム情報メッセージとして追加するメソッドを提供します。

addMessage() メソッドは、レコード・プロデューサでよく使用されます。

FormInfoHeader - addMessage(文字列 message)

フォーム ヘッダーに HTML メッセージを追加します。ここで、フォーム情報メッセージが表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	HTML タグを含むメッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.include("FormInfoHeader");
  var fi = new FormInfoHeader();
  fi.addMessage('This incident was opened on your behalf<br/>
     The IT department will contact you for further information or when
 the incident is resolved');
```

FlowAPI - スコープ指定、グローバル

FlowAPI は、アクション、フロー、またはサブフローを、ブロッキングメソッドまたはノンブロッキングメソッドのいずれかを使用してサーバー側スクリプトで実行するメソッドを提供します。

`sn_fd` 名前空間を使用して、グローバルおよびスコープ対象のスクリプトで *FlowAPI* メソッドにアクセスします。フローデザイナー の [コード スニペット] アクションを使用してフローの呼び出しを作成するか、ここで説明するメソッドを使用してスクリプトを手動で更新します。

注: ドメインセパレーションされたインスタンスでは、この API によってトリガーされるフロー、サブフロー、およびアクションは、スクリプトを開始したユーザーのドメインで実行されます。たとえば、Acme ドメイン内のユーザーがフローをトリガーするスクリプトを開始した場合、フローがシステムユーザーとして実行されている場合でも、フローは Acme ドメイン内で実行され、Acme データにのみアクセスできます。

注: インスタンスのパフォーマンスを最適化するには、非同期ビジネスルールスクリプトからこれらのメソッドを呼び出さないようにします。代わりに、フローデザイナーの UI 内でスケジュール済みジョブレコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FlowAPI - cancel(文字列 contextId, 文字列 reason)

一時停止中または実行中のフロー、サブフロー、またはアクションをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	String	フロー、サブフロー、またはアクションの実行詳細レコードの Sys_id。フローデザイナー の [フロー実行] タブに移動して実行の詳細にアクセスするか、*startFlow()*、*startSubflow()*、または *startAction()* メソッドによって返されたコンテキストレコードの sys_id を渡します。 **注:** ターゲットコンテキストがインスタンスの別のノードで実行されている場合、キャンセルにわずかな遅延が発生する可能性があります。同じノードで実行されているコンテキストはすぐにキャンセルされます。別のノードで実行されているコンテキストの場合、まずキャンセルが適切なノードに転送されるまで待つ必要があります。
理由	文字列	オプション。フロー、サブフロー、またはアクションをキャンセルする理由です。フローエンジンのログエントリー [sys_flow_log] テーブルの [メッセージ] フィールドに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*startFlow()* メソッドの戻り値を使用して、実行時間の長いフローをキャンセルします。

```
(function() {

var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('number', 'INC0000050');
now_GR.query();
now_GR.next();

      try {
          var inputs = {};
          inputs['current'] = now_GR; // GlideRecord of table:
          inputs['table_name'] = 'incident';

          // Starts the flow asynchronously.
          var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
          .flow('global.myFlow')
          .inBackground()
          .withInputs(inputs)
          .run();

          var contextId = result.getContextId();
          var dateRun = result.getDate();
          var domainUsed = result.getDomainId();
          var flowName = result.getFlowObjectName();
          var flowObjectType = result.getFlowObjectType();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      } catch (ex) {
          var message = ex.getMessage();
          gs.error(message);
      }
})();


// Call the cancel() method using the context Id returned from the
 startFlow() method
sn_fd.FlowAPI.cancel(contextId, 'Flow took too long to execute.');
```

この例は、Test Flow という名前のフローをキャンセルします。

```
var now_GR = new GlideRecord("sys_flow_context");
now_GR.addQuery("name", "Test Flow");
now_GR.query();

while (now_GR.next()) {
sn_fd.FlowAPI.cancel(now_GR.getUniqueValue(), 'Canceling Test Flows');
}
```

FlowAPI - executeAction(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout)**

サーバー側スクリプトから同期的にアクションを実行します。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からアクションを実行します。このメソッドを使用して実行されるアクションは同期で実行されるため、このメソッドはアクションによって作成された出力にアクセスできます。アクションを非同期で実行するには、**startAction** を使用します。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*`FlowAPI`* クラスの *`getRunner()`* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*`ScriptableFlowRunner`* メソッドを使用します。

注: このメソッドは、セッションを開始したユーザーとしてアクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるアクションのスコープと名前。`global.action_name` など。
inputs	マップ	アクションの入力を定義する名前/値ペアです。入力ラベルではなく、入力名を使用します。
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、*`com.glide.hub.flow_api.default_execution_time`* システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクション出力。

この例では、スクリプトは *sn_fd.FlowAPI.executeAction* を使用して、グローバルスコープで actionforpassword2tes というアクションを実行します。変数 inputs には、アクションの入力が含まれます。この場合、名前とパスワードです。アクションの出力は、outputs 変数に格納されます。この場合は暗号化されたパスワードオブジェクトです。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {

  try {
    var inputs = {};
    inputs['name'] = ; // String
    inputs['password2'] = ; // Password (2 Way Encrypted)

    // Execute Synchronously: Run in foreground. Code snippet has access
 to outputs.
    // var timeout = ; //timeout in ms
    //sn_fd.FlowAPI.executeAction('global.actionforpassword2test',
 inputs, timeout)
    var outputs =
 sn_fd.FlowAPI.executeAction('global.actionforpassword2test', inputs);

    // Get Outputs:
    // Note: outputs can only be retrieved when executing synchronously.
    var output = outputs['output']; // Password (2 Way Encrypted)

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

FlowAPI - executeActionQuick(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout**)

実行の詳細や他の関連レコードを作成せずに、現在のユーザーセッションでサーバー側スクリプトから同期的にアクションを実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

待機サポート

このメソッドは、アクションを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」や「条件待ち」などの待機条件で一時停止するステップはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するアクションの一時停止をサポートしていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するアクションのスコープと内部名です。例えば、`global.action_name` です。フローデザイナー アクションのリストで [内部名] フィールドを見つけます。
inputs	マップ	アクションの入力を定義する名前/値ペアです。利用可能なアクションの入力と必要なデータタイプは、アクションアウトラインの [入力] で確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、*com.glide.hub.flow_api.default_execution_time* システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクションによって定義された出力を含むオブジェクトです。アクションの出力は、アクションアウトラインの [出力] で確認できます。

```
(function() {
  try {

    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('57af7aec73d423002728660c4cf6a71c');

    var inputs = {};
    inputs['variable'] = grIncident;

    var outputs =
 sn_fd.FlowAPI.executeActionQuick('global.update_record_test', inputs);

    // Get Outputs:
    // Note: outputs can only be retrieved when executing synchronously.
    var output1 = outputs['output1'];

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
    }

})();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FlowAPI - executeDataStreamAction(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout)**

サーバー側スクリプトからデータストリームアクションを同期的に実行し、ScriptableDataStream オブジェクトを返します。

データストリームアクションの詳細については、「データストリームアクションとページネーション」を参照してください。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

注: エラーを捕捉するために、常にデータストリームのロジックを `try/catch` ブロックで囲みます。データストリームを閉じてパフォーマンスの問題を防ぐために、常に、*ScriptableDataStream* クラスの *close()* メソッドで終了する `finally` ステートメントを含めます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するデータストリームアクションのスコープと名前です。例えば、`global.data_stream_action_name` です。
inputs	マップ	アクションの入力を定義する名前/値ペアです。入力ラベルではなく、入力名を使用します。アクションに入力がない場合は、このパラメーターを含めないでください。
timeout	番号	オプション。アクションがタイムアウトするまでの時間です。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。タイムアウトは *executeDataStreamAction* メソッドのみに適用されます。*ScriptableDataStream* クラスのメソッドには適用されません。 デフォルト：30,000 (*com.glide.hub.flow_api.default_execution_time* システムプロパティで指定) 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
ScriptableDataStream	データストリーム内のアイテムを反復処理するために使用されるオブジェクトです。*ScriptableDataStream* クラスのメソッドを使用して、このオブジェクトを操作します。「ScriptableDataStream API」を参照してください。

この例は、データストリームで返された各アイテムのインシデントレコードを作成します。

```
(function() {

  try {

    // Execute Data Stream Action.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var stream =
sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_my_scope.data_stream_name');

    // Process each item in the data stream
    while (stream.hasNext()) {

      // Get a single item from the data stream.
      var item = stream.next();

      // Use the item.
      var now_GR = new GlideRecord('incident');
      now_GR.setValue('number',item.id);
      now_GR.setValue('short_description',item.name);
      now_GR.insert();

      // By default, this code snippet will terminate after 10 items.
      // Remove or modify this limit after testing your code.
      if (stream.getItemIndex() >= 9) {
        break;
      }
    }
  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  } finally {
    stream.close();
  }

})();
```

自動翻訳

FlowAPI - executeFlow(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout)**

サーバー側スクリプトから同期的にフローを実行します。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からフローを実行します。このメソッドを使用して実行されるフローは同期で実行されます。フローを非同期で実行するには、**startFlow** を使用します。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

注: このメソッドは、フロープロパティで指定されたユーザーとしてフローを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるフローのスコープと名前。`global.flow_name` など。
inputs	マップ	トリガーの入力を定義する名前/値ペアです。入力ラベルではなく、入力名を使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、*com.glide.hub.flow_api.default_execution_time* システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	通常の操作では、戻り値は生成されません。
例外	同期的に呼び出されたフローが一時停止すると、API が例外をスローします。現在の実行は待機ステータスになります。ほとんどの場合、フローが再開されると例外は削除されます。ただし、API は MID サーバーに送信されたフローを再開できません。

この例では、sn_fd.FlowAPI.executeFlow を使用して、test_flow というグローバルフローを実行します。このフローは、通常、インシデントテーブルのレコードが更新されたときに発生します。スクリプトからフローをアクティブ化しているので、この情報を指定する必要があります。このコードは、現在のレコードとそのレコードのテーブルを含む入力変数を作成します。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {
  try {
    var inputs = {};
    inputs['current'] = ; // GlideRecord of table:
    inputs['table_name'] = 'incident';

    // Execute Synchronously: Run in foreground.
    // var timeout = ; //timeout in ms
    //sn_fd.FlowAPI.executeFlow('global.test_flow', inputs, timeout)
    sn_fd.FlowAPI.executeFlow('global.test_flow', inputs);
  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

FlowAPI - executeFlowQuick(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout)**

実行の詳細やその他の関連レコードを作成せずに、サーバー側のスクリプトから、フロー、サブフロー、アクション、またはデータストリームアクションを同期または非同期で実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

ユーザーとして実行

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドは、セッションを開始したユーザーとしてフローを実行します。システムユーザーとして実行するようにフローを設定すること、またはユーザーの代理操作を行うことはサポートされていません。

待機サポート

このメソッドは、フローを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」、「条件待ち」、「期間の待機」などの待機条件で一時停止するアクションまたはフローロジックはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するフローの一時停止をサポートしていません。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するフローのスコープと内部名です。例えば、`global.flow_name` です。フローデザイナー フローのリストで [内部名] フィールドを見つけます。
inputs	マップ	トリガーの入力を定義する名前/値ペアです。利用可能なトリガーの入力と必要なデータタイプは、フローの [トリガー] セクションで確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、*com.glide.hub.flow_api.default_execution_time* システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function() {

  try {
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

    var inputs = {};
    inputs['current'] = grIncident;
    inputs['table_name'] = 'incident';

    sn_fd.FlowAPI.executeFlowQuick('global.test_quick_flow', inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.error(message);
 }

})();
```

FlowAPI - executeSubflow(文字列 name, マップ inputs, 数値 timeout)

サーバー側スクリプトから同期的にサブフローを実行します。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からサブフローを実行します。このメソッドを使用して実行されるサブフローは同期で実行されます。サブフローを非同期で実行するには、**startSubflow** を使用します。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。`FlowAPI` クラスの `getRunner()` メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、`ScriptableFlowRunner` メソッドを使用します。

注: このメソッドは、フロープロパティで指定されたユーザーとしてフローを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるサブフローのスコープと名前。`global.subflow_name` など。
inputs	マップ	サブフロー入力を定義する名前と値のペア。入力ラベルではなく、入力名を使用します。
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、`com.glide.hub.flow_api.default_execution_time` システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	サブフローの出力を含むオブジェクトです。
例外	同期的に呼び出されたフローが一時停止すると、API が例外をスローします。現在の実行は待機ステータスになります。ほとんどの場合、フローが再開されると例外は削除されます。ただし、API は MID サーバーに送信されたフローを再開できません。

この例では、スクリプトは sn_fd.FlowAPI.executeSubflow を使用して、グローバルスコープで subflowTest というサブフローを実行します。変数 inputs には、サブフローの入力が含まれます。この場合、名前とパスワードです。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
(function() {

 try {
  var inputs = {};
  inputs['name'] = ; // String
  inputs['password2'] = ; // Password (2 Way Encrypted)

  // Execute Synchronously: Run in foreground.
  // var timeout = ; //timeout in ms
              //sn_fd.FlowAPI.executeSubflow('global.subflowTest',
 inputs, timeout)
              var outputs =
 sn_fd.FlowAPI.executeSubflow('global.subflowTest', inputs);

 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 }
})();
```

FlowAPI - executeSubflowQuick(文字列 **name**, マップ **inputs**, 数値 **timeout)**

実行の詳細や他の関連レコードを作成せずに、現在のユーザーセッションでサーバー側スクリプトから同期的にサブフローを実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

ユーザーとして実行

このメソッドは、セッションを開始したユーザーとしてフローを実行します。システムユーザーとして実行するようにフローを設定すること、またはユーザーの代理操作を行うことはサポートされていません。

待機サポート

このメソッドは、フローを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」、「条件待ち」、「期間の待機」などの待機条件で一時停止するアクションまたはフローロジックはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するフローの一時停止をサポートしていません。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するサブフローのスコープと内部名です。例えば、`global.subflow_name` です。フローデザイナー サブフローのリストで [内部名] フィールドを見つけます。
inputs	マップ	サブフロー入力を定義する名前と値のペア。利用可能なサブフローの入力と必要なデータタイプは、サブフローの [入力] で確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`
timeout	番号	オプション。タイムアウト (ミリ秒単位)。この値は、*com.glide.hub.flow_api.default_execution_time* システムのプロパティで指定されているデフォルトの 30 秒のタイムアウトを上書きします。タイムアウトが期限切れになると、例外がスローされます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	サブフローによって定義された出力を含むオブジェクトです。サブフローの出力は、サブフローアウトラインの [サブフローの入力および出力] で確認できます。

```
(function() {

  try {
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('57af7aec73d423002728660c4cf6a71c');

    var inputs = {};
    inputs['variable'] = grIncident;

    var outputs =
 sn_fd.FlowAPI.executeSubflowQuick('global.test_quick_run_subflow',
 inputs);

    // Get Outputs:
    // Note: outputs can only be retrieved when executing synchronously.
    var output1 = outputs['output1'];

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
    }

})();
```

FlowAPI - getErrorMessage(文字列 contextId)

フロー、サブフロー、またはアクションによって生成されたエラーメッセージを返します。このメソッドは、quick() API で実行されるフロー、サブフロー、またはアクションからメッセージを返すことはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	エラーメッセージを取得するフロー、サブフロー、またはアクションの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	前回の操作の実行とそれによって生成されたエラーメッセージです。

この例は、test_error_subflow というグローバルサブフローを開始し、生成されたエラーメッセージを返します。通常は、単一のスクリプトがフローを実行してそのエラーメッセージを取得することはありません。一般に、別のスクリプトまたは フローデザイナー のいずれかが既にフローを実行しています。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {

  try {
    // Gather inputs to call flow
    var inputs = {};
    inputs['ah_task'] = myTaskRecord; // GlideRecord of table: task
    inputs['ah_comment'] ='Test Comment' ; // String

    // Call flow with known errors
    var contextId =
 sn_fd.FlowAPI.startSubflow('global.test_error_subflow', inputs);

    // Get flow error message
    var errormsg = sn_fd.FlowAPI.getErrorMessage(contextId);
    return errormsg;

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

出力:

```
Operation
 (test_error_flow.574033f6db6811102166e2291396199f.274073f6db6811102166e2
2913961908.0be0d916c31332002841b63b12d3ae13) failed with error:
 com.snc.process_flow.exception.OpException: Value of field record is not
 a GlideRecord
at
 com.snc.process_flow.operation.FieldValue.getGlideRecord(FieldValue.java
:145)
at
 com.snc.process_flow.operation.CRUDOperation.getInputValidGlideRecord(CR
UDOperation.java:54)
at
 com.snc.process_flow.operation.RecordDeleteOperation.run(RecordDeleteOpe
ration.java:26)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
at com.snc.process_flow.engine.Operation.execute(Operation.java:212)
at
 com.snc.process_flow.engine.restricted_caller_access.ExecuteWithCallerAc
cessTracking.executeWithMetaStack(ExecuteWithCallerAccessTracking.java:
31)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessEngine.executeOps(ProcessEngine.java:
570)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessEngine.runInternal(ProcessEngine.java
:476)
at com.snc.process_flow.engine.ProcessEngine.run(ProcessEngine.java:462)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessAutomation.run(ProcessAutomation.java
:86)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.runSync(GlideProcessA
utomation.java:155)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.runWithDomain(GlidePr
ocessAutomation.java:270)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.lambda$runAsUserSync$
1(GlideProcessAutomation.java:237)
at com.snc.process_flow.engine.PFSessionClone.run(PFSessionClone.java:70)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlidePFSession.runPlanAsUserSession(GlidePFS
ession.java:42)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.runAsUserSync(GlidePr
ocessAutomation.java:235)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.messageFlow(GlideProc
essAutomation.java:330)
at
 com.snc.process_flow.engine.GlideProcessAutomation.messageFlow(GlideProc
essAutomation.java:309)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessHubEventHandler.doSendMessage(Process
HubEventHandler.java:475)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessHubEventHandler.process(ProcessHubEve
ntHandler.java:119)
at
 com.snc.process_flow.engine.ProcessHubEventHandler.process(ProcessHubEve
ntHandler.java:91)
at
 com.snc.process_flow.engine.FlowEventManager.processEvents(FlowEventMana
ger.java:122)
at com.glide.job.EventHandlerJob.execute(EventHandlerJob.java:38)
at
 com.glide.schedule.JobExecutor.lambda$executeJob$0(JobExecutor.java:129)
at
 com.snc.db.data_replicate.replicator.DataReplicationAdvisors.runInOrigin
atorContext(DataReplicationAdvisors.java:73)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
at
 com.glide.schedule.JobExecutor.lambda$inDataReplicationContext$2(JobExec
utor.java:159)
at com.glide.schedule.JobExecutor.executeJob(JobExecutor.java:132)
at com.glide.schedule.JobExecutor.execute(JobExecutor.java:116)
at
 com.glide.schedule_v2.SchedulerWorkerThread.executeJob(SchedulerWorkerTh
read.java:338)
at
 com.glide.schedule_v2.SchedulerWorkerThread.lambda$process$0(SchedulerWo
rkerThread.java:220)
at
 com.glide.worker.TransactionalWorkerThread.executeInTransaction(Transact
ionalWorkerThread.java:35)
at
 com.glide.schedule_v2.SchedulerWorkerThread.process(SchedulerWorkerThrea
d.java:220)
at
 com.glide.schedule_v2.SchedulerWorkerThread.run(SchedulerWorkerThread.ja
va:101)
```

FlowAPI - getFlowStages(文字列 **scopedFlowName)**

フローステージのリストを含む JSON 文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedFlowName	文字列	ステージを取得するフローのアプリケーションスコープと名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ステージレコード値別にフローのステージをリストする JSON 形式の文字列。

この例では、サービスカタログアイテム要求フローのステージの取得を示しています。

```
(function() {

  try {
    // Name of flow with stages
    var flowName = "service_catalog_item_request";

    // Get flow stages
    var flowStages = sn_fd.FlowAPI.getFlowStages(flowName);
    //Print JSON as info message
    gs.info(flowStages);
    return flowStages;

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出力:

JSON 文字列には、ステージフィールドの名前と値のペアが含まれています。詳細については、を参照してください。


```
[
  {
    "label": "Manager Approval",
    "value": "manager_approval",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-03 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 0
  },
  {
    "label": "Set current stage state to:  [Error]",
    "value": "Set current stage state to:  [Error]",
    "type": "error",
    "duration": "1970-01-01 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": false,
    "order": 0
  },
  {
    "label": "Dept. Head Approval",
    "value": "Dept. Head Approval",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-03 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 1
  },
  {
    "label": "CIO Approval",
    "value": "CIO Approval",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-03 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 2
  },
  {
    "label": "Order Fulfillment",
    "value": "Order Fulfillment",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-05 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 3
  },
  {
    "label": "Backordered",
    "value": "Backordered",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-15 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 4
  },
  {
    "label": "Deployment",
    "value": "Deployment",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-02 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 5
  },
  {
    "label": "Request Cancelled",
    "value": "Request Cancelled",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-01 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 6
  },
  {
    "label": "Completed",
    "value": "complete",
    "type": "standard",
    "duration": "1970-01-01 00:00:00",
    "states": {
      "pending": "Pending - has not started",
      "inprogress": "In progress",
      "skipped": "Skipped",
      "complete": "Completed",
      "error": "Error"
    },
    "flow": "30f3d26187e92300e0ef0cf888cb0b91",
    "alwaysShow": true,
    "order": 7
  }
]
```


FlowAPI - getOutputs(文字列 contextId)

完了したアクションまたはサブフローの出力を返します。

startAction() または *startSubflow()* メソッドのいずれかの戻り値を contextId パラメーターとして使用できます。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	出力を取得するアクションまたはサブフローの sys_id です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクションまたはサブフローの出力を含むオブジェクトです。

この例は、test_subflow というグローバルサブフローを開始し、フローが終了するのを待ってから、その出力値を取得します。通常は、単一のスクリプトがフローを実行してその出力値を取得することはありません。*getOutputs()* 呼び出しの前にフローが完了しない場合があるため、この例では待機時間を使用しています。一般に、別のスクリプトまたは フローデザイナー のいずれかが既にフローを実行しています。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {

  try {
    // Gather inputs to call flow
    var inputs = {};
    inputs['ah_task'] = myTaskRecord; // GlideRecord of table: task
    inputs['ah_comment'] ='Test Comment' ; // String

    // Call flow
    var contextId = sn_fd.FlowAPI.startSubflow('global.test_subflow',
 inputs);

    // Wait for the flow to finish running

    // Get flow outputs
    var outputs = sn_fd.FlowAPI.getOutputs(contextId);
    var output1 = outputs['output1'];
    return output1;

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

FlowAPI - getRunner()

実行するフローまたはアクションの *ScriptableFlowRunner* ビルダーオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例は、フローを同期的に実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
 record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
 action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
 TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
 a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
 from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
 from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
 from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
 approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

FlowAPI:getStatus(文字列 **contextId)**

フロー、サブフロー、またはアクションのステータスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	ステータスを取得するフロー、サブフロー、またはアクションの sys_id。

返される内容

パラメーター	タイプ	説明
<文字列>	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションの現在のステータスを名前と値のペアとして含む JSON 形式の文字列。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明

		<pre>{
		"hasLookupError": Boolean,
		"errorMessage": "String",
		"contextStatus": {Object}
		}</pre>

<String>.hasLookupError	ブール	フロー、サブフロー、またはアクションのコンテキストステータスの検索で問題が発生したかどうかを示すフラグ。
		<pre>{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {Object}
		}</pre>

<String>.errorMessage	文字列	コンテキストルックアップ操作によって返されたエラーメッセージ。このパラメーターは、 *hasLookupError* が false の場合 void です。
		<pre>{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {Object}
		}</pre>

<String>.contextStatus	オブジェクト	クエリされたフロー、サブフロー、またはアクションに関する状況の詳細を含む JSON 形式の文字列。
		<pre>{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "COMPLETE",
		"errorState": "NONE"
		}
		}</pre>

<String>.contextStatus.state	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションコンテキストのステータス。一部のステータス値は、関連するパラメーターの追加情報を提供します。 • COMPLETE は、 *errorState* パラメーターに追加情報を提供します • ERROR は、 *message* パラメーターに追加情報を提供します • CANCELLED は、 *canceledReason* パラメーターに追加情報を提供します • IN_PROGRESSは、 *isRunOnMid*パラメーターに追加情報を提供します • WAITING は、 *waitingOn* パラメーターに追加情報を提供します

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明

		{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "COMPLETE",
		"errorState": "NONE"
		}
		}

<String>.contextStatus.errorState	文字列	フローエラー処理によって生成されたフロー完了ステータス。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが COMPLETE ステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		• ERROR_CAUGHT
		• ERROR_SKIPPED
		{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "COMPLETE",
		"errorState": "ERROR_CAUGHT"
		}
		}

<String>.contextStatus.message	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションによって返されたエラーメッセージ。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが ERROR ステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "ERROR",
		"message": "Error: Error Message!
		(Process Automation.LOG; line 1)"
		}
		}

<String>.contextStatus.canceledReason	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションによって返されたキャンセルメッセージ。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが CANCELLED ステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "CANCELLED",
		"canceledReason": "User has
		requested to stop executing the flow"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明

		<pre>}
		}</pre>

<String>.contextStatus.isRunOnMid	ブール値	フロー、サブフロー、またはアクションが MID サーバー環境で実行されるかどうかを示すフラグ。API は、フロー、サブフロー、またはアクションがIN_PROGRESSステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		<pre>{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "IN_PROGRESS",
		"isRunOnMid": true
		}
		}
		}</pre>

<String>.contextStatus.waitingOn	JSON	現在のフロー、サブフロー、またはアクションが待機しているアイテムのリスト。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		<pre>{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "WAITING",
		"waitingOn": [
		{
		"stepType": "TIMER",
		"endTime": 1713627497643
		},
		{
		"stepType":
		"WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT",
		"table": "incident",
		"condition":
		"sys_id=10e8b43243200210338774d6ebb8f22d^
		short_description=112",
		"endTime": 1713645497800
		}
		]
		}
		}</pre>

<String>.contextStatus.waitingOn.stepType	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションが待機している理由のリスト。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスの場合にのみ、このパラメーターを生成します。 • WAIT_FOR_CONDITION • WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明
		• ASK_FOR_APPROVAL • CREATE_TASK_WITH_WAIT • タイマー • SLA_TIMER • サブフロー
<String>.contextStatus.waitingOn.table	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションが待機しているレコードを含むテーブル名。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスにあり、stepType が WAIT_FOR_CONDITION、WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT、または CREATE_TASK_WITH_WAIT の場合にのみ、このパラメーターを生成します。 `{ "hasLookupError": false, "errorMessage": "", "contextStatus": { "state": "WAITING", "waitingOn": [ { "stepType": "WAIT_FOR_CONDITION", "table": "incident", "condition": "sys_id=134772324320021033877 4d6ebb8f285^short_description=1238" } ] } }`
<String>.contextStatus.waitingOn.condition	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションが待機しているレコードのクエリ条件。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスにあり、stepType が WAIT_FOR_CONDITION、WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT、または CREATE_TASK_WITH_WAIT の場合にのみ、このパラメーターを生成します。 `{ "hasLookupError": false, "errorMessage": "", "contextStatus": { "state": "WAITING", "waitingOn": [ { "stepType": "WAIT_FOR_CONDITION", "table": "incident",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明
		<pre>"condition": "sys_id=134772324320021033877 4d6ebb8f285^short_description=1238" }] } }</pre>
<String>.contextStatus.waitingOn.endTime	整数	フロー、サブフロー、またはアクションが待機している終了時間。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスにあり、stepType が WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT、TIMER、または SLA_TIMER の場合にのみ、このパラメーターを生成します。<pre>{ "hasLookupError": false, "errorMessage": "", "contextStatus": { "state": "WAITING", "waitingOn": [{ "stepType": "SLA_TIMER", "endTime": 1713574610000 }] } }</pre>
<String>.contextStatus.waitingOn.approvalRule	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションが待機している承認ルール。API は、フロー、サブフロー、またはアクションが WAITING ステータスで、stepType が ASK_FOR_APPROVAL の場合にのみ、このパラメーターを生成します。<pre>{ "hasLookupError": false, "errorMessage": "", "contextStatus": { "state": "WAITING", "waitingOn": [{ "stepType": "ASK_FOR_APPROVAL", "table": "incident", "condition": "sys_id=3bd897033720021033879631749 24b20^approvalINapproved,rejected,cancelled", "approvalRule": "ApprovesAnyU[a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a,71826bf03710200044e0bfc8bcbe5d3b]" }]</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	タイプ	説明
		} }

<String>.contextStatus.waitingOn.contextId	文字列	フローまたはサブフローが待機しているサブフローの sys_id。API は、フローまたはサブフローが WAITING ステータスにあり、stepType が SUBFLOW の場合にのみ、このパラメーターを生成します。
		{
		"hasLookupError": false,
		"errorMessage": "",
		"contextStatus": {
		"state": "WAITING",
		"waitingOn": [
		{
		"stepType": "SUBFLOW",
		"contextId":
		"0f724aabd921021020291a665e07e44a"
		}
		]
		}
		}

この例では、[Do the following in parallel] フローロジックを含むフローを実行します。通常は、単一のスクリプトがフローを実行してそのエラーメッセージを取得することはありません。一般に、別のスクリプトまたは フローデザイナー のいずれかが既にフローを実行しています。

```
(function() {
  try {
    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
      .flow('global.test_do_in_parallel')   // Run the global scope flow
 named do_in_parallel.
      .run();                               // Run the action and return
 a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
 from the result

    var flowStatus = sn_fd.FlowAPI
      .getStatus(contextId);                // Retrieve any outputs from
 the action execution.

    return flowStatus;

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
    "hasLookupError": false,
    "errorMessage": "",
    "contextStatus": {
      "state": "WAITING",
      "waitingOn": [
        {
          "stepType": "TIMER",
          "endTime": 1713627497643
        },
        {
          "stepType": "WAIT_FOR_CONDITION_WITH_TIMEOUT",
          "table": "incident",
          "condition":
 "sys_id=10e8b43243200210338774d6ebb8f22d^short_description=112",
          "endTime": 1713645497800
        }
      ]
    }
  }
```

FlowAPI - hasApprovals(文字列 scopedFlowName)

指定されたスコープ内のフローが「承認を求める」アクションを含んでいるかどうかをチェックします。

hasApprovals() メソッドは、指定されたスコープ内のフローが「承認を求める」アクションを含んでいるかどうかを判断します。このメソッドはまた、 フロー内の「承認を求める」アクションが、If フローロジックブロックでネストされているかどうかをチェックします。詳細については、「承認を求めるアクション」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedFlowName	文字列	実行するフローのスコープと内部名です。例えば、`global.flow_name` です。フローデザイナー フローのリストで [内部名] フィールドを見つけます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	次の文字列値のいずれか 1 つを返します。 • ALWAYS：フローに、条件分岐 `If` フローロジックブロックでネストされていない「承認を求める」アクションが含まれています。 • CONDITIONALLY：フローに、条件分岐 `If` フローロジックブロックでネストされた「承認を求める」アクションが含まれています。 • NO：フローに「承認を求める」アクションは含まれていません。 • UNKNOWN：コンパイラーエラーが発生しました。フローに「承認を求める」アクションが含まれているかどうかは、システムでは判断されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、グローバルスコープ内の *example_flow* に「承認を求める」アクションが含まれているかどうかをチェックし、結果をログに記録します。

```
(function() {

  try {
    var result = sn_fd.FlowAPI.hasApprovals('global.example_flow');
    gs.log('Result: ' + result);
  }

  catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

FlowAPI - restartFlowFromContext(String ContextId, Map providedInputs)

バックグラウンドで実行されたフロー、サブフロー、またはアクションを再開します。新しい入力を指定することも、省略して以前に行った入力を再利用することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	再起動するフロー、サブフロー、またはアクションのsys_id。このフロー、サブフロー、またはアクションはバックグラウンドで実行され、sysevent レコードが関連付けられている必要があります。
providedInputs	オブジェクト	オプション。フロー、サブフロー、またはアクションの置換入力を定義する名前と値のペアを含むマップオブジェクト。このパラメーターを省略するか null 値を指定すると、フロー、サブフロー、またはアクションは、以前に指定された入力を使用して実行されます。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunnerResponseObject	フローデザイナー アクション、フロー、またはサブフローの実行の詳細を含むオブジェクト。

インシデントテーブルにレコードベースのトリガーがあるサンプルフローを再開します。元のフローでは、サンプルインシデントINC0008112を入力として使用していました。フローが再起動すると、代わりにサンプルインシデントINC0008111が入力として使用されます。

```
(function() {
  try {

    var flowContextID = '4216396ffd7d11107edcf07204c30fd5';     // sys_id
 of sys_flow_context record
    var oldIncidentRecord = '552c48888c033300964f4932b03eb092'; // sys_id
 of INC0008112
    var newIncidentRecord = 'a83820b58f723300e7e16c7827bdeed2'; // sys_id
 of INC0008111
    var inputs = {};
    var gr = new GlideRecord('incident'); // Create new incident object
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   gr.get(newIncidentRecord);             // Get GlideRecord object for
INC0008111

   inputs['current'] = gr;                // Set new Incident record as
input
   inputs['table_name'] = 'incident';     // Set table name to Incident

   var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()             // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
     .restartFlowFromContext(flowContextID, inputs); // Restart flow
with new inputs.

   var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
   var dateRun = result.getDate();

   gs.info(contextId + ' ' + dateRun);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

FlowAPI - scheduleCancel (String contextId、String reason、Integer **delaySeconds)**

フローエンジンキュー内のシステムイベントをスケジュールして、進行中、中断と推定、遅延後待機状態になっているフローをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	String	フロー、サブフロー、またはアクションの実行詳細レコードのSys_id。ターゲットフロー、サブフロー、またはアクションは、[進行中]、[中断と推定]、または [待機中] ステータスである必要があります。フローデザイナー の [フロー実行] タブに移動して実行の詳細にアクセスするか、メソッドによって返されたコンテキストレコードのsys_idを渡します。 **注:** ターゲットコンテキストがインスタンスの別のノードで実行されている場合、キャンセルにわずかな遅延が発生する可能性があります。同じノードで実行されているコンテキストはすぐにキャンセルされます。別のノードで実行されているコンテキストの場合、まずキャンセルが適切なノードに転送されるまで待つ必要があります。
理由	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションをキャンセルする理由です。フローエンジンのログエントリー [sys_flow_log] テーブルの [メッセージ] フィールドに表示されます。
遅延秒	整数	オプション。フローエンジンキュー内のキャンセルイベントを処理するまでの待機秒数。このパラメーターを省略すると、メソッドはデフォルト値の 1 秒を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このパラメーターを使用すると、数千のフローコンテキストを同時にキャンセルするようにスケジュールした場合のパフォーマンスへの影響を回避できます。すべてのキャンセルを同時に実行するのではなく、フローキャンセルのバッチを遅延してスケジュールします。または、遅延を非同期フローのタイムアウト値として使用することもできます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、 *startFlow()* メソッドの戻り値を使用して、実行時間の長いフローのキャンセルをスケジュールします。

```
(function() {

var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('number', 'INC0000050');
now_GR.query();
now_GR.next();

      try {
          var inputs = {};
          inputs['current'] = now_GR; // GlideRecord of table:
          inputs['table_name'] = 'incident';

          // Starts the flow asynchronously.
          var contextId = sn_fd.FlowAPI.startFlow('global.myFlow',
 inputs);

      } catch (ex) {
          var message = ex.getMessage();
          gs.error(message);
      }
})();


// Call the scheduleCancel() method using the context Id returned from
 the startFlow() method
sn_fd.FlowAPI.scheduleCancel(contextId, 'Flow took too long to execute.',
 60);
```

この例では、「Test Flow」という名前のすべてのフローのキャンセルをスケジュールします。

```
var now_GR = new GlideRecord("sys_flow_context");
now_GR.addQuery("name", "Test Flow");
now_GR.query();

while (now_GR.next()) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
sn_fd.FlowAPI.scheduleCancel(now_GR.getUniqueValue(), 'Canceling Test
 Flows', 60);
}
```

この例では、delaySeconds パラメーターを使用して、フローキャンセルジョブをバッチで実行します。バッチを使用して、何千ものフローコンテキストをキャンセルします。

```
var delaySeconds = 1;

for (var i; i < sys_flow_context.length; ++i) {
  if (i % 100 === 0) {
    delaySeconds = delaySeconds + 60;
  }
  var contextId = sys_flow_context[i];
  var reason = "Example reason";
  sn_fd.FlowAPI.scheduleCancel(contextId, reason, delaySeconds);
}
```

FlowAPI - setEncryptedOutput(文字列 password)

スクリプトステップ内で password2 の値を構築します。

GlideRecord から返された暗号化された password2 値を特定し、システムが値を暗号化された文字列ではなくマスク済みパスワードとして表示できるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
パスワード	文字列	暗号化された password2 値。

返される内容

タイプ	説明
文字列	暗号化された password2 値。エンジンによってパスワード値として認識されます。

この例では、ユーザーレコードから password2 フィールドの値を返し、変数に格納します。この変数は setEncryptedOutput メソッドに渡されます。このメソッドは、sn_fd.GlideActionUtil.setEncryptedOutput を使用して呼び出されます。インスタンスは、戻り値をパスワードとして認識します。

```
(function execute(inputs, outputs) {
  // ...code...
  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.addQuery('first_name' , 'Abel');
  now_GR.query();
  now_GR.next();
  var pwVal = now_GR.getValue('pw2');
  outputs['usedSetEncrypted'] =
 sn_fd.GlideActionUtil.setEncryptedOutput(pwVal);
  outputs['justSetDirectly'] = pwVal;
})(inputs, outputs);
```

FlowAPI - startAction(文字列 name, マップ inputs)

サーバー側スクリプトから非同期的にアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からアクションを実行します。このメソッドを使用して実行されるアクションは非同期的に実行されるため、このメソッドを使用するスクリプトは、アクションによって作成される出力にアクセスできません。アクションを同期で実行し、生成された出力にアクセスするには、**executeAction** を使用します。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

注: このメソッドは、セッションを開始したユーザーとしてアクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるアクションのスコープと名前。`global.action_name` など。
inputs	マップ	アクションの入力を定義する名前/値ペアです。入力ラベルではなく、入力名を使用します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクションのコンテキストレコードの sys Id です。フローデザイナー の [フローの実行] タブに移動し、フロー実行を選択して [コンテキストレコードを開く] をクリックして、コンテキストレコードにアクセスします。

この例では、sn_fd.FlowAPI.startAction を使用して、sn_itsm_spoke スコープで add_comment というアクションを実行します。inputs オブジェクトには、ターゲットレコードとそのレコードに追加するコメントが含まれます。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {
  try {
    var inputs = {};
    inputs['ah_task'] = myTaskRecord; // GlideRecord of table: task
    inputs['ah_comment'] ='Test Comment' ; // String

    var contextId =
 sn_fd.FlowAPI.startAction('sn_itsm_spoke.add_comment', inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FlowAPI - startActionQuick(文字列 name, マップ inputs)

実行の詳細や他の関連レコードを作成せずに、サーバー側スクリプトから非同期的にアクションを実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

待機サポート

このメソッドは、アクションを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」や「条件待ち」などの待機条件で一時停止するステップはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するアクションの一時停止をサポートしていません。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。`FlowAPI` クラスの `getRunner()` メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、`ScriptableFlowRunner` メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するアクションのスコープと内部名です。例えば、`global.action_name` です。フローデザイナー アクションのリストで [内部名] フィールドを見つけます。
inputs	マップ	アクションの入力を定義する名前/値ペアです。利用可能なアクションの入力と必要なデータタイプは、アクションアウトラインの [入力] で確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function() {

  try {
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('57af7aec73d423002728660c4cf6a71c');

    var inputs = {};
    inputs['variable'] = grIncident;

    sn_fd.FlowAPI.startActionQuick('global.update_record_test', inputs);

  } catch (ex) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
    }

})();
```

FlowAPI - startFlow(文字列 name, マップ inputs)

サーバー側スクリプトからフローを実行します。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からフローを実行します。このメソッドを使用して実行されるフローは非同期で実行されます。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

注: このメソッドは、フロープロパティで指定されたユーザーとしてフローを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるフローのスコープと名前。`global.flow_name` など。
inputs	マップ	トリガーの入力を定義する名前/値ペアです。入力ラベルではなく、入力名を使用します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フローのコンテキストレコードの sys Id です。フローデザイナー の [フローの実行] タブに移動し、フロー実行を選択して [コンテキストレコードを開く] をクリックして、コンテキストレコードにアクセスします。

この例では、sn_fd.FlowAPI.startFlow を使用して、test_flow というグローバルフローを実行します。コードは、フローが必要とする入力を含む inputs 変数を作成します。この場合、現在のレコードとそのレコードのテーブルです。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {

  var now_GR = new GlideRecord('incident');
  now_GR.addQuery('number', 'INC0009009');
  now_GR.query();
  now_GR.next();

  try {
    var inputs = {};
    inputs['current'] = now_GR; // GlideRecord of table: Incident
    inputs['table_name'] = 'incident';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var contextId = sn_fd.FlowAPI.startFlow('global.test_flow', inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }
})();
```

FlowAPI - startFlowQuick(文字列 **name**, マップ **inputs**)

実行の詳細や他の関連レコードを作成せずに、サーバー側スクリプトから非同期的にフローを実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

システムユーザーとして実行

このメソッドは、システムユーザーとしてフローを実行します。セッションを開始するユーザーとして実行するようにフローを設定すること、またはユーザーの代理操作を行うことはサポートされていません。

待機サポート

このメソッドは、フローを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」、「条件待ち」、「期間の待機」などの待機条件で一時停止するアクションまたはフローロジックはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するフローの一時停止をサポートしていません。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*`FlowAPI`* クラスの *`getRunner()`* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*`ScriptableFlowRunner`* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するフローのスコープと内部名です。例えば、`global.flow_name` です。フローデザイナー フローのリストで [内部名] フィールドを見つけます。
inputs	マップ	トリガーの入力を定義する名前/値ペアです。利用可能なトリガーの入力と必要なデータタイプは、フローの [トリガー] セクションで確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
(function() {

  try {
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

    var inputs = {};
    inputs['current'] = grIncident;
    inputs['table_name'] = 'incident';

    sn_fd.FlowAPI.startFlowQuick('global.test_quick_flow', inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
 }

})();
```

FlowAPI - startSubflow(文字列 name, マップ input)

サーバー側スクリプトからサブフローを実行します。

ビジネスルール、スクリプトインクルード、またはその他のサーバー側スクリプト内からサブフローを実行します。このメソッドを使用して実行されるサブフローは非同期的に実行され、このメソッドを含むスクリプトは、そのフローによって作成された出力にアクセスできません。サブフローを同期で実行し、生成された出力にアクセスするには、**executeSubflow** を使用します。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

注: このメソッドは、フロープロパティで指定されたユーザーとしてフローを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行されるサブフローのスコープと名前。`global.subflow_name` など。
inputs	マップ	サブフロー入力を定義する名前と値のペア。入力ラベルではなく、入力名を使用します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	サブフローのコンテキストレコードの sys Id です。フローデザイナー の [フローの実行] タブに移動し、フロー実行を選択して [コンテキストレコードを開く] をクリックして、コンテキストレコードにアクセスします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、*sn_fd.FlowAPI.startSubflow* を使用して、test_subflow というグローバルフローを実行します。コードは try/catch ステートメントでラップされ、フローの実行時に発生するエラーをすべてキャプチャします。

```
(function() {
  try {
    var inputs = {};
    inputs['ah_task'] = myTaskRecord; // GlideRecord of table: task
    inputs['ah_comment'] ='Test Comment' ; // String

    var contextId = sn_fd.FlowAPI.startSubflow('global.test_subflow',
 inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

FlowAPI - startSubflowQuick(文字列 **name**, マップ **inputs)**

実行の詳細や他の関連レコードを作成せずに、サーバー側スクリプトから非同期的にサブフローを実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

システムユーザーとして実行

このメソッドは、システムユーザーとしてフローを実行します。セッションを開始するユーザーとして実行するようにフローを設定すること、またはユーザーの代理操作を行うことはサポートされていません。

待機サポート

このメソッドは、フローを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」、「条件待ち」、「期間の待機」などの待機条件で一時停止するアクションまたはフローロジックはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するフローの一時停止をサポートしていません。

注: この API は、ScriptableFlowRunner - スコープ指定 に置き換えられました。これにより、オブジェクトのビルドと フローデザイナー フローおよびアクションの実行に使用される既存のメソッドが廃止されます。*FlowAPI* クラスの *getRunner()* メソッドを使用して ScriptableFlowRunner オブジェクトを返し、関連するメソッドを使用します。ドメインセパレーションをサポートする必要がある場合は、*ScriptableFlowRunner* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	実行するサブフローのスコープと内部名です。例えば、`global.subflow_name` です。フローデザイナー サブフローのリストで [内部名] フィールドを見つけます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
inputs	マップ	サブフロー入力を定義する名前と値のペア。利用可能なサブフローの入力と必要なデータタイプは、サブフローの [入力] で確認できます。入力ラベルではなく、入力名を使用します。 例：`{'table':'incident','sys_id':'a39d8e3cf0212300964feeefe80ff0ed'}`

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function() {

  try {
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.get('57af7aec73d423002728660c4cf6a71c');

    var inputs = {};
    inputs['variable'] = grIncident;

    sn_fd.FlowAPI.startSubflowQuick('global.test_quick_run_subflow',
 inputs);

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
    }

})();
```

FlowScriptAPI :スコープ指定

FlowScriptAPI API は、実行中のフローのコンテキスト ID を返すメソッドを提供します。

このタイプのオブジェクトはインスタンス化できません。このタイプのオブジェクトは自動的に作成され、スクリプトステップとインラインスクリプトでのみアクセスできます。

FlowScriptAPI - getContextID()

実行中のフローのコンテキスト ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	実行中のフローの sys_id です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、[ログ] アクションを含むフローが作成済みであることを前提としています。このインラインスクリプトは、ログメッセージのコンテンツを生成します。

```
var contextId = FlowScriptAPI.getContextID();
return contextId;
```

出力:

```
4ecead85c4da0010598d0c7c6bf73554
```

フロー - スコープ指定 (非推奨)

Flow API はアクティブ化された フローデザイナー フローを実行するメソッドを提供します。

この API は廃止され、 ScriptableFlowRunner - スコープ指定 および ScriptableFlowRunnerResult - スコープ指定API に置き換えられました。

Flow API はサーバースクリプトでのみ使用できます。

`sn_fd` 名前空間を使用して、*Flow* API にアクセスします。

Flow API を使用してフローとやり取りする前に、まず フローデザイナー インターフェイスでフローを作成してアクティブ化する必要があります。*Flow* API は構築済みフローのみとやり取りするため、クラスのコンストラクタはありません。

> **注:** インスタンスのパフォーマンスを最適化するには、非同期ビジネスルールスクリプトからこれらのメソッドを呼び出さないようにします。代わりに、フローデザイナーの UI 内でスケジュール済みジョブレコードを作成します。

フロー - startAsync(String scopeName.flowName, Map flowInputs)

トリガーを無視し、アクティブ化されたフローを非同期に実行します。

非同期呼び出しは非ブロッキングであるため、クライアントは、フローが完了するのを待たずにスクリプト内の他のコードを実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopeName.flowName	文字列	実行するフローのアプリケーションスコープとフローの内部名。scopeName が含まれていない場合、現在ログインしているユーザーのスコープが使用されます。内部名列 (フローデザイナーランディングページ上) を使用してフローの内部名を取得します。

flowInputs	マップ	レコードベースのフロー入力を定義する<String、Object>フォーマット内のネームバリューペア。
		
		レコードベースのトリガーでフローを呼び出すには、次の形式を使用します。
		`var flowInputs = {};`
		`flowInputs['current'] = glideRecord;`
		`flowInputs['table_name'] = glideRecord.getTableName();`
		
		GlideRecord オブジェクトの名前は 「current」でなければなりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		フローをサービスカタログトリガーと呼び出すには、次の形式を使用します。
		`var flowInputs = {};`
		`flowInputs['request_item'] = glideRecord;`
		`flowInputs['table_name'] =`
		`glideRecord.getTableName();`
		GlideRecordオブジェクトの名前は 「request_item」でなければなりません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	次のプロパティを含む PlanResponse オブジェクト： • contextId：実行されたフローの実行詳細レコードのsys_id。実行の詳細にアクセスするには、フロー実行タブにナビゲートします。 フローデザイナーsys_idでフィルターリングします。 フローが次のときに例外が発生します。 • 指定されたアプリケーションスコープ内に存在しないか、フロー名またはスコープ名のスペルが間違っています。 • 有効化されていません。 • *com.glide.hub.flow_engine.indirect_recursion_limit* システム プロパティで設定された再帰制限を超えている。デフォルト値は 3です。

```
//Example 1: Run a flow with a record-based trigger
(function startFlowAsync() {

 try {
  // You MUST fetch the GlideRecord that will be passed to the flow
  var glideRecordInput = new GlideRecord('sys_user');
  glideRecordInput.get('62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1');

  var flowInputs = {};
  flowInputs['current'] = glideRecordInput;
  flowInputs['table_name'] = glideRecordInput.getTableName();

  var result = sn_fd.Flow.startAsync('global.recordtriggeredflow',
 flowInputs);

  //The Sys ID of a flow execution (contextId)
  var contextId = result.contextId;

 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 }

})();

//Example 2: Run a flow with a schedule-based trigger
(function startFlowAsync() {

 try {
  var result = sn_fd.Flow.startAsync('global.scheduletriggeredflow');

  //The Sys ID of a flow execution (contextId)
  var contextId = result.contextId;

 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 }

})();

//Example 3: Run a flow with a Service Catalog trigger
(function startFlowAsync() {

 try {
  // You MUST fetch the GlideRecord that will be passed to the flow
  var glideRecordInput = new GlideRecord('sc_req_item');
  glideRecordInput.get(aeed229047801200e0ef563dbb9a71c2);

  var flowInputs = {};
  flowInputs['request_item'] = glideRecordInput;
  flowInputs['table_name'] = glideRecordInput.getTableName();

  var result = sn_fd.Flow.startAsync('global.catalogtriggeredflow',
 flowInputs);

  //The Sys ID of a flow execution (contextId)
  var contextId = result.contextId;

 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 }

})();

//Example 4: Run a flow with a MetricBase trigger
(function startMetricBaseFlowAsync() {

 try {

  var oilLevelTriggerRecord = new GlideRecord('oil_levels');
  oilLevelTriggerRecord.get('a4b3622bc72113007b237f48cb97635f');

  var metricTriggerDefinition = new
 GlideRecord('sys_metric_trigger_definition');
  metricTriggerDefinition.get('21f2eae7c72113007b237f48cb976352');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var event_time = oilLevelTriggerRecord.getValue('sys_created_on');
  var level = 4;

  var metricBaseFlowInputs = {};
  //The record that triggered the metric event
  metricBaseFlowInputs['current'] = oilLevelTriggerRecord;
  //The MetricBase Trigger Definition record
  metricBaseFlowInputs['metric'] = metricTriggerDefinition;
  //The time that the 'record' reached a specific metric event level and
 triggered this flow
  metricBaseFlowInputs['event_time'] = event_time;
  //The target event level to reach in order for a metric flow to trigger
  metricBaseFlowInputs['level'] = level;

  var result = sn_fd.Flow.startAsync('global.metricbasedtriggeredflow',
 metricBaseFlowInputs);

  //The Sys ID of a flow execution (contextId)
  var contextId = result.contextId;

 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 }

})();
```

GenericUPSAlarmsReconciler - グローバル

GenericUPSAlarmsReconciler スクリプトインクルードは、汎用無停電電源装置 (UPS) アラームの調整情報を取得するメソッドを提供します。

SNMP 関連の検出にこの API を使用します。

GenericUPSAlarmsReconciler - getReconcilationField()

調整フィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整フィールド

GenericUPSAlarmsReconciler getReconcilationKey()

調整キーを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整キー

GenericUPSAlarmsReconciler hasChanged()

汎用UPSバイパス情報が変更されたかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	情報が変更された場合はtrue。それ以外の場合はfalseです。

GenericUPSAlarmsReconciler - readDatabaseFields()

データベースフィールドを読み込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSAlarmsReconciler readDiscovered()

発見された情報を読み取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSAlarmsReconciler - setDatabaseFields()

データベースフィールド

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSBypassReconciler - グローバル

GenericUPSBypassReconciler スクリプトインクルードは、汎用無停電電源装置 (UPS) バイパスの調整情報を取得するメソッドを提供します。

SNMP 関連の検出にこの API を使用します。

GenericUPSBypassReconciler - getReconcilationField()

調整フィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整フィールド

GenericUPSBypassReconciler - getReconcilationKey()

調整キーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整キー

GenericUPSBypassReconciler - hasChanged()

一般的な UPS バイパス情報が変更されたかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	情報が変更された場合はtrue。それ以外の場合はfalseです。

GenericUPSBypassReconciler - readDatabaseFields()

データベースフィールドを読み込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSBypassReconciler - readDiscovered()

発見された情報を読み取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSBypassReconciler - setDatabaseFields()

データベースフィールド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSInputsReconciler - グローバル

GenericUPSInputsReconciler スクリプトインクルードは、汎用無停電電源装置 (UPS) 入力の調整情報を取得するメソッドを提供します。

SNMP 関連の検出にこの API を使用します。

GenericUPSInputsReconciler - getReconcilationField()

調整フィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整フィールド

GenericUPSInputsReconciler - getReconcilationKey()

調整キーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整キー

GenericUPSInputsReconciler - hasChanged()

一般的な UPS バイパス情報が変更されたかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	情報が変更された場合はtrue。それ以外の場合はfalseです。

GenericUPSInputsReconciler - readDatabaseFields()

データベースフィールドを読み込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSInputsReconciler - readDiscovered()

発見された情報を読み取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSInputsReconciler - setDatabaseFields()

データベースフィールド

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSOutputsReconciler - グローバル

GenericUPSOutputsReconciler スクリプトインクルードは、汎用無停電電源装置 (UPS) 出力の調整情報を取得するメソッドを提供します。

SNMP 関連の検出にこの API を使用します。

GenericUPSOutputsReconciler - getReconcilationField()

調整フィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	調整フィールド

GenericUPSOutputsReconciler - getReconcilationKey()

調整キーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSOutputsReconciler - hasChanged()

汎用UPSバイパス情報が変更されたかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	情報が変更された場合はtrue。それ以外の場合はfalseです。

GenericUPSOutputsReconciler - readDatabaseFields()

データベースフィールドを読み込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSOutputsReconciler - readDiscovered()

発見された情報を読み取ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GenericUPSOutputsReconciler - setDatabaseFields()

データベースフィールド

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GeniusResultAnswer - スコープ付き

GeniusResultAnswer API は、Genius 結果構成のプロセッサースクリプトで回答オブジェクトを作成するためのメソッドを提供します。この API で作成された回答は、Genius 結果の回答カードに入力できる検索要求またはキー/値ペアのマップを定義します。

GeniusResultContext API を使用して、Genius 結果構成のコンテキストから取得されたクエリの詳細を回答オブジェクトに入力できます。

回答オブジェクトを作成するために呼び出す必要がある *GeniusResultAnswer* API メソッドは、スクリプトに使用している AI 検索 Genius 結果構成フォームフィールドによって異なります。

- Genius 結果構成の *AI Search request processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、 *setTable()* メソッドと、 *setSearchPhrase()*、 addSearchPhrases()、または *setEncodedQuery()* メソッドのいずれかを呼び出す必要があります。他のすべてのメソッドは、このユースケースに関連しない *addDataMap()* を除いてオプションです。
- Genius 結果構成の *AI Search response processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、 *addDataMap()* メソッドを呼び出す必要があります。このユースケースに関連する他のメソッドはありません。

この API を Genius 結果のサーバー側スクリプトで使用し、名前空間識別子を `sn_ais` にします。Genius 結果のスクリプティングロジックの詳細については、「新しい Genius 結果構成の作成」を参照してください。

GeniusResultAnswer – addDataMap(オブジェクト map)

Genius 結果構成の *AI Search response processor* スクリプトで、任意のキーと値のペアのフィールドを使用して Genius 結果回答を定義します。任意のパブリック Now Platform API を利用してこれらのフィールドを生成できます。

> **注:** Genius 結果構成の *AI Search response processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、このメソッドを呼び出す必要があります。このメソッドを呼び出さないと、Genius 結果はトリガーされたときに回答を返しません。

このメソッドを複数回呼び出すことで、1 つの *AI Search response processor* スクリプトに複数のフィールドマップを追加できます。各フィールドマップには個別の Genius 結果の回答カードが入力されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
map	オブジェクト	AI 検索からの検索クエリ応答に追加するキーと値のペアフィールドの任意のセットを定義します。すべてのフィールド値は文字列でなければなりません。 `{ "fieldName1": String, "fieldName2": String }`

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search response processor* スクリプトは、カスタムタイトルフィールドと URL キーと値のペアフィールドを回答オブジェクトに追加して、Genius 結果回答カードに表示します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  var customFieldMap = {
    "title": "My custom Genius Result answer",
    "url": "https://example.com/myGeniusResultLink"
  }

  answer.addDataMap(customFieldMap);

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – addSearchPhrases(アレイ searchPhrases)

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに用語を追加します。

注: Genius 結果構成の *AI Search request processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、 *setTable()* メソッドと、 *setSearchPhrase()*、 addSearchPhrases()、または *setEncodedQuery()* メソッドのいずれかを呼び出す必要があります。必要なメソッドを両方とも呼び出さないと、Genius 結果はトリガーされたときに回答を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
searchPhrases	アレイ	Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリの検索用語として追加する任意の文字列のアレイ。 AI 検索 は、これらの検索用語を OR 演算子で区切られたものとして扱います。 例： `[ "Term": String, "Quoted phrase": String ]`

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search request processor* スクリプトは、`Beth` または`Anglin` という用語を含むユーザー [sys_user] テーブルのレコードに対する検索クエリを作成します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  answer.setTable('sys_user');
  answer.addSearchPhrases(['Beth','Anglin']);

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – setEncodedQuery(文字列 query)

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトでエンコードされた検索クエリを指定します。このエンコードされた検索クエリの結果は、Genius 結果回答カードとして表示されます。

注: Genius 結果構成の *AI Search request processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、*setTable()* メソッドと、*setSearchPhrase()*、addSearchPhrases()、または *setEncodedQuery()* メソッドのいずれかを呼び出す必要があります。必要なメソッドを両方とも呼び出さないと、Genius 結果はトリガーされたときに回答を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	Genius 結果構成の*AI Search request processor*スクリプトからAI 検索に送信するエンコードされた検索クエリ。

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search request processor* スクリプトは、ユーザー [sys_user] テーブルに対してエンコードされた検索クエリを作成します。最後のクエリは、ユーザーの元の検索クエリで検出されたエンティティから生成された複数のサブクエリを結合します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  answer.setTable('sys_user');
  answer.setSearchLimit(2);
  answer.spellCheck(false);
  var queries = [];
  var matchingSegments;
  var predictionResult = context.getPredictionResult();
  if (predictionResult && predictionResult.length == 1) {
    var detail = predictionResult[0];
    if (detail['result'] && detail['result']['entities']) {
      var entities = detail['result']['entities'];
      for (var i = 0; i < entities.length; i++) {
        if (entities[i]['name'].endsWith('personName')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          for (var j = 0; j < matchingSegments.length; j++)
            answer.addSearchPhrases([matchingSegments[j]['value']]);
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('cityLocation')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('location.nameLIKE' +
 matchingSegments[0]['value']);
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('departmentName')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('department.nameLIKE' +
 matchingSegments[0]['value']);
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('jobTitle')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('titleLIKE' + matchingSegments[0]['value']);
        }
      }
    }
  }

  if (queries.length > 0)
    answer.setEncodedQuery(queries.join('^'));

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – setSearchLimit(数値 **searchLimit)**

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに対して返される結果の最大数を制限します。デフォルトでは、検索クエリは最大 3 つの結果を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
searchLimit	番号	Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに対して返される検索結果の最大数の正の整数値。3 よりも大きい値は無効です。 デフォルト値：3

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search request processor* スクリプトは、カタログアイテム [sc_cat_item] テーブルから「ラップトップ」という用語を含むレコードを検索し、最大 2 件の結果を返します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  answer.setTable('sc_cat_item');
  answer.setSearchPhrase('laptop');
  answer.setSearchLimit(2);

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – setSearchPhrase(文字列 **searchPhrase)**

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリの用語を指定します。

注: Genius 結果構成の *AI Search request processor* フィールドでスクリプトを作成する場合は、 *setTable()* メソッドと、 *setSearchPhrase()*、 addSearchPhrases()、または *setEncodedQuery()* メソッドのいずれかを呼び出す必要があります。必要なメソッドを両方とも呼び出さないと、Genius 結果はトリガーされたときに回答を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
searchPhrase	文字列	Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに使用する用語。 Genius 結果構成をトリガーしたクエリからの検索用語を保持する場合は、このパラメーターを *GeniusResultContext.getOriginalSearchPhrase()* メソッドによって返される文字列値に設定します。

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search request processor* スクリプトは、ユーザー [sys_user] テーブルから「Anglin」という用語を含むレコードの検索クエリを作成します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  answer.setTable('sys_user');
  answer.setSearchPhrase('Anglin');

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – setTable(文字列 table)

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリを特定のテーブルに制限します。クエリは、指定されたテーブルの検索結果のみを Genius 結果回答カードとして返します。

注: Genius 結果構成の*AI Search request processor*フィールドでスクリプトを作成する場合は、このメソッドと、setSearchPhrase()、addSearchPhrases()、または *setEncodedQuery()* メソッドのいずれかを呼び出す必要があります。必要なメソッドを両方とも呼び出さないと、Genius 結果はトリガーされたときに回答を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	Now Platform テーブルの名前です。このテーブルのインデックス付きレコードのみが、Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリの結果として返されます。

返される内容

タイプ	説明
ブール	メソッドの呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メソッドの呼び出しに成功しました。 • false：メソッドの呼び出しに失敗しました。

この *AI Search request processor* スクリプトは、ユーザー [sys_user] テーブルから「Anglin」という用語を含むレコードの検索クエリを作成します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  answer.setTable('sys_user');
  answer.setSearchPhrase('Anglin');

  return answer;
}
```

GeniusResultAnswer – spellCheck(ブール spellCheck)

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに対してタイポ処理の自動修正 (スペルチェック) を実行するかどうかを指定します。

Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトでこのメソッドを呼び出さない場合、定義された検索クエリは、Genius 結果構成をトリガーする検索クエリからタイポ処理フラグを継承します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
spellCheck	ブーリアン	Genius 結果構成の *AI Search request processor* スクリプトで定義された検索クエリに対してタイポ処理の自動修正を実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：検索クエリのタイポ自動修正処理を実行します。 • false：検索クエリのタイポ自動修正処理をバイパスします。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

この *AI Search request processor* スクリプトは、ユーザー [sys_user] テーブルに対する検索クエリのタイポ処理の自動修正を無効にします。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  answer.setTable('sys_user');
  answer.setSearchLimit(2);
  answer.spellCheck(false);
  var queries = [];
  var matchingSegments;
  var predictionResult = context.getPredictionResult();
  if (predictionResult && predictionResult.length == 1) {
    var detail = predictionResult[0];
    if (detail['result'] && detail['result']['entities']) {
      var entities = detail['result']['entities'];
      for (var i = 0; i < entities.length; i++) {
        if (entities[i]['name'].endsWith('personName')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          for (var j = 0; j < matchingSegments.length; j++)
            answer.addSearchPhrases([matchingSegments[j]['value']]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('cityLocation')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('location.nameLIKE' +
matchingSegments[0]['value']);
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('departmentName')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('department.nameLIKE' +
matchingSegments[0]['value']);
        } else if (entities[i]['name'].endsWith('jobTitle')) {
          matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          if (matchingSegments && matchingSegments.length > 0)
            queries.push('titleLIKE' + matchingSegments[0]['value']);
        }
      }
    }
  }

  if (queries.length > 0)
    answer.setEncodedQuery(queries.join('^'));

  return answer;
}
```

GeniusResultContext -スコープ付き

GeniusResultContext API は、Genius 結果構成のコンテキストから検索クエリ情報を取得するためのメソッドを提供します。

この API で取得された検索クエリーの詳細を使用して、*GeniusResultAnswer* API で作成された Genius 結果の回答オブジェクトを入力できます。

この API を Genius 結果のサーバー側スクリプトで使用し、名前空間識別子を `sn_ais` にします。Genius 結果のスクリプティングロジックの詳細については、「新しい Genius 結果構成の作成」を参照してください。

GeniusResultContext:getMatchingDocuments()

Genius 結果構成をトリガーする検索クエリから検索結果ドキュメントを取得します。

Genius 結果をトリガーする検索クエリによって返された検索結果ドキュメントからフィールド値を取得するには、Genius 結果構成の応答プロセッサースクリプトでこのメソッドを使用します。*GeniusResultAnswer* API メソッドを使用して、検索結果ドキュメントのフィールドを Genius 結果の回答に入力できます。

注: このメソッドは、*AI Search request processor* スクリプトで呼び出された場合、トリガーとなる検索クエリの結果を計算する前にスクリプトが実行され AI 検索 ため、結果を返しません。このメソッドを要求プロセッサースクリプトで使用しないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
[Array]	各オブジェクトが検索クエリに一致した検索結果ドキュメントを表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `[ { ".score": Number, ".table": "String", ".text": "String", ".title": "String", ".url": "String", "class_name": "String", "sys_id": "String", "<field_name>": <field_value> } ]` **注:** 検索クエリによっては、リストされた名前と値のペアに加えて、検索結果ドキュメントの AI 検索 インデックスフィールドの一部がオブジェクトに表示される場合があります。
[アレイ]..スコア	検索クエリのコンテキストで検索結果ドキュメントに対して計算された関連性スコア。 データタイプ：数値 **注:** この名前と値のペアの名前は、 AI 検索 インデックスの スコア 共通フィールドと区別するためのピリオドで始まります。
[アレイ]..テーブル	検索結果ドキュメントのインデックスが作成された Now Platform テーブルの名前。 データタイプ：文字列 **注:** この名前と値のペアの名前は、 AI 検索 インデックスの テーブル 共通フィールドと区別するためのピリオドで始まります。
[アレイ]..テキスト	検索結果ドキュメントからのインデックス付きテキスト。 データタイプ：文字列 **注:** この名前と値のペアの名前は、 AI 検索 インデックスの テキスト 共通フィールドと区別するためにピリオドで始まります。
[アレイ]..タイトル	検索結果ドキュメントのインデックス化されたタイトル。 データタイプ：文字列 **注:** この名前と値のペアの名前は、 AI 検索 インデックス のタイトル共通フィールド と区別するためにピリオドで始まります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
[アレイ]..URL	検索結果ドキュメントの URL。 データタイプ：文字列 注: この名前と値のペアの名前は、 AI 検索 インデックスの **url** 共通フィールドと区別するためにピリオドで始まります。
[配列].class_name	検索結果ドキュメントが属する子クラス。テーブルの子クラスの詳細については、「テーブル拡張とクラス」を参照してください。 データタイプ：文字列
[アレイ].sys_id	検索結果ドキュメントのSys_id。 データタイプ：文字列
[Array].<field_name>	AI 検索 検索結果ドキュメントのインデックスフィールド。 データタイプ: AI 検索 インデックスフィールドのデータタイプ。

この *AI Search response processor* スクリプトは、検索クエリに一致する検索結果ドキュメントを最大 3 つ取得し、そのドキュメントのいずれかがナレッジ [kb_knowledge] テーブルからのものであるかどうかを確認します。ナレッジ テーブルから検索結果ドキュメントが見つかった場合、関数はそのドキュメントのフィールドを *GeniusResultAnswer* オブジェクトに追加して、UI がユーザーに表示できるようにします。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();
  var matchingDocuments = context.getMatchingDocuments();
  if (matchingDocuments.length > 1) {
    for (var i = 0; i < 3; i++) {
      var currentDocument = matchingDocuments[i];
      if (currentDocument['.table'] == 'kb_knowledge') {
        var gr = new GlideRecord("kb_knowledge");
        if (gr.get(currentDocument['sys_id'])) {
          answer.addDataMap({
            "number": currentDocument['number'],
            "url": currentDocument['.url'],
            "title": currentDocument['.title']
          });
        }
      }
      break;
    }
  }
  return answer;
}
```

GeniusResultContext – getOriginalSearchPhrase()

Genius 結果構成をトリガーする検索クエリから元の検索用語を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

取得した検索用語を使用して、 *GeniusResultAnswer* API メソッドを使用して Genius 結果の回答を入力できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	検索クエリーの元の用語です。 データタイプ：文字列

この *AI Search request processor* スクリプトは、検索クエリの元の用語を取得し、それらを新しいスニペット検索のクエリ用語として使用します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  var searchPhrase = context.getOriginalSearchPhrase();
  answer.setSearchPhrase(searchPhrase);
  answer.snippetSearch(true);

  return answer;
}
```

GeniusResultContext – getPredictionResult()

Genius 結果構成 NLU トリガーする検索クエリのモデル予測結果を取得します。

Genius 結果構成の要求または応答プロセッサスクリプトでこのメソッドを使用して、トリガーする検索クエリに対して検出されたインテントを取得します。検出されたインテントの詳細を含む Genius 結果の回答を、 *GeniusResultAnswer* API メソッドを使用して入力できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
[Array]	各オブジェクトが検索クエリーの NLU モデルインテント予測結果を表すオブジェクトのアレイです。 データタイプ：アレイ `[ { "intentName": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"result": {Object},
	"solutionName": "String"
	}
	]</pre>

[Array].intentName	検索クエリーで検出された NLU モデルインテントの名前 データタイプ：文字列

[Array].result	検索クエリーの NLU モデルインテント予測結果を表すオブジェクトです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"result": {
	"application": {Object},
	"result": {Object},
	"solutionLabel": "String",
	"solutionName": "String",
	"solutionType": "String",
	"type": "String",
	"version": Number
	}</pre>

[Array].result.application	予測結果を生成した検索アプリケーションのメタデータを含むオブジェクトです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"application": {
	"language": "String",
	"type": "String"
	}</pre>

[Array].result.application.language	予測結果を生成した Now Platform アプリケーションの言語コンテキストです。 データタイプ：文字列
[Array].result.application.type	予測結果を生成した Now Platform アプリケーションのタイプです。 データタイプ：文字列

[Array].result.result	NLU モデルインテント予測結果の詳細を含むオブジェクトです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"result": {
	"entities": [Array],
	"intentName": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"intents": [Array],
	"nluModelName": "String",
	"score": Number
	}</pre>

[Array].result.result.entities	各オブジェクトが検索クエリーで検出された NLU モデルインテントエンティティを表すオブジェクトのアレイです。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"entities": [
	{
	"matchingSegments": [Array],
	"name": "String",
	"parts": [Array],
	"score": Number,
	"startingPosition": Number,
	"value": "String"
	}
	]</pre>

[Array].result.result.entities.matchingSegments	各オブジェクトが検出された NLU エンティティの一致セグメントを表すオブジェクトのアレイです。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"matchingSegments": [
	{
	"directMatch": Boolean
	"meta": {Object},
	"value": "String"
	}
	]</pre>

[Array].result.result.entities.matchingSegments.directMatch	NLU エンティティの一致セグメントがエンティティ値の完全一致を表すかどうかを示すフラグです。

[Array].result.result.entities.matchingSegments.meta	NLU エンティティの一致セグメントのメタデータを表すキー/値ペアのフィールドを含むオブジェクトです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"meta": {
	"augmentedBy": "String",
	"colMeta:first_name": "String",
	"colMeta:last_name": "String",
	"compositionStrategy": "String",
	"fieldName": "String",
	"searchPreProcessors": "String",
	"SUB_PHRASE.penalty": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "tableName": "String" }</pre>
[Array].result.result.entities.matchingSegments.value	NLU エンティティの一致セグメントの文字列値です。 データタイプ：文字列
[Array].result.result.entities.name	検出された NLU エンティティの名前です。形式は `entity: [NLU_model].[intent].[entity_type]` です。 データタイプ：文字列

[Array].result.result.entities.parts	各オブジェクトが予測結果にある NLU エンティティのパーツを表すオブジェクトのアレイです。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"parts": [
	  {
	  "meta": {Object},
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

[Array].result.result.entities.parts.meta	NLU エンティティのパーツのメタデータを表すキー/値ペアのフィールドを含むオブジェクトです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"meta": {
	  "augmentedBy": "String",
	  "colMeta:name": "String",
	  "compositionStrategy": "String",
	  "fieldName": "String",
	  "searchPreProcessors": "String",
	  "SUB_PHRASE.penalty": "String",
	  "tableName": "String"
	}</pre>

[Array].result.result.entities.parts.value	NLU エンティティのパーツの文字列値です。 データタイプ：文字列
[Array].result.result.entities.score	検出された NLU エンティティの信頼性を示す 0 ～ 1 の数値スコアです。 データタイプ：数値
[Array].result.result.entities.startingPosition	検索クエリーで検出された NLU エンティティが始まる文字位置の数値インデックスです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：数値
[Array].result.result.entities.value	検索クエリーで検出された NLU の文字列値です。 データタイプ：文字列
[Array].result.result.intentName	検索クエリーで検出された NLU モデルインテントの名前です。 データタイプ：文字列
[Array].result.result.intents	各オブジェクトが、検索クエリーで検出済みのネストされた NLU モデルインテントを表すオブジェクトのアレイです。 ネストされたインテントオブジェクトには、親 NLU モデルインテントオブジェクトと同じパラメーター名とデータタイプが含まれます。 データタイプ：アレイ `"intents": [ { "entities": [Array], "intentName": "String", "intents": [Array], "nluModelName": "String", "score": Number } ]`
[Array].result.result.nluModelName	予測結果を生成した NLU モデルの名前です。 データタイプ：文字列
[Array].result.result.score	NLU モデル予測結果の信頼性を示す 0 ～ 1 の数値スコアです。 データタイプ：数値
[Array].result.solutionLabel	予測結果を生成した NLU モデルのラベルです。 データタイプ：文字列
[Array].result.solutionName	予測結果を生成した NLU モデルの名前です。 データタイプ：文字列
[Array].result.solutionType	予測結果を生成した NLU モデルのタイプです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
[Array].result.type	予測結果のタイプです。 データタイプ：文字列
[Array].result.version	予測結果を生成した NLU モデルのバージョンです。 データタイプ：数値
[Array].solutionName	予測結果を生成した NLU モデルの名前です。 データタイプ：文字列

この *AI Search request processor* スクリプトは、検索クエリに NLU モデル予測結果が含まれているかどうかを確認します。予測結果が見つかると、検出されたすべての catalogItem エンティティの一致セグメントを検索用語として追加します。

```
function process(context) {
  var answer = new sn_ais.GeniusResultAnswer();

  answer.setTable('sc_cat_item');
  answer.setSearchLimit(2);
  var predictionResult = context.getPredictionResult();
  if (predictionResult && predictionResult.length == 1) {
    var detail = predictionResult[0];
    if (detail['result'] && detail['result']['entities']) {
      var entities = detail['result']['entities'];
      for (var i = 0; i < entities.length; i++) {
        if (entities[i]['name'].endsWith('catalogItem')) {
          var matchingSegments = entities[i]['matchingSegments'];
          for (var j = 0; j < matchingSegments.length; j++)
            answer.addSearchPhrases([matchingSegments[j]['value']]);
        }
      }
    }
  }

  return answer;
}
```

GlideAggregate :グローバル

GlideAggregate API を使用すると、データベース集計クエリーを作成できます。

GlideAggregate クラスは *GlideRecord* クラスの拡張であり、データベース集計 (AVG、COUNT、GROUP_CONCAT、GROUP_CONCAT_DISTINCT、MAX、MIN、STDDEV、SUM) クエリーを提供します。この機能は、カスタマイズされたレポートを作成するとき、または計算フィールドの計算に役立ちます。

通貨フィールドまたは価格フィールドで *GlideAggregate* メソッドを使用する場合は、参照通貨値を操作します。表示するには、集計値をユーザーのセッション通貨に変換してください。通貨また

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は価格の値 (表示値) とその参照 通貨 の値 (集計値) の間の換算レートは変化する可能性があるため、結果がユーザーの期待とは異なる場合があります。

この API を使用して動的属性を作成するには、dynamic_schema_writer ロールが必要です。この API を使用して動的データを読み取るには、dynamic_schema_reader ロールが必要です。

動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。

注: オンプレミス システムを使用する場合、このクラスが正しく機能するには、データベース サーバーのタイムゾーンを GMT / UTC に設定する必要があります。

GlideAggregate - addAggregate(String agg、String **name)**

データベースクエリに集計を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	使用する集計の名前。 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。 • GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
name	文字列	フィールド名はオプションです。集計の結果をグループ化するフィールドの名前、または動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。 デフォルト：Null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、インシデント [incident] テーブルで *GlideAggregate* 関数を使用する方法を示しています。

```
var incidentGA = new GlideAggregate('incident');
incidentGA.groupBy('category');
incidentGA.orderByAggregate('COUNT', 'sys_mod_count');

incidentGA.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('COUNT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('GROUP_CONCAT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('STDDEV', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('SUM', 'sys_mod_count');

incidentGA.query();

while (incidentGA.next()) {
gs.info('CATEGORY: ' + incidentGA.getValue('category'));
gs.info('AVG: ' + incidentGA.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count'));
gs.info('COUNT: ' + incidentGA.getAggregate('COUNT', 'sys_mod_count'));
gs.info('GROUP_CONCAT: ' + incidentGA.getAggregate('GROUP_CONCAT',
 'sys_mod_count'));
gs.info('GROUP_CONCAT_DISTINCT: ' +
 incidentGA.getAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT', 'sys_mod_count'));
gs.info('MAX: ' + incidentGA.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count'));
gs.info('MIN: ' + incidentGA.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count'));
gs.info('STDDEV: ' + incidentGA.getAggregate('STDDEV', 'sys_mod_count'));
gs.info('SUM: ' + incidentGA.getAggregate('SUM', 'sys_mod_count'));
gs.info(' ');
}
```

出力。

```
CATEGORY: inquiry
AVG: 8.4242424242424242424242424242424242424242E00
COUNT: 33
GROUP_CONCAT:
 0,0,0,0,1,2,2,4,4,4,5,5,5,6,6,6,6,6,6,6,6,7,8,8,8,8,9,15,15,19,32,33,36
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 0,1,2,4,5,6,7,8,9,15,19,32,33,36
MAX: 36
MIN: 0
STDDEV: 9.158432941251136299327101471351714944 39E00
SUM: 278

CATEGORY: software
AVG: 21
COUNT: 13
GROUP_CONCAT: 3,4,5,5,6,7,9,10,10,11,14,94,95
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 3,4,5,6,7,9,10,11,14,94,95
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
MAX: 95
MIN: 3
STDDEV: 3.276939629186557555329703269898527940 87E01
SUM: 273

CATEGORY: Hardware
AVG: 6.8
COUNT: 10
GROUP_CONCAT: 2,5,5,6,6,6,7,7,9,15
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 2,5,6,7,9,15
MAX: 15
MIN: 2
STDDEV: 3.392802839999859336228201089828846997 55E00
SUM: 68

CATEGORY: network
AVG: 18
COUNT: 5
GROUP_CONCAT: 3,12,17,21,37
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 3,12,17,21,37
MAX: 37
MIN: 3
STDDEV: 1.256980508997653471570255865361365123 02E01
SUM: 90

CATEGORY:
AVG: 9.5
COUNT: 4
GROUP_CONCAT: 8,8,10,12
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 8,10,12
MAX: 12
MIN: 8
STDDEV: 1.914854215512676219950203822739643106 07E00
SUM: 38

CATEGORY: database
AVG: 29
COUNT: 2
GROUP_CONCAT: 8,50
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 8,50
MAX: 50
MIN: 8
STDDEV: 2.969848480983499602483546320840365965 E01
SUM: 58
```

次の例は、動的属性ストアの属性を使用してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Inc = new GlideAggregate('incident');
ga_Inc.groupBy('inc_dynamic_schema->cars->make');
ga_Inc.addAggregate('AVG', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('MIN', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('MAX', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('SUM', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('COUNT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('STDDEV', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('GROUP_CONCAT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ga_Inc.addAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('COUNT(DISTINCT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.query();
while (ga_Inc.next()) {
    gs.info(gr_Inc.getValue('inc_dynamic_schema->cars->make'));
    gs.info('AVG: ' + ga_Inc.getAggregate('AVG',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('MAX: ' + ga_Inc.getAggregate('MAX',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('MIN: ' + ga_Inc.getAggregate('MIN',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('SUM: ' + ga_Inc.getAggregate('SUM',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('COUNT: ' + ga_Inc.getAggregate('COUNT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('STDDEV: ' + ga_Inc.getAggregate('STDDEV',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('GROUP_CONCAT: ' + ga_Inc.getAggregate('GROUP_CONCAT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('GROUP_CONCAT_DISTINCT: ' +
 ga_Inc.getAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('COUNT(DISTINCT: ' + ga_Inc.getAggregate('COUNT(DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info(' ');
}
```

出力:

```
*** Script: BMW
*** Script: AVG: 31852.066666666667
*** Script: MAX: 49182
*** Script: MIN: 16544
*** Script: SUM: 477781
*** Script: COUNT: 15
*** Script: STDDEV: 10376.50218706
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16544,18427,19083,22144,24126,27018,32353,34934,35691,35698,35799,36814,
41257,48711,49182
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16544,18427,19083,22144,24126,27018,32353,34934,35691,35698,35799,36814,
41257,48711,49182
*** Script: COUNT(DISTINCT: 15
*** Script:
*** Script: Ford
*** Script: AVG: 31520.090909090909
*** Script: MAX: 47408
*** Script: MIN: 16080
*** Script: SUM: 346721
*** Script: COUNT: 11
*** Script: STDDEV: 11355.75551388
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16080,16082,16996,27621,31662,33478,35201,36965,38085,47143,47408
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16080,16082,16996,27621,31662,33478,35201,36965,38085,47143,47408
*** Script: COUNT(DISTINCT: 11
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:
*** Script: Honda
*** Script: AVG: 31972.750000000000
*** Script: MAX: 49187
*** Script: MIN: 15208
*** Script: SUM: 511564
*** Script: COUNT: 16
*** Script: STDDEV: 10240.67632207
*** Script: GROUP_CONCAT:
 15208,17926,18365,20942,25557,28215,29090,34336,34857,34969,37144,38097,
41541,41805,44325,49187
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15208,17926,18365,20942,25557,28215,29090,34336,34857,34969,37144,38097,
41541,41805,44325,49187
*** Script: COUNT(DISTINCT: 16
*** Script:
*** Script: Lexus
*** Script: AVG: 29841.250000000000
*** Script: MAX: 48406
*** Script: MIN: 15517
*** Script: SUM: 238730
*** Script: COUNT: 8
*** Script: STDDEV: 12073.56647214
*** Script: GROUP_CONCAT: 15517,16964,22371,23900,32421,36620,42531,48406
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15517,16964,22371,23900,32421,36620,42531,48406
*** Script: COUNT(DISTINCT: 8
*** Script:
*** Script: Tesla
*** Script: AVG: 30790.000000000000
*** Script: MAX: 45032
*** Script: MIN: 16724
*** Script: SUM: 431060
*** Script: COUNT: 14
*** Script: STDDEV: 8510.068136760580
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16724,17173,21049,24837,28431,30594,31871,32549,32675,33778,36963,37946,
41438,45032
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16724,17173,21049,24837,28431,30594,31871,32549,32675,33778,36963,37946,
41438,45032
*** Script: COUNT(DISTINCT: 14
*** Script:
*** Script: Toyota
*** Script: AVG: 32115.444444444444
*** Script: MAX: 49418
*** Script: MIN: 15188
*** Script: SUM: 289039
*** Script: COUNT: 9
*** Script: STDDEV: 12120.76776767
*** Script: GROUP_CONCAT:
 15188,16453,24596,28529,32863,34697,42790,44505,49418
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15188,16453,24596,28529,32863,34697,42790,44505,49418
*** Script: COUNT(DISTINCT: 9
*** Script:
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

`addAggregate()` メソッドをスコープ対応アプリケーションで使用するには、対応する Scopedメソッドを使用します: addAggregate()

GlideAggregate - addBizCalendarTrend(文字列 **fieldName**, 文字列 **bizCalendarSysId)**

ビジネスカレンダー別の傾向を集計クエリに追加します。このメソッドを使用すると、対応する GlideRecord の日時フィールドを選択し、指定されたビジネスカレンダーのタイムスパンに基づいてレコードをグループ化できます。

注: このメソッドは、SQL クエリで JOIN 演算子を使用しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	レコードを含めるグループまたはカレンダーのタイムスパンを決定するために使用する、関連する GlideRecord の日時フィールド。
bizCalendarSysId	文字列	使用するカレンダーレコードのSys_id。これは、目的のタイムスパンを含むカレンダーです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、「月」ビジネスカレンダーのタイムスパンでグループ化されたインシデントレコードの数を示しています。

```
var monthCal = "4d7ddda353f3001076bcddeeff7b12b1"
var ga = new GlideAggregate('incident');
ga.addAggregate('COUNT');
ga.addBizCalendarTrend('opened_at', monthCal);
ga.setGroup(false);
ga.query();
gs.print(ga.getRowCount());
while (ga.next()) {
  gs.info(ga.getValue('bizcalref') + ', ' + ga.getValue('bizcalrefend') +
 ', ' + ga.getAggregate('COUNT'));
}
```

出力:

```
13
2015-08-01 00:00:00, 2015-09-01 00:00:00, 2
2015-11-01 00:00:00, 2015-12-01 00:00:00, 2
2016-08-01 00:00:00, 2016-09-01 00:00:00, 3
2016-12-01 00:00:00, 2017-01-01 00:00:00, 1
2018-08-01 00:00:00, 2018-09-01 00:00:00, 3
2018-09-01 00:00:00, 2018-10-01 00:00:00, 3
2018-10-01 00:00:00, 2018-11-01 00:00:00, 2
2019-07-01 00:00:00, 2019-08-01 00:00:00, 2
2020-06-01 00:00:00, 2020-07-01 00:00:00, 1
2021-01-01 00:00:00, 2021-02-01 00:00:00, 1
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2023-04-01 00:00:00, 2023-05-01 00:00:00, 15
2023-05-01 00:00:00, 2023-06-01 00:00:00, 23
2023-07-01 00:00:00, 2023-08-01 00:00:00, 9
```

GlideAggregate - addEncodedQuery(文字列 query)

この集計に設定されている可能性のある他のクエリーにエンコードされたクエリーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	集計に追加するエンコードされたクエリー文字列です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
  var last = "";
  while (agg2.next()) {
     last = agg2.getAggregate('count','category');
  }
  gs.log(category + ": Last month:" + count + " Previous Month:" + last);

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addEncodedQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addEncodedQuery() を使用します。

GlideAggregate - addHaving(文字列 name, 文字列 operator, 文字列 value)

「having」要素を集計に追加します。例：select category, count(*) from incident group by category HAVING count(*) > 5

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィルターを適用する集計です。例：COUNT
演算子	文字列	演算子記号です。例：<、>、=、!=
value	文字列	クエリーを適用する値です。例：'5'

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var trend = new GlideAggregate('incident');
trend.addTrend ('opened_at','Month');
trend.addAggregate('COUNT');

//addHaving limits the results returned to those in which the aggregate
 COUNT is greater than 2
trend.addHaving('COUNT', '>', '2');
trend.setGroup(false);
trend.query();
while(trend.next()) {
  gs.print(('Incidents by month ' + trend.getValue('timeref') + ' where
 count is more than 2 count is: ' + trend.getAggregate('COUNT'));
}
```

出力：

```
Incidents by month 9/2018 where count is more than 2 count is: 3
Incidents by month 10/2018 where count is more than 2 count is: 8
Incidents by month 11/2018 where count is more than 2 count is: 14
```

GlideAggregate - addHaving(文字列 **aggName**, 文字列 **fieldName**, 文字列演算子, 文字列 **value)**

select category, count(*) from incident group by category HAVING count(*) > 5 のような「having」要素をアグリゲートに追加します。このメソッドの実装により、テーブル内の特定のフィールドまたは動作対象の動的属性を指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggName	文字列	フィルターを適用する集計です。 例：COUNT
フィールド名	文字列	動的属性ストア内の属性へのフィールド名またはパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。
オペレーター	文字列	演算子記号です。 例：<、>、=、!=
value	文字列	クエリーを適用する値です。 例：'5'

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、*addHaving()* メソッド呼び出しのフィールド名を使用して、cmdb テーブル内の重複するシリアル番号を識別する方法を示しています。

```
function getDupes(tableName, dpField) {
    var ga = new GlideAggregate(tableName);
    ga.addAggregate('COUNT', dpField); // Aggregate to count values in
 whatever field is passed as dpField
    ga.addHaving('COUNT', dpField, '>', '1'); // Returns only records
 having more than one active instance of dpField
    ga.query();
    var arDupes = new Array(); // Build array to push the results into
    while (ga.next()) {
      arDupes.push(ga.getValue(dpField)); // Push the value of the dupe
 field to the array
    }
    return arDupes;
}

var tableName = "cmdb";
var dpField = "serial_number";

gs.print(getDupes(tableName, dpField));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Incidents by month 9/2018 where count is more than 2 count is: 3
Incidents by month 10/2018 where count is more than 2 count is: 8
Incidents by month 11/2018 where count is more than 2 count is: 14
```

次の例は、重複を識別するためのものですが、 *addHaving()* メソッド呼び出しでフィールドの代わりに動的属性を使用しています。

```
function getDupes(tableName, dpField) {
    var ga = new GlideAggregate(tablename);
    ga.addAggregate('COUNT', dpField); // Aggregate to count values in
 whatever dynamic attribute is passed as dpField
    ga.addHaving('COUNT', dpField, '>', '1'); // Returns only records
 having more than one active instance of dpField
    ga.query();
    var arDupes = new Array(); // Build array to push the results into
    while (ga.next()) {
      arDupes.push(ga.getValue(dpField)); // Push the value of the dupe
 field to the array
    }
    return arDupes;
}

var tableName = "cmdb";
var dpField = "dyn_att_field->group->attr";

gs.print(getDupes(tableName, dpField));
```

出力:

```
Incidents by month 9/2018 where count is more than 2 count is: 3
Incidents by month 10/2018 where count is more than 2 count is: 8
Incidents by month 11/2018 where count is more than 2 count is: 14
```

GlideAggregate - addTrend(文字列 **fieldName**, 文字列 **timeInterval**, 数値 **numUnits)**

フィールドのトレンドを追加します。傾向を使用して、一定期間のパターンを示します。

注: *dayofweek*結果を年別にグループ化するかどうかを制御するには、GlideAggregate - setIntervalYearIncluded(ブール値 b)を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	傾向が発生するフィールドの名前です。
timeInterval	文字列	傾向の時間間隔です。 有効な値： • 日付 • dayofweek • 時間 • 分 • 四半期

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• value • 週 • 年
numUnits	番号	オプション。*timeInterval* が *minute* の場合にのみ有効です。傾向に含める時間 (分) です。 デフォルト値：1

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var trend = new GlideAggregate('incident');
trend.addTrend ('opened_at','month');
trend.addAggregate('COUNT');
trend.setGroup(false);
trend.query();
while(trend.next()) {
   gs.print(trend.getValue('timeref') + ': ' +
 trend.getAggregate('COUNT'));
}
```

出力：

```
9/2018: 3
10/2018: 8
11/2018: 14
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addTrend()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addTrend() を使用します。

GlideAggregate - getAggregate(String agg、String **name)**

現在のレコードからの集計の値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	集計のタイプです。 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
name	文字列	集計を取得するフィールドの名前、または動的スキーマ内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	集計の値。 集計される値が FX 通貨値である場合、戻り値は `<currency_code;currency_value>` 形式になります。例：`USD;134.980000` 注: 指定されたフィールドに通貨タイプが混在する FX 通貨値が含まれている場合、このメソッドは値を集計できず、セミコロン (;) を返します。

この例は、COUNT 集計を取得する方法を示しています。

```
function doMyBusinessRule(assigned_to, number) {
  var agg = new GlideAggregate('incident');
  agg.addQuery('assigned_to', assigned_to);
  agg.addQuery('category', number);
  agg.addAggregate("COUNT");
  agg.query();
  var answer = 'false';
  if (agg.next()) {
    answer = agg.getAggregate("COUNT");
    if (answer > 0)
      answer = 'true';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    else
      answer = 'false';
  }
  return answer;
}
```

この例は、FX 通貨フィールドの集計を示しています。

```
var ga = new GlideAggregate('laptop_tracker');
ga.addAggregate('SUM', 'cost');
ga.groupBy('name');
ga.query();
while (ga.next()) {
  gs.info('Aggregate results ' + ga.getValue('name') + ' => ' +
 ga.getAggregate('SUM', 'cost'));
}
```

出力：

```
*** Script: Aggregate results Apple MacBook Air => USD;1651.784280000000
*** Script: Aggregate results Apple MacBook Pro => USD;1651.784280000000
*** Script: Aggregate results Dell XPS => USD;470.852672000000
*** Script: Aggregate results LG =>
*** Script: Aggregate results Samsung Galaxy => USD;225.320000000000
*** Script: Aggregate results Surface3 => USD;2895.560369520000
*** Script: Aggregate results Toshiba => USD;9385.202875800000
```

次の例は、動的属性ストアの属性を使用してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Inc = new GlideAggregate('incident');
ga_Inc.groupBy('inc_dynamic_schema->cars->make');
ga_Inc.addAggregate('AVG', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('MIN', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('MAX', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('SUM', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('COUNT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('STDDEV', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('GROUP_CONCAT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.addAggregate('COUNT(DISTINCT', 'inc_dynamic_schema->cars->cost');
ga_Inc.query();
while (ga_Inc.next()) {
    gs.info(gr_Inc.getValue('inc_dynamic_schema->cars->make'));
    gs.info('AVG: ' + ga_Inc.getAggregate('AVG',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('MAX: ' + ga_Inc.getAggregate('MAX',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('MIN: ' + ga_Inc.getAggregate('MIN',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('SUM: ' + ga_Inc.getAggregate('SUM',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('COUNT: ' + ga_Inc.getAggregate('COUNT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('STDDEV: ' + ga_Inc.getAggregate('STDDEV',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('GROUP_CONCAT: ' + ga_Inc.getAggregate('GROUP_CONCAT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info('GROUP_CONCAT_DISTINCT: ' +
 ga_Inc.getAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info('COUNT(DISTINCT: ' + ga_Inc.getAggregate('COUNT(DISTINCT',
 'inc_dynamic_schema->cars->cost'));
    gs.info(' ');
}
```

出力:

```
*** Script: BMW
*** Script: AVG: 31852.066666666667
*** Script: MAX: 49182
*** Script: MIN: 16544
*** Script: SUM: 477781
*** Script: COUNT: 15
*** Script: STDDEV: 10376.50218706
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16544,18427,19083,22144,24126,27018,32353,34934,35691,35698,35799,36814,
41257,48711,49182
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16544,18427,19083,22144,24126,27018,32353,34934,35691,35698,35799,36814,
41257,48711,49182
*** Script: COUNT(DISTINCT: 15
*** Script:
*** Script: Ford
*** Script: AVG: 31520.090909090909
*** Script: MAX: 47408
*** Script: MIN: 16080
*** Script: SUM: 346721
*** Script: COUNT: 11
*** Script: STDDEV: 11355.75551388
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16080,16082,16996,27621,31662,33478,35201,36965,38085,47143,47408
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16080,16082,16996,27621,31662,33478,35201,36965,38085,47143,47408
*** Script: COUNT(DISTINCT: 11
*** Script:
*** Script: Honda
*** Script: AVG: 31972.750000000000
*** Script: MAX: 49187
*** Script: MIN: 15208
*** Script: SUM: 511564
*** Script: COUNT: 16
*** Script: STDDEV: 10240.67632207
*** Script: GROUP_CONCAT:
 15208,17926,18365,20942,25557,28215,29090,34336,34857,34969,37144,38097,
41541,41805,44325,49187
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15208,17926,18365,20942,25557,28215,29090,34336,34857,34969,37144,38097,
41541,41805,44325,49187
*** Script: COUNT(DISTINCT: 16
*** Script:
*** Script: Lexus
*** Script: AVG: 29841.250000000000
*** Script: MAX: 48406
*** Script: MIN: 15517
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: SUM: 238730
*** Script: COUNT: 8
*** Script: STDDEV: 12073.56647214
*** Script: GROUP_CONCAT: 15517,16964,22371,23900,32421,36620,42531,48406
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15517,16964,22371,23900,32421,36620,42531,48406
*** Script: COUNT(DISTINCT: 8
*** Script:
*** Script: Tesla
*** Script: AVG: 30790.000000000000
*** Script: MAX: 45032
*** Script: MIN: 16724
*** Script: SUM: 431060
*** Script: COUNT: 14
*** Script: STDDEV: 8510.068136760580
*** Script: GROUP_CONCAT:
 16724,17173,21049,24837,28431,30594,31871,32549,32675,33778,36963,37946,
41438,45032
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 16724,17173,21049,24837,28431,30594,31871,32549,32675,33778,36963,37946,
41438,45032
*** Script: COUNT(DISTINCT: 14
*** Script:
*** Script: Toyota
*** Script: AVG: 32115.444444444444
*** Script: MAX: 49418
*** Script: MIN: 15188
*** Script: SUM: 289039
*** Script: COUNT: 9
*** Script: STDDEV: 12120.76776767
*** Script: GROUP_CONCAT:
 15188,16453,24596,28529,32863,34697,42790,44505,49418
*** Script: GROUP_CONCAT_DISTINCT:
 15188,16453,24596,28529,32863,34697,42790,44505,49418
*** Script: COUNT(DISTINCT: 9
*** Script:
```

スコープ対応

getAggregate() メソッドをスコープ対応アプリケーションで使用するには、対応する Scopedメソッドを使用します。 getAggregate() 。

GlideAggregate - getDynamicAttributeValue(文字列 **fullPath)**

指定されたパスにある動的属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパスにある動的属性の値。 *`fullPath`*パラメーターに無効なデータが含まれている場合、または指定された属性値がサポートされているデータ型の 1 つでない場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Tab = new GlideAggregate('u_mytable');
ga_Tab.groupBy('u_dyn_attr_store->paint->color');
ga_Tab.addAggregate('AVG', 'u_dyn_attr_store->paint->number');
ga_Tab.query();

while(ga_Tab.next()) {
    gs.info(
        "color: " +
 ga_Tab.getDynamicAttributeValue('u_dyn_attr_store->paint->color')
        + "  avg: " + ga_Tab.getAggregate('AVG',
 'u_dyn_attr_store->paint->number'));
}
```

出力:

```
*** Script: color: blue  avg: 5.0000
*** Script: color: red  avg: 8.0000
*** Script: color: yellow  avg: 7.0000
```

GlideAggregate - getDynamicAttributeValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath)**

現在のテーブルの指定されたフィールドと指定された属性パスにある動的属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパスにある動的属性の値。 *dynamicAttributeField*パラメーターまたは *groupAttrPath* パラメーターのいずれかが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Tab = new GlideAggregate('u_mytable');
ga_Tab.groupBy('u_dyn_attr_store->paint->color');
ga_Tab.addAggregate('AVG', 'u_dyn_attr_store->paint->number');
ga_Tab.query();

while(ga_Tab.next()) {
    gs.info(
        "color: " + ga_Tab.getDynamicAttributeValue('u_dyn_attr_store',
 'paint->color')
        + "  avg: " + ga_Tab.getAggregate('AVG',
 'u_dyn_attr_store->paint->number'));
}
```

出力:

```
*** Script: color: blue  avg: 5.0000
*** Script: color: red  avg: 8.0000
*** Script: color: yellow  avg: 7.0000
```

GlideAggregate:getDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **fullPath)**

指定されたパスにある動的属性の表示値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定したパスにある動的属性の表示値。 *fullPath*パラメーターが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Tab = new GlideAggregate('u_mytable');
ga_Tab.groupBy('u_dyn_attr_store->paint->color');
ga_Tab.addAggregate('AVG', 'u_dyn_attr_store->paint->number');
ga_Tab.query();

while(ga_Tab.next()) {
    gs.info(
        "color: " +
 ga_Tab.getDynamicAttributeDisplayValue('u_dyn_attr_store->paint->color')
        + "  avg: " + ga_Tab.getAggregate('AVG',
 'u_dyn_attr_store->paint->number'));
}
```

出力:

```
*** Script: color: blue  avg: 5.0000
*** Script: color: red  avg: 8.0000
*** Script: color: yellow  avg: 7.0000
```

GlideAggregate - getDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath)**

指定されたテーブルフィールドと属性パスにある動的属性の表示値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定したパスにある動的属性の表示値。 *dynamicAttributeField*パラメーターまたは *groupAttrPath* パラメーターのいずれかが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_Tab = new GlideAggregate('u_mytable');
ga_Tab.groupBy('u_dyn_attr_store->paint->color');
ga_Tab.addAggregate('AVG', 'u_dyn_attr_store->paint->number');
ga_Tab.query();

while(ga_Tab.next()) {
    gs.info(
        "color: " +
 ga_Tab.getDynamicAttributeDisplayValue('u_dyn_attr_store',
 'paint->color')
        + "  avg: " + ga_Tab.getAggregate('AVG',
 'u_dyn_attr_store->paint->number'));
}
```

出力:

```
*** Script: color: blue  avg: 5.0000
*** Script: color: red  avg: 8.0000
*** Script: color: yellow  avg: 7.0000
```

GlideAggregate - getQuery()

現在の集計を返すために必要なクエリーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリー

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
  var last = "";
  while (agg2.next()) {
     last = agg2.getAggregate('count','category');
  }
  gs.log(category + ": Last month:" + count + " Previous Month:" + last);

}
```

自動翻訳

GlideAggregate:getRowCount()

GlideAggregate オブジェクトの行数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	GlideAggregate オブジェクトの行数です。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
  count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
  count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
  count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
  count.groupBy('category');
  count.query();
  gs.info(count.getRowCount());
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 while (count.next()) {
    var min = count.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
    var max = count.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
    var avg = count.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
    var category = count.category.getDisplayValue();
    gs.info(category + " Update counts: MIN = " + min + " MAX = " + max
+ " AVG = " + avg);
 }
```

出力:

```
6
Database Update counts: MIN = 8 MAX = 48 AVG = 28.0000
Hardware Update counts: MIN = 4 MAX = 14 AVG = 6.6250
Inquiry / Help Update counts: MIN = 0 MAX = 34 AVG = 6.5714
Network Update counts: MIN = 3 MAX = 37 AVG = 18.6000
Request Update counts: MIN = 5 MAX = 39 AVG = 13.4000
Software Update counts: MIN = 4 MAX = 98 AVG = 24.0000
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getRowCount()* メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッド (スコープ付き GlideAggregate - getRowCount()) を使用します。

GlideAggregate - getTotal(文字列 **agg**, 文字列 **name)**

集計を合計してレコード数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	使用する集計の名前。 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。 • GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
name	文字列	集計するフィールドの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
番号	レコードの数です。

```
var incidentGA = new GlideAggregate('incident');
incidentGA.addQuery('category', 'software');
incidentGA.addAggregate('COUNT');
incidentGA.addTrend('opened_at','year'); // Counting number of incidents
 for software category per year
incidentGA.setGroup(false);
incidentGA.query();
while(incidentGA.next()){
  gs.info('Incidents opened on year - '+incidentGA.getValue('timeref')+'
 - '+incidentGA.getAggregate('COUNT'));
}
gs.info('Total Aggregate Value >> '+ incidentGA.getTotal('COUNT'));
```

出力：

```
Incidents opened on year - 2015 - 1
Incidents opened on year - 2018 - 5
Incidents opened on year - 2020 - 10
Total Aggregate Value >> 16
```

GlideAggregate getValue(String name)

フィールドまたは動的属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	動的属性ストア内の属性へのフィールド名またはパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドの値。無効な (結果セットの一部ではない) 場合は null を返します。

```
var trend = new GlideAggregate('incident');
trend.addTrend ('opened_at','Month');
trend.addAggregate('COUNT');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//addHaving limits the results returned to those in which the aggregate
 COUNT is greater than 2
trend.addHaving('COUNT', '>', '2');
trend.setGroup(false);
trend.query();
while(trend.next()) {
  gs.print(('Incidents by month ' + trend.getValue('timeref') + ' where
 count is more than 2 count is: ' + trend.getAggregate('COUNT'));
}
```

出力：

```
Incidents by month 9/2018 where count is more than 2 count is: 3
Incidents by month 10/2018 where count is more than 2 count is: 8
Incidents by month 11/2018 where count is more than 2 count is: 14
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getValue() を使用します。

GlideAggregate - groupBy(文字列 name)

集計をグループ化するときに使用する、動的属性ストア内のフィールドまたは属性の名前を指定します。

複数のグループフィールドを設定するために何度も呼び出されることがあります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	動的属性ストア内の属性へのフィールド名またはパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
while (count.next()) {
  var min = count.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
  var max = count.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
  var avg = count.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
  var category = count.category.getDisplayValue();
  gs.log(category + " Update counts: MIN = " + min + " MAX = " + max + "
 AVG = " + avg);
}
```

次の例は、動的属性ストアの属性を使用してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var ga_AppTab = new GlideAggregate('application_table');
ga_AppTab.addGroupBy('dyn_att_field->group->attr');
ga_AppTab.addAggregate('AVG', 'dyn_att_field->group->attr1');
ga_AppTab.addHaving('SUM', 'dyn_att_field->group->attr2', '>=', 420);
ga.query();
```

スコープ対応

groupBy() メソッドをスコープ対応アプリケーションで使用するには、対応するScoped メソッドを使用します。 groupBy() 。

GlideAggregate orderBy(String name)

指定されたフィールド、動的属性パス、または glidefunction の値を使用して集計を順序付けします。このフィールドは、グループ化リストにも追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールド名、動的属性ストア内の属性へのパス、または集計の順序付けに使用する glidefunction。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。 glidefunction 形式: `glidefunction:length(short_description)`。glidefunctions の詳細については、「glidefunction 操作」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
  var last = "";
  while (agg2.next()) {
     last = agg2.getAggregate('count','category');
  }
  gs.log(category + ": Last month:" + count + " Previous Month:" + last);
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *orderBy()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド orderBy() を使用します。

GlideAggregate:orderByAggregate(文字列集計, 文字列フィールド名)

指定した集計とフィールドまたは動的属性に基づいて集計を並べ替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	集計のタイプ 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。 • GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
fieldName	文字列	集計する動的属性ストア内のフィールドまたは属性へのパスの名前。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
  var last = "";
  while (agg2.next()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    last = agg2.getAggregate('count','category');
  }
  gs.log(category + ": Last month:" + count + " Previous Month:" + last);

}
```

スコープ対応

orderByAggregate() メソッドをスコープ対応アプリケーションで使用するには、対応するScopedメソッドを使用します。 orderByAggregate() 。

GlideAggregate - query()

クエリーを発行し、結果を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count','category');
agg.orderByAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(2)');
agg.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(2)');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count','category');
  var query = agg.getQuery();
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count','category');
  agg2.orderByAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  agg2.addQuery('opened_at', '>=', 'javascript:gs.monthsAgoStart(3)');
  agg2.addQuery('opened_at', '<=', 'javascript:gs.monthsAgoEnd(3)');
  agg2.addEncodedQuery(query);
  agg2.query();
  var last = "";
  while (agg2.next()) {
     last = agg2.getAggregate('count','category');
  }
  gs.log(category + ": Last month:" + count + " Previous Month:" + last);
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *query()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド query() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideAggregate - setAggregateWindow(数値 firstRow, 数値 lastRow)

集計クエリに含めるテーブルの行数を制限します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	集計クエリに含める最初の行のゼロベースのインデックス (包含)。
lastRow	数値	集計クエリに含める最後の行のゼロベースのインデックス (排他的) 。

返される内容

タイプ	説明
なし	

インシデント [incident] テーブルの最初の 10 件のレコードの各カテゴリの数を出力します。

```
var incidentGroup = new GlideAggregate('incident');
incidentGroup.addAggregate('COUNT', 'category');
incidentGroup.setAggregateWindow(0, 10);
incidentGroup.query();
while (incidentGroup.next()) {
   var incidentCount = incidentGroup.getAggregate('COUNT', 'category');
   gs.info('{0} count: {1}', [incidentGroup.getValue('category'),
 incidentCount]);
}
```

出力:

```
database count: 1
Hardware count: 1
inquiry count: 7
software count: 1
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setAggregateWindow()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setAggregateWindow() を使用します。

GlideAggregate - setGroup(ブール b)

結果をグループ化するかどうかを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	結果をグループ化するかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：結果をグループ化します。 • false：結果をグループ化しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var ga = new GlideAggregate('incident');
ga.addAggregate('COUNT', 'category');

ga.setGroup(true);
```

スコープ対応

Scoped アプリケーションで*setGroup()*メソッドを使用するには、対応する Scoped メソッドsetGroup()を使用してください。

GlideAggregate - setIntervalYearIncluded(ブール値 b)

曜日の傾向について、結果を年別にグループ化するかどうかを設定します。これらのトレンドは、*dayofweek*時間間隔で*addTrend()*メソッドを使用して作成されます。

依存関係:GlideAggregate - addTrend('<fieldName>', 'dayofweek')。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブール	曜日間隔のある傾向に年を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:曜日の結果を年別にグループ化します。 • false:時間間隔の結果から年を除外します。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、過去 6 か月間に作成されたインシデントをカウントする方法を示しています。インシデントは曜日ごとに分かれていますが、年は含まれません。たとえば、木曜日のデフォルトの結果には、`Thursday/2023: 16` のように年が含まれます。

```
var incidentGroup = new GlideAggregate('incident');
incidentGroup.addEncodedQuery("sys_created_onRELATIVEGT@month@ago@6");
incidentGroup.addTrend('sys_created_on', 'dayofweek');
incidentGroup.addAggregate('COUNT');
incidentGroup.setIntervalYearIncluded(false);
incidentGroup.query();
while (incidentGroup.next()) {
    gs.info(incidentGroup.getValue('timeref') + ': ' +
 incidentGroup.getAggregate('COUNT'))};
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Sunday: 1
Monday: 15
Tuesday: 1
Wednesday: 7
Thursday: 16
Saturday: 1
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setIntervalYearIncluded()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setIntervalYearIncluded() を使用します。

GlideAggregate :スコープ指定

GlideAggregate API を使用すると、データベース集計クエリーを作成できます。

GlideAggregate クラスは *GlideRecord* クラスの拡張であり、データベース集計 (AVG、COUNT、GROUP_CONCAT、GROUP_CONCAT_DISTINCT、MAX、MIN、STDDEV、SUM) クエリーを提供します。この機能は、カスタマイズされたレポートを作成するとき、または計算フィールドの計算に役立ちます。

通貨フィールドまたは価格フィールドで *GlideAggregate* メソッドを使用する場合は、参照通貨値を操作します。表示するには、集計値をユーザーのセッション通貨に変換してください。通貨または価格の値 (表示値) とその参照 通貨 の値 (集計値) の間の換算レートは変化する可能性があるため、結果がユーザーの期待とは異なる場合があります。

> **注:** オンプレミス システムを使用する場合、このクラスが正しく機能するには、データベースサーバーのタイムゾーンを GMT / UTC に設定する必要があります。

ScopedGlideAggregate - GlideAggregate(String tableName)

指定されたテーブルに GlideAggregate オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前です。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
```

ScopedGlideAggregate - addAggregate(String agg、String name)

データベースクエリに集計を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	使用する集計の名前。 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
name	文字列	オプション。集計の結果をグループ化するフィールドの名前。 デフォルト：Null

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、インシデント [incident] テーブルで *GlideAggregate* 関数を使用する方法を示しています。

```
var incidentGA = new GlideAggregate('incident');
incidentGA.groupBy('category');
incidentGA.orderByAggregate('COUNT', 'sys_mod_count');

incidentGA.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('COUNT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('GROUP_CONCAT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('STDDEV', 'sys_mod_count');
incidentGA.addAggregate('SUM', 'sys_mod_count');

incidentGA.query();

while (incidentGA.next()) {
gs.info('CATEGORY: ' + incidentGA.getValue('category'));
gs.info('AVG: ' + incidentGA.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count'));
gs.info('COUNT: ' + incidentGA.getAggregate('COUNT', 'sys_mod_count'));
gs.info('GROUP_CONCAT: ' + incidentGA.getAggregate('GROUP_CONCAT',
 'sys_mod_count'));
gs.info('GROUP_CONCAT_DISTINCT: ' +
 incidentGA.getAggregate('GROUP_CONCAT_DISTINCT', 'sys_mod_count'));
gs.info('MAX: ' + incidentGA.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count'));
gs.info('MIN: ' + incidentGA.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count'));
gs.info('STDDEV: ' + incidentGA.getAggregate('STDDEV', 'sys_mod_count'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info('SUM: ' + incidentGA.getAggregate('SUM', 'sys_mod_count'));
gs.info(' ');
}
```

出力。

```
CATEGORY: inquiry
AVG: 8.4242424242424242424242424242424242424242E00
COUNT: 33
GROUP_CONCAT:
 0,0,0,0,1,2,2,4,4,4,5,5,5,6,6,6,6,6,6,6,6,7,8,8,8,8,9,15,15,19,32,33,36
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 0,1,2,4,5,6,7,8,9,15,19,32,33,36
MAX: 36
MIN: 0
STDDEV: 9.158432941251136299327101471351714944 39E00
SUM: 278

CATEGORY: software
AVG: 21
COUNT: 13
GROUP_CONCAT: 3,4,5,5,6,7,9,10,10,11,14,94,95
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 3,4,5,6,7,9,10,11,14,94,95
MAX: 95
MIN: 3
STDDEV: 3.276939629186557555329703269898527940 87E01
SUM: 273

CATEGORY: Hardware
AVG: 6.8
COUNT: 10
GROUP_CONCAT: 2,5,5,6,6,6,7,7,9,15
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 2,5,6,7,9,15
MAX: 15
MIN: 2
STDDEV: 3.392802839999859336228201089828846997 55E00
SUM: 68

CATEGORY: network
AVG: 18
COUNT: 5
GROUP_CONCAT: 3,12,17,21,37
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 3,12,17,21,37
MAX: 37
MIN: 3
STDDEV: 1.256980508997653471570255865361365123 02E01
SUM: 90

CATEGORY:
AVG: 9.5
COUNT: 4
GROUP_CONCAT: 8,8,10,12
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 8,10,12
MAX: 12
MIN: 8
STDDEV: 1.914854215512676219950203822739643106 07E00
SUM: 38
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
CATEGORY: database
AVG: 29
COUNT: 2
GROUP_CONCAT: 8,50
GROUP_CONCAT_DISTINCT: 8,50
MAX: 50
MIN: 8
STDDEV: 2.969848480983499602483546320840365965E01
SUM: 58
```

ScopedGlideAggregate - addEncodedQuery(String query)

この集計に設定されている可能性のある他のクエリーにエンコードされたクエリーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	集計に追加するエンコードされたクエリー

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Number of incidents varies depending on the current state
//of the incident table
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addEncodedQuery('active=true');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if (count.next())
   incidents = count.getAggregate('COUNT');
gs.info(incidents);
```

ScopedGlideAggregate - addQuery(String name, String operator, String value)

集計にクエリーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	追加するクエリーです。
演算子	文字列	クエリーの演算子です。
value	文字列	クエリーに含める値のリストです。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	クエリー条件です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Number of incidents varies depending on the current state
//of the incident table
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addQuery('active', '=','true');
count.addAggregate('COUNT', 'category');
count.query();
while (count.next()) {
   var category = count.category;
   var categoryCount = count.getAggregate('COUNT', 'category');
   gs.info("There are currently " + categoryCount + " incidents with a
 category of " + category);
}
```

出力：

```
There are currently 1 incidents with a category of database
There are currently 5 incidents with a category of hardware
There are currently 42 incidents with a category of inquiry
There are currently 4 incidents with a category of network
There are currently 4 incidents with a category of request
There are currently 7 incidents with a category of software
```

ScopedGlideAggregate - addNotNullQuery(String fieldName)

集計に not null クエリーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldname	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	スコープ付きクエリー条件です。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
  count.addNotNullQuery('short_description');
  count.query();   // Issue the query to the database to get all records
  while (count.next()) {
     // add code here to process the aggregate
  }
```

ScopedGlideAggregate - addNullQuery(String fieldName)

集計にヌル クエリーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	Scoped クエリー条件

```
var count = new GlideAggregate('incident');
  count.addNullQuery('short_description');
  count.query();   // Issue the query to the database to get all records
  while (count.next()) {
     // add code here to process the aggregate
  }
```

スコープ付き **GlideAggregate -** addTrend(文字列 **fieldName**, 文字列 **timeInterval**, 数値 **numUnits)**

指定されたフィールドの傾向を追加します。傾向を使用して、一定期間のパターンを示します。

注: *dayofweek*結果を年別にグループ化するかどうかを制御するには、スコープ付き GlideAggregate - setIntervalYearIncluded(Boolean b)を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	傾向が発生するフィールドの名前です。
timeInterval	文字列	傾向の時間間隔です。 有効な値： • 日付 • dayofweek • 時間 • 分 • 四半期 • value • 週 • 年
numUnits	番号	オプション。*timeInterval* が *minute* の場合にのみ有効です。傾向に含める時間 (分) です。 デフォルト値：1

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var ga = new GlideAggregate('incident');
ga.addAggregate('COUNT'); // Count all incidents opened each quarter
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
ga.addTrend('opened_at', 'quarter');
ga.query();
while(ga.next()) {
 gs.info([ga.getValue('timeref'), ga.getAggregate('COUNT')]);
}
```

出力:

```
3/2018, 9
4/2018, 2
1/2019, 38
2/2019, 310
```

ScopedGlideAggregate - getAggregate(String agg、String name)

現在のレコードからの集計の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	集計のタイプです。 有効な値： • AVG：式の平均値。 • COUNT：null 以外の値の数。 • GROUP_CONCAT:グループのすべての非 null 値を昇順で連結し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • GROUP_CONCAT_DISTINCT:グループの null 以外のすべての値を昇順で連結し、重複を削除し、それらをコンマ (',') で結合して、結果を文字列として返します。 • MAX：最大値。 • MIN：最小値。 • STDDEV：入力の標準偏差。 • SUM：すべての値の合計。
name	文字列	集計を実行するフィールドの名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	集計の値です。 集計される値が FX 通貨値である場合、戻り値は `<currency_code;currency_value>` 形式になります。例：`USD;134.980000` **注:** 指定されたフィールドに通貨タイプが混在する FX 通貨値が含まれている場合、このメソッドは値を集計できず、セミコロン (;) を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントテーブルのレコード数を返す集計を表示します。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if (count.next()) {
  incidents = count.getAggregate('COUNT');
}
//Number of incidents varies depending on the current state
//of the incident table
gs.info('Number of incidents: ' + incidents);
```

出力：Number of incidents: 63

FX 通貨フィールドの集計を示します。

```
var ga = new GlideAggregate('laptop_tracker');
ga.addAggregate('SUM', 'cost');
ga.groupBy('name');
ga.query();
while (ga.next()) {
  gs.info('Aggregate results ' + ga.getValue('name') + ' => ' +
 ga.getAggregate('SUM', 'cost'));
}
```

出力：

```
*** Script: Aggregate results Apple MacBook Air => USD;1651.784280000000
*** Script: Aggregate results Apple MacBook Pro => USD;1651.784280000000
*** Script: Aggregate results Dell XPS => USD;470.852672000000
*** Script: Aggregate results LG =>
*** Script: Aggregate results Samsung Galaxy => USD;225.320000000000
*** Script: Aggregate results Surface3 => USD;2895.560369520000
*** Script: Aggregate results Toshiba => USD;9385.202875800000
```

ScopedGlideAggregate - getAggregateEncodedQuery()

現在の集計を返すために必要なクエリーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	集計を取得するためのエンコードされたクエリーです。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
while (count.next()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info(count.getAggregateEncodedQuery());
}
```

出力：

```
category=database
category=hardware
category=inquiry
category=network
category=request
category=software
```

ScopedGlideAggregate - getEncodedQuery()

エンコードされたクエリーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エンコードされたクエリーです。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
gs.info(count.getEncodedQuery());
```

出力：

```
ORDERBYcategory^GROUPBYcategory
```

ScopedGlideAggregate - getRowCount()

GlideAggregate オブジェクトの行数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
番号	GlideAggregate オブジェクトの行数です。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
  count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
 count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
 count.groupBy('category');
 count.query();
 gs.info(count.getRowCount());
 while (count.next()) {
    var min = count.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
    var max = count.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
    var avg = count.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
    var category = count.category.getDisplayValue();
    gs.info(category + " Update counts: MIN = " + min + " MAX = " + max
+ " AVG = " + avg);
 }
```

出力：

```
6
Database Update counts: MIN = 8 MAX = 48 AVG = 28.0000
Hardware Update counts: MIN = 4 MAX = 14 AVG = 6.6250
Inquiry / Help Update counts: MIN = 0 MAX = 34 AVG = 6.5714
Network Update counts: MIN = 3 MAX = 37 AVG = 18.6000
Request Update counts: MIN = 5 MAX = 39 AVG = 13.4000
Software Update counts: MIN = 4 MAX = 98 AVG = 24.0000
```

ScopedGlideAggregate - getTableName()

この GlideAggregate オブジェクトに関連付けられたテーブル名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
gs.info(count.getTableName());
```

ScopedGlideAggregate - getValue(String name)

指定されたフィールドの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	返される現在のテーブル内のフィールドの名前です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドの値。無効な (結果セットの一部ではない) 場合は null を返します。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
while (count.next()) {
  gs.info(count.getValue('category') + " category had " +
 count.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count') + " updates");
}
```

出力:

```
category had 12 updates
hardware category had 15 updates
inquiry category had 36 updates
network category had 37 updates
software category had 95 updates
```

ScopedGlideAggregate - groupBy(String name)

集計のグループ化に使用するフィールドの名前を指定します。

複数のグループフィールドを設定するために何度も呼び出されることがあります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
count.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
count.groupBy('category');
count.query();
while (count.next()) {
     var min = count.getAggregate('MIN', 'sys_mod_count');
     var max = count.getAggregate('MAX', 'sys_mod_count');
     var avg = count.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
     var category = count.category.getDisplayValue();
     gs.info(category + " Update counts: MIN = " + min + " MAX = " + max
 + " AVG = " + avg);
}
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Database Update counts: MIN = 8 MAX = 48 AVG = 28.0000
Hardware Update counts: MIN = 4 MAX = 14 AVG = 6.6250
Inquiry / Help Update counts: MIN = 0 MAX = 34 AVG = 6.5714
Network Update counts: MIN = 3 MAX = 37 AVG = 18.6000
Request Update counts: MIN = 5 MAX = 39 AVG = 13.4000
Software Update counts: MIN = 4 MAX = 98 AVG = 24.0000
```

ScopedGlideAggregate - hasNext()

GlideAggregate オブジェクトにそれ以上のレコードがあるかどうかを判定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリーセットにさらに結果が含まれているかどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：クエリーセットにさらに結果が含まれています。 • false：クエリーセットにそれ以上の結果は含まれていません。

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
agg.groupBy('category');
agg.query();
while (agg.hasNext()) {
    agg.next();
    var avg = agg.getAggregate('AVG', 'sys_mod_count');
    var category = agg.category.getDisplayValue();
    gs.info(category + ': AVG = ' + avg);
}
```

出力：

```
Database: AVG = 32.5000
Hardware: AVG = 12.0000
Inquiry / Help: AVG = 7.6667
Network: AVG = 24.0000
Request: AVG = 16.4000
Software: AVG = 27.0833
```

ScopedGlideAggregate - next()

GlideAggregate の次のレコードに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリーセットにさらに結果が含まれているかどうかを示すフラグです。 可能な値： • true：クエリーセットにさらに結果が含まれています。 • false：クエリーセットにそれ以上の結果は含まれていません。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if (count.next()) {
   incidents = count.getAggregate('COUNT');
   gs.info(incidents);
}
```

ScopedGlideAggregate - orderBy(String name)

指定したフィールドの値を使用して集計をオーダーします。このフィールドは、グループ化リストにも追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	集計を順序付けるフィールドの名前 または、 `glidefunction:length(short_description)` のように、集計を順序付けする glidefunction を指定することもできます。glidefunctions の詳細については、「 glidefunction 操作 」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count', 'category');
agg.orderBy('category');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count', 'category');
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  gs.info(category + ": Current number of incidents:" + count);
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出力：

```
database: Current number of incidents:2
hardware: Current number of incidents:8
inquiry: Current number of incidents:28
network: Current number of incidents:5
request: Current number of incidents:5
software: Current number of incidents:11
```

ScopedGlideAggregate - orderByAggregate(String agg、String fieldName)

指定した集計およびフィールドに基づいて集計をオーダーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agg	文字列	集計のタイプ
fieldName	文字列	集計するフィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
ga.addAggregate('COUNT', 'category');
ga.orderByAggregate('count', 'category');
ga.query();
while(ga.next()) {
  gs.info('Category: ' + ga.category + ' ' + ga.getAggregate('COUNT',
 'category'));
}
```

出力:

```
Category: inquiry 18
Category: software 11
Category: hardware 7
Category: network 5
Category: request 5
Category:  4
Category: database 2
```

ScopedGlideAggregate - orderByDesc(String name)

指定されたフィールドに基づいて降順で集計をソートします。フィールドはグループバイリストにも追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var agg = new GlideAggregate('incident');
agg.addAggregate('count', 'category');
agg.orderByDesc('category');
agg.query();
while (agg.next()) {
  var category = agg.category;
  var count = agg.getAggregate('count', 'category');
  var agg2 = new GlideAggregate('incident');
  agg2.addAggregate('count', 'category');
  agg2.orderBy('category');
  gs.info(category + ": Current number of incidents:" + count);
}
```

出力：

```
software: Current number of incidents:11
request: Current number of incidents:5
network: Current number of incidents:5
inquiry: Current number of incidents:28
hardware: Current number of incidents:8
database: Current number of incidents:2
```

ScopedGlideAggregate - query()

クエリーを発行し、結果を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addAggregate('COUNT');
count.query();
var incidents = 0;
if (count.next()) {
   incidents = count.getAggregate('COUNT');
}
gs.info('Number of incidents: ' + incidents);
```

スコープ付き GlideAggregate - setAggregateWindow(数値 firstRow, 数値 lastRow)

集計クエリに含めるテーブルの行数を制限します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	集計クエリに含める最初の行のゼロベースのインデックス (包含)。
lastRow	数値	集計クエリに含める最後の行のゼロベースのインデックス (排他的) 。

返される内容

タイプ	説明
なし	

インシデント [incident] テーブルの最初の 10 件のレコードの各カテゴリの数を出力します。

```
var incidentGroup = new GlideAggregate('incident');
incidentGroup.addAggregate('COUNT', 'category');
incidentGroup.setAggregateWindow(0, 10);
incidentGroup.query();
while (incidentGroup.next()) {
   var incidentCount = incidentGroup.getAggregate('COUNT', 'category');
   gs.info('{0} count: {1}', [incidentGroup.getValue('category'),
 incidentCount]);
}
```

出力:

```
database count: 1
Hardware count: 1
inquiry count: 7
software count: 1
```

ScopedGlideAggregate - setGroup(Boolean b)

返される結果をグループ化するかどうかを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	結果をグループ化するかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：結果をグループ化します。 • false：結果をグループ化しません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var ga = new GlideAggregate('incident');
ga.addAggregate('COUNT', 'category');

ga.setGroup(true);
ga.groupBy("category");

ga.query();

while(ga.next()) {
  gs.info('Category ' + ga.category + ' ' + ga.getAggregate('COUNT',
 'category'));
  }
```

出力:

```
Category database 2
Category hardware 7
Category inquiry 18
Category network 5
Category request 5
Category software 11
```

スコープ付き GlideAggregate - setIntervalYearIncluded(Boolean b)

曜日の傾向について、結果を年別にグループ化するかどうかを設定します。これらのトレンドは、*dayofweek*時間間隔で`addTrend()`メソッドを使用して作成されます。

依存関係:スコープ付き GlideAggregate - addTrend('<fieldName>', 'dayofweek')。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブール	曜日間隔のある傾向に年を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:曜日の結果を年別にグループ化します。 • false:時間間隔の結果から年を除外します。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、過去 6 か月間に作成されたインシデントをカウントする方法を示しています。インシデントは曜日ごとに分かれていますが、年は含まれません。たとえば、木曜日のデフォルトの結果には、`Thursday/2023: 16` のように年が含まれます。

```
var incidentGroup = new GlideAggregate('incident');
incidentGroup.addEncodedQuery("sys_created_onRELATIVEGT@month@ago@6");
incidentGroup.addTrend('sys_created_on', 'dayofweek');
incidentGroup.addAggregate('COUNT');
incidentGroup.setIntervalYearIncluded(false);
incidentGroup.query();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
while (incidentGroup.next()) {
    gs.info(incidentGroup.getValue('timeref') + ': ' +
 incidentGroup.getAggregate('COUNT'))};
```

出力:

```
Sunday: 1
Monday: 15
Tuesday: 1
Wednesday: 7
Thursday: 16
Saturday: 1
```

GlideApplicationProperty - スコープ付き、グローバル

GlideApplicationProperty API は、特定のドメインのアプリケーションプロパティ値を取得および設定するためのメソッドを提供します。

アプリケーションプロパティを使用すると、サービスプロバイダーはドメインに基づいてアプリケーション機能をカスタマイズできます。すべてのドメインとユーザーの機能を定義する単一のシステムプロパティ (システムプロパティ [sys_properties] テーブル) のみを持つ代わりに、特定のドメインの機能を定義するアプリケーションプロパティを実装できます。

この API にアクセスするには、**Domain** Support - Domain Extensions Installer [com.glide.domain.msp_extensions.installer] プラグインをアクティブ化する必要があります。

ドメイン固有のアプリケーションプロパティの詳細については、「ドメインセパレーションされたアプリケーションプロパティ」を参照してください。

GlideApplicationProperty - getValue(文字列 **name**, 文字列 **domainSysId)**

指定されたアプリケーションプロパティとドメイン sys_id の値を返します。

利用可能なアプリケーションプロパティのリストは、アプリケーションプロパティ [sys_application_property] テーブルとアプリケーションプロパティ値 [sys_application_property_value] テーブルにあります。

注: 指定されたドメインが子ドメインであり、子ドメインのアプリケーションプロパティが存在しない場合、このメソッドは親ドメインのアプリケーションプロパティを返します (利用可能な場合)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	返されるアプリケーションプロパティの名前です。 **注:** アプリケーションがグローバルでない場合は、sys_application_property の名前にプリフィックスとしてアプリケーションのスコープを付加する必要があります。
domainSysId	文字列	オプション。アプリケーションプロパティに関連付けられたドメインの sys_id。 デフォルト：セッションドメイン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたドメインの指定されたアプリケーションプロパティの値です。呼び出しで *domainSysId* が渡されない場合は、セッションドメインが返されます。 指定されたアプリケーションプロパティが存在しない場合は、同じ名前のシステムプロパティ値を返します。 ユーザーが指定されたドメインへのアクセス権を持っていない場合は、例外をスローし、値は返しません。

この例は、新しいアプリケーションプロパティを作成し、ACME および Cisco ドメインの値を上書きする方法を示しています。

```
var MY_APP_PROP_NAME = 'my-app-prop';
var ACME_DOMAIN_ID = 'c90d4b084a362312013398f051272c0d';
var CISCO_DOMAIN_ID = 'c90f91924a362312001bdefae0f35d68';

// create a new app_config entry:
var now_GR = new GlideRecord('sys_application_property');
now_GR.name = MY_APP_PROP_NAME;
now_GR.default_value = 'my-app-prop-default_value';
now_GR.insert();

// Override the value for ACME domain, catch exception if user can't
 access the specified domain
try {
  GlideApplicationProperty.setValue(MY_APP_PROP_NAME, 'prop-value-ACME',
 ACME_DOMAIN_ID);
  gs.info('Value for ACME domain: ' +
 GlideApplicationProperty.getValue(MY_APP_PROP_NAME, ACME_DOMAIN_ID));
} catch (ex) {
  gs.info('Exception: ' + ex);
}

// Override the value for Cisco domain -- assuming that the current
 session domain is Cisco. Notice that we don't pass domain-id explicitly
session.setDomainID(CISCO_DOMAIN_ID); // NOTE: this API is not available
 from non-global scope (use domain-picker to switch to Cisco)
gs.info('Domain: ' + session.getCurrentDomainID());
GlideApplicationProperty.setValue(MY_APP_PROP_NAME, 'prop-value-Cisco');
gs.info('Value for current session (Cisco) domain: ' +
 GlideApplicationProperty.getValue(MY_APP_PROP_NAME));
```

出力:

```
*** Script: Value for ACME domain: prop-value-ACME
*** Script: Domain: c90f91924a362312001bdefae0f35d68
*** Script: Value for current session (Cisco) domain: prop-value-Cisco
```

GlideApplicationProperty - setValue(文字列 **name**, 文字列 **value**, 文字列 **domainSysId)**

指定されたドメイン、またはドメインが指定されていない場合は現在のセッションドメインの指定されたアプリケーションプロパティに指定された値を格納します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドを使用するためのガイドラインは次のとおりです。

- 名前に次のいずれかの文字列が含まれている場合、アプリケーションプロパティは作成されません。
  - glide.properties.blacklist
  - glide.properties.no_db_override
  - glide.properties.safe_overrides
  - glide.properties.maint_write_roles
- 同じ名前の既存のシステムプロパティが存在し、そのシステムプロパティがプライベートとしてマークされている場合、アプリケーションプロパティは作成されません。
- 既存のシステムプロパティが存在し、アプリケーションプロパティがそのシステムプロパティを参照しない場合、アプリケーションプロパティは作成されません。
- アプリケーションがグローバルでない場合、sys_application_property テーブル内のアプリケーションプロパティの名前に、プリフィックスとしてアプリケーションのスコープが付加されます。
- このメソッドを別のスコープから呼び出すことはできません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	保存するアプリケーションプロパティの名前です。 **注:** アプリケーションがグローバルでない場合は、sys_application_property の名前にプリフィックスとしてアプリケーションのスコープを付加する必要があります。
value	文字列	指定されたアプリケーションプロパティに格納する値です。
domainSysId	文字列	オプション。アプリケーションプロパティに関連付けられたドメインの sys_id です。 デフォルト：現在のセッションドメイン

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	保存操作が成功したかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true：値が正常に保存されました。 • false：エラーが発生し、アプリケーションプロパティは作成/更新されませんでした。 ユーザーが指定されたドメインへのアクセス権を持っていない場合は、例外をスローし、値は返しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、新しいアプリケーションプロパティを作成し、ACME および Cisco ドメインの値を上書きする方法を示しています。

```
var MY_APP_PROP_NAME = 'my-app-prop';
var ACME_DOMAIN_ID = 'c90d4b084a362312013398f051272c0d';
var CISCO_DOMAIN_ID = 'c90f91924a362312001bdefae0f35d68';

// create a new app_config entry:
var now_GR = new GlideRecord('sys_application_property');
now_GR.name = MY_APP_PROP_NAME;
now_GR.default_value = 'my-app-prop-default_value';
now_GR.insert();

// Override the value for ACME domain, catch exception if user can't
 access the specified domain
try {
  GlideApplicationProperty.setValue(MY_APP_PROP_NAME, 'prop-value-ACME',
 ACME_DOMAIN_ID);
  gs.info('Value for ACME domain: ' +
 GlideApplicationProperty.getValue(MY_APP_PROP_NAME, ACME_DOMAIN_ID));
} catch (ex) {
  gs.info('Exception: ' + ex);
}

// Override the value for Cisco domain -- assuming that the current
 session domain is Cisco. Notice that we don't pass domain-id explicitly
session.setDomainID(CISCO_DOMAIN_ID); // NOTE: this API is not available
 from non-global scope (use domain-picker to switch to Cisco)
gs.info('Domain: ' + session.getCurrentDomainID());
GlideApplicationProperty.setValue(MY_APP_PROP_NAME, 'prop-value-Cisco');
gs.info('Value for current session (Cisco) domain: ' +
 GlideApplicationProperty.getValue(MY_APP_PROP_NAME));
```

出力:

```
*** Script: Value for ACME domain: prop-value-ACME
*** Script: Domain: c90f91924a362312001bdefae0f35d68
*** Script: Value for current session (Cisco) domain: prop-value-Cisco
```

GlideappCalculationHelper - グローバル

GlideappCalculationHelper API は、既存の要求にアイテムを追加したり、要求の価格の再計算を要求したりするメソッドを提供するスクリプタブルオブジェクトです。

この API のメソッドは、グローバルサーバー側スクリプト (スクリプト インクルード、ビジネスルールなど) で使用されます。現在のところ、スコープ対象アプリケーションのサポートはありません。

GlideappCalculationHelper - addItemToExistingRequest(String requestID、String catalogID、String quantity)

既存の要求に特定のカタログアイテムを追加します。この API は、要求 (REQ) が承認される前に限り、使用する必要があります。REQ が承認された後、RITM プロセスは開始されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestID	文字列	カタログアイテムを追加する要求の sys_id

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
catalogID	文字列	要求に追加するカタログアイテムの sys_id
数量	文字列	要求に追加する、指定されたカタログアイテムの数 (数量) です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var catItemId = "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd";
var requestId = "6eed229047801200e0ef563dbb9a71c2";
var helper = new GlideappCalculationHelper();
helper.addItemToExistingRequest(requestId, catItemId, "1");
```

GlideappCalculationHelper - rebalanceRequest(文字列 **requestID)**

指定されたリクエスト内のすべてのアイテムの価格を再計算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestID	文字列	価格を再計算する要求の sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var catItemId = "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd";
var requestId = "6eed229047801200e0ef563dbb9a71c2";
var helper = new GlideappCalculationHelper();
//Add an item to the request
helper.addItemToExistingRequest(requestId, catItemId, "1");
//Re-calculate the price of the request after adding the item
helper.rebalanceRequest(requestId);
```

GlideCalendarDateTime - スコープ指定 (非推奨)

GlideCalendarDateTime クラスは、GlideCalendarDateTime オブジェクトのインスタンス化や glide_date_time フィールドの操作など、GlideCalendarDateTime オブジェクトに対して操作を実行するためのメソッドを提供します。

この API は廃止されました。代わりに GlideDateTime API を使用してください。

GlideCertificateEncryption - グローバル

GlideCertificateEncryption API は、証明書を暗号化するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドを使用して、証明書のハッシュを生成し、秘密鍵を使用してデータに署名し、メッセージ認証コードを生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideCertificateEncryption - GlideCertificateEncryption()

GlideCertificateEncryptionオブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

スコープ対応

GlideCertificateEncryption() Scoped アプリケーションのコンストラクタには、対応する Scoped コンストラクタを使用します: CertificateEncryption() 。

GlideCertificateEncryption - generateMac(文字列 key, 文字列 algorithm, 文字列 data)

メッセージの認証に使用されるメッセージ認証コード (MAC) を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	メッセージへの署名に使用するキーです。Base64 でエンコードする必要があります。
アルゴリズム	文字列	MAC の生成に使用するアルゴリズムです (HmacSHA256、HmacSHA1、HmacMD5)。
データ	文字列	処理するデータです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式の MAC

```
var mac = new GlideCertificateEncryption;
var key = "sample_key";
key = GlideStringUtil.base64Encode(key);
mac.generateMac(key, "HmacSHA256", "sample_data");
```

スコープ対応

generateMac() メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッドを使用します: generateMac() 。

GlideCertificateEncryption - getThumbPrint(String certificateID、String algorithm)

信頼できるストア証明書からの証明書のハッシュ (SHA-1、SHA-256 など) を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
アルゴリズム	文字列	SHA-1、SHA-256 など

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式のサムプリント

スコープ対応

`getThumbPrint()` メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッドを使用します: getThumbPrint() 。

GlideCertificateEncryption - getThumbPrintFromKeystore(String certificateID、String alias、String **algorithm)**

キーストアエントリから証明書のハッシュ(SHA-1、SHA-256など)を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id
エイリアス	文字列	証明書のエイリアス名
アルゴリズム	文字列	SHA-1、SHA-256 など

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式のサムプリント

スコープ対応

`getThumbPrintFromKeystore()` メソッドを使用するには、対応する Scoped メソッドを使用します: getThumbPrintFromKeystore() 。

GlideCertificateEncryption - sign(文字列 **certificateID**, 文字列 **alias**, 文字列 **aliaspassword**, 文字列 **algorithm**, 文字列 **datatosign)**

秘密鍵と指定されたアルゴリズムを使用してデータに署名します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
certificateID	文字列	X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルの証明書レコードの sys_id
エイリアス	文字列	秘密キー名
aliaspassword	文字列	秘密キーのパスワード
datatosign	文字列	署名するデータ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
アルゴリズム	文字列	SHA-1、SHA-256 など

返される内容

タイプ	説明
文字列	base64 形式で署名されたデータ

```
var gce = new GlideCertificateEncryption;
gce.sign("recordID", "alias", "password", "SHA-1", "sign this data");
```

スコープ対応

sign() メソッドを使用するには、対応する Scoped メソッドを使用します: sign() 。

GlideConversation - グローバル

GlideConversation API は、コネクトメッセージ内の情報にアクセスするためのメソッドを提供します。

重要:

Paris リリース以降、接続サポートは拡張や優先度の低いバグ修正を受け取らなくなりました。チャット要求やその他の作業アイテムをエージェントに自動的にアサインするには、ワークスペースの ServiceNow® 高度な作業アサイン および エージェントチャット に移行することを検討してください。詳細については、「コネクトサポートから高度なワークアサインメントおよび エージェントチャットに移行」を参照してください。

コネクトアクションの条件とスクリプトでのみ利用可能なグローバルオブジェクト (会話) を使用して、GlideConversation プロパティにアクセスします。

Connect 会話は、Live Group Profile [live_group_profile] テーブルに格納されます。

GlideConversation - description

会話の説明を入力

フィールド

名前	タイプ	説明
説明	文字列	会話の説明を入力

```
var c= conversation.description;
```

GlideConversation - document

会話に関連付けられたドキュメントのsysID。

このフィールドはフィード会話のために設定され、議論されているレコードのsysIDを含んでいます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
ドキュメント	GlideRecord	会話に関連付けられたドキュメント

GlideConversation - name

会話の名前です。

フィールド

名前	タイプ	説明
name	文字列	会話の名前です。

```
var c= conversation.name;
```

GlideConversation - queueEntry

会話に関連付けられたキューエントリ

キューエントリは、chat_queue_entryテーブルを指す参照フィールドです。このフィールドは、サポートの会話でのみ使用できます。キューチャットエントリは、会話の状態をトラックするために使用されます。`newRecord()`メソッドを使用してサポートの会話からインシデント レコードを作成した場合、このプロパティは変更されません。

フィールド

名前	タイプ	説明
queueEntry	GlideRecord	会話に関連付けられたキューエントリ

```
var c= conversation.queueEntry;
```

GlideConversation - sys_id

会話の sys_id。

フィールド

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	会話の sys_id。

```
var c= conversation.sys_id;
```

GlideConversation - table

説明されているレコードを含むテーブルの名前。

このフィールドはフィードの会話のために設定され、レコードを保持するテーブルに設定されます。

フィールド

名前	タイプ	説明
table	文字列	レコードを保持するテーブルの名前が議論されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var c= conversation.table;
```

GlideConversation - type

会話タイプ

これはメッセージタイプではありません。

Connect は、以下のタイプに対応しています。

- ピア - 2人のユーザー間のメッセージで構成される直接会話。
- 2人以上のユーザー間のメッセージで構成されるグループ間の会話を接続します。
- support - Connect サポートの会話。
- フィード - 特定のレコードのコメントと作業メモに対応するメッセージで構成される会話を記録します。

フィールド

名前	タイプ	説明
type	文字列	会話タイプ

```
var c= conversation.type;
```

GlideCurrencyConfig - スコープ付き

GlideCurrencyConfig API は、FX 通貨フィールドのさまざまな構成情報を取得するためのメソッドを提供します。

特定の FX 通貨フィールドの情報を取得するには、GlideCurrencyConfig(オブジェクト ed) コンストラクターを呼び出します。このコンストラクターは、特定の FX 通貨フィールドを、インスタンス化されたオブジェクトに関連付けます。さまざまな *GlideCurrencyConfig()* メソッドを呼び出すときに、FX 通貨フィールドの FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルにレコードが存在する場合は、要求された値が返されます。レコードまたはフィールドが存在しない場合は、デフォルト値が返されます。また、GlideCurrencyConfig() コンストラクターを呼び出して、デフォルトの FX 通貨構成値を取得することもできます。

FX 通貨構成の詳細については、「FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください。

このクラスは `sn_currency` 名前空間で実行されます。

GlideCurrencyConfig - GlideCurrencyConfig()

グローバルなデフォルトの FX 通貨構成情報を取得可能にする GlideCurrencyConfig オブジェクトをインスタンス化します。

このタイプの GlideCurrencyConfig オブジェクトに対して使用可能なメソッドを呼び出すと、戻り値は、システムプロパティからの FX 通貨のグローバルデフォルトになります。システムプロパティでグローバルデフォルトが定義されていない場合は、ハードコードされたデフォルトが返されます (設定されていない場合は空の値になることもあります)。

このオブジェクトは、特定の FX 通貨フィールドの構成情報を提供しません。特定の FX 通貨フィールド情報を取得するには、GlideCurrencyConfig(オブジェクト ed) コンストラクターを使用します。

詳細については、「FX 通貨のグローバル設定の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
```

GlideCurrencyConfig - GlideCurrencyConfig(オブジェクト ed)

特定の FX 通貨フィールドの構成情報を取得可能にする GlideCurrencyConfig オブジェクトをインスタンス化します。

このタイプの GlideCurrencyConfig オブジェクトに対して使用可能なメソッドを呼び出すときに、FX 通貨フィールドに関連付けられた FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードが存在する場合、戻り値はそのレコードから返されます。レコードが存在しない場合は、デフォルト値が返されます。

詳細については、「FX 通貨のグローバル設定の構成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ed	GlideElementDescriptor	GlideCurrencyConfig オブジェクトに関連付ける FX 通貨フィールドの GlideElementDescriptor オブジェクトです。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
```

GlideCurrencyConfig - getAggregationSource()

FX 通貨フィールドの集計ソースの値を返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、集計ソース (aggregation_source) フィールドの値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

集計ソースの詳細については、「テーブル フィールドとその通貨表示パラメーターを指定する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	集計の値のソースです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクタによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードから、aggregation_source フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：設定された場合、システムプロパティの glide.currency2.aggregation_source フィールドの値を返します。それ以外の場合は、ハードコードされたデフォルトの `reference` を返します。 可能な値： • default • as_entered • 参照

このコード例は、デフォルトの集計ソースを返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_agg_source = cur_config.getAggregationSource();
```

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドの集計ソースを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_agg_source = cur_config.getAggregationSource();
```

GlideCurrencyConfig - getConversionDateSource()

通貨換算の日付と時刻のソースとして使用されるフィールドを返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合、換算日ソース (conversion_date_source) フィールドの値を返します。新規レコードの場合は null を返します。

[換算日ソース] フィールドの詳細については、「通貨換算のレートテーブルと日付ソースを識別する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	換算日ソースとして使用されるレコードのフィールドです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの conversion_date_source フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：`null` を返します。

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドの変換日ソースを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_conv_date_src = cur_config.getConversionDateSource();
```

GlideCurrencyConfig - getDisplayDigits()

FX 通貨フィールドに表示する桁数を返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、表示桁 (display_digits) フィールドの値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	FX 通貨フィールドに表示する桁数です。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードの display_digits フィールドの値を返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：設定された場合、システムプロパティの glide.currency2.display_digits プロパティの値を返します。それ以外の場合は、`-1` を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このコード例は、デフォルトの表示桁数を返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_display_digits = cur_config.getDisplayDigits();
```

このコード例では、特定の FX 通貨フィールドの表示桁を返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_display_digits = cur_config.getDisplayDigits();
```

GlideCurrencyConfig - getDisplayValue()

リストおよびレポートに表示される FX 通貨値の換算に使用される通貨コードを返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、表示値通貨 (display_value) フィールドの値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	FX 通貨フィールドの表示に使用する通貨コードです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードから、通貨コードを含む display_value フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：設定された場合、システムプロパティの glide.currency2.display_value プロパティの値を返します。それ以外の場合は、`as_entered` を返します。 可能な値： • デフォルト：グローバルのデフォルトです。これは glide.currency2.display_digits プロパティの値です。 • as_entered：ユーザーが入力した通貨値です。 • in_session_currency：セッション通貨に換算された通貨値です。セッション通貨は、ユーザーのロケールに基づきます。 • in_reference_currency：計算されて保存された場合の基準値です。それ以外の場合は、基準通貨に換算された通貨値です。

このコード例は、デフォルトの通貨コードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_display_value = cur_config.getDisplayValue();
```

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドの表示通貨コードを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_display_value = cur_config.getDisplayValue();
```

GlideCurrencyConfig - getRateFilterRateTableField()

FX 通貨フィールドのレートテーブルフィルターとして使用されるレートテーブルフィールドを返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、レートテーブルフィールド (rate_filter_rate_table_field) の値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

レートテーブルフィルターの詳細については、「フィルタリングに使用するレートとターゲットテーブルのフィールドを選択する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	レートテーブルレコードのフィルタリングに使用されるレートテーブルのフィールドです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの rate_filter_rate_table_field を返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：`null` を返します。

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドのレートテーブルレコードのフィルタリングに使用されるレートテーブルフィールドを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_reference_currency = cur_config.getRateFilterRateTableField();
```

GlideCurrencyConfig - getRateFilterTargetTableField()

FX 通貨フィールドのレートテーブルレコードのフィルタリングに使用されるターゲットテーブルフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、ターゲットテーブルフィールド (rate_filter_target_table_field) の値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

レートテーブルフィルターの詳細については、「フィルタリングに使用するレートとターゲットテーブルのフィールドを選択する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	レートテーブルのフィルタリングに使用されるターゲットテーブルのフィールドです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの rate_filter_target_table_field を返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：`null` を返します。

このコード例は、デフォルトのレートフィルター、ターゲットテーブルフィールドを返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_rate_filter = cur_config.getRateFilterTargetTableField();
```

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドのレートフィルター、ターゲットテーブルフィールドを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_rate_filter = cur_config.getRateFilterTargetTableField();
```

GlideCurrencyConfig - getRateTable()

FX 通貨フィールドの通貨の換算に使用されるレートテーブルを返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、レートテーブルフィールド (rate_filter_rate_table_field) の値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

FX 通貨レートテーブルの詳細については、「通貨換算のレートテーブルと日付ソースの識別」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	通貨換算を実行するために使用されるレートテーブルの名前です。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの rate_table_field フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：設定された場合、システムプロパティの glide.currency2.system_rate_table プロパティの値を返します。それ以外の場合は、`fx_system_rate` を返します。

デフォルトのレートテーブルを返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_rate_table = cur_config.getRateTable();
```

特定の FX 通貨フィールドに使用されるレートテーブルを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_rate_table = cur_config.getRateTable();
```

GlideCurrencyConfig - getReferenceCurrency()

FX 通貨フィールドの基準通貨を返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、基準通貨 (reference_currency) フィールドの値を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

参照通貨の詳細については、「 参照通貨の設定 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ISO 通貨コードである基準通貨です。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの reference_currency フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：設定された場合、システムプロパティの glide.currency2.default_reference_currency の値を返します。それ以外の場合、このメソッドは、指定された順序で次のルールを適用して、基準通貨コードを判断します。 ◦ glide.system.reference_currency システムプロパティが true に設定されている場合、glide.system.reference_currency.code システムプロパティの値を使用します。 ◦ glide.system.locale システムプロパティの値です (通貨を意味します)。 ◦ インスタンスが実行されている Java 仮想マシンのデフォルトのロケールです。

このコード例は、デフォルトの基準通貨を返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_reference_currency = cur_config.getReferenceCurrency();
```

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドの基準通貨を返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_reference_currency = cur_config.getReferenceCurrency();
```

GlideCurrencyConfig - getReferenceCurrencySource()

FX 通貨フィールドの基準通貨ソースを返します。

対応する FX 通貨構成 [fx_configuration] レコードを持つ既存の FX 通貨フィールドに対して呼び出された場合は、基準通貨ソース (reference_currency_source) フィールドの値 (ドット連結パス) を返します。新規レコードの場合は、デフォルト値を返します。

参照通貨ソースの詳細については、「 参照通貨の設定 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	基準通貨として使用するフィールドのドット連結パスです。戻り値は、オブジェクトのインスタンス化に使用されるコンストラクターによって異なります。 • GlideCurrencyConfig(オブジェクト *ed*)：fx_configuration レコードが存在する場合、コンストラクターに渡された GlideElementDescriptor が指定する FX 通貨フィールドに関連付けられた fx_configuration レコードの reference_currency_source フィールドを返します。fx_configuration レコードが存在しない場合、*GlideCurrencyConfig()* ルールに従います。 • *GlideCurrencyConfig()*：`null` を返します。

このコード例は、デフォルトの基準通貨ソースを返します。

```
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig();
var curr_reference_currency = cur_config.getReferenceCurrencySource();
```

このコード例は、特定の FX 通貨フィールドの基準通貨ソースを返します。

```
var grCurr = new GlideRecord('my_FXCurrency_table');
var curr_field = grCurr.getElement('currency');
var ed = curr_field.getED();
var cur_config = new sn_currency.GlideCurrencyConfig(ed);
var curr_reference_currency = cur_config.getReferenceCurrencySource();
```

GlideCurrencyConverter - スコープ付き

GlideCurrencyConverter API は、米ドルから欧州ユーロへの変換など、ある通貨値を別の通貨値に変換するメソッドを提供します。

GlideCurrencyConverter オブジェクトをインスタンス化し、インスタンス化の際に *GlideCurrencyConverter(from, to)* を使用してソース通貨と換算先通貨を定義できます。これらの値を指定せずにオブジェクトをインスタンス化し、後で *setFromCurrency()* および *setToCurrency()* メソッドを使用して定義することもできます。これらの値と換算対象の金額は、*convert()* メソッドを呼び出して通貨換算を実行する前に設定する必要があります。換算対象の金額を設定するには、*setAmount()* メソッドを使用します。

GlideCurrencyConverter() API は、以下を可能にするオプションのメソッドも提供します。

- 換算を実行する日時を設定します (*setDateTime()*)。日時を設定すると、換算計算で使用されるレートは、デフォルトである現在の日時ではなく、指定された日時のレートになります。
- 換算で使用するレートテーブルを設定します (*setRateTable()*)。デフォルトでは fx_system_rate テーブルが使用されますが、インスタンスのカスタムレートテーブルを定義できます。レートテーブルの作成の詳細については、「カスタムレートテーブルを使用して換算レートを追加する」を参照してください。

このクラスは `sn_currency` 名前空間で実行されます。

GlideCurrencyConverter - GlideCurrencyConverter()

GlideCurrencyConverter オブジェクトをインスタンス化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter();
```

GlideCurrencyConverter - GlideCurrencyConverter(文字列 from, 文字列 to)

*GlideCurrencyConverter*オブジェクトをインスタンス化し、通貨換算で使用するソースおよび換算先の国コードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
コピー元	文字列	ソース通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。
to	文字列	換算先通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
```

GlideCurrencyConverter - convert()

通貨換算を実行します。

このメソッドは、*setAmount()*、*setRateTable()*、*setDate()* など、通貨換算を構築する他の*GlideCurrencyConverter*メソッドを呼び出した後に呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	換算が成功した場合は、CurrencyExchangeValue オブジェクトを返します。失敗した場合は、null を返します。 `CurrencyExchangeValue { Rate: Number, OriginalAmount: Number, Amount: Number, fromCurrency: String, toCurrency: String, rateSysId: String }` *Rate*：数値。換算で使用される為替レートです。 *OriginalAmount*：数値。ソース通貨の金額です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	Amount：数値。換算後の金額です (*OriginalAmount* * *Rate*)。 *fromCurrency*：文字列。ソース通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。 *toCurrency*：文字列。換算先通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。 *rateSysId*：文字列。換算の計算に使用されるレートテーブルレコードの sys_id です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
conv.setAmount(100);
gs.info(conv.convert());
```

出力:

```
CurrencyExchangeValue{Rate = 1.0777, OriginalAmount = 100, Amount
 = 107.7700, fromCurrency = 'EUR', toCurrency = 'USD', rateSysId =
 '2ed537fcb271937adb'}
```

GlideCurrencyConverter - setAmount(文字列の金額)

換算する通貨金額を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
総計	文字列	換算する通貨金額です。この値は、小数点以下の通貨を表す場合を除き、書式設定なしにする必要があります。例えば、1234.56 は有効ですが、1,234.56 は無効です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
conv.setAmount(100);
```

GlideCurrencyConverter - setDateTime(オブジェクト日付)

通貨換算の日時を設定します。

この日時により、通貨換算に使用される換算レートが決まります。このメソッドが *GlideCurrencyConverter.convert()* メソッドの前に呼び出されない場合、現在の日時のレートを使用して換算が実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日付	GlideDateTime	通貨換算を計算する日時です。この値は、換算で使用されるレートを決定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
conv.setAmount(100);
var gd = new GlideDateTime("2019-01-03 11:00:00");
conv.setDateTime(gd);
gs.info(conv.convert());
```

出力:

```
CurrencyExchangeValue{fOriginalAmount=100, fOriginalCurrency='EUR',
 fRate=1.061, fAmount=106.1, fCurrency='USD',
 fRateSysId='4555525f5553445f3130303030313031'}
```

GlideCurrencyConverter - setFromCurrency(文字列 from)

ソース通貨の国コードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
コピー元	文字列	ソース通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new
 sn_currency.GlideCurrencyConverter().setFromCurrency('FRA');
```

GlideCurrencyConverter - setRateTable(文字列 rateTable)

通貨換算で使用するレートテーブルを定義します。

GlideCurrencyConverter.convert() メソッドが呼び出される前にこのメソッドが呼び出されない場合、fx_system_rate テーブルを使用して換算が実行されます。すべてのカスタムレートテーブルは fx_conversion_rate テーブルを拡張する必要があります。レートテーブルの作成の詳細については、「 カスタムレートテーブルを使用して換算レートを追加する 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rateTable	文字列	通貨換算で使用するレートテーブルの名前です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
conv.setRateTable(custom_rate_table);
```

GlideCurrencyConverter - setToCurrency(文字列 to)

換算先通貨の国コードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
to	文字列	ソース通貨の 3 文字の ISO 3166 国コードです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter().setToCurrency('USA');
```

GlideCurrencyExchangeValue - スコープ付き

GlideCurrencyExchangeValue API は、FX 通貨換算に関連する情報にアクセスするためのメソッドを提供します。

GlideCurrencyExchangeValue オブジェクトを返すメソッドについては、*GlideCurrencyConverter()* API を参照してください。

このクラスは sn_currency 名前空間で実行されます。

注: このクラスにはコンストラクターはありません。

GlideCurrencyExchangeValue - getAmount()

換算後の通貨金額を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
番号	換算後の通貨金額です。

この例では、換算レートを 1 ユーロ = 0.92 米ドルと仮定しています。

```
var conv = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
conv.setAmount(100);
var convertValues = conv.convert();
gs.info('Exchanged Amount: ' + convertValues.getAmount());
```

出力:

```
Exchanged Amount: $92.00
```

GlideCurrencyExchangeValue - getCurrency()

換算先の通貨タイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	換算先通貨の 3 文字の ISO 通貨コードです。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var convertValues = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('USD', 'JPY');
convertValues.setAmount(100);
gs.info('Exchanged Currency (To): ' +
 convertValues.convert().getCurrency());
```

出力:

```
Exchanged Currency (To): JPY
```

GlideCurrancyExchangeValue - getOriginalCurrency()

換算前の元の通貨タイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	換算前の元の通貨の 3 文字の ISO 通貨コードです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var converter = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('USD', 'JPY');
converter.setAmount(999.999)
var convertValues = converter.convert();
gs.info('Original Amount: ' + convertValues.getOriginalCurrency());
```

出力:

```
Original Amount: USD
```

GlideCurrencyExchangeValue - getOriginalValue()

換算前の元の金額を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	換算前の元の金額です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var converter = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('USD', 'JPY');
converter.setAmount(999.999)
var convertValues = converter.convert();
gs.info('Original Amount: ' + 'convertValues.getOriginalAmount());
```

出力:

```
Original Amount: 999.999
```

GlideCurrencyExchangeValue - getRate()

換算時に使用された為替レートを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	通貨換算で使用される為替レートです。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var converter = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('EUR', 'USD');
converter.setAmount(999.999)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var convertValues = converter.convert();
gs.info('Original Amount: ' + convertValues.getRate());
```

出力:

```
Exchange rate: 1.0559
```

GlideCurrencyExchangeValue - getRateSysId()

通貨換算で使用されるレートテーブルのレコードの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	通貨換算で使用されるレートテーブルの sys_id です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var converter = new sn_currency.GlideCurrencyConverter('USD', 'JPY');
converter.setAmount(999.999)
var convertValues = converter.convert();
gs.info('Rate table sys_id: ' + convertValues.getRateSysId());
```

出力:

```
Original Amount: 99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9
```

GlideCurrencyFormatter - スコープ付き

GlideCurrencyFormatter API は、FX 通貨文字列に形式を設定するメソッドを提供します。

GlideCurrencyFormatter オブジェクトをインスタンス化するときに、このオブジェクトの出力結果の形式を定義します。いったん設定すると、そのオブジェクトの *GlideCurrencyFormatter.format()* メソッドを呼び出すたびに同じ形式が使用されます。FX 通貨に形式を設定するために呼び出す必要があるメソッドは、*GlideCurrencyFormatter()* と *format()* の 2 つだけです。

GlideCurrencyFormatter() API は、以下を可能にするオプションのメソッドも提供します。

- *setLocale()* を使用して通貨のロケールを設定します。ロケールを設定すると、通貨金額の小数部を表すために小数点または小数点を表すカンマを使用するかどうかなど、そのロケールに固有の形式設定がフォーマッターで考慮されます。デフォルト：システムロケール
- *setMinFractionDigits()* を使用して、表示する小数部の最小桁数を設定します。表示に含める小数点/小数点を表すカンマ以下の最小桁数を定義します。デフォルトでは、渡されたすべての桁が表示されます。渡された金額の桁数が指定された最小桁数よりも少ない場合、結果は「0」でパディングされます。
- *setMaxFractionDigits()* を使用して、表示する最大桁数を設定します。表示に含める小数点/小数点を表すカンマ以下の最大桁数を定義します。デフォルトでは、渡されたすべての桁が表示されます。渡された桁数が指定された最大桁数よりも多い場合、小数部の最大桁数に丸めるプロセスの中で、最大桁数を超える桁が切り捨てられます。丸めが実行されて、右端の桁が得られま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。例えば、小数部の最大桁数が 2 に設定されていて、渡された通貨値が 123.456 の場合、形式が設定された値は 123.46 です。通貨値が 23.122 の場合、形式が設定された値は 23.12 です。最大値が最小値未満に設定されている場合は、最小値が使用されます。

このクラスは `sn_currency` 名前空間で実行されます。

GlideCurrencyFormatter - GlideCurrencyFormatter(文字列 formatString)

GlideCurrencyFormatter オブジェクトをインスタンス化し、FX 通貨の形式設定に使用する形式設定文字列を定義します。

このメソッドは、実際の文字列の形式設定は実行しません。通貨に形式を設定するには、*`GlideCurrencyFormatter.format()`* メソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
formatString	文字列	オプション。フォーマッターに渡された通貨の形式設定に使用する形式設定文字列です。 有効な値： • %s：*`format()`* 呼び出しで指定された国コードに関連付けられた通貨記号に置き換えられます。 • %v：通貨金額 (123.45 など) に置き換えられます。 • %c：*`format()`* 呼び出しで指定された ISO 通貨コード (USD や EUR など) に置き換えられます。 • %l：渡された値に置き換えられます。形式設定は行われません。 • %p：パーセント記号 (%) に置き換えられます。 例えば、形式設定文字列が '%s%v%c' で、形式を設定する値が 123.45 米ドルの場合、返される形式設定された文字列は $123.45 USD です。形式設定文字列が '%s%l%c' で、形式を設定する値文字列が '56M' の場合、返される形式設定された文字列は €56M EUR です。 **注:** このオブジェクトに対して *`format()`* メソッドが呼び出されるたびに、同じ形式設定文字列が使用されます。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var formatString = '%s%v%c';
var exchangeValue = new sn_currency.GlideCurrencyFormatter(formatString);
```

GlideCurrencyFormatter - format(文字列値, 文字列 currencyCode)

指定された通貨コードを使用して、指定された通貨値に形式を設定します。

生成される通貨形式は、GlideCurrencyFormatter オブジェクトが最初にインスタンス化されたときに渡された値に依存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	形式を設定する通貨金額です。金額には、端数を表す小数点のみを含めることができます。カンマはサポートされていません。 有効な値：123.45、2436.23 無効な値：123,45、2,134.56
currencyCode	文字列	通貨の形式設定に使用する 3 文字の ISO 通貨コードです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式が設定された通貨値です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var amount = '123456.123456789';
var currencyCode = 'USD';
var formatString = '%s%v%c';
var exchangeValue = new sn_currency.GlideCurrencyFormatter(formatString);
gs.info('Formatted currency: ' +
 exchangeValue.setMaxFractionDigits(2).format(amount, currencyCode));
```

出力:

```
Formatted currency: $123,456.12USD
```

GlideCurrencyFormatter - setLocale(文字列 language, 文字列 country)

通貨フォーマッターのデフォルトの言語と国 (ロケールを構成する) を設定します。

`GlideCurrencyFormatter.format()` メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出さなければ、ロケールはデフォルトで現在のセッションロケールになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	2 文字の ISO 639 言語コードです (en、sp、fr など)。
country	文字列	2 文字の ISO 3166 国コードです (US、ES、FR など)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、通貨フォーマッターをフランスに設定しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var amount = '123456.123456789';
var currencyCode = 'EUR';
var formatString = '%s%v%c';
var exchangeValue = new sn_currency.GlideCurrencyFormatter(formatString);
exchangeValue.setLocale("fr", "FR"); // Language = fr Country = FR
gs.info('Formatted currency: ' +
 exchangeValue.setMaxFractionDigits(2).format(amount, currencyCode));
```

出力：

```
Formatted currency: €123 456,12EUR
```

GlideCurrencyFormatter - setMaxFractionDigits(数値 **maxFractionDigits)**

返される小数点/小数点を表すカンマ以下の最大桁数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxFractionDigits	番号	返される小数部の最大桁数です。この値が *minFractionDigits* 値未満に設定されている場合は、*minFractionDigits* によって上書きされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var amount = '123456.123456789';
var currencyCode = 'USD';
var formatString = '%s%v%c';
var exchangeValue = new sn_currency.GlideCurrencyFormatter(formatString);
gs.info('Formatted currency: ' +
 exchangeValue.setMaxFractionDigits(2).format(amount, currencyCode));
```

出力:

```
Formatted currency: $123,456.12USD
```

GlideCurrencyFormatter - setMinFractionDigits(数値 **minFractionDigits)**

返される小数部の最小桁数 (小数点/小数点を表すカンマ以下の桁数) を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minFractionDigits	番号	返される小数部の最小桁数です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var amount = '123456.12';
var currencyCode = 'USD';
var formatString = '%s%v%c';
var exchangeValue = new sn_currency.GlideCurrencyFormatter(formatString);
gs.info('Formatted currency: ' +
 exchangeValue.setMinFractionDigits(3).format(amount, currencyCode));
```

出力:

```
Formatted currency: $123,456.120USD
```

GlideCurrencyParser - スコープ付き

GlideCurrencyParser API は、FX 通貨値を解析してロケールベースの形式を検出するメソッドを提供します。

このクラスのメソッドは、指定された文字列を解析して GlideCurrencyValue オブジェクトに格納し、ロケールベースの通貨形式を取得できるようにします。実際に解析を実行する *GlideCurrencyParser.parse()* メソッドを呼び出す前に、解析時に使用する通貨コードを設定する必要があります。通貨コードを設定するには、*GlideCurrencyParser.parse()* メソッド呼び出しで渡すか、*GlideCurrencyParser.setDefaultCurrencyCode()* を呼び出します。

ロケールの設定はオプションです。*GlideCurrencyParser.setLocale()* メソッドを使用してロケールを設定しない場合、*GlideCurrencyParser.parse()* に渡される通貨金額の形式は設定されません。

このクラスは `sn_currency` 名前空間で実行されます。

GlideCurrencyParser - GlideCurrencyParser()

文字列を解析して GlideCurrencyValue オブジェクトに格納するメソッドを提供する、GlideCurrencyParser オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var parser = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
```

GlideCurrencyParser - parse(文字列値)

指定された文字列を解析して GlideCurrencyValue オブジェクトに格納し、ロケールベースの通貨形式を取得できるようにします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	解析する文字列です。文字列を解析するときに使用する ISO 通貨コードをこの文字列の先頭に付加できます (セミコロンで区切ります)。*parse()* メソッドを呼び出す前に通貨コードが設定されていない場合、デフォルトで現在のセッションの通貨コードになります。 このメソッドは、小数点と 10 進数カンマ表記の両方をサポートしています。 例："123.45"、"USD;123.45"、"123,45"、"EUR;123,45"

返される内容

タイプ	説明
GlideCurrencyValue	解析された値の情報です。 データタイプ: オブジェクト

この例では、ロケールをフランスに設定し、渡された通貨値を米ドルに解析します。

```
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setLocale("fr", "FR");
var cv = gp.parse("USD;1234,56");
gs.info(cv);
```

出力:

```
USD;1234.56
```

この例では、デフォルトの通貨コードを米ドルに設定し、通貨値を解析します。

```
var amount = "1234.56"
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setDefaultCurrencyCode("USD");
var cv = gp.parse(amount);
gs.info(cv);
```

出力:

```
USD;1234.56
```

GlideCurrencyParser - setDefaultCurrencyCode(文字列 **currencyCode)**

関連する GlideCurrencyParser オブジェクトの通貨コードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
currencyCode	文字列	関連する GlideCurrencyParser オブジェクトでデフォルトとして使用する 3 文字の ISO 通貨コードです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、デフォルトの通貨コードを米ドルに設定します。

```
var amount = "123.45"
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setDefaultCurrencyCode("USD");
var cv = gp.parse(amount);
gs.info(cv);
```

出力:

```
USD;123.45
```

GlideCurrencyParser - setLocale(文字列 language, 文字列 country)

ロケールを構成するデフォルトの言語と国コードを、関連する GlideCurrencyParser オブジェクトに設定します。

GlideCurrencyParser.parse() メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出さない場合、ロケールはデフォルトで現在のセッションロケールになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	2 文字の ISO 639 言語コード (en、es、fr など)。
country	文字列	2 文字の ISO 3166 国コードです (US、ES、FR など)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ロケールをスペインに設定する方法を示しています。

```
var amount = "USD;1.234,56"
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setLocale("es", "ES");
var cv = gp.parse(amount);
gs.info(cv);
```

出力:

```
USD;1234.56
```

GlideCurrencyValue - スコープ付き

GlideCurrencyValue API は、関連する *GlideCurrencyParser.parse()* 呼び出しから通貨コードと元の通貨を返すメソッドを提供します。

このクラスは `sn_currency` 名前空間で実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このクラスにはコンストラクターはありません。

GlideCurrencyValue - getAmount()

関連する *GlideCurrencyParser.parse()* 呼び出しに最初に渡された通貨金額を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*parse()* メソッドに渡された元の通貨です。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setLocale("eng", "USA");
var cv = gp.parse("USD;1234.56");
gs.info('Original currency amount: ' + cv.getAmount());
```

出力:

```
Original currency amount: 1234.56
```

GlideCurrencyValue - getCurrencyCode()

関連する *GlideCurrencyParser.parse()* 呼び出しで通貨の解析に使用された通貨コードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	通貨の解析に使用された 3 文字の ISO 通貨コードです。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var gp = new sn_currency.GlideCurrencyParser();
gp.setLocale(eng, USA);
var cv = gp.parse("USD";"1234.56");
gs.info('Parsed currency code: ' + cv.getCurrencyCode());
```

出力:

```
Parsed currency code: USD
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideDate - グローバル

`GlideDate` クラスは、GlideDate オブジェクトのインスタンス化または GlideDate フィールドの使用など、GlideDate オブジェクトで操作を実行するためのメソッドを提供します。

一般的な形式の競合のリストを含む日時入力文字列のガイダンスについては、「日付形式のガイドライン」を参照してください。

GlideDate - GlideDate()

現在の日時で GlideDate オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
//Today's date is April 21, 2021
var gd = new GlideDate();
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2021-04-21
```

GlideDate - getByFormat(文字列 format)

指定した日付形式で日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
format	文字列	Java SimpleDateFormat を使用した目的の日付形式。たとえば、`"dd-MM-yyyy"` は日、月、年を取得し、`"EEEE"` は曜日を取得します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定した形式の GlideDate オブジェクトの日付値。

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2021-04-21');
gs.info(gd.getByFormat("dd-MM-yyyy"));
```

出力：

```
21-04-2021
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getByFormat(文字列 format) を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideDate - getDayOfMonthNoTZ()

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getDayOfMonthNoTZ());
```

出力：

```
13
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getMonthNoTZ() を使用します。

GlideDate - getDisplayValue()

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。ビジネスルールまたはスクリプトインクルードを設計する際は、このメソッドによって返される値の形式がユーザーによって異なることに注意してください。

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2021-04-21');
gs.info(gd.getDisplayValue());
```

出力：

```
2021-04-21
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getDisplayValue() を使用します。

GlideDate - getDisplayValueInternal()

内部形式 (yyyy-MM-dd) および現在のユーザーのタイムゾーンで日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。 形式：yyyy-MM-dd

```
var gd = new GlideDate();
gs.info(gd.getDisplayValueInternal());
```

出力：

```
2021-04-21
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getDisplayValueInternal() を使用します。

GlideDate - getDisplayValueLang(文字列スタイル)

指定された日付スタイルに従って、ユーザーのロケールで日付値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたスタイルで、現在のユーザーのロケールに適した形式の日付の文字列表現。

次の例では、すべてのスタイルでユーザーのロケールの日付を返します。

```
var gd = new GlideDate(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gd.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("full"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("long"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("medium"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("short"));
```

出力:

```
date: 2023-01-18
Wednesday, January 18, 2023
date: January 18, 2023
date: Jan 18, 2023
date: 1/18/23
```

GlideDate - getDisplayValueLang(文字列スタイル, 文字列言語)

指定された日付スタイルに従って、ユーザーのロケールと言語で日付値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	指定された言語の値に従って日付を返します。BCP-47 標準に準拠する言語タグを受け入れます。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのロケールに従って指定されたスタイルと言語の日付。

次の例では、さまざまな言語とスタイルでユーザーのロケールの日付を返します。

```
var gd = new GlideDate(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gd.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("full", "fr"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("long", "en-GB"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("medium", "de"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("short", "es-MX"));
```

出力:

```

date: 2023-01-18
date: mercredi 18 janvier 2023
date: 18 January 2023
date: 18.01.2023
date: 18/01/23
```

GlideDate - getMonthNoTZ()

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される月を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1 ～ 12 の月の数値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getMonthNoTZ());
```

出力：

```
5
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getMonthNoTZ() を使用します。

GlideDate - getYearNoTZ()

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される年を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	年の数値。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getYearNoTZ());
```

出力：

```
2016
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - getYearNoTZ() を使用します。

GlideDate - parseDate(文字列 date, 文字列 language, 文字列 country)

渡された言語と国コードに関連付けられたロケールに日付を解析します。

注: このメソッドは失敗し、地域の日付形式に従わない場合は例外がスローされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	地域別構文で書式設定された日付。 形式：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 英数字の日付: 月は、Jan、Feb、Mar などの 3 文字で指定するか、月の名前を完全に綴ることができます。年は 4 桁、日は 2 桁でなければなりません。例:「`2020 年 1 月 31 日`」または「`2020 年 1 月 31 日`」 • 数値の日付:日と月は 2 桁にする必要があります。年単位では 4 桁が強く推奨されますが、このメソッドでは 2 桁の年もサポートされていますが、精度が低く、解析が失敗する可能性が高くなります。地域別の日付区切り文字も使用する必要があります。これらのセパレーターは、渡された *`language`* 値と *`country`* 値に基づいて解析に影響を与えます。例:米国ロケールの場合は「12/31/2020」、エストニアロケールの場合は「31.12.20」。
language	文字列	ISO-639 の 2 文字の言語コード。
country	文字列	ISO-3166 の 2 文字の国コード。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	計算に使用したり、レコードに挿入したりできる解析済みの GlideDate オブジェクト。 日付の解析に失敗した場合、このメソッドは例外をスローします。日付形式が指定されたロケール形式 (渡された *`language`* および *`country`* パラメーター) と一致しない場合、例外が発生します。

次のコード例では、日付を解析し、その日付に 4 週間を加算します。

```
var date = GlideDate.parseDate("31 Dec 2020", "en", "GB");
date.addWeeksLocalTime(4);
gs.info("Project is due 4 weeks after start date, on " +
 date.getDisplayValue());
```

出力:

```
Project is due 4 weeks after start date, on 2021-01-28
```

GlideDate - setDisplayValue(文字列 **asDisplayed)**

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンを使用して日付値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日付。 形式：現在のユーザーの優先表示形式 (yyyy-MM-dd など) を使用して書式設定される必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gd = new GlideDate();
gd.setDisplayValue("2011-01-01");
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2011-01-01
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - setDisplayValue(文字列 asDisplayed) を使用します。

GlideDate - setDisplayValueLang(文字列の日付, 文字列のスタイル)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイルと形式を使用して日付を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String language)* の例の出力を使用すると、 **2022** 年 **10** 月 **25** 日 または **2022** 年 **10** 月 **25** 日が許容値です。
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *setDisplayValueLang()* を使用して、ユーザーのロケールの現在の日付を 'full' スタイルに設定する方法を示しています。

```
glideDate.setDisplayValueLang("2/3/2023", "short");


gs.info('date: ' + glideDate.getDisplayValue());
gs.info('date: ' + glideDate.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
date: 2023-02-03
date: Friday, February 3, 2023
```

GlideDate - setDisplayValueLang(文字列の日付, 文字列のスタイル, 文字列の言語)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイル、言語、および形式を使用して日付を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String language)* の例の出力を使用すると、 **2022** 年 **10** 月 **25** 日 または **2022** 年 **10** 月 **25** 日が許容値です。
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	BCP-47 標準に準拠する言語タグを使用して言語を設定します。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		UK です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、英語とフランス語の短いスタイルと完全なスタイルで日付と時刻を返します。

```
var glideDateFR = new GlideDate();

glideDateUS.setDisplayValueLang("2/3/202", "short", "en-US" );
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023", "short", "fr-FR" );

gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValue());
gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValueLang("full"));

gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
en-US date: 2023-02-03
en-US date: Friday, February 3, 2023
fr-FR date: 2023-03-02
fr-FR date: Thursday, March 2, 2023
```

GlideDate - setValue(文字列 o)

内部形式 (yyyy-MM-dd) およびシステムタイムゾーン (デフォルト：UTC) で現在の GlideDate オブジェクトの日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	文字列	現在の GlideDate オブジェクトで設定する日付と時刻。 形式：yyyy-MM-dd

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2015-01-01');
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2015-01-01
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドのスコープ対象 GlideDate - setValue(文字列 o) を使用します。

GlideDate - スコープ指定

スコープ対象 *GlideDate* クラスは、GlideDate オブジェクトのインスタンス化または GlideDate フィールドの使用など、GlideDate オブジェクトで操作を実行するためのメソッドを提供します。

一般的な形式の競合のリストを含む日時入力文字列のガイダンスについては、「日付形式のガイドライン」を参照してください。

スコープ対象 **GlideDate - GlideDate()**

現在の日時で GlideDate オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
//Today's date is April 21, 2021
var gd = new GlideDate();
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2021-04-21
```

スコープ対象 **GlideDate** - getByFormat(文字列 **format)**

指定した日付形式で日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
format	文字列	Java SimpleDateFormat を使用した目的の日付形式。たとえば、`"dd-MM-yyyy"` は日、月、年を取得し、`"EEEE"` は曜日を取得します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定した形式の GlideDate オブジェクトの日付値。

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2021-04-21');
gs.info(gd.getByFormat("dd-MM-yyyy"));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
21-04-2021
```

スコープ対象 GlideDate - getDayOfMonthNoTZ()

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getDayOfMonthNoTZ());
```

出力：

```
13
```

スコープ対象 GlideDate - getDisplayValue()

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。ビジネスルールまたはスクリプトインクルードを設計する際は、このメソッドによって返される値の形式がユーザーによって異なることに注意してください。

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2021-04-21');
gs.info(gd.getDisplayValue());
```

出力：

```
2021-04-21
```

スコープ対象 GlideDate - getDisplayValueInternal()

内部形式 (yyyy-MM-dd) および現在のユーザーのタイムゾーンで日付を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。 形式：yyyy-MM-dd

```
var gd = new GlideDate();
gs.info(gd.getDisplayValueInternal());
```

出力：

```
2021-04-21
```

スコープ付き **GlideDate** - getDisplayValueLang(文字列スタイル, 文字列言語)

指定された言語と日付スタイルに従って、ユーザーのロケールで日付値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	指定された言語の値に従って日付を返します。BCP-47 標準に準拠する言語タグを受け入れます。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのロケールに従って指定されたスタイルと言語の日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、さまざまな言語とスタイルでユーザーのロケールの日付を返します。

```
var gd = new GlideDate(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gd.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("full", "fr"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("long", "en-GB"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("medium", "de"));
gs.info('date: ' + gd.getDisplayValueLang("short", "es-MX"));
```

出力:

```

date: 2023-01-18
date: mercredi 18 janvier 2023
date: 18 January 2023
date: 18.01.2023
date: 18/01/23
```

スコープ対象 GlideDate - getMonthNoTZ()

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される月を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1 ～ 12 の月の数値。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getMonthNoTZ());
```

出力：

```
5
```

スコープ対象 GlideDate - getValue()

内部形式 (yyyy-MM-dd) およびシステムタイムゾーン (デフォルト：UTC) で日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトの日付値。 形式：yyyy-MM-dd

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2021-04-21');
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2021-04-21
```

スコープ対象 **GlideDate - getYearNoTZ()**

GlideDate オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される年を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	年の数値。

```
//Today's date is 2016-05-13
var gd =new GlideDate();
gs.info(gd.getYearNoTZ());
```

出力：

```
2016
```

スコープ対象 **GlideDate -** setDisplayValue(文字列 **asDisplayed)**

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンを使用して日付値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日付。 形式：現在のユーザーの優先表示形式 (yyyy-MM-dd など) を使用して書式設定される必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gd = new GlideDate();
gd.setDisplayValue("2011-01-01");
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2011-01-01
```

スコープ付き **GlideDate** - setDisplayValueLang(文字列 **date**, 文字列スタイル)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイルと形式を使用して日付を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。有効な値は、 *`getDisplayValueLang()`* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *`getDisplayValueLang(String style, String language)`* の例の出力を使用すると、 **2022** 年 **10** 月 **25** 日 または **2022** 年 **10** 月 **25** 日が許容値です。
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *`setDisplayValueLang()`* を使用して、ユーザーのロケールの現在の日付を 'full' スタイルに設定する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
glideDate.setDisplayValueLang("2/3/2023", "short");


gs.info('date: ' + glideDate.getDisplayValue());
gs.info('date: ' + glideDate.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
date: 2023-02-03
date: Friday, February 3, 2023
```

スコープ付き **GlideDate** - setDisplayValueLang(文字列の日付, 文字列のスタイル, 文字列の言語)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイル、言語、および形式を使用して日付を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトに対する日付値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String language)* の例の出力を使用すると、 **2022** 年 **10** 月 **25** 日 または **2022** 年 **10** 月 **25** 日が許容値です。
style	文字列	日付形式。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` に設定されます。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	BCP-47 標準に準拠する言語タグを使用して言語を設定します。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、英語とフランス語の短いスタイルと完全なスタイルで日付と時刻を返します。

```
var glideDateFR = new GlideDate();

glideDateUS.setDisplayValueLang("2/3/202", "short", "en-US" );
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023", "short", "fr-FR" );

gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValue());
gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValueLang("full"));

gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
en-US date: 2023-02-03
en-US date: Friday, February 3, 2023
fr-FR date: 2023-03-02
fr-FR date: Thursday, March 2, 2023
```

スコープ対象 **GlideDate** - setValue(文字列 **o)**

内部形式 (yyyy-MM-dd) およびシステムタイムゾーン (デフォルト：UTC) で現在の GlideDate オブジェクトの日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	文字列	現在の GlideDate オブジェクトで設定する日付と時刻。 形式：yyyy-MM-dd

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gd = new GlideDate();
gd.setValue('2015-01-01');
gs.info(gd.getValue());
```

出力：

```
2015-01-01
```

スコープ対象 **GlideDate - subtract(GlideDate start, GlideDate end)**

2 つの GlideDate 値の期間差を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDate	開始値。
end	GlideDate	終了値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	2 つの値の間の期間。

```
var sgd1 = new GlideDate();
sgd1.setDisplayValue('2014-07-18');
var sgd2 = new GlideDate();
sgd2.setDisplayValue('2014-07-19');

var duration = GlideDate.subtract(sgd1, sgd2);
gs.info(duration.getDisplayValue());
```

出力：

```
1 Day
```

GlideDateTime - グローバル

GlideDateTime クラスは、GlideDateTime オブジェクトに対する操作を実行するためのメソッドを提供します。

GlideDateTime メソッドを使用して、GlideDateTime オブジェクトのインスタンス化、date-time 計算、date-time の書式設定、date-time 形式間の変換などの date-time の操作を実行します。

一般的な形式の競合のリストを含む日時入力文字列のガイダンスについては、「日付形式のガイドライン」を参照してください。

GlideDateTime - GlideDateTime()

現在の日付と時刻を使用して新しい *GlideDateTime* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、 *GlideDateTime* オブジェクトをインスタンス化します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gs.info(gdt);
```

出力:

```
2022-08-08 16:51:44
```

GlideDateTime - GlideDateTime(文字列 dateTime)

渡された日付と時刻の値を使用して、新しい *GlideDateTime* オブジェクトをインスタンス化します。

システムは、渡された値を指定された内部システム形式と一致させようとします。引数がシステム形式と一致しない場合、次の順序でいずれかの形式と引数を照合します。

- yyyy-MM-dd hh:mm:ss
- MM/dd/yyyy HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- MM-dd-yyyy hh:mm:ss
- MM-dd-yyyy HH:mm
- MM-dd-yyyy
- MM/dd/yyyy
- dd-MM-yyyy hh:mm:ss
- dd-MM-yyyy HH.mm.ss
- dd-MM-yyyy HH.mm
- dd-MM-yy HH.mm.ss
- dd/MM/yyyy
- dd-MM-yyyy
- yyyy-MM-dd HH:mm
- yyyy-MM-dd
- dd.MM.yyyy HH:mm:ss
- dd.MM.yyyy HH.mm.ss
- dd.MM.yyyy hh:mm:ss a
- dd.MM.yyyy hh.mm.ss a
- dd.MM.yyyy

注: 次の形式はサポートされていません。

- yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss.SSSZ

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	*GlideDateTime* オブジェクトに設定する UTC 日時。

```
var gdt = new GlideDateTime("2023-01-01 12:00:00");
gs.info(gdt);
```

出力:

```
2023-01-01 12:00:00
```

GlideDateTime - GlideDateTime(GlideDateTime gdt)

指定された *GlideDateTime* オブジェクトの時刻に設定された新しい *GlideDateTime* オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	新しいオブジェクトの時間を設定するために使用されるオブジェクト。

この例では、`yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss` を使用して `GlideDateTime` オブジェクトをインスタンス化します。SSSZ 形式です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2023-07-04T12:08:56.235-0700");
var gdt2 = new GlideDateTime(gdt1);
gs.info(gdt1);
gs.info(gdt2);
```

出力：

```
2023-07-04 19:08:56
2023-07-04 19:08:56
```

GlideDateTime - add(数値 milliseconds)

指定されたミリ秒数を GlideDateTime オブジェクトに加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	加算するミリ秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getNumericValue());
gdt.add(10);
gs.print(gdt.getNumericValue());
```

出力：

```
1314777600000
1314777600010
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *add()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド add() を使用します。

GlideDateTime - add(GlideTime time)

現在の GlideDateTime オブジェクトに GlideTime オブジェクトを加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
time	GlideTime	指定された GlideDateTime オブジェクトに時間値が加算される GlideTime オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、gdt GlideDateTime オブジェクトに設定された時間に 20 秒を加算する方法を示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
var gtime1 = new GlideTime();
gtime1.setValue("00:00:20");
gdt.add(gtime1);
gs.print(gdt.toString());
```

出力：

```
2011-08-31 08:00:20
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *add()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド add() を使用します。

GlideDateTime - addDays(数値 **days)**

指定された日数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは日数を減算します。

このメソッドの代わりに *addDaysLocalTime()* と *addDaysUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	加算する日数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addDays(-1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力:

```
2011-08-30
```

GlideDateTime - addDaysLocalTime(数値 **days)**

指定された日数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは日数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して日を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	加算する日数。減算する場合は負の値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addDaysLocalTime(-1);
gs.print(gdt.getLocalDate());
```

出力：

```
2011-08-30
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addDaysLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addDaysLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - addDaysUTC(数値 **days)**

指定された日数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは日数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して日を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	加算する日数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addDaysUTC(-1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-30
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addDaysUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addDaysUTC() を使用します。

GlideDateTime - addSeconds(数値 **seconds)**

指定された秒数を GlideDateTime オブジェクトに加算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
秒	数値	加算する秒数

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-07 08:00:00");
gdt.addSeconds(1000);
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-12-07 08:16:40
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addSeconds()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addSeconds() を使用します。

GlideDateTime - addWeeks(数値 **weeks)**

指定された週数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは週数を減算します。

このメソッドの代わりに *addWeeksLocalTime()* と *addWeeksUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
週	数値	加算する週数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addWeeks(-1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力:

```
2011-08-24
```

GlideDateTime - addWeeksLocalTime(数値 **weeks)**

指定された週数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは週数を減算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して週を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
週	数値	加算する週数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addWeeksLocalTime(-1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-24
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addWeeksLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addWeeksLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - addWeeksUTC(数値 **weeks)**

指定された週数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは週数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して週を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
週	数値	加算する週数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addWeeksUTC(-1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-24
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addWeeksUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを addWeeksUTC() を使用します。

GlideDateTime - ddMonths(数値 month)

指定された月数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは月数を減算します。

このメソッドの代わりに *addMonthsLocalTime()* または *addMonthsUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	加算する月数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addMonths(2);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力:

```
2011-10-31
```

GlideDateTime - addMonthsLocalTime(数値 months)

指定された月数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは月数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して月を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	加算する月数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addMonthsLocalTime(2);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2011-10-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addMonthsLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addMonthsLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - addMonthsUTC(数値 **months)**

指定された月数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは月数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して月を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	加算する月数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addMonthsUTC(2);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-10-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addMonthsUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addMonthsUTC() を使用します。

GlideDateTime - addYears(数値 **years)**

指定された年数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは年数を減算します。

このメソッドの代わりに *addYearsLocalTime()* または *addYearsUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	加算する年数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2010-08-31 08:00:00");
gdt.addYears(1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力:

```
2011-08-31
```

GlideDateTime - addYearsLocalTime(数値 years)

指定された年数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは年数を減算します。

このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して年を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	加算する年数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2010-08-31 08:00:00");
gdt.addYearsLocalTime(1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *AddYearsLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド AddYearsLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - addYearsUTC(数値 years)

指定された年数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは年数を減算します。

GlideDateTime オブジェクトに格納された日時の値は UTC タイムゾーンとして解釈されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	加算する年数。減算する場合は負の値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2010-08-31 08:00:00");
gdt.addYearsUTC(1);
gs.print(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addYearsUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addYearsUTC() を使用します。

GlideDateTime - compareTo(オブジェクト **dateTime)**

2 つの日時オブジェクトを比較して、どちらかが前に発生したか、または同時に発生したかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	オブジェクト	GlideDateTime オブジェクトの日時

返される内容

タイプ	説明
数値	• 0 = 日付は同じ • 1 = オブジェクトの日付はパラメーターで指定された日付より後 • -1 = オブジェクトの日付はパラメーターで指定された日付より前

```
var initDate = new GlideDateTime("2011-08-01 12:00:00");
var compDate1 = new GlideDateTime("2011-08-01 12:00:00");
var compDate2 = new GlideDateTime("2011-07-31 12:00:00");
var compDate3 = new GlideDateTime("2011-08-04 16:00:00");

gs.info(initDate.compareTo(compDate1)); // Equals (0)
gs.info(initDate.compareTo(compDate2)); // initDate is after compDate2
 (1)
gs.info(initDate.compareTo(compDate3)); // initDate is before compDate3
 (-1)
```

出力：

```
0
1
-1
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *compareTo()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド compareTo() を使用します。

GlideDateTime - equals(オブジェクト GDT)

オブジェクトが既存の値と同じかどうかを比較します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
GDT	オブジェクト	比較するオブジェクト。GlideDateTIme オブジェクトまたは有効な日時文字列を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	同じ場合は true、同じでない場合は false。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 00:00:00");
gs.print(gdt.equals("2011-09-30 00:12:01"));
```

出力：

```
 false
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *equals()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド equals() を使用します。

GlideDateTime - getDate()

GlideDateTime オブジェクトに格納されている日付を返します。yyyy-MM-dd 形式で表され、システムタイムゾーン (デフォルトでは UTC) で表されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムタイムゾーンの日付。 形式:yyyy-MM-dd、システムタイムゾーンではデフォルトで UTC。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDate());
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2011-08-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDate() を使用します。

GlideDateTime - getDayOfMonth()

現在の日付を UTC タイムゾーンで取得します。

使用廃止。このメソッドの代わりに *getDayOfMonthLocalTime()* と *getDayOfMonthUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfMonth());
```

出力：

```
2
```

GlideDateTime - getDayOfMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfMonthLocalTime());
```

出力：

```
2
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDayOfMonthLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDayOfMonthLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getDayOfMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfMonthUTC());
```

出力：

```
2
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDayOfMonthUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDayOfMonthUTC() を使用します。

GlideDateTime - getDayOfWeek()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、ユーザーのタイムゾーンで表される曜日を取得します。

このメソッドの代わりに *getDayOfWeekLocalTime()* と *getDayOfWeekUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	曜日の値：月曜日 = 1、... 日曜日 = 7。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfWeek());
```

出力：

```
4
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideDateTime - getDayOfWeekLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、ユーザーのタイムゾーンで表される曜日を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	曜日の値：月曜日 = 1、... 日曜日 = 7。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfWeekLocalTime());
```

出力：

```
4
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDayOfWeekLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDayOfWeekLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getDayOfWeekUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される曜日を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	曜日の値：月曜日 = 1、... 日曜日 = 7。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getDayOfWeekUTC());
```

出力：

```
4
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDayOfWeekUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDayOfWeekUTC() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideDateTime - getDaysInMonth()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、Java 仮想マシンのタイムゾーンで表される日数を取得します。

このメソッドの代わりに *getDaysInMonthLocalTime()* と *getDaysInMonthUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	Java 仮想マシンのタイムゾーンでの現在の月の日数。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getDaysInMonth());
```

出力：

```
31
```

GlideDateTime - getDaysInMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される日数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの現在の月の日数。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getDaysInMonthLocalTime());
```

出力：

```
31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDaysInMonthLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDaysInMonthLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getDaysInMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日数を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーの UTC タイムゾーンで表される日数。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getDaysInMonthUTC());
```

出力：

```
31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDaysInMonthUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDaysInMonthUTC() を使用します。

GlideDateTime - getDisplayValue()

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日時の値を取得します。

注: GlideDateTime オブジェクトを参照すると、日時の値が GMT タイムゾーンで返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーの形式とタイムゾーンでの日時。ビジネスルールまたはスクリプトインクルードを設計する際は、このメソッドによって返される値の形式がユーザーによって異なることに注意してください。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDisplayValue());
```

出力：

```
2011-08-31 01:00:00
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDisplayValue() を使用します。

GlideDateTime - getDisplayValueInternal()

内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss で表示値を返します。この方法は日付/時刻フィールドには有効ですが、日付フィールドには有効ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideDateTime オブジェクトの日付と時刻の値。 形式:発信者のタイムゾーンの yyyy-MM-dd HH:mm:ss。

```
// The passed in date and time is converted to the caller's time zone.
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDisplayValueInternal());
```

出力:

```
2011-08-31 01:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayValueInternal()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDisplayValueInternal() を使用します。

GlideDateTime - getDisplayValueLang(文字列スタイル)

指定された日付スタイルに従って、現在のユーザーのロケールで日付と時刻の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付と時刻の形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたスタイルで、現在のユーザーのロケールに適した形式の日付の文字列表現。

次の例では、すべての日付スタイルでユーザーのロケールの日付と時刻を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("full"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("long"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("medium"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("short"));
```

出力:

```
date: 2023-01-18 06:49:02
date: Wednesday, January 18, 2023 06:49:02
date: January 18, 2023 06:49:02
date: Jan 18, 2023 06:49:02
date: 1/18/23 06:49:02
```

GlideDateTime - getDisplayValueLang(文字列スタイル, 文字列言語)

指定された言語と日付スタイルに従って、現在のユーザーのロケールで日付と時刻の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付と時刻の形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	指定された言語の値に従って日付を返します。BCP-47 標準に準拠する言語タグを受け入れます。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたスタイルで、現在のユーザーのロケールに適した形式の日付の文字列表現。

次の例では、すべての言語と日付のスタイルでユーザーのロケールの日付と時刻を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("full", "fr"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("long", "en-GB"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("medium", "de"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("short", "es-MX"));```
```

出力:

```
date: 2023-01-18 06:49:02
mercredi 18 janvier 2023 06:49:02
18 January 2023 06:49:02
18.01.2023 06:49:02
18/01/23 06:49:02
```

GlideDateTime - getDSTOffset()

夏時間がオフセットである時間を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	夏時間がオフセットの時間 (ミリ秒) 。オフセットがない場合、または夏時間でない場合は 0 を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getDSTOffset());
```

出力：

```
3600000
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDSTOffset()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDSTOffset() を使用します。

GlideDateTime - getErrorMsg()

現在のエラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エラー メッセージ

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-aa-31 aa:00:00"); //bad
gs.print(gdt.isValid()); //false
gs.print(gdt.getErrorMsg()); //reason
```

出力：

```
false
Could not parse DateTime: 2011-aa-31 aa:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getErrorMsg()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getErrorMsg() を使用します。

GlideDateTime - getInternalFormattedLocalTime()

オブジェクトの時間をローカルタイムゾーンと内部形式で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ローカルタイムゾーンと内部形式でのオブジェクトの時間。

この例ではユーザーのタイムゾーンでシステム時間形式を表示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime('2022-10-08 01:00:00');
gs.info(gdt.getDisplayValue());
gs.info(gdt.getInternalFormattedLocalTime());
```

出力:

```
2022-10-07 06:00:00 PM
18:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getInternalFormattedLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getInternalFormattedLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getInternalMidnight(数値 **dayOfTheWeek)**

UTC を使用して、指定された日付の深夜に設定された日時オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dayOfTheWeek	数値	日付/時刻オブジェクトを返す曜日。

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	深夜に設定する GlideDateTime オブジェクト。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getInternalMidnight(2));
```

出力：

```
2011-08-30 00:00:01
```

GlideDateTime - getLocalDate()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、標準形式 yyyy-MM-dd および現在のユーザーのタイムゾーンで表される日付を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideDate	ユーザーのタイムゾーンでの日付。

この例はユーザーのタイムゾーンの時間形式で時刻を表示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getLocalDate());
```

出力：

```
2011-08-31
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLocalDate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLocalDate() を使用します。

GlideDateTime - getLocalTime()

ユーザーのタイムゾーンでの時刻を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideTime	ユーザーのタイムゾーンでの時刻。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getLocalTime());
```

出力：

```
1970-01-01 01:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getMonth()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、Java 仮想マシンのタイムゾーンで表される月を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドの代わりに *getMonthLocalTime()* と *getMonthUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	月の数値 (1 月 = 1、12 月 = 12)。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getMonth());
```

出力：

```
12
```

GlideDateTime - getMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される月を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	月の数値 (1 月 = 1、12 月 = 12)。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getMonthLocalTime());
```

出力：

```
12
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getMonthLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getMonthLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される月を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	月の数値 (1 月 = 1、12 月 = 12)。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //December
gs.print(gdt.getMonthUTC());
```

出力：

```
12
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getMonthUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getMonthUTC() を使用します。

GlideDateTime - getNumericValue()

1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getNumericValue());
```

出力：

```
1314777600000
```

GlideDateTime - getSpanTime(数値 dayOfWeek)

指定された日の深夜から現在の時刻までの経過時間を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dayOfWeek	数値	1 ～ 7 の曜日値。1 = 月曜日、7 = 日曜日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideTime	指定された日の深夜から経過した時間。分かりやすい用語で結果を表示するには、値を GlideDuration に設定します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00"); //Wednesday
var dur = new GlideDuration();

var span = gdt.getSpanTime(1); //how much time since Monday 00:00:00
dur.setValue(span);
gs.print(dur.getDisplayValue());
```

出力：

```
2 Days 8 Hours
```

GlideDateTime - getTime()

Unix 期間スタンプを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideTime	GMT 時間に基づいたシステム形式での Unix 期間スタンプ。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getTime());
```

出力：

```
1970-01-01 08:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getTime() を使用します。

GlideDateTime - getTZOffset()

タイムゾーンオフセットをミリ秒で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	タイムゾーンオフセットのミリ秒数

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.getLocalTime(); // PST local time
gs.print(gdt.getTZOffset());
```

出力：

```
-28800000
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getTZOffset()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getTZOffset() を使用します。

GlideDateTime - getUserFormattedLocalTime()

オブジェクトの時間をローカルタイムゾーンとユーザーの形式で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現地時刻とユーザーの形式でのオブジェクトの時間。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime('2022-10-08 01:00:00');
gs.info(gdt.getDisplayValue());
gs.info(gdt.getUserFormattedLocalTime());
```

出力:

```
2022-10-07 06:00:00 PM
06:00:00 PM
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUserFormattedLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getUserFormattedLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getUserTimeZone()

現在のユーザーセッションのタイムゾーンを取得します。

このメソッドは `gs.getSession().getTimeZone()` と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TimeZone	現在のユーザーの TimeZone オブジェクト。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.getUserTimeZone());
```

出力：

```
sun.util.calendar.ZoneInfo[id="America/Los_Angeles",offset=-28800000,dstS
avings=3600000,useDaylight=true,transitions=185,
lastRule=java.util.SimpleTimeZone[id=America/Los_Angeles,offset=-28800000
,dstSavings=3600000,useDaylight=true,startYear=0,startMode=3,
startMonth=2,startDay=8,startDayOfWeek=1,startTime=7200000,startTimeMode=
0,endMode=3,endMonth=10,endDay=1,endDayOfWeek=1,
endTime=7200000,endTimeMode=0]]
```

GlideDateTime - getUTCMidnight(数値 dayOfTheWeek)

UTC タイムゾーンを使用した時刻が深夜に設定された GlideDateTime オブジェクトを取得します。

このメソッドは、新しい GlideDateTime オブジェクトの日付を元の GlideDateTime オブジェクトの週のうち、指定された曜日に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dayOfTheWeek	数値	曜日 (1 ～ 7)。月曜日 = 1、日曜日 = 7。このパラメーターに 0 を入力しないでください。

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	深夜に設定する新しい GlideDateTime オブジェクト。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00"); // Wednesday, 3rd day
 of the week.
gs.print(gdt.getUTCMidnight(5)); //Friday, 5th day of the week.
```

出力：

```
2011-09-02 00:00:00
```

GlideDateTime - getValue()

GlideDateTime オブジェクトによって格納された日時値を、UTC タイムゾーンの内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss で返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	内部形式とシステムタイムゾーンの日付と時刻。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss (UTC タイムゾーン)

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getValue());
```

出力:

```
2011-08-31 08:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getValue() を使用します。

GlideDateTime - getWeekOfYearLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される週数を取得します。

すべての週は日曜日に始まります。年の最初の週は元日が含まれる週です。2015 年 12 月 27 日日曜日から始まる週は、その週に 1 月 1 日と 2 日が含まれているため、2016 年の最初の週とみなされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	現在の週数。1 年の週数は最大で 52 または 53 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getWeekOfYearUTC());
```

出力：

```
49
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getWeekOfYearLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getWeekOfYearLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getWeekOfYearUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される週数を取得します。

すべての週は日曜日に始まります。年の最初の週は元日が含まれる週です。2015 年 12 月 27 日日曜日から始まる週は、その週に 1 月 1 日と 2 日が含まれているため、2016 年の最初の週とみなされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC 時間での現在の週数。1 年の週数は最大で 52 または 53 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getWeekOfYearUTC());
```

出力：

```
49
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getWeekOfYearUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getWeekOfYearUTC() を使用します。

GlideDateTime - getYear()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、Java 仮想マシンのタイムゾーンで表される年を取得します。

このメソッドの代わりに *getYearLocalTime()* と *getYearUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	Java 仮想マシンのタイムゾーンでの 4 桁の年の値。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //2011
gs.print(gdt.getYear());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
2011
```

GlideDateTime - getYearLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される年を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの 4 桁の年の値。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //2011
gs.print(gdt.getYearLocalTime());
```

出力：

```
2011
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getYearLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getYearLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - getYearUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される年を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 4 桁の年の値。

```
var gdt = new GlideDateTime(); //2011
gs.info(gdt.getYearUTC());
```

出力：

```
2011
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getYearUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getYearUTC() を使用します。

GlideDateTime - hasDate()

オブジェクトの日付が設定されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	オブジェクトの日付が設定されている場合は true、そうでない場合は false。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.hasDate());
```

出力：

```
true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hasDate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド hasDate() を使用します。

GlideDateTime - isDST()

オブジェクトの時間が夏時間オフセットを使用するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	時間が夏時間の場合は true、そうでない場合は false。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 00:00:00");
gs.print(gdt.isDST()); //true
```

出力：

```
true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isDST()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の isDST() メソッドを使用します。

GlideDateTime - isValid()

値が有効な日時かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	値が有効な場合は true、有効でない場合は false。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-aa-31 aa:00:00");
gs.print(gdt.isValid()); //true
gs.print(gdt.getErrorMsg()); //reason
```

出力

```
Invalid date time: '2011-aa-31 aa:00:00', ignored
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isValid()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の isValid() メソッドを使用します。

GlideDateTime - setDayOfMonth(数値 day)

日付を指定された値に設定します。

このメソッドの代わりに *setDayOfMonthLocalTime(day)* と *setDayOfMonthUTC(day)* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日	数値	日付 (1 ～ 31)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDayOfMonth(9);
gs.print(gdt.getDayOfMonth());
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
9
```

GlideDateTime - setDayOfMonthLocalTime(数値 day)

日付を現在のユーザーのタイムゾーンで指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日	数値	変更する日付 (1 ～ 31)。この値が月の最大日数より大きい場合、値はその月の最終日に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDayOfMonthLocalTime(9);
gs.print(gdt.getDayOfMonthLocalTime());
```

出力：

```
9
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDayOfMonthLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDayOfMonthLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - setDayOfMonthUTC(数値 day)

日付を UTC タイムゾーンで指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日	数値	変更する日付 (1 ～ 31)。この値が月の最大日数より大きい場合、値はその月の最終日に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDayOfMonthUTC(9);
gs.print(gdt.getDayOfMonthUTC());
```

出力：

```
9
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDayOfMonthUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDayOfMonthUTC() を使用します。

GlideDateTime - setDisplayValue(文字列 **asDisplayed)**

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンを使用して日時の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日時。パラメーターは現在のユーザーの優先表示形式 (MM-dd-yyyy HH:mm:ss など) を使用して書式設定される必要があります。現在の日時をワークフロースクリプトの変数に割り当てるには、`<変数>.setDisplayValue(gs.nowDateTime);` を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValue("2011-01-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-01-01 20:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDisplayValue() を使用します。

GlideDateTime - setDisplayValue(文字列 **dateTime**, 文字列 **format)**

現在のユーザーのタイムゾーンと指定された日時の表示形式を使用して日時の値を設定します。

このメソッドは、dateTime パラメーターで使用される日時の形式が format パラメーターと一致しない場合にランタイム例外をスローします。例外を取得した後、GlideDateTime オブジェクトで *getErrorMsg()* を呼び出し、エラーメッセージを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの日時。
format	文字列	dateTime パラメーターの解析に使用する形式。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValue("20-5-2011 12:00:00", "dd-MM-yyyy HH:mm:ss");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-05-20 19:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDisplayValue() を使用します。

GlideDateTime - setDisplayValueInternal(文字列 **dateTime)**

内部形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) と現在のユーザーのタイムゾーンを使用して日時の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	内部形式での日時

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValueInternal("2011-01-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-01-01 20:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDisplayValueInternal()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDisplayValueInternal() を使用します。

GlideDateTime - setDisplayValueInternalWithAlternates(文字列 **dateTime)**

内部形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) と現在のユーザーのタイムゾーンを使用して日時の値を設定します。

このメソッドは不完全な日時値の解析を試行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	内部形式での日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideDateTime - setDisplayValueLang(文字列 **dateTime**, 文字列スタイル)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイルと形式を使用して日付を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトの日時値。有効な値は、 `getDisplayValueLang()` 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した `getDisplayValueLang(String style, String language)` の例の出力を使用すると、 **November 28, 2022 07:03:41** または **28.11.2022 07:03:41** が許容値です。
style	文字列	日付形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで `medium` を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、日付と時刻を短いスタイルと完全なスタイルで返します。

```
var glideDateFR = new GlideDateTime();
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023 17:27:56", "short");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info('date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
date: 2023-02-03 17:27:56
date: Friday, February 3, 2023 17:27:56
```

GlideDateTime - setDisplayValueLang(文字列 dateTime, 文字列スタイル, 文字列言語)

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイル、言語、および形式を使用して日付と時刻を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトの日時値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String language)* の例の出力を使用すると、 **November 28, 2022 07:03:41** または **28.11.2022 07:03:41** が許容値です。
style	文字列	日付形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	BCP-47 標準に準拠する言語タグを使用して言語を設定します。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、英語とフランス語の短いスタイルと完全なスタイルで日付と時刻を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var glideDateFR = new GlideDateTime();

glideDateUS.setDisplayValueLang("2/3/2023 18:00:00", "short", "en-US" );
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023 18:00:00", "short", "fr-FR" );

gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValue());
gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValueLang("full"));

gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
en-US date: 2023-02-03 18:00:00
en-US date: Friday, February 3, 2023 18:00:00
fr-FR date: 2023-03-02 18:00:00
fr-FR date: Thursday, March 2, 2023 18:00:00
```

GlideDateTime - setGlideDateTime(GlideDateTime gDT)

既存の GlideDateTime オブジェクトを使用して現在のオブジェクトの日時を設定します。

このメソッドは、GlideDateTime パラメーターで新しいオブジェクトをインスタンス化することと同じです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gDT	GlideDateTime	GlideDateTime object

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dt1 = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
var dt2 = new GlideDateTime("2011-02-02 08:00:00");
dt1.setGlideDateTime(dt2);
gs.print(dt1.getValue());
```

出力：

```
2011-02-02 08:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setGlideDateTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setGlideDateTime() を使用してください。

GlideDateTime - setInitialValue(文字列 dateTime)

日時を設定します。

このメソッドは setValue(オブジェクト) と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	使用する日時。内部形式の GMT タイムゾーンの文字列または GlideDateTime オブジェクトのいずれかを受け入れます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setInitialValue("2011-01-01 12:00:00");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力:

```
2011-01-01 12:00:00
```

GlideDateTime - setMonth(数値 month)

GlideDateTime オブジェクトに格納された月を Java 仮想マシンのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

このメソッドの代わりに *setMonthLocalTime()* または *setMonthUTC()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
月	数値	変更先の月。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setMonth(1);
gs.print(gdt.getMonth());
```

出力:

```
1
```

GlideDateTime - setMonthLocalTime(数値 month)

GlideDateTime オブジェクトに格納された月を 現在のユーザーのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
月	数値	変更先の月。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setMonthLocalTime(1);
gs.print(gdt.getMonthLocalTime());
```

出力：

```
1
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setMonthLocalTime()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setMonthLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - setMonthUTC(数値 **month)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された月を UTC タイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
月	数値	変更先の月。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setMonthUTC(1);
gs.print(gdt.getMonthUTC());
```

出力：

```
1
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setMonthUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setMonthUTC() を使用します。

GlideDateTime - setNumericValue(数値 **milliseconds)**

日時を 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	ミリ秒数

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setNumericValue(1314777600000);
gs.print(gdt.getValue());
```

出力:

```
2011-08-31 08:00:00
```

GlideDateTime - setTZ(TimeZone timeZone)

GlideDateTime オブジェクトのタイムゾーンを指定されたタイムゾーンに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeZone	TimeZone	タイムゾーンオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var tz = gs.getSession().getTimeZone();
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setTZ(tz);
```

GlideDateTime - setValue(オブジェクト dateTime)

GlideDateTime オブジェクトの日時を設定します。

このメソッドは *`setInitialValue()`* と同じです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	オブジェクト	使用する日時。このパラメーターは次のいずれかの 1 つのタイプです。 • UTC タイムゾーンの文字列と yyyy-MM-dd HH:mm:ss の内部形式。オブジェクトの値を指定された日時に設定します。この方法でこのメソッドを使用するのは、*`GlideDateTime(value)`* コンストラクターを使用して新しい GlideDateTime オブジェクトをインスタンス化するのと同じです。使用した日時形式が内部形式と一致しない場合、メソッドは利用可能な他の形式を使用

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		して日時の設定を試行します。この方法で日時の不一致を解決すると、日付と月の値のあいまいさにより日付が不正確になる可能性があります。非標準の日時形式を使用する場合は、`setValueUTC(dateTime, format)` を代わりに使用します。 • GlideDateTime オブジェクト：オブジェクトの値をパラメーターで渡された GlideDateTime に格納された日時に設定します。この方法でこのメソッドを使用するのは、`GlideDateTime(g)` コンストラクターを使用して新しい GlideDateTime オブジェクトをインスタンス化するのと同じです。 • Java 日付オブジェクト：Java 日付オブジェクトによって格納されている値を使用して、オブジェクトの値を設定します。この方法を使用することは、Java Date オブジェクト `getTime()` によって返された値を GlideDateTime `setNumericValue()` メソッドに渡すことと同じです。このメソッドは JavaScript 日付オブジェクトを受け入れません。 • JavaScript の数値:数値を使用して、オブジェクトの値を 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 UTC からのミリ秒として設定します。この方法の使用は、`setNumericValue(milliseconds)` メソッドと同等です。 • Java 整数または長整数: 整数または長整数の値を使用して、1970 年 1 月 1 日 00:00:00 UTC からのミリ秒としてオブジェクトの値を設定します。この方法の使用は、 `setNumericValue(milliseconds)` メソッドと同等です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式の文字列を使用して日時を設定します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
gdt.setValue("2011-02-02 08:00:00");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-02-02 08:00:00
```

既存の GlideDateTime オブジェクトを使用して日時を設定します。

```
var gdtSource = new GlideDateTime("2017-05-23 11:37:41");
var gdtDest = new GlideDateTime();
gdtDest.setValue(gdtSource);
gs.print(gdtDest.getValue());
```

出力:

```
2017-05-23 11:37:41
```

1970 年 1 月 1 日 00:00:00 UTC から経過したミリ秒数を示す数値を使用して、日付と時刻を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
gdt.setValue(1617634522375);
gs.print(gdt.getValue());
```

出力:

```
2021-04-05 14:55:22
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setValue() を使用します。

GlideDateTime - setValueUTC(文字列 **dateTime**, 文字列 **format)**

UTC タイムゾーンと指定された日時の表示形式を使用して日時の値を設定します。

このメソッドは、dateTime パラメーターで使用される日時の形式が format パラメーターと一致しない場合にランタイム例外をスローします。例外を取得した後、GlideDateTime オブジェクトで *getErrorMsg()* を呼び出し、エラーメッセージを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	使用する日時。
format	文字列	使用する形式。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
gdt.setValueUTC("15-02-2011 08:00:00", "dd-MM-yyyy HH:mm:ss");
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-02-15 08:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setValueUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setValueUTC() を使用します。

GlideDateTime - setYear(数値 **year)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された年を Java 仮想マシンのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

このメソッドの代わりに *setYearLocalTime()* または *setYearUTC()* を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
year	数値	変更先の年。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setYear(2013);
gs.print(gdt.getYear());
```

出力:

```
2013
```

GlideDateTime - setYearLocalTime(数値 **year)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された年を現在のユーザーのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
year	数値	変更先の年。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setYearLocalTime(2013);
gs.print(gdt.getYearLocalTime());
```

出力：

```
2013
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *`setYearLocalTime()`* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setYearLocalTime() を使用します。

GlideDateTime - setYearUTC(数値 **year)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された年を UTC タイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
year	数値	変更先の年。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setYearUTC(2013);
gs.print(gdt.getYearUTC());
```

出力：

```
2013
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setYearUTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setYearUTC() を使用します。

GlideDateTime - subtract(GlideTime time)

指定された時間を減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
time	GlideTime	減算する時間

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
var gtime1 = new GlideTime();
gtime1.setValue("00:00:20");
gdt.subtract(gtime1);
gs.print(gdt.getTime());
```

出力：

```
1970-01-01 07:59:40
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *subtract()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の subtract() メソッドを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideDateTime - subtract(数値 milliseconds)

指定されたミリ秒数を GlideDateTime オブジェクトから減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	減算するミリ秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-07 08:00:00");
gdt.subtract(1000);
gs.print(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-12-07 07:59:59
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *subtract()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の subtract() メソッドを使用します。

GlideDateTime - subtract(GlideDateTime start, GlideDateTime end)

指定された 2 つの GlideDateTime オブジェクト間の期間差を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDateTime	開始日オブジェクト。
end	GlideDateTime	終了日オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	指定された 2 つの日付間の期間差。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2011-08-28 09:00:00");
var gdt2 = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");

var dur = GlideDateTime.subtract(gdt1, gdt2); // Difference between gdt1
 and gdt2
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

出力：

```
2 Days 23 Hours
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `subtract()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の subtract() メソッドを使用します。

GlideDateTime - toString()

GlideDateTime オブジェクトに格納された日時の値を、デフォルトで内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss、システムタイムゾーン、UTC で返します。

このメソッドは `getValue()` と同じです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	システムタイムゾーンと形式での GlideDateTime オブジェクトに格納された日時。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.print(gdt.toString());
```

出力：

```
2011-08-31 08:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `toString()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド toString() を使用します。

GlideDateTime - スコープ指定

スコープ指定された `GlideDateTime` クラスは、GlideDateTime オブジェクトに対する操作を実行するためのメソッドを提供します。

`GlideDateTime` メソッドを使用して、GlideDateTime オブジェクトのインスタンス化、date-time 計算、date-time の書式設定、date-time 形式間の変換などの date-time の操作を実行します。

一般的な形式の競合のリストを含む日時入力文字列のガイダンスについては、「日付形式のガイドライン」を参照してください。

スコープ対象 GlideDateTime - GlideDateTime()

現在の日付と時刻を使用して新しい `GlideDateTime` オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、 *GlideDateTime* オブジェクトをインスタンス化します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gs.info(gdt);
```

出力:

```
2022-08-08 16:51:44
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - GlideDateTime(文字列 **value)**

渡された日付と時刻の値を使用して、新しい *GlideDateTime* オブジェクトをインスタンス化します。

システムは、渡された値を指定された内部システム形式と一致させようとします。引数がシステム形式と一致しない場合、次の順序でいずれかの形式と引数を照合します。

- yyyy-MM-dd hh:mm:ss
- MM/dd/yyyy HH:mm:ss
- MM-dd-yyyy hh:mm:ss
- MM-dd-yyyy HH:mm
- MM-dd-yyyy
- MM/dd/yyyy
- dd-MM-yyyy hh:mm:ss
- dd-MM-yyyy HH.mm.ss
- dd-MM-yyyy HH.mm
- dd-MM-yy HH.mm.ss
- dd/MM/yyyy
- dd-MM-yyyy
- yyyy-MM-dd HH:mm
- yyyy-MM-dd
- dd.MM.yyyy HH:mm:ss
- dd.MM.yyyy HH.mm.ss
- dd.MM.yyyy hh:mm:ss a
- dd.MM.yyyy hh.mm.ss a
- dd.MM.yyyy

注: 次の形式はサポートされていません。

- yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss.SSSZ

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	*GlideDateTime* オブジェクトに設定する UTC 日時。

```
var gdt = new GlideDateTime("2023-01-01 12:00:00");
gs.info(gdt);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出力:

```
2023-01-01 12:00:00
```

スコープ対象 GlideDateTime - GlideDateTime(GlideDateTime g)

指定された *GlideDateTime* オブジェクトの時刻に設定された新しい *GlideDateTime* オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
g	GlideDateTime	新しいオブジェクトの時間を設定するために使用されるオブジェクト。

この例では、`yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss` を使用して `GlideDateTime` オブジェクトをインスタンス化します。SSSZ 形式です。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2023-07-04T12:08:56.235-0700");
var gdt2 = new GlideDateTime(gdt1);
gs.info(gdt1);
gs.info(gdt2);
```

出力：

```
2023-07-04 19:08:56
2023-07-04 19:08:56
```

スコープ対象 GlideDateTime - add(GlideTime gd)

現在の GlideDateTime オブジェクトに GlideTime オブジェクトを加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gd	GlideTime	指定された GlideDateTime オブジェクトに時間値が加算される GlideTime オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
var gtime1 = new GlideTime();
gtime1.setValue("00:00:20");
gdt.add(gtime1);
var gtime2 = gdt.getTime();
gs.info(gtime2.getByFormat('hh:mm:ss'));
```

出力：

```
08:00:20
```

スコープ対象 GlideDateTime - add(数値 milliseconds)

指定されたミリ秒数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	加算するミリ秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getNumericValue());
gdt.add(10);
gs.info(gdt.getNumericValue());
```

出力：

```
1314777600000 1314777600010
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addDaysLocalTime(数値 **days)**

指定された日数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは日数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して日を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	加算する日数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addDaysLocalTime(-1);
gs.info(gdt.getLocalDate());
```

出力：

```
2011-08-30
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addDaysUTC(数値 **days)**

指定された日数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは日数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して日を加算または減算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	加算する日数。減算する場合は負の数値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addDaysUTC(-1);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
 2011-08-30
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addMonthsLocalTime(数値 **months)**

指定された月数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは月数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して月を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	加算する月数。減算する場合には負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addMonthsLocalTime(2);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-10-31
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addMonthsUTC(数値 **months)**

指定された月数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは月数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して月を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	加算する月数。減算する場合は負の値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addMonthsUTC(2);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-10-31
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addSeconds(数値 **seconds)**

指定された秒数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
秒	数値	加算する秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-07 08:00:00");
gdt.addSeconds(1000);
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-12-07 08:16:40
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addWeeksLocalTime(数値 **weeks)**

指定された週数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは週数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して週を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
週	数値	加算する週数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addWeeksLocalTime(-1);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-24
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addWeeksUTC(数値 **weeks)**

指定された週数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは週数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する UTC 日時を判断してから、その UTC 日時の値を使用して週を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
週	数値	加算する週数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gdt.addWeeksUTC(-1);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-24
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addYearsLocalTime(数値 **years)**

指定された年数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは年数を減算します。このメソッドは、GlideDateTime オブジェクトに格納された値に相当する現地日時を判断してから、その現地日時の値を使用して年を加算または減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	加算する年数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2010-08-31 08:00:00");
gdt.addYearsLocalTime(1);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
2011-08-31
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - addYearsUTC(数値 **years)**

指定された年数を現在の GlideDateTime オブジェクトに加算します。負のパラメーターは年数を減算します。GlideDateTime オブジェクトに格納された日時の値は UTC タイムゾーンとして解釈されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	加算する年数。減算する場合は負の値を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2010-08-31 08:00:00");
gdt.addYearsUTC(1);
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

```
2011-08-31
```

スコープ対象 **GlideDateTime - after(GlideDateTime gdt)**

GlideDateTime オブジェクトの日時が指定されたオブジェクトの日時より後かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	チェックする日時。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideDateTime オブジェクトの日時がパラメーターで指定された日時より後であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時より後です。 • false：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時と同じまたは前です。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2016-05-09 10:11:12");
var gdt2 = new GlideDateTime("2017-06-12 15:11:12");
gs.info(gdt1.after(gdt2));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
False
```

スコープ対象 GlideDateTime - before(GlideDateTime gdt)

GlideDateTime オブジェクトの日時が指定された GlideDateTime オブジェクトの日時より前かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	チェックする日時。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideDateTime オブジェクトの日時がパラメーターで指定された日時より前であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定された日時より前です。 • false：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定された日時と同じまたは後です。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2016-05-09 10:11:12");
var gdt2 = new GlideDateTime("2017-06-12 15:11:12");
gs.info(gdt1.before(gdt2));
```

出力

```
true
```

スコープ対象 GlideDateTime - compareTo(オブジェクト o)

2 つの日時オブジェクトを比較して、これらが同じか、どちらかが前または後に発生したかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	GlideDateTime 形式での日時オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
数値	• 0 = 日付は同じ • 1 = オブジェクトの日付はパラメーターで指定された日付より後 • -1 = オブジェクトの日付はパラメーターで指定された日付より前

```
var initDate = new GlideDateTime("2011-08-01 12:00:00");
var compDate1 = new GlideDateTime("2011-08-01 12:00:00");
var compDate2 = new GlideDateTime("2011-07-31 12:00:00");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var compDate3 = new GlideDateTime("2011-08-04 16:00:00");

gs.info(initDate.compareTo(compDate1)); // Equals (0)
gs.info(initDate.compareTo(compDate2)); // initDate is after compDate2
 (1)
gs.info(initDate.compareTo(compDate3)); // initDate is before compDate3
 (-1)
```

出力：

```
0
1
-1
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - equals(オブジェクト **dateTime)**

datetime が既存の値と同じかどうかを比較します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	GlideDateTime オブジェクトまたは文字列	比較する日時。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	同じ場合は true、異なる場合は false を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 00:00:00");
gs.info(gdt.equals("2011-09-30 00:12:01"));
```

出力：

```
false
```

スコープ対象 **GlideDateTime - getDate()**

GlideDateTime オブジェクトに格納されている日付を返します。デフォルトでは、標準形式 yyyy-MM-dd、システムタイムゾーン、GMT で表されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	システムタイムゾーンの日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDate());
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
2011-08-31
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDayOfMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00");
gs.info(gdt.getDayOfMonthLocalTime());
```

出力：

```
2
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDayOfMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 1 ～ 31 の日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00");
gs.info(gdt.getDayOfMonthUTC());
```

出力：

```
02
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDayOfWeekLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、ユーザーのタイムゾーンで表される曜日を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの曜日の値 (1 ～ 7)。月曜日は 1、日曜日は 7 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");//Thursday
gs.info(gdt.getDayOfWeekLocalTime());
```

出力：

```
4
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDayOfWeekUTC()

GlideDateTime オブジェクトによって格納されている曜日を UTC タイムゾーンで返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	1 から 7 までの曜日の値。月曜日は 1、日曜日は 7 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00"); //Thursday
gs.info(gdt.getDayOfWeekUTC());
```

出力:

```
4
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDaysInMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される日数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの現在の月の日数。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-02 12:00:00"); //December
gs.info(gdt.getDaysInMonthLocalTime());
```

出力：

```
30
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDaysInMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される日数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーの UTC タイムゾーンで表される日数。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-11-02 12:00:00"); //November
gs.info(gdt.getDaysInMonthUTC());
```

出力：

```
30
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDisplayValue()

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日時の値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの形式とタイムゾーンでの日時。ビジネスルールまたはスクリプトインクルードを設計する際は、このメソッドによって返される値の形式がユーザーによって異なることに注意してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDisplayValue()); //uses current user session time zone
 (US/Pacific)
```

出力：

```
2011-08-31 01:00:00
```

スコープ対象 **GlideDateTime - getDisplayValueInternal()**

内部形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) で表示値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのタイムゾーンと内部の日時形式 `yyyy-MM-dd HH:mm:ss` での GlideDateTime オブジェクトに対する日時の値。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDisplayValueInternal()); //uses current user session time
 zone (US/Pacific)
```

出力：

```
2011-08-31 01:00:00
```

スコープ付き **GlideDateTime -** getDisplayValueLang(文字列スタイル, 文字列言語)

指定された言語と日付スタイルに従って、現在のユーザーのロケールで日付と時刻の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	日付と時刻の形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	指定された言語の値に従って日付を返します。BCP-47 標準に準拠する言語タグを受け入れます。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたスタイルで、現在のユーザーのロケールに適した形式の日付の文字列表現。

次の例では、すべての言語と日付のスタイルでユーザーのロケールの日付と時刻を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime(); // This will fetch the current date


gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValue());

gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("full", "fr"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("long", "en-GB"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("medium", "de"));
gs.info('date: ' + gdt.getDisplayValueLang("short", "es-MX"));```
```

出力:

```
date: 2023-01-18 06:49:02
mercredi 18 janvier 2023 06:49:02
18 January 2023 06:49:02
18.01.2023 06:49:02
18/01/23 06:49:02
```

スコープ対象 GlideDateTime - getDSTOffset()

夏時間がオフセットである時間を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	夏時間がオフセットの時間 (ミリ秒) 。オフセットがない場合、または夏時間でない場合は 0 を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getDSTOffset()); //uses current user session time zone
 (US/Pacific)
```

出力：

```
3600000
```

スコープ対象 GlideDateTime - getErrorMsg()

現在のエラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エラーメッセージ。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDisplayValue("2011-aa-01 00:00:00");
gs.info(gdt.getErrorMsg());
```

出力：

```
Could not parse DateTime: 2011-aa-01 00:00:00
```

スコープ対象 GlideDateTime - getInternalFormattedLocalTime()

オブジェクトの時間をローカルタイムゾーンと内部形式で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ローカルタイムゾーンと内部形式でのオブジェクトの時間。

この例ではユーザーのタイムゾーンでシステム時間形式を表示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime('2022-10-08 01:00:00');
gs.info(gdt.getDisplayValue());
gs.info(gdt.getInternalFormattedLocalTime());
```

出力

```
2022-10-07 06:00:00 PM
18:00:00
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideDateTime - getLocalDate()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、標準形式 yyyy-MM-dd および現在のユーザーのタイムゾーンで表される日付を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	
GlideDate	ユーザーのタイムゾーンでの日付。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getLocalDate());
```

出力：

```
2011-08-31
```

スコープ対象 GlideDateTime - getLocalTime()

ユーザーのタイムゾーンでの GlideDateTime オブジェクトの時刻部を表す GlideTime オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideTime	ユーザーのタイムゾーンでの時刻。

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 08:00:00");
gt = gdt.getLocalTime();
gs.info("local time is " + gt.getByFormat('hh:mm:ss'));
```

出力：

```
local time is 01:00:00
```

スコープ対象 GlideDateTime - getMonthLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される月を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	月の数値。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-11-02 12:00:00"); //November
gs.info(gdt.getMonthLocalTime());
```

出力：

```
11
```

スコープ対象 GlideDateTime - getMonthUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される月を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	月の数値。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-11-02 12:00:00"); //November
gs.info(gdt.getMonthUTC());
```

出力：

```
11
```

スコープ対象 GlideDateTime - getNumericValue()

1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getNumericValue());
```

出力：

```
1314777600000
```

スコープ対象 GlideDateTime - getTime()

GlideDateTime オブジェクトの時刻部を表す GlideTime オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideTime	GMT 時間に基づいたシステム形式での Unix 期間スタンプ。

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 08:00:00");
gt = gdt.getTime();
gs.info(gt.getByFormat('hh:mm:ss'));
```

出力：

```
08:00:00
```

スコープ対象 GlideDateTime - getTZOffset()

タイムゾーンオフセットをミリ秒で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	タイムゾーンオフセットのミリ秒数。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.getLocalTime(); // PST local time
gs.info(gdt.getTZOffset());
```

出力：

```
-25200000
```

スコープ対象 GlideDateTime - getUserFormattedLocalTime()

オブジェクトの時間をローカルタイムゾーンとユーザーの形式で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ローカルタイムゾーンとユーザーの形式でのオブジェクトの時間。

この例は、ローカルタイムゾーンでのオブジェクトの時刻を示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime('2022-10-08 01:00:00');
gs.info(gdt.getDisplayValue());
gs.info(gdt.getUserFormattedLocalTime());
```

出力:

```
2022-10-07 06:00:00 PM
06:00:00 PM
```

スコープ対象 GlideDateTime - getValue()

GlideDateTime オブジェクトによって格納された日時値を、UTC タイムゾーンの内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	内部形式とシステムタイムゾーンの日付と時刻。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss (UTC タイムゾーン)

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.getValue());
```

出力:

```
2014-08-31 08:00:00
```

スコープ対象 GlideDateTime - getWeekOfYearLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される週数を取得します。

すべての週は日曜日に始まります。年の最初の週は元日が含まれる週です。2015 年 12 月 27 日日曜日から始まる週は、その週に 1 月 1 日と 2 日が含まれているため、2016 年の最初の週とみなされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	現在の週数。1 年の週数は最大で 52 または 53 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");//49th week, 1st week
 in december
gs.info(gdt.getWeekOfYearLocalTime());
```

出力：

```
49
```

スコープ対象 GlideDateTime - getWeekOfYearUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される週数を取得します。

すべての週は日曜日に始まります。年の最初の週は元日が含まれる週です。2015 年 12 月 27 日日曜日から始まる週は、その週に 1 月 1 日と 2 日が含まれているため、2016 年の最初の週とみなされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC 時間での現在の週数。1 年の週数は最大で 52 または 53 です。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-01 12:00:00");//49th week, 1st week
 in December
gs.info(gdt.getWeekOfYearUTC());
```

出力：

```
49
```

スコープ対象 GlideDateTime - getYearLocalTime()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、現在のユーザーのタイムゾーンで表される年を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	ユーザーのタイムゾーンでの 4 桁の年の値。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-11-02 12:00:00");
gs.info(gdt.getYearLocalTime());
```

出力：

```
2011
```

スコープ対象 GlideDateTime - getYearUTC()

GlideDateTime オブジェクトに格納された、UTC タイムゾーンで表される年を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンでの 4 桁の年の値。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-11-02 12:00:00");
gs.info(gdt.getYearUTC());
```

出力：

```
2011
```

スコープ対象 GlideDateTime - hasDate()

オブジェクトの日付が設定されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	オブジェクトの日付が設定されている場合は true、設定されていない場合は false を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.hasDate());
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
true
```

スコープ対象 GlideDateTime - isDST()

オブジェクトの時刻が夏時間オフセットを使用するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	時間が夏時間の場合は true、そうでない場合は false を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 00:00:00");
gs.info(gdt.isDST()); //true
```

出力：

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-08-31 00:00:00");
gs.info(gdt.isDST()); //true
```

スコープ対象 GlideDateTime - isValid()

値が有効な日時かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	値が有効な場合は true、そうでない場合は false を返します。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-aa-31 aa:00:00");
gs.info(gdt.isValid()); //true
gs.info(gdt.getErrorMsg()); //reason
```

出力：

```
false
Invalid date time: '2011-aa-31 aa:00:00', ignored
```

スコープ対象 GlideDateTime - onOrAfter(GlideDateTime gdt)

GlideDateTime オブジェクトの日時が、指定された GlideDateTime オブジェクトの日時より後かどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	チェックする日時。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideDateTime オブジェクトの日時がパラメーターで指定された日時以降であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時以降です。 • false：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時より前です。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2016-05-09 10:11:12");
var gdt2 = new GlideDateTime("2017-06-12 15:11:12");
gs.info(gdt1.onOrAfter(gdt2));
```

出力

```
false
```

スコープ対象 GlideDateTime - onOrBefore(GlideDateTime gdt)

GlideDateTime オブジェクトの日時が、指定された GlideDateTime オブジェクトの日時以前かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	チェックする日時。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideDateTime オブジェクトの日時がパラメーターで指定された日時以前であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時以前です。 • false：GlideDateTime オブジェクトの日時は指定されたオブジェクトの日時より後です。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2016-05-09 10:11:12");
var gdt2 = new GlideDateTime("2017-06-12 15:11:12");
gs.info(gdt1.onOrBefore(gdt2));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

```
true
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setDayOfMonthLocalTime(数値 **day**)

日付を現在のユーザーのタイムゾーンで指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日	数値	変更する日付 (1 ～ 31)。この値が月の最大日数より大きい場合、値はその月の最終日に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDayOfMonthLocalTime(9);
gs.info(gdt.getDayOfMonthLocalTime());
```

出力：

```
9
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setDayOfMonthUTC(数値 **day**)

日付を UTC タイムゾーンで指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
日	数値	変更する日付 (1 ～ 31)。この値が月の最大日数より大きい場合、値はその月の最終日に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setDayOfMonthUTC(9);
gs.info(gdt.getDayOfMonthUTC());
```

出力：

```
9
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setDisplayValue(文字列 **asDisplayed**)

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンを使用して日時の値を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの日時。パラメーターは現在のユーザーの優先表示形式 (MM-dd-yyyy HH:mm:ss など) を使用して書式設定される必要があります。現在の日付と時刻をワークフロースクリプト内の変数に割り当てるには、 変数 `.setDisplayValue(gs.nowDateTime);` を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValue("2014-01-01 12:00:00");//uses current user session
 time zone (US/Pacific)
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2014-01-01 20:00:00
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setDisplayValue(文字列 **value**, 文字列 **format)**

現在のユーザーのタイムゾーンと指定された日時の表示形式を使用して日時の値を設定します。

このメソッドは、*value* パラメーターで使用される日時の形式が *format* パラメーターと一致しない場合にランタイム例外をスローします。例外を取得した後、GlideDateTime オブジェクトで *getErrorMsg()* を呼び出し、エラーメッセージを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの日時。
format	文字列	*value* パラメーターの解析に使用する日時形式。 *value* パラメーターを説明するには、次の値を使用します。 • dd：日付 • MM：月 • yyyy：年 • HH：時 • mm：分 • ss：秒 例：「dd-MM-yyyy HH:mm:ss」または「MM-dd-yyyy HH:mm」

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValue("20-5-2011 12:00:00", "dd-MM-yyyy HH:mm:ss"); //uses
 current user session time zone
gs.info(gdt.getValue());
```

出力

```
"20-05-2011 12:00:00"
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setDisplayValueInternal(文字列 **value)**

内部形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) と現在のユーザーのタイムゾーンを使用して日時の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	内部形式での日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2014-02-02 12:00:00");
gdt.setDisplayValueInternal("2014-01-01 12:00:00"); //uses current user
 session time zone (US/Pacific)
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2014-01-01 20:00:00
```

スコープ付き **GlideDateTime** - setDisplayValueLang(文字列 **dateTime**, 文字列 **style)**

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイルと形式を使用して日付と時刻を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトの日時値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。 たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		language) の例の出力を使用すると、 **November 28, 2022 07:03:41** または **28.11.2022 07:03:41** が許容値です。
style	文字列	日付形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、日付と時刻を短いスタイルと完全なスタイルで返します。

```
var glideDateFR = new GlideDateTime();
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023 17:27:56", "short");

gs.info('date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
date: 2023-02-03 17:27:56
date: Friday, February 3, 2023 17:27:56
```

スコープ付き **GlideDateTime** - setDisplayValueLang(文字列 **dateTime**, 文字列 **style**, 文字列 **language)**

現在のユーザーのロケールに従って、指定されたスタイル、言語、および形式を使用して日付と時刻を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dateTime	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンでの GlideDate オブジェクトの日時値。有効な値は、 *getDisplayValueLang()* 関数からの任意の日付と時刻の出力です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		たとえば、このトピックで前述した *getDisplayValueLang(String style, String language)* の例の出力を使用すると、 **November 28, 2022 07:03:41** または **28.11.2022 07:03:41** が許容値です。
style	文字列	日付形式を指定します。 有効な値： • *full*:ユーザーのロケールに従って <平日、月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日月曜日)。 • *long*:ユーザーのロケールに従って <月、日、年> の形式で日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *medium*: **long** と似ていますが、月を省略して日付を返します (例:2022 年 10 月 24 日)。 • *short*:ユーザーのロケールに従って MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式で日付を返します (10/24/2022 や 24/10/2022 など)。 他の値が渡された場合、API はデフォルトで *medium* を使用します。指定できる値では、大文字と小文字は区別されません。
language	文字列	BCP-47 標準に準拠する言語タグを使用して言語を設定します。たとえば、フランス語の場合は `fr` 、イギリス英語の場合は `en-UK` です。指定できる値の一覧については、「BCP 47 言語コード一覧」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、英語とフランス語の短いスタイルと完全なスタイルで日付と時刻を返します。

```
var glideDateFR = new GlideDateTime();

glideDateUS.setDisplayValueLang("2/3/2023 18:00:00", "short", "en-US" );
glideDateFR.setDisplayValueLang("2/3/2023 18:00:00", "short", "fr-FR" );

gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValue());
gs.info('en-US date: ' + glideDateUS.getDisplayValueLang("full"));

gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValue());
gs.info('fr-FR date: ' + glideDateFR.getDisplayValueLang("full"));
```

出力:

```
en-US date: 2023-02-03 18:00:00
en-US date: Friday, February 3, 2023 18:00:00
fr-FR date: 2023-03-02 18:00:00
fr-FR date: Thursday, March 2, 2023 18:00:00
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 **GlideDateTime - setGlideDateTime(GlideDateTime g)**

既存の GlideDateTime オブジェクトを使用して現在のオブジェクトの日時を設定します。このメソッドは、GlideDateTime パラメーターで新しいオブジェクトをインスタンス化することと同じです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
g	GlideDateTime	日時値の設定に使用するオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dt1 = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
var dt2 = new GlideDateTime("2011-02-02 08:00:00");
dt1.setGlideDateTime(dt2);
gs.info(dt1.getValue());
```

出力：

```
2011-02-02 08:00:00
```

スコープ対象 **GlideDateTime -** setMonthLocalTime(数値 **month)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された月を現在のユーザーのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
月	数値	変更先の月。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setMonthLocalTime(1);
gs.info(gdt.getMonthLocalTime());
```

出力：

```
1
```

スコープ対象 **GlideDateTime -** setMonthUTC(数値 **month)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された月を UTC タイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
月	数値	変更先の月。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setMonthUTC(1);
gs.info(gdt.getMonthUTC());
```

出力：

```
1
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setValue(文字列 **o)**

GlideDateTime オブジェクトの日時を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	文字列	使用する日時。このパラメーターは次のいずれかの 1 つのタイプです。 • UTC タイムゾーンの文字列と yyyy-MM-dd HH:mm:ss の内部形式。オブジェクトの値を指定された日時に設定します。この方法を使用することは、 *`GlideDateTime(String value)`* コンストラクタを使用して新しい GlideDateTime オブジェクトをインスタンス化することと同じです。使用した日時形式が内部形式と一致しない場合、メソッドは利用可能な他の形式を使用して日時の設定を試行します。この方法で日時の不一致を解決すると、日付と月の値のあいまいさにより日付が不正確になる可能性があります。非標準の日付と時刻の形式を使用する場合は、代わりに *`setValueUTC(String dt, String format)`* を使用します。 • GlideDateTime オブジェクト。オブジェクトの値をパラメーターで渡された GlideDateTime に格納された日時に設定します。この方法を使用することは、 *`GlideDateTime(GlideDateTime g)`* コンストラクターを使用して新しい GlideDateTime オブジェクトをインスタンス化することと同じです。 • JavaScript の数字。数値を使用して、オブジェクトの値を 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 UTC からのミリ秒として設定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
gdt.setValue("2011-02-02 08:00:00");  // value set =  2011-02-02 08:00:00
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-02-02 08:00:00
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setValueUTC(文字列 **dt**, 文字列 **format)**

UTC タイムゾーンと指定された日時の表示形式を使用して日時の値を設定します。このメソッドは、*dt* パラメーターで使用される日時の形式が *format* パラメーターと一致しない場合にランタイム例外をスローします。例外を取得した後、GlideDateTime オブジェクトで `getErrorMsg()` を呼び出し、エラーメッセージを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	文字列	使用する日時。
format	文字列	使用する日時形式。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
gdt.setValueUTC("15-02-2011 08:00:00", "dd-MM-yyyy HH:mm:ss");
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-02-15 08:00:00
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setYearLocalTime(数値 **year)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された年を現在のユーザーのタイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
year	数値	変更先の年。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setYearLocalTime(2013);
gs.info(gdt.getYearLocalTime());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
2013
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - setYearUTC(数値 **year)**

GlideDateTime オブジェクトに格納された年を UTC タイムゾーンを使用して指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
year	数値	変更先の年。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setYearUTC(2013);
gs.info(gdt.getYearUTC());
```

出力：

```
2013
```

スコープ対象 **GlideDateTime - subtract(GlideTime time)**

指定された時間を現在の GlideDateTime オブジェクトから減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
time	GlideTime	減算する時間値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
var gtime1 = new GlideTime();
gtime1.setValue("00:00:20");
gdt.subtract(gtime1);
var gtime2 = gdt.getTime();
gs.info(gtime2.getByFormat('hh:mm:ss'));
```

出力：

```
07:59:40
```

スコープ対象 **GlideDateTime** - subtract(数値 **milliseconds)**

指定されたミリ秒の数を GlideDateTime オブジェクトから減算します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	減算するミリ秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-12-07 08:00:00");
gdt.subtract(1000);
gs.info(gdt.getValue());
```

出力：

```
2011-12-07 07:59:59
```

スコープ対象 GlideDateTime - subtract(GlideDateTime start, GlideDateTime end)

指定された 2 つの GlideDateTime オブジェクト間の期間差を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
Start	GlideDateTime	開始日オブジェクト。
End	GlideDateTime	終了日オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	指定された 2 つの日付間の期間差。

```
var gdt1 = new GlideDateTime("2011-08-28 09:00:00");
var gdt2 = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");

var dur = GlideDateTime.subtract(gdt1, gdt2); //the difference between
 gdt1 and gdt2
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

出力：

```
2 Days 23 Hours
```

スコープ対象 GlideDateTime - toString()

GlideDateTime オブジェクトに格納された日時の値を、デフォルトで内部形式 yyyy-MM-dd HH:mm:ss、システムタイムゾーン、UTC で取得します。このメソッドは *getValue()* と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	
文字列	システムタイムゾーンと形式での GlideDateTime オブジェクトに格納された日時。

```
var gdt = new GlideDateTime("2011-08-31 08:00:00");
gs.info(gdt.toString());
```

出力：

```
2011-08-31 08:00:00
```

GlideDBFunctionBuilder - スコープ対象、グローバル

GlideDBFunctionBuilder API は、データベースで SQL 操作を実行する関数をビルドするためのメソッドを提供します。

これらのメソッドは、レコードデータに対して SQL 操作を実行するリレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) 関数を構築する方法を提供します。これらのメソッドは、スコープ対象のサーバースクリプトとグローバルサーバースクリプトの両方で使用できます。

プラットフォーム機能を使用するには：

- GlideDBFunctionBuilder コンストラクターと関連メソッドを使用して関数を構築します。
- 関数を作成したら、*GlideRecord* クラスの *addFunction()* メソッドを使用して、現在のレコードに関数を適用します。
- *GlideRecord* クラスの *addQuery()* メソッドを使用して、関数をクエリに追加します。
- *getValue()* や *getElement()* などの既存の *GlideRecord* API メソッドを使用して、関数の結果を取得します。

例：

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var dbFunction = functionBuilder.position();
dbFunction = functionBuilder.constant('my'); // search_term: Text to
 search for in the specified table column.
dbFunction = functionBuilder.field('short_description');  // column: Name
 of the table column to search.
dbFunction = functionBuilder.build();

gs.log(dbFunction);

var gr_incident = new GlideRecord('incident'); // Table containing the
 column to search
gr_incident.addFunction(dbFunction);
gr_incident.addQuery("short_description", "CONTAINS", "my");
gr_incident.setLimit(20);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info(gr_incident.short_description + "\n position('my',
 short_description): " + gr_incident.getValue(dbFunction));
}
```

関数フィールドの詳細については、「機能フィールド」を参照してください。

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - GlideDBFunctionBuilder()

GlideDBFunctionBuilder オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var builder = new GlideDBFunctionBuilder();
```

スコープ付き GlideDBFunctionBuilder - andFunc(expr1, expr2, ...)

新しい AND 式を開始します。これは、パラメーターとして指定されたすべての式が true の場合にのみ true を返します。少なくとも 1 つのブール値式をパラメーターとして指定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
式	ブール値の GlideFunction 式	現在、この基準を満たす glide 関数には、and()、or()、および *compare()* が含まれます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果の GlideFunction 式。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。

```
var expr = new GlideDBFunctionBuilder()
    .andFunc()

 .compare().field('first_name').constant('=').constant('John').endfunc()
        .compare().field('active').constant('=').constant(1).endfunc()
    .endfunc()
    .build();
gs.info("Expression: " + expr);
```

出力:

```
Expression:
 glidefunction:and(compare(first_name,'=','John'),compare(active,'=','1
'))
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - add()

2 つ以上の整数フィールドの値を加算します。

field(文字列 *field*) メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myAddingFunction = functionBuilder.add();
myAddingFunction = functionBuilder.field('order');
myAddingFunction = functionBuilder.field('priority');
myAddingFunction = functionBuilder.build();
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - build()

GlideDBFunctionBuilder オブジェクトによって定義されたデータベース関数を構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myAddingFunction = functionBuilder.add();
myAddingFunction = functionBuilder.field('order');
myAddingFunction = functionBuilder.field('priority');
myAddingFunction = functionBuilder.build();
gs.info(myAddingFunction);
```

出力:

```
*** Script: glidefunction:add(order,priority)
```

スコープ付き GlideDBFunctionBuilder - coalesce()

任意の数のカンマ区切りフィールドを入力として取得し、最初の空でない値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
argument	文字列	定数値 (文字列、オブジェクト、ブール値) または はフィールドを含むリスト。指定できる形式: `glidefunction:coalesce(<string, string, string, etc.>)` 引数には任意の数のパラメーターを含めることができま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		すが、少なくとも 1 つのパラメーターを定義する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	引数リスト内の null 以外の最初の値。null 以外の値がない場合は、null が返されます。関数オブジェクトの作成時に引数が指定されていない場合、「無効な関数」が文字列として返されます。

次の要求例は、closed_at、resolved_at、および sys_updated_on フィールドに従って null 値を返すように結合ガイド関数を形成する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('incident');
var func = "glidefunction:coalesce(closed_at,
 resolved_at,sys_updated_on)";
gr.addFunction(func);
gr.query();
while(gr.next())
gs.info(gr.getValue(func));
```

スクリプトは、インシデントテーブル内のインシデントレコードごとに、このリストのフィールドから最初の null 以外の値 [closed_at, resolved_at, sys_updated_on] を返し、 `gs.info` とともに出力します。

```
2016-12-14 02:46:44
2018-01-09 22:55:16
2018-01-07 22:54:55
2018-01-13 23:02:54
2018-01-09 23:12:02
```

スコープ付き GlideDBFunctionBuilder - compare(exp1, op, exp2)

2 つの式間の比較を実行する新しい COMPARE 式を開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
exp1	文字列	左比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。
オペアンプ	文字列	引用符で囲まれた比較演算子。受け入れ可能な値: • “'='” • “'<'” • “'>'” • “'<='” • “'>='”

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
exp2	文字列	右比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果の GlideFunction 式。

次の例は、compare() 操作を使用して glidefunction 式をビルドする方法を示しています。*compare()* を呼び出した後、3 つの必須パラメーターのそれぞれを指定するためにさらに 3 つの呼び出しを行う必要があり、*endfun()* の 1 回の呼び出しで完了します。以下では、2 つの別々の *compare()* 式を作成し、それらを *or()* 式のパラメーターとして提供します。

```
var expr = new GlideDBFunctionBuilder()
    .orFunc()

 .compare().field('first_name').constant('=').constant('John').endfunc()
        .compare().field('active').constant('=').constant(1).endfunc()
    .endfunc()
    .build();
```

出力:

```
Expression:
 glidefunction:or(compare(first_name,'=','John'),compare(active,'=','1'))
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - concat()

2 つ以上のフィールドの値を連結します。

field(文字列 *field)* メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myConcatFunction = functionBuilder.concat();
myConcatFunction = functionBuilder.field('short_description');
myConcatFunction = functionBuilder.field('caller_id.name');
myConcatFunction = functionBuilder.build();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - constant(文字列 constant)

関数で使用する定数値を定義します。`dayofweek()` メソッドで使用する場合、文字列は日曜日または月曜日のどちらを週の最初の日として使用するかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
constant	文字列	関数で使用される定数値。 `dayofweek()` メソッドとともに使用する場合、この値は週が日曜日または月曜日のどちらから始まるかを定義します。 • **1**：週は日曜日に始まります。 • **2**：週は月曜日に始まります。 この定義により、`dayofweek()` メソッドは指定された日付から正しい曜日を返すことができます。1 または 2 以外の値が指定された場合、`dayofweek()` メソッドは日曜日を週の最初の日として使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var dbFunction = functionBuilder.position();
dbFunction = functionBuilder.constant('my');
dbFunction = functionBuilder.field('short_description');
dbFunction = functionBuilder.build();

gs.log(dbFunction);

var g = new GlideRecord('incident');
g.addFunction(dbFunction);
g.addQuery("short_description", "CONTAINS", "my");
g.setLimit(20);
g.query();
while(g.next()) {
  gs.info(g.short_description + "\n position('my', short_description): "
 + g.getValue(dbFunction));
}
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - datediff()

指定された開始日時と終了日時を使用して期間を決定します。

field(文字列 `field`) メソッドを使用して、開始日時フィールドと終了日時フィールドを定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myDateDiffFunction = functionBuilder.datediff();
myDateDiffFunction = functionBuilder.field('sys_updated_on');
myDateDiffFunction = functionBuilder.field('opened_at');
myDateDiffFunction = functionBuilder.build();
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - dayofweek()

指定された日付の曜日を表す整数を返します。

field(文字列フィールド) メソッドを使用して、特定の日時を定義します。週が日曜日または月曜日のどちらで始まるかを定義するには、constant(文字列 *constant*) メソッドを使用します。

このメソッドは、MySQL、Oracle、および Microsoft SQL Server データベースでのみ使用できます。Oracle データベースを使用する場合、NLS_TERRITORY 設定は日曜日を週の最初の日とするテリトリーに設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
整数	週の最初の日が constant(文字列 *constant*) メソッドで日曜日に設定されている場合、戻り値は次の曜日に関連付けられます。 • **1**：日曜日 • **2**：月曜日 • **3**：火曜日 • **4**：水曜日 • **5**：木曜日 • **6**：金曜日 • **7**：土曜日 週の最初の日が月曜日に設定されている場合：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• **1**：月曜日 • **2**：火曜日 • **3**：水曜日 • **4** ：木曜日 • **5**：金曜日 • **6**：土曜日 • **7**：日曜日 constant(文字列 *constant*) メソッドに 1 または 2 以外の値が指定された場合、*dayofweek()* メソッドは日曜日を週の最初の日として使用します。

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var dayOfWeekFunction = functionBuilder.dayofweek();
dayOfWeekFunction = functionBuilder.field('opened_at');
dayOfWeekFunction = functionBuilder.constant('2');
dayOfWeekFunction = functionBuilder.build();

var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addFunction(dayOfWeekFunction);
now_GR.query();
while(now_GR.next())
gs.log(now_GR.getValue(dayOfWeekFunction));
```

自動翻訳

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - divide()

ある整数フィールドの値を別の整数フィールドの値で除算します。

field(文字列 *field*) メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myDivideFunction = functionBuilder.divide();
myDivideFunction = functionBuilder.field('order');
myDivideFunction = functionBuilder.field('priority');
myDivideFunction = functionBuilder.build();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - field(文字列 field)

SQL 操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	SQL 操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myAddingFunction = functionBuilder.add();
myAddingFunction = functionBuilder.field('order');
myAddingFunction = functionBuilder.field('priority');
myAddingFunction = functionBuilder.build();
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - length()

フィールド内のコード単位数を決定します。

field(文字列 *field*) メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myLengthFunction = functionBuilder.length();
myLengthFunction = functionBuilder.field('short_description');
myLengthFunction = functionBuilder.build();
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - multiply()

2 つの整数フィールドの値を乗算します。

field(文字列 *field*) メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myMultiplyFunction = functionBuilder.multiply();
myMultiplyFunction = functionBuilder.field('order');
myMultiplyFunction = functionBuilder.field('priority');
myMultiplyFunction = functionBuilder.build();
```

スコープ付き **GlideDBFunctionBuilder -** orFunc(式)

新しい OR 式を開始します。この式は、パラメーターとして指定された式の少なくとも 1 つが true の場合に true を返します。

少なくとも 1 つのブール値式をパラメーターとして指定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
式	ブール値の GlideFunction 式	現在、この基準を満たす Glide 関数には、and()、or()、compare() などがあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果の GlideFunction 式。

次の例は、or() 操作を使用して glidefunction 式をビルドする方法を示しています。この式は、*first_name* フィールドが「John」の場合、または *active* フィールドが true の場合に true を返します。結果の式文字列は、glidefunction 式が受け入れられる場所であればどこでも使用できます。

```
var expr = new GlideDBFunctionBuilder()
    .orFunc()

 .compare().field('first_name').constant('=').constant('John').endfunc()
        .compare().field('active').constant('=').constant(1).endfunc()
    .endfunc()
    .build();
gs.info("Expression: " + expr);
```

出力:

```
Expression:
 glidefunction:or(compare(first_name,'=','John'),compare(active,'=','1'))
```

スコープ付き **GlideDBFunctionBuilder - position()**

テーブルの列内で指定された文字列が最初に出現するものを返します。

必要に応じて、文字列内の場所を指定して検索を開始できます。このメソッドは、MySQL の `LOCATE(substring, str, position)` に相当します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この方法を使用して、関心のあるデータポイントやデータアナリストによるカスタムレポートを検索できます。通常、この方法は、データウェアハウスや、柔軟性の低いシステムへのデータの抽出、変換、およびロード (ETL) に使用します。

このメソッドを辞書レコードで使用するには、`glidefunction:position(<serarch_term>,<column>)` を使用します。

注: 次の表で指定されているパラメーターは、メソッド呼び出しでは渡されず、GlideDBFunctionBuilder() オブジェクトで設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
search_term	文字列	指定したテーブル列で検索するテキスト。
列	文字列	検索するテーブル列の名前。テーブルは、関連する GlideRecord オブジェクトで指定されます。
start_position	番号	オプション。検索を開始する列テキスト内の場所。 デフォルト値：1

返される内容

タイプ	説明
なし	指定された検索用語が最初に出現する位置。 関連付けられたテキストに検索用語が見つからない場合は `0` を返します。必須の引数が NULL の場合は `NULL` を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var dbFunction = functionBuilder.position();
dbFunction = functionBuilder.constant('my'); // search_term: Text to
 search for in the specified table column.
dbFunction = functionBuilder.field('short_description');  // column: Name
 of the table column to search.
dbFunction = functionBuilder.build();

gs.log(dbFunction);

var gr_incident = new GlideRecord('incident'); // Table containing the
 column to search
gr_incident.addFunction(dbFunction);
gr_incident.addQuery("short_description", "CONTAINS", "my");
gr_incident.setLimit(20);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next()) {
  gs.info(gr_incident.short_description + "\n position('my',
 short_description): " + gr_incident.getValue(dbFunction));
}
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
*** Script: glidefunction:position('my',short_description)
*** Script: Wireless access is down in my area
 position('my', short_description): 28
*** Script: Printer in my office is out of toner
 position('my', short_description): 12
*** Script: Reset my password
 position('my', short_description): 7
*** Script: I can't launch my VPN client since the last software update
 position('my', short_description): 16
*** Script: Missing my home directory
 position('my', short_description): 9
*** Script: Seem to have an issue with my hard drive...
 position('my', short_description): 28
*** Script: Please remove the latest hotfix from my PC
 position('my', short_description): 38
*** Script: I can't get my weather report
 position('my', short_description): 13
*** Script: Reset my password
 position('my', short_description): 7
*** Script: my PDF docs are all locked from editing
 position('my', short_description): 1
*** Script: My desk phone does not work
 position('my', short_description): 1
*** Script: Can't log into SAP from my laptop today
 position('my', short_description): 25
*** Script: My computer is not detecting the headphone device
 position('my', short_description): 1
*** Script: My disk is still having issues. Can't delete a file
 position('my', short_description): 1
*** Script: The USB port on my PC stopped working
 position('my', short_description): 17
```

自動翻訳

スコープ付き GlideDBFunctionBuilder - substring()

テーブルの指定された列の指定された位置から始まるサブ文字列を返します。

必要に応じて、テキスト抽出を停止する文字列内の場所を指定することもできます。このメソッドは、MySQL の `LOCATE(substring, str, position)` に相当します。

この方法は、データベースレベルではJavaScriptと同様に機能します。この方法を使用して、データアナリストにとって興味深いデータポイントまたはカスタムレポートを見つけることができます。通常、この方法は、データウェアハウスや、柔軟性の低いシステムへのデータの抽出、変換、およびロード (ETL) に使用します。

このメソッドを辞書レコードで使用するには、`glidefunction:substring(<field>,<start_position>,<end_position>)` を使用します

注: 次の表で指定されているパラメーターは、メソッド呼び出しでは渡されず、GlideDBFunctionBuilder() オブジェクトで設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	テキストを取得するテーブル内の列の名前。テーブルは、関連する GlideRecord オブジェクトで指定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
start_position	番号	テキストの抽出を開始する列テキスト内の位置。
end_position	番号	オプション。テキストの抽出を停止する列テキスト内の位置。 デフォルト:指定した列のテキストの最後。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたテーブル列から抽出されたテキスト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var dbFunction = functionBuilder.substring();
dbFunction = functionBuilder.field('short_description');  // field:
 Column within the table to obtain the substring
dbFunction = functionBuilder.constant(0); // start_position: Location in
 the column text to start extracting text
dbFunction = functionBuilder.constant(20); // end_position: Location in
 the column text to stop extracting text.
dbFunction = functionBuilder.build();

gs.log(dbFunction);

var gr_incident = new GlideRecord('incident'); // Table containing the
 column from which to extract the text
gr_incident.addFunction(dbFunction);
gr_incident.addQuery("short_description", "CONTAINS", "my");
gr_incident.setLimit(20);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next()) {
  gs.info(gr_incident.short_description +
 "\n substring(short_description, 0, 20): " +
 gr_incident.getValue(dbFunction));
}
```

出力:

```
*** Script: glidefunction:substring(short_description,'0','20')
*** Script: Wireless access is down in my area
 substring(short_description, 0, 20): Wireless access is
*** Script: Printer in my office is out of toner
 substring(short_description, 0, 20): Printer in my offic
*** Script: Reset my password
 substring(short_description, 0, 20): Reset my password
*** Script: I can't launch my VPN client since the last software update
 substring(short_description, 0, 20): I can't launch my V
*** Script: Missing my home directory
 substring(short_description, 0, 20): Missing my home dir
*** Script: Seem to have an issue with my hard drive...
 substring(short_description, 0, 20): Seem to have an iss
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: Please remove the latest hotfix from my PC
 substring(short_description, 0, 20): Please remove the l
*** Script: I can't get my weather report
 substring(short_description, 0, 20): I can't get my weat
*** Script: Reset my password
 substring(short_description, 0, 20): Reset my password
*** Script: my PDF docs are all locked from editing
 substring(short_description, 0, 20): my PDF docs are all
*** Script: My desk phone does not work
 substring(short_description, 0, 20): My desk phone does
*** Script: Can't log into SAP from my laptop today
 substring(short_description, 0, 20): Can't log into SAP
*** Script: My computer is not detecting the headphone device
 substring(short_description, 0, 20): My computer is not
*** Script: My disk is still having issues. Can't delete a file
 substring(short_description, 0, 20): My disk is still ha
*** Script: The USB port on my PC stopped working
 substring(short_description, 0, 20): The USB port on my
```

スコープ対象 GlideDBFunctionBuilder - subtract()

1 つの整数フィールドの値を別の整数フィールドから減算します。

field(文字列 *field*) メソッドを使用して、操作が実行されるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var mySubtractFunction = functionBuilder.subtract();
mySubtractFunction = functionBuilder.field('order');
mySubtractFunction = functionBuilder.field('priority');
mySubtractFunction = functionBuilder.build();
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - グローバル

GlideDBCaseStatementBuilder API を使用すると、SQL CASE ステートメントを作成し、一連の条件に基づいて値を返すことができます。

この API は、 GlideElement - グローバル API の定義の一部として、またはテーブルをクエリするときに使用できます。CASE ステートメントを作成するには、まず、コンストラクター *GlideDBFunctionCaseBuilder()* を使用して *GlideDBFunctionCaseBuilder* オブジェクトをインスタンス化します。次に、一連の *when()* と *then()* 呼び出しを使用し、その後にオプションの otherwise *()* 呼び出しを 1 つ続けて使用して、1 つ以上のケースを定義します。最後に、*build()* メソッドを呼び出してビルダーを完成させ、完成したデータベース関数 case ステートメントを生成します。このステートメントは、直接使用することも、他の Glide 関数定義の一部として使用することもできます。

必要なロール:admin、function_field_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideDBFunctionCaseBuilder - GlideDBFunctionCaseBuilder()

GlideDBFunctionCaseBuilder オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、GlideDBFunctionCaseBuilder オブジェクトをインスタンス化します。

```
var caseBuilder = new GlideDBFunctionCaseBuilder();
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - build()

条件のリストを終了し、最後の CASE ステートメントを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	完成したケースステートメント。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。影響度フィールドの数値に応じて、4 つの異なる文字列のうちの 1 つが出力されます。

```
const caseStatement = new GlideDBFunctionCaseBuilder()
    .whenCompare("impact", "'='", "'1'").then("'CRITICAL'")
    .whenCompare("impact", "'='", "'2'").then("'URGENT'")
    .whenCompare("impact", "'='", "'3'").then("'IMPORTANT'")
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(10);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next())  {
    gs.info("impact: {0}  case: {1}",
            [gr_incident.impact, gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - それ以外の場合 (文字列 exp)

オプション。when と then の少なくとも 1 つの呼び出しのペアに続いて、otherwise() 呼び出しを使用すると、どの when 式も満たされない場合に出力する値を指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
exp	文字列	出力する値。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
GlideDBFunctionCaseBuilder	ステートメントの作成を続行するための流暢なビルダーオブジェクト。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。

```
const caseStatement = new GlideDBCaseFunctionBuilder()
    .whenEqual("impact", "'1'").then("'CRITICAL'")
    .whenEqual("impact", "'2'").then("category")
    .whenEqual("impact", "'3'").then("length(short_description)")
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(10);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next())  {
      gs.info("impact: {0}  case: {1}",
              [gr_incident.impact, gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
*** Script: impact: 2  case: inquiry
*** Script: impact: 2  case: Hardware
*** Script: impact: 1  case:  CRITICAL
*** Script: impact: 2  case: database
*** Script: impact: 2  case: inquiry
*** Script: impact: 3  case: 28
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 3  case: 17
*** Script: impact: 3  case: 29
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - then(文字列 exp)

*when()*メソッドに続いて、*then()*を使用すると、*when()*式が満たされた場合に出力する値を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
exp	文字列	出力する値。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
GlideDBFunctionCaseBuilder	ステートメントの作成を続行するための流暢なビルダーオブジェクト。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。この場合、*then()* 式は、文字列だけでなく、 `length(short_description)` などの他の Glide 関数の結果も出力する方法を示しています。

```
const caseStatement = new GlideDBCaseFunctionBuilder()
    .whenEqual("impact", "'1'").then("'CRITICAL'")
    .whenEqual("impact", "'2'").then("category")
    .whenEqual("impact", "'3'").then("length(short_description)")
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(10);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next())  {
      gs.info("impact: {0}  case: {1}",
              [gr_incident.impact, gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
*** Script: impact: 2  case: inquiry
*** Script: impact: 2  case: Hardware
*** Script: impact: 1  case:  CRITICAL
*** Script: impact: 2  case: database
*** Script: impact: 2  case: inquiry
*** Script: impact: 3  case: 28
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 3  case: 17
*** Script: impact: 3  case: 29
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - when(文字列関数)

サポートされている「when」式の中で最も汎用性の高い *when()* メソッドを使用すると、満たす条件としてブール値の Glide 関数を指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
機能	文字列	評価時にブール値の結果が返される Glide 関数。可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• glidefunction:compare • glidefunction:および • glidefunction:または

返される内容

タイプ	説明
glideDBFunctionケースビルダー	ステートメントの作成を続行するオブジェクト。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。この場合、*when()* メソッドを使用して、より複雑な比較式を指定します。式が true と評価された場合、対応する文字列が返されます。

```
const caseStatement = new GlideDBFunctionCaseBuilder()
    // if impact == 1 AND category == 'Software' then output "CRITICAL
 SOFTWARE"
    .when("and(compare(impact, '=', '1'), compare(category, '=',
'Software')")
        .then("'CRITICAL SOFTWARE'")
    // if impact == 1 then output "CRITICAL OTHER"
    .when("compare(impact, '=', '1')")
        .then("'CRITICAL OTHER'")
    // if impact == 2 OR category == 'Software' then output "URGENT"
    .when("or(compare(impact, '=', '2'), compare(category, '=',
 'Software')")
        .then("'URGENT'")
    // If none of the above expressions are true, output "NOT IMPORTANT"
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(20);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next())  {
      gs.info("impact: {0}  category: {1}  case: {2}",
            [gr_incident.impact, gr_incident.category,
 gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
impact: 2  category: inquiry  case: URGENT
impact: 2  category: Hardware  case: URGENT
impact: 1  category: inquiry  case:  CRITICAL OTHER
impact: 2  category: database  case: URGENT
impact: 2  category: inquiry  case: URGENT
impact: 3  category: software  case: URGENT
impact: 1  category: inquiry  case: CRITICAL OTHER
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
impact: 1  category: inquiry  case: CRITICAL OTHER
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: hardware  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: hardware  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 1  category: inquiry  case: CRITICAL OTHER
impact: 1  category: software  case: CRITICAL SOFTWARE
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 3  category: inquiry  case: NOT IMPORTANT
impact: 2  category: software  case: URGENT
impact: 1  category: software  case: CRITICAL SOFTWARE
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - whenCompare(文字列 **exp1**, 文字列 **op**, 文字列 **exp2)**

比較ケース条件を開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
exp1	文字列	左比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。
オペアンプ	文字列	引用符で囲まれた比較演算子。 有効な値： • '"="' • '"<"' • '">"' • '"<="' • '">="'
exp2	文字列	右比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
GlideDBFunctionCaseBuilder	ステートメントの構築を続行するための関数ビルダーオブジェクト。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。この場合、*whenCompare()* メソッドを使用して、影響度フィールドの値を数値と比較し、一致した場合は指定された文字列を出力します。

```
const caseStatement = new GlideDBFunctionCaseBuilder()
    .whenCompare("impact", "'='", "'1'").then("'CRITICAL'")
    .whenCompare("impact", "'='", "'2'").then("URGENT")
    .whenCompare("impact", "'='", "'3'").then("IMPORTANT")
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(10);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next()) {
    gs.info("impact: {0} case: {1}",
            [gr_incident.impact, gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
```

GlideDBFunctionCaseBuilder - whenEqual(文字列 exp1, 文字列 exp2)

*whenCompare()*と同様に、*whenEqual()*は等価性をチェックするのに便利なメソッドです。これは 、whenCompare(leftExpression, *'=', rightExpression)* と同等です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
exp1	文字列	左比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。
exp2	文字列	右比較式。定数、フィールドへの参照、または別の Glide 関数を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
GlideDBFunctionCaseBuilder	ステートメントの構築を続行するための関数ビルダーオブジェクト。

次の例は、単純な case ステートメントを定義してビルドする方法を示しています。この場合、*whenEqual()* メソッドを使用して、影響度フィールドの値と数値を比較し、一致する場合は指定された文字列を出力します。

```
const caseStatement = new GlideDBFunctionCaseBuilder()
    .whenEqual("impact", "'1'").then("'CRITICAL'")
    .whenEqual("impact", "'2'").then("'URGENT'")
    .whenEqual("impact", "'3'").then("'IMPORTANT'")
    .otherwise("'NOT IMPORTANT'")
    .build();

const gr_incident = new GlideRecord("incident");
gr_incident.addFunction(caseStatement);
gr_incident.setLimit(10);
gr_incident.query();
while(gr_incident.next())  {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info("impact: {0}  case: {1}",
            [gr_incident.impact, gr_incident.getValue(caseStatement)]);
}
```

出力:

```
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 2  case: URGENT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 1  case: CRITICAL
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
*** Script: impact: 3  case: IMPORTANT
```

GlideDigest - スコープ指定

スコープ付き *GlideDigest* クラスは、MD5、SHA1、または SHA256 ハッシュアルゴリズムを使用して、文字列または入力ストリームからメッセージダイジェストを作成するためのメソッドを提供します。

GlideDigest - GlideDigest()

スコープ対象 GlideDigest のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideDigest - getMD5Base64 (文字列ソース)

MD5 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getMD5Base64(inputString));
```

GlideDigest - getMD5Base64FromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

MD5 アルゴリズムを使用して、入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getMD5Base64FromInputStream(inputStream));
```

GlideDigest - getMD5Hex (文字列ソース)

MD5 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getMD5Hex(inputString));
```

GlideDigest - getMD5HexFromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

MD5 アルゴリズムを使用して、入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getMD5HexFromInputStream(inputStream));
```

GlideDigest - getSHA1Base64(文字列ソース)

SHA1 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA1Base64(inputString));
```

GlideDigest - getSHA1Base64FromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

SHA1 アルゴリズムを使用して、入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA1Base64FromInputStream(inputStream));
```

GlideDigest - getSHA1Hex (文字列ソース)

SHA1 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA1Hex(inputString));
```

GlideDigest - getSHA1HexFromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

SHA1 アルゴリズムを使用して、入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA1HexFromInputStream(inputStream));
```

GlideDigest - getSHA256Base64 (文字列ソース)

SHA256 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA256Base64(inputString));
```

GlideDigest - getSHA256Base64FromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

SHA256 アルゴリズムを使用して入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は Base64 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA256Base64FromInputStream(inputStream));
```

GlideDigest - getSHA256Hex (文字列ソース)

SHA256 アルゴリズムを使用して文字列からメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	ソース文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputString = "Her molasses flowed slowly down the hill.";
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA256Hex(inputString));
```

GlideDigest - getSHA256HexFromInputStream(GlideScriptableInputStream inputStream)

SHA256 アルゴリズムを使用して入力ストリームからメッセージダイジェストを作成します。出力文字列は 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	ソース入力ストリーム。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージダイジェスト。

```
var inputStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysID);
var digest = new GlideDigest();
gs.info(digest.getSHA256HexFromInputStream(inputStream));
```

GlideDuration - スコープ指定

GlideDuration クラスは期間と呼ばれる時間のスパンを操作するメソッドを提供します。

GlideDuration オブジェクトは 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 からの日時として期間を格納します。その結果、 *setValue()* および *getValue()* メソッドは、パラメーターと戻り値にスコープ付き GlideDateTime オブジェクトを使用します。

GlideDuration - GlideDuration()

GlideDuration オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideDuration - GlideDuration(GlideDuration another)

渡された GlideDuration オブジェクトの値のクローンを作成して、GlideDuration オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
another	GlideDuration	GlideDuration オブジェクト。

```
var duration = new GlideDuration('3 12:00:00');
var duration2 = new GlideDuration(duration);
gs.info(duration2.getDisplayValue());
```

出力:

```
3 Days 12 Hours
```

GlideDuration - GlideDuration(ミリ秒数)

指定された期間 (ミリ秒) で GlideDuration オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	期間の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		単位：ミリ秒

```
var dur = new GlideDuration(60000);
gs.info(dur.getDurationValue());
```

出力：

```
00:01:00
```

GlideDuration - GlideDuration(文字列 displayValue)

指定された期間の表示値で GlideDuration オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
displayValue	文字列	期間の値。 形式：d HH:mm:ss (「d」は日数)。

```
var duration = new GlideDuration('3 12:00:00');
var duration2 = new GlideDuration('3:00:00');
var answer = duration.add(duration2);
gs.info(answer.getDisplayValue());
```

出力:

```
3 Days 15 Hours
```

GlideDuration - add(GlideDuration 期間)

指定された GlideDuration オブジェクトの期間を現在の GlideDuration オブジェクトに加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
duration	GlideDuration	現在の GlideDuration オブジェクトに加算する期間値を含む GlideDuration オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	期間が 2 つの GlideDuration オブジェクトの期間の合計である新しい GlideDuration オブジェクト。

```
var duration = new GlideDuration('3 12:00:00');
var duration2 = new GlideDuration('3:00:00');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var answer = duration.add(duration2);
gs.info(answer.getDisplayValue());
```

出力:

```
3 Days 15 Hours
```

GlideDuration - getByFormat(文字列形式)

指定された形式で期間の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
format	文字列	期間の形式。 形式: グローバル日付/時刻フィールド形式

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された形式の現在の期間。

```
var dur = new GlideDuration('3 22:00:00');
gs.info(dur.getByFormat('HH:mm'));
```

出力

```
22:00
```

GlideDuration - getDayPart()

日数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	期間中の日数。

```
var dur = new GlideDuration('3 12:00:00');
gs.info(dur.getDayPart());
```

出力:

```
3
```

スコープ対象 GlideDuration - getDisplayValue()

期間の表示値を日数、時間数、および分数で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	日数、時間数、および分数 (2 日 10 時間 36 分など)。 形式：表示値：「n」日「n」時「n」分

```
var dur = new GlideDuration('3 12:00:00');
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

出力:

```
3 Days 12 Hours
```

GlideDuration - getDurationValue()

「d HH:mm:ss」形式で期間の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	期間の値。 形式：d HH:mm:ss (「d」は日数)。

```
var dur = new GlideDuration(60000);
gs.info(dur.getDurationValue());
```

出力:

```
00:01:00
```

GlideDuration - getRoundedDayPart()

端数処理した日数を返します。時間部分が 12 時間を超える場合、戻り値は切り上げられます。超えない場合は切り捨てられます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	端数処理された表示値の日の値。

```
var dur = new GlideDuration('3 14:00:00');
gs.info(dur.getRoundedDayPart());
```

出力:

```
4
```

GlideDuration - getValue()

現在の GlideDuration オブジェクトの内部日付/時刻値を返します。

GlideDuration オブジェクトは 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 からの日時として期間を格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDuration オブジェクト内の現在の期間。 形式：YYYY-MM-DD HH:mm:ss

```
var dur = new GlideDuration('3 12:00:00');
gs.info(dur.getValue());
```

出力：

```
1970-01-04 12:00:00
```

GlideDuration - setDisplayValue(文字列 asDisplayed)

期間の表示値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	設定する表示期間の値。 形式：d HH:mm:ss (「d」は日数)

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var dur = new GlideDuration();
dur.setDisplayValue('3 08:00:00');
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

出力：

```
3 Days 8 Hours
```

GlideDuration - setValue(オブジェクト o)

GlideDuration オブジェクトの内部日付/時刻値を設定します。

このメソッドは 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 に渡された日付/時刻値の差を期間値に設定します。渡された日付/時刻オブジェクト (文字列) は GlideDateTime オブジェクトに解析されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	計算された期間のエンドポイントとして使用する日時。 形式：YYYY-MM-DD HH:mm:ss

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dur = new GlideDuration();
dur.setValue('1970-01-05 08:00:00'); // sets internal DateTime value. The
 String is parsed into a GlideDateTime object.
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

出力：

```
4 Days 8 Hours
```

GlideDuration - subtract(GlideDuration duration)

指定された GlideDuration オブジェクトの期間を現在の GlideDuration オブジェクトから減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
duration	GlideDuration	現在の GlideDuration オブジェクトから減算する期間値を含む GlideDuration オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	期間に 2 つの GlideDuration オブジェクトの期間の減算結果が含まれる新しい GlideDuration オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var duration = new GlideDuration('3 12:00:00');
var duration2 = new GlideDuration('3:00:00');
var answer = duration.subtract(duration2);
gs.info(answer.getDisplayValue());
```

出力：

```
3 Days 9 Hours
```

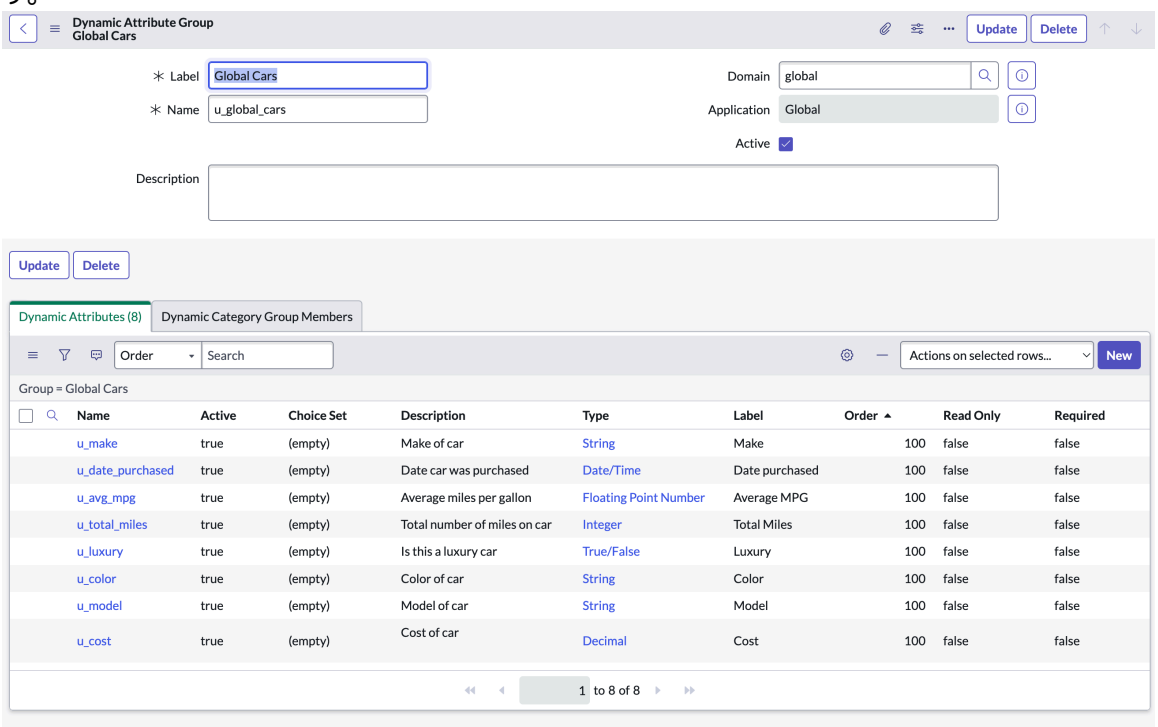
GlideDynamicAttributeStore - グローバル

GlideDynamicAttributeStore API は、文字列、日付、日付/時刻などの他のデータ型と同様に、新しい組み込みの動的属性ストアデータ型へのアクセスを提供します。

この API は、GlideDynamicAttribute オブジェクト内の動的スキーマ属性を取得および設定できるようにするメソッドを提供します。これらの動的属性により、テーブルの各行に異なるフィールドを含めることができます。このデータ・タイプが適用されるフィールドは、表の列データ・タイプの説明内に `dynamic_attribute_store` として表示されます。動的属性の詳細については、「動的スキーマ」を参照してください。

この API を使用して動的属性を作成するには、dynamic_schema_writer ロールが必要です。この API を使用して動的データを読み取るには、dynamic_schema_reader ロールが必要です。

次のスクリーンショットは、この API のコード例で使用される動的属性グループと関連する動的属性を示しています。定義された属性は、動的スキーマ実装がサポートする各データ型の例を提供します。



この API には、 GlideRecord API の動的スキーマメソッドと同じ機能を持つメソッドがあります。複数のレコードに同じグループの動的属性を設定する場合は、この API を使用します。この API を使用すると、必要な属性を持つ GlideDynamicAttributeStore オブジェクトをステージングし、さまざまな *setDynamicAttributeValues()* メソッドを使用してそのオブジェクトを複数の GlideRecord にコピーできます。*GlideRecord* API で同様の動的スキーマメソッドを使用すると、指定された GlideRecord に対してアクションが実行されます。

GlideDynamicAttributeStore - clear()

GlideDynamicAttributeStore オブジェクトからすべての属性とその値をクリアします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg",24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles",5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
das.clear();
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
```

出力：

```
*** Script: das: {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5234",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.5",
    "date_purchased" : "2024-04-19 08:29:52",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
    "total_miles" : "5324"
  }
}
*** Script: das: null
```

GlideDynamicAttributeStore - getDisplayValue()

現在の GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納されている値の JSON マップ表現を返します。

このメソッドは以下を返します。

- 1 と 0 の代わりに「true」と「false」のブール値。
- UTC ではなくユーザーのロケールの日付/時刻値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納されている値の、人間が判読できる JSON マップ。この文字列の内容は、動的スキーマ定義によって異なります。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('Value returned by getValue(): ' + das.getValue());
gs.info('Value returned by getDisplayValue(): ' + das.getDisplayValue());
```

出力:

```
*** Script: Value returned by getValue():
 {"cars":{"total_miles":5324,"color":"blue","model":"CRV","cost":12000.5,
"luxury":1,"avg_mpg":24.5234,"make":"Toyota","date_purchased":"2024-04-19
 15:33:23"}}
*** Script: Value returned by getDisplayValue(): {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5234",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.5",
    "date_purchased" : "2024-04-19 08:33:23",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
    "total_miles" : "5324"
  }
}
```

GlideDynamicAttributeStore - getDynamicAttributeValue(文字列 **groupAttrPath)**

動的属性ストア要素内の指定された属性の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	渡されたグループ/属性パスによって参照される動的スキーマ属性の値。 *attributePath*パラメーターに無効な情報が含まれている場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('Value returned by getDynamicAttributeValue(): ' +
 das.getDynamicAttributeValue("cars->color"));
gs.info('Value returned by getDynamicAttributeValue(): ' +
 das.getDynamicAttributeValue("cars->luxury"));
```

出力:

```
*** Script: Value returned by getDynamicAttributeValue(): blue
*** Script: Value returned by getDynamicAttributeValue(): 1
```

GlideDynamicAttributeStore - getValue()

現在の GlideDynamicAttributeStore オブジェクトのコンテンツの圧縮文字列表現を返します。

このメソッドは以下を返します。

- 「true」と「false」の代わりに 1 と 0 のブール値。
- ユーザーのロケールではなく UTC の日付/時刻値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納されている値のコンパクトな文字列表現。この文字列の内容は、動的スキーマ定義によって異なります。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('Value returned by getValue(): ' + das.getValue());
gs.info('Value returned by getDisplayValue(): ' + das.getDisplayValue());
```

出力:

```
*** Script: Value returned by getValue():
 {"cars":{"total_miles":5324,"color":"blue","model":"CRV","cost":12000.5,
"luxury":1,"avg_mpg":24.5234,"make":"Toyota","date_purchased":"2024-04-19
 15:33:23"}}
*** Script: Value returned by getDisplayValue(): {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5234",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.5",
    "date_purchased" : "2024-04-19 08:33:23",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
    "total_miles" : "5324"
  }
}
```

GlideDynamicAttributeStore - setDisplayValue (オブジェクト値)

現在の GlideDynamicAttributeStore オブジェクトをクリアし、渡された JSON マップを GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納します。

このメソッドは、すべての日付値がユーザーのロケールで指定されることを前提としている点を除いて、機能的には GlideDynamicAttributeStore - setValue(オブジェクト値) と同じです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	現在の動的属性ストアオブジェクトに設定する値。 渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
das.setDisplayValue('{"cars":{"luxury":false}}');
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
```

出力:

```
*** Script: das: {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.0",
    "date_purchased" : "2024-04-19 14:16:49",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
    "total_miles" : "5324.0"
  }
}
*** Script: das: {
  "cars" : {
    "luxury" : "false"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

GlideDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **groupAttrPath**, オブジェクト値)

動的属性ストア要素内の指定されたパスにある動的属性の値を設定します。

このメソッドは、ブール値と日付/時刻値の処理を除き、 GlideDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeValue(文字列 groupAttrPath, オブジェクト値) メソッドと同じように機能します。このメソッドでは、すべての日付/時刻値がユーザーのロケールで指定されていることを前提としています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」
値	オブジェクト	指定された属性に設定する値。 注: 動的属性の場合、次のデータタイプのみがサポートされます。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトを更新しました。 *`groupAttrPath`*パラメーターが有効でない場合、メソッドは `IllegalArgumentException` をスローします。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->luxury","true");
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeDisplayValue("cars->date_purchased",new
 GlideDateTime());
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
das.setDisplayValue('{"cars":{"luxury":"false"}}');
gs.info('das: ' + das.getDisplayValue());
```

出力:

```
*** Script: das: {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5234",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.5",
    "date_purchased" : "2024-04-19 10:40:45",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
    "total_miles" : "5324"
  }
}
*** Script: das: {
  "cars" : {
    "luxury" : "false"
  }
}
```

自動翻訳

GlideDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeValue(文字列 **groupAttrPath**, オブジェクト 値)

指定されたグループ/属性パスによって参照される動的属性を指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」
値	オブジェクト	指定された属性に設定する値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 動的属性の場合、次のデータタイプのみがサポートされます。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトを更新しました。 *groupAttrPath*パラメーターが有効でない場合、メソッドは `IllegalArgumentException` をスローします。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('Value returned by getValue(): ' + das.getValue());
gs.info('Value returned by getDisplayValue(): ' + das.getDisplayValue());
```

出力:

```
*** Script: Value returned by getValue():
 {"cars":{"total_miles":5324,"color":"blue","model":"CRV","cost":12000.5,
"luxury":1,"avg_mpg":24.5234,"make":"Toyota","date_purchased":"2024-04-19
 15:33:23"}}
*** Script: Value returned by getDisplayValue(): {
  "cars" : {
    "avg_mpg" : "24.5234",
    "color" : "blue",
    "cost" : "12000.5",
    "date_purchased" : "2024-04-19 08:33:23",
    "luxury" : "true",
    "make" : "Toyota",
    "model" : "CRV",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "total_miles" : "5324"
  }
}
```

GlideDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeValues(オブジェクト値)

フィールドの内部 JSON ストレージを、渡された値の文字列表現に設定します。渡された値が GlideDynamicAttributeStore オブジェクトの別のインスタンスである場合は、そのオブジェクトの値が現在のオブジェクトにコピーされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	関連する GlideRecord に値として格納する JSON オブジェクト このメソッドは無効な JSON 値を無視します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトを更新しました。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
var otherValues = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValues(otherValues);
```

GlideDynamicAttributeStore - setValue(オブジェクト値)

現在の GlideDynamicAttributeStore オブジェクトをクリアし、渡された JSON マップをその GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納します。

このメソッドは、すべての日付値が UTC であることを前提としている点を除いて、機能的には GlideDynamicAttributeStore - setDisplayValue (オブジェクト値) と同じです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	GlideDynamicAttributeStore オブジェクトに格納する JSON マップオブジェクト。 例: `'{"cars":{"cost":"12500"}}'` このメソッドは無効な JSON 値を無視します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg", 24.5234);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles", 5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased", new
 GlideDateTime());
gs.info('das: ' + das.getValue());
das.setValue('{"cars":{"luxury":false}}');
gs.info('das: ' + das.getValue());
```

出力:

```
*** Script: das:
 {"cars":{"total_miles":5324,"color":"blue","model":"CRV","cost":12000.5,
"luxury":true,"avg_mpg":24.5234,"make":"Toyota","date_purchased":"2024-04
-19 17:28:47"}}
*** Script: das: {"cars":{"luxury":false}}
```

GlideDynamicAttributeStore - toString()

GlideDynamicAttributeStore オブジェクトのコンテンツを文字列として返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDynamicAttribute オブジェクトを文字列として渡します。 例:'{"group":{"attr2":"true","attr1":"42.0"}}'

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color","blue");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Toyota");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
das.setDynamicAttributeValue("cars->luxury",true);
das.setDynamicAttributeValue("cars->cost",12000);
das.setDynamicAttributeValue("cars->avg_mpg",24.5);
das.setDynamicAttributeValue("cars->total_miles",5324);
das.setDynamicAttributeValue("cars->date_purchased",new GlideDateTime());
gs.info('das: ' + das.toString());
```

出力:

```
*** Script: das:
 {"cars":{"cost":"12000.0","color":"blue","avg_mpg":"24.5","date_purchase
d":"2024-04-19
 14:05:00","luxury":"true","model":"CRV","make":"Toyota","total_miles":"5
324.123"}}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideElement - グローバル

GlideElement API には、フィールドとその値を処理するための便利なスクリプトメソッドが多数用意されています。*GlideElement* メソッドは、現在の Glide レコードのフィールドで使用できます。

GlideElement - canCreate()

ユーザーのロールで関連付けられたフィールドでの新しいエントリの作成が可能かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが関連フィールドに新しいエントリを作成する権限を持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーは新しいエントリを作成できます。 • false：ユーザーは新しいエントリを作成できません。

次の例は、ユーザーが問題 [problem] テーブルの最新の 3 つのレコードのエントリを作成する権限を持っているかどうかを判断する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('problem');

// Get records in new state in Problem Table
gr.addQuery('state','101');

// Sort records in order of recent to earlier Created Date
gr.orderByDesc('sys_created_on');

// Limit the query to three records
gr.setLimit(3);
gr.query();

while(gr.next()){
  if(gr.short_description.canCreate()){ ///check to see if the current
 user is allowed to create the record
  gs.info("I can create new records for the field Problem statement for -
 " + gr.number);
  }
}
```

出力：

```
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0000004
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0001000
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0001001
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canCreate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canCreate() を使用します。

GlideElement - canRead()

ユーザーのロールで関連する GlideRecord の読み取りが可能かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが読み込み可能な場合は true、可能でない場合は false。

次の例は、読み取り可能な [簡単な説明] フィールドを持つアクティブなインシデントレコードリストを取得する方法を示しています。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.addEncodedQuery("active=true"); //Query the Incident table for
 active incidents
grIncident.orderByDesc('number');
grIncident.setLimit(3); // limit to three results for example
grIncident.query();

while (grIncident.next()) {
    if (grIncident.short_description.canRead()) { //check to see if the
 current user is allowed to read the record
        gs.info('You have permission to read the short description of: '
 + grIncident.number + ' ' + grIncident.short_description);
    }
}
```

出力：

```
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009009 Unable to access the shared folder.
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009005 Email server is down.
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009001 Unable to post content on a Wiki page
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canRead()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canRead() を使用します。

GlideElement - canWrite()

ユーザーのロールで関連する GlideRecord の書き込みが可能かどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドに書き込み可能な場合は true、可能でない場合は false。

次の例は、書き込み可能な [簡単な説明] フィールドを持つアクティブなインシデントレコードリストを取得する方法を示しています。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.addEncodedQuery("active=true"); //Query the Incident table for
 active incidents
grIncident.orderByDesc('number');
grIncident.setLimit(3); // limit to three results for example
grIncident.query();

while (grIncident.next()) {
    if (grIncident.short_description.canWrite()) { //check to see if the
 current user is allowed to write to the record
        gs.info('You have permission to write to the short description
 of: ' + grIncident.number + ' ' + grIncident.short_description);
    }
}
```

出力：

```
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009009 Unable to access the shared folder.
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009005 Email server is down.
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009001 Unable to post content on a Wiki page
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canWrite()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canWrite() を使用します。

GlideElement - changes()

現在のフィールドが変更されているかどうかを判断します。この機能は、ジャーナルフィールドを除くすべての利用可能なデータタイプで使用できます。

注: *changes()* メソッドは ACL スクリプト内ではサポートされていません。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが変更されている場合は true、されていない場合は false。

ビジネスルールからの次の例は、**[assigned_to]** フィールドの値が変更された場合に EventQueue にイベントを作成する方法を示しています。

```
if (!current.assigned_to.nil() && current.assigned_to.changes()) {
  gs.eventQueue('incident.assigned', current,
 current.assigned_to.getDisplayValue(),
 previous.assigned_to.getDisplayValue());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *changes()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド changes() を使用します。

GlideElement - changesFrom(オブジェクト **value)**

現在のフィールドの前の値が指定されたオブジェクトと一致するかどうかを判断します。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	現在のフィールドの前の値と照合するオブジェクト値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	前の値がパラメーターと一致する場合は true、一致しない場合は false。

```
if (theState.changesTo(resolvedState)) {
  operation = 4; //Resolved
}
else if (theState.changesTo(closedState)) {
  operation = 11; //Resolution Accepted
}
else if (theState.changesFrom(resolvedState) ||
 theState.changesFrom(closedState)) {
  operation = 10; //Re-open
}
else {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  operation = 6; //Update
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *changesFrom()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド changesFrom() を使用します。

GlideElement - changesTo(オブジェクト value)

変更後のフィールドの新しい値が指定されたオブジェクトと一致するかどうかを判断します。

注: *changesTo()* メソッドは ACL スクリプト内ではサポートされていません。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	現在のフィールドの新しい値と照合するオブジェクト値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	新しい値がパラメーターと一致する場合は true、一致しない場合は false。

```
if (theState.changesTo(resolvedState)) {
  operation = 4; //Resolved
}
else if (theState.changesTo(closedState)) {
  operation = 11; //Resolution Accepted
}
else if (theState.changesFrom(resolvedState) ||
 theState.changesFrom(closedState)) {
  operation = 10; //Re-open
}
else {
  operation = 6; //Update
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *changesTo()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド changesTo() を使用します。

GlideElement - dateNumericValue()

期間フィールドに対して 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数を返します。期間フィールドはすでに GlideDateTime オブジェクトであるため、GlideDateTime オブジェクトを作成する必要はありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.get('17c90efb13418700cc36b1422244b05d');
gs.info(inc.calendar_duration.dateNumericValue());
```

出力：98000

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *dateNumericValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド dateNumericValue() を使用します。

GlideElement - debug(オブジェクト o)

オブジェクトをデバッグし、setError(文字列) を使用してデバッグメッセージを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	デバッグするオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideElement - getAttribute(文字列 attributeName)

指定された属性の値をディクショナリから返します。

属性がブーリアン属性の場合は、getBooleanAttribute(文字列) を使用して、値を文字列ではなくブーリアンとして取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeName	文字列	属性の名前

返される内容

タイプ	説明
文字列	属性値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
doit();
function doit() {
  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.query("user_name","admin");
  if (now_GR.next()) {
    gs.print("we got one");
    gs.print(now_GR.location.getAttribute("tree_picker"));
  }

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getAttribute()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getAttribute() を使用します。

GlideElement - getBaseTableName()

フィールドのベーステーブルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ベーステーブルの名前。この名前はフィールドが定義されているテーブルとは異なる場合があります。製品ドキュメントの テーブル拡張とクラス を参照してください。

次の例は、インシデントレコードの [アサイン先グループ] フィールドのベーステーブルを取得する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('incident');

//query the Incident Records which have category as Inquiry/Help
gr.addQuery('category','inquiry');

// sort them in the order of earlier to recent created date
gr.orderBy('sys_created_on');
gr.query();

if(gr.next()){ //If at least any one record exists matching this query

  //Print the base table for the Assignment Group field
  gs.print("The Base Table for the field Assignment Group is - " +
 gr.assignment_group.getBaseTableName());
};
```

出力：

```
The Base Table for the field Assignment Group is - task
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideElement - getBooleanAttribute(文字列 attributeName)

指定された属性のブーリアン値をディクショナリから返します。

値を文字列として取得するには、getAttribute(文字列) を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeName	文字列	属性の名前

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	属性のブーリアン値。属性が存在しない場合は false を返します。

次の例は、2 つのフィールドの *ignore_filter_on_new* 属性のブール値を取得する方法を示しています。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.query();

if (inc.next())
 {
   // opened_by field has attribute "ignore_filter_on_new = true"
   gs.info(inc.opened_by.getBooleanAttribute("ignore_filter_on_new"));

  // short_description field does not have attribute ignore_filter_on_new

 gs.info(inc.short_description.getBooleanAttribute("ignore_filter_on_new"
));
 }
```

出力：

```
true
false
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getBooleanAttribute()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getBooleanAttribute() を使用します。

GlideElement - getChoices(文字列 dependent)

フィールドの選択リストを生成します。拡張テーブルからではなく、ベーステーブルからのみ選択値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dependent	文字列	オプション。選択リストフィールドが依存する関連レコード内のフィールド。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイリスト	フィールドの選択値。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();

// urgency has choice list: 1 - High, 2 - Medium, 3 - Low, with value: 1,
 2, 3
var choices = glideRecord.urgency.getChoices();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getChoices()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getChoices() を使用します。

GlideElement - getChoiceValue()

現在の選択値の選択肢ラベルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	選択肢ラベル。

次の例は、優先度の値が Normal の変更要求レコードの選択肢ラベルを取得する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('change_request');

//query for the change records with change type as "Normal"
gr.addQuery('type','normal');

// sort them in the order of recent to earlier Created Date
gr.orderByDesc('sys_created_on');

// limit the query to 4 records
gr.setLimit(4);
gr.query();

while(gr.next()){
 //Printing the choice label for those records
 gs.print("The label of the current priority '"+ gr.priority+"'
 for the change request - " + gr.number + " is - "+
 gr.priority.getChoiceValue());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
The label of the current priority '4' for the change request - CHG0000014
 is - 4 - Low
The label of the current priority '4' for the change request - CHG0000013
 is - 4 - Low
The label of the current priority '4' for the change request - CHG0000012
 is - 4 - Low
The label of the current priority '4' for the change request - CHG0000011
 is - 4 - Low
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getChoiceValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッド getChoiceValue() を使用します。

GlideElement - getDebugCount()

debug() によってログに記録されたデバッグメッセージの数を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	デバッグメッセージの数。

GlideElement - getDependent()

指定されたフィールドが依存しているフィールド (要素) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のフィールドが依存するフィールドの名前。依存関係がない場合は null です。

次の例は、*getDependent()* メソッドを使用して [構成アイテム] フィールドの親フィールドを検索する方法を示しています。

```
var inc_gr = new GlideRecord('incident');
inc_gr.get('985f53d82fab301032e8808cf699b6e8'); // Get a particular
 Incident

var field_element = inc_gr.getElement('cmdb_ci'); // Get the
 Configuration Item element
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var dependent_field = field_element.getDependent(); // Read the dependent
 field
gs.info("Dependent field: " + dependent_field);
if(dependent_field)
  {
    var dependent_field_value = inc_gr.getValue(dependent_field);
    if(!dependent_field_value)
      {
        var base_table = field_element.getRefRecord(); // Retrieve the
 reference record
        var dependent_field_value =
 base_table.getValue(dependent_field); // Read the parent field value
      }
    inc_gr.setValue(dependent_field, dependent_field_value); // Update
 the parent field on the Incident
    inc_gr.update();
  }
```

出力：

```
company
```

GlideElement - getDependentTable()

現在のテーブルが依存するテーブルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルの名前。

GlideElement - getDisplayValue(数値 maxChar)

書式設定されたフィールドの表示値を返します。

表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。

返される表示値はフィールドタイプに依存します。

- 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。
- 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。
- 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。
- 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxChar	数値	オプション。返される最大文字数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの表示値。

```
var fields = current.getFields();
for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
  var field = fields.get(i);
  var name = field.getName();
  var value = field.getDisplayValue();
  gs.print(i + ". " + name + "=" + value);
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDisplayValue() を使用します。

GlideElement - getDisplayValueExt(数値 **maxChar**, 文字列 **nullSub)**

フィールドの書式設定された表示値を返します。表示値が null または空の場合は、指定された代替値を返します。

表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。

返される表示値はフィールドタイプに依存します。

- 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。
- 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。
- 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。
- 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxChar	数値	オプション。返される最大文字数。 デフォルト：すべて
nullSub	文字列	表示値が null または空の場合に返される値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの書式設定された表示値、または指定された代替値。

次の例は、インシデント [incident] テーブルの最新のアクティブなレコード 2 つを表示する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('incident');
gr.addQuery('active', true);      // get the active records
gr.orderByDesc('sys_updated_on'); // sort the records from most recent to
 oldest updated date
gr.setLimit(2);                   // limit the query to 2 records
gr.query();

while(gr.next()){ // Printing the Display Value of the Configuration Item
 field.
  // If the Display Value is Null/Empty, then it will be substituted with
 Default value "I with Null/Empty Display Value"
  gs.info("The Display Value of the Configuration Item for the incident
 - "+ gr.number+ " is " + gr.cmdb_ci.getDisplayValueExt(40, " CI with
 Null/Empty Display Value"));
}
```

出力：

```
The Display Value of the Configuration Item for the incident - INC0007001
 is  CI with Null/Empty Display Value
The Display Value of the Configuration Item for the incident - INC0000069
 is NYC RAC
```

GlideElement - getDisplayValueLang(文字列言語)

パラメーターとして渡された言語でのフィールドの表示値を取得します。

結果は、 選択肢、 翻訳済みフィールド、 翻訳済みテキストなどの翻訳可能なフィールドタイプにのみ適用されます。その他のフィールドタイプの場合、結果のデフォルトは *getDisplayValue()* になります。

翻訳された値を取得するには、対応する言語プラグインが必要です。詳細については、「言語を有効にする」を参照してください。

「スコープ付き GlideElement - getLabelLang(文字列言語)」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	IETF BCP-47 に準拠した言語タグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された言語でフィールドの値を表示します。翻訳が利用できない場合、メソッドは現在のユーザーの言語に翻訳された値を取得します。翻訳が利用できない場合、結果はデフォルトで英語になります。

次の例は、 承認 (UI ビュー) タイトルフィールドから元のテキストとドイツ語に翻訳されたテキストを取得する方法を示しています。

```
var uiView = new GlideRecord("sys_ui_view");
uiView.get("fa776f6d97700100f309124eda2975bc");

gs.info("getDisplayValue: " +
 uiView.getElement("title").getDisplayValue());
gs.info("getDisplayValueLang: " +
 uiView.getElement("title").getDisplayValueLang("de"));
```

出力:

```
getDisplayValue: Accept
getDisplayValueLang: Akzeptieren
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayValueLang()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDisplayValueLang() を使用します。

GlideElement - getED()

これらのフィールド内のデータではなく、特定のフィールドに関する情報を提供する要素記述子を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ElementDescriptor	フィールドの要素記述子。

この例では、現在のレコードのフィールドとフィールド記述子を取得します。

```
var fields = current.getFields();
for (i=0; i<fields.size(); i++) {
  var field = fields.get(i);
  var descriptor = field.getED();
  gs.print("type=" + descriptor.getType() +
    " internalType=" + descriptor.getInternalType());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getED()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getED() を使用します。

GlideElement - getElementValue(文字列 value)

指定された要素の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	返す値の要素。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の値。

```
var fields = current.getFields();
for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
  var field = fields.get(i);
  var name = field.getName();

  // Returns the unformatted value of the element
  var value = field.getElementValue(name);
  var disValue = field.getDisplayValue();
  gs.print(i + ". " + name + " = " + value + ' display value = ' +
 disValue);
}
```

出力

```
1. cmdb_ci = 109562a3c611227500a7b7ff98cc0dc7 display value = Storage
 Area Network 001
2. impact = 2 display value = 2 - Medium
```

GlideElement - getError()

指定された要素に関連付けられたエラーメッセージを返します。

setError() メソッドを使用して、特定のフィールド (要素) にエラーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された要素に現在設定されているエラーメッセージ。

この例では、short_description 要素にエラーを設定し、エラーを読み直す方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incidentGR = new GlideRecord('incident');
incidentGR.setLimit(1);
incidentGR.query();
if (incidentGR.next()) {
    incidentGR.short_description.setError('The description is too
 short.');
    gs.info(incidentGR.short_description.getError()); // 'The description
 is too short.'
}
```

出力：

```
The description is too short.
```

この例では、関数呼び出しで *getError()* を使用する方法を示します。

```
// Before query business rule (order = 100)
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
    var shortDescription = current.getValue('short_description');
    if (shortDescription.length < 10) {
        current.short_description.setError('The description is too
 short.');
        current.setAbortAction(true);
    }
})(current, previous);

// Before query business rule (order = 200)
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
    var shortDescriptionErrMsg = current.short_description.getError();
    if (shortDescriptionErrMsg) {
        // Some error was set in one of the previous business rules.
    }
})(current, previous);
```

GlideElement - getEscapedValue()

現在の要素のエスケープ値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の要素のエスケープ値。

次の例は、*getEscapedValue()* メソッドを使用して、[インシデントの簡単な説明] フィールドの内容をエスケープ文字とともに表示する方法を示しています。

```
/*** Overview - Update incident short description with escape characters
 and printing ***/
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.query();
inc.next();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
inc.short_description = 'Can\'t log into SAP from my laptop today';
inc.update();
gs.info("Short Description:
 "+inc.getElement('short_description').toString()); //without escape
 characters
gs.info("Escaped Short Description:
 "+inc.getElement('short_description').getEscapedValue()); // with escape
 characters
```

出力：

```
Short Description: Can't log into SAP from my laptop today
Escaped Short Description: Can\'t log into SAP from my laptop today
```

GlideElement - getFieldStyle()

フィールドの CSS スタイルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの CSS スタイル。

```
var fields = current.getFields();
for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
  var field = fields.get(i);
  var css_style = field.getFieldStyle();
  gs.print("CSS style" + "=" + css_style);
}
```

GlideElement - getGlideObject()

Glide オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	Glide オブジェクト。

```
function calcDateDelta(start, end, calendar) {
  var cal = GlideCalendar.getCalendar(calendar);
  if (!cal.isValid())
      return null;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var realStart = start.getGlideObject();
  var realEnd = end.getGlideObject();
  var duration = cal.subtract(realStart, realEnd);
  return duration;
}
```

GlideElement - getGlideRecord()

Glide レコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	Glide レコードオブジェクト。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.get('sys_id','ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3');
gs.info("Initial grInc - " + grInc.getDisplayValue());

var caller = grInc.getElement("caller_id");
doit(caller);

function doit(caller) {
  var now_GR = caller.getGlideRecord();
  gs.info("doit gr is - " + now_GR.getDisplayValue());
}
```

出力

```
*** Script: Initial grInc - INC0000050
*** Script: doit gr is - INC0000050
```

GlideElement - getHTMLValue(数値 maxChars)

フィールドの HTML 値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxChars	数値	オプション。返される最大文字数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの HTML 値。

次の例は、会議メモの HTML コンテンツを取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
/*
  getHTMLValueExt() This Function is used to get HTML Value of a field.
 It accepts 2 Parameters

a. maxChar- Number - The maximum number of characters to return.
b. nullSub - String - The value to return if the HTML value is null or
 empty.

*/


// get a cab meeting record by its sys_id
var gr = new GlideRecord('cab_meeting');
gr.addQuery('sys_id','7777777b6d2a20100sys70id534330f6');
gr.query();

if(gr.next()){
  var substituteString = 'Meeting Notes Unavailable';
  var maxLength = 50;
  gs.print(gr.meeting_notes.getHTMLValueExt(maxLength,
 substituteString));
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getHTMLValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッド getHTMLValue() を使用します。

GlideElement - getHTMLValueExt(数値 **maxChar**, 文字列 **nullSub)**

フィールドの HTML 値を返します。HTML 値が null または空の場合は、指定された代替値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxChar	数値	返される最大文字数。
nullSub	文字列	表示値が null または空の場合に返される値。

返される内容

タイプ	説明
文字列	HTML 値または指定された代替値。

次の例は、会議メモの HTML コンテンツを取得する方法を示しています。

```
// get a cab meeting record by its sys_id
var gr = new GlideRecord('cab_meeting');
gr.addQuery('sys_id','7777777b6d2a20100sys70id534330f6');
gr.query();

if(gr.next()){
  var substituteString = 'Meeting Notes Unavailable';
  var maxLength = 50;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.print(gr.meeting_notes.getHTMLValueExt(maxLength,
 substituteString));
}
```

選択したレコードの会議メモが空でない場合に出力します。

```
<p>Meeting note content.</p>
```

GlideElement - getJournalEntry(数値 mostRecent)

最新のジャーナルエントリまたはすべてのジャーナルエントリを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mostRecent	数値	1 の場合、最新のエントリを返します。-1 の場合、すべてのジャーナルエントリを返します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	最新のエントリの場合、ジャーナルエントリのフィールドラベル、タイムスタンプ、およびユーザー表示名を含む文字列を返します。 すべてのジャーナルエントリについて、これまでに入力されたすべてのジャーナルエントリに対する同じ情報を、各エントリが「\n\n」で区切られた単一の文字列として返します。

```
//gets all journal entries as a string where each entry is delimited by
 '\n\n'
var notes = current.work_notes.getJournalEntry(-1);
//stores each entry into an array of strings
var na = notes.split("\n\n");

for (var i = 0; i < na.length; i++)
  gs.print(na[i]);
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getJournalEntry()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getJournalEntry() を使用します。

GlideElement - getLabel()

オブジェクトのラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	オブジェクトのラベル

```
var now_GR = new GlideRecord("sc_req_item");
now_GR.addQuery("request", current.sysapproval);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
    var nicePrice = now_GR.price.toString();
    if (nicePrice != ) {
        nicePrice = parseFloat(nicePrice);
        nicePrice = nicePrice.toFixed(2);
    }
    template.print(now_GR.number + ":  " + now_GR.quantity + " X " +
 now_GR.cat_item.getDisplayValue() + " at $" + nicePrice + " each \n");
    template.print("    Options:\n");
    var variables = now_GR.variables.getElements();
    for (var key in variables) {
      var now_V = variables[key];
      if(now_V.getQuestion().getLabel() != ) {
         template.space(4);
         template.print('     ' +  now_V.getQuestion().getLabel() + " = "
 + now_V.getDisplayValue() + "\n");
      }
    }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLabel()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLabel() を使用します。

GlideElement - getLabelLang(文字列言語)

パラメーターとして渡された言語でフィールドのラベル値を取得します。

翻訳された値を取得するには、対応する言語プラグインが必要です。詳細については、「言語を有効にする」を参照してください。

関連項目：

- getDisplayValueLang()
- getLabel()

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	IETF BCP-47 に準拠した言語タグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された言語のフィールドラベルの値。 翻訳が利用できない場合、メソッドは現在のユーザーの言語に翻訳された値を取得します。翻訳が利用できない場合、結果はデフォルトで英語になります。

次の例は、元のラベル テキストと 、Accept (UI ビュー) タイトルのドイツ語訳を取得する方法を示しています。

```
var uiView = new GlideRecord("sys_ui_view");
uiView.get("fa776f6d97700100f309124eda2975bc");

gs.info("getLabel: " + uiView.getElement("title").getLabel());
gs.info("getLabelLang: " +
 uiView.getElement("title").getLabelLang("de"));
```

出力:

```
getLabel: Title
getLabelLang: Titel
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLabelLang()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLabelLang() を使用します。

GlideElement - getName()

フィールドの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールド名。

次の例は、sys_user レコードの各フィールドの名前とその他の値を取得する方法を示しています。

```
var userRec = new GlideRecord("sys_user"); // GlideRecord to sys_user
 table

userRec.get("5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005"); // Sys Id of user: Fred
 Luddy

var fields = userRec.getFields();

for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var field = fields.get(i);
    var name = field.getName(); // Name of the field
    var label = field.getLabel(); // Label of the field
    var value = field.getDisplayValue(); // Value of the field

    gs.info((Number(i) + 1) + ".\n" + "Field Label: " + label + "\n" +
 "Field Name: " + name + "\n" + "Field Value: " + value);

};
```

出力。結果には 62 個のフィールドが含まれており、スペースを節約するために省略記号 (...) が付けられています。

```
*** Script: 1.
Field Label: Country code
Field Name: country
Field Value:
*** Script: 2.
Field Label: Calendar integration
Field Name: calendar_integration
Field Value: Outlook
...
*** Script: 47.
Field Label: First name
Field Name: first_name
Field Value: Fred
...
*** Script: 54.
Field Label: Last name
Field Name: last_name
Field Value: Luddy
...
```

自動翻訳

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getName() を使用します。

GlideElement - getRefRecord()

指定された参照要素の GlideRecord オブジェクトを返します。

> ⚠ **警告:** 参照要素に値が含まれていない場合は、NULL オブジェクトではなく、空の GlideRecord オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	GlideRecord オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grINC = new GlideRecord('incident');
grINC.notNullQuery('caller_id');
grINC.query();
if (grINC.next()) {

// Get a GlideRecord object for the referenced sys_user record
var grUSER = grINC.caller_id.getRefRecord();
if (grUSER.isValidRecord())
  gs.print( grUSER.getValue('name') );

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getRefRecord()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getRefRecord() を使用します。

GlideElement - getStyle()

値の CSS スタイルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	値の CSS スタイル。

```
// Get string of style field from Field Style record
var cssStyle = now_GR.state.getStyle();
```

GlideElement - getTableName()

フィールドのテーブル名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルの名前。これは、レコードが存在するテーブルクラスとは異なる場合があります。製品ドキュメントのテーブルとクラスを参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if (current.approver.getTableName() == "sysapproval_approver") {
  if (current.approver == email.from_sys_id)  {
     current.comments = "reply from: " + email.from + "\n\n" +
 email.body_text;

   // if it's been cancelled, it's cancelled.
  var doit = true;
  if (current.state=='cancelled')
      doit = false;

  if (email.body.state != undefined)
     current.state= email.body.state;

   if (doit)
      current.update();
} else {
   gs.log("Approval for task ("+current.sysapproval.getDisplayValue()+")
 rejected because user sending
           email( "+email.from+") does not match the approver
 ("+current.approver.getDisplayValue()+")");
}

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getTableName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getTableName() を使用します。

GlideElement - getTextAreaDisplayValue()

関連するフィールドの表示値を取得し、HTML をエスケープします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	関連付けられたフィールドのエスケープされた 表示値 HTML。

次の例では、KB 記事の表示値を取得します。

```
var grh = new GlideRecord('kb_knowledge');
grh.get('c85cd2519f77230088aebde8132e70c2');  // Knowledge record sys_id
var t = grh.text.getTextAreaDisplayValue(); // Text is HTML type field
var d = GlideXMLUtil.parseHTML(t); // Parse the HTML
var b = d.getDocumentElement().getTextContent().trim();
gs.info(b);
```

出力：

```
This article explains how to use automatic replies in Outlook 2010 for
 Exchange accounts.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Setting Up Automatic Replies

Click the
File tab.
Click
Automatic Replies.
Select
Send automatic replies.
If desired, select the
Only send during this time range check box to schedule when your out of office replies are active. If you do not specify a start and end time, auto-replies will be sent until you select the
Do not send automatic replies check box.
On the
Inside My Organization tab, type the response that you want to send to colleagues while you are out of the office.
On the
Outside My Organization tab, select the
Auto-reply to people outside my organization check box, and then type the response that you want to send while you are out of the office. Select whether you want replies sent to
My contacts only or to
Anyone outside my organization who sends you messages.

NOTE:
If you select
My Contacts only in step 6, replies will be sent
only to contacts that exist in your Contacts folder.

Using Rules With Automatic Replies
It is also possible to use rules to manage your messages while you are out of office. For example, you can create rules to automatically move or copy messages to other folders, to delete messages, to send custom replies, and so on.

Click the
File tab.
Click
Automatic Replies.
Click
Rules, and then click
Add Rule.
Under
When a message arrives that meets the following conditions, specify the conditions that the message must meet for the rule to be applied. If you want to specify more conditions, click
Advanced, enter or select the options that you want, and then click
OK.
If you want to specify that this rule must be applied last, select the
Do not process subsequent rules check box.
Under
Perform these actions, select the actions that you want. You can select more than one action.
Click

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
OK three times.

NOTES:

Automatic Replies rules can also be edited by following the above
 procedure.
To turn Automatic Replies rules on or off, in the Automatic Reply Rules
 dialog box, select or clear the check box of the rule that you want to
 turn on or off.
```

GlideElement - getValue()

データベース内のフィールドの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの値。

次の例では、データベース内の指定されたフィールドの値を取得します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('9c573169c611228700193229fff72400'); //INC0000001
gs.info('Display Values');
gs.info('Opened at ' + now_GR.opened_at.getDisplayValue());
gs.info('Opened by ' + now_GR.opened_by.getDisplayValue());
gs.info('Priority ' + now_GR.priority.getDisplayValue());
gs.info('Values');
gs.info('Opened at ' + now_GR.opened_at.getValue());
gs.info('Opened by ' + now_GR.opened_by.getValue());
gs.info('Priority ' + now_GR.priority.getValue());
```

出力：

```
Display Values
Opened at 2022-02-01 15:09:51
Opened by Joe Employee
Priority 1 - Critical
Values
Opened at 2022-02-01 23:09:51
Opened by 681ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7
Priority 1
```

GlideElement - getXHTMLValue()

フィールドの XHTML 値を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	XHTML 値

GlideElement - getXMLValue()

フィールドの XML 値を文字列として取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	XML 値

GlideElement - hasAttribute(文字列 attributeName)

フィールドに特定の属性があるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeName	文字列	チェックする属性

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドに属性がある場合は true、ない場合は false。

```
var totalCritical = 0;

var filledCritical = 0; var fields = current.getFields();
 gs.print(fields); for (var num = 0; num < fields.size(); num++) {

    gs.print("RUNNING ARRAY VALUE " + num);
   var ed = fields.get(num).getED();
   if(ed.hasAttribute("tiaa_critical")) {
       gs.print("CRITICAL FIELD FOUND");
       totalCritical ++;
       if (!fields.get(num).isNil()) {
           filledCritical ++;
       }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   }

} var answer = 0; gs.print("TOTAL - " + totalCritical); gs.print("FILLED
 - " + filledCritical); if (filledCritical > 0 && totalCritical > 0){

    var pcnt = (filledCritical/totalCritical)*100;
   answer = pcnt.toFixed(2);;

} answer;
```

GlideElement - hasRightsTo(文字列 operationName)

ユーザーが特定の操作を実行する権限を持っているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operationName	文字列	チェックする操作の名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが操作を実行する権限を持っている場合は true、持っていない場合は false。 ユーザーが操作を実行する権限を持っているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーに権限があります。 • false：ユーザーには権限がありません

次の例は、ユーザーが特定のテーブルを読み込む権限を持っているかどうかを判断する方法を示しています。

```
// Pass table name and userId to check if user has read access against
 given table name
checkAccess('incident', 'adela.cervantsz');

function checkAccess(tableName, userID) {

    var inc = new GlideRecordSecure(tableName);
    inc.get('$[sys_id]');

    var secureManager = GlideSecurityManager.get();

    //fetch a different user, using user_name field on the target user
 record
    var userObj = gs.getUser().getUserByID(userID);
    secureManager.setUser(userObj);

    var access = 'record/incident/read';

    //check if user has right to access
    var canRead = secureManager.hasRightsTo(access, inc);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info('canRead: ' + canRead);
}
```

出力：

```
canRead: false
```

GlideElement - hasValue()

フィールドに値があるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドに値がある場合は true、ない場合は false。

GlideElement - nil()

フィールドが null かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが null または空の文字列の場合は true、それ以外の場合は false。

```
if (current.start_date.changes() || current.end_date.changes() ||
 current.assigned_to.changes()) {
  if (!current.start_date.nil() && !current.end_date.nil()
 && !current.assigned_to.nil()) {
 gs.eventQueue("change.calendar.notify", current, current.assigned_to,
 previous.assigned_to);

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *nil()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の nil() メソッドを使用します。

GlideElement - setDateNumericValue(数値 milliseconds)

期間フィールドに対して 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数を設定します。期間フィールドはすでに GlideDateTime オブジェクトであるため、GlideDateTime オブジェクトを作成する必要はありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	期間がまたがるミリ秒数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.get('17c90efb13418700cc36b1422244b05d');
var timems = inc.calendar_duration.dateNumericValue();
timems = timems + 11*1000;
inc.calendar_duration.setDateNumericValue(timems)
gs.info(inc.calendar_duration.getValue());
```

出力：

```
1970-01-01 00:01:38
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDateNumericValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDateNumericValue() を使用します。

GlideElement - setDisplayValue(オブジェクト **displayValue)**

フィールドの表示値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
displayValue	オブジェクト	表示される値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setDisplayValue() を使用します。

GlideElement - setError(文字列 **message)**

関連するフィールド (要素) にエラーメッセージを追加します。

getError() メソッドを使用してエラーメッセージを取得できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.setAbortAction(true);
    current.u_date1.setError('start must be before end');
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setError()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setError() を使用します。

GlideElement - setInitialValue(オブジェクト **value)**

フィールドの初期値を設定します。

このメソッドは廃止されました。この機能には GlideElement - setValue(オブジェクト value) を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	フィールドの初期値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideElement - setJournalEntry(文字列 **entry**, 文字列 **userName)**

ジャーナルエントリと作成者を作業メモまたはコメントフィールドとして追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
エントリ	文字列	ジャーナルエントリのコンテンツ。
userName	文字列	オプション。ジャーナルエントリが属するユーザー。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、作業メモとその作成者をレコードに追加する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");

now_GR.addQuery("sys_id", "<sys_id_value>");
now_GR.query();

if(now_GR.next()){
  now_GR.work_notes.setJournalEntry("Content of the journal entry.",
 "abel.tuter");
  now_GR.update();
}
```

GlideElement - setValue(オブジェクト value)

フィールドの値を設定します。

注: このメソッドを呼び出す前に、既存のレコードをクエリするか、*now_GR.initialize()* メソッドを使用して新しいレコードを初期化することによって、要素が存在している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	フィールドに設定される値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

文字列を渡す値を設定します。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();
glideRecord.short_description.setValue('Network failure');
```

オブジェクトを渡す値を設定します。

```
var now_GR  = new GlideRecord('student');
now_GR.initialize();
now_GR.setValue('first_name', 'Joe');
now_GR.setValue('last_name', 'Smith');
now_GR.insert();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setValue() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideElement - toString()

フィールドの値を文字列に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としてのフィールドの値。

```
doit();

function doit() {

  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.query();
  while (now_GR.next()) {
  if ((now_GR().length != now_GR.first_name.toString().trim().length) ||
 (now_GR.last_name.toString().length
         != now_GR.last_name.toString().trim().length)) {
      now_GR.first_name = now_GR.first_name.toString().trim();
      now_GR.last_name = now_GR.last_name.toString().trim();
      now_GR.autoSysFields(false);
      now_GR.update();
    }
  }

}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *toString()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド toString() を使用します。

GlideElement - スコープ指定

スコープ付き *GlideElement* API には、フィールドとその値を処理する便利なスクリプトメソッドが多数用意されています。スコープ付き *GlideElement* メソッドは、現在の Glide レコードのフィールドで使用できます。

スコープ対象 GlideElement - canCreate()

ユーザーのロールで関連付けられたフィールドでの新しいエントリの作成が可能かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが関連フィールドに新しいエントリを作成する権限を持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーは新しいエントリを作成できます。 • false：ユーザーは新しいエントリを作成できません。

次の例は、ユーザーが問題 [problem] テーブルの最新の 3 つのレコードのエントリを作成する権限を持っているかどうかを判断する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord('problem');

// Get records in new state in Problem Table
gr.addQuery('state','101');

// Sort records in order of recent to earlier Created Date
gr.orderByDesc('sys_created_on');

// Limit the query to three records
gr.setLimit(3);
gr.query();

while(gr.next()){
  if(gr.short_description.canCreate()){ ///check to see if the current
 user is allowed to create the record
  gs.info("I can create new records for the field Problem statement for -
 " + gr.number);
  }
}
```

出力：

```
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0000004
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0001000
I can create new records for the field Problem statement for - PRB0001001
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canCreate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canCreate() を使用します。

スコープ対象 GlideElement - canRead()

ユーザーのロールで関連する GlideRecord の読み取りが可能かどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが読み込み可能な場合は true、可能でない場合は false。

次の例は、読み取り可能な [簡単な説明] フィールドを持つアクティブなインシデントレコードリストを取得する方法を示しています。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.addEncodedQuery("active=true"); //Query the Incident table for
 active incidents
grIncident.orderByDesc('number');
grIncident.setLimit(3); // limit to three results for example
grIncident.query();

while (grIncident.next()) {
    if (grIncident.short_description.canRead()) { //check to see if the
 current user is allowed to read the record
        gs.info('You have permission to read the short description of: '
 + grIncident.number + ' ' + grIncident.short_description);
    }
}
```

出力：

```
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009009 Unable to access the shared folder.
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009005 Email server is down.
*** Script: You have permission to read the short description of:
 INC0009001 Unable to post content on a Wiki page
```

自動翻訳

スコープ対象 GlideElement - canWrite()

ユーザーのロールで関連する GlideRecord の書き込みが可能かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドに書き込み可能な場合は true、可能でない場合は false。

次の例は、書き込み可能な [簡単な説明] フィールドを持つアクティブなインシデントレコードリストを取得する方法を示しています。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.addEncodedQuery("active=true"); //Query the Incident table for
 active incidents
grIncident.orderByDesc('number');
grIncident.setLimit(3); // limit to three results for example
grIncident.query();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
while (grIncident.next()) {
    if (grIncident.short_description.canWrite()) { //check to see if the
 current user is allowed to write to the record
        gs.info('You have permission to write to the short description
 of: ' + grIncident.number + ' ' + grIncident.short_description);
    }
}
```

出力：

```
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009009 Unable to access the shared folder.
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009005 Email server is down.
*** Script: You have permission to write to the short description of:
 INC0009001 Unable to post content on a Wiki page
```

スコープ対象 GlideElement - changes()

現在のフィールドが変更されているかどうかを判断します。この機能は、ジャーナルフィールドを除くすべての利用可能なデータタイプで使用できます。

注: *changes()* メソッドは ACL スクリプト内ではサポートされていません。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが変更されている場合は true、フィールドが変更されていない場合は false。

ビジネスルールからの次の例は、**[assigned_to]** フィールドの値が変更された場合に EventQueue にイベントを作成する方法を示しています。

```
if (!current.assigned_to.nil() && current.assigned_to.changes()) {
  gs.eventQueue('incident.assigned', current,
 current.assigned_to.getDisplayValue(),
 previous.assigned_to.getDisplayValue());
}
```

スコープ対象 GlideElement - changesFrom(オブジェクト o)

現在のフィールドの前の値が指定されたオブジェクトと一致するかどうかを判断します。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	現在のフィールドの前の値と照合するオブジェクト値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	前の値が一致する場合は true、一致しない場合は false。

```
// The following example shows that in a business rule, if "active" field
 is changed from true,
// insert a event in the EventQueue.
if (current.active.changesFrom(true)) {
  gs.eventQueue("incident.inactive", current, current.incident_state,
 previous.incident_state);
}
```

スコープ対象 **GlideElement** - changesTo(オブジェクト **o)**

変更後のフィールドの新しい値が指定されたオブジェクトと一致するかどうかを判断します。

注: *changesTo()* メソッドは ACL スクリプト内ではサポートされていません。

注: このメソッドを実行している GlideRecord が初期化されて読み込まれているだけで、書き込まれていない場合、基になる前後の値は同じです。この場合、データストアに変更がないため、メソッドは「false」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	現在のフィールドの新しい値と照合するオブジェクト値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	前の値が一致する場合は true、一致しない場合は false。

```
// The following example shows that in a business rule, if "active" field
 is changed to false,
// insert a event in the EventQueue.
if (current.active.changesTo(false)) {
  gs.eventQueue("incident.inactive", current, current.incident_state,
 previous.incident_state);
}
```

スコープ対象 **GlideElement - dateNumericValue()**

期間フィールドに対して 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数を返します。期間フィールドはすでに GlideDateTime オブジェクトであるため、GlideDateTime オブジェクトを作成する必要はありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.get('17c90efb13418700cc36b1422244b05d');
gs.info(inc.calendar_duration.dateNumericValue());
```

出力：

```
98000
```

スコープ対象 **GlideElementget** - getAttribute(文字列 **attributeName)**

指定された属性の値をディクショナリから返します。

属性がブーリアン属性の場合は、getBooleanAttribute(文字列) を使用して、値を文字列ではなくブーリアンとして取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeName	文字列	属性の名前

返される内容

タイプ	説明
文字列	属性値

```
doit();
function doit() {
  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.query("user_name","admin");
  if (now_GR.next()) {
    gs.info("we got one");
    gs.info(now_GR.location.getAttribute("tree_picker"));
  }
}
```

スコープ対象 **GlideElementget** - getBooleanAttribute(文字列 **attributeName)**

指定された属性のブーリアン値をディクショナリから返します。

値を文字列として取得するには、getAttribute(文字列) を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeName	文字列	属性の名前

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	属性のブーリアン値。属性が存在しない場合は false を返します。

次の例は、2 つのフィールドの *ignore_filter_on_new* 属性のブール値を取得する方法を示しています。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.query();

if (inc.next())
 {
   // opened_by field has attribute "ignore_filter_on_new = true"
   gs.info(inc.opened_by.getBooleanAttribute("ignore_filter_on_new"));

  // short_description field does not have attribute ignore_filter_on_new

 gs.info(inc.short_description.getBooleanAttribute("ignore_filter_on_new"
));
 }
```

出力：

```
true
false
```

スコープ対象 **GlideElement** - getChoices(文字列 **dependent)**

指定されたフィールドの選択リストを返します。

選択リストを返すフィールドは、メソッド呼び出しで指定されます。例：`var choices = glideRecord.urgency.getChoices();`。選択リストのフィールドタイプとその関連機能の詳細については、「選択リストのフィールドタイプ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dependent	文字列	オプション。選択リストフィールドが依存する関連レコード内のフィールド。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	選択リストの可能な値のリスト。これは、選択 [sys_choice] テーブルの値です。*dependent* パラメーターが渡された場合、返される結果には、指定された依存フィールドで利用可能な選択肢のみが反映されます。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();

// urgency has choice list: 1 - High, 2 - Medium, 3 - Low, with value: 1,
 2, 3
var choices = glideRecord.urgency.getChoices();
```

スコープ対象 GlideElement - getChoiceValue()

現在の選択の選択肢ラベルを返します。

選択には値 (数値) とラベル (文字列) があります。このメソッドはラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	選択された選択肢のラベル。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();

// urgency has choice list: 1 - High, 2 - Medium, 3 - Low, with value: 1,
 2, 3
var choiceLabel = glideRecord.urgency.getChoiceValue();
gs.info(choiceLabel);
```

出力：

```
1 - High
```

スコープ対象 GlideElement - getDecryptedValue()

スコープ対象のアプリケーションでパスワード (双方向暗号化) フィールドのクリアテキスト値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クリアテキストのパスワード。

```
var tablename = 'x_scoped_app_table'
var CI = new GlideRecord(tablename);
CI.addQuery('number', '0001002');
CI.query();
CI.next();

var password = CI.password_field
var decrypted = password.getDecryptedValue();
gs.info(decrypted);
```

出力：

```
x_scoped_app: cleartextpassword
```

スコープ対象 **GlideElement** - getDisplayValue(数値 **maxCharacters)**

関連する GlideRecord オブジェクトから指定されたフィールドの書式設定された表示値を返します。

表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。

返される表示値はフィールドタイプに依存します。

- 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。
- 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。
- 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。
- 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。

表示値の詳細については、「 表示値 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxCharacters	数値	オプション。望ましい最大文字数。 デフォルト：すべて

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定したフィールドの表示値。

次の例は、インシデントレコードの優先度フィールドの表示値を取得する方法を示しています。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();
gs.info(glideRecord.priority.getDisplayValue());
```

出力：

```
1 - Critical
```

次の例は、インシデントデータベース内の指定されたフィールドの表示値と内部値の両方を取得する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('9c573169c611228700193229fff72400'); //INC0000001
gs.info('Display Values:');
gs.info('Opened at ' + now_GR.opened_at.getDisplayValue());
gs.info('Opened by ' + now_GR.opened_by.getDisplayValue());
gs.info('Priority ' + now_GR.priority.getDisplayValue());
gs.info('Values:');
gs.info('Opened at ' + now_GR.opened_at.getValue());
gs.info('Opened by ' + now_GR.opened_by.getValue());
gs.info('Priority ' + now_GR.priority.getValue());
```

出力:

```
Display Values:
Opened at 2022-02-01 15:09:51
Opened by Joe Employee
Priority 1 - Critical
Values:
Opened at 2022-02-01 23:09:51
Opened by 681ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7
Priority 1
```

スコープ付き **GlideElement** - getDisplayValueLang(文字列言語)

パラメーターとして渡された言語でのフィールドの表示値を取得します。

結果は、 選択肢、 翻訳済みフィールド、 翻訳済みテキストなどの翻訳可能なフィールドタイプにのみ適用されます。その他のフィールドタイプの場合、結果のデフォルトは *getDisplayValue()* になります。

翻訳された値を取得するには、対応する言語プラグインが必要です。詳細については、「言語を有効にする」を参照してください。

「スコープ付き GlideElement - getLabelLang(文字列言語)」も参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	IETF BCP-47 に準拠した言語タグ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された言語でフィールドの値を表示します。翻訳が利用できない場合、メソッドは現在のユーザーの言語に翻訳された値を取得します。翻訳が利用できない場合、結果はデフォルトで英語になります。

次の例は、 承認 (UI ビュー) タイトルフィールドから元のテキストとドイツ語に翻訳されたテキストを取得する方法を示しています。

```
var uiView = new GlideRecord("sys_ui_view");
uiView.get("fa776f6d97700100f309124eda2975bc");

gs.info("getDisplayValue: " +
 uiView.getElement("title").getDisplayValue());
gs.info("getDisplayValueLang: " +
 uiView.getElement("title").getDisplayValueLang("de"));
```

出力:

```
getDisplayValue: Accept
getDisplayValueLang: Akzeptieren
```

スコープ対象 GlideElement - getED()

フィールドの要素記述子を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDescriptor	フィールドの要素記述子。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();
```

スコープ対象 GlideElement - getGlobalDisplayValue()

国際形式の電話番号を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	国際形式の電話番号。

次の例は、Walk-up 場所の電話番号を取得する方法を示しています。この例には ウォークアップエクスペリエンス プラグインが必要です。

```
// Passing walkup location name and closed phone number in parameters
setWalkupLocPhone('Santa Clara Tech Lounge','phone_number');

function setWalkupLocPhone(locName, field) {
  var walkupLoc = new GlideRecord('wu_location_queue');
  walkupLoc.addQuery('name',locName);
  walkupLoc.query();
  walkupLoc.next();

  // Returns the phone number of walk-up location queue in international
 format
  gs.info(walkupLoc[field].getGlobalDisplayValue());
}
```

出力：

```
+91 98124 56789
```

スコープ対象 **GlideElement** - getHTMLValue(数値 **maxChars)**

フィールドの HTML 値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxChars	数値	オプション。返される最大文字数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの HTML 値。

```
var inccause = new GlideRecord("incident");
inccause.short_description = current.short_description;
inccause.comments = current.comments.getHTMLValue();
inccause.insert();
```

スコープ対象 **GlideElement** - getJournalEntry(数値 **mostRecent)**

最新のジャーナルエントリまたはすべてのジャーナルエントリを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mostRecent	数値	1 の場合、最新のエントリを返します。-1 の場合、すべてのジャーナルエントリを返します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	最新のエントリの場合、ジャーナルエントリのフィールドラベル、タイムスタンプ、およびユーザー表示名を含む文字列を返します。 すべてのジャーナルエントリについて、これまでに入力されたすべてのジャーナルエントリに対する同じ情報を、各エントリが「\n\n」で区切られた単一の文字列として返します。

```
//gets all journal entries as a string where each entry is delimited by
 '\n\n'
var notes = current.work_notes.getJournalEntry(-1);
//stores each entry into an array of strings
var na = notes.split("\n\n");

for (var i = 0; i < na.length; i++)
  gs.info(na[i]);
```

スコープ対象 GlideElement - getLabel()

オブジェクトのラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オブジェクトのラベル

```
var now_GR = new GlideRecord("sc_req_item");
now_GR.addQuery("request", current.sysapproval);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
var nicePrice = now_GR.price.toString();
    if (nicePrice != ) {
        nicePrice = parseFloat(nicePrice);
        nicePrice = nicePrice.toFixed(2);
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    template.print(now_GR.number + ":  " + now_GR.quantity + " X " +
 now_GR.cat_item.getDisplayValue() + " at $" + nicePrice + " each \n");
    template.print("    Options:\n");
    var variables = now_GR.variables.getElements();
    for (var key in variables) {
      var now_V = variables[key];
      if(now_V.getQuestion().getLabel() != ) {
         template.space(4);
         template.print('     ' +  now_V.getQuestion().getLabel() + " = "
 + now_V.getDisplayValue() + "\n");
      }
    }
}
```

スコープ付き GlideElement - getLabelLang(文字列言語)

パラメーターとして渡された言語でフィールドのラベル値を取得します。

翻訳された値を取得するには、対応する言語プラグインが必要です。詳細については、「言語を有効にする」を参照してください。

関連項目：

- getDisplayValueLang()
- getLabel()

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	IETF BCP-47 に準拠した言語タグ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された言語のフィールドラベルの値。 翻訳が利用できない場合、メソッドは現在のユーザーの言語に翻訳された値を取得します。翻訳が利用できない場合、結果はデフォルトで英語になります。

次の例は、元のラベル テキストと 、Accept (UI ビュー) タイトルのドイツ語訳を取得する方法を示しています。

```
var uiView = new GlideRecord("sys_ui_view");
uiView.get("fa776f6d97700100f309124eda2975bc");

gs.info("getLabel: " + uiView.getElement("title").getLabel());
gs.info("getLabelLang: " +
 uiView.getElement("title").getLabelLang("de"));
```

出力:

```
getLabel: Title
getLabelLang: Titel
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideElement - getName()

フィールドの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールド名。

次の例は、sys_user レコードの各フィールドの名前とその他の値を取得する方法を示しています。

```
var userRec = new GlideRecord("sys_user"); // GlideRecord to sys_user
 table

userRec.get("5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005"); // Sys Id of user: Fred
 Luddy

var fields = userRec.getFields();

for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {

    var field = fields.get(i);
    var name = field.getName(); // Name of the field
    var label = field.getLabel(); // Label of the field
    var value = field.getDisplayValue(); // Value of the field

    gs.info((Number(i) + 1) + ".\n" + "Field Label: " + label + "\n" +
 "Field Name: " + name + "\n" + "Field Value: " + value);

};
```

出力。結果には 62 個のフィールドが含まれており、スペースを節約するために省略記号 (...) が付けられています。

```
*** Script: 1.
Field Label: Country code
Field Name: country
Field Value:
*** Script: 2.
Field Label: Calendar integration
Field Name: calendar_integration
Field Value: Outlook
...
*** Script: 47.
Field Label: First name
Field Name: first_name
Field Value: Fred
...
*** Script: 54.
Field Label: Last name
Field Name: last_name
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Field Value: Luddy
...
```

スコープ対象 GlideElement - getReferenceTable()

参照要素のテーブル名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	参照のテーブル名。

```
var grINC = new GlideRecord('incident');
grINC.query('number','INC0010041'); // record assignment group assigned
 to "CAB Approval"
if (grINC.next()) {
  // Get the table name
  var tableName = grINC.assignment_group.getReferenceTable();
  gs.info( tableName );
}
```

スコープ対象 GlideElement - getRefRecord()

指定された参照要素の GlideRecord オブジェクトを返します。

警告: 参照要素に値が含まれていない場合は、NULL オブジェクトではなく、空の GlideRecord オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	GlideRecord オブジェクト

```
var grINC = new GlideRecord('incident');
grINC.addNotNullQuery('caller_id');
grINC.query();
if (grINC.next()) {

// Get a GlideRecord object for the referenced sys_user record
var grUSER = grINC.caller_id.getRefRecord();
if (grUSER.isValidRecord())
  gs.info(grUSER.getValue('name'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

スコープ対象 **GlideElement - getTableName()**

フィールドが存在するテーブルの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルの名前。返される値は、レコードが存在するテーブルクラスとは異なる場合があります。製品ドキュメントのテーブルとクラスを参照してください。

```
if (current.approver.getTableName() == "sysapproval_approver") {
  if (current.approver == email.from_sys_id)  {
     current.comments = "reply from: " + email.from + "\n\n" +
 email.body_text;

   // if it's been cancelled, it's cancelled.
  var doit = true;
  if (current.state=='cancelled')
      doit = false;

  if (email.body.state != undefined)
     current.state= email.body.state;

   if (doit)
      current.update();
} else {
   gs.log("Approval for task ("+current.sysapproval.getDisplayValue()+")
 rejected because user sending
           email( "+email.from+") does not match the approver
 ("+current.approver.getDisplayValue()+")");
}

}
```

スコープ対象 **GlideElement - nil()**

フィールドが null かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが null かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：フィールドは null です。 • false：フィールドは null ではありません。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();
gs.info(glideRecord.state.nil());
```

出力：

```
false
```

スコープ対象 **GlideElement** - setDateNumericValue(数値 **milliseconds)**

日時要素の値を 1970 年 1 月 1 日 00:00:00 GMT 以降のミリ秒数に設定します。

`setDateNumericValue()` が呼び出されると、必要な GlideDateTime/GlideDate/GlideDuration オブジェクトが自動的に作成され、要素が指定された値に設定されます。

注: このメソッドを呼び出す前に、既存のレコードをクエリするか、*`now_GR.initialize()`* メソッドを使用して新しいレコードを初期化することによって、要素が存在している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	1970 年 1 月 1 日以降のミリ秒数

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");
now_GR.initialize();
now_GR.opened_at.setDateNumericValue(10000);
```

スコープ対象 **GlideElement** - setDisplayValue(オブジェクト **value)**

フィールドの表示値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	フィールドに設定する値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();

//change the urgency to 3
glideRecord.urgency.setDisplayValue('3 - Low');
gs.info(glideRecord.urgency);
```

スコープ対象 **GlideElement** - setError(文字列 **errorMessage)**

エラーメッセージを追加します。Fuji パッチ 3 で利用可能です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
errorMessage	文字列	エラーメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();

glideRecord.short_description.setError('Error text');
```

スコープ対象 **GlideElement** - setPhoneNumber(オブジェクト **phoneNumber**, ブーリアン **strict)**

フィールドを指定された電話番号に設定します。

このメソッドは、電話番号の GlideElement でのみ使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber	オブジェクト	設定する電話番号。国際形式またはローカル形式のいずれかになります。
strict	ブーリアン	true の場合、指定された番号は正しい形式に一致する必要があります。false の場合、システムは不適切に書式設定された電話番号を修正しようとします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	電話番号の値が設定されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：値は設定されました。 • false：値は設定されていません。

次の例は、Walk-up 場所の電話番号を設定する方法を示しています。この例には ウォークアップエクスペリエンス プラグインが必要です。

```
setWalkupLocPhone('Santa Clara Tech Lounge','+91 9812456789');

function setWalkupLocPhone(locName, phoneNumber) {
  var walkupLoc = new GlideRecord('wu_location_queue');
  walkupLoc.addQuery('name', locName);
  walkupLoc.query();
  walkupLoc.next();

  // Set phone number of walk-up location
  var isPhoneNumberSet =
 walkupLoc.phone_number.setPhoneNumber(phoneNumber, true);
  walkupLoc.update();
  gs.info('Phone Number: ' + walkupLoc.phone_number);
  gs.info('Is phone number specified match the correct format: ' +
 isPhoneNumberSet);
}
```

出力：

```
Phone Number: +919812456789
Is phone number specified match the correct format: true
```

スコープ対象 **GlideElement** - setValue(オブジェクト **value)**

フィールドの値を設定します。

注: このメソッドを呼び出す前に、既存のレコードをクエリするか、*now_GR.initialize()* メソッドを使用して新しいレコードを初期化することによって、要素が存在している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	フィールドを設定するオブジェクト値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

文字列を渡す値を設定します。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();
glideRecord.short_description.setValue('Network failure');
```

オブジェクトを渡す値を設定します。

```
var now_GR  = new GlideRecord('student');
now_GR.initialize();
now_GR.setValue('first_name', 'Joe');
now_GR.setValue('last_name', 'Smith');
now_GR.insert();
```

スコープ対象 GlideElement - toString()

GlideRecord フィールドの値を文字列に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としての値。

```
var glideRecord = new GlideRecord('incident');
glideRecord.query('priority','1');
glideRecord.next();
gs.info(glideRecord.opened_at.toString());
```

出力：

```
2019-08-31 23:09:51
```

GlideElementCurrency2 - スコープ指定

GlideElementCurrency2 API は、現在の GlideRecord 内の外国為替 (FX) 通貨フィールド (Currency2 とも呼ばれる) で操作を実行するメソッドを提供します。

この API では、次の操作を実行できるようにするメソッドが提供されます。

- ユーザーが入力した [FX 通貨] フィールドの表示文字列を取得する。
- [FX 通貨] フィールドの表示値を取得する。
- [FX 通貨] フィールドの基準通貨値を取得する。
- [FX 通貨] フィールドのセッション通貨値を取得する。
- [FX 通貨] フィールドの表示値を設定する。

GlideElementCurrency2 クラスにはコンストラクターがありません。

GlideElementCurrency2 - getAsEnteredDisplayValue()

関連する GlideRecord からユーザーが入力した [FX 通貨] フィールドの表示文字列を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FX 通貨フィールドの詳細については、「FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーが入力した通貨文字列を表示します。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var tablename = 'my_currency2_table';
var setcur2 = new GlideRecord(tablename);
setcur2.initialize();
setcur2.currency_2_field.setDisplayValue('JPY;999999.1234');
setcur2.insert();
gs.info('As entered display value: ' +
 setcur2.currency_2_field.getAsEnteredDisplayValue());
```

出力:

```
As entered display value: ¥999,999.12
```

GlideElementCurrency2 - getDisplayValue()

関連する GlideRecord 内の [FX 通貨] フィールドの表示値を返します。

FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルで display_value がどのように設定されているかに応じて、次のような値が返されます。

- ユーザーが入力した通貨値
- セッション通貨に換算された通貨値 (ユーザーのロケールに基づく)
- 基準通貨に換算された通貨値

FX 通貨と構成テーブルの詳細については、「FX 通貨のグローバル設定の構成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	表示通貨値

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var tablename = 'my_FXcurrency_table';
var setcur2 = new GlideRecord(tablename);
setcur2.initialize();
setcur2.currency_2_field.setDisplayValue('JPY;999999.1234');
setcur2.insert();
gs.info('Display Value: ' + setcur2.currency_2_field.getDisplayValue());
```

出力:

```
Display Value: ¥999,999.12
```

GlideElementCurrency2 - getReferenceDisplayValue()

関連する GlideRecord 内の [FX 通貨] フィールドの基準通貨値を返します。

基準通貨はフィールド内のすべての通貨値が換算される共通通貨です。*`getReferenceDisplayValue()`* メソッドが基準通貨を導出するために使用する通貨コードは、以下に基づいています。

- インスタンスレコードが存在する場合、メソッドは FX 通貨 [fx_currency2_instance] テーブルの reference_currency フィールドの値を使用します。
- インスタンスレコードが存在しない場合、メソッドはインスタンスレコードが最終的に作成されるときにインスタンスレコードに設定される基準通貨を使用します (次の順序)。
  - 設定する場合、FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルの *reference_currency*。
  - 設定する場合、FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルの *reference_currency_source*。
  - システムデフォルトであるシステム基準通貨。

FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルの値の詳細については、「FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	関連する FX 通貨表示値の基準通貨金額。

この例では、基準通貨コードは USD であり、FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルで指定されたデフォルトの換算レートを使用します。出力はロケールに基づいて変更されます。

```
var tablename = 'my_currency2_table';
var setcur2 = new GlideRecord(tablename);
setcur2.initialize();
setcur2.currency_2_field.setDisplayValue('JPY;999999.1234');
setcur2.insert();
gs.info('Reference display value: ' +
 setcur2.currency_2_field.getReferenceDisplayValue());
```

出力：

```
Reference display value: $8,677.99
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideElementCurrency2 - getSessionDisplayValue()

現在の GlideRecord 内の関連する [FX 通貨] フィールドの基準通貨値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのロケールに基づくセッション通貨に換算された通貨値。

この例では、セッションロケールの言語コードが eng、国コードが USA であることを想定し、FX 通貨構成 [fx_configuration] テーブルで指定されたデフォルトの換算レートを使用します。出力はロケールに基づいて変更されます。

```
var tablename = 'my_currency2_table';
var setcur2 = new GlideRecord(tablename);
setcur2.initialize();
setcur2.currency_2_field.setDisplayValue('JPY;999999.1234');
setcur2.insert();
gs.info('Session display value: ' +
 setcur2.currency_2_field.getSessionDisplayValue());
```

出力：

```
Session display value: $8,677.99
```

GlideElementCurrency2 - setDisplayValue(文字列 displayValue)

[FX 通貨] フィールドの表示値を指定された通貨値で設定します。

FX 通貨フィールドの詳細については、「FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
displayValue	文字列	形式 <通貨コード>;<通貨金額> で [FX 通貨] フィールドに設定する値。ユーザーのロケールで <通貨金額> フィールドを書式設定する必要があります。 たとえば、ユーザーのロケールが USA/eng の場合、渡された <通貨金額> は 123.45 です。ユーザーのロケールが FRA/fre の場合、渡された <通貨金額> は 123,45 です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var tablename = 'my_FXcurrency_table';
var setcur2 = new GlideRecord(tablename);
setcur2.initialize();
setcur2.currency_2_field.setDisplayValue('JPY;999,999.1234');
setcur2.insert();
```

GlideElementDescriptor - スコープ対象、グローバル

GlideElementDescriptor API は、Glide レコードの個々のフィールドに関する情報を提供します。

このクラスにはコンストラクターはありません。*GlideElementDescriptor* オブジェクトを取得するには、GlideElement または *GlideRecord getED()* メソッドを使用します。

GlideElementDescriptor - getAttachmentEncryptionType()

要素のテーブルで添付ファイルに使用される暗号化タイプを返します。

このメソッドは エッジ暗号化 プラグインで使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	添付ファイルで使用される暗号化タイプ。要素のテーブルで添付ファイルが暗号化されていない場合は null を返します。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getAttachmentEncryptionType();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
null
```

GlideElementDescriptor - getEncryptionType()

要素の暗号化タイプを返します。

このメソッドは エッジ暗号化 プラグインで使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の暗号化タイプ。要素が暗号化されていない場合は null を返します。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

sEdge = ed.getEncryptionType();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
null
```

GlideElementDescriptor - getInternalType()

要素の内部データタイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の内部データタイプ。 可能な値： • ブール • char • collection • conditions • date • decimal • documentation_field • domain_id • due_date • email

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• field_name • file_attachment • float • glide_date • glide_date_time • glide_duration • glide_list • GUID • html • image • integer • long • longint • multi_two_lines • journal • journal_input • numeric • order_index • password • ph_number • reference • script • script_plain • string • sys_class_name • table_name • template_value • timer • translated_field • url • user_image • user_input • user_roles • video • workflow

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getInternalType();
gs.info(isEdge);
```

出力：

```
integer
```

GlideElementDescriptor - getLabel()

要素のラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素のラベル。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getLabel();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
Priority
```

GlideElementDescriptor - getLength()

要素の長さを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	要素のサイズ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getLength();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
40
```

GlideElementDescriptor - getName()

要素名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素名。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getName();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
priority
```

GlideElementDescriptor - getPlural()

要素の複数形ラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の複数形ラベル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.query();
var ed = now_GR.getED();
gs.info(ed.getPlural());
```

出力:

```
Incidents
```

GlideElementDescriptor - hasAttachmentsEncrypted()

暗号化された添付ファイルがテーブルに追加された場合は true を返します。

このメソッドは エッジ暗号化 プラグインで使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	暗号化された添付ファイルがテーブルに追加された場合は true を返します。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.hasAttachmentsEncrypted();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
false
```

GlideElementDescriptor - isAutoOrSysID()

要素が自動生成されたフィールドまたはシステムフィールドである場合は true を返します。

自動生成されたフィールドとシステムフィールドは暗号化できません。このメソッドは エッジ暗号化 プラグインで使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要素が自動生成されたフィールドまたはシステムフィールドである場合は true。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');
var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

isEdge = ed.isAutoOrSysID();
gs.info(isEdge);
```

出力:

```
false
```

GlideElementDescriptor - isChoiceTable()

要素がディクショナリ定義でドロップダウンの選択肢として定義されている場合は true を返します。

選択肢フィールドは暗号化できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要素がドロップダウンの選択肢として定義されている場合は true を返します。選択肢テーブルにエントリが定義されていない場合でも true を返します。最後の選択肢タイプである提案は true を返しません。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isChoiceTable = ed.isChoiceTable();
gs.info(isChoiceTable);
```

出力:

```
true
```

GlideElementDescriptor - isEdgeEncrypted()

要素が暗号化されている場合は true を返します。

このメソッドは エッジ暗号化 プラグインで使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要素が暗号化されている場合は true を返し、されていない場合は false を返します。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.isEdgeEncrypted();
gs.info(isEdge)
```

出力:

```
false
```

GlideElementDescriptor - isMandatory()

要素が必須であり、レコードを保存する前に値を含める必要があるかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	関連する要素が必須であり、要素を含むレコードを保存する前に値を含める必要があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：要素に値が含まれている必要がある必須フィールド • false：要素に値を含める必要はない

この例は、名前フィールドが必須かどうかを確認する方法を示しています。

```
var isRecordValid;
var now_GR = new GlideRecord('my_table');
var field = now_GR.getElement('name');
var elementDescriptor = field.getED();
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
if (elementDescriptor.isMandatory() && !now_GR.name) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        isRecordValid = false;
    }
}
```

GlideElementDescriptor - isVirtual()

要素が仮想要素である場合は true を返します。

仮想要素は、フィールドのディクショナリ定義によって設定される計算フィールドです。仮想フィールドは暗号化できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要素が仮想要素である場合は true を返します。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.query('priority', '1');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isVirtual = ed.isVirtual();
gs.info(isVirtual);
```

出力:

```
false
```

GlideElementDynamicAttributeStore - グローバル

GlideElementDynamicAttributeStore API は、現在の Glide レコードの動的属性を管理するための便利なスクリプトメソッドを提供します。これらのメソッドを *GlideRecord* API と組み合わせて使用し、定義済みの動的属性値を取得および設定します。

この API を使用して動的属性を作成するには、dynamic_schema_writer ロールが必要です。この API を使用して動的データを読み取るには、dynamic_schema_reader ロールが必要です。

この API は GlideElement - グローバル API を拡張します。

動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

GlideElementDynamicAttributeStore - getDynamicAttribute(文字列 attributePath)

指定された動的属性パスにある動的属性を表す GlideElementDynamicAttribute オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDynamicAttributeまたはnull	指定された動的属性を含むオブジェクト。 *attributePath*パラメーターに無効な情報が含まれている場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
//Gets all the values of the make attribute from the u_inc_dynamic_schema
 dynamic attribute store column on the incident table
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();
while(gr_Inc.next()) {
    var attr = gr.getDynamicAttribute('inc_dynamic_schema->cars->make');
    gs.info(attr.getValue());
}

//You can also use if(gr_Inc.next()) if you don't want all the values
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();
if(gr_Inc.next()) {
    var attr =
 gr_Inc.getDynamicAttribute('inc_dynamic_schema->cars->make');
    gs.info(attr.getValue());
}
```

GlideElementDynamicAttributeStore - getDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **attributePath)**

動的属性ストア内の指定された属性パスにある動的属性の表示値を返します。表示値が使用できない場合は、内部値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	人間が判読できる形式の関連する動的属性の値。 *attributePath*パラメーターに無効な情報が含まれている場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
//Gets all the display values of the luxury attribute from the
 inc_dynamic_schema dynamic attribute store column on the incident table
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();
while(gr_Inc.next()) {
    var attr =
 gr_Inc.getDynamicAttributeDisplayValue('inc_dynamic_schema->cars->luxury
');
    gs.info(attr);
}

//You can also use if(gr.next()) if you don't want all the values
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();

if(gr_Inc.next()) {
    var attr =
 gr_Inc.getDynamicAttributeDisplayValue('inc_dynamic_schema->cars->luxury
');
    gs.info(attr);
}
```

GlideElementDynamicAttributeStore - getDynamicAttributeValue(文字列 **attributePath)**

動的属性ストア内で渡された属性パスが指す動的属性の内部値を返します。

動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	渡された属性パスが指す動的属性の値。 *attributePath*パラメーターに無効な情報が含まれている場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();

while(gr_Inc.next()) {
    var attr =
 gr_Inc.getDynamicAttributeValue('inc_dynamic_schema->cars->luxury');
    gs.info(attr);
}
```

出力:

```
*** Script: 1
```

GlideElementDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeValue(文字列 **attributePath**, オブジェクト値)

動的属性ストア内の指定された属性パスが指す属性を、指定された値に設定します。

動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」
値	オブジェクト	指定された属性に設定する値。 注: 動的属性の場合、次のデータタイプのみがサポートされます。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDynamicAttributeStore	指定された値を含む GlideElementDynamicAttributeStore オブジェクトを返します。 *groupAttributePath*パラメーターに無効な情報が含まれている場合、属性は更新されません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
//This simple example inserts a make attribute on the inc_dynamic_schema
 column where the value of the make attribute is Ford.
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.setDynamicAttributeValue('inc_dynamic_schema->cars->make',
 'Ford');
gr_Inc.insert();
```

GlideElementDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeValues(GlideDynamicAttributeStore 値)

渡された GlideElementDynamicAttrbuteStore オブジェクトで指定された値を、現在の GlideRecord 要素の動的属性ストアに設定します。現在の要素のデータ タイプは 、動的属性ストアに設定する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
値	GlideDynamicAttributeValue	現在の要素の動的スキーマに設定する値を含むオブジェクト。このオブジェクトで指定されていない値は更新されません。

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDynamicAttributeStore	GlideElementDynamicAttributeStore オブジェクトを更新しました。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue("cars->color", "black");
das.setDynamicAttributeValue("cars->make","Honda");
das.setDynamicAttributeValue("cars->model","CRV");
gr_Inc.setDynamicAttributeValues('inc_dynamic_schema', das);
gr_Inc.insert();
```

このコード例では、u_inc_dynamic_schema列に次を挿入します。

```
{
  "cars" : {
    "color" : "black",
    "make" : "Honda",
    "model" : "CRV"
  }
}
```

GlideElementDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **attributePath)**

現在の GlideRecord 要素の動的属性ストア内の指定されたパスにある動的属性の表示値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
値	オブジェクト	現在の動的属性エレメントに設定する値。 渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDynamicAttributeStore	更新された glide 要素を含むオブジェクト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grFleet = new GlideRecord('u_car_fleet');
grFleet.setDynamicAttributeValue('u_dyn_attr_store', 'car->color',
 'Yellow');
grFleet.setDynamicAttributeValue('u_dyn_attr_store', 'car->make',
 'Ford');
var sysId = grFleet.insert();
gs.info("Inserted: " + grFleet.u_dyn_attr_store);

var daStore = new GlideDynamicAttributeStore();
daStore.setDynamicAttributeValue('car->color', 'Green');
daStore.setDynamicAttributeValue('car->model', 'Bronco');

var geDynAttrStore = grFleet.getElement('u_dyn_attr_store');
geDynAttrStore.setDynamicAttributeDisplayValues(daStore);
grFleet.update();
gs.info("Updated:  " + grFleet.u_dyn_attr_store);
```

出力:

```
*** Script: Inserted: {"car":{"color":"Yellow","make":"Ford"}}
*** Script: Updated:
 {"car":{"color":"Green","make":"Ford","model":"Bronco"}}
```

次のコード例は、ブール表示値が "1" として格納され、"true" として返される方法を示しています。

```
 var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.setDynamicAttributeDisplayValue('u_inc_dynamic_schema->u_cars->u_l
uxury', '1');
gr_Inc.insert()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戻り値:

```
{
  "u_cars" : {
    "u_luxury" : "true"
  }
}
```

GlideElementDynamicAttributeStore - setDynamicAttributeDisplayValues(GlideDynamicAttributeStore 値)

渡された GlideDynamicAttrbuteStore オブジェクトで指定された表示値を、現在の GlideRecord 要素の動的属性に設定します。現在の要素のデータタイプは、関連するテーブルで [動的属性ストア] に設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
値	GlideDynamicAttributeStore	現在の要素の動的属性ストアに設定する表示値を含むオブジェクト。このオブジェクトで指定されていない表示値は更新されません。このオブジェクトには、格納する各属性の属性パスと表示値の両方が含まれている必要があります。 例： `{ "car":{ "color":"Blue", "make":"Ford", "model":"Mustang" } }`

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDynamicAttributeStore	更新された glide 要素を含むオブジェクト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var daStore = new GlideDynamicAttributeStore();
daStore.setDynamicAttributeValue('car->make', 'Ford');
daStore.setDynamicAttributeValue('car->model', 'Mustang');
daStore.setDynamicAttributeValue('car->color', 'Blue');
gs.info("daStore: " + daStore);

var gr_Car = new GlideRecord('u_car_fleet');
gr_Car.query();
while(gr_Car.next()) {
  var glideElement = gr_Car.getElement('u_dyn_attr_store');
  glideElement.setDynamicAttributeValues(daStore);
  gr_Car.update();
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideEmailOutbound - スコープ指定

スコープ付き *GlideEmailOutbound* API は、スコープ対象のアプリケーションのメールオブジェクトを実装します。*GlideEmailOutbound* メソッドは、メールスクリプトで利用可能なメールグローバルオブジェクトで使用できます。メールオブジェクトは、グローバルアプリケーションとスコープ対象のアプリケーションで同じように動作します。

GlideEmailOutbound - GlideEmailOutbound()

スコープ対象 GlideEmailOutbound オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideEmailOutbound - addAddress(文字列型, 文字列アドレス)

アドレスを cc または bcc リストに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	cc または bcc のいずれかにより、アドレスを追加するリストが決まります。
address	文字列	受信者のメールアドレス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
email.addAddress('cc', 'joe.employee@something.com');
```

GlideEmailOutbound - addAddress(文字列型, 文字列アドレス, 文字列 displayName)

受信者を cc または bcc のリストに追加しますが、受信者を表示するときにアドレスの代わりに表示名を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	cc または bcc のいずれかにより、アドレスを追加するリストが決まります。
address	文字列	受信者のメールアドレス。
displayName	文字列	メールアドレスの代わりに表示される名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
email.addAddress('bcc', 'joe.employee@something.com', 'dudley rocks');
```

GlideEmailOutbound - getSubject()

メールの件名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	メールの件名。

GlideEmailOutbound - getWatermark()

メールのウォーターマークを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	メールのウォーターマーク。

```
var watermark = email.getWatermark();
```

GlideEmailOutbound - setBody(文字列 bodyText)

メールの本文を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bodyText	文字列	メールの本文。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
email.setBody('Dear Sir, ...');
```

GlideEmailOutbound - setFrom(文字列アドレス)

送信者のアドレスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
address	文字列	送信者のメールアドレス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
email.setFrom('joe.employee@something.com');
```

GlideEmailOutbound - setReplyTo(文字列アドレス)

返信先アドレスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
address	文字列	返信先メールアドレス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
email.setReplyTo('joe.employee@something.com');
```

GlideEmailOutbound - setSubject(文字列の件名)

メールの件名を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
subject	文字列	件名のテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
email.setSubject('Important Issues to discuss');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideEncrypter - グローバル (非推奨)

GlideEncrypter API は、トリプル DES アルゴリズムを使用して文字列を暗号化および復号化するメソッドを提供します。

注: *GlideEncrypter* API は、NIST 800-131A Rev 2 が 2023 年以降にデータの暗号化に使用することを推奨している 3 キーの Triple DES 暗号化標準を使用します。以下の情報を確認してください。

- Xanadu ファミリーリリース以降、*GlideEncrypter* API は NIST ガイドラインに従って廃止されたため、この API の使用は推奨されません。
- 2025 年 9 月に予定されている Zurich リリースでは、 Now Platform で GlideEncrypter API を使用した新しいインスタンスのインストールと再インストールは許可されません。 インスタンススキャン を使用して、インスタンスで GlideEncrypter が使用されている場所を特定します。インスタンスでこのツールを見つけるには、次の場所に移動します。 インスタンススキャン > スイート > **GlideEncrypter**.
- 現在のユースケースに基づく該当する代替ソリューションへの移行ガイダンスについては、ナレッジベースの記事「 廃止された GlideEncrypter API の代替 」を確認してください。

GlideEncrypter API がインスタンスで使用されなくなった場合は、3DES を廃止できます。詳細については、「GlideEncrypter の廃止に向けたインスタンスの準備 」を参照してください。

この API は、グローバルスコープのサーバースクリプトで使用できます。*GlideEncrypter* クラスには次の 2 つのコンストラクターがあります。

- *GlideEncrypter()*
- GlideEncrypter(文字列 *key)*

GlideEncrypter - GlideEncrypter()

デフォルトの (静的) 暗号化キーを使用して GlideEncrypter クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var encr = new GlideEncrypter();
```

GlideEncrypter - GlideEncrypter(文字列 key)

指定された暗号化キーを使用して GlideEncrypter クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	暗号化キーは正確に 24 文字にする必要があります。24 文字を超えるキーは短縮されます。

```
var encr = new GlideEncrypter(myKey);
```

GlideEncrypter - decrypt(文字列 encryptedString)

Triple DES アルゴリズムを使用してクリア文字列を復号化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
encryptedString	文字列	復号化する文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クリアテキスト文字列。

```
var encr = new GlideEncrypter();
var clearString = 'abcdefg';
var encrString = encr.encrypt(clearString);
var decrString = encr.decrypt(encrString);
gs.print("Decrypted string = " + decrString);
```

出力：

```
Decrypted string = abcdefg
```

GlideEncrypter - encrypt(文字列 clearString)

Triple DES アルゴリズムを使用してクリア文字列を暗号化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
clearString	文字列	暗号化する文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	暗号化された文字列。

```
var encr = new GlideEncrypter();
var clearString = 'abcdefg';
var encrString = encr.encrypt(clearString);
gs.print("Encrypted string = " + encrString);
```

出力：

```
Encrypted string = 3wjpvKtUIi4=
```

GlideEventManager - グローバル

GlideEventManager API は、イベントを処理するメソッドを提供します。

イベントキューの作成については、 イベントを処理するためのカスタムキューの作成 を参照してください。

GlideEventManager - GlideEventManager(文字列 queueName)

GlideEventManager オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
キュー名	文字列	イベント登録 [sysevent_register] テーブルにリストされているイベントのキューの名前。キューが指定されていない場合、*GlideEventManager* はデフォルトのキューに対して処理を行います。

次の例は、 *GlideEventManager* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var eventMgr = new GlideEventManager('my_queue');
```

GlideEventManager - プロセス (数制限)

キュー内の対象イベントを処理します。

limit パラメーターを使用して、キュー内のイベントのprocess_on時間の範囲を指定できますが、これはハード制限ではありません。たとえば、制限が 10 の場合、システムは最も古い 10 回の保留process_onを検索します。複数のイベントのprocess_on時間が同じ場合、10 を超えるイベントが要求される可能性があります (つまり、処理の準備ができている)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
limit	数値	オプション。要求されるイベントの数を制限します。この値が渡されない場合、制限は適用されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、処理されるイベントの数を約 200 に制限する方法を示しています。

```
GlideEventManager('my_event_queue').process(200);
```

GlideScopedEvaluator - グローバル

GlideScopedEvaluator API を使用すると、スコープ対象のサーバースクリプトとグローバルサーバースクリプトの両方から GlideRecord フィールドのスクリプトを評価できます。

この API は、スクリプトフィールドタイプ内のスクリプトを評価します。レコードのスコープによってスクリプトのスコープが定義されます。

GlideScopedEvaluator - GlideScopedEvaluator()

GlideScopedEvaluator オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *GlideScopedEvaluator()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の GlideScopedEvaluator() メソッドを使用します。

GlideScopedEvaluator - evaluateScript(GlideRecord grObj, 文字列 scriptField, オブジェクト variables)

GlideRecord フィールドからスクリプトを評価します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
grObj	GlideRecord	スクリプト式を含む GlideRecord。
scriptField	文字列	(オプション) スクリプト式を含むフィールドの名前。
variables	オブジェクト	(オプション) 名前と値のペアを持つ変数のマップ。これらの変数は、このメソッドの実行中にスクリプトで使用できます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	スクリプトの実行結果。

```
//For this example, we created a table: "x_app_table" with two columns:
 "short_description", "test_script"
// "test_script" will store the script to be evaluated by
 GlideScopedEvaluator.
var now_GR = new GlideRecord('x_app_table');
now_GR.short_description = 'Testing GlideScopedEvaluator';
now_GR.test_script = "gs.getUser().getName() + ' says ' + greeting; ";
now_GR.insert();

//setup variables to be used by the script
var vars = {'greeting' : 'hello'};

//Evaluate the script from the field
var evaluator = new GlideScopedEvaluator();
gs.info(evaluator.evaluateScript(now_GR, 'test_script', vars));

// Now retrieve the result
evaluator.evaluateScript(gr, 'u_test_script', null);
gs.info(evaluator.getVariable('result'));
```

出力:

```
admin says hello
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *evaluateScript()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の evaluateScript() メソッドを使用します。

GlideScopedEvaluator - getVariable(文字列 name)

GlideScopedEvaluator オブジェクトから変数を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数の名前

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された変数の値。

```
//setting up a record that contains the script to be executed.
var now_GR = new GlideRecord('global');
now_GR.u_short_description = 'Calculate Addition';
now_GR.u_test_script = "result = x + y";
evaluator.evaluateScript(now_GR, "script")
now_GR.insert();

var evaluator = new GlideScopedEvaluator();
evaluator.putVariable('x', 100);
evaluator.putVariable('y', 200);
evaluator.putVariable('result', null);
evaluator.evaluateScript(now_GR, "script")
now_GR.insert();
```

出力:

```
300
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getVariable()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getVariable() を使用します。

GlideScopedEvaluator - putVariable(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

GlideScopedEvaluator オブジェクトに変数を配置します。これらの変数は、この GlideScopedEvaluator オブジェクトが実行するスクリプトで使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数の名前
value	オブジェクト	変数の値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//setting up a record that contains the script to be executed.
var now_GR = new GlideRecord('u_global_table');
now_GR.u_short_description = 'Calculate Addition';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
now_GR.u_test_script = "result = x + y";
evaluator.evaluateScript(now_GR, "script")
now_GR.insert();

var evaluator = new GlideScopedEvaluator();
evaluator.putVariable('x', 100);
evaluator.putVariable('y', 200);
evaluator.putVariable('result', null);
evaluator.evaluateScript(now_GR, "script")
now_GR.insert();
```

出力：

```
300
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *putVariable()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の putVariable() メソッドを使用します。

GlideScopedEvaluator - スコープ指定

GlideScopedEvaluator API を使用すると、スコープ対象のサーバースクリプトとグローバルサーバースクリプトの両方から GlideRecord フィールドのスクリプトを評価できます。

この API は、スクリプトフィールドが定義されているレコードを評価します。レコードのスコープによってスクリプトのスコープが定義されます。

GlideScopedEvaluator - GlideScopedEvaluator()

GlideScopedEvaluator オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideScopedEvaluator - evaluateScript(GlideRecord grObj, 文字列 scriptField, オブジェクト variables)

GlideRecord フィールドに存在するスクリプトを評価します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
grObj	GlideRecord	スクリプト式を含む GlideRecord。
scriptField	文字列	オプション。スクリプト式を含むフィールドの名前。
variables	オブジェクト	オプション。名前と値のペアを持つ変数のマップ。これらの変数は、このメソッドの実行中にスクリプトで使用できます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	スクリプトの実行結果。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Setting up a record that contains the script to be executed.
var now_GR = new GlideRecord('u_global_table');
now_GR.u_short_description = 'Calculate Addition';
now_GR.u_test_script = "result = x + y";
now_GR.insert();

var evaluator = new GlideScopedEvaluator();
evaluator.putVariable('x', 100);
evaluator.putVariable('y', 200);
gs.info(evaluator.evaluateScript(now_GR, 'u_test_script'));
```

出力：

```
300
```

GlideScopedEvaluator - getVariable(文字列 **name)**

GlideScopedEvaluator オブジェクトから指定された変数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	返す変数の名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定した変数の値。

次の例は、 *getVariable()* メソッドを呼び出して *answer* 変数の値を確認する方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var grAG = current.assignment_group.getRefRecord(); // Get the
 GlideRecord of the assignment group
  if (grAG.isValidRecord()) {
    var ge = new GlideScopedEvaluator();
    ge.putVariable("current", current); // Pass through the "current"
 variable as "current"
    ge.putVariable("group", grAG); // Pass through the "grAG" variable as
 "group"
    ge.putVariable("answer", true); // default "answer" to TRUE
    ge.evaluateScript(grAG, "u_assignment_condition"); // Run the script

    // Abort the transaction if the "answer" variable was set to FALSE
 explicitly (undefined doesn't count)
    if (ge.getVariable("answer") === false) {
      gs.addErrorMessage("Assignment rule did not pass");
      current.setAbortAction(true);
    }
  }
})(current, previous);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideScopedEvaluator - putVariable(文字列 name, オブジェクト value)

GlideScopedEvaluator オブジェクトに変数を設定します。これらの変数は、この GlideScopedEvaluator オブジェクトが実行するスクリプトで使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数の名前。
value	オブジェクト	変数の値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *putVariable()* メソッドを呼び出して 、answer 変数を true に設定する方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var grAG = current.assignment_group.getRefRecord(); // Get the
 GlideRecord of the assignment group
  if (grAG.isValidRecord()) {
    var ge = new GlideScopedEvaluator();
    ge.putVariable("current", current); // Pass through the "current"
 variable as "current"
    ge.putVariable("group", grAG); // Pass through the "grAG" variable as
 "group"
    ge.putVariable("answer", true); // Set default "answer" to TRUE
    ge.evaluateScript(grAG, "u_assignment_condition"); // Run the script

    // Abort the transaction if the "answer" variable was set to FALSE
 explicitly (undefined doesn't count)
    if (ge.getVariable("answer") === false) {
      gs.addErrorMessage("Assignment rule did not pass");
      current.setAbortAction(true);
    }
  }
})(current, previous);
```

GlideExcelParser - スコープ対象、グローバル

GlideExcelParser API は、.xlsx形式の Excel ファイルを解析し、スクリプト内のファイルデータにアクセスします。

GlideExcelParser メソッドは、グローバルおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。`sn_impex` 名前空間識別子を使用して GlideExcelParser オブジェクトを作成します。

GlideExcelParser - GlideExcelParser()

GlideExcelParser のインスタンスを作成します。

GlideExcelParser オブジェクトを作成するときは、API の名前空間識別子「sn_impex」を使用する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();
var attachment = new GlideSysAttachment();
// use attachment sys id of an excel file
var attachmentStream = attachment.getContentStream(<attachment sys id>);

parser.parse(attachmentStream);

//retrieve the column headers
var headers = parser.getColumnHeaders();
var header1 = headers[0];
var header2 = headers[1];

//print headers
gs.info(header1 + " " + header2);

while(parser.next()) {
  var row = parser.getRow();
  //print row value for both columns
  gs.info(row[header1] + ' ' + row[header2])
}
```

GlideExcelParser - close()

入力ストリームへの接続を閉じて、ドキュメントをリリースします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、すべてのドキュメント管理が完了した後にパーサーを閉じる方法を示しています。

```
// iterate over each row in the excel sheet
var attachment = new GlideSysAttachment();
var attachmentStream = attachment.getContentStream(<attachment sys id>);
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();
parser.parse(attachmentStream);
while (parser.next()) {
  // do something on each row
  var row = parser.getRow();
  gs.info(JSON.stringify(row));
}
parser.close(); // close the stream and release the document
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideExcelParser - getColumnHeaders()

解析されたドキュメントから列ヘッダーのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	解析済みドキュメントの列ヘッダーの文字列のアレイ。

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);

// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - getErrorMessage()

parse() メソッドが失敗した場合にエラーメッセージを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージ。

GlideExcelParser - getRow()

現在の行の値とヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	行ヘッダーはプロパティ名で、行の値はプロパティ値です。

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);

        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - getSheetNames()

Excel ワークブック内のすべてのワークシート名のリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ワークブック内で左から右に配置されたワークシート名としての文字列のアレイ。結果には非表示としてマークされたワークシートが含まれます。

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);

// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);

        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - getTableInfo()

スプレッドシートまたは CSV 添付ファイルからテーブルの列タイプと最大文字数を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このメソッドは、スコープ対象のアプリケーションに制限されています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	添付ファイルデータをキーが列名であるマップとして返します。値には、列のタイプと列の文字列の最大長が含まれます。*getType()* および *getLength()* メソッドを使用して戻り値にアクセスします。

この例では、1、Meghan、1/1/85、1:00 AM、10.00%、224-432-8582、½ などの行データを含む、7 列のスプレッドシートの添付ファイルからデータを取得する方法を示します。

```
var attachmentSysId = "<sys_id>";
var headerRowNumber = 6;

var attachmentStream = new
 GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysId);
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();
parser.setHeaderRowNumber(headerRowNumber);
if (!parser.parse(attachmentStream)) {
    throw "Attachment could not be parsed as an Excel Spreadsheet " +
 attachmentSysId;
}
var tableInfo = parser.getTableInfo();
for (var name in tableInfo) {
gs.info('Column Name : ' + name + ', Type : ' + tableInfo[name].getType()
 + ', Max Length : ' + tableInfo[name].getLength());
}
```

出力：

```
ProgressWorker: Attempted to get non-existent sys_progress_
worker record, inserted 81b0ca5ddb59730090c9ff9dbf9619c4
sn_appcreator: Column Name : My Number Col, Type : integer,
 Max Length : 1
sn_appcreator: Column Name : My String Col, Type : string,
 Max Length : 650
sn_appcreator: Column Name : My Date Col, Type : glide_date,
 Max Length : 6
sn_appcreator: Column Name : My DateTime Col, Type :
 glide_date_time, Max Length : 7
sn_appcreator: Column Name : My Percent Col, Type : decimal,
 Max Length : 6
sn_appcreator: Column Name : My Phone Col, Type : string,
 Max Length : 12
sn_appcreator: Column Name : My Fraction Col, Type : decimal,
 Max Length : 3
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideExcelParser - next()

次の行に移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	次の行がある場合は true を返し、ない場合は false を返します。

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);

// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - parse(InputStream inputStream)

XLSX 形式の Excel ドキュメントを解析します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	入力ストリームとして提供される Excel ドキュメント。 注: setSource() メソッドを使用して同じソースを複数回解析する場合は、この値を設定しないでください。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	解析が成功したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ドキュメントは正常に解析されました。 • false：ドキュメントは正常に解析されませんでした。

要求ペイロードの入力ストリームを使用して Excel ファイルが送信される、Scripted REST API スクリプトの例。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();
parser.parse(request.body.dataStream);
```

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);

        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - setHeaderRowNumber(数値 headerRowNumber)

取得するヘッダー行の番号を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerRowNumber	数値	取得するヘッダー行。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideExcelParser - setNullToEmpty(ブーリアン empty)

Excel セルが存在しない場合は、null ではなく空の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
empty	ブーリアン	true の場合、存在しないセルは空の値を返します。false の場合、存在しないセルは null を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideExcelParser - setSheetName(文字列 sheetName)

取得するシートの名前を設定します。

`setSheetNumber()` と `setSheetName()` の両方が設定されている場合は、`setSheetName()` が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sheetName	文字列	取得するシートの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);

// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);

        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 ************************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
*** Script:
 ************************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ************************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideExcelParser - setSheetNumber(数値 SheetNumber)

取得する Excel シートの番号を設定します。

setSheetNumber() と *setSheetName()* の両方が設定されている場合は、*setSheetNumber()* は無視されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sheetNumber	数値	取得する Excel シート番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、このメソッドを使用して、読み込む添付されたスプレッドシートワークブックのシート番号を指定する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();
var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the sys id of an Excel file in the sys_attachment table and copy
 the sys_id of attachment.
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream('178e0511138b6300026e32228144b04e');

// Specify the sheet Number to be read, 0 denotes sheet 1, 1 denotes
 sheet 2, etc.
parser.setSheetNumber("0");

parser.parse(attachmentStream);

// retrieve the column headers (tests if on the correct sheet)
var headers = parser.getColumnHeaders();
var header1 = headers[0];
var header2 = headers[1];
var header3 = headers[2];

// print headers
gs.info('Header 1 value = ' +header1);
gs.info('Header 2 value = ' +header2);
gs.info('Header 3 value = ' +header3);
```

出力：

```
Header 1 value = sys_id
Header 2 value = email
Header 3 value = undefined
```

GlideExcelParser - setSource(InputStream inputStream)

複数回解析したり、Excel ファイル内の各ワークシートを解析したりする入力ソースを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	入力ストリームとして提供される Excel ドキュメント。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、Excel ファイルの添付ファイルを複数回解析して列ヘッダーを取得し、各ワークシートの各行の値を出力する方法を示しています。結果には、Excel 添付ファイルの 3 つの個別のシートの列ヘッダーと値が表示されます。

```
var parser = new sn_impex.GlideExcelParser();

var attachment = new GlideSysAttachment();

// Use the attachment sys_id of an Excel file
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var attachmentStream =
 attachment.getContentStream("<attachment_sys_id>");

// Set the source to be parsed
parser.setSource(attachmentStream);

// Get the worksheet names to be parsed in the Excel document
var list_sheet_name = parser.getSheetNames();

gs.info(" Sheet Names " + list_sheet_name.join(", "));

// Iterate over each worksheet in the Excel workbook
for (var i = 0; i < list_sheet_name.length; i++) {

 gs.info("**********************************************************************
**********************");
    gs.info("Sheet name:    " + list_sheet_name[i]);

// Set the worksheet name to be parsed
    parser.setSheetName(list_sheet_name[i]);

// Parse each worksheet set using setSheetName()
    if (parser.parse()) {
        //retrieve the column headers
        var headers = parser.getColumnHeaders();
        var header1 = headers[0];
        var header2 = headers[1];
        var header3 = headers[2];

        //print headers
        gs.info(header1 + "\t||" + header2 + "\t||" + header3);

        // Iterate over each row in the worksheet
        while (parser.next()) {
            var row = parser.getRow();
            //print row value for both columns
            gs.info(row[header1] + '\t|| ' + row[header2] + '\t||' +
 row[header3])
        }
    } else
        gs.info(parser.getErrorMessage());
}
```

出力：

```
*** Script:  Sheet Names Incident Table, sys_user Table, knowledge Table
*** Script:
 **********************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    Incident Table
*** Script: Number ||Opened ||Short description
*** Script: INC0010112 || 2019-07-29 11:48:43 ||Assessment :  ATF
 Assessor
*** Script: INC0010111 || 2019-07-22 14:04:57 ||ATF : Test1
*** Script: INC0009009 || 2018-08-30 01:06:16 ||Unable to access the
 shared folder.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script:
 ********************************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    sys_user Table
*** Script: User ID ||Name ||Email
*** Script: abel.tuter || Abel Tuter ||abel.tuter@example.com
*** Script: abraham.lincoln || Abraham Lincoln
 ||abraham.lincoln@example.com
*** Script: adela.cervantsz || Adela Cervantsz
 ||adela.cervantsz@example.com
*** Script: aileen.mottern || Aileen Mottern ||aileen.mottern@example.com
*** Script: alejandra.prenatt || Alejandra Prenatt
 ||alejandra.prenatt@example.com
*** Script:
 ********************************************************************************
**************
*** Script: Sheet name:    knowledge Table
*** Script: Number ||Short description ||Author
*** Script: KB99999999 || Microsoft Outlook Issues ||System Administrator
*** Script: KB0000033 || Eclipse configuration for Android development
 ||System Administrator
*** Script: KB0000032 || Getting Around in Windows ||System Administrator
*** Script: KB0000031 || How can I find the MAC address of my Ethernet or
   wireless interface? ||Sam Sorokin
```

GlideFilter - スコープ対象、グローバル

GlideFilter API を使用すると、クエリをフィルタリングして、1 つ以上のレコードが指定された一連の要件を満たしているかどうかを判断できます。

この API のメソッドは、GlideFilter グローバルオブジェクトを使用してアクセスできます。

大文字と小文字の区別

GlideFilter API では、デフォルトで大文字と小文字が区別されます。大文字と小文字の区別を有効または無効にするには、setCaseSensitive() メソッドを使用します。*GlideRecord* クエリは大文字と小文字を区別しません。

次の例は、GlideRecord クエリが大文字と小文字を区別しないで、大文字または小文字を使用した同じユーザーレコードを結果として得る方法を示しています。

```
var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.addQuery('first_name', 'Abel');
gr_Query.query();
while (gr_Query.next())
  gs.info("Upper case query: " + gr_Query.getDisplayValue());

var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.addQuery('first_name', 'abel');
gr_Query.query();
while (gr_Query.next())
  gs.info("Lower case query: " + gr_Query.getDisplayValue());
```

GlideRecord.query() 出力では、大文字と小文字に関係なく同じ結果が表示されます。

```
Upper case query: Abel Tuter
Lower case query: Abel Tuter
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、*GlideFilter*が大文字の条件に一致するレコードの値のみを取得する方法を示しています。小文字の条件では一致しません。

```
// Matches the 'Abel Tuter' user record
var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.query();
var condition = 'first_name=Abel';
var glideFilter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
while (gr_Query.next()) {
   if (glideFilter.match(gr_Query, true))
        gs.info("Upper case condition: " + gr_Query.getDisplayValue());
}

// The following code does not match 'Abel Tuter' user record
var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.query();
var condition = 'first_name=abel';
var glideFilter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
while (gr_Query.next()) {
   if (glideFilter.match(gr_Query, true))
        gs.info("Lower case condition: " + gr_Query.getDisplayValue());
}
```

出力を見ると、フィルターがデフォルトの大文字と小文字を区別する大文字の結果のみを返すことがわかります。

```
Upper case condition: Abel Tuter
```

次の例は、*setCaseSensitive()* メソッドを使用して GlideFilter の大文字と小文字の区別を無効にする方法を示しています。大文字と小文字がフィールド値と一致しない場合でも、条件に一致するとしてフィルターされます。

```
// Matches the 'Abel Tuter' user record
var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.query();
var condition = 'first_name=Abel';
var glideFilter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
while (gr_Query.next()) {
   if (glideFilter.match(gr_Query, true))
     gs.info("Upper case condition: " + gr_Query.getDisplayValue());
}

// The following code disables case sensitivity and matches the same
 record
var gr_Query = new GlideRecord('sys_user');
gr_Query.query();

var condition = 'first_name=abel';
var glideFilter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
glideFilter.setCaseSensitive(false);

while (gr_Query.next()) {
  if (glideFilter.match(gr_Query, true))
    gs.info("Lower case condition: " + gr_Query.getDisplayValue());
}
```

出力は、大文字と小文字を区別しない*GlideFilter*の結果を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Upper case condition: Abel Tuter
Lower case condition: Abel Tuter
```

フィルター null 値

GlideFilter クエリ結果から null 値を除外するには、クエリ条件に `ISNOTEMPTY` を追加します。次の例は、*GlideRecord* と *GlideFilter* で同じエンコードクエリ使用すると異なる結果が生成されることを示しています。

```
var insertRecordsGr = new GlideRecord('u_test_table');
insertRecordsGr.deleteMultiple();
var dates = ['', '2021-01-29', '2021-01-30', '2021-01-31'];
dates.forEach(function(val) {
  insertRecordsGr.initialize();
  insertRecordsGr.u_date_field = val;
  insertRecordsGr.insert();
});

var now_GR = new GlideRecord('u_test_table');
now_GR.addEncodedQuery('u_date_field<javascript:gs.beginningOfToday()');
now_GR.query();

// Encoded query includes null values with GlideFilter, which might cause
 unexpected results
var condition = 'u_date_field<javascript:gs.beginningOfToday()';

var grWithGlideFilter = new GlideRecord('u_test_table');
grWithGlideFilter.query();
var filter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');

var countWithGlideFilter = 0;
while (grWithGlideFilter.next()) {
  if (GlideFilter.checkRecord(grWithGlideFilter, condition))
     countWithGlideFilter++;
}

gs.info('Record RowCount: ' + now_GR.getRowCount() + ' - Filter Count: '
 + countWithGlideFilter);
```

出力は、*GlideRecord* が空の日付値をスキップして 3 つのレコードを返すことを示しています。*GlideFilter* クエリは空の日付値をカウントし、4 つのレコードのカウントを返します。

```
Record RowCount: 3 - Filter Count: 4
```

GlideFilter の結果から null 値を除外するには、クエリされたフィールドに `AND` 条件 `ISNOTEMPTY` を追加します。

```
// Encoded query includes null values with GlideFilter
var condition =
 'u_date_field<=javascript:gs.beginningOfToday()^u_date_fieldISNOTEMPTY';
```

出力は、*GlideFilter* でエンコードされたクエリが null の日付値をスキップし、3 つの結果をカウントすることを示しています。

```
Record RowCount: 3 - Filter Count: 3
```

GlideFilter – GlideFilter(文字列 **filter**, 文字列 **title)**

GlideFilter オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。setCaseSensitive() メソッドを使用して無効にしない限り、結果は大文字と小文字を区別します。 *GlideFilter* クエリ結果から null 値を除外するには、クエリ条件に ISNOTEMPTY を追加します。
title	文字列	フィルターのわかりやすいタイトル。

次の例は、Rebekah という名前のユーザーの数をフィルターする方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
now_GR.query();
var condition = 'first_name=rebekah';
var filter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
filter.setCaseSensitive(false);

var countResults = 0;
while (now_GR.next()) {
  if (filter.match(now_GR, true))
     countResults++;
}

gs.info('Number of users named Rebekah: ' + countResults);
```

出力：

```
Number of users named Rebekah: 2
```

GlideFilter - checkRecord(GlideRecord now_GR, 文字列 filter, ブーリアン match)

指定されたフィルターを指定された GlideRecord の内容と比較します。

指定されたフィルターに 1 つの条件が含まれている場合、レコードが条件を満たしていれば true が返されます。

フィルターは、`"active=true^number=abc^category=request"` など、複数の条件をサポートしています。*match* パラメーターを使用して、一致を判断するためにすべての条件を満たす必要があるかどうか、1 つの条件のみを満たす必要があるのかを定義できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	評価する *GlideRecord*。
フィルター	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 *GlideFilter* クエリ結果から null 値を除外するには、クエリ条件に ISNOTEMPTY を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: *filter* 値の大文字と小文字は区別されます。また、*setCaseSensitive(false)* を使用して大文字と小文字を区別する値を変更することはできません。
一致	ブーリアン	オプション。*filter* パラメーターに複数の条件が含まれている場合に、すべての条件を満たす必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メソッドが true を返すには、すべての条件を満たす必要があります。 • false：メソッドが true を返すには、1 つの条件のみを満たす必要があります。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィルター比較の結果。 • true：フィルター条件が満たされました。 • false：フィルター条件が満たされませんでした。

次の例は、インシデントテーブル内のフィルター条件を満たす各レコードについて true を表示する方法を示しています。それ以外の場合は false です。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();

var bool = true;

while(rec.next())
{
   bool = GlideFilter.checkRecord(rec, "active=true");
   gs.info("number "+ rec.number + " is " + bool);
}
```

出力：

```
number INC0000060 is false
number INC0009002 is false
number INC0000009 is false
...
number INC0000015 is true
number INC0000016 is true
number INC0000017 is true
...
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideFilter - match(GlideRecord now_GR, ブーリアン match)

指定された GlideRecord に対してフィルターを評価します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	評価する *GlideRecord*。
一致	ブーリアン	すべてのフィルター条件が一致する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべてのフィルター条件が一致する必要があります。 • false：フィルター条件の一致は必要ありません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	一致チェックの結果。 • true：フィルター条件が満たされました。 • false：フィルター条件が満たされませんでした。

次の例は、フィルター条件が指定された GlideRecord と一致することを確認する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
now_GR.query();
var condition = 'first_name=rebekah';
var filter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
filter.setCaseSensitive(false);

var countResults = 0;
while (now_GR.next()) {
  if (filter.match(now_GR, true))
     countResults++;
}

gs.info('Number of users named Rebekah: ' + countResults);
```

出力：

```
Number of users named Rebekah: 2
```

GlideFilter - setCaseSensitive(ブーリアン caseSensitive)

大文字と小文字を区別するフィルター結果を有効または無効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
caseSensitive	ブーリアン	フィルターが大文字と小文字を区別するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フィルターは大文字と小文字を区別します。 • false：フィルターは大文字と小文字を区別しません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、大文字と小文字を区別する結果を無効にする方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
now_GR.query();

var condition = 'first_name=rebekah';
var filter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');

// Disable case-sensitive filtering
filter.setCaseSensitive(false);

while (now_GR.next()) {
  if (filter.match(now_GR, true))
     gs.info(now_GR.getDisplayValue());
}
```

出力は、フィルターが小文字の条件で大文字の結果を取得することを示しています。

```
Rebekah Padley
Rebekah Lindboe
```

GlideFilter - setEnforceSecurity(ブール値 **enforceSecurity)**

フィルター文字列のサンドボックス化された評価を有効または無効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
enforceSecurity	ブーリアン	サンドボックスでフィルターを評価するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:サンドボックス内のフィルターを評価します。 • false:サンドボックスでフィルターを評価しません。 デフォルト値：false

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
now_GR.query();
var condition = 'first_name=rebekah';
var filter = new GlideFilter(condition, 'filterCondition');
filter.setEnforceSecurity(true);

var countResults = 0;
while (now_GR.next()) {
  if (filter.match(now_GR, true))
     countResults++;
}

gs.info('Number of users named Rebekah: ' + countResults);
```

出力:

```
Number of users named Rebekah: 2
```

GlideGeoPoint - グローバル

GlideGeoPoint API を使用すると、テーブル内のジオポイントデータタイプ値を取得および設定できます。

この API はデフォルトで利用可能です。ジオポイント データ タイプを使用すると、緯度と経度の値をテーブル内の 1 つのフィールドに格納できます。*GlideGeoPoint* API を使用すると、新しい GlideGeoPoint オブジェクトをインスタンス化したり、特定のテーブルに新しいジオポイントを作成したり、単一の緯度、経度、またはジオタイプ値を取得したりすることができます。ジオポイントを使用した新しいレコードの挿入、ジオポイント位置間の距離の計算、近くのジオポイント位置のクエリなど、特定のユースケースを実装する方法の詳細については、「GlideGeoPoint 開発者ガイド」を参照してください。

ジオタイプ データ タイプの主な側面は次のとおりです。

- これは、経度と緯度の値を表す 10 進数のペアで構成されます。
- 経度の範囲は (-180, 180) です。この範囲外の値は、この範囲内の同等の値に正規化されます。
- 緯度の範囲は [-90, 90] です。この範囲外の値は、この範囲内の同等の値に正規化されます。
- ジオポイント値は常に入力として受け入れられ、"longitude,latitude" のようにカンマで区切られたペアとして表示されます。オプションで式を括弧で囲むことができます。
- 経度と緯度の両方の値は、小数点以下 6 桁までの精度で格納されます。

注: *GlideGeoPoint* API 値は常に経度、緯度の順にリストされます。

このページの例では、カスタム テーブルにジオポイント フィールド タイプを含むフィールドが事前に入力されていることを前提としています。このデータ型の詳細については、「ジオポイントフィールドタイプ と 機能フィールド 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideGeoPoint - GlideGeoPoint()

GlideGeoPoint オブジェクトをインスタンス化します。*GlideGeoPoint* オブジェクトは、文字列として格納される経度と緯度の値にセマンティック認識を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、新しい GlideGeoPoint オブジェクトを null 値として初期化する方法を示しています。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
```

GlideGeoPoint - GlideGeoPoint(文字列 **longitude**, 文字列 **latitude**)

指定された経度と緯度の値に従って *GlideGeoPoint* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
経度	文字列	ジオポイントの経度座標。
緯度	文字列	ジオポイントの緯度座標。

返される内容

タイプ	説明
ジオポイント	結果の *GlideGeoPoint* オブジェクト。

次の例は、経度と緯度の値を指定して、それに応じてオブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
// Providing longitude and latitude values initializes the object
 accordingly
var gp = new GlideGeoPoint(10.123, 25.987);
gs.info("geopoint: " + gp);
```

出力:

```
geopoint: 10.123000,25.987000
```

GlideGeoPoint - GlideGeoPoint(オブジェクト **geoPoint**)

経度と緯度のポイントの値をコピーして、新しい GlideGeoPoint オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ジオポイント	オブジェクト	コピーするジオポイントインスタンス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ジオポイント	結果の *GlideGeoPoint* オブジェクト。

次の例は、経度と緯度の値をコピーして、新しい GlideGeoPoint オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var gp = new GlideGeoPoint(135, -64);
var gpCopy = new GlideGeoPoint(gp);
gs.info("geopoint: " + gpCopy);
```

出力:

```
geopoint: 135,-64
```

GlideGeoPoint - getDisplayValue()

現在のユーザーのジオポイントを分かりやすい形式で返します。

getDisplayValue() メソッドは、単一のジオポイント値を返します。特定のテーブルからすべてのジオポイント値を取得する方法については、「GlideGeoPoint 開発者ガイド」をご参照ください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オブジェクトに設定された経度と緯度の座標の値。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue(76.25, 49.75);
gs.info("geopoint: " + gp);
gs.info("getDisplayValue(): " + gp.getDisplayValue());
```

出力:

```
geopoint: 76.250000,49.750000
getDisplayValue(): (76.250000, 49.750000)
```

GlideGeoPoint - getGeoPoint(文字列 geo_point_field_name)

位置情報ポイントタイプの指定されたフィールド名の位置情報ポイント座標値のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
geo_point_field_name	文字列	位置情報フィールドの名前。辞書エントリ `[sys_dictionary]` テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: また、テーブルで定義された辞書要素の下にあるフィールド名を検索して、ジオポイントタイプの関連フィールドを表示することもできます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	結果の GlideGeoPoint オブジェクト。

次の例では、「test_table」はジオポイントタイプの「geo_point」フィールドを含むテーブルです。test_tableには、geo_point列に (-30.560000,-54.330000) の値が設定されたレコードが 1 つあります。このコード例は、geo_point列のレコードの緯度と経度の座標と表示値を返します。

```
var gr_Test = new GlideRecord('test_table');
gr_Test.query();
gr_Test.next();
var gp = gr_Test.getGeoPoint('geo_point');
gs.info("getLatitude(): " + gp.getLatitude());
gs.info("getLongitude(): " + gp.getLongitude());
gs.info("getDisplayValue(): " + gp.getDisplayValue());
```

出力:

```
getLatitude(): -54.33
getLongitude(): -30.560000000000002
getDisplayValue(): (-30.560000, -54.330000)
```

GlideGeoPoint - getLatitude()

GlideGeoPoint オブジェクトの緯度値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*GlideGeoPoint* オブジェクトの緯度値。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue(76.25, 49.75);

gs.info("geopoint: " + gp);
gs.info("getLatitude(): " + gp.getLatitude());
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
geopoint: 76.250000,49.750000
getLatitude(): 49.75
```

GlideGeoPoint - getLongitude()

GlideGeoPoint オブジェクトの経度値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*GlideGeoPoint* オブジェクトの経度値。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue(76.25, 49.75);
gs.info("geopoint: " + gp);
gs.info("getLongitude(): " + gp.getLongitude());
```

出力:

```
geopoint: 76.250000,49.750000
 getLongitude(): 76.25
```

GlideGeoPoint - getValue()

現在の *GlideGeoPoint* オブジェクトのプログラムによる経度と緯度の値を含む文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の *GlideGeoPoint* オブジェクトの経度と緯度の値。

```
 var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue(76.25, 49.75);
gs.info("geopoint: " + gp);
gs.info("getValue(): " + gp.getValue());
```

出力:

```
geopoint: 76.250000,49.750000
getValue(): 76.250000,49.750000
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideGeoPoint - setValue(文字列 経度, 文字列 緯度)

ジオポイントの経度と緯度の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
経度	文字列	ジオポイントの経度座標。
緯度	文字列	ジオポイントの緯度座標。

返される内容

タイプ	説明
文字列	*GlideGeoPoint* オブジェクトに設定された経度と緯度の値。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue("-28.48,38.91");
gs.info("geopoint: " + gp);
```

出力:

```
geopoint: -28.480000,38.910000
```

GlideGeoPoint - setValue(文字列値)

ジオポイントの経度と緯度の値をカンマで区切った 1 つの値で設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	経度と緯度のポイントをそれぞれ含むカンマ区切りの値。

返される内容

タイプ	説明
文字列	*GlideGeoPoint* オブジェクトに設定された経度と緯度の値。

次の例は、1 つの文字列を使用して経度と緯度の値を設定する方法を示しています。

```
var gp = new GlideGeoPoint();
gp.setValue(23.4, 56.7);
```

出力:

```
geopoint: -23.400000,56.700000
```

GlideHTTPRequest - グローバル

GlideHTTPRequest API は、Glide HTTP 要求で一般的な機能を実行するためのユーティリティメソッドを提供します。

この API は、グローバルサーバーサイドスクリプトで使用できます。このクラスを使用するには、コンストラクターを使用して GlideHTTPRequest オブジェクトをインスタンス化します。コンストラクターには、入力パラメーターとしてエンドポイント URL が必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideHTTPRequest - addHeader(文字列 name, 文字列 value)

HTTP 要求にヘッダーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	`Accept` や `Content-Type` などのヘッダー名。
value	文字列	`application/json` などのヘッダー値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、要求ヘッダー「Accept」を追加し、JSON または XML 応答を解析して、ServiceNow インスタンスからインシデントの数を返します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print('(JSON) Incidents returned: ' +
 JSON.parse(response.getBody()).result.length);

// Replace the Accept header to get XML response
request.addHeader('Accept', 'application/xml');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print('(XML) Incidents returned: ' +
 gs.xmlToJSON(response.getBody()).response.result.length);
```

出力

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
200
(JSON) Incidents returned: 66
200
(XML) Incidents returned: 66
```

GlideHTTPRequest - addParameter(文字列 **name**, 文字列 **value)**

HTTP 要求にパラメーターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*sysparm_limit* などの追加するパラメーター。
value	文字列	パラメーターの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、REST エンドポイント呼び出しに *sysparm_limit* パラメーターを追加して、返される応答の数を制限する方法を示します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the 'sysparm_limit' parameter to limit the number of records
 returned
request.addParameter('sysparm_limit', 1);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print('Incidents returned: ' +
 JSON.parse(response.getBody()).result.length);
```

出力:

```
200
Incidents returned: 1
```

GlideHTTPRequest - setBasicAuth(文字列 **userName**, 文字列 **password)**

基本認証のユーザー名とパスワードを設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
userName	文字列	認証に使用するユーザー名。
password	文字列	認証に使用するユーザーのパスワード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*setBasicAuth()* メソッドを使用して、関連する REST エンドポイント呼び出しのユーザー名とパスワードを設定する方法を示します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print('(JSON) Incidents returned: ' +
 JSON.parse(response.getBody()).result.length);

// Replace the Accept header to get XML response
request.addHeader('Accept', 'application/xml');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print('(XML) Incidents returned: ' +
 gs.xmlToJSON(response.getBody()).response.result.length);
```

出力

```
200
(JSON) Incidents returned: 66
200
(XML) Incidents returned: 66
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideHTTPRequest - setContentType(文字列 **type**)

HTTP 要求のコンテンツタイプヘッダーを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	`application/json` や `multipart/form-data` など、設定するコンテンツタイプ。Content-Type の詳細については、「https://developer.mozilla.org/en-US/docs/Web/HTTP/Headers/Content-Type」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*`setContentType()`* メソッドを使用して REST エンドポイント呼び出しの `Content-Type` 要求ヘッダーを設定する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/incident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Set up incident record to post

// Set the Content-Type of the POST
request.setContentType('application/json');

// Execute the POST request
var response = request.post();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
```

出力

```
200
```

GlideHTTPRequest - setFollowRedirect(ブーリアン **followRedirect**)

REST エンドポイント呼び出しの followRedirect オプションを有効または無効にします。

HTTP リダイレクトの詳細については、「https://developer.mozilla.org/en-US/docs/Web/HTTP/Redirections」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
followRedirect	ブーリアン	エンドポイントによって返された URL リダイレクトにエンドポイントが従う必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：返されたリダイレクトに従います。 • false：返されたリダイレクトを無視します。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*setFollowRedirect()* メソッドを使用してエンドポイント呼び出しのリダイレクトをオフにする方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Turn off follow redirect - default is on (true)
request.setFollowRedirect(false);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
```

出力

```
200
```

GlideHTTPRequest - setHttpTimeout(int timeout)

HTTP タイムアウト値をミリ秒単位で設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeout	整数	設定するタイムアウト値。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*setTimeout()* メソッドを使用してエンドポイント呼び出しのタイムアウト値を設定する方法を示します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Set the time out value
request.setHttpTimeOut(1000);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
```

出力

```
200
```

GlideHTTPRequest - setLogLevel(文字列 **logLevel)**

HTTP 要求のログレベルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
logLevel	文字列	利用可能なログ記録のレベル。 **注:** パフォーマンス上の理由から、本番環境では HTTP 要求のログ記録を *basic* のままにすることをお勧めします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • basic：ホスト、パス、応答ステータスなど、HTTP トランザクションの多くの属性に対応します。 • elevated：*basic* のすべて、すべての要求ヘッダー、クエリ文字列、およびすべての応答ヘッダーが含まれます。 • all：*elevated* のすべて、および要求本文と応答本文が含まれます。 デフォルト：basic

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*setLogLevel()* メソッドを使用してエンドポイント呼び出しのログレベルを設定する方法を示します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Set the time out value
request.setLogLevel(elevated);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
```

出力

```
200
```

GlideHTTPRequest - setupProxy(文字列 **host**, 文字列 **port)**

関連する REST 呼び出しのプロキシホストとポートを設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
host	文字列	プロキシホスト
port	文字列	プロキシのポート

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideHTTPResponse - グローバル

GlideHTTPResponse API は、Glide HTTP 応答で一般的な機能を実行するためのユーティリティメソッドを提供します。

GlideHTTPResponse - getAllHeaders()

すべてのヘッダーのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	エンドポイント呼び出しに関連付けられているすべてのヘッダーのリスト。

この例は、*del()* メソッドを使用してインシデントテーブルから指定されたインシデントを削除する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print all headers associated with the endpoint call
gs.print(response.getAllHeaders());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

```
[
  X-Is-Logged-In: true,
  X-Transaction-ID: 21a9223f1b13,
  X-Total-Count: 69,
  X-Content-Type-Options: nosniff,
  Pragma: no-store,no-cache,
  Cache-Control: no-cache,no-store,must-revalidate,
  max-age=-1,
  Expires: 0,
  Content-Type: application/json;charset=UTF-8,
  Transfer-Encoding: chunked,
  Date: Tue, 26 Oct 2021 16:54:24 GMT,
  Server: ServiceNow,
  Set-Cookie: JSESSIONID=36B9B3E86C31E244A50AF38106376F9B; Path=/;
 HttpOnly; SameSite=None; Secure,
  Set-Cookie: glide_user=; Max-Age=0; Expires=Thu, 01-Jan-1970 00:00:10
 GMT; Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure,
  Set-Cookie: glide_user_session=; Max-Age=0; Expires=Thu, 01-Jan-1970
 00:00:10 GMT; Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure,
  Set-Cookie: glide_user_route=glide.455981d2bb48a9658f44c18e5f56313d;
 Max-Age=2147483647; Expires=Sun, 13-Nov-2089 20:08:31 GMT; Path=/;
 HttpOnly; SameSite=None; Secure,
  Set-Cookie: glide_session_store=E9A9223F1B1370107CF30D03CD4BCB8D;
 Max-Age=1800; Expires=Tue, 26-Oct-2021 17:24:24 GMT; Path=/; HttpOnly;
 SameSite=None; Secure,
  Set-Cookie: BIGipServerpool_jsmith=428037898.31808.0000; path=/;
 Httponly; Secure; SameSite=None; Secure, Strict-Transport-Security:
 max-age=63072000; includeSubDomains
]
```

GlideHTTPResponse - getBody()

HTTP 応答の本文を含む文字列を返します。

注: ストリームが既にアクセスされている場合、再度アクセスすることはできません。この場合、メソッドは null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	HTTP 応答本文。

この例は、*getBody()* メソッドを使用して、エンドポイント呼び出しで返される結果の内容を表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');
request.addHeader('Content-Type','application/json');

var response = request.post('{"short_description":"Test me"}');

gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.getBody());
```

出力

```
201
{
  "result":{
    "parent":"",
    "made_sla":"true",
    "caused_by":"",
    "watch_list":"",
    "upon_reject":"cancel",
    "sys_updated_on":"2021-10-26 14:59:22",
    "child_incidents":"0",
    "hold_reason":"",
    "task_effective_number":"INC0010003",
    "approval_history":"",
    "skills":"",
    "number":"INC0010003",
    "resolved_by":"",
    "sys_updated_by":"admin",
    "opened_by":{

 "link":"https://
instanceName.servicenow.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a8016401c5a3
3be04be441",
      "value":"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "user_input":"",
    "sys_created_on":"2021-10-26 14:59:22",
    "sys_domain":{

 "link":"https://
instanceName.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value":"global"
    },
    "state":"1",
    "route_reason":"",
    "sys_created_by":"admin",
    "knowledge":"false",
    "order":"",
    "calendar_stc":"",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "closed_at":"",
    "cmdb_ci":"",
    "delivery_plan":"",
    "contract":"",
    "impact":"3",
    "active":"true",
    "work_notes_list":"",
    "business_service":"",
    "priority":"5",
    "sys_domain_path":"/",
    "rfc":"",
    "time_worked":"",
    "expected_start":"",
    "opened_at":"2021-10-26 14:59:22",
    "business_duration":"",
    "group_list":"",
    "work_end":"",
    "caller_id":"",
    "reopened_time":"",
    "resolved_at":"",
    "approval_set":"",
    "subcategory":"",
    "work_notes":"",
    "universal_request":"",
    "short_description":"Test me",
    "close_code":"",
    "correlation_display":"",
    "delivery_task":"",
    "work_start":"",
    "assignment_group":"",
    "additional_assignee_list":"",
    "business_stc":"",
    "description":"",
    "calendar_duration":"",
    "close_notes":"",
    "notify":"1",
    "service_offering":"",
    "sys_class_name":"incident",
    "closed_by":"",
    "follow_up":"",
    "parent_incident":"",
    "sys_id":"a85f82ffdb5f30103dd9c39d13961916",
    "contact_type":"",
    "reopened_by":"",
    "incident_state":"1",
    "urgency":"3",
    "problem_id":"",
    "company":"",
    "reassignment_count":"0",
    "activity_due":"",
    "assigned_to":"",
    "severity":"3",
    "comments":"",
    "approval":"not requested",
    "sla_due":"",
    "comments_and_work_notes":"",
    "due_date":"",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_mod_count":"0",
    "reopen_count":"0",
    "sys_tags":"",
    "escalation":"0",
    "upon_approval":"proceed",
    "correlation_id":"",
    "location":"",
    "category":"inquiry"
  }
}
```

GlideHTTPResponse - getCookies()

エンドポイント呼び出しに関連付けられた cookie のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	各 cookie の名前と値を文字列として含むリスト。

この例では、*getCookies()* メソッドを使用してエンドポイント応答に関連付けられた cookie を表示する方法を示します。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the Accept header to get JSON response
request.addHeader('Accept', 'application/json');

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code and number of records returned
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.getCookies());
```

出力

```
200
[
  JSESSIONID=B8E5C1C0E43FEA35EC0FCB323A9DF8D1;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure, glide_user=; Max-Age=0;
 Expires=Thu, 01-Jan-1970 00:00:10 GMT;
  Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure, glide_user_session=;
 Max-Age=0; Expires=Thu, 01-Jan-1970 00:00:10 GMT;
  Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure,
 glide_user_route=glide.f1aa2015b3fa5fa8dfe567386cde8fd5;
 Max-Age=2147483647; Expires=Sun, 13-Nov-2089 21:02:31 GMT;
  Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure,
 glide_session_store=7406BAB7DBDF30103DD9C39D13961966; Max-Age=1800;
 Expires=Tue, 26-Oct-2021 18:18:24 GMT;
  Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure,
 BIGipServerpool_jsmith=2643023626.45630.0000; path=/; Httponly; Secure;
 SameSite=None; Secure
]
```

GlideHTTPResponse - getErrorCode()

エンドポイントによって返された現在のエラーコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
整数	エラーコード。エラーがない場合は 0 が返されます。

この例は、*getErrorCode()* メソッドを使用して、関連する REST 呼び出しのインスタンスによってスローされた前回のエラーメッセージのエラーコードを表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345'; // Instance name
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
var sysId = '0123456789abcdef0123456789abcdef';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Delete the incident
response = request.get();

// Print the results: status code and response body
gs.print(response.getStatusCode());

// Get the last error message
gs.print(response.getErrorCode());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

```
404
1
```

GlideHTTPResponse - getErrorMessage()

前回発生したエラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	前回発生したエラーを説明するテキスト文字列。

この例は、*getErrorMessage()* メソッドを使用して、関連する REST 呼び出しのインスタンスによってスローされた前回のエラーメッセージを表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345'; // Instance name
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
var sysId = '0123456789abcdef0123456789abcdef';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Try to get the non-existent incident
response = request.get();

// Print the results: status code and response body
gs.print(response.getStatusCode());

// Get the last error message
gs.print(response.getErrorMessage());
```

出力

```
404
Method failed: (/api/now/table/incident/0123456789abcdef0123456789abcdef)
 with code: 404
```

GlideHTTPResponse - getHeader(文字列 name)

渡されたパラメーターで指定されたヘッダーを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*Content-Type* など、返される応答ヘッダーの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の応答の指定されたヘッダーの値。

この例は、*Content-Type* ヘッダーの内容を表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345'; // Instance name
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
var sysId = '0123456789abcdef0123456789abcdef';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.getHeader("Content-Type"));
```

出力

```
200
application/json
```

GlideHTTPResponse - getHeaders()

エンドポイント応答に関連付けられたすべてのヘッダーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	関連するすべてのヘッダーを含むオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、*getHeaders()* メソッドを使用して、エンドポイント呼び出しに関連付けられたすべてのヘッダーを表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345'; // Instance name
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
var sysId = '0123456789abcdef0123456789abcdef';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.getHeaders());
```

出力

```
200
{
  Transfer-Encoding=chunked,
  Strict-Transport-Security=max-age=63072000; includeSubDomains,
  Cache-Control=no-cache, no-store, must-revalidate,
  max-age=-1,
  Server=ServiceNow,
  X-Content-Type-Options=nosniff,
  X-Transaction-ID=399f8f73db13,
  X-Is-Logged-In=true,
  Set-Cookie=BIGipServerpool_jsmith=2643023626.45630.0000; path=/;
 Httponly; Secure; SameSite=None; Secure,
  Pragma=no-store,no-cache, Expires=0, Date=Tue, 26 Oct 2021 19:40:10
 GMT,
  Content-Type=application/json;charset=UTF-8
}
```

GlideHTTPResponse - getHttpMethod()

指定されたエンドポイント呼び出しに関連付けられた HTTP メソッドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エンドポイント呼び出しに関連付けられた HTTP メソッド (`org.apache.commons.httpclient.methods.GetMethod@f83e63` など)。 形式：org.apache.commons.httpclient.methods.<メソッド>

この例は、*`getMethod()`* メソッドを使用して関連するエンドポイントを呼び出すときに使用される HTTP メソッドを表示する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345'; // Instance name
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
var sysId = '0123456789abcdef0123456789abcdef';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.getHttpMethod());
```

出力

```
200
org.apache.commons.httpclient.methods.GetMethod@f83e63
```

GlideHTTPResponse - getStatusCode()

エンドポイント呼び出しの前回のステータスコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
int	HTTP 応答ステータスコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、REST 呼び出しが *getStatusCode()* メソッドを使用して実行された後に、そのステータスコードを取得する方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Instantiate request with ServiceNow API incidents table endpoint
var request = new
 GlideHTTPRequest('https://'+instance+'.service-now.com/api/now/table/inc
ident');

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Add the 'sysparm_limit' parameter to limit the number of records
 returned
request.addParameter('sysparm_limit', 1);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results: status code
gs.print(response.getStatusCode());
```

出力:

```
200
```

GlideHTTPResponse - haveError()

エンドポイント呼び出しの処理中にエラーが発生したかどうかを示すフラグを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エンドポイント呼び出しの処理中にエラーが発生したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エンドポイントの処理中にエラーが発生しました。 • false：エンドポイントの処理中にエラーは発生しませんでした。 エラーが発生した場合は true を返し、エラーがない場合は false を返します。

この例は、*haveError()* メソッドを使用して、インシデントの sys_id が有効である場合にエラーなしのフラグを付ける方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Valid sys_id of an incident record
var sysId = 'a85f82ffdb5f30103dd9c39d13961916';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.haveError());
```

出力

```
200
false
```

この例は、*haveError()* メソッドを使用して、インシデントの sys_id が有効でない場合にエラーのフラグを付ける方法を示しています。

```
var instance = 'dev12345';
var username = 'admin';
var password = 'yourpassword';

// Invalid sys_id
var sysId = 'a85f82ffdb5f30103dd9c39d13961832';  // Sys_id of the
 incident to get

// Instantiate request with the ServiceNow API incident table endpoint
 for deletion of an incident
var endpoint = 'https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/incident/' + sysId;
var request = new GlideHTTPRequest(endpoint);

// Add authentication data
request.setBasicAuth(username, password);

// Execute the GET request
var response = request.get();

// Print the results
gs.print(response.getStatusCode());
gs.print(response.haveError());
```

出力

```
404
true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideImpersonate - グローバル

`GlideImpersonate` API を使用すると、アドミニストレーターはテスト目的で別の認証済みユーザーのふりをすることができます。

この API は、アプリケーション内の機能をテストするために別のユーザーとして動作する必要がある場合に使用します。別のユーザーの代理操作を行う場合、管理者は、代理操作されたユーザーがシステム内でアクセスできるメニューやモジュールなどとまったく同じものにアクセスできます。

注: システムは、別のユーザーの代理操作を行っている間に管理者が行ったことを、そのユーザーによって行われたものとして記録します。

GlideImpersonate - canDebug(文字列 userSysId)

指定されたユーザーがスクリプトのデバッグを実行できるかどうかを確認します。

ユーザーがスクリプトをデバッグできるようにするには、開発者インスタンスを使用する必要があります。本番インスタンスではデバッグできません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userSysId	文字列	デバッグ機能を検証するユーザーの sys_Id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	true：ユーザーはアプリケーションをデバッグできます。 false：ユーザーはアプリケーションをデバッグできません。

```
userDebug: function(userId) {
  var impUser = new GlideImpersonate();
  impUser.canDebug(userId);
 }
```

GlideImpersonate - canImpersonate(文字列 userSysId)

現在のユーザーが指定されたユーザーの代理操作を行えるかどうかを確認します。

現在のユーザーに admin ロールが割り当てられていない場合、代理操作するユーザーが非アクティブである場合、または指定されたユーザーの代理操作に他の問題がある場合、メソッドは「false」を返し、ユーザーは代理操作できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userSysId	文字列	代理操作するユーザーの sys_Id

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたユーザーの代理操作を行えるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • true：現在のユーザーは指定されたユーザーの代理操作を行うことができます。 • false：現在のユーザーは指定されたユーザーの代理操作を行うことはできません。

```
function onlineImpersonate(userSysId) {
  if (!GlideImpersonate().canImpersonate(userSysId)){
    gs.addInfoMessage("No access to impersonate " + userSysId);
  } else {
    GlideImpersonate().impersonate(userSysId);
  }
  return;
}
```

GlideImpersonate - impersonate(文字列 userSysId)

現在の管理者のユーザー ID を渡されたユーザー ID に設定し、管理者がそのユーザーとして操作できるようにします。

別のユーザーの代理操作を行う場合、管理者は、代理操作されたユーザーがシステム内でアクセスできるメニューやモジュールなどとまったく同じものにアクセスできます。アプリケーションの機能をテストする場合にのみ、このメソッドを使用してください。ユーザーの代理操作が完了したら、管理者 sys_Id を使用してメソッドを再度呼び出し、代理操作を停止します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userSysId	文字列	代理操作するユーザーの sys_Id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	代理操作要求の前にログインしていたユーザーの sys_id。

次の例は、現在のユーザーオブジェクトを取得する方法を示しています。

```
var user = gs.getUserDisplayName();
gs.print ("The current user display name is: " + user);

var impUser = new GlideImpersonate();
impUser.impersonate("62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1");
var user = gs.getUserDisplayName();
gs.print ("The impersonated user display name is: " + user);
```

出力：

```
The current user display name is: System Administrator
The impersonated user display name is: Abel Tuter
```

GlideImpersonate - isImpersonating()

現在のユーザーが別のユーザーの代理操作を行っているかどうかを判断します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	true：ユーザーは現在、別のユーザーの代理操作を行っています。 false：ユーザーは現在、別のユーザーの代理操作を行っていません。

```
function abortOnImpersonate() {
    if (GlideImpersonate().isImpersonating()){
  current.setAbortAction(true);
  gs.addInfoMessage("Transaction canceled due to Impersonation");
    }
    return;
}
```

GlideImportLog - スコープ対象、グローバル

GlideImportLog API は、インポートログ [import_log] テーブルにログエントリを直接書き込むメソッドを提供します。

GlideImportLog オブジェクトは *GlideImportSetTransformer* API によって使用可能になります。このオブジェクトは *GlideImportSetTransformer* API では必要ありません。このオブジェクトでは、インポートログを特定のインポートセット変換に関連付けることができます。

関連情報

- GlideImportSetRun
- GlideImportSetTable
- GlideImportSetTransformer
- GlideImportSetTransformMap
- GlideTransformLog

GlideImportLog - GlideImportLog(GlideImportSetRun importSetRun, 文字列 source)

GlideImportLog オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
importSetRun	GlideImportSetRun	オプション。すべてのログが関連付けられるインポートセット実行レコード。
source	文字列	オプション。インポートログレコードに添付されたソースフィールド値。これは、インポートセットプロセス内のどこからこのメッセージが記録されたかを定義します。たとえば、Loading はロードステップを表し、Cleanup は変換後のクリーンアップ中を表している可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのソースパラメーターを使用しない例。

```
var importSetRun = new GlideImportSetRun();
var importLog = new GlideImportLog(importSetRun);
```

オプションのソースパラメーターを使用する例。

```
var importSetRun = new GlideImportSetRun();
var importLog = new GlideImportLog(importSetRun, 'Scripted
 ImportSetTransformer');
```

GlideImportLog - error(文字列 message, 文字列 source)

タイプ Error のメッセージをインポートログ [import_log] テーブルに記録します。

GlideImportLog

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログメッセージ。最大長：4,000 文字。
source	文字列	オプション。インポートログレコードに添付されたソースフィールド値。これは、インポートセットプロセス内のどこからこのメッセージが記録されたかを定義します。たとえば、Loading はロードステップを表し、Cleanup は変換後のクリーンアップ中を表している可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideImportLog();
importLog.error('Error executing transform');
```

GlideImportLog - getImportRunHistory()

このインポートログに関連付けられたインポート実行レコードの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	変換履歴 [sys_import_set_run] テーブルからのインポートセット実行レコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.name = 'Scripted Import Set';
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var importLog = new GlideImportLog();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.setLogger(importLog);
transformer.transformAllMaps(importSet);
var importRunSysId = importLog.getImportRunHistory();
```

GlideImportLog - info(文字列 **message**, 文字列 **source)**

タイプ Info のメッセージをインポートログ [import_log] テーブルに記録します。

GlideImportLog

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログメッセージ。最大長：4,000 文字。
source	文字列	オプション。インポートログレコードに添付されたソースフィールド値。これは、インポートセットプロセス内のどこからこのメッセージが記録されたかを定義します。たとえば、Loading はロードステップを表し、Cleanup は変換後のクリーンアップ中を表している可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideImportLog();
importLog.info('Successfully executed transform');
```

GlideImportLog - setImportRunHistory(文字列 **importRunHistory)**

GlideImportLog オブジェクトを特定のインポートセット実行レコードに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
importRunHistory	文字列	変換履歴 [sys_import_set_run] テーブルからのレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var importRunSysId = '4aa3a8d55ba10010953330ad5981c79f';
var importLog = new GlideImportLog();
importLog.setImportRunHistory(importRunSysId);
```

GlideImportLog - warn(文字列 **message**, 文字列 **source)**

タイプ Warn のメッセージをインポートログ [import_log] テーブルに記録します。

GlideImportLog

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログメッセージ。最大長：4,000 文字。
source	文字列	オプション。インポートログレコードに添付されたソースフィールド値。これは、インポートセットプロセス内のどこからこのメッセージが記録されたかを定義します。たとえば、Loading はロードステップを表し、Cleanup は変換後のクリーンアップ中を表している可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideImportLog();
importLog.warn('Transform taking longer than expected.');
```

GlideImportSetRun - スコープ対象、グローバル

GlideImportSetRun API は、*GlideImportSetTransformer* API が使用できるインポートセット実行レコードを作成するメソッドを提供します。

関連項目：

- インポートセット
- インポートセット API

関連情報

GlideImportLog

GlideImportSetTable

GlideImportSetTransformer

GlideImportSetTransformMap

GlideTransformLog

GlideImportSetRun - GlideImportSetRun(文字列 **importSetID)**

GlideImportSetRun オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
importSetID	文字列	オプション。インポートセット [sys_import_set] テーブルにリストされているインポートセットレコードの sys_id。設定しない場合、新しい [sys_import_set] レコードが作成され、GlideImportSetRun オブジェクトがこのレコードを表します。

```
var importSetRun = new GlideImportSetRun();
```

GlideImportSetRun - getImportSetRunSysID()

変換に関連付けられたインポートセット実行の sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	変換に関連付けられた変換履歴 [sys_import_set_run] レコードの sys_id。

```
var importSetRun = new GlideImportSetRun();
var importSetRunSysId = importSetRun.getImportSetRunSysID();
```

GlideImportSetTable - スコープ対象、グローバル

GlideImportSetTable API は、一時的なインポートセットテーブルを作成するメソッドを提供します。

これらのメソッドは、動的な標準の命名規則を使用してインポートセットテーブルを作成します。テーブルには、少なくとも 1 つの列が定義されている必要があります。既存のインポートセットテーブルの変更と削除はサポートされていません。

Scripted Import Set Deleter という名前のスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでは 7 日ごとに実行されます。Scripted Import Set Deleter は、すべてのインポートセット、変換マップ、変換エントリを削除し、この API によって作成されたテーブルに関連付けられたインポートセットテーブルを削除します。

GlideImportSetTable メソッドは、グローバルおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。`sn_impex` 名前空間識別子を使用して GlideImportSetTable オブジェクトを作成します。

関連情報

- GlideImportLog
- GlideImportSetRun
- GlideImportSetTransformer
- GlideImportSetTransformMap
- GlideTransformLog

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideImportSetTable - GlideImportSetTable(文字列 **tableLabel)**

GlideImportSetTable オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableLabel	文字列	`create()` メソッドの呼び出し時に作成されるインポートセットテーブルのラベル。

```
var importSetTable = new sn_impex.GlideImportSetTable("temp user table");
```

GlideImportSetTable - addDateTimeColumn(文字列 **columnLabel)**

GlideDateTime 列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnLabel	文字列	インポートセットテーブルに作成する GlideDateTime 列のラベル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSetTable = new sn_impex.GlideImportSetTable("temp user table");
importSetTable.addDateTimeColumn('start date');
var tableStructure = importSetTable.create();
```

GlideImportSetTable - addStringColumn(文字列 **columnLabel**, 数値 **length)**

文字列の列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnLabel	文字列	インポートセットテーブルに作成する文字列の列のラベル。
length	数値	オプション。最大列長。 デフォルト：40 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSetTable = new sn_impex.GlideImportSetTable("temp user table");
importSetTable.addStringColumn('first name', 50);
importSetTable.addStringColumn('last name', 50);
var tableStructure = importSetTable.create();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideImportSetTable - create()

インポートセットテーブルを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	次の形式の JSON オブジェクト： • tableName：文字列。テーブルのデータベース名。 • tableLabel：文字列。テーブルの分かりやすいラベル (再書き込み可能)。 • 列：オブジェクト。*addDateTimeColumn()* メソッドおよび *addStringColumn()* メソッドによって提供される列名へのテーブル列ラベルのマップ。 ◦ column_label：文字列。インポートセットテーブルの文字列の列のラベル。 ◦ column_name：文字列。インポートセットテーブルの文字列の列の名前。 `{"tableName": "<table_name>", "tableLabel": "<table label>", "columns": StringMap(<column_label>: <column_name>)}`

```
// Create Import Set table
var importSetTable = new sn_impex.GlideImportSetTable("temp user table");
importSetTable.addStringColumn('first name', 40);
importSetTable.addStringColumn('last name', 40);
importSetTable.addDateTimeColumn('start date');
var tableStructure = importSetTable.create();

/*
tableStructure = {
"tableName": "imp_staging_table_1417601730000",
"tableLabel": "temp user table",
"columns": {
  "first name": "u_first_name",
  "last name": "u_last_name",
  "start date": "u_start_date"
 }
}
*/

var importSetTableName = tableStructure["tableName"];
var columns = tableStructure["columns"];
```

GlideImportSetTransformer - スコープ対象、グローバル

GlideImportSetTransformer API は、インポートセット変換の実行に使用されるインポートセットトランスフォーマーオブジェクトを作成するメソッドを提供します。

インポートセット変換を実行するには：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. *GlideImportSetTable* API を使用してインポートセットテーブルを作成します。
2. *GlideImportSetTransformMap* API を使用して変換マップを作成します。
3. *GlideRecord* API を使用してインポートセットを作成するか既存のインポートセットを使用します。
4. *GlideImportSetTransformer* API を使用してインポートセット変換を実行します。

インポートセットレコードを作成したら、変換をトリガーするために *GlideImportSetTransformer* API でそのレコードを使用する必要があります。

```
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.transformAllMaps(importSetGr);
```

関連情報

- GlideImportLog
- GlideImportSetRun
- GlideImportSetTable
- GlideImportSetTransformMap
- GlideRecord
- GlideTransformLog

GlideImportSetTransformer - GlideImportSetTransformer()

GlideImportSetTransformer オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
```

GlideImportSetTransformer - getImportSetRun()

GlideImportSetTransformer オブジェクトに関連付けられたインポートセット実行オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideImportSetRun	変換を実行することによって作成された GlideImportSetRun オブジェクト、または *setImportSetRun()* メソッドに指定された引数。

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var importSetID = importSet.insert();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.transformAllMaps(importSet);
var importSetRun = transformer.getImportSetRun();
```

GlideImportSetTransformer - isError()

変換中にエラーが発生したかどうかを指定するブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エラーがあるかどうかを示すフラグ。 • true：エラー。 • false：成功。

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.transformAllMaps(importSet);
if(transformer.isError()) {
 gs.error('Error executing the transform');
}
```

GlideImportSetTransformer - setImportSetID(文字列 id)

インポートセットレコードを特定の GlideImportSetTransformer オブジェクトに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	インポートセット [sys_import_set] テーブルからのインポートセットレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
transformer.setImportSetID(importSetID);
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformer - setImportSetRun(GlideImportSetRun importSetRun)

インポートセット実行オブジェクトを特定の GlideImportSetTransformer オブジェクトに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
importSetRun	GlideImportSetRun	変換履歴を追跡する ImportSetRun レコードを表す GlideImportSetRun オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var importSetRun = new GlideImportSetRun(importSetID);
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.setImportSetRun(importSetRun);
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformer - setLogger(GlideImportLog log)

GlideImportLog オブジェクトを特定の GlideImportSetTransformer オブジェクトに関連付けます。

`transformAllMaps()` メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出さないと、サーバー側で GlideImportLog オブジェクトが内部的に作成されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
log	GlideImportLog	インポートセット履歴にリンクする GlideImportLog オブジェクト。設定すると、GlideImportLog オブジェクトからの呼び出しがその特定の変換のインポートセット実行履歴に関連付けられます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var importLog = new GlideImportLog();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.setLogger(importLog);
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformer - setMapID(文字列 mapID)

変換マップを特定の GlideImportSetTransformer オブジェクトに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mapID	文字列	テーブル変換マップ [sys_transform_map] テーブルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var transformMapId = '<sys id of transform map>';
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.setMapID(transformMapId);
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformer - setSyncImport(ブーリアン synchronous)

同期変換の実行を有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
synchronous	ブーリアン	変換モードを設定します。 有効な値： • true：変換を同期的に実行 • false：変換を非同期的に実行 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.setSyncImport(true);
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformer - transformAllMaps(GlideRecord importSet, 文字列 rowSysId)

インポートセット変換を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
importSet	GlideRecord	実行するインポートセットの GlideRecord。
rowSysId	文字列	オプション。インポートセット [sys_import_set] テーブルからレコードの sys_id を渡して、変換を 1 つのレコードに制限します。 デフォルト：すべての行を変換

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importSet = new GlideRecord('sys_import_set');
importSet.short_description = 'Import set from scripted rest api';
importSet.table_name = importSetTableName;
var importSetID = importSet.insert();
var transformer = new GlideImportSetTransformer();
transformer.transformAllMaps(importSet);
```

GlideImportSetTransformMap - スコープ対象、グローバル

GlideImportSetTransformMap API は、変換マップと変換エントリーを作成するためのメソッドを提供します。

GlideImportSetTransformMap メソッドは、グローバルおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。`sn_impex` 名前空間識別子を使用して GlideImportSetTransformMap オブジェクトを作成します。

関連情報

- GlideImportLog
- GlideImportSetRun
- GlideImportSetTable
- GlideImportSetTransformer
- GlideTransformLog

GlideImportSetTransformMap - GlideImportSetTransformMap(文字列 **transformMapName**, 文字列 **importSetTableName**, 文字列 **targetTableName)**

GlideImportSetTransformMap オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
transformMapName	文字列	マップの名前。
importSetTableName	文字列	インポートセットテーブルの名前。
targetTableName	文字列	ターゲットテーブルの名前です。

```
var transformMap = new sn_impex.GlideImportSetTransformMap("temp user map
 name", importSetTableName, targetTableName);
```

GlideImportSetTransformMap - addDateTimeTransformEntry(文字列 **sourceColumn**, 文字列 **targetColumn**, ブーリアン **coalesce**, 文字列 **dateTimeFormat)**

GlideDateTime 変換エントリを変換マップに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
targetColumn	文字列	変換先のターゲットテーブルのターゲット列。
coalesce	ブーリアン	オプション。ターゲットテーブルにレコードを挿入するかどうかを示すフラグ。 • true：true で、ターゲットテーブルのこのフィールドに同じ値が含まれている場合、レコードは更新されます。つまり挿入されません。 • false：デフォルト。レコードがターゲットテーブルに挿入されます。
sourceColumn	文字列	変換元のインポートセットテーブルのソース列。
dateTimeFormat	文字列	オプション。変換の GlideDateTime 形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss など)。空の場合、デフォルト値はシステムの日時形式です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var transformMap = new sn_impex.GlideImportSetTransformMap("temp user map
 name", importSetTableName, targetTableName,);
transformMap.addDateTimeTransformEntry("u_start date", "first day", true,
 "yyyy-MM-dd HH:mm:ss");
var transformMapId = transformMap.create();
```

GlideImportSetTransformMap - addTransformEntry(文字列 **sourceColumn**, 文字列 **targetColumn**, ブーリアン **coalesce)**

文字列変換エントリを変換マップに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
targetColumn	文字列	変換元のインポートセットテーブルのソース列。
coalesce	文字列	変換先のターゲットテーブルのターゲット列。
sourceColumn	ブーリアン	オプション。ターゲットテーブルにレコードを挿入するかどうかを示すフラグ。 • true：true で、ターゲットテーブルのこのフィールドに同じ値が含まれている場合、レコードは更新されます。つまり挿入されません。 • false：デフォルト。レコードがターゲットテーブルに挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var transformMap = new sn_impex.GlideImportSetTransformMap("temp user map
 name", importSetTableName, targetTableName);
transformMap.addTransformEntry("first_name", "first_name", true);
transformMap.addTransformEntry("last_name", "last_name", false);
transformMap.addTransformEntry("age", "age", false);
var transformMapId = transformMap.create();
```

GlideImportSetTransformMap - create()

新しい変換マップを作成します。

注: 変換マップを作成するには、*addDateTimeTransformEntry()* または *addTransformEntry()* を使用して少なくとも 1 つの変換エントリを定義する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成された変換マップの sys_id。

```
var transformMap = new sn_impex.GlideImportSetTransformMap("temp user map
 name", importSetTableName, targetTableName);
transformMap.addTransformEntry("u_first_name", "first_name");
var transformMapId = transformMap.create();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideJsonPath - グローバル

GlideJsonPath API は、クエリパス文字列を使用して JSON ドキュメントから値を取得します。

この API はデフォルトで利用可能です。

GlideJsonPath - GlideJsonPath(文字列 jsonDocument)

JSON ドキュメントを解析して、GlideJsonPath スクリプト可能オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonDocument	文字列	解析する JSON ドキュメント。

この例では、JSON ドキュメントを解析して GlideJsonPath オブジェクトをインスタンス化します。

```
var v = new
 GlideJsonPath('{"lib":{"jsonpath":{"creator":{"name":"DevStudio","develo
pers":["dev1","dev2","dev3"]}}}}');
```

GlideJsonPath - read(文字列 jsonPath)

クエリパス文字列を使用して JSON ドキュメントから値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonPath	文字列	JSON ドキュメント内で検索するパス。 すべての有効な JSONPath 式がサポートされています。詳細については、「 JSONPath 」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定したパスに一致する JavaScript オブジェクト。

この例では、指定されたパスにリストされているすべての開発者の JSON ドキュメントを検索します。

```
var v = new
 GlideJsonPath('{"lib":{"jsonpath":{"creator":{"name":"DevStudio","develo
pers":["dev1","dev2","dev3"]}}}}');
var l = v.read("$['lib']['jsonpath']['creator']['developers'][*]");
```

出力:

```
"dev1", "dev2", "dev3"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListProperties - グローバル

`GlideListProperties` API は、リストを作成し、リストのプロパティを設定するためのメソッドを提供します。たとえば、リストにフィルター、ブレッドクラム、および検索を含めるかどうかを定義できます。

このクラスを使用するには、まずコンストラクターを使用して GlideListProperties オブジェクトをインスタンス化する必要があります。

ベースシステムでのこのクラスの例については、リストを構成して [すべて] を選択してください。オプションのタブ付きリストでは、personalize_all UI ページと personalize_all_list UI マクロを使用して、タイトル、コンテキストメニュー、ブレッドクラムなどのリストプロパティを設定します。

この API には、既存の GlideList 設定に関する情報を提供するメソッドと、さまざまな GlideList プロパティを設定するためのオプションが含まれています。UI の設定を変更する方法については、「GlideList2 (g_list) - クライアント」または「GlideList (Now Experience) - クライアント」を参照してください。

GlideListProperties - GlideListProperties()

GlideListProperties オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var list = new GlideListProperties();
```

GlideListProperties - getListID()

リストの一意の ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの一意の ID

```
var list = new GlideListProperties();
var getID = list.getListID();
gs.print(getID);
```

出力：3519f77ad95f5700964f387107a8a394

GlideListProperties - getListName()

リストの名前を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの名前

```
var list = new GlideListProperties();
var setName = list.setListName("my custom list");
var getName = list.getListName();
gs.print(getName);
```

出力：自分のカスタムリスト

GlideListProperties - getTitle()

リストのタイトルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのタイトル。

オプションの例の説明

```
var list = new GlideListProperties();
var title = list.setTitle("My title");
var getTitle = list.getTitle();
gs.print(getTitle);
```

出力：自分のタイトル

GlideListProperties - hasActions()

リストに対して [選択した行のアクション] オプションが有効かどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	リストに対してアクションオプションが有効になっている場合は **[true]** を返します。

```
var list = new GlideListProperties();
var actions = list.setHasActions(true);
var hasActions = list.hasActions();
gs.print(hasActions);
```

出力：true

GlideListProperties - hasBottomNav()

リストの下部にナビゲーションがあるかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** が返される場合、リストの下部にナビゲーションが表示されます。

```
var lp = new GlideListProperties();
var Nav = lp.setHasBottomNav(true);
var hasNav = lp.hasBottomNav();
gs.print(hasNav);
```

出力：true

GlideListProperties - hasBottomVCR()

ページナビゲーションコントロールをリストのフッターに表示するかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、ページナビゲーションコントロールがリストのフッターに表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var vcr = list.setHasBottomVCR(true);
var hasVCR = list.hasBottomVCR();
gs.print(hasVCR);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：true

GlideListProperties - hasFilter()

リストにフィルターがあるかどうかを返します。

フィルタープロパティは、ブレッドクラムプロパティの親です。フィルタープロパティが false としてリストされ、ブレッドクラムが true としてリストされている場合でも、子プロパティが true とマークされているため、`hasFilter()` は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、フィルターアイコンがリストとともに表示されるか、ブレッドクラムプロパティが true としてリストされます。**[false]** の場合、フィルタープロパティとブレッドクラムプロパティの両方が false としてマークされます。

```
var list = new GlideListProperties();
var filter = list.setHasFilter(true);
var breadcrumbs = list.setHasBreadcrumbs(true);
var hasFilter = list.hasFilter();
gs.print(hasFilter);
```

出力：true

GlideListProperties - hasHeader()

リストにヘッダーがあるかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	リストにヘッダーがある場合は **[true]** を返します。

```
var list = new GlideListProperties();
var header = list.setHasHeader(true);
var hasHeader = list.hasHeader();
gs.print(hasHeader);
```

出力：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListProperties - hasHeaderContextMenu()

リストに対してヘッダーコンテキストメニューが有効になっているかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、リスト内の各列ヘッダーの横にコンテキストメニューが表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var header = list.setHasHeaderContextMenu(true);
var hasHeader = list.hasHeaderContextMenu();
gs.print(hasHeader);
```

出力：true

GlideListProperties - hasListMechanic()

リストに対してリストのカスタマイズが有効になっているかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、リストに対してリストメカニックが有効になっており、カスタマイズされたリストのアイコンがページに表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var mechanic = list.setHasListMechanic(true);
var hasMechanic = list.hasListMechanic();
gs.print(hasMechanic);
```

出力：true

GlideListProperties - hasPopup()

リストにポップアップウィンドウを表示できるかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	リストがポップアップを許可する場合は **[true]** を返します。

```
var list = new GlideListProperties();
var popup = list.setHasPopup(true);
var hasPopup = list.hasPopup();
gs.print(hasPopup);
```

出力：true

GlideListProperties - hasRowContextMenu()

リスト内の行にコンテキストメニューがあるかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、リスト行にコンテキストメニューを含めることができます。

```
var list = new GlideListProperties();
var contextMenu = list.setHasRowContextMenu(true);
var hasContextMenu = list.hasRowContextMenu();
gs.print(hasContextMenu);
```

出力：true

GlideListProperties - hasSearch()

リストに対して検索バーが有効になっているかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、検索バーがリストのヘッダーに表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var search = list.setHasSearch(true);
var hasSearch = list.hasSearch();
gs.print(hasSearch);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：true

GlideListProperties - hasTitle()

リストタイトルがリストヘッダーに表示されるかどうかを返します。

タイトルのコンテキストメニューは、タイトルの子プロパティです。`setHasTitleContextMenu` が true に設定されている場合、`setHasTitle` が false に設定されていても、`hasTitle` は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、リストタイトルがリストヘッダーに表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var title = list.setHasTitle(true);
var contextMenu = list.setHasTitleContextMenu(true);
var hasTitle = list.hasTitle();
gs.print(hasTitle);
```

出力：true

GlideListProperties - hasTitleContextMenu()

コンテキストメニューがリストヘッダーに表示されるかどうかを返します。

タイトルのコンテキストメニューは、タイトルの子プロパティです。`setHasTitleContextMenu` が true に設定されている場合、`setHasTitle` が false に設定されていても、`hasTitle` は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、コンテキストメニューがリストタイトルの横にあるリストヘッダーに表示されます。

オプションの例の説明

```
var list = new GlideListProperties();
var contextMenu = list.setHasTitleContextMenu(true);
var hasContextMenu = list.hasTitleContextMenu();
gs.print(hasContextMenu);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：true

GlideListProperties - hasTopVCR()

ページナビゲーションコントロールをリストのヘッダーに表示するかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、ページナビゲーションコントロールがリストのヘッダーに表示されます。

```
var list = new GlideListProperties();
var vcr = list.setHasTopVCR(true);
var hasVCR = list.hasTopVCR();
gs.print(hasVCR);
```

出力：true

GlideListProperties - isOmitFilter()

フィルターの省略オプションが選択されているかどうかを返します。

ListControl 省略フラグが設定されている場合、対応するフラグの設定を無効にし、優先されます。たとえば、フィルターを表示フラグが true に設定されていても、ListControl 省略フィルターが true の場合、hasFilter をチェックすると `false` が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィルターの省略フラグが選択されているかどうかについて、true または false を返します。

```
var lp = new GlideListProperties();
var omitFilter = lp.isOmitFilter();
gs.print(omitFilter);
```

出力：false

GlideListProperties - isSaveFilterHidden()

条件ビルダーで [フィルターの保存] ボタンが非表示かどうかを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、条件ビルダーで [フィルターの保存] ボタンが非表示になります。

```
var list = new GlideListProperties();
var SaveFilter = list.setSaveFilterHidden(true);
var hasSaveFilter = list.isSaveFilterHidden();
gs.print(hasSaveFilter);
```

出力：true

GlideListProperties - isShowLinks()

リストにリンクを表示するかどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var links = list.setShowLinks(true);
var hasLinks = list.isShowLinks();
gs.print(hasLinks);
```

出力：true

GlideListProperties - isToggleHeader()

リストでヘッダー列の切り替えが可能かどうかを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	**[true]** の場合、ユーザーはテーブルの列ヘッダーを表示または非表示にできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var list = new GlideListProperties();
var toggle = list.setToggleHeader(true);
var hasToggle = list.isToggleHeader();
gs.print(hasToggle);
```

出力：true

GlideListProperties - setCanChangeView(ブーリアン onOff)

ユーザーがリストのビューを変更できるかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[false]** の場合、ユーザーはリストビューを変更できません。デフォルトでは、ビューを変更できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var changeView = list.setCanChangeView(true);
```

GlideListProperties - setCanGroup(ブーリアン onOff)

ユーザーがリスト内のアイテムをグループ化できるかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[false]**の場合、 グループ別オプションは列のコンテキストメニューに表示されません。デフォルトでは、グループ別オプションがリストコンテキストメニューに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var canGroup = list.setCanGroup(true);
```

GlideListProperties - setCanSort(ブーリアン onOff)

ソートオプションがリストで利用可能かどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[false]** の場合、ソートオプションは列リストのコンテキストメニューに表示されず、ユーザーは列タイトルをクリックしてもリストの順序を変更できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var canSort = list.setCanSort(true);
```

GlideListProperties - setContextMenus(ブーリアン onOff)

リストで使用可能なすべてのコンテキストメニューを表示または非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** に設定すると、リストのタイトルコンテキストメニュー、ヘッダーコンテキストメニュー、およびリストコンテキストメニューが表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var context = list.setContextMenus(true);
```

GlideListProperties - setHasActions(ブーリアン)

[選択行のアクション **(Actions on select rows)**] オプションをリストの下部に表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストのアクションオプションが表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var list = new GlideListProperties();
var actions = list.setHasActions(true);
```

GlideListProperties - setHasBottomNav(ブーリアン onOff)

リストの下部にあるナビゲーションアクションを非表示にするかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストの下部にナビゲーションが追加されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var lp = new GlideListProperties();
var bottom = lp.setHasBottomNav(true);
```

GlideListProperties - setHasBreadcrumbs(ブーリアン onOff)

ブレッドクラムをリストの上部に表示するかどうかを決定します。

ブレッドクラムはフィルターの子です。ブレッドクラムを完全に非表示にするには、フィルターも false に設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、ブレッドクラムがリストの上部に表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var breadcrumbs = list.setHasBreadcrumbs(true);
```

GlideListProperties - setHasBottomVCR(ブーリアン onOff)

最初のページ、最後のページ、次のページ、および前のページのボタンをリストの下部に表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、最初のページ、最後のページ、次のページ、および前のページのボタンがリストの下部に表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var bottomVCR = list.setHasBottomVCR(true);
```

GlideListProperties - setHasFilter(ブーリアン **onOff)**

フィルターをリストの一部として表示するかどうかを決定します。

フィルターはブレッドクラムの親です。フィルターを削除するには、フィルターとブレッドクラムの両方を false に設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、フィルターアイコンがリストの上部に表示されます。ユーザーはフィルターを使用して検索結果を絞り込むことができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var filter = list.setHasFilter(true);
```

GlideListProperties - setHasHeader(ブーリアン **onOff)**

リストにヘッダーを表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストにヘッダーが表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var header = list.setHasHeader(true);
```

GlideListProperties - setHasHeaderContextMenu(ブーリアン **onOff)**

リスト内の各列の横にコンテキストメニューを表示するかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リスト内の各列の横にコンテキストメニューが表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var actions = list.setHasHeaderContextMenu(true);
```

GlideListProperties - setHasListMechanic(ブーリアン **onOff)**

リストにカスタマイズのオプションがあるかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストメカニックが有効になっており、カスタマイズされたリストのアイコンがページに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var mechanic = list.setHasListMechanic(true);
```

GlideListProperties - setHasPopup(ブーリアン **onOff)**

リストにポップアップまたはモーダルウィンドウを表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストにポップアップウィンドウを表示できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var popup = list.setHasPopup(true);
```

GlideListProperties - setHasRowContextMenu(ブーリアン **onOff)**

リスト行にコンテキストメニューを表示するかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リスト行にコンテキストメニューを含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var contextMenu = list.setHasRowContextMenu(true);
```

GlideListProperties - setHasSearch(ブーリアン onOff)

検索をリストに表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、検索バーがリストヘッダーに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var search = list.setHasSearch(true);
```

GlideListProperties - setHasTitle(ブーリアン onOff)

リストタイトルをヘッダーに表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストタイトルがリストヘッダーに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var title = list.setHasTitle(true);
```

GlideListProperties - setHasTitleContextMenu(ブーリアン onOff)

リストのヘッダーにコンテキストメニューを表示するかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、コンテキストメニューがヘッダーのリストタイトルの横に表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var contextMenu = list.setHasTitleContextMenu(true);
```

GlideListProperties - setHasTopVCR(ブーリアン onOff)

リストのリストヘッダーにページナビゲーションコントロールを表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、ページナビゲーションコントロールがリストのヘッダーに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var vcr = list.setHasTopVCR(true);
```

GlideListProperties - setHideRows(ブーリアン onOff)

行をリストに表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストのすべての行が非表示になります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var hideRows = list.setHideRows(true);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListProperties - setListID(文字列 ID)

リストの一意の ID を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
一意の ID	文字列	リストの一意の ID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var setID = list.setListID("a9dd1483d99f5700964f387107a8a3ec");
var getID = list.getListID();
gs.print(getID);
```

出力：a9dd1483d99f5700964f387107a8a3ec

GlideListProperties - setListName(文字列 name)

リストの名前を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	リストの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var name = list.setListName("my custom list");
```

GlideListProperties - setSaveFilterHidden(ブーリアン onOff)

[フィルターの保存] ボタンを条件ビルダーに表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、[フィルターの保存] ボタンが非表示になります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var list = new GlideListProperties();
var saveFilter = list.setSaveFilterHidden(true);
```

GlideListProperties - setShowLinks(ブーリアン onOff)

リストにリンクが含まれているかどうか。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、リストに関連リンクが含まれます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var links = list.setShowLinks(true);
```

GlideListProperties - setTitle(文字列 title)

リストタイトルを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	リストのタイトル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var title = list.setTitle("My title");
```

GlideListProperties - setToggleHeader(ブーリアン onOff)

ユーザーがテーブルの列ヘッダーを表示または非表示にできるようにするかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[true]** の場合、ユーザーが列ヘッダーを表示または非表示にできるアイコンがヘッダーに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var list = new GlideListProperties();
var toggle = list.setToggleHeader(true);
```

GlideListProperties - setVCR(ブーリアン onOff)

最初のページ、最後のページ、次のページ、および前のページのボタンをリストの上部と下部に表示するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOff	ブーリアン	**[false]** の場合、リストのページナビゲーションボタンは表示されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = new GlideListProperties();
var VCR = list.setVCR(true);
```

GlideLocale - スコープ指定

GlideLocale API は、ローカルインスタンスの表示情報に関する情報を提供します。

GlideLocale オブジェクトのコンストラクターはありません。*get()* メソッドを使用して、GlideLocale オブジェクトを取得します。

GlideLocale - get()

GlideLocale オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideLocale	GlideLocale オブジェクト。

```
var locale = GlideLocale.get();
```

GlideLocale - getDecimalSeparator()

小数点を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	小数点。

```
var locale = GlideLocale.get();
var decimalSeparator = locale.getDecimalSeparator();
gs.info( "The decimal separator is " + decimalSeparator);
```

出力：

```
The decimal separator is .
```

GlideLocale - getGroupingSeparator()

グループ化セパレーターを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	グループ化セパレーター。

```
var locale = GlideLocale.get();var groupingSeparator =
 locale.getGroupingSeparator();
gs.info( "The grouping separator is " + groupingSeparator);
```

出力：

```
The grouping separator is ,
```

GlideMultiRecurrence - スコープ指定

GlideMultiRecurrence API は、指定されたスケジュール済みジョブの実行時間を記述する GlideDateTime オブジェクトを返すメソッドを提供します。

この API は、特定の定期的または定期的なジョブをいつ実行する必要があるか (オカレンスとも呼ばれます) を判断する必要がある場合に使用します。

この API は `sn_schdl_ns` 名前空間で実行されます。

この API を使用するには、関連するスケジューリングテーブルに次のフィールド (トリガー) が 1 つ以上含まれている必要があります。

トリガー	説明
effective_end	ジョブのスケジュールされた終了日時。
effective_start	ジョブのスケジュール開始日時。
周期	返される発生回数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トリガー	説明
run_dayofmonth	ジョブを実行する日付。有効な値: 1-31
run_dayofweek	ジョブを実行する曜日。有効な値: 1 (日曜日) - 7 (土曜日)
run_month	ジョブを実行する月。有効な値: 1-12
run_time	ジョブを実行する GMT 時刻。
run_weekinmonth	ジョブを実行する月の週。有効な値: 1-6
time_zone	スケジュール済みジョブのタイムゾーン。
trigger_type	• 0: 1 回実行 • 1:繰り返し • 2:オンデマンド • 3:曜日 • 4:月の日 • 5:月の週 • 6:年内の日と月 • 7:月および年の週の日 • 8:指定された時間に実行 • 9: システム起動時に実行 • 10:間隔 • 11:日次

この API を使用する場合は、まず API が動作するスケジューリングテーブルの GlideRecord オブジェクトを作成する必要があります。次に、発生レコードを取得するスケジュールレコードを取得します。例：

```
var table_nameGR = new GlideRecord('<table_name>'); // Scheduling table,
 such as sys_trigger
table_nameGR.addQuery('sys_id', '<sys_id>'); // Sys_id of the scheduling
 record
table_nameGR.query();
table_nameGR.next();  // Retrieve the scheduling record
```

GlideMultiRecurrence - getOccurrences()

関連するスケジュールレコード (GlideRecord) で定義されたトリガーに基づいて、指定されたスケジュール済みジョブが特定の期間内に実行する必要があるスケジュールされた実行時間 (発生) ごとに GlideDateTime オブジェクトを返します。

このメソッドは、スケジュールオブジェクト内で定義されたトリガーを使用して、現在の GlideRecord スケジュールオブジェクトを分析し、ジョブを実行するタイミングを判断します。

戻り値を制御するプロパティ:

- com.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_max:返される最大発生回数。
- com.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_default:返されるデフォルトの発生回数。

このメソッドは、次のルールを適用して、定義された期間に返されるオカレンスと関連するトリガーを決定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- *effective_start* フィールドが有効で、null または空でない場合は、そのフィールドを日付として使用して、発生件数の返却を開始します。それ以外の場合は、現在の日付を使用します。
- *effective_end*日付フィールドが有効で、null または空でない場合は、*effective_start*日付フィールドと*effective_end*日付フィールドの間の発生件数を返します。

  上記のルールの例外: *effective_end* 日が遠い将来の日付であるため、com.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_maxプロパティで指定された数を超える発生が返された場合、結果はcom.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_maxで指定された値 (デフォルトは 500) に制限されます。

- *effective_end*日フィールドが null または空で、[*frequency*] フィールドが設定されている場合は、*frequency* を使用して返される発生回数を決定します。
- *effective_start*日付フィールドが過去の日付の場合は、過去の日付を返します。
- *frequency*日フィールドと*effective_end*日フィールドの両方が指定されている場合は、最大発生回数がcom.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_maxプロパティで指定された値に制限された*effective_end*日を使用します。

上記のいずれのルールも当てはまらない場合、メソッドはシステムプロパティのデフォルト設定に基づいて発生件数を返します。

注: *MAX_Drift* はこの API ではサポートされていません。

例: *frequency* と *effective_end* の両方が指定されています。 *Effective_end* 日付が優先され、 *frequency* は無視されます。

- *frequency*: 10
- *effective_start*: 2022年8月1日
- *effective_end*: 2022年10月10日
- トリガータイプ:月の日
- 実行日: 15

返された GlideDateTime オブジェクトの数 = 2

返された発生件数: 2022 年 8 月 15 日、2022 年 9 月 15 日。

例: *frequency* と *effective_end* の両方が指定されています。 *Effective_end* 日付が優先され、 *frequency* は無視されますが、返される出現回数は com.glide.schedule.recurrence.num_occurrences_maxプロパティの値によって制限されます。

- *frequency*: 20
- *effective_start*: 2022年8月1日
- *effective_end*:2070年10月30日
- トリガータイプ:月の日
- 実行日: 15

返された GlideDateTime オブジェクトの数 = 500

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
grSchedule	GlideRecord	スケジュールの発生を取得するジョブを含むレコードを指す GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime オブジェクトのアレイ	スケジュールジョブを実行する各回の GlideDateTime オブジェクト。

次の例は、指定されたスケジュール済みジョブレコードの特定の期間のすべてのスケジュールされた実行日時の GlideDateTime オブジェクトを取得する方法を示しています。選択したジョブは 1 時間ごとに実行されるようにスケジュールされます。

```
var sys_id = 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd'; // Sys_id of the job
 schedule record
var table = 'sys_trigger'; // Table that contains the job schedule record

var grSchedule = new GlideRecord(table);
if
 (grSchedule.get(sys_id)) {
  var multiRecurrence = new sn_schdl_ns.GlideMultiRecurrence();
  var dates = multiRecurrence.getOccurrences(grSchedule); // Display the
 list of occurrences
  for(var i=0; i<dates.length; i++) {
    gs.info('occurrence = ' + dates[i]);
  }
}
```

出力:

```
occurrence = 2022-11-21 16:23:23
occurrence = 2022-11-21 17:23:23
occurrence = 2022-11-21 18:23:23
occurrence = 2022-11-21 19:23:23
occurrence = 2022-11-21 20:23:23
occurrence = 2022-11-21 21:23:23
occurrence = 2022-11-21 22:23:23
occurrence = 2022-11-21 23:23:23
occurrence = 2022-11-22 00:23:23
occurrence = 2022-11-22 01:23:23
```

GlideOAuthClient - スコープ対象、グローバル

GlideOAuthClient API は OAuth リフレッシュトークンとアクセストークンの要求と取り消しを行うメソッドを提供します。

この API はグローバルスクリプトおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。スコープ対象のスクリプトでは、`sn_auth` 名前空間識別子を使用します。

GlideOAuthClient - getToken(文字列 requestID, 文字列 oauthProfileID)

クライアントのアクセストークンとリフレッシュトークンを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestID	文字列	OAuth エンティティプロファイル [oauth_entity_profile] テーブルを参照する OAuth 要求者プロファイル [oauth_requestor_profile] テーブルからの要求 ID。
oauthProfileID	文字列	OAuth エンティティプロファイル [oauth_entity_profile] テーブルからの OAuth プロファイル ID。

返される内容

タイプ	説明
GlideOAuthToken	クライアントのアクセストークンとリフレッシュトークン。

このコード例は、インスタンスデータベースからアクセス権を取得してトークンを更新する方法を示しています。

```
function dumpToken(token) {
  if(token) {
     gs.info("AccessToken:" + token.getAccessToken());
     gs.info("AccessTokenExpiresIn:" + token.getExpiresIn());
     gs.info("RefreshToken:" + token.getRefreshToken());
  }
}

var oAuthClient = new  sn_auth.GlideOAuthClient();
var token = oAuthClient.getToken('248e3017c302301089a7dd5c2840dda5',
 '9c4e78d3c302301089a7dd5c2840dd76');
dumpToken(token);
```

出力：

```
*** Script:
 AccessToken:6MRxD3TRYYvIaoKr-JCy3KiaOxBPu4C9k8oafo3MYf9q8zDyHQr8UzMSM3Md
2alfaES1rzSYe5ydqgbOwpm7TA
*** Script: AccessTokenExpiresIn:1207
*** Script:
 RefreshToken:sc0iTK-0PcVkRi14HXPM3vT0FyOPO8iCqC10huQoDSSLBGUSnmEv_fUfJzG
WCWBb_StsXIOz6r8qF-hRhURWTA
```

GlideOAuthClient - requestToken(文字列 **clientName**, 文字列 **jsonString**)

JSON 形式でエンコードされた要求パラメーターを使用して、クライアントのトークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
clientName	文字列	クライアント名。
jsonString	文字列	クライアントの JSON 文字列。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
GlideOAuthClientResponse	クライアントのトークン。

この例は、JSON 形式でエンコードされた要求パラメーターを使用して、リソース所有者のパスワード権限許可タイプの要求を示しています。

```
var oAuthClient = new GlideOAuthClient();
var params ={grant_type:"password", username:"itil", password:'itil'};
var json =new JSON();
var text = json.encode(params);
var tokenResponse = oAuthClient.requestToken('TestClient', text);
var token = tokenResponse.getToken();

gs.log("AccessToken:"+ token.getAccessToken());
gs.log("AccessTokenExpiresIn:"+ token.getExpiresIn());
gs.log(" RefreshToken:"+ token.getRefreshToken());
```

GlideOAuthClient - requestTokenByRequest(文字列 **clientName**, **GlideOAuthClientRequest request)**

クライアント名と GlideOAuthClientResponse オブジェクトに設定された要求を使用して、クライアントのトークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
clientName	文字列	クライアント名。
request	GlideOAuthClientRequest	要求。

返される内容

タイプ	説明
GlideOAuthClientResponse	クライアントのトークン。

GlideOAuthClient - revokeToken(文字列 **clientName**, 文字列 **accessToken**, 文字列 **refreshToken**, **GlideOAuthClientRequest request)**

GlideOAuthClientRequest オブジェクトに設定された要求とオプションのヘッダーパラメーターを使用して、クライアントのアクセストークンまたはリフレッシュトークンを取り消します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
clientName	文字列	クライアント名。
accessToken	文字列	アクセストークン。
refreshToken	文字列	リフレッシュトークン。
request	GlideOAuthClientRequest	要求。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideOAuthClientResponse	クライアントのトークン。

GlideOAuthClientRequest - スコープ対象、グローバル

GlideOAuthClientRequest API は OAuth クライアント要求を処理するためのメソッドを提供します。

この API はグローバルスクリプトおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。スコープ対象のスクリプトでは、`sn_auth` 名前空間識別子を使用します。

GlideOAuthClientRequest - getGrantType()

権限許可タイプを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	権限許可タイプ。

GlideOAuthClientRequest - getHeader(文字列 name)

指定した文字列の HTTP ヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
StringMap	HTTP ヘッダーを含む文字列マップ。

GlideOAuthClientRequest - getHeaders()

HTTP ヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
StringMap	HTTP ヘッダーを含む文字列マップ。

GlideOAuthClientRequest - getParameter(文字列 **name)**

指定したパラメーター名のパラメーターを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーターが必要なパラメーター名。

返される内容

タイプ	説明
文字列	パラメーター。

GlideOAuthClientRequest - getPassword()

パスワードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	パスワード。

GlideOAuthClientRequest - getRefreshToken()

リフレッシュトークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リフレッシュトークン。

GlideOAuthClientRequest - getScope()

スコープを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	スコープ。

GlideOAuthClientRequest - getUserName()

ユーザー名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザー名。

GlideOAuthClientRequest - setGrantType(文字列 **grantType)**

指定した文字列の権限許可タイプを設定します。

注: OAuth プロバイダープロファイルでまだ定義されていない場合にのみ、権限許可タイプを設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	権限許可タイプ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideOAuthClientRequest - setHead(文字列 **name**, 文字列 **value)**

指定した文字列の HTTP ヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーターの名前。
value	文字列	パラメーターの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideOAuthClientRequest - setParameter(文字列 **name**, 文字列 **value)**

指定した文字列の名前と値のペアのパラメーターを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーターが必要なパラメーター名。
value	文字列	パラメーターの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideOAuthClientRequest - setPassword(文字列 **password)**

指定した文字列を使用してパスワードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
パスワード	文字列	ユーザー名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideOAuthClientRequest - setRefreshToken(文字列 **refreshToken)**

指定した文字列を使用してリフレッシュトークンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
refreshToken	文字列	リフレッシュトークン。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、リソース所有者のパスワード権限許可タイプの要求を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var tokenRequest =new GlideOAuthClientRequest();
    tokenRequest.setGrantType("password");
    tokenRequest.setUserName("itil");
    tokenRequest.setPassword("itil");
    tokenRequest.setScope(null);

    var oAuthClient =new GlideOAuthClient();var tokenResponse =
oAuthClient.requestToken("TestClient", tokenRequest);
    gs.log("Error:"+ tokenResponse.getErrorMessage());

    var token = tokenResponse.getToken();if(token){
      gs.log("AccessToken:"+ token.getAccessToken());
      gs.log("AccessTokenExpiresIn:"+ token.getExpiresIn());
      gs.log("RefreshToken:"+ token.getRefreshToken());
```

この例は、リフレッシュトークンの権限許可タイプの要求を示しています。

```
    var tokenRequest =new GlideOAuthClientRequest();
    tokenRequest.setGrantType("refresh_token");

tokenRequest.setRefreshToken("N-GtdSVLkWP_Cr-TysXdmNy59ZYafu5ZzAS4YaSluX
Dm0kCkInEnu-hwM5SsGYSFwKJ6xauVmoaq7xJNoalXFQ");
    tokenRequest.setScope(null);

    var oAuthClient =new GlideOAuthClient();
    tokenResponse = oAuthClient.requestToken("TestClient",
tokenRequest);
    gs.log("Error:"+ tokenResponse.getErrorMessage());
    token = tokenResponse.getToken();if( token){
       gs.log("AccessToken:"+ token.getAccessToken());
       gs.log("AccessTokenExpiresIn:"+ token.getExpiresIn());
       gs.log("AccessTokenSysID:"+ token.getAccessTokenSysID());
       gs.log("RefreshToken:"+ token.getRefreshToken());
       gs.log("RefreshTokenSysID:"+ token.getRefreshTokenSysID());
```

GlideOAuthClientRequest - setScope(文字列 scope)

指定した文字列のスコープを設定します。

注: OAuth プロバイダーでまだ定義されていない場合にのみ、スコープを設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scope	文字列	スコープ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideOAuthClientRequest - setUserName(文字列 userName)

指定した文字列を使用してユーザー名を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userName	文字列	ユーザー名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideOAuthClientResponse - スコープ対象、グローバル

GlideOAuthClientResponse API は OAuth クライアント応答を処理するためのメソッドを提供します。

この API はグローバルスクリプトおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。スコープ対象のスクリプトでは、`sn_auth` 名前空間識別子を使用します。

GlideOAuthClientResponse - getBody()

インスタンス情報を含むすべての応答情報を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	応答情報。

GlideOAuthClientResponse - getContentType()

外部 OAuth プロバイダーから HTTP 応答コンテンツヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	HTTP 応答ヘッダー。

GlideOAuthClientResponse - getErrorMessage()

認証が成功しなかった場合にエラーメッセージを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージ。

GlideOAuthClientResponse - getResponseCode()

外部 OAuth プロバイダーから HTTP 応答コードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	HTTP 応答コード。

GlideOAuthClientResponse - getResponseParameters()

認証が成功しなかった場合にエラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
MapString	応答コンテンツ。

GlideOAuthClientResponse - getToken()

リフレッシュトークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideOAuthToken	リフレッシュトークン。

GlideOAuthToken - スコープ対象、グローバル

GlideOAuthToken API は OAuth アクセストークンと、アクセストークンに関する情報を取得するためのメソッドを提供します。

この API はグローバルスクリプトおよびスコープ対象のスクリプトで使用できます。スコープ対象のスクリプトでは、`sn_auth` 名前空間識別子を使用します。

GlideOAuthToken - getAccessToken()

GlideOAuthToken オブジェクトに関連付けられたアクセストークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクセストークン。

このコード例は、インスタンスデータベースからアクセス権を取得してトークンを更新する方法を示しています。GlideOAuthClient も参照してください。

```
function dumpToken(token) {
  if(token) {
     gs.info("AccessToken:" + token.getAccessToken());
     gs.info("AccessTokenExpiresIn:" + token.getExpiresIn());
     gs.info("RefreshToken:" + token.getRefreshToken());
  }
}

var oAuthClient = new  sn_auth.GlideOAuthClient();
var token = oAuthClient.getToken('248e3017c302301089a7dd5c2840dda5',
 '9c4e78d3c302301089a7dd5c2840dd76');
dumpToken(token);
```

出力：

```
*** Script:
 AccessToken:6MRxD3TRYYvIaoKr-JCy3KiaOxBPu4C9k8oafo3MYf9q8zDyHQr8UzMSM3Md
2alfaES1rzSYe5ydqgbOwpm7TA
*** Script: AccessTokenExpiresIn:1207
*** Script:
 RefreshToken:sc0iTK-0PcVkRi14HXPM3vT0FyOPO8iCqC10huQoDSSLBGUSnmEv_fUfJzG
WCWBb_StsXIOz6r8qF-hRhURWTA
```

GlideOAuthToken - getAccessTokenSysID()

使用廃止。GlideOAuthToken オブジェクトに関連付けられたトークン ID の sys_id を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクセストークンの sys_id。

GlideOAuthToken - getExpiresIn()

GlideOAuthToken オブジェクトに関連付けられたアクセストークンの有効期間を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字 (Long)	トークンの有効期間。 単位：秒

このコード例は、インスタンスデータベースからアクセス権を取得してトークンを更新する方法を示しています。GlideOAuthClient も参照してください。

```
function dumpToken(token) {
  if(token) {
     gs.info("AccessToken:" + token.getAccessToken());
     gs.info("AccessTokenExpiresIn:" + token.getExpiresIn());
     gs.info("RefreshToken:" + token.getRefreshToken());
  }
}

var oAuthClient = new  sn_auth.GlideOAuthClient();
var token = oAuthClient.getToken('248e3017c302301089a7dd5c2840dda5',
 '9c4e78d3c302301089a7dd5c2840dd76');
dumpToken(token);
```

出力：

```
*** Script:
 AccessToken:6MRxD3TRYYvIaoKr-JCy3KiaOxBPu4C9k8oafo3MYf9q8zDyHQr8UzMSM3Md
2alfaES1rzSYe5ydqgbOwpm7TA
*** Script: AccessTokenExpiresIn:1207
*** Script:
 RefreshToken:sc0iTK-0PcVkRi14HXPM3vT0FyOPO8iCqC10huQoDSSLBGUSnmEv_fUfJzG
WCWBb_StsXIOz6r8qF-hRhURWTA
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideOAuthToken - getRefreshToken()

GlideOAuthToken オブジェクトに関連付けられたトークンを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	更新されたトークン。

このコード例は、インスタンスデータベースからアクセス権を取得してトークンを更新する方法を示しています。GlideOAuthClient も参照してください。

```
function dumpToken(token) {
  if(token) {
     gs.info("AccessToken:" + token.getAccessToken());
     gs.info("AccessTokenExpiresIn:" + token.getExpiresIn());
     gs.info("RefreshToken:" + token.getRefreshToken());
  }
}

var oAuthClient = new  sn_auth.GlideOAuthClient();
var token = oAuthClient.getToken('248e3017c302301089a7dd5c2840dda5',
 '9c4e78d3c302301089a7dd5c2840dd76');
dumpToken(token);
```

出力：

```
*** Script:
 AccessToken:6MRxD3TRYYvIaoKr-JCy3KiaOxBPu4C9k8oafo3MYf9q8zDyHQr8UzMSM3Md
2alfaES1rzSYe5ydqgbOwpm7TA
*** Script: AccessTokenExpiresIn:1207
*** Script:
 RefreshToken:sc0iTK-0PcVkRi14HXPM3vT0FyOPO8iCqC10huQoDSSLBGUSnmEv_fUfJzG
WCWBb_StsXIOz6r8qF-hRhURWTA
```

GlideOAuthToken - getRefreshTokenSysID()

使用廃止。リフレッシュトークンの sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リフレッシュトークンの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideOAuthToken - getScope()

アクセストークンによって付与されるアクセスの範囲であるトークンスコープを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクセストークンのスコープ。

GlidePluginManager - スコープ指定

スコープ付き *GlidePluginManager* API は、プラグインがアクティブ化されているかどうかを判断する方法を提供します。

GlidePluginManager - isActive(文字列 pluginID)

指定されたプラグインがアクティブ化されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pluginID	文字列	一意のプラグイン識別子。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	プラグインがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：プラグインはアクティブです。 • false：プラグインは非アクティブです。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_plugins');
var queryString = "active=0^ORactive=1";
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
var pMgr = new GlidePluginManager();

while (now_GR.next()) {
   var name = now_GR.getValue('name');
   var pID = now_GR.getValue('source');
   var isActive = pMgr.isActive(pID);
   if (isActive)
       gs.info('The plugin ' + name + ' is active');
}
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
The plugin Country Lookup Data is active
The plugin Database Replication is active
The plugin REST API Provider is active
The plugin Ten Cool Things is active
```

GlideQuery - スコープ対象、グローバル

GlideQuery スクリプトインクルードは、サーバーサイドスクリプトからレコードデータに対して CRUD 操作を実行するための *GlideRecord* API の代替です。

GlideQuery スクリプトインクルードを使用すると、次のことができます。

- クエリと結果には標準の JavaScript オブジェクトとタイプを使用します。
- 追加のチェックでクエリエラーを迅速に診断し、エラーメッセージをクリアします。
- 定型的なクエリパターンを避けてコードを簡素化します。
- GlideRecord に関する深い知識がなくても、一般的なパフォーマンスの問題を回避できます。

スコープ対象またはグローバルのサーバーサイドスクリプトで *GlideQuery* スクリプトインクルードを使用します。スコープ対象のアプリ内で使用する場合は、グローバルスコープをプリフィックスとして付ける必要があります。

```
new global.GlideQuery('sys_user')
// ...
```

このスクリプトインクルードには GlideQuery [com.sn_glidequery] プラグインが必要です。

実装

このスクリプトインクルードは、メソッド呼び出しが連鎖していて、各メソッドが前のメソッドで返された結果に基づいて構築されるビルダーパターン。メソッドを使用してクエリの属性を定義します。メソッドは、ターミナルメソッド (クエリ結果を返すメソッド) を呼び出すまで実行されないため、クエリを実行する前にクエリの要件を定義できます。

クエリが単一のレコードを返す場合、システムは Optional オブジェクトに結果をラップします。クエリがレコードのストリームを返す場合、システムは Stream オブジェクトに結果をラップします。これらのオブジェクトを使用すると、各 API で一連のメソッドを使用して結果を管理できます。

たとえば、この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

エラー処理

GlideQuery スクリプトインクルードは、クエリに問題がある場合にエラーをスローし、ガイドとなる明確な説明を含めます。このスクリプトには、次のチェックが含まれています。

- 無効なフィールド
- フィールドの無効な値タイプ
- 選択フィールドの無効な値
- 無効なクエリ演算子

たとえば、次のコード サンプルでは、クエリされたフィールドがテーブルに存在しないため、エラーがスローされます。

```
new global.GlideQuery('task')
    .where('id', '4717dfe5a9fe198100450448b2404c16') // should be
 'sys_id'
    .select('description', 'severity')
    .toArray(100);
  // Error: Unable to find field 'id' in table 'task'. Known fields:
 active, activity_due, ...
```

いずれか 1 つの引数のデータタイプが正しくないため、このコードサンプルはエラーをスローします。

```
new global.GlideQuery('task')
    .where('priority', 'one') // priority is an integer (should be 1)
    .select('description', 'severity')
    .toArray(100);
  // Error: Unable to match value ['one'] with field 'priority' in table
 'task'. Expecting type 'integer'
```

再利用

GlideQuery オブジェクトは不変であるため、後でコードの他の部分で再利用できます。たとえば、このスクリプトはクエリを作成し、後で GlideQuery オブジェクトを使用してレポートを生成します。

```
var highPriorityTasks = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true)
    .where('priority', 1);

generateReport(highPriorityTasks);
notifyOwners(highPriorityTasks);
var avgReassignmentCount = highPriorityTasks
    .avg('reassignment_count')
    .orElse(0)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限事項

GlideQuery スクリプトインクルードは以下をサポートしていません。

- 他のスコープからのアクセスを許可しないテーブルの読み取りまたは書き込み。
- エンコードクエリの読み取り。
- JavaScript 文字列として読み取られる GlideDate または GlideDateTime オブジェクト。
- [FX 通貨] フィールド。
- ジャーナルフィールドタイプの更新。
- あいまいな条件付きロジックを含むクエリ。たとえば、次のクエリは `(active = true AND name != null) OR last_name = Luddy` または `active = true AND (name != null OR last_name = Luddy)` のどちらを実行するのかわからないため、不明確です。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
  .where('active', true)
  .whereNotNull('name')
  .orWhere('last_name', 'Luddy')
  .selectOne()
  .get()
```

代わりに子クエリをネストする方法については、*where()* メソッドを参照してください。

注: *GlideQuery* スクリプトインクルードは GlideRecord オブジェクトを標準の JavaScript オブジェクトに変換するため、クエリの実行に時間がかかる場合があります。パフォーマンスの問題を軽減するには、多数のレコードを繰り返すループを作成しないようにしてください。

GlideQuery の中間メソッドとターミナルメソッド

GlideQuery スクリプトインクルードは、中間とターミナルの 2 つのカテゴリのメソッドを使用します。中間メソッドは、レコードなどのアイテムのストリームと対話するために使用される API である *Stream* を返すメソッドであり、呼び出しが連鎖する流暢な構文スタイルを可能にします。ターミナル・メソッドは、ストリームを返さないため、 *Stream* メソッド呼出しのチェーンを停止するメソッドです。

GlideQuery スクリプトインクルードでは、where()、orderBy()、*disableWorkflow()* などのメソッドは、新しい GlideQuery オブジェクトを返す中間メソッドです。同様に、GlideQuery スクリプトインクルードの最も一般的なターミナルメソッドである *select()* および *selectOne()* もターミナルメソッドです。これらのメソッドは、 *GlideQuery* の構成が完了し、レコードの処理を開始する準備ができたときに呼び出されます。特定のユースケースに従って *GlideQuery* スクリプトインクルードの呼び出しを構成する場合は、これら 2 つのメソッドタイプの違いに留意することが重要です。中間メソッドとターミナルメソッドの詳細については、「*GlideQuery* - ストリーム処理 第 1 部」の記事を参照してください。

次のメソッドは中間として分類されます。

- aggregate(文字列 *aggregateType*, 文字列 *field*)
- *disableAutoSysFields()*
- *disableWorkflow()*
- *forceUpdate()*
- groupBy(文字列 *fields*)
- having(文字列 *aggregateType*, 文字列 *field*, 文字列 *operator*, 数値 *value*)
- limit(数値 *limit*)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- orderBy(文字列 *fields*)
- orderByDesc(文字列 *fieldOrAggregate*, 文字列 *field*)
- orWhere(文字列 *fieldOrQuery*, 文字列 *operator*, 任意 *value*)
- orWhereNotNull(文字列 *field*)
- orWhereNull(文字列 *field*)
- where(文字列 *fieldOrQuery*, 文字列 *operator*, 任意 *value*)
- whereNotNull(文字列 *field*)
- whereNull(文字列 *field*)
- *withAcls()*

次のメソッドはターミナルとして分類されます。

- avg(文字列 *field*)
- *count()*
- *deleteMultiple()*
- get(文字列 *key*, アレイ *selectedFields*)
- getBy(オブジェクト *keyValues*, アレイ *selectedFields*)
- insert(オブジェクト *keyValues*, オブジェクト *selectedFields*)
- insertOrUpdate(オブジェクト *changes*, オブジェクト *selectedFields*)
- max(文字列 *field*)
- min(文字列 *field*)
- select(文字列 *fields*)
- selectOne(文字列 *fields*)
- sum(文字列 *field*)
- *toGlideRecord()*
- update(オブジェクト *changes*, オブジェクト *selectedFields*)
- updateMultiple(オブジェクト *changes*)

注: *parse(String table, String encoded_query)* は中間でも終端でもなく、静的です。

GlideQuery - GlideQuery(文字列 table)

レコードクエリの構築と実行に使用される GlideQuery オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	クエリ対象のテーブル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ユーザーテーブルのクエリをインスタンス化します。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user');
```

GlideQuery - aggregate(文字列 aggregateType, 文字列 field)

指定された集計関数を使用してフィールドを集計します。

このメソッドは、複数のフィールドに対して集計するクエリを構築する場合、または複数の集計関数を使用する場合、または *groupBy()* メソッドを使用する必要がある場合に使用します。1 つの関数で 1 つのフィールドに対してのみ集計する場合で、*groupBy()* を使用する必要がない場合は、代わりに次のいずれかのメソッドを使用します。

- *avg()*
- *min()*
- *max()*
- *count()*

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregateType	文字列	実行する集計関数のタイプ。次のオプションが含まれます。 • `min`：一致するすべてのレコードの最小値を返します。 • `max`：一致するすべてのレコードの最大値を返します。 • `sum`：一致するすべてのレコードの合計を返します。 • `avg`：一致するすべてのレコードの平均を返します。 • `count`：一致するレコードの数を返します。
field	文字列	操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

出力:

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

GlideQuery - avg(文字列 field)

指定された数値フィールドの集計平均を返します。

このメソッドは、次のタイプのフィールドでのみ使用できます。

- 整数
- 長
- 浮動小数点数
- 倍精度
- 通貨

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
オプション	指定されたフィールドの集計平均を含むオブジェクト。

この例は、cmdb_ci テーブルの障害の平均数を返す方法を示しています。

```
var faults = new global.GlideQuery('cmdb_ci')
    .avg('fault_count')
    .orElse(0);

gs.info(JSON.stringify(faults));
```

出力：

```
0.0037
```

GlideQuery - count()

クエリに一致するレコードの数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	クエリに一致するレコードの数。

この例では、ユーザーテーブル内のアクティブなレコードの数を返します。

```
var userCount = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('active', true)
    .count();
```

出力：

```
612
```

GlideQuery - deleteMultiple()

先行する where 句で指定されたテーブルにあるすべてのレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ユーザーテーブルで姓が Jeter であるアクティブなすべてのレコードを削除します。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('active', true)
    .where('last_name', 'Jeter')
    .deleteMultiple();
```

GlideQuery - disableAutoSysFields()

システムフィールド、または sys_created_on、sys_updated_on、sys_mod_count などの `sys` プリフィックスで始まる名前のフィールドの更新を無効にします。指定されたクエリにのみ適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例ではタスクテーブルにレコードを追加しますが、システムフィールドは設定しません。このメソッドを呼び出さない場合、以下の例では sys_updated_on、sys_mod_count などが更新されます。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .disableAutoSysFields()
    .insert({ description: 'example', priority: 1 });
```

GlideQuery - disableWorkflow()

クエリの結果として実行または作成されるビジネスルール、フロー、ワークフロー、または監査レコードを無効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例では、自動ビジネスプロセスをトリガーせずにタスクテーブルの複数のレコードを更新します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .disableWorkflow()
    .where('active', true)
    .updateMultiple({ priority: 1 });
```

GlideQuery - forceUpdate()

レコードが変更されていない場合でも、データベースの更新を強制します。たとえば、このメソッドを使用してビジネスルールを強制的に実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例では、特定の sys_id でタスクレコードを強制的に更新します。

```
var forceUpdate = new global.GlideQuery('task')
    .forceUpdate()
    .where('sys_id', taskId)
    .update()
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideQuery - get(文字列 key, アレイ selectedFields)

クエリから単一のレコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	返されるレコードの sys_id。
selectedFields	アレイ	オプション。結果で返す追加フィールド。 デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

sys_id に基づいてレコードを返す例。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .get('5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005', ['first_name',
 'last_name']) //Returns an Optional object.
    .orElse({ first_name: 'Default', last_name: 'User' }); //Method in
 the Optional class to return a default value.

gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
```

出力：

```
{
   "sys_id":"5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005",
   "first_name":"Fred",
   "last_name":"Luddy"
}
```

GlideQuery - getBy(オブジェクト keyValues, アレイ selectedFields)

クエリの基準となる一連の名前と値のペアに基づいて、単一のレコードを含むオプションのオブジェクトを返します。名前と値のペアごとに「=」演算子を想定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
keyValues	オブジェクト	キーがフィールドの名前であり、値がクエリの対象であるオブジェクト。
selectedFields	アレイ	オプション。結果で返す追加フィールド。 デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

ユーザーの名前をクエリしてレコードを返す例。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .getBy({
        first_name: 'Fred',
        last_name: 'Luddy'
    }, ['first_name', 'last_name', 'city', 'active']) // select
 first_name, last_name, city, active
    .orElse({
        first_name: 'Nobody',
        last_name: 'Found',
        city: 'Nowhere',
        active: false
    });

gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
```

出力：

```
{
   "first_name":"Fred",
   "last_name":"Luddy",
   "city":null,
   "active":true,
   "sys_id":"5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005"
}
```

自動翻訳

GlideQuery - groupBy(文字列 fields)

指定されたフィールド別にクエリ結果をグループ化します。

このメソッドは `aggregate()` メソッドとともに使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fields	文字列または文字列のアレイ	結果をグループ化するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

出力:

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

GlideQuery - having(文字列 **aggregateType**, 文字列 **field**, 文字列 **operator**, 数値 **value**)

指定した条件に一致する結果のグループのみを表示できるように、集計グループをフィルタリングします。

このメソッドは *`aggregate()`* メソッドまたは *`groupBy()`* メソッドとともに使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregateType	文字列	実行する集計関数のタイプ。次のオプションが含まれます。 • `min`：一致するすべてのレコードの最小値を返します。 • `max`：一致するすべてのレコードの最大値を返します。 • `sum`：一致するすべてのレコードの合計を返します。 • `avg`：一致するすべてのレコードの平均を返します。 • `count`：一致するレコードの数を返します。
field	文字列	操作を実行するフィールド。
operator	文字列	操作で使用する数値演算子。 次のオプションが含まれます。 • `>`：次の値を超える • `<`：次の値未満 • `>=`：次の値以上 • `<=` ：次の値以下 • `=` ：次の値に等しい • `!=`：次の値と等しくない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
value	数値	操作で使用する数値。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

出力:

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

GlideQuery - insert(オブジェクト **keyValues**, オブジェクト **selectedFields)**

レコードを挿入し、そのレコードを含むオプションのオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
keyValues	オブジェクト	レコードに挿入する名前と値のペアを含むオブジェクト。未指定のフィールドは null になります。
selectedFields	アレイ	オプション。結果で返す追加フィールド。 デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、ユーザーの姓と名に基づいてレコードを挿入する方法を示しています。

```
var fred = new global.GlideQuery('sys_user')
    .insert({ first_name: 'Fred', last_name: 'Luddy' })
    .get();

gs.info(JSON.stringify(fred, null, 2));
```

出力：

```
{
   "sys_id":"cf16eed0e82a9010f8778bda83d255d2",
   "first_name":"Fred",
   "last_name":"Luddy"
}
```

GlideQuery - insertOrUpdate(オブジェクト **changes**, オブジェクト **selectedFields)**

既存のレコードを更新するか、まだ存在しない場合は新しいレコードを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
changes	オブジェクト	更新またはレコードに挿入する名前と値のペアを含むオブジェクト。
selectedFields	アレイ	オプション。結果で返す追加フィールド。 デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、システムに存在しない新しいレコードを挿入する方法を示しています。

```
// insert a new record
var user = new GlideQuery('sys_user')
    .insertOrUpdate({
        first_name: 'George',
        last_name: 'Griffey'
    })
    .orElse(null);
```

この例は、既存のレコードを更新する方法を示しています。

```
// update existing record
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .insertOrUpdate({
        sys_id: '2d0efd6c73662300bb513198caf6a72e',
        first_name: 'George',
        last_name: 'Griffey' })
    .orElse(null);
```

GlideQuery - limit(数値 **limit)**

クエリで返されるレコードの数を制限します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
limit	数値	返されるレコードの数。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、返される結果を 5 つのレコードに制限する方法を示しています。

```
var incidents = new global.GlideQuery('incident')
    .limit(5)
    .select('priority', 'description')
    .forEach(function (incident){
        gs.info(JSON.stringify(incident, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: {
  "priority": 1,
  "description": "User can't get to any of his files on the file
 server.",
  "sys_id": "9d385017c611228701d22104cc95c371"
}
*** Script: {
  "priority": 1,
  "description": "I just moved from floor 2 to floor 3 and my laptop
 cannot connect to any wireless network.",
  "sys_id": "e8caedcbc0a80164017df472f39eaed1"
}
*** Script: {
  "priority": 1,
  "description": "User forgot their email password.",
  "sys_id": "9d3c1197c611228701cd1d94bc32d76d"
}
*** Script: {
  "priority": 1,
  "description": "When I try to print, my whole computer just freezes and
 stops working.",
  "sys_id": "8d6246c7c0a80164012fb063cecd4ace"
}
*** Script: {
  "priority": 3,
  "description": "Unable to login even though login credentials are
 correct.",
  "sys_id": "a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd"
}
```

GlideQuery - max(文字列 field)

指定されたフィールドの集計最大を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、指定されたフィールドの最大値または最大の英数字値を返す方法を示しています。

```
var name = new global.GlideQuery('sys_user')
    .max('last_name')
    .orElse('');

gs.info(JSON.stringify(name));
```

出力：

```
"Zortman"
```

GlideQuery - min(文字列 field)

指定されたフィールドの集計最小を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、指定されたフィールドの最小値または最小の英数字値を返す方法を示しています。

```
var name = new global.GlideQuery('sys_user')
    .min('last_name')
    .orElse('');

gs.info(JSON.stringify(name));
```

出力：

```
"Abel"
```

GlideQuery - orderBy(文字列 fields)

返された結果を指定されたフィールド別に昇順で並べます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fields	文字列	結果を昇順で並べ替えるためのカンマ区切りフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、結果をレコード番号で昇順に並べ替える方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('incident')
    .orderBy('number')
    .limit(5)
    .select('number', 'description') //Returns a stream of records
 wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (incident){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
        gs.info(JSON.stringify(incident, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: {
  "number": "INC0000001",
  "description": "User can't access email on mail.company.com.",
  "sys_id": "9c573169c611228700193229fff72400"
}
*** Script: {
  "number": "INC0000002",
  "description": "User can't get to any of his files on the file
 server.",
  "sys_id": "9d385017c611228701d22104cc95c371"
}
*** Script: {
  "number": "INC0000003",
  "description": "I just moved from floor 2 to floor 3 and my laptop
 cannot connect to any wireless network.",
  "sys_id": "e8caedcbc0a80164017df472f39eaed1"
}
*** Script: {
  "number": "INC0000004",
  "description": "User forgot their email password.",
  "sys_id": "9d3c1197c611228701cd1d94bc32d76d"
}
*** Script: {
  "number": "INC0000005",
  "description": "CPU was 100% busy for more than 10 minutes",
  "sys_id": "e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5"
}
```

GlideQuery - orderByDesc(文字列 **fieldOrAggregate**, 文字列 **field)**

返された結果を指定されたフィールド別に降順で並べます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldOrAggregate	文字列	クエリで *aggregate()* メソッドを使用しない場合は、結果を並べ替えるフィールドを渡します。 クエリで *aggregate()* メソッドを使用する場合は、実行する集計関数のタイプを渡します。 次のオプションが含まれます。 • `min`：一致するすべてのレコードの最小値を返します。 • `max`：一致するすべてのレコードの最大値を返します。 • `sum`：一致するすべてのレコードの合計を返します。 • `avg`：一致するすべてのレコードの平均を返します。 • `count`：一致するレコードの数を返します。
field	文字列	オプション。結果を降順で並べ替えるためのフィールド。*aggregate()* メソッドを使用するクエリに必要です。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、結果を番号で降順に並べ替える方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('incident')
    .orderByDesc('number')
    .limit(5)
    .select('number', 'description') //Returns a stream of records
 wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (incident){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
        gs.info(JSON.stringify(incident, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: {
  "number": "INC0009009",
  "description": "Unable to access the shared folder. Please provide
 access.",
  "sys_id": "57af7aec73d423002728660c4cf6a71c"
}
*** Script: {
  "number": "INC0009005",
  "description": "Unable to send or receive emails.",
  "sys_id": "ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc"
}
*** Script: {
  "number": "INC0009004",
  "description": "While launching the defect tracking base URL, it is
 redirecting to an error page.",
  "sys_id": "e329de99731423002728660c4cf6a73c"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
*** Script: {
  "number": "INC0009003",
  "description": "Having an issue with users trying to access the company
 portal app",
  "sys_id": "9fffc328731823002728660c4cf6a742"
}
*** Script: {
  "number": "INC0009002",
  "description": "My computer is not detecting the headphone device. It
 could be an issue with the USB port.",
  "sys_id": "1c832706732023002728660c4cf6a7b9"
}
```

この例は、子インシデントの合計によって集計結果を並べ替える方法を示しています。

```
var aggQuery = new GlideQuery('incident')
    .aggregate('sum', 'child_incidents')
    .groupBy('category')
    .orderByDesc('sum', 'child_incidents')
    .select()
    .forEach(function (category){
        gs.info(JSON.stringify(category, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: {
  "group": {
    "category": "hardware"
  },
  "sum": {
    "child_incidents": 2
  }
}
*** Script: {
  "group": {
    "category": "inquiry"
  },
  "sum": {
    "child_incidents": 1
  }
}
*** Script: {
  "group": {
    "category": "software"
  },
  "sum": {
    "child_incidents": 0
  }
}
*** Script: {
  "group": {
    "category": ""
  },
  "sum": {
    "child_incidents": null
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
*** Script: {
  "group": {
    "category": "database"
  },
  "sum": {
    "child_incidents": null
  }
}
*** Script: {
  "group": {
    "category": "network"
  },
  "sum": {
    "child_incidents": null
  }
}
```

GlideQuery - orWhere(文字列 **fieldOrQuery**, 文字列 **operator**, 任意 **value)**

指定された条件に基づいて値を返すクエリに OR 句を追加します。

注: このメソッドの前に *`where()`*、*`whereNull()`*、または *`whereNotNull()`* メソッドを配置します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldOrQuery	文字列または GlideQuery	where 節で使用されるフィールドまたは別の GlideQuery オブジェクト。フィールドを渡すと、目的の値にドット連結できます。例：`'company.name'`
operator	文字列	オプション。OR 句で使用される演算子。引数を渡さない場合は、= 演算子が使用されます。プレースホルダー値を含める必要はありません。
value	任意	OR 句で使用される値。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、単純な OR 句をクエリに追加する方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('failed_attempts', '>', 0)
   .orWhere('last_login', '<', '2019-04-15')
   .select()
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力:

```
*** Script: {
  "sys_id": "005d500b536073005e0addeeff7b12f4"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
*** Script: {
  "sys_id": "d999e5fc77e72300454792718a10611d"
}
*** Script: {
  "sys_id": "30ad318577ab2300454792718a10619e"
}
*** Script: {
  "sys_id": "4ac73ecd738123002728660c4cf6a72c"
}
*** Script: {
  "sys_id": "3883f4c0730123002728660c4cf6a754"
}
*** Script: {
  "sys_id": "3988a3ca732023002728660c4cf6a757"
}
*** Script: {
  "sys_id": "8ff5b254b33213005e3de13516a8dcf7"
}
```

この例では、別のクエリを含む `orWhere` 句を追加する方法を示します。

```
// active = true OR (title = 'Vice President' AND state = 'CA')
var query = new GlideQuery('sys_user')
   .where('active', true)
   .orWhere(new GlideQuery()
       .where('title', 'Vice President')
       .where('state', 'CA'))
   .select('name')
   .limit(5)
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力:

```
*** Script: {
  "name": "ITIL User",
  "sys_id": "681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd"
}
*** Script: {
  "name": "SOAP Guest",
  "sys_id": "155699460a0a0b2b009e27c10b7f68f6"
}
*** Script: {
  "name": "System Administrator",
  "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
*** Script: {
  "name": "Alva Pennington",
  "sys_id": "ca826bf03710200044e0bfc8bcbe5d89"
}
*** Script: {
  "name": "Benchmark Scheduler",
  "sys_id": "d3383a875b0132003d1c484c11f91a5b"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideQuery - orWhereNotNull(文字列 field)

指定されたフィールドに null 値を含まないレコードを返す OR 句を追加します。

注: このメソッドの前に *where()*、*whereNull()*、または *whereNotNull()* メソッドを配置します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	クエリで使用されるフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例では、User テーブルをクエリし、姓または名が null ではない結果を返す方法を示します。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNotNull('first_name')
   .orWhereNotNull('last_name')
   .select('name')
   .limit(5)
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力:

```
*** Script: {
  "name": "ITIL User",
  "sys_id": "681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd"
}
*** Script: {
  "name": "System Administrator",
  "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
*** Script: {
  "name": "Alva Pennigton",
  "sys_id": "ca826bf03710200044e0bfc8bcbe5d89"
}
*** Script: {
  "name": "Benchmark Scheduler",
  "sys_id": "d3383a875b0132003d1c484c11f91a5b"
}
*** Script: {
  "name": "Allyson Gillispie",
  "sys_id": "06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d8a"
}
```

GlideQuery - orWhereNull(文字列 field)

指定されたフィールドに null 値を含むレコードを返すクエリに OR 句を追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このメソッドの前に *where()*、*whereNull()*、または *whereNotNull()* メソッドを配置します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	クエリで使用されるフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、ユーザーテーブルをクエリし、名と姓が null であるレコードを返す方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNull('last_name')
   .orWhereNull('first_name')
   .select('first_name', 'last_name')
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力：

```
*** Script: {
  "first_name": "ml.admin",
  "last_name": null,
  "sys_id": "88aad6c5c73003005f1b78d48b9763a5"
}
*** Script: {
  "first_name": "Sitemap Scheduler User",
  "last_name": null,
  "sys_id": "85388c25b71011104eed4643ae11a993"
}
*** Script: {
  "first_name": null,
  "last_name": "Guest",
  "sys_id": "5136503cc611227c0183e96598c4f706"
}
*** Script: {
  "first_name": "ml_report.user",
  "last_name": null,
  "sys_id": "b6bad6c5c73003005f1b78d48b97632a"
}
```

GlideQuery - parse(文字列 **table**, 文字列 **encoded_query**)

エンコードされたクエリを新しい *GlideQuery* クエリに追加します。

このメソッドは、すべての *GlideRecord* エンコードクエリ演算子をサポートしているわけではありません。現在、次の演算子がサポートされています。

=	ANYTHING	GT_FIELD	NOT IN

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

!=	BETWEEN	GT_OR_EQUALS_FIELD	NOT LIKE
>	CONTAINS	IN	NSAMEAS
>=	DOES NOT CONTAIN	INSTANCEOF	ON
<	DYNAMIC	LIKE	SAMEAS
<=	EMPTYSTRING	LT_FIELD	STARTSWITH
	ENDSWITH	LT_OR_EQUALS_FIELD	

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	クエリするテーブル (タスクやインシデントなど)。
encoded_query	文字列	指定されたテーブルのレコードに適用するエンコードされたクエリ 。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	エンコードクエリを含む GlideQuery オブジェクト。

次の例では、タスクテーブル内のアクティブなすべてのレコードを含む GlideQuery オブジェクトを作成し、[優先度] フィールドで並べ替え、説明フィールドのみを含む Stream オブジェクトとして返します。

```
GlideQuery.parse('task', 'active=true^ORDERBYpriority') // Pass the
 encoded query to use to parse the Task records
  .select('description') // Return the records that match the encoded
 query
  .forEach(doSomething); // Do some processing on each of the returned
 records
```

GlideQuery - select(文字列 fields)

指定されたフィールドを含む Stream オブジェクトとしてクエリの結果を返します。

注: *Stream* クラスのターミナルメソッドを使用して、クエリの結果を取得します。詳細については、「Stream」を参照してください。

フィールド名にフラグを追加して、フィールドの値の代わりにフィールドのメタデータを返すことができます。たとえば、フィールド名 `company$DISPLAY` を使用すると、会社フィールドの表示値が返されます。使用可能なフラグは次のとおりです。

- `DISPLAY`：フィールドの表示値を返します。
- `CURRENCY_CODE`：通貨フィールドの通貨コードを返します。例：`USD`
- `CURRENCY_DISPLAY`：通貨フィールドの通貨表示値を返します。例：`¥123.45`。
- `CURRENCY_STRING`：通貨フィールドの通貨文字列を返します。例：`JPY;123.45`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明

フィールド	文字列または文字列のアレイ	オプション。結果を表示するフィールド。任意の数のフィールドを引数として指定するか、目的の値にドット連結するか、フラグを使用することができます。例：
		`select('first_name', 'location.city', 'company$DISPLAY');`
		または
		`select(['first_name', 'location.city', 'company$DISPLAY']);`
		デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	レコードなどのアイテムのストリームを操作するために使用されるオブジェクト。

この例では、クエリから表示するフィールドを選択し、`$DISPlay` を使用してフィールドの表示値を返す方法を示します。

```
var stream = new global.GlideQuery('sys_user')
   .select('first_name', 'last_name', 'company$DISPLAY')
   .limit(5)
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力：

```
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "company$DISPLAY": "",
  "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
*** Script: {
  "first_name": "Alva",
  "last_name": "Pennigton",
  "company$DISPLAY": "ACME North America",
  "sys_id": "ca826bf03710200044e0bfc8bcbe5d89"
}
*** Script: {
  "first_name": "Benchmark",
  "last_name": "Scheduler",
  "company$DISPLAY": "",
  "sys_id": "d3383a875b0132003d1c484c11f91a5b"
}
*** Script: {
  "first_name": "Allyson",
  "last_name": "Gillispie",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "company$DISPLAY": "ACME North America",
  "sys_id": "06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d8a"
}
*** Script: {
  "first_name": "SOAP",
  "last_name": "Guest",
  "company$DISPLAY": "",
  "sys_id": "155699460a0a0b2b009e27c10b7f68f6"
}
```

GlideQuery - selectOne(文字列 fields)

指定されたフィールドを含む Optional オブジェクトとしてクエリの結果を返します。

単一のレコードを返す場合、またはレコードが存在するかどうかをテストする場合は、このメソッドを使用します。複数のレコードを返す場合は、*`select()`* メソッドを使用して Stream オブジェクトを返します。

フィールド名にフラグを追加して、フィールドの値の代わりにフィールドのメタデータを返すことができます。たとえば、フィールド名 `company$DISPLAY` を使用すると、会社フィールドの表示値が返されます。使用可能なフラグは次のとおりです。

- `DISPLAY`：フィールドの表示値を返します。
- `CURRENCY_CODE`：通貨フィールドの通貨コードを返します。例：`USD`
- `CURRENCY_DISPLAY`：通貨フィールドの通貨表示値を返します。例：`¥123.45`。
- `CURRENCY_STRING`：通貨フィールドの通貨文字列を返します。例：`JPY;123.45`。

パラメーター

名前	タイプ	説明

fields	文字列または文字列のアレイ	オプション。結果を表示するフィールド。任意の数のフィールドを引数として指定するか、目的の値にドット連結するか、フラグを使用することができます。例：
		`selectOne('first_name', 'location.city', 'company$DISPLAY');`
		または
		`selectOne(['first_name', 'location.city', 'company$DISPLAY']);`
		デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、単一のレコードを Optional オブジェクトとして返し、指定されたフィールドを表示する方法を示しています。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('zip', '12345')
    .whereNotNull('last_name')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .selectOne('first_name', 'last_name', 'company$DISPLAY')
    .get();

gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
```

出力：

```
{
   "first_name":"Abel",
   "last_name":"Tuter",
   "company$DISPLAY":"ACME South America",
   "sys_id":"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"
}
```

GlideQuery - sum(文字列 field)

指定された数値フィールドの集計合計を返します。

このメソッドは、次のタイプのフィールドでのみ使用できます。

- 整数
- 長
- 浮動小数点数
- 倍精度
- 通貨

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	操作を実行するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、cmdb_ci テーブルのすべての障害の合計を返す方法を示しています。

```
var totalFaults = new global.GlideQuery('cmdb_ci')
    .sum('fault_count')
    .orElse(0);

gs.info(JSON.stringify(totalFaults));
```

出力：

```
10
```

GlideQuery - toGlideRecord()

現在のクエリを表す GlideRecord オブジェクトを返します。クエリが *GlideQuery.aggregate()* メソッドを使用する場合は、GlideAggregrate オブジェクトを返します。

クエリを変換した後、GlideRecord または GlideAggregate クラスの *query()* メソッドを使用してデータベースをクエリします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord または GlideAggregate	クエリを含む GlideRecord オブジェクト。*GlideQuery.aggregate()* メソッドを使用した場合、メソッドは代わりに GlideAggregrate オブジェクトを返します。

この例では、GlideQuery オブジェクトを GlideRecord に変換する方法を示します。

```
var userGr = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('active', true)
    .whereNotNull('first_name')
    .limit(10)
    .toGlideRecord();
userGr.query();
```

GlideQuery - update(オブジェクト changes, オブジェクト selectedFields)

定義された条件に一致する既存のレコードを更新します。

このメソッドを使用する前に、*where()* メソッドを呼び出して、レコードが更新するために満たす必要がある条件を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
変更	オブジェクト	レコードで更新する名前と値のペアを含むオブジェクト。名前はテーブルのフィールドと一致する必要があります。
selectedFields	アレイ	オプション。結果で返す追加フィールド。 デフォルト：システムは常に sys_id を返します。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例では、新しい値でレコードを更新する方法を示します。

```
var updateRecord = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('sys_id', '0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a')
    .update({ city: 'Los Angeles' });
```

GlideQuery - updateMultiple(オブジェクト changes)

定義された条件に一致する既存のすべてのレコードを更新します。更新されたレコードの数を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドを使用する前に、*where()* メソッドを呼び出して、レコードが更新するために満たす必要がある条件を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
変更	オブジェクト	レコードで更新する名前と値のペアを含むオブジェクト。名前はテーブルのフィールドと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	更新されたレコードの数を含むオブジェクト。キーは次のとおりです。 • `rowCount`：テーブルで更新された行の数。

この例は、定義された基準に適合するレコードを更新する方法を示しています。

```
var update = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('active', false)
    .where('last_name', 'Griffey')
    .updateMultiple({ active: true });

gs.info(JSON.stringify(update));
```

出力：

```
{"rowCount":1}
```

GlideQuery - where(文字列 **fieldOrQuery**, 文字列 **operator**, 任意 **value)**

指定された条件に基づいて値を返すクエリに where 句を追加します。

注: このメソッドの前に *orWhere()*、*orWhereNull()*、または *orWhereNotNull()* メソッドを配置しないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldOrQuery	文字列または GlideQuery	where 節で使用されるフィールドまたは別の GlideQuery オブジェクト。フィールドを渡すと、目的の値にドット連結できます。例：`'company.name'`
operator	文字列	オプション。where 句で使用される演算子。引数を渡さない場合は、= 演算子が使用されます。
value	任意	where 句で使用される値。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、active が true で、ユーザーの最後のログインが指定された日付より後であるレコードを User テーブルから返す方法を示します。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('active', true)
   .where('last_login', '>', '2018-01-01')
   .limit(5)
   .select()
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力:

```
*** Script: {
  "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
*** Script: {
  "sys_id": "005d500b536073005e0addeeff7b12f4"
}
*** Script: {
  "sys_id": "d999e5fc77e72300454792718a10611d"
}
*** Script: {
  "sys_id": "30ad318577ab2300454792718a10619e"
}
*** Script: {
  "sys_id": "3883f4c0730123002728660c4cf6a754"
}
```

この例では、アクティブが true で、優先度または重大度が 1 のレコードをインシデントテーブルから返す方法を示します。

```
// active = true AND (priority = 1 OR severity = 1)
var query = new GlideQuery('incident')
    .where('active', true)
    .where(new GlideQuery()
        .where('priority', 1)
        .orWhere('severity', 1))
   .limit(5)
   .select()
   .toArray(5)

gs.info(JSON.stringify(query, null, 2));
```

出力:

```
[
   {
      "sys_id":"b0f31e5673500010c2e7660c4cf6a711"
   },
   {
      "sys_id":"8ff5b254b33213005e3de13516a8dcf7"
   },
   {
      "sys_id":"d999e5fc77e72300454792718a10611d"
   },
   {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_id":"30ad318577ab2300454792718a10619e"
   },
   {
      "sys_id":"3883f4c0730123002728660c4cf6a754"
   }
]
```

GlideQuery - whereNotNull(文字列 field)

指定されたフィールドに null 値を含まないレコードを返します。

注: このメソッドの前に *orWhere()*、*orWhereNull()*、または *orWhereNotNull()* メソッドを配置しないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	クエリで使用されるフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、ユーザーテーブルをクエリし、[first_name] フィールドが null でない結果を返す方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNotNull('first_name')
   .select('name')
   .limit(5)
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力：

```
*** Script: {
  "name": "System Administrator",
  "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
*** Script: {
  "name": "Alva Pennigton",
  "sys_id": "ca826bf03710200044e0bfc8bcbe5d89"
}
*** Script: {
  "name": "Benchmark Scheduler",
  "sys_id": "d3383a875b0132003d1c484c11f91a5b"
}
*** Script: {
  "name": "Allyson Gillispie",
  "sys_id": "06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d8a"
}
*** Script: {
  "name": "SOAP Guest",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "sys_id": "155699460a0a0b2b009e27c10b7f68f6"
}
```

GlideQuery - whereNull(文字列 field)

指定されたフィールドに null 値を含むレコードを返します。

注: このメソッドの前に *orWhere()*、*orWhereNull()*、または *orWhereNotNull()* メソッドを配置しないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	クエリで使用されるフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、ユーザーテーブルをクエリし、名と姓が null であるレコードを返す方法を示しています。

```
var query = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNull('last_name')
   .orWhereNull('first_name')
   .select('first_name', 'last_name')
   .forEach(function (user){
      gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
   });
```

出力：

```
*** Script: {
  "first_name": "ml.admin",
  "last_name": null,
  "sys_id": "88aad6c5c73003005f1b78d48b9763a5"
}
*** Script: {
  "first_name": "Sitemap Scheduler User",
  "last_name": null,
  "sys_id": "85388c25b71011104eed4643ae11a993"
}
*** Script: {
  "first_name": null,
  "last_name": "Guest",
  "sys_id": "5136503cc611227c0183e96598c4f706"
}
*** Script: {
  "first_name": "ml_report.user",
  "last_name": null,
  "sys_id": "b6bad6c5c73003005f1b78d48b97632a"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideQuery - withAcls()

GlideRecordSecure API を使用してクエリを実行し、ACL を遵守しながらデータベースを安全にクエリします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQuery	構築中のクエリオブジェクト。

この例は、ACL を使用してセキュアなクエリを実行する方法を示しています。

```
var users = new global.GlideQuery('sys_user')
    .withAcls()
    .limit(5)
    .orderByDesc('first_name')
    .select('first_name')
    .forEach(function (user){
        gs.info(JSON.stringify(user, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: {
  "first_name": "Zane",
  "sys_id": "16826bf03710200044e0bfc8bcbe5dbc"
}
*** Script: {
  "first_name": "Zackary",
  "sys_id": "8a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d69"
}
*** Script: {
  "first_name": "Yvette",
  "sys_id": "4e826bf03710200044e0bfc8bcbe5d57"
}
*** Script: {
  "first_name": "Winnie",
  "sys_id": "f682abf03710200044e0bfc8bcbe5d1d"
}
*** Script: {
  "first_name": "Wilmer",
  "sys_id": "42826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7b"
}
```

GlideQueryCondition - グローバル

GlideQueryCondition API には、現在の条件に追加できる追加の `AND` 条件または `OR` 条件が用意されており、複雑なクエリーを作成することができます。

次のような複雑なクエリを構築します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
category='hardware' OR category='software' AND priority='2' AND
 priority='1'
```

addCondition() の場合、暗黙の AND が追加されます。

このクラスにコンストラクターはありません。GlideQueryCondition オブジェクトは次のメソッドによって返されます。

- *addActiveQuery()*
- *addInactiveQuery()*
- *addJoinQuery()*
- *addNotNullQuery()*
- *addNullQuery()*
- *addQuery()*

AND および OR クエリの複雑なセットがある場合、すべての条件を含む単一のエンコードクエリを使用すると、クエリの作成が簡素化されます。クエリの作成を簡素化するには、リストビューでクエリを作成し、右クリックして [クエリのコピー] を選択します。結果セットを返す単一のエンコードされたクエリ文字列を作成します。その文字列を *addEncodedQuery()* メソッド呼び出しのパラメーターとして使用します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

GlideQueryCondition - addCondition(文字列 name, 文字列 oper, オブジェクト value)

現在の条件に AND 条件を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドの名前。
oper	文字列	(オプション) クエリの演算子。演算子を指定しない場合、条件は equals 演算子を使用します。
value	オブジェクト	クエリする値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加された *GlideQueryCondition* への参照。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var qc = now_GR.addQuery('category', 'Hardware');
qc.addCondition('category', 'Network');
now_GR.addQuery('number','INC0000003');
now_GR.next();
now_GR.number;
gs.info(now_GR.getEncodedQuery());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addCondition()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addCondition() を使用します。

GlideQueryCondition - addOrCondition(文字列 **name**, 文字列 **oper**, オブジェクト **value)**

2 つまたは 3 つのパラメーターの OR 条件を既存の GlideQueryCondition に追加します。

addOrCondition() は、以前に *addQuery()* を使用して構築されたクエリへの指定されたクエリパラメーター `OR` に対し、任意の addQuery() メソッドと連携して動作します。

addOrCondition() は通常、3 つのパラメーター (テーブルフィールド、演算子、および比較値) を指定して呼び出されます。`qc.addOrCondition('category', 'software');` など、テーブルフィールドと比較値の 2 つのパラメーターのみを使用して呼び出すことができます。この場合の演算子は「次の値に等しい」とみなされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールド名
oper	文字列	(オプション) クエリ演算子。使用可能な値は、 *value* パラメーターのデータタイプによって異なります。 数値： • = • != • > • >= • < • <= 文字列 (大文字である必要があります)： • = • != • IN • STARTSWITH

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• ENDSWITH • CONTAINS • DOESNOTCONTAIN
value	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。 注: 渡されるすべてのアレイには、少なくとも 2 つの要素が含まれている必要があります。単一要素のアレイはサポートされていません。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加された GlideQueryConditon への参照。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var qc = now_GR.addQuery('category', 'Hardware');
qc.addOrCondition('category', 'Network');
now_GR.addQuery('number','INC0000003');
now_GR.next();
now_GR.number;
gs.info(now_GR.getEncodedQuery());
```

`(state < 3 OR state > 5) AND (priority = 1 OR priority = 5)` などの AND/OR ステートメントをグループ化するには、次のようなコードを使用します。

```
var myObj = new GlideRecord('incident');
var q1 = myObj.addQuery('state', '<', 3);
q1.addOrCondition('state', '>', 5);
var q2 = myObj.addQuery('priority', 1);
q2.addOrCondition('priority', 5);
myObj.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addOrCondition()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addOrCondition() を使用します。

GlideQueryCondition - スコープ指定

スコープ付き *GlideQueryCondition* API には、現在の条件に追加できる追加の `AND` 条件または `OR` 条件が用意されており、複雑なクエリーをビルドできます。

次のような複雑なクエリを構築します。

```
category='hardware' OR category='software' AND priority='2' AND
 priority='1'
```

addCondition() の場合、暗黙の `AND` が追加されます。

このクラスにコンストラクターはありません。GlideQueryCondition オブジェクトは次のメソッドによって返されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- *addActiveQuery()*
- *addInactiveQuery()*
- *addJoinQuery()*
- *addNotNullQuery()*
- *addNullQuery()*
- *addQuery()*

AND および OR クエリの複雑なセットがある場合、すべての条件を含む単一のエンコードクエリを使用すると、クエリの作成が簡素化されます。クエリの作成を簡素化するには、リストビューでクエリを作成し、右クリックして [クエリのコピー] を選択します。結果セットを返す単一のエンコードされたクエリ文字列を作成します。その文字列を *addEncodedQuery()* 呼び出しのパラメーターとして使用します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

GlideQueryCondition - addCondition(文字列 **name**, 文字列 **oper**, オブジェクト **value)**

現在の条件に AND 条件を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドの名前。
oper	文字列	オプション。クエリの演算子。演算子を指定しない場合、条件は equals 演算子を使用します。
value	オブジェクト	クエリーを適用する値です。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	Glide レコードに追加された GlideQueryConditon への参照。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var qc = now_GR.addQuery('category', 'Hardware');
qc.addCondition('category', 'Network');
now_GR.addQuery('number','INC0000003');
now_GR.next();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
now_GR.number;
gs.info(now_GR.getEncodedQuery());
```

GlideQueryCondition - addOrCondition(文字列 **name**, 文字列 **oper**, オブジェクト **value**)

2 つまたは 3 つのパラメーターの OR 条件を既存の GlideQueryCondition に追加します。

addOrCondition() は、以前に *addQuery()* を使用して構築されたクエリへの指定されたクエリパラメーター OR に対し、任意の addQuery() メソッドと連携して動作します。

addOrCondition() は通常、3 つのパラメーター (テーブルフィールド、演算子、および比較値) を指定して呼び出されます。`qc.addOrCondition('category', 'software');` など、テーブルフィールドと比較値の 2 つのパラメーターのみを使用して呼び出すことができます。この場合の演算子は「次の値に等しい」とみなされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールド名
oper	文字列	(オプション) クエリ演算子。使用可能な値は、*value* パラメーターのデータタイプによって異なります。 数値： • = • != • > • >= • < • <= 文字列 (大文字である必要があります)： • = • != • IN • STARTSWITH • ENDSWITH • CONTAINS • DOESNOTCONTAIN
value	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。 **注:** 渡されるすべてのアレイには、少なくとも 2 つの要素が含まれている必要があります。単一要素のアレイはサポートされていません。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加された GlideQueryConditon への参照。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var qc = now_GR.addQuery('category', 'Hardware');
qc.addOrCondition('category', 'Network');
now_GR.addQuery('number','INC0000003');
now_GR.next();
now_GR.number;
gs.info(now_GR.getEncodedQuery());
```

AND/OR ステートメントをグループ化して複雑なクエリ「(3 未満 OR 5 を超える state) AND (priority が 1 OR priority が 5) のすべてのインシデント」などを作成します。

```
var myObj = new GlideRecord('incident');
var q1 = myObj.addQuery('state', '<', 3);
q1.addOrCondition('state', '>', 5);
var q2 = myObj.addQuery('priority', 1);
q2.addOrCondition('priority', 5);
myObj.query();
```

GlideRecord - グローバル

GlideRecord API はデータベース操作に使用されます。

GlideRecord API は、サーバーサイドコードでデータベースとやり取りするための主要な手段です。GlideRecord は、1 つのテーブルのレコードを含むオブジェクトです。API を使用して GlideRecord オブジェクトをインスタンス化し、クエリパラメーター、フィルター、制限、および順序付けを追加します。

この API を使用して動的属性を作成するには、dynamic_schema_writer ロールが必要です。この API を使用して動的データを読み取るには、dynamic_schema_reader ロールが必要です。

動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

GlideRecord から継承されたクラスであり、*GlideRecord* と同じ機能を実行し、ACL も適用する *GlideRecordSecure* の詳細については、「GlideServer API」を参照してください。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

レコードから値を取得する

ほとんどの場合、レコードから値を取得するためにドット連結を使用しないでください。ドット連結では、フィールド値ではなくオブジェクト全体が取得されます。オブジェクトを取得すると、より多くのストレージが使用されるため、アレイまたは サービスポータルで使用すると望ましくない結果が生じる可能性があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オブジェクト全体を取得する代わりに、次のいずれかのメソッドを使用してフィールド値をコピーできます。

- getValue()
- getDisplayValue()

GlideElement オブジェクトをドット連結する必要がある場合は、 *toString()* メソッドを使用して値を取得します。たとえば、別の参照フィールドを設定するために、現在の問い合わせユーザーのマネージャーの sys_id が必要な場合があります。次の例は、オブジェクト全体の代わりに文字列値を取得する方法を示しています。

```
var mgr = current.caller_id.manager.toString();
```

動的属性

この API には、 GlideDynamicAttributeStore - グローバル API の動的スキーマメソッドと同じ機能を持つメソッドがあります。この API の動的属性メソッドを使用して、指定された GlideRecord に対してアクションを実行します。複数のレコードに同じグループの動的属性を設定する場合は、 *GlideDynamicAttributeStore* API のメソッドを使用します。この API を使用すると、必要な属性を持つ GlideDynamicAttributeStore オブジェクトをステージングし、さまざまな *setDynamicAttributeValues()* メソッドを使用してそのオブジェクトを複数の GlideRecord にコピーできます。

関連項目：

- GlideAggregate
- GlideElement
- GlideQuery

GlideRecord - GlideRecord(文字列 **tableName)**

指定されたテーブルの GlideRecord クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	使用するテーブル。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
```

GlideRecord - addActiveQuery()

アクティブなレコードを返すフィルターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	アクティブなレコードを返すフィルター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addActiveQuery();
inc.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addActiveQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addActiveQuery() を使用します。

GlideRecord - addDomainQuery(オブジェクト **glideRecord)**

クエリに使用されるドメインをユーザーのドメインから指定された GlideRecord のドメインに変更します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

この機能には、Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	オブジェクト	ドメインを取得する GlideRecord

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//This example requires the Domain plugin be active, the Group table is
 the specified
//Domain table, and the ITIL user is in the Database Atlanta domain
//From any domain (using queryNoDomain()) look up the incidents that an
 ITIL user can only see
//who is in the Database Atlanta domain, should expect all incidents with
 the global or the
//Database Atlanta domain specified.
var domain = new GlideRecord('sys_user');
domain.addQuery('user_name', 'itil');
domain.queryNoDomain();
if (domain.next()) {
    var domainQuery = new GlideRecord('incident');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    domainQuery.addQuery('active', true);
    domainQuery.addDomainQuery(domain);
    domainQuery.query();
    gs.print('Number of Incidents for ITIL user: ' +
 domainQuery.getRowCount());
    while (domainQuery.next())
        gs.print(domainQuery.number);
}
```

スコープ対応

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

GlideRecord - addEncodedQuery(文字列クエリ, ブール値 enforceFieldACL)

設定されている可能性のある他のクエリにエンコードされたクエリを追加します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	エンコードされたクエリ文字列。
enforceFieldACL	ブーリアン	オプション。フィールドの ACL (アクセス制御リスト) ルールを強制するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールド ACL を適用します。 • false:フィールド ACL を適用しません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var queryString = "priority=1^ORpriority=2";
 var now_GR = new GlideRecord('incident');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
gs.addInfoMessage(now_GR.number);
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addEncodedQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addEncodedQuery() を使用します。

GlideRecord - addExtraField(文字列、dotWalkedField)

単一の要求内のフォームまたはスクリプトから 1 つ以上のドット連結フィールドをクエリーします。

addExtraField() メソッドを使用すると、フォームまたはスクリプト内のドット連結要素ごとに複数のクエリーを実行するのではなく (データベースへの複数回のラウンドトリップが必要)、1 つのデータベース要求でドット連結フィールドのクエリを実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ドットウォークフィールド	文字列	ドット連結フィールド名。フィールド名のレベルはドット (ピリオド) で区切られます。たとえば、クエリを実行する場合は、値 `Caller.Company` を入力します。 会社 > 問い合わせユーザー Incident [incident] テーブルの条件。 *dotWalkedField*形式は、ドット連結フォームまたはスクリプトのフィールドの左から右の順序に従います。

返される内容

タイプ	説明
なし	注: *addExtraField()* メソッドは出力結果に影響を与えません。スクリプトでこのメソッドを使用するかどうかに関係なく、出力は常に同じです。

次の例は、cmn_location の連絡先名フィールド (cmdb_ci フィールドの "location" 参照フィールドから参照される) を照会する方法を示しています。

注: この例の dotWalkedField 値 `cmdb_ci.location.contact.name`) は、リスト内のフィールドを選択すると、 ServiceNow® UI で「cmdb_ci fields" => "cmn_location fields" => "sys_user fields" のようになります。

```
var gliderecord = new GlideRecord("incident");
gliderecord.addQuery("number", "INC0041457");
gliderecord.addExtraField("cmdb_ci.location.contact.name");
gliderecord.query();
gliderecord.next();
gs.print(gliderecord.cmdb_ci.location.contact.name);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力は、*addExtraField()* を使用しない場合の `gs.print(gr.cmdb_ci.location.contact.name)` と同じになります。*addExtraField()* メソッドは、ドット連結フィールドのクエリを最適化します。出力例:

```
Abel Tuter
```

GlideRecord - addFunction(オブジェクト function)

事前定義された GlideDBFunctionBuilder オブジェクトをレコードに適用します。

GlideDBFunctionBuilder スコープ対象クラスを使用して関数を定義します。関数を定義したら、addFunction(オブジェクト *function*) メソッドを使用して関数をレコードに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
function	オブジェクト	SQL 操作を定義する GlideDBFunctionBuilder または GlideDBCaseStatementBuilder オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myAddingFunction = functionBuilder.add();
myAddingFunction = functionBuilder.field('order');
myAddingFunction = functionBuilder.field('priority');
myAddingFunction = functionBuilder.build();

var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addFunction(myAddingFunction);
now_GR.addQuery(myAddingFunction, '<', 5);
now_GR.query();
while(now_GR.next())
gs.log(now_GR.getValue(myAddingFunction));
```

出力:

```
*** Script: 1
*** Script: 4
*** Script: 3
*** Script: 1
*** Script: 1
*** Script: 2
*** Script: 1
*** Script: 1
```

GlideRecord - addInactiveQuery()

非アクティブなレコードを返すフィルターを追加します。非アクティブなレコードのアクティブフラグは false に設定されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	アクティブフラグが false のレコード。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addInactiveQuery();
inc.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションでは、スコープ対象のメソッド addQuery("active","false") を使用します。

GlideRecord - addJoinQuery(文字列 table)

関連テーブル内の関係に基づいてレコードを返すフィルターを追加します。

たとえば、データベースグループ内のすべてのユーザー (sys_user_grmember テーブルを介したユーザー) を検索します。別の例として、インシデントが割り当てられているすべての問題 (incident.problem_id 関係を介した問題) があります。

これは実際のデータベース結合ではなく、`addJoinQuery()` はサブクエリを追加します。このため、結果セットは結合に基づいて制限されますが、アクセスできるのはベーステーブルのフィールド (GlideRecord の初期化に使用されたテーブル内) のみです。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで `insert()`、`update()`、`deleteRecord()`、または `deleteMultiple()` メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

`glide.invalid_query.returns_no_rows` システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、`glide.invalid_query.returns_no_rows` が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	テーブル名

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	関係が一致するレコード。

インシデントが添付されている問題を検索します。この例では、インシデントが関連付けられている問題を返します。ただし、クエリの一部として返されるインシデントからは値はプルされません。

```
var prob = new GlideRecord('problem');
prob.addJoinQuery('incident');
prob.query();
```

関連付けられたインシデントで active=false の問題を検出します。

```
// Look for Problem records
var now_GR = new GlideRecord('problem');

// That have associated Incident records
var grSQ = now_GR.addJoinQuery('incident');

// Where the Problem records are "active=false"
now_GR.addQuery('active', 'false');

// And the Incident records are "active=true"
grSQ.addCondition('active', 'true');

// Query
now_GR.query();

// Iterate and print results
while (now_GR.next()) {
    gs.print(now_GR.getValue('number'));
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addJoinQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addJoinQuery() を使用します。

GlideRecord - addJoinQuery(文字列 **table**, 文字列 **primaryField)**

関連テーブル内の関係に基づいてレコードを返すフィルターを追加します。

たとえば、データベースグループ内のすべてのユーザー (sys_user_grmember テーブルを介したユーザー) を検索します。別の例として、インシデントが割り当てられているすべての問題 (incident.problem_id 関係を介した問題) があります。

これは実際のデータベース結合ではなく、*addJoinQuery()* はサブクエリを追加します。このため、結果セットは結合に基づいて制限されますが、アクセスできるのはベーステーブルのフィールド (GlideRecord の初期化に使用されたテーブル内) のみです。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	テーブル名
primaryField	文字列	sys_id 以外の場合はプライマリフィールドです。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	関係が一致するレコード。

sys_id の代わりに結合キーで open_by フィールドを使用して、インシデントを含む問題を検索します。

```
var now_GR = new GlideRecord('problem');
now_GR.addJoinQuery('incident', 'opened_by');
now_GR.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addJoinQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addJoinQuery() を使用します。

GlideRecord - addJoinQuery(文字列 **table**, 文字列 **primaryField**, 文字列 **joinTableField)**

関連テーブル内の関係に基づいてレコードを返すフィルターを追加します。

たとえば、データベースグループ内のすべてのユーザー (sys_user_grmember テーブルを介したユーザー) を検索します。別の例として、インシデントが割り当てられているすべての問題 (incident.problem_id 関係を介した問題) があります。

これは実際のデータベース結合ではなく、*addJoinQuery()* はサブクエリを追加します。このため、結果セットは結合に基づいて制限されますが、アクセスできるのはベーステーブルのフィールド (GlideRecord の初期化に使用されたテーブル内) のみです。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ス

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	テーブル名
primaryField	文字列	sys_id 以外の場合はプライマリフィールドです。
joinTableField	文字列	sys_id 以外の場合、テーブルを結合するフィールド

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	関係が一致するレコード。

インシデントの [caller_id] フィールド値が問題の [opened_by] フィールド値と一致するインシデントが関連付けられている問題を検索します。

```
var now_GR = new GlideRecord('problem');
now_GR.addJoinQuery('incident', 'opened_by', 'caller_id');
now_GR.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addJoinQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addJoinQuery() を使用します。

GlideRecord - addNotNullQuery(文字列 fieldName)

指定されたフィールドが null でないレコードを返すフィルターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	パラメーターフィールドが null ではないレコードの GlideQueryCondition。

```
var target = new GlideRecord('incident');
  target.addNotNullQuery('short_description');
  target.query();   // Issue the query to the database to get all records
  while (target.next()) {
     // add code here to process the incident record
  }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addNotNullQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addNotNullQuery() を使用します。

GlideRecord - addNullQuery(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドが null であるレコードを返すフィルターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	指定されたフィールドが null であるレコードの GlideQueryCondition。

```
var target = new GlideRecord('incident');
  target.addNullQuery('short_description');
  target.query();   // Issue the query to the database to get all records
  while (target.next()) {
     // add code here to process the incident record
  }
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addNullQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addNullQuery() を使用します。

GlideRecord - addQuery(文字列 **name**, オブジェクト **operator**, オブジェクト **value)**

要求を作成する機能を提供します。要求は実行されると、要求に一致する指定されたテーブルから行を返します。

SQLに精通している場合、この方法は「where」句に似ています。1 つのクエリーで 1 つ以上の *addQuery()* 呼び出しを行うことができます。このメソッドでは、クエリは AND で結合されます。クエリーステートメントのいずれかを論理和する必要がある場合は、 GlideQueryCondition クラスを使用します。

addQuery() は通常、3 つのパラメーター (テーブルフィールド、演算子、および比較値) を指定して呼び出されます。`myObj.addQuery('category','Hardware');` など、テーブルフィールドと比較値の 2 つのパラメーターのみを使用して呼び出すことができます。この場合の演算子は「次の値に等しい」とみなされます。

クエリの使用の詳細については、「 スクリプトでのテーブルのクエリ 」を参照してください。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	動的属性ストア要素内の属性へのテーブルフィールド名またはパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。
オペレーター	オブジェクト	クエリ演算子。使用可能な値は、*value* パラメーターのデータタイプによって異なります。 数値： • = • != • > • >= • < • <= 文字列 (大文字である必要があります)： • = • != • IN • NOT IN • STARTSWITH • ENDSWITH • CONTAINS • DOES NOT CONTAIN • INSTANCEOF 注: LIKE 演算子の代わりに CONTAINS を使用します。 動的スキーマ演算子: • = • !=

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• < • > • <= • >= • 次の間 • 次の値を含む • DOES_NOT_CONTAIN • ENDSWITH • GT_FIELD • GT_OR_EQUALS_FIELD • IN • ISEMPTY • ISNOTEMPTY • IS_NOT_NULL • IS_NULL • LIKE • LT_FIELD • LT_OR_EQUALS_FIELD • 一致 • NOT_IN • NOT_LIKE • NOT_MATCHES • NSAMEAS • SAMEAS • STARTSWITH
値	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加された GlideQueryCondition への参照。

次の例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',true);
rec.addQuery('sys_created_on', ">", "2010-01-19 04:05:00");
rec.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
while (rec.next()) {
 rec.active = false;
 gs.print('Active incident ' + rec.number + ' closed');
 rec.update();
}
```

次の例は、 IN 演算子の使用方法を示しています。

```
var que = new GlideRecord('incident');
que.addQuery('number','IN','INC00001,INC00002');
que.query();
while(que.next()) {
 //do something....
}
```

次の例は、動的属性ストアで属性を使用するためにこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.addQuery('inc_dynamic_schema->cars->avg_mpg', 'GT_FIELD',
 'inc_dynamic_schema2->cars->avg_mpg');
gr_Inc.query();
while(gr_Inc.next()) {
    gs.info(gr_Inc.number + " Gas Mileage 1: " +
 gr_Inc.getDynamicAttributeValue('inc_dynamic_schema->cars->avg_mpg') +
 " GT_FIELD Gas Mileage 2 :" +
 gr_Inc.getDynamicAttributeValue('inc_dynamic_schema2->cars->avg_mpg'));
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addQuery() を使用します。

GlideRecord - addValue(文字列 field, 数値 value)

現在の GlideRecord オブジェクトのデータベースレベルで、指定された数値フィールドに対するアトミックな加算および減算操作を指定します。

通常、GlideRecord オブジェクトはデータベース内の 1 つのレコードとして書き込まれます。個々のフィールド値は定義されたとおりに格納されます。GlideRecord フィールドに値を追加するコードの場合、フィールドをアトミックにインクリメントするのではなく、単に新しい値でフィールドをデータベースに保存します。

たとえば、次のコードを実行すると、データベースの [u_count] フィールドの値は 2 になります。

```
gs.print(now_now_GR.u_count); // "1"
now_GR.u_count += 1;
now_GR.update();
now_GR.get(now_now_GR.sys_id);
gs.print(now_now_GR.u_count); // "2"
```

別のユーザーが同じコードを同時に実行すると、2 つの操作でそれぞれ u_count に 1 が加算されるのではなく、正味の効果として u_count に 2 しか含まれず、1 つの操作の更新が実際に失われます。

逆に、*addValue()* メソッドは、レコードが更新されたときにアトミックな操作としてデータベースで加算/減算を実行します。同時に実行されている 2 つの操作でそれぞれフィールドが適切に更新されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print(now_now_GR.u_count); // "1"
now_GR.addValue("u_count", 1);
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR); // The record must be reloaded from the database to
 observe the result
gs.print(now_now_GR.u_count); // "3", if executed concurrently with
 another user
```

注: 明示的に行わない限り、新しい値はデータベースから読み取られません。

setValue() と同様に、*addValue()* の変更は *update()* または *insert()* への後続の呼び出し後にのみデータベースで有効になります。*insert()* が呼び出されると、指定されたフィールドは *addValue()* に渡される *value* パラメーターで初期化されます。

注: *addValue()* を呼び出す前に指定したフィールドに対して *setValue()* を呼び出すと、*addValue()* メソッドは処理されず、エラーメッセージがログに記録されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	この GlideRecord で変更するフィールドの名前。 関連するフィールドが数値タイプでない場合、操作は無視されます。
value	数値	レコードが保存されたときに値に加算される数。減算操作を実行するには、単に負の値を渡します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

加算される値を表示します。

```
gs.print(now_GR.u_count); // "1"
now_GR.addValue("u_count", 1);
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR.sys_id); // The record must be reloaded from the
 database to observe the result
gs.print(now_GR.u_count);
```

出力：2

減算される値を表示します。

```
gs.print(now_GR.u_count); // "4"
now_GR.addValue("u_count", -1);
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR.sys_id); // The record must be reloaded from the
 database to observe the result
gs.print(now_GR.u_count);
```

出力：3

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideRecord - applyEncodedQuery(文字列 queryString)

指定されたエンコードクエリ用語の値を設定し、現在の GlideRecord に適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
queryString	文字列	現在の GlideRecord に適用するエンコードクエリ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function createAcl(table, role) {
  gs.print("Checking security on table " + table);
  var now_GR = new GlideRecord("sys_security_acl");
  now_GR.addQuery("name", table);
  now_GR.addQuery("operation", "read");
  now_GR.query();
  var encQuery = now_GR.getEncodedQuery();
  if (now_GR.next()) {
    // existing acl found so use it
    createAclRole(now_GR.sys_id.toString(), role);
    return;
  } else {
  now_GR.initialize();
  now_GR.applyEncodedQuery(encQuery);
  var acl = now_GR.insert();
    gs.print("Added read access control on " + table);
    createAclRole(acl, role);
  }
}
```

GlideRecord - applyTemplate(文字列 template)

テンプレートテーブル [sys_template] から現在のレコードにテンプレートレコードを適用します。指定されたテンプレートが見つからない場合、アクションは実行されません。

注: テンプレートの [次の関連子テンプレート] フィールドが入力されている場合、このメソッドは自動的に *now_GR.insert()* メソッドをインスタンス化します。詳細については、「関連するタスクレコードのテンプレートを作成する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template	文字列	テンプレート [sys_template] テーブルのテンプレートの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var rec1 = new GlideRecord("incident");
rec1.initialize();
rec1.applyTemplate("my_incident_template");
rec1.insert();
```

GlideRecord - autoSysFields(ブーリアン e)

sys_updated_by、sys_updated_on、sys_mod_count、sys_created_by、および sys_created_on のフィールドへの更新を有効または無効にします。これは、履歴情報を変更せずにレコードのフィールド値を手動で更新するためによく使用されます。

⚠ **警告:** このメソッドは注意して使用してください。このメソッドを使用すると [sys_mod_count] フィールドはインクリメントされず、他の sys_ フィールドは更新されません。これにより、アクティビティフォーマッター、履歴セット、通知、および測定基準などの機能が中断する可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
e	ブーリアン	false の場合、sys_updated_by、sys_updated_on、sys_mod_count、sys_created_by、および sys_created_on への更新を無効にします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var inc = new GlideRecord('incident');

// Change all Open(1) incidents to Active(2)

inc.addQuery('state', 1);
inc.query();

while (inc.next()) {
  inc.autoSysFields(false);  // Do not update sys_updated_by,
 sys_updated_on, sys_mod_count, sys_created_by, and sys_created_on
  inc.setWorkflow(false);    // Do not run any other business rules
  inc.setValue('state', 2);
  inc.update();
}
```

GlideRecord - canCreate()

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルへの新しいレコードの挿入を許可するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの作成が可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：作成は許可されている • false：作成は許可されていない

この例は、benefit_plan テーブルでレコードを作成できるかどうかを示しています。

```
canCreateBenefitPlan : function() {
  var now_GR = new GlideRecord('benefit_plan');
  return now_GR.canCreate();
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canCreate()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canCreate() を使用します。

GlideRecord - canDelete()

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルでレコードの削除を許可するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの削除が可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：削除は許可されている • false：削除は許可されていない

```
var att = new GlideRecord('sys_attachment');
att.get('$[sys_attachment.sys_id]');
var sm = GlideSecurityManager.get();
var checkMe = 'record/sys_attachment/delete';
var canDelete = sm.hasRightsTo(checkMe, att);
gs.log('canDelete: ' + canDelete);
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canDelete()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canDelete() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideRecord - canRead()

アクセス制御ルール (ACL) がこのテーブルでのレコードの読み取りを許可するかどうかを判断します。このメソッドでは、ユーザーロール、スクリプト化された ACL、スクリプト化された条件を持つ ACL など、すべての ACL タイプが評価されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールがこのテーブルのレコードの読み取りを許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：読み取りは許可されている • false：読み取りは許可されていない

この例は、benefit_plan テーブルからレコードを読み取れるかどうかを示しています。

```
canReadBenefitPlan: function() {
  var now_GR = new GlideRecord('benefit_plan');
  return now_GR.canRead();
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canRead()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canRead() を使用します。

GlideRecord - canWrite()

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルでレコードへの更新を許可するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの書き込みが可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：書き込みは許可されている • false：書き込みは許可されていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、benefit_plan テーブルにレコードを書き込めるかどうかを示しています。

```
canWriteBenefitPlan : function() {
  var now_GR = new GlideRecord('benefit_plan');
  return now_GR.canWrite();
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *canWrite()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド canWrite() を使用します。

GlideRecord - changes()

レコード内のいずれかのフィールドが変更されたかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに変更があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：指定されたレコードのフィールドが変更されました。 • false：フィールドは変更されていません。

この例は、インシデントレコードに変更があるかどうかを確認する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");
now_GR.query();
now_GR.next();
if (now_GR.changes()) {
  gs.print("The incident record reported changes right after being
 read");
} else {
  gs.print("The incident record has not changed");
}
```

スコープ対応

この機能をスコープ対象のアプリケーションに実装するには、次のようなコードを追加します。

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");
   now_GR.get("965c9e5347c12200e0ef563dbb9a7156");
   now_GR.short_description = "test";
   var elements = now_GR.getElements();
   var hasChanged = false;
   for(var i=0; i < elements.length;i++){
     var element = elements[i];
     hasChanged = hasChanged || element.changes();
     gs.info(element.getName() + ":" + element.changes());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
    gs.info(hasChanged);
```

GlideRecord - deleteMultiple()

クエリを満たすすべてのレコードを削除します。

このメソッドでは添付ファイルは削除されません。

このメソッドではドット連結はサポートされていません。参照先テーブルで *deleteMultiple()* 関数を使用すると、テーブル内のすべてのレコードが削除されます。また、*deleteRecord()* を使用してカスケード削除を行うと、同じ GlideRecord オブジェクトに対する以前の *setWorkflow()* の呼び出しは無視されます。

通貨フィールドのあるテーブルで *deleteMultiple()* は使用しないでください。常に各レコードを個別に削除してください。また、大きなテーブルを操作する場合は、このメソッドと *chooseWindow()* メソッドまたは *setLimit()* メソッドを一緒に使用しないでください。*setLimit()* メソッドは、*deleteMultiple()* で削除されるレコードの数を制限しません。クエリーによって返されたすべてのレコードは、 *setLimit()* に関係なく削除されます。

glide.db.forced.chunk.threshold システムプロパティは、チャンクレコードの削除と更新を強制するしきい値を設定します。チャンクは、巨大なテーブルでプライマリキー以外の削除によってレプリケーションの問題が発生するのを防ぐのに役立ちます。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、インシデントテーブルからすべての非アクティブなレコードを削除する方法を示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('active','false');
now_GR.query();
now_GR.deleteMultiple();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *deleteMultiple()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド deleteMultiple() を使用します。

GlideRecord - deleteRecord()

1 つのレコードを削除します。

> **注:** *deleteMultiple()* を使用してカスケード削除を行うと、同じ GlideRecord オブジェクトに対する以前の *setWorkflow()* の呼び出しは無視されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが正常に削除されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：レコードが削除されました。 • false：削除するレコードが見つかりませんでした。

この例では、インシデントテーブルからすべての非アクティブなレコードを削除する方法を示します。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',false);
rec.query();
while (rec.next()) {
 gs.info('Inactive incident ' + rec.number + ' deleted');
 rec.deleteRecord();
}
```

出力:

```
Inactive incident INC0010010 deleted
Inactive incident INC0010011 deleted
```

この例では、レコードが挿入された直後にインシデントテーブルからレコードを削除する方法を示します。インシデント *GlideRecord* は、挿入後に削除する前にリロードする必要があります。

```
var grTicket = new GlideRecord('incident');
grTicket.initialize();
grTicket.short_description = 'Example ticket';
grTicket.work_notes = 'An update about the ticket';
var ins_sys_id = grTicket.insert(); // Insert the record
grTicket.get(ins_sys_id); // Reload the inserted record
gs.info(grTicket.deleteRecord()); // Delete the record
```

出力:

```
true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *deleteRecord()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド deleteRecord() を使用します。

GlideRecord - find(文字列 columnName, 文字列 value)

いずれかのレコードに一致する値が指定された列にある場合は true を返します。見つかった場合は、一致する最初のレコードにも移動し、基本的にはレコードが返されるまで *next()* を実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnName	文字列	検索するフィールド名。
value	文字列	指定されたフィールドで確認する値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のテーブル内のいずれかのレコードに一致する値が指定されたフィールドにあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：一致するフィールドがあります。 • false：一致するフィールドがありません。

この例は、[簡単な説明] フィールドに「重大」を含むレコードをインシデントテーブルで検索する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");
now_GR.query();
var shortDescription = "Critical";
if (now_GR.find("short_description", shortDescription)) {
  gs.print("An incident with the specified field value was found");
  var recordID = now_GR.getValue("sys_id");
  gs.print("Found in the following record: " + recordID);
} else {
  gs.print("An incident with the specified field value was not found");
}
```

出力

```
An incident with the specified field value was found
Found in the following record: 552c48888c033300964f4932b03eb092
```

GlideRecord - get(オブジェクト **name**, オブジェクト **value)**

現在の GlideRecord オブジェクトに指定されたレコードを返します。

このメソッドは、1 つまたは 2 つのパラメーターを受け入れます。パラメーターが 1 つだけ渡される場合、メソッドは目的のレコードの sys_id であると見なします。見つからない場合は、値を表示値と照合しようとします。2 つのパラメーターが渡される場合、最初のパラメーターは検索する GlideRecord 内の列の名前です。2 つ目は検索する値です。

複数のレコードが見つかった場合は、`next()` を使用して追加のレコードにアクセスします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	オブジェ	オプション。指定された *value* パラメーターを検索するためにインスタンス化された GlideRecord 列の名前。パラメーターが 1 つだけ渡される場合、メソッドはこのパラメーターが sys_id であると見なします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	クト	
value	オブジェクト	照合する値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要求されたレコードが見つかったかどうかを示します。 可能な値： • true：レコードが見つかりました • false：レコードが見つかりませんでした

この例では、sys_id を渡すことによってインシデントレコードを取得します。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
var returnValue = grIncident.get('99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9');
gs.info(returnValue); // logs true or false
gs.info(grIncident.number); // logs Incident Number
```

この例では、検索するレコードの列と検索する値を渡すことでインシデントレコードを取得します。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
var returnValue = grIncident.get('caller_id.name','Sylvia Wayland');
gs.info(returnValue); // logs true or false
gs.info(grIncident.number); // logs Incident Number
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *get()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド get() を使用します。

GlideRecord - getAttribute(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドのディクショナリ属性を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	ディクショナリ属性を返すフィールド名

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ディクショナリ属性

この例は「tree_picker」のディクショナリ属性を返す方法を示しています。

```
function doit() {
  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.query("user_name","admin");
  if (now_GR.next()) {
    gs.print("we got one");
    gs.print(now_GR.location.getAttribute("tree_picker"));
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getAttribute()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getAttribute() を使用します。

GlideRecord - getClassDisplayValue()

テーブルのラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルを識別するラベル。

この例では渡されたテーブルのラベルを出力します。

```
// Display the incident table label
var now_GR = new GlideRecord("incident");
var value = now_GR.getClassDisplayValue();
gs.info("The table label is " + value + ".");
```

出力：

```
The table label is Incident.
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getClassDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getClassDisplayValue() を使用します。

GlideRecord - getDisplayValue (文字列名)

現在のレコードの表示値、または動的属性ストア内の属性の表示値を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示値 は、データベース内の実際の値と、ユーザーまたはシステムの設定と初期設定に基づいて操作されます。

返される表示値はフィールドタイプに依存します。

- 選択肢フィールド:データベース値は数値でもかまいませんが、表示値の方がわかりやすいです。
- 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。
- 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。
- 参照フィールド:データベース値はsys_idですが、表示値は参照先レコードの表示フィールドです。

動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション。動的属性の表示値を要求する場合にのみ必要です。 取得する動的スキーマ内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のレコードまたは指定された要素の表示値。

この例では、指定されたインシデントレコードの表示値をログに書き込みます。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('sys_id','<sys_id>');
gs.info(now_GR.getDisplayValue());
```

出力:

```
INC0000050
```

この例では、動的属性ストア要素内の属性の表示値を取得する方法を示します。

```
var gr_AppTab = new GlideRecord('application_table');
gr_AppTab.setValue('dyn_att_field->group->attr', 42);
gr_AppTab.setDisplayValue('dyn_att_field->group->attr2, true);
gr_AppTab.update();
gs.info('Attr value: ' +
gr_AppTab.getDisplayValue('dyn_att_field->group->attr);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info('Attr2 value: ' +
gr_AppTab.getDisplayValue('dyn_att_field->group->attr2);
```

出力:

```
Attr value: System error
Attr2 value: true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getDisplayValue() を使用します。

GlideRecord - getDynamicAttribute(文字列 fullPath)

指定された動的属性ストアパスの GlideElementDynamicAttribute オブジェクトを返します。

動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された動的属性を含む GlideElementDynamicAttribute オブジェクト。 *fullPath*パラメーターが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.get('number', 'INC0009009');
gr_Inc.getDynamicAttribute('attr_store->car->color').setValue('Blue');
gr_Inc.update();

gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.get('number', 'INC0009009');
gs.info(gr_Inc.getDynamicAttribute('attr_store', 'car->color'));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: Blue
```

GlideRecord - getDynamicAttribute(文字列 dynamicAttributeField, 文字列 groupAttrPath)

指定されたテーブルフィールドと属性パスにある動的属性を含む GlideElementDynamicAttribute オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された動的属性を含む GlideElementDynamicAttribute オブジェクト。 *dynamicAttributeField* パラメーターまたは *groupAttrPath* パラメーターのいずれかが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.get('number', 'INC0009009');
gr_Inc.getDynamicAttribute('attr_store->car->color').setValue('Blue');
gr_Inc.update();

gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.get('number', 'INC0009009');
gs.info(gr_Inc.getDynamicAttribute('attr_store', 'car->color'));
```

出力:

```
*** Script: Blue
```

GlideRecord - getDynamicAttributeValue(文字列 fullPath)

指定されたパスにある動的属性の値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパスにある動的属性の値。 *fullPath*パラメーターに無効なデータが含まれている場合、または指定された属性値がサポートされているデータ型の 1 つでない場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// Update the value of the attribute
 'attribute_store->car->time_of_purchase' incident `INC0009009` to a
 timestamp (in UTC)
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store->car->time_of_purchase',
 '2020-05-13 13:52:44');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info("Time of Purchase Value        (UTC): " +
 gr2.getDynamicAttributeValue('attribute_store->car->time_of_purchase'));
gs.info("Time of Purchase DisplayValue (PST): " +
 gr2.getDynamicAttributeDisplayValue('attribute_store->car->time_of_purch
ase'));
```

出力:

```
*** Script: Time of Purchase Value        (UTC): 2020-05-13 13:52:44
*** Script: Time of Purchase DisplayValue (PST): 2020-05-13 06:52:44
```

GlideRecord - getDynamicAttributeValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath)**

現在のテーブルの指定されたフィールドと指定された属性パスにある動的属性の値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパスにある動的属性の値。 *dynamicAttributeField*パラメーターまたは *groupAttrPath* パラメーターのいずれかが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// Update the value of the attribute
 'attribute_store->car->time_of_purchase' incident `INC0009009` to a
 timestamp (in UTC)
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store', 'car->time_of_purchase',
 '2020-05-13 13:52:44');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info("Time of Purchase Value        (UTC): " +
 gr2.getDynamicAttributeValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
gs.info("Time of Purchase DisplayValue (PST): " +
 gr2.getDynamicAttributeDisplayValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
```

出力:

```
*** Script: Time of Purchase Value        (UTC): 2020-05-13 13:52:44
*** Script: Time of Purchase DisplayValue (PST): 2020-05-13 06:52:44
```

GlideRecord - getDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **fullPath)**

指定されたパスにある動的属性の表示値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定したパスにある動的属性の表示値。 *`fullPath`*パラメーターが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// Update the value of the attribute
 'attribute_store->car->time_of_purchase' incident `INC0009009` to a
 timestamp (in UTC)
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store->car->time_of_purchase',
 '2020-05-13 13:52:44');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info("Time of Purcahse Value        (UTC): " +
 gr2.getDynamicAttributeValue('attribute_store->car->time_of_purchase'));
gs.info("Time of Purcahse DisplayValue (PST): " +
 gr2.getDynamicAttributeDisplayValue('attribute_store->car->time_of_purch
ase'));
```

出力:

```
*** Script: Time of Purcahse Value        (UTC): 2020-05-13 13:52:44
*** Script: Time of Purcahse DisplayValue (PST): 2020-05-13 06:52:44
```

GlideRecord - getDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath)**

指定されたテーブルフィールドと属性パスにある動的属性の表示値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例 :「car->color」

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定したパスにある動的属性の表示値。 *dynamicAttributeField* パラメーターまたは *groupAttrPath* パラメーターのいずれかが無効な場合は、null を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// Update the value of the attribute
 'attribute_store->car->time_of_purchase' incident `INC0009009` to a
 timestamp (in UTC)
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store', 'car->time_of_purchase',
 '2020-05-13 13:52:44');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info("Time of Purchase Value        (UTC): " +
 gr2.getDynamicAttributeValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
gs.info("Time of Purchase DisplayValue (PST): " +
 gr2.getDynamicAttributeDisplayValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
```

出力:

```
*** Script: Time of Purchase Value        (UTC): 2020-05-13 13:52:44
*** Script: Time of Purchase DisplayValue (PST): 2020-05-13 06:52:44
```

GlideRecord - getED()

要素の記述子を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDescriptor	要素の記述子。

この例は、インシデント GlideRecord の名前フィールドを取得する方法を示しています。

```
grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.getActiveQuery();
grInc.query();
if (grInc.next())
  gs.info("Table Descriptor is - " + grInc.getED().getName());
```

出力：

```
Table Descriptor is - incident
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getED()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getED() を使用します。

GlideRecord - getElement(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドの GlideElement を取得します。

このメソッドによって返される値は、完全な GlideElement オブジェクトです。結果は、フィールド値をドット連結するのと同じです。たとえば、`now_GR.getElement('short_description')` は `nowGR.short_description`と同じ結果を返します。

ほとんどの場合、レコードから値を取得するためにドット連結を使用しないでください。ドット連結では、フィールド値ではなくオブジェクト全体が取得されます。オブジェクトを取得すると、より多くのストレージが使用されるため、アレイまたは サービスポータルで使用すると望ましくない結果が生じる可能性があります。

オブジェクト全体を取得する代わりに、次のいずれかのメソッドを使用してフィールド値をコピーできます。

- getValue()
- getDisplayValue()

GlideElement オブジェクトをドット連結する必要がある場合は、 *toString()* メソッドを使用して値を取得します。たとえば、別の参照フィールドを設定するために、現在の問い合わせユーザーのマネージャーの sys_id が必要な場合があります。次の例は、オブジェクト全体の代わりに文字列値を取得する方法を示しています。

```
var mgr = current.caller_id.manager.toString();
```

関連項目：GlideElement - toString()。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	GlideElement オブジェクトを返す対象の列名。

返される内容

タイプ	説明
GlideElement	現在のレコードの指定された列の GlideElement。各オブジェクトは、現在の GlideRecord のフィールドを記述します。

この例では、渡されたテーブルの GlideElement オブジェクトを取得し、それらを予想されるシステムのメタデータ値と比較する方法を示します。

```
function compareElement(comment, table, element, /*{}*/ expected) {
  var now_GR = new GlideRecord(table);
  var el = now_GR.getElement(element);
  for (var n in expected) {
    assertEquals(comment + ":" + table + "." + element, expected[n],
 el.sys_meta[n]);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getElement()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getElement() を使用します。

GlideRecord - getEncodedQuery()

現在の結果セットのクエリ条件をエンコードされたクエリ文字列として取得します。

詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	

この例は、後で読み取り ACL ロールを作成するために使用する、現在のエンコードクエリを取得する方法を示しています。

```
function createAcl(table, role) {
  gs.print("Checking security on table " + table);
  var now_GR = new GlideRecord("sys_security_acl");
  now_GR.addQuery("name", table);
  now_GR.addQuery("operation", "read");
  now_GR.query();
  var encQuery = now_GR.getEncodedQuery();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  if (now_GR.next()) {
    // existing acl found so use it
    createAclRole(now_GR.sys_id.toString(), role);
   return;
  } else {
    now_GR.initialize();
    now_GR.applyEncodedQuery(encQuery);
    var acl = now_GR.insert();
    gs.print("   Added read access control on " + table);
    createAclRole(acl, role);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getEncodedQuery()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getEncodedQuery() を使用します。

GlideRecord - getEscapedDisplayValue()

現在のレコードの表示フィールドに対するフィールド値を取得し、Jelly スクリプトで使用するエスケープ文字を追加します。

注: このメソッドを使用するには、関連するテーブルに表示値を設定する必要があります。この方法については、「フィールドをテーブル表示値として選択する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のテーブルの表示フィールドのエスケープ値。

この例では、ユーザー [sys_user] テーブルから user_name のエスケープされた表示値を取得する方法を示します。

```
var userName = "Michael J'ones";
var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
if (now_GR.get("user_name", userName)) {
  gs.print("Deleting existing user=" + userName);
  now_GR.deleteRecord();
}
now_GR.initialize();

var name = userName.split(" ", 2);
var firstName = name[0];
var lastName = name[1];
now_GR.setValue("user_name", userName);
gs.print("Name: " + now_GR.getValue("user_name"));
now_GR.setValue("first_name", firstName);
now_GR.setValue("last_name", lastName);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var escapeValue = now_GR.getEscapedDisplayValue();
gs.print("Escaped name: " + escapeValue);
```

出力:

```
Name: Michael J'ones
Escaped name: Michael J\'ones
```

GlideRecord - getFields()

現在のレコード内のフィールドの Java ArrayList を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
Java ArrayList	現在のレコード内のフィールド

```
// This can be run in "Scripts - Background" for demonstration purposes

// Get a single incident record
var grINC = new GlideRecord('incident');
grINC.query();
grINC.next();
gs.print('Using ' + grINC.getValue('number'));
gs.print('');

// getFields() returns a Java ArrayList
var fields = grINC.getFields();

// Enumerate GlideElements in the GlideRecord object that have values
gs.print('Enumerating over all fields with values:');
for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
  var glideElement = fields.get(i);
  if (glideElement.hasValue()) {
    gs.print('  ' + glideElement.getName() + '\t' + glideElement);
  }
}
gs.print('');

// Get a specific GlideElement: number
gs.print('Getting the number field:');
for (var i = 0; i < fields.size(); i++) {
  var glideElement = fields.get(i);
  if (glideElement.hasValue() && glideElement.getName() == 'number') {
    gs.print('  ' + glideElement.getName() + '\t' + glideElement);
  }
}
```

GlideRecord - getLabel()

フィールドのラベルを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドのラベル

この例は、要求アイテムテーブルの質問フィールドのラベルを取得し、ラベルとその表示名を出力する方法を示しています。

```
template.print("Summary of Requested items:\n");
var now_GR = new GlideRecord("sc_req_item");
now_GR.addQuery("request", current.sysapproval);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
var nicePrice = now_GR.price.toString();
    if (nicePrice != '') {
        nicePrice = parseFloat(nicePrice);
        nicePrice = nicePrice.toFixed(2);
    }
    template.print(now_GR.number + ":  " + now_GR.quantity + " X " +
 now_GR.cat_item.getDisplayValue()
                    + " at $" + nicePrice + " each \n");
    template.print("    Options:\n");
    for (key in now_GR.variables) {
    var now_V = now_GR.variables[key];
      if(now_V.getGlideObject().getQuestion().getLabel() != '') {
         template.space(4);
         template.print('     ' +
 now_V.getGlideObject().getQuestion().getLabel() + " = "
                    + vnow_V.getDisplayValue() + "\n");
      }
    }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLabel()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLabel() を使用します。

GlideRecord - getLink(ブーリアン **noStack)**

現在のレコードのリンクを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
noStack	ブーリアン	生成されたリンクを URL の末尾に追加するかどうかを示すフラグ。 例：&sysparm_stack=[テーブル名]_list.do? `sysparm_query=active=true` 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：リンクを追加します。 • false：リンクを追加しません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のレコードの URL。

この例では添付ファイルを確認し、見つかった場合はリンクを追加します。

```
var attachment_link = '';
var rec = new GlideRecord('sc_req_item');
rec.addQuery('sys_id', current.request_item);
rec.query();
if(rec.next()){
  if(rec.hasAttachments()){
    attachment_link = gs.getProperty('glide.servlet.uri') +
 rec.getLink();
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLink()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLink() を使用します。

GlideRecord - getLocation()

テーブル内の現在のレコードの行番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	テーブル内の現在のレコードに対するゼロベースの行番号を取得します。

この例は、レコード数をレコードの場所番号と比較することによって、インシデントテーブル内のレコードが適切に取得されていないかどうかを確認する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord("incident");
now_GR.addQuery("priority", "4");
now_GR.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
for (x=0; x <4; x++) {
  now_GR.next();
  gs.print("Location value: " + now_GR.getLocation());
}
```

出力:

```
Location value: 0
Location value: 1
Location value: 2
Location value: 3
```

GlideRecord - getPlural()

GlideRecord テーブルの複数形ラベルを取得します。

たとえば、テーブル名が「変更要求」の場合、このメソッドは「変更要求」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideRecord のテーブルの複数形ラベル。

この例では、インシデントテーブルの *getLabel()* と *getPlural()* の戻り値を確認しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gs.print(now_GR.getLabel());
if (now_GR.getLabel() != 'Incident')
throw "GlideRecord.getLabel() returned unexpected value for table
 'incident': " + now_GR.getLabel();

gs.print(now_GR.getPlural());
if (now_GR.getPlural() != 'Incidents')
throw "GlideRecord.getPlural() returned unexpected value for table
 'incident': " + now_GR.getPlural();
"success";
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getPlural()* メソッドを使用するには、スコープ付き GlideRecord.getED() メソッドを使用してフィールドの記述子を取得してから、スコープ付き GlideElementDescriptor.getPlural() メソッドを使用します。

GlideRecord - getRecordClassName()

現在のレコードのクラス (テーブル) 名を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クラスまたはテーブル名

```
function TaskAssignmentFilter() {
  var classname = current.getRecordClassName();
  var filter = "type=null";
  if (classname == "incident" && current.category == "database") {
    filter = GetGroupFilter("database");
  }
  else {
    // append exclusion for 'catalog' to the filter
    var cat = new GlideRecord("sys_user_group_type");
    cat.addQuery("name", "catalog");
    cat.query();
    if (cat.next()) {
      filter += "^ORtype!=" + cat.sys_id;
    }
  }
  gs.log("TaskAssignmentFilter: " + filter);
  return filter;
}
```

自動翻訳

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getRecordClassName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getRecordClassName() を使用します。

GlideRecord - getRelatedLists()

現在の GlideRecord に関連付けられている関連リストの名前と表示値のリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HashMap	関連リストの名前と表示値を含むハッシュマップ。

この例は、現在の GlideRecord に関連付けられている関連リストの名前と表示値のリストを取得し、それらをアレイに格納してから、その値を出力する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var c = now_GR.getRelatedLists().values().toArray();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var numElements = c.length;
for( var i = 0; i < numElements; ++i){
  gs.print(i+": "+c[i]);
}
```

GlideRecord - getRelatedTables()

現在のレコードによって参照されるテーブルの名前と表示値のリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HashMap	関連テーブルの名前と表示値を含むハッシュマップ。

この例は、現在の GlideRecord に関連するテーブルの名前と表示値のリストを取得し、それらをアレイに格納してから、その値を出力する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var c = now_GR.getRelatedTables().values().toArray();
var numElements = c.length;
for( var i = 0; i < numElements; ++i){
  gs.print(i+": "+c[i]);
}
```

GlideRecord - getRowCount()

現在の GlideRecord オブジェクトの行数 (レコード) を取得します。

注: *GlideRecord* は一致するレコードを返すため、必要なレコード数のみが限られている場合は *GlideAggregate* ほど効率的ではない可能性があります。レコード数のみが必要で、一致するレコードを反復処理していない場合は、 *GlideAggregate* を使用します。

GlideRecord または GlideAggregate の番号レコードの取得

GlideRecord の *getRowCount()* API と *GlideAggregate getAggregate()* API は同様の情報を提供します。次の基準を使用して、最適なオプションを決定してください。

- *GlideRecord getRowCount()* メソッドは、クエリーから返されたレコードの数とレコード自体を示します。レコードに対してアクションを実行するためにセットを反復処理する前後の結果セット内のレコード数が必要な場合は、この方法を使用します。
- *GlideAggregate getAggregate()* メソッドは、実際のレコードを除き、クエリに一致するレコード数のみを取得します。集計は、クエリーを発行する前に *GlideAggregate* オブジェクトに設定する必要があります。

GlideRecord getRowCount() によるレコードとカウントの取得

次の例は、 *GlideRecord getRowCount()* を使用してアクティブなインシデントの合計数を取得する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incident = new GlideRecord("incident");
incident.addQuery("active", true);
incident.query();

gs.info("*** Total number of active incidents: {0}",
 incident.getRowCount());
```

GlideAggregate getAggregate() でレコード数のみを取得する

次の例は、レコード数のみを返す方法を示しています。この方法では一致するレコードを使用しないため、集計クエリを使用してカウントのみを返す方がはるかに効率的です。

```
var incident = new GlideAggregate("incident");
incident.addQuery("active", true);
incident.addAggregate("COUNT");
incident.query();

if (incident.next())
    gs.info("*** Total number of active incidents: {0}",
 incident.getAggregate("COUNT"));
```

ソリューションに最適なオプションの決定

レコード数のみを取得する場合は、 *GlideAggregate getAggregate()* メソッドが最適なオプションです。個々のレコードを使用して結果の数を取得するには、単一のクエリでこの機能が提供されるため、 *GlideRecord getRowCount()* を使用します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	現在の GlideRecord の行数。

次の例は、インシデント [incident] テーブルからインシデントの数を取得する方法を示しています。

```
var numberOfIncidents = new GlideRecord('incident');
numberOfIncidents.query();
gs.info("Records in incident table: " + numberOfIncidents.getRowCount());
```

出力:

```
Records in incident table: 6920
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getRowCount()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getRowCount() を使用します。

GlideRecord - getRowNumber()

saveLocation() または *setLocation()* によって設定された行番号を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

現在の行番号を取得するには、*getLocation()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	保存された行番号。

この例は、ユーザーテーブルの行の場所を保存し、その行番号を取得する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
now_GR.addQuery();
now_GR.query();
now_GR.saveLocation(5);
var savedRow = now_GR.getRowNumber();
gs.print("Saved row: " + savedRow);
```

出力:

```
Saved row: 5
```

GlideRecord - getTableName()

この GlideRecord に関連付けられたテーブル名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名

この例は、現在のテーブル名をシステム ログに書き込む方法を示しています。

```
gs.log('Table: ' + current.getTableName());
gs.log('Parent: ' + current.parent.sys_id);
var item = new GlideRecord('sc_req_item');
item.addQuery('sys_id', current.parent.sys_id);
item.query();
if(item.next()){
  for(var variable in item.variable_pool) {
    gs.log(variable);
    var answer = eval ("item.variable_pool." + variable +
 ".getDisplayValue()");
    gs.log(answer);
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `getTableName()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getTableName() を使用します。

GlideRecord - getUniqueValue()

レコードのプライマリキーを取得します。特に指定しない限り、通常、これは sys_id です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としての一意のプライマリキー (キーが null の場合は null)。

```
var now_GR = new GlideRecord('kb_knowledge');
now_GR.query();
now_GR.next();
var uniqueid = now_GR.getUniqueValue();
gs.info(uniqueid);
```

GlideRecord - getValue(文字列 fieldName)

指定されたフィールドの文字列値、または動的属性ストア内の属性の文字列値を取得します。

注: 列レベル暗号化エンタープライズ プラグインが有効になっていて、インスタンスがキーにアクセスできる場合、このメソッドは暗号化されたフィールドからクリアテキスト値を返します。インスタンスがキーにアクセスできない場合、このメソッドは暗号化された値を返します。詳細については、「 Platform Encryption 」を参照してください。

動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	値を取得するフィールドの名前、または取得する動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された要素の値。フィールドが空の場合、またはフィールドが存在しない場合は null を返します。 注: ブーリアン値は、false および true ではなく「0」および「1」の文字列値として返されます。

この例では、*getValue()* メソッドを使用して、比較されている 2 つの GlideRecord のフィールド値を取得します。

```
function() {
  var jobExists = true;
  var jobGr;
  while(jobExists){
    jobGr = new GlideRecord("sys_trigger");
    jobExists = jobGr.get("name", "BaselineAPI: Create Baseline Job");
  }
  var baselineGr =  new GlideRecord('pm_project_baseline');
  baselineGr.get('baseline_name','Test Project Baseline');
  baselineGr.query();

  Assert.assertEquals(true, baselineGr.next());
  var projectGr =  new GlideRecord('pm_project');
  projectGr.get(this._project);
  Assert.assertEquals(projectGr.getValue('cost'),
 baselineGr.getValue('cost'));
  Assert.assertEquals((projectGr.getValue('capex_cost')),
 baselineGr.getValue('capex_cost'));
  Assert.assertEquals((projectGr.getValue('opex_cost')),
 baselineGr.getValue('opex_cost'));
  Assert.assertEquals((projectGr.getValue('budget_cost')),
 baselineGr.getValue('budget_cost'));
  Assert.assertEquals((projectGr.getValue('value')),
 baselineGr.getValue('value'));
  Assert.assertEquals((projectGr.getValue('npv_value')),
 baselineGr.getValue('npv_value'));
 Assert.assertEquals((projectGr.getValue('score')),
 baselineGr.getValue('score'));
}
```

この例では、動的属性の値を取得する方法を示します。

```
// Update the value of the attribute 'attribute_store->car->color' to
 'Red' on incident `INC0009009`
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store->car->color', 'Red');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info(gr2.getValue('attribute_store->car->color'));
```

出力:

```
*** Script: Red
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getValue() を使用します。

GlideRecord - hasAttachments()

現在の GlideRecord に添付ファイルがあるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のレコードに添付ファイルがある場合は true、ない場合は false。

この例では添付ファイルを確認し、ある場合はリンクを作成します。

```
var attachment_link = '';
var rec = new GlideRecord('sc_req_item');
rec.addQuery('sys_id', current.request_item);
rec.query();
if(rec.next()){
  if(rec.hasAttachments()){
    attachment_link = gs.getProperty('glide.servlet.uri') +
 rec.getLink();
  }
}
```

GlideRecord - hasNext()

GlideRecord にまだレコードがあるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリセットにさらにレコードがある場合は true、ない場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、現在の GlideRecord に追加のレコードがあるかどうかに基づいてさまざまな関数を呼び出す方法を示します。

```
if (now_GR.hasNext()) {
  dothis(); // found it, do it
} else {
  dothat(); // didn't find it
};
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hasNext()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド hasNext() を使用します。

GlideRecord - initialize()

挿入前に入力するのに適した空のレコードを現在の GlideRecord 内に作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では to_do テーブルの新しいレコードを初期化し、レコードを作成してからテーブルに挿入します。

```
var now_GR = new GlideRecord('to_do');
now_GR.initialize();
now_GR.name = 'first to do item';
now_GR.description = 'learn about GlideRecord';
now_GR.insert();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *initialize()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド initialize() を使用します。

GlideRecord - insert()

現在のレコードに設定されているフィールド値を使用して、新しいレコードを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入されたレコードの sys_id。レコードが挿入されない場合は null。

この例では to_do テーブルに新しいレコードを作成し、いくつかのレコードフィールドに値を設定してからレコードをテーブルに挿入します。

```
var now_GR = new GlideRecord('to_do');
now_GR.initialize();
now_GR.name = 'first to do item';
now_GR.description = 'learn about GlideRecord';
now_GR.insert();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *insert()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド insert() を使用します。

GlideRecord - insertWithReferences()

新しいレコードを挿入し、指定された情報で関連レコードを挿入または更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入されたレコードの sys_id。レコードが挿入されなかった場合は null。

参照値が指定されていない場合 (以下を参照)、指定された first_name と last_name で新しいユーザーレコードが作成され、caller_id 値がこの新しく作成された sys_user レコードに設定されます。結果は、指定された first_name と last_name を使用する新しい sys_user レコードと、指定された short_description と caller_id を使用する新しいインシデントレコードです。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.initialize();
inc.short_description = 'New incident 1';
inc.caller_id.first_name = 'John';
inc.caller_id.last_name = 'Doe';
inc.insertWithReferences();
```

caller_id 値が指定されている場合、その caller_id は指定された first_name と last_name で更新されます。結果は、short_description と caller_id に値が設定された、新しく作成されたインシデントレコードです。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.initialize();
inc.short_description = 'New incident 1';
inc.caller_id.setDisplayValue('David Loo');
inc.caller_id.first_name = 'John';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
inc.caller_id.last_name = 'Doe';
inc.insertWithReferences();
```

GlideRecord - instanceOf(文字列 className)

テーブルのタイプ/クラスを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
className	文字列	レコードのタイプまたはクラスの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが指定されたクラスのインスタンスである場合は true。

この例では、渡されたグループ/ユーザーが sys_user テーブル/クラスタイプであるかどうかを確認します。

```
function(groupOrUser, label, grantedBy) {
  var labelCheck;
  var labelRecord;
  if (typeof label === "string") {
    labelRecord = new GlideRecord('label');
    labelRecord.addQuery('name', label);
    labelRecord.query();
    labelRecord.next();
  } else {
    labelRecord = label;
  }
  if (groupOrUser.instanceOf('sys_user')) {
    labelCheck = new GlideRecord('label_user_m2m');
    labelCheck.addQuery('user', groupOrUser.sys_id);
  } else {
    labelCheck = new GlideRecord('label_group_m2m');
    labelCheck.addQuery('group', groupOrUser.sys_id);
  }
  labelCheck.addQuery('label', labelRecord.sys_id);
  if (grantedBy !== "undefined") {
    labelCheck.addQuery('granted_by', grantedBy.sys_id);
  }
  labelCheck.query();
  return labelCheck.hasNext();
}
```

GlideRecord - isNewRecord()

現在のレコードがデータベースに挿入されているかどうかを判断します。

このメソッドは *newRecord()* メソッドが呼び出された場合にのみ true を返します。このメソッドは、スクリプト化された ACL や UI アクションの条件に便利ですが、バックグラウンドスクリプトでは使用しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このメソッドはビジネスルールの実行中に新しいレコードに対して true を返します。または、*newRecord()* メソッドを使用してデフォルト値と一意の ID (sys_id) を使用してレコードを初期化します。それ以外の場合は false を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のレコードが新しい (データベースに挿入されていない) かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：レコードは新規です。 • false：レコードは新規ではありません。

この例では、新しいレコードが sys_user テーブルに挿入されているかどうかを確認します。

```
var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
now_GR.newRecord();
now_GR.setValue("user_name", "John Smith");
gs.print("Is this a new record: " + now_GR.isNewRecord());

var now_GR2 = new GlideRecord("sys_user");
now_GR2.addQuery("user_name", "Abel Tutor");
now_GR2.query();
now_GR2.next();
gs.print("Is this a new record: " + now_GR2.isNewRecord());
```

GlideRecord - isValid()

現在の GlideRecord テーブルが存在するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが存在する (有効な) 場合は true、それ以外の場合は false。

この例ではインシデントテーブルが存在するかどうかを確認します。

```
var testTable = new GlideRecord('incident');
gs.print(testTable.isValid());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isValid()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の isValid() メソッドを使用します。

GlideRecord - isValidField(文字列 columnName)

指定されたフィールドが現在の GlideRecord テーブルで定義されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnName	文字列	チェックする列の名前です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドがテーブルで定義されている場合は true、されていない場合は false。

この例では、[sys_class_name] フィールドが cmds_software_instance テーブルに存在するかどうかを確認します。

```
var gobj = new GlideRecord('sys_db_object');
gobj.addQuery('name','cmdb_software_instance');
gobj.query();
if (!gobj.next()) {
  var si = new GlideRecord('cmdb_software_instance');
  si.query();
  var count = 0;
  while (si.next()) {
    if (!si.isValidField('sys_class_name')) {
      var ci = new GlideRecord('cmdb_ci');
      ci.name = si.name;
      ci.setNewGuidValue(si.sys_id);
      ci.sys_class_name = 'cmdb_software_instance';
      ci.insert();
      count++;
    }
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isValidField()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isValidField() メソッドを使用します。

GlideRecord - isValidRecord()

現在のレコードが有効かどうかを判定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のレコードが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：レコードは有効です。 • false：レコードセットの終わりを過ぎています。

この例では、渡された sys_id によるレコード識別子がアイデアテーブル内の有効なレコードであるかどうかを確認します。

```
function(sysId) {
  this.log('Inside acceptIdea sysId = ' + sysId);
  var now_GR = new GlideRecord('idea');
  now_GR.get(sysId);
  this.log('now_GR.isValidRecord() = ' + now_GR.isValidRecord());
  if(now_GR.isValidRecord()) {
    now_GR.setValue('state', 2);
    this.log('Updating gliderecord');
    this.log('gliderecord table name' + now_GR.getTableName());
    now_GR.update();
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isValidRecord()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isValidRecord() を使用します。

GlideRecord - newRecord()

GlideRecord を作成し、フィールドのデフォルト値を設定して、レコードに一意の ID を割り当てます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、新しいレコードが sys_user テーブルに挿入されているかどうかを確認します。

```
var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
now_GR.newRecord();
now_GR.setValue("user_name", "John Smith");
gs.print("Is this a new record: " + now_GR.isNewRecord());

var now_GR2 = new GlideRecord("sys_user");
now_GR2.addQuery("user_name", "Abel Tutor");
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
now_GR2.query();
now_GR2.next();
gs.print("Is this a new record: " + now_GR2.isNewRecord());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *newRecord()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド newRecord() を使用します。

GlideRecord - next()

GlideRecord の次のレコードに移動します。

このメソッドを使用して、GlideRecord クエリによって返されたレコードを反復処理します。

注: テーブルに「next」と呼ばれるフィールドがある場合、このメソッドは失敗します。その場合は、_next() メソッドを使用します。

注: `if(myObj.next())` 構成は、返された最初のレコードのみを処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideRecord に「next」レコードがあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：次のレコードへの移動に成功しました。 • false：結果セットにそれ以上の結果は含まれていません。

この例は、*next()* メソッドを使用してインシデントテーブルを反復処理する方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
while (rec.next()) {
  gs.print(rec.number + ' exists');
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *next()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド next() を使用します。

GlideRecord - _next()

GlideRecord の次のレコードに移動します。GlideRecord に next という名前の列がある場合に使用する目的で、*next()* と同じ機能を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリセットにさらにレコードがある場合は true。

```
var rec = new GlideRecord('sys_template');
rec.query();
while (rec._next()) {
  gs.print(rec.number + ' exists');
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `_next()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド _next() を使用します。

GlideRecord - operation()

操作が挿入、更新、または削除のいずれであるかを決定します。

操作が分かれば、`current.operation()` を使用して、各操作を一意に処理できる汎用ビジネスルールを作成できます。

グローバル変数 `current` の使用については、 ビジネスルールのグローバル変数 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の操作。 可能な値： • delete • insert • update

次の例は、ビジネスルールでこのメソッドを使用する方法を示しています。`Operation()` メソッドは、どの操作がイベントをトリガーしたかを検出し、更新操作と挿入操作に応じて異なるアクションを実行します。

```
if(current.operation() == "update") {
  current.updates ++; }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if(current.operation() == "insert") {
  current.updates = 0; }
```

この例は、*operation()* メソッドを使用して操作の値を *startFlow()* メソッドに渡す方法を示しています。

```
function createNewTransferOrder() {
  var toGr = new GlideRecord("alm_transfer_order");
  toGr.initialize();
  // From Stockroom - Southern California Warehouse
  toGr.setValue('from_stockroom', fromStockroomSysId);
  // To Stockroom - San Diego North - Pickup/Dropoff
  toGr.setValue('to_stockroom', toStockroomSysId);
  var transferOrder = toGr.insert();

  if(toGr.get(transferOrder)){
  // Start Transfer Order Workflow
  var wf = new Workflow();
  var context = wf.startFlow(toWorkflowSysId, toGr, toGr.operation(),{});
    createNewTransferOrderLine(transferOrder);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *operation()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド operation() を使用します。

GlideRecord - orderBy(文字列 fieldName)

クエリセットの順序付けに使用するフィールド名、または動的属性ストア内の属性へのパスを指定します。複数のフィールドで並べ替えるには、このメソッドを異なるフィールド値で複数回呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	クエリセットを順序付けるテーブルフィールド名、または動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、「order」の次に「number」で設定されたクエリを並べ替える方法を示しています。

```
function UpdateProjectWBS(project) {
  var count = 0;
  var child = new GlideRecord('pm_project_task');
  child.addQuery('parent', project.sys_id);
  child.orderBy('order');
  child.orderBy('number');
  child.query();
  var len = child.getRowCount().toString().length;
  var seq = 0;
  while (child.next()) {
    count += UpdateProjectTaskWBS(child, 1, ++seq, len, '');
  }
  gs.addInfoMessage(count + ' Project Tasks updated');
}
```

この例では、動的属性ストア内の属性によって設定されたクエリを並べ替える方法を示します。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.orderBy('attribute_store->caller_id->first_name');
gr_Inc.query();

while(gr_Inc.next()) {
  gs.info("first_name: " +
 gr_Inc.getValue('attribute_store->caller_id->first_name'));
}
```

出力:

```
*** Script: first_name: Alejandro
*** Script: first_name: Bertie
*** Script: first_name: Beth
*** Script: first_name: Bow
*** Script: first_name: Bud
*** Script: first_name: Carol
*** Script: first_name: Charlie
*** Script: first_name: Christen
*** Script: first_name: David
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *orderBy()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド orderBy() を使用します。

GlideRecord - orderByDesc(文字列 **fieldName)**

クエリセットを降順で並べ替えるために使用する動的属性ストアのフィールドまたは属性を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	クエリセットを降順で並べ替えるテーブルフィールド名、または動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「動的なスキーマ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例ではクエリセットを昇順または降順で並べ替える方法を示します。

```
function(fiscalType, orderByDesc) {
  var now_GR = new GlideRecord('fiscal_period');
  now_GR.addQuery('fiscal_type', fiscalType);
  if (orderByDesc) {
    now_GR.orderByDesc('fiscal_start_date_time');
  } else {
    now_GR.orderBy('fiscal_start_date_time');
  }
  now_GR.setLimit(1);
  now_GR.query();
  now_GR.next();
  return now_GR.sys_id;
}
```

この例では、動的属性ストア内の属性によって設定されたクエリを並べ替える方法を示します。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.orderByDesc('attribute_store->caller_id->first_name');
gr_Inc.query();

while(gr_Inc.next()) {
  gs.info("first_name: " +
 gr_Inc.getValue('attribute_store->caller_id->first_name'));
}
```

出力:

```
*** Script: first_name: David
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: first_name: Christen
*** Script: first_name: Charlie
*** Script: first_name: Carol
*** Script: first_name: Bud
*** Script: first_name: Bow
*** Script: first_name: Beth
*** Script: first_name: Bertie
*** Script: first_name: Alejandro
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *orderByDesc()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド orderByDesc() を使用します。

GlideRecord - query(文字列 field, 文字列 value)

addQuery() や *addEncodedQuery()* などのクエリメソッドで指定されたフィルターに基づいてテーブルに対してクエリを実行します。

このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。

> **注:** テーブルに「query」と呼ばれるフィールドがある場合、このメソッドは失敗します。その場合は、 _query()メソッドを使用します。ドメインセパレーションされたインスタンスでクエリを実行するには、queryNoDomain() メソッドを使用します。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

関連項目：

- GlideAggregate :グローバル
- GlideQuery()
- GlideQueryCondition - グローバル

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション - 値パラメーターも指定する必要があります。value パラメーターで指定された値を検索するフィールドの名前。 **注:** 通常、このメソッドは引数なしで実行されますが、名前と値のペアを指定して、指定した値を含むレコードをフィルタリングできます。パラメーターが指定されている場合、「name=value」条件がクエリに追加されます。
value	文字列	オプション - field パラメーターも指定する必要があります。指定された field パラメーターで検索する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、クエリフィールドを含むテーブルのシステムディクショナリ [sys_dictionary] をスキャンする方法を示しています。

```
var tableArr = [];

var now_GR = new GlideRecord('sys_dictionary');
now_GR.addQuery('element', 'query');
now_GR.setLimit(6);

now_GR.query();

while(now_GR.next()){
   tableArr.push(now_GR.name.getValue());
};

gs.info('The following tables have a field column called "query":');

for (i = 0; i < tableArr.length; i++) {
   gs.info(tableArr[i]);
};
```

出力：

```
The following tables have a field column called "query":
cmdb_convert_bulk_services
cmdb_multisource_query_status
cmdb_qb_result_base
cmdb_qb_table_mapping
discovery_probes_cim_query
kb_feedback
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *query()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド query() を使用します。

GlideRecord - _query(文字列 **field**, 文字列 **value**)

addQuery() や *addEncodedQuery()* などのクエリメソッドで指定されたフィルターに基づいてテーブルに対してクエリを実行します。 このメソッドは、「query」という名前の列があるテーブルで使用するためのものです。このような列のために、query() メソッドの実行中にエラーが発生する可能性があります。

このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

関連項目：

- GlideAggregate :グローバル
- GlideQuery()
- GlideQueryCondition - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション - 値パラメーターも指定する必要があります。value パラメーターで指定された値を検索するフィールドの名前。 **注:** 通常、このメソッドは引数なしで実行されますが、名前と値のペアを指定して、指定した値を含むレコードをフィルタリングできます。パラメーターが指定されている場合、「name=value」条件がクエリに追加されます。
value	文字列	オプション - field パラメーターも指定する必要があります。指定された field パラメーターで検索する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ナレッジフィードバック [kb_feedback] テーブルをクエリし、Excel を含むコメントがある KB 記事をリストする方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('kb_feedback');
rec.addQuery('comments', 'CONTAINS', 'Excel');
rec._query();
while (rec.next()) {
 gs.info(rec.getDisplayValue('article') + " comment: " +
 rec.getValue('comments'));
}
```

出力:

```
KB0000005 comment:
      Can you please add the version of Excel this applies to? All?

KB0000005 comment:
      Does this work for all Excel versions? OSX and Windows alike?
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *_query()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド _query() を使用します。

GlideRecord - queryNoDomain(文字列 **field**, 文字列 **value)**

ドメインセパレーションインスタンスで使用されます。*query()* と同様に、*addQuery()* および *addEncodedQuery()* で指定されたフィルターに基づいてテーブルに対してクエリを実行しますが、ドメインは無視します。

このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション - 値パラメーターも指定する必要があります。value パラメーターで指定された値を検索するフィールドの名前。 **注:** 通常、このメソッドは引数なしで実行されますが、名前と値のペアを指定して、指定した値を含むレコードをフィルタリングできます。パラメーターが指定されている場合、「name=value」条件がクエリに追加されます。
value	文字列	オプション - field パラメーターも指定する必要があります。指定された field パラメーターで検索する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、すべてのドメインのインシデントテーブルをクエリする方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.queryNoDomain();
while (rec.next()) {
 gs.print(rec.number + ' exists');
}
```

GlideRecord - restoreLocation()

現在のレコードを *saveLocation()* で保存されたレコードに設定します。*saveLocation()* が呼び出されていない場合、現在のレコードは GlideRecord の最初のレコードに設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、現在のレコードの場所を保存し、次のレコードに移動してから、保存された場所に戻る方法を示しています。

```
function() {
  var now_GR = new GlideRecord("incident");
  now_GR.query();
  now_GR.next();
  var firstID = now_GR.getValue("sys_id");
  now_GR.next();
  var restoreID = now_GR.getValue("sys_id");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  now_GR.saveLocation();
  now_GR.next();
  var lastID = now_GR.getValue("sys_id");
  now_GR.restoreLocation();
  now_GR.next();
  var thisID = now_GR.getValue("sys_id");
  var progress = "first id=" + firstID
    + "\n\t last id=" + lastID
    + "\n\t saved id=" + restoreID
    + "\n\t restored id=" + thisID;
  gs.print("Progress:\n\t" + progress);
}
```

GlideRecord - saveLocation()

現在の行番号を保存して、*restoreLocation()* メソッドを使用してこの場所に戻ることができるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、現在のレコードの場所を保存し、次のレコードに移動してから、保存された場所に戻る方法を示しています。

```
function() {
  var now_GR = new GlideRecord("incident");
  now_GR.query();
  now_GR.next();
  var firstID = now_GR.getValue("sys_id");
  now_GR.next();
  var restoreID = now_GR.getValue("sys_id");
  now_GR.saveLocation();
  now_GR.next();
  var lastID = now_GR.getValue("sys_id");
  now_GR.restoreLocation();
  now_GR.next();
  var thisID = now_GR.getValue("sys_id");
  var progress = "first id=" + firstID
    + "\n\t last id=" + lastID
    + "\n\t saved id=" + restoreID
    + "\n\t restored id=" + thisID;
  gs.print("Progress:\n\t" + progress);
}
```

GlideRecord - setAbortAction(ブーリアン b)

次のデータベースアクション (挿入、更新、削除) を中止するかどうかを示すフラグを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`onBefore` ビジネスルールで使用して、データベースアクションが実行されないようにします。ビジネスルールは、*`setAbortAction()`* が呼び出された後も実行を続けます。*`setAbortAction()`* を呼び出しても、後続のビジネスルールの実行は停止されません。このメソッドを呼び出すと、データベースアクションの実行のみが防止されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	次のアクションを中止する場合は true、次のアクションを許可する場合は false。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.u_date1.setError('start must be before end');
    current.setAbortAction(true);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *`setAbortAction()`* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setAbortAction() を使用します。

GlideRecord - setDisplayValue(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

指定されたフィールド、または動的属性ストア内の属性を、指定された表示値に設定します。

参照フィールドの場合、これはテーブルの表示値です。日付/時刻の場合、これは発信者の現在のタイムゾーンの時刻です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	値を設定するフィールドの名前、または動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
値	オブジェクト	指定された属性に設定する値。 注: 動的属性の場合、次のデータタイプのみがサポートされます。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、レコードに表示値を設定し、レコードを更新する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('46f09e75a9fe198100f4ffd8d366d17b');
now_GR.setDisplayValue('opened_at','2011-02-13 4:30:00');
now_GR.update();
```

次のコード例は、動的属性ストアに表示値を設定する方法を示しています。

```
var gr_AppTab = new GlideRecord('application_table');
gr_AppTab.setValue('dyn_att_field->group->attr', 42);
gr_AppTab.setDisplayValue('dyn_att_field->group->attr2, true);
gr_AppTab.update();
gs.info('Attr value: ' +
gr_AppTab.getDisplayValue('dyn_att_field->group->attr);
gs.info('Attr2 value: ' +
gr_AppTab.getDisplayValue('dyn_att_field->group->attr2);
```

GlideRecord - setDynamicAttributeValue(文字列 **fullPath**, オブジェクト値)

指定したパスにある動的属性の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	目的の動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。
値	オブジェクト	指定された動的属性を設定する値。 渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	動的属性が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:動的属性が正常に更新されました。 • false:エラーが発生しました。動的属性が更新されませんでした。*fullPath*パラメーターに、目的の属性への有効なパスが含まれていることを確認します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.setValue('inc_dynamic_groups',
 '78db044fc4b44210f8770961513dd7fe'); //Sysid of cars dimensions group
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->color","black
");
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->make","Honda
");
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->model","CRV");
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->luxury",fals
e);
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->cost",20000);
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->avg_mpg",28.
4);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gr_Inc.setDynamicAttributeValue("inc_dynamic_schema->cars->date_purchase
d", new GlideDateTime());
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->total_miles", 10000.12345);
gr_Inc.insert();
```

GlideRecord - setDynamicAttributeValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath**, オブジェクト値)

現在の GlideRecord の指定されたフィールドにある動的属性の値と指定された属性パスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
attributePath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例：「car->color」
値	オブジェクト	指定された動的属性を設定する値。 渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	動的属性が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:動的属性が正常に更新されました。 • false:エラーが発生しました。動的属性が更新されませんでした。*dynamicAttributeField*パラメーターと*groupAttrPath*パラメーターに有効なデータが含まれていることを確認してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// Update the value of the attribute
 'attribute_store->car->time_of_purchase' incident `INC0009009` to a
 timestamp (in UTC)
var gr1 = new GlideRecord('incident');
gr1.get('number', 'INC0009009');
gr1.setDynamicAttributeValue('attribute_store', 'car->time_of_purchase',
 '2020-05-13 13:52:44');
gr1.update();

// Then retrieve the value of the attribute on the same record
var gr2 = new GlideRecord('incident');
gr2.get('number', 'INC0009009');
gs.info("Time of Purchase Value        (UTC): " +
 gr2.getDynamicAttributeValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
gs.info("Time of Purchase DisplayValue (PST): " +
 gr2.getDynamicAttributeDisplayValue('attribute_store',
 'car->time_of_purchase'));
```

出力:

```
*** Script: Time of Purchase Value        (UTC): 2020-05-13 13:52:44
*** Script: Time of Purchase DisplayValue (PST): 2020-05-13 06:52:44
```

GlideRecord - setDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **fullPath**, オブジェクト値)

指定したパスにある動的属性の表示値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フルパス	文字列	表示値を更新する動的属性を見つけるために使用するパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。
値	オブジェクト	指定された動的属性の設定先の値を表示します。 渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	動的属性の表示値が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:動的属性の表示値が正常に更新されました。 • false:エラーが発生しました。動的属性の表示値が更新されませんでした。*fullPath*パラメーターに、目的の属性への有効なパスが含まれていることを確認します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grProdTab = new GlideRecord('products_table');
grProdTab.query();
grProdTab.next();
var val =
 grProdTab.setDynamicAttributeDisplayValue('product_details->cars->date_p
urchased', '2023-03-31 08:54:26');
```

GlideRecord - setDynamicAttributeDisplayValue(文字列 **dynamicAttributeField**, 文字列 **groupAttrPath**, オブジェクト値)

現在の GlideRecord の指定されたフィールドにある動的属性の表示値と指定された属性パスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的属性を含むテーブル内のフィールドの名前。
groupAttrPath	文字列	関連する動的スキーマ属性を見つけるために使用する属性パス。 フォーマット:「`group_name->attr_name`」 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの [名前] フィールドまたは動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [グループ] フィールドにあります。 • `attr_name`:動的グループ内の動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの [名前] フィールドにあります。 例：「car->color」
値	オブジェクト	指定された動的属性の設定先の値を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		渡される値は、次のいずれかのデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	動的属性の表示値が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:動的属性の表示値が正常に更新されました。 • false:エラーが発生しました。動的属性の表示値が更新されませんでした。*dynamicAttributeField*パラメーターと*groupAttrPath*パラメーターに有効なデータが含まれていることを確認してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grProdTab = new GlideRecord('products_table');
grProdTab.query();
grProdTab.next();
var val = grProdTab.setDynamicAttributeDisplayValue('product_details',
 'cars->date_purchased', '2023-03-31 08:54:26');
```

GlideRecord - setDynamicAttributeValues(文字列 **dynamicAttributeField**, **GlideDynamicAttributeStore** 値)

渡された GlideDynamicAttributeStore オブジェクトで指定された値を使用して 1 つ以上の動的属性値を設定します。

このメソッドは、引数として渡された属性と値のみを更新します。指定されていない GlideRecord の属性と値は、この呼び出しの影響を受けません。無効なグループ、属性、または値はすべて無視されます。考えられるエラー情報については、ログメッセージを確認してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dynamicAttributeField	文字列	動的スキーマ を含む現在のテーブル内のフィールドの名前。
値	GlideDynamicAttributeStore	更新する動的属性を含む GlideDynamicAttributeStore オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		オブジェクトに入力される値は、次のデータタイプである必要があります。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var das = new GlideDynamicAttributeStore();
das.setDynamicAttributeValue('group->attribute1', 'Apple');
das.setDynamicAttributeValue('group->attribute2', 1234);

var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.query();
gr_Inc.next();
gr_Inc.setDynamicAttributeValues(das);
```

GlideRecord - setForceUpdate(ブーリアン force)

フィールドが変更されていない場合でもレコードを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
force	ブーリアン	フィールドが変更されていない場合でも更新する場合は true、更新しない場合は false。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、itfm_cost_model テーブル内のレコードを変更せずに強制的に更新する方法を示しています。

```
function() {
  gs.log("Update Script: Upgrade_cost_model_data.js started");
  var now_GR = new GlideRecord("itfm_cost_model");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  now_GR.initialize();
  now_GR.addNullQuery("source_table");
  now_GR.query();
  while (now_GR.next()) {
    now_GR.setForceUpdate(true);
    var sourceTable = getSourceTable(now_GR.getValue('clone_from'));
    if(sourceTable){
      now_GR.setValue("source_table", sourceTable);
      now_GR.setWorkflow(false);
      now_GR.update();
    }
  }
}
```

GlideRecord - setLimit(数値 **limit)**

クエリから GlideRecord で返すレコードの最大数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
limit	数値	フェッチするレコードの制限。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、クエリで返されるレコードの数を最大 10 に設定します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderByDesc('sys_created_on');
now_GR.setLimit(10);
now_GR.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setLimit()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setLimit() を使用します。

GlideRecord - setLocation(数値 **rowNumber)**

現在の行の場所を指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rowNumber	数値	現在の行として設定する行番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、インシデントテーブルにレコードの位置を設定する方法を示しています。

```
verifySetLocation : function() {
  var now_GR = new GlideRecord("incident");
  now_GR.query();
  var recordIDs = new Array();
  while(now_GR.next()) {
  recordIDs.push(now_GR.getValue("sys_id"));
  }
  for (var ix = recordIDs.length - 1; ix >= 0; ix--) {
    now_GR.setLocation(ix);
    Assert.assertEquals(recordIDs[ix], now_GR.getValue("sys_id"),
      "The entry retrieved for the index " + ix + " is not valid");
  }
}
```

GlideRecord - setNewGuid()

新しい GUID を生成し、現在のレコードに対する一意の ID (sys_id) として設定します。

この関数は新しいレコードにのみ適用されます。既存のレコードの GUID は変更できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のレコードの sys_id。

この例では、新しいタスクレコードを作成し、その ID を task_rel_task テーブルに格納します。

```
var task = new GlideRecord ('task');
var tsk_id = task.setNewGuid();

task.description = "Request: " + current.request.number;
task.description = task.description + "\n" + "Requested by: " +
 current.request.u_requested_by.name;
task.description = task.description + "\n" + "Requested for: " +
 current.request.u_requested_for.name;
task.description = task.description + "\n" + "Item: " +
 current.cat_item.name;

var now_GR = new GlideRecord ('task_rel_task');
//link the incident to the request
now_GR.parent = current.request;
now_GR.child = tsk_id;
now_GR.insert();
```

GlideRecord - setNewGuidValue (文字列 guid)

新しい GUID を生成し、新しいレコードを挿入するときに、現在のレコードに対する一意の ID として設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
guid	文字列	新しい GUID の値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、新しい GUID を生成し、新しく作成された cmdb_software_instance レコードの一意の ID として設定します。

```
var gobj = new GlideRecord('sys_db_object');
gobj.addQuery('name','cmdb_software_instance');
gobj.query();
if (!gobj.next()) {
  var si = new GlideRecord('cmdb_software_instance');
  si.query();
  var count = 0;
  while (si.next()) {
  if (!si.isValidField('sys_class_name')) {
    var ci = new GlideRecord('cmdb_ci');
    ci.name = si.name;
    ci.setNewGuidValue(si.sys_id);
    ci.sys_class_name = 'cmdb_software_instance';
    ci.insert();
    count++;
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setNewGuidValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setNewGuidValue() を使用します。

GlideRecord - setQueryReferences(ブーリアン **queryReferences)**

参照フィールドをクエリするときに、参照フィールドの表示名の使用を有効または無効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
queryReferences	ブーリアン	生成するデータの時刻を示すフラグ。 有効な値： • true：表示名の文字列を生成します。 • false：sys_id の文字列を生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var grByName = new GlideRecord(this.TEST_TABLE);
grByName.addQuery("caller_id", userDisplayName);
grByName.setQueryReferences(true);
grByName.query();
if (grByName.hasNext()) {
  while(grByName.next()) {
    gs.print("Incident caller_id=" + grByName.caller_id);
  }
} else {
  gs.print("NO RESULTS");
}
```

GlideRecord - setUseEngines(ブーリアン e)

任意のエンジン (承認ルール/アサインルール) の実行を無効または有効にします。

⚠ **警告:** エンジンの実行を無効にすると、ServiceNow® インスタンスとその動作に重大な影響を与える可能性があります。本番環境に展開する前に、この変更を十分にテストしてください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
e	ブーリアン	エンジンの実行を有効または無効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エンジンを有効にする • false：エンジンを無効にする

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、クエリを実行する前にエンジンとビジネスルールを無効にする方法を示します。

```
function auditOAuthInboundRequestsUsage(){
  var now_GR = new GlideRecord("oauth_credential");
  var oauthClient = now_GR.addJoinQuery("oauth_entity", "peer",
 "sys_id");
  now_GR.addQuery("type", "access_token");
  now_GR.addQuery("expires", ">", nowDateTime());
  now_GR.addNullQuery("oauth_requestor_profile");
  oauthClient.addCondition("active", "true");
  oauthClient.addCondition("type", "client");
  now_GR.setUseEngines(false);
  now_GR.setWorkflow(false);
  now_GR.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  return now_GR.hasNext();
}
```

GlideRecord - setValue(文字列 **name**, オブジェクト **value**)

指定されたフィールド、または動的属性ストア内の属性を指定された値に設定します。

通常、スクリプトは、 たとえば `now_GR.category = value` のような直接割り当てを実行します。ただし、スクリプトで要素名が変数の場合は、`now_GR.setValue(elementName, value)` を使用できます。値を設定するときは、フィールドのデータタイプが入力した値のデータタイプと一致していることを確認してください。

value パラメーターが null の場合、レコードは更新されず、エラーはスローされません。

注: このメソッドは、ジャーナルフィールドでは使用できません。代わりに GlideElement.setJournalEntry() を使用してください。

注: 列レベル暗号化エンタープライズ プラグインが有効になっていて、インスタンスがキーにアクセスできる場合、このメソッドは暗号化されたデータを暗号化されたフィールドに挿入できます。インスタンスがキーにアクセスできない場合、このメソッドはエラーを返します。詳細については、「 Platform Encryption 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	値を設定するフィールドの名前、または動的属性ストア内の属性へのパス。 動的パスの形式: `dyn_att_field->group_name->attribute_name` • `dyn_att_field`:テーブルの動的属性ストアフィールドの名前。 • `group_name`:属性が関連付けられているグループの名前。動的属性グループ [dynamic_attribute_group] テーブルの group_name フィールドにあります。 • `attr_name`:動的属性の名前。動的属性 [dynamic_attribute] テーブルの属性フィールドにあります。 動的属性の詳細については、「 動的なスキーマ 」を参照してください。
値	オブジェクト	指定されたフィールドで設定する値。 **注:** 動的属性の場合、次のデータタイプのみがサポートされます。 • ブーリアン (true/false) • 10 進数 • 浮動小数点数 • GlideDate • GlideDateTime • 整数 • 文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、planned_task テーブルのステータスフィールドの値を設定する方法を示しています。

```
function() {
  var topTask = new GlideRecord('planned_task');
  topTask.setValue('state', -5);
  var childTask = new GlideRecord('planned_task');
  childTask.setValue('state', -5);
  var s = new PlannedTaskStateManagement(childTask, topTask);
  var state = s.manageStateChange(false);
  Assert.assertEquals("-5", state);
}
```

この例では、動的属性の値を設定する方法を示します。

```
var gr_Inc = new GlideRecord('incident');
gr_Inc.setValue('inc_dynamic_groups',
 '78db044fc4b44210f8770961513dd7fe'); //Sysid of cars dimensions group
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->color", "black");
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->make", "Honda");
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->model", "CRV");
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->luxury", false);
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->cost", 25000);
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->avg_mpg", 28.4);
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->date_purchased", new
 GlideDateTime());
gr_Inc.setValue("inc_dynamic_schema->cars->total_miles", 10000.12345);
gr_Inc.insert();
```

自動翻訳

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setValue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setValue() を使用します。

GlideRecord - setWorkflow(ブーリアン e)

後続のアクションによって通常トリガーされるビジネスルールの実行を有効または無効にします。*e* パラメーターが false に設定されている場合、挿入/更新は監査されません。監査は GlideRecord 操作でパラメーターが true に設定されている場合にのみ行われます。

注: 後で *deleteProblem()* または *deleteMultiple()* メソッドを使用してカスケード削除を行う場合、*setWorkflow()* メソッドは無視されます。

警告: ビジネスルールの実行を無効にすると、ServiceNow® インスタンスとその動作に重大な影響を与える可能性があります。本番環境に展開する前に、この変更を十分にテストしてください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
e	ブーリアン	ビジネスルールの実行を有効または無効にするかどうかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true：ビジネスルールを有効にする • false：ビジネスルールを無効にする

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
doit('name1','name2');

function doit(username1,username2) {

  var usr1 = new GlideRecord('sys_user');
  var usr2 = new GlideRecord('sys_user');
  var num = 0;

  if (usr1.get('user_name',username1) && usr2.get('user_name',username2))
 {
    var ref;
    var dict = new GlideRecord('sys_dictionary');
    dict.addQuery('reference','sys_user');
    dict.addQuery('internal_type','reference');
    dict.query();
    while (dict.next()) {
      num = 0;
      ref = new GlideRecord(dict.name.toString());
      ref.addQuery(dict.element,usr1.sys_id);
      ref.query();
      while (ref.next()) {
        ref.setValue(dict.element.toString(),usr2.sys_id);
        ref.setWorkflow(false);
        ref.update();
        num++;
      }
      if (num > 0) {
        gs.print(dict.element + ' changed from ' + usr1.user_name +
          ' to ' + usr2.user_name + ' in ' + num + ' ' + dict.name + '
 records');
      }
    }
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setWorkflow()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の setWorkflow() メソッドを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideRecord - update(オブジェクト reason)

行われた変更で GlideRecord を更新します。レコードが存在しない場合は挿入されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
理由	オブジェクト	オプション。更新の理由。理由は監査レコードに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	新規または更新レコードの sys_id。更新に失敗した場合は null を返します。

この例では、task_ci テーブルのレコードを更新します。

```
var now_GR = new GlideRecord('task_ci');
now_GR.addQuery();
now_GR.query();
var count = now_GR.getRowCount();
if (count > 0) {
   var allocation = parseInt(10000 / count) / 100;
   while (now_GR.next()) {
      now_GR.u_allocation = allocation;
      now_GR.update();
   }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *update()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド update() を使用します。

GlideRecord - updateMultiple()

指定された一連の変更を使用して、指定されたクエリの各 GlideRecord を更新します。

ジャーナルエントリの追加については、setJournalEntry() メソッドを参照してください。

glide.db.forced.chunk.threshold システムプロパティは、チャンクレコードの削除と更新を強制するしきい値を設定します。チャンクは、巨大なテーブルでプライマリキー以外の削除によってレプリケーションの問題が発生するのを防ぐのに役立ちます。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

> **注:** 期待される結果を確実に得るには、直接の割り当ての代わりに *setValue()* メソッドを使用します。つまり、`gr_Now.setValue('<field_name>', '4'));` を使用します。`gr_Now.<field_name> = 4` の代わりに。

> **注:** 大きなテーブルを操作する場合は、このメソッドと *chooseWindow()* または *setLimit()* を一緒に使用しないでください。

このメソッドは新しい値を設定しますが、既存の値はクリアしません。既存の値をクリアするには、*setValue()* メソッドを使用し、フィールドを *null*に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、すべてのアクティブなインシデントのステータスを 4 -「ユーザー情報待ち」に更新する方法を説明します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('active', true);
now_GR.setValue('state',  4);
now_GR.updateMultiple();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *updateMultiple()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド updateMultiple() を使用します。

GlideRecord - updateWithReferences(オブジェクト reason)

レコードを更新し、提供された情報で関連レコードの挿入または更新も行います。

パラメーター

名前	タイプ	説明
理由	オブジェクト	更新の理由。理由は監査レコードに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	更新されるレコードの sys_id。

問い合わせユーザー ID が sys_user レコード「John Doe」を参照するように設定されているインシデントを処理する場合、次のコードは John Doe のユーザーレコードを更新します。問い合わせユーザー ID が指定されていないインシデントを処理する場合、次のコードは指定された情報 (first_name、last_name) で新しい sys_user レコードを作成し、新しく作成された sys_user レコードに問い合わせユーザー ID 値を設定します。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.get(inc_sys_id);  // Looking up an existing incident record where
 'inc_sys_id' represents the sys_id of a incident record
inc.caller_id.first_name = 'John';
inc.caller_id.last_name = 'Doe';
inc.updateWithReferences();
}
```

GlideRecord - スコープ指定

スコープ付き *GlideRecord* API はデータベース操作に使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideRecord API は、サーバーサイドコードでデータベースとやり取りするための主要な手段です。GlideRecord は、1 つのテーブルのレコードを含むオブジェクトです。API を使用して GlideRecord オブジェクトをインスタンス化し、クエリパラメーター、フィルター、制限、および順序付けを追加します。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

GlideRecord と同じ機能を実行し、ACL を適用するクラスの詳細については、「GlideRecordSecure の使用」を参照してください。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

レコードから値を取得する

ほとんどの場合、レコードから値を取得するためにドット連結を使用しないでください。ドット連結では、フィールド値ではなくオブジェクト全体が取得されます。オブジェクトを取得すると、より多くのストレージが使用されるため、アレイまたは サービスポータルで使用すると望ましくない結果が生じる可能性があります。

オブジェクト全体を取得する代わりに、次のいずれかのメソッドを使用してフィールド値をコピーできます。

- getValue()
- getDisplayValue()

GlideElement オブジェクトをドット連結する必要がある場合は、*toString()* メソッドを使用して値を取得します。たとえば、別の参照フィールドを設定するために、現在の問い合わせユーザーのマネージャーの sys_id が必要な場合があります。次の例は、オブジェクト全体の代わりに文字列値を取得する方法を示しています。

```
var mgr = current.caller_id.manager.toString();
```

関連項目：

- GlideAggregate
- GlideElement
- GlideQuery

スコープ対象 **GlideRecord - addActiveQuery()**

アクティブなレコードを返すフィルターを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	アクティブなレコードを返すフィルター。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addActiveQuery();
inc.query();
```

スコープ付き GlideRecord - addEncodedQuery(String query, Boolean enforceFieldACL)

設定されている可能性のある他のクエリにエンコードされたクエリを追加します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで `insert()`、`update()`、`deleteRecord()`、または `deleteMultiple()` メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

`glide.invalid_query.returns_no_rows` システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、`glide.invalid_query.returns_no_rows` が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	エンコードされたクエリ文字列。
enforceFieldACL	ブーリアン	オプション。フィールドの ACL (アクセス制御リスト) ルールを強制するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールド ACL を適用します。 • false:フィールド ACL を適用しません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var queryString = "priority=1^ORpriority=2";
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
  gs.addInfoMessage(now_GR.getValue('number'));
}
```

スコープ対象 **GlideRecord -** addFunction(オブジェクト **function)**

事前定義された GlideDBFunctionBuilder オブジェクトをレコードに適用します。

GlideDBFunctionBuilder スコープ対象クラスを使用して関数を定義します。関数を定義したら、addFunction(オブジェクト *function)* メソッドを使用して関数をレコードに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
function	オブジェクト	SQL 操作を定義する GlideDBFunctionBuilder オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var functionBuilder = new GlideDBFunctionBuilder();
var myAddingFunction = functionBuilder.add();
myAddingFunction = functionBuilder.field('order');
myAddingFunction = functionBuilder.field('priority');
myAddingFunction = functionBuilder.build();

// Query incidents in which order + priority is less than 5 and display
 that added value
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addFunction(myAddingFunction);
now_GR.addQuery(myAddingFunction, '<', 5);
now_GR.query();
while(now_GR.next())
  gs.info(now_GR.getValue(myAddingFunction));
```

出力:

```
1
4
3
1
1
2
1
```

スコープ対象 **GlideRecord –** addJoinQuery(文字列 **joinTable**, 文字列 **primaryField**, 文字列 **joinTableField)**

現在 GlideRecord に関連するテーブル内の関係に基づいてレコードを返すフィルターを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドを使用すると、グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルを介してデータベースグループ内のすべてのユーザーを検索するか、incident.problem_id 関係を介してインシデントが割り当てられているすべての問題を検索できます。

これは実際のデータベース結合ではなく、*addJoinQuery()* はサブクエリを追加します。結果セットは結合に基づいて制限されますが、アクセスできるのはベーステーブルのフィールド (GlideRecord が初期化されたときのテーブルに含まれるフィールド) のみです。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
joinTable	文字列	結合で使用するテーブルの名前 (*'incident'* など)。
primaryField	文字列	オプション。*joinTableField* パラメーターで指定されたフィールドを結合するために使用する GlideRecord 内のフィールドの名前。 デフォルト：sys_id
joinTableField	文字列	オプション。テーブルの結合に使用するために *joinTable* で指定されたテーブル内のフィールドの名前。 デフォルト：現在の GlideRecord テーブルへの参照フィールドである *joinTable* で指定されたテーブルの最初のフィールド。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	関係が一致するレコードを一覧表示するフィルター。

インシデントが添付されている問題を検索します。この例では、インシデントが関連付けられている問題を返します。ただし、クエリの一部として返されるインシデントからは値はプルされません。

```
var prob = new GlideRecord('problem');
prob.addJoinQuery('incident');
prob.query();
```

関連付けられたインシデントで非アクティブな問題を検索します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Look for Problem records that have associated Incident records
var now_GR = new GlideRecord('problem');
var grSQ = now_GR.addJoinQuery('incident');

// Where the Problem records are "active=false"
now_GR.addQuery('active', 'false');

// And the Incident records are "active=true"
grSQ.addCondition('active', 'true');

// Query
now_GR.query();

// Iterate and output results
while (now_GR.next()) {
gs.info(now_GR.getValue('number'));
}
```

インシデントの *caller_id* フィールド値が問題の *opened_by* フィールド値と一致するインシデントが関連付けられている問題を検索します。

```
var now_GR = new GlideRecord('problem');
        now_GR.addJoinQuery('incident', 'opened_by', 'caller_id');
        now_GR.query();
```

スコープ対象 **GlideRecord** - addNotNullQuery(文字列 **fieldName)**

パラメーターで渡されたフィールドの値が null でないレコードを指定するフィルター。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	確認するフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	パラメーターで渡されたフィールドの値が null でないレコードを指定するフィルター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var target = new GlideRecord('incident');
target.addNotNullQuery('short_description');
target.query();   // Issue the query to the database to get all records
 where short_description is not null
while (target.next()) {
     // add code here to process the incident record
}
```

スコープ対象 **GlideRecord** - addNullQuery(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドの値が null であるレコードを返すフィルターを追加します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	確認するフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加されたクエリ条件。

```
var target = new GlideRecord('incident');
target.addNullQuery('short_description');
target.query();   // Issue the query to the database to get all records
 where short_description is null
while (target.next()) {
   // add code here to process the incident record
}
```

スコープ対象 **GlideRecord** - addQuery(文字列 **query)**

エンコードされたクエリ文字列を使用してレコードを返すフィルターを追加します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	エンコードされたクエリ文字列。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加されたクエリ条件。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active=true');
rec.query();
while (rec.next()) {
  rec.setValue('active', false);
  gs.info('Active incident ' + rec.getValue('number') + ' closed');
  rec.update();
}
```

スコープ対象 **GlideRecord** - addQuery(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

検索クエリを構築し、要求に一致する行を返します。

SQL に精通している場合、このメソッドは「where」句に似ています。1 つのクエリで 1 つ以上の *addQuery()* を呼び出すことができます。この場合、クエリは AND 化されます。クエリ ステートメントのいずれかを OR 化する必要がある場合は、*GlideQueryCondition* メソッドの addOrCondition() を使用します。

`myObj.addQuery('category','Hardware');` など、テーブル名と比較値の 2 つのパラメーターのみを使用して *addQuery()* が呼び出されると、演算子は「次の値に等しい」とみなされます。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	クエリするテーブルフィールドの名前、または次の予約済み名のいずれか。 • 123TEXTQUERY321: クエリに文字列検索用語を追加します。一致させる文字列を値として指定します。このオプションを使用して、検索文字列を含むフィールド値を持つレコードを返します。このオプションでは、テーブル内のすべてのフィールドが検索対象となります。これらのフィールドは、インデックス作成と検索用に構成する必要があります。インデックス作成と検索のためのテーブルの構成の詳細については、「インデックス作成と検索のための単一のテーブルの構成」を参照してください。 • 123TEXTINDEXGROUP321：テキストインデックスグループをクエリに追加します。クエリするテキストインデックスグループ [ts_index_group] テーブル内のテキストインデックスグループの名前を値として指定します。このオプションを使用して、テキストインデックスグループ内のいずれかのテーブルから検索結果を返し、そのテキストインデックスグループの設定を使用して正規化された結果の関連性スコアを返します。テキストインデックスグループの構成の詳細については、「インデックス作成と検索用の複数のテーブルの構成」を参照してください。 注: 予約済みの名前の使用の詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。
値	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加されたクエリ条件。

このコード例は、インシデントテーブル内のアクティブなレコードをクエリし、それらをすべて非アクティブに設定する方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active', true);
rec.query();
while (rec.next()) {
  rec.setValue('active', false);
  rec.update();
}
```

このコード例では、kb_knowledge テーブル内の "email server" に一致するレコードのクエリを追加し、ポータル テキスト インデックス グループの設定を使用して検索結果の関連性値を計算します。

```
var now_GR = new GlideRecord("kb_knowledge);
now_GR.addQuery("123TEXTQUERY321", "email server");
now_GR.addQuery("123TEXTINDEXGROUP321", "portal");
now_GR.query();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スコープ対象 **GlideRecord** - addQuery(文字列 **name**, 文字列 **operator**, オブジェクト **value**)

要求を作成する機能を提供します。要求は実行されると、要求に一致する指定されたテーブルから行を返します。

SQL に精通している場合、このメソッドは「where」句に似ています。1 つのクエリで 1 つ以上の *addQuery()* を呼び出すことができます。この場合、クエリは AND 化されます。クエリステートメントのいずれかを OR 化する必要がある場合は、*GlideQueryCondition* メソッドの addOrCondition() を使用します。

クエリを本番インスタンスに展開する前に、必ず準本番インスタンスでテストしてください。正しく構成されていないエンコードクエリ (無効なフィールド名を含むなど) は無効なクエリを生成します。無効なクエリが実行されると、クエリ条件の無効な部分が削除され、結果はクエリの有効な部分に基づいて生成されます。これにより、テーブルからすべてのレコードが返される可能性があります。正しくないクエリで *insert()*、*update()*、*deleteRecord()*、または *deleteMultiple()* メソッドを使用すると、データが失われる可能性があります。

glide.invalid_query.returns_no_rows システムのプロパティを true に設定すると、無効なエンコードクエリを含むクエリはレコードを返さなくなります。場合によっては、*glide.invalid_query.returns_no_rows* が true に設定されていても、クエリが API 結果のレコードを返すことがあります。これは、無効なクエリ用語が WHERE 演算子で使用されているクエリで発生します。このようなクエリでは、WHERE 演算子は無効な用語を無視しますが、クエリ ステートメントの残りの部分を解釈して返します。このシステムプロパティとその機能の詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	テーブルフィールド名。
operator	文字列	クエリ演算子。使用可能な値は、*value* パラメーターのデータタイプによって異なります。 数値： • = • != • > • >= • < • <= 文字列 (大文字である必要があります)： • = • != • IN • NOT IN • STARTSWITH • ENDSWITH • CONTAINS • DOES NOT CONTAIN • INSTANCEOF

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: LIKE 演算子の代わりに CONTAINS を使用します。
value	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。

返される内容

タイプ	説明
GlideQueryCondition	GlideRecord に追加されたクエリ条件。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',true);
rec.addQuery('sys_created_on', ">", "2010-01-19 04:05:00");
rec.query();
while (rec.next()) {
  rec.setValue('active', false);
  gs.info('Active incident ' + rec.getValue('number') + ' closed');
  rec.update();
}
```

IN 演算子を使用します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('number','IN','INC00001,INC00002');
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
  //do something....
}
```

スコープ対象 **GlideRecord** - addValue(文字列 **field**, 数値 **value)**

現在の GlideRecord オブジェクトのデータベースレベルで、指定された数値フィールドに対するアトミックな加算および減算操作を指定します。

通常、GlideRecord オブジェクトはデータベース内の 1 つのレコードとして書き込まれます。個々のフィールド値は定義されたとおりに格納されます。GlideRecord フィールドに値を追加するコードの場合、フィールドをアトミックにインクリメントするのではなく、単に新しい値でフィールドをデータベースに保存します。

たとえば、次のコードを実行すると、データベースの *[u_count]* フィールドの値は 2 になります。

```
gs.info(now_GR.u_count); // "1"
now_GR.u_count += 1;
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR.sys_id);
gs.info(now_GR.u_count); // "2"
```

別のユーザーが同じコードを同時に実行すると、2 つの操作でそれぞれ *u_count* に 1 が加算されるのではなく、正味の効果として *u_count* に 2 しか含まれず、1 つの操作の更新が実際に失われます。

逆に、*addValue()* メソッドは、レコードが更新されたときにアトミックな操作としてデータベースで加算/減算を実行します。同時に実行されている 2 つの操作でそれぞれフィールドが適切に更新されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
gs.info(now_GR.u_count); // "1"
now_GR.addValue("u_count", 1);
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR.sys_id); // The record must be reloaded from the
 database to observe the result
gs.info(now_GR.u_count); // "3", if executed concurrently with another
 user
```

注: 明示的に行わない限り、新しい値はデータベースから読み取られません。

setValue() と同様に、*addValue()* の変更は *update()* または *insert()* への後続の呼び出し後にのみデータベースで有効になります。*insert()* が呼び出されると、指定されたフィールドは *addValue()* に渡される *value* パラメーターで初期化されます。

注: *addValue()* を呼び出す前に指定したフィールドに対して *setValue()* を呼び出すと、*addValue()* メソッドは処理されず、エラーメッセージがログに記録されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	この GlideRecord 内の変更するフィールドの名前。 **注:** 関連付けられたフィールドのデータタイプは整数である必要があります。このメソッドは、long などの他のデータ型をサポートしていません。
値	整数	レコードの保存時に値に追加する金額。減算操作を実行するには、単に負の値を渡します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

加算される値を表示します。

```
gs.info(now_GR.u_count); // "1"
now_GR.addValue("u_count", 1);
now_GR.update();
now_GR.get(now_GR.sys_id); // The record must be reloaded from the
 database to observe the result
gs.info(now_GR.u_count);
```

出力：

```
2
```

減算される値を表示します。

```
gs.info(now_GR.u_count); // "4"
now_GR.addValue("u_count", -1);
now_GR.update();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
now_GR.get(now_GR.sys_id); // The record must be reloaded from the
 database to observe the result
gs.info(now_GR.u_count);
```

出力：

```
3
```

スコープ対象 **GlideRecord** - applyEncodedQuery(文字列 **queryString)**

指定されたエンコードクエリ用語の値を設定し、現在の GlideRecord に適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
queryString	文字列	現在の GlideRecord に適用するエンコードクエリ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function createAcl(table, role) {
  gs.info("Checking security on table " + table);
  var now_GR = new GlideRecord("sys_security_acl");
  now_GR.addQuery("name", table);
  now_GR.addQuery("operation", "read");
  now_GR.query();
  var encQuery = now_GR.getEncodedQuery();
  if (now_GR.next()) {
  // existing acl found so use it
    createAclRole(now_GR.getValue('sys_id'), role);
    return;
  } else {
    now_GR.initialize();
    now_GR.applyEncodedQuery(encQuery);
    var acl = now_GR.insert();
    gs.info("Added read access control on " + table);
    createAclRole(acl, role);
  }
}
```

スコープ対象 **GlideRecord - canCreate()**

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルへの新しいレコードの挿入を許可するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの作成が可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：作成は許可されている • false：作成は許可されていない

このコード例は、現在のユーザーがシステムログのインシデントテーブルにレコードを作成できるかどうかを記述しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gs.info(now_GR.canCreate());
```

スコープ対象 GlideRecord - canDelete()

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルでのレコードの削除を許可するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの削除が可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：削除は許可されている • false：削除は許可されていない

このコード例は、現在のユーザーがシステムログのインシデントテーブルでレコードを削除できるかどうかを記述しています。

```
var att = new GlideRecord('sys_attachment');
gs.info(att.canDelete());
```

スコープ対象 GlideRecord - canRead()

アクセス制御ルール (ACL) がこのテーブルでのレコードの読み取りを許可するかどうかを判断します。このメソッドでは、ユーザーロール、スクリプト化された ACL、スクリプト化された条件を持つ ACL など、すべての ACL タイプが評価されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールがこのテーブルのレコードの読み取りを許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：読み取りは許可されている • false：読み取りは許可されていない

このコード例は、現在のユーザーがシステムログのインシデントテーブルでレコードを読み取れるかどうかを記述しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gs.info(now_GR.canRead());
```

スコープ対象 GlideRecord - canWrite()

アクセス制御ルール (ユーザーのロールを含む) がこのテーブルでのレコードの編集を許可するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーのロールでこのテーブルのレコードの書き込みが可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：書き込みは許可されている • false：書き込みは許可されていない

このコード例は、現在のユーザーがシステムログのインシデントテーブルでレコードを書き込めるかどうかを記述しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gs.info(now_GR.canWrite());
```

スコープ対象/グローバル GlideRecord - chooseWindow(数値 firstRow, 数値 lastRow, ブーリアン forceCount)

後続のクエリによって返される行の範囲を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	含める最初の行。インデックスは 0 から始まるため、値 0 は最初の行を返します。
lastRow	数値	返されない最初の行の 0 ベースの行番号。Java の *String.substring(a,b)* メソッドと同様に動作します。 たとえば、*lastRow* = 4 および *firstRow* = 2 の場合、2 つのレコードが返されます (4-2)。
forceCount	ブーリアン	オプション。行数クエリを強制するかどうかを示すフラグ。この呼び出しのほとんどの実装では、行数がカウントされます。テキスト検索など、行数がカウントされない例外のケースもあります。このフラグを設定すると、行数がカウントされます。 有効な値： • true：行数は常にカウントされます。 • false：メソッドの通常の実行で実装されている場合、行数がカウントされます。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、インシデントテーブルからレコード 3 と 4 が返されることを示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderBy('number');
now_GR.chooseWindow(2, 4);
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
  gs.info(now_GR.getValue('number') + ' is within window');
}
```

出力

```
*** Script: INC0000003 is within window
*** Script: INC0000004 is within window
```

スコープ対象 GlideRecord - deleteMultiple()

クエリを満たすすべてのレコードを削除します。

このメソッドでは添付ファイルは削除されません。

通貨フィールドのあるテーブルで *deleteMultiple()* は使用しないでください。常に各レコードを個別に削除してください。また、大きなテーブルを操作する場合は、このメソッドと *chooseWindow()* メソッドまたは *setLimit()* メソッドを一緒に使用しないでください。*setLimit()* メソッドは、*deleteMultiple()* で削除されるレコードの数を制限しません。クエリーによって返されたすべてのレコードは、 *setLimit()* に関係なく削除されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

glide.db.forced.chunk.threshold システムプロパティは、チャンクレコードの削除と更新を強制するしきい値を設定します。チャンクは、巨大なテーブルでプライマリキー以外の削除によってレプリケーションの問題が発生するのを防ぐのに役立ちます。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、インシデントテーブルからすべての非アクティブなレコードを削除する方法を示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('active','false');
now_GR.query();
now_GR.deleteMultiple();
```

スコープ対象 GlideRecord - deleteRecord()

現在のレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが正常に削除されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：レコードが削除されました。 • false：削除するレコードが見つかりませんでした。

この例では、インシデントテーブルから指定されたレコードを削除する方法を示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
//to delete one record
if (now_GR.get('99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9'))
    now_GR.deleteRecord();
```

この例では、レコードが挿入された直後にインシデントテーブルからレコードを削除する方法を示します。インシデント *GlideRecord* は、挿入後に削除する前にリロードする必要があります。

```
var grTicket = new GlideRecord('incident');
grTicket.initialize();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
grTicket.short_description = 'Example ticket';
grTicket.work_notes = 'An update about the ticket';
var ins_sys_id = grTicket.insert(); // Insert the record
grTicket.get(ins_sys_id); // Reload the inserted record
gs.info(grTicket.deleteRecord()); // Delete the record
```

出力:

```
true
```

スコープ対象 **GlideRecord** - get(オブジェクト **name**, オブジェクト **value)**

現在の GlideRecord オブジェクトに指定されたレコードを返します。

このメソッドは、1 つまたは 2 つのパラメーターを受け入れます。パラメーターが 1 つだけ渡される場合、メソッドは目的のレコードの sys_id であると見なします。見つからない場合は、値を表示値と照合しようとします。2 つのパラメーターが渡される場合、最初のパラメーターは検索する GlideRecord 内の列の名前です。2 つ目は検索する値です。

複数のレコードが見つかった場合は、*`next()`* を使用して追加のレコードにアクセスします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	オブジェクト	オプション。指定された *`value`* パラメーターを検索するためにインスタンス化された GlideRecord 列の名前。パラメーターが 1 つだけ渡される場合、メソッドはこのパラメーターが sys_id または表示値であると見なします。
value	オブジェクト	照合する値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要求されたレコードが見つかったかどうかを示します。 • true：レコードが見つかりました • false：レコードが見つかりませんでした

この例では、sys_id を渡すことによってインシデントレコードを取得する方法を示しています。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
var returnValue = grIncident.get('99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9');
gs.info(returnValue); // logs true or false
gs.info(grIncident.short_description); // logs Incident Short description
```

この例は、検索するフィールド (caller_id.name) とそのフィールド内で照合する値を渡すことによって、インシデントレコードを取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
var returnValue = grIncident.get('caller_id.name','Sylivia Wayland');
gs.info(returnValue); // logs true or false
gs.info(grIncident.getValue('number')); // logs Incident Number
```

スコープ対象 **GlideRecord** - getAttribute(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドの辞書属性を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	ディクショナリ属性を返すフィールド名

返される内容

タイプ	説明
文字列	ディクショナリ属性

```
doit();
function doit() {
  var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
  now_GR.query("user_name","admin");
  if (now_GR.next()) {
    gs.info("we got one");
    gs.info(now_GR.location.getAttribute("tree_picker"));
  }
}
```

スコープ対象 **GlideRecord - getClassDisplayValue()**

現在のテーブルのラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルを識別するラベル。

この例では渡されたテーブルのラベルを出力します。

```
// Display the incident table label
var now_GR = new GlideRecord("incident");
var value = now_GR.getClassDisplayValue();
gs.info("The table label is " + value + ".");
```

出力：

```
The table label is Incident.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideRecord - getDisplayValue()

現在のレコードの表示値を取得します。

表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。

返される表示値はフィールドタイプに依存します。

- 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。
- 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。
- 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。
- 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のレコードの表示値。

この例では、指定されたインシデントレコードの表示値をログに書き込みます。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('sys_id','<sys_id>');
gs.info(now_GR.getDisplayValue());
```

出力：

```
INC0000050
```

スコープ対象 GlideRecord - getED()

要素の記述子を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideElementDescriptor	要素の記述子。

この例は、インシデント GlideRecord の名前フィールドを取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var grInc = new GlideRecord('incident');
grInc.get('sys_id','ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3');

var field = grInc.getElement('priority');
var ed = field.getED();

var isEdge = ed.getLabel();
gs.info("Label is - " + isEdge);
```

出力：

```
Label is - Priority
```

スコープ対象 **GlideRecord -** getElement(文字列 **fieldName)**

指定されたフィールドの GlideElement オブジェクトを取得します。

このメソッドによって返される値は、完全な GlideElement オブジェクトです。結果は、フィールド値をドット連結するのと同じです。たとえば、`now_GR.getElement('short_description')` は `nowGR.short_description`と同じ結果を返します。

ほとんどの場合、レコードから値を取得するためにドット連結を使用しないでください。ドット連結では、フィールド値ではなくオブジェクト全体が取得されます。オブジェクトを取得すると、より多くのストレージが使用されるため、アレイまたは サービスポータルで使用すると望ましくない結果が生じる可能性があります。

オブジェクト全体を取得する代わりに、次のいずれかのメソッドを使用してフィールド値をコピーできます。

- getValue()
- getDisplayValue()

GlideElement オブジェクトをドット連結する必要がある場合は、 *toString()* メソッドを使用して値を取得します。たとえば、別の参照フィールドを設定するために、現在の問い合わせユーザーのマネージャーの sys_id が必要な場合があります。次の例は、オブジェクト全体の代わりに文字列値を取得する方法を示しています。

```
var mgr = current.caller_id.manager.toString();
```

関連項目：

- GlideElement – toString()
- getElements()

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	GlideElement オブジェクトを返す対象の列名。

返される内容

タイプ	説明
GlideElement	現在のレコードの指定された列の GlideElement。各オブジェクトは、現在の GlideRecord のフィールドを記述します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の例は、[簡単な説明] フィールドに詳細を含む新しいインシデントレコードを追加する方法を示しています。

```
var elementName = 'short_description';
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.newRecord();
now_GR.setValue(elementName, "My DB is not working");
now_GR.insert();

var sdesc = now_GR.getElement('short_description');
gs.info(sdesc.getValue());
```

出力：

```
My DB is not working
```

スコープ対象 GlideRecord - getElements()

GlideElement オブジェクトのアレイを返します。各オブジェクトは、現在の GlideRecord のフィールドを記述します。

GlideElement オブジェクトをドット連結する必要がある場合は、 *toString()* メソッドを使用して値を取得します。たとえば、別の参照フィールドを設定するために、現在の問い合わせユーザーのマネージャーの sys_id が必要な場合があります。次の例は、オブジェクト全体の代わりに文字列値を取得する方法を示しています。

```
var mgr = current.caller_id.manager.toString();
```

関連項目：

- GlideElement – toString()
- getElement()

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	GlideElement オブジェクトのアレイ。各オブジェクトは、現在の GlideRecord のフィールドを記述します。

次の例では、質問 [question] テーブルに作成された 5 つの最新レコードの名前フィールドの値を表示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('question');
var elementArr = now_GR.getElements();
now_GR.orderByDesc('sys_created_on');
now_GR.setLimit(5);
now_GR.query();

while (now_GR.next()){
  var qNames = now_GR.name.toString();
  elementArr.push(qNames);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info(qNames);
}
```

出力：

```
delivery_time_var
delivery_time
sequence
priority
assigned_group
```

スコープ対象 GlideRecord - getEncodedQuery()

現在の結果セットのクエリ条件をエンコードされたクエリ文字列として取得します。

詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('active', true);
now_GR.addQuery('priority', 1);
now_GR.query();
var encodedQuery = now_GR.getEncodedQuery();
gs.info(encodedQuery);
```

出力：

```
active=true^priority=1
```

スコープ対象 GlideRecord - getLabel()

フィールドのラベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドのラベル

```
template.print("Summary of Requested items:\n");
var now_GR = new GlideRecord("sc_req_item");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
now_GR.addQuery("request", current.sysapproval);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
var nicePrice = now_GR.price.toString();
  if (nicePrice != '') {
    nicePrice = parseFloat(nicePrice);
    nicePrice = nicePrice.toFixed(2);
  }
  template.print(now_GR.number + ":  " + now_GR.quantity + " X " +
 now_GR.cat_item.getDisplayValue()
    + " at $" + nicePrice + " each \n");
  template.print("    Options:\n");
  for (key in now_GR.variables) {
  var now_V = now_GR.variables[key];
    if(now_V.getGlideObject().getQuestion().getLabel() != '') {
      template.space(4);
      template.print('     ' +
 now_V.getGlideObject().getQuestion().getLabel() + " = "
        + now_V.getDisplayValue() + "\n");
    }
  }
}
```

スコープ対象 **GlideRecord - getLastErrorMessage()**

最後のエラーメッセージを取得します。最後のエラーメッセージがない場合は、null が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としての最後のエラーメッセージ。

```
// Setup a data policy where short_description field in incident is
 mandatory
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.insert(); // insert without data in mandatory field
var errormessage = now_GR.getLastErrorMessage();
gs.info(errormessage);
```

出力：

```
Data Policy Exception: Short description is mandatory
```

スコープ対象 **GlideRecord -** getLink(ブーリアン **noStack)**

現在のレコードのリンクを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
noStack	ブーリアン	返されたリンクに sysparm_stack パラメーターを追加するかどうかを示すフラグ。このパラメーターは、現在のリンクを閉じた後にアクセスするページを指定します。 有効な値： • true：sysparm_stack パラメーターを添付しません。 • false：sysparm_stack パラメーターを添付します。 true の場合、sysparm_stack パラメーターはリンクに追加されません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のレコードへのリンク。

この例では、優先度「1」のすべてのインシデントレコードをクエリし、サーブレット URI と現在のレコードのリンクをシステムログに書き込みます。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addActiveQuery();
now_GR.addQuery("priority", 1);
now_GR.query();
now_GR.next();
gs.info(gs.getProperty('glide.servlet.uri') + now_GR.getLink(false));
```

出力：

```
https://instance.service-now.com/incident.do?sys_id=46e2fee9a9fe19810049b
49dee0daf58&sysparm_stack=incident_list.do?sysparm_query=active=true
```

スコープ対象 GlideRecord - getRecordClassName()

現在のレコードのクラス名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クラス名。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var recordClassName = now_GR.getRecordClassName();
gs.info(recordClassName);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
incident
```

スコープ対象 GlideRecord - getRowCount()

現在の GlideRecord オブジェクトの行数 (レコード) を取得します。

注: *GlideRecord* は一致するレコードを返すため、必要なレコード数のみが限られている場合は *GlideAggregate* ほど効率的ではない可能性があります。レコード数のみが必要で、一致するレコードを反復処理していない場合は、 *GlideAggregate* を使用します。

GlideRecord または GlideAggregate の番号レコードの取得

GlideRecord の *getRowCount()* API と *GlideAggregate getAggregate()* API は同様の情報を提供します。次の基準を使用して、最適なオプションを決定してください。

- *GlideRecord getRowCount()* メソッドは、クエリーから返されたレコードの数とレコード自体を示します。レコードに対してアクションを実行するためにセットを反復処理する前後の結果セット内のレコード数が必要な場合は、この方法を使用します。
- *GlideAggregate getAggregate()* メソッドは、実際のレコードを除き、クエリに一致するレコード数のみを取得します。集計は、クエリーを発行する前に *GlideAggregate* オブジェクトに設定する必要があります。

GlideRecord getRowCount() によるレコードとカウントの取得

次の例は、 *GlideRecord getRowCount()* を使用してアクティブなインシデントの合計数を取得する方法を示しています。

```
var incident = new GlideRecord("incident");
incident.addQuery("active", true);
incident.query();

gs.info("*** Total number of active incidents: {0}",
 incident.getRowCount());
```

GlideAggregate getAggregate() でレコード数のみを取得する

次の例は、レコード数のみを返す方法を示しています。この方法では一致するレコードを使用しないため、集計クエリを使用してカウントのみを返す方がはるかに効率的です。

```
var incident = new GlideAggregate("incident");
incident.addQuery("active", true);
incident.addAggregate("COUNT");
incident.query();

if (incident.next())
    gs.info("*** Total number of active incidents: {0}",
 incident.getAggregate("COUNT"));
```

ソリューションに最適なオプションの決定

レコード数のみを取得する場合は、 *GlideAggregate getAggregate()* メソッドが最適なオプションです。個々のレコードを使用して結果の数を取得するには、単一のクエリでこの機能が提供されるため、 *GlideRecord getRowCount()* を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	現在の GlideRecord の行数。

次の例は、インシデント [incident] テーブルからインシデントの数を取得する方法を示しています。

```
var numberOfIncidents = new GlideRecord('incident');
numberOfIncidents.query();
gs.info("Records in incident table: " + numberOfIncidents.getRowCount());
```

出力:

```
Records in incident table: 6920
```

スコープ対象 GlideRecord - getTableName()

GlideRecord に関連付けられたテーブル名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
gs.info(now_GR.getTableName());
```

スコープ対象 GlideRecord - getUniqueValue()

レコードのプライマリキーを取得します。特に指定しない限り、通常、これは sys_id です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としての一意のプライマリキー (キーが null の場合は null)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('kb_knowledge');
now_GR.query();
now_GR.next();
var uniqueid = now_GR.getUniqueValue();
gs.info(uniqueid);
```

スコープ対象 **GlideRecord** - getValue(文字列 **name)**

フィールド内の基礎となる要素の文字列値を取得します。

注: 列レベル暗号化エンタープライズ プラグインが有効になっていて、インスタンスがキーにアクセスできる場合、このメソッドは暗号化されたフィールドからクリアテキスト値を返します。インスタンスがキーにアクセスできない場合、このメソッドは暗号化された値を返します。詳細については、「 Platform Encryption 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	値を取得するフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	基礎となる要素の文字列値。フィールドが空の場合またはフィールドが存在しない場合は null を返します。ブーリアン値は、false および true ではなく「0」および「1」の文字列値として返されます。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderBy('number');
now_GR.query('active','true');
now_GR.next();
gs.info(now_GR.getValue('number'));
```

出力：

```
INC0000002
```

スコープ対象 **GlideRecord** - GlideRecord(文字列 **tableName)**

指定されたテーブルの GlideRecord クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	使用されるテーブル。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
```

スコープ対象 **GlideRecord - hasNext()**

GlideRecord オブジェクトにまだレコードがあるかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリ結果セットにさらにレコードがある場合は true。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
if (rec.hasNext()) {
  gs.info("Table is not empty");
}
```

スコープ対象 GlideRecord - insert()

現在のレコードに設定されているフィールド値を使用して、新しいレコードを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入されたレコードの sys_id。レコードが挿入されない場合は null。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.initialize();
now_GR.setValue('name', 'New Incident');
now_GR.setValue('description', 'Incident description');
now_GR.insert();
```

出力：

```
138fb4111b4d4d907cf30d03cd4bcb57
```

スコープ対象 GlideRecord - initialize()

挿入前に入力するのに適した空のレコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var grIncident = new GlideRecord('incident');
grIncident.initialize();
grIncident.setValue('short_description', 'New Incident');
grIncident.setValue('description', 'Incident description');
grIncident.insert();
```

スコープ対象 GlideRecord - isActionAborted()

現在のデータベースアクションを中止するかどうかを確認します。

isActionAborted() は、新しいスレッドに対して *next()* メソッドによって初期化 (false に設定) されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のデータベースアクションを中止するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：現在のデータベースアクションは中止されます。 • false：現在のデータベースアクションは中止されません。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');

gs.info(now_GR.isActionAborted());
```

出力：

```
false
```

スコープ対象 GlideRecord - isEncodedQueryValid(文字列 query)

指定されたエンコードクエリが有効かどうかを確認します。

指定されたエンコードクエリが有効な場合、addEncodedQuery() を呼び出したときと同様にクエリが適用されます。指定されたエンコードクエリが無効な場合、`sys_idNotValidnull` がエンコードクエリとして追加されます。

注: このメソッドは廃止され、クエリを実行しない isValidEncodedQuery() メソッドに置き換えられました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	検証するエンコードクエリ。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたエンコードクエリが有効かどうかを示すフラグ。 • true：渡されたエンコードクエリは有効です。 • false：渡されたエンコードクエリは無効です。

このコード例はエンコードされたクエリを検証し、クエリが有効な場合にロジックを実行する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident_sla');
var isValidQuery =
 now_GR.isEncodedQueryValid('inc_impact=1^taskslatable_active=true');
if (isValidQuery) {
  now_GR.query();
  .
  .
  .
}
```

スコープ対象 GlideRecord - isNewRecord()

現在のレコードがまだデータベースに挿入されていない新しいレコードかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが新規でデータベースに挿入されていない場合は true。

```
var now_GR = new GlideRecord("x_app_table");
now_GR.newRecord(); // create a new record and populate it with default
 values
gs.info(now_GR.isNewRecord());
```

スコープ対象 GlideRecord - isValid()

現在のテーブルが有効かどうか、またはレコードが正常に取得されたかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが有効かどうか、またはレコードが正常に取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：テーブルは有効、またはレコードは正常に取得されました。 • false：テーブルは無効、またはレコードは正常に取得されませんでした。

```
var comment_GR = new GlideRecord('cf_comment');
var commentId = '99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9';
comment_GR.get(commentId);
gs.info(comment_GR.isValid());
```

スコープ対象 GlideRecord - isValidEncodedQuery(文字列 query)

エンコードされたクエリの構文が正しいかどうかを確認します。

空の文字列 (`""`) を提供クエリとして渡す場合:

- 空の文字列 (`""`) はクエリがないことを表し、false を返します。
- `GlideRecord.addEncodedQuery("")` の後に `GlideRecord.query()` を呼び出すと、すべての行が返されます。クエリー・メソッドは、SQL SELECT ステートメントに似ています。SQLでは、「SELECT * FROM foo WHERE X」を使用すると、値Xがクエリを表します。クエリ値が指定されていない場合は、すべてのレコードが返されます (例:SELECT * FROM foo)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	検証するエンコードクエリ。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたエンコードクエリが有効かどうかを示すフラグ。 • true：渡されたエンコードクエリは有効です。 • false：渡されたエンコードクエリは無効です。

このコード例は、エンコードされたクエリが有効かどうかを確認する方法を示しています。

```
var queryString = "priority=1^ORpriority=2";
var now_GR = new GlideRecord('incident');
var isValidQuery = now_GR.isValidEncodedQuery(queryString);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
if (isValidQuery) {
  now_GR.addEncodedQuery(queryString);
  now_GR.query();
  .
  .
  .
}
```

スコープ対象 GlideRecord - isValidField(文字列 columnName)

指定されたフィールドが現在のテーブルで定義されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnName	文字列	フィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが現在のテーブルに対して定義されている場合は true。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.initialize();
gs.info(now_GR.isValidField("short_description"));
```

スコープ対象 GlideRecord - isValidRecord()

レコードが実際にレコードのクエリ/取得操作によって返されたかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリ/取得操作によってレコードが実際に返されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリ/取得操作によってレコードが返されました。 • false：レコードセットが終了し、レコードは返されませんでした。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
while (rec.next()) {
  gs.info(rec.number + ' exists');
}
gs.info(rec.isValidRecord());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ付き GlideRecord - isView()

レコードがビューまたはテーブルのどちらで作成されたかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードがビューであるテーブルで作成されたかどうかを示すフラグ。 • true:レコードはビュー内に作成されました。 • false:レコードはテーブルに作成されました。

このコード例は、GlideRecord がビューとテーブルのどちらに作成されたかを判別する方法を示しています。

```
var mySLA = new GlideRecord('incident_sla');

if (mySLA.isView() == true){
   gs.info('This record was created in a view.');
} else {
   gs.info('This record was created in a table.');
}
```

出力:

```
This record was created in a view.
```

スコープ対象 GlideRecord - newRecord()

新しい GlideRecord レコードを作成し、フィールドのデフォルト値を設定して、レコードに一意の ID を割り当てます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord("x_app_table");
now_GR.newRecord();
gs.info(now_GR.isNewRecord());
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
true
```

スコープ対象 GlideRecord - next()

GlideRecord オブジェクトの次のレコードに移動します。

注: テーブルに「next」と呼ばれるフィールドがある場合、このメソッドは失敗します。その場合は、_next() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	GlideRecord に「next」レコードがあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：次のレコードへの移動に成功しました。 • false：結果セットにそれ以上の結果は含まれていません。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
while (rec.next()) {
 gs.info(rec.getValue('number') + ' exists');
}
```

出力:

```
INC0010112 exists
INC0010114 exists
INC0010119 exists
INC0010127 exists
```

スコープ対象 GlideRecord - _next()

GlideRecord の次のレコードに移動します。*next()* と同じ機能を提供します。このメソッドは GlideRecord に next という名前の列がある場合に使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリセットにさらにレコードが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：クエリセットにさらにレコードがあります。 • false：クエリセットにそれ以上のレコードはありません。

次の例は、インシデント [incident] テーブルの各レコードを一覧表示する方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query();
while (rec._next()) {
  gs.info(rec.getValue('number') + ' exists');
}
```

出力：

```
INC0000060 exists
INC0009002 exists
INC0000009 exists
INC0000010 exists
INC0000011 exists
INC0000012 exists
...
```

スコープ対象 GlideRecord - operation()

操作が挿入、更新、または削除のいずれであるかを決定します。

操作が分かれば、*current.operation()* を使用して、各操作を一意に処理できる汎用ビジネスルールを作成できます。

グローバル変数 *current* の使用については、 ビジネスルールのグローバル変数 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の操作。 可能な値： • delete • insert • update

次の例は、ビジネスルールでこのメソッドを使用する方法を示しています。*Operation()* メソッドは、どの操作がイベントをトリガーしたかを検出し、更新操作と挿入操作に応じて異なるアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if(current.operation() == "update") {
  current.updates ++; }
if(current.operation() == "insert") {
  current.updates = 0; }
```

スコープ対象 **GlideRecord** - orderBy(文字列 **name)**

orderBy 列を指定します。

このメソッドは複数の列で並べ替えるために複数回呼び出します。結果は昇順で配置されます。レコードを降順に並べ替える場合は、「スコープ対象 GlideRecord - orderByDesc(文字列 name)」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	この GlideRecord オブジェクトのレコードを並べ替えるために使用する列名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、簡単な説明でインシデントレコードを昇順で並べ替える方法を示しています。

```
var queryString = "priority=2";
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderBy('short_description'); // Ascending Order
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
  gs.info(now_GR.getValue('short_description'));
}
```

出力：

```
Can't launch 64-bit Windows 7 virtual machine
Can't log into SAP from my laptop today
Network storage unavailable
Please remove the latest hotfix from my PC
```

スコープ対象 **GlideRecord** - orderByDesc(文字列 **name)**

降順の orderBy 列を指定します。

このメソッドは複数の列で並べ替えるために複数回呼び出します。結果は降順で配置されます。レコードを昇順に並べ替える場合は、「スコープ対象 GlideRecord - orderBy(文字列 name)」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	GlideRecord オブジェクトのレコードを並べ替えるために使用する列名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、[簡単な説明] でインシデントレコードを降順で並べ替える方法を示しています。

```
var queryString = "priority=2";
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderByDesc('short_description'); //Descending Order
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
while (now_GR.next()) {
  gs.info(now_GR.getValue('short_description'));
}
```

出力：

```
Please remove the latest hotfix from my PC
Network storage unavailable
Can't log into SAP from my laptop today
Can't launch 64-bit Windows 7 virtual machine
```

スコープ対象 **GlideRecord** - query(文字列 **field**, 文字列 **value)**

addQuery() や *addEncodedQuery()* などのクエリメソッドで指定されたフィルターに基づいてテーブルに対してクエリを実行します。

このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。

> **注:** テーブルに「query」と呼ばれるフィールドがある場合、このメソッドは失敗します。その場合は、代わりに _query() メソッドを使用します。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

関連項目：

- GlideAggregate :スコープ指定
- GlideQuery - スコープ対象、グローバル
- GlideQueryCondition - スコープ指定

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション - 値パラメーターも指定する必要があります。value パラメーターで指定された値を検索するフィールドの名前。 **注:** 通常、このメソッドは引数なしで実行されますが、名前と値のペアを指定して、指定した値を含むレコードをフィルタリングできます。パラメーターが指定されている場合、「name=value」条件がクエリに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
value	文字列	オプション - field パラメーターも指定する必要があります。指定された field パラメーターで検索する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、クエリフィールドを含むテーブルのシステムディクショナリ [sys_dictionary] をスキャンする方法を示しています。

```
var tableArr = [];

var now_GR = new GlideRecord('sys_dictionary');
now_GR.addQuery('element', 'query');
now_GR.setLimit(6);

now_GR.query();

while(now_GR.next()){
   tableArr.push(now_GR.name.getValue());
};

gs.info('The following tables have a field column called "query":');

for (i = 0; i < tableArr.length; i++) {
   gs.info(tableArr[i]);
};
```

出力：

```
The following tables have a field column called "query":
cmdb_convert_bulk_services
cmdb_multisource_query_status
cmdb_qb_result_base
cmdb_qb_table_mapping
discovery_probes_cim_query
kb_feedback
```

スコープ対象 **GlideRecord** - _query(文字列 **field**, 文字列 **value**)

addQuery() や *addEncodedQuery()* などのクエリメソッドで指定されたフィルターに基づいてテーブルに対してクエリを実行します。 このメソッドは、「query」という名前の列があるテーブルで使用するためのものです。このような列のために、query() メソッドの実行中にエラーが発生する可能性があります。

このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。詳細については、「スクリプトでのテーブルのクエリ」を参照してください。

クエリの構築と実行の詳細については、GlideRecord についての記事を参照してください。

関連項目：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- GlideAggregate :スコープ指定
- GlideQuery - スコープ対象、グローバル
- GlideQueryCondition - スコープ指定

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション - 値パラメーターも指定する必要があります。value パラメーターで指定された値を検索するフィールドの名前。 **注:** 通常、このメソッドは引数なしで実行されますが、名前と値のペアを指定して、指定した値を含むレコードをフィルタリングできます。パラメーターが指定されている場合、「name=value」条件がクエリに追加されます。
value	文字列	オプション - field パラメーターも指定する必要があります。指定された field パラメーターで検索する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ナレッジフィードバック [kb_feedback] テーブルをクエリし、Excel を含むコメントがある KB 記事をリストする方法を示しています。

```
var rec = new GlideRecord('kb_feedback');
rec.addQuery('comments', 'CONTAINS', 'Excel');
rec._query();
while (rec.next()) {
 gs.info(rec.getDisplayValue('article') + " comment: " +
 rec.getValue('comments'));
}
```

出力:

```
KB0000005 comment:
      Can you please add the version of Excel this applies to? All?

KB0000005 comment:
      Does this work for all Excel versions? OSX and Windows alike?
```

スコープ対象 **GlideRecord -** setAbortAction(ブーリアン **b)**

次のデータベースアクション (挿入、更新、削除) を中止するかどうかを示すフラグを設定します。これはビジネスルールでよく使用されます。

`onBefore` ビジネスルールで使用して、データベースアクションが実行されないようにします。ビジネスルールは、*`setAbortAction()`* が呼び出された後も実行を続けます。*`setAbortAction()`* を呼び出しても、後続のビジネスルールの実行は停止されません。このメソッドを呼び出すと、データベースアクションの実行のみが防止されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	次のアクションを中止する場合は true。アクションが許可される場合は false。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Often used in business rule to check whether the current operation
 should be aborted.
if (current.size > 16) {
  current.setAbortAction(true);
}
```

スコープ対象 **GlideRecord** - setLimit(数値 **maxNumRecords)**

GlideRecord クエリによってフェッチされるレコード数の制限を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxNumRecord	数値	フェッチするレコードの最大数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.orderByDesc('sys_created_on');
now_GR.setLimit(10);
now_GR.query(); // this retrieves latest 10 incident records created
```

スコープ対象 **GlideRecord** - setNewGuidValue(文字列 **guid)**

現在のレコードの sys_id 値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
guid	文字列	現在のレコードに割り当てる GUID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.setValue('short_description', 'The third floor printer is
 broken');
now_GR.setNewGuidValue('eb4636ca6f6d31005be8883e6b3ee333');
now_GR.insert();
gs.info(now_GR.getValue('sys_id'));
```

スコープ対象 **GlideRecord** - setValue(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

指定された名前のフィールドの値を指定された値に設定します。

通常、スクリプトは `now_GR.category = value` を実行します。ただし、要素名が変数の場合は、`now_GR.setValue(elementName, value)` を使用できます。値を設定するときは、フィールドのデータタイプが入力する値のデータタイプと一致していることを確認してください。

注: 列レベル暗号化エンタープライズ プラグインが有効になっていて、インスタンスがキーにアクセスできる場合、このメソッドは暗号化されたデータを暗号化されたフィールドに挿入できます。インスタンスがキーにアクセスできない場合、このメソッドはエラーを返します。詳細については、「Platform Encryption」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドの名前
value	オブジェクト	フィールドに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var elementName = 'short_description';
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.initialize();
now_GR.setValue(elementName, "My DB is not working");
now_GR.insert();
```

スコープ対象 **GlideRecord** - setWorkflow(ブーリアン **enable)**

ビジネスルール、スクリプトエンジン、および監査の実行を有効または無効にします。

警告: ビジネスルール、スクリプトエンジン、および監査の実行を無効にすると、ServiceNow® インスタンスとその動作に重大な影響を与える可能性があります。本番環境に展開する前に、この変更を十分にテストしてください。

注: このメソッドは、クロススコープアプリケーションには設定できません。詳細については、次の KB 記事 https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0820691 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
enable	ブーリアン	ビジネスルール、スクリプトエンジン、および監査の実行を有効または無効にするかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • true：ビジネスルール、スクリプトエンジン、および監査の実行を有効にします。 • false：ビジネスルール、スクリプトエンジン、および監査の実行を無効にします。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Enable business rules, scripts engines for x_app_table
var now_GR = new GlideRecord("x_app_table");
now_GR.setWorkflow(true);
```

スコープ対象 **GlideRecord -** update(文字列 **reason)**

行われた変更で GlideRecord を更新します。レコードがまだ存在しない場合は挿入されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reason	文字列	オプション。更新の理由。理由は監査レコードに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	新規または更新されたレコードの sys_id。更新に失敗した場合は null を返します。

次の例は、インシデントの [簡単な説明] フィールドを更新する方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9');
now_GR.setValue('short_description', 'Update the short description');
now_GR.update();
gs.info(now_GR.getElement('short_description'));
```

出力：

```
Update the short description.
```

スコープ対象 **GlideRecord - updateMultiple()**

指定された一連の変更を使用して、指定されたクエリの各 GlideRecord を更新します。

このメソッドは、複数のジャーナルエントリの追加をサポートしていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

glide.db.forced.chunk.threshold システムプロパティは、チャンクレコードの削除と更新を強制するしきい値を設定します。チャンクは、巨大なテーブルでプライマリキー以外の削除によってレプリケーションの問題が発生するのを防ぐのに役立ちます。詳細については、「利用可能なシステムプロパティ」を参照してください。

注: 期待される結果を確実に得るには、直接の割り当ての代わりに *setValue()* メソッドを使用します。つまり、`gr_Now.setValue('<field_name>', '4'));` を使用します。`gr_Now.<field_name> = 4` の代わりに。

注: 大きなテーブルを操作する場合は、このメソッドと *chooseWindow()* または *setLimit()* を一緒に使用しないでください。

このメソッドは新しい値を設定しますが、既存の値はクリアしません。既存の値をクリアするには、*setValue()* メソッドを使用し、フィールドを *null*に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、すべてのアクティブなインシデントのステータスを 4 -「ユーザー情報待ち」に更新する方法を説明します。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('active', true);
now_GR.setValue('state',  4);
now_GR.updateMultiple();
```

スコープ付き **GlideRecord** - updateWithReferences(オブジェクトの理由)

レコードを更新し、提供された情報で関連レコードの挿入または更新も行います。

パラメーター

名前	タイプ	説明
理由	オブジェクト	更新の理由。理由は監査レコードに表示されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	更新されるレコードの sys_id。

問い合わせユーザー ID が sys_user レコード「John Doe」を参照するように設定されているインシデントを処理する場合、次のコードは John Doe のユーザーレコードを更新します。問い合わせユーザー ID が指定されていないインシデントを処理する場合、次のコードは指定された情報 (first_name、last_name) で新しい sys_user レコードを作成し、新しく作成された sys_user レコードに問い合わせユーザー ID 値を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.get(inc_sys_id);  // Looking up an existing incident record where
 'inc_sys_id' represents the sys_id of a incident record
inc.caller_id.first_name = 'John';
inc.caller_id.last_name = 'Doe';
inc.updateWithReferences();
}
```

GlideRecordUtil - グローバル

GlideRecordUtil スクリプトインクルードは、GlideRecord を操作するためのユーティリティクラスです。

このスクリプトインクルードは、サーバーサイドスクリプトで使用できます。ユースケースについては、「ディスカバリースクリプトインクルードの使用」を参照してください。

GlideRecordUtil - getCIGR(文字列 sys_id)

CI の sys_id のみを使用して、指定された構成アイテム (CI) の GlideRecord オブジェクトを返します。

このメソッドを使用すると、関連するクラス/テーブルを知らなくても特定の CI をすばやく取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	目的の CI の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定された CI の GlideRecord オブジェクト。

次の例は、CI の sys_id のみを使用して、指定された CI の GlideRecord オブジェクトを返します。

```
var now_GR = new
 GlideRecordUtil().getCIGR("2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56");
```

GlideRecordUtil - getFields(GlideRecord gr)

指定された GlideRecord 内のすべてのフィールドのアレイを返します。

注: テーブル名と同じフィールド名がある場合、*getFields()* メソッドはフィールドの値を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
gr	GlideRecord	有効なレコードに配置された GlideRecord インスタンス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された GlideRecord のフィールド名。

```
var queryString = "priority=1^ORpriority=2";
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addEncodedQuery(queryString);
now_GR.query();
now_GR.next();

var gRU = new GlideRecordUtil();
var fieldList = gRU.getFields(now_GR);
gs.info(fieldList);
```

出力： プレゼンテーション用に追加された改行。

```
sys_id,skills,closed_by,assigned_to,contract,category,escalation,state,re
assignment_count,location,
time_worked,order,due_date,number,upon_approval,sys_tags,sla_due,follow_u
p,reopen_count,notify,business_stc,
caused_by,rejection_goto,assignment_group,comments_and_work_notes,inciden
t_state,opened_at,parent_incident,
business_service,wf_activity,calendar_duration,group_list,caller_id,comme
nts,priority,sys_updated_by,
variables,delivery_task,resolved_at,sys_updated_on,parent,active,opened_b
y,expected_start,watch_list,
company,upon_reject,work_notes,sys_created_by,additional_assignee_list,ap
proval_set,cmdb_ci,user_input,
sys_created_on,close_code,contact_type,resolved_by,rfc,approval_history,a
ctivity_due,severity,child_incidents,
,subcategory,work_end,closed_at,close_notes,variables,business_duration,k
nowledge,approval,sys_domain_path,
sys_mod_count,problem_id,calendar_stc,work_start,sys_domain,correlation_i
d,sys_class_name,short_description,
impact,description,correlation_display,urgency,made_sla,delivery_plan,wor
k_notes_list
```

GlideRecordUtil - getGR(文字列 **baseTable**, 文字列 **sys_id)**

指定された sys_id に位置付けられた、適切なクラス (テーブル) の特定のテーブルの GlideRecord インスタンスを返します。

このメソッドは、sys_id から GlideRecord をロードする必要があるものの、実際のテーブルが不明な場合 (ベーステーブルから拡張されている可能性があるため) に便利です。このメソッドは常に、正しいタイプ base_table (指定された sys_id が含まれているベーステーブルの名前) の GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ベーステーブル	文字列	sys_id を含むベーステーブルの名前。
sys_id	文字列	目的のレコードの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定された sys_id の GlideRecord。

```
var now_GR = new GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer",
 "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56");
```

GlideRecordUtil - getTables(文字列 tableName)

指定されたテーブル名の先祖の Java ArrayList を返します。

たとえば、cmdb_ci_linux_server を指定すると、cmdb_ci_linux_server、cmdb_ci_server、cmdb_ci_computer、cmdb_ci_hardware、cmdb_ci、および cmdbr が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	指定されたテーブルの先祖のリスト。

次の例は、cmdb_ci_linux_server テーブルの先祖を示しています。

```
var tables = new GlideRecordUtil().getTables("cmdb_ci_linux_server");
gs.info("Tables returned: " + tables);
```

出力：

```
Tables returned: [cmdb_ci_linux_server, cmdb_ci_server, cmdb_ci_computer,
 cmdb_ci_hardware, cmdb_ci, cmdb]
```

GlideRecordUtil - mergeToGR(オブジェクト hashMap, GlideRecord now_GR, オブジェクト ignore)

指定された GlideRecord のフィールドを、指定されたハッシュマップに含まれるフィールド値で設定します (そのフィールド名がハッシュマップを無視する場合を除く)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hashMap	オブジェクト	フィールドに付けられたプロパティ名とフィールド値を含むオブジェクトインスタンス (ハッシュマップとして使用)。
GlideRecord	GR	フィールド値を受け取る GlideRecord インスタンス。
ignore	オブジェクト	無視するフィールド名のオプションのハッシュマップ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、コンピューターレコードの名前と OS フィールドを更新しますが、[sys_created_by] フィールドは更新しません。

```
var now_GR = new GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer",
 "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56");
var obj = {"name": "xyz", "os": "windows 2000", "sys_created_by",
 "aleck.lin"};
var ignore = {"sys_created_by": true};
new GlideRecordUtil().mergeToGR(obj, now_GR, ignore);
now_GR.update();
```

GlideRecordUtil - populateFromGR(オブジェクト **hashMap**, **GlideRecord now_GR**, オブジェクト **ignore)**

指定された GlideRecord インスタンスから指定されたハッシュマップを設定します。GlideRecord の各フィールドはハッシュマップのプロパティになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hashMap	オブジェクト	ハッシュマップとして使用されているオブジェクト。
now_GR	GlideRecord	有効なレコードに配置された GlideRecord インスタンス。
ignore	オブジェクト	設定しないファイル名のオプションのハッシュマップ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var objectToPopulate = {};
var now_GR = new GlideRecordUtil().getGR("cmdb_ci_computer",
 "2dfd7c8437201000deeabfc8bcbe5d56");
var ignore = {"sys_created_on": true, "sys_updated_by": true};
new GlideRecordUtil().populateFromGR(objectToPopulate, now_GR, ignore);
// Now the objectToPopulate contains field/value pairs from the computer
 GlideRecord
```

GlideSchedule - スコープ指定

スコープ付き *GlideSchedule* API は、スケジュールへの新しいスケジュールセグメントの追加、日付/時刻がスケジュール内にあるかどうかの判断、スケジュールのタイムゾーンの設定など、GlideSchedule オブジェクトに対する操作を実行するためのメソッドを提供します。

GlideSchedule - GlideSchedule()

空の GlideSchedule オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideSchedule - GlideSchedule(文字列 **sysID**, 文字列 **timeZone)**

GlideSchedule オブジェクトをインスタンス化し、スケジュール情報をロードします。タイムゾーンが指定されていない場合は、現在のセッションタイムゾーンが使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	スケジュールのSys ID。
timeZone	文字列	オプション。使用するタイムゾーン。 デフォルト:現在のセッションのタイムゾーン。 タイムゾーンは、次の形式で指定できます。 • 国/市区町村。たとえば、 `America/Los_Angeles` などです。 • 国/タイムゾーン。たとえば、 米国/太平洋です。 • タイムゾーンの略称。たとえば、 `PST` などです。 有効なタイムゾーンの完全なリストについては、ユーザー [sys_user] テーブルの [タイムゾーン] フィールドを参照してください。タイム ゾーンの詳細については、「タイムゾーン」を参照してください。

```
var schedule = new GlideSchedule('090eecae0a0a0b260077e1dfa71da828',
 'US/Pacific');
```

GlideSchedule - add(GlideDateTime startDate, GlideDuration offSet)

現在のスケジュールに新しいスケジュールセグメントを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	GlideDateTime	新しいスケジュールセグメントの開始日。
offset	GlideDuration	新しいスケジュールセグメントの時間オフセット。

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	新しいスケジュールセグメントで更新されたスケジュール。

```
var startDate = new GlideDateTime('2014-01-02');
var days = 2;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var dur = new GlideDuration(60 * 60 * 24 * 1000 * days);
var schedule = new GlideSchedule();
var end = schedule.add(startDate, dur);
gs.info(end);
```

出力：

```
2014-01-04 00:00:00
```

GlideSchedule - duration(GlideDateTime、startDateDate、GlideDateTime、endDate)

スケジュールのタイムゾーンを使用して (スケジュールのタイムゾーンが指定されていない場合はセッションのタイムゾーンを使用して)、スケジュール内の 2 つの日時値の間の経過時間を判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	GlideDateTime	開始日時。
endDate	GlideDateTime	終了日時。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	開始日時と終了日時の差。

```
var startDate = new GlideDateTime('2014-10-16 02:00:00');
var endDate = new GlideDateTime('2014-10-18 04:00:00');
var schedule = new GlideSchedule();

schedule.load('090eecae0a0a0b260077e1dfa71da828'); // loads "8-5 weekdays
 excluding holidays" schedule
var duration = schedule.duration(startDate, endDate);
gs.info(duration.getDurationValue()); // gets the elapsed time in
 schedule
```

GlideSchedule - getName()

スケジュール名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のスケジュールの名前。

```
sys_id ='04e664654a36232701a2247dcd8fc4cf'; // sys_id for "Application"
 schedule record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var sched = new GlideSchedule(sys_id);
gs.info(sched.getName());
```

GlideSchedule - isInSchedule (GlideDateTime 時刻)

指定された日時が現在のスケジュール内にあるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
time	GlideDateTime	チェックする日時値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された日時がスケジュール内にあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：日時はスケジュールの範囲内です。 • false：日時はスケジュール外です。

```
var glide = new GlideRecord('cmn_schedule');
glide.addQuery('type', 'blackout');
glide.query();
if (glide.next()) {
   var sched = new GlideSchedule(glide.sys_id);
   var date = new GlideDateTime();
   date.setDisplayValue("2007-09-18 12:00:00");
   if (sched.isInSchedule(date))
      gs.info("Is in the schedule");
   else
      gs.info("Is NOT in the schedule");
}
```

GlideSchedule - isValid()

現在のスケジュールが有効かどうかを判定します。スケジュールは、少なくとも 1 つのスケジュールスパンがある場合に有効です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	スケジュールが有効であれば true。

```
var glide = new GlideRecord('cmn_schedule');
glide.addQuery('type', 'blackout');
glide.query();
if (glide.next()) {
   var sched = new GlideSchedule(glide.sys_id);
   var date = new GlideDateTime();
   date.setDisplayValue("2007-09-18 12:00:00");
   if (sched.isValid())
      gs.info("Is valid");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   else
      gs.info("Is not valid");
}
```

GlideSchedule - load(文字列 **sysID**, 文字列 **timeZone**, 文字列 **excludeSpanID)**

スケジュール情報を含むスケジュールをロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	スケジュールのSys ID。
timeZone	文字列	(オプション) タイムゾーン。タイムゾーンが指定されていないか nil の場合は、スケジュールに対して現在のセッションのタイムゾーンが使用されます。
excludeSpanID	文字列	除外するスパン。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var x = new GlideSchedule();
x.load('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae');
```

GlideSchedule - setTimeZone(文字列 **timeZone)**

現在のスケジュールのタイムゾーンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeZone	文字列	使用するタイムゾーン。 タイムゾーンは、次の形式で指定できます。 • 国/市区町村。たとえば、 `America/Los_Angeles` などです。 • 国/タイムゾーン。たとえば、 米国/太平洋です。 • タイムゾーンの略称。たとえば、 `PST` などです。 有効なタイムゾーンの完全なリストについては、ユーザー [sys_user] テーブルの [タイムゾーン] フィールドを参照してください。タイム ゾーンの詳細については、「タイムゾーン」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、スケジュールのタイムゾーンを米国/太平洋に設定します。

```
var schedule = new GlideSchedule();
schedule.setTimeZone('US/Pacific');
```

GlideSchedule - whenNext(GlideDateTime 時刻, 文字列 timeZone)

次のスケジュールアイテムの開始時間までの時間 (ミリ秒) を指定します。

この関数は、GlideSchedule オブジェクト (cmn_schedule テーブル) が現在スケジュールウィンドウにない場合に呼び出されることを意図しています。whenNext() 呼び出しは、GlideSchedule オブジェクトがスケジュール内になるまでの期間 (ミリ秒) を返します。GlideSchedule オブジェクトがスケジュール内にあるときに呼び出された場合、この関数は意味のある値を返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
time	GlideDateTime	評価する時間
timeZone	文字列	タイムゾーン

返される内容

タイプ	説明
数値	次のスケジュールアイテムの開始時刻までのミリ秒数。ない場合は -1 を返します。

```
var startDate = new GlideDateTime('2014-10-25 08:00:00');
var glideSchedule = new GlideSchedule('08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae',
 'UTC');
gs.info(glideSchedule.whenNext(startDate));
```

出力:

```
172800000
```

```
testScript();
function testScript() {
var now = new GlideDateTime(); //current date and time
var sched = new GlideSchedule("<sys_id>"); // Use a cmn_schedule sys_id
if (sched.isInSchedule(now)){
gs.info('We are in an active schedule window so whenNext() is not
 helpful');
} else{
gs.info('Not currently in schedule so call whenNext()');
var msUntilNext = sched.whenNext(new GlideDateTime(), 'US/Pacific');
gs.info('Next schedule starts in '+msUntilNext+' milliseconds');
}
}
\\ Output [schedule inactive)]:
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\\ *** Script: Not currently in schedule so call whenNext()
\\ *** Script: Next schedule starts in -1 milliseconds
```

出力：

```
[Scheduled for future] *** Script: Not currently in schedule *** Script:
 Next schedule starts in 332894000 milliseconds
```

GlideScriptableInputStream - スコープ対象、グローバル

GlideScriptableInputStream オブジェクトは直接インスタンス化することはできませんが、*GlideSysAttachment.getContentStream()* からの入力ストリームを他のストリーミング API に接続するために使用される不透明なオブジェクトとして使用されます。

この入力ストリームを使用できるパブリック API には、次のものがあります。

- グライドダイジェスト
- *GlideExcelParser*
- *GlideTextReader*
- *XMLDocument2*

GlideScriptedExtensionPoint - スコープ指定

GlideScriptedExtensionPoint API は、指定された拡張ポイントに関連付けられた拡張インスタンスを返すメソッドを提供します。

これらの拡張インスタンスから、元のアプリケーションコードを変更せずにアプリケーションの機能を拡張できます。選択した Now Platform アプリケーションで使用可能な既存の拡張ポイントを使用できます。また、自分のインスタンスでカスタムアプリケーションを開発する場合は、拡張ポイントを追加できます。

この API はベース ServiceNow インスタンスで使用できます。

拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

GlideScriptedExtensionPoint - getExtensions(文字列名)

指定された拡張ポイントに関連付けられた拡張インスタンスを返します。

これらの拡張インスタンスは、拡張インスタンス [sys_extension_instance] テーブルに保持されます。拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

注: *getExtensions()* メソッドによって返されたスクリプトインクルードインスタンスは初期化されていません。インターフェイスに初期化メソッドが含まれている場合は、返されたインスタンスで他のメソッドを呼び出す前に、そのメソッドを呼び出します。例：

```
var eps = new
 GlideScriptedExtensionPoint().getExtensions("RelatedListItemCandidat
eFilter");
 for (var i = 0; i < eps.length; i++) {
   eps[i].initialize(tableName, parentFieldName, parentRecordSysId,
 referencedFieldName);
   eps[i].getFilterQuery();
 }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	拡張インスタンスを返す拡張ポイントの名前。拡張インスタンス [sys_extension_instance] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトのアレイ	指定されたエンドポイントに関連付けられている拡張インスタンス。

次のコード例では、RelatedListItemCandidateFilter 拡張ポイントの拡張インスタンスを返します。各インスタンスにリストされている「クラス」は、スクリプトインクルードを表します。

```
var eps = new
 GlideScriptedExtensionPoint().getExtensions("RelatedListItemCandidateFil
ter");
```

応答：

```
global.RelatedListItemCandidateFilter RelatedListItemCandidateFilter
global.RelatedListItemCandidateFilter
 ProblemRelatedListChangeRequestItemFilter
global.RelatedListItemCandidateFilter RelatedListConfigItemFilter
global.RelatedListItemCandidateFilter
 RelatedListItemCandidateFilterForAgileDevelopment
global.RelatedListItemCandidateFilter
 ProblemRelatedListIncidentItemFilter
global.RelatedListItemCandidateFilter
 RelatedListIncidentItemCandidateFilter
global.RelatedListItemCandidateFilter RelatedListCIItemCandidateFilter
```

GlideScriptedProcessor - スコープ指定

GlideScriptedProcessor API は、任意のサーバーサイド JavaScript コードを実行し、TEXT、JSON、HTML などの出力を生成できるカスタマイズ可能な URL エンドポイントを提供します。ServiceNowプロセッサーは Java サーブレットに相当します。

プロセッサー・スクリプトでこの API を使用して、プロセッサー (サーブレット) 機能にアクセスします。*ScopedGlideScriptedProcessor* API のコンストラクターはありません。メソッドは、グローバル変数 g_processor を使用して呼び出され ます。

便利なグローバル変数 *g_target* は、プロセッサースクリプトで使用できます。URL から抽出されたテーブル名が含まれています。

プロセッサーへの URL の形式 `https://<インスタンス名.servicenow.com>/<パスエンドポイント>.do?<パラメーターエンドポイント>=<値>` には、パスエンドポイントとパラメーターエンドポイントがプロセッサーフォームで定義されています。

GlideScriptedProcessor - redirect(文字列 url)

指定された URL にリダイレクトします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	宛先 URL

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Do whatever processing you need and redirect to the homepage
g_processor.redirect("/navpage.do")
```

GlideScriptedProcessor - writeJSON(オブジェクト o)

オブジェクトを JSON 文字列としてエンコードし、現在の URL に書き込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	JSON 文字列にエンコードするオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var map = {"key1":"value1","key2":"value2"};
g_processor.writeJSON(map);
```

GlideScriptedProcessor - writeOutput(文字列 s)

指定された文字列を現在の URL に書き込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
s	文字列	書き込む文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var name = g_request.getParameter("name");
g_processor.writeOutput("Hello " + name);
```

GlideScriptedProcessor - writeOutput(文字列 contentType, 文字列 s)

指定された文字エンコードで、指定された文字列を現在の URL に書き込みます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contentType	文字列	応答がコミットされていない場合、クライアントに送信される応答のコンテンツタイプを設定します。これには文字エンコード仕様が含まれている場合もあります。
s	文字列	書き込む文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var name = g_request.getParameter("name");
g_processor.writeOutput("text/plain", "Hello " + name);
```

GlideSecureRandomUtil - スコープ指定、グローバル

GlideSecureRandomUtil API は、整数、long 値、および文字列を生成するためのメソッドを提供します。

このクラスにはコンストラクターはありません。メソッドは、静的オブジェクト GlideSecureRandomUtil を介してアクセスされます。*GlideSecureRandomUtil* クラスは、グローバルアプリケーションとスコープ対象アプリケーションの両方で使用できます。

GlideSecureRandomUtil - getSecureRandomInt()

疑似ランダム整数を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	疑似ランダムに生成された整数。

```
gs.info(GlideSecureRandomUtil.getSecureRandomInt());
```

出力:

```
1976146969
```

GlideSecureRandomUtil - getSecureRandomIntBound(数値制限)

メソッドに渡す 0 (包含的) と bound (排他的) 間の疑似ランダム整数を生成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bound	数値	制限された値。

返される内容

タイプ	説明
数値	疑似ランダムに生成された整数。

```
gs.info(GlideSecureRandomUtil.getSecureRandomIntBound(100));
```

出力:

```
55
```

GlideSecureRandomUtil - getSecureRandomLong()

疑似ランダムの Long 値を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	疑似ランダムに生成された 64 ビット整数。

```
gs.info(GlideSecureRandomUtil.getSecureRandomLong());
```

出力：

```
792836514424092500
```

GlideSecureRandomUtil - getSecureRandomString(数値の長さ)

指定された長さのランダムな英数字の文字列を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
length	数値	文字数で表した文字列の長さ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ランダムに生成された文字列。

```
gs.info(GlideSecureRandomUtil.getSecureRandomString(12));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
1XzVI0sLfVlT
```

GlideSecurityUtils - スコープ指定、グローバル

GlideSecurityUtils API は、URL を操作するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドにアクセスするには、静的オブジェクト GlideSecurityUtils を使用します。このクラスは、スコープ対象のスクリプトとグローバルスクリプトで使用できます。

GlideSecurityUtils - cleanURL(文字列 url)

不審なエンコーディングを削除して、反映されたクロスサイトスクリプティングまたは DOM ベースのクロスサイトスクリプティングを防止します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	確認する URL。

返される内容

タイプ	説明
文字列	問題要素を削除した URL。

```
myurl='javascript%3Aalert(1)';
var clean=GlideSecurityUtils.cleanURL(myurl);
gs.info(clean);
```

出力：null

GlideSecurityUtils - enforceRelativeURL(文字列 url)

URL からドメインアドレスを削除し、ページ名とパラメーターを残します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	相対 URL に変換する URL。

返される内容

タイプ	説明
文字列	相対 URL。

```
myurl='http://evildomain.com/test.do';
relativeURL=GlideSecurityUtils.enforceRelativeURL(myurl);
gs.info(relativeURL);
```

出力：test.do

GlideSecurityUtils - escapeScript(文字列 script)

スクリプトにエスケープ文字を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトにエスケープ文字を追加すると、クロスサイトスクリプティングを防止できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	エスケープ文字を追加するスクリプト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープ文字が追加されたスクリプト。

```
theScript="<script> alert(1)</script>";
var escapedScript=GlideSecurityUtils.escapeScript(theScript);
gs.info(escapedScript);
```

出力：<script> alert(1)</script>

GlideSecurityUtils - isURLWhiteListed(文字列 url)

指定された URL をシステム定義の許可リストに照らして確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	URL 許可リストに照らして確認する URL。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された URL が許可リストにある場合は true を返します。

```
myURL="http://evil.com/badscript.do";
isWhitelisted=GlideSecurityUtils.isURLWhiteListed(myURL);
gs.info(isWhitelisted);
```

出力：false

GlideServletRequest - スコープ指定

GlideServletRequest API は、プロセッサースクリプトで使用するメソッドを提供します。

ServiceNow プロセッサスクリプトは Java サーブレットに相当します。プロセッサースクリプトは、任意のサーバーサイド JavaScript コードを実行し、TEXT、JSON、HTML などの出力を生成できるカスタマイズ可能な URL エンドポイントを提供します。プロセッサースクリプトで *GlideServletRequest* API を使用して、 HttpServletRequest オブジェクトにアクセスします。GlideServletRequest オブジェクトは、 *HttpServletRequest* API のサブセットを提供します。メソッドは、グローバル変数 *g_request* を使用して呼び出されます。

便利なグローバル変数 *g_target* は、プロセッサースクリプトで使用できます。URL から抽出されたテーブル名が含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロセッサーへの URL の形式 `https://<インスタンス名.servicenow.com>/<パスエンドポイント>.do?<パラメーターエンドポイント>=<値>` には、パスエンドポイントとパラメーターエンドポイントがプロセッサーフォームで定義されています。

GlideServletRequest - getContentType()

要求の本文の MIME タイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	コンテンツタイプ (コンテンツタイプが不明な場合、null を返します)。

```
var contentType = g_request.getContentType();
```

GlideServletRequest - getHeader (文字列名)

ヘッダー値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	取得されるヘッダーの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ヘッダー。

```
var headerValue = g_request.getHeader("host");
```

出力：

```
demonightlyus.service-now.com
```

GlideServletRequest - getHeaderNames()

ヘッダー名のカンマ区切りリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	文字列としてのヘッダー名のアレイ。

```
var headerList = g_request.getHeaderNames();
```

出力：

```
host,connection,cache-control,authorization,accept,user-agent,accept-encoding,accept-language,
cookie,x-forwarded-proto,x-forwarded-host,x-forwarded-for
```

GlideServletRequest - getHeaders(文字列名)

ヘッダー値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	取得されるヘッダーの名前。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	文字列としてのヘッダー値のアレイ。

```
var headerValue = g_request.getHeaders("host");
```

出力：

```
demonightlyus.service-now.com
```

GlideServletRequest - getParameter (文字列名)

要求 URL に含まれるパラメーターの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	取得されるパラメーターの名前。これは、プロセッサーフォームのパラメーターエンドポイントにすることができます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	パラメーター値。パラメーターが見つからない場合は null を返します。

```
var name = g_request.getParameter("x_snc_custom_x_snc_name");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideServletRequest - getParameterNames()

要求 URI で使用された URL パラメーターのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	文字列としてのパラメーター名のアレイ。

```
var paramList = g_request.getParameterNames();
```

GlideServletRequest - getQueryString()

要求からクエリ文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリー文字列。

この例では、要求 URL (`https://instance.service-now.com/x_custom_app_customApp.do?x_custom_app_name=George&bell=rung`) を使用しています。

```
var queryString = g_request.getQueryString();
g_processor.writeOutput("The query string is: " + queryString);
```

出力：

```
The query string is: x_custom_app_name=George&bell=rung
```

GlideServletResponse - スコープ指定

`GlideServletResponse` API は、プロセッサースクリプトで使用するメソッドを提供します。

ServiceNow プロセッサスクリプトは Java サーブレットに相当します。プロセッサースクリプトは、任意のサーバーサイド JavaScript コードを実行し、TEXT、JSON、HTML などの出力を生成できるカスタマイズ可能な URL エンドポイントを提供します。プロセッサースクリプトで *`GlideServletResponse`* API を使用して、 HttpServletResponse オブジェクトにアクセスします。GlideServletResponse オブジェクトは、 *`HttpServletResponse`* API のサブセットを提供します。メソッドは、グローバル変数 *`g_response`* を使用して呼び出されます。

便利なグローバル変数 *`g_target`* は、プロセッサースクリプトで使用できます。URL から抽出されたテーブル名が含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロセッサーへの URL の形式 `https://<インスタンス名.servicenow.com>/<パスエンドポイント>.do?<パラメーターエンドポイント>=<値>` には、パスエンドポイントとパラメーターエンドポイントがプロセッサーフォームで定義されています。

GlideServletResponse - sendRedirect(文字列 location)

一時的なリダイレクトをクライアントに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
location	文字列	応答を受信する URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideServletResponse - setContentType(文字列型)

応答の MIME タイプを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	MIME タイプ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_response.setContentType('text/html;charset=UTF-8');
```

GlideServletResponse - setHeader (文字列 key, 文字列 value)

応答ヘッダーを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	ヘッダーを指定します。
value	文字列	ヘッダーに割り当てられる値。ヘッダーが存在する場合は上書きされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_response.setHeader("host", "instance.service-now.com");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideServletResponse - setStatus(数値ステータス)

応答のステータスコードを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
status	数値	設定するステータス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// set the status to okay
g_response.setStatus(200);
```

GlideSession - グローバル

GlideSession API は、現在のセッションに関する情報を検索するメソッドを提供します。

GlideSession - clearClientData(文字列 paramName)

以前に *putClientData()* で設定されたセッションのクライアント値をクリアします。

このメソッドは、*putClientData()* メソッドを使用してサーバースクリプトによって設定されたデータ値をクリアするために、クライアントスクリプトで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	クリアするクライアントデータの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var session = gs.getSession();
session.putClientData('custName', 'Harry');
var clientData = session.getClientData('custName');
gs.info(clientData);

session.clearClientData('custName');
clientData = session.getClientData('custName');
gs.info(clientData);
```

出力:

```
Harry

null
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSession - getClientData(文字列 paramName)

以前に *putClientData()* で設定されたセッションのクライアント値を返します。

このメソッドは、*putClientData()* メソッドを使用してサーバースクリプトによって設定されたデータ値を取得するために、クライアントスクリプトで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	取得するクライアントデータの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としてのクライアントデータ。

```
var session = gs.getSession();
session.putClientData('test1', 'Harry');
var clientData = session.getClientData('test1');
gs.info(clientData);
```

出力：

```
Harry
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getClientData()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getClientData() を使用します。

GlideSession - getLanguage()

セッションの言語コードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッションの言語コード。

```
var session = gs.getSession();
var language = session.getLanguage();
gs.info(language);
```

出力：

```
en
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLanguage()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getLanguage() を使用します。

GlideSession - getRoles()

現在のユーザーのロールのリストを取得します。

ロールのリストには、現在のユーザーセッション中に加えられた変更は反映されません。更新されたロールのリストを取得するには、ユーザーはログアウトして再度ログインする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ロールのカンマ区切りリスト。

```
gs.info(gs.getSession().getRoles());
```

出力：

```
admin,hr_fulfiller,itsa_fulfiller,security_admin
```

GlideSession - getTimeZoneName()

セッションのタイムゾーンの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッションのタイムゾーンの名前。

```
var session = gs.getSession();
var zoneName = session.getTimeZoneName();
gs.info(zoneName);
```

出力：

```
US/Pacific
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getTimeZoneName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getTimeZoneName() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSession - isInteractive()

現在のセッションがインタラクティブかどうかを判断します。

インタラクティブセッションは、エンドユーザーがサーバーから情報を取得するユーザーインターフェイスとのインタラクションです。このタイプのセッション例は、ユーザーがログイン画面を使用してログインするか、フォームを使用してデータストアをクエリする場合です。非インタラクティブセッションは、データを取得するための SOAP 要求など、プログラムによるサーバーとのインタラクションのみを伴います。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションがインタラクティブである場合は true。

注: *isInteractive()* メソッドは、クラシックまたは現在のモバイルアプリケーションを使用するすべてのユーザーセッションに対して常に false 値を返します。

```
var interActive = gs.getSession().isInteractive();
gs.info(interActive);
```

出力：

```
false
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isInteractive()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isInteractive() を使用します。

GlideSession - isLoggedIn()

現在のユーザーが現在ログインしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがログインしている場合は true。

```
var session = gs.getSession();
var loggedIn = session.isLoggedIn();
gs.info(loggedIn);
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isLoggedIn()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isLoggedIn() を使用します。

GlideSession - putClientData(文字列 paramName, 文字列 paramValue)

getClientData() で取得できるセッションクライアント値を設定します。このメソッドは、フォームの作成時に実行されるサーバー側スクリプトで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	設定するクライアントパラメーターの名前。
paramValue	文字列	パラメーター値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var session = gs.getSession();
session.putClientData('test1', 'Harry');
var clientData = session.getClientData('test1');
gs.info(clientData);
```

出力：

```
Harry
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *putClientData()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド putClientData() を使用します。

GlideSession - スコープ指定

スコープ付き *GlideSession* API は、現在のセッションに関する情報を検索するメソッドを提供します。

スコープ対象 GlideSession オブジェクトのインスタンスを作成するためのコンストラクターはありません。代わりに、スコープ対象 *GlideSystem* API の *getSession()* メソッドを使用します。

スコープ対象 GlideSession - getClientData(文字列 paramName)

以前に *putClientData()* で設定されたセッションのクライアント値を取得します。

このメソッドを使用して *putClientData()* メソッドで設定されたデータ値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	取得するクライアントデータの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	クライアントデータ。

```
var session = gs.getSession();
session.putClientData('test1', 'Harry');
var clientData = session.getClientData('test1');
gs.info(clientData);
```

出力:

```
Harry
```

スコープ対象 GlideSession - getClientIP()

クライアントの IP アドレスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	IP アドレス。

```
var session = gs.getSession();
var addr = session.getClientIP();
gs.info(addr);
```

出力:

```
50.59.164.97
```

スコープ対象 GlideSession - getCurrentApplicationId()

アプリケーションピッカーで現在選択されているアプリケーションを返します。

このメソッドには管理者権限が必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在選択されているアプリケーション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var session = gs.getSession();
var appID = session.getCurrentApplicationId();
gs.info(appID);
```

出力:

```
ce05b9f32b840200c5244f74b4da1501
```

スコープ対象 GlideSession - getCurrentDomainID()

ログインしているユーザーセッションの現在のドメインの sys_id を返します。

返される識別子は、ドメインタイプとそのドメインのインスタンス化によって異なります。

- ユーザーがグローバルドメインで構成されていて、ドメインピッカーを使用してドメインを切り替えない場合、このメソッドは null を返します。
- ユーザーがドメインピッカーを使用してグローバルドメインに切り替えると、このメソッドは文字列「global」を返します。
- 他のすべてのドメインの場合、このメソッドはそのドメインの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在ログインしているユーザーのセッションドメインの sys_id。これは、ドメインピッカーに表示される情報と同じです。

この例は、ユーザードメインがグローバルまたは null の場合に、現在のsys_emailレコードのドメインがユーザーのセッションドメインに設定されることを示しています。

```
// Set domain based on parent record's domain
setDomain();

// If the domain is global, set to user's domain
if (current.sys_domain == 'global' || current.sys_domain.nil())
   current.sys_domain = gs.getSession().getCurrentDomainID();

function setDomain() {
   if (current.target_table.nil())
      return;

   var d = new GlideRecord(current.target_table);
   if (!d.isValid())
      return;

   if (!d.get('sys_id', current.instance))
      return;

   if (typeof(d.sys_domain) == 'object')
      current.sys_domain = d.sys_domain;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideSession - getLanguage()

セッションの言語コードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッションの言語コード。

```
var session = gs.getSession();
var language = session.getLanguage();
gs.info(language);
```

出力:

```
en
```

スコープ対象 GlideSession - getSessionToken()

セッショントークンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッショントークン。

```
var session = gs.getSession();
var token = session.getSessionToken();
gs.info(token);
```

出力:

```
4284b5372b840200c5244f74b4da15f2c3476cf7fcb6572afa4ef9d5e6d307a5fd9e1da7
```

スコープ対象 GlideSession - getTimeZoneName()

セッションのタイムゾーンの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッションのタイムゾーンの名前。

```
var session = gs.getSession();
var zoneName = session.getTimeZoneName();
gs.info(zoneName);
```

出力:

```
US/Pacific
```

スコープ対象 GlideSession - getUrlOnStack()

スタック上の URL を返します。スタックが空の場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	スタック上の URL。スタックが空の場合は null を返します。

```
var session = gs.getSession();
var URL = session.getUrlOnStack();
gs.info(URL);
```

出力：わかりやすくするために追加された改行。

```
sys_app.do?sys_id=ce05b9f32b840200c5244f74b4da1501&sysparm_goto_url=sys_a
pp.do
%3Fsys_id%3Dce05b9f32b840200c5244f74b4da1501
```

スコープ対象 GlideSession - isImpersonating()

ユーザーが別のユーザーの代理操作を行っている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが別のユーザーの代理操作を行っていることを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:ユーザーは代理操作を行っています。 • false:ユーザーは代理操作を行っていません。

```
var isImpersonator = gs.getSession().isImpersonating();
gs.info(isImpersonator);
```

スコープ対象 GlideSession - isInteractive()

セッションがインタラクティブである場合は true を返します。

インタラクティブセッションは、エンドユーザーがサーバーから情報を取得するユーザーインターフェイスとのインタラクションです。このタイプのセッション例は、ユーザーがログイン画面を使用してログインするか、フォームを使用してデータストアをクエリする場合です。非インタラクティブセッションは、データを取得するための SOAP 要求など、プログラムによるサーバーとのインタラクションのみを伴います。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションがインタラクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：セッションはインタラクティブです。 • false:セッションはインタラクティブではありません。

```
var interActive = gs.getSession().isInteractive();
gs.info(interActive);
```

スコープ対象 GlideSession - isLoggedIn()

ユーザーがログインしている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーがログインしているかどうかを示すフラグ 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：ユーザーはログインしています。 • false:ユーザーはログインしていません。

```
var session = gs.getSession();
var loggedIn = session.isLoggedIn();
gs.info(loggedIn);
```

出力:

```
true
```

スコープ対象 **GlideSession** - putClientData(文字列 **paramName**, 文字列 **paramValue)**

getClientData() で取得できるセッションクライアント値を設定します。このメソッドは、フォームの作成時に実行されるサーバー側スクリプトで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	設定するクライアントデータの名前。
paramValue	文字列	クライアントデータの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var session = gs.getSession();
session.putClientData('test1', 'Harry');
var clientData = session.getClientData('test1');
gs.info(clientData);
```

出力:

```
Harry
```

GlideSPScriptable - スコープ指定

GlideSPScriptable API は、サービスポータルウィジェットでデータを操作し、レコード操作を実行するためのメソッドを提供します。

GlideSPScriptable メソッドにアクセスするには、グローバル `$sp` オブジェクトを使用します。

GlideSPScriptable - canReadRecord(GlideRecord now_GR)

ユーザーが指定された GlideRecord を読み込むことができる場合は true を返します。

レコードタイプが `kb_knowledge`、`sc_cat_item`、または `sc_category` の場合、このメソッドはユーザーがアイテムを表示できるかどうかをチェックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	確認する GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが有効で読み取り可能な場合は true。

サーバースクリプト

```
//Server script
data.items = [];
data.userName = gs.getUserDisplayName();
var now_GR = new GlideRecord("sc_cat_item");
now_GR.query();
while(now_GR.next() && data.items.length < 10) {
    if ($sp.canReadRecord(now_GR)) {
    data.items.push(now_GR.getDisplayValue("name"));
    }
}

//HTML template
<div class="panel panel-default">
    <div class="panel-heading">Hi, {{c.data.userName}}!</div>
    <div class="panel-body">
        Here are some things you can order:
        <ul><li ng-repeat="item in c.data.items">{{item}}</li></ul>
    </div>
</div>
```

自動翻訳

GlideSPScriptable - canReadRecord(文字列 **table**, 文字列 **sysId)**

ユーザーが指定された GlideRecord を読み込むことができる場合は true を返します。

レコードタイプが `kb_knowledge`、`sc_cat_item`、または `sc_category` の場合、このメソッドはユーザーがアイテムを表示できるかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	クエリするテーブルの名前。
sysId	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが有効で読み取り可能な場合は true。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSPScriptable - canSeePage(文字列 pageID)

現在ログインしているユーザーが指定されたページを表示する権限を持っている場合は true を返します。

システムは、ロールとユーザー基準を使用して権限を決定します。詳細については、「ロール別のページセキュリティの構成」および「サービスポータルのユーザー基準」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageID	文字列	ページ [sp_page] テーブルのページ ID。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在ログインしているユーザーが指定されたページを表示する権限を持っているかどうかを示すフラグ。次の値が含まれます。 • true：ユーザーはページを表示できます。 • false：ユーザーはページを表示できないか、指定された pageID が有効でないか、ユーザーがログインしていません。

この例では、SP ヘッダーメニューのナレッジメニューアイテムに条件を追加して、kb_view2 ページを表示する権限を持つユーザーにのみメニューアイテムを表示します。

```
GlideSPScriptable.canSeePage("kb_view2")
```

GlideSPScriptable - getCatalogItem(文字列 sysId)

`sc_cat_item` または `sc_cat_item_guide` のモデルとビューモデルを返します。

このメソッドは廃止されました。代わりに getCatalogItem(文字列 *sysId*, ブーリアン *isOrdering*) メソッドを使用してください。このメソッドは、*isOrdering* パラメーターを false に設定して getCatalogItem(文字列 *sysId*, ブーリアン *isOrdering*) メソッドを呼び出します。これは、書き込みロールのセキュリティチェックが行われることを意味します。

このメソッドでは、`<sp-model />` を使用してカタログアイテムを表示および注文するために必要なデータを簡単に取得することができます。カタログアイテムを取得してその画像または名前を表示する必要がある場合は、GlideRecord を使用して `sc_cat_item` テーブルをクエリします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	カタログアイテム (`sc_cat_item`) または注文ガイド (`sc_cat_item_guide`) の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	カタログアイテム変数モデル、ビュー、セクション、価格設定、およびクライアントスクリプトを含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Server script
(function() {
    var sys_id = $sp.getParameter("sys_id")
    data.catItem = $sp.getCatalogItem(sys_id);
})();

// Client script
function($http, spUtil) {
    var c = this;
    var submitting = false;
    c.getIt = function() {
        if (submitting) return;
        $http.post(spUtil.getURL('sc_cat_item'),
 c.data.catItem).success(function(response) {
            if (response.answer) {
                c.req = response.answer;
                c.req.page = c.req.table == 'sc_request' ? 'sc_request' :
 'ticket';
            }
        });
    }
}

//SCSS
.img-bg {
    padding: 5px;
    background-color: $brand-primary;
}

.img-responsive {
    margin: 0 auto;
}

.cat-icon {
    display: block;
    margin: -40px auto 0;
}

// HTML template
<div class="col-sm-4">
  <div class="panel panel-default">
    <div class="img-bg">
      <img ng-src="{{::data.catItem.picture}}" class="img-responsive" />
    </div>
    <span class="cat-icon fa fa-stack fa-lg fa-3x hidden-xs">
      <i class="fa fa-circle fa-stack-2x text-success"></i>
      <i class="fa fa-desktop fa-stack-1x fa-inverse"></i>
    </span>
    <div class="panel-body">
      <p class="lead text-center">{{::data.catItem.name}}</p>
      <ul class="list-unstyled">
        <li class="text-center" ng-if="::data.catItem.price">${Price}:
 {{::data.catItem.price}}</li>
      </ul>
      <sp-model form-model="::data.catItem"
 mandatory="mandatory"></sp-model>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      <p ng-if="c.req" class="text-center text-success">
        ${Request created!} <a
 href="?id={{c.req.page}}&table={{c.req.table}}&sys_id={{c.req.sys_id}}">
{{c.req.number}}</a>
      </p>
      <button ng-if="!c.req" class="btn btn-default btn-block"
 ng-click="c.getIt()">${Get it}</button>
    </div>
  </div>
</div>
```

GlideSPScriptable - getCatalogItem(文字列 sysId, ブール値 isOrdering)

`sc_cat_item` または `sc_cat_item_guide` のモデルとビューモデルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	カタログアイテム (`sc_cat_item`) または注文ガイド (`sc_cat_item_guide`) の sys_id。
isOrdering	ブーリアン	true の場合、作成ロールのセキュリティチェックを使用します。false の場合、書き込みロールのセキュリティチェックを使用します。 ユーザーがアイテムを注文するか、買い物かごに入れている場合は、作成ロールを使用してチェックします。 ユーザーが注文していない場合、たとえば、要求されたアイテムを調べてそのアイテムに関連付けられている変数を確認する場合は、書き込みロールを使用してチェックします。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	カタログアイテム変数モデル、ビュー、セクション、価格設定、およびクライアントスクリプトを含むオブジェクト。

GlideSPScriptable - getDisplayValue(文字列 fieldName)

ウィジェットの `sp_instance` または `sp_portal` レコードから、指定されたフィールドの表示値を返します (存在し、値がある場合)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
文字列	`sp_instance` または `sp_portal` レコードの表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Server script
(function() {
    data.title = $sp.getDisplayValue("title");
    data.catalog = $sp.getDisplayValue("sc_catalog");
})();

//HTML template
<div>
    <h1>sp_instance.title: {{::data.title}}</h1>
    <h1>sp_portal.sc_catalog: {{::data.catalog}}</h1>
</div>
```

GlideSPScriptable - getField(GlideRecord now_GR, String fieldName)

指定された GlideRecord の指定されたフィールドに関する情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	確認する GlideRecord。
fieldName	文字列	情報を検索するフィールド

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	フィールドの label、value、displayValue、および type を含むオブジェクト。フィールド名の GlideRecord が有効でない場合、またはフィールドを読み取ることができない場合は null を返します。

GlideSPScriptable - getFields(GlideRecord now_GR, 文字列 fieldNames)

指定されたフィールド名のリストを確認し、有効なフィールド名のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	確認する GlideRecord。
フィールド名	文字列	フィールド名のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	有効なフィールドのアレイ。

GlideSPScriptable - getFieldsObject(GlideRecord now_GR, 文字列 fieldNames)

指定されたフィールド名のリストを確認し、有効なフィールド名のオブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	確認する GlideRecord。
フィールド名	文字列	フィールド名のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	有効なフィールド名を含むオブジェクト。

GlideSPScriptable - getForm(文字列 **tableName**, 文字列 **sysId)**

フォームを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前
sysId	文字列	フォームの sys_id

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	フォーム

GlideSPScriptable - getKBCategoryArticles(文字列 **sys_id**, 数制限)

指定されたカテゴリとそのサブカテゴリの KB 記事を返します。

パフォーマンスの問題を回避するために、このメソッドを使用して大きなカテゴリの記事やインライン画像を含む記事を返さないでください。代わりに、`getKBArticleSummaries()` を使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	KB 記事カテゴリの sys_id。
limit	数値	返される KB 記事の最大数。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	カテゴリとそのサブカテゴリ内の記事： • [公開済] の **[workflow_state]**。 • 現在の日付以降の **[valid_to]** 日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Server script
(function() {
    data.kbs =
 $sp.getKBCategoryArticles("0ac1bf8bff0221009b20ffffffffffec", 5);
})();

//HTML template
<div>
articles: {{::data.kbs}}
</div>
```

GlideSPScriptable - getKBCategoryArticleSummaries(文字列 **sys_id**, 数制限, 数 **maxChars)**

指定されたカテゴリとそのサブカテゴリのナレッジベース記事のサマリーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	KB 記事カテゴリの sys_id。
limit	数値	返される KB 記事の最大数。
maxChars	数値	記事テキストから返される最大文字数。完全な記事テキストの場合は、値を `-1` に設定します。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	カテゴリとそのサブカテゴリ内の記事： • [公開済] の **[workflow_state]**。 • 現在の日付以降の **[valid_to]** 日付。

```
//Server script
(function() {
    data.summary =
 $sp.getKBCategoryArticleSummaries("0ac1bf8bff0221009b20ffffffffffec", 5,
 200);
})();

//HTML template
<div>
articles: {{::data.summary}}
</div>
```

GlideSPScriptable - getKBCount(文字列 **sys_id)**

定義されたナレッジベースの記事の数を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	ナレッジベースレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
数値	定義されたナレッジベース内のナレッジ記事の数： • [公開済] の **[workflow_state]**。 • 現在の日付以降の **[valid_to]** 日付。

```
//Server script
(function() {
    data.count = $sp.getKBCount("a7e8a78bff0221009b20ffffffffff17");
})();

//HTML template
<div>
articles: {{::data.count}}
</div>
```

GlideSPScriptable - getListColumns(文字列 **tableName**, 文字列 **view)**

指定されたビューで指定されたテーブルの列のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前
view	文字列	列をフィルターするビュー

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	列名を含むオブジェクト。

GlideSPScriptable - getMenuItems(文字列 **sysId)**

指定されたインスタンスのメニューアイテムのアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	インスタンスの sysId

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定されたインスタンスのメニューアイテム

GlideSPScriptable - getMenuHREF(GlideRecord ページ)

sp_menu タイプに基づいて、URL の (?id=) 部分を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
page	GlideRecord	ページ

返される内容

タイプ	説明
文字列	URL の href 部分。

GlideSPScriptable - getParameter(文字列名)

指定されたパラメーターの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	クエリ文字列または投稿本文のキーの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパラメーターをオブジェクトとして返します。要求、JSON 要求、またはウィジェットがない場合は null を返します。

GlideSPScriptable - getPortalRecord()

サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	サービスポータル [sp_portal] テーブルの現在のポータルのポータルレコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Server script
(function() {
    var portalGr = $sp.getPortalRecord();
    data.logo = portalGr.getDisplayValue("logo");
    data.homepage = portalGr.getDisplayValue("homepage.id");
})();

//HTML template
<div>
    <img ng-src="{{::c.data.logo}}" />
    <a href="?id={{::c.data.homepage}}">Click here to go home</a>
</div>
```

GlideSPScriptable - getRecord(文字列 **table**, 文字列 **sys_id)**

パラメーターが指定されている場合は、指定されたテーブルと Sys ID で識別される GlideRecord を返します。パラメーターが指定されていない場合は、現在の URL で識別されるレコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	オプション。返されるレコードのテーブル。パラメーターが含まれていない場合は、現在の URL で識別されるテーブルと Sys ID を返します。
sys_id	文字列	オプション。返されるレコードの Sys ID。パラメーターが含まれていない場合は、現在の URL で識別されるレコードを返します。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	パラメーターが指定されている場合は、指定されたテーブルと Sys ID で識別されるレコードを返します。 パラメーターが指定されていない場合は、現在の URL で識別されるレコードを返します。 ウィジェットが別のウィジェットによって埋め込まれている場合、または指定されたパラメーターのレコードが見つからない場合は null を返します。

```
//Server script
(function(){
var now_GR = $sp.getRecord();
data.tableLabel = now_GR.getLabel();
})();

//HTML template
<div class="panel-heading">
<h4 class="panel-title">${{{data.tableLabel}} details}</h4>
</div>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSPScriptable - getRecordDisplayValues(オブジェクトデータ, **GlideRecord from**, 文字列名)
指定されたフィールドの表示値を data パラメーターにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	指定されたフィールドの表示値がこのオブジェクトにコピーされます。
from	GlideRecord	処理する GlideRecord。
names	文字列	フィールド名のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideSPScriptable - getRecordElements(オブジェクトデータ, **GlideRecord from**, 文字列名)
指定されたフィールドに対して、要素名、表示値、および値を data パラメーターにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	指定されたフィールドの要素名、表示値、および値がこのオブジェクトにコピーされます。
from	GlideRecord	処理する GlideRecord。
names	文字列	フィールド名のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideSPScriptable - getRecordValues(オブジェクトデータ, **GlideRecord from**, 文字列名)
指定されたフィールド名の値を GlideRecord から data パラメーターにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	指定されたフィールドの値がこのオブジェクトにコピーされます。
from	GlideRecord	処理する GlideRecord。
names	文字列	フィールド名のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSPScriptable - getRecordVariables(GlideRecord now_GR, ブール値 includeNilResponses)

レコードに関連付けられた サービスカタログ 変数を文字列形式で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	サービスカタログ 変数を取得するレコード。要求アイテム [sc_req_item] レコードやレコードプロデューサーを介して送信されたインシデントなど、サービスカタログ 変数が定義されたレコードである必要があります。
includeNilResponses	ブーリアン	オプション。true の場合、API にはユーザー定義値のない変数が含まれます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	レコードに関連付けられた サービスカタログ 変数。

```
//Server script
(function() {
var itemsGR = new GlideRecord("sc_req_item");
itemsGR.get('585d1bc44f4f13008a959a211310c77d');

data.scVars = $sp.getRecordVariables(itemsGR);

})();

//HTML template
<div>
Requested item variables: {{::data.scVars}}
</div>
```

出力：

```
Requested item variables: [
  {
    "display_value":"MetroPCS",
    "name":"carrier",
    "visible_summary":true,
    "id":"585d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Allocated carrier",
    "type":"5",
    "value":"metropcs",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"Unlimited",
    "name":"data_plan",
    "visible_summary":true,
    "id":"d05d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Monthly data allowance",
    "type":"5",
    "value":"unlimited",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"12 Months",
    "name":"duration",
    "visible_summary":true,
    "id":"d85d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Contract duration",
    "type":"5",
    "value":"twelve_months",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"Slate",
    "name":"color",
    "visible_summary":true,
    "id":"545d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Color",
    "type":"5",
    "value":"slate",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {"display_value":"64GB",
    "name":"storage",
    "visible_summary":true,
    "id":"d45d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Storage",
    "type":"5",
    "value":"sixtyfour",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  }
]
```


GlideSPScriptable - getRecordVariablesArray(GlideRecord now_GR, ブール値 includeNilResponses)

レコードに関連付けられた サービスカタログ 変数のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	サービスカタログ 変数を取得するレコード。要求アイテム [sc_req_item] レコードやレコードプロデューサーを介して送信されたインシデントなど、サービスカタログ 変数が定義されたレコードである必要があります。
includeNilResponses	ブーリアン	オプション。true の場合、API にはユーザー定義値のない変数が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	レコードに関連付けられた サービスカタログ 変数のアレイ。

```
//Server script
(function() {
var itemsGR = new GlideRecord("sc_req_item");
itemsGR.get('585d1bc44f4f13008a959a211310c77d');

data.scVars = $sp.getRecordVariablesArray(itemsGR);

})();

//HTML template
<div>
Requested item variables: {{::data.scVars}}
</div>
```

出力：

```
Requested item variables: [
  {
    "display_value":"MetroPCS",
    "name":"carrier",
    "visible_summary":true,
    "id":"585d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Allocated carrier",
    "type":"5",
    "value":"metropcs",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"Unlimited",
    "name":"data_plan",
    "visible_summary":true,
    "id":"d05d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Monthly data allowance",
    "type":"5",
    "value":"unlimited",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"12 Months",
    "name":"duration",
    "visible_summary":true,
    "id":"d85d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Contract duration",
    "type":"5",
    "value":"twelve_months",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "display_value":"Slate",
    "name":"color",
    "visible_summary":true,
    "id":"545d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Color",
    "type":"5",
    "value":"slate",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {"display_value":"64GB",
    "name":"storage",
    "visible_summary":true,
    "id":"d45d1bc44f4f13008a959a211310c77c",
    "label":"Storage",
    "type":"5",
    "value":"sixtyfour",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  }
]
```


GlideSPScriptable - getStream(文字列 **table**, 文字列 **sysId)**

指定されたレコードのアクティビティストリームを取得します。このメソッドは、タスクテーブルを拡張するテーブルで機能します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	テーブル名
sysID	文字列	レコードの sys_id

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	タスクテーブルを拡張するテーブルが指定されている場合、display_value、sys_id、short_description、number、entries、user_sys_id、user_full_name、user_の各プロパティが含まれます。指定されていない場合は、table プロパティと sys_id プロパティが含まれます。 **注:** user_login プロパティには現在のユーザーのユーザー ID が含まれています。user_sys_id プロパティは、クエリされたレコードの作成者を参照します。

GlideSPScriptable - getUserInitials()

ユーザーのイニシャルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのイニシャル

GlideSPScriptable - getValue (文字列名)

JSON 要求、インスタンス、またはポータルの名前付き値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	JSON 要求、インスタンス、またはポータルの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたパラメーターの値。指定されたエンティティが存在しない場合、またはそのようなパラメーターがない場合は null。

```
//Server script
(function() {
    data.title = $sp.getValue("title");
    data.catalog = $sp.getValue("sc_catalog");
})();

//HTML templage
<div>
    <h1>sp_instance.title: {{::data.title}}</h1>
    <h1>sp_portal.sc_catalog: {{::data.catalog}}</h1>
</div>
```

GlideSPScriptable - getValues(オブジェクトデータ, 文字列名)

要求またはインスタンスの値を data パラメーターにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	パラメーター値を受信します。
names	文字列	フィールド名のカンマ区切り文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideSPScriptable - getVariablesArray(ブール値 **includeNilResponses)**

URL でレコードに関連付けられた サービスカタログ 変数のアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、URL に `id=form&table=sc_req_item&sys_id=832e9620db4f330083766b984b9619cf` パラメーターが含まれている場合、API は要求アイテム [sc_req_item] テーブルで指定されたレコードに関連付けられた変数を返します。要求アイテム [sc_req_item] レコードやレコードプロデューサーを介して送信されたインシデントなど、サービスカタログ 変数が定義されたレコードである必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeNilResponses	ブーリアン	オプション。true の場合、API にはユーザー定義値のない変数が含まれます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	テーブルに関連付けられた変数のアレイ。

```
//Server script
(function() {
data.scVars = $sp.getVariablesArray();
})();

//HTML template
<div Current record variables: {{::data.scVars}} ></div>
```

出力：

```
Current record variables: [
  {
    "display_value":"unlimited",
    "name":"data","visible_summary":
    true,"id":"472e5620db4f330083766b984b96198a",
    "label":"Data",
    "type":"6",
    "value":"unlimited",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  },
  {
    "display_value":"Black",
    "name":"color",
    "visible_summary":true,
    "id":"c72e5620db4f330083766b984b96198a",
    "label":"Color",
    "type":"6",
    "value":"Black",
    "visible_standalone":true,
    "visible_guide":true
  }
]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSPScriptable - getWidget(文字列 **sysID**, オブジェクトオプション)

id または sys_id でウィジェットを取得し、指定されたオプションを使用してそのウィジェットのサーバースクリプトを実行し、ウィジェットモデルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	ウィジェットの sys_id または widget_id
options	オブジェクト	ウィジェットのサーバースクリプトに渡すオブジェクト。このオブジェクトをサーバースクリプトの `options` として参照します。 **注:** この関数に渡されたオプションは、そのスクリプトの [最初の実行 **(first execution)]** に埋め込みウィジェットのサーバースクリプトでのみ使用できます。埋め込みウィジェットからのサーバースクリプトへの後続の呼び出しには、渡されたオブジェクトプロパティは含まれません。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	sp-widget で使用されるウィジェットモデル。

```
//Server script
data.myWidget = $sp.getWidget('widget_id', {p1: param1, p2: param2});

//HTML
<sp-widget widget="c.data.myWidget"></sp-widget>
```

GlideSPScriptable - isRTLEnabled()

関連付けられたポータルで右から左に記述する言語 (RTL) が有効になっているかどうか、および現在のユーザーの言語が方向 RTL であるかどうかを確認します。

このメソッドを使用して、ポータル UI に RTL 固有の CSS が必要かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	RTL フラグが有効で、現在のユーザーのセッション言語が指向性 RTL であるかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:RTL フラグは有効です。 • false: RTL フラグは有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン

次のコード例は、このメソッドを使用して、ポータル ページに表示するアイコンの種類を決定する方法を示しています。

```
// Server script
(function() {
  data.isRTLEnabled = $sp.isRTLEnabled();
 })();

// HTML template
<div> <i ng-class="c.data.isRTLEnabled ? 'fa fa-arrow-right' : 'fa
 fa-arrow-left'"></i> </div>
```

GlideSPScriptable - isUserCriteriaEnabled()

ユーザー基準が有効な場合は true を返します。

このメソッドは、**Service Portal User Criteria Support** プラグイン (com.glide.service-portal.user-criteria) がアクティブで、**[Service Portal** のエンタイトルメントのために、ロールのフィールドではなくユーザー基準レコードの使用を有効にします] (glide.service_portal.user_criteria_enabled) システムプロパティが true に設定されている場合に true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザー基準が有効な場合は true。

GlideSPScriptable - log (オブジェクトメッセージ)

サービスポータルのログエントリ [sp_log] テーブルに出力されます。ログインユーザーには、sp_admin または admin ロールが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	サービスポータル ページで出力として送信するメッセージを表す JavaScript オブジェクトまたは文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、事前定義されたエラーが発生した場合に、そのエラーをログに記録する方法を示しています。

```
var demo_data = null;
var params = null;
if (gr.getValue("demo_data")) {
   try {
 demo_data = JSON.parse(gr.getValue("demo_data"));
 params = (demo_data.options) ? demo_data.options : null;
 } catch(e) {
 $sp.log(e);
   }
}
```

GlideSPScriptable - mapUrlToSPUrl(文字列 **url)**

プラットフォーム UI のリストまたはフォームを要求する URL を、対応する `id=list` または `id=form` サービスポータルページの URL に変換します。

このメソッドを使用して、ユーザーがプラットフォーム UI フォームまたはリスト URL を要求したときに、ログイン後に適切なサービスポータルページにリダイレクトするなどのタスクを実行します。`id=list` および `id=form` ページのターゲットはカスタマイズできないことに注意してください。

> **注:** table、sys_id、および sysparm_query の値は元の URL から保持されますが、sysparm_view は保持されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	プラットフォーム UI URL

返される内容

タイプ	説明
文字列	変換されたサービスポータルの URL。 渡された URL がプラットフォーム UI のリストまたはフォームを要求しない場合は、null 値が返されます。

リストの例

```
GlideSPScriptable().mapUrlToSPUrl("http://
demo.service-now.com/task_list.do?sysparm_userpref_module=1523b8d4c611227
b00be8216ec331b9a&sysparm_query=assigned_to=javascript:getMyAssignments()
&sysparm_clear_stack=true"))
```

返される内容

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
id=list&table=task&filter=assigned_to=javascript:getMyAssignments()&sys_id=&v=
```

フォームの例

```
GlideSPScriptable().mapUrlToSPUrl("incident.do?sys_id=12bc12bc12bc12bc12bc12bc12bc12bc")
```

返される内容

```
id=form&table=incident&filter=&sys_id=12bc12bc12bc12bc12bc12bc12bc12bc&v=
```

GlideSPScriptable - userCanSeeSearchSourceByCriteria(文字列 searchSourceID)

現在のユーザーが searchSourceID で指定された検索ソースを表示できる場合は true を返します。

ユーザーがユーザー基準によって制限されていない場合は true を返します。ユーザー基準がサービスポータル資産に与える影響の詳細については、「サービスポータルのユーザー基準」を参照してください。

注: このメソッドは検索ソースのロールベースの権限を評価しないため、ユーザー基準が有効になっている場合にのみ使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
searchSourceID	文字列	検索ソースレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが検索ソースへの読み取りアクセス権を持っている場合は true。

GlideSPSearchAnalytics - グローバル

GlideSPSearchAnalytics API は、カスタムServiceNow検索ウィジェットから検索アナリティクスを生成するメソッドを提供します。

デフォルトでは、イベント検索 [sys_search_event] テーブルとソースイベント検索 [sys_search_source_event] テーブルが、ベースシステム検索ウィジェットから検索データを収集します。 ただし、カスタム検索ウィジェットではこの機能のメリットが得られません。グローバル環境のカスタム検索ウィジェットのサーバースクリプトでこの API を使用し、検索イベントテーブルに検索データを送信します。生成するもの：ユーザーに関連する検索の提案。ユーザーが何を検索しているか、ユーザーが必要なものを見つけてるかどうかを把握するために、検索のアナリティクスを監視します。

この API は次の検索データを収集します。

- 検索された用語
- クリックされたアイテムのランク
- 検索結果を絞り込むために使用するフィルター
- 検索結果の最初のページのテーブル名とレコード識別子
- ブラウザーと場所を含む、クリックされた検索結果

検索提案は Now Platform の機能です。詳細については、「検索提案」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSPSearchAnalytics - publish(文字列 payload)

検索結果の検索イベント [sys_search_event] テーブル、ソース別検索イベント [sys_search_source_event] テーブルおよび検索シグナルイベント [sys_search_signal_event] テーブルに、またはユーザーが検索結果をクリックした場合は、クリックした検索結果 [sys_search_result_clicked] テーブルおよび検索シグナル結果イベント [sys_search_signal_result_event] テーブルに検索データを送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
payload	文字列	検索結果の検索イベント [sys_search_event] テーブル、ソース別検索イベント [sys_search_source_event] テーブル、および検索シグナルイベント [sys_search_signal_event] テーブルに送信する検索データ、またはユーザーが検索結果をクリックしたときに、クリックした検索結果 [sys_search_result_clicked] テーブルおよび検索シグナル結果イベント [sys_search_signal_result_event] テーブルに送信する検索データを含む文字列 format の JSON ペイロード。収集する検索データのタイプに応じて、ペイロードをキーと値のペアとして構成します。 • ユーザーが用語を検索したときにデータを収集します。 ◦ `query`:文字列。検索対象のクエリ。 ◦ `portal_id`:文字列。サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードの sys_id。 ◦ `page_id`:文字列。ページ [sp_page] テーブルのページレコードの sys_id。 ◦ `results_per_source`：アレイ。各検索ソースから返された結果の数。 ▪ `source_id`：文字列。検索ソース [sp_search_source] テーブルの検索ソースレコードの sys_id。 ▪ `number_of_results`：数値。指定された検索ソースのクエリから返された結果の数。 ◦ `ais_profile`：文字列。検索に適用される検索プロファイルの sys_id。AI 検索 エンジンで行われた検索にのみ適用されます。 ◦ `search_results`：アレイ。検索結果の最初のページに返される結果。 ▪ `record_id`：文字列。検索結果レコードの sys_id。 ▪ `table_name`：文字列。検索結果レコードが見つかったテーブルの名前。 ◦ `refinement_occurred`:ブーリアン。ユーザーが検索結果をフィルタリングした場合は true、それ以外の場合は false。 • ユーザーが検索結果を絞り込むときにデータを収集します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ query:文字列。検索対象のクエリ。 ◦ portal_id:文字列。サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードの sys_id。 ◦ page_id:文字列。ページ [sp_page] テーブルのページレコードの sys_id。 ◦ refinement_occurred:ブーリアン。ユーザーが検索結果をフィルタリングした場合は true、それ以外の場合は false。 • ユーザーが選択した検索結果のランクを収集します。 ◦ query:文字列。検索対象のクエリ。 ◦ portal_id:文字列。サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードの sys_id。 ◦ click_rank:番号。ユーザーが選択したアイテムのランク。たとえば、ユーザーが検索結果のリストの 3 番目のアイテムをクリックした場合、値は 3 です。 • ユーザーがクリックした検索結果に関する情報を収集します。クリックした検索結果 [sys_search_result_clicked] テーブルへのデータログ。 ◦ query:文字列。検索対象のクエリ。 ◦ portal_id:文字列。サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードの sys_id。 ◦ page_id:文字列。ページ [sp_page] テーブルのページレコードの sys_id。 ◦ results_per_source：アレイ。各検索ソースから返された結果の数。 ▪ source_id：文字列。検索ソース [sp_search_source] テーブルの検索ソースレコードの sys_id。 ▪ number_of_results：数値。指定された検索ソースのクエリから返された結果の数。 ◦ refinement_occurred:ブーリアン。ユーザーが検索結果をフィルタリングした場合は true、それ以外の場合は false。 ◦ click_rank:番号。ユーザーが選択したアイテムのランク。たとえば、ユーザーが検索結果のリストの 3 番目のアイテムをクリックした場合、値は 3 です。 ◦ browser_info：文字列。ブラウザー名、バージョン、およびプラットフォームをログに記録します。 ◦ location：単精度浮動小数点数。ユーザーの場所の緯度と経度の座標をログに記録します。 ◦ result_clicked_sys_id：文字列。ユーザーが選択した結果の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ `label_description`：文字列。ユーザーが選択した結果の説明。 ◦ `source_table`：文字列。選択した結果を含むソーステーブルの名前。 ◦ `ais_doc_id`：文字列。ユーザーが選択した各結果のソーステーブルのアンダースコアで区切った名前と sys_id。たとえば、ユーザーがナレッジ [kb_knowledge] テーブルの結果をクリックした場合、値の形式は `kb_knowledge_3020c9b14843210e9db4b5b08b9a712d` になります。AI 検索 エンジンで行われた検索にのみ適用されます。 • ユーザーが用語を検索するとデータを収集し、ユーザーがクリックした検索結果を収集します。 ◦ `query`:文字列。検索対象のクエリ。 ◦ `portal_id`:文字列。サービスポータル [sp_portal] テーブルのポータルレコードの sys_id。 ◦ `page_id`:文字列。ページ [sp_page] テーブルのページレコードの sys_id。 ◦ `results_per_source`：アレイ。各検索ソースから返された結果の数。 ▪ `source_id`：文字列。検索ソース [sp_search_source] テーブルの検索ソースレコードの sys_id。 ▪ `number_of_results`：数値。指定された検索ソースのクエリから返された結果の数。 ◦ `ais_profile`：文字列。検索に適用される検索プロファイルの sys_id。AI 検索 エンジンで行われた検索にのみ適用されます。 ◦ `search_results`：アレイ。検索結果の最初のページに返されるレコードのサマリー。 ▪ `record_id`：文字列。検索結果レコードの sys_id。 ▪ `table_name`：文字列。検索結果レコードが見つかったテーブルの名前。 ◦ `click_rank`:番号。ユーザーが選択したアイテムのランク。たとえば、ユーザーが検索結果のリストの 3 番目のアイテムをクリックした場合、値は `3` です。 ◦ `ais_doc_id`：文字列。ユーザーが選択した各結果のソーステーブルのアンダースコアで区切った名前と sys_id。たとえば、ユーザーがナレッジ [kb_knowledge] テーブルの結果をクリックした場合、値の形式は

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		kb_knowledge_3020c9b14843210e9db4b5b08b9a712d になります。AI 検索 エンジンで行われた検索にのみ適用されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、検索データを検索分析テーブルに直接渡します。

```
var searchObject = new GlideSPSearchAnalytics();
var payload = {
  'query': 'how do i get a new computer',
  'portal_id': '81b75d3147032100ba13a5554ee4902b',
  'page_id': '87466b63c3223100c8b837659bba8feb',
  'results_per_source': [{
    'source_id': 'bf2c4c15b3a31300e64be12b86a8dcb7',
    'number_of_results': 2,
  }, {
    'source_id': 'c96eb1686721220023c82e08f585efff',
    'number_of_results': 1
  }],
  'refinement': false,
  'search_results': [{
    'record_id': 'KB Article 1',
    'table_name': 'knowledge'
  }, {
    'record_id': 'KB Article 2',
    'table_name': 'knowledge'
  }, {
    'record_id': 'Employee Help',
    'table_name': 'userportal'
  }]
};
var directSearchData = searchObject.publish(JSON.stringify(payload));
```

この例では、カスタム検索ウィジェットから直接検索データを動的に収集し、検索分析テーブルに渡します。

```
//client script
var payload = {
  query: this.data.query,
  portal_id: this.data.portalID,
  page_id: this.data.pageID,
  results_per_source: getSearchSources(),
  refinement_occurred: false,
};
var payloadObject = {
  action: "TestAction",
  payload: payload,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
};
c.server.get(payloadObject);
```

```
//server script
if (input && input.action === "TestAction") {
  input.action = "";
  var textSearchAnalytics = new
 GlideSPSearchAnalytics().publish(JSON.stringify(input.payload));
  return;
}
```

この例では、カスタム検索ウィジェットからクリックされた検索データを直接収集し、検索分析 [sys_search_result_clicked] テーブルに渡します。

```
//client script
function setUserLocationCoords(cb) {
  var onSuccess = function(pos) {
    return cb({
      latitude: pos.coords.latitude,
      longitude: pos.coords.longitude,
    });
  };
  var onError = function() {
    return cb({
      latitude: null,
      longitude: null,
    });
  };
  return window.navigator.geolocation.getCurrentPosition(onSuccess,
 onError, {
    enableHighAccuracy: true,
  });
}

function trackSearchResultClicked(resultClicked, rank) {
  if (!rank || rank < 1) return;
  var c = $scope;
  var query = _.get(c.data, "q");
  var results = _.get(c.data, "results", []);
  var result = results.find(function(e) {
    return e.primary.trim() === resultClicked.trim();
  });
  var description = result.name != null ? result.name : result.primary;
  var sourceTable = result.table != null ? result.table : null;
  var payloadObject = {
    action: "TestAction",
    payload: {
      query: query,
      portal_id: c.portal.sys_id,
      page_id: $scope.page && $scope.page.id,
      results_per_source: getSearchSources(c),
      refinement_occurred: false,
      click_rank: rank,
      browser_info: $window.navigator.userAgent,
      location: {},
      result_clicked_sys_id: result.sys_id,
      label_description: description,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      source_table: sourceTable,
    },
  };
  setUserLocationCoords(function(coords) {
    payloadObject.payload.location.latitude = coords.latitude;
    payloadObject.payload.location.longitude = coords.longitude;
    $window.spSearchAnalytics = {
      query: query,
      refinement_occurred: false,
    };
    c.server.get(payloadObject);
  });
}
// Event delegation for Updating click rank
$(".panel").on("click", ".result-item a", function(e) {
  var index = $(e.currentTarget).parent().parent().data("index");
  var resultClicked = e.currentTarget.innerText;
  trackSearchResultClicked(resultClicked, index + 1);
});
```

```
// server script
if (input && input.action === "TestAction") {
  input.action = "";
  var textSearchAnalytics = new
 GlideSPSearchAnalytics().publish(JSON.stringify(input.payload));
  return;
}
```

GlideSPUtil - グローバル

GlideSPUtil API は、サービスポータルをサポートする一般的なバックエンド関数を実行するユーティリティメソッドを提供します。

利用可能なユーティリティメソッド:

- ページ [sp_page] テーブルにある指定された サービスポータル ページに関連付けられた動的ページ変数 [sp_page_title_variable] テーブルで指定された変数を解決します。
- その他の方法

詳細については、「サービスポータルページ 、サービスポータルページ 」を参照してください。

GlideSPUtil - GlideSPUtil()

GlideSPUtil オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次のコード例は、関連するメソッドを呼び出す前に GlideSPUtil オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
function() {
  var spUtil = new GlideSPUtil();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var pageGR = spUtil.getPageRecordWithPageRoute('kb_article',
 '81b75d3147032100ba13a5554ee4902b', false);
  var queryParams = RP.getParameters();
  var hrUrl = spUtil.getHumanReadableUrl(pageGR, queryParams);
}
```

GlideSPUtil - getHumanReadableUrl()

'id' クエリパラメーターを考慮してポータルページ (pageGR) を識別し、現在のトランザクションのクエリ文字列を使用して getHumanReadableUrl(GlideRecord、pageGR, String queryString) を呼び出し、人間が判読できる最終的な判読可能を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された サービスポータル レコードの人間が判読できる URL。変数は *queryParams* 文字列マップの内容に置き換えられます。

次のコード例 方法を示します。

```
function() {
  var spUtil = new GlideSPUtil();
  var hrUrl = spUtil.getHumanReadableUrl();
}
```

出力:

GlideSPUtil - getHumanReadableUrl(GlideRecord pageGR, String queryParams)

渡された *queryParms* 文字列パラメーターを文字列マップに変換し、sp_pageレコードで指定された 「人間が判読できる URL 構造」文字列 の変数を解決し、URL の 最終的な人間が判読できる部分を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ページGR	GlideRecord	URL 変数を解決するページ [sp_page] テーブル内のレコードの GlideRecord オブジェクト。
querystring	文字列	クエリ文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された サービスポータル レコードの人間が判読できる URL。変数は *queryParams* 文字列マップの内容に置き換えられます。

次のコード例 方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function() {
  var spUtil = new GlideSPUtil();
  var pageGR = spUtil.getPageRecordWithPageRoute('kb_article',
 '81b75d3147032100ba13a5554ee4902b', false);
  var queryString = GlideTransaction.get().getRequest().getQueryString();
  var hrUrl = spUtil.getHumanReadableUrl(pageGR, queryParams);
}
```

出力:

GlideSPUtil - getHumanReadableUrl(GlideRecord pageGR, StringMap queryParams)

渡されたサービスポータルテンプレートページオブジェクトの [人間が判読できる **URL** 構造] フィールドの変数を解決し、指定されたクエリパラメーターと解決された人間が判読できるパラメーターを含む URL を返します。

URL で人間が判読できるキーワードを使用して、次のことを行います。

- URL が関連ページのコンテキストにない場合に、顧客がその URL の目的をよりよく理解できるようにします。
- 検索エンジンにキーワードを提供して、ページを見つけやすくします。

たとえば、次のような認識できないキーと値のペアを含む URL を使用するのではなく、

```
https://instance_name.servicenow.com/sp/en?
id=sc_cat_item&sys_id=ec80c13297968d1021983d1e6253af32&sysparm_catgory=1e80c15697969f10
```

URL の目的を理解しやすくするために、URL にアイテム名を追加できます。

```
https://instance_name.servicenow.com/sp/en/apple-iphone-13?
id=sc_cat_item&sys_id=ec80c13297968d1021983d1e6253af32&sysparm_catgory=1e80c15697969f10
```

このメソッドを使用する前に、URL に動的コンテンツを含める各 サービスポータル テンプレートで使用できる動的ページ変数を定義する必要があります。これらの変数の追加の詳細については、「ページ URL への人間が判読できるキーワードの追加」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ページGR	GlideRecord	動的 URL 変数を解決するサービスポータル テンプレートページの GlideRecord オブジェクト。ページ [sp_page] テーブルにあります。
queryParams	スティングマップ	目的の サービスポータル ページを取得するために使用する URL クエリパラメーター。 例： `{ "id": "sc_cat_item", "sys_id": "ec80c13297968d1021983d1e6253af32", "sysparm_catgory": "1e80c15697969f1032083d1e6253be15" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	サービスポータルテンプレートページで指定された動的変数の解決済みの人間が判読できる要素を含む URL。 たとえば、定義された動的変数が *$item_name* の場合、URL には、ユーザーが選択したアイテムの名前 (「apple-iphone-13」など) と、指定されたすべてのクエリパラメーターが含まれます。 `https://instance_name.servicenow.com/sp/en/apple-iphone-13?id=sc_cat_item&sys_id=ec80c13297968d1021983d1e6253af32&sysparm_catgo`

次のコード例は、特定の KB 記事を取得し、 *getHumanReaadableUrl()* を呼び出して関連する動的変数を適用する方法を示しています。

```
function() {
  var spUtil = new GlideSPUtil();
  var pageGR = spUtil.getPageRecordWithPageRoute('kb_article',
 '81b75d3147032100ba13a5554ee4902b', false);
  var queryParams = RP.getParameters();
  var hrUrl = spUtil.getHumanReadableUrl(pageGR, queryParams);
}
```

出力：

GlideStringUtil - スコープ対象、グローバル

GlideStringUtil API は文字列処理メソッドを提供します。

これらのメソッドにアクセスするには、静的オブジェクト GlideStringUtil を使用します。このクラスは、スコープ対象のスクリプトとグローバルスクリプトで使用できます。

GlideStringUtil - dotToUnderBar(文字列 sourceString)

ピリオドをアンダースコア文字に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ピリオドをアンダースコアに置き換えたテキスト。

```
var filename="../../../../../../etc/passwd";
cleanFilename=GlideStringUtil.dotToUnderBar(filename);
gs.info(cleanFilename);
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
__/__/__/__/__/__/etc/passwd
```

GlideStringUtil - escapeAllQuotes(文字列 sourceString)

文字列から引用符を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理される文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	引用符が削除された文字列。

```
mystring="let's escape some quotes";
escapeQuote=GlideStringUtil.escapeAllQuotes(mystring);
gs.info(escapeQuote);
```

出力:

```
lets escape some quotes
```

GlideStringUtil - escapeForHomePage(文字列 sourceString)

問題の文字をエスケープ文字に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	問題の文字をエスケープ文字に置き換えたテキスト。

```
mystring="<test> string \n to escape";
escapedString=GlideStringUtil.escapeForHomePage(mystring);
gs.info(escapedString);
```

出力:

```
%3ctest%3e string \n to escape
```

GlideStringUtil - escapeHTML(文字列 htmlString)

無効な文字をエスケープコードに置き換えます。

このメソッドを使用すると、UI が不適切に表示されたり、JavaScript や HTML インジェクションなどのクライアント側の攻撃がトリガーされたりする可能性のある無効な文字が削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
htmlString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	無効な文字をエスケープコードに置き換えたテキスト。

```
mydata='"<>&';
mydata=GlideStringUtil.escapeHTML(mydata);
gs.info(mydata);
```

出力:

```
"<>&
```

GlideStringUtil - escapeNonPrintable(文字列 **sourceString)**

印刷不可能な文字を印刷可能な表記に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	印刷不可能な文字を印刷可能な表記に置き換えたテキスト。

```
mystring="test \x09 non \x00 printable \x07 chars";
escapedString=GlideStringUtil.escapeNonPrintable(mystring);
gs.info(escapedString);
```

出力：

```
test \t non \u0000 printable \u0007 chars
```

GlideStringUtil - escapeQueryTermSeparator(文字列 **sourceString)**

クエリ用語のセパレーター「^」をエスケープシーケンス「^^」に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリ用語のセパレーターをエスケープ文字に置き換えたテキスト。

```
myquery="test^Test";
escapedQuery=GlideStringUtil.escapeQueryTermSeparator(myquery);
gs.info(escapedQuery);
```

出力：

```
test^^Test
```

GlideStringUtil - escapeTicks(文字列 sourceString)

各引用符の前にバックスラッシュを追加して、引用符をエスケープ文字に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	引用符の前にバックスラッシュが追加されたテキスト。

```
mystring="let's try escapeTicks";
escaped=GlideStringUtil.escapeTicks(mystring);
gs.info(escaped);
```

出力：

```
let\'s try escapeTicks
```

GlideStringUtil - getHTMLValue(文字列 sourceString)

無効な HTML 文字を HTML 表記に置き換えます。

このメソッドを使用すると、UI が不適切に表示されたり、JavaScript や HTML インジェクションなどのクライアント側の攻撃がトリガーされたりする可能性のある無効な文字が削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	無効な文字を HTML 表記に置き換えたテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
mydata='&';
htmlvalue=GlideStringUtil.getHTMLValue(mydata);
gs.info(htmlvalue);
```

出力：

```
&
```

GlideStringUtil - getNumeric(文字列 sourceString)

文字列から数字を抽出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	数字のみを含むテキスト。

```
mystring='123 test 456 String 789 cleaning';
onlyNumeric=GlideStringUtil.getNumeric(mystring);
gs.info(onlyNumeric);
```

出力：

```
123456789
```

GlideStringUtil - isBase64(文字列 sourceString)

指定された文字列が有効な Base64 文字列かどうかを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された文字列が有効な Base64 形式かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効な Base64 形式の文字列。 • false：無効な Base64 形式の文字列。

```
//(adding a "*" to corrupt the base64 format)
base64="GethdTYehdtshetB*";
isValid=GlideStringUtil.isBase64(base64);
gs.info(isValid);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
false
```

GlideStringUtil - isEligibleSysID(文字列 sourceString)

指定された文字列が有効な sys_id 形式かどうかを示すフラグ。

sys_id 形式は、すべての文字が 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F の範囲内である 32 桁の 16 進数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された文字列が有効な sys_id 形式かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効な sys_id 形式の文字列。 • false：無効な sys_id 形式の文字列。

```
sysID="62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1";
isElig=GlideStringUtil.isEligibleSysID(sysID);
gs.info(isElig);
```

出力：

```
true
```

GlideStringUtil - newLinesToBreaks(文字列 sourceString)

改行文字 `/n` をブレークコード `<br/>` に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	改行文字を HTML ブレークコードに置き換えたテキスト。

```
mystring="new line break \n, this is after the break";
replaceNewLine=GlideStringUtil.newLinesToBreaks(mystring);
gs.info(replaceNewLine);
```

出力：

```
new line break <br/>, this is after the break
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideStringUtil - normalizeWhitespace(文字列 sourceString)

キャリッジリターン、改行、タブをスペースに置き換えた後、先頭のスペース、末尾のスペース、重複するスペースを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceString	文字列	処理するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	キャリッジリターン、改行、タブをスペースに置き換えた後、先頭のスペース、末尾のスペース、重複するスペースを削除したテキスト。

```
mystring="test with \n (new line) and \t (tabulation)";
normalizedString=GlideStringUtil.normalizeWhitespace(mystring);
gs.info(normalizedString);
```

出力：

```
test with (new line) and (tabulation)
```

GlideStringUtil - unEscapeHTML(文字列 htmlString)

エスケープ文字をそれぞれの文字に置き換えます。

このメソッドは、エスケープ文字 (`< >  & &quote;`) を置き換えます。

注: スコープ対象のアプリケーションでは、このメソッドを unscapeHTML(文字列) として呼び出します。グローバルアプリケーションでは、このメソッドを unEscapeHTML(文字列) として呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
htmlString	文字列	処理する文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープ文字が置き換えられた文字列。

このコード例は、グローバルアプリケーションで呼び出されるメソッドを示しています。

```
mydata='"<>&';
unescaped=GlideStringUtil.unEscapeHTML(mydata);
gs.info(unescaped);
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"<>&
```

このコード例は、スコープ対象のアプリケーションで呼び出されるメソッドを示しています。

```
mydata='"<>&';
unescaped=GlideStringUtil.unescapeHTML(mydata);
gs.info(unescaped);
```

出力：

```
"<>&
```

GlideStringUtil - urlEncode (文字列 url)

非ASCII文字、安全でないASCII文字、およびスペースをエンコードして、返された文字列をインターネットで使用できるようにします。UTF-8 エンコーディングを使用します。パーセント (%) エンコーディングを使用します。

注: グローバルスコープでのみ使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	エンコードする文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	非 ASCII 文字、安全でない ASCII 文字、スペースがエンコードされた文字列。

```
var mystring='Test characters: " < > & " < > &';
escapedString=GlideStringUtil.urlEncode(mystring);
gs.info(escapedString);
```

出力:

```
Test+characters%3A+%22+%3C+%3E+%26+%26quot%3B+%26lt%3B+%26gt%3B+%26amp%3B
```

GlideSysAttachment - グローバル

GlideSysAttachment API は、添付ファイルを処理するためのメソッドを提供します。

getContent() が呼び出されると、コンテンツはバイトアレイではなく文字列として返されます。

getContentStream() が呼び出されると、コンテンツは GlideScriptableInputStream オブジェクトとして返されます。GlideScriptableInputStream には、文字列に変換されない実際のバイト数が含まれています。

GlideSysAttachment - GlideSysAttachment()

GlideSysAttachment クラスのインスタンスを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

GlideSysAttachment - copy(文字列 **sourceTable**, 文字列 **sourceID**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetID)**

添付ファイルをソースレコードからターゲットレコードにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceTable	文字列	コピーする添付ファイルを含むテーブルの名前。
sourceID	文字列	ソーステーブルの sys_id。
targetTable	文字列	添付ファイルを追加するテーブルの名前。
targetID	文字列	ターゲットテーブルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	コピーされた添付ファイルの sys_id のアレイ。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var incidentSysID = 'ab1b30031b04ec101363ff37dc4bcbfc';
var incGR = new GlideRecord('incident');
incGR.get(incidentSysID);

var copiedAttachments = attachment.copy('incident', incidentSysID,
 'problem', incGR.getValue('problem_id'));
gs.info('Copied attachments: ' + copiedAttachments);
```

出力：

```
Copied attachments:
 6e4621df1bc420501363ff37dc4bcbb0,a87769531b0820501363ff37dc4bcba2
```

GlideSysAttachment - deleteAttachment(文字列 **attachmentID)**

指定した添付ファイルを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attachmentID	文字列	添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var attachmentSysID = 'a87769531b0820501363ff37dc4bcba2';
attachment.deleteAttachment(attachmentSysID);
```

GlideSysAttachment - getAttachments(文字列 tableName, 文字列 sys_id)

名前、タイプ、サイズなど、一致する添付ファイルのメタデータを含む GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	添付ファイルが属するテーブルの名前。たとえば incident。
sys_id	文字列	添付ファイルが属しているレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	名前、タイプ、サイズなど、一致する添付ファイルのメタデータを含む GlideRecord オブジェクト。

次のスクリプトは、2 つの添付ファイルがあるレコードの添付ファイル名をリストします。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

var agr = attachment.getAttachments('<table_name>', '<record_sys_id>');

while(agr.next())
gs.info(agr.getValue('file_name'));
```

出力：

```
*** Script: filename1.txt
*** Script: filename2.txt
```

GlideSysAttachment - getContentStream(文字列 sysID)

添付ファイルの sys_id を指定して GlideScriptableInputStream オブジェクトを返します。

GlideTextReader API を使用してコンテンツストリームを読み込むことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideScriptableInputStream	添付ファイルのコンテンツを含むストリーム。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var attachmentSysID = '6e4621df1bc420501363ff37dc4bcbb0';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var attachmentContentStream =
 attachment.getContentStream(attachmentSysID);
gs.info('Attachment content stream: ' + attachmentContentStream);
```

出力：

```
Attachment content stream:
 com.glide.communications.GlideScriptableInputStream@14bd299
```

GlideSysAttachment - write(GlideRecord record, 文字列 fileName, 文字列 contentType, 文字列 content)

指定された添付ファイルを指定されたレコードに添付します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	添付ファイルを添付するレコード。
fileName	文字列	添付ファイル名。
contentType	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ。
コンテンツ	文字列	添付ファイルのコンテンツ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	添付ファイルの sys_id。添付ファイルが追加されていない場合は null を返します。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

//set up inputs
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.get('78271e1347c12200e0ef563dbb9a7109');
var fileName = 'example.txt';
var contentType = 'text/csv';
var content = 'The text that is stored inside my file';

var agr = attachment.write(rec, fileName, contentType, content);

gs.info('The attachment sys_id is: ' + agr);
```

出力：

```
The attachment sys_id is: 01271e4317c13311e0ef563dbb9abe34
```

GlideSysAttachment - writeContentStream(GlideRecord now_GR, 文字列 fileName, 文字列 contentType, GlideScriptableInputStream inputStream)

入力ストリームを使用して添付ファイルを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	添付ファイルを添付するレコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
fileName	文字列	添付ファイルのファイル名。
contentType	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ。
コンテンツ	GlideScriptableInputStream	添付ファイルのコンテンツ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成される添付ファイルの sys_id。

sys_attachment テーブルから test_table レコードにコンテンツ ストリームを添付します。

```
function copyAttachmentToGlideRecord(conceptSysId) {

  // Get record from test_table using sys_id
  var targetGlideRecord = new GlideRecord("test_table");
  if (!targetGlideRecord.get(conceptSysId)) {
     throw ("Cannot find record created by test with sys_id: " +
 conceptSysId);
  }

  // Get record from sys_attachment table
  var sourceAttachmentGlideRecord = new GlideRecord('sys_attachment');
  sourceAttachmentGlideRecord.query();
  sourceAttachmentGlideRecord.next();

  // Get field values from retrieved sys_attachment record
  var fileName = sourceAttachmentGlideRecord.getValue('file_name');
  var contentType = sourceAttachmentGlideRecord.getValue('content_type');
  var sourceAttachmentSysId =
 sourceAttachmentGlideRecord.getValue('sys_id');

  // Attach sys_attachment record content stream to test_table record
  var gsa = new GlideSysAttachment();
  gsa.writeContentStream(
    targetGlideRecord,
    fileName,
    contentType,
    gsa.getContentStream(sourceAttachmentSysId));
  gs.info("Attachment created");
}
```

GlideSysAttachment - スコープ指定

GlideSysAttachment API は添付ファイルを処理するメソッドを提供します。

getContent() が呼び出されると、コンテンツはバイトアレイではなく文字列として返されます。

getContentStream() が呼び出されると、コンテンツは GlideScriptableInputStream オブジェクトとして返されます。GlideScriptableInputStream には、文字列に変換されない実際のバイト数が含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スコープ対象 **GlideSysAttachment - GlideSysAttachment()**

GlideSysAttachment クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

スコープ対象 **GlideSysAttachment -** copy(文字列 **sourceTable**, 文字列 **sourceID**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetID)**

添付ファイルをソースレコードからターゲットレコードにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceTable	文字列	コピーする添付ファイルを含むテーブルの名前。
sourceID	文字列	ソーステーブルの sys_id。
targetTable	文字列	添付ファイルを追加するテーブルの名前。
targetID	文字列	ターゲットテーブルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	コピーされた添付ファイルの sys_id のアレイ。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var incidentSysID = 'ab1b30031b04ec101363ff37dc4bcbfc';
var incGR = new GlideRecord('incident');
incGR.get(incidentSysID);

var copiedAttachments = attachment.copy('incident', incidentSysID,
 'problem', incGR.getValue('problem_id'));
gs.info('Copied attachments: ' + copiedAttachments);
```

出力：

```
Copied attachments:
 6e4621df1bc420501363ff37dc4bcbb0,a87769531b0820501363ff37dc4bcba2
```

スコープ対象 **GlideSysAttachment -** deleteAttachment(文字列 **attachmentID)**

指定した添付ファイルを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attachmentID	文字列	添付ファイルの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var attachmentSysID = 'a87769531b0820501363ff37dc4bcba2';
attachment.deleteAttachment(attachmentSysID);
```

スコープ対象 **GlideSysAttachment -** getAttachments(文字列 **tableName**, 文字列 **sys_id)**

名前、タイプ、サイズなど、一致する添付ファイルのメタデータを含む GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	添付ファイルが属するテーブルの名前。たとえば incident。
sys_id	文字列	添付ファイルが属しているレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	名前、タイプ、サイズなど、一致する添付ファイルのメタデータを含む GlideRecord オブジェクト。

次のスクリプトは、2 つの添付ファイルがあるレコードの添付ファイル名をリストします。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

var agr = attachment.getAttachments('<table_name>', '<record_sys_id>');

while(agr.next())
gs.info(agr.getValue('file_name'));
```

出力：

```
*** Script: filename1.txt
*** Script: filename2.txt
```

スコープ対象 **GlideSysAttachment - getContent(GlideRecord sysAttachment)**

添付ファイルのコンテンツを文字列として返します。

このメソッドは、スコープ対象のアプリケーションでのみ使用します。このメソッドは、グローバルスコープで使用すると `undefined` を返します。グローバルスコープで添付ファイルのコンテンツを読み取るには、*`GlideSysAttachment - Global`* API の *`getContentStream`* メソッドを使用します。

この方法では、添付ファイルに対して次のファイルタイプがサポートされています。

- CSV (*.csv)
- JSON (*.json)
- テキスト (*.txt)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysAttachment	GlideRecord	添付ファイルレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としての添付ファイルのコンテンツ。最大 5 MB のデータを返します。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

var agr = attachment.getAttachments('incident',
 '78271e1347c12200e0ef563dbb9a7109'); //create attachment GlideRecord

while(agr.next()) { //for each attachment on the incident record
   gs.info(agr.getValue('file_name')); //print file name of attachment
   var attachmentContent = attachment.getContent(agr);
   gs.info('Attachment content: ' + attachmentContent); //print
 attachment content
}
```

出力:

```
Doc1.txt
Attachment content: I am text in a txt file attached to a record.
```

スコープ対象 GlideSysAttachment - getContentBase64(GlideRecord sysAttachment)

添付ファイルのコンテンツを Base64 エンコードを使用する文字列として返します。

このメソッドは、スコープ対象のアプリケーションでのみ使用します。このメソッドは、グローバルスコープで使用すると `undefined` を返します。グローバルスコープで添付ファイルのコンテンツを読み取るには、*`GlideSysAttachment - Global`* API の *`getContentStream`* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysAttachment	GlideRecord	添付ファイルレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Base64 エンコードを使用する文字列としての添付ファイルのコンテンツ。最大 5 MB のデータを返します。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

var agr = attachment.getAttachments('incident',
 '78271e1347c12200e0ef563dbb9a7109'); //create attachment GlideRecord
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
while(agr.next()) { //for each attachment on the incident record
   gs.info(agr.getValue('file_name')); //print file name of attachment
   var attachmentContent = attachment.getContentBase64(agr);
   gs.info('Attachment content: ' + attachmentContent); //print
 attachment content
}
```

出力:

```
Doc1.txt
Attachment content:
 SSBhbSB0ZXh0IGluIGEgdHh0IGZpbGUgYXR0YWNoZWQgdG8gYSByZWNvcmQuIA0=
```

スコープ対象 **GlideSysAttachment** - getContentStream(文字列 **sysID)**

添付ファイルの sys_id を指定して GlideScriptableInputStream オブジェクトを返します。

GlideTextReader API を使用してコンテンツストリームを読み込むことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideScriptableInputStream	添付ファイルのコンテンツを含むストリーム。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();
var attachmentSysID = '6e4621df1bc420501363ff37dc4bcbb0';
var attachmentContentStream =
 attachment.getContentStream(attachmentSysID);
gs.info('Attachment content stream: ' + attachmentContentStream);
```

出力：

```
Attachment content stream:
 com.glide.communications.GlideScriptableInputStream@14bd299
```

スコープ対象 **GlideSysAttachment - write(GlideRecord record**, 文字列 **fileName**, 文字列 **contentType**, 文字列 **content)**

指定された添付ファイルを指定されたレコードに添付します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	添付ファイルを添付するレコード。
fileName	文字列	添付ファイル名。
contentType	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ。
コンテンツ	文字列	添付ファイルのコンテンツ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	添付ファイルの sys_id。添付ファイルが追加されていない場合は null を返します。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

//set up inputs
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.get('78271e1347c12200e0ef563dbb9a7109');
var fileName = 'example.txt';
var contentType = 'text/csv';
var content = 'The text that is stored inside my file';

var agr = attachment.write(rec, fileName, contentType, content);

gs.info('The attachment sys_id is: ' + agr);
```

出力：

```
The attachment sys_id is: 01271e4317c13311e0ef563dbb9abe34
```

スコープ対象 GlideSysAttachment - writeBase64(GlideRecord now_GR, 文字列 fileName, 文字列 contentType, 文字列 content_base64Encoded)

Base64 でエンコードされたコンテンツを使用して、指定されたレコードの添付ファイルを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	添付ファイルを添付するレコード。
fileName	文字列	添付ファイルのファイル名。
contentType	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ。
content	文字列	Base64 形式の添付ファイルのコンテンツ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成される添付ファイルの sys_id。

```
var attachment = new GlideSysAttachment();

var rec = new GlideRecord('incident');
var incidentSysID = 'ab1b30031b04ec101363ff37dc4bcbfc';
rec.get(incidentSysID);
var fileName = 'example.txt';
var contentType = 'text/csv';
var base64Encodedcontent = 'SSBhbSB0ZXh0Lg==';

var agr = attachment.writeBase64(rec, fileName, contentType,
 base64Encodedcontent);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
gs.info('The attachment sys_id is: ' + agr);
```

出力:

```
The attachment sys_id is: 10cde9971b0820501363ff37dc4bcba6
```

スコープ対象 GlideSysAttachment - writeContentStream(GlideRecord now_GR, 文字列 fileName, 文字列 contentType, GlideScriptableInputStream inputStream)

入力ストリームを使用して添付ファイルを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	添付ファイルを添付するレコード。
fileName	文字列	添付ファイルのファイル名。
contentType	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ。
コンテンツ	GlideScriptableInputStream	添付ファイルのコンテンツ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成される添付ファイルの sys_id。

sys_attachment テーブルから test_table レコードにコンテンツ ストリームを添付します。

```
function copyAttachmentToGlideRecord(conceptSysId) {

  // Get record from test_table using sys_id
  var targetGlideRecord = new GlideRecord("test_table");
  if (!targetGlideRecord.get(conceptSysId)) {
     throw ("Cannot find record created by test with sys_id: " +
 conceptSysId);
  }

  // Get record from sys_attachment table
  var sourceAttachmentGlideRecord = new GlideRecord('sys_attachment');
  sourceAttachmentGlideRecord.query();
  sourceAttachmentGlideRecord.next();

  // Get field values from retrieved sys_attachment record
  var fileName = sourceAttachmentGlideRecord.getValue('file_name');
  var contentType = sourceAttachmentGlideRecord.getValue('content_type');
  var sourceAttachmentSysId =
 sourceAttachmentGlideRecord.getValue('sys_id');

  // Attach sys_attachment record content stream to test_table record
  var gsa = new GlideSysAttachment();
  gsa.writeContentStream(
    targetGlideRecord,
    fileName,
    contentType,
    gsa.getContentStream(sourceAttachmentSysId));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info("Attachment created");
}
```

GlideSysListControl - スコープ指定

GlideSysListControl API には、[新規] ボタンまたは [編集] ボタンを表示するかどうかを決定できるメソッドが用意されています。

GlideSysListControl - GlideSysListControl(文字列 tableName)

GlideSysListControl オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前

GlideSysListControl - getControlID()

コントロールの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	コントロールの sys_id

```
var sysListCtrl = new GlideSysListControl("incident");
var controlID = sysListCtrl.getControlID();
gs.info(controlID);
```

出力：

```
91a807a60a0a3c74012113e28b47ca2e
```

GlideSysListControl - isOmitEditButton()

[編集] ボタンを表示しない場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	[編集] ボタンを表示しない場合は true。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var sysListCtrl = new GlideSysListControl("incident");
var isOmitted = sysListCtrl.isOmitEditButton();
gs.info(isOmitted);
```

出力：

```
false
```

GlideSysListControl - isOmitNewButton()

[新規] ボタンを表示しない場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	[新規] ボタンを表示しない場合は true。

```
var sysListCtrl = new GlideSysListControl("incident");
var isOmitted = sysListCtrl.isOmitNewButton();
gs.info(isOmitted);
```

出力：

```
false
```

GlideSystem - グローバル

サーバー側の JavaScript で変数名 `gs` で参照される *`GlideSystem`* API は、システムや現在ログインしているユーザー、日付/時刻などの情報を取得するための多数の便利なメソッドを提供しています。

`GlideSystem` メソッドの多くは、日付をクエリ範囲に簡単に含めることができ、フィルターとレポートで最もよく使用されます。

GlideSystem - addErrorMessage(オブジェクト message)

現在のセッションのエラーメッセージを追加します。

`getErrorMessages()` を使用して、現在表示されているエラーメッセージのリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	追加するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.include("PrototypeServer");
  var ValidatePasswordStronger = Class.create();
  ValidatePasswordStronger.prototype = {
       process : function() {
          var user_password = request.getParameter("user_password");
          var min_len = 8;
          var rules = "Password must be at least " + min_len +
             " characters long and contain a digit, an uppercase letter,
 and a lowercase letter.";
          if (user_password.length() < min_len) {
             gs.addErrorMessage("TOO SHORT: " + rules);
             return false;
          }
          var digit_pattern = new RegExp("[0-9]", "g");
          if (!digit_pattern.test(user_password)) {
             gs.addErrorMessage("DIGIT MISSING: " + rules);
             return false;
          }
          var upper_pattern = new RegExp("[A-Z]", "g");
          if (!upper_pattern.test(user_password)) {
             gs.addErrorMessage("UPPERCASE MISSING: " + rules);
             return false;
          }
          var lower_pattern = new RegExp("[a-z]", "g");
          if (!lower_pattern.test(user_password)) {
             gs.addErrorMessage("LOWERCASE MISSING: " + rules);
             return false;
          }
          return true; // password is OK
       }
  }
[edit]
```

自動翻訳

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addErrorMessage()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addErrorMessage() を使用します。

GlideSystem - addErrorMessage(オブジェクト **message)**

現在のセッションの情報メッセージを追加します。

getInfoMessages() を使用して、表示されている情報メッセージのリストを取得します。このメソッドは、非同期ビジネスルールではサポートされていないため、変換スクリプト内では使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	追加するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.u_date1.setError('start must be before end');
    current.setAbortAction(true);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *addInfoMessage()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド addInfoMessage() を使用します。

GlideSystem - addMessage(文字列 **type**, オブジェクト **message)**

現在のセッションのメッセージを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	`error` や `info` などのメッセージのタイプ。
message	オブジェクト	現在のセッションに追加するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideSystem - beginningOfLastMonth()

先月の初めの日時を GMT で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先月の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)。

この例では、GlideDateTime オブジェクトの日時を先月の初めに設定します。

```
var date = new GlideDate();
date.setValue(gs.beginningOfLastMonth());
var dateasint = date.toString().replace('-','');
gs.print(dateasint);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfLastMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfLastMonth() を使用します。

GlideSystem - beginningOfLastWeek()

先週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先週の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を先週の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfLastWeek());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfLastWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfLastWeek() を使用します。

GlideSystem - beginningOfNextWeek()

来週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来週の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を来週の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfNextWeek());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfNextWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfNextWeek() を使用します。

GlideSystem - beginningOfNextMonth()

来月の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来月の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を来月の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfNextMonth());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfNextMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfNextMonth() を使用します。

GlideSystem - beginningOfNextYear()

来年の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来年の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)。

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を来年の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfNextYear());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfNextYear()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfNextYear() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - beginningOfThisMonth()

今月の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今月の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を今月の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfThisMonth());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfThisMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfThisMonth() を使用します。

GlideSystem - beginningOfThisQuarter()

現在の四半期の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の四半期の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を現在の四半期の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfThisQuarter());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfThisQuarter()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfThisQuarter() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - beginningOfThisWeek()

今週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今週の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を今週の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfThisWeek());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfThisWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfThisWeek() を使用します。

GlideSystem - beginningOfThisYear()

今年の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今年の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を今年の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfThisYear());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *beginningOfThisYear()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド beginningOfThisYear() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - beginningOfToday()

本日の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	本日の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、現在の Glide 日付/時刻レコードの値を本日の初めに設定します。

```
var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
gdt2.setValue(gs.beginningOfToday());
```

GlideSystem - beginningOfTomorrow()

現在のセッションのタイムゾーンに合わせて調整された明日の初め (UTC) を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	明日の初めの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

```
var today = new
 GlideDateTime(gs.beginningOfTomorrow()).getNumericValue();
```

GlideSystem - beginningOfYesterday()

昨日の初めの日時を GMT で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	昨日の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)。

```
var start = new GlideDateTime();
start.setValue(gs.beginningOfYesterday());
```

GlideSystem - calDateDiff(文字列 **startDate**, 文字列 **endDate**, ブーリアン **numericValue)**

デフォルトのカレンダーを使用して 2 つの日付の差を計算します。

カレンダーは現在、古くなっています。スケジュールが使用されている場合は、トピック 有用なスケジュールスクリプトの「特定のスケジュールで計算する」セクションを参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	文字列	現在のユーザーの日付形式で比較する開始日。
endDate	文字列	現在のユーザーの日付形式で比較する終了日。
numericValue	ブーリアン	返される時間値の形式を示すフラグ。 有効な値： • true：戻り値の形式は秒数です。 • false：戻り値の形式は ddd hh:mm:ss です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	*numericValue* パラメーターが true の場合、2 つの日付の差を整数の秒数として返します。 false の場合、2 つの日付の差を ddd hh:mm:ss 形式で返します。

```
var endDateTime = gs.nowDateTime();
gs.print('--- Total records: ' + countRecordsTotal);
gs.print('--- End time: ' + endDateTime);
gs.print('Time diff: ' + gs.calDateDiff(startDateTime, endDateTime));
```

GlideSystem - dateDiff(文字列 **startDate**, 文字列 **endDate**, ブーリアン **numericValue)**

2 つの日付の差を計算します。

このメソッドは、最初のパラメーターとして早い方の日付、2 番目のパラメーターとして遅い方の日付を想定しています。それ以外の場合、このメソッドはこの差を負の値として返します。*getDisplayValue()* を使用して文字列を想定される形式に変換します。

このメソッドは、ユーザー/システムの日付形式でパラメーターを想定しています。これは内部形式とは異なる場合があります。ユーザー/システムの日付形式以外の形式でパラメーターを使用すると、無効な結果が返される場合があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideDateTime オブジェクトを使用する場合は、*dateDiff()* の代わりに GlideDateTime *subtract()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	文字列	現在のユーザーの日付形式で比較する開始日。
endDate	文字列	現在のユーザーの日付形式で比較する終了日。
numericValue	ブーリアン	true の場合、戻り値の形式は秒数です。 false の場合、戻り値の形式は ddd hh:mm:ss です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	numericValue パラメーターが true の場合、2 つの日付の差を整数の秒数として返します。 false の場合、2 つの日付の差を ddd hh:mm:ss 形式で返します。

```
// Given two date/times as DateTime objects
// Set the values this way to ensure a consistent input time
var date1 = new GlideDateTime();
var date2 = new GlideDateTime();
date1.setDisplayValueInternal('2014-01-01 12:00:00');
date2.setDisplayValueInternal('2014-01-01 13:00:00');

// Determine the difference as number of seconds (returns a string)
// Use getDisplayValue() to convert the string to the format expected by
 dateDiff()
var diffSeconds = gs.dateDiff(date1.getDisplayValue(),
 date2.getDisplayValue(), true);

// JavaScript will coerce diffSeconds from a string to a number
// since diffSeconds is being compared to a number
var msg = (diffSeconds <= 0) ? ' is on or after ' : ' is before ';
gs.print(date1.getDisplayValue() + msg + date2.getDisplayValue())
```

GlideSystem - dateGenerate(文字列 **date**, 文字列 **range)**

指定された日付の日時を GMT で生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	GMT で生成する日付。 形式：yyyy-mm-dd
range	文字列	start、end、または time。 形式：24 時間 hh:mm:ss

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	生成された日時。 range が `start` の場合、戻り値は yyyy-mm-dd 00:00:00 です。 range が `end` の場合、戻り値は yyyy-mm-dd 23:59:59 です。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、インシデントテーブルのレコードをクエリするときに *`dateGenerate()`* を使用して開始日を設定しています。

```
var tableData = new GlideRecord('incident');
tableData.addEncodedQuery("sys_created_onBETWEENjavascript:gs.dateGenerat
e('2015-10-07','00:00:00')@javascript:gs.daysAgoEnd(0)^priority=1^severit
yIN1,2");
tableData.query();
gs.info("Count: " + tableData.getRowCount());
```

出力:

```
Count: 7
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *`dateGenerate()`* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド dateGenerate() を使用します。

GlideSystem - daysAgo(数値 days)

特定の日数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	日数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された日数前の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss。

```
function contractNoticeDue() {
  var now_GR = new GlideRecord("contract");
  now_GR.addQuery("u_contract_status", "Active");
  now_GR.query();
  while (now_GR.next()) {
    if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-90)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Long")) {
      now_GR.u_contract_status = "In review";
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    }
    else if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-50)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Medium")) {
      now-GR.u_contract_status = "In review";
    }
    else if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-10)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Short")) {
      now_GR.u_contract_status = "In review";
    }
  }
  now_GR.update();
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *daysAgo()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド daysAgo() を使用します。

GlideSystem - daysAgoEnd(数値 **days)**

指定された日数前の 1 日の終わりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	整数の日数

返される内容

タイプ	説明
文字列	1 日の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)。

この例では、インシデントテーブルのレコードをクエリするときに *daysAgoEnd()* を使用して終了日を設定しています。

```
var tableData = new GlideRecord('incident');
tableData.addEncodedQuery("sys_created_onBETWEENjavascript:gs.dateGenerat
e('2015-10-07','00:00:00')@javascript:gs.daysAgoEnd(0)^priority=1^severit
yIN1,2");
tableData.query();
gs.addInfoMessage("Count: " +tableData.getRowCount());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *daysAgoEnd()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド daysAgoEnd() を使用します。

GlideSystem - daysAgoLocal(数値 **days)**

指定された日数前の 1 日の始まりの日時を返します。返される日時には現在のセッションのタイムゾーン (現地時間) が反映されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	遡る日数

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザー定義の日時形式での 1 日の始まりに対する現地日時。日時形式が初期値から変更されていない場合、形式は yyyy-mm-dd hh:mm:ss です。

```
if (due_in == "1 Day") {
  dd = gs.daysAgoLocal(-1);
}
if (due_in == "1 Week") {
  dd = gs.daysAgoLocal(-7);
}
```

GlideSystem - daysAgoStart(数値 **days)**

指定された日数前の 1 日の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	文字列	整数の日数

返される内容

タイプ	説明
文字列	1 日の始まりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

```
var now_GR = new GlideRecord('sysapproval_approver');
now_GR.addQuery('state', 'requested');
now_GR.addQuery('sys_updated_on', '<', gs.daysAgoStart(5));
now_GR.query();
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *daysAgoStart()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド daysAgoStart() を使用します。

GlideSystem - endOfLastMonth()

先月の終わりの日時を GMT で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先月の終わりの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、先月の最終日のレポートレコードをクエリする方法を示します。

```
var month = gs.endOfLastMonth();
var monthd = new GlideDateTime(month);
monthd.addDays(-1);

var queueLast = new GlideRecord('u_amazon_connect_phone_metrics');
queueMtd.addQuery('u_queue_name',queueNames[i]);
queueMtd.addEncodedQuery('u_time_range=MTD');
queueMtd.addEncodedQuery('u_report_date'+ monthd);
queueMtd.orderByDesc('u_report_date');

queueMtd.query();

if(queueMtd.next()){
  gs.info(queueMtd.u_report_date);
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfLastMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfLastMonth() を使用します。

GlideSystem - endOfLastWeek()

先週の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先週の終わりの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、前月の最後の週に開かれたレコードをクエリする方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addQuery('active=true^priority=1^opened_atONLast
 month@javascript:gs.beginningOfLastMonth()@javascript:gs.endOfLastMonth(
)^opened_atONLast
 week@javascript:gs.beginningOfLastWeek()@javascript:gs.endOfLastWeek()
');
inc.query();
while(inc.next())
 {
   gs.addInfoMessage(inc.getRowCount());
 }
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfLastWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfLastWeek() を使用します。

GlideSystem - endOfLastYear()

去年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT。

この例は、去年作成されたすべてのレコードに対して作成されたレコードをクエリする方法を示しています。

```
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addEncodedQuery('sys_created_onONLast
 year@javascript:gs.beginningOfLastYear()@javascript:gs.endOfLastYear()
');
inc.query();
while(inc.next()){
  inc.assignment_group = "d625dccec0a8016700a222a0f7900d06";
  inc.update();
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfLastYear()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfLastYear() を使用します。

GlideSystem - endOfNextMonth()

来月の終わりの日時を GMT で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	GMT 日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、本日の始まりから来月の終わりまでに作成された KB ナレッジレコードをクエリする方法を示しています。

```
var query =
 "kb_knowledge_base=e81c9a0ddbc15810c38f0763b99619c1^ORkb_knowledge_base=
21302e89db055810c38f0763b99619cc^valid_toBETWEENjavascript:gs.beginningOf
Today()@javascript:gs.endOfNextMonth()^ORworkflow_state=pending_retiremen
t^latest=true";
var rec = new GlideRecord('kb_knowledge');
rec.addEncodedQuery(query);
rec.addQuery('author', current.author);
rec.query();
while (rec.next()) {
  var Kbtitle = rec.getValue('short_description');
  articles.push(rec.number.toString()+ '' + Kbtitle);
  template.print('Click here to view record<a href="https://give urs
 instance url here/nav_to.do?uri=kb_knowledge.do?sys_id=' + rec.sys_id +
 '">' + rec.number + '</a>');
}
var articlesList = "<ul>";
for (i = 0; i <= articles.length-1; i++) {
  articlesList = articlesList + "<li>" + articles[i] + "</li>";
}
articlesList = articlesList + "</ul>";
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfNextMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfNextMonth() を使用します。

GlideSystem - endOfNextWeek()

来週の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	来週の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、クエリで *endOfNextWeek()* を使用して、先週のすべての訪問者を取得する方法を示しています。

```
var title = 'Visitors arriving this Week';
var visitorQuery =
 'active=true^category=visitor_request^u_my_start_dateONThis
 week@javascript:gs.beginningOfThisWeek()@javascript:gs.endOfNextWeek()';
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfNextWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfNextWeek() を使用します。

GlideSystem - endOfNextYear()

来年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来年の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、*endOfNextYear()* を使用して GlideDateTime オブジェクトを来年の終わりに設定する方法を示しています。

```
setEndDate : function(dt) {
  var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
  gdt2.setValue(gs.endOfNextYear());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfNextYear()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfNextYear() を使用します。

GlideSystem - endOfThisMonth()

今月の終わりの日時を GMT で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今月の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、*endOfThisMonth()* を使用して GlideDateTime オブジェクトを今月の終わりに設定する方法を示しています。

```
setEndDate : function(dt) {
  var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
  gdt2.setValue(gs.endOfThisMonth());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfThisMonth()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfThisMonth() を使用します。

GlideSystem - endOfThisQuarter()

今四半期の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今四半期の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、*endOfThisQuarter()* を使用して GlideDateTime オブジェクトを今月の終わりに設定する方法を示しています。

```
setEndDate : function(dt) {
  var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
  gdt2.setValue(gs.endOfThisQuarter());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfThisQuarter()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfThisQuarter() を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - endOfThisWeek()

今週の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今週の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、*endOfThisWeek()* を使用して GlideDateTime オブジェクトを今月の終わりに設定する方法を示しています。

```
setEndDate : function(dt) {
  var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
  gdt2.setValue(gs.endOfThisWeek());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *endOfThisWeek()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfThisWeek() を使用します。

GlideSystem - endOfThisYear()

今年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今年の終わりの GMT の日時。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、*endOfThisYear()* を使用して GlideDateTime オブジェクトを今月の終わりに設定する方法を示しています。

```
setEndDate : function(dt) {
  var gdt2 = new GlideDateTime(dt);
  gdt2.setValue(gs.endOfThisYear());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `endOfThisYear()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド endOfThisYear() を使用します。

GlideSystem - endOfToday()

本日の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT。

```
var beginToday = gs.beginningOfToday();
        var endToday = gs.endOfToday();
        var beginTomorrow = gs.beginningOfTomorrow();
        var endTomorrow = gs.endOfTomorrow();
        var beginYesterday = gs.beginningOfYesterday();
        var endYesterday = gs.endOfYesterday();

        gs.info('beginningOfToday: ' + beginToday);
        gs.info('endOfToday: ' + endToday);
        gs.info('-----------');
        gs.info('beginningOfTomorrow: ' + beginTomorrow);
        gs.info('endOfTomorrow: ' + endTomorrow);
        gs.info('beginningOfYesterday: ' + beginYesterday);
        gs.info('endOfYesterday: ' + endYesterday);
        gs.info('-----------');
        var gdt1 = new GlideDateTime(beginToday);
        var gdt2 = new GlideDateTime(beginTomorrow);
        var dur = GlideDateTime.subtract(gdt1, gdt2); //the difference
between gdt1 and gdt2
        gs.info('BeginTomorrow: ' + dur.getDisplayValue());

        var gdt1 = new GlideDateTime(endToday);
        var gdt2 = new GlideDateTime(endTomorrow);
        var dur = GlideDateTime.subtract(gdt1, gdt2); //the difference
between gdt1 and gdt2
        gs.info('EndTomorrow: ' + dur.getDisplayValue());

        var gdt1 = new GlideDateTime(beginToday);
        var gdt2 = new GlideDateTime(beginYesterday);
        var dur = GlideDateTime.subtract(gdt2, gdt1); //the difference
between gdt1 and gdt2
        gs.info('BeginningYesterday: ' + dur.getDisplayValue());

        var gdt1 = new GlideDateTime(endToday);
        var gdt2 = new GlideDateTime(endYesterday);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        var dur = GlideDateTime.subtract(gdt2, gdt1); //the difference
between gdt1 and gdt2
        gs.info('EndYesterday: ' + dur.getDisplayValue());
```

GlideSystem - endOfTomorrow()

明日の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT。

```
var tomorrowEnd = new GlideDateTime();
tomorrowEnd.setValue(gs.endOfTomorrow());
```

GlideSystem - endOfYesterday()

昨日の終わりの日時を GMT で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 (yyyy-mm-dd huh:mm:ss) の GMT。

```
var yesterdayEnd = new GlideDateTime();
yesterdayEnd.setValue(gs.endOfYesterday());
```

GlideSystem - eventQueue (文字列 name, オブジェクト glideRecord, 文字列 parm1, 文字列 parm2, 文字列 queue)

イベントマネージャーのイベントをキューに格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	キューに格納されているイベントの名前。
glideRecord	オブジェクト	GlideRecord オブジェクト (「current」など)。
parm1	文字列	(オプション) 指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parm2	文字列	(オプション) 指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。
queue	文字列	キューの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if (current.operation() != 'insert' && current.comments.changes()) {
    gs.eventQueue("incident.commented", current, gs.getUserID(),
 gs.getUserName());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *eventQueue()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド eventQueue() を使用します。

GlideSystem - eventQueueScheduled(文字列 **name**, オブジェクト **glideRecord**, 文字列 **parm1**, 文字列 **parm2**, オブジェクト **expiration)**

指定された日時にイベントマネージャーのイベントをキューに格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	キューに格納されているイベントの名前。
glideRecord	オブジェクト	GlideRecord オブジェクト (「current」など)。
parm1	文字列	(オプション) 指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。
parm2	文字列	(オプション) 指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。
expiration	オブジェクト	このイベントを処理する日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if (current.operation() != 'insert' && current.comments.changes()) {
    gs.eventQueueScheduled("incident.commented", current, gs.getUserID(),
 gs.getUserName(), new GlideDateTime('2018-06-02 20:00:00'));
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *eventQueueScheduled()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド eventQueueScheduled() を使用します。

GlideSystem - flushMessages()

addErrorMessage() または *addInfoMessage()* を使用して保存されたセッションメッセージをクリアします。

セッションメッセージはフォームの上部に表示されます。クライアント側スクリプトで *g_form.clearMessages()* を使用してセッションメッセージを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、エラーメッセージを解析して返し、*flushMessages()* を使用してメッセージをクリアする方法を示します。

```
MySessionUtil.getSessionError = function() {
  var msg = null;
  var msgs = gs.getErrorMessages().toArray();
  if (msgs.length > 0) {
    msg = msgs[0] + '';
    gs.flushMessages();
  }
  return msg;
};
```

GlideSystem - getAvatar()

ユーザーのアバターへのファイルパスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのアバターへのファイルパス。

```
var avatarFile = gs.getUser().getAvatar();
gs.addInfoMessage('User avatar ID: ' + avatarFile);
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
User avatar ID: c148e1d13741310042106710ce41f149.iix?t=small
```

GlideSystem - getCurrentScopeName()

現在のアプリケーションスコープの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のスコープ名。

この例は、*getCurrentScopeName()* を使用してプロセッサーのスコープを取得する方法を示しています。

```
var incident_GR = new GlideRecord('Incident');

if (incident_GR.get("2e3f6baddb9ad600added8fdbf9618cb")) {
  gs.debug("processor scope = "+ gs.getCurrentScopeName());
  var w = new global.Workflow();
  var context = w.startFlow('1f4a4baddb9ad600affed8fdbf9619bc',
 incident_GR, "update");   //id = id workflow
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getCurrentScopeName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getCurrentScopeName() を使用します。

GlideSystem - getDateFormat()

現在のユーザーに関連付けられている日付形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている日付形式。

次の例は、ユーザーに関連付けられている日付形式を返します。

```
var userDateFormat = gs. getDateFormat();
gs.info(userDateFormat);
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
yyyy-MM-dd
```

GlideSystem - getDateTimeFormat()

現在のユーザーに関連付けられている日時形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている日時形式。

次の例は、ユーザーに関連付けられている日時形式を返します。

```
var userDateTimeFormat = gs.getDateTimeFormat();
gs.info(userDateTimeFormat);
```

出力：

```
yyyy-MM-dd HH:mm:ss
```

GlideSystem - getDisplayColumn(文字列 tableName)

テーブルの表示列を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	表示列名を取得するテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	表示列名

```
// Return the sys_id value for a given table and its display value
function GetIDValue(table, displayValue) {
    var rec = new GlideRecord(table);
    var dn = gs.getDisplayColumn(table);
    if (rec.get(dn, displayValue))
        return rec.sys_id;
    else
        return null;
}
```

GlideSystem - getDisplayValueFor(文字列 tableName, 文字列 recordID, 文字列 fieldName)

指定されたレコードの指定されたフィールドの表示値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前。
recordID	文字列	レコードの sys_id。
fieldName	文字列	表示値を返すフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フィールドの表示値。

この例は、*getDisplayValueFor()* を使用して *number* フィールドの表示値を返す方法を示しています。

```
var value =
 gs.getDisplayValueFor(current.getTableName(),current.getValue('sys_id'),
'number');
```

GlideSystem - getErrorMessages()

addErrorMessage() によって追加されたセッションのエラーメッセージのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージのリスト

この例では、*getErrorMessages()* を使用してエラーメッセージを解析して返す方法を示します。

```
MySessionUtil.getSessionError = function() {
  var msg = null;
  var msgs = gs.getErrorMessages().toArray();
  if (msgs.length > 0) {
    msg = msgs[0] + '';
    gs.flushMessages();
  }
  return msg;
};
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getErrorMessages()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getErrorMessages() を使用します。

GlideSystem - getEscapedProperty(文字列 **key**, オブジェクト **substituteObject**)

プロパティを取得し、XML 解析のためにエスケープします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	値を返す必要があるプロパティのキー。
substituteObject	オブジェクト	オプション。プロパティが見つからない場合に返されるオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	プロパティ。プロパティが見つからない場合は substituteObject。

```
var propValue = gs.getEscapedProperty("com.example.my_test_property");
gs.addInfoMessage("This is my property value " + propValue);
```

GlideSystem - getImpersonatingUserDisplayName()

代理操作ユーザーの表示名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	代理操作ユーザーの表示名。

この例では、代理操作者のユーザーの表示名を取得する方法を示します。

```
var user = gs.getUserDisplayName();
gs.print ("The current user display name is: " + user);

var name = gs.getImpersonatingUserDisplayName();
gs.print("Impersonating user display name: " + name);
```

出力：

```
The current user display name is: abel.tuter
Impersonating user display name: admin
```

GlideSystem - getImpersonatingUserName()

代理操作ユーザーの名前を返します。代理操作を行っていない場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	代理操作ユーザーの名前

この例では、代理操作者のユーザー名を取得する方法を示します。

```
var name = gs.getImpersonatingUserName();
var actual_user = null;
if (name == null || name == '')
  actual_user = user;
else
  actual_user = Packages.com.glide.sys.User.getUser(name);

var recent_impersonations =
 actual_user.getPreference('recent.impersonations');
var admin_role=actual_user.hasRole("admin");
```

GlideSystem - getInfoMessages()

addInfoMessage() によって追加されたセッションの情報メッセージのリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	情報メッセージのリスト。

この例は、情報メッセージを取得する方法を示しています。

```
var messages = gs.getInfoMessages();
if (messages.toString().indexOf('Conflicts Detected') == -1)
  gs.addInfoMessage(msg);
```

GlideSystem - getInitials()

ユーザーのイニシャルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのイニシャル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var userInitials = gs.getUser().getInitials();
gs.addInfoMessage('User initials: ' + userInitials);
```

出力：

```
User initials: SA
```

GlideSystem - getMessage(文字列 messageID, オブジェクト args)

メッセージ [sys_ui_message] テーブルから UI に表示する翻訳されたメッセージを取得します。

指定されたメッセージ識別子 (キー) が現在の言語のメッセージ [sys_ui_message] テーブルに存在する場合、メソッドは翻訳されたメッセージを返します。指定されたメッセージ識別子が現在の言語に存在しない場合、メソッドは英語版のメッセージを返します。メッセージ識別子がテーブルに存在しない場合は、メッセージ ID を返します。

メッセージテーブルの詳細については、「メッセージテーブル」を参照してください。

注: UI メッセージにチェックマーク (') が付いている場合、スクリプト内のメッセージに問題がある可能性があります。チェックマーク (') をエスケープするには、getMessageS(文字列, オブジェクト) を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
messageID	文字列	メッセージ識別子。この値は、メッセージ [sys_ui_message] テーブルの [Key] フィールドにあります。[Key] フィールドは、実際のメッセージ文字列とまったく同じように見えることに注意してください。
args	オブジェクト	オプション。指定されたメッセージ内の変数を置き換える、java.text.MessageFormat によって定義された文字列またはその他の値のリスト。 例：`gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow can't be added twice in this subflow.", current.action.name);` この例で、*'{0}'* は *current.action.name* のコンテンツで置き換えられます。 注: 渡される値は翻訳されません。それらはメッセージに逐語的に挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求された UI メッセージ。

この例は、現在の言語がスペイン語の場合に現在のユーザーに返されるメッセージを示しています。

```
var my_message = gs.getMessage("rows will not be updated");
alert(my_message);
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
las filas no se actualizarán
```

この例は、メッセージ内の単一の変数を置き換える方法を示しています。

```
// current.action.name is "update record"
var my_message = gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow
 can't be added twice in this subflow.", current.action.name);
alert(my_message);
```

出力:

```
Abort adding action update record, same subflow can't be added twice in
 this subflow.
```

この例は、メッセージ内の複数の変数を置き換える方法を示しています。

```
// current.sub_flow.name is 'schedule users'
// current.action.name is "update record"
var my_message = gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same
 subflow can't be added twice in {1} subflow.", [current.action.name,
 current.sub_flow.name]);
alert(my_message);
```

出力:

```
Abort adding action update record, same subflow can't be added twice in
 schedule users subflow.
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getMessage()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getMessage() を使用します。

GlideSystem - getMessageS(文字列 **messageID**, オブジェクト **args)**

UI に表示する翻訳されたメッセージを取得し、すべてのチェックマーク (') をエスケープします。

指定されたメッセージ識別子 (キー) が現在の言語のメッセージ [sys_ui_message] テーブルに存在する場合、メソッドは翻訳されたメッセージを返します。指定されたメッセージ識別子が現在の言語に存在しない場合、メソッドは英語版のメッセージを返します。メッセージ識別子がテーブルに存在しない場合は、メッセージ ID を返します。

メッセージテーブルの詳細については、「メッセージテーブル」を参照してください。

Jelly から JavaScript 式に挿入する場合に便利です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
MessageID	文字列	メッセージ識別子。この値は、メッセージ [sys_ui_message] テーブルの [Key] フィールドにあります。[Key] フィールドは、実際のメッセージ文字列とまったく同じように見えることに注意してください。
args	オブジェクト	オプション。指定されたメッセージ内の変数を置き換える、java.text.MessageFormat によって定義された文字列またはその他の値のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		例：`gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow can't be added twice in this subflow.", current.action.name);` この例で、 *'{0}'* は *current.action.name* のコンテンツで置き換えられます。 **注:** 渡される値は翻訳されません。それらはメッセージに逐語的に挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープされたチェックマーク付きの指定されたメッセージ。

```
/*
"I love France" translates to "J'aime la France" in French.
Rendering this without escaping the tick in "J'aime" would break Jelly,
 because
the tick would prematurely end the variable assignment, and everything
 that
follows (aime la France') would be a jelly syntax error.
*/
var my_message = '${gs.getMessageS("I love France")}';
alert(my_message);
```

出力：

```
J'aime la France
```

GlideSystem - getMessageLang(文字列 message, 文字列言語, 配列 引数)

指定されたメッセージを指定された言語に翻訳します。

渡されたメッセージに変数を埋め込むこともできます。このメソッドは、 *args* 配列で渡された値を使用してこれらの変数を解決します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	翻訳するメッセージ。
language	文字列	メッセージを翻訳する言語。 フォーマット:BCP 47 標準
引数	アレイ	オプション。指定されたメッセージ内の変数を置き換える、java.text.MessageFormat によって定義された文字列またはその他の値のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		例: `gs.getMessageLang("Abort adding action '{0}', same subflow can't be added twice in this subflow.", current.action.name);` この例で、 *'{0}'* は *current.action.name* のコンテンツで置き換えられます。 **注:** 渡される値は翻訳されません。それらはメッセージに逐語的に挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	翻訳されたメッセージ。

次の例では、指定されたメッセージをスペイン語に変換します。

```
var my_message = gs.getMessageLang("New email", "es");
gs.info(my_message);
```

出力:

```
Nuevo correo electrónico
```

次の例は、メッセージ内の変数を置き換える方法を示しています。

```
var my_message = gs.getMessageLang("There are {0} new emails for {1}",
 "es", [current.numEmails, current.userName]);
gs.info(my_message);
```

出力:

```
Hay 7 correos nuevos para John Smith
```

GlideSystem - getNodeName(オブジェクト **obj**, 数値 **index)**

指定されたインデックスのノード名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
obj	オブジェクト	調べるオブジェクト。
インデックス	数値	ノード名を取得するインデックス。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ノード名

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function doInsert(nodeList) {
  gs.print('Doing insert');
  var task = new GlideRecord('task');
  task.initialize();
  for (var x=0; x < nodeList.size(); x++) {
    var name = gs.getNodeName(nodeList, x);
    var value = gs.getNodeValue(nodeList, x);
    task.setValue(name, value);
  }
  task.insert();
}
```

GlideSystem - getNodeValue(オブジェクト **obj**, 数値 **index)**

指定されたインデックスのノード値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
obj	オブジェクト	調べるオブジェクト。
インデックス	数値	ノードの値を取得するインデックス。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ノード値


```
function doInsert(nodeList) {
  gs.print('Doing insert');
  var task = new GlideRecord('task');
  task.initialize();
  for (var x=0; x < nodeList.size(); x++) {
    var name = gs.getNodeName(nodeList, x);
    var value = gs.getNodeValue(nodeList, x);
    task.setValue(name, value);
  }
  task.insert();
}
```


GlideSystem - getPreference(文字列 **key**, オブジェクト **default)**

指定されたユーザー初期設定を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	設定のキー。
default	オブジェクト	指定された設定が見つからない場合に使用するデフォルト値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	設定値。設定がない場合は、指定されたデフォルト値を返します。

```
function getSelectedProject() {
  var array= new Array();
  var prj_id = gs.getPreference("prj_id"); //This will fetch value from
 user preference
  var gr = new GlideRecord('pm_project_task');
  gr.addQuery('parent', prj_id);
  gr.addActiveQuery();
  while(gr.next()) {
    array.push(gr.sys_id.toString());
  }
  return array;
}
```

GlideSystem - getProperty(文字列 **key**, オブジェクト **alt)**

Glide プロパティの値を返します。プロパティが見つからない場合は、指定された *alt* 値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	値を返す必要があるプロパティのキー。
alt	オブジェクト	オプション。プロパティが見つからない場合に返される代替オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Glide プロパティの値、または上記で定義した代替オブジェクト。

```
//Check for attachments and add link if there are any
var attachment_link = '';
var rec = new GlideRecord('sc_req_item');
rec.addQuery('sys_id', current.request_item);
rec.query();
if(rec.next()){
  if(rec.hasAttachments()){
    attachment_link = gs.getProperty('glide.servlet.uri') +
 rec.getLink();
  }
}
```

GlideSystem - getScriptError(文字列 **script)**

指定されたスクリプトで見つかったスクリプトエラーを返します (存在する場合)。

注: スクリプトはこの関数では実行されず、構文エラーのみがチェックされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	エラーをチェックするスクリプト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージ。エラーがない場合は null。

```
if (gs.isValidScript(current.script) == false)
  {
    current.setAbortAction(true);
    var error = gs.getScriptError(current.script);
    current.script.setError(error);
  }
```

GlideSystem - getSession()

GlideSession オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideSession オブジェクト	現在のセッションの GlideSession オブジェクト

```
if(!gs.hasRole("admin") && gs.getSession().isInteractive() &&
 gs.getUserName() != "guest"){
  var qc = current.addQuery('u_visibility', "both");
  qc.addOrCondition('u_visibility', '');
  if (gs.getImpersonatingUserName() != null) {
    gs.getSession().clearClientData('navQuery');
  }
  var navQuery = gs.getSession().getClientData('navQuery');
  if (navQuery == null) {
    var isManager = gs.getUser().getRecord().getValue('u_is_manager');
      if (!isManager) {
        qc.addOrCondition('u_visibility', 'nonmanager');
        gs.getSession().putClientData('navQuery', 'nonmanager');
      } else {
        qc.addOrCondition('u_visibility', 'manager');
        gs.getSession().putClientData('navQuery', 'manager');
        }
  } else {
  qc.addOrCondition('u_visibility', navQuery);
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getSession()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getSession() を使用します。

GlideSystem - getSessionID()

GlideSession セッション ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッション ID

```
var gr_NOW = new GlideRecord('v_user_session');
var sessionId = gs.getSessionID();
gs.log("Session ID is: " + sessionId);
```

出力

```
Session ID is: FEE589B3DB7EE4103DD9C39D139619D7
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getSessionID()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getSessionID() を使用します。

GlideSystem - getStyle(文字列 **tableName**, 文字列 **fieldName**, 文字列 **fieldValue)**

テーブル、フィールド、およびフィールド値に定義されたスタイルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブル名
fieldName	文字列	フィールド名
fieldValue	文字列	フィールド値

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドのスタイル。

```
var returnString = gs.getStyle('<tableName>', '<fieldName>',
 '<fieldValue>');
gs.print(returnString);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - getTimeFormat()

現在のユーザーに関連付けられている時間形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている時間形式。

```
var userTimeFormat = gs. getTimeFormat();
gs.info(userTimeFormat);
```

出力：

```
HH:mm:ss
```

GlideSystem - getUser()

現在のユーザーのユーザーオブジェクトへの参照を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideUser	現在のユーザーのユーザーオブジェクトへの参照。

次の例は、現在のユーザーオブジェクトを取得する方法を示しています。

```
var user = gs.getUser();
gs.print ("The current user is: " + user);
```

出力：

```
The current user is: com.glide.sys.User@db5dd9
```

次の例は、現在のユーザーが workflow_admin ロールを持っているかどうかを確認する方法を示しています。

```
var role = gs.getUser().hasRole('workflow_admin');
gs.print ("Does the current user have the workflow_admin role: " + role);
```

出力：

```
Does the current user have the workflow_admin role: true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUser()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getUser() を使用します。

GlideSystem - getUserDisplayName()

現在のユーザーの表示名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの [名前] フィールド。 たとえば、このメソッドは abel.tuter ではなく Abel Tuter を返します。

この例では、現在のユーザーの表示名を取得します。

```
gs.info(gs.getUserDisplayName());
```

出力:

```
System Administrator
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUserDisplayName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getUserDisplayName() を使用します。

GlideSystem - getUserID()

現在のユーザーの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの sys_id。

この例では、現在のユーザーの sys_id を取得します。

```
var currentUserId = gs.getUserID();
gs.print("Current user ID: " + currentUserId);
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Current user ID: 6816f79cc0a8016401c5a33be04be441
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUserID()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getUserID() を使用します。

GlideSystem - getUserName()

現在のユーザーのユーザー名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのユーザー名。 たとえば、このメソッドは Abel Tuter ではなく abel.tuter を返します。

この例では、現在のユーザーと代理操作されたユーザーのユーザー名を取得します。

```
var user = gs.getUserName();
gs.info("The current user name is: " + user);

var impUser = new GlideImpersonate();
impUser.impersonate("62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1");
var user2 = gs.getUserName();
gs.info("The impersonated user name is: " + user2);
```

出力:

```
The current user name is: admin
The impersonated user name is: abel.tuter
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUserName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getUserName() を使用します。

GlideSystem - getUserNameByUserID(文字列 user_id)

指定されたユーザーのログイン名に基づいてユーザーの表示名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
user_id	文字列	関連付けられた表示名を取得するユーザーのログイン名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求されたユーザーの表示名。 注: このメソッドで要求された ID を持つユーザーが見つからない場合は、指定された入力値が返されます。

次の例は、指定されたユーザーの表示名を取得する方法を示しています。

```
var displayName = gs.getUserNameByUserID('abel.tuter');
gs.info('User display name is: ' + displayName);
```

出力：

```
User display name is: Abel Tuter
```

GlideSystem - getXMLNodeList(文字列 xml)

XML ドキュメント内のすべてのノードと値のアレイを構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xml	文字列	解析する XML ドキュメント。

返される内容

タイプ	説明
アレイリスト	最も外側の XML ノードの名前と値のリスト。

次の例は、XML ノードのリストと、アレイリストでのそれらの関連値を取得する方法を示しています。

```
var nodeList =
 gs.getXMLNodeList("<note><to>Tove</to><from>Jani</from><heading>Reminde
r</heading><body>Don't forget me this weekend!</body></note>");
gs.print ("The node contains: " + nodeList);
```

出力：

```
The node contains: [to : Tove, from : Jani, heading : Reminder, body :
 Don't forget me this weekend!]
```

GlideSystem - getXMLText(文字列 xml, 文字列 xpathQuery)

XPath クエリに一致する XML 文字列の最初の要素の XML テキストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xml	文字列	検索する XML 文字列。
xpathQuery	文字列	照合する XPath クエリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	検索パラメーターに一致する XML ノード。

次の例は、渡されたノード内の指定された XML 要素の値を取得する方法を示しています。

```
var nodeList =
 gs.getXMLText("<outer><note><to>Tove</to><from>Jani</from><heading>Remin
der</heading><body>Don't forget me this weekend!</body></note></outer>",
 "//from");
gs.print ("The from element contains: " + nodeList);
```

出力：

```
The from element contains: Jani
```

GlideSystem - hasRole(文字列 **roleName)**

現在のユーザーが渡されたロールを少なくとも 1 つ持っているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
roleName	文字列	ロールのカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたロールを少なくとも 1 つ持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーは渡されたロールを少なくとも 1 つ持っています。ユーザーが管理者ロールを持っている場合も true を返します。 • false：ユーザーは渡されたロールを持っていません。

次の例は、現在のユーザーが admin または groups_admin ロールを持っているかどうかを確認する方法を示しています。

```
if (!gs.hasRole("admin, groups_admin") &&
 gs.getSession().isInteractive()) {
  var qc = current.addQuery("u_hidden", "!=", "true"); //cannot see
 hidden groups...
  qc.addOrCondition("sys_id", "javascript:getMyGroups()"); //...unless in
 the hidden group
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hasRole()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドを使用します：hasRole()。

GlideSystem - hasRoleInGroup(オブジェクト **roleName**, オブジェクト **group)**

現在のユーザーが指定されたグループ内で指定されたロールを持っているかどうかを判断します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
roleName	オブジェクト	ロールの名前。
group	オブジェクト	指定されたロールを確認するグループの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたグループの指定されたロールを持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ログインユーザーは指定されたグループの指定されたロールにアサインされています。 • false：ログインユーザーは指定されたグループの指定されたロールにアサインされていません。

次の例は、sys_user_group グループが role_name ロールを持っているかどうかを確認する方法を示しています。

```
var group = new GlideRecord('sys_user_group');
group.addQuery('name', 'GROUP_NAME');
group.setLimit(1);
group.query();
if (group.next()) {
   if (gs.hasRoleInGroup('role_name', group)) {
      gs.print('User has role in group');
   } else {
      gs.print('User does NOT have role in group');
   }
}
```

GlideSystem - hoursAgo(数値 hours)

指定された時間数前の日時を返します。戻り値は、インスタンスのタイムゾーンに合わせて調整されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値	遡る時間数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された時間数前の UTC 日時を返します。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var currentDateTime = gs.hoursAgo(0);
gs.info("Current date/time: " + currentDateTime);

var agoDateTime = gs.hoursAgo(1);
gs.info("Ago date/time: " + agoDateTime);
```

出力

```
Current date/time: 2021-03-17 20:53:25
Ago date/time: 2021-03-17 19:53:25
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hoursAgo()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド hoursAgo() を使用します。

GlideSystem - hoursAgoEnd(数値 **hours)**

指定された時間数前の時間の終わりの日時を返します。戻り値は、インスタンスのタイムゾーンに合わせて調整されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値 (整数)	遡る時間数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された時間数前の終わりの UTC 日時を返します。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

```
var currentDateTime = gs.hoursAgoEnd(0);
gs.print("Current date/time: " + currentDateTime);

var agoDateTime = gs.hoursAgoEnd(1);
gs.print("Ago date/time: " + agoDateTime);
```

出力

```
Current date/time: 2021-03-17 20:59:59
Ago date/time: 2021-03-17 19:59:59
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hoursAgoEnd()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド hoursAgoEnd() を使用します。

GlideSystem - hoursAgoStart(数値 **hours)**

指定された時間数前の時間の始まりの日時を返します。戻り値は、インスタンスのタイムゾーンに合わせて調整されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値	遡る時間数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された時間数前の終わりの UTC 日時を返します。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

```
var currentDateTime = gs.hoursAgoStart(0);
gs.print("Current date/time: " + currentDateTime);

var agoDateTime = gs.hoursAgoStart(1);
gs.print("Ago date/time: " + agoDateTime);
```

出力

```
Current date/time: 2021-03-17 20:00:00
Ago date/time: 2021-03-17 19:00:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hoursAgoStart()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド hoursAgoStart() を使用します。

GlideSystem - isFirstDayOfMonth(オブジェクト date)

指定された日付オブジェクトの日付が月の初日かどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された日付オブジェクトの日付が月の初日かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：月の初日です。 • false：月の初日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が月の初日かどうかを判定する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setValue('2021-04-01 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfMonth(gdt);
gs.print("First day of month: " + currentDay);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gdt.setValue('2021-04-21 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfMonth(gdt);
gs.print("First day of month: " + currentDay);
```

出力

```
First day of month: true
First day of month: false
```

GlideSystem - isFirstDayOfWeek(オブジェクト date)

指定された日付オブジェクトの日付が週の初日かどうかを確認します。この方法では、週の初日を月曜日とする ISO 標準が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の日付オブジェクトの日付が週の初日 (月曜日) かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：週の初日です。 • false：週の初日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が週の初日かどうかを判断する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setValue('2021-03-02 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfWeek(gdt);
gs.info("First day of week: " + currentDay);

gdt.setValue('2021-03-22 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfWeek(gdt);
gs.info("First day of week: " + currentDay);
```

出力

```
First day of week: false
First day of week: true
```

GlideSystem - isFirstDayOfYear(オブジェクト date)

指定された日付オブジェクトの日付が年の初日かどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された日付オブジェクトの日付が年の初日かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：年の初日です。 • false：年の初日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が年の初日かどうかを判定する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setValue('2020-12-31 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfYear(gdt);
gs.info("First day of year: " + currentDay);

gdt.setValue('2021-01-01 12:00:00');
var currentDay = gs.isFirstDayOfYear(gdt);
gs.info("First day of year: " + currentDay);
```

出力

```
First day of year: false
First day of year: true
```

GlideSystem - isInteractive()

現在のセッションがインタラクティブかどうかを確認します。

インタラクティブセッションの例として、ログイン画面を使用したユーザーのログインが挙げられます。非インタラクティブセッションの例として、SOAP 要求を使用したデータ取得が挙げられます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションがインタラクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：セッションはインタラクティブです。 • false：セッションはインタラクティブではありません。

```
if (!gs.hasRole('admin') && gs.isInteractive()) {
  var qc1 = current.addQuery('u_group', '');
  var gra = new GlideRecord('sys_user_grmember');
  gra.addQuery('user', gs.getUserID());
  gra.query();
  while (gra.next()) {
    qc1.addOrCondition('u_group', gra.group);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isInteractive()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isInteractive() を使用します。

GlideSystem - isLastDayofMonth(オブジェクト date)

指定された日付オブジェクトの日付が月の最終日かどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された日付オブジェクトの日付が月の最終日かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：月の最終日です。 • false：月の最終日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が月の最終日かどうかを判定する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDate();
gdt.setValue('2020-12-31 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfMonth(gdt);
gs.print("First day of year: " + currentDay);

gdt.setValue('2021-01-01 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfMonth(gdt);
gs.print("First day of year: " + currentDay);
```

出力

```
Last day of month: true
Last day of month: false
```

GlideSystem - isLastDayOfWeek(オブジェクト date)

指定された日付オブジェクトの日付が週の最終日かどうかを確認します。この方法では、週の最終日を日曜日とする ISO 標準が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の日付オブジェクトの日付が週の最終日 (日曜日) かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：週の最終日です。 • false：週の最終日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が週の最終日かどうかを判定する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDate();
gdt.setValue('2021-03-01 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfWeek(gdt);
gs.info("Last day of week: " + currentDay);

gdt.setValue('2021-03-21 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfWeek(gdt);
gs.info("Last day of week: " + currentDay);
```

出力

```
First day of week: false
First day of week: true
```

GlideSystem - isLastDayOfYear(オブジェクト **date)**

指定された日付オブジェクトの日付が年の最終日かどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	オブジェクト	日付を確認する日付オブジェクト (GlideDateTime や GlideDate など)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の日付オブジェクトの日付が年の最終日かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：年の最終日です。 • false：年の最終日ではありません。

この例では、指定された日付オブジェクトの日付が年の最終日かどうかを判定する方法を示します。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setValue('2020-12-31 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfYear(gdt);
gs.info("Last day of year: " + currentDay);

gdt.setValue('2021-01-01 12:00:00');
var currentDay = gs.isLastDayOfYear(gdt);
gs.info("Last day of year: " + currentDay);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力

```
Last day of year: true
Last day of year: false
```

GlideSystem - isLoggedIn()

現在のユーザーが現在ログインしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがログインしているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはログインしています。 • false：ユーザーはログインしていません。

この例は、現在のユーザーがログインしているかどうかを判断する方法を示しています。

```
if(gs.isLoggedIn())
  gs.info("Current user is logged in");
else
  gs.info("Current user is NOT logged in");
```

出力

```
Current user is logged in
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isLoggedIn()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isLoggedIn() を使用します。

GlideSystem - isMobile()

要求がモバイルデバイスから送信されたかどうかを判断します。

このメソッドは、UI アクション条件およびビジネスルールで使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要求がモバイルデバイスから送信されたかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • true：モバイルデバイス。 • false：モバイルデバイス以外。

この例は、現在のデバイスがモバイルデバイスかどうかを判断する方法を示しています。

```
if(gs.isMobile())
    gs.info("Submitted from mobile UI");
  else
   gs.info("NOT submitted from mobile UI");
```

出力

```
Submitted from mobile UI
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *isMobile()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド isMobile() を使用します。

GlideSystem - lastWeek()

1 週間前の日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	1 週間前の日時。 形式：yyyy-MM-dd hh:mm:ss

この例は、現在の日付オブジェクトの日付から 1 週間後の日付を取得する方法を示しています。

```
var gdt = new GlideDateTime();
gdt.setValue('2021-03-22 01:00:00');

gs.info("Current date: " + gs.nowDateTime());

gs.info("One week earlier: " + gs.lastWeek());
```

出力

```
Current date: 2021-03-22 15:27:07
One week earlier: 2021-03-15 15:27:07
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideSystem - log(文字列 message, 文字列 source)

メッセージをシステムログに記録し、syslog テーブルに保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	記録するメッセージ。
source	文字列	オプション。メッセージのソース。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、定数と変数を使用してログエントリを投稿する方法を示しています。

```
var count = new GlideAggregate('incident');
count.addQuery('active', 'true');
count.addAggregate('COUNT', 'category');
count.query();
while (count.next()) {
   var category = count.category;
   var categoryCount = count.getAggregate('COUNT', 'category');
   gs.log("The are currently " + categoryCount + " incidents with a
 category of " + category, "Incident Counter");
}
```

GlideSystem - logError(文字列 message, 文字列 source)

エラーをシステムログに記録し、syslog テーブルに保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	記録するエラーメッセージ。
source	文字列	オプション。メッセージのソース。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、インシデントテーブルが見つからない場合にエラーをログに記録します。

```
var gr_NOW = new GlideRecord("incident");
if (!gr_NOW.isValid()) {
  gs.logError('Incident table could not be found');
  return;
}
```

GlideSystem - logWarning(文字列 message, 文字列 source)

警告をシステムログに記録し、syslog テーブルに保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	記録するメッセージ。
source	文字列	オプション。メッセージのソース。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、インシデントテーブルが見つからない場合に警告をログに記録します。

```
var gr_NOW = new GlideRecord("incident");
if (!gr_NOW.isValid()) {
  gs.logWarning('Incident table could not be found');
  return;
}
```

GlideSystem - minutesAgo(数値 **minutes)**

指定された分数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minutes	数値	返す過去の分数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された分数前の UTC 日時を返します。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例は、addQuery() 呼び出しで minutesAgo() メソッドを使用する方法を示しています。

```
// Check to see if the user has failed to login too many times
// when the limit is reached, lock the user out of the system
//
//Check failed logins in the last 15 minutes
var now_GR = new GlideRecord('sysevent');
now_GR.addQuery('name', 'login.failed');
now_GR.addQuery('parm1', event.parm1.toString());
now_GR.addQuery('sys_created_on','>=', gs.minutesAgo(15));
now_GR.query();
var rowCount = now_GR.getRowCount();
if(rowCount >= 5){
  var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
  now_GR.addQuery("user_name", event.parm1.toString());
  now_GR.query();
  if (now_GR.next()) {
    now_GR.locked_out = true;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    now_GR.update();
    gs.log("User " + event.parm1 + " locked out due to too many invalid
 login attempts");
  }
}
```

GlideSystem - minutesAgoEnd(数値 minutes)

特定の分数前の分の終わりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minutes	数値	遡る整数の分数 (5 や 11 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された分数前の 1 分間の最後 (59 秒) の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 30 分前の 1 分間の最後の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.print("Now: " + nowDateTime);
var thirtyMinutesAgoDateTime = gs.minutesAgoEnd(30);
gs.print("Thirty minutes ago end time: " + thirtyMinutesAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 15:22:13
Thirty minutes ago end time: 2021-10-20 14:52:59
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *minutesAgoEnd()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド minutesAgoEnd() を使用します。

GlideSystem - minutesAgoStart(数値 minutes)

特定の分数前の分の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minutes	数値	遡る整数の分数 (15 や 112 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された分数前の 1 分間の最初の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、現在の日時と 30 分前の 1 分間の最初の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var thirtyMinutesAgoDateTime = gs.minutesAgoStart(30);
gs.info("Thirty minutes ago: " + thirtyMinutesAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 14:56:18
Thirty minutes ago: 2021-10-20 14:26:00
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *minutesAgoStart()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド minutesAgoStart() を使用します。

GlideSystem - monthsAgo(数値 **months)**

特定の月数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	遡る整数の月数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された月数前のまったく同じ時刻の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 1 か月前の同じ時刻の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var oneMonthAgoDateTime = gs.monthsAgo(1);
gs.info("One month ago: " + oneMonthAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 15:29:15
One month ago: 2021-09-20 15:29:15
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *monthsAgo()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド monthsAgo() を使用します。

GlideSystem - monthsAgoEnd(数値 **months)**

特定の月数前の月の最終日の日時を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	整数の月数 (4 や 16 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された月数前の月の終わりの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と、2 か月前の営業月の最後の日時を表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var endOfTheMonthDateTime = gs.monthsAgoEnd(2);
gs.info("End of the month: " + endOfTheMonthDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 19:23:35
End of the month: 2021-09-01 06:59:59
```

GlideSystem - monthsAgoStart(数値 months)

特定の月数前の月の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	遡る整数の月数 (5 や 14 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された月数前の月の始まりの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 3 か月前の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var threeMonthsAgoDateTime = gs.monthsAgoStart(3);
gs.info("Three months ago start date and time: " +
 threeMonthsAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 15:05:27
Three months ago start date and time: 2021-07-01 07:00:00
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *monthsAgoStart()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド monthsAgoStart() を使用します。

GlideSystem - nil(オブジェクト obj)

オブジェクトをクエリし、オブジェクトが null であるか空の文字列を含んでいる場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
obj	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	null または空の文字列の場合は true、それ以外の場合は false。

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.u_date1.setError('start must be before end');
    current.setAbortAction(true);
  }
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *nil()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の nil() メソッドを使用します。

GlideSystem - now()

現在の日付を UTC で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーが定義した形式での現在の日付 (UTC)。

```
// When the user password changes then set the u_password_last_reset
 field
// to now so we know when to force another update
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
if (now_GR.get(event.parm1.toString())) {
    // Do something based on the Password Changing
    gs.log("The user password changed so do something else...");
    now_GR.u_password_last_reset = gs.now();
    now_GR.update();
}
```

GlideSystem - nowNoTZ()

現在の日時を UTC 形式で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の UTC 日時

```
// When the user password changes then set the u_password_last_reset
 field
// to now so we know when to force another update

var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
if (now_GR.get(event.parm1.toString())) {
    // Do something based on the Password Changing
    gs.log("The user password changed so do something else...");
    now_GR.u_password_last_reset = gs.nowNoTZ();
    now_GR.update();
}
```

GlideSystem - nowDateTime()

現在の日時をユーザーが定義した形式で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーが定義した形式での現在の日時。システムの日付と時刻の形式の設定の詳細については、「日付と日付/時刻のフィールド」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var currentDateTime = gs.nowDateTime();
gs.print("Current date/time: " + currentDateTime);
```

出力

```
Current date/time: 2021-03-17 14:04:02
```

ワークフロースクリプトの変数を現在の日時に設定する場合は、*setDisplayValue()* メソッドを使用します。次のスクリプトは、ワークフロー変数 *end_date* を現在の日時に設定します。

```
current.variables.end_date.setDisplayValue(gs.nowDateTime());
```

GlideSystem - nowGlideDateTime()

現在の日時で GlideDateTime オブジェクトを取得します。

現在の日時で GlideDateTime オブジェクトを取得した後、GlideDateTime メソッドを使用して、date-time の計算、date-time の書式設定、date-time 形式間の変換などの date-time の操作を実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GMT 形式で現在の日時を使用する GlideDateTime オブジェクト。

フィールド [u_target_date] を GMT 形式の現在の日時に設定します。

```
current.u_target_date = gs.nowGlideDateTime();
```

GlideSystem - print(文字列 message)

メッセージをシステムログに書き込みます。

このメソッドでは、デバッグがアクティブ化されていない限り、syslog テーブルにメッセージは書き込まれません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	記録するメッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.addQuery('active',false);
rec.query();
while (rec.next()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 gs.print('Inactive incident ' + rec.number + ' deleted');
 rec.deleteRecord();
}
```

GlideSystem - quartersAgo(数値 quarters)

特定の四半期数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
quarters	数値	遡る整数の四半期数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された四半期数前の四半期の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 4 四半期前の同じ時刻の日時を表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.print("Now: " + nowDateTime);
var fourQuartersAgoDateTime = gs.quartersAgo(4);
gs.print("Four quarters ago: " + fourQuartersAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 16:27:32
Four quarters ago: 2020-10-20 16:27:32
```

GlideSystem - quartersAgoEnd(数値 quarters)

指定された四半期数前の四半期最終日の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
quarters	数値	整数の四半期数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された四半期数前の四半期の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *quartersAgoEnd()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド quartersAgoEnd() を使用します。

GlideSystem - quartersAgoStart(数値 quarters)

指定された四半期数前の四半期の初日の日時を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
quarters	数値	整数の四半期数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された四半期数前の月の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *quartersAgoStart()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド quartersAgoStart() を使用します。

GlideSystem - setProperty(文字列 **key**, 文字列 **value**, 文字列 **description)**

指定されたキーを指定された値に設定します。

注: このメソッドを使用してシステムプロパティ (sys_properties) を設定すると、システム全体のキャッシュがフラッシュされるため注意が必要です。フラッシュするたびに、キャッシュの再構築中にシステムのデグレードが発生する可能性があります。値を頻繁に更新する必要がある場合は、システムプロパティとして格納しないでください。一般に、頻繁に変更しない値のみを sys_properties テーブルに配置する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	設定するプロパティのキー。
value	文字列	設定するプロパティの値。
description	文字列	プロパティの説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.setProperty("glide.foo","bar","foo");
gs.info(gs.getProperty("glide.foo"));
```

出力：bar

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setProperty()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setProperty() を使用します。

GlideSystem - setRedirect(オブジェクト **URI)**

このトランザクションのリダイレクト URI を設定します。リダイレクト URI は、ユーザーに表示される次のページを決定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
URI	オブジェクト	リダイレクトとして設定する URI

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ユーザーを特定のカタログアイテムにリダイレクトし、現在のメールをパラメーターとして渡します。

```
gs.setRedirect("com.glideapp.servicecatalog_cat_item_view.do?sysparm_id=d
41ce5bac611227a0167f4bf8109bf70&sysparm_user="
+ current.sys_id + "&sysparm_email=" + current.email)
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *setRedirect()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド setRedirect() を使用します。

GlideSystem - setReturn(オブジェクト **URI)**

このトランザクションのリターン URI を設定します。これにより、ユーザーが次のフォームから戻るときに移動するページが決まります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
URI	オブジェクト	戻る場所として設定する URI。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ユーザーが次のページを完了すると現在のページに戻るようにします。

```
gs.setReturn (current.getLink(true));
```

GlideSystem - tableExists(文字列 **tableName)**

ServiceNow インスタンスにデータベーステーブルが存在するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	確認するテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたテーブルが ServiceNow インスタンスに存在するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：テーブルは存在する • false：テーブルは存在しない

この例では、インシデントテーブルと foo テーブルが ServiceNow インスタンスに存在するかどうかを確認しています。

```
gs.info("Does the incident table exist? " + gs.tableExists("incident"));

gs.info("Does the foo table exist? " + gs.tableExists("foo"));
```

出力

```
Does the incident table exist? true
Does the foo table exist? false
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *tableExists()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド tableExists() を使用します。

GlideSystem - userID()

このセッションに関連付けられているユーザーの sys_id を返します。代わりに *getUserID()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの sys_id。

次の例は、現在のユーザーに割り当てられているすべてのアクティブなインシデントレコードを解除する方法を示しています。

```
var incidentGR = new GlideRecord('incident');
incidentGR.addActiveQuery();

// Filter results to incidents assigned to the current user
var currentUserSysId = gs.userID();
incidentGR.addQuery('assigned_to', currentUserSysId);
incidentGR.query();

while (incidentGR.next()) {
    incidentGR.setValue('assigned_to', 'NULL');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    incidentGR.update();
    gs.info(
        'Unassigned Incident: {0}: {1}',
        incidentGR.number.toString(),
        incidentGR.short_description.toString()
    );
}
```

出力：

```
Unassigned Incident: INC0000057: Performance problems with wifi
Unassigned Incident: INC0009001: Unable to post content on a Wiki page
Unassigned Incident: INC0008111: ATF : Test1
```

GlideSystem - workflowFlush(オブジェクト **glideRecord)**

指定された GlideRecord のスケジュール (sys_trigger) テーブルで開いているスケジュール設定済みジョブレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	オブジェクト	GlideRecord

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideSystem - yearsAgo(数値 **years)**

特定の年数前の日時を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	整数の年数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された年数前の年の始まりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで yearsAgo(数値 *years)*メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド yearsAgo(数値 years) を使用します。

GlideSystem - yesterday()

昨日の時刻 (24 時間前) を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	24 時間前の GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *yesterday()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド yesterday() を使用します。

GlideSystem - スコープ指定

スコープ付き *GlideSystem* API には、システムに関する情報、現在ログインしているユーザーに関する情報、およびその他のシステムレベルの情報を取得するための便利なメソッドが多数用意されています。

GlideSystem メソッドの多くは、日付をクエリ範囲に簡単に含めることができ、フィルターとレポートで最もよく使用されます。

スコープ対象 **GlideSystem** - addErrorMessage(文字列 **message)**

現在のセッションのエラーメッセージを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	追加するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.include("PrototypeServer");
  var ValidatePasswordStronger = Class.create();
  ValidatePasswordStronger.prototype = {
       process : function() {
          var user_password = request.getParameter("user_password");
          var min_len = 8;
          var rules = "Password must be at least " + min_len +
             " characters long and contain a digit, an uppercase letter,
 and a lowercase letter.";
          if (user_password.length() < min_len) {
             gs.addErrorMessage("TOO SHORT: " + rules);
             return false;
          }
          var digit_pattern = new RegExp("[0-9]", "g");
          if (!digit_pattern.test(user_password)) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            gs.addErrorMessage("DIGIT MISSING: " + rules);
            return false;
         }
         var upper_pattern = new RegExp("[A-Z]", "g");
         if (!upper_pattern.test(user_password)) {
            gs.addErrorMessage("UPPERCASE MISSING: " + rules);
            return false;
         }
         var lower_pattern = new RegExp("[a-z]", "g");
         if (!lower_pattern.test(user_password)) {
            gs.addErrorMessage("LOWERCASE MISSING: " + rules);
            return false;
         }
         return true; // password is OK
      }
  }
```

スコープ対象 **GlideSystem -** addInfoMessage(文字列 **message)**

現在のセッションの情報メッセージを追加します。このメソッドは、非同期ビジネスルールではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	追加する情報メッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if ((!current.u_date1.nil()) && (!current.u_date2.nil())) {
  var start = current.u_date1.getGlideObject().getNumericValue();
  var end = current.u_date2.getGlideObject().getNumericValue();
  if (start > end) {
    gs.addInfoMessage('start must be before end');
    current.u_date1.setError('start must be before end');
    current.setAbortAction(true);
  }
}
```

スコープ対象 **GlideSystem -** base64Encode(文字列 **source)**

指定された文字列から Base64 文字列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	エンコードする文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エンコードされた Base64 文字列。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mac = new CertificateEncryption;
var key = "sample_key";
key = gs.base64Encode(key);
mac.generateMac(key, "HmacSHA256", "sample_data");
```

スコープ対象 **GlideSystem -** base64Decode(文字列 **source)**

指定された Base64 文字列から ASCII 文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
source	文字列	Base64 でエンコードされた文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	デコードされた文字列。

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfLastMonth()**

先月の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先月の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfLastWeek()**

先週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	先週の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfNextMonth()**

来月の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来月の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfNextWeek()**

来週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来週の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)。

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfNextYear()**

来年の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	来年の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfThisMonth()**

今月の初めの日時を GMT で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今月の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfThisQuarter()**

今四半期の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今四半期の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfThisWeek()**

今週の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	今週の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - beginningOfThisYear()**

今年の初めの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	今年の初めの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem** - dateGenerate(文字列 **date**, 文字列 **range)**

指定された日付の日時を GMT で生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	文字列	GMT を生成する日付。 形式：yyyy-mm-dd
range	文字列	24 時間形式 (hh:mm:ss) の start、end、または time。

返される内容

タイプ	説明
文字列	生成された日時。 range が `start` の場合、戻り値は yyyy-mm-dd 00:00:00 です。 range が `end` の場合、戻り値は yyyy-mm-dd 23:59:59 です。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

この例では、インシデントテーブルのレコードをクエリするときに *`dateGenerate()`* を使用して開始日を設定しています。

```
var tableData = new GlideRecord('incident');
tableData.addEncodedQuery("sys_created_onBETWEENjavascript:gs.dateGenerate('2015-10-07','00:00:00')@javascript:gs.daysAgoEnd(0)^priority=1^severityIN1,2");
tableData.query();
gs.info("Count: " + tableData.getRowCount());
```

出力

```
Count: 7
```

スコープ対象 **GlideSystem** - daysAgo(数値 **days)**

指定された日数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	整数の日数

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

```
function contractNoticeDue() {
    var now_GR = new GlideRecord("contract");
    now_GR.addQuery("u_contract_status", "Active");
    now_GR.query();
    while (now_GR.next()) {
    if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-90)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Long")) {
            now_GR.u_contract_status = "In review";
        }
        else if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-50)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Medium")) {
        now_GR.u_contract_status = "In review";
        }
        else if ((now_GR.u_termination_date <= gs.daysAgo(-10)) &&
 (now_GR.u_contract_duration == "Short")) {
            now_GR.u_contract_status = "In review";
        }
    }
    now_GR.update();
}
```

スコープ対象 **GlideSystem** - daysAgoEnd(数値 **days)**

指定された日数前の 1 日の終わりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	数値	整数の日数

返される内容

タイプ	説明
文字列	1 日の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem** - daysAgoStart(数値 **days)**

指定された日数前の 1 日の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
days	文字列	整数の日数

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	1 日の始まりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

```
var now_GR = new GlideRecord('sysapproval_approver');
now_GR.addQuery('state', 'requested');
now_GR.addQuery('sys_updated_on', '<', gs.daysAgoStart(5));
now_GR.query();
```

スコープ対象 **GlideSystem** - debug(文字列 message、オブジェクト parm1、オブジェクト parm2、オブジェクト parm3、オブジェクト parm4、オブジェクト **parm5)**

デバッグメッセージをシステムログに書き込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変数引数のプレースホルダーを含むログメッセージ。
param1	オブジェクト	(オプション) 最初の変数引数。
param2	オブジェクト	(オプション) 2 番目の変数引数。
param3	オブジェクト	(オプション) 3 番目の変数引数。
param4	オブジェクト	(オプション) 4 番目の変数引数。
param5	オブジェクト	(オプション) 5 番目の変数引数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.debug("This is a debug message");
var myFirstName = "Abel";
var myLastName = "Tuter";
gs.debug("This is a debug message from {0}.{1}", myFirstName,
 myLastName);
```

出力:

```
This is a debug message (sys.scripts extended logging)
This is a debug message from Abel.Tuter (sys.scripts extended logging)
```

スコープ対象 **GlideSystem - endOfLastMonth()**

先月の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	先月の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - endOfLastWeek()**

先週の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	先週の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem - endOfLastYear()**

去年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfNextMonth()**

来月の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfNextWeek()**

来週の終わりの日時を GMT で返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfNextYear()**

来年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfThisMonth()**

今月の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfThisQuarter()**

今四半期の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfThisWeek()**

今週の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem - endOfThisYear()**

今年の終わりの日時を GMT で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem -** error(文字列 **message**, オブジェクト **parm1**, オブジェクト **parm2**, オブジェクト **parm3**, オブジェクト **parm4**, オブジェクト **parm5)**

エラーメッセージをシステムログに書き込みます。

このメソッドは、Java MessageFormat プレースホルダー置換パターンを使用して、メッセージ内で最大 5 つの変数引数 (varargs) を受け入れます。

注: このメソッドで正しい出力を提供するには、変数に有効な値を含める必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変数引数のプレースホルダーを含むログメッセージ。
param1	オブジェクト	(オプション) 最初の変数引数。
param2	オブジェクト	(オプション) 2 番目の変数引数。
param3	オブジェクト	(オプション) 3 番目の変数引数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
param4	オブジェクト	(オプション) 4 番目の変数引数。
param5	オブジェクト	(オプション) 5 番目の変数引数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.error("This is an error message");
var myFirstName = "Abel";
var myLastName = "Tuter";
gs.error("This is an error message from {0}.{1}", myFirstName,
 myLastName);
```

出力:

```
This is an error message
This is an error message from Abel.Tuter
```

スコープ対象 **GlideSystem** - eventQueue(文字列 **name**, オブジェクト **instance**, 文字列 **parm1**, 文字列 **parm2**, 文字列 **queue)**

イベントマネージャーのイベントをキューに格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	キューに格納されているイベントの名前。
インスタンス	オブジェクト	GlideRecord オブジェクト (「current」など)。
parm1	文字列	オプション。指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。
parm2	文字列	オプション。指定されている場合はインスタンスとともに保存されます。
queue	文字列	オプション。キューの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if (current.operation() != 'insert' && current.comments.changes()) {
    gs.eventQueue('incident.commented', current, gs.getUserID(),
 gs.getUserName());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 **GlideSystem** - eventQueueScheduled(文字列 **name**, オブジェクト **instance**, 文字列 **parm1**, 文字列 **parm2**, オブジェクト **expiration)**

イベントマネージャーでイベントをキューに格納します。

渡されたイベントスケジュール情報は、イベント [sysevent] テーブルに格納されます。イベントの詳細については、「イベント」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	キューに格納するイベントの名前。
インスタンス	オブジェクト / 文字列	GlideRecord オブジェクトまたはこのイベントが適用されるレコードの sys_id。
parm1	文字列	オプション。イベントスクリプトに渡す文字列。このパラメーターは自由形式であり、イベントスクリプトの実装に依存します。 デフォルト：*instance* パラメーターが GlideRecord オブジェクトの場合、デフォルトはその GlideRecord の表示値 (now_GR.getDisplayValue) です。それ以外の場合は `null` です。
parm2	文字列	オプション。イベントスクリプトに渡す文字列。このパラメーターは自由形式であり、イベントスクリプトの実装に依存します。 デフォルト：`null`
expiration	オブジェクト	オプション。GlideDateTime オブジェクト、またはイベントを処理する日時を指定する日付/時刻タイプの要素。 デフォルト：現在の日付/時刻

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、GlideRecord、イベントスクリプトに渡される 2 つのパラメーター、およびイベントをスケジュールする指定された時間を使用して、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
var requestXml = requestBody.dataString;
var processTime = new GlideDateTime();
processTime.addDaysLocalTime(7);
gs.eventQueueScheduled('sn_app.user.deactivate', now_GR, requestXML,
 gs.getUserID(), processTime);
```

この例では、sys_id とオプションのパラメーターのデフォルト値を使用して、メソッドを呼び出す方法を示します。

```
gs.eventQueueScheduled('event.test', '0e29421383101000dada83ec37d9292d',
 '', '', '');
```

スコープ対象 **GlideSystem - executeNow(GlideRecord job)**

スコープ対象のアプリケーションのジョブを実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドは、このメソッドを呼び出すスクリプトと同じアプリケーション内のジョブでのみ使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
job	GlideRecord	実行するジョブ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	スケジュール設定済みジョブの sys_id を返します。ジョブがグローバルの場合は null を返します。

```
scheduleImportJob: function () {
  var jobId = '61847fe04c603300fa9bb64c2b491dac';
  var now_GR = new GlideRecord('sysauto_script');
  if (!now_GR.get(jobId)) {
    throw new Error('Unable to find import job');
  }
  gs.executeNow(now_GR);
}
```

スコープ対象 GlideSystem - generateGUID()

一意の識別子が必要な場合に使用できる GUID を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	32 文字の 16 進数の GUID。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
personalId = gs.generateGUID();
gs.info(personalId);
```

出力:

```
af770511ff013100e04bffffffffff6
```

スコープ対象 GlideSystem - getCallerScopeName()

問い合わせユーザーのスコープ名を取得します。問い合わせユーザーが存在しない場合は null を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	問い合わせユーザーのスコープ名。問い合わせユーザーが存在しない場合は null。

この例は、すべてのアプリケーションスコープからアクセス可能に設定されている 2 つのスクリプトインクルードを示しています。app_scope_a 内に 1 つのスクリプトインクルードが作成されます。

```
var Scopea = Class.create();

Scopea.prototype = {
    initialize: function() {
    },

    callerScope: function() {
        var scopeb = new app_scope_b.Scopeb();
        return scopeb.callerscope();
    },

    type: 'Scopea'
}
```

出力：

この例は、app_scope_b 内に作成された別のスクリプトインクルードを示しています。

```
var Scopeb = Class.create();

Scopeb.prototype = {
    initialize: function() {
        this._constructorCallerScope = gs.getCallerScopeName();
    },

    callerscope: function() {
        return gs.getCallerScopeName();
    },

    getConstructorCallerScope: function() {
        return this._constructorCallerScope;
    },

    type: 'Scopeb'
}
```

出力：

このスクリプトをスコープ app_scope_a 内で使用して、問い合わせユーザーのスコープ名 (この場合は app_scope_b) を取得できます。

```
gs.info(new Scopea().getCallerScopeName());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 GlideSystem - getCssCacheVersionString()

CSS ファイルのキャッシュバージョンを表す文字列を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	CSS キャッシュのバージョン。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var verStr = gs.getCssCacheVersionString();
gs.info(verStr);
```

出力:

```
_d82979516f0171005be8883e6b3ee4cf&theme=
```

スコープ対象 GlideSystem - getCurrentApplicationId()

アプリケーションピッカーを使用して設定された現在のアプリケーションの ID を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のアプリケーションの sys_id。none が設定されている場合はグローバル。

```
var currentId = gs.getCurrentApplicationId();
gs.info(currentId);
```

出力

```
04936cb16f30b1005be8883e6b3ee4e0
```

スコープ対象 GlideSystem - getCurrentScopeName()

現在のスコープの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のスコープ名。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var currentScope = gs.getCurrentScopeName();
gs.info(currentScope);
```

出力:

```
s_snc_test_scope
```

スコープ対象 **GlideSystem** - getDateFormat(文字列)

現在のユーザーに関連付けられている日付形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている日付形式。

次の例は、ユーザーに関連付けられている日付形式を返します。

```
var userDateFormat = gs. getDateFormat();
gs.info(userDateFormat);
```

出力：

```
yyyy-MM-dd
```

スコープ対象 **GlideSystem - getDateTimeFormat()**

現在のユーザーに関連付けられている日時形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている日時形式。

次の例は、ユーザーに関連付けられている日時形式を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var userDateTimeFormat = gs.getDateTimeFormat();
gs.info(userDateTimeFormat);
```

出力：

```
yyyy-MM-dd HH:mm:ss
```

スコープ対象 GlideSystem - getErrorMessages()

セッションに対して *addErrorMessage()* によって追加されたエラーメッセージを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列のアレイ	セッションに関連付けられたエラーメッセージ。

スコープ対象 GlideSystem - getEscapedMessage(文字列 id, アレイ args)

メッセージ [sys_ui_message] テーブルから指定されたメッセージを取得します。メッセージに HTML 特殊文字が含まれている場合は、対応する HTML 名コードに置き換えられます。たとえば、`&` は `&` になります。

指定されたメッセージ識別子 (キー) が現在の言語のメッセージ [sys_ui_message] テーブルに存在する場合、メソッドは、翻訳済みのメッセージを返し、すべての特殊文字はエスケープシーケンスとして返されます。指定されたメッセージ識別子が現在の言語に存在しない場合、メソッドは英語版のメッセージを返し、すべての特殊文字はエスケープシーケンスとして返されます。メッセージ識別子がテーブルに存在しない場合は、メッセージ ID を返します。

メッセージテーブルの詳細については、「メッセージテーブル」を参照してください。

注: UI メッセージにチェックマーク (') が付いている場合、スクリプト内のメッセージに問題がある可能性があります。チェックマーク (') をエスケープするには、getMessageS(文字列, オブジェクト) を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	メッセージ識別子。この値は、メッセージ [sys_ui_message] テーブルの [Key] フィールドにあります。[Key] フィールドは、実際のメッセージ文字列とまったく同じように見えることに注意してください。
args	アレイ	オプション。指定されたメッセージ内の変数を置き換える、java.text.MessageFormat によって定義された文字列またはその他の値のリスト。 例：`gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow can't be added twice in this subflow.", current.action.name);` この例で、*'{0}'* は *current.action.name* のコンテンツで置き換えられます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 渡される値は翻訳されません。それらはメッセージに逐語的に挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	HTML 特殊文字が HTML 名コードに置き換えられた UI メッセージ。

この例では、アンパサンド文字が同等のアンパサンド HTML 名コードに置き換えられていることを示しています。

```
var my_message = gs.getEscapedMessage("Is the summary & details
 accurate?");
alert(my_message);
```

出力

```
Is the summary & details accurate?
```

この例では、メッセージ内の単一の変数を置き換える方法と、メッセージ内の < 記号と > 記号が対応する &lt と &gt の HTML 名コードにどのように転置されるのかを示します。

```
// current.action.name is "update record"
var my_message = gs.getEscapedMessage("Abort adding action '{0}', same
 <subflow> can't be added twice in this subflow.", current.action.name);
alert(my_message);
```

出力

```
Abort adding action update record, same &ltsubflow&gt can't be added
 twice in this subflow.
```

スコープ対象 **GlideSystem** - getMessage(文字列 **id**, アレイ **args)**

メッセージ [sys_ui_message] テーブルから UI に表示する翻訳されたメッセージを取得します。

指定されたメッセージ識別子 (キー) が現在の言語のメッセージ [sys_ui_message] テーブルに存在する場合、メソッドは翻訳されたメッセージを返します。指定されたメッセージ識別子が現在の言語に存在しない場合、このメソッドは英語バージョンのメッセージを返します。メッセージ識別子がテーブルに存在しない場合は、メッセージ ID を返します。

メッセージテーブルの詳細については、「メッセージテーブル」を参照してください

注: UI メッセージにチェックマーク (') が付いている場合、スクリプト内のメッセージに問題がある可能性があります。チェックマーク (') をエスケープするには、getMessageS(文字列, オブジェクト) を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	メッセージ識別子。この値は、メッセージ [sys_ui_message] テーブルの [Key] フィールドにあります。[Key] フィールドは、実際のメッセージとまったく同じように見えることに注意してください。
args	アレイ	オプション。指定されたメッセージ内の変数を置き換える、java.text.MessageFormat によって定義された文字列またはその他の値のリスト。 例：`gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow can't be added twice in this subflow.", current.action.name);` この例で、*'{0}'* は *current.action.name* のコンテンツで置き換えられます。 **注:** 渡される値は翻訳されません。それらはメッセージに逐語的に挿入されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	UI メッセージ。

この例は、現在の言語がスペイン語の場合に現在のユーザーに返されるメッセージを示しています。

```
var my_message = gs.getMessage("rows will not be updated");
alert(my_message);
```

出力:

```
las filas no se actualizarán
```

この例は、メッセージ内の単一の変数を置き換える方法を示しています。

```
// current.action.name is "update record"
var my_message = gs.getMessage("Abort adding action '{0}', same subflow
 can't be added twice in this subflow.", current.action.name);
alert(my_message);
```

出力:

```
Abort adding action update record, same subflow can't be added twice in
 this subflow.
```

この例は、メッセージ内の複数の変数を置き換える方法を示しています。

```
// current.sub_flow.name is 'schedule users'
// current.action.name is "update record"
var my_message = gs.getEscapedMessage("Abort adding action '{0}', same
 subflow can't be added twice in {1} subflow.", [current.action.name,
 current.sub_flow.name]);
alert(my_message);
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Abort adding action update record, same subflow can't be added twice in
 schedule users subflow.
```

スコープ対象 **GlideSystem -** getProperty(文字列 **key**, オブジェクト **alt)**

Glide プロパティの値を取得します。プロパティが見つからない場合は、代替値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	値を返す必要があるプロパティのキー。
alt	オブジェクト	(オプション) プロパティが見つからない場合に返される代替オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Glide プロパティの値、または上記で定義した代替オブジェクト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var attachment_link = gs.getProperty('glide.servlet.uri');
gs.info(attachment_link);
```

出力:

```
https://instance.service-now.com/
```

スコープ対象 **GlideSystem - getSession()**

現在の Glide セッションへの参照を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のセッションの参照。

```
if (!gs.hasRole("admin") && !gs.hasRole("user_admin") &&
 gs.getSession().isInteractive()) {
  current.addQuery("active", "true");
}
```

スコープ対象 **GlideSystem - getSessionID()**

GlideSession セッション ID を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッション ID。

```
var myUserObject = gs.getSessionID();
gs.info(myUserObject);
```

出力：

```
A0D4E5416F3F21005BE8883E6B3EE4B8
```

スコープ対象 GlideSystem - getSessionToken()

このメソッドは使用できなくなりました。代わりに `gs.getSession().getSessionToken()` を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	セッショントークン。

スコープ対象 GlideSystem - getTimeFormat()

現在のユーザーに関連付けられている時間形式を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーに関連付けられている時間形式。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var userTimeFormat = gs. getTimeFormat();
gs.info(userTimeFormat);
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
HH:mm:ss
```

スコープ対象 GlideSystem - getTimeZoneName()

現在のユーザーに関連付けられているタイムゾーンの名前を返します。

このメソッドは廃止されました。代わりに *GlideSession* API の getTimeZoneName() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	タイムゾーン名。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
gs.info(gs.getTimeZoneName());
```

スコープ対象 GlideSystem - getUrlOnStack()

セッションの現在の URI を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	URI。

```
gs.info(gs.getUrlOnStack());
```

スコープ対象 GlideSystem - getUser()

現在のユーザーのスコープ対象 GlideUser オブジェクトへの参照を返します。

使用可能なメソッドのリストについては、「GlideUser - スコープ対象」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideUser	スコープ対象のユーザーオブジェクトへの参照。

```
var myUserObject = gs.getUser();
gs.info(myUserObject);
```

出力

```
com.glide.script.fencing.ScopedUser@6c0645
```

スコープ対象 GlideSystem - getUserDisplayName()

現在のユーザーの表示名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの [名前] フィールド。 たとえば、このメソッドは abel.tuter ではなく Abel Tuter を返します。

この例では、現在のユーザーの表示名を取得します。

```
gs.info(gs.getUserDisplayName());
```

出力:

```
System Administrator
```

スコープ対象 GlideSystem - getUserID()

現在のユーザーの sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの sys_id。

次の例は、現在のユーザーに割り当てられているすべてのアクティブなインシデントレコードを解除する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incidentGR = new GlideRecord('incident');
incidentGR.addActiveQuery();

// Filter results to incidents assigned to the current user
var currentUserSysId = gs.getUserID();
incidentGR.addQuery('assigned_to', currentUserSysId);
incidentGR.query();

while (incidentGR.next()) {
    incidentGR.setValue('assigned_to', 'NULL');
    incidentGR.update();
    gs.info(
        'Unassigned Incident: {0}: {1}',
        incidentGR.number.toString(),
        incidentGR.short_description.toString()
    );
}
```

出力：

```
Unassigned Incident: INC0000057: Performance problems with wifi
Unassigned Incident: INC0009001: Unable to post content on a Wiki page
Unassigned Incident: INC0008111: ATF : Test1
```

スコープ対象 **GlideSystem - getUserName()**

現在のユーザーのユーザー名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのユーザー名。 たとえば、このメソッドは Abel Tuter ではなく abel.tuter を返します。

この例では、現在のユーザーのユーザー名を取得します。

```
gs.info("The current user name is: " + gs.getUserName());
```

出力:

```
The current user name is: admin
```

スコープ対象 **GlideSystem -** hasRole(オブジェクト **role)**

現在のユーザーに指定されたロールがあるかどうかを判別します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ロール	オブジェクト	チェック対象のロール。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーにロールがある場合は true。管理者ロールがあるユーザーの場合は true を返します。

```
if (!gs.hasRole("admin") && !gs.hasRole("groups_admin")  &&
 gs.getSession().isInteractive()) {
  var qc = current.addQuery("u_hidden", "!=", "true"); //cannot see
 hidden groups...
  qc.addOrCondition("sys_id", "javascript:getMyGroups()"); //...unless in
 the hidden group
  gs.info("User has admin and groups admin roles");
}
else {
  gs.info("User does not have both admin and groups admin roles");
}
```

スコープ対象 **GlideSystem** - hoursAgo(数値 **hours)**

指定された時間数前の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値	整数の時間数

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

```
if (current.operation() == 'insert') {
 // If no due date was specified, calculate a default
 if (current.due_date == '') {

  if (current.urgency == '1') {
   // Set due date to 4 hours ahead of current time
   current.due_date = gs.hoursAgo(-4);
  }

  if (current.urgency == '2') {
   // Set due date to 2 days ahead of current time
   current.due_date = gs.daysAgo(-2);
  }

  if (current.urgency == '3') {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // Set due date to 7 days ahead of current time
    current.due_date = gs.daysAgo(-7);
   }
  }
}
```

スコープ対象 **GlideSystem** - hoursAgoEnd(数値 **hours)**

指定された時間数前の時間の終わりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値	整数の時間数

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem** - hoursAgoStart(数値 **hours)**

指定された時間数前の時間の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hours	数値	整数の時間数

返される内容

タイプ	説明
文字列	形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss の GMT

スコープ対象 **GlideSystem** - include(文字列 **name)**

サンドボックスからスクリプトインクルードを安全に呼び出し、信頼できるスクリプトのみを含めることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	含めるスクリプトの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	スクリプトインクルードが機能したかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：スクリプトインクルードは機能しました。 • false：スクリプトインクルードは失敗しました。

この例では、現在のスクリプトコンテキストで LDAPUtils を取得します。

```
var ldapServer = new GlideRecord("ldap_server_config");
ldapServer.addActiveQuery();
ldapServer.query();
gs.include("LDAPUtils");
var ldapUtils = new LDAPUtils();
var errMsg = "";
while (ldapServer.next()) {
  var ldap = new GlideLDAP();
  var dn = ldapServer.dn;
  var env = ldap.setup();
  if (env == null) {
    errMsg = "Failed environment setup, missing URL";
    gs.eventQueue("ldap.connection_failed",   ldapServer,
 ldapServer.getDisplayValue(), errMsg);
    gs.logError("LDAP server " + ldapServer.getDisplayValue() + " failed
 scheduled connection test: " + errMsg, "LDAP");
 }
}
```

スコープ対象 **GlideSystem** - info(文字列 **message**, オブジェクト **parm1**, オブジェクト **parm2**, オブジェクト **parm3**, オブジェクト **parm4**, オブジェクト **parm5)**

情報メッセージをシステムログに書き込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変数引数のプレースホルダーを含むログメッセージ。
param1	オブジェクト	(オプション) 最初の変数引数。
param2	オブジェクト	(オプション) 2 番目の変数引数。
param3	オブジェクト	(オプション) 3 番目の変数引数。
param4	オブジェクト	(オプション) 4 番目の変数引数。
param5	オブジェクト	(オプション) 5 番目の変数引数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.info("This is an info message");
var myFirstName = "Abel";
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var myLastName = "Tuter";
gs.info("This is an info message from {0}.{1}", myFirstName, myLastName);
```

出力:

```
This is an info message
This is an info message from Abel.Tuter
```

スコープ対象 GlideSystem - isDebugging()

指定したスコープに対してデバッグが有効かどうかを判別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションのデバッグが有効か、指定されたスコープのログレベルがデバッグに設定されている場合は true。

```
gs.debug("This is a log message");
var myFirstName = "Abel";
var myLastName = "Tuter";
gs.debug("This is a log message from {0}.{1}", myFirstName, myLastName);
gs.info(gs.isDebugging());
```

スコープ対象 GlideSystem - isInteractive()

現在のセッションがインタラクティブかどうかを確認します。インタラクティブセッションの例として、ユーザーの正常なログインが挙げられます。非インタラクティブセッションの例として、SOAP 要求を使用したデータ取得が挙げられます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションがインタラクティブである場合は true。

```
if (!gs.hasRole("admin") && gs.getSession().isInteractive()) {
    var qc1 = current.addQuery('u_group',"");
    var gra = new GlideRecord('sys_user_grmember');
    gra.addQuery('user', gs.getUserID());
    gra.query();
    while (gra.next()) {
        qc1.addOrCondition('u_group', gra.group);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

スコープ対象 GlideSystem - isLoggedIn()

現在のユーザーが現在ログインしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがログインしている場合は true。

```
gs.info(gs.isLoggedIn());
```

スコープ対象 GlideSystem - isMobile()

要求がモバイルデバイスから送信されたかどうかを判断できます。

このメソッドは、UI アクション条件およびビジネスルールで使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要求がモバイルデバイスから送信された場合は true。そうでない場合は false。

```
if (gs.isMobile())
  gs.info("submitted from mobile UI");
 else
   gs.info("NOT submitted from mobile UI");
```

出力

```
NOT submitted from mobile UI
```

スコープ対象 GlideSystem - minutesAgoEnd(数値 minutes)

指定された分数前の 1 分の終わりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minutes	数値	遡る整数の分数 (5 や 126 など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された分数前の 1 分間の最後 (59 秒) の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 30 分前の 1 分間の最後の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var thirtyMinutesAgoDateTime = gs.minutesAgoEnd(30);
gs.info("Thirty minutes ago end time: " + thirtyMinutesAgoDateTime);
```

出力:

```
Now: 2021-10-20 15:22:13
Thirty minutes ago end time: 2021-10-20 14:52:59
```

スコープ対象 **GlideSystem** - minutesAgoStart(数値 **minutes)**

指定された分数前の 1 分の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
minutes	数値	遡る整数の分数 (15 や 112 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された分数前の 1 分間の最初の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 30 分前の 1 分間の最初の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var thirtyMinutesAgoDateTime = gs.minutesAgoStart(30);
gs.info("Thirty minutes ago: " + thirtyMinutesAgoDateTime);
```

出力:

```
Now: 2021-10-20 14:56:18
Thirty minutes ago: 2021-10-20 14:26:00
```

スコープ対象 **GlideSystem** - monthsAgo(数値 **months)**

指定された月数前の日時を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	遡る整数の月数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された月数前のまったく同じ時刻の GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 1 か月前の同じ時刻の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var oneMonthAgoDateTime = gs.monthsAgo(1);
gs.info("One month ago: " + oneMonthAgoDateTime);
```

出力:

```
Now: 2021-10-20 15:29:15
One month ago: 2021-09-20 15:29:15
```

スコープ対象 **GlideSystem** - monthsAgoStart(数値 **months)**

指定された月数前の月の始まりの日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
months	数値	遡る整数の月数 (3 や 14 など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された月数前の月の始まりの GMT。 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

次の例では、現在の日時と 3 か月前の日時を GMT で表示します。

```
var nowDateTime = new GlideDateTime();
gs.info("Now: " + nowDateTime);
var threeMonthsAgoDateTime = gs.monthsAgoStart(3);
gs.info("Three months ago start date and time: " +
 threeMonthsAgoDateTime);
```

出力

```
Now: 2021-10-20 15:05:27
Three months ago start date and time: 2021-07-01 07:00:00
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 **GlideSystem** - nil(オブジェクト **o)**

オブジェクトをクエリし、オブジェクトが null であるか、未定義か、空の文字列が含まれている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	オブジェクトが null であるか、未定義か、空の文字列が含まれている場合は true を返します。それ以外の場合は false を返します。

```
var now_GR = new GlideRecord();
gs.info(gs.nil(now_GR));
```

出力

```
true
```

スコープ対象 **GlideSystem** - quartersAgoEnd(数値 **quarters)**

指定された四半期数前の四半期最終日の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
quarters	数値	整数の四半期数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された四半期数前の四半期の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 **GlideSystem** - quartersAgoStart(数値 **quarters)**

指定された四半期数前の四半期初日の日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
quarters	数値	整数の四半期数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された四半期数前の月の終わりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 **GlideSystem** - setProperty(文字列 **key**, 文字列 **value**, 文字列 **description**)

プロパティがスクリプトのスコープ内にある場合、指定されたキーを指定された値に設定します。

注: このメソッドを使用してシステムプロパティ (sys_properties) を設定すると、システム全体のキャッシュがフラッシュされるため注意が必要です。フラッシュするたびに、キャッシュの再構築中にシステムのデグレードが発生する可能性があります。値を頻繁に更新する必要がある場合は、システムプロパティとして格納しないでください。一般に、頻繁に変更しない値のみを sys_properties テーブルに配置する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	設定するプロパティのキー。
value	文字列	設定するプロパティの値。
description	文字列	プロパティの説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
gs.setProperty("glide.foo","bar","foo");
gs.info(gs.getProperty("glide.foo"));
```

出力:

```
bar
```

スコープ対象 **GlideSystem** - setRedirect(オブジェクト **o**)

このトランザクションのリダイレクト URI を設定します。リダイレクト URI は、ユーザーに表示される次のページを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	オブジェクト	リダイレクトとして設定する URI オブジェクトまたは URI 文字列

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.setRedirect("com.glideapp.servicecatalog_cat_item_view.do?sysparm_id=d
41ce5bac611227a0167f4bf8109bf70&sysparm_user="
+ current.sys_id + "&sysparm_email=" + current.email)
```

スコープ対象 **GlideSystem** - tableExists(文字列 **name**)

データベーステーブルが存在するかどうかを判別します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	存在するかどうかを確認するテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが存在する場合は true。テーブルが見つからなかった場合は false。

この例では、インシデントテーブルと foo テーブルが ServiceNow インスタンスに存在するかどうかを確認しています。

```
gs.info("Does the incident table exist? " + gs.tableExists("incident"));

gs.info("Does the foo table exist? " + gs.tableExists("foo"));
```

出力:

```
Does the incident table exist? true
Does the foo table exist? false
```

スコープ対象 **GlideSystem** - urlEncode(文字列 **url)**

返された文字列をインターネットで使用できるように、非 ASCII 文字、安全でない ASCII 文字、およびスペースをエンコードします。UTF-8 エンコーディングを使用します。パーセント (%) エンコーディングを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	エンコードする文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	非 ASCII 文字、安全でない ASCII 文字、およびエンコードされたスペースを含む文字列。

スコープ対象 **GlideSystem** - urlDecode(文字列 **url)**

UTF-8 でエンコードされた文字を ASCII 文字に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	UTF-8 パーセント (%) でエンコードされた文字。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ASCII 文字に置き換えられたエンコードされた文字。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象 **GlideSystem** - warn(文字列 **message**, オブジェクト **parm1**, オブジェクト **parm2**, オブジェクト **parm3**, オブジェクト **parm4**, オブジェクト **parm5)**

警告メッセージをシステムログに書き込みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変数引数のプレースホルダーを含むログメッセージ。
param1	オブジェクト	(オプション) 最初の変数引数。
param2	オブジェクト	(オプション) 2 番目の変数引数。
param3	オブジェクト	(オプション) 3 番目の変数引数。
param4	オブジェクト	(オプション) 4 番目の変数引数。
param5	オブジェクト	(オプション) 5 番目の変数引数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gs.warn("This is a warning");
var myFirstName = "Abel";
var myLastName = "Tuter";
gs.warn("This is a warning from {0}.{1}", myFirstName, myLastName);
```

出力:

```
This is a warning
This is a warning from Abel.Tuter
```

スコープ対象 **GlideSystem** - xmlToJSON(文字列 **xmlString)**

XML 文字列を受け取り、JSON オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xmlString	文字列	変換する XML 文字列。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	XML 文字列を表す JSON オブジェクト。XML 文字列を処理できない場合は null。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var jsonObject = gs.xmlToJSON(xmlString);
```

スコープ対象 **GlideSystem** - yearsAgo(数値 **years)**

特定の年数前の日時を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
years	数値	整数の年数

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された年数前の年の始まりの GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

スコープ対象 GlideSystem - yesterday()

昨日の時刻 (24 時間前) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	24 時間前の GMT (形式 yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

GlideSystemRunLevel - グローバル

GlideSystemRunLevel API は、現在のシステム実行レベルを取得および設定するためのメソッドを提供します。

システム実行レベルを設定すると、アプリケーションは運用の切り替えに基づいて機能を変更または制限できます。運用の切り替えの使用の詳細については、「運用の切り替え」を参照してください。

システム実行レベルは、定義されたシステム実行レベルの 1 つに設定できます。

- 完全に運用可能 (Fully Operational)
- わずかに低減 (Slightly Degraded)
- 中程度に低減 (Moderately Degraded)
- 大幅に低減 (Severely Degraded)

1 つのノードで設定されたシステム実行レベルは、インスタンス内のすべてのノードに同期されます。

この API を使用するには、admin ロールが必要です。

GlideSystemRunLevel – getCurrentLevel()

現在のシステム実行レベルを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のシステム実行レベル。 可能な値： • fully_operational • slightly_degraded • moderately_degraded • severely_degraded

現在のシステム実行レベルを取得します。

```
var currentRunLevel = sn_run_level.GlideSystemRunLevel.getCurrentLevel();
gs.info(currentRunLevel);
```

出力:

```
fully_operational
```

GlideSystemRunLevel – switchLevel(文字列 newLevel)

システムの実行レベルを切り替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
newLevel	文字列	新しいシステム実行レベルの ID 値。この値は、システムの実行レベル [sys_run_level] テーブルの **[ID]** フィールドから取得されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	前のシステム実行レベルの ID。 可能な値： • fully_operational • slightly_degraded • moderately_degraded • severely_degraded

システム実行レベルを [わずかに低減 (Slightly Degraded)] に設定します。

```
sn_run_level.GlideSystemRunLevel.switchLevel('slightly_degraded');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
SystemRunLevel requested to change from: fully_operational to:
 slightly_degraded
```

GlideTableHierarchy - スコープ指定

GlideTableHierarchy API は、テーブルの関係に関する情報を処理するためのメソッドを提供します。

GlideTableHierarchy - GlideTableHierarchy(文字列 tableName)

GlideTableHierarchy オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブルの名前。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.getTables());
```

出力:

```
incident,task
```

GlideTableHierarchy - getAllExtensions()

現在のテーブルを拡張し、現在のテーブルを含めるすべてのテーブルが含まれる文字列のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	現在のテーブルを含む階層内のテーブルが含まれる文字列のアレイ。

```
var table = new GlideTableHierarchy("task");
gs.info(table.getAllExtensions());
```

出力：わかりやすくするために追加された改行。

```
task,sc_task,problem_task,change_phase,sc_req_item,kb_submission,
release_phase,problem,ticket,sm_task,hr_task,change_task,change_request,
change_request_imac,incident,release_task,vtb_task,sm_order,hr_case,
sysapproval_group,sc_request
```

GlideTableHierarchy - getBase()

親クラスを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親クラス。

```
var table = new GlideTableHierarchy("cmdb_ci_server");
gs.info(table.getBase());
```

出力:

```
cmdb_ci_computer
```

GlideTableHierarchy - getHierarchy()

現在のテーブルの階層内のすべてのクラスを含む文字列のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	階層内のクラスの文字列のアレイ。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.getHierarchy());
```

出力:

```
incident,task
```

GlideTableHierarchy - getName()

テーブルの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.getName());
```

出力:

```
incident
```

GlideTableHierarchy - getRoot()

階層のトップレベルのクラスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ルートクラスの名前。

```
var table = new GlideTableHierarchy("cmdb_ci_server");
gs.info(table.getRoot());
```

出力:

```
cmdb
```

GlideTableHierarchy - getTables()

階層内のテーブル名の文字列のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	階層内のテーブル名を含む文字列のアレイ。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.getTables());
```

出力:

```
incident,task
```

GlideTableHierarchy - getTableExtensions()

現在のテーブルを拡張するすべてのテーブルが含まれる文字列のアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	現在のテーブルを拡張するテーブルが含まれる文字列のアレイ。

```
var table = new GlideTableHierarchy("task");
gs.info(table.getTableExtensions());
```

出力：わかりやすくするために追加された改行

```
sc_task,problem_task,change_phase,sc_req_item,kb_submission,release_phase
,problem,
ticket,sm_task,hr_task,change_task,change_request,change_request_imac,inc
ident,
release_task,vtb_task,sm_order,hr_case,sysapproval_group,sc_request
```

GlideTableHierarchy - isBaseClass()

基底クラスの場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のテーブルに親がなく、拡張がある場合は true。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.isBaseClass());
```

出力:

```
false
```

GlideTableHierarchy - isSoloClass()

このテーブルが階層内にない場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のテーブルに親がなく、拡張がない場合は true。

```
var table = new GlideTableHierarchy("sys_user");
gs.info(table.isSoloClass());
```

出力:

```
true
```

GlideTableHierarchy - hasExtensions()

このクラスが拡張されている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルに拡張がある場合は true。

```
var table = new GlideTableHierarchy("incident");
gs.info(table.hasExtensions());
```

出力：

```
false
```

GlideTextReader - スコープ指定

GlideTextReader API は、入力ストリームから 1 行を読み取る機能を提供します。入力ストリームが使用されるため、5 MB の添付ファイルサイズ制限の対象にはなりません。

GlideTextReader - GlideTextReader(GlideScriptableInputStream inputStream)

指定された入力ストリームのスコープ対象 GlideTextReader オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	読み込まれる入力ストリーム。

GlideTextReader - getEncoding()

入力ストリームの文字エンコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	入力ストリームの文字エンコード。

GlideTextReader - readLine()

入力ストリームから 1 行を返し、文字列を返します。これはストリームを処理しているため、5 MB のサイズ制限の対象にはなりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	改行までの 1 行の入力。改行は含まれません。コンテンツがない場合は null を返します。

```
var is = new GlideSysAttachment().getContentStream(attachmentSysId);
var reader = new GlideTextReader(is);
var ln = ' ';
while((ln = reader.readLine()) != null) {
  gs.info(ln);
}
```

GlideTime - スコープ指定

GlideTime API は、GlideTime オブジェクトのインスタンス化や GlideTime フィールドの操作など、GlideTime オブジェクトに対する操作を実行するためのメソッドを提供します。

一般的な形式の競合のリストを含む日時入力文字列のガイダンスについては、「日付形式のガイドライン」を参照してください。

GlideTime - GlideTime()

現在の時間で GlideTime オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var gt = new GlideTime();
gs.info(gt.getDisplayValue());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideTime - GlideTime (ミリ秒数)

午前 0 時 (UTC) から始まる時刻と渡された値を使用して、GlideTime オブジェクトをインスタンス化します。

値は、インスタンスがあるタイムゾーンに合わせて調整されます。たとえば、ユーザーのインスタンスが UTC から -8 時間のタイムゾーンにあり、1000 が渡された場合、GlideTime オブジェクトの時間は 16:00:10 (00:00:00 - 8 時間 + 10 秒) になります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
milliseconds	数値	午前 0 時 (UTC) に追加する時間。 単位：ミリ秒

この例では、午前 0 時 (UTC) に 10 秒を追加し、インスタンスが存在するタイムゾーンに合わせて調整しています。この場合、UTC から -8 時間です。

```
var gt = new GlideTime(10000);
gs.info(gt.getDisplayValue());
```

出力:

```
16:00:10
```

GlideTime - getByFormat(文字列形式)

指定された形式で時間を返します。

このメソッドに渡すことができる時刻形式の詳細については、「グローバル日付と時刻フィールドの形式」を参照してください。これらの値は任意の順序で渡すことができ、ダッシュ、スペース、バックスラッシュ、コロンなどのセパレーターを追加できます。さらに、文字「a」を渡して am/pm を返すこともできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
format	文字列	時間を書式設定するために使用する文字列。 たとえば、現在の時刻が 10:30:20 の場合、次のようになります。 • hh:mm:ss = 10:30:20 • HH = 10 • HH -- ss = 10 -- 20 • hh a = 10 AM • s:m:H ss:mm:hh = 20:30:10 20:30:10 • HH:mm:ss.SSSZ = 10:30:20.000+0000 • HH/mm/ss = 10/30/20

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された形式の時間。

```
var gt = new GlideTime();
gt.setValue('12:00:00');
gs.info(gt.getByFormat("HH:mm"));
```

出力:

```
12:00
```

GlideTime - getDisplayValue()

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの時間を取得します。

ビジネスルールまたはスクリプトインクルードを設計する際は、このメソッドによって返される値の形式がユーザーによって異なることに注意してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの形式とタイムゾーンでの時間。

```
var gt = new GlideTime();
gt.setDisplayValue("12:00:00"); // User Time Zone
gs.info(gt.getDisplayValue()); // User Time Zone
```

GlideTime - getDisplayValueInternal()

現在のユーザーのタイムゾーンと内部形式 (HH:mm:ss) での表示値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのタイムゾーンと内部の日時形式 HH:mm:ss での GlideTime オブジェクトに対する時間値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gt = new GlideTime();
gt.setValue("01:00:00"); //Internal Time Zone , UTC
gs.info(gt.getDisplayValueInternal()); //User Time Zone
```

GlideTime - getHourLocalTime()

ローカルタイムゾーンを使用して時間の部分を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ローカルタイムゾーンを使用する時間。

GlideTime - getHourOfDayLocalTime()

ローカルタイムゾーンを使用して時間の部分を返します。時間数は 24 時間制です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ローカルタイムゾーンを使用する時間。時間数は 24 時間制です。

GlideTime - getHourOfDayUTC()

UTC タイムゾーンを使用して時間の部分を返します。時間数は 24 時間制です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンを使用する時間。時間数は 24 時間制です。

GlideTime - getHourUTC()

UTC タイムゾーンを使用して時間の部分を返します。時間数は 12 時間制です。正午と深夜は 12 ではなく 0 で表されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンを使用する時間。時間数は 12 時間制です。正午と深夜は 12 ではなく 0 で表されます。

GlideTime - getMinutesLocalTime()

ローカルタイムゾーンを使用して分数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ローカルタイムゾーンを使用した分数。

GlideTime - getMinutesUTC()

UTC タイムゾーンに基づいて分数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	UTC タイムゾーンを使用する時間の分数を返します。

GlideTime - getSeconds()

現在の分の秒数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	分の秒数を返します。

GlideTime - getValue()

GlideTime オブジェクトによってデータベースに格納された時間値を内部形式 HH:mm:ss およびシステムタイムゾーンで取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	内部形式とシステムタイムゾーンでの時間値。

```
var gt = new GlideTime();
gs.info(gt.getValue()); // Internal Time Zone, UTC
```

GlideTime - setDisplayValue(文字列 asDisplayed)

現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンを使用して時間値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
asDisplayed	文字列	現在のユーザーの表示形式とタイムゾーンでの時間。パラメーターは現在のユーザーの優先表示形式 (HH:mm:ss など) を使用して書式設定される必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gt = new GlideTime();
gt.setDisplayValue('01:00:00');   // User Time Zone
gs.info(gt.getDisplayValueInternal()); // User Time Zone
```

GlideTime - setValue(文字列 o)

GlideTime オブジェクトの時間を内部タイムゾーンで設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
o	文字列	hh:mm:ss 形式の時間。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gt = new GlideTime();
gt.setValue('01:00:00');  //Internal Time Zone, UTC
gs.info("time is "+ gt.getByFormat('hh:mm:ss'));
```

GlideTime - 減算 (GlideTime 開始時間, GlideTime 終了時間)

2 つの GlideTime 値の期間差を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startTime	GlideTime	開始値。
endTime	GlideTime	終了値。

返される内容

タイプ	説明
GlideDuration	2 つの値の間の期間。

```
var gd1 = new GlideTime();
gd1.setDisplayValue("09:00:00");
var gd2 = new GlideTime();
gd2.setDisplayValue("09:10:00");

var dur = GlideDate.subtract(gd1, gd2); //the difference between gdt1 and
 gdt2
gs.info(dur.getDisplayValue());
```

GlideTimeline - グローバル

GlideTimeline API は、Glide ウィンドウツールキットのタイムラインを構成および表示するためのコア実装を提供します。

セキュリティ上の理由から、GlideTimeline は *GlideTimeline* という単一のインスタンス変数としてすでにインスタンス化されています。すべての設定は、このインスタンス変数を参照する対応するスケジュールページのクライアントスクリプトセクションで行う必要があります。

GlideTimeline - groupByParent(ブーリアン b)

タイムラインアイテムを親別にグループ化するかどうかを指定します。 **[true]** の場合、すべての子アイテムが親内にネストされます。これは表示順序に影響し、子は常に親の直後にリストされます。*groupByParent* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[true] の場合、すべての子アイテムが親内にネストされます。これは表示順序に影響し、子は常に親の直後にリストされます。*groupByParent* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、親別にグループ化されたタイムラインアイテムを表示します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.groupByParent(true);
```

GlideTimeline - registerEvent(文字列 strServerEvent, 文字列 strScriptIncludeName)

指定されたタイムラインサーバーイベントを登録します。 登録が正しく機能するためには、*strServerEvent* が許可されたイベントの 1 つである必要があります。イベントが発生すると、*GlideTimeline* はサーバーに要求を送信し、*strScriptIncludeName* クラス内で処理されたイベントを処理します。

登録が正しく機能するためには、*strServerEvent* が許可されたイベントの 1 つである必要があります。イベントが発生すると、*GlideTimeline* はサーバーに要求を送信し、*strScriptIncludeName* クラス内で処理されたイベントを処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strServerEvent	文字列	大文字と小文字を区別する次のいずれかのイベントを指定します。 • *getItems* • *elementMoveX* • *elementMoveY* • *elementMoveXY* • *elementSuccessor* • *elementTimeAdjustStart* • *elementTimeAdjustEnd* • *inputBox* • *itemMove*
strScriptIncludeName	文字列	*strServerEvent* を受け取るクラスの名前を指定します。このクラスは、*AbstractTimelineSchedulePage* を拡張するスクリプトインクルードで定義する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.registerEvent("getItems", "TimelineGanttSchedulePage");
```

GlideTimeline - setAutoRefresh(数値 intSeconds)

タイムライン上のデータの自動リフレッシュを実行するまで待機する秒数を指定します。 秒数を 0 に設定すると、自動リフレッシュがオフになります。デフォルトでは、自動リフレッシュは無効になっています。*intSeconds* が 0 より大きく、最小許容時間 (10) より小さい場合は、10 秒に設定されます。

秒数を 0 に設定すると、自動リフレッシュがオフになります。デフォルトでは、自動リフレッシュは無効になっています。intSeconds が 0 より大きく、最小許容時間 (10) より小さい場合は、10 秒に設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
intSeconds	数値	自動リフレッシュの間隔を秒単位で指定する整数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.setAutoRefresh(15); // Sets the interval for
 auto-refreshing to 15 seconds.
```

GlideTimeline - setDefaultPointIconClass(文字列 icon_class)

サーバーから返されたタイムラインスパンのプロパティにアイコンクラスが明示的に指定されていない場合、期間がゼロのタイムラインスパンに使用するデフォルトのアイコンクラスを指定します。*setDefaultPointIconClass* プロパティのデフォルト値は *milestone* です。

setDefaultPointIconClass プロパティのデフォルト値は *milestone* です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
icon_class	文字列	次のいずれかの値を指定する文字列。 • `milestone` • `blue_square` • `sepia_square` • `green_square` • `red_square` • `black_square` • `blue_circle`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `sepia_circle` • `green_circle` • `red_circle` • `black_circle`

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.setDefaultPointIconClass('blue_circle');
```

GlideTimeline - setExtraAjaxParam(文字列 **strName**, 文字列 **strValue)**

`getParameter()` メソッドを使用して、対応するスクリプトインクルードイベントで使用できるように、クライアントスクリプトの追加パラメーターを設定できます。 `sysparm_timeline_` のプリフィックスが付いた URI パラメーターは、すべてのサーバー側 AJAX 呼び出しに自動的に含まれます。

`sysparm_timeline_` のプリフィックスが付いた URI パラメーターは、すべてのサーバー側 AJAX 呼び出しに自動的に含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strName	文字列	URI パラメーター名。
strValue	文字列	strName の値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.setExtraAjaxParam("sysparm_timeline_limit", "5");
```

GlideTimeline - setInitialViewRange(文字列 **objStartDate**, 文字列 **objEndDate)**

タイムラインの初期表示可能な範囲を指定します。 開始日と終了日の形式は、デフォルトのタイムスタンプ形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) にする必要があります。デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*`initialViewRange`* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

開始日と終了日の形式は、デフォルトのタイムスタンプ形式 (yyyy-MM-dd HH:mm:ss) にする必要があります。デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*`initialViewRange`* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
objStartDate	文字列	yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式の表示範囲の開始時間。
objEndDate	文字列	yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式の表示範囲の終了時間。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Sets the initial range to begin on June 20th, 2010 at 8:00 AM and end
 on June 28th, 2010 at 2:00 PM UTC time.
      glideTimeline.setInitialViewRange("2010-06-20 08:00:00",
 "2010-06-28 14:00:00");
```

GlideTimeline - setInitialViewRange(数値 **objStartDate**, 数値 **objEndDate)**

タイムラインの初期表示可能な範囲を指定します。 デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
objStartDate	数値	表示範囲の開始時刻 (ミリ秒)。
objEndDate	数値	終了時間 (ミリ秒)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Sets the initial range to begin on June 20th, 2010 at 8:00 AM and end
 on June 28th, 2010 at 2:00 PM UTC time.
      glideTimeline.setInitialViewRange(1277046000000, 1277647200000);
```

GlideTimeline - setInitialViewRange(文字列 **objStartDate**, 数値 **objEndDate)**

タイムラインの初期表示可能な範囲を指定します。 デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
objStartDate	文字列	yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式の表示範囲の開始時間。
objEndDate	数値	終了時間 (ミリ秒)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExampleExplanation

```
// Sets the initial range to begin on June 20th, 2010 at 8:00 AM and end
 on June 28th, 2010 at 2:00 PM UTC time.
      glideTimeline.setInitialViewRange("2010-06-20 08:00:00",
 1277647200000);
```

GlideTimeline - setInitialViewRange(数値 objStartDate, 文字列 objEndDate)

タイムラインの初期表示可能な範囲を指定します。 デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

デフォルトの範囲は、最も早いタイムラインスパンポイントから最新のタイムラインスパンまでを指定する範囲です。*initialViewRange* プロパティを指定すると、デフォルトの範囲が上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
objStartDate	数値	表示範囲の開始時刻 (ミリ秒)。
objEndDate	文字列	yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式の表示範囲の終了時間。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ExampleExplanation

```
// Sets the initial range to begin on June 20th, 2010 at 8:00 AM and end
 on June 28th, 2010 at 2:00 PM UTC time.
      glideTimeline.setInitialViewRange(1277046000000, "2010-06-28
 14:00:00");
```

GlideTimeline - setReadOnly(ブーリアン b)

すべてのタイムラインイベントのインタラクションを有効または無効にします。 有効にすると、各 *Timeline* アイテムで指定された対応する属性からイベントインタラクションが決定されます。*readOnly* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

有効にすると、各 *Timeline* アイテムで指定された対応する属性からイベントインタラクションが決定されます。*readOnly* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムライン全体を [読み取り専用] (非インタラクティブ) としてマークします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.setReadOnly(true);
```

GlideTimeline - showDependencyLines(ブーリアン b)

タイムラインスパン間の依存関係行を表示するかどうかを指定します。 このメソッドは、サーバーから返されたタイムラインアイテムのセットに依存関係が含まれている場合にのみ適用されます。showDependencyLines プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

このメソッドは、サーバーから返されたタイムラインアイテムのセットに依存関係が含まれている場合にのみ適用されます。showDependencyLines プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインに依存関係行を表示します。それ以外の場合は表示しません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showDependencyLines(true);
```

GlideTimeline - showGridLines(ブーリアン bShowGridlines, 数値 amount)

タイムライン上のデータの各行にグリッド線を表示するかどうかを指定します。 デフォルトでは、グリッド線は有効です。

デフォルトでは、グリッド線は有効です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bShowGridlines	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインにグリッド線が表示されます。それ以外の場合、グリッド線は表示されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
amount	数値	amount

返される内容

タイプ	説明
なし	ReturnValue

```
glideTimeline.showGridLines(false); // Disables grid lines.
```

GlideTimeline - showLeftPane(ブーリアン b)

タイムラインの左側のペインを表示するかどうかを指定します。 *leftPane* プロパティのデフォルト値は **[true]** です。

leftPane プロパティのデフォルト値は **[true]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインには左ペインが表示されます。それ以外の場合、左ペインは表示されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showLeftPane(false);
```

GlideTimeline - showLeftPaneAsTree(ブーリアン b)

タイムラインの左ペインに子アイテムを表示する方法を指定します。子アイテムは、展開と折りたたみ機能を備えたネストされインデントされたノードとして、または単一のインデントレベルで表示されます。 *showLeftPaneAsTree* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

showLeftPaneAsTree プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、子アイテムノードは展開/折りたたみ機能としてインデントされて表示されます。それ以外の場合は、左ペインのすべてのアイテムが 1 つのインデントレベルで表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showLeftPaneAsTree(true);
```

GlideTimeline - showLeftPaneInputBox(ブーリアン b, 文字列 strDefaultValue)

左ペインの下部に、**strDefaultValue** で指定されたデフォルト値を含むテキスト入力ボックスを表示するかどうかを指定します。 *showLeftPane()* を使用して左ペインを無効にすると、入力ボックスは表示されません。*showLeftPaneInputBox* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

showLeftPane() を使用して左ペインを無効にすると、入力ボックスは表示されません。*showLeftPaneInputBox* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、左ペインの入力ボックスを表示します。
strDefaultValue	文字列	入力ボックスに表示するデフォルト値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showLeftPaneInputBox(true, 'Add a new task ...');
```

GlideTimeline - showSummaryPane(ブーリアン b)

タイムラインの下部でサマリーペインを表示するかどうかを指定します。 showSummaryPane プロパティのデフォルト値は **[true]** です。

showSummaryPane プロパティのデフォルト値は **[true]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインにはサマリーペインが含まれます。それ以外の場合、サマリーペインは表示されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showSummaryPane(false);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideTimeline - showTimelineText(ブーリアン b)

プライマリタイムラインペインの各タイムラインスパンの下にタイムラインテキストを表示するかどうかを指定します。 showTimelineText プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

showTimelineText プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、各タイムラインスパンの下に説明テキストが表示されます。それ以外の場合、各タイムラインスパンの下にテキストは表示されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.showTimelineText(true);
```

GlideTimeline - snapVertScrollingIntoRows(ブーリアン b)

タイムラインスパンオブジェクト (このイベントを実行するように適切に登録されている場合) の垂直移動を最も近い行にスナップして調整するかどうかを指定します。 デフォルトでは、この値は有効になっています。

デフォルトでは、この値は有効になっています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインスパンオブジェクトの垂直移動を行にスナップします。それ以外の場合、アイテムはマウスを基準にして正確に移動します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.snapVertScrollingIntoRows(false);
```

GlideTimeline -sortByLeftLabelText(ブーリアン b)

アイテムをその左のラベルテキスト別にグループ化するかどうかを指定します。
sortByLeftLabelText プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

sortByLeftLabelText プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、各アイテムの左ラベルで指定されたテキストでタイムラインアイテムをアルファベット順にソートします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.sortByLeftLabelText(true);
```

GlideTimeline - sortByStartDate(ブーリアン b)

返されたタイムラインアイテムのリストを、アイテムのタイムラインスパンオブジェクトの最も早い開始日でソートするかどうかを指定します。 *groupByParent()* が **[true]** に設定されている場合、グループ化が行われた後にアイテムがソートされます。*sortByStartDate* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

groupByParent() が **[true]** に設定されている場合、グループ化が行われた後にアイテムがソートされます。*sortByStartDate* プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	**[true]** の場合、タイムラインアイテムを最も早い開始日から時系列にソートします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.sortByStartDate(true);
```

GlideTimeline - sortByTimelineLabelText(ブーリアン b)

タイムラインペインに表示するように指定されたテキストに従って、返されたタイムラインアイテムのリストをアルファベット順でソートするかどうかを指定します。

> **注:** このソート順は、*showTimelineText()* メソッドでタイムラインテキストが **[false]** に設定されている場合でも適用されます。さらに、*groupByParent()* が **[true]** に設定されている場合、アイテムはグループ化が行われた後にアルファベット順でソートされます。

sortByTimelineLabelText プロパティのデフォルト値は **[false]** です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	[true] の場合、各アイテムのタイムラインスパンテキストで指定されたテキストでタイムラインアイテムをアルファベット順にソートします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
glideTimeline.sortByTimelineLabelText(true);
```

GlideTimelineItem - グローバル

GlideTimelineItem API は、抽象 *ScheduleItem* クラスを拡張して、タイムラインに固有の追加のプロパティを定義します。

タイムラインアイテムは、基本的にタイムライン全体で単一の行に表示されるアイテムです。GlideTimelineItem には、0 個以上のスパン (TimelineSpan オブジェクト) が関連付けられています。

GlideTimelineItem - GlideTimelineItem(文字列 tableName)

「ダミー」の *GlideTimelineItem* オブジェクトを作成します。

これは、YMoving を許可しない行を作成する場合に便利ですが、ネストされた子が含まれます (グループリソースタイムラインの最上位の「ユーザー」行など)。*sys_id* は、DOM レベル関数を正しく解析するために一意である必要があります。デフォルトでは、テーブル名が指定されていないためこのオブジェクトは「ドロップ可能」ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	現在のオブジェクトに関連付けられているテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideTimelineItem - GlideTimelineItem(文字列 tableName, 文字列 sys_id)

必要なテーブルと *sys_id* プロパティを設定するコンストラクター。

このオブジェクトの残りのプロパティは、問い合わせユーザーが設定する必要があります。デフォルトでは、テーブル名が指定されているためこのオブジェクトインスタンスは「ドロップ可能」です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	現在のオブジェクトに関連付けられているテーブルの名前。
sys_id	文字列	オブジェクトの sys ID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideTimelineItem - createTimelineSpan(文字列 **tableName)**

現在のインスタンスオブジェクトに関連付けられた新しい *TimelineSpan* オブジェクトを作成します。

他の *TimelineSpan* オブジェクトが存在しない場合、新しく作成されたオブジェクトは現在のインスタンスオブジェクトと同じ *sys_id* を共有します。それ以外の場合は、ランダムに生成された GUID が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	現在のオブジェクトに関連付けられているテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	新しく作成されたスパンオブジェクトインスタンス。

GlideTimelineItem - createTimelineSpan(文字列 **tableName**, 文字列 **sys_id)**

指定されたテーブルと sys_id を使用して現在のインスタンスオブジェクトに関連付けられた新しい *TimelineSpan* オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	現在のオブジェクトに関連付けられているテーブルの名前。
sys_id	文字列	オブジェクトの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	新しく作成されたスパンオブジェクトインスタンス。

次の例は、*createTimelineSpan()* を使用して新しい TimelineSpan オブジェクトを作成する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var project_id="741cc7491b6f1c5043de32231b4bcbc5"; // Project ID
var grUser = new GlideRecord('user_resource');
grUser.addQuery('planned_task', project_id);
grUser.setQueryReferences(true);
grUser.orderBy('user.name', 'DESC');
grUser.query();
while (grUser.next()) {
  var item = new GlideTimelineItem(grUser.getTableName(), grUser.user);
  /* Specify the text to display in the left pane for this item. */
  item.setLeftLabelText(grUser.user.name);
  /* Set the name of the image file (including it's path) */
  item.setImage('../images/icons/user.gifx');
  /* Specify whether or not to bold the text style of the item in the
 left pane. */
  item.setTextBold(true);
  /* Set whether or not the current instance object can be clicked and
 dragged into another GlideTimelineItem */
  item.setIsDraggable(true);
  /* Create a new TimelineSpan object associated with the current
 instance object using the specified table and sys_id. */
  item.createTimelineSpan(grUser.getTableName(),
 grUser.getUniqueValue());
}
```

GlideTimelineItem - getImage( )

現在の *GlideTimelineItem* に関連付けられている画像ファイルの名前を指定する文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の GlideTimelineItem に関連付けられている画像ファイルの名前。現在のアイテムに画像が関連付けられていない場合は、空の文字列 ("") が返されます。

GlideTimelineItem - getIsDroppable( )

タイムライン要素を垂直に移動するときに、現在のインスタンスオブジェクトを「ドロップゾーン」として許可するかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ドロップ可能な場合は true。可能でない場合は false。

GlideTimelineItem - getLeftLabelText( )

左ペインに表示されるテキストを返します (有効な場合)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	左ペインに表示されるテキストの値。

GlideTimelineItem - getParent( )

現在の *GlideTimelineItem* の親オブジェクトの一意の *sysId* を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の GlideTimelineItem の親オブジェクトの一意の sysId。親が存在しない場合は、空の文字列 ("") が返されます。

GlideTimelineItem - getTimelineSpans( )

ArrayList の現在のインスタンスに関連付けられているすべての *TimelineSpan* オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	現在のインスタンスに関連付けられている TimelineSpan オブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideTimelineItem - isTextBold( )

左ペインのテキストが太字で表示されるように設定されているかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テキストを太字にするかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：テキストを太字にする必要があります。 • false：テキストを太字以外にする必要があります。

次の例では、インシデントのステータスが「新規」かどうかを確認し、アイテムのテキストを太字に設定します。

```
var NewIncidentTimelineScriptInclude = Class.create();
NewIncidentTimelineScriptInclude.prototype =
 Object.extendsObject(AbstractTimelineSchedulePage, {

  getItems: function() {
    // Specify the page title
    this.setPageTitle('New Incident Timeline');

    var groupNew = new GlideTimelineItem('new');
    groupNew.setLeftLabelText('New Incidents');

    groupNew.setImage('../images/icons/all.gifx');
    this.add(groupNew);

    // Get all the new incidents and add them to a new label
    var grIncident = new GlideRecord('incident');
    grIncident.query();
    while (grIncident.next()) {
      // Loop through all and capture new incidents
      if (grIncident.incident_state != '1') continue;

      // Create the item and the span item.
      var item = new GlideTimelineItem(grIncident.getTableName(),
 grIncident.sys_id);
      var span = item.createTimelineSpan(grIncident.getTableName(),
 grIncident.sys_id);

      if (grIncident.incident_state == '1') { // New
        item.setParent(groupNew.getSysId());
        // Check and set bold text
          item.setTextBold(item.isTextBold() ? false : true);
        }
      item.setImage('../images/icons/open.gifx');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 span.setTimeSpan(grIncident.getElement('opened_at').getGlideObject().get
NumericValue(),

 grIncident.getElement('opened_at').getGlideObject().getNumericValue());

      // Show different colors based upon the priorities only for new
 incidents
      switch (grIncident.getElement('priority').toString()) {
        case '1':
          span.setPointIconClass('red_circle');
          break;
        case '2':
          span.setPointIconClass('red_square');
          break;
        case '3':
          span.setPointIconClass('blue_circle');
          break;
        case '4':
          span.setPointIconClass('blue_square');
          break;
        case '5':
          span.setPointIconClass('sepia_circle');
          break;

          default: // Otherwise, the default point icon class will be
 used (Milestone)
      }

      // Common item properties
      item.setLeftLabelText(grIncident.short_description);

      // Common span properties
      span.setSpanText(grIncident.short_description);
      span.setSpanColor('blue');
      span.setTooltip('<strong>' +
 GlideStringUtil.escapeHTML(grIncident.short_description) +
        '</strong><br>' + grIncident.number);
      this.add(item);
    }
  }

});
```

GlideTimelineItem - setImage(文字列 **strImageName)**

左ペインのアイテムのアイコンとして使用する画像ファイルの名前 (パスを含む) を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strImageName	文字列	パスを含む画像の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*setImage()* を使用して左ペインのアイコンに表示される画像を定義する方法を示しています。

```
var project_id="741cc7491b6f1c5043de32231b4bcbc5"; // Project ID
var grUser = new GlideRecord('user_resource');
grUser.addQuery('planned_task', project_id);
grUser.setQueryReferences(true);
grUser.orderBy('user.name', 'DESC');
grUser.query();
while (grUser.next()) {
  var item = new GlideTimelineItem(grUser.getTableName(), grUser.user);
  /* Specify the text to display in the left pane for this item. */
  item.setLeftLabelText(grUser.user.name);
  /* Set the name of the image file (including it's path) */
  item.setImage('../images/icons/user.gifx');
  /* Specify whether or not to bold the text style of the item in the
 left pane. */
  item.setTextBold(true);
  /* Set whether or not the current instance object can be clicked and
 dragged into another GlideTimelineItem */
  item.setIsDraggable(true);
}
```

GlideTimelineItem - setIsDraggable(ブーリアン b)

現在のインスタンスオブジェクトをクリックして別の *GlideTimelineItem* にドラッグできるかどうかを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	クリックアンドドラッグでアイテムを移動できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムはクリックアンドドラッグで移動できます。 • false：アイテムはクリックアンドドラッグで移動できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*setIsDraggable()* を使用して、現在のオブジェクトを別の GlideTimelineItem にドラッグできるようにする方法を示しています。

```
var project_id="741cc7491b6f1c5043de32231b4bcbc5"; // Project ID
var grUser = new GlideRecord('user_resource');
grUser.addQuery('planned_task', project_id);
grUser.setQueryReferences(true);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
grUser.orderBy('user.name', 'DESC');
grUser.query();
while (grUser.next()) {
  var item = new GlideTimelineItem(grUser.getTableName(), grUser.user);
  /* Specify the text to display in the left pane for this item. */
  item.setLeftLabelText(grUser.user.name);
  /* Set the name of the image file (including it's path) */
  item.setImage('../images/icons/user.gifx');
  /* Specify whether or not to bold the text style of the item in the
 left pane. */
  item.setTextBold(true);
  /* Set whether or not the current instance object can be clicked and
 dragged into another GlideTimelineItem */
  item.setIsDraggable(true);
}
```

GlideTimelineItem - setLeftLabelText(文字列 **strText**)

このアイテムの左ペインに表示するテキストを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strText	文字列	このアイテムの左ペインに表示するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*setLeftLabelText()* を使用して左ペインのテキストを設定する方法を示しています。

```
var project_id="741cc7491b6f1c5043de32231b4bcbc5"; // Project ID
var grUser = new GlideRecord('user_resource');
grUser.addQuery('planned_task', project_id);
grUser.setQueryReferences(true);
grUser.orderBy('user.name', 'DESC');
grUser.query();
while (grUser.next()) {
  var item = new GlideTimelineItem(grUser.getTableName(), grUser.user);
  /* Specify the text to display in the left pane for this item. */
  item.setLeftLabelText(grUser.user.name);
  /* Set the name of the image file (including it's path) */
  item.setImage('../images/icons/user.gifx');
  /* Specify whether or not to bold the text style of the item in the
 left pane. */
  item.setTextBold(true);
  /* Set whether or not the current instance object can be clicked and
 dragged into another GlideTimelineItem */
  item.setIsDraggable(true);
}
```

GlideTimelineItem - setParent(文字列 **sysId**)

現在の *GlideTimelineItem* の親を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	現在の GlideTimelineItem の親になる必要がある GlideTimelineItem の sysID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideTimelineItem - setTextBold(ブーリアン **b)**

左ペインのアイテムのテキストスタイルを太字にするかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
b	ブーリアン	左ペインのテキストを太字にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テキストを太字にする必要があります。 • false：テキストを太字以外にする必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、左ペインのテキストを太字に設定する方法を示しています。

```
var project_id="741cc7491b6f1c5043de32231b4bcbc5"; // Project ID
var grUser = new GlideRecord('user_resource');
grUser.addQuery('planned_task', project_id);
grUser.setQueryReferences(true);
grUser.orderBy('user.name', 'DESC');
grUser.query();
while (grUser.next()) {
  var item = new GlideTimelineItem(grUser.getTableName(), grUser.user);
  /* Specify the text to display in the left pane for this item. */
  item.setLeftLabelText(grUser.user.name);
  /* Set the name of the image file (including it's path) */
  item.setImage('../images/icons/user.gifx');
  /* Specify whether or not to bold the text style of the item in the
 left pane. */
  item.setTextBold(true);
  /* Set whether or not the current instance object can be clicked and
 dragged into another GlideTimelineItem */
  item.setIsDraggable(true);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideTransformLog - スコープ対象、グローバル

GlideTransformLog API は、メッセージを localhost ログに記録する GlideTransformLog オブジェクトを作成するメソッドを提供します。

関連情報

- GlideImportLog
- GlideImportSetRun
- GlideImportSetTable
- GlideImportSetTransformer
- GlideImportSetTransformMap

GlideTransformLog - GlideTransformLog()

GlideTransformLog オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var importLog = new GlideTransformLog();
```

GlideTransformLog - error(文字列 message)

エラータイプのメッセージを localhost ログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変換ログメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideTransformLog();
importLog.error('Error executing transform');
```

GlideTransformLog - info(文字列 message)

情報タイプのメッセージを localhost ログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変換ログメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideTransformLog();
importLog.info('Successfully executed the transform.');
```

GlideTransformLog - warn(文字列 **message)**

警告タイプのメッセージを localhost ログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	変換ログメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var importLog = new GlideTransformLog();
importLog.warn('Transform taking longer than expected');
```

GlideUICompatibility - スコープ指定

GlideUICompatibility API は、スコープ対象アプリケーションが独自の最小ブラウザーバージョンを定義する機能を提供します。バージョンの定義は、スコープ対象のアプリケーションのシステムプロパティを作成することで行われます。

sys_properties リストを使用してプロパティを作成し、バージョン番号を割り当てます。スコープ対象のアプリケーションからこれを実行すると、<scope-name> というプリフィックスがプロパティ名に自動的に追加されます。スコープ対象のアプリケーションの UI の互換性のプロパティは次のとおりです。

- <scope-name>.ui.ie_minimum
- <scope-name>.ui.chrome_minimum
- <scope-name>.ui.firefox_minimum
- <scope-name>.ui.safari_major_version_minimum

その後、 *GlideUICompatibility* クラスを使用して、現在のブラウザーがサポートされているかどうかを判断できます。

GlideUICompatibility - GlideUICompatibility(文字列 **scopeName)**

GlideUICompatibility オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopeName	文字列	アプリケーションのスコープ名。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideUICompatibility - getCompatibility()

ブラウザーのバージョンに基づいて「block」または「allow」を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	[ブロック] または [許可] のいずれかです。

```
UICompatibility = new GlideUICompatibility(gs.getCurrentScopeName());
var blockOrAllow = UICompatibility.getCompatibility();
gs.info(blockOrAllow);
```

出力:

```
allow
```

GlideUICompatibility - isBlocked()

ブラウザがサポートされていない (ブロックされている) かどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ブラウザがブロックされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ブラウザはブロックされています。 • false:ブラウザは有効であり、ブロックされていません。

```
UICompatibility = new GlideUICompatibility(gs.getCurrentScopeName());
var blocked = UICompatibility.isBlocked();
gs.info(blocked);
```

出力:

```
false
```

GlideURI - グローバル

GlideURI API は、グローバルアプリケーションで URI パラメーターを処理するためのメソッドを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: エクスポート中またはバックグラウンドジョブで実行されるスクリプトでは *GlideURI* API を使用しないでください。

URI の使用の詳細については、次のページを参照してください。

- URL で移動
- ナビゲーションスタック

「アクション - getGlideURI()」も参照してください。

GlideURI - deleteMatchingParameter(文字列 **match)**

指定された文字列の先頭に一致する URI から 1 つ以上のパラメーターを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
一致	文字列	URI のクエリー部分から削除する 1 つ以上のパラメーターの名前の一部。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、指定された名前と部分的に一致する URI パラメーターを削除する方法を示しています。

```
// create the GlideURI object
var uri = action.getGlideURI();

uri.deleteMatchingParameter('sysparm_list_');
uri.deleteMatchingParameter('sysparm_record_');
```

スコープ対応

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

GlideURI - deleteParameter(文字列 **name)**

指定されたパラメーターを URI のクエリー部分から削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	URI のクエリー部分から削除するパラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、URI パラメーターを削除する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// create the GlideURI object
var uri = action.getGlideURI();

uri.deleteParameter('sysparm_referring_url');
```

スコープ対応

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

GlideURI - get(文字列 name)

指定されたパラメーターの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーター名。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたパラメーターの値。

```
// create the GlideURI object
var uri = action.getGlideURI();
uri.set('sysparm_query', 'priority=2^active=true' );
var fileString = uri.get('sysparm_query');
gs.info(fileString);
```

出力：

```
priority=2^active=true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `get()` メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッド GlideURI - get(文字列名) を使用します。

GlideURI - getFileFromPath()

URI のファイル名部分を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	URI のファイル名部分。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gURI = action.getGlideURI();

var fileString = gURI.getFileFromPath();
gs.info(fileString);
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getFileFromPath()* メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッド GlideURI - getFileFromPath() を使用します。

GlideURI - getMap()

クエリーの各パラメーターとそれに関連する値を含むマップ (キーと値のペア) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	

次の例は、`sysparm_query` パラメーターを取得する方法を示しています。 アクション - getGlideURI() も参照してください。

```
gs.action.getGlideURI().getMap().get('sysparm_query');
```

スコープ対応

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

GlideURI - set(文字列 name, 文字列 value)

指定されたパラメーターを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーター名。
value	文字列	値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、sysparm_query フィールドの値を設定する方法を示しています。 アクション - getGlideURI() も参照してください。

```
var gURI = action.getGlideURI();
gURI.set('sysparm_query', 'priority=2^active=true' );
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var fileString = gURI.get('sysparm_query');
gs.info(fileString);
```

出力：

```
priority=2^active=true
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *set()* メソッドを使用するには、対応するスコープ付きメソッド GlideURI - set(String name, String value) を使用します。

GlideURI - setView(文字列 view)

名前付きビューを使用して *sysparm_view* パラメーターをクエリーに追加します。

ビューは、ユーザーがフォームまたはリストを開いたときに表示される要素を定義します。*sysparm_view* パラメーターは、リストまたはフォームに使用するビューを指定します。ビューの詳細については、「ビュー管理」を参照してください。

関連項目：

- アクション:getGlideURI()
- GlideModalV3 - switchView()

パラメーター

名前	タイプ	説明
view	文字列	URI クエリーで設定する *sysparm_view* パラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、インシデント [incident] テーブルの URI クエリーに重大なインシデントのビューを追加する方法を示しています。たとえば、`sysparm_view=Major%20Incidents` などです。アクション - getGlideURI() も参照してください。

```
// create the GlideURI object
var uri = action.getGlideURI();

// Adds the Major incidents to the query
uri.setView('Major Incidents');

//
 https://instance.service-now.com/incident.do?sys_id=0&sysparm_view=Major%20Incidents ...
```

スコープ対応

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

GlideURI - toString(文字列 path)

URI 文字列を再構築し、無効な文字を URL コードに変換して適切な URL エンコードを実行します。たとえば、& を「%26」に変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

set() メソッドで設定されたパラメーターも URI でエンコードされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
path	文字列	URI が追加されるシステム URL のベース部分。

返される内容

タイプ	説明
文字列	URL。

次の例は、無効な文字をインスタンス URL の URL コードに変換する方法を示しています。 アクション - getGlideURI() も参照してください。

```
var gURI = action.getGlideURI();
fileString = gURI.toString('https://<your
 instance>.service-now.com/navpage.do');
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *toString()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド GlideURI - toString(String path) を使用します。

GlideURI - スコープ指定

GlideURI API は、スコープ対象のアプリケーションで URI パラメーターを処理するメソッドを提供します。

注: エクスポート中またはバックグラウンドジョブで実行されるスクリプトでは *GlideURI* API を使用しないでください。

URI の使用の詳細については、次のページを参照してください。

- URL で移動
- ナビゲーションスタック

「 GlideURI - グローバル 」も参照してください。

スコープ付き **GlideURI - GlideURI()**

GlideURI オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

スコープ付き **GlideURI -** get(文字列名)

指定されたパラメーターの値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーター名。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたパラメーターの値。

```
var gURI = new GlideURI();
gURI.set('sysparm_query', 'priority=2^active=true' );
var fileString = gURI.get('sysparm_query');
gs.info(fileString);
```

出力：

```
priority=2^active=true
```

スコープ付き **GlideURI - getFileFromPath()**

URI のファイル名部分を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	URI のファイル名部分。

```
var gURI = new GlideURI();

var fileString = gURI.getFileFromPath();
gs.info(fileString);
```

スコープ付き **GlideURI -** set(文字列名, 文字列値)

指定されたパラメーターを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーター名。
value	文字列	値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gURI = new GlideURI();
gURI.set('sysparm_query', 'priority=2^active=true' );
var fileString = gURI.get('sysparm_query');
gs.info(fileString);
```

出力：

```
priority=2^active=true
```

スコープ付き **GlideURI** - toString(文字列パス)

URI 文字列を再構築し、無効な文字を URL コードに変換して適切な URL エンコードを実行します。たとえば、& を「%26」に変換します。

set() メソッドで設定されたパラメーターも URI でエンコードされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
path	文字列	URI が追加されるシステム URL のベース部分。

返される内容

タイプ	説明
文字列	URL。

```
var gURI = new GlideURI();
fileString = gURI.toString('https://<your
 instance>.service-now.com/navpage.do');
```

GlideUser - スコープ指定

GlideUser API は、現在のユーザーと現在のユーザーロールに関する情報にアクセスするためのメソッドを提供します。

GlideUser API を使用すると、ユーザー情報を取得するために低速な GlideRecord クエリを使用する必要がなくなります。

Scoped GlideUser - getCompanyID()

現在のユーザーの会社の sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	会社のsys_id。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getCompanyID());
```

Scoped GlideUser - getDisplayName()

現在のユーザーの表示名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの表示名

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getDisplayName());
```

Scoped GlideUser - getEmail()

ユーザーのメールアドレスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのメールアドレス。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getEmail());
```

Scoped GlideUser - getFirstName()

ユーザーの名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの名。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getFirstName());
```

Scoped GlideUser - getID()

現在のユーザーの sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのsys_id。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getID());
```

Scoped GlideUser - getLastName()

ユーザーの姓を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの姓。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getLastName());
```

Scoped GlideUser - getName()

現在のユーザーのユーザー ID またはログイン名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザー ID またはログイン名。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getName());
```

Scoped GlideUser - getPreference(文字列 name)

現在のユーザーの指定されたユーザー初期設定値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	設定の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	設定値。

```
var currentUser = gs.getUser();
currentUser.savePreference(-'myPref','red');
gs.info(currentUser.getPreference(-'myPref'));
```

Scoped GlideUser - getRoles()

明示的に付与されたロール、継承されたロール、およびグループメンバーシップによって取得されたロールのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ユーザーが利用可能なすべてのロールのリスト

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getRoles());
```

Scoped GlideUser - getUserRoles()

ユーザーに明示的に付与されたロールのリストを返します。

getRoles() メソッドと異なり、このメソッドはユーザーが継承したロールやグループメンバーシップから取得したロールを返しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ユーザーに明示的にアサインされたロールのリスト。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getUserRoles());
```

Scoped GlideUser - hasRole(文字列 role)

現在のユーザーに指定されたロールがあるかどうかを判別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ロール	文字列	チェック対象のロール。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが指定されたロールを持っているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ユーザーは指定されたロールを持ちます。 • false:ユーザーには指定されたロールがありません。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.hasRole('admin'));
```

Scoped GlideUser - isMemberOf(文字列 group)

現在のユーザーが指定されたグループのメンバーかどうかを判別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
グループ	文字列	チェックするグループ。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが指定されたグループのメンバーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:ユーザーは指定されたグループのメンバーです。 • false:ユーザーは指定されたグループのメンバーではありません。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.isMemberOf(-'Capacity Mgmt'));
```

Scoped GlideUser - savePreference(文字列 **name**, 文字列 **value)**

ユーザー初期設定値をデータベースに保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	保存する設定。
値	文字列	設定値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var currentUser = gs.getUser();
currentUser.savePreference('myPref','red');
gs.info(currentUser.getPreference('myPref'));
```

GlideUser - グローバル

GlideUser API は、現在のユーザーと現在のユーザーロールに関する情報にアクセスするためのメソッドを提供します。

GlideUser API を使用すると、ユーザー情報を取得するために低速な GlideRecord クエリを使用する必要がなくなります。

GlideUser - getCompanyID()

現在のユーザーの会社の sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	会社の sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getCompanyID());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getCompanyID()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getCompanyID() 。

GlideUser - getDisplayName()

現在のユーザーの表示名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの表示名

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getDisplayName());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDisplayName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getDisplayName()。

GlideUser - getDomainDisplayValue()

ユーザーのセッションドメインの表示値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのセッションドメインの表示値。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getDomainDisplayValue());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションに対するワークアラウンドはありません。

GlideUser - getDomainID()

ユーザーの現在のセッションドメインの識別子を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される識別子は、ドメインタイプとそのドメインのインスタンス化によって異なります。

- ユーザーがグローバルドメインで構成されていて、ドメインピッカーを使用してドメインを切り替えない場合、このメソッドは null を返します。
- ユーザーがドメインピッカーを使用してグローバルドメインに切り替えると、このメソッドは文字列「global」を返します。
- 他のすべてのドメインの場合、このメソッドはそのドメインの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ドメイン識別子。

```
var domain = new GlideRecord('domain');
domain.get(gs.getUser().getDomainID());
gs.info(domain.name);
```

GlideUser - getEmail()

ユーザーのメールアドレスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのメールアドレス

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getEmail());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getEmail()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getEmail() 。

GlideUser - getFirstName()

ユーザーの名を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト / 文字列	ユーザーの名。 注: 戻り値のデータタイプはオブジェクトですが、情報は文字列として返されます。

```
var currentUser = gs.getUser();
var userName = currentUser.getFirstName();
gs.info('User First Name: + userName);
gs.info('Data type: ' + typeof userName);
```

```
*** Script: User First Name: John
*** Script: Data type: object
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getFirstName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getFirstName()。

GlideUser - getID

現在のユーザーの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの sys_id

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getID());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getID()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getID()。

GlideUser - getLastName()

ユーザーの姓を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト / 文字列	ユーザーの姓。 注: 戻り値のデータタイプはオブジェクトですが、情報は文字列として返されます。

```
var currentUser = gs.getUser();
var userName = currentUser.getLastName();
gs.info('User Last Name: + userName);
gs.info('Data type: ' + typeof userName);
```

```
*** Script: User Last Name: Smith
*** Script: Data type: object
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getLastName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッドを使用します：getLastName()。

GlideUser - getMyGroups()

ユーザーが属するすべてのグループのリストを含む反復子を返します。アクティブなグループのみが返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
反復子	ユーザーが属するアクティブなグループの sys_id のリスト。

次の例は、ユーザーが属するグループのリストを返す方法を示しています。

```
var groupsArray = gs.getUser().getMyGroups().toArray();
gs.info(groupsArray[0]);
```

出力:

```
cfcbad03d711110050f5edcb9e61038f
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideUser - getName()

現在のユーザーのユーザー ID またはログイン名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザー ID

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getName());
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getName()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象のメソッド getName() を使用します。

GlideUser - getRoles()

ユーザーに関連付けられたロールのリストを返します。明示的に付与されたロール、継承されたロール、およびグループメンバーシップによって取得されたロールが含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーロールのカンマ区切りリスト。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getRoles());
```

出力：

```
admin,hr_fulfiller,itsa_fulfiller,security_admin
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getRoles()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドを使用します：getRoles()。

GlideUser：**getUserByID** (文字列 **ID)**

渡されたユーザー ID (sys_user の sys_id) または user_name に関連付けられたユーザーオブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	目的のユーザーレコードの一意の ID (sys_id) または user_name。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された sys_id または user_name に関連付けられたユーザーオブジェクト。

ユーザー名 (user_name) を使用した例。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getFirstName()); // print the first name of the
 logged in user
var newUser = currentUser.getUserByID('abel.tuter'); // fetch a different
 user using the user_name field
gs.info(newUser.getFirstName()); // print the first name of the Abel
 Tuter user
```

ユーザー ID (sys_id) を使用した例。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.getFirstName()); // print the first name of the
 logged in user
var newUser =
 currentUser.getUserByID('62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1'); // fetch
 Abel Tuter user using sys_id from sys_user record
gs.info(newUser.getFirstName()); // print the first name of the Abel
 Tuter user
```

GlideUser - getUserRoles()

ユーザーに明示的に付与されたロールのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト / 文字列	ユーザーに明示的に割り当てられたロールのカンマ区切りリスト。 注: 戻り値のデータタイプはオブジェクトですが、情報は文字列として返されます。

```
var currentUser = gs.getUser();
var userRoles = currentUser.getUserRoles();
gs.info('User Roles: ' + userRoles);
gs.info('Data type: ' + typeof userRoles);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
*** Script: User Roles: ,admin,security_admin
*** Script: Data type: object
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getUserRoles()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドを使用します：getUserRoles()。

GlideUser - hasRole(文字列 role)

現在のユーザーに指定されたロールがあるかどうかを判別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ロール	文字列	チェック対象のロール

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーにロールがある場合は true。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.hasRole('admin'));
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *hasRole()* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドを使用します：hasRole()。

GlideUser - isExplicitMemberOf(文字列グループ)

現在のユーザーが指定されたグループの明示的なメンバーであるかどうかを判定します。このメソッドではアクティブなグループのみが評価されます。

isMemberOf() メソッドは、ユーザーが子グループのメンバーである場合、親グループに対して true を返します。親グループに対してのみ true を返す場合は、このメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
グループ	文字列	確認するユーザーグループのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたグループの明示的なメンバーであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:現在のユーザーは、指定されたグループの明示的なメンバーです。 • false:現在のユーザーは、指定されたグループの明示的なメンバーではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、現在のユーザーが指定されたグループの明示的なメンバーであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
var isExplMem =
 gs.getUser().isExplicitMemberOf('b8ef24616fc331003b3c498f5d3ee434');
gs.info(isExplMem);
```

出力:

```
false
```

スコープ対応

このメソッドの有効範囲はありません。

GlideUser - isMemberOf(文字列 group)

現在のユーザーが指定されたグループのメンバーかどうかを判別します。このメソッドではアクティブなグループのみが評価されます。

ユーザーが子グループのメンバーである場合、このメソッドは親グループに対して true を返します。親グループに対してのみ true を返す場合は、 `isExplicitMemberOf()` を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
グループ	文字列	確認するユーザーグループのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたグループのメンバーであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:現在のユーザーは、指定されたグループのメンバーです。 • false:現在のユーザーは指定されたグループのメンバーではありません。

次の例は、現在のユーザーが指定されたグループのメンバーであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
var currentUser = gs.getUser();
gs.info(currentUser.isMemberOf(-'Capacity Mgmt'));
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで `isMemberOf()` メソッドを使用するには、対応するスコープ対象メソッドを使用します：isMemberOf()。

GlideXMLUtil - スコープ指定、グローバル

`GlideXMLUtil` API は、XML 文字列から無効な文字を削除し、XML 文字列を検証するメソッドを提供します。

静的オブジェクト GlideXMLUtil を使用してこれらのメソッドにアクセスします。このクラスは、スコープ対象のスクリプトとグローバルスクリプトで使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideXMLUtil - removeInvalidChars(文字列 xmlString)

XML 文字列から無効な文字を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xmlString	文字列	処理される文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	無効な文字が削除された文字列。

```
var test = "test\btab";
var removedTest = GlideXMLUtil.removeInvalidChars(test);

gs.info(removedTest);
```

出力：testtab

GlideXMLUtil - validateXML(文字列 xmlString, ブーリアン nsAware, ブーリアン forgiveUnclosed)

指定された文字列が有効な XML であるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xmlString	文字列	検証する文字列。
nsAware	ブーリアン	true の場合、検証は名前空間を認識します。false の場合、検証は名前空間を無視します。
forgiveUnclosed	ブーリアン	true の場合、検証では文字列を囲む <xml> タグをチェックしません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列が有効な場合は null を返します。指定された文字列が有効でない場合は、エラーを説明するエラー文字列を返します。

```
var s = "<?xml version=\"1.0\" encoding=\"UTF-8\"?><unload
 unload_date=\"2017-11-27 21:56:14\"><incident
 action=\"INSERT_OR_UPDATE\"><active>true</active></incident></unload>";
var xml = GlideXMLUtil.validateXML(s,false, false);
gs.info(xml);
```

出力：null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GSLog - スコープ指定、グローバル

GSLog は、呼び出し元ごとに識別される sys_properties 値によって選択可能なログ出力のレベルを実装することで、スクリプトのログ記録とデバッグを簡素化するスクリプトインクルードです。

ログは、debug、info、notice、warning、err、または crit のレベルを指定できます (BSD syslog.h 以降とフォロワー)。デフォルトのログ記録レベルは notice であるため、状況に応じてレベルを選択する必要があります。

イベントログ記録を実装するサーバー側スクリプトに使用します。

詳細については、「スクリプトのデバッグ」を参照してください。

GSLog – GSLog()

GSLog オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
traceProperty	文字列	ログに書き込まれるメッセージの最低レベルを示す値を含むシステムプロパティ。
caller	文字列	ロガーを呼び出すスクリプトの名前。

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
```

GSLog – debugOn()

デバッグをオンにするかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	デバッグがオンかオフかを示すフラグ。 有効な値： • true：デバッグはオンです。 • false：デバッグはオフです。

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.setLevel("debug");
gs.print(gl.debugOn());
```

出力：

```
*** Script : true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GSLog – getLevel(文字列 level)

ログレベルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
level	文字列	オプション。ログレベル。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログレベル。

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.setLevel("debug");
gs.print(gl.getLevel());
```

出力：

```
*** Script: debug
```

GSLog – initialize(文字列 traceProperty, 文字列 caller)

オブジェクト構築中に Prototype JavaScript フレームワークによって呼び出され、このクラスの新しいインスタンスを初期化します。入力パラメーターを指定します。ただし、このメソッドを直接呼び出さないでください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
traceProperty	文字列	ログに書き込まれるメッセージの最低レベルを示す値を含むシステムプロパティ。
caller	文字列	ロガーを呼び出すスクリプトの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
```

GSLog – log(文字列 level, 文字列 msg)

指定されたレベルでメッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
level	文字列	ログレベル。
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.log("debug", "debug message");
```

GSLog – logAlert(文字列 msg)

アラートイベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logAlert("This is an alert");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is an alert
```

GSLog – logCrit(文字列 msg)

重要なイベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logCrit("This is a critical message");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is a critical message
```

GSLog – logDebug(文字列 msg)

デバッグイベントをログに記録します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logDebug("This is a debug message");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is a debug message
```

GSLog – logEmerg(文字列 msg)

緊急イベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logEmerg("This is an emergency message");
```

出力：

```
*** Script  [TaskSLA ] : This is an emergency message
```

GSLog – logErr(文字列 msg)

エラーイベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logErr("This is an error message");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is an error message
```

GSLog – logInfo(文字列 msg)

情報イベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logInfo("This is an info message");
```

GSLog – logNotice(文字列 msg)

通知イベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logNotice("This is a notice");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is a notice
```

GSLog – logWarning(文字列 msg)

警告イベントをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに書き込むメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.logWarning("This is a warning message");
```

出力：

```
*** Script [TaskSLA]: This is a warning message
```

GSLog – setLevel(文字列 **level)**

ログレベルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
level	文字列	設定するログレベル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gl = new GSLog("com.snc.sla.tasksla.log", "TaskSLA");
gl.setLevel("debug");
```

HermesEventPublisherOOB :スコープ指定

HermesEventPublisherOOB スクリプトインクルードは、メッセージをHermes メッセージングサービスに公開するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードのデフォルト機能を変更する場合は、このスクリプトインクルードに含まれるメソッドを HermesEventPublisher スクリプトインクルードで上書きする必要があります。このスクリプトインクルードのメソッドを上書きする方法の詳細については、「 を使用するようにプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する Hermes メッセージングサービス」を参照してください。

このスクリプトインクルードは sn_api_notif_mgmt 名前空間で実行されます。

HermesEventPublisherOOB:fetchMessageHeaders (オブジェクトメッセージ)

渡されたメッセージに関連付けられたメッセージヘッダーを返します。

Hermes メッセージングサービスを介してメッセージを発行する前に、このメソッドを呼び出す必要があります。

このメソッドのデフォルト実装では、 *origin* ヘッダー値が TMT_SERVICENOW に設定されるだけです。ビジネス要件に基づいてこのメソッドによって他のヘッダー属性を返す必要がある場合は、HermesEventPublisher スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きし、追加のヘッダー属性を指定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	Hermes Kafka メッセージブローカーに公開する TMF イベント。このメッセージのフォーマットの詳細は、『TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0』を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	渡されるメッセージに使用する Kafka ヘッダー。 例： `{ origin: 'TMT_SERVICENOW' }`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
publishMessageThroughProducerV2API: function(message) {
  if (gs.nil(message)) return;
  var comptableTopicSysIds = this.fetchTopicsForMessage(message);
  if (gs.nil(comptableTopicSysIds)) return;

  for (var i = 0; i < comptableTopicSysIds.length; i++) {
    var partitionKey = this.fetchPartionKey(message);
    var headers = this.fetchMessageHeaders(message)
    try {
      var producer = new sn_ih_kafka.ProducerV2();
      producer.send(comptableTopicSysIds[i], partitionKey,
 JSON.stringify(message), false, headers);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  }
},
```

HermesEventPublisherOOB:fetchPartionKey (オブジェクトメッセージ)

渡されたメッセージに関連付けられたパーティションキーを返します。

Hermes メッセージングサービスを介してメッセージを発行する前に、このメソッドを呼び出す必要があります。

このメソッドの既定の実装では、自動生成された一意の ID がパーティション キーとして返されます。このタイプの実装により、メッセージがトピックのすべてのパーティションに均等に公開されます。パーティションの処理を変更する場合は、 `HermesEventPublisher` スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きする必要があります。もう 1 つの可能な実装は、メッセージ イベントの種類またはその他の属性に基づいて一意のパーティション キーを返し、同じイベントの種類または属性のメッセージの順序付けを保証することです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	Hermes Kafka メッセージブローカーを使用して公開するメッセージ。このメッセージのフォーマットの詳細は、『TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0』を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡されたメッセージに使用する Kafka パーティションキー。 例:6B29FC40-CA47-1067-B31D-00DD010662DA

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
publishMessageThroughProducerV2API: function(message) {
  if (gs.nil(message)) return;
  var comptableTopicSysIds = this.fetchTopicsForMessage(message);
  if (gs.nil(comptableTopicSysIds)) return;

  for (var i = 0; i < comptableTopicSysIds.length; i++) {
    var partitionKey = this.fetchPartionKey(message);
    var headers = this.fetchMessageHeaders(message)
    try {
      var producer = new sn_ih_kafka.ProducerV2();
      producer.send(comptableTopicSysIds[i], partitionKey,
 JSON.stringify(message), false, headers);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  }
},
```

次のコード例は、このメソッドをオーバーライドして、指定したメッセージに使用するパーティション キーを決定するための独自のロジックを含める方法を示しています。

```
// Existing implementation for fetching a partition key which is an
 auto-generated unique ID.
fetchPartionKey: function(message) {
  // Implement it for custom partition key
  // Random message key ensures better distribution of messages across
 partitions.
  // Same message key ensures that messages always goes to the same
 partition. This ensures a strict sequencing
  //  of messages at the Kafka consumer group level.
  return gs.generateGUID();
},

// Implementation where the partition key is determined based on the
 event type.
fetchPartionKey: function(message) {
  var eventType = message.eventType;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var partionKey = fetchPartionKeyForMessage(eventType);
  return partionKey;
},
```

HermesEventPublisherOOB:fetchTopicsForMessage (オブジェクトメッセージ)

渡されたメッセージに関連付けられているすべての Kafka トピックを返します。

このメソッドは基本実装には実装されておらず、静的なsys_idを返すだけです。`HermesEventPublisher` スクリプトインクルードでこのメソッドをオーバーライドし、渡されたメッセージを送信する Kafka トピックを決定するロジックを提供する必要があります。

このメソッドの実装方法の詳細については、「を使用するようにプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する Hermes メッセージングサービス」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクト	Hermes Kafka メッセージブローカーに公開する TMF メッセージ。このメッセージのフォーマットの詳細は、『TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0』を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	メッセージの送信先の Kafka トピックのsys_idsのリスト。Kafka トピック [cmdb_ci_appl_kafka_topic] テーブルにあります。 例： `[ "9d385017c611228701d22104cc95c371", "8438201ec613628421e13105d396d421" ]`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
publishMessageThroughProducerV2API: function(message) {
  if (gs.nil(message)) return;
  var comptableTopicSysIds = this.fetchTopicsForMessage(message);
  if (gs.nil(comptableTopicSysIds)) return;

  for (var i = 0; i < comptableTopicSysIds.length; i++) {
    var partitionKey = this.fetchPartionKey(message);
    var headers = this.fetchMessageHeaders(message)
    try {
      var producer = new sn_ih_kafka.ProducerV2();
      producer.send(comptableTopicSysIds[i], partitionKey,
 JSON.stringify(message), false, headers);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
    }
  }
},
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、このメソッドをオーバーライドして、渡されたメッセージごとに同じトピックレコードsys_idを返す方法を示しています。

```
// Return the same topic for all messages if your
 // implementation only supports one kind of topic

fetchTopicsForMessage: function(message) {
// Return the same sys_id for all passed messages which
// implies that all of the messages are published to the same topic.
return ['91564fc087f8351063151f473cbb35f8'];
},
```

次のコード例は、このメソッドをオーバーライドして、メッセージ内のイベントの種類に基づいてメッセージを送信するトピックを識別する方法を示しています。

```
// Fetch the topic based on the message content.
// This could be based on the message domain type or the message event
 type.

fetchTopicsForMessage: function(message) {
// Implement to return topic based on a message content
// Implementor may decide a topic based on 'eventType' or any other
 attribute.

var eventType = message.eventType;

var topicSysIdsArr = this.fetchTopicBasedOnEventType(eventType);
return topicSysIdsArr

},
```

HermesEventPublisherOOB:publishEventToHermesKafka(オブジェクト **tmfEventPayload)**

Hermes メッセージングサービスを使用して、渡された TMF688 準拠のペイロードを公開します。

これは、他のメソッドを呼び出してイベントを発行する親メソッドです。ProducerV2 API を使用する代わりに フローデザイナー を使用するなど、Kafka 公開メカニズムを変更する場合を除き、このメソッドをオーバーライドする必要はほとんどありません。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
tmfEventPayload	オブジェクト	TMF688 準拠のイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の説明については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
publishMessageToHermesKafka: function(tmfEventPayload) {
  new HermesEventPublisher().publishEventToHermesKafka(tmfEventPayload);
},
```

HistoryWalker - スコープ指定、グローバル

HistoryWalker API は、監査/履歴テーブルを使用して既存のレコードの履歴バージョンを生成します。この履歴バージョンには、指定された Glide レコードのすべてのフィールドに対するすべての更新が含まれています。

この API は、適切な Glide 要素が入力された以前の更新カウント (ウォークした GlideRecord) に GlideRecord を返す機能を提供します。ウォークされた GlideRecord が取得された後、API は更新番号間を前後に移動し、更新履歴をナビゲートする機能を提供します。

この API を使用すると、次のことができます。

- 特定の History Walker 実装を使用して監査データを取得するように *HistoryWalker* API に指示します。
- Glide レコードの履歴バージョンをナビゲートします。
- 適切な履歴/監査データを適用して、既存の GlideRecord を特定の更新回数の状態に戻します。
- 行レベルのアクセス制御をオフにします。
- フィールドレベルのアクセス制御をオフにします。
- 「変更」データの取得と処理をオフにします。
- ジャーナルフィールドを有効にします。
- 変数を有効にします。

HistoryWalker API には、監査データを取得する 4 つの方法が用意されています。

1. HISTORY - ヒストリーウォーカー

   利用できない場合、または最新でない場合は、Sys Audit [sys_audit] テーブルのデータを使用して、 *HistoryWalker* API をインスタンス化するときに渡した Glide レコードの履歴セット [sys_history_set] レコードを作成します。sys_history_setテーブルには、関連する履歴 [sys_history_line] テーブルの名前が含まれています。sys_history_lineテーブルには、ウォーク対象のテーブルで更新された各フィールド値のレコードが含まれています。この取得メソッドを使用すると、 *HistoryWalker* メソッドは、sys_audit テーブルを直接照会する代わりに、生成されたsys_history_lineテーブルから履歴データを取得します。

   sys_history_lineテーブル内のレコードは、時系列ではなく、更新 [update] フィールド値の昇順でソートおよびグループ化されます。update フィールドは、task テーブルの Updates [sys_mod_count] フィールドに緩やかに関連付けられています。

   > **注:** クライアントによるsys_mod_countの更新は同期されないため、上書きされる可能性があり、このカウントの信頼性が低下します。

2. AUDIT:監査ウォーカー

   HistoryWalker API をインスタンス化するときに渡された *Glide* レコードをsys_auditテーブルに照会します。sys_auditテーブルの各レコードには、レコードの有効期間中に発生したフィールド値への変更が含まれています。

   レコードは、時系列ではなく、更新数 [record_checkpoint] フィールドの昇順でソートされます。record_checkpoint フィールドは、タスクテーブルの Updates [sys_mod_count] フィールドに緩やかに関連付けられています。1 対 1 の相関関係は保証されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AUDIT 検索方式を使用するかどうかを決定する際に考慮すべき事項:

- sys_auditテーブルのサイズ。すべてのレコードのすべてのフィールドの変更がこのテーブルで維持されるため、sys_auditテーブルが非常に大きくなる可能性があります。
- システムプロパティ *glide.sys.audit_inserts*の設定によっては、ゼロレコードの更新が欠如している可能性があります。このプロパティは、レコードが最初にテーブルに挿入されたときに、監査レコードを初期フィールド値で作成するかどうかを定義します。ベースシステムでは、このプロパティは「false」に設定されているため、 *HistoryWalker* API は、この不足している情報に対応するために追加の処理を行います。

そのため、AUDIT で *HistoryWalker* API を実行しても、HISTORY や CHECKPOINT ほどパフォーマンスは良くありません。

3. CHECKPOINT - チェックポイント・ウォーカー

   ハイブリッドアプローチを使用して、システムプロパティ *com.glide.history_walker.max_history_count*の設定に応じて、sys_history_set テーブルまたはsys_auditテーブルから履歴データを取得します。ウォークするレコードの sys_mod_countがこのプロパティで設定された値 (デフォルト値 = 1,000) を超える場合、チェックポイント・ウォーカーはsys_auditテーブルを使用して履歴データを取得します。それ以外の場合は、sys_history_setテーブルが使用されます。

   このチェックを行う理由は、sys_history_setテーブルの方がウォーク履歴データに対してよりパフォーマンスの高いアプローチを提供するためですが、特定のポイントまでしか提供されません。フィールド更新の合計数が特定のレベル (約 10,0000) に達すると、sys_history_set テーブルの生成がユーザートランザクションタイムアウトを超える可能性があります。タイムアウトを超えると、すべてのテーブル更新を含むsys_auditテーブルに対して実行するよりも、全体的なパフォーマンスが低下します。チェックポイント・ウォーカーは、*com.glide.history_walker.max_history_count* を使用して、最高のパフォーマンスを実現するために使用する最適なレコード・セットを決定します。

   レコードはグループ化され、[レコード内部チェックポイント [internal_checkpoint] フィールドの昇順でソートされます。internal_checkpointフィールドはタイムスタンプであるため、レコードは時系列順になっています。また、internal_checkpoint フィールドは task.sys_mod_count フィールドに関連付けられていません。

   チェックポイント・ウォーカーと他のウォーカーの最も重要な違いは、他のウォーカーがtask.sys_mod_countエントリに結合され、sys_audit.record_checkpointと sys_history_line.updateに関連していることです。チェックポイント・ウォーカーは、それぞれ sys_audit.internal_checkpoint フィールドと sys_history_line.internal_checkpoint フィールドを使用します。

   レコード内部チェックポイントは、これらの問題の両方に対処するため、チェックポイント・ウォーカーは監査履歴データを取得するための最も信頼性の高い方法です。

4. OFFLINE - オフライン履歴ウォーカー

   Field Service Mobile オフライン アプリなどのアプリケーションで使用されるオフライン履歴機能を提供します。タスクテーブル拡張に辞書属性offline_timestamp_field設定されたフィールドがある場合、オフライン履歴ウォーカーは、プロパティまたは別のウォーカーを使用するための明示的な指示に関係なく実行されます。オフライン・ヒストリー・ウォーカーは、意図的に日付と時刻で並べられたヒストリー・データを含むsys_history_lineおよびsys_history_set・テーブルを使用して、オフライン更新をサポートします。このようなテーブルに対して正確な結果を提供できるのは、オフライン履歴ウォーカーだけです。

   注: オフライン更新の場合、 *HistoryWalker* API は自動的に開始され、使用できるメソッドは *walkTo(0)* と *walkForward()* の 2 つだけです。オフライン更新のために他の *HistoryWalker* メソッドを呼び出すことはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ *com.snc.walker.default*、 *HistoryWalker* API をインスタンス化するときに実行するレコードウォークのデフォルトタイプを定義します。アップグレードする顧客の場合、このプロパティは「履歴」に設定されます。新規のお客様の場合、このプロパティは「CHECKPOINT」に設定されます。

次のように *HistoryWalker* API をインスタンス化する場合、 *com.snc.walker.default* プロパティによって、API が使用するレコードウォーカー実装が決まります。

```
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(<table name>, <sys_id>);
```

API をインスタンス化するときに使用するレコードウォーカーのタイプを渡すこともできます。この API をインスタンス化する際には、必要な Walker 実装を常に含めることをお勧めします。

```
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(<table name>, <sys_id>, <walker>);
```

とか：

```
var hw = new sn_hw.HistoryWalker('incident',
 '1c741bd70b2322007518478d83673af3', 'CHECKPOINT');
```

スコープ対象のアプリケーションおよびグローバルアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_hw` 名前空間識別子を使用します。*HistoryWalker* API にアクセスするには、デフォルトで有効になっている History Walker プラグイン (com.glide.history_walker) が必要です。

HistoryWalker - HistoryWalker(文字列 **tableName**, 文字列 **sysId**, 文字列 **walker)**

HistoryWalker オブジェクトをインスタンス化し、指定された Glide レコードの履歴データを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	取得するレコードを含むテーブルの名前。
sysId	文字列	履歴データを取得するレコードのSys_id。
歩行器	文字列	オプション。指定されたレコードの履歴データを取得するために使用する履歴ウォーカーの名前。 有効な値： • 監査 • チェックポイント • 歴史 • OFFLINE デフォルト:システムプロパティ com.snc.walker.default で指定された Walker。

次のコード例は、このメソッドを呼び出し、チェックポイントウォーカーを使用して GlideRecord に加えられた変更をウォークスルーする方法を示しています。

```
var gr_Hw = new GlideRecord('sc_req_item');
gr_Hw.get('b0d3335d49534210f877468e89703a7c');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(gr_Hw.getTableName(),
 gr_Hw.getUniqueValue(), 'CHECKPOINT');
hw.walkTo('19096afcc800000001');
printChangedFields(hw);

function printChangedFields(hw) {
   var walkedGr = hw.getWalkedRecord();
   var fields =
 GlideScriptRecordUtil.get(walkedGr).getChangedFieldNames();
   gs.info('Fields changed at update ' + hw.getUpdateNumber() + '
 were:');
   for (var j = 0; j < fields.size(); j++) {
      var fieldName = fields.get(j) + '';
      if (fieldName !== 'variables')
         gs.info(walkedGr.getValue('sys_updated_on') + ' ' + fieldName +
 '=' + walkedGr.getValue(fieldName));
   }

   var variables = walkedGr.variables;
   for (var variableName in variables) {
      if (variables[variableName].changes())
         gs.info(walkedGr.getValue('sys_updated_on') + ' ' + variableName
 + '=' + variables[variableName].getValue());
   }
   gs.info('');
}
```

出力:

```
Fields changed at update 3 were:
2024-07-09 08:50:21 price=1499
2024-07-09 08:50:21 state=2
2024-07-09 08:50:21 priority=2
2024-07-09 08:50:21 recurring_price=100
```

HistoryWalker - HistoryWalker(文字列 **tableName**, 文字列 **sysId**, ブーリアン **useAudit)**

履歴データを取得するための履歴セットまたは監査データ (3 つ目のパラメーターによって異なる) を使用して、パラメーターに基づいてデータベースレコードをフェッチします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	取得するレコードを含むテーブルの名前。
sysId	文字列	取得するレコードの sys_id。
useAudit	ブーリアン	監査データを使用して履歴データを取得するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:監査データを使用して過去の日付を取得します。 • false:履歴セットを使用して履歴日付を取得します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue(), true);
if (hw.walkTo(3)) {
    var oldPriority = hw.getWalkedRecord().priority;
    gs.info('Incident priority in update number ' + hw.getUpdateNumber()
 + ' was ' + oldPriority);
} else
    gs.info('Incident does not have update number 3');
```

出力:

```
Incident priority in update number 3 was 4
```

HistoryWalker - getUpdateNumber()

現在までに通過してきた Glide レコードの更新番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
int	現在の更新番号。レコードが見つからない場合は -1。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
for(int i = 0; i < 2; i++) {
  hw.walkForward();
}
gs.info('Update number: ' + hw.getUpdateNumber());
```

出力:

```
Update number: 3
```

HistoryWalker - getWalkedRecord()

更新番号に移動してから履歴データや監査データが入力されたレコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	これまでの GlideRecord。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.walkForward();
var walkedRecord = hw.getWalkedRecord();
gs.info('Priority in update number 0: ' + walkedRecord.priority);
hw.walkForward();
walkedRecord = hw.getWalkedRecord();
gs.info('Short description in update number 1: ' +
 walkedRecord.short_description);
```

出力:

```
 Priority in update number 0: 4
Short description in update number 1: My monitor has stopped working
```

HistoryWalker - getWalkedRecordCopy()

更新番号に移動してから履歴データや監査データが入力されたレコードのコピーを返します。

注: *getWalkedRecord()* メソッドは、別の更新番号にウォークした後、取得した walkedRecord を変更する場合があります。*getWalkedRecordCopy()* メソッドは、これを防止するためにウォークされたレコードのクローンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	ウォークした GlideRecord のコピー。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var walkedRecord = [];
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.walkForward();
walkedRecord[0] = hw.getWalkedRecordCopy();
hw.walkForward();
walkedRecord[1] = hw.getWalkedRecordCopy();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
gs.info('Priority in update number 0: ' + walkedRecord[0].priority);
gs.info('Short description in update number 1: ' +
 walkedRecord[1].short_description);
```

出力:

```
Priority in update number 0: 4
Short description in update number 1: My monitor has stopped working
```

HistoryWalker - isFieldLevelSecurity()

データベースからの取得時にレコードレベルの読み取りアクセスを適用するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドレベルのセキュリティが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドレベルのセキュリティが有効です。 • false:フィールドレベルのセキュリティは有効になっていません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
gs.info('Field level security is active: ' + hw.isFieldLevelSecurity());
```

出力:

```
Field level security is active: true
```

HistoryWalker - isRecordLevelSecurity()

データベースからの取得時にレコードレベルの読み取りアクセスを適用するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードレベルのセキュリティが有効かどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true:レコードレベルのセキュリティが有効です。 • false:レコードレベルのセキュリティが有効になっていません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
gs.info('Record level security is active: ' +
 hw.isRecordLevelSecurity());
```

出力:

```
Record level security is active: true
```

HistoryWalker - isWithChanges()

ある更新から別の更新にレコードをウォークスルーするメソッドのいずれかが、各要素の「変更」データをサポートするかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	変更サポートが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:変更サポートが有効です。 • false:変更サポートは有効になっていません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
gs.info('Changes is active: ' + hw.isWithChanges());
```

出力:

```
Changes is active: true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HistoryWalker - isWithJournalFields()

ジャーナルタイプフィールドを過去の値から設定するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ジャーナルフィールドが入力されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ジャーナルフィールドが入力されます。 • false:ジャーナルフィールドが入力されません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
gs.info('Populating journal fields is active: ' + hw.
 isWithJournalFields());
```

出力:

```
Populating journal fields is active: false
```

HistoryWalker - isWithVariables()

履歴に記録される変数に値を設定するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	履歴に記録された変数に値が設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値が設定されます。 • false:値が設定されていません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
gs.info('Populating variables is active: ' + hw. isWithVariables());
```

出力:

```
Populating variables is active: false
```

HistoryWalker - setFieldLevelSecurity(ブーリアン **fieldLevelSecurity)**

GlideRecord でその要素の過去の値を設定する前に、各要素にフィールドレベルの読み取りアクセス権を設定します。フィールドレベルのセキュリティが有効になっている場合、API のユーザーがアクセスできないウォーク済みレコードのフィールドに API が入力するのを防ぎます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldLevelSecurity	ブーリアン	フィールドレベルの読み取りアクセスセキュリティの設定方法を示すフラグ。 有効な値： • true:フィールドレベルのセキュリティを有効にします。 • false:フィールドレベルのセキュリティを無効にします。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.setFieldLevelSecurity(false);
hw.walkForward();
```

HistoryWalker - setRecordLevelSecurity(ブーリアン **recordLevelSecurity)**

データベースからの取得時の、レコードにおけるレコードレベルの読み取りアクセスを設定します。レコードレベルのセキュリティでは、API のユーザーに GlideRecord へのアクセス権がない場合、API はウォークされたレコードを取得できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
recordLevelSecurity	ブーリアン	レコードレベルの読み取りアクセスセキュリティの設定方法を示すフラグ。 有効な値： • true:レコードレベルのセキュリティを有効にします。 • false:レコードレベルのセキュリティを無効にします。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.setRecordLevelSecurity(false);
hw.walkForward();
```

HistoryWalker - setWithChanges(ブーリアン **withChanges)**

ある更新から別の更新にレコードをウォークスルーするメソッドの各要素の「変更」データサポートを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
withChanges	ブーリアン	変更データが各要素でサポートされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：各要素で変更データがサポートされます。 • false：各要素で変更データがサポートされません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、Changes データをサポートするこのメソッドを呼び出す方法を示しています。この例はグローバルスコープで実行する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
while (hw.walkForward()) {
  printChangedFields(hw);
}

function printChangedFields(hw) {
  var walkedGr = hw.getWalkedRecord();
  var fields =
 GlideScriptRecordUtil.get(walkedGr).getChangedFieldNames();
  gs.info("Fields changed at update " + hw.getUpdateNumber() + " were:");
  for (var j = 0; j < fields.size(); j++)
    gs.info(" " + fields.get(j));
  gs.info("");
}
```

このコード例は、変更データのサポートなしでこのメソッドを呼び出す方法を示しています。この例は、スコープ対象環境とグローバル環境の両方で実行されます。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.setWithChanges(false);

while (hw.walkForward()) {
  var oldPriority = hw.getWalkedRecord().priority;
  gs.info('Incident priority in update number ' + hw.getUpdateNumber() +
 ' was ' + oldPriority);
}
```

自動翻訳

HistoryWalker - setWithJournalFields(ブーリアン **withJournalFields)**

ジャーナルタイプフィールドを過去の値から設定するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
withJournalFields	ブーリアン	ジャーナルタイプフィールドを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ジャーナルタイプのフィールドを含めます。 • false:ジャーナルタイプフィールドを含めません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.setWithJournalFields(true);
if (hw.walkForward()) {
  var workNotes = hw.getWalkedRecord().work_notes;
  gs.info('Work Notes in update number ' + hw.getUpdateNumber() + ' was '
 + workNotes);
}
```

HistoryWalker - setWithVariables(ブーリアン withVariables)

変数を過去の値から入力するかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
withVariables	ブーリアン	変数が履歴値から入力されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:変数が入力されます。 • false:変数は入力されません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
hw.setWithVariables(true);
hw.walkTo(0);
if (hw.walkTo(0)) {
    var varUrgency = hw.getWalkedRecord().variables.urgency;
    gs.info('Variable Urgency in update number ' + hw.getUpdateNumber() +
 ' was ' + varUrgency);
}
```

HistoryWalker - walkBackward()

適切な履歴データや監査データを適用して、過去の GlideRecord を 1 つ前の更新番号の状態に戻します。1 つ前の更新番号が履歴データや監査データにない場合は、前の利用可能な更新番号に戻ります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された更新番号へのウォークが可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定された更新番号までウォークできます。 • false:指定された更新番号までウォークできません。 考えられる理由:すでに更新番号 0 まで歩いています。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());

while (hw.walkBackward()) {
  var oldPriority = hw.getWalkedRecord().priority;
  gs.info('Incident priority in update number ' + hw.getUpdateNumber() +
 ' was ' + oldPriority);
}
```

出力:

```
Incident priority in update number 5 was 2
Incident priority in update number 4 was 4
Incident priority in update number 3 was 4
Incident priority in update number 2 was 4
Incident priority in update number 1 was 4
Incident priority in update number 0 was 4
```

HistoryWalker - walkForward()

適切な履歴データや監査データを適用して、過去の GlideRecord を 1 つ後の更新番号の状態に進めます。次の更新番号が履歴データや監査データにない場合は、次の利用可能な更新番号に進みます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された更新番号へのウォークが可能かどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true:指定された更新番号までウォークできます。 • false:指定された更新番号までウォークできません。 考えられる理由:すでに GlideRecord 更新カウントまで歩いています。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');
var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());

while (hw.walkForward()) {
  var oldPriority = hw.getWalkedRecord().priority;
  gs.info('Incident priority in update number ' + hw.getUpdateNumber() +
 ' was ' + oldPriority);
}
```

出力:

```
Incident priority in update number 0 was 4
Incident priority in update number 1 was 4
Incident priority in update number 2 was 4
Incident priority in update number 3 was 4
Incident priority in update number 4 was 4
Incident priority in update number 5 was 2
```

自動翻訳

HistoryWalker - walkTo(int updateCount)

適切な履歴データや監査データを適用して、GlideRecord を特定の更新回数の状態に戻します。更新番号までウォークした後で `getWalkedRecord()` または `getWalkedRecordCopy()` を使用して、「ウォーク済み」の GlideRecord を取得します。

注: このメソッドは、チェックポイント・ウォーカーの実装ではサポートされていません。チェックポイント・ウォーカーを使用する場合は、 HistoryWalker - walkTo(文字列チェックポイント) メソッドを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
updateCount	整数	歩いて移動する番号を更新します。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された更新番号へのウォークが可能かどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:指定された更新番号までウォークできます。 • false:指定された更新番号までウォークできません。 考えられる理由:要求された更新が GlideRecord の更新数よりも大きいか、要求された更新番号の履歴/監査データがありません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var incGr = new GlideRecord('incident');
incGr.get('number', 'INC0000015');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(incGr.getTableName(),
 incGr.getUniqueValue());
if (hw.walkTo(3)) {
    var oldPriority = hw.getWalkedRecord().priority;
    gs.info('Incident priority in update number ' + hw.getUpdateNumber()
 + ' was ' + oldPriority);
} else
    gs.info('Incident does not have update number 3');
```

出力:

```
Incident priority in update number 3 was 4
```

HistoryWalker - walkTo(文字列チェックポイント)

適切な履歴/監査データを適用して、特定のレコード内部チェックポイントの GlideRecord のステータスを取得します。レコードの内部チェックポイントにウォークした後、*getWalkedRecord()* または *getWalkedRecordCopy()* メソッドを使用して、「ウォーク済み」の GlideRecord を取得します。

注: このメソッドは、チェックポイント・ウォーカーの実装でのみサポートされています。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
チェックポイント	文字列	ウォーク先のレコードの内部チェックポイント。この値は、システム監査 [sys_audit] テーブルまたは履歴 [sys_history_line] テーブルの internal_checkpoint フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードの内部チェックポイントへのウォークが可能かどうかを示すフラグ。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:指定されたレコードの内部チェックポイントまでウォークできます。 • false:指定されたレコードの内部チェックポイントにウォークできません。 考えられる理由:内部チェックポイントが存在しません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出して、GlideRecord に加えられた変更を確認する方法を示しています。

```
var gr_Hw = new GlideRecord('sc_req_item');
gr_Hw.get('b0d3335d49534210f877468e89703a7c');

var hw = new sn_hw.HistoryWalker(gr_Hw.getTableName(),
 gr_Hw.getUniqueValue(), 'CHECKPOINT');
hw.walkTo('19096afcc800000001');
printChangedFields(hw);

function printChangedFields(hw) {
   var walkedGr = hw.getWalkedRecord();
   var fields =
 GlideScriptRecordUtil.get(walkedGr).getChangedFieldNames();
   gs.info('Fields changed at update ' + hw.getUpdateNumber() + '
 were:');
   for (var j = 0; j < fields.size(); j++) {
      var fieldName = fields.get(j) + '';
      if (fieldName !== 'variables')
         gs.info(walkedGr.getValue('sys_updated_on') + ' ' + fieldName +
 '=' + walkedGr.getValue(fieldName));
   }

   var variables = walkedGr.variables;
   for (var variableName in variables) {
      if (variables[variableName].changes())
         gs.info(walkedGr.getValue('sys_updated_on') + ' ' + variableName
 + '=' + variables[variableName].getValue());
   }
   gs.info('');
}
```

出力:

```
Fields changed at update 3 were:
2024-07-09 08:50:21 price=1499
2024-07-09 08:50:21 state=2
2024-07-09 08:50:21 priority=2
2024-07-09 08:50:21 recurring_price=100
```

HostnameJS - グローバル

HostnameJS スクリプトインクルードは、プロパティ設定に従ってホスト名をフォーマットするメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホスト名をフォーマットする必要がある場合に、サーバー側スクリプトとともにこの API を使用します。

HostnameJS - format(文字列 hostname, 文字列 source)

指定したホスト名をプロパティ設定に従ってフォーマットします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hostname	文字列	フォーマットするホスト名
source	文字列	プロパティ設定のソース

返される内容

タイプ	説明
文字列	システム名

HostnameJS - getDomainName()

DNS ドメイン名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ドメイン名

```
var hjs = new HostnameJS();
hjs.getDomainName();
```

HostnameJS - getSysName()

現在のシステム名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	システム名

```
var hjs = new HostnameJS();
hjs.getSysName();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

hr_ActivitySet - スコープ指定

hr_ActivitySet API は、ライフサイクルイベントアクティビティセットのケースを処理します。

ライフサイクルイベントアクティビティセットは、ライフサイクルイベントプロセスのさまざまなステージを表します。アクティビティセットがトリガーされるタイミング (たとえば、ライフサイクルイベントケースの作成直後、別のアクティビティセットの完了後など) を定義する必要があります。各アクティビティセットは、単一のライフサイクルイベントに関連付けられます。

hr_ActivitySet API には HR Lifecycle Events プラグイン (com.sn_hr_lifecycle_events) が必要で、`sn_hr_le` 名前空間で実行されます。

詳細については、「Enterprise Onboarding and Transitions について」を参照してください。

hr_ActivitySet - hr_ActivitySet()

hr_ActivitySet クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

hr_ActivitySet - createLECaseByService(文字列 hrService, オブジェクト caseValues)

指定された人事サービスに基づいてライフサイクルイベントケースを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hrService	文字列	ライフサイクルイベントケースに割り当てられる、人事サービス [sn_hr_core_service] テーブル内の人事サービスのSys ID。
caseValue	オブジェクト	各ケースフィールドの値を含むキーと値のペア。
caseValues.subject_person	文字列	ユーザー [sys_user] テーブル内の対象者の名前のSys ID。
caseValues.opened_for	文字列	ユーザー [sys_user] テーブル内の対象者に対して開かれたケースのSys ID。
caseValues.subject_person_job	文字列	ジョブ [sn_hr_core_job] テーブル内の対象者の役職のSys ID。
caseValues.location	文字列	場所 [cmn_location] テーブルの人事プロファイル内の対象者の場所のSys ID。
caseValues.department	文字列	部門 [cmn_department] テーブルの人事プロファイル内の対象者の部門のSys ID。
caseValues.subject_person_hr_profile	文字列	人事プロファイル [sn_hr_core_profile] テーブル内の対象者の人事プロファイルのSys ID。
caseValues.short_description	文字列	ケースの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
caseValues.state	番号	一意に定義されたカスタムのケースステータスを表す番号。

返される内容

タイプ	説明
文字列	人事ライフサイクルイベントケース [sn_hr_le_case] テーブル内の作成されたケースのSys ID。

出力には、[操作テーブル] 列と [行数] 列が含まれます。sn_hr_le_case テーブルに隣接する行数列のリンクをクリックすると新しいケースが表示されます。

```
var caseValues = {
               'subject_person': '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1',
               'opened_for': '0e826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7c',
               'subject_person_job': 'f8d56900587d3700964f4efae452b3db',
               'location': '25ab9d1d0a0a0bb300537fd25687439d',
               'department': '93b25282c0a8000b0b55c8ab34e2f1e6',
               'subject_person_hr_profile':
 '330370019f22120047a2d126c42e7012',
               'short_description': 'Short description',
               'state': 10
          };

 var activity = new sn_hr_le.hr_ActivitySet();
 var createCase = new
activity.createLECaseByService('4719647c67a60300132a6c3b5685ef16',
caseValues);
```

出力：

```
...
insert sn_hr_le_case 1
...
```

hr_ActivitySet - hasActiveCaseByService(文字列 **spUser**, 文字列 **hrService**, 文字列 **jobId)**

対象者ユーザーと人事サービスとジョブの指定された組み合わせに一致するケースをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
spUser	文字列	ユーザー [sys_user] テーブル内の対象者ユーザーのSys ID。
hrService	文字列	人事サービス [sn_hr_core_service] テーブル内の人事サービスのSys ID。
jobId	文字列	人事サービス [sn_hr_core_service] テーブル内の対象ユーザーの役職のSys ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	一致するケースが存在する場合は true、存在しない場合は false。

```
var userId = '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1'; //Abel Tuter
var hrServiceId = '64fa4c53534222003066a5f4a11c0875'; //Onboarding HR
 Service
var jobId = '3D62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1'; // Sample Job sys_id
 for the example

var activity = new sn_hr_le.hr_ActivitySet();

var hasActiveLECase = activity.hasActiveCaseByService(userId,
 hrServiceId, jobId);

gs.info('User has an active HR case: ' + hasActiveLECase);
```

出力：

```
sn_hr_le: User has an active HR case: false
```

hr_ActivityUtils - スコープ指定

hrActivityUtils スクリプトインクルードを使用すると、レコードプロデューサーから HR ケースを作成できます。

このスクリプトインクルードは、HR ライフサイクルイベントプラグイン (com.sn_hr_lifecycle_events) を必要とし、 `sn_hr_le` 名前空間で実行されます。

hr_ActivityUtils - createCaseFromProducer(GlideRecord current, オブジェクト producer, 文字列 cat_item.sys_id)

レコードプロデューサーとサービスからケースを作成します。このメソッドは、そのまま呼び出してプロデューサーを作成するためのものであり、データを指定する必要はありません。

次の変数をレコードプロデューサーで構成して、次のような追加機能を提供できます。

- `job` – sn_hr_core_job を参照して人事ケースの subject_person_job にマッピングする
- `opened_for` – sys_user を参照して opened_for を人事ケースにマッピングする
- `current_job` – レコードプロデューサーに (チェックボックスをアクティブ化することによって) この変数が含まれ、パラメーターにジョブ情報がある場合、sn_hr_core_job テーブルに新しいジョブを作成する

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	作成するケースの GlideRecord。
プロデューサー	オブジェクト	ユーザーがレコードプロデューサーの質問に対する回答を送信したときに自動的に提供される質問と回答となるデータを含む、カンマ区切りのキーと値のペア。
cat_item.sys_id	文字列	作成中のケースの人事サービスと変数名を検索して、説明を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	関連テーブルの新しいケースは製品によって異なります。

このメソッドは、そのまま呼び出してプロデューサーを作成するためのものであり、データを指定する必要はありません。

```
new sn_hr_core.hr_ActivityUtils(current).createCaseFromProducer(producer,
 cat_item.sys_id);
```

hr_Utils - スコープ指定

hr_Utils API は、ヒューマンリソース (HR) アプリケーションの基本機能を提供します。

この API には HR Core プラグイン (com.sn_hr_core) が必要で、 `sn_hr_core` 名前空間で実行されます。

hr_Utils - hr_Utils()

hr_Utils クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

hr_Utils - getPrimaryJob(文字列 userId)

指定されたユーザーのアクティブな主要な職務のSys ID を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userID	文字列	プライマリが true になっているアクティブなジョブまたは将来のジョブにアサインされたユーザー [sys_user] テーブルの人事ユーザーのSys ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ジョブ [sn_hr_core_job] テーブルの主要な職務 (存在していてアクティブな場合) のSys ID。存在しない、またはアクティブでない場合は null。

```
var result = new
 sn_hr_core.hr_Utils().getPrimaryJob('5137153cc611227c000bbd1bd8cd2007');
gs.info('Result: ' + result);
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
Result: eb3c69463cd63740964fb8b1ce04f9ae
```

hr_Utils - switchPrimaryJob(文字列 userId, 文字列 jobId)

ユーザーの主要な職務を切り替えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	ユーザー [sys_user] テーブル内の人事ユーザーのSys ID。
jobId	文字列	ジョブ [sn_hr_core_job] テーブルのジョブのSys ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メッセージとステータスを含むエンコードされた JSON。それ以外の場合はエラー。

```
var result = new
 sn_hr_core.hr_Utils().switchPrimaryJob('5137153cc611227c000bbd1bd8cd200
7', 'bc884e723c0ebf00964fb8b1ce04f9d7');
gs.info('Result: ' + result);
```

出力：

```
Result: {"message":"Switched primary job for the user
 successfully","status":"success"}
```

HttpRequestAuthedData - スコープ対象

HttpRequestAuthedData() API は、署名済み REST や SOAP 要求にアクセスして値を設定するメソッドを提供します。

次の順序でこれらの API を使用して、送信署名要求を生成します。

1. *HttpRequestData*：API 要求を構築します。
2. *AuthCredential*：資格情報オブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新します。資格情報を使用して、*RequestAuthAPI* クラスで要求に署名します。
3. *RequestAuthAPI*：要求に署名し、HttpRequestAuthedData オブジェクトを返します。
4. *HttpRequestAuthedData*：署名された要求に関する情報を取得します。
5. *GlideHTTPRequest*：署名された要求を送信します。

これらの API を使用する前に、認証 アルゴリズムを構成し て要求に署名し、要求の認証に使用する認証情報に関連付ける必要があります。

この API は、`sn_auth` 名前空間識別子を持つスコープ対象スクリプト内で使用します。 コンストラクタを使用してこのクラスをインスタンス化することも、*RequestAuthAPI* クラスの *generateAuth()* メソッドから HttpRequestAuthedData オブジェクトを返すこともできます。

HttpRequestAuthedData - HttpRequestAuthedData()

HttpRequestAuthedData オブジェクトをインスタンス化します。

コンストラクタを使用してこのクラスをインスタンス化することも、*RequestAuthAPI* クラスの *generateAuth()* メソッドから HttpRequestAuthedData オブジェクトを返すこともできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

HttpRequestAuthedData - addHeader(文字列 **key**, 文字列 **value)**

ヘッダーを HttpRequestAuthedData オブジェクトに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	HTTP ヘッダーの名前。
value	文字列	HTTP ヘッダーの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define HttpRequestData
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

//Get AuthCredential
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create RequestAuthAPI and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// Update the signed response
output.addHeader('access-rights', 'public-read');
```

HttpRequestAuthedData - addQueryParam(文字列 **key**, 文字列 **value)**

クエリーパラメーターを HttpRequestAuthedData オブジェクトに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	クエリーパラメーターの名前。
value	文字列	クエリーパラメーターの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define HttpRequestData
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

//Get AuthCredential
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create RequestAuthAPI and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// Update the signed response
output.addQueryParameter('api_version', 'v2');
```

HttpRequestAuthedData - getCredentialValue()

要求が署名されたときに含まれていた資格情報の値を返します。

資格情報の値を使用して、認証アルゴリズムに必要な cookie、署名、またはその他の値を格納します。たとえば、REST または SOAP 呼び出しの 1 回限りのトークンを取得して保存するスクリプトを使用して、接続情報の取得 (GCI) ステップを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	資格情報の値のテキスト。

この例では資格情報の値の取得を示しています。

```
var RequestAuthGCISigner = Class.create();
RequestAuthGCISigner.prototype = Object.extend(new RequestAuthInternal(),
 {
  initialize: function() {
    RequestAuthInternal.prototype.initialize.call(this);
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  generateAuth: function(authAPI) {
    var requestData = authAPI.getHttpRequestData();

    // get credentials
    var credential = authAPI.getAuthCredential();
    var username = credential.getAttribute("user_name");
    var password = credential.getAttribute("password");
    var httpRequestSignedData = new sn_auth.HttpRequestAuthedData();
    var directive = requestData.getDirective();

    // set CREDENTIAL_VALUE
    httpRequestSignedData.setCredentialValue(username+":"+password);
    httpRequestSignedData.setDirective("CREDENTIAL_VALUE");
    httpRequestSignedData.setStatus("SUCCESS");

    gs.info("The Credential Value is " +
 httpRequestSignedData.getCredentialValue());
    return httpRequestSignedData;
  },
  type: 'RequestAuthGCISigner'
});
```

出力：

```
The Credential Value is someUsername:somePassword
```

HttpRequestAuthedData - getDirective()

署名がヘッダー内の要求に適用されるか、クエリーパラメーターとして適用されるか、資格情報の値として適用されるかを返します。

デフォルトでは、署名がヘッダーに適用されます。*`setDirective()`* API を使用すると、署名をクエリーパラメーターまたは資格情報の値として適用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	署名がヘッダーに適用されるか、クエリーパラメーターとして適用されるか、資格情報の値として適用されるか。 次の値が含まれます。 • HEADER：署名は要求ヘッダーに適用されます。 • QUERY：署名はクエリーパラメーターとして適用されます。 • CREDENTIAL_VALUE：署名は資格情報の値として適用されます。

```
// Define HttpRequestData
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

//Get AuthCredential
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create RequestAuthAPI and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();
output.setDirective("header");

gs.info("Signature applied to: " + output.getDirective());
```

出力：

```
Signature applied to: HEADER
```

HttpRequestAuthedData - getHeaderMap()

要求が署名されたときに含まれていたヘッダーを含むオブジェクトを返します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求が署名されたときに含まれるすべてのヘッダーを定義するキーと値のペア。キーと値のペアにはそれぞれ次の部分が含まれています。 • キー：文字列。ヘッダーの名前。 • 値：文字列。ヘッダーの値。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

// Get an AuthCredential object
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// get the signed response detail
var authH = headerM["Authorization"];
var xamzdateH = headerM["X-Amz-Date"];
var content256 = headerM["x-amz-content-sha256"];

gs.debug('authH:' + authH );
gs.debug('xamzdateH:' + xamzdateH );
gs.debug('content256:' + content256 );
```

出力：

```
*** Script: [DEBUG] authH:AWS4-HMAC-SHA256
 Credential=lsjfljljfllfwek/20191127/us-east-1/s3/aws4_request,
SignedHeaders=host;x-amz-acl;x-amz-content-sha256;x-amz-date,
Signature=5c349011324910c34596ba7abbd10e07c4127774049f8953418bd7bed7d02
b90
*** Script: [DEBUG] xamzdateH:20191127T175210Z
*** Script: [DEBUG] content256:UNSIGNED-PAYLOAD
```

HttpRequestAuthedData - getQueryMap()

要求が署名されたときに含まれていたクエリーパラメーターを含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求が署名されたときに含まれるクエリーパラメーターを定義するキーと値のペア。キーと値のペアにはそれぞれ次の部分が含まれています。 • キー：文字列。クエリーパラメーターの名前。 • 値：文字列。クエリーパラメーターの値。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
httpRequestData.addQueryParam('api_version', 'v2' );
httpRequestData.addQueryParam('limit', '1000' );
httpRequestData.addQueryParam('offset', '1' );

// Get an AuthCredential object
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// Get the signed response
queryMap = output.getQueryMap();

gs.info("API Version is: " + queryMap["api_version"]);
```

出力：

```
API Version is: v2
```

HttpRequestAuthedData - getStatus()

要求署名のステータスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求署名のステータス。 可能な値： • SUCCESS：システムが要求に正常に署名しました。 • FAIL：システムが要求に署名できませんでした。 • SKIPPED：情報が不完全であったためにシステムが署名をスキップしました。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

// Get an AuthCredential object
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// Get the signed status
gs.info("Status is: " + output.getStatus());
```

出力：

```
Status is: SUCCESS
```

HttpRequestAuthedData - getStatusMessage()

要求の署名に関する詳細なメッセージを返します。要求の署名に失敗した場合、このメソッドはエラーメッセージを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求の署名に関するメッセージ。要求の署名に失敗した場合、次のいずれかのエラーメッセージを返します。 • `credential is not valid`：要求の署名に使用した AuthCredential オブジェクトを確認してください。認証アルゴリズムが資格情報に関連付けられていることを確認します。詳細については、「認証アルゴリズムの構成」を参照してください。 • `Request data is empty. Request auth is skipped`：必要な情報が欠落している可能性があるため、HttpRequestData オブジェクトを確認してください。 • `Can't find script includes scope`：要求の署名に使用された認証アルゴリズムレコードおよび関連するスクリプトインクルードが正しいスコープ内にあることを確認します。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addQueryParam('api_version', 'v2' );
httpRequestData.addQueryParam('limit', '1000' );
httpRequestData.addQueryParam('offset', '1' );
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Get AuthCredential object and set an attribute
var credential = new sn_auth.AuthCredential();
credential.setAttribute("user_name", "admin");
credential.setAttribute("password", "admin");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();

// Get the signed status
gs.info("Status message is: " + output.getStatusMessage());
```

出力：

```
Status message is: credential is not valid.
```

HttpRequestAuthedData - setCredentialValue(文字列 **credential_value)**

HttpRequestAuthedData オブジェクトの資格情報の値を設定します。

資格情報の値を使用して、認証アルゴリズムに必要な cookie、署名、またはその他の値を格納します。たとえば、REST または SOAP 呼び出しの 1 回限りのトークンを取得して保存するスクリプトを使用して、接続情報の取得 (GCI) ステップを作成します。

`setCredentialValue()` メソッドを使用して、フローデザイナー の REST、SOAP、および GCI ステップの [資格情報の値]データピルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
credential_valu	文字列	資格情報の値のテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、GCI ステップの資格情報の値を設定する方法を示しています。

```
var RequestAuthGCISigner = Class.create();
RequestAuthGCISigner.prototype = Object.extend(new RequestAuthInternal(),
 {
  initialize: function() {
    RequestAuthInternal.prototype.initialize.call(this);
  },

  generateAuth: function(authAPI) {
    var requestData = authAPI.getHttpRequestData();

    // get credentials
    var credential = authAPI.getAuthCredential();
    var username = credential.getAttribute("user_name");
    var password = credential.getAttribute("password");
    var httpRequestSignedData = new sn_auth.HttpRequestAuthedData();
    var directive = requestData.getDirective();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var b64data = GlideStringUtil.base64encode(username+":"+password);

    // set CREDENTIAL_VALUE
    httpRequestSignedData.setCredentialValue("Basic " + b64data);
    httpRequestSignedData.setDirective("CREDENTIAL_VALUE");
    httpRequestSignedData.setStatus("SUCCESS");
    return httpRequestSignedData;
  },
  type: 'RequestAuthGCISigner'
});
```

HttpRequestAuthedData - setDirective(文字列 directive)

署名をヘッダー内の署名された要求に適用するか、クエリーパラメーターとして適用するか、資格情報の値として適用するかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
directive	文字列	署名を、署名された要求のヘッダーに適用するか、クエリーパラメーターに適用するか、資格情報の値として適用するか。 次の値が含まれます。 • `query`：署名をクエリーパラメーターとして適用します。 • `header`：署名を要求ヘッダーに適用します。 • `credential_value` :認証情報の値に署名を適用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define HttpRequestData
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

//Get AuthCredential
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create RequestAuthAPI and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();
output.setDirective("header");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HttpRequestAuthedData - setStatus(文字列 status)

要求署名のステータスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
status	文字列	要求署名のステータス。 可能な値： • `success`：システムが要求に正常に署名しました。 • `fail`：システムが要求に署名できませんでした。 • `skipped`：情報が不完全であったためにシステムが署名をスキップしました。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

// Get an AuthCredential object
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();
output.setStatus("fail");

// Get the signed status
gs.info("Status is: " + output.getStatus());
```

出力:

```
 Status is: FAIL
```

HttpRequestAuthedData - setStatusMessage(文字列 statusMessage)

要求署名のステータスメッセージを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
statusMessage	文字列	要求署名のステータスに設定するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);

// Get an AuthCredential object
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();
output.setStatusMessage("The request was successfully signed.");

// Get the signed status message
gs.info("Status message is: " + output.getStatusMessage());
```

出力:

```
Status message is: The request was successfully signed.
```

HttpRequestData - スコープ指定

HttpRequestData API は、署名を適用してエンドポイントに送信する前に REST 要求を構築および操作するためのメソッドを提供します。

次の順序でこれらの API を使用して、送信署名要求を生成します。

1. *HttpRequestData*：API 要求を構築します。
2. *AuthCredential*：資格情報オブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新します。資格情報を使用して、*RequestAuthAPI* クラスで要求に署名します。
3. *RequestAuthAPI*：要求に署名し、HttpRequestAuthedData オブジェクトを返します。
4. *HttpRequestAuthedData*：署名された要求に関する情報を取得します。
5. *GlideHTTPRequest*：署名された要求を送信します。

これらの API を使用する前に、認証 アルゴリズムを構成し て要求に署名し、要求の認証に使用する認証情報に関連付ける必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API は、`sn_auth` 名前空間識別子を持つスコープ対象スクリプト内で使用します。コンストラクタを使用してこのクラスをインスタンス化することも、*`RequestAuthAPI`* クラスの *`getHttpRequestData()`* メソッドから HttpRequestData オブジェクトを返すこともできます。

HttpRequestData - HttpRequestData()

HttpRequestData オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
```

HttpRequestData - addHeader(文字列 key, 文字列 value)

ヘッダーを HttpRequestData オブジェクトに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	HTTP ヘッダーの名前。
value	文字列	HTTP ヘッダーの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、REST 要求のペイロードを作成します。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );
```

HttpRequestData - addQueryParam(文字列 key, 文字列 value)

クエリーパラメーターを HttpRequestData オブジェクトに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	クエリーパラメーターの名前。
value	文字列	クエリーパラメーターの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addQueryParam('api_version', 'v2 );
```

HttpRequestData - deleteHeader(文字列 key)

ヘッダーを HttpRequestData オブジェクトから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	削除する HTTP ヘッダーの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.deleteHeader('x-amz-acl');
```

HttpRequestData - getConnectionAliasID()

統合ハブ REST ステップに関連付けられた接続および資格情報エイリアスの sys_id を返します。

その sys_id を `ConnectionInfoProvider` API に渡すと、接続に関する情報を取得できます。

注: このメソッドは、統合ハブ REST ステップでのみ使用できます。詳細については、「REST ステップ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求に関連付けられた接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルのエイリアスレコードの sys_id。

```
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
var id = httpRequestData.getConnectionAliasID();

var credential = new sn_cc.ConnectionInfoProvider().
var connectionInfo = credential.getConnectionInfo(id);
```

HttpRequestData - getConnectionExtendedAttribute(文字列 name)

統合ハブ REST ステップに関連付けられた接続および資格情報エイリアスに関連付けられた接続属性の値を返します。

注: このメソッドは、統合ハブ REST ステップでのみ使用できます。詳細については、「REST ステップ」を参照してください。

接続属性の詳細については、「Integration Hub の接続属性を作成する」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	接続属性の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	接続属性の値。

この例では、REST ステップに関連付けられた接続および資格情報エイリアスで設定された接続属性の値を返します。

```
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
gs.info("API Version is: " +
 httpRequestData.getConnectionExtendedAttribute('api_version'));
```

HttpRequestData - getContent()

HttpRequestData オブジェクト内の要求の内容を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求の内容。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );
var ct = httpRequestData.getContent();
```

出力：

```
Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message
```

HttpRequestData - getDate()

要求が署名された日付を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	1970 年 1 月 1 日 (UTC) と要求が署名された日の差。 単位：ミリ秒

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');

gs.info( "Date: " + httpRequestData.getDate());
```

出力：

```
Date: 1349333576093
```

HttpRequestData - getDirective()

署名がヘッダー内の要求に適用されるか、クエリーパラメーターとして適用されるかを返します。

デフォルトでは、署名がヘッダーに適用されます。*setDirective()* API を使用すると、署名をクエリーパラメーターとして適用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	署名がヘッダーに適用されるか、クエリーパラメーターとして適用されるか。 次の値が含まれます。 • HEADER：署名は要求ヘッダーに適用されます。 • QUERY：署名はクエリーパラメーターとして適用されます。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');

gs.info( "Signature applied to: " + httpRequestData.getDirective() );
```

出力：

```
Signature applied to: HEADER
```

HttpRequestData - getEndpoint()

要求のエンドポイントセットを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求のエンドポイントセット。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');
httpRequestData.setDirective("query");
gs.info( "Endpoint is: " + httpRequestData.getEndpoint() );
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
Endpoint is: https://s3.amazonaws.com
```

HttpRequestData - getExpiry()

RequestAuthAPI クラスの *generateAuth()* メソッドを使用して要求が署名されたときから署名の有効期限が切れるまでの時間を秒単位で返します。

有効期限は通常、要求の送信先のサードパーティサービスによって設定され、*setExpiry()* メソッドによって設定された値を上書きします。たとえば、サードパーティのサービスによって有効期限が 900 秒に設定されているときに、*setExpiry()* メソッドを使用して有効期限を 300 秒に設定した場合、*getExpiry()* メソッドは 900 秒を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	署名の有効期限が切れるまでの時間。 単位：秒

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');
httpRequestData.setDirective("query");
httpRequestData.setExpiry(300);

gs.info("Signature expires in: " + httpRequestData.getExpiry());
```

出力：

```
Signature expires in: 300
```

HttpRequestData - getHeader(文字列 key)

指定された HTTP ヘッダーに関連付けられた値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	HTTP ヘッダーの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された HTTP ヘッダーの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );

gs.info( "Header value is: " + httpRequestData.getHeader('x-amz-acl') );
```

出力：

```
Header value is: public-read
```

HttpRequestData - getHeaderMap()

要求に含まれるヘッダーを含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求に関連付けられたすべてのヘッダーを定義するキーと値のペア。 キーと値のペアにはそれぞれ次の要素が含まれています。 • キー：文字列ヘッダーの名前。 • 値：文字列。ヘッダーの値。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );
httpRequestData.addHeader('content-type', 'application/json' );

var map = httpRequestData.getHeaderMap();

for(var x in map) {
    var y = map[x]

    gs.info(x, y);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
*** Script: x-amz-acl
*** Script: content-type
```

HttpRequestData - getHost()

要求で使用されているホストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求で使用されているホスト。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setHost('myHost')
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

gs.info("Host is: " + httpRequestData.getHost());
```

出力：

```
Host is: myHost
```

HttpRequestData - getHttpMethod()

要求で使用されている HTTP メソッドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求で使用されている HTTP メソッド。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );

gs.info("HTTP method is: " + httpRequestData.getHttpMethod());
```

出力：

```
HTTP method is: PUT
```

HttpRequestData - getQueryParam(文字列 key)

指定されたクエリーパラメーターの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	値を取得するクエリーパラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリーパラメーターの値。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addQueryParam('api_version', 'v2' );

gs.info("API version is: " +
 httpRequestData.getQueryParam('api_version'));
```

出力：

```
API version is: v2
```

HttpRequestData - getQueryParamMap()

要求に含まれるクエリーパラメーターを含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求に関連付けられたクエリーパラメーターを定義するキーと値のペア。 キーと値のペアにはそれぞれ次の要素が含まれています。 • キー：文字列クエリーパラメーターの名前。 • 値：文字列。クエリーパラメーターの値。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addQueryParam('api_version', 'v2' );
httpRequestData.addQueryParam('limit', '1000' );
httpRequestData.addQueryParam('offset', '1' );


var map = httpRequestData.getQueryParamMap();
gs.info("api_version is: " + map['api_version']);
```

出力：

```
api_version is: v2
```

HttpRequestData - getRegion()

署名に使用される要求のリージョンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リージョンの名前。

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info("Region is: " + httpRequestData.getRegion());
```

出力：

```
Region is: us-east-1
```

HttpRequestData - getService()

要求で定義されているサービスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求で定義されているサービス。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');

gs.info("Service is: " + httpRequestData.getService());
```

出力：

```
Service is: s3
```

HttpRequestData - setContent(文字列 content)

要求で送信する内容を定義します。

注: このメソッドは、スクリプトインクルードと MID Server スクリプトではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
content	文字列	要求で送信する内容。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
```

HttpRequestData - setDate(数字の日付)

署名に使用される要求の日付を定義します。

このメソッドは、署名がタイムスタンプに基づいて正しく作成されているかどうかをテストする場合にのみ使用します。本番環境では、署名要求は署名を生成した時間を使用します。この値を手動で設定すると、署名要求が失敗する可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
date	数字	1970 年 1 月 1 日 (UTC) と要求への署名に使用された日付の差。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');
httpRequestData.setDate(1349333576093);
```

HttpRequestData - setDirective(文字列 **directive)**

署名をヘッダー内の要求に適用するか、クエリーパラメーターとして適用するかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
directive	文字列	署名をヘッダーに適用するか、クエリーパラメーターとして適用するか。 次の値が含まれます。 • `query`：署名をクエリーパラメーターとして適用します。 • `header`：署名を要求ヘッダーに適用します。 デフォルト：header

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');
httpRequestData.setDirective("query");
```

HttpRequestData - setEndpoint(文字列 **endpoint)**

要求の送信先のエンドポイントを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
endpoint	文字列	要求の送信先のエンドポイント。エンドポイントには、クエリーパラメーター、パス、およびバージョンを含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint="https://third-party-endpoint/path-parameters/version";

var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
```

HttpRequestData - setExpiry(数字 **expiry)**

RequestAuthAPI クラスの *generateAuth()* メソッドを使用して要求が署名されてから署名の有効期限が切れるまでの時間を設定します。

有効期限は通常、要求の送信先のサードパーティサービスによって設定され、*setExpiry()* メソッドによって設定された値を上書きします。たとえば、サードパーティのサービスによって有効期限が 900 秒に設定されているときに、*setExpiry()* メソッドを使用して有効期限を 300 秒に設定した場合、*getExpiry()* メソッドは 900 秒を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
expiry	数字	署名の有効期限が切れるまでの時間。 単位：秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.addQueryParam("list-type", "2");
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setHttpMethod('get');
httpRequestData.setExpiry(300);
```

HttpRequestData - setHost(文字列 **host)**

要求で使用されるホストを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
host	文字列	HTTP 要求ホストの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https:third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setHost('myHost')
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl', 'public-read' );
```

HttpRequestData - setHttpMethod(文字列 **httpMethod)**

要求で使用する HTTP メソッドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
httpMethod	文字列	要求で使用する HTTP メソッド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HttpRequestData - setRegion(文字列 **region**)

要求に署名する際に使用するリージョンを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
region	文字列	要求の署名に使用するリージョン。使用可能な値は、サードパーティ API の要件によって決まります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https:third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod('put');
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
```

HttpRequestData - setService(文字列 **service**)

要求のサービスを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
service	文字列	要求のサービス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var endpoint= "https://s3.amazonaws.com";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
```

ICalUtilSNC - グローバル

ICalUtilSNC スクリプトインクルードは、iCalendar 準拠のイベントを生成する関数を提供します。

ICalUtilSNC - formatICalComponent(アレイ **arrEvents**)

書式設定された VCALENDAR コンポーネントを生成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
arrEvents	アレイ	VCALENDAR コンポーネントを構成するプロパティ。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	VCALENDAR を形成するために必要なプロパティ。

ICalUtilSNC - formatICalEvent(アレイ **arrEvent**, ブーリアン **useAlarm)**

書式設定された VEVENT コンポーネントを生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
arrEvent	アレイ	VEVENT を構成する個々のプロパティが含まれます。
useAlarm	ブーリアン	true の場合、VEVENT に VALARM が追加されます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された VEVENT。

ICalUtilSNC - formatRecurringRule (オブジェクト **ruleObj)**

VEVENT の RRULE プロパティを書式設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ruleObj	オブジェクト	RRULE プロパティのプロパティが含まれます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された RRULE プロパティ。

ICalUtilSNC - getDateFromScheduleDateTime (GlideScheduleDateTime scheduleDateTime)

GlideScheduleDateTime から日付を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleDateTime	GlideScheduleDateTime	日付と時刻を GlideScheduleDateTime で表現したもの。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された日付。

Example: cURL の例

```
var scheduleDateTime = new GlideScheduleDateTime();
var myICalUtilSNC = new ICalUtilSNC();
var scheduleDate =
 myICalUtilSNC.getDateFromScheduleDateTime(scheduleDateTime);

gs.info(scheduleDateTime);
gs.info(scheduleDate);
```

出力:

```
2023-02-08 09:05:22
20230208
```

ICalUtilSNC - getSDT(文字列 sdtStr, 文字列 timeZone)

渡された日付と時刻の文字列に基づいて GlideScheduleDateTime オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sdtStr	文字列	書式設定された ScheduleDateTime。
timeZone	文字列	オプション。GlideScheduleDateTime オブジェクトを生成するときに使用するタイムゾーン。

返される内容

タイプ	説明
GlideScheduleDateTime	渡された日付と時刻の文字列の GlideScheduleDateTime 表現。

ICalUtilSNC - getTimeFromScheduleDateTime (GlideScheduleDateTime scheduleDateTime)

GlideScheduleDateTime から時刻を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleDateTime	GlideScheduleDateTime	日付と時刻を GlideScheduleDateTime で表現したもの。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された時刻。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var scheduleDateTime = new GlideScheduleDateTime();
var myICalUtilSNC = new ICalUtilSNC();
var scheduleDate =
 myICalUtilSNC.getTimeFromScheduleDateTime(scheduleDateTime);

gs.info(scheduleDateTime);
gs.info(scheduleDate);
```

出力:

```
2023-02-08 10:21:43
102143Z
```

IdentificationEngine - スコープ指定

IdentificationEngine API は、識別および調整フレームワークを使用して、構成管理データベース (CMDB) の更新時に許可されたデータソースからの情報のみを受け入れることで、重複する構成アイテム (CI) の作成を最小限に抑え、CI 属性を調整します。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用する際は、`sn_cmdb` 名前空間識別子を使用します。

IdentificationEngine - createOrUpdateCI(文字列 source, 文字列 input)

識別および調整ルールに基づいて、CMDB で構成アイテム (CI) および 構成管理データベース (CMDB) 以外の CI (cmdb_ci から拡張されていないクラス) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加または更新する構成アイテムの JSON 形式の文字列。 `"input" { "items": [Array], "referenceItems": [Array], "relations": [Array] }`
input.items	オブジェクトのアレイ	追加または更新するアイテム。 `"items": [ { "className": "String", "display_values": {Object}, "internal_id": "String", "lookup": [Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"related": [Array],
		"settings": {Object},
		"sys_object_source_info": {Object},
		"values": {Object}
		}
		]</pre>

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値のペアとして作成または更新する参照フィールド。名前はフィールド名で、値は参照される表示値です。参照フィールドの表示値の代わりに sys_id を使用する場合は、このパラメーターではなく *input.items.lookup.values* パラメーターで情報を渡します。
		
		参照フィールド名は、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。
		<pre>"display_values": {
		"model_id": "String",
		"location": "String"
		}</pre>

input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.lookup	オブジェクトのア	ルックアップを含むトップレベルのアイテムを識別します (ルックアップベースの識別)。これらのレコードは、cmdb_ci への参照を含むルックアップテーブルに基づいて構成アイテムを識別するために使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	レイ	例： `"lookup": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_number や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh.mm:ss
input.items.lookup.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
input.items.related	アレイ	関連リストを含むトップレベルのアイテムへの参照。関連エントリ [cmdb_related_entry] のルール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		は、このアレイに含めることができるレコードのタイプを定義します。これらのレコードは、識別されている CI への参照を含む関連テーブルに基づいてアイテムを追加するために使用されます。 関連テーブルは、cmdb_ci を拡張する場合と拡張しない場合があります。これらのレコードは、構成アイテムの識別には使用されません。 `"related" [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_instance や cmdb_key_value などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。
input.items.related.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.related.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"source_recency_timestamp": "String"
		}</pre>

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。 データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。
		
		フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。
		<pre>"values": {
		"host_name":
		"String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre>"ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }</pre>
input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義するパラメーター。<pre>"settings": { "skipReclassificationRestrictionRules": Boolean, "updateWithoutDowngrade": Boolean, "updateWithoutSwitch": Boolean, "updateWithoutUpgrade": Boolean }</pre>
input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールを実行すべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブーリアン	このアイテムの更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブーリアン	このアイテムの更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブーリアン	アイテムを更新してクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 デフォルト値：false
input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh.mm:ss
input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
input.referenceItems	オブジェ	入力ペイロード内のアイテム間の参照を定義するリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	オブジェクトのアレイ	<pre>"referenceItems": [
		  {
		  "referenced":
		"String",
		  "referencedBy":
		"String",
		  "referenceField":
		"String"
		  }
		]</pre>

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。

input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の関係を指定するリスト。
		
		このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。
		• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
		<pre>"relations": [
		  {
		  "child": Number,
		  "parent": Number,
		
		  "sys_rel_source_info": {Object},
		  "type": "String"
		  }
		]</pre>
		• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。 `"relations": [ { "child_id": "String", "parent_id": "String", "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related、または items.lookup) を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、items.related、または items.lookup) の *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (items、items.related、または items.lookup) の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、items.related、または items.lookup) の *internal_id*。
input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルに保存されます (*identifyCIEnhanced()* または *identifyCI()* メソッドでは保持されません)。 データタイプ：オブジェクト `"sys_rel_source_info": { "source_name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"source_feed": "String"
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。 デフォルト:「UNKNOWN」は、sys_rel_sourceテーブルにレコードを作成するときにsource_feed列に保存されます。
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからの名前フィールド値である必要があります。
source	文字列	CI 情報のデータソースを識別します。この値は、cmdb_ci テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。

返される内容

タイプ	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテムの結果のリストである JSON 形式の文字列。それぞれの結果文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems	現在、値は返されていません。
<String>.additionalCommittedRelations	現在、値は返されていません。
<String>.items	作成または更新された CI の説明。 データタイプ: オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	"items": {
	
	"additionalRelatedItems": [Array],
	"className": "String",
	"duplicateIndices": [Array],
	"errorCount": Number,
	"errors": [Array],
	
	"identificationAttempts": [Array],
	
	"identifierEntrySysId": "String",
	"info": [Array],
	"inputIndices": [Array],
	"maskedAttributes": [Array],
	"operation": "String",
	"relatedItems": [Array],
	"relatedSysIds": [Array],
	"sysId": "String"
	}

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペイロードの一部として提供されなかった追加のルックアップおよび関連アイテムに関する情報のリスト。これらのアイテムは部分的ペイロードからのものです。 現在、この情報は返されていません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ "additionalRelatedItems": [{ "className": "String", "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列

<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連アイテムまたはルックアップアイテムの場合は、JSON オブジェクトのリストです。
	
	データタイプ：数値のアレイまたはオブジェクトのアレイ
	
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	   "mainIndex": Number,
	   "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.mainIndex	追加の関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.subIndex	追加の関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	追加の関連アイテムの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する CI のインデックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"identificationAttempts": [ { "attemptResult": "String", "attributes": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"hybridEntryCiAttributes": [Array],
	"identifierName": "String",
	"searchOnTable": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功しました。指定された属性と完全に一致する一意の CI が識別子ルールテーブルで見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーのため識別に失敗しました。指定された属性に対して照合しているときに、識別子ルールテーブルに重複する CI が見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗しました。指定された属性と一致する CI が識別子ルールテーブルで見つかりませんでした。 • SKIPPED：識別は試行されませんでした。この識別子ルールテーブルの検索に必要な属性が指定されなかったため、ルールは適用されませんでした。 データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用された CI ID エントリ属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次のような使用される要求本文データと識別子によって異なります。
	<pre>"attributes": [
	"serial_number": "String",
	"serial_number_type": "String",
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	現在、値は返されていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用される識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索されたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用される識別子ルールの sys_id。識別子エントリー [cmdb_identifier_entry] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追加情報を含むリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"info": [ { "code": "String", "message": "String", "ruleSysId": "String" } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGRADE • SKIPPED_CLASS_UPGRADE データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由に関する追加のインサイトを提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの sys_id。再分類制限ルールのために IRE が再分類をスキップする場合にのみ適用されます。ペイロードまたはグローバルフラグのため

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	に再分類がスキップされた場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 *items* アレイからの CI のインデックス値。 データタイプ：アレイ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従って、権限のないデータソースによる更新がスキップされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems	処理された関連アイテムに関する情報を提供するリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedItems": [ { "className": "String", "errors": [Array], "errorCount": Number, "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors	処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.relatedItems.errorCount	処理中に検出されたエラーの数。 データタイプ：数値

<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する関連アイテムのインデックス。
	
	データタイプ：アレイまたは数値
	
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	  "mainIndex": Number,
	  "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレイからの関連アイテム (テーブルルックアップアイテム) の sys_id 値のリスト。 重要な値 - null:この関連アイテムのsys_idは識別されませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.relations	処理された関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relations":[ { "className": "String", "errorCount": Number, "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テーブル。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.inputIndices	対応する入力関係のインデックス。 データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT • UPDATE • NO_CHANGE データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列

構成アイテムを再分類する方法を次に示します。

```
var payload = {
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "values": {
        "short_description": "Linux server description",
        "name": "Linux Server 1"
      }
    }
  ]
};

var input = JSON.stringify(payload);
var output = sn_cmdb.IdentificationEngine.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "NO_CHANGE",
      "sysId": "440577800f321010150efc91ff767e94",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "serial_number"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "info": [
        {
          "message": "CI Reclassification not allowed from class:
 [cmdb_ci_linux_server] to [cmdb_ci_win_server] by a reclassification
 restriction rule",
          "code": "SKIPPED_CLASS_SWITCH",
          "ruleSysId": "b3d4b3800f321010150efc91ff767eab"
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": []
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```


構成アイテムを更新する方法を次に示します。

```
var payload = {
"items": [
{
 "className": "cmdb_ci_win_server",
 "values": {
   "chassis_type": "Desktop",
   "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
   "name": "Windows2012Server1",
   "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
   "cpu_count": "1"
  },
  "lookup": [
  {
     "values": {
       "valid": "true",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
        "serial_number_type": "bios"
       },
      "className": "cmdb_serial_number"
    },
    {
      "values": {
        "valid": "true",
        "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
        "serial_number_type": "chassis"
       },
      "className": "cmdb_serial_number"
    }],

     "internal_id": "16777219",
     "sys_object_source_info": {
       "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
       "source_name": "ServiceNow",
       "source_native_key": "16777219",
       "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
    }},
    {
    "className": "cmdb_ci_spkg",
    "values": {
      "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
      "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
       },

  "related": [
    {
      "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219",
      "values": {
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
      "className": "cmdb_software_instance",
      "sys_object_source_info": {
        "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
        "source_name": "ServiceNow",
        "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }}]},
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var input = JSON.stringify(payload);
var output = sn_cmdb.IdentificationEngine.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "d56ab6eadbd510102f67dfea5e96194e",
      "relatedSysIds": [
        "dd6af62adb1910102f67dfea5e96197f",
        "996af62adb1910102f67dfea5e961980"
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "dd6af62adb1910102f67dfea5e96197f",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "996af62adb1910102f67dfea5e961980",
          "markers": [],
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source NO_MATCH",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_spkg",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "116af62adb1910102f67dfea5e961981",
      "relatedSysIds": [
        "6d6af62adb1910102f67dfea5e961984"
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "6d6af62adb1910102f67dfea5e961984",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 1,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_software_instance"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Software",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "key"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        1
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "e96af62adb1910102f67dfea5e961985",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        2
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "e96af62adb1910102f67dfea5e961989",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

依存型 CI を識別します。

```
var payload =
              {items: [
                    {className:'cmdb_ci_web_server',
                     values: {name:'apache linux den 200',
                              running_process_command: 'xyz',
                              running_process_key_parameters: 'abc',
                              tcp_port:'3452'}},
                    {className:'cmdb_ci_linux_server',
                     values: {name:'lnux100', ram:'2048'}}],
               relations:[{parent: 0, child: 1, type: 'Runs on::Runs'}]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            };

var input = JSON.stringify(payload);
var output = sn_cmdb.IdentificationEngine.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：


```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_web_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "b9bb766adb1910102f67dfea5e961962",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "a5bb766adb1910102f67dfea5e96195b",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "fdbb766adb1910102f67dfea5e961964",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

ルックアップベースの識別で独立型 CI を識別します。

```
var payload = {items: [
           {className:'cmdb_ci_netgear',
               values: {name:'ny8500-nbxs08',
                        ports:'1200'},
               lookup: [{className:'cmdb_serial_number',
                           values:{serial_number:'1234ABCD',
 serial_number_type:'uuid',absent:'false',valid:'true'}},
                        {className:'cmdb_serial_number',
                           values:{serial_number:'3456EFGH',
 serial_number_type:'system',absent:'false',valid:'true'}}]}]};

var input = JSON.stringify(payload);
var output = sn_cmdb.IdentificationEngine.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_netgear",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "787c7e6adb1910102f67dfea5e96196e",
      "relatedSysIds": [
        "f47c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
        "3c7c7e6adb1910102f67dfea5e961977"
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "f47c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "3c7c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

IdentificationEngine - createOrUpdateCIEnhanced(文字列 **source**, 文字列 **input**, オブジェクト **options)**

識別および調整ルールに基づいて、CMDB で構成アイテム (CI) および 構成管理データベース (CMDB) 以外の CI (cmdb_ci から拡張されていないクラス) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

このメソッドは、*createOrUpdateCI* メソッドの機能を提供することに加えて、以下もサポートしています。

- 部分的ペイロードの処理
- 部分的コミットの処理
- ペイロード内の重複アイテムの削除
- 出力サマリーの生成

IRE の詳細と、この方法で使用されるデータの詳細な説明については、「識別および調整 (IRE)」を参照してください。

非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明

input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加
		文字列。
		`"input" {`
		`"items": [Array],`
		`"referenceItems": [Arr`
		`"relations": [Array]`
		`}`

input.items	オブ	追加または更新するアイテム。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	ジェクトのアレイ	<pre>"items": [
		  {
		  "className": "Strin
		  "display_values": {
		  "internal_id": "Str
		  "lookup": [Array],
		  "related": [Array],
		  "settings": {Object
		  "sys_object_source_
		  "values": {Object}
		  }
		]</pre>

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_serve CMDB クラス/テーブルにするこ

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値の
		ルド。名前はフィールド名で、値
		の表示値の代わりに sys_id を使用
		input.items.lookup.value
		
		参照フィールド名は、次のように
		ます。
		<pre>"display_values": {
		  "model_id": "String",
		  "location": "String"
		}</pre>

input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup	オブジェクトのアレイ	ルックアップを含むトップレベル
		の識別)。これらのレコードは、c
		に基づいて構成アイテムを識別す
		
		例：
		<pre>"lookup": [
		  {
		  "className": "Strin
		  "internal_id": "Str
		  "sys_object_source_
		  "values": {Object}
		  }
		]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_numbe の CMDB クラス/テーブルにする
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のデータソースの一意の CI
		と、名前と値のペアが異なる場合
		
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.lookup.values	オブジェクト	名前と値のペアとしての CI のフ
		です。参照フィールドを更新する
		ります。
		
		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`"serial_number": "Str`
		`"serial_number_type":`
		`"valid": "String",`
		`"ip_address": "String`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"mac_address": "Strin
		}</pre>

input.items.related	オブジェクトのアレイ	関連リストを含むトップレベルの [cmdb_related_entry] のルール ドのタイプを定義します。これら 含む関連テーブルに基づいてア
		
		関連テーブルは、cmdb_ci を拡 らのレコードは、構成アイテムの
		<pre>"related" [
		{
		"className": "Strin
		"internal_id": "Str
		"sys_object_source_
		"values": {Object}
		}
		]</pre>

input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_inst CMDB クラス/テーブルにするこ
input.items.related.internal_id	文字列	このペイロードのこの関連アイテ きますが、ペイロード内で一意で

input.items.related.sys_object_source_info	オブジェクト	指定されたデータソースの一意の ソースが異なると、名前と値のペ
		<pre>"sys_object_source_info
		"source_feed": "Strin
		"source_name": "Strin
		"source_native_key":
		"source_recency_times
		}</pre>

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソースを識別しま テーブルの discovery_source フ 要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	関連アイテムのソースからの一意

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：`YYYY-MM-DD hh:mm:ss`
input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の 名前はフィールド名です。参照フ る必要があります。参照フィール は、*values* オブジェクトではな 報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のよ なります。 `"values": { "host_name": "String" "ip_address": "String "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "St }`
input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義す `"settings": { "skipReclassification "updateWithoutDowngra "updateWithoutSwitch" "updateWithoutUpgrade }`
input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラ どうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキッ • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブール	このアイテムの更新とダウングレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とダウ デフォルト値：false

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブール	アイテムを更新してクラスを切り 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とクラス デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブール	このアイテムの更新とアップグレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とアッ デフォルト値：false

input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は discovery_source フィールドに す。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の 名前はフィールド名です。参照フ る必要があります。参照フィール は、*values* オブジェクトではな 報を渡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		`"values": {`
		`"host_name": "String"`
		`"ip_address": "String`
		`"name": "String",`
		`"os_name": "String",`
		`"sys_class_name": "St`
		`}`

input.referenceItems	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		`"referenceItems": [`
		`{`
		`"referenced": "Stri`
		`"referencedBy": "St`
		`"referenceField": "`
		`}`
		`]`

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されて *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテム
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラ

input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		このアレイ内のオブジェクトは、
		• オブジェクトは、*parent* およ
		トップレベルアイテム (のみ) の
		ド *items* アレイのアイテムイ
		`"relations": [`
		`{`
		`"child": Number,`
		`"parent": Number,`
		`"sys_rel_source_ir`
		`"type": "String"`
		`}`
		`]`
		• オブジェクトは、*parent_id*
		て、最上位レベルのアイテム、
		含む任意の 2 つのアイテム間の
		イテムに対して定義された *in*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"relations": [
		  {
		  "child_id": "Strin
		  "parent_id": "Stri
		  "sys_rel_source_in
		  "type": "String"
		  }
		]</pre>

input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related 内の CI オブジェクトの整数イン
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、ite *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (it の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、ite *internal_id*。

input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関
		[sys_rel_source] テーブルに保存
		identifyCI() メソッドでは保
		
		データタイプ：オブジェクト
		<pre>"sys_rel_source_info":
		  "source_name": "Strin
		  "source_feed": "Strin
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメ
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャ デフォルト:「UNKNOWN」は、 るときにsource_feed列に保存さ
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存 [cmdb_rel_type] テーブルからの
オプション	オブジェクト	オプションですが、{} または nul 効にするオプション。 **注:** デフォルトでは、または いる場合は、*partial_com* (これらが false に設定されて 能は、部分的ペイロード機能

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"options": {
		"deduplicate_payloads"
		"generate_summary": Bo
		"partial_commits": Boo
		"partial_payloads": Bo
		"skip_updating_last_sc
		"skip_updating_source_
		}</pre>

options.deduplicate_payloads	ブール	重複アイテムが結合されているか ラグ。 有効な値： • true：重複アイテムを結合しま • false：重複アイテムをエラー デフォルト：true
options.generate_summary	ブール	返された結果にサマリー情報が含 返されるサマリー情報の詳細につ *<String>.summary* を参照して 有効な値： • true：サマリー情報を含めます • false:概要情報を含めません。 デフォルト値：false
options.partial_commits	ブール	部分的コミットのサポートが有効 については、「拡張 IRE 機能」 有効な値： • true：部分的コミットは有効で • false：部分コミットは無効で デフォルト：true
options.partial_payloads	ブール	部分的ペイロードのサポートが有 の詳細については、「拡張 IRE 機 成」を参照してください。 有効な値： • true：部分的ペイロードは有効 • false：部分的ペイロードは無 デフォルト：true

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.skip_updating_last_scan_to_now	ブール	sys_object_source の last_scan かを示すフラグ。 有効な値： • true：*source_recency_tim* *sys_object_source_info* last_scan 時間フィールドを更 • false：sys_object_source の デフォルト：glide.identification システムのプロパティの 値を使用
options.skip_updating_source_last_discovered_to_now	ブール	構成アイテム [cmdb_ci] テーブ last_discovered フィールドの更 有効な値： • true：ペイロードアイテムの値 は、discovery_source フィー せん。 • false：discovery_source フィ します。 デフォルト： glide.identification_engine.skip システムのプロパティの値を使用
source	文字列	CI 情報のデータソース。この値は discovery_source フィールドに す。

返される内容

パラメーター	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテ リストである JSON 形式の データタイプ：文字列 { "additionalCommitt s": [Array], "additionalCommitt ons": [Array], "hasError": Boole "hasWarning": Boo "items": [Array], "relations": [Arr

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	<pre> "summary": {Objec }</pre>

<String>.additionalCommittedItems	現在のペイロードの IRE 処
	ミットされても、現在の入
	ドに存在しなかった CI の
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"additionalCommitte
	 [
	  {
	  "className": "S
	  "errorCount": N
	  "operation": "S
	
	 "identificationAtt
	 [Array],
	  "inputIndices":
	 [Array],
	  "markers": [Arr
	  "mergedPayloads
	 [Array],
	  "sysId": "Strin
	  }
	]</pre>

<String>.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_clas データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発 ラーの数。 データタイプ：数値

<String>.additionalCommittedItems.errors	この追加の CI の処理中に発
	ラーを説明するオブジェク
	イ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "Strin
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.additionalCommittedItems.errors.error	この追加の CI の処理中に発 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.additionalCommittedItems.errors.message	この追加の CI の処理中に発 ラーメッセージ。 データタイプ：文字列

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts	各オブジェクトがこの追加
	別するために行われた試行
	オブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"identificationAtte
	{
	"attemptResult"
	"String",
	"attributes": [
	
	"hybridEntryCiAttr
	[Array],
	"identiferName"
	"String",
	"searchOnTable"
	[Array]
	}
	]

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の データタイプ：文字列 可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI 識別試行中に る CI ID エントリー属性。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_ty "String", ]`
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI の識別の試行 される CI ID エントリ属性 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"hybridEntryCiAttri [ "name": "String", "serial_number": ]`
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に る識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で たテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するた される識別子ルールの sys 注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してくだ
<String>.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求 *items* アレイの CI のイン 値。 データタイプ：数値のアレ `"inputIndices": [ { Number`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	}]
<String>.additionalCommittedItems.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ "markers": []
<String>.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合 た CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_paylo ブルからの部分的ペイロー 値。 データタイプ：アレイ "mergedPayloadIds": "String"]
<String>.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行 作。 データタイプ：文字列 可能な値： • DELETE：既存の CI が テーブルから削除されま • INSERT：追加の CI が新 ドとしてターゲットテー されます。 • NO_CHANGE：追加の 実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテ 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWN ターゲットテーブル内の が更新され、そのクラス 的なクラス (先祖クラス) ます。 • UPDATE_WITH_SWITC ゲットテーブル内の既存 新され、そのクラスが先 たは子孫クラスではない に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGR ゲットテーブル内の既存

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	新され、そのクラスがよ たクラス (子孫クラス) に す。
<String>.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこ の sys_id。 データタイプ：文字列 注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してくた
<String>.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生 の説明。 データタイプ：オブジェク `"warnings": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発 告のタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発 告メッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本 *relations* リストに含まれ かった依存関係 CI の説明。 データタイプ：オブジェク `"additionalCommitte ns": [ { "className": "S "inputIndices": [Array], "markers": [Arr "mergedPayloadI [Array], "operation": "S } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 データタイプ：文字列 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テ
<String>.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処生したエラーの説明。 データタイプ：オブジェク `"errors": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処ラーが発生したエラーメッ データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係性 CI に要求本文 *relations* アレ関係 CI オブジェクトのイン値。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
<String>.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ `"markers": []`
<String>.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処中にこの CI 用に結合され CMDB IRE 部分的ペイロー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	[cmdb_ire_partial_paylo
	ブルからの部分的ペイロー
	値。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds":`
	`"String"`
	`]`

<String>.additionalCommittedRelations.operation	追加の依存関係性 CI に対 れた操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI か コードとしてターゲット 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されます • INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 て実行された操作はあり • UPDATE：ターゲットテ 存の依存関係 CI が更新さ データタイプ：文字列
<String>.hasError	アイテムまたは関係にエラ どうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.hasWarning	アイテムまたは関係に警告 うかを示すフラグ。 データタイプ：ブール

<String>.items	作成または更新された CI の
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"items": [`
	`{`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	"additionalRelated [Array], "className": "S "duplicateIndic [Array], "errorCount": N "errors": [Arra "identificationAtt [Array], "identifierEntr "String", "incompleteSysI "String", "info": [Array] "inputIndices": [Array], "maskedAttribut [Array], "operation": "S "partialSysIds" "String", "relatedItems": [Array], "relatedSysIds" [Array], "sysId": "Strin }]

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペ
	の一部として提供されなか
	ルックアップおよび関連ア
	する情報。これらのアイテ
	ペイロードからのものです
	
	データタイプ：オブジェク
	"additionalRelatedI
	{
	"className": "S
	"inputIndices":
	[Array],
	"mergedPayloadI
	[Array],
	"operation": "S
	"sysId": "Strin
	}
	]

<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応す *items* アレイからの CI の ス値。 データタイプ：数値のアレ
<String>.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	関連アイテムに結合された 的ペイロードの sys_id のリ ト。CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_paylo ルにあります。 データタイプ：アレイ
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変 んでした。 • UPDATE：既存の CI が した。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	更新または作成された CI データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_ データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する デックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生した リスト。 データタイプ：オブジェク

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "Strin
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラ プ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行さ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"identificationAtte
	  {
	  "attemptResult"
	"String",
	  "attributes": [
	
	"hybridEntryCiAttr
	[Array],
	  "identifierName
	"String",
	  "searchOnTable"
	"String"
	  }
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用され ントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_ty "String", ]`
<String>items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	識別プロセス中に使用され ントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"hybridEntryCiAttri [ "name": "String", "serial_number": ]`
<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用 子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索され の名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用さ 子ルールの sys_id。識別子 [cmdb_identifier_entry] テ あります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.incompleteSysIds	アイテムにエラーがあり、完全ペイロードとして保存れた場合、このパラメータは、CMDB IRE 不完全ペイ[cmdb_ire_incomplete_pテーブル内のレコードの syれます。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追 データタイプ：オブジェク `"info": [ { "code": "String "message": "Str "ruleSysId": "S } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイ 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWN • SKIPPED_CLASS_UPGRA データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由加のインサイトを提供するジ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルール再分類制限ルールのために類をスキップする場合にのます。ペイロードまたはグラグのために再分類がスキ場合、この値は空になりま データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	対応する入力 CI のインデ上位レベルのアイテムの場のリストです。関連 CI また

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	アップ CI の場合は、JSON クトのリストです。 データタイプ：数値のアレ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従っ ないデータソースによる更 プされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし • INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • UPDATE：既存の CI が した。 • UPDATE_WITH_DOWN CI が更新され、クラスが なクラス (先祖クラス) に した。 • UPDATE_WITH_SWITC 更新され、クラスが先祖 ではないクラスに変更さ • UPDATE_WITH_UPDR が更新され、クラスがよ たクラス (子孫クラス) に した。 データタイプ：文字列
<String>.items.partialSysIds	アイテムにエラーがあり、 ロードとして保存された場 ラメーターには部分的ペイ コードの sys_id が含まれま データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup* 関連 CI (テーブルルックア 記述する JSON オブジェク ト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	データタイプ：オブジェク
	<pre>"relatedItems": [
	  {
	  "className": "S
	  "errors": [Arra
	  "errorCount": N
	  "incompleteSysI
	[Array],
	  "inputIndices":
	[Array],
	  "mergePayloadIc
	[Array],
	  "operation": "S
	  "partialSysIds"
	[Array],
	  "sysId": "Strin
	  "warningCount":
	  "warnings": [Ar
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テー (sys_class_name)。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems.errors	関連アイテムの処理中に発
	ラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "Strin
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.errors.error	関連アイテムの処理中に発 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorCount	関連アイテムの処理中に検 ラーの数。 データタイプ：数値

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.relatedItems.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのイ
	ス。最上位レベルのアイテ
	は、整数のリストです。関
	またはルックアップアイテ
	は、JSON オブジェクトの
	す。
	
	データタイプ：数値のアレ
	ブジェクトのアレイ
	
	`"inputIndices": [`
	`{`
	`"mainIndex": Num`
	`"subIndex": Numb`
	`}`
	`]`

<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムのもの親に対 求本文 *items* アレイからの クス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要 *items.lookup* アレイから デックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中に CI に結合された部 ロードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい関連 C ベースに挿入されました • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • NO_CHANGE：関連 CI ませんでした。 • UPDATE：既存の関連 C れました。 • UPDATE_WITH_DOWN 関連 CI が更新され、ク 汎用的なクラス (先祖ク されました。 • UPDATE_WITH_SWITC CI が更新され、クラスが 子孫ではないクラスに変 た。 • UPDATE_WITH_UPDR CI が更新され、クラスが れたクラス (子孫クラス) ました。 データタイプ：配列
<String>.items.relatedItems.partialSysIds	関連アイテムにエラーがあ ペイロードとして保存され れには、CMDB IRE 部分的 [cmdb_ire_partial_payloa ル内の関連レコードの sys_ が含まれます。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.sysId	関連アイテムのSys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warningCount	関連アイテムの処理中に発 の数。 データタイプ：数値

<String>.items.relatedItems.warnings	関連アイテムの処理中に発 の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"warnings": [`
	`{`
	`"error": "Strin`
	`"message": "Str`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.relatedItems.warnings.error	関連アイテムの処理中に発 のタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warnings.message	警告に関連付けられたメッ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	関連アイテムのルックアッ 識別中に使用される CI の リスト。 データタイプ：文字列
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI データタイプ：文字列

<String>.relations	要求本文 *relations* アレ
	存関係 CI の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"relations":
	  {
	    "className": "S
	    "errorCount": N
	    "errors": [Arra
	    "incompleteSysI
	 "String",
	    "inputIndices":
	 [Array],
	    "operation": "S
	    "partialSysIds"
	 "String",
	    "sysId": "Strin
	  }
	]</pre>

<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値の み:cmdb_rel_ci:CI 関係テ データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	依存関係 CI の処理中に発 ラーの数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：数値

<String>.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に
	エラーを説明するリスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"errors": [`
	`{`
	`"error": "Strin`
	`"message": "Str`
	`}`
	`]`

<String>.relations.errors.error	依存関係 CI の処理中に発生 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列
<String>.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する *relations* アレイ内の依存 ブジェクトのインデックス データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が コードとしてターゲット 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されまし • INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーがあ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	り、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：操作は実 せんでした。 • UPDATE：ターゲットテ 既存の依存関係 CI が更新 た。 データタイプ：文字列
<String>.relations.partialSysIds	関連にエラーがあり、部分 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_payloa ル内のレコードの sys_id に データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.summary	クラスごとに挿入または更 イテムの数に関する統計情 る JSON プロパティのリス データタイプ：アレイ

<String>.summary.<class_name>	特定のクラスの統計情報。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`<class_name>: {`
	`"additionalInserte`
	`nt": Number,`
	`"errorCount": Numb`
	`"incompleteItemCou`
	`Number,`
	`"insertedItemCount`
	`Number,`
	`"partialItemCount"`
	`Number,`
	`"skippedItemCount"`
	`Number,`
	`"unchangedItemCour`
	`Number,`
	`"updatedItemCount"`
	`Number,`
	`"warningCount": Nu`
	`}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.summary.<class_name>.additionalInsertedItemCount	部分的ペイロードの処理の されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.incompleteItemCount	CMDB IRE 不完全ペイロー [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されたアイ データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.insertedItemCount	作成されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.partialItemCount	部分的ペイロードテーブル [cmdb_ire_partial_paylo されているアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.skippedItemCount	スキップされたアイテムの データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.unchangedItemCount	エントリがあっても変更さ アイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.updatedItemCount	更新されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.warningCount	処理時に警告を生成したア 数。 データタイプ：数値

この例は、複数の CI エントリーをインポートする方法を示しています。

```
var payload = {
"items": [
{
 "className": "cmdb_ci_win_server",
 "values": {
   "chassis_type": "Desktop",
   "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
   "name": "Windows2012Server1",
   "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "cpu_count": "1"
  },
  "lookup": [
  {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
       "serial_number_type": "bios"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   },
   {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
       "serial_number_type": "chassis"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   }],

    "internal_id": "16777219",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "16777219",
      "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
   }},
   {
   "className": "cmdb_ci_spkg",
   "values": {
     "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
     "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
     },

  "related": [
    {
      "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219",
      "values": {
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
      "className": "cmdb_software_instance",
      "sys_object_source_info": {
        "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
        "source_name": "ServiceNow",
        "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }}],
  "settings" : {
        "skipReclassificationRestrictionRules" : "false",
        "updateWithoutDowngrade" : "true",
        "updateWithoutUpgrade" : "true",
        "updateWithoutSwitch" : "true"
      }},
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
 org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var input = JSON.stringify((payload));
var output =
 sn_cmdb.IdentificationEngine.createOrUpdateCIEnhanced('ServiceNow',
 input, {});

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{

"items": [
{
  "className": "cmdb_ci_win_server",
  "operation": "NO_CHANGE",
  "sysId": "65d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc2a",
  "relatedSysIds": [
    "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc32",
    "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc33"
],

"relatedItems": [
{
  "className": "cmdb_serial_number",
  "sysId": "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc32",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
  {
    "mainIndex": 0,
    "subIndex": 0
  }]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
},
  "className": "cmdb_serial_number",
  "sysId": "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc33",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
  {
    "mainIndex": 0,
    "subIndex": 1
  }]
}],

"additionalRelatedItems": [],
"identificationAttempts": [],
"errorCount": 0,
"inputIndices": [0]
},
{
"className": "cmdb_ci_spkg",
"operation": "NO_CHANGE",
"sysId": "c764e971b320001028f6eae2c6a8dc44",

"relatedSysIds": [
  "8b64e971b320001028f6eae2c6a8dc47"
],
"relatedItems": [
  {
  "className": "cmdb_software_instance",
  "sysId": "8b64e971b320001028f6eae2c6a8dc47",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
    {
      "mainIndex": 1,
      "subIndex": 0
    }]
  }],

"additionalRelatedItems": [],
"identifierEntrySysId": "a52a87c03746220006b216a543990e8c",
"identificationAttempts": [
  {
    "attributes": [
      "key"
     ],
    "identifierName": "Software",
    "attemptResult": "MATCHED",
    "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
    "hybridEntryCiAttributes": []
  }],

"errorCount": 0,
"inputIndices": [1]
},

{
"className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
"operation": "INSERT",
"sysId": "6f29f3d2b3a0001028f6eae2c6a8dcc6",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"identifierEntrySysId": "Unknown",
"identificationAttempts": [
{
  "attributes": [
    "install_directory",
    "running_process_key_parameters",
    "sys_class_name"
  ],
"identifierName": "Tomcat",
"attemptResult": "NO_MATCH",
"searchOnTable": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
"hybridEntryCiAttributes": []
},
{
"attributes": [
  "cl_port",
  "sys_class_name"
],
"identifierName": "Application Rule",
"attemptResult": "SKIPPED",
"searchOnTable": "cmdb_ci_appl",
"hybridEntryCiAttributes": []
},
{
"attributes": [
  "running_process_command",
  "running_process_key_parameters",
  "sys_class_name"
],
"identifierName": "Application Rule",
"attemptResult": "NO_MATCH",
"searchOnTable": "cmdb_ci_appl",
"hybridEntryCiAttributes": []
}
],

"errorCount": 0,
"inputIndices": [2]
}
],
"additionalCommittedItems": [],
"relations": [
{
  "className": "cmdb_rel_ci",
  "operation": "INSERT",
  "sysId": "6729f3d2b3a0001028f6eae2c6a8dcc9",
  "errorCount": 0,
  "inputIndices": [0]
}],
"additionalCommittedRelations": []
}
```


IdentificationEngine - identifyCI(文字列 **jsonString)**

データベース内の操作をコミットせずに指定されたペイロードで実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これは `createOrUpdateCI()` と同じように機能しますが、結果はコミットされません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonString	文字列	追加または更新する構成アイテムの JSON 形式の文字列。それぞれの入力文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 アイテムリストで使用できる名前と値のペアは次のとおりです。 • className:作成または更新する CI のSys_class_name。 • lookup:[{}]:アイテムリストのように、各アイテムが名前と値のペアを持つレコードのリスト。 • values:{}:名前と値のペアとしての CI のフィールド情報。ここで、名前はフィールド名です。 関係リスト内の可能な名前と値のペアは次のとおりです。 • child: 依存関係内の子アイテムのインデックス • parent: 依存関係内の親アイテムのインデックス • type:関係タイプ。cmdb_rel_type テーブルの名前フィールドの値の 1 つです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果のリストである JSON 形式の文字列。それぞれの結果文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 アイテムリストで使用できる名前と値のペアは次のとおりです。 • className:更新または作成された CI のSys_class_name。 • duplicateIndices: 現在のアイテムと重複するアイテムのインデックスのリスト。 • errors:(error, message string) 形式のエラーのリスト • identificationAttempts:試行のリスト。 ◦ attemptResult:SKIPPED、NO_MATCH、MATCHED、MULTI_MATCHのいずれか。 ◦ attributes:識別時に使用される識別子エントリの属性。 ◦ identiferName:この識別子エントリが属する CI ID。 ◦ searchOnTable:識別プロセス中に検索されるテーブル。 • identifierEntrySysId: 照合中に使用される識別子エントリのSys_id。 • operation:実行する操作。次のいずれかです。 ◦ DELETE ◦ INSERT ◦ UPDATE

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ UPDATE_WITH_DOWNGRADE ◦ UPDATE_WITH_SWITCH ◦ UPDATE_WITH_UPGRADE • relatedSysIds:ルックアップベースの識別中に使用される CI のsys_id値のリスト。 • sysId:更新または作成された CI の Sys_id。 関係リスト内の可能な名前と値のペアは次のとおりです。 • className:関係 CI のクラス名で、常にcmdb_rel_ci • operation: 操作のタイプ: INSERT、UPDATE、NO_CHANGE • sysId:挿入または更新された関係 CI のSys_id

構成アイテムを再分類する方法を次に示します。

```
var payload = {
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "values": {
        "short_description": "Linux server description",
        "name": "Linux Server 1"
      }
    }
  ]
};

var input = JSON.stringify(payload);
var output = sn_cmdb.IdentificationEngine.identifyCI(input);

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "NO_CHANGE",
      "sysId": "440577800f321010150efc91ff767e94",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "info": [
        {
          "message": "CI Reclassification not allowed from class:
 [cmdb_ci_linux_server] to [cmdb_ci_win_server] by a reclassification
 restriction rule",
          "code": "SKIPPED_CLASS_SWITCH",
          "ruleSysId": "b3d4b3800f321010150efc91ff767eab"
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": []
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```


IdentificationEngine - identifyCIEnhanced(文字列 **source**, 文字列 **input**, オブジェクト **options**)

データベース内の 構成管理データベース (CMDB) の操作をコミットせずに指定されたペイロード (要求の本文) で実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

このメソッドを使用してペイロードの送信をシミュレーションします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドは IdentificationEngine - identifyCI(文字列 jsonString) メソッドに似ていますが、次の機能もサポートします。

- 部分的ペイロード
  - アイテムに警告またはエラーがある場合は、アイテムの操作が INSERT_AS_PARTIAL か INSERT_INCOMPLETE かを示します。
  - 既存の部分的ペイロードと結合された部分的ペイロードの sys_id を返します。
- ペイロードの重複排除機能をサポートします。
- サマリを生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明

input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加
		文字列。
		`"input" {`
		`"items": [Array],`
		`"referenceItems": [Arr`
		`"relations": [Array]`
		`}`

input.items	オブジェクトのアレイ	追加または更新するアイテム。
		`"items": [`
		`{`
		`"className": "Strin`
		`"display_values": {`
		`"internal_i": "Str`
		`"lookup": [Array],`
		`"related": [Array],`
		`"settings": {Object`
		`"sys_object_source_`
		`"values": {Object}`
		`}`
		`]`

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_serve CMDB クラス/テーブルにするこ

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値の
		ルド。名前はフィールド名で、値
		の表示値の代わりに sys_id を使用
		input.items.lookup.value
		
		参照フィールド名は、次のように
		ます。
		`"display_values": {`
		`"model_id": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> "location": "String" }</pre>
input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup	オブジェクトのアレイ	ルックアップを含むトップレベル
		の識別)。これらのレコードは、
		に基づいて構成アイテムを識別す
		
		例：
		<pre>"lookup": [
		  {
		    "className": "Strin
		    "internal_id": "Str
		    "sys_object_source_
		    "values": {Object}
		  }
		]</pre>

input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_numbe の CMDB クラス/テーブルにする
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のデータソースの一意の CI
		と、名前と値のペアが異なる場合
		<pre>"sys_object_source_info
		  "source_feed": "Strin
		  "source_name": "Strin
		  "source_native_key":
		  "source_recency_times
		}</pre>

input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.lookup.values	オブジェクト	名前と値のペアとしての CI のフ
		です。参照フィールドを更新する
		ります。
		
		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`  "serial_number": "Str`
		`  "serial_number_type":`
		`  "valid": "String",`
		`  "ip_address": "String`
		`  "mac_address": "Strin`
		`}`

input.items.related	オブジェクトのアレイ	関連リストを含むトップレベルの
		[cmdb_related_entity] のルール
		ドのタイプを定義します。これら
		含む関連テーブルに基づいてアイ
		
		関連テーブルは、cmdb_ci を拡張
		らのレコードは、構成アイテムの
		
		`"related" [`
		`  {`
		`  "className": "Strin`
		`  "internal_id": "Str`
		`  "sys_object_source_`
		`  "values": {Object}`
		`  }`
		`]`

input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_inst CMDB クラス/テーブルにするこ
input.items.related.internal_id	文字列	このペイロードのこの関連アイテ きますが、ペイロード内で一意で
input.items.related.sys_object_source_info	オブジェ	指定されたデータソースの一意の ソースが異なると、名前と値のペ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	クト	<pre>"sys_object_source_info
		  "source_feed": "Strin
		  "source_name": "Strin
		  "source_native_key":
		  "source_recency_times
		}</pre>

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信する データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソースを識別し テーブルの discovery_source フ 要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	関連アイテムのソースからの一意 データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：`YYYY-MM-DD HH:mm:ss`

input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の
		名前はフィールド名です。参照フ
		る必要があります。参照フィール
		は、*values* オブジェクトではな
		報を渡します。
		
		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		<pre>"values": {
		  "host_name": "String"
		  "ip_address": "String
		  "name": "String",
		  "os_name": "String",
		  "sys_class_name": "St
		}</pre>

input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義す
		<pre>"settings": {
		  "skipReclassification
		  "updateWithoutDowngra
		  "updateWithoutSwitch"
		  "updateWithoutUpgrade
		}</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラ どうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキッ • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブール	このアイテムの更新とダウングレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とダウ デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブール	アイテムを更新してクラスを切り 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とクラ デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブール	このアイテムの更新とアップグレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とアッ デフォルト値：false

input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の
		名前はフィールド名です。参照フ
		る必要があります。参照フィール
		は、*values* オブジェクトではな
		報を渡します。
		
		フィールド名とタイプ、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`  "host_name": "String"`
		`  "ip_address": "String`
		`  "name": "String",`
		`  "os_name": "String",`
		`  "sys_class_name": "St`
		`}`

input.referenceItems	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		
		`"referenceItems": [`
		`  {`
		`  "referenced": "Stri`
		`  "referencedBy": "St`
		`  "referenceField": "`
		`  }`
		`]`

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されて *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテム

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラ
input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の このアレイ内のオブジェクトは、 • オブジェクトは、*parent* およ トップレベルアイテム (のみ) の ド *items* アレイのアイテムイ • オブジェクトは、*parent_id* て、最上位レベルのアイテム、 含む任意の 2 つのアイテム間の イテムに対して定義された *in*
input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related 内の CI オブジェクトの整数イン
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、ite *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (it の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、ite *internal_id*。
input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関 [sys_rel_source] テーブルに保存 *identifyCI()* メソッドでは保 データタイプ：オブジェクト

```
"relations": [
  {
    "child": Number,
    "parent": Number,
    "sys_rel_source_in
    "type": "String"
  }
]
```

```
"relations":
  {
    "child_id": "Strin
    "parent_id": "Stri
    "sys_rel_source_in
    "type": "String"
  }
]
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"sys_rel_source_info":
		  "source_name": "Strin
		  "source_feed": "Strin
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメ
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャ デフォルト:「UNKNOWN」は、 るときにsource_feed列に保存さ
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存 [cmdb_rel_type] テーブルからの

オプション	オブジェクト	オプションですが、{} または nu
		効にするオプション。
		
		注: デフォルトでは、または
		いる場合は、*partial_com*
		(これらが false に設定されて
		能は、部分的ペイロード機能
		
		<pre>"options": {
		 "deduplicate_payloads"
		 "generate_summary": Bo
		 "partial_commits": Boo
		 "partial_payloads": Bo
		 "skip_updating_last_sc
		 "skip_updating_source_
		}</pre>

options.deduplicate_payloads	ブール	重複アイテムが結合されているか ラグ。 有効な値： • true：重複アイテムを結合しま • false：重複アイテムをエラー デフォルト：true
options.generate_summary	ブール	返された結果にサマリー情報が含 返されるサマリー情報の詳細につ *<String>.summary*を参照して 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：サマリー情報を含めます • false:概要情報を含めません。 デフォルト値：false
options.partial_commits	ブール	部分的コミットのサポートが有効 については、「拡張 IRE 機能 有効な値： • true：部分的コミットは有効で • false：部分コミットは無効で デフォルト：true
options.partial_payloads	ブール	部分的ペイロードのサポートが有 の詳細については、「拡張 IRE 機 成」を参照してください。 有効な値： • true：部分的ペイロードは有効 • false：部分的ペイロードは無効 デフォルト：true
options.skip_updating_last_scan_to_now	ブール	sys_object_source の last_scan かを示すフラグ。 有効な値： • true：*source_recency_tim* *sys_object_source_info* last_scan 時間フィールドを更 • false：sys_object_source の デフォルト：glide.identification システムのプロパティの 値を使用
options.skip_updating_source_last_discovered_to_now	ブール	構成アイテム [cmdb_ci] テーブ last_discovered フィールドの更 有効な値： • true：ペイロードアイテムの他 は、discovery_source フィー せん。 • false：discovery_source フィ します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト： glide.identification_engine.skip システムのプロパティの値を使用
source	文字列	CI 情報のデータソース。この値は discovery_source フィールドに す。

返される内容

タイプ	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテムの結果のリストである JSON 形式の文字列。 データタイプ：文字列 `{ "additionalCommittedItems": [Array], "additionalCommittedRelations": [Array], "hasError": Boolean, "hasWarning": Boolean, "items": [Array], "relations": [Array], "summary": {Object} }`
<String>.additionalCommittedItems	現在のペイロードの IRE 処理中にコミットされても、現在の入力ペイロードに存在しなかった CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalCommittedItems": [ { "className": "String", "errorCount": Number, "operation": "String", "identificationAttempts": [Array], "inputIndices": [Array], "markers": [Array], "mergedPayloads": [Array], "sysId": "String" } ]`
<String>.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文 *relations* リストに含まれていなかった依存関係 CI の説明。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalCommittedRelations": [ { "className": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"inputIndices": [Array],
	"markers": [Array],
	"mergedPayloadIds": [Array],
	"operation": "String"
	}
	]</pre>

<String>.hasError	アイテムまたは関係にエラーがあるかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.hasWarning	アイテムまたは関係に警告があるかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール

<String>.items	作成または更新された CI の説明。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"items": [
	{
	"additionalRelatedItems": [Array],
	"className": "String",
	"duplicateIndices": [Array],
	"errorCount": Number,
	"errors": [Array],
	"identificationAttempts": [Array],
	"identifierEntrySysId": "String",
	"info": [Array],
	"inputIndices": [Array],
	"maskedAttributes": [Array],
	"operation": "String",
	"relatedSysIds": [Array],
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペイロードの一部として提供されなかった追加のルックアップおよび関連アイテムに関する情報。これらのアイテムは部分的ペイロードからのものです。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"additionalRelatedItems": [
	{
	"className": "String",
	"inputIndices": [Array],
	"mergedPayloadIds": [Array],
	"operation": "String",
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.additionalItems.input	この関連アイテムに対応する要求本文 *items* アレイからの CI のインデックス値。 データタイプ：数値のアレイ
<String>.items.additionalPartialPayloads	関連アイテムに結合された部分的ペイロードの sys_id のリスト。CMDB IRE 部分的ペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	操作のタイプ。 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.sysId	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.duplicates	現在のアイテムに重複する CI のインデックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	アイテムの処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.errors.message	CI の処理中に発生したエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"identificationAttempts": [ { "attemptResult": "String", "attributes": [Array], "hybridEntryCiAttributes": [Array], "identifierName": "String", "searchOnTable": "String" } ]`
<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功しました。指定された属性と完全に一致する一意の CI が識別子ルールテーブルで見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーのため識別に失敗しました。指定された属性に対して照合しているときに、識別子ルールテーブルに重複する CI が見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗しました。指定された属性と一致する CI が識別子ルールテーブルで見つかりませんでした。 • SKIPPED：識別は試行されませんでした。この識別子ルールテーブルの検索に必要な属性が指定されなかったため、ルールは適用されませんでした。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用された CI ID エントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次のような使用される要求本文データと識別子によって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", ]`
<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用される識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索されたテーブルの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用される識別子ルールの sys_id。識別子エントリー [cmdb_identifier_entry] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追加情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"info": [ { "code": "String", "message": "String", "ruleSysId": "String" } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGRADE • SKIPPED_CLASS_UPGRADE データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由に関する追加のインサイトを提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの sys_id。再分類制限ルールのために IRE が再分類をスキップする場合にのみ適用されます。ペイロードまたはグローバルフラグのために再分類がスキップされた場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	対応する入力 CI のインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連 CI またはルックアップ CI の場合は、JSON オブジェクトのリストです。 データタイプ：数値のアレイ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従って、権限のないデータソースによる更新がスキップされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	実行された操作。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：アイテムは cmdb_ire_incomplete_payloads テーブルに保存されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：アイテムは cmdb_ire_partial_payloads テーブルに保存されました。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 • UPDATE_WITH_DOWNGRADE：CI が更新され、クラスがより汎用的なクラス (先祖クラス) に変更されました。 • UPDATE_WITH_SWITCH：CI が更新され、クラスが先祖または子孫ではないクラスに変更されました。 • UPDATE_WITH_UPDRADE：CI が更新され、クラスがより特化されたクラス (子孫クラス) に変更されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems	処理された関連アイテムに関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedItems": [ { "className": "String", "errorCount": Number, "errors": [Array], "inputIndices": [Array], "mergePayloadIds": [Array], "operation": "String", "sysId": "String", "warningCount": Number, "warnings": [Array] } ]`
<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorCount	関連アイテムの処理中に検出されたエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.errors	関連アイテムの処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.relatedItems.errorType	関連アイテムの処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorMessage	関連アイテムの処理中にエラーが発生しました。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連アイテムまたはルックアップアイテムの場合は、JSON オブジェクトのリストです。
	
	データタイプ：数値のアレイまたはオブジェクトのアレイ
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	   "mainIndex": Number,
	   "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.mainIndex	関連アイテムの C の親に対応する要求本文 *items* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.subIndex	関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.targetCI	処理中に CI に結合された部分的ペイロードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい関連 CI がデータベースに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：アイテムは cmdb_ire_incomplete_payloads テーブルに保存されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：アイテムは cmdb_ire_partial_payloads テーブルに保存されました。 • NO_CHANGE：関連 CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の関連 CI が更新されました。 • UPDATE_WITH_DOWNGRADE：関連 CI が更新され、クラスがより汎用的なクラス (先祖クラス) に変更されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• UPDATE_WITH_SWITCH：関連 CI が更新され、クラスが先祖または子孫ではないクラスに変更されました。 • UPDATE_WITH_UPDRADE：関連 CI が更新され、クラスがより特化されたクラス (子孫クラス) に変更されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.sysId	関連アイテムのSys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warningCount	関連アイテムの処理中に発生した警告の数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.warnings	関連アイテムの処理中に発生した警告の説明。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"warnings": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.relatedSysIds	関連アイテムのルックアップベースの識別中に使用される CI の sys_id 値のリスト。 データタイプ：文字列
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.relations	処理された関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relations": [ { "className": "String", "errorCount": Number, "errors": [Array], "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テーブル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	依存関係 CI の処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発生したエラーを説明するリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.relations.inputIndex	この依存関係 CI に対応する要求本文 *relations* アレイ内の依存関係 CI オブジェクトのインデックス。 データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新しいレコードとしてターゲットテーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：依存関係 CI にエラーがあり、CMDB IRE 不完全ペイロード [cmdb_ire_incomplete_payloads] テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：依存関係 CI にエラーがあり、CMDB IRE 部分的ペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：操作は実行されませんでした。 • UPDATE：ターゲットテーブルの既存の依存関係 CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.summary	クラスごとに挿入または更新されたアイテムの数に関する統計情報を提供する JSON プロパティのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.summary.<classname>	特定のクラスの統計情報。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<class_name>: {
	"additionalInsertedItemCount": Number,
	"errorCount": Number,
	"incompleteItemCount": Number,
	"insertedItemCount": Number,
	"partialItemCount": Number,
	"skippedItemCount": Number,
	"unchangedItemCount": Number,
	"updatedItemCount": Number,
	"warningCount": Number
	}

<String>.summary.<class_name>.additionalInsertedItemCount	部分的ペイロードの処理のために挿入されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.errorCount	アイテムの処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.incompleteItemCount	CMDB IRE 不完全ペイロード [cmdb_ire_incomplete_payloads] テーブルに挿入されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.insertedItemCount	作成されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.partialItemCount	部分的ペイロードアイテム [cmdb_ire_partial_payloads] に保存されているアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.skippedItemCount	スキップされたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.unchangedItemCount	エントリがあっても変更されなかったアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.updatedItemCount	更新されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.warningCount	処理時に警告を生成したアイテムの数。 データタイプ：数値

```
var payload = {
"items": [
{
"className": "cmdb_ci_win_server",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
"values": {
   "chassis_type": "Desktop",
   "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
   "name": "Windows2012Server1",
   "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
   "cpu_count": "1"
  },
  "lookup": [
  {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
       "serial_number_type": "bios"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   },
   {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
       "serial_number_type": "chassis"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   }],

    "internal_id": "16777219",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "16777219",
      "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
   }},
   {
   "className": "cmdb_ci_spkg",
   "values": {
     "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
     "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
     },

  "related": [
    {
     "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219",
      "values": {
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
      "className": "cmdb_software_instance",
      "sys_object_source_info": {
        "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
        "source_name": "ServiceNow",
        "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }},
  {
    "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777229",
      "values": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
    "className": "cmdb_software_instance",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777229"
  }}
],
  "settings" : {
        "skipReclassificationRestrictionRules" : "false",
        "updateWithoutDowngrade" : "true",
        "updateWithoutUpgrade" : "true",
        "updateWithoutSwitch" : "true"
      }},
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
 org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var input = JSON.stringify(payload);
var output =
 sn_cmdb.IdentificationEngine.identifyCIEnhanced('ServiceNow', input,
 {});

gs.info(JSON.stringify(JSON.parse(output), null, 2));
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "INSERT",
      "relatedSysIds": [
        null,
        null
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_serial_number",
          "errorCount": 0,
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0
        },
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_serial_number",
          "errorCount": 0,
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0
        }
      ],
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source NO_MATCH",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_spkg",
      "operation": "INSERT",
      "relatedSysIds": [
        null
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_software_instance",
          "errorCount": 0,
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 1,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        {
          "errors": [],
          "warnings": [
            {
              "error": "MISSING_MATCHING_ATTRIBUTES",
              "message": "In payload missing minimum set of input
 values for criterion (matching) attributes from identify rule for
 table [cmdb_software_instance]. Add these input values in payload item
 '{\"className\":\"cmdb_software_instance\",\"values\":{},
\"internal_id\":\"f7273cccec30101056cd4bb46eb4db5d\",
\"sys_object_source_info\":{\"source_feed\":\"SN Discovery Feed
 1\",\"source_name\":\"ServiceNow\",\"source_native_key\":\"Microsoft
 Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777229\"},\"settings\":{},\"sys_ire_info\":
{\"ire_received_time\":\"2020-05-10 17:57:48\"}}'"
            }
          ],
          "operation": "INSERT_AS_PARTIAL",
          "className": "cmdb_software_instance",
          "errorCount": 0,
          "sysId": "Unknown",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 1,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 1
        }
      ],
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "key"
          ],
          "identifierName": "Software",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "warningCount": 0
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
      "operation": "INSERT",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        2
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```


IdentificationEngine - runIdentificationAudit(GlideRecord now_GR)

指定された構成アイテム (CI) に対して識別監査を実行して、重複を検出します。

重複が見つかった場合は、重複タスクが作成されます。このメソッドは、独立した識別ルールを持つ CI タイプでのみ使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	重複を検出する監査の実行対象となる CI。CI は独立した識別ルールを持っている必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
void	

次の例は、Linux サーバー [cmdb_ci_linux_server] テーブルでレコードの重複を確認する方法を示しています。

```
var sysId = '<cbdb_ci_sys_id>';
var gr = new GlideRecord('cmdb_ci_linux_server');
gr.get(sysId);
sn_cmdb.IdentificationEngine.runIdentificationAudit(gr);
```

IdentificationEngineScriptableApi - グローバル

IdentificationEngineScriptableApi は、識別および調整フレームワークを使用して、構成管理データベース (CMDB) の更新時に許可されたデータソースからの情報のみを受け入れることで、重複する構成アイテム (CI) の作成を最小限に抑え、CI 属性を調整します。

IdentificationEngineScriptableApi - createOrUpdateCI(文字列 source, 文字列 input)

識別および調整ルールに基づいて、CMDB で構成アイテム (CI) および 構成管理データベース (CMDB) 以外の CI (cmdb_ci から拡張されていないクラス) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

非 CMDB の CI は、IRE ペイロードのルックアップまたは関連アイテムとして渡す必要があります。非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加または更新する構成アイテムの JSON 形式の文字列。 `"input" { "items": [Array], "referenceItems": [Array], "relations": [Array] }`
input.items	オブジェクトのアレイ	追加または更新するアイテム。 `"items": [ { "className": "String", "display_values": {Object}, "internal_id": "String", "lookup": [Array], "related": [Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"settings": {Object},
		"sys_object_source_info": {Object},
		"values": {Object}
		}
		]</pre>

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値のペアとして作成または更新する参照フィールド。名前はフィールド名で、値は参照される表示値です。参照フィールドの表示値の代わりに sys_id を使用する場合は、このパラメーターではなく *input.items.lookup.values* パラメーターで情報を渡します。
		
		参照フィールド名は、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。
		<pre>"display_values": {
		"model_id": "String",
		"location": "String"
		}</pre>

input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.lookup	オブジェクトのア	ルックアップを含むトップレベルのアイテムを識別します (ルックアップベースの識別)。これらのレコードは、cmdb_ci への参照を含むルックアップテーブルに基づいて構成アイテムを識別するために使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	レイ	例： `"lookup": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_number や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh.mm:ss
input.items.lookup.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
input.items.related	アレイ	関連リストを含むトップレベルのアイテムへの参照。関連エントリ [cmdb_related_entry] のルール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		は、このアレイに含めることができるレコードのタイプを定義します。これらのレコードは、識別されている CI への参照を含む関連テーブルに基づいてアイテムを追加するために使用されます。 関連テーブルは、cmdb_ci を拡張する場合と拡張しない場合があります。これらのレコードは、構成アイテムの識別には使用されません。 `"related" [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構成アイテム (CI) のクラス/テーブル名 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_instance や cmdb_key_value などの任意の CMDB クラス/テーブルにすることができます。
input.items.related.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意のアイテム識別子。 これは任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。
input.items.related.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"source_recency_timestamp": "String"
		}</pre>

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。 データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。
		
		フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。
		<pre>"values": {
		"host_name":
		"String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre>"ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }</pre>
input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義するパラメーター。<pre>"settings": { "skipReclassificationRestrictionRules": Boolean, "updateWithoutDowngrade": Boolean, "updateWithoutSwitch": Boolean, "updateWithoutUpgrade": Boolean }</pre>
input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールを実行すべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブーリアン	このアイテムの更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブーリアン	このアイテムの更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブーリアン	アイテムを更新してクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 デフォルト値：false
input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。 `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含めることができる場合は、このフィールドを使用して、このアイテムを送信するフィードの名前を指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を生成します。ソース フィードを一意に識別する任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキー/ID。 データソースはこのキーを生成します。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 日時。 形式：YYYY-MM-DD hh.mm:ss
input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールド。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。参照フィールドの sys_id の代わりに表示値を使用する場合は、*values* オブジェクトではなく *display_values* オブジェクトでこの情報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
input.referenceItems	オブジェ	入力ペイロード内のアイテム間の参照を定義するリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	クトのアレイ	<pre>"referenceItems": [
		  {
		  "referenced":
		"String",
		  "referencedBy":
		"String",
		  "referenceField":
		"String"
		  }
		]</pre>

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。

input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の関係を指定するリスト。
		
		このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。
		• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
		<pre>"relations": [
		  {
		  "child": Number,
		  "parent": Number,
		
		  "sys_rel_source_info": {Object},
		  "type": "String"
		  }
		]</pre>
		• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。 `"relations": [ { "child_id": "String", "parent_id": "String", "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related、または items.lookup) を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、items.related、または items.lookup) の *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (items、items.related、または items.lookup) の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、items.related、または items.lookup) の *internal_id*。
input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルに保存されます (*identifyCIEnhanced()* または *identifyCI()* メソッドでは保持されません)。 データタイプ：オブジェクト `"sys_rel_source_info": { "source_name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"source_feed": "String"
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。 デフォルト:「UNKNOWN」は、sys_rel_sourceテーブルにレコードを作成するときにsource_feed列に保存されます。
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからの名前フィールド値である必要があります。
source	文字列	CI 情報のデータソースを識別します。この値は、cmdb_ci テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。

返される内容

タイプ	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテムの結果のリストである JSON 形式の文字列。それぞれの結果文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems	現在、値は返されていません。
<String>.additionalCommittedRelations	現在、値は返されていません。
<String>.items	作成または更新された CI の説明。 データタイプ: オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	"items": {
	
	"additionalRelatedItems": [Array],
	"className": "String",
	"duplicateIndices": [Array],
	"errorCount": Number,
	"errors": [Array],
	
	"identificationAttempts": [Array],
	
	"identifierEntrySysId": "String",
	"info": [Array],
	"inputIndices": [Array],
	"maskedAttributes": [Array],
	"operation": "String",
	"relatedItems": [Array],
	"relatedSysIds": [Array],
	"sysId": "String"
	}

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペイロードの一部として提供されなかった追加のルックアップおよび関連アイテムに関する情報のリスト。これらのアイテムは部分的ペイロードからのものです。 現在、この情報は返されていません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ "additionalRelatedItems": [{ "className": "String", "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列

<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連アイテムまたはルックアップアイテムの場合は、JSON オブジェクトのリストです。
	
	データタイプ：数値のアレイまたはオブジェクトのアレイ
	
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	   "mainIndex": Number,
	   "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.mainIndex	追加の関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices.subIndex	追加の関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	追加の関連アイテムの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する CI のインデックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"identificationAttempts": [ { "attemptResult": "String", "attributes": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"hybridEntryCiAttributes": [Array],
	"identifierName": "String",
	"searchOnTable": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功しました。指定された属性と完全に一致する一意の CI が識別子ルールテーブルで見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーのため識別に失敗しました。指定された属性に対して照合しているときに、識別子ルールテーブルに重複する CI が見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗しました。指定された属性と一致する CI が識別子ルールテーブルで見つかりませんでした。 • SKIPPED：識別は試行されませんでした。この識別子ルールテーブルの検索に必要な属性が指定されなかったため、ルールは適用されませんでした。 データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用された CI ID エントリ属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次のような使用される要求本文データと識別子によって異なります。
	<pre>"attributes": [
	"serial_number": "String",
	"serial_number_type": "String",
	]</pre>

<String>.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	現在、値は返されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用される識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索されたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用される識別子ルールの sys_id。識別子エントリー [cmdb_identifier_entry] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追加情報を含むリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"info": [ { "code": "String", "message": "String", "ruleSysId": "String" } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGRADE • SKIPPED_CLASS_UPGRADE データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由に関する追加のインサイトを提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの sys_id。再分類制限ルールのために IRE が再分類をスキップする場合にのみ適用されます。ペイロードまたはグローバルフラグのため

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	に再分類がスキップされた場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 *items* アレイからの CI のインデックス値。 データタイプ：アレイ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従って、権限のないデータソースによる更新がスキップされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems	処理された関連アイテムに関する情報を提供するリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedItems": [ { "className": "String", "errors": [Array], "errorCount": Number, "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors	処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
<String>.items.relatedItems.errorCount	処理中に検出されたエラーの数。 データタイプ：数値

<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する関連アイテムのインデックス。
	
	データタイプ：アレイまたは数値
	
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	  "mainIndex": Number,
	  "subIndex": Number
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応する要求本文 *items* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからの整数値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.operation	操作のタイプ 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレイからの関連アイテム (テーブルルックアップアイテム) の sys_id 値のリスト。 重要な値 - null:この関連アイテムのsys_idは識別されませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.relations	処理された関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relations":[ { "className": "String", "errorCount": Number, "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テーブル。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	エラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.inputIndices	対応する入力関係のインデックス。 データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT • UPDATE • NO_CHANGE データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列

構成アイテムを再分類する方法を次に示します。

```
var payload = {
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "values": {
        "short_description": "Linux server description",
        "name": "Linux Server 1"
      }
    }
  ]
};
var input = new JSON().encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);
gs.print(output);
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "NO_CHANGE",
      "sysId": "440577800f321010150efc91ff767e94",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "info": [
        {
          "message": "CI Reclassification not allowed from class:
 [cmdb_ci_linux_server] to [cmdb_ci_win_server] by a reclassification
 restriction rule",
          "code": "SKIPPED_CLASS_SWITCH",
          "ruleSysId": "b3d4b3800f321010150efc91ff767eab"
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": []
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```


```
var payload = {
"items": [
{
 "className": "cmdb_ci_win_server",
 "values": {
   "chassis_type": "Desktop",
   "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
   "name": "Windows2012Server1",
   "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
   "cpu_count": "1"
  },
  "lookup": [
  {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
       "serial_number_type": "bios"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   },
   {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
       "serial_number_type": "chassis"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   }],

    "internal_id": "16777219",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "16777219",
      "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
   }},
   {
   "className": "cmdb_ci_spkg",
   "values": {
     "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
     "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
     },

  "related": [
    {
      "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219",
      "values": {
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
      "className": "cmdb_software_instance",
      "sys_object_source_info": {
        "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
        "source_name": "ServiceNow",
        "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }}]},
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);
gs.print(output);
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "d56ab6eadbd510102f67dfea5e96194e",
      "relatedSysIds": [
        "dd6af62adb1910102f67dfea5e96197f",
        "996af62adb1910102f67dfea5e961980"
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "dd6af62adb1910102f67dfea5e96197f",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "996af62adb1910102f67dfea5e961980",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source NO_MATCH",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "mergedPayloadIds": [],
    "warningCount": 0,
    "markers": [],
    "inputIndices": [
      0
    ]
  },
  {
    "className": "cmdb_ci_spkg",
    "operation": "INSERT",
    "sysId": "116af62adb1910102f67dfea5e961981",
    "relatedSysIds": [
      "6d6af62adb1910102f67dfea5e961984"
    ],
    "relatedItems": [
      {
        "errors": [],
        "operation": "INSERT",
        "errorCount": 0,
        "mergedPayloadIds": [],
        "warningCount": 0,
        "sysId": "6d6af62adb1910102f67dfea5e961984",
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          {
            "mainIndex": 1,
            "subIndex": 0
          }
        ],
        "className": "cmdb_software_instance"
      }
    ],
    "identifierEntrySysId": "Unknown",
    "identificationAttempts": [
      {
        "info": "sys_object_source SKIPPED",
        "identifierName": "",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": [],
        "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
        "identifierName": "Software",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "attributes": [
          "key"
        ],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }
    ],
    "errorCount": 0,
    "mergedPayloadIds": [],
    "warningCount": 0,
    "markers": [],
    "inputIndices": [
      1
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "e96af62adb1910102f67dfea5e961985",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        2
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "e96af62adb1910102f67dfea5e961989",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

依存型 CI を識別します。

```
var payload =
              {items: [
                    {className:'cmdb_ci_web_server',
                     values: {name:'apache linux den 200',
                              running_process_command: 'xyz',
                              running_process_key_parameters: 'abc',
                              tcp_port:'3452'}},
                    {className:'cmdb_ci_linux_server',
                     values: {name:'lnux100', ram:'2048'}}],
               relations:[{parent: 0, child: 1, type: 'Runs on::Runs'}]
              };
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCI('ServiceWatch',
 input);
gs.print(output);
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_web_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "b9bb766adb1910102f67dfea5e961962",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "a5bb766adb1910102f67dfea5e96195b",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "fdbb766adb1910102f67dfea5e961964",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

ルックアップベースの識別で独立型 CI を識別します。

```
var payload = {items: [
 {className:'cmdb_ci_netgear',
   values: {name:'ny8500-nbxs08',
            ports:'1200'},
   lookup: [{className:'cmdb_serial_number',
             values:{serial_number:'1234ABCD',
 serial_number_type:'uuid',absent:'false',valid:'true'}},
            {className:'cmdb_serial_number',
             values:{serial_number:'3456EFGH',
 serial_number_type:'system',absent:'false',valid:'true'}}]}]};

var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCI('ServiceNow',
 input);
gs.print(output);
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_netgear",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "787c7e6adb1910102f67dfea5e96196e",
      "relatedSysIds": [
        "f47c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
        "3c7c7e6adb1910102f67dfea5e961977"
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "f47c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "errors": [],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "operation": "INSERT",
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0,
          "sysId": "3c7c7e6adb1910102f67dfea5e961977",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "mac_address",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```


スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで createOrUpdateCI(文字列 *source*, 文字列 *input*) メソッドを使用するには、対応するスコープ指定の IdentificationEngine メソッド createOrUpdateCI(文字列 source, 文字列 input) を使用します。

IdentificationEngineScriptableApi - createOrUpdateCIEnhanced(文字列 **source**, 文字列 **input**, オブジェクト **options**)

識別および調整ルールに基づいて、CMDB で構成アイテム (CI) および 構成管理データベース (CMDB) 以外の CI (cmdb_ci から拡張されていないクラス) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

非 CMDB の CI は、IRE ペイロードのルックアップまたは関連アイテムとして渡す必要があります。非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

このメソッドは、*createOrUpdateCI* メソッドの機能を提供することに加えて、以下もサポートしています。

- 部分的ペイロードの処理
- 部分的コミットの処理
- ペイロード内の重複アイテムの削除
- 出力サマリーの生成

IRE の詳細と、この方法で使用されるデータの詳細な説明については、「識別および調整 (IRE)」を参照してください。

非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明

input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加
		文字列。
		`"input" {`
		`"items": [Array],`
		`"referenceItems": [Arr`
		`"relations": [Array]`
		`}`

input.items	オブジェクトのアレイ	追加または更新するアイテム。
		`"items": [`
		`{`
		`"className": "Strin`
		`"display_values": {`
		`"internal_id": "Str`
		`"lookup": [Array],`
		`"related": [Array],`
		`"settings": {Object`
		`"sys_object_source_`
		`"values": {Object}`
		`}`
		`]`

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_serve CMDB クラス/テーブルにするこ

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値の
		ルド。名前はフィールド名で、値
		の表示値の代わりに sys_id を使用
		input.items.lookup.value
		参照フィールド名は、次のように
		ます。
		`"display_values": {`
		`"model_id": "String",`
		`"location": "String"`
		`}`

input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。
input.items.lookup	オブジェクト	ルックアップを含むトップレベル の識別)。これらのレコードは、 に基づいて構成アイテムを識別す 例：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	のアレイ	<pre>"lookup": [
		  {
		  "className": "Strin
		  "internal_id": "Str
		  "sys_object_source_
		  "values": {Object}
		  }
		]</pre>

input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_numbe の CMDB クラス/テーブルにする
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のデータソースの一意の CI
		と、名前と値のペアが異なる場合
		<pre>"sys_object_source_info
		  "source_feed": "Strin
		  "source_name": "Strin
		  "source_native_key":
		  "source_recency_times
		}</pre>

input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
input.items.lookup.values	オブジェ	名前と値のペアとしての CI のフ です。参照フィールドを更新する ります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	クト	フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		`"values": {`
		`"serial_number": "Str`
		`"serial_number_type":`
		`"valid": "String",`
		`"ip_address": "String`
		`"mac_address": "Strin`
		`}`

input.items.related	オブジェクトのアレイ	関連リストを含むトップレベルの
		[cmdb_related_entry] のルール
		ドのタイプを定義します。これら
		含む関連テーブルに基づいてアイ
		
		関連テーブルは、cmdb_ci を拡張
		らのレコードは、構成アイテムの
		`"related" [`
		`{`
		`"className": "Strin`
		`"internal_id": "Str`
		`"sys_object_source_`
		`"values": {object}`
		`}`
		`]`

input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_inst CMDB クラス/テーブルにするこ
input.items.related.internal_id	文字列	このペイロードのこの関連アイテ きますが、ペイロード内で一意で

input.items.related.sys_object_source_info	オブジェクト	指定されたデータソースの一意の
		ソースが異なると、名前と値のペ
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソースを識別し テーブルの discovery_source フ 要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	関連アイテムのソースからの一意 データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：`YYYY-MM-DD hh:mm:ss`

input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の
		名前はフィールド名です。参照フ
		る必要があります。参照フィール
		は、*values* オブジェクトではな
		報を渡します。
		
		フィールド名とタイプ、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`  "host_name": "String"`
		`  "ip_address": "String`
		`  "name": "String",`
		`  "os_name": "String",`
		`  "sys_class_name": "St`
		`}`

input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義す
		
		`"settings": {`
		`  "skipReclassification`
		`  "updateWithoutDowngra`
		`  "updateWithoutSwitch"`
		`  "updateWithoutUpgrade`
		`}`

input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラ どうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキッ • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブール	このアイテムの更新とダウングレフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とダウ デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブール	アイテムを更新してクラスを切り 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とクラ デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブール	このアイテムの更新とアップグレフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とアッ デフォルト値：false

input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値に discovery_source フィールドに す。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の
		名前はフィールド名です。参照フ
		る必要があります。参照フィール
		は、*values* オブジェクトではな
		報を渡します。
		
		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`  "host_name": "String"`
		`  "ip_address": "String`
		`  "name": "String",`
		`  "os_name": "String",`
		`  "sys_class_name": "St`
		`}`

input.referenceItems	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		
		`"referenceItems": [`
		`  {`
		`  "referenced": "Stri`
		`  "referencedBy": "St`
		`  "referenceField": "`
		`  }`
		`]`

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されて *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテム
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラ

input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		
		このアレイ内のオブジェクトは、
		• オブジェクトは、*parent* およ
		トップレベルアイテム (のみ) の
		ド *items* アレイのアイテムイ
		
		`"relations": [`
		`  {`
		`  "child": Number,`
		`  "parent": Number,`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"sys_rel_source_ir
		"type": "String"
		}
		]</pre>
		• オブジェクトは、*parent_id* て、最上位レベルのアイテム、 含む任意の 2 つのアイテム間の イテムに対して定義された *in*
		<pre>"relations": [
		{
		"child_id": "Strir
		"parent_id": "Str
		"sys_rel_source_ir
		"type": "String"
		}
		]</pre>

input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related 内の CI オブジェクトの整数イン
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、ite *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (it の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、ite *internal_id*。

input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関 [sys_rel_source] テーブルに保存 *identifyCI()* メソッドでは保
		
		データタイプ：オブジェクト
		<pre>"sys_rel_source_info":
		"source_name": "Strin
		"source_feed": "Strin
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメ
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャ デフォルト:「UNKNOWN」は、 るときにsource_feed列に保存さ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存[cmdb_rel_type] テーブルからの

オプション	オブジェクト	オプションですが、{} または nul効にするオプション。
		注: デフォルトでは、または
		いる場合は、*partial_com*
		(これらが false に設定されて
		能は、部分的ペイロード機能
		`"options": {`
		`"deduplicate_payloads"`
		`"generate_summary": Bo`
		`"partial_commits": Boo`
		`"partial_payloads": Bo`
		`"skip_updating_last_sc`
		`"skip_updating_source_`
		`}`

options.deduplicate_payloads	ブール	重複アイテムが結合されているか ラグ。 有効な値： • true：重複アイテムを結合しま • false：重複アイテムをエラー デフォルト：true
options.generate_summary	ブール	返された結果にサマリー情報が含 返されるサマリー情報の詳細につ *<String>.summary* を参照して 有効な値： • true：サマリー情報を含めます • false:概要情報を含めません。 デフォルト値：false
options.partial_commits	ブール	部分的コミットのサポートが有効 については、「拡張 IRE 機能 有効な値： • true：部分的コミットは有効で • false：部分コミットは無効で デフォルト：true

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.partial_payloads	ブール	部分的ペイロードのサポートが有 の詳細については、「 拡張 IRE 構 成 」を参照してください。 有効な値： • true：部分的ペイロードは有効 • false：部分的ペイロードは無効 デフォルト：true
options.skip_updating_last_scan_to_now	ブール	sys_object_source の last_scan かを示すフラグ。 有効な値： • true：*source_recency_tim* *sys_object_source_info* last_scan 時間フィールドを更 • false：sys_object_source の デフォルト：glide.identification システムのプロパティの値を使用
options.skip_updating_source_last_discovered_to_now	ブール	構成アイテム [cmdb_ci] テーブ last_discovered フィールドの更 有効な値： • true：ペイロードアイテムの値 は、discovery_source フィー せん。 • false：discovery_source フィ します。 デフォルト： glide.identification_engine.skip システムのプロパティの値を使用
source	文字列	CI 情報のデータソース。この値は discovery_source フィールドに す。

返される内容

パラメーター	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテ リストである JSON 形式の データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	{
	"additionalCommitt
	s": [Array],
	"additionalCommitt
	ons": [Array],
	"hasError": Boole
	"hasWarning": Boo
	"items": [Array],
	"relations": [Arr
	"summary": {Objec
	}

<String>.additionalCommittedItems	現在のペイロードの IRE 処
	ミットされても、現在の入
	ドに存在しなかった CI の
	
	データタイプ：オブジェク
	"additionalCommitte
	[
	{
	"className": "S
	"errorCount": N
	"operation": "S
	"identificationAtt
	[Array],
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Arr
	"mergedPayloads
	[Array],
	"sysId": "Strin
	}
	]

<String>.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_clas データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に ラーの数。 データタイプ：数値
<String>.additionalCommittedItems.errors	この追加の CI の処理中に ラーを説明するオブジェク イ。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "Strir
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.additionalCommittedItems.errors.error	この追加の CI の処理中に発 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.errors.message	この追加の CI の処理中に発 ラーメッセージ。 データタイプ：文字列

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts	各オブジェクトがこの追加
	別するために行われた試行
	オブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"identificationAtte
	  {
	  "attemptResult"
	"String",
	  "attributes": [
	
	"hybridEntryCiAttr
	[Array],
	  "identiferName"
	"String",
	  "searchOnTable"
	[Array]
	  }
	]</pre>

<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の データタイプ：文字列 可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI 識別試行中に る CI ID エントリー属性。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_ty "String", ]`
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI の識別の試行 される CI ID エントリ属性 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次 使用される要求本文データ よって異なります。 `"hybridEntryCiAttri [ "name": "String", "serial_number": ]`
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に る識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で たテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するた される識別子ルールの sys

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してく
<String>.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要 *items* アレイの CI のイン 値。 データタイプ：数値のアレ `"inputIndices": [ { Number } ]`
<String>.additionalCommittedItems.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ `"markers": []`
<String>.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結 た CMDB IRE 部のペイロ [cmdb_ire_partial_paylo ブルからの部分的ペイロー 値。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
<String>.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実 作。 データタイプ：文字列 可能な値： • DELETE：既存の CI が テーブルから削除されま • INSERT：追加の CI が新 ドとしてターゲットテー されます。 • NO_CHANGE：追加の 実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテ 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWN ターゲットテーブル内の が更新され、そのクラス

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	的なクラス (先祖クラス) ます。 • UPDATE_WITH_SWITC ゲットテーブル内の既存 新され、そのクラスが先 たは子孫クラスではない に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGR ゲットテーブル内の既存 新され、そのクラスがよ たクラス (子孫クラス) に す。
<String>.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこ の sys_id。 データタイプ：文字列 注目の値 - 不明:この追加の に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してくた

<String>.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生
	の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"warnings": [`
	`{`
	`"error": "Strin`
	`"message": "Str`
	`}`
	`]`

<String>.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発 告のタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発 告メッセージ。 データタイプ：文字列

<String>.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本
	relations リストに含まれ
	かった依存関係 CI の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"additionalCommitte`
	`ns": [`
	`{`
	`"className": "S`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Arr
	"mergedPayloadI
	[Array],
	"operation": "S
	}
	]</pre>

<String>.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 データタイプ：文字列 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テ
<String>.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の生したエラーの数。 データタイプ：数値

<String>.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の生したエラーの説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"errors": [
	{
	"error": "Strin
	"message": "Str
	}
	]</pre>

<String>.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI のラーが発生したエラーメッ データタイプ：文字列

<String>.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係性 CI 要求本文 *relations* アレ関係 CI オブジェクトのイ値。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"inputIndices": [
	Number
	]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のためのマーカー データタイプ：アレイ `"markers": []`

<String>.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処
	中にこの CI 用に結合され
	CMDB IRE 部分的ペイロー
	[cmdb_ire_partial_paylo
	ブルからの部分的ペイロー
	値。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds":`
	`"String"`
	`]`

<String>.additionalCommittedRelations.operation	追加の依存関係性 CI に対し れた操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI か コードとしてターゲット 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されます • INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 て実行された操作はあり • UPDATE：ターゲットテ 存の依存関係 CI が更新さ データタイプ：文字列
<String>.hasError	アイテムまたは関係にエラ どうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.hasWarning	アイテムまたは関係に警告 うかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：ブール

<String>.items	作成または更新された CI の
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"items": [
	{
	
	"additionalRelated
	[Array],
	"className": "S
	"duplicateIndic
	[Array],
	"errorCount": N
	"errors": [Arra
	
	"identificationAtt
	[Array],
	"identifierEntr
	"String",
	"incompleteSysI
	"String",
	"info": [Array]
	"inputIndices":
	[Array],
	"maskedAttribut
	[Array],
	"operation": "S
	"partialSysIds"
	"String",
	"relatedItems":
	[Array],
	"relatedSysIds"
	[Array],
	"sysId": "Strin
	}
	]

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペ の一部として提供されなか ルックアップおよび関連ア する情報。これらのアイテ ペイロードからのものです データタイプ：オブジェク "additionalRelatedI { "className": "S "inputIndices": [Array],

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"mergedPayloadI
	[Array],
	"operation": "S
	"sysId": "Strin
	}
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_
	データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応す *items* アレイからの CI の ス値。
	データタイプ：数値のアレ
<String>.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	関連アイテムに結合された 的ペイロードの sys_id のリ ト。CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ルにあります。
	データタイプ：アレイ
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ
	可能な値：
	• INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。
	• NO_CHANGE：CI は変 んでした。
	• UPDATE：既存の CI が した。
	データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	更新または作成された CI
	データタイプ：文字列
<String>.items.className	作成または更新された CI ス/テーブル名 (sys_class_
	データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndices	現在のアイテムに重複する デックスのリスト。
	データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値

<String>.items.errors	この CI の処理中に発生した
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "Strin`
	`  "message": "Str`
	`  }`
	`]`

<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラ プ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行さ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"identificationAtte`
	`  {`
	`  "attemptResult"`
	`"String",`
	`  "attributes": [`
	
	`"hybridEntryCiAttr`
	`[Array],`
	`  "identifierName`
	`"String",`
	`  "searchOnTable"`
	`"String"`
	`  }`
	`]`

<String>.items.identificationAttempts.attemptResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功 指定された属性と完全に 意の CI が識別子ルール 見つかりました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• MULTI_MATCH：エラー 別に失敗しました。指定 に対して照合していると 子ルールテーブルに重複 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失 た。指定された属性と一 が識別子ルールテーブル ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行さ でした。この識別子ルー ルの検索に必要な属性が かったため、ルールは適 んでした。 データタイプ：文字列

<String>.items.identificationAttempts.attributes	識別プロセス中に使用され
	ントリ属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	`"attributes":[`
	`"serial_number":`
	`"String",`
	`"serial_number_ty`
	`"String",`
	`]`

<String>items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	識別プロセス中に使用され
	ントリ属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次
	使用される要求本文データ
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttri`
	`[`
	`"name": "String",`
	`"serial_number":`
	`]`

<String>.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用さ 子ルール。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.identificationAttempts.searchOnTable	識別プロセス中に検索され の名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifierEntrySysId	CI を識別するために使用さ 子ルールの sys_id。識別子 [cmdb_identifier_entry] テ あります。 データタイプ：文字列
<String>.items.incompleteSysIds	アイテムにエラーがあり、 完全ペイロードとして保存 れた場合、このパラメータ は、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy れます。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追 データタイプ：オブジェク `"info": [ { "code": "String "message": "Str "ruleSysId": "S } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイ 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWN • SKIPPED_CLASS_UPGRA データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由 加のインサイトを提供する ジ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルール 再分類制限ルールのために 類をスキップする場合にの ます。ペイロードまたはグ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	ラグのために再分類がスキ 場合、この値は空になりま データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	対応する入力 CI のインデ 上位レベルのアイテムの場 のリストです。関連 CI ま アップ CI の場合は、JSON クトのリストです。 データタイプ：数値のアレ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従っ ないデータソースによる更 プされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい CI がテ に挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし • INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • UPDATE：既存の CI が した。 • UPDATE_WITH_DOWN CI が更新され、クラスが なクラス (先祖クラス) に した。 • UPDATE_WITH_SWITC 更新され、クラスが先祖 ではないクラスに変更さ • UPDATE_WITH_UPDR が更新され、クラスがよ たクラス (子孫クラス) に した。 データタイプ：文字列
<String>.items.partialSysIds	アイテムにエラーがあり、 ロードとして保存された場

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	ラメーターには部分的ペイ コードの sys_id が含まれま データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup*
	関連 CI (テーブルルックア
	記述する JSON オブジェク
	ト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"relatedItems": [
	  {
	    "className": "S
	    "errors": [Arra
	    "errorCount": N
	    "incompleteSysI
	 [Array],
	    "inputIndices":
	 [Array],
	    "mergePayloadIc
	 [Array],
	    "operation": "S
	    "partialSysIds"
	 [Array],
	    "sysId": "Strin
	    "warningCount":
	    "warnings": [Ar
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テー (sys_class_name)。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems.errors	関連アイテムの処理中に発
	ラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"errors": [
	  {
	    "error": "Strin
	    "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.errors.error	関連アイテムの処理中に発 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.items.relatedItems.errors.message	エラーに関連するエラーメ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorCount	関連アイテムの処理中に検 ラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのイ ス。最上位レベルのアイテ は、整数のリストです。関 またはルックアップアイテ は、JSON オブジェクトの す。 データタイプ：数値のアレ ブジェクトのアレイ `"inputIndices": [ { "mainIndex": Num "subIndex": Numb } ]`
<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対 求本文 *items* アレイからの クス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要 *items.lookup* アレイから デックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中に CI に結合された部 ロードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.operation	実行された操作。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• INSERT：新しい関連 C ベースに挿入されました • INSERT_AS_INCOMPL アイテムは cmdb_ire_incomplete_ テーブルに保存されまし • INSERT_AS_PARTIAL ムは cmdb_ire_partial_ テーブルに保存されまし • NO_CHANGE：関連 CI ませんでした。 • UPDATE：既存の関連 C れました。 • UPDATE_WITH_DOWN 関連 CI が更新され、ク 汎用的なクラス (先祖ク されました。 • UPDATE_WITH_SWITC CI が更新され、クラスが 子孫ではないクラスに変 た。 • UPDATE_WITH_UPDR CI が更新され、クラスが れたクラス (子孫クラス) ました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.partialSysIds	関連アイテムにエラーがあ ペイロードとして保存され れには、CMDB IRE 部分的 [cmdb_ire_partial_paylo ル内の関連レコードの sys_ が含まれます。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.sysId	関連アイテムのSys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warningCount	関連アイテムの処理中に発 の数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.warnings	関連アイテムの処理中に発 の説明。 データタイプ：オブジェク

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"warnings": [
	  {
	  "error": "Strin
	  "message": "Str
	  }
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.warnings.error	関連アイテムの処理中に発 のタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warnings.message	警告に関連付けられたメッ データタイプ：文字列
<String>.items.relatedSysIds	関連アイテムのルックアッ 識別中に使用される CI の リスト。 データタイプ：文字列
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の データタイプ：文字列

<String>.relations	要求本文 *relations* アレ
	存関係 CI の説明。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"relations": [
	  {
	  "className": "S
	  "errorCount": N
	  "errors": [Arra
	  "incompleteSysI
	"String",
	  "inputIndices":
	[Array],
	  "operation": "S
	  "partialSysIds"
	"String",
	  "sysId": "Strin
	  }
	]</pre>

<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値の み:cmdb_rel_ci:CI 関係テ データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
<String>.relations.errorCount	依存関係 CI の処理中に発生 ラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に エラーを説明するリスト。 データタイプ：オブジェク `"errors": [ { "error": "Strin "message": "Str } ]`
<String>.relations.errors.error	依存関係 CI の処理中に発生 ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.relations.incompleteSysIds	関連にエラーがあり、不完 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete_p テーブル内のレコードの sy ます。 データタイプ：文字列
<String>.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する *relations* アレイ内の依存 ブジェクトのインデックス データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が コードとしてターゲット 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPL 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペ [cmdb_ire_incomplete テーブルに挿入されまし

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明
	• INSERT_AS_PARTIAL 依存関係 CI にエラーが り、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_pay ブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：操作は実 せんでした。 • UPDATE：ターゲットテ 既存の依存関係 CI が更新 た。 データタイプ：文字列
<String>.relations.partialSysIds	関連にエラーがあり、部分 ロードとして保存された場 値は、CMDB IRE 部分的ペ [cmdb_ire_partial_payloa ル内のレコードの sys_id に データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.summary	クラスごとに挿入または更 イテムの数に関する統計情 る JSON プロパティのリス データタイプ：アレイ

<String>.summary.<class_name>	特定のクラスの統計情報。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`<class_name>: {`
	`"additionalInserte`
	`nt": Number,`
	`"errorCount": Numb`
	`"incompleteItemCou`
	`Number,`
	`"insertedItemCount`
	`Number,`
	`"partialItemCount"`
	`Number,`
	`"skippedItemCount"`
	`Number,`
	`"unchangedItemCour`
	`Number,`
	`"updatedItemCount"`
	`Number,`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

パラメーター	説明

	<pre>"warningCount": Nu
	}</pre>

<String>.summary.<class_name>.additionalInsertedItemCount	部分的ペイロードの処理の されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.errorCount	アイテムの処理中に発生し 数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.incompleteItemCount	CMDB IRE 不完全ペイロー [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されたアイ データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.insertedItemCount	作成されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.partialItemCount	部分的ペイロードテーブル [cmdb_ire_partial_paylo されているアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.skippedItemCount	スキップされたアイテムの データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.unchangedItemCount	エントリがあっても変更さ アイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.updatedItemCount	更新されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.warningCount	処理時に警告を生成したア 数。 データタイプ：数値

依存型 CI を識別します。

```
var payload = {
"items": [
{
 "className": "cmdb_ci_win_server",
 "values": {
   "chassis_type": "Desktop",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
  "name": "Windows2012Server1",
  "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
  "cpu_count": "1"
 },
 "lookup": [
 {
    "values": {
      "valid": "true",
      "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
      "serial_number_type": "bios"
     },
    "className": "cmdb_serial_number"
  },
  {
    "values": {
      "valid": "true",
      "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
      "serial_number_type": "chassis"
     },
    "className": "cmdb_serial_number"
  }],

   "internal_id": "16777219",
   "sys_object_source_info": {
     "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
     "source_name": "ServiceNow",
     "source_native_key": "16777219",
     "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
  }},
  {
  "className": "cmdb_ci_spkg",
  "values": {
    "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
    "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
    },

 "related": [
   {
     "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219",
     "values": {
       "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
     },
     "className": "cmdb_software_instance",
     "sys_object_source_info": {
       "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
       "source_name": "ServiceNow",
       "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
Datacenter_:::_NULL|16777219"
 }}]
 "settings" : {
       "skipReclassificationRestrictionRules" : "false",
       "updateWithoutDowngrade" : "true",
       "updateWithoutUpgrade" : "true",
       "updateWithoutSwitch" : "true"
     }},
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
 org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var input = new JSON().encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCIEnhanced('ServiceN
ow', input, {});
```

出力：

```
{

"items": [
{
  "className": "cmdb_ci_win_server",
  "operation": "NO_CHANGE",
  "sysId": "65d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc2a",
  "relatedSysIds": [
    "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc32",
    "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc33"
],

"relatedItems": [
{
  "className": "cmdb_serial_number",
  "sysId": "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc32",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
  {
    "mainIndex": 0,
    "subIndex": 0
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }]
},
  "className": "cmdb_serial_number",
  "sysId": "a1d873d2b3a0001028f6eae2c6a8dc33",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
  {
    "mainIndex": 0,
    "subIndex": 1
  }]
}],

"additionalRelatedItems": [],
"identificationAttempts": [],
"errorCount": 0,
"inputIndices": [0]
},
{
"className": "cmdb_ci_spkg",
"operation": "NO_CHANGE",
"sysId": "c764e971b320001028f6eae2c6a8dc44",

"relatedSysIds": [
  "8b64e971b320001028f6eae2c6a8dc47"
],
"relatedItems": [
  {
  "className": "cmdb_software_instance",
  "sysId": "8b64e971b320001028f6eae2c6a8dc47",
  "markers": [],
  "inputIndices": [
    {
      "mainIndex": 1,
      "subIndex": 0
    }]
  }],

"additionalRelatedItems": [],
"identifierEntrySysId": "a52a87c03746220006b216a543990e8c",
"identificationAttempts": [
  {
    "attributes": [
      "key"
     ],
    "identifierName": "Software",
    "attemptResult": "MATCHED",
    "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
    "hybridEntryCiAttributes": []
  }],

"errorCount": 0,
"inputIndices": [1]
},

{
"className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
"operation": "INSERT",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"sysId": "6f29f3d2b3a0001028f6eae2c6a8dcc6",
"identifierEntrySysId": "Unknown",
"identificationAttempts": [
{
  "attributes": [
    "install_directory",
    "running_process_key_parameters",
    "sys_class_name"
  ],
"identifierName": "Tomcat",
"attemptResult": "NO_MATCH",
"searchOnTable": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
"hybridEntryCiAttributes": []
},
{
"attributes": [
  "cl_port",
  "sys_class_name"
],
"identifierName": "Application Rule",
"attemptResult": "SKIPPED",
"searchOnTable": "cmdb_ci_appl",
"hybridEntryCiAttributes": []
},
{
"attributes": [
  "running_process_command",
  "running_process_key_parameters",
  "sys_class_name"
],
"identifierName": "Application Rule",
"attemptResult": "NO_MATCH",
"searchOnTable": "cmdb_ci_appl",
"hybridEntryCiAttributes": []
}
],

"errorCount": 0,
"inputIndices": [2]
}
],
"additionalCommittedItems": [],
"relations": [
{
  "className": "cmdb_rel_ci",
  "operation": "INSERT",
  "sysId": "6729f3d2b3a0001028f6eae2c6a8dcc9",
  "errorCount": 0,
  "inputIndices": [0]
}],
"additionalCommittedRelations": []
}
```


IdentificationEngineScriptableApi - identifyCI(文字列 **jsonString)**

データベース内の操作をコミットせずに指定されたペイロードで実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 識別ルールがそのように構成されている場合、この方法では非 CMDB テーブルも取り込むことができます。非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

これは *createOrUpdateCI()* と同じように機能しますが、結果はコミットされません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonString	文字列	追加または更新する構成アイテムの JSON 形式の文字列。それぞれの入力文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 アイテムリストで使用できる名前と値のペアは次のとおりです。 • className:作成または更新する CI のSys_class_name。 • lookup:[{}]:アイテムリストのように、各アイテムが名前と値のペアを持つレコードのリスト。 • values:{}:名前と値のペアとしての CI のフィールド情報。ここで、名前はフィールド名です。 関係リスト内の可能な名前と値のペアは次のとおりです。 • child: 依存関係内の子アイテムのインデックス • parent: 依存関係内の親アイテムのインデックス • type:関係タイプ。cmdb_rel_type テーブルの名前フィールドの値の 1 つです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果のリストである JSON 形式の文字列。それぞれの結果文字列の形式は「items: [{}], related:[{}]」で、アイテムと関係リスト内の各アイテムに名前と値のペアが含まれています。 アイテムリストで使用できる名前と値のペアは次のとおりです。 • className:更新または作成された CI のSys_class_name。 • duplicateIndices: 現在のアイテムと重複するアイテムのインデックスのリスト。 • errors:(error, message string) 形式のエラーのリスト • identificationAttempts:試行のリスト。 ◦ attemptResult:SKIPPED、NO_MATCH、MATCHED、MULTI_MATCHのいずれか。 ◦ attributes:識別時に使用される識別子エントリの属性。 ◦ identiferName:この識別子エントリが属する CI ID。 ◦ searchOnTable:識別プロセス中に検索されるテーブル。 • identifierEntrySysId: 照合中に使用される識別子エントリのSys_id。 • operation:実行する操作。次のいずれかです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ DELETE ◦ INSERT ◦ UPDATE ◦ UPDATE_WITH_DOWNGRADE ◦ UPDATE_WITH_SWITCH ◦ UPDATE_WITH_UPGRADE • relatedSysIds:ルックアップベースの識別中に使用される CI のsys_id値のリスト。 • sysId:更新または作成された CI の Sys_id。 関係リスト内の可能な名前と値のペアは次のとおりです。 • className:関係 CI のクラス名で、常にcmdb_rel_ci • operation: 操作のタイプ: INSERT、UPDATE、NO_CHANGE • sysId:挿入または更新された関係 CI のSys_id

ルックアップベースの識別で独立型 CI を識別します。

```
var payload = {items: [
 {className:'cmdb_ci_netgear',
   values: {name:'ny8500-nbxs08',
            ports:'1200'},
   lookup: [{className:'cmdb_serial_number',
             values:{serial_number:'1234ABCD',
 serial_number_type:'uuid',absent:'false',valid:'true'}},
            {className:'cmdb_serial_number',
             values:{serial_number:'3456EFGH',
 serial_number_type:'system',absent:'false',valid:'true'}}]}]};

var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
var output = SNC.IdentificationEngineScriptableApi.identifyCI(input);
gs.print(output);
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_netgear",
      "operation": "UPDATE",
      "sysId": "55b35562c0a8010e01cff22378e0aea9",
      "relatedSysIds": [
        null,
        null
      ],
      "relatedItems": [
        {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "errors": [

          ],
          "operation": "INSERT",
          "info": [

          ],
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [

          ],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "warningCount": 0,
          "markers": [

          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "errors": [

          ],
          "operation": "INSERT",
          "info": [

          ],
          "errorCount": 0,
          "mergedPayloadIds": [

          ],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 1
            }
          ],
          "warningCount": 0,
          "markers": [

          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        }
      ],
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "source_name",
            "source_native_key"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ],
          "searchOnTable": "sys_object_source",
          "hybridEntryCiAttributes": [

          ]
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": [

          ]
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": [

          ]
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": [

          ]
        }
      ],
      "info": [

      ],
      "errorCount": 0,
      "mergedPayloadIds": [

      ],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "warningCount": 0,
      "markers": [

      ]
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "additionalCommittedItems": [

  ],
  "relations": [

  ],
  "additionalCommittedRelations": [

  ],
  "hasError": false,
  "hasWarning": false
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで identifyCI(文字列 *jsonString)*メソッドを使用するには、対応するスコープ指定の IdentificationEngine メソッド identifyCI(文字列 jsonString) を使用します。

IdentificationEngineScriptableApi - identifyCIEnhanced(文字列 **source**, 文字列 **input**, オブジェクト **options)**

データベース内の 構成管理データベース (CMDB) の操作をコミットせずに指定されたペイロード (要求の本文) で実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

注: 識別ルールがそのように構成されている場合、この方法では非 CMDB テーブルも取り込むことができます。非 CMDB テーブル取り込みの詳細については、「非 CMDB テーブルの IRE サポート」を参照してください。

このメソッドを使用してペイロードの送信をシミュレーションします。

このメソッドは IdentificationEngineScriptableApi - identifyCI(文字列 jsonString) メソッドに似ていますが、次の機能もサポートします。

- 部分的ペイロード
  - アイテムに警告またはエラーがある場合は、アイテムの操作が INSERT_AS_PARTIAL か INSERT_INCOMPLETE かを示します。
  - 既存の部分的ペイロードと結合された部分的ペイロードの sys_id を返します。
- ペイロードの重複排除機能をサポートします。
- サマリを生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明

input	文字列	必須です。入力ペイロード。追加
		文字列。
		`"input" {`
		`"items": [Array],`
		`"referenceItems": [Arr`
		`"relations": [Array]`
		`}`

input.items	オブ	追加または更新するアイテム。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

	ジェクトのアレイ	<pre>"items": [
		  {
		  "className": "Strin
		  "display_values": {
		  "internal_id": "Str
		  "lookup": [Array],
		  "related": [Array],
		  "settings": {Object
		  "sys_object_source_
		  "values": {Object}
		  }
		]</pre>

input.items.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_ci_linux_serve CMDB クラス/テーブルにするこ

input.items.display_values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前と値の
		ルド。名前はフィールド名で、値
		の表示値の代わりに sys_id を使用
		input.items.lookup.value
		
		参照フィールド名は、次のように
		ます。
		<pre>"display_values": {
		  "model_id": "String",
		  "location": "String"
		}</pre>

input.items.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup	オブジェクトのアレイ	ルックアップを含むトップレベル
		の識別)。これらのレコードは、c
		に基づいて構成アイテムを識別す
		
		例：
		<pre>"lookup": [
		  {
		  "className": "Strin
		  "internal_id": "Str
		  "sys_object_source_
		  "values": {Object}
		  }
		]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.lookup.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_serial_numbe の CMDB クラス/テーブルにする
input.items.lookup.internal_id	文字列	関連付けられたペイロードの一意 これは任意の値にすることができ ります。

input.items.lookup.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のデータソースの一意の CI
		と、名前と値のペアが異なる場合
		
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

input.items.lookup.values	オブジェクト	名前と値のペアとしての CI のフ
		です。参照フィールドを更新する
		ります。
		
		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		
		`"values": {`
		`"serial_number": "Str`
		`"serial_number_type":`
		`"valid": "String",`
		`"ip_address": "String`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"mac_address": "Strin
		}</pre>

input.items.related	オブジェクトのアレイ	関連リストを含むトップレベルの [cmdb_related_entry] のルール ドのタイプを定義します。これら 含む関連テーブルに基づいてア
		
		関連テーブルは、cmdb_ci を拡 らのレコードは、構成アイテムの
		<pre>"related" [
		{
		"className": "Strin
		"internal_id": "Str
		"sys_object_source_
		"values": {Object}
		}
		]</pre>

input.items.related.className	文字列	必須です。作成または更新する構 sys_class_name。 この値は、cmdb_software_inst CMDB クラス/テーブルにするこ
input.items.related.internal_id	文字列	このペイロードのこの関連アイテ きますが、ペイロード内で一意で

input.items.related.sys_object_source_info	オブジェクト	指定されたデータソースの一意の ソースが異なると、名前と値のペ
		<pre>"sys_object_source_info
		"source_feed": "Strin
		"source_name": "Strin
		"source_native_key":
		"source_recency_times
		}</pre>

input.items.related.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソースを識別しま テーブルの discovery_source フ 要があります。
input.items.related.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	関連アイテムのソースからの一意

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：`YYYY-MM-DD hh:mm:ss`
input.items.related.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の 名前はフィールド名です。参照フ る必要があります。参照フィール は、*values* オブジェクトではな 報を渡します。 フィールド名とタイプは、次のよ なります。 `"values": { "host_name": "String" "ip_address": "String "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "St }`
input.items.settings	オブジェクト	許可される更新のタイプを定義す `"settings": { "skipReclassification "updateWithoutDowngra "updateWithoutSwitch" "updateWithoutUpgrade }`
input.items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	ブール	IRE がペイロードアイテムのクラ どうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキッ • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutDowngrade	ブール	このアイテムの更新とダウングレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とダウ デフォルト値：false

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
input.items.settings.updateWithoutSwitch	ブール	アイテムを更新してクラスを切り 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とクラス デフォルト値：false
input.items.settings.updateWithoutUpgrade	ブール	このアイテムの更新とアップグレ フラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますか • false：アイテムの更新とアッ デフォルト値：false

input.items.sys_object_source_info	オブジェクト	特定のソースの一意の CI ID。
		`"sys_object_source_info`
		`"source_feed": "Strin`
		`"source_name": "Strin`
		`"source_native_key":`
		`"source_recency_times`
		`}`

input.items.sys_object_source_info.source_feed	文字列	ソースに複数のフィードを含める して、このアイテムを送信するフ データソースはこのフィード名を る任意の文字列を指定できます。
input.items.sys_object_source_info.source_name	文字列	CI 情報のデータソース。この値は discovery_source フィールドに す。
input.items.sys_object_source_info.source_native_key	文字列	ソースからのアイテムの一意のキ データソースはこのキーを生成し ことができます。
input.items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	文字列	アイテムがスキャンされた UTC 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
input.items.values	オブジェクト	この関連アイテム用に名前/値の 名前はフィールド名です。参照フ る必要があります。参照フィール は、*values* オブジェクトではな 報を渡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		フィールド名とタイプは、次のよ
		なります。
		`"values": {`
		`"host_name": "String"`
		`"ip_address": "String`
		`"name": "String",`
		`"os_name": "String",`
		`"sys_class_name": "St`
		`}`

input.referenceItems	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		`"referenceItems": [`
		`{`
		`"referenced": "Stri`
		`"referencedBy": "St`
		`"referenceField": "`
		`}`
		`]`

input.referenceItems.referenced	文字列	別のアイテムによって参照されて *internal_id*。
input.referenceItems.referencedBy	文字列	別のアイテムを参照するアイテム
input.referenceItems.referenceField	文字列	*referencedBy* アイテムのクラ

input.relations	オブジェクトのアレイ	入力ペイロード内のアイテム間の
		このアレイ内のオブジェクトは、
		• オブジェクトは、*parent* およ
		トップレベルアイテム (のみ) の
		ド *items* アレイのアイテムイ
		`"relations": [`
		`{`
		`"child": Number,`
		`"parent": Number,`
		`"sys_rel_source_ir`
		`"type": "String"`
		`}`
		`]`
		• オブジェクトは、*parent_id*
		て、最上位レベルのアイテム、
		含む任意の 2 つのアイテム間の
		イテムに対して定義された *in*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"relations": [
		  {
		  "child_id": "Strin
		  "parent_id": "Stri
		  "sys_rel_source_in
		  "type": "String"
		  }
		]</pre>

input.relations.child	番号	関係の子 (items、items.related 内の CI オブジェクトの整数イン
input.relations.child_id	文字列	関係内の子アイテム (items、ite *internal_id*。
input.relations.parent	番号	*items* アレイ内の親アイテム (it の整数インデックス。
input.relations.parent_id	文字列	関係内の親アイテム (items、ite *internal_id*。

input.relations.sys_rel_source_info	オブジェクト	関係の検出ソース情報。非依存関
		[sys_rel_source] テーブルに保存
		identifyCI() メソッドでは保
		
		データタイプ：オブジェクト
		<pre>"sys_rel_source_info":
		  "source_name": "Strin
		  "source_feed": "Strin
		}</pre>

input.relations.sys_rel_source_info.source_name	文字列	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメ
input.relations.sys_rel_source_info.source_feed	文字列	検出ソース内のサブ検出/スキャ デフォルト:「UNKNOWN」は、 るときにsource_feed列に保存さ
input.relations.type	文字列	親アイテムと子アイテムの間に存 [cmdb_rel_type] テーブルからの
オプション	オブジェクト	オプションですが、{} または nul 効にするオプション。 **注:** デフォルトでは、または いる場合は、*partial_com* (これらが false に設定されて 能は、部分的ペイロード機能

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"options": {
		"deduplicate_payloads"
		"generate_summary": Bo
		"partial_commits": Boo
		"partial_payloads": Bo
		"skip_updating_last_sc
		"skip_updating_source_
		}</pre>

options.deduplicate_payloads	ブール	重複アイテムが結合されているか ラグ。 有効な値： • true：重複アイテムを結合しま • false：重複アイテムをエラー デフォルト：true
options.generate_summary	ブール	返された結果にサマリー情報が含 返されるサマリー情報の詳細につ *<String>.summary* を参照して 有効な値： • true：サマリー情報を含めます • false:概要情報を含めません。 デフォルト値：false
options.partial_commits	ブール	部分的コミットのサポートが有効 については、「拡張 IRE 機能」 有効な値： • true：部分的コミットは有効で • false：部分コミットは無効で デフォルト：true
options.partial_payloads	ブール	部分的ペイロードのサポートが有 の詳細については、「拡張 IRE 機 成」を参照してください。 有効な値： • true：部分的ペイロードは有効 • false：部分的ペイロードは無 デフォルト：true

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.skip_updating_last_scan_to_now	ブール	sys_object_source の last_scan かを示すフラグ。 有効な値： • true：*source_recency_tir sys_object_source_info* last_scan 時間フィールドを更 • false：sys_object_source の デフォルト：glide.identification システムのプロパティの 値を使用
options.skip_updating_source_last_discovered_to_now	ブール	構成アイテム [cmdb_ci] テーブ last_discovered フィールドの更 有効な値： • true：ペイロードアイテムの値 は、discovery_source フィー せん。 • false：discovery_source フィ します。 デフォルト： glide.identification_engine.skip システムのプロパティの値を使用
source	文字列	CI 情報のデータソース。この値 discovery_source フィールドに す。

返される内容

タイプ	説明
<String>	入力文字列内の構成アイテムの結果のリストである JSON 形式の文字列。 データタイプ：文字列 `{ "additionalCommittedItems": [Array], "additionalCommittedRelations": [Array], "hasError": Boolean, "hasWarning": Boolean, "items": [Array], "relations": [Array], "summary": {Object} }`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.additionalCommittedItems	現在のペイロードの IRE 処理中にコミットされても、現在の入力ペイロードに存在しなかった CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalCommittedItems": [ { "className": "String", "errorCount": Number, "operation": "String", "identificationAttempts": [Array], "inputIndices": [Array], "markers": [Array], "mergedPayloads": [Array], "sysId": "String" } ]`
<String>.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文 *relations* リストに含まれていなかった依存関係 CI の説明。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalCommittedRelations": [ { "className": "String", "inputIndices": [Array], "markers": [Array], "mergedPayloadIds": [Array], "operation": "String" } ]`
<String>.hasError	アイテムまたは関係にエラーがあるかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.hasWarning	アイテムまたは関係に警告があるかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
<String>.items	作成または更新された CI の説明。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"items": [ { "additionalRelatedItems": [Array], "className": "String", "duplicateIndices": [Array], "errorCount": Number, "errors": [Array], "identificationAttempts": [Array], "identifierEntrySysId": "String", "info": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"inputIndices": [Array],
	"maskedAttributes": [Array],
	"operation": "String",
	"relatedSysIds": [Array],
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems	処理されたものの、入力ペイロードの一部として提供されなかった追加のルックアップおよび関連アイテムに関する情報。これらのアイテムは部分的ペイロードからのものです。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"additionalRelatedItems": [
	{
	"className": "String",
	"inputIndices": [Array],
	"mergedPayloadIds": [Array],
	"operation": "String",
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.additionalRelatedItems.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要求本文 *items* アレイからの CI のインデックス値。 データタイプ：数値のアレイ
<String>.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	関連アイテムに結合された部分的ペイロードの sys_id のリスト。CMDB IRE 部分的ペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
<String>.items.additionalRelatedItems.operation	操作のタイプ。items.operation 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • NO_CHANGE：CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.additionalRelatedItems.sysId	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.className	作成または更新された CI のクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.duplicateIndexes	現在のアイテムに重複する CI のインデックスのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.errorCount	アイテムの処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.items.errors	この CI の処理中に発生したエラーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.errors.error	CI の処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.errors.message	CI の処理中に発生したエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.identificationAttempts	CI を識別するために実行された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"identificationAttempts": [ { "attemptResult": "String", "attributes": [Array], "hybridEntryCiAttributes": [Array], "identifierName": "String", "searchOnTable": "String" } ]`
<String>.items.identificationAttemptsResult	CI の識別の試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功しました。指定された属性と完全に一致する一意の CI が識別子ルールテーブルで見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーのため識別に失敗しました。指定された属性に対して照合しているときに、識別子ルールテーブルに重複する CI が見つかりました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• NO_MATCH：識別に失敗しました。指定された属性と一致する CI が識別子ルールテーブルで見つかりませんでした。 • SKIPPED：識別は試行されませんでした。この識別子ルールテーブルの検索に必要な属性が指定されなかったため、ルールは適用されませんでした。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifier_attributes	識別プロセス中に使用された CI ID エントリ属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次のような使用される要求本文データと識別子によって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", ]`
<String>.items.identifier_entry	この CI の識別試行に使用される識別子ルール。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifier_table	識別プロセス中に検索されたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<String>.items.identifier_value	CI を識別するために使用される識別子ルールの sys_id。識別子エントリー [cmdb_identifier_entry] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<String>.items.info	アイテムの処理に関する追加情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"info": [ { "code": "String", "message": "String", "ruleSysId": "String" } ]`
<String>.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGRADE • SKIPPED_CLASS_UPGRADE

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.info.message	再分類をスキップする理由に関する追加のインサイトを提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
<String>.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの sys_id。再分類制限ルールのために IRE が再分類をスキップする場合にのみ適用されます。ペイロードまたはグローバルフラグのために再分類がスキップされた場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
<String>.items.inputIndices	対応する入力 CI のインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連 CI またはルックアップ CI の場合は、JSON オブジェクトのリストです。 データタイプ：数値のアレイ
<String>.items.maskedAttributes	調整ルール の定義に従って、権限のないデータソースによる更新がスキップされた属性のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい CI がデータベースに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：アイテムは cmdb_ire_incomplete_payloads テーブルに保存されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：アイテムは cmdb_ire_partial_payloads テーブルに保存されました。 • UPDATE：既存の CI が更新されました。 • UPDATE_WITH_DOWNGRADE：CI が更新され、クラスがより汎用的なクラス (先祖クラス) に変更されました。 • UPDATE_WITH_SWITCH：CI が更新され、クラスが先祖または子孫ではないクラスに変更されました。 • UPDATE_WITH_UPDRADE：CI が更新され、クラスがより特化されたクラス (子孫クラス) に変更されました。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems	処理された関連アイテムに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"relatedItems": [`
	`  {`
	`  "className": "String",`
	`  "errorCount": Number,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"errors": [Array],
	"inputIndices": [Array],
	"mergePayloadIds": [Array],
	"operation": "String",
	"sysId": "String",
	"warningCount": Number,
	"warnings": [Array]
	}
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.className	関連アイテムのクラス/テーブル名 (sys_class_name)。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errorCount	関連アイテムの処理中に検出されたエラーの数。 データタイプ：数値

<String>.items.relatedItems.errors	関連アイテムの処理中に発生したエラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"errors": [
	{
	"error": "String",
	"message": "String"
	}
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.errors.error	関連アイテムの処理中に発生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.errors.message	関連アイテムの処理中にエラーが発生しました。 データタイプ：文字列

<String>.items.relatedItems.inputIndices	対応する入力アイテムのインデックス。最上位レベルのアイテムの場合は、整数のリストです。関連アイテムまたはルックアップアイテムの場合は、JSON オブジェクトのリストです。
	
	データタイプ：数値のアレイまたはオブジェクトのアレイ
	<pre>"inputIndices": [
	{
	"mainIndex": Number,
	"subIndex": Number
	}
	]</pre>

<String>.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムのこの親に対応する要求本文 *items* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.items.relatedItems.mandatoryLookup	関連アイテムに対応する要求本文 *items.lookup* アレイからのインデックス値。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.merged	処理中に CI に結合された部分的ペイロードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.items.relatedItems.operation	実行された操作。 可能な値： • INSERT：新しい関連 CI がデータベースに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：アイテムは cmdb_ire_incomplete_payloads テーブルに保存されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：アイテムは cmdb_ire_partial_payloads テーブルに保存されました。 • NO_CHANGE：関連 CI は変更されませんでした。 • UPDATE：既存の関連 CI が更新されました。 • UPDATE_WITH_DOWNGRADE：関連 CI が更新され、クラスがより汎用的なクラス (先祖クラス) に変更されました。 • UPDATE_WITH_SWITCH：関連 CI が更新され、クラスが先祖または子孫ではないクラスに変更されました。 • UPDATE_WITH_UPDRADE：関連 CI が更新され、クラスがより特化されたクラス (子孫クラス) に変更されました。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.sysId	関連アイテムのSys_id。 データタイプ：文字列
<String>.items.relatedItems.warningCount	関連アイテムの処理中に発生した警告の数。 データタイプ：数値
<String>.items.relatedItems.warnings	関連アイテムの処理中に発生した警告の説明。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"warnings": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.items.relatedSysIds	関連アイテムのルックアップベースの識別中に使用される CI の sys_id 値のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<String>.items.sys_id	更新または作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.relations	処理された関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relations": [ { "className": "String", "errorCount": Number, "errors": [Array], "inputIndices": [Array], "operation": "String", "sysId": "String" } ]`
<String>.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ:cmdb_rel_ci:CI 関係テーブル。 データタイプ：文字列
<String>.relations.errorCount	依存関係 CI の処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発生したエラーを説明するリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
<String>.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する要求本文 *relations* アレイ内の依存関係 CI オブジェクトのインデックス。 データタイプ：アレイ
<String>.relations.operation	実行された操作のタイプ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• INSERT：依存関係 CI が新しいレコードとしてターゲットテーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLETE：依存関係 CI にエラーがあり、CMDB IRE 不完全ペイロード [cmdb_ire_incomplete_payloads] テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL：依存関係 CI にエラーがあり、CMDB IRE 部分的ペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：操作は実行されませんでした。 • UPDATE：ターゲットテーブルの既存の依存関係 CI が更新されました。 データタイプ：文字列
<String>.relations.sysId	依存関係 CI の sys_id。 データタイプ：文字列
<String>.summary	クラスごとに挿入または更新されたアイテムの数に関する統計情報を提供する JSON プロパティのリスト。 データタイプ：アレイ
<String>.summary.<class_name>	特定のクラスの統計情報。 データタイプ：オブジェクト `<class_name>: { "additionalInsertedItemCount": Number, "errorCount": Number, "incompleteItemCount": Number, "insertedItemCount": Number, "partialItemCount": Number, "skippedItemCount": Number, "unchangedItemCount": Number, "updatedItemCount": Number, "warningCount": Number }`
<String>.summary.<class_name>.additionalInsertedItemCount	部分的ペイロードの処理のために挿入されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.errorCount	アイテムの処理中に発生したエラーの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.incompleteItemCount	CMDB IRE 不完全ペイロード [cmdb_ire_incomplete_payloads] テーブルに挿入されたアイテムの数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<String>.summary.<class_name>.inserted_count	作成されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.partial_count	部分的ペイロードとして [cmdb_ire_partial_payloads] に保存されているアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.skipped_count	スキップされたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.unchanged_count	エントリがあっても変更されなかったアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.updated_count	更新されたアイテムの数。 データタイプ：数値
<String>.summary.<class_name>.warning_count	処理時に警告を生成したアイテムの数。 データタイプ：数値

```
var payload = {
"items": [
{
"className": "cmdb_ci_win_server",
"values": {
   "chassis_type": "Desktop",
   "os": "Windows 2012 R2 Datacenter",
   "name": "Windows2012Server1",
   "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
   "cpu_count": "1"
  },
  "lookup": [
  {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "0000-0011-1690-8730-8636-5722-52",
       "serial_number_type": "bios"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   },
   {
     "values": {
       "valid": "true",
       "serial_number": "3311-9736-4988-9744-1749-4183-41",
       "serial_number_type": "chassis"
      },
     "className": "cmdb_serial_number"
   }],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "internal_id": "16777219",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "16777219",
      "source_recency_timestamp": "2019-10-18 08:31:23"
   }},
   {
   "className": "cmdb_ci_spkg",
   "values": {
     "name": "Windows 2012 R2 Datacenter",
     "key": "Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter_:::_NULL"
     },

  "related": [
    {
     "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219",
      "values": {
        "name": "Windows 2012 R2 Datacenter-SAMLABVM52"
      },
      "className": "cmdb_software_instance",
      "sys_object_source_info": {
        "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
        "source_name": "ServiceNow",
        "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }},
  {
    "internal_id": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777229",
    "values": {
    },
    "className": "cmdb_software_instance",
    "sys_object_source_info": {
      "source_feed": "SN Discovery Feed 1",
      "source_name": "ServiceNow",
      "source_native_key": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777229"
  }}
],
  "settings" : {
        "skipReclassificationRestrictionRules" : "true",
        "updateWithoutDowngrade" : "true",
        "updateWithoutUpgrade" : "true",
        "updateWithoutSwitch" : "true"
      }},
  {
  "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
  "values": {
    "running_process_key_parameters": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b/temp
 org.apache.catalina.startup.Bootstrap start",
    "install_directory": "/opt/OV/nonOV/tomcat/b",
    "name": "Tomcat@hpom9:3443",
    "server_port": "8006",
    "sys_class_name": "cmdb_ci_app_server_tomcat"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },

  "internal_id": "tomcat_id"
  }],

"relations": [
  {
    "parent_id": "tomcat_id",
    "child_id": "16777219",
    "type": "Runs on::Runs"
  }],

"referenceItems": [
  {
    "referenceField": "installed_on",
    "referenced": "16777219",
    "referencedBy": "Microsoft Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777219"
  }]};

var input = new JSON().encode(payload);
var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.identifyCIEnhanced('ServiceNow',
 input, {});
```

出力：

```
{
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "INSERT",
      "relatedSysIds": [
        null,
        null
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_serial_number",
          "errorCount": 0,
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 0,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0
        },
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_serial_number",
          "errorCount": 0,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          {
            "mainIndex": 0,
            "subIndex": 1
          }
        ],
        "mergedPayloadIds": [],
        "warningCount": 0
      }
    ],
    "identificationAttempts": [
      {
        "attributes": [],
        "info": "sys_object_source NO_MATCH",
        "identifierName": "",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
        "attributes": [
          "serial_number",
          "serial_number_type"
        ],
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
        "attributes": [
          "serial_number"
        ],
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
        "attributes": [
          "name"
        ],
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
        "attributes": [
          "mac_address",
          "name"
        ],
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_spkg",
      "operation": "INSERT",
      "relatedSysIds": [
        null
      ],
      "relatedItems": [
        {
          "errors": [],
          "operation": "INSERT",
          "className": "cmdb_software_instance",
          "errorCount": 0,
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 1,
              "subIndex": 0
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 0
        },
        {
          "errors": [],
          "warnings": [
            {
              "error": "MISSING_MATCHING_ATTRIBUTES",
              "message": "In payload missing minimum set of input
 values for criterion (matching) attributes from identify rule for
 table [cmdb_software_instance]. Add these input values in payload item
 '{\"className\":\"cmdb_software_instance\",\"values\":{},
\"internal_id\":\"f7273cccec30101056cd4bb46eb4db5d\",
\"sys_object_source_info\":{\"source_feed\":\"SN Discovery Feed
 1\",\"source_name\":\"ServiceNow\",\"source_native_key\":\"Microsoft
 Windows Server 2012 R2
 Datacenter_:::_NULL|16777229\"},\"settings\":{},\"sys_ire_info\":
{\"ire_received_time\":\"2020-05-10 17:57:48\"}}'"
            }
          ],
          "operation": "INSERT_AS_PARTIAL",
          "className": "cmdb_software_instance",
          "errorCount": 0,
          "sysId": "Unknown",
          "markers": [],
          "inputIndices": [
            {
              "mainIndex": 1,
              "subIndex": 1
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": [],
          "warningCount": 1
        }
      ],
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "key"
          ],
          "identifierName": "Software",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_spkg",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_app_server_tomcat",
      "operation": "INSERT",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [],
          "info": "sys_object_source SKIPPED",
          "identifierName": "",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        2
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "operation": "INSERT",
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "warningCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
}
```

IdentificationEngineScriptableApi - runIdentificationAudit(GlideRecord now_GR)

指定された構成アイテム (CI) に対して識別監査を実行して、重複を検出します。

重複が見つかった場合は、重複タスクが作成されます。このメソッドは、独立した識別ルールを持つ CI タイプでのみ使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	重複を検出する監査の実行対象となる CI。CI は独立した識別ルールを持っている必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、サーバーに重複タスクがないか確認し、重複タスクの修正を作成する方法を示しています。

```
var grServer = new GlideRecord('cmdb_ci_server');
grServer.query();
while (grServer.next()) {

 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.runIdentificationAudit(grServer);
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *runIdentificationAudit(GlideRecord now_GR)* メソッドを使用するには、対応するスコープ対象の IdentificationEngine メソッド runIdentificationAudit(GlideRecord now_GR) を使用します。

IDResult - グローバル

IDResult スクリプトインクルードは、CI ID の結果のコンテナクラスです。

サーバー側の検出スクリプトで使用します。

IDResult - IDResult(ブーリアン explore, 文字列 sysID)

IDResult クラスのインスタンスを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
explore	ブーリアン	CI を探す必要がある場合は true、必要ない場合は false に設定します。
sysID	文字列	既存の CI の sys_id。既存の CI が見つからない場合は null。

IEventSender - グローバル

IEventSender API は、MID サーバー から ServiceNow インスタンスにイベントを送信し、イベントキューのステータスを照会するメソッドを提供します。

このクラス内のメソッドを呼び出す前に、*SNEventSenderProvider.getEventSender()* メソッドを呼び出して IEvent オブジェクトをインスタンス化する必要があります。

Event API を使用して、イベント内のフィールドを追加/更新します。*SNEventSenderProvider* API を使用して、イベント送信者オブジェクトをインスタンス化します。その後で *IEventSender* API を使用して、ServiceNow インスタンスにイベントを送信します。

この API にアクセスするには、Event Management (com.glideapp.itom.snac) プラグインを有効にする必要があります。イベント管理プラグインには、個別のサブスクリプションが必要であり、アクティブ化する必要があります。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだアクティブ化されていない場合はアクティブ化します。

イベント管理の詳細については、「イベント管理」を参照してください。

IEventSender - getQueueSize()

イベントキューのサイズを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	イベントキューのサイズ。 イベントキューが現在実装されていない場合は「0」を返します。

```
var event = new Event();
event.setField("source","SAP Solman");
event.setField("severity","3");
event.setField("time_of_event", "2019-18-05 13:12:05");
event.setField("type", "SAP object");
event.setField("user", "admin"); // parameter added to additional info
 section

var eventSender = SNEventSenderProvider.getEventSender();
var sendStatus = eventSender.sendEvent(event); //send event
var queueSize = eventSender.getQueueSize() // check the size of the event
 queue
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IEventSender - isFullQueue()

イベントキューが最大サイズを超えたかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	イベントキューが最大サイズを超えたかどうかを示すフラグ。このフラグが出た場合、キューのサイズが小さくなるまで、追加のイベントメッセージをキューに入れることはできません。 有効な値： • true：イベントキューが満杯です。 • false：イベントキューが満杯でないため、さらにイベントエントリーを追加できます。

```
var eventSender = SNEventSenderProvider.getEventSender();
if (!eventSender.isFullQueue()) // If queue is not full, send event
  eventSender.sendEvent(event);
```

IEventSender - sendEvent(オブジェクト event)

指定されたイベントをイベントキューに配置します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
event	IEventSender	イベントキューに配置するイベントオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	イベントが正常にキューに格納されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：イベントがキューに格納されました • false：エラー

```
var eventSender = SNEventSenderProvider.getEventSender();
eventSender.sendEvent(event); //send event
```

Image - スコープ指定、グローバル

画像と PDF に挿入するそのレイアウトを表す Image オブジェクトを作成します。スケール、配置、境界色などの属性を定義できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

次のいずれかの方法を使用して、PDF に画像を追加できます。

- Cell – addImage(画像 image) – テーブルセルに画像を追加する
- Table – addImageCell(画像 image) – 画像を含むセルをテーブルに追加する
- Document – addImage(画像 image) - ページに画像を追加する

Image - Image(文字列 **attachmentSysId)**

新しい *Image* オブジェクトをインスタンス化します。画像添付ファイルが存在し、変更できるかどうかを確認するために使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attachmentSysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の画像の sys_id。

次の例は、*Image* オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var image = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<sys_id>");
```

Image – scaleAbsolute(数字 **width**, 数字 **height)**

画像を幅と高さのサイズ (絶対値) に拡大縮小します。この設定では画像の幅と高さの比率が保持されないため、設定が正確でないと望ましくないサイズに拡大される可能性があります。

画像の幅と高さの比率を保持した絶対値のサイズに拡大縮小するには、scaleToFit() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	画像の幅 (単位：ポイント)。
height	番号	画像の高さ (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、絶対値の幅と高さを設定して PDF に画像を追加する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var scaleAbsPic = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<img_sys_id>");
scaleAbsPic.scaleAbsolute(25,50);

document.addImage(scaleAbsPic);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "docWithImg.pdf");
```

Image – scaleToFit(数字 width, 数字 height)

幅と高さの比率を維持して画像を絶対値のサイズに拡大縮小します。

結果の出力は画像のアスペクト比によって異なります。幅と高さのパラメーター値が画像のアスペクト比と一致しない場合、一方の値が指定された値よりも小さく出力に表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数字	画像の最大幅 (単位：ポイント)。
height	数字	画像の最大の高さ (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、Cell – addImage() メソッドを使用して拡大縮小された画像を挿入する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// add a table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table([1,3],false);

// text for the left column
var text = "sample image";

// add a table cell for the image in the right column
var imgCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell(1, 1);

// add an image and set it scale-to-fit
var scaleToFitPic = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<img_sys_id>");
scaleToFitPic.scaleToFit(90,175);

// add the image to the cell
imgCell.addImage(scaleToFitPic);

table.addTextCell(text);
table.addCell(imgCell);

// Here's a paragraph
var para = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("The following table image
 uses scale to fit.");

document.addParagraph(para);
document.addTable(table);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "imgScaleToFit.pdf");
```

Image – setAutoScale(ブーリアン value)

サイズを保持して、ページまたはセルの幅と高さを拡大縮小できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	ブーリアン	画像を自動的に拡大/縮小するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：画像を自動的に拡大縮小する • false：画像は拡大縮小されない デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、自動的に拡大縮小して PDF に画像を追加する方法を示しています。画像を追加する際は Table – addImageCell() メソッドを使用します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// Add a table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table([1,2],false);

// Text in left column
var text = "sample image";

// Image in right column
var autoScaledPic = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<image_sys_id>");
autoScaledPic.setAutoScale(true);

table.addTextCell(text);
table.addImageCell(autoScaledPic);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "imgAutoScale.pdf");
```

Image – setColoredBorder(色 color, 数字 width)

指定された色で PDF に境界線を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	画像の境界線の色。
width	数字	境界線の幅 (単位：ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、画像に赤色の境界線を 5 ポイントの幅で設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1.0,0.0,0.0]);

// declare image using sys attachment
var image = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<imgAttachment_sys_id>");

image.setColoredBorder(borderColor, 5);

document.addImage(image);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "docWithBorderedImage.pdf");
```

Image – setHorizontalAlignment(文字列 **alignment)**

画像の水平配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	ページまたはブロック要素に画像の位置調整を配置します。 有効な値： • 中心 • 左 • 右 デフォルト：左

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、PDF ページに中央揃えの画像を追加する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare image using sys attachment
var image = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<imgAttachment_sys_id>");

String alignment = "Center";
image.setHorizontalAlignment(alignment);

document.addImage(image);
// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<sys_id>",
 "docWithImageCentered.pdf");
```

Image – setNoBorder()

境界線なしで画像を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに境界線なしの画像を追加する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare image using sys attachment
var image = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<imgAttachment_sys_id>");

image.setNoBorder();

document.addImage(image);
document.saveAsAttachment("incident", "<sys_id>",
 "docWithImgNoBorder.pdf");
```

インタラクション - スコープ対象

`インタラクション` API には、インタラクションレコードの動作を定義できるメソッドが用意されています。

このクラスには Interaction Logging, Routing, and Queueing プラグイン (com.glide.interaction) が必要で、 `sn_interaction` 名前空間で実行されます。

インタラクション - accept()

新しいインタラクションを受け入れます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

転送の承認は、処理待ちの転送に対してのみ機能します。インタラクションエージェント転送 (Interaction Agent Transfer) [interaction_agent_transfer] テーブルで転送待ちを検索します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	転送が受け入れられた場合は true を返します。

```
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
GR.get('b2c0a3af202a1300964f959e0488de75');
var interaction = sn_interaction.Interaction.getInteraction(GR).accept();
```

インタラクション - 作成 (オブジェクトオプション)

インタラクションを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	インタラクションレコードのフィールド値。チャネルの sys_id とチャネルのメタデータを含むチャネルフィールドが必要です。 キューがパラメーターに含まれていない場合、システムから `Interaction b2c0a3af202a1300964f959e0488de75 has no queue specified... running queue matching rules.` が返されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	Interaction

```
var interactionObj = sn_interaction.Interaction.create({
 channel: '28a59893873103002ae97e2526cb0b5d',
 channel_metadata:{},
 opened_for: '46d44a23a9fe19810012d100cca80666',
 queue: 'f3a50867b30303002186a72256a8dcb7'
});
```

インタラクション:getInteraction(GlideRecord インタラクション)

インタラクションレコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
interaction	GlideRecord	システムから取得されるインタラクションテーブル [interaction] のインタラクションレコード。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	Interaction

```
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
now_GR.get('608a21bd096a9300964ffbd57ba7dd8d');
var interaction = sn_interaction.Interaction.getInteraction(now_GR);
```

インタラクション - transferToAgent(文字列 **sysID)**

エージェントのsys_idを使用して、インタラクションレコードをエージェントに転送します。

あるエージェントから別のエージェントにインタラクションを転送する場合は、GlideRecord API を使用してインタラクションを承認または却下する必要があります。GlideRecord API を使用してインタラクションのステータスを変更および更新します。詳細については、「GlideRecord - メソッドの更新」を参照してください。

注: このメソッドは廃止されました。

パラメーター

名前	タイプ	説明
SysID	文字列	インタラクションレコードの転送先となるユーザーの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
GR.get('24b927ef202a1300964f959e0488de2d');
var interaction = sn_interaction.Interaction.getInteraction(GR);
interaction.transferToAgent('6816f79cc0a8016401c5a33be04be441');
```

インタラクション - transferToQueue(文字列 **sysID)**

インタラクションレコードをインタラクションキューに転送します。

あるキューから別のキューにインタラクションを転送すると、元のインタラクションがクローズされ、新しいキューにインタラクションが作成されます。

注: このメソッドは廃止されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
SysID	文字列	インタラクションレコードの転送先となるインタラクションキューの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
GR.get('24b927ef202a1300964f959e0488de2d');
var interaction = sn_interaction.Interaction.getInteraction(GR);
interaction.transferToQueue('86fee1933b101300088d832b44efc474');
```

IPAddress - スコープ対象、グローバル

IPAddress API は、ルーティング可能、ユニキャスト、マルチキャスト、パブリック、予約済みなど、指定された IP アドレスのさまざまなステータスをチェック可能にするメソッドを提供します。また、IP アドレスの canonical (短縮/標準) および展開形式を取得することもできます。

SNC グローバル名前空間内のグローバル *IPAddress* クラスとそれに関連するメソッドにアクセスします。

この API には、静的なメソッドと静的でないメソッドがあります。isV4() メソッドと isV6() メソッドは、静的実装と非静的実装の両方を提供します。非静的メソッドの利点は、IPAddress オブジェクトをインスタンス化するために IPAddress() メソッドを呼び出す必要がないことです。

IPAddress - IPAddress(文字列 ipAddress)

指定された IP アドレスの IPAddress オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	IPAddress オブジェクトの作成対象となる IP アドレス。

次のコード例は、静的でない *IPAddress* メソッドを呼び出すときに IPAddress コンストラクターを呼び出す方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");

  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var ip2 = gs.getSession().getClientIP().toString();
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + ip2);
  gs.info("ip address 1 is routable?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isRoutable());
  gs.info("ip address 2 is routable?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isRoutable());
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IPAddress - canonicalize(文字列 **ipAddress)**

アドレスからゼロパディングを削除して、指定された IP アドレスの正規化された (短縮/標準) 形式を返します。

たとえば、「0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0001」という IPv6 アドレスの正規化された形式は「::1」です。「192.168.001.002」という IPv4 アドレスの正規化された形式は「192.268.1.2」です。

注: これは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列またはオブジェクト	正規化する IP アドレス、またはその IP アドレスを含むスコープ対象の IPAddress オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	正規化された (短縮/標準化された) IP アドレス。

次の例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して IPv6 IP アドレスを正規化する方法を示しています。

```
function() {
  var grCMDB = new GlideRecord('cmdb_ci');
  grCMDB.get("SYS_ID");
  var ip = grCMDB.getValue('ip_address');
  gs.info("ip address: " + ip);
  gs.info("canonicalized ip: " + SNC.IPAddress.canonicalize(ip));
}
```

出力：

```
ip address: 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0001
canonicalized ip: ::1
```

IPAddress - getExpanded(文字列 **ipAddress)**

指定された IP アドレスの拡張形式を返します

たとえば、「::1」という IPv6 アドレスの拡張形式は「0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0001」です。「192.268.1.2」という IPv4 アドレスの拡張形式は「192.168.001.002」です。

注: これは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	拡張する IP アドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	拡張 IP アドレス。

次の例は、このメソッドのスコープ指定バージョンを使用して IPv6 IP アドレスを拡張する方法を示しています。

```
function() {
  var grCMDB = new GlideRecord('cmdb_ci');
  grCMDB.get(SYS_ID);
  var ip = grCMDB.getValue('ip_address');
  gs.info("ip address: " + ip);
  gs.info("expanded ip: " + SNC.IPAddress.getExpanded(ip));
}
```

出力：

```
ip address: ::1
expanded ip: 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0001
```

IPAddress - isLinkLocal()

指定された IPAddress オブジェクトがリンクローカル IP アドレスかどうかを判断します。

リンクローカル IP アドレスの詳細については、RFC 3927 および RFC 4291 を参照してください。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがリンクローカルアドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはリンクローカルアドレスです。 • false：IP アドレスはリンクローカルアドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがリンクローカルアドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");

  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is link local?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isLinkLocal());
  gs.info("ip address 2 is link local?: " + new
 SNC.IPAddress(start_ip).isLinkLocal());
}
```

出力：

```
ip address 1: ::1
ip address 2: fe80:1::1
ip address 1 is link local?: false
ip address 2 is link local?: true
```

IPAddress - isLocalhost()

指定された IPAddress オブジェクトがループバック IP アドレスかどうかを判断します。

ループバック IP アドレスの詳細については、「IANA IPv4 Special-Purpose Address Registry」および「IANA IPv6 Special-Purpose Address Registry」を参照してください。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがループバック IP アドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはループバック IP アドレスです。 • false：IP アドレスはループバック IP アドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがループバック IP アドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is localhost?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isLocalhost());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info("ip address 2 is localhost?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isLocalhost());
}
```

出力：

```
ip address 1: 127.0.0.1
ip address 2: <current user's public IP Address>
ip address 1 is localhost?: true
ip address 2 is localhost?: false
```

IPAddress - isMulticast()

指定された IPAddress オブジェクトがマルチキャスト IP アドレスかどうかを判断します。

マルチキャスト IP アドレスの詳細については、RFC 2365 および RFC 3306 を参照してください。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがマルチキャストアドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはマルチキャストアドレスです。 • false：IP アドレスはマルチキャストアドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがマルチキャストアドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is multicast?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isMulticast());
  gs.info("ip address 2 is multicast?: " + new
 SNC.IPAddress(start_ip).isMulticast());
}
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ip address 1: ::1
ip address 2: 224.0.0.22
ip address 1 is multicast?: false
ip address 2 is multicast?: true
```

IPAddress - isPublic()

指定された IPAddress オブジェクトがパブリック IP アドレスかどうかを判断します。IP アドレスがルーティング可能で、予約済みアドレスでない場合、その IP アドレスはパブリックとみなされます。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがパブリックアドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはパブリックアドレスです。 • false：IP アドレスはパブリックアドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがパブリックアドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var ip2 = gs.getSession().getClientIP().toString();
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + ip2);
  gs.info("ip address 1 is public?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isPublic());
  gs.info("ip address 2 is public?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isPublic());
}
```

出力：

```
ip address 1: 2001:1::1
ip address 2: <current user's public IP Address>
ip address 1 is public?: false
ip address 2 is public?: true
```

IPAddress - isReserved()

指定された IPAddress オブジェクトが予約済み IP アドレスかどうかを判断します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

予約済み IP アドレスの詳細については、「IANA IPv4 Special-Purpose Address Registry」および「IANA IPv6 Special-Purpose Address Registry」を参照してください。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトが予約済みアドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスは予約済みアドレスです。 • false：IP アドレスは予約済みアドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスが予約済みアドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var ip2 = gs.getSession().getClientIP().toString();
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + ip2);
  gs.info("ip address 1 is reserved?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isReserved());
  gs.info("ip address 2 is reserved?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isReserved());
}
```

出力：

```
ip address 1: 2001:1::1
ip address 2: <current user's public IP Address>
ip address 1 is reserved?: true
ip address 2 is reserved?: false
```

IPAddress - isRoutable()

指定された IPAddress オブジェクトがルーティング可能 IP アドレスかどうかを判断します。

プライベートアドレスでもリンクローカルアドレスでもループバックアドレスでもない場合、IP アドレスはルーティング可能であるとみなされます。プライベートアドレスの詳細については、RFC 1918 および RFC 4193 を参照してください。

注: これは静的でないメソッドです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがルーティング可能アドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはルーティング可能アドレスです。 • false：IP アドレスはルーティング可能アドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがルーティング可能アドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var ip2 = gs.getSession().getClientIP().toString();
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + ip2);
  gs.info("ip address 1 is routable?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isRoutable());
  gs.info("ip address 2 is routable?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isRoutable());
}
```

出力：

```
ip address 1: ::1
ip address 2: <current user's public IP Address>
ip address 1 is routable?: false
ip address 2 is routable?: true
```

IPAddress - isSameVersionAs(文字列 **ipAddress)**

渡された IPAddress オブジェクトが、指定された IP アドレスと同じバージョン (IPv4 または IPv6) であるかどうかを判別します。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	渡された IPAddress オブジェクトの IP アドレスと照合する IP アドレス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された IP アドレスが IPAddress オブジェクトのものと同じバージョンかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスのバージョンは同じです。 • false：IP アドレスのバージョンは異なります。

次のコード例は、このメソッドのスコープ対象バージョンを使用して、さまざまな IP アドレスが同じバージョン (IPv4 または IPv6) であるかどうかを比較する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  var end_ip = grDiscover.getValue('end_ip_address');
  gs.info("ip address 1: "+ ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 3: " + end_ip);
  var ip1 = new SNC.IPAddress(ip);
  var ip2 = new SNC.IPAddress(start_ip);
  var ip3 = new SNC.IPAddress(end_ip);
  gs.info("ip address 1 is same version as ip address 2?: " +
 ip1.isSameVersionAs(ip2));
  gs.info("ip address 1 is same version as itself?: " +
 ip1.isSameVersionAs(ip1));
  gs.info("ip address 2 is same version as ip address 3?: " +
 ip2.isSameVersionAs(ip3));
}
```

出力：

```
ip address 1: 192.168.0.1
ip address 2: ::2
ip address 3: ::3
ip address 1 is same version as ip address 2?: false
ip address 1 is same version as itself?: true
ip address 2 is same version as ip address 3?: true
```

IPAddress - isUnicast()

指定された IPAddress オブジェクトがユニキャスト IP アドレスかどうかを判断します。

ユニキャストアドレスは実質的に、マルチキャストでないアドレスです。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	IP アドレスオブジェクトがユニキャストアドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスはユニキャストアドレスです。 • false：IP アドレスはユニキャストアドレスではありません。

次のコード例は、このメソッドのスコープ指定バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスがユニキャストアドレスであるかどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is unicast?: " + new
 SNC.IPAddress(ip).isUnicast());
  gs.info("ip address 2 is unicast?: " + new
 SNC.IPAddress(ip2).isUnicast());
}
```

出力：

```
ip address 1: 224.0.0.22
ip address 2: <current user's public IP Address>
ip address 1 is unicast?: false
ip address 2 is unicast?: true
```

IPAddress - isV4(文字列 ipAddress)

指定された IP アドレスが有効な IPv4 アドレスかどうかを判断します。

このメソッドには、静的実装と静的でない実装の両方があります。2 つのメソッドタイプを呼び出す方法は少々異なります。静的でない実装の場合、最初に IPAddress オブジェクトをインスタンス化する必要はなく、IPAddress クラス参照で IP アドレスを渡します。どちらも同じ応答を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	検証する IP アドレス。 静的でない実装の場合、IP アドレスはメソッドの呼び出しではなく IPAddress クラス参照で渡されます。 たとえば、 新規 `SNC` などです。IPAddress("::1").isV4();です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された IP アドレスが有効な IPv4 アドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスは有効です。 • false：IP アドレスは無効です。

次の例は、このメソッドのスコープ指定の静的バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスが有効な IPv4 アドレスであるかどうかを検証する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is v4?: " + SNC.IPAddress.isV4(ip));
  gs.info(("ip address 2 is v4?: " + SNC.IPAddress.isV4(start_ip));
}
```

出力：

```
ip address 1: 192.168.0.1
ip address 2: ::2
ip address 1 is v4?: true
ip address 2 is v4?: false
```

次の例は、このメソッドのスコープ指定の静的でないバージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスが有効な IPv4 アドレスであるかどうかを検証する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is v4?: " + new SNC.IPAddress(ip).isV4());
  gs.info("ip address 2 is v4?: " + new SNC.IPAddress(start_ip).isV4());
}
```

出力：

```
ip address 1: 192.168.0.1
ip address 2: ::2
ip address 1 is v4?: true
ip address 2 is v4?: false
```

IPAddress - isV6(文字列 ipAddress)

指定された IP アドレスが有効な IPv6 アドレスかどうかを判断します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドには、静的実装と静的でない実装の両方があります。2 つのメソッドタイプを呼び出す方法は少々異なります。静的でない実装の場合、最初に IPAddress オブジェクトをインスタンス化する必要はなく、IPAddress クラス参照で IP アドレスを渡します。どちらも同じ応答を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	検証する IP アドレス。 静的でない実装の場合、IP アドレスはメソッドの呼び出しではなく IPAddress クラス参照で渡されます。 たとえば、 新規 `SNC` などです。IPAddress("::1").isV6();です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された IP アドレスが有効な IPv6 アドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスは有効です。 • false：IP アドレスは無効です。

次の例は、このメソッドのスコープ指定の静的バージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスが有効な IPv6 アドレスであるかどうかを検証する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get(SYS_ID);
  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);
  gs.info("ip address 1 is v6?: " + SNC.IPAddress.isV6(ip));
  gs.info(("ip address 2 is v6?: " + SNC.IPAddress.isV6(start_ip));
}
```

出力：

```
ip address 1: 192.168.0.1
ip address 2: ::2
ip address 1 is v6?: false
ip address 2 is v6?: true
```

次の例は、このメソッドのスコープ指定の静的でないバージョンを使用して、検出 IP 範囲 [discovery_range_item] テーブルのレコード内の IP アドレスが有効な IPv6 アドレスであるかどうかを検証する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('discovery_range_item');
  grDiscover.get("SYS_ID");

  var ip = grDiscover.getValue('network_ip');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var start_ip = grDiscover.getValue('start_ip_address');
  gs.info("ip address 1: " + ip);
  gs.info("ip address 2: " + start_ip);

  gs.info("ip address 1 is v6?: " + new SNC.IPAddress(ip).isV6());
  gs.info("ip address 2 is v6?: " + new SNC.IPAddress(start_ip).isV6());

}
```

出力：

```
ip address 1: 192.168.0.1
ip address 2: ::1
ip address 1 is v6?: false
ip address 2 is v6?: true
```

IPAddress - isValid(文字列 ipAddress)

指定された IP アドレスが有効な IPv4 または IPv6 アドレスかどうかを判断します。

注: これは静的メソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipAddress	文字列	検証する IP アドレス。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された IP アドレスが有効な IPv4 または IPv6 アドレスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：IP アドレスは有効です。 • false：IP アドレスは無効です。

次のコード例は、このメソッドのスコープ指定バージョンを使用して、構成アイテム [cmdb_ci] 内のレコードの IP アドレスが有効かどうかを確認する方法を示しています。

```
function() {
  var grCMDB = new GlideRecord('cmdb_ci');
  grCMDB.get("SYS_ID");
  var ip = grCMDB.getValue('ip_address');
  gs.info("ip address: " + ip)
  var ipAddress = new SNC.IPAddress(ip);
  gs.info("ip is valid?: " + ipAddress.isValid())
}
```

出力：

```
ip address: 127.0.0.1
ip is valid?: true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IPAddress - toExpanded()

IPAddress オブジェクトの拡張形式を返します。

注: これは静的でないメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	拡張 IP アドレス。

次の例は、このメソッドのスコープ指定バージョンを使用して IPv6 IP アドレスを拡張する方法を示しています。

```
function() {
  var grDiscover = new GlideRecord('cmdb_ci');
  grDiscover.get("SYS_ID");
  var ip = grDiscover.getValue('ip_address');
  gs.info("ip address: " + ip);
  gs.info("expanded ip address: " + new SNC.IPAddress(ip).toExpanded());
}
```

出力：

```
ip address: 2001:41::1
expanded ip address: 2001:0041:0000:0000:0000:0000:0000:0001
```

IPAddressFixup - グローバル

IPAddressFixup スクリプトインクルードは、デバイスが正常に検出された後、他のデバイスが同じ IP アドレスを持たないようにするメソッドを提供します。重複が見つかると、IP アドレスのフィールドがクリアされます。

サーバー側の検出スクリプトと一緒に使用して、IP アドレスを検証します。

IPAddressFixup - dedupe(文字列 tableName, 文字列 ip)

指定されたテーブル内の、指定された IP アドレスの重複を削除します。

デバイスが正常に検出された後、*dedupe()* メソッドを使用してそのデバイスの重複する IP アドレスを削除できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	重複を確認するテーブル。
ip	文字列	確認する IP アドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、バックグラウンドスクリプトで *dedupe()* を使用して、cmdb_ci_hardware テーブル内の指定された IP アドレスで重複する IP アドレスを削除する方法を示しています。

```
var grDiscovery=new GlideRecord("discovery_device_history");
grDiscovery.addQuery('sys_id','<sys id of the record>'); // sys_id of the
 device discovery_device_history
grDiscovery.query();
if(grDiscovery.next())
  {
    var fx=new IPAddressFixup(grDiscovery.cmdb_ci); // Instantiate
 IPAddressFixup - pass cmdb reference
    fx.dedupe('cmdb_ci_hardware','192.161.1.1'); // Pass the IP address
 and table which removes duplicates of the specified IP address in the
 specified table.
  }
```

次の例は、ビジネスルールで *dedupe()* を使用して、cmdb_ci_hardware テーブル内の指定された IP アドレスで重複する IP アドレスを削除する方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
  {
    var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); // Instantiate IPAddressFixup
 - pass cmdb reference
    ipf.dedupe('cmdb_ci_hardware','168.128.1.1'); // Removes duplicates
 of the specified IP address in the specified table.
  }
})(current, previous);
```

IPAddressFixup：**dedupeAll()**

テーブルからすべての重複 IP アドレスを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、バックグラウンドスクリプトで *dedupeAll()* を使用してすべての重複する IP アドレスを削除する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var grDiscovery=new GlideRecord("discovery_device_history");
grDiscovery.addQuery('sys_id','<sys id of the record>'); // sys_id of the
 device discovery_device_history
grDiscovery.query();
if(grDiscovery.next())
{
  var fx=new IPAddressFixup(grDiscovery.cmdb_ci); // Call script include
 IPAddressFixup and pass cmdb reference
  fx.dedupeAll(); //Removes all duplicate IP addresses from the tables.
}
```

次の例は、ビジネスルールで *dedupeAll()* を使用してすべての重複する IP アドレスを削除する方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
{
  var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); //call script include
 IPAddressFixup and pass cmdb reference
  ipf.dedupeAll(); //Removes all duplicate IP addresses from the tables.
})(current, previous);
```

IPAddressFixup - fix()

すべての重複する IP アドレスを削除し、親の ip_address レコードがネットワークインターフェイスカード (NIC) のいずれかの IP アドレスに設定されていることを確認します。

デバイスが正常に検出された後、*dedupe()* メソッドを使用してそのデバイスの重複する IP アドレスを削除し、親の ip_address のレコード値を設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、バックグラウンドスクリプトで *fix()* を使用してすべての重複する IP アドレスを削除し、親 IP アドレスを設定する方法を示しています。

```
var grDiscovery=new GlideRecord("discovery_device_history");
grDiscovery.addQuery('sys_id','<sys id of the the record>'); // sys_id of
 the device discovery_device_history
grDiscovery.query();
if(grDiscovery.next())
  {
    var fx=new IPAddressFixup(grDiscovery.cmdb_ci); // Instantiate
 IPAddressFixup - pass cmdb reference
    fx.fix(); // Remove all duplicate IP addresses and ensure that the
 parent ip_address record is set to one of the NIC's IP addresses.
  }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、ビジネスルールで *fix()* を使用してすべての重複する IP アドレスを削除し、親 IP アドレスを設定する方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
  {
    var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); // Instantiate IPAddressFixup
 - pass cmdb reference
    ipf.fix(); /// Remove all duplicate IP addresses and ensure that the
 parent ip_address record is set to one of the NIC's IP addresses.
  }
})(current, previous);
```

IPAddressFixup - getParentIP()

現在のデバイスの親 IP アドレスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親 IP アドレス

次の例は、バックグラウンドスクリプトで *getParentIP()* を使用して親 IP アドレスを取得する方法を示しています。

```
var grDiscovery=new GlideRecord("discovery_device_history"); //
 current.cmdb_ci can be used in case of Business rule on
 discovery_device_history table
grDiscovery.addQuery('sys_id','<sys id of the the record>'); // sys_id of
 the device discovery_device_history
grDiscovery.query();
if(grDiscovery.next())
  {
    var fx=new IPAddressFixup(grDiscovery.cmdb_ci); // Instantiate
 IPAddressFixup - pass cmdb reference
    gs.info(fx.getParentIP()); // Display the parent IP address of the
 device
  }
```

出力：

```
172.21.12.11
```

次の例は、ビジネスルールで *getParentIP()* を使用して親 IP アドレスを取得する方法を示しています。

```
((function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); // Instantiate IPAddressFixup
 - pass cmdb reference
    gs.log(ipf.getParentIP()); // Log the parent IP address of the
 device. Located in the system logs table
  }
})(current, previous);
```

IPAddressFixup - setParentIP(文字列 ip)

現在の CI の親 IP アドレスフィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ip	文字列	現在の CI の親 IP アドレス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、バックグラウンドスクリプトで *setParentIP()* を使用して親 IP アドレスを格納する方法を示しています。

```
var grDiscover=new GlideRecord("discovery_device_history");
grDiscover.addQuery('sys_id','a14e43b31bb4051070cb96c6b04bcb23'); //
 sys_id of the device in discovery_device_history table. Put your own
 sys_id here.
grDiscover.query();
if(grDiscover.next())
  {
    var fx=new IPAddressFixup(grDiscover.cmdb_ci); // Instantiate
 IPAddressFixup - pass cmdb reference.
    fx.setParentIP('197.111.1.1'); // Pass IP address to set as new IP on
 current mentioned CI.
  }
```

次の例は、ビジネスルールで *setParentIP()* を使用して親 IP アドレスを格納する方法を示しています。

```
((function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
  {
    var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); // Instantiate IPAddressFixup
 - pass cmdb reference
    fx.setParentIP('195.11.1.1'); // Set the new IP address of the CI
  }
})(current, previous);
```

IPAddressFixup - syncIP()

親の ip_address レコードが NIC の IP アドレスのいずれかに設定されていることを確認します。NIC がなければそのままにします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

これは、バックグラウンドスクリプトでの *syncIP()* メソッドの使用例です。

```
var grDevHistory=new GlideRecord("discovery_device_history");
grDevHistory.addQuery('sys_id','a14e43b31bb4051070cb96c6b04bcb23'); //
 Sys_id of the device in discovery_device_history table. Put your own
 sys_id here.
grDevHistory.query();
if(grDevHistory.next())
  {
    var fx=new IPAddressFixup(grDevHistory.cmdb_ci); // Call the script
 include IPAddressFixup and pass cmdb reference
    fx.syncIP(); // Ensures that the parent ip_address record is set to
 one of the NIC's IP addresses, or leaves it alone if there were no NICs.
  }
```

これは、ビジネスルールでの *syncIP()* メソッドの使用例です。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

var cmdb_ci = current.cmdb_ci + '';
if (cmdb_ci)
  {
    var ipf = new IPAddressFixup(cmdb_ci); // Call script include
 IPAddressFixup and pass cmdb reference
    ipf.syncIP(); // Ensures that the parent ip_address record is set to
 one of the NIC's IP addresses, or leaves it alone if there were no NICs.
  }
})(current, previous);
```

IPService - グローバル

IPService スクリプトインクルードは、IP サービスをカプセル化するメソッドを提供します。

このクラスは検出のスキャンフェーズ中に使用します。

「AbstractDBObject - isValid()」も参照してください。

IPService - IPService(オブジェクト **source)**

IPService クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	GlideRecord インスタンスまたは sys_id 文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

IPService - creates

このサービスがエントリを作成するテーブル。

フィールド

名前	タイプ	説明
creates	文字列	このサービスがエントリを作成するテーブル。

IPService - description

IPService の説明。

フィールド

名前	タイプ	説明
説明	文字列	IPService の説明。

IPService - getFromArrayList(アレイ list)

sys_id の Java ArrayList によって指定された IPService インスタンスのアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
list	アレイ	sys_id のリスト。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	IPService インスタンス

IPService - port

サービスによって使用される TCP ポートまたは UDP ポート。

フィールド

名前	タイプ	説明
ポート	文字列	サービスによって使用される TCP ポートまたは UDP ポート。

IPService - protocol

サービスで使用されるプロトコル (「UDP」、「TCP」または「TCP/UDP」)。

フィールド

名前	タイプ	説明
protocol	文字列	サービスで使用されるプロトコル (「UDP」、「TCP」または「TCP/UDP」)。

IPService - name

IPService の短い名前またはハンドル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
name	文字列	IPService の名前

IPService - serviceName

IPService の説明的な長い英語名。

フィールド

名前	タイプ	説明
serviceName	文字列	IPService の説明的な長い英語名。

IPService - sysID

このレコードの sys_id。

フィールド

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	このレコードの sys_id。

JavascriptProbe - グローバル

JavascriptProbe スクリプトインクルードは、MID サーバーで JavascriptProbe を使用するためのメソッドを提供します。

サーバースクリプトでこれらのメソッドを使用して、プローブを MID サーバー に送信します。詳細については、「 JavaScript プローブアクティビティの作成 」を参照してください。

JavascriptProbe - JavascriptProbe(文字列 **midServer)**

JavascriptProbe のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
midServer	文字列	MID サーバーの名前

次の例は、*JavascriptProbe* のインスタンスの使用方法を示しています。

```
var jspr = new JavascriptProbe('midserver_name');

var func = function () {
    // Java FileWriter class of java.io package. FileWriter is write data
 in character.
    var FileWriter = Packages.java.io.FileWriter;

    // Constructs a FileWriter object given a file name.
    var file = new FileWriter("TestMessage.txt");

    // Gets the parameter from the ECC queue payload.
    var message = probe.getParameter("message");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // Write the message to a file.
    file.write(message);

    // Close the FileWriter.
    file.close();
    file = null;
}

// Add parameter to pass to MIDServer.
jspr.addParameter('message', 'ServiceNow Message');

// Set the script to be executed by the MIDServer as a string
jspr.setJavascript('(' + func.toString() + ')();');

// Send to MIDServer. The MIDServer will execute the Script immediately.
jspr.create();
```

JavascriptProbe - addParameter(文字列 **name**, 文字列 **value**)

値を指定されたパラメーターをプローブに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーター名
value	文字列	パラメーターの値

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var jspr = new JavascriptProbe('msserv');
jspr.setName('jsprobe100');
jspr.setSource('jspr_source');
jspr.addParameter('support_feat', 'yes');
```

JavascriptProbe - create()

現在の MID サーバーのプローブを作成し、出力キューに入れて、そのステータスを「準備完了」に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var jspr = new JavascriptProbe('msserv');
jspr.setName('jsprobe100');
jspr.setSource('jspr_source');
jspr.setJavascript('jspr_script');
jspr.create();
```

JavascriptProbe - setJavascript(文字列 **script)**

プローブにスクリプトを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	プローブに追加するスクリプト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var jspr = new JavascriptProbe('msserv');
jspr.setName('jsprobe100');
jspr.setSource('jspr_source');
jspr.setJavascript('jspr_script');
```

JavascriptProbe - setName(文字列 **name)**

JavascriptProbe の名前を設定します

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	JavascriptProbe に付ける名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var jspr = new JavascriptProbe('msserv');
jspr.setName('jsprobe100');
```

JavascriptProbe - setSource(文字列 **ip)**

プローブのソースを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ip	文字列	ターゲットプローブの IP アドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var jspr = new JavascriptProbe('msserv');
jspr.setName('jsprobe100');
jspr.setSource('100.100.100.1');
```

j2js - グローバル

j2js スクリプトインクルードを使用すると、Java オブジェクトを JavaScript オブジェクトに変換できます。

指定された値が同等の JavaScript オブジェクトに変換可能な Java オブジェクトである場合、その変換が実行されて結果が返されます。そうでない場合は元の Java オブジェクトが返されます。

j2js クラスはサーバー側のスクリプトで使用できます。

チェックされた順序で実行される特定の変換。

- Java 文字列→ JavaScript 文字列
- Java ブーリアン→ JavaScript ブーリアン
- Java の整数→ JavaScript の数字
- Java の Long 型→ JavaScript の数字
- Java の Double 型→ JavaScript の数字
- Java の Byte 型→ JavaScript の数字
- Java の Float 型→ JavaScript の数字
- Java の Short 型→ JavaScript の数字
- Java の Character 型→ JavaScript の数字
- Java 配列 > 順序が保持された JavaScript 配列
- Java の List 型→順序が保持された JavaScript 配列
- Java の Map 型→キーと値のペアをプロパティと値のペアに変換した JavaScript オブジェクト
- Java の Set 型→任意の順序の JavaScript 配列

変換は、配列、リスト、またはコレクションの要素に対して再帰的に実行されます。たとえば、文字列の ArrayList の Java ArrayList を指定すると、文字列の配列の JavaScript 配列が返されます。

j2js - j2js(オブジェクト **javaObject)**

Java オブジェクトをシステムコードから JavaScript オブジェクトに変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
javaObject	オブジェクト	パッケージコールなどのシステムコードからの Java オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	パラメーターが変換可能な場合は JavaScript オブジェクト、変換不可能な場合は Java オブジェクトを返します。

```
var tu = new TableUtils("cmdb_ci_win_server");
var classes = tu.getHierarchy();
//getHierarchy returns a Java ArrayList, which is not exactly like a
 JavaScript Array
//for example you cannot get length
gs.print("classes = " + classes);
gs.print("classes.length = " + classes.length);

//convert to a JavaScript Array
gs.include("j2js");
var jsClasses = j2js(classes);
gs.print("jsClasses = " + jsClasses);
gs.print("jsClasses.length = " + jsClasses.length);
```

出力：

```
classes = [cmdb_ci_win_server, cmdb_ci_server, cmdb_ci_computer,
 cmdb_ci_hardware, cmdb_ci]
classes.length = undefined
jsClasses =
 cmdb_ci_win_server,cmdb_ci_server,cmdb_ci_computer,cmdb_ci_hardware,cmdb
_ci
jsClasses.length = 5
```

JSON - グローバル

JSON スクリプトインクルードは、文字列から JSON オブジェクトを作成し、JSON オブジェクトを文字列に変換するメソッドを提供します。

この API には、動的メソッドと静的メソッドがあります。動的メソッドにアクセスするには、JSON オブジェクトを作成します。スコープ対象のアプリケーションで動的メソッドを使用するには、コンストラクターを呼び出すときにグローバルなプリフィックスを追加します。静的メソッドにアクセスするには、静的な JSON オブジェクトを使用します。

静的な JSON メソッドの代わりに、JavaScript ES5 ネイティブの JSON オブジェクトを使用します。スクリプトに古い動作が必要な場合は、*encode()* および *decode()* メソッドを使用します。

この例では、JSON オブジェクトを作成します。

```
// obj is a JSON formatted object
var parser = new JSON(); // encode() and decode() are dynamic methods.
var str = parser.encode(obj);
```

encode() メソッドと *decode()* メソッドは廃止されました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

この例では、スコープ指定のスクリプトに JSON オブジェクトを作成します。

```
// obj is a JSON formatted object
var parser = new global.JSON();
var str = parser.encode(obj);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、静的メソッドを使用します。

```
// obj is a JSON formatted object
var str =  JSON.stringify(obj);
// str is a string containing content to be turned into a JSON formatted
 object
var obj = JSON.parse(str);
```

JSON - JSON()

JSON クラスのインスタンスを作成します。

このクラスは使用廃止になりました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

JSON - decode(文字列 str)

JSON 形式の文字列からオブジェクトタイプまたはプリミティブタイプを作成します。

注: このクラスは使用廃止になりました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
str	文字列	JSON 形式の文字列。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定した文字列から作成されたオブジェクト。

```
var str = '{"name":"George","lastname":"Washington"}';
var parser = new JSON();
var obj = parser.decode(str);
gs.info('The first name is '  + obj.name);
```

出力：The first name is George

スコープ指定のスクリプトで使用します。

```
var str = '{"name":"George","lastname":"Washington"}';
var parser = new global.JSON();
var obj = parser.decode(str);
gs.info('The first name is '  + obj.name);
```

出力：The first name is George

JSON - encode(オブジェクト jsonObject)

JSON オブジェクトから文字列を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このクラスは使用廃止になりました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonObject	オブジェクト	文字列に変換される JSON オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 形式の文字列。

```
var obj = {"name":"George","lastname":"Washington"};
var parser = new JSON();
var str = parser.encode(obj);
gs.info('The object '  + str);
```

出力：The object {"lastname":"Washington","name":"George"}

スコープ指定のスクリプトで使用します。

```
var obj = {"name":"George","lastname":"Washington"};
var parser = new global.JSON();
var str = parser.encode(obj);
gs.info('The object '  + str);
```

JSON - parse(文字列 **str)**

JSON 形式の文字列からオブジェクトタイプまたはプリミティブタイプを作成します。

静的な JSON メソッドの代わりに、JavaScript ES5 ネイティブの JSON オブジェクトを使用します。スクリプトに古い動作が必要な場合は、*encode()* および *decode()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
str	文字列	JSON 形式の文字列。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定した文字列から作成されたオブジェクト。

```
var str = '{"name":"George","lastname":"Washington"}';
var obj = JSON.parse(str);
gs.info('The first name is '  + obj.name);
```

出力：The first name is George

JSON - stringify(オブジェクト **jsonObject)**

JSON オブジェクトから文字列を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON.stringify() メソッドは、数値、文字列、および Java ネイティブのオブジェクトのみを文字列に変換できます。オブジェクトが *toJSON()* メソッドを提供していない場合、ユーザー定義のオブジェクトを文字列に変換することはできません。*current.sys_id()* の呼び出しは *toJSON()* メソッドを持たない GlideElement オブジェクトを返すため、stringify の戻り値は「{}」になります。静的な JSON メソッドの代わりに、JavaScript ES5 ネイティブの JSON オブジェクトを使用します。スクリプトに古い動作が必要な場合は、*encode()* および *decode()* メソッドを使用します。

JSON.stringify() は、次のガイドラインを使用して値を JSON 表記に変換します。

- 値に *toJSON()* メソッドがある場合は、シリアル化されるデータを定義します。
- ブーリアン、数値、および文字列のオブジェクトは、文字列への変換中に、対応するプリミティブ値に変換されます。その際は従来の変換セマンティックに従います。
- 変換中に関数、undefined、または記号が見つかった場合は、省略されるか (オブジェクト内で検出された場合)、null に制限されます (配列内で検出された場合)。*JSON.stringify()* は、`JSON.stringify(function(){})` や `JSON.stringify(undefined)` などの「純粋な」値を渡す場合にも undefined を返します。
- シンボルキーのプロパティはすべて無視されます。*replacer()* 関数を使用した場合も同様です。
- Date のインスタンスは、文字列 (*date.toISOString()* と同じ) を返すことによって *toJSON()* 関数を実装するため、文字列として扱われます。
- Infinity と NaN の数値および null は、すべて null とみなされます。
- 他のすべてのオブジェクトインスタンスでは、列挙可能なプロパティのみがシリアル化されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonObject	オブジェクト	文字列に変換する JSON オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 形式の文字列。

```
var obj = {"name":"George","lastname":"Washington"};
var str =  JSON.stringify(obj);
gs.info('The object '  + str);
```

出力：The object {"name":"George","lastname":"Washington"}

また、*replacer()* 関数を定義して、それを *stringify()* 呼び出しで使用することもできます。この関数は、*GlideElement.toString()* メソッドを使用して GlideElement オブジェクトの文字列表現を提供します。

```
function replacer(name, val) {
   // convert GlideElement to string
   if ( val && val.constructor === GlideElement ) {
       return val.toString();
   } else {
       return val; // return as is
   }
};

var s = global.JSON.stringify(json_obj, replacer);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info("json="+s);
```

JSON - スコープ指定

JSON スクリプトインクルードは、文字列から JSON オブジェクトを作成し、JSON オブジェクトを文字列に変換するためのスコープ付きメソッドを提供します。

スコープ対象のアプリケーションでは、*JSON* の API は JavaScript ES5 ネイティブの JSON オブジェクトを呼び出す静的なメソッドを使用します。

注: スコープ付きスクリプトの *JSON* メソッド呼び出しで global キーワードを使用します (例: global)。JSON.stringify()です。グローバルキーワードを使用しないと、`ScopedRhinoObjectWrapper: not a wrappable type: com.glide.script.FieldGlideDescriptor` などのエラーメッセージが表示されます。

スコープ対象の JSON - parse(文字列 str)

JSON 形式の文字列からオブジェクトタイプまたはプリミティブタイプを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
str	文字列	JSON 形式の文字列。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定した文字列から作成されたオブジェクト。

```
var str = '{"name":"George","lastname":"Washington"}';
var obj = global.JSON.parse(str);
gs.info('The first name is ' + obj.name);
```

出力：

```
The first name is George
```

スコープ対象の JSON - stringify(オブジェクト jsonObject)

JSON オブジェクトから文字列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
jsonObject	オブジェクト	文字列に変換する JSON オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 形式の文字列。

```
var obj = {"name":"George","lastname":"Washington"};
var str =  global.JSON.stringify(obj);
gs.info('The object ' + str);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
The object {"name":"George","lastname":"Washington"}
```

JSONParser - グローバル (非推奨)

JSONParser API は、JavaScript の *eval()* 関数を使用しない JSON パーサーを提供します。

注: このクラスは使用廃止になりました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

注: *JSONParser* API のメソッドは、JSON 文字列を検証しません。

このクラスはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

JSONParser - JSONParser()

JSONParser オブジェクトを作成します。

このクラスはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

このクラスは使用廃止になりました。代わりに JavaScript の JSON オブジェクトを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

JSONStreamingAPI :スコープ指定

大規模なストリーミング JSON ペイロードをビルドし、REST または SOAP 要求で使用して大量のデータをサードパーティ API に送信します。非ストリーミングオプション用の JSON 文字列としてペイロードを作成することもできます。

これらのメソッドを フローデザイナー スクリプトステップで `sn_ih` 名前空間識別子とともに使用します。たとえば、この API を使用して フローデザイナー スクリプトステップで JSON ペイロードを作成し、戻り値を REST ステップに渡して、要求をサードパーティサービスに送信できます。詳細については、「フローデザイナー スクリプトステップ」を参照してください。

この API は フローデザイナー 環境内でのみ使用できます。

このクラスを使用するには、*JSONStreamingBuilder* クラスで *build()* メソッドを呼び出して JSONStreamingAPI オブジェクトを返す必要があります。「JSONStreamingBuilder - スコープ指定」を参照してください。

API 呼び出し順

次の API を順番に使用して JSON ペイロードを生成します。

JSONStreamingBuilder：ビルダーオブジェクトを作成する

下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーオブジェクトを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. *JSONStreamingBuilder()*：JSONStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。
2. *withAttachment()*：オプション。ストリーミング添付ファイルとして JSON オブジェクトを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API はペイロードを JSON 文字列として作成します。
3. *expiresAt()*：オプション。添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。*withAttachment()* メソッドも呼び出す必要があります。
4. *build()*：JSONStreamingAPI オブジェクトを返します。

JSONStreamingAPI：JSON ペイロードをビルドする

下記のメソッドを次の順番で使用して、JSON ペイロードを作成します。

1. *startObject()*：親 JSON オブジェクトを作成します。
2. JSON のキーと値のペアを生成するメソッド ：*writeFieldName()*、*writeString()*、 *writeNumberField()* など。
3. *endObject()*：親 JSON オブジェクトを閉じます。
4. *getJSONString()* または *getAttachmentId()*：作成した JSON 文字列または添付ファイル ID を返します。
5. *close()*：JSONStreamingAPI オブジェクトを閉じます。

サイズ制限

この API を介して生成されたペイロードは、次のサイズ制限を超えることはできません。

- 添付ファイル：200 MB
- 文字列：5 MB

例

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納します。このオプションを使用すると、5 MB 未満のペイロードを作成できます。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

一方この例では、 スクリプトステップで API を使用し、ペイロードを JSON 文字列として作成します。このオプションを使用すると、5 MB 未満のペイロードを作成できます。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .enablePrettyPrint()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
      .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeStringField("city", "Santa Clara")
      .writeStringField("state", "CA")
      .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
      .startObject()
        .writeFieldName("type")
        .writeString("home")
        .writeFieldName("number")
        .writeString("212 555-1234")
      .endObject()
      .startObject()
        .writeFieldName("type")
        .writeString("fax")
        .writeFieldName("number")
        .writeString("646 555-4567")
      .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  outputs.payload = builder.getJSONString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
{
"firstName" : "John",
"lastName" : "Smith",
"age" : 25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},
"phoneNumber" : [ {
  "type" : "home",
  "number" : "212 555-1234"
}, {
  "type" : "fax",
  "number" : "646 555-4567"
} ]
}
```

自動翻訳

JSONStreamingAPI - close()

JSONStreamingAPI オブジェクトを閉じます。 JSON オブジェクトの構築後は、このメソッドを呼び出してストリームを閉じる必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - disablePrettyPrint()

JSON 形式のプリティプリントを終了します。

このメソッドを呼び出す前に、まず *enablePrettyPrint()* を呼び出して、特定のセクションに JSON 形式を追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、`address` オブジェクトにプリティプリント形式を追加します。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .enablePrettyPrint()
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .disablePrettyPrint()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

出力：

```
{"firstName":"John","lastName":"Smith","age":25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},"phoneNumber":[{"type":"home","number":"212
 555-1234"},{"type":"fax","number":"646 555-4567"}]}
```

JSONStreamingAPI - enablePrettyPrint()

JSON オブジェクトまたは JSON オブジェクトのセクションにプリティプリント形式を追加します。

JSON オブジェクトセクションでプリティプリントの書式設定を無効にするには、*disablePrettyPrint()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.enablePrettyPrint()
    .startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

出力：

```
{
"firstName" : "John",
"lastName" : "Smith",
"age" : 25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},
"phoneNumber" : [ {
  "type" : "home",
  "number" : "212 555-1234"
}, {
  "type" : "fax",
  "number" : "646 555-4567"
} ]
}
```

JSONStreamingAPI - endArray()

親 JSON オブジェクト内のアレイを閉じます。

最初に *`startArray()`* メソッドを呼び出してアレイを開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
.writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
.writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
field
.writeFieldName("lastName")
.writeString("Smith")
.writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
value "25"
.writeFieldName("address")
.startObject()                // Start a new object nested under the
parent object
 .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
 .writeStringField("city", "Santa Clara")
 .writeStringField("state", "CA")
 .writeStringField("postalCode", "11111")
.endObject()
.writeFieldName("phoneNumber")
.startArray()                    // Start an array
 .startObject()               // Add the first object to the array
  .writeFieldName("type")
  .writeString("home")
  .writeFieldName("number")
  .writeString("212 555-1234")
 .endObject()
 .startObject()               // Add another object to the array
  .writeFieldName("type")
  .writeString("fax")
  .writeFieldName("number")
  .writeString("646 555-4567")
 .endObject()
.endArray()
.endObject()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - endObject()

親 JSON オブジェクト内のオブジェクトを閉じます。

最初に *startObject()* メソッドを呼び出してオブジェクトを開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 .startArray()                      // Start an array
  .startObject()                 // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()                 // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - getAttachmentId()

JSON ペイロードを含むストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルの、添付ファイルのレコードの sys_id を返します。

このメソッドを呼び出す前に、*JSONStreamingBuilder* クラスの *withAttachment()* メソッドを呼び出して、JSON ペイロードを添付ファイルとして保存する必要があります。「JSONStreamingBuilder - スコープ指定」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON ペイロードを含むストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルの、添付ファイルのレコードの sys_id。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - getJSONString()

JSON オブジェクトを文字列として返します。

JSON オブジェクトを文字列として返すには、*`JSONStreamingBuilder`* クラスで *`withAttachment()`* メソッドを呼び出さないでください。「JSONStreamingBuilder - スコープ指定」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*JSONStreamingAPI* を使用して構築された JSON オブジェクトが含まれます。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
{
"firstName" : "John",
"lastName" : "Smith",
"age" : 25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},
"phoneNumber" : [ {
  "type" : "home",
  "number" : "212 555-1234"
}, {
  "type" : "fax",
  "number" : "646 555-4567"
} ]
}
```

JSONStreamingAPI - startArray()

親 JSON オブジェクト内のアレイを開きます。

アレイを閉じるには、*endArray()* メソッドを含めます。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                   // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - startArrayField(文字列 fieldName)

親 JSON オブジェクト内にアレイを作成します。

このメソッドを *startArray()* メソッドと *endArray()* メソッドで囲むと、アレイを開いて閉じることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	アレイの名前。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .startArrayField("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - startObject()

親 JSON オブジェクト内のオブジェクトを開きます。

オブジェクトを閉じるには、*endObject()* メソッドが必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeBoolean(ブーリアン state)

親 JSON オブジェクトにブール値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
state	ブーリアン	親 JSON オブジェクトに追加するブーリアン値。 有効な値： • true • false

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeFieldName("activeUser")
    .writeBoolean(true)
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeBooleanField(文字列 **fieldName**, ブーリアン **value)**

親 JSON オブジェクトにブーリアンのフィールドと値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	親 JSON オブジェクトに追加するフィールドの名前。
value	ブーリアン	親 JSON オブジェクトに追加するブーリアン値。 有効な値： • true • false

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeBooleanField("activeUser", true)
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeFieldName(文字列 name)

親 JSON オブジェクトにフィールド名を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	親 JSON オブジェクトに追加するフィールド名。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                   // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeNull()

親 JSON オブジェクトに null 値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeFieldName("activeUser")
    .writeNull()
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeNullField(文字列 **fieldName)**

親 JSON オブジェクトに null 値が入ったフィールドを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	null フィールドの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNullField("activeUser")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeNumberField(文字列 **fieldName**, 文字列 **encodedValue)**

親 JSON オブジェクトに数字のフィールドと値を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	数字フィールドの名前。
エンコードされた値	文字列	数字フィールドの値。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeRaw(文字列 text)

親 JSON オブジェクトに生の値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	親 JSON オブジェクトに追加する生のテキスト。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeFieldName("filePath")
    .writeRaw("C:\Users\profile\aboutme.html")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeString(文字列 text)

親 JSON オブジェクトに文字列の値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	親 JSON オブジェクトに追加する文字列の値。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()                // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()                // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingAPI - writeStringField(文字列 **fieldName**, 文字列 **value)**

親 JSON オブジェクトに文字列のフィールドと値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	親 JSON オブジェクトに追加するフィールドの名前。
value	文字列	フィールドの値。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingBuilder - スコープ指定

大規模なストリーミング JSON ペイロードをビルドするために使用するビルダーオブジェクトを作成し、REST または SOAP 要求で使用して大量のデータをサードパーティ API に送信します。非ストリーミングオプション用の JSON 文字列としてペイロードを作成することもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのメソッドを フローデザイナー スクリプトステップで `sn_ih` 名前空間識別子とともに使用します。たとえば、この API を使用して フローデザイナー スクリプトステップで JSON ペイロードを作成し、戻り値を REST ステップに渡して、要求をサードパーティサービスに送信できます。詳細については、「フローデザイナー スクリプトステップ」を参照してください。

この API は フローデザイナー 環境内でのみ使用できます。

API 呼び出し順

次の API を順番に使用して JSON ペイロードを生成します。

`JSONStreamingBuilder`：ビルダーオブジェクトを作成する

下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーオブジェクトを作成します。

1. *`JSONStreamingBuilder()`*：JSONStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。
2. *`withAttachment()`*：オプション。ストリーミング添付ファイルとして JSON オブジェクトを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API はペイロードを JSON 文字列として作成します。
3. *`expiresAt()`*：オプション。添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。*`withAttachment()`* メソッドも呼び出す必要があります。
4. *`build()`*：JSONStreamingAPI オブジェクトを返します。

`JSONStreamingAPI`：JSON ペイロードをビルドする

下記のメソッドを次の順番で使用して、JSON ペイロードを作成します。

1. *`startObject()`*：親 JSON オブジェクトを作成します。
2. JSON のキーと値のペアを生成するメソッド ：*`writeFieldName()`*、*`writeString()`*、 *`writeNumberField()`* など。
3. *`endObject()`*：親 JSON オブジェクトを閉じます。
4. *`getJSONString()`* または *`getAttachmentId()`*：作成した JSON 文字列または添付ファイル ID を返します。
5. *`close()`*：JSONStreamingAPI オブジェクトを閉じます。

サイズ制限

この API を介して生成されたペイロードは、次のサイズ制限を超えることはできません。

- 添付ファイル：200 MB
- 文字列：5 MB

例

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
.writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
.writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
field
.writeFieldName("lastName")
.writeString("Smith")
.writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
value "25"
.writeFieldName("address")
.startObject()                // Start a new object nested under the
parent object
 .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
 .writeStringField("city", "Santa Clara")
 .writeStringField("state", "CA")
 .writeStringField("postalCode", "11111")
.endObject()
.writeFieldName("phoneNumber")
.startArray()                    // Start an array
 .startObject()               // Add the first object to the array
  .writeFieldName("type")
  .writeString("home")
  .writeFieldName("number")
  .writeString("212 555-1234")
 .endObject()
 .startObject()               // Add another object to the array
  .writeFieldName("type")
  .writeString("fax")
  .writeFieldName("number")
  .writeString("646 555-4567")
 .endObject()
.endArray()
.endObject()

 gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

一方この例は、スクリプトステップで API を使用してペイロードを JSON 文字列として作成する方法を示しています。このオプションを使用すると、5 MB 未満のペイロードを作成できます。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .enablePrettyPrint()
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
      .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeStringField("city", "Santa Clara")
      .writeStringField("state", "CA")
      .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
      .startObject()
        .writeFieldName("type")
        .writeString("home")
        .writeFieldName("number")
        .writeString("212 555-1234")
      .endObject()
      .startObject()
        .writeFieldName("type")
        .writeString("fax")
        .writeFieldName("number")
        .writeString("646 555-4567")
      .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  outputs.payload = builder.getJSONString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
{
"firstName" : "John",
"lastName" : "Smith",
"age" : 25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},
"phoneNumber" : [ {
  "type" : "home",
  "number" : "212 555-1234"
}, {
  "type" : "fax",
  "number" : "646 555-4567"
} ]
}
```

JSONStreamingBuilder - JSONStreamingBuilder()

JSONStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
```

JSONStreamingBuilder - build()

JSONStreamingAPI オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingAPI	ペイロードのビルドに使用されるストリーミング JSON オブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .writeString("212 555-1234")
   .endObject()
   .startObject()                // Add another object to the array
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
   .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingBuilder - expiresAt(オブジェクト expiresAt)

添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。*withAttachment()* メソッドも呼び出す必要があります。 このメソッドを呼び出さないと、添付ファイルは作成後 2 時間で期限切れになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
expiresAt	GlideDateTime	添付ファイルの有効期限が切れるまでの時間を設定するオブジェクト。 • 最小値：添付ファイルが作成されてから 7200 秒 (2 時間)。デフォルトです。 • 最大値：添付ファイルが作成されてから 172800 秒 (48 時間)。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingBuilder	JSON ペイロードを開始するために使用するビルダーオブジェクト。

この例では、JSON オブジェクトを作成し、定義された有効期限とともに添付ファイル [sys_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
.writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
.writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
field
.writeFieldName("lastName")
.writeString("Smith")
.writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
value "25"
.writeFieldName("address")
.startObject()                // Start a new object nested under the
parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
.endObject()
.writeFieldName("phoneNumber")
.startArray()                    // Start an array
  .startObject()              // Add the first object to the array
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()              // Add another object to the array
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
.endArray()
.endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

JSONStreamingBuilder - withAttachment()

ストリーミング添付ファイルとして JSON オブジェクトを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API はペイロードを JSON 文字列として作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
JSONStreamingBuilder	JSON ペイロードを開始するために使用するビルダーオブジェクト。

この例は、JSON ペイロードを構築して添付ファイルとして保存する方法を示しています。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the JSON object in streaming mode within
 an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the JSONStreamingAPI object.

  builder.startObject()  // Begins generating the JSON object.
 .writeFieldName("firstName")  // Adds a "firstName" field
 .writeString("John")          // Writes the value of the "firstName"
 field
 .writeFieldName("lastName")
 .writeString("Smith")
 .writeNumberField("age","25") // Write a number field named "age" with
 value "25"
 .writeFieldName("address")
 .startObject()                // Start a new object nested under the
 parent object
  .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
  .writeStringField("city", "Santa Clara")
  .writeStringField("state", "CA")
  .writeStringField("postalCode", "11111")
 .endObject()
 .writeFieldName("phoneNumber")
 .startArray()                    // Start an array
  .startObject()               // Add the first object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("home")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("212 555-1234")
  .endObject()
  .startObject()               // Add another object to the array
   .writeFieldName("type")
   .writeString("fax")
   .writeFieldName("number")
   .writeString("646 555-4567")
  .endObject()
 .endArray()
 .endObject()

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
}

catch (err) {
  gs.log(err);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
finally {
  builder.close();
}
```

この例は、JSON ペイロードを構築して文字列として保存する方法を示しています。

```
try {
  var builder = new sn_ih.JSONStreamingBuilder().build();

  builder.startObject()
    .writeFieldName("firstName")
    .writeString("John")
    .writeFieldName("lastName")
    .writeString("Smith")
    .writeNumberField("age","25")
    .writeFieldName("address")
    .startObject()
    .writeStringField("streetAddress", "21 2nd Street")
    .writeStringField("city", "Santa Clara")
    .writeStringField("state", "CA")
    .writeStringField("postalCode", "11111")
    .endObject()
    .writeFieldName("phoneNumber")
    .startArray()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("home")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("212 555-1234")
    .endObject()
    .startObject()
    .writeFieldName("type")
    .writeString("fax")
    .writeFieldName("number")
    .writeString("646 555-4567")
    .endObject()
    .endArray()
    .endObject()

  gs.log(builder.getJSONString());
}

catch (err) {
  gs.log("Exception: " + err);
}

finally {
  builder.close();
}
```

出力：

```
{
"firstName" : "John",
"lastName" : "Smith",
"age" : 25,
"address" : {
  "streetAddress" : "21 2nd Street",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "city" : "Santa Clara",
  "state" : "CA",
  "postalCode" : "11111"
},
"phoneNumber" : [ {
  "type" : "home",
  "number" : "212 555-1234"
}, {
  "type" : "fax",
  "number" : "646 555-4567"
} ]
}
```

JSUtil - グローバル

JSUtil スクリプトインクルードは、一般的な JavaScript ルーチンのショートカットを提供します。

この API は、スコープ付きスクリプトではなく、グローバルサーバーサイドスクリプトで使用できます。

JSUtil - doesNotHave(オブジェクト item)

アイテムが null または未定義であるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたオブジェクトが null または未定義の場合は true。

```
var x = "the quick brown fox";
var y = "";
var z;

gs.print("x = '" + x + "', JSUtil.doesNotHave(x) = " +
 JSUtil.doesNotHave(x));
gs.print("y = '" + y + "', JSUtil.doesNotHave(y) = " +
 JSUtil.doesNotHave(y));
gs.print("z = '" + z + "', JSUtil.doesNotHave(z) = " +
 JSUtil.doesNotHave(z))
```

出力：

```
x = 'the quick brown fox', JSUtil.doesNotHave(x) = false
y = '', JSUtil.doesNotHave(y) = false
z = 'undefined', JSUtil.doesNotHave(z) = true
```

JSUtil - escapeAttr(文字列 text)

URL 属性を定義するためによく用いられるエスケープのアンパサンド。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	テキスト

返される内容

タイプ	説明
文字列	アンパサンドが適切にエスケープされたテキスト。

```
var attr = "sysparm_query=active=true&sysparm_view=special";

gs.print(JSUtil.escapeAttr(attr));
```

出力：このテキストが返されます。テキストがアプリケーションに表示される場合、そのページではエスケープされたアンパサンドが 1 個のアンパサンドでレンダリングされます。

```
sysparm_query=active=true&sysparm_view=special
```

JSUtil - escapeText(文字列 text)

「< > &」などの無効な XML 文字をエスケープします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	テキスト

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープ文字が追加されたテキスト。

```
var html = "<b>This is my title</b>";

gs.print(JSUtil.escapeText(html));
```

出力：この値が返されます。結果がアプリケーションに表示される場合、ページでは括弧がレンダリングされるため、エスケープされていないように見えます。

```
<b>This is my title</b>
```

JSUtil - getBooleanValue(GlideRecord now_GR, 文字列 field)

ブーリアンの GlideRecord フィールドの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	GlideRecord
field	文字列	ブーリアン値の取得元となるフィールド。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ブーリアンの GlideRecord フィールドの値を返します。フィールドの値が true、"true"、1、または "1" の場合は true を返します。

```
var inc = new GlideRecord("incident");
//get an active incident
inc.addActiveQuery();
inc.setLimit(1);
inc.query();
inc.next();

gs.print(JSUtil.getBooleanValue(inc, "active"));
```

出力：true

JSUtil - has(オブジェクト item)

アイテムが null でも未定義でもないかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたオブジェクトが null でも未定義でもない場合は true。

```
var x = "the quick brown fox";
var y = "";
var z;

gs.print("x = '" + x + "', JSUtil.has(x) = " + JSUtil.has(x));
gs.print("y = '" + y + "', JSUtil.has(y) = " + JSUtil.has(y));
gs.print("z = '" + z + "', JSUtil.has(z) = " + JSUtil.has(z));
```

出力：

```
x = 'the quick brown fox', JSUtil.has(x) = true
y = '', JSUtil.has(y) = true
z = 'undefined', JSUtil.has(z) = false
```

JSUtil - instance_of(オブジェクト item, 文字列 class)

指定されたオブジェクトが指定されたクラスのメンバーであるかどうかを確認します。

JavaScript オブジェクトの場合、このメソッドは JavaScript オペレーター「instanceof」とまったく同様に動作しますが、Java オブジェクトもサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト
class	文字列	チェックするクラス

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたオブジェクトが指定されたクラスのメンバーである場合は true。

```
var a = ['a','b','c'];
var b = 10;
var c = new GlideRecord("incident");

gs.print("JSUtil.instance_of(a,'Array') = " +
 JSUtil.instance_of(a,Array));
gs.print("JSUtil.instance_of(a,'String') = " +
 JSUtil.instance_of(a,String));

gs.print("JSUtil.instance_of(b,'String') = " +
 JSUtil.instance_of(b,String));

gs.print("JSUtil.instance_of(c,'GlideRecord') = " +
 JSUtil.instance_of(c,GlideRecord));
```

出力：

```
JSUtil.instance_of(a,'Array') = true
JSUtil.instance_of(a,'String') = false
JSUtil.instance_of(b,'String') = false
JSUtil.instance_of(c,'GlideRecord') = true
```

JSUtil - isJavaObject(オブジェクト **value)**

指定されたオブジェクトが Java クラスかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたオブジェクトが Java クラスのインスタンスである場合は true。

```
var tu = new TableUtils("incident");
var classes = tu.getHierarchy(); //Java ArrayList
var tables = ["task, incident"]; //JavaScript Array
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print("JSUtil.isJavaObject(classes) = " +
 JSUtil.isJavaObject(classes));
gs.print("JSUtil.isJavaObject(tables) = " + JSUtil.isJavaObject(tables));
```

出力：

```
JSUtil.isJavaObject(classes) = true
JSUtil.isJavaObject(tables) = false
```

JSUtil - logObject(オブジェクト **obj**, 文字列 **name)**

指定されたオブジェクトのすべてのプロパティ (名前、タイプ、および値) をログに記録します。

バックグラウンドスクリプトから実行している場合、またはデバッグログを有効にしている場合、出力はコンソールに書き込まれます。出力はシステムログにも書き込まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
obj	オブジェクト	プロパティを列挙する対象のオブジェクト
name	文字列	ログに記録されるオブジェクトのオプションの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var arr = ["a","b","c"];

var inc = new GlideRecord("incident");
//get an active incident
inc.addActiveQuery();
inc.setLimit(1);
inc.query();
inc.next();

JSUtil.logObject(arr, "arr");
JSUtil.logObject(inc, "inc");
```

出力:

```
Log Object: arr
  Array of 3 elements
    [0]: string = a
    [1]: string = b
    [2]: string = c
Log Object: inc
  GlideRecord('incident') @ INC0000002
```

JSUtil - nil(オブジェクト **item)**

アイテムが null か、未定義か、または空の文字列に評価されるかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アイテムが null か未定義、または空の文字列に評価される場合は true。

```
var x = "the quick brown fox";
var y = "";
var z;

gs.print("x = '" + x + "', JSUtil.nil(x) = " + JSUtil.nil(x));
gs.print("y = '" + y + "', JSUtil.nil(y) = " + JSUtil.nil(y));
gs.print("z = '" + z + "', JSUtil.nil(z) = " + JSUtil.nil(z));
```

出力：

```
x = 'the quick brown fox', JSUtil.nil(x) = false
y = '', JSUtil.nil(y) = true
z = 'undefined', JSUtil.nil(z) = true
```

JSUtil - notNil(オブジェクト **item)**

項目が null、未定義、または空の文字列に評価されたかどうかを確認します。

注: 指定されたオブジェクトが宣言されていない場合、このメソッドはエラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アイテムが存在し、空ではないかどうかを示すフラグ。指定されたオブジェクトが宣言されていない場合はエラーが返されます。 有効な値： • true:指定されたオブジェクトが宣言および定義されています。オブジェクトが文字列の場合、空ではありません。 • false:指定されたオブジェクトが null であるか、未定義であるか、空の文字列として評価されます。

次の例は、文字列変数、空の文字列変数、および未定義の変数の結果を示しています。

```
var x = "the quick brown fox";
var y = "";
var z;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print("x = '" + x + "', JSUtil.notNil(x) = " + JSUtil.notNil(x));
gs.print("y = '" + y + "', JSUtil.notNil(y) = " + JSUtil.notNil(y));
gs.print("z = '" + z + "', JSUtil.notNil(z) = " + JSUtil.notNil(z));
```

出力:

```
x = 'the quick brown fox', JSUtil.notNil(x) = true
y = '', JSUtil.notNil(y) = false
z = 'undefined', JSUtil.notNil(z) = false
```

JSUtil - toBoolean(オブジェクト item)

指定されたオブジェクトをブーリアン値に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	オブジェクト	変換するオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたオブジェクトがブーリアン値の場合はパスされます。ゼロ以外の数値の場合は true を返します。Null または未定義の場合は false を返します。文字列の場合は、「true」と正確に等しい場合のみ true を返します。

```
var zero = 0;
var one = 1;
var number = 12;
var trueBoolean = true;
var trueString = "true";
var otherString = "random text";

gs.print("JSUtil.toBoolean(zero) = " + JSUtil.toBoolean(zero));
gs.print("JSUtil.toBoolean(one) = " + JSUtil.toBoolean(one));
gs.print("JSUtil.toBoolean(number) = " + JSUtil.toBoolean(number));
gs.print("JSUtil.toBoolean(trueBoolean) = " +
 JSUtil.toBoolean(trueBoolean));
gs.print("JSUtil.toBoolean(trueString) = " +
 JSUtil.toBoolean(trueString));
gs.print("JSUtil.toBoolean(otherString) = " +
 JSUtil.toBoolean(otherString));
```

出力：

```
JSUtil.toBoolean(zero) = false
JSUtil.toBoolean(one) = true
JSUtil.toBoolean(number) = true
JSUtil.toBoolean(trueBoolean) = true
JSUtil.toBoolean(trueString) = true
JSUtil.toBoolean(otherString) = false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSUtil - type_of(オブジェクト value)

指定されたオブジェクトのタイプを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	チェック対象のオブジェクト

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたオブジェクトのタイプ。 • 指定された値が null または未定義の場合は「null」 • 指定された値がプリミティブ文字列または文字列のラッパーインスタンスの場合は「string」 • 指定された値がプリミティブの数値または数字のラッパーインスタンスの場合は「number」 • 指定された値がプリミティブのブーリアンまたはブーリアンのラッパーインスタンスの場合は「boolean」 • 指定された値が関数の場合は「function」 • それ以外の場合は「object」

```
var a = ["a","b","c"];
var b = 10;
var c = new GlideRecord("incident");
var d = true;
var e;

gs.print("JSUtil.type_of(a) = " + JSUtil.type_of(a));
gs.print("JSUtil.type_of(b) = " + JSUtil.type_of(b));
gs.print("JSUtil.type_of(c) = " + JSUtil.type_of(c));
gs.print("JSUtil.type_of= " + JSUtil.type_of(d));
gs.print("JSUtil.type_of(e) = " + JSUtil.type_of(e));
```

出力：

```
JSUtil.type_of(a) = object
JSUtil.type_of(b) = number
JSUtil.type_of(c) = object
JSUtil.type_of= boolean
JSUtil.type_of(e) = null
```

JSUtil - unescapeAttr(文字列 text)

エスケープされたテキストからアンパサンドを復元します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	テキスト

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープ文字が削除されたテキスト。

```
var attr = "sysparm_query=active=true&sysparm_view=special";

gs.print(JSUtil.unescapeAttr(attr));
```

出力：

```
sysparm_query=active=true&sysparm_view=special
```

JSUtil - unescapeText(文字列 text)

エスケープ文字を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	処理対象のテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エスケープ文字がないテキスト。

```
var html = "<b>This is my title</b>";

gs.print(JSUtil.unescapeText(html));
```

出力：この値が返されます。アプリケーションのページにテキストが表示されている場合は、html タグがレンダリングされ、テキストが太字で表示されます。

```
<b>This is my title</b>
```

KMFCryptoOperation - スコープ指定、グローバル

KMFCryptoOperation クラスは、キー管理フレームワーク (KMF) 暗号化モジュールまたは 列レベル暗号化 (CLE) 暗号化モジュールを使用して暗号化操作を実行するためのメソッドを提供します。

この API を使用するには、KMF 暗号化モジュールまたは CLE 暗号化モジュールを事前に作成して構成している必要があります。モジュールには 1 つ以上の暗号化仕様が必要で、その関連キーを作成またはインポートする必要があります。詳細については、「暗号化モジュール」を参照してください。

この API を使用して生成された KMFCryptoOperation オブジェクトは、対称暗号化などの暗号化の操作を表します。*KMFCryptoOperations()* メソッドを使用してこのオブジェクトを作成し、ビル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダーメソッドを使用してオブジェクトのプロパティを設定し、`doOperation()` メソッドを使用して操作を実行します。

この API は、スコープ対象のアプリケーションでもグローバルのアプリケーションでも使用できます。この API を呼び出すときは、常に `sn_kmf_ns` 名前空間を指定する必要があります。

KMFCryptoOperation - KMFCryptoOperation(文字列 **cryptoModuleName**, 文字列 **operationName)**

指定したモジュールと操作の KMFCryptoOperation オブジェクトを作成します。

この API ではビルダーメソッドを利用します。ビルダーメソッドによって、目的のデータの出力形式の変更など、KMFCryptoOperation オブジェクトのプロパティが更新されます。ビルダーメソッドによっては、一部の操作で有効でないものがあります。各操作に使用できるビルダーメソッドは、以下のパラメーターテーブルに記載されています。

次のビルダーメソッドはすべての操作タイプに有効です。

- withInputFormat()
- withOutputFormat()
- withOutputType()

パラメーター

名前	タイプ	説明
cryptoModuleName	文字列	使用する Key Management Framework (KMF) 暗号化モジュールまたは Column Level Encryption (CLE) 暗号化モジュールの名前。このメソッドを呼び出す前に、モジュールを作成する必要があります。詳細については、「暗号化モジュールの概要」を参照してください。
operationName	文字列	実行する操作の名前。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • ASYMMETRIC_DECRYPTION：非対称キーアルゴリズムを使用したデータの復号化。暗号化の目的が非対称データ復号化になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAdditionalInput()` ◦ デフォルトの入力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • ASYMMETRIC_ENCRYPTION：非対称キーアルゴリズムを使用したデータの暗号化。暗号化の目的が非対称データ暗号化になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAdditionalInput()` ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 。 出力は KMFEncryptionPayload オブジェクトにすることもできます。RSA と EC-IES にはどちらとも互換性があります。KMFEncryptionPayload オブジェクトの詳細については、withAdditionalInput() を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• ASYMMETRIC_UNWRAPPING：非対称キーアルゴリズムを使用したキーのラップ解除。暗号化の目的が非対称キーのラップ解除になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAlgorithm()` ◦ デフォルトの入力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • ASYMMETRIC_WRAPPING：非対称キーアルゴリズムを使用したキーのラッピング。暗号化の目的が非対称キーのラッピングになっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAlgorithm()`、`withSysId()` ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • MAC_GENERATION：メッセージ認証コード (MAC) の生成。データの完全性と認証を提供するためのベースとなる対称キーアルゴリズム。暗号化の目的が対称認証になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：なし ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • MAC_VERIFICATION：MAC の検証。データの完全性と認証を提供するためのベースとなる対称キーアルゴリズム。暗号化の目的が対称認証になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAdditionalInput()` ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：KMFNone - デコードなし ◦ デフォルトの出力タイプ ：ブール • SIGNATURE_GENERATION：デジタル署名の生成。データの完全性と認証を提供するためのベースとなる非対称キーアルゴリズム。暗号化の目的が署名生成になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：なし ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • SIGNATURE_VERIFICATION：デジタル署名の検証。データの完全性と認証を提供するためのベースとなる非対称キーアル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ゴリズム。暗号化の目的が署名検証になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAdditionalInput()` ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：KMFNone - デコードなし ◦ デフォルトの出力タイプ ：ブール • SYMMETRIC_ENCRYPTION：対称キーアルゴリズムを使用したデータの暗号化。アルゴリズムが等価性保存でない場合は、フォーマットされた出力のみが許可されます。暗号化の目的が対称データの暗号化/復号化になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：なし ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • SYMMETRIC_DECRYPTION：対称キーアルゴリズムを使用したデータの復号化。アルゴリズムが等価性保存でない場合は、KMFBase64 入力が許可されます。暗号化の目的が対称データの暗号化/復号化になっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：なし ◦ デフォルトの入力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • SYMMETRIC_WRAPPING：対称キーアルゴリズムを使用したキーのラッピング。アルゴリズムが等価性保存でない場合は、フォーマットされた出力のみが許可されます。暗号化の目的が対称キーのラッピング/アンラッピングになっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAlgorithm()` および `withSysId()` ◦ デフォルトの入力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定 ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列 • SYMMETRIC_UNWRAPPING：対称キーアルゴリズムを使用したキーのラップ解除。アルゴリズムが等価性保存でない場合は、KMFBase64 入力が許可されます。暗号化の目的が対称キーのラッピング/アンラッピングになっている KMF 暗号化モジュールが必要です。 ◦ 追加のビルダーメソッド：`withAlgorithm()` ◦ デフォルトの入力形式：書式設定済み - KMF 仕様に書式設定

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ デフォルトの出力形式：KMFBase64 - Base64 エンコード ◦ デフォルトの出力タイプ ：文字列

この例では、global.sj_cm というモジュールの KMFCryptoOperation オブジェクトをインスタンス化して、対称暗号化の操作を実行します。グローバルアプリケーションとスコープ対象アプリケーションの両方の名前空間を含める必要があります。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SYMMETRIC_ENCRYPTION");
```

この例では、デフォルトの出力タイプと出力形式を更新するオプションを指定する方法を示します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SYMMETRIC_ENCRYPTION")
  .withOutputType("STRING").withOutputFormat("FORMATTED");

var cipherText=op.doOperation("hi");
```

この例では、EC-IES という統合暗号化スキームを使用して非対称暗号化の操作を実行する方法を示します。*signature* などの長い値は、読みやすくするために一部 … に置き換えて短縮されています。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","ASYMMETRIC_ENCRYPTION")
.withInputFormat("KMFNONE")
.withOutputType("PAYLOAD");

var cipherText = op.doOperation("hi");

/*
cipherText contains an object similar to this JSON: {
  "signature": "pkg…",
  "ephemeral_key": "BDi…",
  "ciphertext": "afFS…"
}
*/
```

この例では、EC-IES を使用して非対称復号化の操作を実行する方法を示します。

```
var op = new
sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","ASYMMETRIC_DECRYPTION")
  .withAdditionalInput({
  "signature": "pkg… ",
  "ephemeral_key": "BDi…"
})
.withOutputFormat("KMFNONE");

var clearText = op.doOperation("afFS…");
```

KMFCryptoOperation - doOperation (オブジェクト data)

指定されたデータに対して、現在の KMFCryptoOperation オブジェクトによって定義された暗号化操作を実行し、結果を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	関連する KMFCryptoOperation オブジェクトで *withSysId()* ビルダーメソッドが以前に呼び出されている場合を除き、このパラメーターは必須です。暗号化操作を実行するデータを入力します。

返される内容

タイプ	説明
操作タイプによって異なります。 • *MAC_VERIFICATION* および *SIGNATURE_VERIFICATION*：ブーリアン • その他すべて：文字列	関連する KMFCryptoOperation オブジェクトで指定の操作を実行した後のデータの結果。

この例では、*doOperation()* を使用して MAC を作成します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","MAC_GENERATION");
var data = "aGk=";
var mac = op.doOperation(data);
```

KMFCryptoOperation - withAdditionalInput(オブジェクト **additionalInput)**

暗号化操作を実行するために必要な追加の入力を設定します。

たとえば、メッセージ認証コード (MAC) の検証中に、生成された MAC タグをこのメソッドで渡します。同様に、署名検証中にこのメソッドを使用して署名を渡します。また、Elliptic Curve Integrated Encryption Scheme (EC-IES) などの統合された暗号で非対称操作を実行するときに、追加のデータである KMFEncryptionPayload オブジェクトをこのメソッドを使用して渡すこともできます。

注: 追加の入力は、KMFCryptoOperation オブジェクトで現在設定されているものと同じ形式である必要はありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
additionalInput	文字列またはオブジェクト	オプション。ただし、EC-IES を使用する場合の非対称復号化の操作を除きます。KMFCryptoOperation オブジェクトで指定された暗号化操作を実行するために必要な追加の入力データ。 サポートされている文字列の形式： • FORMATTED：Key Management Framework (KMF) 仕様にフォーマットされます。 • KMFBASE64：Base64 でエンコードされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		KMFEncryptionPayload オブジェクトの形式： `{ "ciphertext": String, "derivation_secret": String, "ephemeral_key": String, "ephemeral_key_format": String, "signature": String }`
additionalInput.ciphertext	文字列 (Base64)	非対称復号化の場合は必須、その他の操作の場合はオプション。 有効な値： • RSA アルゴリズムを使用する場合：RSA 暗号テキスト • EC-IES アルゴリズムを使用する場合：統合 AES 暗号テキスト 出力タイプが *payload* に設定されている場合は、非対称暗号化の操作から使用できます。
additionalInput.derivation_secret	文字列 (Base64)	オプション。EC-IES を使用した非対称暗号化または非対称復号化の操作にのみ使用します。統合スキームのキー導出処理中に使用する共有シークレット。
additionalInput.ephemeral_key	文字列 (Base64)	EC-IES を使用した非対称復号化の操作の場合は必須、その他すべての操作の場合はオプション。統合スキームの基本的な同意プロセス中に使用する一時公開キー。 出力タイプが *payload* に設定されている場合は、非対称暗号化の操作から使用できます。
additionalInput.ephemeral_key_format	文字列	オプション。EC-IES を使用した非対称暗号化または非対称復号化の操作にのみ使用します。*ephemeral_key* パラメーターで表される公開キーの形式を上書きします。 有効な値： • x962 • der
additionalInput.signature	文字列 (Base64)	EC-IES を使用した非対称復号化の操作の場合は必須、その他すべての操作の場合はオプション。統合スキームの署名検証プロセスを使用して検証する暗号テキストの署名。 出力タイプが *payload* に設定されている場合は、非対称暗号化の操作から使用できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、*withAdditionalInput()* を使用して文字列ベースの署名を KMFCryptoOperation オブジェクトに追加します。

```
var signature = "John Doe";
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SIGNATURE_VERIFICATION")
  .withAdditionalInput(signature);

var value = GlideStringUtil.base64Encode("Text to encode"); // Default
 input format is KMFBase64
var result = op.doOperation(String(value));
```

この例では、*withAdditionalInput()* を使用して署名と一時キーを KMFCryptoOperation オブジェクトに追加します。*doOperation()* の呼び出しや *payload* の説明などにあるような長い値は、読みやすくするために一部 ... に置き換えて短縮されています。

```
var payload = new sn_kmf_ns.KMFEncryptionPayload();
payload.signature = "pkg...";
payload.ephemeral_key = " BDi...";
payload.ephemeral_key_format = "x962";

var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","ASYMMETRIC_DECRYPTION")
  .withAdditionalInput(payload)
  .doOperation("afFS...";
```

KMFCryptoOperation - withAlgorithm (文字列 algorithm)

ラップするキーマテリアルに関連付けるアルゴリズムを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
algorithm	文字列	使用するアルゴリズムです。 有効な値： • AES：対称キータイプ • EC：非対称キータイプ • HMAC：対称キータイプ • RSA：非対称キータイプ

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*withAlgorithm()* を使用して、使用する暗号化アルゴリズムを EC に変更します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","ASYMMETRIC_WRAPPING").withA
lgorithm("EC");
var value = GlideStringUtil.base64Encode("Sample key"); // Default input
 format is KMFBase64
var result = op.doOperation(String(value));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KMFCryptoOperation - withInputFormat(文字列 inputFormat)

暗号化操作が実行される入力データのデータ形式を設定します。データのデコードの際に、ここで指定した形式を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputFormat	文字列	入力データの形式。 有効な値： • FORMATTED：Key Management Framework (KMF) 仕様にフォーマットされます。 • KMFBASE64：Base64 でエンコードされます。 • KMFNONE：エンコードなし。 デフォルト：KMFCryptoOperation オブジェクトがインスタンス化されたときに指定された操作によって決定される値。詳細については、「KMFCryptoOperation - KMFCryptoOperation(文字列 cryptoModuleName, 文字列 operationName)」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*withInputFormat()* を使用して、入力形式をエンコードなしに変更します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SYMMETRIC_ENCRYPTION").with
InputFormat("KMFNone");
var result = op.doOperation("Text with no encoding"); // Pass in
 unencrypted String
```

KMFCryptoOperation - withOutputFormat(文字列 outputFormat)

暗号化操作によって返される出力データのデータ形式を設定します。データのエンコードの際に、ここで指定した形式を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
outputFormat	文字列	出力データの形式。 有効な値： • FORMATTED：Key Management Framework (KMF) 仕様にフォーマットされます。 • KMFBASE64：Base64 でエンコードされます。 • KMFNONE：デコードなし。MAC_VERIFICATION と SIGNATURE_VERIFICATION でのみサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このメソッドが呼び出されない場合のデフォルト：KMFCryptoOperation オブジェクトがインスタンス化されたときに指定された操作によって決定される値。詳細については、「KMFCryptoOperation - KMFCryptoOperation(文字列 cryptoModuleName, 文字列 operationName)」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*withOutputFormat()* を使用して、復号化の出力形式を KMFNone (デフォルトは KMFBase64) に設定します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SYMMETRIC_DECRYPTION").with
OutputFormat("KMFNone");
var clear_data = op.doOperation(<FORMATTED_data>); // Pass in default of
 FORMATTED data
```

KMFCryptoOperation - withOutputType(文字列 **outputType)**

暗号化操作の実行後に返される出力データのデータタイプを設定します。

注: *MAC_VERIFICATION* または *SIGNATURE_VERIFICATION* 操作の KMFCryptoOperation オブジェクトをインスタンス化する場合は、このメソッドを呼び出してブーリアン値を渡し、正しい出力タイプを設定する必要があります。そうでないと、操作の実行時に例外がスローされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
outputType	文字列	出力データのタイプ。 出力タイプによっては、一部の操作に適用されないものがあります。サポートされていないタイプの場合は、例外がスローされます。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • 文字列：*MAC_VERIFICATION* または *SIGNATURE_VERIFICATION* 操作には有効ではありません。 • ブーリアン：*MAC_VERIFICATION* または *SIGNATURE_VERIFICATION* 操作に対してのみ有効です。 • ペイロード：*ASYMMETRIC_ENCRYPTION* 操作に対してのみ有効です。この出力タイプは EC-IES に使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: ペイロードの出力を指定する際の、*doOperation()* メソッドの出力は KMFEncryptionPayload オブジェクトです。このオブジェクトの構造の詳細については、withAdditionalInput() を参照してください。 デフォルト：KMFCryptoOperation オブジェクトがインスタンス化されたときに指定された操作によって決定される値。詳細については、「KMFCryptoOperation - KMFCryptoOperation(文字列 cryptoModuleName, 文字列 operationName)」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*withOutputType()* を使用して MAC_VERIFICATION の出力タイプをブーリアンに設定します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","MAC_VERIFICATION")
  .withOutputType("Boolean").withAdditionalInput(<MAC>);
var value = GlideStringUtil.base64Encode("Text to sign"); // Default
 input type is KMFBase64
var result = op.doOperation(String(value));
```

KMFCryptoOperation - withSysId(文字列 sysId)

KMFCryptoOperation オブジェクトでラップするキーの sys_id を設定します。キーの対称および非対称ラッピングに適用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ラップするキーの sys_id。モジュールキー [sys_kmf_module_key] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*withSysId()* を使用して、ラップするキーを定義します。

```
var op = new
 sn_kmf_ns.KMFCryptoOperation("global.sj_cm","SYMMETRIC_WRAPPING").withSy
sId("0d06ce525b231010f86d1b341d81c777");
var wrappedKey = operation.doOperation(); // No need to pass data when
 using withSysId()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

LeadtoCashCore - スコープ指定

LeadtoCashCore スクリプトインクルードは、Lead to Cash Core ライフサイクルで見込み顧客から現金へのワークフローを調整するためのメソッドを提供します。

LeadtoCashCore スクリプトインクルードをインスタンスで使用できるようにするには、Lead to Cash Core (com.snd.l2c.core) プラグインをアクティブ化する必要があります。このスクリプトインクルードは sn_l2c_core 名前空間に属し、admin ロールが必要です。

「見込み顧客から現金へ」ワークフローでは、ソースエンティティをターゲットエンティティにマッピングします。エンティティはテーブルの集合として定義されます。ソースからターゲットへのマッピングを使用すると、ソースエンティティの構造またはコンテンツを変換して、ターゲットエンティティに必要な構造またはコンテンツに適合させることができます。このスクリプトインクルードによって提供される機能は、見込み顧客から現金へ 機能で利用可能なエンティティマッピング機能を表します。詳細については、「セールスと注文管理ワークフロー」を参照してください。

LeadtoCash スクリプトインクルードを使用してワークフローを完了するには、あるメソッドから次のメソッドにリターンパラメーターを渡します。通常、これらのメソッドは次の順序で呼び出します。

1. LeadtoCashCore - createInstance(文字列 headerSysIDs, 文字列 lineSysIDs, ブール値 isTarget, オブジェクト additionalParams, オブジェクト コンテキスト) - 指定されたエンティティのデータをフェッチします。たとえば、品目とその関連データを含む顧客の注文関連情報などです。

   context パラメーターを使用して、スクリプト内の 1 つ以上のヘッダーまたは行 ID を宣言します。このような複数選択のユースケースでは、出力 JSON には、各エントリが 1 つのエンティティを表すキーアイテムアレイが含まれます。

2. LeadtoCashCore - delta(オブジェクトsourceJSON、オブジェクトdirtyJSON、オブジェクトadditionalParams、オブジェクトコンテキスト) - 2 つの JSON 入力を比較し、それらの間で発生した変更を識別します。たとえば、エンティティで何かが追加、削除、または変更されたときなどです。
3. LeadtoCashCore - effect(オブジェクトsourceJSON、オブジェクトtargetJSON、オブジェクトadditionalParams、オブジェクトコンテキスト) - ソース JSON ターゲットをターゲット オブジェクトに変換します。
4. LeadtoCashCore - commitInstance(オブジェクトtargetJSON, オブジェクト additionalParams) - *effect()* スクリプトインクルードで行われた変換をデータベースにコミットします。

> **注:** 必要に応じて、このワークフローでは *delta()* をスキップできます。ただし、これらのメソッドを順不同で呼び出すと、ワークフローは失敗します(たとえば、 *commitInstance()* を 呼び出してから *effect()*を呼び出した場合)。

前提条件

これらの各メソッドには、拡張ポイント sn_l2c_core がバンドルされています。LeadToCashServiceEPです。*PrimitiveUtil()* は、拡張ポイントサービスを取得するためのメソッドを提供し、使用可能なパラメーターに従ってスクリプトインクルードを呼び出すユーティリティです。まず、ソースおよびターゲット情報を取得するテーブルを指定する *getPrimitivesEPService()* メソッドを *PrimitiveUtil()* に指定する必要があります。詳細については、「LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト)」を参照してください。スクリプトで *PrimitiveUtil()* と *getPrimitivesEPService()* を指定したら、ユースケースに応じて、createInstance()、delta()、effect()、または *commitInstance()* スクリプトインクルードを呼び出すことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「見込み顧客から現金へ」コアワークフロースクリプトの例

利用可能な各 Lead to Cash Core スクリプトインクルードは個別に文書化されていますが、次の例を参照して、これらのメソッドを一緒に使用して Lead to Cash ワークフローを生成する方法を確認できます。

```
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

var context = {"isMultiSelect": false}; // Set the context.isMultiSelect
 parameter as true to enable multi-select use cases

//Flow: Creation of Order from a sold product
var service =
 util.getPrimitivesEPService('sn_l2c_cust_flows_sp_to_order', context);

//CREATE INSTANCE to get the data of sold product with sys_id
 '06670ba3c3adbd501caee74bb0013166'
var SPInstance = service.createInstance(null,
 '06670ba3c3adbd501caee74bb0013166');
gs.info("SPInstance: "+JSON.stringify(SPInstance));

// DELTA
// construct the dirtyJSON as required
var deltaOutput = service.delta(SPInstance, dirtyJSON);/
gs.info("deltaOutput: "+JSON.stringify(deltaOutput));

// EFFECT
var effectOutput = service.effect(deltaOutput);
gs.info("effectOutput: " + JSON.stringify(effectOutput));

// COMMIT INSTANCE
var commitOutput = service.commitInstance(effectOutput);
gs.info("commitOutput: " + JSON.stringify(commitOutput));
```

この例では、顧客が販売済み製品を購入したが、既存の販売済み製品の変更を要求しています。必要な変更は、dirtyJSON の形式で提供されます。これらの変更を適用するために、Lead to Cash Core メソッドを次の順序で呼び出します。

1. 最初の呼び出しでは、 *createInstance()* メソッドを使用して既存の販売済み製品情報を取得します。
2. 次に、デルタ JSON を返す *delta()* メソッドを使用して、このソース JSON をダーティ JSON と比較します。
3. *delta()* JSON は、*effect()* メソッドを使用して、order 型の JSON に変換されます。
4. 順序 JSON は、 *commitInstance()* メソッドを使用してデータベースにコミットされます。

LeadtoCashCore - createInstance(文字列 **headerSysIDs**, 文字列 **lineSysIDs**, ブール値 **isTarget**, オブジェクト **additionalParams**, オブジェクト コンテキスト)

ヘッダー、行、子行、特性、属性などのさまざまな詳細を含む JSON オブジェクトを使用して、指定された 1 つ以上のエンティティのデータを返します。

createInstance() メソッドの出力 JSON は、delta()、effect()、*commitInstance()* などのリードから現金へコアワークフローの後続のメソッドで使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: *LeadtoCashCore* スクリプトインクルードでは、スクリプトで *createInstance()* を呼び出す前に、まずスクリプトユーティリティメソッド *PrimitiveUtil()* を LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) ユーティリティメソッドで呼び出して実装をトリガーする必要があります。各フローごとに、サービスを 1 回だけ取得し、すべての *LeadtoCashCore* メソッドに同じサービスを使用します。

getPrimitivesEPService() ブール パラメータ *context.isMultiSelect* を true に設定して、*createInstance()* がカンマで区切られた複数の headerID または lineID を一度に渡すことができるようにします。それ以外の場合は、一度に 1 つの ID のみを渡すことができます。詳細については、「LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト)」を参照してください。複数の lineID を持つ単一の headerIDusecase は、「context.isMultiSelect」を true に設定しなくてもサポートされます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
headerSysID	文字列	データを取得するエンティティのヘッダー sys_id。*lineSysIDs* パラメーターを指定しない場合は必須です。ヘッダー sys_idsを渡さない場合は `null` を渡します。 スクリプトで 1 つ以上のヘッダー sys_idsを指定するには、*getPrimitivesEPService()* ユーティリティメソッドで `context.isMultiSelect = true` を設定します。詳細については、 LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) のパラメーターの表を参照してください。 注: 少なくとも 1 つの *headerSysID* または *lineSysIDs* パラメーターが必要です。
lineSysID	文字列	エンティティデータを取得するエンティティの行アイテム sys_id。*headerSysIDs*を指定せず、エンティティ構造が販売済み製品などの品目で始まる場合は必須です。 スクリプトで 1 つ以上のライン アイテム sys_idsを指定するには、*getPrimitivesEPService()* ユーティリティ メソッドで `context.isMultiSelect = true` を設定します。詳細については、 LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) のパラメーターの表を参照してください。 注: 少なくとも 1 つの *headerSysID* または *lineSysIDs* パラメーターが必要です。複数の *lineSysIDs*渡す場合は、すべてのレコードが同じ *headerSysID*に属している必要があります。
isTarget	ブーリアン	オプション。ターゲットエンティティデータをフェッチするかどうかを決定するフラグ。 有効な値： • true:ターゲットエンティティのデータをフェッチします。 • false:ターゲットエンティティのデータをフェッチしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		デフォルト値：false
additionalParams	オブジェクト	オプション。使用する追加パラメーター。
additionalParams.skipItems	ブール	オプション。指定されたエンティティの品目をフェッチするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:エンティティの品目情報を返すことをスキップします。 • false:エンティティの品目情報を返します。 デフォルト値：false
context	オブジェクト	オプション。*context.isMultiSelect* パラメーターを使用して複数のインスタンスを呼び出すオプションを提供します。 `"context": [ { "isMultiSelect": "Boolean" }, ]`
context.isMultiSelect	ブール	オプション。インスタンスを作成するために複数のエンティティを入力として渡すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:複数のエンティティを入力として渡すことを有効にします。true の場合、複数の行項目をカンマ区切りリストで渡すことができます。 • false:複数のエンティティを入力として渡すことはできません。API スクリプトに渡すことができる入力は 1 つだけです。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	Description (説明)
JSON オブジェクト	エンティティレコードの詳細を含む JSON。 データタイプ: オブジェクト `{ "items": {Object}, "lineItems": [Array] }`
アイテム	*context.isMultiSelect* が true に設定されている場合に選択されたオブジェクトのアレイが含まれます。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"items": {
	    "attributes": {Object},
	    "sys_id": {Object},
	    "table": "String"
	    },</pre>

items._state	オブジェクトのステータスを表すオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"_state": {
	 "value": "String"
	}</pre>

items._state.value	オブジェクトの現在のステータス。 可能な値： • active: エンティティ・オブジェクトはアクティブ状態です。 • inactive:エンティティオブジェクトはアクティブステータスではありません。 データタイプ：文字列

items.attributes	ヘッダーレコードの属性。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"attributes": {
	   "name": {
	     "value": "String"
	   }</pre>

items.attributes.account	アイテム属性に関連付けられたアカウントに関する情報。
	<pre>"account": {
	  "value": "String"
	}</pre>

items.attributes.account.value	アイテム属性に関連付けられたアカウントのSys_id。 データタイプ：文字列

items.attributes.name	ヘッダーレコードのエンティティ属性の名前。たとえば、連絡先のアカウントなどです。エンティティのさまざまなフィールドを含めることができます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"name": {
	  "value": "String"
	}</pre>

items.attributes.name.value	エンティティのヘッダーレコードに属するアイテム属性の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	データタイプ：文字列

items.sys_id	関連するアイテムレコードに関するsys_id情報を含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_id": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

items.sys_id.value	関連アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティに関連付けられたアイテムレコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

lineItem	エンティティレコードの品目の詳細を含む JSON オブジェクト。
	
	注: このオブジェクトは、LeadtoCashCore - delta(オブジェクトsourceJSON、オブジェクトdirtyJSON、オブジェクトadditionalParams、オブジェクトコンテキスト)メソッドの*sourceJSON*要求パラメーターで使用します。
	
	エンティティの品目。たとえば、注文品目や見積品目などです。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	`"lineItems": [`
	`  {`
	`  "attributes": {Object},`
	`  "characteristics": [Array],`
	`  "lineItems": [Array],`
	`  "sys_id": {Object},`
	`  "table": "String"`
	`  }`
	`]`

lineItems.attributes	品目レコードの属性。属性はエンティティ間で異なる場合があります。
	
	`"attributes": {`
	`  "account": {Object},`
	`  "name": {Object}`
	`}`
	
	データタイプ: オブジェクト

lineItems.attributes.account	品目属性に関連付けられたアカウントに関する情報。
	
	`"account": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
lineItems.attributes.account	品目属性に関連付けられたアカウントのSys_id。 データタイプ：文字列
lineItems.attributes.name	品目属性の名前に関する情報。 `"name": { "value": "String" }` データタイプ: オブジェクト
lineItems.attributes.name.value	属性の名前。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics	アイテムに関連付けられた特性のリスト。チャラセリストはエンティティによって異なる場合があります。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristics": [ { "attributes": {Object}, "sys_id": {Object}, "table": "String" } ]`
lineItems.characteristics	品目に関連付けられた特性のリスト。チャラセリストはエンティティによって異なる場合があります。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristics": [ { "attributes": {Object}, "sys_id": {Object}, "table": "String" } ]`
lineItems.characteristics.attributes	特性レコードに関連付けられた属性に関する情報を含む 1 つ以上のオブジェクト。<属性タイプ>は、特性に関連付けられたレコード/機能に基づいて異なる値にすることができます。たとえば、このオブジェクトには、属性レコードのsys_id、関連する特性レコード、アカウントまたは連絡先、特性オプションレコード、または販売済み製品情報への参照を含めることができます。 データタイプ: オブジェクト `"attributes": { "<attribute_type>": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
lineItems.characteristics.attribute_type	通常は関連付けた属性レコードのsys_idですが、関連付けられた属性タイプを説明する意味のあるテキスト文字列にすることができます。 データタイプ：文字列

lineItems.characteristics.sys_id	関連する特性レコードのsys_idを含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_id": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

lineItems.characteristics.sys_id.value	関連付けられた特性レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティの特性レコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

lineItems.lineItems	親品目の子品目。このオブジェクトの形式は、 *lineItems* パラメーターと同じです。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"lineItems": [`
	`  {`
	`  "attributes": {Object}`
	`  "sys_id": {Object},`
	`  "table": "String"`
	`  }`
	`]`

lineItems.sys_id	関連する品目レコードに関するsys_id情報を含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"sys_id": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

lineItems.sys_id.value	関連する品目レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
lineItems.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティに関連付けられた品目レコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

次のサンプルスクリプトは、 *createInstance()* メソッドを呼び出して、販売済み製品、その階層全体、およびその特性のデータをロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Utility to invoke createInstance API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

//Invoke extension point, picks an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow, the Mapping Config ID  in
 "sn_l2c_core_entity_mapping" table.
var service =
 util.getPrimitivesEPService('sn_l2c_cust_flows_sp_to_order');

//Invoke createInstance API with required params
var SPInstance = service.createInstance(null,
 '4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf');

//Print the returned JSON
gs.info("SPInstance: "+JSON.stringify(SPInstance));

//The returned JSON can be used for subsequent methods of the flow such
 as delta(), effect() and commitInstance()
```

出力:


```
{
  "lineItems": [
    {
      "table": "sn_install_base_sold_product",
      "sys_id": {
        "value": "4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf"
      },
      "attributes": {
        "name": {
          "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
        },
        "account": {
          "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
        }
      },
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "9e0301e2ec873110f87727ef5883a23a"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Internet and OTT Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
          ],
          "characteristics": []
        }
      ],
      "characteristics": [
        {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "table": "sn_prd_pm_product_characteristics",
          "sys_id": {
            "value": "8d669b6665ebf110f877d71ec56bf75c"
          },
          "attributes": {
            "sys_id": {
              "value": "8d669b6665ebf110f87d71ec56bf75c"
            },
            "characteristic_value": {
              "value": ""
            },
            "characteristic": {
              "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be178"
            },
            "characteristic_option": {
              "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be179"
            },
            "sold_product": {
              "value": "4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf"
            }
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```

Example: 複数選択

次のスクリプトは、 *isMultiSelect* を使用して *createInstance()* メソッドを呼び出し、2 つの販売済み製品のデータを、その階層全体と特性とともにロードする方法を示しています。

```
//Utility to invoke createInstance API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

//Set context variable isMultiSelect true to enable multi-select
var context = {"isMultiSelect": true};
//Invoke extension point, picks an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow, the Mapping Config ID  in
 “sn_l2c_core_entity_mapping” table.
var service =
 util.getPrimitivesEPService('sn_l2c_cust_flows_sp_to_order’, context);

//Multiple sold products selected
var selectedLineitems =
 '4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf,036a2349284d0210f877b68370fb2e93';

//Invoke createInstance API with required params
var SPInstance = service.createInstance(null, selectedLineitems);

//Print the returned JSON
gs.info("SPInstance: "+JSON.stringify(SPInstance));

//The returned JSON can be used for subsequent APIs of the flow such as
 Delta, Effect and Commit Instance
```

応答：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "items": [
    {
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
            {
              "table": "sn_install_base_sold_product",
              "sys_id": {
                "value": "9e0301e2ec873110f87727ef5883a23a"
              },
              "attributes": {
                "name": {
                  "value": "Internet and OTT Bundle"
                },
                "account": {
                  "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
                }
              },
              "lineItems": [],
              "characteristics": []
            }
          ]
        }
      ]
    },
    {
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "036a2349284d0210f877b68370fb2e93"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
            {
              "table": "sn_install_base_sold_product",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
              "sys_id": {
                "value": "4b6a2349284d0210f877b68370fb2e9c"
              },
              "attributes": {
                "name": {
                  "value": "Internet and OTT Bundle"
                },
                "account": {
                  "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
                }
              },
              "lineItems": [],
              "characteristics": []
            }
          ],
          "characteristics": []
        }
      ]
    }
  ]
}
```

LeadtoCashCore - commitInstance(オブジェクト**targetJSON**, オブジェクト **additionalParams)**

指定された「見込み顧客から現金へ」エンティティの JSON をインスタンスにコミットし、更新された情報を含むステータスメッセージを返し、結果として「見込み顧客から現金へ」コアエンティティテーブルを更新します。

注: *LeadtoCashCore* スクリプトインクルードでは、スクリプトで *commitInstance()* を呼び出す前に、まず LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) ユーティリティメソッドを使用してスクリプト拡張ポイント *PrimitiveUtil()* を呼び出し、実装をトリガーする必要があります。各フローごとに、サービスを 1 回だけ取得し、すべての *LeadtoCashCore* メソッドに同じサービスを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
ターゲット JSON	オブジェクト	コミットするターゲットエンティティの「glide_action」を含む JSON オブジェクト。ここで effect() メソッドの出力を渡すことができます。 注: 「glide_action」は、「見込み顧客から現金へ」エンティティのソースとターゲットの JSON の間で発生した変更アクションを識別します。
ターゲット JSON	オブジェクト	オプション。使用する追加パラメーター。 注: *commitInstance()* の追加パラメーターは、今後のリリースまで使用できません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
JSON オブジェクト	ターゲットエンティティレコードに関する詳細を含む JSON オブジェクト。 `{ "error": "String", "headerID": "String", "rootLineIDs": [Array], "status": "String" }` データタイプ: オブジェクト
エラー	*commitInstance* メソッドの失敗を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
ヘッダー ID	*commitInstance* メソッドによって作成または更新されたターゲットエンティティレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
rootLineID	*commitInstance* メソッドによって挿入、更新、または削除されたターゲットエンティティレコードのSys_ids。 データタイプ：文字列のアレイ
status	「成功」または「失敗」の値を含むステータスメッセージ。 データタイプ：文字列

次の例は、各 *LeadtoCashCore* メソッドを使用して、ソースからターゲットへのエンティティの詳細を取得、適用、およびコミットする方法を示しています。

```
//Utility to invoke commitInstance API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

//Invokes the PrimitiveUtil extension point, picks an implementation
 based on sourceToTargetConfigID of a Lead to Cash (L2C) flow. The
 Mapping Config ID  in “sn_l2c_core_entity_mapping” table.
var service = util.getPrimitivesEPService('sp_order_macd');

//Invoke commitInstance API with the required params
var commitOutput = service.commitInstance(effectOutput);

//Print the returned JSON
gs.info("commitOutput: "+JSON.stringify(commitOutput));
//The returned JSON can be used for subsequent operations.
```

出力:

```
{
  "status": "success",
  "error": "",
  "headerID": "cc9b3db665e73510f877d71ec56bf7ed",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "rootLineIDs": [
    "0c9b3db665e73510f877d71ec56bf7f1"
  ]
}
```

LeadtoCashCore - delta(オブジェクトsourceJSON、オブジェクトdirtyJSON、オブジェクトadditionalParams、オブジェクトコンテキスト)

「見込み顧客から現金へ」エンティティのソースと変更されたソース JSON オブジェクトを比較し、追加、削除、変更など、ソース JSON に加えられた変更を記述する JSON オブジェクトを返します。

注: *LeadtoCashCore* スクリプトインクルードでは、スクリプトで *delta()* を呼び出す前に、まず LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) ユーティリティメソッドを使用してスクリプト拡張ポイント *PrimitiveUtil()* を呼び出し、実装をトリガーする必要があります。各フローごとに、サービスを 1 回だけ取得し、すべての *LeadtoCashCore* メソッドに同じサービスを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
ソース JSON	オブジェクト	ソースの「見込み顧客から現金へ」エンティティの JSON オブジェクト。 **注:** LeadtoCashCore - createInstance(文字列 headerSysIDs, 文字列 lineSysIDs, ブール値 isTarget, オブジェクト additionalParams, オブジェクト コンテキスト) メソッドを使用して、エンティティのソース JSON を取得します。
ダーティ JSON	オブジェクト	「見込み顧客から現金へ」エンティティの変更されたソース JSON。
additionalParams	オブジェクト	オプション。使用する追加パラメーター。
additionalParams.delta_ignore_attributes	オブジェクト	ソースと dirtyJSON の比較中に無視するテーブル属性。再構成ユースケースのサポートを有効にします。 `{ "<table_name>": [<attribute_name1>, attribute_name2>] }`
additionalParams.delta_ignore_tables	文字列	無視するテーブルの名前とそれに関連する属性。 例： `{ "sn_install_base_sold_product": ["state","unit_price"] }`
additionalParams.loadDisplayValues	ブール	オプション。各属性の表示値をロードするかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• true:属性の表示値のロードを有効にします。 • false:属性の表示値のロードを有効にしません。 デフォルト値：false
context	オブジェクト	オプション。*context.isMultiSelect* パラメーターを使用して複数のインスタンスを呼び出すオプションを提供します。 `"context": [ { "isMultiSelect": "Boolean" }, ]`
context.isMultiSelect	ブール	オプション。インスタンスを作成するために複数のエンティティを入力として渡すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:複数のエンティティを入力として渡すことを有効にします。true の場合、複数の行項目をカンマ区切りリストで渡すことができます。 • false:複数のエンティティを入力として渡すことはできません。API スクリプトに渡すことができる入力は 1 つだけです。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	Description (説明)
JSON オブジェクト	sourceJSON と dirtyJSON の間で発生した変更を含むエンティティレコードの詳細を含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `{ "lineItems": [ { "table": "String", "sys_id": {Object}, "attributes": {Object} }, "lineItems": [ { "table": "String", "sys_id": {Object}, "attributes": {Object} ], "characteristics": [ { "table": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"sys_id": {Object},
	"attributes": {Object},
	"characteristic": {Object},
	"characteristic_option": {Object},
	"sold_product": {Object},
	"action": {Object}
	},
	"_action": "String"
	}
	],
	"_action": "String"
	}
	]
	}</pre>

_アクション	ソース JSON オブジェクトに適用される変更アクション。 可能な値： • add:ソース JSON に情報が追加されました。 • change:ソース JSON で情報が更新されました。 • disconnect:情報がソース JSON から切断されました。 • no-change:ソース JSON に変更は発生しませんでした。 データタイプ：文字列

特性	ヘッダーエンティティレコードの特性。エンティティに基づいてさまざまなフィールドが含まれる場合があります。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"characteristics": [
	{
	"table": "String",
	"sys_id": {Object},
	"attributes": {Object},
	"characteristic": {Object},
	"characteristic_option": {Object},
	"sold_product": {Object},
	"action": {Object}
	},
	"_action": "String"
	}
	]</pre>

characteristics.table	特性レコードのテーブル名。 データタイプ：文字列
characteristics.sys_id	特性レコードのSys_idオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"sys_id": {
	"value": "String"
	}</pre>

characteristics.sys_id.value	特性レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

characteristics.attributes	ヘッダーレコード特性の属性。たとえば、属性の名前と値などです。エンティティに基づいてさまざまなフィールドが含まれる場合があります。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"attributes": {
	"<attribute_name>": {
	"value": "String"
	}</pre>

characteristics.attributes.<attribute_name>	特性に関連付けられた属性の名前。たとえば、属性の名前と値などです。エンティティに基づいてさまざまなフィールドが含まれる場合があります。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"attributes": {
	"<attribute_name>": {
	"value": "String"
	}</pre>

characteristics.attributes.<attribute_name>.value	指定された属性の値。 データタイプ：文字列
characteristics._action	ヘッダーエンティティレコードに関連付けられた特性に適用されるアクション。 可能な値： • add: 特性に情報が追加されました。 • 変更:特性に関する情報が更新されました。 • disconnect:情報が特性から切断されました。 • no-change: 特性に変更は発生しませんでした。

lineItem	エンティティの品目。たとえば、注文品目や見積品目などです。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"lineItems": [
	{
	"table": "String",
	"sys_id": {Object},
	"attributes": {Object}
	},</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"lineItems": [Array],
	"characteristics": [Array],
	"_action": "String"
	}
	],
	"characteristics": [Array],
	"_action": "String"
	}
	],</pre>

lineItems._action	ソース JSON の品目に適用される変更アクション。 可能な値： • add:ソース JSON に情報が追加されました。 • change:ソース JSON で情報が更新されました。 • disconnect:情報がソース JSON から切断されました。 • no-change:ソース JSON に変更は発生しませんでした。

lineItems.attributes	品目の属性。たとえば、属性の名前と値などです。エンティティに基づいてさまざまなフィールドが含まれる場合があります。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"attributes": {
	"<attribute_name>": {
	"value": "String"
	}</pre>

lineitems.attributes.<attribute_name>	品目属性の名前を含むオブジェクト。たとえば、アカウントや連絡先の名前などです。エンティティのさまざまなフィールドを含めることができます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"attributes": {
	"name": {Object}</pre>

lineitems.attributes.<attribute_name>.value	品目属性の名前値。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"attributes": {
	"name": {
	"value": "String"
	}</pre>

lineItems.attributes.account	アイテム属性に関連付けられたアカウントに関する情報。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"account": {
	  "value": "String"
	}</pre>

lineItems.attributes.account	品目属性に関連付けられたアカウントのSys_id。 データタイプ：文字列

lineItems.characteristics	品目に関連付けられた特性のリスト。特性はエンティティによって異なる場合があります。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"characteristics": [
	  {
	  "attributes": {Object},
	  "sys_id": {Object},
	  "table": "String"
	  }
	]</pre>

lineitems.characteristics.action	品目に属する特性レコードに適用されるアクション。 可能な値： • add: 特性に情報が追加されました。 • 変更:特性に関する情報が更新されました。 • disconnect:情報が特性から切断されました。 • no-change: 特性に変更は発生しませんでした。

lineItems.characteristics.attributes	特性レコードに関連付けられた属性に関する情報を含む 1 つ以上のオブジェクト。<属性タイプ>は、特性に関連付けられたレコードまたは機能に基づいて異なる値にすることができます。
	
	たとえば、このオブジェクトには、属性レコードのsys_id、関連する特性レコード、アカウントまたは連絡先、特性オプションレコード、または販売済み製品情報への参照を含めることができます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"attributes": {
	  "<attribute_type>": {Object}
	}</pre>

lineitems.characteristics.field_name	品目に関連付けられた特性レコードの属性名。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"<field_name>": {
	  "value": "String"
	  }</pre>

lineitems.characteristics.value	エンティティの特性レコードに属する属性の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.sys_id	関連する特性レコードのsys_idを含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"sys_id": { "value": "String" }`
lineItems.characteristics.sys_id.value	関連付けられた特性レコードのSys_id値。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティの特性レコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
lineItems.lineItems	親品目の子品目。このオブジェクトの形式は、 *lineItems* パラメーターと同じです。 データタイプ: オブジェクト `"lineItems": [ { "attributes": {Object} "sys_id": {Object}, "table": "String" } ]`
lineItems.sys_id	関連するアイテムレコードのsys_idを含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"sys_id": { "value": "String" }`
lineItems.sys_id.value	関連付けられたアイテムレコードのSys_id値。 データタイプ：文字列
lineItems.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティに関連付けられたアイテムレコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

次の例は、最初に *PrimitiveUtil* ユーティリティ メソッドと *getPrimitiesEPService()* を呼び出し、次にソースおよびターゲットの JSON オブジェクトを指定することによって、*delta()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Utility to invoke Delta API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

//Invoke extension point, picks an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow, the Mapping Config ID  in
 “sn_l2c_core_entity_mapping” table.
var service = util.getPrimitivesEPService('sp_order_macd');

//Invoke delta API with required params
// sourceJSON can be the output of createInstance or null
//dirtyJSON is the modified sourceJSON
var deltaOutput= service.delta(sourceJSON, dirtyJSON);

//Print the returned JSON
gs.info(" deltaOutput: "+JSON.stringify(deltaOutput));

//The returned JSON can be used for subsequent APIs of the flow such as
 Effect and Commit Instance
```

出力 JSON は、販売済み基本製品に複数の品目が追加されたことを示しています。

```
{
  "lineItems": [
    {
      "table": "sn_install_base_sold_product",
      "sys_id": {
        "value": "-1"
      },
      "attributes": {
        "name": {
          "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
        },
        "account": {
          "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
        }
      },
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "-1"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Internet and OTT Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
            {
              "table": "sn_install_base_sold_product",
              "sys_id": {
                "value": "-1"
              },
              "attributes": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "name": {
                  "value": "Solana Sports streaming channel"
                },
                "account": {
                  "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
                }
              },
              "lineItems": [],
              "characteristics": [],
              "_action": "add"
            }
          ],
          "characteristics": [],
          "_action": "add"
        }
      ],
      "characteristics": [
        {
          "table": "sn_prd_pm_product_characteristics",
          "sys_id": {
            "value": "-1"
          },
          "attributes": {
            "characteristic_value": {
              "value": ""
            },
            "characteristic": {
              "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be178"
            },
            "characteristic_option": {
              "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be179"
            },
            "sold_product": {
              "value": "4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf"
            },
            "action": {
              "value": "add"
            }
          },
          "_action": "add"
        }
      ],
      "_action": "add"
    }
  ]
}
```

Example: 複数選択

次の例は、最初に *PrimitiveUtil* と *getPrimitivesEPService* を呼び出し、次に複数の行またはヘッダー ID のソースとターゲットの JSON オブジェクトを指定することによって、複数選択の *delta()* メソッドを形成する方法を示しています。各フローごとに、サービスを 1 回だけ取得し、すべての *LeadtoCashCore* メソッドに同じサービスを使用します。

```
/Utility to invoke Delta API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Set context variable isMultiSelect true to enable multi-select
var context = {"isMultiSelect": true};

//Invoke extension point, picks an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow, the Mapping Config ID  in
 “sn_l2c_core_entity_mapping” table.
var service =
 util.getPrimitivesEPService(‘sn_l2c_cust_flows_sp_to_order’, context);

//Invoke delta API with required params
// sourceJSON can be the output of createInstance for multiple lineIDs or
 headerIDs or null
//dirtyJSON is the modified sourceJSON
var deltaOutput= service.delta(sourceJSON, dirtyJSON);

//Print the returned JSON
gs.info(" deltaOutput: "+JSON.stringify(deltaOutput));

//The returned JSON can be used for subsequent APIs of the flow such as
 Effect and Commit Instance
```

出力 JSON は、販売済み基本製品に複数の品目が追加されたことを示しています。

```
{
  "items": [
    {
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "4e03cda2ec873110f87727ef5883a2cf"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
            {
              "table": "sn_install_base_sold_product",
              "sys_id": {
                "value": "9e0301e2ec873110f87727ef5883a23a"
              },
              "attributes": {
                "name": {
                  "value": "Internet and OTT Bundle"
                },
                "account": {
                  "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
                }
              },
              "lineItems": [],
              "characteristics": [],
              "_action": "disconnect"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
          ],
          "characteristics": [],
          "_action": "disconnect"
        }
      ]
    },
    {
      "lineItems": [
        {
          "table": "sn_install_base_sold_product",
          "sys_id": {
            "value": "036a2349284d0210f877b68370fb2e93"
          },
          "attributes": {
            "name": {
              "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
            },
            "account": {
              "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
            }
          },
          "lineItems": [
            {
              "table": "sn_install_base_sold_product",
              "sys_id": {
                "value": "4b6a2349284d0210f877b68370fb2e9c"
              },
              "attributes": {
                "name": {
                  "value": "Internet and OTT Bundle"
                },
                "account": {
                  "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
                }
              },
              "lineItems": [],
              "characteristics": [],
              "_action": "disconnect"
            }
          ],
          "characteristics": [],
          "_action": "disconnect"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

LeadtoCashCore - effect(オブジェクトsourceJSON、オブジェクトtargetJSON、オブジェクトadditionalParams、オブジェクトコンテキスト)

指定されたエンティティのソース JSON 構造を別のエンティティのターゲット JSON に変換して適用します。その後、 *`commitInstance()`* メソッドを使用して、変更されたエンティティをデータベースにコミットできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

delta() メソッドの出力 JSON を *effect()* リクエストで使用できます。次に、*commitInstance()* を使用して *effect()* JSON 出力をデータベースにコミットし、見込み顧客から現金へワークフローを完了します。

注: *LeadtoCashCore* スクリプトインクルードでは、スクリプトで *effect()* を呼び出す前に、まず LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト) ユーティリティメソッドを使用してスクリプト拡張ポイント *PrimitiveUtil()* を呼び出し、実装をトリガーする必要があります。各フローごとに、サービスを 1 回だけ取得し、すべての *LeadtoCashCore* メソッドに同じサービスを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
ソース JSON	オブジェクト	ソースエンティティの詳細を含む JSON。 注: LeadtoCashCore - createInstance(文字列 headerSysIDs, 文字列 lineSysIDs, ブール値 isTarget, オブジェクト additionalParams, オブジェクト コンテキスト)を使用して、エンティティのソース JSON を取得します。
ターゲット JSON	オブジェクト	ターゲットエンティティの詳細を含む JSON。
additionalParams	オブジェクト	オプション。使用する追加パラメーター。
additionalParams.is_future_state	ブール値	オプション。これを使用して、再構成のユースケースをサポートします。 受け入れ可能な値: • true:辞書フィールド名の代わりにコンテキスト変数キーを提供します。これにより、ソースからターゲットに属性をマッピングする代わりに、ターゲットエンティティからすべての属性を提供できます。 • false:辞書フィールド名を提供します。 デフォルト値：false
context	オブジェクト	オプション。*context.isMultiSelect* パラメーターを使用して複数のインスタンスを呼び出すオプションを提供します。 `"context": [ { "isMultiSelect": "Boolean" }, ]`
context.isMultiSelect	ブール	オプション。インスタンスを作成するために複数のエンティティを入力として渡すかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• true:複数のエンティティを入力として渡すことを有効にします。true の場合、複数の行項目をカンマ区切りリストで渡すことができます。 • false:複数のエンティティを入力として渡すことはできません。API スクリプトに渡すことができる入力は 1 つだけです。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	Description (説明)
JSON オブジェクト	「見込み顧客から現金へ」エンティティの各オブジェクト、ヘッダー品目、子品目、および特性レベルで、ソースからターゲットエンティティの JSON オブジェクトに発生し、適用された変更。 データタイプ: オブジェクト `{ "sys_id": "String", "table": "String", "_glide_action": "String", "_source_object": {Object}, "lineItems": [{ "sys_id": "String", "table": "String", "attributes": { "account": {Object}, "short_description": {Object} }, "_glide_action": "String", "_source_object": { "sys_id": "String", "table": "String" }, "lineItems": [Array], "characteristics": [{ "sys_id": "String", "table": "String", "attributes": {Object} "<attribue_name>": {Object} "value": "String" "_glide_action": "INSERT", "_source_object": {Object} }] }, "state": {Object}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>]
	}</pre>

glide_action	ソース JSON とターゲット JSON の間でアイテムレベルで発生した変更を示します。 可能な値： • DELETE: ソースとターゲットの JSON 構造間の情報が削除されました。 • INSERT:ソースとターゲットの JSON 構造の間に情報が追加されました。 • NO_CHANGE: ソースとターゲットの JSON 構造の間に変更は発生しませんでした。 • UPDATE:ソース構造とJSON構造の間で情報が変更されました。

lineItem	エンティティの品目。たとえば、注文品目や見積品目などです。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"lineItems": [
	{
	"table": "String",
	"sys_id": {Object},
	"attributes": {Object}
	},
	"lineItems": [Array],
	"characteristics": [Array],
	"_action": "String"
	}
	],
	"characteristics": [Array],
	"_action": "String"
	}
	],</pre>

lineItems._glide_action	品目で発生した変更アクション。 可能な_glide_action値: • DELETE: ソースとターゲットの JSON 構造間の情報が削除されました。 • INSERT:ソースとターゲットの JSON 構造の間に情報が追加されました。 • NO_CHANGE: ソースとターゲットの JSON 構造の間に変更は発生しませんでした。 • UPDATE:ソース構造とJSON構造の間で情報が変更されました。
lineItems._source_objec	glide_actionが適用されたソースエンティティレコードの JSON オブジェクト。このオブジェクトはエンティティ間で異なる場合があります。 データタイプ: オブジェクト
lineItems._state	オブジェクトのステータスを表すオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	データタイプ: オブジェクト `"_state": { "value": "String" }`
lineItems._state.value	オブジェクトの現在のステータス。 可能な値： • active: エンティティ・オブジェクトはアクティブ状態です。 • inactive:エンティティオブジェクトはアクティブステータスではありません。 データタイプ：文字列
lineItems.attributes	品目の属性。たとえば、属性の名前と値などです。エンティティに基づいてさまざまなフィールドが含まれる場合があります。 データタイプ: オブジェクト `"attributes": { "<attribute_name>": { "value": "String" }`
lineitems.attributes.<attribute_name>	品目属性の名前を含むオブジェクト。たとえば、アカウントや連絡先の名前などです。エンティティのさまざまなフィールドを含めることができます。 データタイプ: オブジェクト `"attributes": { "name": {Object}`
lineitems.attributes.<attribute_name>.value	品目属性の名前値。 データタイプ: オブジェクト `"attributes": { "name": { "value": "String" }`
lineItems.attributes.account	アイテム属性に関連付けられたアカウントに関する情報。 データタイプ: オブジェクト `"account": { "value": "String" }`
lineItems.attributes.account.value	品目属性に関連付けられたアカウントのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	データタイプ：文字列
lineItems.attributes.short_description	品目属性の簡単な説明。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics	品目に関連付けられた特性のリスト。特性はエンティティによって異なる場合があります。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristics": [ { "attributes": {Object}, "sys_id": {Object}, "table": "String" } ]`
lineItems.characteristics.attributes	特性レコードに関連付けられた属性に関する情報を含む 1 つ以上のオブジェクト。<属性タイプ>は、特性に関連付けられたレコードまたは機能に基づいて異なる値にすることができます。 たとえば、このオブジェクトには、属性レコードのsys_id、関連する特性レコード、アカウントまたは連絡先、特性オプションレコード、または販売済み製品情報への参照を含めることができます。 データタイプ: オブジェクト `"attributes": { "<attribute_type>": {Object} }`
lineItems.characteristics.attributes.<attribute_type>	通常は関連付けられた属性レコードのsys_idですが、関連付けられた属性タイプを説明する意味のあるテキスト文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.attributes.<field_name>	品目に関連付けられた特性レコードの属性名。 データタイプ: オブジェクト `"<field_name>": { "value": "String" }`
lineItems.characteristics.attributes.<field_name>.value	エンティティの特性レコードに属する属性の値。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.sys_id	関連する特性レコードのsys_idを含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)

	<pre>"sys_id": {
	  "value": "String"
	 }</pre>

lineItems.characteristics.value	関連付けられた特性レコードのSys_id値。 データタイプ：文字列
lineItems.characteristics.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティの特性レコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

lineItems.lineItems	親品目の子品目。このオブジェクトの形式は、 *lineItems* パラメーターと同じです。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"lineItems": [
	    {
	      "attributes": {Object}
	      "sys_id": {Object},
	      "table": "String"
	      }
	]</pre>

lineItems.sys_id	関連するアイテムレコードのsys_idを含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"sys_id": {
	  "value": "String"
	}</pre>

lineItems.sys_id.value	関連付けられたアイテムレコードのSys_id値。 データタイプ：文字列
lineItems.table	「見込み顧客から現金へ」エンティティに関連付けられたアイテムレコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
_source_object	変更が適用されたソース JSON オブジェクト。オブジェクトの構造はエンティティ間で異なる場合があります。 データタイプ: オブジェクト
sys_id	エンティティのSys_id。 データタイプ：文字列
テーブル	エンティティが見つかるテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	データタイプ：文字列

次の例は、 *delta()* メソッドの出力を使用して変換ロジックを適用する方法を示しています。

注: ソースの JSON 形式のみが変更され、出力は両方で同じままであるため、同じスクリプトが単一選択と複数選択の両方のユースケースに適用できます。複数選択のユースケースでは、単一のヘッダーが作成され、すべての品目が同じヘッダーに追加されます。

```
//Utility to invoke effect API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();

//Invoke extension point, picks an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow, the Mapping Config ID  in
 “sn_l2c_core_entity_mapping” table.
var service = util.getPrimitivesEPService('sp_order_macd');

//Invoke effect API with required params
var effectOutput = service.effect(deltaOutput, null);

//Print the returned JSON
gs.info("effectOutput: " + JSON.stringify(effectOutput));

//The returned JSON can be used in the subsequent commitInstance()
 method.
```

出力:

```
{
  "sys_id": "-1",
  "table": "sn_ind_tmt_orm_order",
  "_glide_action": "INSERT",
  "_source_object": {},
  "lineItems": [
    {
      "sys_id": "-1",
      "table": "sn_ind_tmt_orm_order_line_item",
      "attributes": {
        "account": {
          "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
        },
        "short_description": {
          "value": "Quadplay Home Tech Hub Bundle"
        }
      },
      "_glide_action": "INSERT",
      "_source_object": {
        "sys_id": "-1",
        "table": "sn_install_base_sold_product"
      },
      "lineItems": [
        {
          "sys_id": "-1",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "table": "sn_ind_tmt_orm_order_line_item",
        "attributes": {
          "account": {
            "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
          },
          "short_description": {
            "value": "Internet and OTT Bundle"
          }
        },
        "_glide_action": "INSERT",
        "_source_object": {
          "sys_id": "-1",
          "table": "sn_install_base_sold_product"
        },
        "lineItems": [
          {
            "sys_id": "-1",
            "table": "sn_ind_tmt_orm_order_line_item",
            "attributes": {
              "account": {
                "value": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674"
              },
              "short_description": {
                "value": "Solana Sports streaming channel"
              }
            },
            "_glide_action": "INSERT",
            "_source_object": {
              "sys_id": "-1",
              "table": "sn_install_base_sold_product"
            },
            "lineItems": [],
            "characteristics": []
          }
        ],
        "characteristics": []
      }
    ],
    "characteristics": [
      {
        "sys_id": "-1",
        "table": "sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value",
        "attributes": {
          "characteristic_option": {
            "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be179"
          },
          "characteristic": {
            "value": "4f31999fd0a63110f8770dbf976be178"
          },
          "characteristic_option_value": {
            "value": ""
          }
        },
        "_glide_action": "INSERT",
        "_source_object": {
          "sys_id": "-1",
          "table": "sn_prd_pm_product_characteristics"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
          }
        ]
      },
    "state": {
        "value": "active"
}
    ],
}
```

LeadtoCashCore - getPrimitivesEPService(文字列 sourceToTargetConfigID, オブジェクトコンテキスト)

PrimitiveUtil() ユーティリティメソッドをトリガーします。

LeadtoCashCore スクリプトインクルードで使用可能なメソッドを使用するには、まずスクリプト内でスクリプト拡張ポイント *PrimitiveUtil()* を呼び出し、*getPrimitivesEPService()* ユーティリティメソッドを使用して実装をトリガーする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sourceToTargetConfigID	文字列	ソースからターゲットへのマッピングのマッピング構成 ID。「見込み顧客から現金へ」エンティティマッピング [sn_l2c_core_entity_mapping] テーブルにあります。
context	オブジェクト	オプション。属性値を表示し、一度に複数のインスタンスを呼び出すための追加のパラメーターオプション。
context.loadDisplayValue	ブール	オプション。各属性の表示値をロードするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:属性の表示値のロードを有効にします。 • false:属性の表示値のロードを有効にしません。 デフォルト値：false
context.isMultiSelect	ブール	オプション。インスタンスを作成するために複数のエンティティを入力として渡すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:複数のエンティティを入力として渡すことを有効にします。true の場合、複数の行項目をカンマ区切りリストで渡すことができます。 • false:複数のエンティティを入力として渡すことはできません。API スクリプトに渡すことができる入力は 1 つだけです。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、 *PrimitiveUtil()* を呼び出し、Lead To Cash エンティティマッピング [sn_l2c_core_entity_mapping] テーブルのマッピング構成 ID である sn_l2c_cust_flows_sp_to_order に基づいて実装を選択します。

```
//Utility to invoke createInstance API
var util = new sn_l2c_core.PrimitiveUtil();
var context = {"isMultiSelect": true}; // Set the context.isMultiSelect
 parameter as true to enable multi-select use cases

//Invokes the extension point and specifies an implementation based on
 sourceToTargetConfigID of a L2C flow.
var service =
 util.getPrimitivesEPService('sn_l2c_cust_flows_sp_to_order', context)
```

Line - スコープ指定、グローバル

PDF に線を描画するメソッドを使用して、Line オブジェクトを作成します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

Line - Line()

新しい *Line* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、 *Line* オブジェクトを作成する方法を示します。

```
var line = new sn_pdfgeneratorutils.Line();
```

Line –drawLine(ドキュメント document, 数字 pageNo, 数字 xPos, 数字 yPos, 数字 width, 数字 lineWidth)

ドキュメントのページに線を配置します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
Document	ドキュメント	ドキュメントオブジェクトの名前。
pageNo	数字	線を配置するページ番号。
xPos	数字	ページ内の線を配置する X 座標領域。
yPos	数字	ページ内の線を配置する Y 座標領域。
width	数字	ページ内の線を描画する幅の領域。値はポイント単位です。
lineWidth	数字	オプション。線の太さの値 (単位：ポイント)。 デフォルト値：1

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントのページの下マージンに線を作成する方法を示します。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var num = 1;
var xpos = 100;
var ypos = 100;
var width = 450;
var linewidth = 2.5;

document.addNewPage();

var line = new sn_pdfgeneratorutils.Line();

line.drawLine(document, num, xpos, ypos, width, linewidth);

document.saveAsAttachment("incident", "<sys_id>", "line.pdf");
```

Line – setColor(色 color)

線の色を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに線を作成して、線の色を設定する方法を示します。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var num = 1;
var xpos = 100;
var ypos = 100;
var width = 450;
var linewidth = 2.5;

var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.5,0.5,0.8]);   //given as
 array of RGB values;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.addNewPage();

var line = new sn_pdfgeneratorutils.Line();

line.setColor(color);

line.drawLine(document, num, xpos, ypos, width, linewidth);

document.saveAsAttachment("incident", "<sys_id>", "lineWithColor.pdf");
```

LinterCheckAstNode - スコープ指定、グローバル

LinterCheckAstNode API は、リンターチェックで抽象構文ツリー (AST) ノードの詳細を取得するためのメソッドを提供します。

この API は インスタンススキャン (com.glide.instance_scan) プラグインに含まれており、sn_instance_scan 名前空間で実行されます。詳細については、「Instance Scan」を参照してください。

このクラスのメソッドを使用して、[リンターチェック] フォームの [スクリプト] フィールドにコードを追加することで、AST ノードタイプのリンターチェックを実行します。詳細については、「高度なリンターチェックスクリプト」を参照してください。

リンターチェックを作成して、スクリプトの問題を特定します。リンターチェックがレコードで実行されると、そのコードの抽象構文ツリーが生成されます。抽象構文ツリーを使用して、コードの問題を分析できます。

この API のメソッドにアクセスするには、インスタンススキャン *engine.rootNode* オブジェクトを使用します。

LinterCheckAstNode - getNameIdentifier()

名前ノードタイプの文字列値を取得します。名前ノードは、関数名や変数名など、キーワードではない単純な識別子を表します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リンターオブジェクトが名前ノードタイプの場合は、名前を文字列として返します。それ以外の場合は null です。

次の例では、リンターチェックで *Findings* API の incrementWithNode() メソッドを使用しています。このメソッドは、 リンターチェックフォーム の [スクリプト] フィールドで使用します。

```
(function(engine) {
  engine.rootNode.visit(function(node) {
    if (node.getTypeName() === "NAME" &&
        node.getNameIdentifier() === "soughtFunction" &&
        node.getParent().getTypeName() === "CALL") {
      engine.finding.incrementWithNode(node);
    }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  });
})(engine);
```

LinterCheckAstNode - getParent()

アクセスされたノードの親ノードオブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクセスされたノードの親ノードオブジェクト。

次の例では、リンターチェックで *Findings* API の incrementWithNode() メソッドを使用しています。このメソッドは、 リンターチェックフォーム の [スクリプト] フィールドで使用します。

```
(function(engine) {
  engine.rootNode.visit(function(node) {
    if (node.getTypeName() === "NAME" &&
        node.getNameIdentifier() === "soughtFunction" &&
        node.getParent().getTypeName() === "CALL") {
      engine.finding.incrementWithNode(node);
    }
  });
})(engine);
```

LinterCheckAstNode - getTypeName()

アクセスされたノードのタイプを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクセスされたノードのタイプ。たとえば、ソースの関数呼び出しは、タイプ名「`CALL`」のノードとしてトークン化されます。

次の例では、リンターチェックで *Findings* API の incrementWithNode() メソッドを使用しています。このメソッドは、 リンターチェックフォーム の [スクリプト] フィールドで使用します。

```
(function(engine) {
  engine.rootNode.visit(function(node) {
    if (node.getTypeName() === "NAME" &&
        node.getNameIdentifier() === "soughtFunction" &&
        node.getParent().getTypeName() === "CALL") {
      engine.finding.incrementWithNode(node);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  });
})(engine);
```

LinterCheckAstNode - visit(関数 callbackFunction)

このノードから始まるサブツリー内の各ノードにアクセスし、指定されたコールバック関数を各ノードで実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callbackFunctio	関数	このノードのサブツリー内の各ノードで実行されるコールバック関数。このコールバック関数は、アクセス先ノードとなるパラメーターとしてノードを取ります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、リンターチェックで *Findings* API の incrementWithNode() メソッドを使用しています。このメソッドは、 リンターチェックフォーム の [スクリプト] フィールドで使用します。

```
(function(engine) {
  engine.rootNode.visit(function(node) {
    if (node.getTypeName() === "NAME" &&
        node.getNameIdentifier() === "soughtFunction" &&
        node.getParent().getTypeName() === "CALL") {
      engine.finding.incrementWithNode(node);
    }
  });
})(engine);
```

logger: グローバル

ロガー API は、メールログにメッセージを追加する受信メールアクションを提供します。

情報、警告、およびエラーのメッセージを追加するメソッドを提供します。追加されるメッセージでは、送信元が `email.<Sys ID of incoming email>` に設定されます。

logger - log(文字列 msg)

指定されたメッセージをメールログに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	メールログに追加するテキスト。情報タイプのメッセージである必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このコード例では、sys_user テーブルからメールを照会し、送信者情報に基づいて適切な logger メソッドを呼び出します。

```
var grUser = new GlideRecord("sys_user");
grUser.addQuery("email", email.from);
grUser.query();
  if (grUser.next()) {
    if (grUser.user_name) {
      logger.log("Sender found: " + email.from); //Append information
 message to the email log
      createInc(grUser.sys_id);
    } else {
       logger.logWarning("Sender: " + email.from + " " + "found but no
 userID found, please take necessary actions"); //Append warning message
 to the email log.
       createInc(grUser.sys_id);
    }
  } else {
      logger.logError("Sender is not present in the system hence action
 aborted"); //Append error message to the email log.
      current.setAbortAction(true);
  }
```

logger - logError(文字列 **msg)**

指定されたエラーメッセージをメールログファイルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	メールログに追加するエラーメッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例では、sys_user テーブルからメールを照会し、送信者情報に基づいて適切な logger メソッドを呼び出します。

```
var grUser = new GlideRecord("sys_user");
grUser.addQuery("email", email.from);
grUser.query();
  if (grUser.next()) {
    if (grUser.user_name) {
      logger.log("Sender found: " + email.from); //Append information
 message to the email log
      createInc(grUser.sys_id);
    } else {
       logger.logWarning("Sender: " + email.from + " " + "found but no
 userID found, please take necessary actions"); //Append warning message
 to the email log.
       createInc(grUser.sys_id);
    }
  } else {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
     logger.logError("Sender is not present in the system hence action
aborted"); //Append error message to the email log.
     current.setAbortAction(true);
 }
```

logger - logWarning(文字列 msg)

指定された警告メッセージをメールログファイルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	メールログに追加する警告メッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例では、sys_user テーブルからメールを照会し、送信者情報に基づいて適切な logger メソッドを呼び出します。

```
var grUser = new GlideRecord("sys_user");
grUser.addQuery("email", email.from);
grUser.query();
  if (grUser.next()) {
    if (grUser.user_name) {
      logger.log("Sender found: " + email.from); //Append information
 message to the email log
      createInc(grUser.sys_id);
    } else {
       logger.logWarning("Sender: " + email.from + " " + "found but no
 userID found, please take necessary actions"); //Append warning message
 to the email log.
       createInc(grUser.sys_id);
    }
  } else {
     logger.logError("Sender is not present in the system hence action
aborted"); //Append error message to the email log.
     current.setAbortAction(true);
  }
```

LSOFParser - グローバル

LSOFParser スクリプトインクルードは、*lsof* コマンドの出力を構文解析するためのメソッド `lsof -i4TCP -n -P -F pcnfT` を提供します。

lsof 出力を解析する必要がある場合は、このスクリプトインクルードをディスカバリースクリプトとともに使用します。

LSOFParser - error(文字列 msg)

指定されたエラーメッセージを生成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	エラーメッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - initFileDescriptor()

ファイル記述子のプロセスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - initProcess()

パーサーのプロセスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_c(文字列 **line)**

現在のコマンドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
line	文字列	コマンド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_endFileDescriptor()

ファイル記述子のプロセスを閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_endProcess()

パーサーのプロセスを閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_f(文字列 **line)**

現在のファイル記述子を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
line	文字列	ファイル記述子

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_n(文字列 **line)**

現在のアドレスを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
line	文字列	アドレス

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_p (文字列 **line)**

現在の PID を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
line	文字列	PID

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - on_T(文字列 **line)**

現在のステータスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
line	文字列	ステータス

返される内容

タイプ	説明
なし	

LSOFParser - parse(文字列 **lsofOutput)**

指定された `lsof` 出力を解析します。

結果は接続とリスナーの配列で確認できます。エラーは *`errorString()`* と *`isValid()`* に記録されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
lsofOutput	文字列	`lsof` の出力

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

メッセージング - スコープ対象

Messaging API は、サードパーティのメッセージングアプリケーションでアクションを実行するためのメソッドを提供します。

このクラスでは、Messaging Notification プラグイン (com.glide.notification.messaging) と、Slack や Teams などのサードパーティのメッセージングアプリケーションとのデータ連携が必要です。ここで説明するメソッドは、メッセージアクション [messaging_observer_handler] テーブルのアクションスクリプトで使用します。

`sn_notification` 名前空間を使用して *Messaging* API にアクセスします。

メッセージング - send(GlideRecord messagingApplication, String recipient, GlideRecord messagingContent, GlideRecord target)

メッセージングイベントに応答して、カスタムメッセージをサードパーティアプリケーションに送信します。たとえば、Now Actions アプリケーションのインストール時に、カスタムの歓迎メッセージを Slack のチャンネルに送信できます。

このメソッドは、メッセージアクション [messaging_observer_handler] テーブルのアクションスクリプトで使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
messagingApplication	GlideRecord	メッセージングエンティティ [messaging_application] テーブルからメッセージを送信するサードパーティアプリケーション。
recipient	文字列	テキストメッセージの受信者。インスタンスが受信メッセージを受け取ると、受信ペイロードにある Slack のチャンネル、チーム、または個々のユーザー ID に応答を送信できます。
messagingContent	GlideRecord	メッセージングコンテンツ [messaging_content] テーブルから送信するメッセージコンテンツ。
target	GlideRecord	メッセージの動的フィールド値を定義するために使用するレコード。テーブルは、メッセージングコンテンツレコードの [ターゲットテーブル] フィールドと一致する必要があります。メッセージングコンテンツレコードがターゲットテーブルを使用しない場合は、値を null に設定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Send a message to a Teams user
var app = new GlideRecord('messaging_application');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
app.get('1f2d26527f4213007f005212bdfa9102');

var content = new GlideRecord('messaging_content');
content.get('17f1f9617320130082999cfd7bf6a706');

sn_notification.Messaging.send(app,
 '29:1ojsgDg1xuA_jZ70PDI2_6E7mn7P6Mc0wK7z0n2lblL-SaNXYVI1cR7i6qncllAGvdmh
y2-kXh76IEVpUHXdz3w', content, null);

//Send a message to a Slack user
var app = new GlideRecord('messaging_application');
app.get('5d2e38c07f6113007f005212bdfa9160');

var content = new GlideRecord('messaging_content');
content.get('69c48ba77310130082999cfd7bf6a7af');

sn_notification.Messaging.send(app, 'U8P706QFQ', content, null);

//Send a message to a Slack channel
var app = new GlideRecord('messaging_application');
app.get('5d2e38c07f6113007f005212bdfa9160');

var content = new GlideRecord('messaging_content');
content.get('69c48ba77310130082999cfd7bf6a7af');

sn_notification.Messaging.send(app, 'CA6232N65', content, null);
```

MetricInfo：スコープ指定、グローバル

MetricInfo API には、メトリクスがメトリックベースデータベースにあるかどうかを確認し、存在する場合はその保持ポリシーを報告するメソッドが用意されています。保持ポリシーは数分で報告されます。

このクラスは、スコープ対象のサーバースクリプトおよびグローバルサーバースクリプトで呼び出すことができます。*MetricInfo* クラスを使用する場合は、`sn_clotho`名前空間識別子を使用します。

このクラスは、 メトリックベース 利用できません

MetricInfo – MetricInfo(文字列 **table**, 文字列 **metric)**

MetricInfo クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	時系列測定基準 [sys_metric] テーブルのリストに入っている測定基準テーブル名。
metric	文字列	時系列測定基準 [sys_metric] テーブルのリストに入っている測定基準フィールド名。このフィールド名をテーブル名にマッピングする必要があります。

次の例は、ドローン [mb_demo_drone] テーブルに関連付けられた高度 (mb_demo_mt_altitude) 測定基準を使用して *MetricInfo* オブジェクトを構築する方法を示しています。

```
var metricInfo =  new
 sn_clotho.MetricInfo('mb_demo_drone','mb_demo_mt_altitude');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MetricInfo – getRetentionSchedulesInMinutes()

指定された測定基準の保持ポリシースケジュールを取得します。

メトリックベース保持ポリシー も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	保持ポリシー [sys_metric_retention_policy] テーブルのリストにある指定された測定基準の保持ポリシースケジュール (単位：分) を表すキーと値のペアを含む JSON オブジェクト。 測定基準に属する保持ポリシースケジュールごとに、保持期間をサンプリング期間にマッピングする対応するキーと値のペアがオブジェクトに含まれています。 • キー – 保持ポリシースケジュールの保持期間 (単位：分)。 データタイプ：文字列 • 値 – 保持ポリシースケジュールのサンプリング期間 (単位：分)。 データタイプ：数値 `"<retentionDuration>": <samplingPeriod>`

次の例は、保持ポリシースケジュールをループしてログメッセージをコンパイルする方法を示しています。メッセージには、分単位から日単位に変換された保持期間と、それに対応するサンプリング期間が含まれています。

```
// Function to convert minutes to days
function toDays(minutes) {
 return minutes / 60 / 24;
};

var metricInfo = new
 sn_clotho.MetricInfo('mb_demo_drone','mb_demo_mt_altitude');
var schedules = metricInfo.getRetentionSchedulesInMinutes();
var log = '';

// Compiles a log message with retention schedules
for (var duration in schedules) {
 log += "Retention duration is: " + toDays(duration) +
 " days, Sampling period is: " + schedules[duration] + " minutes\n";
}

gs.info(log);
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Retention duration is: 8 days, Sampling period is: 1 minutes
Retention duration is: 94 days, Sampling period is: 10 minutes
Retention duration is: 397 days, Sampling period is: 60 minutes
```

MetricInfo – isValid()

指定した測定基準が、*MetricInfo* オブジェクトで定義されているテーブルにマッピングされているかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	*MetricInfo* オブジェクトで指定した測定基準が指定したテーブルにマッピングされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：指定した測定基準は有効です。 • false：指定した測定基準またはテーブルが存在しないか、測定基準がテーブルにマッピングされていません。

次の例は、高度 (mb_demo_mt_altitude) 測定基準がドローン [mb_demo_drone] テーブルにあるかどうかを確認し、存在する場合はその保持スケジュールを返す方法を示しています。出力例は、サンプリング間隔にマッピングされたポリシー期間 (単位：分) を反映しています。

```
var metricInfo =  new
 sn_clotho.MetricInfo('mb_demo_drone','mb_demo_mt_altitude');
if (metricInfo.isValid())
{
  var retentionSchedules = metricInfo.getRetentionSchedulesInMinutes();
  gs.info(JSON.stringify(retentionSchedules, null, 2));
}
else
{
  gs.info("metricInfo is invalid");
}
```

出力：

```
{
  "11520": 1,
  "135360": 10,
  "571680": 60
}
```

MIDServer - グローバル

MIDServer スクリプトインクルードは、MID サーバーの概念をカプセル化するメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Ajax を使用して MID サーバー を管理するには、サーバースクリプトでこれらのメソッドを使用します。

MIDServer - getByName(文字列 name)

指定された MID サーバーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	MID サーバーの名前

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	要求された MID サーバーのレコード。

次の例は、MID サーバーの詳細にアクセスして表示する方法を示します。

```
// Get a mid server object by name
var ms = MIDServer.getByName("windows_mid");

// Stringify the object for display purposes
gs.info(JSON.stringify(ms, null, 2));

// Show the value of each API property
gs.info('hostmane ' + ms.hostname);
gs.info('hostOS ' + ms.hostOS);
gs.info('ip ' + ms.ip);
gs.info('name ' + ms.name);
gs.info('routerIP ' + ms.routerIP);
gs.info('status ' + ms.status);
gs.info('sysID ' + ms.sysID);
gs.info('url ' + ms.url);
gs.info('version ' + ms.version);
gs.info('windowsDomain ' + ms.windowsDomain);
```

出力：

```
*** Script: {
  "valid": true,
  "sysID": "3cb25f0f874b3410c3a99999cebb35ba",
  "name": "windows_mid",
  "url": null,
  "hostname": "myHostname.service-now.com",
  "hostOS": "Windows",
  "version": "fixed",
  "ip": "10.11.128.184",
  "routerIP": "10.11.128.1",
  "network": "10.11.128.0/22",
  "windowsDomain": null,
  "status": "Up",
  "validated": "true",
  "userName": "MID_Profile"
}
*** Script: hostname myHostname.service-now.com
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
*** Script: hostOS Windows
*** Script: ip 10.11.128.184
*** Script: name windows_mid
*** Script: routerIP 10.11.128.1
*** Script: status Up
*** Script: sysID 3cb25f0f874b3410c3a99999cebb35ba
*** Script: url null
*** Script: version fixed
*** Script: windowsDomain null
```

MIDServer - getDefault(DiscoverySchedule schedule)

指定されたスケジュールに関連付けられている MID Server (同じ名前の MID Server) を返します。関連付けられた MID サーバーがない場合は、ecc_agent テーブル内で次にある MID サーバーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedule	DiscoverySchedule	検出スケジュール

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	MID サーバー

MIDServer - getForPing(DiscoverySchedule schedule, DiscoveryRange range)

指定されたスケジュールと範囲が設定された MID サーバーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedule	DiscoverySchedule	検出スケジュール
range	DiscoveryRange	検出範囲セット

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	MID サーバー

MIDServer - hostname

MID サーバーのホストの名前。

フィールド

名前	タイプ	説明
hostname	文字列	MID サーバーのホストの名前。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

q

MIDServer - hostOS

MID サーバーのホストのオペレーティングシステム。

フィールド

名前	タイプ	説明
hostOS	文字列	MID サーバーのホストのオペレーティングシステム。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - ip

MID サーバーのホストの IP アドレス。

フィールド

名前	タイプ	説明
ip	文字列	MID サーバーのホストの IP アドレス。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - name

MID サーバーの名前。

フィールド

名前	タイプ	説明
name	文字列	MID サーバーの名前

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - network

MID サーバーのホストがあるネットワーク。

フィールド

名前	タイプ	説明
ネットワーク	文字列	MID サーバーのホストがあるネットワーク。「10.10.10.0/24」や「10.10.10.0/255.255.255.0」など。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - routerIP

MID Server ホストのデフォルトルーターの IP アドレス。

フィールド

名前	タイプ	説明
routerIP	文字列	MID Server ホストのデフォルトルーターの IP アドレス。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - status

MID サーバーのステータス (「稼働中」か「ダウン」か)。

フィールド

名前	タイプ	説明
status	文字列	MID サーバーのステータス (「稼働中」か「ダウン」か)。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```


MIDServer - sysID

MID Server レコードの sys_id。

フィールド

名前	タイプ	説明
sysID	文字列	MID Server レコードの sys_id。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

自動翻訳

MIDServer - url

MID サーバーがインスタンスに接続するために使用する URL。

フィールド

名前	タイプ	説明
url	文字列	MID サーバーがインスタンスに接続するために使用する URL。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - version

MID サーバーのバージョン (WAR 名)。

フィールド

名前	タイプ	説明
version	文字列	MID サーバーのバージョン (WAR 名)。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServer - windowsDomain

MID サーバーのホストの Windows ドメイン (Windows マシンの場合)。

フィールド

名前	タイプ	説明
windowsDomain	文字列	MID サーバーのホストの Windows ドメイン。

次の例は、使用可能な MID サーバーのすべてのパラメーターを実行して返す方法を示しています。

```
var getMIDServerAttributes = new MIDServer(<mid_sys_id>); //Pass the sys
 id of the MID server record
var midServerHostname = getMIDServerAttributes.hostname; //would return
 the Host name of the MID Server Record
var midServerHostOS = getMIDServerAttributes.hostOS; // would return the
 Host OS of the MID Server Record
var midServerIP = getMIDServerAttributes.ip; //would return the IP of the
 MID Server Record
var midServerName = getMIDServerAttributes.name; //would return the Name
 of the MID Server Record
var midServerRouterIP = getMIDServerAttributes.routerIP; //would return
 the router IP of the MID Server Record
var midServerStatus = getMIDServerAttributes.status; //would return the
 status of the MID Server Record (UP or Down)
var midServerSysID = getMIDServerAttributes.sysID; // Would return the
 Sys ID of the MID server record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midServerURL = getMIDServerAttributes.url; // Would return the URL of
 the MID server record
var midServerVersion = getMIDServerAttributes.version; // Would return
 ServiceNow release version of the MID server record
var midServerwindowsDomain = getMIDServerAttributes.windowsDomain; //
 Would return windows domain of the MID server record

gs.info("\nMID Server Host Name - "+ midServerHostname +"\nMid Server
 Host OS - " + midServerHostOS + "\nMID Server IP - "+ midServerIP + "
\nMID Server Name - " + midServerName + "\nMID Server Router IP - " +
 midServerRouterIP + "\nMID Server Status - " +  midServerStatus  +
"\nMID Server SYS ID - " + midServerSysID  + "\nMID Server URL - " +
 midServerURL  + "\nMID Server Version - " + midServerVersion +
"\nMID Server Windows Domain - " + midServerwindowsDomain);
```

出力：

```
MID Server Host Name - midSvrName.service-now.com
Mid Server Host OS - Windows
MID Server IP - 10.11.999.999
MID Server Name - Windows MID
MID Server Router IP - 10.11.111.1
MID Server Status - Up
MID Server SYS ID - <mid_sys_id>
MID Server URL - null
MID Server Version - fixed
MID Server Windows Domain - null
```

MIDServerAjax - グローバル

MIDServerAjax スクリプトインクルードは、テストプローブをMID サーバー

AJAX を使用して MID サーバー をテストするサーバースクリプトで使用します。

MIDServerAjax - MIDServerAjax()

MIDServerAjax のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

MIDServerAjax - ajaxFunction_testProbe()

テストプローブを MID サーバーに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エージェント名、テストプローブ ID、トピック、名前、およびソースが含まれます。

```
var msaj = new MIDServerAjax();
msaj.ajaxFunction_testProbe();
```

MIDServerCluster - グローバル

*MIDServerCluster*スクリプトインクルードは、指定されたMID サーバーのMID サーバークラスターを検索し、必要に応じてジョブを再割り当てする方法を提供します。

MID サーバーエージェントが稼働している場合、このクラスは、元のエージェントが属する負荷分散クラスター内のすべてのMID サーバー (元のエージェントを含む) を収集します。MID サーバーエージェントがダウンし、クラスターが負荷分散されている場合、クラスは他のエージェントを収集します。サーバーのエージェントが停止中で、クラスターがフェイルオーバーしている場合は、次のフェイルオーバーエージェントが収集されます。その後、クラスはMID サーバーの最終リスト内のMID サーバーをランダムに返します。

サーバースクリプトで使用して、 MID サーバー クラスター情報を取得します。

MIDServerCluster：**MIDServerCluster(GlideRecord agent)**

メソッドの簡単な説明。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agent	GlideRecord	MID Server エージェント

返される内容

タイプ	説明
なし	

MIDServerCluster - clusterExists()

クラスターが存在するかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クラスターが存在する場合は true、存在しない場合は false。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var midgr = new GlideRecord("ecc_agent");
midgr.addQuery("name", "a11winmid");
midgr.query();
midgr.next();

var mscl = new MIDServerCluster(midgr);
gs.print(mscl.clusterExists());
```

出力：true

MIDServerCluster - getClusterAgent()

クラスターエージェントを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エージェント名

```
// Assuming "mid1" and "mid2" are in a cluster
var midgr = new GlideRecord("ecc_agent");
midgr.addQuery("name", "mid1");
midgr.query();
midgr.next();

var mscl = new MIDServerCluster(midgr);
gs.print(mscl.getClusterAgent());
```

出力：mid2

MIDServerFileSync - グローバル

MIDServerFileSync スクリプトインクルードは、MID サーバー同期ファイル (ecc_agent_sync_file) のインスタンスであるテーブルの添付ファイルに変更があるかどうかを確認し、変更がある場合はMID サーバーに変更を通知するメソッドを提供します。

同期テーブルを拡張するテーブルは、 MID サーバー JAR ファイル (ecc_agent_jar) と MID サーバー MIB ファイル (ecc_agent_mib) です。

サーバースクリプトで使用して MID サーバーに通知します。

MIDServerFileSync - MIDServerFileSync()

MIDServerFileSync のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MIDServerFileSync：notifyMIDServers(文字列 **table)**

指定したテーブルで MID Server 同期ファイルのインスタンスである添付ファイルに変更があるかどうかを確認し、変更がある場合は MID サーバーに通知します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	チェックするテーブル

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msfs = new MIDServerFileSync();
msfs.notifyMIDServers('ex.table.name');
```

MIDServerFinder - グローバル

MIDServerFinder スクリプトインクルードは、指定された IP アドレスのMID サーバーのリストを検索するメソッドを提供します。

サーバースクリプトで使用して、 MID サーバー リストを取得します。

MIDServerFinder - MIDServerFinder()

MIDServerFinder のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

MIDServerFinder - getMIDServers()

指定された範囲と機能に対して利用可能な MID サーバーの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	MID Server 名のアレイ。利用可能な MID サーバーがない場合は、空のアレイを返します。

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setRanges('10.10.10.1-10.10.11.254');
var msnames = msf.getMIDServers();

for(var i=0; i<msnames.length; i++) {
  gs.print(msnames[i]);
};
```

MIDServerFinder - getMIDServersBySysId()

指定された範囲と機能に対して利用可能な MID サーバーの sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	MID サーバーの sys_id のアレイ。利用可能な MID サーバーがない場合は、空のアレイを返します。

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setRanges('10.10.10.1-10.10.11.254');
var msids = msf.getMIDServersBySysId();

for(var i=0; i<msids.length; i++) {
  gs.print(msids[i]);
};
```

MIDServerFinder - getStatusMessage()

ファインダー操作のステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ステータスメッセージ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var msf = new MIDServerFinder();
gs.print(msf.getStatusMessage());
```

MIDServerFinder - setActive(ブーリアン flag)

アクティブな MID Server と非アクティブな MID サーバーのどちらを検索するか設定します。デフォルトでは、このメソッドで非アクティブが指定されていない限り、アクティブな MID サーバーが検索されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フラグ	ブーリアン	true の場合、非アクティブな MID サーバーを検索します。false の場合、非アクティブな MID サーバーを検索しません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setActive('true');
```

MIDServerFinder - setCapabilities(アレイ capabilities)

検索する際のテクノロジーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
capabilities	アレイ	機能のリストが含まれます。例：`capabilities = ["ssh","wmi","snmp",{"os_domain":"disco"},{"phase":1}];`

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setRanges('10.10.10.1-10.10.11.254');
var capab = ["ssh","wmi","snmp"];
msf.setCapabilities(capab);
```

MIDServerFinder - setDebug(ブーリアン onOrOff)

デバッグをオンまたはオフにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOrOff	ブーリアン	デバッグをオンにする場合は true、オフにする場合は false。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setDebug('true');
```

MIDServerFinder - setRanges(文字列 ranges)

検索する IP アドレスの範囲を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ranges	文字列	次のいずれかの形式のカンマ区切りリスト。 • IP アドレス (10.10.10.1、10.10.10.2) • IP ネットワーク (10.10.10.0/23) • IP 範囲 (10.10.10.1 ～ 10.10.11.254)

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setRanges('10.10.10.1-10.10.11.254');
```

MIDServerFinder - setRangesByIPOrHostname(文字列 ipOrHostname)

入力が単一の IP かホスト名かを判別し、1 つまたは複数の IP を setRanges() メソッドに渡します。

ipOrHostname の値が IP アドレスの場合は、その値が *setRanges()* メソッドに渡されます。値がホスト名の場合は、DNS テーブル (cmdb_ip_address_dns_name) を検索してホスト名の解決を試みます。その結果 (1 つの IP または複数の IP) が *setRanges()* メソッドに渡されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipOrHostname	文字列	IP アドレス、IP 範囲、またはホスト名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msf = new MIDServerFinder();
msf.setRangesByIPOrHostname('10.10.10.1-10.10.11.254');
```

MIDServerManage - グローバル

MIDServerManage スクリプトインクルードは、開始、停止、アップグレード、ログの取得、テストプローブの送信、およびシステムメッセージの送信のメッセージを送信することにより、MID サーバーを管理できるメソッドを提供します。

MID サーバーにメッセージを送信するサーバー内スクリプトで使用します。

MIDServerManage - MIDServerManage()

MIDServerManage のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

MIDServerManage - grab_logs(文字列 agentName, 文字列 logs)

指定された MID サーバーのログを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前
logs	文字列	取得するログのタイプ (オプション)

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログメッセージ

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.grab_logs('serv1');
```

出力：バックグラウンドメッセージ、タイプ：info、メッセージ：Grabbing MID Server Logs

MIDServerManage - restart(文字列 agentName)

指定された MID サーバーを再起動します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.restart('serv1');
```

MIDServerManage - stop(文字列 **agentName)**

指定された MID サーバーを停止します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.stop('serv1');
```

MIDServerManage - system_msg(文字列 **agentName**, 文字列 **cmd**, 文字列 **name)**

指定された MID サーバーのシステムメッセージを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前
cmd	文字列	プローブソースフィールドの値
name	文字列	プローブの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.test_probe('mid.server.serv1', 'command', 'probe_id');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MIDServerManage - text_probe (文字列 **agentName**, 文字列 **probeID**, 文字列 **topic**, 文字列 **ename**, 文字列 **source**)

指定した MID サーバーにテストプローブを送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前
probeId	文字列	送信するプローブの ID
topic	文字列	トピックフィールドの情報
ename	文字列	プローブの名前
source	文字列	ソースフィールドの情報

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定した MID サーバーのプローブ

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.test_probe('mid.server.serv1', 'probe_id', 'topic text', 'name',
 'source text');
```

MIDServerManage - upgrade(文字列 **agentName)**

指定された MID サーバーをアップグレードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
agentName	文字列	MID サーバーの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var msm = new MIDServerManage();
msm.upgrade('serv1');
```

MIDServerSelector - グローバル

MIDServerSelector スクリプトインクルードは、機能とターゲット IP アドレスに基づいてMID サーバーを検索するメソッドを提供します。

サーバー内スクリプトを使用して、特定の機能を持つ MID サーバー を検索します。

MIDServerSelector - MIDServerSelector()

MIDServerSelector のインスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

MIDServerSelector - findAgent(文字列 **target)**

機能とターゲット IP アドレスに基づいて MID サーバーを検索します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
target	文字列	ターゲット IP アドレス

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mss = new MIDServerSelector();
var capab = ["ssh","wmi","snmp"];
mss.setCapabilities(capab);
mss.findAgent('100.101.10.10');
```

MIDServerSelector - getError()

現在の MID サーバーのエラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mss = new MIDServerSelector();
var capab = ["ssh","wmi","snmp"];
mss.setCapabilities(capab);
mss.findAgent('100.101.10.10');
mss.getError();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MIDServerSelector - getWarning()

現在の MID サーバーの警告メッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mss = new MIDServerSelector();
var capab = ["ssh","wmi","snmp"];
mss.setCapabilities(capab);
mss.findAgent('100.101.10.10');
mss.getWarning();
```

MIDServerSelector - setCapabilities(アレイ capabilities)

検索する際のテクノロジーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
capabilities	アレイ	機能のリスト。例：capabilities = ["ssh","wmi","snmp", {"os_domain":"disco"},{"phase":1}];

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mss = new MIDServerSelector();
var capab = ["ssh","wmi","snmp"];
mss.setCapabilities(capab);
```

MLPredictor - グローバル (非推奨)

MLPredictor API は 予測インテリジェンス による予測のユーティリティメソッドを提供します。

注: この API は廃止されており、今後のリリースで削除される予定です。最新のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

MLPredictor API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

このクラスには、入力データから予測結果を取得するために必要なすべてのメソッドが含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLPredictor - MLPredictor()

新しい MLPredictor オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、ビジネスルールで MLPredictor オブジェクトを使用して予測後の最終値を記録する方法を示しています。

```
function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
 var predictor = new MLPredictor();
 predictor.recordFinalValuesInPredictionResults(current, "On close");

}(current, previous);
```

MLPredictor - applyPrediction(GlideRecord now_GR, アレイ solutions)

指定されたソリューションのアレイから指定されたレコードに予測値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	予測されたソリューションのアレイを適用するレコード。
solutions	アレイ	GlideRecord に関連付けられる、指定されたソリューションオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ビジネスルールでの applyPrediction() メソッドの使用方法を示しています。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
    var mlPredictor = new MLPredictor();
    //Get the list of active solutions for the glide record table
    var solutions = mlPredictor.findActiveSolutionsForRecord(current);
    //Run prediction and apply predicted value to the record
    mlPredictor.applyPrediction(current, solution);

})(current, previous);
```

MLPredictor - applyPredictionForSolution(GlideRecord now_GR, オブジェクト solution)

指定された分類のソリューションから取得した予測値を、指定された GlideRecord に適用します。

GlideRecord の各ソリューションについて、このメソッドを呼び出して結果を予測し、その結果でインシデントのフィールド値を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	予測を実行して結果を適用する対象の値を含む GlideRecord オブジェクト。
solution	オブジェクト	実行する分類のソリューションオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	予測が成功した場合は True、失敗した場合はエラー。

このテンプレートを使用するには、インシデントベース予測 (テンプレート) ビジネスルールをコピーし、新しいレコードを [アクティブ] にして、コメントされた指示に従って solutionNames 変数を初期化します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
 var solutionNames = ["solution1", "solution2", ...];

 /* For domain separation (MSP) use case */
// var solutionNames;
// if (current.sys_domain == "A")
//  solutionNames = ["solution_A1", "solution_A2", ...];
// else if (current.sys_domain == "B")
//  solutionNames = ["solution_B1", "solution_B2", ...];
// else
//  ...

 var predictor = new MLPredictor();
 var info = "";
 solutionNames.forEach(function(solutionName) {
  var solution = predictor.findActiveSolution(solutionName);
  if (!solution)
   return;

  /* The next line of code does the prediction and updates the current
 record. */
  predictor.applyPredictionForSolution(current, solution);

  /* If no prediction is done, do not build the prediction info message.
 */
  if (!predictor.applyPredictionForSolution(current, solution))
   return;

  /* If user doesn't have 'itil' role, we don't build prediction info
 message. */
  if (!gs.hasRole('itil'))
   return;

  /* Building prediction info message */
  var fieldName = solution.getPredictedField();
  var fieldLabel = current.getElement(fieldName).getED().getLabel();
  var predictedDisplayValue = current.getDisplayValue(fieldName);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 var msg = gs.getMessage("Predicted {0} for {1}.",
[predictedDisplayValue, fieldLabel]);
 if (info.length > 0)
  info += " ";
 info += msg;
});
/* Print out prediction info message on screen. */
if (info.length > 0) {
 var incidentUrl = "<a
href='"+current.getLink()+"'>"+current.number+":</a>";
 gs.addInfoMessage(incidentUrl + " " + info);
}
})(current, previous);
```

MLPredictor - findActiveSolution(文字列 solutionName)

ソリューションオブジェクトを取得します。

このメソッドは、ml_solution 定義とソリューションがアクティブな場合にのみソリューションを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solutionName	文字列	ml_solution レコードの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ml_solution の定義とソリューションがアクティブな場合は指定された `solutionName` のソリューションオブジェクト、アクティブでない場合は null。

この例では、ハードコードされた値を取得して、指定された機械学習モデルに渡します。結果と信頼性の変数を使用して、値やその他のビジネスロジックを設定できます。

```
var solutionName = 'ml_incident_assignment';
  var shortDescriptionValue = "Unable to connect!"
  var input = {
  short_description : shortDescriptionValue
  };
  var MLP = new MLPredictor();
  var solution = MLP.findActiveSolution(solutionName);
  var predictedOutcome = solution.predictText(input);
  var outcome = predictedOutcome.predictedValue();
  var confidence = predictedOutcome.confidence();
  gs.info("Predicted value: " + outcome)
  gs.info("Confidence: " + confidence)
```

出力：

```
DxC_ML:
        ******* Finished Prediction********* *** Script: Predicted value:
 Software *** Script:
        Confidence: 80.78079080096245
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLPredictor - findActiveSolutionsForRecord(GlideRecord now_GR)

指定された GlideRecord 内のテーブルに対するアクティブなソリューションを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	アクティブなソリューションオブジェクトの収集元の GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定されたレコードが属するテーブルに関連付けられたアクティブなソリューションオブジェクトのアレイ。

このスクリプトは GlideRecord (インシデントなど) を渡し、GlideRecord のすべてのソリューションを処理して、それぞれの値を返します。

```
/* This is only to get a hard-coded GR */
     var current = new GlideRecord('incident');
     current.get('965c9e5347c12200e0ef563dbb9a7156');
     var predictor = new MLPredictor();
     var solutions = predictor.findActiveSolutionsForRecord(current);
     solutions.forEach(function(solution) {
         var outcome = solution.predict(current);
         /* Use this to set the field to the predicted value in the
 GlideRecord */
         var fieldName = solution.getPredictedField();
         current[fieldName] = outcome.predictedValue();
         current.update();

         gs.info("Predicted value: " + outcome.predictedValue())
         gs.info("Confidence: " + outcome.confidence())
});
```

出力 (アサイン先グループの予測)：

```
DxC_ML: ******* Finished Prediction*********
        *** Script: Predicted value: Software *** Script: Confidence:
        99.74530683715315
```

出力 (カテゴリの予測)：

```
DxC_ML:
        ******* Finished Prediction********* *** Script: Predicted value:
 Software *** Script:
        Confidence: 98.7172805135524
```

MLPredictor - getPredictedValue(オブジェクト solution, オブジェクト outcome)

指定された予測の結果に基づいて、指定されたソリューションの予測値を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solution	オブジェクト	予測値の取得元のソリューション。
outcome	オブジェクト	指定されたソリューションに対する予測の結果 (var outcome = solution.predict(now_GR))。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された予測の結果に基づく、指定されたソリューションの予測値。
Null	予測の信頼性がしきい値を満たさない場合は null を返します。

MLPredictor - getPredictions(GlideRecord now_GR, オブジェクト solution, オブジェクト options)

指定されたソリューションの予測を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	予測する対象の GlideRecord。
solution	オブジェクト	実行するソリューションオブジェクト。
options	オブジェクト	次のプロパティを持つ、JSON オブジェクトのキーと値のペア (オプション)。 • options.top_n：指定した場合、予想される数の予測までの結果が返されます。指定しない場合は `glide.platform_ml.max_num_predictions` システムプロパティからデフォルトが読み取られます。 • options.apply_threshold：ソリューションのしきい値 (類似性のソリューションしきい値、分類のクラスレベルしきい値) をチェックし、結果セットに適用します。デフォルト値は true です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	予測結果オブジェクトのアレイ

次の例では、指定されたソリューションを呼び出し、それに対して予測を実行します。

```
function printOutcomeArr(outcomeArr) {
gs.print('################## Results ##################');
for (var i=0; i<outcomeArr.length; i++) {
    var outcome = outcomeArr[i];
    gs.print((i+1) + ' : ' + outcome.predictedValue() + ', ' +
 outcome.predictedValueSysId() + ', ' + outcome.confidence());
}
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var solutionName = 'ml_x_snc_global_prop_flip_test';
var predictor = new MLPredictor();
var solution = predictor.findActiveSolution(solutionName);

var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('1c741bd70b2322007518478d83673af3');

var options = {};
options.top_n = '10';            // top_n is an integer between 1 and
 1000
options.apply_threshold = false; // Value can be set to true or false

printOutcomeArr(predictor.getPredictions(now_GR, solution, options));
```

MLPredictor - isClassificationSolution(オブジェクト **solution)**

ソリューションオブジェクトが分類タイプかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solution	オブジェクト	ML ソリューションの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	入力ソリューションが分類タイプの場合は true を返し、そうでない場合は false を返します。

```
var isClassificationSolution = this.isClassificationSolution(solution);

 //classification solution each class has different threshold
 //therefore needs to get all the results from ml engine
 if (applyThreshold && isClassificationSolution) {
  var maxClassificationTopN = 50;
  outcomeArr = solution.predictTopN(now_GR, maxClassificationTopN);
 }
 else  {
 outcomeArr = solution.predictTopN(now_GR, topN);
 }

 if (outcomeArr === null) {
  //instead of returning null returning empty array
  return [];
 }
```

MLPredictor - isSimilaritySolution(オブジェクト **solution)**

ソリューションオブジェクトが類似性タイプかどうかを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solution	オブジェクト	ML ソリューションの名前。例：ml_incident_categorization

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	入力ソリューションが類似性タイプの場合は true を返し、そうでない場合は false を返します。

MLPredictor - outcome.confidence()

予測値の信頼性を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	予測の推定精度 (%)。例：53.84615375762915

```
var MLP = new MLPredictor();
  var solution = MLP.findActiveSolution(solutionName);
  var predictedOutcome = solution.predictText(input);
  var outcome = predictedOutcome.predictedValue();
  var confidence = predictedOutcome.confidence();
  gs.info("Predicted value: " + outcome)
  gs.info("Confidence: " + confidence)
```

MLPredictor - outcome.predictedValue()

MLPredictor 結果オブジェクトから予測値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	結果オブジェクトから取得した予測値。

```
var MLP = new MLPredictor();
  var solution = MLP.findActiveSolution(solutionName);
  var predictedOutcome = solution.predictText(input);
  var outcome = predictedOutcome.predictedValue();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var confidence = predictedOutcome.confidence();
  gs.info("Predicted value: " + outcome)
  gs.info("Confidence: " + confidence)
```

MLPredictor - outcome.predictedValueSysId()

予測値の sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	予測値の sys_id。

```
function printOutcomeArr(outcomeArr) {
gs.print('################## Results ##################');
for (var i=0; i<outcomeArr.length; i++) {
    var outcome = outcomeArr[i];
    gs.print((i+1) + ' : ' + outcome.predictedValue() + ', ' +
 outcome.predictedValueSysId() + ', ' + outcome.confidence());
}
```

MLPredictor - recordFinalValuesInPredictionResults(GlideRecord now_GR, 文字列 reason)

指定された GlideRecord に、最終的な予測結果の値とその理由 (オプションで指定) を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	最終的な予測結果の値を設定する GlideRecord。
理由	文字列	オプション。結果を適用する理由。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、インシデントがクローズされると recordFinalValuesInPredictionResults() メソッドが呼び出されます。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
 var predictor = new MLPredictor();
 predictor.recordFinalValuesInPredictionResults(current, "On close");

})(current, previous);
```

MLPredictor - solution.getCapability()

トレーニング済みソリューションの機能情報を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	トレーニング済みソリューションの定義 ID とバージョン、それ以外の場合はエラーメッセージ

MLPredictor - solution.getName()

予測に使用されたソリューションの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	予測に使用されたソリューションの名前。例：`ml_incident_categorization`

MLPredictor - solution.getPredictedField()

ソリューションの予測値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ソリューションの予測出力フィールドの値

```
/* Get a hard-coded GR */
     var current = new GlideRecord('incident');
     current.get('965c9e5347c12200e0ef563dbb9a7156');
     var predictor = new MLPredictor();
     var solutions = predictor.findActiveSolutionsForRecord(current);
     solutions.forEach(function(solution) {
         var outcome = solution.predict(current);
         /* Use this to set the field to the predicted value in the
 GlideRecord */

         var fieldName = solution.getPredictedField();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        current[fieldName] = outcome.predictedValue();
        current.update();
        gs.info("Predicted value: " + outcome.predictedValue())
        gs.info("Confidence: " + outcome.confidence())
});
```

MLPredictor - solution.getThreshold(文字列 className)

ソリューションのしきい値を取得します。

しきい値は、最小限の予測精度を反映するパーセンテージを表します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
className	文字列	ソリューション出力フィールドの指定されたカテゴリ値

返される内容

タイプ	説明
数字	0 ～ 100 のパーセンテージで表されるしきい値の値。

MLPredictor - solution.getVersion()

アクティブなソリューションのバージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクティブなソリューションのバージョン

MLPredictor - solution.isActive()

指定されたソリューションがアクティブかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ソリューションがアクティブな場合は true、そうでない場合は false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLPredictor - solution.predict(GlideRecord now_GR, オブジェクト threshold)

ソリューションの予測結果を結果オブジェクトとして取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	ソリューション入力テーブルの GlideRecord
threshold	オブジェクト	しきい値 (類似性のソリューションレベルのしきい値、分類のクラスレベルのしきい値)

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたソリューションの予測結果 (var outcome = solution.predict(now_GR))。

```
solutions.forEach(function(solution) {
         var outcome = solution.predict(current);
         /* Use this to set the field to the predicted value in the
 GlideRecord
         var fieldName = solution.getPredictedField();
         current[fieldName] = outcome.predictedValue();
         current.update();
         */
         gs.info("Predicted value: " + outcome.predictedValue())
         gs.info("Confidence: " + outcome.confidence())
});
```

MLPredictor - solution.predictTopN(GlideRecord now_GR, オブジェクト topN)

予想される予測数までの結果オブジェクトのリストを返します。最大予測数は 1000 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	ソリューションの GlideRecord
topN	オブジェクト	予想される予測数。1000 を超えた場合は 1000 件の結果が返される

返される内容

タイプ	説明
アレイ	GlideRecord、しきい値、Sys ID、および予想される予測数 (topN オブジェクト) を含むアレイ内の結果オブジェクトのリスト

```
var isClassificationSolution = this.isClassificationSolution(solution);

 //classification solution each class has different threshold
 //therefore needs to get all the results from ml engine
 if (applyThreshold && isClassificationSolution) {
  var maxClassificationTopN = 50;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 outcomeArr = solution.predictTopN(now_GR, maxClassificationTopN);
}
else  {
 outcomeArr = solution.predictTopN(now_GR, topN);
}

if (outcomeArr === null) {
 //instead of returning null returning empty array
 return [];
}
```

MLSolution - グローバル

MLSolution API は、予測インテリジェンス予測を処理し、すべての機能 (類似性、分類、クラスタリング) のソリューション オブジェクトを取得するためのメソッドを提供します。

この API は、すべてのソリューション機能で共通して使用されるメソッドと、分類およびクラスタリングソリューションに固有のメソッドを提供します。

- すべてのソリューションオブジェクトに使用される共通メソッド：
  - *getCapability()*
  - *getVersion()*
  - *isActive()*
  - *predict()*
- 分類および回帰ソリューションにのみ使用されるメソッド：
  - *applyPrediction()*
- クラスタリングソリューションにのみ使用されるメソッド：
  - *getClusterAssignments()*
  - *getClusterForRecord()*
  - *getClusterInfo()*

MLSolution API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

このオブジェクトのメソッドは、 MLSolutionFactory を使用してインスタンス化されます。

関連情報

MLSolutionUtil

REST API：複数のソリューションの予測を取得する

MLSolution - applyPrediction(GlideRecord now_GR)

信頼性の値がしきい値より大きい場合に、分類ソリューションの予測結果を取得し、それを入力 GlideRecord に適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	予測を実行して結果を適用する対象の値を含む GlideRecord オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	予測が適用されたかどうかを示すフラグ。 • true：予測が適用された • false：予測が却下された

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization");

var inputGR = new GlideRecord("incident");
inputGR.get("0ef47232db801300864adfea5e961912");

mlSolution.applyPrediction(inputGR);
```

MLSolution - getCapability()

トレーニング済みソリューションの機能情報を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	トレーニング済みソリューションのタイプ。 可能な値： • 類似性 • 分類 • クラスタリング

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_x_global_clustering");

// configure optional parameters
var options = {};
options.group_by = 'network';
options.cluster_id = 1;
options.top_n_per_cluster = 3;

if (mlSolution.getCapability() == 'clustering') {
 var results = mlSolution.getClusterAssignments(options);
 // pretty print JSON results
 gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLSolution - getClusterAssignments(オブジェクト **options**)

クラスタリングソリューションの割り当てを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	オプション。返された結果を、クラスタリングソリューション内のグループとレベルで絞り込むために使用する値。 デフォルト：すべてのクラスターのクラスターメンバーシップを返します。
options.group_by	文字列	オプション。クラスターメンバーシップ (assignment_group など) を取得するセグメンテーションフィールドを識別します。 このフィールドは、[クラスタリング定義] フォームの [グループ化] チェックボックスで提供されるオプションと同じグループ化を提供します。表示される情報は、[テーブル] フィールドで選択したテーブルによって異なります。詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。
options.cluster_id	文字列	オプション。クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルのトレーニング済みソリューションのクラスター ID。
options.top_n_per_cluster	番号	クラスターごとに受信する上位の結果の数。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	クラスター情報を含む JSON のアレイ (cluster_id の昇順)。 • cluster_id：文字列。クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号。 • rec_display_id：文字列。レコードのタイプと番号。 • rec_sys_id：文字列。レコード sys_id。 • group_by： グループ化されている場合、このクラスターに関連付けられているセグメンテーションフィールドの名前。

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_x_global_clustering");

// configure optional parameters
var options = {};
options.group_by = 'network';
options.cluster_id = '1';
// returns top 3 results per cluster
options.top_n_per_cluster = 3;

var results = mlSolution.getClusterAssignments(options);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
[{"cluster_id":"1","rec_display_id":"Incident:
 INC0014483","rec_sys_id":"04e33e7adb401300864adfea5e961900","group_by":"
network"},
 {"cluster_id":"1","rec_display_id":"Incident:
 INC0011133","rec_sys_id":"5bd23af2db401300864adfea5e96194d","group_by":"
network"}]
```

MLSolution - getClusterForRecord(GlideRecord now_GR)

クラスタリングソリューションのクラスター情報を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	入力 GlideRecord の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	レコードがクラスターに属する場合は、クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルの cluster_id。レコードがクラスターに属していない場合は、空の文字列が返されます。

```
var mlSolution = sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("solution_name");
var now_GR = new GlideRecord('incident');
if (mlSolution.getCapability() == 'clustering') {
var clusterId = mlSolution.getClusterForRecord(now_GR);
}
```

MLSolution - getClusterInfo(オブジェクト options)

指定されたクラスタリングソリューションの情報を取得します。。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	オプション。返された結果を、クラスタリングソリューション内のグループとレベルで絞り込みます。 デフォルト：すべてのクラスターのクラスターメンバーシップを返します。
options.group_by	文字列	オプション。クラスターメンバーシップ (assignment_group など) を取得するセグメンテーションフィールドを識別します。 このフィールドは、[クラスタリング定義] フォームの [グループ化] チェックボックスで提供されるオプションと同じグループ化を提供します。表示される情報は、[テーブル] フィールドで選択したテーブルによって異なります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。
options.cluster_id	文字列	オプション。クラスターサマリー [ml_cluster_summary] テーブルのトレーニング済みソリューションのクラスター ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	クラスター情報を含む JSON のアレイ (cluster_id の昇順)。 • cluster_id：文字列。クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号。 • cluster_quality：文字列。0 ～ 100 の数値。数値が大きいほどクラスター密度が高いことを示します。 • cluster_size：文字列。クラスター内のレコードの数。 • group_by： グループ化されている場合、このクラスターに関連付けられているセグメンテーションフィールドの名前。 • cluster_concept：文字列。頻度の降順によるクラスターを説明する単語のセット。

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_x_global_clustering");

// configure optional parameters
var options = {};
options.group_by = 'network';
options.cluster_id = 1;

var results = mlSolution.getClusterInfo(options);
```

出力：

```
[ {"cluster_id":"1","cluster_quality":"56.6","cluster_size":"46","group_by":"SLA","cluster_concept":"issue occur capacity ..."},

 {"cluster_id":"2","cluster_quality":"55.47","cluster_size":"75","group_by":"SLA","cluster_concept":"clone instance request ..."},
... ]
```

MLSolution - getVersion()

アクティブなソリューションのバージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクティブなソリューションのバージョン。

```
var mlSolution = sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("solution_name");

var solutionVersion = mlSolution.getVersion();
```

MLSolution - isActive()

ソリューションがアクティブかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ソリューションがアクティブかどうかを示すフラグ。 • true：ソリューションはアクティブである • false：ソリューションは非アクティブである

```
var mlSolution = sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("solution_name");

var isActive = mlSolution.isActive();
```

MLSolution - predict(オブジェクト input, オブジェクト options)

GlideRecord またはキーと値のペアのアレイを指定して、予測サーバーから予測結果を取得します。

GlideRecord は反復子であるため、このメソッドを使用して複数の入力レコードを含む予測を呼び出すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	*GlideRecord* または、キーと値のペアとしてフィールド名と値を含む JSON オブジェクトのアレイ。
オプション	オブジェクト	オプション。次のプロパティを持つ、 JSON のキーと値のペア。 • top_n：数値。指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します • apply_threshold：ブール。ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用します。しきい値は、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		類似性のソリューションしきい値または分類のクラスレベルのしきい値です。デフォルト値は true です。 • custom_results_filter：文字列。類似性ソリューションのみ。エンコードされたクエリを使用して結果が返される元になる許可されたセットを指定します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む JSON オブジェクト。 • predictedValue：文字列。予測結果を表す値。 • predictedSysId：文字列。予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 • confidence：数値。予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 • threshold：数値。予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 • detailedResults：オブジェクト。類似性ソリューションのみ。一致するテキストインデックスに関する詳細を含む JSON のキーと値のペア。

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization");

// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("0ef47232db801300864adfea5e961912");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization");

// multiple GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.addQuery("sys_created_onONLast
 week@javascript:gs.beginningOfLastWeek()@javascript:gs.endOfLastWeek()
");
input.query();

// configure optional parameters
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：

```
{
    input_gr_sys_id1: [
                {
                    predictedValue : xxx,
                    predictedSysId : xx0,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]

                },
                {
                    predictedValue : yyy,
                    predictedSysId : xx1,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]
                }
        ],
    input_gr_sys_id2 : [
                {
                    predictedValue : xxx,
                    predictedSysId : xx0,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]

                },
            ...
        ]
}
```

```
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization");

// key-value pairs input
var input = [{"short_description":"my email is not working"},
   {short_description:"need help with password"}];

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLSolutionFactory - グローバル

MLSolutionFactory API は、MLSolution スクリプト可能オブジェクトを取得するためのファクトリークラスです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要であり、 sn_ml 名前空間内で提供されます。詳細については、「予測インテリジェンス」を参照してください。

使用上のガイドラインについては、 MLSolutionFactory スクリプト可能オブジェクト を参照してください。

関連情報

- MLSolution
- MLSolutionUtil
- REST API：複数のソリューションの予測を取得する

MLSolutionFactory - getSolution(文字列 **solutionName**, オブジェクト **options)**

指定されたソリューション名の MLSolution オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solutionName	文字列	ソリューションの名前。
オプション	オブジェクト	オプション。options.version：指定した場合、指定されたバージョンの solutionName の MLSolution インスタンスを作成します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたソリューションの MLSolution オブジェクト。

```
// basic usage
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization");
```

```
// using options.version parameter
var options = {};
options.version = 1;
var mlSolution =
 sn_ml.MLSolutionFactory.getSolution("ml_incident_categorization",
 options);
```

MLSolutionResult - グローバル (非推奨)

MLSolutionResult API は、クラスタリング・ソリューションのクラスター情報とメンバーを管理するためのメソッドを提供します。結果はビジネスロジックに埋め込むことができます。

注: この API は廃止されており、今後のリリースで削除される予定です。最新のガイドラインについては、「 ML API の使用 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLSolutionResult - MLSolutionResult()

新しい MLSolutionResult オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

MLSolutionResult - findActiveSolution(文字列 solutionName)

ソリューションオブジェクトを返します。

このメソッドは、ml_solution 定義とソリューションがアクティブ (すなわちトレーニング済み) な場合にのみソリューションを返します。詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solutionName	文字列	クラスタリング ml_solution 名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ml_solution の定義とソリューションがアクティブな場合は指定された `solutionName` のクラスタリングソリューションオブジェクト、アクティブでない場合は null。

```
var solutionName = 'ml_incident_assignment';
  var MLS = new MLSolutionResult();
  var solution = MLS.findActiveSolution(solutionName);
  gs.print(solution);
```

MLSolutionResult - getClusterAssignments(文字列 solutionName, オブジェクト options)

クラスタリングソリューションのすべてのメンバーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solutionName	文字列	アクティブなクラスターソリ
options	オブジェクト	オプション。返された結果を、 デフォルト：すべてのクラス
options.segmentation_field	文字列	オプション。クラスターメン このフィールドは、[クラスタ される情報は、[テーブル] フ 参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.cluster_id	文字列	オプション。ml_cluster_sum
options.rec_sys_id	文字列	オプション。クラスターソリ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	次を含む結果オブジェクトのアレイ • segmentation – データをグループ化するためのフィールド名 • cluster_num – クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号 (ラベル) • rec_sys_id – クラスターソリューションの基になるテーブルレコードの sys_id • rec_display_id – レコードの sys_id に関連付けられたレコードの名前。

次の例は、options オブジェクトの値を設定せずにソリューションのすべてのクラスターメンバーを返す方法を示しています。

```
var solutionName = "<Name_of_Active_Cluster_Solution>";
var solutionResult = new MLSolutionResult();
var outcome_array = solutionResult.getClusterAssignments(solutionName);
for (var i = 0; i < outcome_array.length; i++) {
   gs.print(outcome_array [i].segmentation + ' ' + outcome_array
 [i].cluster_num + ' ' + outcome_array [i].rec_sys_id + ' ' +
 outcome_array [i].rec_display_id);
}
```

次の例は、options.rec_sys_id を使用して 1 つのレコードのすべてのクラスターメンバーを返す方法を示しています。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.get('sys_id');

var solutionName = "solution_example";
var solutionResult = new MLSolutionResult();
var options = { "rec_sys_id": now_GR.getUniqueValue() };
var outcome_array = solutionResult.getClusterAssignments(solutionName,
 options);
for (var i = 0; i < outcome_array.length; i++) {
   gs.print(outcome_array [i].segmentation + ' ' + outcome_array
 [i].cluster_num + ' ' + outcome_array [i].rec_sys_id + ' ' +
 outcome_array [i].rec_display_id);
}
```

MLSolutionResult - getClusterInfo(文字列 **solutionName**, オブジェクト **options)**

クラスタリングソリューションのすべての結果情報を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
solutionName	文字列	アクティブなクラスターソリ
options	オブジェクト	オプション。返された結果を、 デフォルト：すべてのクラス
options.segmentation_field	文字列	オプション。クラスターメン このフィールドは、[クラスタ される情報は、[テーブル] フ 参照してください。
options.cluster_id	文字列	オプション。ml_cluster_sum

返される内容

タイプ	説明
アレイ	次を含む結果オブジェクトのアレイ • segmentation – データをグループ化するためのフィールド名 • cluster_num – クラスターのソリューション内の一意のクラスター番号 (ラベル) • total_members – クラスター内のレコードの数 (サイズ) • cluster_quality – クラスター品質のパーセンタイル値

```
var solutionName = "solution_example";
var solutionResult = new MLSolutionResult();
var outcome_array = solutionResult.getClusterInfo(solutionName);
for (var i = 0; i < outcome_array.length; i++) {
gs.print(outcome_array[i].segmentation + ' ' +
 outcome_array[i].cluster_num + ' ' + outcome_array[i].total_members + '
 ' + outcome_array[i].cluster_quality);
}
```

自動翻訳

MLSolutionUtil - グローバル

MLSolutionUtil スクリプトインクルードは、予測インテリジェンス予測を取得するためのメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードには 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要であり、 `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

詳細については、「ML API の使用」を参照してください。

関連情報

MLSolution

MLSolutionFactory

MLSolutionUtil - MLSolutionUtil()

新しい MLSolutionUtil オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var mlSolutionUtil = new MLSolutionUtil();
```

MLSolutionUtil - getPredictions(オブジェクト input、アレイ solutionNames、オブジェクト **options)**

1 つまたは複数の指定されたソリューションの予測を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	GlideRecord または、キーと値のペアである JSON オブジェクトのアレイ。
solutionNames	アレイ	予測の取得元となるソリューション名のアレイ。
options	オブジェクト	オプション。次のプロパティを持つ、JSON オブジェクトのキーと値のペア。 • top_n：数値。指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します • apply_threshold：ブール。ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用します。しきい値は、類似性のソリューションしきい値または分類のクラスレベルのしきい値です。デフォルト値は true です。 • custom_results_filter：文字列。類似性ソリューションのみ。エンコードされたクエリを使用して結果が返される元になる許可されたセットを指定します。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューション名でグループ化され、sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む、JSON のキーと値のペア。 • predictedValue：文字列。予測結果を表す値。 • predictedSysId：文字列。予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 • confidence：数値。予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 • threshold：数値。予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 • detailedResults：オブジェクト。類似性ソリューションのみ。一致するテキストインデックスに関する詳細を含む JSON のキーと値のペア。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var solutionNames = ['soluton1', 'solution2'];

var input = new GlideRecord("incident");
input.get("0ef47232db801300864adfea5e961912");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var mlSolutionUtil = new MLSolutionUtil();
var results = mlSolutionUtil.getPredictions(input, solutionNames,
 options);

// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：

```
{
  solution1:  {
    input_gr_sys_id1: [
                {
                    predictedValue : xxx,
                    predictedSysId : xx0,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]

                },
                {
                    predictedValue : yyy,
                    predictedSysId : xx1,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]
                }
        ],
    input_gr_sys_id2 : [
                {
                    predictedValue : xxx,
                    predictedSysId : xx0,
                    confidence : xxx,
                    threshold : xxx,
                    detailedResults : [.....]

                },
            ...
        ]
  }

  solution2:  {
      ...
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MobileDeepLinkGenerator - グローバル (非推奨)

`MobileDeepLinkGenerator` スクリプトインクルードは、モバイルアプリリストまたはフォームアプレットへのリンクを埋め込むためのメソッドを提供します。

グローバルサーバー側スクリプトでこのスクリプトインクルードを使用して、次のアプリケーション内のリストまたはフォームアプレットへのリンクを作成します。

- Now Mobile
- モバイルエージェント
- モバイルオンボーディング

注:

モバイルオンボーディング アプリケーションは廃止されます。

2021 年 9 月の Rome リリース Now Platform に伴い、 モバイルオンボーディング アプリケーションのサポートを段階的に廃止し始めました。顧客はこれをアクティブ化できなくなり、拡張や重要性の低いバグの修正は提供していません。モバイルオンボーディング機能は 、HR サービスデリバリ (HRSD) 向けの Now Mobile アプリ で利用できます。

たとえば、メール、プッシュ通知、または仮想エージェント会話からアプリ内のレコードまたはレコードリストを開くリンクを作成します。フォームやリストには、ユーザーが表示アクセス権を持つデータのみが含まれています。

プッシュ通知で使用されるこの API の例については、「プッシュ通知メッセージ コンテンツの構成」を参照してください。ディープリンクの詳細については、「モバイル向けディープリンク」を参照してください。

MobileDeepLinkGenerator - MobileDeepLinkGenerator(文字列 clientType)

特定のモバイルアプリの MobileDeepLinkGenerator オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
clientType	文字列	リンクを作成するアプリの名前。 次のオプションが含まれます。 • agent：モバイルエージェント アプリ内のリストや画面へのリンクを作成します。 • request：Now Mobile アプリ内のリストや画面へのリンクを作成します。 • onboarding：モバイルオンボーディング 内のリストや画面へのリンクを作成します。

注:

モバイルオンボーディング アプリケーションは廃止されます。

2021 年 9 月の Rome リリース Now Platform に伴い、 モバイルオンボーディング アプリケーションのサポートを段階的に廃止し始めました。顧客はこれをアクティブ化できなくなり、拡張や重要性の低いバグの修正は提供していません。モバイルオンボーディング機能は 、HR サービスデリバリ (HRSD) 向けの Now Mobile アプリ で利用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var glide = new global.MobileDeepLinkGenerator('onboarding');
```

MobileDeepLinkGenerator - getFormScreenLink(文字列 **formScreenId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **recordSysId)**

フォームアプレットへのリンクを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
formScreenId	文字列	アプレット [sys_sg_screen] テーブル内のアプレットレコードのSys ID。
tableName	文字列	*recordSysId* パラメーターのレコードを含むテーブルの名前。
recordSysId	文字列	アプレット内で開くレコードのSys ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	モバイルアプリのフォームアプレット内のレコードへのリンク。

```
var deepLinkGenerator = new global.MobileDeepLinkGenerator("agent");
var link = deepLinkGenerator.getFormScreenLink("<sys_id>",
 current.getTableName(), current.getValue("sys_id"));
```

MobileDeepLinkGenerator - getScreenLink(文字列 **documentId**, オブジェクト **uiParams)**

リストアプレットへのリンクを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
documentId	文字列	アプレット [sys_sg_screen] テーブル内のアプレットレコードのSys ID。
uiParams	オブジェクト	オプション。リンクに含める URL パラメーターを含む JSON オブジェクト。リンク先の URL を調べて、含める URL パラメーターを決定します。一般に、URL パラメーターはリスト内のレコードをフィルタリングします。例：`var param = {'<company-sys-id>': 'servicenow'}`。この `<company-sys-id>` は、特定のモバイル画面の UI パラメーター [sys_sg_ui_parameter] テーブルから取得した会社の UI パラメーターの Sys ID です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	モバイルアプリのリストアプレットへのリンク。

```
var uiParams = {
    "b250294ab3c12300a0d56ad4c6a8dc8c": "servicenow",
    "7250294ab3c12300a0d56ad4c6a8dc90": "santa clara"}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var deepLinkGenerator = new global.MobileDeepLinkGenerator("request");
var link =
 deepLinkGenerator.getScreenLink("a75df1920f2033001befa68ca8767e50",
 uiParams);
```

MonitorMIDServer - グローバル

MonitorMIDServer スクリプトインクルードは、停止しているMID サーバーをチェックし、ハートビート要求を送信し、古いハートビート要求を強制終了する、ハートビートプローブを使用してMID サーバーを監視するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードをサーバースクリプトで使用して、 MID サーバーを監視します。

MonitorMIDServer - MonitorMIDServer()

MonitorMIDServer のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

MonitorMIDServer - killOldRequests()

処理されていないハートビートプローブ要求がある場合は、MID サーバーがしばらく停止したときに未処理の要求が蓄積しないように要求をキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mmsv = new MonitorMIDServer();
mmsv.killOldRequests();
```

MonitorMIDServer - markDowners()

最新のハートビートがいつ送信されたかを判断して応答しないすべてのサーバーを検出することによって、応答しない MID サーバーをマークします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mmsv = new MonitorMIDServer();
mmsv.markDowners();
```

MonitorMIDServer - monitor()

古い要求の強制終了、停止している MID サーバーのマーク、すべてのサーバーへのハートビート要求の送信など、スケジュールされた MID Server 監視サイクルに必要な機能を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mmsv = new MonitorMIDServer();
mmsv.monitor();
```

MonitorMIDServer - sendHeartbeatRequests()

サーバーステータスレコードの更新時に、すべての MID Server とメモにハートビート要求を送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var mmsv = new MonitorMIDServer();
mmsv.sendHeartbeatRequests();
```

NameValuePairs - グローバル

NameValuePairs スクリプトインクルードは、マップと、マップ内の名前/値のペアを表す文字列を変換するメソッドを提供します。

文字列形式は、`<name> = <value>`、`<name> = <value, ...` です。ここで、`<name>` は文字列名で、必要に応じて二重引用符 (Microsoft スタイル) で囲まれ、`<value>` は文字列値で、二重引用符で囲むこともできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

有効な名前と値の文字列の例を次に示します。

- `name = value`
- `name = "My Value", name = value`
- `"My Name = this" = "My Value", "My Value, all the time", name = value`
- `"My Name" = "This" "name""", name = value`

3 番目の例では、引用符で囲まれた値に等号とカンマが含まれています。4 番目の例では、引用符で囲まれた値に引用符が含まれています。

インスタンスには、次のような初期化されたプロパティがあります。

- map: 名前と値のペアの map (ハッシュマップとして使用されている JavaScript オブジェクト) 形式で、Microsoft スタイルの引用符が削除されています
- string: 名前と値のペアの文字列形式と、Microsoft スタイルの引用符。

名前と値のペアをマップと文字列の間で変換する必要があるサーバー側スクリプトとともに使用します。

NameValuePairs - NameValuePairs(文字列 **stringForm)**

指定された文字列で初期化されたクラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
stringForm	文字列	オブジェクトの作成時に使用する値。

NameValuePairs - NameValuePairs(オブジェクト **mapForm)**

指定されたハッシュマップで初期化されたクラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mapForm	オブジェクト	オブジェクトの作成時に使用するマップ。

NameValuePairs - mapToString()

`this.map` から `this.string`を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NameValuePairs - quotify(オブジェクト value)

指定された値に二重引用符、等号、カンマ、またはスペースが含まれている場合、このメソッドはその値を二重引用符で囲み、囲まれた二重引用符を二重にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	オブジェクト	処理する値

返される内容

タイプ	説明
文字列	引用符が追加された値。

NameValuePairs - stringToMap()

`this.string` から `this.map` を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

NetwareHandler - グローバル

`NetwareHandler` スクリプトインクルードは、Netware OS 用の SNMP ハンドラを実装します。

このハンドラーは、SNMP センサーを JavaScript に完全に移行するための暫定的なステップとして、Classify.java によって呼び出されるように設計されています。

このスクリプトインクルードは SNMP 分類に使用します。

NetwareHandler - classifyAndIdentify()

SNMP デバイスを分類および識別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知 - グローバル

Notify API を使用すると、スクリプトを使用して Notify コールと SMS メッセージを操作できます。

SNC 名前空間内でグローバルの *Notify* クラスとその関連メソッドにアクセスします。

Notify - call(文字列 notifyPhoneNumber, 文字列 toPhoneNumber, GlideRecord conferenceCall, GlideRecord conferenceCallRecord, 文字列 userSysId, 文字列 groupSysId, GlideRecord sourceRecord)

指定された E.164 準拠の電話番号に電話をかけます。

さらにこのメソッドを使用すると、指定された電話番号を指定された電話会議に自動的に追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列または NotifyPhoneNumber	コールの発信元の Notify 電話番号。コールを開始すると、この番号に関連付けられた番号グループの発信コールワークフローが実行されます。このワークフローに、ユーザーを電話会議に接続するための電話会議に参加アクティビティが含まれていることを確認します。
toPhoneNumber	文字列	コールする電話番号。コール先の番号が電話会議に追加されます。
conferenceCall	GlideRecord	オプション。このパラメーターが渡されると、*toPhoneNumber* パラメーターで識別された発信者が、このレコードで識別された電話会議に自動的に参加します。 電話会議レコードを識別する Notify コール [notify_call] テーブルの GlideRecord。このレコードは、workflow.scratchpad.conference_call 変数として発信コールワークフローのスクラッチパッドに自動的に追加されます。
userSysId	文字列	オプション。コールに関連付けられたユーザーの一意の識別子 (sys_id)。
groupSysId	文字列	オプション。コールに関連付けられたグループの一意の識別子 (sys_id)。
sourceRecord	GlideRecord	オプション。このコールを要求したソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、別の電話番号へのコールを開始する方法を示しています。

```
var from = '+14048007337';
var to = '+31646810495';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// set up call
new SNC.Notify().call(from, to);
```

この例は、電話番号のリストへのコールを開始し、リスト内の番号を新しい電話会議に自動的に参加させる方法を示しています。

```
var notify = new SNC.Notify();
var from = '+14041234567';
var participants = ['+31612345678', '+31623456789', '+31687654321'];

// set up a conference call
var conferenceCall = notify.conferenceCall();

// set up the outbound calls for all conference call participants
for (var i in participants) {
    var to = participants[i];
    notify.call(from, to, conferenceCall);
}
```

この例は、新しい電話会議を開始する方法を示しています。

```
SNC.Notify.call('+15413970605', '+91406XXXXXXX',
 SNC.Notify.conferenceCall(), null, null, null);
```

この例は、ユーザーレコードを使用して新しい電話会議を開始する方法を示しています。

```
var sysUserGr = new GlideRecord('sys_user');
sysUserGr.get('active conference sys id');

if (conferenceGr.isValid) {
    SNC.Notify.call('+15413970605', '+91406XXXXXXX',
 SNC.Notify.conferenceCall(), sysUserGr.getUniqueValue(), null, null);
}
```

この例は、ユーザー、グループおよびソースレコードを使用して新しい電話会議を開始する方法を示しています。

```
var sysUserGr = new GlideRecord('sys_user');
sysUserGr.get('active sys user sys id');

var sysUserGroupGr = new GlideRecord('sys_user_group');
sysUserGroupGr.get('active sys user group sys id');

var incidentGr = new GlideRecord('incident');
incidentGr.get('incident sys_id');

if (conferenceGr.isValid) {
    SNC.Notify.call('+15413970605', '+91406XXXXXXX',
        SNC.Notify.conferenceCall(),
        sysUserGr.getUniqueValue(),
        sysUserGroupGr.getUniqueValue(),
        incidentGr.getUniqueValue());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

`call()` メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - call()。

Notify - conferenceCall(GlideRecord sourceRecord)

新しい電話会議の GlideRecord を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceRecord	GlideRecord	オプション。電話会議の作成要求を開始したレコード。notify_conference_call レコードのソースとテーブルのフィールドに入力するために使用されます。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	新しい Notify 電話会議 [notify_conference_call] レコード。

```
var notify = new SNC.Notify();
var from = '+14041234567';
var participants = ['+31612345678', '+31623456789', '+31687654321'];

// set up a conference call
var conferenceCall = notify.conferenceCall();

// set up the outbound calls for all conference call participants
for (var i in participants) {
    var to = participants[i];
    notify.call(from, to, conferenceCall);
}
```

スコープ対応

`conferenceCall()` メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - conferenceCall()。

関連情報

Notify - call(文字列 notifyPhoneNumber, 文字列 toPhoneNumber, GlideRecord conferenceCall, GlideRecord conferenceCallRecord, 文字列 userSysId, 文字列 groupSysId, GlideRecord sourceRecord)

Notify - dequeueCall(GlideRecord callRecord)

コールがキュー (保留中) に入れられた後に再開します。

このメソッドを使用して、`queueCall()` メソッドでキューに入れられたコールを再開します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	再開する保留中のコールを含む Notify コール [notify_call] テーブルの GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、保留中のコールを再アクティブ化する方法を示しています。

```
var notifyCallGr = new GlideRecord('notify_call');
notifyCallGr.get('active participant sys id');

if (notifyCallGr.isValid) {
    SNC.Notify.dequeueCall(notifyCallGr);
}
```

スコープ対応

dequeueCall() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - dequeueCall()。

Notify - forwardCall(GlideRecord call, 文字列 **destination**, 文字列 **dtmf)**

指定されたコールを別のコール受信者に転送します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
call	GlideRecord または文字列	転送するコールの Notify コールレコードまたは電話通信プロバイダーのコール ID。
destination	GlideRecord または文字列	コールの転送先となる発信者の Notify 電話番号レコードまたは E.164 準拠の電話番号。
dtmf	文字列	Dual Tone - コール接続時に送信する Multi-Frequency (DTMF) コード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、コールを別の電話番号に転送する方法を示しています。

```
var callID = 'CA92374b5aa561dab476a7001db6026edc'; // Twilio Call ID
var phoneNumber = '+91406xxxxxxx';
var dtmfTones = null;

var notifyCallGr = new GlideRecord('notify_call');
notifyCallGr.get('active participant sys id');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if (notifyCallGr.isValid) {
    SNC.Notify.forwardCall(notifyCallGr(or) callID, phoneNumber,
 dtmfTones)
}
```

スコープ対応

forwardCall() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - forwardCall()。

Notify - getAvailableClients(文字列 notifyNumber)

コールを受信できるクライアントセッションのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyNumber	文字列	有効な Notify 電話番号。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定された電話番号の notify_client_session テーブルから取得された GlideRecord。 利用可能なクライアントセッションがない場合は「0」を返します。

次の例は、getAvailableClients() メソッドを使用して notify_client_session テーブルにインデックスを付け、利用可能なすべての Notify クライアントで反復処理する方法を示しています。

```
var clientSessionGr = SNC.Notify.getAvailableClients('+185xxxxxxxx');
// Here clientSessionGr is of type GlideRecord on 'notify_client_session'
 table.

var isLoggedInUserAvailable = false;
while (clientSessionGr.next()) {
  if (clientSessionGr.user == gs.getUserID())
    isLoggedInUserAvailable = clientSessionGr.available;
}
gs.info('isLoggedInUserAvailable - ' + isLoggedInUserAvailable);
```

スコープ対応

getAvailableClients() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - getAvailableClients()。

Notify - getParentCallID(GlideRecord callRecord)

指定されたコールの親コールの sys_id を返します。

[転送] ワークフローアクティビティなど、別のコールを転送することによって開始されたコールは、元のコールの子と見なされます。元のコールは親コールです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	コールステータスを返す Notify コール [notify_call] テーブルのレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	親コールレコードの一意の sys_id。

この例は、指定されたコールの親コールを取得する方法を示しています。

```
var callRecord = new GlideRecord('notify_call');
callRecord.get("0f4f5863ff13310014ecfffffffff28");

var notify = new SNC.Notify();
var parentCallID = notify.getParentCallID(callRecord);
```

Notify - getPhoneNumbers()

Notify で利用可能なすべての電話番号と短縮コードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
リスト	NotifyPhoneNumber オブジェクトのリスト。各オブジェクトが、Notify で利用可能な 1 つの電話番号を表します。

```
var list = SNC.Notify.getPhoneNumbers();
for (var i = 0; i < list.size(); i++) {
    var num = list.get(i);
    gs.info(num.getNumber())
}
```

スコープ対応

getPhoneNumbers() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - getPhoneNumbers()。

Notify - getTokens(GlideRecord, record)

WebRTC またはモバイルクライアントで使用するアクティブな電話ドライバーのクライアントトークンを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	Notify クライアントを識別するために使用する GlideRecord (グループレコードやユーザーレコードなど)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	サポートされているドライバーの Web RTC トークン ({driverName1: "token1", driverName2: "token2"} 形式の JSON 文字列 ("TwilioDirect":"eyJhxxxx.eyJleHAiOilxxxx.7fejxxx_mbLxxx" など)

この例は、現在ログインしているユーザーのクライアントトークンを取得する方法を示しています。

```
// get Notify client Tokens per active Notify driver for the currently
 logged in user
var json = new SNC.Notify().getTokens();

// Parse the JSON that was return into a tokens object
var tokens = JSON.parse(json);

// Log line
gs.log('Notify client tokens for the currently logged in user');

 // iterate over the driver tokens
for (var driver in tokens) {
  gs.log(driver + ' Driver token: ' + tokens[driver]);
}
```

この例は、すべての Notify グループのクライアントトークンを取得する方法を示しています。

```
// instantiate Notify
var notify = new SNC.Notify();

// get all Notify Groups
var notifyGroup = new GlideRecord("notify_group");
notifyGroup.query();

// iterate over all notify groups
while (notifyGroup.next()) {
  // generate Notify Client tokens per active Notify Driver for this
 group
  var json = notify.getTokens(notifyGroup);
  var tokens = JSON.parse(json);

  for (var driver in tokens) {
    gs.log(gs.getMessage("Notify Client token for {0} driver and
 Notify Group '{1}': {2}", [driver, notifyGroup.getValue('name'),
 tokens[driver]]));
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

getTokens() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - getTokens()。

Notify - getTokenTTL(文字列 **owner)**

指定された電話ドライバーに対してクライアントセッションがアクティブな状態を維持する、自動タイムアウトまでの最大時間を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
owner	文字列	セッションの長さを取得する対象の電話ドライバーの名前。 有効な値： • Twilio：古いドライバーの場合 • TwilioDirect：新しいドライバーの場合

返される内容

タイプ	説明
整数	セッションの最長時間 (単位：秒)。デフォルト：1800 秒

次の例は、このメソッドと関連する応答を正しく呼び出す方法を示しています。また、無効なドライバーが渡された場合に返されるものも示します。

```
var owner = "TwilioDirect";  // Valid driver
var ttl = SNC.Notify.getTokenTTL(owner);
gs.info("Token TTL for " + owner + " --> " + ttl);

owner = "Abcxyz";  // Invalid driver
ttl = SNC.Notify.getTokenTTL(owner);
// For an invalid driver, we throw NoSuchNotifyDriverException saying
 that Abcxyzdriver is not available
// and return the default value of TTL
gs.info("Token TTL for " + owner + " --> " + ttl);
```

スコープ対応

getTokenTTL() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - getAvailableClients()。

Notify - hasCapability(文字列 **notifyPhoneNumber**, 文字列 **capability)**

指定された電話番号に指定された機能があるかどうかを判断します。

電話番号に関連付けられた電話ドライバーに、電話のすべての機能のリストが含まれています。

注: ベースシステムでは、Notify JS ドライバーの機能としては「show_speakers」しかありませんが、これは変更可能です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列	指定された機能を確認する電話番号。
capability	文字列	検出対象の機能。文字列テキストが電話内のテキストと完全に一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された電話に指定された機能があるかどうかを示すフラグ。 • true：電話に機能がある • false：電話に機能がない

この例では、電話に特定の機能があるかどうかを確認する方法を示します。

```
// Each driver has a defined set of capabilities.

var capability = 'show_speakers';
gs.info(SNC.Notify.hasCapability('+185xxxxxxxx', capability)); // true

capability = 'send_sms';
gs.info(SNC.Notify.hasCapability('+185xxxxxxxx', capability)); // false
```

スコープ対応

hasCapability() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - hasCapability()。

Notify - kick(GlideRecord participant)

指定された発信者を現在の Notify 電話会議から除外します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	GlideRecord	電話会議から除外する発信者の Notify 参加者 [notify_participant] レコードを含む GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、電話会議から参加者を削除する方法を示しています。

```
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if (notifyParticipantGr.isValid) {
    SNC.Notify.kick(notifyParticipantGr);
}
```

スコープ対応

kick() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - kick()。

Notify - modifyCall(GlideRecord callRecord, NotifyAction notifyAction)

アクティブな Notify 電話のコールで 1 つ以上のアクションを実行します。

コールに対して実行できるアクションには、コールのキューへの格納や取り出し、テキストの読み上げ、音声の再生、コールの転送などがあります。カスタムアクションを作成することもできます。指定したコールに適用するすべてのアクションを指定した後、*modifyCall()* メソッドを呼び出します。利用可能なアクションの詳細については、NotifyAction API のドキュメントを参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	アクションを適用するコールの Notify コール [notify_call] レコード。
notifyAction	NotifyAction	コールで実行する 1 つ以上のアクションを記述する NotifyAction オブジェクト。このオブジェクトは、1 つ以上の *NotifyAction()* メソッドを呼び出して作成します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを変更する方法を示します。

```
// get the most recent call record
var callRecord = new GlideRecord('notify_call');
callRecord.orderByDesc('sys_created_on');
callRecord.query();

if (callRecord.next()) {
    // instantiate notify action container class
    var notifyAction = new SNC.NotifyAction();
    // The call is already in progress. Now, we want to modify the call
 behavior by putting this call in a queue.
    // So, we add a queue action to queue the call
    notifyAction.addQueue('my fancy queue');

    // modify the call by passing in the above action, putting the call
 in a queue
    new SNC.Notify().modifyCall(callRecord, notifyAction);
} else {
    gs.log('no such call record');
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

modifyCall() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - modifyCall()。

Notify - mute(GlideRecord participantRecord)

指定した電話会議の参加者をミュートします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord	notify_participant テーブルの、ミュート対象の参加者に対する GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、発信者をミュートする方法を示しています。

```
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
    SNC.Notify.mute(notifyParticipantGr);
}
```

スコープ対応

mute() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - mute()。

Notify - queueCall(GlideRecord callRecord)

指定したコールをキューに格納します (保留)。

dequeueCall() メソッドを使用して、キューに格納されたコールを再開します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	保留する Notify コールレコード (notify_call テーブル) の GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、コールを (キュー内で) 保留する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var notifyCallGr = new GlideRecord('notify_call');
notifyCallGr.get('active participant sys id');

if (notifyCallGr.isValid) {
    SNC.Notify.queueCall(notifyCallGr);
}
```

スコープ対応

queueCall() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - queueCall()。

通知 - sendBulkSMS(文字列 **notifyPhoneNumber**, 配列 **toPhoneNumbers**, 文字列 **messageBody**, **GlideRecord source)**

指定した SMS メッセージを、Notify クライアント (電話番号) の指定されたリストに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列	SMS メッセージの送信元となっている Notify 電話番号。
toPhoneNumbers	文字列のアレイ	SMS メッセージの送信先の電話番号のリスト (カンマ区切り)。 フォーマット：E.164
messageBody	文字列	送信する SMS テキスト。
source	GlideRecord	インシデントなど、この SMS メッセージを要求したソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Null

次の例は、一括 SMS メッセージを送信する方法を示しています。

```
var incidentGr = new GlideRecord('incident');
incidentGr.get(active incident sys_id');
if (incidentGr.isValid()) {
    SNC.Notify.sendBulkSMS('+15413970605', ['+919885XXXXXX',
 '+919775XXXXXX'], 'Test automation message', incidentGr);
}
```

スコープ対応

sendBulkSMS() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - sendBulkSMS()。

通知 - sendSMS(文字列 **notifyPhoneNumber**, 文字列 **toPhoneNumber**, 文字列 **messageBody**, **GlideRecord source)**

SMS テキストメッセージを E.164 に準拠した電話番号に送信します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドは、Notify メッセージ [notify_message] テーブルに新しいレコードを作成し、それをソースレコードに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列	SMS メッセージの送信元となっている Notify 電話番号。
toPhoneNumber	文字列	SMS メッセージの送信先となる E.164 に準拠した電話番号。
messageBody	文字列	SMS テキストメッセージの本文。
source	GlideRecord	インシデントなど、この SMS メッセージを要求したソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	一意のメッセージ SID。Notify メッセージ [notify_message] レコードに message_id として格納されます。

次の例は、SMS メッセージを送信する方法を示しています。

```
var incidentGr = new GlideRecord('incident');
incidentGr.get('active incident sys_id');
if (incidentGr.isValid()) {
    SNC.Notify.sendSMS('+15413970605', '+919885XXXXXX', 'Test automation
 message', incidentGr);
}
```

スコープ対応

sendSMS() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - sendSMS()。

Notify - unmute(GlideRecord participantRecord)

指定した電話会議の参加者のミュート状態を解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord	notify_participant テーブルの、ミュート解除の対象の参加者に対する GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、発信者をミュート解除する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
    SNC.Notify.unmute(notifyParticipantGr);
}
```

スコープ対応

unmute() メソッドをスコープ対象のアプリケーションで使用するには、対応するスコープ指定メソッドを使用します：NotifyScoped - unmute()。

NotifyScoped - スコープ指定

NotifyScoped API を使用すると、スクリプトを使用して Notify コールと SMS メッセージを操作できます。

NotifyScoped クラスとそれに関連するメソッドを `sn_notify` 名前空間から実行します。

NotifyScoped - call(文字列 **notifyPhoneNumber**, 文字列 **toPhoneNumber**, **GlideRecord conferenceCall**, **GlideRecord conferenceCallRecord**, 文字列 **userSysId**, 文字列 **groupSysId**, **GlideRecord sourceRecord)**

指定された E.164 準拠の電話番号に電話をかけます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列	コールの発信元の Notify 電話番号。コールを開始すると、この番号に関連付けられた番号グループの発信コールワークフローが実行されます。このワークフローに、ユーザーを電話会議に接続するための電話会議に参加アクティビティが含まれていることを確認します。
toPhoneNumber	文字列	コールする電話番号。コール先の番号が電話会議に追加されます。
conferenceCall	GlideRecord	オプション。このパラメーターが渡されると、*toPhoneNumber* パラメーターで識別された発信者が、このレコードで識別された電話会議に自動的に参加します。 電話会議レコードを識別する Notify コール [notify_call] テーブルの GlideRecord。このレコードは、workflow.scratchpad.conference_call 変数として発信コールワークフローのスクラッチパッドに自動的に追加されます。
userSysId	文字列	オプション。コールに関連付けられたユーザーの一意の識別子 (sys_id)。
groupSysId	文字列	オプション。コールに関連付けられたグループの一意の識別子 (sys_id)。
sourceRecord	GlideRecord	オプション。このコールを要求したソースレコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、別の電話番号へのコールを開始する方法を示しています。

```
var from = '+14048007337';
var to = '+31646810495';

// set up call
new sn_notify.NotifyScoped().call(from, to);
```

この例は、電話番号のリストへのコールを開始し、リスト内の番号を新しい電話会議に自動的に参加させる方法を示しています。

```
var notify = new sn_notify.NotifyScoped();
var from = '+14041234567';
var participants = ['+31612345678', '+31623456789', '+31687654321'];

// set up a conference call
var conferenceCall = notify.conferenceCall();

// set up the outbound calls for all conference call participants
for (var i in participants) {
    var to = participants[i];
    notify.call(from, to, conferenceCall);
}
```

NotifyScoped - conferenceCall(GlideRecord sourceRecord)

新しい電話会議の GlideRecord を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceRecord	GlideRecord	オプション。電話会議の作成要求を開始したレコード。notify_conference_call レコードのソースとテーブルのフィールドに入力するために使用されます。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	新しい Notify 電話会議 [notify_conference_call] レコード。

```
var notify = new sn_notify.NotifyScoped();
var from = '+14041234567';
var participants = ['+31612345678', '+31623456789', '+31687654321'];

// set up a conference call
var conferenceCall = notify.conferenceCall();

// set up the outbound calls for all conference call participants
for (var i in participants) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var to = participants[i];
    notify.call(from, to, conferenceCall);
}
```

NotifyScoped - dequeueCall(GlideRecord callRecord)

コールがキュー (保留中) に入れられた後に再開します。

このメソッドを使用して、*queueCall()* メソッドでキューに入れられたコールを再開します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	再開する保留中のコールを含む Notify コール [notify_call] テーブルの GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、保留中のコールを再アクティブ化する方法を示しています。

```
var notifyCallGr = new GlideRecord('notify_call');
notifyCallGr.get('active participant sys id');

if (notifyCallGr.isValid) {
    sn_notify.NotifyScoped.dequeueCall(notifyCallGr);
}
```

NotifyScoped - forwardCall(GlideRecord call, 文字列 destination, 文字列 dtmf)

指定されたコールを別のコール受信者に転送します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
call	GlideRecord または文字列	転送するコールの Notify コールレコードまたは電話通信プロバイダーのコール ID。
destination	GlideRecord または文字列	コールの転送先となる発信者の Notify 電話番号レコードまたは E.164 準拠の電話番号。
dtmf	文字列	Dual Tone - コール接続時に送信する Multi-Frequency (DTMF) コード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、コールを別の電話番号に転送する方法を示しています。

```
var callID = 'CA92374b5aa561dab476a7001db6026edc'; // Twilio Call ID
var phoneNumber = '+91406xxxxxxx';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var dtmfTones = null;

var notifyCallGr = new GlideRecord('notify_call');
notifyCallGr.get('active participant sys id');

if (notifyCallGr.isValid) {
    sn_notify.NotifyScoped.forwardCall(notifyCallGr(or) callID,
 phoneNumber, dtmfTones)
}
```

NotifyScoped - getAvailableClients(文字列 notifyNumber)

コールを受信できるクライアントセッションのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyNumber	文字列	有効な Notify 電話番号。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された電話番号の notify_client_session テーブルから取得された GlideRecord。 利用可能なクライアントセッションがない場合は「0」を返します。

次の例は、 *getAvailableClients()* メソッドを使用してnotify_client_sessionテーブルにインデックスを付け、利用可能なすべての通知クライアントを反復処理する方法を示しています。

```
var clientSessionGr =
 sn_notify.NotifyScoped.getAvailableClients('+185xxxxxxxx');
// Here clientSessionGr is of type GlideRecord on 'notify_client_session'
 table.

var isLoggedInUserAvailable = false;
while (clientSessionGr.next()) {
  if (clientSessionGr.user == gs.getUserID())
    isLoggedInUserAvailable = clientSessionGr.available;
}
gs.info('isLoggedInUserAvailable - ' + isLoggedInUserAvailable);
```

NotifyScoped - getPhoneNumbers()

Notify で利用可能なすべての電話番号と短縮コードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	NotifyPhoneNumber オブジェクトのリスト。各オブジェクトが、Notify で利用可能な 1 つの電話番号を表します。

この例は、Notify の電話番号を取得してリストを反復処理する方法を示しています。

```
// Instantiate notify
var notify = new sn_notify.NotifyScoped();

// Retrieve all available phone numbers
var phoneNumbers = notify.getPhoneNumbers();

// Iterate over phone numbers
for (var i = 0; i < phoneNumbers.length; i++) {
  var number = phoneNumbers[i];

  // Perform any actions using each phone number

}
```

NotifyScoped - getShortCodes()

Notify で利用可能なすべての短縮コードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、Notify の短縮コードを取得してリストを反復処理する方法を示しています。

```
// Instantiate notify
var notify = new sn_notify.NotifyScoped();

// Retrieve all available shortcodes
var shortCodes = notify.getShortCodes();

// Iterate over phone numbers
for (var i = 0; i < shortCodes.length; i++) {
  var shortCode = shortCodes[i];
  gs.log(shortCode.getNumber());

//perform any actions using each shortcode

}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyScoped - getTokens(GlideRecord, record)

WebRTC またはモバイルクライアントで使用するアクティブな電話ドライバーのクライアントトークンを返します。

このメソッドは、現在ログインしているユーザーレコードをクライアントとして使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	Notify クライアントを識別するために使用する GlideRecord (グループレコードやユーザーレコードなど)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	サポートされているドライバーの Web RTC トークン ({driverName1: "token1", driverName2: "token2"} 形式の JSON 文字列 ("TwilioDirect":"eyJhxxxx.eyJleHAiOilxxxx.7fejxxx_mbLxxx" など)

この例は、現在ログインしているユーザーのクライアントトークンを取得する方法を示しています。

```
// get Notify client Tokens per active Notify driver for the currently
 logged in user
var json = new sn_notify.NotifyScoped().getTokens();

// Parse the JSON that was return into a tokens object
var tokens = JSON.parse(json);

// Log line
gs.log('Notify client tokens for the currently logged in user');

 // iterate over the driver tokens
for (var driver in tokens) {
  gs.log(driver + ' Driver token: ' + tokens[driver]);
}
```

この例は、すべての Notify グループのクライアントトークンを取得する方法を示しています。

```
// instantiate Notify
var notify = new sn_notify.NotifyScoped.Notify();

// get all Notify Groups
var notifyGroup = new GlideRecord("notify_group");
notifyGroup.query();

// iterate over all notify groups
while (notifyGroup.next()) {
  // generate Notify Client tokens per active Notify Driver for this
 group
  var json = notify.getTokens(notifyGroup);
  var tokens = JSON.parse(json);

  for (var driver in tokens) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.log(gs.getMessage("Notify Client token for {0} driver and
 Notify Group '{1}': {2}", [driver, notifyGroup.getValue('name'),
 tokens[driver]]));
  }
}
```

この例は、アクティブな電話ドライバーのクライアントトークンを取得する方法を示しています。

```
var notify = new sn_notify.NotifyScoped();
var now_GR = new GlideRecord('sys_user');
if (now_GR.get(gs.getUserID())) {
  gs.info(notify.getTokens(now_GR));
}
```

出力：

```
{"TwilioDirect":"eyJhxxxx.eyJleHAiOiIxxxx.7fejxxx_mbLxxx"}
```

NotifyScoped - getTokenTTL(文字列 **owner)**

指定された電話ドライバーに対してクライアントセッションがアクティブな状態を維持する、自動タイムアウトまでの最大時間を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
owner	文字列	セッションの長さを取得する対象の電話ドライバーの名前。 有効な値： • Twilio：古いドライバーの場合 • TwilioDirect：新しいドライバーの場合

返される内容

タイプ	説明
整数	セッションの最長時間 (単位：秒)。 デフォルト：1800 秒

次の例は、このメソッドと関連する応答を正しく呼び出す方法を示しています。また、無効なドライバーが渡された場合に返されるものも示します。

```
var owner = "TwilioDirect";  // Valid driver
var ttl = SNC.Notify.getTokenTTL(owner);
gs.info("Token TTL for " + owner + " --> " + ttl);

owner = "Abcxyz";  // Invalid driver
ttl = SNC.Notify.getTokenTTL(owner);
// For an invalid driver, we throw NoSuchNotifyDriverException saying
 that Abcxyzdriver is not available
// and return the default value of TTL
gs.info("Token TTL for " + owner + " --> " + ttl);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyScoped - hasCapability(文字列 notifyPhoneNumber, 文字列 capability)

指定された電話番号に指定された機能があるかどうかを判断します。

電話番号に関連付けられた電話ドライバーに、電話のすべての機能のリストが含まれています。

注: ベースシステムでは、Notify JS ドライバーの機能としては「show_speakers」しかありませんが、これは変更可能です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	文字列	指定された機能を確認する電話番号。
capability	文字列	検出対象の機能。文字列テキストが電話内のテキストと完全に一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された電話に指定された機能があるかどうかを示すフラグ。 • true：電話に機能がある • false：電話に機能がない

この例では、電話に特定の機能があるかどうかを確認する方法を示します。

```
// Each driver has a defined set of capabilities.

var capability = 'show_speakers';
gs.info(sn_notify.NotifyScoped.hasCapability('+185xxxxxxxx',
 capability)); // true

capability = 'send_sms';
gs.info(sn_notify.NotifyScoped.hasCapability('+185xxxxxxxx',
 capability)); // false
```

NotifyScoped - kick(GlideRecord participant)

指定された発信者を現在の Notify 電話会議から除外します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	GlideRecord	電話会議から除外する発信者の Notify 参加者 [notify_participant] レコードを含む GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、通話から参加者を除外する方法を示しています。

```
var participant = new GlideRecord('notify_participant');
participant.get('<sys_id>');
if (participant.isValid()) {
    new sn_notify.NotifyScoped().kick(participant);
}
```

NotifyScoped - modifyCall(GlideRecord callRecord, NotifyAction notifyAction)

アクティブな Notify 電話のコールで 1 つ以上のアクティビティを実行します。

コールの動作を変更するには、このメソッドを使用します。たとえば、コールの転送、音声の再生、強制切断などです。

注: このメソッドのスコープ対象の実装では、カスタム Notify アクティビティのみがサポートされます。グローバル実装とは異なり、*NotifyAction* API は提供されません。カスタム通知アクティビティの作成方法の詳細については、「通知ワークフローアクティビティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	アクションを適用するコールの Notify コール [notify_call] レコード。
notifyAction	NotifyAction	コールで実行する 1 つ以上のアクティビティを記述する NotifyAction オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

NotifyScoped - mute(GlideRecord participantRecord)

指定した電話会議の参加者をミュートします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord	notify_participant テーブルの、ミュート対象の参加者に対する GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、発信者をミュートする方法を示しています。

```
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    sn_notify.NotifyScoped.mute(notifyParticipantGr);
}
```

NotifyScoped - queueCall(GlideRecord callRecord)

指定したコールをキューに格納します (保留)。

dequeueCall() メソッドを使用して、キューに格納されたコールを再開します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	保留する Notify コールレコード (notify_call テーブル) の GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var call = new GlideRecord('notify_call');
call.get('<call record sys_id>');
if (call.isValid()) {
    new sn_notify.NotifyScoped().queueCall(call);
}
```

NotifyScoped - sendBulkSMS(NotifyPhoneNumber notifyPhoneNumber, 文字列 toPhoneNumbers, 文字列 messageBody, GlideRecord source)

指定した SMS メッセージを、Notify クライアント (電話番号) の指定されたリストに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	NotifyPhoneNumber	SMS メッセージの送信元となる電話番号。
toPhoneNumbers	文字列	SMS メッセージの送信先の電話番号のカンマ区切りリスト。 フォーマット：E.164 準拠
messageBody	文字列	送信する SMS テキスト。
source	GlideRecord	インシデントなど、この SMS メッセージを要求したソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	Null

この例では、複数の電話番号に SMS メッセージを送信する (一括 SMS) 方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var incidentGr = new GlideRecord('incident');
incidentGr.get('active incident sys_id');
if (incidentGr.isValid()) {
    sn_notify.NotifyScoped.sendBulkSMS('+15413970605', ['+919885XXXXXX',
 '+919775XXXXXX'], 'Test automation message', incidentGr);
}
```

NotifyScoped - sendSMS(NotifyPhoneNumber notifyPhoneNumber, 文字列 toPhoneNumber, 文字列 messageBody, GlideRecord source)

SMS テキストメッセージを E.164 に準拠した電話番号に送信します。

このメソッドは、Notify メッセージ [notify_message] テーブルに新しいレコードを作成し、それをソースレコードに関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	NotifyPhoneNumber	この SMS メッセージの送信先となる Notify の電話番号または短縮コード。
toPhoneNumber	文字列	SMS メッセージの送信先となる E.164 に準拠した電話番号。
messageBody	文字列	SMS テキストメッセージ。
source	GlideRecord	インシデントなど、この SMS メッセージを要求したソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	一意のメッセージ SID。Notify メッセージ [notify_message] レコードに message_id として格納されます。

次の例は、SMS メッセージを送信する方法を示しています。

```
var incidentGr = new GlideRecord('incident');
incidentGr.get('active incident sys_id');
if (incidentGr.isValid()) {
    sn_notify.NotifyScoped.sendSMS('+15413970605', '+919885XXXXXX', 'Test
 automation message', incidentGr);
}
```

NotifyScoped - unmute(GlideRecord participantRecord)

指定した電話会議の参加者のミュート状態を解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord	notify_participant テーブルの、ミュート解除の対象の参加者に対する GlideRecord。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、指定されたコール参加者のミュートを解除する方法を示します。

```
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
    sn_notify.NotifyScoped.unmute(notifyParticipantGr);
}
```

NotifyAction - グローバル

NotifyAction API を使用すると、電話通信プロバイダーに送信するアクションを定義できます。

NotifyAction オブジェクトにアクションを追加するには、アクションのタイプごとにそれぞれの add 関数を呼び出します。各 add 関数は、 *addSay()* メソッドの SayAction オブジェクトなどの Action オブジェクトを返します。返されるオブジェクトの詳細については、各メソッドの例を参照してください。

注: *NotifyAction* API はグローバルアプリケーション内でのみ有効です。スコープ対象のアプリケーションでこのタイプの機能を使用するには、カスタムの Notify ワークフローアクティビティを作成する必要があります。これらのアクティビティの作成の詳細については、「通知ワークフローアクティビティ」を参照してください。

NotifyAction - addConference()

現在のコールを現在の電話会議に移動する会議アクションを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ConferenceAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。電話会議の名前や、参加者が参加または退席するときの電話会議の動作を定義するには、ConferenceAction オブジェクトを使用します。

この例は、会議アクションを追加して会議の名前を設定する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set its name
var conference = notifyAction.addConference();
conference.setName('Brown Bag: Week 3');
```

NotifyAction - addConference.setEndOnExit(ブーリアン endOnExit)

指定された発信者が電話会議を退出したときに電話会議を終了するかどうかを定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
endOnExit	ブーリアン	指定された発信者が現在の電話会議を退出したときに電話会議を終了するかどうかを示すフラグ。 • true：指定された発信者が電話会議を退出したときに電話会議を終了する • false：デフォルト。すべての参加者が退出したら電話会議を終了する

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、電話会議アクションを追加し、指定された発信者が退出したら電話会議を終了するように設定する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set the caller that starts the
 meeting
var conference = notifyAction.addConference();

// retrieve the participant for which the conference call should exit
 when they leave
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
conference.setEndOnExit(true);
}
```

NotifyAction - addConference.setHangupOnStar(ブーリアン **hangupOnStar)**

参加者が星印 (*) キーを押したときに電話会議を終了するかどうかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hangupOnStar	ブーリアン	参加者が星印 (*) キーを押したら電話会議を終了するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：電話会議を終了する • false：デフォルト。電話会議を終了しない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、会議アクションを追加して電話会議を記録する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set the hang up action
var conference = notifyAction.addConference();
conference.setHangupOnStar(true);
```

NotifyAction - addConference.setMuted(ブーリアン **muted)**

指定した発信者を現在の電話会議内でミュートするかどうかを定義します。

このメソッドを呼び出さない場合、デフォルトで発信者はミュートされません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
muted	ブーリアン	指定した発信者を現在の電話会議内でミュートするかどうかを示すフラグ。 • true：発信者をミュートする必要あり • false：デフォルト。発信者をミュートしない

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、会議アクションを追加して指定した発信者をミュートする方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set it to mute the specified
 participant
var conference = notifyAction.addConference();

var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
conference.setMuted(true);
}
```

NotifyAction - addConference.setName(文字列 **name)**

現在の電話会議の名前を指定された名前に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	現在の電話会議に関連付ける名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、会議アクションを追加して電話会議の名前を設定する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set its name
var conference = notifyAction.addConference();

conference.setName('Brown Bag: Week 3');
```

NotifyAction - addConference.setRecord(ブーリアン **record)**

関連付けられた電話会議を記録するかどうかを定義します。

このメソッドを呼び出さない場合、デフォルトで電話会議は記録されません。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	ブーリアン	現在の電話会議を記録するかどうかを示すフラグ。 • true：電話会議の記録を開始する • false：デフォルト。電話会議は録音されません。記録中の場合は記録が停止されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、会議アクションを追加して電話会議を記録する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set it to be recorded
var conference = notifyAction.addConference();
conference.setRecord(true);
```

NotifyAction - addConference.setStartOnEnter(ブーリアン **startOnEnter)**

指定された発信者が電話会議に参加したときに電話会議を開始するかどうかを定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、発信者が 2 人以上いれば必ず電話会議が開始されます。特定の発信者が参加したときにのみ電話会議が開始されるようにするには、他の発信者それぞれに対してこのメソッドを呼び出し、値を「false」に設定する必要があります。そうすると、目的のユーザーが電話会議に参加するまで電話会議は開始されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startOnEnter	ブーリアン	選択された発信者が現在の電話会議に参加したら電話会議を開始するかどうかを示すフラグ。 • true：デフォルト。指定された発信者が電話会議に参加したら電話会議を開始する。 • false：指定された発信者が追加された後に電話会議を開始する

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、電話会議アクションを追加し、指定された発信者が参加するまで電話会議が開始しないように設定する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a conference call action and set the caller that starts the
 meeting
var conference = notifyAction.addConference();

// retrieve the participant for which the conference call should start
 when they arrive
var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

if (notifyParticipantGr.isValid) {
conference.setStartOnEnter(true);
}
```

NotifyAction - addDial()

指定された電話番号または Notify クライアントにコールを転送します。

addDial アクションを作成したら、関連する電話番号 (*setPhoneNumber()*) または Notify クライアント (*setClientRecord()*) も設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DialAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。

この例では、発信コールを行ってコールを記録する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// Invoke setRecord(Boolean record) to record the call to this new number
 +919765xxxxxxx
dialAction.setRecord(true);
```

NotifyAction - addDial.setCallerID(文字列 **callerID)**

発信コールの発信者 ID を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callerID	文字列	発信コールに設定する発信者識別子。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信コールを行ってコールのタイムアウトを設定する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// Set the caller ID
dialAction.setCallerID('Planning Conf Call');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyAction - addDial.setClientRecord(文字列 **tableName**, 文字列 **sysID)**

Notify の発信者レコードと発信者の一意の識別子を検索するテーブルを指定して、現在の発信者を Notify の発信者に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	目的の発信者の情報を含むテーブルの名前。
sysID	文字列	目的の Notify 発信者の一意の識別子 (sys_id)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、setClientRecord() を使用して現在の発信者を Notify の発信者に設定する方法を示します。

```
// set up a dial action to forward the
// call to the specified client
var action = new SNC.NotifyAction();
var dial = action.addDial();
dial.setClientRecord(notifyClientRecord.getTableName(),
 notifyClientRecord.getUniqueValue());
dial.setTimeout(activity.vars.timeout);
dial.setRecord(activity.vars.record);
```

NotifyAction - addDial.setDTMF(文字列 **value)**

コールが接続されたときに再生する DTMF トーンを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	コールが接続されたときに再生する有効な DTMF の番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信コールを行ってコールの接続時に再生する DTMF トーンを定義する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// DTMF tones to play when call connects
dialAction.setDTMF("1246AF");
```

NotifyAction - addDial.setHangupOnStar(ブーリアン **hangupOnStar)**

星印 (*) キーが押されたときにコールを終了するかどうかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
hangupOnStar	ブーリアン	星印 (*) キーが押されたときにコールを終了するかどうかを示すフラグ。 • true：コールを終了する • false：コールを終了しない

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信コールを行って切断キーを星印に設定する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// End call by pressing star
dialAction.setHangupOnStar(true);
```

NotifyAction - addDial.setPhoneNumber(文字列 **phoneNumber)**

発信先の電話番号を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber	文字列	発信先の E.164 準拠の電話番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、発信コールを行ってコールのタイムアウトを設定する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');
```

NotifyAction - addDial.setRecord(ブーリアン **record)**

発信コールを記録するかどうかを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record		発信コールを記録するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：発信コールを記録する • false：発信コールを記録しない

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信コールを行ってコールを記録する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// Record the call
dialAction.setRecord(true);
```

NotifyAction - addDial.setTimeout(整数 **timeout)**

発信コールがタイムアウトするまでの時間を秒単位で設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeout	整数	発信コールがタイムアウトするまでの秒数。デフォルト：30

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信コールを行ってコールのタイムアウトを設定する方法を示します。

```
// Initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addDial() to connect to another party - this returns an object of
 type DialAction
var dialAction = notifyAction.addDial();

// Call setPhoneNumber(String phoneNumber)in DialAction.java to specify
 the phone number to dial
dialAction.setPhoneNumber('+919765xxxxxxx');

// Set the number of seconds to wait before timing out
dialAction.setTimeout(45);
```

NotifyAction - addGather()

指定したインタラクティブ電話メニューを発信者の画面に表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GatherAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。GatherAction オブジェクトを使用して、ユーザーの画面に表示するメニュー設定とオプションを定義します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// present the user with a menu
var gather = notifyAction.addGather();
gather.setNumberOfDigits(1);    // the user can type 1 digit
gather.setFinishKey('#');       // # or *, useful for > 1 digit
gather.setTimeout(10);          // time to enter answer, in seconds

// add first menu item
var usSay = gather.addSay();
usSay.setText('Press 1 for english');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
usSay.setLanguage('en-US');

// add second menu item
var nlSay = gather.addSay();
nlSay.setText('Kies 2 voor Nederlands');
nlSay.setLanguage('nl-NL');

// add third menu item
var frSay = gather.addSay();
frSay.setText('Choisissez 3 pour le français.');
frSay.setLanguage('fr-FR');

// and finish off with an applause
var play = gather.addPlay();
play.setURL('http://
www.wavsource.com/snds_2015-04-12_5971820382841326/sfx/applause_y.wav');
```

NotifyAction - addGather.addPlay()

コール中にオーディオファイルを再生します。

サポートされている子メソッドの説明については、NotifyAction *addPlay()* メソッドを参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
PlayAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。PlayAction オブジェクトを使用して、オーディオファイルの URL とオーディオをループさせる回数を定義します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Create the gather action object
var gather = notifyAction.addGather();

// Play an audio file
var play = gather.addPlay();
play.setURL('http://
www.wavsource.com/snds_2015-04-12_5971820382841326/sfx/applause_y.wav');
```

NotifyAction - addGather.addSay()

コール中に読み上げるテキスト読み上げを定義します。

サポートされている子メソッドの説明については、NotifyAction *addSay()* メソッドを参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
SayAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。SayAction オブジェクトを使用して、読み上げるテキストと言語を定義します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// present the user with a menu
var gather = notifyAction.addGather();
gather.setNumberOfDigits(1);    // the user can type 1 digit
gather.setTimeout(20);          // time to enter answer, in seconds

// add first menu item
var gatherSay = gather.addSay();
gatherSay.setText('Press 1 for english');
gatherSay.setLanguage('en-US');
```

NotifyAction - addGather.setFinishKey(文字列 **finishKey)**

入力の終了を示すために発信者が入力するキーを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
finishKey	文字列	発信者の入力の終了を示すキー。 有効な値： • 0 ～ 9 • # (デフォルト) • *

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、収集アクションを追加して、発信者入力の終了を示すキーを定義する方法を示しています。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

var gather = notifyAction.addGather();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gather.setNumberOfDigits(4);    // the user can type four digit
gather.setFinishKey('#');       // # or *, useful for > 1 digit
```

NotifyAction - addGather.setNumberOfDigits(整数 numberOfDigits)

収集する桁数を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
numberOfDigits	整数	収集する桁数。ゼロは無効な値です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、収集アクションを追加し、収集するキーストロークの回数を定義する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// present the user with a menu
var gather = notifyAction.addGather();
gather.setNumberOfDigits(4);    // the user can type four digit
gather.setFinishKey('#');       // # or *, useful for > 1 digits
gather.setTimeout(20);          // time to enter answer, in seconds
```

NotifyAction - addGather.setTimeout(整数 timeout)

入力の収集がタイムアウトするまでの時間を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeout	整数	発信者の入力がタイムアウトするまでに待機する秒数。デフォルト：10

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、収集アクションを追加し、入力のタイムアウトの値を定義する方法を示しています。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// present the user with a menu
var gather = notifyAction.addGather();
gather.setNumberOfDigits(4);    // the user can type 1 digit
gather.setFinishKey('#');       // # or *, useful for > 1 digits
gather.setTimeout(20);          // time to enter answer, in seconds
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyAction - addHangUp()

アクティブな通話を終了します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HangUpAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// hang up
notifyAction.addHangUp();
```

NotifyAction - addQueue()

コールをキューに入れて保留します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
QueueAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。QueueAction オブジェクトを使用して、キュー名、およびキューへの追加と取り出しの動作を定義します。

この例は、指定したキューにコールを追加する方法を示しています。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// queue the call
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setName('my queue');
```

この例は、キューからコールを取り出す方法を示しています。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// dequeue the call
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setDequeue(true);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyAction - addQueue.setDequeue(ブーリアン dequeue)

現在のコールキューからコールを取り出します (「保留」の解除)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dequeue	ブーリアン	現在のコールをキューから取り出すかどうかを示すフラグ。 • true：コールをキューから取り出す • false：コールをキューに入れておく

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、キューからコールを取り出す方法を示しています。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// dequeue the call
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setDequeue(true);
```

NotifyAction - addQueue.setName(文字列 name)

キューに関連付けられる名前を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	キューに関連付ける名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、キューの名前を定義する方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// queue the call
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setName('my queue');
```

NotifyAction - addPlay()

コール中にオーディオファイルを再生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
PlayAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。PlayAction オブジェクトを使用して、オーディオファイルの URL とオーディオをループさせる回数を定義します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a play action
var play = notifyAction.addPlay();
play.setURL('http://www.moviesounds.com/2001/imsorry.wav');
play.setLoop(1);
```

NotifyAction - addPlay.setLoop(整数 **loop)**

オーディオファイルを再生する (ループする) 回数を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
loop	整数	オーディオファイルの再生回数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a play action
var play = notifyAction.addPlay();
play.setURL('http://www.moviesounds.com/2001/imsorry.wav');
play.setLoop(2);
```

NotifyAction - addPlay.setURL(文字列 **url)**

再生するオーディオファイルを取得する URL を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	再生するオーディオファイルの URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a play action
var play = notifyAction.addPlay();
play.setURL('http://www.moviesounds.com/2001/imsorry.wav');
play.setLoop(1);
```

NotifyAction - addRecord()

現在の NotifyAction オブジェクトに、コールを記録するアクションを追加します。

コールが完了するか、指定された終了キー (*setFinishKey()*) が押されると、記録が自動的に終了します。記録したものは、関連付けられたコールの notify_record テーブルに格納されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを記録する方法を示します。

```
// First we initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Call addRecord() of NotifyAction - This returns an object of type
 RecordAction
var recordAction = notifyAction.addRecord();

// Optional. Define the key that callers use to stop the recording
recordAction.setFinishKey('#'); // Stop the call recording when caller
 presses the '#' key.
```

NotifyAction - addRecord.setFinishKey(文字列 finishKey)

記録を終了するキーを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
finishKey	文字列	記録を終了するキー。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 0 ～ 9 • # (デフォルト) • *

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを記録してコール終了キーを設定する方法を示します。

```
// First we initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Then we call addRecord() of NotifyAction
var recordAction = notifyAction.addRecord();

// Set the key that terminates the recording
recordAction.setFinishKey('#'); // This means that we stop the call
 recording when user presses the '#' key.
```

NotifyAction - addRecord.setMaxDuration(整数 **seconds)**

記録の最大長を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
seconds	整数	記録の最長時間 (単位：秒)。デフォルト：3600

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを記録してコール終了キーを設定する方法を示します。

```
// First we initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Then we call addRecord() of NotifyAction
var recordAction = notifyAction.addRecord();

// Set the maximum length of the recording
recordAction.setMaxDuration(4800);
```

NotifyAction - addRecord.setTimeout(整数 **timeout)**

記録が終了するまでの無音の秒数を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeout	整数	記録が終了するまでのコールの無音の秒数。デフォルト：10

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを記録して記録のタイムアウトの値を設定する方法を示します。

```
// First we initialize NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Then we call addRecord() of NotifyAction
var recordAction = notifyAction.addRecord();

// Set the recoding timeout value
recordAction.setTimeout(360);
```

NotifyAction - addReject()

着信コールを拒否します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
RejectAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。RejectAction オブジェクトを使用して、コールを拒否する理由を定義します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// reject the call
var rejectAction = notifyAction.addReject();
rejectAction.setReason('busy'); // 'busy' or 'rejected'
```

NotifyActon - addReject.setReason(文字列 reason)

コールが拒否された理由を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reason	文字列	コールが拒否された理由。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• busy • rejected 他のすべての値は無視されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// reject the call
var rejectAction = notifyAction.addReject();
rejectAction.setReason('busy'); // 'busy' or 'rejected'
```

NotifyAction - addSay()

コール中に読み上げるテキスト読み上げを定義します。

テキスト読み上げでは複数の言語がサポートされます。利用可能な言語は電話プロバイダーによって異なります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
SayAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。SayAction オブジェクトを使用して、読み上げるテキストと言語を定義します。

この例では、複数の言語でテキストを読み上げる方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a say action to say something in US English
var usSay = notifyAction.addSay();
usSay.setText('Welcome. I can speak english');
usSay.setLanguage('en-US');

// add a say action to say something in Dutch
var nlSay = notifyAction.addSay();
nlSay.setText('Ik spreek ook vloeiend nederlands');
nlSay.setLanguage('nl-NL');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// and german
var deSay = notifyAction.addSay();
deSay.setText('Und ich kan auch deutsch sprechen');
deSay.setLanguage('de-DE');
```

NotifyAction - addSay.setLanguage(文字列 **language)**

テキストを読み上げる言語を定義します。

このメソッドを *setText()* メソッドと併用して、読み上げる際の言い回しを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
言語	文字列	関連するテキストを読み上げる際の言語を定義する ISO 3166 言語コード。「en-US」や「nl-NL」など。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、複数の言語でテキストを読み上げる方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a say action to say something in US English
var usSay = notifyAction.addSay();
usSay.setText('Welcome. I can speak english');
usSay.setLanguage('en-US');

// add a say action to say something in Dutch
var nlSay = notifyAction.addSay();
nlSay.setText('Ik spreek ook vloeiend nederlands');
nlSay.setLanguage('nl-NL');

// and german
var deSay = notifyAction.addSay();
deSay.setText('Und ich kan auch deutsch sprechen');
deSay.setLanguage('de-DE');
```

NotifyAction - addSay.setText(文字列 **text)**

現在のコール内で読み上げるテキストを定義します。

このメソッドを *setLanguage()* メソッドと併用して、指定したテキストを読み上げる際の言語を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	現在のコール内で読み上げるテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、複数の言語でテキストを読み上げる方法を示します。

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a say action to say something in US English
var usSay = notifyAction.addSay();
usSay.setText('Welcome. I can speak english');
usSay.setLanguage('en-US');

// add a say action to say something in Dutch
var nlSay = notifyAction.addSay();
nlSay.setText('Ik spreek ook vloeiend nederlands');
nlSay.setLanguage('nl-NL');

// and german
var deSay = notifyAction.addSay();
deSay.setText('Und ich kan auch deutsch sprechen');
deSay.setLanguage('de-DE');
```

NotifyAction - addSMS()

SMS メッセージを送信します。

注: アクティブなコールでこの関数を使用する場合は、返された SMSAction オブジェクトに対して *setTo* 関数を呼び出す必要はありません。SMS は自動的に発信者に送信されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
SMSAction	NotifyAction オブジェクトに追加されたアクション。SMSAction オブジェクトを使用して、メッセージテキストと、メッセージの送信先の電話番号を定義します。

```
// Instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// Define where to send the SMS to
var number = new GlideElementPhoneNumber();
number.setPhoneNumber('+31612345678', true);

// Add an SMS action
var sms = notifyAction.addSMS();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
sms.setMessage('Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing
 elit.');
sms.setTo(number);
```

NotifyAction - addSMS.setMessage(文字列 message)

送信する SMS メッセージのテキストを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	送信する SMS メッセージのテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// define where to send the sms to
var number = new GlideElementPhoneNumber();
number.setPhoneNumber('+31612345678', true);

// add a SMS action
var sms = notifyAction.addSMS();
sms.setMessage('Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing
 elit.');
sms.setTo(number);
```

NotifyAction - addSMS.setTo(文字列 to)

SMS メッセージの送信先となる電話番号を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
to	文字列	SMS メッセージの送信先となる E.164 に準拠した電話番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// instantiate NotifyAction
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// define where to send the sms to
var number = new GlideElementPhoneNumber();
number.setPhoneNumber('+31612345678', true);

// add a SMS action
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var sms = notifyAction.addSMS();
sms.setMessage('Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing
 elit.');
sms.setTo(number);
```

NotifyAction - append(NotifyAction action)

指定された NotifyAction オブジェクトを現在のクライアントの NotifyAction オブジェクトに追加します。

NotifyAction には、ターミナルと非ターミナルの 2 つのタイプがあります。クライアントの NotifyAction オブジェクトにターミナルアクションを追加すると、それ以上のアクションを追加できません。非ターミナルアクションは次のとおりです。

- PlayAction
- RecordAction
- SayAction
- SMSAction

他のすべての NotifyAction はターミナルです。ターミナルアクションの後に別の NotifyAction を追加しようとすると、コールが失敗します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	NotifyAction	現在の発信者の NotifyAction オブジェクトに追加する NotifyAction オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

NotifyAction - fromJson(文字列 json)

JSON 文字列から *NotifyAction* オブジェクトを逆シリアル化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
json	文字列	*NotifyAction* オブジェクトの JSON 文字列表現。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、NotifyAction オブジェクトを逆シリアル化する方法を示します。

```
var json = ".... some json obtained from toJson ....";

// instantiate notify action
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// deserialize and reconstruct the notify action instance
notifyAction.fromJson(json);
```

この例では、NotifyAction オブジェクトをシリアル化および逆シリアル化する方法を示します。

```
// instantiate notify action
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a queue
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setName('myQueueName');
queue.setDequeue(false);

// serialize to json
var json = notifyAction.toJson();
gs.log('serialization result: ' + json);

// instantiate a new notify action
var newAction = new SNC.NotifyAction();

// deserialize the json generated above
newAction.fromJson(json);

// serialize the new object and log the result
newJson = newAction.toJson();
gs.log('new serialization result: ' + newJson);
gs.log('the same: ' + (json == newJson));
```

出力：*** Script: serialization result: {"fClassName":"NotifyAction","fActions":[{"fClassName":"QueueAction","fDequeue":true,"fQueueName":"myQueueName"}]}
*** Script: new serialization result: {"fClassName":"NotifyAction","fActions":[{"fClassName":"QueueAction","fDequeue":true,"fQueueName":"myQueueName"}]} *** Script: the same: true

NotifyAction - setCallRecord(GlideRecord callRecord)

後続のアクションを追加する Notify コールのレコードを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callRecord	GlideRecord	アクションを追加する発信者のレコード (notify_call テーブル内) を含む GlideRecord。この発信者は、このメソッドが別の発信者で再度呼び出されるまで影響を受け続けます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、アクションを追加する対象の発信者を設定する方法を示しています。

```
public NotifyAction runIncomingCallWorkflow(NotifyPhoneNumber
 notifyPhoneNumber, GlideRecord callRecord) throws
 NoWorkflowConfiguredException, NoSuchNotifyGroupRecordException {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   NotifyAction notifyAction = runWorkflow(notifyPhoneNumber,
 COL_INCOMING_CALL_WF, callRecord);
   notifyAction.setCallRecord(callRecord);
   return notifyAction;
}
```

NotifyAction - toJson()

NotifyAction オブジェクトを JSON 文字列にシリアル化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	この NotifyAction オブジェクトの JSON 表現。

この例では、NotifyAction オブジェクトをシリアル化する方法を示します。

```
// instantiate notify action
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add one or more notify actions
// ...

// and serialize to json
var json = notifyAction.toJson();
```

この例では、NotifyAction オブジェクトをシリアル化および逆シリアル化する方法を示します。

```
// instantiate notify action
var notifyAction = new SNC.NotifyAction();

// add a queue
var queue = notifyAction.addQueue();
queue.setName('myQueueName');
queue.setDequeue(false);

// serialize to json
var json = notifyAction.toJson();
gs.log('serialization result: ' + json);

// instantiate a new notify action
var newAction = new SNC.NotifyAction();

// deserialize the json generated above
newAction.fromJson(json);

// serialize the new object and log the result
newJson = newAction.toJson();
gs.log('new serialization result: ' + newJson);
gs.log('the same: ' + (json == newJson));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：*** Script: serialization result: {"fClassName":"NotifyAction","fActions":[{"fClassName":"QueueAction","fDequeue":true,"fQueueName":"myQueueName"}]} *** Script: new serialization result: {"fClassName":"NotifyAction","fActions":[{"fClassName":"QueueAction","fDequeue":true,"fQueueName":"myQueueName"}]} *** Script: the same: true

NotifyConferenceUtil：スコープ指定、グローバル

NotifyConferenceUtil API は、ZoomやWebexなどのさまざまなテレフォニーサービスプロバイダーの通知電話会議と SMS メッセージを管理するためのメソッドを提供します。

NotifyConferenceUtil API を使用すると、次のことができます。

- 新しい電話会議を作成する
- 電話番号またはユーザー ID によって参加者を追加する
- 電話会議から参加者を除外する
- 電話会議で参加者をミュート状態にする
- 電話会議で参加者のミュート状態を解除する
- 指定されたサービスプロバイダーの機能を取得する
- 電話会議を終了する

この API は、スコープ指定のスクリプトでもグローバルのスクリプトでも使用できます。この API を使用するには、個別のサブスクリプションが必要な Conference Notify プラグイン (com.snc.notify) をアクティブ化する必要があります。このプラグインのアクティブ化の詳細については、「通知のアクティブ化」を参照してください。

NotifyConferenceUtils - NotifyConferenceUtils()

NotifyConferenceUtils オブジェクト (コンストラクター) をインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
function () {
 var confGR = new GlideRecord('notify_conference_call');
 confGR.get('76d3364d0b5133008e64aabcb4673a6d');

 var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
 var actionResult =
 confUtils.addToConferenceByPhoneNumber("+917799555331", confGR)
 if (actionResult.status)
  gs.info('Participant has been added to conference');
 else {
  gs.info('join operation failed');
  actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
   gs.info(msg);
  });
  actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
   gs.info(msg);
  })
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 }
})();
```

NotifyConferenceUtils - addToConferenceByPhoneNumber(文字列 **toNumber**, **GlideRecord confGR)**

参加者を識別する電話番号を使用して、指定された電話会議に参加者を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
toNumber	文字列	電話会議に追加する参加者の電話番号。
confGR	GlideRecord	指定された参加者を追加する電話会議の GlideRecord。このレコードは Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 <action>.status：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました <action>.successMessages：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.warnMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.errorMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
function () {
 var confGR = new GlideRecord('notify_conference_call');
 confGR.get('76d3364d0b5133008e64aabcb4673a6d');

 var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
 var actionResult =
 confUtils.addToConferenceByPhoneNumber("+917799555331", confGR)
 if (actionResult.status)
  gs.info('Participant has been added to conference');
 else {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info('join operation failed');
  actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
   gs.info(msg);
  });
  actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
   gs.info(msg);
  })
 }
})();
```

NotifyConferenceUtils - addToConferenceByUserId(文字列 userId, GlideRecord confGR)

一意のユーザー識別子を使用して、渡された GlideRecord によって参照される電話会議に参加者を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	指定された電話会議に追加する参加者のSys ID。この情報はユーザー [sys_user] テーブルにあります。
confGR	GlideRecord	指定された参加者を追加する電話会議の GlideRecord。このレコードは Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
(function () {
 var confGR = new GlideRecord('notify_conference_call');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
confGR.get('76d3364d0b5133008e64aabcb4673a6d');

var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
var actionResult = confUtils.addToConferenceByUserId(gs.getUserID(),
confGR)
if (actionResult.status)
 gs.info('Participant has been added to conference');
else {
 gs.info('join operation failed');
 actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
 actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 })
}
})();
```

NotifyConferenceUtils - doConferenceAction(文字列 **action**, オブジェクト **data)**

電話会議の開始/終了や、電話会議への参加者の追加、除外、ミュート、またはミュート解除などの指定された電話会議アクションを実行します。

新しい電話会議を開始し、このメソッドを 1 回呼び出すことで複数の参加者を追加するか、メソッドを複数回呼び出すことで通話を開始して参加者を個別に管理することができます。さらに、渡されたデータオブジェクトを使用して、次のようにメソッドを設定できます。

- 電話会議レコードのポインターを、電話会議のディスカッションのトピックであるインシデントや問題といった特定のレコード (ソースレコード) に保存します。
- ソースレコードの複数の電話会議を許可または禁止します。
- 電話会議に参加していた参加者を、ソースレコードの [作業メモ] フィールドに自動的に記録します。
- 参加者が会議からの発信コールに応答したときにメッセージを読み上げます。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行する電話会議アクションを定義します。 利用可能な電話会議アクションは次のとおりです。 • start：*data.confId* で識別された電話会議を開始します。 • end：*data.confId* で識別された電話会議を終了します。 • join：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議に追加します。 • multiJoin：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議に追加します。 • selfJoin：現在ログインしているユーザーを電話会議に追加します (*data.items* のエントリは必要ありません) • kick：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議から削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• multiKick：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議から削除します。 • mute：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュートします。 • multiMute：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュートします。 • unmute：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュート状態を解除します。 • multiUnmute：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュート状態を解除します。
data	オブジェクト	電話会議を説明するオブジェクト。
data.addToWorkNotes	ブール	関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、作業メモを追加するレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin • selfJoin
data.allowMulticonference	ブール	特定のレコードに対して一度に複数の電話会議を許可するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、複数の電話会議を許可されているレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• start
data.confId	文字列	電話会議の sys ID。 会議の sys ID は Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。 このパラメーターが必要なアクション： • end • join • multiJoin • selfJoin 注: ミュート、ミュート解除、除外などの参加者アクションでは、メソッドが Notify 電話会議参加者 [notify_participant] テーブルからこの情報を取得するために、このパラメーターを設定する必要はありません。
data.fromNumber	文字列	電話会議のために呼び出すサービスプロバイダーの番号。 この値は、Notify 電話番号 [notify_number] テーブルの [Number] または [Phone number] 列で見つけます。 このパラメーターが必要なアクション： • start
data.isNewConference	ブール	新規の電話会議か既存の電話会議かを示すフラグ。 有効な値： • true：新規の電話会議 • false：既存の電話会議 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.items	アレイ	電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • id：ユーザーの sys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 有効なアクション：join、multiJoin、start

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• notifyParticipantId：Notify 参加者の Sys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。 有効なアクション： join、kick、multiJoin、mute、start、unmute • phoneNumber：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユーザー/参加者レコードの電話番号より優先され、コールを発信するために使用されます。 有効なアクション：join、multiJoin、start • email：参加者のメールアドレス。 有効なアクション：join、multiJoin、start
data.message	文字列	ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。 このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin
data.serviceProvider	文字列	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。 このパラメーターが必要なアクション： • すべて
data.sysId	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• start
data.table	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション： • start

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
(function (confId) {
 var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
 var data = confUtils.getConferenceInputDataTemplate();
 data.table = 'incident';
 data.sysId = '1234';
 data.addToWorkNotes = false;
 data.confId = confId;
 data.message = 'p1 incident has been created';
 data.fromNumber = 'twilio/Telephony driver number';
 data.items.push({ id: 'user3SysId', phoneNumber: '+917799555332' });
 data.items.push({ id: 'user4SysId', email: 'yln99518@gmail.com' });

 var result = confUtils.doConferenceAction('start', data);
 if (result.status) {
  gs.info('Start conference action succeeded');
 } else
  gs.info('Start conference action failed');

 result.errorMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
 result.warnMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
 result.successMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
})('activeConfSysId');
```

NotifyConferenceUtils - getConferenceInputDataTemplate()

doConferenceAction() メソッドで使用する JSON データテンプレートを返します。このテンプレートを使用すると、データオブジェクトが自動的に構造化されるため、手動で作成する必要はありません。

このメソッドを呼び出してから、*doConferenceAction()* メソッドを呼び出します。目的の電話会議アクションに対して、テンプレート内で目的のパラメーターを設定し、*doConferenceAction()* コールでテンプレートを渡します。各アクションの有効なパラメーターの詳細については、「doConferenceAction()」を参照してください。

注: これはヘルパーメソッドです。このオブジェクトを手動で構築し、そのオブジェクトを *doConferenceAction()* メソッドに渡す方法でも、同じ結果が得られます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
data	電話会議を説明するオブジェクト。
data.addToWorkNotes	関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、作業メモを追加するレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin • selfJoin
data.allowMultconference	特定のレコードに対して一度に複数の電話会議を許可するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、複数の電話会議を許可されているレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.confId	電話会議の sys ID。 会議の sys ID は Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。 このパラメーターが必要なアクション： • end • join • multiJoin • selfJoin **注:** ミュート、ミュート解除、除外などの参加者アクションでは、メソッドが Notify 電話会議参加者 [notify_participant] テーブルからこの情報を取得するために、このパラメーターを設定する必要はありません。
data.fromNumber	電話会議のために呼び出すサービスプロバイダーの番号。 この値は、Notify 電話番号 [notify_number] テーブルの [Number] または [Phone number] 列で見つけます。 このパラメーターが必要なアクション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• start
data.isNewConference	新規の電話会議か既存の電話会議かを示すフラグ。 有効な値： • true：新規の電話会議 • false：既存の電話会議 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.items	電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • id：ユーザーの sys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 有効なアクション：join、multiJoin、start • notifyParticipantId：Notify 参加者の Sys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。 有効なアクション： join、kick、multiJoin、mute、start、unmute • phoneNumber：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユーザー/参加者レコードの電話番号より優先され、コールを発信するために使用されます。 有効なアクション：join、multiJoin、start • email：参加者のメールアドレス。 有効なアクション：join、multiJoin、start
data.message	ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。 このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
data.serviceProvider	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。 このパラメーターが必要なアクション： • すべて
data.sysId	電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション： • start
data.table	電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション： • start

```
(function (confId) {
 var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
 var data = confUtils.getConferenceInputDataTemplate();
 data.confId = confId;
 var result = confUtils.doConferenceAction('end', data);
 if (result.status) {
  gs.info('Conference call has been ended');
 } else
  gs.info('End conference call action failed');

 result.errorMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 result.warnMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
 result.successMessages.forEach(function (msg) {
  gs.info(msg);
 });
})('activeConfSysId');
```

NotifyConferenceUtils - getServiceProvidersCapabilities()

インスタンス内のすべての電話通信サービスプロバイダーのドライバーの機能を返します。

返される可能性のある機能には以下のようなものがあります。

- archive：終了後に会議をアーカイブする
- beepOnLeave：参加者が電話会議から退出したときに「ビープ」音を再生する
- beepOnJoin：参加者が電話会議に参加したときに「ビープ」音を再生する
- end：特定された電話会議を終了する
- filesharing：参加者間でファイルを共有可能にする
- join：電話会議に参加者を追加する
- kick：電話会議から参加者を除外する
- multiJoin：電話会議に複数の参加者を追加する
- multiKick：電話会議から複数の参加者を除外する
- muteOnJoin：電話会議への参加者の初回参加時にその参加者をミュートする
- multiUnmute：電話会議に対して複数の参加者のミュートを解除する
- record：電話会議を記録する
- recording：電話会議の記録中に画面上のインジケーターを表示する
- screenSharing：参加者の画面をグループと共有可能にする
- selfJoin：現在ログインしているユーザーを電話会議に追加する
- speaking：現在発言しているユーザーについて画面にメッセージを表示する
- start：識別された電話会議を開始する
- unmute：電話会議で参加者のミュート状態を解除する

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各ドライバー機能のステータスのキーと値のペア。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• isSupported = 0：機能はサポートされていない • isSupported = 1：機能はサポートされている

インスタンス内のすべての電話通信サービスプロバイダーのドライバーの機能を一覧表示します。

```
(function () {
 var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
 var providerToCapability = confUtils.getServiceProvidersCapabilites();
 for (var provider in providerToCapability) {
  gs.info('{0} supported capabilities \n\n', provider);
  var capabilities = providerToCapability[provider]
  for (var cap in capabilities)
   if(confUtils.isActionSupported(capabilities[cap].isSupported))
    gs.info('"{0}" action supported', cap);
   else
    gs.info("'{0}' action is not supported by this conference driver",
 cap);
 }
})();
```

出力：このメソッドは、インスタンス内のアクティブな電話通信サービスプロバイダーごとに次のようなノードを返します。

```
{
    "Telephony": {
        "start": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "end": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "selfJoin": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "join": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiJoin": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "mute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiMute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        "unmute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiUnmute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "kick": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiKick": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "record": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "speaking": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "recording": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "screenSharing": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "fileSharing": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "archive": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "muteOnJoin": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "beepOnJoin": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "beepOnLeave": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        }
    }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyConferenceUtils - isActionSupported(数字 action)

Notify 会議アクションが電話通信サービスプロバイダーによってサポートされているかどうかを判断します。

このメソッドを使用するには、まず *getServiceProviderCapabilities()* メソッドを呼び出す必要があります。このメソッドは、インスタンスで設定された各サービスプロバイダーに対して実行可能な Notify 会議アクションそれぞれの可用性に関する情報を含むオブジェクトを返します。

例：

```
{
    "Telephony": {
        "start": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "end": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "selfJoin": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "join": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiJoin": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "mute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiMute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "unmute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiUnmute": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "kick": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "multiKick": {
            "isSupported": 1,
            "meta": {}
        },
        "record": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "speaking": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "recording": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "screenSharing": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "fileSharing": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "archive": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "muteOnJoin": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "beepOnJoin": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        },
        "beepOnLeave": {
            "isSupported": 0,
            "meta": {}
        }
    }
}
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	数字	特定のアクションおよびサービスプロバイダーの *getServiceProvidersCapabilities()* メソッドによって返される *isSupported* パラメーターの値。 **注:** *isSupported* の値はブーリアンのように見えますが、実際には数字です。機能をブーリアン値として評価しないでください。関連する値は将来のバージョンで拡張される可能性があるため、このメソッドを使用してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	電話通信サービスプロバイダーが指定されたアクションをサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アクションはサービスプロバイダーによってサポートされている • false：アクションはサービスプロバイダーによってサポートされていない

```
(function () {
  var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
  var providerToCapability = confUtils.getServiceProvidersCapabilites();
    for (var provider in providerToCapability) {
      gs.info('{0} supported capabilities \n\n', provider);
      var capabilities = providerToCapability[provider]
      for (var cap in capabilities)
        if (confUtils.isActionSupported(capabilities[cap].isSupported))
          gs.info('"{0}" action supported', cap);
        else
          gs.info("'{0}' action is not supported by this conference
 driver", cap);
    }
})();
```

NotifyConferenceUtils - kickByParticipantGR(GlideRecord notifyParticipantGR)

渡された GlideRecord に関連付けられた参加者を現在の電話会議から除外します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyParticipantGR	GlideRecord	電話会議から除外する参加者の GlideRecord オブジェクト。このレコードは Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 <action>.status：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました <action>.successMessages：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• データタイプ：文字列のアレイ <action>.warnMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.errorMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
(function () {
    var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
    var participantGR = new GlideRecord('notify_participant');  //
 Participant record contains conf call ID
    participantGR.get('validParticipantSysId');
    var actionResult = confUtils.kickByParticipantGR(participantGR);
    if (actionResult.status)
        gs.info('Participant has been kicked out of conference');
    else {
        gs.info('kick operation failed');
        actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        });
        actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        })
    }
})()
```

NotifyConferenceUtils - muteByParticipantGR(GlideRecord notifyParticipantGR)

渡された GlideRecord に関連付けられた参加者を現在の電話会議でミュートします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyParticipantGR	オブジェクト	ミュートする参加者の GlideRecord オブジェクト。このレコードは Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 <action>.status：会議アクションのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました <action>.successMessages：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.warnMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.errorMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
(function () {
    var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
    var participantGR = new GlideRecord('notify_participant');
    participantGR.get('validSysId');
    var actionResult = confUtils.muteByParticipantGR(participantGR);
    if (actionResult.status)
        gs.info('Participant has been muted');
    else {
        gs.info('mute operation failed');
        actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        });
        actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        })
    }
})()
```

NotifyConferenceUtils - unmuteByParticipantGR(GlideRecord notifyParticipantGR)

渡された GlideRecord に関連付けられた参加者を現在の電話会議でミュート解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyParticipantGR	GlideRecord	ミュート解除する参加者の GlideRecord オブジェクト。このレコードは Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
(function () {
    var confUtils = new NotifyConferenceUtils();
    var participantGR = new GlideRecord('notify_participant');
    participantGR.get('validSysId');
    var actionResult = confUtils.unmuteByParticipantGR(participantGR);
    if (actionResult.status)
        gs.info('Participant has been Unmuted');
    else {
        gs.info('Unmute operation failed');
        actionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        });
        actionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
            gs.info(msg);
        })
    }
})();
```

NotifyJTelephoneDriver - グローバル

NotifyJsTelephoneDriver API は、関連する電話通信ドライバーの機能に関する情報を取得するために使用できるメソッドを提供します。

この API はスクリプト化された拡張ポイントであり、*NotifyUtil - getTelephoneyDriverFromNotifyNumber()* などの別のメソッドによってオブジェクトが返された場合のみ使用できます。この API を直接呼び出すことはできません。呼び出し元メソッドが特定のドライバーをインターフェイスに関連付けることで、ドライバーの決定の詳細が抽象化されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なドライバーにはそれぞれ、*NotifyJsTelephoneDriver* API で定義されているものと同じインターフェイスが実装されています。

次のコード例では、*getTelephoneDriverFromNotifyNumber()* メソッドが、渡された電話番号によって決定されるドライバーインターフェイス (TwilioNotifyJsTelephoneDriver など) を使用して、この API の実装を返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        driverName: driver.getName(),
        supportsCall: driver.supportsCall(),
        supportsSMS: driver.supportsSms()
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephoneDriver 拡張ポイントに関連付けられているドライバーを確認するには、[システム拡張ポイント] > **[global.NotifyJsTelephoneDriver]** の順に移動します。関連するすべてのドライバー実装が [実装] タブに表示されます。

スクリプト拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能ポイントを拡張する」を参照してください。

この API を使用するには、Notify [com.snc.notify] プラグインをアクティブ化する必要があります。Twillo などの特定のドライバー実装をアクティブ化するには、そのドライバーに固有のプラグインをアクティブ化する必要があります。

NotifyJsTelephoneNumber - call(オブジェクト **notifyPhoneNumber**, 文字列 **phoneNumber)**

指定された電話番号に電話をかけます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	NotifyPhoneNumber - グローバル	発信元の Notify 電話番号を含む NotifyPhoneNumber レコード。Notify 電話番号 [notify_number] テーブルにあります。
toPhoneNumber	文字列	発信先の電話番号。 フォーマット：E.164

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {

    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - getCapabilities()

電話通信ドライバーの機能のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、関連付けられた電話通信ドライバーの機能を返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
       capabilities: driver.getCapabilities()
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - getMaxSizeForBulkSms(文字列 phoneNumber)

渡された Notify 電話番号に関連付けられた電話通信ドライバーが一度に SMS メッセージを送信できる電話番号の最大数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber	文字列	関連付けられたドライバーが 1 回の一括 SMS メッセージで送信できる電話番号の最大数を確認する Notify 電話番号。

返される内容

タイプ	説明
数字	1 回の一括 SMS 配信で SMS メッセージを送信できる電話番号の最大数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、関連付けられた電話通信ドライバーの 1 回の一括 SMS メッセージで送信できる電話番号の最大数を返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
       return {
       maxSmsNumbers: driver.getMaxSizeForBulkSMS(notifyNumber)
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - getPhoneNumber(文字列 phoneNumber)

指定された電話番号の Notify 電話番号レコードを返します。

指定された電話番号が Notify 電話番号 [notify_number] テーブルにない場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	Description (説明)
NotifyPhoneNumberAP	指定された電話番号に関連付けられた Notify 電話番号レコード。

この例では、電話通信ドライバーを取得し、指定された電話番号に関連する Notify 電話番号レコードを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
       phoneNumberRecord: driver.getPhoneNumber(notifyNumber)
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - getPhoneNumbers()

現在の電話通信ドライバーに関連付けられているすべての Notify 電話番号のリストを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のドライバーに関連付けられているすべての Notify 電話番号のカンマ区切りリスト。

この例では、電話通信ドライバーを取得して、現在の電話通信ドライバーに関連付けられている Notify 電話番号のリストを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
       phoneNumbers: driver.getPhoneNumbers()
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - isActive()

現在の電話通信ドライバーがアクティブかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の電話通信ドライバーがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ドライバーはアクティブです。 • false：ドライバーは非アクティブです。

この例では、電話通信ドライバーを取得し、現在の電話通信ドライバーがアクティブかどうかを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        active: driver.isActive()
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - kick(GlideRecord participantRecord)

指定された発信者を現在の Notify 電話会議から除外します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord - グローバル	電話会議から除外する発信者の Notify 参加者 [notify_participant] レコードを含む GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーの場合にのみ返されます。発信者がコールから除外されなかった理由を説明するエラーメッセージ。

この例では、関連付けられた発信者を現在の電話会議内でミュートします。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
      notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

      if (notifyParticipantGr.isValid) {
        driver.kick(notifyParticipantGr)
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - mute(GlideRecord participantRecord)

指定された発信者を現在の Notify 電話会議内でミュートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord - グローバル	電話会議内でミュートする発信者の Notify 参加者 [notify_participant] レコードを含む GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーの場合にのみ返されます。発信者がミュートされなかった理由を説明するエラーメッセージ。

この例では、関連付けられた発信者を現在の電話会議内でミュートします。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
      notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

      if (notifyParticipantGr.isValid) {
        driver.mute(notifyParticipantGr)
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - sendAutonomousBulkSms(オブジェクト **notifyPhoneNumber**, アレイ **toPhoneNumber**, 文字列 **message**, **GlideRecord source)**

指定された電話番号のリストに、指定されたショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

さらに、必要に応じて、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードを SMS メッセージに関連付けることもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	送信するメッセージ。
notifyPhoneNumber	NotifyPhoneNumber - グローバル	一括 SMS メッセージを送信している電話番号を含むレコード。
source	GlideRecord - グローバル	オプション。Notify メッセージ [notify message] テーブル内の関連する SMS メッセージレコードの [ソース] フィールドに格納するインシデントの GlideRecord。これにより、当該の SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードが SMS メッセージにリンクされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。
toPhoneNumbers	アレイ	SMS メッセージを受信するデバイスの電話番号のリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、自律的な一括 SMS を送信する方法を示します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {

    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - sendSMS(NotifyPhoneNumber notifyPhoneNumber, 文字列 **toPhoneNumber**, 文字列 **messageBody)**

指定された電話番号に、指定されたショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notifyPhoneNumber	NotifyPhoneNumber - グローバル	SMS メッセージを送信している電話番号を含む Notify 電話番号レコード。Notify 電話番号 [notify_number] テーブルにあります。
toPhoneNumber	文字列	SMS メッセージの送信先の電話番号。 フォーマット：E.164 準拠
message	文字列	SMS メッセージで送信するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、指定された電話番号に SMS メッセージを送信します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {

    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - supportsAutonomousBulkSms(文字列 phoneNumber)

指定された Notify 電話番号が自律的な一括 SMS メッセージを処理できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された Notify 電話番号が自律的な一括 SMS をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：自律的な一括 SMS をサポートしています。 • false：自律的な一括 SMS をサポートしていません。

この例では、電話通信ドライバーを取得し、現在の電話通信ドライバーが自律的な一括 SMS をサポートしているかどうかを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        supportsBulkSMS: driver.supportsAutonomousBulkSms(notifyNumber)
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - supportsCall()

現在の電話通信ドライバーが通話を処理できるかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の電話通信ドライバーが通話をサポートするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ドライバーは通話をサポートしています。 • false：ドライバーは通話をサポートしていません。

この例では、電話通信ドライバーを取得し、現在の電話通信ドライバーが通話をサポートしているかどうかを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        supportsCall: driver.supportsCall()
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - supportsCallOverWebRtc()

指定された Notify の電話番号が WebRTC (リアルタイム通信) を使用してブラウザーに発信できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された Notify 電話番号が WebRTC を使用したブラウザーへの発信をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：WebRTC をサポートしています。 • false：WebRTC をサポートしていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、電話通信ドライバーを取得し、そのドライバーが WebRTC を使用したブラウザーへの発信をサポートしているかどうかを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        supportsWebRTC: driver.supportsCallOverWebRtc(notifyNumber)
      }
    }
}
```

NotifyJsTelephonyDriver - supportsSMS()

現在の電話通信ドライバーが SMS メッセージを処理できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の電話通信ドライバーが SMS をサポートするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ドライバーは SMS をサポートしています。 • false：ドライバーは SMS をサポートしていません。

この例では、電話通信ドライバーを取得し、そのドライバーが SMS をサポートしているかどうかを返します。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      return {
        supportsSMS: driver.supportsSMS()
      }
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyJsTelephonyDriver - unmute(GlideRecord participantRecord)

指定された発信者を現在の Notify 電話会議内でミュート解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participantRecord	GlideRecord - グローバル	電話会議内でミュートする発信者の Notify 参加者 [notify_participant] レコードを含む GlideRecord オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーの場合にのみ返されます。発信者がミュートされなかった理由を説明するエラーメッセージ。

この例では、関連付けられた発信者を現在の電話会議内でミュートします。

```
getDriverDetails('<notify_number>');

function getDriverDetails(notifyNumber) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (!notifyNumber || !nUtil.validateOutboundNotifyNumber(notifyNumber))
    return;
  var driver = nUtil.getTelephonyDriverFromNotifyNumber(notifyNumber);
    if (driver) {
      var notifyParticipantGr = new GlideRecord('notify_participant');
      notifyParticipantGr.get('active participant sys id');

      if (notifyParticipantGr.isValid) {
        driver.unmute(notifyParticipantGr)
    }
}
```

NotifyNow (レガシー) - グローバル

従来の *NotifyNow* API には、メールの送信、SMS メッセージの送信、およびカンファレンスコールの設定を行う機能があります。

システム上のアプリケーションで通知機能を使用する場合に、この API を使用します。

注: この API はレガシー通知機能に含まれています。現在の Notify 機能に含まれる API については、*Notify*、*NotifyAction*、*NotifyPhoneNumber*、および *NotifyClient* API を参照してください。

NotifyNow - addConferenceCallParticipant(文字列 conferenceCall, 文字列 participant)

アドホック ユーザーを進行中のカンファレンスに追加します。

メソッドが参加者パラメーターのための電話番号で呼び出され、電話番号と一致する sys_user レコードが 1 つだけある場合、その sys_user レコードは参加者に関連付けられます。電話番号が sys_user レコード内にあるため、参加者の電話番号フィールドは空白のままになります。電話番号と一致する複数の sys_user レコードがある場合、または結果がない場合は、参加者の電話番号フィールドが入力され、ユーザーが不明であるため sys_user へ保存される参照はありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
conferenceCall	文字列または GlideRecord	アクティブなカンファレンスの sys_id または GlideRecord です。
participant	文字列または GlideRecord	E.164 準拠の電話番号、または E.164 準拠の電話番号を持つユーザーの sys_id または GlideRecord です。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	カンファレンスに追加された新しい参加者の参加者レコードです。

```
// add a new participant by conference call sys_id (string) and phone
 number (string)
var nn = new SNC.NotifyNow();
gs.log(nn.addConferenceCallParticipant('d193b242eb020100a04d4910f206fe3
9', '+31612345678'));
```

```
// add a new participant by conference call sys_id (string) and user
 record (GlideRecord)
var user = new GlideRecord('sys_user');
user.query('user_name', 'myUserName');
if (user.hasNext() && user.next()) {
    var nn = new SNC.NotifyNow();

 gs.log(nn.addConferenceCallParticipant('d193b242eb020100a04d4910f206fe3
9', user));

    // you could have added the user by sys_id as well:
    //
 nn.addConferenceCallParticipant('d193b242eb020100a04d4910f206fe39',
 user.getValue('sys_id'));
} else {
    gs.log('no such user');
}
```

```
// add a new participant by conference call record (GlideRecord) and
 phone number (string)
var conferenceCall = new GlideRecord('notifynow_conference_call');
conferenceCall.query('title', 'IA0001001');
if (conferenceCall.hasNext() && conferenceCall.next()) {
    var nn = new SNC.NotifyNow();
    gs.log(nn.addConferenceCallParticipant(conferenceCall,
 '+31612345678'));
} else {
    gs.log('no such conference call');
}
```

NotifyNow - convertLocalPhoneNumberToE164(文字列 **userID**, 文字列 **phoneNumber)**

ユーザーの場所に基づいて、市内電話番号を E.164 準拠の電話番号に変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
userID	文字列	場所情報を取得する sys_user レコードの sys_id です。
phoneNumber	文字列	電話番号です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	E.164 準拠の電話番号です。

```
var localPhoneNumber = '01784 221600';
var userName = 'Heath Vanalphen';

var user = new GlideRecord('sys_user');
user.get('name',userName);
var E164Number = new
 SNC.NotifyNow().convertLocalPhoneNumberToE164(user.getUniqueValue(),
 localPhoneNumber);
gs.log('converted: ' + localPhoneNumber + ' to ' + E164Number + ' based
 on ' + user.getValue('name') +
     '\'s location (' + user.getValue('location') + ')');
```

NotifyNow - getConferenceCallParticipants(文字列 **conferenceCallId**, ブール **isCallable)**

カンファレンスの参加者をすべて返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
conferenceCallId	文字列	カンファレンスの ID です。
isCallable	ブーリアン	呼び出すことができるユーザー (True) または呼び出すことができないユーザー (False) のいずれかのみを返すためのオプションのフラグです。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	参加者です。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
var user =
 nn.getConferenceCallParticipants('c2e91710eb120100f34087b9d106fe37');

while (user.hasNext() && user.next()) {
    if (user.getValue('participant')) {
        gs.log('user: ' + user.getValue('sys_id'));
    } else {
        gs.log('phone number: ' + user.getValue('phone_number'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
var user =
 nn.getConferenceCallParticipants('c2e91710eb120100f34087b9d106fe37',
 true);

while (user.hasNext() && user.next()) {
    if (user.getValue('participant')) {
        gs.log('user: ' + user.getValue('sys_id'));
    } else {
        gs.log('phone number: ' + user.getValue('phone_number'));
    }
}
```

```
var conferenceCallId = '32b11430eb1201003cf587b9d106feb8';

// get all participants
gs.log('all conference call participants:');
var nn = new SNC.NotifyNow();
var user = nn.getConferenceCallParticipants(conferenceCallId);
gs.log(user);

// get all callable participants
gs.log('all conference call participants we can call:');
user = nn.getConferenceCallParticipants(conferenceCallId, true);
gs.log(user);

// get all un callable participants
gs.log('all conference call participants that are already in an active
 session and whom we cannot call:');
user = nn.getConferenceCallParticipants(conferenceCallId, false);
gs.log(user);
```


NotifyNow - getFrequentlyCalledUsers(Number limit)

頻繁に呼び出される多数のユーザーを、制限パラメーターまでアルファベット順に返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
limit	番号	結果の最大数です。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	アルファベット順に並べられた頻繁に呼び出されるユーザー。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
var fc = nn.getFrequentlyCalledUsers(10);

while (fc.hasNext() && fc.next()) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.log("got user " + fc.getValue('name') + ' - ' +
 fc.getValue('sys_id'));
}
```

NotifyNow - getPreferredE164SMSNumber(GlideRecord ユーザー)

ユーザーの優先する SMS メッセージの E.164 に準拠した電話番号を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ユーザー	GlideRecord または 文字列	E.164 準拠の電話番号を取得するユーザーのユーザー レコードまたは sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	E.164 準拠の電話番号または null です。

```
var userID = "<user sys_id>";
var E164Number = new SNC.NotifyNow().getPreferredE164SMSNumber(userID);
gs.log('the preferred phone number for sending SMS notifications is ' +
 E164Number + ' for user with id: ' + userID);
```

NotifyNow - getPreferredE164VoiceNumber(GlideRecord ユーザー)

ユーザーの優先する音声通話の E.164 に準拠した電話番号を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ユーザー	GlideRecord または 文字列	E.164 準拠の電話番号を取得するユーザーのユーザー レコードまたは sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	E.164 準拠の電話番号または null です。

```
var userID = "<user sys_id>";
var E164Number = new SNC.NotifyNow().getPreferredE164VoiceNumber(userID);
gs.log('the preferred phone number for setting up voice calls is ' +
 E164Number + ' for user with id: ' + userID);
```

NotifyNow - getPreferredEmailAddress(GlideRecord user)

ユーザーの優先メールアドレスを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ユーザー	GlideRecord または文字列	メールアドレスを取得するユーザーのユーザー レコードまたは sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メールアドレスまたは null です。

```
var userID = "some user sys id";
var email = new SNC.NotifyNow().getPreferredEmailAddress(userID);
gs.log('the preferred email address for sending email notifications is '
 + email + ' for user with id: ' + userID);
```

NotifyNow - getReadyState()

通知が正しく設定されているかどうかを示します。

このメソッドにアクセスできるのは、notifynow_admin ロールを持つアドミニストレーターまたはユーザーのみです。これ以外のロールを持つユーザーがスクリプトでこの関数を実行しようとすると、False というメッセージが送信されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	通知が正しく設定されている場合は True、それ以外の場合は False です。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
gs.log(((nn.getReadyState()) ? "OK" :  "NOT OK"));
```

NotifyNow - getStatus()

Notify 構成の現在のステータスを返します。

このメソッドにアクセスできるのは、notifynow_admin ロールを持つアドミニストレーターまたはユーザーのみです。これ以外のロールを持つユーザーがスクリプトでこの関数を実行しようとすると、未承認というメッセージが送信されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	可能なステータスメッセージの 1 つ。 ステータス　説明 NO_NUMBER_MESSAGE　アカウントに電話番号が設定されていません。アカウントの電話番号を NO_ENDPOINTS_MESSAGE　アカウントのエンドポイントが正しく設定されていません。アカウント ACCOUNT_OK_MESSAGE　アカウントは有効であり、使用可能です。 ACCOUNT_NO_AUTH　Twilio AuthToken が無効です。 ACCOUNT_NOT_CONFIGURED　Twilio AccountSID または AuthToken が無効です。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
gs.log(nn.getStatus());
```

NotifyNow - initiateConferenceCall(文字列**[] conferenceCallParticipants**, 文字列 **conferenceCallTitle)**

新しいカンファレンスコールを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
conferenceCallParticipants	文字列	sys_user テーブルまたは E.164 準拠の電話番号から sys_ids によって識別される 1 人以上のユーザーであるカンファレンス参加者です。
conferenceCallTitle	文字列	カンファレンスのタイトルです。このパラメーターの最大長は 40 文字です。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	カンファレンスレコード、またはエラーがあった場合は nullです。

これにより、オプションのソースレコードパラメータを使用せずに参加者用の E.164 準拠の電話番号でカンファレンスが開始され、SMS またはメールではカンファレンスの詳細が送信されません。

```
var participants = ['+31205655548', '+31205655552', '+31652825393'];
// set up conference call
var nn = new SNC.NotifyNow();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var conferenceCall = nn.initiateConferenceCall(participants,
 "testing12");
gs.log('started conference call: ' + conferenceCall.getUniqueValue());
```

NotifyNow - initiateConferenceCall(文字列**[] conferenceCallParticipants**, 文字列 **conferenceCallTitle**, **GlideRecord sourceRecord**, ブール **private)**

新しいカンファレンスコールを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
conferenceCallParticipants	文字列	sys_user テーブルまたは E.164 準拠の電話番号から sys_ids によって識別される 1 人以上のユーザーであるカンファレンス参加者です。
conferenceCallTitle	文字列	カンファレンスのタイトルです。このパラメーターの最大長は 40 文字です。
sourceRecord	GlideRecord	インシデントまたは問題番号などのカンファレンスに関連付けるソースレコード。
private	ブーリアン	カンファレンスが非公開であるかどうかをコントロールする値。この値のデフォルトは False です。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	カンファレンスレコード、またはエラーがあった場合は nullです。

これにより、E.164 に準拠した電話番号を持つ参加者と sys_user テーブルの参加者によるカンファレンスが開始され、SMS および電子メールでカンファレンスの詳細がすべての参加者に送信されます。

```
// define phone number participants
var participants = ['+31205655548', '+31205655552', '+31652825393'];

// we also want to add two Dutch sys_user participants
var user = new GlideRecord('sys_user');
user.addNotNullQuery('mobile_phone');
user.addQuery('mobile_phone', 'STARTSWITH', '+316');
user.setLimit(2);
user.query();

// add users to the participant array
while (user.hasNext() && user.next()) {
 gs.log('adding user ' + user.getValue('name') + ' with phone number ' +
             user.getValue('mobile_phone') + ' to the participant
 array');
 participants.push(user.getUniqueValue());
}

// define a source record to associate with the conference call
var source = new GlideRecord("cmdb_ci");
source.query("asset_tag", "P1000167");
if (source.hasNext() && source.next()) {
 // set up conference call
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
var conferenceCall = nn.initiateConferenceCall(participants, "testing 1
2", source);

// check if the conference call was successfully created
if (conferenceCall != null) {
 gs.log('started conference call: ' + conferenceCall.getUniqueValue());
} else {
 gs.log('could not start the conference call :(');
}
}
```

NotifyNow - isCallable(文字列 participant)

ユーザーがコール可能かどうかを決定します。

ユーザーは、コール可能な有効な電話番号を持っている必要があります。すでにアクティブなセッションにいるユーザーは、コール可能ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	文字列または GlideRecord	sys_user レコードまたは notifynow_participant レコード、または E.164 準拠の電話番号です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	この参加者を呼び出すことができるかどうか。

```
var nn = new SNC.NotifyNow();
gs.log('by number: ' + nn.isCallable('+31612345678'));

var user = GlideRecord('sys_user');
user.query('sys_id', '13d39544eb5201003cf587b9d106fea9');
if (user.hasNext() && user.next())
  gs.log('by user: ' + nn.isCallable(user));

var participant = GlideRecord('notifynow_participant');
participant.query('sys_id', '33b11430eb1201003cf587b9d106feb9');
if (participant.hasNext() && participant.next())
  gs.log('by participant: ' + nn.isCallable(participant));
```

NotifyNow - isSMSCapable()

Twilio アカウントに関連付けられた電話番号で SMS メッセージを送信できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Twilio アカウントに関連付けられた電話番号で SMS メッセージを送信できるかどうか。

```
gs.log('The twilio number is SMS capable: ' + ((new
 SNC.NotifyNow().isSMSCapable()) ? 'yes' : 'no'));
```

NotifyNow - isSMSCapable(文字列 userID)

ユーザーが SMS メッセージを送信できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userID	文字列	SMS 対応の電話番号を確認する対象となるユーザーの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが SMS メッセージを送信できるかどうか。

```
gs.log('the user is able to send SMS messages (e.g. has a SMS device): '
 + ((new SNC.NotifyNow().isSMSCapable('<user sys_id>')) ?
     'yes' : 'no'));
```

NotifyNow - isVoiceCapable()

Twilio アカウントに関連付けられた電話番号が電話を設定できるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Twilio アカウントに関連付けられた電話番号が電話を設定できるかどうか。

```
gs.log('the Twilio number is Voice capable: ' + ((new
 SNC.NotifyNow().isVoiceCapable()) ? 'yes' : 'no'));
```

NotifyNow - isVoiceCapable(文字列 userID)

ユーザーが音声通話を行うことができるかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userID	文字列	音声通話対応の電話番号を確認する対象となるユーザーの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ユーザーが音声通話対応の電話番号を持っているかどうか。

```
gs.log('the user is able to send SMS messages (e.g. has a SMS device): '
 +
     ((new SNC.NotifyNow().isVoiceCapable('someuserid')) ? 'yes' :
 'no'));
```

NotifyNow - kick(GlideRecord participant)

カンファレンスから参加者を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	GlideRecord	通話から削除するカンファレンス参加者です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	参加者が削除された場合は True、それ以外の場合は False です。

```
var participantId = "<participant sys_id>";
var participant = new GlideRecord('notifynow_participant');
participant.get(participantId);
if (participant.isValid()) {
     // kick participant
     result = new SNC.NotifyNow().kick(participant);
     gs.log('participant kicked: ' + result);
}
```

NotifyNow - mute(GlideRecord participant)

カンファレンスコールで参加者をミュート状態にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	GlideRecord	ミュート状態にするカンファレンス参加者です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	参加者がミュート状態になっていた場合は True、それ以外の場合は False です。

```
var participantId = "<participant sys_id>";
var participant = new GlideRecord('notifynow_participant');
participant.get(participantId);
if (participant.isValid()) {
     // mute participant
     result = new SNC.NotifyNow().mute(participant);
     gs.log('participant muted: ' + result);
}
```

NotifyNow - sendEmailQuestion(文字列 **emailAddress**, 文字列 **question**, **GlideRecord sourceRecord**, 文字列 **emailSubject)**

メールの質問をメールアドレスに送信します。

sendEmailQuestion メソッドは質問本文を作成し、ユーザーが選択肢を示すためにリンクをクリックする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
emailAddress	文字列	質問の送信先のメールアドレスです。
question	文字列または GlideRecord	送信する質問レコードまたは質問レコードの sys_id です。
sourceRecord	GlideRecord	インシデントなどの SMS 質問に関連付けるオプションのソースレコード。
emailSubject	文字列	デフォルトのメールの件名を上書きするためのオプションのテキストです。

返される内容

タイプ	説明
文字列	会話の sys_id です。

この例では、デフォルトのメールの件名を使用して実証しています。

```
var user = GlideRecord("sys_user");
user.get("email", "someone@somedomain.com");

new SNC.NotifyNow().sendEmailQuestion(user.getValue('email'),
 "b6b34500bf3111003cf585ce2c0739ce", user);
```

この例では、ドット連結を使用し、ソースレコードとメールの件名を指定します。

```
new SNC.NotifyNow().sendEmailQuestion("someone@somedomain.com",
 "b6071733bf1111003cf585ce2c07390f", current,
        "Please answer this question");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ドット連結を使用し、メールの件名を指定しますが、ソース レコードは指定しません。

```
new SNC.NotifyNow().sendEmailQuestion("someone@somedomain.com",
 "b6071733bf1111003cf585ce2c07390f",
        "Please answer this question");
```

NotifyNow - sendSMS(文字列 **phoneNumber**, 文字列 **smsBody)**

SMS メッセージを E.164 に準拠した携帯電話番号に送信します。

通知は国際電話番号をサポートしています。SMS メッセージの送信をサポートしていない番号でこのメソッドを使用すると、エラーがログに記録されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber	文字列	メッセージの送信先の E.164 に準拠した電話番号です。
smsBody	文字列	送信するメッセージ、最大 1600 文字です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
new SNC.NotifyNow().sendSMS("+31612345678", "This is a message without
 source record");
```

NotifyNow - sendSMS(文字列 **phoneNumber**, 文字列 **smsBody**, **GlideRecord source)**

SMS メッセージを E.164 に準拠した携帯電話番号に送信します。

通知は国際電話番号をサポートしています。SMS メッセージの送信をサポートしていない番号でこのメソッドを使用すると、エラーがログに記録されます。

関連項目：SMS の詳細設定

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber	文字列	メッセージの送信先の E.164 に準拠した電話番号です。
smsBody	文字列	送信するメッセージ、最大 1600 文字です。
ソース	GlideRecord	この SMS メッセージに関連付けるソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var source = new GlideRecord("my_table");
source.query("my_field", "my_value");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if (source.hasNext() && source.next()) {
    // send a text message
    var nn = new SNC.NotifyNow();
    var message = "this is just a test";
    var number = "+31612345678";
    nn.sendSMS(number, message, source);
}
```

この例では、ドット連結と現在のレコードをソース レコードとして使用しています。

```
new SNC.NotifyNow().sendSMS("+31612345678", "this is a test", current);
```

NotifyNow - sendSMSQuestion(文字列 phoneNumber, 文字列 question, GlideRecord sourceRecord)

SMS 質問を送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
phoneNumber		メッセージの送信先の E.164 に準拠した電話番号です。
question	文字列または GlideRecord	送信する質問レコードまたは質問レコードの sys_id です。
sourceRecord		インシデントなどの SMS 質問に関連付けるオプションのソースレコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	会話の sys_id。SMS が正常に送信されなかった場合は null です。

```
var question = new GlideRecord("notifynow_question");
question.query();

// get the first question
if (question.hasNext() && question.next()) {
 // send the sms question
        var number = "+31612345678";
 var nn = new SNC.NotifyNow();
 nn.sendSMSQuestion(number, question.getUniqueValue(), current);
}
```

NotifyNow - umute(GlideRecord participant)

カンファレンスコールで参加者のミュート状態を解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
participant	GlideRecord	ミュート解除するミュート状態のカンファレンス参加者です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	参加者がミュート解除されている場合は true、それ以外の場合は false。

```
var participantId = "<participant sys_id>";
var participant = new GlideRecord('notifynow_participant');
participant.get(participantId);
if (participant.isValid()) {
     // unmute participant
     result = new SNC.NotifyNow().unmute(participant);
     gs.log('participant unmuted: ' + result);
}
```

NotifyPhoneNumber - グローバル

NotifyPhoneNumber API を使用すると、Notify 電話番号に関する情報をクエリーできます。

SNC 名前空間内でグローバルの *NotifyPhoneNumber* クラスとその関連メソッドにアクセスします。

NotifyPhoneNumber - getDialCode()

Notify 電話番号の国際ダイヤルコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ある国の国際ダイヤルコード。

この例では、電話番号のダイヤルコードを取得する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getDialCode());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getDialCode()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - getDialCode() を使用します。

NotifyPhoneNumber - getID()

電話通信プロバイダーによって定義されたこの電話番号の ID を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	電話通信プロバイダー内の番号の識別子。

この例では、電話番号に固有の識別子を取得する方法を示します。

```
var numbers = SNC.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getID());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getID()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - getID() を使用します。

NotifyPhoneNumber - getNumber()

現在の Notify 発信者の電話番号を数値で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	E.164 準拠の電話番号。

この例では、Notify 発信者の電話番号を取得する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getNumber());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getNumber()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - getNumber() を使用します。

NotifyPhoneNumber - getOwner()

この電話番号に関連付けられた電話通信プロバイダーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	番号に関連付けられた電話通信プロバイダー、すなわち Twilio。

この例では、指定された電話番号を所有する電話通信サービスを取得する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getOwner());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getOwner()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - getOwner() を使用します。

NotifyPhoneNumber - getTerritory()

電話番号に関連付けられている国を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	電話番号が属する国の名前。

この例では、Notify 発信者の国を取得する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getTerritory());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *getTerritory()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - getTerritory() を使用します。

NotifyPhoneNumber - isShortCode()

現在の Notify 電話番号が短縮コードかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在の Notify 電話番号が短縮コードかどうかを示すフラグ。 • true：電話番号は短縮コードです。 • false：電話番号は短縮コードではありません。

この例では、現在の Notify 電話番号が短縮コードかどうかを確認する方法を示します。

```
GlideRecord notifyNumber = new GlideRecord(TABLE_NOTIFY_NUMBER);
notifyNumber.query(COL_NUMBER, notifyPhoneNumber.getNumber());

if (!notifyNumber.next()) {
  notifyNumber.initialize();
  notifyNumber.setValue(COL_OWNER, notifyPhoneNumber.getOwner());
  if (notifyPhoneNumber.isShortCode()) {
    notifyNumber.setValue(COL_SHORT_CODE, notifyPhoneNumber.getNumber());
  } else {
    notifyNumber.setValue(COL_PHONE_NUMBER,
 notifyPhoneNumber.getNumber());
  }
```

NotifyPhoneNumber - supportsConferenceCall()

Notify 電話番号が電話会議をサポートするかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が電話会議をサポートするかどうかを示す値。 • true：電話番号は電話会議をサポートしている • false：電話番号は電話会議をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が電話会議をサポートしているかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsConferenceCall());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsConferenceCall()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsConferenceCall() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsIncomingPhoneCall()

Notify 電話番号が通話の受信をサポートするかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が着信電話をサポートするかどうかを示す値。 • true：電話番号は着信電話をサポートする • false：電話番号は着信電話をサポートしない

この例では、Notify 発信者が着信電話を受信できるかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info(number.supportsIncomingPhoneCall());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsIncomingPhoneCall()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsIncomingPhoneCall() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsIncomingSMS()

Notify 電話番号が SMS メッセージの受信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が着信 SMS メッセージの受信をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号が着信 SMS メッセージの受信をサポートしている • false：電話番号が着信 SMS メッセージの受信をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が着信 SMS メッセージを受信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsIncomingSMS());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsIncomingSMS()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsIncomingSMS() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingPhoneCall()

Notify 電話番号が通話の発信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が通話の発信をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号は通話の発信をサポートしている • false：電話番号は通話の発信をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が通話を発信できるかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsOutgoingPhoneCall());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsOutgoingPhoneCall()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingPhoneCall() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingSMS()

Notify 電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしている • false：電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が SMS メッセージを発信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info(number.supportsOutgoingSMS());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsOutgoingSMS()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingSMS() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsRecording()

Notify 電話番号が通話の記録をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が通話の記録をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号は通話の記録をサポートしている • false：電話番号は通話の記録をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が通話を記録できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsRecording());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsRecording()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsRecording() を使用します。

NotifyPhoneNumber - supportsWebRTC()

Notify 電話番号が、WebRTC の実装などでのブラウザーへのコールをサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号がブラウザーへのコールをサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号はブラウザーへのコールをサポートしている • false：電話番号はブラウザーへのコールをサポートしていない

この例では、Notify 発信者がブラウザー間のコールを送受信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = SNC.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsWebRTC());
}
```

スコープ対応

スコープ対象のアプリケーションで *supportsWebRTC()* メソッドを使用するには、対応するスコープ指定のメソッド Scoped NotifyPhoneNumber - supportsWebRTC() を使用します。

NotifyPhoneNumber - スコープ指定

NotifyPhoneNumber API を使用すると、Notify 電話番号に関する情報をクエリーできます。

`sn_notify` 名前空間で、スコープ対象の *NotifyPhoneNumber* API とその関連メソッドを実行します。

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - getDialCode()

Notify 電話番号の国際ダイヤルコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ある国の国際ダイヤルコード。

この例では、電話番号のダイヤルコードを取得する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getDialCode());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - getID()

電話通信プロバイダーによって定義されたこの電話番号の ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	電話通信プロバイダー内の番号の識別子。

この例では、電話番号に固有の識別子を取得する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getID());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - getNumber()

現在の Notify 発信者の電話番号を数値で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	E.164 準拠の電話番号。

この例では、Notify 発信者の電話番号を取得する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  gs.info(number.getNumber());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - getOwner()

この電話番号に関連付けられた電話通信プロバイダーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	番号に関連付けられた電話通信プロバイダー、すなわち Twilio。

この例では、指定された電話番号を所有する電話通信サービスを取得する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getOwner());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - getTerritory()

電話番号に関連付けられている国を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	電話番号が属する国の名前。

この例では、Notify 発信者の国を取得する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.getTerritory());
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsConferenceCall()

Notify 電話番号が電話会議をサポートするかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が電話会議をサポートするかどうかを示す値。 • true：電話番号は電話会議をサポートしている • false：電話番号は電話会議をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が電話会議をサポートしているかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsConferenceCall());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsIncomingPhoneCall()

Notify 電話番号が通話の受信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が着信電話をサポートするかどうかを示す値。 • true：電話番号は着信電話をサポートする • false：電話番号は着信電話をサポートしない

この例では、Notify 発信者が着信電話を受信できるかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsIncomingPhoneCall());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsIncomingSMS()

Notify 電話番号が SMS メッセージの受信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が着信 SMS メッセージをサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号が着信 SMS メッセージをサポートしている • false：電話番号が着信 SMS メッセージをサポートしていない

この例では、Notify 発信者が着信 SMS メッセージを受信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsIncomingSMS());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingPhoneCall()

Notify 電話番号が通話の発信をサポートするかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が通話の発信をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号は通話の発信をサポートしている • false：電話番号は通話の発信をサポートしていない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、Notify 発信者が通話を発信できるかどうかを確認する方法を示します。

```
var numbers = sn_notfy.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsOutgoingPhoneCall());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsOutgoingSMS()

Notify 電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしている • false：電話番号が SMS メッセージの送信をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が SMS メッセージを発信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.NotifyScoped.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsOutgoingSMS());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsRecording()

Notify 電話番号が通話の記録をサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号が通話の記録をサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号は通話の記録をサポートしている • false：電話番号は通話の記録をサポートしていない

この例では、Notify 発信者が通話を記録できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsRecording());
}
```

スコープ指定の NotifyPhoneNumber - supportsWebRTC()

Notify 電話番号が、WebRTC の実装などでのブラウザーへのコールをサポートしているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Notify 電話番号がブラウザー間 (WebRTC) のコールをサポートしているかどうかを示す値。 • true：電話番号はブラウザー間 (WebRTC) のコールをサポートしている • false：電話番号はブラウザー間 (WebRTC) のコールをサポートしていない

この例では、Notify 発信者がブラウザー間のコールを送受信できるかどうかを判断する方法を示します。

```
var numbers = sn_notify.Notify.getPhoneNumbers();

// Here numbers is of type List
if (numbers.size() > 0) {
   var number = numbers.get(0);

   // Here number is of type NotifyPhoneNumber
  gs.info(number.supportsWebRTC());
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifySMS - グローバル

NotifySMS スクリプトインクルードは、電話番号または電話番号情報を含むフィールドを持つ GlideRecord を使用して、通知電話番号からデバイスにショートメッセージサービス (SMS) メッセージを送信できるようにするメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードを使用するには、通知 (com.snc.notify) プラグインを有効にする必要があります。

NotifySMS - NotifySMS()

NotifySMS オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、NotifySMS オブジェクトをインスタンス化する方法を示します。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var groupId = sourceRecord.assignment_group + '';
  var toGr = getRecipientGRs(groupId);
  var message = 'An Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has
 been assigned to your group';
  if (fromNumber && toGr) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToUsers(fromNumber, toGr, message, sourceRecord);
  }
}
```

NotifySMS - sendBulkSMS(文字列 fromNumber, 配列 toNumber, 文字列 message, GlideRecord sourceRecord)

指定された通知電話番号から電話番号のリストにショートメッセージサービス (SMS) メッセージを送信する非同期フローアクションをトリガーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fromNumber	文字列	SMS メッセージを送信する電話番号を通知します。
toNumber	アレイ	SMS メッセージを受信する電話番号のリスト。
メッセージ	文字列	送信するメッセージ。
sourceRecord	GlideRecord	オプション。Notify メッセージ [notify_message] テーブル内の関連付けられた SMS メッセージレコードの [Source] フィールドに保存するインシデントの GlideRecord。これにより、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードがその SMS メッセージにリンクされます。 デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
ScriptableFlowRunnerResult	ScriptableFlowRunnerResult - スコープ指定 オブジェクト。

次のコード例は、このメソッドを使用して一括 SMS メッセージを送信する方法を示しています。

```
var fromNumber = getFromNumber();
var toNumbers = getRecipientNumbers();
var message = 'This is an example SMS';
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var notifySMS = new NotifySMS();
  notifySMS.sendBulkSMS(fromNumber, toNumbers, message, sourceRecord);
}

function getRecipientNumbers() {
  var userGr = new GlideRecord('sys_user');
  userGr.addActiveQuery();
  userGr.addQuery('first_name', 'STARTSWITH', 'A');
  userGr.setLimit(5);
  userGr.query();
  var userIds = [];
  while (userGr.next()) {
    userIds.push(userGr.getUniqueValue());
  }
  if (userIds.length > 0) {
    var nUtil = new NotifyUtil();
    return nUtil.getUniquePhoneNumbersForUsersAndGroups(null, userIds,
 null, 'sms', false);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifySMS - sendToNumber(文字列 **fromNumber**, 文字列 **toNumber**, 文字列 **message**, オブジェクト **sourceRecord)**

指定された Notify 電話番号から指定された電話番号に、ショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

さらに、必要に応じて、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードを SMS メッセージに関連付けることもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fromNumber	文字列	SMS メッセージを送信する電話番号を通知します。
message	文字列	送信するメッセージ。
sourceRecord	GlideRecord - グローバル	オプション。Notify メッセージ [notify_message] テーブル内の関連付けられた SMS メッセージレコードの [Source] フィールドに保存するインシデントの GlideRecord。これにより、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードがその SMS メッセージにリンクされます。 デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。
toNumber	文字列	SMS メッセージを受信するデバイスの電話番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、指定された電話番号に SMS メッセージを送信し、関連するインシデントレコードにメッセージ情報をスタンプする方法を示しています。

```
var fromNumber = getFromNumber();
var toNumber = '+123456789';
var message = 'This is an example SMS';
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var notifySMS = new NotifySMS();
  notifySMS.sendToNumber(fromNumber, toNumber, message, sourceRecord);
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
    }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NotifySMS - sendToNumbers(文字列 **fromNumber**, アレイ **toNumber**, 文字列 **message**, オブジェクト **sourceRecord)**

指定された Notify 電話番号から電話番号のリストに、ショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

さらに、必要に応じて、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードを SMS メッセージに関連付けることもできます。

注: 内部的には、このメソッドは NotifySMS - sendBulkSMS(文字列 fromNumber, 配列 toNumber, 文字列 message, GlideRecord sourceRecord) メソッドを使用して非同期フローアクションをトリガーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fromNumber	文字列	SMS メッセージを送信する電話番号を通知します。
message	文字列	送信するメッセージ。
sourceRecord	GlideRecord - グローバル	オプション。Notify メッセージ [notify_message] テーブル内の関連付けられた SMS メッセージレコードの [Source] フィールドに保存するインシデントの GlideRecord。これにより、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードがその SMS メッセージにリンクされます。 デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。
toNumber	アレイ	SMS メッセージを受信する電話番号のリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、複数の電話番号に SMS メッセージを送信し、関連するインシデントレコードに情報を格納する方法を示しています。

```
var fromNumber = getFromNumber();
var toNumbers = getRecipientNumbers()
var message = 'This is an example SMS';
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var notifySMS = new NotifySMS();
  notifySMS.sendToNumbers(fromNumber, toNumbers, message, sourceRecord);
}

function getRecipientNumbers() {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  var userGr = new GlideRecord('sys_user');
  userGr.addActiveQuery();
  userGr.addQuery('first_name', 'STARTSWITH', 'A');
  userGr.setLimit(5);
  userGr.query();
  var userIds = [];
  while (userGr.next()) {
    userIds.push(userGr.getUniqueValue());
  }
  if (userIds.length > 0) {
    var nUtil = new NotifyUtil();
    return nUtil.getUniquePhoneNumbersForUsersAndGroups(null, userIds,
 null, 'sms', false);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

自動翻訳

NotifySMS - sendToUser(文字列 **fromNumber**, オブジェクト **toGr**, 文字列 **message**, オブジェクト **sourceRecord)**

指定された電話番号から、指定された GlideRecord で識別されたユーザーに、ショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

このメソッドは、指定された GlideRecord から電話番号を抽出します。さらに、必要に応じて、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードを SMS メッセージに関連付けることもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fromNumber	文字列	SMS メッセージを送信する電話番号を通知します。
message	文字列	送信するメッセージ。
sourceRecord	GlideRecord - グローバル	オプション。Notify メッセージ [notify_message] テーブル内の関連付けられた SMS メッセージレコードの [Source] フィールドに保存するインシデントの GlideRecord。これにより、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードがその SMS メッセージにリンクされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。
toGr	GlideRecord - グローバル	ユーザーの電話番号に解決されるフィールドを含むレコードタイプの GlideRecord。このレコードタイプは、現在実装されている電話番号リゾルバーで使用されているレコードタイプと関連付ける必要があります。電話番号リゾルバーは、ユーザーレコードやケースレコードなどの特定のタイプの GlideRecord からユーザーの電話番号を取得するメソッドにすぎません。デフォルトのリゾルバーを使用する場合、レコードはユーザー [sys_user] テーブルに対応します。 リゾルバーが電話番号を取得するために使用するレコードのタイプを変更するには、NotifySMS - setRecordToNumberResolver(オブジェクト scriptIncludeInstance, 文字列 methodName) メソッドを使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、関連するインシデントレコード内で識別されたユーザーに SMS メッセージを送信し、関連するインシデントレコードにメッセージ情報をスタンプする方法を示しています。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var toGr = sourceRecord.assigned_to.getRefRecord();
  var message = 'An Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has
 been assigned to you';
  if (fromNumber && toGr.isValidRecord()) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToUser(fromNumber, toGr, message, sourceRecord);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NotifySMS - sendToUsers(文字列 **fromNumber**, オブジェクト **toGr**, 文字列 **message**, オブジェクト **sourceRecord)**

指定された Notify 電話番号から、指定された GlideRecord で見つかったユーザーに、ショートメッセージサービス (SMS) のメッセージを送信します。

このメソッドは、渡された GlideRecord から発信先の電話番号を抽出します。さらに、必要に応じて、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードを SMS メッセージに関連付けることもできます。

注: 内部的には、このメソッドは NotifySMS - sendBulkSMS(文字列 fromNumber, 配列 toNumber, 文字列 message, GlideRecord sourceRecord) メソッドを使用して非同期フローアクションをトリガーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fromNumber	文字列	SMS メッセージを送信する電話番号を通知します。
message	文字列	送信するメッセージ。
sourceRecord	GlideRecord - グローバル	オプション。Notify メッセージ [notify_message] テーブル内の関連付けられた SMS メッセージレコードの [Source] フィールドに保存するインシデントの GlideRecord。これにより、SMS メッセージが生成される原因となったインシデントレコードがその SMS メッセージにリンクされます。 デフォルト：なし。このパラメーターが渡されない場合、この情報は追跡されません。
toGr	GlideRecord - グローバル	ユーザーの電話番号に解決されるフィールドを含むレコードタイプの GlideRecord。このレコードタイプは、現在実装されている電話番号リゾルバーで使用されているレコードタイプと関連付ける必要があります。電話番号リゾルバーは、ユーザーレコードやケースレコードなどの特定のタイプの GlideRecord からユーザーの電話番号を取得するメソッドにすぎません。デフォルトのリゾルバーを使用する場合、レコードはユーザー [sys_user] テーブルに対応します。 リゾルバーが電話番号を取得するために使用するレコードのタイプを変更するには、NotifySMS - setRecordToNumberResolver(オブジェクト scriptIncludeInstance, 文字列 methodName) メソッドを使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、指定されたインシデントレコード内のユーザーに SMS メッセージを送信する方法を示します。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var groupId = sourceRecord.assignment_group + '';
  var toGr = getRecipientGRs(groupId);
  var message = 'An Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has
 been assigned to your group';
  if (fromNumber && toGr) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToUsers(fromNumber, toGr, message, sourceRecord);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}

function getRecipientGRs(groupId) {
  if (!groupId)
    return;
  var userMemberGr = new GlideRecord('sys_user_grmember');
  userMemberGr.addQuery('group', groupId);
  userMemberGr.query();
  var userIds = [];
  while (userMemberGr.next()) {
    userIds.push(userMemberGr.user + '');
  }
  var userGr = new GlideRecord('sys_user');
  userGr.addActiveQuery();
  userGr.addQuery('sys_id', 'IN', userIds.join(','));
  userGr.query();
  return userGr;
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifySMS - setRecordToNumberResolver(オブジェクト **scriptIncludeInstance**, 文字列 **methodName)**

NotifySMS.sendToUser() および *NotifySMS.sendToUsers()* メソッドで渡される GlideRecord 内のターゲット電話番号を取得するために使用する、スクリプトインクルード内のメソッドを設定します。

デフォルトでは、*NotifyUtil.getSMSNumberForUser()* メソッドを使用して、ユーザー [sys_user] ベースの GlideRecord から電話番号を取得します。ケースレコードなどの別のレコードタイプからこの情報を取得するためのカスタムメソッドを作成する必要がある場合は、*setRecordToNumberResolver()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
methodName	文字列	GlideRecord 内のターゲット電話番号を取得するために使用するメソッドの名前。
scriptIncludeInstance	オブジェクト	指定された番号のリゾルバーメソッドを含むスクリプトインクルードのインスタンス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、csmUtils スクリプトインクルード内の *getSMSNumberForConsumer()* メソッドに電話番号リゾルバーを設定する方法を示しています。

```
// Script include that contains the logic to retrieve a phone number for
 a consumer.
var csmUtils = new global.CSMExampleUtils();

// Example Case record used as source for sending SMS
var caseGr = new GlideRecord('sn_customerservice_case');
caseGr.get('3af265b3d1cb5010f877cb055160faxx'); // Case sys_id

var notifySms = new global.NotifySMS();

// Use the getSMSNumberForConsumer method of the csmUtils script include
 (CSMExampleUtils) to obtain the phone number of the consumer.
notifySms.setRecordToNumberResolver(csmUtils, 'getSMSNumberForConsumer');

// Send an SMS message to a user whose telephone number is in the
 specified Case GlideRecord.
var smsText = 'This is a test message for ' + caseGr.getValue('number');
notifySms.sendToUser('+1xxxxxxxxxx', caseGr.getValue('consumer'),
 smsText, caseGr); // First param is the Notify phone number
```

この例は、電話リゾルバーメソッド *getSMSNumberForConsumer()* に必要なコードを示しています。

```
getSMSNumberForConsumer: function(consumerGrOrId) {
  if (!consumerGrOrId)
    return;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var consumerId, consumerGr;
  if (typeof consumerGrOrId === "string")
    consumerId = consumerGrOrId;
  if (typeof consumerGrOrId === "object" &&
 consumerGrOrId["isValidRecord"]) {
    consumerGr = consumerGrOrId;
    consumerId = consumerGr.getUniqueValue();
  }

  if (!consumerId)
    return;

  if (!consumerGr) {
    consumerGr = new GlideRecord('csm_consumer');
    consumerGr.get(consumerId);
  }

  if (consumerGr.isValidRecord()) {
    return consumerGr.getValue('mobile_phone');
  }
}
```

NotifyUtil - グローバル

NotifyUtil スクリプトインクルードは、サーバーサイドスクリプトを使用して Notify コールや SMS メッセージを操作するときに使用するユーティリティメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードを使用するには、通知 (com.snc.notify) プラグインを有効にする必要があります。

NotifyUtil スクリプトインクルードを使用すると、次のことができます。

- 指定されたソースレコードからすべての Notify 電話番号とそれに関連する Notify 情報を取得します。
- 一意の Notify 電話番号のリストを取得します。
- 指定されたソースレコードに対してアクティブな電話会議があるかどうかを確認します。
- 指定された Notify ユーザーに関連付けられた SMS 対応の番号を取得します。
- 指定された Notify 電話番号を検証します。

NotifyUtil - NotifyUtil()

NotifyUtil クラスのオブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、NotifyUtil オブジェクトをインスタンス化します。

```
var notifyUtil = new NotifyUtil();
notifyUtil.getTelephonyProviers();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyUtil - getListOfNotifyNumbersAndProviders(文字列 **sourceTable**, 文字列 **sourceSysId**, 文字列 **notifyGroupSelectorSysId**, ブーリアン **filterSMSCapableNums)**

インシデントなどの指定されたソースレコードから、すべての Notify 電話番号とそれに関連する Notify 情報を返します。

この情報を使用して、特定のソースレコードで通話を開始したり SMS メッセージを送信したりすることができます。返される情報は、Notify プロバイダーセレクターフレームワークの構成に基づいて決定されます。詳細については、「通知」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filterSMSCapableNums	ブーリアン	オプション。SMS 対応の番号のみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：SMS 対応の電話番号と情報のみを返します。 • false：すべての Notify 電話番号と情報を返します。 デフォルト値：false
notifyGroupSelectorSysId	文字列	オプション。Notify 番号と情報を返す対象の Notify グループの sys_id。 デフォルト：すべてのグループ
sourceSysId	文字列	Notify 番号と情報を返す対象のソースレコードの sys_id。たとえば、これはインシデント [incident] テーブルのレコードの sys_id です。
sourceTable	文字列	目的の Notify 番号と情報を含むソースレコードが入ったテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
confProviders	利用可能な会議プロバイダーのリスト。 データタイプ：アレイ
数字	それぞれが単一の Notify 番号を記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"numbers": [{ "defaultFlag": Boolean, "name": "String", "number": "String", "shortCode": Boolean, "sysId": "String" }]`
numbers.defaultFlag	関連付けられた Notify 番号がデフォルトの番号かどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：デフォルトの番号 • false：デフォルトの数ではない データタイプ：ブーリアン
numbers.name	番号の名前またはラベル。 データタイプ：文字列
numbers.number	Notify 番号。 データタイプ：文字列
numbers.shortCode	関連する Notify 番号が短縮コードかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：短縮コード • false：短縮コードではない データタイプ：ブーリアン
numbers.sysId	Notify 番号の sys_id。 データタイプ：文字列

この例では、指定されたソースレコードから Notify 電話番号とそれに関連する Notify 情報を取得する方法を示します。

```
function updateConferenceBridges(sourceTable, sourceId) {

  var notifyUtil = new global.NotifyUtil();
  var numbersAndProviders =
 notifyUtil.getListOfNotifyNumbersAndProviders(sourceTable, sourceId);
  var confBridges = [];
  if (numbersAndProviders.confProviders) {
    numbersAndProviders.confProviders.forEach(function(provider){
    confBridges.push(provider);
    });
  }
  if (numbersAndProviders.numbers) {
    numbersAndProviders.numbers.forEach(function(number){
      confBridges.push(number.name);
    });
  }
}
```

NotifyUtil - getSMSNumberForUser(文字列 **userGrOrId)**

指定された Notify ユーザーに関連付けられた SMS 対応の番号を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
userGROrId	文字列または GlideRecord - グローバル	ユーザー [sys_user] テーブルにあるユーザーレコードの sys_id、または SMS 対応の電話番号を返すユーザーの sys_user GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの SMS 対応電話番号。指定されたユーザーが見つからない場合は、null を返します。

この例では、関連する GlideRecord を使用して SMS 対応の電話番号を取得する方法を示します。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var nUtil = new NotifyUtil();
  var toNumber =
 nUtil.getSMSNumberForUser(sourceRecord.assigned_to.getRefRecord());
  var message = 'Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has been
 assigned to you.';
  if (fromNumber && nUtil.validateOutboundNotifyPhoneNumber(fromNumber)
 && toNumber && nUtil.validatePhoneNumber(toNumber)) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToNumber(fromNumber, toNumber, message, sourceRecord);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NotifyUtil - getUniquePhoneNumbersForUsersAndGroups(アレイ **numbers**, アレイ **users**, アレイ **groups**, 文字列 **type** ,ブーリアン **getData)**

一意の Notify 電話番号のリストを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コール内でパラメーターを渡さない場合、Notify 電話番号 [notify_number] テーブル内のすべての Notify 番号に重複がないかどうかがチェックされ、返されるリストに使用可能な各電話番号が 1 回だけ表示されます。チェックするユーザーまたはグループのリストを指定するか、一連の番号または番号タイプ (SMS または音声) を指定することで、返される結果を絞り込むことができます。一意の番号とともに、それぞれの番号に関連するメタデータを返すように要求することもできます。パラメーターを使用しない場合は、`null` をプレースホルダーとして渡します。例：`return nUtil.getUniquePhoneNumbersForUsersAndGroups(null, userIds, null, 'sms', false);`

パラメーター

名前	タイプ	説明
getData	ブーリアン	オプション。一意の電話番号のリストとともにメタデータを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：メタデータを返します。 • false：メタデータを返しません。 デフォルト値：false
groups	アレイ	オプション。確認する sys_id グループのリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 デフォルト：すべてのグループをチェックします。
numbers	アレイ	オプション。確認する特定の Notify 電話番号のリスト。 デフォルト：すべての電話番号を確認します。
type	文字列	オプション。確認する電話番号のタイプ。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • voice • sms デフォルト：すべての電話番号タイプを確認する
users	アレイ	オプション。チェックする特定のユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 デフォルト：すべてのユーザーをチェックする

返される内容

名前	説明
numbers	複数の一意の Notify 電話番号。 データタイプ：アレイ
result	*getData* が true に設定されている場合にのみ返されます。一意の番号それぞれに関連付けられたメタデータです。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

名前	説明

	<pre>"result": {
	  "number": "String",
	  "sysId": "String",
	  "type": "String",
	  "valid": Boolean
	}</pre>

result.number	一意の Notify 電話番号。 データタイプ：文字列
result.sysId	Notify 電話番号を含むレコードの sys_id。Notify 電話番号 [notify_number] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.type	常にユーザーを示す「u」が含まれます。 データタイプ：文字列
result.valid	Notify 電話番号が有効な E.164 フォーマットかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効な E.164 フォーマット。 • false：E.164 フォーマットでない。 データタイプ：ブーリアン

この例では、SMS 機能を備えた一意の Notify 電話番号のセットを要求する方法を示します。

```
var fromNumber = getFromNumber();
var toNumbers = getRecipientNumbers();
var message = 'This is an example SMS';
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var notifySMS = new NotifySMS();
  notifySMS.sendToNumber(fromNumber, toNumbers, message, sourceRecord);
}

function getRecipientNumbers() {
  var userGr = new GlideRecord('sys_user');
  userGr.addActiveQuery();
  userGr.addQuery('first_name', 'STARTSWITH', 'A');
  userGr.setLimit(5);
  userGr.query();
  var userIds = [];
  while (userGr.next()) {
    userIds.push(userGr.getUniqueValue());
  }
  if (userIds.length > 0) {
    var nUtil = new NotifyUtil();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    return nUtil.getUniquePhoneNumbersForUsersAndGroups(null, userIds,
 null, 'sms', false);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NotifyUtil - hasActiveConferenceCalls(文字列 **sourceRecSysId)**

指定されたソースレコードに対してアクティブな電話会議があるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceRecSysId	文字列	アクティブな電話会議があるかどうかを確認するレコードの sys_id。たとえば、これはインシデントテーブルのレコードの sys_id です。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードにアクティブな電話会議が関連付けられているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：指定されたレコードに対してアクティブな電話会議が利用可能。 • false：アクティブな電話会議なし。

この例では、インシデントレコードに関連付けられたアクティブなカンファレンスコールがある場合に情報メッセージを表示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var nUtil = new NotifyUtil();
  if (nUtil.hasActiveConferenceCalls(current.getUniqueValue())) {
    gs.addInfoMessage("There are active conference calls related to this
 Incident.");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
})(current, previous);
```

NotifyUtil - validateOutboundNotifyPhoneNumber(文字列 **number)**

指定された Notify 電話番号を検証します。

このメソッドは、次の 3 つのタイプの検証を実行します。

1. Notify 番号が Notify 電話番号 [notify_number] テーブルに存在するかどうか。
2. Notify 番号に Notify グループが関連付けられているかどうか。
3. Notify 番号がアクティブかどうか。

これらの検証のいずれかが失敗した場合、メソッドは例外をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
number	文字列	検証する Notify 番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、Notify 番号を検証する方法を示しています。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var nUtil = new NotifyUtil();
  var toNumber =
 nUtil.getSMSNumberForUser(sourceRecord.assigned_to.getRefRecord());
  var message = 'Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has been
 assigned to you.';
  if (fromNumber && nUtil.validateOutboundNotifyPhoneNumber(fromNumber)
 && toNumber && nUtil.validatePhoneNumber(toNumber)) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToNumber(fromNumber, toNumber, message, sourceRecord);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NotifyUtil - validatePhoneNumber(文字列 number)

指定された番号が有効な E.164 電話番号であることを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
number	文字列	検証する電話番号。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された番号が有効な電話番号であることを示すフラグ。 可能な値： • true：有効な E.164 電話番号。 • false：無効な電話番号。

この例は、電話番号を検証する方法を示しています。

```
var sourceRecord = new GlideRecord('incident');
sourceRecord.query();
if (sourceRecord.next()) {
  var fromNumber = getFromNumber();
  var nUtil = new NotifyUtil();
  var toNumber =
 nUtil.getSMSNumberForUser(sourceRecord.assigned_to.getRefRecord());
  var message = 'Incident ' + sourceRecord.getDisplayValue() + ' has been
 assigned to you.';
  if (fromNumber && nUtil.validateOutboundNotifyPhoneNumber(fromNumber)
 && toNumber && nUtil.validatePhoneNumber(toNumber)) {
    var notifySMS = new NotifySMS();
    notifySMS.sendToNumber(fromNumber, toNumber, message, sourceRecord);
  }
}

function getFromNumber() {
  var prop = gs.getProperty('custom_property_name', '');
  if (!prop){
    return getFallbackFromNumber();
  }
  return prop;
}

function getFallbackFromNumber() {
  var notifyNumGr = new GlideRecord("notify_number");
  notifyNumGr.addActiveQuery();
  notifyNumGr.addQuery('has_sms_out', 'yes');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  notifyNumGr.query();
  if (notifyNumGr.next()) {
    return notifyNumGr.number + '';
  }
  return '';
}
```

NumberFormatter - スコープ対象、グローバル

NumberFormatter API には、現在のユーザーの言語に従って書式設定された数値を返すメソッドが含まれています。

この API は、スコープ対象アプリとグローバルアプリで使用でき、 *sn_i18n* 名前空間で実行されます。

言語またはロケール別に書式設定すると、ユーザーは期待どおりに数値を表示できます。たとえば、ロケールが fr (フランス語) の場合、値 100.00 は 100,00 を返します。

NumberFormatter – format(数値)

現在のユーザーの言語設定に従って書式設定された数値の文字列表現を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
番号	番号	任意のサイズの番号。

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーの言語設定に従って書式設定された数値。

次の例は、言語がスペイン語に設定されたユーザーの戻り値を示しています。

```
gs.info("Number is: " + sn_i18n.NumberFormatter.format(123456.789));
gs.info("Number is: " + sn_i18n.NumberFormatter.format(-123456.789));
```

出力:

```
Number is: 123.456,789
Number is: -123.456,789
```

NumberFormatter – formatLang(数値, 数値, 文字列 language)

パラメーターとして渡された言語に従って書式設定された数値の文字列表現を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
番号	番号	任意のサイズの番号。
language	文字列	IETF BCP-47 に準拠した言語タグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	パラメーターとして渡された言語に従って書式設定された数値。

次の例は、ドイツ語設定の出力を示しています。

```
gs.info("Number is: " + sn_i18n.NumberFormatter.formatLang(123456.789,
 "de-de"));
gs.info("Number is: " + sn_i18n.NumberFormatter.formatLang(-123456.789,
 "de-de"));
```

出力:

```
Number is: 123.456,789
Number is: -123.456,789
```

NumberFormatter - parseWithLocale(文字列 **number**, 文字列 **language**, 文字列 **country)**

渡されたテキスト文字列の数値を左から右に解析して、数値を抽出します。次に、渡された国コードと言語コードを使用して番号のロケールを識別し、解析された番号をその形式で返します。

このメソッドは、数値または通貨区切り記号として認識されない文字に達するまで文字列を解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
number	文字列	解析する文字列です。この文字列には、数値と、カンマや小数点などの通貨区切り文字を含めることができます。例:「24,506.55」 または 「45.677,89」。
language	文字列	2 文字の ISO-639 言語コード。
country	文字列	2 文字の ISO-3166 国コード。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定されたロケールの形式で解析された数値。 文字列の最初の文字を解析できない場合は、例外をスローします。 例： • "123.34": ロケールの小数点記号がピリオドである限り、123.34 に解析されます。 • "1,234.56": ロケール グループの区切り記号がコンマで、小数点記号がピリオドである限り、1234.56 に解析されます。 • "1.234.567,89": グループ化区切り記号がピリオド以外の場合は、1 に解析されます。 • "123x456": 123 に解析されます。 • "text123": メソッドが ParseException をスローします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、さまざまなロケールの文字列の解析と、予期しない区切り記号を使用した文字列の解析を示しています。最後の例では、スペースは有効な区切り文字ではないため、文字列は部分的にしか解析されません。

```
var x = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithLocale("48,837.77", "en", "US");
var y =  sn_i18n.NumberFormatter.parseWithLocale("77.931,22", "de",
 "DE");
var z = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithLocale("562 339,89", "fr",
 "FR");
var specialCase = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithLocale("400 797,67",
 "en", "US");

gs.info(x);
gs.info(y);
gs.info(z);
gs.info(specialCase);
```

出力:

```
48837.77
77931.22
562339.89
400
```

NumberFormatter - parseWithSeparators(文字列 **number**, 文字列 **groupingSeparator**, 文字列 **decimalSeparator)**

渡されたテキスト文字列から数値を解析して返し、解析できない文字が見つかるまで左から右にトラバースします。解析可能な値には、数値、指定されたグループ化と小数点が含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
number	文字列	解析する文字列です。この文字列には、数値と、カンマや小数点などの指定された区切り文字を含めることができます。例:「24,506.55」 または 「45.677,89」。
groupingセパレーター	文字列	渡された文字列内のグループ化セパレーター (3 桁区切りとも呼ばれます) を示す文字。 例:カンマ「,」、ピリオド「.」、スペース「」。
decimalSeparator	文字列	渡された文字列内の小数点を示す文字。 例:カンマ「,」、ピリオド「.」、スペース「」。

返される内容

タイプ	説明
番号	解析された数値。 文字列の最初の文字を解析できない場合は、例外をスローします。 例：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• "123.34": ロケールの小数点記号がピリオドである限り、123.34 に解析されます。 • "1,234.56": ロケール グループの区切り記号がコンマで、小数点記号がピリオドである限り、1234.56 に解析されます。 • "1.234.567,89": グループ化区切り記号がピリオド以外の場合は、1 に解析されます。 • "123x456": 123 に解析されます。 • "text123": メソッドが ParseException をスローします。

次のコード例は、さまざまな区切り記号を使用して数値を解析する方法を示しています。最後の解析例では、スペースは有効な区切り文字ではないため、数値の最初の 3 桁のみが解析されることに注意してください。

```
var x = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithSeparators('48,837.77', ',',
 '.');
var y =  sn_i18n.NumberFormatter.parseWithSeparators('77.931,22', '.',
 ',');
var z = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithSeparators('562 339,89', ' ',
 ',');
var specialCase = sn_i18n.NumberFormatter.parseWithSeparators('400
 797,67', '.', ',');

gs.info(x);
gs.info(y);
gs.info(z);
gs.info(specialCase);
```

出力:

```
48837.77
77931.22
562339.89
400
```

OAuthUtil - グローバル

OAuthUtil スクリプトインクルードは、実行時に要求パラメーターを変更し、トークン応答を解析します。

外部 OAuth プロバイダーからアプリケーション/JSON タイプの応答以外の応答が返される場合は、お使いのバージョンのスクリプトインクルードをカスタマイズすることで、別のフォーマットの応答を解析できます。このスクリプトインクルードを拡張またはコピーし、サードパーティの OAuth プロバイダーを対象とする [アプリケーションレジストリー] フォームの **[OAuth API スクリプト]** フィールドから、お使いのバージョンを参照します。カスタムのスクリプトインクルード名は `OAuth`で始まる必要があります。

たとえば、OAuth プロバイダーが値 `https://outlook.office365.com` のリソースパラメーターを必要とする場合、コードは次のようになります。

```
preprocessAccessToken: function(requestParamMap) {
  requestParamMap.put("resource", "https://outlook.office365.com");
},
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OAuthUtil - getOAuthProfile()

現在の OAuth プロファイルを表す GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	現在の OAuth プロファイルを表す GlideRecord

OAuthUtil - interceptRequestParameters(requestParamMap)

名前と値のペアを要求パラメーターに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestParamMap	文字列	追加する名前と値のペア。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OAuthUtil - parseTokenResponse(accessTokenResponse)

受信したトークンをパラメーターマップに解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
accessTokenResponse	文字列	解析するアクセストークン応答。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OAuthUtil - setEndpoint(url)

OAuth 要求のエンドポイントを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	要求の URL エンドポイント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OAuthUtil - setHeader(headerName, headerValue)

送信トークン要求にヘッダーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerName	文字列	トークン要求のヘッダーの名前
headerValue	文字列	トークン要求のヘッダーの値

返される内容

タイプ	説明
なし	

OAuthUtil - setQueryParameter(paramName, paramValue)

OAuth 要求にクエリーパラメーターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramName	文字列	パラメーターの名前
paramValue	文字列	パラメーターの値

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRosterSpanApprovalUtil - グローバル

OCRosterSpanApprovalUtil スクリプトインクルードは、PTO 承認機能のメソッドを提供します。

OCRosterSpanApprovalUtil - approvePTOSpan (GlideRecord rosterSpanGr)

roster_schedule_span のタイプを承認から休暇に変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRosterSpanApprovalUtil - getContextualCalUrlPerSpanProposal (GlideRecord rosterSpanProposalGr)

rosterSpanProposalGr に基づいてオンコールカレンダーへの URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanProposalGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	rosterSpanProposalGr に基づくオンコールカレンダーへの URL。

OCRosterSpanApprovalUtil - getFromDateDisplayValuePerSpanProposal (GlideRecord rosterSpanProposalGr)

rosterSpanProposalGr の開始日に基づいて、フォーマットされた GlideScheduleDateTime 文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanProposalGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	rosterSpanProposalGr の開始日に基づく、フォーマットされた GlideScheduleDateTime 文字列。

OCRosterSpanApprovalUtil - getPTOApproversList(GlideRecord rosterSpanProposalGr)

ユーザーの勤務表グループに基づいてグループマネージャーのアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanProposalGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ユーザーの勤務表グループに基づくグループマネージャーのアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、*OCPTOApprovalReminder* という名前のオンデマンドのスクリプトインクルードです。スケジュール設定済みジョブを手動で実行する方法でこれが呼び出された場合、翌日に PTO がスケジュールされている従業員がマネージャーとその代理人に通知されます。

```
function OCPTOApprovalReminder() {

 //Passing parameters in 'getDateFormat()' function with the days which
needs to be added
 var startDate = getDateFormat(1); //We can use System property to set
Start Date
 var endDate = getDateFormat(2); //We can use System property to set End
Date

 //Building the encoded query all the Pending approval state proposals
whose start date is tomorrow
 var encodedQuery = 'state=1^roster_schedule_span.start_date_time>' +
startDate + '^roster_schedule_span.start_date_time<' + endDate;

 //Sends an event notification to all rota managers and their delegate
managers
 getNotApprovedList(encodedQuery);

 //Converts the date and time in ISO Format
 function getDateFormat(daysToBeAdded) {

  //Getting today's date and adding '1' day
  var todaysDate = new GlideDate();
  todaysDate.addDaysUTC(daysToBeAdded);
  todaysDate = todaysDate.getValue();

  //Converting to today's date object to GlideDate object
  var addingDaysToDate = new GlideDate();
  addingDaysToDate.setValue(todaysDate);

  //Setting the time default to '12:00:00' and returning the time in the
specified format to match ISO
  var staticTime = new GlideTime();
  staticTime.setValue('00:00:00');
  staticTime.setValue(staticTime.getHourOfDayUTC() + ':' +
staticTime.getMinutesUTC() + ':' + staticTime.getSeconds());

  //Returns the date & time in the specified format
  var isoFormattedDateTime = addingDaysToDate.getByFormat("yyyyMMdd") +
'T' + staticTime.getByFormat("HHmmss") + 'Z';
  return isoFormattedDateTime;
 }

 //Gliding Roster schedule span proposal table with the built-in query to
fetch the records whose proposals are not approved/rejected
 function getNotApprovedList(addEncodedQuery) {
  var rosterScheduleEntryProposalGR = new
GlideRecord('roster_schedule_span_proposal');
  rosterScheduleEntryProposalGR.addEncodedQuery(addEncodedQuery);
  rosterScheduleEntryProposalGR.query();
  while(rosterScheduleEntryProposalGR.next()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   //Call On-Call Scheduling OCRosterSpanApprovalUtil library with
 'getPTOApproversList' function
   //pass GlideRecord object of 'roster_schedule_span_proposal' table
   var rotaManagers = new
 OCRosterSpanApprovalUtil().getPTOApproversList(rosterScheduleEntryPropos
alGR);
   rotaManagers = rotaManagers.join(",");

   // Pull only the unique sys_ids
   var managerList = new
 ArrayUtil().unique(getManagerDelegateApprovals(rotaManagers).toString().
split(','));

                       // Event to trigger a reminder notification for
 testing.
                       // To use, create a an event registry named
 "oc.manager.delegate.reminder"
                       // Call the event in a notification and uncomment
 the following line
   //gs.eventQueue("oc.manager.delegate.reminder",
 rosterScheduleEntryProposalGR, managerList, "");

               if(managerList)
   gs.info("Returns the list of manager and it's delegate members >>>>>>
 " + managerList);
  }
 }

 //Get the sys_ids of the managers and their delegate managers
 function getManagerDelegateApprovals(manager) {
  var answer = [];
        answer.push(manager);
  var delegateGR = new GlideRecord("sys_user_delegate");
  delegateGR.addQuery("user", 'IN', manager);
  delegateGR.addQuery("starts", "<=", gs.daysAgo(0));
  delegateGR.addQuery("ends", ">=", gs.daysAgo(0));
  delegateGR.addQuery("approvals", true);
  delegateGR.query();
  while(delegateGR.next()) {
   answer.push(delegateGR.getValue('user'));
   answer.push(delegateGR.getValue('delegate'));
  }
  return answer;
 }
}
```

スクリプトの実行を予定 [sysauto_script] テーブルのレコードに次の呼び出しを追加します。このトリガーは、スケジュール設定済みジョブが手動で実行されたときに *OCPTOApprovalReminder* スクリプトインクルードを呼び出します。

```
OCPTOApprovalReminder();
```

OCRosterSpanApprovalUtil - getToDateDisplayValuePerSpanProposal (rosterSpanProposalGr GlideRecord)

rosterSpanProposalGr の終了日に基づいて、フォーマットされた GlideScheduleDateTime 文字列を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanProposalGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	rosterSpanProposalGr の終了日に基づく、フォーマットされた GlideScheduleDateTime 文字列。

OCRosterSpanApprovalUtil - getUserNamePerSpanProposal (GlideRecord rosterSpanProposalGr)

rosterSpanProposalGr に基づいてユーザーの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanProposalGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	rosterSpanProposalGr に基づくユーザーの名前。

OCRosterSpanApprovalUtil - isPTOApprovalRequired ()

システムプロパティ *com.snc.on_call_rotation.pto.approval.required* が true であることを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	システムプロパティ *com.snc.on_call_rotation.pto.approval.required* が true の場合は true を返します。

OCRosterSpanApprovalUtil - rejectPTOSpan (rosterSpanGr GlideRecord)

roster_schedule_span のタイプを承認から却下に変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rosterSpanGr	GlideRecord	roster_schedule_span_proposal レコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotation - グローバル

OCRotation スクリプトインクルードは、カレンダーの表示に使用されるデータ構造をビルドするためのメソッドを提供します。

このコードは、スパンアイテムのリストを格納する GlideAJAXSchedulePage オブジェクトを構築します。このタイプは従来の Gwt カレンダーに使用できます。他のカレンダータイプについては、 OCRotationV2 - グローバル スクリプトインクルードを参照してください。これは On-Call Scheduling の一部です。

OCRotation - buildRotas()

グループ、勤務表および勤務表に基づいてオンコールカバー範囲を構築します。OCRotationV2 - getSpan メソッドで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - getEndDate()

オンコールカバー範囲を取得する期間の終了日を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オンコールカバー範囲を取得する期間の終了日。

OCRotation - getGroupIds()

オンコールスケジュールのグループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリストを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オンコールスケジュールのグループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリスト。

OCRotation - getRosterIds()

選択した勤務表に従って勤務表を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	選択した勤務表に従った勤務表。

OCRotation - getRotaGr(文字列 **rotaIds**, 文字列 **groupIds**, 文字列 **rosterIds**, 文字列 **userIds)**

グループ、勤務表、ユーザー、勤務表を基準にフィルタリングされた cmn_rota テーブルの GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaIds	文字列	オンコールスケジュールの勤務表 sys_id (cmn_rota) の値のカンマ区切りリスト。
groupIds	文字列	オンコールスケジュールのグループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリスト。
rosterIds	文字列	オンコールスケジュールの勤務表 sys_id (cmn_rota_roster) の値のカンマ区切りリスト。
userIds	文字列	オンコールスケジュールのユーザー sys_id (sys_user) の値のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	グループ、勤務表、ユーザー、勤務表を基準にフィルタリングされた cmn_rota テーブルの GlideRecord。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OCRotation - getRotaIds()

カレンダー上のグループの勤務表を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	カレンダー上のグループの勤務表。

OCRotation - getStartDate()

オンコールカバー範囲を取得する期間の開始日を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オンコールカバー範囲を取得する期間の開始日。

OCRotation - getTimezone()

オンコールカレンダーが使用するタイムゾーンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オンコールカレンダーが使用するタイムゾーン。たとえば、[欧州/マドリッド] や [米国/太平洋]などです。

OCRotation - getUserIDs()

これにより、ユーザーによって返されるスケジュールがフィルタリングされます。オンコールスケジュールのフィルタリングに使用されるユーザー sys_id (sys_user) の値のカンマ区切りリストを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	オンコールスケジュールのフィルタリングに使用されるユーザー sys_id (sys_user) の値のカンマ区切りリスト。

OCRotation - setEndDate(文字列 **endDate**, ブーリアン **inclusive)**

オンコールカバー範囲を取得する期間の終了日を設定します。終了日が設定されていない場合、翌月の末日がデフォルトで適用されます。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
endDate	文字列	(オプション) オンコールスケジュールの終了日。
inclusive	ブーリアン	(オプション) true の場合、終了日がタイムスパンに含まれます。指定しない場合、この値はデフォルトで true に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setGroupIds(文字列 **groupIds)**

返されるスケジュールをグループ別にフィルタリングします。オンコールスケジュールのグループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリストを設定します。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupIds	文字列	オンコールスケジュールのグループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setRosterIds(文字列 **rosterIds)**

選択した勤務表に従って勤務表を設定します。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
RosterIds	文字列	選択した勤務表に従った勤務表。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setRotaIds(文字列 **rotaIds)**

カレンダー上のグループの勤務表を設定します。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
RotaIds	文字列	カレンダー上のグループの勤務表。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setStartDate(文字列 **startDate)**

オンコールカバー範囲を取得する期間の開始日を設定します。開始日が設定されていない場合、前月の初日がデフォルトで適用されます。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startDate	文字列	(オプション) オンコールカバー範囲を取得する期間の開始日。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setTimezone(文字列 **timezone)**

オンコールカレンダーが使用するタイムゾーンを設定します。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
タイムゾーン	文字列	オンコールカレンダーが使用するタイムゾーン。たとえば、[欧州/マドリッド] や [米国/太平洋]などです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotation - setUserIds(文字列 **userIds)**

オンコールスケジュールのフィルタリングに使用されるユーザー sys_id (sys_user) の値のカンマ区切りリストを設定します。OCRotationV2 - getSpan と組み合わせて使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
UserIds	文字列	オンコールスケジュールのフィルタリングに使用されるユーザー sys_id (sys_user) の値のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

OCRotationV2 - getSpans()

OCRotationV2 - グローバル

OCRotationV2 スクリプトインクルードは、Fullcalendar.io および DHTMLX オンコールカレンダーで使用される *OCRotation* スクリプトインクルードの拡張です。

このスクリプトインクルードを使用して、グループ、勤務表、勤務表、およびユーザーでさらにフィルタリングされた 2 つの日付間のスケジュールのタイムスパンを取得します。*OCRotationV2* を拡張して、動作を追加したり変更したりすることもできます。これは On-Call Scheduling の一部です。

OCRotationV2 - getGroups()

アクティブな勤務表があるグループのアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	グループオブジェクトのアレイ。それぞれに次の属性が含まれています。 • sys_user_group レコードの sys_id • sys_user_group レコードの名前

OCRotationV2 - getRostersByRotas(文字列 rotaSysIds)

指定された勤務表 ID のアクティブな勤務表のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaSysIds	文字列	勤務表 sys_id (cmn_rota) の値のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	勤務表オブジェクトのアレイ。それぞれに次の属性が含まれています。 • cmn_rota_roster レコードの sys_id • cmn_rota_roster レコードの名前 • cmn_rota レコードの勤務表の sys_id

OCRotationV2 - getRotasByGroup(文字列 groupSysIds)

指定されたグループ ID のアクティブな勤務表のアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysIds	文字列	グループ sys_id (sys_user_group) の値のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	勤務表オブジェクトのアレイ。それぞれに次の属性が含まれています。 • cmn_rota レコードの sys_id • cmn_rota レコードの名前 • sys_user_group レコードのグループの sys_id

OCRotationV2 - getSpans()

指定された開始日から指定された終了日までのスパンを取得します。開始日と終了日が指定されていない場合、開始日のデフォルトは現在の時刻の 1 か月前、終了日のデフォルトは 1 か月後になります。グループ ID、勤務表 ID、勤務表 ID、ユーザー ID を使用して、スパンをさらに細かくフィルタリングすることもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	スパンのアレイ。各属性 に、id、sys_id、table、rota_id、roster_id、user_id、text、description、color、textColor、start_date、e が含まれています。

デフォルトの期間に対するすべてのスパンを取得する

```
var spans = new OCRotationV2().getSpans();
var firstSpanStartDate = spans[0].start_date; // get the first span's
 start date
```

2014 年 4 月 1 日から 2014 年 6 月 5 日までのすべてのスパンを取得する

```
var spans = new OCRotationV2()
    .setStartDate("2014-04-01")
    .setEndDate("2014-06-05")
    .getSpans();
```

デフォルトの期間に対するネットワークグループのスパンを取得する

```
var spans = new OCRotationV2()
     .setGroupIds("287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .getSpans();
```

2014 年 1 月 1 日から 2014 年 1 月 31 日までの ITIL ユーザーのスパンを取得する

```
var spans = new OCRotationV2()
    .setStartDate("2014-01-01")
    .setEndDate("2014-01-31")
    .setUserIds("681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd")
    .getSpans();
```

OCRotaICalendarSNC - グローバル

OCRotaICalendarSNC スクリプトインクルードは、特定のユーザーのローテーションに対して iCal 形式のイベントを提供します。

OCRotaICalendarSNC - cleanExpiredCache ()

本日より前の From の日付がついた cmn_rota_resp_cache テーブル内のレコード。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaICalendarSNC - createCalendarEvents (文字列 groupId, 文字列 rotaId, 文字列 userId, オブジェクト dateRangeObj)

ユーザーのオンコールに対する AJAXScheduleItems のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。
rotaId	文字列	勤務表のSys ID。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。

返される内容

タイプ	説明
AJAXScheduleItem	AJAXScheduleItem の Java リスト。

OCRotaICalendarSNC - createCustomEvent (文字列 groupName, オブジェクト scheduleItemSpan, 文字列 calendarLink)

指定された scheduleItemSpan に基づいて VEVENT を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupName	文字列	オンコールグループの名前。
scheduleItemSpan	オブジェクト	オンコール期間に対する時間のスパン。
calendarLink	文字列	インスタンス内のオンコールカレンダーに戻るリンク。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された scheduleItemSpan に基づく VEVENT。

OCRotaICalendarSNC - createPlaceholderCalendar (GlideRecord rotaGR, オブジェクト dateRangeObj, 文字列 calendarLink)

ユーザーにオンコールが予定されていない場合は、フォーマットされた iCalendar を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaGR	GlideRecord	cmn_rota の GlideRecord。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。
calendarLink	文字列	このユーザーのオンコールカレンダーへのリンク。

返される内容

タイプ	説明
文字列	プレースホルダー VEVENT を含むフォーマット済み iCalendar。

OCRotaICalendarSNC - getCalendarEvents (文字列 **groupId**, 文字列 **rotaId**, 文字列 **userId**, オブジェクト **dateRangeObj**, ブーリアン **useCache)**

ユーザーのローテーション用のフォーマット済み iCalendar を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。
rotaId	文字列	勤務表のSys ID。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。
useCache	ブーリアン	true の場合、キャッシュテーブル cmn_rota_resp_cache を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのローテーション用のフォーマット済み iCalendar。

OCRotaICalendarSNC - getEventsFromTable (文字列 **groupId**, 文字列 **rotaId**, 文字列 **userId**, オブジェクト **dateRangeObj)**

ユーザーのローテーション用のフォーマット済み iCalendar が cmn_rota_resp_cache テーブルにあった場合はそれを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。
rotaId	文字列	勤務表のSys ID。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーのローテーション用のフォーマット済み iCalendar (cmn_rota_resp_cache テーブルにあった場合)。

OCRotaICalendarSNC - getIntersectRotaSpanItem (ScheduleTimeSpan timeSpan, アレイ **rotaSpanItems)**

指定された timeSpan が勤務表スパンのアイテムの 1 つと部分的に共通するかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeSpan	ScheduleTimeSpan	ユーザーのオンコール用の単一のスパン。
rotaSpanItems	アレイ	ユーザーの標準的なオンコールのスパンが含まれます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	timeSpan が勤務表スパンのアイテムの 1 つと部分的に共通する場合、勤務表スパンのアイテムとそれが共通するスパンを含むオブジェクトを返します。

OCRotaICalendarSNC - getMemberCalendarURL (文字列 **groupId**, オブジェクト **rotaId**, 文字列 **userId)**

ユーザーの iCalendar の登録可能 URL を作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。
rotaId	オブジェクト	勤務表のSys ID。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ユーザーの iCalendar の登録可能 URL。

OCRotaICalendarSNC - getOnCallCalendarURL (GlideRecord rotaGR)

勤務表レコードに基づいてオンコールカレンダーへの URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaGR	GlideRecord	cmn_rota レコード。

返される内容

タイプ	説明
文字列	勤務表レコードに基づくオンコールカレンダーへの URL。

OCRotaICalendarSNC - handleOverrideMember (AJAXScheduleItem scheduleItem)

ユーザーの上書き (追加のカバー範囲) のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleItem	AJAXScheduleItem	AJAXScheduleItem のリスト。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ユーザーの上書き (追加のカバー範囲) のアレイ。

OCRotaICalendarSNC - handleRotaMember (AjaxScheduelItem scheduleItem, オブジェクト **rotaSpanItems**, オブジェクト **definitionItems**, アレイ **repeatRotaSpanIdArr)**

ユーザーの上書き (追加のカバー範囲) と除外されたスパンを含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleItem	AJAXScheduelItem	AJAXScheduleItem のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
rotaSpanItems	オブジェクト	ユーザーの標準的なオンコールのスパンが含まれます。
definitionItems	オブジェクト	勤務表の標準的なオンコールのスパンが含まれます。
repeatRotaSpanIdArr	アレイ	勤務表スパンのSys ID のアレイ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーの上書き (追加のカバー範囲) と除外されたスパンが含まれます。

OCRotaICalendarSNC - invalidateRotaRespCache (GlideRecord rotaRespCacheGR)

cmn_rota_resp_cacheテーブルを更新するために、cmn_rota_member、cmn_schedule_span、およびroster_schedule_spanテーブルのビジネスルールによって使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaRespCacheGR	GlideRecord	更新されたレコード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaICalendarSNC - matchRotaSpanRule(ScheduleTimeSpan timeSpan, アレイ **rotaSpanItems**, アレイ **repeatRotaSpanIdArr**, オブジェクト **seriesStartTimes)**

指定された timeSpan が rotaSpanItems の 1 つと一致するかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeSpan	ScheduleTimeSpan	ユーザーのオンコール用の単一のスパン。
rotaSpanItems	アレイ	ユーザーの標準的なオンコールのスパンが含まれます。
repeatRotaSpanIdArr	アレイ	勤務表スパンのSys ID のアレイ。
seriesStartTimes	オブジェクト	勤務表スパンの開始時刻。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	timeSpan が rotaSpanItems の 1 つに一致する場合は true を返します。

OCRotaICalendarSNC - populateCalendarSubscriptionSettings ()

固定ジョブが cmn_rota フォームのカレンダーサブスクリプションフィールドに入力する際に使用されます

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaICalendarSNC - processSeriesEvent (リスト **scheduleItems**, アレイ **repeatRotaSpanIdArr**, 文字列 **userId)**

ユーザーのローテーションを含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleItems	リスト	AJAXScheduleItem リストとしてのユーザーのオンコールローテーション。
repeatRotaSpanIdArr	アレイ	cmn_rota スケジュールスパンのレコードの sys_id のアレイ。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーのローテーションが含まれます。

OCRotaICalendarSNC - saveCalendarEvents (文字列 **groupId**, 文字列 **rotaId**, 文字列 **userId**, オブジェクト **dateRangeObj**, 文字列 **result)**

ユーザーの iCalendar を cmn_rota_resp_cache テーブルに挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
rotaId	文字列	勤務表のSys ID。
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。
result	文字列	ユーザーの iCalendar。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaICalendarSNC - sendCalendarURL (GlideRecord rotaGR)

ローテーションのすべてのメンバーにメールを送信するキューイベント。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaGR	GlideRecord	cmn_rota レコード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaICalendarSNC - updateExceptionList (AJAXScheduleItem scheduleItem, ScheduleTimeSpan timeSpan, アレイ rotaSpanItems)

ユーザーの iCalendar から除外する必要があるすべての timeSpan を含むオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scheduleItem	AJAXScheduleItem	1 つの AJAXScheduleItem。
timeSpan	ScheduleTimeSpan	1 人のユーザーの標準的なオンコールのスパン。
rotaSpanItems	アレイ	ユーザーの標準的なオンコールのスパンが含まれます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ユーザーの iCalendar から除外する必要があるすべての timeSpan を含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OCRotaICalendar - グローバル

`OCRotaICalendar` スクリプトインクルードは、`OCRotaICalendarSNC` スクリプトインクルードの拡張です。

OCRotaMember - グローバル

`OCRotaMember` スクリプトインクルードは、オンコールメンバー [cmn_rota_member] テーブルのメンテナンス操作を実行するメソッドを提供します。

OCRotaMember - deactivateUser (文字列 userId, GlideDateTime deactivateDate)

非アクティブ化された日付に従って、ユーザーの勤務表メンバーレコードを非アクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
deactivateDate	GlideDateTime	ユーザーのローテーションが非アクティブ化される日付。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaMember - hasChanged (GlideRecord current, GlideRecord previous)

cmn_rota_member レコードが変更されたかどうかをチェックします。[メンバー]、[送信元]、[宛先]、および [順番] フィールドが変更されたことを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	cmn_rota_member レコードに加えられた最新の変更。
previous	GlideRecord	cmn_rota_member レコードの元のステータス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaMember - hasOrderChanged (GlideRecord current, GlideRecord previous)

cmn_rota_member レコードの更新時に、レコードが変更されたかどうかをチェックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	cmn_rota_member レコードに加えられた最新の変更。
previous	GlideRecord	cmn_rota_member レコードの元のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	順序が変更されている場合は true を返します。

OCRotaMember - recalculate (GlideRecord current, GlideRecord previous)

cmn_rota_member レコードのスケジュールを再計算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	cmn_rota_member レコードに加えられた最新の変更。
previous	GlideRecord	cmn_rota_member レコードの元のステータス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCRotaMember - validateDates (文字列 **from**, 文字列 **to)**

開始日が終了日より前または同じ日付になるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
コピー元	文字列	フォーマットされた日付/
to	文字列	フォーマットされた日付/

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	開始日が終了日より前または同じ日付である場合は true を返します。

OCSeriesEventGenerator - グローバル

OCSeriesEventGenerator スクリプトインクルードは、ユーザーの iCalendar の繰り返し VEVENTS を生成するメソッドを提供します。

OCSeriesEventGenerator - getMemberCalendar (文字列 **groupId**, 文字列 **rotaId**, 文字列 **userId**, オブジェクト **dateRangeObj**, オブジェクト **memberSchedules**, 文字列 **calendarLink)**

繰り返すオンコールイベントのアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupId	文字列	グループのSys ID。
rotaId	文字列	勤務表のSys ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
userId	文字列	ユーザーのSys ID。
dateRangeObj	オブジェクト	データセットの開始日と終了日が含まれます。
memberSchedules	オブジェクト	ユーザーのスケジュール。
calendarLink	文字列	インスタンス内のオンコールカレンダーに戻るリンク。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	繰り返すオンコールイベントのアレイ。

OCSeriesEventGenerator - getRosterICalEvents (GlideRecord rotaScheduleSpanGR, GlideRecord memberScheduleSpanGR, アレイ seriesStartTimes, オブジェクト excludeItems, 文字列 repeatUntil, 文字列 timeZone, 文字列 calendarLink)

指定された rotaScheduleSpanGR と memberScheduleSpanGR に対するオンコールを表す VEVENT のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaScheduleSpanGR	GlideRecord	勤務表の cmn_schedule_span の Glide レコード。
memberScheduleSpanGR	GlideRecord	勤務表メンバーの cmn_schedule_span の Glide レコード。
seriesStartTimes	アレイ	繰り返しの勤務表スパンの開始時刻のアレイ。
excludeItems	オブジェクト	除外する必要があるスケジュールのアイテム。
repeatUntil	文字列	書式設定済みの ScheduleDateTime 文字列。
timeZone	文字列	オンコール勤務表のタイムゾーン。
calendarLink	文字列	このユーザーのオンコールカレンダーへのリンク。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された rotaScheduleSpanGR と memberScheduleSpanGR に対するオンコールを表す VEVENT のアレイ。

OCSeriesEventGenerator - getRosterMemberEvents (GlideRecord rotaMemberGR, アレイ seriesStartTimes, オブジェクト excludeItems, 文字列 repeatUntil, 文字列 calendarLink)

繰り返すオンコール VEVENT のアレイを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaMemberGR	GlideRecord	cmn_rota_member レコード。
seriesStartTimes	アレイ	繰り返しの勤務表スパンの開始時刻のアレイ。
excludeItems	オブジェクト	除外する必要があるスケジュールのアイテム。
repeatUntil	文字列	書式設定済みの ScheduleDateTime 文字列。
calendarLink	文字列	このユーザーのオンコールカレンダーへのリンク。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	繰り返すオンコール VEVENT のアレイ。

OCTimer - グローバル

`OCTimer` スクリプトインクルードは、関数の完了に要する時間を追跡するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードでは、オンコールスケジューリング (com.snc.on_call_rotation) プラグインをアクティブ化する必要があります。詳細については、トピック「 オンコールスケジューリングのアクティブ化 」を参照してください。

OCTimer - log (文字列 name, 文字列 entry)

関数名に基づいてエントリーをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	関数名。
entry	文字列	ログの出力の一部となるテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OCTimer - millisToTime (整数 millis)

ミリ秒の値を取って、書式設定済みの期間を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
millis	整数	期間 (ミリ秒単位)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定済みの期間。

OCTimer - result ()

登録された関数それぞれにかかった時間を計算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	登録された関数それぞれにかかった時間。

次のコード例は、REST API がネットワーク機器内のデバイスから IP アドレスをフェッチして IP アドレステーブルに挿入する際にかかる時間をベンチマークします。API コールは処理に時間がかかる場合があるため、本番環境で実行する前に実行時間のベンチマークを行うことをお勧めします。

```
var user = "<user name>"; // ServiceNow login user name
var password = "<password>";  // ServiceNow login password
var instance = "<instance name>";   // ServiceNow instance name

// Insert new IP address to IP address table using REST API
function insertIPAddress(ip_address) {
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_ip_address');
 request.setHttpMethod('POST');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");
 request.setRequestHeader('Content-Type','application/json');request.setR
equestBody("{\"ip_address\":\"" + ip_address + "\"}");
 var response = request.execute();
}

// Retrieve IP address from devices in Network gear
function getIPAddresses() {
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_netgear?sysparm_fields=ip_addres
s');
 request.setHttpMethod('GET');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");

 var response = request.execute();
 return response.getBody();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

var timer = new OCTimer();              // create OCTimer object

// get the IP addresses from Network Gear table
timer.start("getIPAddresses");          // start timer to time fetching IP
 addresses from Network Gear table
var ipAddressStr = getIPAddresses();
timer.stop('getIPAddresses');           // stop timer

// insert IP addresses to IP Address table
var ipAddressJson = JSON.parse(ipAddressStr);  // parse result
var ipAddressList = ipAddressJson.result;      // extract IP addresses to
 a list
for (var i=0; i<ipAddressList.length;i++) {    // loop through
 var ip_address = ipAddressList[i]["ip_address"].trim();
 if (ip_address.length > 0) {
  timer.start("insertIPAddress");    // start timer to time inserting IP
 address to IP Address table
  insertIPAddress(ip_address);       // insert IP address
  timer.stop('insertIPAddress');     // end timer
 }
}

var result = timer.result();          // get timer results
gs.info(result);                      // output timer result
```

出力：

```
getIPAddresses method was invoked 1 time and took 00.288 seconds
insertIPAddress method was invoked 37 times and took 02.352 seconds
```

OCTimer - start (文字列 name)

指定された名前に基づいてタイマーを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	関数名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、REST API がネットワーク機器内のデバイスから IP アドレスをフェッチして IP アドレステーブルに挿入する際にかかる時間をベンチマークします。API コールは処理に時間がかかる場合があるため、本番環境で実行する前に実行時間のベンチマークを行うことをお勧めします。

```
var user = "<user name>"; // ServiceNow login user name
var password = "<password>";  // ServiceNow login password
var instance = "<instance name>";   // ServiceNow instance name

// Insert new IP address to IP address table using REST API
function insertIPAddress(ip_address) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_ip_address');
 request.setHttpMethod('POST');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");
 request.setRequestHeader('Content-Type','application/json');request.setR
equestBody("{\"ip_address\":\"" + ip_address + "\"}");
 var response = request.execute();
}

// Retrieve IP address from devices in Network gear
function getIPAddresses() {
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_netgear?sysparm_fields=ip_addres
s');
 request.setHttpMethod('GET');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");

 var response = request.execute();
 return response.getBody();
}

var timer = new OCTimer();              // create OCTimer object

// get the IP addresses from Network Gear table
timer.start("getIPAddresses");          // start timer to time fetching IP
 addresses from Network Gear table
var ipAddressStr = getIPAddresses();
timer.stop('getIPAddresses');           // stop timer

// insert IP addresses to IP Address table
var ipAddressJson = JSON.parse(ipAddressStr);  // parse result
var ipAddressList = ipAddressJson.result;      // extract IP addresses to
 a list
for (var i=0; i<ipAddressList.length;i++) {    // loop through
 var ip_address = ipAddressList[i]["ip_address"].trim();
 if (ip_address.length > 0) {
  timer.start("insertIPAddress");    // start timer to time inserting IP
 address to IP Address table
  insertIPAddress(ip_address);       // insert IP address
  timer.stop('insertIPAddress');     // end timer
 }
}

var result = timer.result();          // get timer results
gs.info(result);                      // output timer result
```

出力：

```
getIPAddresses method was invoked 1 time and took 00.288 seconds
insertIPAddress method was invoked 37 times and took 02.352 seconds
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OCTimer - stop (文字列 name)

指定された名前に対するタイマーの終了時間を登録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	関数名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、REST API がネットワーク機器内のデバイスから IP アドレスをフェッチして IP アドレステーブルに挿入する際にかかる時間をベンチマークします。API コールは処理に時間がかかる場合があるため、本番環境で実行する前に実行時間のベンチマークを行うことをお勧めします。

```
var user = "<user name>"; // ServiceNow login user name
var password = "<password>";  // ServiceNow login password
var instance = "<instance name>";   // ServiceNow instance name

// Insert new IP address to IP address table using REST API
function insertIPAddress(ip_address) {
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_ip_address');
 request.setHttpMethod('POST');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");
 request.setRequestHeader('Content-Type','application/json');request.setR
equestBody("{\"ip_address\":\"" + ip_address + "\"}");
 var response = request.execute();
}

// Retrieve IP address from devices in Network gear
function getIPAddresses() {
 var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
 request.setEndpoint('https://' + instance +
 '.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci_netgear?sysparm_fields=ip_addres
s');
 request.setHttpMethod('GET');

 request.setBasicAuth(user,password);
 request.setRequestHeader("Accept","application/json");

 var response = request.execute();
 return response.getBody();
}

var timer = new OCTimer();              // create OCTimer object

// get the IP addresses from Network Gear table
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
timer.start("getIPAddresses");          // start timer to time fetching IP
 addresses from Network Gear table
var ipAddressStr = getIPAddresses();
timer.stop('getIPAddresses');           // stop timer

// insert IP addresses to IP Address table
var ipAddressJson = JSON.parse(ipAddressStr);  // parse result
var ipAddressList = ipAddressJson.result;      // extract IP addresses to
 a list
for (var i=0; i<ipAddressList.length;i++) {    // loop through
 var ip_address = ipAddressList[i]["ip_address"].trim();
 if (ip_address.length > 0) {
  timer.start("insertIPAddress");    // start timer to time inserting IP
 address to IP Address table
  insertIPAddress(ip_address);       // insert IP address
  timer.stop('insertIPAddress');     // end timer
 }
}

var result = timer.result();          // get timer results
gs.info(result);                      // output timer result
```

出力：

```
getIPAddresses method was invoked 1 time and took 00.288 seconds
insertIPAddress method was invoked 37 times and took 02.352 seconds
```

OnCallContactPreferenceUtil - グローバル

OnCallContactPreferenceUtil スクリプトインクルードは、連絡先設定を処理するためのメソッドを提供します。

連絡先設定の構成については、「連絡先設定の構成」を参照してください。

このスクリプトインクルードは、 OnCallRotation スクリプトインクルードをサポートしています。

OnCallContactPreferenceUtil - OnCallContactPreferenceUtil()

OnCallContactPreferenceUtil クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

OnCallContactPreferenceUtil - getContactsAtByEscalatee(オブジェクト escalatee, 数字 contactAttempt, GlideDateTime gdt, 文字列 rotaSysIds)

エスカレーション先オブジェクトがある連絡先のリストを取得します。返された連絡先ごとに、ユーザーの連絡先設定のリストが入っています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
エスカレーション先	オブジェクト	必須。getEscalationPlan() メソッドによって返されたエスカレーション先オブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
ContactAttempt	数字	オプション。連絡しようとしている試行 (デフォルト値 = 1)。 • `1`：最初の試行 • `2`：最初のリマインダー • `3 or more`：後続のリマインダー
gdt	GlideDateTime	オプション。UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式。デフォルトは now.admin
rotaSysIds	文字列	オプション。[cmn_rota] テーブルから取得されたシフトのSys ID のカンマ区切り文字列。デフォルト値は、現在のシフトのSys ID を返します。

返される内容

タイプ	説明
アレイオブジェクト	特定の時間とポジションでのエスカレーション先 (通知ルールによってユーザー、グループ、またはデバイスレコード) のアレイ。 • type：文字列。連絡先のタイプ、例：user。 • sys_id：文字列。[sys_user] テーブルからのユーザーの Sys ID。 • rota_id：文字列。[cmn_rota] テーブルからのシフトの Sys ID。 • roster_id：文字列。[cmn_rota_roster] テーブルからの勤務表の Sys ID。 • escalation_step_id：文字列。エスカレーションパスが定義されている場合は、[cmn_rota_esc_step_def] テーブルからのエスカレーションステップの Sys ID。 • forced_communication_channel：文字列。設定で指定されている場合、通信チャネルは 必須 。サポートされている値には、SMS、voice、email が含まれます。 • override_user_contact_preference：ブール。連絡先の上書きがある場合は true、それ以外の場合は false。 • preference_source：文字列。連絡先やグループなどの設定のソース。 • contact_attempt：数値。連絡試行：1 = 最初の試行、2 = 最初のリマインダーなど。 • user_preferences：アレイオブジェクト。 ◦ type：文字列。ユーザーの希望する連絡形式。例：sms、email、number。 ◦ <希望する形式の名前、例：email または number>：文字列。希望する連絡先タイプのコンテンツ。例：メールアドレスまたは電話番号。 • contact_preferences、アレイオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ type：文字列。ユーザーの希望する連絡形式。例：email または number。 ◦ <希望する形式の名前、例：email または number>：文字列。希望する連絡先タイプのコンテンツ。例：メールアドレスまたは電話番号。

```
var serviceDeskSysId = '<Sys_ID>';
var ocRotation = new OnCallRotation();
var escalationPlan = ocRotation.getEscalationPlan(serviceDeskSysId);
var escalatee = escalationPlan[0];

var onContactPrefUtil = new OnCallContactPreferenceUtil();
var contactAttempt = 1;
var gdt = new GlideDateTime();
var contacts = onContactPrefUtil.getContactsAtByEscalatee(escalatee,
 contactAttempt, gdt);
gs.log(JSON.stringify(contacts));
```

出力:

```
[{
    "type": "user",
    "sys_id": "<Sys_ID>",
    "rota_id": "<Rotation_ID>",
    "roster_id": "",
    "escalation_step_id": "<Escalation_Step_ID>",
    "forced_communication_channel": "",
    "override_user_contact_preference": true,
    "preference_source": "contact",
    "contact_attempt": 1,
    "user_preferences": [{
        "type": "sms",
        "number": "8587200477"
    }],
    "contact_preferences": [{
        "type": "voice",
        "number": "5555555555"
    }]
}]
```

OnCallContactPreferenceUtil - getUserPreferences(文字列 **userSysId**, 数字 **contactAttempt**, **GlideDateTime gdt**, 文字列 **communicationTypes)**

ユーザーが通信を選択したときの連絡先設定のリストを取得します。時刻が指定されていない場合は、現在の時刻が使用されます。このメソッドは、単一のシフトと重複するシフトに適用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userSysId	文字列	[sys_user] テーブルから取得したユーザーのSys ID。
ContactAttempt	数字	オプション。連絡しようとしている試行 (デフォルト値 = 1)。 • `1`：最初の試行 • `2`：最初のリマインダー • `3 or more`：後続のリマインダー
gdt	GlideDateTime	オプション。UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式。デフォルトは現在の時刻です。
communicationTypes	文字列	オプション。次の値を 1 つ以上含むカンマ区切りの文字列です。 • email • sms • voice デフォルトには、利用可能なすべての通信タイプが含まれます。

返される内容

タイプ	説明
アレイオブジェクト	オンコールユーザー連絡先設定。 • type：文字列。ユーザーの希望する連絡形式。例：sms、email、number。 • <希望する形式の名前、例：email または number>：文字列。希望する連絡先タイプのコンテンツ。例：メールアドレスまたは電話番号。

```
var onContactPrefUtil = new OnCallContactPreferenceUtil();
var contactAttempt = 1;
var gdt = new GlideDateTime();
var itilUserSysId = '<itilUserSysId>;
var userPreferences = onContactPrefUtil.getUserPreferences(itilUserSysId,
 contactAttempt, gdt);
gs.log(JSON.stringify(userPreferences));
```

出力:

```
[{
    "type": "sms",
    "number": "5555555555"
}, {
    "type": "voice",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "number": "5555555555"
}]
```

OnCallContactPreferenceUtil - getCatchAllContacts(文字列 **rotaId**, **GlideDateTime gdt)**

予備連絡先と設定のリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaId	文字列	[cmn_rota] テーブルから取得したシフトのSys ID。
gdt	GlideDateTime	オプション。UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式。デフォルトは現在の時刻です。

返される内容

タイプ	説明
アレイオブジェクト	予備連絡先と設定のリスト。 • type：文字列。連絡先のタイプ、例：user。 • sys_id：文字列。[sys_user] テーブルからのユーザーの Sys ID。 • rota_id：文字列。[cmn_rota] テーブルからのシフトの Sys ID。 • roster_id：文字列。[cmn_rota_roster] テーブルからの勤務表の Sys ID。 • escalation_step_id：文字列。エスカレーションパスが定義されている場合は、[cmn_rota_esc_step_def] テーブルからのエスカレーションステップの Sys ID。 • forced_communication_channel：文字列。設定で指定されている場合、通信チャネルは 必須 。サポートされている値には、SMS、voice、email が含まれます。 • override_user_contact_preference：ブール。連絡先の上書きがある場合は true、それ以外の場合は false。 • preference_source：文字列。連絡先やグループなどの設定のソース。 • contact_attempt：数値。連絡試行：1 = 最初の試行、2 = 最初のリマインダーなど。 • user_preferences：アレイオブジェクト。 ◦ type：文字列。ユーザーの希望する連絡形式。例：sms、email、number。 ◦ <希望する形式の名前、例：email または number>：文字列。希望する連絡先タイプのコンテンツ。例：メールアドレスまたは電話番号。 • contact_preferences、アレイオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ type：文字列。ユーザーの希望する連絡形式。例：email または number。 ◦ <希望する形式の名前、例：email または number>：文字列。希望する連絡先タイプのコンテンツ。例：メールアドレスまたは電話番号。

例：

```
var onContactPrefUtil = new OnCallContactPreferenceUtil();
var contactAttempt = 1;
var gdt = new GlideDateTime();
var rotaSysId = '<Rotation_Sys_ID>';
var catchAllContacts = onContactPrefUtil.getCatchAllContacts(rotaSysId,
 gdt);
gs.log(JSON.stringify(catchAllContacts));
```

出力：

```
[{
    "type": "user",
    "sys_id": "<Sys_ID>",
    "rota_id": "<Rotation_ID>",
    "roster_id": "",
    "escalation_step_id": "<Escalation_Step_ID>",
    "forced_communication_channel": "",
    "override_user_contact_preference": true,
    "preference_source": "contact",
    "contact_attempt": 1,
    "user_preferences": [{
        "type": "sms",
        "number": "8587200477"
    }],
    "contact_preferences": [{
        "type": "voice",
        "number": "5555555555"
    }]
}]
```

OnCallContactPrefTemplate - グローバル

OnCallContactPrefTemplate スクリプトインクルードは、連絡先設定テンプレートをエスカレーションセットに適用するメソッドを提供します。

エスカレーションプロセスの詳細については、「 オンコールスケジューリング エスカレーションプロセスの定義 」を参照してください。

このスクリプトインクルードには、オンコールスケジューリングプラグイン (com.snc.on_call_rotation) が必要です。

OnCallContactPrefTemplate - OnCallContactPrefTemplate()

OnCallContactPrefTemplate オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、 *OnCallContactPrefTemplate* オブジェクトをインスタンス化します。

```
var contactPrefTemp = new global.OnCallContactPrefTemplate();
```

OnCallContactPrefTemplate - copyContactPreferences(文字列 **templateSysId**, 文字列 **escalationSetSysId)**

連絡先設定テンプレートをエスカレーションセットに適用します。

テンプレートがエスカレーションセットに適用されると、シフト連絡先設定 [cmn_rota_contact_preference] テーブルに連絡試行レコードが作成されます。

このメソッドを呼び出す前に、 *deleteContactPreferenceAttempts()* メソッドを呼び出して、既存の連絡試行レコードを削除します。既存のレコードが最初に削除されていない場合、このメソッドはエラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateSysId	文字列	オンコール連絡先設定テンプレート [on_call_template_contact_preference] テーブルの連絡先設定テンプレートのSys_id。
エスカレーションセットSysID	文字列	シフトエスカレーションセット [cmn_rota_escalation_set] テーブル内のエスカレーションセットのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エラーメッセージと警告メッセージを含むオブジェクト。操作が成功した場合、このオブジェクトは空です。 **注:** エラーが発生すると、操作は停止し、テンプレートは適用されません。警告が発生した場合、操作は続行され、一部のレコードは引き続き作成されます。 `{ "error": "String", "warning": "String" }`
<Object>。エラー	エラーメッセージ 可能な値： • 連絡設定テンプレートのsys_idが正しくありません • エスカレーションセットsys_idが正しくありません • 連絡試行は既に存在します

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>。警告	警告メッセージ。 データタイプ：文字列

この例では、連絡先設定テンプレートをサービスデスク - デフォルトのエスカレーションセットに適用します。エラーや警告がないため、戻りオブジェクトは空です。

```
var escSetSysId = "a47ac1abeb5a6110249e8d835d5228aa";
var templateSysId = "f8dac9ebeb5a6110249e8d835d522873";

var contactPrefTemp = new global.OnCallContactPrefTemplate();

// delete existing contact attempt records before applying the template
contactPrefTemp.deleteContactPreferenceAttempts(escSetSysId);

var result = contactPrefTemp.copyContactPreferences(templateSysId,
 escSetSysId);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

```
{}
```

OnCallContactPrefTemplate - deleteContactPreferenceAttempts(文字列 escalationSetSysId)

エスカレーションセットに関連付けられているすべての連絡先設定を削除します。

エスカレーションセットのすべての連絡試行レコードが、シフト連絡先設定 [cmn_rota_contact_preference] テーブルから削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
エスカレーションセットSysID	文字列	シフトエスカレーションセット [cmn_rota_escalation_set] テーブル内のエスカレーションセットのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、「サービスデスク - デフォルト」エスカレーションセットに関連付けられているすべての連絡先設定を削除します。

```
var escSetSysId = "a47ac1abeb5a6110249e8d835d5228aa";
var contactPrefTemp = new global.OnCallContactPrefTemplate();

contactPrefTemp.deleteContactPreferenceAttempts(escSetSysId);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OnCallEscalationTemplateSNC - グローバル

*OnCallEscalationTemplateSNC*スクリプトインクルードは、エスカレーションポリシーテンプレートをエスカレーションセットに適用するメソッドを提供します。

エスカレーションプロセスの詳細については、「 オンコールスケジューリング エスカレーションプロセスの定義 」を参照してください。

このスクリプトインクルードには、オンコールスケジューリングプラグイン (com.snc.on_call_rotation) が必要です。

OnCallEscalationTemplateSNC - OnCallEscalationTemplateSNC()

*OnCallEscalationTemplateSNC*オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、 *OnCallEscalationTemplateSNC*オブジェクトをインスタンス化します。

```
var escTemp = new global.OnCallEscalationTemplateSNC();
```

OnCallEscalationTemplateSNC - copyEscalationTemplatetoEscalationSet(文字列 templateSysId, 文字列 escalationSetSysId)

エスカレーションポリシーテンプレートをエスカレーションセットに適用します。

テンプレートがエスカレーションセットに適用されると、シフトエスカレーションステップ定義 [cmn_rota_esc_step_def] テーブルにエスカレーションステップ定義レコードが作成されます。

このメソッドを呼び出す前に、 *deleteEscalationSetSteps()* メソッドを呼び出して既存のエスカレーションステップ定義を削除します。既存のレコードが最初に削除されていない場合、このメソッドはエラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateSysId	文字列	オンコールエスカレーションポリシーテンプレート [on_call_template_escalation_policy] テーブルのエスカレーションポリシーテンプレートのSys_id。
エスカレーションセットSysID	文字列	シフトエスカレーションセット [cmn_rota_escalation_set] テーブル内のエスカレーションセットのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エラーメッセージと警告メッセージを含むオブジェクト。操作が成功した場合、このオブジェクトは空です。 注: エラーが発生すると、操作は停止し、テンプレートは適用されません。警告が発生した場合、操作は続行され、一部のレコードは引き続き作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "error": "String",
	  "warning": {Object}
	}</pre>

<Object>。エラー	エラーメッセージ 考えられるエラー: • エスカレーションポリシーテンプレートsys_idが正しくありません。 • エスカレーションセットsys_idが正しくありません。 • エスカレーションステップ定義は、エスカレーションセットに既に存在します。 データタイプ：文字列

<Object>。警告	警告に関する情報。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>{
	  "message": "String",
	  "skipped_steps": [Array],
	  "not_matching_steps": {Object},
	}</pre>

<Object>.warning.message	警告メッセージ。 考えられる警告: • 勤務表の位置がシフトの勤務表と一致しません • エスカレーションステップテンプレートで対象者が定義されていません データタイプ：文字列
<Object>.warning.skipped_steps	スキップされたエスカレーションステップのインデックス (1 から始まる)。 データタイプ：アレイ
<Object>.warning.not_matching_steps	利用可能な勤務表がないエスカレーションステップに関する情報を含むオブジェクト。{ `"step number":[roster number]}` の形式。 たとえば、戻り値が `{"3":[3]}` の場合、エスカレーションステップ 3 では、第 3 の勤務表は使用できません。 データタイプ: オブジェクト

この例では、「勤務表ローテーション」エスカレーションポリシーテンプレートを「サービスデスク - デフォルトのエスカレーションセット」に適用します。エラーや警告がないため、戻りオブジェクトは空です。

```
var escSetSysId = "32820dc3eb422110249e8d835d5228c3";
var templateSysId = "a89e2982eb592110249e8d835d522825";
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var escTemp = new global.OnCallEscalationTemplateSNC();

// delete existing escalation step definitions before applying the
 template
escTemp.deleteEscalationSetSteps(escSetSysId);

var result = escTemp.copyEscalationTemplatetoEscalationSet(templateSysId,
 escSetSysId);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

```
{}
```

この例では、「勤務表によるローテーション」エスカレーションポリシーテンプレートを「勤務時間 - デフォルトの」エスカレーションセットに適用します。この場合、アプリケーション開発シフトには勤務表が 2 つしかありませんが、テンプレートは 3 番目の勤務表を割り当てようとします。勤務表の数が一致しないため、警告がスローされます。シフトエスカレーションステップ定義 [cmn_rota_esc_step_def] テーブルにはまだ 2 つのレコードが作成されています。

```
var escSetSysId = "e4f8f73deb562110249e8d835d522852";
var templateSysId = "a89e2982eb592110249e8d835d522825";
var escTemp = new global.OnCallEscalationTemplateSNC();

// delete existing escalation step definitions before applying the
 template
escTemp.deleteEscalationSetSteps(escSetSysId);

var result = escTemp.copyEscalationTemplatetoEscalationSet(templateSysId,
 escSetSysId);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

```
{
   "warning": {
      "message": "Skipped copying templates for some of the steps since
 no audiences are defined",
      "not_matching_steps": {
         "3": [
            3
         ]
      },
      "skipped_steps": [
         "3"
      ]
   }
}
```

OnCallEscalationTemplateSNC - deleteEscalationSetSteps(文字列 **escalationSetSysId)**

エスカレーションセットに関連付けられたすべてのエスカレーションステップ定義レコードを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
エスカレーションセットSysID	文字列	シフトエスカレーションセット [cmn_rota_escalation_set] テーブル内のエスカレーションセットのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、「サービスデスク - デフォルト」エスカレーションセットに関連付けられたすべてのエスカレーションステップ定義を削除します。

```
var escSetSysId = "32820dc3eb422110249e8d835d5228c3";

var escTemp = new global.OnCallEscalationTemplateSNC();

escTemp.deleteEscalationSetSteps(escSetSysId);
```

OnCallRotation - グローバル

OnCallRotation スクリプトインクルードは、オンコールスケジュールを管理するメソッドを提供します。

詳細については、「オンコールスケジューリング」を参照してください。

OnCallRotation - OnCallRotation()

OnCallRotation クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var oncall = new OnCallRotation();
```

OnCallRotation - addCurrentToNotified()

現在のエスカレーションメンバーを通知済みユーザーのリストに追加して、誰が連絡済みかを API が認識できるようにします。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OnCallRotation - cancelEscalations(GlideRecord escalationGr)

`startEscalations` API で開始された GlideRecord のエスカレーションをキャンセルします。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
escalationGr	GlideRecord	ローテーションエスカレーション (cmn_rota_escalation) の GlideRecord

返される内容

タイプ	説明
なし	

OnCallRotation - continueEscalations(GlideRecord escalationGr)

ドキュメント (incident now_GR) およびグループのエスカレーションを続行します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
escalationGr	GlideRecord	ローテーションエスカレーション (cmn_rota_escalation) の GlideRecord

返される内容

タイプ	説明
なし	

OnCallRotation - getCatchAll(文字列 rotaID)

予備連絡先の人の sys_id を取得します。`getCatchAllType()` メソッドとともに使用して、返された ID のソースを判断します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaID	文字列	勤務表の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	sys_user、cmn_rota_roster、または null の sys_id。

```
var rotaSysId = '349f399173062300e7af6238edf6a75e';
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var catchAll = onCallRotation.getCatchAll(rotaSysId);
gs.log(catchAll);
```

出力：

```
46d44a23a9fe19810012d100cca80666
```

OnCallRotation - getCatchAllType(文字列 rotaID)

エスカレーションチェーンの最後に存在する _予備連絡先_ のタイプを取得します。オンコール担当者をアサインせずにエスカレーションチェーンが終了すると、インシデントは _予備連絡先_ にアサインされます。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaID	文字列	勤務表の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	• Null：無効な勤務表 ID または予備連絡先は利用できません。 • Group_manager：勤務表にリンクされたグループのマネージャーが予備連絡先の人物です。 • Individual：設定されているユーザーが予備連絡先の人物です。 • All：設定されている勤務表のすべてのメンバーが予備連絡先の人物です。

```
var rotaSysId = '349f399173062300e7af6238edf6a75e';
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var catchAllType = onCallRotation.getCatchAllType(rotaSysId);
gs.log(catchAllType);
```

出力：

```
group_manager
```

OnCallRotation - getEscalateeAt(文字列 groupID, GlideDateTime dateTime, 数字 position)

指定された日時およびエスカレーションラインナップの特定の位置のグループのシフトに対して、ユーザー [sys_user]、グループ、または通知デバイス [cmn_notif_device] にエスカレーションするアイテムを取得します。この API は単一のシフトに適用されます。

無効なポジションまたはグループが引数として渡された場合、このメソッドは null を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

getTableName() メソッドを使用して、返される GlideRecord の出所が sys_user テーブルか cmn_notif_device テーブルかを確認できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupID	文字列	エスカレーションするアイテムを取得するグループの sys_id。
dateTime	GlideDateTime	エスカレーションラインナップを開始する日時。
position	数字	エスカレーション先のアイテムを判断するラインナップ内のポジション (1 ベース、すなわち 1 からカウントを開始する)。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	特定の時間とポジションでのエスカレーション先 (通知ルールによってユーザー、グループ、またはデバイスレコード) のアイテム。何も見つからなかった場合は null を返します。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var escalatee = onCallRotation.getEscalateeAt(groupSysId, currentTime,
 1);
gs.log(escalatee.name);
```

出力：

```
Abel Tuter
```

OnCallRotation - getEscalatees(文字列 **groupSysIds**, 文字列 **rotaSysIds**, 文字列 **rosterSysIds**, **GlideDateTime gdt, GlideRecord taskGr)**

指定された時刻に待機しているエスカレーション先のリストを取得します。時刻が指定されていない場合は、現在の時刻が使用されます。groupSysId が指定されていない場合は、空のリストが返されます。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

注: taskGR パラメーターを設定して、エスカレーション計画の評価を有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる sys_user_group の sys_id のカンマ区切りリスト。
rotaSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota の sys_id のカンマ区切りリスト。
rosterSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota_roster の sys_id のカンマ区切りリスト。
gdt	GlideDateTime	UTC タイムゾーンでの日付

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
taskGr	GlideRecord	オプション。現在のタスクレコード。taskGr が空の場合、このメソッドはデフォルトのエスカレーション計画を返します。taskGr が渡されると、エスカレーションポリシーが順番に評価され、対応するエスカレーション計画がこのメソッドによって返されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	userId、deviceId、escalationGroup などのエスカレーション先情報。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.getEscalatees(groupSysId, "", "",
 currentTime);
gs.log(JSON.stringify(result));
```

出力：

単一シフトの場合：


```
[
  {
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  }
]
```


重複シフトの場合：


```
[
  {
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "memberId": "7daf799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "memberIds": [],
    "userId": "d2826bf03710200044e0bfc8bcbe5dc9",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "06af799173062300e7af6238edf6a7cd"
  },
  {
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "memberId": "f5af799173062300e7af6238edf6a7c9",
    "memberIds": [],
    "userId": "ee826bf03710200044e0bfc8bcbe5def",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7cf"
  },
  {
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  },
  {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "memberId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7ca",
    "memberIds": [],
    "userId": "e2826bf03710200044e0bfc8bcbe5de0",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "02af799173062300e7af6238edf6a7d2"
  }
]
```


カスタムエスカレーションの場合：


```
[
  {
    "memberId": "",
    "memberIds": [],
    "userId": "",
    "userIds": [
      "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
      "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"
    ],
    "roster": "",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [
      "a715cd759f2002002920bde8132e7018"
    ],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": ""
  },
  {
    "memberId": "",
    "memberIds": [
      "119f399173062300e7af6238edf6a7e7"
    ],
    "userId": "",
    "userIds": [
      "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"
    ],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": ""
  }
]
```

```
/**
 * create a custom escalation for service desk shift with condition as P1
 for Incident
 * taskGr is optional parameter
 * if taskGr is empty then it returns list of escalatees in default
 escalation plan
 * if taskGr is passed then escalation policies are executed evaluated
 in order and list of escalatees in corresponding escalation plan is
 returned
**/
var serviceDeskSysId = 'd625dccec0a8016700a222a0f7900d06';
var taskGr = new GlideRecord('incident');
taskGr.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

var ocRotation = new OnCallRotation();
var escalatees = ocRotation.getEscalatees(serviceDeskSysId, null, null,
 null, null, taskGr);
gs.log(JSON.stringify(escalatees));
```

OnCallRotation - getEscalationPlan(文字列 **groupSysId**, **GlideDateTime gdt**, 文字列 **rotaSysIds**, **GlideRecord taskGr)**

指定された日時のグループのシフトに対して、ユーザー [sys_user] または通知デバイス [cmn_notif_device] で構成されるエスカレーション計画にエスカレーションするオブジェクトのリストを取得します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

エスカレーションオブジェクトには次のフィールドが含まれます。

- 数字の order：ラインナップ内のエスカレーションの順序
- 文字列の userId：sys_user レコードの sys_id または null
- 文字列の deviceId：cmn_notif_device レコードの sys_id または null
- ブーリアンの isDevice：エスカレーション先のアイテムがデバイスかユーザーかに応じて true または false
- GlideDuration timeBetweenReminders：リマインダーが送信される間隔
- 数字の reminderNum：エスカレートション先の各アイテムについて送信されるリマインダーの数

注: taskGR パラメーターを設定して、エスカレーション計画の評価を有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupID	文字列	エスカレーション計画が必要なグループの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
gdt	GlideDateTime	エスカレーションラインナップを開始する日時。デフォルトは現在の日時で、形式は UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss です。
rotaSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota の sys_id のカンマ区切りリスト。
taskGr	GlideRecord	オプション。現在のタスクレコード。taskGr が空の場合、このメソッドはデフォルトのエスカレーション計画を返します。taskGr が渡されると、エスカレーションポリシーが順番に評価され、対応するエスカレーション計画がこのメソッドによって返されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エスカレーション先のエスカレーションオブジェクトのリスト。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.getEscalationPlan(groupSysId, currentTime);
gs.log(JSON.stringify(result));
```

出力：

単一シフトの場合：

```
[
  {
    "order": 1,
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "order": 2,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "order": 3,
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  }
]
```


重複シフトの場合：


```
[
  {
    "order": 1,
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [
      {
        "order": 1,
        "userId": "d2826bf03710200044e0bfc8bcbe5dc9",
        "userIds": [],
        "deviceId": "",
        "deviceIds": [],
        "escalationGroups": [],
        "isDevice": false,
        "timeToNextStep": null,
        "cmnRotaEscStepDefId": null,
        "reminderNum": 1,
        "rosterId": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
        "memberId": "7daf799173062300e7af6238edf6a7a2",
        "memberIds": [],
        "isOverride": false,
        "additionalEscalatees": [],
        "forcedCommunicationChannel": "",
        "rotaId": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
        "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
        "rotaScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
        "memberScheduleId": "06af799173062300e7af6238edf6a7cd"
      }
    ],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "order": 2,
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [
      {
        "order": 2,
        "userId": "ee826bf03710200044e0bfc8bcbe5def",
        "userIds": [],
        "deviceId": "",
        "deviceIds": [],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "escalationGroups": [],
        "isDevice": false,
        "timeToNextStep": null,
        "cmnRotaEscStepDefId": null,
        "reminderNum": 1,
        "rosterId": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
        "memberId": "f5af799173062300e7af6238edf6a7c9",
        "memberIds": [],
        "isOverride": false,
        "additionalEscalatees": [],
        "forcedCommunicationChannel": "",
        "rotaId": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
        "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
        "rotaScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
        "memberScheduleId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7cf"
      }
    ],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "order": 3,
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeToNextStep": null,
    "cmnRotaEscStepDefId": null,
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [
      {
        "order": 3,
        "userId": "e2826bf03710200044e0bfc8bcbe5de0",
        "userIds": [],
        "deviceId": "",
        "deviceIds": [],
        "escalationGroups": [],
        "isDevice": false,
        "timeToNextStep": null,
        "cmnRotaEscStepDefId": null,
        "reminderNum": 1,
        "rosterId": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
        "memberId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7ca",
        "memberIds": [],
        "isOverride": false,
        "additionalEscalatees": [],
        "forcedCommunicationChannel": "",
        "rotaId": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
        "rotaScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
        "memberScheduleId": "02af799173062300e7af6238edf6a7d2"
      }
    ],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  }
]
```

カスタムエスカレーションの場合：

```
[
  {
    "order": 1,
    "userId": "",
    "userIds": [
      "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
      "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"
    ],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [
      "a715cd759f2002002920bde8132e7018"
    ],
    "isDevice": false,
    "timeBetweenReminders": {},
    "timeToNextStep": {},
    "cmnRotaEscStepDefId": "655042d173062300e7af6238edf6a738",
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "",
    "memberId": "",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": ""
  },
  {
    "order": 2,
    "userId": "",
    "userIds": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "escalationGroups": [],
    "isDevice": false,
    "timeBetweenReminders": {},
    "timeToNextStep": {},
    "cmnRotaEscStepDefId": "8b6042d173062300e7af6238edf6a7f3",
    "reminderNum": 1,
    "rosterId": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "memberId": "",
    "memberIds": [],
    "isOverride": false,
    "additionalEscalatees": [],
    "forcedCommunicationChannel": "",
    "rotaId": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "groupId": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "rotaScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": ""
  }
]
```

```
/**
* create a custom escalation for service desk shift with condition as P1
 for Incident
* taskGr is optional parameter
* if taskGr is empty then it returns default escalation plan
* if taskGr is passed then escalation policies are executed evaluated in
 order and corresponding escalation plan is returned
**/

var serviceDeskSysId = 'd625dccec0a8016700a222a0f7900d06';
var taskGr = new GlideRecord('incident');
taskGr.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

var ocRotation = new OnCallRotation();
var escalationPlan = ocRotation.getEscalationPlan(serviceDeskSysId, null,
 null, taskGr);
gs.log(JSON.stringify(escalationPlan));
```

OnCallRotation - getEscalationType(文字列 **rotaID)**

簡単な計算に基づいてエスカレーションのタイプを取得します。勤務表にアクティブな勤務表が 1 つある場合は、メンバーをローテーションします。勤務表にアクティブな勤務表が 2 つ以上ある場合は、勤務表をローテーションします。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaID	文字列	勤務表で勤務表を確認するための sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	• メンバー：勤務表に 1 つの勤務表がある場合。 • 勤務表：勤務表に 2 つ以上の勤務表がある場合。 • この勤務表に勤務表なし：上記のいずれでもない場合。 • カスタム：カスタムエスカレーションが適用される場合。

```
var rotaSysId = '349f399173062300e7af6238edf6a75e';
var onCallRotation = new OnCallRotation();
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var escalationType = onCallRotation.getEscalationType(rotaSysId);
gs.log(escalationType);
```

出力：

```
custom
```

OnCallRotation - getEscalateesAt(文字列 groupSysId, GlideDateTime gdt, 数字 position, GlideRecord taskGr)

特定の時間とポジションでのエスカレーション先 (通知ルールによってユーザー、グループ、またはデバイスレコード) を取得します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

注: taskGR パラメーターを設定して、エスカレーション計画の評価を有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysId	文字列	グループの sys_id。
gdt	GlideDateTime	UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式。デフォルトは現在の時刻です。
position	数字	エスカレーションステップのポジション。
taskGr	GlideRecord	オプション。現在のタスクレコード。taskGr が空の場合、このメソッドはデフォルトのエスカレーション計画を返します。taskGr が渡されると、エスカレーションポリシーが順番に評価され、対応するエスカレーション計画がこのメソッドによって返されます。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	特定の時間とポジションでのエスカレーション先 (通知ルールによってユーザー、グループ、またはデバイスレコード) のアレイ。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var escalatees = onCallRotation.getEscalateesAt(groupSysId, currentTime,
 1);
for (var i = 0; i < escalatees.length; i++) {
gs.log(escalatees[i].name);
}
```

出力：

重複シフトの場合：

```
Abel Tuter
Barbara Hindley
```

カスタムエスカレーションの場合：

```
Abel Tuter
Beth Anglin
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Change Management
Barbara Hindley
```

```
// Create a custom escalation for service desk shift with condition as P1
 for Incident
var serviceDeskSysId = 'd625dccec0a8016700a222a0f7900d06';
// optional parameter taskGR
var taskGr = new GlideRecord('incident');
taskGr.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

var ocRotation = new OnCallRotation();
var position = 1;
var escalatees = ocRotation.getEscalateesAt(serviceDeskSysId, new
 GlideDateTime(), position, taskGr);

// if taskGr is empty then it returns escalatees at a position in default
 escalation plan
// if taskGr is passed then escalation policies are executed evaluated in
 order and escalatees at a position in corresponding escalation plan is
 returned
for (var i = 0; i < escalatees.length; i++) {
    gs.log(escalatees[i].getDisplayValue());
}
```

OnCallRotation - getPrimaryUser()

シフトが 1 つだけの場合に、現在の主要連絡先の sys_id を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の主要連絡先の sys_id。

例：

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
var primaryUser = onCallRotation.getPrimaryUser();
```

出力：

```
62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1
```

OnCallRotation - getPrimaryUserByRota(文字列 rotaId)

指定されたシフトの現在の主ユーザーの sys_id を取得します。この API は、単一のシフトと重複するシフトに適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaId	文字列	cmn_rota の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたシフトの現在の主ユーザーの sys_id。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var rotaId = '349f399173062300e7af6238edf6a75e';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
var primaryUser = onCallRotation.getPrimaryUserByRota(rotaId);
gs.log(primaryUser);
```

出力：

```
62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1
```

OnCallRotation - getPrimaryUserName()

現在の主要連絡先の名前を取得します。この API は単一のシフトに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の主要連絡先の名前。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
var primaryUser = onCallRotation.getPrimaryUserName();
gs.log(primaryUser);
```

出力：

```
Abel Tuter
```

OnCallRotation - getPrimaryUserNameByRota(文字列 rotaId)

指定されたシフトの現在の主ユーザーの名前を取得します。この API は、単一のシフトと重複するシフトに適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rotaId	文字列	cmn_rota の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたシフトの現在の主ユーザーの名前。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var rotaId = '349f399173062300e7af6238edf6a75e';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
var primaryUser = onCallRotation.getPrimaryUserNameByRota(rotaId);
gs.log(primaryUser);
```

出力：

```
Abel Tuter
```

OnCallRotation - getPrimaryUsers()

シフトの主要連絡先のリストを取得します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	主要連絡先のリスト。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
var primaryUser = onCallRotation.getPrimaryUser();
gs.log(JSON.stringify(primaryUser));
```

出力：

```
{
  "349f399173062300e7af6238edf6a75e": {
    "userSysId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userName": "Abel Tuter"
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "35af799173062300e7af6238edf6a79e": {
    "userSysId": "d2826bf03710200044e0bfc8bcbe5dc9",
    "userName": "Barbara Hindley"
  }
}
```

OnCallRotation - spansOverlap(ArrayList parent, ArrayList child, 文字列 timeZone)

親スパンと子スパンが重複しているかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	ArrayList	比較する親スパン。
child	ArrayList	比較する子スパン。
timeZone	文字列	タイムゾーンの名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	親スパンと子スパンが重複している場合は true を返します。

```
var onCall = new OnCallRotation();

// get a time range we are interested in
var timeZone = gs.getSession().getTimeZoneName();
var dateStart = new GlideDateTime();
var dateEnd = new GlideDateTime().addMonths(1);

// convert glidedatime to scheduledatetime because it is required
// by the function being called below
var scheduleStart = new GlideScheduleDateTime(dateStart);
var scheduleEnd =  new GlideScheduleDateTime(dateEnd);
scheduleStart.setTimeZone(timeZone);
scheduleEnd.setTimeZone(timeZone);

// calculate rotation items based on the date and time given
// for all the groups the currently logged in user is a member of
gs.include("OnCallRotationPersonal");
var rotation = new OnCallRotationPersonal();
var myGroups = gs.getUser().getMyGroups();
var groupIter = myGroups.iterator();

while(groupIter.hasNext()){
 var rotaItems = rotation.onCallDuringPeriod(groupIter.next(),
 scheduleStart, scheduleEnd);

 // loop through rotation schedules
 for (var i = 0; i < rotaItems.length - 1; i++) {
  var parentItem = rotaItems[i];
  var nextItem = rotaItems[i + 1];

  // check if previous and next time spans overlap
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var overlaps = onCall.spansOverlap(parentItem.getTimeSpans(),
 nextItem.getTimeSpans(),
   gs.getSession().getTimeZoneName());
 }
}
```

OnCallRotation - startEscalations(GlideRecord now_GR, 文字列 eventName, 文字列 escalationScriptName)

ドキュメント (incident now_GR) とグループのエスカレーションを開始し、エスカレーション通知のイベント名を指定します。さらに、エスカレーションが発生したときに呼び出すビジネスルールの名前を指定します。このメソッドは、*who* または *whoAt* メソッドの呼び出しに成功した後に使用する必要があります。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	ドキュメントの Glide レコード。incident now_GR などです。
eventName	文字列	エスカレーション通知のイベント名。
escalationScriptName	文字列	エスカレーションが発生したときに呼び出すビジネスルール

返される内容

タイプ	説明
なし	

OnCallRotation - who(文字列 groupSysId, GlideDateTime gdt, ブーリアン nullifyOverrideRoster, 文字列 rotaSysIds, ブーリアン overrideCustomEscalation, GlideRecord taskGR)

オンコールユーザー、グループ、またはデバイスが存在するかどうかを指定します。このメソッドは、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

注: *taskGR* パラメーターを渡して、エスカレーション計画の評価を有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysId	文字列	チェック対象のグループの sys_id。
gdt	GlideDateTime	日付と時刻。 フォーマット：UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss デフォルト：現在の日時
nullifyOverrideRoster	ブーリアン	グループの通知リストが特定の勤務表用かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：特定の勤務表用ではない。 • false：特定の勤務表用である。
rotaSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota の sys_id のカンマ区切りリスト。
overrideCustomEscalation	ブーリアン	デフォルトのエスカレーションポリシーをカスタムエスカレーションで上書きするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトのエスカレーションポリシーを上書きする。 • false：デフォルトのエスカレーションポリシーを上書きしない。
taskGR	GlideRecord	オプション。現在のタスクレコード。渡されると、メソッドがエスカレーション条件に基づいてエスカレーション先を設定します。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	一致が見つかったかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：少なくとも 1 つの一致が見つかった。 • false：一致が見つからなかった。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.who(groupSysId, currentTime);
gs.log(result);
```

出力：

```
true
```

次の例は、インシデントの条件 P1 を使用してサービスデスクのシフトのカスタムエスカレーションを作成する方法を示しています。

```
/**
 * When the who() method is invoked with the optional taskGr parameter,
 * escalatees are populated based on the conditional escalations
**/

var serviceDeskSysId = 'd625dccec0a8016700a222a0f7900d06';
var taskGr = new GlideRecord('incident');
taskGr.get('ed92e8d173d023002728660c4cf6a7bc');

var ocRotation = new OnCallRotation();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ocRotation.who(serviceDeskSysId, null, null, null, null, taskGr);
while (ocRotation.next()) {
    gs.log(ocRotation.getUserName());
}
```

出力：

```
Beth Anglin
```

OnCallRotation - whoAt(文字列 **groupSysId**, **GlideDateTime gdt**, 文字列 **rotaSysIds)**

オンコールユーザー、グループ、またはデバイスが存在するかどうかを指定します。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysId	文字列	グループの sys_id。
gdt	GlideDateTime	UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss 形式。デフォルトは現在の時刻です。
rotaSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota のSys ID のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	オンコールユーザー、グループ、またはデバイスが 1 つ以上存在する場合は true、存在しない場合は false。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var result = onCallRotation.whoAt(groupSysId, currentTime);
gs.log(result);
```

出力：

```
true
```

OnCallRotation - whoIsOnCall(文字列 **groupSysIds**, 文字列 **rotaSysIds**, 文字列 **rosterSysIds**, **GlideDateTime gdt)**

指定された時刻に待機しているユーザーのリストを取得します。時刻が指定されていない場合は、現在の時刻が使用されます。この API は、単一のシフトと重複するシフトに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる sys_user_group の sys_id のカンマ区切りリスト。
rotaSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota の sys_id のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
rosterSysIds	文字列	レコードをフィルタリングする際の基準となる cmn_rota_roster の sys_id のカンマ区切りリスト。
gdt	GlideDateTime	UTC タイムゾーンでの日付

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された時刻に待機しているユーザー、グループまたはデバイスのリスト。たとえば、userId、deviceId、escalationGroup などの情報。

```
var groupSysId = '096fb59173062300e7af6238edf6a783';
var currentTime = new GlideDateTime();
var onCallRotation = new OnCallRotation();
var escalatees = onCallRotation. whoIsOnCall(groupSysId, "", "",
 currentTime);
gs.log(JSON.stringify(escalatees));
```

出力：

単一シフトの場合：

```
[
  {
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  }
]
```


重複シフトの場合：


```
[
  {
    "memberId": "119f399173062300e7af6238edf6a7e7",
    "memberIds": [],
    "userId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7ec"
  },
  {
    "memberId": "7daf799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "memberIds": [],
    "userId": "d2826bf03710200044e0bfc8bcbe5dc9",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "order": 1,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "06af799173062300e7af6238edf6a7cd"
  },
  {
    "memberId": "1d9f399173062300e7af6238edf6a7e8",
    "memberIds": [],
    "userId": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "d99f399173062300e7af6238edf6a7ef"
  },
  {
    "memberId": "f5af799173062300e7af6238edf6a7c9",
    "memberIds": [],
    "userId": "ee826bf03710200044e0bfc8bcbe5def",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 2,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7cf"
  },
  {
    "memberId": "dd9f399173062300e7af6238edf6a7e9",
    "memberIds": [],
    "userId": "0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a",
    "userIds": [],
    "roster": "9d9f399173062300e7af6238edf6a7e5",
    "rota": "349f399173062300e7af6238edf6a75e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "119f399173062300e7af6238edf6a7df",
    "memberScheduleId": "519f399173062300e7af6238edf6a7f2"
  },
  {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "memberId": "8aaf799173062300e7af6238edf6a7ca",
    "memberIds": [],
    "userId": "e2826bf03710200044e0bfc8bcbe5de0",
    "userIds": [],
    "roster": "b5af799173062300e7af6238edf6a7a2",
    "rota": "35af799173062300e7af6238edf6a79e",
    "group": "096fb59173062300e7af6238edf6a783",
    "escalationGroups": [],
    "deviceId": "",
    "deviceIds": [],
    "isDevice": false,
    "order": 3,
    "isOverride": false,
    "rotationScheduleId": "3daf799173062300e7af6238edf6a79e",
    "memberScheduleId": "02af799173062300e7af6238edf6a7d2"
  }
]
```


OnCallRotation - whoIsNext(GlideRecord escalationGr)

エスカレーションのビジネスルールにより、次に連絡すべきシフトのメンバーが決まります。メソッドに渡されるエスカレーションレコードによって、ビジネスルールの発動の間のエスカレーションが追跡されます。この API は、単一のシフト、重複するシフト、およびカスタムエスカレーションに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
escalationGr	GlideRecord	ローテーションエスカレーション [cmn_rota_escalation] の GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

OpenMessageBusEventPublisherOOB :スコープ指定

OpenMessageBusEventPublisherOOB スクリプトインクルードは、スポークセレクターにメッセージを送信する方法を提供します。スポークセレクターは、構成済みの REST プロキシにメッセージを送信します。

このスクリプトインクルードは 、sn_api_notif_mgmt 名前空間で実行されます。このスクリプトインクルードにアクセスするには、admin ロールが必要です。

このスクリプトインクルードを使用するようにインスタンスを構成する方法の詳細については、「Open Message Bus を使用するためのプロデューサーイベント通知フレームワークの構成」を参照してください。

OpenMessageBusEventPublisherOOB - publishMessageToComptibleRestProxy(オブジェクト tmfEventPayload, 配列 compatibleTopicArr)

スポークセレクターを使用して、渡されたメッセージをカスタムメッセージプラットフォームの REST プロキシに送信します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このプロセスの詳細については、「オープン・メッセージ・バスを使用したアウトバウンド・トラブル・チケット通知の生成」を参照してください。このメソッドの実装方法については、「Open Message Bus を使用するためのプロデューサーイベント通知フレームワークの構成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tmfEventPayload	オブジェクト	送信するイベントメッセージ。形式の詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0』を参照してください。 フォーマット: TMF688
compatibleTopicArr	アレイ	渡されたイベントペイロードを公開する必要があるトピックレコードsys_idsリスト。トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
 publishEventToOpenMessageBus: function(tmfEventPayload) {
  // Fetch compatible topics
  var compatibleTopicArr = new
 TopicPickerUtils00B().fetchEventCompatibleTopic(tmfEventPayload);
  // Publish event in topic through REST proxy
  new
 OpenMessageBusEventPublisherOOB().publishMessageToComptibleRestProxy(tmf
EventPayload, compatibleTopicArr);
},
```

オプション - スコープ対象、グローバル

Optional API は、*GlideQuery*、*Stream*、または *GlideRecord* API によって返される単一のレコードとやり取りします。当該の API が存在しない場合も同様です。null または未定義のクエリー結果を処理することでエラーになりにくいスクリプトを作成します。

Optional オブジェクトは以下の方法で取得できます。

- 以下に挙げる *GlideQuery* クラス内のメソッドから *Optional* オブジェクトを返します。詳細については、「*GlideQuery*」を参照してください。
  - *getBy()*
  - *get()*
  - *insert()*
  - *insertOrUpdate()*
  - *update()*
  - *selectOne()*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- *avg()*
- *max()*
- *min()*
- *sum()*

- *Stream* クラス内の *find()* メソッドから *Optional* オブジェクトを返します。*Stream* の詳細については、「*Stream* API」を参照してください。
- 必要に応じて、*lasy()* メソッドを使用して Optional の値を生成します。

これらのメソッドは静的であり、クラスのインスタンスを必要としません。

- *lazy()*
- *of()*
- *empty()*

これらの静的メソッドは、*GlideRecord* などの単一の値を返す API で使用できます。

スコープ対象またはグローバルのサーバー側スクリプトで、*Optional* API を使用します。この API には GlideQuery [com.sn_glidequery] プラグインが必要です。

実装

この API は、メソッド呼び出しが連鎖していて、各メソッドが前のメソッドで返された結果に基づいて構築されるビルダーパターン。メソッドを使用してクエリの属性を定義します。メソッドは、ターミナルメソッド (クエリ結果を返すメソッド) を呼び出すまで実行されないため、クエリを実行する前にクエリの要件を定義できます。 内の *GlideQuery* および *Stream* API と連動します。

クエリが単一のレコードを返す場合、システムは Optional オブジェクトに結果をラップします。クエリがレコードのストリームを返す場合、システムは Stream オブジェクトに結果をラップします。これらのオブジェクトを使用すると、各 API で一連のメソッドを使用して結果を管理できます。

たとえば、この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

ターミナルメソッド

パフォーマンス上の理由から、クエリーはターミナルメソッドを呼び出すときにのみデータをフェッチします。*Optional* クラスのターミナルメソッドは次のとおりです。

- *get()*
- *orElse()*
- *ifPresent()*
- *isEmpty()*
- *isPresent()*

Optional - empty(文字列 reason)

空の Optional オブジェクトを返します。このメソッドを Else 節で使用して、結果を返さない可能性があるクエリーを処理します。

注: このメソッドは静的です。このメソッドを使用するためにクラスのインスタンスは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reason	文字列	オプション。空の Optional オブジェクトで *Optional.get()* が呼び出されたときにログに表示される理由。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例では、クエリーが結果を返さない場合に空の Optional オブジェクトを生成する方法を示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('task');
now_GR.addQuery('approval', 'not requested');
now_GR.query();
var optional;
if (now_GR.next()) {
optional = Optional.of(now_GR.getUniqueValue());
} else {
    optional = Optional.empty("no results");
}

gs.info(optional.get());
```

出力：

```
NiceError: [2020-08-26T23:23:37.402Z]: get() called on empty Optional: no
 results
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Optional - filter(関数 predicate)

述語関数 (単一の値を受け取って true または false を返す関数) を、Optional オブジェクト内のレコードに適用します。関数が true を返す場合、このメソッドは Optional レコードをそのまま返します。関数が false を返す場合は、空の Optional オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
predicate	関数	Optional オブジェクト内の値に適用する述語関数。ブーリアン値を返す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例では、Optional の結果にフィルター関数を適用する方法を示します。

```
var filteredQuery = new global.GlideQuery('sys_user')
    .getBy({ sys_id: 'f682abf03710200044e0bfc8bcbe5d38' }, ['phone'])
    .filter(function (user) {
        return phoneRegex.test(user.phone);
    });
```

Optional - flatMap(関数 fn)

Optional オブジェクトを返す関数をクエリーの結果に適用します。このメソッドを使用して、1 つ目のクエリーの結果を用いて 2 つ目のクエリーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	Optional オブジェクトを返したクエリーの結果に適用する関数。

返される内容

タイプ	説明
オプション	単一のレコードを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、前のクエリーの結果に基づいてユーザーテーブルのクエリーを実行する方法を示しています。

```
new global.GlideQuery('alm_asset')
    .whereNotNull('owned_by')
    .selectOne('owned_by')
    .flatMap(function (asset) {
        return new global.GlideQuery('sys_user')
            .getBy({ sys_id: asset.owned_by }, ['first_name',
 'last_name', 'company.name'])
    })
    .ifPresent(GQ.jsonDebug);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
{
  "sys_id": "46d59205a9fe198101d603f5de37bfa3",
  "first_name": "John",
  "last_name": "Bohnhamn",
  "company": {
    "name": "ACME North America"
  }
}
```

Optional - get()

Optional オブジェクト内のレコードを返します。クエリがレコードを返さない場合はエラーをスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
任意	Optional オブジェクト内のレコード。値が null または未定義の場合は、エラーがスローされます。

この例は、単一のレコードの値を取得する方法を示しています。

```
var value = new global.GlideQuery('sys_user')
    .selectOne('first_name') //Returns the result of the query inside an
 Optional object
    .get(); //Calls Optional.get() on the Optional object

gs.info(JSON.stringify(value));
```

出力：

```
{
   "first_name":"fred",
   "sys_id":"005d500b536073005e0addeeff7b12f4"
}
```

Optional - ifPresent(関数 fn)

Optional オブジェクト内のレコードに関数を適用します。Optional オブジェクトにレコードが含まれていない場合、関数は実行されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	Optional オブジェクト内のレコードに適用する関数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、値が存在する場合にその値を出力する方法を示しています。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('sys_id', 'f682abf03710200044e0bfc8bcbe5d38')
    .selectOne('zip')
    .ifPresent(function (user) {
      gs.info('Zip Code: ' + user.zip);
    });
```

Optional - isEmpty()

Optional オブジェクトが空の場合に true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリーの結果に値が含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリーが null または未定義を返します。 • false：クエリーが値を返します。

この例では、クエリーの結果が空かどうかを確認する方法を示します。

```
var checkEmpty = new global.GlideQuery('sys_user')
    .where('last_name', 'Barker')
    .selectOne()
    .isEmpty();

gs.info(checkEmpty);
```

出力：

```
true
```

Optional - isPresent()

Optional オブジェクトに値が含まれているかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリーの結果に値が含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリーが値を返します。 • false：クエリーが null または未定義を返します。

この例では、クエリーで結果が返されるかどうかを確認する方法を示します。

```
var checkPresent = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('last_name', 'Luddy')
   .selectOne('first_name')
   .isPresent();

gs.info(checkPresent);
```

出力：

```
true
```

Optional - lazy(関数 lazyGetFn)

新しい Optional オブジェクトを返します。オブジェクトには、レコードが入っているのではなく、コードで要求された場合にのみ呼び出されるレコードを取得する関数が入っています。

このメソッドを使用して、値が必要になるまでその値の取得を遅らせます。これは、遅いソースから値を要求する際に、不必要にコードの速度を低下させたくない場合に行います。そうでない場合は、*GlideQuery* および *Stream* の API を使用すれば Optional オブジェクトを返すことができます。

注: このメソッドは静的です。このメソッドを使用するためにクラスのインスタンスは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
lazyGetFn	関数	クエリーの結果として単一のレコードを返す関数。例： `var userGr = new GlideRecord('sys_user');`

返される内容

タイプ	説明
オプション	`Optional<result>` という形式のクエリーの結果を含むオブジェクト。

この例では、GlideRecord クエリーに基づいて Optional オブジェクトを取得する方法を示します。

```
var userOptional = global.Optional.lazy(function () {
    var userGr = new GlideRecord('sys_user');
    userGr.setLimit(1);
    userGr.query();
    return userGr.next() ? userGr.getUniqueValue() : null;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
});

gs.info(userOptional);
```

出力：

```
Optional<005d500b536073005e0addeeff7b12f4>
```

Optional - map(関数 fn)

関数をクエリーの結果に適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	クエリーの結果に適用する関数。

返される内容

タイプ	説明
オプション	関数によって更新されたクエリーの結果を `Optional<result>` という形式で含むオブジェクト。

この例は、値を大文字に変換する関数をクエリーの結果に適用する方法を示しています。

```
var value = new global.GlideQuery('sys_user')
    .whereNotNull('first_name')
    .selectOne('first_name')
    .map(function (user) {
        return user.first_name.toUpperCase();
    });

gs.info(value);
```

出力：

```
Optional<ABEL>
```

Optional - of(任意 value)

指定された値を Optional オブジェクト内にラップします。たとえば、GlideRecord クエリーの結果を Optional オブジェクトでラップすることで、関連するメソッドを使用できます。

注: このメソッドは静的です。このメソッドを使用するためにクラスのインスタンスは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	任意	Optional オブジェクト内の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オプション	`Optional<value>` の形式で渡された値を含むオブジェクト。

この例では、GlideRecord クエリーに基づいて Optional オブジェクトを生成する方法を示します。

```
var now_GR = new GlideRecord('task');
now_GR.addQuery('approval', 'not requested');
now_GR.query();
var optional;
if (now_GR.next()) {
optional = Optional.of(now_GR.getUniqueValue());
} else {
    optional = Optional.empty("no results");
}

gs.info(optional.get());
```

出力：

```
00c269162d761010f87708b56757cbb3
```

Optional - orElse(任意 defaultValue)

クエリーが結果を返さない場合に、Optional オブジェクト内にデフォルト値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
defaultValue	任意	クエリーが結果を返さない場合に Optional オブジェクト内に追加する値。

返される内容

タイプ	説明
任意	クエリーが結果を返さない場合に Optional オブジェクト内に追加する値。

この例は、クエリーが正しくない場合でも値を返す方法を示しています。

```
var user = new global.GlideQuery('sys_user')
    .get('1234', ['first_name', 'last_name'])
    .orElse({ first_name: 'Default', last_name: 'User' });

gs.info(JSON.stringify(user))
```

出力：

```
{
   "first_name":"Default",
   "last_name":"User"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OrderGuide - スコープ対象

OrderGuide API を使用すると、注文ガイドの詳細を初期化して表示できます。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、sn_sc 名前空間識別子を使用します。デフォルトで有効になっているサービスカタログスコープ API プラグイン (com.glideapp.servicecatalog.scoped.api) は、*OrderGuide* API にアクセスするために必要です。

OrderGuide - OrderGuide(文字列 sys_id)

指定された sys_id を使用して OrderGuide クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	OrderGuide の sys_id。

例：

```
var cart=new sn_sc.OrderGuide("6690750f4f7b4200086eeed18110c761");
```

OrderGuide - getID()

注文ガイドの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	注文ガイドの sys_id。

例：

```
var cart=new sn_sc.OrderGuide("6690750f4f7b4200086eeed18110c761");
 console.log(cart.getID());
```

出力：

```
6690750f4f7b4200086eeed18110c761
```

OrderGuide - init(マップ request)

指定されたカタログアイテムと変数で注文ガイドを初期化し、その注文ガイドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
request	マップ	カタログアイテムと変数の詳細を含む JSON オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
マップ	初期化された注文ガイドの詳細を含む JSON オブジェクト。

例：

```
var guide = new sn_sc.OrderGuide('6690750f4f7b4200086eeed18110c761');

var map = {};
map.variables = {};
//map.sysparm_id = '6690750f4f7b4200086eeed18110c761';
map.variables['IOce433d0f4f7b4200086eeed18110c74d']
 = '221f3db5c6112284009f4becd3039cc9'; //Here
 ce433d0f4f7b4200086eeed18110c74d is the sys_id of the variable and
 221f3db5c6112284009f4becd3039cc9 is its value
var includedItems = guide.init(map)
```

出力：

```
{
"cascade_variable_map":{
},
"items":[
{
"order":"-1",
"quantity":"1",
"show_quantity":false,
"sys_id":"a4022d7b87c20300e3010cf888cb0bb2"
},
{
"order":"300",
"quantity":"1",
"show_quantity":false,
"sys_id":"186d917a6fab7980575967ddbb3ee4f2"
},
{
"order":"600",
"quantity":"1",
"show_quantity":false,
"sys_id":"8b3ae7fedc1be1004ece5c08239e522b"
}
],
"variable_assignments":{
}
}
```

OrderGuide - isIncludeItems()

指定された注文ガイドの [含めるかどうかの切り替えを表示] (include_items) チェックボックスがオンになっているかどうかを指定します。

注: [含めるかどうかの切り替えを表示] フィールドは、デフォルトでは [注文ガイド] フォームに表示されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された注文ガイドの [含めるかどうかの切り替えを表示] チェックボックスがオンの場合は true を返します。無効な場合は false を返します。

```
var orderGuide=new sn_sc.OrderGuide("6690750f4f7b4200086eeed18110c761");
 console.log(orderGuide.isIncludeItems());
```

出力:

```
true
```

OrderGuide - isTwoStep()

2 ステップチェックアウトが有効かどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	2 ステップチェックアウトが有効であれば true を返します。無効な場合は false を返します。

例：

```
var orderGuide=new sn_sc.OrderGuide("6690750f4f7b4200086eeed18110c761");
 console.log(orderGuide.isTwoStep());
```

出力：

```
false
```

OrderGuide - isUseCustomCart()

2 ステップの注文ガイドで別個の買い物かご (カタログアイテム用のものとは異なる) の使用を有効にするかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	2 ステップの注文ガイドで別個の買い物かごの使用が有効な場合は true を返します。無効な場合は false を返します。

例：

```
var orderGuide=new sn_sc.OrderGuide("6690750f4f7b4200086eeed18110c761");
 console.log (orderGuide.isUseCustomCart());
```

出力：

```
false
```

OrderGuide - navigateFromMap(マップ itemDetails)

注文ガイドのカタログアイテムに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
itemDetails	マップ	注文ガイドのカタログアイテムの詳細を含む JSON オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

例：

```
var orderGuide=new sn_sc.OrderGuide.navigateFromMap(itemdetails);
```

PADomainUtils - グローバル

PADomainUtils API を使用すると、同じインスタンス上の異なるドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードをコピーできます。

サーバースクリプトでこの API を使用して、インジケーターやブレークダウン、ダッシュボードなどの パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。この API を使用すると、1 つのドメインに パフォーマンスアナリティクス レコードを作成し、そのレコードを任意の数の追加ドメインにコピーできます。

注: この API では、レコードをグローバル ドメインにコピーすることはできません。

警告: 設定レコードを別のドメインに移動すると、スコアにアクセスできなくなります。

PADomainUtils を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- スクリプトを実行するユーザーには admin ロールが必要です。
- インスタンスがドメインセパレーションを使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グローバル ドメインからスクリプトを実行する必要があります。
- レコードを移動またはコピーする場合は、ソース ドメインとターゲット ドメインが異なる必要があります。

PADomainUtils - PADomainUtils()

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、グローバルドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメイン以外のドメインからレコードを移動またはコピーする際は、代わりに PADomainUtils(文字列 *domainFrom)* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
// PADomainUtils initialized with the global domain
var globalUtils = new SNC.PADomainUtils();
```

PADomainUtils - PADomainUtils(文字列 domainFrom)

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、指定したドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメインから移動またはコピーする際は、代わりに *PADomainUtils()* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainFrom	文字列	レコードのコピー元のドメイン

```
// c90d4b084a362312013398f051272c0d is the sys id of the ACME domain
var acmeUtils = new
 SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
```

PADomainUtils - copy(文字列 runAs)

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。

ダッシュボードまたはスケジュール設定済みジョブをコピーするには、「copyDashboard」および「copyJob」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// copy all the Performance Analytics records from global to user's
 domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copy('09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyDashboard(文字列 **dashboardId**, 文字列 **runAs)**

ダッシュボードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dashboardId	文字列	コピーするダッシュボードのSys_id。
runAs	文字列	ダッシュボードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Copy Incident Management dashboard from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copyDashboard('a64b7031d7201100b96d45a3ce610335','09ff3d105f231000b12e
3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyJob(文字列 **paJob**, 文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ レコードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paJob	文字列	パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ [sysauto_pa] レコードの sys_id。
runAs	文字列	ジョブのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーが発生した場合はエラー メッセージが表示され、エラーがなければ空の文字列が返されます。

```
// No source domain needs to be set
var pa = new SNC.PADomainUtils();
// copy the '[PA Incident] Daily Data Collection job'
// set the 'run as' of the new record to be the 'acme.itil' user
// first argument is the sys_id of the sysauto_pa record
// the second is the sys_id of the acme.itil user record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
pa.copyJob('82ba2023d7101100b96d45a3ce6103cd','797d14341f1310005a3637b8ec
8b7010');
```

PADomainUtils - isWriteable(文字列 **table**, 文字列 **id)**

table と sys_id によって識別される特定のレコードに書き込むことができるかどうかを評価します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	pa_indicators などの、クエリーするレコードを含むテーブルの名前。
ID	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに書き込めることを示します。レコードが現在のユーザーのドメイン内に存在する場合は true を返します。レコードが存在しないか、別のドメインにある場合は false を返します。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.isWriteable('pa_incidents','cd8125b5140012007665a83e633b028d');
```

PADomainUtils - move(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// move all the Performance Analytics records from the global to the
 customers domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.move('774190f01f1310005a3637b8ec8b70ef')
```

PADomainUtils - setFoundation(ブーリアン **foundation)**

ハイブリッドドメイン構成の基盤レコードのみを移動またはコピーするには、このメソッドを使用します。

レコードの一部のタイプを親ドメイン内で管理し、一部のタイプを子ドメイン内で管理することで、ハイブリッドアプローチを実施できます。通常、親ドメインには基盤レコードが入り、子ドメインにはウィジェットなどの上位レベルのレコードが入ります。基盤レコードとみなされるのは以下のタイプのレコードです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

他の パフォーマンスアナリティクス のレコード (ウィジェットやインジケーターなど) は、基盤レコードではありません。これらの追加レコードも移動またはコピーするには、このメソッドを false に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
foundation	ブーリアン	この PADomainUtils オブジェクトで基盤レコードのみをコピーまたは移動する必要があるかどうかを示します。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils().setFoundation(true);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - setOverrides(ブール **overrides)**

レコードをコピーして新しいレコードの sys_override 値を元の親レコードに設定する前に、このメソッドを使用します。

このメソッドを使用すると、親ドメインのレコードを自動的に上書きできます。親レコードを上書きすることで、親レコードから子ドメインに影響を与えることはありません。レコードのコピー時にソースドメインがターゲットドメインの親でない場合は、sys_override 値を設定しても動作に影響はありません。レコードの移動時ではなく、レコードのコピー時にのみ上書きを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
overrides	ブーリアン	子ドメインのコピーされたレコードが、親ドメインのソースレコードを上書きする必要があることを示します。この値のデフォルトは true です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
pa.setOverrides(false);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

Paragraph - スコープ指定、グローバル

PDF 内のテキストのブロックを表す Paragraph オブジェクトを作成します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

Paragraph - Paragraph(文字列 text)

文字列を含む新しい *`Paragraph`* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	テキストのパラグラフブロック。

次の例は、*`Paragraph`* オブジェクトを作成する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var para = new Paragraph("hello");
```

Paragraph – addNewLine()

ドキュメント内のパラグラフの後に空の行を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントのパラグラフの後に新しい行を追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var myPara = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This is a paragraph.");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
myPara.addNewLine();

document.addParagraph(myPara);
// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "addText.pdf");
```

Paragraph – addParagraph(パラグラフ paragraph)

パラグラフを追加します。このメソッドを使用すると、自動改行を使用してパラグラフのブロックを作成できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paragraph	パラグラフ	パラグラフオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントに複数パラグラフのセクションを追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var sectionPara = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This is the first
 paragraph.");
var subPara1 = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Pellentesque nec
 neque interdum turpis ultricies tristique at ut lacus. Nam eget
 sollicitudin.");
var subPara2 = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Lorem ipsum dolor sit
 amet, consectetur adipiscing elit. Nulla vel ultrices erat.");
var subPara3 = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Aenean fermentum lorem
 congue metus faucibus, vitae viverra quam eleifend. Donec sed risus quis
 eros suscipit efficitur.");

sectionPara.addParagraph(subPara1);
sectionPara.addParagraph(subPara2);
sectionPara.addParagraph(subPara3);

document.addParagraph(sectionPara);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Paragraph – addString(文字列 content)

パラグラフにテキストの文字列を追加します。このメソッドでは、コンテンツの前にスペースが自動的に挿入されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
content	文字列	パラグラフに含める情報。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフに新しい文を追加する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var myPara = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This is the first
 sentence.");

myPara.addString(" This is the second sentence in the same paragraph.
 Spaces are not inserted automatically.")

document.addParagraph(myPara);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Paragraph – addStyle(スタイル style)

事前定義済みのスタイルをパラグラフのテキストに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	スタイル	この要素に適用するスタイル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフにスタイルを適用する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// Create a font color (result is purple)
var fontColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.5,0.0,0.5]);

// Create a style for your paragraph
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var paraStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
paraStyle.setFontColor(fontColor);
paraStyle.setFontSize(10);

var myPara = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This paragraph has
 style.");

myPara.addStyle(paraStyle);


document.addParagraph(myPara);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "addStyle.pdf");
```

Paragraph – setFixedPosition(数字 **left**, 数字 **bottom**, 数字 **width)**

パラグラフの要素をページ上の固定位置に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
left	数字	PDF ページの左側からのインデント (ポイント単位)。
bottom	数字	PDF ページの下からの位置 (ポイント単位)。
width	数字	パラグラフの要素の幅 (ポイント単位)。この値は、改行までの長さを決定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ページに固定位置を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// Create a style
var paraStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
paraStyle.setFontSize(48);
paraStyle.setBold();

// my paragraph
var para = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Document Title");

para.setFixedPosition(204,400,240);

para.setTextAlignment("text-center");
para.addStyle(paraStyle);


document.addParagraph(para);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "fileName.pdf");
```

Paragraph – setMargin(数字 **margin)**

各パラグラフのマージンを設定します。

4 つのマージンすべてを 1 つ以上の一意の値で設定するには、setMargins() を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数値	上、右、下、左のマージンの値 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフのすべてのマージンを 48 ポイントに設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var margins = 48.0;

var myPara = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text with all
 margins set to the same value.");
myPara.setMargin(margins);

document.addParagraph(myPara);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "docName.pdf");
```

Paragraph – setMarginBottom(数字 **margin)**

パラグラフの下マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	下マージンの高さ (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフの下マージンを 1 ポイントに設定する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var marginVal = 1.0;

var paraMarginBottom = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text
 with bottom margin set.");
paraMarginBottom.setMarginBottom(marginVal);

document.addParagraph(paraMarginBottom);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "docName.pdf");
```

Paragraph – setMarginLeft(数字 **margin)**

パラグラフの左マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
leftMargin	数値	左マージンの幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフの左マージンを 1 ポイントに設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var marginVal = 1.0;

var paraMarginLeft = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text
 with left margin set.");
paraMarginLeft.setMarginLeft(marginVal);

document.addParagraph(paraMarginLeft);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "docName.pdf");
```

Paragraph – setMarginRight(数字 **margin)**

パラグラフの右マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	右マージンの幅 (ポイント)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフの右マージンを 1 ポイントに設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var marginVal = 1.0;

var paraMarginRight = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text
 with right margin set.");
paraMarginRight.setMarginRight(marginVal);

document.addParagraph(paraMarginRight);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "docName.pdf");
```

Paragraph – setMargins(数字 **marginTop**, 数字 **marginRight**, 数字 **marginBottom**, 数字 **marginLeft)**

各パラグラフのマージンのサイズを設定します。

各マージンを同じ値に設定するには、setMargin() を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topMargin	数値	上マージンの高さ (ポイント)。
rightMargin	数値	右マージンの幅 (ポイント)。
bottomMargin	数値	下マージンの高さ (ポイント)。
leftMargin	数値	左マージンの幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフのマージンを設定する方法を示しています。ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var para = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text.");

var topMargin = 1.0;
var rightMargin = 1.0;
var bottomMargin = 1.0;
var leftMargin = 1.5;

para.setMargins(marginTop, marginRight, marginBottom, marginLeft);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Paragraph – setMarginTop(数字 margin)

パラグラフの上マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	上マージンの高さ (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフの上マージンを 1 ポイントに設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("LETTER");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var marginVal = 1.0;

var paraMarginTop = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Paragraph text
 with top margin set.");
paraMarginTop.setMarginTop(marginVal);

document.addParagraph(paraMarginTop);

// save pdf as attachment to target record in the Incident table
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "docName.pdf");
```

Paragraph – setTextAlignment(文字列 alignment)

このパラグラフのテキスト配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	テキストの位置調整。 有効な値： • text-center：テキストを中央揃えにします。 • text-justified：文字間のスペースを変更して、左側と右側の間をテキストで完全に埋めます。最後の行は左揃えで表示されます。 • text- Justified-all：最後の行を含むテキストの配置を調整します。 • text-left：テキストを左揃えにします。 • text-right：テキストを右揃えにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、パラグラフのテキストを左揃えに設定する方法を示しています。

```
var paragraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("This paragraph text
 is centered.");

var alignment = "text-center";

paragraph.setTextAlignment(alignment);
```

PAScorecard - スコープ指定

PAScorecard API を使用すると、インジケーターとその関連レコード (ブレークダウンなど) に関するデータをフェッチできます。

この API には パフォーマンスアナリティクス (com.snc.pa.analytics_center) アプリケーションが必要であり、 SNC 名前空間で実行されます。

PAScorecard - addParam(文字列 parameter, 文字列 value)

返されたスコアをフィルタリングするクエリパラメーターを追加します。

同一の PAScorecard オブジェクトでこのメソッドを複数回呼び出すと、インジケーターの sys_id とブレークダウンの sys_id のように、複数のパラメータを渡すことができます。すべてのパラメーターを指定した後、*query()* を呼び出してクエリーを実行します。

パラメーターなしで PAScorecard オブジェクトをクエリーすると、API は アナリティクスハブ に表示されるすべてのインジケーターのリストをスコアとともに返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ブレークダウン	文字列	ブレークダウンの sys_id。そのブレークダウンの定義に基づいて編成されたチャート情報が返されます。たとえば、優先度ブレークダウンの sys_id を入力すると、優先度の値ごとに個別のタスクチャート情報が返されます ([オープン中のインシデントの数/優先度/ 2 - 高] など)。
breakdown_relation	文字列	この関連付けを使用して返されたデータをブレークダウンするには、ブレークダウンの関連付けの sys_id を指定します。利用可能なブレークダウンの関連付けを表示するには、*include_available_breakdowns* パラメーターを `true` に設定します。
次の値を含む	文字列	名前または説明のカンマ区切りリスト。一致する値を持つインジケーターからのみ結果が返されます。すべてのカンマ区切りリストアイテムが一致する必要があります。一致しない場合、結果は返されません。リストは OR ロジックではなく AND ロジックに従います。
display	文字列	返されるインジケーターのタイプを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true： アナリティクスハブ に表示されるインジケーターのみを返します。 • all：すべてのインジケーターを返します。 デフォルト：true
display_value	文字列	参照フィールドと選択フィールドのデータ取得オペレーション。 この値に基づいて、データベースの表示値または実際の値が取得されます。 • *true* にすると、すべてのフィールドの表示値が返されます。 • *false* にすると、データベースから実際の値が返されます。 • *all* にすると、実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false
elements_filter	文字列	要素フィルタの sys_id を指定すると、そのフィルタが返されたデータに適用されます。 データタイプ：文字列
exclude_reference_link	ブール	参照フィールドに指定された追加情報 (参照リソースに対する URI など) を非表示にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドに指定された追加情報を非表示にします。 • false：参照フィールドに指定された追加情報を非表示にしません。 デフォルト値：false
favorites	ブール	クエリユーザーのお気に入りであるインジケーターのみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリユーザーのお気に入りであるインジケーターのみを返します。 • false：すべてのインジケーターを返します。 デフォルト値：false
移動元	文字列	スコアを返す最も早い日付。この日付以降のスコアのみが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。 形式：ISO-8601 標準
include_available_aggregations	文字列	集計が適用されていない場合に、インジケーターで利用可能なすべての集計を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：集計が適用されていない場合、インジケーターで利用可能なすべての集計を返します。 • false：集計を返しません。 デフォルト値：false
include_available_breakdowns	ブール	インジケーターで利用可能なすべてのブレークダウンを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：インジケーターで利用可能なすべてのブレークダウンを返します。 • false：ブレークダウンを返しません。 デフォルト値：false
include_forecast_scores	ブール	アナリティクスハブ の予測データを定義する日付と値のペアのアレイを含む forecast_scores 要素を返すかどうかを示すフラグ。 このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。 有効な値： • true：forecast_scores 要素を返します。 • false：forecast_scores 要素を返しません。 デフォルト値：false
include_realtime	ブール	インジケーターのリアルタイムスコアが有効かどうかを示す realtime_enabled 要素と、リアルタイムスコア値を含む realtime_value 要素を返すかどうかを示すフラグ。このパラメーターは、計算式インジケーターではサポートされていません。 有効な値： • true：realtime_enabled 要素を返します。 • false：realtime_enabled 要素を返しません。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
include_scores	ブール	アナリティクスハブ で選択された時間範囲全体のインジケータースコアを返すかどうかを示すフラグ。値を指定しない場合、このパラメータのデフォルトは false になり、最新のスコア値のみが返されます。 返されるスコアの日付範囲を制限するには、このパラメーターを *from* および *to* と組み合わせます。 有効な値： • true：選択した時間範囲全体のインジケータースコアを返します。 • false：選択した時間範囲全体のインジケータースコアを返しません。 デフォルト値：false
include_target_color_scheme	ブール	最小値と最大値を含むtarget_color_scheme要素と、アナリティクスハブ のターゲットカラースキームの各セクションの色を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：target_color_scheme 要素を返します。 • false：target_color_scheme 要素を返しません。 デフォルト値：false
include_trendline_scores	文字列	アナリティクスハブ のトレンドラインを定義する日付と値のペアのアレイを含む trendline_scores 要素を返すかどうかを示すフラグ。 このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。
key	ブール	キーインジケーターの結果のみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：trendline_scores 要素を返します。 • false：trendline_scores 要素を返しません。 デフォルト値：false
limit	番号	返されるスコアの最大数。
ページ	文字列	ページ番号を指定します。たとえば、デフォルトの per_page 値 (10) を使用して アナリティクスハブ 内のインジケーターを 20 個クエリーする場合、11 ～ 20 のアナリティクスハブ を取得するには page 値に 2 を指定します。
per_page	番号	各クエリが 1 ページで返すことができるインジケーターの最大数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：10 最大：100
sortby	文字列	結果をソートするときに使用する値。 有効な値： • bullet • change • changeperc • date • default • direction • duedate • frequency • gap • gapperc • group • indicator_group • name • order • target • trend • value デフォルト：value
sortdir	文字列	ソートの方向。 有効な値： • asc：昇順を示します。 • des：降順を示します。 デフォルト：降順
ステップ	番号	インジケーターの頻度に基づいてスコアをスキップするための数値。たとえば、日次インジケーターの場合は 3 日ごと、週次インジケーターの場合は 3 週ごとのスコアのみを返すには、値に 3 を指定します。
tags	文字列	インジケーターグループの sys_id を入力すると、そのグループ内のインジケーターが返されます。このパラメーターには *uuid* を使用しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
target	ブール	アナリティクスハブ にターゲットが設定されているインジケーターの結果のみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ターゲットが設定されているインジケーターの結果のみを返します。 • false：該当するすべてのインジケーターの結果を返します。 デフォルト値：false
移動先	文字列	スコアを返す最も遅い日付。この日付以前のスコアのみが返されます。 このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。
uuid	文字列	sys_id 値のコロン区切りリストを入力して、クエリーするインジケーター、ブレークダウン、集計、およびドメインを指定します。パラメーターの形式は次のとおりです。 <indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id> パラメーターは、インジケーターレコードの sys_id で始める必要があります。必要に応じて、ブレークダウンの sys_id 値とブレークダウン要素を追加し、ブレークダウンに応じた応答をグループ化して、集計の sys_id を追加し、この集計を適用します。集計とともにブレークダウンを使用することや、片方のみを使用することができます。 レコードのsys_id値の取得については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。 **注:** インジケーターが [デフォルトの時系列] を使用するように設定されていると、そのインジケーターのすべての アナリティクスハブ 値でその時系列集計が使用されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、uuid パラメーターは [オープン中のインシデントの数] インジケーターを指定し、breakdown パラメーターは [優先度] ブレークダウンを指定します。どちらのパラメーターも、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

それぞれのレコードの sys_id を値として持ちます。query() 関数は結果をオブジェクトとして返します。

```
var sc = new SNC.PAScorecard(); //in a scoped app, do not use the SNC
 namespace
sc.addParam('uuid', 'fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4');        // Number
 of open incidents
sc.addParam('breakdown', '0df47e02d7130100b96d45a3ce610399');  // by
 Priority
var result = sc.query();  // Query results, which are returned as an
 object
for (var i = 0; i < result.length; i++)
gs.info(result[i].name + ': ' + result[i].value + ' ' +
 result[i].unit.display_value);
```

PAScorecard - query()

指定されたパラメーターに基づいてクエリーを実行し、結果をオブジェクトとして返します。

このメソッドを呼び出す前に、addParam(文字列 *parameter*, 文字列 *value*) を呼び出して PAScorecard オブジェクトのパラメーターを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	PAScorecard オブジェクト。

PAScorecard - result()

最新のクエリー結果をオブジェクトとして取得します。

このメソッドはクエリーを実行しません。結果を返す前にクエリーを実行するには、*query()* を使用します。

この関数はグローバル以外のスコープでは実行できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	最後のクエリーの結果。JS オブジェクトとして返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PASnapshot - スコープ対象

PASnapshot API を使用すると、パフォーマンスアナリティクススナップショットに関する情報を照会できます。スナップショットは これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

インジケーターの sys_id と日付を使用して特定の日付のスナップショットに関する情報をクエリーし、異なる日付のインジケーターのスナップショットを比較することができます。

PASnapshot - getCompareIDs(文字列 sys_id, 数値 date1, 数値 date2, 文字列 type)

1 つのスナップショットに含まれているが、もう 1 つのスナップショットには含まれていないレコードを識別するなど、指定されたインジケーターのスナップショット内のレコードを複数の日付で比較します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	インジケーターのsys_id。
date1	番号	最初のスナップショットの日付。 形式:yyyymmdd
date2	番号	2 番目のスナップショットの日付。 形式:yyyymmdd
type	文字列	取得するデータ。 有効な値： • all1：最初のスナップショット内のすべてのレコード • all2：2 番目のスナップショット内のすべてのレコード • shared：両方のスナップショット内にあるレコード • movedin：最初のスナップショット内にあり、2 番目のスナップショット内にはないレコード • movedout：2 番目のスナップショット内にあり、最初のスナップショット内にはないレコード

返される内容

タイプ	説明
文字列	sys_id 値のカンマ区切りリスト。

```
var snapshot2 =
 PASnapshot.getCompareIDs('fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4', 20160430,
 20160531, 'shared');
gs.info(snapshot2);
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
*** Script:
 09c01200d7002100b81145a3ce6103ab,19c01200d7002100b81145a3ce6103e9,fcc012
00d7002100b81145a3ce61035b,….
```

PASnapshot - getCompareQuery(文字列 **sys_id**, 数値 **date1**, 数値 **date2**, 文字列 **type)**

複数の日付の指定されたインジケーターのスナップショット内のレコードを比較するために使用されるクエリを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	インジケーターのsys_id。
date1	番号	最初のスナップショットの日付。 形式:yyyymmdd
date2	番号	2 番目のスナップショットの日付。 形式:yyyymmdd
type	文字列	取得するデータを指定します。 有効な値： • all1：最初のスナップショット内のすべてのレコード • all2：2 番目のスナップショット内のすべてのレコード • shared：両方のスナップショット内にあるレコード • movedin：2 番目のスナップショット内にあり、最初のスナップショット内にはないレコード • movedout：最初のスナップショット内にあり、2 番目のスナップショット内にはないレコード

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 文字列としてのテーブル、ビュー、およびエンコードクエリー。

```
var snapshot4 =
 PASnapshot.getCompareQuery('fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4', 20160530,
 20160531, 'all1');
gs.info(snapshot4);
```

出力:

```
*** Script: {
  "view":"",
  "query":"sys_idINjavascript:new
 PAUtils().getCompareSnapshotIDs(\"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4\",
  \"20160530\",
  \"20160531\",
  \"all1\")",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "table":"incident"
}
```

PASnapshot - getIDs(文字列 sys_id, 数値 date)

指定された日付の指定されたインジケーターのスナップショットに含まれるすべてのレコードのsys_id値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	インジケーターのsys_id。
date	番号	スナップショットが作成された日付。 形式:yyyymmdd

返される内容

タイプ	説明
文字列	sys_id 値のカンマ区切りリスト。

```
var snapshot1 = PASnapshot.getIDs('fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4',
 20160530);
gs.info(snapshot1);
```

出力:

```
*** Script:
 09c01200d7002100b81145a3ce6103ab,19c01200d7002100b81145a3ce6103e9,fcc012
00d7002100b81145a3ce61035b,….
```

PASnapshot - getQuery(文字列 sys_id, 数値 date)

指定された日付に指定されたインジケーターのスナップショットを生成するために使用されるクエリを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	インジケーターのsys_id。
date	番号	スナップショットが撮影された日付。 形式:yyyymmdd

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 文字列としてのテーブル、ビュー、およびエンコードクエリー。

```
var snapshot3 = PASnapshot.getQuery('fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4',
 20160530);
gs.info(snapshot3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
*** Script: {
  "view":"",
  "query":"sys_idINjavascript:new
 PAUtils().getSnapshotIDs(\"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4\",
  \"20160530\")",
  "table":"incident"
}
```

PDAutomationProvider - スコープ指定、グローバル

PDAutomationProvider API を使用すると、実行中にオプションのアクティビティをプロセスに挿入できます。

この API は プロセスオートメーションデザイナー プラグイン (com.glide.pad.core) の一部であり、 sn_pad 名前空間で実行されます。

この API でスクリプトを呼び出すには、次のうちの 1 つまたは両方に該当する必要があります。

- 発信者が、オプションのアクティビティトリガーが作成されたのと同じスコープ内にいる必要がある。
- 管理者権限がある。

プロセスは、レーンで順序付けされた一連のアクティビティです。オプションのアクティビティは、プロセス設計時に事前定義されます。アクティビティは正確な時間に実行されるようにスケジュールされていません。アクティビティをレーンにアサインし、レーンの実行中に実行できるようにすることができます。アクティビティをプロセスにアサインし、レーンの実行中に実行できるようにすることができます。

オプションのアクティビティを作成するには、アクティビティ [sys_pd_activity] テーブルで [開始ルール] が [手動] に設定されている必要があります。 プロセスオートメーションデザイナー では現在、手動アクティビティの作成はサポートされていません。

エージェントは、オプションのアクティビティを、別のアクティビティに関連してレーンまたはアクティビティに追加します。オプションのアクティビティを挿入するには、プロセスが実行されている必要があります。

関連項目：

- 自動化プロセスを設計する
- Process Automation Designer のレーンとアクティビティ

PDAutomationProvider – activateProcess(文字列 processDefinitionSysId)

プレイブックをアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
プロセス定義 SysID	文字列	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルにあるプレイブックのsys_id。

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	プロセス定義のアクティブ化の詳細を含むオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

プロパティ	説明

	<pre>{
	  "errors": [Array]
	  "process_definition": {Object},
	  "state": "String"
	}</pre>

エラー	エラーのリスト。成功した場合は空。 データタイプ:文字列のアレイ

process_definition	アクティブ化されたプレイブックとそのプロパティ。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"process_definition":
	{
	  "active": Boolean,
	  "snapshot": {Object},
	  "status": "String"
	}</pre>

process_definition.active	非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義がアクティブかどうかを示すフラグ。プロセス定義 [sys_pd_process_definition] リストでプロセス定義を検索します。 有効な値： • true:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義がアクティブです。 • false:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義は非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン

process_definition.snapshot	アクティブ化時のプロセス定義に関する詳細が含まれます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>{
	  "snapshot":
	    {
	      "created": "String",
	      "processDefinitionSysId": "String"
	    }
	}</pre>

process_definition。スナップショット。作成	プレイブックが作成された日付。 データタイプ：文字列
process_definition。スナップショット。プロセス定義 SysID	アクティブ化されたプレイブックのsys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
process_definition.status	プレイブックの公開ステータスを示します。 可能な値： • draft:プレイブックはドラフトステータスです。 • 公開済み:プレイブックは公開済みステータスです。 データタイプ：文字列
state	アクティブ化の要求が成功したかどうかを示します。 可能な値： • 成功:プレイブックが正常にアクティブ化されました。 • エラー:プレイブックの ID が見つかりませんでした。 データタイプ: オブジェクト

次の例は、プレイブックをアクティブ化する方法を示しています。

```
var myPlaybook =
 sn_pad.PDAutomationProvider.activateProcess('cdd1b85e43000210d96e29c28ab
8f275');
gs.info(JSON.stringify(myPlaybook));
```

出力:

```
{
  "process_definition": {
    "active": true,
    "snapshot": {
      "processDefinitionId": "cdd1b85e43000210d96e29c28ab8f275",
      "created": "2024-02-19 22:58:12"
    },
    "status": "published"
  },
  "state": "SUCCESS",
  "errors": []
}
```

PDAutomationProvider – addOptionalActivityRelativeToActivityContext(文字列 **contextID**, 文字列 **activityId**, 文字列 **where**, 文字列 **relatedToId)**

指定されたオプションのアクティビティを、プロセスの実行中に別のアクティビティに関連して実行されるように追加します。

プロセスが実行されると、アクティビティごとにアクティビティコンテキストが作成されます。このコンテキストは、アクティビティが実行を処理する方法も処理します。詳細については、「Process Automation Designer のレーンとアクティビティ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextID	文字列	オプションのアクティビティを追加するアクティビティ実行の sys_id。アクセスするには、プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルにリストされているプロセスをクリックします。選択した実行はステータスが [処理中] である必要があります。
activityId	文字列	アクティビティ [sys_pd_activity] テーブルにリストされているオプションのアクティビティの sys_id。 注: オプションのアクティビティを作成するには、アクティビティ [sys_pd_activity] テーブルで [開始ルール] が [手動] に設定されている必要があります。
where	文字列	プロセス内のどこにアクティビティを配置するかを示します。 有効な値： • AFTER – 相対アクティビティの後にこのアクティビティを実行します。 コンテキスト。 • WITH – アクティビティを別の相対アクティビティと同時に実行します。 コンテキスト。
relativeToId	文字列	オプションのアクティビティの前または一緒に実行される相対アクティビティコンテキストの ID。アクティビティコンテキスト [sys_pd_activity_context] テーブルのリストにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティの実行が正常にスケジュールされたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アクティビティの実行が正常にスケジュールされています。出力は成功を示す文字列です。 • false：アクティビティの実行が正常にスケジュールされていません。出力は、1 つ以上のエラーメッセージのアレイです。 エラーが発生した場合は、1 つ以上のエラーメッセージのリスト。それ以外の場合は、0 個以上の要素のアレイを示すメッセージ。
アレイ	エラーが発生した場合は、1 つ以上のエラーメッセージのリスト。それ以外の場合は、0 個以上の要素のアレイを示すメッセージ。 考えられるエラーメッセージ： • 無効なオプションのアクティビティ ID - *activityId* パラメーターに指定された sys_id が無効です。 • 無効な PD コンテキスト ID - *contextID* パラメーターで指定されたプロセスデザイナー (PD) の sys_id が無効です。 • 無効なポジションタイプ - 指定されたポジションタイプは無効です。有効なタイプについては、*where* パラメーターの説明を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 無効な Relative-to ID - *relativeToId* パラメーターに指定された sys_id が無効です。 • オプションのアクティビティが見つかりません - *activityId* パラメーターに指定された sys_id が見つかりませんでした。 • プロセスは引き続きアクティブである必要があります - オプションのアクティビティを実行するには、このアクティビティを含むプロセスがアクティブである必要があります。 • 相対アクティビティコンテキストが見つかりません 相対アクティビティコンテキストが見つかりません

次の例は、オプションのアクティビティを相対アクティビティコンテキストと同時に実行する方法を示しています。

```
var contextId = '<context_id>';
var optionalActivityId = '<optional_activity_id>';
var where = 'WITH'; // options AFTER, WITH
var relativeToId = '<relative_activity_context_id>'; // relative activity
 context ID

var response =
 sn_pad.PDAutomationProvider.addOptionalActivityRelativeToActivityContext
(contextId, optionalActivityId, where, relativeToId);

gs.info(JSUtil.describeObject(response));
```

出力 (成功) :

```
success: boolean = true
errors: Array of 0 elements
```

PDAutomationProvider – addOptionalActivityRelativeToLaneContext(文字列 **contextID**, 文字列 **activityId**, 文字列 **where**, 文字列 **relatedToId)**

レーンの実行コンテキスト中に実行するオプションのアクティビティをレーンにアサインします。

プロセスが実行されると、レーンごとにレーンコンテキストが作成されます。このコンテキストは、レーンが実行を処理する方法も処理します。詳細については、「Process Automation Designer のレーンとアクティビティ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextID	文字列	オプションのアクティビティを追加するアクティビティ実行の sys_id。アクセスするには、プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルにリストされているプロセスをクリックします。選択した実行はステータスが [処理中] である必要があります。
activityId	文字列	アクティビティ [sys_pd_activity] テーブルにリストされているオプションのアクティビティの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: オプションのアクティビティを作成するには、アクティビティ [sys_pd_activity] テーブルで [開始ルール] が [手動] に設定されている必要があります。
where	文字列	プロセス内のどこにアクティビティを配置するかを示します。 有効な値： • LAST – レーンの最後のアクティビティとして実行します。 コンテキスト。 • NEXT – レーンの次のアクティビティで実行します。 コンテキスト。
relativeToId	文字列	オプションのアクティビティが実行される相対レーンコンテキストの ID。レーンコンテキスト [sys_pd_lane_context] テーブルのリストにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	アクティビティの実行が正常にスケジュールされたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アクティビティの実行が正常にスケジュールされています。出力は成功を示す文字列です。 • false：アクティビティの実行が正常にスケジュールされていません。出力は、1 つ以上のエラーメッセージのアレイです。
アレイ	エラーが発生した場合は、1 つ以上のエラーメッセージのリスト。それ以外の場合は、0 個以上の要素のアレイを示すメッセージ。 考えられるエラーメッセージ： • 無効なオプションのアクティビティ ID - *activityId* パラメーターに指定された sys_id が無効です。 • 無効な PD コンテキスト ID - *contextID* パラメーターで指定されたプロセスデザイナー (PD) の sys_id が無効です。 • 無効なポジションタイプ - 指定されたポジションタイプは無効です。有効なタイプについては、*where* パラメーターの説明を参照してください。 • 無効な Relative-to ID - *relativeToId* パラメーターに指定された sys_id が無効です。 • オプションのアクティビティをレーンに追加することはできません - *activityId* パラメーターで指定されたオプションのアクティビティを *relativeToId* パラメーターで指定されたレーンに関連して追加することができません。選択した [アクティビティの実行] が [処理中] ステータスであることを確認してください。 • オプションのアクティビティが見つかりません - *activityId* パラメーターに指定された sys_id が見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• プロセスは引き続きアクティブである必要があります - オプションのアクティビティを実行するには、このアクティビティを含むプロセスがアクティブである必要があります。 • 相対レーンコンテキストが見つかりません 相対アクティビティコンテキストが見つかりません

次の例は、オプションのアクティビティをレーンコンテキスト内の最後のアクティビティとして実行する方法を示しています。

```
var contextId = '<context_id>';
var optionalActivityId = '<optional_activity_id>';
var where = 'LAST'; // options LAST, NEXT
var relativeToId = '<relative_lane_context_id>'; // relative lane context
 ID

var response =
 sn_pad.PDAutomationProvider.addOptionalActivityRelativeToLaneContext(con
textId, optionalActivityId, where, relativeToId);

gs.info(JSUtil.describeObject(response));
```

出力 (成功)：

```
success: boolean = true
errors: Array of 0 elements
```

PDAutomationProvider – deactivateProcess(文字列 **processDefinitionSysId)**

プレイブックを非アクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
プロセス定義 SysID	文字列	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルにあるプレイブックのsys_id。

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	プロセス定義の非アクティブ化の詳細を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array] "process_definition": {Object}, "state": "String" }`
エラー	エラーのリスト。成功した場合は空。 データタイプ:文字列のアレイ
process_definition	非アクティブ化されたプレイブックとそのプロパティ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ: オブジェクト `"process_definition": { "active": Boolean, "snapshot": {Object}, "status": "String" }`
process_definition.active	非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義がアクティブかどうかを示します。プロセス定義 [sys_pd_process_definition] リストでプロセス定義を検索します。 可能な値： • true:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義がアクティブです。 • false:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義は非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
process_definition.説明	非アクティブ化されたプレイブックの詳細。 データタイプ：文字列
process_definition.label	ユーザーのインターフェイスに表示される非アクティブ化されたプレイブックの名前。 データタイプ：文字列
process_definition.name	コード内の非アクティブ化されたプレイブックの名前。スクリプティングで要求パラメーターとしてのみ使用されます。 データタイプ：文字列
process_definition.スコープ	プレイブックが非アクティブ化されるアプリケーションスコープの sys_id。 データタイプ：文字列
process_definition.status	プレイブックが公開されると、ドラフトに戻ります。 データタイプ：文字列
state	非アクティブ化が成功したかどうかを示します。 可能な値： • 成功:プレイブックが正常に非アクティブ化されました。 • エラー:プレイブックの ID が見つかりませんでした。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プレイブックを非アクティブ化します。

```
sn_pad.PDAutomationProvider.deactivateProcess('cdd1b85e43000210d96e29c28ab8f275')
```

出力：

```
{"process_definition":{"scope":"global","name":"test","active":true,"description":"","label":"test","status":"draft"},"state":"SUCCESS"}
```

PDAutomationProvider – duplicateProcess(文字列 **processDefinitionSysId**, 文字列 **label**, 文字列 **description**, 文字列 **scopeId**, 文字列 **triggerTypeId)**

プレイブックを複製します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
プロセス定義 SysID	文字列	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルにあるプレイブックのsys_id。
label	文字列	複製されたプレイブックの名前。
説明	文字列	オプション。プレイブックの詳細を追加します。
scopeId	文字列	プレイブックを実行するアプリケーションスコープのsys_id。スコープ名は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルから取得した `scope.name` 形式の名前です。グローバルスコープのsys_idを入力すると、任意のアプリケーションスコープでプレイブックを実行できます。
triggerTypeId	文字列	プレイブックの実行を開始するトリガーのsys_id。トリガータイプ [sys_pd_trigger_type] テーブルでトリガータイプを検索し、そのsys_idをコピーします。

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	プロセス定義重複の詳細を含むオブジェクト。 `{ "errors": [Array] "processDefinitionSysId": "String", "state": "String" }`
エラー	エラーのリスト。成功した場合は空。 データタイプ:文字列のアレイ 考えられるエラーメッセージ： • `scopeId:xyz` のスコープが見つかりません • `ID:xyz` のプロセス定義が見つかりません • `triggerTypeId:xyz` のトリガータイプが見つかりません
プロセス定義 SysID	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブル内の新しいプレイブックのsys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：文字列
state	プレイブックの複製が成功したかどうかを示します。 可能な値： • 成功:プレイブックが正常に複製されました。 • FAILURE:プレイブック、アプリケーションスコープ、またはトリガーの ID が見つかりませんでした。 データタイプ: オブジェクト

この例では、sys_id `f8ca6192ec210210f8772cbd595eab20` を使用してプレイブックを複製する方法を示します。新しいプレイブックの名前は 「プレイブック **2.0**」で、アプリケーションスコープは 「グローバル」で、レコードが作成されるとトリガーされます。[レコード作成] トリガータイプのsys_idは `ab6951170f1200108c87f4f0ff767e4f` です。

```
sn_pad.PDAutomationProvider.duplicateProcess('f8ca6192ec210210f8772cbd595
eab20', 'Playbook 2.0', '', 'global',
 'ab6951170f1200108c87f4f0ff767e4f');
```

出力:

```
{"processDefinitionSysId":"6e4f0b8fece9c210f8772cbd595eabda","state":"SUC
CESS"}
```

PDFGenerationAPI - スコープ付き、グローバル

`PDFGenerationAPI` は、PDF 変換と PDF フィールドの処理をサポートします。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

これらのメソッドは、カタログ以外のアイテムで作成されたドキュメントにも使用できます。このクラスのメソッドによって、次のタスクが可能になります。

- HTML 文字列から PDF を動的に生成してレコードに添付する
  - PDFGenerationAPI – **convertToPDF(**文字列 html, 文字列 targetTable, 文字列 targetTableSysId, 文字列 pdfName, 文字列 fontFamilySysId, オブジェクト documentConfiguration)
  - PDFGenerationAPI – **convertToPDFWithHeaderFooter(**文字列 html, 文字列 targetTable, 文字列 targetTableSysId, 文字列 pdfName, オブジェクト headerFooterInfo, 文字列 fontFamilySysId, オブジェクト documentConfiguration)
- PDF 内のフィールドに入力する
  - PDFGenerationAPI –**fillDocumentFieldsAndFlatten(**オブジェクト fieldsMap, 文字列 sysId, 文字列 tableName, 文字列 tableSysId, 文字列 pdfName, オブジェクト flatten)
  - PDFGenerationAPI – **fillDocumentFields(**オブジェクト fieldsMap, 文字列 sysId, 文字列 tableName, 文字列 tableSysId, 文字列 pdfName)
  - PDFGenerationAPI – **isDocumentFillable(**文字列 sysId)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- PDF に署名する
  - PDFGenerationAPI – fillFieldsAndMergeSignature(オブジェクト fieldsMap, 文字列 sysId, 文字列 tableName, 文字列 tableSysId, 文字列 pdfName, PdfMergeSignRequestor requestor, オブジェクト flatten)
  - PDFGenerationAPI – getFilledDocumentWithSignatureAsBase64(オブジェクト fieldsMap, 文字列 sysId, PdfMergeSignRequestor 要求者, オブジェクト flatten)
- 塗りつぶされたフィールドの編集をフラット化または部分的にフラット化として制限 – PDFGenerationAPI –fillDocumentFieldsAndFlatten(オブジェクト fieldsMap, 文字列 sysId, 文字列 tableName, 文字列 tableSysId, 文字列 pdfName, オブジェクト flatten)
- PDF のページサイズとフィールドデータの取得
  - PDFGenerationAPI – getPdfPageSizes(文字列 sysId)
  - PDFGenerationAPI – getDocumentFieldsType(文字列 sysId)
  - PDFGenerationAPI – getDocumentFields(文字列 sysId)
- PDFで情報を編集– PDFGenerationAPI – redact(オブジェクト inputJson)

関連 API：

- PdfMergeSignRequestor
- SVGToPDFConversionAPI

PDFGenerationAPI – PDFGenerationAPI()

新しい *PDFGenerationAPI* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、*PDFGenerationAPI* オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
```

PDFGenerationAPI – convertToPDF(文字列 **html**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetTableSysId**, 文字列 **pdfName**, 文字列 **fontFamilySysId**, オブジェクト **documentConfiguration)**

HTML 文字列を PDF ドキュメントに変換します。

この方法では、ページサイズA4 – 595 × 842ポイントを使用してPDFを作成します。このサイズを超えると、コンテンツは切り捨てられます。

ページサイズ、向き、ページ番号などの追加設定を含む PDF を生成するには、convertToPDFWithHeaderFooter() を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
html	文字列	PDF ドキュメントに変換する HTML。
targetTable	文字列	変換された PDF を添付するテーブルの名前。
targetTableSysId	文字列	変換された PDF を添付するレコードの sys_id。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
fontFamilySysId	文字列	オプション。PDF に使用するフォントファミリーの sys_id。この sys_id は、PDF 生成フォントファミリ [sys_pdf_generation_font_family] テーブルからのものです。 デフォルト：なし
documentConfiguration	オブジェクト	オプション。目次の構成とページ番号の構成を含むオブジェクト。 `{ "toc_config" : "String", "page_number_config": "String" }`
documentConfiguration.toc_config	文字列	オプション。PDF に使用する目次構成の sys_id。この sys_id は、目次構成 [doc_toc_config] テーブルからのものです。 デフォルト：なし
documentConfiguration.page_number_config	文字列	オプション。PDF に使用するページ番号構成の sys_id。この sys_id はページ番号構成 [doc_page_number_config] テーブルからのものです。 デフォルト：なし

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	変換に成功した場合は PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "request_id": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	HTML 変換に成功した場合は、変換されて添付された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 変換に失敗しました。PDF は作成されません。指定された値が正確であることを確認してください。 • 変換に成功しました。 HTML が PDF に正常に変換されました。 • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	変更プロデューサー要求レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、HTML を PDF に変換して、その PDF をインシデント [incident] テーブル内のレコードに添付する方法を示しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;

//  (Option) get HTML from the description field of an incident record
var gr = new GlideRecord("incident");
var html;
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
if (gr.get("<tableSysId>")) {
 html = gr.description.toString();
}

var result = v.convertToPDF(html, "incident", "<target_sys_id>",
 "myPDF");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"attachment_id":"<sys_id>","message":"Conversion is
 successful.","request_id":"<change_sys_id>","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – convertToPDFWithHeaderFooter(文字列 **html**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetTableSysId**, 文字列 **pdfName**, オブジェクト **headerFooterInfo**, 文字列 **fontFamilySysId**, オブジェクト **documentConfiguration)**

HTML 文字列を、ヘッダーとフッターのコンテンツを含む PDF に変換します。

このメソッドを使用して、次のページ設定で PDF を生成します。

- ヘッダーとフッターの情報
- マージンのサイズ
- 向き
- 列挙
- ページサイズ

パラメーター

名前	タイプ	説明
html	文字列	PDF ドキュメントに変換する HTML。
targetTable	文字列	変換された PDF を添付するテーブルの名前。
targetTableSysId	文字列	変換された PDF を添付するレコードの sys_id。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
headerFooterInfo	オブジェクト	PDF のヘッダーとフッターの詳細を定義します。 `{ "FooterImageAlignment": "String", "FooterImageAttachmentId": "String", "FooterImageHeight": "String", "FooterText": "String", "FooterTextAlignment": "String", "GeneratePageNumber": "String", "HeaderImageAlignment": "String", "HeaderImageAttachmentId": "String", "HeaderImageHeight": "String", "LeftOrRightMargin": "String", "PageOrientation": "String", "PageSize": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"TopOrBottomMargin": "String"
		}</pre>

headerFooterInfo. FooterImageAlignment	文字列	フッター内の画像の位置を設定します。 有効な値： • BOTTOM_CENTER：フッターの中央下部に画像を配置します。 • BOTTOM_LEFT:フッターの左下の領域に画像を配置します。 • BOTTOM_RIGHT：フッターの右下の領域に画像を配置します。 • TOP_CENTER：フッターの中央上部に画像を配置します。 • TOP_LEFT：フッターの左上の領域に画像を配置します。 • TOP_RIGHT：フッターの右上の領域に画像を配置します。
headerFooterInfo. FooterImageAttachmentId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内のフッター画像の sys_id。ファイルタイプがインスタンスでサポートされているかどうかを確認するには、[システムのプロパティ] > [セキュリティ] に移動し、[添付可能なファイル拡張子のリスト (カンマ区切り)] フィールドにリストされているかどうかを確認します。
headerFooterInfo. FooterImageHeight	文字列	フッター画像の高さ。 デフォルト：50 ポイント
headerFooterInfo. FooterText	文字列	PDF の各ページの下部に配置するフッターテキスト。
headerFooterInfo. FooterTextAlignment	文字列	フッター内のテキストの位置を設定します。この値が *headerFooterInfo.FooterImageAlignment* で指定された領域と一致も競合もしていないことを確認してください。 有効な値： • BOTTOM_CENTER：フッターの中央下部にテキストを配置します。 • BOTTOM_LEFT:フッターの左下の領域にテキストを配置します。 • BOTTOM_RIGHT：フッターの右下の領域にテキストを配置します。 • TOP_CENTER：フッターの中央上部にテキストを配置します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• TOP_LEFT：フッターの左上の領域にテキストを配置します。 • TOP_RIGHT：フッターの右上の領域にテキストを配置します。
headerFooterInfo. GeneratePageNumber	文字列	PDF のページ番号を生成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ページ番号を生成します。 • false：ページ番号を生成しません。 デフォルト：true
headerFooterInfo. HeaderImageAlignment	文字列	ヘッダー内の画像の位置を設定します。 有効な値： • center：ヘッダーの中央に画像を配置します。 • left：ヘッダーの左側に画像を配置します。 • right：ヘッダーの右側に画像を配置します。
headerFooterInfo. HeaderImageAttachmentId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内のヘッダー画像の sys_id。ファイルタイプがインスタンスでサポートされているかどうかを確認するには、[システムのプロパティ] > [セキュリティ] に移動し、[添付可能なファイル拡張子のリスト (カンマ区切り)] フィールドにリストされているかどうかを確認します。
headerFooterInfo. HeaderImageHeight	文字列	ヘッダー画像の高さ。 デフォルト：50 ポイント
headerFooterInfo. LeftOrRightMargin	文字列	左右のマージンのサイズ。ページの左側または右側に配置すると、ヘッダーとフッターの詳細がこの領域に配置されます。 デフォルト：36 ポイント
headerFooterInfo. PageOrientation	文字列	ページの向き。 有効な値： • PORTRAIT (縦向き) • LANDSCAPE (横向き) デフォルト：Portrait (縦向き)
headerFooterInfo. PageSize	文字列	ドキュメントのページサイズです。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• A4：595 x 842 ポイント • LETTER：612 x 792 ポイント • LEDGER：792 x 1224 ポイント ページサイズを超えると、コンテンツは切り捨てられます。
headerFooterInfo.TopOrBottomMargin	文字列	上下のマージンのサイズ。ヘッダーとフッターの詳細がこの領域に配置されます。 デフォルト：72 ポイント
fontFamilySysId	文字列	オプション。PDF に使用するフォントファミリーの sys_id。この sys_id は、PDF 生成フォントファミリ [sys_pdf_generation_font_family] テーブルからのものです。 デフォルト：なし
documentConfiguration	オブジェクト	オプション。目次の構成とページ番号の構成を含むオブジェクト。 `{ "toc_config" : "String", "page_number_config": "String" }`
documentConfiguration.toc_config	文字列	オプション。PDF に使用する目次構成の sys_id。この sys_id は、目次構成 [doc_toc_config] テーブルからのものです。 デフォルト：なし
documentConfiguration.page_number_config	文字列	オプション。PDF に使用するページ番号構成の sys_id。この sys_id はページ番号構成 [doc_page_number_config] テーブルからのものです。 デフォルト：なし

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	変換に成功した場合は PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "request_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	"status": "String" }
<Object>. attachment_id	HTML 変換に成功した場合は、変換されて添付された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • 変換に失敗しました。PDF は作成されません。指定された値が正確であることを確認してください。 • 変換に成功しました。 HTML が PDF に正常に変換されました。 • フッター画像の配置とテキストの配置を次の同じ位置で同じ領域に置くことはできません: <footerImageAlignment value> – *headerFooterInfo.FooterImageAlignment* と *headerFooterInfo.FooterTextAlignment* の値が同じ領域にないことを確認します。 • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 無効なフッター画像の配置：<invalid_option> が提供されます。 – *headerFooterInfo.FooterImageAlignment* プロパティに有効なオプションを指定します。 • 無効なフッターテキストの配置：" + <invalid_option> + " が提供されます。 – *headerFooterInfo.footerTextAlignment* プロパティに有効なオプションを指定します。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• フッター画像を取得できません。sysId：+<指定した値> – *headerFooterInfo.footerImageId* に指定された sys_id が正確であることを確認します。 • ヘッダー画像を取得できません。sysId：+<指定した値> – *headerFooterInfo.headerImageId* に指定された sys_id が正確であることを確認します。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.request_id	変更プロデューサー要求レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、HTML を「myPDF」という名前の PDF に変換して、その PDF を添付ファイルとしてインシデント [incident] テーブル内のレコードに追加する方法を示しています。PDF には、添付ファイルを介して提供されるヘッダーとフッターが含まれています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;

//  (Option) get HTML from the description field of an incident record
var gr = new GlideRecord("incident");
var html;

if (gr.get("<tableSysId>")) {
 html = gr.description.toString();
}

var hfInfo = new Object();
hfInfo["HeaderImageAttachmentId"] = "<hdrImgAttSysId>";
hfInfo["HeaderImageAlignment"] = "left";
hfInfo["FooterImageAttachmentId"] = "<ftrImgAttSysId>";
hfInfo["FooterImageAlignment"] = "TOP_CENTER";
hfInfo["FooterText"] = "Sample Footer Message";
hfInfo["PageSize"] = "A4";
hfInfo["GeneratePageNumber"] = "false";
hfInfo["TopOrBottomMargin"] = "36";
hfInfo["LeftOrRightMargin"] = "24";

var result = v.convertToPDFWithHeaderFooter(html, "incident",
 "<targetTbl_sys_id>", "myPDF", hfInfo);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出力：

```
{"attachment_id":"<sys_id>","message":"Conversion is
 successful.","request_id":"<change_sys_id>","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – fillDocumentFields(オブジェクト **fieldsMap**, 文字列 **sysId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **tableSysId**, 文字列 **pdfName)**

編集可能な PDF のフィールドに入力し、指定されたレコードに添付します。

次のメソッドを使用して、PDF が入力可能かどうかを判断し、フィールド情報を取得します。

- isDocumentFillable()
- getDocumentFields()
- getDocumentFieldsType()

PDFGenerationAPI は、さまざまなオプションを持つ追加の塗りつぶしメソッドを提供します。

- fillDocumentFieldsAndFlatten() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、データフィールドをフラット化して、指定されたレコードに添付します。
- fillFieldsAndMergeSignature() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、署名画像を追加して、データフィールドをフラット化し、指定されたレコードに添付します。
- getFilledDocumentWithSignatureAsBase64() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、画像を作成して、それを Base64 でエンコードされた PDF に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldsMap	オブジェクト	オプション。PDF フィールド名と入力する値によるキー値マップ。*getDocumentFields()* メソッドを使用して、使用可能なフィールドのリストを取得します。
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
tableName	文字列	PDF が添付されるレコードを含むテーブルの名前。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
tableSysId	文字列	PDF が添付されるレコードの sys_id。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	成功した場合は更新された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。
	
	`{`
	`  "attachment_id": "String",`
	`  "message": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"status": "String"
	}</pre>

<Object>.attachment_id	操作が成功した場合、入力された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 有効な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、編集可能な PDF 内のフィールドに入力する方法を示しています。

```
var fieldMap = new Object();
fieldMap["Address"] = "Address value here";
fieldMap["State"] = "State value here";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.fillDocumentFields(fieldMap, "<attachmentSysId>",
 "<tableName>", "<tableSysId>", "pdfName");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"attachment_id":"<sys_id>","message":"Request completed
 successfully.","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI –fillDocumentFieldsAndFlatten(オブジェクト **fieldsMap**, 文字列 **sysId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **tableSysId**, 文字列 **pdfName**, オブジェクト **flatten)**

編集可能な PDF のフィールドに入力し、データフィールドをフラット化して、指定されたレコードに添付します。

次のメソッドを使用して、PDF が入力可能かどうかを判断し、フィールド情報を取得します。

- isDocumentFillable()
- getDocumentFields()
- getDocumentFieldsType()

PDFGenerationAPI は、さまざまなオプションを持つ追加の塗りつぶしメソッドを提供します。

- fillDocumentFields() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、指定されたレコードに添付します。
- fillFieldsAndMergeSignature() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、署名画像を追加して、データフィールドをフラット化し、指定されたレコードに添付します。
- getFilledDocumentWithSignatureAsBase64() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、画像を作成して、それを Base64 でエンコードされた PDF に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldsMap	オブジェクト	オプション。PDF フィールド名と入力する値によるキー値マップ。*getDocumentFields()* メソッドを使用して、使用可能なフィールドのリストを取得します。
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
tableName	文字列	PDF が添付されるレコードを含むテーブルの名前。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
tableSysId	文字列	PDF が添付されるレコードの sys_id。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
flatten	オブジェクト	オプション。フィールドをフラット化すると、他のユーザーが情報を変更できないようにフィールドをロックできます。キーを「FlattenType」として指定し、フラット化オプションを文字列として指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		有効な値：
		• donot_flatten - フィールドをフラット化しません。
		• partially_flatten - 変更されたフィールドのみをフラット化します。
		• fully_flatten - すべてのフィールドをフラット化します。
		
		デフォルト：fully_flatten
		
		{
		"FlattenType": "String"
		}

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	成功した場合は更新された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。
	
	{
	"attachment_id": "String",
	"message": "String",
	"status": "String"
	}

<Object>.attachment_id	操作が成功した場合、入力された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 有効な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、フィールドに入力してフィールドを編集可能な PDF をフラット化する方法を示しています。

```
var fieldMap = new Object();
fieldMap["Last Name First Name Middle Initial"] = "Tuter Abel E.";
fieldMap["Date of Birth"] = "08101952";
fieldMap["US SSN"] = "111-22-9999";
fieldMap["Address"] = "PO Box 344";
fieldMap["City"] = "Jerome";
fieldMap["State"] = "AZ";
fieldMap["Zip"] = "86331";

var flatten = new Object();
flatten["FlattenType"] = "partially_flatten";

var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.fillDocumentFieldsAndFlatten(fieldMap,
 "<attachmentSysId>", "<tableName>", "<tableSysId>", "pdfName", flatten);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
"attachment_id":"<sys_id>","message":"Request completed
 successfully.","status":"success"
```

PDFGenerationAPI – fillFieldsAndMergeSignature(オブジェクト **fieldsMap**, 文字列 **sysId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **tableSysId**, 文字列 **pdfName**, **PdfMergeSignRequestor requestor**, オブジェクト **flatten)**

編集可能な PDF のフィールドに入力し、署名画像を追加して、データフィールドをフラット化し、指定されたレコードに添付します。

次のメソッドを使用して、PDF が入力可能かどうかを判断し、フィールド情報を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- isDocumentFillable()
- getDocumentFields()
- getDocumentFieldsType()

PDFGenerationAPI は、さまざまなオプションを持つ追加の塗りつぶしメソッドを提供します。

- fillDocumentFields() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、指定されたレコードに添付します。
- fillDocumentFieldsAndFlatten() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、データフィールドをフラット化して、指定されたレコードに添付します。
- getFilledDocumentWithSignatureAsBase64() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、画像を作成して、それを Base64 でエンコードされた PDF に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldsMap	オブジェクト	オプション。PDF フィールド名と入力する値によるキー値マップ。*getDocumentFields()* メソッドを使用して、使用可能なフィールドのリストを取得します。
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
tableName	文字列	PDF が添付されるレコードを含むテーブルの名前。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
tableSysId	文字列	PDF が添付されるレコードの sys_id。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
requestor	PdfMergeSignRequestor	*pdfMergeSignRequestor* から返された署名入力。
flatten	オブジェクト	オプション。フィールドをフラット化すると、他のユーザーが情報を変更できないようにフィールドをロックできます。キーを「FlattenType」として指定し、フラット化オプションを文字列として指定します。 有効な値： • donot_flatten - フィールドをフラット化しません。 • partially_flatten - 変更されたフィールドのみをフラット化します。 • fully_flatten - すべてのフィールドをフラット化します。 デフォルト：fully_flatten `{ "FlattenType": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は更新された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	操作が成功した場合、入力された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 有効な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、デフォルト設定の署名でフィールドを入力してフィールドを完全にフラット化する方法を示しています。

```
var fieldMap = new Object();
fieldMap["Address_Salutation"] = "Address value here";

var paramMap = new Object();
paramMap["FlattenType"] = "partially_flatten";

var requestor = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;
requestor.createRequest("<attachmentSysId>", "incident", "<tableSysId>",
 "filledPdf");
requestor.addSignatureMapping(6, 40, 50, 188, 44, "<signatureSysId>");

var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.fillFieldsAndMergeSignature(fieldMap, "<attachmentSysId>",
 "incident", "<tableSysId>", requestor, "filledPdf", paramMap);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"attachment_id":"5440d993dbed3010d66be1191396194e","message":"Request
 completed successfully.","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – getDocumentFields(文字列 **sysId)**

PDF ドキュメント内の編集可能なフィールドのリストを取得します。チェックするファイルを手動で開かなくても、PDF の編集可能なフィールドを一覧表示できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	署名済み PDF の ID を含むオブジェクト。それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.fields	要求が成功した場合、PDF の各フィールドの名前を含むリスト。 データタイプ：文字列のアレイ `"fields": ["field_name"]`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、PDF 添付ファイルのフィールドを取得する方法を示しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.getDocumentFields("attachmentSysId");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"message":"Request completed
 successfully.","fields":["NP_formFillable","reset","print","1SSN","Signa
ture.1","5sigDate","Check Box21"],"status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – getDocumentFieldsType(文字列 **sysId)**

PDF ドキュメントから、一連の編集可能なフィールドのフィールドタイプを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合はそれぞれの PDF フィールドタイプを含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "fields_type": {Object}, "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.fields_type	成功した場合は指定した PDF 内の各フィールドをリスト表示するオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 データタイプ：オブジェクト `"fields_type": { "<field type>": {Object}, }`
<Object>.fields_type.<field>	各フィールドのページ番号を含むオブジェクト。<field> の名前はフィールドのラベルを表します。たとえば、タイプを表す自動作成されたラベルである「SSN」などです。 データタイプ：オブジェクト `"<field>": { "fieldsDetails": [Array], // Check boxes, radio buttons, choice boxes only "pageNumber": "String", "type": "String" }`
<Object>.fields_type.<field>.fieldsDetails	選択肢フィールドのタイプの各オプションのフィールド名とそれに対応する値を含むオブジェクトのリスト。 適用可能なタイプ： • チェックボックス • 選択ボックス • コンボボックス • 複数選択肢の選択ボックス データタイプ：アレイ `"fieldsDetails": [ "fieldName": "String", "value": "String" ]`
<Object>.fields_type.<field>.fieldsDetails.fieldName	選択肢フィールドの名前。 データタイプ：文字列
<Object>.fields_type.<field>.fieldsDetails.value	選択肢フィールドの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>.fields_type.<field>.pageNumber	このフィールドに対応する PDF ページ番号。 データタイプ：文字列
<Object>.fields_type.<field>.type	PDF のフィールドタイプ。 可能な値： • check_box • choice_box • combo_box • multi_select_choice_box • push_button • radio_button • signature • text データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列

次の例は、PDF 添付ファイルのフィールドタイプを取得する方法を示しています。結果には、分かりやすくするため手動で返されるものが含まれています。ここでは簡潔にするため短縮しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.getDocumentFieldsType("<attachmentSysId>");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"fields_type":{"1ADDLINE2.25":{"pageNumber":2,"type":"text"},"1ADDLINE2.
24":{"pageNumber":2,"type":"text"},
"1ADDLINE2.23":{"pageNumber":2,"type":"text"},"1ADDLINE2.22":{"pageNumber
":2,"type":"text"},
"1ADDLINE2.11":{"pageNumber":2,"type":"text"},
"Check
 Box1":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],"pageNumber":2,"type":"chec
k_box"},
"4consentDate.6":{"pageNumber":4,"type":"text"},"4consentDate.7":{"pageNu
mber":4,"type":"text"},
"3SSN.9":{"pageNumber":3,"type":"text"},"3SSN.8":{"pageNumber":3,"type":"
text"},"3SSN.7":{"pageNumber":3,"type":"text"},
"pageNumber":2,"type":"check_box"},"Check
 Box8":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Off"},{"fieldName":"yes"}],
"4planAdminDate.8":{"pageNumber":4,"type":"text"},"4planAdminDate.7":{"pa
geNumber":4,"type":"text"},
"1FirstName_ID.7":{"pageNumber":2,"type":"text"},
"Check
 Box9":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],"pageNumber":3,"type":"chec
k_box"},
"1LN.1":{"pageNumber":2,"type":"text"},"1LN.2":{"pageNumber":2,"type":"te
xt"},
"Check
 Box11":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],"pageNumber":3,"type":"che
ck_box"},
"1LN.9":{"pageNumber":2,"type":"text"},
"Check
 Box17":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],"pageNumber":3,"type":"che
ck_box"},
"Check
 Box16":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],"pageNumber":3,"type":"che
ck_box"},
"1LN.7":{"pageNumber":2,"type":"text"},"Check
 Box19":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],
"1LN.8":{"pageNumber":2,"type":"text"},"Check
 Box18":{"fieldsDetails":[{"fieldName":"Yes"}],
"print":{"pageNumber":2,"type":"push_button"},"4planAdministrator.1":{"pa
geNumber":4,"type":"text"},
"1TaxID.9":{"pageNumber":2,"type":"text"},"4SSN.1":{"pageNumber":3,"type"
:"text"},"4SSN.2":{"pageNumber":3,"type":"text"},
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"Signature.1":{"pageNumber":4,"type":"text"},"1ZIP.2":{"pageNumber":2,"ty
pe":"text"},"1ZIP.3":{"pageNumber":2,"type":"text"},
"message":"Request completed successfully.","status":"success"}
```


PDFGenerationAPI – getFilledDocumentWithSignatureAsBase64(オブジェクト **fieldsMap**, 文字列 **sysId**, **PdfMergeSignRequestor** 要求者, オブジェクト **flatten)**

編集可能な PDF のフィールドに入力し、画像を作成して、それを Base64 でエンコードされた PDF に変換します。

Base64 エンコードを使用すると、バイナリ文字の構文を損なうことなく、PDF を HTML や JSON などのテキストドキュメント内の文字列として出力できます。

次のメソッドを使用して、PDF が入力可能かどうかを判断し、フィールド情報を取得します。

- isDocumentFillable()
- getDocumentFields()
- getDocumentFieldsType()

PDFGenerationAPI は、さまざまなオプションを持つ追加の塗りつぶしメソッドを提供します。

- fillDocumentFields() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、指定されたレコードに添付します。
- fillDocumentFieldsAndFlatten() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、データフィールドをフラット化して、指定されたレコードに添付します。
- fillFieldsAndMergeSignature() – 編集可能な PDF のフィールドに入力し、署名画像を追加して、データフィールドをフラット化し、指定されたレコードに添付します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldsMap	オブジェクト	オプション。PDF フィールド名と入力する値によるキー値マップ。*getDocumentFields()* メソッドを使用して、使用可能なフィールドのリストを取得します。
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
requestor	PdfMergeSignRequestor	*pdfMergeSignRequestor* から返された署名入力。
flatten	オブジェクト	オプション。フィールドをフラット化すると、他のユーザーが情報を変更できないようにフィールドをロックできます。キーを「FlattenType」として指定し、フラット化オプションを文字列として指定します。 有効な値： • donot_flatten - フィールドをフラット化しません。 • partially_flatten - 変更されたフィールドのみをフラット化します。 • fully_flatten - すべてのフィールドをフラット化します。 デフォルト：fully_flatten

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>{
		  "FlattenType": "String"
		}</pre>

返される内容

タイプ	説明
文字列	成功すると、Base64 形式に変換された PDF が添付ファイルテーブル [sys_attachment] に追加されます。コンテンツには、フィールドと署名が入力された PDF 添付ファイルが反映されます。*flatten* パラメーターで代替のフラット化オプションが指定されていない場合、フィールドは編集できません。
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 有効な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • 入力する PDF に関連付けられたフォームがありません。attachmentSysId：<sys_id> • 指定された名前の編集可能なフィールドはありません。確認してもう一度お試しください。フィールド名：<field names> • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列

次の例は、PDF 添付ファイル内の 2 つのフィールドをロードし、フィールドをフラット化して PDF を Base64 形式に変換する方法を示しています。

```
var mymap = new Object();
mymap["City"] = "City value here";
mymap["State"] = "XX";

// create a requestor
var requestor = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;
requestor.createRequest("<sys_id>", "tableName", "<tableSysId>",
 "pdfName");
requestor.addSignatureMapping(6, 40, 50, 188, 44, "<signImgSysId>");
var processedRequestObj = requestor.processRequest();

var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;

var result = v.getFilledDocumentWithSignatureAsBase64(mymap,
 "<attachmentSysId>", processedRequestObj);
gs.info (JSON.stringify(result));
```

PDFGenerationAPI – getPdfPageSizes(文字列 **sysId)**

PDF ドキュメントのページサイズを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は各ページのサイズを含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "pages_size": {Object}, "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.pages_size	操作が成功した場合、各 PDF ページの幅と高さがポイント単位で表示されます。ページ番号は文字列として返され、測定値は数値データタイプとして返されます。 データタイプ：オブジェクト `"pages_size": {"<page number>":[<width>,<height>]}`
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、PDF 添付ファイルの各ページの幅と高さを表示する方法を示しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.getPdfPageSizes ("<attachmentSysId>");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"pages_size":{"1":[612,792],"2":[612,792],"3":[612,792],"4":[612,792],"
5":[612,792]},"message":"Request completed
 successfully.","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – isDocumentFillable(文字列 sysId)

PDF ドキュメントに編集可能なフィールドが含まれているかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は各ページのサイズを含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "document_editable": "String",
	  "message": "String",
	  "status": "String"
	}</pre>

<Object>. document_editable	操作が成功した場合、ドキュメントが編集可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：PDF ドキュメントに編集可能なフィールドがあります。 • false：PDF ドキュメントに編集可能なフィールドはありません。 データタイプ：文字列として指定されたブーリアン値
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、PDF ドキュメントのフィールドが編集可能かどうかを判断する方法を示しています。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = v.isDocumentFillable("<attachmentSysId>");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{"message":"Request completed
 successfully.","document_editable":"true","status":"success"}
```

PDFGenerationAPI – redact(オブジェクト inputJson)

指定された矩形座標、検索キーワード、またはその両方に基づいて PDF ドキュメントに編集を適用します。元の PDF の編集済みコピーが添付ファイル [sys_attachment] テーブルに生成されます。

注:

- 墨消し結果には、墨消しを意図していないテキストを上書きする、予期しない白い墨消しテキストブロックが含まれる場合があります。このイベントが発生した場合は、*highlightedSections* プロパティまたは PDF Generation Utilities プラグインを使用して、編集するコンテンツを手動で選択できます。詳細については、「ドキュメントからのデータの編集」を参照してください。
- このメソッドは、JBIG2 画像を含む PDF の編集をサポートしていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力 JSON	オブジェクト	編集する PDF とそのコンテンツを識別します。 `{ "sysId": "String", "highlightedSections": [Array], "searchedKeywords": [Array] }`
inputJson.sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
inputJson。ハイライトされたセクション	オブジェクトのアレイ	オブジェクトとして提供される矩形座標のリスト。各座標は、各ページで編集されるコンテンツの場所を表します。 *searchedKeywords* プロパティを含める場合はオプションです。 `[ { "pageNumber": Number, "x": Number, "y": Number, "width": Number, "height": Number } ]`
inputJson。highlightedSections です。ページ番号	番号	編集用に選択するコンテンツを含む PDF のページ番号。
inputJson。highlightedSections です。x	番号	PDF の編集矩形の X 軸 (水平位置) (ポイント単位)。PDF ページの左下隅の値は 0 です。例えば、値が `306` の場合、矩形はレターサイズの PDF ページの水平方向の中央にほぼ配置されます。
inputJson。highlightedSections です。y	番号	PDF の編集矩形の Y 軸 (垂直位置) (ポイント単位)。PDF ページの左下隅の値は 0 です。例えば、値が `396` の場合、矩形はレターサイズの PDF ページの垂直方向の中央にほぼ配置されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
inputJson。highlightedSections 幅です。	番号	墨消し矩形の幅はポイント単位です。この値により、x 軸と y 軸が交差する左下の点から水平方向に四角形のサイズが増加します。
inputJson。highlightedSections 高さです。	番号	墨消し矩形の高さ (ポイント単位)。この値により、x 軸と y 軸が交差する左下の点から垂直方向に四角形のサイズが増加します。
inputJson。検索キーワード	アレイ	編集するテキストを検索するために使用される 1 つ以上の文字列のリスト。マスキング矩形のサイズは、結果としてブロックアウトされるテキストの高さと幅と一致します。 *highlightedSections* プロパティを含める場合はオプションです。 **注:** 場合によっては、「items:」や「PDF.」などの特殊文字や句読点を含むテキスト文字列が編集されないことがあります。または、文字列から文字を削除したり、テキストを削除する領域を強調表示したりすることもできます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は更新された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>. attachment_id	操作が成功した場合、入力された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • この形式を解析できません:PDF に埋め込まれた画像を処理できません。PDF には、JBIG2 イメージなど、サポートされていない形式のイメージが 1 つ以上含まれています。 • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。PDF ヘッダーが見つかりません。指定された入力添付ファイルが有効な PDF ではありません。正しい添付ファイル sys_id を指定してください。 • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• sys_id [{0}] の添付ファイルはセキュリティスキャン処理待ちになっているため、要求を続行できません。PDF にウイルス対策スキャンが必要です。 • 要求が正常に完了しました。操作は成功しました。 • 未定義 – 指定された sys_id が存在しないか、PDF 添付ファイルではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、四角形とキーワードで編集する方法を示しています。編集された PDF では、2 ページで選択した領域がブロックアウトされます。文字列「23」は、見つかったすべてのページで編集されます。

```
var pdfRequest = {
  sysId: 'e4b3ae35fc128210f877789781ea59f3',
  highlightedSections: [
    {
      "pageNumber": 2,
      "x": 261.75,
      "y": 480,
      "width": 21,
      "height": 14.25
    },
    {
      "pageNumber": 2,
      "x": 249,
      "y": 390.75,
      "width": 63.75,
      "height": 15.75
    }
    // Add more coordinates as needed
  ],
  searchedKeywords: ['23']
};

// Convert the JSON object to a string
var jsonRequest = JSON.stringify(pdfRequest);
gs.info('JSON Request: ' + jsonRequest + '\n');

var PDFRedaction = new sn_pdfgeneratorutils.PDFGenerationAPI;
var result = PDFRedaction.redact(jsonRequest);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
JSON Request:
 {"sysId":"e4b3ae35fc128210f877789781ea59f3","highlightedSections":[{"pag
eNumber":2,"x":261.75,"y":480,"width":21,"height":14.25},{"pageNumber":2,
"x":249,"y":390.75,"width":63.75,"height":15.75}],"searchedKeywords":[2
3]}

{"attachment_id":"1744ae35fc128210f877789781ea59fc","message":"Request
 completed successfully.","status":"success"}
```

PdfMergeSignRequestor:スコープ指定、グローバル

PdfMergeSignRequestor API には、署名を表す画像を PDF ドキュメントに追加するメソッドが用意されています。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 sn_pdfgeneratorutils 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、 PDFGenerationAPI を使用して PDF に実装できる署名オブジェクトを作成します。

PdfMergeSignRequestor - PdfMergeSignRequestor()

新しい *PdfMergeSignRequestor* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、 *PdfMergeSignRequestor* オブジェクトを作成する方法を示します。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;
```

PdfMergeSignRequestor - addSignatureMapping(数字 pageNumber, 数字 leftMargin, 数字 topMargin, 数字 boxWidth, 数字 boxHeight, 文字列 sysId)

PDF 内で署名のサイズと位置の要件を割り当てます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageNumber	数字	署名を挿入するページの番号。
leftMargin	数字	署名を挿入するページの左マージン領域を表す値 (ポイント単位)。
topMargin	数字	署名画像を挿入するページの上マージン領域を表す値 (ポイント単位)。
boxWidth	数字	署名を含めるボックスの幅を表す値 (ポイント単位)。
boxHeight	数字	署名画像を含めるボックスの高さを表す値 (ポイント単位)。
sysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の署名画像の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、署名マッピングを追加する方法を示しています。完全な例については、「*processRequest()*」を参照してください。

```
var requestor = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;

// For the purpose of this example, set signature sizes and page number
 for signature placement
var page = 2;
var leftMargin = 48;
var topMargin = 60;
var signatureWidth = 96;
var signatureHeight = 36;

requestor.addSignatureMapping(page, leftMargin, topMargin,
 signatureWidth, signatureHeight, "<signatureSysId>");
```

PdfMergeSignRequestor - createRequest(文字列 **targetSysId**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **tableSysId**, 文字列 **targetFileName)**

ソースとターゲットの入力を使用して署名要求を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
targetSysId	文字列	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。この値を、署名を追加するターゲット PDF として使用します。
targetTable	文字列	PDF が添付されるレコードを含むテーブルの名前。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
tableSysId	文字列	PDF が添付されるレコードの sys_id。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
targetFileName	文字列	拡張子なしのターゲット PDF の名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、署名要求を作成する方法を示します。完全な例については、「*processRequest()*」を参照してください。

```
var requestor = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;

requestor.createRequest("<sys_id>", "tableName", "<tableSysId>",
 "pdfFileName");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PdfMergeSignRequestor:processRequest()

要求を処理して署名を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は各ページのサイズを含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	要求が成功した場合、添付される署名済み PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	可能な値： • sys_id [{0}] の添付ファイルがセキュリティスキャンに合格しなかったため、要求を続行できません。PDF がウイルス対策スキャンに合格しませんでした。 • 署名マッピングが指定されていません。この要求を処理できません – *addSignatureMapping()* メソッドを使用して署名マッピングを指定してください。 • 要求が正常に完了しました。 • 要求が失敗しました。ドキュメントに署名を追加しようとしているときに例外が発生しました。もう一度確認してください。 • 要求されたページが存在しないため、この要求を完了できません。ページ番号：<page number> データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、署名要求を処理する方法を示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var requestor = new sn_pdfgeneratorutils.PdfMergeSignRequestor;

requestor.createRequest("<sys_id>", "tableName", "<tableSysId>",
 pdfFileName);

// For the purpose of this example, set signature sizes and page number
 for signature placement
var page = 6;
var leftMargin = 40;
var topMargin = 50;
var signatureWidth = 188;
var signatureHeight = 44;

requestor.addSignatureMapping(page, leftMargin, topMargin,
 signatureWidth, signatureHeight, "<signatureSysId>");

var result = requestor.processRequest();
gs.info(JSON.stringify(result));
```

PdfPage - スコープ指定、グローバル

PDF ページとサイズ、幅、色などのその属性を表す PdfPage オブジェクトを作成します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

PdfPage - PdfPage(文字列 pageSize, 文字列 orientation)

新しい *`PdfPage`* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageSize	文字列	PDF ページのサイズです。 有効な値： • A4：595 x 842 ポイント • EXECUTIVE：522 x 756 ポイント • LETTER：612 x 792 ポイント • LEDGER：792 x 1224 ポイント
orientation	文字列	オプション。PDF ページの向き。 有効な値： • LANDSCAPE • PORTRAIT デフォルト：PORTRAIT

次の例は、 *`PdfPage`* オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PdfPage – getBottom()

PDF ページの下端の Y 座標を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	PDF ページの下端の Y 座標の十進法の値。

次の例は、PDF ページの下端の Y 座標を取得する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
 var bottom = pdfpage.getBottom();
```

PdfPage – getLeft()

PDF ページの左端の X 座標を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	PDF ページの左端の X 座標の十進法の値。

次の例は、PDF ページの左端の X 座標を取得する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
 var left = pdfpage.getLeft();
```

PdfPage – getPdfPageSize()

PDF ページのサイズを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、PDF ページのサイズを取得する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
var size = pdfpage.getPdfPageSize();
```

PdfPage – getRight()

PDF ページの右端の X 座標を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	PDF ページの右端の X 座標の十進法の値。

次の例は、PDF ページの右端の X 座標を取得する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
 var right = pdfpage.getRight();
```

PdfPage – getTop()

PDF ページの上端の Y 座標を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	PDF ページの上端の Y 座標の十進法の値。

次の例は、PDF ページの上端の Y 座標を取得する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
 var top  = pdfpage.getTop();
```

PdfPage – getWidth()

PDF ページの幅を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数字	ページの幅のサイズ (ポイント単位)。

次の例は、PDF ページの幅を取得する方法を示しています。

```
var pdfpage = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4", "LANDSCAPE");
var width = PdfPage.getWidth();
```

PersonalAuthAPI - スコープ指定

PersonalAuthAPI には、個人認証情報のアクセス/リフレッシュトークンを管理できるメソッドが用意されています。

この API にアクセスするには、個人認証 (com.snc.sn_ihub_personal_auth) プラグインを有効にする必要があります。この API は `sn_cc` 名前空間で実行されます。

この API にアクセスする前に、インスタンスで個人認証を構成する必要があります。詳細については、「接続情報および認証情報エイリアスの作成」を参照してください。

PersonalAuthAPI - PersonalAuthAPI()

新しい PersonalAuthAPI オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次のコード例は、PersonalAuthAPI オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var personalAuthAPI = new sn_cc.PersonalAuthAPI();
```

PersonalAuthAPI - getInitiatorURL (文字列 aliasId)

指定されたエイリアスに関連付けられた個人認証情報の OAuth イニシエーター URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aliasId	文字列	OAuth イニシエーター URL を取得する接続エイリアスまたは資格情報エイリアスのSys_id。接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたエイリアスに関連付けられた個人認証情報の OAuth イニシエーター URL。指定されたエイリアスに個人認証情報が存在しない場合、メソッドは空の文字列を返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var aliasId = "e41b9dd1532102104c4bddeeff7b1250";
var personalAuthAPI = new sn_cc.PersonalAuthAPI();
var result = personalAuthAPI.getInitiatorURL(aliasId);
gs.info(result);
```

出力:

```
/oauth_initiator.do?oauth_requestor_context=oauth_2_0_credentials&oauth_r
equestor=d84b5115532102104c4bddeeff7b12f2&oauth_provider_profile=d84b5115
532102104c4bddeeff7b12ec&response_type=code&personal=true
```

PersonalAuthAPI - isTokenValid(文字列 **aliasId)**

指定されたエイリアスに関連付けられた個人認証情報に有効なアクセス/リフレッシュトークンが存在するかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aliasId	文字列	関連付けられた個人認証情報を確認するための接続エイリアスまたは資格情報エイリアスのSys_id。接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	指定されたエイリアス ID に関連付けられた個人認証情報があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:有効な個人認証情報が存在します。 • false:有効な個人認証情報が存在しません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var aliasId = "e41b9dd1532102104c4bddeeff7b1250";
var personalAuthAPI = new sn_cc.PersonalAuthAPI();
var result = personalAuthAPI.isTokenValid(aliasId);
gs.info(result);
```

出力:

```
true
```

PersonalAuthAPI - revokeToken(文字列 **aliasId)**

指定されたエイリアスに関連付けられている個人認証情報の既存のアクセス/リフレッシュトークンを取り消します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aliasId	文字列	取り消す個人認証情報のアクセス/リフレッシュトークンを持つ接続エイリアスまたは資格情報エイリアスのSys_id。接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	認証情報とメソッド呼び出しのステータスに関する追加情報を取得するために呼び出すことができるメソッドを含むオブジェクト。これらのメソッドは、次にこのメソッドが呼び出されるまで使用できます。 • *<object_name>.getResponseStatus():revokeToken()* メソッド呼び出しのステータス (成功または失敗) を返します。エラーに関する追加情報は、エラーログで確認できます。 • *<object_name>.getExpiryInSeconds():* 関連付けられた認証情報が期限切れになるまでの秒数を返します。この値がゼロ以外の場合、取り消し要求は失敗しました。 • *<object_name>.isAuthenticated()*:個人認証トークンが存在するかどうかを示すブール値を返します。*revokeToken()* メソッドの呼び出しが成功した場合、このメソッドは `false` を返す必要があります。 • *<object_name>.getCredentialId()*:トークンに関連付けられた個人認証情報のsys_idを返します。OAuth 2.0 認証情報 [oauth_2_0_credentials] テーブルにあります。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var aliasId = "e41b9dd1532102104c4bddeeff7b1250";
var personalAuthAPI = new sn_cc.PersonalAuthAPI();
var personalAuthResponse = personalAuthAPI.revokeToken(aliasId);
gs.info(personalAuthResponse.getResponseStatus());
gs.info(personalAuthResponse.getExpiryInSeconds());
gs.info(personalAuthResponse.isAuthenticated());
gs.info(personalAuthResponse.getCredentialId());
```

出力:

```
SUCCESS
0
false
d84b5115532102104c4bddeeff7b12f2
```

PlaybookExperience :スコープ指定

PlaybookExperience API は、プレイブックの実行を処理するためのメソッドを提供します。

この API にはプレイブックエクスペリエンスコアプラグイン (com.glide.playbook_experience.config) が必要であり、 `sn_playbook` 名前空間内で提供されます。

この API では、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルに 1 つ以上の Playbook が必要です。この API を使用するには、Process Automation Designer で実行中のプロセスを表示およびキャンセルするために必要なロールを持っている必要があります。詳細については、「Process Automation Designer」を参照してください。

PlaybookExperience - cancelPlaybooksByParentRecord(GlideRecord parentRecord, 文字列 **cancellationReason**, 文字列 **scopedName**, 文字列 **playbookExperienceId)**

指定された親レコードに対する Playbook 実行をキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentRecord	GlideRecord	Playbook の実行をキャンセルする親レコード。親レコードは、インタラクションレコードやオンボーディングケースレコードなど、Playbook 実行を含むレコードであればどれにでも設定できます。
cancellationReason	文字列	Playbook の実行をキャンセルする理由。
scopedName	文字列	オプション。キャンセルする Playbook のスコープ名。スコープ名は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルから取得した `scope.name` 形式の名前です。これを指定すると、指定された親レコードに対するこの Playbook の実行のみがキャンセルされます。指定しないと、指定された親レコードに対するすべての Playbook の実行がキャンセルされます。
playbookExperienceSysId	文字列	オプション。キャンセルに使用する Playbook Experience [sys_playbook_experience] テーブルの Playbook Experience レコードの sys_id。カスタムアクティビティ状況マッピングを定義した場合は、このパラメーターを使用します。「プレイブックアクティビティステータスマッピング」を参照してください。 デフォルト：グローバルの Playbook Experience レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	キャンセルされた Playbook 実行と、キャンセルできなかったスキップ済み Playbook 実行を含むオブジェクト。 `{ "canceledPlaybookContext": [Array], "skippedPlaybookContext": [Array] }`
<Object>.canceledPlaybookContext	キャンセルされた Playbook 実行のリスト。それぞれの Playbook 実行はアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"canceledPlaybookContext": [{ "can_read": Boolean, "canceled_by": "String", "cancellation_reason": "String", "errors": [Array], "parent_record": "String", "parent_table": "String", "playbook_id": "String", "playbook_table": "String", "scoped_name": "String", "state": {Object}, "sys_id": "String", "title": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>}
	]</pre>

<Object>.canceledPlaybookContext.can_read	現在のユーザーが Playbook 実行レコードを読み取ることができるかどうかを示すフラグ。Playbook 実行レコードを読み取ることができるようにするには、現在のユーザーが親レコードへの読み取りアクセス権を持っている必要があります。 有効な値： • true：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っています。 • false：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っていません。 データタイプ：ブール
<Object>.canceledPlaybookContext.canceled_by	Playbook の実行をキャンセルしたユーザーのユーザー ID。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.cancellation_reason	Playbook の実行をキャンセルしたユーザーによって入力されたキャンセル理由。 データタイプ：文字列

<Object>.canceledPlaybookContext.errors	キャンセルエラーのリスト。各エラーはアレイ内のオブジェクトです。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	  {
	  "message": "String",
	  "type": "String"
	  }
	]</pre>

<Object>.canceledPlaybookContext.errors.message	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.errors.type	エラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.parent_record	Playbook の実行がキャンセルされた親レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.parent_table	親レコードが含まれているテーブルの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.canceledPlaybookContext.sys_playbook_id	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルからの Playbook の sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.table	Playbook が含まれているテーブルの名前。通常は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブル。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.scope	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルからの Playbook のスコープ対象名。`scope.name` の形式です。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.state	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行のステータス。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "displayValue": "String", "value": "String" }`
<Object>.canceledPlaybookContext.state.displayValue	Playbook 実行ステータスの表示値。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.state.value	Playbook 実行ステータスの値。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.sys_id	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行の sys_id。 データタイプ：文字列
<Object>.canceledPlaybookContext.title	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行のラベル。 データタイプ：文字列
<Object>.skippedPlaybookContext	スキップされた Playbook 実行のリスト。それぞれの Playbook 実行はアレイ内のオブジェクトです。オブジェクトプロパティの説明については、*canceledPlaybookContext* アレイを参照してください。 データタイプ：アレイ `"skippedPlaybookContext": [ { "can_read": Boolean, "canceled_by": "String", "cancellation_reason": "String", "errors": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	"parent_record": "String", "parent_table": "String", "playbook_id": "String", "playbook_table": "String", "scoped_name": "String", "state": {Object}, "sys_id": "String", "title": "String" }]

この例では、指定されたインタラクションレコードの特定の Playbook (ここでは Playbook Experience デモ) のすべての実行をキャンセルする方法を示します。このメソッドを UI アクションまたはビジネスルールで使用するには、現在のオブジェクトを parentRecord として渡します。

```
var parentRecord = new GlideRecordUtil().getGR("interaction",
 "d91742531b343010a26c98a1b24bcbe0");

var cancellationReason = "Cancelling this playbook";

// demo playbook from Process Automation Experience Demo store app
var scopedName = "sn_pad_demo.playbook_experience_demo";

// demo playbook experience from Process Automation Experience Demo store
 app
var playbookExperienceId = "a56d8d93ff311010cc0853ea793bf1a6";

var cancelPlaybookReturn =
 sn_playbook.PlaybookExperience.cancelPlaybooksByParentRecord(parentReco
rd, cancellationReason, scopedName, playbookExperienceId);


gs.info(JSON.stringify(cancelPlaybookReturn, null, 2));
```

出力：


```
{
  "canceledPlaybookContext": [
    {
      "can_read": true,
      "sys_id": "d02782533d343010ac50ee17e75d3466",
      "scoped_name": "sn_pad_demo.playbook_experience_demo",
      "canceled_by": "admin",
      "playbook_table": "sys_pd_process_definition",
      "state": {
        "displayValue": "Pending Cancel",
        "value": "PENDING_CANCEL"
      },
      "title": "Playbook Experience Demo",
      "parent_record": "d91742531b343010a26c98a1b24bcbe0",
      "playbook_id": "0d35ee1807301010cc08d9630ad3002a",
      "cancellation_reason": "Cancelling this playbook",
      "parent_table": "interaction",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "errors": []
    }
  ],
  "skippedPlaybookContext": []
}
```

PlaybookExperience：**getPlaybooksForParentRecord(GlideRecord parentRecord)**

指定された親レコードに対する Playbook 実行のリストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentRecord	GlideRecord	Playbook の実行を取得する対象の親レコード。親レコードは、インタラクションレコードやオンボーディングケースレコードなど、Playbook 実行を含められるレコードであればどれにでも設定できます。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	親レコードに対する Playbook 実行のリスト。それぞれの Playbook 実行はアレイ内のオブジェクトです。 `[ { "can_read": Boolean, "canceled_by": "String", "cancellation_reason": "String", "errors": [Array], "parent_record": "String", "parent_table": "String", "playbook_id": "String", "playbook_table": "String", "scoped_name": "String", "state": {Object}, "sys_id": "String", "title": "String" } ]`
<Array>.can_read	現在のユーザーが Playbook 実行レコードを読み取ることができるかどうかを示すフラグ。Playbook 実行レコードを読み取ることができるようにするには、現在のユーザーが親レコードへの読み取りアクセス権を持っている必要があります。 有効な値： • true：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っています。 • false：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っていません。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Array>.canceled_by	Playbook の実行をキャンセルしたユーザーのユーザー **ID**。Playbook がキャンセルされていない場合は空です。 データタイプ：文字列
<Array>.cancellation_reason	Playbook の実行をキャンセルしたユーザーによって入力されたキャンセル理由。Playbook がキャンセルされていない場合は空です。 データタイプ：文字列
<Array>.errors	エラーのリスト。各エラーはアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String" } ]`
<Array>.errors.message	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
<Array>.errors.type	エラーのタイプ。 データタイプ：文字列
<Array>.parent_record	親レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<Array>.parent_table	親レコードが含まれているテーブルの名前。 データタイプ：文字列
<Array>.playbook_id	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルからの Playbook の sys_id。 データタイプ：文字列
<Array>.playbook_table	Playbook が含まれているテーブルの名前。通常は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブル。 データタイプ：文字列
<Array>.scoped_name	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルからの Playbook のスコープ対象名。`scope.name` の形式です。 データタイプ：文字列
<Array>.state	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクト `"state": { "displayValue": "String", "value": "String" }`
<Array>.state.displayValue	Playbook 実行ステータスの表示値。 データタイプ：文字列
<Array>.state.value	Playbook 実行ステータスの値。 データタイプ：文字列
<Array>.sys_id	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行の sys_id。 データタイプ：文字列
<Array>.title	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行のラベル。 データタイプ：文字列

この例は、指定されたインタラクションレコードに対する Playbook 実行を取得する方法を示しています。このメソッドを UI アクションまたはビジネスルールで使用するには、現在のオブジェクトを parentRecord として渡します。

```
var parentRecord = new GlideRecordUtil().getGR("interaction",
 "148776e5818d7410f87701eb89fdc824");
var playbook =
 sn_playbook.PlaybookExperience.getPlaybooksForParentRecord(parentRecor
d);
gs.info(JSON.stringify(playbook, null, 2));
```

出力：

```
[
  {
    "can_read": true,
    "sys_id": "bd87bae50b8d7410807a8ffed6d0909e",
    "scoped_name": "sn_pad_demo.playbook_experience_demo",
    "canceled_by": "",
    "playbook_table": "sys_pd_process_definition",
    "state": {
      "displayValue": "In Progress",
      "value": "IN_PROGRESS"
    },
    "title": "Playbook Experience Demo",
    "parent_record": "148776e5818d7410f87701eb89fdc824",
    "playbook_id": "0d35ee1807301010cc08d9630ad3002a",
    "cancellation_reason": "",
    "parent_table": "interaction",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "errors": []
  }
]
```

PlaybookExperience - parentRecordContainsPlaybook(GlideRecord parentRecord, 文字列 scopedName)

親レコードに Playbook 実行があるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentRecord	GlideRecord	Playbook 実行を確認する対象の親レコード。親レコードは、インタラクションレコードやオンボーディングケースレコードなど、Playbook 実行を含められるレコードであればどれにでも設定できます。
scopedName	文字列	オプション。確認する Playbook のスコープ名。スコープ名は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルから取得した `scope.name` 形式の名前です。これを指定すると、この Playbook の実行のみが確認されます。これを指定すると、すべての Playbook の実行が確認されます。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	親レコードに Playbook 実行があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：親レコードに Playbook 実行がある。 • false：親レコードに Playbook 実行がない。

この例では、指定されたインタラクションレコードに特定の Playbook (ここでは Playbook Experience デモ) の実行があるかどうかを確認する方法を示します。このメソッドを UI アクションまたはビジネスルールで使用するには、現在のオブジェクトを parentRecord として渡します。

```
var parentRecord = new GlideRecordUtil().getGR("interaction",
 "148776e5818d7410f87701eb89fdc824");

// demo playbook from Process Automation Experience Demo store app
var scopedName = "sn_pad_demo.playbook_experience_demo";

var hasPlaybooks =
 sn_playbook.PlaybookExperience.parentRecordContainsPlaybook(parentReco
rd, scopedName);
gs.info(hasPlaybooks);
```

出力：

```
true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PlaybookExperience - restartPlaybook(文字列 **playbookContextId**, 文字列 **laneContextId**, 文字列 **activityContextId**, 文字列 **playbookExperienceId**)

実行は、最初から (プレイブック全体) 再開することも、プレイブックの特定のステージやアクティビティから再開することもできます。

注: 再起動できるのは、[処理中]、[キューに格納]、または [キャンセル待ち] ステータスのプレイブックのみです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
playbookContextId	文字列	再開するプレイブック実行または実行のプレイブックコンテキストレコードのsys_id。プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルにあります。
laneContextId	文字列	オプション。再開するステージ実行または実行のステージコンテキストレコードのsys_id。レーン実行 [sys_pd_lane_context] テーブルにあります。 注: 完了したステージのみ再開できます。
activityContextId	文字列	オプション。再開するアクティビティ実行または実行のアクティビティコンテキストレコードのsys_id。アクティビティ実行 [sys_pd_activity_context] テーブルにあります。 注: 完了したアクティビティのみ再開できます。
playbookExperienceId	文字列	オプション。再起動した実行に使用するプレイブックエクスペリエンスのsys_id。プレイブックエクスペリエンス [sys_playbook_experience] テーブルにあります。カスタムアクティビティ状況マッピングを定義している場合は、このパラメーターを使用します。「プレイブックアクティビティステータスマッピング」を参照してください。 デフォルト:グローバルプレイブックエクスペリエンス

返される内容

プロパティ	説明
オブジェクト	再起動されたプレイブック実行の詳細を含むオブジェクト。 `{ "can_add_activity": Boolean, "can_cancel": Boolean, "can_read": Boolean "can_restart": Boolean, "canceled_by": "String", "cancellation_reason": "String", "errors": [Array] "is_archived": Boolean "parent_record": "String", "parent_table": "String", "playbook_id": "String", "playbook_table": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明

	<pre>"scoped_name": "String",
	"state": {Object},
	"sys_id": "String",
	"title": "String",
	}</pre>

can_add_activity	ユーザーがオプションのアクティビティをプレイブックに追加できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:現在のユーザーは、オプションのアクティビティをプレイブックに追加できます。 • false:現在のユーザーは、プレイブックにオプションのアクティビティを追加できません。 データタイプ：ブーリアン
can_cancel	ユーザーがプレイブックをキャンセルできるかどうかを示すフラグ。 • true:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義がアクティブです。 • false:非アクティブ化されたプレイブックのプロセス定義は非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
can_read	現在のユーザーが Playbook 実行レコードを読み取ることができるかどうかを示すフラグ。Playbook 実行レコードを読み取ることができるようにするには、現在のユーザーが親レコードへの読み取りアクセス権を持っている必要があります。 • true：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っています。 • false：現在のユーザーは Playbook 実行レコードへの読み取りアクセス権を持っていません。 データタイプ：ブーリアン
can_restart	ユーザーがプレイブック、ステージ、またはアクティビティを再起動できるかどうかを示すフラグ。 • true:現在のユーザーは、プレイブック、ステージ、またはアクティビティを再起動できます。 • false:現在のユーザーは、プレイブック、ステージ、またはアクティビティを再起動できません。 データタイプ：ブーリアン
canceled_by	プレイブックの実行をキャンセルしたユーザーの ユーザー **ID** 。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
cancellation_reason	プレイブックの実行をキャンセルしたユーザーが入力したキャンセル理由。 データタイプ：文字列
エラー	再起動エラーのリスト。各エラーはアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String", "type": "String" } ]`
is_archived	プレイブックコンテキストレコードがアーカイブされているかどうかを示すフラグ。true に設定します。この値は変更できません。 可能な値： • true:プレイブックコンテキストレコードがアーカイブされます。 • false:プレイブックコンテキストレコードはアーカイブされません。 データタイプ：ブーリアン
parent_record	プレイブックの実行が再開された親レコードのsys_id。 データタイプ：文字列
parent_table	親レコードが含まれているテーブルの名前。 データタイプ：文字列
playbook_id	プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルからのプレイブックのsys_id。 データタイプ：文字列
playbook_table	Playbook が含まれているテーブルの名前。通常は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブル。 データタイプ：文字列
scoped_name	オプション。再起動するプレイブックのスコープ付きの名前。スコープ名は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルから取得した `scope.name` 形式の名前です。指定した場合、指定された親レコードのこのプレイブックの実行のみが再開されます。指定しない場合、指定された親レコードのすべてのプレイブックのすべての実行が再開されます。 データタイプ：文字列
state	アクティブ化の要求が成功したかどうかを示します。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

プロパティ	説明
	可能な値： • 成功:プレイブックが正常にアクティブ化されました。 • エラー:プレイブックの ID が見つかりませんでした。 `"state": [ { "displayValue": "String", "value": "String" } ]`
state.displayValue	Playbook 実行ステータスの表示値。 データタイプ：文字列
state.value	Playbook 実行ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからのプレイブック実行の sys_id。 データタイプ：文字列
title	プロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行のラベル。 データタイプ：文字列

この例では、プロセス実行 [sys_pd_context] レコード ID 98e4fe04591b4caca59583f7b8e30b0a でプレイブックの実行全体を再開する方法を示します。

```
var gr = new GlideRecord('sys_pd_context');
var found = gr.get('98e4fe04591b4caca59583f7b8e30b0a');
if (found) {
    var result = sn_playbook.PlaybookExperience.restartPlaybook(gr);
    gs.info(JSON.stringify(result));
}
else
    gs.info('invalid pd context');
```

出力:

```
{
 "scoped_name": "global.restart_scriptable_demo",
 "canceled_by": "",
 "can_add_activity": true,
 "playbook_table": "sys_pd_process_definition",
 "can_restart": true,
 "can_cancel": true,
 "title": "Restart scriptable demo",
 "cancellation_reason": "",
 "parent_table": "interaction",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 "can_read": true,
 "sys_id": "98e4fe04591b4caca59583f7b8e30b0a",
 "is_archived": false,
 "state": {
   "displayValue": "In Progress",
   "value": "IN_PROGRESS"
 },
 "parent_record": "b88623beb5e10210f877d783f6f83a46",
 "playbook_id": "12d5a7fab5e10210f877d783f6f83aff",
 "errors": []
}
```

PlaybookExperience - triggerPlaybook(文字列 scopedName, GlideRecord parentRecord)

親レコードの Playbook を開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedName	文字列	開始する Playbook のスコープ名。スコープ名は、プロセス定義 [sys_pd_process_definition] テーブルから取得した `scope.name` 形式の名前です。
parentRecord	GlideRecord	開始する Playbook の親レコード。親レコードは、インタラクションレコードやオンボーディングケースレコードなど、Playbook 実行を含められるレコードであればどれにでも設定できます。

返される内容

タイプ	説明
文字列	親レコードに対して作成されたプロセス実行 [sys_pd_context] テーブルからの Playbook 実行の sys_id。Playbook 実行が正常に作成されなかった場合は null です。

この例は、指定されたインタラクションレコードに対して Playbook を開始する方法を示しています。このメソッドを UI アクションまたはビジネスルールで使用するには、`現在のオブジェクト`を parentRecord として渡します。

```
var parentRecord = new GlideRecordUtil().getGR("interaction",
 "148776e5818d7410f87701eb89fdc824");

// demo playbook from Process Automation Experience Demo store app
var scopedName = "sn_pad_demo.playbook_experience_demo";

var playbookExecution =
 sn_playbook.PlaybookExperience.triggerPlaybook(scopedName,
 parentRecord);
gs.info(playbookExecution);
```

出力：

```
f059958267cdb410952864f0fed358cc
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PolarisUI - スコープ指定

PolarisUI API には、直接 UI ページでネクストエクスペリエンスを有効にするためのメソッドが用意されています。

[直接] フィールドが [選択済み] の場合、UI ページ [sys_ui_page] は直接です。直接 UI ページには共通の HTML ページテンプレートが含まれていないため、ページで使用するすべての CSS と JavaScript を含める必要があります。

直接でない UI ページはすべて、デフォルトで ネクストエクスペリエンス を使用します。

ネクストエクスペリエンスの詳細については、「Next Experience UI」 を参照してください。

PolarisUI API は、`sn_ui` 名前空間内で提供されます。

PolarisUI - canUsePolarisCSS()

現在のページが ネクストエクスペリエンス UI を使用できるかどうかを確認します。

このメソッドは、次のすべての条件が満たされた場合に `true` を返します。

- *sn_ui.PolarisUI.isEnabled()* が `true`である。
- 要求 URL のパラメーター *sysparm_use_polaris* が `false`に設定されていない。
- 参照元の HTTP 要求ヘッダーに `sysparm_use_ Polaris=false` が含まれていない。
- ページまたはその親のプラグインが、ページテーマのサポート [sys_page_theme] テーブルのレコードによって ネクストエクスペリエンス の使用を拒否されていない。

ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合は、このメソッドを使用して、条件付きで動作または Jelly 出力を変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のページで ネクストエクスペリエンス UI を使用できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：現在のページが ネクストエクスペリエンス UI を使用できる。 • false：現在のページが ネクストエクスペリエンス UI を使用できない。

ネクストエクスペリエンス が現在のフォームで実行されている場合、この UI アクションは別のページにリダイレクトされます。

```
var id = current.getUniqueValue();
if (sn_ui.PolarisUI.canUsePolarisCSS())
 action.setRedirectUrl("/now/custom/application/record/" + id);
return "/record.do?sys_id=" + id;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この jelly スクリプトは、ネクストエクスペリエンス を使用して別のスタイルシートをページに設定します。

```
<g:evaluate var="jvar_css_path">
 // Core UI content css record
 var id = "5e8fde63d713310074304187ed61030d";

 if (sn_ui.PolarisUI.canUsePolarisCSS())
  id = "84f03cc87120a00cfab6dd207cb0b72";

 "/" + id + ".cssdbx";
</g:evaluate>
<link href="${jvar_css_path}" rel="stylesheet" type="text/css" />
```

PolarisUI - getBodyClassNames()

ネクストエクスペリエンス UI で使用される CSS クラス名のリストを返します。

UI ページの HTML `<body>` タグでこのメソッドを使用して、ネクストエクスペリエンス が正しくレンダリングするために必要な CSS クラスを設定します。

```
<body class="$[sn_ui.PolarisUI.getBodyClassNames()]">
```

返されるクラス名は、システムプロパティに応じて、またセッションのデバッグ出力が存在するかどうかによって異なります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ネクストエクスペリエンス UI で使用される CSS クラス名のリスト。

この jelly スクリプトは ネクストエクスペリエンス をカスタムの UI ページに追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="true" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide"
 xmlns:g2="null">
    <g2:doctype name="html" />
    <g:inline template="dir_checker.xml"/>
    <html class="${jvar_text_direction}"
 lang="$[gs.getSession().getLanguage()]">
        <head>
            <g:inline template="set_theme_vars.xml" /> <!-- sets
 jvar_theme and jvar_css_cache_key -->
            <g:requires name="styles/css_includes_my_app.css"
 includes="true" params="$[jvar_css_cache_key]" />
            <g:if_polaris>
 <g:then><g:inline template="polarisberg_output.xml"/></g:when>
 <g:else><g:inline template="heisenberg_output.xml" type="css"/></g:else>
             </g:if_polaris>
        </head>
        <body class="$[sn_ui.PolarisUI.getBodyClassNames()]">
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            Your UI page content here
        </body>
    </html>
</j:jelly>
```

PolarisUI - isEnabled()

現在のユーザーに対して ネクストエクスペリエンス UI が有効かどうかを確認します。

このメソッドは、*glide.ui.polaris.experience* システムプロパティと *glide.ui.polaris.use* ユーザー初期設定の両方が **true**に設定されているかどうかを確認します。

- *glide.ui.polaris.experience* はインスタンスで ネクストエクスペリエンス を有効にします。
- これを **false** に設定すると、*glide.ui.polaris.use* が指定されたユーザーに対して ネクストエクスペリエンス を無効にします。

ネクストエクスペリエンスシステムプロパティとユーザー設定の詳細については、「Next Experience システムプロパティ」を参照してください。

注: このメソッドは、現在のページで ネクストエクスペリエンス が無効な場合でも true を返します。このメソッドは、ネクストエクスペリエンス がグローバルで有効になっている場合に、エクスペリエンス全体を条件付きで有効にしたり、別のページにリダイレクトしたりする場合に便利です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーに対して ネクストエクスペリエンス の UI が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：現在のユーザーに対して ネクストエクスペリエンス の UI が有効である。 • false：現在のユーザーに対して ネクストエクスペリエンス の UI が有効でない。

現在のユーザーに対して ネクストエクスペリエンス が有効である場合、この UI ページはユーザーに条件付きメッセージを表示します。

```
<j:if test="${sn_ui.PolarisUI.isEnabled()}">
 <a href="...">Click here to learn more about the new UI changes</a>
</j:if>
```

このビジネスルールでは、ユーザーが ネクストエクスペリエンス でなく コア UI をクリックしてレコードを表示できるレコード表示に情報メッセージが表示されます。ビジネスルールの [条件] フィールドは、`!current.isNewRecord() && sn_ui.PolarisUI.isEnabled() && sn_ui.PolarisUI.canUsePolarisCSS()` に設定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// business rule script field

(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {

 var sysId = current.getUniqueValue();
 gs.addInfoMessage("<a href='/incident.do?sys_id="+ sysId
 +"&sysparm_use_polaris=false'>Click here to load this page in Core
 UI</a>");

})(current, previous);
```

PredictabilityEstimate - グローバル

PredictabilityEstimate API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。このオブジェクトは、データセットのフィールドがどの程度予測可能か、またそのフィールドの予測にどの機能が役立つかという推定を提供します。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

予測可能性推定のセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *DatasetDefinition* API を使用してデータセットを作成します。
2. コンストラクターを使用して予測可能性推定オブジェクトを作成します。
3. *PredictabilityEstimateStore - add()* メソッドを使用して、予測可能性推定オブジェクトを予測可能性推定ストアに追加します。
4. *submitTrainingJob()* メソッドを使用して予測可能性推定をトレーニングします。これにより、*PredictabilityEstimateVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。
5. *PredictabilityEstimateVersion - getResults()* メソッドを使用して推定予測値を取得します。

> **注:** この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

PredictabilityEstimate - PredictabilityEstimate(オブジェクト config)

予測可能性推定を作成します。

同じデータセットで新しい予測可能性推定を取得するには、このコンストラクターを使用し、一意の名前で新しい PredictabilityEstimate オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト 予測可能性の推定。 `{ "dataset": {Object}, "domainName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"minRowCount": "String",
		"predictedFieldName":
		"String",
		"trainingFrequency":
		"String"
		}</pre>

config.dataset	オブジェクト	*DatasetDefinition* 名。
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。 例：`"global"`。
config.inputFieldNames	アレイ	推定の際に考慮される入力フィールド候補 (文字列) のリスト。
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.predictedFieldName	文字列	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。
config.trainingFrequency	文字列	オプション。 モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once

次の例は、推定ジョブを作成して PredictabilityEstimate ストアに追加する方法を示しています。

```
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
  'tableName' : 'incident',
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var myEstimate = new sn_ml.PredictabilityEstimate({
  'label': "predictability estimate",
  'dataset' : myIncidentData,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  'inputFieldNames':['short_description'],
  'predictedFieldName': 'category'
});

var myEstimateName = sn_ml.PredictabilityEstimateStore.add(myEstimate);
```

PredictabilityEstimate - cancelTrainingJob()

のジョブをキャンセルします。 予測可能性推定オブジェクト トレーニングのために送信された

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var myEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_sn_global_global_predictabilit
y_estimate');

myEstimate.cancelTrainingJob();
```

PredictabilityEstimate - getActiveVersion()

アクティブな *PredictabilityEstimateVersion* オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *PredictabilityEstimateVersion* オブジェクト。

次の例は、 *PredictabilityEstimate* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_predictabi
lity_estimate');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getActiveVersion().getStatu
s()), null, 2));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "state": "predictability_estimate_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

PredictabilityEstimate - getAllVersions()

のすべてのバージョンを取得します 予測可能性推定。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューションオブジェクトの既存のバージョン。関連項目 *PredictabilityEstimateVersion* API。

次の例は、すべての *PredictabilityEstimate* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* と *getStatus()* の推定バージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_predictabi
lity_estimate');

var mlEstimateVersions = mlEstimate.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlEstimateVersions.length; i++) {
gs.print("Version " + mlEstimateVersions[i].getVersionNumber() + "
 Status: " + mlEstimateVersions[i].getStatus() +"\n");
};
```

出力：

```
Version 3 Status:
 {"state":"predictability_estimate_complete","percentComplete":"100","has
JobEnded":"true"}

Version 2 Status:
 {"state":"predictability_estimate_complete","percentComplete":"100","has
JobEnded":"true"}

Version 1 Status:
 {"state":"predictability_estimate_cancelled","percentComplete":"0","hasJ
obEnded":"true"}
```

PredictabilityEstimate - getLatestVersion()

の最新バージョンを取得します 予測可能性推定。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*PredictabilityEstimateVersion* の最新バージョンに対応するオブジェクト *PredictabilityEstimate()* です。

次の例は、予測可能性推定を取得して、そのトレーニングステータスを返す方法を示しています。

```
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_predictability_estimate');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getLatestVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "predictability_estimate_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

PredictabilityEstimate - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	推定オブジェクトの名前。

次の例は、 *PredictabilityEstimate* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update estimate
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var myEstimate = new sn_ml.PredictabilityEstimate({
   'label': "my estimate",
   'dataset' : myIncidentData,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   'inputFieldNames':['short_description'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update estimate
sn_ml.PredictabilityEstimateStore.update('ml_x_snc_global_global_my_defin
ition_4', myEstimate);

// print estimate name
gs.print('Estimate Name: '+myEstimate.getName());
```

出力：

```
Estimate Name: ml_x_snc_global_global_my_definition_4
```

PredictabilityEstimate - getProperties()

予測可能性推定オブジェクトのプロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*PredictabilityEstimateStore* 内のデータセットと *PredictabilityEstimate()* オブジェクトの詳細の内容。 `{ "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "name": "String", "predictedFieldName": "String", "scope": "String", "trainingFrequency": "String" }`
<Object>.datasetProperties	推定に関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。 `{ "encodedQuery": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre>"fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }</pre>
<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：<code>"tableName" : "Incident"</code> データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：<code>"fieldNames" : ["short_description", "priority"]</code> データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 <pre>[{ "name": "String", "type": "String" }]</pre> データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス「」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列。
<Object>.inputFieldNames	推定の際に考慮される入力フィールド候補 (文字列) のリスト。 データタイプ：文字列。
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内の 予測可能性推定オブジェクト のプロパティを取得します。

```
var mySolution =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_sn_global_global_predictabilit
y_estimate');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mySolution.getProperties()), null,
 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "datasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "category",
      "short_description",
      "priority",
      "assignment_group.name"
    ],
    "fieldDetails": [
      {
        "name": "category",
        "type": "nominal"
      },
      {
        "name": "short_description",
        "type": "text"
      }
    ]
  },
  "domainName": "global",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "label": "my estimate definition",
  "name": "ml_x_snc_global_global_my_definition_26",
  "predictedFieldName": "category",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "trainingFrequency": "run_once"
}
```

PredictabilityEstimate - getVersion(文字列 **version)**

指定されたバージョン番号を使用します。予測可能性推定を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	ソリューションの既存のバージョン番号 予測可能性推定。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*PredictabilityEstimateVersion* API メソッドを呼び出せる *PredictabilityEstimate()* オブジェクトの指定されたバージョン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測可能性推定をバージョン番号ごとに次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータス。

```
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_predictability_estimate');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getVersion('1').getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "predictability_estimate_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

PredictabilityEstimate - setActiveVersion(文字列 version)

ストア内の指定されたバージョンの予測可能性推定をアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *PredictabilityEstimate()* オブジェクトのバージョンの名前。 このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内の予測可能性推定バージョンを有効にする方法を示しています。

```
sn_ml.PredictabilityEstimate.setActiveVersion("ml_x_snc_global_global_my_estimate_definition");
```

PredictabilityEstimate - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

> **注:** このメソッドを実行する前に、まず *PredictabilityEstimateStore - add()* メソッドを使用して、ストアに予測可能性推定を追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*PredictabilityEstimateVersion* に対応するオブジェクト 予測可能性の見積もり トレーニング対象

予測可能性推定を次の例は、データセットを作成してソリューションに適用し、をストアに追加して、トレーニングジョブを送信する方法を示しています。に追加します

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create an estimate
var myEstimate = new sn_ml.PredictabilityEstimate({

  'label': "my estimate definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the estimate to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.PredictabilityEstimateStore.add(myEstimate);

// Train the estimate - this is a long running job
var myEstimateVersion = myEstimate.submitTrainingJob();
```

PredictabilityEstimateStore - グローバル

の保存と取得を有効にします予測可能性推定。

PredictabilityEstimateStore API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

PredictabilityEstimateStore - add(オブジェクト mlEstimate)

新しい予測可能性推定をオブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。に追加

> **注:** ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlEstimate	PredictabilityEstimate	ストアに追加する PredictabilityEstimate()

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成された予測可能性推定の名前。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示しています予測可能性推定ソリューションPredictabilityEstimate - submitTrainingJob()ストアに追加した後にトレーニングジョブを実行します。 を使用

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create an estimate
var myEstimate = new sn_ml.PredictabilityEstimate({

  'label': "my estimate definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the estimate to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.PredictabilityEstimateStore.add(myEstimate);
```

PredictabilityEstimateStore - deleteObject(文字列 name)

指定された予測可能性推定オブジェクトをストアから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	PredictabilityEstimate()削除するオブジェクト。の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアから予測可能性推定を削除する方法を示しています。

```
sn_ml.PredictabilityEstimateStore.deleteObject("ml_sn_global_global_estimate");
```

PredictabilityEstimateStore - get(文字列 name)

予測可能性推定オブジェクトをストアから取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストアにある予測可能性推定の名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*PredictabilityEstimate* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

次の例は、*get()* メソッドを使用してストアから予測可能性推定オブジェクトを取得し、PredictabilityEstimate - getActiveVersion() および PredictabilityEstimateVersion - getStatus() メソッドを使用してそのトレーニングステータスを表示する方法を示しています。

```
// Get status
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getActiveVersion().getStatus(), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

PredictabilityEstimateStore - getAllNames(オブジェクト **options)**

ストア内のすべての予測可能性推定定義レコードの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String", "domainName": "String", "scope": "String" };`
options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の予測可能性推定オブジェクトの名前を表す文字列のリスト。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.PredictabilityEstimateStore.getA
llNames()), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate_1",
  "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate",
  "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate_2",
  "ml_x_snc_global_global_my_estimate_definition"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my estimate definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.PredictabilityEstimateStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_estimate_definition"
]
```

PredictabilityEstimateStore - update(文字列 name, オブジェクト mlEstimate)

ストア内の予測可能性推定オブジェクトを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新する予測可能性推定の名前。
mlEstimate	*PredictabilityEstimate*	更新するオブジェクトプロパティ。PredictabilityEstimate()

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアで予測可能性推定を更新する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var estimateUpdate = new sn_ml.PredictabilityEstimate({
  'label': 'my estimate definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.PredictabilityEstimateStore.update('ml_sn_global_global_incident_service', estimateUpdate);
```

PredictabilityEstimateVersion - グローバル

PredictabilityEstimateVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

この API は、PredictabilityEstimate ストア内の PredictabilityEstimate API オブジェクトに基づいて予測可能性推定バージョンを操作する場合に使用します。

トレーニングを完了すると、最新バージョンの予測可能性推定がアクティブ化され、一度に 1 つのバージョンのみがアクティブになります。ただし、予測を行うために使用したい以前にトレーニングされたバージョンをアクティブ化することができます。

この API のメソッドは、次の *PredictabiltyEstimate* メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

PredictabilityEstimateVersion - getProperties()

予測可能性推定オブジェクトのプロパティバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットと PredictabilityEstimate バージョンの詳細の内容。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "name": "String", "predictedFieldName": "String", "scope": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "trainingFrequency": "String",
	  "versionNumber": "Number"
	}</pre>

<Object>.datasetProperties	予測可能性推定に関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。
	<pre>{
	  "encodedQuery": "String",
	  "fieldDetails": [Array],
	  "fieldNames": [Array],
	  "tableName": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト。

<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。

<Object>.datasetProperties.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。
	<pre>[
	  {
	  "name": "String",
	  "type": "String"
	  }
	]</pre>
	データタイプ：アレイ。

<Object>.datasetProperties.fieldDetails.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.encodedQuery	標準の GlideRecord 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.inputFieldNames	推定の際に考慮される入力フィールド候補 (文字列) のリスト。 データタイプ：文字列。
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。
<Object>.versionNumber	のバージョン番号 *PredictabilityEstimate* オブジェクト。 データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Get properties
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getActiveVersion().getPrope
rties()), null, 2));
```

出力：

```
"datasetProperties": {
    "encodedQuery": "activeANYTHING^EQ",
    "fieldNames": [
      "short_description",
      "category"
    ],
    "tableName": "incident"
  },
  "domainName": "global",
  "inputFieldNames": [
    "short_description"
  ],
  "isActive": "true",
  "label": "Incident Categorization_Trainer",
  "name": "ml_incident_categorization",
  "predictedFieldName": "category",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "versionNumber": "1"
}
```

PredictabilityEstimateVersion - getResults()

出力フィールドに対して提案された入力フィールドを含む JSON の結果を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	出力フィールドに対して提案された入力フィールドオプションを含む JSON オブジェクトの結果。
<Object>.<output field name>	提案された入力フィールドを含む出力フィールド名 (例：`category`)。 `{ "<output field name>": { "nominalInputFields": [Array], "textInputFields": [Array]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> } }</pre> データタイプ：オブジェクト

<Object>.<output field name>.nominalInputFields	標準的な入力フィールドの詳細。
	<pre>"nominalInputFields": [
	      {
	        "fieldName": "String",
	        "modelImprovement":
	"String"
	      }
	    ]</pre>
	データタイプ：アレイ。

<Object>.<output field name>.nominalInputFields.fieldName	標準的な入力フィールド名。 データタイプ：文字列。
<Object>.<output field name>.nominalInputFields.modelImprovement	このフィールドが結果を改善する可能性を相対的に示すスコア。 データタイプ：文字列としての数字。

<Object>.textInputFields	テキスト入力フィールドの詳細。
	<pre>"textInputFields": [
	      {
	        "fieldName": "String",
	        "density": "String"
	      }
	    ]</pre>
	データタイプ：アレイ。

<Object>.textInputFields.fieldName	テキスト入力フィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.textInputFields.density	フィールドが空でない頻度を表す 0 ～ 1.0 の値。1.0 の値はフィールドがすべての行で空でないことを意味し、0 の値はフィールドがすべての行で空であることを示します。 データタイプ：文字列としての数字。

次の例は、ストア内にある選択したバージョンの予測可能性推定に対する結果を取得する方法を示しています。

```
// Get results
var estimateName = "ml_x_snc_global_global_predictability_estimate;"
var mlEstimate = sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get(estimateName);
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var results = mlEstimate.getActiveVersion().getResults();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

出力：

```
{
  "category": {
    "nominalInputFields": [
      {
        "fieldName": "number",
        "modelImprovement": "0.167052396325189"
      },
      {
        "fieldName": "task_effective_number",
        "modelImprovement": "0.167052396325189"
      }
    ],
    "textInputFields": [
      {
        "fieldName": "short_description",
        "density": "1.0"
      }
    ]
  }
}
```

PredictabilityEstimateVersion - getStatus(ブーリアン **includeDetails)**

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	PredictabilityEstimate オブジェクト のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "details": {Object} }</pre>
<Object>.state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded* プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete` • `training_request_received` • `training_request_timed_out` (terminal) • `training_solution` • `Uploading_solution` • `waiting_for_training` データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Get status
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getActiveVersion().getStatu
s(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Solution Complete"} // This information is only
 returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_my_estimat
e_definition');
var trainingStatus = mlEstimate.getLatestVersion().getStatus();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

PredictabilityEstimateVersion - getVersionNumber()

予測可能性推定オブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

```
// Get version number
var mlEstimate =
 sn_ml.PredictabilityEstimateStore.get('ml_x_snc_global_global_predictabi
lity_estimate');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlEstimate.getActiveVersion().getVersionNumb
er()), null, 2));
```

出力：

```
Version number: 1
```

PreferenceDestination - スコープ指定、グローバル

PreferenceDestination API は、ユーザーの通知設定を更新します。

通知の宛先は、特定のメールアドレスや電話番号など、通知を配信できる場所です。この API は、通知 [sys_notification] テーブルからの通知に基づいています。通知は、メールや ワークスペース などのチャネルを介して送信されます。チャネルを使用して、複数のタイプの宛先に通知を送信できます。たとえば、メールチャネルは、個人用メールと仕事用メールの両方の宛先に通知を送信できます。宛先タイプは、通知宛先タイプ [sys_notif_destination_type] テーブルにリストされています。

ユーザーは自分の通知設定を更新でき、管理者は任意のユーザーの通知設定を更新できます。ユーザー通知設定は、どの宛先がどの通知を受信するかを制御します。

この API は *Preferences* API で使用します。このクラスのメソッドを呼び出す前に、 *Preferences.getDestinations()* メソッドまたは *Preferences.getDestinationsByChannel()* メソッドを呼び出して、PreferenceDestination オブジェクトをインスタンス化する必要があります。

このクラスは、 `sn_notification` 名前空間識別子を使用します。

PreferenceDestination - getChannel()

宛先への通知の送信に使用されるチャネルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	宛先への通知の送信に使用されるチャネルの通知チャネル [sys_notification_channel] テーブルからの GlideRecord。

この例では、Abel Tuter さんの宛先それぞれに通知を送信するために使用されるチャネルを出力します。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
for (var i=0; i<dests.length; i++) {
     gs.print('Channel for destination '+(i+1)+' is
 '+dests[i].getChannel().name);
}
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Channel for destination 1 is Workspace
```

PreferenceDestination - getDeliverTo()

宛先の識別子を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	宛先の識別子。たとえば、メールアドレス、プッシュアプリケーションのインストールトークン、sys_id など。

この例では、Abel Tuter の各宛先の識別子を出力します。出力は、Abel の ワークスペース 宛先の識別子がユーザーの sys_id であることを示しています。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
for (var i=0; i<dests.length; i++) {
     gs.print('The identifier for '+recipient.first_name+'\'s
 '+dests[i].getDestinationType().name+' destination is
 '+dests[i].getDeliverTo());
}
```

出力：

```
The identifier for Abel's Workspace destination is
 62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1
```

PreferenceDestination - getDestinationType()

宛先のタイプ (個人用メールや仕事用メールなど) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	宛先タイプの通知宛先タイプ [sys_notif_destination_type] テーブルからの GlideRecord。

この例では、Abel Tuter の各宛先の識別子を出力します。出力は、Abel の ワークスペース 宛先の識別子がユーザーの sys_id であることを示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
for (var i=0; i<dests.length; i++) {
     gs.print('The identifier for '+recipient.first_name+'\'s
 '+dests[i].getDestinationType().name+' destination is
 '+dests[i].getDeliverTo());
}
```

出力：

```
The identifier for Abel's Workspace destination is
 62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1
```

PreferenceDestination - isActive(GlideRecord 通知)

宛先に通知を受信する権限があるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notification	GlideRecord	オプション。宛先にその通知を受信する権限があるかどうかを確認する通知を指定します。通知が存在しない場合、または宛先のユーザーが通知を読み取れない場合は、例外がスローされます。通知が指定されない場合、このメソッドは宛先に任意の通知を受信する権限があるかどうかを確認します。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	宛先に通知を受信する権限があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：宛先に通知を受信する権限があります。 • false：宛先に通知を受信する権限がありません。

この例では、Abel Tuter さんの宛先それぞれに承認要求の通知を受信する権限があるかどうかを確認します。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
var notif = new GlideRecord('sys_notification');
notif.get('name', 'Approval Request');
for (var i=0; i<dests.length; i++) {
   var active = dests[i].isActive(notif) ? 'active' : 'inactive';
   gs.print(dests[i].getDestinationType().name + ' ' +
 dests[i].getDeliverTo() + ' is ' + active + ' for this notification');
}
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Workspace 62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1 is active for this
 notification
```

PreferenceDestination - isOverriden(GlideRecord 通知)

通知が宛先のユーザー設定を無視するかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notification	GlideRecord	宛先のユーザー設定を無視するかどうかを確認する対象の通知を指定します。この通知は、通知 [sys_notification] テーブルの GlideRecord である必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	通知が宛先のユーザー設定を無視するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：この通知では、宛先のユーザー設定が無視されます。 • false：ユーザー初期設定によって宛先が通知を受信するかしないかが決まります。

この例では、承認要求通知が Abel Tuter の宛先の 1 つのユーザー初期設定を上書きするかどうかを確認します。通知がユーザー設定を上書きしない場合は、宛先に通知を受信する権限が付与されます。それ以外の場合は、通知が設定を上書きするので、初期設定は設定されません。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
var notif = new GlideRecord('sys_notification');
notif.get('name', 'Approval Request');
var firstDest = dests[0];
if (!firstDest.isOverridden(notif)) {
     dests[0].setActive(notif, true);
} else {
     gs.print('This notification overrides user preference, so don't
 bother to set a preference.');
}
```

PreferenceDestination - setActive(GlideRecord 通知, ブーリアン active)

宛先で通知を受信するかどうかのユーザー初期設定を設定します。

isOverriden() メソッドを最初に呼び出せばユーザー初期設定が無視されるかどうかを確認できますが、必須ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
notification	GlideRecord	オプション。通知を指定すると、宛先でその通知を受信するかどうかのユーザー初期設定が設定されます。この通知は、通知

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		[sys_notification] テーブルの GlideRecord である必要があります。通知を指定しないと、宛先ですべての通知を受信するかどうかのユーザー初期設定が設定されます。
active	ブーリアン	宛先に通知を受信する権限があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：宛先に通知を受信する権限があります。 • false：宛先に通知を受信する権限がありません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、承認要求通知が Abel Tuter の宛先の 1 つのユーザー初期設定を上書きするかどうかを確認します。通知がユーザー設定を上書きしない場合は、宛先に通知を受信する権限が付与されます。それ以外の場合は、通知が設定を上書きするので、初期設定は設定されません。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
var notif = new GlideRecord('sys_notification');
notif.get('name', 'Approval Request');
var firstDest = dests[0];
if (!firstDest.isOverridden(notif)) {
     dests[0].setActive(notif, true);
} else {
     gs.print('This notification overrides user preference, so don't
 bother to set a preference.');
}
```

Preferences - スコープ指定、グローバル

Preferences API は、ユーザーの通知宛先を取得します。

通知の宛先は、特定のメールアドレスや電話番号など、通知を配信できる場所です。この API は、通知 [sys_notification] テーブルからの通知に基づいています。通知は、メールや ワークスペース などのチャネルを介して送信されます。チャネルを使用して、複数のタイプの宛先に通知を送信できます。たとえば、メールチャネルは、個人用メールと仕事用メールの両方の宛先に通知を送信できます。宛先タイプは、通知宛先タイプ [sys_notif_destination_type] テーブルにリストされています。

この API を *PreferenceDestination* API とともに使用して、ユーザー通知設定を更新します。

このクラスは、 `sn_notification` 名前空間識別子を使用します。

Preferences - Preferences(GlideRecord recipient)

指定されたユーザーの初期設定オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
recipient	GlideRecord	通知宛先を取得するユーザーに対するユーザー sys_user テーブルの GlideRecord。

この例では、ユーザーである Abel Tuter さんの初期設定オブジェクトをインスタンス化します。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
```

Preferences - getDestinations()

ユーザーの通知宛先を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	*PreferenceDestination* オブジェクトのアレイ。ユーザーに宛先がない場合、アレイは空です。

この例では、Abel Tuter さんのすべての通知宛先を取得します。出力は、Abel さんの宛先が 1 つであることを示しています。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var dests = prefs.getDestinations();
gs.print(dests);
```

出力：

```
[object PreferenceDestination]
```

Preferences - getDestinationsByChannel(GlideRecord チャネル)

指定したチャネルを使用するユーザーの通知宛先を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
channel	GlideRecord	フィルタリングを行うチャネルに対する通知チャネル [sys_notification_channel] テーブルからの GlideRecord。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	*PreferenceDestination* オブジェクトのアレイ。ユーザーがチャネルを使用する通知宛先を持っていない場合、またはチャネルが存在しない場合、アレイは空です。

この例では、ワークスペースチャネルを使用する Abel Tuter さんのすべての宛先を取得します。出力は、ワークスペースチャネルを使用する Abel さんの宛先が 1 つであることを示しています。

```
var recipient = new GlideRecord('sys_user');
recipient.get('last_name', 'Tuter');
var prefs = new sn_notification.Preferences(recipient);
var channel = new GlideRecord('sys_notification_channel');
channel.get('name', 'Workspace');
var dests = prefs.getDestinationsByChannel(channel);
gs.print(dests);
```

出力：

```
[object PreferenceDestination]
```

ProactiveTriggerAPI :スコープ指定

ProactiveTriggerAPI を使用すると、指定したユーザーにコンテキスト固有のメッセージを送信するサーバー側トリガーを作成できます。

この API は、ルールとそれらのルールに基づく関連アクションを使用して、ユーザーにメッセージを送信します。これらのルールとアクションはコンテキスト固有であり、ユーザーがポータルページ間を移動するときに収集されるリアルタイムデータに基づいています。詳細については、「プロアクティブトリガー」を参照してください。

この API を使用する前に、トリガータイプ、ルール、およびアクションをインスタンスで構成する必要があります。プロアクティブトリガーの構成方法については、「プロアクティブトリガー の構成」を参照してください。

この API を使用すると、特定のユーザーまたは特定のセッションのユーザーにメッセージを送信できます。

たとえば、顧客が買い物かごにアイテムを追加した場合、指定された時間が経過するとチェックアウトを完了するようにユーザーにリマインダーを送信する プロアクティブトリガー イベントをビジネスルール内に持つことができます。

同様に、ユーザーがサービスポータルからAI 検索を実行しても結果が返されない場合、プロアクティブポップオーバーメッセージ Web クライアントを介してユーザーに代替オファリングを送信するプロアクティブトリガーを作成するロジックをビジネスルールに含めることができます。

ProactiveTriggerAPI を呼び出す場合、メソッドを呼び出す必要がある特定のシーケンスがあります。この API は `sn_pt` 名前空間で実行されます。

まず、 ProactiveTriggerAPI - createTrigger(文字列 triggerTypeId) メソッドを呼び出して、作成するトリガーの種類を指定する必要があります。この呼び出しは必須です。使用可能なトリガータイプのリストについては、「 プロアクティブトリガー の仕組み」を参照してください。

次に、メッセージの送信先のユーザーを識別するメソッドの 1 つを呼び出す必要があります。これを行うには、次のいずれかのメソッドを呼び出します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ProactiveTriggerAPI - setUserId(文字列 userId):関連付けられたユーザー [sys_users] レコードのsys_idでユーザーを識別します。
- ProactiveTriggerAPI - setUserName(文字列 userName):「abel.tuter」などのユーザー名でユーザーを識別します。
- ProactiveTriggerAPI - setUserSessionId(文字列 userId):現在のセッションsys_idでユーザーを識別します。

次に、 ProactiveTriggerAPI - setTriggerRecord(文字列 triggerRecord) メソッドを呼び出して、プロアクティブトリガーのルールとアクションを適用するトリガーレコードを指定する必要があります。

最後に、 ProactiveTriggerAPI - process() メソッドを呼び出して呼び出しチェーンを実行します。*`setTriggerRecord()`* メソッド呼び出しと *`process()`* メソッド呼び出しの両方が必要です。

例：

```
var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
  .setUserName(userName).setTriggerRecord(userId).process();
```

ProactiveTriggerAPI - createTrigger(文字列 triggerTypeId)

サーバー側の プロアクティブトリガー イベントを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
triggerTypeId	文字列	作成するトリガータイプの一意の ID。プロアクティブトリガータイプ [sys_cs_ptrigger_trigger_type] テーブルの ID フィールドにあります。 例: `triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event"`

返される内容

パラメーター	説明
なし	

次のビジネスルールは、ビジネスルール内で *`createTrigger()`* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";
  var userId = current.getValue("user");

  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserId(userId).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ProactiveTriggerAPI - process()

指定された プロアクティブトリガー API 要求を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
sys_id	作成されたプロアクティブトリガーイベントレコードのSys_id。プロアクティブイベント [sys_cs_ptrigger_event] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

次のビジネスルールは、 *process()* メソッドを呼び出して、指定された プロアクティブトリガー API 要求を実行する方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";
  var userId = current.getValue("user");

  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserId(userId).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

ProactiveTriggerAPI - setTriggerRecord(文字列 triggerRecord)

プロアクティブトリガーのルールとアクションを適用するトリガーレコードを設定します。

これらのルールとアクションは、プロアクティブトリガータイプ [sys_cs_ptrigger_trigger_type] テーブルにある関連するトリガータイプレコードで定義されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トリガーレコード	文字列または GlideRecord	関連するプロアクティブトリガーのルールとアクションを適用するトリガーレコードのSys_idまたは GlideRecord。トリガーレコードは、 *createTrigger()* メソッド呼び出しで指定されたトリガータイプレコードの trigger_table フィールドで指定されたテーブルにあります。 たとえば、 *createTrigger()* 呼び出しで AI 検索イベントトリガータイプが指定されている場合、トリガーテーブルは検索イベント [sys_search_event] テーブルです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 通常、このテーブルは、ビジネスルールの実行の原因となったテーブルと同じです。同じでない場合は、このsys_idを GlideRecord に追加して、このメソッドに渡すことができるようにする必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のビジネスルールは、 *setTriggerRecord()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";
  var userId = current.getValue("user");

  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserId(userId).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

ProactiveTriggerAPI - setUserId(文字列 **userId)**

ユーザー ID を使用して、関連付けられた プロアクティブトリガー イベントによって生成されたメッセージの送信先ユーザーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	関連付けられた プロアクティブトリガー メッセージの送信先のユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルまたは関連する GlideRecord にあります。

返される内容

パラメーター	説明
なし	

次のコード例は、現在の GlideRecord の user フィールドの値を使用して *setUserId()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";
  var userId = current.getValue("user");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserId(userId).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

ProactiveTriggerAPI - setUserName(文字列 **userName)**

ユーザー名を使用して、関連付けられた プロアクティブトリガー イベントによって生成されたメッセージの送信先ユーザーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userName	文字列	プロアクティブメッセージの送信先のユーザーの名前。この名前は、ユーザー [sys_user] テーブルの [ユーザー ID] フィールド (「abel.tuter」など) に関連付けられている必要があります。

返される内容

パラメーター	説明
なし	

次のビジネスルールは、現在の GlideRecord の sys_created_by フィールドの値を使用して *`setUserName()`* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";

  // User name of the user to whom to send the proactive message.
  var userName = current.getValue("sys_created_by");

  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserName(userName).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

ProactiveTriggerAPI - setUserSessionId(文字列 **userId)**

関連付けられた プロアクティブトリガー イベントにユーザーセッション ID を設定します。この方法を使用する場合、プロアクティブメッセージは、特定のセッションに関連付けられた特定のユーザーにのみ送信されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ユーザーセッション ID	文字列	プロアクティブトリガーメッセージの送信先ユーザーの現在のセッションのSys_id。 **注:** すべてのテーブルにセッション ID が含まれているわけではありません。このエンドポイントを使用する前に、参照しているテーブルに有効なセッション ID が含まれていることを確認してください。そうでない場合は、使用可能な最新のセッション ID が使用され、誤った結果が生じる可能性があります。

返される内容

パラメーター	説明
なし	

次のビジネスルールは、現在の GlideRecord のセッションフィールドの値を使用して *setUserSessionId()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var triggerTypeId = "sn_pt.ai_search_event";
  var sessionId = current.getValue("session");

  var eventSysId = sn_pt.ProactiveTriggerAPI.createTrigger(triggerTypeId)
       .setUserSessionId(sessionId).setTriggerRecord(current).process();

  // Returns the Proactive Trigger Event record's sys_id
  gs.info("Proactive Trigger Event Sys Id:"+ eventSysId);

} catch (e) {
    gs.info("error:"+e); // Log the error.
}
```

ProbeHandlerCim - グローバル

ProbeHandlerCim スクリプトインクルードは、共通情報モデル (CIM) プローブを構成するためのメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、CIM プローブを設定する必要がある任意のサーバー側スクリプトで使用できます。

ProbeHandlerCim - getCimQueries()

フェッチする CIM フィールドを含む文字列を返します

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	フェッチする CIM フィールド

ProbeHandlerCim - getNamespace()

CIM の名前空間を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	名前空間

ProbeHandlerCim - getParameters()

このプローブハンドラーによって追加されたパラメーターのハッシュマップを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	パラメーターのハッシュマップ

ProbeHandlerCim - run()

プローブを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerCim - setProbeParameters(オブジェクト **params)**

プローブのパラメーターを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
params	オブジェクト	追加するパラメーター

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerMulti - グローバル

ProbeHandlerMulti スクリプトインクルードは、マルチプローブのプローブハンドラーです。

このスクリプトインクルードは、value_scripts を持つプローブパラメーターと、JavaScript プローブでは機能しません。

このスクリプトインクルードは、マルチプローブを設定する必要があるサーバー側スクリプトで使用できます。

ProbeHandlerMulti - addParameters(文字列 parent, 文字列 sysID, GlideRecord probe)

指定のプローブのパラメーターテーブルから取得された指定の XML 親要素に、プローブパラメーターを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	文字列	パラメーターを追加する XML 親要素。
sysID	文字列	パラメーターを取得するプローブの sys_id。
probe	GlideRecord	プローブのオプションの GlideRecord。これが存在し、プローブハンドラーがある場合は呼び出されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerMulti - addProbes(文字列 parent, 文字列 sysID)

このマルチプローブのプローブをドキュメントに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	文字列	プローブを追加する XML 親要素。
sysID	文字列	マルチプローブの sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerMulti - run()

プローブを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerMulti - runProbeHandler(文字列 **params**, 文字列 **sysID**, **GlideRecord probe)**

指定されたプローブの GlideRecord が存在し、プローブハンドラーが含まれている場合は、プローブハンドラーを実行し、作成されたパラメーターを指定のパラメーター要素に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
params	文字列	パラメーターを追加する XML 親要素。
sysID	文字列	パラメーターを取得するプローブの sys_id。
probe	GlideRecord	プローブのオプションの GlideRecord。これが存在し、プローブハンドラーがある場合は呼び出されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerMulti - setParameter(文字列 **parent**, 文字列 **name**, 文字列 **value)**

指定された XML パラメーター要素の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parent	文字列	パラメーターを追加する XML 親要素。
name	文字列	設定するパラメーターの名前
value	文字列	パラメーターを設定する値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - グローバル

*ProbeHandlerSNMP*スクリプトインクルードは、SNMP プローブが作成されようとしているときに呼び出される、SNMP プローブのディスカバリープローブハンドラーです。

このスクリプトインクルードは、SNMP プローブを設定する必要がある任意のサーバー側スクリプトで使用できます。

ProbeHandlerSNMP - addBoolean(文字列 **dbName**, 文字列 **paramName**, 文字列 **paramMap)**

パラメーターマップにブーリアン値を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dbName	文字列	データベース名
paramName	文字列	パラメーター名
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addDebug(文字列 **paramMap)**

プローブハンドラーにデバッグを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addJavascriptHandlers(文字列 **paramMap)**

JavaScript ハンドラーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addOIDAutoResolve(文字列 **paramMap)**

OID 自動解決を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addOIDSpec(文字列 **paramMap)**

OID 仕様をパラメーターマップに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addSensorHandler(文字列 **paramMap)**

センサーハンドラーを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addStage(文字列 **paramMap)**

パラメーターマップにステージを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - addTimingSpecs(文字列 **paramMap)**

タイミングの仕様をパラメーターマップに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paramMap	文字列	パラメーターマップ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - getParameters()

このプローブハンドラーによって追加されたパラメーターを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	このプローブハンドラーによって追加されたパラメーターのハッシュマップ。

ProbeHandlerSNMP - run()

プローブを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerSNMP - setProbeParameters(文字列 **params)**

指定された XML パラメーター要素の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
params	文字列	プローブのパラメーター

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerWMI - グローバル

ProbeHandlerWMI スクリプトインクルードは、Windows Management Instrumentation (WMI) プローブのディスカバリープローブハンドラーです。

このスクリプトインクルードは、WMI プローブを設定する必要があるサーバー側スクリプトで使用できます。

ProbeHandlerWMI - getParameters()

このプローブハンドラーによって追加されたパラメーターを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	このプローブによって追加されたパラメーターのハッシュマップ

ProbeHandlerWMI - getWMIFields()

フェッチする WMI フィールドを含む文字列を生成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	フェッチする WMI フィールド。

ProbeHandlerWMI - run()

プローブを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProbeHandlerWMI - setProbeParameters(オブジェクト **params)**

プローブのパラメーターを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
params	オブジェクト	プローブパラメーター

返される内容

タイプ	説明
なし	

ProcessMiningForExternalData:スコープ指定、グローバル

ProcessMiningForExternalData API には、処理対象の外部監査レコードをマークするメソッドが含まれています。

この外部監査データは、 SAP、 SmartRecruiters、 Jiraなどの外部システム用に取得される場合があります。

この API にアクセスするには、外部データ プロセス最適化 (sn_po_extdata) プラグインがインストールされており、呼び出し元エンティティにsn_process_optimization_adminロールが必要です。

外部監査レコードと プロセス最適化の詳細については、「 プロセス最適化 プロセスマイニング 」を参照してください。

ProcessMiningForExternalData - scheduleCaseGeneration(文字列 **externalDataSysId)**

外部データセット [sn_po_extdata_dataset] テーブルの指定されたレコードを処理対象としてマークします。外部監査データの処理を自動化するには、この方法を使用します。

このメソッドを呼び出す前に、外部監査データが外部データセットテーブルにインポート済みである必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合ハブやフローデザイナーなど、このデータをインポートする方法を選択できます。このインポートは、週次、月次、四半期ごとなどの一定の間隔でスケジュールできます。詳細については、「外部データセットの操作」を参照してください。

データがインポートされたら、このメソッドを呼び出して、指定された外部データセットレコードのステータスフィールドを「スケジュール済み」に設定します。この設定は、指定された外部データセットレコードを処理する準備ができていることを示します。処理されると、外部データセットレコード内のデータを使用して、監査レコードとケースレコードが作成されます。これらの監査レコードとケースレコードの名前は、関連する外部データセットレコードに表示されます。

注: コールが戻ったときには、レコードに処理のマークが付けられているだけです。レコードの実際の処理はバックグラウンドで行われます。

この API は、グローバルとスコープの両方で使用できます。このメソッドを呼び出すときは、次の構文を使用します。

- グローバル: SNC。ProcessMiningForExternalData.scheduleCaseGeneration(String `externalDataSysId);`
- スコープ対象: `ProcessMiningForExternalData.scheduleCaseGeneration(String externalDataSysId);`

パラメーター

名前	タイプ	説明
externalDataSysId	文字列	処理準備完了としてマークする外部データセット [sn_po_extdata_dataset] テーブルのデータセットレコードの Sys_id。

返される内容

タイプ	説明
メッセージ	メソッド呼び出しのステータスです。 成功すると、常に「外部データセットの処理がスケジュールされました」というメッセージが表示されます。 エラーが発生すると、メッセージに呼び出しが失敗した理由が説明されます。
status	メソッド呼び出しのステータスです。 可能な値： • エラー • 正常終了

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
ProcessMiningForExternalData.scheduleCaseGeneration("o83ehu2yv918ehbu23eg928dg7jbcf52");
```

出力:

```
{
  "status": "success",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "message": "External dataset is scheduled for processing"
}
```

プロデューサー :スコープ指定 (非推奨)

Producer API は、ServiceNow インスタンスから Kafka トピックにデータをプッシュ可能にするメソッドを提供します。

注: この API は廃止され、 ProducerV2 - スコープ指定 API に置き換えられました。

この API には、 ServiceNow 統合ハブ アクションステップ - Kafka プロデューサープラグイン (com.glide.hub.action_step.kafka) が必要であり、 `sn_ih_kafka` 名前空間内で提供されます。

Producer - send(文字列 **topic**, 文字列 **key**, 文字列 **message**, ブーリアン **isSync)**

指定されたメッセージを指定された Kafka トピックに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topic	文字列	メッセージの公開先となるトピックの名前。1 つのトピックには同じタイプのメッセージが格納されます。たとえば、Payments という名前のトピックには最近の支払いに関するメッセージが格納されると考えられます。 トピック名を入力するときは、インスタンス名のプリフィックスの後にあるものをすべて含めます。たとえば、完全なトピック名が `snc.<instancename>.sn_streamconnect.<topicname>` の場合は、トピックフィールドに「sn_streamconnect.<topicname>」と入力します。
key	文字列	特定のパーティションのキーの名前。トピックはパーティションに分割できます。同じキーを持つメッセージは同じパーティションに格納されます。たとえば、6 月というキーを持つ支払に関するメッセージがすべて、Payments トピックの同じパーティションに保存されます。
message	文字列	メッセージのテキスト。
isSync	ブーリアン	フローがステップの完了を待ってから続行する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ステップが完了するまで待機してから、関連するフローを続行します。 • false：ステップが完了するまで待機せずに、関連するフローを続行します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、変更されたインシデント情報を changed_incidents という Kafka トピックに送信する方法を示します。

```
var message = {
  'number': current.number.toString(),
  'short_description': current.short_description.toString(),
  'caller_id': current.caller_id.getDisplayValue(),
  'priority': current.priority.toString(),
  'state': current.state.toString()
};

var producer = new sn_ih_kafka.Producer();
producer.send('changed_incidents', current.number.toString(),
 JSON.stringify(message), false);
```

ProducerV2 - スコープ指定

ProducerV2 API は、ServiceNowインスタンスから Kafka トピックにメッセージを公開するためのメソッドを提供します。

注: この API には Apache Kafka 向けストリームコネクト サブスクリプションが必要です。詳細については、「https://www.servicenow.com/products/automation-engine.html」を参照してください。

この API には ServiceNow ストリームコネクトインストーラープラグイン (com.glide.hub.stream_connect.installer) が必要であり、`sn_ih_kafka` 名前空間で実行されます。

ProducerV2 - send(文字列 **topicSysID**, 文字列 **key**, 文字列 **message**, ブール **isSync**, オブジェクト ヘッダー, 文字列 **schemaID)**

指定されたメッセージを指定された Kafka トピックに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピック SysID	文字列	メッセージの公開先となるトピックのSys_id。トピックは、Kafka トピック [sys_kafka_topic] テーブルに格納されます。
key	文字列	トピック内の特定のパーティションのキーの名前。
メッセージ	文字列	メッセージのテキスト。
isSync	ブール	sendメソッドの完了を待ってから続行するようにスクリプトに要求するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ステップが完了するまで待機してから、関連するフローを続行します。 • false：ステップが完了するまで待機せずに、関連するフローを続行します。
ヘッダー	オブジェクト	キーと値のペアとして定義されたメッセージのヘッダー。 `"headers": { "<key>": "<value>" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		たとえば、 `var headers = { "origin": "sn_business_rule" };` • `key`: 文字列。ヘッダーの名前。 • `value`:文字列。ヘッダーの値。
スキーマ ID	文字列	スキーマレコードのSys_id。 スキーマを使用してプレーンテキストメッセージを Avro メッセージに変換したり、その逆を行ったりする場合は必須です。スキーマは、ストリームコネクトスキーマ [stream_connect_schema] テーブルに格納されます。詳細については、「ストリームコネクトのスキーマ管理」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、sys_id f9d083f3ff610210ef7343d3653bf12e のスキーマを使用して、sys_id 75135aa2ff0311105cf343d0653bf155 で、変更されたインシデント情報を Kafka トピックに送信する方法を示します。

```
var message = {
  'number': current.number.toString(),
  'short_description': current.short_description.toString(),
  'caller_id': current.caller_id.getDisplayValue(),
  'priority': current.priority.toString(),
  'state': current.state.toString()
};

var headers = {
    'origin': 'sn_business_rule'
};

var producer = new sn_ih_kafka.ProducerV2();
producer.send('75135aa2ff0311105cf343d0653bf155',
 gs.generateGUID(), JSON.stringify(message), false, headers,
 'f9d083f3ff610210ef7343d3653bf12e');
```

ProductInstance - スコープ対象、グローバル

ProductInstance API は、製品インスタンス識別子 (PID) を生成し、PID 構成データを取得し、モデル カテゴリが製品インスタンスであるかどうかを判断するメソッドを提供します。

この API は `sn_cmdb` 名前空間で実行され、category_manager または snc_internal ロールが必要です。モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルのアクセス制御リスト (ACL) を持つユーザーにもアクセス権が付与されます。ACL はテーブル [sys_db_object] テーブルで表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PID は製品インスタンスの一意の識別子であり、資産、構成アイテム (CI)、およびインストールベースアイテム (IBI) をリンクして、共通の製品表現間で更新を同期します。製品インスタンスは、特定のモデルカテゴリの資産に関連付けられています。

インストールベースアイテムにアクセスするには、カスタマーサービスインストールベース管理 (com.snc.install_base) プラグインが必要です。

関連項目：

- モデルカテゴリ
- の製品インスタンス機能 ハードウェア資産管理
- インストールベースアイテムの作成

ProductInstance – generatePID(文字列 **className**, 文字列 **modelCategorySysId**, オブジェクト **jsonKeyValues)**

製品インスタンスのハッシュ値を生成して返します。

このメソッドは、呼び出し元アプリケーションのパフォーマンスに影響を与えることなく、何度でも呼び出すことができます。このメソッドは、データベース内のデータを変更せず、PID の計算に必要なデータをキャッシュします。

製品インスタンス識別子 (PID) は、製品インスタンスの一意の識別子であり、資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) をリンクします。

PID は、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで定義されている次の項目に基づいて生成されます。

- PID 設定 (読み取り専用)
- 各構成にアサインされる順序

「の製品インスタンス機能 ハードウェア資産管理 」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
className	文字列	生成する PID のテーブル名。
モデルカテゴリ SysID	文字列	モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルのモデルカテゴリのsys_id。詳細については、「モデルカテゴリ 」を参照してください。
jsonKeyValue	オブジェクト	製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで構成された PID パラメーターの JSON キーと値のペア。 キーと値のペアには、属性名とそれに対応する値が含まれます。これらの値は、PID に対して定義された構成プロパティによって異なります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	PID の生成に使用される情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	オブジェクトは、次の条件で空のproduct_instance_idプロパティ値を返します。 • PID に必要な PID 構成属性がありません。PID 構成は、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルにあります。 • 指定されたクラスには製品インスタンスが関連付けられていません。 `{ "model_category_sysId": "String", "parameters": [Array], "product_instance_id": "String" }`
<Object>.model_category_sysId	モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルの製品カテゴリの sys_id。 モデル カテゴリ階層を使用して PID を生成した場合、この値は入力値とは異なる可能性があります。 データタイプ：文字列
<Object>。パラメーター	PID の生成に使用され、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで定義されたパラメーターのリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
<Object>.product_instance_id	資産、CI、またはインストールベースアイテムのproduct_instance_id フィールドの PID。 PID のハッシュ値をこのプロパティに設定して、次のいずれかのテーブルのオブジェクト内の共通値を同期できます。 • 資産 [alm_asset] • 構成アイテム [cmdb_ci] • インストールベースアイテム [sn_install_base_item] インストールベースアイテムには、カスタマーサービスインストールベース管理 (com.snc.install_base) プラグインが必要です。 データタイプ：文字列

次の例は、医療資産 [sn_ent_medical_asset] テーブルの資産の PID を作成する方法を示しています。このテーブルは、カスタマーサービスインストールベース管理 (com.snc.install_base) プラグインに含まれています。

```
var output = sn_cmdb.ProductInstance.generatePID('sn_ent_medical_asset',
 '4b8aa89a77710110dd5fca22fe5a9984', { "serial_number" : "SN1001"});
gs.info(JSON.stringify(output,null,'\t'));
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "model_category_sysId": "4b8aa89a77710110dd5fca22fe5a9984",
  "product_instance_id": "tw8QgznsS4cP3b4U0+rSbnbIWxirYpeVSquk3g81K/8=",
  "parameters": [
    "serial_number"
  ]
}
```

ProductInstance – getPIDConfig(文字列 **className**, 文字列 **modelCategorySysId)**

階層とクラス名に基づいて、モデルカテゴリに関連付けられた PID 構成を取得します。

このメソッドは、モデルカテゴリのすべての階層をスキャンし、最初に見つかったモデルカテゴリのPID構成を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
className	文字列	生成する PID のテーブル名。
モデルカテゴリ SysID	文字列	モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルのモデルカテゴリのsys_id。詳細については、「モデルカテゴリ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたクラス名とモデルカテゴリに関連付けられた PID 構成を含む JSON オブジェクト。 `{ "model_category_sysId": "String", "configs": [Array] }`
<Object>.model_category_sysId	モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルの製品カテゴリの sys_id。 モデル カテゴリ階層を使用して PID を生成した場合、この値は入力値とは異なる可能性があります。 データタイプ：文字列
<Object>.config	特定のモデルカテゴリに関連付けられている各構成のリスト。 `"configs": [ { "configuration_order": Number, "parameters": [Array] } ]` データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.configs.configuration_order	製品インスタンス識別子パラメーター [product_instance_identifier_parameters] テーブルで定義された構成の順序を返します。 データタイプ：数値
<Object>.configs.parameters	構成とその順序に関連付けられているすべてのパラメーターのリスト。 `"parameters": [ { "parameter_class_attribute_name": "String", "parameter_class_name": "String", "parameter_name": "String", "parameter_order": Number } ]` データタイプ：オブジェクトのアレイ
<Object>.configs.parameters.parameter_class_attribute_name	製品インスタンス識別子パラメーター [product_instance_identifier_parameters] テーブルで定義されたパラメーターに関連付けられたクラス属性。この文字列は、そのクラスに対応する列の名前を表します。 データタイプ：文字列
<Object>.configs.parameters.parameter_class_name	製品インスタンス識別子パラメーター [product_instance_identifier_parameters] テーブルで定義されたパラメーターに関連付けられたクラス名。 データタイプ：文字列
<Object>.configs.parameters.parameter_name	製品インスタンス識別子パラメーター [product_instance_identifier_parameters] テーブルで定義されたパラメーター名。 データタイプ：文字列
<Object>.configs.parameters.parameter_order	製品インスタンス識別子パラメーター [product_instance_identifier_parameters] テーブルで定義されたパラメーターの順序。 データタイプ：数値

次の例は、医療資産 [sn_ent_medical_asset] テーブル内の で名前が付けられているモデルカテゴリの構成の詳細を取得する方法を示しています。このテーブルは、カスタマーサービスインストールベース管理 (com.snc.install_base) プラグインに含まれています。

```
var config = sn_cmdb.ProductInstance.getPIDConfig('sn_ent_medical_asset',
 '4b8aa89a77710110dd5fca22fe5a9984');
gs.info(JSON.stringify(config,null,'\t'));
```

出力:

```
{
  "model_category_sysId": "4b8aa89a77710110dd5fca22fe5a9984",
  "configs": [
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    {
      "parameters": [
        {
          "parameter_class_attribute_name": "serial_number",
          "parameter_class_name": "sn_ent_medical_asset",
          "parameter_name": "serial_number",
          "parameter_order": 1
        }
      ],
      "configuration_order": 100
    },
    {
      "parameters": [
        {
          "parameter_class_attribute_name": "parent",
          "parameter_class_name": "sn_ent_medical_asset",
          "parameter_name": "parent_asset",
          "parameter_order": 1
        },
        {
          "parameter_class_attribute_name": "model_component_id",
          "parameter_class_name": "sn_ent_medical_asset",
          "parameter_name": "model_component_id",
          "parameter_order": 2
        }
      ],
      "configuration_order": 200
    }
  ]
}
```

ProductInstance – isProductInstance(文字列 **modelCategorySysId)**

指定されたモデルカテゴリが製品インスタンスかどうかを確認します。

次の両方の条件が満たされている場合、モデルカテゴリは製品インスタンスとして認定されます。

- モデルカテゴリのis_model_categoryフラグの値は true です。
- モデルカテゴリには、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで有効な構成が定義されています。

このメソッドは、 *generatePID()* メソッドを呼び出す前にビジネスルールで使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
モデルカテゴリ SysID	文字列	モデルカテゴリ [cmdb_model_category] テーブルのモデルカテゴリのsys_id。詳細については、「モデルカテゴリ」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
ブール	提供されたモデルカテゴリが製品インスタンスであるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true:提供されるモデルカテゴリは製品インスタンスです。 • false:指定されたモデルカテゴリは製品インスタンスではありません。

次の例は、提供されたモデルカテゴリが製品インスタンスかどうかを判断する方法を示しています。

```
var isProductInstance =
 sn_cmdb.ProductInstance.isProductInstance('4b8aa89a77710110dd5fca22fe5a9
984');
gs.info(isProductInstance);
```

出力:

```
true
```

PSBPublicAPIUtil - スコープ指定、グローバル

PSBPublicAPIUtil スクリプトインクルードは、サービスブリッジ構成レコードに対して操作を実行できるようにするメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードを使用して操作を実行できる サービスブリッジ 設定レコードには、次の 2 つのタイプがあります。

- リモートレコードプロデューサー (RRP)
- リモートタスク定義 (RTD)

これらの設定レコードに対して、次のいずれかの サービスブリッジ 操作を実行できます。

- チェックアウト:指定された設定レコードのドラフトバージョンを作成します。公開済みのバージョンは引き続き使用できます。
- 公開:指定された設定レコードのドラフトバージョンを公開し、顧客が使用できるようにします。
- アーカイブ:指定された設定レコードの非アクティブなバージョンをアーカイブし、顧客が利用できないようにします。
- 廃止:指定された設定レコードのすべてのバージョンを廃止し、顧客が利用できないようにします。

サービスブリッジ設定レコードの詳細については、「構成リビジョンを作成」を参照してください。

この API にアクセスするには、 サービスブリッジ for Providers アプリケーション (sn_sb_pro) と サービスブリッジ Base (sn_sb) をインスタンスにインストールする必要があります。

この API のメソッドは、 *sb* スクリプトインクルードを使用して呼び出します。ただし、これらのメソッドのコードは *PSBPublicAPIUtil* スクリプト インクルードに存在します。

これらのメソッドをグローバルスコープから呼び出す場合は、次の構文を使用します。

```
sb.checkout(glideRecord);
sb.publish(glideRecord);
sb.archive(glideRecord);
sb.retire(glideRecord);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ対象のアプリケーションから呼び出す場合は、次の構文を使用します。

```
global.sb.checkout(glideRecord);
global.sb.publish(glideRecord);
global.sb.archive(glideRecord);
global.sb.retire(glideRecord);
```

PSBPublicAPIUtil - archive(glideRecord)

指定された GlideRecord が有効な サービスブリッジ 設定レコードであることを検証し、レコードが「非アクティブ」ステータスであることを確認します。この検証に合格すると、指定された設定レコードがアーカイブされ、同じ設定レコードの他のすべてのバージョンは変更されません。

構成リビジョンとそれに関連する状態の詳細については、「 構成リビジョンを作成 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	GlideRecord	アーカイブする設定レコード。 このレコードは次のいずれかになります。 • リモートレコードプロデューサー (RRP):リモートレコードプロデューサー [sn_sb_pro_remote_record_producer] テーブルにあるレコード。 • リモートタスク定義 (RTD):リモートタスク定義 [sn_sb_pro_remote_task_def] テーブルにあるレコード。

返される内容

タイプ	説明
ブール	設定レコードがアーカイブされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:設定レコードがアーカイブされました。 • false:エラーが発生しました。設定レコードがアーカイブされませんでした。

次のコード例は、FDS 設定レコードのグローバルスコープからこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grConfig = new GlideRecord('sn_sb_pro_remote_record_producer'); //
 Configuration table that contains the desired record
grConfig.get('0ed11101ff6aca10c1befe258c4fd99e'); // Sys_id of the
 configuration record to publish
var isExecuted = sb.archive(grConfig);
```

PSBPublicAPIUtil - checkout(glideRecord)

指定された GlideRecord が有効な サービスブリッジ 設定レコードであることを検証し、レコードが「公開済み」ステータスであることを確認します。この検証に合格すると、指定された設定レコードの新しいバージョンが作成され、ステータスフィールドが「ドラフト」に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	GlideRecord	チェックアウトする設定レコード。 このレコードは次のいずれかになります。 • リモートレコードプロデューサー (RRP):リモートレコードプロデューサー [sn_sb_pro_remote_record_producer] テーブルにあるレコード。 • リモートタスク定義 (RTD):リモートタスク定義 [sn_sb_pro_remote_task_def] テーブルにあるレコード。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	成功した場合、ステータスフィールドが「ドラフト」に設定された、新しく作成された設定レコードを返します。 エラーが発生した場合は、null を返します。

次のコード例は、RTD 設定レコードのグローバルスコープからこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grConfig = new GlideRecord('sn_sb_pro_remote_task_def'); //
 Configuration table that contains the desired record
grConfig.get('0ed11101ff6aca10c1befe258c4fd99e'); // Sys_id of the
 configuration record to checkout
var checkoutGr = sb.checkout(grConfig);
```

自動翻訳

PSBPublicAPIUtil - publish(glideRecord)

指定された GlideRecord が有効な サービスブリッジ 設定レコードであることを検証し、レコードが「ドラフト」ステータスであることを確認します。この検証に合格すると、設定レコードのドラフトバージョンを公開します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	GlideRecord	公開する設定レコード。 このレコードは次のいずれかになります。 • リモートレコードプロデューサー (RRP):リモートレコードプロデューサー [sn_sb_pro_remote_record_producer] テーブルにあるレコード。 • リモートタスク定義 (RTD):リモートタスク定義 [sn_sb_pro_remote_task_def] テーブルにあるレコード。

返される内容

タイプ	説明
ブール	設定レコードが公開されたかどうかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	可能な値： • true:設定レコードが公開されました。 • false:エラーが発生しました。設定レコードは公開されませんでした。

次のコード例は、RRP 設定レコードのグローバルスコープからこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grConfig = new GlideRecord('sn_sb_pro_remote_record_producer''); //
 Configuration table that contains the desired record
grConfig.get('0ed11101ff6aca10c1befe258c4fd99e'); // Sys_id of the
 configuration record to publish
var isExecuted = sb.publish(grConfig);
```

PSBPublicAPIUtil - retire(glideRecord)

指定された GlideRecord が有効な サービスブリッジ 設定レコードであることを確認し、レコードが有効なステータスであることを検証します。この検証に合格すると、指定されたバージョンの構成レコードを、同じ構成情報レコードの他のすべてのリビジョンとともに廃止します。

構成リビジョンとそれに関連する状態の詳細については、「構成リビジョンを作成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
glideRecord	GlideRecord	廃止する設定レコード。 このレコードは次のいずれかになります。 • リモートレコードプロデューサー (RRP):リモートレコードプロデューサー [sn_sb_pro_remote_record_producer] テーブルにあるレコード。 • リモートタスク定義 (RTD):リモートタスク定義 [sn_sb_pro_remote_task_def] テーブルにあるレコード。

返される内容

タイプ	説明
ブール	設定レコードが廃止されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:設定レコードは廃止されました。 • false:エラーが発生しました。構成レコードは廃止されませんでした。

次のコード例は、RTD 設定レコードのグローバルスコープからこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var grConfig = new GlideRecord('sn_sb_pro_remote_task_def'); //
 Configuration table that contains the desired record
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
grConfig.get('0ed11101ff6aca10c1befe258c4fd99e'); // Sys_id of the
 configuration record to checkout
var isExecuted = sb.retire(grConfig);
```

PSBScratchpadUtil - スコープ指定

PSBScratchpadUtil API は、プロバイダーが他の サービスブリッジ サービスの外部にある "余分な" 情報をコンシューマーと共有できるようにするメソッドを提供します。

この情報は、名前と値のペアとしてスクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルに格納されます。共有情報は、プロバイダータスクまたはリモートタスクの 2 つのタイプのいずれかのタスクに関連付ける必要があります。

関連付けられたタスクがアクティブな場合、更新されたスクラッチパッド情報がコンシューマーインスタンスに同期されます。タスクが非アクティブ化または削除された場合、スクラッチパッド内の情報も指定された日数後に削除されます。デフォルトでは 3 つです。このデフォルトは、sn_sb.scratchpad.autodelete.days プロパティで定義されています。

プロバイダーとコンシューマーの両方が、スクラッチパッドテーブルに対して情報を追加、更新、削除できます。コンシューマーは、 *CSBScratchpadUtil* API を使用してこの情報を更新します。

この API にアクセスするには、 サービスブリッジ for Providers アプリケーション (sn_sb_pro) をインストールする必要があります。この API は `sn_sb_pro` 名前空間で実行されます。

PSBScratchpadUtil - get(GlideRecord taskGR, 文字列名)

指定されたスクラッチパッドプロパティの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	値を取得するスクラッチパッドプロパティの名前。スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列または null	要求されたスクラッチパッドプロパティの値。プロパティが見つからない場合は Null。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力:

```
"value1"
```

PSBScratchpadUtil - getAll(GlideRecord taskGR)

指定されたタスクに関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティのプロパティ名と値 (名前と値のペア) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連するスクラッチパッドプロパティを返すアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたタスクに含まれるすべてのプロパティ名と値。フォームでは、次のようになります。 `{ name1: value1, name2: value2, ... }`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(JSON.stringify(util.getAll(rtGR)));
}
```

出力:

```
{ "name1": "value1" }
```

PSBScratchpadUtil - getNames(GlideRecord taskGR)

指定されたタスクレコードに関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティの名前のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連付けられているすべてのスクラッチパッドプロパティの名前のリストを返すアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	指定されたタスクレコードに関連付けられているスクラッチパッドプロパティの名前のリスト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  gs.info(JSON.stringify(util.getNames(rtGR)));
}
```

出力:

```
[ "name1" ]
```

PSBScratchpadUtil - populateClientScratchpadBR (GlideRecord taskGR)

指定されたリモートタスクまたはプロバイダータスクに関連付けられたスクラッチパッドプロパティをクライアントg_scratchpadに配置します。

このメソッドは、UI 表示ビジネスルールから呼び出すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	関連するスクラッチパッドエントリをクライアントg_scratchpadに配置する必要があるアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil().populateClientScratchpadBR(current);
```

PSBScratchpadUtil - remove(GlideRecord taskGR, 文字列名)

指定されたスクラッチパッドプロパティをスクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルから削除します。

注: 削除は他の ServiceNow インスタンスに同期されません。スクラッチパッドのプロパティは、関連するタスクレコードが非アクティブ化または削除されてから、指定された日数が経過すると自動的に削除されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルから削除するスクラッチパッドプロパティの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value1");
  util.remove(rtGR, "name1");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

出力:

```
undefined
```

PSBScratchpadUtil - update(GlideRecord taskGR, 文字列名, 文字列値, ブール値 client_side_accessible)

スクラッチパッド [sn_sb_scratchpad] テーブルにプロパティを挿入するか、プロパティの値を更新します。

注: 1 回の呼び出しで更新できるプロパティの最大数は 50 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
taskGR	GlideRecord	指定されたスクラッチパッドプロパティに関連付けられたアクティブなリモートタスクまたはプロバイダータスクの GlideRecord。これらのレコードは、リモートタスク [sn_sb_pro_remote_task] テーブルとプロバイダータスク [sn_sb_pro_provider_task] テーブルにあります。
name	文字列	新規または既存のスクラッチパッドプロパティの名前。この名前は、すべてのスクラッチパッドプロパティで一意である必要があります。
値	文字列	スクラッチパッドプロパティの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		最大:4,000 文字。
client_side_accessible	ブール	オプション。表示ビジネスルールから *populateClientScratchpadBR* が呼び出されたときに、クライアント側 *g_scratchpad* でこのプロパティを使用できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:プロパティは使用可能です。 • false:プロパティは使用できません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_remote_task");
rtGR.setLimit(1);
rtGR.query();
rtGR.next()
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "name1", "value2");
  gs.info(util.get(rtGR, "name1"));
}
```

出力:

```
"value2"
```

キュー - グローバル

`キュー` API (高度な作業アサイン) は、ドキュメントをキューにルーティングするメソッドを提供します。

この API は、 `sn_awa` 名前空間内で提供されます。

以下が必要です。

- 高度な作業アサインプラグイン (com.glide.awa)
- ロール：awa_integration_user または admin

Queue - get(文字列 **queue_id)**

sys_id でキューレコードを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
queue_id	文字列	awa_queue テーブルから取得されたキューレコードの sys_id を表します

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	キューレコードが存在する場合は true、存在しない場合は false。

```
var queue = sn_awa.Queue.get("<queue_id>");
var workItem = queue.route({
    document_sys_id: "<sys_id>",
    document_table: "<table>"
});
```

Queue – route(オブジェクト options)

アクティブな作業アイテムをキューオブジェクトにルーティングします。

指定されたドキュメントに対して作業アイテムが存在しない場合は、このメソッドが作業アイテムを作成し、そのフィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	作業アイテムに関連付けられた次のドキュメントの sys_id とテーブルが含まれます。 • `document_sys_id: "<sys_id>"` • `document_table: "<table>"` 例：インタラクション

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	成功した場合は true、失敗した場合はエラーメッセージ。

```
var queue = sn_awa.Queue.get("<queue_id>");
var workItem = queue.route({
    document_sys_id: "<sys_id>",
    document_table: "<table>"
});
```

キュー - スコープ指定

Queue API には、コネクトサポートチャットキューを取得したり、チャットキューに参加したりするためのメソッドが用意されています。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを実行するには、`sn_connect` 名前空間識別子を使用します。*Queue* API にアクセスするには、Connect Scriptable APIs プラグイン (ID:com.glide.connect.scriptable) を有効にする必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Scoped Queue - get(文字列 sysID)

指定されたチャットキューを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
SysID	文字列	チャットキュー [chat_queue] テーブルから取得されたキューの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会話キューオブジェクトを返します。

```
var queue = sn_connect.Queue.get("ab73be7dc09a4300964f336ee6b74361");
```

Scoped Queue - join(文字列 question)

現在のユーザーを既存の コネクトサポート チャットキューに追加し、指定された質問を投稿します。

このメソッドを呼び出す前に、Scoped Queue - get(文字列 sysID) メソッドを呼び出して、現在のユーザーを添付するチャットキューを取得する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
質問	文字列	チャットキューに追加する質問。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	チャット キュー エントリ [chat_queue_entry] テーブルのレコード (GlideRecord オブジェクト)。

```
var queue = sn_connect.Queue.get("ab73be7dc09a4300964f336ee6b74361");
queue.join("How do I access my email?");
```

QuickRanges - グローバル

QuickRanges スクリプトインクルードは、従来の CIDR (Classless Inter-Domain Range) ネットワーク表記、ハイフンで区切られた範囲エントリ、または個々の IP アドレスを使用して、便利なカンマ区切りの入力フィールドから IP ネットワーク、範囲、およびアドレスエントリを生成するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、任意のサーバー側ディスカバリースクリプトで使用できます。

QuickRanges - createItem(文字列 table, 文字列 id, 文字列 type)

新しい検出範囲アイテムを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	アイテムが作成されるテーブル。
id	文字列	新しいアイテムに使用する識別子。
type	文字列	生成するエントリーのタイプ (IP アドレス、IP ネットワーク、または IP 範囲)。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	作成されたエントリー

QuickRanges - onMakeRanges()

エントリーを生成する際に使用する IP ネットワーク、範囲、およびアドレス情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

RecordToHTML - グローバル

RecordToHTML スクリプトインクルードは、レコードを HTML に変換するユーティリティクラスです。

このスクリプトインクルードは、サーバーサイドスクリプトで使用できます。

RecordToHTML - RecordToHTML(文字列 **table**, 文字列 **sys_id**, 文字列 **pattern**, ブーリアン **link**)

RecordToHTML クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	レコードのテーブル名。
sys_id	文字列	レコードの Sys_id。
pattern	文字列	生成する文字列のパターン。パターンには、既存のフィールド値の内容を提供するために ${} テンプレートリテラルを含めることができます。たとえば、パターン "${number}" は、選択したレコードの番号を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
リンク	ブール	結果を HTML リンクとして生成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:レコード情報は HTML タグ内のリンクとして生成されます。 • false:レコード情報はテキストとして生成されます。 デフォルト：False

次の例は、書式設定されたインシデントレコード情報を HTML リンクで生成する方法を示しています。

```
var r2html = new RecordToHTML("incident",
 "e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5",
"incident: ${number}-${short_description}");
gs.print(r2html.toString());
```

出力:

```
<a
 href="incident.do?sys_id=e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5"><u>incident:
 INC0000005-CPU load high for over 10 minutes</u></a>
```

RecordToHTML - setValue(文字列 **fieldName**, 文字列 **value)**

指定されたフィールドを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	変更するフィールドの名前。
value	文字列	フィールドを設定する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ユーザー名を含む書式設定済みのインシデントレコード情報を文字列として生成する方法を示しています。

```
var r2html = new
 RecordToHTML("incident","e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5", "incident:
 ${number}-${short_description} (${user})", true);
r2html.setValue("user", gs.getUserName());
gs.print(r2html.toString());
```

出力:

```
incident: INC0000005-CPU load high for over 10 minutes (admin)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RecordToHTML - toString()

RecordToHTML オブジェクトを文字列に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*RecordToHTML()* コンストラクターを使用したパターンセット内のレコードの HTML 出力。

次の例は、 *RecordToHTML* オブジェクトを文字列に変換し、結果を表示する方法を示しています。

```
var r2html = new
 RecordToHTML("incident","e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5",
                          "incident: ${number}-${short_description}",
 true);
gs.print(r2html.toString());
```

出力:

```
<a
 href="incident.do?sys_id=e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5"><u>incident:
 INC0000005-CPU load high for over 10 minutes</u></a>
```

RegressionSolution - グローバル

RegressionSolution API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

ソリューションのセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *DatasetDefinition* API を使用してデータセットを作成します。
2. オプション。*Encoder* API を使用してエンコーダーを構築します。
3. コンストラクターを使用して、回帰ソリューションオブジェクトを作成します。
4. *RegressionSolutionStore - add()* メソッドを使用して、ソリューションオブジェクトを回帰ソリューションストアに追加します。
5. *submitTrainingJob()* メソッドを使用してソリューションをトレーニングします。これにより、*RegressionSolutionVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。
6. *RegressionSolutionVersion - predict()* メソッドを使用して予測を取得します。

注: この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RegressionSolution - RegressionSolution(オブジェクト **config)**

回帰ソリューションを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト ソリューション。 `{ "algorithmConfig": {Object}, "dataset": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "inputFieldNames": [Array], "label": "String", "minRowCount": "String", "predictedFieldName": "String", "predictedInterval": [Array], "processingLanguage": "String", "stopwords": [Array], "trainingFrequency": "String" }`
config.dataset	オブジェクト	*DatasetDefinition* 名。
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーションおよび予測インテリジェンス」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。例：`"global"`。
config.encoder	オブジェクト	オプション。このソリューションに割り当てるトレーニング済みのエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。
config.inputFieldNames	アレイ	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.predictedFieldName	文字列	*predictedInterval* を設定する場合を除き、必須です。 予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。
config.predictedInterval	アレイ	*predictedFieldName* を設定する場合を除き、必須です。ソリューションの信頼性を高めるための一連のフィールドを設定します。2 つの数値でない日付フィールドの提供をサポート

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		しています。例：`'predictedInterval': ['sys_updated_on', 'sys_created_on']`
config.processingLanguage	文字列	オプション。2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 デフォルト値：「en」
config.stopwords	アレイ	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 デフォルト：英語のストップワード
config.trainingFrequency	文字列	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once

次の例は、オブジェクトを作成して RegressionSolution ストア。

```
var myNewData = new sn_ml.DatasetDefinition(
  {
     'tableName' : 'incident',
     'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
     'fieldDetails' : [
       {
         'name' : 'category',
         'type' : 'nominal'
       },
       {
         'name' : 'short_description',
         'type' : 'text'
       }],
     'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
  });

var mySimSolution = new sn_ml.SimilaritySolution({
  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myNewData,
  'predictedFieldName' : 'category',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var mySimilarityName = sn_ml.SimilaritySolutionStore.add(mySimSolution);
```

次の例は、*predictedInterval* プロパティを使用してトレーニングするオブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
'tableName' : 'incident',
'fieldNames' : ['short_description', 'sys_updated_on','sys_created_on'],
'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var mySolution = new sn_ml.RegressionSolution({
'label': 'reg assinGroup',
'dataset' : myIncidentData,
'predictedInterval': ['sys_updated_on', 'sys_created_on'],
'inputFieldNames': ['short_description']
});

var my_unique_name = sn_ml.RegressionSolutionStore.add(mySolution)
```

RegressionSolution - cancelTrainingJob()

トレーニングのために送信されたソリューションオブジェクトのジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var mySolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_sn_global_global_regression');

mySolution.cancelTrainingJob();
```

RegressionSolution - getActiveVersion()

RegressionSolutionVersionアクティブな `オブジェクト`。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *RegressionSolutionVersion* オブジェクト。

次の例は、 *RegressionSolution* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_regression');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

RegressionSolution - getAllVersions()

RegressionSolution オブジェクト のすべてのバージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューションオブジェクトの既存のバージョン。関連項目 *RegressionSolutionVersion* API。

次の例は、すべての *RegressionSolution* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* および *getStatus()* ソリューションバージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_regression');

var mlSolutionVersions = mlSolution.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlSolutionVersions.length; i++) {
gs.print("Version " + mlSolutionVersions[i].getVersionNumber() + "
 Status: " + mlSolutionVersions[i].getStatus() +"\n");
};
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Version 3 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 2 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 1 Status:
 {"state":"solution_cancelled","percentComplete":"0","hasJobEnded":"tru
e"}
```

RegressionSolution - getLatestVersion()

ソリューション の最新バージョンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*RegressionSolutionVersion RegressionSolution* の最新バージョンに対応するオブジェクト *()* です。

次の例は、ソリューションの最新バージョンを取得して、トレーニングのステータスを返す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_regression');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getLatestVersion().getStatu
s()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

RegressionSolution - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	ソリューションオブジェクトの名前。

次の例は、 *RegressionSolution* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update solution
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields('regression'));

var myRegression = new sn_ml.RegressionSolution({
   'label': "my regression solution",
   'dataset' : myIncidentData,
   'inputFieldNames': eligibleFields['eligibleInputFieldNames'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update solution
sn_ml.RegressionSolutionStore.update('ml_x_snc_global_global_my_solution_
definition_4', myRegression);

// print solution name
gs.print('Solution Name: '+myRegression.getName());
```

出力：

```
Solution Name: ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_4
```

RegressionSolution - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*RegressionSolutionStore* のデータセットのコンテンツと *RegressionSolution()* オブジェクトの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	{
	"datasetProperties": {Object},
	"domainName": "String",
	"encoder": {Object},
	"inputFieldNames": [Array],
	"label": "String",
	"name": "String",
	"predictedFieldName": "String",
	"predictedInterval": [Array],
	"processingLanguage": "String",
	"scope": "String",
	"stopwords": [Array],
	"trainingFrequency": "String"
	}

<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。
	{
	"encodedQuery": "String",
	"fieldDetails": [Array],
	"fieldNames": [Array],
	"tableName": "String"
	}
	データタイプ：オブジェクト

<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：オブジェクト。
<Object>.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列。
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedFieldName	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedInterval	予測の信頼性レベルを指定する値の範囲。 データタイプ：アレイ
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*`language`* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内のソリューションオブジェクトのプロパティを取得します。

```
var mySolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_sn_global_global_regression_soluti
on');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mySolution.getProperties()), null,
 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "datasetProperties": {
    "tableName": "cloudinfratext",
    "fieldNames": [
      "short_description",
      "sourcedc",
      "targetdc",
      "dbsize",
      "duration"
    ]
  },
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [],
    "name": "wc_regression"
  },
  "inputFieldNames": [
    "short_description",
    "sourcedc",
    "targetdc",
    "dbsize"
  ],
  "label": "Regression Test for DB Restore",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "name": "ml_x_snc_global_global_regression",
  "predictedFieldName": "duration",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "trainingFrequency": "every_30_days"
}
```

RegressionSolution - getVersion(文字列 **version)**

指定されたバージョン番号を使用します。ソリューションを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	ソリューションの既存のバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*RegressionSolutionVersion* API メソッドを呼び出すことができる *RegressionSolution()* オブジェクトの指定されたバージョン。

次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータスを取得する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_regression');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getVersion('1').getStatus(
)), null, 2));
```

出力：

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

RegressionSolution - setActiveVersion(文字列 **version)**

ストア内の指定されたバージョンのソリューションをアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *RegressionSolution()* オブジェクトバージョンの名前。 このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションバージョンを有効にする方法を示しています。

```
sn_ml.RegressionSolution.setActiveVersion("ml_incident_categorization");
```

RegressionSolution - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

注: このメソッドを実行する前に、まず *RegressionSolutionStore - add()* メソッドを使用してストアにソリューションを追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*RegressionSolutionVersion RegressionSolution* に対応するオブジェクトトレーニング対象

次の例は、データセットを作成してソリューションに適用し、ソリューション をストアに追加して、トレーニングジョブを送信する方法を示しています。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.RegressionSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.RegressionSolutionStore.add(mySolution);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Train the solution - this is a long running job
var myRegressionVersion = mySolution.submitTrainingJob();
```

RegressionSolutionStore - グローバル

ソリューション の保存と取得を有効にします 。

RegressionSolutionStore API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

RegressionSolutionStore - add(オブジェクト mlSolution)

新しいソリューション オブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。

注: ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlSolution	RegressionSolution	ストアに追加する RegressionSolution()

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成されたソリューション名。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示しています ソリューション ソリューション *RegressionSolution - SubmitTrainingJob()* を使用して、ソリューションをストアに追加してからトレーニングします。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create an solution
var mySolution = new sn_ml.RegressionSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.RegressionSolutionStore.add(mySolution);
```

RegressionSolutionStore - deleteObject(文字列 name)

指定されたソリューションオブジェクトをストアから削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*RegressionSolution()* 削除するオブジェクト。 の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアからソリューションを削除する方法を示しています。

```
sn_ml.RegressionSolutionStore.deleteObject("ml_sn_global_global_solution
");
```

RegressionSolutionStore - get(文字列 **name)**

ソリューションオブジェクトをストアから取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストア内のソリューションの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*RegressionSolution* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

および ClassificationSolutionVersion - getStatus() メソッドを使用して次の例は、*get()* メソッドを使用してストアからソリューションオブジェクトを取得し、 RegressionSolution - getActiveVersion()。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

RegressionSolutionStore - getAllNames(オブジェクト **options)**

ストア内のすべてのソリューション定義レコードの名前を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String", "domainName": "String", "scope": "String" };`
options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の文字列表現ソリューションオブジェクトの名前のリスト。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.RegressionSolutionStore.getAllNames()), null, 2));
```

出力:

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_3",
  "ml_incident_assignment",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_2",
  "ml_sn_global_global_incident_service"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my solution definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.RegressionSolutionStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition"
]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RegressionSolutionStore - update(文字列 name, オブジェクト mlSolution)

ストア内の既存のオブジェクトをパラメーターとして渡されたオブジェクトに置き換えます。指定されたオブジェクト名は空であるか、一致している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するソリューションの名前。
mlSolution	*RegressionSolution*	更新するオブジェクトプロパティ。RegressionSolution()

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションオブジェクトを更新する方法を示しています。

```
var solutionUpdate = new sn_ml.RegressionSolution({
  'label': 'my solution definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.RegressionSolutionStore.update('ml_sn_global_global_incident_service', solutionUpdate);
```

RegressionSolutionVersion - グローバル

RegressionSolutionVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

この API は、RegressionSolution ストア内の RegressionSolution API オブジェクトに基づくソリューション バージョンを操作する場合に使用します。

ソリューション定義をトレーニングするたびに、ソリューションのバージョンが作成されます。ほとんどのバージョンは、スケジュール設定済みのソリューショントレーニング中に作成されます。

この API のメソッドは、次の *ClassificationSolution* メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

RegressionSolutionVersion - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します バージョン番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと RegressionSolution のバージョンの詳細。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "datasetProperties": {Object}, "domainName": "String", "encoder": {Object}, "inputFieldNames": [Array], "isActive": Boolean, "label": "String", "name": "String", "predictedFieldName": "String", "predictedInterval": [Array], "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "versionNumber": "Number" }`
<Object>.datasetProperties	ソリューションに関連付けられた *DatasetDefinition()* オブジェクトのプロパティを一覧表示します。 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }`
<Object>.datasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ。
<Object>.datasetProperties.fieldNames	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.fieldDetails.type	機械学習Detailsオブジェクト。 データタイプ：文字列。
<Object>.datasetProperties.encodedQuery	標準のGlideRecord形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス「」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ：オブジェクト。
<Object>.inputFieldNames	文字列としての入力フィールド名のリスト。モデルは、次のフィールドを使用して予測を行います。 データタイプ：文字列。
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedField	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.predictedInterval	予測の信頼性レベルを指定する値の範囲。 データタイプ：アレイ
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.versionNumber	0 のバージョン番号 *RegressionSolution* オブジェクト。

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

```
// Get properties
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPrope
rties()), null, 2));
```

出力：

```
{
  "datasetProperties": {
    "encodedQuery": "",
    "fieldNames": [
      "short_description",
      "sourcedc",
      "targetdc",
      "dbsize",
      "duration"
    ],
    "tableName": "cloudinfratext"
  },
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [],
    "name": "wc_regression"
  },
  "inputFieldNames": [
    "short_description",
    "sourcedc",
    "targetdc",
    "dbsize"
  ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "isActive": "true",
  "label": "Regression Test for DB Restore",
  "name": "ml_x_snc_global_global_regression",
  "predictedFieldName": "duration",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "versionNumber": "1"
}
```

RegressionSolutionVersion - getStatus(ブーリアン **includeDetails)**

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	RegressionSolution オブジェクト のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String", "details": {Object} }`
<Object>.state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded* プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• training_request_received • training_request_timed_out (terminal) • training_solution • Uploading_solution • waiting_for_training データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Solution Complete"} // This information is only returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var solutionName = 'ml_x_snc_global_global_regression_solution';
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var mlSolution = sn_ml.RegressionSolutionStore.get(solutionName);
var trainingStatus = mlSolution.getLatestVersion().getStatus();

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_error",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

ClassificationSolutionVersion - getVersionNumber()

ソリューションオブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

```
// Get version number
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getVersionNumb
er()), null, 2));
```

出力：

```
Version number: 1
```

RegressionSolutionVersion - predict(オブジェクト input, オブジェクト options)

予測の入力データを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	*GlideRecord* または、キーと値のペアとしてフィールド名と値を含む JSON オブジェクトのアレイ。
オプション	オブジェクト	予測結果をフィルタリングするためのオプションの値。 `{ "apply_threshold": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> "top_n": Number }</pre>
options.apply_threshold	ブール	ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：信頼性がしきい値より大きい結果を返します。 • false：すべての結果を返します。 デフォルト：true
options.top_n	番号	指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む JSON オブジェクト。
	<pre>{
	    <identifier>: [Array]
	}</pre>

<Object>.<識別子>	各予測結果の詳細を含むオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre><identifier>: [
	  {
	    "confidence": Number,
	    "predictedSysId": "String",
	    "predictedValue": "String",
	    "threshold": Number
	  }
	]</pre>

<Object>.<識別子>.<object>.confidence	予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 データタイプ：数値
<Object>.<識別子>.<object>.predictedSysId	予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.predictedValue	予測結果を表す値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.<識別子>.<object>.threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、sys_id 別の GlideRecord を入力として受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');

// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("<sys_id>");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.getVersion(1).predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
{
        "<sys_id/now_GR>": [
    {
      "confidence": 62.10782320780268,
      "threshold": 20.36,
      "predictedValue": "Clone Issues",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 6.945237375770391,
      "threshold": 16.63,
      "predictedValue": "Instance Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 5.321061076300759,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、 キーと値のペアを入力のフィールド名のアレイとして受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.RegressionSolutionStore.get('ml_incident_categorization');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// key-value pairs input
var input = [{"short_description":"my email is not working"},
 {short_description:"need help with password"}];
// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;
var results = mlSolution.predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```


```
{
  "1": [
    {
      "confidence": 37.5023032262591,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 24.439964862166583,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 11.736320486031047,
      "threshold": 100,
      "predictedValue": "Security",
      "predictedSysId": ""
    }
  ],
  "2": [
    {
      "confidence": 99,
      "threshold": 17.77,
      "predictedValue": "Email",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 3.182137005157543,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 2.8773826570713514,
      "threshold": -1,
      "predictedValue": "Email (I/f)",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RemedialActionEngine - スコープ指定

RemedialActionEngine API には、修復アクションを操作するためのメソッドが用意されています。

この API は修復アクションフレームワークの一部であり、次のアクションを実行するために使用できます。

- 修復アクションを開始します。
- 修復アクションの実行をトリガーします。
- 修復アクションを実行するログインユーザーの権限を確認します。
- ターゲットレコードに対する修復アクションの適用性を確認します。
- ターゲットアクションの現在の実行ステータスと出力ペイロードを取得します。

この API には修復アクションフレームワーク (com.snc.sn_reacf) ストアアプリケーションが必要であり、 `sn_reacf` 名前空間内で提供されます。

RemedialActionEngine - beginRemediation (文字列 remedialAction, 文字列 parentTable, 文字列 parentRecord, オブジェクト actionParams, 文字列 targetRecord, 文字列 originRecord)

ターゲットレコードに対して親レコードから修復アクションを開始します。このメソッドは、「準備完了」ステータスで新しい修復アクション実行レコードを作成します。

注: 要求パラメーターを定義するときは、次の点に注意してください。

- パラメーターの型がオブジェクトまたは配列の場合は、各プロパティとその型を定義します。
- パラメータータイプが GlideRecord の場合は、関連するテーブルを要求に含めます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション	文字列または GlideRecord	femedial action [sn_reacf_remedial_action] テーブルの Sys_id または internal_name または GlideRecord。
parentTable	文字列	親レコードのテーブル名。
parentRecord	文字列	親レコードの sys_id。
actionParams	オブジェクト	オプション。修復アクションパラメーターの名前と値のマップ。 `{ "<parameter name>": <parameter value> }` **注:** パラメーター値は、修復アクションパラメーター [sn_reacf_remedial_action_parameter] テーブルで定義されたタイプである必要があります。
targetRecord	文字列または GlideRecord	オプション。設定されたターゲットテーブルの Sys_id または GlideRecord。
originRecord	文字列または GlideRecord	オプション。修復アクション作成元 [sn_reacf_remedial_action_origin] テーブルの Sys_id または GlideRecord。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	`{ "statusCode": "String", "actionExecutionRequestId": "String", "parentRecord": "String", "parentTable": "String" }`
<Object>.statusCode	修復アクション実行要求のステータスコード (成功、duplicate_request、失敗)
<Object>.actionExecutionRequestId	新しい修復アクション実行レコードまたは重複する同時修復アクション実行レコードのSys_id
<Object>.parentRecord	重複する同時修復アクション実行レコードの親レコードのSys_id。
<Object>.parentTable	重複する同時修復アクション実行レコードの親レコードのテーブル名。

次の例は、修復アクションを開始する方法を示しています。ここで、修復アクションは CI アクションを内部的に使用して CI のプロセスを強制終了します。

```
var remedialAction = "9ef9924c436521101a24ff53e9b8f2d2" //sys_id of the
 Action
var parentTable = "incident"; //table name of the Parent record
var parentRecord = "62733787871e25105763ec6d0ebb3579" //sys_id of the
 Parent record
var actionParams = {
    process_id: "322113"
}
var targetRecord = "af57a3418775e5105763ec6d0ebb356d"; //sys_id of the
 Target record
var originRecord = "26e78022c3d525104f1a722e3f40dd99"; //sys_id of the
 Origin record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var response = remedialActionEngine.beginRemediation(remedialAction,
 parentTable, parentRecord, actionParams, targetRecord, originRecord);

gs.info(JSON.stringify(response));
```

出力オブジェクト:

```
Case 1 :successful :
{
  'statusCode': 'successful',
  'actionExecutionRequestId: '979b6060a5954300964fa3aa92874155'

}

Case 2 :Duplicate :
{
  'statusCode': 'duplicate_request,
  'actionExecutionRequestId': '552c48888c033300964f4932b03eb092',
  'parentRecord' : '1a14620f973be110539e35d11153afc8',
  'parentTable': 'incident'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

Case 3 : Failed
{
  'statusCode': 'failed,
}
```

RemedialActionEngine - canCancel(文字列 remedialActionExecution)

このメソッドは、現在のユーザーが指定された修復アクションの実行をキャンセルできるかどうかを確認するために使用されます。

注: 要求パラメーターを定義するときは、次の点に注意してください。

- パラメーターの型がオブジェクトまたは配列の場合は、各プロパティとその型を定義します。
- パラメータータイプが GlideRecord の場合は、関連するテーブルを要求に含めます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション実行	文字列または GlideRecord	修復アクション実行 [sn_reacf_remedial_action_execution] テーブルの Sys_id または GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブール	修復アクション実行要求をキャンセルできるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定された修復アクション実行要求をキャンセルできます。 • false:指定された修復アクション実行要求をキャンセルできません。

次の例は、現在のユーザーが現在のステータスで修復アクションの実行をキャンセルできるかどうかを検証する方法を示しています。

```
var remedialActionExecutionId =
 "9ef9924c436521101a24ff53e9b8f2d2" //sys_id of
 sn_reacf_remedia_action_execution record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var canCancel = remedialActionEngine.canCancel(remedialActionExecutionId)

gs.info("canCancel: " + canCancel);
```

出力:

```
canCancel: true
```

RemedialActionEngine - cancelExecution(文字列 remedialActionExecution)

修復アクション実行要求をキャンセルし、実行レコードを「キャンセル」ステータスに更新して、成功した場合は true を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 要求パラメーターを定義するときは、次の点に注意してください。

- パラメーターの型がオブジェクトまたは配列の場合は、各プロパティとその型を定義します。
- パラメータータイプが GlideRecord の場合は、関連するテーブルを要求に含めます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション実行	文字列または GlideRecord	修復アクション実行 [sn_reacf_remedial_action_execution] テーブルの Sys_id または GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブール	修復アクション実行要求をキャンセルできるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定された修復アクション実行要求が正常にキャンセルされました。ステータスが true の場合、実行レコードのステータスが [キャンセル] に更新されます。 • false:指定された修復アクション実行要求は正常にキャンセルされませんでした。

次の例は、修復アクションの実行を現在の状態からキャンセルする方法を示しています。

```
var remedialActionExecutionId =
 "9ef9924c436521101a24ff53e9b8f2d2" //sys_id of
 sn_reacf_remedia_action_execution record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var cancelExecution =
 remedialActionEngine.cancelExecution(remedialActionExecutionId)

gs.info('cancelExecution: ' + cancelExecution);
```

出力:

```
cancelExecution : true
```

RemedialActionEngine - executeRemedialAction (文字列 remedialActionExecution)

開始され、現在準備完了ステータスになっている修復アクションの実行をトリガーします。このメソッドは、ターゲットアクション (CI アクションなど) を開始し、修復アクションの実行ステータスを [対応中] に移行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション実行	文字列または GlideRecord	修復アクション実行 [sn_reacf_remedial_action_execution] テーブルの Sys_id または GlideRecord。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	オブジェクトには、修復アクション実行のaction_execution_tableとaction_execution_idが含まれています。 `{ "action_execution_table": "String", "action_execution_id": "Sys_id" }`

次の例は、修復アクションを実行する方法を示しています。

```
var remedialActionExecution =
 "8ed58be387d2a5100295ebd73cbb35a3"; //Sys_id of the Remedial Action
 Execution record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var response =
 remedialActionEngine.executeRemedialAction(remedialActionExecution);
gs.info("Response: " + JSON.stringify(response, null, 2));
```

出力:

```
{
  "action_execution_table": "sn_cimaf_action_request",
  "action_execution_id": "2d7843a787d2a5100295ebd73cbb35d4"
}
```

RemedialActionEngine - getRemedialActionOutput (文字列 remedialActionExecution)

ターゲットアクションの現在の実行ステータスと出力ペイロードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション実行	文字列またはGlideRecord	修復アクション実行 [sn_reacf_remedial_action_execution] テーブルの Sys_id または GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	オブジェクトには、ターゲットアクションステータスの値と表示値を持つステータスオブジェクトと、修復アクション実行の一部として実行されるターゲットアクション出力を持つペイロードアレイが含まれています。 データタイプ：文字列 `{ "status": { "value": "completed", "displayValue": "Completed" }, "payload": [`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"{\"output\":\"SUCCESS: The process with PID 19604 has been terminated.\\r\\n\",\"cmd\":\"taskkill /pid 19604 /f\"}"
	]
	}</pre>

次の例は、ターゲットアクションの現在の実行ステータスと出力ペイロードを取得する方法を示しています。

```
var remedialActionExecution =
 "8ed58be387d2a5100295ebd73cbb35a3"; //sys_id of the Remedial Action
 Execution record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var response =
 remedialActionEngine.getRemedialActionOutput(remedialActionExecution);

gs.info("Response: " + JSON.stringify(response, null, 2));
```

出力:

```
{
  "status": {
    "value": "completed",
    "displayValue": "Completed"
  },
  "payload": [
    "{\"output\":\"SUCCESS: The process with PID 19604 has been
 terminated.\\r\\n\",\"cmd\":\"taskkill /pid 19604 /f\"}"
  ]
}
```

RemedialActionEngine - isApplicable (文字列 **remedialAction**, 文字列 **targetRecord**)

ターゲットレコードに対する修復アクションの適用性を確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション	文字列または GlideRecord	修復アクション [sn_reacf_remedial_action] テーブルの Sys_id、internal_name、または GlideRecord。
targetRecord	文字列または GlideRecord	設定されたターゲットテーブルの Sys_id または GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブール	修復アクションに対するターゲットレコードの適用性を示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:修復アクションは指定されたターゲットレコードに適用できます。 • false:修復アクションは指定されたターゲットレコードに適用できません。

次の例は、ターゲットレコードに対する修復アクションの適用性を確認する方法を示しています。

```
var remedialAction = "9ef9924c436521101a24ff53e9b8f2d2"; //Sys_id of the
 Remedial Action Execution record
var targetRecord = "df3799a387a921100295ebd73cbb35c4"; //Sys_id of the
 Target Record

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var isApplicable = remedialActionEngine.isApplicable(remedialAction,
 targetRecord);
gs.info("Is applicable: " + isApplicable);
```

出力:

```
Is applicable: true
```

RemedialActionEngine - isAuthorized(文字列 **remedialAction)**

ユーザーに修復アクションの実行権限があるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
修復アクション	文字列または GlideRecord	修復アクション [sn_reacf_remedial_action] テーブルの Sys_id、internal_name、または GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
ブール	ユーザーの認可の結果の成功ステータスを示すフラグ。 • true:ユーザーの認証が成功しました。 • false:ユーザーの認証に失敗しました。

次の例は、修復アクションを実行するための承認を確認する方法を示しています。

```
var actionSysId = "e62f550843e121101a24ff53e9b8f23b"; //Sys_id of the
 Action

var remedialActionEngine = new sn_reacf.RemedialActionEngine();
var isAuthorized = remedialActionEngine.isAuthorized(actionSysId);
gs.info("Is user authorized: " + isAuthorized);
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
Is user authorized: true
```

RenderProperties - グローバル

RenderProperties API は、現在のページに関する情報を取得するためのメソッドを提供し、Jelly スクリプト、UI アクション条件、およびスクリプトで使用できます。

RenderProperties の各メソッドには、静的変数 RP を使用してアクセスします。

RenderProperties - getEncodedQuery()

ページに送信された URL からエンコードクエリーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フォームに送信された URL からエンコードクエリーを返します。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている UI アクション名の条件で使用されます。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getEncodedQuery() != null &&
 (RP.getEncodedQuery().indexOf('table=global') < 0 &&
 RP.getEncodedQuery().indexOf('table=') >= 0)
```

RenderProperties - getListControl()

ページに対するリストコントロールオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
SysListControl オブジェクト	ページに対するリストコントロールオブジェクト。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

RenderProperties - getParameterValue(文字列 parameterName)

指定された URL パラメーターの値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
parameterName	文字列	URL で渡されるパラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	パラメーターの値。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている構成アイテムの [挿入と維持] UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && (!current.instanceOf('task')
 || gs.getProperty('glide.ui.task.insert') ==
 'true') && (!current.instanceOf('sys_db_object')) &&
 JSUtil.nil(RP.getParameterValue("sysparm_changeset"))
```

RenderProperties - getReferringURL()

要求の発信元の URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求の発信元のページの URL。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされているインポートセット行のインポートセット UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getReferringURL().indexOf("sys_import_set.do") == -1 && new
 global.ImportSetRowHelper().canReadImportSets();
```

RenderProperties - getViewID()

ページが使用しているビューを返します。

このメソッドはスコープ対象のアプリケーションでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	使用されているビューの sys_id。

RenderProperties - getViewName()

使用中のビューの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	使用されているビューの名前。

次の例は、アクションの割り当ての New という名前の条件で使用されます。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getViewName() != '' && RP.getViewName() != null && RP.getViewName() !=
 undefined
```

RenderProperties - getWindowProperties()

ウィンドウのプロパティを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ウィンドウのプロパティ

RenderProperties - isInDevStudio()

ページが Studio の一部である場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ページが Studio の一部である場合は true を返します。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

RenderProperties - isInteractive()

これがインタラクティブセッションである場合は true を返します。インタラクティブセッションは、REST 要求ではなく、ユーザーがログインしたときを指します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	これがインタラクティブセッションである場合は true です。

RenderProperties - isManyToMany()

`sysparm_collection_related_file` URL パラメーターが設定されている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	`sysparm_collection_related_file` URL パラメーターが設定されている場合は true を返します。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RenderProperties - isRelatedList()

`sys_is_related_list` URL パラメーターが true の場合は true を返します。このパラメーターが存在しない場合は false を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	URL パラメーター `sys_is_related_list` が true の場合は true。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && RP.isRelatedList()
```

RenderProperties - スコープ指定

`RenderProperties` API は、現在のページに関する情報を取得するためのメソッドを提供し、Jelly スクリプト、UI アクション条件、およびスクリプトで使用できます。

`RenderProperties` の各メソッドには、静的変数 `RP` を使用してアクセスします。

スコープ付き RenderProperties - getEncodedQuery()

ページに送信された URL からエンコードクエリーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フォームに送信された URL からのエンコードされたクエリ。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている UI アクション名の条件で使用されます。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getEncodedQuery() != null &&
 (RP.getEncodedQuery().indexOf('table=global') < 0 &&
 RP.getEncodedQuery().indexOf('table=') >= 0)
```

スコープ付き RenderProperties - getListControl()

ページに対するリストコントロールオブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScopedSysListControl オブジェクト	ページの Lst コントロールオブジェクト。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

スコープ付き RenderProperties - getParameterValue(String parameterName)

指定された URL パラメーターの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parameterName	文字列	URL で渡されるパラメーターの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	パラメーターの値。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている構成アイテムの [挿入と維持] UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && (!current.instanceOf('task')
 || gs.getProperty('glide.ui.task.insert') ==
 'true') && (!current.instanceOf('sys_db_object')) &&
 JSUtil.nil(RP.getParameterValue("sysparm_changeset"))
```

スコープ付き RenderProperties - getReferringURL()

要求の発信元の URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求が送信されたページの URL。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされているインポートセット行のインポートセット UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getReferringURL().indexOf("sys_import_set.do") == -1 && new
 global.ImportSetRowHelper().canReadImportSets();
```

スコープ付き RenderProperties - getViewName()

使用中のビューの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	使用されているビューの名前。

次の例は、アクションの割り当ての New という名前の条件で使用されます。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
RP.getViewName() != '' && RP.getViewName() != null && RP.getViewName() !=
 undefined
```

スコープ付き RenderProperties - getWindowProperties()

ウィンドウのプロパティを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ウィンドウのプロパティ。

スコープ付き RenderProperties - isInDevStudio()

ページが Studio の一部である場合は true を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	ページがスタジオの一部であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ページはスタジオの一部です。 • false: ページはスタジオの一部ではありません。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

スコープ付き RenderProperties - isInteractive()

これがインタラクティブセッションである場合は true を返します。インタラクティブセッションは、REST 要求ではなく、ユーザーがログインしたときを指します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	これがインタラクティブセッションかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インタラクティブセッション。 • false:インタラクティブセッションではありません。

スコープ付き RenderProperties - isManyToMany()

`sysparm_collection_related_file` URL パラメーターが設定されている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	`sysparm_collection_related_file` URL パラメーターが設定されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:パラメーターが設定されます。 • false:パラメーターが設定されていません。

次の例は、CAB アジェンダアイテムの New という名前の条件で使用されています。この UI アクションは、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && !RP.getListControl().isOmitNewButton() &&
 RP.isRelatedList() && !RP.isManyToMany() && !RP.isInDevStudio() && (new
 sn_change_cab.CABMeeting(parent)).canAddAgendaItem()
```

スコープ付き RenderProperties - isRelatedList()

`sys_is_related_list` URL パラメーターが true の場合は true を返します。このパラメーターが存在しない場合は false を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	URL パラメーター `sys_is_related_list` が `true` に設定されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true: `sys_is_related_list`に設定されます。 • false:`sys_is_related_list`は `false` に設定されます。

次の例は、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにリストされている UI アクションの条件で使用されています。「UI アクション」も参照してください。

```
current.canCreate() && RP.isRelatedList()
```

ReportCiStatusOutputJS - スコープ指定

`ReportCiStatusOutputJS` API は、*`DiscoveryAPI reportCiIpAddressStatus`* メソッドの特定のオブジェクトプロパティを返し、その情報を JSON 文字列に変換するメソッドを提供します。

このクラスは `sn_discovery` 名前空間で実行されます。

ReportCiStatusOutputJS - getCiOperationStatus()

スキャンされた CI のステータスを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これは、discovery_device_history テーブルの last_state フィールドと discovery_status テーブルの state フィールドに基づいて計算されたフィールドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	このメソッドによって返される可能性のある 3 つの状態は次のとおりです。 • 処理中:ディスカバリーはまだ要求を処理しています。 • 成功:CI が作成または更新されました。 • NotSuccessful:CI が作成または更新されず、ディスカバリーステータスが [完了] または [キャンセル] でした。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(CiOperationStatus): " +
 ipResultObj.getCiOperationStatus());
```

ReportCiStatusOutputJS - getCmdbCI()

スキャンされている CI のdiscovery_device_historyテーブルから cmdb_ci フィールドの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成または更新された CI のSys_id。CI が作成される前の中間結果の場合、この値は null にすることができます。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(cmdb): " + ipResultObj.getCmdbCI());
```

ReportCiStatusOutputJS - getDiscoveryState()

ディスカバリーステータス [discovery_status] テーブルの [ステータス] フィールドから値を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドによって返された値は、 getCiOperationStatus() メソッドによって返された値の計算に使用されます

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	このメソッドによって返される可能性のある状態は次のとおりです。 • 開始中 • アクティブ • 完了 • キャンセル

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(discoveryState): " +
 ipResultObj.getDiscoveryState());
```

ReportCiStatusOutputJS - getIpAddress()

スキャンされている CI のdiscovery_device_historyテーブルのソースフィールドから値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	スキャンされている CI の IP アドレス。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(IpAddress): " + ipResultObj.getIpAddress());
```

ReportCiStatusOutputJS - getIssues()

スキャンされている CI のdiscovery_device_historyテーブルの問題フィールドから値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
整数	この CI のこのディスカバリーの問題の数。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(issues): " + ipResultObj.getIssues());
```

ReportCiStatusOutputJS - getIssuesLink()

スキャンされている CI のdiscovery_device_historyテーブルの issues_link フィールドから値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	discovery_device_historyテーブルのissues_linkフィールド。 この値は、null または ディスカバリーステータスと CI (IP アドレス) に関連付けられた問題のリストを提供するページへのハイパーリンクを定義するアンカータグです。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(issues_link): " + ipResultObj.getIssuesLink());
```

ReportCiStatusOutputJS - toJson()

ReportCiStatusOutputJS オブジェクトをシリアル化します。

このメソッドは、メソッドがオブジェクトをシリアル化できない場合に、*IllegalArgumentException* 例外 `Cannot serialize object, e` をスローします。**e** は例外オブジェクトで、例外メッセージとトレースを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	*ReportCiStatusOutputJS* オブジェクトのインスタンスを JSON 文字列にシリアル化します。

```
var ipResultObj =
 sn_discovery.DiscoveryAPI.reportCiIpAddressStatus(ipAddress,
 discoveryStatus);
gs.info("ipResultObj(json): " + ipResultObj.toJson());
```

RequestAuthAPI - スコープ指定

RequestAuthAPI は、REST 要求に署名を適用するメソッドを提供します。

次の順序でこれらの API を使用して、送信署名要求を生成します。

1. *HttpRequestData*：API 要求を構築します。
2. *AuthCredential*：資格情報オブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新します。資格情報を使用して、*RequestAuthAPI* クラスで要求に署名します。
3. *RequestAuthAPI*：要求に署名し、HttpRequestAuthedData オブジェクトを返します。
4. *HttpRequestAuthedData*：署名された要求に関する情報を取得します。
5. *GlideHTTPRequest*：署名された要求を送信します。

これらの API を使用する前に、認証 アルゴリズムを構成し て要求に署名し、要求の認証に使用する認証情報に関連付ける必要があります。

この API は、`sn_auth` 名前空間識別子を持つスコープ対象スクリプト内で使用します。

RequestAuthAPI - RequestAuthAPI(オブジェクト **data**, オブジェクト **credential**)

REST 要求と資格情報を使用して RequestAuthAPI オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	未署名の REST 要求を含む HttpRequestData オブジェクト。このオブジェクトを構築するには *HttpRequestData* クラスを使用します。「HttpRequestData API」を参照してください。
credential	オブジェクト	資格情報 [discovery_credentials] テーブルのレコードを表すオブジェクト。このオブジェクトは *AuthCredential* クラスを使用して取得します。「AuthCredential API」を参照してください。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

 // Get a credential record
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("88772d0d40990
010f8772fdd9ebc8075");

// Instantiate a RequestAuthAPI object
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
```

RequestAuthAPI - generateAuth()

HttpRequestData オブジェクトに署名して、REST 要求での送信に使用する HttpRequestAuthedData オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HttpRequestAuthedData	オブジェクト。署名済みの結果に関する情報を取得するために使用するデータ。署名済みの結果を操作するには、*HttpRequestAuthedData* クラスのメソッドを使用します。「HttpRequestAuthedData API」を参照してください。

この例では、要求を作成し、*RequestAuthAPI* API に渡す資格情報レコードを取得します。次に、*generateAuth()* メソッドが要求に署名します。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

// Get a credential record
gs.info( "date:" + httpRequestData.getDate() );
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Create the RequestAuthAPI object and sign the request
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var output = signingAPI.generateAuth();
```

RequestAuthAPI - getAuthCredential()

要求の署名に使用された認証情報レコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
AuthCredential	オブジェクト。要求の署名に使用された認証情報レコードに関する情報を取得するために使用するデータ。資格情報を操作するには、*AuthCredential* クラスのメソッドを使用します。「AuthCredential API」を参照してください。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

// Get a credential record
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("5b61c16f73533
300f662cff8faf6a74b");

// Return the AuthCredential object
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var signingCredential = signingAPI.getAuthCredential();
```

RequestAuthAPI - getHttpRequestData()

RequestAuthAPI クラスをインスタンス化するために使用された HttpRequestData オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HttpRequestData	オブジェクト。未署名の REST 要求が含まれます。要求を操作するには、*HttpRequestData* クラスのメソッドを使用します。「HttpRequestData API」を参照してください。

```
// Define the HttpRequestData object
var endpoint= "https://third-party-endpoint";
var httpRequestData = new sn_auth.HttpRequestData();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
httpRequestData.setEndpoint(endpoint);
httpRequestData.setService('s3');
httpRequestData.setRegion('us-east-1');
httpRequestData.setHttpMethod("PUT");
var content = "Action=SendMessage&MessageBody=This is a test message";
httpRequestData.setContent(content);
httpRequestData.addHeader('x-amz-acl' , 'public-read' );

 // Get a credential record
var credential = new
 sn_cc.StandardCredentialsProvider().getAuthCredentialByID("88772d0d40990
010f8772fdd9ebc8075");

// Return the HttpRequestData object
var signingAPI = new sn_auth.RequestAuthAPI(httpRequestData, credential);
var unsignedRequest = signingAPI.getHttpRequestData();

gs.info("Endpoint is: " + unsignedRequest.getEndpoint());
```

出力:

```
Endpoint is: https://third-party-endpoint
```

RequestAuthAPI - resetAuthCredential()

サードパーティのリソースを制御するための一時的なセキュリティ資格情報を信頼できるユーザーに提供する際に使用できる、一時的な特権トークンを生成します。

このメソッドを使用するには、制限付きアクセストークンを処理および管理する API または SDK がサードパーティのサービスに含まれている必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Creates a temporary token
function(authAPI) {
    var requestData = authAPI.getHttpRequestData();
    var credential= authAPI.getAuthCredential();
    credential.setAttribute('Action', 'aws_sessionToken');
    authAPI.resetAuthCredential();

    //Returns status information
    var status = credential.getAttribute('credential_reset_status');
}
```

ResponseTemplate - スコープ指定、グローバル

ResponseTemplate スクリプトインクルードは、応答テンプレートを管理するためのメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答テンプレートは、エージェントがケースやタスクフォームにコピーできる再利用可能なメッセージです。ユーザーに一貫性のあるメッセージを瞬時に提供したり、エージェントチャットで要求者に標準的なチャット応答メッセージを表示したりします。 このスクリプトインクルードには、デフォルトで有効になっており、 `sn_templated_snip` 名前空間内で実行される Templated Responses プラグイン (com.sn_templated_snip) が必要です。

応答テンプレートの詳細については、「応答テンプレート」を参照してください。

ResponseTemplate - ResponseTemplate()

新しい ResponseTemplate オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
new
 sn_templated_snip.ResponseTemplate().query("incident","ef4225a40a0a0b570
0d0b8a790747812", "", 0, 0, true, "");
```

ResponseTemplate - query(文字列 **tableName**, 文字列 **recordId**, 文字列 **searchTerm**, 数字 **limit**, 数字 **offset**, ブーリアン **includeEvaluatedBody**, 文字列 **errorFormat**, オブジェクト **opts)**

指定されたテーブルから取得した、渡されたクエリー条件に一致するすべての応答テンプレートを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	sn_templated_snip_note_template テーブルを検索して対応する応答テンプレートを見つけるために使用するテーブルの名前。たとえば、incident や sn_hr_core_case などです。
recordId	文字列	応答テンプレートの変数をレンダリングするために使用するレコードのSys ID。
searchTerm	文字列	オプション。一致する応答テンプレートのリストをフィルタリングするために使用するテキスト。 このメソッドは、名前と本文のフィールドでこのテキストの CONTAINS 検索を実行し、短い名前のフィールドで STARTS WITH 検索を実行します。たとえば、検索用語が「crash」の場合、このメソッドは、クエリー条件に一致し、名前または本文に「crash」が含まれているか、短い名前が「crash」で始まる応答テンプレートを返します。 短い名前が完全に一致する応答テンプレートは、返される結果の最初に表示されます。返された他の応答テンプレートはすべて名前順にソートされます。 デフォルト：一致するすべての応答テンプレートを返します。
limit	数値	オプション。返される応答テンプレートの最大数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：50
offset	数字	オプション。ページネーションの場合は、検索を開始するインデックス。 デフォルト：0

includeEvaluatedBody	ブーリアン	オプション。テンプレートの変数をレンダリングするかどうかを示すフラグ。
		
		有効な値：
		
		• false：テンプレートの変数をレンダリングしない。応答にはメッセージ変数が含まれます。
		
		例：
		
		`ケース ${number} が ${assignment_group} にエスカレーションされました。`
		
		• true：テンプレート変数をレンダリングして、結果の中で *evaluated_response* を返します。
		
		例：
		
		`ケース INC100001 が施設にエスカレーションされました。`
		
		デフォルト値：false

errorFormat	文字列	オプション。エラーに使用する HTML 書式設定。 例： `"<span style='color:#ffff00'>${%s}</span>"` デフォルト：`"<span style='color:#ff0000'>${%s}</span>"`
opts	オブジェクト	オプション。sn_templated_snip.response_template 拡張ポイントに渡すパラメーター。これらのパラメーターの形式と内容は、拡張ポイントの実装によって異なります。拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された検索条件に一致するすべてのテンプレートのアレイ。短い名前が完全に一致する応答テンプレートは、返される結果の最初に表示されます。返された他の応答テンプレートはすべて名前順にソートされます。 アレイ内の各ノードには、次のパラメーターを含めることができます。 • *sys_id*：文字列。応答テンプレートの一意の識別子。 • *name*：文字列。応答テンプレートの名前。 • *short_name*：文字列。応答テンプレートの短い名前。 • *body*：HTML。応答テンプレートの本文。 • *short_name_match*：ブーリアン。応答テンプレートの短い名前が完全に一致したかどうかを示すフラグ。 • *evaluated_response*：アレイ。テンプレート評価の結果。 ◦ *success*：ブーリアン。すべての変数が適切にレンダリングされたかどうかを示すフラグ。 ◦ *evaluated_body*：HTML。レンダリングされた応答テンプレートの本文。 ◦ *error*：アレイ。発生した評価エラーそれぞれのエントリー。 ▪ *inAccessibleVariables*：文字列。解決できなかった応答テンプレート本文内の変数。 ▪ *unEvaluatedVariables*：文字列。評価されなかった応答テンプレート本文内の変数。 ▪ *message*：文字列。エラーメッセージ。

この例は、インシデントテーブルに関連付けられた応答テンプレートをクエリーする方法を示しています。

```
query("incident","ef4225a40a0a0b5700d0b8a790747812", "", 0, 0, false,
 "");
```

成功応答：

```
[
  {
    "sys_id": "5fc1d65993003300a9bc1d1e867ffb9c",
    "name": "Incident escalation",
    "short_name": "escalation",
    "template_body": "<p>Dear ${caller_id.first_name},</p>\r\n<p>Please
 note that your incident ${number} has been escalated to
 ${assignment_group}. An agent will be assigned on your case and will
 keep you updated. If you have more questions please reach out to our
 team.</p>\r\n<p>Regards,</p>\r\n<p>${sys_updated_by}</p>"
  }
]
```

エラー応答のある同じクエリー。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
query("incident","fe4225a40a0a0b5700d0b8a790747812", "", 0, 0, false,
 "");
```

エラー応答：

```
[
  {
    "sys_id": "5fc1d65993003300a9bc1d1e867ffb9c",
    "name": "Incident escalation",
    "short_name": "escalation",
    "template_body": "<p>Dear ${caller.first_name},</p>\r\n<p>Please note
 that your incident ${number} has been escalated to ${assignment_group}.
 An agent will be assigned on your case and will keep you
 updated. If you have more questions please reach out to our
 team.</p>\r\n<p>Regards,</p>\r\n<p>${sys_updated_by}</p>",
    "evaluated_response": {
      "success": false,
      "error": {
        "unEvaluatedVariables": "caller.first_name",
        "message": "Cannot evaluate following variables:
 caller.first_name"
      },
      "evaluated_body": "<p>Dear <span
 style='color:#ff0000'>${caller.first_name}</span>,</p>\r\n<p>Please
 note that your incident INC0000049 has been escalated to
 Hardware. An agent will be assigned on your case and will keep
 you updated. If you have more questions please reach out to our
 team.</p>\r\n<p>Regards,</p>\r\n<p>admin</p>"
    }
  }
]
```

ResponseTemplate - render(文字列 **templateId**, 文字列 **tableName**, 文字列 **recordId**, 文字列 **errorFormat**, オブジェクト **opts)**

指定された応答テンプレートの HTML 本文をレンダリングします。

レンダリング中に、指定されたテーブルとレコードの情報を使用してすべての変数が解決されます。変数を解決できない場合、またはレンダリング中に他の問題が発生した場合、メソッドは結果としてエラーメッセージを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateId	文字列	レンダリングする応答テンプレートのSys ID。
tableName	文字列	応答テンプレートで変数をレンダリングする際に使用するテーブルの名前。
recordId	文字列	応答テンプレートに変数をレンダリングするために使用するレコードのSys ID。このレコードは、*tableName*で指定されたテーブルに存在する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
errorFormat	文字列	オプション。エラーに使用する HTML 書式設定。 例： `"<span style='color:#ffff00'>${%s}</span>"` デフォルト：`"<span style='color:#ff0000'>${%s}</span>"`
opts	オブジェクト	オプション。sn_templated_snip.response_template 拡張ポイントに渡すパラメーター。これらのパラメーターの形式と内容は、拡張ポイントの実装によって異なります。拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	レンダリングの結果。 • *success*：レンダリングが成功したかどうかを示すフラグ。 • *evaluated_body*：文字列。成功した場合は、レンダリングされた応答テンプレートの本文。エラーの場合は、レンダリングされた変数とレンダリング不可能な変数の両方を含む応答テンプレート本文。 • *error*：オブジェクト。レンダリングに失敗した場合はエラーメッセージ。 ◦ *unEvaluatedVariables*：レンダリングできなかった変数。 ◦ *message*：エラーメッセージ。

このコード例は、インシデントテーブルに対してレンダリングされた応答テンプレートを要求する方法を示しています。

```
render("5fc1d65993003300a9bc1d1e867ffb9c","incident","ef4225a40a0a0b5700d
0b8a790747812", "")
```

成功応答：

```
{
  "success": true,
  "evaluated_body": "<p>Dear Beth,</p>\r\n<p>Please note that
 your incident INC0000049 has been escalated to Hardware.
 An agent will be assigned on your case and will keep you
 updated. If you have more questions please reach out to our
 team.</p>\r\n<p>Regards,</p>\r\n<p>admin</p>"
}
```

同じであるがエラー応答を返すレンダリング要求。

```
render("5fc1d65993003300a9bc1d1e867ffb9c","incident","ef4225a40a0a0b5700d
0b8a790747812", "")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラー応答：

```
{
  "success": false,
  "error": {
    "unEvaluatedVariables": "caller.first_name",
    "message": "Cannot evaluate following variables: caller.first_name"
  },
  "evaluated_body": "<p>Dear <span
 style='color:#ff0000'>${caller.first_name}</span>,</p>\r\n<p>Please
 note that your incident INC0000049 has been escalated to
 Hardware. An agent will be assigned on your case and will keep
 you updated. If you have more questions please reach out to our
 team.</p>\r\n<p>Regards,</p>\r\n<p>admin</p>"
}
```

RESTAPIRequest - スコープ対象、グローバル

RESTAPIRequest API には、スクリプト内のスクリプト化された REST API 要求の詳細にアクセスできるメソッドが用意されています。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

注: このタイプのオブジェクトはインスタンス化できません。このタイプのオブジェクトは自動的に作成され、Scripted REST API リソーススクリプトでのみアクセスできます。

RESTAPIRequest - body

要求の本文。

フィールド

名前	タイプ	説明
本文	RESTAPIRequestBody	要求の本文。RESTAPIRequestBody API を使用して、本文オブジェクトからデータにアクセスできます。

```
var requestBody = request.body // Returns instance of RESTAPIRequestBody
```

RESTAPIRequest - getHeader(文字列 header)

Web サービス要求から特定のヘッダーの値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
header	文字列	ヘッダーの名前 (*accept* や *content-type*など)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたヘッダーの値。

```
var acceptHeader = request.getHeader('accept');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTAPIRequest - getSupportedResponseContentTypes()

要求の [受け入れ] ヘッダーで指定されたコンテンツタイプを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	各文字列がコンテンツタイプである文字列値のアレイ (application/json など)。

RESTAPIRequest - headers

要求のすべてのヘッダー。

フィールド

名前	タイプ	説明
headers	オブジェクト	要求のすべてのヘッダーとその値。

```
var headers = request.headers;
var acceptHeader = headers.Accept;
var myCustomHeader = headers.myCustom;
var specialHeader = headers['special - header'];
```

RESTAPIRequest - pathParams

要求 URI で渡されるパスパラメーター。

フィールド

名前	タイプ	説明
pathParams	オブジェクト	スクリプトオブジェクトとしてのパスパラメーター。使用可能なパスパラメーターは、Web サービスの構成によって異なります。

この例では、Scripted REST API のエンドポイントが `https://instance.service-now.com/api/now/myservice/{tableName}/{id}` の形式に従って設定されます。処理中の要求は、`https://instance.service-now.com/api/now/myservice/myApp_table/1234` という URL を使用します。

```
var pathParams = request.pathParams;
var tableName = pathParams.tableName; //'myApp_table'
var id = pathParams.id; //'1234'
```

RESTAPIRequest - queryParams

Web サービス要求からのクエリパラメーター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
queryParams	アレイ	Web サービス要求からのクエリパラメーター。

この例では、処理される要求はこの URL (`https://<instance_rest_endpoint>?active=false&name=now`) を使用します。*`active`* および *`name`* パラメーターに注意してください。

```
var queryParams = request.queryParams;
var isActiveQuery = queryParams.active; // [false]
var nameQueryVal = queryParams.name; // ['now']
```

RESTAPIRequest - queryString

エンドポイント URI に追加されたクエリー全体。

フィールド

名前	タイプ	説明
queryString	文字列	リクエストに対するクエリー全体。

この例では、処理される要求は `https://<instance_rest_endpoint>?active=false&name=now` という URL を使用します。`active=false&name=now` というクエリーに注意してください。

```
var query = request.queryString; //"active=false&name=now"
```

RESTAPIRequest - uri

ドメイン情報を除いた要求 URI。

フィールド

名前	タイプ	説明
URI	文字列	ドメイン情報を除いた要求 URI。

この例では、処理される要求は `https://instance.service-now.com/api/now/table/myTable?active=false&name=now` という URL を使用します。

```
var query = request.uri; //"api/now/table/myTable"
```

RESTAPIRequest - url

要求 URL の全体。

フィールド

名前	タイプ	説明
url	文字列	要求 URL の全体。

この例では、処理される要求は `https://instance.service-now.com/api/now/table/myTable?active=false&name=now` という URL を使用します。

```
var query =
 request.url; //
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"https://instance.service-now.com/api/now/table/myTable?active=false&name
=now"
```

RESTAPIRequestBody - スコープ対象、グローバル

RESTAPIRequestBody API は、スクリプト内のスクリプト化された REST API 要求の本文コンテンツにアクセスできるメソッドを提供します。

RESTAPIRequestBody オブジェクトの形式は、要求のコンテンツタイプのヘッダー値に応じて JSON または XML になります。

注: このタイプのオブジェクトはインスタンス化できません。このタイプのオブジェクトは自動的に作成され、Scripted REST API リソーススクリプトでのみアクセスできます。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

JSON 形式の単一エントリの example-request-body。

```
{
 "name": "user1",
 "id": 1234,
 "roles": [
  {
   "name": "admin"
  },
  {
   "name": "itil"
  }
 ]
}
```

JSON 形式の複数エントリの example-request-body。

```
[{
 "name": "user1",
 "id": 1234,
 "roles": [
  {
   "name": "admin"
  },
  {
   "name": "itil"
  }
 ]
},{
 "name": "user2",
 "id":9876,
 "roles": [
  {
   "name":"admin"
  }
 ]
}]
```

RESTAPIRequestBody - data

要求本文のコンテンツ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: REST Web サービスは、ストリームを介して data、datastream、および dataString を使用します。ストリームは 1 回のみ使用されるため、呼び出すことができるのは 1 つのみです。たとえば、data と dataString の両方を呼び出す場合、2 回目の呼び出しは空を返します。

フィールド

名前	タイプ	説明
data	オブジェクトまたはアレイ	要求コンテンツ。要求に応じて単一のオブジェクトになる場合と、オブジェクトのアレイになる場合があります。

```
var entry;
var id;
var requestBody = request.body;
var requestData = requestBody.data; //May be an array or a single object
if (requestData instanceof Array) {
 entry = requestData[0].name; // 'user1'
 id = requestData[0].id; // '1234'
} else {
 entry = requestData.name; // 'user1'
 id = requestData.id; // '1234'
}
```

RESTAPIRequestBody - dataStream

ストリーム形式での要求本文のコンテンツ。

注: REST Web サービスは、ストリームを介して data、datastream、および dataString を使用します。ストリームは 1 回のみ使用されるため、呼び出すことができるのは 1 つのみです。たとえば、data と dataString の両方を呼び出す場合、2 回目の呼び出しは空を返します。

フィールド

名前	タイプ	説明
dataStream	オブジェクト	要求本文のコンテンツ。要求から添付ファイルを作成したり、別のエンドポイントに要求を転送したりするために、ストリームを別の API に渡すことができます。

```
var requestBody = request.body;
var requestStream = requestBody.dataStream;
```

RESTAPIRequestBody - dataString

文字列形式での要求本文のコンテンツ。

注: REST Web サービスは、ストリームを介して data、datastream、および dataString を使用します。ストリームは 1 回のみ使用されるため、呼び出すことができるのは 1 つのみです。たとえば、data と dataString の両方を呼び出す場合、2 回目の呼び出しは空を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
dataString	文字列	要求本文のコンテンツ。

```
var requestBody = request.body;
var requestString = requestBody.dataString;
```

RESTAPIRequestBody - hasNext()

要求本文に追加のエントリーがあるかどうかを判断します。

このメソッドを *nextEntry()* メソッドと一緒に使用して、複数の要求本文エントリーを反復処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	要求本文に追加のエントリーがあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：追加のエントリーが利用可能です。*nextEntry()* が呼び出されると、一致する最後のレコードがロードされるまで *hasNext()* が true のままになります。 • false：追加のエントリーはありません。

```
var requestBody = request.body;
requestBody.hasNext(); // returns true if the request contains a single
 entry or multiple entries
requestBody. nextEntry(); // returns next available entry

//calling second time
requestBody.hasNext(); // returns false if the request contains a single
 entry, or true if the request contains multiple entries
```

RESTAPIRequestBody - nextEntry()

要求本文から 1 つのエントリーをスクリプトオブジェクトとして取得します。

このメソッドを hasNext() メソッドと一緒に使用して、複数の要求本文エントリーを反復処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求本文からの単一のエントリー。

```
var requestBody = request.body;
var requestEntry = requestBody.nextEntry(); // returns available entry if
 there is only one entry, or the first entry if there are multiple.
var name = requestEntry.name; // 'user1'

// Calling second time
requestEntry = requestBody.nextEntry(); // returns undefined if there is
 only one entry, or the second entry if there are multiple.
```

この例では、hasNext() と nextEntry() を一緒に使用する方法を示します。

```
var requestBody = request.body;
while(requestBody.hasNext()){
var entry = requestBody.nextEntry();
}
```

RESTAPIResponse - スコープ対象、グローバル

RESTAPIResponse API は、スクリプト化された REST API 要求に対する RESTful 応答を作成できるメソッドを提供します。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

注: このタイプのオブジェクトはインスタンス化できません。このタイプのオブジェクトは自動的に作成され、Scripted REST API リソーススクリプトでのみアクセスできます。

RESTAPIResponse - getStreamWriter()

この応答の ResponseStreamWriter を返します。それによって、応答ストリームに直接書き込むことができます。

setHeaders および *setStatus* 関数を使用してコンテンツタイプとステータスコードを設定してから、*getStreamwriter* 関数を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
RESTAPIResponseStream - スコープ対象、グローバル	この応答の ResponseStreamWriter。このオブジェクトを使用して、応答ストリームに直接書き込むことができます。

```
response.setContentType('application/json');
response.setStatus(200);
var writer = response.getStreamWriter();
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

RESTAPIResponse - setBody(オブジェクト **body**)

Web サービス応答で送信する本文のコンテンツを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
body	オブジェクト	JavaScript オブジェクトとしての応答の本文。 本文のコンテンツは、要求で渡された *Accept* ヘッダーの値に応じて JSON または XML に自動的にシリアル化されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var body = {};
body.name = "incident";
body.number = "1234";
body.caller = {"id": "user1"};
response.setBody(body);
```

```
var bodyArray = [];
var body = {};
body.name = "incident";
body.number = "1234";
body.caller = {"id":"user1"};
bodyArray.push(body);
response.setBody(bodyArray);
```

RESTAPIResponse - setContentType(文字列 **contentType**)

Web サービス応答の Content-Type ヘッダーに値を割り当てます。

応答を書き込む前に、応答のコンテンツタイプを設定する必要があります。コンテンツタイプは、要求の [受け入れ] ヘッダーの値に基づいて、文字列応答に対して自動的に設定されます。

無効なコンテンツタイプを設定すると、応答はデフォルトで JSON になります。コンテンツタイプを設定しないと、バイナリ応答の送信時にステータスコード 500 のエラーが発生します。

このヘッダーの詳細については、W3 Content-Type ヘッダーに関するドキュメント を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contentType	文字列	応答本文のコンテンツタイプ (application/json など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
response.setContentType('application/json');
```

RESTAPIResponse - setError(オブジェクト **error)**

エラーを返すように REST 応答を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
error	オブジェクト	エラーオブジェクト。 使用できるエラー オブジェクトの種類の詳細については、「Scripted REST API の例 - スクリプトサンプル」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スクリプト化された REST リソース内からエラーを返す方法を示しています。

```
var queryParams = request.queryParams;
var userId = String(queryParams.user_id || '');
var fileId = String(queryParams.file_id || '');
if (!userId || !fileId){
  response.setError(new sn_ws_err.BadRequestError('Missing required
 parameters.'));
  return;
}
```

RESTAPIResponse - setHeader(文字列 **header**, 文字列 **value)**

REST サービス応答ヘッダーに値を割り当てます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
header	文字列	設定するヘッダー。
value	文字列	指定されたヘッダーに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
response.setHeader("Location","<URI>");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTAPIResponse - setHeaders(オブジェクト **headers)**

Web サービス応答のヘッダーを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headers	オブジェクト	各ヘッダーとそのヘッダーに割り当てる値をリストする JavaScript オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var headers = {};
headers.X-Total-Count=100;
headers.Location='https://
instance.service-now.com/<endpoint_to_resource>';
response.setHeaders(headers);
```

RESTAPIResponse - setLocation(文字列 **location)**

Web サービス応答の Location ヘッダーに値を割り当てます。

このヘッダーの詳細については、W3 Location ヘッダーに関するドキュメント を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし	文字列	応答の受信者のリダイレクト先となる絶対 URI。

返される内容

タイプ	説明
なし	

RESTAPIResponse - setStatus(数字 **status)**

Web サービス応答のステータスコード番号を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
status	数字	応答内で送信するステータスコード (成功を示す 200 など)。文字列などの数字でない値を渡すと、ステータスコードはデフォルトで 0 になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
response.setStatus(200);
```

RESTAPIResponseStream - スコープ対象、グローバル

RESTAPIResponseStream API には、スクリプト化された REST API 応答ストリームに直接書き込むことができるメソッドが用意されています。

スクリプト済み REST API 機能で Web サービス API をビルドするには、*RESTAPIResponseStream* メソッドを使用します。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

注: このタイプのオブジェクトはインスタンス化できません。このタイプのオブジェクトは自動的に作成され、Scripted REST API リソーススクリプトでのみアクセスできます。

RESTAPIResponseStream - writeStream(オブジェクトstream)

入力ストリームを応答ストリームに書き込みます。

writeStream() メソッドを呼び出す前にコンテンツタイプとステータスコードを設定する必要があります。そうしないと、応答が失敗します。*writeStream()* メソッドを呼び出した後は、これらの値を変更できません。

注:

サードパーティのサービスからストリームを取得するのは、スクリプト作成者の責任です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
stream	オブジェクト	サードパーティのサービスからの添付ファイルまたは応答ストリーム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スコープ対象のアプリケーション用のコードです。

```
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {

    response.setContentType('application/json');
    response.setStatus(200);

    var gsa = new GlideSysAttachment();
    var attachmentStream = new gsa.getContentStream(<sys_id of
 attachment>);
    var writer = response.getStreamWriter();
    writer.writeStream(attachmentStream);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
})(request, response);
```

次の例は、グローバルアプリケーション用のコードです。

```
(function process(/*RESTAPIRequest*/ request, /*RESTAPIResponse*/
 response) {

    response.setContentType('application/json');
    response.setStatus(200);

    var attachmentStream = new GlideSysAttachmentInputStream(<sys_id of
 attachment>);
    var writer = response.getStreamWriter();
    writer.writeStream(attachmentStream);

})(request, response);
```

RESTAPIResponseStream - writeString(文字列 data)

文字列データを応答ストリームに書き込みます。

writeString() メソッドを呼び出す前にコンテンツタイプとステータスコードを設定する必要があります。そうしないと、応答が失敗します。*writeString()* メソッドを呼び出した後は、これらの値を変更できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	文字列	応答データに追加する文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
response.setContentType('application/json');
response.setStatus(200);
var writer = response.getStreamWriter();
var body ={
  name:user1,
  id: 1234,
  roles: [
    {
      name: admin
    },
    {
      name: itil
    }
  ]
}
writer.writeString("{'name':'user','id':'1234'}");
writer.writeString(JSON.stringify(body));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTMessageV2 - スコープ対象、グローバル

RESTMessageV2 API には、JavaScript を使用して送信 REST メッセージを送信できるメソッドが用意されています。

この API を使用して、REST プロバイダーから返される応答を管理します。

ユーザーエージェントの値は「ServiceNow/1.0」です。これを変更するには、glide.http.user.agent システムプロパティをシステムのプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

RESTMessageV2 - RESTMessageV2()

空の RESTMessageV2 オブジェクトをインスタンス化します。

この方法でインスタンス化されたオブジェクトを使用する場合は、HTTP メソッドとエンドポイントを手動で指定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2();
```

RESTMessageV2 - RESTMessageV2(文字列 **name**, 文字列 **methodName**)

REST メッセージレコードの情報を使用して RESTMessageV2 オブジェクトをインスタンス化します。

このコンストラクターを使用する前に、REST メッセージレコードを定義する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	REST メッセージレコードの名前。
methodName	文字列	使用する HTTP メソッドの名前 (GET/get や PUT/put など。大文字と小文字を区別しない)

次の例では、*REST_message_record* をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
```

RESTMessageV2 - disableForcedVariableSubstitution()

送信 REST メッセージの強制変数代替を無効にします。

注: 要求で中括弧またはドル記号を使用すると、誤って切り捨てられた出力が返される場合があります。要求によって応答が誤って切り捨てられたり、応答が新しい行に分割されたりする場合は、 このコミュニティ記事で 考えられる解決策を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get");
sm.disableForcedVariableSubstitution();
var response = sm.execute();
```

RESTMessageV2 - execute()

REST メッセージをエンドポイントに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
RESTResponse	REST プロバイダーによって返される応答。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute(); //Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because of
 encryption/decryption of password.
```

RESTMessageV2 - executeAsync()

REST メッセージを非同期でエンドポイントに送信します。非同期呼び出しを行うときに、インスタンスは Web サービスプロバイダーからの応答を待機しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
RESTResponse	REST プロバイダーによって返される応答。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。executeAsync を使用する場合は、非同期呼び出しを利用して応答本文を別のビジネスルールで処理する方法を検討してください。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.executeAsync(); //Might throw exception if http
 connection timed out or some issue with sending request itself because
 of encryption/decryption of password.
```

RESTMessageV2 - getEndpoint()

REST メッセージのエンドポイントの URL を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	REST Web サービスプロバイダーの URL。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var endpoint = sm.getEndpoint();
```

RESTMessageV2 - getRequestBody()

REST メッセージ本文のコンテンツを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	REST メッセージの本文。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var body = sm.getRequestBody();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTMessageV2 - getRequestHeader(文字列 **headerName)**

REST メッセージで指定された HTTP ヘッダーの値を取得します。

デフォルトでは、このメソッドはシステムによって自動的に設定されたヘッダーの値を返すことはできません。このメソッドにすべてのヘッダーへのアクセスを許可するには、プロパティ glide.http.log_debug を true に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerName	文字列	値を取得する要求ヘッダー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたヘッダーの値。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var header = sm.getRequestHeader("Accept");
```

RESTMessageV2 - getRequestHeaders()

REST クライアントによって設定された HTTP ヘッダーと関連する値を取得します。

このメソッドは、システムによって自動的に設定されたヘッダーを返しません。このメソッドがすべてのヘッダーを返すように設定するには、プロパティ glide.http.log_debug を true に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各ヘッダーの名前を関連する値にマッピングするオブジェクト。

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var headers = sm.getRequestHeaders();
```

RESTMessageV2 - saveResponseBodyAsAttachment(文字列 **tableName**, 文字列 **recordSysId**, 文字列 **fileName)**

返された応答本文を添付ファイルレコードとして保存するように REST メッセージを設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MID サーバーを介して送信される REST メッセージでこの機能を使用する場合、MID Server ユーザーは、添付ファイルレコードの読み取りと書き込みに必要なロールと、*tableName* パラメーターで指定されたテーブルでのレコードの読み取りと書き込みに必要なロールを持っている必要があります。

応答本文は、バイナリファイルである必要はなく、添付ファイルとして保存できます。JSON や XML などのテキスト形式を使用した応答本文も保存できます。インスタンスが添付ファイルを保存できない場合は、関連する RESTResponseV2 オブジェクトで *getErrorMessage()* を呼び出して、エラーの詳細を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	保存したファイルを添付するレコードを含むテーブルを指定します。
recordSysId	文字列	保存したファイルを添付するレコードの sys_id を指定します。
fileName	文字列	保存するファイルに付けるファイル名を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function sampleRESTMessageV2() {
  try{
    var request  = new sn_ws.RESTMessageV2();
    request.setHttpMethod('get');

    var attachment_sys_id  = '<attachment_record_sys_id>',
      tablename = 'incident',
      recordSysId = '<incident_sys_id>',
      response,
      httpResponseStatus,
      filename ='<filename>';

    //endpoint - ServiceNow REST Attachment API

 request.setEndpoint('https://
<instance_name>.service-now.com/api/now/attachment/' + attachment_sys_id
 +'/file');
    request.setBasicAuth('<username>', '<password>');

    //RESTMessageV2 - saveResponseBodyAsAttachment(String tableName,
 String recordSysId, String fileName)
    request.saveResponseBodyAsAttachment(tablename, recordSysId,
 filename);

    response = request.execute();
    httpResponseStatus = response.getStatusCode();

    gs.info(" http response status_code:  " + httpResponseStatus);
  }
  catch(ex){
    var message  = ex.getMessage();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info(message);
  }
})();
```

RESTMessageV2 - saveResponseBodyAsAttachment(文字列 **tableName**, 文字列 **recordSysId**, 文字列 **fileName**, 文字列 **encryptContext)**

返された応答本文を暗号化された添付ファイルレコードとして保存するように REST メッセージを設定します。

MID サーバーを介して送信される REST メッセージでこの機能を使用する場合、MID Server ユーザーは、添付ファイルレコードの読み取りと書き込みに必要なロールと、*tableName* パラメーターで指定されたテーブルでのレコードの読み取りと書き込みに必要なロールを持っている必要があります。

応答本文は、バイナリファイルである必要はなく、添付ファイルとして保存できます。JSON や XML などのテキスト形式を使用した応答本文も保存できます。インスタンスが添付ファイルを保存できない場合は、関連する RESTResponseV2 オブジェクトで *getErrorMessage()* を呼び出して、エラーの詳細を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	保存したファイルを添付するレコードを含むテーブルを指定します。
recordSysId	文字列	保存したファイルを添付するレコードの sys_id を指定します。
fileName	文字列	保存するファイルに付けるファイル名を指定します。
encryptContext	文字列	暗号化コンテキストの sys_id を指定します。保存されたファイルは、このコンテキストを使用して暗号化されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

RESTMessageV2 - setAuthenticationProfile(文字列 **type**, 文字列 **profileId)**

既存の基本認証または OAuth 2.0 プロファイルを使用して、REST メッセージの資格情報を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	使用する認証プロファイルのタイプ。有効な値は、基本認証を使用する場合は「basic」、OAuth 2.0 を使用する場合は「oauth2」です。
profileId	文字列	認証プロファイルレコードの sys_id。基本認証を使用する場合は、基本認証構成 [sys_auth_profile_basic] レコードの sys_id を指定します。OAuth 2.0 を使用する場合は、OAuth エンティティプロファイル [oauth_entity_profile] レコードの sys_id を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var requestBody;
var responseBody;
var status;
var sm;
try{
       // Might throw exception if message doesn't exist or not visible
 due to scope.
 sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>", "get");

       //set auth profile to an OAuth 2.0 profile record.
 sm.setAuthenticationProfile('oauth2', '1234adsf123212131123qasdsf');

 sm.setStringParameter("symbol", "NOW");
 sm.setStringParameterNoEscape("xml_data","<data>test</data>");

       //In milliseconds. Wait at most 10 seconds for response from http
 request.
 sm.setHttpTimeout(10000);
       //Might throw exception if http connection timed out or some issue
       //with sending request itself because of encryption/decryption of
 password.
 response = sm.execute();
       responseBody = response.haveError() ? response.getErrorMessage() :
 response.getBody();
 status = response.getStatusCode();
} catch(ex) {
 responseBody = ex.getMessage();
 status = '500';
} finally {
 requestBody = sm ? sm.getRequestBody():null;
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTMessageV2 - setBasicAuth(文字列 **userName**, 文字列 **userPass)**

REST メッセージの基本認証ヘッダーを設定します。

この方法を使用してセキュリティ値を設定すると、REST メッセージレコードに対して定義された基本認証値が上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userName	文字列	REST メッセージの認証に使用するユーザー名。
userPass	文字列	指定されたユーザーのパスワード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setBasicAuth("username","password");
```

RESTMessageV2 - setEccCorrelator(文字列 **correlator)**

送信要求と ECC キュー内の結果の応答レコードを関連付けます。このメソッドは、MID サーバー を介して送信される REST メッセージにのみ適用されます。

提供されたコリレーターは、応答の ECC キューレコードの [エージェントコリレーター] フィールドに入力されます。MID サーバーを介して非同期自動化を設計するときに、それぞれの送信要求に一意のコリレーターを提供して、ECC キュー内の正しい結果を要求に関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
correlator	文字列	一意の識別子

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setEccCorrelator("unique_identifier");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTMessageV2 - setEccParameter(文字列 **name**, 文字列 **value)**

REST メッセージペイロードに書き込むことで、データベースの値を上書きします。このメソッドは、MID サーバーを介して送信される REST メッセージにのみ適用されます。

エンドポイント URL が REST エンドポイントの最大フィールド長よりも長い場合など、データベース内の REST メッセージにある値が無効な場合は、このメソッドを使用します。ソースを name パラメーターとして渡すことで、このメソッドを使用してエンドポイント URL のみを設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	パラメーターの名前 (source など)。
value	文字列	指定されたパラメータに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record* をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setEccParameter("source","http://very.long.endpoint.url");
```

RESTMessageV2 - setEndpoint(文字列 **endpoint)**

REST メッセージのエンドポイントを設定します。

デフォルトでは、REST メッセージは REST メッセージレコードで指定されたエンドポイントを使用します。このメソッドを使用して、このデフォルトを上書きします。パラメーターなしで RESTMessageV2 - RESTMessageV2() コンストラクターを使用する場合は、このメソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
endpoint	文字列	連携する REST プロバイダーの URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2();
sm.setEndpoint("http://web.service.endpoint");
```

RESTMessageV2 - setHttpMethod(文字列 **method)**

この REST メッセージが実行する HTTP メソッド (GET や PUT など) を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーターなしで RESTMessageV2 - RESTMessageV2() コンストラクターを使用する場合は、HTTP メソッドを設定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
method	文字列	実行する HTTP メソッド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2();
sm.setHttpMethod("post");
```

RESTMessageV2 - setHttpTimeout(数字 timeoutMs)

要求がタイムアウトするまでに REST メッセージが Web サービスプロバイダーからの応答を待機する時間を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutMs	数字	REST プロバイダーへの呼び出しがタイムアウトするまでの時間 (ミリ秒)。 **注:** この値はソケットのタイムアウトを設定するものであり、ソケットが指定された時間内にデータを受信しない場合にのみタイムアウトします。応答がストリーミングされる環境では、接続がタイムアウト値よりも長くなる可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例を使用するには、*<REST_message_record>* をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
// Might throw exception if message doesn't exist or not visible due to
 scope.
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>", "get");
sm.setHttpTimeout(6000);
```

RESTMessageV2 - setLogLevel(文字列 level)

このメッセージおよび対応する応答のログレベルを設定します。

RESTMessageV2 API を使用してログレベルを設定すると、REST メッセージレコードで設定されたログレベルが上書きされます。エンドポイントドメインが除外されている場合、またはプロパティ *glide.outbound_http_log.override* が true の場合、このログレベルは適用されません。送信 Web サービスのログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > 送信 **HTTP** 要求.

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメータ

名前	タイプ	説明
level	文字列	ログレベル。有効な値は、basic、elevated、および all です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var rm = new sn_ws.RESTMessageV2();
rm.setLogLevel('all');
```

RESTMessageV2 - setMIDServer(文字列 midServer)

MID サーバー を介して通信するように REST メッセージを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
midServer	文字列	使用する MID サーバー の名前。インスタンスには、名前が指定されたアクティブな MID サーバー が必要です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setMIDServer("mid_server_name");
```

RESTMessageV2 - setMutualAuth(文字列 profileName)

REST メッセージの相互認証プロトコルプロファイルを設定します。

このメソッドを使用してプロトコルプロファイルを設定すると、REST メッセージレコードに対して選択されたプロトコルプロファイルが上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
profileName	文字列	相互認証に使用するプロトコルプロファイルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setMutualAuth("mutual_auth_profile_name");
```

RESTMessageV2 - setQueryParameter(文字列 **name**, 文字列 **value)**

name=value の形式で要求 URL の末尾にパラメーターを追加します。

たとえば、setQueryParameter("sysparm_query","active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory"); というコードは、sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory というテキストを要求 URL に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	渡す URL パラメーターの名前。
value	文字列	URL パラメーターに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2();
//Set up message, including endpoint and authentication
sm.setQueryParameter("sysparm_query","active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDE
SCcategory");
```

RESTMessageV2 - setRequestBody(文字列 **body)**

PUT または POST HTTP メソッドを使用するときに Web サービスプロバイダーに送信する本文のコンテンツを設定します。

この方法を使用して本文のコンテンツを設定すると、本文の変数が REST メッセージ関数レコードのパラメーターに置き換えられません。REST メッセージ本文内のすべての値を明示的に定義する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
body	文字列	送信する要求の本文。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Update user","post"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var body = "<Message body content>";
sm.setRequestBody(body);
```

RESTMessageV2 - setRequestBodyFromAttachment(文字列 **attachmentSysId)**

既存の添付ファイルレコードを使用して要求本文を設定します。

MID サーバー を介して送信される REST メッセージでこの関数を使用する場合、添付ファイルレコードを読み取るために必要なロールを MID サーバー ユーザーが持っている必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attachmentSysId	文字列	この REST メッセージで送信する添付ファイル [sys_attachment] レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function sampleRESTMessageV2() {
    try {
        var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
        request.setHttpMethod('post');
        request.setEndpoint('<web service endpoint URL>');
        request.setRequestBodyFromAttachment('<attachment sys_id>');

        var response = request.execute();
        var httpResponseStatus = response.getStatusCode();

        gs.info("http response status_code: " + httpResponseStatus);
    }
    catch (ex) {
        var message = ex.getMessage();
        gs.info(message);
    }
})();
```

RESTMessageV2 - setRequestHeader(文字列 **name**, 文字列 **value)**

REST メッセージ内の HTTP ヘッダーを指定された値に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ヘッダーの名前。
value	文字列	指定されたヘッダーに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setRequestHeader("Accept","Application/json");
```

RESTMessageV2 - setRequestorProfile(文字列 **requestorContext**, 文字列 **requestorId)**

別の要求者に関連付けられた OAuth アクセストークンを取得するために、REST メッセージのデフォルトの要求者プロファイルを上書きします。

このメソッドは、OAuth 2.0 認証を使用するように設定された REST メッセージにのみ適用されます。このメソッドはオプションであり、ほとんどの構成では不要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorContext	文字列	
requestorId	文字列	

返される内容

タイプ	説明
なし	

RESTMessageV2 - setStringParameter(文字列 **name**, 文字列 **value)**

REST メッセージレコードの、指定の名前の REST メッセージ関数の変数を、指定した値に設定します。

値の中の XML 予約文字は、同等のエスケープ文字に変換されます。*setStringParameterNoEscape* を使用して、XML 予約文字をエスケープせずに変数を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	REST メッセージ変数の名前。このパラメーターを REST メッセージ レコードで定義してから、値を割り当てる必要があります。
value	文字列	変数に割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setStringParameter("s","NOW");
```

RESTMessageV2 - setStringParameterNoEscape(文字列 **name**, 文字列 **value)**

REST メッセージレコードの、指定の名前の REST メッセージ関数の変数を、指定した値に設定します。

このメソッドは *setStringParameter* と同等ですが、XML 予約文字をエスケープしません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	REST メッセージ変数の名前。このパラメーターを REST メッセージ レコードで定義してから、値を割り当てる必要があります。
value	文字列	変数に割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*REST_message_record*をインスタンスからの REST メッセージの名前で置き換えます。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("<REST_message_record>","get"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setStringParameterNoEscape("s","NOW");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTResponseV2 - スコープ対象、グローバル

RESTResponseV2 API は、送信 REST メッセージによって返されたデータを JavaScript コードで使用できるようにするメソッドを提供します。

RESTResponseV2 オブジェクトは、 *RESTMessageV2* メソッドの *execute()* および *executeAsync()* によって返されます。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

RESTResponseV2 - getAllHeaders()

応答に含まれるすべてのヘッダーを返します (重複するヘッダーも含む)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
List<GlideHTTPHeader>	応答に含まれるヘッダーのリスト。各ヘッダーは、ヘッダーの名前と値を含む GlideHTTPHeader オブジェクトとして表されます。

次のコード例は、REST テーブル API を呼び出し、応答で見つかったすべてのヘッダーを一覧表示する方法を示しています。

```
var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
request.setEndpoint('http://<SN_Instance_host>/api/now/table/incident');
request.setHttpMethod('GET');

request.setBasicAuth('username', 'password');
request.setRequestHeader("Accept", "application/json");
var res = request.execute();
if (res.getStatusCode() != 200) {
  gs.info('Bad Request');
}

var headers = res.getAllHeaders();
for(var i in headers){
  gs.info(headers[i].name + ': ' + headers[i].value);
}
```

応答ヘッダー

```
X-Is-Logged-In: true
X-Transaction-ID: e3003cb2db8c
X-Total-Count: 66
X-Content-Type-Options: nosniff
Pragma: no-store,no-cache
Cache-Control: no-cache,no-store,must-revalidate,max-age=-1
Expires: 0
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Date: Fri, 14 May 2021 16:05:10 GMT
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Connection: close
Server: ServiceNow
JSESSIONID=5041870726ADADFAB2EE2BF8E7E01596; Path=/; HttpOnly;
 SameSite=None; Secure
Set-Cookie: glide_user=; Max-Age=0; Expires=Thu, 01-Jan-1970 00:00:10
 GMT; Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure
Set-Cookie: glide_user_session=; Max-Age=0; Expires=Thu, 01-Jan-1970
 00:00:10 GMT; Path=/; HttpOnly; SameSite=None; Secure
Set-Cookie: glide_user_route=glide.f1aa2015b3fa5fa8dfe567386cde8fd5;
 Max-Age=2147483647; Expires=Wed, 01-Jun-2089 19:19:17 GMT; Path=/;
 HttpOnly; SameSite=None; Secure
Set-Cookie: glide_session_store=AF003CB2DB8CF8103DD9C39D139619C7;
 Max-Age=1800; Expires=Fri, 14-May-2021 16:35:10 GMT; Path=/; HttpOnly;
 SameSite=None; Secure
Set-Cookie: BIGipServerpool_ddershem=2643023626.45630.0000; path=/;
 Httponly; Secure; SameSite=None; Secure
Strict-Transport-Security: max-age=63072000; includeSubDomains
```

RESTResponseV2 - getBody()

REST 応答本文のコンテンツを取得します。

要求本文をテキストコンテンツとして取得する場合は、この関数を使用します。応答をバイナリ添付ファイルとして保存する場合は、このメソッドを使用しないでください。RESTMessageV2 オブジェクトが *saveResponseBodyAsAttachment(...)* 関数を呼び出した場合、関連する RESTResponseV2 オブジェクトで *getBody()* を使用するとエラーが発生します。応答を添付ファイルとして保存するときに送信 REST メッセージが失敗した場合は、応答で *getErrorMessage()* を呼び出して本文のコンテンツを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	REST 応答本文。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var responseBody = response.getBody();
```

RESTResponseV2 - getCookies()

応答に含まれるすべての cookie を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	cookie を表す文字列のアレイ。アレイを反復処理して、各 cookie に対して操作を実行します。

応答から個々の cookie を表示します。

```
var cookies = response.getCookies();
for (var i = 0; i < cookies.length; i++) {
  gs.info('cookie: ' + cookies.get(i));
}
```

出力：

```
cookie: JSESSIONID=4135AA97A5D12DA22EF614AA2B0CAFD8.node20; Path=/;
 Secure; HttpOnly
cookie: SABASESSIONID=370152970.36895.0000; path=/
```

RESTResponseV2 - getErrorCode()

REST トランザクション中にエラーが発生した場合に、数字のエラーコードを取得します。

このエラーコードは Now Platform に固有であり、HTTP エラーコードではありません。ServiceNow カスタマーサポートからのサポートが必要な場合は、このエラーコードを連絡してください。

注: 実際のエラーメッセージの内容を取得するには、getBody() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	数値のエラーコード (ソケットタイムアウトの場合は 1)。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var errorCode = response.getErrorCode();
```

RESTResponseV2 - getErrorMessage()

REST トランザクション中にエラーが発生した場合に、エラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージ。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var errorMsg = response.getErrorMessage();
```

RESTResponseV2 - getHeader(文字列 name)

指定されたヘッダーの値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	値を設定するヘッダー (Set-Cookie など) の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたヘッダーの値。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var headerVal = response.getHeader("Content-Type");
```

RESTResponseV2 - getHeaders()

REST 応答で返されたすべてのヘッダーと関連する値を取得します。

注: Set-Cookie ヘッダーなど、1 つのヘッダーが応答に複数回存在する場合、この関数は重複するヘッダーの最後のもののみを返します。重複を含むすべてのヘッダーを返すには、*`getAllHeaders()`* 関数を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各ヘッダーの名前を関連する値にマッピングするオブジェクト。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var headers = response.getHeaders();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RESTResponseV2 - getQueryString()

REST エンドポイントに送信された完全解決済みクエリーを取得します。

このクエリーには、エンドポイント URL と、REST メッセージの変数に割り当てられた値が含まれます。このメソッドは、直接要求への応答でのみ使用します。このメソッドは、非同期で送信された要求、または MID サーバーを使用して送信された要求ではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	完全解決クエリー。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var queryString = response.getQueryString();
```

RESTResponseV2 - getResponseAttachmentSysid()

応答本文のコンテンツから作成された添付ファイルの sys_id 値を取得します。

この応答に関連付けられた RESTMessageV2 オブジェクトが *`saveResponseBodyAsAttachment(...)`* 関数を呼び出した場合は、*`getResponseAttachmentSysid()`* を使用し、作成された添付ファイルレコードの sys_id を取得します。新しい添付ファイルレコードで追加の操作を実行する場合は、この関数を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	新しい添付ファイルレコードの sys_id。

RESTResponseV2 - getStatusCode()

REST プロバイダーによって返された数字の HTTP ステータスコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数字	成功した応答の場合は 200 など、REST プロバイダーによって返される数字のステータスコード。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var statusCode = response.getStatusCode();
```

RESTResponseV2 - haveError()

REST トランザクション中にエラーが発生したかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エラーがあった場合は true を返し、なかった場合は false を返します。

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute();
var error = response.haveError();
```

RESTResponseV2：waitForResponse(数字 **timeoutSecs)**

インスタンスが Web サービスプロバイダーからの応答を待機する時間を設定します。

このメソッドは、この REST 応答のプロパティ glide.rest.outbound.ecc_response.timeout を上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutSecs	数字	この応答を待機する時間 (秒)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.RESTMessageV2("Yahoo Finance","get"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.executeAsync();
response.waitForResponse(60);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RoundingInterval - グローバル

RoundingInterval スクリプトインクルードは、CPU 速度と RAM サイズの丸め間隔のすべての詳細を処理するメソッドを提供します。

サーバー側の Discovery スクリプトで使用します。

RoundingInterval - RoundingInterval(文字列 **type)**

RoundingInterval クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	CPU の場合と RAM の場合があります。

RoundingInterval - getRoundedValue(数字 **value)**

丸め間隔を適用した後の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	数字	丸める値

返される内容

タイプ	説明
数字	丸めた後の値

RTETransformer - スコープ指定

RTETransformer API は、提供された抽出、変換、ロード (ETL) の定義に基づいて、メッセージのアレイをレコードに変換して関連する ServiceNow インスタンス内に格納するメソッドを提供します。

たとえば、ユーザー情報を含む JSON ペイロードがあり、強力な変換エンジン (RTE) を使用してその情報をsys_userテーブルに変換する場合に、この API を使用できます。

この API にアクセスするときは、`sn_impex` 名前空間を使用します。

詳細については、「強力な変換エンジン操作の定義」を参照してください。

RTETransformer - rteTransform(文字列 **transformDefinitionId**, ブール値 **verboseLogging**, 文字列 **source**, 数値 **batchSize)**

RTETransformer オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
transformDefinitionId	文字列	変換に使用する抽出、変換、およびロード (ETL) 定義の sys_id。ETL 定義 [sys_rte_eb_etl_definition] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ETL の作成については、「 抽出変換ロード (ETL) 定義の作成 」を参照してください。
verboseLogging	ブーリアン	デバッグ用の詳細なログ記録とインポートセット行の作成を有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ログ記録とインポートセット行の作成を有効にします。 • false：ログ記録とインポートセット行の作成を有効にしません。
source	文字列	インポートセットレコードの名前フィールド。
batchSize	数字	一度に処理するメッセージ (バッチ) の数。たとえば、ペイロードに 10 件のメッセージがあり、この値が 2 に設定されている場合、メソッドは 5 つのバッチジョブを個別に実行してペイロード内のすべてのメッセージを処理します。

次のコード例は、バッチサイズが 10 のソース testSourceRecord の RTETransformer オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, /*Context*/ ctx) {
  // Uses an ETL definition with a target table of incident, and mappings
 for the number and short description field
  var transformer = new
 sn_impex.RTETransformer("c58f1c6377110110f5455d14cd5a998b", true,
 "testSourceRecord", 10);
  var messages =
 ["{\"number\":\"testnumber\",\"short_description\":\"testdesc\"}"];
  var results = transformer.transform(messages);

  for (var i = 0; i < results.length; i++) {
    var dataList = results[i].data.incident;
    gs.log("source record id: " + results[i].sourceRecordSysId);
    gs.log("status: " + results[i].status);
    for (var j = 0; j < dataList.length; j++) {
      gs.log("number:" + dataList[j].number);
      gs.log("short desc:" + dataList[j].short_description);
    }
  }
})(request, response, ctx);
```

RETransformer - transform(アレイ message)

提供された抽出、変換、ロード (ETL) の定義に基づいて、メッセージのアレイをレコードに変換し、関連する ServiceNow インスタンス内に格納します。

たとえば、ユーザー情報を sys_user レコードに変換する場合は、メッセージが 1 つだけのメッセージアレイを作成し、この変換メソッドに渡すことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	オブジェクトのアレイ	ETL 定義に基づいて変換するレコードを表す、文字列化された JSON オブジェクト。 たとえば、アクティブなデータ、メール、名、姓がある 1 人のユーザーを sys_user テーブルに変換する場合、メッセージは次のようになります。 `[ { "active":"true", "email":"example@servicenow.com", "first_name":"Jane", "last_name":"Doe" } ]` **注:** フィールド名は、ソースエンティティのフィールドのフィールド/パスと一致する必要があります。

返される内容

名前	説明
data	テーブル名別に整理された変換済みレコードのデータ。返されたレコードデータは、ETL 定義で指定されたマッピング済みフィールドと一致します。 データタイプ：オブジェクト `"data": { "tableName": [] }`

data.tableName	レコードを含むテーブルの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"tableName": [{ "sys_id": String, // Other data for a single transformed record }] }`
	
	例：
	
	`"sys_user": [{ "sys_id":"b29e629877130110f5455d14cd5a99ad", "active": "true", "email": "example@servicenow.com", "first_name": "Jane", "last_name": "Doe" }]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

名前	説明
data.tableName.sys_id	テーブル内のレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
data.tableName.<other_ETL_info>	渡された ETL で指定された追加フィールド。 データタイプ：任意
message	指定されたレコードの変換中にエラーが発生すると、エラーを説明するメッセージが表示されます。変換が成功した場合は null です。 データタイプ：文字列
sourceRecordSysId	インポートセットテーブルレコードの sys_id。インポートセットテーブル名は JSON イベントシンク [imp_json_event_sinc] です。 データタイプ：文字列
status	変換のステータス (処理済みやエラーなど)。 データタイプ：文字列

次のコード例は、レコードを変換してユーザー [sys_user] テーブルに格納する方法を示しています。

```
(function(/*CTIOperationRequest*/ request, /*CTIOperationResponse*/
 response, /*Context*/ ctx) {
  // Uses an ETL definition with a target table of sys_user, and mappings
 for the active,
  //email, first name, and last name fields
  var transformer = new
 sn_impex.RTETransformer("c58f1c6377110110f5455d14cd5a998b", true,
 "testSourceRecord", 10);
  var messages = [JSON.stringify({
    "active":"true",
    "email":"example@servicenow.com",
    "first_name":"Jane",
    "last_name":"Doe"
  }),
  JSON.stringify({
    "active":"true",
    "email":"example2@servicenow.com",
    "first_name":"John",
    "last_name":"Deer"
  })];
  var results = transformer.transform(messages);

  for (var i = 0; i < results.length; i++) {
    var dataList = results[i].data.sys_user;
    gs.log("source record id: " + results[i].sourceRecordSysId);
 gs.log("status: " + results[i].status);
    for (var j = 0; j < dataList.length; j++) {
      gs.log("First Name: " + dataList[j].first_name);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      gs.log("Last Name: " + dataList[j].last_name);
      gs.log("Email: " + dataList[j].email;
      gs.log("Active: " + dataList[j].active;
    }
  }
}
```

結果：

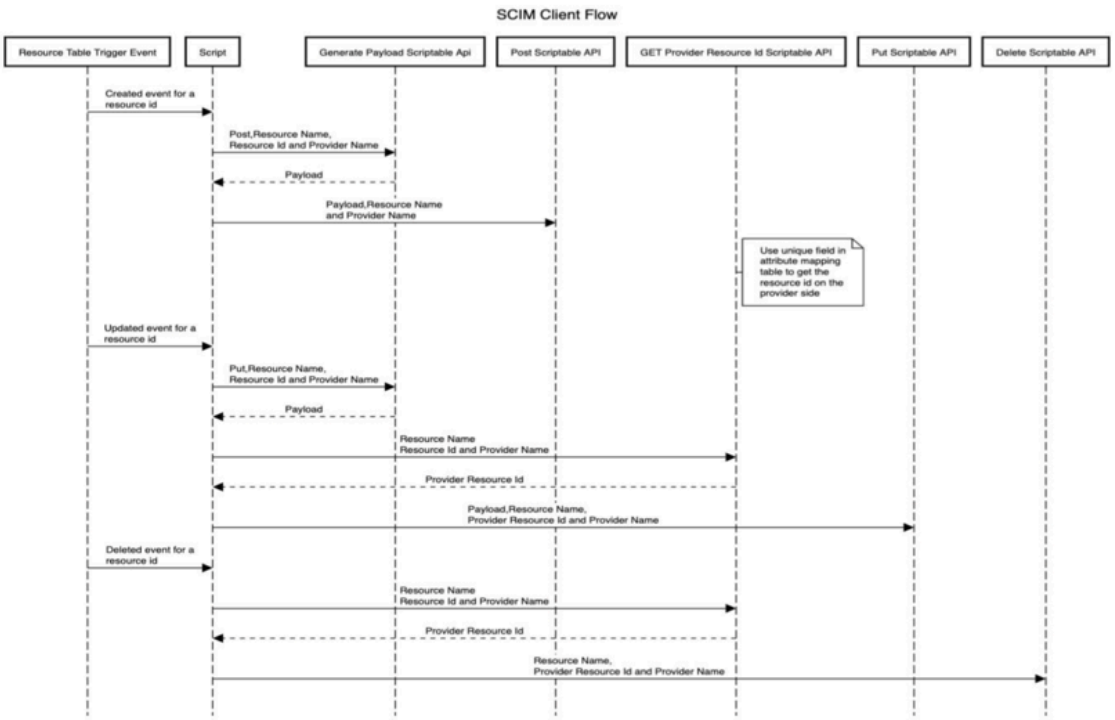
```
source record id: b29e629877130110f5455d14cd5a99ad
status: PROCESSED
First Name: Jane
Last Name: Doe
Email: example@servicenow.com
Active: true
First Name: John
Last Name: Deer
Email: example2@servicenow.com
Active: true
```

SCIM2Client - スコープ指定

SCIM2Client API は、クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロバイダー (サーバーロール) を呼び出して、サービスプロバイダー (SP) のデータを作成、更新、または削除するメソッドを提供します。

SCIM は、クライアントとサーバーのロールを定義する REST および JSON ベースのプロトコルです。クライアントは通常、ユーザー ID の堅牢なディレクトリを含む ID プロバイダー (IDP) Oktaです。SP は通常、Box や Slack など、これらの ID からの情報のサブセットを必要とするSaaSアプリケーションです。IDP で ID が変更 (作成、更新、削除など) されると、変更は SCIM プロトコルに従って自動的に SP に同期されます。

次の画像は、サービスプロバイダーのデータを操作するための一般的な API コールフローを示しています。



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API は `sn_auth` 名前空間で実行されます。API にアクセスするには、SCIM v2 - ServiceNow Cross-domain Identity Management Client (com.snc.integration.scim2.client) プラグインがインストールされている必要があります。

それぞれの SCIM メソッドの呼び出しの結果は、SCIM クライアントログ [sys_scim_client_logs] テーブルで確認できます。

SCIM の詳細については、「クロスドメイン ID 管理システム (SCIM)」を参照してください。

SCIM2Client - executeDelete(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **providerResourceId)**

指定されたリソースを外部サービスプロバイダーシステムから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	必須です。設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。サービスプロバイダー名は、SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールドで定義されます。
resourceName	文字列	必須です。ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの resource_name フィールドにあります。
providerResourceId	文字列	必須です。外部サービスプロバイダーシステム上の関連付けられたリソースの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
message	*status* が SUCCESS の場合、エンドポイントは、REST *SCIM* API で定義された応答本文を返します。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値： • FAILURE • SUCCESS データタイプ：文字列

次の例は、SNOW プロバイダーシステムでユーザーリソースを削除する方法を示しています。

```
var scimClient = new sn_auth.SCIM2Client();
var response = scimClient.executeDelete('SNOW
 Provider','User','f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12');
gs.info('response: ' + response);
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Example of a successful response
{
  "status":"SUCCESS",
  "message":null
}

// Example of a failed response
{
  "status":"FAILURE",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:Error\"
    ],
    \"status\":\"404\",
    \"detail\":\"Invalid user id 3985e598876989103fa711f83cbb35ae1\"
  }"
}
```

SCIM2Client - executeGet(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **queryParams)**

指定された外部プロバイダーシステムから取得された、渡された基準に一致するすべてのリソースを返します。

この情報は、対応する SCIM サービスプロバイダーの API を呼び出すために使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	必須です。設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。サービスプロバイダー名は、SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールドで定義されます。
resourceName	文字列	必須です。ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの resource_name フィールドにあります。
queryParams	文字列	必須です。外部 SCIM サービスプロバイダーのエンドポイントに渡される SCIM 準拠のクエリパラメーター。 使用可能なクエリパラメーターとその関連形式の詳細については、インターネットエンジニアリングタスクフォースのドキュメント「System for Cross-domain Identity Management: Protocol」を参照してください。 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.2 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.4 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.3 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.5

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
message	*status* が SUCCESS の場合、エンドポイントは、REST *SCIM* API で定義された応答本文を返します。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値： • FAILURE • SUCCESS データタイプ：文字列

次の例は、仕事用のメールに「lucius.bagnoli」が含まれている利用可能なすべてのユーザーを、snow test というサービスプロバイダーから取得する方法を示しています。

```
var scimClient = new sn_auth.SCIM2Client();
var queryParams = {};
queryParams['filter'] = 'emails[type eq \"work\" and value co
 \"lucius.bagnoli\"]';
var response = scimClient.executeGet('SCIM Provider Demo','User',
 queryParams);
gs.info('response for get with filter: ' + response);
```

応答：

```
//Example of a successful response
{
  "status":"SUCCESS",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse\"
    ],
  \"totalResults\":647,
  \"Resources\":[
    {
      \"schemas\":[
        \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\",
        \"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User\"
      ],
    \"id\":\"005d500b536073005e0addeeff7b12f4\",
    \"meta\":{
      \"resourceType\":\"User\",
      \"created\":\"2019-04-05T21:09:12Z\",
      \"lastModified\":\"2021-10-10T19:38:36Z\",

 \"location\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/005d500b536073005e
0addeeff7b12f4\"
    },
    \"userName\":\"survey.user\",
    \"name\":{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      \"familyName\":\"user\",
      \"givenName\":\"survey\"
    },
    \"displayName\":\"survey user\",
    \"active\":true,
    \"emails\":[
      {
        \"value\":\"survey.user@email.com\",
        \"type\":\"work\"
      }
    ]
  },
  {
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\",
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User\"
    ],
    \"id\":\"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d3f\",
    \"meta\":{
      \"resourceType\":\"User\",
      \"created\":\"2012-02-18T03:04:49Z\",
      \"lastModified\":\"2021-10-10T19:38:36Z\",

 \"location\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/02826bf03710200044
e0bfc8bcbe5d3f\"
    },
    \"userName\":\"lucius.bagnoli\",
    \"name\":{
      \"familyName\":\"Bagnoli\",
      \"givenName\":\"Lucius\"
    },
    \"displayName\":\"Lucius Bagnoli\",
    \"active\":true,
    \"emails\":[
      {
        \"value\":\"lucius.bagnoli@example.com\",
        \"type\":\"work\"
      }
    ],
    \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\":{
      \"gender\":\"Male\",
      \"costCenter\":{
        \"value\":\"91e8bbf43710200044e0bfc8bcbe5daa\",
        \"name\":\"Customer Support\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/CostCenters/91e8bbf43710
200044e0bfc8bcbe5daa\"
      },
      \"company\":{
        \"value\":\"81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63\",
        \"name\":\"ACME Japan\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55
eb42a426568fc87a63\"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      \"department\":{
        \"value\":\"5d7f17f03710200044e0bfc8bcbe5d43\",
        \"name\":\"Customer Support\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Departments/5d7f17f03710
200044e0bfc8bcbe5d43\"
      },
      \"manager\":{
        \"value\":\"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d88\",
        \"displayName\":\"Billie Cowley\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/02826bf03710200044
e0bfc8bcbe5d88\"
      },
      \"location\":{
        \"value\":\"0002c0a93790200044e0bfc8bcbe5df5\",
        \"name\":\"2-10-1 Yurakucho, Chiyoda-ku, Tokyo\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Locations/0002c0a9379020
0044e0bfc8bcbe5df5\"
      }
    }
  }
],
\"startIndex\":1,
\"itemsPerPage\":2}"}


// Example of a failure response
{
  "status":"FAILURE",
  "message":"SCIM Provider rest message is not configured properly"
}
```

SCIM2Client - executeGetById(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **providerResourceId**, マップ<文字列, 文字列> **queryParams)**

指定された一意のリソース ID を持つリソースを外部プロバイダーシステムから返します。

この情報は、対応する SCIM サービスプロバイダーの API を呼び出すために使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	必須です。設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。サービスプロバイダー名は、SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールドで定義されます。
providerResourceId	文字列	必須です。外部サービスプロバイダーシステム上の関連付けられたリソースの一意の識別子。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
queryParams	文字列	必須です。外部 SCIM サービスプロバイダーのエンドポイントに渡される SCIM 準拠のクエリパラメーター。 使用可能なクエリパラメーターとその関連形式の詳細については、インターネットエンジニアリングタスクフォースのドキュメント「System for Cross-domain Identity Management: Protocol」を参照してください。 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.2 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.4 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.3 • https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.5

返される内容

タイプ	説明
message	*status* が SUCCESS の場合、エンドポイントは、REST *SCIM* API で定義された応答本文を返します。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値： • FAILURE • SUCCESS データタイプ：文字列

この例では、「snow test」という外部プロバイダーシステムから指定されたリソースを取得する方法を示します。

```
var scimClient = new sn_auth.SCIM2Client();
var queryParams = {};
var response = scimClient.executeGetById('snow test','User',
 'f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12', queryParams);
gs.info('response for simple getById: ' + response);
```

出力：

```
// Example of a successful response
{
  "status":"SUCCESS",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\",
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User\"
    ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    \"id\":\"f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12\",
    \"meta\":{
      \"resourceType\":\"User\",
      \"created\":\"2012-02-18T03:04:53Z\",
      \"lastModified\":\"2021-10-10T19:38:37Z\",

 \"location\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/f282abf03710200044
e0bfc8bcbe5d12\"
    },
    \"userName\":\"tia.neumaier\",
    \"name\":{
      \"givenName\":\"Tia\"
    },
    \"displayName\":\"Tia Neumaier\",
    \"active\":true,
    \"emails\":[
      {
        \"value\":\"tia.neumaier@example.com\",
        \"type\":\"work\"
      }
    ],
    \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\":{
      \"costCenter\":{
        \"value\":\"7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a8
0a6d30c04574d14c0acf\"
      },
      \"company\":{
        \"value\":\"227cdfb03710200044e0bfc8bcbe5d6b\",
        \"name\":\"ACME South America\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Companies/227cdfb0371020
0044e0bfc8bcbe5d6b\"
      },
      \"department\":{
        \"value\":\"221db0edc611228401760aec06c9d929\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611
228401760aec06c9d929\"
      },
      \"location\":{
        \"value\":\"25b4c23b0a0a0bb30054836629537509\",
        \"name\":\"Carretera Cancun-Chetumal KM 22, Cancun\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Locations/25b4c23b0a0a0b
b30054836629537509\"
      }
    }
  }"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

// Example of a failed response
{
  "status":"FAILURE",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:Error\"
    ],
    \"status\":\"404\",
    \"detail\":\"User not found f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d121\"
  }"
}
```

SCIM2Client - provision(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **resourceId)**

外部サービスプロバイダーシステムで、指定された sys_id のリソースを作成または更新します。

たとえば、ServiceNow インスタンスでユーザーを作成または更新する場合、このメソッドを使用すれば外部サービスプロバイダーシステムで同じリソースを作成または更新できます。対応するリソースで作成または更新できるのは、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルにマッピングされているフィールドのみです。

プロバイダーリソースマッピングの詳細については、「SCIM プロバイダーリソースマッピングの作成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	必須です。設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。サービスプロバイダー名は、SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールドで定義されます。
resourceName	文字列	必須です。ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの resource_name フィールドにあります。
resourceId	文字列	必須です。ServiceNow インスタンス (クライアント) に保存されているリソースの sys_id。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの primary_table フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
message	*status* が SUCCESS の場合、エンドポイントは、REST *SCIM* API で定義された応答本文を返します。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• FAILURE • SUCCESS データタイプ：文字列

次の例は、Snow Provider でユーザーをプロビジョニングする方法を示しています。

```
var scimClient = new sn_auth.SCIM2Client();
var response = scimClient.provision('SNOW
 Provider','User','f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12');
gs.info('response: ' + response);
```

出力：

```
// Example of successful response
{
  "status":"SUCCESS",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\",
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User\"
    ],
    \"id\":\"f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12\",
    \"meta\":{
      \"resourceType\":\"User\",
      \"created\":\"2012-02-18T03:04:53Z\",
      \"lastModified\":\"2021-10-10T19:38:37Z\",

 \"location\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/f282abf03710200044
e0bfc8bcbe5d12\"
    },
    \"userName\":\"tia.neumaier\",
    \"name\":{
      \"familyName\":\"Neumaier\",
      \"givenName\":\"Tia\"
    },
    \"displayName\":\"Tia Neumaier\",
    \"active\":true,
    \"emails\":[
      {
        \"value\":\"tia.neumaier@example.com\",
        \"type\":\"work\"
      }
    ],
    \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\":{
      \"gender\":\"Female\",
      \"costCenter\":{
        \"value\":\"7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a8
0a6d30c04574d14c0acf\"
      },
      \"company\":{
        \"value\":\"227cdfb03710200044e0bfc8bcbe5d6b\",
        \"name\":\"ACME South America\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Companies/227cdfb0371020
0044e0bfc8bcbe5d6b\"
      },
      \"department\":{
        \"value\":\"221db0edc611228401760aec06c9d929\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611
228401760aec06c9d929\"
      },
      \"location\":{
        \"value\":\"25b4c23b0a0a0bb30054836629537509\",
        \"name\":\"Carretera Cancun-Chetumal KM 22, Cancun\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Locations/25b4c23b0a0a0b
b30054836629537509\"
      }
    }
  }"
}
```

```
// Example of failure response
{
  "status":"FAILURE",
  "message":"SCIM client attribute or provider resource mapping is not
 configured properly ,
  No provider resource mapping id found for provider name: SNOW Provider
 and resource name: User"
}
```

SCIM2Client - provisionNew(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **resourceId)**

外部サービスプロバイダーシステムで、指定された sys_id のリソースを新規作成します。

たとえば、ServiceNow インスタンスでユーザーを新規作成する場合、このメソッドを使用すれば外部サービスプロバイダーシステムで同じリソースを作成できます。対応する外部サービスプロバイダーシステムで作成できるのは、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルにマッピングされているフィールドのみです。リソースが外部サービスプロバイダーシステムにすでに存在する場合は、エラー応答が返されます。

プロバイダーリソースマッピングの詳細については、「SCIM プロバイダーリソースマッピングの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	必須です。設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。サービスプロバイダー名は、SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールドで定義されます。
resourceName	文字列	必須です。ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの resource_name フィールドにあります。
resourceId	文字列	必須です。ServiceNow インスタンス (クライアント) に保存されているリソースの sys_id。この値は、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの primary_table フィールドにあります。

返される内容

タイプ	説明
message	*status* が SUCCESS の場合、エンドポイントは、REST *SCIM* API で定義された応答本文を返します。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値： • FAILURE • SUCCESS データタイプ：文字列

次の例は、SNOW Provider という外部サービスプロバイダーでユーザーを新規作成する方法を示しています。

```
var scimClient = new sn_auth.SCIM2Client();
var response = scimClient.provisionNew('SNOW
 Provider','User','f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12');
gs.info('response: ' + response);
```

出力：

```
// Example of successful response
{
  "status":"SUCCESS",
  "message":"{
    \"schemas\":[
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\",
      \"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User\"
    ],
    \"id\":\"f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12\",
    \"meta\":{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      \"resourceType\":\"User\",
      \"created\":\"2012-02-18T03:04:53Z\",
      \"lastModified\":\"2021-10-10T19:38:37Z\",

 \"location\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Users/f282abf03710200044
e0bfc8bcbe5d12\"
    },
    \"userName\":\"tia.neumaier\",
    \"name\":{
      \"familyName\":\"Neumaier\",
      \"givenName\":\"Tia\"
    },
    \"displayName\":\"Tia Neumaier\",
    \"active\":true,
    \"emails\":[
      {
        \"value\":\"tia.neumaier@example.com\",
        \"type\":\"work\"
      }
    ],
    \"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User\":{
      \"gender\":\"Female\",
      \"costCenter\":{
        \"value\":\"7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a8
0a6d30c04574d14c0acf\"
      },
      \"company\":{
        \"value\":\"227cdfb03710200044e0bfc8bcbe5d6b\",
        \"name\":\"ACME South America\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Companies/227cdfb0371020
0044e0bfc8bcbe5d6b\"
      },
      \"department\":{
        \"value\":\"221db0edc611228401760aec06c9d929\",
        \"name\":\"Sales\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611
228401760aec06c9d929\"
      },
      \"location\":{
        \"value\":\"25b4c23b0a0a0bb30054836629537509\",
        \"name\":\"Carretera Cancun-Chetumal KM 22, Cancun\",

 \"$ref\":
\"https://empiamsd1.service-now.com/api/now/scim/Locations/25b4c23b0a0a0b
b30054836629537509\"
      }
    }
  }"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

// Example of failure response
{
  "status":"FAILURE",
  "message":"SCIM client attribute or provider resource mapping is not
 configured properly ,
  No provider resource mapping id found for provider name: SNOW Provider
 and resource name: User"
}
```

SCIM2ClientUtil - スコープ指定

SCIM2ClientUtil API は、外部プロバイダーシステムの一意の識別子を取得し、*SCIM2Client* API を呼び出すときにその情報を使用するユーティリティメソッドを提供します。

この API は sn_auth 名前空間で実行されます。API にアクセスするには、SCIM v2 - ServiceNow Cross-domain Identity Management Client (com.snc.integration.scim2.client) プラグインがインストールされている必要があります。

SCIM の詳細については、「クロスドメイン ID 管理システム (SCIM)」を参照してください。

SCIM2ClientUtil - getProviderIdByFilter(文字列 provider, 文字列 resourceName, 文字列 filter)

目的のリソースを記述するフィルター式を使用して、ServiceNow インスタンス内の一意のリソース ID に対して、指定された外部プロバイダーシステムから指定されたリソースの一意の識別子を返します。

この API は、外部プロバイダーシステムのリソース識別子が必要な SCIM フィールドに ServiceNow フィールドをマッピングする場合に便利です。このメソッドを呼び出す前に、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルにあるシステム属性マップ内のリソースに対して一意のフィールドを定義する必要があります。

プロバイダーリソースマッピングの詳細については、「SCIM プロバイダーリソースマッピングの作成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。 テーブル:SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールド。
resourceName	文字列	ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。 テーブル:SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの [resource_name] フィールド。
filter	文字列	返される結果に適用するフィルター式。 使用可能なフィルターパラメーターとその関連形式の詳細については、インターネットエンジニアリングタスクフォースのドキュメント「System for Cross-domain Identity Management: Protocol」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7644#section-3.4.2.2

返される内容

タイプ	説明
文字列	外部サービスプロバイダーによって使用されるリソースの一意の識別子。 情報のフェッチ中に問題が発生した場合は例外をスローします。

次の例は、`'username eq "abel.tuter"'` というフィルターを使用してユーザーのリソース識別子を取得する方法を示しています。

```
var response = sn_auth.SCIM2ClientUtil.getProviderIdByFilter('SNOW
 Provider','User','username eq "abel.tuter"');
gs.info('response: ' + response);
```

出力:

```
 "005d500b536073005e0addeeff7b12f4
```

次の例は、`'userName eq "' + manager + '"'` というフィルターを用いてマネージャーのリソース識別子を取得するスクリプトを使用する方法を示しています。

```
(function getValue(resourceGR) {
  try {
    var manager = resourceGR.manager.user_name;
    return sn_auth.SCIM2ClientUtil.getProviderIdByFilter('SCIM Provider
 Demo', 'User', 'userName eq "' + manager + '"');
  } catch (e) {
    gs.error('Unable to get attribute value using script' + e);
    // Handle failure scenario here
  }
})(resourceGR);
```

出力:

```
  "125d500b535973005e0addeeff8c12a2"
```

SCIM2ClientUtil - getProviderIdByResourceId(文字列 **provider**, 文字列 **resourceName**, 文字列 **resourceId)**

ServiceNow インスタンス内の一意のリソース ID に対して、指定された外部プロバイダーシステムから指定されたリソースの一意の識別子を返します。

この API は、外部プロバイダーシステムのリソース識別子が必要な SCIM フィールドに ServiceNow フィールドをマッピングする場合に便利です。このメソッドを呼び出す前に、SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルにあるシステム属性マップ内のリソースに対して一意のフィールドを定義する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロバイダーリソースマッピングの詳細については、「SCIM プロバイダーリソースマッピングの作成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	設定された SCIM サービスプロバイダーの名前。 テーブル:SCIM プロバイダー [sys_scim_provider] テーブルの名前フィールド。
resourceName	文字列	ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。 テーブル:SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの [resource_name] フィールド。
resourceId	文字列	ServiceNow インスタンス (クライアント) に保存されているリソースの sys_id。 テーブル:SCIM プロバイダーリソースマッピング [sys_scim_provider_resource_mapping] テーブルの [primary_table] フィールド。

返される内容

タイプ	説明
文字列	外部サービスプロバイダーによって使用されるリソースの一意の識別子。 情報のフェッチ中に問題が発生した場合は例外をスローします。

次の例は、sys_id が f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12 のユーザーのリソース識別子を取得する方法を示しています。

```
var response = sn_auth.SCIM2ClientUtil.getProviderIdByResourceId('SNOW
 Provider','User','f282abf03710200044e0bfc8bcbe5d12');
gs.info('response: ' + response);
```

出力:

```
  "005d500b536073005e0addeeff7b12f4"
```

ScopedCacheManager - スコープ指定

ScopedCacheManager API は、スコープ対象のアプリケーションのキャッシュデータを取得、設定、およびフラッシュするためのメソッドを提供します。

この API にはスコープ済みキャッシュ (com.glide.scopedcache) プラグインが必要で、sn_scoped_cache 名前空間で実行されます。プラグインはデフォルトでインストールされ、アクティブ化されています。

これらのメソッドでは、1 つ以上のスコープ対象のキャッシュおよびスコープ対象のキャッシュのペアを定義する必要があります。スコープ付きキャッシュの作成の詳細については、『ScopedCacheManager API 開発者ガイド』を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スコープ対象のキャッシュでこの API を使用すると、次のような利点があります。

- メモリー内に存在するスコープ対象アプリケーションの文字列をトランザクション間でキャッシュする。
- スコープ対象のアプリケーションのデータをメモリーにキャッシュし、基礎となるテーブルの変更に基づいてこのデータをフラッシュする。
- トランザクションライフサイクル外でキャッシュデータを定義して使用する。
- 後ですぐにアクセスできるように、コストの高い操作や計算の出力をキャッシュする。

ScopedCacheManager –flushScopedCache(文字列 **catalog**, 文字列 **key)**

キャッシュ全体または単一のエントリーをキャッシュからフラッシュします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。
key	文字列	オプション。キャッシュキー。 キャッシュから単一のエントリーをフラッシュするには、このパラメーターを設定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、myCache というキャッシュから「abc」というキーをフラッシュする方法を示しています。キャッシュ全体をフラッシュするには、キーパラメーターを省略します。

```
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.flushScopedCache("myCache", "abc");
```

ScopedCacheManager –get(文字列 **catalog**, 文字列 **key)**

キャッシュから値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。
key	文字列	キャッシュキー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	キャッシュエントリ。

次の例は、簡単な説明の文字数がキー (50 字) よりも大きいインシデントレコードの数をカウントする方法を示しています。このケースでは、簡単な説明の文字数が 50 字を超えるインシデントレコードは 6 つあります。この値は再利用可能な文字列としてキャッシュに格納されるため、値を取得するたびに計算する必要はありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var cache2 = "Cache 2"; // column pair type

// Re-populate the column cache
for (var i = 0; i < 100; i+=10) {
    var inc = new GlideRecord('incident');
    inc.query();
    var counter = 0;
    while (inc.next()) {
        if (inc.getValue('short_description').length > i)
        counter++;
    }
    sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put(cache2, i.toString(),
 counter.toString());
}

// script to get values from column cache
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get(cache2, "50"));
```

出力：

```
scoped_app: 6
```

ScopedCacheManager – getCacheEntryDetails(文字列カタログ, 文字列キー)

バイトサイズ、オブジェクトタイプ、エントリー値などのキャッシュエントリーの詳細を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。 カタログ名には、スコープ名とキャレット文字の接頭辞を付ける必要があります。たとえば、グローバルスコープの「test_cache」には「global^test_cache」というプリフィックスが付きます。
key	文字列	キャッシュキー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	`<ObjectType> (<EntrySize>): <Value.toString()>` 形式の文字列。

次の例は、`test_cache` という名前のスコープ済みキャッシュのキャッシュエントリの詳細を表示する方法を示しています。

```
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put("test_cache", "key1", "val1");
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.getCacheEntryDetails("global^test_cache", "key1"));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
java.lang.String (48):
val1
```

ScopedCacheManager – prefixFlush(文字列カタログ, 文字列接頭辞)

指定したプリフィックスで始まるキーを持つすべてのキャッシュエントリをフラッシュします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。
prefix	文字列	キャッシュをフラッシュするときにキーを検索するプリフィックス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、プレフィックス `a` を持つキーのキャッシュ値をフラッシュする方法を示しています。

```
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put("test_cache", "aKey1", "val1");
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put("test_cache", "aKey2", "val2");
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put("test_cache", "bKey1", "val3");

sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.prefixFlush("test_cache", "a");

gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "aKey1"));
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "aKey2"));
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "bKey1"));
```

出力:

```
*** Script: null
*** Script: null
*** Script: val3
```

ScopedCacheManager – put(文字列 **catalog**, 文字列 **key**, 文字列 **value**)

[テーブル] または [テーブルの列] のペアタイプであるキャッシュのスコープ対象のキャッシュに値を格納します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。
key	文字列	キャッシュキー。
value	文字列	キャッシュエントリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、myCache というキャッシュに「abc」というキーを定義して取得する方法を示しています。キャッシュは、インシデント [incident] テーブルとペアになっています。この例では、インシデントレコードの説明フィールドを更新した後にキャッシュをフラッシュする方法も示しています。

```
//put value in cache for key "abc"
gs.info("put key 'abc' into cache with value 'value1'");
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.put("myCache", "abc", "value1");

// retrieve value from cache for key "abc"
gs.info("value of 'abc' in cache: ");
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("myCache", "abc")+"\n");

//update an incident record (add string to the description field)
gs.info("Updating incident record.");
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.get("<incident_sys_id>");
gr.description= "test12345";
if (gr.update()) {
    gs.info("Record updated successfully.\n");
};

//retrieve the value from cache for key "abc"
gs.info("Retrieving 'abc' from cache. Value should be null because a
 table pair was updated.");
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("myCache", "abc"));
```

出力：

```
scoped_app: put key 'abc' into cache with value 'value1'
scoped_app: value of 'abc' in cache:
scoped_app: value1

scoped_app: Updating incident record.
scoped_app: Record updated successfully.

scoped_app: Retrieving 'abc' from cache. Value should be null because a
 table pair was updated.
scoped_app: null
```

ScopedCacheManager – putMultiRow(文字列カタログ, 文字列キー, 文字列値, 配列 **ids)**

キャッシュにエントリを配置し、指定されたsys_idsを持つすべてのレコードをそのエントリのフラッシュソースとして設定します。このメソッドは、 テーブル または テーブル列の ペアタイプのキャッシュを対象としています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	フラッシュするカタログ。 スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
key	文字列	新しいエントリのキャッシュキー。
値	文字列	新しいエントリの値。
ID	アレイ	エントリのフラッシュソースとして使用されるレコードのsys_idsリスト。これらのレコードは、異なるテーブルからのものである場合があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、インシデントとユーザーレコードをフラッシュポイントとして使用する方法を示しています。指定されたレコードのいずれかが更新されると、test_cacheキー INC0000060がフラッシュされます。

```
// This example requires a table-row pair for the "incident" and
 "sys_user" tables assigned to a cache named test_cache
var inc1ID = "1c741bd70b2322007518478d83673af3";
var userID = "681ccaf9c0a8016400b98a06818d57c7";

// update to email should invalidate the entry
gs.info("initial put");
putCacheEntry();
gs.info("cache value for INC0060: " +
 sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "INC0000060"));
var gr = new GlideRecord("sys_user");
gr.get(userID);
gr.setValue("email", "a" + gr.getValue("email"));
gr.update();
gs.info("updated user email");
gs.info("cache value: " +
 sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "INC0000060"));

// update to incident number should invalidate the entry.
gs.info("second put");
putCacheEntry();
gs.info("cache value: " +
 sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "INC0000060"));
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.get(inc1ID);
gr.setValue("number", gr.getValue("number") + "1");
gr.update();
gs.info("updated incident number");
gs.info("cache value: " +
 sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("test_cache", "INC0000060"));

function putCacheEntry() {
    var incGr = new GlideRecord("incident");
    incGr.get(inc1ID);
    var userGr = new GlideRecord("sys_user");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    userGr.get(userID);
    // the cache stores that the incident is assigned to a specific user.
 So if the incident or user record changes, we should flush.

 sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.putMultiRow("test_cache",incGr.getVal
ue("number"), userGr.getValue("email"), [inc1ID, userID]);
}
```

出力:

```
*** Script: initial put
*** Script: cache value for INC0060: employee@example.com
*** Script: Updating Joe Employee's primary email device based on change
 to user record email address
*** Script: updated user email
*** Script: cache value: null
*** Script: second put
*** Script: cache value: aemployee@example.com
*** Script: updated incident number
*** Script: cache value: null
```

ScopedCacheManager – putRow(文字列カタログ, 文字列キー, 文字列値, 文字列 **sysId)**

キャッシュの単一の行 (テーブル) に値を格納します。この方法は、[テーブルの行] または [テーブルの行と列] のペアタイプのキャッシュに使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
catalog	文字列	スコープ付きキャッシュ [sys_scoped_cache] テーブルで定義されたキャッシュの名前。
key	文字列	キャッシュキー。
value	文字列	キャッシュエントリ。
sysId	文字列	オプション。テーブル内の行、すなわち追跡対象のレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、incident_cache というテーブル行のペアキャッシュタイプを使用しています。キャッシュによってインシデントの発信者 ID が追加され、変更されたレコードの sys_id に関連付けられたキャッシュエントリーがクリアされます。

```
// build the cache:
var number = 'INC0009009';
var inc = new GlideRecord('incident');
inc.addQuery('number', number);
inc.query();
inc.next();
var entry = inc.caller_id.getDisplayValue();
sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.putRow("incident_cache",
 inc.getValue('number'), entry, inc.getValue('sys_id'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("incident_cache",
 number));

// when the incident is altered, the cache entry will be flushed.
inc = new GlideRecord('incident');
inc.addQuery('number', number);
inc.query();
inc.next();
inc.setValue('short_description', inc.getValue('short_description') +
 "a");
inc.update();
gs.info(sn_scoped_cache.ScopedCacheManager.get("incident_cache",
 number));
```

出力：

```
scoped_app: John Jones
scoped_app: null
```

ScriptableDataStream - スコープ指定、グローバル

ScriptableDataStream API は、データのストリームとやり取りするためのメソッドを提供します。

このクラスは、次のいずれかの API を使用して ScriptableDataStream オブジェクトを取得した後のサーバー側スクリプトでのみ使用できます。

- *FlowAPI* クラスの *executeDataStreamAction()* メソッド。「FlowAPI」を参照してください。
- *ScriptableFlowRunnerResult* クラスの *getDataStream()* メソッド。「ScriptableFlowRunnerResult」を参照して下さい。

ScriptableDataStream オブジェクトを取得した後、次の順序でメソッドを呼び出します。

1. *hasNext()* メソッドを使用して、データストリーム内にまだアイテムがあるかどうかを判断します。
2. *next()* メソッドを使用して、ストリーム内の次のアイテムにアクセスします。
3. *getItemIndex()*、*getItemInPageIndex()*、および *getPageIndex()* メソッドを使用して、ストリームから情報を取得します。
4. *close()* メソッドを使用してストリームを閉じます。

このクラスは `sn_fd` 名前空間で実行されます。

> **注:** エラーを捕捉するために、常にデータストリームのロジックを `try/catch` ブロックで囲みます。データストリームを閉じてパフォーマンスの問題を防ぐために、常に、*ScriptableDataStream* クラスの *close()* メソッドで終了する `finally` ステートメントを含めます。

ScriptableDataStream - close()

データストリームへの接続を閉じます。データストリームで必要な操作を実行した後は、常にこのメソッドを呼び出します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
(function() {

 try {
  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_snc_my_scope.data_stream_name
');
  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {
   // Get a single item from the data stream.
   var user = stream.next();

   // Only log the first item in each page
   if (stream.getItemInPageIndex() == 0) {
    gs.info('first user on page is ' + user.name);
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }

})();
```

ScriptableDataStream - getItemIndex()

データストリーム内のアイテムの現在のインデックスを返します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数字	ゼロベースのインデックスを使用したデータストリーム内のアイテムの現在のインデックス。

```
(function() {

 try {

  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_my_scope.data_stream_name');

  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {

   // Get a single item from the data stream.
   var User = stream.next();

   // Use the item. Example:
   // var now_GR = new GlideRecord(<table_name>);
   // now_GR.<field_name> = User.<field_name>;
   // now_GR.insert();

   // By default, this code snippet will terminate after 10 items.
   // Remove or modify this limit after your code has been tested.
   if (stream.getItemIndex() >= 9) {
    break;
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }

})();
```

ScriptableDataStream - getItemInPageIndex()

データストリームの現在のページにあるアイテムの現在のインデックスを返します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数字	ゼロベースのインデックスを使用したデータストリームの現在のページにあるアイテムの現在のインデックス。

```
(function() {

 try {
  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_snc_my_scope.data_stream_name
');
  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {
   // Get a single item from the data stream.
   var user = stream.next();

   // Only log the first item in each page
   if (stream.getItemInPageIndex() == 0) {
    gs.info('first user on page is ' + user.name);
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }

})();
```

ScriptableDataStream - getPageIndex()

データストリーム内のページの現在のインデックスを返します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	ゼロベースのインデックスを使用したデータストリーム内のページの現在のインデックス。

```
(function() {

 try {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_my_scope.data_stream_name');

  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {

   // Get a single item from the data stream.
   var item = stream.next();

   // Use the item.
   var now_GR = new GlideRecord('incident');
   now_GR.setValue('number',item.id);
   now_GR.setValue('short_description',item.name);
   now_GR.insert();

   // By default, this code snippet will terminate after 5 pages.
   // Remove or modify this limit after testing your code.
   if (stream.getPageIndex() >= 4) {
    break;
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }

})();
```

ScriptableDataStream - hasNext()

データストリームにさらにアイテムがある場合は true を返します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

注: デフォルトでは、1 ページのデータを MID サーバー から取得する際にインスタンスは 600 秒間待機します。MID サーバー で データストリーム アクションを実行しているときにタイムアウトが発生した場合は、*datastream_alternative_env_fetch_page_timeout_seconds* システムプロパティを増やしてこのデフォルトを変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	データストリーム内にまだアイテムがあるかどうかを判断するフラグ。次の値が含まれます。 • true：データストリーム内で反復するアイテムがまだある。 • false：データストリームにこれ以上アイテムはない。

この例は、データストリームで返された各アイテムのインシデントレコードを作成します。

```
(function() {

 try {

  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_my_scope.data_stream_name');

  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {

   // Get a single item from the data stream.
   var item = stream.next();

   // Use the item.
   var now_GR = new GlideRecord('incident');
   now_GR.setValue('number',item.id);
   now_GR.setValue('short_description',item.name);
   now_GR.insert();

   // By default, this code snippet will terminate after 10 items.
   // Remove or modify this limit after testing your code.
   if (stream.getItemIndex() >= 9) {
    break;
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }

})();
```

ScriptableDataStream - next()

データストリーム内の次のアイテムを返します。

このメソッドは、FlowAPI クラスの *executeDataStreamAction()* メソッドから返された ScriptableDataStream オブジェクトに対してのみ呼び出すことができます。「FlowAPI」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: デフォルトでは、1 ページのデータを MID サーバー から取得する際にインスタンスは 600 秒間待機します。MID サーバー で データストリーム アクションを実行しているときにタイムアウトが発生した場合は、*datastream_alternative_env_fetch_page_timeout_seconds* システムプロパティを増やしてこのデフォルトを変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データストリーム内の次のアイテム。このオブジェクトには、データストリームアクションによって定義された出力が含まれます。データストリームアクションの出力を表示するには、Flow Designer インターフェイスのデータストリームアクションの [出力] セクションに移動します。

この例は、データストリームで返された各アイテムのインシデントレコードを作成します。

```
(function() {

 try {

  // Execute Data Stream Action.
  var stream =
 sn_fd.FlowAPI.executeDataStreamAction('x_my_scope.data_stream_name');

  // Process each item in the data stream
  while (stream.hasNext()) {

   // Get a single item from the data stream.
   var item = stream.next();

   // Use the item.
   var now_GR = new GlideRecord('incident');
   now_GR.setValue('number',item.id);
   now_GR.setValue('short_description',item.name);
   now_GR.insert();

   // By default, this code snippet will terminate after 10 items.
   // Remove or modify this limit after testing your code.
   if (stream.getItemIndex() >= 9) {
    break;
   }
  }
 } catch (ex) {
  var message = ex.getMessage();
  gs.error(message);
 } finally {
  stream.close();
 }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
})();
```

ScriptableFlowRunner - スコープ指定

フロー、サブフロー、およびアクション実行のパラメーターを定義するために使用するビルダーオブジェクトを作成します。特定のドメインで実行するフローを指定できます。ビルダーから直接フロー、サブフロー、またはアクションの実行を開始し、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトで結果を表示します。

これらのメソッドは、サーバー側スクリプトで `sn_fd` 名前空間識別子とともに使用します。

API 呼び出し順

フロー、サブフロー、およびアクションは、API を次の順番で使用して構築および実行します。

1. *`FlowAPI`*: ビルダーオブジェクトを作成する

   `getRunner()` を使用して ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトをインスタンス化します。

2. *`ScriptableFlowRunner`*: 実行する フローデザイナー コンテンツを指定する

   下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーパターンを作成します。

   1. *`action()`*、*`datastream()`*、*`flow()`*、*`subflow()`* メソッドのいずれかを使用して、ビルドする フローデザイナー オブジェクトのタイプを指定します。
   2. *`addInput()`*、*`inDomain()`*、*`quick()`* などのメソッドを 1 つまたは複数使用して、実行パラメーターを指定します。
   3. *`run()`* メソッドを使用して、アクション、フロー、サブフローを指定されたパラメーターで実行し、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトを返します。

3. *`ScriptableFlowRunnerResult`*: フローデザイナー 実行の詳細を取得する

   `getContextId()`、*`getOutputs()`*、*`getDomainId()`* などのメソッドを 1 つまたは複数使用して、実行結果の詳細を表示します。

例

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
 record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
 action named markapproved.
      .inForeground()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      .inDomain('TOP/ACME')                    // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                                  // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

   var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
   var dateRun = result.getDate();
   var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
from the result.
   var flowName = result.getFlowObjectName();
   var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

   var outputs = result.getOutputs();             // Retrieve any outputs
from the action execution.
   var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - action(文字列 **scopedActionName)**

実行するアクションのスコープと名前を識別します。

関連項目：

- ScriptableFlowRunner - flow(文字列 scopedFlowName)
- ScriptableFlowRunner - subflow(文字列 scopedSubflowName)

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedActionName	文字列	実行するアクションのスコープと名前。例えば、`global.actionName` です。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - addInput(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

入力を 1 つ追加します。引数として渡された名前が個別の入力としてすでに存在する場合、既存の値が新しい値に置き換えられます。

このメソッドでは入力を 1 つ追加します。オブジェクトを作成して複数の入力を追加するには、*`withInputs()`* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フロー、サブフロー、またはアクションの入力の名前。
value	オブジェクト	フロー、サブフロー、またはアクションの入力の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、`table_name`という単一の入力を受け取るアクションを実行します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .action('global.test_action')
      .addInput('table_name', 'incident')
      .inForeground()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
Flow Designer: TableName
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_action
Flow Object Type: action
Domain: null
Result Time: 2020-06-09 00:10:57
ContextId: null
Output count: 1
```

ScriptableFlowRunner - asUser()

迅速なバックグラウンド実行のため、システムではなく、フローをトリガーしたユーザーとしてフローを実行します。

`asUser()` メソッドと *`quick()`* を一緒に使用してフローがトリガーされると、フローをトリガーしたユーザーが取得され、フローの実行に使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner - スコープ指定	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例は、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して *asUser()* および *quick()* メソッドを使用する特定のレコードに対して承認アクションを実行する方法を示しています。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
    try {

        var outputs = sn_fd.FlowAPI.getRunner() // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
        .flow('global.stry53225960_flow_asuser_test')
        .inForeground()
        .quick() //Run the flow from a server-side script.
        .asUser() //Run flow with the roles specified in the flow.
        .run(); // Run the action and return a FlowRunnerResult object.

    } catch (ex) {
        var message = ex.getMessage();
        gs.error(message);
    }

})();
```

エラー

asUser() メソッドの使用中に次のエラーが発生する可能性があります。

- *asUser()* を *quick()*と一緒に使用しないと、スクリプトからエラーが返される。
- ロールが定義されたフローで *asUser()* が呼び出されると、スクリプトからエラーが返される。
- *withRoles()* メソッドと *asUser()* メソッドが同時に呼び出されると、スクリプトからエラーが返される。

ScriptableFlowRunner - datastream(文字列 **scopedDatastreamName)**

実行するデータストリームアクションのスコープと名前を識別します。

データストリームアクションの詳細については、「データストリームアクションとページネーション」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedDatastreamName	文字列	実行するデータストリームアクションのスコープと名前。例えば、`global.dataStreamActionName` です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、データストリームアクションを実行する方法を示します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .datastream('global.test_dsa')
      .inForeground()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_dsa
Flow Object Type: datastream
Domain: null
Result Time: 2020-06-08 16:41:13
ContextId: null
Output count: 0
```

自動翻訳

ScriptableFlowRunner - flow(文字列 **scopedFlowName)**

実行するフローのスコープと名前を識別します。

関連項目：

- ScriptableFlowRunner - action(文字列 scopedActionName)
- ScriptableFlowRunner - subflow(文字列 scopedSubflowName)

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedFlowName	文字列	実行するフローのスコープと名前。例えば、`global.flowName` です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例は、メッセージをログに記録するフローの実行方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_flow
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2020-06-08 16:41:13
ContextId: null
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunner - inBackground()

フロー、サブフロー、またはアクションを非同期的に実行します。フローオブジェクトの実行が開始されると、すぐにスクリプトの実行が再開されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Xanadu リリースの時点では、quick() メソッドを使用してバックグラウンドでアクション、フロー、またはサブフローを実行すると、実行 ID が ContextId 値として返されます。フローコンテキスト [sys_flow_context] テーブルにレコードが挿入されないため、実行 ID は実際のコンテキストレコードではありません。代わりに、実行 ID は非同期呼び出しを追跡するために使用されます。

この例では、バックグラウンドでフローを非同期に実行する方法を示します。

```
(function() {
    try {

      var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
        .flow('global.change__unauthorized__review')
        .inBackground()
        .run();

      gs.info(result.debug());

    } catch (ex) {
      var message = ex.getMessage();
      gs.error(message);
    }

  })();
```

出力:

```
[0:00:01.015] Script completed in scope global: script
-----------------------------------------------------
Script execution history and recovery available here
Operation       Table                                 Row Count
insert          sys_flow_context_inputs_chunk         1
insert          sys_flow_context                      1
-----------------------------------------------------
Complex type redefined: FlowDesigner:FDCollection
Queued flow.fire event in NowMQ for sys_flow_context.sys_id:
 e0cd6e30b8b602104a8752ad4a9167c8,
sysevent.sys_id: 34cd6e30dbb60210497c1a48139619c9, with priority 5
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.change__unauthorized__review
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2024-06-12 17:54:58
ContextId: e0cd6e30b8b602104a8752ad4a9167c8
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunner - inDomain(文字列 **domainId)**

指定されたドメインでフロー、サブフロー、またはアクションを実行します。ドメインが存在し、利用可能であることを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainId	文字列	フローの実行ドメインの sys_id または名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
 record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
 action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
 TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
 a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
 from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
 from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
 from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
 approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - inForeground()

フロー、サブフロー、またはアクションを同期的に実行します。フローオブジェクトの実行中は、スクリプトの実行が一時停止します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このメソッドは、アクションを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」や「条件待ち」などの待機条件で一時停止するステップはサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - quick()

実行の詳細やその他の関連レコードを作成せずに、サーバー側のスクリプトから、フロー、サブフロー、アクション、またはデータストリームアクションを同期または非同期で実行します。レコード保持のオーバーヘッドをなくすことで、パフォーマンスを向上させます。 この API を使用すると、本番環境での大量の処理 (1 秒あたり複数実行など) の速度が向上します。

レポートと生成されたレコード

このメソッドは、フローデザイナー 設定に関係なく、実行の詳細とコンテキストレコードを作成しません。

待機条件のサポート

このメソッドは、アクションまたはフローを一時停止して条件を待機することはサポートしていません。「承認を求める」、「条件待ち」、「期間の待機」などの待機条件で一時停止するアクション、フローロジック、およびステップはサポートされていません。

MID サーバーのサポート

このメソッドは、MID サーバーから実行するアクションまたはフローの一時停止はサポートしていません。MID サーバーから実行するアクションを一時停止するデータストリームアクション前処理スクリプトも、この制約の対象となります。

データストリームアクションのサポート

このメソッドは、MID サーバーから前処理スクリプトを実行するデータストリームアクションの一時停止をサポートしていません。

フロー優先度のサポート

このメソッドは、フロー優先度設定をサポートしています。フローは指定されたフロー優先度で実行されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

注: Xanadu リリースの時点では、quick() メソッドを使用してバックグラウンドでアクション、フロー、またはサブフローを実行すると、実行 ID が ContextId 値として返されます。フローコンテキスト [sys_flow_context] テーブルにレコードが挿入されないため、実行 ID は実際のコンテキストレコードではありません。代わりに、実行 ID は非同期呼び出しを追跡するために使用されます。

この例では、関連レコードを作成せずにフローを実行する方法を示します。

```
(function() {
  try {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.change__unauthorized__review')
      .inBackground()
      .quick()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
Complex type redefined: FlowDesigner:FDCollection
Queued flow.run.quick event in NowMQ for sys_flow_context.sys_id:
 d81781ec57801110403e8f90ac94f90e,
sysevent.sys_id: 48abe270dbf20210497c1a4813961908, with priority 5
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.change__unauthorized__review
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2024-06-12 17:45:37
ContextId: 08abe2706cf202107b7d3b283f7ee108
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunner - run()

指定されたパラメーターでフロー、サブフロー、またはアクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunnerResponseObject	フローデザイナー アクション、フロー、またはサブフローの実行の詳細を含むオブジェクト。

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - subflow(文字列 **scopedSubflowName)**

実行するサブフローのスコープと名前を識別します。

関連項目：

- ScriptableFlowRunner - action(文字列 scopedActionName)
- ScriptableFlowRunner - flow(文字列 scopedFlowName)

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedSubflowName	文字列	実行するサブフローのスコープと名前。例えば、`global.subflowName` です。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、メッセージをログに記録するサブフローを実行する方法を示します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .subflow('global.output_test')
      .inForeground()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力:

```
record-watcher asynchronous tracking complete - time: 1 ms. Executed
 responders: 1
record-watcher asynchronous tracking complete - time: 1 ms. Executed
 responders: 1
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.output_test
Flow Object Type: subflow
Domain: null
Result Time: 2024-08-02 22:52:08
ContextId: b2dxx659bebf01101d72200x503x19pr
Output count: 2
```

自動翻訳

ScriptableFlowRunner - timeout(数字 timeout)

フロー、サブフロー、またはアクション実行のタイムアウトを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeout	数字	タイムアウト (ミリ秒単位)。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例では、フローを実行し、タイムアウトを 2 分に設定する方法を示します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      .timeout(120000)
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
Flow Designer: Cloning a new session to run as as user id: [user_name]
 from original user session: [user_name]
Flow Designer: Reverting cloned session to original user session:
 [user_name]
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_flow
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2020-06-08 18:22:35
ContextId: null
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunner - validateInputs(ブール値 **validateInputs)**

いずれかのメソッド入力に予期しない値がある場合、エラーをスローし、ScriptableFlowRunner クラスが実行されないようにします。このメソッドのデフォルトは、すべての ScriptableFlowRunner 呼び出しに対して true です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力を検証	ブール	ScriptableFlowRunner メソッドの入力を検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値は 2 つあります。 • true:入力に予期しない値がある場合にエラーをスローし、スクリプトの実行を停止します。 • false:予期しない値でのスクリプトの実行を許可します。 デフォルト：True

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、メソッドの入力値を検証せずにフローを実行する方法を示します。

```
(function() {
  try {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .validateInputs(false)
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力:

```
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_flow
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2020-06-08 16:41:13
ContextId: null
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunner - withConnectionAliasOverride(文字列 **aliasName**, 文字列 **overrideName)**

フロー、アクション、またはサブフローに関連付けられた 接続情報と認証情報 エイリアスを上書きします。デフォルトの親エイリアスを、いずれかの子エイリアスで上書きできます。

接続情報と認証情報エイリアスの上書きの詳細については、「複数の接続のサポート」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentAliasSysID	文字列	親エイリアス (上書きするエイリアス) の sys_id。
overrideAliasSysID	文字列	子エイリアス (フロー、サブフロー、またはアクションの実行時に使用するエイリアス) の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例は、フローに関連付けられたデフォルトと異なるエイリアスを使用してフローを実行する方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      .withConnectionAliasOverride('sn_original_alias.spoke',
'x_new_alias.spoke')
      .inForeground()
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - withInputs(マップ inputs)

入力のコレクションを追加します。名前と値のペアのいずれかに名前がすでに存在する場合、既存の値が新しい値に置き換えられます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputs	オブジェクト	フロー、サブフロー、またはアクションの入力を定義する名前と値のペアを含むマップオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

入力オブジェクトを作成し、値を *withInputs()* メソッドに渡します。

```
(function() {
  try {

    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
 from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
 from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
 approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunner - withRoles()

フローをトリガーしたユーザーとしてフローを実行するか、フローデザイナー で追加されたロールでフローを実行します。

withRoles() メソッドと一緒に *quick()* を使用してフローがトリガーされると、フロープロパティで定義されたロールが取得されてフロー実行中に渡され、そのロールでフローが実行されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableFlowRunner - スコープ指定	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローを実行するために使用されるビルダーオブジェクト。

この例は、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して *withRoles()* および *quick()* メソッドを使用する特定のレコードに対して承認アクションを実行する方法を示しています。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
    try {

        var outputs = sn_fd.FlowAPI.getRunner() // Create a
 ScriptableFlowRunner builder object.
        .flow('global.stry53225960_flow')
        .inForeground()
        .quick() //Run the flow from a server-side script.
        .withRoles() //Run the flow as the user who triggered the flow.
        .run(); // Run the action and return a FlowRunnerResult object.

    } catch (ex) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
        var message = ex.getMessage();
        gs.error(message);

    }

})();
```

エラー

withRoles() メソッドの使用中に次のエラーが発生する可能性があります。

- *withRoles()* を *quick()*と一緒に使用しないと、操作が実行されない。
- ロールを持たないフローで *withRoles()* が呼び出されると、スクリプトからエラーが返される。
- *withRoles()* メソッドと *asUser()* メソッドが同時に呼び出されると、スクリプトからエラーが返される。

ScriptableFlowRunnerResult - スコープ指定

*ScriptableFlowRunner*を使用してフロー、サブフロー、またはアクションを実行した結果をキャプチャします。コンテキスト ID、ドメイン、フロー実行の出力などのデータが含まれます。

これらのメソッドは、サーバー側スクリプトで `sn_fd` 名前空間識別子とともに使用します。

API 呼び出し順

フロー、サブフロー、およびアクションは、API を次の順番で使用して構築および実行します。

1. *FlowAPI*：ビルダーオブジェクトを作成する

   getRunner() を使用して ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトをインスタンス化します。
2. *ScriptableFlowRunner*：実行する フローデザイナー コンテンツを指定する

   下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーパターンを作成します。

   1. *action()*、*datastream()*、*flow()*、*subflow()* メソッドのいずれかを使用して、ビルドする フローデザイナー オブジェクトのタイプを指定します。
   2. *addInput()*、*inDomain()*、*quick()* などのメソッドを 1 つまたは複数使用して、実行パラメーターを指定します。
   3. *run()* メソッドを使用して、アクション、フロー、サブフローを指定されたパラメーターで実行し、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトを返します。
3. *ScriptableFlowRunnerResult*： フローデザイナー 実行の詳細を取得する

   getContextId()、*getOutputs()*、*getDomainId()* などのメソッドを 1 つまたは複数使用して、実行結果の詳細を表示します。

例

この例では、ScriptableFlowRunner ビルダーオブジェクトを作成し、それを使用して特定のレコードの承認アクションを実行する方法を示します。ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトは、実行の引数とアクションの出力をキャプチャします。

```
(function() {
  try {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var inputs = {};

    inputs['sys_id'] = '57af7aec73d423002728660c4cf6a71c';  // Pass the
record's sys_id in as input.

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()  // Create a
ScriptableFlowRunner builder object.
      .action('global.markapproved')        // Run the global scope
action named markapproved.
      .inForeground()
      .inDomain('TOP/ACME')                 // Run the action from the
TOP/ACME domain.
      .withInputs(inputs)
      .run();                               // Run the action and return
a FlowRunnerResult object.

    var contextId = result.getContextId();  // Retrieve the context ID
from the result
    var dateRun = result.getDate();
    var domainUsed = result.getDomainId();  // Retrieve the Domain ID
from the result.
    var flowName = result.getFlowObjectName();
    var flowObjectType = result.getFlowObjectType();

    var outputs = result.getOutputs();            // Retrieve any outputs
from the action execution.
    var newApprovalStatus = outputs['approval'];  // Echo back the
approval status for verification.

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

ScriptableFlowRunnerResult - debug()

コンテキスト ID、ドメイン ID、実行出力など、実行されたフロー、サブフロー、またはアクションに関する情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローの実行に関する実行の詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• flow object name：フロー、サブフロー、またはアクションの名前。 • flow object type：フロー、サブフロー、アクション、またはデータストリームアクション。 • domain ID：フロー、サブフロー、またはアクションが実行されたドメインの ID。 • result time：実行にかかった時間。 • context ID：アクション、フロー、またはサブフローに対する フローデザイナー の実行詳細レコードの sys_id。 • output count：アクションまたはサブフローの出力の数。

この例では、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトから、実行されたフロー、サブフロー、またはアクションに関する情報を取得する方法を示します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.debug());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
*** Script: FlowRunnerResult
Flow Object Name: global.test_flow
Flow Object Type: flow
Domain: null
Result Time: 2020-06-08 18:28:41
ContextId: null
Output count: 0
```

ScriptableFlowRunnerResult - getContextId()

フロー、サブフロー、またはアクションのコンテキスト ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
文字列	アクション、フロー、またはサブフローに対する フローデザイナー の実行詳細レコードの sys_id。

この例は、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトからコンテキスト ID を取得する方法を示しています。

```
var contextId = result.getContextId();
```

出力：

```
4ecead85c4da1110598d0c7d6bf73554
```

ScriptableFlowRunnerResult - getDate()

フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローが実行された日時を GlideDateTime オブジェクトとして返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	フロー、サブフロー、またはアクションの実行日時。

この例では、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトからフロー実行の日時を取得する方法を示します。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.getDate());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
2020-05-22 18:45:42
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ScriptableFlowRunnerResult - getDataStream()

データストリームアクションからデータのストリームを返します。

`ScriptableFlowRunner` ビルダークラスで `datastream()` メソッドが使用された場合、データのストリームを ScriptableDataStream オブジェクトとして返します。ストリーム内のアイテムを反復処理するには、`ScriptableDataStream` クラスを使用します。「ScriptableDataStream」を参照してください。

データストリームアクションの詳細については、「 データストリームアクションとページネーション 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ScriptableDataStream	データストリーム内のアイテムの反復処理に使用できる ScriptableDataStream オブジェクト。`ScriptableDataStream` クラスのメソッドを使用して、このオブジェクトを操作します。「ScriptableDataStream」を参照してください。

この例では、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトからデータストリームを取得する方法を示します。

```
var datastream = result.getDataStream();
```

ScriptableFlowRunnerResult - getDomainId()

フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローが実行されたドメインの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローが実行されたドメインの sys_id。

この例は、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトからドメイン ID を取得する方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      .inDomain('TOP/ACME')
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.getDomainId());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
4ecead85a4da1110598d0c7d6bf75554
```

ScriptableFlowRunnerResult - getFlowObjectType()

フローデザイナー のオブジェクト実行のタイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
FlowObjectType	実行する フローデザイナー オブジェクトのタイプ。アクション、フロー、またはサブフローのいずれかです。

この例は、*ScriptableFlowRunnerResult* API からフローオブジェクトのタイプを取得する方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.getFlowObjectType());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
flow
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ScriptableFlowRunnerResult - getFlowObjectName()

フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフロー実行のスコープと内部名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフロー実行のスコープと内部名。たとえば、`global.emailflow` です。

この例は、ScriptableFlowRunnerResult オブジェクトからフローやサブフローの名前、またはアクション名を取得する方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .flow('global.test_flow')
      .inForeground()
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.getFlowObjectName());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
global.test_flow
```

ScriptableFlowRunnerResult - getOutputs()

完了した フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローの出力を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	完了した フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローの出力を含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例は、*ScriptableFlowRunner* API で フローデザイナー のアクション、フロー、またはサブフローから出力を取得する方法を示しています。

```
(function() {
  try {

    var result = sn_fd.FlowAPI.getRunner()
      .action('global.test_action')
      .inForeground()
      .timeout(12000)
      .run();

    gs.info(result.getOutputs());

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

出力：

```
Flow Designer: Warning. This is an important log message.
```

SentimentAnalyser :スコープ指定

SentimentAnalyser スクリプトインクルードは、文字列値に対して感情分析を実行するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、アドミン実行スクリプトとして扱われるスクリプトで使用する必要があります。たとえば、感情 分析 スクリプトインクルードをスクリプトアクションまたはスケジュール済みジョブで使用します。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、 `sn_nlp_sentiment` 名前空間識別子を使用します。*SentimentAnalyser* API にアクセスするには、感情分析プラグイン (com.snc.sentiment_analysis) を有効にする必要があります。

SentimentAnalyser - SentimentAnalyser()

感情分析に使用されるデフォルトのコネクター設定で SentimentAnalyser クラスのインスタンスを作成します。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
```

SentimentAnalyser - SentimentAnalyser(GlideRecord configGR)

感情分析に使用される指定のコネクター設定で、SentimentAnalyser クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
configGR	GlideRecord	コネクター設定の GlideRecord オブジェクト。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser(configGR);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SentimentAnalyser - analyze(文字列 **inputText)**

指定のテキストで感情分析を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputText	文字列	感情分析を実行する必要があるテキスト。

返される内容

タイプ	説明
JSON オブジェクト	ステータス、スコア、正規化されたスコア、関連するコネクター設定の sys_id、およびエラーメッセージを指定する感情分析の結果。

```
        var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
        var result = sa.analyze ("Example string");
```

出力：

```
{"status": "Success", "score": "0.7", "normalizedScore":
 "0.7", "connectorConfig": "10932aa773101300734e234ffff6a777",
 "errorMessage":""}
```

SentimentAnalyser - analyzeMultiple(アレイ **inputTextArray)**

文字列のアレイに対して感情分析を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputTextArray	アレイ	感情分析の実行対象のテキスト (文字列) のアレイ。

返される内容

タイプ	説明
JSON 配列	ステータス、スコア、正規化されたスコア、関連するコネクター設定の sys_id、およびエラーメッセージを指定する複数のテキストに対して実行された感情分析の結果を出すアレイ。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
var result = sa.analyzeMultiple (["Example string1","Example string2"]);
```

出力：

```
[{"text": "I am happy","result": {Success", "score":
 "0.7", "normalizedScore": "0.7", "connectorConfig":
 "10932aa773101300734e234ffff6a777", "errorMessage":""}},{"text": "I
 am not happy","result": {Success", "score": "-0.7", "normalizedScore":
 "-0.7", "connectorConfig": "10932aa773101300734e234ffff6a777",
 "errorMessage":""}}]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SentimentAnalyser - analyzeMultipleWithLanguage(アレイ **inputTextArray**, 文字列 **language)**

指定した言語の文字列のアレイに対して感情分析を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputTextArray	アレイ	感情分析の実行対象のテキスト (文字列) のアレイ。
language	文字列	入力テキストの言語。さまざまな感情サービスによって異なります。

返される内容

タイプ	説明
JSON 配列	ステータス、スコア、正規化されたスコア、関連するコネクター設定の sys_id、およびエラーメッセージを指定する、指定された言語の複数のテキストに対して実行された感情分析の結果を含むアレイ。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
var result = sa.analyzeMultipleWithLanguage (["Example string1","Example
 string2"], "en");
```

出力：

```
[{"text": "I am happy","result": {Success", "score":
 "0.7", "normalizedScore": "0.7", "connectorConfig":
 "10932aa773101300734e234ffff6a777", "errorMessage":""}},{"text": "I
 am not happy","result": {Success", "score": "-0.7", "normalizedScore":
 "-0.7", "connectorConfig": "10932aa773101300734e234ffff6a777",
 "errorMessage":""}}]
```

SentimentAnalyser - analyzeWithLanguage(文字列 **inputText**, 文字列 **language)**

指定のテキストと言語で感情分析を実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputText	文字列	感情分析の実行対象のテキスト。
language	文字列	入力テキストの言語。これは、感情サービスによって異なる場合があります。

返される内容

タイプ	説明
JSON オブジェクト	ステータス、スコア、正規化されたスコア、関連するコネクター設定の sys_id、およびエラーメッセージを指定する感情分析の結果。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
var result = sa.analyze ("Example string", "en");
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"status": "Success", "score": "0.7", "normalizedScore": "0.7",
 "connectorConfig": "10932aa773101300734e234ffff6a777", errorMessage":""}
```

SentimentAnalyser - getConnectorByName(文字列 connectorName)

指定されたコネクター設定の GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
connectorName	文字列	コネクター設定の名前。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定されたコネクター設定の GlideRecord。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
var connector = sa.getConnectorByName("xxx");
```

出力：

```
GlideRecord object of the connector configuration with name "xxx", null
 if no connector is named as "xxx".
```

SentimentAnalyser - getDefaultConnector()

デフォルトのコネクター設定の GlideRecord を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	デフォルトのコネクター設定の GlideRecord。

```
var sa = new sn_nlp_sentiment.SentimentAnalyser();
var defaultConnector = sa.getDefaultConnector();
```

SerialNumberManager - グローバル

SerialNumberManager スクリプトインクルードは、ディスカバリーデバイスのシリアル番号を管理するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、シリアル番号を管理する必要があるディスカバリースクリプトで使用できます。

SerialNumberManager - add(数字 sType, 数字 value)

指定されたシリアル番号を追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
sType	数字	シリアル番号タイプ
value	数字	シリアル番号

返される内容

タイプ	説明
なし	

SerialNumberManager - getSerialNumber()

シリアル番号を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	シリアル番号。

SerialNumberManager - getSerialsForCIData()

タイプ、シリアル番号、有効性など、CI データのシリアル番号情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	シリアル番号タイプ、シリアル番号、有効性フラグの順序でシリアル番号情報を含むアレイ。

SerialNumberManager - isValid(数字 **value)**

番号が有効なシリアル番号かどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	数字	チェックする番号

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	番号が有効な場合は true、無効な場合は false。

ServiceRegistryQuery - グローバル

ServiceRegistryQuery スクリプトインクルードは、Shazzam サービスレジストリークエリーの結果をポートプローブに対してマッピングするメソッドを提供します。子クラスはマッピングの詳細情報を提供します。

このスクリプトインクルードは、ディスカバリースキャンフェーズ中に使用します。

ServiceRegistryQuery - ServiceRegistryQuery(オブジェクト source)

ServiceRegistryQuery クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	レジストリーサービスの GlideRecord または sys_id。

ServiceRegistryQuery - findForPortProbe(PortProbe portProbe)

指定されたポートプローブの ID のアレイを解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
portProbe	PortProbe	ポートプローブ

返される内容

タイプ	説明
なし	

ServiceRegistryQuery - get(オブジェクト source)

子クラスに関係なく、ID ごとにレジストリーサービスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ソース	オブジェクト	レジストリーサービスの GlideRecord または sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	レジストリーサービス

ServiceRegistryQuery - getShazzamQuerierClassname()

Shazzam! クエリアのクラス名を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クラス名

ServiceRegistryQuery - toPortProbeMap()

ポートプローブの XML を取得してマップを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ポートプローブのマップ

ServiceRegistryQuery - toPortProbeXml()

Shazzam! ポートプローブの XML 出力を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	プローブの XML 出力。

ShazzamLaunch - グローバル

ShazzamLaunch スクリプトインクルードは、指定された検出の Shazzam プローブを起動するための詳細を処理するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードを使用して、ディスカバリースキャンフェーズ中に Shazzam プローブを起動します。

ShazzamLaunch - ShazzamLaunch(DiscoveryStatus status, DiscoverySchedule schedule)

Shazzamlaunch クラスのインスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
status	DiscoveryStatus	この検出の DiscoveryStatus インスタンス。
schedule	DiscoverySchedule	この検出の DiscoverySchedule インスタンス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ShazzamLaunch - addPortProbe(文字列 **midPPs**, 文字列 **portProbes**, **IPIncludeExcluldeCollection ipiec)**

ポートプローブを 1 つだけ MID サービスコレクションに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
midPPs	文字列	次の 2 つのプロパティを持つハッシュマップ。 • midServer：MID Server インスタンス • portProbes：DiscoveryPortProbe インスタンスのハッシュマップ (ポートプローブ名別)。
portProbes	文字列	次のプロパティを持つハッシュマップ (MID Server 名別)。 • range：プローブされる範囲を含む IPMetaCollection。 • midserver：プローブする MID サーバーの MID Server インスタンス。 • portProbes：プローブする DiscoveryPortProbe インスタンスのハッシュマップ (ポートプローブ名別)。
ipiec	IPIncludeExcludeCollection	プローブ対象の範囲。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ShazzamLaunch - addRange(IPCollection ipc, 文字列 **portProbes,** ブーリアン **samePhase)**

指定された範囲と、スキャン対象となる検出のポートプローブ (動作ごとに定義) を、プローブする必要がある MID Server とポートプローブのコレクションに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ipc	IPCollection	検出対象の範囲
portProbes	文字列	次のプロパティを持つハッシュマップのハッシュマップ (MID Server 名別)。 • range：プローブされる範囲を含む IPMetaCollection。 • midServer：プローブする MID サーバーの MID Server インスタンス。 • portProbes：プローブする DiscoveryPortProbe インスタンスのハッシュマップ (ポートプローブ名別)。
samePhase	ブーリアン	現在実行中のものと同じフェーズを使用する必要がある場合は true。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ShazzamLaunch - fireShazzamProbe(文字列 **portProbe**, 文字列 **ip**, 文字列 **sensor)**

指定されたハッシュマップ内の MID Server とサービスに対して Shazzam プローブを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
portProbe	文字列	次のプロパティを含むハッシュマップ。 • range：プローブされる範囲を含む IPMetaCollection。 • midServer：プローブする MID サーバーの MID Server インスタンス。
ip	文字列	プローブを開始する IP のカンマ区切りリスト。
sensor	文字列	このプローブを起動したセンサーの sys_id (ネットワーク検出のみ)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

ShazzamLaunch - launch(文字列 **ip**, ブーリアン **samePhase**, 文字列 **sensor)**

使用されている動作それぞれの現在のフェーズに従って、必要に応じて Shazzam プローブを起動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ip	文字列	プローブを開始する IP のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
samePhase	ブーリアン	この起動で現在実行中のものと同じフェーズを使用する必要がある場合は true。
sensor	文字列	これを起動したセンサーの sys_id (ネットワーク検出にあるもののみ)。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	プローブが起動された場合は true。

ShazzamLaunch - makeProbeSpec(文字列 **portProbe)**

指定されたポートプローブのハッシュマップに対して XML ポートプローブの仕様を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
portProbe	文字列	次のプロパティを含むハッシュマップ。 • range：プローブされる範囲を含む IPMetaCollection。 • midServer：プローブする MID サーバーの MID Server インスタンス。 • portProbes：プローブする DiscoveryPortProbe インスタンスのハッシュマップ (ポートプローブ名別)。

返される内容

タイプ	説明
文字列	XML ポートプローブの仕様

ShazzamResult - グローバル

`ShazzamResult` スクリプトインクルードは、Shazzam 結果をカプセル化するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、ディスカバリースキャンフェーズ中に使用します。

ShazzamResult - active

IP アドレスがアクティブかどうかを示すプロパティ

フィールド

名前	タイプ	説明
active	ブーリアン	この IP アドレスがアクティブで 1 つ以上のポートが開いている場合は true。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ShazzamResult - alive

この IP アドレスがアライブである、すなわち開いているポートはないが 1 つ以上のポートが応答した場合、プロパティは true です。

フィールド

名前	タイプ	説明
alive	ブーリアン	この IP アドレスがアライブである、すなわち開いているポートはないが 1 つ以上のポートが応答した場合は true。

ShazzamResult - domainName

IP の Windows ドメイン名。

フィールド

名前	タイプ	説明
domainName	文字列	IP の Windows ドメイン名 (スキャナーによって解決された場合)。

ShazzamResult - hostName

IP のホスト名。

フィールド

名前	タイプ	説明
hostName	文字列	IP のホスト名 (スキャナーによって解決された場合)。

ShazzamResult - ip

結果の IP アドレス。

フィールド

名前	タイプ	説明
ip	文字列	結果の IP アドレス

ShazzamResult - scanners

ShazzamScanner インスタンスの JavaScript アレイ。

フィールド

名前	タイプ	説明
scanners	アレイ	ShazzamScanner インスタンスのアレイ

ShazzamScanner - グローバル

`ShazzamScanner` スクリプトインクルードは、Shazzam スキャナーをカプセル化するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、ディスカバリースキャンフェーズ中に使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ShazzamScanner - contents

スキャナー内に含まれるすべてのノードのハッシュマップ (名前別)。

フィールド

名前	タイプ	説明
contents	ハッシュマップ	スキャナー内に含まれるすべてのノードのハッシュマップ (名前別)。

ShazzamScanner - domainName

Windows ドメイン名 (スキャナーによって解決された場合)。

フィールド

名前	タイプ	説明
domainName	文字列	Windows ドメイン名 (スキャナーによって解決された場合)。

ShazzamScanner - hostName

IP のホスト名 (スキャナーによって解決された場合)。

フィールド

名前	タイプ	説明
hostName	文字列	IP のホスト名 (スキャナーによって解決された場合)。

ShazzamScanner - name

スキャナー名。

フィールド

名前	タイプ	説明
name	文字列	スキャナー名

ShazzamScanner - port

スキャン対象のポート。

フィールド

名前	タイプ	説明
ポート	文字列	スキャン対象のポート。

ShazzamScanner - portProbe

ポートプローブの名前。

フィールド

名前	タイプ	説明
portProbe	文字列	ポートプローブの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ShazzamScanner - protocol

スキャナーのプロトコル。

フィールド

名前	タイプ	説明
protocol	文字列	スキャナーのプロトコル。

ShazzamScanner - result

スキャナーの結果。

フィールド

名前	タイプ	説明
result	文字列	スキャナーの結果。

ShazzamScanner - service

スキャナーのサービス名。

フィールド

名前	タイプ	説明
service	文字列	スキャナーのサービス名。

SimilaritySolution - グローバル

SimilaritySolution API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

ソリューションのセットアップからトレーニングまでのフローは次のとおりです。

1. *Encoder* API を使用してエンコーダーを構築します。
2. コンストラクター を使用して、類似性ソリューションオブジェクトを作成します。
3. *SimilaritySolutionStore - add()* メソッドを使用して、ソリューションオブジェクトを類似性ソリューションストアに追加します。
4. *submitTrainingJob()* メソッドを使用してソリューションをトレーニングします。これにより、*SimilaritySolutionVersion* API を使用して管理できるオブジェクトのバージョンが作成されます。
5. *SimilaritySolutionVersion - predict()* メソッドを使用して予測を取得します。

> **注:** この API は全権限で実行します。ユーザーのアクセスを制限するには、スクリプトにアクセス制御メカニズムを含めます。

使用上のガイドラインについては、「ML API の使用」を参照してください。

SimilaritySolution - SimilaritySolution(オブジェクト config)

類似性ソリューションを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	の構成プロパティを含む JavaScript オブジェクト ソリューション。 `{ "domainName": "String", "encoder": {Object}, "label": "String", "lookupDataset": {Object}, "minRowCount": "String", "processingLanguage": "String", "stopwords": [Array], "testDataset": {Object}, "trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String" }`
config.domainName	文字列	オプション。このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 デフォルト：現在のドメイン。 例：`"global"`。
config.encoder	オブジェクト	このソリューションに割り当てるトレーニング済みのエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。
config.label	文字列	予測タスクを識別します。
config.lookupDataset	オブジェクト	ルックアップセットとして使用する *`DatasetDefinition`* の名前。
config.minRowCount	文字列	オプション。トレーニング用のデータセットに必要なレコードの最小数。 デフォルト：10000
config.processingLanguage	文字列	オプション。2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 デフォルト値：「en」
config.stopwords	アレイ	オプション。*`language`* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：英語のストップワード
config.testDataset	オブジェクト	*lookupDataset* の結果との類似性をスキャンする *DatasetDefinition* の名前。
config.trainingFrequency	文字列	オプション。 モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once
config.updateFrequency		ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値： • do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update

次の例は、オブジェクトを作成して SimilaritySolution ストア。

```
var incidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
        'tableName' : 'incident',
        'fieldNames' : ['category', 'short_description']
    });
    var kbData = new sn_ml.DatasetDefinition({
        'tableName' : 'kb_knowledge',
        'fieldNames' : ['short_description'],
        'encodedQuery' : 'active=true'
    });
    var encoder = sn_ml.EncoderStore.get('GloVe');
    var mySolution = new sn_ml.SimilaritySolution({
        'label': "similarity solution",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        'lookupDataset' : kbData,
        'testDataset' : incidentData,
        'encoder' : encoder
    });

    // add solution
    var solutionName = sn_ml.SimilaritySolutionStore.add(mySolution);
```

SimilaritySolution - cancelTrainingJob()

トレーニングのために送信されたソリューションオブジェクトのジョブをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のトレーニングジョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var mySolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_sn_global_global_similarity');

mySolution.cancelTrainingJob();
```

SimilaritySolution - getActiveVersion()

アクティブな *SimilaritySolutionVersion* オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクティブな *SimilaritySolutionVersion* オブジェクト。

次の例は、 *SimilaritySolution* ストアからアクティブなバージョンを取得し、そのトレーニング状態を返す

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_similarity');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

SimilaritySolution - getAllVersions()

のすべてのバージョンを取得します *SimilaritySolution* オブジェクト。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ソリューションオブジェクトの既存のバージョン。関連項目 *SimilaritySolutionVersion* API 。

次の例は、すべての *SimilaritySolution* バージョンオブジェクトを取得し、それらに対して *getVersionNumber()* および *getStatus()* ソリューションバージョンメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_Similarity');

var mlSolutionVersions = mlSolution.getAllVersions();

for (i = 0; i < mlSolutionVersions.length; i++) {
gs.print("Version " + mlSolutionVersions[i].getVersionNumber() + "
 Status: " + mlSolutionVersions[i].getStatus() +"\n");
```

出力:

```
Version 3 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 2 Status:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJobEnded":"tru
e"}

Version 1 Status:
 {"state":"solution_cancelled","percentComplete":"0","hasJobEnded":"tru
e"}
```

SimilaritySolution - getLatestVersion()

ソリューション の最新バージョンを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*SimilaritySolutionVersion* の最新バージョンに対応するオブジェクト*SimilaritySolution*。

次の例は、ソリューションの最新バージョンを取得して、トレーニングのステータスを返す方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_Similarity');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getLatestVersion().getStatus()), null, 2));
```

出力:

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

SimilaritySolution - getName()

ストアの操作に使用するオブジェクトの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ソリューションオブジェクトの名前。

次の例は、 *SimilaritySolution* データセット情報を更新し、オブジェクトの名前を出力

```
// Update solution
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
   'tableName' : 'incident',
   'fieldNames' : ['category', 'short_description', 'priority'],
   'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var eligibleFields =
 JSON.parse(myIncidentData.getEligibleFields('Similarity'));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var mySimilarity = new sn_ml.SimilaritySolution({
   'label': "my Similarity solution",
   'dataset' : myIncidentData,
   'inputFieldNames': eligibleFields['eligibleInputFieldNames'],
   'predictedFieldName': 'category'
});

// update solution
sn_ml.SimilaritySolutionStore.update('ml_x_snc_global_global_my_solution_
definition_4', mySimilarity);

// print solution name
gs.print('Solution Name: '+mySimilarity.getName());
```

出力:

```
Solution Name: ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_4
```

SimilaritySolution - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*SimilaritySolutionStore* のデータセットのコンテンツと *SimilaritySolution()* オブジェクトの詳細。 `{ "domainName": "String", "encoder": {Object}, "label": "String", "lookupDatasetProperties": {Object}, "name": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "testDatasetProperties": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>"trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String"
	}</pre>

<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ：オブジェクト。

<Object>.label	予測タスクを識別します。
	<pre>{
	"label": "my first prediction"
	}</pre>
	データタイプ：文字列。

<Object>.lookupDatasetProperties	*DatasetDefinition()* ルックアップセットとして使用されるオブジェクト。の詳細
	<pre>{
	"encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.lookupDatasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列
<Object>.stopwords	オプション。*`language`* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.testDatasetProperties	*`DatasetDefinition()`* このモデルで検索された結果と *`lookupDataset`* で見つかった結果の間の類似性を取得するために使用されるオブジェクト。の詳細 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ：オブジェクト。
<Object>.testDatasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.testDatasetProperties.fieldNames.fieldDetails	フィールドプロパティを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.testDatasetProperties.fieldNames.fieldDetails.<object>.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetProperties.fieldDetails.<object>.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetProperties.fieldDetails.encodedQuery	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値： • every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。
<Object>.updateFrequency	ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update データタイプ：文字列

次の例では、ストア内のソリューションオブジェクトのプロパティを取得します。

```
var mySolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_sn_global_global_similarity_soluti
on');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mySolution.getProperties()), null,
 2));
```

データタイプ：数値。

```
*** Script: {
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [],
    "name": "wordCorpusA"
  },
  "label": "similarity",
  "lookupDatasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "short_description"
    ]
  },
  "name": "ml_x_snc_global_global_similarity",
  "processingLanguage": "en",
  "scope": "global",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "testDatasetProperties": {
    "tableName": "incident",
    "fieldNames": [
      "short_description"
    ]
  },
  "trainingFrequency": "every_30_days",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "updateFrequency": "do_not_update"
}
```

SimilaritySolution - getVersion(文字列 version)

指定されたバージョン番号を使用します。ソリューションを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	ソリューションの既存のバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*SimilaritySolutionVersion* API メソッドを呼び出すことができる *SimilaritySolution()* オブジェクトの指定されたバージョン。

次の例は、バージョン番号別にソリューションのトレーニングステータスを取得する方法を示しています。

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_x_snc_global_global_similarity');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getVersion('1').getStatus(
)), null, 2));
```

出力:

```
{
  "state": "solution_complete",
  "percentComplete": "100",
  "hasJobEnded": "true"
}
```

SimilaritySolution - setActiveVersion(文字列 version)

ストア内の指定されたバージョンのソリューションをアクティブ化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
version	文字列	アクティブ化する *SimilaritySolution()* オブジェクトバージョンの名前。 このバージョンをアクティブ化すると、他のバージョンが非アクティブになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、ストア内のソリューションバージョンを有効にする方法を示しています。

```
sn_ml.SimilaritySolution.setActiveVersion("ml_incident_categorization");
```

SimilaritySolution - submitTrainingJob()

トレーニングジョブを送信します。

注: このメソッドを実行する前に、まず *SimilaritySolutionStore - add()* メソッドを使用してストアにソリューションを追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*SimilaritySolutionVersion* に対応するオブジェクト *SimilaritySolution* トレーニング対象

```
// Create a dataset
var incidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'incident',
    'fieldNames' : ['category', 'short_description']
});

var kbData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'kb_knowledge',
    'fieldNames' : ['short_description'],
    'encodedQuery' : 'active=true'
});

// Create a solution
var encoder = sn_ml.EncoderStore.get('GloVe');
var mySolution = new sn_ml.SimilaritySolution({
    'label': "similarity solution",
    'lookupDataset' : kbData,
    'testDataset' : incidentData,
    'encoder' : encoder,
});

// Add solution
var solutionName = sn_ml.SimilaritySolutionStore.add(mySolution);


// Train the solution - this is a long running job
var mySimilarityVersion = mySolution.submitTrainingJob();
```

SimilaritySolutionStore - グローバル

ソリューション の保存と取得を有効にします 。

SimilaritySolutionStore API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SimilaritySolutionStore - add(オブジェクト mlSolution)

新しいソリューション オブジェクトをストアに追加し、一意の名前を返します。

> **注:** ラベル値は一意である必要はありません。たとえば、このメソッドを同じラベルで 10 回実行すると、異なる一意の名前が付けられた 10 個のオブジェクトがストアに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
mlSolution	SimilaritySolution	ストアに追加する SimilaritySolution()

返される内容

タイプ	説明
文字列	システムによって生成されたソリューション名。

次の例は、ストアにソリューションを追加する方法を示していますソリューションソリューションストアに追加した後にトレーニングジョブを実行します。

```
// Create a dataset
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});

// Create a solution
var mySolution = new sn_ml.SimilaritySolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});

// Add the solution to the store to later be able to retrieve it.
var my_unique_name = sn_ml.SimilaritySolutionStore.add(mySolution);
```

SimilaritySolutionStore - deleteObject(文字列 name)

指定されたソリューションオブジェクトをストアから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	*SimilaritySolution()* 削除するオブジェクト。 の名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストアからソリューションを削除する方法を示しています。

```
sn_ml.SimilaritySolutionStore.deleteObject("ml_sn_global_global_solution
");
```

SimilaritySolutionStore - get(文字列 **name)**

ソリューションオブジェクトをストアから取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ストア内のソリューションの名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	*SimilaritySolution* 表されていますオブジェクトが存在しない場合はエラーを返します。

次の例は、*get()* メソッドを使用してストアからソリューションオブジェクトを取得し、SimilaritySolution - getActiveVersion() および SimilaritySolutionVersion - getStatus() メソッド。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(), null, 2)));
```

出力:

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

SimilaritySolutionStore - getAllNames(オブジェクト **options)**

ストア内のすべてのソリューション定義レコードの名前を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	指定されたプロパティ内の結果を制限するオプション。 `{ "label": "String", "domainName": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> "scope": "String" };</pre>
options.label	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのラベル。
options.domainName	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトのドメインの名前。参照先 ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス .
options.scope	文字列	オプション。ソリューションオブジェクトの アプリケーションスコープ の名前です。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストア内の文字列表現ソリューションオブジェクトの名前のリスト。

次の例では、*getAllNames()* メソッドがストア内のすべての名前のリストを返します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.SimilaritySolutionStore.getAllNames()), null, 2));
```

出力:

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_3",
  "ml_incident_assignment",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition_2",
  "ml_sn_global_global_incident_service"
]
```

次の例では、*getAllNames()* メソッドは *options* パラメーターに設定された値に関連付けられている名前のみを返します。

```
var options = {
  'label' : 'my solution definition',
  'domainName' : 'global',
  'scope' : 'global'
};
var solNames = sn_ml.SimilaritySolutionStore.getAllNames(options);
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(solNames), null, 2));
```

出力：

```
[
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition"
]
```

SimilaritySolutionStore - update(文字列 **name**, オブジェクト **mlSolution)**

ストア内の既存のオブジェクトをパラメーターとして渡されたオブジェクトに置き換えます。指定されたオブジェクト名は空であるか、一致している必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するソリューションの名前。
mlSolution	*SimilaritySolution*	更新するオブジェクトプロパティ。 SimilaritySolution()

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ストア内のソリューションオブジェクトを更新する方法を示しています。

```
var solutionUpdate = new sn_ml.SimilaritySolution({
  'label': 'my solution definition',
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames': ['short_description']
});

sn_ml.SimilaritySolutionStore.update('ml_sn_global_global_incident_servic
e', solutionUpdate);
```

SimilaritySolutionVersion - グローバル

SimilaritySolutionVersion API は、予測インテリジェンス ストアで使用されるスクリプト可能なオブジェクトです。

この API には 予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) が必要です。この API は `sn_ml` 名前空間内で提供されます。

この API は、SimilaritySolution ストア内の SimilaritySolution API オブジェクトに基づいてソリューションバージョンを操作するために使用されます。

ソリューション定義をトレーニングするたびに、ソリューションのバージョンが作成されます。ほとんどのバージョンは、スケジュール設定済みのソリューショントレーニング中に作成されます。

この API のメソッドは、次の *SimilaritySolution* メソッドを使用してアクセスできます。

- *getActiveVersion()*
- *getAllVersions()*
- *getLatestVersion()*
- *getVersion()*

SimilaritySolutionVersion - getProperties()

ソリューションオブジェクトプロパティを取得します バージョン番号。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	データセットのコンテンツと SimilaritySolution のバージョンの詳細。結果はオブジェクトプロパティのセットアップによって異なります。 `{ "domainName": "String", "encoder": {Object}, "isActive": "String", "label": "String", "lookupDatasetProperties": {Object}, "name": "String", "predictedFieldName": "String", "processingLanguage": "String", "scope": "String", "stopwords": [Array], "testDatasetProperties": {Object}, "trainingFrequency": "String", "updateFrequency": "String", "versionNumber": "String" }`
<Object>.domainName	このデータセットに関連付けられたドメイン名。「ドメインセパレーション」および予測インテリジェンス 「」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.encoder	このソリューションに割り当てられるエンコーダーオブジェクト。「Encoder - Encoder(オブジェクト config)」を参照してください。 データタイプ：オブジェクト。
<Object>.isActive	このバージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バージョンはアクティブです。 • false：バージョンはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
<Object>.label	予測タスクを識別します。 `{ "label": "my first prediction" }` データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatase	*DatasetDefinition()* ルックアップセットとして使用されるオブジェクト。の詳細 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	<pre>{
	  "fieldNames": [Array],
	  "tableName": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト。

<Object>.lookupDatasetProperties.tableName	データセットのテーブルの名前。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldNames	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。 例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。

<Object>.lookupDatasetProperties.fieldDefs	プロパティフィールドを指定する JavaScript オブジェクトのリスト。
	<pre>[
	  {
	  "name": "String",
	  "type": "String"
	  }
	]</pre>
	データタイプ：アレイ。

<Object>.lookupDatasetProperties.fieldDefs.name	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.fieldDefs.type	機械学習フィールドタイプ。 データタイプ：文字列。
<Object>.lookupDatasetProperties.encodedQuery	標準の Glide 形式でエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.name	システムによって割り当てられた名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.predictedField	予測可能性についてトレーニングするフィールドを識別します。 データタイプ：文字列。
<Object>.processingLanguage	2 文字の ISO 639-1 言語コード形式の処理言語。 データタイプ：文字列。
<Object>.scope	オブジェクトスコープ。現在、有効な値は `global` のみです。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.stopwords	オプション。*language* プロパティ設定に基づいて自動的に生成される文字列のプリセットリスト。詳しくは、 カスタムストップワードリストの作成 を参照してください。 データタイプ：アレイ。
<Object>.testDatasetPr	*DatasetDefinition()* このモデルで検索された結果と *lookupDataset* で見つかった結果の間の類似性を取得するために使用されるオブジェクト。の詳細 `{ "encodedQuery": "String", "fieldDetails": [Array], "fieldNames": [Array], "tableName": "String" }` データタイプ：オブジェクト。
<Object>.testDatasetPr	データセットのテーブル名。例：`"tableName" : "Incident"` データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetPr	指定されたテーブルからの文字列としてのフィールド名のリスト。例：`"fieldNames" : ["short_description", "priority"]` データタイプ：アレイ。
<Object>.testDatasetPr	フィールドのパラメータを指定するJavaScript オブジェクトのリスト。 `[ { "name": "String", "type": "String" } ]` データタイプ：アレイ。
<Object>.testDatasetPr	このデータセットを制限する情報のタイプを定義するフィールドの名前。 データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetPr	機械学習フィールドのタイプ。<Object>.type データタイプ：文字列。
<Object>.testDatasetPr	標準のGlide形式のエンコードされたクエリ文字列。「 エンコードされたクエリ文字列 」を参照してください。 データタイプ：文字列。
<Object>.trainingFrequency	モデルを再トレーニングする頻度。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• every_30_days • every_60_days • every_90_days • every_120_days • every_180_days • run_once デフォルト：run_once データタイプ：文字列。
<Object>.updateFrequency	ソリューション定義のモデルを再構築する必要がある頻度。 可能な値： • do_not_update • every_1_day • every_1_hour • every_6_hours • every_12_hours • every_1_minute • every_15_minutes • every_30_minutes デフォルト：do_not_update データタイプ：文字列
<Object>.versionNumber	のバージョン番号 *SimilaritySolution* オブジェクト。 データタイプ：文字列。

次の例では、ストア内のアクティブなオブジェクトバージョンのプロパティを取得します。

```
// Get properties
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getPrope
rties()), null, 2));
```

出力：

```
*** Script: {
  "domainName": "global",
  "encoderProperties": {
    "datasetsProperties": [],
    "name": "wordCorpusA"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  "isActive": "true",
  "label": "similarity",
  "lookupDatasetProperties": {
    "encodedQuery": "",
    "fieldNames": [
      "short_description"
    ],
    "tableName": "incident"
  },
  "name": "ml_x_snc_global_global_similarity",
  "processingLanguage": "en",
  "stopwords": [
    "Default English Stopwords"
  ],
  "testDatasetProperties": {
    "fieldNames": [
      "short_description"
    ],
    "tableName": "incident"
  },
  "versionNumber": "3"
}
```

SimilaritySolutionVersion - getStatus(ブーリアン **includeDetails)**

トレーニング完了ステータスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDetails	ブーリアン	ステータス *details* を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：追加の詳細を返します。 • false:追加の詳細を返しません。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	SimilaritySolution オブジェクト のトレーニングステータス情報を含む JavaScript オブジェクト。 `{ "state": "String", "percentComplete": "Number as a String", "hasJobEnded": "Boolean value as a String", "details": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
<Object>.state	トレーニング完了ステータス。トレーニングジョブがターミナルステータスに達した場合、ジョブはそのステータスを終了しません。ステータスがターミナルの場合、*hasJobEnded* プロパティは `true` に設定されます。 可能な値： • `fetching_files_for_training` • `preparing_data` • 再試行 • `solution_cancelled` (terminal) • `solution_complete` (terminal) • `solution_error` (terminal) • `solution_incomplete` • `training_request_received` • `training_request_timed_out` (terminal) • `training_solution` • `Uploading_solution` • `waiting_for_training` データタイプ：文字列
<Object>.hasJobEnded	トレーニングが完了したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：トレーニングは完了しました。 • false：トレーニングは完了していません。 データタイプ：文字列としてのブール値
<Object>.percentComplete	トレーニング完了率。完了率が 100 未満の場合、ジョブはターミナルステータスである可能性があります。たとえば、トレーニングがタイムアウトした場合などです。 データタイプ：文字列としての数値 範囲: 0 から 100
<Object>.details	追加のトレーニングの詳細のリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

次の例は、トレーニングが完了して成功した結果を示しています。

```
// Get status
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_incident_categorization');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getStatu
s(true), null, 2)));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_complete",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true",
 "details":{"stepLabel":"Solution Complete"} // This information is only
 returned if getStatus(true);
}
```

次の例は、トレーニングが完了して失敗した結果を示しています。

```
// Get status
var solutionName = 'ml_x_snc_global_global_similarity_solution';
var mlSolution = sn_ml.SimilaritySolutionStore.get(solutionName);
var trainingStatus =
 JSON.parse(mlSolution.getLatestVersion().getStatus());

gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(trainingStatus), null, 2));
```

出力：

```
{
 "state":"solution_error",
 "percentComplete":"100",
 "hasJobEnded":"true"
}
```

SimilaritySolutionVersion - getVersionNumber()

ソリューションオブジェクトのバージョン番号を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	バージョン番号。

次の例は、バージョン番号を取得する方法を示しています。

```
// Get version number
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_incident_categorization');

gs.print("Version number:
 "+JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getActiveVersion().getVersionNumb
er()), null, 2));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
Version number: 1
```

SimilaritySolutionVersion - predict(オブジェクト **input**, オブジェクト **options**)

予測の入力データを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
入力	オブジェクト	*GlideRecord* または、キーと値のペアとしてフィールド名と値を含む JSON オブジェクトのアレイ。
オプション	オブジェクト	予測結果をフィルタリングするためのオプションの値。 `{ "apply_threshold": Boolean, "top_n": Number }`
options.apply_threshold	ブール値	ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：信頼性がしきい値より大きい結果を返します。 • false：すべての結果を返します。 デフォルト：true
options.top_n	番号	指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	sys_id または record_number でソートされた予測結果を含む JSON オブジェクト。 `{ <identifier>: [Array] }`
<Object>.<識別子>	各予測結果の詳細を含むオブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `<identifier>: [ { "confidence": Number, "predictedSysId": "String", "predictedValue": "String", "threshold": Number } ]`
<Object>.<識別子>.<object>.confidence	予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：数値
<Object>.<識別子>.<object>.predictedSysId	予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.predictedValue	予測結果を表す値。 データタイプ：文字列
<Object>.<識別子>.<object>.threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、sys_id 別の GlideRecord を入力として受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get('ml_incident_categorization');

// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("<sys_id>");

// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;

var results = mlSolution.getVersion(1).predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
{
        "<sys_id/now_GR>": [
    {
      "confidence": 62.10782320780268,
      "threshold": 20.36,
      "predictedValue": "Clone Issues",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 6.945237375770391,
      "threshold": 16.63,
      "predictedValue": "Instance Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 5.321061076300759,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ]
}
```

次の例は、*predict()* メソッドの予測結果を表示する方法を示しています。このメソッドは、 キーと値のペアを入力のフィールド名のアレイとして受け取り、オプションのパラメーターを含めて、上位 3 つの結果に制限してしきい値を除外します。

```
var mlSolution =
 sn_ml.SimilaritySolutionStore.get("ml_incident_categorization");
// key-value pairs input
var input = [{"short_description":"my email is not working"},
 {short_description:"need help with password"}];
// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;
var results = mlSolution.predict(input, options);
// pretty print JSON results
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

```
{
  "1": [
    {
      "confidence": 37.5023032262591,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 24.439964862166583,
      "threshold": 23.7,
      "predictedValue": "Administration",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 11.736320486031047,
      "threshold": 100,
      "predictedValue": "Security",
      "predictedSysId": ""
    }
  ],
  "2": [
    {
      "confidence": 99,
      "threshold": 17.77,
      "predictedValue": "Email",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 3.182137005157543,
      "threshold": 10.72,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 2.8773826570713514,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "threshold": -1,
      "predictedValue": "Email (I/f)",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```

SkillDeterminationUtils - スコープ指定

SkillDeterminationUtils スクリプトインクルードは、作業アイテムのスキルデータを取得または設定するためのユーティリティメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードにはスキル決定 (com.snc.skill_determination) プラグインが必要であり、 sn_skill_rule 名前空間内で提供されます。

SkillDeterminationUtils - SkillDeterminationUtils()

SkillDeterminationUtils のインスタンスを作成するコンストラクター。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var util = new sn_skill_rule.SkillDeterminationUtils();
```

SkillDeterminationUtils - assignSkillsToWorkItem(アレイ skills, GlideRecord now_GR)

アクティブなスキルオブジェクトのアレイを作業アイテムに割り当てます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
skills	アレイ	アサインされるアクティブなスキルオブジェクトのアレイ。
skill.skillName	文字列	スキルの名前。
skill.skillSysId	文字列	スキルのSys ID。
skill.mandatory	ブーリアン	スキルが必須の場合は true、そうでない場合は false。
skill.skillLevelName	文字列	オプションのスキルレベル名。
skill.skillLevelSysId	文字列	オプションのスキルレベルのSys ID。
now_GR	GlideRecord	スキルをアサインする作業アイテムの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

以下の例では、テーブル名 (interaction) を使用してインタラクションレコードを作成し、インタラクション作業アイテムにスキルを割り当て、インタラクションスキル [interaction_m2m_skill] テーブルにレコードを作成する方法を示します。

ユースケース 1：determineWorkItemSkills() から返された結果を使用して、インタラクションテーブルから作業アイテムにスキルを割り当てます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Create an interaction record
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
now_GR.insert();

var util = new sn_skill_rule.SkillDeterminationUtils();

// Get interaction skills interaction
// and specify if any are mandatory
var result = util.determineWorkItemSkills(now_GR);

// Assign skills determined by result and
// assign them to the interaction work item
util.assignSkillsToWorkItem(result, now_GR);
```

ユースケース 2：スキルのアレイを手動で挿入します。このケースでは、IT スキルをインタラクション作業アイテムに割り当てます。

```
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
now_GR.insert();

var util = new sn_skill_rule.SkillDeterminationUtils();

var skills = [{"skillSysId":"2eb1c2029f100200a3bc1471367fcfe4",
 "skillName":"IT", "mandatory":true, "skillLevelName":"",
 "skillLevelSysId":null}];

util.assignSkillsToWorkItem(skills, now_GR);
```

SkillDeterminationUtils - determineWorkItemSkills(GlideRecord now_GR)

指定された作業アイテムのスキルを取得し、スキルが必須かどうかを示して、スキルレベルを一覧表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	インタラクションまたはタスクテーブルの拡張から取得した作業アイテムの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	1 つ以上のスキルオブジェクト。 • skillSysId：文字列。スキル [cmn_skill] テーブルのスキルのSys ID。 • skillName：文字列。スキルの名前。 • mandatory：ブーリアン。必須の場合は true、そうでない場合は false。 • skillLevelName：スキルが存在する場合のスキルレベルの名前。 • skillLevelSysId：スキルが存在する場合、スキルレベル [cmn_skill_level] テーブルから取得したスキルレベルのSys ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のスクリプトでは、インタラクションレコードを作成して、インタラクション作業アイテムのスキルを取得し、そのスキルが必須かどうかを示します。

```
// Create an interaction record
var now_GR = new GlideRecord('interaction');
now_GR.insert();

var util = new sn_skill_rule.SkillDeterminationUtils();

var result = util.determineWorkItemSkills(now_GR);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

```
[{"skillSysId":"6c0f025c7f672300a8b1bdc8adfa917f",
"skillName":"Premier Support Certified",
"mandatory":false,"skillLevelName":"",
"skillLevelSysId":null}]
```

SLARepair - グローバル

SLARepair スクリプトインクルードは、既存の SLA を削除し、各タスクの履歴から再作成するメソッドを提供します。

SLARepair - repairByFilter(文字列 **filter**, 文字列 **sourceTable**)

渡されたフィルターとソーステーブルに関連付けられているタスク SLA を修復します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	ソーステーブルからレコードのセットを取得するために使用するエンコードクエリーを指定します。
sourceTable	文字列	contract_sla、task_sla、または task である (または拡張する) テーブルの名前を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

先月作成された優先度 2 の問題の SLA を修復します。

```
var now_GR = new GlideRecord("problem");
now_GR.addQuery("sys_created_on", "ON", "Last
 Month@javascript:gs.beginningOfLastMonth()@javascript:gs.endOfLastMonth(
)");
now_GR.addQuery("priority", "2");
now_GR.query();

var repair = new SLARepair();
while (now_GR.next())
repair.repairByFilter(now_GR.getEncodedQuery(),
 now_GR.getRecordClassName());
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SLARepair - repairByGlideRecord(GlideRecord now_GR)

渡された GlideRecord に関連付けられたタスク SLA を修復します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
now_GR	GlideRecord	contract_sla、task_sla、または task である (または拡張する) テーブルの GlideRecord を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

先月作成された優先度 2 の問題の SLA を修復します。

```
var now_GR = new GlideRecord("problem");
now_GR.addQuery("sys_created_on", "ON", "Last
 Month@javascript:gs.beginningOfLastMonth()@javascript:gs.endOfLastMonth(
)");
now_GR.addQuery("priority", "2");
now_GR.query();

var repair = new SLARepair();
while (now_GR.next())
    repair.repairByGlideRecord(now_GR);
```

SLARepair - repairBySysId(文字列 **sysId**, 文字列 **sourceTable**)

渡された sys_id とソーステーブルに関連付けられているタスク SLA を修復します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	contract_sla、task_sla、または task である (または拡張する) テーブルの ID を指定します。
sourceTable	文字列	contract_sla、task_sla、または task である (または拡張する) テーブルの名前を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

先月作成された優先度 2 の問題を検索します。

```
var now_GR = new GlideRecord("problem");
now_GR.addQuery("sys_created_on", "ON", "Last
 Month@javascript:gs.beginningOfLastMonth()@javascript:gs.endOfLastMonth(
)");
now_GR.addQuery("priority", "2");
now_GR.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var repair = new SLARepair();
while (now_GR.next())
repair.repairBySysId(now_GR.sys_id + "",  now_GR.getRecordClassName());
```

SLARepair - setAuditEnabled(ブーリアン onOrOff)

修復の実行時の監査を有効または無効にします。

デフォルトでは、監査はプロパティ *com.snc.sla.repair.audit* 内の値に設定されています。この設定を上書きするには、true を渡して監査を有効にするか、false を渡して無効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOrOff	ブーリアン	監査を有効にするか無効にするかを決定します。

返される内容

タイプ	説明
this	メソッドのチェーンを可能にする自己参照。

```
var builder = new SLARepair();
  builder.setAuditEnabled(true);
```

SLARepair - setRunWorkflow(ブーリアン onOrOff)

修理中の各タスク SLA レコードのワークフローの実行を有効または無効にします。

デフォルトでは、タスク SLA が修復されると、修復プロセス中にワークフローが実行されます。この設定を上書きするには、false を渡してワークフローの実行を無効にするか、 true を渡して有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOrOff	ブーリアン	ワークフローを有効にするか無効にするかを決定します。

返される内容

タイプ	説明
this	メソッドのチェーンを可能にする自己参照。

```
var repair = new SLARepair();
repair.setRunWorkflow(false);
```

SLARepair - setValidateOnly(ブーリアン onOrOff)

修理リクエストを検証します。

false が渡されると、タスク SLA が修復されます。true が渡されると、修復を要求してもタスク SLA が変更されず、指定されたパラメーターのみが検証されて、修復するレコードの数が生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
onOrOff	ブーリアン	検証を有効にするか無効にするかを決定します。

返される内容

タイプ	説明
this	メソッドのチェーンを可能にする自己参照。

```
var repair = new SLARepair();
  repair.setValidateOnly(true);
```

SLPServiceRegistryQuery - グローバル

SLPServiceRegistryQuery スクリプトインクルードは、Shazzam! SLP クエリーの結果をポートプローブにマッピングします。

このスクリプトインクルードは、ディスカバリースキャンフェーズ中に使用します。

SLPServiceRegistryQuery - getShazzamQuerierClassname()

Shazzam クエリアのクラス名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クラス名

SLPServiceRegistryQuery - toPortProbeMap()

Shazzam! への XML 出力で使用するポートプローブのスカラーマップを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	スカラーマップ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SMSPreferenceHandlerSNC:スコープ指定、グローバル

SMSPreferenceHandler スクリプトインクルードは、ショートメッセージサービス (SMS) 構成を管理するためのメソッドを提供します。

このスクリプト インクルードは、スクリプト インクルード *SMSPreferenceHandlerSNC* として実装され、 sn_sms_pref 名前空間に存在します。この API を使用するには、個別のサブスクリプションが必要な Notify プラグイン (com.snc.notify) をインストールする必要があります。このプラグインをアクティブ化できるのは、管理者ロールを持っている場合です。

SMSPreferenceHandlerSNC - SMSPreferenceHandler(文字列プロバイダー)

SMSPreferenceHandler スクリプトインクルードのオブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
provider	文字列	電話通信サービスプロバイダーの名前。

```
var handler = new sn_sms_pref.SMSPreferenceHandler('TwilioDirect'); //
 Pass the provider name
var config = handler.getConfig();
```

SMSPreferenceHandlerSNC - getConfig()

現在の電話通信サービスプロバイダーの初期設定構成レコードを返します。

このメソッドは、現在の電話通信サービスプロバイダーの SMS 初期設定構成 [sn_sms_pref_configuration] テーブルのすべての初期設定構成レコードを照会し、[順番] フィールドで結果を (昇順に) ソートして、最初のレコードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	現在の電話通信サービスプロバイダーの初期設定構成レコード。レコードが存在しない場合は null です。

```
var handler = new sn_sms_pref.SMSPreferenceHandler('TwilioDirect'); //
 Pass the provider name
var config = handler.getConfig();
```

SNEventSenderProvider - グローバル

SNEventSenderProvider API は、IEventSender インスタンスをインスタンス化するメソッドを提供します。

ServiceNow インスタンスにイベントを送信するオブジェクトをインスタンス化する、MID サーバー上で動くスクリプトを記述する際は、この API を使用します。

ServiceNow インスタンスにイベントを送信するには *IEventSender* API を使用します。*Event* API を使用して、イベント内のフィールドを追加/更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API にアクセスするには、Event Management (com.glideapp.itom.snac) プラグインを有効にする必要があります。イベント管理プラグインには、個別のサブスクリプションが必要であり、アクティブ化する必要があります。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだアクティブ化されていない場合はアクティブ化します。

イベント管理の詳細については、「イベント管理」を参照してください。

EventSender - getEventSender()

MID サーバー から ServiceNow インスタンスにイベントを送信するために使用する IEventSender オブジェクトを返します。

このメソッドを呼び出してから、`IEventSender` API メソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
IEventSender	ServiceNow インスタンスにイベントを送信するために使用する IEventSender オブジェクト。

```
var eventSender = SNEventSenderProvider.getEventSender();
```

SNMPGatherDocParts - グローバル

`SNMPGatherDocParts` スクリプトインクルードは、JavaScript SNMP センサーの SNMP 応答ドキュメントのパーツの収集を処理するメソッドを提供します。

SNMP 応答ドキュメントの各部分を収集する必要がある場合は、このスクリプトインクルードをディスカバリースクリプトで使用します。

SNMPGatherDocParts - gather(文字列 doc, オブジェクト probe)

以前の SNMP プローブによって収集されたデータを含む、指定された XML ドキュメントを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
doc	文字列	このセンサーの XML ドキュメント
プローブ	オブジェクト	プローブインスタンス

返される内容

タイプ	説明
文字列	収集されたデータを含む XML ドキュメント。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SNMPNetworkInterfaces - グローバル

SNMPNetworkInterfaces スクリプトインクルードは、JavaScript SNMP センサーのネットワークインターフェイスを作成するメソッドを提供します。

JavaScript SNMP センサーのネットワークインターフェイスを作成する必要がある場合は、このスクリプトインクルードをディスカバリースクリプトで使用します。

SNMPNetworkInterfaces - process(文字列 **cmdb_ci**, 文字列 **doc**, ブール **isComputer**, 文字列 **agentName**, 文字列 **ecc_sys_id)**

SNMP データを分析し、検出された NIC を CMDB の NIC に調整します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cmdb_ci	文字列	CI の sys_id
doc	文字列	XML 形式の SNMP データ
isComputer	ブーリアン	true の場合はコンピューターです。それ以外の場合は false です。
agentName	文字列	MID サーバーの名前
ecc_sys_id	文字列	入力のある ECC キューレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

SNMPResponse - グローバル

SNMPResponse スクリプトインクルードは、SNMP シングルトンフィールドまたはテーブルを安全かつ簡単に取得するメソッドで SNMP ペイロード応答インスタンスをラップするメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードを使用して、SNMP シングルトンフィールドまたはテーブルを取得します。

SNMPResponse - buildIndex(オブジェクト **cur**, 文字列 **name**, 文字列 **extName)**

現在のオブジェクト内のすべての SNMP エンティティへのインデックスを構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cur	オブジェクト	現在のオブジェクト
name	文字列	インデックス名
extName	文字列	インデックスの拡張

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SNMPResponse - buildReferences()

識別されたすべての解決可能なインデックス (discovery_snmp_ref テーブル内) に対する実際のインスタンスへの参照を構築します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

SNMPResponse - getAmbiguousOIDs(文字列 refBase, 文字列 refLeaf)

指定された ref_base に一致し、null 以外の ref_leaf が定義されている OID のアレイを返します。

ref_base の最後の文字は疑問符にしてもかまいません。その場合、親ノードがテーブルであれば、すべてのテーブルエントリーが返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
refBase	文字列	参照ベース
refLeaf	文字列	参照リーフ

返される内容

タイプ	説明
アレイ	指定された ref_base に一致し、null 以外の ref_leaf が定義されている OID のアレイ。

SNMPResponse - getOIDInt(文字列 name)

指定された MIB 名の OID オブジェクトに含まれる整数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	MIB 名

返される内容

タイプ	説明
数字	OID オブジェクトに含まれる整数。オブジェクトが見つからないか、空の場合は 0 です。

SNMPResponse - getOIDObj(文字列 name)

応答から取得された指定の MIB 名の OID オブジェクトを取得します。

このメソッドは数字の OID 文字列では機能せず、MIB 名でのみ機能します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	MIB 名

返される内容

タイプ	説明
OID オブジェクト	指定された MIB 名の OID オブジェクト。オブジェクトが見つからなかった場合、または名前付き要素をたどる過程でテーブルエントリーが見つかった場合は null です。

SNMPResponse - getOIDTable(文字列 **parentName**, 文字列 **entryName)**

指定されたエントリーの MIB 名で、指定された親 MIB 名のテーブルエントリーのハッシュマップを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentName	文字列	親 MIB 名
entryName	文字列	エントリーの MIB 名

返される内容

タイプ	説明
Hashmap	指定されたエントリーの MIB 名で、指定された親 MIB 名のテーブルエントリーのハッシュマップ。親が存在しない場合は null です。

SNMPResponse - getOIDText(文字列 **name)**

指定された MIB 名の OID オブジェクトに含まれるテキストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	MIB 名

返される内容

タイプ	説明
文字列	OID オブジェクトに含まれるテキスト。オブジェクトが見つからない場合、またはテキストがない場合は null を返します。

SNMPResponse - normalize(オブジェクト **cur)**

SNMP テーブルをハッシュマップに、OID 値をプリミティブに解決します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての SNMP 数値タイプが JavaScript の数値に変換されます。SNMP の null タイプは JavaScript null に変換されます。SNMP の IP アドレス値は Java IPAddressV4 インスタンスに変換されます。他のすべての値は JavaScript 文字列に変換されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cur	オブジェクト	SNMP テーブルまたは OID 値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

SOAPMessageV2 - スコープ指定、グローバル

SOAPMessageV2 API は、JavaScript を使用して送信 SOAP メッセージを送信するメソッドを提供します。

この API を使用して、SOAP プロバイダーから返される応答を管理します。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

関連項目：

- ダイレクト SOAPMessageV2 の例
- レコードレス SOAPMessageV2 の例
- 非同期 SOAPMessageV2 の例
- SOAPMessageV2 MID サーバーの例

SOAPMessageV2 - SOAPMessageV2()

空の SOAPMessageV2 オブジェクトをインスタンス化します。

この方法でインスタンス化されたオブジェクトを使用する場合は、SOAP アクションとエンドポイントを手動で指定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2();
```

SOAPMessageV2 - SOAPMessageV2(文字列 soapMessage, 文字列 soapFunction)

SOAP メッセージレコードとそのレコードに関連付けられた関数から、SOAPMessageV2 オブジェクトをインスタンス化します。

SOAP メッセージレコードのエンドポイント、認証、MID サーバー 設定などの値がこのオブジェクトに適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
soapMessage	文字列	このオブジェクトのベースとして使用する SOAP メッセージレコード。
soapFunction	文字列	実行する SOAP 関数。使用可能な SOAP 関数は、Web サービスプロバイダーによって提供される WSDL によって異なります。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
```

SOAPMessageV2 - execute()

SOAP メッセージをエンドポイントに送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
SOAPResponseV2 - スコープ指定、グローバル	SOAP プロバイダーによって返される応答。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.execute(); //Might throw exception if http connection
 timed out or some issue with sending request itself because of
 encryption/decryption of password.
```

SOAPMessageV2 - executeAsync()

SOAP メッセージを ECC キューに送信します。

ECC キュー内の SOAP メッセージは SOAPClient ビジネスルールによって処理されます。

デフォルトでは、このビジネスルールは非同期で実行されません。このビジネスルールを非同期で実行するように設定するには、[時期] の値を [Async] に設定し、current.update() を [スクリプト] の最後に追加します。インスタンスは、ECC キューを介してメッセージを送信する際に、Web サービスプロバイダーからの応答を待機しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
SOAPResponseV2 - スコープ指定、グローバル	SOAP プロバイダーによって返される応答。 注: 応答が処理される前に SOAP 応答オブジェクトを使用しようとすると、タイムアウトエラーが発生する可能性があります。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var response = sm.executeAsync();
```

SOAPMessageV2 - getEndpoint()

SOAP メッセージのエンドポイントを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	SOAP Web サービスプロバイダーの URL。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var endpoint = sm.getEndpoint();
```

SOAPMessageV2 - getRequestBody()

SOAP メッセージ本文の内容を返します。

注: *getRequestBody()* メソッドを呼び出す前に、execute() メソッドを呼び出して応答オブジェクトを取得する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	SOAP メッセージの本文。

```
var sm = new
 sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","StockQuoteSoap.GetQuote"); //Might
 throw exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var response = sm.execute();
var requestBody = response.getRequestBody();
```

SOAPMessageV2 - getRequestHeader(文字列 headerName)

SOAP クライアントによって指定された HTTP ヘッダーの値を取得します。

デフォルトでは、このメソッドはシステムによって自動的に設定されたヘッダーの値を返すことはできません。このメソッドにすべてのヘッダーへのアクセスを許可するには、プロパティ glide.http.log_debug を true に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerName	文字列	値を取得する要求ヘッダー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたヘッダーの値。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var header = sm.getRequestHeader("Accept");
```

SOAPMessageV2 - getRequestHeaders()

SOAP クライアントによって設定された HTTP ヘッダーと関連する値を取得します。

このメソッドは、システムによって自動的に設定されたヘッダーを返しません。このメソッドがすべてのヘッダーを返すように設定するには、プロパティ glide.http.log_debug を true に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各ヘッダーの名前を関連する値にマッピングするオブジェクト。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var requestHeaders = sm.getRequestHeaders();
```

SOAPMessageV2 - setBasicAuth(文字列 userName, 文字列 userPass)

SOAP メッセージの基本認証ヘッダーを設定します。

このメソッドを使用して基本認証ヘッダーを設定すると、SOAP メッセージレコードで定義された基本認証値が上書きされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userName	文字列	SOAP メッセージを認証するときに使用するユーザー名。
userPass	文字列	指定されたユーザーのパスワード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setBasicAuth("username","password");
```

SOAPMessageV2 - setEccCorrelator(文字列 correlator)

送信要求と ECC キュー内の結果の応答レコードを関連付けます。

このメソッドは、MID サーバーを介して送信される SOAP メッセージにのみ適用されます。提供されたコリレーターは、応答の ECC キューレコードの [エージェントコリレーター] フィールドに入力されます。MID サーバーを介して非同期自動化を設計するときに、それぞれの送信要求に一意のコリレーターを提供して、ECC キュー内の正しい結果を要求に関連付けます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
correlator	文字列	一意の識別子

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setEccCorrelator("unique_id");
```

SOAPMessageV2 - setEccParameter(文字列 name, 文字列 value)

SOAP メッセージペイロードに書き込むことで、データベースの値を上書きします。

このメソッドは、MID サーバー を介して送信される SOAP メッセージにのみ適用されます。エンドポイント URL が **SOAP** エンドポイントの最大フィールド長よりも長い場合など、データベース内の SOAP メッセージにある値が無効な場合は、このメソッドを使用します。

name パラメーターの有効な値は次のとおりです。

- *source*：エンドポイント URL。
- *name*：実行する SOAP メッセージ関数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ECC パラメーターの名前。
value	文字列	指定された ECC パラメーターに割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setEccParameter("source","http://very.long.endpoint");
```

SOAPMessageV2 - setEndpoint(文字列 endpoint)

SOAP メッセージのエンドポイントを設定します。

デフォルトでは、SOAP メッセージは SOAP メッセージレコードで指定されたエンドポイントを使用します。このメソッドを使用してデフォルトを上書きします。パラメーターなしで SOAPMessageV2() コンストラクターを使用する場合は、このメソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
endpoint	文字列	連携する SOAP Web サービスプロバイダーの URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2();
sm.setEndpoint("http://web.service.endpoint");
```

SOAPMessageV2 - setHttpTimeout(数字 timeoutMs)

要求がタイムアウトするまでに SOAP メッセージが Web サービスプロバイダーからの応答を待機する時間を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutMs	数字	Web サービスプロバイダーからの応答を待機する時間 (ミリ秒単位)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setHttpTimeout(6000);
```

SOAPMessageV2 - setLogLevel(文字列 level)

このメッセージおよび対応する応答のログレベルを設定します。

SOAPMessageV2 API を使用してログレベルを設定すると、SOAP メッセージレコードで設定されたログレベルが上書きされます。エンドポイントドメインが除外されている場合、またはプロパティ *glide.outbound_http_log.override* が true の場合、このログレベルは適用されません。送信 Web サービスのログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > 送信 **HTTP** 要求.

パラメータ

名前	タイプ	説明
level	文字列	ログレベル。有効な値は、basic、elevated、および all です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

SOAPMessageV2 - setMIDServer(文字列 midServerName)

MID サーバーを介して送信されるように SOAP メッセージを設定します。

デフォルトでは、SOAP メッセージは SOAP メッセージ関数レコードで指定された MID サーバーを使用します。このメソッドを使用してデフォルトを上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
midServerName	文字列	SOAP メッセージを送信する際に使用する MID サーバー の名前。インスタンスには、名前が指定されたアクティブな MID サーバー が必要です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

SOAPMessageV2 - setMutualAuth(文字列 profileName)

SOAP メッセージの相互認証プロトコルプロファイルを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドを使用してプロトコルプロファイルを設定すると、SOAP メッセージレコードに対して選択されたプロトコルプロファイルが上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
profileName	文字列	相互認証に使用するプロトコルプロファイルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setMutualAuth("auth_profile_name");
```

SOAPMessageV2 - setRequestBody(文字列 **requestBody)**

Web サービスプロバイダーに送信する本文のコンテンツを設定します。

このメソッドを使用して本文のコンテンツを設定すると、本文の変数が SOAP メッセージ関数レコードのパラメーターに置き換えられません。SOAP メッセージ本文内のすべての値を明示的に定義する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestBody	文字列	SOAP メッセージの本文。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
var body = "<SOAP message body>";
sm.setRequestBody(body);
```

SOAPMessageV2 - setRequestHeader(文字列 **headerName**, 文字列 **headerValue)**

SOAP メッセージ内の HTTP ヘッダーを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerName	文字列	ヘッダーの名前。
headerValue	文字列	指定されたヘッダーに割り当てる値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setRequestHeader("Accept","Application/json");
```

SOAPMessageV2 - setSOAPAction(文字列 soapAction)

この SOAP メッセージが実行する SOAP アクションを定義します。

Web サービスプロバイダーの WSDL に、実行できる SOAP アクションが一覧表示されます。パラメーターなしで SOAPMessageV2() コンストラクターを使用する場合は、このメソッドを呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
soapAction	文字列	この SOAP メッセージが実行する SOAP アクション。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2();
sm.setSOAPAction("GetQuote");
//construct SOAP message by specifying endpoint and auth
sm.execute();
```

SOAPMessageV2 - setStringParameter(文字列 name, 文字列 value)

SOAP メッセージレコードにある指定の名前の変数を、指定した値に設定します。

値の中の XML 予約文字は、同等のエスケープ文字に変換されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	SOAP メッセージ変数の名前。
value	文字列	指定された変数に割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setStringParameter("symbol","NOW");
```

SOAPMessageV2 - setStringParameterNoEscape(文字列 **name**, 文字列 **value)**

SOAP メッセージレコードにある指定の名前の変数を、指定した値に設定します。

このメソッドは setStringParameter と同等ですが、XML 予約文字をエスケープしません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	SOAP メッセージ変数の名前。
value	文字列	指定された変数に割り当てる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setStringParameterNoEscape("symbol","NOW");
```

SOAPMessageV2 - setWSSecurity(文字列 **keystoreId**, 文字列 **keystoreAlias**, 文字列 **keystorePassword**, 文字列 **certificateId)**

SOAP メッセージの Web サービスセキュリティの値を設定します。

このメソッドを使用してセキュリティ値を設定すると、SOAP メッセージレコードに対して定義された Web サービスセキュリティの値が上書きされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
keystoreId	文字列	使用する Java または PKCS12 キーストアの sys_id。
keystoreAlias	文字列	公開鍵と秘密鍵を識別するエイリアス。
keystorePassword	文字列	キーストアレコードに割り当てられたパスワード。
certificateId	文字列	信頼できるサーバー証明書の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sm = new sn_ws.SOAPMessageV2("StockQuote","GetQuote"); //Might throw
 exception if message doesn't exist or not visible due to scope.
sm.setWSSecurity("70d65e074f3812001f6eac118110c71a","Quote
 keys","UXr82cqX75Z7MaSa+EyjGA==","ba969a074f3812001f6eac118110c76d");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAPResponseV2 - スコープ指定、グローバル

SOAPResponseV2 API は、送信 SOAP メッセージによって返されたデータを JavaScript コードで使用するメソッドを提供します。

SOAPResponseV2 オブジェクトは *SOAPMessageV2*メソッド *execute()* および *executeAsync()* によって返されます。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。

この API は `sn_ws` 名前空間で実行されます。

関連項目：

- ダイレクト SOAPMessageV2 の例
- レコードレス SOAPMessageV2 の例
- 非同期 SOAPMessageV2 の例
- SOAPMessageV2 MID サーバーの例

SOAPResponseV2 - getAllHeaders()

応答に含まれるすべてのヘッダーを返します (重複するヘッダーも含む)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
List<GlideHTTPHeader>	応答に含まれるヘッダーのリスト。各ヘッダーは、ヘッダーの名前と値を含む GlideHTTPHeader オブジェクトとして表されます。

```
var r = new sn_ws.SOAPMessageV2('<A SOAP message>', 'get');
var response = r.execute();
var headers = response.getAllHeaders();
for(var i in headers){
  gs.info(headers[i].name + ': ' + headers[i].value);
}
```

SOAPResponseV2 - getBody()

SOAP 応答本文のコンテンツを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	SOAP 応答本文。

```
var body = response.getBody();
```

SOAPResponseV2 - getCookies()

応答に含まれるすべての cookie を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	cookie を表す文字列のアレイ。アレイを反復処理して、各 cookie に対して操作を実行します。

応答から個々の cookie を表示します。

```
var cookies = response.getCookies();
for (var i = 0; i < cookies.length; i++) {
  gs.info('cookie: ' + cookies.get(i));
}
```

出力：

```
cookie: JSESSIONID=4135AA97A5D12DA22EF614AA2B0CAFD8.node20; Path=/;
 Secure; HttpOnly
cookie: SABASESSIONID=370152970.36895.0000; path=/
```

SOAPResponseV2 - getErrorCode()

SOAP トランザクション中にエラーが発生した場合に、数字のエラーコードを取得します。

このエラーコードは Now Platform に固有であり、HTTP エラーコードではありません。カスタマーサービス & サポート からのサポートが必要な場合は、このエラーコードを連絡してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	数値のエラーコード (ソケットタイムアウトの場合は 1)。

```
var errorCode = response.getErrorCode();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAPResponseV2 - getErrorMessage()

SOAP トランザクション中にエラーが発生した場合に、エラーメッセージを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーメッセージ

```
var errorMsg = response.getErrorMessage();
```

SOAPResponseV2 - getHeader(文字列 name)

指定した HTTP ヘッダーの値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	値を設定するヘッダー (Set-Cookie など) の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたヘッダーの値。

```
var headerVal = response.getHeader("Accept");
```

SOAPResponseV2 - getHeaders()

SOAP 応答で返されたすべての HTTP ヘッダーと関連する値を取得します。

注: Set-Cookie ヘッダーなど、1 つのヘッダーが応答に複数回存在する場合、この関数は重複するヘッダーの最後のもののみを返します。重複を含むすべてのヘッダーを返すには、`getAllHeaders()` 関数を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	各ヘッダーの名前を関連する値にマッピングするオブジェクト。

```
var headers = response.getHeaders();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAPResponseV2 - getStatusCode()

SOAP プロバイダーによって返された数字の HTTP ステータスコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	成功した応答の場合は 200 など、SOAP プロバイダーによって返される数字のステータスコード。

```
var statusCode = response.getStatusCode();
```

SOAPResponseV2 - haveError()

SOAP トランザクション中にエラーが発生したかどうかを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	エラーがあった場合は true を返し、なかった場合は false を返します。

```
var error = response.haveError();
```

SOAPResponseV2 - waitForResponse(数字 timeoutSecs)

インスタンスが Web サービスプロバイダーからの応答を待機する時間を設定します。

このメソッドは、この SOAP 応答のプロパティ glide.soap.outbound.ecc_response.timeout を上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutSecs	数字	この応答を待機する時間 (秒)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
response.waitForResponse(60);
```

SPScriptedFacet - スコープ指定

ファセットオブジェクトのファセットアイテム、フィルター、またはマッピングされたクエリを定義します。

SPScriptedFacet API は、サービスポータル検索ソースのファセット生成スクリプトでのみ使用できます。ファセット生成スクリプトは、[スクリプト化済みソース] が選択されている場合にのみ表示されます。

このクラスにはコンストラクターはありません。代わりに、*SPScriptedFacetService* クラスの *createFacet()* メソッドまたは *createMultiChoiceFacet()* メソッドを使用して、ファセットオブジェクトを生成します。

SPScriptedFacet - addFacetItem(文字列 label, オブジェクト valueObj)

ファセットアイテムまたはマッピングされたクエリーを facets オブジェクトに追加します。

facets オブジェクトにファセットアイテムを追加する前に、*SPScriptedFacetService* クラスの *createFacet()* または *createMultiChoiceFacet*() メソッドを使用して facets オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
label	文字列	ファセットアイテムまたはマッピングされたクエリーの表示ラベル。
valueObj	オブジェクト	ファセットに対するファセットアイテムまたはマッピングされたクエリー。文字列、数字、ブーリアン、および倍精度のみを含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function createMultiChoiceFacetFromKB(label, variable, values, orderBy){
  if(!values || values.length == 0)
    return;

  var kbFacet = facetService.createMultiChoiceFacet(label, variable);
  var kbMap = {};
  for(var i in values) {
    var key = values[i].label;
    var value = values[i].id;
    var parent = new KBParentData().getParentCategory(value, key);
    key = parent.join(' > ');
    kbMap[key] = value;
  }

  var labels = Object.keys(kbMap).sort();
  for (i = 0; i < labels.length; i++) {
    var currentLabel = labels[i];
    kbFacet.addFacetItem(currentLabel, kbMap[currentLabel]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    //adds facet search options for each kbMap entry
  }
}
```

SPScriptedFacetService - スコープ指定

詳細検索ソースの複数選択肢または単一選択肢のファセットオブジェクトを生成します。

SPScriptedFacetService API は、サービスポータル 検索ソースのファセット生成スクリプトでのみ使用できます。ファセット生成スクリプトは、[スクリプト化済みソース] が選択されている場合にのみ表示されます。

このクラスにはコンストラクターはありません。代わりに、*createFacet()* または *createMultiChoiceFacet()* メソッドを使用して facets オブジェクトを生成します。

SPScriptedFacetService - createFacet(文字列ラベル, 文字列 ID)

選択肢が 1 つの facets オブジェクトを作成します。

facets オブジェクトを作成した後、*SPScriptedFacet* クラスの *addFacetItem()* メソッドを使用して、ファセットアイテムまたはマッピングされたクエリーをファセットに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
label	文字列	ファセットのラベル。
id	文字列	ファセットの ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	選択肢が 1 つの facets オブジェクト。次の場合にエラーを返します。 • 重複するラベルまたは ID が見つかった。 • ラベルまたは ID が定義されていない。

Service Portal の詳細検索ソースのファセット生成スクリプトでのみ使用できます。

```
var stateFacet = facetService.createFacet("State", "state");
```

SPScriptedFacetService - createMultiChoiceFacet(文字列ラベル, 文字列 ID)

複数選択肢の facets オブジェクトを作成します。

facets オブジェクトを作成した後、*SPScriptedFacet* クラスの *addFacetItem()* メソッドを使用して、ファセットアイテムまたはマッピングされたクエリーをファセットに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
label	文字列	ファセットのラベル。
id	文字列	ファセットの ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	複数選択肢の facets オブジェクト。 次の場合にエラーを返します。 • 重複するラベルまたは ID が見つかった。 • ラベルまたは ID が定義されていない。

```
function createMultiChoiceFacetFromKB(label, variable, values, orderBy){
  if(!values || values.length == 0)
    return;

  var kbFacet = facetService.createMultiChoiceFacet(label, variable);
  var kbMap = {};
  for(var i in values) {
    var key = values[i].label;
    var value = values[i].id;
    var parent = new KBParentData().getParentCategory(value, key);
    key = parent.join(' > ');
    kbMap[key] = value;
  }

  var labels = Object.keys(kbMap).sort();
  for (i = 0; i < labels.length; i++) {
    var currentLabel = labels[i];
    kbFacet.addFacetItem(currentLabel, kbMap[currentLabel]);
    //adds facet search options for each kbMap entry
  }
}
```

SPSEOUtilsSNC - グローバル

SPSEOUtilsSNC スクリプトインクルードは、トランザクション要求に基づいて、特定のページまたは現在のページの人間が判読できる URL を返すユーティリティメソッドを提供します。

さらに、この API には、人間が判読できる他の URL メソッドを呼び出すために必要な情報を取得するために使用できる他のユーティリティ メソッドが用意されています。

SPSEOUtilsSNC - getHumanReadableUrl(GlideRecord pageGR, String queryString)

ページ [sp_page] テーブル内の指定されたレコードの人間が判読できる URL を返します。渡されたクエリパラメーターを使用して、URL に必要な動的ページ変数を解決します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ページGR	GlideRecord	人間が判読可能な URL を返すページ [sp_page] テーブル内のレコードの GlideRecord オブジェクト。 SPSEOUtilsSNC - getPageRecordWithPageRoute(GlideRecord pageId, String

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		portalId, Boolean preventReRoute) メソッドを使用して、目的の sp_page GlideRecord を取得します。
queryString	文字列	URL で渡す必要があるパラメーターを解決するために使用するクエリ文字列。 例: `?id=kb_article&sys_id=471ee81eff6002009b20fffffffff34`

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された サービスポータル レコードの分かりやすい URL。URL 変数は、渡された *queryString* パラメーターの内容を使用して解決されます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出して、人間が判読できる URL を取得する方法を示しています。

```
function() {
  var util = new global.SPSEOUtilsSNC();
  var portalId = util.getPortalId();
  var pageGR = util.getPageRecordWithPageRoute(
    'kb_article', portalId, false);
  var queryString =
 "?id=kb_article&sys_id=471ee81eff6002009b20fffffffff34";
  var hrUrl = util.getHumanReadableUrl(pageGR, queryString);
```

出力:

```
"getting-around-in-windows"
```

SPSEOUtilsSNC - getHumanReadableUrlForCurrentRequest()

現在の サービスポータル レコードの人間が判読できる URL を返します。

このメソッドは、この人間が判読できる URL を作成するときに、 *id* パラメーターやクエリパラメーターなど、現在のページの暗号 URL のパラメーターを複製します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の サービスポータル レコードの分かりやすい URL。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。この例では、現在の<c0/>レコードは `<instance-url>/sp?id=kb_article&sys_id=471ee81eff6002009b20fffffffff34`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の暗号 URL を使用し、Windows でのナビゲーションについて説明する KB 記事の簡単な説明を表示するように構成されています。サービスポータルこの不可解な URL に対して人間が判読できる URL は "getting-around-in-windows" です。

```
// In a script include
function() {
  var util = new global.SPSEOUtilsSNC()
  var hrUrl = util.getHumanReadableUrlForCurrentRequest();
}
```

出力:

```
getting-around-in-windows
```

SPSEOUtilsSNC - getPageRecordWithPageRoute(GlideRecord pageId, String portalId, Boolean preventReRoute)

ID フィールドが渡された ID パラメーター (*pageId*) と一致する Pages [sp_page] テーブルから GlideRecord を返します。*getHumanReadableUrl()* メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出して、目的の sp_pages GlideRecord を取得します。

また、メソッドがページルートマップ情報を使用して、渡されたサービスポータルページ ID に関連付けられた最終サービスポータルページの GlideRecord を返すように要求することもできます。ページルートマップの詳細については、「ページ ID への参照のリダイレクト」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageId	文字列	返されるページ [sp_page] レコードの ID。ページ [sp_page] テーブルの *id* フィールドにあります。
ポータル ID	文字列	関連付けられたサービスポータル [sp_portal] レコードの Sys_id。渡された *pageId* パラメーターに関連付けられたレコードにアクセスできないか利用できない場合に、適切なログインまたは 404 ページを返すために必要です。 SPSEOUtilsSNC - getPortalId() メソッドを使用して、目的のサービスポータル ID を取得します。
preventReRoute	ブール	一致するsp_pageレコードではなく、渡されたページ ID が解決される最後のsp_pageの GlideRecord を返すためにページルートマップを使用するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ページルートマップを使用して、渡されたページ ID が解決される最後のsp_pageレコードを返します。 • false:渡されたページ ID が一致するsp_pageレコードを返します。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	sp_pageレコードのクエリ要求に一致するレコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、 *getHumanReadableUrl()* メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function() {
  var util = new global.SPSEOUtilsSNC();
  var portalId = util.getPortalId();
  var pageGR = util.getPageRecordWithPageRoute(
    'kb_article', portalId, false);
  var queryString =
 "?id=kb_article&sys_id=471ee81eff6002009b20fffffffff34";
  var hrUrl = util.getHumanReadableUrl(pageGR, queryString);
```

SPSEOUtilsSNC - getPortalId()

要求 URL のポータルサフィックスに基づいて、ロードされるポータルのsys_idを返します。*getPageRecordWithPageRoute()* メソッドを呼び出す前にこのメソッドを呼び出して、目的のサービスポータル sys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要求 URL のポータルサフィックスに基づいた、要求された サービスポータル のSys_id。

次のコード例は、 `<instance-url>/sp?id=index` などの URL に対してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function() {
  var util = new global.SPSEOUtilsSNC();
  var portalId = util.getPortalId();
  var pageGR = util.getPageRecordWithPageRoute(
    'kb_article', portalId, false);
  var queryString =
 "?id=kb_article&sys_id=471ee81eff6002009b20fffffffff34";
  var hrUrl = util.getHumanReadableUrl(pageGR, queryString);
```

出力:

```
81b75d3147032100ba13a5554ee4902b
```

SPWidgetAccessControl - グローバル

SPWidgetAccessControl スクリプトインクルードは、指定されたテーブルにウィジェットへのパブリックアクセスが許可されているかどうか、および対象ユーザーが安全にアクセスできるかどうかをアドミニストレーターが確認できるようにするメソッドを提供します。

サーバー スクリプトで *SPWidgetAccessControl* API を使用する方法の詳細と手順については、「ウィジェットセキュリティの構成 (ゲスト ユーザーがパブリック ウィジェットにアクセスできるテーブルを制限する)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SPWidgetAccessControl – SPWidgetAccessControl()

SPWidgetAccessControl オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、新しい SPWidgetAccessControl オブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
new global.SPWidgetAccessControl()
```

SPWidgetAccessControl – hasPublicAccess(文字列 tableName, オブジェクト SPScriptable, 文字列オプション, オブジェクト入力)

指定されたテーブルがウィジェットにパブリックにアクセスできるかどうかに関する情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	必須。クエリするテーブルの名前。たとえば、インシデント [Incident] テーブルをクエリするには、「`incident`」と入力します。
SPScriptable (スクリプト可能)	スクリプト可能オブジェクト	必須。ウィジェットの SP スクリプト可能。要求で `$sp` とおりにフォーマットされます。 `SPScriptable:{ "widgetSysId":widget sys_id, "request":request object }`
オプション	オブジェクト	オプション。ウィジェットに渡されるウィジェット/矩形オプション。 `"options":{ "table":"incident", "maximum_entries": "10" }`
入力	オブジェクト	オプション。実行時に渡されるウィジェット/矩形入力。 `"input":{ "table":"incident", "display_field":"name" }`

返される内容

タイプ	説明
ブール	指定されたテーブルのウィジェットアクセスステータスを示すフラグ。可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:指定されたテーブルには、ウィジェットに対するセキュリティアクセスが許可されます。 • false:指定されたテーブルには、ウィジェットに対するセキュリティアクセスが許可されていません。 デフォルト値：false

次の例は、構成テーブル m2m_sp_public_widget_allow_table に示されているように、インシデントテーブルが簡易リストウィジェットにアクセスできることの確認を示しています。

```
options.table = "incident";
//$sp,options,input - which are available by default in any widget script
new global.SPWidgetAccessControl().hasPublicAccess(options.table, $sp,
 options, input);
```

出力:

```
true
```

StandardCredentialsProvider - スコープ指定、グローバル

StandardCredentialsProvider API は、資格情報を取得するためのメソッドを提供します。

この API は、スコープ対象のアプリケーションまたはグローバルスコープで使用できます。スコープ指定のスクリプトでは、`sn_cc` 名前空間識別子を使用します。

この API は、sys_id および指定された認証情報属性によって資格情報を取得するためのメソッドを提供します。

```
//Get a single credential

var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var credential =
 provider.getCredentialByID("f43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3");
var userName = credential.getAttribute("user_name");
var password = credential.getAttribute("password");
//using getAttribute for new keys in extended tables, for example
//cloud management credential has the "user_public_key" attribute
var userPublicKey = credential.getAttribute("user_public_key");

//Get a list of SSH credentials

var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var credentials = provider.getCredentials(["ssh"]);
for (var i = 0; i < credentials.length; i++) {
  var credential = credentials[i];
  gs.info(credential.getAttribute("name"));
}
```

StandardCredentialsProvider - StandardCredentialsProvider()

資格情報プロバイダーオブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var credentials =
 provider.getCredentialByID("ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3");
```

StandardCredentialsProvider - getCredentials(文字列 **types**, 文字列 **tags)**

指定されたタイプとタグに一致するすべての資格情報のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tags	文字列	オプション。タグ名のカンマ区切りリスト。例：「ssh, jdbc」 有効な呼び出しの例： • `var credentials = provider.getCredentials(null, null);` • `var credentials = provider.getCredentials(["ssh"], "");` • `var credentials = provider.getCredentials(new ArrayList<文字列>(), "ssh,admin");`
types	アレイ	オプション。資格情報タイプの名前。例：["ssh", "windows"] **注:** *types* が null または空の場合、すべての一致で資格情報が返されます。*types* が指定されている場合は、タイプがいずれかのタイプに一致する資格情報が返されます。

返される内容

タイプ	説明
StandardCredential	資格情報レコードオブジェクト。

このコード例は、「ssh」という資格情報タイプのプロバイダー資格情報を取得する方法を示しています。

```
var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var credentials = provider.getCredentials(["ssh"]);
```

このコード例は、「admin」というタグを持つ「ssh」および「windows」資格情報タイプのプロバイダー資格情報を取得する方法を示しています。

```
var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
ArrayList<String> types = new ArrayList<>();
types.add("ssh");
types.add("windows");
JSONArray jsonArray = provider.getCredentials(types, "admin");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

StandardCredentialsProvider - getCredentialByAliasID (文字列 sys_id)

認証情報エイリアス (sys_alias) を使用して認証情報レコードオブジェクトを返します。

このメソッドは、特に認証情報タイプで使用するためのものです。詳細については、「ディスカバリーの認証情報エイリアス」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブル内の資格情報エイリアスレコードのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
StandardCredential	資格情報レコードオブジェクト。

次の例では、エイリアス ID を使用して認証情報を取得し、ユーザー名を表示します。

```
var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var aliasCred =
 provider.getCredentialByAliasID("752a91887740001038e286a2681061fb");
gs.info("User name: " + aliasCred.getAttribute("user_name"));
```

ユーザー名を含む認証情報レコードの出力:

```
User name: Dara Lee
```

StandardCredentialsProvider - getCredentialByID(文字列 sys_id)

指定された sys_id で識別される資格情報レコードオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	資格情報レコードの sys_id。資格情報 [discovery_credentials] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
StandardCredential	資格情報レコードオブジェクト。

次の例では、認証情報を取得してユーザー名を表示します。

```
var provider = new sn_cc.StandardCredentialsProvider();
var credentials =
 provider.getCredentialByID("ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3");
gs.info("User name: " + credentials.getAttribute("user_name"));
```

ユーザー名を含む認証情報レコードの出力:

```
User name: Dara Lee
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

StartDiscovery - グローバル

`StartDiscovery` スクリプトインクルードは、ディスカバリージョブを開始するためのメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、ディスカバリースキャンフェーズ中に使用します。

StartDiscovery - addAdditionalIP(文字列 **status**, 文字列 **ip**, 文字列 **sensor)**

既存の検出 (ネットワーク検出で使用) に IP (または IP のカンマ区切りリスト) を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
status	文字列	検出ステータス
ip	文字列	IP アドレス、または IP アドレスのカンマ区切りリスト。
sensor	文字列	検出センサー

返される内容

タイプ	説明
なし	

StartDiscovery - discoverFromSchedule(文字列 **ip**, ブーリアン **samePhase**, 文字列 **sensor)**

スケジュールから、デバイスの検出 (基本または詳細) を処理します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ip	文字列	IP アドレス、または IP アドレスのカンマ区切りリスト。
samePhase	ブーリアン	
sensor	文字列	検出センサー

返される内容

タイプ	説明
なし	

StartDiscovery - getCancelScript()

キャンセルのスクリプトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	キャンセルのスクリプト

StartDiscovery - scheduleCancelJob()

スケジュールでキャンセル時刻が指定されると、必要に応じて検出をキャンセルするジョブをスケジュールします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *scheduleCancelJob()* メソッドを使用して現在のディスカバリージョブをキャンセルする方法を示しています。

```
var discoveryScheduleGR = new GlideRecord('discovery_schedule'); //
 Create a discovery schedule Gliderecord
discoveryScheduleGR.get('name', 'Disco'); // Put the discovery schedule
 job name

var discoverySchedule = new DiscoverySchedule(discoveryScheduleGR);
var discoveryStatusSysId = new
 StartDiscovery().startFromIP(discoverySchedule, '172.167.31.231'); //
 Initiate discovery
gs.info(discoveryStatusSysId); // Display the sys_id of the discovery
 status record

discoveryStatusSysId.scheduleCancelJob(); // Schedule a cancel job,
 located in the sys_trigger table
```

出力:

```
Operation Table  Row Count
insert  discovery_result 1
update  discovery_status 1
insert  sys_trigger      1
insert  discovery_status 1
*** Script: Fired started event for: undefined Disco
*** Script: Scheduling Discovery DIS0010023 for cancellation at
 2022-02-13 16:42:44
*** Script: 1828b05f1b6d811070cb96c6b04bcb53
```

StartDiscovery - startFromIP(DiscoverySchedule schedule, 文字列 ip)

指定されたスケジュールを使用して単一の IP の検出を開始し、MID Server や動作などの情報を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedule	DiscoverySchedule	使用するスケジュールの DiscoverySchedule インスタンス。
ip	文字列	検出する IP アドレス。 形式：ドット形式の文字列

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成されたステータスレコードの sys_id。

この例では、*startFromIP()* メソッドを使用して、検出情報を含むレコードを取得します。

```
// Get a discovery schedule gliderecord
var discoveryScheduleGR = new GlideRecord('discovery_schedule');
discoveryScheduleGR.get('name', 'Discover Management Range 172.x.x.x');

// Create a DiscoverySchedule object to get information such as MID
 servers and behaviors
var discoverySchedule = new DiscoverySchedule(discoveryScheduleGR);
var discoveryStatusSysId = new
 StartDiscovery().startFromIP(discoverySchedule, '172.1.1.10');

// Sys_id of the genterated status record
gs.info(discoveryStatusSysId);
```

出力：

```
9d3c1197c611228701cd1d94bc32d76d
```

StartDiscovery - startFromSchedule(GlideRecord schedule, GlideRecord job)

スケジュールされた (または今すぐ検出の) 検出を開始する検出のスクリプトインクルードによって呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedule	GlideRecord	この検出の基になる discovery_schedule のインスタンス。
job	GlideRecord	この検出をトリガーした sys_trigger のインスタンス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

StateManagementScriptableApi - グローバル

StateManagementScriptableApi は、構成アイテム (CI) の運用状況を操作し、CI アクションを適用するための一連のメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

StateManagementScriptableApi メソッドは、許可されていない CI アクション、互換性のある CI アクション、および許可されていない運用上の移行によって指定された制限と許可を遵守しています。メソッドが制限付き操作を実行しようとすると、操作がブロックされ、エラーが記録され、必要に応じてタスクが作成されます。

StateManagementScriptableApi メソッドは静的メソッドです。メソッドには、`SNC.StateManagementScriptableApi` グローバルオブジェクトを使用してアクセスします。

StateManagementScriptableApi - addBulkCIAction(文字列 **requestorId**, 文字列 **sysIdList**, 文字列 **ciActionName**, 文字列 **ciActionListOld**, 文字列 **leaseTime)**

CI アクションを CI のリストに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。
sysIdList	文字列	CI の sys_id のカンマ区切りリスト。
ciActionName	文字列	CI のアクション名。
ciActionListOld	文字列	(オプション) すべての CI が含まれているはずの、古い CI アクションのカンマ区切りリスト。
leaseTime	文字列	(オプション) 指定された CI アクションに対してリースが有効である時間。形式は HH:MM:SS です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列 • result：リスト内のすべての CI にアクションが設定されている場合は true、そうでない場合は false。 • errors：エラーのリスト。

StateManagementScriptableApi - extendCIActionLease(文字列 **requestorId**, 文字列 **ciSysId**, 文字列 **ciActionName**, 文字列 **leaseTime)**

登録済みユーザーの CI アクションリース時間を延長します。前のリース期限が切れている場合は、新しいリース時間がすぐに開始されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
ciSysId	文字列	CI の sys_id。
ciActionName	文字列	CI のアクション名。
leaseTime	文字列	指定された CI アクションに対してリースが有効である時間。形式は HH:MM:SS です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列 • result：リース時間が設定されている場合は true。 • errors：エラーのリスト。

StateManagementScriptableApi - getCIActions(文字列 **ciSysId)**

指定された CI のアクティブな CI アクションのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciSysId	文字列	CI の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列。 可能な値： • ciActions：CI に対するアクティブな CI アクションのカンマ区切りリスト、または `no_active_action`。 • errors：エラーのリスト。

次の例は、構成アイテムのリストに対するアクティブなアクションを取得する方法を示しています。

```
// Store sys_ids of configuration items for which to get data
var CIArray =
 ["a9c0c8d2c6112276018f7705562f9cb0","0c43bc4fc61122750182c132411702f2","
46bbf419a9fe1981009802288c1eb79d","46a4381ca9fe1981005c3e99af3cd164","0c4
3bcbdc61122750182c132e9b6565d"];

var output = '';

// looping above array to fetch each sys_id and passing to method
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
for(var i=0; i < CIArray.length; i++) {

  // passing sys_id of CI stored in array to method
  output = SNC.StateManagementScriptableApi.getCIActions(CIArray[i]);

  // print a JSON formatted string with name-value pairs
  gs.print(output);
}
```

出力：

```
{"ciActions":["no_active_action"],"result":true}
{"ciActions":["no_active_action"],"result":true}
{"ciActions":["no_active_action"],"result":true}
{"ciActions":["no_active_action"],"result":true}
{"ciActions":["no_active_action"],"result":true}
```

StateManagementScriptableApi - getOperationalState(文字列 **ciSysId)**

CI の運用ステータスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciSysId	文字列	CI の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列。 可能な値： • ciActions：operational_status フィールドの文字列の選択値、または UNKNOWN。 • errors：エラーのリスト。

次の例は、指定された構成アイテムのリストの運用ステータスを取得する方法を示しています。

```
// Store sys_ids of configuration items for which to get the operational
 state.
var CIArray =
 ["0c43bc4fc61122750182c132411702f2","46bbf419a9fe1981009802288c1eb79d","
46a4381ca9fe1981005c3e99af3cd164","0c43bcbdc61122750182c132e9b6565d","a9c
0c8d2c6112276018f7705562f9cb0"];

var output = '';

// Loop the array to fetch each sys_id and pass to the method.
for(var i=0;i<CIArray.length;i++) {
  // Pass sys_id of CI stored in array to the method
  output =
 SNC.StateManagementScriptableApi.getOperationalState(CIArray[i]);

  // prints a JSON formatted string with name-value pairs
  gs.print(output);
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
*** Script: {"operationalState":"Operational","result":true}
*** Script: {"operationalState":"Operational","result":true}
*** Script: {"operationalState":"Operational","result":true}
*** Script: {"operationalState":"Operational","result":true}
ci_state_management                          : INVALID_SYS_ID: Invalid
 sys_id [a9c0c8d2c6112276018f7705562f9cb0]: no thrown error
*** Script: {"errors":[{"error":"INVALID_SYS_ID","message":"Invalid
 sys_id
 [a9c0c8d2c6112276018f7705562f9cb0]"}],"operationalState":"unknown","resu
lt":false}
```

StateManagementScriptableApi - isCompatibleCIAction(文字列 **actionName**, 文字列 **otherActionName)**

指定された 2 つのアクションに互換性があるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
actionName	文字列	CI アクション名
otherActionName	文字列	CI アクション名

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された 2 つの CI アクションに互換性がある場合は true を返します。

StateManagementScriptableApi - isLeaseExpired(文字列 **requestorId**, 文字列 **ciSysId**, 文字列 **ciActionName)**

指定された CI アクションの要求者のリース期限が切れているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *`registerOperator()`* メソッドから返された GUID。
ciSysId	文字列	CI の sys_id。
ciActionName	文字列	CI アクションの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• result：ユーザーのリース期限が切れている場合は true。 • errors：エラーのリスト。

StateManagementScriptableApi - isNotAllowedAction(文字列 **ciType**, 文字列 **opsLabel**, 文字列 **actionName)**

CI のタイプについて、運用ステータスに対して CI アクションが許可されていないかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciType	文字列	CI タイプ
opsLabel	文字列	運用ステータス
actionName	文字列	CI アクション名

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された運用ステータスの指定された CI タイプでアクションが許可されていない場合は true を返します。

StateManagementScriptableApi - isNotAllowedOpsTransition(文字列 **ciType**, 文字列 **opsLabel**, 文字列 **transitionOpsLabel)**

CI のタイプについて、運用ステータス移行が許可されていないかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ciType	文字列	CI タイプ
opsLabel	文字列	開始時の運用ステータスのラベル。
transitionOpsLabel	文字列	終了時の運用ステータスのラベル。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定された CI タイプで指定された運用ステータス移行が許可されていない場合は true を返します。

StateManagementScriptableApi - isValidRequestor(文字列 **requestorId)**

指定された要求者が有効かつアクティブなワークフローユーザーまたは登録されたユーザーであるかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 形式の名前と値のペア。 可能な値： • result：requestorId が有効な場合は `true`。 • errors：エラーのリスト。

この例では、*isValidRequestor()* メソッドを使用して、オペレーターが登録済みユーザーであるかどうかを確認する方法を示します。

```
var output = SNC.StateManagementScriptableApi.registerOperator();
var jsonUtil = new JSON();
var result = jsonUtil.decode(output);
var requestorId = result.requestorId; // Fetching requestorId

output = SNC.StateManagementScriptableApi.isValidRequestor(requestorId);
gs.info(output);
```

出力：

```
{"result":true}
```

StateManagementScriptableApi - registerOperator()

ワークフロー以外のユーザーのオペレーターを登録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列 • requestorid：CI アクション/運用ステータスを設定する際に使用される登録済みユーザーの GUID。 • result：正常に登録された場合は true。 • errors：エラーのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var output = SNC.StateManagementScriptableApi.registerOperator();
var jsonUntil = new JSON();
var result = jsonUntil.decode(output);
var requestorId = result.requestorId;
```

StateManagementScriptableApi - removeBulkCIAction(文字列 **requestorId**, 文字列 **sysIdList**, 文字列 **ciActionName)**

CI のリストの CI アクションを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。
sysIdList	文字列	CI の sys_id のカンマ区切りリスト
ciActionName	文字列	CI アクション名

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列 • result：リスト内のすべての CI に対してアクションが削除されている場合は true、そうでない場合は false。 • errors：エラーのリスト。

StateManagementScriptableApi - setBulkCIOperationalState(文字列 **requestorId**, 文字列 **sysIdList**, 文字列 **opsLabel**, 文字列 **opsStateListOld)**

CI のリストに対して運用ステータスを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。
sysIdList	文字列	CI の sys_id のカンマ区切りリスト。
opsLabel	文字列	operational_status という選択肢の文字列ラベルです。
opsStateListOld	文字列	(オプション) すべての CI が含まれているはずの、古い CI ステータスのカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	以下の名前と値のペアを含む JSON 形式の文字列 • result：リスト内のすべての CI にステータスが設定されている場合は true、そうでない場合は false。 • errors：エラーのリスト。

```
var output = SNC.StateManagementScriptableApi.registerOperator();
var jsonUntil = new JSON();
var result = jsonUtil.decode(output);
var requestorId = result.requestorId;

// list of sys_ids to update
var sys_ids;

// Set list of sys_ids's Operational State to 'Repair in Progress'
output =
 SNC.StateManagementScriptableApi.setBulkCIOperationalState(requestorId,
 sys_ids,'Repair in Progress');
gs.print(output);
```

StateManagementScriptableApi - unregisterOperator(文字列 **requestorId)**

ワークフロー以外のユーザーのオペレーターの登録を解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requestorId	文字列	ワークフローコンテキストの sys_id、または *registerOperator()* メソッドから返された GUID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	JSON 形式の名前と値のペア。 可能な値： • result：正常に登録解除された場合は `true`。 • errors：エラーのリスト。

この例では、*unregisterOperator()* メソッドを使用して登録済みユーザーを登録解除する方法を示します。

```
var output = SNC.StateManagementScriptableApi.registerOperator();
var jsonUtil = new JSON();
var result = jsonUtil.decode(output);
var requestorId = result.requestorId; // Fetching requestorId
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
output =
 SNC.StateManagementScriptableApi.unregisterOperator(requestorId);
gs.info(output);
```

出力：

```
{"result":true}
```

Style - スコープ指定、グローバル

フォントサイズ、境界線、配置などのプロパティを定義するスタイルを作成します。同じスタイルを複数のオブジェクトに同時に適用することができます。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

次の API 要素にカスタムのスタイルを適用できます。

- セル
- パラグラフ
- テーブル

Style - Style()

新しい *`Style`* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例は、セル、パラグラフ、またはテーブル要素に追加できる *`Style`* オブジェクトの作成方法を示しています。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
```

Style – setBackgroundColor(色 color)

要素の背景色を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	Color	背景色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の背景色を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1, 0.9, 0.9]); // provided as
 array of RGB float values

style.setBackGroundColor(color);
```

Style – setBold()

スタイルを太字フォントに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スタイルを太字フォントに設定する方法を示しています。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
style.setBold();
```

Style – setBorder(数字 width)

要素の 4 辺すべてにスタイルの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 2;

style.setBorder(width);
```

Style – setBorderBottom(数字 width)

スタイルの境界線を要素の下に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の下にスタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 2;

style.setBorderBottom(width);
```

Style – setBorderLeft(数字 width)

要素の左側にスタイルの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の左側にスタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 2;

style.setBorderLeft(width);
```

Style – setBorderRight(数字 width)

要素の右側にスタイルの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の右側にスタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 2;

style.setBorderRight(width);
```

Style – setBorderTop(数字 width)

要素の上にスタイルの境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の上にスタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 2;

style.setBorderTop(width);
```

Style – setColoredBorder(数字 width, 色 color)

要素の 4 辺すべてにスタイルの境界線を色付きで設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。
color	Color	スタイルの境界線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、スタイルの境界線を色付きで設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 1.0;
var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);

style.setColoredBorder(width, borderColor);
```

Style – setColoredBorderBottom(数字 **width**, 色 **color**)

要素の下にスタイルの境界線を色付きで設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。
color	Color	スタイルの境界線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の下にスタイルの境界線を設定する方法を示しています。ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 1.0;
var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);

style.setColoredBorderBottom(width, borderColor);
```

Style – setColoredBorderLeft(数字 **width**, 色 **color**)

要素の左側にスタイルの境界線を色付きで設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。
color	Color	スタイルの境界線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 1.0;
var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);

style.setColoredBorderLeft(width, borderColor);
```

Style – setColoredBorderRight(数字 width, 色 color)

要素の右側にスタイルの境界線を色付きで設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。
color	Color	スタイルの境界線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スタイルの境界線を色付きで設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 1.0;
var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);

style.setColoredBorderRight(width, borderColor);
```

Style – setColoredBorderTop(数字 width, 色 color)

要素の上にスタイルの境界線を色付きで設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	スタイルの境界幅 (ポイント)。
color	Color	スタイルの境界線の色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、スタイルの境界線を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var width = 1.0;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var borderColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);

style.setColoredBorderTop(width, borderColor);
```

Style – setFontColor(色 color)

フォントの色を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	フォントの色。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、フォントの色を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var fontColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([1,0.5,0.5]);

style.setFontColor(fontColor);
```

Style – setFontSize(数字 fontSize)

スタイルのフォントサイズを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fontSize	数字	フォントサイズ (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、フォントサイズを設定する方法を示しています。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

style.setFontSize(12);
```

Style – setHorizontalAlignment(文字列 alignment)

スタイルの水平配置を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	水平配置設定。 有効な値： • center：コンテンツを中央に配置します。 • left：コンテンツを左に配置します。 • right：コンテンツを右に配置します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素上での水平配置を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var alignment = "Center";

style.setHorizontalAlignment(alignment);
```

Style – setItalic()

スタイルをイタリック体フォントに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素のスタイルをイタリック体フォントに設定する方法を示しています。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();
style.setItalic();
```

Style – setPadding(数字 **padding)**

要素の 4 辺すべてのパディングを同じ幅に設定します。

関連項目：

- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、下のスタイルを 2.5 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var padding = 2.5;

style.setPadding(padding);
```

Style – setPaddingBottom(数字 **padding)**

要素の下パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingLeft()
- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の下パディングを 2.5 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var padding = 2.5;

style.setPaddingBottom(padding);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Style – setPaddingLeft(数字 padding)

要素の左パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingRight()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の左パディングを 2.5 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var padding = 2.5;

style.setPaddingLeft(padding);
```

Style – setPaddingRight(数字 padding)

スタイルの右パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()
- setPaddingTop()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、要素の右パディングを 2.5 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var padding = 2.5;

style.setPaddingRight(padding);
```

Style – setPaddingTop(数字 **padding)**

要素の上パディング幅の値を設定します。

関連項目：

- setPadding()
- setPaddingBottom()
- setPaddingLeft()
- setPaddingRight()

パラメーター

名前	タイプ	説明
padding	数値	10 進数値としてのパディング幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素の上パディングを 2.5 ポイントに設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var padding = 2.5;

style.setPaddingTop(padding);
```

Style – setTextAlignment(文字列 **alignment)**

スタイルのテキスト配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	テキストの位置調整。 有効な値： • text-center：テキストを中央揃えにします。 • text-justified：文字間のスペースを変更して、左側と右側の間をテキストで完全に埋めます。最後の行は左揃えで表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• text- Justified-all：最後の行を含むテキストの配置を調整します。 • text-left：テキストを左揃えにします。 • text-right：テキストを右揃えにします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素のテキストを中央揃えに設定する方法を示しています。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

String alignment = "text-center";

style.setTextAlignment(alignment);
```

Style – setVerticalAlignment(文字列 **alignment)**

この要素の垂直配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	垂直配置設定。 有効な値： • bottom：コンテンツを下揃えにします。 • center：コンテンツを中央揃えにします。 • top：コンテンツを上揃えにします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、要素上での垂直配置を設定する方法を示しています。 ドキュメントの使用例については、「ドキュメント API」を参照してください。

```
var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

var alignment = "Mid";

style.setVerticalAlignment(alignment);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストリーム - スコープ対象、グローバル

Stream API は、レコードなどのアイテムのストリームとやり取りするためのメソッドを提供します。例えば、*forEach()* メソッドを使用して、*GlideQuery* API によって返されるストリーム内の各レコードのステータスを更新できます。

Stream オブジェクトは以下の方法で取得できます。

- コンストラクターを使用して Stream オブジェクトをインスタンス化する。
- *GlideQuery.select()* メソッドから Stream オブジェクトを返します。詳細については、「*GlideQuery*」を参照してください。

このメソッドは静的であり、*fromArray()* クラスのインスタンスを必要としません。

スコープ対象またはグローバルサーバー側スクリプトで *Stream* API を使用します。この API には GlideQuery [com.sn_glidequery] プラグインが必要です。

実装

この API は、メソッド呼び出しが連鎖していて、各メソッドが前のメソッドで返された結果に基づいて構築されるビルダーパターン。メソッドを使用してクエリの属性を定義します。メソッドは、ターミナルメソッド (クエリ結果を返すメソッド) を呼び出すまで実行されないため、クエリを実行する前にクエリの要件を定義できます。 内の *GlideQuery* および *Optional* API と連動します。

クエリが単一のレコードを返す場合、システムは Optional オブジェクトに結果をラップします。クエリがレコードのストリームを返す場合、システムは Stream オブジェクトに結果をラップします。これらのオブジェクトを使用すると、各 API で一連のメソッドを使用して結果を管理できます。

たとえば、この スクリプトはタスクテーブルでクエリを実行し、レコードを優先度別にグループ化して、合計再アサイン回数が 4 を超える各優先度を返します。

```
var query = new global.GlideQuery('task')
    .where('active', true) //Returns new GlideQuery object with a "where"
 clause.
    .groupBy('priority') //Returns new GlideQuery object with a "group
 by" clause.
    .aggregate('sum', 'reassignment_count') //Returns new GlideQuery
 object with a "sum(reassignment_count)" clause.
    .having('sum', 'reassignment_count', '>', 4) //Returns new GlideQuery
 object with a "having reassignment_count > 4" clause.
    .select() //Returns a stream of records wrapped in a Stream object.
    .forEach(function (priority){ //Terminal method in the Stream class
 that executes the query and returns the result.
      gs.info("Priority " + priority.group.priority + ": " +
 priority.sum.reassignment_count + " reassignments");
    });
```

出力:

```
Priority 1: 11 reassignments
Priority 3: 6 reassignments
Priority 5: 5 reassignments
```

ターミナルメソッド

パフォーマンス上の理由から、クエリーはターミナルメソッドを呼び出すときにのみデータをフェッチします。*Stream* クラスのターミナルメソッドは次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `every()`
- `find()`
- `forEach()`
- `reduce()`
- `some()`
- `toArray()`

Stream - Stream(関数 **nextFn)**

Stream オブジェクトをインスタンス化します。

このコンストラクターを使用する代わりに、`GlideQuery` API を使用して、クエリーに基づいて Stream オブジェクトを返すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
nextFn	関数	ストリーム内の次のアイテムを取得する関数。

この例では、乱数ジェネレーターに基づいて Stream オブジェクトを作成する方法を示します。無限ループが発生しないように、必ず `limit()` メソッドを含めてください。

```
new Stream(Math.random)
   .map(Math.round)
   .map(function (num) {
      return num === 1 ? 'heads' : 'tails';
   })
   .limit(10)
   .forEach(gs.info)
```

出力：

```
*** Script: tails
*** Script: heads
*** Script: tails
*** Script: heads
*** Script: tails
*** Script: heads
*** Script: tails
*** Script: tails
*** Script: tails
*** Script: tails
```

Stream - chunk(数字 **count)**

結果をアレイのバッチで返します。それぞれのアレイには、メソッドに渡された数のレコードが含まれています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	ストリームから返された各アレイ内のレコードの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	レコードなどのアイテムのストリームを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、テーブルをクエリーし、結果をアレイのバッチにチャンクする方法を示しています。

```
var chunkResult = new GlideQuery('cmdb_ci_hardware')
    .select('asset', 'purchase_date')
    .limit(10)
    .chunk(5) //Returns arrays of 5 sys_ids at a time
    .forEach(function (chunk){
        gs.info(JSON.stringify(chunk, null, 2));
    });
```

出力：

```
*** Script: [
  {
    "asset": "2fa9680d3790200044e0bfc8bcbe5dfb",
    "purchase_date": "2022-02-28",
    "sys_id": "2ba9680d3790200044e0bfc8bcbe5dfc"
  },
  {
    "asset": "73c1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5ded",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1"
  },
  {
    "asset": "cbc1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5dad",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "25fd3c8437201000deeabfc8bcbe5dea"
  },
  {
    "asset": "8fc1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5da9",
    "purchase_date": null,
    "sys_id": "108a9205c611227500786e160f9d343e"
  },
  {
    "asset": "27c1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5dd8",
    "purchase_date": "2017-06-06",
    "sys_id": "a9a2d111c611227601fb37542399caa8"
  }
]
*** Script: [
  {
    "asset": "93c1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5d30",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "6b43105c37301000deeabfc8bcbe5db2"
  },
  {
    "asset": "a2c0b1213784200044e0bfc8bcbe5de3",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "aac0b1213784200044e0bfc8bcbe5de3"
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "asset": "33c1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5def",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "d0e8761137201000deeabfc8bcbe5da7"
  },
  {
    "asset": "53c1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5d1f",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "53fdbc8437201000deeabfc8bcbe5d10"
  },
  {
    "asset": "f1c031213784200044e0bfc8bcbe5de0",
    "purchase_date": "2017-12-05",
    "sys_id": "71c031213784200044e0bfc8bcbe5de1"
  }
]
```

この例は、ID のバッチを使用して子クエリーを作成する方法を示しています。*chunk()* メソッドを使用した後に *flatMap()* メソッドを呼び出すと、個々のレコードではなくレコードのバッチが反復処理されます。

```
var chunkResult = new global.GlideQuery('cmdb_ci_hardware')
    .select('sys_id')
    .map(function (device) { return device.sys_id; })
    .chunk(5) //Returns arrays of 5 sys_ids at a time
    .flatMap(function (deviceIds) {
        return new GlideQuery('cmdb_sam_sw_install')
            .where('installed_on', 'IN', deviceIds)
            .select('software_model', 'installed_on');
    })

gs.info(JSON.stringify(chunkResult));
```

Stream - every(関数 predicate)

Stream オブジェクト内の全アイテムに述語関数を適用します。述語がストリーム内の全アイテムに対して true を返す場合、メソッドは true を返します。述語がストリーム内のいずれかのアイテムに対して false を返す場合、メソッドは false を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
predicate	関数	Stream オブジェクト内の全レコードまたはアイテムに適用する述語関数。この関数は、ストリーム内の各アイテムを入力として受け取り、ブール値を返す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	述語関数がストリーム内の全アイテムに対して true を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：述語関数がストリーム内の全アイテムに対して true を返す。 • false：述語関数がストリーム内の全アイテムに対して true を返さない。

この例では、ストリーム内の全アイテムに述語関数を適用する方法を示します。

```
var hasOnlyShortDescriptions = new global.GlideQuery('task')
   .whereNotNull('description')
   .select('description')
   .every(function (t) {
       return t.description.length < 10;
       });

gs.info(hasOnlyShortDescriptions);
```

出力：

```
false
```

Stream - filter(関数 **predicate)**

Stream オブジェクト内の各アイテムに述語関数を適用します。述語が true を返す場合、メソッドは true を返します。述語が false を返す場合は、空の Stream オブジェクトを返します。

パフォーマンスを向上させるには、可能であれば、*GlideQuery* クラスでこのメソッドではなく、*where()*、*whereNotNull()*、および *whereNull()* メソッドを使用します。「GlideQuery()」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
predicate	関数	Stream オブジェクト内の全レコードまたはアイテムに適用する述語関数。この関数は、ストリーム内の各アイテムを入力として受け取り、ブール値を返す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	レコードなどのアイテムのストリームを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、定義済みフィルターに対してタスクテーブル内のすべてのレコードを照合する方法を示しています。レコードがフィルターに一致すると、レコードのストリームが返されます。一致しなかった場合は、空の Stream オブジェクトが返されます。

```
var shoutingTasks = new global.GlideQuery('task')
   .whereNotNull('description')
   .select('description')
   .filter(function (task) {
       return task.description.toUpperCase() === task.description;
   })
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Stream - find(関数 predicate)

述語関数に一致する Stream オブジェクトの最初のレコードまたはアイテムを返します。述語関数が指定されていない場合、このメソッドはストリーム内の最初のレコードまたはアイテムを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
predicate	関数	オプション。Stream オブジェクト内のアイテムに適用する述語関数。この関数は、ストリーム内の各アイテムを入力として受け取り、ブール値を返す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
オプション	返されたレコードを含むオブジェクト。

この例は、ストリームから最初のレコードを返す方法を示しています。

```
var UserOptional = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('active', true)
   .where('company.name', 'ServiceNow')
   .select()
   .find()
   .map(function (user) {
      return JSON.stringify(user);
   })

gs.info(UserOptional);
```

出力：

```
Optional<{"sys_id":"babb4639b76233004fbc2089ee11a97f"}>
```

Stream - flatMap(関数 fn)

Stream 内の全アイテムに関数を適用します。反復可能な別のストリームを返します。

関数によってレコードの 2 番目のストリームが返される場合は、`map()` の代わりにこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	Stream オブジェクトを返すクエリーの結果に適用する関数。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	関数を適用した後に更新されたレコードのストリームを含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ユーザーテーブルをクエリーして、その結果から子クエリーを作成する方法を示します。この例では N+1 クエリーを実行するため、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。このユースケースを本番環境で使用しないようにしてください。

```
var records = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('last_login', '>', '2015-12-31')
   .select('first_name', 'last_name')
   .flatMap(function (u) {
      return new global.GlideQuery('task')
           .where('closed_by', u.sys_id)
           .select('closed_at', 'description')
           .map(function (t) {
                return {
                    first_name: u.first_name,
                    last_name: u.last_name,
                    description: t.description,
                    closed_at: t.closed_at
                 };
           });
      })
   .limit(5)
   .toArray(100);

gs.info(JSON.stringify(records));
```

出力：

```
[
   {
      "first_name":"System",
      "last_name":"Administrator",
      "description":null,
      "closed_at":"2020-08-23 13:14:56"
   },
   {
      "first_name":"System",
      "last_name":"Administrator",
      "description":null,
      "closed_at":"2020-08-23 13:07:43"
   },
   {
      "first_name":"System",
      "last_name":"Administrator",
      "description":null,
      "closed_at":"2020-06-15 06:59:05"
   },
   {
      "first_name":"System",
      "last_name":"Administrator",
      "description":null,
      "closed_at":"2020-08-23 13:07:33"
   },
   {
      "first_name":"System",
      "last_name":"Administrator",
      "description":null,
      "closed_at":"2020-08-23 13:07:14"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
]
```

Stream - forEach(関数 fn)

指定された関数をストリーム内の各レコードまたはアイテムに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	ストリーム内の各アイテムに適用する関数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ストリーム内の各アイテムの結果を出力する方法を示します。

```
var firstNames = new global.GlideQuery('sys_user')
   .select('first_name')
   .forEach(function (u) {
      gs.debug(u.first_name);
   });
```

出力：

```
*** Script: [DEBUG] survey
*** Script: [DEBUG] Lucius
*** Script: [DEBUG] Jimmie
*** Script: [DEBUG] Melinda
*** Script: [DEBUG] Jewel
*** Script: [DEBUG] Sean
*** Script: [DEBUG] Jacinto
*** Script: [DEBUG] Krystle
*** Script: [DEBUG] Billie
*** Script: [DEBUG] Christian
*** Script: [DEBUG] Naomi
...
```

Stream - fromArray(オブジェクト arr)

指定されたアレイから取得した値を含む Stream オブジェクトを返します。

注: このメソッドは静的です。このメソッドを使用するためにクラスのインスタンスは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
arr	アレイ	ストリームの作成元となる値のアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	レコードなどのアイテムのストリームを操作するために使用されるオブジェクト。

この例では、値のアレイを含む Stream オブジェクトを作成する方法を示します。

```
var nameStream = Stream.fromArray(['Bob', 'Sue', 'Sam'])
   .map(function (name) {
      return name.toUpperCase();
   })
   .toArray(3);

gs.info(JSON.stringify(nameStream));
```

出力：

```
["BOB","SUE","SAM"]
```

Stream - limit(数字 count)

ストリームによって返される結果の数を制限します。

パフォーマンスを向上させるには、可能であれば *GlideQuery* クラスで *limit()* メソッドを使用します。「GlideQuery()」を参照してください。必要に応じて、このメソッドで *Stream.flatMap()* メソッドを使用して結果を制限します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	返されるレコードの数。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	レコードなどのアイテムのストリームを操作するために使用されるオブジェクト。

この例は、*Stream.flatMap()* メソッドから返される結果を制限する方法を示しています。

```
var records = new global.GlideQuery('sys_user')
   .where('last_login', '>', '2015-12-31')
   .select('first_name', 'last_name')
   .flatMap(function (u) {
      return new GlideQuery('task')
           .where('closed_by', u.sys_id)
           .select('closed_at', 'description')
           .map(function (t) {
                return {
                    first_name: u.first_name,
                    last_name: u.last_name,
                    description: t.description,
                    closed_at: t.closed_at
                };
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            });
      })
   .limit(5)
   .forEach(function (task){
      gs.info(JSON.stringify(task, null, 2));
   });
```

出力：

```
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "description": null,
  "closed_at": "2021-10-04 13:40:16"
}
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "description": null,
  "closed_at": "2021-10-04 13:40:22"
}
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "description": null,
  "closed_at": "2021-10-04 13:40:27"
}
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "description": null,
  "closed_at": "2021-10-04 13:40:31"
}
*** Script: {
  "first_name": "System",
  "last_name": "Administrator",
  "description": null,
  "closed_at": "2021-10-04 13:40:54"
}
```

自動翻訳

Stream - map(関数 **fn)**

ストリーム内の各アイテムに関数を適用し、更新後の Stream オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	ストリーム内の各アイテムを入力として受け取るクエリーの結果に適用する関数。

返される内容

タイプ	説明
ストリーム	関数を適用した後に更新されたレコードのストリームを含むオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ストリーム内の全アイテムに関数を適用する方法を示します。

```
var users = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNotNull('first_name')
   .select('first_name')
   .map(function (u) {
      return u.first_name.toUpperCase();
   })
   .toArray(100);

gs.info(JSON.stringify(users));
```

出力：

```
[
   "SURVEY",
   "LUCIUS",
   "JIMMIE",
   "MELINDA",
   "JEWEL",
   "SEAN",
   "JACINTO",
   "KRYSTLE",
   "BILLIE",
   "CHRISTIAN",
   ...
]
```

Stream - reduce(関数 **reducerFn**, 任意 **initialValue)**

ストリーム内の各アイテムに対して reducer 関数を実行し、単一の出力値を生成します。

このメソッドは、ネイティブの JavaScript の *`reduce()`* メソッドに類似しています。詳細については、w3schools のドキュメント を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reducerFn	関数	ストリーム内の各アイテムに適用して、ストリームを単一の値に減らす関数。この関数は次の 2 つの引数を取る必要があります。 • `acc`：関数によって返されたすべての値を累積するアキュムレーター。 • `cur`：アレイに累積されている現在のアイテム。
initialValue	任意	初期値として関数に渡される値。

返される内容

タイプ	説明
任意	reducer 関数によって返されたすべてのアイテムの累計。

この例では、ユーザーテーブルから最も長い名前のレコードを返す方法を示しています。

```
var longestName = new global.GlideQuery('sys_user')
   .whereNotNull('first_name')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   .select('first_name')
   .reduce(function (acc, cur) {
       return cur.first_name.length > acc.length
           ? cur.first_name
           : acc;
       }, '');

gs.info(JSON.stringify(longestName));
```

出力：

```
"ATF_TestItilUser1"
```

Stream - some(関数 predicate)

述語関数 (単一の値を受け取って true または false を返す関数) を、ストリーム内の各アイテムに適用します。述語がストリーム内のいずれかのアイテムに対して true を返す場合、メソッドは true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
predicate	関数	Stream オブジェクト内のアイテムに適用する述語関数。ブーリアン値を返す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	述語関数がストリーム内のアイテムに対して true を返したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：述語関数がストリーム内のアイテムに対して true を返した。 • false：述語関数がストリーム内のアイテムに対して true を返さなかった。

この例は、タスクテーブル内の説明が 1,000 文字を超えているかどうかを確認する方法を示しています。

```
var hasLongDescriptions = new global.GlideQuery('task')
   .whereNotNull('description')
   .select('description')
   .some(function (t) {
      return t.description.length > 1000;
   });


gs.info(hasLongDescriptions);
```

出力：

```
false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Stream - toArray(数字 count)

ストリームから指定された数のアイテムを含むアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	ストリームがアレイ内で返すアイテムの最大数。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	ストリームから返された、指定の数のアイテムを含むアレイ。

この例では、レコードのストリームを JavaScript アレイに変換する方法を示します。

```
var users = new global.GlideQuery('sys_user')
    .limit(10)
    .select('first_name', 'last_name')
    .toArray(50);

gs.info(JSON.stringify(users));
```

出力：

```
[
   {
      "first_name":"Jewel",
      "last_name":"Agresta",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d64"
   },
   {
      "first_name":"Sean",
      "last_name":"Bonnet",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d6d"
   },
   {
      "first_name":"Jacinto",
      "last_name":"Gawron",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d76"
   },
   {
      "first_name":"Krystle",
      "last_name":"Stika",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7f"
   },
   {
      "first_name":"Billie",
      "last_name":"Cowley",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d88"
   },
   {
      "first_name":"Christian",
      "last_name":"Marnell",
      "sys_id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d91"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
]
```

サブフロー :スコープ指定 (非推奨)

Subflow API は、公開された フローデザイナー サブフローを実行するメソッドを提供します。

この API は廃止され、 FlowAPI - スコープ指定、グローバル に置き換えられました。

Subflow API はサーバースクリプトでのみ使用できます。

名前空間 `sn_fd` を使用して、*Subflow API* にアクセスします。

Subflow API を使用してサブフローを操作する前に、まず フローデザイナー インターフェイスでサブフローを作成して公開する必要があります。*Subflow* API は構築済みサブフローのみとやり取りするため、クラスのコンストラクターはありません。

注: インスタンスのパフォーマンスを最適化するには、非同期ビジネスルールスクリプトからこれらのメソッドを呼び出さないようにします。代わりに、フローデザイナーの UI 内でスケジュール済みジョブレコードを作成します。

サブフロー:startAsync(String **scopeName.subflowName, Map inputs)**

公開されたサブフローを非同期に実行します。

非同期呼び出しは非ブロッキングであるため、クライアントは、サブフローが完了するのを待たずにスクリプト内の他のコードを実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopeName.subflowName	文字列	実行するサブフローのアプリケーションスコープとサブフローの内部名。scopeName が含まれていない場合、現在ログインしているユーザーのスコープが使用されます。内部名列 (フローデザイナー ランディングページ上) を使用してサブフローの内部名を取得します。
inputs	マップ	サブフロー入力を定義する名前と値のペア。サブフローに必須の入力が含まれている場合は、それを含める必要があります。[参照] または [ドキュメント ID] フィールドタイプの入力には、値として GlideRecord オブジェクトを使用します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	次のプロパティを含む PlanResponse オブジェクト： • contextId：実行されたサブフローの実行詳細レコードの sys_id。実行の詳細にアクセスするには、フローデザイナー のフロー実行タブに移動し、sys_id でフィルターリングします。 サブフローが次の状態のときに例外が発生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 指定されたアプリケーションスコープ内に存在しないか、サブフロー名またはスコープ名のスペルが間違っている。 • 公開されていない。 • サブフローの入力と一致しない入力オブジェクトが渡された。 • *com.glide.hub.flow_engine.indirect_recursion_limit* システム プロパティで設定された再帰制限を超えている。デフォルト値は 3です。

```
//Run a subflow that takes two inputs: user, a sys_user record, and
 laptop_welcome_message, a string.
(function startSubflowAsync() {

  try {
    var userToProvisionFor = new GlideRecord('sys_user');
    userToProvisionFor.get('62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1');

    var inputs = {};
    inputs['user'] = userToProvisionFor;
    inputs['laptop_welcome_message'] = 'Welcome Onboard!!';

    var result = sn_fd.Subflow.startAsync('sn_devstudio.provisionlaptop',
 inputs);

    //The Sys ID of a flow execution (contextId)
    var contextId = result.contextId;

  } catch (ex) {
    var message = ex.getMessage();
    gs.error(message);
  }

})();
```

SummaryTableWriter - グローバル

SummaryTableWriter スクリプトインクルードを使用すると、標準クエリと傾向分析で生成できるレポートのサマリーセットを作成できます。

このスクリプトインクルードは、タイトルの追加、レポートデータの基になるクエリの定義、スタック列と X 軸の指定など、レポートのサマリーセットの出力をカスタマイズできるメソッドを提供します。

SummaryTableWriter - SummaryTableWriter(文字列 tableName, 文字列 columnName)

カテゴリー別にグループ化されたすべてのインシデントの数に対するサマリーセットを生成します。

カスタムグラフ定義テーブルには、デフォルトで非表示になっている [テーブル] というフィールドが入っています。一部のベースカスタムグラフでフィールドが設定されている場合は、カスタムグラフスクリプトの定義に関係なく、グラフをクリックするとこのテーブルが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例えば、スクリプトを使用して `[task]` テーブルに対してカスタムグラフを作成し、一方で Table = incident を含むカスタムグラフからカスタムグラフをコピーした場合、カスタムスクリプト内の任意のバーをクリックすると、task.do ではなく incident.do に移動します。

[テーブル] フィールドの値を確認するには、他のアクションアイコンをクリックして、 **Configure** (構成) > フォームレイアウト をクリックし、[**Table**] フィールドを [**Available**] から **[Selected]** に移動します。カスタムグラフ定義を開き、[テーブル] フィールドを [なし] に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	データを生成するためにクエリーで使用されるテーブル。
columnName	文字列	X 軸の値を決定するために使用されるフィールド。

```
var summarySet = new SummaryTableWriter('incident', 'category');
summarySet.generate();
```

SummaryTableWriter - generate()

レポートのレコードのサマリーセットを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var opened = new SummaryTableWriter('incident', '');
opened.generate();
```

SummaryTableWriter - setQuery(文字列 query)

サマリーレコードセットのデータをロードするために使用するクエリーを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	サマリーデータをロードするために使用するクエリー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var summarySet = new SummaryTableWriter('incident', 'category');
summarySet.setQuery("active=true");
summarySet.generate();
```

SummaryTableWriter - setStackOn(文字列 column)

インシデントレコードを積み重ねる縦棒グラフを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
column	文字列	インシデントレコードを積み重ねるために使用される縦棒グラフ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var summarySet = new SummaryTableWriter('incident', 'category');
summarySet.setQuery("active=true");
summarySet.setStackOn('priority');
summarySet.generate();
```

SummaryTableWriter - setTitle(文字列 title)

サマリーセットのタイトル (チャートタイトルでもある) を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	チャートタイトルとして使用されるサマリーセットに付けられたタイトル。データが生成されたかどうかをチャートジェネレーターが判断するためのキーフィールドとしても使用されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var opened = new SummaryTableWriter('incident', '');
opened.setTitle("Trend of Open Incidents");
opened.setTrend('opened_at', 'month');
opened.generate();
```

SummaryTableWriter - setTrend(文字列 field, 文字列 interval)

X 軸または積み重ねフィールドに使用する時間フィールドを設定します。傾向の計算に使用する時間間隔を設定してもかまいません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	グルーピングが使用されていない場合に X 軸の値に使用される時間フィールド。グルーピングを使用する場合は積み重ねフィールドになります。
interval	文字列	傾向の計算に使用される時間間隔。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var opened = new SummaryTableWriter('incident', '');
opened.setTitle("Trend of Open Incidents");
opened.setTrend('opened_at', 'month');
opened.generate();
```

SVGToPDFConversionAPI - スコープ付き、グローバル

SVGToPDFConversionAPI は、SVG を PDF に追加したり、SVG を PDF に変換したりできるメソッドを提供します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

「PDFGenerationAPI」も参照してください。

SVGToPDFConversionAPI - SVGToPDFConversionAPI()

新しい *SVGToPDFConversionAPI* オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

次の例では、*SVGToPDFConversionAPI* オブジェクトを作成する方法を示します。

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.SVGToPDFConversionAPI();
```

SVGToPDFConversionAPI - addSVGToPDF(文字列 **svg**, 文字列 **inputPdfSysId**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetSysId**, 文字列 **nameForPdf**, 数字 **pageNo**, 数字 **x**, 数字 **y**, 数字 **svgImgWidth**, 数字 **svgImgHeight**)

SVG 画像を、画像サイズおよび位置座標と一緒に PDF の指定されたページに追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
svg	文字列	PDF ドキュメントに変換する SVG。
inputPdfSysId	文字列	SVG を使用したコピー作成対象の PDF の sys_id。対象の PDF は添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。
targetTable	文字列	PDF が添付されるレコードを含むテーブルの名前。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
targetTableSysId	文字列	PDF が添付されるレコードの sys_id。この値は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルと同じ行にあります。
targetTable	文字列	変換された PDF を添付するテーブルの名前。
targetTableSysId	文字列	変換された PDF を添付するレコードの sys_id。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
pageNo	数字	SVG を配置する添付の PDF のページ番号。
x	数字	ページ内での SVG の水平位置。値はポイント単位です。
y	数字	ページ内での SVG の垂直位置。値はポイント単位です。
svgImgWidth	数字	SVG 画像の幅 (ピクセル単位)。
svgImgHeight	数字	SVG 画像の高さ (ピクセル単位)。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は SVG が挿入された新しい PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、失敗した場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	SVG 変換に成功した場合は、添付された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • SVG の内容を PDF に追加できませんでした。(Adding SVG content to PDF failed.) • PDF への SVG の追加と新しい PDF の作成に成功しました。(Adding SVG to PDF and creating new PDF is successful.)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • SVG の内容を追加するために入力された PDF 添付ファイルのSys ID が null です (Input PDF attachment sys id to add the SVG content is null) • 入力された SVG の内容が空または null です (Input SVG content is empty or null) • PdfReader がオーナーパスワードで開かれていません (PdfReader is not opened with owner password) • 変更された PDF を添付する対象のテーブル名 <targetTable> が空または null です (The target table name to attach the modified PDF : <targetTable> is empty or null) • 変更された PDF を添付する対象のテーブル名 <targetTable> が無効です (The target table name to attach the modified PDF : <targetTable> is not valid) データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、インシデントレコードの説明フィールドから SVG を取得し、PDF 添付ファイルの 5 ページ目に追加する方法を示しています。SVG が入った新しい PDF は、添付ファイル [sys_attachment] テーブルに配置されます。

```
var gr = new GlideRecord("incident");

var svg;

if (gr.get("<tableSysId>")) {
 svg = gr.description.toString();
}

var result = new
 sn_pdfgeneratorutils.SVGToPDFConversionAPI().addSVGToPDF(svg,
 "<inputPdfSysId>", "incident", "<tableSysId>", "AddSVGToPDF", 5, 30, 30,
 300, 100);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"attachment_id":"<sys_id>","message":"Adding SVG to PDF and creating new
 PDF is successful.","status":"success"}
```

SVGToPDFConversionAPI - convertSVGToPDF(文字列 **svg**, 文字列 **pdfName**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetTableSysId**)

文字列として提供された SVG を PDF に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
svg	文字列	PDF ドキュメントに変換する SVG。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
targetTable	文字列	変換された PDF を添付するテーブルの名前。
targetTableSysId	文字列	変換された PDF を添付するレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は SVG から変換された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	SVG 変換に成功した場合は、添付された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • SVG 画像の PDF ドキュメントへの変換に失敗しました。 • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • SVG から PDF への変換に成功しました。 • ターゲットテーブル名 - 変換された SVG を添付する <tableName> が無効です。 • ターゲットテーブル名 - 変換された SVG を添付する <tableName> が空または null です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、インシデントレコードの説明フィールドから SVG を取得し、その SVG を PDF に変換してレコードに添付する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord("incident");

var svg;

if (gr.get("<tableSysId>")) {
 svg = gr.description.toString();
}

var v = new sn_pdfgeneratorutils.SVGToPDFConversionAPI();

var result = v.convertSVGToPDF(svg, "ConvertSVGToPDF", "incident",
 "<targetTableSysId>");
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力:

```
{"attachment_id":"<pdf_attachment_sys_id>","message":"SVG to PDF
 conversion is successful.","status":"success"}
```

SVGToPDFConversionAPI - convertSVGToPDFWithSize(文字列 **svg**, 文字列 **nameForPDF**, 文字列 **targetTable**, 文字列 **targetTableSysId**, 数字 **svgImgWidth**, 数字 **svgImgHeight)**

文字列として提供された SVG を、画像の幅と高さの値を含めて PDF に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
svg	文字列	PDF ドキュメントに変換する SVG。
pdfName	文字列	PDF に付ける名前。 デフォルト：添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の PDF の sys_id。
targetTable	文字列	変換された PDF を添付するテーブルの名前。
targetTableSysId	文字列	変換された PDF を添付するレコードの sys_id。
svgImgWidth	数字	SVG 画像の幅 (ピクセル単位)。
svgImgHeight	数字	SVG 画像の高さ (ピクセル単位)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功した場合は SVG から変換された PDF 添付ファイルの sys_id を含むオブジェクト、それ以外の場合はエラーメッセージ。 `{ "attachment_id": "String", "message": "String", "status": "String" }`
<Object>.attachment_id	SVG 変換に成功した場合は、添付された PDF の sys_id。ファイルは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
<Object>.message	成功またはエラーを確認するメッセージ。 可能な値： • SVG 画像の PDF ドキュメントへの変換に失敗しました。 • ソースドキュメントコンテンツの読み取り中に例外が発生しました。 • 指定されたターゲットレコード [<tableName> -<targetTableSysId>] は存在しません。ターゲットテーブル sys_id が指定されたテーブルにありません。レコードの正しいテーブル名が含まれていることを確認してください。 • ターゲットテーブル名 - 変換された SVG を添付する <tableName> が無効です。 • ターゲットテーブル名 - 変換された SVG を添付する <tableName> が空または null です。 • SVG から PDF への変換に成功しました。 データタイプ：文字列
<Object>.status	操作が成功したかどうかを示すステータス。 可能な値： • success - 操作は成功しました。 • failure – 操作は成功しませんでした。*message* は詳細を示します。 データタイプ：文字列

次の例は、インシデントレコードの説明フィールドから SVG を取得し、その SVG を PDF に変換してレコードに添付する方法を示しています。

```
var gr = new GlideRecord("incident");

var svg;

if (gr.get("<tableSysId>")) {
 svg = gr.description.toString();
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var v = new sn_pdfgeneratorutils.SVGToPDFConversionAPI();

var result = v.convertSVGToPDFWithSize(svg, "ConvertSVGToPDF",
 "incident", "<targetTableSysId>", 600, 150);
gs.info(JSON.stringify(result));
```

出力：

```
{"attachment_id":"<pdf_attachment_sys_id>","message":"SVG to PDF
 conversion is successful.","status":"success"}
```

SystemDocument - スコープ指定、グローバル

SystemDocument API は、ドキュメント [ds_document] テーブルのレコードのフィールドを設定するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、sn_doc_services 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメントを作成するには、DocumentService API を使用します。

SystemDocument - SystemDocument(文字列 docName)

SystemDocument オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docName	文字列	ドキュメントの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*SystemDocument* オブジェクトをインスタンス化し、ドキュメントレコードに複数のフィールドを設定する方法を示しています。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

// Define the document fields
var reviewers =
 '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1,a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a';
d.description('description');
d.classification('restricted');
d.state('review');
d.department('93b25282c0a8000b0b55c8ab34e2f1e6');
d.template(false);
d.type('policy');
d.reviewers(reviewers);
d.audience('external');

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "message": "Create document sysId : 10404202245034l0f877a6fed1c2b031 is
 successful.",
  "request_id": "10404202245034l0f877a6fed1c2b031",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - audience(文字列 audience)

ドキュメントレコードの [対象者] フィールドを設定して、外部または内部の可用性を指定します。ドキュメント管理 フォームの [対象者] フィールドを示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
audience	文字列	ドキュメントの対象者を表す文字列。 可能な値： • external • internal デフォルト：internal

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [対象者] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService - スコープ付き、グローバル」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.audience('external');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 1193fd4624103410f877a6fed1c2b016 is
 successful.",
  "request_id": "1193fd4624103410f877a6fed1c2b016",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - classification(文字列 classification)

情報の機密性のレベルを識別するために、ドキュメントレコードの [分類] フィールドを設定します。ドキュメント管理 フォームの [分類] フィールドを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
classification	文字列	ドキュメントの分類。 可能な値： • confidential • public • restricted デフォルト： public

返される内容

タイプ	説明
文字列	*SystemDocument* オブジェクトの分類プロパティの値。

次の例では、新しいドキュメントレコード内の [分類] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My restricted document');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.classification('restricted');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : d80435c624103410f877a6fed1c2b0d0 is
 successful.",
  "request_id": "d80435c624103410f877a6fed1c2b0d0",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - createdFromTemplate(文字列 **docTemplate)**

ドキュメントを生成する際に使用するテンプレートを設定します。ドキュメントが生成されると、指定したテンプレートがドキュメント [ds_document_list] テーブルの [テンプレートから作成] フィールドのリストに表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docTemplate	文字列	ドキュメント [ds_document_lists] テーブルのリストにあるドキュメントの sys_id。ドキュメントで [テンプレート] チェックボックスがオンになっている (true) 必要があります。「DocumentVersionService API」も参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のテンプレートから新しいドキュメントレコードを作成する方法を示しています。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('New doc from template');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.createdFromTemplate('<doc_template_sys_id>');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : deaef1ce24103410f877a6fed1c2b085 is
 successful.",
  "request_id": "deaef1ce24103410f877a6fed1c2b085",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - department(文字列 **docDept)**

ドキュメントレコードの [部門] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docDept	文字列	部門 [cmn_department] テーブルのリストにある部門の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内の [部門] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

// Assign the doc to the human resources department
d.department('<dept_sys_id>');

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9 is
 successful.",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "request_id": "491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - description(文字列 description)

ドキュメントレコードの [説明] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
説明	文字列	ドキュメントの説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、ドキュメントレコード内の [説明] フィールドを設定する方法を示します。
「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

d.description('Information describing the doc.');

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 9acd7fea24587410f877a6fed1c2b060 is
 successful.",
  "request_id": "9acd7fea24587410f877a6fed1c2b060",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - name(文字列 docName)

ドキュメントレコードの [名前] フィールドを設定します。

注: `SystemDocument()` コンストラクターのパラメーターで名前を設定することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docName	文字列	ドキュメントの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [名前] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument();

d.name('Document named using method instead of constructor');

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : c19d7f2624587410f877a6fed1c2b0eb is
 successful.",
  "request_id": "c19d7f2624587410f877a6fed1c2b0eb",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - owner(文字列 owner)

ドキュメントレコードの [所有者] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
owner	文字列	ユーザー [sys_user] テーブルのリストにあるユーザーの sys_id。 必要なロール：admin デフォルト：現在のユーザー

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [所有者] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.owner('aa826bf03710200044e0bfc8bcbe5dd6');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 4235318a24103410f877a6fed1c2b0ff is
 successful.",
  "request_id": "4235318a24103410f877a6fed1c2b0ff",
  "status": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SystemDocument - reviewers(文字列 reviewers)

ドキュメントレコードの [レビュー担当者] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reviewers	文字列	1 人以上のドキュメントレビュー担当者 (sys_id ごと) のリスト。レビュー担当者はユーザー [sys_user] テーブルのリスト内のユーザーである必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [レビュー担当者] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

var reviewers =
 '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1,a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a';
d.reviewers(reviewers);

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 8d19f9ca24103410f877a6fed1c2b0aa is
 successful.",
  "request_id": "8d19f9ca24103410f877a6fed1c2b0aa",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - state(文字列 state)

ドキュメントレコードの [ステータス] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
state	文字列	ドキュメントがワークフロー内のどこにあるかを示すドキュメントのステータス。 有効な値： • draft • submit • review • complete

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：draft

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [ステータス] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.state('submit');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : 19aab54e24103410f877a6fed1c2b03d is
 successful.",
  "request_id": "19aab54e24103410f877a6fed1c2b03d",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - template(ブーリアン **template)**

ドキュメントレコードがテンプレートかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template	ブーリアン	ドキュメントレコードがテンプレートかどうかを指定するフラグ。 有効な値： • true：このドキュメントのデフォルトバージョンはテンプレートである。 • false：このドキュメントはテンプレートではない。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、ドキュメントレコードがテンプレートであることを示す方法を示しています。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('My document');

d.template(true);

var s = new sn_doc_services.DocumentService();
gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create document sysId : f7f006ce24103410f877a6fed1c2b053 is
 successful.",
  "request_id": "f7f006ce24103410f877a6fed1c2b053",
  "status": "success"
}
```

SystemDocument - type(文字列 docType)

ドキュメントレコードの [タイプ] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docType	文字列	ドキュメントのタイプ。 有効な値： • contract • guideline • policy • procedure デフォルト：なし

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、新しいドキュメントレコード内で [タイプ] フィールドを設定する方法を示します。「DocumentService API」も参照してください。

```
var d = new sn_doc_services.SystemDocument('How to use the document mgmt
 API');
var s = new sn_doc_services.DocumentService();

d.type('guideline');

gs.info(JSON.stringify(s.createDocument(d), null, 2));
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "message": "Create document sysId : 8adfb10224503410f877a6fed1c2b0e4 is
 successful.",
  "request_id": "8adfb10224503410f877a6fed1c2b0e4",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentList - スコープ指定、グローバル

SystemDocumentList API は、ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのレコードフィールドを設定するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメントリストを作成または管理するには、DocumentListService API を使用します。

SystemDocumentList - SystemDocumentList(文字列 docListName)

SystemDocumentList オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docListName	文字列	ドキュメントリストの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*SystemDocumentList* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var docList = new sn_doc_services.SystemDocumentList();
```

SystemDocumentList - description(文字列 description)

新しいドキュメントリストレコードの [説明] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
説明	文字列	ドキュメントリストの説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントリストに説明を追加する方法を示しています。「DocumentListService API」も参照してください。

```
var dL = new sn_doc_services.SystemDocumentList('My document list');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Define the document list field
dL.description('description');

var docList = new sn_doc_services.DocumentListService();
gs.info(JSON.stringify(docList.createDocumentList(dL), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create List for the given name : My document list, List
 sysId : b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1 is successful.",
  "request_id": "b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentList - name(文字列 **docListName)**

ドキュメントリストレコードの [名前] フィールドを設定します。

注: *SystemDocumentList()* コンストラクターのパラメーターで名前を設定することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docListName	文字列	ドキュメントリストの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、既存のドキュメントリストの名前を変更する方法を示しています。
「DocumentListService」も参照してください。

```
var docListID = 'b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1';
var docListUpdate = new sn_doc_services.SystemDocumentList();

docListUpdate.name('name change');

var docListSvc = new sn_doc_services.DocumentListService();
gs.info(JSON.stringify(docListSvc.updateDocumentList(docListID ,
 docListUpdate), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Update List for the given sysId :
 b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1 is successful.",
  "request_id": "b2c021a924683c10f877a6fed1c2b0b1",
  "status": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SystemDocumentListEntry - スコープ指定、グローバル

SystemDocumentListEntry API は、ドキュメントリストエントリ [ds_document_list_entry] テーブルのレコードフィールドを設定するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

この API のメソッドを使用する前に、ドキュメントとそのバージョンを追加し、ドキュメントリストを作成する必要があります。

- SystemDocument – ドキュメントオブジェクトを定義します。
- DocumentService – ドキュメントを追加、更新、または削除します。
- SystemDocumentVersion – ドキュメントのバージョンを定義します。
- DocumentVersionService – ドキュメントのバージョンを追加、更新、または削除します。
- SystemDocumentList – ドキュメントリストを定義します。
- DocumentListService – ドキュメントリストを追加、更新、または削除します。

SystemDocumentListEntry - SystemDocumentListEntry(文字列 listID)

SystemDocumentListEntry オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listSysId	文字列	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、*SystemDocumentListEntry* オブジェクトをインスタンス化する方法を示しています。

```
var docList = new
 sn_doc_services.SystemDocumentListEntry("<docListSysId>");
```

SystemDocumentListEntry - description(文字列 description)

ドキュメントリストエントリーレコードの [説明] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
説明	文字列	ドキュメントリストエントリーの説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、コンストラクターを使用して提供されたドキュメントリストエントリーに説明を追加する方法を示しています。「DocumentListEntryService API」も参照してください。

```
var docListEntry = new
 sn_doc_services.SystemDocumentListEntry('21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0d
d');

docListEntry.description('birth');

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.createDocumentListEntry(docListEntry),
 null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create List Entry , List Entry sysId :
 d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9is successful.",
  "request_id": "d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentListEntry - document(文字列 **docSysId)**

ドキュメントリストに追加するドキュメントテンプレートを指定します。

ドキュメントをテンプレートとして定義するには：

- SystemDocument – template() メソッドを true に設定するドキュメントオブジェクトを定義します。DocumentService API のメソッドを使用して、ドキュメントレコードを作成または更新します。
- ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントの [テンプレート] チェックボックスをオンにします。

指定されたドキュメントレコードにはバージョンが必要です。ドキュメントのバージョンを定義して追加するには、次の API を使用します。

- SystemDocumentVersion – ドキュメントのバージョンを定義します。
- DocumentVersionService – ドキュメントのバージョンを追加、更新、または削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。 指定されるドキュメントはテンプレートであり、バージョンがある必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ドキュメントテンプレートをドキュメントリストエントリーとして追加する方法を示しています。「DocumentListEntryService API」も参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var docListEntry = new
 sn_doc_services.SystemDocumentListEntry('21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0d
d');
docListEntry.document("9acd7fea24587410f877a6fed1c2b060");
docListEntry.description('birth certificate');

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.createDocumentListEntry(docListEntry),
 null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Create List Entry , List Entry sysId :
 d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9is successful.",
  "request_id": "d3f0b13624e8fc10f877a6fed1c2b0d9",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentListEntry - documentList(文字列 listSysId)

ドキュメントを追加するドキュメントリストを指定します。

注: または、*SystemDocumentListEntry()* コンストラクター内のパラメーターでドキュメントリストを設定することもできます。

ドキュメントリストを定義して作成するには、次の API を使用します。

- SystemDocumentList – ドキュメントリストを定義します。
- DocumentListService – ドキュメントリストを追加、更新、または削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listSysId	文字列	ドキュメントリスト [ds_document_lists] テーブルのドキュメントリストレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、ドキュメントの追加先となるドキュメントリストを設定する方法を示します。「DocumentListEntryService API」も参照してください。

```
var docListEntry = new sn_doc_services.SystemDocumentListEntry();

docListEntry.documentList('21afddea2460fc10f877a6fed1c2b0dd');
docListEntry.document('deaef1ce24103410f877a6fed1c2b085');
docListEntry.description('passport');

var dlEntrySvc = new sn_doc_services.DocumentListEntryService();
gs.info(JSON.stringify(dlEntrySvc.createDocumentListEntry(docListEntry),
 null, 2));
```

出力：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "message": "Create List Entry , List Entry sysId :
 c4ccaa8b24283050f877a6fed1c2b003is successful.",
  "request_id": "c4ccaa8b24283050f877a6fed1c2b003",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentVersion - スコープ指定、グローバル

SystemDocumentVersion API は、Versions [ds_document_version] テーブルにドキュメントのソースバージョンの値を設定するためのメソッドを提供します。

この API は、ドキュメント管理 プラグイン (com.snc.platform_document_management) を必要とし、`sn_doc_services` 名前空間内で提供されます。詳細については、「ドキュメントサービス」を参照してください。

ドキュメントのバージョンを作成するには、DocumentVersionService API を使用します。

SystemDocumentVersion - SystemDocumentVersion(文字列 docSysId)

SystemDocumentVersion オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、*SystemDocumentVersion* オブジェクトをインスタンス化してドキュメントバージョンを作成する方法を示します。「DocumentVersionService」も参照してください。

```
var versionDefinition = new
 sn_doc_services.SystemDocumentVersion('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9
');

versionDefinition.type('url');
versionDefinition.url('http://one/1.0');

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069 is successful.",
  "request_id": "d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069",
  "status": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SystemDocumentVersion - document(文字列 docSysId)

このバージョンのドキュメントレコードを指定します。

注: または、*SystemDocumentVersion()* コンストラクターのパラメーターで名前を設定することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docSysId	文字列	ドキュメント [ds_document] テーブルのドキュメントレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、ドキュメントバージョンの [名前] フィールドを設定する方法を示します。
「*DocumentVersionService*」～「createDocumentVersion()」も参照してください。

```
var versionDefinition = new sn_doc_services.SystemDocumentVersion();

versionDefinition.document('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9');

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 1c504c91242cf810f877a6fed1c2b08b is successful.",
  "request_id": "1c504c91242cf810f877a6fed1c2b08b",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentVersion - type(文字列 docType)

ドキュメントバージョンの [タイプ] フィールドを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
docType	文字列	ドキュメントソースのタイプ。 有効な値： • url • attachment デフォルト：attachment

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 現在、添付ファイルはドキュメントバージョン [ds_document_version] テーブルの UI でのみ追加することができ、API を使用して追加することはできません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、 [タイプ] フィールドを設定してドキュメントバージョンを作成する方法を示します。「DocumentVersionService」も参照してください。

```
var versionDefinition = new
 sn_doc_services.SystemDocumentVersion('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9
');

versionDefinition.type('url');
versionDefinition.url('http://one/1.0');

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069 is successful.",
  "request_id": "d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentVersion - url(文字列 **url)**

ドキュメントバージョンの URL を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	このバージョンのソースドキュメントの URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、[URL] フィールドをドキュメントバージョンのソースとして設定する方法を示します。「DocumentVersionService」も参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var versionDefinition = new
 sn_doc_services.SystemDocumentVersion('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9
');

versionDefinition.type('url');
versionDefinition.url('http://one/1.0');

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069 is successful.",
  "request_id": "d5a340d9242cf810f877a6fed1c2b069",
  "status": "success"
}
```

SystemDocumentVersion - versionNumber(数字 **versionNumber)**

ドキュメントバージョンの番号を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
versionNumber	数字	このドキュメントのバージョン番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、バージョン番号を設定してドキュメントバージョンを作成する方法を示します。「DocumentVersionService」も参照してください。

```
var versionDefinition = new
 sn_doc_services.SystemDocumentVersion('491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9
');

versionDefinition.type('url');
versionDefinition.url('http://one/1.0');
versionDefinition.versionNumber(5);

var versionSvc = new sn_doc_services.DocumentVersionService();
gs.info(JSON.stringify(versionSvc.createDocumentVersion(versionDefinitio
n), null, 2));
```

出力：

```
{
  "message": "Adding an entry to DocumentVersion for the
 given docId : 491efbee24187410f877a6fed1c2b0a9, sysId :
 ff47449d242cf810f877a6fed1c2b06c is successful.",
  "request_id": "ff47449d242cf810f877a6fed1c2b06c",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "status": "success"
}
```

Table - スコープ対象、グローバル

PDF ドキュメントに追加する Table オブジェクトを作成します。各セルで使用するデータを定義し、スタイル、マージン、配置を設定します。

この API は、 ServiceNow PDF Generation Utilities プラグイン (com.snc.apppdfgenerator) の一部であり、 `sn_pdfgeneratorutils` 名前空間内で提供されます。このプラグインはデフォルトでは有効になっています。

この API は、PDF を生成するためにドキュメント API とともに使用されるコンポーネントです。

このクラスのメソッドを使用して Table オブジェクトを構築します。次の追加クラスを使用して、セル、パラグラフ、およびスタイルをテーブルに追加できます。

Cell API

Cell API を使用してセルを作成します。次に、以下のいずれかのメソッドを使用してセルをテーブルに追加します。

- *Table.addCell()*
- *Table.addCellWithStyle()*
- *Table.addHeaderCell()*
- *Table.addImageCell()*
- *Table.addParagraphCell()*
- *Table.addTextCell()*

Paragraph API

Paragraph API を使用してパラグラフを作成します。 *Cell.addParagraph()* を使用して、テーブル内のセルにパラグラフを追加します。

Style API

Style API を使用してスタイル、色、および境界線を設定します。以下のいずれかのメソッドを使用してスタイルをテーブルに追加します。

- *Table.setDefaultStyle()*
- *Table.setHeaderStyle()*

その後、次のクラスとメソッドを使用して、PDF ドキュメントに Table オブジェクトを適用できます。

Document API

Document.addTable() メソッドを使用して、テーブルを PDF ドキュメントに追加します。*Document.saveAsAttachment()* メソッドを使用すると、ドキュメントをレコードに添付できます。

Table - Table(ブーリアン **ltr**, アレイ **columnWidths**, ブーリアン **largeTable**)

テキストの方向、列幅、およびレイアウト設定を使用して、新しい Table オブジェクトをインスタンス化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ltr	ブーリアン	テーブル内の言語のテキストの向きを示すフラグ。詳細については、「W3C：スクリプトの向きと言語 (W3C: Script direction and languages)」を参照してください。 有効な値： • true：テキストの向きは左から右である。 • false：テキストの向きは右から左である。
columnWidths	アレイ	テーブルの各列の幅を指定する数値。サイズは比例配分されます。例えば、`var columnWidths = [2, 1, 1];` は 3 列のテーブルで、1 列目が他の 2 列の 2 倍のサイズです。 デフォルト：各列が同じ幅です。
largeTable	ブーリアン	100% 幅と固定レイアウトが暗黙的に設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テーブルが固定レイアウトで 100% 幅を使用する。true の場合、すべてのコンテンツが追加されたときに `complete()` メソッドを使用して、テーブルが完成したことを示します。 • false：自動テーブルサイズ。 デフォルト値：false

次の例は、2 列の Table オブジェクトを作成する方法を示しています。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);
```

Table – addCell(セル cell)

セル要素をテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cell	セル	テーブルに追加するセル要素。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、インシデントテーブルから Table オブジェクトを作成し、各行に [番号] と [簡単な説明] のセルを追加する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var nParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var sParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short Description");

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(nParagraph);
hdrCell2.addParagraph(sParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

var row = 0;

while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);

   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCell(numCell);
   table.addCell(sdCell);

   row = row + 1;

}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – addCellWithStyle(セル **cell**, スタイル **style**)

スタイルを適用したセル要素をテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cell	セル	テーブルに追加する Cell オブジェクト。
style	スタイル	セルに適用するスタイル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、指定されたセルにスタイルを適用し、そのドキュメントをレコードに添付する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var cellBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var cellStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
cellStyle.setBackgroundColor(cellBgColor);
cellStyle.setTextAlignment("text-center");
cellStyle.setBold();
cellStyle.setFontColor(whiteColor);

var nParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var sParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short Description");

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(nParagraph);
hdrCell2.addParagraph(sParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var row = 0;

while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);

   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCellWithStyle(numCell, cellStyle);
   table.addCell(sdCell);

   row = row + 1;

}

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "sys_id", "filename.pdf");
```

Table – addHeaderCell(セル **cell)**

ヘッダーの Cell オブジェクトをテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cell	セル	テーブルに追加するヘッダーセル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、Paragraph オブジェクトを含むテーブルにヘッダーセルを追加する方法を示します。Paragraph オブジェクトの詳細については、「*Paragraph API*」を参照してください。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var nParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var sParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short Description");

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(nParagraph);
hdrCell2.addParagraph(sParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

var row = 0;

while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);

   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCell(numCell);
   table.addCell(sdCell);

   row = row + 1;

}

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Table – addImageCell(画像 image)

画像を含むセルをテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
image	画像	セルに追加する画像オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、2 つの画像セルを持つテーブルを作成し、そのドキュメントをレコードに添付する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var icon = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<sys_id>");
var picture = new sn_pdfgeneratorutils.Image("<sys_id>");

table.addImageCell(icon);
table.addImageCell(picture);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – addParagraphCell(パラグラフ p)

パラグラフを含むセルをテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
p	パラグラフ	セルに追加する Paragraph オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、パラグラフの内容を含む単一のセルでテーブルを作成する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

var paragraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Content to add to the
 cell");

table.addParagraphCell(paragraph);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – addTextCell(文字列 **text)**

文字列を含むセルをテーブルに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	セルに追加するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、文字列を含む単一のセルでテーブルを作成する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "record_sys_id", "filename.pdf");
```

Table – complete()

意図した内容がすべて 1 つの大きなテーブルに追加されたことを示します。

すでにドキュメントに追加されているテーブルに他の内容を追加するには、*Table.flush()* メソッドと一緒に使用します。 このメソッドは、コンストラクターの *largeTable* パラメーターが true に設定されている場合にのみ適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、すでにドキュメントに追加されているテーブルへの内容の追加が完了したことを示す方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1,2,1,1], true);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var descParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short
 Description");
var stateParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("State");
var assignedParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Assigned
 to");


var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell3 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell4 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(numberParagraph);
hdrCell2.addParagraph(descParagraph);
hdrCell3.addParagraph(stateParagraph);
hdrCell4.addParagraph(assignedParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);
table.addHeaderCell(hdrCell3);
table.addHeaderCell(hdrCell4);

var row = 0;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var stateCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var assignedCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;


   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);
   var stateParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.state);
   var assignedParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.assigned_to);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);
   stateCell.addParagraph(stateParagraph);
   assignedCell.addParagraph(assignedParagraph);


   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCell(numCell);
   table.addCell(sdCell);
   table.addCell(stateCell);
   table.addCell(assignedCell);

   row = row + 1;

}

document.addTable(table);
table.addTextCell("A cell added later");
table.flush();
table.complete();
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – donotSplitRowOnPageBreak(ブーリアン **value)**

行が 2 ページに分割されないようにします (可能な場合)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	ブーリアン	行を 2 ページに分割するか、行全体を 2 ページ目に移動するかを示すフラグ。ただし、行が複数のページにまたがる場合、このプロパティは適用されません。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：ページの残りの部分が行に対して十分な大きさでない場合、行全体を新しいページに追加します。 • false：ページの残りの部分が行に対して十分な大きさでない場合、行を 2 ページに分割します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、行が 2 ページに分割されないようにする方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [25,25,25,75,400],
 false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.addTextCell("More text to add to the cell");
table.addTextCell("Even more text to add to the cell");
table.addTextCell("Even more text to add to the cell");
table.addTextCell("Even more text to add to the cell");

table.donotSplitRowOnPageBreak(true);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "record_sys_id", "filename.pdf");
```

Table –flush()

すでにドキュメントに追加されているテーブルに他の内容を追加します。

Table.complete() メソッドと一緒に使用して、他の内容がすべてテーブルに追加されたことを示します。 このメソッドは、コンストラクターの *largeTable* パラメーターが true に設定されている場合にのみ適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、すでにドキュメントに追加されているテーブルにテキストセルを追加する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1,2,1,1], true);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var descParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short
 Description");
var stateParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("State");
var assignedParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Assigned
 to");


var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell3 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell4 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(numberParagraph);
hdrCell2.addParagraph(descParagraph);
hdrCell3.addParagraph(stateParagraph);
hdrCell4.addParagraph(assignedParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);
table.addHeaderCell(hdrCell3);
table.addHeaderCell(hdrCell4);

var row = 0;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var stateCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var assignedCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;


   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);
   var stateParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.state);
   var assignedParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.assigned_to);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);
   stateCell.addParagraph(stateParagraph);
   assignedCell.addParagraph(assignedParagraph);


   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCell(numCell);
   table.addCell(sdCell);
   table.addCell(stateCell);
   table.addCell(assignedCell);

   row = row + 1;

}

document.addTable(table);
table.addTextCell("A cell added later");
table.flush();
table.complete();
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – getDefaultStyle()

デフォルトのスタイルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
Style (スタイル)	デフォルトのスタイル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、デフォルトのスタイルを設定して返す方法を示します。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

style.setItalic();

table.setDefaultStyle(style);

table.addTextCell("Text to add to the cell");

var defaultStyle = table.getDefaultStyle();

gs.info(defaultStyle);
```

Table – getHeaderStyle()

テーブルのヘッダーに適用されているスタイルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
Style (スタイル)	テーブルのヘッダーに適用されているスタイル。

この例では、テーブルのヘッダーのスタイルを設定して返す方法を示します。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1,1], false);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

var styleObject = table.getHeaderStyle();

gs.info(styleObject);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Table – setBorder(数字 width)

テーブルの外縁に、指定された幅の境界線を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数字	境界線の幅。 単位：ポイント

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、2 ピクセルの境界線を持つテーブルを作成し、そのテーブルをレコードに添付する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setBorder(2);

document.addTable(table);
"document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "filename.pdf");
```

Table – setDefaultbackGroundColor(色 color)

テーブルのデフォルトの背景色を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
color	色	テーブルのデフォルトの背景色として使用される色オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、テーブルのデフォルトの背景色を設定する方法を示します。

```
// declare table by providing width array with automatic table size
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

var color = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
table.setDefaultbackGroundColor(color);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
```

Table – setDefaultStyle(スタイル **defaultStyle)**

テーブルに適用するデフォルトのスタイルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
defaultStyle	Style (スタイル)	テーブルに適用するデフォルトのスタイル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、テーブルにデフォルトのスタイルを適用する方法を示します。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

var style = new sn_pdfgeneratorutils.Style();

style.setItalic();

table.setDefaultStyle(style);

table.addTextCell("Text to add to the cell");

var defaultStyle = table.getDefaultStyle();

gs.info(defaultStyle);
```

Table – setFixedPosition(数字 **pageNumber**, 数字 **left**, 数字 **bottom**, 数字 **width)**

テーブルをページ上の固定位置に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
pageNumber	数字	テーブルを追加するページの番号。
left	数字	テーブルを追加する左マージンからのピクセル数。 単位：ポイント
bottom	数字	テーブルを追加する下マージンからのピクセル数。 単位：ポイント
width	数字	テーブルの幅。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		単位：ポイント

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、テーブルをページの左下隅に再配置する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setFixedPosition(1,36,36,500);

document.addTable(table);
"document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "filename.pdf");
```

Table – setHeaderStyle(スタイル **headerStyle)**

テーブルのヘッダーに適用するスタイルオブジェクトを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
headerStyle	スタイル	テーブルのヘッダーに適用するスタイルオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、テーブルのヘッダーのスタイルを設定して返す方法を示します。

```
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1,1], false);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
table.setHeaderStyle(headerStyle);

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

var styleObject = table.getHeaderStyle();

gs.info(styleObject);
```

Table – setHorizontalAlignment(文字列 **alignment)**

テーブルの水平配置を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
alignment	文字列	テーブルの配置。 有効な値： • center：コンテンツを中央に配置します。 • left：コンテンツを左に配置します。 • right：コンテンツを右に配置します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、ページの中央に配置された小さなテーブルを作成する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setWidth(90);
table.setHorizontalAlignment("center");

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – setMargin(数字 **margin)**

テーブル周囲のすべてのマージンを同じ幅に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数値	上、右、下、左のマージンの値 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、テーブル全体のマージンを設定する方法を示します。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setMargin(3);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – setMarginBottom(数字 **margin)**

ページの下マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	下マージンの高さ (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ページの下マージンを 3 ポイントに設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

var whiteColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([1,1,1]);
var greyColor =  sn_pdfgeneratorutils.Color([0.8,0.8,0.8]);
var headerBgColor = new sn_pdfgeneratorutils.Color([0.4,0.6,0.8]);

// Query Incident
var gr = new GlideRecord("incident");
gr.query();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [70,200], false);

var headerStyle = new sn_pdfgeneratorutils.Style;
headerStyle.setBackgroundColor(headerBgColor);
headerStyle.setTextAlignment("text-center");
headerStyle.setBold();
headerStyle.setFontColor(whiteColor);

table.setHeaderStyle(headerStyle);

var nParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Number");
var sParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph("Short Description");

var hdrCell1 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
var hdrCell2 = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

hdrCell1.addParagraph(nParagraph);
hdrCell2.addParagraph(sParagraph);

table.addHeaderCell(hdrCell1);
table.addHeaderCell(hdrCell2);

// set the bottom margin to three points
table.setBottomMargin(3);

var row = 0;

while(gr.next()) {
   var numCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;
   var sdCell = new sn_pdfgeneratorutils.Cell;

   var numberParagraph = new sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.number);
   var sdParagraph = new
 sn_pdfgeneratorutils.Paragraph(gr.short_description);

   numCell.addParagraph(numberParagraph);
   sdCell.addParagraph(sdParagraph);

   if (row % 2 == 1) {
      table.setDefaultbackGroundColor(greyColor);
   } else {
      table.setDefaultbackGroundColor(whiteColor);
   }

   table.addCell(numCell);
   table.addCell(sdCell);

   row = row + 1;

}

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Table – setMarginLeft(数字 margin)

ページの左マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	左マージンの幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ページの左マージンを設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setMarginLeft(100);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – setMarginRight(数字 margin)

ページの右マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	右マージンの幅 (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ページの左マージンを設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setMarginRight(100);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
document.addTable(table);
"document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>",
 "filename.pdf");
```

Table – setMarginTop(数字 margin)

ページの上マージンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
margin	数字	上マージンの高さ (ポイント)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、ページの上マージンを設定する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setMarginTop(100);

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – setWidth(数字 width)

テーブルの合計幅を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数字	テーブルの幅。 単位：ポイント

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、幅が 90 ポイントのテーブルを作成し、そのドキュメントをレコードに添付する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.setWidth(90);
table.setHorizontalAlignment("center");

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

Table – useAllAvailableWidth()

ページで使用可能な幅全体を使用するようにテーブルを拡張します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、ページの使用可能幅全体に広がるテーブルを作成する方法を示しています。

```
var pageSize = new sn_pdfgeneratorutils.PdfPage("A4");
var document = new
 sn_pdfgeneratorutils.Document.createDocument(pageSize);

// declare table by providing width array and Boolean for large table
var table = new sn_pdfgeneratorutils.Table(true, [1], false);

table.addTextCell("Text to add to the cell");
table.useAllAvailableWidth();

document.addTable(table);
document.saveAsAttachment("incident", "<record_sys_id>", "filename.pdf");
```

TableUtils - グローバル

TableUtils スクリプトインクルードは、テーブル関連情報にアクセスするためのショートカットを提供します。

このクラスは、サーバーサイドスクリプトで使用できます。

TableUtils - TableUtils(文字列 tableName)

TableUtils クラスのインスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	テーブル名

```
var tu = new TableUtils("incident");
```

TableUtils - drop(文字列 **tableName)**

データベーステーブルを削除します。

注: 十分に注意して使用してください。テーブルを削除すると、テーブルとその全データが完全に削除されます。テーブルが拡張されている場合は、*dropTableAndExtensions*を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	削除するテーブルの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var tu = new TableUtils();
tu.drop("table_that_will_be_lost_forever");
```

出力:

```
dropping table table_that_will_be_lost_forever
Starting cache flush
Cache flush complete
TABLE DROP: admin dropped table table_that_will_be_lost_forever
```

TableUtils - dropAndClean(文字列 **tableName)**

データベーステーブルを削除し、テーブルへの参照をクリーンアップします。

注: 十分に注意して使用してください。データベーステーブルを削除すると、テーブルとその全データが完全に削除されます。テーブルが拡張されている場合は、*dropTableAndExtensions*を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	削除するテーブルの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var tu = new TableUtils();
tu.dropAndClean("table_that_will_be_lost_forever");
```

出力:

```
dropping table table_that_will_be_lost_forever
Starting cache flush
Cache flush complete
TABLE DROP: admin dropped table table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing gauges for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing forms for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing styles for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing forms sections for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing lists for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing related lists for table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing references to table_that_will_be_lost_forever
*** Script: removing dictionary entries for
 table_that_will_be_lost_forever
Background message, type:info, message: Table deleted
```

TableUtils - dropTableAndExtensions(文字列 **tableName)**

データベーステーブルとその拡張されたテーブルをすべて削除し、テーブルへの参照をクリーンアップします。

注: 十分に注意して使用してください。データベーステーブルを削除すると、テーブルとその全データが完全に削除されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	削除するテーブル

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var tu = new TableUtils();
tu.dropTableAndExtensions("table_that_will_be_lost_forever");
```

出力:

```
dropping table parent_table_that_will_be_lost_forever
Starting cache flush
Cache flush complete
TABLE DROP: admin dropped table ext_table_that_will_be_lost_forever
removing gauges for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing forms for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing styles for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing forms sections for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing lists for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing related lists for ext_table_that_will_be_lost_forever
removing references to ext_table_that_will_be_lost_forever
removing dictionary entries for ext_table_that_will_be_lost_forever
Background message, type:info, message: Table deleted
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
dropping table parent_table_that_will_be_lost_forever
Starting cache flush
Cache flush complete
TABLE DROP: admin dropped table parent_table_that_will_be_lost_forever
removing gauges for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing forms for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing styles for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing forms sections for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing lists for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing related lists for parent_table_that_will_be_lost_forever
removing references to parent_table_that_will_be_lost_forever
removing dictionary entries for parent_table_that_will_be_lost_forever
Background message, type:info, message: Table deleted
```

TableUtils - getAbsoluteBase()

テーブルの拡張元のベーステーブル名を返します。

注: cmdb_ci 階層の下にあるテーブルの場合、このメソッドは cmdb_ci を返し、実際のベーステーブルである cmdb は返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ベーステーブル名

```
var table = new TableUtils("cmdb_ci_server");
gs.print(table.getAbsoluteBase());
```

出力：cmdb_ci

TableUtils - getAllExtensions()

テーブルを拡張するテーブルのリスト (ベーステーブルを含む) を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	テーブルを拡張するテーブルのリスト (ベーステーブルを含む)。

```
var table = new TableUtils("task");
gs.print(table.getAllExtensions());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
[task, incident, issue, kb_submission, sysapproval_group, change_request,
 change_request_imac, sc_task,
problem, sc_req_item, ticket, ast_transfer_order, planned_task,
 change_task, change_phase, sc_request]
```

TableUtils - getHierarchy()

指定されたテーブルの階層に参加しているすべてのクラスのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	指定されたテーブルの階層内のすべてのクラスのリスト。

```
var table = new TableUtils("cmdb_ci_server");
gs.print(table.getHierarchy());
```

出力：[cmdb_ci_server, cmdb_ci_computer, cmdb_ci_hardware, cmdb_ci, cmdb_ci_mainframe, cmdb_ci_linux_server, cmdb_ci_mainframe_lpar, cmdb_ci_esx_server, cmdb_ci_unix_server, cmdb_ci_solaris_server, cmdb_ci_hpux_server, cmdb_ci_aix_server, cmdb_ci_osx_server, cmdb_ci_netware_server, cmdb_ci_win_server]

TableUtils - getTables()

テーブル階層を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	親階層内のテーブル名のリスト。

```
// Get the hierarchy of tables
var table = new TableUtils("cmdb_ci_computer");
var tableArrayList = table.getTables();

// Use the j2js method to convert the Java ArrayList to JavaScript
gs.include("j2js");
var tableArray = j2js(tableArrayList);

// Write the value of each element in the JavaScript array
var i = 0;
while ( i < tableArray.length ) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.print("Table with index " + i + ": " + tableArray[i]);
i++;
}
```

出力：

```
Table with index 0: cmdb_ci_computer
Table with index 1: cmdb_ci_hardware
Table with index 2: cmdb_ci
Table with index 3: cmdb
```

TableUtils - getTableExtensions()

テーブルを拡張するテーブルのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ArrayList	テーブルを拡張するテーブル名のリスト。

この例では、このインスタンス内の 58 個のテーブルがコンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルを拡張していることを示します。(出力は下に要約。)

```
// Get the tables that extend the table
var table = new TableUtils("cmdb_ci_computer");
var tableArrayList = table.getTableExtensions();

// Use the j2js method to convert the Java ArrayList to JavaScript
gs.include("j2js");
var tableArray = j2js(tableArrayList);

// Write the value of each element in the JavaScript array
var i = 0;
while ( i < tableArray.length ) {
  gs.print("Table with index " + i + ": " + tableArray[i]);
  i++;
}
```

出力：

```
Table with index 0: cmdb_ci_mainframe_hardware
Table with index 1: cmdb_ci_handheld_computing
Table with index 2: cmdb_ci_ucs_blade
Table with index 3: cmdb_ci_storage_switch
Table with index 4: cmdb_ci_server
Table with index 5: cmdb_ci_hmc_server
…
Table with index 56: cmdb_ci_pc_hardware
Table with index 57: cmdb_ci_ucs_rack_unit
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TableUtils - hasExtensions()

テーブルが拡張されているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルに拡張がある場合は true。

```
var table = new TableUtils("cmdb_ci_server");
gs.print(table.hasExtensions());
```

出力：

```
true
```

TableUtils - isBaseClass()

テーブルが基底クラスであるかどうか、すなわち親がなくて拡張があるかどうかを判断します。

例えば、Task は別のテーブルから拡張されておらず、そこからテーブルが拡張されているため、基底クラスです。sys_user は親を持たないが拡張もないため、基底クラスではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが基底クラステーブルである、すなわち親がなく拡張があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：テーブルは基底クラスである。 • false：テーブルは基底クラスではない。

```
var table = new TableUtils("task");
gs.print("Task is base class: " + table.isBaseClass());

var table = new TableUtils("sys_user");
gs.print("User is base class: " + table.isBaseClass());
```

出力:

```
 Task is base class: true
User is base class: false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TableUtils - isSoloClass()

テーブルに親も拡張もないかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルに親がなく、そこから拡張されているテーブルもない場合は true。

```
var table = new TableUtils("task");
gs.print("task is solo class: " + table.isSoloClass());

var table = new TableUtils("cmdb_ci_win_server");
gs.print("cmdb_ci_win_server is solo class: " + table.isSoloClass());

var table = new TableUtils("sys_user");
gs.print("sys_user is solo class: " + table.isSoloClass());
```

出力：

```
task is solo class: false
cmdb_ci_win_server is solo class: false
sys_user is solo class: true
```

TableUtils - tableExists()

テーブルが存在するかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	テーブルが存在する場合は true。

```
var table = new TableUtils("my_table");
gs.print("Does 'my_table' exist? " + table.tableExists());
```

出力：Does 'my_table' exist? false

TaskStateUtil - グローバル

TaskStateUtil スクリプトインクルードは、タスクタイプのテーブルステータス属性を操作するためのメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このスクリプトインクルードは、主にタスクアクティブ状況管理ビジネスルールによって使用され、ステータスの変更に基づいてアクティブフィールドを設定します。構成は task.state 辞書要素で定義されます。ステータス値はテーブルによって異なるため、通常は辞書オーバーライドを使用します。

任意のサーバースクリプトで *TaskStateUtil* スクリプトインクルードを呼び出して、テーブルの非アクティブ状況、デフォルトの作業状況、またはデフォルトのクローズ状況を決定できます。

必要な属性は planned_task テーブルで定義されているため、すべての計画タスクタイプがサポートされます。他のタスクタイプにも属性を追加し、最終的にベースタスクテーブルに追加する予定です。この機能を今すぐ活用したい場合は、自由に行ってかまいません。

これらの属性は、task.state 辞書要素または拡張されたタスクテーブルの辞書オーバーライドで定義できます。

関連する属性

属性	定義
close_states	セミコロンで区切られたアクティブでない状態値のリストで、タスクをアクティブまたは非アクティブのどちらに設定するかを識別するために使用されます。
default_close_state	オプション。タスクを自動的にクローズするビジネスルールを定義する場合に、デフォルトのクローズステータスのステータス値を定義する属性。 デフォルト:3。属性が定義されていない場合、通常は完了してクローズされます。
default_work_state	オプション。作業用にタスクを自動的に設定するビジネスルールを定義する場合に、デフォルトの作業ステータスのステータス値を定義する属性。 デフォルト:2。属性が定義されていない場合、通常は対応中です。

TaskStateUtil - TaskStateUtil(GlideRecord task)

TaskStateUtil オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
task	GlideRecord	タスクテーブルから取得された GlideRecord である必要があります。

```
var stateUtil = new TaskStateUtil(current);
```

TaskStateUtil - ATTR_DEFAULT_WORK

デフォルトの作業ステータスを識別する属性の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
ATTR_DEFAULT_WORK	文字列	デフォルトの作業ステータスを識別します。値：default_work_state

TaskStateUtil - ATTR_DEFAULT_CLOSE

デフォルトのクローズステータスを識別する属性の名前。

フィールド

名前	タイプ	説明
ATTR_DEFAULT_CLOSE	文字列	デフォルトのクローズステータスを識別します。値：default_close_state

TaskStateUtil - ATTR_INACTIVE_STATES

非アクティブステータスを識別する属性の名前。

フィールド

名前	タイプ	説明
ATTR_INACTIVE_STATES	文字列	非アクティブステータスを識別します。値：close_states

TaskStateUtil - SYSTEM_DEFAULT_CLOSE

タスクテーブルのデフォルトのクローズステータスの値は [完了してクローズ] です。

フィールド

名前	タイプ	説明
SYSTEM_DEFAULT_CLOSE	整数	タスクテーブルのデフォルトのクローズステータスの値は [完了してクローズ] です。値：3

TaskStateUtil - SYSTEM_DEFAULT_WORK

タスクテーブルのデフォルトの作業ステータスの値は [対応中] です。

フィールド

名前	タイプ	説明
SYSTEM_DEFAULT_WORK	整数	タスクテーブルのデフォルトの作業ステータスの値は [対応中] です。値：2

TaskStateUtil - SYSTEM_INACTIVE_STATES

タスクテーブルのデフォルトの非アクティブステータスの値は、[完了してクローズ]、[未解決でクローズ]、 [スキップ項目をクローズ] です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

名前	タイプ	説明
SYSTEM_INACTIVE_STATES	整数アレイ	タスクテーブルのデフォルトの非アクティブステータスの値は、[完了してクローズ]、[未解決でクローズ]、 [スキップ項目をクローズ] です。値：3、4、7

TaskStateUtil - getDefaultCloseState

デフォルトのクローズ済みステータスの値を返します。

default_close_state 属性が指定されていない場合、デフォルトのクローズ済みステータス値は 3 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	クローズ済みステータスを表すステータス値。

```
var stateUtil = new TaskStateUtil(current);
//get the close state
var defaultCloseState =  stateUtil.getDefaultCloseState();
current.state = defaultCloseState;
```

TaskStateUtil - getDefaultWorkState()

デフォルトの作業ステータスの値を返します。

default_work_state 属性が指定されていない場合、デフォルトの作業ステータス値は 2 です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	作業ステータスを表すステータス値。

```
var stateUtil = new TaskStateUtil(current);
//get the work state
var defaultWorkState =  stateUtil.getDefaultWorkState();
current.state = defaultWorkState;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TaskStateUtil - getInactiveStates

非アクティブステータス値のリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	非アクティブなステータス値のアレイ。

```
var stateUtil = new TaskStateUtil(current);
//get the inactive state values
var inactiveStates = stateUtil.getInactiveStates();
```

TaskStateUtil - isStateInactive(文字列 state)

指定されたステータスのアクティブステータスを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
state	文字列	チェックするステータス値。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ステータスが非アクティブの場合は true。

```
var stateUtil = new TaskStateUtil(current);
var previousStateInactive = stateUtil.isStateInactive(previous.state);
var currentStateInactive = stateUtil.isStateInactive(current.state);
```

TaskStateUtil - runMarkClosed

*mark closed*ビジネスルールを実行するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ビジネスルールの実行を可能にすべきかどうか。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TaskStateUtil - runTaskCloser

task closer ビジネスルールを実行するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ビジネスルールの実行を可能にすべきかどうかを決定します。

TaskStateUtil - runTaskReopener

task reopener ビジネスルールを実行するかどうかを決定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ビジネスルールの実行を可能にすべきかどうか。

TaskStateUtil - setDefaultWorkState(文字列 defaultWorkState)

ユーザーが独自のデフォルトの作業ステータスを指定できるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
defaultWorkState	文字列	デフォルトの作業ステータスに使用する値。

返される内容

タイプ	説明
TaskStateUtil	メソッドのチェーンを可能にする自己参照。

TemplatePrinter - スコープ指定

TemplatePrinter API は、メールスクリプトからメールメッセージへの出力を処理するメソッドを提供します。

この API のコンストラクタはありません。メソッドは、メールスクリプト内でグローバル変数 *template* を使用して呼び出されます。

TemplatePrinter - print(文字列、文字列)

メール本文に文字列を出力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
string	文字列	出力する文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
template.print("Incident number - " + current.number + "\n");
```

TemplatePrinter - space(番号スペース)

メール本文に改行なしのスペースを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
spaces	番号	メール本文に出力する改行なしスペースの数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
template.space(4);
```

TimelineSpan - グローバル

TimelineSpan API は、タイムライン項目内にレンダリングされる要素の特性とインタラクティブな動作を記述する一連のプロパティを定義するメソッドを提供します。

タイムラインアイテムのすべてのスパンのコレクションが一意であることは非常に重要なので、新しいインスタンスの作成は、既存のタイムラインアイテムインスタンスの *createTimelineItem()* メソッドを使用して実行する必要があります。

TimelineSpan - addPredecessor(オブジェクトアレイ **objArray)**

JavaScript オブジェクトアレイを列挙して、現在のインスタンスと他の TimelineSpan オブジェクトの間に複数の関係を追加します。

各オブジェクトには、内部プロパティ *relationship_sys_id* と *predecessor_sys_id* を指定する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
objArray	オブジェクトアレイ	*relationship_sys_id* と *predecessor_sys_id* の 2 つの内部プロパティを含む JavaScript オブジェクトアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - addPredecessor(文字列 **strPredecessorSysId**, 文字列 **strRelationshipSysId**, 文字列 **strTableName)**

指定された関係を現在のインスタンスと別の *TimelineSpan* の間に追加し、その関係が *GlideWindows* を開いて関係に関する情報を表示できるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strPredecessorSysId	文字列	関係の先行タスクである計画タスクレコードのSys_id。
strRelationshipSysId	文字列	関係の関係レコードのSys_id。
strTableName	文字列	関係のテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - addPredecessor(文字列 **strPredecessorSysId**, 文字列 **strRelationshipSysId)**

指定された関係を、現在のインスタンスとsys_id *strPredecessorSysId*のある別のタイムラインスパン間に追加します。

描画された線には、ダブルクリックハンドラーが関連付けられません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strPredecessorSysId	文字列	関係の先行タスクである計画タスクレコードのSys_id。
strRelationshipSysId	文字列	関係の関係レコードのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - getAllowXDragLeft()

AllowXDragLeft プロパティのブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
ブール	オブジェクトの開始時間を調整できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:オブジェクトの開始時間を調整できます。 • false:オブジェクトの開始時間は調整できません。

TimelineSpan - getAllowXDragRight()

AllowXDragRight プロパティのブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	オブジェクトの終了時間を調整できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:オブジェクトの終了時間を調整できます。 • false:オブジェクトの終了時間は調整できません。

TimelineSpan - getAllowXMove()

AllowXMove プロパティのブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	オブジェクトを水平方向に移動できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:オブジェクトを水平方向に移動できます。 • false:オブジェクトを水平方向に移動できません。

TimelineSpan - getAllowYMove()

AllowYMove プロパティのブーリアン値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	オブジェクトを垂直方向に移動できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:オブジェクトを垂直方向に移動できます。 • false:オブジェクトを垂直方向に移動できません。

TimelineSpan - getAllowYMovePredecessor()

AllowYMovePredecessor プロパティのブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトまで破線の関係線を引くことができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:破線の関係線は、現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトまで描画できます。 • false:破線の関係線は、現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトに描画できません。

TimelineSpan - getInnerSegmentClass()

タイムラインスパンの現在の内部セグメントクラスの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の内側セグメント スタイルのクラスの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TimelineSpan - getInnerSegmentEndTimeMs()

タイムラインスパンの内側のセグメント部分の終了時間のミリ秒単位で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	タイムラインスパンの内側セグメント部分の終了時間。 単位：ミリ秒

TimelineSpan - getInnerSegmentStartTimeMs()

タイムラインスパンの内側のセグメント部分の開始時間の時間をミリ秒単位で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	タイムラインスパンの内側セグメント部分の開始時間。 単位：ミリ秒

TimelineSpan - getIsChanged()

現在のタイムラインアイテムが初期化後に変更されたかどうかを示すブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	現在のスパンが変更済みとしてマークされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:変更済みとしてマークされます。 • false:変更済みとしてマークされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TimelineSpan - getPointIconClass()

現在のインスタンスの期間がゼロの場合にタイムラインに要素を表示するために使用するアイコンクラスの名前を指定する文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	期間がゼロの場合に現在のタイムラインスパンを表示するために使用するアイコンクラスの名前。

TimelineSpan - getPredecessors()

現在のインスタンスに関連するすべての先行タスクオブジェクトのアレイを返します。各配列オブジェクトは、 `predecessor_sys_id` と `relationship_sys_id` プロパティを含むHashMapです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	`predecessor_sys_id` と `relationship_sys_id` の 2 つの内部プロパティを含む HashMap のリスト。

TimelineSpan - getSpanColor()

このスパンを表示するために指定された背景色の文字列名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の背景色として使用する HTML 色名。

TimelineSpan - getSpanText()

時間要素の横に表示するテキストを指定する文字列を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このテキストは、GlideTimeline オブジェクトで `glideTimeline.showTimelineText(true)` メソッドを使用して定義されたタイムラインテキストが有効になっている場合にのみ表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	要素の横に表示されるテキスト。

TimelineSpan - getStartTimeMs()

現在の TimelineSpan オブジェクトの開始時間をミリ秒単位で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	要素の開始時間。 単位：ミリ秒

TimelineSpan - getSysId()

現在のオブジェクトのsys_idを返します。

このメソッドは、動的に生成された GUID を取得するための特定のsys_idなしで現在のオブジェクトインスタンスが作成されたときのsys_idを返す場合に便利です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在の要素の一意のsys_id。

TimelineSpan - getTable()

sys_idが参照されているテーブルの名前を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名

TimelineSpan - getTooltip()

TimelineSpan 要素にカーソルを合わせたときにツールヒントに表示されるテキストまたは html を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ツールヒントのテキスト。

TimelineSpan - setAllowXDragLeft(ブーリアン **bFlag)**

要素の開始日を左右にドラッグしてタスクの期間を調整できるかどうかを決定するフラグを設定します。

この動作の効果は、適切なイベントを処理するスクリプトインクルードによって制御されます。このプロパティのデフォルト値は false です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bFlag	ブール	要素の開始日を調整できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:開始日を調整できます。 • false:開始日を調整できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setAllowXDragRight(ブーリアン **bFlag)**

要素の終了日を左右にドラッグしてタスクの期間を調整できるかどうかを決定するフラグを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この動作の効果は、適切なイベントを処理するスクリプトインクルードによって制御されます。このプロパティのデフォルト値は false です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bFlag	ブール	要素の終了日を調整できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:終了日を調整できます。 • false:終了日は調整できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setAllowXMove(ブーリアン **bFlag)**

要素を移動して別の時間に開始できるかどうかを決定するフラグを設定します。

この動作の効果は、適切なイベントを処理するスクリプトインクルードによって制御されます。このプロパティのデフォルト値は false です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bFlag	ブール	要素を水平方向に移動できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:要素を水平方向に移動できます。 • false:要素を水平方向に移動できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setAllowYMove(ブーリアン **bFlag)**

要素をタイムライン上で垂直にドラッグできるかどうかを決定するフラグを設定します。

この動作の効果は、適切なイベントを処理するスクリプトインクルードによって制御されます。このプロパティのデフォルト値は false です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bFlag	ブール	要素を垂直方向に移動できるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true:要素を垂直方向に移動できます。 • false:要素を垂直方向に移動できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setAllowYMovePredecessor(ブーリアン **bFlag)**

タイムライン上でこの要素から破線の関係線を描画できるかどうかを決定するフラグを設定します。

この動作の効果は、適切なイベントを処理するスクリプトインクルードによって制御されます。このプロパティのデフォルト値は false です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
bFlag	ブール	現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトまで破線の関係線を引くことができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:破線の関係線は、現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトまで描画できます。 • false:破線の関係線は、現在のオブジェクトから新しい後続オブジェクトに描画できません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setInnerSegmentClass(文字列 **styleClass)**

内部セグメントが存在する場合は、そのセグメントのスタイル設定に使用するクラスの名前を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
styleClass	文字列	内側のセグメントのスタイル設定に使用する色クラスの名前。 有効な値： • 青 • 緑 • 銀

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト:緑

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setInnerSegmentTimeSpan(数字 **startTimeMs**, 数字 **endTimeMs)**

指定した範囲で定義された現在のタイムスパン内に表示する内部セグメントを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
startTimeMs	番号	開始時間。 単位：ミリ秒
endTimeMs	番号	終了時間。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setPointIconClass(文字列 **iconClassName)**

現在のインスタンスの期間がゼロの場合にタイムラインに現在の要素を表示するために使用するアイコンクラスを設定します。

注: このメソッドは現在の *TimelineSpan* オブジェクトのみに影響し、*GlideTimeline* によって指定された *defaultPointIconClass*よりも優先されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
iconClassName	文字列	現在のインスタンスの期間がゼロの場合に、タイムラインに現在の要素を表示するために使用するアイコンクラス。 有効な値： • `black_circle` • `black_square` • `blue_circle` • `blue_square`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• `green_circle` • `green_square` • `milestone` • `red_circle` • `red_square` • `sepia_circle` • `sepia_square`

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setSpanColor(文字列 **strColor)**

このスパンを表示する色を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strColor	文字列	このスパンの色の HTML 名。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setSpanText(文字列 **strSpanText)**

時間要素の横に表示するテキストを設定します。

注: このテキストは、GlideTimeline オブジェクトで *`glideTimeline.showTimelineText(true)`* メソッドを使用して設定されたタイムラインテキストが有効になっている場合にのみ表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strSpanText	文字列	時間要素の横に表示するテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setTimeSpan(数字 **nStartTime**, 数字 **nEndTimeMs)**

現在のスパンの開始日と終了日を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
nStartTime	番号	開始時間。 単位：ミリ秒
nEndTimeMs	番号	終了時間。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setTimeSpan(文字列 **strStartTime**, 文字列 **strEndTimeMs)**

現在のスパンの開始時間と終了時間を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strStartTime	文字列	開始時間。 単位：ミリ秒
strEndTimeMs	文字列	終了時間。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

TimelineSpan - setTooltip(文字列 **strTooltipText)**

TimelineSpan 要素にカーソルを合わせたときにツールヒントに表示されるテキストを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
strTooltipText	文字列	ツールヒントに表示するテキスト。 注: この文字列には有効な HTML を指定できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

TMFTopicEventAPIUtilOOB: スコープ指定

`TMFTopicEventAPIUtilOOB` スクリプトインクルードには、イベント [em_event] テーブルのイベントを作成、更新、および削除するために外部トリガー定義によってトリガーされる`イベント通知管理オープン` API 要求を処理する関数が含まれています。

このスクリプトインクルードには、 `イベント通知管理オープン` API のデフォルト実装が含まれています。この API のデフォルト機能を変更する場合は、このスクリプトインクルードに含まれる関数を `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードで上書きする必要があります。

このスクリプトインクルードは `sn_ind_tmf642` 名前空間で実行され、Telecommunications Alarm Management Open API (app-ind-tmfapi-alarm) プラグインを有効にする必要があります。

これらの関数をオーバーライドする方法の詳細については、 イベント通知管理オープン API 開発者ガイドを参照してください。

`イベント通知管理オープン` API の詳細については、「イベント通知管理オープン API」を参照してください。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - getAlarmChangeEventSchema()

アラーム変更イベント (ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMA) を処理するときに使用されるペイロードスキーマを返します。

この関数は、 `AlarmChangeEvent` フローアクション呼び出しプロセスの一部として呼び出されます。この関数の機能を変更するには、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能と `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードのスキーマを上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMA` で定義されたスキーマ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Schema validation
var schema = this.getAlarmChangeEventSchema();
var validationResults =
 this.schemaValidator.validateJSON(changeAlarmPayload, schema);
if (validationResults.length > 0) {
  this.responseObject.status =
 TMFAlarmAPIConstants.EVENT_TRANSFORMATION_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorMessage =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CHANGE_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorReason =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CHANGE_ERROR_PAYLOAD;
  var messageDetails = [];
  for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)

 messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message,
 validationResults[i].dataPath));
  this.responseObject.responseError.details = messageDetails;
  return this.responseObject;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - getAlarmCreateEventSchema()

アラーム作成イベント (ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA) を処理するときに使用されるペイロードスキーマを返します。

この関数は、 `AlarmCreateEvent` フローアクションコールプロセスの一部として呼び出されます。この関数の機能を変更するには、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能と `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードのスキーマを上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA` で定義されたスキーマ

```
// Schema validation
var schema = this.getAlarmCreateEventSchema();
var validationResults =
 this.schemaValidator.validateJSON(eventAlarmObject, schema);
if (validationResults.length > 0) {
  this.responseObject.status =
 TMFAlarmAPIConstants.EVENT_TRANSFORMATION_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorMessage =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CREATE_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorReason =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CREATE_ERROR_PAYLOAD;
  var messageDetails = [];
  for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)

 messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message,
 validationResults[i].dataPath));
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  this.responseObject.responseError.details = messageDetails;
  return this.responseObject;
}
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - getAlarmDeleteEventSchema()

アラーム削除イベント (ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA) を処理するときに使用されるペイロードスキーマを返します。

この関数は、 `AlarmDeleteEvent` フローアクション呼び出しプロセスの一部として呼び出されます。この関数の機能を変更するには、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能と `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードのスキーマを上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA` で定義されたスキーマ。

```
// Schema validation
var schema = this.getAlarmDeleteEventSchema();
var validationResults =
 this.schemaValidator.validateJSON(deleteAlarmPayload, schema);
if (validationResults.length > 0) {
  this.responseObject.status =
 TMFAlarmAPIConstants.EVENT_TRANSFORMATION_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorMessage =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CLEAR_ERROR;
  this.responseObject.responseError.errorReason =
 TMFAlarmAPIConstants.MESSAGES.CLEAR_ERROR_PAYLOAD;
  var messageDetails = [];
  for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)

 messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message,
 validationResults[i].dataPath));
  this.responseObject.responseError.details = messageDetails;
  return this.responseObject;
}
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - mapAlarmChangeObjectToEvent(alarmObject, GlideRecord newEventGr)

渡された変更要求ペイロードのパラメーターを、イベント [em_event] テーブルの指定されたレコードのフィールドにマッピングします。

フィールドマッピングをカスタマイズして、イベント [em_event] テーブルにデータを追加したり、デフォルトのフィールドマッピングを変更したりできます。マッピングを変更するには、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードで同じ名前とパラメーターを使用して関数を作成し、 `TMFTopicEventAPIUtilOOB` スクリプトインクルードのマッピングを上書きします。マッピングにフィールドを追加する場合は、これらのフィールドも関連するスキーマ (`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMA`) に追加する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この関数は、 *transformAndPersistChangeEvent()* 関数の一部として呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アラームオブジェクト	オブジェクト	ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMAで定義されたスキーマで定義されているものと一致する必要があります。
newEventGr	GlideRecord	イベント [em_event] テーブルで更新するレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
this.mapAlarmChangeObjectToEvent(additionalInfoObj, newEventGr);

var id = newEventGr.insert();
return gs.nil(id) ? id : newEventGr.message_key;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - mapCreateAlarmObjectToEvent(オブジェクト alarmObject, GlideRecord eventGr)

渡された作成要求ペイロードのパラメーターを、イベント [em_event] テーブルの指定されたレコードのフィールドにマッピングします。

フィールドマッピングをカスタマイズして、イベント [em_event] テーブルにデータを追加したり、デフォルトのフィールドマッピングを変更したりできます。マッピングを変更するには、 TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードで同じ名前とパラメーターを使用して関数を作成し、 TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードのマッピングを上書きします。マッピングにフィールドを追加する場合は、これらのフィールドを関連するスキーマ (TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA) にも追加する必要があります。

この関数は、 *transformAndPersistAlarmCreateEvent()* 関数の一部として呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アラームオブジェクト	オブジェクト	ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA で定義されたスキーマで定義されているものと一致する必要があります。
eventGr	GlideRecord	イベント [em_event] テーブルのレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
this.mapCreateAlarmObjectToEvent(eventAlarmObject, eventGr);
var id = eventGr.insert();
return gs.nil(id) ? id : msgKey;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - mapDeleteAlarmObjectToEvent(オブジェクト **additionalInfoObj**, **GlideRecord newEventGr)**

渡された削除要求ペイロードのパラメーターを、イベント [em_event] テーブルの指定されたレコードのフィールドにマッピングします。

フィールドマッピングをカスタマイズして、イベント [em_event] テーブルにデータを追加したり、デフォルトのフィールドマッピングを変更したりできます。マッピングを変更するには、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードで同じ名前とパラメーターを使用して関数を作成し、 `TMFTopicEventAPIUtilOOB` スクリプトインクルードのマッピングを上書きします。マッピングにフィールドを追加する場合は、これらのフィールドを関連するスキーマ (`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA`) にも追加する必要があります。

この関数は、 *`transformAndPersistDeleteEvent()`* 関数の一部として呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アラームオブジェクト	オブジェクト	ペイロードは、`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA` で定義されたスキーマで定義されているものと一致する必要があります。
newEventGr	GlideRecord	ペイロードのフィールドをイベント [em_event] テーブルのフィールドにマッピングするために使用するレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
this.mapDeleteAlarmObjectToEvent(additionalInfoObj, newEventGr);
var id = newEventGr.insert();
return gs.nil(id) ? id : newEventGr.message_key;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - prepareEventAlarmRecordResponse(文字列、msgKey、オブジェクト、alarmObject、オブジェクト、responseObject)

イベントの作成または更新 (イベントのクリアを含む) 後に応答オブジェクトを生成します。

この関数は、processAlarmCreateEvent()、processChangeAlarm()、および *`processDeleteAlarmEvent()`* 関数によって呼び出されます。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msgKey	文字列	メッセージキー。このキーは、イベントが作成されると生成されます。イベント [em_event] テーブルの Message key フィールドにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
アラームオブジェクト	オブジェクト	処理するイベントペイロード。このペイロードの形式は、処理中のイベントタイプに関連付けられている必要があります。これらのペイロードのスキーマは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されます。
responseObject	オブジェクト	空の応答オブジェクト。このオブジェクトを使用して、ペイロードスキーマの検証に関する問題を記録します。 データタイプ: オブジェクト `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObject です。応答エラー	オブジェクト	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObject です。responseError。細部	アレイ	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObject です。responseError。エラーメッセージ	文字列	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。responseError。errorReason	文字列	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。地位	文字列	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。成功応答	オブジェクト	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。
responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。

```
processDeleteAlarm: function(additionalInfoObj, gr, deleteAlarmPayload,
 responseObject) {
var msgKey = this.transformAndPersistDeleteEvent(additionalInfoObj, gr);
var responsePayload = this.prepareEventAlarmRecordResponse(msgKey,
 deleteAlarmPayload, responseObject);
this._logger.logDebug("processDeleteAlarmEvent");
return responsePayload;
},
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - processAlarmChangeEvent(オブジェクト changeAlarmPayload)

*eventType*が AlarmChangeNotification に設定されている場合、イベント [em_event] テーブルのレコードを更新するプロセスを開始します。

この関数は、 AlarmChangeEvent フローアクションによって呼び出されます。TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
changeAlarmPayload	オブジェクト	処理するイベント変更ペイロード。ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMAで定義されたスキーマと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、`TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

```
Called by the AlarmChangeEvent flow action
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - processAlarmCreateEvent(オブジェクト eventAlarmObject)

*eventType*が `AlarmCreateNotification` に設定されている場合、イベント [em_event] テーブルにレコードを作成するプロセスを開始します。

この関数は、 `AlarmCreateEvent` フローアクションによって呼び出されます。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventAlarmObject	オブジェクト	処理するイベント作成ペイロード。ペイロードは、`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA`で定義されたスキーマと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath));
	this.responseObject.responseError.details = messageDetails;
	return this.responseObject

responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

```
Called by AlarmCreateEvent flow action.
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - processDeleteAlarmEvent(オブジェクト deleteAlarmPayload)

*eventType*が AlarmDeleteNotification に設定されている場合、イベント [em_event] テーブルのアラームイベントをクリアするプロセスを開始します。

この関数は、状態フィールドをクリアし、イベントアラームを閉じます。また、渡されたペイロードのパラメーターも更新されます。

この関数は、 AlarmDeleteEvent フローアクションによって呼び出されます。TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
deleteAlarmPayload	オブジェクト	処理するイベント削除ペイロード。ペイロードは、 TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA で定義されたスキーマと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 "responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String",

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> "successResponse": {Object} }</pre>

responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。
	<pre>"responseError": {
	  "details": [Array],
	  "errorMessage": "String",
	  "errorReason": "String"
	}</pre>

responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。
	例：
	<pre>var messageDetails = [];
	for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)
	
	 messageDetails.push(this.createErrorObject(validatio
	nResults[i].message, validationResults[i].dataPath));
	this.responseObject.responseError.details =
	 messageDetails;
	return this.responseObject</pre>

responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

```
Called by AlarmDeleteEvent flow action.
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - transformAndPersistAlarmCreateEvent(オブジェクト **alarmObject)**

関連付けられたイベントマッピングの作成値を使用して、渡されたイベント作成ペイロードを変換し、情報をイベント [em_event] テーブルに保存します。

この関数は、フローアクションの一部として processAlarmCreateEvent() 関数によって呼び出されます。 TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アラームオブジェクト	オブジェクト	イベント [em_event] テーブルにレコードを作成するために使用するペイロード。ペイロードは、`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA`で定義されたスキーマと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	イベントの一意の ID (メッセージキー)。

この関数は `AlarmCreateEvent` フローアクションによってのみ呼び出されるため、コード例は提供されていません。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - transformAndPersistChangeEvent(オブジェクト additionalInfoObj, GlideRecord existingGr)

関連する変更イベントマッピング値を使用して、渡された変更イベントペイロードを変換し、イベント [em_event] テーブル内の渡された GlideRecord に更新された情報を保存します。

この関数は、フローアクションの一部として processAlarmChangeEvent() 関数によって呼び出されます。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
追加情報オブジェクト	オブジェクト	*existingGr* パラメーターで指定されたレコードのフィールドを更新するために使用するペイロード。ペイロードは、`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMA`で定義されたスキーマと一致する必要があります。
既存の Gr	GlideRecord	更新するイベント [em_event] テーブルのイベントレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
文字列	イベントの一意の ID (メッセージキー)。

この関数は `AlarmChangeEvent` フローアクションによってのみ呼び出されるため、コード例は提供されていません。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - transformAndPersistDeleteEvent(オブジェクト、additionalInfoObj、GlideRecord、existingGr)

関連付けられた削除イベントマッピング値を使用して、渡された削除 (クリア) イベントペイロードを変換し、イベント [em_event] テーブル内の渡された GlideRecord に更新された情報を保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この関数は、フローアクションの一部として >processAlarmDeleteEvent() 関数によって呼び出されます。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
追加情報オブジェクト	オブジェクト	*existingGr* パラメーターで指定されたレコードのクリアイベントフィールドを更新するために使用するペイロード。ペイロードは、`TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA` で定義されたスキーマと一致する必要があります。
既存の Gr	GlideRecord	アラームをクリアするイベント [em_event] テーブル内のイベントレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
文字列	イベントの一意の ID (メッセージキー)。

この関数は `AlarmDeleteEvent` フローアクションによってのみ呼び出されるため、コード例は提供されていません。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - validateSubscription(オブジェクト **eventAlarmObject**, オブジェクト **responseObject)**

サブスクリプションの検証を実行します。

この検証には、イベント通知の作成に使用されたコールバック URL とペイロード内の *eventType* が登録されているかどうかの確認が含まれます。

この関数は、processAlarmCreateEvent()、processChangeAlarm()、および *processDeleteAlarmEvent()* 関数によって呼び出されます。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventAlarmObject	オブジェクト	検証するイベントペイロード。このペイロードの形式は、処理中のイベントタイプに関連付けられている必要があります。これらのペイロードのスキーマは、`TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されます。

responseObject	オブジェクト	空の応答オブジェクト。このオブジェクトを使用して、ペイロードスキーマの検証に関する問題を記録します。
		
		データタイプ: オブジェクト
		
		`"responseObject": {`
		`  "responseError": {Object},`
		`  "status": "String",`
		`  "successResponse": {Object}`
		`}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
responseObject です。地位	文字列	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。成功応答	オブジェクト	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

responseObject
です。応答エラー
	オブジェクト	検証中に発生したエラーに関する詳細。
		`"responseError": {`
		`  "details": [Array],`
		`  "errorMessage": "String",`
		`  "errorReason": "String"`
		`}`

responseObject
です。responseError。
細部
	アレイ	呼び出しルーチンに渡す追加情報。
		例：
		`var messageDetails = [];`
		`for (var i = 0; i < validationResults.length;`
		`i++)`
		`messageDetails.push(this.createErrorObject(val`
		`idationResults[i].message,`
		`validationResults[i].dataPath));`
		`this.responseObject.responseError.details =`
		`messageDetails;`
		`return this.responseObject`

responseObject です。responseError。 エラーメッセージ	文字列	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。responseError。errorReason	文字列	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。

返される内容

タイプ	説明

responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。
	`"responseObject": {`
	`  "responseError": {Object},`
	`  "status": "String",`
	`  "successResponse": {Object}`
	`}`

responseObject です。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	`"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

この関数は `AlarmCHANGEEvent` フローアクションによってのみ呼び出されるため、コード例は提供されていません。

TMFTopicEventAPIUtilOOB - verifyAlarmChangeEventPayload(オブジェクト changeAlarmPayload, オブジェクト responseObject)

渡された変更イベントペイロードの追加の検証を定義する機能を提供します。

この関数は、フローアクションの一部として processAlarmChangeEvent() 関数によって呼び出されます。現在、変更ペイロードに提供される追加のペイロード検証はありません。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
changeAlarmPayload	オブジェクト	検証するペイロード。ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMAで定義されたスキーマと一致する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
responseObject	オブジェクト	空の応答オブジェクト。このオブジェクトを使用して、ペイロードスキーマの検証に関する問題を記録します。 データタイプ: オブジェクト `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObject です。応答エラー	オブジェクト	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObject です。responseError。細部	アレイ	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObject です。responseError。エラーメッセージ	文字列	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。responseError。errorReason	文字列	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。地位	文字列	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。成功応答	オブジェクト	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

```
 // Apply customized validations if applicable, defaults to no error
var changePayloadResponse =
 this.verifyAlarmChangeEventPayload(changeAlarmPayload,
 this.responseObject);
if (!gs.nil(changePayloadResponse.responseError.errorMessage))
  return changePayloadResponse;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - verifyAlarmCreateEventPayload(オブジェクト **alarmObject**, オブジェクト **responseObject**)

イベントペイロードの作成で渡される追加の検証を定義する機能を提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この関数は、フローアクションの一部として processAlarmCreateEvent() 関数によって呼び出されます。現在、作成ペイロードに提供される追加のペイロード検証はありません。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アラームペイロード	オブジェクト	検証するペイロード。ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMAで定義されたスキーマと一致する必要があります。
responseObject	オブジェクト	空の応答オブジェクト。このオブジェクトを使用して、ペイロードスキーマの検証に関する問題を記録します。 データタイプ: オブジェクト `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObject です。地位	文字列	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。成功応答	オブジェクト	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。
responseObject です。応答エラー	オブジェクト	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObject です。responseError。細部	アレイで	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath)); this.responseObject.responseError.details = messageDetails; return this.responseObject`
responseObject です。responseError。エラーメッセージ	文字列で	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
responseObjectです。responseError。errorReason	文字列	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。

返される内容

タイプ	説明

responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。
	`"responseObject": {`
	`  "responseError": {Object},`
	`  "status": "String",`
	`  "successResponse": {Object}`
	`}`

responseObjectです。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。
	`"responseError": {`
	`  "details": [Array],`
	`  "errorMessage": "String",`
	`  "errorReason": "String"`
	`}`

responseObjectです。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。
	例：
	`var messageDetails = [];`
	`for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)`
	`messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath));`
	`this.responseObject.responseError.details = messageDetails;`
	`return this.responseObject`

responseObjectです。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Apply customized validations if applicable, defaults to no error
var creatPayloadResponse =
 this.verifyAlarmCreateEventPayload(eventAlarmObject,
 this.responseObject);
if (!gs.nil(creatPayloadResponse.responseError.errorMessage))
  return creatPayloadResponse;
```

TMFTopicEventAPIUtilOOB - verifyDeleteEventPayload(オブジェクト **deleteAlarmPayload**, オブジェクト **responseObject)**

渡された削除イベントペイロードの追加検証を定義する機能を提供します。

この関数は、フローアクションの一部として processDeleteAlarmEvent() 関数によって呼び出されます。現在、削除ペイロードに提供される追加のペイロード検証はありません。`TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードのデフォルト機能を上書きすることで、この関数の機能を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
deleteAlarmPayload	オブジェクト	検証するペイロード。ペイロードは、TMFAlarmAPIConstants.ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMAで定義されたスキーマと一致する必要があります。
responseObject	オブジェクト	空の応答オブジェクト。このオブジェクトを使用して、ペイロードスキーマの検証に関する問題を記録します。 データタイプ: オブジェクト `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObject です。地位	文字列	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject です。成功応答	オブジェクト	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。
responseObject です。応答エラー	オブジェクト	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`
responseObject です。responseError。細部	アレイで	呼び出しルーチンに渡す追加情報。 例： `var messageDetails = []; for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		`messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath));`
		`this.responseObject.responseError.details = messageDetails;`
		`return this.responseObject`

responseObject。responseError。エラーメッセージ	文字列	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。
responseObject。responseError。errorReason	文字列	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。

返される内容

タイプ	説明
responseObject	関数呼び出しのステータスに関する詳細。 `"responseObject": { "responseError": {Object}, "status": "String", "successResponse": {Object} }`
responseObject。応答エラー	検証中に発生したエラーに関する詳細。 `"responseError": { "details": [Array], "errorMessage": "String", "errorReason": "String" }`

responseObject。responseError。細部	呼び出しルーチンに渡す追加情報。
	例：
	`var messageDetails = [];`
	`for (var i = 0; i < validationResults.length; i++)`
	`messageDetails.push(this.createErrorObject(validationResults[i].message, validationResults[i].dataPath));`
	`this.responseObject.responseError.details = messageDetails;`
	`return this.responseObject`

responseObject。responseError。エラーメッセージ	発生したエラーを説明するエラーメッセージ。使用可能なエラーメッセージは、 `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
responseObjectです。responseError。errorReason	エンドポイントに障害が発生した理由。使用可能なエラーの理由は、TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。地位	関数呼び出しのステータス。使用可能なステータスメッセージは、TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。
responseObjectです。成功応答	関数呼び出しからの正常な応答。たとえば、この値にペイロードオブジェクトを格納できます。

```
// Apply customized validations if applicable, defaults to no error
var deletePayloadResponse =
 this.verifyDeleteEventPayload(deleteAlarmPayload, this.responseObject);
if (!gs.nil(deletePayloadResponse.responseError.errorMessage))
  return deletePayloadResponse;
```

TopicAPIUtilsOOB :スコープ指定

TopicAPIUtilsOOB スクリプトインクルードは、イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントを処理するときに使用されるメソッドを提供します。

イベント管理トピックオープン *API* のデフォルト機能を変更する場合は、このスクリプトインクルードに含まれる関数を TopicAPIUtils スクリプトインクルードで上書きする必要があります。

このスクリプトインクルードは sn_api_notif_mgmt 名前空間で実行され、sn_api_notif_mgmt.event_mgmt_integration ロールが必要です。

TopicAPIUtilsOOB - createTopicHelper(オブジェクト、topicObject、配列、警告)

イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントで渡された情報をトピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルに挿入します。

この挿入プロセスを変更する場合は、 *TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： { "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "externalId": "ext001",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> "namespace": "telecomEvents" }</pre> このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。
warnings	アレイ	メソッドで「警告」レベルの問題が発生した場合に、 イベント管理トピックオープン API エンドポイント応答で返される警告メッセージ。 このパラメーターを使用すると、このエンドポイントの実装にカスタム警告メッセージを追加できます。 追加の警告メッセージがない場合は、空の配列を渡す必要があります。

返される内容

タイプ	説明

オブジェクト	応答オブジェクト。
	<pre>{
	  "contentQuery": "String",
	  "eventType": "String",
	  "externalId": "String",
	  "headerQuery": "String",
	  "id": "String",
	  "name": "String"
	}</pre>
	これらのパラメーターの詳細については、 イベント管理トピックを開く - POST /sn_api_notif_mgmt/topic の戻り値を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
processTopicCreation: function(topicObject) {
  try {
    var warnings = [];

    var schema = this.getCreateTopicSchema();
    if (!this.isValidCreateTopicPayload(topicObject, schema, warnings)) {
      this._logger.logDebug("Create Topic : validation failed");
      return this.response;
    }
    this.createTopicHelper(topicObject, warnings);
    this._logger.logDebug("Create Topic: Topic created succesfully");
  } catch (ex) {
    this._logger.logErr("Create Topic : Process aborted, error is: " +
 ex);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.INTERNAL_
ERROR, Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR,
 Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR);
    var details = [];
    details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(ex.message + '',
 ''));
    errorObj.details = details;
    this.response.details = errorObj;
  }

  return this.response;
},
```

TopicAPIUtilsOOB:getCreateTopicSchema()

トピックペイロードを検証するために イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントで使用されるペイロードの定義済みスキーマを返します。

トピックペイロードのスキーマをカスタマイズする場合は、sn_api_notif_mgmtにあるデフォルトのペイロードスキーマ *Constants.SCHEMA* を上書きする必要があります 。定数スクリプト インクルード。このスキーマのデフォルト値は次のとおりです。

```
CREATE_TOPIC_SCHEMA: "{
  \"title\":\"Topic\",
  \"type\":\"object\",
  \"properties\":{
    \"name\":{
      \"type\":\"string\"
    },
    \"contentQuery\":{
      \"type\":\"string\"
    },
    \"headerQuery\":{
      \"type\":\"string\"
    },
    \"namespace\":{
      \"type\":\"string\"
    }
  },
  \"required\":[\"name\"]
}"
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントペイロードのスキーマ。このスキーマを使用して、 TopicAPIUtilsOOB - isValidCreateTopicPayload(オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	topicObject, 文字列スキーマ, アレイ警告) メソッドを使用してエンドポイントに渡されたスキーマを検証します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
processTopicCreation: function(topicObject) {
  try {
    var warnings = [];

    var schema = this.getCreateTopicSchema();
    if (!this.isValidCreateTopicPayload(topicObject, schema, warnings)) {
      this._logger.logDebug("Create Topic : validation failed");
      return this.response;
    }
    this.createTopicHelper(topicObject, warnings);
    this._logger.logDebug("Create Topic: Topic created succesfully");
  } catch (ex) {
    this._logger.logErr("Create Topic : Process aborted, error is: " +
 ex);
    var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.INTERNAL_
ERROR, Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR,
 Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR);
    var details = [];
    details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(ex.message + '',
 ''));
    errorObj.details = details;
    this.response.details = errorObj;
  }

  return this.response;
},
```

TopicAPIUtilsOOB - isValidCreateTopicPayload(オブジェクト **topicObject**, 文字列スキーマ, アレイ警告)

イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントに渡されたペイロードを検証します。この検証は、要求本文とスキーマに対して実行されます。

ペイロードの検証プロセスを変更する場合は、 *TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： `{ "name": "HighPriorityTroubleTicket",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>{
		  "headerQuery":
		 "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent",
		  "contentQuery":
		 "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",
		  "externalId": "ext001",
		  "namespace": "telecomEvents"
		}</pre>
		このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。

schema	文字列	トピックペイロードの検証に使用するスキーマ。このスキーマを取得するには、 TopicAPIUtilsOOB:getCreateTopicSchema() メソッドを使用します。
warnings	アレイ	メソッドで「警告」レベルの問題が発生した場合に、 イベント管理トピックオープン API エンドポイント応答で返される警告メッセージ。 このパラメーターを使用すると、このエンドポイントの実装にカスタム警告メッセージを追加できます。 追加の警告メッセージがない場合は、空の配列を渡す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	*topicObject*パラメーターで渡されたペイロードがスキーマと要求本文の検証に合格したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ペイロードは有効です。 • false:ペイロードが無効です。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
processTopicCreation: function(topicObject) {
  try {
    var warnings = [];

    var schema = this.getCreateTopicSchema();
    if (!this.isValidCreateTopicPayload(topicObject, schema, warnings)) {
      this._logger.logDebug("Create Topic : validation failed");
      return this.response;
    }
    this.createTopicHelper(topicObject, warnings);
    this._logger.logDebug("Create Topic: Topic created succesfully");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  } catch (ex) {
    this._logger.logErr("Create Topic : Process aborted, error is: " +
 ex);
    var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.INTERNAL_
ERROR, Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR,
 Constants.MESSAGES.TOPIC_CREATE_ERROR);
    var details = [];
    details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(ex.message + '',
 ''));
    errorObj.details = details;
    this.response.details = errorObj;
  }

  return this.response;
},
```

TopicAPIUtilsOOB - prepareCreateTopicResponse(オブジェクト **topicObject**, 文字列 **topicSysId**, 配列 **warnings)**

イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイント呼び出しへの応答を生成して返します。

イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントによって返される応答オブジェクトをカスタマイズする場合は、*TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： `{ "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "externalId": "ext001", "namespace": "telecomEvents" }` このオブジェクトのスキーマは、*sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。
トピック SysID	文字列	イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* 呼び出しの一部として作成されたトピックのSys_id。トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
warnings	アレイ	メソッドで「警告」レベルの問題が発生した場合に、 イベント管理トピックオープン API エンドポイント応答で返される警告メッセージ。 このパラメーターを使用すると、このエンドポイントの実装にカスタム警告メッセージを追加できます。 追加の警告メッセージがない場合は、空の配列を渡す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エンドポイント応答オブジェクト。 例： `{ "externalId": "ext001", "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "namespace": "telecomEvents", "id": "7ee9850443c3f550461f99612bb8f223" }`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
createTopicHelper: function(topicObject, warnings) {
 var topicObj = new sn_tmt_core.BaseObject();
 topicObj.setValue('topic_name', topicObject.name);
 if (!gs.nil(topicObject.headerQuery))
   topicObj.setValue('header_query', topicObject.headerQuery);
 if (!gs.nil(topicObject.contentQuery))
   topicObj.setValue('content_query', topicObject.contentQuery);
 if (!gs.nil(topicObject.namespace))
   topicObj.setValue('namespace', topicObject.namespace);
 if (!gs.nil(topicObject.externalId))
   topicObj.setValue('topic_id', topicObject.externalId);
 topicObj.setValue('type', "egress");
 topicObj.setValue('user_created', false);

 new TopicUtil().createTopic(topicObj);

 // If topic external id is passed by external system, add it in topic
id field. This will act as an external id for us.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 var topicGr =
TopicDAO.getTopicByNameHeaderContentNamespace(topicObject.name,
topicObject.headerQuery, topicObject.contentQuery,
topicObject.namespace, '');

 if (topicGr && topicGr.next())
   var newTopicSysId = topicGr.getValue('sys_id');

   this.prepareCreateTopicResponse(topicObject, newTopicSysId,
warnings);
   return this.response;

},
```

TopicAPIUtilsOOB - processTopicCreation(オブジェクト topicObject)

イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントによって行われた要求を処理します。

このメソッドは、データの挿入、スキーマ検証、要求本文の検証、および応答オーケストレーションに必要なヘルパー メソッドを呼び出します。イベント管理トピックを開く - POST / sn_api_notif_mgmt/topic要求の基本処理をカスタマイズする必要がある場合は、このメソッドを上書きします。それ以外の場合は、個々のヘルパー メソッドをオーバーライドします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： `{ "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "externalId": "ext001", "namespace": "telecomEvents" }` このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt* にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	エンドポイント応答オブジェクト。 例：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明

	{
	"externalId": "ext001",
	"name": "HighPriorityTroubleTicket",
	"headerQuery":
	"eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent",
	"contentQuery":
	"troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",
	"namespace": "telecomEvents",
	"id": "7ee9850443c3f550461f99612bb8f223"
	}

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
try {
  var topicAPIUtils = new TopicAPIUtils();
  var apiResponse =
 topicAPIUtils.processTopicCreation(request.body.data);
  response.setStatus(apiResponse.status);
  return tsmOpenAPIUtil.responseBuilder(response, apiResponse.details);
}
```

TopicAPIUtilsOOB - transformCreateTopicResponse(オブジェクト **topicObject**, 文字列 **topicSysId)**

イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントに返される応答オブジェクトにカスタムデータを追加する機能を提供します。

この応答オブジェクトをカスタマイズするには、 *TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明

トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。
		
		例：
		{
		"name": "HighPriorityTroubleTicket",
		"headerQuery":
		"eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent",
		"contentQuery":
		"troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",
		"externalId": "ext001",
		"namespace": "telecomEvents"
		}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。
トピック SysID	文字列	イベント管理トピックオープン *API - POST / sn_api_notif_mgmt/topic* 呼び出しの一部として作成されたトピックのSys_id。トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにあります。このレコードの情報をトピック応答オブジェクトに追加できます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	変換されたエンドポイント応答オブジェクト。このオブジェクトは TMF688 に準拠している必要があります。 例： `{ "externalId": "ext001", "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "namespace": "telecomEvents", "id": "7ee9850443c3f550461f99612bb8f223" }`

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
prepareCreateTopicResponse: function(topicObject, topicSysId, warnings) {
  if (!gs.nil(topicSysId)) {
    topicObject.id = topicSysId;
    this.response.status = sn_tmt_core.Constants.STATUS_CODES.CREATED;
    topicObject = this.transformCreateTopicResponse(topicObject,
 topicSysId); // Customize response payload as per requirement.
    this.response.details = topicObject;
    if (!gs.nil(warnings) && warnings.length > 0) {
      this.response.details.warnings = warnings;
    }
  } else {
    var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.INTERNAL_
ERROR, Constants.MESSAGES.CREATE_TOPIC_ERROR,
 Constants.MESSAGES.CREATE_TOPIC_ERROR);
    var details = [];
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(Constants.MESSAGES.CREA
TE_TOPIC_ERROR, ''));
    errorObj.details = details;
    this.response.details = errorObj;
  }
},
```

次のコード例は、このメソッドの既定の機能をオーバーライドするコードを示しています。

```
transformCreateTopicResponse: function(topicObject, topicSysId) {
  new sn_tmt_core.BaseAPIUtil().removeNulls(topicObject);

  // Add custom attributes to the topicObject
  topicObject.origin = "ServiceNow",
  topicObject.ServiceId= "service001",
  return topicObject;
},
```

TopicAPIUtilsOOB:validateTopicAttributes(オブジェクト、topicObject、配列 **details)**

イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントペイロードで渡されたトピック名、ヘッダーとクエリ、コンテンツとクエリ、および名前空間の組み合わせが一意かどうかを検証します。

エンドポイントは、この属性の組み合わせを使用して、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにトピックが現在存在するかどうかを判断します。

検証プロセスを変更する場合は、 *TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドをオーバーライドする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： `{ "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "externalId": "ext001", "namespace": "telecomEvents" }` このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。
詳細	アレイ	メソッドで「警告」レベルの問題が発生した場合に、 イベント管理トピックオープン API エンドポイント応答で返される警告メッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このパラメーターを使用すると、このエンドポイントの実装にカスタム警告メッセージを追加できます。 追加の警告メッセージがない場合は、空の配列を渡す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	*topicObject* パラメーターで渡されたトピック名、ヘッダーとクエリ、コンテンツとクエリ、および名前空間の組み合わせが一意かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:パラメーターの組み合わせは一意です。 • false:パラメーターの組み合わせが一意ではありません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
isValidCreateTopicPayload: function(topicObject, schema, warnings) {
  var isValidPayload = true;
  var details = [];
  var validationResults =
 this.jsonSchemaValidation.validateJSON(topicObject, schema, ''); //
 Schema validation
  var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.MISSING_B
ODY_FIELD, sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY_FIELD,
 sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY_FIELD);

  if (validationResults.length > 0) {
    if (validationResults[0].message == Constants.PAYLOAD_MISSING) {
      this._logger.logDebug("isValidCreateTopicPayload: Missing request
 body, invalid payload");
      errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.MISSING_B
ODY, sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY,
 sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY);

 details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(sn_tmt_core.Constants.M
ESSAGES.MISSING_BODY, ''));
      errorObj.details = details;
      this.response.details = errorObj;
      return false;
    } else {
      for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) {
        var missingFieldMsg =
 sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_FIELD_KEY;
        var message = validationResults[i].message;
        var errorMessage = '';
        if (message.indexOf('missing') != -1) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          var newMessage = this.apiCoreUtil.constructErrorMsg(message,
validationResults[i].dataPath);
          errorMessage = missingFieldMsg.replace(/\$key/g, newMessage);
        } else {
          errorMessage = message;
        }
        details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(errorMessage,
validationResults[i].dataPath));
      }
    }
    isValidPayload = false;
  }
  var isValidTopicExternalId = this.validateTopicExternalId(topicObject,
details);
  var isValidTopicAttributes =
this.validatateTopicAttributes(topicObject, details);

  isValidPayload = isValidPayload && isValidTopicExternalId &&
isValidTopicAttributes;
    if (!isValidPayload) {
      errorObj.details = details;
      this.response.details = errorObj;
    }
    return isValidPayload;
  },
```

TopicAPIUtilsOOB - validateTopicExternalId(オブジェクト **topicObject**, 配列 **details)**

イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントの要求本文で渡されたトピック外部 ID を検証します。

基本実装では、外部 ID が空でないことが検証されるだけです。トピック外部 ID の検証プロセスを変更する場合は、 *TopicAPIUtils* スクリプトインクルードでこのメソッドを上書きする必要があります。渡された外部 ID は、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルの topic_id フィールドにマッピングされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	イベント管理トピックオープン APIエンドポイントに渡されるトピックペイロードオブジェクト。 例： `{ "name": "HighPriorityTroubleTicket", "headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent", "contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1", "externalId": "ext001", "namespace": "telecomEvents" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このオブジェクトのスキーマは、 *sn_api_notif_mgmt*にある *Constants.SCHEMA.CREATE_TOPIC_SCHEMA* で定義されているものと一致する必要があります 。定数スクリプト インクルード。
詳細	アレイ	メソッドで「エラー」レベルの問題が発生した場合に、 イベント管理トピックオープン API エンドポイント応答で返されるエラー/詳細メッセージ。 このパラメーターを使用すると、このエンドポイントの実装にカスタムエラーメッセージを追加できます。 追加のエラーメッセージがない場合は、空の配列を渡す必要があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	*topicObject*パラメーターで渡された外部 ID が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:外部 ID は有効です。 • false:外部 ID が無効です。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
isValidCreateTopicPayload: function(topicObject, schema, warnings) {
  var isValidPayload = true;
  var details = [];
  var validationResults =
 this.jsonSchemaValidation.validateJSON(topicObject, schema, ''); //
 Schema validation
  var errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.MISSING_B
ODY_FIELD, sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY_FIELD,
 sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY_FIELD);

  if (validationResults.length > 0) {
    if (validationResults[0].message == Constants.PAYLOAD_MISSING) {
      this._logger.logDebug("isValidCreateTopicPayload: Missing request
 body, invalid payload");
      errorObj =
 this.apiCoreUtil.getErrorObj(sn_tmt_core.Constants.ERROR_CODES.MISSING_B
ODY, sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY,
 sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_BODY);

 details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(sn_tmt_core.Constants.M
ESSAGES.MISSING_BODY, ''));
      errorObj.details = details;
      this.response.details = errorObj;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      return false;
    } else {
      for (var i = 0; i < validationResults.length; i++) {
        var missingFieldMsg =
sn_tmt_core.Constants.MESSAGES.MISSING_FIELD_KEY;
        var message = validationResults[i].message;
        var errorMessage = '';
        if (message.indexOf('missing') != -1) {
          var newMessage = this.apiCoreUtil.constructErrorMsg(message,
validationResults[i].dataPath);
          errorMessage = missingFieldMsg.replace(/\$key/g, newMessage);
        } else {
          errorMessage = message;
        }
        details.push(this.apiCoreUtil.getErrorDetailsObj(errorMessage,
validationResults[i].dataPath));
      }
    }
    isValidPayload = false;
  }
  var isValidTopicExternalId = this.validateTopicExternalId(topicObject,
details);
  var isValidTopicAttributes =
this.validatateTopicAttributes(topicObject, details);

  isValidPayload = isValidPayload && isValidTopicExternalId &&
isValidTopicAttributes;
    if (!isValidPayload) {
      errorObj.details = details;
      this.response.details = errorObj;
    }
    return isValidPayload;
  },
```

TopicSubscriptionUtilOOB :スコープ指定

TopicSubscriptionUtilOOB スクリプトインクルードは、トピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルのレコードをクエリおよび操作するためのメソッドを提供します。このクラスはサービス層で動作し、データアクセスオブジェクト (DAO) クラスと対話します。

これらの関数は、[トピックのサブスクリプション] フォームで [登録] ボタンが選択されたときに呼び出されます。このスクリプトインクルードのデフォルト機能を変更するには、このスクリプトインクルードに含まれる関数を `TopicSubscriptionUtil` スクリプトインクルードで上書きする必要があります。

どちらのスクリプトインクルードも `sn_api_notif_mgmt` 名前空間で実行されます。

トピックサブスクリプションの詳細については、「Telecommunications API 通知を使用した外部イベントの処理」を参照してください。

TopicSubscriptionUtilOOB - executeRegistrationSubflow (文字列 topicSubID)

スポークサブフローをトリガーして、渡されたトピックサブスクリプションを外部システムに登録します。

この関数は、登録フローをトリガーする前に、渡されたトピックサブスクリプションレコードにコールバック URL が含まれているかどうか、およびトピックが既に登録されているかどうかを確認しま

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。これらのチェックに合格すると、デモサブフローがトリガーされます。このデモサブフローは、スポークセレクターでアダプターとして定義され、「モック」送信登録コールを実行します。

この関数は、ユーザーが [トピックサブスクリプション] フォームの [登録] ボタンを選択すると呼び出されます。デモサブフローの名前は `Constants.INITIATE_REGISTRATION_PROCESS = "sn_ind_tmf642.initiate_registration_process"` で定義されています。

トピックサブスクリプションを登録する独自のカスタムサブフローを定義するには、`TopicSubscriptionUtil` スクリプトインクルードでこの関数をオーバーライドする必要があります。

この登録サブフロー内で、外部システムの登録エンドポイントを呼び出してトピックを登録する REST ステップ、接続エイリアス、またはその他の実装を作成する必要があります。このエンドポイントは、登録するトピック名とコールバック URL を渡す必要があります。その代わり、外部システムエンドポイントは、サブスクリプション ID、登録が成功したかどうか、およびトピックサブスクリプションテーブルに保存する登録情報を返す必要があります。この情報には、通常、登録ステータス、登録メッセージ、およびサブスクリプション ID フィールドが含まれます。その後、登録サブフローで updateRegistrationResponse() メソッドを呼び出して、応答ペイロードをトピックサブスクリプションテーブルに保存する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topicSubID	文字列	登録するトピックサブスクリプションレコードのSys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicSubscriptionUtil= Class.create();

TopicSubscriptionUtil.prototype =
 Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Pass the topicSubID of the record
 to be registered for subscription
  executeRegistrationSubflow: function(topicSubID){
    var topicSubGr = new
 TopicSubscriptionUtil(topicSubID).topicSubscriptionDAO.getGlideRecord();

    // Customer extensible function to call their defined subflows. Here
 one can call their own subflow that
    // will perform registration by giving an endpoint of the external
 env and parsing and updating the topic Sub
    // record with Registered information.
    var registrationFlow = ''; // Pass the subflow name that you want to
 override here.
    var inputs = {};
    inputs['topic_subscription_rec'] = topicSubGr;
    try {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      var flowOp =
 sn_fd.FlowAPI.getRunner().subflow(registrationFlow).inBackground().withI
nputs(inputs).run();

    } catch (ex) {
      gs.addErrorMessage(gs.getMessage(ex + ' Please check the subflow
 and inputs defined.'));

    }
  }
  type: TopicSubscriptionUtil
});
```

TopicSubscriptionUtilOOB:getSubFlowName()

トピックサブスクリプションを登録するスポークセレクターサブフロートリガーに使用するサブフローを返します。

通常、この関数は executeRegistrationSubflow() 関数から呼び出されます。このサブフローは、外部システムへの接続とトピックサブスクリプションの登録を担当します。使用するサブフローの名前は `Constants.INITIATE_REGISTRATION_PROCESS`で定義されます。

sn_api_notif_mgmtで実行するサブフローの名前を上書きすることで、この機能を変更して独自のサブフローの名前を含めることができます 。定数スクリプト インクルード。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	使用するサブフローの名前。デモの実装では、このサブフローは `Constants.INITIATE_REGISTRATION_PROCESS = "sn_ind_tmf642.initiate_registration_process";` として定義されています。

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicSubscriptionUtil= Class.create();
TopicSubscriptionUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Define a constants and return.
  // That is your subflow that has the registration process. In current
 OOB implementation
  // it’s a spoke selector implementation.
  getSubFlowName: function(){
    var subflowName = '' // Pass your subflow name here
    return subflowName;
  }

 type: TopicSubscriptionUtil

});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TopicSubscriptionUtilOOB:getTopicName(topicSubRefID)

トピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルのレコードの渡されたsys_idに関連付けられたトピックの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topicSubRefID	文字列	トピック名を返すトピックサブスクリプションレコードのSys_id。トピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	トピック名。

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicSubscriptionUtil = Class.create();
TopicSubscriptionUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Pass topicSubId or topicId and get
 topicname from there.
  getTopicName: function(topicSubRefID){
    var topicSubGr = new
 TopicSubscriptionUtil(topicSubRefID).topicSubscriptionDAO.getGlideRecord
();
    var topicRefID = topicSubGr.getValue('topic');
    var topicGr = new TopicUtil(topicRefID).topicDAO.getGlideRecord();
    return topicGr.getValue('topic_name');
  }
type: TopicSubscriptionUtil
});
```

TopicSubscriptionUtilOOB:getUnregisteredTopicIds()

未登録のトピックのsys_idsを返します。未登録のトピックとは、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにはあるが、トピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルにはないトピックです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	まだ登録されていないトピックレコードのsys_idsリスト。

次のコード例は、この関数の更新を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 var TopicSubscriptionUtil= Class.create();
TopicSubscriptionUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. This method is returning all topic
 IDs
  // that are not in the Topic Subscription table. Modify queries here to
  // return other topics in Topic Subscription table to return either
 'Error' or
  // 'UnRegistered' status topics.

  getUnregisteredTopicIds: function(){
    var topicIds = [];
    var topicSubscriptionGr =
 TopicSubscriptionDAO.getInSubscriptionTopic();
    if (!gs.nil(topicSubscriptionGr)) {
      while (topicSubscriptionGr.next()) {
        topicIds.push(topicSubscriptionGr.getValue('topic'));
      }
    }

    var unregisteredTopicGr = TopicDAO.getUnregisteredTopic(topicIds);
    if (!gs.nil(unregisteredTopicGr)) {
      var unregisterTopicIds = [];
      while (unregisteredTopicGr.next()) {
        unregisterTopicIds.push(unregisteredTopicGr.getValue('sys_id'));
      }
    }

    return unregisterTopicIds;
  }

  type: TopicSubscriptionUtil
});
```

TopicSubscriptionUtilOOB - updateRegistrationResponse(オブジェクト **registrationDetails)**

トピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルのトピックサブスクリプションレコードを、送信トピック登録エンドポイント呼び出しの模擬登録応答の値で更新します。

`TopicSubscriptionUtil` スクリプトインクルードでこの関数を上書きして、関連するトピックサブスクリプションレコードに格納されている情報を変更できます。登録の詳細を返すサブフローの実行の詳細については、「executeRegistrationSubflow()」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
registration詳細	オブジェクト	デモ実装の場合、これはデモ登録 API 呼び出しによって返されるモック応答です。 この関数を上書きする場合、応答ペイロードには少なくとも次のトピックサブスクリプションフィールドが含まれている必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• registration_status • registration_message • subscription_id

返される内容

タイプ	説明
エラー	呼び出しが成功した場合、何も返されません。エラーが発生した場合は、以下が返されます。 • status_reason: `status_code = 0` の場合に失敗の理由を明確にするスポーク呼び出しから返されます。 • errormessage:「スポーク要求タイプの出力が設定されていません。要求アダプタフローを確認してください」など、status_code が 0 または 1 でない場合のエラーを説明するエラーメッセージ。

次のコード例は、この関数を更新する方法を示しています。

```
var TopicSubscriptionUtil= Class.create();
TopicSubscriptionUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

// Define overriding functions here. Modify this method to parse the
 registration details
// output from a spoke selector flow. You can pass different parameters
 from the registration response
// and map them to the fields in the Topic Subscription table.

  updateRegistrationResponse: function(registrationDetails){
    var reqTypeId = Constants.TOPIC_SUB_REQUEST_TYPE;
    var outputMap = new
 sn_appss.IntegrationRequestConfigAPI().outputJSONToMap(reqTypeId,
 registrationDetails.result);
    var updateTopicSubObj = new sn_tmt_core.BaseObject();
    if
 (Constants.REGISTRATION_RESPONSE_SUCCESS_CODES.indexOf(responseCode) !=
 -1) {
      updateTopicSubObj.setValue('registration_status',
 Constants.REGISTRATION_STATUS.REGISTERED);
      updateTopicSubObj.setValue('registration_message',
 outputMap.response_body.message);
      updateTopicSubObj.setValue('subscription_id',
 outputMap.response_body.result.id);
    }
  }
  type: TopicSubscriptionUtil

});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TopicSubscriptionUtilOOB - updateTopicSubscriptionRec(オブジェクト **topicSubObj)**

DAO 挿入を使用して、現在のトピックサブスクリプションレコードをトピックサブスクリプション [sn_api_notif_mgmt_topic_subscription] テーブルに保存します。

通常、この関数は updateRegistrationResponse() 関数内で呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
topicSubObj	オブジェクト	関連するトピックサブスクリプションレコードで更新するフィールド。これは、登録サブフローによって返されるペイロードです。 例： `"topicSubObj": { "registration_message": "String", "registration_status": "String", "subscription_id": "String" }` 詳細については、「executeRegistrationSubflow()」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
文字列	更新されたトピックサブスクリプションレコードのSys_id。

次のコード例は、この関数を更新する方法を示しています。

```
var TopicSubscriptionUtil= Class.create();
TopicSubscriptionUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicSubscriptionUtilOOB, {

// Define overriding functions here. Pass a topic subscription record
 object that contains
// the values to update in a record.

  updateTopicSubRec: function(topicSubObj){
    return
 this.topicSubscriptionDAO.updateTopicSubscription(topicSubObj);
  }

type: TopicSubscriptionUtil

});
```

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
if (!gs.nil(outputMap) && outputMap.status_code == '1') {
  var responseCode = outputMap.response_body.code;
  var topicSubID = registrationDetails.topicSubID;
  var topicSubGr = new
 TopicSubscriptionUtil(topicSubID).topicSubscriptionDAO.getGlideRecord();
  var updateTopicSubObj = new sn_tmt_core.BaseObject();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  if
 (Constants.REGISTRATION_RESPONSE_SUCCESS_CODES.indexOf(responseCode) !=
 -1) {
    updateTopicSubObj.setValue('registration_status',
 Constants.REGISTRATION_STATUS.REGISTERED);
    updateTopicSubObj.setValue('registration_message',
 outputMap.response_body.message);
    updateTopicSubObj.setValue('subscription_id',
 outputMap.response_body.result.id);
  } else {
    updateTopicSubObj.setValue('registration_status',
 Constants.REGISTRATION_STATUS.ERROR);
    updateTopicSubObj.setValue('registration_message',
 outputMap.response_body.message);
  }
    new
 TopicSubscriptionUtil(topicSubGr).updateTopicSubscriptionRec(updateTopic
SubObj);
    return '';
} else if (!gs.nil(outputMap) && outputMap.status_code == '0') {
  return outputMap.status_reason;
} else {
  var errorMsg = 'Spoke Request Type output not set, please check request
 adapter flow';
  return errorMsg;
}
```

TopicUtilOOB: スコープ指定

`TopicUtilOOB` スクリプトインクルードには、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルのレコードをクエリおよび操作できるようにする関数が含まれています。このクラスは、データ アクセス オブジェクト (DAO) クラスと対話するサービス層で動作します。

これらの関数は、[トピック] フォームで [トピックを取得] ボタンが選択されたときに呼び出されます。このスクリプトインクルードのデフォルト機能を変更するには、このスクリプトインクルードに含まれる関数を `TopicUtil` スクリプトインクルードで上書きする必要があります。

どちらのスクリプトインクルードも `sn_api_notif_mgmt` 名前空間で実行されます。

トピックの詳細については、「Telecommunications API 通知を使用した外部イベントの処理」を参照してください。

TopicUtilOOB - createTopic(オブジェクト topicObj)

DAO 挿入を使用してトピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにレコードを作成します。

通常、この関数は、コンテンツに対してさまざまな検証も実行する validateAndInsertTopic 関数内で呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピックオブジェクト	オブジェクト	トピックレコードに保存するフィールドを含むオブジェクト。基本実装の場合、オブジェクトの形式は次のとおりです。トピックテーブルを変更または拡張する場合、このオブジェクトにはその構造が反映されます。必須フィールドが含まれていることを確認してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		"topicObj": {
		"content_query": "String";
		"description": "String";
		"header_query": "String";
		"namespace": "String";
		"topic_id": "String";
		"topic_name": "String";
		"type": "String";
		}

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成されたトピックレコードのSys_id。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
validateAndInsertTopics: function(topicsResponse) {
  if (!gs.nil(topicsResponse)) {
    var topicsArr = topicsResponse.response;
    for (var i = 0; i < topicsArr.length; i++) {
      var name = topicsArr[i].name;
      var headerQuery = topicsArr[i].headerQuery;
      var contentQuery = topicsArr[i].contentQuery;
      var namespace = topicsArr[i].namespace;
      var id = topicsArr[i].id;
      var description = topicsArr[i].description;
      var topicGr = TopicDAO.getTopicByNameHeaderContentNamespace(name,
 headerQuery, contentQuery, namespace,'');
      if (topicGr && !topicGr.hasNext()) {
        var topicObj = new sn_tmt_core.BaseObject();
        topicObj.setValue('topic_name', name);
        topicObj.setValue('header_query', headerQuery);
        topicObj.setValue('content_query', contentQuery);
        topicObj.setValue('namespace', namespace);
        topicObj.setValue('description', description);
        topicObj.setValue('topic_id', id);
        topicObj.setValue('type', Constants.TYPE_INGRESS);
        this.createTopic(topicObj);
      }
    }
  }
}
```

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicUtil = Class.create();
TopicUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Pass a topic record object with
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  // values for a single Topic table record.

  createTopic: function(topicObj){
    return this.topicDAO.create(topicObj);
  }

  type: TopicUtil

});
```

TopicUtilOOB:getSubFlowName()

外部システムからトピックを取得するために呼び出すサブフローの名前を返します。

通常、この関数は triggerSubflow() 関数から呼び出されます。このサブフローは、外部システムに接続し、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルに挿入する必要があるトピックレコードを取得します。

サブフローの名前は `Constants.GET_TOPICS_SUBFLOW`で定義されます。デモ実装の場合、このサブフローは `sn_ind_tmf642.event_alarm_notifications_api` であり、エンドツーエンドの処理を示す「モック」応答 (外部システムを呼び出しない) を生成します。

sn_api_notif_mgmtで実行するサブフローの名前を上書きすることで、この機能を変更して独自のサブフローの名前を含めることができます 。定数スクリプト インクルード。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	外部システムからトピックを取得するために使用するサブフローの名前。

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicUtil= Class.create();
TopicUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicUtilOOB, {

  // Define overriding function here. In TopicUtilOOB it returns the flow
 name of a GET outbound API call that mocks the GET call.
  // Override this function to return a flow that returns topics from an
 external system.

  getSubflowName: function(){
    return <flow_name>; // Return the name here
  }

  type: TopicUtil

});
```

TopicUtilOOB:triggerSubflow()

外部システムからトピックレコードを取得するサブフローをトリガーします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この関数は、ユーザーが [トピック] フォームの [トピックを取得] ボタンを選択すると呼び出されます。

トリガーされるサブフローの名前は `Constants.GET_TOPICS_SUBFLOW`で定義されます。デモ実装の場合、このサブフローは `sn_ind_tmf642.event_alarm_notifications_api` であり、エンドツーエンドの処理を示す「モック」応答 (外部システムを呼び出しない) を生成します。

sn_api_notif_mgmtで実行するサブフローの名前を上書きして、独自のサブフローの名前を含めるようにこの機能を変更する必要があります 。定数スクリプト インクルード。

サブフロー内で、REST ステップ、接続エイリアス、またはその他の実装を作成して、外部ネットワークからトピックを取得するエンドポイント URL を指定する必要があります。そのサブフローによってトピックが返されたら、 validateAndInsertTopics 関数を呼び出して、返されたトピックペイロードを検証し、トピックテーブルのレコードを挿入/更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicUtil = Class.create();
TopicUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Override this function to call
 your own GET API outbound call subflow.
  triggerSubflow: function(){
    var result =''; // Pass the subflow here

    try {
      var flowOp =
 sn_fd.FlowAPI.getRunner().subflow(result).inBackground().withInputs().ru
n();
      if (flowOp) {
        gs.addInfoMessage(gs.getMessage('Please refresh the list to see
 new Topics.'));
      }
    } catch (ex) {
      gs.addInfoMessage(gs.getMessage(ex + ' Please check if the trigger
 is defined and passed correctly'));
    }
  }

  type: TopicUtil

});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TopicUtilOOB:validateAndInsertTopics(配列 **topicsResponse)**

渡されたトピックレコードペイロードを検証し、このデータを含むトピック [sn_api_notif_mgmt_topic}] テーブルにレコードを挿入します。

渡されたトピックペイロードは、外部システムからトピックを取得するために使用される「GET API エンドポイント」から取得されます。この GET API のトリガーの詳細については、「triggerSubflow()」を参照してください。

`TopicUtil` スクリプトインクルードでこの関数を上書きすることで、この機能を変更して独自の検証ルールとトピックレコードフィールドを含めることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピック応答	オブジェクトのアレイ	サブフロー内の GET API エンドポイントを介して外部システムから返されるトピックレコードペイロード。このペイロードは、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルの構造と一致する必要があります。アレイ内の各オブジェクトは個別のトピックです。たとえば、デモの実装では次のようになります。 `"topicResponse": [ { "name": "String"; "header_query": "String"; "content_query": "String"; "namespace": "String"; "id": "String"; "description": "String" }, { "name": "String"; "header_query": "String"; "content_query": "String"; "namespace": "String"; "id": "String"; "description": "String" } ]`

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicUtil= Class.create();
TopicUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Override this function to include
 custom
  // validations on topic payload parameters and insert the record into
 the Topics table.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  validateInsertTopics: function(topicsResponse){

    // Provide validation on the passed payload.
    this.createTopic(topicObj);
  }

type: TopicUtil

});
```

TopicUtilOOB - verifyTopics(文字列 **topicname**, 文字列 **headerQuery**, 文字列 **contentQuery**, 文字列 **namespace**, 文字列 **previousSysId)**

トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブル内の他のトピックレコードに、重複するトピックを示す、指定されたフィールドの組み合わせが複合キーとして含まれているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
トピック名	文字列	トピックの名前。
ヘッダークエリ	文字列	イベントヘッダープロパティのコンテンツに適用するフィルター。このクエリは、関連するトピックについてリッスンするイベントのタイプを定義します。このパラメーターは、入れ子になったクエリとして渡すことができます。 例: `"headerQuery": "eventType=AlarmCreateNotification&domain=Paris",` 詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。
contentQuery	文字列	イベントのコンテンツに適用するフィルター。このクエリは、イベントの重大度や考えられる原因などの情報を検索するために使用される、より詳細なイベントフィルターです。このパラメーターは、入れ子になったクエリとして渡すことができます。 例 `:"contentQuery": "event.alarm.perceivedSeverity=CRITICAL",` 詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。
namespace	文字列	関連するトピックが存在する名前空間。トピックはドメイン内で複製することはできませんが、複数のドメインに含めることはできます。
previousSysID	文字列	オプション。更新するトピックのSys_id。既存のトピックを更新する場合にのみ、この値を渡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブール	トピックテーブルの別のレコードに指定されたフィールドの組み合わせが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:トピックテーブルの別のレコードにフィールドの組み合わせが含まれています。 • false:トピックテーブルの他のレコードにフィールドの組み合わせが含まれていません。

次のコード例は、この関数をオーバーライドする方法を示しています。

```
var TopicUtil= Class.create();
TopicUtil.prototype =
  Object.extendsObject(TopicUtilOOB, {

  // Define overriding functions here. Override this function to provide
 custom validations on
  // the passed parameters and to verify whether an insert is possible or
 not.

  verifyTopics: function(topicname, headerQuery, contentQuery, namespace,
 previousSysId) {

    // Write modified code here to get any combination of records present
 in the current Topic table.
    // In the current implementation, the function checks if there is a
 duplicate topic record that contains the
    // passed parameters.

  },

type: TopicUtil

});
```

Transformer - スコープ指定、グローバル

Transformer API は、一連の定義済みルールを使用して、構造化された JSON または XML ソースコンテンツを解析し、構造化されたキーと値のペアの出力に変換するメソッドを提供します。

この API は、 *TransformerDefinition* API および *TransformerRuleList* API と連携します。これらの API を組み合わせて、構造化された JSON ドキュメント内の XML ノードまたは任意のエンティティを、名前と値のペアの出力に変換します。文字列、数値、その他のアレイなど、アレイ内のオブジェクトと要素を含む、サポートされている JSON エンティティ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *TransformerRuleList* API を使用すると、ソースドキュメントのどのデータを出力に含めるか、およびソースデータをどのように変換するかを定義する変換ルールリストを作成できます。

- *TransformerDefinition* API は、変換ルールリストを JSON/XML レコードパスに関連付けて、再利用可能な変換定義オブジェクトを定義します。変換定義オブジェクトを使用して、1 つ以上のソースドキュメントを変換できます。

- *Transformer* API は、指定された変換ルールリストを使用して、一度に 1 つのデータエンティティで実際のデータ変換を実行し、目的の出力データを作成します。

Transformer クラスは、スコープ指定、およびグローバルのサーバースクリプトで使用できます。このクラスを使用する際は、`sn_tfrm` 名前空間識別子を使用します。この API をインスタンスで使用するには、Transformation Service プラグイン (com.glide.transform) をアクティブ化する必要があります。

次の例は、*TransformerRuleList* API を使用して変換ルールを定義し、*TransformerDefinition* API を使用して変換基準を定義して、*Transformer* API を使用して実際に変換を実行する方法を示しています。

このコード例では、外部の JSON ベースの在庫に関する詳細なドキュメントを取得し、そのデータを表形式のテーブルに変換するためのルールを作成してから、一度に 1 行ずつソースドキュメントを変換します。変換される JSON ソースドキュメントのスニペットは次のとおりです。

```
{
  "NOW": {
    "quote": {
      "symbol": "NOW",
      "companyName": "ServiceNow Inc.",
      "primaryExchange": "New York Stock Exchange",
      "sector": "Technology",
      "open": 166.78,
      "openTime": 1522935000556,
      "close": 165.77,
      "changePercent": 0.00656,
       ...
     },
 ...}
```

```
var stockAPI = new sn_ws.RESTMessageV2('Stock Details', 'Default GET');
var response = stockAPI.execute();
var responseBody = response.getBody(); // obtain the source JSON document

/* Define the list of rules to use to transform the acquired JSON stock
 detail
information into a tabular table */

var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList() //
 instantiate the rule list object
  .fromJSON() // indicate that the source document is JSON
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol') // add a rule to copy the value
 in the "symbol" field of the source document to the ticker field in the
 output document (no changes)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent') // copy the
 "changePercent" field from source into the change_percentage field of
 output document
  .thenMultiply('100') // multiply the change_percentage value by 100
  .thenRoundDown('0') // addthen round it down to a whole number
  .addRule('close_price', '$.quote.close') // copy the "close" field to
 the close_price field in the 21=-[';output
  .thenAdaptCurrency('USD', false) // attach the US dollar code to the
 close_price field, but do not display the symbol
  .addRule('summary') // add a blank "summary" field to the output (no
 corresponding source field)
  .thenConcat('Shares of ') // in the summary field concatenate the
 string "Shares of "
  .thenConcatSymbol('ticker') // then concatenate the "ticker" field from
 the source document
  .thenConcat(' closed at ') // then concatenate the string " closed at "
  .thenConcatSymbol('close_price'); // then concatenate the "close_price"
 field from the source document

// Create a transformer definition that associates the rule list to use
 and the record path of the set of records in the source document to
 transform.
var path = '$.*';
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition(transformerRuleList, path);

// Instantiate the transformer object.
var transformer = new sn_tfrm.Transformer(transformerDefinition,
 responseBody);

// Transform the source data, one row at a time, until all rows are
 processed.
var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
}
```

出力：

```
 {ticker: "Now", change_percentage: "0", close_price: "165.77 USD",
 summary: "Shares of Now closed at 165.77" }
```

Transformer - Transformer(オブジェクト **transformerDefinition**, 文字列 **document)**

Transformer オブジェクト (コンストラクター) をインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
transformerDefinition	オブジェクト	コンテンツの変換を説明するオブジェクト。ルールリストと JSONPath/XPath レコードパスが含まれます。 このオブジェクトを生成するには、*`TransformerRuleList()`* および *`TransformerDefinition()`* API を使用します。
document	文字列	翻訳対象のソースドキュメント。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var stockAPI = new sn_ws.RESTMessageV2('Stock Details', 'Default GET');
var response = stockAPI.execute();
var responseBody = response.getBody();

var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .addRule('ticker', 'quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', 'quote.change')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', 'quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close')


var path = '$.*';
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition(transformerRuleList, path);
var transformer = new sn_tfrm.Transformer(transformerDefinition,
 responseBody);

var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
}
```

Transformer - getRow()

前回の変換の結果の行を返します (行が存在しない場合は null)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	変換されたデータの行またはノードを 1 つ含むオブジェクト。

```
var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
```

出力：

```
 {ticker: "Now", change_percentage: "0", close_price: "165.77 USD",
 summary: "Shares of Now closed at 165.77" }
```

Transformer - transform()

ソースドキュメント内の次に利用可能な行またはノードを変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	変換対象となる有効な次の行があるかどうかを示すフラグ。 • true：有効な次の行がある • false：それ以上の行がない

```
var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
```

出力：

```
 {ticker: "Now", change_percentage: "0", close_price: "165.77 USD",
 summary: "Shares of Now closed at 165.77" }
```

Transformer - スコープ指定、グローバル

Transformer API は、時系列データを操作して、評価と分析のためのデータを準備します。

この API は、スコープ対象のサーバースクリプトおよびグローバルサーバースクリプトで呼び出すことができます。*Transformer* クラスを使用する場合は、`sn_clotho`名前空間識別子を使用します。

一般的なユースケースでは、評価対象の期間を決定し、測定基準フィールドを持つテーブルからレコードを選択し、実行する変換のタイプを定義してから、変換を実行します。

```
// create the start and end time
       var start = new GlideDateTime();
 start.addSeconds(-1 * 60 * 60);
 var end = new GlideDateTime();

 //mb_demo_drone is a table with metric fields.
 var drones = new GlideRecord("mb_demo_drone");
 drones.addQuery("model", "Kingfisher Phantom");
 drones.query();

 //build a transform that returns a simple average
 var builder = new sn_clotho.Transformer(drones);
 builder.metric("mb_demo_mt_rem_battery").avg().label("Original");

 //execute transform and return result for visualization
 var result = builder.execute(start,end);
```

このクラスは、メトリックベース アプリケーションの一部です。

Transformer - Transformer(GlideRecord sourceRecords)

Transformer オブジェクトを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
sourceRecords	GlideRecord	測定基準が評価されるレコードが入ります。1 つまたは複数のレコードを指定できます。

```
//where drones is a GlideRecord created from a table with a metric field
 var builder = new sn_clotho.Transformer(drones);
```

Transformer - execute(GlideDateTime start, GlideDateTime end)

変換を実行します。

execute() を呼び出す前に、*metric()* および *groupBy()* メソッドを使用します。*execute()* メソッドは、Transformer の各オブジェクトに対して 1 回だけ呼び出すことができます。

変換の一環で実行されるアクションによって メトリックベース データベースのデータが変更されることはありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
start	GlideDateTime	評価対象の期間の最初。
end	GlideDateTime	評価対象の期間の最後。

返される内容

タイプ	説明
TransformResult	変換されたデータ。

```
var minutesAgoStart = 60;
 var end = new GlideDateTime();
 var start = new GlideDateTime(end);
 start.addSeconds(-1 * 60 * minutesAgoStart);

 // query subject records
 var grDrone = new GlideRecord('mb_demo_drone');
 grDrone.query();

 // building transform; get the average transforms of a metric, grouping
 by model
 var transformer = new sn_clotho.Transformer(grDrone);
 transformer.groupBy("fleet").metric("mb_demo_mt_altitude").avg().label('
avg - %g:fleet:');

 // execute and return result for visualization
 var tfrmResult = transformer.execute(start, end);
```

トランスフォーマー - groupBy(文字列フィールド)

データのグループ化に使用するフィールドを指定します。

groupBy() メソッドを使用する場合は、*execute()* メソッドを呼び出す前に must を呼び出す必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	変換結果をグループ化するために使用するテーブル内のフィールド。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換特性の指定に使用できる TransformPart オブジェクト。

```
var transformer = new sn_clotho.Transformer(grDrone);
var trnsfrm = transformer.groupBy("fleet");
```

Transformer - metric(文字列 **metricName)**

変換で使用する測定基準フィールドを指定します。

変換で使用する複数の測定基準を指定できます。*`execute()`* メソッドが呼び出された後に *`metric()`* メソッドを呼び出すことはできません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metricName	文字列	基準フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

```
var transformer = new sn_clotho.Transformer(grDrone);
var trnsfrm = transformer.metric("mb_demo_mt_altitude");
```

TransformerDefinition - スコープ指定、グローバル

`TransformerDefinition` API は、変換ルールリストとレコードパスを関連付ける TransformerDefinition オブジェクトをインスタンス化および管理するためのメソッドを提供します。

この API は、 *`Transformer`* API および *`TransformerRuleList`* API と連携します。 これらの API を組み合わせて、構造化された JSON ドキュメント内の XML ノードまたは任意のエンティティを、名前と値のペアの出力に変換します。文字列、数値、その他のアレイなど、アレイ内のオブジェクトと要素を含む、サポートされている JSON エンティティ。

- *`TransformerRuleList`* API を使用すると、ソースドキュメントのどのデータを出力に含めるか、およびソースデータをどのように変換するかを定義する変換ルールリストを作成できます。
- *`TransformerDefinition`* API は、変換ルールリストを JSON/XML レコードパスに関連付けて、再利用可能な変換定義オブジェクトを定義します。変換定義オブジェクトを使用して、1 つ以上のソースドキュメントを変換できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さらに、このオブジェクトは TransformerDefinition オブジェクトのレコードパスを取得可能にするメソッドを提供します。このオブジェクトに関連付けられた有効な TransformerRuleList が定義の中にあるかどうかを検証することもできます。

Transformer API は、指定された変換ルールリストを使用して、一度に 1 つのデータエンティティで実際のデータ変換を実行し、目的の出力データを作成します。

TransformerDefinition クラスは、スコープ指定、およびグローバルのサーバースクリプトで使用できます。このクラスを使用する際は、sn_tfrm 名前空間識別子を使用します。また、この API をインスタンスで使用するには、Transformation Service プラグイン (com.glide.transform) をアクティブ化する必要があります。

TransformerDefinition - TransformerDefinition(オブジェクト **transformerRuleList**, 文字列 **recordPath)**

TransformerDefinition オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
transformerRuleList	オブジェクト	このトランスフォーマー定義に関連付ける TransformerRuleList。
recordPath	文字列	オプション。ソースドキュメント内のレコードとして解析されるノードのコンテナー (親) を識別するパス (JSON の場合は JSONPath、XML の場合は XPath)。 JSON ドキュメントの場合、これらのノードは任意のオブジェクト、アレイ、または JSON プリミティブ (文字列、数値、ブーリアン) にすることができます。XML ドキュメントの場合、これらのノードはコンテナーの子要素です。 *recordPath* が指定されていない場合、ドキュメント全体が単一のレコードとして推測されます。JSON ドキュメントの場合、最上位ノードがアレイで *recordPath* が指定されていない場合、最上位アレイはレコードのコンテナーであり、その各エントリーはレコードです。

```
var stockAPI = new sn_ws.RESTMessageV2('Stock Details', 'Default GET');
var response = stockAPI.execute();
var responseBody = response.getBody();

var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .addSymbol('ticker', 'quote.symbol')
  .addSymbol('change_percentage', 'quote.change_change')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addSymbol('close_price', 'quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addSymbol('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close');


var path = '$.*'; // Transform all objects in the JSON document
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition(transformerRuleList, recordPath);
var transformer = new sn_tfrm.Transformer(transformerDefinition,
 responseBody);

var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
}
```

TransformerDefinition - TransformerDefinition(文字列 transformerDefinitionSysId)

既存のトランスフォーマー定義を使用して TransformerDefinition オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
transformerDefinitionSysID	文字列	トランスフォーマー定義のSys_id。レコードトランスフォーマー [sys_record_transformer] テーブルにあります。

この例では、指定されたsys_idに基づいて TransformerDefinition オブジェクトをインスタンス化します。

```
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition("7208b59743542110d4dc2c78c9b8f2e2");
```

TransformerDefinition - recordPath()

TransformerDefinition オブジェクトがインスタンス化されたときにこれが設定されている場合は、TransformerDefinition オブジェクトに関連付けられたソースデータファイルのレコードパスを返します。

レコードのパス (JSON の場合は JSONPath、XML の場合は XPath) は、ソースドキュメント内のレコードとして解析されるノードのコンテナー (親) を識別します。

JSON ドキュメントの場合、これらのノードは任意のオブジェクト、アレイ、または JSON プリミティブ (文字列、数値、ブール) にすることができます。XML ドキュメントの場合、これらのノードはコンテナーの子要素です。

recordPath が指定されていない場合、ドキュメント全体が単一のレコードとして推測されます。JSON ドキュメントの場合、最上位ノードがアレイで *recordPath* が指定されていない場合、最上位アレイはレコードのコンテナーであり、その各エントリーはレコードです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	設定されている場合は、トランスフォーマー定義に関連付けられたレコードパス。設定されていない場合は null を返します。

```
var path = '$.records';
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition(transformerRuleList, recordPath);
var transformer = new sn_tfrm.Transformer(transformerDefinition,
 responseBody);
.
.
.

var recordPath = transformerDefinition.recordfPath();

var results = [];
while (transformer.transform()) {
  results.push(transformer.getRow());
}
```

TransformerDefinition - validate()

有効な TransformerRuleList が TransformerDefintion オブジェクトに関連付けられているかどうかを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	有効な TransformerRuleList が指定の TransformerDefintion オブジェクトに関連付けられているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：有効な TransformerRuleList が関連付けられている • false：TransformerRulList が無効であるか関連付けられていない

```
var transformerDefinition = new
 sn_tfrm.TransformerDefinition(transformerRuleList, recordPath);
var transformer = new sn_tfrm.Transformer(transformerDefinition,
 responseBody);
.
.
.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
if (transformerDefinition.validate()) {

  var results = [];
  while (transformer.transform()) {
    results.push(transformer.getRow());
  }
}
```

TransformerRuleList - スコープ指定、グローバル

TransformerRuleList API を使用すると、さまざまなタイプの JSON および XML データを名前と値のペアの出力に変換するためのルールのリストを作成できます。

この API は、 *Transformer* API および *TransformerDefinition* API と連携します。 これらの API を組み合わせて、構造化された JSON ドキュメント内の XML ノードまたは任意のエンティティを、名前と値のペアの出力に変換します。文字列、数値、その他のアレイなど、アレイ内のオブジェクトと要素を含む、サポートされている JSON エンティティ。

- *TransformerRuleList* API を使用すると、ソースドキュメントのどのデータを出力に含めるか、およびソースデータをどのように変換するかを定義する変換ルールリストを作成できます。
- *TransformerDefinition* API は、変換ルールリストを JSON/XML レコードパスに関連付けて、再利用可能な変換定義オブジェクトを定義します。変換定義オブジェクトを使用して、1 つ以上のソースドキュメントを変換できます。
- *Transformer* API は、指定された変換ルールリストを使用して、一度に 1 つのデータエンティティで実際のデータ変換を実行し、目的の出力データを作成します。

TransformRuleList オブジェクトをインスタンス化するときは、 *.fromJSON()* メソッドと *.fromXML()* メソッドのどちらを使用して、JSON と XML のどちらのソースドキュメントを記述するかを定義する必要があります。例：

`var trl = sn_tfrm.TransformerRuleList().fromJSON();` または `var trl = sn_tfrm.TransformerRuleList().fromXML();`

次に、*addRule()* メソッドを使用して、名前と値のペアとして出力に含める、ソースドキュメント内の各要素の変換ルールを定義します。

setName() や *thenAdd()* などの「アダプターメソッド」を使用して、変換実行時のデータ要素の操作方法を定義します。アダプターメソッドは *addRule()* メソッドと連動します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。各データ変換には 1 つ以上のアダプターメソッドを適用できます。アダプターメソッドを使用すると、次のようなことができます。

- テキストを連結する。
- 加算、減算、除算、乗算などの数学関数を実行する。
- 値の切り上げや切り下げを行う (round up/down、ceiling/floor)。
- ソースデータ要素を指定された値と比較するときに最小値と最大値のどちらを使用するかを定義する。
- 通貨コードを適用する。
- 異なる測定単位の間で変換する。
- データ要素をフォーマットする。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パターンを適用する。
- 指定されたデータ要素を指定された値に置き換える。
- 文字列を分割および再配置する。

TransformerRuleList クラスは、スコープ指定、およびグローバルのサーバースクリプトで使用できます。スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用する際は、`sn_tfrm` 名前空間識別子を使用します。また、この API をインスタンスで使用するには、Transformation Service プラグイン (com.glide.transform) をアクティブ化する必要があります。

TransformerRuleList - addRule(文字列 rule, 文字列 path)

関連する変換ルールリストに、出力内に作成するフィールドを定義するためのエントリーを作成します。

ソースドキュメント内の任意の要素に対してルールを作成できます。たとえば、`.addRule('ticker', '$.quote.symbol')` では、出力に「ticker」というフィールドを作成し、ソースの quote.signbol の値をコピーします。

addRule() を使用してルールを定義した後、*thenAdd()*、*thenReplace()*、および *thenFloor()* などのアダプターメソッドを使用して、ルールの出力データを操作します。1 つのルールに必要な数のアダプターメソッドを定義できます。*addRule()* の呼び出しの直後から次の *addRule()* の呼び出しまでのすべてのアダプターメソッドが、そのルールに適用されます。アダプターメソッドは累積され、すべてのアダプターメソッドの結果の最終値が出力フィールドに保存されます。

例えば、次のコードスニペットでは、*thenMultiply()* と *thenRoundDown()* が *addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')* に適用され、*addRule('close_price', '$.quote.close')* で新しいルールが開始されます。*$.quote.changePercent* 内の値が .011 の場合、最終的な出力値は「1」 (.011 * 100 が一の位に切り捨てられたもの) です。

```
.addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
.thenMultiply('100')
.thenRoundDown('0')
.addRule('close_price', '$.quote.close')
```

addRule() メソッドは *summary* パラメーター `.addRule('summary')` もサポートしています。この実装では、出力内に名前フィールド「summary:」が作成されますが、ソースのフィールドに関連付けられません。その後、*thenConcat()* および *thenConcatSymbol()* のアダプターメソッドを使用して、サマリーフィールドの内容を変更できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rule	文字列	宛先の出力での要素の名前。
path	文字列	オプション。ソースドキュメント内のデータ要素への JSONPath または XPath。 ルールに対して他のアダプターメソッドが定義されていない場合、*thenConcat()* および *thenConcatSymbol()* のアダプターメソッドでは 、このパラメーターを定義す

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		る必要はありません。他のすべてのアダプターメソッドにはこのパラメーターが必要です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

TransformerRuleList - setName(文字列 **name)**

ログ記録のために、関連する TransformerRuleList オブジェクトの名前を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	関連する TransformerRuleList オブジェクトの識別に使用する名前。 API ではこの名前は強制されませんが、インスタンス内に固有のものがあると便利です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

TransformerRuleList - thenAdaptCurrency(文字列 **currencyCode**, ブーリアン **outputNumericCurrencyValue)**

関連する *addRule()* 呼び出しで定義された出力フィールドに指定された通貨コードを関連付けるアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
currencyCode	文字列	USD、EUR、GBP などの宛先データ要素に関連付ける通貨コード。
outputNumericCurrencyValue	ブーリアン	オプション。通貨コードを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：国コードは表示せず数値のみ表示する • false：国コードを表示する デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TransformerRuleList - thenAdaptDuration(文字列 **inputDuration**, 文字列 **outputDuration)**

ソースフィールドをある測定単位から別の測定単位 (分から秒、週から日など) に変換するアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、`addRule()` メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、`addRule()` メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputDuration	文字列	ソースフィールドの現在の測定単位。 有効な値： • NANOSECOND • MICROSECOND • MILLISECOND • SECOND • MINUTE • HOUR • 日 • WEEK
outputDuration	文字列	出力でのソースフィールドの変換先となる測定単位。 有効な値： • NANOSECOND • MICROSECOND • MILLISECOND • SECOND • MINUTE • HOUR • 日 • WEEK

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('daily', '$.quote.weekly')
  .thenAdaptDuration('WEEK', 'DAY');
```

TransformerRuleList - thenAdd(数字 operand)

渡された値をソースフィールドに追加するアダプターを現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	番号	ソースフィールドに追加する値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList.fromJSON()
  .setName('Stock Report 05182019 JSON')
  .addSymbol('ticker', '$.symbol')
  .addSymbol('change_percentage', '$.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addSymbol('trade_price', '$.current_price')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addMultiply('$.trade_quantity')
  .thenAdd('4.5');
```

TransformerRuleList - thenApplyMap(オブジェクト map)

関連付けられたソースフィールドで文字列のリストを検索し、出力内でその文字列を指定された置換値で置き換えるアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
map	オブジェクト	名前と値のペア。 • name：ソースデータ要素内で検索するテキスト • value：出力内で置き換えるテキスト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

この例では、*thenApplyMap()* の呼び出しが [company_info] フィールド内のソーステキストで「Inc.」と「St.」を検索し、出力内の [company_info] フィールド内でそれを「Incorporated」と「Street」に置き換えます。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('company_info', '$.quote.company_info')
  .thenApplyMap({'Inc.': 'Incorporated', 'St.': 'Street'});
```

TransformerRuleList - thenApplyPattern(文字列 **matchPattern**, 文字列 **outputPattern)**

指定された正規表現パターンをソースフィールドの内容と照合し、その内容を 2 番目の正規表現パターンで置換または再フォーマットして、値を出力内に格納するアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
matchPattern	文字列	置換または再フォーマットするテキストの検索に使用する正規表現パターン。
outputPattern	文字列	見つかったテキストの更新に使用する正規表現パターン。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

この例では、「Inc.」で終わる会社名を「Incorporated」に変換 (「Company Inc.」を「Company Incorporated」など) します。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('company', '$.quote.company')
  .thenApplyPattern('(.+)(\\w{3}\\.)', '$1Incorporated');
```

TransformerRuleList - thenCeiling(数字 operand)

渡された値で指定された小数点以下の桁でソースフィールドを切り上げるアクションを、現在のルールに追加します。

指定された小数点以下の桁数の値に基づいて単純に数字を丸める (四捨五入) のではなく、ceiling では常に切り上げます。例えば、2.156 と 2.152 の ceiling 値は、渡された値が小数点以下 2 桁であれば常に 2.16 です。一方、単純に丸めた場合、値はそれぞれ 2.16 と 2.15 になります。負の数の場合、ceiling 演算では数値が正に近くなり、-2.156 の ceiling 値は -2.15 です。一方、同じ数値を切り上げると、値はより負の値 (-2.16) になります。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	小数点より右側の、数値を切り上げる (ceiling を適用する) 小数部の桁。 例えば、この値が 2 で、ソースデータ要素が 6.421 の場合、結果の値は 6.43 です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Mortgage Rates 05022019 JSON')
  .addRule('interest_rate', '$.quote.interest_rate')
  .thenCeiling('2') // Always round the interest rate up to the
 hundredths place
  .addRule('monthly_payment', '$.quote.total_loan_amount')
  .thenDivideBy('180');
```

TransformerRuleList - thenConcat(文字列 value)

渡された文字列を出力フィールドに連結するアダプターを、現在のルールに追加します。

他のアダプターメソッドと異なり、このメソッドはソースフィールドに適用する必要はありません。この方法を使用して、出力内にまったく新しいデータ文字列を作成できます。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	現在のデータ要素の末尾に連結するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

TransformerRuleList - thenConcatSymbol(文字列 **symbol)**

ルールリストで以前に定義されたフィールドの値を現在の出力フィールドに連結するアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
symbol	文字列	出力フィールドに追加するルールリスト要素の名前。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

TransformerRuleList - thenDivideBy(数字 operand)

ソースフィールドを渡された値で割るアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、`addRule()` メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、`addRule()` メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースフィールドを割る値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('dividend_per_share', '$.quote.total_dividend')
  .thenDivideBy('$.quote.total_shares');
```

TransformerRuleList - thenDivideInto(数字 operand)

渡された値をソースフィールドで割るアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、`addRule()` メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、`addRule()` メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースフィールドで割る値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('dividend_per_share', '$.quote.total_shares')
  .thenDivideInto('$.quote.total_dividends');
```

TransformerRuleList - thenFloor(数字 **operand)**

渡された値で指定された小数点以下の桁でソースフィールドを切り捨てて、その値を出力に格納するアクションを、現在のルールに追加します。

指定された小数点以下の桁数の値に基づいて単純に数字を丸める (四捨五入) のではなく、floor では常に切り捨てます。例えば、2.156 と 2.152 の floor 値は、渡された値が小数点以下 2 桁であれば常に 2.15 です。一方、単純に丸めた場合、値はそれぞれ 2.16 と 2.15 になります。負の数の場合、floor 演算では数値がより負の値になり、-2.156 の floor 値 は -2.16 です。一方、同じ数値を切り捨てると、値は正に近い値 (-2.15) になります。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	小数点より右側の、数値を切り捨てる (floor を適用する) 小数部の桁。 例えば、この値が 2 で、ソースデータ要素が 6.427 の場合、結果の値は 6.42 です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Mortgage Rates 05022019 JSON')
  .addRule('interest_rate', '$.quote.interest_rate')
  .thenFloor('2') // Always round the interest rate down to the hundreths
 place
  .addRule('monthly_payment', '$.quote.total_loan_amount')
  .thenDivideBy('180');
```

TransformerRuleList - thenFormat(文字列 **matchPattern**, 文字列 **outputPattern)**

指定された照合パターンに一致するソースフィールドの内容を指定された出力パターンで再フォーマットするアダプターを、現在のルールに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、`addRule()` メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、`addRule()` メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
matchPattern	文字列	ソースフィールドと照合するパターン。 有効な値： • @：任意の文字 • #：10 進数 • \：リテラルエスケープ (@ 記号の場合は \@)
outputPattern	文字列	出力内の内容に置き換えるパターン。 有効な値： • @：任意の文字 • #：10 進数 • \：リテラルエスケープ (@ 記号の場合は \@)

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

この例では、見積もり日を YYYY/MM/DD から YYYY MM-DD に再フォーマットします。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('date', '$.quote.date')
  .thenFormat('####/##/##', '#### ##-##');
```

TransformerRuleList - thenMax(数字 operand)

渡された値をソースフィールドと比較し、2 つの値のうち大きい方を出力フィールドにコピーするアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、`addRule()` メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、`addRule()` メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースフィールドと比較する値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Mortgage Rates 05022019 JSON')
  .addRule('lowest_interest_rate', '$.quote.interest_rate')
  .thenMax('3.5') // Interest rate cannot be less than 3.5%
  .addRule('dividend_per_share', '$.quote.total_shares')
  .thenDivideInto('$.quote.total_dividends');
```

TransformerRuleList - thenMin(数字 **operand)**

渡された値をソースフィールドと比較し、2 つの値のうち小さい方を出力フィールドにコピーするアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースフィールドと比較する値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addSymbol('broker_fee_percentage', '$.quote.broker_fee')
  .thenMin('10') // Maximum of 10% broker fee
  .addSymbol('dividend_per_share', '$.quote.total_shares')
  .thenDivideInto('$.quote.total_dividends');
```

TransformerRuleList - thenMultiply(数字 **operand)**

ソースフィールドに渡された値を乗じるアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースフィールドに乗じる値。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('summary')
  .thenConcat('Shares of ')
  .thenConcatSymbol('ticker')
  .thenConcat(' closed at ')
  .thenConcatSymbol('close_price');
```

TransformerRuleList - thenReplace(文字列 **matchString**, 文字列 **replaceString)**

ソースフィールド内から指定した文字列に一致するテキストをすべて検索し、更新された文字列に置き換えるアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
matchString	文字列	置き換えるテキストを識別するためにソースフィールドと照合する文字列。
replaceString	文字列	一致するテキストに置き換える文字列。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

この例では、「Inc.」で終わる会社名を「Incorporated」に変換 (「Company Inc.」を「Company Incorporated」など) します。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('company', '$.quote.company')
  .thenReplace('Inc.', 'Incorporated');
```

TransformerRuleList - thenRoundDown(数字 operand)

渡された値で指定された小数点以下の桁でソースフィールドを切り捨てるアダプターを、現在のルールに追加します。

負の数の場合、*thenRoundDown()* メソッドでは数値が正に近い数になります。すなわち、-2.156 を切り捨てると -2.15 になります。*thenFloor()* メソッドでは、同じ数値がより負の数 (-2.16) になります。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	小数点より右側の、数値を切り捨てる小数部の桁。 例えば、この値が 2 で、ソースデータ要素が 6.427 の場合、結果の値は 6.42 です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList90
  .fromJSON()
  .setName('Mortgage Rates 05022019 JSON')
  .addRule('interest_rate', '$.quote.interest_rate')
  .thenRoundDown('2') // Always round the interest rate down to the
 hundredths place
  .addRule('monthly_payment', '$.quote.total_loan_amount')
  .thenDivideBy('180');
```

TransformerRuleList - thenRoundUp(Number オペランド)

渡された値で指定された小数点以下の桁でソースデータ要素を切り上げるアダプターを、現在のルールに追加します。

負の数の場合、*thenRoundUp()* メソッドでは数値がより負の数になります。すなわち、-2.156 を切り上げると -2.16 になります。*thenCeiling()* メソッドでは、同じ数値が正に近い数 (-2.15) になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	小数点より右側の、数値を切り上げる小数部の桁。 例えば、この値が 2 で、ソースデータ要素が 6.422 の場合、結果の値は 6.43 です。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Mortgage Rates 05022019 JSON')
  .addRule('interest_rate', '$.quote.interest_rate')
  .thenRoundUp('2') // Always round the interest rate up to the
 hundredths place
  .addRule('monthly_payment', '$.quote.total_loan_amount')
  .thenDivideBy('180');
```

TransformerRuleList - thenSplit(文字列 splitPattern, 文字列 replaceString)

ソースフィールド内の文字列を分割、再編成、および置換して出力フィールドに保存するアダプターを、現在のルールに追加します。

splitPattern パラメーターは、ソーステキストの文字列をセグメントに分割する方法を示します。このパラメーターは、スペース (「 」)、カンマ (「,」)、セミコロン (「;」) などの一般的な文字区切りに設定できます。また、「name」などの任意の文字列を指定することもできます。例えば、ソーステキストが「Smith John Michael」で *splitPattern* がスペースの場合、利用可能なセグメントは「Smith」、「John」、および「Michael」です。セグメントを参照するには、$# を使用します。この # はソーステキスト文字列内のセグメントの順序番号です。例えば、メソッド呼び出しが `thenSplit(' ', '$2 $3 $1')` の場合、出力は「John Michael Smith」になります。さらに、出力パターン内に `thenSplit(' ', 'First name: $2 Middle name: $3 Last name: $1')` などの定数を追加できます。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
splitPattern	文字列	テキストをセグメントに分割する方法を示す文字列。
replaceString	文字列	セグメント参照と定数を含む出力文字列を定義する文字列。すべてのセグメントを参照する必要はありません。 *splitPattern* で定義されたセグメントは $# を使用して参照します。この # はソースデータ要素内のセグメントの順序番号です。ソースデータ要素全体を参照するには、$0 を使用します。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

この例では、ソースデータの中では CEO の名前が姓名の順で、出力ではそれが名姓の順に変換されます。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock Report 05022019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('CEO', '$.quote.CEO')
  .thenSplit(',', '$2 $1');
```

TransformerRuleList - thenSubtract(数字 **operand)**

渡された値をソースフィールドから減算し、その値を出力フィールドに格納するアダプターを、現在のルールに追加します。

注: これはアダプターメソッドであり、単独では使用できません。アダプターメソッドは、*addRule()* メソッドと連携して機能します。これらは、書式設定、丸め、パターンの適用など、*addRule()* メソッドによって定義された出力フィールドに適用する調整を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
operand	数字	ソースデータ要素から減算する値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	現在の TransformerRuleList オブジェクト。

```
var transformerRuleList = new sn_tfrm.TransformerRuleList()
  .fromJSON()
  .setName('Stock 05182019 JSON')
  .addRule('ticker', '$.quote.symbol')
  .addRule('change_percentage', '$.quote.changePercent')
  .thenMultiply('100')
  .thenRoundDown('0')
  .addRule('close_price', '$.quote.close')
  .thenAdaptCurrency('USD', false)
  .addRule('trade_price', '$.quote.current_price')
  .addMultiply('$.quote.trade_quantity')
  .thenSubtract('$.quote.discount_dollars');
```

TransformPart - スコープ指定、グローバル

TransformPart API には、実行する変換の詳細を指定するメソッドが用意されています。

このクラスは、スコープ対象のサーバースクリプトおよびグローバルサーバースクリプトで呼び出すことができます。*TransformPart* クラスを使用する場合は、sn_clotho名前空間識別子を使用します。

このクラスにはコンストラクターはありません。TransformPart オブジェクトは、多くの *Transformer* メソッドと *TransformPart* メソッドによって返されます。

このクラスのメソッドで、実行する変換を定義します。実際の変換は、 *Transformer* オブジェクトで *execute()* メソッドが呼び出されたときに行われます。

TransformPart メソッドが呼び出される順序が重要となります。

- 変換メソッドを呼び出す前に、*metric()* メソッドを呼び出す必要があります。
- 変換メソッドを呼び出した後に *metric()* または *groupBy()* メソッドを使用することはできません。
- 必要な中間結果に対して *collect()* メソッドが呼び出されないと、中間変換が結果として返されません。

```
// where tp is a TransformPart object
// example 1
tp.avg().add(2);
var tr = tp.execute();
// tr contains avg+2, but not avg

// example 2
tp.avg().add(2);
tp.avg();
var tr = tp.execute();
// tr contains both avg and avg + 2

// example 3
tp.avg().collect().add(2);
var tr = tp.execute();
// tr contains both avg and avg + 2
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このクラスは、メトリックベース アプリケーションの一部です。

TransformPart - add(数値 constant)

指定された数字を各タイムスタンプの値に加算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
constant	数字	各タイムスタンプの値に加算する数字。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - avg()

選択した測定基準系列を、各タイムスタンプに対する平均値を含む 1 つの系列に集計します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - bottom(数字 count)

タイムスタンプごとに指定された数の下限値を返す結果セットを作成します。このメソッドでは系列の「count」の数値が得られます。それぞれの値には、その値のソース系列のラベルが保持されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	返される系列の数。系列には -1 をカウントする 0 のラベルが付きます。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - ceil(数字 certification)

指定の値より大きいタイムスタンプの値を、指定の値に置き換えます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ceiling	数字	タイムスタンプに対する最大許容値。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - collect()

この変換を収集対象としてマークします。

チェーンの一部であるが最後の変換でない変換は、デフォルトでは収集されません。収集された変換は、変換結果の一部として返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - count()

選択した測定基準系列を、各タイムスタンプに対する値の数を含む 1 つの系列に集計します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - div(数字 **constant)**

各タイムスタンプの値を、指定した数字で割ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
constant	数字	各タイムスタンプの値を割る数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - filter(オブジェクト **aggregator**, オブジェクト **duration)**

指定された期間の指定された集計を使用して系列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregator	オブジェクト	設定可能なオブジェクトは次のとおりです。 • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV これらのオプションの定義については、「メトリックベース変換」を参照してください。
期間	オブジェクト	系列の期間。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - floor(数字 **floor)**

指定の値より小さいタイムスタンプの値を、指定の値に置き換えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
floor	数字	タイムスタンプに対する最小値。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - fractiles(アレイ **fractions)**

値の指定したパーセント値が下回る値で構成される系列を作成します。指定したアレイ内の各小数部の系列を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される系列のタイムスタンプ内の値は、そのタイムスタンプのサンプルの指定された小数部を上限とする値です。例えば、小数が 0.5 の場合、タイムスタンプの値は、入力された系列の値の半分を上限とする値 (中央値) となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fractions	数値のアレイ	入力系列で使用する小数部。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。指定された小数部それぞれに 1 つの系列が含まれます。

```
// returns a single series containing the median for each time stamp,
 which
// means that half a time stamp's values are below the returned value
fractiles([.5])
// returns four series, one series for each of the 25%, 50%, 75%, and
 100% quartiles
fractiles([.25, .5, .75, 1])
// returns the median, 95% percentile, the max value
fractiles([.50, .95, 1])
```

TransformPart - getResult()

この変換に関連する結果の部分を返します。

collect() メソッドは *execute()* メソッドの前に呼び出す必要があり、*execute()* メソッドは *getResult()* メソッドの前に呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformResult	変換のこの部分に関連付けられた変換結果が入ります。

```
var t = new sn_clotho.Transformer(drones);
t.metric("mb_demo_mt_altitude");
var avgTform = t.avg();
t.execute();
var avgTformResult = avgTform.getResult();
```

TransformPart - groupBy(文字列 field)

データのグループ化の基準となるフィールドを指定します。複数のフィールドを指定するには、呼び出しを個別に連続して実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 変換が実行された後に *groupBy()* メソッドを呼び出すことはできません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	変換結果をグループ化する際の基準となるテーブル内のフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる *TransformPart* オブジェクト。

次の例では、フリートフィールドとモデルフィールドを基準に高度の平均測定基準をグループ化する方法を示します。

```
transformer.groupBy("fleet,model").metric("mb_demo_mt_altitude").avg().la
bel('%g:fleet: - %g:model:');

var transformPart = transformer.groupBy("fleet,model")

transformPart.metric("mb_demo_mt_altitude").avg().label('%g:fleet: -
 %g:model:');
```

TransformPart - interpolate(オブジェクト **count)**

隣接するデータ値から挿入して NaN データアイテムのデータ値を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	オブジェクト	非 NaN 値をチェックする各方向のデータサンプルの数を指定します。NaN 以外の値が見つからない場合は、NaN が使用されます。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - iqr()

四分位範囲変換を実行します。

4 つの系列の結果セットを作成します。

- IQR (すべてのエントリーの中央値)
- IQR 範囲 (Q1-1.5IQR 未満、または Q3+1.5IQR より上)
- Q1 (エントリーの最小の半分の中央値)
- Q3 (エントリーの最大の半分の中央値)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - label(文字列 **label)**

結果の系列のラベルを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
label	文字列	変換結果のラベル。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - limit(オブジェクト **count)**

最後の非 NaN 値から始めて、指定された値の最大数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	オブジェクト	多数のタイムスタンプ。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - log(数字 **base)**

各タイムスタンプの値に対して対数計算を実行します。結果は、タイムスタンプ値の指定された基準値のログです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
base	数字	対数計算の基準。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - max()

各タイムスタンプの最大値を含む系列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - median()

系列のセット全体での各タイムスタンプの値の中央値を含む系列を作成します。

TranformPart オブジェクトに n 個の系列があって、n が奇数の場合、タイムスタンプに対する (n / 2 + 1) の値が中央値となります。n が偶数の場合、タイムスタンプに対する (n / 2) の値と (n / 2 + 1) の値の平均が中央値となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - metric(文字列 **metric)**

変換で使用する測定基準フィールドを指定します。

変換で使用する複数の測定基準を指定できます。変換が実行された後に *`metric()`* メソッドを呼び出すことはできません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
metric	文字列	基準フィールドの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - min()

各タイムスタンプの最小値を含む系列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - mul(数字 **constant)**

各タイムスタンプの値を指定された数値で乗算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
constant	数字	各タイムスタンプの値に乗じる数。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - partition(文字列 **aggregator, GlideDateTime duration, GlideDateTime base)**

系列を同じ期間の間隔に分割します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregator	文字列	使用する集計。min、max、avg、または last を指定できます。
duration	GlideDateTime または ISO 8601 形式の文字列	間隔の長さ。
base	GlideDateTime または ISO 8601 形式の文字列	パーティショニングに使用するゼロオフセット。例えば、日 (24 時間) で分割するには、この基準を自身のタイムゾーンの月曜日の午前 0 時に設定します。30 日ごとに分割する場合は、基準を最新の月の 1 日に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - resample(数字 **count)**

結果に含めるデータポイントの数を指定します。

指定の範囲内に固定数のデータポイントで系列を配置します。元の系列のデータポイント数が指定より多い場合は、複数の値が平均されます。元の系列のデータポイント数が指定より少ない場合は、既存のデータポイント間にデータポイントを補間することでデータポイントが追加されます。

`resample()` メソッドを使用することで、結果のサンプル数を減らし、表示するサンプル数により近い値にすることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	結果に含めるサンプルの数。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - resample(数字 **min**, 数字 **max)**

結果に含めるサンプルの最少数と最大数を指定します。

このメソッドは、さまざまな期間 (粒度) で系列を表示する場合に便利です。

このメソッドで系列ごとの平均ポイント数が決定されます。その数が指定された最小値と最大値の間に収まる場合、各系列はその平均ポイント数にリサンプルされます。計算された平均が指定の最大値より大きいか指定の最小値より小さい場合は、指定された最大値または最小値が使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
min	数字	結果に含めるサンプルの最小数。十分なサンプルがない場合は、補間を使用してサンプルが作成されます。
max	数字	結果に含めるサンプルの最大数。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TransformPart - resample(文字列 aggregator, 数字 numValues)

指定されたサイズの結果セットを作成するために使用する集計関数を指定します。集計関数は、LAST、AVG、MIN、MAX のいずれかに指定できます。

`resample()` メソッドを使用することで、結果のサンプル数を減らし、表示するサンプル数により近い値にすることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregator	文字列	LAST、AVG、MIN、または MAX を指定できます。
numValues	数字	結果セットに含めるサンプルの数。 要求された値の数が要求された期間のデータ内の値の数よりも多い場合は、`interpoate()` を使用して既存のポイント間で値を追加し、要求された値の数に合わせます。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - resample(文字列 aggregator, GlideDuration duration)

指定された期間の結果セットを作成するために使用する集計関数を指定します。集計関数は、LAST、AVG、MIN、MAX のいずれかに指定できます。

基になるデータを要求された期間にリサンプルします。

- 時系列が 1 分間隔で保存され、`resample(AVG, new GlideDuration("1:00"))` が呼び出された場合、結果には前の 60 件の値の平均を反映したデータポイントが 1 時間あたり 1 つできます。
- 要求された期間がデータの期間よりも短い場合、途中のデータポイントが補間によって計算されます。

`resample()` メソッドを使用することで、結果のサンプル数を減らし、表示するサンプル数により近い値にすることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aggregator	文字列	LAST、AVG、MIN、または MAX を指定できます。
duration	GlideDuration	結果セットの期間。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - round(数字 **precision)**

各タイムスタンプの値を指定された精度に丸めます。

それぞれの値でこの計算を実行します。

```
(v / precision) * precision
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
precision	数字	丸め計算で使用される値。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - stddev()

系列のセット全体の各タイムスタンプの値の標準偏差を含む系列を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - sub(オブジェクト **constant)**

指定された数字を各タイムスタンプの値から減算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
constant	オブジェクト	各タイムスタンプの値から減算する数字。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TransformPart - sum()

選択した測定基準系列を、各タイムスタンプに対するすべての値の合計を含む 1 つの系列に集計します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformPart - top(数字 count)

タイムスタンプごとに指定された数の上限値を返す結果セットを作成します。このメソッドでは系列の「count」の数値が得られます。それぞれの値には、その値のソース系列のラベルが保持されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
count	数字	返される系列の数。系列には -1 をカウントする 0 のラベルが付きます。

返される内容

タイプ	説明
TransformPart	変換の特性を指定するために使用できる TransformPart オブジェクト。

TransformResult - スコープ指定、グローバル

TransformResult API は、時系列データに対して実行された変換の結果を返すメソッドを提供します。

この API は、スコープ指定のスクリプトでもグローバルサーバーのスクリプトでも使用できます。スコープ対象のアプリケーションで *Transformer* クラスを使用する際は、`sn_clotho` 名前空間識別子を使用します。

このクラスにはコンストラクターはありません。TransformResult オブジェクトは、数多くの *TransformPart* メソッドによって返されます。

このクラスは、メトリックベース アプリケーションの一部です。

TransformResult - byGroup()

Data オブジェクトのアレイを返します。変換に対してグループが指定されていない場合はエラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	Data オブジェクトのアレイ。各オブジェクトが 1 つのグループに対応します。

TransformResult - getByLabel(文字列 **label)**

指定されたラベルの変換済みデータを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
label	文字列	取得するデータを識別するラベル。

返される内容

タイプ	説明
データ	変換結果を含む Data オブジェクト。

TransformResult - getData()

単一の Data オブジェクトを返します。結果が空の場合は null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
データ	変換結果を含む Data オブジェクト。

TransformResult - toArray()

変換されたデータをアレイとして返します。このメソッドで Data オブジェクトをアレイに変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	アレイとしてフォーマットされた Data オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TroubleTicketNotificationUtilOOB :スコープ指定

TroubleTicketNotificationUtilOOB スクリプトインクルードは、トラブルチケット通知イベントの TMF 準拠のペイロードを定義および生成するために使用されるメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードのメソッドを次のようにオーバーライドします。

- 既存のトラブルチケットイベントタイプに属性を追加/削除します。
- 新しいトラブルチケットイベントタイプの属性を定義します。

詳細については、「プロデューサーイベント通知フレームワークを使用したトラブルチケット通知の構成」を参照してください。

このスクリプトインクルードは 、sn_ind_tsm_sdwan 名前空間内で実行されます。

呼び出し元ユーザーには、ticket_integrator ロールが必要です。

TroubleTicketNotificationUtilOOB - addAdditionalEventAttributes(オブジェクト tmfEventPayload)

渡された TMF トラブルチケットイベントペイロードにカスタムイベントヘッダー属性を追加します。このメソッドによって追加された属性は、すべてのトラブルチケットイベントのイベントレベルヘッダーに追加されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tmfEventPayload	オブジェクト	TMF 準拠のトラブルチケットイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、「TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification v5.0.0」および「TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
constructTMFEvent: function(eventId) {
  var troubleTicketEvent = {};
  if (gs.nil(eventId)) {
    troubleTicketEvent.eventId = gs.generateGUID();
  } else {
    troubleTicketEvent.eventId = eventId;
  }
  troubleTicketEvent['@type'] = Constants.EVENT_TYPE_TROUBLE_TICKET;
  this.addAdditionalEventAttributes(troubleTicketEvent);
  return troubleTicketEvent;
},
```

TroubleTicketNotificationUtilOOB - constructTMFEvent(文字列 eventId)

ペイロードのイベントセクションに TMF688 準拠のヘッダー属性を生成します。これらの属性は、すべてのイベントペイロードで一貫しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの実装では、このメソッドは *eventId* ヘッダー属性と *@type* ヘッダー属性を追加します。

このメソッドは、ヘルパーメソッド *addAdditionalEventAttributes()* を呼び出します。このメソッドでは、他のヘッダー属性をイベントペイロードに追加できます。詳細については、「トラブルチケットイベントペイロードの変更」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventId	文字列	関連付けられたイベントの一意の識別子。これは任意の一意の値にすることができます。既定の実装では、イベント ID を渡さない場合、値はシステムによって生成された GUID に設定されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	イベントレベルの属性が設定された TMF ペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0』を参照してください。

次のコード例は、トラブルチケット属性変更ペイロードを生成するときに、このメソッドを呼び出してイベントヘッダー属性を構築する方法を示しています。

```
generateTroubleTicketAttributeChangePayload: function(incidentGr,
 eventType, eventId) {
  var tmfEventPayload = this.constructTMFEvent(eventId);
  tmfEventPayload.eventType = eventType;
  tmfEventPayload.event =
 this.addAttributeChangeTroubleTicketAttributes(incidentGr);

  return tmfEventPayload;
},
```

TroubleTicketNotificationUtilOOB - generateCreateTroubleTicketEventPaylaod(オブジェクト incidentGr, 文字列 eventType, 文字列 eventId)

関連するインシデントのトラブルチケットの作成イベントタイプの TMF 準拠のペイロードを構築します。

このメソッドは、関連するイベントタイプ が「TroubleTicketCreateEvent」TROUBLE_TICKET_CREATE場合に実行されます。このメソッドは、次の 2 つのヘルパー メソッドを呼び出します。

- *constructTMFEvent():*イベントヘッダー属性 (TMF688) をペイロードに追加します。
- *addCreateTroubleTicketAttributes():*このメソッドをオーバーライドして、必須とオプションの両方のトラブルチケット属性 (TMF621) をペイロードに追加します。このメソッドは、既定の実装の単なるスタブです。

TroubleTicketNotificationUtil スクリプトインクルードでこれらのヘルパーメソッドを上書きして、TMF 準拠のペイロードでイベントヘッダーとトラブルチケット属性の両方を設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
incidentGr	オブジェクト	トラブルチケットイベントが生成される原因となった JSON 形式の Glide レコード。この Glide レコードの情報を使用して、TMF621 準拠のトラブルチケットイベントペイロードを作成します。
eventType	文字列	関連付けられたトラブルチケットイベントタイプの一意の識別子。このメソッドのデフォルト実装では、これは常に `"TroubleTicketCreateEvent"` です。 すべての基本トラブルチケットイベントタイプのリストについては、 *sn_api_notif_mgmt* の *Constants.EVENT_TYPES* を参照してください 。定数 スクリプトインクルードファイル。
eventId	文字列	関連付けられたイベントの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	TMF 準拠のトラブルチケットイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、「TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification v5.0.0」および「TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0」を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
  var eventPayload;
  switch (eventType) {
    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaod(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaodForCase(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    default:
      this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find
 the matching payload generator");
      eventPayload = null;
  }
return eventPayload;
},
```

TroubleTicketNotificationUtilOOB:generateCreateTroubleTicketEventPaylaodForCase(オブジェクト **incidentGr**, 文字列 **eventType**, 文字列 **eventId)**

関連付けられたケースのトラブルチケット作成イベントタイプの TMF 準拠のペイロードを構築します。

このメソッドは、関連するイベントタイプ が「TroubleTicketCreateEventForCase」TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE場合に実行されます。このメソッドは、次の 2 つのヘルパー メソッドを呼び出します。

- *constructTMFEvent():*イベント属性 (TMF688) をペイロードに追加します。
- *addCreateTroubleTicketAttributesForCase():*このメソッドをオーバーライドして、トラブルチケット属性 (TMF621) (必須とオプションの両方) をペイロードに追加します。このメソッドは、既定の実装の単なるスタブです。

TroubleTicketNotificationUtil スクリプトインクルードでこれらのヘルパーメソッドを上書きして、TMF 準拠のペイロードでイベントヘッダーとトラブルチケット属性の両方を設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
incidentGr	オブジェクト	トラブルチケットイベントが生成される原因となった JSON 形式の Glide レコード。この Glide レコードの情報を使用して、TMF621 準拠のトラブルチケットイベントペイロードを作成します。
eventType	文字列	関連付けられたトラブルチケットイベントタイプの一意の識別子。このメソッドのデフォルト実装では、これは常に "TroubleTicketCreateEvent"です。 すべての基本トラブルチケットイベントタイプのリストについては、 *sn_api_notif_mgmtの Constants.EVENT_TYPES* を参照してください 。定数 スクリプトインクルードファイル。
eventId	文字列	関連付けられたイベントの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	TMF 準拠のトラブルチケットイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、「TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification v5.0.0」および「TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0」を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
  var eventPayload;
  switch (eventType) {
    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaod(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaodForCase(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    default:
      this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find
 the matching payload generator");
      eventPayload = null;
  }
return eventPayload;
},
```

TroubleTicketNotificationUtilOOB - generateTroubleTicketAttributeChangePayload(オブジェクト **incidentGr**, 文字列 **eventType**, 文字列 **eventId)**

インシデントイベントタイプのトラブルチケット属性変更イベントの TMF 準拠のペイロードを構築します。

このメソッドは、関連するイベントタイプ が「TroubleTicketAttributeChangeEvent」TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE場合に実行されます。このメソッドは、次の 2 つのヘルパー メソッドを呼び出します。

- *constructTMFEvent():*イベント属性 (TMF688) をペイロードに追加します。
- *addAttributeChangeTroubleTicketAttributes():*このメソッドをオーバーライドして、トラブルチケット属性 (TMF621) (必須とオプションの両方) をペイロードに追加します。このメソッドは、既定の実装の単なるスタブです。

TroubleTicketNotificationUtil スクリプトインクルードでこれらのヘルパーメソッドを上書きして、TMF 準拠のペイロードでイベントヘッダーとトラブルチケット属性の両方を設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
incidentGr	オブジェクト	トラブルチケットイベントが生成される原因となった JSON 形式の Glide レコード。この Glide レコードの情報を使用して、TMF621 準拠のトラブルチケットイベントペイロードを作成します。
eventType	文字列	関連付けられたトラブルチケットイベントタイプの一意の識別子。このメソッドのデフォルト実装では、これは常に `"TroubleTicketCreateEvent"` です。 すべての基本トラブルチケットイベントタイプのリストについては、 *sn_api_notif_mgmt* の *Constants.EVENT_TYPES* を参照してください 。定数 スクリプトインクルードファイル。
eventId	文字列	関連付けられたイベントの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	TMF 準拠のトラブルチケットイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、「TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification v5.0.0」および「TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0」を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
  var eventPayload;
  switch (eventType) {
    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaod(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaodForCase(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    default:
      this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find
 the matching payload generator");
      eventPayload = null;
  }
return eventPayload;
},
```

TroubleTicketNotificationUtilOOB - generateTroubleTicketStatusChangePayload(オブジェクト **incidentGr**, 文字列 **eventType**, 文字列 **eventId)**

インシデントイベントタイプの関連するトラブルチケットステータス変更イベントの TMF 準拠のペイロードを構築します。

このメソッドは、関連するイベントタイプ が「TroubleTicketStatusChangeEvent」TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE場合に実行されます。このメソッドは、次の 2 つのヘルパー メソッドを呼び出します。

- *constructTMFEvent():*イベント属性 (TMF688) をペイロードに追加します。
- *addStatusChangeTroubleTicketAttributes():*このメソッドをオーバーライドして、必須とオプションの両方のトラブルチケット属性 (TMF621) をペイロードに追加します。このメソッドは、既定の実装の単なるスタブです。

TroubleTicketNotificationUtil スクリプトインクルードでこれらのヘルパーメソッドを上書きして、TMF 準拠のペイロードでイベントヘッダーとトラブルチケット属性の両方を設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
incidentGr	オブジェクト	トラブルチケットイベントが生成される原因となった JSON 形式の Glide レコード。この Glide レコードの情報を使用して、TMF621 準拠のトラブルチケットイベントペイロードを作成します。
eventType	文字列	関連付けられたトラブルチケットイベントタイプの一意の識別子。このメソッドのデフォルト実装では、これは常に "TroubleTicketCreateEvent"です。 すべての基本トラブルチケットイベントタイプのリストについては、 *sn_api_notif_mgmt*の *Constants.EVENT_TYPES* を参照してください 。定数 スクリプトインクルードファイル。
eventId	文字列	関連付けられたイベントの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	TMF 準拠のトラブルチケットイベントペイロード。このイベントペイロードの形式の詳細については、「TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification v5.0.0」および「TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0」を参照してください。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
  var eventPayload;
  switch (eventType) {
    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaod(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaodForCase(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    default:
      this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find
 the matching payload generator");
      eventPayload = null;
  }
return eventPayload;
},
```

UniversalRequestUtilsSNC :スコープ指定

UniversalRequestUtilsSNC API を使用すると、ユニバーサル要求ライフサイクルを処理できます。スクリプトインクルードレコードとして提供されます。

この API には ユニバーサル要求 (com.snc.universal_request) プラグインが必要であり、`sn_uni_req` 名前空間内で提供されます。

詳細については、「ユニバーサル要求」を参照してください。

UniversalRequestUtilsSNC - createUniversalRequest(オブジェクト copyFields)

ユニバーサル要求を作成し、新しく作成されたユニバーサル要求レコードの sys_id を返します。

このメソッドは、`sn_uni_req` 名前空間の *UniversalRequestUtils* プロトタイプを使用して呼び出されます。
例：`sn_uni_req.UniversalRequestUtils().createUniversalRequest(<copyFields>)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
copyFields	オブジェクト	Universal Requests [universal_request] テーブルの新しいレコードに設定するフィールド名と値を含む JSON オブジェクト。 フィールド名とフィールド値を `{ '<field_name>': '<field_value>' }` の形式で入力します。次のフィールドは、プライマリチケットに割り当てるために最も便利な詳細情報と考えられます。 `{ 'assignment_group': 'String', 'assigned_to': 'String', 'contact_type': 'String', 'description': 'String', 'opened_by': 'String', 'opened_for': 'String', 'priority': 'String', 'restricted': Boolean, 'short_description': 'String' };` リストに入っていないその他のフィールドが、ユースケースの対象である可能性があります。システム内のテーブルフィールドと関連フィールドのリストについては、 データ辞書テーブル を表示します。 **注:** copyFields の JSON オブジェクトに primary_ticket または sys_id フィールドを含めないでください。
copyFields.assignment_group	文字列	オプション。リソースに割り当てられたグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 デフォルト：デフォルトのアサイン先グループはアサインルールごとに設定されます。
copyFields.contact_type	文字列	オプション。リソースが最初に報告されたメソッド。 可能な値： • chat • email • phone • social • web 最大長：40
copyFields.description	文字列	オプション。リソースに関連する問題の詳細な説明。 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
copyFields.opened_by	文字列	オプション。リソースを最初に開いたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。
copyFields.opened_for	文字列	オプション。HR サービスデリバリ (HRSD) のケースに必要です。リソースのオープン対象となったユーザーの sys_id。
copyFields.priority	文字列	オプション。リソースの優先度。数値で指定します。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 デフォルト値：3
copyFields.restricted	ブーリアン	オプション。ユニバーサル要求のアクセスが制限されているかどうかを示すフラグ。ユニバーサル要求のロールとグループ を参照してください。 有効な値： • true：`sn_uni_req.sensitiveinfo_agent` ロールを持つユーザーのみがユニバーサル要求にアクセスできます。このロールを持つユーザーには、給与の詳細などの機密情報を表示する権限があります。 • false：ユニバーサル要求へのアクセスに制限はありません。 デフォルト値：false
copyFields.short_description	文字列	リソースの簡潔な説明。 最大長：160

返される内容

タイプ	説明
文字列	新しく作成された Universal Request レコードの sys_id。

次の例では、新しい Universal Request でフィールドを設定する方法を示します。このユースケースでは、Inbound Email Actions [sysevent_in_email_action] のスコープ対象の 人事ケースを作成 スクリプトの先頭にこのコードが追加されます。ケースが人事に適用されない場合、エージェントはケースを適切な部門に転送できます。

```
var copiedFields = {
  'opened_for': "<user_sys_id>",
  'short_description': email.subject,
  'restricted': false,
  'priority': '1'
};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

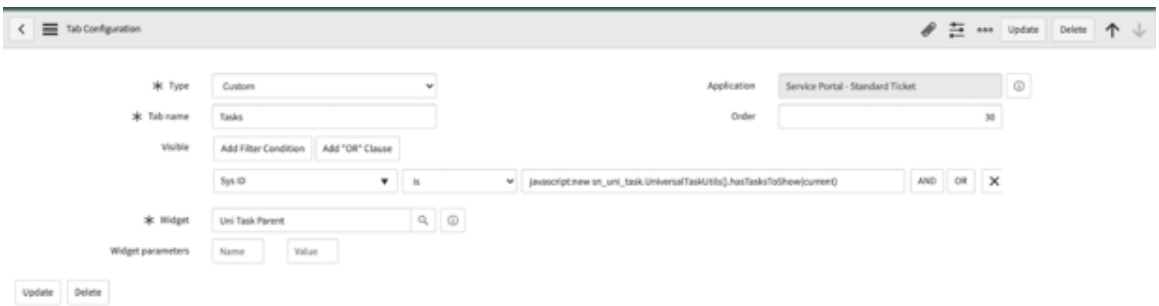
```
// createUniversalRequest() must be called to create the universal
 request prior to creating the child case

var ur = new
 sn_uni_req.UniversalRequestUtils().createUniversalRequest(copiedFields);
current.universal_request = ur;
```

UniversalTaskUtils - スコープ指定、グローバル

UniversalTaskUtils スクリプトインクルードは、ユニバーサルタスクを管理するためのメソッドを提供します。

ServiceNow のユニバーサルタスクアプリケーションを使用して、エージェントは従業員のタスクを作成できます。例えば、追加情報を要求したり、親チケットまたは要求を解決するアクションを要求したりするなどです。ユニバーサルタスクは、タスク [task] テーブルを拡張するすべてのチケットタイプで使用できます。

このスクリプトインクルードを使用すると、アクティブなユニバーサルタスクのステータスを「完了」または「キャンセル」に変更したり、指定された親タスクのすべてのアクティブなユニバーサルタスクを取得したり、親ユニバーサルタスクに子があるかどうかを確認したり、ユニバーサルタスクレコードにテンプレートを適用したりできます。これらのメソッドをスクリプトおよび [タブ構成] フォームの [表示可能な条件ビルダー] で使用して、[ユニバーサルタスク] タブに表示されるデータを管理できます。詳細については、「 標準チケットページの [タスクを追加] タブ 」を参照してください。



このスクリプトインクルードは、スコープ対象のアプリケーションとグローバルアプリケーションの両方で使用できます。このスクリプトインクルードにアクセスするには、ユニバーサルタスクアプリケーション (sn_uni_task) を関連するインスタンスにインストールする必要があります。この API 内でメソッドを呼び出すときは、常に `sn_uni_task` 名前空間を指定する必要があります。

ユニバーサルタスクアプリケーションの詳細については、「 ユニバーサルタスク 」を参照してください。

UniversalTaskUtils - applyTemplate(文字列 templateSysId, GlideRecord uniTaskGr)

指定のユニバーサルタスクテンプレートを指定のユニバーサルタスクレコードに適用します。

このメソッドを使用するには、インスタンスにユニバーサルタスクテンプレートが設定されている必要があります。詳細については、「 ユニバーサルタスクテンプレート 」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
templateSysId	文字列	指定のユニバーサルタスクレコードに適用するユニバーサルタスクテンプレートの sys_id。ユニバーサルタスクテンプレート [sn_uni_task_template] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
uniTaskGr	GlideRecord	テンプレートを適用するユニバーサルタスクレコードの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
なし	エラーはシステムログに書き込まれます。

このコード例は、フィードバックテンプレートを取得して適用する関数を示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var templateGr = new GlideRecord('sn_uni_task_template');
  templateGr.get('name','Feedback Template');
  var templateSysId = templateGr.getValue('sys_id');
  new sn_uni_task.UniversalTaskUtils().applyTemplate
 (templateSysId,current);
})(current, previous);
```

UniversalTaskUtils - getActiveChildTasks(文字列 parentSysId)

指定された親チケットのアクティブな子タスクレコードを GlideRecord の形式で返します。

その後、呼び出し元アプリケーションのスコープに応じて *GlideRecord* API (スコープ付き または グローバル) を使用して、返されたデータにアクセスできます。たとえば、 *getRowCount()* メソッドを使用してアクティブなタスクをカウントするなどできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentSysID	文字列	返されるアクティブな子チケットの親チケットの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定された親タスクのすべてのアクティブな子タスクレコードを含む GlideRecord。

次の例では、現在の sys_id のすべてのアクティブな子タスクを取得し、*getRowCount()* を使用してアクティブな子タスクの数を取得する関数を示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var gr_ActiveTasks = new
 sn_uni_task.UniversalTaskUtils().getActiveChildTasks(current.sys_id);
  var count = gr_ActiveTasks.getRowCount();
})(current, previous);
```

UniversalTaskUtils - hasTasksToShow(GlideRecord current)

指定の親チケットに、対応中または完了ステータスのユニバーサルタスクがあるかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドを使用して、対応中または完了したタスクがある場合にのみ標準チケット構成で要求者に [ユニバーサルタスク] タブを表示するかどうかを決定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	確認する親チケットの GlideRecord。

返される内容

タイプ	説明
sys_id	ユニバーサルタスクが親チケットに関連付けられている場合は親チケットの sys_id、そうでない場合は null。 データタイプ：文字列

次の例では、このメソッドを呼び出してユニバーサルタスクをチェックする関数を示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  var sysId = new
 sn_uni_task.UniversalTaskUtils().hasTasksToShow(current);
})(current, previous);
```

UniversalTaskUtils - markActiveChildTasksCancelled(文字列 **parentSysId)**

指定された親チケットのすべてのアクティブなユニバーサルタスクのステータスを「キャンセル」に変更します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentSysID	文字列	アクティブな子ユニバーサルタスクのステータスを「キャンセル」に変更する必要がある親チケットの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例では、このメソッドを使用して、指定された親タスクに関連付けられているすべてのユニバーサルタスクのステータスを「キャンセル」に更新する方法を示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  new
 sn_uni_task.UniversalTaskUtils().markActiveChildTasksCancelled(current.s
ys_id);
})(current, previous);
```

UniversalTaskUtils - markActiveChildTasksCompleted(文字列 **parentSysId)**

指定された親チケットに関連付けられたすべてのアクティブな子ユニバーサルタスクのステータスを「完了」に変更します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parentSysID	文字列	アクティブな子ユニバーサルタスクのステータスを「完了」に変更する必要がある親チケットの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例では、このメソッドを使用して、指定された親タスクに関連付けられているすべてのユニバーサルタスクのステータスを「完了」に更新する方法を示します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/) {
  new
 sn_uni_task.UniversalTaskUtils().markActiveChildTasksCompleted(current.s
ys_id);
})(current, previous);
```

UPSHandler - グローバル

UPSHandler スクリプトインクルードは、無停電電源装置 (UPS) の SNMP 分類と識別を処理するメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、SNMP 関連のディスカバリーに使用します。

UPSHandler - classifyAndIdentify()

UPS を分類および識別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

UserCriteria - スコープ指定

UserCriteria API は、スクリプトを使用してユーザー基準レコードを作成、変更、および削除するメソッドを提供します。

スコープ対象のアプリケーションでこのクラスを使用するには、`sn_uc` 名前空間識別子を使用します。この API にアクセスするには、ユーザー基準スコープ API プラグイン (ID:com.glideapp.user_criteria.scoped.api) を有効にする必要があります。

UserCriteria - UserCriteria()

UserCriteria クラスのインスタンスを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
```

UserCriteria - UserCriteria(文字列 sys_id)

指定された sys_id を使用して UserCriteria クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	ユーザー基準の sys_id。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
```

UserCriteria - create(オブジェクト columnValues, ブール値 standardUpdate)

user_criteria テーブルに指定された値を使用してユーザー基準を作成します。columnValues で指定された値は、セッターを介して指定された値を上書きします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列に対する鍵と値のペアおよびその値。
standardUpdate	ブーリアン	エンジンとワークフローの実行を有効にするには true に設定します。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成されたユーザー基準の sys_id。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setCompanies("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc61122750000251
57c651c89");
uc.setActive(true);
uc.setUsers("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc6112275000025157c6
51c89");
var UserCriteriaId = uc.create();
gs.info(UserCriteriaId);
```

出力：

```
41bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec
```

UserCriteria - deleteRecord()

現在のユーザー基準を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	true の場合、ユーザー基準は削除されます。 false の場合、削除するユーザー基準が見つかりません。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec");
uc.deleteRecord();
```

出力：

```
true
```

UserCriteria - read(文字列列)

カタログアイテムの属性と値のペアのマッピングを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columns	文字列	カタログアイテム属性のアレイ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	カタログアイテムの属性と値のペアのマッピング。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria("7b8a6927ef732100438236caa5c0fb89");
var obj = uc.read(["company","name"]);
gs.info(JSON.stringify(obj));
```

出力：

```
Script: {"name":"All ACME Corporation
 employees","company":"e7c1f3d53790200044e0bfc8bcbe5deb,227cdfb03710200044e0bfc8bcbe5d6b,86c1f3193790200044e0bfc8bcbe5d95,98c37b193790200044e0bfc8bcbe5dbe,81f95197ac1d55eb35432fd1e068385e,df7d53303710200044e0bfc8bcbe5dac,81fdf9ebac1d55eb4cb89f136a082555,4b7d13f03710200044e0bfc8bcbe5db6,81f87336ac1d55eb06002def816d139f,81fbfe03ac1d55eb286d832de58ae1fd,81fca4cbac1d55eb355b4b6db0e3c80f,187d13f03710200044e0bfc8bcbe5df2,81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63,31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,81f75fcaac1d55eb2b0781d6f2c3c260"}
```

UserCriteria - setActive(ブールアクティブ)

ユーザー基準がアクティブかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
active	ブーリアン	true の場合、ユーザー基準はアクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		false の場合、ユーザー基準は非アクティブです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setActive(true);
```

UserCriteria - setAdvanced(ブール値 advanced)

ユーザー基準に詳細スクリプトがあるかどうかを指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
advanced	ブーリアン	true の場合、ユーザー基準に詳細スクリプトがあります。 false の場合、ユーザー基準に詳細スクリプトはありません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setAdvanced(true);
```

UserCriteria - setCompanies(文字列会社)

ユーザー基準に会社プロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
companies	文字列	ユーザー基準に設定する会社の sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setCompanies("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc61122750000251
57c651c89");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UserCriteria - setDepartments(文字列部門)

ユーザー基準に部門プロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
departments	文字列	ユーザー基準に設定する部門の sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setDepartments("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc611227500002
5157c651c89");
```

UserCriteria - setGroups(文字列グループ)

ユーザー基準にグループプロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groups	文字列	ユーザー基準に設定するグループの sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setGroups("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc6112275000025157c
651c89");
```

UserCriteria - setLocations(文字列の場所)

ユーザー基準に場所プロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
locations	文字列	ユーザー基準に設定する場所の sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setLocations("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc61122750000251
57c651c89");
```

UserCriteria - setMatchAll(ブールmatch_all)

ユーザー基準に match_all プロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし	match_all	true の場合、ユーザー基準のプロパティとして設定されたすべての条件を満たす必要があります。 false の場合、ユーザー基準のプロパティとして設定された条件のうち最低 1 つを満たす必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setMatchAll(true);
```

UserCriteria - setName(文字列名)

ユーザー基準に名前プロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ユーザー基準の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setName("Property1");
```

UserCriteria - setRoles(文字列ロール)

ユーザー基準にロールプロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
roles	文字列	ユーザー基準に設定するロールの sys_id のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setRoles("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc6112275000025157c651c89");
```

UserCriteria - setScript(文字列スクリプト)

ユーザー基準にスクリプトを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	詳細なユーザー基準に設定するスクリプト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setScript("function scriptTest() {
  var retVal;
  if (gs.getUser().getRecord().getDisplayValue('department') == 'Product
 Management') {
      retVal = true;
  } else {
      retVal = false;
  }
  return retVal;
}");
```

UserCriteria - setUsers(文字列 users)

ユーザー基準にユーザープロパティを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
users	文字列	ユーザー基準に設定するユーザーの sys_id のカンマ区切りリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.setUsers("31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec,0c441abbc6112275000025157c651c89");
```

UserCriteria - update(オブジェクト **columnValues**, 文字列 **reason**)

現在のカタログアイテムを指定の値で更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
columnValues	オブジェクト	列名と値のペアのマッピング。
reason	文字列	カタログアイテムを更新する理由。

返される内容

タイプ	説明
文字列	作成されたユーザー基準の sys_id を返します。

```
var uc = new sn_uc.UserCriteria();
uc.update("name": "Updated name", "The existing name is not relevant.
 Setting a relevant name");
```

出力：

```
31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec
```

UserSkillAnalyzer - グローバル

UserSkillAnalyzer API は、作業アイテムを完了するために必要なスキルに対してユーザースキルを分析するメソッドを提供します。

この API には スキル管理 プラグイン (com.snc.skills_management) が必要です。これは、admin ロールを持っている場合にアクティブ化できます。

「スキルとスキルレベルに基づくユーザーの認定とランク付け」を参照してください。

UserSkillAnalyzer - UserSkillAnalyzer()

新しい UserSkillAnalyzer オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var userSkillAnalyzer = new SNC.UserSkillAnalyzer();
```

UserSkillAnalyzer - analyzeUserByID(文字列 **requiredSkillsJson**, 文字列 **userID**, ブーリアン **isSkillLevelEnforced**)

必要なスキルに対してユーザースキルを分析し、インスタンスから収集可能な一致するスキルの数、スキルレベルのギャップ、および資格を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクを完了するために必要なすべてのスキルとスキルレベルをエージェントが持っているかどうかを検証することで、そのタスクを処理する資格がそのエージェントにあるかどうかを分析します。タスクを処理する資格がエージェントにある場合、API が必要なスキルとユーザーのスキルレベルの間のレベルのギャップを分析し、さらにそれを用いて、レベルのギャップに基づいて最適なエージェントを選択します。また、そのタスクを実行するために必要なスキルレベルをエージェントが持っているスキルと持っていないスキルの合計数も分析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requiredSkillsJson	文字列	ユーザーと比較するために必要なスキルのリスト。 各スキルは次の形式の JSON エントリーとして一覧表示されま • sys_id：文字列。スキル [cmn_skill] テーブルからのスキル • is_mandatory：ブール。スキルが必須かどうかを示すフラ • level：文字列。スキルレベル [cmn_skill_level] テーブルか ID。
userID	文字列	ユーザー [sys_user] テーブルのSys ID。
isSkillLevelEnforced	ブーリアン	ユーザーがすべての必須スキルに対して最低限のスキルレベル いる必要がある場合は true、そうでない場合は false。デフォ false。

返される内容

タイプ	説明
文字列	次のようなアナライザースキルマップに基づいて、ユーザーに関するすべての必要な JSON。 • sys_id：文字列。ユーザー [sys_user] テーブルのSys ID。 • is_qualified：ブール。ユーザーが必要なスキルを認定されているかどうかを示す ◦ ユーザーがすべての必須スキルを持ち、スキルレベルが適用される場合は true。 ◦ ユーザーが一部の必須スキルを持っていないか、レベル要件を満たしていない場 false。 • num_skills：数値。必要なスキルと一致するスキル。 • num_skills_matching_level：数値。必要なスキルレベルに一致するユーザースキ • total_skill_level_gap：数値。スキルレベルギャップは、ランキングアルゴリズム ベルの最低要件を満たす最適なユーザーを見つけるのに役立ちます。タスクスキル ユーザースキルレベルの間の全体的なギャップに基づいて計算されます。ユーザー ルのスキルレベルを持っている必要があります。 • optional_skill_level_gap：数値。オプションのスキルについてのみスキルレベルの 提供します。合計スキルレベルとオプションのスキルレベルギャップを区別できる ドポイントを支援します。 不正確なパラメーターまたは不正な形式の JSON が提供された場合はエラー。

```
var skills = [{"sys_id":"48c9f873c0a8018b65c3814608b201e6",
 "is_mandatory": true, "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"},
     {"sys_id":"48c9fdddc0a8018b04bd8d7914c82c9d", "is_mandatory": false,
 "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"}];
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var userSysID = "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a";
var userSkillAnalyzer = new SNC.UserSkillAnalyzer();
var result = userSkillAnalyzer.analyzeUserById(JSON.stringify(skills),
 userSysID, true);
gs.info('Results: ' + result);
```

出力：

```
Calling user analyzer
*** Script: Results:
 {"sys_id":"a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a","is_qualified":false,"num_s
kills":0,"num_skills_matching_level":0,"total_skill_level_gap":0,"optiona
l_skill_level_gap":0}
```

UserSkillAnalyzer - analyzeUserBySkills(文字列 **requiredSkillsJson**, 文字列 **userSkillsJson**, ブーリアン **isSkillLevelEnforced)**

必要なスキルに対してユーザースキルを分析し、インスタンスから収集可能な一致するスキルの数、スキルレベルのギャップ、および資格を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requiredSkillsJson	文字列	ユーザーの認定の対象として必要なスキルのリスト。 各スキルは次の形式の JSON エントリーとして一覧表示されま • sys_id：文字列。スキル [cmn_skill] テーブルからのスキル • is_mandatory：ブール。スキルが必須かどうかを示すフラ • level：文字列。スキルレベル [cmn_skill_level] テーブルか ID。
userSkillsJson	文字列	必要なスキルの認定を決定するためのユーザースキルのリスト 各スキルは次の形式の JSON エントリーとして一覧表示されま • sys_id：文字列。スキル [cmn_skill] テーブルからのスキル • is_mandatory：ブール。スキルが必須かどうかを示すフラ • level：文字列。スキルレベル [cmn_skill_level] テーブルか ID。
isSkillLevelEnforced	ブーリアン	ユーザーがすべての必須スキルに対して最低限のスキルレベル いる必要がある場合は true、そうでない場合は false。デフォ false。

返される内容

タイプ	説明
文字列	次のようなアナライザースキルマップに基づいて、ユーザーに関するすべての必要な JSON。 • sys_id：文字列。ユーザー [sys_user] テーブルのSys ID。 • is_qualified：ブール。ユーザーが必要なスキルを認定されているかどうかを示す

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ ユーザーがすべての必須スキルを持ち、スキルレベルが適用される場合は true。 ◦ ユーザーが一部の必須スキルを持っていないか、レベル要件を満たしていない場 false。 • num_skills：数値。必要なスキルと一致するスキル。 • num_skills_matching_level：数値。必要なスキルレベルに一致するユーザースキ • total_skill_level_gap：数値。スキルレベルギャップは、ランキングアルゴリズム ベルの最低要件を満たす最適なユーザーを見つけるのに役立ちます。タスクスキル ユーザースキルレベルの間の全体的なギャップに基づいて計算されます。ユーザー ルのスキルレベルを持っている必要があります。 • optional_skill_level_gap：数値。オプションのスキルについてのみスキルレベルの 提供します。合計スキルレベルとオプションのスキルレベルギャップを区別できる ドポイントを支援します。 不正確なパラメーターまたは不正な形式の JSON が提供された場合はエラー。

```
var skills = [{"sys_id":"48c9f873c0a8018b65c3814608b201e6",
 "is_mandatory": true, "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"},
    {"sys_id":"48c9fdddc0a8018b04bd8d7914c82c9d", "is_mandatory": false,
 "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"}];
var userSkills = [{"sys_id":"48c9f873c0a8018b65c3814608b201e6",
 "is_mandatory": true, "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"},
      {"sys_id":"k, th", "is_mandatory": false,
 "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"}];
var userSkillAnalyzer = new SNC.UserSkillAnalyzer();
var result =
 userSkillAnalyzer.analyzeUserBySkills(JSON.stringify(skills),
 JSON.stringify(userSkills));
gs.info('Results: ' + result);
```

自動翻訳

UserSkillRanking - グローバル

UserSkillRanking APIは、適切なユーザーを選択し、一致するスキルの数とスキルレベルのギャップに基づいて適格なユーザーのソートされたリストを取得するためのオプションを構成するメソッドを提供します。

この API には スキル管理 プラグイン (com.snc.skills_management) が必要です。これは、admin ロールを持っている場合にアクティブ化できます。

「スキルとスキルレベルに基づくユーザーの認定とランク付け」を参照してください。

UserSkillRanking - UserSkillRanking()

UserSkillRanking オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UserSkillRanking - getQualifiedRankedUsers(文字列 **requiredSkillsJson**, 文字列 **usersJson**, 文字列 **rankType**, ブーリアン **isSkillLevelEnforced)**

`isSkillLevelEnforced` パラメーターが true の場合、一致する必須スキルとレベルに基づいて認定ユーザーのリストを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
requiredSkillsJson	文字列	ユーザーの認定に必要なスキルのリスト。 各スキルは次の形式の JSON エントリーとして一覧表示されま • sys_id：文字列。スキル [cmn_skill] テーブルからのスキル • is_mandatory：ブール。スキルが必須かどうかを示すフラ • level：文字列。スキルレベル [cmn_skill_level] テーブルか ID。
usersJson	文字列	必須スキルに対して認定されるユーザーを表す、sys_user テ 取得されたユーザーのSys ID のリスト (JSON 形式)。
rankType	文字列	ランキングのタイプに基づいて認定ユーザーをソートできます 値は、一致するスキルの数とスキルレベルのギャップに基づく ザーのソート済みリストを提供するコンパレーターです。 • NO_RANKING (デフォルト)：空の値が指定された場合に使 • NUM_SKILLS：必須スキルに一致するスキルの数。 • NUM_SKILL_ MATCHING_LEVEL： 必須のスキルレベルに ユーザースキルの数。 • LEAST_SKILL_ LEVEL_GAP：最低限のスキルレベル要件に最 ユーザーを検索します。 • MOST_SKILL_ LEVEL_GAP：最低限のスキルレベル要件から ユーザーを検索します。 • BEST_OPTIMUM_ USER：すべてのスキルレベルに対して最 ザーを検索します。
isSkillLevelEnforced	ブーリアン	ユーザーがすべての必須スキルに対して最低限のスキルレベル いる必要がある場合は true、そうでない場合は false。デフォ false。

返される内容

タイプ	説明
文字列	認定ユーザーの JSON 形式のリスト。 不正確なパラメーターまたは不正な形式の JSON が提供された場合はエラー。

```
var skills = [{"sys_id":"48c9f873c0a8018b65c3814608b201e6",
 "is_mandatory": true, "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4e"},
    {"sys_id":"48c9fdddc0a8018b04bd8d7914c82c9d", "is_mandatory": false,
 "level":"4e0ac4d6b3332300290ea943c6a8dc4eS"}];
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var users = ["a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
 "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"];
var userSkillRanking = new SNC.UserSkillRanking();
var qualifiedUsers =
 userSkillRanking.getQualifiedRankedUsers(JSON.stringify(skills),
 JSON.stringify(users), "BEST_OPTIMUM_USER", true);
```

v_query – スコープ、グローバル

v_query API は、リモートテーブルに対して実行中のクエリを表すスクリプト可能オブジェクトに関する情報を取得するためのメソッドを提供します。

この API では、リモートテーブルプラグイン (com.glide.script.vtable) をアクティブ化する必要があります。 詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。

リモートテーブルの行は、*v_table* API を使用して作成されます。

v_query - getCondition(文字列 field)

指定されたフィールドのエンコードされたクエリー文字列を取得します。

「*v_table* API」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドの エンコードされたクエリ文字列 を返します。

次の例は、`number=INC0001^active=true` のエンコードされたクエリーを使用したフィールドの結果を示しています。

```
var result = v_query.getCondition("number");
gs.info(result);
```

出力:

```
number=INC0001
```

v_query - getEncodedQuery()

リモートテーブルに対するクエリーをエンコードされたクエリー文字列として返します。

詳しくは、 エンコード されたクエリ文字列 を参照してください。

「*v_table* API」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列としてのエンコードクエリ。

次の例は、「サードパーティソースからの特定のレコードの取得」の抜粋です。

```
gs.info(v_query.getEncodedQuery());
```

出力:

```
active=true^priority=1
```

v_query - getParameter(文字列 field)

等価性クエリー条件のフィールドの値を取得します。

関連項目：

- サードパーティソースからの特定のレコードの取得
- *v_table* API

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	クエリーするフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリー条件のフィールドの値。例えば、`name=John` がエンコードされたクエリーの場合、*getParameter("name")* は `"John"`を返します。

次の例では、発信者 ID フィールドの値を取得する方法を示します。

```
v_query.getParameter("caller_id");
```

出力:

```
12345123451234512345123451234501
```

v_query - getSysId()

get クエリーの sys_id 値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	get クエリーの sys_id 値。例えば、`sys_id=123` の場合、このメソッドは `123` を返します。

次の例は、「サードパーティソースからの特定のレコードの取得」の抜粋です。

```
v_query.getSysId();
```

出力:

```
a3a7ffb6dba41010db2051735e4619b7
```

v_query - getTextSearch()

テキスト検索クエリーのパラメーターを取得します。

関連項目：

- エンコードされたクエリ文字列
- スクリプトでのテーブルのクエリ
- *v_table* API

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テキスト検索クエリーのパラメーター (例：`email`)。

次の例では、クエリーに `GOTO123TEXTQUERY321=email` などのテキストクエリーのパラメーターが含まれている場合、メソッドは true を返します。

```
// for query value GOTO123TEXTQUERY321=email
v_query.getTextSearch();
```

出力：

```
email
```

v_query - isGet()

クエリーが get クエリー、つまり sys_id ごとにレコードを取得するクエリーかどうかを決定します。

関連項目：

- サードパーティソースからの特定のレコードの取得
- *v_table* API

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フラグは、特定のレコードのクエリーにクエリー形式として `sys_id=` があることを示します。 有効な値： • true：クエリーの sys_id フィールドに等価性クエリー条件が含まれている。 • false：クエリーの sys_id フィールドに等価性クエリー条件が含まれていない。

次の例では、エンコードされたクエリーが `sys_id=d1954c744662010bd7e061e67a6776e`の場合、*`v_query.isGet()`* メソッドは true を返します。エンコードされたクエリーがそれ以外 (`Number=INC0000001` など) の場合、*`v_query.isGet()`* メソッドは false を返します。

```
// Virtual table to query
var row = {
 sys_id: "d1954c744662010bd7e061e67a6776e",
 number: "INC0000001",
 short_description: "New laptop request",
 u_balance: 1200.23
};

v_table.addRow(row);

v_query.isGet();
```

v_query - isTextSearch()

クエリーにテキストクエリーのパラメーターが含まれているかどうかを示します。

関連項目：

- エンコードされたクエリ文字列
- スクリプトでのテーブルのクエリ
- *`v_table`* API

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリーにテキストクエリーのパラメーターが含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリーにテキストクエリーのパラメーターが含まれている。 • false：クエリーにテキストクエリーのパラメーターが含まれていない。

次の例では、クエリーに `GOTO123TEXTQUERY321=email` などのテキストクエリーのパラメーターが含まれている場合、メソッドは true を返します。

```
v_query.isTextSearch();
```

v_query - setLastErrorMessage(文字列 **message)**

GlideRecord の最後のエラーメッセージを設定します。

関連項目：

- スコープ対象 GlideRecord - getLastErrorMessage()
- サードパーティソースからの特定のレコードの取得
- *v_table* API

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	エラーメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、エラーメッセージを設定するために使用される基本構造を示しています。

```
(function executeQuery (v_table, v_query) {
 try {

 // Add code to test for errors during execution
 } catch(ex) {

  v_query.setLastErrorMessage(ex.message);

 }

}) (v_table, v_query);
```

次の例は、REST API で最後のエラーメッセージを設定する方法を示しています。

```
(function executeQuery (v_table, v_query) {
 try {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// call a REST API
} catch(ex) {

 v_query.setLastErrorMessage("Error obtaining results from remote
service");

}

}) (v_table, v_query);
```

v_table – スコープ、グローバル

v_table API は、スクリプト可能オブジェクトを介してリモートテーブルに行を追加するメソッドを提供します。

この API では、リモートテーブルプラグイン (com.glide.script.vtable) をアクティブ化する必要があります。 詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください。

v_query スクリプト可能オブジェクトを使用して、リモートテーブルをクエリーします。

v_table - addRow(オブジェクト row)

リモートテーブルに行を追加します。

関連項目：

- リモートテーブルのスクリプト定義の作成
- SoR でリモート情報をルックアップ
- サードパーティソースからの特定のレコードの取得
- v_query API

パラメーター

名前	タイプ	説明
row	オブジェクト	キーがフィールド名であるフィールド名と値のマップを含む JavaScript オブジェクト。例：`{number: "INC0001", sys_id: "a34"}` `{ "<field name>": "value" }`
row.<フィールド値>	文字列	選択したフィールドの値を表します。必須のフィールドはありませんが、最低でも sys_id は指定してください。 sys_id フィールドと値のみを一覧表示する例： `{ "sys_id": "<uniqueID>" }`

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	行がリモートテーブルに追加されたかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：成功。 • false：行が追加されなかった。

次の例は、RESTMessageV2 API を使用して、外部の銀行アプリケーションへの REST 呼び出しを作成して実行する方法を示しています。このスクリプトが示すのは、*addRow()* メソッドを使用して、返された結果をリモートテーブルに格納する方法です。

```
(function executeQuery (v_table, v_query) {
  // Parameters needed in the request body of the REST endpoint
  var requestBody = {
    'financial_account':v_query.getParameter('financial_account')
  };

  // Instantiate the RESTMessageV2 object
  var request = new sn_ws.RESTMessageV2();
  // Set the HTTP method as "GET"
  request.setHttpMethod('get');
  // URL of the endpoint on the bank application

 request.setEndpoint('https://
<yourbankapphost>/api/getTransactionDetails');
  // Request body as a string
  request.setRequestBody(JSON.stringify(requestBody));
  // Call the REST endpoint
  var response = request.execute();
  // Get the response body
  var responseBody = response.getBody();
  // Parse the response body into an object
  var responseObj = JSON.parse(responseBody);

  // Store the response body into a virtual table
  v_table.addRow({
    sys_id: gs.generateGUID(),
    amount: responseObj.amount,
    description: responseObj.description,
    posting_date: responseObj.posting_date,
    transaction_date: responseObj.transaction_date
  });

}) (v_table, v_query);
```

VMUtils - グローバル

VMUtils スクリプトインクルードは、仮想マシンのディスカバリーとプロビジョニングのためのメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、UUID 形式と相関 ID 形式間で変換するためにサーバー側スクリプトで使用できます。

VMUtils - turnCorrelationIdToUuid(文字列 correlationId)

ServiceNow システム内の仮想マシンの相関 ID を UUID に変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
correlationId	文字列	変換する相関 ID

返される内容

タイプ	説明
文字列	UUID。無効な場合は空の文字列。

```
gs.info(VMUtils.turnCorrelationIdToUuid('42 10 82 82 62 35 ca 68-b5 1c 1e
 f8 5c 0a 0d 5b'));
```

出力:

```
42108282-6235-ca68-b51c-1ef85c0a0d5b
```

VMUtils - turnUuidToCorrelationId(文字列 uuid)

WMware のユニバーサル一意識別子 (UUID) を、ServiceNow システム内の本来の形式に一致する形式に変換します。

vCenter は、ESXi の Linux コンソールがこの形式で動作していた UUID を用いて動作します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
uuid	文字列	変換する UUID。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ServiceNow 形式に変換された識別子。

```
gs.info(VMUtils.turnUuidToCorrelationId('13eb78d0-d504-11e1-9b23-0800200c
9a66'));
```

出力:

```
13 eb 78 d0 d5 04 11 e1-9b 23 08 00 20 0c 9a 66
```

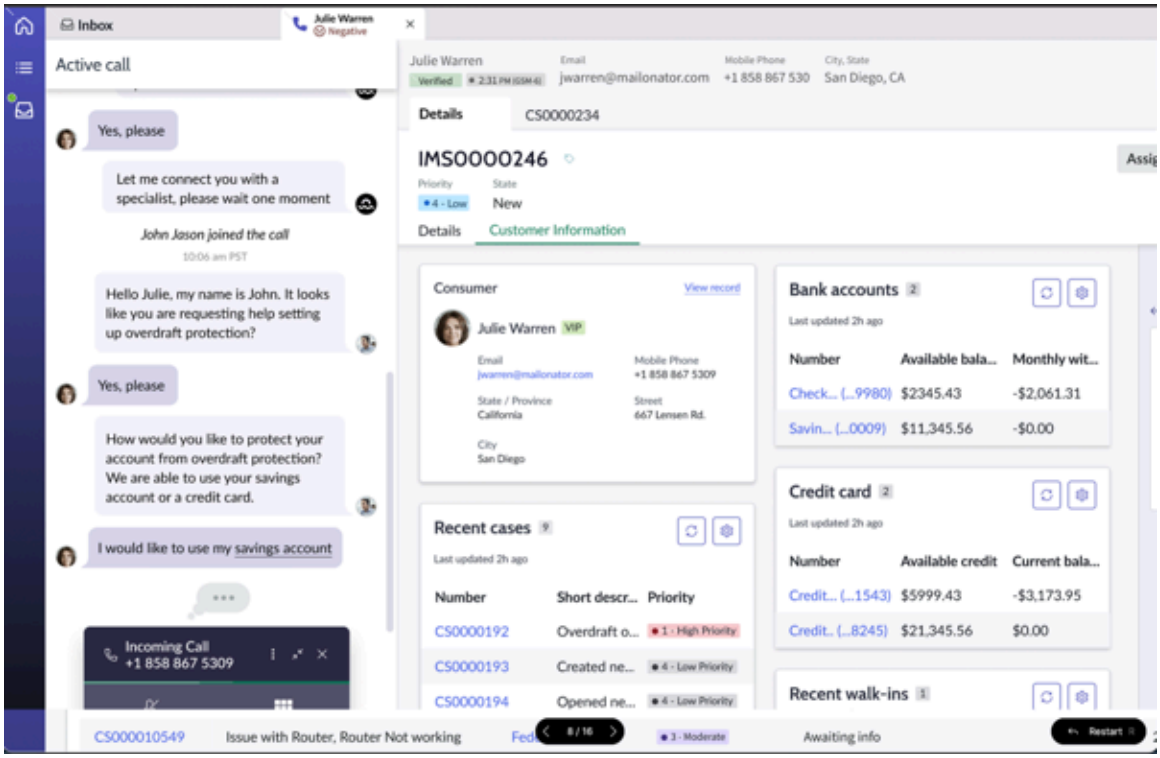
VoiceTranscriptObject - スコープ指定

VoiceTranscriptObject スクリプト可能 API は、サードパーティの音声会話のトランスクリプトデータをServiceNowインスタンス内のテーブルに保存するためのメソッドを提供します。

VoiceTranscriptObject クラスを呼び出すときは、sn_cs名前空間識別子を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



可用性

この API はベース ServiceNow システムで使用できます。アクセスは、インタラクション [interaction] テーブルと会話 [sys_cs_conversation] テーブルに課せられた ACL によって制限されます。

VoiceTranscriptObject - addVoiceInteractionMessage(文字列 **interactionId**, 文字列 **json**)

指定された音声トランザクションレコードに指定されたメッセージを追加します。

コールのリアルタイム文字起こし中にこのエンドポイントを複数回呼び出すことも、履歴目的でコールを文字起こしする場合は、1 回の呼び出しですべてのメッセージを渡すこともできます。リアルタイムの会話を処理する場合は、メッセージが適切なタイミングで エージェントワークスペース に表示されるように、このエンドポイントを頻繁に呼び出す必要があります。メッセージは、コールの開始を基準にした開始時刻と終了時刻に基づいて順序付けされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
interactionId	文字列	指定されたメッセージを追加するインタラクションレコードのSys_id。この値は VoiceTranscriptObject - startVoiceInteraction(文字列 json) メソッドによって返され、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。
<json_string>	文字列 (オブジェクトのアレイ)	指定された音声インタラクションに添付するメッセージのリスト。 `"<json_string>":[ { "attributes": [Array], "beginOffsetMillis": Long, "content": "String" "endOffsetMillis": Long, "id": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"isEvent": Boolean,
		"isInternalMessage": Boolean,
		"loudnessScore": "Number",
		"participantId": "String",
		"sentiment": "String"
		}
		]</pre>

<json_string>.属性	オブジェクトのアレイ	音声インタラクションに関連付けるキーと値のペア。 これらは、単純なオブジェクトから複雑な複合オブジェクトまで、あらゆるタイプのデータオブジェクトにすることができます。これらは、Amazon Web サービス API を呼び出すときに一意の識別子として使用されます。 デフォルト：なし
<json_string>.beginOffsetMillis	長さ	必須です。音声インタラクションの開始と関連するメッセージの開始の間の時間オフセット。例:"beginOffsetMillis": 2650。 単位：ミリ秒
<json_string>.コンテンツ	文字列	必須です。音声インタラクションに追加するメッセージのテキスト。
<json_string>.endOffsetMillis	長さ	必須です。音声インタラクションの開始からメッセージの終了までの時間オフセット。例:"endOffsetMillis": 9380。 単位：ミリ秒
<json_string>.id	文字列	この音声会話のソースのメッセージ UUID (AmazonConnect など)。ソースメッセージ ID 列の値を設定します。 デフォルト：なし
<json_string>.isEvent	ブール	Amazon Connect によって設定されますが、メソッドでは現在使用されていません。関連付けられたメッセージがイベントかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メッセージはイベントです。 • false:メッセージはイベントではありません。 デフォルト値：false
<json_string>.isInternalMessage	ブール	これが内部メッセージであり、発信者に表示してはならないかどうかを示すフラグ。 文字起こしは通常、内部メッセージと見なされ、エージェントにのみ表示され、発信者には表示されません。さらに、エージェントウィスパーは、サイレントなサードパーティがチャット中、または発信者に知られずに電話での会話に持ち込まれ、エージェントにアドバイスを提供する場合に使用されます。発信者はこれら

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		のメッセージを聞いたり見たりしませんが、エージェントには聞こえます。 有効な値： • true:内部メッセージ。発信者に表示されません。 • false:内部メッセージではなく、発信者に表示します。 デフォルト値：false
<json_string>.loudnessScore	整数	顧客またはエージェントが通話中にどれだけ大きな声で話しているかに関する測定。 Contact Lens は、会話の分析を表示し、どこで大声で話していて、否定的な感情を持っているかを示します。 デフォルト：Null
<json_string>.participantId	文字列	必須。メッセージに関連付けられた参加者。 有効な値： • 顧客 • エージェント
<json_string>.sentiment	文字列	メッセージの感情。 この値は、サードパーティプロバイダーによって生成されます。ServiceNowインスタンス構成設定に基づいて、この値は正、負、または中立のいずれかに変換され、会話およびインタラクションレコードに保存されます。 有効な値： • ー • ニュートラル • ＋ デフォルト：Null

返される内容

タイプ	説明
文字列	コールの結果を説明するメッセージ。
文字列	成功した場合、作成された音声インタラクションメッセージレコードのsys_id。音声トランスクリプト会話メッセージ [sys_cs_message_voice_transcript] テーブルにあります。 エラーが発生した場合は、失敗の理由を説明するエラーメッセージ。

次の例は、既存の音声インタラクションレコードにメッセージを追加する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var request = [
  {
    "isEvent":"False",
    "isInternalMessage":"False",
    "beginOffsetMillis":100000,
    "content":"This is John. How can I help you?",
    "endOffsetMillis":150000,
    "id":"954c4edc-31a8-48b0-8f6e-7fa0c4ca00a8",
    "participantId":"AGENT",
    "sentiment":"NEUTRAL"
  },
  {
    "isEvent":"False",
    "isInternalMessage":"False",
    "beginOffsetMillis":200000,
    "content":"Uh, yes, John. Um, I'm a little very frustrated right
 now.",
    "endOffsetMillis":25000,
    "id":"18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
    "participantId":"CUSTOMER",
    "sentiment":"NEGATIVE"
  }
];

gs.log(sn_cs.VoiceTranscriptObject.addVoiceInteractionMessage("1f4ed6fdb7
471110b6e8bc15ae11a971", JSON.stringify(request)));
```

出力:

```
// Success
Voice conversation transcript has been successfully saved. Conversation
 id: ea01113cb7f71110b6e8bc15ae11a94d

// Error
Exception occurred while adding the message: <error message>
```

VoiceTranscriptObject - createConversation(文字列 **interactionId**, 文字列 **json)**

指定されたインタラクションの会話 [sys_cs_conversation] テーブル内に会話レコードを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
interactionId	文字列	会話レコードを作成するインタラクションレコードのSys_id。この値は VoiceTranscriptObject - startVoiceInteraction(文字列 json) メソッドによって返され、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。
<json_string>	文字列	入力パラメーターの JSON 文字列。 `"<json_string>": { "agentId": "String", "callerPhoneNumber": "String", "clientSessionId": "String", "inboundId": "String", "userId": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
<json_string>.agentId	文字列	音声インタラクションをアサインするエージェントの一意の識別子。ユーザー [sys_user] テーブルの [ユーザー ID] フィールドにあります。 デフォルト：なし。次に対応可能なエージェントにアサインされます。
<json_string>.callbackPhoneNumber	文字列	発信者のコールバック電話番号。これは、コールが切断された場合に、エージェントが発信者に連絡するために使用する番号です。 フォーマット:E.164規格準拠 デフォルト：なし
<json_string>.clientSessionId	文字列	この電話を追跡するために使用される外部システム内のレコードの一意の識別子。この情報は、2 つのシステム間でレコードをリンクします。 デフォルト：なし
<json_string>.inboundId	文字列	音声サービスのアプリケーションプロバイダーの一意の識別子。プロバイダーチャネルアプリケーション [sys_cs_provider_application] テーブルの [受信 ID] フィールドにあります。 デフォルト:チャットからプル
<json_string>.userId	文字列	必須です。音声トランザクションに関連付けられたコールを発信した発信者の電話番号。 形式:音声会話スクリプトを作成したソフトウェアによって定義されます。通常、E.164 標準に準拠しています。

返される内容

タイプ	説明
文字列	成功した場合、新しく作成された会話レコードのsys_idを返します。会話 [sys_cs_conversation] テーブルにあります。エラーが発生した場合は、詳細なエラーメッセージを返します。

次のコード例は、このメソッドを使用して新しい会話レコードを作成する方法を示しています。

```
var request = {
  "userId": "+14089178877"
};

var response =
 sn_cs.VoiceTranscriptObject.createConversation("e0fc03d7b7a21110b6e8bc15
ae11a96c", JSON.stringify(request));
gs.log("Conversation id: " + JSON.stringify(response));
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
// Success
{"conversationId":"28435dbcb7f71110b6e8bc15ae11a972","status":"SUCCESS"}

// Error
{"error":"Exception occurred while creating a conversation: <error
 message>","status":"FAILED"}
```

VoiceTranscriptObject - endVoiceInteraction(文字列 **interactionId**, 文字列 **json**)

指定された音声インタラクションを終了します。いったんコールされると、電話での会話用にそれ以上の音声メッセージが翻訳されて保存されることはありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
interactionId	文字列	音声インタラクションを終了するインタラクションレコードの Sys_id。インタラクション [interaction] テーブルにあります。
<json_string>	JSON 文字列	オプション。音声インタラクションに関する追加情報を含むパラメーター。 `"<json_string>": { "recordingURL": "String" }`
<json_string>.recordingURL	文字列	オプション。元の音声録音がある URL。 設定されている場合、この URL は エージェントワークスペースで表示されます。 デフォルト：なし

返される内容

タイプ	説明
文字列	成功した場合は [成功] を返します。エラーが発生した場合は、詳細なエラーメッセージを返します。

次のコード例は、アクティブな音声操作を終了し、元の音声録音 URL を渡す方法を示しています。

```
var request = {
  "recordingURL": "https://servicenow.zoom.us/rec/QbF7XmPFHPlX1LG"
};

gs.log(sn_cs.VoiceTranscriptObject.endVoiceInteraction("1f4ed6fdb7471110b
6e8bc15ae11a971", JSON.stringify(request)));
```

出力:

```
// Success
Success

// Error
Exception occurred while ending the interaction: <error message>
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VoiceTranscriptObject - saveVoiceConversationTranscript(文字列 **voiceConversationJson)**

サードパーティの音声会話のトランスクリプトデータを ServiceNow インスタンス内のテーブルに保存し、カスタマーサービス管理 (CSM)を介してアクセスできるようにします。

通常、こういった音声会話はサードパーティベンダーのソフトウェアを使用して生成されます。このメソッドでは、渡された JSON を解析し、ServiceNow インスタンス内の会話 [sys_cs_conversation]、会話メッセージ [sys_cs_message]、および音声トランスクリプト会話メッセージ [sys_cs_message_voice_transscript] テーブルにデータを保存します。CSM はこれらのテーブルの情報にアクセスして、音声会話のトランスクリプトを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明

voiceConversationJson	文字列	保存する音声会話を表す JSON。この JSON は、OpenFrame などの別の ServiceNow プラグインによって送信されます。Amazon などのサードパーティベンダーがその JSON をプラグインに送信します。関連するプラグインが音声会話を解析し、必要な形式で 仮想エージェント に JSON を送信します。
		
		たとえば、以下は Amazon Connect の会話の例です。
		
		`{`
		
		`"interactionId":"bgr09b5a-7308-47b2-jy97-737de9f45d19",`
		`"source":"AmazonConnect",`
		`"conversationStarted":"2021-08-06 15:07:51",`
		`"transcript":[`
		`{`
		`"isEvent":"False",`
		`"isInternalMessage":"False",`
		`"beginOffsetMillis":2650,`
		`"content":"This is John. How can I help you? Yeah,",`
		`"endOffsetMillis":9380,`
		
		`"id":"954c4edc-31a8-48b0-8f6e-7fa0c4ca00a8",`
		`"participantId":"AGENT",`
		`"Sentiment":"NEUTRAL",`
		`"loudnessScore":"null,null",`
		`"attributes": [{`
		`"key":"key1",`
		`"value":"value1"`
		`},{`
		`"key":"key2",`
		`"value":"value2"`
		`}]`
		`},`
		`{`
		`"isEvent":"False",`
		`"isInternalMessage":"False",`
		`"beginOffsetMillis":9120,`
		`"content":"Uh, yes, John. I'm a little very frustrated right now.",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		"endOffsetMillis":22900,
		
		"id":"18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
		"participantId":"CUSTOMER",
		"sentiment":"NEGATIVE",
		"loudnessScore":"null,null",
		"attributes": [{
		"key":"key1",
		"value":"value1"
		},{
		"key":"key2",
		"value":"value2"
		}]
		},
		{
		"isEvent":"True",
		"isInternalMessage":"True",
		"beginOffsetMillis":23590,
		"content":"Agent asked for help in chat",
		"endOffsetMillis":30610,
		
		"id":"ab09b3b6-23fd-4e41-be05-6b2b53c19059",
		"participantId":"CUSTOMER",
		"sentiment":"NEUTRAL",
		"loudnessScore":"null,null,null,null",
		"attributes": []
		}
		]
		}

返される内容

タイプ	説明
文字列	メソッド呼び出しの結果。 返される可能性のある結果は次のとおりです。 • 音声会話のトランスクリプトが正常に保存されました。会話 ID：`<transcript_record_sys_id>` • 音声会話のトランスクリプトを保存できませんでした。(Voice conversation transcript could not be saved.) 詳細エラー：`<エラーの詳細>` (Detail error: <error details>) • エラー：要求に InteractionId がありません。(ERROR: InteractionId is missing in the request.) • エラー：要求で指定されたインタラクションはすでに処理されています。 (ERROR: Interaction specified in the request has already been processed.)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、 *saveVoiceConversationTranscript()* メソッドを呼び出して Amazon Connect トランスクリプトを保存する方法を示します。

```
var voiceConversationJson = "{\n" +
  "   \"interactionId\":\"e67a6c30c7233010967a34c91dc26068\",\n" +
  "   \"source\":\"AmazonConnect\",\n" +
  "   \"conversationStarted\":\"2021-08-06 15:07:51\",\n" +
  "   \"transcript\":[\n" +
  "      {\n" +
  "         \"isEvent\":\"False\",\n" +
  "         \"isInternalMessage\":\"False\",\n" +
  "         \"beginOffsetMillis\":2650,\n" +
  "         \"content\":\"This is John. How can I help you? Yeah,\",\n" +
  "         \"endOffsetMillis\":9380,\n" +
  "         \"id\":\"954c4edc-31a8-48b0-8f6e-7fa0c4ca00a8\",\n" +
  "         \"participantId\":\"AGENT\",\n" +
  "         \"sentiment\":\"NEUTRAL\",\n" +
  "         \"loudnessScore\":\"null,null\",\n" +
  "         \"attributes\": [{\n" +
  "           \"key\":\"key1\",\n" +
  "           \"value\":\"value1\"\n" +
  "         },{\n" +
  "           \"key\":\"key2\",\n" +
  "           \"value\":\"value2\"\n" +
  "         }\n" +
  " ]\n" +
  "      },\n" +
  "      {\n" +
  "         \"isEvent\":\"False\",\n" +
  "         \"isInternalMessage\":\"False\",\n" +
  "         \"beginOffsetMillis\":9120,\n" +
  "         \"content\":\"Uh, yes, John. I'm a little frustrated right
 now.\",\n" +
  "         \"endOffsetMillis\":22900,\n" +
  "         \"id\":\"18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f\",\n" +
  "         \"participantId\":\"CUSTOMER\",\n" +
  "         \"sentiment\":\"NEGATIVE\",\n" +
  "         \"loudnessScore\":\"null,null\",\n" +
  "         \"attributes\": [{\n" +
  "           \"key\":\"key1\",\n" +
  "           \"value\":\"value1\"\n" +
  "         },{\n" +
  "           \"key\":\"key2\",\n" +
  "           \"value\":\"value2\"\n" +
  "         }\n" +
  " ]\n" +
  "      },\n" +
  "      {\n" +
  "         \"isEvent\":\"False\",\n" +
  "         \"isInternalMessage\":\"False\",\n" +
  "         \"beginOffsetMillis\":9120,\n" +
  "         \"content\":\"I am sorry to hear that\",\n" +
  "         \"endOffsetMillis\":22900,\n" +
  "         \"id\":\"18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f\",\n" +
  "         \"participantId\":\"AGENT\",\n" +
  "         \"sentiment\":\"NEGATIVE\",\n" +
  "         \"loudnessScore\":\"null,null\",\n" +
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "          \"attributes\": [{\n" +
  "            \"key\":\"key1\",\n" +
  "            \"value\":\"value1\"\n" +
  "          },{\n" +
  "            \"key\":\"key2\",\n" +
  "            \"value\":\"value2\"\n" +
  "          }\n" +
  " ]\n" +
  "       },\n" +
  "       {\n" +
  "          \"isEvent\":\"false\",\n" +
  "          \"isInternalMessage\":\"false\",\n" +
  "          \"beginOffsetMillis\":23590,\n" +
  "          \"content\":\"I am having problems with my computer\",\n" +
  "          \"endOffsetMillis\":30610,\n" +
  "          \"id\":\"ab09b3b6-23fd-4e41-be05-6b2b53c19059\",\n" +
  "          \"participantId\":\"CUSTOMER\",\n" +
  "          \"sentiment\":\"NEUTRAL\",\n" +
  "   \"loudnessScore\":\"null,null,null,null\",\n" +
  "          \"attributes\": [\n" +
  "   ]\n" +
  "       },\n" +
  "       {\n" +
  "          \"isEvent\":\"True\",\n" +
  "          \"isInternalMessage\":\"True\",\n" +
  "          \"beginOffsetMillis\":23590,\n" +
  "          \"content\":\"Agent asked for help in chat\",\n" +
  "          \"endOffsetMillis\":30610,\n" +
  "          \"id\":\"ab09b3b6-23fd-4e41-be05-6b2b53c19059\",\n" +
  "          \"participantId\":\"CUSTOMER\",\n" +
  "          \"sentiment\":\"NEUTRAL\",\n" +
  "   \"loudnessScore\":\"null,null,null,null\",\n" +
  "          \"attributes\": [\n" +
  "   ]\n" +
  "       }\n" +
  "    ]\n" +
  "}\n";
var result =
 sn_cs.VoiceTranscriptObject.saveVoiceConversationTranscript(voiceConvers
ationJson);
gs.log(result);
```

出力:

```
Voice conversation transcript has been successfully saved. Conversation
 id: 9c573169c611228700193229fff72400
```

VoiceTranscriptObject - startVoiceInteraction(文字列 **json**)

インタラクション [interaction] テーブル内に音声インタラクションレコードを作成します。

文字起こしされた音声メッセージを保存する前に、このレコードを作成する必要があります。また、このメソッドを使用して、特定のユーザー ID ir を渡すことで、特定のエージェントにコールを割り当てることもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
<json_string>	文字列	入力パラメーターの JSON 文字列。 `"<json_string>": { "agentId": "String", "callerPhoneNumber": "String", "clientSessionId": "String", "inboundId": "String", "userId": "String"`
<json_string>.agentId	文字列	音声インタラクションをアサインするエージェントの一意の識別子。ユーザー [sys_user] テーブルの [ユーザー ID] フィールドにあります。 デフォルト：なし。次に対応可能なエージェントにアサインされます。
<json_string>.callerPhoneNumber	文字列	発信者のコールバック電話番号。これは、コールが切断された場合に、エージェントが発信者に連絡するために使用する番号です。 フォーマット:E.164規格準拠 デフォルト：なし
<json_string>.clientSessionId	文字列	この電話を追跡するために使用される外部システム内のレコードの一意の識別子。この情報は、2 つのシステム間でレコードをリンクします。 デフォルト：なし
<json_string>.inboundId	文字列	音声サービスのアプリケーションプロバイダーの一意の識別子。プロバイダーチャネルアプリケーション [sys_cs_provider_application] テーブルの [受信 ID] フィールドにあります。 デフォルト:チャットからプル
<json_string>.userId	文字列	必須です。音声トランザクションに関連付けられたコールを発信した発信者の電話番号。 形式:音声会話スクリプトを作成したソフトウェアによって定義されます。通常、E.164 標準に準拠しています。

返される内容

タイプ	説明
文字列	メソッド呼び出しの結果。 返される可能性のある結果は次のとおりです。 • 成功: {"interactionId":"<interaction_sys_id>","status":"SUCCESS"} • エラー: {"error":"<error message>","status":"FAILED"}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、音声インタラクションレコードを作成する方法を示しています。

```
var request = {
  "userId": "+14089178877",
  "callerPhoneNumber": "+14089178878",
  "clientSessionId": "f8453abb-a33d-45b7-bf01-52b7a821e99z"
};
var response =
 sn_cs.VoiceTranscriptObject.startVoiceInteraction(JSON.stringify(request
));
gs.log(JSON.stringify(response));
```

出力:

```
// Success
{"interactionId":"ea01113cb7f71110b6e8bc15ae11a950","status":"SUCCESS"}

// Error
{"error":"Exception occurred while starting the interaction: <error
 message>","status":"FAILED"}
```

WalkWorkflow - グローバル

WalkWorkflow スクリプトインクルードは、ワークフローをウォークし、各アクティビティの後続タスクのリストと、ワークフロー内のアクティビティの深度を示す最短パスの順序を返すメソッドを提供します。

Walkworkflow - Walkworkflow(GlideRecord workflowVersion)

Walkworkflow クラスのコンストラクター。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowVersion	GlideRecord	分析するワークフローバージョンのテーブル wf_workflow_version の *GlideRecord*。

返される内容

タイプ	説明
Workflow	作成されたワークフローオブジェクト。

Walkworkflow - computeFullSequences()

すべてのパスの完全なシーケンスを計算します。

ここでは Join アクティビティでパスを結合しません。このメソッドを呼び出した後、*getSequences()* を呼び出して計算済みのシーケンスを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

Walkworkflow - computeSequences()

アクティビティのシーケンスを計算します。

結合につながるすべてのシーケンスが結合で終了し、その結合から単一のシーケンスが計算されます。これにより、すべてのシーケンスを結合までウォークアップし、結合からシーケンスをウォークアップできるようになります。このメソッドを呼び出した後、`getSequences()` の呼び出しによって計算済みのシーケンスが取得されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

Walkworkflow - dump()

このクラスの内部ステータスを `gs.print()` に出力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

Walkworkflow - dumpSequences()

このクラスまでの内部のシーケンスを `gs.print()` に出力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

Walkworkflow - dumpShortestPathOrders(description)

このオブジェクトまでの内部の最短のパスの順序を `gs.print()` に出力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

Walkworkflow - getActivitiesAtOrder(数字 **order)**

指定された最短のパスの順序ですべてのアクティビティを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
order	数字	クライアントが関心を持っている順序番号。

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	指定された順序でのアクティビティの sys_id のアレイ。空のアレイが返された場合、それ以上のアクティビティはありません。

Walkworkflow - getSequences( )

アクティビティのシーケンスを返します。

このメソッドを呼び出す前に、`walk()` メソッドを呼び出しておく必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	| で区切られたシーケンスの文字列。各シーケンスは、アクティビティ ID のカンマ区切りリストです (テーブル wf_workflow_activity)。

Walkworkflow - walk(ブーリアン **fullSequences)**

ワークフローを実行し、アクティビティの最短パスの順序を設定します。

このメソッドを呼び出した後、クライアントがさまざまなアクセサーメソッドを呼び出して、ワークフローに関連するデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fullSequence	ブーリアン	(オプション) **true** の場合、完全なシーケンスを計算します。デフォルトは false です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - グローバル

*WFActivityHandler*スクリプトインクルードは、すべてのワークフローアクティビティの基底クラスです。

すべてのワークフローアクティビティの基底クラスとして、このコードは常にアクティビティの一部として実行されます。

独自のワークフローアクティビティを開発する際は、このクラスから派生させる形でスクリプトオブジェクトを作成し、必要に応じてメソッドを上書きして必要な機能を実現します。意味のあるアクティビティ処理を実行するためには、クライアントコードでメソッド *onExecute()* を上書きする必要があります。

WFActivityHandler - debug(文字列 **msg**, 文字列 **args)**

デバッグメッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	文字列	ログに送信する文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - debug(文字列 **msg**, アレイ **args)**

デバッグメッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	アレイ	ログに送信する値のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - generate(文字列 **activityId**, 文字列 **order**, **GlideDateTime startAtDspValue**, ブーリアン **noCreateFlag)**

今後の作業のプレビューのため、アクティビティを実行する前に承認とタスクを生成します。

保留中ステータスのワークフローを開始する際にオブジェクトを生成できるようにします。関連情報については、「ワークフロー アクティビティの生成」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
activityId	文字列	この実行中アクティビティの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。
order	文字列	タスクまたは承認に関連付けられた順序番号。
startAtDspValue	文字列	タスクまたは承認の、GlideDateTime 形式の開始時間。
noCreateFlag	ブーリアン	承認レコードの作成をスキップするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：承認レコードを作成しない。 • false：承認レコードを作成する。 デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ワークフロースクラッチパッドに保存されている生成前のオブジェクト。例えば、オブジェクトが承認 ID のアレイであるとします。アクティビティが `onExecute` 関数を実行すると、次のいずれかの条件を判断するよう生成前のオブジェクトに要求できます。 • 承認がすでに保留中ステータスで作成されている。 • アクティビティが `onExecute` 関数を使用して承認を作成する必要がある。

WFActivityHandler - info(文字列 **msg**, 文字列 **args)**

情報メッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	文字列	ログに送信する文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - info(文字列 **msg**, アレイ **args)**

情報メッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	アレイ	ログに送信する値のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - js(文字列 **str)**

スクリプト内のアクティビティ変数を評価します。

`${some script}` などの el 式を含む文字列または `javascript:` で始まる文字列を評価するために使用されます。使用例は、ほぼすべての既存のアクティビティに入っていますので参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
str	文字列	el 式が埋め込まれている可能性がある文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	評価済みの文字列。

WFActivityHandler - onCancel( )

cancel イベントのイベントハンドラー。

アクティビティスクリプトの基底クラスが、このアクティビティをキャンセルするように設定します。このアクティビティをキャンセルするために追加の処理が必要な場合は、派生クラス (アクティビティ) でこのメソッドを上書きできます。アクティビティ *Manual Approvals* は、このメソッドを上書きして、このアクティビティをキャンセルするための追加処理を実行する処理の例です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - onExecute( )

仮想的なメソッド。アクティビティに適した作業を実行するためには、アクティビティのサブクラスでこのメソッドを上書きする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - runScript(文字列 script)

スクリプトタイプのアクティビティ変数に含まれるスクリプトをアクティビティで実行できるようにします。

このメソッドを使用するアクティビティの例としては、If、*Wait for condition*、および *Approval - User* があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
スクリプト	文字列	有効な Javascript を含む文字列。

返される内容

タイプ	説明
変数	スクリプトがワークフロー変数 *answer* を設定した場合、この値が返されます。そうでない場合は、スクリプトの実行結果が返されます。

WFActivityHandler - setActivityOutput( )

アクティビティ出力プロパティを設定します。

「アクティビティ *SOAP Message*」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - setResultFailed(文字列 **reason)**

アクティビティの結果を失敗として設定し、オプションの reason 文字列を指定します。

「アクティビティ *SOAP Message*」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
reason	文字列	(オプション) このアクティビティが失敗した理由の説明。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - setResultSucceeded( )

このアクティビティの結果を成功として設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - warn(文字列 **msg**, 文字列 **args)**

警告メッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	文字列	ログに送信する文字列

返される内容

タイプ	説明
なし	

WFActivityHandler - warn(文字列 **msg**, アレイ **args)**

警告メッセージをログに記録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msg	文字列	ログに送信するメッセージ。
args	アレイ	ログに送信する値のアレイ

返される内容

タイプ	説明
なし	

WindowsOSNameHelper - グローバル

WindowsOSNameHelper スクリプトインクルードは、Windows OS 名のフォーマットを処理するメソッドを提供します。

OS 名を書式設定する必要があるサーバー側の検出スクリプトで使用します。

WindowsOSNameHelper - formatWindowsOSName(文字列 **name)**

指定された Windows OS 名を書式設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	書式設定する名前

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された名前

WindowsOSNameHelper - makeOSChoiceValid(文字列 **value)**

OS の選択が有効であることを確認します。

注: 使用廃止。`OSChoice.reconcile()` を使用する

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	検証する値

返される内容

タイプ	説明
なし	

WindowsOSNameHelper - osCleanupName(文字列 **name)**

正しくない文字や、正しくない大文字、余分なスペース、末尾のスペースを削除して、指定された Windows OS 名をクリーンアップします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	クリーンアップする名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クリーンアップされた名前

ワークフロー - グローバル

`ワークフロー`スクリプトインクルードは、ワークフローエンジンとのインターフェイスとなるメソッドを提供します。

ここで説明するメソッドを使用してワークフローを操作します。

Workflow - broadcastEvent(文字列 **contextId**, 文字列 **eventName)**

指定されたイベント (メッセージ) をワークフローコンテキストに送信して、実行中のアクティビティに渡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドは通常、何らかのアクションが発生するまで処理を待機するアクティビティを有効にするために使用します。*broadcastEvent* の使用に関する追加情報については、「ワークフローイベント固有の関数」を参照してください。

利用可能な OOB イベントのリストについては、「ベースシステムのワークフローイベント」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	コンテキスト ID。
eventName	文字列	イベントの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//where current is a task record with a workflow context
      var wf = new Workflow().getRunningFlows(current);
      while(wf.next()) {
          new Workflow().broadcastEvent(wf.sys_id, 'resume');
      }
```

Workflow - cancel(GlideRecord record)

このレコード上で実行中のすべてのワークフローのアクティビティに *cancel* イベントをブロードキャストすることによって、このレコード上で実行中のすべてのワークフローをキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	任意のテーブルの *GlideRecord*。このレコード上で実行中のすべてのワークフローがキャンセルされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//get workflow helper
      var workflow = new Workflow();
      //cancel all the workflows, where current is a task record with a
 workflow context
      workflow.cancel(current);
      gs.addInfoMessage(gs.getMessage("Workflows for {0} have been
 cancelled", current.getDisplayValue()));
```

Workflow - cancelContext(GlideRecord context)

このワークフローコンテキストのアクティビティに *cancel* イベントをブロードキャストすることで、実行中のコンテキストをキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	GlideRecord	キャンセルする実行中のコンテキストの *GlideRecord*。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// If a workflow has started for this item, cancel it, where current is a
 task record with a workflow context
      if ((current.stage == 'Request Cancelled') && current.context
          && !current.context.nil()) {
      var w = new Workflow();
      var now_GR = new GlideRecord('wf_context');

      if (now_GR.get(current.context))
          w.cancelContext(now_GR);
      }
```

Workflow - deleteWorkflow(GlideRecord current)

レコード上のすべてのワークフローを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	発信者がすべてのワークフローを削除する *GlideRecord*。任意のテーブルの任意のレコードに設定できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//where current is a task record with a workflow context
      var wkfw = new Workflow();
      wkfw.deleteWorkflow(current);
```

ワークフロー - **fireEvent(GlideRecord eventRecord, String eventName, Object eventParms)**

入力レコードで実行中のワークフローの名前付きイベントを発生させます。

承認コーディネーター、タイマー、ロック、およびその他のアクティビティで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventRecord	GlideRecord	ワークフロー実行アクティビティ [wf_executing] テーブルにリストされているイベントレコード。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
eventName	文字列	実行中のワークフローに送信するイベントの名前。
eventParms	オブジェクト	オプション。イベントで使用される JSON 形式のパラメーター。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// where current is a task record with a workflow context
  var w = new Workflow();
  w.fireEvent(current, 'execute');
```

Workflow - fireEventById(文字列 **eventRecordId**, 文字列 **eventName)**

レコード ID で指定されたレコード上で指定のイベントを発生させます。

承認コーディネーター、タイマー、ロック、およびその他のアクティビティで使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventRecordId	文字列	Glide レコードの sys_id。
eventName	文字列	実行中のワークフローに送信するイベントの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var wkfw = new Workflow();
      wkfw.fireEventById('f2400ec10b0a3c1c00ca5bb5c6fae427','Timer');
```

Workflow - getContexts(GlideRecord record)

指定されたレコードのすべてのワークフローコンテキストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	発信者がすべてのワークフローコンテキストのリストを要求する対象の *GlideRecord*。実行中のワークフローコンテキストを発信者が必要としているテーブル上のレコードであればどれにでも設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定されたレコードのすべてのワークフローコンテキスト (実行中、キャンセル、完了などの任意のステータス) に対してフィルタリングされたワークフローコンテキスト [wf_context] テーブル内の GlideRecord。

```
//where current is a task record with a workflow context
var wkfw = new Workflow();
var context = wkfw.getContexts(current);
while (context.next())
  gs.print(context.started);
```

Workflow - getEstimatedDeliveryTime(文字列 workflowId)

ワークフローが完了する推定時刻を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowId	文字列	推定の実行時間を取得するワークフロー (テーブル wf_workflow) の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDuration の表示値 (例：3 日)。不明な場合は空白。

```
var wkfw = new Workflow();

 gs.print(wkfw.getEstimatedDeliveryTime('b99a866a4a3623120074c033e005418f
'));
```

2 日

Workflow - getEstimatedDeliveryTimeFromWFVersion(GlideRecord wfVersion)

ワークフローバージョンの推定実行経過時間を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
wfVersion	GlideRecord	発信者が推定実行時間を要求する特定のワークフローバージョンの、テーブル wf_workflow_version の *GlideRecord*。

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideDuration の表示値 (例：3 日)。不明な場合は空白。

```
//where current is a task record with a workflow context
      var wkfw = new Workflow();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      var context = wkfw.getContexts(current);

 gs.print(wkfw.getEstimatedDeliveryTimeFromWFVersion(context.wf_version
));
```

Workflow - getReturnValue(文字列 workflowID, 数字 amount, ブーリアン result)

入力されたワークフロー ID に対する適切なワークフローのリターン値を取得します。 このワークフローは、現在のユーザーによってチェックアウトされたワークフローと、最新の日付で公開されたワークフローのいずれかです。

このワークフローは、現在のユーザーによってチェックアウトされたワークフローと、最新の日付で公開されたワークフローのいずれかです。このメソッドは Fuji 以降のリリースで利用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowID	文字列	ワークフロー (テーブル wf_workflow) の sys_id
amount	数値	amount
result	ブーリアン	true の場合は **true**

返される内容

タイプ	説明
???	[リターン値] アクティビティで指定されたワークフローのリターン値。[リターン値] アクティビティのないワークフローは null 値を返します。

```
var wkfw = new Workflow();
      wkfw.getReturnValue('context');
```

出力：

```
*** Script: b99a866a4a3623120074c033e005418f
```

Workflow - getRunningFlows(GlideRecord record)

入力レコードに対する現在実行中のすべてのワークフローコンテキストを取得します。

入力レコードは、実行中のワークフローコンテキストを発信者が必要としているテーブル上の任意のレコードです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	発信者がすべての実行中のワークフローのリストを要求しているレコードの *GlideRecord*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	テーブル wf_context 上の、実行中のすべてのワークフローコンテキストに対してフィルタリングされた GlideRecord。

```
//where current is a task record with a workflow context
      var wf = new Workflow().getRunningFlows(current);
      while(wf.next()) {
          new Workflow().broadcastEvent(wf.sys_id, 'pause');
      }
```

Workflow - getVersion(文字列 **workflowID)**

入力されたワークフロー ID に対する適切なワークフローのバージョンを取得します。 このワークフローは、現在のユーザーによってチェックアウトされたワークフローと、最新の日付で公開されたワークフローのいずれかです。

このワークフローは、現在のユーザーによってチェックアウトされたワークフローと、最新の日付で公開されたワークフローのいずれかです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowID	文字列	ワークフロー (テーブル wf_workflow) の sys_id

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var wkfw = new Workflow();
      wkfw.getVersion('b99a866a4a3623120074c033e005418f');
```

Workflow - getVersionFromName(文字列 **workflowName)**

入力されたワークフロー名に対する適切なワークフローのバージョンを返します。

詳細については「*getVersion()*」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowName	文字列	ワークフロー (テーブル wf_workflow) の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var wkfw = new Workflow();
      wkfw.getVersionFromName('Emergency Change');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Workflow - getWorkflowFromName(文字列 workflowName)

指定されたワークフロー名に関連付けられたワークフローの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowName	文字列	ワークフローの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された名前に関連付けられたワークフローの sys_id。

```
var wflw = new Workflow();
      gs.print(wflw.getWorkflowFromName('Emergency Change'));
```

Workflow - hasWorkflow(GlideRecord record)

指定されたレコードにワークフローコンテキストが関連付けられているかどうかを判断します。

実行中のワークフローコンテキストと完了したワークフローコンテキストが対象となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	監視下の *GlideRecord*。この *GlideRecord* は任意のテーブルから取得できます。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードにワークフローが関連付けられている場合は true、そうでない場合は false を返します。

```
var wkfw = new Workflow();
      gs.print(wkfw.hasWorkflow('f2400ec10b0a3c1c00ca5bb5c6fae427'));
```

false

Workflow - restartWorkflow(GlideRecord current, ブーリアン maintainStateFlag)

現在の承認とタスクをリセットしないまま、新しい承認とタスクを追加してワークフローの承認とタスクを再計算します。

このメソッドを使用すると、すでにワークフローにある会社に対する現行の承認をリセットすることなく、変更要求への会社の追加などのタスクを実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	GlideRecord	このワークフローが実行しているレコードの *GlideRecord*。任意のテーブルの任意のレコードに設定できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
maintainStateFlag	ブーリアン	すべての承認とタスクを現在のステータスで維持するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての承認とタスクを現在のステータスで維持する。 • false：すべての承認とタスクのステータスを更新する。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、承認ファイルが [却下] から [要求済み] に変更されたことで再開されるワークフローを示しています。

```
(function(){
  var comment = 'Workflow Restarted - the Approval Field changing from
 Rejected to Requested';
  var gLock = new GlideRecordLock(current);
    gLock.setSpinWait(50);
  if (gLock.get()) {
    new Workflow().restartWorkflow(current, false);
    current.setDisplayValue('approval_history', comment);
  }
})
```

Workflow - runFlows(GlideRecord record, 文字列 operation)

指定されたテーブルとその子孫テーブル内の、指定されたレコードに対するすべてのワークフローを実行します。

使用例は、「SNC - Run parent workflows」および「SNC - Run parent workflows (Approval)」スクリプトインクルードで確認できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	ワークフローの実行対象の GlideRecord。
operation	文字列	データベース操作。 有効な値： • insert • update • delete

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord('wf_test');
now_GR.addQuery('parent', current.parent);
now_GR.addQuery('sys_id','!=',current.sys_id);
now_GR.query();
while(now_GR.next()) {
    new Workflow().runFlows(now_GR, 'update');
}
```

Workflow - startFlow(文字列 **workflowId**, **GlideRecord current**, 文字列 **operation**, アレイ **vars**)

指定されたワークフローを開始します。

使用例については、テーブル sc_req_item のスクリプトインクルード WorkflowScheduler およびビジネスルール「Start Workflow」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowId	文字列	開始するワークフローの sys_id。この sys_id はテーブル wf_workflow を指します。
current	GlideRecord	このワークフローで現行として使用するレコード。このレコードは通常、このワークフローのワークフロープロパティの *Table* フィールドから取得されます。
operation	文字列	*current* で実行する操作。可能な値：**insert**、**update**、**delete**。
変数	アレイ	ワークフローに追加する変数のコレクション

```
////where current is a task record with a workflow context
      var w = new Workflow();
      var context = w.startFlow(id, current, current.operation(),
 getVars());
```

Workflow - startFlowFromContextInsert(GlideRecord context, 文字列 **operation)**

ビジネスルール *Auto start on context* のヘルパーメソッド。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	GlideRecord	新しいレコード (ビジネスルールの「current」レコード) のテーブル wf_context の GlideRecord。
operation	文字列	実行中のデータベース操作。*insert*、*update*、*delete* のいずれかです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//where current is a task record with a workflow context
      current.name = current.workflow_version.name;
      current.started_by.setValue(gs.userID());

      if (gs.nil(current.id)) {
        var now_GR = new GlideRecord('wf_workflow_execution');
        now_GR.name = current.name;
        now_GR.insert();

        current.table = 'wf_workflow_execution';
        current.id = now_GR.sys_id;
      }

      var wf = new Workflow();
      wf.startFlowFromContextInsert(current, current.operation())
```

Workflow - startFlowRetroactive(文字列 **workflowId**, 数字 **retroactiveMSecs**, **GlideRecord current**, 文字列 **operation**, アレイ, **???)**

テーブル task_sla のビジネスルール *Start Workflow* によって使用されます。これによってワークフローが開始され、このメソッドへの追加引数が、ワークフローの実行を一定時間停止するアクティビティ「タイマー」によって使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
workflowID	文字列	開始するワークフローの sys_id。この sys_id はテーブル wf_workflow を指します。
retroactiveMSecs	数字	アクティビティ「タイマー」によって使用される遅延 (ミリ秒単位)。
current	GlideRecord	このワークフローで現行として使用するレコードの GlideRecord。このレコードは通常、このワークフローのワークフロープロパティの *Table* フィールドから取得されます。
operation	文字列	実行中のデータベース操作。*insert*、*update*、*delete* のいずれかです。
変数	アレイ	ワークフローに追加する変数のコレクション。
withSchedule	???	アクティビティ「タイマー」で使用されるスケジュール

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	新しく作成されたこのワークフローコンテキストに対して挿入されたレコードのテーブル wf_context の GlideRecord。

```
// is this a retroactive start?
      ////where current is a task record with a workflow context
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      var msecs = new GlideDateTime().getNumericValue() -
current.start_time.getGlideObject().getNumericValue();

      // treat this as a retroactive workflow start if the SLA started
more than 5 seconds ago
      var w = new Workflow();
      if (msecs <= 5000)
        w.startFlow(id, current, current.operation());
      else
        w.startFlowRetroactive(id, msecs, current, current.operation());

      // update the record in case the workflow changed some values
      current.update();
```

Workflow - Workflow()

Workflow クラスのコンストラクター。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var w = new Workflow();
```

ワークフロー - スコープ対象

スコープ付き ワークフロー API は、アクティビティ定義スクリプトで使用できるメソッドを提供します。

スコープ指定のワークフローオブジェクトのインスタンスを作成するためのコンストラクターはありません。代わりに、アクティビティスクリプトで利用可能なグローバルの workflow オブジェクトを使用します。このワークフローオブジェクトは、ワークフロー内の任意のスクリプトの場所で利用できます。

スコープ指定の **Workflow** - debug(文字列 **message**, オブジェクト **args)**

デバッグメッセージをログに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログに追加するメッセージ。
args	オブジェクト	メッセージに追加する引数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログに追加されたメッセージ。

```
var loggedMessage = workflow.debug("All is well");
```

スコープ指定の **Workflow -** error(文字列 **message**, オブジェクト **args)**

エラーメッセージをログに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログに追加するメッセージ。
args	オブジェクト	メッセージに追加する引数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログに記録されたメッセージ

```
var loggedMessage = workflow.error("An error has occurred. ");
```

スコープ指定の **Workflow -** getVariable(文字列 **name)**

指定された変数の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数名

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	変数の値

```
var value = workflow.getVariable("task");
```

スコープ指定の **Workflow -** info(文字列 **message**, オブジェクト **args)**

情報メッセージをログに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログに追加するメッセージ。
args	オブジェクト	メッセージに追加する引数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログに記録されるメッセージ。

```
var loggedMessage = workflow.info("All is well");
```

スコープ指定の **Workflow - inputs**

ワークフロー変数を含むオブジェクト。

これはメソッドではなく、ワークフローオブジェクト (ユーザーなど) の変数を参照する方法です。ワークフロー変数は、ワークフローのプロパティの中で、またはスクリプト化されたアクティビティによって定義されます。

フィールド

名前	タイプ	説明
inputs	オブジェクト	名前と値のペアとしてのワークフロー変数。ワークフローオブジェクトの変数は、インテグレーターの実装に合わせてカスタマイズされています。

```
var user = workflow.inputs.u_user;
```

スコープ指定の **Workflow - name()**

ワークフロー名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ワークフロー名

```
var name = workflow.name();
```

スコープ指定の **Workflow -** removeVariable(文字列 **name)**

指定された変数をワークフローから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数名

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var value = workflow.removeVariable("task");
```

スコープ指定の **Workflow - result**

ワークフローの結果を含むワークフローオブジェクトの要素。

これはメソッドではなく、ワークフローの結果を含むワークフローオブジェクトの要素です。

フィールド

名前	タイプ	説明
result	文字列	ワークフローの結果。

```
var wfResult = workflow.result;
```

スコープ指定の **Workflow - scratchpad()**

ワークフローのスクラッチパッドオブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	スクラッチパッドオブジェクト。

```
var scratchpad = workflow.scratchpad();
```

スコープ指定の **Workflow -** setResult(文字列 **result)**

ワークフローの結果を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
result	文字列	ワークフローの結果

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
workflow.setResult("Success");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ指定の **Workflow** - setVariable(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

指定の変数を指定の値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	変数名
value	オブジェクト	変数に割り当てられる値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
workflow.setVariable("task", "terrible");
```

スコープ指定の **Workflow** - warn(文字列 **message**, オブジェクト **args)**

警告メッセージをログに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	ログに追加するメッセージ。
args	オブジェクト	メッセージに追加する引数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	ログに記録されたメッセージ

```
var loggedMessage = workflow.warn("Check your permissions.");
```

WorkflowDuration - グローバル

WorkflowDuration スクリプトインクルードは、ワークフローアクティビティの変数に基づいて期間 (秒単位) を計算するメソッドを提供します。*Workflow Timer()* と *DurationCalculator()* の間をつなぐものです。

WorkflowDuration - addSeconds(GlideRecord record, 数値 amount)

指定された秒数を指定の開始日時に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	説明
amount	数値	amount

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	オブジェクトが正常に作成された場合は true。

WorkflowDuration - calculate(GlideRecord record)

秒数と期日を計算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	スケジュール、タイムゾーン、および日付/時刻の情報のフィールドを含むレコード。ほとんどの場合は *activity.vars.__var_record__* です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - calculateTimeLeft(GlideRecord record)

指定の終了日時までの残りの秒数を計算します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
record	GlideRecord	スケジュール、タイムゾーン、および日付/時刻の情報のフィールドを含むレコード。ほとんどの場合は *activity.vars.__var_record__* です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - getEndDateTime( )

calculate(record) の呼び出しによって設定された終了日時を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
GlideDateTime	終了日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WorkflowDuration - getSeconds( )

`calculate(record)` の呼び出しによって設定された seconds の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	calculate(record) の呼び出しによって設定された秒数。

WorkflowDuration - getTotalSeconds( )

calculate(record) の呼び出しによって設定された totalSeconds の値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数字	calculate(record) の呼び出しによって設定された合計秒数。

WorkflowDuration - setEndDateTime(文字列 dt)

残り時間を計算するときに使用する終了日時を設定します。

値を GlideDateTime の内部形式に変換するには、`GlideDateTime.getValue()` を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	文字列	使用する終了日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - setEndDateTime(GlideDateTime dt)

残り時間を計算するときに使用する終了日時を設定します。

値を GlideDateTime の内部形式に変換するには、**GlideDateTime.getValue()** を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	GlideDateTime	使用する終了日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - setStartDateTime(文字列 **dt)**

計算で使用する開始日時を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	文字列	使用する開始日時 (GMT)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - setStartDateTime(GlideDateTime dt)

計算で使用する開始日時を設定します。

値を GlideDateTime の内部形式に変換するには、*`GlideDateTime.getValue()`* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dt	GlideDateTime	使用する開始日時。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - setUsedSecs(数字 **secs)**

`used seconds` の補正を設定します。ここで、秒数は任意のスケジュール内の秒数です。

時間を延長する -ve の数字を設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
secs	数字	設定に使用する秒数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowDuration - setWorkflow(オブジェクト **schedule**, オブジェクト **timezone**)

ワークフローのスケジュール/タイムゾーンを設定します。*schedule_type* **workflow_schedule** と *timezone_type* **workflow_timezone** に使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
schedule	オブジェクト	使用するスケジュール通常はワークフロー *context.schedule* から取得します。
timezone	オブジェクト	使用するタイムゾーン。通常はワークフロー *context.timezone* から取得します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowModelManager - グローバル

WorkflowModelManager スクリプトインクルードは、ワークフローモデルを照会したり、指定されたワークフロー履歴アイテム間を前後に移動したり、アクティビティや遷移固有の情報を履歴に照会したりするためのメソッドを提供します。

WorkflowModelManager スクリプトインクルードとのやり取りは、*ActivityHistoryRecord* データオブジェクトを介して行われます。*ActivityHistoryRecord* オブジェクトは内部クラスであり、*WorkflowModelManager* との対話中にのみ使用されます。

ワークフローアクティビティの実行履歴を取得するには次を実行します。

```
var model = new WorkflowModelManager('myContextId');
var activities = model.getExecutedHistory();
```

ワークフローの再生を出力するには次を実行します。

```
var model = new WorkflowModelManager('myContextId');
model.getExecutedHistory();
model.playBack();
```

現時点では、実行された移行をロードするために playBack が必要です。モデル上を前に戻って特定のアクティビティにロールバックする役割も果たします。

キャッシュされたモデルの詳細を表示するには次を実行します。

```
var model = new WorkflowModelManager('myContextId');
 model.getExecutedHistory();
 model.dump();
```

関連情報

WFActivityHandler - グローバル

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

WorkflowModelManager - WorkflowModelManager(文字列 **contextId)**

指定されたコンテキスト内に新しい WorkflowModelManager オブジェクト (コンストラクター) を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextId	文字列	WorkflowModelManager を作成するコンテキストの ID。

返される内容

タイプ	説明
ActivityHistoryRecord	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

```
var model = new WorkflowModelManager('MyContextId');
```

WorkflowModelManager - getActivityHistoryRecordById(文字列 **haRecordSysId)**

引数で指定された *wf_history.sys_id* によってキャッシュされる履歴アクティビティを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	目的のアクティビティ履歴 [wf_history] レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ActivityHistoryRecord	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

この例では、このメソッドを使用して、指定された履歴アクティビティのレコードを取得する方法を示します。

```
var model = new WorkflowModelManager('a71efa6345550110a86630cf9552f3af');
  // The sys_id of the wf_context
model.getExecutedHistory();
var current_hist_obj =
 model.getActivityHistoryRecordById('2b1efa6345550110a86630cf9552f3bc')
; // The sys_id of the desired record
gs.info(JSON.stringify(current_hist_obj));
```

出力:

```
{
   "sys_id":"2b1efa6345550110a86630cf9552f3bc",
   "index":"3",
   "startTime":1643795456000,
   "endTime":1643795456000,
   "wfaId":"31bf2a05e7c133009a610558d2f6a968",
   "wfaIsParent":{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   },
   "parent":"",
   "wfaName":{

   },
   "adId":"db8c65aec0a8016501d00259bc7203a4",
   "adName":{

   },
   "transitions":[
      {
         "sys_id":"e31efa6345550110a86630cf9552f3c0",
         "ahrId":"2b1efa6345550110a86630cf9552f3bc",
         "to":"39bf2a05e7c133009a610558d2f6a970",
         "from":"31bf2a05e7c133009a610558d2f6a968",
         "rolledBack":"false",
         "rolledBackBy":""
      },
      {
         "sys_id":"e71efa6345550110a86630cf9552f3c0",
         "ahrId":"2b1efa6345550110a86630cf9552f3bc",
         "to":"7dbf2a05e7c133009a610558d2f6a96b",
         "from":"31bf2a05e7c133009a610558d2f6a968",
         "rolledBack":"false",
         "rolledBackBy":""
      }
   ],
   "rolledBackBy":"",
   "ARRIVED":true,
   "NOT_ARRIVED":false,
   "joinFroms":[

   ],
   "joinSatisfied":false,
   "rollingBackBy":0
}
```

WorkflowModelManager - getAllTransitionedIntoActivity(オブジェクト **description)**

実行されて引数内の *sys_id* で表されるアクティビティに移行した履歴アクティビティを取得します。

next ステータスは、ワークフローの履歴内で実行された ActivityHistoryRecords に関連付けられた移行の TO として存在する、haRecord 内で示されたアクティビティに関連する *wf_activity.sys_id* に基づいています。(これは *getPreviousByTransition* とは異なり、時間的な実行順序で haRecord の前に来る TO 移行のみを返します。) リターン値は、引数 haRecord.wfaId を TO アクティビティとして識別する ActivityHistoryRecords のコレクションです。リターン値は、移行する実行済み履歴コレクション内のすべての移行に基づいて決まります。このアクティビティの前に実行されたアクティビティを取得するには、*getPreviousByExecutedOrder* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
description	オブジェクト	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

WorkflowModelManager - getAllTransitionedIntoActivityId(文字列 haRecordSysId)

実行されて引数内の *sys_id* で表されるアクティビティに移行した履歴アクティビティを取得します。 *next* ステータスは、ワークフローの履歴内で実行された ActivityHistoryRecords に関連付けられた移行の TO として存在する、haRecord 内で示されるアクティビティに関連付けられた *wf_activity.sys_id* に基づいています。(これは *getPreviousByTransition* とは異なり、時間的な実行順序で haRecord の前に来る TO 移行のみを返します。) リターン値は、引数 haRecord.wfaId を TO アクティビティとして識別する ActivityHistoryRecords のコレクションです。

next ステータスは、ワークフローの履歴内で実行された ActivityHistoryRecords に関連付けられた移行の TO として存在する、haRecord 内で示されるアクティビティに関連付けられた *wf_activity.sys_id* に基づいています。(これは *getPreviousByTransition* とは異なり、時間的な実行順序で haRecord の前に来る TO 移行のみを返します。) リターン値は、引数 haRecord.wfaId を TO アクティビティとして識別する ActivityHistoryRecords のコレクションです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	アクティビティ履歴 (テーブル wf_history) の sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

```
var model = new WorkflowModelManager('a143585c3b001000dada82c09ccf3d44');
      model.getExecutedHistory();
      var activity = model.begin;
      gs.print('activity: ' + activity.wfaName + ', transitions: ' +
 activity.transitions.length);
      while( activity != null){
          gs.print('activity: ' + activity.wfaName + ', transitions: ' +
 activity.transitions.length);
          var parents = model.getAllTransitionedIntoActivity(activity);
          for( var i = 0; i < parents.length; i++ ){
              gs.print(' ---------------  parent activity: ' +
 parents[i].wfaName );
            }
           activity = model.getNextByExecutedOrder( activity );
      }
```

WorkflowModelManager - getExecutedHistory( )

これは、*WorkflowModelManager* オブジェクトを初期化するために呼び出す必要があるワーカーメソッドです。 WorkflowModelManager オブジェクトを初期化するプロセスにおいて、*getExecutedHistory()* は *activityHistoryRecord* データオブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アレイ (*WorkflowModelManager* クラスのメンバー) を作成して入力します。ほとんどの *WorkflowModelManager* メソッドは、*activityHistoryRecord* アレイのサブセットを返します。その後、スクリプトで 1 つ以上の *activityHistoryRecord* メソッドを呼び出して、さらに詳細な作業を行うことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	テーブル wf_history から取得された sys_id の順序付きアレイ。クライアントコードがリターン値を使用することはほとんどありません。クライアントコードはこのオブジェクトに内部的に保持され、その後のメソッド呼び出しで使用されます。

```
var model = new WorkflowModelManager('myContextId');
var activities = model.getExecutedHistory();
var current =
 model.getActivityHistoryRecordById('d6681d573b130000dada82c09ccf3d10');
```

WorkflowModelManager - getFinalExecutedActivityList( )

wf_history テーブルをコンテキスト別に照会し、このオブジェクトの構成で設定されたコンテキストで指定されたワークフローの中で実行されたすべてのアクティビティを取得します。

この関数は、実行されたアクティビティのリストを、データベースから取得される順序を強制する新しい activity_index を使用して、サーバー側の ActivityManager.java 経由で渡される正確な順序で作成します。この呼び出しでは全体像がわからないため、移行をロードしてマッピングする必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

WorkflowModelManager - getFinalExecutedActivityIdList( )

正常に実行された後、関数が呼び出された時点までにロールバックもスキップもされなかったすべてのアクティビティの *wf_history.sys_ids* のリストを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列アレイ	実行済みアクティビティの wf_history.sys_id 値のアレイ。

```
var model = new WorkflowModelManager('ee3e0a053b101000dada82c09ccf3d7c');
      model.getExecutedHistory();
      var finals = model.getFinalExecutedActivityIdList();
      gs.print(' EXECUTION PATH IDs ---------------- : '  +
 finals.length);

      for ( var x = 0; x < finals.length; x++ ) {
          gs.print(finals[x] );
      }
```

WorkflowModelManager - getNextByExecutedOrder(オブジェクト **haRecord)**

引数で指定されたアクティビティの直後に実行された履歴アクティビティを取得します。

next ステータスは、直近のアクティビティを反映するアクティビティインデックスに基づいて決まるものであり、指定されたアクティビティが移行した、直後の wf_activity に基づいて決まるとは限りません。渡されたこの haRecord に移行した直後のアクティビティを取得するには、*getNextByTransitionOrder(haRecord)* を使用します。

注: 実行順序のアレイを構築する過程で、履歴オブジェクトが削除されたアレイに空白が残ります。これは、アレイ内のインデックスとオブジェクトの activity_index を確実に同期させるためです。そのため、実行順序のアレイから取得されるすべてのオブジェクトで nil() をテストすること、また activity_index やアレイインデックスの値だけを見て、そのオブジェクトが前のレコードであると想定しないことが必要となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecord	オブジェクト	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

次の例は、*getNextByExecutedOrder()* メソッドを使用して、指定されたアクティビティの後に実行された履歴アクティビティを取得する方法を示しています。

```
var model = new
 WorkflowModelManager('34451ec2cb200200d71cb9c0c24c9c66'); // Sys_id of
 the workflow context
model.getExecutedHistory();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var current_hist_obj =
 model.getActivityHistoryRecordById('0199483adba52200a6a2b31be0b8f562'
);// Sys_id of the current activity from wf_history table
var next_hist_obj = model.getNextByExecutedOrder(current_hist_obj);
gs.info(JSON.stringify(next_hist_obj));
```

出力:

```
{
   "sys_id":"b2c5a06e07e0011094b4fe4f7c1ed049",
   "index":"3",
   "startTime":1640265864000,
   "endTime":1640265864000,
   "wfaId":"64d4e4aa07e0011094b4fe4f7c1ed060",
   "wfaIsParent":{

   },
   "parent":"",
   "wfaName":{

   },
   "adId":"1ca8d7cf0a0a0b265e9a000c2c08248c",
   "adName":{

   },
   "transitions":[
      {
         "sys_id":"bac5a06e07e0011094b4fe4f7c1ed07d",
         "ahrId":"b2c5a06e07e0011094b4fe4f7c1ed049",
         "to":"e0d4acaa07e0011094b4fe4f7c1ed062",
         "from":"64d4e4aa07e0011094b4fe4f7c1ed060",
         "rolledBack":"false",
         "rolledBackBy":""
      }
   ],
   "rolledBackBy":"",
   "ARRIVED":true,
   "NOT_ARRIVED":false,
   "joinFroms":[

   ],
   "joinSatisfied":false,
   "rollingBackBy":0
}
```

WorkflowModelManager - getNextByExecutedOrderId(文字列 **haRecordSysId)**

引数で指定された *wf_history.sys_id* によってキャッシュされた履歴アクティビティを取得し、取得した JavaScript オブジェクトを使用して *getNextByExecutedOrder()* を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	アクティビティ履歴 (テーブル wf_history) の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

```
var model = new WorkflowModelManager('7b3e01573b130000dada82c09ccf3dcf');
      model.getExecutedHistory();
      var current =
 model.getActivityHistoryRecordById('d6681d573b130000dada82c09ccf3d10');
      current.debugDump();

      var results = model.getNextByExecutedOrderId(current.sys_id);
      results.debugDump();
```

WorkflowModelManager - getNextByTransitionId(文字列 **haRecordSysId)**

引数で指定された sys_id で特定されるアクティビティの直後に実行された履歴アクティビティを取得します。

この関数は、指定された *wf_history.sys_id* に関連付けられたキャッシュ済み履歴レコードを取得し、*getNextByTransition* を呼び出します。リターン値は送信された *haRecord* の前にどの移行が行われたかに基づいて決まるものであり、*haRecord* の直前に実行されたアクティビティに基づいて決まるわけではありません。このアクティビティよりも先に実行されたアクティビティを取得するには、*getNextByExecutedOrder* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	目的のアクティビティ履歴 [wf_history] レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

```
var model = new WorkflowModelManager('7b3e01573b130000dada82c09ccf3dcf');
model.getExecutedHistory();
model.playBack();

var current =
 model.getActivityHistoryRecordById('d6681d573b130000dada82c09ccf3d10');
current.debugDump();
var results = model.getNextByTransitionId(current.sys_id);
gs.print('COMPLETED NEXT' + results.length );
for(var i = 0; i < results.length; i++){
  results[i].debugDump();
}
```

WorkflowModelManager - getPreviousByExecutedOrder(オブジェクト **haRecord)**

引数で指定されたアクティビティの直前に実行された履歴アクティビティを取得します。

previous ステータスは、直近のアクティビティを反映するアクティビティインデックスに基づいて決まるものであり、このアクティビティへの有効な移行を含む直近のアクティビティであ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るとは限りません。渡されたこの haRecord に移行した直前のアクティビティを取得するには、*getPreviousByTransition(haRecord)* を使用します。

注: 実行順序のアレイを構築する過程で、履歴オブジェクトが削除されたアレイに空白が残ります。これによって、アレイ内のインデックスとオブジェクトの activity_index が確実に同期します。そのため、実行順序のアレイから取得されるすべてのオブジェクトで nil() をテストすること、また activity_index やアレイインデックスの値を見て、そのオブジェクトが前のレコードであると想定しないことが必要となります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecord	オブジェクト	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

WorkflowModelManager - getPreviousByExecutedOrderId(文字列 haRecordSysId)

引数で指定された *wf_history.sys_id* によってキャッシュされた履歴アクティビティを取得し、取得した JavaScript オブジェクトを使用して *getPreviousByExecutedOrder()* を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	ワークフローの履歴Sys ID (wf_history.sys_id)

返される内容

タイプ	説明
ActivityHistoryRecord	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

```
var model = new WorkflowModelManager('contextId');
      model.getExecutedHistory();
      var current =
 model.getActivityHistoryRecordById('wf_history.sys_id');
      current.debugDump();

      var results = model.getPreviousByExecutedOrderId(current.sys_id);
      results.debugDump();
```

WorkflowModelManager - getPreviousByTransition(オブジェクト haRecord)

引数で指定されたアクティビティの直前に実行された履歴アクティビティを取得します。

next ステータスは、実行シーケンス内で haRecord の前に来る任意の ActivityHistoryRecords に関連付けられた移行の TO として存在する、haRecord 内で示されるアクティビティに関連付けられた wf_activity.sys_id に基づいています。(これは、実行順序内で haRecord の前に来るすべての TO 移行を返す *getAllTransitionedIntoActivity* とは異なります。) リターン値は、引数 haRecord.wfaId を TO アクティビティとして識別する ActivityHistoryRecords

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

のコレクションです。リターン値は送信された haRecord の前にどの移行が行われたかに基づいて決まるものであり、haRecord の直前に実行されたアクティビティに基づいて決まるわけではありません。このアクティビティよりも先に実行されたアクティビティを取得するには、*getPreviousByExecutedOrder* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecord	オブジェクト	ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクトアレイ	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

WorkflowModelManager - getPreviousByTransitionId(文字列 **haRecordSysId)**

引数で指定されたアクティビティの直前に実行された履歴アクティビティを取得します。

next ステータスは、実行シーケンス内で haRecord の前に来る任意の ActivityHistoryRecords に関連付けられた移行の TO として存在する、haRecord 内で示されるアクティビティに関連付けられた *wf_activity.sys_id* に基づいています。リターン値は、引数 haRecord.wfald を TO アクティビティとして識別する ActivityHistoryRecord のコレクションです。リターン値は送信された haRecord の前にどの移行が行われたかに基づいて決まるものであり、haRecord の直前に実行されたアクティビティに基づいて決まるわけではありません。このアクティビティよりも先に実行されたアクティビティを取得するには、*getPreviousByExecutedOrder()* を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
haRecordSysId	文字列	アクティビティ履歴の sys_id。wf_history テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	要求された ActivityHistoryRecord JavaScript オブジェクトのアレイ。

次の例では、*getPreviousByTransitionId()* メソッドを使用して ActivityHistoryRecord オブジェクトを取得する方法を示します。

```
var w_history = new GlideRecord('wf_history');
w_history.addQuery('context.id', '089ebdad1b420110c97a40c6cc4bcbf7'); //
 Pass sys_id of record -> Requested Item / Change Request / Request,
 etc....
w_history.query();
if (w_history.next()) {
    var model = new WorkflowModelManager(w_history.context); // Call
 sys_id of the workflow context
    model.getExecutedHistory();
    var previousObje_hist_obj =
 model.getPreviousByTransitionId(w_history.sys_id); // Sys_id of
 wf_history table
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    gs.info(JSON.stringify(previousObje_hist_obj));
}
```

出力:

```
[
  {
    "sys_id": "a40a92950721011094b4fe4f7c1ed05e",
    "index": "1",
    "startTime": 1644255752000,
    "endTime": 1644255758000,
    "wfaId": "28200e2a77873300b473455caa1061cd",
    "wfaIsParent": {},
    "parent": "",
    "wfaName": {},
    "adId": "3961a1da0a0a0b5c00ecd84822f70d85",
    "adName": {},
    "transitions": [
      {
        "sys_id": "060ad6950721011094b4fe4f7c1ed016",
        "ahrId": "a40a92950721011094b4fe4f7c1ed05e",
        "to": "24204e2a77873300b473455caa10611a",
        "from": "28200e2a77873300b473455caa1061cd",
        "rolledBack": "false",
        "rolledBackBy": ""
      }
    ],
    "rolledBackBy": "",
    "ARRIVED": true,
    "NOT_ARRIVED": false,
    "joinFroms": [],
    "joinSatisfied": false,
    "rollingBackBy": 0
  }
]
```

WorkflowModelManagerAjax - グローバル

WorkflowModelManagerAjax スクリプトインクルードは、*WorkflowModelManager* スクリプトインクルードの AjaxProcessor ラッパーを提供します。このクラスは *AbstractAjaxProcessor* から派生します。

このクラスは [ワークフローデバッグ] コンテキストメニューで使用します。

WorkflowModelManagerAjax - getExecutedHistory( )

クエリー文字列に基づいて、実行履歴を return パラメーターに入力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowModelManagerAjax - getFinalExecutedActivityIdList( )

クエリー文字列に基づいて、最終的な実行アクティビティのリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、実行されたアクティビティリストの sys_id を取得する方法を示します。

```
var model = new WorkflowModelManagerAjax(); // Initiate the class

 model.getParameter = function(paramName) {
   return {
      sysparm_key_id: "0213a4a607e0011094b4fe4f7c1ed0e2", // sys_id of
workflow context
      sysparm_key_table: 'wf_context'
   }[paramName];
 } // Override the parameters while calling from server side

 model.getExecutedHistory();
 var finals = model.getFinalExecutedActivityIdList(); // Get the list of
IDs
 finals = JSON.parse(finals);
 var finalarrofID = finals.ids;
   for ( var x = 0; x < finalarrofID .length; x++ ) {
     gs.print(JSON.stringify(finalarrofID[x]) ); // Print the sys_ids of
workflow history records
   }
```

出力:

```
WorkflowModelManagerAjax: creating new WorkflowModelManager for
 context=0213a4a607e0011094b4fe4f7c1ed0e2
WorkflowModelManagerAjax: returning 4 ActivityHistoryRecords
WorkflowModelManagerAjax: returning 4 activities  in execution path for
 0213a4a607e0011094b4fe4f7c1ed0e2
*** Script: "0a13a4a607e0011094b4fe4f7c1ed0e3"
*** Script: "d61368a607e0011094b4fe4f7c1ed027"
*** Script: "de1368a607e0011094b4fe4f7c1ed02b"
*** Script: "961368a607e0011094b4fe4f7c1ed02f"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WorkflowModelManagerAjax - getRolledBackActivityIdList( )

クエリー文字列に基づいて、ロールバックアクティビティリストを return パラメーターに入力します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowScheduler - グローバル

WorkflowScheduler スクリプトインクルードは、ワークフローを開始するメソッドを提供します。

このコードは、ワークフロースケジュール [wf_workflow_schedule] テーブルのビジネスルール「ワークフロースケジューラスクリプトの設定」で実行されます。

WorkflowScheduler - run( )

現在で指定されたワークフローを開始します。これはワークフロースケジュール [wf_workflow_schedule] テーブルのレコードです。

このメソッドは、wf_workflow_scheduleテーブルのビジネスルールセット「ワークフロースケジューラースクリプト」から呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

WorkflowTimeline - グローバル

WorkflowTimeline スクリプトインクルードは、タイムラインにワークフローコンテキストを表示するビューを生成するメソッドを提供します。

WorkflowTimeline-getItems()

タイムラインの Ajax 応答を生成します。

このメソッドは、Prototype JavaScript フレームワークによって呼び出されます。詳細については、*AbstractTimelineSchedulePage* スクリプトインクルードを参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

XMLDocument2 - スコープ指定、グローバル

XMLDocument2 API は、XML 文字列から XML データを解析および抽出するための JavaScript オブジェクトラッパーです。

この JavaScript クラスを使用して、XML 文字列からオブジェクト (通常は Web サービスの発動からの戻り値)、または ECC キューの XML ペイロードを作成します。JavaScript ビジネスルールで XMLDocument2 オブジェクトを使用すると、XML 要素と属性から直接、値のクエリーを実行できます。

XML 文字列はツリー構造であり、その構造の一部をノードといいます。XMLDocument2 オブジェクトは、要素とドキュメント要素の 2 つのノードタイプを処理します。要素ノードは、名前と、場合によっては属性と子ノードを持つノードです。ドキュメント要素ノードは、XML ツリーのルートノードです。親ノードを持たない唯一のノードです。

注: この API は、スコープ対象のアプリケーションでもグローバルアプリケーションでも機能します。

スコープ指定の XMLDocument2 - XMLDocument2()

XMLDocument2 オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

スコープ指定の XMLDocument2 - XMLDocument2(GlideScriptableInputStream inputStream)

添付ファイルのストリームから XMLDocument2 オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
inputStream	GlideScriptableInputStream	XMLDocument2 オブジェクトがカプセル化する入力ストリーム。

スコープ指定の XMLDocument2 - createElement(文字列 name)

要素ノードを作成して現在のノードに追加します。要素名は、パラメーターとして渡される文字列です。新しい要素にはテキストの子ノードがありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	新しい要素の名前。

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	現在の XML ノード。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
xmlDoc.createElement("new2");

gs.info(xmlDoc);
```

出力：

```
?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<test>
    <one>
        <two att="xxx">abcd1234</two>
            <three att="yyy" boo="yah">1234abcd</three>
        <two>another</two>
    </one>
    <number>1234</number>
    <new2></new2>
</test>
```

スコープ指定の **XMLDocument2** - createElementWithTextValue(文字列 **name**, 文字列 **value)**

テキストの子ノードを持つ要素ノードを作成して現在のノードに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	追加する要素の名前。
value	文字列	要素のテキスト値。

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	現在の XML ノード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var xmlString = "<test>" +
    "  <one>" +
    "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
    "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
    "    <two>another</two>" +
    "  </one>" +
    "  <number>1234</number>" +
    "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
xmlDoc.createElementWithTextValue("new", "test");
gs.info(xmlDoc);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
    <test>
        <one>
            <two att="xxx">abcd1234</two>
            <three att="yyy" boo="yah">1234abcd</three>
            <two>another</two>
        </one>
        <number>1234</number>
        <new>test</new>
    </test>
```

スコープ指定の XMLDocument2 - getDocumentElement()

XMLdocument2 オブジェクトのドキュメント要素ノードを取得します。ドキュメント要素ノードはルートノードです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	ドキュメント要素。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
//returns the root node of the document tree.
var rootNode = xmlDoc.getDocumentElement();
gs.info(rootNode.getTextContent());
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：

```
abcd1234    1234abcd    another    1234
```

スコープ指定の **XMLDocument2 -** getFirstNode(文字列 **xPath)**

指定された xPath の最初のノードを取得します。

このメソッドは、述語の xPath 式のサブセットのみをサポートしています。例えば、次のドキュメントがあるとします。

```
<store>
    <resources company="ABC Inc">
        <resources type="servers" />
    </resources>
    <resources company="XYZ Inc">
        <resource type="bookstore">
            <book>
                <title>Windows</title>
                <price>10</price>
            </book>
            <book year="2009">
                <title>Harry Potter</title>
                <price>50</price>
            </book>
            <book year="1999">
                <title>Learning XML</title>
                <price>120</price>
            </book>
            <book year="2019">
                <title>Learning Java</title>
                <price>99</price>
            </book>
        </resource>
    </resources>
</store>
```

このメソッドは、以下に挙げる述語を含む xPath 式をサポートしています。

```
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[@year='1999']",
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[@year]",
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[price > 100]"
```

しかし、以下に挙げる述語を含む xPath 式はサポートしません。

```
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[2]",
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[last()]",
"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book[position()>2]"
```

これを回避するには、`"/store/resources/resource[@type='bookstore']/book"` などの述語なしで xPath を使用し、*`getFirstNode()`* および *`getNextNode()`* メソッドを使用してスクリプト内のノードをフィルタリングします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xPath	文字列	ノードを取得する xPath。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	最初のノード。

```
var xmlString = "<test>" +
  "  <one>" +
  "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
  "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
  "    <two>another</two>" +
  "  </one>" +
  "  <number>1234</number>" +
  "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var foo = xmlDoc.getFirstNode('/test/one/two');
gs.info(foo.getTextContent());
```

出力：

```
abcd1234
```

スコープ指定の **XMLDocument2 -** getNextNode(オブジェクト **current)**

指定されたノードの次のノードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
current	オブジェクト	現在のノード。

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	次のノード。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var foo = xmlDoc. getFirstNode('/test/one/two');
var foo2 = xmlDoc.getNextNode(foo);
gs.info(foo.getTextContent());
gs.info(foo2.getTextContent());
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
abcd1234

another
```

スコープ指定の **XMLDocument2** - getNode(文字列 **xPath)**

xPath で指定されたノードを取得します。

注: このメソッドは、ドキュメント全体を解析して xPath 式を照合するため、小さなドキュメントで使用することを目的としています。ドキュメントが大きすぎると、メモリー不足エラーが発生する可能性があります。大きなドキュメントの場合は、getFirstNode(文字列 *xPath)* および getNextNode(オブジェクト *current)* メソッドを使用します。これらのメソッドは、ドキュメント全体を解析せずにドキュメントをストリーミングするように設計されています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xPath	文字列	取得するノードの xPath。

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	現在の XML ノード。

```
/*
 * Checks if given node indeed of given tag.
 * Params:
 *   tag - String, name of tag to check
 *   node - XMLNode, node in which to check for the tag
 * Returns:
 *   true, if tag is present
 *   false, otherwise
 */
function isNodeOfTag (node, tag) {
  try {
    if (tag == node.getNodeName()) {
      gs.info("Given node belongs to tag " + tag);
      return true;
    }
  } catch (error) {
    gs.error("Given node might not belong to tag " + tag + ". Error while
 checking: " + error);
    return false;
  }
}

var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);

var node = xmlDoc.getNode("/test/one/two"); // tag 'two' is present in
 this XML.
isNodeOfTag(node, "two");

var node = xmlDoc.getNode("/test/one/four"); // tag 'four' is not present
 in this XML.
isNodeOfTag(node, "four");
```

出力：

```
Given node belongs to tag two
Given node might not belong to tag four. Error while checking:
 java.lang.NullPointerException
```

スコープ指定の **XMLDocument2** - getNodeText(文字列 **xPath)**

指定された XPath で参照されるノードからテキストの子ノードをすべて取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xPath	文字列	取得するテキストの xPath。

返される内容

タイプ	説明
文字列	XPath 内のテキストの子。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
gs.info(xmlDoc.getNodeText("//two"));
```

出力:

```
abcd1234
```

スコープ指定の **XMLDocument2** - parseXML(文字列 **xmlDoc)**

XML 文字列を解析し、XMLDocument2 オブジェクトにロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
xmlDoc	文字列	解析するドキュメント。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	内容が解析されたかどうかを示すフラグ。

この例では、xmlString を解析し、xmlDocument2 オブジェクトにロードします。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var rootNode = xmlDoc.getDocumentElement();
```

スコープ指定の **XMLDocument2 - setCurrentElement(XMLNode element)**

パラメーターとして渡されたノードを現在のノードにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
要素	XMLNode	現在のノードとして設定する要素ノード。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
//returns the root node of the document tree.
var rootNode = xmlDoc.getDocumentElement(); //returns org.w3c.dom.Element
// sets the root node as the current element
xmlDoc.setCurrentElement(rootNode);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコープ付き **XMLDocument2 -** setEnableCDATAReporting(ブール **enable)**

解析後にノードを CDATA として扱うか、通常のテキストとして扱うかを設定します。CDATAレポートはデフォルトで無効になっています。

このメソッドは スコープ指定の XMLDocument2 - parseXML(文字列 xmlDoc) で呼び出す必要があります。

関連項目：スコープ付き XMLNode - isCDATANode()。

パラメーター

名前	タイプ	説明
enable	ブール	CDATA ノードを CDATA ノードとして処理するか、通常のテキストノードとして処理するかを示すフラグ。 有効な値： • true: CDATA レポートを有効にします。 • false: CDATAノードを解析後に通常のテキストノードとして処理し、隣接するテキストと連結します。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、CDATA レポートがアクティブ化された要素で CDATA がどのように解析されるかを示しています。*content.getFirstChild()* の結果は、テキスト値 another を保持する要素です。この要素には、CDATA 型として識別する情報が内部的に含まれています。*content.getLastChild()* の結果は、テキスト値要素を保持する要素です。この要素には、内部的に情報がテキスト型として含まれています。

```
var xmlString = "<test>" +
  "  <one>" +
  "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
  "    <two><![CDATA[another]]>element</two>" +
  "  </one>" +
  "  <number>1234</number>"
  "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.setEnableCDATAReporting(true); // Enable CDATA reporting
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var content = xmlDoc.getFirstNode('/test/one/two');
gs.info(content.getFirstChild().getTextContent()); // prints "another"
gs.info(content.getLastChild().getTextContent()); // prints "element"
```

出力:

```
another
element
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: この例では、CDATAレポートをアクティブにしないと、子全体がCDATAをテキストとして連結し、各行に残りのテキスト(要素)を次のように連結します。

```
anotherelementanotherelement
```

スコープ指定の **XMLDocument2 -** setNamespaceAware(ブーリアン **aware)**

true に設定すると、XMLDocument2 オブジェクトは XML 名前空間を使用してドキュメントを処理します。

これを設定しないと、名前空間を持つ XML ドキュメントが正しく列挙されず、XPath の検索に失敗します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
aware	ブーリアン	true の場合、XMLDocument2 オブジェクトは XML 名前空間を使用してドキュメントを処理します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

スコープ指定の **XMLDocument2 - toString()**

XML を含む文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	XML を含む文字列。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
gs.info(xmlDoc.toString());
```

出力：読みやすいように出力に改行が追加されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<test>
<one>
<two att="xxx">abcd1234</two>
<three att="yyy" boo="yah">1234abcd</three>
<two>another</two>
</one>
<number>1234</number>
</test>
```

XMLNode - スコープ対象、グローバル

XMLNode API は、XML ノードから値を照会するメソッドを提供します。XMLNode は XML 文字列を含む XMLDocument2 オブジェクトから抽出されます。

XMLNode オブジェクトのスタンドアロンのインスタンスを作成するためのコンストラクターはありません。代わりに、XMLDocument2 の *createElement()* メソッドを使用して、既存のドキュメントにノードを追加します。

スコープ指定の **XMLNode** - getAttribute(文字列 **attribute)**

属性の値を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attribute	文字列	属性の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	属性の値。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//two');
gs.info(node.getAttribute('att'));
```

出力:

```
xxx
```

スコープ指定の **XMLNode - getAttributes()**

値を持つプロパティとしてノードの属性を含むオブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	名前と値のペア (名前が属性、値はその属性の値) が含まれます。

スコープ指定の XMLNode - getChildNodeIterator()

子ノードのリストの確認に使用できる XMLNodeIterator オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLNodeIterator	ノードの反復子のオブジェクト。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');
var iter= node.getChildNodeIterator();
gs.info(iter.hasNext());
```

スコープ指定の XMLNode - getFirstChild()

ノードの最初の子ノードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	ノードの最初の子ノード。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var xmlString = "<test>" +
                "<one>" +
                "<two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "<three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "<two>another</two>" +
                "</one>" +
                "<number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');
gs.info(node.getFirstChild());
```

出力：

```
<two att="xxx">abcd1234</two>
```

スコープ指定の XMLNode - getLastChild()

ノードの最後の子ノードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	ノードの最後の子。

```
var xmlString = "<test>" +
                "<one>" +
                "<two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "<three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "<two>another</two>" +
                "</one>" +
                "<number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');

gs.info(node.getLastChild());
```

出力：

```
<two>another</two>
```

スコープ指定の XMLNode - getNodeName()

ノードの名前を取得します。ノードの名前はノードのタイプによって決まります。ドキュメント要素ノードの名前は #document です。テキストノードの名前は #text です。要素ノードの名前は要素の名前です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ノードの名前。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//two');
gs.info(node.getNodeName());
```

出力:

```
two
```

スコープ指定の XMLNode - getNodeValue()

ノードの値を取得します。ノードの値はノードのタイプによって決まります。要素ノードとドキュメント要素ノードは null を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ノードの値。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var node = xmlDoc.getNode('//two');
gs.info(node.getNodeValue());
```

出力:

```
null
```

スコープ指定の XMLNode - getTextContent()

現在のノードのテキストコンテンツを取得します。ノードのテキストコンテンツは、ノードのすべての子テキストノードで構成されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のノードのテキストコンテンツ。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmldoc = new XMLDocument2();
xmldoc.parseXML(xmlString);
var node = xmldoc.getNode('//one/two');
gs.info(node.getTextContent());
```

出力:

```
abcd1234
```

スコープ指定の XMLNode - hasAttribute(文字列 attribute)

ノードが指定された属性を持っているかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attribute	文字列	確認する属性の名前。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	ノードがその属性を持つ場合は true。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//two');
gs.info(node.hasAttribute('att'));
```

出力:

```
true
```

スコープ付き XMLNode - isCDATANode()

CDATA ノードを別個のノードとして保持するかどうかを示します。

スコープ付き XMLDocument2 - setEnableCDATAReporting(ブール enable) メソッドを使用して、CDATA ノードが保持され、テキストとして処理されないようにします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	クエリされたノードが CDATA かプレーンテキストかを示すフラグ。 有効な値： • true:照会されたノードはCDATAです。 • false:クエリされたノードはプレーンテキストです。

次の例は、 スコープ付き XMLDocument2 - setEnableCDATAReporting(ブール enable) を使用して CDATA レポートを有効にして XML 文字列を解析する方法を示しています。このコードでは、isCDATANode() を使用して、XML 文字列で照会された最初のノードが CDATA ノードであることを示しています。

```
var xmlString = "<test>" +
  "  <one>" +
  "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
  "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>"+
  "    <four><![CDATA[another]]>element</four>" +
  "  </one>" +
  "  <number>1234</number>" +
  "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.setEnableCDATAReporting(true); // Enables CDATA reporting
xmlDoc.parseXML(xmlString);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var content = xmlDoc.getFirstNode('/test/one/four');
gs.info(content.getFirstChild().isCDATANode());
```

出力:

```
true
```

スコープ指定の XMLNode - toString()

現在のノードの文字列値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のノードの文字列値。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');
gs.info(node.toString());
```

出力：出力に改行が追加されました。

```
<one>
<two att="xxx">abcd1234</two>
<three att="yyy" boo="yah">1234abcd</three>
<two>another</two>
</one>
```

XMLNodeIterator - スコープ指定

XMLNodeIterator API は、XML 文書のノードを反復処理するためのメソッドを提供します。

XMLNodeIterator オブジェクトのスタンドアロンのインスタンスを作成するためのコンストラクターはありません。XMLNodeIterator オブジェクトを作成するには、XMLNode オブジェクトの *getChildNodeIterator()* メソッドを使用します。

XMLNodeIterator - hasNext()

反復にさらに要素がある場合は true を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	反復にさらに要素がある場合は true。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');
var iter= node.getChildNodeIterator();
gs.info(iter.hasNext());
```

XMLNodeIterator - next()

反復内の次の要素を取得します。XML が「かなり書式設定されている」場合、返される要素はスペースやタブに対する #text ノードになります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLNode	反復内の次の要素。

```
var xmlString = "<test>" +
                "  <one>" +
                "    <two att=\"xxx\">abcd1234</two>" +
                "    <three boo=\"yah\" att=\"yyy\">1234abcd</three>" +
                "    <two>another</two>" +
                "  </one>" +
                "  <number>1234</number>" +
                "</test>";
var xmlDoc = new XMLDocument2();
xmlDoc.parseXML(xmlString);
var node = xmlDoc.getNode('//one');
var iter= node.getChildNodeIterator();
while(iter.hasNext()) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var n = iter.next();
    gs.info('Node name: ' +  n.getNodeName());
    gs.info('Node value: ' +  n.getNodeValue());
}
```

出力：

```
Node name: #text
Node value:
Node name: two
Node value: null
Node name: #text
Node value:
Node name: three
Node value: null
Node name: #text
Node value:
Node name: two
Node value: null
Node name: #text
Node value:
```

XMLStreamingAPI - スコープ指定

大規模なストリーミング XML ペイロードをビルドし、それを REST または SOAP 要求で使用して大量のデータをサードパーティ API に送信します。非ストリーミングオプション用の XML 文字列としてペイロードを作成することもできます。

これらのメソッドを フローデザイナー スクリプトステップで `sn_ih` 名前空間識別子とともに使用します。たとえば、この API を使用して フローデザイナー スクリプトステップで XML ペイロードを作成し、戻り値を REST ステップに渡して、要求をサードパーティサービスに送信できます。詳細については、「フローデザイナー スクリプトステップ」を参照してください。

注: この API は フローデザイナー 環境内でのみ使用できます。

このクラスにはコンストラクターはありません。代わりに、XMLStreamingBuilder クラスの *`build()`* メソッドを呼び出して、XMLStreamingAPI オブジェクトを返す必要があります。

API 呼び出し順

XML ペイロードを生成するには、まず *`XMLStreamingBuilder`* を使用してビルダーオブジェクトをインスタンス化し、次に *`XMLStreamingAPI`* クラスのメソッドを呼び出します。

1. *`XMLStreamingBuilder`*：ビルダーオブジェクトを作成する

   下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーオブジェクトを作成します。

   1. *`XMLStreamingBuilder()`*：XMLStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。
   2. *`withAttachment()`*：オプション。添付ファイルとして XML ドキュメントを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API はペイロードを XML 文字列としてビルドします。
   3. *`expiresAt()`*：オプション。添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。デフォルトは false です。*`withAttachment()`* メソッドも呼び出す必要があります。
   4. *`build()`*：XMLStreamingAPI オブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. *XMLStreamingAPI*：XML ペイロードをビルドする

   下記のメソッドを次の順番で使用して、XML ペイロードを作成します。

   1. *startDocument()*： XML ドキュメントの最上位の親要素を作成します。
   2. XML ドキュメントに子要素を生成するメソッド：*writeTextElement()*、*startElement()*、*writeArray()* など。
   3. 要素の属性を生成するメソッド：*writeAttribute()*、*writeNamespace()*、*writeDtd()* など。
   4. *endElement()*： XML 要素を閉じます。
   5. *endDocument*： 最上位の親要素を閉じます。
   6. *getXMLString()* または *getAttachmentId()*：作成した XML 文字列または添付ファイル ID を返します。
   7. *close()*：XMLStreamingAPI オブジェクトを閉じます。

サイズ制限

この API を介して生成されたペイロードは、次のサイズ制限を超えることはできません。

- 添付ファイル：200 MB
- 文字列：5 MB

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
 within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

 builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
 document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
 and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
 child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

一方この例は、スクリプトステップで API を使用してペイロードを XML 文字列として作成する方法を示しています。このオプションを使用すると、5 MB 未満のペイロードを作成できます。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder().build();

  builder.startDocument("Employee")
    .enablePrettyPrint()
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()

  outputs.payload = builder.getXMLString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<firstName>John</firstName>
<lastName>Smith</lastName>
<age>25</age>
<address>
  <streetAddress>21 2nd Street</streetAddress>
  <city>Santa Clara</city>
  <state>CA</state>
  <postalCode>11111</postalCode>
</address>
<phoneNumber>
  <type>home</type>
  <number>212 555-1234</number>
  <type>fax</type>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  <number>646 555-4567</number>
</phoneNumber>
```

XMLStreamingAPI - close()

XMLStreamingAPI オブジェクトを閉じます。XML ドキュメントの構築後は、このメソッドを呼び出してストリームを閉じる必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

例

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
 within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

  builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
 document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
 and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
 child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - disablePrettyPrint()

XML 形式のプリティプリントを終了します。

このメソッドを呼び出す前に、まず *enablePrettyPrint()* を呼び出して、セクションに XML 形式を追加する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、`addres` 要素にプリティプリントの書式設定を追加する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .enablePrettyPrint()
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .disablePrettyPrint()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - enablePrettyPrint()

XML 要素または要素のツリーにプリティプリントの書式設定を追加します。

書式設定を終了するには、*disablePrettyPrint()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、`addres` 要素にプリティプリントの書式設定を追加する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .enablePrettyPrint()
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .disablePrettyPrint()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

XMLStreamingAPI - endDocument()

XML ドキュメントの構造を終了します。

`startDocument()` メソッドを呼び出してストリーミング XML ドキュメントを整理した後に、ドキュメントの構造の最後で `endDocument()` メソッドを呼び出します。ストリーミング XML ドキュメントの構造を正常に構築するには、これら 2 つのメソッドを一緒に使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、あるユーザーに関する要素を含む XML ドキュメントを作成する方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
        .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - endElement()

XML 要素に終了タグを追加します。

有効な XML 要素を作成するには、以下のメソッドをこの順序で使用します。

1. `startElement()` メソッドを使用して開始タグを追加する。
2. `endElement()` メソッドを使用して終了タグを追加する。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、`address` という親要素を構築し、次に 4 つの子要素を書き込む方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
      .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - getXMLString()

XML ドキュメントを文字列として返します。

XML ドキュメントを文字列として返すには、*`XMLStreamingBuilder`* クラスの *`getAttachementId()`* メソッドを呼び出さないでください。詳細については、「XMLStreamingBuilder - スコープ指定」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	*`XMLStreamingAPI`* メソッドを使用して文字列として作成された XML ドキュメント。

次の例では、XML ドキュメントを作成し、それを文字列として返す方法を示します。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder().build();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  builder.startDocument("Employee")
    .enablePrettyPrint()
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()

  outputs.payload = builder.getXMLString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<firstName>John</firstName>
<lastName>Smith</lastName>
<age>25</age>
<address>
  <streetAddress>21 2nd Street</streetAddress>
  <city>Santa Clara</city>
  <state>CA</state>
  <postalCode>11111</postalCode>
</address>
<phoneNumber>
  <type>home</type>
  <number>212 555-1234</number>
  <type>fax</type>
  <number>646 555-4567</number>
</phoneNumber>
```

自動翻訳

XMLStreamingAPI - startDocument(文字列 **rootElement**, オブジェクト **namespaceDefinitionMap)**

XML ドキュメントの構築を開始します。

build() メソッドを呼び出した後、*startDocument()* メソッドを呼び出して XML ドキュメントの整理を開始します。ドキュメントの構造の最後で *endDocument* メソッドを呼び出すことも必要です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rootElement	文字列	オプション。XML ドキュメントのルート要素、または最上位の親要素。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
namespaceDefinitionMap	オブジェクト	オプション。後続の要素リスト内の名前空間のキーと値、および関連する値のマップ。例： `{ 'namespaceOne':'namespaceValue', 'namespaceTwo':'namespaceValue' }`

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、ある従業員に関する情報が入った要素を含む XML ドキュメントを作成する方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
        .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - startElement(文字列 **name**, オブジェクト **namespaceMap**, オブジェクト **attributeMap**, 文字列 **prefix)**

XML 要素に開始タグを追加します。

有効な XML 要素を作成するには、以下のメソッドをこの順序で使用します。

1. *`startElement()`* メソッドを使用して開始タグを追加する。
2. *`endElement()`* メソッドを使用して終了タグを追加する。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	XML 要素の名前。
namespaceMap	オブジェクト	オプション。後続の要素リスト内の名前空間のキーと値、および関連する値のマップ。例：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		`{ 'namespaceOne':'namespaceValue', 'namespaceTwo':'namespaceValue' }`
attributeMap	オブジェクト	オプション。後続の要素リスト内の属性のキーと値、および関連する値のマップ。
プリフィックス	文字列	オプション。XML 要素のプリフィックス。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、*address* という親要素を構築し、次に 4 つの子要素を書き込む方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
      .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeArray(文字列 **elementName**, アレイ **data**, 文字列 **wrappingElement)**

事前定義されたテキストを含むネストされた要素のリストを、ストリーミング XML ドキュメントに追加します。

startDocument() メソッドを呼び出した後、*writeArray()* メソッドを呼び出して、ネストされた要素のブロックをストリーミング XML ドキュメントに追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
elementName	文字列	*data* アレイの一覧にある各文字列に関連付けられた XML 要素の名前。
data	アレイ	*wrappingElement* 内にネストされた各要素に割り当てる値のリスト。
wrappingElement	文字列	各 *elementName* を含む親要素。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、`OfficeLocations`という名前の親要素を構築し、5 つの `city` 要素のアレイをネストする方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
      .writeArray('city', ['Santa Clara','San
 Diego','Chicago','Sydney','London'], 'officeLocations')
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeAttribute(文字列 **name**, 文字列 **value)**

XML ドキュメント内の要素に属性を追加します。

startDocument()、*startElement()*、または *writeTextElement()* メソッドを呼び出した後、*writeAttribute()* メソッドを呼び出して、関連する XML 要素に属性を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	XML 要素の属性の名前。
value	文字列	XML 要素の属性の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、*idNumber* という属性を *employee* 要素に追加します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
    .writeAttribute('idNumber','12345')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeAttributes(オブジェクト **attributeMap)**

XML ドキュメント内の要素に属性を追加します。

startDocument()、*startElement()*、または *writeTextElement()* メソッドを呼び出した後、*writeAttributes()* メソッドを呼び出して、関連する XML 要素に複数の属性を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributeMap	オブジェクト	XML 要素に関連付ける属性名と値を含む、キーと値のマップ。例： `{ 'attributeOne':'attributeValue', 'attributeTwo':'attributeValue' }`

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、*idNumber*、*officeLocation*、および *department* という属性を *employee* 要素に追加します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
    .writeAttributes({'idNumber':'12345', 'officeLocation':'San Diego',
 'department':'Sales'})
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeCData(文字列 data)

CDATA を XML ドキュメントに追加します。

writeCDataElement() メソッドを呼び出した後、*writeCData()* メソッドを呼び出して要素内に CDATA を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	文字列	CDATA 要素内の CDATA キーワードの後に含める値。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、CDATA を CDATA 要素 `timeWorked` に追加します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
        .writeCDataElement('timeWorked')
        .writeCData('< 2 years')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeCDataElement(文字列 **name**, 文字列 **data**, オブジェクト **prefix)**

CDATA の要素を XML ドキュメントに追加します。

`startDocument()` メソッドを呼び出した後、*`writeCDataElement()`* メソッドを呼び出して、CDATA の要素を XML ドキュメントに追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	CDATA の要素の名前。
data	文字列	オプション。CDATA の要素の解析対象となるデータのタイプ。
プリフィックス	オブジェクト	オプション。CDATA の要素に含まれる子要素と値のマップ。例： `{ 'prefixOne':'prefixValue', 'prefixTwo':'prefixValue' }` writeNamespace() を使用して、XML 要素の接頭辞を名前空間に関連付ける必要があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、`address` という名前のドキュメントタイプ定義を使用して、XML ドキュメントの内部ドキュメントタイプ定義を定義します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
  .writeDtd('address')
  .writeCDataElement('home', '#PCDATA', {'streetAddress', 'city',
 'state', 'postalCode'})
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeCharacters(文字列 text)

XML ドキュメントにテキストを追加します。

XML ドキュメントのセクションに文字列データを挿入するには、*writeCharacters()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	XML ドキュメントのセクションに追加するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、XML ドキュメントの要素にテキスト値を追加する方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .startElement('firstName')
        .writeCharacters('John')
        .EndElement()
        .startElement('lastName')
        .writeCharacters('Smith')
        .endElement()
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeComment(文字列 comment)

XML ドキュメントにコメントを追加します。

startDocument() メソッドを呼び出した後、*writeComment()* メソッドを呼び出して、XML ドキュメントにコメントを追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
comment	文字列	含めるコメントのテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例は、XML ドキュメントにコメントを追加する方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .writeComment('Element for information related to active
 employees.')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeDtd(文字列 dtd)

ドキュメントタイプの定義を XML ドキュメントに追加します。

startDocument() メソッドを呼び出した後、*writeDtd()* メソッドを呼び出して、XML ドキュメントに有効な XML ドキュメントタイプ定義を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dtd	文字列	有効な XML ドキュメントタイプ定義の名前。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、*address*というドキュメントタイプ定義を使用して、XML ドキュメントの内部ドキュメントタイプ定義を定義します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment()
    .expiresAt(ttl)
    .build();

  builder.startDocument("Employee")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .writeDtd('address')
  .writeCDataElement('home', '#PCDATA', {'streetAddress', 'city',
 'state', 'postalCode'})
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
  .endDocument()

  gs.log(builder.getAttachmentId());
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeNamespace(文字列 **prefix**, 文字列 **namespaceURI)**

XML ドキュメント内の要素に名前空間を追加します。

startDocument()、*startElement()*、または *writeTextElement()* メソッドを呼び出した後、*writeNamespace()* メソッドを呼び出して、関連する XML 要素に名前空間を追加できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
prefix	文字列	XML 名前空間のプリフィックス。
namespaceURI	文字列	オプション。名前空間の URI。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例は、`company` というルート要素に名前空間と URI を追加し、ネストされた `companyName` 要素にプリフィックスを割り当てる方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('company')
    .writeNamespace('x','https://www.servicenow.com')
        .writeTextElement('companyName', 'ServiceNow')
        .writeNamespace('x')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

XMLStreamingAPI - writeNamespaces(オブジェクト namespaceMap)

XML ドキュメント内のルート要素に名前空間を追加します。

startDocument() または *startElement()* メソッドを呼び出した後、*writeNamespaces()* メソッドを呼び出して、関連する XML 要素の名前空間を宣言できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
namespaceMap	オブジェクト	XML ドキュメントのルート要素に関連付ける名前空間のプリフィックスと URI を含む、キーと値のマップ。例： `{ 'namespaceOne':'namespaceValue', 'namespaceTwo':'namespaceValue' }`

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

この例では、*company* というルート要素に 2 つの名前空間と URI を追加し、その後ネストされた要素に適切なプリフィックスを割り当てます。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('company')
    .writeNamespaces({'x':'https://www.servicenow.com',
 'y':'https://www.developer.servicenow.com'})
        .writeTextElement('companyName', 'ServiceNow')
        .writeNamespace('x')
        .writeTextElement('devFramework', 'UI Framework')
        .writeNamespace('y')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingAPI - writeTextElement(文字列 name, 文字列 text, オブジェクト prefix)

単一の XML 要素を XML ドキュメントに追加します。

startDocument() メソッドを呼び出した後、*writeTextElement()* メソッドを呼び出して、単一の XML 要素を XML ドキュメントの構造に追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	XML 要素の名前。
text	文字列	XML 要素の値。
prefix	オブジェクト	オプション。XML 要素に関連付けられたプリフィックスと値のマップ。例： `{ 'prefixOne':'prefixValue', 'prefixTwo':'prefixValue' }` writeNamespace() を使用して、XML 要素の接頭辞を名前空間に関連付ける必要があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例は、ある従業員に関する情報が入った要素を 3 つ含む XML ドキュメントを作成する方法を示します。

```
try {
    var ttl = new GlideDateTime('2011-01-01 12:00:00');
    var builder = new
 sn_ih.XMLStreamingBuilder().withAttachment().expiresAt(ttl);
    var streamingDocument = builder.build();

    streamingDocument.startDocument('Employee')
        .writeTextElement('firstName', 'John')
        .writeTextElement('lastName', 'Smith')
        .writeTextElement('age', '25')
    .endDocument();
    gs.log(streamingDocument.getAttachmentId());
} catch (err) {
    gs.log(err);
} finally {
    streamingDocument.close();
}
```

XMLStreamingBuilder - スコープ指定

大規模な XML ペイロードをビルドするためのビルダーオブジェクトを作成し、それを REST または SOAP 要求で使用して大量のデータをサードパーティ API に送信します。非ストリーミングオプション用の XML 文字列としてペイロードを作成することもできます。

これらのメソッドを フローデザイナー スクリプトステップで `sn_ih` 名前空間識別子とともに使用します。たとえば、この API を使用して フローデザイナー スクリプトステップで XML ペイロードを作成し、戻り値を REST ステップに渡して、要求をサードパーティサービスに送信できます。詳細については、「フローデザイナー スクリプトステップ」を参照してください。

注: この API は フローデザイナー 環境内でのみ使用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

API 呼び出し順

XML ペイロードを生成するには、まず *XMLStreamingBuilder* を使用してビルダーオブジェクトをインスタンス化し、次に *XMLStreamingAPI* クラスのメソッドを呼び出します。

1. *XMLStreamingBuilder*：ビルダーオブジェクトを作成する

   下記のメソッドを次の順番で使用して、ビルダーオブジェクトを作成します。

   1. *XMLStreamingBuilder()*：XMLStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。
   2. *withAttachment()*：オプション。添付ファイルとして XML ドキュメントを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API はペイロードを XML 文字列としてビルドします。
   3. *expiresAt()*：オプション。添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。デフォルトは false です。*withAttachment()* メソッドも呼び出す必要があります。
   4. *build()*：XMLStreamingAPI オブジェクトを返します。

2. *XMLStreamingAPI*：XML ペイロードをビルドする

   下記のメソッドを次の順番で使用して、XML ペイロードを作成します。

   1. *startDocument()*： XML ドキュメントの最上位の親要素を作成します。
   2. XML ドキュメントに子要素を生成するメソッド：*writeTextElement()*、*startElement()*、*writeArray()* など。
   3. 要素の属性を生成するメソッド：*writeAttribute()*、*writeNamespace()*、*writeDtd()* など。
   4. *endElement()*： XML 要素を閉じます。
   5. *endDocument*： 最上位の親要素を閉じます。
   6. *getXMLString()* または *getAttachmentId()*：作成した XML 文字列または添付ファイル ID を返します。
   7. *close()*：XMLStreamingAPI オブジェクトを閉じます。

サイズ制限

この API を介して生成されたペイロードは、次のサイズ制限を超えることはできません。

- 添付ファイル：200 MB
- 文字列：5 MB

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
 within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

  builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
 document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
 and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
 child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

一方この例は、スクリプトステップで API を使用してペイロードを XML 文字列として作成する方法を示しています。このオプションを使用すると、5 MB 未満のペイロードを作成できます。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder().build();

  builder.startDocument("Employee")
    .enablePrettyPrint()
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  outputs.payload = builder.getXMLString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<firstName>John</firstName>
<lastName>Smith</lastName>
<age>25</age>
<address>
  <streetAddress>21 2nd Street</streetAddress>
  <city>Santa Clara</city>
  <state>CA</state>
  <postalCode>11111</postalCode>
</address>
<phoneNumber>
  <type>home</type>
  <number>212 555-1234</number>
  <type>fax</type>
  <number>646 555-4567</number>
</phoneNumber>
```

XMLStreamingBuilder - XMLStreamingBuilder()

XMLStreamingBuilder オブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

この例では、`builder` オブジェクトをインスタンス化する方法を示します。

```
var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
```

XMLStreamingBuilder - build()

XMLStreamingAPI オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingAPI	ペイロードをビルドするためのストリーミング XML オブジェクト。

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```

try {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
 var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

 builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
attachment.
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingBuilder - expiresAt(オブジェクト expiresAt)

添付ファイルの有効期限が切れる時刻を設定します。*withAttachment()* メソッドも呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
expiresAt	GlideDateTime	添付ファイルの有効期限が切れるまでの時間を設定するオブジェクト。 • 最小値：添付ファイルが作成されてから 7200 秒 (2 時間)。これは、*expiresAt()* メソッドを呼び出さない場合のデフォルト値です。 • 最大値：添付ファイルが作成されてから 172800 秒 (48 時間)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingBuilder	XML ペイロードを開始するために使用するビルダーオブジェクト。

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
 within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

  builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
 document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
 and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
 child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

XMLStreamingBuilder - withAttachment()

添付ファイルとして XML ドキュメントを作成し、ストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納します。このメソッドを呼び出さない場合、API は XML ドキュメントを文字列として作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
XMLStreamingBuilder	XML ペイロードを開始するために使用するビルダーオブジェクト。

次の例では、XML ドキュメントを作成し、定義された有効期限と一緒にストリーミング添付ファイル [streaming_attachment] テーブルに格納する方法を示します。

```
try {
  var ttl = new GlideDateTime("2011-01-01 12:00:00");
  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder()
    .withAttachment() // Creates the XML document in streaming mode
 within an attachment.
    .expiresAt(ttl) // Sets an expiration date for the attachment.
    .build(); // Creates the XMLStreamingAPI object.

  builder.startDocument("Employee") // Begins generating the XML
 document.
    .writeTextElement("firstName","John") // Writes a "firstName" element
 and value.
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address") // Adds an "address" parent element.
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street") // Writes a
 child element and value.
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement() // Adds a closing tag for the "address" element.
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument() // Stops generating the XML document.

  gs.log(builder.getAttachmentId()); // Returns the sys_id of the
 attachment.
} catch (err) {
  gs.log(err);
} finally {
  builder.close();
}
```

この例は、XML ペイロードを構築して文字列として保存する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
(function execute(inputs, outputs) {

  var builder = new sn_ih.XMLStreamingBuilder().build();

  builder.startDocument("Employee")
    .enablePrettyPrint()
    .writeTextElement("firstName","John")
    .writeTextElement("lastName","Smith")
    .writeTextElement("age","25")
    .startElement("address")
      .writeTextElement("streetAddress", "21 2nd Street")
      .writeTextElement("city", "Santa Clara")
      .writeTextElement("state", "CA")
      .writeTextElement("postalCode", "11111")
    .endElement()
    .startElement("phoneNumber")
      .writeTextElement("type","home")
      .writeTextElement("number","212 555-1234")
      .writeTextElement("type","fax")
      .writeTextElement("number","646 555-4567")
    .endElement()
  .endDocument()

  outputs.payload = builder.getXMLString();

})(inputs, outputs);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<firstName>John</firstName>
<lastName>Smith</lastName>
<age>25</age>
<address>
  <streetAddress>21 2nd Street</streetAddress>
  <city>Santa Clara</city>
  <state>CA</state>
  <postalCode>11111</postalCode>
</address>
<phoneNumber>
  <type>home</type>
  <number>212 555-1234</number>
  <type>fax</type>
  <number>646 555-4567</number>
</phoneNumber>
```

XMLUtilJS - グローバル

XMLUtilJS スクリプトインクルードは、JavaScript をディスカバリースクリプトで使用するための XML ユーティリティメソッドを提供します。

このスクリプトインクルードは、 ディスカバリー プラグインで提供されます。このスクリプトインクルードは、XML ユーティリティが必要なサーバーサイド ディスカバリー スクリプトで使用します。

ここで説明するメソッドには、静的変数 *XMLUtilJS* を使用してアクセスします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

XMLUtilJS - escapeForXMLText(文字列 text)

指定された文字列のエスケープテキストを提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	書式設定するテキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定されたテキスト。

次の例では、エスケープ処理された XML データリストをドキュメント内に示す方法を示します。「*stringToValue()*」も参照してください。

```
// Create an XML document to work with
var doc = new XMLDocument2();

// Add an element called catalog
var catalog = doc.createElement('catalog');

// Set current element to the one previously made to add more elements
doc.setCurrentElement(catalog);

// Add an element called catalog
var bookAttribute = doc.createElement('book');

// Add an attribute to the element created
bookAttribute.setAttribute('id', 'bk101');

// Create multiple elements with a defined value
doc.createElementWithTextValue('author', 'Gambardella, Matthew');
doc.createElementWithTextValue('title', 'XML Developer');
doc.createElementWithTextValue('genre', 'Computer');
doc.createElementWithTextValue('price', '44.95');

// Pass the created XML document as a string to the XMLUtilJS API
 function
var escapedXML = XMLUtilJS.escapeForXMLText(doc.toString());

// Print the escapedXML. If an invalid XML is created, the original value
 will be returned
gs.print(escapedXML);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><catalog><book
 id="bk101"/><author>Gambardella, Matthew</author><title>XML
 Developer</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price></catalog>
```

XMLUtilJS - stringToValue(文字列 str)

文字列を XML 値に変換します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
str	文字列	変換する文字列。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された文字列が XML に変換されます。

次の例では、エスケープ処理された XML の文字列をタグ付き XML 出力に変換する方法を示します。「*escapeForXMLText()*」も参照してください。

```
//Example of an escaped XML string, previously generated by
 XMLUtilJS.escapeForXMLText()
var escapedXML = '<catalog><book id="bk101"><author>Gambardella,
 Matthew</author><title>XML Developer\'s
 Guide</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price><publish_date>20
00-10-01</publish_date><description>An in-depth look at creating
 applications with XML.</description></book></catalog>';

//Pass in escaped XML text and store output in a variable
var output = XMLUtilJS.stringToValue(escapedXML);

// If the input value is a string value of NULL, the output will be null,
 otherwise an unescaped XML string value.
gs.print(output);
```

出力：

```
<catalog><book id="bk101"><author>Gambardella, Matthew</author><title>XML
 Developer's
 Guide</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price><publish_date>20
00-10-01</publish_date><description>An in-depth look at creating
 applications with XML.</description></book></catalog>
```

XMLUtilJS - unescapeForXMLText(文字列 **text)**

指定された文字列のエスケープされていない XML を提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	クリーンアップする XML テキスト。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クリーンアップされた XML 文字列。

次の例では、エスケープ処理された XML 文字列をタグ付き XML 出力に変換する方法を示します。「*escapeForXMLText()*」も参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Example of an escaped XML string, previously generated by
 XMLUtilJS.escapeForXMLText()
var escapedXML = '<catalog><book id="bk101"><author>Gambardella,
 Matthew</author><title>XML Developer\'s
 Guide</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price><publish_date>20
00-10-01</publish_date><description>An in-depth look at creating
 applications with XML.</description></book></catalog>';

//Pass in escaped XML text and store output in a variable
var output = XMLUtilJS.unescapeForXMLText(escapedXML);


//Print the escapedXML. If the XML is invalid, the original value will be
 returned
gs.print(output);
```

出力：

```
<catalog><book id="bk101"><author>Gambardella, Matthew</author><title>XML
 Developer's
 Guide</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price><publish_date>20
00-10-01</publish_date><description>An in-depth look at creating
 applications with XML.</description></book></catalog>
```

XMLUtilJS - valueToString(文字列 **XMLvalue)**

XML 値を文字列に変換します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
XMLvalue	文字列	変換する XML

返される内容

タイプ	説明
文字列	文字列に変換された XML 値。

次の例では、XML ドキュメントを文字列に変換する方法を示します。

```
//Create an XML document to work with
var doc = new XMLDocument2();

//Add an element called catalog
var catalog = doc.createElement("catalog");

//Set our current element to the one previously made to add further
 elements
doc.setCurrentElement(catalog);

//Add an element called catalog
var bookAttribute = doc.createElement("book");

//Add an attribute to the element created
bookAttribute.setAttribute("id" , "bk101");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//create multiple elements with a defined value
doc.createElementWithTextValue("author" , "Gambardella, Matthew");
doc.createElementWithTextValue("title" , "XML Developer");
doc.createElementWithTextValue("genre" , "Computer");
doc.createElementWithTextValue("price" , "44.95");

//Pass the created XML document as a string to the XMLUtilJS API
 function.
var escapedXML = XMLUtilJS.valueToString(doc.toString());

// Print the results
// Returns NULL if XML is invalid
gs.print(escapedXML);
```

出力：

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><catalog><book
 id="bk101"/><author>Gambardella, Matthew</author><title>XML
 Developer</title><genre>Computer</genre><price>44.95</price></catalog>
```

クライアント API リファレンス

クライアントサイドの JavaScript API を使用して、Web ブラウザー内での表示方法と機能を制御し Now Platform 。このリファレンスには、エンド ユーザー エクスペリエンスの制御に役立つパラメーター、説明、および例とともに、使用可能なクラスとメソッドが一覧表示されます。

スタンドアロンクライアントメソッド

スタンドアロン クライアント メソッドは、reflistOpen などのクライアント JavaScript 内で使用できるメソッドですが、クラスや API の一部ではありません。

これらのメソッドには、使用する前にコンストラクターやその他の種類のインスタンス化を行うことなく、クライアントスクリプト内で直接アクセスできます。

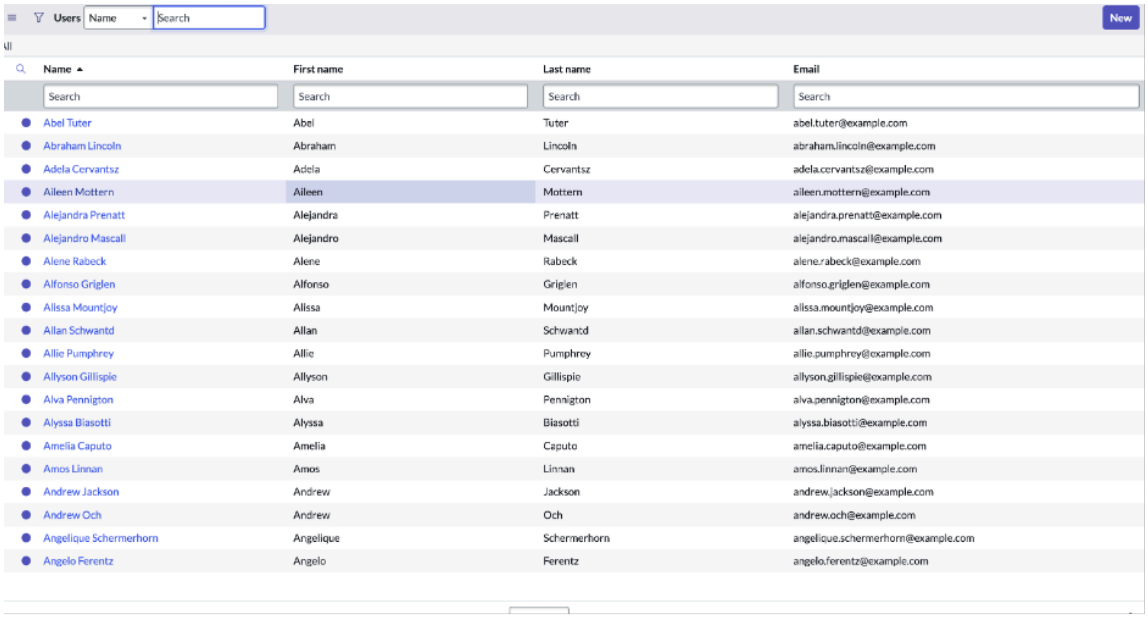
スタンドアロン **- reflistOpen** (文字列 target、文字列 elementName、文字列 refTableName、文字列依存、文字列 useQBE、文字列 refQualElements、文字列 additionalQual、文字列 parentID、文字列 forceReference、文字列 **ignoreTargetValue)**

標準のポップアップウィンドウに参照フィールドデータを表示します。この方法は、UI 16 フォームで参照フィールドの横にある虫眼鏡アイコンを選択するときによく使用されます。

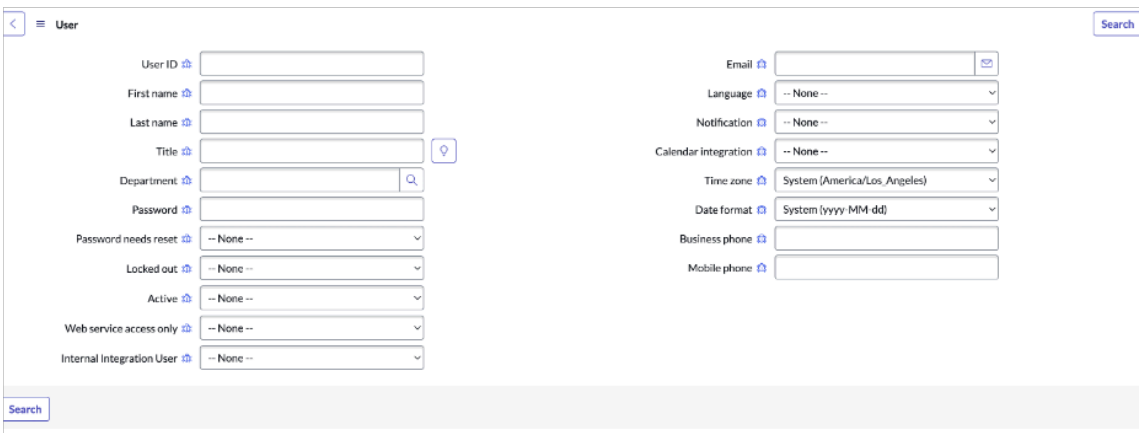
たとえば、このメソッドを使用すると、特定のクエリ条件のセットの参照フィールドデータを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



同様に、このメソッドを使用して、ユーザーが表示する参照フィールドデータを選択するための独自のクエリ条件のセットを入力できる検索フォームを表示できます。



標準ポップアップで URL を開くときに、URL の長さが TinyURL の長さ (デフォルトでは 1024) より大きい場合、次のように URL が TinyURL に変換されます。

`"sys_user_list.do?sysparm_tiny=7ea02c4ff8a8b510f877c74d78b60460"` です。

注:

`reflistOpen()` はワークスペースクライアントスクリプトではサポートされていません。代わりに *`g_modal.showFrame()`* メソッドを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
target	文字列	フォームターゲット参照フィールド ID。 たとえば、 `caller_id` パラメーターのターゲット参照フィールド ID は `incident.caller_id`です。
elementName	文字列	フォーム参照フィールドの要素名。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		例: `caller_id`
refTableName	文字列	フォーム参照フィールドにマップする参照テーブル。 たとえば、参照フィールド `caller_id` の場合、sys_user が参照テーブルです。この場合、値 `sys_user` を渡します。
dependent	文字列	指定された *target* 要素の構成済み依存フィールド。 詳細については、「フィールドに依存にする」を参照してください。
QBE を使用	文字列	ポップアップウィンドウで返す情報のタイプを示すフラグ。 有効な値： • true:検索ボタン付きのクエリフォームを表示します。 • false:クエリ結果を表示します。 デフォルト値：false
refQualElement	文字列	指定された *target* 要素の構成済み参照修飾子。この関数は、指定された参照修飾子を URL に追加し、フィルタリングされた結果のみをポップアップウィンドウに表示します。参照修飾子を含めない場合は、空の文字列を渡します。 参照修飾子の詳細については、「参照修飾子」を参照してください。
additionalQual	文字列	オプション。ポップアップウィンドウに表示される結果をフィルタリングするために使用する追加の修飾子クエリ。 たとえば、インシデントの `caller_id` 参照フィールドの場合、ユーザーの `sys_id` `sys_id=62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1` を渡すことができます。 この関数はユーザー [sys_user] テーブルをフィルタリングし、フィルタリングされた結果をポップアップウィンドウに表示します。
parentID	文字列	オプション。現在は内部パラメータのみで、値を渡す必要はありません。
forceReference	文字列	オプション。現在は内部パラメータのみで、値を渡す必要はありません。
ignoreTargetVal	文字列	オプション。現在は内部パラメータのみで、値を渡す必要はありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ポップアップウィンドウ	返された参照フィールドデータを標準のポップアップウィンドウに表示します。

次の例は、このメソッドを呼び出して、インシデントテーブルのポップアップウィンドウに発信者フィールドデータを表示する方法を示しています (上の最初の画像)。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {
   if (isLoading || newValue === '') {
      return;
   }

   reflistOpen('incident.caller_id', 'caller_id', 'sys_user','company',
 'false', '');
}
```

次の例は、この同じクライアントスクリプトを呼び出す方法を示していますが、 `useQBE = true` を使用して、ポップアップウィンドウ内に検索ボタンと関連する検索条件が表示されます (上の 2 番目の画像)。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {
   if (isLoading || newValue === '') {
      return;
   }

   //  Type appropriate comment here, and begin script below
   reflistOpen('incident.caller_id', 'caller_id', 'sys_user','company',
 'true', '');
}
```


DynamicTranslation - クライアント

DynamicTranslation API は、翻訳サービスプロバイダーを使用してテキストを複数の言語にリアルタイムで翻訳するメソッドを提供します。 この API は、標準クライアントと Angular ベースのサービスポータル クライアントの両方で使用できます。

また、この API を使用して、特定の文字列の言語を検出し、翻訳サービスに対して *DynamicTranslation* メソッドが有効になっているかどうかをチェックできます。この API を使用して、ユーザーインターフェイスのシームレスなローカライズエクスペリエンスを作成し、1 つのインターフェイスで複数の国にサービスを提供できるようにします。

現在、この API は、Microsoft Azure Translator サービスと Google Cloud Translator サービスの 2 つの翻訳サービスプロバイダーをサポートしています。インスタンス内で他の翻訳サービスを設定し、*DynamicTranslation* API を使用してテキストを翻訳することもできます。

この API を使用するには、Dynamic Translation プラグインをアクティブ化する必要があります。このプラグインの詳細と動的翻訳の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。また、この API を サービスポータル ウィジェットで使用するには、dynamicTranslation サービスをウィジェットのクライアントスクリプト関数に挿入する必要があります。

> **注:** サービスポータル クライアントで使用するクラスの名前は *dynamicTranslation* です。一方、標準クライアントで使用するクラスの名前は *DynamicTranslation* です。

DynamicTranslation - getDetectedLanguage(文字列 **text**, オブジェクト **parms)**

渡されたテキストの言語を検出します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

翻訳者を渡すと、 メソッドはその翻訳サービスを使用してソース言語を検出します。それ以外の場合は、デフォルトの翻訳サービスによって検出が実行されます。指定するテキスト文字列に、適切な言語検出を可能にするのに十分な言い回しが含まれていることを確認してください。

応答には、検出された言語に加えて、検出の信頼性レベルと他の考えられる代替言語が含まれています。翻訳者が渡されない場合、このメソッドは言語の検出に使用されるデフォルトの翻訳サービスも返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
text	文字列	言語の検出に使用するテキストです。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "translator": "String" }`
parms.translator	文字列	文字列の言語を検出するために使用する翻訳サービス。翻訳サービスは、[翻訳者構成] メニューで構成され、翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルに置かれます。 可能な値 - 大文字と小文字を区別しない： • Google • Microsoft • IBM • <custom> **注:** カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
alternatives	一致する可能性がある他の言語を説明するオブジェクトのアレイです。 データタイプ：アレイ `"alternatives": [ { "code": "String", "confidence": "String", "name": "String"`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	<pre> }]</pre>
alternatives.code	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
alternatives.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
alternatives.name	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列

detectedLanguage	検出された言語の説明です。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"detectedLanguage": {
	  "code": "String",
	  "confidence": "String",
	  "name": "String"
	}</pre>

detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとエラーの根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。 (40000)：言語を検出するためのテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。 (40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「 動的翻訳の概要 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。 (40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。 (40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • デフォルトの翻訳者が検出用に構成されていません。 (40011)：[翻訳者構成] で言語検出のデフォルトの翻訳サービスが指定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が検出用に構成されていません。 (40013)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で言語検出用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。 (40052)：言語検出のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。

この例は、標準のクライアントスクリプトで IBM の翻訳サービスを使用して英語の文字列を検出するコードを示しています。

```
var detectedResponse = DynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please
 detect the language of this text',
 {"translator":'IBM'}).then(function(res) {console.log(res); },
 function(res) {console.log(res); } );
```

出力:

```
detectedResponse {
  detectedLanguage:
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    { "code": "en", "confidence": "1", "name": "en" }
  alternatives:
    [
      { "code": "vi", "confidence": "0.86", "name": "vi" },
      { "code": "id", "confidence": "0.86", "name": "id" }
    ]
 }
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするクライアントスクリプトを示しています。

```
var detectedResponse = DynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please
 detect the language of this text',
 {"translator":123}).then(function(res) {console.log(res); },
 function(res) {console.log(res); } );
```

出力:

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is invalid"}
```

この例は、サービスポータル ウィジェットのクライアントスクリプトで IBM の翻訳サービスを使用して英語の文字列を検出するコードを示しています。クラスの名前は `DynamicTranslation` ではなく、`dynamicTranslation` であることに注意してください。

```
var detectedResponse = dynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please
 detect the language of this text',
 {"translator":'IBM'}).then(function(res) {console.log(res); },
 function(res) {console.log(res); } );
```

出力:

```
detectedResponse {
  detectedLanguage:
    { "code": "en", "confidence": "1", "name": "en" }
  alternatives:
    [
      { "code": "vi", "confidence": "0.86", "name": "vi" },
      { "code": "id", "confidence": "0.86", "name": "id" }
    ]
 }
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローする サービスポータル ウィジェットのクライアントスクリプトを示しています。

```
var detectedResponse = dynamicTranslation.getDetectedLanguage('Please
 detect the language of this text',
 {"translator":123}).then(function(res) {console.log(res); },
 function(res) {console.log(res); } );
```

出力:

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is invalid"}
```

DynamicTranslation - getDetectedLanguages(アレイ **texts**, オブジェクト **parms)**

渡されたテキスト文字列の言語を検出します。

翻訳者を渡すと、 メソッドはその翻訳サービスを使用してソース言語を検出します。それ以外の場合は、デフォルトの翻訳サービスによって検出が実行されます。指定するテキスト文字列に、適切な言語検出を可能にするのに十分な言い回しが含まれていることを確認してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答には、検出された言語に加えて、検出の信頼性レベルと他の考えられる代替言語が含まれています。翻訳者が渡されない場合、このメソッドは言語の検出に使用されるデフォルトの翻訳サービスも返します。

ポータルのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *dynamicTranslation* を使用します。たとえば、*dynamicTranslation.getTranslations()* とします。プラットフォームのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *DynamicTranslation* を使用します。たとえば、*DynamicTranslation.getTranslations()* とします。

パラメーター

名前	タイプ	説明

parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。
		`"parms": {`
		`  "translator": "String"`
		`}`

parms.translato	文字列	文字列の言語を検出するために使用する翻訳サービス。翻訳サービスは、[翻訳者構成] メニューで構成され、翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルに置かれます。 可能な値 - 大文字と小文字を区別しない： • Google • Microsoft • IBM • <custom> **注:** カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。
テキスト	アレイ	言語を検出するために使用するテキスト文字列のリスト。

返される内容

タイプ	説明

検出	テキスト文字列の言語検出。
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"detections": {`
	`  "alternatives": [Array],`
	`  "detectedLanguage": {Object},`
	`  "isError": Boolean`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
detections.alternatives	一致する可能性がある他の言語を説明するオブジェクトのアレイです。 データタイプ：アレイ `"alternatives": [ { "code": "String", "confidence": "String", "name": "String" } ]`
detections.alternatives.code	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.alternatives.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detections.alternatives.name	代替言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト `"detectedLanguage": { "code": "String", "confidence": "String", "name": "String" }`
detections.detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.detectedLanguage.confidence	代替言語の信頼性レベルを示す浮動小数点値。値は 0 と 1 の間です。値が小さいほど、信頼性レベルが低くなります。 データタイプ：文字列
detections.detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detections.isError	テキストの言語の検出がエラーとなったかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エラーが発生しました。 • false：言語の検出に成功しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：ブール
status	メソッド呼び出しへの応答のステータス。 可能な値： • エラー • 部分的 • 成功 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとエラーの根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。(40000)：言語を検出するためのテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。(40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに `Dynamic Translation` API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された `translator` パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。 (40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。 (40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • 複数のエラーで要求が失敗しました。 (40010)：言語検出呼び出しで複数のエラーが発生しました。詳細については、個々のテキスト文字列の応答を参照してください。 • デフォルトの翻訳者が検出用に構成されていません。 (40011)：[翻訳者構成] で言語検出のデフォルトの翻訳サービスが指定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• <translator> 翻訳者が検出用に構成されていません。 (40013)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で言語検出用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者構成バージョンが無効です。v3 に移行してください。 (40014)：指定された翻訳サービスに関連付けられている翻訳者構成のバージョンは、指定されたテキスト翻訳方法をサポートしていません。詳細については、「翻訳ツール構成のバージョン v3 への移行」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：言語検出のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。

この例は、Microsoft の翻訳サービスを使用して、渡された文字列の言語として英語を検出するポータルのクライアントスクリプトのコードを示しています。

```
var detectedResponse = dynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First
 text string language to detect", "Second text string language
 to detect"], {"translator": "Microsoft"}).then(function(res)
 {console.log(res);}, function(res) {console.log(res);});
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Success",
  "detections":[
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"},
        {"name":"ms", "code":"ms", "confidence":"0.83"}
      ]
    },
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
        {"name":"fr", "code":"fr", "confidence":"0.83"},
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"}
      ]
    }
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ]
}
```

この例は、2 つのテキスト文字列が渡されて、そのうちの 1 つが無効である場合に Partial というステータスを返すポータルのクライアントスクリプトのコードを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`dynamicTranslation.getDetectedLanguages` を `DynamicTranslation.getDetectedLanguages` に変更します。

```
var detectedResponse = dynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First
 text string language to detect", ""], {"translator":
 "Microsoft"}).then(function(res) {console.log(res); }, function(res)
 {console.log(res); } );
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Partial",
  "detections":[
    {
      "isError":false,
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en", "confidence":"1"},
      "alternatives":[
        {"name":"id", "code":"id", "confidence":"0.83"},
        {"name":"ms", "code":"ms", "confidence":"0.83"}
      ]
    },
    {
      "isError":true,
      "code":"40000",
      "message":"Text is missing or invalid"
    }
  ]
}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするポータルクライアントスクリプトのコードを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`dynamicTranslation.getDetectedLanguages` を `DynamicTranslation.getDetectedLanguages` に変更します。

```
var detectedResponse = dynamicTranslation.getDetectedLanguages(["First
 text string language to detect", "Second text string language
 to detect"], {"translator": "123"}).then(function(res)
 {console.log(res); }, function(res) {console.log(res); } );
gs.info(JSON.stringify(detectedResponse));
```

出力

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is
 invalid","status":"Error"}
```

DynamicTranslation - getTranslation(文字列 **textToTranslate**, オブジェクト **parms)**

渡されたテキストを 1 つ以上の言語に翻訳します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この方法では、Microsoft Azure Translator サービスや Google Cloud Translator サービスなどの翻訳サービスを使用して翻訳を実行します。翻訳パラメーターを渡さない場合、メソッドはシステムのデフォルトを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
textToTranslate	文字列	翻訳するテキスト。
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "additionalParameters": {Object}, "sourceLanguage": "String", "targetLanguages": [Array], "translator": "String" }`
parms.additionalParameters	オブジェクト	オプション。JSON オブジェクトのアレイ。各オブジェクトには、翻訳を実行するための追加情報を提供するキーと値のペアが含まれています。 `"additionalParameters": { "parameterName": "String", "parameterValue": "String" }`
parms.additionalParameters.parameterName	文字列	オプション。キー名。 有効な値： textype：翻訳するテキストのタイプ。Microsoft Azure Translator サービスの場合のみ。
parms.additionalParameters.parameterValue	文字列	オプション。関連付けられたキーの値。 有効な値： • plain：標準的なテキスト文字列 • html：HTML テキスト文字列 デフォルト：plain
parms.sourceLanguage	文字列	オプション。ソーステキストの言語コード。 デフォルト：翻訳サービスがソース言語を検出します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parms.targetLanguages	アレイ	オプション。テキストの翻訳に使用する言語コードのリスト。このメソッドは、言語コードごとに翻訳されたテキストを返します。 デフォルト：ユーザーの優先言語。
parms.translator	文字列	オプション。テキストの翻訳に使用される翻訳サービス (大文字と小文字は区別されません)。 有効な値： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト `"detectedLanguage": { "code": "String", "name": "String" }`
detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
翻訳	言語翻訳を説明するオブジェクトのアレイ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ：アレイ `translations": [ { "targetLanguage": "String", "translatedText": "String" } ]`
translations.targetLanguage	ソーステキストが翻訳された言語コード。 データタイプ：文字列
translations.translatedText	翻訳されたテキスト。 データタイプ：文字列
translator	言語を検出するために使用される翻訳サービス。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。(40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。 (40001)： com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出されました。このプラグインのアクティブ化については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • デフォルトの翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40002)：[翻訳者構成] でデフォルトの翻訳サービスとして選択されている翻訳サービスがありません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。 (40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。 (40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• ターゲット言語 ([targetLanguages] フィールド) が無効です。(40007)：*targetLanguages* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、次のいずれかの理由で有効ではありません。 ◦ 値がアレイではありません ◦ アレイが空です ◦ 1 つまたは複数のエントリが文字列ではありません • ソース言語 ([sourceLanguage] フィールド) が無効です。(40008)：*sourceLanguage* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、値が文字列ではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • <translator> 翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40012)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] でテキスト翻訳用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • ソース言語が無効です。 (40053)：渡された *sourceLanguage* パラメーターに、対応する翻訳サービスでサポートされていない言語コードが含まれています。 • ターゲット言語が無効です。 (40054)：*targetLanguages* パラメーターで渡された 1 つ以上の言語コードが、対応する翻訳サービスでサポートされていません。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • テキストをターゲット言語に翻訳できません。(40056)：指定された翻訳サービスは、渡されたテキストを指定されたターゲット言語に翻訳できません。

この例は、標準のクライアントスクリプトで Microsoft の翻訳サービスを使用して、プレーンテキストコンテンツを、(検出された) 英語からフランス語とイタリア語に翻訳する方法を示しています。

```
DynamicTranslation.getTranslation("Translate this text using platform
 from client", {
  "targetLanguages": ["fr", "it"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{"translations":[
    {
      "targetLanguage":"it",
      "translatedText":"Tradurre questo testo utilizzando la piattaforma
 dal client"
    },
    {
      "targetLanguage":"fr",
      "translatedText":"Traduire ce texte en utilisant la plate-forme du
 client"
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "detectedLanguage":{"code":"en","name":"en"}
}
```

この例は、無効なターゲット言語が渡されたときにエラーをスローするクライアントスクリプトを示しています。

```
DynamicTranslation.getTranslation("Translate this text using platform
 from client", {
  "targetLanguages": ["123"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{"code":"40054","message":"Target language is invalid"}
```

この例は、サービスポータル ウィジェットのクライアントスクリプトで Microsoft の翻訳サービスを使用して、プレーンテキストコンテンツを、(検出された) 英語からフランス語とイタリア語に翻訳する方法を示しています。クラスの名前は `DynamicTranslation` ではなく、`dynamicTranslation` であることに注意してください。

```
dynamicTranslation.getTranslation("Translate this text using platform
 from client", {
  "targetLanguages": ["fr", "it"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"translations":[
    {
      "targetLanguage":"it",
      "translatedText":"Tradurre questo testo utilizzando la piattaforma
 dal client"
    },
    {
      "targetLanguage":"fr",
      "translatedText":"Traduire ce texte en utilisant la plate-forme du
 client"
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "detectedLanguage":{"code":"en","name":"en"}
}
```

この例は、無効なターゲット言語が渡されたときにエラーをスローする サービスポータル ウィジェットのクライアントスクリプトを示しています。

```
dynamicTranslation.getTranslation("Translate this text using platform
 from client", {
  "targetLanguages": [123],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{"code":"40054","message":"Target language is invalid"}
```

DynamicTranslation - getTranslations(アレイ **texts**, オブジェクト **parms**)

渡されたテキスト文字列を 1 つ以上の言語に翻訳します。

この方法では、Microsoft Azure Translator サービスや Google Cloud Translator サービスなどの翻訳サービスを使用して翻訳を実行します。翻訳パラメーターを渡さない場合、メソッドはシステムのデフォルトを使用します。

ポータルのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *dynamicTranslation* を使用します。たとえば、*dynamicTranslation.getTranslations()* とします。プラットフォームのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *DynamicTranslation* を使用します。たとえば、*DynamicTranslation.getTranslations()* とします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テキスト	アレイ	翻訳するテキスト文字列のリストです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parms	オブジェクト	オプション。追加の translation パラメーターを含む JSON オブジェクトです。 `"parms": { "additionalParameters": {Object}, "sourceLanguage": "String", "targetLanguages": [Array], "translator": "String" }`
parms.additionalParameters	オブジェクト	オプション。JSON オブジェクトのアレイ。各オブジェクトには、翻訳を実行するための追加情報を提供するキーと値のペアが含まれています。 `"additionalParameters": { "parameterName": "String", "parameterValue": "String" }`
parms.additionalParameters.parameterName	文字列	オプション。キー名。 有効な値： textype：翻訳するテキストのタイプ。Microsoft Azure Translator サービスの場合のみ。
parms.additionalParameters.parameterValue	文字列	オプション。関連付けられたキーの値。 有効な値： • plain：標準的なテキスト文字列 • html：HTML テキスト文字列 デフォルト：plain
parms.sourceLanguage	文字列	オプション。ソーステキストの言語コード。 デフォルト：翻訳サービスがソース言語を検出します。
parms.targetLanguages	アレイ	オプション。テキストの翻訳に使用する言語コードのリスト。このメソッドは、言語コードごとに翻訳されたテキストを返します。 デフォルト：ユーザーの優先言語。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
parms.translator	文字列	オプション。テキストの翻訳に使用される翻訳サービス (大文字と小文字は区別されません)。 有効な値： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：翻訳者構成 [sn_dt_translator_configuration] テーブルで構成された翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
status	メソッド呼び出しへの応答のステータス。 可能な値： • エラー • 部分的 • 成功 データタイプ：文字列
翻訳	言語翻訳を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `translations": [ { "isError": Boolean; "detectedLanguage": {Object}, "textTranslations": [Array] } ]`
translations.isError	テキストの翻訳がエラーとなったかどうかを示すフラグです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	有効な値： • true：エラーが発生しました。 • false：テキストの翻訳に成功しました。 データタイプ：ブーリアン
translations.detectedLanguage	検出された言語の説明です。 データタイプ：オブジェクト `"detectedLanguage": { "code": "String", "name": "String" }`
translations.detectedLanguage.code	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
translations.detectedLanguage.name	検出された言語の言語コード。 データタイプ：文字列
textTranlations	オブジェクトのアレイ。テキスト文字列の翻訳に使用される言語の説明。 `"textTranslation": { "targetLanguage": "String", "translatedText": "String" }`
textTranslations.targetLanguage	ソーステキストが翻訳された言語コード。 データタイプ：文字列
textTranslations.translatedText	翻訳されたテキスト。 データタイプ：文字列
translator	テキストの翻訳に使用される翻訳サービスです。 データタイプ：文字列
エラーメッセージ	メソッドが返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が欠落しているか無効です。 (40000)：翻訳するテキストが欠落しているか、文字列ではありません。 • Dynamic Translation プラグインがインストールされていません。 (40001)：com.glide.dynamic_translation プラグインを有効にせずに *Dynamic Translation* API が呼び出され

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	ました。このプラグインのアクティブ化については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • デフォルトの翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40002)：[翻訳者構成] でデフォルトの翻訳サービスとして選択されている翻訳サービスがありません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。(40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。 • <translator> 翻訳者が構成されていません。(40004)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • <translator> 翻訳者が非アクティブです。(40005)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] で [アクティブ] に設定されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。 • 追加のパラメーターが無効です。 (40006)：渡された追加のパラメーターはオブジェクトではありません。 • ターゲット言語 ([targetLanguages] フィールド) が無効です。 (40007)：*targetLanguages* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、次のいずれかの理由で有効ではありません。 ◦ 値がアレイではありません ◦ アレイが空です ◦ 1 つまたは複数のエントリが文字列ではありません • ソース言語 ([sourceLanguage] フィールド) が無効です。 (40008)：*sourceLanguage* パラメーターが呼び出しで渡されましたが、値が文字列ではありません。 • 最大時間制限を超えました。(40009)：翻訳構成で指定された定義済みのタイムアウト値よりも長い時間が操作にかかりました。 デフォルト：40 秒 • 複数のエラーで要求が失敗しました。 (40010)：言語検出呼び出しで複数のエラーが発生しました。詳細については、個々のテキスト文字列の応答を参照してください。 • <translator> 翻訳者が翻訳用に構成されていません。(40012)：指定された翻訳サービスが [翻訳者構成] でテキスト翻訳用に構成されていません。翻訳ツール構成の作成/変更については、「翻訳ツール構成の作成」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 翻訳者構成バージョンが無効です。v3 に移行してください。 (40014)：指定された翻訳サービスに関連付けられている翻訳者構成のバージョンは、指定されたテキスト翻訳方法をサポートしていません。詳細については、「翻訳ツール構成のバージョン v3 への移行」を参照してください。 • 不明なエラーが発生しました。(40051):エラーが他のカテゴリに分類されない場合にスローされる既定のエラー。 • テキスト ([テキスト] フィールド) が最大長を超えました。(40052)：翻訳のために渡されたテキストが、対応する翻訳サービスでサポートされている最大長を超えています。 • ソース言語が無効です。 (40053)：渡された *sourceLanguage* パラメーターに、対応する翻訳サービスでサポートされていない言語コードが含まれています。 • ターゲット言語が無効です。 (40054)：*targetLanguages* パラメーターで渡された 1 つ以上の言語コードが、対応する翻訳サービスでサポートされていません。 • 資格情報がないか無効であるため、要求は許可されません (40055)：[接続 & 資格情報] で翻訳サービス用に構成された認証情報が無効です。接続と資格情報の詳細については、「動的翻訳の概要」を参照してください。 • テキストをターゲット言語に翻訳できません。 (40056)：指定された翻訳サービスは、渡されたテキストを指定されたターゲット言語に翻訳できません。

この例は、Microsoft の翻訳サービスを使用してテキスト文字列のリストをフランス語とイタリア語に翻訳するポータルクライアントスクリプトのコードを示しています。

```
dynamicTranslation.getTranslations(["Translate first text using portal
 from client", "Translate second text using portal from client"], {
  "targetLanguages": ["fr", "it"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{
  "translations":[
    {
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "isError":false,
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Tradurre il primo testo utilizzando il
 portale dal client"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le premier texte à l'aide du portail
 à partir du client"
        }
      ],
      "detectedLanguage": {"name":"en", "code":"en"}
    },
    {
      "isError":false,
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Traduci il secondo testo utilizzando il
 portale dal client"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le deuxième texte à l'aide du
 portail à partir du client"
        }
      ],
      "detectedLanguage": {"name":"en", "code":"en"}
    }
  ],
  "translator":"Microsoft",
  "status":"Success"
}
```

この例は、渡された 2 つのテキスト文字列のうちの 1 つが無効である場合に Partial というステータスを返すポータルのクライアントスクリプトを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`dynamicTranslation.getTranslations` を `DynamicTranslation.getTranslations` に変更します。

```
dynamicTranslation.getTranslations(["Translate first text using portal
 from client", ""], {
  "targetLanguages": ["fr", "it"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": "Microsoft"
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{
  "translations":[
    {
      "isError":false,
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "textTranslations":[
        {
          "targetLanguage":"it",
          "translatedText":"Tradurre il primo testo utilizzando il
 portale dal client"
        },
        {
          "targetLanguage":"fr",
          "translatedText":"Traduire le premier texte à l'aide du portail
 à partir du client"
        }
      ],
      "detectedLanguage":{"name":"en", "code":"en"}
    },
    {
      "isError":true,
      "code":"40000",
      "message":"Text is missing or invalid"
    }
  ],
 "translator":"Microsoft",
 "status":"Partial"
}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするポータルのクライアントスクリプトを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`dynamicTranslation.getTranslations` を `DynamicTranslation.getTranslations` に変更します。

```
dynamicTranslation.getTranslations(["Translate first text using portal
 from client", "Translate second text using portal from client"], {
  "targetLanguages": ["fr", "it"],
  "additionalParameters": [{
    "parameterName": "texttype",
    "parameterValue": "plain"
  }],
  "translator": 123
 }).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

応答：

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is
 invalid","status":"Error"}
```

DynamicTranslation - isEnabled(文字列 translator)

DynamicTranslation API のさまざまなメソッドを翻訳サービスに対して有効にするかどうかを決定します。

特定の翻訳サービスを渡すと、メソッドはその翻訳サービスのメソッドのアクティブ化をチェックします。それ以外の場合、メソッドはデフォルトの翻訳サービスをチェックします。

ポータルのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *dynamicTranslation* を使用します。例えば *dynamicTranslation.isEnabled()* とします。プラットフォームのクライアントスクリプトからこのメソッドを呼び出す場合は、クラス名 *DynamicTranslation* を使用します。例えば *DynamicTranslation.isEnabled()* とします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
translator	文字列	オプション。メソッドがアクティブかどうかを確認するために使用する翻訳サービス。翻訳サービスは、[翻訳者構成] メニューで構成します。 可能な値 - 大文字と小文字を区別しない： • Google • Microsoft • IBM • <custom> 注: カスタム翻訳サービスを使用するには、最初にインスタンスで翻訳サービスを設定する必要があります。詳しくは、 翻訳サービスプロバイダーとの統合 をご覧ください。 デフォルト：デフォルトの翻訳サービス。

返される内容

タイプ	説明
batchDetection	`getDetectedLanguages()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
batchTranslation	`getTranslations()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
detection	`getDetectedLanguage()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
translation	`getTranslation()` メソッドが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true：有効 • false：無効 データタイプ：ブール
エラーメッセージ	API が返す可能性があるエラーメッセージとその根本原因の表示を以下に示します。 • 翻訳者 ([翻訳者] フィールド) が無効です。 (40003)：渡された *translator* パラメーターが文字列ではありません。

この例は、Microsoft の翻訳サービスに対して *DynamicTranslation* メソッドが有効になっているかどうかをチェックするクライアントスクリプトを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`DynamicTranslation.getTranslations` を `dynamicTranslation.getTranslations` に変更します。

```
DynamicTranslation.isEnabled('Microsoft').then(function(res){console.log(
res);}, function(res){console.log(res);});
```

出力:

```
{"detection":true,"batchTranslation":true,"batchDetection":true,"translat
ion":true}
```

この例は、無効な翻訳サービスが渡されたときにエラーをスローするクライアントスクリプトを示しています。プラットフォームのクライアントスクリプトでこのコード例を使用するには、`DynamicTranslation.getTranslations` を `dynamicTranslation.getTranslations` に変更します。

```
DynamicTranslation.isEnabled(123).then(function(res){console.log(res);},
 function(res){console.log(res);});
```

出力:

```
{"code":"40003","message":"Translator (\"translator\" field) is invalid"}
```

g_service_catalog - クライアント

g_service_catalog API は、モデルが開いているときに複数行の変数セット (MRVS) のデータにアクセスするメソッドを提供します。

この API は、サービスポータル、Now Platform、ワークスペース、Now® Mobileなど、すべての環境で使用できます。

g_service_catalog - getValue(文字列 variableName)

クライアントスクリプトで複数行の変数セット (MRVS) に対して使用されると、カタログアイテムフォーム上の指定されたフィールドの値を返します。

このメソッドは、MRVS モーダルを編集または作成のために開いているときに親カタログアイテムフォームのフィールドの値に基づいて MRVS 内のデータを変更する場合に使用します。例えば、親フォームのチェックボックスに基づいて MRVS 内のセルの内容を変更する必要がある場合です。このメソッドを使用すると、同じ親フォーム内の他の MRVS 要素のデータにアクセスすることもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このメソッドは、*g_service_catalog.parent.getValue()* などの親オブジェクトからのみ呼び出すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
variableName	文字列	返されるカタログアイテムフォーム内の変数の名前です。

返される内容

タイプ	説明
文字列	カタログアイテムフォームの指定された変数に含まれる値。

この例では、ファイアウォール上の複数の IP アドレスをブロックするためのカタログアイテムに、2 つの選択肢 **IPV4** と **IPV6** を持つ変数 *address_type* があります。MRVS には、それぞれのアドレスタイプ用の 2 つの変数 (*ipv4_address* と *ipv6_address*) があります。親フォームの [アドレスタイプ] フィールドが **[IPV4]** に設定されている場合、MRVS では **[IPV6** アドレス] フィールドは非表示になります。

```
function onLoad() {
  if (g_service_catalog.parent.getValue("address_type") == "ipv4") {
    g_form.setValue("ipv4_address", "XX.XX.XX.XX");
    g_form.setVisible("ipv6_address", "false");
  }
}
```

GlideAgentWorkspace (g_aw) - クライアント

g_aw API は、UI アクションまたはクライアントスクリプトがエージェントワークスペースタブで指定されたレコードを開くことができるようにするメソッドを提供します。

このクラスにはコンストラクターはありません。`g_aw`グローバルオブジェクトを使用して *GlideAgentWorkspace* メソッドにアクセスします。

GlideAgentWorkspace - closeRecord()

エージェントワークスペース 内のサブタブで現在開いているレコード (フォームなど) を閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、タブのコンテンツを保存してから閉じます。

```
function onClick(g_form) {
```

```
function onClick(g_form) {
  g_form.save().then(function(){
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    g_aw.closeRecord();
  });
}
```

GlideAgentWorkspace - openRecord(文字列 table, 文字列 sysId, オブジェクト params)

エージェントワークスペース 内のサブタブで、指定されたレコード (フォームなど) を開きます。

注: このメソッドは、エージェントワークスペース クライアントスクリプティング環境または ワークスペースクライアントスクリプトフィールドの UI アクションでのみ使用できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	開くレコードを含むテーブルの名前です。
sysId	文字列	開くレコードの sys ID です。

params	オブジェクト	オプション。レコードに渡すパラメーターの名前/値ペアです。
		`"params": {`
		`  "readOnlyForm": Boolean;`
		`  "defaultTab": "String";`
		`  "hideDetails": Boolean`
		`}`

params.readOnlyForm	ブーリアン	UI ポリシーと ACL にかかわらず、開いているレコードのすべてのフィールドが読み取り専用かどうかを示すフラグです。 • true：すべてのフィールドが読み取り専用です。 • false：フィールドは関連する UI ポリシーと ACL に準拠します。 デフォルト値：false
params.defaultTab	文字列	ワークスペースに表示する最初のタブの名前です。関連アイテムまたは関連リストのみを指定できます。 指定しない場合は、*hideDetails* が true に設定されていない限り、[詳細] タブが表示されます。 関連リスト名の取得に使用するメソッドの詳細は、getRelatedListNames()を参照してください。
params.hideDetails	ブーリアン	[詳細] タブと UI アクションを非表示にするかどうかを示すフラグです。 • true：フォームヘッダー、他のすべてのタブ、および利用可能な最初のタブのみがフォームに表示されます。 • false：[詳細] タブと UI アクションがフォームに表示されます。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

サブタブで sys_user レコードを開きます。

```
g_aw.openRecord('sys_user', '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1');
```

すべてのフィールドが読み取り専用になっているサブタブでレコードを開きます。

```
g_aw.openRecord('sys_user', '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1',
 {readOnlyForm: true});
```

サブタブでレコードを開き、[グループ] 関連リストに直接移動します。

```
g_aw.openRecord('sys_user', '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1',
 {defaultTab: "sys_user_grmember.user"});
```

サブタブでレコードを開き、フォームヘッダーと他のタブを表示するのみです。

```
g_aw.openRecord('sys_user', '62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1',
 {hideDetails: true});
```

GlideAjax - クライアント

GlideAjax クラスを使用すると、クライアントスクリプトがスクリプトインクルードのサーバー側コードを呼び出すことができます。

GlideAjax をクライアントスクリプトで使用するには、次の一般的な手順に従います。

1. *GlideAjax* インスタンスを *GlideAjax* コンストラクタ呼び出すことによって作成します。コンストラクタへの引数として、呼び出すメソッドを含むスクリプトインクルードクラスの名前を指定します。
2. *addParam* メソッドと *sysparm_name* パラメーターを呼び出し、そして呼び出すスクリプトインクルードメソッドの名前を指定します。
3. オプション。*addParam* メソッドを 1 回以上呼び出して、スクリプトインクルードコードに必要な他のパラメーターを指定します。
4. *getXML()* 呼び出してサーバー側のコードを実行します。

> **注:** *getXML()* は非同期で他のクライアントコードの実行を保持しないため、コードを実行するための優先メソッドです。また、*getXMLWait()* も利用可能ですが、推奨されていません。*getXMLWait()* の使用は実行の順序が保証されますが、アプリケーションが応答しないように見えることがあり、アプリケーションを使用するアプリケーションのユーザー エクスペリエンスが大幅に低下します。*getXMLWait()* Scoped アプリケーションでは使用できません。

```
var ga = new GlideAjax('HelloWorld'); // HelloWorld is the script include
 class
ga.addParam('sysparm_name','helloWorld'); // helloWorld is the script
 include method
ga.addParam('sysparm_user_name',"Bob"); // Set parameter
 sysparm_user_name to 'Bob'
ga.getXML(HelloWorldParse);  /* Call HelloWorld.helloWorld() with the
 parameter sysparm_user_name set to 'Bob'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      and use the callback function HelloWorldParse() to return the
 result when ready */

// the callback function for returning the result from the server-side
 code
function HelloWorldParse(response) {
   var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");
    alert(answer);
}
```

GlideAjax - GlideAjax(String class_name)

GlideAjax のコンストラクタ。

パラメーター

名前	タイプ	説明
class_name	文字列	実行するメソッドを含むサーバー側クラスの名前

この例は、クライアントスクリプトがユーザーを Fred Luddy に設定してから、スクリプトインクルードを呼び出してそのマネージャーを取得します。

```
// client script - contains onLoad function and a callback function

function onLoad() {
   var ga = new GlideAjax('GetUserInfo'); // GetUserInfo is the script
 include name
   ga.addParam('sysparm_name','managerName'); // managerName is the
 function in the script include that we're calling
   ga.addParam('sysparm_user_name','fred.luddy'); // set user to Fred
 Luddy

   /* Call GetUserInfo.managerName() with user set to Fred Luddy and use
 the callback function ManagerParse() to return the result when ready */
   ga.getXMLAnswer(ManagerParse);
}

// callback function for returning the result from the script include
function ManagerParse(response) {
   alert(response);
}


// GetUserInfo script include

var GetUserInfo = Class.create();
GetUserInfo.prototype =
 Object.extendsObject(global.AbstractAjaxProcessor, {

    managerName: function() {
        var userName = this.getParameter("sysparm_user_name");
        var grUser = new GlideRecord('sys_user');
        grUser.get("user_name", userName);

        // Build the payload. You can return additional data if needed.
        var result = {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "manager": grUser.getDisplayValue('manager')
        };
        return JSON.stringify(result);
    },
    type: 'GetUserInfo'
});
```

lideAjax - addParam(String parm_name, String parm_value)

この`GlideAjax`オブジェクトに関連するサーバー側の関数に渡すパラメーターの名前と値を指定します。

`addParam`をさまざまなパラメーターと値で複数回実行することができます。

注: `addParam`の最初の呼び出しで、`sysparm_name`パラメーターと、呼び出すサーバー側メソッドの名前を指定します。サーバー側のコードは、クライアントスクリプトが`getXML()`または`getXMLAnswer()`を呼び出すまで実行されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
parm_name	文字列	渡すパラメーターの名前(名前は `sysparm_` で始まる必要があります。)
parm_value	文字列	割り当て先の値 *parm_name*

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、クライアントスクリプトがユーザーを Fred Luddy に設定してから、スクリプトインクルードを呼び出してそのマネージャーを取得します。

```
// client script - contains onLoad function and a callback function

function onLoad() {
   var ga = new GlideAjax('GetUserInfo'); // GetUserInfo is the script
 include name
   ga.addParam('sysparm_name','managerName'); // managerName is the
 function in the script include that we're calling
   ga.addParam('sysparm_user_name','fred.luddy'); // set user to Fred
 Luddy

   /* Call GetUserInfo.managerName() with user set to Fred Luddy and use
 the callback function ManagerParse() to return the result when ready */
   ga.getXMLAnswer(ManagerParse);
}

// callback function for returning the result from the script include
function ManagerParse(response) {
   alert(response);
}


// GetUserInfo script include
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var GetUserInfo = Class.create();
GetUserInfo.prototype =
 Object.extendsObject(global.AbstractAjaxProcessor, {

    managerName: function() {
        var userName = this.getParameter("sysparm_user_name");
        var grUser = new GlideRecord('sys_user');
        grUser.get("user_name", userName);

        // Build the payload. You can return additional data if needed.
        var result = {
           "manager": grUser.getDisplayValue('manager')
        };
        return JSON.stringify(result);
    },
    type: 'GetUserInfo'
});
```

GlideAjax - getAnswer()

getXMLWait() を通じてクライアントから呼び出されたサーバー側のメソッドから結果を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
なし	*getXMLWait()* と以前に呼び出されたサーバー側メソッドによって返された結果です。

GlideAjax - getXMLAnswer(関数 **callback**, オブジェクト **additionalParam**, オブジェクト **responseParam)**

プロセッサーを非同期に呼び出し、応答の回答要素を XML 形式で取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callback	関数	コールバック関数です。この関数は、 XML 形式の対応の応答要素を引数として受け取ります。
additionalParam	オブジェクト	オプション。追加パラメーターの名前/値ペアです。
responseParam	オブジェクト	オプション。コールバック関数の 2 番目の引数です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

添付ファイルの数を返します。

```
function updateAttachmentCount(sysid) {
  var ga = new GlideAjax('AttachmentAjax');
  ga.addParam('sysparm_type', 'attachmentCount');
  ga.addParam('sysparm_value', sysid);
  ga.getXMLAnswer(numberOfAttachments, null, sysid); // callback:
 numberOfAttachments with args (answer, sysid)
}

function numberOfAttachments(answer, sysid) {
  // we want to know there are 5 attachments, not 5.0 attachments
  var number = parseInt(answer);
  var buttons = $$('.attachmentNumber_' + sysid);
  if (buttons[0] == undefined)
    $('header_attachment_list_label').down().innerHTML = number;
  else {
    for (var i = 0; i < buttons.length; i++) {
      buttons[i].innerHTML = number;
    }
  }
}
```

GlideAjax - getXML(関数 callback)

このメソッドに関連するメソッドとパラメーターをこの *GlideAjax* オブジェクトと実行する要求をサーバーに送信します。

サーバーは要求を非同期に処理し、準備ができたら*callback_function*として指定された関数を介して結果を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callback	関数	サーバーから返された結果を処理するコールバック関数の名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var comments = gel("dialog_comments").value;
var ga = new GlideAjax('validateComments'); //Call script include to
 escape text
ga.addParam('sysparm_name', 'validateComments');
ga.addParam('sysparm_comments', comments);
ga.getXML(callback);

return false;

function callback(response) {
  var comments =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute("answer");
  comments = trim(comments);
  if (comments == "") {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    //If comments are empty, alert the user and stop submission
    alert("Please enter your comments before submitting.");
  } else {
    //If there are comments, close the dialog window and submit them
    GlideDialogWindow.get().destroy(); //Close the dialog window
    g_form.setValue("comments", comments); //Set the "Comments" field
with comments in the dialog
  }
```

GlideAjax - getXMLWait()

このメソッドに関連するメソッドとパラメーターをこの *GlideAjax* オブジェクトと実行する要求をサーバーに送信します。

サーバーは要求を同期して処理し、完了するまでクライアントからの要求を処理しません。結果を取得するには、クライアントは *getAnswer()* を呼び出す必要があります。 *getXMLWait()* 実行の順序が保証されますが、アプリケーションが応答しないように見えることがあり、アプリケーションを使用するアプリケーションのユーザー エクスペリエンスが大幅に低下します。*getXML()* を代わりに使用することをお勧めします。

注: *getXMLWait()* Scoped アプリケーションでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var ga = new GlideAjax('HelloWorld');
      ga.addParam('sysparm_name','helloWorld');
      ga.addParam('sysparm_user_name',"Bob");
      ga.getXMLWait();
      alert(ga.getAnswer());
```

GlideDialogWindow - クライアント (非推奨)

GlideDialogWindows API は、現在のウィンドウとフレームにダイアログを表示するメソッドを提供します。

これらのメソッドは、クライアント側の JavaScript を使用できる場所であればどこでもスクリプトで使用できます。これらのメソッドは、ほとんどの場合 [クライアント] チェックボックスがオンになっている UI アクションから呼び出されます。

注: この API は廃止されました。代わりに *GlideModalV3* API を使用してください。

GlideDialogWindow - GlideDialogWindow(文字列 **id**, ブーリアン **readOnly**, 数値 **width**, 数値 **height**)

現在のウィンドウとフレームにダイアログを表示するメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのメソッドは、クライアント側の JavaScript を使用できる場所であればどこでもスクリプトで使用できます。これらのメソッドは、ほとんどの場合 [クライアント] チェックボックスがオンになっている UI アクションから呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	ダイアログウィンドウにロードする UI ページの名前。
readOnly	ブーリアン	オプション。ダイアログウィンドウが読み取り専用 (true) か読み取り/書き込み (false) かを示すフラグ。デフォルト値：false
width	数値	オプション。ダイアログウィンドウの幅を設定するサイズ (ピクセル)。
高さ	数値	オプション。ダイアログウィンドウの高さを設定するサイズ (ピクセル)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Creates a dialog window
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');

// Creates a read-only dialog window
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list', true);

// Creates a dialog window that is 400 pixels wide
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list', false, 400);

// Creates a dialog window that is 400 pixels wide and 200 pixels tall
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list', false, 400, 200);
```

GlideDialogWindow - adjustBodySize()

ダイアログウィンドウ本体の高さをウィンドウの高さからヘッダーの高さを引いた高さに調整します。

通常、このメソッドは *GlideDialogWindow - setSize()* を呼び出した後に呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');
      gdw.setTitle('Test');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      gdw.setSize(750,300);
      gdw.adjustBodySize();
      gdw.render();
```

GlideDialogWindow - destroy()

ダイアログウィンドウを閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Destroy the current dialog window.
      GlideDialogWindow.get().destroy();
```

GlideDialogWindow - render()

ダイアログウィンドウをレンダリングします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');
      gdw.setTitle('Test');
      gdw.setSize(750,300);
      gdw.setPreference('table', 'u_test_list');
      gdw.setPreference('title', 'A New Title');
      gdw.render();
```

GlideDialogWindows - setPreference(文字列 **name**, 文字列 **value**)

指定されたウィンドウプロパティを指定された値に設定します。

このメソッドを使用して任意のウィンドウプロパティを設定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	設定するウィンドウプロパティ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
value	文字列	ウィンドウプロパティの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');
      gdw.setTitle('Test');
      gdw.setSize(750,300);
      gdw.setPreference('table', 'u_test_list');
      gdw.setPreference('title', 'A New Title');
```

GlideDialogWindow - setSize(数値 **width**, 数値 **height)**

ダイアログウィンドウのサイズを設定します。

幅と高さのパラメーターを渡さない場合は、デフォルトのサイズが使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数値	ダイアログウィンドウの幅。
高さ	数値	ダイアログウィンドウの高さ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');
      gdw.setSize(750,300);
```

GlideDialogWindows - setTitle(文字列 **title)**

ダイアログウィンドウのタイトルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	現在のウィンドウのタイトル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//var gdw = new GlideDialogWindow('show_list');
      gdw.setTitle('test');
```

GlideDocument - クライアント

GlideDocument API は、ドキュメントオブジェクトモデル (DOM) 要素、ドキュメント、または JQuery 要素を検索するメソッドを提供します。

この API は、 *ListV2* および *ListV3* API を使用するクライアント側スクリプトで使用できます。*GlideDocument* API には、`g_document` グローバルオブジェクトを使用してアクセスします。

GlideDocument - getElement(文字列セレクタ, 要素コンテキスト)

指定された DOM ベースのコンテキストで見つかったノード、または HTML コンテキストから作成されたノードを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
selector	文字列またはオブジェクト	セレクターの式
context	文字列またはオブジェクト	オプション。検索する DOM 要素、ドキュメント、または JQuery オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
node	セレクターに一致するノード。

この例は、UI ページからリストビュー名の値を取得する方法を示しています。

```
//HTML entry
<input type="hidden" id="list_view" name="list_view"
 value="${sysparm_list_view}" />

// Client script
var listView = g_document.getElement('#list_view').value;
```

GlideDocument - getElements(文字列セレクタ, 要素コンテキスト)

指定された DOM ベースのコンテキストで見つかったノードリスト、または HTML コンテキストが指定されている場合は作成されたノードリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
selector	文字列またはオブジェクト	セレクターの式
context	文字列またはオブジェクト	(オプション) 検索される DOM 要素、ドキュメント、または JQuery オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ノードリスト	セレクターに一致するノードのリスト。

GlideFlow - クライアント

GlideFlow API は、アクション、フロー、およびサブフローとクライアント側でやり取りするためのメソッドを提供します。

この API は、クライアントスクリプトを受け入れるプラットフォーム内の任意の場所で使用できます。アクション、フロー、またはサブフローは、クライアント呼び出し可能として設定し、 フローデザイナー のセキュリティ管理機能を使用して有効な ACL を持つ必要があります。

GlideFlow API 内のメソッドの中には、`promise` オブジェクトを返すものがあります。`promise` は、非同期操作の最終結果を表します。promise の詳細については、Promise - Javascript MDN または AngularJS のドキュメント を参照してください。

この API を使用して、次のことができます。

- スクリプトを使用してアクション、フロー、またはサブフローを開始する。
- 既存の実行を取得する。
- ステータスと利用可能な出力を取得する。
- アクション、フロー、またはサブフローの完了を待機する。

GlideFlow API のコンストラクターはありません。`GlideFlow` グローバルオブジェクトを使用して *GlideFlow* メソッドにアクセスします。

GlideFlow - execution.awaitCompletion()

実行の完了オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	フローまたはアクション実行の完了の詳細を含むオブジェクト。

この例では、実行オブジェクトを返す startAction() を使用してアクションが実行されます。次に、この実行オブジェクトに対して awaitCompletion() を使用して、完了オブジェクトを返します。コードはこの完了オブジェクトを使用して、実行内のステータスと出力を記録します。

```
(function() {
 var inputs = {};

 inputs['input1'] = 'string input'; // String

 GlideFlow.startAction('global.action_name', inputs)
  .then(function(execution) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   return execution.awaitCompletion();
  }, errorResolver)
  .then(function(completion) {
   var status = completion.status;
   console.log(status);

   // Available Outputs:
   var outputs = completion.outputs;
   console.log(outputs);
  }, errorResolver());

 function errorResolver(error) {
  // Handle errors in error resolver
  console.error(error);
 }
})();
```

GlideFlow - execution.getExecutionStatus()

現在の実行の実行ステータスを含む文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	実行ステータスを含む文字列。

この例では、コードは getExecution メソッドを使用して実行オブジェクトを取得します。getExecution メソッドには、実行を開始するために使用されたメソッドによって返される ID が必要です。次に、getExecutionStatus() を使用して、続行する前に実行が完了したかどうかを判断します。

```
// Get an existing action, getStatus, and getOutputs if complete
(function() {
   GlideFlow.getExecution('mamIN4Q35vmEFe744EwJV5GHrSz8fmJG')
      .then(function(execution) {
         execution.getExecutionStatus().then(
            function(status) {
               if (status === 'COMPLETE')
                  execution.getOutputs().then(
                     function(outputs) {
                        console.log(outputs);
                     },
                     errorResolver
                  );
            },
            errorResolver
         );
      }, errorResolver);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   function errorResolver(error) {
      // Handle errors in error resolver
      console.error(error);
   }
})();
```

GlideFlow - execution.getOutputs()

実行の出力オブジェクトを返します。

このメソッドを使用して、アクション、フロー、またはサブフローの実行によって生成された出力にアクセスします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクション、フロー、またはサブフローの出力を含むオブジェクト。

この例では、コードは getExecution メソッドを使用して実行オブジェクトを取得します。実行が完了すると、コードは getOutputs() を使用して出力オブジェクトを返します。このオブジェクトは、console.log メソッドを使用してログに記録されます。

```
// Get an existing action, getStatus, and getOutputs if complete
(function() {
   GlideFlow.getExecution('mamIN4Q35vmEFe744EwJV5GHrSz8fmJG')
      .then(function(execution) {
         execution.getExecutionStatus().then(
            function(status) {
               if (status === 'COMPLETE')
                  execution.getOutputs().then(
                     function(outputs) {
                        console.log(outputs);
                     },
                     errorResolver
                  );
            },
            errorResolver
         );
      }, errorResolver);

   function errorResolver(error) {
      // Handle errors in error resolver
      console.error(error);
   }
})();
```

GlideFlow - getExecution(文字列 executionId)

ID で既存の実行インスタンスを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
executionId	文字列	取得される実行の ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	実行オブジェクトの約束。

この例では、コードは実行を取得し、完了するまで待機してから実行完了ステータスをログに記録し、console.log を使用して出力します。

```
// Get an existing action and await completion
(function() {
 GlideFlow.getExecution('79cd437e0b202300a150a95e93673ae3')
  .then(function(execution) {
   return execution.awaitCompletion();
  }, errorResolver)
  .then(function(completion) {

   var status = completion.status;
   console.log(status);

   // Available Outputs:
   var outputs = completion.outputs;
   console.log(outputs);
  }, errorResolver());

 function errorResolver(error) {
  // Handle errors in error resolver
  console.error(error);
 }
})();
```

GlideFlow - startAction(文字列 **scopedName.actionName**, マップ **inputs)**

アクションを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedName	文字列	実行するフローのスコープ対象の名前。
inputs	オブジェクト	アクションに対して定義された入力を含むオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	アクション実行の詳細を含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、コードは入力オブジェクト変数の引数を使用してグローバル action_name アクションを開始します。完了すると、この例では、console.log または console.error を使用してフローの成功または失敗をレポートします。

```
// Start an action and await completion.
(function() {
 var inputs = {};

 inputs['input1'] = 'string input'; // String

 GlideFlow.startAction('global.action_name', inputs)
  .then(function(execution) {
   return execution.awaitCompletion();
  }, errorResolver)
  .then(function(completion) {
   var status = completion.status;
   console.log(status);

   // Available Outputs:
   var outputs = completion.outputs;
   console.log(outputs);
  }, errorResolver());

 function errorResolver(error) {
  // Handle errors in error resolver
  console.error(error);
 }
})();
```

GlideFlow - startFlow(文字列 **scopedName.flowName**, マップ **inputs)**

フローを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedName	文字列	実行するフローのスコープ対象の名前。
inputs	オブジェクト	フローに対して定義された入力を含むオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	フロー実行の詳細を含むオブジェクト。

この例のフローは、通常、インシデントテーブルのレコードが更新されたときに発生します。クライアントスクリプトからフローをアクティブ化しているため、この情報を指定する必要があります。このコードは、現在のレコードとそのレコードのテーブルを含む入力変数を作成します。

```
// Start a Flow
(function() {
      var inputs = {};
      inputs['current'] = { // GlideRecord
        table : 'incident',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        sys_id : '79cd437e0b202300a150a95e93673ae3'
    };
        inputs['table_name'] = 'incident';
         GlideFlow.startFlow('global.flow_name', inputs)
  .then(
   function(execution) {
    console.log('Started flow_name with execution id :' +
 execution.getExecutionId());
   },
   function(error) {
    console.log('Unable to start flow: ' + error);
   }
  );
})();
```

GlideFlow - startSubflow(文字列 **scopedName.subflowName**, マップ **inputs)**

サブフローを開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scopedName	文字列	実行するフローのスコープ対象の名前。
inputs	オブジェクト	サブフローに対して使用される入力を含むオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	サブフロー実行の詳細を含むオブジェクト。

この例では、コードは入力アレイ変数の引数を使用してグローバル subflow_name サブフローを開始します。完了すると、この例では、console.log または console.error を使用してフローの成功または失敗をレポートします。

```
// Start an action and await completion.
(function() {
 var inputs = {};

 inputs['input1'] = 'string input'; // String

 GlideFlow.startSubflow('global.subflow_name', inputs)
  .then(function(execution) {
   return execution.awaitCompletion();
  }, errorResolver)
  .then(function(completion) {
   var status = completion.status;
   console.log(status);

   // Available Outputs:
   var outputs = completion.outputs;
   console.log(outputs);
  }, errorResolver());

 function errorResolver(error) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  // Handle errors in error resolver
  console.error(error);
 }
})();
```

GlideForm - クライアント

GlideForm API はフォームをカスタマイズするメソッドを提供します。

GlideForm.js はメソッドを含む JavaScript クラスです。*GlideForm* メソッドはクライアントでのみ使用します。これらのメソッドを使用して、レコードのフォームビューにカスタム変更を加えることができます。例のすべての検証は、クライアントスクリプトを使用して行われています。

これらのメソッドの一部は、他のクライアント・スクリプト (カタログ・クライアント・スクリプトやウィザード・クライアント・スクリプトなど) でも使用できますが、最初にこれをテストして、期待どおりに機能するかどうかを確認する必要があります。

注: *getControl()*、*getHelpTextControl()*、*getElement()*、および *getFormElement()* は、モバイルデバイスでは使用されていません。モバイル用 *GlideForm* の使用方法については、「モバイルクライアント GlideForm (g_form) スクリプトと移行」を参照してください。

GlideForm クラスにコンストラクターはありません。`g_form` グローバルオブジェクトを使用して *GlideForm* メソッドにアクセスします。

GlideForm - addDecoration(文字列 **fieldName**, 文字列 **icon**, 文字列 **title**)

フィールドのラベルにアイコンを追加します。

同じアイテムを 2 回追加することはできませんが、別のタイトルで同じアイコンを追加することはできます。

注: このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
アイコン	文字列	フィールドの横に表示するフォントアイコン。サポートされているアイコン：icon-user、icon-user-group、icon-lightbulb、icon-home、icon-mobile、icon-comment、icon-mail、icon-locked、icon-database、icon-book、icon-drawer、icon-folder、icon-catalog、icon-tab、icon-cards、icon-tree-right、icon-tree、icon-book-open、icon-paperclip、icon-edit、icon-trash、icon-image、icon-search、icon-power、icon-cog、icon-star、icon-star-empty、icon-new-ticket、icon-dashboard、icon-cart-full、icon-view、icon-label、icon-filter、icon-calendar、icon-script、icon-add、icon-delete、icon-help、icon-info、icon-check-circle、icon-alert、icon-sort-ascending、icon-console、icon-list、icon-form、および icon-livefeed。
title	文字列	アイコンのテキストタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addDecoration('caller_id', 'icon-star', 'preferred member');
```

GlideForm - addDecoration(文字列 **fieldName**, 文字列 **icon**, 文字列 **title**, 文字列 **color)**

フィールドのラベルにアイコンを追加します。

同じアイテムを 2 回追加することはできませんが、別のタイトルで同じアイコンを追加することはできます。

注: このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
アイコン	文字列	フィールドの横に表示するフォントアイコン。サポートされているアイコン：icon-user、icon-user-group、icon-lightbulb、icon-home、icon-mobile、icon-comment、icon-mail、icon-locked、icon-database、icon-book、icon-drawer、icon-folder、icon-catalog、icon-tab、icon-cards、icon-tree-right、icon-tree、icon-book-open、icon-paperclip、icon-edit、icon-trash、icon-image、icon-search、icon-power、icon-cog、icon-star、icon-star-empty、icon-new-ticket、icon-dashboard、icon-cart-full、icon-view、icon-label、icon-filter、icon-calendar、icon-script、icon-add、icon-delete、icon-help、icon-info、icon-check-circle、icon-alert、icon-sort-ascending、icon-console、icon-list、icon-form、および icon-livefeed。
title	文字列	アイコンのテキストタイトル。
色	文字列	CSS カラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addDecoration('caller_id', 'icon-star', 'Mark as Favorite',
 'color-green');
```

GlideForm - addErrorMessage(文字列 **message)**

指定されたエラーメッセージをフォームの上部に表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメッセージは約 4 秒間表示され、その後消えます。現時点でこのタイムアウトは設定できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addErrorMessage('This is an error');
```

GlideForm - addFormMessage(文字列メッセージ, 文字列型, オブジェクトオプション)

フォーム詳細セクションの上部に浮遊型のフォームメッセージを表示します。メッセージは UI アクションに対応していません。

関連項目：

- clearAllFormMessages()
- clearFormMessages()

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。
type	文字列	メッセージのタイプ。 有効な値： • error • 情報 • 警告
オプション	オブジェクト	オプション。フォームメッセージに追加するボタンと、ボタンのクリックを処理するために必要なメタデータを含むオブジェクト。 `{ buttons: [Array], meta: {Object} }`
options.buttons	アレイ	フォームメッセージに追加するボタンのアレイ。 `buttons: [ { label: "String", actionName: "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		<pre> }]</pre>
options.buttons.text	文字列	ボタンに表示するテキスト。
options.buttons.actionName	文字列	クリックされたボタンを特定するために FORM_MESSAGE_BUTTON_CLICKEDイベントハンドラーによって使用された名前。 たとえば、actionName `assign_to_me`ボタンを追加する場合は、actionName が`assigned_to_me`の場合にのみ実行される FORM_MESSAGE_BUTTON_CLICKEDイベントUIBイベントハンドラーを作成する必要があります。

options.meta	オブジェクト	キーと値のペアとして書式設定された、ボタンクリックを処理するために必要なメタデータのマップ。
		
		<pre>meta: {
		  'key': 'value'
		}</pre>
		たとえば、[自分にアサイン] ボタンの場合、イベントハンドラーにはレコードをアサインするユーザーのsys_idが必要です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、各タイプのフォームメッセージを追加する方法を示しています。

```
g_form.addFormMessage('info message','info');
g_form.addFormMessage('warning message','warning');
g_form.addFormMessage('error message','error');
g_form.addFormMessage('info2 message','info');
g_form.addFormMessage('warning2 message','warning');
g_form.addFormMessage('error2 message','error');
g_form.addFormMessage('Would you like to reassign this to yourself?',
 'info', {buttons: [{label: "Assign to me", actionName: "assign_to_me"}],
 meta: {'userId': '46d44a23a9fe19810012d100cca80666'}});
```

GlideForm - addInfoMessage(文字列 **message)**

指定された情報メッセージをフォームの上部に追加します。

このメッセージは約 4 秒間表示され、その後消えます。現時点でこのタイムアウトは設定できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addInfoMessage('The top five fields in this form are mandatory');
```

GlideForm - addOption(文字列 **fieldName**, 文字列 **choiceValue**, 文字列 **ChoiceLabel)**

選択リストフィールドの末尾に選択肢を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前。
choiceValue	文字列	データベースに格納される値。
choiceLabel	文字列	表示される値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addOption('priority', '6', '6 - Really Low');
```

GlideForm - addOption(文字列 **fieldName**, 文字列 **choiceValue**, 文字列 **ChoiceLabel**, 数値 **choiceIndex)**

リストフィールドの指定された位置に選択肢を追加します。

注: サービスポータル では重複するリストラベルはサポートされていません。たとえば、別のラベルと一致するラベルテキストを持つアイテムは無視され、リストに追加されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
choiceValue	文字列	データベースに格納されている値。
choiceLabel	文字列	表示される値。
choiceIndex	数値	リスト内の選択肢の順序。インデックスはゼロベースのアレイです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.addOption('priority', '2.5', '2.5 - Moderately High', 3);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideForm - clearMessages()

フォームの上部からすべての情報メッセージとエラーメッセージを削除します。

`g_form.addInfoMessage()` および `g_form.addErrorMessage()` で追加された情報メッセージとエラーメッセージを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.clearMessages();
```

GlideForm - clearAllFormMessages()

任意のタイプのすべてのフォームメッセージを削除します。

関連項目：

- addFormMessage()
- clearFormMessages()

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、フォームからすべてのメッセージをクリアする方法を示しています。

```
g_form.clearAllFormMessages();
```

GlideForm - clearFormMessages(文字列 type)

指定されたタイプのすべてのフォームメッセージを削除します。

関連項目：

- addFormMessage()
- clearAllFormMessages()

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	メッセージのタイプ。 有効な値： • error • 情報 • 警告

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、フォームからすべてのエラーメッセージをクリアする方法を示しています。

```
g_form.clearFormMessages('error');
```

GlideForm - clearOptions(文字列 **fieldName)**

選択リストからすべてのオプションを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - clearValue(文字列 **fieldName)**

フィールドから値を削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - disableAttachments()

添付ファイルが追加されないようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - enableAttachments()

添付ファイルの追加を許可します。ペーパークリップアイコンを表示します。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - flash(文字列 fieldName, 文字列 color, 数値 count)

特定のフィールドへの関心を引くために使用します。指定されたフィールドを指定された時間、指定された色で点滅させます。

このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	ハイライト表示するフィールドを形式「<テーブル名>.<フィールド名>」で指定します。
色	文字列	RGB カラーまたは許容される CSS カラー。
count	数値	ラベルの点滅時間を指定します。次のオプションが含まれます。 • 2：1 秒間点滅 • 0：2 秒間点滅

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• -2：3 秒間点滅 • -4：4 秒間点滅

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.flash("incident.number", "#FFFACD", 0);
```

GlideForm - getActionName()

最新のアクション名を返します。クライアントスクリプトの場合はクリックされた UI アクションの sys_id を返します。

注: ウィザードクライアントスクリプトでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のアクション名。

```
function onSubmit() {
   var action = g_form.getActionName();
   alert('You pressed ' + action);
}
```

GlideForm - getBooleanValue(文字列 fieldName)

指定されたフィールドのブーリアン値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールド値が false または undefined の場合は false を返します。それ以外の場合は true を返します。

GlideForm - getControl(文字列 fieldName)

指定されたフィールドの HTML 要素を返します。

複合フィールドには複数の HTML 要素を含めることができます。フォーム上でフィールドを使用する組み込みメソッドがあるため、このメソッドは通常必要ありません。

フィールドが参照フィールドであり、コントロールが選択リストである場合、`getControl()` は想定どおりにコントロールを返さないことがあります。この場合、`sys_select.<table name>.<フィールド名>` を使用します。

このメソッドは、モバイルスクリプトまたは Service Portal スクリプトでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
HTMLElement	フィールドの HTML 要素。

GlideForm - getDecimalValue(文字列 fieldName)

指定されたフィールドの 10 進数値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドの 10 進数値。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
   alert(g_form.getDecimalValue('percent_complete'));
}
```

GlideForm - getDisplayBox(文字列 fieldName)

コア UI のフォームから表示値を取得します。

注: サービスポータル のフォームから表示値を取得するには、getDisplayValue() メソッドを使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連項目：

- getValue()
- 参照変数の表示値を取得する

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フォーム内の値を取得するフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var caller = g_form.getDisplayBox('caller_id').value;

var assignee = g_form.getDisplayBox('assigned_to').value;

if (caller == assignee)
{
   alert('in');
}
```

GlideForm - getDisplayValue (文字列フィールド名)

サービスポータル のフォームから表示値を取得します。

注: コア UI のフォームから表示値を取得するには、 getDisplayBox() メソッドを使用します。

関連項目：

- getValue()
- 参照変数の表示値を取得する

注: コア UI では、このメソッドを引数なしで `g_form.getDisplayValue()` として呼び出すと、個々のフィールドの表示値ではなくレコードの表示値が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フォーム内の値を取得するフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、コア UI または サービスポータルで参照変数の表示値を取得する方法を示しています。この例のユースケースは 、コミュニティ サイトにあります。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
     if (isLoading || newValue == '') {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            return;
      }
      if(window == null){
            var valuePortal = g_form.getDisplayValue('requester');
            alert('Portal->' + valuePortal);
      }
      else{
            var valueNative = g_form.getDisplayBox('requester').value;
            alert('CoreUI->' + valueCoreUI);
      }
      //Type appropriate comment here, and begin script below
}
```

GlideForm - getElement(文字列 id)

パラメーターで指定された HTML 要素を返します。

複合フィールドには複数の HTML 要素を含めることができます。フォーム上でフィールドを使用する組み込みメソッドがあるため、このメソッドは通常必要ありません。

このメソッドは、モバイルスクリプトまたは Service Portal スクリプトでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	フィールド ID。

返される内容

タイプ	説明
HTMLElement	フィールドの HTML 要素。

GlideForm - getFormElement()

フォームの HTML 要素を返します。

このメソッドは、モバイルスクリプトまたは Service Portal スクリプトでは使用できません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HTMLFormElement	フォームの HTML 要素。

GlideForm - getHelpTextControl(文字列 fieldName)

指定されたフィールドのヘルプテキストの HTML 要素を返します。

このメソッドはサービスカタログ変数にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
HTMLElement	ヘルプテキストフィールドの HTML 要素。

GlideForm - getIntValue(文字列 fieldName)

フィールドの整数値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名

返される内容

タイプ	説明
数値	フィールドの整数値。

GlideForm - getLabelOf(文字列 fieldName)

フィールドラベルのプレーンテキスト値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名

返される内容

タイプ	説明
文字列	ラベルテキスト。

```
if (g_user.hasRole('itil')) {
    var oldLabel = g_form.getLabelOf('comments');
    g_form.setLabelOf('comments', oldLabel + ' (Customer visible)');
}
```

GlideForm - getOption(文字列 fieldName, 文字列 choiceValue)

choiceValue がオプション値に一致する、選択された *fieldName* という名前のボックスのオプション要素を返します。

注: このメソッドは読み取り専用フィールドでは機能しません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
choiceValue	文字列	オプションの値。

返される内容

タイプ	説明
HTMLElement	オプションの HTMLElement。フィールドまたはオプションが見つからない場合は null を返します。

次の例は、選択リスト値のラベルを取得する方法を示しています。

```
// Get the label for a choice list value
// fieldName is 'category'

function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
var choiceValue = g_form.getValue('category');
var choiceLabel = g_form.getOption('category', choiceValue).text;
}
```

GlideForm - getReference(文字列 **fieldName**, 関数 **callBack)**

指定されたフィールドの GlideRecord を返します。

コールバック関数が存在する場合、このルーチンは非同期で実行されます。ブラウザー (およびスクリプト) の処理はサーバーが参照値を返すまで続行され、その時点でコールバック関数が呼び出されます。コールバック関数が存在しない場合、このルーチンは同期的に実行され、サーバーの応答を待機している間は処理が停止します (ブラウザーがハングアップしているように見えます)。

重要: コールバック関数を使用することを強くお勧めします。

ServiceCatalogForm.getReference のコールバック関数が利用可能です。

注: このメソッドを使用するにはサーバーへの呼び出しが必要であり、ページに遅延が発生する可能性があります。この方法は慎重に使用してください。詳細については、「クライアントスクリプトの設計と処理」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
callBack	関数	コールバック関数の名前。

返される内容

タイプ	説明
GlideRecord	指定されたフィールドの GlideRecord オブジェクト。 指定された参照が見つからない場合は、currentRow が -1 および rows.length が 0 の初期化された GlideRecord オブジェクトを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
    g_form.getReference('caller_id', doAlert); // doAlert is our callback
 function
}

function doAlert(caller) { // reference is passed into callback as first
 arguments
   if (caller.getValue('vip') == 'true') {
      alert('Caller is a VIP!');
   }
}
```

GlideForm - getRelatedListNames()

現在のフォームから関連リスト名のアレイを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
アレイ	現在のフォームからの関連リスト名の文字列アレイ。関連リスト名はフォームに表示される順序で一覧表示されます。

```
var listNames = g_form.getRelatedListNames();

for (var i = 0; i < listNames.length; i++) {
  this.showRelatedList(listNames[i]);
 }
```

GlideForm - getSectionNames()

表示されるかどうかにかかわらず、すべてのセクション名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列のアレイ	セクション名。

GlideForm - getSections()

フォームのセクションのアレイを返します。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
HTML 要素のアレイ	フォームのセクション。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
   //this example was run on a form divided into sections (Change form)
   // and hid a section when the "state" field was changed
   var sections = g_form.getSections();
   if (newValue == '2') {
      g_form.setSectionDisplay(sections[1], false);
   } else {
      g_form.setSectionDisplay(sections[1], true);
   }
}
```

GlideForm - getTableName()

このレコードが属するテーブルの名前を返します。

サーバー側では、*current.sys_class_name* または *current.getTableName()* を使用して現在のレコードのテーブルを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブルの名前です。

```
function onLoad() {
    if (g_form.isNewRecord()) {
        var tableName = g_form.getTableName(); //Get the table name
    }
}
```

GlideForm - getUniqueValue()

フォームに表示されているレコードの sys_id を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	レコードの sys_id。

```
function onLoad() {
   var incSysid = g_form.getUniqueValue();
   alert(incSysid);
}
```

GlideForm - getValue(文字列 fieldName)

指定されたフォームフィールドの値を返します。

このメソッドは、複数行の変数セット (MRVS) からの値の取得もサポートしています。MRVS 内のフィールドからデータを取得するには、まず `JSON.parse(getValue('<mrvs_field_name>')||'[]')` を使用して MRVS アレイを取得し、インデックスを使用して行オブジェクト内のフィールドにアクセスします。詳細については、以下のコード例を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	値を返すフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定されたフィールドの値。

次の例は、現在のフォームから簡単な説明を取得する方法を示しています。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
   alert(g_form.getValue('short_description'));
}
```

次の例は、MRVS から値を取得する方法を示しています。この例では、給与は Service Catalog を介して管理されています。クライアントスクリプトは、MRVS 内のすべての行で [**Job Title** (ジョブタイトル)] に入力された値を検索し、MRVS 内の一致するエントリを [**Salay]** フィールドに入力された値で更新します。MRVS には「variable_set_1」という名前が付けられ、各行オブジェクト内に従業員名 [employee_name]、ジョブタイトル [employee_job_title]、および給与 [employee_salary] のフィールドが含まれています。さらに、カタログアイテムには、ジョブタイトル [job_title] と給与 [salary] が含まれています。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
if (isLoading || newValue == '') {
return;
}

// Get the MRVS
var vs1 = g_form.getValue('variable_set_1') || '[]';
var multiRowVariableSet = JSON.parse(vs1);

for (var i = 0; i < multiRowVariableSet.length; i++) {
// Check if the entered job title matches the title in the current MRVS
 row
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  if (multiRowVariableSet[i].employee_job_title ==
 g_form.getValue("job_title")){
    // Update the value of a matching field with the new salary
    multiRowVariableSet[i].employee_salary = newValue;
  }
}

// Update the MRVS
g_form.setValue('variable_set_1', JSON.stringify(multiRowVariableSet));
}
```

GlideForm - hideAllFieldMsgs()

すべてのフィールドメッセージを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - hideAllFieldMsgs(文字列 type)

指定されたタイプのすべてのフィールドメッセージを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	メッセージのタイプ。 有効な値： • error • info

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - hideErrorBox(文字列 fieldName)

showErrorBox() によってされた配置エラーメッセージを非表示にします。

可能な限り、このメソッドではなく *hideFieldMsg()* を使用してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドまたはコントロールの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - hideFieldMsg(文字列 **fieldName**, ブーリアン **clearAll)**

現在のフォームの指定されたフィールドに表示される最初のメッセージを非表示にします。

フォームにメッセージを表示するには、 GlideForm - showFieldMsg(文字列 field, 文字列 message, 文字列 type) または GlideForm - showFieldMsg(文字列 field, 文字列 message, 文字列 type, ブーリアン scrollForm) メソッドを使用します。

たとえば、次のコード スニペットは、フォームの `work_notes` フィールドに 2 つのメッセージを表示し、最初のメッセージを非表示にする方法を示しています。

```
g_form.showFieldMsg('work_notes', 'First message', "error");
g_form.showFieldMsg('work_notes', 'Second message', "error");
g_form.hideFieldMsg('work_notes', false); // This call hides the 'First
 message'
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	メッセージを非表示にするフィールドの名前。
clearAll	ブーリアン	オプション。指定されたフィールドのすべてのメッセージを非表示にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:すべてのメッセージを非表示にします。 • false:表示される最初のメッセージのみを非表示にします。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、指定したフォームフィールドのすべてのメッセージをクリアし、暗号化エラーメッセージを表示する方法を示しています。

```
function submitEncryptedInputs() {
  return processEncryptedInputs(function(inputName, fieldName) {
    if (!checkEncryptedFieldValue(fieldName)) {
      g_form.hideFieldMsg(fieldName, true); // Hide all messages for the
 specified field
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      g_form.showFieldMsg(fieldName, "Your activity requires an encrypted
 input.", "error");
      return false;
    }
    return true;
  });
}
```

GlideForm - hideFieldMsg(文字列 fieldName, ブーリアン clearAll)

showFieldMsg() によって配置されたメッセージを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
clearAll	ブーリアン	true の場合、フィールドに対するすべてのメッセージがクリアされます。false の場合、最後のメッセージのみが削除されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.hideFieldMsg('impact', true);
```

GlideForm - hideRelatedList(文字列 listTableName)

フォームの指定された関連リストを非表示にします。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listTableName	文字列	関連リストの名前。sys_id を使用し、関係を介してリストを非表示にします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - hideRelatedLists()

フォーム上のすべての関連リストを非表示にします。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - isLiveUpdating()

フォームに表示されているレコードのライブ更新中に true を返します。

これを *onChange()* クライアントスクリプトで使用して、レコードの変更が別のセッションからのライブ更新によるものかどうかを判断できます。その後、クライアントスクリプトは実行するアクションまたは実行しないアクションを決定できます。これは、ライブフォームが有効になっているコア UI を使用するシステムに適用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フォームに表示されているレコードでライブ更新が行われている場合は true を返します。

GlideForm - isMandatory(文字列 fieldName)

フィールドが必須の場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドが必須の場合は true、そうでない場合は false。

GlideForm - isNewRecord()

レコードが一度も保存されていない場合は true を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	レコードが保存されていない場合は true、それ以外の場合は false を返します。

```
function onLoad() {
   if(g_form.isNewRecord()){
      alert('New Record!');
   }
}
```

GlideForm - isSectionVisible(文字列 sectionName)

セクションが表示されている場合は true を返します。

重要: isSectionVisible() 関数はワークスペースではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セクションが表示されている場合は true、表示されていない場合は false を返します。

GlideForm - onUserChangeValue(関数 fn)

現在のフォーム内でいずれかのフィールドがユーザーによって変更されたことを検出するカスタムイベントリスナーを登録します。

フォームフィールドが変更されると、イベントリスナーはリスナーが最初に登録されたときに渡される関数を呼び出します。このリスナーは、ユーザーがフォームのフィールドを変更した場合にのみトリガーされます。クライアントスクリプト、UI ポリシー、またはその他のユーザー以外のインタラクションからの変更では、リスナーはトリガーされません。

注: このメソッドは、クラシック環境のジャーナルフィールドまたは サービスカタログ アイテムでは機能しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	ユーザーが現在のフォーム内のフィールドの値を変更したときに呼び出す関数。これは実際には単なる関数名ではなく、関数コードです。 この関数は、次の 3 つの引数を受け入れる必要があります。 • フィールド名 • 元のフィールド値 • 更新されたフィールド値

返される内容

タイプ	説明
関数	onUserChangeValue イベントリスナーを登録解除するために呼び出す関数。

```
var handler = function(fieldname, originalValue, newValue) {
  console.log('The field ('+ fieldname + ') has a new value of: ' +
 newValue); // function code
}

var unregister = g_form.onUserChangeValue(handler);

// To unregister the event listener
unregister();
```

自動翻訳

GlideForm - refreshSlushbucket(文字列 **fieldName)**

リストコレクター変数を更新できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	スラッシュバケットの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.refreshSlushbucket('bucket');
```

GlideForm - removeDecoration(文字列 **fieldName**, 文字列 **icon**, 文字列 **title)**

指定されたフィールドからアイコンとタイトルに一致するアイコンを削除します。

注: このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名。
アイコン	文字列	削除するアイコンの名前。
title	文字列	アイコンのテキストタイトル (名前)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
 // if the caller_id field is not present, then we can't add an icon
 anywhere
 if (!g_form.hasField('caller_id'))
  return;

 if (!newValue)
  return;

 g_form.getReference('caller_id', function(ref) {
  g_form.removeDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');

  if (ref.getValue('vip') == 'true')
   g_form.addDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');
 });
}
```

GlideForm - removeDecoration(文字列 **fieldname**, 文字列 **icon**, 文字列 **title**, 文字列 **color)**

指定されたフィールドから、アイコン、タイトル、カラーに一致するアイコンを削除します。

注: このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名。
アイコン	文字列	削除するアイコンの名前。
title	文字列	アイコンのテキストタイトル (名前)。
色	文字列	CSS カラー

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.removeDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP', 'blue');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideForm - removeOption(文字列 fieldName, 文字列 choiceValuel)

選択リストから指定されたオプションを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
choiceValue	文字列	データベースに格納されている値。これはラベルではありません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.removeOption('priority', '1');
```

GlideForm - save()

移動せずにレコードを保存します (更新して留まる)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - setMandatory(文字列 fieldName, ブーリアン mandatory)

指定されたフィールドを必須にします。

可能な限り、このメソッドでなく UI ポリシーを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
mandatory	ブーリアン	true の場合、フィールドは必須になります。false の場合、フィールドはオプションになります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideForm - setSectionDisplay(文字列 sectionName, ブーリアン display)

セクションを表示または非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sectionName	文字列	セクション名は小文字で、名前の最初のスペースがアンダースコアで置き換えられ、残りのスペースは削除されます。たとえば、「Section Four is Here」は「section_fourishere」になります。アンパサンド (&) などの英数字以外の文字は削除されます。セクション名は、`getSectionNames()` メソッドを使用して見つけることができます。
表示	ブーリアン	true の場合、セクションが表示されます。false の場合、セクションは非表示になります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	成功した場合は true を返します。

GlideForm - setValue(文字列 fieldName, 文字列 value, 文字列 displayValue)

指定されたフォームフィールドの値を参照レコードの指定された表示値に設定します。

参照フィールドの値を設定するときに往復を防止してパフォーマンスを向上させるには、`setValue(fieldName, value)` ではなくこのメソッドを使用します。リストコレクターフィールドに複数の参照値を設定する場合は、`value` パラメーターおよび `displayValue` パラメーターでアレイを渡します。

注: OnChange クライアントスクリプトで `setValue()` メソッドを使用すると、スタックのオーバーフローが発生する可能性があります。これは、値が設定されるたびに変更として登録され、OnChange クライアントスクリプトが再トリガーされるためです。これを防ぐには、新しい値が古い値と異なることを検証するチェックを実行します。たとえば、`setValue(shortDesc, newValue.toUpperCase());` を実行する前に、簡単な説明が大文字になっていないことを確認します。これにより、クライアントスクリプトが `toUpperCase()` を複数回適用することを防ぎます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	更新するフォームフィールドの名前。
value	文字列またはアレイ	フィールドを更新するために使用する参照レコードの sys_id。 指定されたフィールドが GlideList の場合、このパラメーターには sys_id のアレイを含めることができます。この場合、メソッドはアレイ内で指定されたすべてのレコードのルックアップを実行し、それらの値を使用して指定されたフィールド (関連リスト) の内容を更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: 選択リストで値を定義するときは、ラベルではなく数値を使用してください。
displayValue	文字列またはアレイ	指定されたフィールドを更新するために使用される、指定された参照レコード内のフィールド。たとえば、ユーザー [sys_user] テーブルでは userName になります。 指定されたフィールドが GlideList の場合、このパラメーターには表示値名のアレイを含めることができます。 表示値の詳細については、「表示値」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、**[assigned_to]** フォームフィールドを更新するために使用する [userName] フィールドを含む参照レコードの sys_id を渡しています。

```
g_form.setValue('assigned_to', userSysID, userName);
```

この例では、GlideList の **[glide-list_field_name]** フォームフィールドを更新するために使用する、参照レコード sys_id のアレイと対応する表示値名のアレイを渡します。

```
g_form.setValue('glide-list_field_name', sysIDArray, displayNameArray);
```

GlideForm - showErrorBox(文字列 **name**, 文字列 **message**, ブーリアン **scrollForm**)

指定されたフォームフィールド (コントロールオブジェクトまたはフィールドの名前) の下にエラーメッセージを表示します。コントロールまたはフィールドが現在画面の外にあり、scrollForm パラメーターが true の場合、フォームはコントロールまたはフィールドまでスクロールします。

グローバルプロパティ (glide.ui.scroll_to_message_field) はフォームフィールドが画面外にある場合の自動メッセージのスクロール (フォームからコントロールまたはフィールドまでスクロール) を制御するために利用できます。`showFieldMsg()` メソッドは type パラメーターを必要とする同様のメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フィールドまたはコントロールの名前。
message	文字列	表示するメッセージ。
scrollForm	ブーリアン	true の場合、フォームをフィールドまでスクロールします。false の場合、フォームはフィールドまでスクロールしません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - showFieldMsg(文字列 field, 文字列 message, 文字列 type)

指定されたフォームフィールド (コントロールオブジェクトまたはフィールドの名前) の下に情報またはエラーメッセージを表示します。コントロールまたはフィールドが画面の外にある場合、フォームはフィールドまでスクロールします。

グローバルプロパティ (glide.ui.scroll_to_message_field) はフォームフィールドが画面外にある場合の自動メッセージのスクロール (フォームからコントロールまたはフィールドまでスクロール) を制御するために利用できます。

showErrorBox() メソッドは type パラメーターを必要としない短縮形のメソッドです。

注: このメソッドは、コア UI の *journal_field* タイプフィールドでは機能しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	フィールドまたはコントロールの名前。
message	文字列	表示するメッセージ。
type	文字列	「エラー」、「情報」、または「警告」。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.showFieldMsg('impact','Low impact response time can be one
 week','info');
```

GlideForm - showFieldMsg(文字列 field, 文字列 message, 文字列 type, ブーリアン scrollForm)

指定されたフォームフィールド (コントロールオブジェクトまたはフィールドの名前) の下に情報またはエラーメッセージを表示します。コントロールまたはフィールドが現在画面の外にあり、scrollForm が true の場合、フォームはフィールドまでスクロールします。

グローバルプロパティ (glide.ui.scroll_to_message_field) はフォームフィールドが画面外にある場合の自動メッセージのスクロール (フォームからコントロールまたはフィールドまでスクロール) を制御するために利用できます。

showErrorBox() メソッドは type パラメーターを必要としない短縮形のメソッドです。

注: このメソッドは、コア UI の *journal_field* タイプフィールドでは機能しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	フィールドまたはコントロールの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。
type	文字列	「エラー」、「情報」、または「警告」。
scrollForm	ブーリアン	true の場合、フォームが画面の外にあると、そのフィールドまでスクロールします。false の場合、フォームはスクロールしません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_form.showFieldMsg('impact','Low impact not allowed with High
 priority','error',false);
```

GlideForm - setDisabled(文字列 **fieldName**, ブーリアン **disable)**

指定されたフィールドを使用可能または使用不可にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
disable	ブーリアン	true の場合、フィールドが無効になります。false の場合、フィールドが有効になります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - setDisplay(文字列 **fieldName**, ブーリアン **display)**

フィールドを表示または非表示にします。

このメソッドで値のない必須フィールドを非表示にすることはできません。フィールドが非表示の場合、スペースは他のアイテムを表示するために使用されます。可能な限り、このメソッドの代わりに UI ポリシーを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldname	文字列	フィールドの名前
表示	ブーリアン	true の場合はフィールドが表示され、false の場合はフィールドが非表示になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {
   //If the page isn't loading
   if (!isLoading) {
      //If the new value isn't blank
      if (newValue != '') {
         g_form.setDisplay('priority', false);
      }
      else
         g_form.setDisplay('priority', true);
      }
   }
```

GlideForm - setLabelOf(文字列 fieldName, 文字列 label)

フィールドラベルのプレーンテキスト値を設定します。

注: このメソッドは Service Catalog ではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
label	文字列	フィールドのテキストラベル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
if (g_user.hasRole('itil')) {
    var oldLabel = g_form.getLabelOf('comments');
    g_form.setLabelOf('comments', oldLabel + ' (Customer visible)');
}
```

GlideForm - setReadOnly(文字列 fieldName, ブーリアン readOnly)

指定されたフィールドを読み取り専用または編集可能にします。

可能な限り、このメソッドの代わりに UI ポリシーを使用してください。

必須フィールドを読み取り専用にするには、まず *setMandatory()* メソッドを使用してそのフィールドの必須要件を削除する必要があります。

フィールドを読み取り専用に設定すると、setValue() メソッドを使用してそのフィールドの値を更新することはできません。この方法で値を設定する必要がある場合は、readOnly 値を false に設定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールドの名前
readOnly	ブーリアン	関連するフィールドが編集可能か読み取り専用かを決定するフラグ。 可能な値： • true：フィールドを読み取り専用に設定 • false：フィールドを編集可能に設定

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、変数エディターを読み取り専用に設定する方法を示しています。サービスカタログテーブルでこれを行うには、*setVariablesReadOnly()* を使用します。

```
// Create a Client Script on a table (e.g., incident) and paste this
 script
// Uncheck (set to false) the "isolate script" checkbox (not available by
 default)
// To add the isolate script checkbox to the form, configure form layout
 to add the checkbox
function onLoad() {
  $("variable_map").querySelectorAll("item").forEach(function(item){
    var variable = item.getAttribute("qname");
    g_form.setReadOnly("variables."+ variable, true);
  });
}
```

GlideForm - setValue(文字列 fieldName, 文字列 value)

指定されたフォームフィールドの値を、渡された値に設定します。

このメソッドは、複数行の変数セット (MRVS) への値の設定もサポートしています。最初に `JSON.parse(getValue('<mrvs_field_name>'))` を使用して MRVS アレイを取得し、インデックスを使用して行オブジェクト内のフィールドにアクセスします。MRVS ですべての値が更新されたら、*setValue()* メソッドを使用して更新された MRVS アレイを保存します。詳細については、以下のコード例を参照してください。

注: OnChange クライアントスクリプトで *setValue()* メソッドを使用すると、スタックのオーバーフローが発生する可能性があります。これは、値が設定されるたびに変更として登録され、OnChange クライアントスクリプトが再トリガーされるためです。これを防ぐには、新しい値が古い値と異なることを検証するチェックを実行します。たとえば、`setValue(shortDesc, newValue.toUpperCase());` を実行する前に、簡単な説明が大文字になっていないことを確認します。これにより、クライアントスクリプトが *toUpperCase()* を複数回適用することを防ぎます。

注: 選択リストで値を定義するときは、ラベルではなく数値を使用してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	更新するフォームフィールドの名前。
value	文字列	指定されたフィールドに設定する文字列値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、現在のフォームに簡単な説明を設定する方法を示しています。

```
g_form.setValue('short_description', 'replace this with appropriate
 text');
```

次の例は、MRVS に値を設定する方法を示しています。この例では、給与は Service Catalog を介して管理されています。クライアントスクリプトは、MRVS 内のすべての行で [**Job Title** (ジョブタイトル)] に入力された値を検索し、MRVS 内の一致するエントリを [**Salay]** フィールドに入力された値で更新します。MRVS には「variable_set_1」という名前が付けられ、各行オブジェクト内に従業員名 [employee_name]、ジョブタイトル [employee_job_title]、および給与 [employee_salary] のフィールドが含まれています。さらに、カタログアイテムには、ジョブタイトル [job_title] と給与 [salary] が含まれています。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
if (isLoading || newValue == '') {
return;
}

// Get the MRVS
var multiRowVariableSet = JSON.parse(g_form.getValue('variable_set_1'));

for (var i = 0; i < multiRowVariableSet.length; i++) {
// Check if the entered job title matches the title in the current MRVS
 row
  if (multiRowVariableSet[i].employee_job_title ==
 g_form.getValue("job_title")){
    // Update the value of a matching field with the new salary
    multiRowVariableSet[i].employee_salary = newValue;
  }
}

// Update the MRVS
g_form.setValue('variable_set_1', JSON.stringify(multiRowVariableSet));
}
```

GlideForm - setVariablesReadOnly(ブーリアン **isReadOnly)**

サービスカタログ 変数エディターを読み込み専用にします。

注: このメソッドは、コア UI の サービスカタログ 変数エディターにのみ適用できます。このメソッドは、 サービスカタログ フォームではサポートされていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドは、要求アイテム [sc_req_item]、インシデント [incident] など、変数エディターが追加されたテーブルのクライアントスクリプトに配置する必要があります。他のテーブルで読み取り専用になるように変数を設定するには、 setReadOnly() メソッドを使用します。

関連項目: サービスカタログ変数エディタ

パラメーター

名前	タイプ	説明
isReadOnly	ブーリアン	変数エディターが読み取り専用かどうかを決定するフラグ。 可能な値： • true：変数エディターを読み取り専用に設定します。 • false：変数エディターを編集可能に設定します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の行をクライアントスクリプトに追加すると、変数エディターが読み取り専用に設定されます。

```
g_form.setVariablesReadOnly(true);
```

GlideForm - setVisible(文字列 fieldName, ブーリアン display)

フィールドを表示または非表示にします。

デスクトップ UI では、非表示の場合は空白のままになります。モバイル UI または Service Portal UI では、非表示の場合は他のフィールドにスペースが入力されます。このメソッドで値のない必須フィールドを非表示にすることはできません。

可能な限り、このメソッドでなく UI ポリシーを使用してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
表示	ブーリアン	true の場合、フィールドを表示します。false の場合、フィールドを非表示にします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading, isTemplate) {
   //If the page isn't loading
   if (!isLoading) {
      //If the new value isn't blank
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      if(newValue != '') {
         g_form.setVisible('priority', false);
      }
      else
         g_form.setVisible('priority', true);
      }
   }
```

GlideForm - showErrorBox(文字列 **name**, 文字列 **message**)

指定されたフォームフィールド (コントロールオブジェクトまたはフィールドの名前) の下にエラーメッセージを表示します。コントロールまたはフィールドが現在画面の外にある場合、フォームはコントロールまたはフィールドまでスクロールします。

グローバルプロパティ (glide.ui.scroll_to_message_field) はフォームフィールドが画面外にある場合の自動メッセージのスクロール (フォームからコントロールまたはフィールドまでスクロール) を制御するために利用できます。*showFieldMsg()* メソッドは type パラメーターを必要とする同様のメソッドです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	コントロールまたはフィールドの名前。
message	文字列	表示されるメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - showRelatedList(文字列 **listTableName**)

指定された関連リストをフォームに表示します。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listTableName	文字列	関連リストの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - showRelatedLists()

フォームの関連リストをすべて表示します。

このメソッドはモバイルプラットフォームでは利用できません。このメソッドがモバイルプラットフォームで実行されても、何も起こりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - submit()

レコードを保存します。

フォームから離れて元の場所に戻ります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideForm - submit(文字列 **verb)**

パラメーターで指定された UI アクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
verb	文字列	sys_ui_action レコードからの action_name。アクション名は、表示されるフォームボタンを対象とする必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

Mobile GlideForm (g_form) - クライアント

モバイル *GlideForm (g_form)* API は、モバイルプラットフォーム上でフォームを操作するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドは、モバイルデバイスをターゲットとするスクリプトで使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MobileGlideForm (g_form) - addDecoration(文字列 **fieldName**, 文字列 **icon**, 文字列 **text)**

フィールドの横に装飾アイコンを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
アイコン	文字列	フィールドの横に表示するフォントアイコン。
テキスト	文字列	アイコンのテキストタイトル (スクリーンリーダーに使用)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、問い合わせユーザーの横に VIP アイコンを追加します。

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
      // if the caller_id field is not present, then we can't add an icon
 anywhere
      if (!g_form.hasField('caller_id'))
          return;

      if (!newValue)
         return;

      g_form.getReference('caller_id', function(ref) {
      g_form.removeDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');

      if (ref.getValue('vip') == 'true')
           g_form.addDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');
      });
      }
```

MobileGlideForm (g_form) - getLabel(文字列 **fieldName)**

フォームラベルテキストを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名

返される内容

タイプ	説明
文字列	ラベルテキスト。

```
if (g_user.hasRole('itil')) {
      var oldLabel = g_form.getLabel('comments');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      g_form.setLabel('comments', oldLabel + ' (Customer visible)');
      }
```

MobileGlideForm (g_form) - hasField(文字列 fieldName)

フォームにフィールドが存在するかどうかを判断します。

「存在する」とは表示できることを意味し、表示されるという意味ではありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	検索するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	フィールドがフォーム上に存在する場合は true、そうでない場合は false。「フォーム上」とはフィールドが g_form の一部であることを意味します。ただし、非表示、読み取り専用、必須、または無効である可能性があります。

この例では、[assignment_group] フィールドがフォーム上にある場合、[assigned_to] フィールドが必須になります。

```
if (g_form.hasField('assignment_group'))
      g_form.setMandatory('assigned_to', true);
```

MobileGlideForm (g_form) - removeDecoration(文字列 fieldName, 文字列 icon, 文字列 text)

フィールドの横から装飾アイコンを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
アイコン	文字列	削除するアイコン。
テキスト	文字列	アイコンのテキストタイトル。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function onChange(control, oldValue, newValue, isLoading) {
      // if the caller_id field is not present, then we can't add an icon
 anywhere
      if (!g_form.hasField('caller_id'))
           return;

      if (!newValue)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            return;

      g_form.getReference('caller_id', function(ref) {
            g_form.removeDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');

            if (ref.getValue('vip') == 'true')
                  g_form.addDecoration('caller_id', 'icon-star', 'VIP');
      });
      }
```

MobileGlideForm (g_form) - setLabel(文字列 fieldName, 文字列 label)

フォームラベルテキストを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fieldName	文字列	フィールド名
label	文字列	フィールドラベルテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例ではコメントラベルを変更します。

```
if (g_user.hasRole('itil')) {
      var oldLabel = g_form.getLabel('comments');
      g_form.setLabel('comments', oldLabel + ' (Customer visible)');
      }
```

GlideGuid - クライアント

GlideGuid API は、グローバル一意識別子を作成するためのメソッドを提供します。

GlideGuidV3 メソッドには、 `g_guid` グローバルオブジェクトを使用してアクセスします。

GlideGuid - generate(数値、文字列長)

長さ 32 文字、またはオプションの長さ引数で指定されたグローバル一意識別子を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
stringLength	数値	目的の文字列の長さは 1 ～ 32 の範囲でなければなりません。このパラメーターはオプションです。指定しない場合、返される文字列は 32 文字になります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	グローバル一意識別子。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

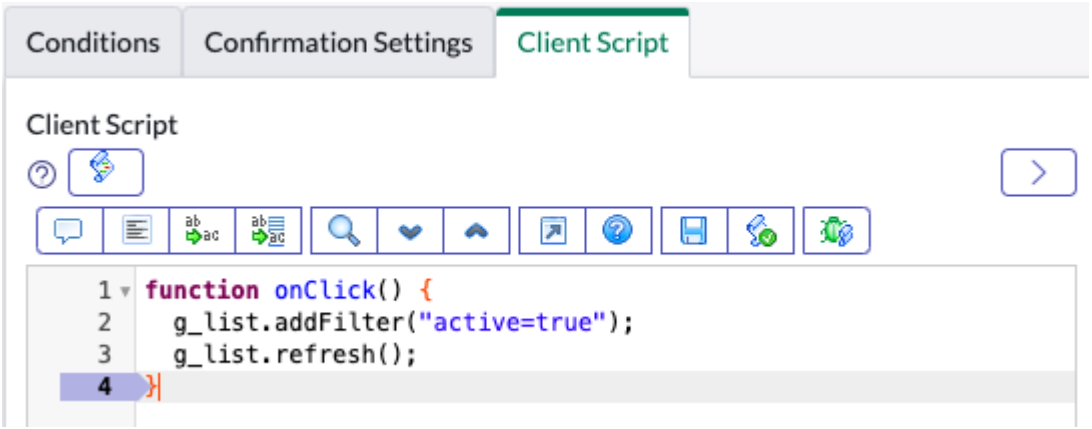
自動翻訳

GlideList (Now Experience) - クライアント

GlideList API は、ネクストエクスペリエンス UI フレームワークのリストをカスタマイズするためのメソッドを提供します。

この API を使用すると、ワークスペースエクスペリエンス UI のボタンに GlideList 機能を追加できます。`g_list` 変数を使用して各メソッドを呼び出します。

ボタンを追加するには、リストアクションを作成し、 *GlideList* メソッド呼び出しを クライアントスクリプト フィールドの `onClick{}` メソッドに追加します。手順については、「ワークスペースエクスペリエンス UI でのクライアント GlideList API の使用」を参照してください。



注: 各メソッドは、*sort()* メソッドと *sortDescending()* メソッドを除き、*refresh()* メソッドと一緒に使用する必要があります。

この API のメソッドは *GlideList2* に基づいています。次の *GlideList2* メソッドは ネクストエクスペリエンス フレームワークではサポートされていないため、コンソールログにエラーが発生します。

- *isUserList()*
- *setFirstRow()*
- *showHideGroups()*
- *showHideList()*
- *toggleList()*
- *toggleListNoPref()*

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - addFilter (文字列フィルター)

単一の用語をクエリフィルターのリストに追加します。

setFilter() も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、アクティブなレコードリストを取得してページを更新する方法を示しています。

```
g_list.addFilter("active=true");
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getChecked()

関連するリストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリスト。返されたアイテムの実行が許可されているかどうかを確認しません。

次の例は、リストで選択された各レコードの sys_id を取得する方法を示しています。

```
var myChecked = g_list.getChecked();
alert(myChecked);
g_list.refresh();
```

アラートボックスへの出力 (レコードが選択されていない場合は空) :

```
079893e6b733330059128ac7ee11a967, 4fca6d45b7131010f03e9b7ade11a9d3,
 5c460fbf1bd0011079e52131604bcbd9
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getFixedQuery()

固定クエリを返します。

固定クエリは、ブレッドクラムから削除できないクエリの一部です (つまりユーザーに対して固定されています)。

ワークスペースエクスペリエンス UI の [関連リストアクション] でこのメソッドを適用します。手順については、「ワークスペースエクスペリエンス UI でのクライアント GlideList API の使用」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの固定クエリ文字列。

次の例は、ブラウザーコンソールログにデバッグメッセージを含む固定クエリを表示する方法を示しています。

```
console.log(g_list.getFixedQuery() + " debug message");
```

インシデントレコードの [子インシデント] タブのボタンをクリックした後の出力。

```
parent_incident=46f1784ba9fe19810018aa27fbb23482 debug message
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getGroupBy()

リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリストを返します。

関連項目：

- getQuery()
- setGroupBy()

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリスト。

次の例は、現在のリストビューのフィールド groupBy 値を取得する方法を示しています。

```
var grpdBy = g_list.getGroupBy();
alert("The list is grouped by " + grpdBy);
g_list.refresh();
```

優先度別にグループ化されたリストのアラートボックスの出力：

```
The list is grouped by ^GROUPBYpriority
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getListName()

通常はテーブル名であるリストの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	リスト名 (通常はテーブル名)。

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.getListName();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getOrderBy()

リストの順序付けに使用される最初のフィールドを返します。

関連項目：

- getQuery()
- setOrderBy()

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの順序付けの基準となるフィールド。リストが順序付けされていない場合は空です。

次の例は、現在のリストビューのフィールド orderBy 値を取得する方法を示しています。

```
var orderBy = g_list.getOrderBy();

alert("The list is ordered by " + orderBy);
g_list.refresh();
```

優先度順に並べられたリストのアラートボックスの出力：

```
The list is ordered by ^ORDERBYDESCpriority
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getParentTable()

関連リスト (フォームに関連付けられたテーブル) の親テーブルの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親テーブル名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.getParentTable();
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getQuery(オブジェクト)

リストのエンコードされたクエリ文字列を返します。

関連項目：

- getFixedQuery()
- getGroupBy()
- getOrderBy()
- setGroupBy()
- setOrderBy()

パラメーター

名前	タイプ	説明
<object>	オブジェクト	オプション。デフォルトでは、このメソッドの結果には orderBy、groupBy、および固定クエリが含まれます。オブジェクトプロパティを設定して、3 つの利用可能なオプションのうち 1 つ以上に結果を制限できます。
<object>.orderBy	ブーリアン	オプション。結果に orderBy を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に orderBy を含めます。 • false：結果に orderBy を含めません。 デフォルト値：false
<object>.groupBy	ブーリアン	オプション。結果に groupBy を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に groupBy を含めます。 • false：結果に groupBy を含めません。 デフォルト値：false
<object>.fixed	ブーリアン	オプション。結果に固定クエリを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に固定クエリを含めます。 • false：結果に固定クエリを含めません。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのエンコードされたクエリ文字列。

次の例は、ブラウザーコンソールログにデバッグメッセージを含むリストのエンコードされたクエリを表示する方法を示しています。

```
var myQuery = g_list.getQuery();
console.log(myQuery + " message");
```

出力：

```
active=false^EQ message
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getRelated()

関連リストを親フォームに関連付ける関連リストフィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストを親フォームに接続するフィールド。

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.getRelated();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getTableName()

リストのテーブル名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのテーブル名を返します。

次の例は、現在のビューのリスト名を表示する方法を示しています。

```
var listName = g_list.getListName();
alert("The current list name is " + listName);
g_list.refresh();
```

アラートボックスの出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
The current list name is incident
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getTitle()

リストのタイトルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのタイトル。

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.getTitle();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - getView()

リストを表示するために使用するビューを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ビューの名前。

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.getView();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - refresh(番号 firstRow)

リストを更新します。リストフィルターの *orderBy* 部分は無視されるため、リストは更新されたときに自然な順序付けを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	番号	リストに表示される最初の行。 デフォルト：現在のビューの最初の行。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.addFilter("active=true");
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - refreshWithOrderBy(番号 firstRow)

リストを更新します。リストに対して指定されている場合は、リストフィルターの *orderBy* 部分が含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	番号	リストに表示される最初の行。 デフォルト：現在のビューの最初の行。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例はメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
g_list.refreshWithOrderBy();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - setFilter (文字列フィルター)

クエリ文字列の *orderBy* と *groupBy* の部分を無視して、リストのエンコードされたクエリ文字列を設定します。

addFilter() も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、リストの結果をアクティブなレコードに制限する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
g_list.setFilter("active=true");
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - setGroupBy(文字列 groupBy)

単一のフィールドのリスト *groupBy* 条件を設定します。

関連項目：

- getGroupBy()
- getQuery()

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupBy	文字列	リストの *groupBy* 基準。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、リストされたレコードを問い合わせユーザー ID でグループ化する方法を示しています。

```
g_list.setGroupBy("caller_id");
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - setOrderBy(文字列 orderBy)

リストの *orderBy* 条件を設定します。

単一の順序付けフィールドの場合は、*orderBy* フィールドまたは *orderByDesc* フィールドを使用します。複数のフィールドの場合は、`orderByField1^orderByField2^orderByField3` を使用します。*orderBy* は昇順を指定し、orderByDesc は降順を指定します。これらのプレフィックス文字列はオプションです。指定しない場合、*orderBy* がデフォルトの順序になります。

関連項目：

- getOrderBy()
- getQuery()
- sort()
- sortDescending()

パラメーター

名前	タイプ	説明
orderBy	文字列	1 つまたは複数の orderBy フィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、 [優先度] フィールドの値でリストを並べ替える方法を示しています。

```
g_list.setOrderBy("priority");
g_list.refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - setRowsPerPage(行数)

表示する 1 ページあたりの行数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rows	数値	表示する行数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、結果をページあたり 50 行に制限する方法を示しています。

```
g_list.setRowsPerPage(50);
refresh();
```

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - sort(文字列フィールド)

リストを昇順でソートし、フィールドを *orderBy* 列として設定します。

関連項目：

- getOrderBy()
- getQuery()
- setOrderBy()
- sortDescending()

注: このメソッドに *refresh()* メソッドは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、[数値] フィールドによって結果をソートする方法を示しています。

```
g_list.sort("number");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideList (ネクストエクスペリエンス) - sortDescending(文字列フィールド, 数値)

リスト内の 1 つのフィールドを降順でソートし、フィールドを *orderByDescField* 列として設定します。

関連項目：

- getOrderBy()
- getQuery()
- setOrderBy()
- sortDescending()

注: このメソッドに *refresh()* メソッドは必要ありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、[数値] フィールドによって結果を降順にソートする方法を示しています。

```
g_list.sortDescending("number");
```

GlideList2 (g_list) - クライアント

GlideList2 API は、(v2) リストをカスタマイズするためのメソッドを提供します。

変数 `g_list` は、指定されたリストオブジェクトにアクセスするために使用されます。`g_list` 変数は、関連リストのフォームリンク UI アクションでは使用できません。これは、リストフォームリンクの UI アクションで使用できます。

これらのメソッドは、UI コンテキストメニューと UI アクションで使用されます。

これらのメソッドのいくつかは ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク で使用できます。詳細については、次を参照してください。 GlideList (ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク).

GlideList2 - addFilter(文字列 filter)

単一の用語をクエリフィルターのリストに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_list.addFilter("active=true");
```

GlideList2 - get(オブジェクト DOMelement)

指定されたアイテムを含むリストの *GlideList2* オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
DOMelement	オブジェクト	*GlideList2* オブジェクトが必要なリストの DOM 要素 ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideList2 オブジェクト。見つからない場合は null。

GlideList2 - get(文字列 ListID)

指定されたリストの *GlideList2* オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ListID	文字列	*GlideList2* オブジェクトが必要なリスト ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	GlideList2 オブジェクト。見つからない場合は null。

```
function assignLabelActionViaLookupModal(tableName, listId) {
 var list = GlideList2.get(listId);
 if (!list)
  return;

 assignLabelViaLookup(tableName, sysIds, list.getView());
}
```

GlideList2 - getChecked()

関連するリストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリスト。返されたアイテムの実行が許可されているかどうかを確認しません。

```
function removeLabelActionViaLookupModal(tableName, listId) {
  var list = GlideList2.get(listId);
  if (!list)
    return;

  var sysIds = list.getChecked();
  if (!sysIds)
    return;

  removeLabelViaLookup(tableName, sysIds);
}
```

GlideList2 - getFixedQuery()

固定クエリを返します。

固定クエリは、ブレッドクラムから削除できないクエリの一部です (つまりユーザーに対して固定されています)。これは、アプリケーションモジュールの *sysparm_fixed_query* パラメーターを含めることで指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの固定クエリ文字列。

```
var list = GlideList2.get(container.readAttribute('list_id'));
var filter = this._getFilter(element);
var fixedQuery = list.getFixedQuery();
if (fixedQuery)
  filter = fixedQuery + "^" + filter;
```

GlideList2 - getGroupBy()

リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリスト。

```
function runFilterV2Lists(name, filter) {
  var list = GlideList2.get(name);
    if (list) {
      var groupBy = list.getGroupBy();
      if (groupBy)
        filter += "^" + groupBy;

        list.setFilterAndRefresh(filter);
    }
}
```

GlideList2 - getListName()

通常はテーブル名であるリストの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リスト名 (通常はテーブル名)。

```
var list = GlideList2.get(name);
var listName = list.getListName();
```

GlideList2 - getOrderBy()

リストの順序付けに使用される最初のフィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの順序付けの基準となるフィールド。リストが順序付けされていない場合は空です。

```
var list = GlideList2.get(listId);
if (!list)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  return;
var orderBy = list.getOrderBy();
```

GlideList2 - getParentTable()

関連リスト (フォームに関連付けられたテーブル) の親テーブルの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親テーブル名。

```
for (var id in GlideLists2) {
  var list = GlideLists2[id];
  if (list.getTableName() == listTableName && list.getParentTable() ==
 tableName)
    return list.getContainer();
}
```

GlideList2 - getQuery(ブーリアン orderBy, ブーリアン groupBy, ブーリアン fixed, ブーリアン all)

リストのエンコードされたクエリ文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
orderBy	ブール	オプション。結果に orderBy を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に orderBy を含めます。 • false：結果に orderBy を含めません。 デフォルト値：false
groupBy	ブール	オプション。結果に groupBy を含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に groupBy を含めます。 • false：結果に groupBy を含めません。 デフォルト値：false
fixed	ブール	オプション。結果に固定クエリを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• true：結果に固定クエリを含めます。 • false：結果に固定クエリを含めません。 デフォルト値：false
すべて	ブール	デフォルトです。結果に orderBy、groupBy、および固定クエリを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果に orderBy、groupBy、および固定クエリを含めます。 • false：3 つのオプションのすべてを結果に含めません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのエンコードされたクエリ文字列。

```
var list = GlideList2.get(this.listID);
var ajax = new GlideAjax("AJAXJellyRunner", "AJAXJellyRunner.do");
  ajax.addParam("sysparm_query_encoded", list.getQuery({groupby: true,
 orderby: true}));
  ajax.addParam("sysparm_table", list.getTableName());
  ajax.addParam("sysparm_view", list.getView());
```

GlideList2 - getRelated()

関連リストを親フォームに関連付ける関連リストフィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストを親フォームに接続するフィールド。

```
var list = GlideList2.get(name);
var related = list.getRelated();
if (related)
  ajax.addParam("sysparm_is_related_list", "true");
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideList2 - getTableName()

リストのテーブル名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのテーブル名を返します。

```
GlideList2.getListsForTable = function(table) {
    var lists = [];
    for (var id in GlideLists2) {
        var list = GlideLists2[id];
        if (list.getTableName() == table)
            lists.push(list);
    }
    return lists;
}
```

GlideList2 - getView()

リストを表示するために使用するビューを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ビューの名前。

```
function assignLabelActionViaLookupModal(tableName, listId) {
 var list = GlideList2.get(listId);
 if (!list)
  return;

 assignLabelViaLookup(tableName, sysIds, list.getView());
}
```

GlideList2 - getTitle()

リストのタイトルを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのタイトル。

```
var list = GlideList2.get(name);
var listTitle = list.getTitle();
```

GlideList2 - isUserList()

リストメカニックを選択してリストレイアウトを変更し、リストがカスタマイズされている場合は **true** を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	リストのレイアウトが変更された場合は true。

```
var list = GlideList2.get(listId);
if (!list)
  return;
if (list.isUserList())
  var tableName = list.getTableName();
```

GlideList2 - refresh(数値 **firstRow**, 文字列 **additionalParms**)

リストを更新します。リストフィルターの *orderBy* 部分は無視されるため、リストは更新されたときに自然な順序付けを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	番号	リストに表示される最初の行。 デフォルト：現在のビューの最初の行。
additionalParms	文字列	リスト更新要求で送信されるオプションの名前と値のペア。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
$timeout(function() {
  if (GlideList.lists) {
    var list = GlideList.get(name);
    if (list) {
       if (sortBy) {
         if (sortDirection == 'ASC')
            list.sort(sortBy);
         else
            list.sortDescending(sortBy);
         }
       list.refresh();
     }
   }
}
```

GlideList2 - refreshWithOrderBy(数値 **firstRow**, 文字列 **description)**

リストを更新します。リストに対して指定されている場合は、リストフィルターの *orderBy* 部分が含まれます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	番号	リストに表示される最初の行。 デフォルト：現在のビューの最初の行。
description	文字列	リスト更新要求で送信されるオプションの名前と値のペア。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
ga.getXML(function(serverResponse) {
  var response =
 serverResponse.responseXML.getElementsByTagName("response")[0];
  if (response) {
    var list = GlideList2.getByName("backlog_stories");
    list.refreshWithOrderBy();
    var status = response.getAttribute('status');
    $j('html, body').animate({scrollTop:
 $j("#"+data.record.sys_id).offset().top},500);
    if (status == 'failure') {
      alert('${gs.getMessage("Story cannot be created. Team is not
 associated with any project.")}');
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}
```

GlideList2 - setFilter(文字列 filter)

クエリ文字列の *orderBy* と *groupBy* の部分を無視して、リストのエンコードされたクエリ文字列を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
list =
 GlideList2.get($(side+"ContentDivRelease").select(".list_div")[0].getAtt
ribute("id"));
if (list) {
  list.setFilter("active=true");
  list.refresh(1);
 }
```

GlideList2 - setFilterAndRefresh(文字列 filter)

orderBy と *groupBy* が指定されている場合はこれらを含めてリストのエンコードされたクエリ文字列を設定し、新しいフィルターを使用してリストを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	エンコードされたクエリ文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function updateListFilter(projectID) {
  var list = GlideList2.getByName("backlog_stories");
  var fixedQuery = $('hdn_additional_filters').value;
  if(!projectID) {
      list.setFilterAndRefresh(fixedQuery + "^ORDERBYteam_index");
      list.setOrderBy("team_index");
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideList2 - setFirstRow(数値 rowNum)

リストが更新されたときにリストに表示される最初の行を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rowNum	数値	表示する最初の行の行番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var nextRow = 0;
var rowsPerPage = 20;
var list = GlideList2.get(listId);
if (!list)
  return;
list.setFirstRow(nextRow);
nextRow = nextRow + rowsPerPage;
```

GlideList2 - setGroupBy(文字列 groupBy)

単一のフィールドのリスト *groupBy* 条件を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
groupBy	文字列	リストの *groupBy* 基準。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function runContextAction(listId) {
  var g_list = GlideList2.get(listId);
  g_list.setGroupBy('');
  g_list.refresh(1);
}
```

GlideList2 - setOrderBy(文字列 orderBy)

リストの *orderBy* 条件を設定します。

単一の順序付けフィールドの場合は、*orderBy* フィールドまたは *orderByDesc* フィールドを使用します。複数のフィールドの場合は、`orderByField1^orderByField2^orderByField3` を使用します。*orderBy* は昇順を指定し、orderByDesc は降順を指定します。これらのプレフィックス文字列はオプションです。指定しない場合、*orderBy* がデフォルトの順序になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
orderBy	文字列	1 つまたは複数の orderBy フィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
                                    updateOrderBy: function(orderBy){
  var list = GlideList2.get(this.listID);
  if (list)
    list.setOrderBy(orderBy);
};
```

GlideList2 - setRowsPerPage(数値 **rows)**

表示する 1 ページあたりの行数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
rows	数値	表示する行数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
link: function(scope) {
  var list = GlideList2.get(scope.listId);
  list.setRowsPerPage(scope.maxRows);
  list.setFilterAndRefresh(scope.tableQuery);
}
```

GlideList2 - showHideGroups(ブーリアン showFlag)

リスト内のすべてのグループを表示または非表示にし、グループの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
showFlag	ブーリアン	**[true]** の場合、リスト内のグループを表示します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function showHideAllGroups(showFlag) {
  var list = GlideList2.get(listId);
  if (!list)
    return;
  list.showHideGroups(showFlag);
}
```

GlideList2 - showHideList(ブーリアン showFlag)

リストを表示または非表示にし、リストの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
showFlag	ブーリアン	**[true]** の場合、リストを表示します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
GlideList2.toggleAll = function(expandFlag) {
for (var id in GlideLists2) {
  var list = GlideLists2[id];
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
list.showHideList(expandFlag);
}
```

GlideList2 - sort(文字列 field)

リストを昇順でソートし、フィールドを *orderBy* 列として設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
field	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
$timeout(function() {
  if (GlideList.lists) {
    var list = GlideList.get(name);
    if (list) {
       if (sortBy) {
         if (sortDirection == 'ASC')
            list.sort(sortBy);
         else
            list.sortDescending(sortBy);
         }
       list.refresh();
     }
   }
}
```

GlideList2 - sortDescending(文字列 field, 数値 amount)

リスト内の 1 つのフィールドを降順でソートし、フィールドを *orderByDescField* 列として設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
$timeout(function() {
  if (GlideList.lists) {
    var list = GlideList.get(name);
    if (list) {
       if (sortBy) {
         if (sortDirection == 'ASC')
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            list.sort(sortBy);
         else
            list.sortDescending(sortBy);
         }
       list.refresh();
     }
   }
}
```

GlideList2 - toggleList()

リストの表示を切り替えて、リストの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = GlideList2.get(listId);
if (!list)
  return;
list.toggleList();
```

GlideList2 - toggleListNoPref()

リストの表示を切り替えますが、リストの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
none		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var list = GlideList2.get(listId);
if (!list)
  return;
list.toggleListNoPref();
```

GlideListV3 (g_list) - クライアント (非推奨)

GlideListV3 API は、リストを操作するためのメソッドを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListV3 メソッドにアクセスするには、`g_list` グローバルオブジェクトを使用します。これらのメソッドは、UI コンテキストメニューと UI アクションで使用されます。g_list オブジェクトは、フォームリンク UI アクションの関連リストでは使用できません。

注:

この API のサポートは停止しています。代わりに GlideList2() API の使用を検討してください。

GlideListV3 - addFilter(文字列 filter)

単一の用語をクエリフィルターのリストに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	追加するクエリ文字列条件。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - get(文字列 listId)

指定されたリストの GlideList オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
listId	文字列	リスト名。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定されたリストの GlideList オブジェクト。見つからない場合は null。

GlideListV3 - get(オブジェクト DomElement)

指定された DOM 要素の GlideList オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
DomElement	オブジェクト	GlideList オブジェクトが必要な DOM 要素 ID。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	指定された DOM 要素の GlideList オブジェクト。DOM 要素が見つからない場合は null を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListV3 - getChecked()

リストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリストを返します。実行が許可されていないアイテムは返されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストでチェックされたアイテムの sys_id のカンマ区切りリスト。実行が許可されていないアイテムは返されません。

GlideListV3 - getFixedQuery()

sysparm_fixed クエリを返します。

固定クエリはブレッドクラムから削除できない (つまり、ユーザーに対して固定されている) クエリの一部です。これは、アプリケーションモジュールの *sysparm_fixed_query* パラメーターを含めることで指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの固定クエリ文字列。

GlideListV3 - getFormTarget()

フォームのターゲット属性を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	フォームのターゲット属性。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListV3 - getGroupBy()

リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリストを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストをグループ化するために使用されるフィールドまたはフィールドのカンマ区切りリスト。

GlideListV3 - getListName()

通常はテーブル名であるリストの名前を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リスト名。

GlideListV3 - getOrderBy()

リストの順序付けに使用される最初のフィールドを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストの順序付けに使用されるフィールド。リストがソートされていない場合は空の文字列。

GlideListV3 - getParentTable()

親テーブル (フォームに関連付けられているテーブル) の名前を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親テーブル名。

GlideListV3 - getQuery(オブジェクト **options)**

リストのエンコードされたクエリ文字列を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	options は次の 1 つ以上です。 • orderby ：クエリに ORDERBY を含める • groupby：クエリに GROUPBY を含める • fixed：クエリに sysparm_fixed_query を含める • all：クエリにのすべての options を含める

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのエンコードされたクエリ文字列。

GlideListV3 - getReferringUrl()

参照 URL を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	親フォームの URL を返します。親フォームがない場合は「*」を返します。

GlideListV3 - getRelated()

関連リストを親フォームに関連付ける関連リストフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストを親フォームに接続するフィールド。

GlideListV3 - getRelatedListType()

関連リストタイプを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リレーションシップテーブルタイプ。

GlideListV3 - getRelationshipId()

これが REL 関連リストの場合、リレーションシップレコード ID を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リレーションシップレコードの sys_id。

GlideListV3 - getRowCount()

クエリによって返された行数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数値	クエリによって返された行数。

GlideListV3 - getRowsPerPage()

ページに表示する行数を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	ページに表示する行数。

GlideListV3 - getTableName()

リストのテーブル名を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのテーブル名。

GlideListV3 - getTitle()

リストのタイトルを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	リストのタイトル。

GlideListV3 - getView()

リストを表示するために使用するビューを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	ビューの名前。

GlideListV3 - isUserList()

リストがユーザーによってカスタマイズされている場合は true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	リストのレイアウトが変更された場合は true。

GlideListV3 - refresh(数値 **firstRow**, オブジェクト **additionalParms)**

リストを更新します。リストフィルターの orderBy 部分は無視されるため、リストの自然な順序付けが使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	(オプション) リストに表示する最初の行。指定しない場合、リストの現在の最初の行が使用されます。
additionalParams	オブジェクト	(オプション) リスト更新要求で送信される名前と値のペア。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - refreshWithOrderBy(数値 **firstRow**, オブジェクト **additionalParms)**

[orderBy] フィールドを使用してリストを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	(オプション) リストに表示する最初の行。指定しない場合、リストの現在の最初の行が使用されます。
additionalParams	オブジェクト	(オプション) リスト更新要求で送信される名前と値のペア。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setFilter(文字列 **filter**, ブーリアン **saveOrderBy**, ブーリアン **saveGroupBy)**

クエリ文字列の orderBy および groupBy 部分を無視して、リストのエンコードされたクエリ文字列を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	エンコードされたクエリ文字列。
saveOrderBy	ブーリアン	デフォルト値は false です。true の場合、クエリの orderBy 部分を使用します。
saveGroupBy	ブーリアン	デフォルト値は false です。true の場合、クエリの groupBy 部分を使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setFilterAndRefresh(文字列 **filter)**

リストのエンコードされたクエリ文字列を設定し、新しいフィルターを使用してリストを更新します。

これにより、groupby パラメーターと orderby パラメーターが保持されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	文字列	エンコードされたクエリ文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideListV3 - setFirstRow(数値 **firstRow**)

リストが更新されたときに表示される最初の行を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
firstRow	数値	リスト内の行番号。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setFormTarget(文字列 **target**)

フォームからの応答を表示する場所を指定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
target	文字列	使用する form.target 属性値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setGroupBy(文字列 **groupBy**)

単一のフィールドまたは複数のフィールドに対して、リストの *groupBy* 条件を設定します。

単一のフィールドの場合は、field または groupByField を使用します。groupBy プリフィックスはオプションです。複数のフィールドの場合は、`field1^field2^field3` または `groupByField1^groupByField2^groupByField3` を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
文字列	groupBy	リストのグループ化条件。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setOrderBy(文字列 **orderBy**)

リストの *orderBy* 条件を設定します。

単一の順序付けフィールドの場合は、*orderBy* フィールドまたは *orderByDescField* を使用します。複数のフィールドの場合は、`orderByField1^orderByField2^orderByField3` を使用しま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。*orderBy* は昇順を指定し、orderByDesc は降順を指定します。これらのプレフィックス文字列はオプションです。指定しない場合、*orderBy* と想定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
orderBy	文字列	単一または複数の順序フィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setReferringUrl(文字列 url)

親フォームの参照 URL を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	親フォームの URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - setRowsPerPage(数値 numRows)

ページに表示する行数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
numRows	数値	ページに表示する行数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - showHideGroups(ブーリアン showFlag)

リスト内のすべてのグループを表示または非表示にし、グループの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
showFlag	ブーリアン	true の場合、リスト内のグループを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - showHideList(ブーリアン **showFlag)**

リストを表示または非表示にし、リストの現在の折りたたみ/展開ステータスをユーザー初期設定として保存します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
showFlag	ブーリアン	true の場合、リストを表示します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - sort(文字列 **field)**

リストを昇順でソートします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - sortDescending(文字列 **field)**

リストを降順でソートします

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールド	文字列	リストのソートに使用するフィールド。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - toggleList()

リストの表示を折りたたみと展開で切り替えて、ステータスをユーザー初期設定として保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideListV3 - toggleListNoPref()

リストの表示を折りたたみと展開で切り替えますが、ステータスをユーザー初期設定として保存しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideMenu (g_menu および g_item) - クライアント

GlideMenu API は、UI コンテキストメニューアイテムをカスタマイズするために UI コンテキストメニューと `onShow` スクリプトで使用できるメソッドを提供します。

GlideMenu クラスのコンストラクターはありません。`g_menu` グローバルオブジェクトを使用して *GlideMenu* メソッドにアクセスします。

- `g_menu` は、表示されようとしている UI コンテキストメニューです。`onShow` スクリプトは、これらのメソッドを使用して、メニューを表示する前にメニューの外観を変更できます。
- `g_item` は、表示されようとしている現在の UI コンテキストメニュー項目です。これは、アイテムを指定するために *g_menu* メソッドのいくつかで使用されます。

GlideMenu - clearImage(GlideMenuItem item)

アイテムの画像をクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	画像を表示から削除するアイテムを指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
g_menu.clearImage(g_item);
```

GlideMenu - clearSelected()

メニューのアイテムから選択画像をクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideMenu - getItem(文字列 itemID)

アイテム ID でメニューアイテムを返します。

表示される前にメニュー内のアイテムを検索して変更可能にする必要がある場合があります。各メニューアイテムには、メニューアイテムの作成時に (UI コンテキストメニューエントリまたは動的スクリプトアクションの `addAction()` メソッドから) 一意の ID が割り当てられる場合があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
itemID	文字列	返されるアイテムを指定します。

返される内容

タイプ	説明
GlideMenuItem	メニューアイテム

GlideMenu - setDisabled(GlideMenuItem item)

メニューアイテムを無効にして選択できないようにします。無効になっているメニューアイテムは薄い色 (グレー) で無効であることが示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	無効にするアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setDisabled(g_item);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideMenu - setEnabled(GlideMenuItem item)

指定されたメニューアイテムを有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	有効にするアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setEnabled(g_item);
```

GlideMenu - setHidden(GlideMenuItem item)

指定されたメニューアイテムを非表示にします。

メニューアイテムを非表示にすると、セパレーターバーは調整されないため、メニューに 2 つのセパレーターが連続して表示される可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	非表示にするアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setHidden(g_item);
```

GlideMenu - setImage(GlideMenuItem item, 文字列 imgSrc)

アイテムの画像を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	画像を表示するアイテム。
imgSrc	文字列	メニューアイテムに添付する画像。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setImage(g_item, 'images/checked.gifx');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GlideMenu - setLabel(GlideMenuItem item, 文字列 label)

メニューアイテムの表示ラベルを設定します。ラベルには HTML を含めることができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	ラベル付けするアイテム。
label	文字列	表示されるラベル。文字列には HTML を含めることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setLabel(g_item, "This is a new label");
```

GlideMenu - setVisible(GlideMenuItem item)

指定したアイテムを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
item	GlideMenuItem	表示されるアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
g_menu.setVisible(g_item);
```

GlideModalForm - クライアント

GlideModalForm API は、GlideModal でフォームを表示するためのメソッドを提供します。

GlideModalForm クラスの一般的な使用法には、オブジェクトの作成、設定の設定、および GlideModalForm のレンダリングが含まれます。

```
var dialog = new GlideModalForm('dialog title',
 'table_name_or_form_name', [callback on completion of submit])
  dialog.setPreference('name', 'value');
  dialog.render();
```

setPreference() メソッドを使用してフォームに渡されるクエリパラメーターを指定します。*setPreference()* で指定した名前/値のペアは、フォームの POST 要求とともに送信され、フォームが表示されます。

GlideModalForm は、ドキュメントウィンドウの高さに合わせて設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideModalForm - GlideModalForm(文字列 **title**, 文字列 **tableName**, 関数 **onCompletionCallback**, ブール値 **readOnly)**

GlideModalForm クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	モーダルフォームタイトル。
tableName	文字列	表示されているテーブル。
onCompletionCallback	関数	フォームが送信され、サーバーで処理された後に呼び出す関数。 コールバック関数の形式 callbackFunction(文字列 `action_verb`, 文字列 `sys_id`, 文字列 `table`, 文字列 `displayValue)` は、次のとおりです。 • *`action_verb`*：実行した UI アクションの名前。例：sysverb_insert (送信ボタン)、sysverb_cancel、sysverb_save (保存ボタン)。 • *`sys_id`*：影響を受けるレコードの sys_id。 • *`table`*：レコードを含むテーブルの名前。 • *`displayValue`*：フォームに表示される値。
readOnly	ブーリアン	オプション。モーダルフォームを読み取り専用に設定するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フォームを読み取り専用に設定します。 • false：読み取り/書き込みに設定します。 デフォルト値：false

この例では、GlideModalForm オブジェクトをインスタンス化する方法を示します。

```
function openDevice(deviceSysID, deviceName) {
  var uName = gel('hidden_user_name').value + "'s ";
  deviceName = new String(deviceName).escapeHTML();
  var gp = new GlideModalForm(uName + deviceName, "cmn_notif_device",
 refreshNotifPage);
  gp.addParm('sys_id', deviceSysID);
  gp.render();
}
```

GlideModalForm - addParm(文字列名, 文字列値)

指定されたフォームフィールドを指定された値に設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	フォームフィールド名。指定された名前が関連するモーダルフォームのフィールドでない場合は、無視されます。
value	文字列	指定されたフォームフィールドに設定する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*addParm()* を呼び出してモーダルフォームの sys_id フィールドの値を設定する方法を示しています。

```
function openDevice(deviceSysID, deviceName) {
  var uName = gel('hidden_user_name').value + "'s ";
  deviceName = new String(deviceName).escapeHTML();
  var gp = new GlideModalForm(uName + deviceName, "cmn_notif_device",
 refreshNotifPage);
  gp.addParm('sys_id', deviceSysID);
  gp.render();
}
```

GlideModalForm - setSysID(文字列 sys_id)

オブジェクトの sys_id を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	ID 設定。フォームに渡されるクエリパラメーターの 1 つ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*setSysID()* メソッドを使用して sys_id の値を初期化する方法を示しています。

```
function(startDate, endDate) {
  var dialog = new GlideModalForm("Add Schedule Item",
 "cmn_schedule_span");
  dialog.setSysID("-1");
  dialog.addParm("sysparm_collection", "cmn_schedule");
  dialog.addParm("sysparm_collectionID", this.sysId);
  dialog.addParm("sysparm_collection_key", "schedule");

  var q = "schedule=" + this.sysId + "^start_date_time="
   + startDate.serializeInUserFormat() + "^end_date_time="
   + endDate.serializeInUserFormat() + "^";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  if (startDate.isAllDay(endDate))
    q += "^all_day=true^";

  dialog.addParm("sysparm_query", q);
  dialog.render();
}
```

GlideModalForm - setCompletionCallback(関数 callbackFunction)

フォームが正常に送信され、サーバーで処理されたときに呼び出される関数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callbackFunction	関数	フォームが正常に処理されたときに呼び出すコールバック関数。 コールバック関数の形式 callbackFunction(文字列 `action_verb`, 文字列 `sys_id`, 文字列 `table`, 文字列 `displayValue`) は、次のとおりです。 • *`action_verb`*：sys_ui_action レコードからの action_name。 • *`sys_id`*：影響を受けるレコードの sys_id。 • *`table`*：レコードを含むテーブルの名前。 • *`displayValue`*：フォームに表示される値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、関連するモーダルの onload コールバック関数を設定する方法を示します。

```
function handleCreateOrEdit(targetFieldName, sourceFieldName,
 adapterRuleId, transformerSysId){
  dialog = new GlideModalForm('Edit Adapter Rule', "sys_adapter_rule");
  dialog.setSysID(adapterRuleId); //Pass in sys_id to edit existing
 record
  dialog.addParm('sysparm_form_only', 'true'); //Add or remove related
 lists
  dialog.setOnloadCallback(hideModalForm);
  dialog.setCompletionCallback(handleAdapterCreatedOrUpdated);
  dialog.render(); //Open the dialog
}
function handleAdapterCreatedOrUpdated(action_verb, sys_id, table,
 displayValue) {
  var draftRecordTransformer =
 g_form.getValue("draft_record_transformer");
  if(draftRecordTransformer == null || draftRecordTransformer.length ==
 0) {
    //sync Sticky Replications if it is enabled.
    var ajax = new GlideAjax('ReplicationPoolUtil');
    ajax.addParam('sysparm_name', 'syncStickyReplicationSet');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ajax.addParam('sysparm_entry_set', g_form.getValue("entry_set"));
    ajax.getXMLWait();
  }
}
```

GlideModalForm - setOnloadCallback(関数 callbackFunction)

フォームがロードされた後に呼び出される関数を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callbackFunction	関数	フォームがロードされた後に呼び出す関数。コールバック関数の形式 `callBackFunction(GlideModalForm obj)`

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、関連するモーダルの onload コールバック関数を設定する方法を示します。

```
function handleCreateOrEdit(targetFieldName, sourceFieldName,
 adapterRuleId, transformerSysId){
  dialog = new GlideModalForm('Edit Adapter Rule', "sys_adapter_rule");
  dialog.setSysID(adapterRuleId); //Pass in sys_id to edit existing
 record
  dialog.addParm('sysparm_form_only', 'true'); //Add or remove related
 lists
  dialog.setOnloadCallback(hideModalForm);
  dialog.setCompletionCallback(handleAdapterCreatedOrUpdated);
  dialog.render(); //Open the dialog
}
```

GlideModalForm - render()

モーダルフォームを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*`render()`* を呼び出してモーダルを表示する方法を示します。

```
function openDevice(deviceSysID, deviceName) {
  var uName = gel('hidden_user_name').value + "'s ";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  deviceName = new String(deviceName).escapeHTML();
  var gp = new GlideModalForm(uName + deviceName, "cmn_notif_device",
 refreshNotifPage);
  gp.addParm('sys_id', deviceSysID);
  gp.render();
}
```

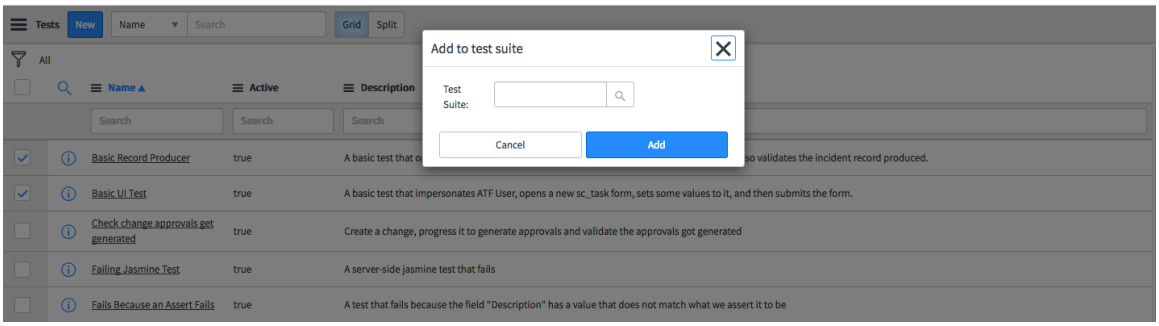
GlideModal - クライアント

GlideModal API は、コンテンツオーバーレイを表示するためのメソッドを提供します。

これらのメソッドは、クライアント側の JavaScript を使用できる任意の場所のスクリプトで使用します。これらのメソッドは、ほとんどの場合 [クライアント] チェックボックスがオンになっている UI アクションから呼び出されます。

これは、 *GlideWindow* および *GlideDialogWindow* API のフル機能で置き換えるものです。

オーバーレイの例



GlideModal - GlideModal(文字列 **id**, ブール値 **readOnly**, 数値の幅)

GlideModalV3 クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	モーダルにロードする UI ページ。
readOnly	ブーリアン	モーダルで [閉じる] ボタンを非表示にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:モーダルに [閉じる] ボタンを表示しません。 • false:モーダルに [閉じる] ボタンを表示します。 デフォルト値：false
width	番号	モーダルの幅 (ピクセル単位)。 デフォルト： 最大幅:900 ピクセル 注: また、 GlideModal - setWidth(数値の幅) メソッドを使用してモーダル幅を設定することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideModal - get (文字列 ID)

ID で GlideModal オブジェクトを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	GlideModal オブジェクトの要素 ID。

返される内容

タイプ	説明
GlideModal	オブジェクト。

GlideModal - getPreference(文字列名)

指定した設定 (プロパティ) の値を返します。

モーダルを作成するアクションを呼び出すと、通常は GlideModal - setPreference(文字列名, 文字列値) メソッドを使用してモーダルに必要な設定も作成されます。UI ページのクライアントスクリプトは、このメソッドを使用してこれらの設定を消費します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	取得する設定値の名前。この値は GlideModal - setPreference(文字列名, 文字列値) メソッドを使用してモーダルで事前に設定する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された設定の値。

この例は、設定を行い、指定されたモーダルからその設定を取得する簡単なケースを示しています。

```
var gm = new GlideModal('UI_dialog_name');
//Sets the dialog title
gm.setTitle('Show title');

//sets the value of the preference table
gm.setPreference('table', 'incident');

//gets the value of the preference table
var title = gm.getPreference('table');
```

GlideModal - render()

モーダルで UI ページを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gm = new GlideModal("UI_dialog_name");

//Sets the dialog title
gm.setTitle('Show title');
gm.setWidth(550);

//Opens the dialog
gm.render();
```

GlideModal - renderWithContent(オブジェクト **html)**

指定された HTML コンテンツを含むモーダルを表示します。

`renderWithContent()` メソッドは *`render()`* メソッドに代わるもので、レンダリングする UI ページを要求しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
html	オブジェクト	モーダルに表示する HTML コンテンツ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideModal - renderWithContent(文字列 **html)**

指定された HTML コンテンツを含むモーダルを表示します。

`renderWithContent()` メソッドは *`render()`* メソッドに代わるもので、レンダリングする UI ページを要求しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
html	文字列	モーダルに表示する HTML コンテンツ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideModal - setPreference(文字列名, 文字列値)

現在のフォームの指定されたフィールドを指定された値に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するフォームフィールドの名前。 このフィールドが現在のフォームに存在しない場合、要求は無視されます。
value	文字列	指定されたフォームフィールドに格納する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var gm = new GlideModal('UI_dialog_name');
//Sets the dialog title
gm.setTitle('Show title');
gm.setPreference('table', 'task');
gm.setPreference('name', 'value');

//Opens the dialog
gm.render();
```

GlideModal - setPreferenceAndReload(配列プロパティ)

プロパティを設定し、モーダルを再ロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
プロパティ	アレイ	設定する名前と値のペアのアレイ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideModal - setTitle(文字列タイトル)

モーダルのタイトルを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	表示するタイトル

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dialog = new GlideModal('UI_dialog_name');

//Sets the dialog title
dialog.setTitle('Show title');
dialog.setPreference('name', 'value');

//Opens the dialogdialog.render();
```

GlideModal - setWidth(数値の幅)

モーダルの幅をピクセル単位で設定します。

また、 GlideModal - GlideModal(文字列 id, ブール値 readOnly, 数値の幅) メソッドを使用して最初にモーダルをインスタンス化するときに、モーダルの幅を設定することもできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	番号	モーダルの幅として設定するピクセル数。 最大:900 ピクセル

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var dialog = new GlideModal('UI_dialog_name');

//Sets the dialog title
dialog.setTitle('Show title');
dialog.setPreference('name', 'value');
dialog.setWidth(550);

//Opens the dialog
dialog.render();
```

GlideModal - switchView(文字列 newView)

ビューを変更し、モーダルを再ロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
newView	文字列	使用するビュー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideNavigation - クライアント

GlideNavigation API は、ナビゲーターとメインフレームを制御および更新するメソッドを提供します。

これらのメソッドには、 `g_navigation` グローバルオブジェクトを使用してアクセスします。

GlideNavigation - open(文字列 **url**, 文字列ターゲット)

新しい URL にリダイレクトします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	ロードする URL。ブラウザーでサポートされている任意の URL を指定できます。
target	文字列	オプション。URL で指定されたコンテンツをロードするフレーム。 デフォルト：現在のフレーム

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、インスタンス内のアクティブなインシデントのリストを開き、現在のフレームにコンテンツを表示する方法を示します。

```
g_navigation.open('incident_list.do?sysparm_query=active=true');
```

GlideNavigation - openPopup(文字列 **url**, 文字列名, 文字列 **features**, ブール値 **noStack)**

指定された URL をポップアップウィンドウで開きます。

features パラメーターは DOM 仕様の一部であり、渡されます。利用可能な機能リストの詳細については、「Mozilla Developer Network (Mozilla 開発者ネットワーク)」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	開く URL。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
name	文字列	ウィンドウ名。
features	文字列	ポップアップウィンドウの機能のカンマ区切りリスト。
noStack	ブーリアン	`sysparm_stack=no` を URL に追加するかどうかを示すフラグ。このパラメーターは、フォームの戻るボタンの使用時に予期しない動作を防ぐのに役立ちます。 有効な値： • true：URL に `sysparm_stack=no` を追加します。 • false：URL に `sysparm_stack=no` を追加しません。

返される内容

タイプ	説明
ウィンドウ	新しいウィンドウのインスタンス。

この例では、ポップアップウィンドウ内で「アクティブなインシデント」と呼ばれるアクティブなインシデントのリストを開き、ウィンドウでサイズ変更可能なスクロールバーおよびステータス機能を有効にする方法を示します。

```
g_navigation.openPopup('incident_list.do?sysparm_query=active=true',
 'Active Incidents', 'resizable,scrollbars,status', true);
```

GlideNavigation - openRecord(文字列 tableName, 文字列 sys_id)

レコードにリダイレクトします。レコードがナビゲーターフレームに表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	表示するレコードが含まれるテーブルの名前。
sys_id	文字列	表示するレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、指定されたインシデントレコードをナビゲーターフレームで開く方法を示しています。

```
g_navigation.openRecord('incident', '4e49c0e81bf198101363ff37dc4bcb8a');
```

GlideNavigation - refreshNavigator()

ナビゲーターフレームのコンテンツを更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、ナビゲーターフレームのコンテンツを更新する方法を示しています。

```
g_navigation.refreshNavigator();
```

GlideNavigation - reloadWindow()

現在のフレームを再ロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、現在のフレームのコンテンツを更新する方法を示しています。

```
g_navigation.reloadWindow();
```

GlideNotification - クライアント

GlideNotification API は、ページコンテンツ上にメッセージを表示するメソッドを提供します。

`g_notification` グローバルオブジェクトを使用して、この API にアクセスします。g_notification オブジェクトを使用するには、リスト V3 を有効にする必要があります。

GlideNotification - show(文字列型, 文字列メッセージ, 数値の期間)

指定された文字列を指定されたタイプのメッセージとしてページコンテンツに表示します。期間タイマーが期限切れになると、メッセージは削除されます。

> **注:** スコープ対象のアプリケーションでこのメソッドを使用する場合は、関連する名前空間 `nowapi` を指定する必要があります。例: `nowapi.g_notification.show("info", "The record has been updated", 10000);`

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	表示するメッセージのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効な値： • error • 情報 • 警告
メッセージ	文字列	表示するメッセージ。
期間	番号	オプション。メッセージを表示する時間。 単位：ミリ秒 デフォルト:5,000

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Displays an info message at the top of the screen
g_notification.show("info", "The record has been updated", 10000);

// Displays an error message at the top of the screen in a scoped app
nowapi.g_notification.show("error", "You need to provide notes!");
```

自動翻訳

GlideRecord - クライアント

GlideRecord API は、データベース操作を実行するメソッドを提供します。この API を使用すると、クライアントスクリプトや UI ポリシースクリプトなどのクライアント側スクリプトで一部の GlideRecord 機能を使用できます。

GlideRecord にはレコードとフィールドの両方が含まれます。クライアントサイドの *GlideRecord* メソッドで実行されるクエリーは、サーバーで実行されます。そのため、クライアントのブラウザーからレコードデータを取得する要求が行われます。

クライアント側の *GlideRecord* API はスコープ対象のアプリケーションではサポートされていません。代わりに、スクリプトインクルードを作成し、 *GlideAJAX* API または REST API を使用します。さらに、この API は、スクリプトを実行しているユーザーの認証情報に基づいてアクセス制御リスト (ACL) を適用します。ACL なしでサーバー上でコードを実行するには、 *GlideAjax* API を使用します。

クライアント側 **GlideRecord** - GlideRecord(文字列 **tableName)**

指定されたテーブルの GlideRecord クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	使用されるテーブル。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント側 **GlideRecord** - addOrderBy(文字列 **column)**

並べ替える列をクエリに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
column	文字列	結果セットを並べ替える列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

クライアント側 **GlideRecord** - addQuery(文字列 **name**, オブジェクト **value)**

指定されたフィールド名が指定された値と等しい (または値のリスト内にある) レコードを返すクエリを追加します。

SQL に精通している場合、このメソッドは「where」句に似ています。このメソッドを複数回呼び出すことで、1 つのフィルターに対して 1 つ以上のクエリを作成できます。このメソッドでは、クエリは AND 化されます。目的のクエリをすべて定義したら、クライアント側 GlideRecord - query(文字列 name, 関数 responseFunction, 文字列 value) を呼び出して指定されたクエリ句 (フィルター) を実行します。

AND 以外の操作を実行するには、addQuery(文字列 name, オブジェクト operator, オブジェクト value) メソッドまたは setEncodedQuery() メソッドのいずれかを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	チェックするフィールドの名前。
value	オブジェクト	クエリする値または値のリスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

複数のクエリを示す例。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('priority', 4); // Priority is 4 - Low and,
now_GR.addQuery('state', 3); // State is On Hold
now_GR.query(response);

function response(result) {
    while(result.next()) {
       // Print all INC with priority 4 - Low AND state is On Hold
        console.log(result.getValue('number'));
    }
}
```

文字列オブジェクトを渡す方法を示す例。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('short_description', new String('USB device not
 working')); // string object
now_GR.addQuery('priority', 4); //number
now_GR.query(response);

function response(result) {
    while(result.next()) {
       // Print all INC with priority 4 - Low AND short description
 contains 'USB device not working'
        console.log(result.getValue('number'));
    }
}
```

クライアント側 **GlideRecord** - addQuery(文字列 **name**, オブジェクト **operator**, オブジェクト **value)**

フィールドが指定された条件 (field、operator、value) を満たすレコードを返すフィルターを追加します。

SQL に精通している場合、このメソッドは「where」句に似ています。このメソッドを複数回呼び出すことで、1 つのフィルターに対して 1 つ以上のクエリを作成できます。目的のクエリをすべて定義したら、クライアント側 GlideRecord - query(文字列 name, 関数 responseFunction, 文字列 value) を呼び出して指定されたクエリ句 (フィルター) を実行します。

より複雑なクエリを作成するには、setEncodedQuery() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	チェックするフィールドの名前。
operator	オブジェクト	クエリ演算子。使用可能な値は、*value* パラメーターのデータタイプによって異なります。 数値： • = • != • > • >= • < • <= 文字列 (大文字である必要があります)： • = • != • IN • NOT IN • STARTSWITH • ENDSWITH • CONTAINS

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• DOES NOT CONTAIN • INSTANCEOF 注: LIKE 演算子は使用しないでください。代わりに CONTAINS を使用してください。
値	オブジェクト	クエリ対象の値 (大文字と小文字は区別されません)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

複数のクエリをフィルターに追加する方法を示す例。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('priority', '<=', 2); // Priority is 2 or higher and,
now_GR.addQuery('short_description', 'CONTAINS', 'crash'); // Short
 description contains the word crash
now_GR.query(response);

function response(result) {
    while(result.next()) {
       // Print all INC with priority of 2 or higher AND short
 description contains "crash"
        console.log(result.getValue('number'));
    }
}
```

アレイを渡して単一のクエリで複数の条件を検証する方法を示す例。

```
var priorities = [4,2];
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.addQuery('priority', 'IN', priorities);
now_GR.query(response);

function response(result) {
  while(result.next()) {
    console.log(result.getValue('number'));
  }
}
```

クライアント側 **GlideRecord -** deleteRecord(関数 **responseFunction)**

現在のレコードを削除し、完了時に指定された応答関数を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
responseFunction	関数	コールバックの応答関数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、レコードを削除してから、応答関数 *response* を呼び出してアラートメッセージを記録します。

```
var recordGR = new GlideRecord('incident');
if (recordGR.get('99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9')) {
  recordGR.deleteRecord(response);
}

function response(result) {
  alert('Deleted record sys_id: ' + result.getValue('sys_id'));
}
```

出力：

```
Deleted record sys_id: 99ebb4156fa831005be8883e6b3ee4b9
```

クライアント側 **GlideRecord** - get(文字列 **sys_id)**

指定された sys_id を持つレコードの GlideRecord クエリを実行します。このメソッドは単一のレコードのクエリに使用されることが想定されているため、返される前に次の操作が実行されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sys_id	文字列	検索するレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	一致するレコードが 1 つ以上見つかった場合は true。レコードが見つからない場合は false。

クライアント側 **GlideRecord - getEncodedQuery()**

現在の結果セットのクエリ条件をエンコードされたクエリ文字列として取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	クエリに追加されたすべての条件を含むエンコードクエリ文字列。

クライアント側 **GlideRecord - getLimit()**

GlideRecord クエリによって返されるレコードの制限を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
数値	GlideRecord クエリによって返されるレコードの制限。

クライアント側 **GlideRecord - getTableName()**

この GlideRecord に関連付けられたテーブル名を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	テーブル名

```
var item = new GlideRecord('sc_request');
item.addQuery('sys_id', current.request);
item.query(itemResponse);

function itemResponse(item) {
   alert('The table is ' + item.getTableName());
}
```

クライアント側 **GlideRecord - hasNext()**

GlideRecord にまだレコードがあるかどうかを判断します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリセットにさらにレコードがある場合は true。

クライアント側 **GlideRecord -** insert(関数 **responseFunction)**

現在のレコードに設定されているフィールド値を使用して、新しいレコードを挿入します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
responseFunction	関数	レコードが挿入されたときに 1 回実行する関数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	挿入されたレコードの sys_id。レコードが挿入されなかった場合は null。

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.short_description = 'Learn about GlideRecord';
var recResponse = now_GR.insert(handleResponse);

function handleResponse(recResponse, answer) {
// Answer will be the sys_id of the created record or null
alert('Newly created sys_id is - ' + answer + ' exists');
}
```

クライアント側 **GlideRecord - next()**

GlideRecord の次のレコードに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	クエリセットにレコードがない場合は false。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query(recResponse);

function recResponse(rec) {
  while (rec.next()) {
    alert(rec.number + ' exists');
  }
}
```

クライアント側 **GlideRecord -** orderBy(文字列 **column)**

orderBy 列を指定します。複数の列で並べ替えるために複数回呼び出される場合があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
column	文字列	結果セットを並べ替えるために使用される列名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function UpdateProjectWBS(project) {
  var count = 0;
  var child = new GlideRecord('pm_project_task');
  child.addQuery('parent', project.sys_id);
  child.orderBy('order');
  child.orderBy('number');
  child.query(childResponse);
  g_form.addInfoMessage(count + ' Project Tasks updated');
}

function childResponse(child) {
  var len = child.getRowCount().toString().length;
  var seq = 0;
  while (child.next()) {
    count += UpdateProjectTaskWBS(child, 1, ++seq, len, '');
  }
}
```

クライアント側 **GlideRecord** - query(文字列 **name**, 関数 **responseFunction**, 文字列 **value)**

addQuery() フィルターに基づいて、テーブルに対してサーバーへのクエリを実行します。このメソッドは、GlideRecord テーブルおよびそのテーブルの参照に対してクエリを実行します。

同期クエリ呼び出しを行わないでください。応答関数なしでクエリを実行すると、呼び出しが同期されるため、表示はクエリの応答を待ってから続行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	オプション。クエリするフィールドの名前。
responseFunction	関数	クエリ結果が利用可能になったときに呼び出される関数。
value	文字列	オプション。クエリするフィールド値。リテラルの任意のペアは、クエリのペア (フィールド：値) と見なされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

応答関数を使用した基本的な例を次に示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var rec = new GlideRecord('incident');
rec.query(recResponse);

function recResponse(rec) {
  while (rec.next()) {
   alert(rec.number + ' exists');
  }
}
```

次の例は、非同期の例による、同期構文と非同期構文の違いを示しています。

```
// synchronous call syntax (no response function): DO NOT USE
        query();

        // asynchronous call syntax
        // performs query with current conditions, calls responseFunction
 when done
        query(responseFunction)

        // synchronous call syntax (no response function): DO NOT USE
        // adds "category=hardware" to current query conditions and
 performs query
        query('category', 'hardware')

        // asynchronous call syntax
        // adds "category=hardware" to current query conditions, performs
 query, and calls responseFunction when done
        query('category', 'hardware', responseFunction)

        // asynchronous call example
        // adds "user_name=abel.tuter" to current query conditions,
 performs query, and calls defined response function when done
        function onLoad() {
        var now_GR = new GlideRecord("sys_user");
        now_GR.query("user_name", "abel.tuter", function(now_GR) {
        if (now_GR.next()) {
        alert("You can access fields by name from the client API, just
 like in the server API:\n now_GR.name = " + now_GR.name);
        alert("You can also access fields using getValue():\n
 now_GR.getValue(\"email\") = " + now_GR.getValue("email"));
        if (now_GR.getDisplayValue) {
        alert("In Service Portal, Mobile, and Agent Workspace, you can
 access a field's display value:\n now_GR.getDisplayValue(\"company\") =
 " + now_GR.getDisplayValue("company"));
        } else {
        alert("On the desktop, you cannot access a field's display value,
 but can get its sys_id:\n now_GR.company = " + now_GR.company);
        }
        alert("You cannot dot-walk in the client API:\n
 now_GR.company.name = " + now_GR.company.name);
        }
        });
        }
```

クライアント側 **GlideRecord** - setEncodedQuery(文字列 **encodedQuery)**

指定されたエンコードクエリ文字列を現在のクエリ句に追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドを使用すると、他のクライアント側の *addQuery()* メソッドとは異なり、単一のクエリ呼び出しで複雑なフィルター (エンコードクエリ文字列) を指定できます。目的のクエリをすべて定義したら、クライアント側 GlideRecord - query(文字列 name, 関数 responseFunction, 文字列 value) を呼び出して指定されたクエリ句 (フィルター) を実行します。エンコードされたクエリ文字列の詳細については、「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

query() メソッドを呼び出す前にこのメソッドを複数回呼び出すと、クエリは AND 化されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
encodedQuery	文字列	現在のクエリ句に追加するエンコードクエリ文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var now_GR = new GlideRecord('incident');
now_GR.setEncodedQuery('priority=4^ORstate=3');
now_GR.query(response);

function response(result) {
    while(result.next()) {
        console.log(result.getValue('number'));
    }
}
```

クライアント側 **GlideRecord** - setLimit(数値 **maxQuery)**

GlideRecord 内のレコード数の制限を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
maxQuery	数値	取得するレコード数の制限。

返される内容

タイプ	説明
なし	

GlideURLV3 - クライアント

GlideURLV3 API は URI を操作するためのメソッドを提供します。

この API は、 *ListV2* および *ListV3* API を使用するクライアント側スクリプトでのみ使用できます。

注: この API は サービスポータル と Now Mobile と エージェントワークスペース ではサポートされていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideURLV3 - GlideURL(文字列 contextPath)

GlideURL クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
contextPath	文字列	URL の相対パス。

GlideURLV3 - addParam(文字列 name, 文字列 value)

クエリー文字列の名前と値のペアを URL に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	クエリー文字列パラメーターの名前。
value	文字列	クエリーの文字列値。

返される内容

タイプ	説明
文字列	GlideURL

```
var gu = new GlideURL('incident.do');
var url = gu.addParam('sys_id', '-1');
```

GlideURLV3 - getURL(オブジェクト additionalParams)

コンテキストパス全体とクエリー文字列のパラメーターを単一の URI として取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
additionalParams	オブジェクト	この URL 要求にのみ追加されるパラメーターを含む名前と値のペアのオブジェクト。これらの追加パラメーターは GlideURL オブジェクトに保存されません。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された追加パラメーターが末尾に追加された GlideURL。

GlideUser - クライアント

GlideUser API は、現在のユーザーと現在のユーザーロールに関する情報にアクセスするメソッドを提供します。この API を使用すると、ユーザー情報を取得するために低速な GlideRecord クエリを使用する必要がなくなります。

GlideUser のメソッドとプロパティには、クライアントスクリプトでのみ利用可能なグローバルオブジェクト (`g_user`) を介してアクセスします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API は、次のことを行います。

- 現在のユーザーに関する名前とロールの情報が入っている
- 通常はクライアントスクリプトと UI ポリシーで使用されるが、クライアントで実行される UI アクションでも使用される
- サーバーで実行されるビジネスルールまたは UI アクションでは使用できない

現在のユーザーと現在のユーザーロールに関するセッション情報は、クライアント (Web ブラウザー) に入っています。*getClientData()* を除くすべての *GlideUser* メソッドは、デフォルトで利用可能なセッション情報にアクセスします。*getClientData()* メソッドを使用するには、サーバーでセットアップし、*putClientData()* メソッドを使用してセッション情報を使用可能にする必要があります。

クライアントサイドスクリプトの使用方法については、「クライアントサイドスクリプトの概要」を参照してください。

GlideUser - firstName

現在のユーザーの名。

フィールド

名前	タイプ	説明
firstName	文字列	現在のユーザーの名。

```
alert('first name = ' + g_user.firstName);
```

GlideUser - getClientData(文字列 key)

setClientData() または *GlideSession --putClientData()* を使用して設定されたクライアントの値を返します。

セッションクライアントデータは、 *GlideSession -- putClientData()* を使用してサーバー上でセットアップできる名前付き文字列のセットです。フォームのロード時に *getClientData()* を使用して、フォームに関する決定を行う際にクライアントスクリプトで必要な情報を取得できます。たとえば、表示すべきフィールドの特定などです。

「*GlideForm*」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	取得するクライアントデータの名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	クライアントデータの値。

```
var loginLanguage = g_user.getClientData("loginlanguage");
```

GlideUser - getFullName()

現在のユーザーの名と姓を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のユーザーのフルネーム。

```
var formalName = g_user.getFullName();
```

GlideUser - hasRole(文字列 **role**, ブーリアン **includeDefaults)**

現在のユーザーが指定されたロールか admin ロールを持つ場合、true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ロール	文字列	チェック対象のロール。
includeDefault	ブーリアン	オプション。snc_internal や snc_external などのデフォルトのロールを要求に含めるかどうかを示すフラグ。ロールの詳細については、「ユーザー管理の詳細」を参照してください。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたロールか admin ロールを持つ場合に true を返し、そうでない場合は false を返します。

```
var isInternal = g_user.hasRole('snc_internal', true);
```

```
var isItil = g_user.hasRole('itil');
```

GlideUser - hasRoleExactly(文字列 **role**, ブーリアン **includeDefaults)**

現在のユーザーに指定されたロールがあるかどうかを判別します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDefault	ブーリアン	オプション。snc_internal や snc_external などのデフォルトのロールを要求に含めるかどうかを示すフラグ。ロールに関するその他の詳細については、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		明示的なロール。 デフォルト値：false
ロール	文字列	チェック対象のロール。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが指定されたロールを持つ場合は true を返します。

```
var isInternal = g_user.hasRoleExactly('snc_internal', true);
```

```
var isItil = g_user.hasRoleExactly('itil');
```

GlideUser - hasRoleFromList(文字列 **role**, ブーリアン **includeDefaults)**

現在のユーザーが指定されたロールを 1 つ以上持つか admin ロールを持つ場合、true を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
roles	文字列	チェック対象のロールのカンマ区切りリスト
includeDefault	ブーリアン	オプション。snc_internal や snc_external などのデフォルトのロールを要求に含めるかどうかを示すフラグ。ロールの詳細については、「ユーザー管理の詳細」を参照してください。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがリスト内のロールか admin ロールを持つ場合、true を返します。

```
var isOK = g_user.hasRoleFromList("itil, maint");
```

```
var isOK = g_user.hasRoleFromList("itil, maint, snc_internal", true);
```

GlideUser - hasRoles(ブーリアン **includeDefaults)**

現在のユーザーが何らかのロールを持つ場合は true を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeDefault	ブーリアン	オプション。snc_internal や snc_external などのデフォルトのロールを要求に含めるかどうかを示すフラグ。ロールの詳細については、「ユーザー管理の詳細」を参照してください。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーが 1 つ以上のロールを持つ場合は true を返します。

```
var yesRole = g_user.hasRoles();
```

```
var yesRole = g_user.hasRoles(true);
```

GlideUser - lastName

現在のユーザーの姓。

フィールド

名前	タイプ	説明
lastName	文字列	現在のユーザーの姓。

```
alert('last name = ' + g_user.lastName);
```

GlideUser - setClientData(文字列 key, 文字列 value)

getClientData() を使用して取得できるクライアント値を設定します。

「*GlideForm*」も参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	キーとして保存するクライアントデータの名前。
value	数字	キーにアサインする値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function onSubmit() {

 if (!g_user.getClientData('keyName')) {
  var now_GR = new GlideRecord('incident');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  now_GR.addActiveQuery();
  now_GR.setLimit(1);
  now_GR.query(cb);
  return false;
 }
 return true;
}

function cb(now_GR) {
 // <insert glide operation >
 g_user.setClientData('keyName', now_GR.getValue('<number>'));
 g_form.submit();
}
```

GlideUser - userName

現在のユーザーのユーザー名 (例:gsmith02)。ユーザーの名前 (George Smith など) ではありません。

フィールド

名前	タイプ	説明
userName	文字列	現在のユーザーのユーザー名。

```
var userName = g_user.userName;
   alert('Current user = ' + userName);
```

GlideUser - userID

現在のユーザーの sys_id を返します。

フィールド

名前	タイプ	説明
userID	文字列	現在のユーザーの sys_id。

```
var userID = g_user.userID;
   alert('Current user ID = ' + userID);
```

GlideUIScript - クライアント

GlideUIScripts API は、クライアント側のコード内から UI スクリプトにアクセスするためのメソッドを提供します。

このクラスにはコンストラクターはありません。クライアントスクリプトや検証スクリプトなどのクライアント側コードで `g_ui_scripts` グローバルオブジェクトを使用してメソッドにアクセスします。

この API は、ワークスペースと サービスポータル でのみサポートされています。コア UI (UI16) ではサポートされていません。

この API を使用するには、クライアントスクリプトと UI スクリプトの両方で **[UI** タイプ] フィールドを [モバイル/サービスポータル] または [すべて] に設定する必要があります。デスクトップに設定することはできません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideUIScripts - getUIScript(文字列 scriptName)

クライアントスクリプトまたはその他のクライアント側コードから UI スクリプトを呼び出します。promise を返します。

呼び出しが解決された後に、`then()` 関数を使用して非同期アクションを実行します。

> **注:** このメソッドは、Angular アプリケーション環境の外で呼び出された場合、Internet Explorer 11 ではサポートされません。IE11 を使用して Angular コンテキスト外で UI スクリプトを呼び出す場合は、`g_ui_scripts['nameOfScript'];` 構文を使用して直接スクリプトを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scriptName	文字列	実行する UI スクリプトの API 名。

返される内容

タイプ	説明
Promise	非同期呼び出しの結果。

この例では、クライアントスクリプトが UI スクリプトを呼び出して、ページのロード時にアラートを表示します。

```
// Client script
function onLoad() {
    g_ui_scripts.getUIScript('myUIScript').then(function(script) {
        script.myUIScriptMethod();
    }, function() {
        console.log('The script did not load');
    });
}
```

```
// UI script - myUIScript
(function() {
    return {
        myUIScriptMethod: function() {
            alert("This is an alert.");
        }
    };
})();
```

ガイド付きツアー - クライアント

`ガイド付きツアー` API は、ガイド付きツアーを開始および停止するためのメソッドを提供します。

この API には 、ガイド付きツアーデザイナーで使用されるメソッドが含まれています。

Guided Tours - applyListFilter(関数 filter_func)

`getAllTours()` メソッドが呼び出されたときにフィルタリングされたツアー結果を取得する関数を設定します。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter_func	関数	`getAllTours()` メソッドから返された `tours[]` アレイから単一の `tour` オブジ を取得するフィルター関数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、基本的な API を使った場合を示しています。

```
//create a filter function
var filtFunction = function(tour) {
   //only return those tours whose name starts with 'my'
   return tour.name.indexOf('my') === 0);
}

//apply the filter
top.NOW.guided_tours.api.applyListFilter (filtFunction);

//call the getAllTours method to observe the filtered tours
top.NOW.guided_tours.api.getAllTours (function(er, tours) {
  if(!er) {
    console.log('The filtered tours are: ');
    console.log(tours);
  }
});
```

次の例は、ツアーオブジェクトの `options` フィールドを使用して、ツアーを読み取ってフィルタリングするためのカスタムのツアー識別子を含む JSON を `filter_func()` 関数内に追加する方法を示しています。

```
top.NOW.guided_tours.api.applyListFilter(function(tour) {
       var options = (tour.options)? JSON.parse(tour.options): null;
       return (options && options.my_param) ? (options.my_param ==
 my_value) : false;
});
```

Guided Tours - endTour()

現在再生中のツアーを停止します。再生中のツアーがない場合、このメソッドはメッセージなしで終了します。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
Null	

```
//create a callback function to end the tour if it starts correctly
var cbFunction = function(err) {
 if (err) {
   console.log('Error Occurred');
}
 else {
    // tour has started so we can call endTour
    top.NOW.guided_tours.api.endTour();
}
}

//calling the startTour method so that we can end the tour as soon as it
 starts
top.NOW.guided_tours.api.startTour('a297e04b732313007077edcc5ef6a780', 2,
 cbFunction);
```

Guided Tours - events.off(文字列 **event_name**, 関数 **listener_function)**

既存のイベントリスナーを削除します。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
event_name	文字列	リスナーから削除するイベント名。 有効なイベント名： • tourStarted • tourEnded • tourCompleted • tourFailed • tourAbandoned • tourDismissed • stepStarted
listener_function	関数	オプション。指定した場合、指定されたリスナー関数が、そのイベントに添付され 残りのイベントリスナーから削除されます。指定しない場合、そのイベントに添付 いるすべてのリスナー関数が削除されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//create a callback function to handle the result of the api call
var eventListenerTourStarted = function() {
   console.log('The tour has started');
}
var eventListenerTourEnded = function() {
   console.log('The tour has ended');
}

//attaching event listeners for tourStarted and tourEnded Events
top.NOW.guided_tours.events.on('tourStarted',eventListenerTourStarted);
top.NOW.guided_tours.events.on('tourEnded', eventListenerTourEnded);

…
//start a tour
top.NOW.guided_tours.api.startTour ('a297e04b732313007077edcc5ef6a780',
 2, cbFunction);
//As soon as the tour starts the eventListenerTourStarted gets fired
…
top.NOW.guided_tours.api.endTour();
// eventListenerTourEnded gets fired

….

//removing the event listeners
 top.NOW.guided_tours.events.off('tourStarted',eventListenerTourStarted);
top.NOW.guided_tours.events.off('tourEnded', eventListenerTourEnded);
```

Guided Tours - events.on(文字列 **event_name**, 関数 **listener_function)**

チュートリアルイベントにイベントリスナーを添付します。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
event_name	文字列	リスナーに添付するイベント名。 有効なイベント名： • stepStarted • tourStarted • tourEnded • tourCompleted • tourFailed • tourAbandoned • tourDismissed
listener_function	関数	追加するリスナー。 注: 目的を解決した後にイベントリスナーをクリアします。
listener_function.obj	オブジェクト	各イベントによって、次の形式で `listener_function()` に渡されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		• stepStarted イベントの場合：
		`{tour: '<tour_sys_id>', step: step_num}`
		• 他のすべてのイベントの場合：
		`{tour: '<tour_sys_id>'}`
		JSON パラメーター：
		• tour_sys_id：文字列。Guided Tours [sys_embedded_tour_guide] テーブルか
		したチュートリアルの ID。
		• step_num：番号。0 (最初のステップ) と `n` (最後のステップ) の間の値

次の例は、基本的な API を使った場合を示しています。

```
//create a callback function to handle the result of the api call
var eventListenerTourStarted = function() {
   console.log('The tour has started');
}
var eventListenerTourEnded = function() {
   console.log('The tour has ended');
}

//attaching event listeners for tourStarted and tourEnded Events
top.NOW.guided_tours.events.on('tourStarted',eventListenerTourStarted);
top.NOW.guided_tours.events.on('tourEnded', eventListenerTourEnded);

…
//start a tour
top.NOW.guided_tours.api.startTour ('a297e04b732313007077edcc5ef6a780',
 2, cbFunction);
//As soon as the tour starts the eventListenerTourStarted gets fired
…
top.NOW.guided_tours.api.endTour();
// eventListenerTourEnded gets fired

….

//removing the event listeners
 top.NOW.guided_tours.events.off('tourStarted',eventListenerTourStarted);
top.NOW.guided_tours.events.off('tourEnded', eventListenerTourEnded);
```

次の例は、引数が `obj` の `listener_function` パラメーターを使用する方法を示しています。

```
top.NOW.guided_tours.events.on("tourStarted", function
 (obj){console.log(obj);});
```

Guided Tours - getAllTours(関数 cb_function)

このメソッドが呼び出された現在のページにあるツアーのリストを取得します。このメソッドは非同期であるため、操作の成功を判断してツアーのリストを取得するためのコールバック関数を渡す必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
cb_function	関数	`getAllTours()` メソッドが呼び出された現在のページのすべてのツアーをフェッ うとした後に、`getAllTours()` によって呼び出されるコールバック関数。
cb_function.err	オブジェクト	操作中にエラーが発生した場合は、次のエラーオブジェクトを表示します。 `err = {success: false, message: 'エラーオブジェクトを含む文字列' }` それ以外の場合は Null です。
cb_function.tours	アレイ	ページで利用可能なツアーのリスト。 ページにツアーが存在しない場合、`cb_function.tours` は undefined を返しま `if(!tours) console.log('No tour present')`

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//create a callback function to handle the result of the API call
var cbFunction = function(err, tours) {
 if (err) {
   console.log('Error Occurred');
}
 else {
     if(!tours) console.log('No tour present')
   else {
      tours.forEach(function(t) {
                console.log(t);
              });
          }
}
}
//calling the getTours method
top.NOW.guided_tours.api.getAllTours(cbFunction);
```

Guided Tours - loadPlayer()

チュートリアルプレーヤーがデフォルトで存在しないページにチュートリアルプレーヤーをロードします。

完全な署名：

```
NOW.guided_tours.api.loadPlayer()
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

Guided Tours - startTour(文字列 tour_id, 番号 step_number, 関数 cb_function)

ツアーを開始します。このメソッドは非同期であるため、操作の成功を判断するためのコールバック関数を渡す必要があります。

完全な署名には、メソッド名の前に `top.NOW.guided_tours.api` が含まれています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tour_id	文字列	Guided Tours [sys_embedded_tour_guide] テーブルから取得したツアーのSys
step_number	番号	オプション。ツアーを開始するステップ。指定しない場合 (またはステップ番号が合)、ツアーは最初から開始されます。
cb_function	関数	オプション。ツアーを開始しようとした後に `startTour()` メソッドによって呼るコールバック関数。
cb_function.err	オブジェクト	操作中にエラーが発生した場合は、次のエラーオブジェクトを表示します。 `err = {success: false, message: 'エラーオブジェクトを含む文字列' }` それ以外の場合は Null です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//create a callback function to handle the result of the API call
var cbFunction = function(err) {
 if (err) {
   console.log('Error Occurred');
}
 else {
   console.log('The tour with tourid=%s was successfully launched',
 tourId);
}
}

//calling the startTour method
top.NOW.guided_tours.api.startTour('a297e04b732313007077edcc5ef6a780', 2,
 cbFunction);
```

i18N - クライアント

i18N API は、翻訳されたメッセージを取得してフォーマットするためのメソッドを提供します。

i18N メソッドには、`g_i18n` グローバルオブジェクトを使用してアクセスします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i18N - format(文字列 **message**, オブジェクトマップ)

特定のトークンを含む文字列を、マップの値でフォーマットします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	トークンを追加するメッセージ。
map	オブジェクト	メッセージ内で置換する名前と値のペアのマップ。

返される内容

タイプ	説明
文字列	書式設定された文字列

```
// Returns: "The rich young ruler was very very rich"
nowapi.g_i18n.format("The {p1} {p2} {p3} was very very {p1}",{p1: "rich",
 p2: "young", p3: "ruler"});
```

i18N - getMessage(文字列 **msgKey**, 関数コールバック)

翻訳されたメッセージを取得します。

指定された文字列が現在の言語のデータベースに存在する場合、翻訳されたメッセージが返されます。指定された文字列が現在の言語に存在しない場合、英語版の文字列が返されます。文字列がデータベースに存在しない場合は、ID 自体が返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msgKey	文字列	取得するメッセージ。
コールバック	関数	メッセージが取得されたときに呼び出される関数。コールバック関数には、翻訳されたメッセージを表す文字列の引数が 1 つ含まれます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

i18N - getMessages(配列 **msgKeys**, 関数 **callback)**

一連のメッセージを取得します。

指定された文字列が現在の言語のデータベースに存在する場合、翻訳されたメッセージが返されます。指定された文字列が現在の言語に存在しない場合、英語版の文字列が返されます。文字列がデータベースに存在しない場合は、ID 自体が返されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
msgKey	アレイ	取得するメッセージを指定するキーのアレイ。
callback	関数	メッセージが取得されたときに呼び出される関数。コールバック関数には引数が 1 つ含まれます。これはキーと値のペアを含むオブジェクトで、キーは要求されたメッセージキー、値は翻訳された文字列です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

openFrameAPI - クライアント

`openFrameAPI` は、OpenFrame とやり取りするメソッドを提供します。OpenFrame は、コミュニケーションパートナーがシステムを ServiceNow プラットフォームに統合するために使用できる、非常に一般的なフレームです。

コア要件の 1 つが、パートナーサブシステムとシームレスに接続できるさまざまなドメインから取得したコードをつないで提供する機能です。このクロスドメイン接続は、クロスドメインの問題を発生させることなく接続とコールバックを通信システムに登録するために必要です。

OpenFrame には 2 つの重要な部分があります。その 1 つが ServiceNow アプリケーション内にあるもの (TopFrame という) で、この API はパートナーアプリケーションから供給されます。この API には、TopFrame と通信して OpenFrame のビジュアル機能をコントロールするために必要なメソッドがあります。

注: OpenFrame ライブラリへの参照を最新に保つには、`https://[servicenow instance]/scripts/openframe/latest/openFrameAPI.min.js` のリソース URI を使用します。

openFrameAPI - getAWAAgentPresence(文字列 success, 文字列 failure)

ログインしているエージェントの現在の在席状況を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
正常終了	文字列	メソッドが成功した場合、呼び出すコールバック関数の名前。
失敗	文字列	メソッドが失敗した場合に呼び出すコールバック関数の名前。

返される内容

タイプ	説明
presence	OpenFrame インフラストラクチャによって成功コールバック関数に渡される結果。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	データタイプ: オブジェクト `"presence": { "available": Boolean, "channels": [Array], "name": "String", "sys_id": "String" }`
presence.available	関連付けられたエージェントが利用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エージェントは利用可能です。 • false:エージェントは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
presence.channels	エージェントとの利用可能なコミュニケーションチャネルのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"channels": [ { "available": Boolean, "name": "String", "restrict_update": Boolean, "service_channel_type": "String", "sys_id": "String" } ]`
presence.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 データタイプ:ブーリアン
presence.channels.name	チャットや電話などのチャネルの名前。 データタイプ：文字列
presence.channels.restrict_update	ユーザーがチャネルの更新を制限できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ユーザーはチャネルの更新を制限できます。 • false:ユーザーはチャネルの更新を制限できません。 データタイプ:ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
presence.channels.service_channel_type	サービスチャネルのタイプ。 データタイプ：文字列
presence.channels.sys_id	チャネルレコードのSys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
presence.name	エージェントの在席状況の名前。 データタイプ：文字列
presents.sys_id	在席状況レコードのSys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function failure(data)
{
  console.log("failure: " + JSON.stringify(data));
}

function success(data)
{
  console.log("success: " + JSON.stringify(data));
}

openFrameAPI.getAWAAgentPresence(success, failure)
```

成功コールバック関数への応答:

```
success: {
  "presence": {
    "name": "Available",
    "sys_id": "0b10223c57a313005baaaa65ef94f970",
    "available": true,
    "channels": [
      {
        "name": "Chat",
        "available": true,
        "sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3",
        "restrict_update": false,
        "service_channel_type": "chat"
      }
    ]
  }
}
```

openFrameAPI - hide()

TopFrame で OpenFrame を非表示にします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.hide()
```

openFrameAPI - init(オブジェクト **config**, 関数 **successCallback**, 関数 **failureCallback)**

OpenFrame を初期化します。これは、呼び出す最初のメソッドである必要があります。

このメソッドは、TopFrame への通信を初期化し、 *config* パラメーターで渡されたすべてのビジュアル要素を初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
config	オブジェクト	初期化プロセス中に使用する名前と値のペア。 可能なキー: • 高さ • subTitle • タイトル • タイトルアイコン • 幅 すべてのキーはオプションです。これらのキーと値のペアを設定しない場合は、空のオブジェクトを渡します。
successCallback	関数	*init* メソッドが成功した場合に使用するコールバック関数の名前。システムに保存されている OpenFrame 構成 は、パラメーターとしてコールバック関数に渡されます。
failureCallback	関数	*init* メソッドが失敗した場合に使用するコールバック関数の名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var config = {
height: 300,
width: 200
}
function handleCommunicationEvent(context) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
console.log("Communication from Topframe", context);
}
function initSuccess(snConfig) {
console.log("openframe configuration", snConfig);
//register for communication event from TopFrame
openFrameAPI.subscribe(openFrameAPI.EVENTS.COMMUNICATION_EVENT,
handleCommunicationEvent);
}
function initFailure(error) {
console.log("OpenFrame init failed...", error);
}
openFrameAPI.init(config, initSuccess, initFailure);
```

openFrameAPI - isVisible(関数 **callback)**

OpenFrame が TopFrame に表示されるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callback	関数	true または false の値を持つパラメーターがコールバック関数に返されます。OpenFrame が表示される場合は true、表示されない場合は false です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function callback(isVisible) {
console.log(isVisible)
}
openFrameAPI.isVisible(callback)
```

openFrameAPI - openCustomURL(文字列 **details)**

UI16 インターフェイスでカスタム URL を開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
Url	文字列	カスタム URL のテキスト。 最大サイズ:2083 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.openCustomURL('10_cool_things.do');
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

openFrameAPI - openServiceNowForm(オブジェクト **details**)

フォームの URL を開きます。

エージェントが着信コールを受信すると、OpenFrame ウィンドウにアカウント、連絡先、コンシューマーなどの情報が表示されます。OpenFrame ウィンドウのリンクをクリックすると、対応するレコードが表示されます。

- プラットフォームインターフェイスの場合、この API では TopFrame にフォーム URL が開きます。
- エージェントワークスペース の場合、この API はインタラクションタブの管理をサポートします。エージェントワークスペース では、インタラクションレコードが親タブに開き、指定されたエンティティレコードがインタラクションタブの下の子タブで開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
details	オブジェクト	開くフォームの URL を特定するキーと値のペア。 `"details": { "entity": "String"; "interaction_sys_id": "String"; "query": "String" }`
details.entity	文字列	テーブルまたはエンティティの名前。
details.interaction_sys_id	文字列	オプション。エージェントワークスペース で親タブとして開くインタラクションレコードの sys_id。 注: プラットフォームインターフェイスでは、*interaction_sys_id* は無視されます。
details.query	文字列	開くレコードを特定するクエリー。 例：`query:'sys_id=<record_sys_id>'`

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、プラットフォームでの基本的な使い方を示しています。

```
openFrameAPI.openServiceNowForm({entity:'customer_account',
query:'sys_id=447832786f0331003b3c498f5d3ee452',
 'interaction_sys_id':'3be092313b711300758ce9b534efc4dd'});
```

次の例は、*query* パラメーターを使用して、フォームで提供されたデータを使って sysparm_query とエンコードされたクエリーで新しいレコードを作成し、Workspace の姓と名のフィールドに入力する方法を示しています。

```
openFrameAPI.openServiceNowForm({ entity: 'sys_user',
query: 'sys_id=-1&sysparm_query=first_name=Ivan^last_name=Greggor' });
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

openFrameAPI:openServiceNowFormwithChildTablf()

ワークスペースで呼び出された場合は子タブを含む ServiceNow フォームを開き、UI16 インターフェイスで呼び出された場合はエンティティを開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
OpenServiceNowFormwithChildTab	オブジェクト	ワークスペースで呼び出された場合に API が子タブを含む ServiceNow フォームを開くか、UI16 インターフェイスで呼び出された場合にエンティティを開くかを定義します。 `openFrameAPI.openServiceNowFormwithChildTablf({ entity: "String", sys_id: "String", parent_entity: "String", parent_entity_sys_id: "String",`
openServiceNowFormwithChildTab.entity	文字列	テーブルの名前です。
openServiceNowFormwithChildTab.sys_id	文字列	開くレコードの sys_id。
openServiceNowFormwithChildTab.parent_entity	文字列	親タブとして開くテーブルの名前。
openServiceNowFormwithChildTab.parent_entity_sys_id	文字列	開く親レコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、構成されたワークスペースで親エンティティを親タブとして開くか、UI16 で呼び出された場合はエンティティのみを開きます。

```
openFrameAPI.openServiceNowFormwithChildTablf({
 entity: "customer_account",
 sys_id: "447832786f0331003b3c498f5d3ee452",
 parent_entity: "interaction",
 parent_entity_sys_id: "3be092313b711300758ce9b534efc4dd"
});
```

openFrameAPI - openServiceNowList(オブジェクト details)

UI16 インターフェイスでリスト URL を開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
details	オブジェクト	リスト URL を開くときに使用するコンテンツを説明するキーと値のペア。 有効な値： • entity:テーブル名 • query: エンコードされたクエリ文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.openServiceNowList({entity:'case', query:'active=true'});
```

openFrameAPI - setFrameMode(mode)

OpenFrame のモードを設定します。

この API で渡されるモードには次のような機能があります。

- ヘッダーに適切なアイコン (折りたたみまたは展開) を設定する
- CTI に対して以下の関連イベントを発生させる
  - openFrameAPI.EVENTS.COLLAPSE
  - openFrameAPI.EVENTS.EXPAND

パラメーター

名前	タイプ	説明
モード	文字列	OpenFrame のモードを設定します。オプションは以下のとおりです。 **1.** openFrameAPI.FRAME_MODE.COLLAPSE **2.** openFrameAPI.FRAME_MODE.EXPAND

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setFrameMode(openFrameAPI.FRAME_MODE.COLLAPSE);
```

openFrameAPI - setHeight(height)

OpenFrame の高さを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
Height	数字	高さ (ピクセル)

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setHeight(100);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

openFrameAPI - setIcons(アレイ icons)

閉じるアイコンの横に配置される OpenFrame ヘッダーのアイコンを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
アイコン	オブジェクトのアレイ	アイコン構成のリスト。各アイコン構成は、キー値 *imageURL*、*imageTitle*、およびその他の必要なコンテキストを持つオブジェクトです。 最大サイズ:アイコンのサイズは最大 16 x 16 ピクセルです。大きな画像は、この最大値に自動的に調整されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setIcons([{imageURL:'https://mydomian.com/image/mute.png',
imageTitle:'mute', id:101},
 {imageURL:'https://mydomian.com/image/hold.png',
imageTitle:'hold', id:102}]);
```

openFrameAPI - setPresenceIndicator(presence)

エージェントの空き状況を表示するプレゼンスインジケーターを Workspace に設定します。

OpenFrame の構成の詳細については、「OpenFrame 構成の作成」を参照してください

パラメーター

名前	タイプ	説明
state	文字列	エージェントの在席ステータス。 デフォルトのステータス： • 連絡可能 • 離席中 • オフライン カスタムのステータスも指定できます。
色	文字列	Workspace のプレゼンスインジケーターの色。 サポートされている色： • 赤 • オレンジ • グレイ • 緑

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openframeAPI.setPresenceIndicator('Available', 'green');
```

openFrameAPI - setSize(数字 **width**, 数字 **height)**

OpenFrame のサイズを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
width	数字	ゼロより大きくする必要があります。
height	数字	ゼロより大きくする必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setSize(300, 370);
```

openFrameAPI - setSubtitle(文字列 **subTitle)**

OpenFrame のサブタイトルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
subTitle	文字列	256 文字以下の文字列。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setSubtitle('+18888888888');
```

openFrameAPI - setTitle(文字列 **title)**

OpenFrame のタイトルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	256 文字以下の文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setTitle('Incoming Call');
```

openFrameAPI - setTitleIcon(オブジェクト icon)

OpenFrame のタイトルアイコンを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
icon	オブジェクト	キーと値のペアのオブジェクト。キーには、 *imageURL*、 *imageTitle*、および必要なその他のコンテキストが含まれます。 最大サイズ:アイコンのサイズは最大 16 x 16 ピクセルです。大きな画像は、この最大値に自動的に調整されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setTitleIcon({imageURL:'/my/image/path.png',
 imageTitle:'mute', id:101});
```

```
openFrameAPI.setTitleIcon({imageURL:'https://
mydomian.com/image/path.png',
imageTitle:'mute', id:101});
```

openFrameAPI - setwidth(width)

OpenFrame の幅を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
Width	数字	幅 (ピクセル)

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.setWidth(100);
```

openFrameAPI - show()

TopFrame で OpenFrame を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
openFrameAPI.show()
```

openFrameAPI - subscribe(openFrameAPIEVENT event, 関数 eventCallback)

指定されたイベントに登録します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベント	openFrameAPIEVENT	登録するイベント: • openframe_agent_off_interaction：チャット中のエージェントの在席状況をオフまたは対応可能として示します。 • openframe_awa_agent_presence: 高度な作業アサイン (AWA) では、エージェントの在席状況が変更されると、このイベントが発生します。コンピューター電話統合 (CTI) の開発者は、このイベントに登録して、在席状況の変更を受け取ることができます。 • openframe_awa_workitem_accepted：作業アイテムがエージェントによって承認されると発生します。 • openframe_awa_workitem_offered：作業アイテムがエージェントにオファーされると発生します。 • openframe_awa_workitem_rejected：作業アイテムがエージェントによって拒否されると発生します。 • openframe_before_destroy：TopFrame がアンロードされる前に発生します。 • openframe_collapse:OpenFrame ヘッダーで折りたたみアイコンが選択されている場合に発生します。 • openframe_communication：アプリケーション固有であり、カスタマイズ可能です。 • openframe_communication_failure：TopFrame への通信に失敗すると発生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• openframe_expand:OpenFrame ヘッダーで展開アイコンが選択されたときに発生します。 • openframe_header_icon_clicked：廃止されました。代わりに openframe_icon_clicked または openframe_title_icon_clicked を使用してください。 • openframe_hidden：OpenFrame が非表示の場合に発生します。 • openframe_icon_clicked:OpenFrame フッターで閉じるアイコン以外のアイコンが選択されたときに発生します。コールバックは、アイコンオブジェクトをパラメーターとして受け取ります。 • openframe_shown：OpenFrame が表示されている場合に発生します。 • openframe_title_icon_clicked:OpenFrame でタイトルアイコンが選択されたときに発生します。コールバックは titleIcon オブジェクトをパラメーターとして受け取ります。
eventCallback	関数	指定されたイベントが発生したときに呼び出す関数。

返される内容

タイプ	説明
結果	ほとんどのイベント サブスクリプションには戻り値がありません。値を返すイベント サブスクリプションについては、次の表のエントリで説明されています。
openframe_awa_agent_presence	AWA、*openframe_awa_agent_presence* イベントはプレゼンス オブジェクトを返します。 `"presence":{ "available": Boolean, "channels":[ { "available": Boolean, "name": "String", "restrict_update": Boolean, "sys_id": "String" } ], "name": "String", "sys_id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	presence：エージェントの現在の在席状況とチャネルに関する情報。 • *presence.available*：エージェントが利用可能かどうかを示すフラグ。 • *presence.channels*：エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。 ◦ *presence.channels.available*：チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 ◦ *presence.channels.name*：チャネル名 (チャットや電話など)。 ◦ *presence.channels.restrict_update*：ユーザーが更新を制限できるかどうかを示すフラグ。 ◦ *presence.channels.sys_id*：チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 • *presence.name*：エージェントの在席状況の名前。 • *presence.sys_id*：在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。
openframe_awa_workitem_acceptedとopenframe_awa_workitem_offered	AWA、*openframe_awa_workitem_accepted*イベントと *openframe_awa_workitem_offered*イベントは `workItem` オブジェクトを返します。 `"workItem": { "document": { "sys_id": "String", "table": "String" }, "isQueueTransferred": Boolean, "previousWorkItem": "String", "serviceChannel": { "name": "String", "sys_id": "String" }, "size": Number, "sys_id": "String" }` *workItem*:イベントに関連付けられている作業アイテムに関する情報。 • *workItem.document*:作業アイテムタスクに関連付けられたドキュメントのリスト。 ◦ *workItem.document.sys_id*:作業アイテムタスクにアサインされたドキュメントのSys_id。 ◦ *workItem.document.table*:タスクに割り当てられたドキュメントテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• *workItem.isQueueTransferred*:作業アイテムがキュー転送されているかどうかを示します。作業アイテムがキュー転送される場合は true に設定され、そうでない場合は false に設定されます。キュー転送の詳細については、「チャットを別のキューに転送する」を参照してください。 • *workItem.previousWorkItem*:同じドキュメント ID の以前の作業アイテムのSys_id。非転送作業アイテムの場合、この値は空です。 • *workItem.serviceChannel*:作業アイテムタスクに関連付けられたサービスチャネルのリスト。 ◦ *workItem.serviceChannel.name*:チャットや電話などのサービスチャネルの名前。 ◦ *workItem.serviceChannel.sys_id*:サービスチャネルのSys_id。 • *workItem.size*:この作業アイテムがエージェントにアサインされたときに使用されるエージェントのキャパシティ。 • *workItem.sys_id*:承認または提供された作業アイテムのSys_id。
openframe_awa_workitem_rejected	AWA、*openframe_awa_workitem_rejected* イベントは `workItem` オブジェクトを返します。 `"workItem": { "document": { "sys_id": "String", "table": "String" }, "isQueueTransferred": Boolean, "previousWorkItem": "String", "rejection": { "reason": "String", "sys_id": "String" }, "serviceChannel": { "name": "String", "sys_id": "String" }, "size": Number, "sys_id": "String" }` *workItem*:イベントに関連付けられている作業アイテムに関する情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• *workItem.document*:作業アイテムタスクに関連付けられたドキュメントのリスト。 ◦ *workItem.document.sys_id*:作業アイテムタスクにアサインされたドキュメントのSys_id。 ◦ *workItem.document.table*:タスクに割り当てられたドキュメントテーブルの名前。 • *workItem.isQueueTransferred*:作業アイテムがキュー転送されているかどうかを示します。作業アイテムがキュー転送される場合は true に設定され、そうでない場合は false に設定されます。キュー転送の詳細については、「チャットを別のキューに転送する」を参照してください。 • *workItem.previousWorkItem*:同じドキュメント ID の以前の作業アイテムのSys_id。非転送作業アイテムの場合、この値は空です。 • *workItem.rejection*:作業アイテムが却下された理由のリスト。 ◦ *workItem.rejection.reason*:作業アイテムを却下する理由の名前。 ◦ *workItem.rejection.sys_id*:却下理由のSys_id。却下理由 [awa_reject_reason] テーブルにあります。 • *workItem.serviceChannel*:作業アイテムタスクに関連付けられたサービスチャネルのリスト。 ◦ *workItem.serviceChannel.name*:チャットや電話などのサービスチャネルの名前。 ◦ *workItem.serviceChannel.sys_id*:サービスチャネルのSys_id。 • *workItem.size*:この作業アイテムがエージェントにアサインされたときに使用されるエージェントのキャパシティ。 • *workItem.sys_id*:承認または提供された作業アイテムのSys_id。

次のコード例は、`openframe_awa_agent_presence` イベントに対してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function handleIconClick(context) {
console.log("Icon was clicked", context);
}
openFrameAPI.subscribe(openFrameAPI.events.openframe_awa_agent_presence,
 handleIconClick);
```

出力:

```
// Sample presence object output
// openframe_awa_agent_presence event only
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result":{
    "presence":{
      "name":"Available",
      "sys_id":"27f675e3739713004a905ee515f6a7c3",
      "available":true,
      "channels":[
        {
          "name":"Chat",
          "available":true,
          "sys_id":"36f675e4239713124a905fe515f6a832",
          "restrict_update":false
        },
        {
          "name":"Phone",
          "available":true,
          "sys_id":"9378a530a1820610f809018efd9bc01e",
          "restrict_update":false
        }
      ]
    }
  }
}
```

次のコード例は、`openframe_awa_workitem_accepted` イベントに対してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function handleIconClick(context) {
console.log("Icon was clicked", context);
}
openFrameAPI.subscribe(openFrameAPI.events.openframe_awa_workitem_accept
ed, handleIconClick);
```

出力:

```
// Sample workItem object output
// openframe_awa_workitem_accepted event only
{
  "result": {
    "workItem": {
      "sys_id": "14c86c40a1650610f87701807d9bc0be",
      "size": 1,
      "serviceChannel": {
        "name": "Chat",
        "sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3"
      },
      "document": {
        "sys_id": "aa582040a1650610f87701807d9bc076",
        "table": "interaction"
      },
      "previousWorkItem": "7c78a440a1650610f87701807d9bc02b",
      "isQueueTransferred": true
    }
  }
}
```

次のコード例は、`openframe_awa_workitem_rejected` イベントに対してこのメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function handleIconClick(context) {
console.log("Icon was clicked", context);
}
openFrameAPI.subscribe(openFrameAPI.events.openframe_awa_workitem_reject
ed, handleIconClick);
```

出力:

```
// Sample workItem object output
// openframe_awa_workitem_rejected event only
{
  "payload": {
    "workItem": {
      "sys_id": "2c3bdc4824250610f8775e73b116f8de",
      "size": "1",
      "serviceChannel": {
        "name": "Chat",
        "sysID": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3"
      },
      "document": {
        "sys_id": "cf0a180824250610f8775e73b116f80c",
        "table": "interaction"
      },
      "rejection": {
        "reason": "Busy",
        "sys_id": "4e93fa29b38023002e7b6e5f26a8dc20"
      },
      "previousWorkItem": "831b9c4824250610f8775e73b116f841",
      "isQueueTransferred": true
    }
  }
}
```

自動翻訳

openFrameAPI - version()

OpenFrame API のバージョンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	OpenFrame API のバージョン

```
var version = openFrameAPI.version();

console.log("API version " + version);
```

NotifyClient - クライアント

NotifyClient API には、Web ブラウザからのコールの発信や受信など、通知テレフォニー機能を使用できるようにするメソッドが用意されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

いくつかの *NotifyClient* メソッドは、コールバック関数をパラメーターとして受け取ります。*NotifyClient* メソッドの呼び出しは非同期的に行われるため、これらのメソッドは値を直接返すことができません。コールバック関数を使用し、変数の割り当てや他の API 呼び出しなどを行うことで、返されたデータを解析します。

NotifyClient - Client(オブジェクト **notifyConfig**, ブーリアン **initializeVendorClientLazily)**

新しい Notify WebRTC クライアントオブジェクトをインスタンス化します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
initializeVendorClientLazily	ブーリアン	*setCallerId()* メソッドで渡された autoSelectVendorCallback 関数を使用して、発信者の関連ベンダーを自動的に設定するかどうかを示すフラグ (*notifyConfig.vendor* をコンストラクターで定義する必要なし)。 • false：デフォルト。autoSelectVendorCallback 関数を使用して発信者のベンダーを設定しない。ベンダーをコンストラクターで設定する必要あり。 • true：発信者 ID が設定されている場合は、autoSelectVendorCallback 関数を使用してベンダーを定義します。
notifyConfig	オブジェクト	Notify WebRTC クライアントの構成設定を含む JSON オブジェクト。
notifyConfig.autoLoadScriptResource	ブーリアン	ベンダークライアントが必要とするコア JS ライブラリーのロード方法を示すフラグ。 • false：デフォルト。ベンダー固有のコードを使用して、必要なベンダー JS ライブラリーをロードします (下位互換性を有効にします)。 • true：notifyClient.js を使用してコア JS ライブラリーをロードします。
notifyConfig.callerId	数字	使用する登録済みの Notify の番号。この値を直接設定しないでください。この値を設定するには、メソッド *notifyClient.setCallerID()* を使用します。
notifyConfig.forceRefreshToken	ブーリアン	期限切れのクライアントトークンを自動更新するかどうかを示すフラグ。 • false：クライアントトークンが期限切れになったときに自動的に更新しない。 • true：デフォルト。クライアントトークンが期限切れになったときに自動的に更新する。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
notifyConfig.skipParentId	ブーリアン	着信コールの onIncoming 発信者をすぐに呼び出すかどうかを示すフラグ。 • false：デフォルト。onIncoming イベントハンドラーをすぐに呼び出さない。 • true: onIncoming イベントハンドラーをすぐに呼び出す。別のコールが進行中で、そのコールを発生させたのが `<Dial><Client>` TwiML であった場合、このフラグを設定するとシステムはバックエンドを自動ポーリングします。この自動ポーリングによって親の notify_call 参照が取得されます。
notifyConfig.vendor	定数	発信者が属するベンダー。 • SNC.Notify.Vendor.TWILIO_DIRECT • SNC.Notify.Vendor.TWILIO (廃止済みの古い Twilio ドライバー)

次の例では、NotifyClient コンストラクターを作成し、さまざまなイベントリスナーを登録して、クライアントドライバーを初期化する方法を示します。

```
jQuery(function () {

 var notifyConfig = {
   autoLoadScriptResources: true // This will take care of auto loading
the JS resources needed by the client (if any)
 };
 var client = new SNC.Notify.Client(notifyConfig, true); // The second
argument ensures that the proper vendor for the given number is auto
determined
 client.setCallerId('valid_notify_long_number', function () {
   // This is called after the vendor has been determined.

   if (!notifyConfig.vendor) // Means this number has no compatible
vendor
     return;

   client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.ONLINE, function () {
     // Ability to call is available
   });
   client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.OFFLINE, function () {
     // Ability to call is _not_ available right now
   });
   client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.ERROR, function (msg,
code) {
     // Some error happened
   });
     //... register other event handlers here
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      //Show UI elements which can be used to invoke client.call() and
 other APIs
    client.init(); // This is important to call this.
    });
});
```

NotifyClient - addEventListener(文字列 event, 関数 fn)

Notify クライアントで変更をリスンするイベントハンドラーを登録します。

このメソッドを使用すると、複数のリスナーを登録できます。各リスナーは個別のメソッド呼び出しである必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
イベント	文字列	リスンするイベントの名前。 文字列を渡す代わりに、`SNC.Notify.STD_EVENTS` で定義されている定数を使用します。 • CALL_START：コールが開始され、進行中です。 • CALL_CANCEL：発信者がコールをキャンセルしました。 • CALL_INIT：WebRTC がコールに接続されています (着信または発信)。 • CALL_DISCONNECT：現在のコールが切断されました。 • ERROR：エラーが発生しました。パラメーター：message(文字列)、errCode(文字列) ◦ `message`：表示するエラーメッセージ。 ◦ `errCode`：オプションです。関連するエラーコード。 • INCOMING_CALL：コールが着信しています。パラメーター：from(文字列)、to(文字列)、callId(文字列)、parentId(文字列)、sysId(文字列)、isFromClient(ブーリアン) ◦ `from`：発信者の電話番号。 ◦ `to`：着信した電話番号。 ◦ `callId`：コールの SID。 ◦ `parentId`：親 notify_call の参照。skipParentId が true に設定されている場合、このパラメーターは渡されません。 ◦ `sysId`：WebRTC 間の呼び出しのみ。発信者の一意の識別子 (sys_id)。 ◦ `isFromClient`：WebRTC 間の呼び出しのみ。コールが別の WebRTC クライアントからのものかどうかを示すフラグ。 • CALL_MUTE：クライアントはミュートされています。 • CALL_UNMUTE：クライアントはミュート解除されています。 • OFFLINE：WebRTC セッションがアクティブではありません。 • ONLINE：WebRTC セッションの準備ができています。init() メソッドを呼び出した後に設定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
関数	リスナーを登録解除するために使用する関数。

この例では、複数のリスナーを登録する方法を示します。

```
jQuery(function () {

  var notifyConfig = {
    autoLoadScriptResources: true // This will take care of auto loading
 the JS resources needed by the client (if any)
  };
  var client = new SNC.Notify.Client(notifyConfig, true); // The second
 argument ensures that the proper client for the given number is auto
 determined
  client.setCallerId('valid_notify_long_number', function () {
    // This is called after the client has been determined.

    if (!notifyConfig.vendor) // Means this number has no compatible
 client
      return;

    client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.ONLINE, function () {
      // Ability to call is available
    });
    client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.OFFLINE, function () {
      // Ability to call is _not_ available right now
    });
    client.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.ERROR, function (msg,
 code) {
      // Some error happened
    });
      //... register other event handlers here

    client.init(); // This is important to call this.
    });
});
```

この例では、リスナーを登録解除する方法を示します。

```
var dereg = notifyClient.addEventListener(SNC.Notify.STD_EVENTS.ONLINE,
 function () {
 ...
 });
 dereg();
  // The event listener function is no longer triggered.
```

NotifyClient - call(オブジェクト **identifier)**

指定された電話番号、または指定されたユーザーに関連付けられた電話番号に電話をかけます。

注: コールや接続のステータスを確認するときは必ず、`SNC.Notify.Status` によって提供される定数と比較してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
identifier	オブジェクト	発信先の電話番号と WebRTC ユーザーの sys_id のいずれかを含む JSON オブジェクト。ユーザーの sys_id を渡すと、ブラウザー間通信を介してコールが行われます。 ユーザーの sys_id は、Notify WebRTC セッションテーブルから取得できます。 **注:** 電話番号とユーザーの sys_id の両方を指定すると、メソッドでは電話番号のみが使用されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、関数のパラメーターとして電話番号を渡す方法を示します。

```
notifyClient.call({
    phoneNumber: "+18001112223"
});
```

この例では、関数のパラメーターとしてユーザーレコードの sys_id を渡す方法を示します。

```
notifyClient.call({
    userId: "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
});
```

この例では、ボタンクリックのハンドラーを示します。

```
$j("#pickupCallBtn").on("click", function() {
 notifyClient.hangupCall();
});
```

この例では、イベントハンドラーを示します。

```
onConnect: function(status) {
  // webRTC receives a call connection event (incoming or outgoing).
  if (status == SNC.Notify.Status.OPEN) {
    setStatus(getTimeStamp() + " -- Successfully established call");
    showHangupButton();
  }
},
```

NotifyClient - destroy()

現在の Notify クライアントを強制終了して使用不可にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

NotifyClient - forwardCall(オブジェクト **argument)**

進行中の着信または発信電話を別の電話番号または別の WebRTC クライアントに転送します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
argument	オブジェクト	コールを電話番号または WebRTC クライアント (ユーザーの sys_id) に転送するために必要な情報を含む JSON オブジェクト。この sys_id は、Notify WebRTC セッションテーブルから取得できます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを別の電話番号に転送する方法を示します。dtmf 属性を使用すると、DTMF ダイヤルトーンを受信番号に送信できます。

```
var arg = {
    type: "number",
    id: "+17012345678",
    dtmf: "1234"
}
client.forwardCall(arg);
```

この例では、コールを別の Notify クライアントに転送する方法を示します。

```
var arg = {
    type: "userId",
    id: "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
}
client.forwardCall(arg);
```

NotifyClient - getAvailableClients(関数 **callback)**

コールを受けられるクライアントのリストを返します。

このメソッドは、現在のクライアントをリストから除外します。同等の Notify-getAvailableClients() メソッドではユーザーをフィルタリングしません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callback	関数	クライアントのリストの解析に使用する関数。この関数は、次の形式の JSON オブジェクトのアレイであるパラメーターを 1 つだけ受け入れます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		`[{ sys_id: "...", // user's sys_id name: "..." // user's name }]`

返される内容

タイプ	説明
なし	

NotifyClient - getParentId(文字列 callId, 関数 callback)

指定されたコール識別子の親コール識別子を返します (存在する場合)。

電話通信プロバイダーによっては、親コール識別子が返されるまでに遅延が発生する場合があります。そのため、コールバック関数を提供する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
callId	文字列	親コール識別子を返す対象となるコールの一意の識別子。
callback	関数	数回試行しても識別子を取得できなかった場合に、親コール識別子またはエラーメッセージのいずれかを含む JSON オブジェクトを取得する関数。

返される内容

タイプ	説明
文字列	親コール識別子。

この例では、このメソッドを使用して親コール識別子を取得する方法を示します。

```
notifyClient.getParentId( callId, function(jsonObj) {} );
```

この例は、jsonObj パラメーターの内容を示します。

```
{
 parentId: "xyz",
 error: "msg"
}
```

NotifyClient - getStatus()

現在のコールの正規化されたステータスを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	コールの現在のステータス。電話通信プロバイダーの API によって返された値は、返されたドライバー値を SNC.Notify.Status で定義されている同等の値に置き換えることで正規化されます。

この例では、現在の Notify クライアントのステータスを取得する方法を示します。

```
clientStatus = notifyClient.getStatus();
```

NotifyClient - hangupCall()

現在のコールを終了します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールを終了する方法を示します。

```
$j("#pickupCallBtn").on("click", function() {
    notifyClient.hangupCall();
});
```

NotifyClient - init()

クライアントドライバーを初期化します。

たとえば、Twilio クライアントを使用すると、*`Twilio.Device.setup()`* メソッドが呼び出されます。このメソッドはユーザーがページを操作した後に呼び出します。この初期化プロセスは非同期であるため、ONLINE イベントハンドラーを提供する必要があります。このハンドラーは、セットアッププロセスが完了し、システムがコールを行う準備ができると呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、Notify クライアントを初期化する方法を示します。

```
$j(function() {
  notifyClient = new SNC.Notify.Client( notifyConfig );
  notifyClient.setCallerId( '+31858889170' );
  notifyClient.init();
});
```

NotifyClient - mute(ブーリアン muted)

現在のクライアントをミュートまたはミュート解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
muted	ブーリアン	現在のコールをミュートまたはミュート解除します。 • false：(または true 以外の値) 現在のコールのミュートを解除します。 • true：現在のコールをミュートします。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、現在のコールをミュート状態にする方法を示します。

```
notifyClient.mute( "true" );
```

NotifyClient - pickupCall()

WebRTC クライアントからの着信コールに応答して接続します。

着信コールが通知されたら、このメソッドを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、コールに応答して接続する方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
$j("#pickupCallBtn").on("click", function() {
    notifyClient.pickupCall();
});
```

NotifyClient - sendDtmf(文字列 **digits)**

現在のコールで、1 桁以上の DTMF に対応した数字を送信します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
digits	文字列	DTMF に対応した 1 桁以上の数字。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、現在のコールに DTMF シグナルを送信する方法を示します。

```
notifyClient.SendDtmf( "1246AF" ) {} );
```

NotifyClient - setCallerId(文字列 **value**, 関数 **autoSelectVendorCallback)**

現在のクライアントセッションの発信者 ID を設定します。

発信者 ID はいつでも変更または更新できますが、発信者 ID は同じベンダーに属している必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
value	文字列	コールの発信と受信に使用する電話番号。
autoSelectVendorCallback	関数	随意。 *`initializeVendorClientLazily`* この関数を使用するには、コンストラクタで "true" に設定する必要があります。設定しないと、エラーがスローされます。 指定された電話番号にベンダーが自動的に設定されたときに呼び出すコールバック関数の名前。このオプションでは、コンストラクター (*`notifyConfig.vendor`*) でベンダーを指定する必要はありません。ベンダーの自動選択は非同期操作です。したがって、このメソッドを呼び出す前にベンダーを設定する必要があるため、*`notifyConfig.init()`* をいつ安全に呼び出せるかをこのコールバックで示す必要があります。さらに、ベンダーが指定されていることを確認するために *`notifyConfig.vendor`* がコールバックに設定されているかどうかも確認する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、発信者 ID を設定する方法を示します。この例では、ベンダーがコンストラクターで設定されていることを前提としています。

```
$j(function() {
  notifyClient = new SNC.Notify.Client( notifyConfig );
  notifyClient.setCallerId( '+31858889170' );
  notifyClient.init();
});
```

NotifyClient - setClientAvailable(ブーリアン **available)**

アクティブな WebRTC クライアントのエージェントの空き状況を設定します。

このタイプの空き状況は、コール中のエージェントのものとは異なります。この場合、アクティブな WebRTC クライアントは、コールの接続の有無にかかわらずコールの受信を望んでいない可能性があります。

このメソッドを呼び出すと、このクライアントセッションに関連付けられた Notify Client 接続済みセッション [notify_client_session] レコードの [利用可能] フィールドの値が更新されます。*`getAvailableClients()`* メソッドを使用して、利用可能なクライアントのリストを取得できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
available	ブーリアン	アクティブな WebRTC クライアントにコール受信の意思があるかどうかを示すフラグ。 • false：クライアントにはコール受信の意思がありません。 • true：クライアントにコール受信の意思があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

NotifyOnTaskClient - クライアント

`NotifyOnTaskClient` API は、Zoom や Webex などのさまざまなテレフォニーサービスプロバイダーに対して、SMS メッセージを送信したり、電話会議を開始/管理したりするためのメソッドを提供します。

NotifyOnTaskClient UI スクリプトを明示的に含めることで、どの UI でも *`NotifyOnTaskClient`* API を使用できます。

`NotifyOnTaskClient` API を使用すると、次のことが可能になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 電話会議の開始
- 電話会議を終了
- 参加者の追加
- 電話通信ドライバーで可能な以下のアクションの実行
  - 参加者をミュート/ミュート解除する
  - 電話会議から参加者を除外する
  - 電話会議に参加者を追加する
  - 電話会議を開始する
  - 電話会議を終了する

Notify (com.snc.notify) プラグインには個別のサブスクリプションが必要です。通知プラグインのアクティブ化の詳細については、「通知のアクティブ化」を参照してください。

NotifyOnTaskClient - addParticipants(オブジェクト **data)**

指定された参加者を指定された電話会議に追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	電話会議を説明するオブジェクト。
data.addToWorkNotes	ブーリアン	関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、作業メモを追加するレコードを識別します。 デフォルト値：false
data.confId	文字列	必須です。 電話会議の sys ID。 会議の sys ID は Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。
data.items	アレイ	必須です。 電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • *id*：ユーザーのSys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 • *notifyParticipantId*：参加者のSys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。 • *phoneNumber*：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ザー/参加者レコードの電話番号より優先され、通話を発信するために使用されます。 • *email*：参加者のメールアドレス。
data.message	文字列	ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。
data.serviceProvider	文字列	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。
data.sysId	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 この値は、「開始」アクションを使用して最初に電話会議を作成するときに設定する必要があります。必要に応じて、このメソッドを使用して値を設定することもできます。
data.table	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 この値は、「開始」アクションを使用して最初に電話会議を作成するときに設定する必要があります。必要に応じて、このメソッドを使用して値を設定することもできます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
function addToConferenceCall() {
    var data = NotifyOnTaskClient.getNotifyActionTemplate();
    data.serviceProvider = 'Telephony'; // e.g 'Zoom', 'WebEx'
    data.confId = 'Active conference sysId';
    data.items.push({ id: 'userSysId' });
    data.items.push({ phoneNumber: '+917799555331' });
    data.items.push({ email: 'yln99518@gmail.com' });

    NotifyOnTaskClient.addParticipants(data).then(function (result) {
        var joinActionResult = result[0];
        if(joinActionResult.status) {
            joinActionResult.successMessages.forEach(function(msg) {
                console.log(msg);
            });
            return;
        }

        joinActionResult.warnMessages.forEach(function(msg) {
            console.warn(msg);
        });
        joinActionResult.errorMessages.forEach(function(msg) {
            console.error(msg);
        });
    }, function (errMsg) {
        console.log(errMsg);
    });
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotifyOnTaskClient - doConferenceAction(文字列 **action**, オブジェクト **data**)

電話会議の開始/終了や、電話会議への参加者の追加、除外、ミュート、またはミュート解除などの指定された電話会議アクションを実行します。

新しい電話会議を開始し、このメソッドを 1 回呼び出すことで複数の参加者を追加するか、メソッドを複数回呼び出すことで通話を開始して参加者を個別に管理することができます。さらに、渡されたデータオブジェクトを使用して、次のようにメソッドを設定できます。

- 電話会議レコードのポインターを、電話会議のディスカッションのトピックであるインシデントや問題といった特定のレコード (ソースレコード) に保存します。
- ソースレコードの複数の電話会議を許可または禁止します。
- 電話会議に参加していた参加者を、ソースレコードの [作業メモ] フィールドに自動的に記録します。
- 参加者が会議からの発信コールに応答したときにメッセージを読み上げます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
action	文字列	実行する電話会議アクションを定義します。 利用可能な電話会議アクションは次のとおりです。 • start：*data.confId* で識別された電話会議を開始します。 • end：*data.confId* で識別された電話会議を終了します。 • join：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議に追加します。 • multiJoin：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議に追加します。 • selfJoin：現在ログインしているユーザーを電話会議に追加します (*data.items* のエントリは必要ありません) • kick：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議から削除します。 • multiKick：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議から削除します。 • mute：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュートします。 • multiMute：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュートします。 • unmute：*data.items* アレイで指定された参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュート状態を解除します。 • multiUnmute：*data.items* アレイで指定された複数の参加者を *data.confId* で識別された電話会議でミュート状態を解除します。
data	オブジェ	電話会議を説明するオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	クト	
data.addToWorkNotes	ブール	関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、作業メモを追加するレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin • selfJoin
data.allowMulticonference	ブール	特定のレコードに対して一度に複数の電話会議を許可するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、複数の電話会議を許可されているレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.confId	文字列	電話会議の sys ID。 会議の sys ID は Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。 このパラメーターが必要なアクション： • end • join • multiJoin • selfJoin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: ミュート、ミュート解除、除外などの参加者アクションでは、メソッドが Notify 電話会議参加者 [notify_participant] テーブルからこの情報を取得するために、このパラメーターを設定する必要はありません。
data.fromNumber	文字列	電話会議のために呼び出すサービスプロバイダーの番号。 この値は、Notify 電話番号 [notify_number] テーブルの [Number] または [Phone number] 列で見つけます。 このパラメーターが必要なアクション： • start
data.isNewConference	ブール	新規の電話会議か既存の電話会議かを示すフラグ。 有効な値： • true：新規の電話会議 • false：既存の電話会議 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.message	文字列	ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。 このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin
data.items	アレイ	電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • id：ユーザーの sys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 有効なアクション：join、multiJoin、start • notifyParticipantId：Notify 参加者の Sys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		有効なアクション： join、kick、multiJoin、mute、start、unmute • phoneNumber：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユーザー/参加者レコードの電話番号より優先され、コールを発信するために使用されます。 有効なアクション：join、multiJoin、start • email：参加者のメールアドレス。 有効なアクション：join、multiJoin、start
data.serviceProvider	文字列	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。 このパラメーターが必要なアクション： • すべて
data.sysId	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション： • start
data.table	文字列	電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このパラメーターが有効なアクション： • start

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 <action>.status：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました <action>.successMessages：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.warnMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ <action>.errorMessages： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

次の例は、doConferenceAction() を呼び出し、アクションと参加者を渡すことで電話会議の参加者を操作する方法を示しています。

```
/**
 *
 * @param {string} action - action to perform on the conference object or
 participant object
 * @param {Array} participants;
 */
function doConferenceAction(action, participants) {
    var data = NotifyOnTaskClient.getNotifyActionTemplate();
    data.serviceProvider = 'Telephony'; // e.g 'Zoom', 'WebEx'
    data.confId = 'Active conference sysId';
    data.items = participants;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    NotifyOnTaskClient.doConferenceAction(action, data).then(function
 (result) {
        var kickActionResult = result[0];
        if (kickActionResult.status)
            console.log(action + ' succeeded');
        else {
            kickActionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
                console.warn(msg);
            });
            kickActionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
                console.error(msg);
            });
        }
    }, function (errMsg) {
            console.log(errMsg)
    });
}

// kick participants

doConferenceAction('kick', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);

// kick multiple participants

doConferenceAction('multiKick',
    [{notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'},
    {notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'}]);

// Mute participants
doConferenceAction('mute', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);
doConferenceAction('mute', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);

doConferenceAction('multiMute',
    [{notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'},
    {notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'}]);

// self join to any confernece.
doConferenceAction('selfJoin', [{id: 'logged in userId'}]);
```

NotifyOnTaskClient - endConference(オブジェクト **data)**

指定された電話会議を終了します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	電話会議を説明するオブジェクト。
data.confId	文字列	電話会議の sys ID。
data.serviceProvider	文字列	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。 • データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
function endConferenceCall() {
    var data = NotifyOnTaskClient.getNotifyActionTemplate();
    data.serviceProvider = 'Telephony'; // e.g 'Zoom', 'WebEx'
    data.confId = 'Active conference sysId';

    NotifyOnTaskClient.endConference(data).then(function (result) {
        var endActionResult = result[0];
        if (endActionResult.status)
            console.log('Conference has been ended');
        else {
            endActionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
                console.warn(msg);
            });
            endActionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
                console.error(msg);
            });
        }
    }, function (errMsg) {
        console.log(errMsg);
    });
}
```

NotifyOnTaskClient - getNotifyActionTemplate()

`doConferenceAction()` メソッドで使用する JSON データテンプレートを返します。このテンプレートを使用すると、データオブジェクトが自動的に構造化されるため、手動で作成する必要はありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このメソッドを呼び出してから、*doConferenceAction()* メソッドを呼び出します。目的の電話会議アクションに対して、テンプレート内で目的のパラメーターを設定し、*doConferenceAction()* コールでテンプレートを渡します。各アクションの有効なパラメーターの詳細については、「doConferenceAction()」を参照してください。

注: これはヘルパーメソッドです。このオブジェクトを手動で構築し、それを *doConferenceAction()* メソッドに渡す方法でも、同じ結果が得られます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
data	電話会議を説明するオブジェクト。
data.addToWorkNotes	関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、作業メモを追加するレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin • selfJoin
data.allowMultconference	特定のレコードに対して一度に複数の電話会議を許可するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、複数の電話会議を許可されているレコードを識別します。 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.confId	電話会議の sys ID。 会議の sys ID は Notify 電話会議 [notify_conference_call] テーブルにあります。 このパラメーターが必要なアクション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• end • join • multiJoin • selfJoin 注: ミュート、ミュート解除、除外などの参加者アクションでは、メソッドが Notify 電話会議参加者 [notify_participant] テーブルからこの情報を取得するために、このパラメーターを設定する必要はありません。
data.fromNumber	電話会議のために呼び出すサービスプロバイダーの番号。 この値は、Notify 電話番号 [notify_number] テーブルの [Number] または [Phone number] 列で見つけます。 このパラメーターが必要なアクション： • start
data.isNewConference	新規の電話会議か既存の電話会議かを示すフラグ。 有効な値： • true：新規の電話会議 • false：既存の電話会議 デフォルト値：false このパラメーターが有効なアクション： • start
data.items	電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • id：ユーザーの sys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 有効なアクション：join、multiJoin、start • notifyParticipantId：Notify 参加者の Sys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。 有効なアクション： join、kick、multiJoin、mute、start、unmute • phoneNumber：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユーザー/参加者レコードの電話番号より優先され、コールを発信するために使用されます。 有効なアクション：join、multiJoin、start

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• email：参加者のメールアドレス。 有効なアクション：join、multiJoin、start
data.message	ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。 このパラメーターが有効なアクション： • start • join • multiJoin
data.serviceProvider	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。 このパラメーターが必要なアクション： • すべて
data.sysId	電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション： • start
data.table	電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。 このパラメーターが有効なアクション：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• start

次の例は、getNotifyActionTemplate() を呼び出して、doConferenceAction() のアクションを定義するために必要なデータテンプレートを取得する方法を示しています。

```
/**
 *
 * @param {string} action - action to perform on the conference object or
 participant object
 * @param {Array} participants;
 */
function doConferenceAction(action, participants) {
    var data = NotifyOnTaskClient.getNotifyActionTemplate();
    data.serviceProvider = 'Telephony'; // e.g 'Zoom', 'WebEx'
    data.confId = 'Active conference sysId';
    data.items = participants;

    NotifyOnTaskClient.doConferenceAction(action, data).then(function
 (result) {
        var kickActionResult = result[0];
        if (kickActionResult.status)
            console.log(action + ' succeeded');
        else {
            kickActionResult.warnMessages.forEach(function (msg) {
                console.warn(msg);
            });
            kickActionResult.errorMessages.forEach(function (msg) {
                console.error(msg);
            });
        }
    }, function (errMsg) {
            console.log(errMsg)
    });
}

// kick participants

doConferenceAction('kick', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);

// kick multiple participants

doConferenceAction('multiKick',
    [{notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'},
    {notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'}]);

// Mute participants
doConferenceAction('mute', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);
doConferenceAction('mute', [{notifyParticipantId:
 'notifyParticipantSysId'}]);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
doConferenceAction('multiMute',
    [{notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'},
    {notifyParticipantId: 'notifyParticipantSysId'}]);

// self join to any confernece.
doConferenceAction('selfJoin', [{id: 'logged in userId'}]);
```

NotifyOnTaskClient - start(オブジェクト **data)**

新しい電話会議を開始します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	電話会議を説明するオブジェクト。
data.addToWorkNotes	ブーリアン	オプション。関連するレコードの作業メモフィールドに電話会議に含まれた参加者に関する情報を追加するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターに値を指定して、作業メモを追加するレコードを特定する必要があります。 デフォルト値：false
data.allowMulticonference	ブーリアン	オプション。 特定のレコードに対して一度に複数の電話会議を許可するかどうかを示すフラグ。 この機能を動作させるには、*data.table* および *data.sysId* パラメーターにも値を指定する必要があります。これらのパラメーターは、複数の電話会議を許可されているレコードを識別します。 デフォルト値：false
data.fromNumber	文字列	必須です。 電話会議のために呼び出すサービスプロバイダーの番号。 この値は、Notify 電話番号 [notify_number] テーブルの [Number] または [Phone number] 列で見つけます。
data.items	アレイ	オプション。 電話会議に含める各参加者に関する情報。 有効なアレイ値： • *id*: ユーザーのSys ID。ユーザー [sys_User] テーブルにあります。 • *notifyParticipantId*: 参加者のSys ID。Notify 参加者 [notify_participant] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• *phoneNumber*：参加者の電話番号。この値が *id* または *notifyParticipantId* とともに渡された場合、この値はユーザー/参加者レコードの電話番号より優先され、通話を発信するために使用されます。 • *email*：参加者のメールアドレス。
data.message	文字列	オプション。 ユーザーがコールに応答したときに読み上げられるメッセージ (「P1 インシデントが作成されました。インスタンスにログインしてください」など)。
data.serviceProvider	文字列	必須です。Zoom や Webex などの会議サービスプロバイダーの名前。
data.sysId	文字列	オプション。 電話会議に関連付けるソースレコードの Sys ID。 たとえば、特定のインシデントまたは問題について話し合うために電話会議が行われる場合は、インシデントまたは問題レコードの Sys ID をこの値に入力します。この Sys ID は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Source] 列に保存され、後で追跡できます。 このパラメーターは、*data.Table*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。
data.table	文字列	オプション。 電話会議に関連付けるソースレコードのを含むテーブル。ソースレコードは、「インシデント」や「問題」など、電話会議でのディスカッションのトピックである任意のレコードです。 このテーブル名は NotifyConference コール [notify_conference_call] テーブルの [Table] 列に保存され、追跡できます。 このパラメーターは、*data.sysId*、*data.addToWorkNotes*、および *allowMulticonference* パラメーターと組み合わせて使用されます。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	会議アクションの結果。 `<action>.status`：会議アクションのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• データタイプ：ブール • 有効な値： ◦ true：会議アクションが成功しました ◦ false：会議アクションに失敗しました `<action>.successMessages`：ステータス が true の場合は成功メッセージ、それ以外の場合は空です。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.warnMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされた警告メッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ `<action>.errorMessages`： ステータスが false の場合、処理中にスローされたエラーメッセージ。 • データタイプ：文字列のアレイ

```
function startConferenceCall() {
    var data = NotifyOnTaskClient.getNotifyActionTemplate();
    data.table = 'incident';
    data.sysId = '1234';
    data.serviceProvider = serviceProvider;
    data.addToWorkNotes = true;
    data.fromNumber = 'Telephony Number';
    data.items.push({ id: 'userSysId' });
    data.items.push({ phoneNumber: '+917799555332' });
    data.items.push({ email: 'yln99517@gmail.com' });

    NotifyOnTaskClient.start(data).then(function (result) {
        var startActionResult = result[0];
        if(startActionResult.status) {
            startActionResult.successMessages.forEach(function(msg) {
                console.log(msg);
            });
            return;
        }

        startActionResult.warnMessages.forEach(function(msg) {
            console.warn(msg);
        });
        startActionResult.errorMessages.forEach(function(msg) {
            console.error(msg);
        });
    }, function (errMsg) {
        console.log(errMsg);
    });
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ScopedSessionDomain - クライアント

現在のセッションドメインに関連する機能を提供するクライアント側のメソッドを含む *ScopedSessionDomain* スクリプトインクルード。

この API は、Domain Support - Domain Extensions Installer プラグイン (com.glide.domain.msp_extensions) がインスタンスでアクティブ化されている場合にのみ使用できます。また、この API にアクセスするには、発信者に管理者ロールが必要です。

ScopedSessionDomain - getCurrentDomainID()

ログインしているユーザーセッションの現在のドメインの sys_id を返します。

返される識別子は、ドメインタイプとそのドメインのインスタンス化によって異なります。

- ユーザーがグローバルドメインで構成されていて、ドメインピッカーを使用してドメインを切り替えない場合、このメソッドは null を返します。
- ユーザーがドメインピッカーを使用してグローバルドメインに切り替えると、このメソッドは文字列「global」を返します。
- 他のすべてのドメインの場合、このメソッドはそのドメインの sys_id を返します。

クライアント側スクリプトからこのメソッドにアクセスするには、GlideAjax() を使用して呼び出す必要があります。サーバー側スクリプトからこのメソッドを呼び出すには、次のようなコードを使用してオブジェクトをインスタンス化し、メソッドにアクセスします。

```
var ssg = new global.ScopedSessionDomain();
domainID = ssg.getCurrentDomainID();
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在ログインしているユーザーのセッションドメインの sys_id。これは、ドメインピッカーに表示される情報と同じです。

この例は、クライアント側スクリプトから *getCurrentDomainID()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
// This example is calling the script include in a client script.
// This particular record is within the "Service Portal - Standard
 Ticket" scope.
// To reproduce this example:
//  1. Change application scope to "Service Portal - Standard Ticket"
//  2. Navigate to Client Script table and open a new form and name it
 anything
//  3. Set table=ticket_configuration (this table is within the same
 scope)
//  4. Set UI type=Desktop and Type=onLoad
//  5. Populate the script field with the script above
//  6. Navigate to the ticket_configuration table and open any form.
//
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// This will trigger the client script, invoke the API, and pop up a
 browser alert containing the sys_id of the user's current domain

function onLoad() {
  var ga = new GlideAjax("global.ScopedSessionDomain"); // Set the script
 include
  ga.addParam("sysparm_name", "getCurrentDomainID"); // Set the
 getCurrentDomainID method
  ga.getXML(getResponse);

  function getResponse(response) {
     var answer =
 response.responseXML.documentElement.getAttribute('answer');
     alert(answer); // Pops up the sys_id of the domain record
  }
}
```

ScriptLoader - クライアント

ScriptLoader API は、スクリプトを非同期にロードするためのメソッドを提供します。

この API は、 *ListV2* および *ListV3* API を使用するプラットフォーム/デスクトップ UI のクライアント側スクリプトで使用できます。サービスポータル、モバイル、エージェントワークスペースでは使用できません。

ScriptLoader メソッドにアクセスするには、グローバル オブジェクト `ScriptLoader` を使用します。

ScriptLoader - getScripts(アレイ scripts, 関数 callback)

複数のスクリプトを非同期にロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scripts	アレイ	ロードするスクリプトのアレイ。
callback	関数	スクリプトをロードした後に呼び出す関数。コールバック関数には引数を指定しないでください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var scriptFiles=[
'scripts/classes/providers/ProviderUI.js',
'scripts/classes/providers/wf_provider_client_script.js'
];

ScriptLoader.getScripts(scriptFiles, function() {
  ProviderUI.setFields(['input_transform']);
  ProviderUI.apply();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 ProviderUI.removeDisabledAttribute("sys_readonly.wf_element_activity.acc
ess");
}
```

ScriptLoader - getScripts(文字列 filePath, 関数 callback)

複数のスクリプトを非同期に取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filePath	文字列	1 つ以上のスクリプトを含むパス (ファイル名を含む)。
callback	関数	スクリプトをロードした後に呼び出す関数。このコールバック関数には引数を指定しないでください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、ユーティリティスクリプトをロードしてから *getDepartment()* 関数を実行する方法を示しています。

```
// Client script to load a utility script and run the getDepartment
 callback function
ScriptLoader.getScripts('sn_ui_script_util.Utilities.jsdbx',
 getDepartment);

function getDepartment() {
  var req = sn_ui_script_util.Utilities.rest('json');
  req.addParam("sysparm_query", "sys_id=" + newValue);
  req.addParam("sysparm_fields", "department");
  req.addParam("sysparm_display_value", true);
  req.success(updateNotes);
  req.get("/api/now/table/sys_user");
}

function updateNotes(data) {
  g_form.setValue("work_notes", data.result[0].department.display_value);
}
```

SNAnalytics - クライアント

SNAnalytics API は、カスタム分析データ (イベント、ページ、およびユーザー プロパティ) をサービスポータル ダッシュボードのユーザーエクスペリエンスアナリティクスにプッシュするメソッドを提供します。

サービスポータル向け ユーザーエクスペリエンスアナリティクス では、サービスポータルに構築された Web アプリケーションの重要業績評価指標 (KPI) を監視するためのダッシュボードビューを提供します。これらのインサイトを使用して、ポータルを最適化できます。たとえば、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザーがカタログアイテムを注文したときやナレッジ記事を表示

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したときを追跡します。このデータを使用して、どのアイテムまたは記事がユーザーの間で最も人気があるかを推測できます。

この API にアクセスするには、Service Portal Analytics (com.glide.service-portal.analytics) プラグインをインスタンスでアクティブ化する必要があります。さらに、アプリケーション内で次のような snAnalytics Angular サービスをインポートする必要があります。

```
<client_script><![CDATA[function($rootScope, $scope, $window, $timeout,
 spUtil, $sce, spModal, $uibModal, $location, cabrillo, snAnalytics)
```

詳細については、「サービスポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

SNAnalytics - addEvent(オブジェクト payload)

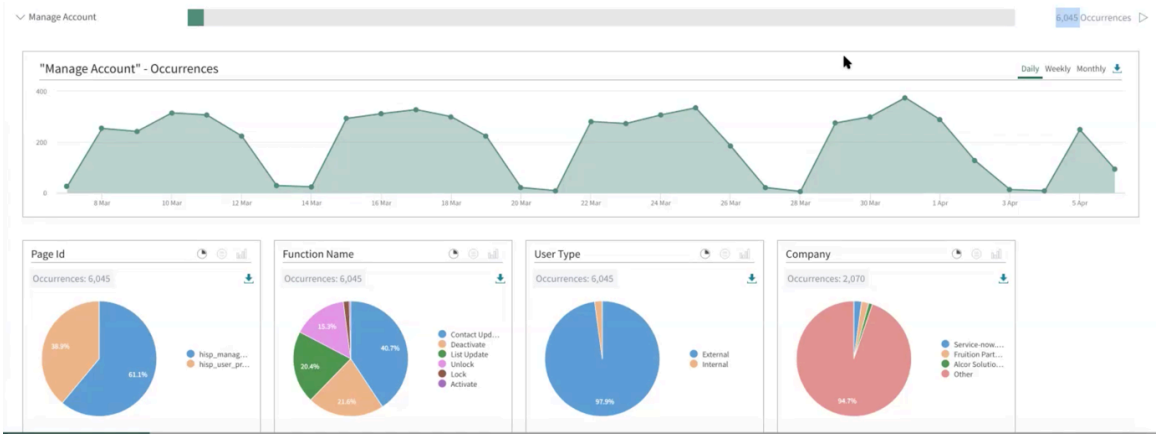
指定されたイベント情報を分析データストアに保存します。

イベントは、ボタンのクリックやフォームの送信など、ユーザーが実行するアクションです。ユーザーアクションをキャプチャする場合は必ず、Web ページのウィジェット内でこのメソッドを呼び出します。これらのイベントは、関連するユーザーセッションのタイムラインと User Experience Analytics ダッシュボードに自動的に表示されます。

`addEvent()` の呼び出しで渡されるペイロードの例を次に示します。

```
var payload= {};
payload.name = "Manage Account";
payload.data = {};
payload.data["Function Name"] = c.data.function_name;
payload.data["User Type"] = c.data.user_type;
payload.data["Company"] = c.data.company_name;
snAnalytics.addEvent(payload);
```

以下のスクリーンショットは、「アカウントの管理」というイベントの分析ダッシュボードに表示される情報を示しています。上部のタイムラインは、イベントが発生した回数を表します。タイムラインの下にある円グラフは、`addEvent()` の呼び出しで取得されたプロパティを反映しています。



ユーザーが Web ページにアクセスするタイミングをキャプチャする場合は、このメソッドの代わりに SNAnalytics - startPage(文字列 name, 文字列 description) メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
payload	オブジェクト	分析データストアに保存するイベント。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		`"payload": { "data": [Array], "name": String }`
payload.data	アレイ 各要素は、文字列 (大文字と小文字を区別)、ブーリアン、数値、または日付にすることができます。	オプション。カスタムイベントプロパティの名前と値のペア。これらのプロパティは、分析ダッシュボードで追跡および表示する任意の値に設定できます。設定したプロパティは、分析ダッシュボード上の、関連するイベントのタイムラインの下に表示されます。[ページ **ID]** プロパティがすべてのベースシステムのイベントのダッシュボードに常に最初に表示され、他のすべてのプロパティはアルファベット順にソートされます。 イベントにプロパティが必要ない場合は、イベントのタイムラインのみが分析ダッシュボードに表示されます。プロパティは後で追加できます。 次の値は、このメソッドによって自動的に変換されます。 • 文字列値「yes」：ブール値「true」 • 文字列値「no」：ブール値「false」 デフォルト値：Null
payload.name	文字列	イベントの分かりやすい名前。特殊文字は使用できません。 最大長：イベント名と値の長さが 300 バイトを超えることはできません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、ウィジェットの初期化中に *addEvent()* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
function initialize() {
  c.options.glyph = c.options.glyph || 'search';
  c.options.title = c.options.title || c.data.searchMsg;
  c.options.color = c.options.color || "default";
  c.searchTerm = c.data.q;
  c.searchQuery = "";
  c.pageID = $scope.page && $scope.page.id;
  c.showSuggestions =  c.data.searchTypeBehavior === "suggestions" &&
 c.data.isSuggestionsEnabled === "true";
  c.suggestionsLimit = c.options.limit || "";
  c.latitude = null;
  c.longitude = null;
  c.isLocationTrackerDisabled = c.data.isLocationTrackerDisabled ===
 "true";
  c.isTypeAheadEnabled = c.data.isTypeAheadEnabled === "true";
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  c.sendAnalytics = function(type){
    var payload= {};
    payload.name = "Initiate Search";
    payload.data = {};
    payload.data["Keyword"] = (type == 'User Entered' ? c.searchTerm :
 c.searchQuery);
    payload.data["Type"] = type;
    snAnalytics.addEvent(payload);
  };
}
```

SNAnalytics -appendToUserProperty(文字列 **name**, 文字列 **value)**

指定された文字列を、分析データストア内の指定されたユーザー文字列のプロパティに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列または文字列[]	指定された文字列を追加するプロパティの名前。特殊文字は使用できません。 **注:** 関連プロパティは文字列または「文字列[]」である必要があります。 最大長：プロパティの名前と値の長さが 300 バイトを超えることはできません。
value	文字列	文字列プロパティに追加する値。 次の値は、このメソッドによって自動的に変換されます。 • 文字列値「yes」：ブール値「true」 • 文字列値「no」：ブール値「false」

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、`tags` プロパティに `television` を追加する方法を示します。

```
snAnalytics.setUserProperties({
  level: 7,
  lastPurchase: new Date(),
  lastPurchaseId: '41563cd2-1666-4855-8c0d-b9ca778aed23',
  isPremium: true,
  tags: ['chair', 'table'],
});

// Append television to the tags property (now 'tags' will have 'chair',
 'table', and 'television')
snAnalytics.appendToUserProperty('tags', 'television');
```

SNAnalytics - incUserProperty(文字列 **name**, 数字 **value)**

分析データストア内の指定された数値を使用して、指定されたユーザープロパティの値を増減します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	増分するプロパティの名前。値の大文字と小文字は区別されます。 注: 関連プロパティは数字である必要があります。
value	数字	プロパティを増やす量。負の数を入力すると、値が減少します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、[猶予日数 (Grace days)] のプロパティを 5 ずつ増分する方法を示しています。

```
snAnalytics.incUserProperty('Grace days', 5)
```

SNAnalytics - removeUserProperty(文字列 name)

現在のユーザーの指定されたプロパティを分析データストアから削除します。

また、削除したプロパティは分析ダッシュボードに表示されなくなります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	削除するプロパティの名前。値の大文字と小文字は区別されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、IsAdmin プロパティを削除する方法を示しています。

```
snAnalytics.removeUserProperty('IsAdmin');
```

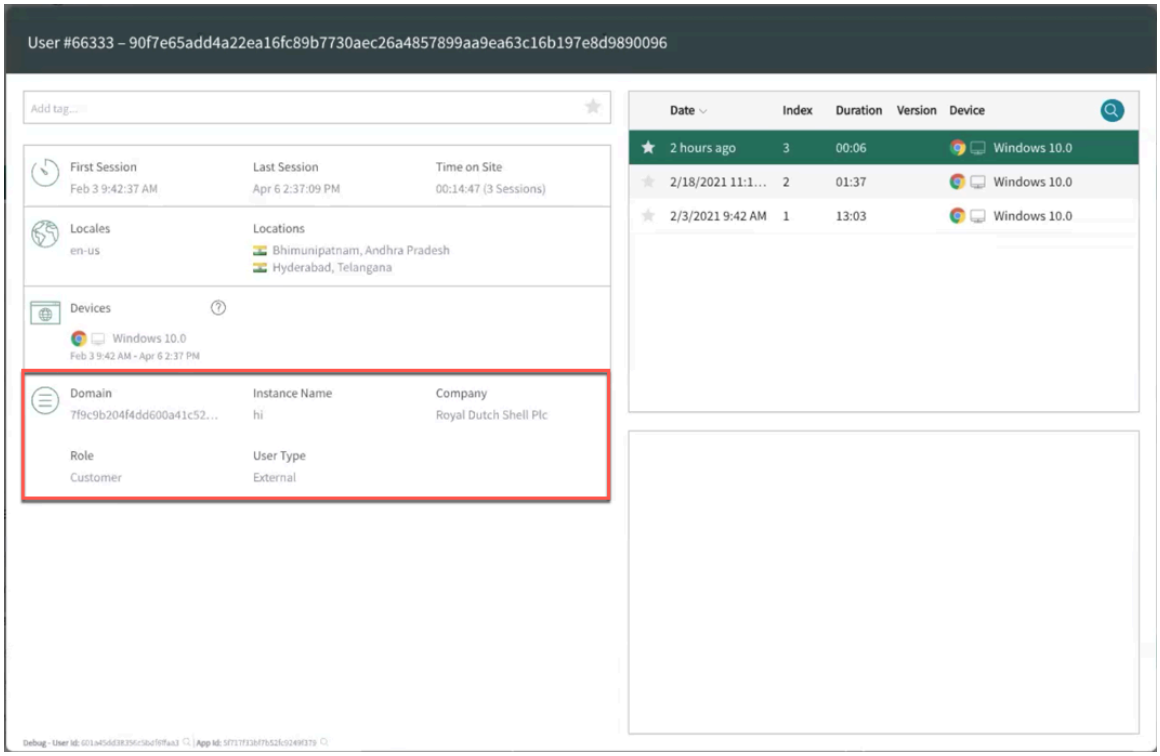
SNAnalytics - setUserProperties(オブジェクト properties)

分析データストア内の現在のユーザーに対して、指定されたプロパティを指定した値で設定します。

これらのプロパティは分析データストアに保存され、以下に示すようにユーザーセッションの詳細ページに表示されます。プロパティが既に分析データストアに存在する場合、現在の値が新しい値で上書きされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



パラメーター

名前	タイプ	説明
properties	オブジェクト このオブジェクトの各要素は、文字列、ブーリアン、数値、日付、文字列[]、または null です。	設定するユーザープロパティの名前と値のペアを含むオブジェクト。例： `{ level: 7, lastPurchase: new Date(), lastPurchaseId: '41563cd2-1666-4855-8c0d-b9ca778aed23', isPremium: true, tags: ['chair', 'table'], }` 次の値は、このメソッドによって自動的に変換されます。 • 文字列値「yes」：ブール値「true」 • 文字列値「no」：ブール値「false」

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、現在のユーザーの複数のプロパティを設定する方法を示しています。

```
snAnalytics.setUserProperties({
  level: 7,
  lastPurchase: new Date(),
  lastPurchaseId: '41563cd2-1666-4855-8c0d-b9ca778aed23',
```

自動翻訳

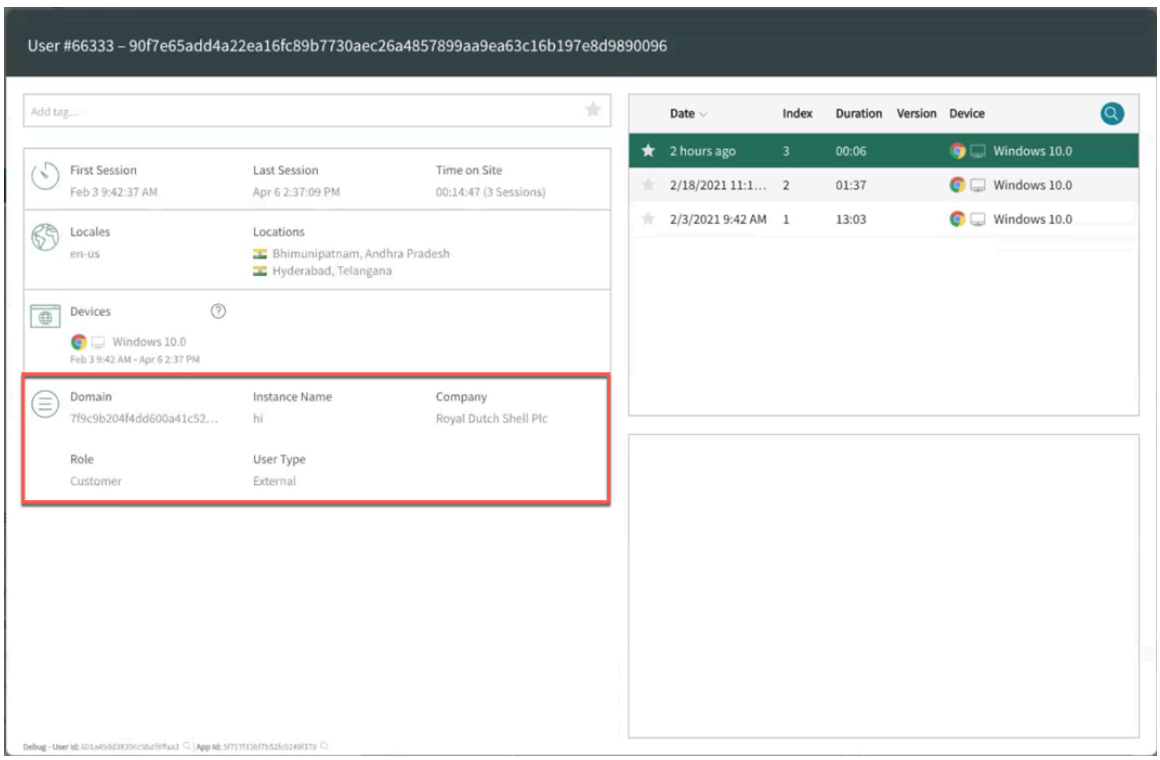
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  isPremium: true,
  tags: ['chair', 'table'],
});
```

SNAnalytics - setUserProperty(文字列 name, UserProperty value)

分析データストア内の現在のユーザーに対して、指定されたプロパティを指定した値で設定します。

これらのプロパティは分析データストアに保存され、以下に示すようにユーザーセッションの詳細ページに表示されます。プロパティが既に分析データストアに存在する場合、現在の値が新しい値で上書きされます。



パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	更新するプロパティの名前。この名前はプロパティのラベルとして表示されます。例えば、前のスクリーンショットでは、 [ドメイン]、 [インスタンス名]、 [会社]、 [ロール]、および [ユーザータイプ] がすべて名前パラメーターです。特殊文字は使用できません。 最大長：プロパティの名前と値の長さが 300 バイトを超えることはできません。
value	UserProperty この値は、文字列、ブーリアン、数値、日付、文字列[]、または null のいずれにも	指定されたプロパティに設定する値。 次の値は、このメソッドによって自動的に変換されます。 • 文字列値「yes」：ブール値「true」 • 文字列値「no」：ブール値「false」

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
	設定できます。	

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、`Company` プロパティを設定する方法を示しています。

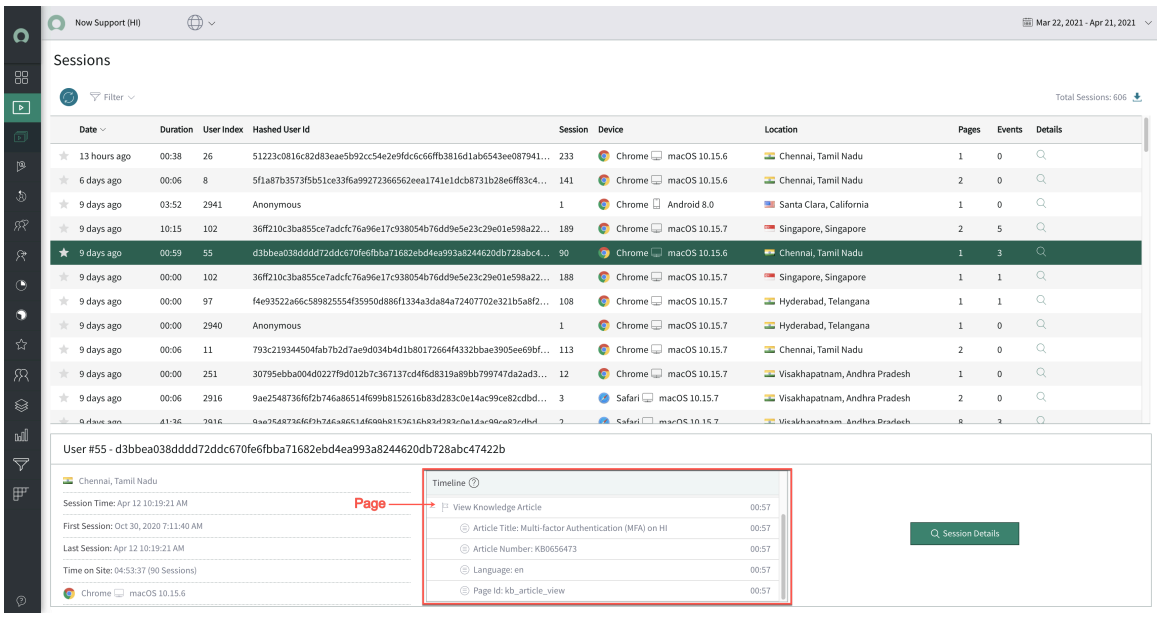
```
snAnalytics.setUserProperty('Company', "ABC Company")
```

SNAnalytics - startPage(文字列 **name**, 文字列 **description**)

分析データストアのページの名前と説明を保存します。

この情報は、ユーザーセッションのタイムラインと分析ダッシュボードに表示されます。カスタム ウィジェット内でこのメソッドを呼び出して、ユーザーがアクセスしたページを追跡します。このメソッドを使用して、個々のページ内のユーザーのナビゲーションを追跡することもできます。詳細については、「ユーザー エクスペリエンス分析の使用」を参照してください。

注: 一般に、ポータルページはこの追跡機能で自動的にタグ付けされます。このメソッドは、カスタムのシナリオ (ウィザードのシナリオ中の単一ページのカスタム ウィジェットなど) に使用します。



パラメーター

名前	タイプ	説明
name	文字列	ページまたはページセクションの説明的な名前。特殊文字は使用できません。
description	文字列	オプション。タイムラインおよび分析ダッシュボードに表示されるページの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：*name* パラメーター値

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は *startPage* メソッドを呼び出す方法を示しています。

```
snAnalytics.startPage('login_view', 'Login');
```

spAriaUtil - クライアント

spAriaUtil API は、スクリーンリーダーにメッセージを表示するメソッドを提供します。

この API は、 サービスポータル ウィジェットクライアントスクリプトで使用できる Angular サービスです。

spAriaUtil - sendLiveMessage(文字列 message)

スクリーンリーダーにメッセージを読み上げます。

sendLiveMessage() メソッドは、ページ上の aria-live 領域にテキストを挿入します。aria-live 領域のデフォルト設定は `assertive` です。これは、メッセージがすぐに読み上げられることを意味します。このメソッドを頻繁に使用すると、ユーザーが混乱する可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
function(spAriaUtil) {
  /* widget controller */

  spAriaUtil.sendLiveMessage('Hello world!');
}
```

spContextManager - クライアント

サービスポータルウィジェットのデータを、サービスポータルページ内の他のアプリケーションやサービスで利用できるようにします。たとえば、ウィジェットデータがサービスポータルページで開いた際に、エージェントチャットにウィジェットデータを渡します。

spContextManager API は、サービスポータルウィジェットクライアントスクリプトで使用できる AngularJS サービスです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API に渡されるキーは、ページごとに一意です。たとえば、*addContext()* メソッドで「agent-chat」キーがページにある別のウィジェットによって既に初期化されている場合は、*updateContextForKey()* メソッドを使用してキーのデータを更新する必要があります。 使用可能なキーは次のとおりです。 agent-chat:ウィジェットデータを エージェントチャット に送信します。

エージェントチャット へのデータの受け渡しの詳細については、「サービスポータルでのエージェントチャットの構成」を参照してください。

spContextManager - addContext(文字列 key, オブジェクト context)

キーを初期化し、ウィジェットデータを値として追加します。たとえば、「agent-chat」キーにデータを追加して、エージェントチャット で利用できるようにします。

このメソッドは、サービスポータル ページの特定のキーに初めてデータを追加するときに使用します。キーがページ上の別のウィジェットですでに使用されている場合は、代わりに *updateContextForKey()* メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	データを送信するキーの名前。 利用可能なキーには **agent-chat** が含まれます。サービスポータル ページで開いたときに、エージェントチャットにウィジェットデータを送信します。
context	オブジェクト	キーパラメーターで指定されたアプリケーションまたはサービスに送信する JSON 形式のウィジェットデータ。`{'approval_count': 5}` などです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

`approval_count` を エージェントチャット に渡します。ユーザーが サービスポータル ホームページから エージェントチャット の会話を開始すると、`&sysparm_approval_count=5` が エージェントチャット `iframe` URL に追加されます。

```
function ($scope, spContextManager) {
    spContextManager.addContext('agent-chat', {
        'approval_count': 5
    });
};
```

spContextManager - getContext()

ページ上のウィジェットによって定義された各キーと、それに関連するデータオブジェクトを返します。

このメソッドを使用すると、パフォーマンスに影響する可能性があります。このメソッドは、ページで初期化されているキーを把握し、その現在の値を取得するために使用します。アクセスする必要のあるキーがわかっている場合は、代わりに *getContextForKey()* メソッドを使用してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	ページ上で定義された各キーと、それに関連するデータオブジェクト。

```
function ($scope, spContextManager) {
  spContextManager.getContext();
}
```

spContextManager - getContextForKey(文字列 **key**, ブーリアン **returnPromise)**

キーに関連付けられたウィジェットデータを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	コンテキストを取得するキーの名前。使用可能なキーは次のとおりです。agent-chat:ウィジェットデータを エージェントチャット に送信します。
returnPromise	ブーリアン	キーに関連付けられたデータを promise として返すか、オブジェクトとして返すかを決定するフラグ。次の値が含まれます。 • true：データを promise として返します。ページ上の別のウィジェットが *addContext()* メソッドを使用して同じキーを初期化する場合は、このオプションを使用します。promise を返すと、キーがまだ初期化されていない場合に、未定義のオブジェクトが返されなくなります。 • false：キーに関連付けられたデータを含むオブジェクトを返します。

返される内容

タイプ	説明
Promise	returnPromise が true の場合、ページ上の別のウィジェットがキーを初期化するときに実行される promise を返します。
オブジェクト	returnPromise が false の場合は、キーに関連付けられたデータを含むオブジェクトを返します。`{approval_count: 5}` などです。

`approval_count` を エージェントチャット に渡します。ユーザーが サービスポータル ホームページから エージェントチャット の会話を開始すると、`&sysparm_approval_count=5` が エージェントチャット `iframe` URL に追加されます。

```
function ($scope, spContextManager) {
  spContextManager.getContextForKey('agent-chat',
 true).then(function(context) {
    context = context || {};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    context.approval_count = 5;
    spContextManager.updateContextForKey('agent-chat', context);
  });
}
```

spContextManager - updateContextForKey(文字列 key, オブジェクト context)

既存のキーにデータを送信します。例えば、ページ上の別のウィジェットが「agent-chat」キーを使用して エージェントチャット 構成にデータを渡している場合、`addContext()` メソッドを使用するのではなく、キーのコンテキストを更新する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	データを送信するキーの名前。 利用可能なキーには **agent-chat** が含まれます。サービスポータル ページで開いたときに、エージェントチャットにウィジェットデータを送信します。
context	オブジェクト	キーパラメーターで指定されたアプリケーションまたはサービスに送信する JSON 形式のウィジェットデータ。`{'approval_count': 5}` などです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

`approval_count` を エージェントチャット に渡します。ユーザーが サービスポータル ホームページから エージェントチャット の会話を開始すると、`&sysparm_approval_count=5` が エージェントチャット `iframe` URL に追加されます。

```
function ($scope, spContextManager) {
  spContextManager.getContextForKey('agent-chat',
 true).then(function(context) {
    context = context || {};
    context.approval_count = 5;
    spContextManager.updateContextForKey('agent-chat', context);
  });
}
```

spModal - クライアント

サービスポータルウィジェットにアラート、プロンプト、および確認ダイアログを表示します。`spModal` クラスは、サービスポータルクライアントスクリプトで使用できます。

`spModal` クラスは、Angular UI ブートストラップの$uibModal の軽量ラッパーです。`spModal.open()` メソッドを使用して、モーダルダイアログにウィジェットを表示できます。

spModal - alert(文字列 message).then(fn)

アラートを表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	promise には、true または false を含む単一の引数が含まれています。

```
// HTML template
<button ng-click="c.onAlert()" class="btn btn-default">
    Alert
  </button>

// Client script
function(spModal) {
    var c = this;
  c.onAlert = function () {
        spModal.alert('How do you feel today?').then(function (answer) {
            c.simple = answer;
        });
    }
 }
```

spModal - confirm(文字列 **message).then(fn)**

確認メッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	promise には、true または false を含む単一の引数が含まれています。

```
// HTML template
 <button ng-click="c.onConfirm()" class="btn btn-default"> Confirm
 </button>
<span>{{c.confirmed}}</span>

// Client script
function(spModal) {
  var c = this;
  c.onConfirm = function() {
        c.confirmed = "asking";
        spModal.confirm("Can you confirm or deny
 this?").then(function(confirmed) {
            c.confirmed = confirmed; // true or false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        })
    }
}
```

次の HTML メッセージで確認します。

```
//HTML template
<button ng-click="c.onConfirmEx()" class="btn btn-default">
    Confirm - HTML message
  </button>
  <span>{{c.confirmed}}</span>

// Client script
function(spModal) {
  var c = this;
  // more control, passing options
    c.onConfirmEx = function() {
        c.confirmed = "asking";
        var warn = '<i class="fa fa-warning" aria-hidden="true"></i>';
        spModal.open({
            title: 'Delete this Thing?',
            message: warn + ' Are you <b>sure</b> you want to do that?'
        }).then(function(confirmed) {
            c.confirmed = confirmed;
        })
    }
}
```

spModal - open(オブジェクト **options).then(fn)**

指定されたオプションを使用してモーダルウィンドウを開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	次のプロパティを持つオブジェクト。 • backdrop: ブール値|糸。背景の有無をコントロールします。 有効な値： ◦ true:背景を表示します。 ◦ false:背景なし。 ◦ static:背景を選択してモーダルを閉じるのを無効にします。 デフォルト：true • buttons: 配列。ダイアログに表示するボタン。デフォルトは [キャンセル] と [OK] です。 • 入力:ブール値。true の場合、ダイアログに入力フィールドを表示します。 デフォルト値：false • keyboard: ブーリアン。true の場合、ESC キーを使用してダイアログを閉じることができることを示します。 デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• message: 文字列。ヘッダーに配置する HTML。 デフォルト：空 • noDismiss: ブール値。true の場合、閉じるアイコンを含むヘッダーセクションが存在することを示します。 デフォルト値：false • shared: クライアント側のオブジェクト。埋め込みウィジェットクライアントスクリプトとデータを共有します。 • size: 文字列。ウィンドウのサイズ。有効な値:「sm」または「lg」。 デフォルト：空 • title: 文字列。ヘッダーに配置する HTML。 デフォルト：空 • 値：文字列。入力フィールドの値。 デフォルト：空 • widget: 文字列。ダイアログに埋め込むウィジェット ID またはsys_id。 デフォルト：空 • widgetInput: オブジェクト。埋め込みウィジェットに入力として送信されます。 デフォルト：null

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、ラベル付きのプロンプトを作成する方法を示しています。

```
//HTML template
<button ng-click="c.onOpen()" class="btn btn-default">
    Prompt with label
  </button>
  <div ng-show="c.name">
    You answered <span>{{c.name}}</span>
  </div>

//Client code
function(spModal) {
  var c = this;
  c.onOpen = function() {
        //ask the user for a string
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        spModal.open({
            title: 'Give me a name',
            message: 'What would you like to name it?',
            input: true,
            value: c.name
        }).then(function(name) {
            c.name = name;
        })
    }
}
```

次のコード例は、カスタム ボタン オプションの使用方法を示しています。

```
//HTML template
<button ng-click="c.onAgree()" class="btn btn-default">
    Agree
  </button>
  <div ng-show="c.agree">
    You answered {{c.agree}}
  </div>

//Client script
function(spModal) {
  var c = this;
  c.onAgree = function() {
        // ask the user for a string
        // note embedded html in message
        var h = '<h4>Apple likes people to agree to lots of stuff</h4>'
        // Line feeds added to the following lines for presentation
 formatting.
        var m = 'Your use of Apple software or hardware products is based
on the software license and other terms and conditions in effect for the
product at the time of purchase. Your agreement to these terms is
 required
to install or use the product. '
        spModal.open({
            title: 'Do you agree?',
            message: h + m,
            buttons: [
                {label:'✘ ${No}', cancel: true},
                {label:'✔ ${Yes}', primary: true}
            ]
        }).then(function() {
            c.agree = 'yes';
        }, function() {
            c.agree = 'no';
        })
    }
}
```

次のコード例は、埋め込みウィジェットオプションの使用方法を示しています。

```
//HTML template
<button ng-click="c.onWidget('widget-cool-clock')" class="btn
 btn-default">
    Cool Clock
  </button>
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
//Client script
function(spModal) {
  var c = this;
  c.onWidget = function(widgetId, widgetInput) {
        spModal.open({
            title: 'Displaying widget ' + widgetId,
            widget: widgetId,
            widgetInput: widgetInput || {}
        }).then(function(){
            console.log('widget dismissed');
        })
    }
}
```

spModal：prompt(文字列 **message**, 文字列 **default).then(fn)**

ユーザー入力のプロンプトを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。
default (オプション)	文字列	ユーザーが応答しない場合に使用するデフォルト値。

返される内容

タイプ	説明
文字列	promise にはユーザーの応答が入ります。ユーザーが応答を入力しない場合はデフォルト値が入ります。

```
//HTML template
 <button ng-click="c.onPrompt()" class="btn btn-default">
    Prompt
  </button>
  <div ng-show="c.name">
    You answered <span>{{c.name}}</span>
  </div>

// Client script
function(spModal) {
  var c = this;
  c.onPrompt = function() {
        spModal.prompt("Your name please", c.name).then(function(name) {
            c.name = name;
        })
    }
}
```

spUtil - クライアント

spUtil API は、サービスポータルウィジェットクライアントスクリプトで一般的な機能を実行するためのユーティリティメソッドを提供します。

これらの機能には、次のものが含まれます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 通知エラーメッセージを表示します。 spUtil - addErrorMessage(文字列 message)
- 通知情報メッセージを表示します。 spUtil - addInfoMessage(文字列 message)
- 簡単な通知メッセージを表示します。 spUtil - addTrivialMessage(文字列 message)
- 一意の識別子を作成します。 spUtil - createUid()
- 変数を使用して文字列を書式設定します。 spUtil - format(文字列 template, オブジェクト data)
- ウィジェットクライアントスクリプトにウィジェットモデルを埋め込みます。 spUtil - get(文字列 widgetId オブジェクト data)
- API 呼び出しに使用するすべてのヘッダーを取得します。 spUtil - getHeaders()
- 完全なホストドメインを返します。 spUtil - getHost()
- 設定名を渡して、ユーザー設定応答でコールバックを実行します。 spUtil - getPreference(文字列 preference, 関数 callback)
- 現在のサービスポータルの URL 情報を返します。 spUtil - getURL()
- 現在のクライアントがモバイルデバイスかどうかを確認します。 spUtil - isMobile()
- 指定された文字列内のカンマ区切りの属性を解析します。 spUtil - parseAttributes(文字列 attributes)
- テーブルまたはフィルターの更新を監視し、コールバック関数から値を返します。 spUtil - recordWatch(オブジェクト $scope, 文字列 table, 文字列 filter, 関数 callback)
- サーバーを呼び出し、現在の オプション と データを サーバーの応答に置き換えます。 spUtil - refresh(オブジェクト $scope)
- 指定されたセレクターを持つ要素まで、指定された期間にわたってスクロールします。 spUtil - scrollTo(文字列 selector, 数字 time)
- ヘッダーのブレッドクラムを更新します。 spUtil - setBreadCrumb(オブジェクト $scope, 配列ブレッドクラム)
- ユーザー初期設定を設定します。 spUtil - setPreference(文字列設定, 文字列値)
- 検索ページを更新します。 spUtil - setSearchPage(文字列 searchPage)
- 指定されたスコープ内のサーバー上のデータオブジェクトを更新します。 spUtil - update(オブジェクト $scope)

ウィジェットの詳細については、「サービスポータルウィジェット」 を参照してください。

spUtil - addErrorMessage(文字列 **message)**

通知エラーメッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するエラー メッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
spUtil.addErrorMessage("There has been an error processing your request")
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

spUtil - addInfoMessage(文字列 message)

通知情報メッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
spUtil.addInfoMessage("Your order has been placed")
```

spUtil - addTrivialMessage(文字列 message)

些細な通知メッセージを表示します。

些細なメッセージはしばらくすると消えます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
spUtil.addTrivialMessage("Thanks for your order")
```

spUtil - createUid()

一意の識別子を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	一意の 32 文字の ID。

spUtil - get(文字列 widgetId オブジェクト data)

ウィジェットクライアントスクリプトにウィジェットモデルを埋め込みます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コールバック関数が完全なウィジェットモデルを返します。ウィジェットの詳細については、「サービスポータルウィジェット」 を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
widgetId	文字列	埋め込むウィジェットのウィジェット ID または sys_id。
data	オブジェクト	オプション。ウィジェットモデルに渡すパラメーターの名前/値ペア。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	埋め込みウィジェットのモデル。

データを渡さずに。

```
spUtil.get("widget-cool-clock").then(function(response) {
  c.coolClock = response;
});
```

データが渡されました。

```
spUtil.get('pps-list-modal', {title: c.data.editAllocations,
  table: 'resource_allocation',
  queryString: 'GROUPBYuser^resource_plan=' + c.data.sysId,
  view: 'resource_portal_allocations' }).then(function(response) {
    var formModal = response;
    c.allocationListModal = response;
  });
```

spUtil - getHeaders()

API 呼び出しに使用するすべてのヘッダーを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	API 呼び出しに使用するすべてのヘッダー。

spUtil - getHost()

完全なホストドメインを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	完全なホストのドメイン (例：`hi.servicenow.com`)

spUtil - getPreference(文字列 **preference**, 関数 **callback)**

設定名を渡すことにより、ユーザー設定応答でコールバックを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
preference	文字列	設定の名前。
コールバック	関数	コールバック関数を定義します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

spUtil - getURL()

現在のサービスポータルの URL 情報を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	現在のサービスポータル URL。

spUtil - format(文字列 **template**, オブジェクト **data)**

変数を含む文字列を書式設定します。

このメソッドは、文字列連結の代わりに使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
template	文字列	変数代替の値を含む文字列テンプレート。
データ	オブジェクト	テンプレート文字列で定義された変数の値を含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	変数の命名法の代わりに変数値を含む文字列。

```
spUtil.format('An error ocurred: {error} when loading {widget}', {error:
 '404', widget: 'sp-widget'})
```

出力:

```
'An error occurred: 404 when loading sp-widget'
```

spUtil - isMobile()

現在のクライアントがモバイルデバイスかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブール	現在のクライアントがモバイルデバイスかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:現在のクライアントはモバイルデバイスです。 • false:現在のクライアントはモバイルデバイスではありません。

spUtil - parseAttributes(文字列 attributes)

指定された文字列内のカンマ区切りの属性を解析します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
attributes	文字列	辞書レコードの [属性] フィールドなど、カンマ区切りの属性を含む文字列。

返される内容

タイプ	説明
アレイ	解析された属性を含むオブジェクトのアレイ。

```
function getRefQualElements() {
  var refQualElements = [];
  if (field && field.attributes &&
 field.attributes.indexOf('ref_qual_elements') > -1) {
    var attributes = spUtil.parseAttributes(field.attributes);
    refQualElements = attributes['ref_qual_elements'].split(';');
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  return refQualElements;
}
```

spUtil - recordWatch(オブジェクト **$scope**, 文字列 **table**, 文字列 **filter**, 関数 **callback)**

テーブルまたはフィルターの更新を監視し、コールバック関数から値を返します。

ウィジェット開発者がリアルタイムでテーブルの更新に応答できるようになります。例えば、*recordWatch()* を使用すると、簡易リストウィジェットでデータテーブルの変更をリスンできます。レコードが追加、削除、または更新されると、ウィジェットが自動的に更新されます。

注: `$scope` 引数を *recordWatch()* 関数に渡すときに、クライアントスクリプト関数のパラメーターに `$scope` を挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
$scope	オブジェクト	コールバック関数によって更新されたデータオブジェクトのスコープ。
table	文字列	監視対象テーブル。
filter	文字列	監視対象フィールドのフィルター。
callback	関数	オプション。コールバック関数を定義するパラメーター。

返される内容

タイプ	説明
Promise	コールバック関数の戻り値。

```
//A simple recordWatch function.
spUtil.recordWatch($scope, "live_profile", "sys_id=" + liveProfileId);

//In a widget client script
function(spUtil, $scope) {
  /* widget controller */
  var c =this;

  // Registers a listener on the incident table with the filter
 active=true,
  // meaning that whenever something changes on that table with that
 filter,
  // the callback function is executed.
  // The callback function takes a single parameter 'response', which
 contains
  // the property 'data'. The 'data' property contains information about
 the changed record.
  spUtil.recordWatch($scope, "incident", "active=true",
 function(response) {

    // Returns the data inserted or updated on the table
    console.log(response.data);

    });
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

spUtil - refresh(オブジェクト **$scope)**

サーバーを呼び出し、サーバーの応答から取得された現在のオプションとデータを置き換えます。

`spUtil.refresh()` の呼び出しは `server.refresh()` の呼び出しに類似しています。ただし、`spUtil.refresh()`を呼び出すと、$scope オブジェクトを定義できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
$scope	オブジェクト	更新のために定義されたスコープ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	オプションとデータオブジェクトが更新されました。

spUtil - scrollTo(文字列 **selector**, 数字 **time)**

指定されたセレクターを持つ要素まで、指定された期間にわたってスクロールします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
selector	文字列	スクロール先のセレクター。
時刻	番号	指定されたセレクターへのスクロールにかかる時間。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
なし	

spUtil - setBreadCrumb(オブジェクト **$scope**, 配列ブレッドクラム)

ヘッダーのブレッドクラムを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
$scope	オブジェクト	テーブルに定義されたスコープ。
ブレッドクラム	アレイ	ブレッドクラムフィルターの作成に使用される条件。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

spUtil - setPreference(文字列設定, 文字列値)

ユーザー設定を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
県	文字列	初期設定名
値	文字列	設定値

返される内容

タイプ	説明
なし	

spUtil - setSearchPage(文字列 **searchPage)**

検索ページを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
searchPage	文字列	検索ページの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

spUtil - update(オブジェクト **$scope)**

指定されたスコープ内にあるサーバー上のデータオブジェクトを更新します。

このメソッドは `server.update()` に似ていますが、渡すスコープを定義する $scope パラメーターが含まれています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
$scope	オブジェクト	更新のために定義されたスコープ。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	更新されたデータオブジェクト。

次の例には、ステータスフィールドの変更を監視する P1 ウィジェットが含まれています。フィルターを使用してすべてのアクティブな P1 を監視して、データを更新するかどうかの判断をコールバック関数に許可します。*`data.changes`* プロパティには更新されたフィールドのアレイが入っています。フィールドのステータスが変更されると、ウィジェット内のデータが更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var q = "priority=1^active=true^EQ";
spUtil.recordWatch($scope, "incident", q, function(event, data) {
   if (data.changes.includes("state")) { // only update if state was
 updated.
      spUtil.update($scope);
   }
});
```

StopWatch - クライアント

StopWatch API には、操作の期間を測定するメソッドが用意されています。

この API は、 *ListV2* および *ListV3* API を使用するクライアント側スクリプトで使用できます。

StopWatch - StopWatch()

StopWatch クラスのインスタンスを作成します。

現在の時刻を開始時間として使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
var sw = new StopWatch();

// some slow code here
for(var i=0,j=1;i<100000000;i++) {
    j=Math.sqrt(i*i*j);
}

if (sw.getTime() > 500)
    console.log("Long running script. Execution time: [" + sw.toString()
 + "]");

sw.restart();

// some faster code
for(i=0,j;i<100000;i++) {
    j= i + Math.random() * i;
}

console.log("Finished in: " + sw.getTime() + "ms");
sw.stop();
```

StopWatch - StopWatch(日付 initialDate)

指定された日付を初期値に使用して、StopWatch クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
initialDate	日付	オブジェクトの初期日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

StopWatch - getTime()

タイマーが開始されてからの時間をミリ秒単位で返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
番号	タイマーが開始してからの経過時間。 単位：ミリ秒

```
var sw = new StopWatch();

// some slow code here
for(var i=0,j=1;i<100000000;i++) {
    j=Math.sqrt(i*i*j);
}

if (sw.getTime() > 500)
    console.log("Long running script. Execution time: [" + sw.toString()
 + "]");

sw.restart();

// some faster code
for(i=0,j;i<100000;i++) {
    j= i + Math.random() * i;
}

console.log("Finished in: " + sw.getTime() + "ms");
sw.stop();
```

StopWatch - restart()

タイマーの開始を現在の時刻にリセットします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var sw = new StopWatch();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// some slow code here
for(var i=0,j=1;i<100000000;i++) {
    j=Math.sqrt(i*i*j);
}

if (sw.getTime() > 500)
    console.log("Long running script. Execution time: [" + sw.toString()
 + "]");

sw.restart();

// some faster code
for(i=0,j;i<100000;i++) {
    j= i + Math.random() * i;
}

console.log("Finished in: " + sw.getTime() + "ms");
sw.stop();
```

StopWatch - toString()

経過時間を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	経過時間。 形式:HH:MM:SS。SSSの

```
var sw = new StopWatch();

// some slow code here
for(var i=0,j=1;i<100000000;i++) {
    j=Math.sqrt(i*i*j);
}

if (sw.getTime() > 500)
    console.log("Long running script. Execution time: [" + sw.toString()
 + "]");

sw.restart();

// some faster code
for(i=0,j;i<100000;i++) {
    j= i + Math.random() * i;
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
console.log("Finished in: " + sw.getTime() + "ms");
sw.stop();
```

UIB API リファレンス

UIB クライアントアプリケーションで UI ビルダー (UIB) API を使用します。

api - UI Builder

api API は、UI Builder でクライアントスクリプトを開発するときに使用できるメソッドを提供します。

この API は、クライアントスクリプト (ページスクリプトとも呼ばれます) に公開されます。クライアントスクリプトは、次のようにページ上で起こるものに応答して実行されます。

- ボタンのクリックなどのユーザーインタラクションイベント/アクション。
- データブローカーの実行の開始などのライフサイクルイベント。

これらのスクリプトは、フレームワークに何も返す必要がなく、非同期の機能として記述することができます。

この API は、スクリプトのプロパティ値にも公開されます。これらのスクリプトは、次のようにフレームワークランタイムで値を計算する必要があるときは常に実行されます。

- コンポーネントプロパティに渡す。
- コンポーネントの可視化を決定する。
- ペイロードを持つイベントを発行する。

これらのスクリプトを非同期の機能として記述することはできません。また、*api.emit()*、*api.setState()*、*api.data.<data_resource_id>.*()* など、api オブジェクトの副作用メソッドを呼び出すこともできません 。

api オブジェクトには、関連ページまたはコンポーネントのコンテキスト内でアクセスできる構成依存プロパティと構成非依存プロパティの両方が含まれます。このオブジェクト内のプロパティを直接変更することはできません。変更は、利用可能なメソッドを介してのみ行うことができます。

api - api.context.props.<page_property_name>

ページのプロパティは UI ビルダー 内で構成できます。構成値は、ページが使用されるコンテキストによって異なります。

フィールド

名前	タイプ	説明
<page_property_name>	任意	使用可能な値は、クライアントスクリプトの実装によって異なります。 これらのプロパティにアクセスするには、`api.context.props.<page_property_name>` を使用します。 例： `// A record page with property table could be accessed with`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド (続く)

名前	タイプ	説明
		`function isActivityStreamVisible({api}) { return api.context.props.table === 'incident'; }` 注: これらのプロパティ値は読み取り専用です。スクリプトからのネストされたオブジェクト値の変更はサポートされていません。

api - api.context.session.<session_property>

現在のユーザーに関連付けられたコンテキストセッションプロパティ。

使用可能なセッションプロパティ

名前	タイプ	説明
isLoggedIn	ブーリアン	現在のユーザーがシステムにログインしているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：現在のユーザーはログインしています。 • false：現在のユーザーはログインしていません。
properties.awaEnabled	文字列	現在のユーザーに対して Advanced Work Assignment (AWA) の作業アイテムの自動アサインが有効になっているかどうかを示すシステムプロパティ glide.awa.enabled。 可能な値： • true：ユーザーに対して AWA が有効になっています。 • false：ユーザーに対して AWA が無効になっています。 詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
properties.forgetMe.value	文字列	ログインページから [記憶する] チェックボックスを削除してログイン情報のキャッシュを防ぐかどうかを示すプロパティ glide.ui.forgetme。 可能な値： • true：[記憶する] チェックボックスを削除します。 • false：[記憶する] チェックボックスを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なセッションプロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		詳細については、「記憶するものを削除する」を参照してください。
properties.sessionTimeLeft.value	文字列 文字列に強制される数値	現在のセッションがタイムアウトするまでの残り時間を決定するシステムプロパティ glide.ui.session_timeleft。このプロパティを使用して、現在のセッションがタイムアウトする前に延長するようにユーザーに指示します。 単位：分
properties.sessionTimeout.value	文字列 文字列に強制される数値	初期セッションタイムアウト値を決定するシステムプロパティ glide.ui.session_timeout。 単位：分。1440 分を超える値は 1 日として扱われます。 詳細については、「セッションアクティビティのタイムアウト」を参照してください
properties.trackingEnabled.value	文字列	UI ビルダー ベースのアプリケーションの Web 分析ライブラリのロードとインスタンス化を有効にするか無効にするかを示すシステムプロパティ glide.uxbuilder.tracking.enabled。 可能な値： • true：ユーザーに対して有効になります。 • false：ユーザーに対して無効になります。
user.avatar	文字列	現在のユーザーのアバターの URL。
user.dateFormat	文字列	デフォルトの日付形式。
user.domain	文字列	現在のユーザーのドメインパス。
user.firstName	文字列	現在のユーザーの名。
user.fullName	文字列	現在のユーザーの名と姓。
user.initials	文字列	現在のユーザーのイニシャル。
user.language	文字列	現在のユーザーが使用しているプライマリ言語。
user_preference	オブジェ	ユーザー初期設定を記述する名前/値ペア。これらのユーザー初期設定は、ユーザー初期設定

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なセッションプロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
	クトのアレイ	[sys_user_preference] テーブルにレコードとして保存され、ユーザーが設定を変更するたびに更新されます。 詳細については、「ユーザー管理の詳細」を参照してください。
user_roles	アレイ	現在のユーザーに割り当てられているロールのカンマ区切りリスト。 注: ユーザーにロールが割り当てられていない場合、このコンテキストセッションプロパティは空の配列ではなく null を返します。
user.sys_id	文字列	ユーザー [sys_user] テーブル内のユーザーの sys_id。
user.timeFormat	文字列	ユーザーに使用するデフォルトの時間形式。
user.timeZone	文字列	現在のユーザーのタイムゾーン。
user.timeZoneOffset	文字列	現在のユーザーのタイムゾーンのオフセット。

api - api.data.<data_resource_id>.lifecycle.lastFetchSucceeded

指定されたデータリソースインスタンスに対する最後のフェッチの試行が正常に終了したかどうかを示すブールフラグです。

値が true の場合、データリソースインスタンスに対する最後のフェッチの試行は正常に終了しました。false の場合は、正常に終了しませんでした。

フィールド

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

api - api.data.<data_resource_id>.addErrorMessage(オブジェクト **payload)**

指定されたエラーメッセージを現在のフォームの上部に表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	表示するエラーメッセージを記述するオブジェクト。
		
		`"payload": {`
		`  "message": "String"`
		`}`

payload.message	文字列	表示するエラー メッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.addErrorMessage({message: 'Error message'});
```

api -api.data.<data_resource_id>.addInfoMessage(オブジェクト **payload)**

指定された情報メッセージを現在のフォームの上部に表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	表示する情報メッセージを記述するオブジェクト。
		
		`"payload": {`
		`  "message": "String"`
		`}`

payload.message	文字列	表示する情報メッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.addInfoMessage({message: 'Test message'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.addOption(オブジェクト **payload)**

指定された選択肢タイプフィールドにオプションを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	更新するフィールド値を記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "choiceIndex": "String",`
		`  "choiceLabel": "String",`
		`  "choiceValue": "String",`
		`  "fieldName": "String"`
		`}`

payload.choiceIndex	文字列	オプション。オプションを挿入する選択リストへのインデックス。 デフォルト：選択リストの最後。
payload.choiceLabel	文字列	指定されたフィールドに追加するオプションのラベル。
payload.choiceValue	文字列	指定されたフィールドに追加するオプションの値。
payload.fieldName	文字列	指定されたオプションを追加する選択肢タイプのフォームフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.addOption({fieldName: 'priority', choiceLabel: 'Extremely
 High', choiceValue: '10'});
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

api - api.data.<data_resource_id>.addWarningMessage(オブジェクト **payload)**

指定された警告メッセージを現在のフォームの上部に表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	表示する警告メッセージを記述するオブジェクト。
		
		`"payload": {`
		`  "message": "String"`
		`}`

payload.message	文字列	表示する警告メッセージ

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.addWarningMessage({message: 'Test message'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.clearMessage()

現在のフォームの上部からすべての情報メッセージとエラーメッセージを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.clearMessage();
```

api - api.data.<data_resource_id>.clearOptions(オブジェクト **payload)**

指定された選択肢タイプフィールドからすべてのオプションをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	オプションをクリアする選択肢タイプフィールドを記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "fieldName": "String"`
		`}`

payload.fieldName	文字列	オプションをクリアする選択肢タイプフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.clearOptions({fieldName: 'priority'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.executeUiAction(オブジェクト **payload)**

指定された UI アクションを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
payload	オブジェクト	実行する UI アクションを記述するオブジェクト。 `"payload": { "actionSysId": "String" }`
payload.actionSysId	文字列	実行する UI アクションの sys_ID。UI アクション [sys_ui_action] テーブルにあります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.executeUiAction({actionSysId:
 '60615ff90f730010ac7de6f8c4767e9a'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.execute(オブジェクト **inputValues)**

指定されたデータリソースに対する実行操作をトリガーします。

このメソッドは、データリソースが次のいずれかのタイプである場合にのみ使用できます。

- 総合
- GraphQL
- REST
- スクリプトレット
- 変換

注: このメソッドは、対応するデータリソース (sys_ux_data_broker_* テーブル) レコードの *mutates_server_data* フィールドが `true` に設定されている場合にのみ公開されます。*api.data.<data_resource_Id>.refresh()* でアクセスできます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
inputValues	オブジェクト	指定されたデータリソースに渡すオブジェクト。このオブジェクトは、データリソースの入力パラメーターに適合する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、ページの [送信] ボタンがクリックされたときに呼び出されるページスクリプトを示しています。ページは、新しいレコードを作成するサーバーデータリソースを使用して構成されています。

```
function handler({api}) {
  if (api.state.movieYear === 2020) {
    // The data resource used in this case specifies two input
 parameters: name and year
    api.data.create_movie_record.execute({
      name: api.state.movieName,
      year: api.state.movieYear
    });
  }
}
```

api - api.data.<data_resource_id>.hideFieldMessage(オブジェクト **payload)**

指定されたフィールドの横にある最も古いメッセージを非表示にするか、フィールドに関連付けられているすべてのメッセージをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	非表示にするフィールドメッセージを記述するオブジェクト。
		
		`"payload": {`
		`  "clearAll": Boolean,`
		`  "fieldName": "String"`
		`}`

payload.clearAll	ブーリアン	オプション。指定されたフォームフィールドに関連付けられているすべてのメッセージをクリアするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：指定されたフィールドに関連付けられているすべてのメッセージをクリアします。 • false：指定されたフィールドに関連付けられているすべてのメッセージをクリアしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
payload.fieldName	文字列	最も古いメッセージを非表示にする、または関連付けられているすべてのメッセージをクリアする対象のフォームフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.hideFieldMessage({fieldName: 'short_description'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.hideRelatedList(オブジェクト **payload)**

現在のフォーム上の指定された関連リストを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	非表示にする関連リストを記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "listTableName ": "String"`
		`}`

payload.listTableName	文字列	非表示にする関連リストの名前。関連リスト [sys_ui_related_list] テーブルにあります。非表示にするリストが関係を介している場合は、名前の代わりにリストの sys_id を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.hideRelatedList({listTableName:'incident.parent_incident'
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

api - api.data.<data_resource_id>.hideRelatedLists()

現在のフォーム上のすべての関連リストを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.hideRelatedLists();
```

api - api.data.<data_resource_id>.refresh()

指定された非変更データリソースインスタンスに対するリフレッシュ操作をトリガーします。

このメソッドは、データリソースによってフェッチされる基のデータが変更された場合に呼び出します。レコードの *mutates_server_data* フィールドが false に設定されている場合、データリソースは非変更と見なされます。

このメソッドは非同期です。指定されたデータリソースインスタンスのリフレッシュをトリガーする内部イベントを発行します。UI ビルダー を使用すると、データリソースライフサイクルイベント (DATA_Fetch_SUCCESSED や DATA_Fetch_FAILED など) に応答してクライアントスクリプトをトリガーできます。これらのイベントの詳細については、「イベントマッピング」を参照してください。

このメソッドは、データリソースが次のいずれかのタイプである場合にのみ使用できます。

- 総合
- GraphQL
- REST
- スクリプトレット
- 変換

注: このメソッドは、対応するデータリソース (sys_ux_data_broker_* テーブル) レコードの *mutates_server_data* フィールドが `false` に設定されている場合にのみ公開されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、ページでドロップダウンアイテムが選択されたときに呼び出されるページスクリプトを示しています。このページは、問題テーブルとインシデントテーブルをそれぞれ照会する 2 つのサーバーデータリソースで構成されています。

```
function handler({api, event}) {
  const value = event.payload.value[0];
  if (value === 'problem')
    api.data.problem_list_1.refresh();
  else if(value === 'incident')
    api.data.incident_list_1.refresh();
}
```

api - api.data.<data_resource_id>.reload()

同じテーブルと sys_id を使用して現在のフォームを再ロードします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.reload();
```

api - api.data.<data_resource_id>.removeOption(オブジェクト **payload)**

指定された選択肢タイプフィールドからオプションを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
payload	オブジェクト	更新する選択肢タイプフィールドを記述するオブジェクト。 `"payload": { "choiceValue": "String", "fieldName": "String" }`
payload.choiceValue	文字列	指定された選択肢タイプフィールドから削除するオプションの値。
payload.fieldName	文字列	指定された値を削除する選択肢タイプのフォームフィールドの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.removeOption({fieldName: 'priority', choiceValue: '1'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.save()

Save UI アクションを使用してフォーム送信をトリガーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.save();
```

api - api.data.<data_resource_id>.setMandatory(オブジェクト **payload)**

指定されたフォームフィールドが必須かどうかを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
payload	オブジェクト	必須情報を更新するフィールドを記述するオブジェクト。 `"payload": { "fieldName": "String", "mandatory": Boolean }`
payload.fieldName	文字列	必須の値を設定するフォームフィールドの名前。
payload.mandatory	ブーリアン	指定されたフォームフィールドが必須であることを示すフラグ。つまり、このフィールドに有効な値が含まれていなければ、フォームは保存できません。 有効な値： • true：フィールドは必須です。 • false：フィールドはオプションです。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.setMandatory({fieldName: 'short_description', mandatory:
 false});
```

api - api.data.<data_resource_id>.setReadOnly(オブジェクト **payload)**

指定されたフォームフィールドの読み取り/書き込み機能を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
payload	オブジェクト	読み取り機能の情報を更新するフィールドを記述するオブジェクト。 `"payload": { "fieldName": "String", "readonly": Boolean }`
payload.fieldName	文字列	読み取り機能を設定するフォームフィールドの名前。
payload.readonly	ブーリアン	指定されたフォームフィールドの読み取り/書き込み機能を示すフラグ。 有効な値： • true：フィールドは読み取り専用です。 • false：フィールドは読み取り/書き込み可能です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.setReadOnly({fieldName: 'short_description', readonly:
 false});
```

api -api.data.<データリソース ID>.setValue(オブジェクト payload)

指定された GlideForm フィールドを指定された値で更新します。必要に応じて、同じ指定値で表示値を更新することもできます。

フォームの値のみが更新されます。値はデータベースに保存されません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	値を更新するフィールドを記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "displayValue": "String",`
		`  "fieldName": "String",`
		`  "value": "String"`
		`}`

payload.displayValue	文字列	オプション。更新する表示値の名前。空白のままにすると、表示値は変更されません。
payload.fieldName	文字列	更新するフォームフィールドの名前。
payload.value	文字列	フィールドを更新する値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.setValue({fieldName: 'short_description', value: 'short
 description'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.setVisible(オブジェクト **payload)**

指定されたフォームフィールドの可視化を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	可視化を設定するフィールドを記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "fieldName": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明

		<pre>"visibility": Boolean
		}</pre>

payload.fieldName	文字列	可視化を設定するフォームフィールドの名前。
payload.visibility	ブーリアン	関連付けられたフィールドが現在のフォームに表示されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フィールドがフォームに表示されます。 • false：フィールドはフォームに表示されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.setVisible({fieldName: 'short_description', visibility:
 false});
```

api - api.data.<data_resource_id>.showFieldMessage(オブジェクト **payload)**

指定されたフィールドの横に、指定されたメッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	表示するフィールドメッセージを記述するオブジェクト。
		<pre>"payload": {
		  "fieldName": "String",
		  "message": "String",
		  "type": "String"</pre>

payload.fieldName	文字列	メッセージを横に表示させるフィールドの名前。
payload.message	文字列	表示するメッセージ。
payload.type	文字列	オプション。表示するメッセージのタイプ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• error • 情報 • warning デフォルト：Info

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.showFieldMessage({fieldName: 'short_description', message:
 'Error message', type: 'error'});
```

api - api.data.<data_resource_id>.showRelatedList(オブジェクト **payload)**

指定された関連リストを現在のフォームに表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

payload	オブジェクト	表示する関連リストを記述するオブジェクト。
		`"payload": {`
		`  "listTableName ": "String"`
		`}`

payload.listTableName	文字列	表示する関連リストの名前。関連リスト [sys_ui_related_list] テーブルにあります。表示するリストが関係を介している場合は、名前の代わりにリストの sys_id を指定します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
api.data.gform.showRelatedList({listTableName:'incident.parent_incident'
});
```

api - api.data.<data_resource_id>.showRelatedLists()

現在のフォームに関連付けられているすべての関連リストを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.showRelatedLists();
```

api - api.data.<data_resource_id>.submit()

指定された UI アクションを使用してフォーム送信をトリガーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data_resource_id	文字列	関連付けられたデータリソースの一意の識別子。 ほとんどの場合、フォームコントローラー CTRL_RECORD#SAVE_FORM アクションを使用できます。レコードページにレコードページタブコンポーネントがある場合、このメソッドのデータリソースは GlideForm (g_form) に基づいている必要があります。 使用可能なデータリソースインスタンスは構成に依存し、UI ビルダー でデータリソースをページに追加するときに定義されます。
payload	オブジェクト	現在のフォームの送信に使用する UI アクションを記述するオブジェクト。 `"payload": { "submitActionName": "String" }`
payload.submitActionName	文字列	現在のフォームの送信を実行する UI アクションの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
api.data.gform.submit({submitActionName:'sysverb_ws_save'});
```

api - api.emit(文字列 **eventName**, オブジェクト **payload)**

指定された名前とペイロードを持つイベントを発行します。

発行されるイベント名は、UX Macroponent 定義 [sys_ux_macroponent] テーブルに格納されている、関連するページ定義のディスパッチされるイベントリストの一部である必要があります。このテーブルで宣言されていないイベントをディスパッチする *api.emit* 呼び出しは無視されます。

イベントの詳細については、「イベントの操作」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventName	文字列	発行するイベントの名前。この名前は、UI フレームワークのアクション命名ガイドラインに従う必要があります。 • 大文字のスネークケース (ITEM_CHANGED など) にする必要があります。すべての文字を大文字にし、すべてのスペースをアンダースコアに置き換えます。 • 過去形 (BUTTON_CLICKED、USER_SELECTED など) にする必要があります。 これらのアクション命名ガイドラインの詳細については、「https://developer.servicenow.com/dev.do#!/reference/now-experience/sandiego/ui-framework/main-concepts/dispatching-actions」を参照してください。
payload	オブジェクト	オプション。発行されたイベントとともに送信するデータを含むオブジェクト。このオブジェクトは自由形式です。データを受け取るエンティティが必要とするデータをすべて含めることができます。 注: プリミティブタイプのペイロードは機能しますが、動作に一貫性がなくなる可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、関連付けられた *items* ペイロードとともに *NOW_UXF_PAGE#ADD_NOTIFICATIONS* というイベントを発行する方法を示しています。

```
function handler({api}) {
  api.emit('NOW_UXF_PAGE#ADD_NOTIFICATIONS', {
    items: [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
        id: 'alert1',
        status: 'positive',
        icon: 'check-circle-outline',
        content: 'Here is some information!',
        textLinkProps: {
          label: 'More info',
          href: 'https://www.servicenow.com'
        },
      action: {type: 'acknowledge'}
      }
    ]
  });
}
```

api - setState(文字列 **stateParam**, 任意 **value**)

指定されたクライアントステータスパラメーターの値を設定します。

クライアントステータスパラメーターを使用して、ページ上で共有ステータスを維持します。その後で共有ステータスは、ページで使用されるコンポーネントのプロパティに値として渡すことができます。複数のページスクリプトでクライアントステータスにアクセスして更新することもできます。一般的なユースケースは、ページ上の複数のフォームコントロールでユーザーが入力した値を追跡することです。フォームが送信されると、クライアントスクリプトはクライアントステータスパラメーターに格納されているすべての値を使用して、データブローカーで新しいレコードを作成できます。UI Builder を使用してページに対して宣言できるクライアントステータスパラメーターをページに 1 つ以上含めることができます。その後、クライアントステータスパラメーターを 1 つ以上のコンポーネントにバインドして、クライアントステータスパラメーターを共有または操作できます。

`api.setState()` 呼び出しは非同期に実行され、UI がすぐに更新されるとは限りません。設定する値がクライアントステータスパラメーターの `currentValue`、または api オブジェクトで提供されるプロパティのいずれかに依存する場合は、`api.setState()` メソッドのこのバリアントを使用して、古い値の使用を避ける必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
stateParm	文字列	更新するクライアントステータスパラメーターの名前。この名前は、関連付けられたページのクライアントステータスパラメーターで宣言される必要があります。 クライアント状態パラメーターの宣言の詳細については、「クライアント状態パラメーターの操作」を参照してください。
value	任意ですが、クライアントステータスパラメーター宣言と同じにする必要があります。	指定されたクライアントステータスパラメーターに設定する値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、now-input コンポーネントに入力値が設定されたときにメールクライアントのステータスパラメーターを更新するために実行できるスクリプトを示しています。

```
function handler({api, event}) {
    api.setState('email', event.payload.value);
}
```

API - setState(文字列 **stateParam**, 機能 **callbackFn)**

指定されたクライアントステータスパラメーターの値を、指定されたコールバック機能によって返される値に設定します。

コールバック機能は、*currentValue* と *api* の 2 つのプロパティを持つオブジェクトにより呼び出されます。コールバック機能は、*currentValue* プロパティまたは *api* オブジェクトを直接変更できません。

クライアントステータスパラメーターを使用して、ページ上で共有ステータスを維持します。その後で共有ステータスは、ページで使用されるコンポーネントのプロパティに値として渡すことができます。複数のページスクリプトでクライアントステータスにアクセスして更新することもできます。一般的なユースケースは、ページ上の複数のフォームコントロールでユーザーが入力した値を追跡することです。フォームが送信されると、クライアントスクリプトはクライアントステータスパラメーターに格納されているすべての値を使用して、データブローカーで新しいレコードを作成できます。UI Builder を使用してページに対して宣言できるクライアントステータスパラメーターをページに 1 つ以上含めることができます。その後、クライアントステータスパラメーターを 1 つ以上のコンポーネントにバインドして、クライアントステータスパラメーターを共有または操作できます。

api.setState() 呼び出しは非同期に実行され、UI がすぐに更新されるとは限りません。設定する値がクライアントステータスパラメーターの *currentValue*、または api オブジェクトで提供されるプロパティのいずれかに依存する場合は、*api.setState()* メソッドのこのバリアントを使用して、古い値の使用を避ける必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
stateParm	文字列	更新するクライアントステータスパラメーターの名前。この名前は、関連付けられたページのクライアントステータスパラメーターで宣言される必要があります。 クライアント状態パラメーターの宣言の詳細については、「クライアント状態パラメーターの操作」を参照してください。
callbackFn	関数	値を取得するために実行するコールバック機能。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*api.setState* を使用してユーザーをページにログインさせる方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
function handler({api, event}) {
  const {name, value} = event.payload;
  if (name === 'username' || name === 'password') {
    // Update the loginParameters state object with the username/password
 value
    api.setState('loginParameters', ({currentValue}) => {
      return {
        ...currentValue,
        [name]: value
      };
    });
  }
}
```

api - api.state.<client_state_parameter_name>

指定されたクライアントステータスパラメーターの現在の値です。

フィールド

名前	タイプ	説明
<client_state_parameter_name>	任意。使用可能なクライアントステータスパラメーターは、ページ構成によって異なります。	クライアントステータスパラメーターの名前。使用可能なクライアントステータスは、クライアントスクリプトの実装によって異なります。 利用可能なクライアントステータスにアクセスするには、`api.state.<client_state_name>` を使用します。 例： `function showRelatedLists({api}) { return ! api.state.isCustomListSelected; }` **注:** これらのプロパティ値は読み取り専用です。クライアントステータスパラメーターを更新するには、api.setState() を使用します。スクリプトからのネストされたオブジェクト値の変更はサポートされていません。

helpers - UI Builder

helpers API にはページスクリプト全体に共通する一般的な機能があるため、モーダルのオープンやクローズといった簡単な機能のスクリプトを記述する必要はありません。

この API はページスクリプトでのみ使用できます。次のような他の UI Builder スクリプトでは使用できません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- コンポーネントプロパティ値スクリプト
- コンポーネント可視化スクリプト
- イベントペイロードスクリプト
- UX クライアントスクリプトインクルード

helpers - helpers.modal.close(文字列 **modalId)**

現在のページの指定されたモーダルを閉じます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
modalId	文字列	閉じるモーダルのモーダルコンポーネント ID。コンポーネントが UI ビルダー ステージにドラッグアンドドロップされると、コンポーネント ID が自動的に生成されます。その ID はプロパティページで見つけることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、`alert-modal`で終わるコンポーネント ID のモーダルを閉じる様子を示しています。

```
function handler({api, event, imports, helpers}) {
  helpers.modal.close("[component-id$='alert_modal']")
}
```

helpers - helpers.modal.open(文字列 **modalId**, オブジェクト **options)**

現在のページの指定されたモーダルを開きます。

1 ページ内で一度に表示できるモーダルは 1 つだけです。モーダルが現在開いているときにこのメソッドを呼び出すと、既存のモーダルは非表示になり、新しいモーダルが表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
modalId	文字列	開くモーダルのコンポーネント ID。コンポーネントが UI ビルダー ステージにドラッグアンドドロップされると、コンポーネント ID が自動的に生成されます。その ID はプロパティページで見つけることができます。

オプション	オブジェクト	オプション。
		`"options": {`
		`  "content": "String",`
		`  "contentFullWidth": Boolean,`
		`  "headerLabel": "String",`
		`  "size": "String"`
		`}`

options.content	文字列	モーダルのテキストコンテンツ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
options.contentFullWidth	ブール値	幅の広いコンテンツに合わせてモーダルの本文周囲の水平方向のパディングを削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：パディングを削除します。 • false：パディングを削除しません。 デフォルト値：false
options.header	文字列	モーダルヘッダーのテキストコンテンツ。
options.size	文字列	モーダルコンテナのサイズ。画面サイズが小さい場合、ほとんどのサイズはビューポート全体に自動的に拡大されます。 有効な値： • SM • md • lg • fullscreen デフォルト：sm

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、`alert-modal`で終わるコンポーネント ID のモーダルを開く様子を示しています。

```
function handler({api, event, imports, helpers}) {
  helpers.modal.open("[component-id$='alert_modal']")
}
```

helpers - helpers.navigate.setRouteParams(オブジェクト **params)**

指定されたパラメーターを同じページ上の他のコンポーネントに渡します。

このメソッドは、URL にパラメーターを追加する任意のページコンポーネントで使用します。あるパラメーターが変更されたときに別のコンポーネントがそのパラメーターの現在の値を知る必要がある場合は、URL にパラメーターを追加すると、それに反応して動作します。例として、このメソッドを使用してタブコンポーネントの `selectedIndex` を渡し、URL に反映させてそのタブにフォーカスを移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
params	オブジェクト	他のコンポーネントに渡すオプションのパラメーターのキーと値のペア。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		これは、プリミティブ値のみを持つ単純でフラットなオブジェクトである必要があります。アレイやオブジェクト参照は無視され、URL に追加されません。指定されたすべてのキーがルート構成のオプションのパラメーターの一部である必要があります。そうでない場合、キーは無視されます。オプションのパラメーターの詳細については、「UI Builder でページを作成する」を参照してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、`params/selected-tab-index/2` という URL を追加する方法を示しています。実際の URL のパラメーターがキャメルケースからスネークケースに変更されるため、`selectedTabIndex` は `selected-tab-index` になります。

```
function handler({api, event, helpers, imports}) {
  helpers.navigate.setRouteParams({'params': {'selectedTabIndex':  2}});
}
```

helpers - helpers.navigate.to(文字列 **route**, オブジェクト **fields**, オブジェクト **params**, ブーリアン **redirect**, ブーリアン **passiveNavigation**, 文字列 **targetRoute)**

指定されたルートとフィールドの情報に基づいて、ある画面から別の画面に移動します。URL が変わり、それぞれの画面のロードが観察されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
route	文字列	ルートの名前。UX アプリルート (sys_ux_app_route.list) からの有効なエントリである必要があります。この値は URL に反映され、 *route*、*fields*、および *optionalParams* 列の値に基づいて次のように URL が作成されます。`/<route>/<field1Value>/{<field2Value>/params/<optionalParamKey1>/<optionalParamValue1>/<optionalParamKey2>/<optionalParamValue2>` 例：`/record/incident/12345/params/selectedTabIndex/4`
フィールド	オブジェクト	オプション。必須パラメーターのキーと値のペア。 例：`'fields' : {'table': 'incident', 'sysId': '12345'}`
params	オブジェクト	オプション。オプションのパラメーターのキーと値のペア。 例：`'params' : {'selectedTabIndex': 4}`
redirect	ブーリアン	ブラウザー履歴から最新の履歴エントリーを削除するかどうかを示すフラグ。たとえば、サイト A、B、C の順に移動すると、C に移動するときに *redirect* が `true` に設定され、B の履歴エ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		ントリーが削除されます。ブラウザー履歴には A と C のみが表示されます。 有効な値： • true：最新の履歴エントリーを削除し、最新の URL にリダイレクトします。 • false：履歴エントリーを削除しません。 デフォルト値：false
passiveNavigation	ブーリアン	バックグラウンドナビゲーションを実行するかどうかを示すフラグ。バックグラウンドナビゲーションは、ページが開いているがアクティブになっていない、または表示されていない場合に実行されます。たとえば、ページの非アクティブなタブを開いても、ページは表示されずにバックグラウンドでロードされます。 有効な値： • true：バックグラウンドナビゲーションを実行します。 • false：バックグラウンドナビゲーションを実行しません。 デフォルト値：false
targetRoute	文字列またはオブジェクト	ドリルダウン、ディープリンク、またはサブタブへのサブナビゲーション。`current` に設定すると、現在のルートが現在の URL でサブナビゲーションを実行します。 たとえば、`/record/incident/123` が現在の URL で、次の呼び出しが行われたとします。 `helper.navigate.to('record', {'table': 'problem', 'sysId': '567'}, {}, false, false, 'current');` 次の URL が生成されます。`/record/incident/123/sub/record/problem/567` 注: *targetRoute* は、`'current'` などの文字列の場合と、`navigation NAV_ITEM_SELECTED payload` などのオブジェクトの場合があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例は、*route* パラメーターのみを渡してページに移動する方法を示しています。

```
function handler({api, event, imports, helpers}) {
  helpers.navigate.to('test');
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例は、*route* と *fields* パラメーターを渡してページに移動する方法を示しています。

```
function handler({api, event, imports, helpers}) {
  helpers.navigate.to('test', {'key': 'value'});
}
```

この例は、*route*、*fields* および *params* パラメーターを渡してページに移動する方法を示しています。

```
function handler({api, event, helpers, imports}) {
  helpers.navigate.to('test', {'key': 'value'}, {'first': 'FirstName',
 'last': 'Last Name'});
}
```

helpers - helpers.screen.updateStatus(オブジェクト **statusObj)**

タイトル、アイコン、ダーティステータス、メッセージ、エラーの変更など、ページのステータスの更新をページでレポートできるようにします。

ステータスの更新は、WorkspaceChrome と AppShell のうち外側のレイヤーである方に報告され、ホストとして機能します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
statusObj	オブジェクト	コンテンツが更新されたことをレポートするために現在のページに送信するペイロード。 有効な値： • *dirtyModalId*：(文字列) 変更されたモーダルの ID。 • *hasError*：(ブーリアン) ページにエラーがあることを示すフラグ。 • *hasUpdate*：(ブーリアン) ページの更新があったことを示すフラグ。 • *icon*：(文字列) 更新されたアイコンまたは新しいアイコンの名前。 • *isDirty*：(ブーリアン) ページがダーティ (値が変更されている) かどうかを示すフラグ。 • *message*：(文字列) 更新されたメッセージや新規メッセージ。 • *screenKey*：(文字列) 変更が発生した画面の ID。すべての画面に、sn-canvaas-screen 内の画面 Macroponent のプロパティとして *screenKey* があります。 • *status*：(文字列) このアクションのステータス操作。この値は、inserted、deleted、saved、closed のいずれかである必要があります。 • *title*：(文字列) 更新された表示タイトルや新規表示タイトル。 • *tooltipPreview*：(JSON) 更新されたツールチップや新しいツールチップ。例：`tooltipPreview : { primaryTitle, secondaryContent: {} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
screen.updateStatus({'dirtyModalId': 'customModalId', 'isDirty': true});
```

helpers - helpers.snHttp(文字列 **url**, オブジェクト **options)**

ServiceNow インスタンスへの HTTP 要求を行い、結果を含む promise を返します。

注: *options* という名前のオブジェクトが HTTP 応答から省略されるという既知の問題があります。

```
{
  options: {},
  otherFields: {}
}

becomes

{
  otherFields: {}
}
```

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	インスタンス URL に関連する HTTP エンドポイント。例：`/api/now/table/incident` または `/api/now/table/incident/a83820b58f723300e7e16c7827bdeed`

オプション	オブジェクト	HTTP 要求の内容を説明します。
		`"options": {`
		`"batch": Boolean,`
		`"body": {Object},`
		`"headers": {Object},`
		`"method": "String"`
		`}`

options.batch	ブーリアン	オプション。この HTTP 要求を、インスタンスに対して行われた他の HTTP 要求と一緒にバッチ処理するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：バッチ要求の一部として要求を行います。 • false：専用の要求を行います。 デフォルト：true
options.body	オブジェクト	オプション。要求の本文として送信するデータ。要求メソッド `PUT`、`POST`、`PATCH` にのみ適用されます。オブジェクトの要素は、HTTP メソッドのタイプによって異なります。詳しくは、次のコード例を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト：`{}`

options.headers	オブジェクト	オプション。追加の HTTP 要求ヘッダー。
		例：
		`headers: {`
		`  "Content-Type": "application/json",`
		`  "Accept": "application/xml"`
		`}`

options.method	文字列	オプション。HTTP メソッド。 有効な値： • 消去 • GET • PATCH • POST • PUT デフォルト：GET

返される内容

タイプ	説明

error	REST API によって返された任意のエラーを説明するオブジェクト。
	データタイプ：オブジェクト
	`"error": {`
	`  "data": "String",`
	`  "message": "String",`
	`  "options": {Object},`
	`  "status": Number,`
	`  "statusText": "String"`
	`}`

error.data	HTTP API から返された応答。 データタイプ：REST API によって定義
error.message	HTTP 要求を処理しようとしたときに発生したエラーを記述するメッセージ。 注: このパラメーターは常に返されるわけではありません。 データタイプ：文字列
error.options	元の HTTP 要求を記述します。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	`"options": { "headers": {Object}, "responseHeader": {Object} }`
error.options.headers	要求で送信されたすべての要求ヘッダーのリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト
error.options.responseHeaders	要求で送信されたすべての応答ヘッダーのリストを含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト
error.status	返された HTTP エラーステータスコード (400、405、500 など)。 データタイプ：数値
error.statusText	返された HTTP ステータスメッセージ (`Bad Request` など)。 データタイプ：文字列
response	HTTP 要求が成功した場合に返されます。HTTP 要求への応答。 データタイプ：任意

次の例は、promise を返す *snHttp()* を呼び出す方法を示しています。

```
function handler({api, event, helpers, imports}) {
  helpers.snHttp('/api/now/table/u_movie', {method: 'GET'})
    .then(({response}) => {
      // do something with the table data
    })
    .catch(({error}) => {
      const message = `Error: ${error.data.error.message}`;
      console.error(message);
      api.emit('NOW_UXF_PAGE#ADD_NOTIFICATIONS', {
        id: 'alert5',
        status: 'high',
        icon: 'info-circle-outline',
        content: message,
        action: { type: 'dismiss' }
    });
  });
}
```

次の例は、*async* と *await* を使用して *snHttp()*を呼び出す方法を示しています。

```
async function handler({helpers}) {
  try {
    const result = await helpers.snHttp('/api/now/table/u_movie',
 {method: 'GET'});
  } catch ({error}) {
      const message = `Error: ${error.data.error.message}`;
      console.error(message);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      api.emit('NOW_UXF_PAGE#ADD_NOTIFICATIONS', {
        id: 'alert5',
        status: 'high',
        icon: 'info-circle-outline',
        content: message,
        action: { type: 'dismiss' }
      });
  }
}
```

次の例は、POST 要求の設定方法を示しています。

```
function handler({api, helpers, event, imports}) {
  helpers
    .snHttp("/api/now/table/incident", {
      method: "POST",
      body: {
        description: "Sample description",
        close_notes: "Sample close notes",
        order: "-1"
      }
    })
    .then(({ response }) => {
      // handle POST request response
    })
    .catch(({ error }) => {
      // handle POST request errors
    });
}
```

次の例は、PUT 要求の設定方法を示しています。

```
function handler({api, helpers, event, imports}) {
  helpers
    .snHttp("/api/now/table/incident/a83820b58f723300e7e16c7827bdeed2", {
      method: "PUT",
      body: {
        activity_due: "1970-04-02 18:26:17"
      },
      headers: {
        "Content-Type": "application/json",
        "Accept": "application/xml"
      }
    })
    .then(({ response }) => {
      // handle PUT request response
    })
    .catch(({ error }) => {
      // handle PUT request errors
    });
}
```

helpers - helpers.timing.clearInterval(数字 **timeoutId)**

以前の *setInterval()* 呼び出しを通じてスケジュールされた関数の実行をキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutId	数字	クリアするスケジュール設定済み機能の一意の識別子。この値は、対応する *setInterval()* 呼び出しによって返されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、*setInterval()* メソッドを使用して以前に設定されたタイミング操作を、*clearInterval()* を使用してキャンセルする様子を示します。この機能は、ユーザーがページの [自動リフレッシュの無効化 **(Disable Auto-refresh)]** ボタンをクリックすることで呼び出される可能性があります。

```
function handler({api, helpers}) {
  api.setState('intervalId', ({currentValue}) => {
    if (currentValue > -1) {
      helpers.timing.clearInterval(currentValue);
    }
    return -1;
  });
}
```

helpers - helpers.timing.clearTimeout(数字 **timeoutId)**

以前の *setTimeout()* 呼び出しを通じてスケジュールされた関数の実行をキャンセルします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
timeoutId	数字	クリアするスケジュール設定済み機能の一意の識別子。この値は、対応する *setTimeout()* 呼び出しによって返されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、指定された *timeoutId* を使用してタイマーを終了する方法を示しています。

```
function handler({api, helpers}) {
  api.setState('timeoutId', ({currentValue}) => {
    if (currentValue > -1) {
      helpers.timing.clearTimeout(currentValue);
    }
    return -1;
  });
}
```

helpers - helpers.timing.setInterval(関数 **fn**, 数字 **delay)**

指定された遅延値を関数呼び出しの間隔に使用して、指定された関数を繰り返し実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ネイティブの JavaScript の `setInterval()` メソッドとは異なり、このメソッドでは評価するコード文字列を最初の引数として渡すことはできません。追加の引数は関数自体に渡されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	繰り返し実行する関数。
遅延	数字	各関数の実行間隔の長さ。 単位：ミリ秒

返される内容

タイプ	説明
数字	関数実行操作の一意の識別子。この操作をキャンセルする必要がある場合は、helpers - helpers.timing.clearInterval(数字 timeoutId) メソッドでこの値を使用します。

このコード例は、ページのタイムスタンプを毎秒更新する方法を示しています。この機能は、ユーザーがページの [自動リフレッシュの有効化] ボタンをクリックすることで呼び出される可能性があります。

```
function handler({api, helpers}) {
  // Every one second, refresh the value of current timestamp client
 state parameter
  const intervalId = helpers.timing.setInterval(() => {
    api.setState('currentTimestamp', new Date().toString())
  }, 1000);

  // The interval ID is kept in state to use when calling the
 helpers.timing.clearInterval() method at a later point
  api.setState('intervalId', intervalId);
}
```

helpers - helpers.timing.setTimeout(関数 **fn**, 数字 **delay)**

指定された遅延の後に、指定された関数を実行します。

ネイティブの JavaScript の `setTimeout()` メソッドとは異なり、このメソッドでは評価するコード文字列を最初の引数として渡すことはできません。追加の引数は関数自体に渡されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
fn	関数	実行する関数。
遅延	数字	指定された関数を呼び出す前に待機する時間の長さ。 単位：ミリ秒

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
数字	関数実行操作の一意の識別子。この操作をキャンセルする必要がある場合は、helpers - helpers.timing.clearTimeout(数字 timeoutId) メソッドでこの値を使用します。

このコード例は、20 分のタイマーを設定する方法を示しています。この機能は **[20** 分後に通知 **(Remind me in 20 minutes)]** ボタンに関連付けることができます。

```
function handler({api, helpers}) {
  const timeoutId = helpers.timing.setTimeout(() => {
    api.emit('NOW_UXF_PAGE#ADD_NOTIFICATIONS', {
      id: 'alert5',
      status: 'high',
      icon: 'info-circle-outline',
      content: 'Try to look away at something that is 20 feet away from
 you for a total of 20 minutes.',
      action: { type: 'dismiss' }
    });
  }, 20 * 60 * 1000);

  // The timeout ID is kept in state to use when calling the
 helpers.timing.clearTimeout() method at a later point
  api.setState('timeoutId', timeoutId);
}
```

helpers - helpers.translate(文字列 **message**, 文字列 **tokens)**

現在のユーザーのセッション言語に基づいて、指定されたメッセージを非同期に取得して翻訳します。

このメソッドを api - setState(文字列 stateParam, 任意 value) とともに使用して、変換された値をページ上の他のフィールドにバインドできます。

注: このメソッドは、promise または `async` と `await` を使用して呼び出すことができます。以下のコード例は、両方を実装する場合を示しています。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	翻訳するメッセージ。
トークン	文字列	オプション。文字列変数を置き換えるために使用するパラメーターのカンマ区切りリスト。 例： `helpers.translate('Text {0} {1}', 'to', 'translate');`

返される内容

タイプ	説明
文字列	翻訳されたテキスト文字列。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、テーブルフィールド参照を渡し、promise を使用して文字列内の対応する変数に埋め込む方法を示しています。

```
function handler ({api, helpers}) {
  helpers.translate('Welcome {0} {1}!', user.firstName, user.lastName)
    .then((translatedText) => {
      api.setState('greeting', translatedText);
    });
}
```

次の例は、promise の代わりに `async` と `await` を関数で使用する方法を示しています。

```
async function handler ({api, helpers}) {
  const translatedText = await helpers.translate('Welcome to {0}',
 'ServiceNow');
    api.setState('greeting', translatedText);
}
```

クライアントモバイル API リファレンス

Cabrillo JSを使用して、Now Platformネイティブモバイルアプリ内でカスタムモバイルエクスペリエンスをビルドします。

Cabrillo JS 定数

これらは、Cabrillo JSで使用される定数です。

Cabrillo JS 定数 - ボタンスタイル

ボタンのスタイルを設定する際に使用する定数です。

プロパティ

名前	タイプ	説明
cabrillo.viewLayout.MORE_MENU_BUTTON_STYLE	文字列	ナビゲーション バーのオーバーフロー ボタン メニューにボタンが表示されていることを示します。
cabrillo.viewLayout.REPLACE_BACK_BUTTON_STYLE	文字列	ネイティブの戻るボタンを Cabrillo のボタンに置き換えます。 **注:** このスタイルは慎重に使用してください。Cabrillo への置き換えを使用した後に Web ページでネイティブの戻るボタンが復元されない場合、ユーザーは戻ることができない可能性があります。

Cabrillo JS 定数 - 閉じるボタンのスタイル

モーダル インターフェイスの閉じるボタン スタイルを設定するときに使用する定数です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_CANCEL	文字列	モーダルにはモーダルを閉じるためのローカライズされたキャンセル ボタンがあります。
cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_CLOSE	文字列	モーダルには、モーダルを閉じるためのローカライズされた閉じるボタンがあります。
cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_DONE	文字列	モーダルにはモーダルを閉じるためのローカライズされた完了ボタンがあります。

Cabrillo JS 定数 - メッセージスタイル

メッセージのスタイルを設定するときに使用する定数。

各メッセージスタイルの外観は、テーマの色を使用してカスタマイズできます。詳細については、「モバイルの Next Experience テーマ設定」を参照してください。

プロパティ

名前	タイプ	説明
cabrillo.message.ERROR_MESSAGE_STYLE	文字列	メッセージはエラーを示すようにスタイル設定されます。
cabrillo.message.INFO_MESSAGE_STYLE	文字列	メッセージは、重要でない情報を示すようにスタイル設定されています。
cabrillo.message.SUCCESS_MESSAGE_STYLE	文字列	メッセージは成功を示すようにスタイル設定されます。
cabrillo.message.WARNING_MESSAGE_STYLE	文字列	メッセージは、警告を示すようにスタイル設定されています。

Cabrillo JS 定数 - モーダルプレゼンテーションスタイル

モーダルインターフェイスのプレゼンテーションスタイルを設定するときに使用する定数。

プロパティ

名前	タイプ	説明
cabrillo.modal.MODAL_PRESENTATION_STYLE_FULL_SCREEN	文字列	モーダルは全画面で表示されます。
cabrillo.modal.MODAL_PRESENTATION_STYLE_FORM_SHEET	文字列	モーダルはフォーム シートとして表示されますが、小さなデバイスでは全画面にも対応できます。

Cabrillo JS データ型

これらは、Cabrillo JS API で使用される一般的なデータ型です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cabrillo.Attachment

添付ファイルを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
content_type	文字列	添付ファイルのコンテンツタイプ
ext	文字列	添付ファイル拡張子
file_name	文字列	拡張子を含む添付ファイルの完全なファイル名
sys_created_by	文字列	添付ファイルを作成したユーザーのユーザー名
sys_id	文字列	添付ファイル レコードの sys_id
sys_updated_on	文字列	添付ファイル レコードが更新された日付。
table_name	文字列	添付ファイルが添付されるレコードを含むテーブルの名前
table_sys_id	文字列	添付ファイルが添付されているレコードの sys_id
thumbnail	文字列	添付ファイルの画像サムネイルの URL。画像の添付ファイルにのみ適用されます。

Cabrillo.AttachmentOptions

添付ファイルオプションを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
isSingleSelection	ブーリアン	オプション。ファイルをアップロードするためのドキュメントピッカーで複数選択を許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アップロードするファイルは一度に 1 つしか選択できません。 • false:アップロードするファイルを一度に複数選択できます。 デフォルト：False

Cabrillo.Button

ボタンを定義します。インターフェイスのコンテキストによっては、ボタンのプロパティのサブセットがサポートされる場合があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
backgroundColor	文字列	ボタンまたはバッジの背景色。 hex、RGB、HSL、または x11 の名前付き色を含む文字列。 注: ナビゲーションバーのボタンに色を設定することはできません。下部のボタンの色を設定できます。
badgeCount	番号	ボタンのバッジに表示する数値
ボタン ID	文字列	必須。ボタンの一意の ID。この値は、ユーザーがどのボタンをタップしたかを示すために、ボタンアクションペイロードで返されます。
buttonStyle	文字列	ボタンのスタイルをカスタマイズするために使用します。
enabled	ブーリアン	ボタンが有効かどうかを示します。
imageName	文字列	イメージを指定します。可能な値： • add：追加ボタンを表示します。 • back：戻るための戻る矢印の画像を表示します。 • cart：買い物かごを表示します。 • close：戻るための X の画像を表示します。 • edit：編集ボタンを表示します。 • filter：フィルターボタンを表示します。 • menu: メニューボタンを表示します。 • search：検索ボタンを表示します。
テキストの色	文字列	バッジまたはボタンのテキストの色。 hex、RGB、HSL、または x11 の名前付き色を含む文字列。 注: ナビゲーションバーのボタンに色を設定することはできません。下部のボタンの色を設定できます。
title	文字列	ボタンのタイトル。文字列をローカライズする必要があります。

Cabrillo.ModalResponse

解消されたモーダル ウィンドウから渡された結果を含みます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
結果	オブジェクト	解除されたモーダルウィンドウからの結果です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cabrillo.NavigationRequest

リストまたはレコードにナビゲートする要求を指定します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
table	文字列	移動するテーブル。リストとレコードの両方のナビゲーションに必要です。
sysId	文字列	移動するレコードの sys_id。レコードのナビゲーションに必要です。
クエリ	文字列	要求されたリストのエンコードされたクエリー。レコード ナビゲーション要求の値をシードするために使用できます。
view	文字列	リストまたはレコード ビュー

Cabrillo.Rect

長方形の場所と大きさが含まれます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
x	番号	長方形の x 原点
y	番号	長方形の y 原点。
幅	番号	幅 (点)
高さ	番号	高さ (点)

Cabrillo.Spinner

スピナーを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
mask	ブーリアン	オプション。編集ボックスの背後にマスクを表示するかどうかを決定します。 有効な値： • true: 編集ボックスの背後にマスクを表示します。 • false: 編集ボックスの背後にマスクを表示しません。 デフォルト値：false
マスクカラー	文字列	マスクの色 (有効な場合)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cabrillo - クライアント

Cabrillo JS は、ServiceNow ネイティブ モバイル アプリケーション内の機能にアクセスするためのクライアント側 JavaScript API です。

Cabrillo JS を使用して ServiceNow ネイティブ モバイル アプリケーションでカスタム モバイル エクスペリエンスを構築します。Cabrillo JS は、ネイティブ デバイス機能、ネイティブ モバイル UI、その他の ServiceNow モバイル機能を使用するための API を提供します。

Cabrillo JS は挿入可能なパラメーターとして AngularJS で利用できます。たとえば、 Cabrillo JS をサービスポータル ウィジェットクライアントスクリプトに挿入できます。

```
function(cabrillo) {
    var c = this;

    // Used to determine if Cabrillo is executing in ServiceNow's native
 mobile apps.
    c.isNative = cabrillo.isNative();
}
```

Cabrillo JS API は、 ServiceNow ネイティブ モバイル アプリケーションでの実行時にのみサポートされます。*cabrillo.isNative()* API を使用して、スクリプトがネイティブ コンテキストで実行されているかどうかを判断します。

注: Cabrillo JS API は GlideForm クライアントスクリプトでは利用できません。

cabrillo - isNative()

Cabrillo JS が ServiceNow ネイティブ モバイル アプリケーションを実行しているかどうかを示すブール値です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Cabrillo JS がネイティブ コンテキストで実行されている場合は true、それ以外の場合は false。

```
var isNative = cabrillo.isNative();
```

cabrillo.attachments - クライアント

Cabrillo JS の添付機能の名前空間です。これにより、添付ファイルの追加と表示が可能になります。

cabrillo.attachments addFile(文字列 **tableName**, 文字列 **sysId**, オブジェクト **params**, 文字列 **options)**

ドキュメント ピッカーを表示し、選択したファイルをアップロードします。

重要: このメソッドは廃止されました。代わりに addFiles() メソッドを使用してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	添付ファイルを添付するレコードのテーブル名
sysID	文字列	添付ファイルを添付するレコードの sys_id
params	オブジェクト	未使用null に設定します。
オプション	文字列	未使用null に設定します。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は Cabrillo.Attachment オブジェクト。操作が失敗すると、エラーが発生します。

```
var table = 'incident';
var sysID = 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd';

cabrillo.attachments.addFile(table,
    sysID,
    null,
    null
).then(function(attachment) {
    if (attachment) {
        console.log('Added a new file.', attachment);
    } else {
        console.log('User cancelled adding an attachment.');
    }
}, function(error) {
    console.log('Failed to attach new file.', error);
});
```

cabrillo.attachments - addFiles(文字列 **tableName**, 文字列 **sysId**, オブジェクトパラメーター, オブジェクトオプション)

ファイルを選択してアップロードするためのドキュメントピッカーを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	ファイルを添付するレコードが含まれているテーブルの名前。
sysID	文字列	ファイルを添付するレコードのSys_id。
params	オブジェクト	オプション。将来の使用のために予約されています。null に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	オプション。ファイルをアップロードするための追加設定。 `{ "isSingleSelection": Boolean }`
options.isSingleSelection	ブーリアン	オプション。ファイルをアップロードするためのドキュメントピッカーで複数選択を許可するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アップロードするファイルは一度に 1 つしか選択できません。 • false:アップロードするファイルを一度に複数選択できます。 デフォルト：False

返される内容

タイプ	説明
Promise	正常に作成された添付ファイルとエラーが含まれます。 複数のファイルが選択されている場合、正常にアップロードされたファイルごとに Cabrillo.Attachment が作成され、失敗したアップロードごとにエラーメッセージが生成されます。 データタイプ: オブジェクト `{ "attachments": [Array], "errors": [Array] }`
Promise.attachments	正常に作成された添付ファイルが含まれます。 データタイプ：アレイ `"attachments": [Cabrillo.Attachment]`
Promise.errors	エラーが含まれています。 データタイプ：アレイ `"errors": ["String"]`

この例では、インシデントレコードに複数の添付ファイルを追加するためのボタンを作成し、アップロードエラーがないかチェックします。

```
this.attachMultipleFilesButton = function() {
   c.log("Attempting to add multiple attachments to INC0010453");
   var table = 'incident';
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
   var sysID = 'fc74aefa1bfb2c10181499f1b24bcb3c';

   cabrillo.attachments.addFiles(table, sysID).then(function(result) {
      if (result) {
         handleMultipleResult(result)
      } else {
         c.log('User cancelled adding an attachment.');
      }
   }, function(error) {
      c.log('Failed to attach new files.', error);
   });
}

// A helper function to handle addFiles results
function handleMultipleResult(result) {
   c.log('Added multiple attachments.', result);
   if (result.attachments) {
      c.log('Number of new attachments', result.attachments.length);
   }
   if (result.errors) {
      c.log('Number of errors during upload', result.errors.length);
   }
}
```

cabrillo.attachments viewFile(Cabrillo.Attachment attachment, Cabrillo.Rect sourceRect, 文字列 sourceBase64Image)

ドキュメント ピッカーを表示し、選択したファイルをアップロードします。

注: sourceBase64 イメージで sourceRect パラメーターを使用する拡張は、iOS でのみサポートされています。Android はこれらのパラメーターを無視し、拡張アニメーションを使用しないでイメージを開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
添付ファイル	Cabrillo.Attachment	表示する添付ファイルについて説明します。
sourceRect	Cabrillo.Rect	オプション。拡大するイメージのソース レクタングルについて説明します。
sourceBase64Image	文字列	オプション。拡大するソース イメージの base64 表現。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は未解決のオブジェクト、それ以外の場合はエラー。

```
// A Cabrillo.Attachment dictionary to view
var attachment = {
    sys_id: '8e99daa3ff133100ba13fffffffff2d',
    content_type: 'image/jpeg',
    path: '8e99daa3ff133100ba13fffffffff2d.iix'
};
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
cabrillo.attachments.viewFile(attachment,
    null,
    null
).then(function() {
    // It worked. Nothing to do here.
}, function(error) {
    console.log('Failed to view file.', error);
});
```

ネイティブ イメージ ビューアーにタップされたイメージを拡大縮小するために、*viewFile()* メソッドは、ページ上のイメージのレクタングルのオプション引数と、イメージの base64 でエンコードされたサムネイルを受け入れます。サムネイルは、アニメーションを含むフル サイズのイメージに拡大縮小されます。

```
// Grab image metadata from an image that was tapped
var imageMetadata = imageMetadataFromEvent(event);

// Optional rect of image on page
var imageRect = imageMetadata.rect;

// Optional base64 encoded image to scale up into native viewer
var base64EncodedImage = imageMetadata.base64;

// A Cabrillo.Attachment dictionary to view
var attachment = {
    sys_id: '8e99daa3ff133100ba13fffffffff2d',
    content_type: 'image/jpeg',
    path: '8e99daa3ff133100ba13fffffffff2d.iix'
}

cabrillo.attachments.viewFile(attachment,
    imageRect,
    base64EncodedImage
).then(function() {
    // It worked. Nothing to do here.
}, function(error) {
    console.log('Failed to view file.', error);
});
```

cabrillo.camera - クライアント

Cabrillo JS バーコードスキャン用のカメラアクセスを提供するカメラ機能。

cabrillo.camera - getBarcode()

バーコードをスキャンするための標準インターフェイスを提供します。これを使用して、バーコードスキャナーを表示し、スキャン結果をキャプチャします。

サポートされているバーコードタイプ。

- 一次元バーコード:EAN-13、EAN-8、UPC-A、UPC-E、コード39、コード93、コード128、ITF
- 2次元バーコード:QRコード、データマトリックス、PDF-417、AZTEC

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
promise	バーコード文字列に解決されます。操作が失敗した場合はエラーになります。

```
cabrillo.camera.getBarcode().then(function(barcode) {
    if (barcode) {
        console.log('Scanned barcode.', barcode);
    } else {
        console.log('User cancelled scanning barcode.');
    }
}, function(error) {
    console.log('Failed to scan barcode.', error);
});
```

cabrillo.flowControl - クライアント

Cabrillo JS Web ビューのフローを管理するための関数。

cabrillo.flowControl - flowEnded(文字列 flowName)

Web フローが完了したことをクライアントに示します。

その後、モバイル・クライアントは適切なアクション (通常は Web ビューを閉じる) を実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
flowName	文字列	オプション。閉じる Web フローの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var flowName = 'Open Incident Flow';
cabrillo.flowControl.flowEnded(flowName);
```

cabrillo.flowControl - flowEndedWithUpdate(文字列 flowName, ブール値 clientRefreshNeeded)

Web フローが完了し、クライアントがネイティブ画面を更新する必要があることをクライアントに示します。

その後、モバイル・クライアントは適切なアクション (通常は Web ビューを閉じる) を実行できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
flowName	文字列	オプション。閉じる Web フローの名前。
clientRefreshNeeded	ブーリアン	オプション。表示されたデータをクライアントが更新する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:クライアントは表示されたデータをリフレッシュする必要があります。 • false:クライアントは表示されたデータをリフレッシュする必要はありません。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var flowName = 'Open Incident Flow';
var clientRefreshNeeded = true;
cabrillo.flowControl.flowEnded(flowName, clientRefreshNeeded);
```

cabrillo.message - クライアント

Cabrillo JS ネイティブ UI にメッセージを表示する関数。

cabrillo.message - showMessage(文字列 **style**, 文字列 **title)**

ネイティブ UI にメッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
style	文字列	バナーのスタイルです。 可能な値： • cabrillo.message.ERROR_MESSAGE_STYLE • cabrillo.message.INFO_MESSAGE_STYLE • cabrillo.message.SUCCESS_MESSAGE_STYLE • cabrillo.message.WARNING_MESSAGE_STYLE 詳細については、「Cabrillo JS 定数 - メッセージスタイル」を参照してください。
title	文字列	バナーに表示するテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は未解決のオブジェクト、それ以外の場合はエラー。

```
var style = cabrillo.message.SUCCESS_MESSAGE_STYLE;
var title = "You did it!";

cabrillo.message.showMessage(
   style,
   title
).then(function(response) {
   console.log('success');
}, function(error) {
   console.log(error);
});
```

cabrillo.modal - クライアント

Cabrillo JS ネイティブモーダルの内部に Web コンテンツを表示するための関数

cabrillo.modal - dismissModal(オブジェクトデータ)

presentModal() 関数で提示されたモーダルを閉じるために使用します。

提示されたモーダルは、それ自体を閉じ、すべての結果を提示コンテキストに返す役割を担います。*dismissModal()* 関数は、提示コンテキストからではなく、提示されたコンテキストから呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
data	オブジェクト	オプション。提示されたコンテキストがそれ自体を却下するときに、提示コンテキストに戻すオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は未解決のオブジェクト、それ以外の場合はエラー。

```
// Any object can be passed back to the presenting context when the
 presented context dismisses itself.
var results = {
    team: 'Mobile'
    company: 'ServiceNow'
}

cabrillo.modal.dismissModal(results).then(function() {
    console.log('Modal was dismissed and results were passed to
 presenting context.');
}, function(error) {
    console.log(error);
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cabrillo.modal presentModal(文字列 **title**, 文字列 **url**, 文字列 **closeButtonStyle**, 文字列 **modalPresentationStyle)**

ネイティブ モーダル インターフェイスでコンテンツを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	モーダル インターフェイスのタイトル
url	文字列	モーダルを開くための URL。これは内部インスタンス URL (完全修飾または相対、相対 URL が優先) である必要があります。
closeButtonStyle	文字列	モーダルインターフェイスの [閉じる] ボタンのスタイル。 可能な値： • cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_STYLE_CANCEL • cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_STYLE_CLOSE • cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_STYLE_DONE 詳細については、「Cabrillo JS 定数 - 閉じるボタンのスタイル」を参照してください。
modalPresentationStyle	文字列	モーダルインターフェイスのプレゼンテーションスタイル。 可能な値： • cabrillo.modal.MODAL_PRESENTATION_STYLE_FULL_SCREEN • cabrillo.modal.MODAL_PRESENTATION_STYLE_FORM_SHEET 詳細については、「Cabrillo JS 定数 - モーダルプレゼンテーションスタイル」を参照してください。 注: このパラメーターは Apple iOS でのみサポートされています。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は Cabrillo.ModalResponse オブジェクト、それ以外の場合はエラー。

カスタム URL を読み込むネイティブ モーダルを表示します。これにより、フォーム シート スタイルのモーダルにカスタムのサービスポータルページが表示されます。モーダルが却下されたとき、約束が実行されます。カスタムの却下機能については、「*dismissModal()* 関数」を参照してください。

```
cabrillo.modal.presentModal('Portal Page',
    '/$sp.do?id=my_modal_page',
    cabrillo.modal.CLOSE_BUTTON_STYLE_CLOSE,
    cabrillo.modal.MODAL_PRESENTATION_STYLE_FORM_SHEET
).then(function(response) {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    // The results from the modal are in a results key on the response
 object.
    var results = response && response.results ? response.results : null;

    if (results) {
        console.log('Modal dismissed with results.', results);
    } else {
        console.log('Modal dismissed without results.');
    }
}, function(error) {
    console.log(error);
});
```

cabrillo.navigation - クライアント

Cabrillo JS 前方および後方ナビゲーションのための関数

cabrillo.navigation - goBack()

後方ナビゲーションを有効にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Cabrillo JS が後方にナビゲートする場合は true、それ以外の場合は false。

```
cabrillo.navigation.goBack();
```

cabrillo.navigation goto(文字列 url, Cabrillo.NavigationRequest request)

前方ナビゲーションを有効にします。

リストまたはレコードのナビゲーションには、URL パラメーターではなく要求パラメーターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
url	文字列	ナビゲートする URL。これは、カスタム URL ナビゲーションに使用する必要があります。オプション。
要求	Cabrillo.NavigationRequest	ナビゲートするリストまたはレコードについて説明します。オプション。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	Cabrillo JS が移動する場合は true、それ以外の場合は false を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL に移動します。

```
cabrillo.navigation["goto"]('/$sp.do?id=my_custom_page');
```

リストに移動します。リクエスト パラメーターは、リスト ナビゲーションの URL パラメーターよりも優先されます。

```
// A Cabrillo.NavigationRequest dictionary that specifies a list of
 active incidents.
var request = {
    table: 'incident',
    query: 'active=true',
};
cabrillo.navigation["goto"](null, request);
```

レコードに移動します。リクエスト パラメーターは、レコード ナビゲーションの URL パラメーターよりも優先されます。

```
// A Cabrillo.NavigationRequest dictionary that specifies an incident
 record.
var request = {
    table: 'incident',
    sysId: 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd'
};
cabrillo.navigation["goto"](null, request);
```

新しいレコードに移動します。

```
// A Cabrillo.NavigationRequest dictionary that specifies a new incident
 record.
// The new record will be seeded with the encoded query.
var request = {
    table: 'incident',
    sysId: '-1',
    query: 'short_description=This is a new incident.'
};
cabrillo.navigation["goto"](null, request);
```

自動翻訳

cabrillo.nowapp - クライアント

Cabrillo Now App 機能の名前空間。これにより、 Now Platform® ネイティブモバイルアプリ内の画面を操作できます。

cabrillo.nowapp - openLauncherScreen(文字列 launcherScreenId)

モバイルランチャーのネイティブ画面を開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ランチャースクリーン ID	文字列	アプレットランチャー [sys_sg_applet_launcher] テーブルからのランチャー画面のSys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	メソッドがネイティブ側で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メソッドはネイティブ側で使用できます • false:メソッドはネイティブ側では使用できません。

```
const launcherScreenId = 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd';
const result = cabrillo.nowapp.openLauncherScreen(launcherScreenId);
If (result === false) {
    console.log("method is not available")
}
```

出力:

```
true
```

cabrillo.nowapp - openScreen(文字列 **screenId)**

モバイルネイティブ画面を開きます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
screenId	文字列	画面 [sys_sg_screen] テーブルから開く画面レコードのsys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	メソッドがネイティブ側で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メソッドはネイティブ側で使用できます • false:メソッドはネイティブ側では使用できません。

```
const screenId = 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd';
cabrillo.nowapp.openScreen(screenId);
If (result === false) {
    console.log("method is not available")
}
```

出力:

```
true
```

cabrillo.nowapp - openScreenWithRecordContext(文字列 **screenId**, 文字列 **table**, 文字列 **recordId)**

レコードコンテキストを含むモバイルネイティブ画面を開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ScreenId	文字列	画面 [sys_sg_screen] テーブルから開く画面レコードのSys_id。
テーブル	文字列	レコードテーブル。
レコード	文字列	レコードsys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	メソッドがネイティブ側で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メソッドはネイティブ側で使用できます • false:メソッドはネイティブ側では使用できません。

```
const screenId = 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd';
const recordId= '8e99daa3ff133100ba13757574847f2d';
const table= 'sys_users';
const result = cabrillo.nowapp.openScreenWithRecordContext(screenId,
 table, recordId);
If (result === false) {
    console.log("method is not available")
}
```

出力:

```
true
```

cabrillo.nowapp - performFunction(文字列 **functionId**, 文字列 **table**, 文字列 **recordId)**

ネイティブモバイル機能を実行します。

注: Vancouver リリースでは、アクション関数のみがサポートされています。詳細については、「アクション機能」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
functionId	文字列	ボタン [sys_sg_button] テーブルからのターゲット機能のSys_id。
テーブル	文字列	レコードテーブル。グローバルアクションアイテムではオプションです。モバイル機能の詳細については、「アクション機能」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		注: グローバルアクションとレコードアクションの違い: • レコード: レコードレベルでのみ適用されます。たとえば、レコードの状態を変更するボタンを作成するには、このオプションを使用します。特定のフィールド、特定のレコード、またはスワイプアクションのアクションについて、レコードにコンテキストを設定できます。アクション機能に、[入力ソース] フィールドが [自動入力] に設定された UI パラメーターが含まれている場合は、[テーブル] フィールドでテーブルを指定する必要があります。 • グローバル: グローバルレベルまたはリストレベルでアクションを適用します。たとえば、レコードを作成するボタンを追加するには、このオプションを使用します。レコードのコンテキストにあるアクション、または [入力ソース] フィールドが [自動入力] になっている UI パラメーターを含むアクションには、グローバル設定を使用しないでください。
recordId	文字列	レコードsys_id。グローバルアクションアイテムではオプションです。モバイル機能の詳細については、「アクション機能」を参照してください。 注: グローバルアクションアイテムとレコードアクションアイテムの違い: • レコード: レコードレベルでのみ適用されます。たとえば、レコードの状態を変更するボタンを作成するには、このオプションを使用します。特定のフィールド、特定のレコード、またはスワイプアクションのアクションについて、レコードにコンテキストを設定できます。アクション機能に、[入力ソース] フィールドが [自動入力] に設定された UI パラメーターが含まれている場合は、[テーブル] フィールドでテーブルを指定する必要があります。 • グローバル: グローバルレベルまたはリストレベルでアクションを適用します。たとえば、レコードを作成するボタンを追加するには、このオプションを使用します。レコードのコンテキストにあるアクション、または [入力ソース] フィールドが [自動入力] になっている UI パラメーターを含むアクションには、グローバル設定を使用しないでください。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	メソッドがネイティブ側で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• true:メソッドはネイティブ側で使用できます • false:メソッドはネイティブ側では使用できません。

```
const functionId= 'a9e30c7dc61122760116894de7bcc7bd';
const recordId= '8e99daa3ff133100ba13757574847f2d';
const table= 'sys_users';
const result = cabrillo.nowapp.performFunction(functionId, table,
 recordId);
If (result === false) {
    console.log("method is not available")
}
```

出力:

```
true
```

cabrillo.nowapp - refresh()

前の画面に影響を与える可能性があるテーブルの更新が Web ビューで行われた場合は、UI スタックを更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	メソッドがネイティブ側で使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メソッドはネイティブ側で使用できます • false:メソッドはネイティブ側では使用できません。

```
const result = cabrillo.nowapp.refresh();
If (result === false) {
    console.log("method is not available")
```

出力:

```
true
```

cabrillo.viewLayout - クライアント

Cabrillo JS ボタンやスピナーなどのネイティブ UI 要素へのアクセスを提供する関数。

cabrillo.viewLayout - getTitle()

現在のネイティブビューのタイトルを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合はタイトルテキストに解決され、それ以外の場合はエラーになります。

```
cabrillo.viewLayout.getTitle()
.then(function(title) {
   console.log(title);
}, function(error) {
   console.log(error);
});
```

cabrillo.viewLayout - hideBackButton()

クライアントインターフェイスの [戻る] ボタンを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
cabrillo.viewLayout.hideBackButton();
```

cabrillo.viewLayout - hideSpinner()

現在のインターフェイスでネイティブのスピナーを非表示にします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
cabrillo.viewLayout.hideSpinner();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cabrillo.viewLayout - setBottomButtons(配列ボタン, 関数実行)

現在のインターフェイスの下部にボタンを設定します。

画像とバッジは下部ボタンではサポートされていません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ボタン	Cabrillo.Button オブジェクトのアレイ	設定するボタンについて説明します。現在、最大 1 つのボタンがサポートされています。
execute	関数	ボタンがタップされたときに呼び出す関数。この関数は戻り値を持たず、選択されたボタン インデックスを唯一のパラメーターとして取ります。この関数には、数値である単一のパラメーターが必要です。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は未解決のオブジェクト、それ以外の場合はエラー。

下部ボタンを設定します。

```
var buttons = [
    {
        title: 'Add to Cart',
        buttonId: 'btnAddCart',
        enabled: true,
        backgroundColor: '#3091F9',
        textColor: '#FFFFFF'
    }
];

cabrillo.viewLayout.setBottomButtons(buttons, (buttonIndex) => {
    console.log('Success. Received an event from the button.');
}).catch((err) => {
    console.log('Failed to register buttons.');
    console.error(err);
});
```

下部のボタンをクリアします。

```
cabrillo.viewLayout.setBottomButtons();
```

cabrillo.viewLayout - setNavigationBarButtons(配列ボタン, 関数実行)

現在のインターフェイスのナビゲーション バーにボタンを設定します。

オーバーフロー ボタン メニューに表示されるボタンの画像とバッジは省略されています。このため、ナビゲーション バーに画像ボタンを設定するときは、タイトルと画像名を入力することをお勧めします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ボタン	Cabrillo.Button オブジェクトのアレイ	設定するボタンについて説明します。必要に応じてボタンが追加メニューにオーバーフローすることがあります。
execute	関数	ボタンがタップされたときに呼び出す関数。この関数は戻り値を持たず、選択されたボタン インデックスを唯一のパラメーターとして取ります。この関数には、数値である単一のパラメーターが必要です。

返される内容

タイプ	説明
promise	成功した場合は未解決のオブジェクト、それ以外の場合はエラー。

ナビゲーションバーのボタンを設定します。

```
var buttons = [
   {
      title: "Save",
      enabled: true,
      buttonId: "btnSave",
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setBottomButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      console.log("Success. Received an event from the button.");
   })
   .catch((err) => {
      console.log("Failed to register buttons.");
      console.error(err);
   });
```

複数のボタンを処理します。

```
var buttons = [
   {
      title: "Save",
      enabled: true,
      buttonId: "btnSave",
   },
   {
      title: "Delete",
      enabled: true,
      buttonId: "btnDelete",
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setNavigationBarButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      switch (buttonIndex) {
         case 0:
            console.log("Received an event from the Save button.");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            break;
         case 1:
            console.log("Received an event from the Delete button.");
            break;
      }
   })
   .catch((err) => {
      console.log("Failed to register buttons.");
      console.error(err);
   });
```

ナビゲーション バーに配置されたボタンは、画像で表すことができます。

```
var buttons = [
   {
      title: "Compose",
      buttonId: "btnCompose",
      imageName: "compose",
      enabled: true,
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setNavigationBarButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      console.log("Success. Received an event from the button.");
   })
   .catch((err) => {
      console.log("Failed to register buttons.");
      console.error(err);
   });
```

デフォルトではネイティブアプリにはネイティブの戻るボタンが表示されますが、ボタンの `buttonStyle` プロパティを設定することで、戻るボタンを Cabrillo のボタンに置き換えることができます。

```
var buttons = [
   {
      title: "Cancel",
      buttonId: "btnCancel",
      imageName: "close",
      buttonStyle: cabrillo.viewLayout.REPLACE_BACK_BUTTON_STYLE,
      enabled: true,
   },
   {
      title: "Done",
      enabled: true,
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setNavigationBarButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      switch (buttonIndex) {
         case 0:
            c.log("Cancel button was clicked.");
            break;
         case 1:
            c.log("Done button was clicked.");
            break;
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
   })
   .catch((err) => {
      c.log("Failed to register buttons.");
      c.error(err);
   });
```

ボタンは必要に応じてオーバーフロー ボタン メニューに配置されます。オーバーフロー ボタン メニューにボタンを強制的に適用するには、ボタンの buttonStyle プロパティを設定します。

```
var buttons = [
   {
      title: "Save",
      buttonId: "btnSave",
      buttonStyle: cabrillo.viewLayout.MORE_MENU_BUTTON_STYLE,
      enabled: true,
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setNavigationBarButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      console.log("Success. Received an event from the button.");
   })
   .catch((err) => {
      console.log("Failed to register buttons.");
      console.error(err);
   });
```

ナビゲーション バーに配置すると、ボタンにバッジが表示されることがあります。この例では、買い物かごアイコンとバッジ数 3 のボタンを設定しています。バッジには白いテキストを含む青色のバックグラウンドがあります。

```
var buttons = [
   {
      title: "Cart",
      buttonId: "btnCart",
      imageName: "cart",
      badgeCount: 3,
      backgroundColor: "#3091F9",
      textColor: "#FFFFFF",
      enabled: true,
   },
];

cabrillo.viewLayout
   .setNavigationBarButtons(buttons, (buttonIndex) => {
      console.log("Success. Received an event from the button.");
   })
   .catch((err) => {
      console.log("Failed to register buttons.");
      console.error(err);
   });
```

ナビゲーションバーのボタンをクリアします。

```
cabrillo.viewLayout.setNavigationBarButtons();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cabrillo.viewLayout - setTitle(文字列タイトル)

現在のネイティブ ビューのタイトルを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
title	文字列	インターフェイスのタイトル

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
cabrillo.viewLayout.setTitle('My Title');
```

cabrillo.viewLayout - showBackButton()

クライアントインターフェイスの [戻る] ボタンを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
cabrillo.viewLayout.showBackButton();
```

cabrillo.viewLayout - showSpinner(オブジェクトオプション)

現在のインターフェイスにネイティブ スピナーを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
オプション	オブジェクト	オプション。編集ボックスの外観を変更するための追加設定。 `{ "mask": Boolean, "maskColor": "String" }`
options.mask	ブーリアン	オプション。編集ボックスの背後にマスクを表示するかどうかを決定します。 有効な値： • true: 編集ボックスの背後にマスクを表示します。 • false: 編集ボックスの背後にマスクを表示しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト値：false
options.maskColor	文字列	マスクの色 (有効な場合)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var options = { mask: true, maskColor: '#ffffff' };
cabrillo.viewLayout.showSpinner(options);
```

m_form - クライアント

入力フォーム画面で入力値を取得および設定したり、メッセージを表示したりするメソッドを提供します。

この API は、次の入力タイプをサポートしています。

- ブーリアン
- 選択肢
- 日付/時刻
- 番号
- 参照
- 文字列

この API を MobileScriptIncludeCaller - クライアント API とともに使用して、入力フォーム画面に入力を自動入力できます。 入力フォーム画面の詳細については、 入力フォーム画面 を参照してください。

この API は、モバイル UI ルールアクションの [クライアントスクリプト] フィールドで使用します。この API の正しい設定でモバイル UI ルールアクションを構成する手順については、「 入力フォーム画面の自動入力入力の構成 」を参照してください。

m_form - addErrorMessage (文字列メッセージ)

入力フォーム画面の上部にエラーメッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、優先度に入力された値に応じて、フォームに情報メッセージまたはエラーメッセージが表示されます。

```
// Client script in a Mobile UI Rule Action
function onChange(inputName, newValue) {
   var priority = newValue;
   if (priority > 0 && priority < 3) {
      getMessage("This incident should be handled ASAP",
 function(response){
         m_form.addInfoMessage(response);
      });
   } else {
      getMessage("The selected priority is invalid", function(response){
         m_form.addErrorMessage(response);
      });
   }
}
```

m_form - addInfoMessage(文字列 **message)**

入力フォーム画面の上部に情報メッセージを表示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
message	文字列	表示するメッセージ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、優先度に入力された値に応じて、フォームに情報メッセージまたはエラーメッセージが表示されます。

```
// Client script in a Mobile UI Rule Action
function onChange(inputName, newValue) {
   var priority = newValue;
   if (priority > 0 && priority < 3) {
      getMessage("This incident should be handled ASAP",
 function(response){
         m_form.addInfoMessage(response);
      });
   } else {
      getMessage("The selected priority is invalid", function(response){
         m_form.addErrorMessage(response);
      });
   }
}
```

m_form - getValue(文字列 **inputName)**

入力フォーム画面で指定された入力の値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
inputName	文字列	値を返す入力の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	指定された入力の値。 注: 入力が複数選択を含む選択リストの場合、戻り値の型は選択した値を含む文字列のアレイです。

このクライアントスクリプトは、employee_id入力値をスクリプトインクルードに渡します。スクリプトインクルードは、ID を使用して従業員の役職を検索します。タイトルはコールバック関数に提供され、入力フォーム画面にbusiness_title入力を自動入力するために使用されます。

```
// Client script in a Mobile UI Rule Action
function onChange(inputName, newValue) {
   var employeeId = m_form.getValue("employee_id");
   var caller = new MobileScriptIncludeCaller("UserUtilsTest",
 "getBusinessTitle");
   caller.addParam("employeeId", employeeId);
   caller.call(function(response) {
      m_form.setValue("business_title", response);
   });
}
```

スクリプトインクルード。

```
// Mobile callable script include
var UserUtilsTest = Class.create();
UserUtilsTest.prototype =
 Object.extendsObject(global.AbstractMobileCallableInclude, {
   getBusinessTitle: function() {
      var employeeId = this.getParameter("employeeId");
      var gr = new GlideRecord("sys_user");
      gr.get(employeeId);
      return gr.getValue("title");
   },
   type: 'UserUtilsTest'
});
```

m_form - setAffectedInputs(配列 **inputNames)**

値がスクリプトによって設定されていることを示すきらめく効果を指定された入力に追加します。

きらめき効果は、入力の値が設定されると終了します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
inputName	アレイ	きらめき効果を適用する入力の名前を含む文字列のアレイ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

このクライアントスクリプトは、発信者入力にきらめき効果を追加して、自動入力されていることを示します。

```
// Client script in a Mobile UI Rule Action
function onChange(inputName, newValue) {
   var affectedInputs = [];
   affectedInputs.push("Caller");
   m_form.setAffectedInputs(affectedInputs);
   m_form.setValue("Caller", ["800b174138d089c868d09de320f9833b",
 "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"]);
   var result = m_form.getValue("Caller");
   console.log(`Ref test: ${result[0]}`);
}
```

m_form - setValue(文字列 **inputName**, オブジェクト値, 文字列 **displayValue)**

入力フォーム画面で指定された入力の値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
inputName	文字列	値を設定する入力の名前。
値	オブジェクト	入力を設定する値。 値のデータタイプは、設定される入力によって異なります。
displayValue	文字列	オプション。このパラメーターは、[参照タイプ入力] の値を設定するときに使用します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、order 入力の整数値を設定します。

```
m_form.setValue("order", 5);
```

この例では、説明の入力に文字列値を設定します。

```
m_form.setValue("description", "This is the description content");
```

この例では、値と表示値を含むオブジェクトを使用して、参照タイプの入力を設定します。

```
m_form.setValue("Caller", [{"value":"800b174138d089c868d09de320f9833b",
 "displayValue":"Abel Tuter"}]);
```

MobileScriptIncludeCaller - クライアント

モバイル UI のルールアクションからスクリプトインクルードを呼び出すメソッドを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API を m_form - クライアント API とともに使用して、入力フォーム画面に入力を自動入力できます。 入力フォーム画面の詳細については、 入力フォーム画面 を参照してください。

この API は、モバイル UI ルールアクションの [クライアントスクリプト] フィールドで使用します。この API の正しい設定でモバイル UI ルールアクションを構成する手順については、「 入力フォーム画面の自動入力入力の構成 」を参照してください。

スクリプトインクルードでは、この API によって呼び出されるように [モバイルコール可能] フィールドが選択されている必要があります。

MobileScriptIncludeCaller - MobileScriptIncludeCaller(文字列 **scriptName**, 文字列 **functionName)**

呼び出すスクリプトインクルードと関数を持つ *MobileScriptIncludeCaller* クラスのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
scriptName	文字列	呼び出すモバイル呼び出し可能スクリプトインクルードの名前。 スクリプトインクルードがクロススコープアクセスをサポートし、クライアントスクリプトとは異なるスコープ内にある場合は、スクリプトインクルードの名前にプリフィックス scope を付ける必要があります。
functionName	文字列	スクリプトインクルードで呼び出すパブリック関数。

この例では、UserUtilsTest スクリプトインクルードで `getBusinessTitle()` 関数を呼び出すために使用できる *MobileScriptIncludeCaller* クラスのインスタンスを作成する方法を示します。

```
var caller = new MobileScriptIncludeCaller("UserUtilsTest",
 "getBusinessTitle");
```

MobileScriptIncludeCaller - addParam(文字列 **key**, オブジェクト値)

スクリプトインクルードを呼び出すときに渡すパラメーターを追加します。

このメソッドを使用すると、入力フォームからスクリプトインクルードに値を渡すことができます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
key	文字列	パラメーターに使用するキー。
値	オブジェクト	パラメーターの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、入力フォームからのemployee_id入力の値を *MobileScriptIncludeCaller* オブジェクトに追加する方法を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var employeeId = m_form.getValue("employee_id");
var caller = new MobileScriptIncludeCaller("UserUtilsTest",
 "getBusinessTitle");
caller.addParam("employeeId", employeeId);
```

MobileScriptIncludeCaller - call(関数 successCallback, 関数 errorCallback)

コンストラクターによって指定されたスクリプトインクルードを呼び出します。

サーバー呼び出しは非同期に実行され、スクリプトインクルードの応答がコールバック関数に渡されます。スクリプトインクルードが見つからない場合など、サーバーからの応答が失敗した場合、コールバックに渡される応答引数は空または null になります。

スクリプトインクルードでは、このメソッドによって呼び出されるように [モバイルコール可能] フィールドが選択されている必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
successCallback	関数	オプション。サーバーから返された結果を処理するコールバック関数の名前 コールバック関数が指定されていない場合、このメソッドは Promise を返し、Promise API を使用して使用できます。
errorCallback	関数	オプション。エラーが発生した場合に呼び出すコールバック関数の名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このクライアントスクリプトは、employee_id入力値をスクリプトインクルードに渡します。スクリプトインクルードは、ID を使用して従業員の役職を検索します。タイトルはコールバック関数に提供され、入力フォーム画面にbusiness_title入力を自動入力するために使用されます。

```
// Client script in a Mobile UI Rule Action
function onChange(inputName, newValue) {
   var employeeId = m_form.getValue("employee_id");
   var caller = new MobileScriptIncludeCaller("UserUtilsTest",
 "getBusinessTitle");
   caller.addParam("employeeId", employeeId);
   caller.call(function(response) {
      m_form.setValue("business_title", response);
   });
}
```

スクリプトインクルード。

```
// Mobile callable script include
var UserUtilsTest = Class.create();
UserUtilsTest.prototype =
 Object.extendsObject(global.AbstractMobileCallableInclude, {
   getBusinessTitle: function() {
      var employeeId = this.getParameter("employeeId");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      var gr = new GlideRecord("sys_user");
      gr.get(employeeId);
      return gr.getValue("title");
   },
   type: 'UserUtilsTest'
});
```

Mobile SDK API リファレンス

ServiceNow Mobile SDKを使用して、スタンドアロンのモバイル Android および iOS アプリケーション内で ServiceNow プラットフォームの機能とリソースを活用します。

Mobile SDK API リファレンス - Android

Android のMobile SDKは、Android デバイスを ServiceNow プラットフォームとインターフェイスするために必要なクラスを提供します。

チャット、REST API インターフェイス、GraphQL、Web アクセスなどのフィーチャ サービスを作成できるクラスを提供し、任意の Android デバイスでインタラクティブ アプリケーションを作成できます。

この API を使用して特定のユースケースを実装する方法の詳細については、「Mobile SDK デベロッパー ガイド - Android」を参照してください。

AuthorizationToken クラス: Android

AuthorizationToken クラスは、ホスト アプリケーションによって提供される認証トークンを提供します。現在ログインしているユーザーの指定された ServiceNow インスタンスへのアクセスを承認するために、NowSDK によって使用されます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
トークン	文字列	認証トークンの値。
type	文字列	認証トークンのタイプ。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • JWT • OAuthAccess • OAuthRefresh

AuthorizatonToken - AuthorizationToken(タイプ:AuthorizationTokenType、トークン:文字列)

ホストアプリケーションによって提供された認証トークンを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	文字列	認証トークンのタイプ。 有効な値 (大文字と小文字を区別)：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• JWT • OAuthAccess • OAuthRefresh
トークン	文字列	認証トークンの値。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
class SDKManager @Inject constructor(
  private val settings: Provider<NowSDKSettings>,
  private val jwtService: JWTService
) : NowSDKAuthorizationProviding,
  DevicePermissionDelegate {

  override fun requestAuthorization(
    instanceURL: URL,
    callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>
  ) {
      GlobalScope.launch(Dispatchers.IO) {
        try {
          val token = jwtService.getJWT(settings.get().user,
 settings.get().clientId).token
          callback.accept(
            listOf(
              AuthorizationToken(
                AuthorizationTokenType.JWT,
                token
              )
            )
          )
        } catch (ex : Exception) {
           Log.e("JWT", "Failed to get jwt", ex)
           return@launch callback.accept(null)
        }
      }
    }
```

コールインターフェイス: **Android**

Call インターフェイスは、処理の準備が整った要求を表します。

可能な処理オプションは次のとおりです。

- cancel
- エンキュー
- execute
- マップ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

呼び出しオブジェクトを 2 回処理することはできません。

プロパティ

名前	タイプ	説明
リクエスト	要求	この呼び出しを開始した元の要求。

呼び出し - cancel()

可能な場合は、関連付けられたコールをキャンセルします (ベスト エフォート)。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private var inFlightDataRequestCall: Call<*>? = null
fun cancelTransfer() = inFlightDataRequestCall?.cancel()
```

呼び出し:enqueue(onSuccess: Consumer<Response<T>>, onError: Consumer<NowDataError>)

システム\スレッドがこの要求を実行できるようになったらすぐに要求が実行されるようにスケジュールします。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
成功時	Consumer <Response<T>>	呼び出しが成功した場合に実行するコールバック。`T`パラメーターで指定されたデータ型に解析された本文を含む HTTP 応答。 **注:** コンシューマーは、オブジェクトを非同期で使用するための OOB Java タイプです。この場合、呼び出しはジェネリックを使用して型 `Response<T>` を返します (`T` はオブジェクト型です)。
エラー時	Consumer <NowDataError>	呼び出しが失敗した場合に実行するコールバック。 NowDataError

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
fun makeGraphQLRequest(query: String) {
  val call = graphQLService.graphQLRequest(query)
  call.enqueue(
    { response -> handleResponse(response) },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

呼び出し - execute()

要求をすぐに呼び出します。応答が処理されるか、エラーになるまでブロックします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	Description (説明)
応答<T>	*T*パラメーターで定義された形式の応答データ。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
val response = apiService.data(NowAPIService.Endpoint(
  relativePath = CASES_API,
  requestMethod = HttpMethod.GET,
  requireAuth = true)
).execute()
```

FetchConfiguration クラス: Android

FetchConfiguration クラスは、関連付けられたServiceNowテーブルからレコードをフェッチするための構成を定義する機能を提供します。

このクラスには、 FetchConfiguration() という 1 つの関数 (コンストラクター) のみが含まれています。

プロパティ

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	返される結果をフィルタリングするために使用するクエリ。
limit	整数	返されるページ/応答あたりのレコードの数。
queryParams	クエリパラメーター	要求クエリパラメーターの名前と値のペアを含む反復可能な構造。
read構成	FieldReadConfiguration	応答で返すフィールドの構成。

FetchConfiguration - FetchConfiguration(filter: filter? = null, limit: Int? = null, readConfiguration: FieldReadConfiguration? = null)

関連付けられた ServiceNow テーブルから返すレコードとフィールドを定義できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。テーブルから返されたレコードをフィルタリングするために使用するクエリ。例: `active=true^short_descriptionLIKEbroken` デフォルト:null:すべてのレコードを返します。
limit	整数	オプション。ページ/応答ごとに返されるレコードの数。 デフォルト:null: ServiceNow REST API で許可される最大値を返します。
read 構成	FieldReadConfiguration	オプション。応答で返されるフィールドの構成。 デフォルト:null:すべてのフィールドを返します。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
nowTableService.records("incident", FetchConfiguration(
  filter = Filter("active=true"),
  limit = 10,
  readConfiguration = FieldReadConfiguration(
    includeFields = listOf("sys_id", "short_description")
  )
))
```

FieldReadConfiguration クラス: Android

FieldReadConfiguration クラスには、応答レコードで返すフィールドと返さないフィールドを定義する機能があります。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
includeField	collection <応答で返すフィールド。	
クエリアイテム	マップ <文字列、文字列>	読み取り専用です。読み取り構成を表すクエリーアイテムのコレクション。
queryParams	クエリパラメーター	要求クエリパラメーターの名前と値のペアを含む反復可能な構造。これらのパラメーターを使用して要求を作成します。

FieldReadConfiguration - FieldReadConfiguration(includeFields: Collection<String> = listOf(), vararg options: FieldReadConfiguration.Options)

関連付けられた ServiceNow テーブルからの応答を返すために含めるフィールドを定義します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
includeField	collection<string>	応答で返すカンマ区切りフィールドのリスト。リストが空の場合は、すべてのフィールドが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
vararg オプション	FieldReadConfiguration.Options	オプション。返すフィールド情報のタイプを定義する 0 個以上のオプションのアレイ。 可能な値： • ACTUAL_VALUES:フィールドの実際の値を応答に含めます。 • DISPLAY_VALUES:応答にフィールドの表示値を含めます。 • EXCLUDE_REFERENCE_LINK:参照フィールドの テーブル API リンクを除外します。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
val readConfiguration = FieldReadConfiguration(
  includeFields = listOf("sys_id", "sys_created_on",
 "short_description"),
  options = arrayOf(FieldReadConfiguration.Options.DISPLAY_VALUES)
)
val fetchConfiguration = FetchConfiguration(
  filter = Filter("active=true"),
  readConfiguration = readConfiguration
)
val response = nowTableService.records("incident",
 fetchConfiguration).execute()
handleResponse(response)
```

FieldWriteOptions 構造体 - Android

FieldWriteOptions クラスは、ServiceNow インスタンス上のレコードのフィールドを更新または作成するためのオプションを設定する関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
クエリアイテム	マップ <文字列、文字列>	書き込みオプションを表す要求クエリアイテムのコレクション。

FieldWriteOptions - FieldWriteOptions(vararg options: FieldWriteOptions.Options)

ServiceNowインスタンスのレコードにフィールドを書き込んだり作成したりするためのオプションを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
vararg オプション	FieldWriteOptions.Options	フィールドの作成時または書き込み時に設定するオプション。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• TREAT_INPUT_VALUES_AS_DISPLAY_VALUES:指定したフィールド値を表示値として保存する必要があります。この値が `true` に設定されていない場合、渡された値は実際のフィールド値と見なされます。 • SUPPRESS_AUTO_SYS_FIELD:システムフィールドの自動生成を抑制します。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
// Update assigned_to field using actual value (syd_id of user)
val response = runCatching {
    getNowTableService()?.updateRecord("sys_id_of_record",
 "sn_customerservice_case", mapOf("assigned_to" to
 "<sys_id_of_user>"))?.execute()
}

// Update assigned_to field using display value
val fieldWriteOptions =
 FieldWriteOptions(FieldWriteOptions.Options.TREAT_INPUT_VALUES_AS_DISPLA
Y_VALUES)
val response = runCatching {
    getNowTableService()?.updateRecord("sys_id_of_user",
 "sn_customerservice_case", mapOf("assigned_to" to "John
 Doe"))?.execute()
}
```

フィルター **API - Android**

`Filter` クラスには、REST エンドポイントクエリの戻り値で返すデータを定義するフィルターを構成する機能があります。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
クエリアイテム	Map<String, String>	フィルターを表すクエリーアイテムのコレクション。

フィルター **- Filter(conditions: List<Condition>, keywords: String? = null, sortBy: List<Sort>? = null)**

OR または AND で結合できる特定のキーワードと条件に基づいてフィルターを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
条件	List<Condition>	クエリに追加する単純な条件または複合条件。 考えられる条件: • BooleanSimpleCondition:ブーリアンレコードフィールドで利用可能な条件。 • DateSimpleTimeCondition:日時レコードフィールドで利用可能な条件。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• EmailSimpleCondition:メールフィールドで利用可能な条件。 • IntegerChoiceSimpleCondition:整数選択フィールドで利用可能な条件。 • NumericSimpleCondition:さまざまな数値フィールドに使用できる条件。 • ReferenceSimpleCondition:参照レコードフィールドに使用できる条件演算子。 • StringChoiceSimpleCondition:文字列を含む選択レコードフィールドで使用できる条件演算子。 • StringSimpleCondition:文字列レコードフィールドで使用できる条件演算子。 • CompoundCondition: ConditionUtils.CompoundOperator コネクタを使用して、SimpleConditions を複合条件にグループ化できます。
キーワード	文字列	オプション。検索する特定の単語またはフレーズ。 デフォルト:nil:特定の単語を検索しません。
sortBy	リスト<ソート>	オプション。レコードフィールド名と、返されたレコードをソートするための関連するソート順定数のリスト。例: `val sortBy = listOf("zipcode", ORDER_DESC)` 複数のソートフィールドを含めると、後続の各フィールドは前のフィールドをさらにソートしたものになります。 有効なソート値: • ORDER_ASC:昇順でソート • ORDER_DESC:降順でソート デフォルト:ORDER_ASC

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Where the record is active

val condition1 = BooleanSimpleCondition.conditionIs("active", true)

// AND the date value of the SLA due field is on "today" or any date
 after today.

val condition2 = DateSimpleTimeCondition.atOrAfter("sla_due", 0,
 ConditionUtils.DateTimeValueOperator.daysAgoStart)

val filter = Filter(conditions = listOf(condition1, condition2))
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィルター - Filter(criteriaList: List<Criteria>, sortBy: List<Sort>? = null)

OR で結合された 1 つ以上のフィルター基準に基づいてフィルターを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
基準リスト	リスト<基準>	`OR` コネクタでグループ化するトップレベルの基準条件。
sortBy	リスト<ソート>	オプション。レコードフィールド名と、返されたレコードをソートするための関連するソート順定数のリスト。例: `val sortBy = listOf("zipcode", ORDER_DESC)` 複数のソートフィールドを含めると、後続の各フィールドは前のフィールドをさらにソートしたものになります。 有効なソート値: • ORDER_ASC:昇順でソート • ORDER_DESC:降順でソート デフォルト:ORDER_ASC

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
val activeIncidents = BooleanSimpleCondition.conditionIs("active", true)
val assignedToEmpty = StringSimpleCondition.isEmpty("assigned_to")
val assignedToAbel = StringSimpleCondition.conditionIs("assigned_to",
 "Abel Tuter")
val assignedToAbelOrEmpty =
 CompoundCondition(ConditionUtils.CompoundOperator.OR,
 listOf(assignedToEmpty, assignedToAbel))
val needToReassign = Criteria().addConditions(listOf(activeIncidents,
 assignedToAbelOrEmpty))
val highEscelations = StringSimpleCondition.conditionIs("escalation",
 "2")
val overdueEscelations = StringSimpleCondition.conditionIs("escalation",
 "3")
val highOrOverdueEscelations =
 CompoundCondition(ConditionUtils.CompoundOperator.OR,
 listOf(highEscelations, overdueEscelations))
val needToHandleEscalation =
 Criteria().addCondition(highOrOverdueEscelations)
val myPrioritiesForTodayFilter = Filter(listOf(needToReassign,
 needToHandleEscalation))
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NotSupportedPushError クラス: Android

NotSupportedPushError クラスの関数は、NowPushSDK がプッシュ通知要求を処理できない場合にスローされます。このタイプのエラーがスローされた場合は、MobileSDK フレームワークの外部でプッシュ通知を解析して処理する必要があります。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
原因	投擲可能	エラーの原因。
メッセージ	文字列	ユーザーに表示するエラーの詳細を含むメッセージ。

NowAnalyticsSDK インターフェイス - Android

NowAnalyticsSDK インターフェイスには、ユーザーアナリティクスデータのコレクションを管理するためのアナリティクスプロパティ、ユーザー設定、およびイベントを構成できる機能が用意されています。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスに関連付ける構成。

NowAnalyticsSDK - addEvent(eventName:文字列)

ユーザーが特定のレベルまたは画面に到達するなど、アプリケーションイベントを追加します。これらのイベントは、発生した順序でダッシュボードに表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き eventName	文字列	追加するイベントの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出してアプリケーション イベントを追加する方法を示しています。

```
// Add event
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().addEvent("Successful Login")
```

NowAnalyticsSDK - addEvent(eventName:文字列、props:MutableMap<String、Any>)

ユーザーが特定のレベルまたは画面に到達したなどのアプリケーションイベントを追加し、イベントのカスタムプロパティの設定を有効にします。これらのイベントは、発生した順序でダッシュボードに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventName	文字列	追加するイベントの名前。
プロパティ	MutableMap (ミュータブルマップ)	イベントのカスタムプロパティのキーと値のペア。 イベント名、プロパティキー、および値の合計サイズは、プロパティあたり 300 バイトを超えることはできません。この制限を超えるプロパティは無視されます。プロパティキーには、ドット ('.') またはドル ('$') 記号を含めることはできません。含まれている場合はトリミングされます。文字列は UTF-8 でエンコードされます。 サポートされている値の型: • 整数 • 倍精度 • 浮動小数点数 • 文字列 • URL • ブーリアン • 日付

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、イベントのカスタムプロパティを含むアプリケーションイベントを追加する方法を示しています。

```
// Add event with properties
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().addEvent("Open Case",
  mutableMapOf(
    "Screen Name" to "Case",
    "Case Number" to 123,
    "Case Priority" to 5
  )
)
```

NowAnalyticsSDK - addScreenAction(actionName: String)

カスタムアクションを追加します。これらのアクションは、セッションデータの一部としてユーザーダッシュボードに表示され、アプリケーションの画面変更を示します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
actionName	文字列	画面に追加するアクションの名前 (`MyButtonClick` など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、現在の画面にカスタム アクションを追加する方法を示しています。

```
// Add a custom action to the current screen
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().addScreenAction("MyButtonClick")
```

NowAnalyticsSDK - appendToUserProperty(propertyName:文字列、item:文字列)

指定されたユーザープロパティリストに指定されたアイテムを追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
propertyName	文字列	リストアイテムを追加するユーザープロパティの名前。
item	文字列	プロパティに追加するリストアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、指定されたリストにケースを追加する方法を示しています。

```
// Append handled case to list
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().appendToUserProperty("Case
 Identifiers", "TASK-1")
```

NowAnalyticsSDK - configure(instanceURL: URL, configureCallbacks: ConfigureCallbacks?)

指定された ServiceNow インスタンス URL とコールバックを NowAnalytics に設定します。

このメソッドが呼び出されると、関連付けられた ServiceNow インスタンスから実際の構成がフェッチされ、自動的に同期されます。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
インスタンス URL	URL	NowAnalyticfs サービスに関連付ける ServiceNow インスタンスの URL。
configureCallback	ConfigureCallback	オプション。ServiceNowインスタンスとの通信中にエラーが発生したときに実行するコールバック。このコールバックはいつでも呼び出すことができ、複数の理由で複数回呼び出すことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、指定したインスタンスを構成する方法を示しています。

```
// Init NowAnalytics after NowSDK is initialized
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().configure(URL("https://
my.instance.service-now.com"),
  // Optional - pass callback
  object: ConfigureCallbacks {
    override fun onFail(e: Exception) {
      // configuration failed
    }

    override fun onSuccess() {
      // configuration succeeded
    }
  }
)
```

NowAnalyticsSDK - deleteCurrentUserData()

現在のユーザーのすべてのローカルデータとリモートデータを削除します。

また、この方法では、現在のアクティブなユーザーの設定が解除され、このデバイスは将来の分析追跡からオプトアウトされます。

注: このメソッドは、SNAnalytics サーバーへの同期呼び出しを実行します。したがって、これをサイドスレッドで実行することをお勧めします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	削除が成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:削除に成功しました。 • false:削除に失敗しました。接続がない場合など、SNAnalytics サーバーに到達できない場合、障害が発生する可能性があります。メソッドを再試行する必要があります。

次のコード例は、この関数を呼び出して現在のユーザーのデータを削除する方法を示しています。

```
// Delete user data
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().deleteCurrentUserData()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAnalyticsSDK - getTrackingConsent()

アナリティクストラッキングに対する現在のユーザーの同意応答を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがデータの収集に同意したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ユーザーはデータの収集に同意しました。 • false:ユーザーはデータの収集をオプトアウトしました。

次のコード例は、この関数を呼び出して、分析追跡に対する現在のユーザーの同意応答を要求する方法を示しています。

```
// Get the current user tracking consent value
val curUserConsent =
 NowAnalytics.sharedAnalyticsService.getTrackingConsent()
```

NowAnalyticsSDK - incUserProperty(propertyName:文字列、値:Double)

指定された数値プロパティの値を指定された値だけインクリメントまたはデクリメントします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
propertyName	文字列	インクリメントするユーザープロパティの名前。
値	倍精度	プロパティをインクリメントする値。値をデクリメントするには、負の値を入力します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
// Increment numeric_property_name by one
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().incUserProperty("numeric_property_name", 1.0)

// Decrement numeric_property_name by one
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().incUserProperty("numeric_property_name", -1.0)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAnalyticsSDK - installJavascriptInterface(webView: WebView)

JavaScript を使用して、{@link android.webkit.WebView} 内から javaScript.SNMobileAnalytics メソッドを呼び出せるようにします。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
Web ビュー	WKWebView	アタッチ先の {@link android.webkit.WebView}。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して javaScript.SNMobileAnalytics メソッドの呼び出しを有効にする方法を示しています。

```
// Register JS object inside the web page
// This creates an object called 'SNMobileAnalytics' on JS that has the
 following methods:
// SNMobileAnalytics.setUserId(userId)
//   example: SNMobileAnalytics.setUserId("John Doe")
// SNMobileAnalytics.startScreen(screenName)
//   example: SNMobileAnalytics.startScreen("WelcomeScreen")
// SNMobileAnalytics.addScreenAction(actionName)
//   example: SNMobileAnalytics.addScreenAction("MyButtonClick")
// SNMobileAnalytics.addEvent(eventName, properties)
//   example: SNMobileAnalytics.addEvent("Successful Login")
//
SNMobileAnalytics.addEvent("Successful Login", JSON.stringify({"Screen
 Name": "Case", "Case Number": "123", "Case Priority": 5}))
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().installJavascriptInterface(webView)
```

NowAnalyticsSDK - removeUserProperty(propertyName: String)

現在のユーザーの指定されたプロパティを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
propertyName	文字列	削除するユーザープロパティの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して "Temp Cases" プロパティを削除する方法を示しています。

```
// Remove unnecessary property
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().removeUserProperty("Temp Cases")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAnalyticsSDK - setListener(nowAnalyticsListener: NowAnalyticsListener?)

セッションの変更や自動画面検出などの NowAnalytics のイベントにリスナーを設定します。

注: このメソッドを呼び出すたびに、リスナーがオーバーライドされます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
nowAnalytics リスナー	NowAnalytics リスナー	NowAnalytics がセッションイベントについて通知するインターフェイス。 • onNowAnalyticsScreenDetected: NowAnalytics が画面を自動的に検出したときに呼び出されます。 • onNowAnalyticsSessionEnded:セッションの終了後に呼び出されます。 • onNowAnalyticsSessionEnding:セッションが終了する直前に呼び出され、セッションが終了しないようにすることができます。 • onNowAnalyticsSessionStarted:セッションの開始時に呼び出されます。 • onNowAnalyticsSessionStarting: セッションが開始される直前に呼び出され、セッションが開始されないようにすることができます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して `NowAnalyticsListener()` を設定する方法を示しています。

```
// From anywhere in the code you can register the delegate
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().setListener(NowAnalyticsListener())
```

NowAnalyticsSDK - setTrackingConsent(consentGiven:ブール値)

現在のユーザーの同意応答をアナリティクストラッキングに設定します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
consentGiven	ブーリアン	アナリティクス追跡に対する現在のユーザーの同意を示すフラグ。 有効な値： • true:ユーザーはデータの追跡に同意しました。 • false:ユーザーはデータの追跡をオプトアウトしました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、現在のユーザーの同意応答を分析追跡に設定する方法を示しています。

```
// Enable tracking consent
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().setTrackingConsent(true)
```

NowAnalyticsSDK - setUserId(userId:文字列)

アプリケーション固有のユーザー識別子を設定します。nil を渡すと、現在のユーザーがログアウトされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	一意のアプリケーション固有のユーザー識別子。この識別子は、ダッシュボードでそのユーザーのレポートを集計するために使用されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、アプリケーション固有のユーザー識別子を "John Doe" に設定する方法を示しています。

```
// Set User Id for proper identification
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().setUserId("John Doe")
```

NowAnalyticsSDK - setUserProperties(userProperties: MutableMap<String, Any>)

現在のユーザーに対して、指定された値で複数のプロパティを設定します。プロパティは、ユーザーのダッシュボードで追跡するものであれば何でもかまいません。

現在のユーザーを設定するには、 NowAnalyticsSDK - setUserId(userId:文字列) 関数を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
ユーザープロパティ	MutableMap (ミュータブルマップ)	設定するユーザープロパティのキーと値のペア。 サポートされている値の型: • 番号 • 文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• 日付 • URL • Null

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、現在のユーザーの複数のプロパティを設定する方法を示しています。

```
// Add several properties at once
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().setUserProperties(
  mutableMapOf(
    "Cases Handled" to 100,
    "Last Login" to Date(),
    "Is Remote" to true,
    "Profile URL" to URL("https://www.servicenow.com")
  )
)
```

NowAnalyticsSDK - setUserProperty(propertyName:文字列、propertyValue:任意)

現在のユーザーの指定されたプロパティに指定された値を設定します。プロパティは、ユーザーのダッシュボードで追跡するものであれば何でもかまいません。

現在のユーザーを設定するには、 NowAnalyticsSDK - setUserId(userId:文字列) 関数を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
propertyName	文字列	設定するユーザープロパティの名前。
値	任意	ユーザープロパティを設定する値。 サポートされている値の型: • 番号 • 文字列 • 日付 • URL • Null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して、現在のユーザーのプロパティ "Role" を "Admin" に設定する方法を示しています。

```
// Set the "Role" property of the user to "Admin"
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().setUserProperty("Role", "Admin")
```

NowAnalyticsSDK - startScreen(screenName:文字列)

関連する画面が UI に最初に表示された時刻をログに記録します。

通常、このメソッドはアクティビティの `onResume()` メソッドから呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き screenName	文字列	開始時間をログに記録する画面の名前 (`WelcomeScreen` など)。これは、画面として定義し、アナリティクスダッシュボードに表示/アグリゲートするものであれば何でもかまいません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出して "WelcomeScreen" の表示の開始時刻を設定する方法を示しています。

```
// Mark the appearance starting time of a screen
// This method should be usually called from the onResume() method
NowAnalyticsSDK.getAnalyticsService().startScreen("WelcomeScreen")
```

NowAPIService インターフェイス - Android

NowAPIService インターフェイスは、指定された ServiceNow REST API で要求を実行する機能を提供します。

注: ゲストユーザーは、アクセスされる REST API がゲストユーザー用に構成されている場合にのみ、 *NowAPIService* インターフェイスに対して機能します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	プロトコルに関連付けるサービス構成。

NowAPIService - data(endpoint: NowAPIService.Endpoint, queryParams: QueryParams, headers: Headers, body: String)

指定された ServiceNow インスタンスで指定された REST API を呼び出します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
endpoint	NowAPIService.Endpoint	呼び出す REST エンドポイント。
queryParams	クエリパラメーター	オプション。REST 呼び出しで渡すクエリパラメーターを含むクエリパラメーターオブジェクト。 デフォルト：null
ヘッダー	ヘッダー	オプション。REST 呼び出しで渡すヘッダーを含む Headers オブジェクト。 デフォルト：null
本文	文字列	オプション。REST 呼び出しに渡す要求本文とコンテンツタイプを含むオブジェクト。 デフォルト：null

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	呼び出された REST エンドポイントから結果を返します。

```
suspend fun loadCases(): List<CaseItem> = withContext(Dispatchers.IO) {
  val apiService = nowServiceManager.getNowAPIService()

  val result = runCatching {
    val response = apiService.data(NowAPIService.Endpoint(
      relativePath = CASES_API,
      requestMethod = HttpMethod.GET,
      requireAuth = true)
    ).execute()

    val byteArray = response.body ?: throw Exception("Null Result")
    val buffer = Buffer()
    val reader = JsonReader.of(buffer.write(byteArray))
    val listType = Types.newParameterizedType(
      List::class.java,
      CaseItem::class.java
    )

    val resultType = Types.newParameterizedType(
      ResultResponse::class.java,
      listType
    )
    val adapter =
 moshi.adapter<ResultResponse<List<CaseItem>>>(resultType)
    adapter.fromJson(reader)
  }

  if (result.isSuccess) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        result.getOrNull()?.result ?: throw Exception("Cases not in
 response")
    } else {
        throw result.exceptionOrNull() ?: Exception("Error Cases")
    }
}
```

NowAttachment クラス: Android

`NowAttachment` クラスは、添付ファイルとそれに関連するメタデータを含むオブジェクトを提供します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
データ	Data (データ)	添付ファイルデータ/ファイル。
メタデータ	NowAttachmentMetadata	添付ファイルに関連付けられたメタデータ。

NowAttachmentMetadata クラス: Android

`NowAttachmentMetadata` クラスは、添付ファイルのメタデータをエンコードおよび管理できるようにする関数を提供します。

NowAttachmentMetadata プロパティ

名前	タイプ	**Description** (説明)
平均画像色	文字列	関連付けられた画像で最も目立つ色。
chunkSizeInBytes	整数	添付ファイルが大きすぎて 1 つのパケットで転送できない場合、個々のパケットで送信する添付ファイルの最大バイト (チャンク)。 単位：バイト
圧縮サイズ (バイト単位)	整数	添付ファイルの圧縮サイズ。 単位：バイト
作成日時	日付	添付ファイルが作成された日付。
createdBy	文字列	添付ファイルを作成したエンティティ。
ダウンロード	URL	メタデータに関連付けられた添付ファイルの完全なダウンロード URL。
fileName	文字列	添付ファイルの名前。
ハッシュ	文字列	添付ファイルの想定される SHA256 ダイジェスト。 ダウンロードされた添付ファイルは、計算されたダイジェストをこの SHA256 ダイジェストと比較することで検証されます。
画像の高さ	整数	画像の高さ。 単位：ピクセル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAttachmentMetadata プロパティ (続く)

名前	タイプ	**Description** (説明)
imageWidth	整数	画像の幅。 単位：ピクセル
圧縮済み	ブーリアン	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:添付ファイルは圧縮されています。 • false:添付ファイルは圧縮されていません。
mimeType	文字列	添付ファイルの MIME タイプ。
modificationCount	整数	添付ファイルが変更された回数。
sizeInBytes	整数	添付ファイルのサイズ。 単位：バイト
sourceSysId	文字列	メタデータが関連付けられている添付ファイルレコードのSys_id。
ソーステーブル名	文字列	添付ファイルが存在するソーステーブルの名前。
state		可用性ステータス。 有効な値： • 利用できる • 条件 付き • 保留 • UNAVAILABLE
sysId	文字列	ServiceNow インスタンス内の各レコードを識別する、一意の 32 文字のグローバル一意 ID (GUID)。
tags	文字列	添付ファイルに関連付けられたタグのリスト。
更新完了	日付	添付ファイルが最後に変更された日付。
updatedBy	文字列	添付ファイルを更新したエンティティ。

NowAttachmentMetadata - NowAttachmentMetadata(sysId: 文字列, **fileName:** 文字列, **mimeType:** 文字列, **_isCompressed:** 文字列, **_sizeInBytes:** 文字列, **_compressedSizeInBytes:** 文字列, **_chunkSizeInBytes:** 文字列, **_modificationCount:** 文字列, 作成日: 日付, **createdBy:** 文字列, **updated:** 日付, **updatedBy:** 文字列, **download:** 文字列?, **hash:** 文字列, **state: NowAttachmentMetadata.State, averageImageColor:** 文字列, **_imageWidth:** 文字列, **_imageHeight:** 文字列, **sourceTableName:** 文字列, **sourceSysId:** 文字列, タグ:文字列)

NowAttachement クラスによって返されるクラス。このオブジェクトは Parcelable です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNow インスタンス内の各レコードを識別する、一意の 32 文字のグローバル一意 ID (GUID)。
fileName	文字列	添付ファイルの名前。
mimeType	文字列	添付ファイルの MIME タイプ。
圧縮済み	ブーリアン	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:添付ファイルは圧縮されています。 • false:添付ファイルは圧縮されていません。
sizeInBytes	整数	添付ファイルのサイズ。 単位：バイト
圧縮サイズ (バイト単位)	整数	添付ファイルの圧縮サイズ。 単位：バイト
chunkSizeInBytes	整数	添付ファイルが大きすぎて 1 つのパケットで転送できない場合、個々のパケットで送信する添付ファイルの最大バイト (チャンク)。 単位：バイト
modificationCount	整数	添付ファイルが変更された回数。
作成日時	日付	添付ファイルが作成された日付。
createdBy	文字列	添付ファイルを作成したエンティティ。
更新完了	日付	添付ファイルが最後に変更された日付。
updatedBy	文字列	添付ファイルを更新したエンティティ。
ダウンロード	URL	メタデータに関連付けられた添付ファイルの完全なダウンロード URL。
ハッシュ	文字列	添付ファイルの想定される SHA256 ダイジェスト。 ダウンロードされた添付ファイルは、計算されたダイジェストをこの SHA256 ダイジェストと比較することで検証されます。
state		可用性ステータス。 有効な値： • 利用できる • 条件 付き

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 保留 • UNAVAILABLE
平均画像色	文字列	関連付けられた画像で最も目立つ色。
imageWidth	整数	画像の幅。 単位：ピクセル
画像の高さ	整数	画像の高さ。 単位：ピクセル
ソーステーブル名	文字列	添付ファイルが存在するソーステーブルの名前。
sourceSysId	文字列	メタデータが関連付けられている添付ファイルレコードのSys_id。
tags	文字列	添付ファイルに関連付けられたタグのリスト。

返される内容

タイプ	Description (説明)
sysId (sysIdentifiable)	関連付けられたメタデータレコードの一意の 32 文字の GUID。

NowAttachmentService インターフェイス - Android

NowAttachmentService インターフェイスは、添付ファイルとそれに関連するメタデータの操作を可能にする関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスに関連付ける構成。

NowAttachmentService - attachment(sysId: String, validateAttachment: Boolean = true)

指定されたsys_idで添付ファイルを取得し、オプションで、添付ファイルの計算されたハッシュを予想されるハッシュと比較して、添付ファイルを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	取得する添付ファイルのSys_id。これは、 ServiceNow インスタンス上の添付ファイルのsys_idです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
validateAttachment	ブーリアン	添付ファイルを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:添付ファイルを検証します。 • false:添付ファイルを検証しません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	Description (説明)
呼び出し<NowAttachment>	要求された添付ファイルを含む NowAttachment オブジェクト。

```
fun getAttachment(sysId: String, isValidateAttachment: Boolean) {
  val call = attachmentService.attachment(sysId, isValidateAttachment)
  call.enqueue(
    { response ->
      val attachment: NowAttachment? = response.body
    },
      { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(sysId: 文字列)

指定されたsys_idに関連付けられた添付ファイルのメタデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	メタデータを取得する添付ファイルのSys_id。

返される内容

タイプ	Description (説明)
<NowAttachmentMetadataを呼び出します>	指定した添付ファイルのメタデータを含むオブジェクト。

```
fun fetchMetadata(sysId: String) {
  val call = attachmentService.attachmentMetadata(sysId)
  call.enqueue(
    { response ->
      val metadata: NowAttachmentMetadata? = response.body
    },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowAttachmentService - attachmentMetadata(filter: Filter? = null, limit: Int? = null)

指定されたクライテリアを満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:null:利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。 デフォルト:null: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<List <NowAttachmentMetadata>>	一致する添付ファイルのメタデータを含むオブジェクトのリスト。

```
fun fetchMultipleMetadata(filterQuery: String, limit: Int) {
  val call = attachmentService.attachmentMetadata(Filter(filterQuery),
 limit)
  call.enqueue(
    { response ->
      val metadataList: List<NowAttachmentMetadata>? = response.body
    },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadataPaginator(filter: Filter? = null, limit: Int? = null)

指定された基準を満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得し、返されたメタデータのページを反復処理するためのページネーターを作成します。

このページネーターを使用して、返されたメタデータ間を移動し、最初、最後、前、または次のページのフェッチや、次のページまたは前のページがあるかどうかの確認などのナビゲーション操作を実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:null:利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		デフォルト:null: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Paginator<NowAttachmentMetadata>	成功: Paginator オブジェクトとメタデータの指定されたページ。 失敗:NowDataError オブジェクト。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val filterQuery: String = "content_type=text/plain"
  val filter = filterQuery.let(::Filter)
  val limit = 10
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(filter, limit)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")
}
```

NowAttachmentService - delete(sysId: 文字列)

指定したsys_idの添付ファイルを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除する添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:何も返されません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	失敗:NowDataError が返されました。

```
fun deleteAttachment(sysId: String) {
  val call = attachmentService.delete(sysId)
  call.enqueue(
    { response -> handleResponse(response) },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

NowAttachmentService - upload(データ:ByteArray、構成:NowAttachmentUploadConfiguration)

指定された基準を満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得し、返されたメタデータのページを反復処理するためのページネータを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
データ	バイトアレイ	アップロードして構成オブジェクトで指定された添付ファイルに関連付けるメタデータ。
構成	NowAttachmentUploadConfiguration	設定パラメーターをアップロードします。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowAttachmentMetadata	メタデータがアップロードされました。

```
fun uploadAttachment(tableName: String, recordSysId: String, fileName:
 String) {
  val bitmap = BitmapFactory.decodeResource(resources,
 R.drawable.test_image)
  val data = bitmap.compress(ImageType.JPEG)
  val contentType = "image/jpg"
  val config = NowAttachmentUploadConfiguration(tableName, recordSysId,
 fileName, contentType)
  val call = attachmentService.upload(data, config)

  call.enqueue(
    { response ->
      val uploadedAttachmentMetadata: NowAttachmentMetadata? =
 response.body
    },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowChatOptions: Android

`NowChatOptions` クラスを使用すると、チャット ウィンドウを閉じる前にプロンプトを表示したり、チャットの使用中に機能を無効にしたり、チャット サービスの開始時に新しいチャット会話を強制したりするなど、チャット セッションのオプションを構成できます。

NowChatOptions - NowChatOptions(closePrompt: ClosePrompt?, disabledFeatures: List<Feature>?, forceNewConversation: Boolean?)

現在のチャットセッションのオプションを設定します。このメソッドを使用すると、チャットウィンドウを閉じる前にプロンプトを表示したり、チャットの使用中に機能を無効にしたり、チャットサービスの開始時に新しいチャット会話を強制したりできます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
closePrompt	ClosePrompt オブジェクト	関連するチャットウィンドウを閉じる前に表示するプロンプト。 クローズプロンプトを表示したくない場合は、nullを渡します。
disabledFeatures	List<NowChatOptions.Feature>	現在のチャットセッション内で無効にするチャット機能のリスト。 有効な値: • START_NEW_CONVERSATION:チャットウィンドウに表示される [新しい会話 を開始] ボタンを非表示/無効にします。 使用可能なチャット機能は、 `NowChatOptions.Feature` 列挙型クラスで定義されています。 どの機能も無効にしたくない場合は、nullを渡します。
forceNewConversation	ブール値	チャットセッションの開始時に新しいチャット会話を強制するかどうかを示すフラグ。現在の会話はすべてクローズされます。 有効な値： • true:新しいチャット会話を開始します。新しいチャットウィンドウが開きます。 • false:新しいチャット会話を開始しません。前のチャット会話の内容をロードします。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	Description (説明)
チャットオプション	NowChatService - start(activity: Activity, themeColors: NowChatTheme = object : NowChatTheme{}, contextData: map<String, Any> = mapOf(), chatOptions: NowChatOptions? = null) メソッドで渡すことができる chatOptions オブジェクトを返します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
suspend fun launchChat() {
  val chatService = getNowChatService()
  val chatTheme = object : NowChatTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLUE)

    override val textPrimary: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLACK)

    // Override remaining theme colors

  }
  val contextData = mapOf("sys_id" to "123456789", "table" to "wm_task")

  val chatOptions = NowChatOptions(
    NowChatOptions.ClosePrompt(
      header = null,
      message = "Are you sure you want to leave?",
      acceptButtonTitle = "Yes",
      declineButtonTitle = "No"
    ),
    disabledFeatures =
 listOf(NowChatOptions.Feature.START_NEW_CONVERSATION),
    forceNewConversation= true
  )

   chatService?.start(activity, chatTheme, contextData, chatOptions)
}
```

NowChatOptions - ClosePrompt(header: String, message: String, acceptButtonTitle: String, declineButtonTitle: String)

渡されたパラメーターに基づいて ClosePrompt オブジェクトを作成して返します。次に、このオブジェクトを *NowChatOptions()* メソッドに渡して、チャットセッション内のプロンプトを閉じるオプションを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
header	文字列	プロンプトのヘッダーに表示するテキスト。 プロンプトヘッダーを表示しない場合は、nullを渡します。
メッセージ	文字列	プロンプトのメインテキストとして表示するテキスト。
acceptButtonTitle	文字列	チャットウィンドウを閉じるためにプロンプトのプライマリボタンに表示するテキスト。
拒否ボタンのタイトル	文字列	プロンプトを却下するためにプロンプトのセカンダリボタンに表示するテキスト。 セカンダリボタンを表示したくない場合は、nullを渡します。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun launchChat() {
  val chatService = getNowChatService()
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  val chatTheme = object : NowChatTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLUE)

    override val textPrimary: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLACK)

    // Override remaining theme colors

  }
  val contextData = mapOf("sys_id" to "123456789", "table" to "wm_task")

  val chatOptions = NowChatOptions(
    NowChatOptions.ClosePrompt(
      header = null,
      message = "Are you sure you want to leave?",
      acceptButtonTitle = "Yes",
      declineButtonTitle = "No"
    ),
    disabledFeatures =
 listOf(NowChatOptions.Feature.START_NEW_CONVERSATION),
    forceNewConversation= true
  )

   chatService?.start(activity, chatTheme, contextData, chatOptions)
}
```

NowChatSDK クラス: Android

NowChatService クラスは、NowChat と対話する NowChatService を作成するために必要な関数を提供します。NowChat は、アプリケーション内に ライブエージェント と 仮想エージェント を埋め込む機能を提供します。

ライブエージェントと仮想エージェントの詳細については、「仮想エージェント」を参照してください。

NowChatSDK - makeChatService(instanceURL: URL, nowChatSdkCallbacks)

NowChat サービスを作成します。これはサスペンド関数です。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
インスタンス URL	URL	NowChatService がやり取りする必要がある ServiceNow インスタンスの URL。
nowChatSDK コールバック	NowChatSdk コールバック	NowChatService の構成に使用するホストアプリケーションのコールバック。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
@Inject lateinit var sdkSettingsProvider: Provider<NowSDKSettings>
@Inject lateinit var chatCallbacks: SampleAppNowChatSDKCallbacks
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
private fun launchChat() {
  binding.progressBar.visibility = View.VISIBLE

  NowChatSDK.makeChatService(
    URL(sdkSettingsProvider.get().instanceBaseURL),
    chatCallbacks
  ) .onSuccess {
    it.start(this, chatCallbacks.nowChatThemeColors) }
  } .onFailure {
     Log.e("NowChat", "Unable to launch chat: $it")
  }
}
```

NowChatSdkCallbacks インターフェイス - Android

NowChatSdkCallbacks インターフェイスは、ホストアプリケーションのコールバックが NowChatSDK からのアクションを構成または処理できるようにする関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
isFileCollectionBlocked	ブーリアン	ホストアプリケーションが NowChat がファイルピッカーを開かないようにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ファイルピッカーが開かないようにします。 • false:ファイルピッカーを開くことを許可します。
isGalleryCollectionBlocked	ブーリアン	ホストアプリケーションが NowChat でフォトギャラリーを開かないようにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:フォトギャラリーが開かないようにします。 • false:フォトギャラリーを開くことを許可します。
isLocationCollectionBlocked	ブーリアン	ホストアプリケーションが NowChat による位置情報配置へのアクセスを禁止するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:位置情報管理へのアクセスを禁止します。 • false:位置情報配置へのアクセスを妨げません。
isPhotoCollection ブロック済み	ブーリアン	ホストアプリケーションが NowChat によるカメラへのアクセスを禁止するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:カメラへのアクセスを禁止します。 • false:カメラへのアクセスを妨げません。

NowChatSdkCallbacks - loadUri(uri: Uri, context: Context)

指定された URI を処理します (Web ビュー、カスタムタブ、外部ブラウザーで開くなど)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
URI	URI	開く URI。
context	コンテキスト	アプリケーションコンテキスト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
class SampleNowChatSDKCallbacks : NowChatSdkCallbacks {
  override fun loadUri(uri: Uri, context: Context) {

    // Open the uri in a webview
    val webview = WebView(context)
    webview.loadUrl(uri.toString())
  }

  // Override other methods
}
```

NowChatSdkCallbacks - onExit(exitCode: NowChatExitCode)

NowChat の終了時に返す結果コードを設定します。

このコールバックは、全画面表示のチャットが閉じられ、ユーザーがホスト アプリケーションに戻ったときに呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
exitCode	NowChatExitCode	NowChat を終了する理由。 有効な値： • ChatPluginNotInstalledError:チャットプラグインがインスタンスにインストールされていません。 • SessionInitializationError:インスタンスとのセッションを初期化できません。 • UserExit:ユーザーが上ボタンまたは戻るボタンを使用して終了しました • 不明:不明な理由。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
class SampleNowChatSDKCallbacks : NowChatSdkCallbacks {

  override fun onExit(exitCode: NowChatExitCode) {
    when (exitCode) {
      NowChatExitCode.UserExit -> Log.i("NowChat", "User exited using the
 up button or back button")
      NowChatExitCode.SessionInitializationError -> Log.i("NowChat",
 "Unable to initialize session with instance")
      NowChatExitCode.ChatPluginNotInstalledError -> Log.i("NowChat", "
 Chat plugin not installed on instance.")
      NowChatExitCode.Unknown -> Log.i("NowChat", "User exited for
 Unknown reason")
    }
  }

  // Override other methods
}
```

NowChatSdkCallbacks - provideProgressView(context: Context)

NowChat UI データの読み込み中に表示するビューを返します。通常、構成された進行状況不定バー。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	コンテキスト	ビューの作成に使用するアプリケーションコンテキスト。

返される内容

タイプ	Description (説明)
ビュー	ロード時に NowChat サービスが使用するビュー。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
class SampleNowChatSDKCallbacks : NowChatSdkCallbacks {
  override fun provideProgressView(context: Context): View? {
    return ProgressBar(context).apply {
      indeterminateTintList = ColorStateList.valueOf(
        MaterialColors.getColor(
          context,
          android.R.attr.colorPrimary,
          Color.BLACK)
      )
    }

    // Override other methods
  }
}
```

NowChatService クラス: Android

NowChatService クラスは、NowChat アクティビティを起動し、エラー構成を設定できる関数を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowChatService - launchIntent(context:Context, themeColors:NowChatTheme):インテント

NowChat アクティビティを開くために使用するインテントを起動します。通常、[`android.app.PendingIntent`] の作成に使用されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	コンテキスト	インテントをビルドするために使用されるコンテキスト。
themeColors	NowChatTheme	オプション。NowChat UI で使用するテーマの色。 デフォルト:デフォルトの色

返される内容

タイプ	**Description** (説明)
インテント	関連する NowChat アクティビティを起動するために使用されるインテントとテーマの色。

この例では、 *`launchIntent()`* メソッドを呼び出し、戻りアクティビティを処理する方法を示します。

```
val intent = nowChatService.launchIntent(this)
val pendingIntent = PendingIntent.getActivity(
    this,
    REQUEST_CODE,
    intent,
    PendingIntent.FLAG_IMMUTABLE
)

val notification = createNotification(title, message, pendingIntent)
notificationManager.notify(push.notificationId, notification)
```

NowChatService - start(activity: Activity, themeColors: NowChatTheme = object : NowChatTheme{}, contextData: map<String, Any> = mapOf(), chatOptions: NowChatOptions? = null)

指定された NowChat アクティビティを起動します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
アクティビティ	アクティビティ	NowChat アクティビティを起動し、*`onActivityResult`* を介して `NowChatExitCode` を resultCode として受け取るために使用するアクティビティコンテキスト。
themeColors	NowChatTheme	オプション。NowChat UI で使用するテーマの色。 デフォルト:デフォルトの色
コンテキストデータ	Map<String、Any>	オプション。チャットセッションに渡される追加のチャットコンテキスト変数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		チャットコンテキスト変数の詳細については、「ライブエージェントチャットのコンテキスト変数」を参照してください。
チャットオプション	NowChatOptions	オプション。チャットセッションに適用するオプション。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun launchChat() {
  val chatService = getNowChatService()
  val chatTheme = object : NowChatTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLUE)

    override val textPrimary: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(Color.BLACK)

    // Override remaining theme colors

  }
  val contextData = mapOf("sys_id" to "123456789", "table" to "wm_task")

  val chatOptions = NowChatOptions(
    NowChatOptions.ClosePrompt(
      header = null,
      message = "Are you sure you want to leave?",
      acceptButtonTitle = "Yes",
      declineButtonTitle = "No"
    ),
    disabledFeatures =
 listOf(NowChatOptions.Feature.START_NEW_CONVERSATION),
    forceNewConversation= true
  )

   chatService?.start(activity, chatTheme, contextData, chatOptions)
}
```

NowChatService - subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval: Long, listener: NowChatUnreadMessagesCountListener)

未読チャットメッセージ数リスナーに登録します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
pollingInterval	長	未読チャットメッセージ数について Web サービスをポーリングする頻度。 単位：ミリ秒
リスナー	NowChatUnreadMessagesCountListener	未読のチャットメッセージの数を取得するために実装するリスナー。また、 NowChatService - unsubscribeFromUnreadMessageCount(リスナー: NowChatUnreadMessagesCountListener) メソッドを使用して未読メッセージ数を取得する必要がなくなった場合は、このリスナーを登録解除する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、チャットの未読メッセージ数リスナーを登録および登録解除する方法を示しています。

```
private val unreadMessageCountListener = object:
 NowChatUnreadMessagesCountListener {
  override fun unreadMessagesCountDidChange(unreadMessageCount: Int) {
  }
}

fun setup() {
  nowChatService.subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval:1000,
 unreadMessageCountListener)
}

fun teardown() {

 nowChatService.unsubscribeFromUnreadMessageCount(unreadMessageCountListe
ner)
}
```

NowChatService - unsubscribeFromUnreadMessageCount(リスナー: **NowChatUnreadMessagesCountListener)**

未読メッセージ数の受信を登録解除します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
リスナー	NowChatUnreadMessagesCountListener	チャットの未読メッセージ数リスナーから登録解除するために実装するリスナー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、チャットの未読メッセージ数リスナーを登録および登録解除する方法を示しています。

```
private val unreadMessageCountListener = object:
 NowChatUnreadMessagesCountListener {
  override fun unreadMessagesCountDidChange(unreadMessageCount: Int) {
  }
}

fun setup() {
  nowChatService.subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval:1000,
 unreadMessageCountListener)
}

fun teardown() {

 nowChatService.unsubscribeFromUnreadMessageCount(unreadMessageCountListe
ner)
}
```

NowChatTheme インターフェイス - Android

NowChatTheme インターフェイスは、ライブエージェント および 仮想エージェント チャット UI の要素の既定の色を定義します。

NowChatTheme インターフェイスは *NowUITheme* インターフェイスを拡張し、プロパティ *nowUIColoring* を継承します。

```
val nowUIColoring: NowUIColoring?
```

これらのデフォルトの色を変更して、特定のチャット実装用に独自のテーマを作成できます。

プロパティ

名前	Description (説明)
Alert-Critical-0	アラートテキストの背景。 設定値:#F8C8CD デフォルト値:N/A
Alert-Critical-3	アラートテキストアイコンとバー。 デフォルト値:N/A 設定値:#B61C2D
背景プライマリ	ニュートラル背景、選択肢ピッカー、入力背景、カード背景。 設定値:#FFFFFF デフォルト値:N/A

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
背景 プライマリ アクション可能	ページネーションが選択され、背景がポップアップします。 設定値: #151920 デフォルト値:N/A
背景セカンダリ	下部バー、カードの列、選択ピッカーの検索背景。 設定値:#F6F6F8 デフォルト値:N/A
背景 セカンダリ アクション可能	検索背景 (15%) や日時背景 (100%) などのクリック可能な入力。
背景ターシャリ	エージェントとボットのバブルの背景。 設定値:#E4E6EA デフォルト値:N/A
ボーダーターシャリ	チャット入力ボーダー 設定値:#D3D6DC デフォルト:N/A
ブランド	ヘッダー 設定値:#302F4B デフォルト値:#30D5C8
ブランド背景	ユーザーバブル背景 設定値:#D1D2EE デフォルト値:N/A
破棄	ボタンの破壊的アクション 設定値:#B61C2D デフォルト値:#FFD68A
リンクプライマリ	ニュートラルな背景のリンク。無効なリンクには、同じ色で 25% の不透明度を使用します。 設定値:#3C59E7 デフォルト値:N/A
リンクセカンダリ	中立でない(#FFFFFF ではない)背景のリンク 設定値:#293D9E

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルト値:N/A
通知	新規メッセージインジケーター 設定値:#E42338 デフォルト値:N/A
nowUIColoring	チャットインターフェイスに色を入力するために参照できる Adaptive NowSDK テーマの色。このクラスに設定されている場合、デフォルトの色はそれを参照します。 例： `val brand get() = nowUIColoring?.brand ?: whiteGray` プライマリ:ボタンとアクション可能なテキスト 設定値:#4F52BD デフォルト値:#EBE0D0
画面ヘッダーテキスト	ブランド色 (画面ヘッダー) の上に表示される固定色のテキスト要素とアイコン要素。 設定値:#FFFFFF デフォルト:N/A
セカンダリ	ユーザーのスワイプ動作 設定値:#B61C2D デフォルト値:#D7A1F9
セパレーター	分割線 設定値:#D3D6DC デフォルト:N/A
シャドウ	カード シャドウ (15%) 設定値: #151920 デフォルト値:N/A
テキスト アクション可能	ボタンまたは強調表示された背景上のテキスト 設定値:#FFFFFF デフォルト値:N/A

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
テキストプライマリ	チャットバブルテキスト、カードヘッダー 設定値: #151920 デフォルト値:N/A
テキストセカンダリ	カードコンテンツ、検索バーアイコン、テキスト 設定値:#2C323F デフォルト値:N/A
テキストターシャリ	カレンダーの平日、プレースホルダー デフォルト値:N/A 設定値:#454D5B

NowDataSDK クラス: Android

NowDataSDK クラス
は、NowGraphQLService、NowAttachmentService、NowTableService、NowAPIService などのさまざまな機能サービスの作成と初期化を可能にする関数を提供します。

NowDataSDK - makeGraphQLService(instanceURL: URL)

NowGraphQLService 機能のインスタンスを作成して初期化します。このサービスにより、ServiceNow インスタンスの *GraphQL* API にアクセスできます。

ServiceNow GraphQL API の詳細については、「GraphQL API フレームワークを使用したレコードデータのクエリ」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インスタンス URL	URL	アクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例 :「https://instance.servicenow.com」

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果 <NowGraphQLService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowGraphQLService オブジェクト。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private var nowGraphQLService: NowGraphQLService? = null

/**
  * Create the NowGraphQLService once in the lifetime of the application,
 inside the Application class
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  * or another manager class that will be injected into other classes via
 dagger/hilt.
  * NowGraphQLService should be created after initializing the NowSDK.
  */
suspend fun getNowGraphQLService(): NowGraphQLService? {
  if (nowGraphQLService != null) return nowGraphQLService

  return
 NowDataSDK.makeGraphQLService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
    .also { this.nowGraphQLService = it }
}
```

NowDataSDK - makeNowAPIService(instanceURL: URL)

NowAPIService サービスのインスタンスを作成して初期化します。このサービスを使用すると、ServiceNow インスタンスによって公開されたパブリック REST API にアクセスできます。

さらに、カスタムスクリプト済み REST API を ServiceNow インスタンス内で開発し、NowAPIService API を使用して Android アプリケーション内でそれらの API にアクセスすることもできます。ServiceNow REST API の詳細については、「Scripted REST APIs」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インスタンス URL	URL	アクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例：「https://instance.servicenow.com」

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果<NowAPIService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowAPIService。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private var nowApiService: NowAPIService? = null

/**
  * Create the NowAPIService once in the lifetime of the application
 inside the Application class
  * or another manager class that will be injected into other classes via
 dagger/hilt.
  * NowAPIService should be created after initializing the NowSDK
  */
suspend fun getNowApiService(): NowAPIService? {
  if (nowApiService != null) return nowApiService

  return
 NowDataSDK.makeAPIService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
    .also { this.nowApiService = it }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowDataSDK - makeNowAttachmentService(instanceURL: URL)

NowAttachmentService 機能のインスタンスを作成して初期化します。

このサービスを使用すると、 ServiceNow インスタンスから添付ファイルをアップロード、ダウンロード、および削除できます。添付ファイルをインスタンスにアップロードすると、 Android アプリケーションにダウンロードできる添付ファイルのメタデータが生成されます。

ServiceNow添付ファイルの詳細については、「添付ファイル API」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インスタンス URL	URL	アクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例：「https://instance.servicenow.com」

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果 <NowAttachmentService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowAttachmentService オブジェクト。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
private var nowAttachmentService: NowAttachmentService? = null

/**
  * Create the NowAttachmentService once in the lifetime of the
 application inside the Application
  * class or another manager class that will be injected into other
 classes via dagger/hilt.
  * NowAttachmentService should be created after initializing the NowSDK.
  */
suspend fun getNowAttachmentService(): NowAttachmentService? {
  if (nowAttachmentService != null) return nowAttachmentService

  return
 NowDataSDK.makeAttachmentService(URL("https://
instance-name.service-now.com"))
    .getOrThrow()
    .also { this.nowAttachmentService = it }
}
```

NowDataSDK - makeTableService(instanceURL: URL)

NowTableService 機能のインスタンスを作成して初期化します。

このサービスを使用すると、ServiceNowインスタンス上の REST テーブル API にアクセスできます。REST テーブル API の詳細については、「テーブル API」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インスタンス URL	URL	アクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例：「https://instance.servicenow.com」

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果 <NowTableService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowTableService オブジェクト。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private var nowTableService: NowTableService? = null

/**
  * Create the NowTableService once in the lifetime of the application
 inside the Application
  * class or another manager class that will be injected into other
 classes via dagger/hilt.
  * NowTableService should be created after initializing the NowSDK.
  */
suspend fun getNowTableService(): NowTableService? {
  if (nowTableService != null) return nowTableService

  return
 NowDataSDK.makeTableService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
    .also { this.nowTableService = it }
}
```

NowGraphQLService インターフェイス - Android

NowGraphQLService インターフェイスは、*GraphQL* API を使用してServiceNowに GraphQL 要求を送信できる関数を提供します。

注: *GraphQL* API は、ベース ServiceNow システムのゲストユーザーに対して機能します。

ServiceNow *GraphQL* API の詳細については、「GraphQL API フレームワークを使用したレコードデータのクエリ」を参照してください。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスに関連付ける構成。

NowGraphQLService - graphQLRequest(文字列クエリ)

指定された GraphQL クエリを関連する ServiceNow インスタンスに渡し、クエリ結果を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	渡す GraphQL クエリ。

返される内容

タイプ	Description (説明)
呼び出し<バイト配列 >	クエリの応答。

```
fun makeGraphQLRequest(query: String) {
  val call = graphQLService.graphQLRequest(query)
  call.enqueue(
    { response -> handleResponse(response) },
    { nowDataError -> handleError(nowDataError) }
  )
}
```

NowPushPayload インターフェイス

*NowPushPayload*インターフェイスは、NowSDK が実装するプッシュ通知ペイロードを定義します。

NowPushPayload 構造体

名前	Description (説明)
instanceId	ServiceNow プッシュ通知システムによって提供されるインスタンス識別子。 データタイプ：文字列
インスタンス名	ServiceNow インスタンス名。 データタイプ：文字列
メッセージ	プッシュ通知の本文。 データタイプ：文字列
通知 ID	このプッシュ通知の一意の識別子。 データタイプ：整数
スレッド ID	通知をグループ化するために使用する ID。異なるペイロードで同じ ID を使用してグループを示します。 データタイプ：文字列
title	プッシュ通知のタイトル。 データタイプ：文字列

NowPushSDK クラス: Android

*NowPushSDK*クラスは、非請求 (プッシュ) 通知をAndroidデバイスに送信できるようにする `NowPushService` を作成するために必要な関数を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowPushSDK - makePushService(instanceURL: URL)

NowPush サービスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
インスタンス URL	URL	NowPushService がやり取りする必要がある ServiceNow インスタンスの URL。

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果 <NowPushService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowPushService オブジェクト。

この例では、 *makePushService()* メソッドを設定してプッシュサービスを作成する方法を示します。

```
private var nowPushService: NowPushService? = null

/**
  * Create the NowPushService once in the lifetime of the application
 inside the Application
  * class or another manager class that will be injected into other
 classes via dagger/hilt.
  * NowPushService should be created after initializing the NowSDK.
  */
suspend fun getNowPushService(): NowPushService? {
  if (nowPushService != null) return nowPushService

  return
 NowPushSDK.makePushService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
    .also { this.nowPushService = it }
}
```

NowPushService クラス: Android

NowPushService クラスは、プッシュ通知サービスとの対話を可能にする関数を提供します。

プロパティ

名前	Description (説明)
構成	サービスに関連付けるサービス構成。 データ型: NowServiceConfiguration

NowPushService - handlePush(remoteMessage: RemoteMessage, successCallback: Consumer<NowPushPayload>, errorCallback: Consumer<Throwable>)

プッシュ通知要求を処理します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 現在、実装されているプッシュ通知の種類は `NowPushVirtualAgent` のみです。その他の渡されたプッシュ通知の種類は、 NotSupportedPushError オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
リモートメッセージ	リモートメッセージ	`com.google.firebase.messaging.FirebaseMessagingService.onMessageRec` が受信した通知。詳しくは、 Android アプリでメッセージを受信する をご覧ください。
正常終了コールバック	コンシューマー <NowPushPayload>	処理された *`NowPushPayload`* を返すコールバック。
エラーコールバック	コンシューマー < スロー可能 >	スローされたエラーを返すコールバック。エラー NotSupportedPushError がスローされた合、通知タイプはモバイル SDK でサポートされていないため、モバイル SDK フレームワー外部で処理する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

この例では、 *`onMessageReceived()`* をオーバーライドし、 *`RemoteMessage`* を `NowPushService` に渡す方法を示します。`NowPushService` は通知の種類を認識すると、要求を処理し、アプリケーションが処理する通知オブジェクトを返します。それ以外の場合は、 NotSupportedPushError をスローします。

```
override fun onMessageReceived(remodeeMessage: RemoteMessage){
  pushService.handlePush(remoteMessage, { push ->
    when (push) {
      is NowPushVirtualAgent → handleVirtualAgentPush(push)
    }, { error ->
        Log.e(TAG, "Unknown push", error)
        handleAppPushNotification(remoteMessage)
    })
}
```

NowPushService - registerPushToken(pushToken: String, pushApp: String, successCallback: Runnable, errorCallback: Consumer<Throwable>)

現在のAndroidデバイスと指定されたアプリケーションのプッシュ通知を識別するために使用されるServiceNowインスタンスに一意のFirebaseトークンを登録します。

ServiceNow インスタンスが通知を生成し、デバイスがアプリケーションからの通知Android受信するには、このトークンを登録する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
プッシュトークン	文字列	Firebase *com.google.firebase.messaging.FirebaseMessaging.getToken* または *com.google.firebase.messaging.FirebaseMessagingService.onNewToken* によって取得されたトークン。
プッシュアプリ	文字列	関連付けられた ServiceNow インスタンスのプッシュ アプリケーション テーブルで指定されているプッシュ アプリケーションの名前。
正常終了 コールバック	実行可能ファイル	トークンの登録に成功したときに実行されるコールバック。
errorCallback	コンシューマー < スローする可能 >	トークンの登録に失敗したときに実行されるコールバック。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

この例では、現在の Android デバイスとアプリケーション "PushAppName" のプッシュ トークンを登録します。

```
FirebaseMessaging.getInstance().token.addOnCompleteListener { task ->
  val token = task.result

  if (!task.isSuccessful || token == null) {
    throw Exception("Unable to fetch token"))
  }

  pushService.registerPushToken(token, "PushAppName", {
    Log.v(TAG, "Successfully registered push token")
  }, { e ->
    Log.e(TAG, "Error registering push", e)
  })
}
```

NowPushService - unregisterPushToken(pushToken: String, pushApp: String, successCallback: Runnable, errorCallback: Consumer<Throwable>)

指定された Firebase プッシュトークンを、関連付けられた ServiceNow インスタンスに登録解除します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
プッシュトークン	文字列	Firebase トークンで登録解除します。*com.google.firebase.messaging.FirebaseMessaging.getToken* ま

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		たは *com.google.firebase.messaging.FirebaseMessagingService.onNewToken* によって取得されます。
プッシュアプリ	文字列	登録解除するトークンに関連付けられているプッシュアプリケーションの名前。この情報は、関連付けられた ServiceNow インスタンスのプッシュ アプリケーション テーブルに格納されます。
正常終了 コールバック	実行可能ファイル	トークンの登録解除に成功したときに実行されるコールバック。
errorCallback	コンシューマー < スロー可能 >	トークンの登録解除に失敗したときに実行されるコールバック。

返される内容

タイプ	説明
なし	

このコード例は、ユーザーがアプリケーションからログアウトしたときなどにプッシュトークンを登録解除する方法を示しています。

```
pushService.unregisterPushtoken(token, "PushAppName", {
  Log.v(TAG, "Successfully unregistered push token")
},  { e ->
  Log.e(TAG, "Error unregistering push", e)
})
```

NowSDK - Android

NowSDK クラスは、NowSDK のパブリック API を提供するシングルトンです。このクラスは、すべての Android SDK 機能サービスへのゲートウェイです。

フィーチャ サービスを初期化する前に、 NowSDK.configure() を呼び出して SDK 自体を初期化する必要があります。Android NowSDK の使用を開始する方法の詳細については、『ServiceNow Mobile SDK 開発者ガイド - Android』を参照してください。

NowSDK - configure(application: Application, configuration: NowSDKConfiguration)

使用する NowSDK を構成します。

SDK によって提供されるフィーチャ サービスを使用する前に、この関数を呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
application	アプリケーション	ホスティングアプリケーションオブジェクトへの参照。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	NowSDK の初期化に必要な情報を含むオブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	NowSDKError は、指定された構成が無効な場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
class SampleApplication : Application(), NowSDKAuthorizationProviding,
 DevicePermissionDelegate {

    private val nowSdkSettings = NowSDKSettings(
        instanceBaseURL = "https://instance-name.service-now.com",
        clientId = "client_id",
        user = "user"
    )

    private val coroutineScope = CoroutineScope(Dispatchers.IO)

    private val nowSDKConfiguration = NowSDKConfiguration(this, this,
 NowLogLevel.Debug)
    override fun onCreate() {
        super.onCreate()

        NowSDK.configure(this, nowSDKConfiguration)
    }


    override fun requestAuthorization(
        instanceURL: URL,
        callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>
    ) {
        coroutineScope.launch {
            when {
                nowSdkSettings.user.isNullOrBlank().not() ->
 authorizeWithJWT(
                    callback = callback,
                    user = nowSdkSettings.user,
                    clientId = nowSdkSettings.clientId
                )

                else -> authorizeWithGuest(callback = callback)
            }
        }
    }

    override fun canRequestPermission(permission: DevicePermission):
 Boolean {
        return true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

NowSDK - logout()

メモリに保持されているすべてのユーザーセッションをクリアします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
class SampleApplication : Application() {

    private val nowSDKConfiguration =
 NowSDKConfiguration(authorizationProvider, permissionDelegate,
 NowLogLevel.Debug)

    override fun onCreate() {
        super.onCreate()
        NowSDK.configure(this, nowSDKConfiguration)
    }

    fun logout() {
        // Clear all user session when an application resets the user
 session
        NowSDK.logout()
    }
}
```

NowSDKソフトウェアインターフェイスの提供 - Android

*NowSDKAuthorizationOffering*インターフェイスは、承認が必要な ServiceNow インスタンスへのリンクと、関連するコールバックを構成する関数を提供します。

NowSDKAuthorizationProviding - requestAuthorization(instanceURL: URL, callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>)

指定された AuthorizationToken オブジェクトを使用して、指定された ServiceNow インスタンスで現在ログインしているユーザーを許可します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
インスタンス URL	URL	ServiceNow 認証が要求されているインスタンス。
コールバック	Consumer <List <AuthorizationToken>>	ログインしているユーザー固有の認証トークンオブジェクトのアレイ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
class NowSDKAuthorizationManager: NowSDKAuthorizationProviding {
  override fun requestAuthorization(
    instanceURL: URL,
    callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>
  ){
    val token = JWTService.fetchJwt()
    val authorizationToken =
 AuthorizationToken(AuthorizationTokenType.JWT, token)
    val result = listOf(authorizationToken)
    callback.accept(result)
  }
}
```

NowSDKConfiguration クラス: Android

NowSDKConfiguration クラスには、NowSDK の初期化に必要な構成情報が含まれています。

プロパティ

名前	タイプ	説明
認証プロバイダー	NowSDKソフトウェアの提供	要求に応じて NowSDK に認証トークンを提供するデリゲートオブジェクト。
logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • デバッグ • エラー • 致命的 • 情報 • なし
permissionDelegate	DevicePermissionDelegate	ホストアプリケーションからの権限を要求するために NowSDK によって呼び出されるデリゲートオブジェクトで、指定されたデバイスの権限を要求するためのシステムダイアログを表示します。 例： `override fun canRequestPermission(permission: DevicePermission): Boolean = when (permission) { DevicePermission.Camera -> true`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		DevicePermission.Microphone -> false } }

NowSDKConfiguration - NowSDKConfiguration(authorizationProvider: NowSDKAuthorizationProviding, permissionDelegate: DevicePermissionDelegate, logLevel: NowLogLevel)

新しい NowSDKConfiguration オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
認証プロバイダー	NowSDKソフトウェアの提供	要求に応じて NowSDK に認証トークンを提供するデリゲートオブジェクト。

permissionDelegate	DevicePermissionDelegate	ホストアプリケーションからの権限を要求するために NowSDK によって呼び出されるデリゲートオブジェクトで、指定されたデバイスの権限を要求するためのシステムダイアログを表示します。
		例：
		override fun canRequestPermission(permission: DevicePermission): Boolean = when (permission) {
		DevicePermission.Camera -> true
		DevicePermission.Microphone -> false
		}
		}

logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • デバッグ • エラー • 致命的 • 情報 • なし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
class SampleApplication : Application(), NowSDKAuthorizationProviding,
 DevicePermissionDelegate {

    private val nowSdkSettings = NowSDKSettings(
        instanceBaseURL = "https://instance-name.service-now.com",
        clientId = "client_id",
        user = "user"
    )

    private val coroutineScope = CoroutineScope(Dispatchers.IO)

    private val nowSDKConfiguration = NowSDKConfiguration(this, this,
 NowLogLevel.Debug)
    override fun onCreate() {
        super.onCreate()

        NowSDK.configure(this, nowSDKConfiguration)
    }


    override fun requestAuthorization(
        instanceURL: URL,
        callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>
    ) {
        coroutineScope.launch {
            when {
                nowSdkSettings.user.isNullOrBlank().not() ->
 authorizeWithJWT(
                    callback = callback,
                    user = nowSdkSettings.user,
                    clientId = nowSdkSettings.clientId
                )

                else -> authorizeWithGuest(callback = callback)
            }
        }
    }

    override fun canRequestPermission(permission: DevicePermission):
 Boolean {
        return true
    }
}
```

NowServiceConfiguration クラス - Android

NowServiceConfiguration クラスを使用すると、フィーチャ サービスのServiceNowインスタンス URL とパッケージ名を構成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	フィーチャ サービスが利用する ServiceNow インスタンスの URL。 例:https://my_domain.hr_instance.com
packageName	文字列	フィーチャ サービスに関連付けるパッケージの名前。

NowServiceError クラス: Android

NowSDK エラーを返す `NowServiceError` シール クラス。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
原因	投擲可能	エラーの原因。
メッセージ	文字列	ユーザーに表示するエラーの詳細を含むメッセージ。

NowSDK 機能サービスによって返されるエラー

タイプ	Description (説明)
SDKotConfigured	NowSDK が構成されていませんでした。ほとんどの場合、`NowSDK.configure()` メソッドが呼び出されませんでした。
ServiceConfigurationInvalid	NowSDK が無効な設定で構成されました。構成のすべての設定が正しいことを確認します。
ServiceDisabled	関連付けられたサービスが無効です。
ServiceSettingsInvalid	サービス設定を処理できません。
ServiceSettingsRetrievalFailed	ServiceNow インスタンスから NowSDK サービス設定を取得できません。

NowTableService インターフェイス - Android

`NowTableService` インターフェイスは、ServiceNowインスタンス上のテーブル内のレコードを作成、読み取り、削除、および更新できる関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスに関連付ける構成。

NowTableService - createRecord(tableName: String, fields: Map<String, String>, writeOptions: FieldWriteOptions?, configuration: FieldReadConfiguration?)

指定されたテーブルに指定されたレコードを挿入します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	レコードを保存するテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
fields	Map<String, String>	レコードに作成するすべてのフィールドのキーと値のペア。 注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。値を表示値として保存するか、システムフィールドの自動生成を抑制するかなど、フィールドに設定するオプションを書き込みます。 デフォルト:null - オプションが選択されていません
構成	FieldReadConfiguration	オプション。作成されたレコードに対してどのフィールドを返すか、およびフィールドに含めるものを指定する構成。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:作成されたレコードを含む ByteArray。この情報は、必要なデータモデルに変換できます。 失敗:NowDataError

```
fun createTableRecord( tableName: String, fields: KeyValues,
 includeFields: String,
  readOptions: ReadOptions?, writeOptions: WriteOptions?){

  val readOptionsArray = readOptions?.asArray() ?: arrayOf()
  val readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields.split(","),
 *readOptionsArray)

  var body:ByteArray?

  val call = tableService.createRecord(tableName, fields.toMap(),
    writeOptions?.asFieldWriteOptions(),
    readConfig)
  call.enqueue({ body = it.body },{ Log.d("Records", "failed to create
 record") })
}
```

NowTableService - deleteRecord(sysId: 文字列, **tableName:** 文字列)

指定されたテーブルの指定されたレコードを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除するレコードの sys_id。
tableName	文字列	インシデントや資産など、指定したレコードが配置されているテーブルの名前。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:何も返されません。 失敗:NowDataError

```
fun deleteTableRecord( recordSysId: String, tableName: String, callType:
 CallTestType){
  val tableService = serviceProvider.tableService()
  var body:ByteArray?
  val call = tableService.deleteRecord(recordSysId, tableName)
  call.enqueue({ body = it.body },{ Log.d("Records", "failed to create
 record") })
}
```

NowTableService - paginator(tableName: String, configuration: FetchConfiguration)

テーブル内のレコードのページの反復を可能にするページネータを作成します。

このページネーターを使用して、返されたレコード間を移動し、最初、最後、前、または次のページのフェッチや、次のページまたは前のページがあるかどうかの確認などのナビゲーション操作を実行できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	ページネーターを作成するテーブルの名前。
構成	FetchConfiguration	使用するフィルター、ページネーションページサイズの制限、取得するフィールド、およびフィールドに含める内容を指定した構成。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Paginator<ByteArray>	成功:要求されたレコードの ByteArray 出力を持つページネータ。Paginator オブジェクト内の関数を使用して、返されたレコードをナビゲートできます。 失敗:NowDataError

```
private fun initTablePaginator() {
  paginator = service?.paginator(tableName, FetchConfiguration(null, 3))
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ?.observe(object: PaginatorCallBack<ByteArray> {
      override fun onSuccess(response: Response<List<ByteArray>>) {
      }
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        Log.e("NowDataError", "", e)
      }
    })
}
```

NowTableService - record(sysId: 文字列, **tableName:** 文字列, 構成: **FieldReadConfiguration?)**

指定されたテーブルから指定されたレコードを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	取得するレコードの sys_id。
tableName	文字列	インシデントや資産など、指定したレコードが配置されているテーブルの名前。
構成	FieldReadConfiguration	オプション。取得するフィールドとフィールドに含める内容を指定する構成。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:取得したレコードを含む ByteArray。この情報は、必要なデータモデルに変換できます。 失敗:NowDataError

```
fun fetchTableRecord( sysId: String, tableName: String, includeFields:
 String,
  readOptions: ReadOptions?){

  val readOptionsArray = readOptions?.asArray() ?: arrayOf()
  val readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields.split(","),
 *readOptionsArray)

  var body:ByteArray?

  val call = tableService.record(sysId, tableName, readConfig)
  call.enqueue({ body = it.body },{ Log.d("Record", "failed fetching
 record") })
}
```

NowTableService - records(tableName: String, configuration: FieldReadConfiguration?)

指定されたテーブルから sll レコードレコードを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	インシデントや資産などのレコードを取得するテーブルの名前。
構成	FieldReadConfiguration	オプション。取得するフィールドとフィールドに含める内容を指定する構成。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:取得したレコードを含む ByteArray。この情報は、必要なデータモデルに変換できます。 失敗:NowDataError

```
fun fetchTableRecords( tableName: String, filterQuery: String,
 includeFields: String,
  readOptions: ReadOptions?, limit: Int?){

  val readOptionsArray = readOptions?.asArray() ?: arrayOf()
  val readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields.split(","),
 *readOptionsArray)
  val config = FetchConfiguration(Filter(filterQuery), limit, readConfig)

  var body:ByteArray?

  val call = tableService.records(tableName, config)
  call.enqueue({ body = it.body },{ Log.d("Records", "failed fetching
 records") })
}
```

NowTableService - updateRecord(sysId: String, tableName: String, fields: Map<String, String>, writeOptions: FieldWriteOptions?, configuration: FieldReadConfiguration?)

指定されたテーブルの指定されたレコードを指定されたフィールドで更新します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	レコードを更新するテーブルの名前。
fields	Map<String, String>	レコード内の更新するすべてのフィールドのキーと値のペア。 **注:** レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。値を表示値として保存するか、システムフィールドの自動生成を抑制するかなど、フィールドに設定するオプションを書き込みます。 デフォルト:null - オプションが選択されていません
構成	FieldReadConfiguration	オプション。更新するフィールドとフィールドに含める内容を指定する構成。 デフォルト：null

返される内容

タイプ	Description (説明)
Call<ByteArray>	成功:更新されたレコードを含む ByteArray。この情報は、必要なデータモデルに変換できます。 失敗:NowDataError

```
fun updateTableRecord( sysId: String, tableName: String, fields:
 KeyValues, includeFields: String,
   readOptions: ReadOptions?, writeOptions: WriteOptions?){

   val readOptionsArray = readOptions?.asArray() ?: arrayOf()
   val readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields.split(","),
 *readOptionsArray)

   var body:ByteArray?

   val call = tableService.updateRecord(recordSysId, tableName,
 fields.toMap(),
     writeOptions?.asFieldWriteOptions(),
     readConfig)
   call.enqueue({ body = it.body },{ Log.d("Records", "failed to update
 record") })
}
```

NowUIAdaptiveColor - Android

NowUIAdaptiveColor インターフェイスには、呼び出し元のデバイスのテーマ モード設定に基づいて整数または 16 進数のカラー値を返す関数が用意されています。

ユーザーのデバイスでダークモードが有効になっている場合は *darkColor* テーマの値を返します。他のすべてのシナリオでは *lightColor* テーマの値を返します。

NowUIAdaptiveColor - getColor(context: Context?)

呼び出し元のデバイスのテーマモード設定に基づいて整数の色値を返します。

ユーザーのデバイスでダークモードが有効になっている場合は *darkColor* テーマの値を返します。他のすべてのシナリオでは *lightColor* テーマの値を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	オブジェクト	色の値を返す色のカンマ区切りリスト。 例: `NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor = Color.WHITE)`

返される内容

タイプ	説明
整数	渡された色の色値。

次のコード例は、この関数の使用方法を示しています。

```
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
      // Override lightColor only. For dark theme default color will be
 used
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK)

    override val primary: NowUIAdaptiveColor
      // Override both lightColor and darkColor
       get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

    // override the rest of color variables
  })
}
```

NowUIAdaptiveColor - toStringColor(context: Context?)

呼び出し元のデバイスのテーマモード設定に基づいて、16 進数のカラー値を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	オブジェクト	色の値を返す色のカンマ区切りリスト。 例: `NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor = Color.WHITE)`

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された色の 16 進数の色値。

次のコード例は、この関数の使用方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
val adaptiveColor = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK,
 darkColor = Color.WHITE)
adaptiveColor.toStringColor(context)
```

NowWebTheme インターフェイス - Android

NowWebTheme インターフェイスには、ネイティブ Web ビューの ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページ内で使用される色を上書きできるプロパティが用意されています。

NowWebTheme インターフェイスは *NowUITheme* インターフェイスを拡張し、プロパティ *nowUIColoring* を継承します。

```
val nowUIColoring: NowUIColoring?
```

このプロパティは、 *NowWebTheme* で使用できる色変数を参照するために使用されます。次の表で指定されている色は、NowUIAdaptiveColor の既定の色です。UI のテーマ設定方法の詳細については、『Mobile SDK Developer Guide (Mobile SDK 開発者ガイド) - Android』の「NowUIColoring を使用して NowWebTheme と NowChatTheme をテーマ化する」を参照してください。

プロパティ

名前	Description (説明)
アラート重大 0	【用途】： • エラーメッセージ • スナックバーの背景 例： `val alertCritical3 get() = nowUIColoring?.alertCritical3 ?: NowUITheme.alertCritical3Color` デフォルト:#F8C8CD
アラート重大 3	【用途】： • エラーメッセージ • スナックバーの境界線 例： `val alertCritical0 get() = nowUIColoring?.alertCritical0 ?: NowUITheme.alertCritical0Color` デフォルト:#B61C2D
アラート肯定的 0	【用途】： • 成功メッセージ • スナックバーの背景 例： `val alertPositive0 get() = nowUIColoring?.alertPositive0 ?: NowUITheme.alertPositive0Color`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルト:#CADFC0
アラート Positive3	【用途】: • 成功メッセージ • スナックバーの境界線 例: `val alertPositive0 get() = nowUIColoring?.alertPositive0 ?: NowUITheme.alertPositive0Color` デフォルト:#266108
アラート警告 0	【用途】: • 警告メッセージ • スナックバーの背景 例: `val alertWarning0 get() = nowUIColoring?.alertWarning0 ?: NowUITheme.alertWarning0Color` デフォルト:#FBF7BF
alertWarning3	【用途】: • 警告メッセージ • スナックバーの境界線 例: `val alertWarning3 get() = nowUIColoring?.alertWarning3 ?: NowUITheme.alertWarning3Color` デフォルト:#B6AA00
backgroundPrimary	【用途】: • カードの背景 • 選択ピッカー • 入力バックグラウンド • ニュートラルな背景 例: `val backgroundPrimary get() = nowUIColoring?.backgroundPrimary ?: NowUITheme.backgroundPrimaryColor`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルト:#FFFFFF
backgroundTertiaryActionable	トピックダイアログのテキストの検索と編集の背景色に使用します。 例： `val backgroundTertiaryActionable get() = nowUIColoring?.backgroundTertiaryActionable ?: NowUITheme.backgroundTertiaryActionable` デフォルト:#2C323F
ブランド	ツールバーとテーブルのヘッダーの背景に使用します。 例： `val brand get() = nowUIColoring?.brand ?: NowUITheme.brandColor` デフォルト:#302F4B
通知	新規メッセージインジケーターに使用します。 例： `val notification get() = nowUIColoring?.notification ?: NowUITheme.notificationColor` デフォルト:#B61C2D
プライマリ	【用途】： • アクション可能なテキスト • ボタンの背景 例： `val primary get() = nowUIColoring?.primary ?: NowUITheme.primaryColor` デフォルト:#4F52BD
画面ヘッダーテキスト	ブランドカラー (画面ヘッダー/ツールバー) の上に表示される固定色のテキストおよびアイコン要素に使用します。 例： `val screenHeaderText get() = nowUIColoring?.screenHeaderText ?: NowUITheme.screenHeaderTextColor` デフォルト:#FFFFFF
textActionable	【用途】：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	• ハイライトされた背景 • アクションボタンのテキスト 例： `val textActionable get() = nowUIColoring?.textActionable ?: NowUITheme.textActionableColor` デフォルト:#FFFFFF
テキストプライマリ	【用途】： • アラートダイアログメッセージ • カードヘッダーテキスト • チャットバブルテキスト • 画像のタイトルと説明 • トピックテキスト 例： `val textPrimary get() = nowUIColoring?.textPrimary ?: NowUITheme.textPrimaryColor` デフォルト: #151920

自動翻訳

NowWebSDK クラス: Android

NowWebSDK クラスは、ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページをネイティブ Web ビューと Cabrillo に読み込むことができる単一の関数を提供します。ログイン Web ページからユーザーにインスタンスへのログインを強制する代わりに、ユーザー認証とセッション管理を自動的に処理します。

NowWebSDK - makeWebService(instanceURL: URL, nowWebSdkCallbacks: NowWebViewServiceDelegate? = null)

NowWeb サービスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
インスタンス URL	URL	アクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例：「https://instance.servicenow.com」
nowWebSdk コールバック	NowWebViewServiceDelegate	*NowWebService* を構成するためのホストアプリケーションのコールバック。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
結果 <NowWebService>	Kotlin Result オブジェクト にラップされた NowWebService オブジェクト。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
 private var nowWebService: NowWebService? = null

/**
  * Create the NowWebService once in the lifetime of the application,
 inside the Application
  * class or another manager class that will be injected into other
 classes via dagger/hilt.
  * NowWebService should be created after initializing the NowSDK.
  */
suspend fun getNowWebService(): NowWebService? {
  if (nowWebService != null) return nowWebService

  return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
 object :
    NowWebViewServiceDelegate {
    override fun flowEnded(activity: Activity, flowName: String?) {
      Log.i("NowWebSdk", "flow ended")
    }

    override fun requestedDismissal(activity: Activity) {
      Log.i("NebWebSdk", "screen should be dismissed")
    }

    override fun navigationFailed(activity: Activity, error: String) {
      Log.i("NebWebSdk", "navigation failed")
    }

    override fun unsupportedUrl(activity: Activity, uri: Uri) {
      Log.i("NebWebSdk", "URL is unsupported")
    }
  }).getOrThrow()
      .also { this.nowWebService = it }
}
```

NowWebService クラス: Android

NowWebService API は、Web ビューをホストする *NowWebActivity* を起動する関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration クラス - Android	ServiceNowインスタンスの URL やパッケージの名前など、関連するサービスの構成情報。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowWebService - launch(context: Context, url: URL, theme: NowWebTheme)

Web ビューをホストする NowWebActivity を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
context	コンテキスト	関連アクティビティを起動するために使用するコンテキスト。
url	URL	ロードする Web ページの URL。この Web ページは、サービスが初期化されたターゲット ServiceNow インスタンス上にある必要があります。
theme	NowWebTheme	オプション。ビュー コントローラーの UI 要素に適用する *NowWebTheme*。 デフォルト:デフォルトのテーマ

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
      //Setting lightColor only. For dark theme default color will be
 used
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK)

    override val primary: NowUIAdaptiveColor
      //Setting both lightColor and darkColor
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

    //override the rest of color variables
  })
}
```

NowWebService – preloadWebCache(preloadUris: List<URI>)

指定されたjava.net.URIのリストをヘッドレスWebビューにプリロードして、ページ上のキャッシュ可能なリソースをWebビューキャッシュに事前入力します。

注: この関数呼び出しの完了は、Webビューで呼び出される *onPageFinished()* に基づいており、ページ上のリダイレクトやリソースは考慮されていません。このため、このメソッドが戻ったときにプリロードが完全に完了しない場合があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
preloadUris	リスト	プリロードする java.net.URI のリスト。すべての java.net.URI は、相対であるか、NowSDK で構成されている現在のホストと一致する必要があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *webService.preloadWebCache()* 関数を使用して `mesp` ページをプリロードする方法を示しています。

```
suspend fun preloadNowWeb() {
  val webService = serviceProvider.webService()
  webService.preloadWebCache(
    listOf(
      URI("mesp")
    )
  )
}
```

NowWebViewServiceDelegate インターフェイス - Android

NowWebViewServiceDelegate API は、フローの終了時やナビゲーションの失敗時など、*NowWebService* 処理内の問題を通知するためのコールバックを提供します。

NowWebViewServiceDelegate - flowEnded(flowName: 文字列?)

指定されたフローが終了したことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	説明
flowName	文字列	終了したフローの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun getNowWebService(): NowWebService {
  return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
 object : NowWebViewServiceDelegate {
    override fun flowEnded(activity: Activity, flowName: String?) {
      Log.i("NowWebSdk", "flow ended")
    }
  }).getOrThrow()
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowWebViewServiceDelegate - navigationFailed(エラー:文字列)

ナビゲーションが指定されたエラー理由で失敗したことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	説明
エラー	文字列	ナビゲーションが失敗した理由を示すエラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun getNowWebService(): NowWebService {
  return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
 object : NowWebViewServiceDelegate {
    override fun navigationFailed(activity: Activity, error: String) {
      Log.i("NebWebSdk", "navigation failed")
    }
  }).getOrThrow()
}
```

NowWebViewServiceDelegate:requestedDismissal()

画面を閉じる必要があることをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun getNowWebService(): NowWebService {
  return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
 object : NowWebViewServiceDelegate {
    override fun requestedDismissal(activity: Activity) {
      Log.i("NebWebSdk", "screen should be dismissed")
    }
  }).getOrThrow()
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowWebViewServiceDelegate - unsupportedUrl(uri:Uri)

指定された URL がサポートされていないことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	説明
URI	URI	サポートされていない URL。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun getNowWebService(): NowWebService {
  return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
 object : NowWebViewServiceDelegate {
    override fun unsupportedUrl(activity: Activity, uri: Uri) {
      Log.i("NebWebSdk", "URL is unsupported")
    }
  }).getOrThrow()
}
```

ページネータークラス: **Android**

`Paginator` クラスには、*`NowTableService`* クラスによって返される結果など、REST エンドポイント呼び出しによって返される結果をページングするための関数が用意されています。

最初に NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) または NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を呼び出して、ページネーションの戻り値の結果を取得する必要があります。

ページネーター **- first()**

返された結果の最初のページをフェッチします。

このメソッドは、最初のページを取得できない場合、 `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  paginator.first()
}
```

ページネーター - hasNext()

返された結果に次のページがあるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	返される結果に次のページがあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:次のページが使用可能です。 • false:利用可能な次のページはありません。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if (paginator.hasNext() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.next()
  }
}
```

ページネーター - hasPrevious()

返された結果に前のページがあるかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	返される結果に前のページがあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:前のページが使用可能です。 • false:前のページは利用できません。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if (paginator.hasPrevious() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.previous()
  }
}
```

ページネーター - isBusy()

ページネーターがデータのフェッチでビジー状態かどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	ページネーターがデータのフェッチでビジー状態かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:データのフェッチがビジー状態です。 • false:ビジー状態ではありません。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if (paginator.hasNext() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.next()
  }
}
```

ページネーター - last()

返された結果の最後のページをフェッチします。

このメソッドは、最後のページを取得できない場合、 `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if !paginator.isBusy()) {
    paginator.last()
  }
}
```

ページネーター - next()

返された結果の次のページをフェッチします。

フェッチするページがこれ以上ない場合、このメソッドは `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if (paginator.hasNext() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.next()
  }
}
```

ページネーター - observe(callback: PaginatorCallBack<T>)

Paginator オブジェクトのコールバックを設定します。このメソッドは、他のPaginator関数を呼び出す前に呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
コールバック	ページネーターコールバック	ページネーターの作成の成功または失敗に基づいて呼び出すコールバック。 • 成功: `abstract fun onSuccess(response: Response<List<T>>)` • 失敗: `abstract fun onFailure(e:NowDataError)`

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginationCallBack = object :
 PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
    override fun onFailure(e: NowDataError) {
      handleError(e)
    }

    override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
      handleResponse(response)
    }

  }

  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(paginationCallBack)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ?: throw Exception("Response is null")
}
```

ページネーター - previous()

返された結果の前のページをフェッチします。

このメソッドは、前のページを取得できない場合、 `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  if (paginator.hasPrevious() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.previous()
  }
}
```

ページネーター - reset()

ページネーターを最初のページにリセットしますが、戻り結果の最初のページは返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val paginator =
 nowServiceManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator
(null, 10)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        handleError(e)
      }

      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        handleResponse(response)
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  paginator.reset()
}
```

Mobile SDK API リファレンス - iOS

Mobile SDK for iOS は、iOS ベースのデバイスを ServiceNow プラットフォームとインターフェイスするために必要なクラスを提供します。

チャット、REST API インターフェイス、GraphQL、Web アクセスなどのフィーチャ サービスを作成できるクラスを提供し、任意の iOS デバイスでインタラクティブ アプリケーションを作成できるようにします。

この API を使用して特定のユースケースを実装する方法の詳細については、「Mobile SDK 開発者ガイド - iOS」を参照してください。

列挙ケース

タイプ	**Description** (説明)
NowAttachmentMetadata.State	添付ファイルのメタデータのステータス。 可能な値： • 利用可能 • 条件 付き • なし • 保留中 • 利用不可
NowSDKrrまたは	NowSDK モジュールからスローできるエラー。 値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列挙ケース (続く)

タイプ	Description (説明)
	• configurationError • missingAuthorizationProvider • missingPermissionDelegate

FetchConfiguration 構造体 - iOS

FetchConfiguration 構造体には、ServiceNow インスタンスからレコードをフェッチするための構成を定義する機能が用意されています。

プロパティ

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。返される結果に適用するクエリ。たとえば、「broken」という単語を含む簡単な説明のあるアクティブなレコードのみを返すには、クエリ `active=true^` を渡します short_descriptionLIKEbroken デフォルト:nil:フィルターは適用されず、すべてのレコードが返されます (システムまたはテーブルの制限が適用されます)。
limit	整数	オプション。ページ/応答ごとに返されるレコードの数。 デフォルト:nil - 返されるすべてのレコード (システムまたはテーブルの制限が適用されます)。
read 構成	FieldReadConfiguration	オプション。応答で返されるフィールドの構成。 デフォルト:nil - すべてのフィールドが返されます。

FetchConfiguration - init(filter: Filter? = nil, limit: Int? = nil, readConfiguration: FieldReadConfiguration? = nil)

REST エンドポイントを介して ServiceNow インスタンスからデータをフェッチするときに返されるレコードと、それらのレコード内の関連フィールドの基準を定義します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。返される結果に適用するクエリ。たとえば、「broken」という単語を含む簡単な説明のあるアクティブなレコードのみを返すには、クエリ `active=true^` を渡します short_descriptionLIKEbroken デフォルト:nil:フィルターは適用されず、すべてのレコードが返されます (システムまたはテーブルの制限が適用されます)。
limit	整数	オプション。ページ/応答ごとに返されるレコードの数。 デフォルト:nil - 返されるすべてのレコード (システムまたはテーブルの制限が適用されます)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
read 構成	FieldReadConfiguration	オプション。応答で返されるフィールドの構成。 デフォルト:nil - すべてのフィールドが返されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

テーブル API からフェッチするデータを構成する方法を示します。

```
/// The configuration for what to fetch from the Table API.
lazy var fetchConfiguration: FetchConfiguration = {
  let includeFields = [
    // Case details
    "number",
    "short_description",
    "priority",
    "state",
    "opened_at",

    // Account details
    "account.name",
    "account.number",
    "contact.name",
    "contact.email",
    "contact_type",

    // Assignment
    "assignment_group.name",
    "assigned_to.name"
  ]
  let readConfiguration = FieldReadConfiguration(includeFields:
 includeFields, options: .actualValues)
  let filter = Filter(criteria: [], sortBy: [.desc("number")],
 queryCategory: nil)
  return FetchConfiguration(filter: filter, limit: 10, readConfiguration:
 readConfiguration)
}()
```

FieldReadConfiguration 構造体 - iOS

FieldReadConfiguration 構造体を使用すると、ServiceNowインスタンステーブルからフェッチするフィールドとその形式を構成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	タイプ	説明
includeField	アレイ	返される結果で返されるフィールドのリスト。
オプション	アレイ	返されるフィールドのタイプのリスト。 可能な値： • actualValues:参照レコードのsys_idsを含む、各フィールドに実際に格納されている値を返します。コード化可能モデルで日付を使用して日付をデコードする必要がある場合は、この設定を使用します。 • description: パラメーターの説明を返します。 • displayValues:選択したフィールドの表示値 表示値 (使用可能な場合) を返します。たとえば、ユーザー名には通常、ユーザーレコードへの参照リンク (sys_id) が含まれています。表示値を要求すると、関連付けられたフィールドに格納されているsys_idではなく、個人の名前が返されます。 注: ServiceNowインスタンスによって返される表示値は、認証されたユーザーのユーザープロファイル構成に基づいてフォーマットされ、国際化されます。これは、デバイスの言語やロケールの設定とは異なる場合があります。 • excludeReferenceLink:テーブル内の参照リンクとして定義されているデータを返しません。 • rawValue: パラメーターの生の値を返します。

FieldReadConfiguration init(includeFields: [フィールド名] **= [], options: options = [])**

REST エンドポイント呼び出しの戻り結果で返されるように、 ServiceNow テーブルのレコード内のフィールドを構成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
includeField	アレイ	返される結果で返されるフィールドのリスト。
オプション	アレイ	返されるフィールドのタイプのリスト。 可能な値： • actualValues:参照レコードのsys_idsを含む、各フィールドに実際に格納されている値を返します。コード化可能モデルで日付を使用して日付をデコードする必要がある場合は、この設定を使用します。 • description: パラメーターの説明を返します。 • displayValues:選択したフィールドの表示値 表示値 (使用可能な場合) を返します。たとえば、ユーザー名には通常、ユーザーレコードへの参照リンク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		(sys_id) が含まれています。表示値を要求すると、関連付けられたフィールドに格納されているsys_idではなく、個人の名前が返されます。 **注:** ServiceNowインスタンスによって返される表示値は、認証されたユーザーのユーザープロファイル構成に基づいてフォーマットされ、国際化されます。これは、デバイスの言語やロケールの設定とは異なる場合があります。 • excludeReferenceLink:テーブル内の参照リンクとして定義されているデータを返しません。 • rawValue: パラメーターの生の値を返します。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
/// The configuration for what to fetch from the Table API.
lazy var fetchConfiguration: FetchConfiguration = {
  let includeFields = [
    // Case details
    "number",
    "short_description",
    "priority",
    "state",
    "opened_at",

    // Account details
    "account.name",
    "account.number",
    "contact.name",
    "contact.email",
    "contact_type",

    // Assignment
    "assignment_group.name",
    "assigned_to.name"
  ]
  let readConfiguration = FieldReadConfiguration(includeFields:
 includeFields, options: .actualValues)
  let filter = Filter(criteria: [], sortBy: [.desc("opened_at")],
 queryCategory: nil)
  return FetchConfiguration(filter: filter, limit: 10, readConfiguration:
 readConfiguration)
}()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FieldWriteOptions クラス - iOS

FieldWriteOptions クラスは、ServiceNow インスタンス上のレコードのフィールドを更新または作成するためのオプションを設定する関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
rawValue	整数	suppressAutoSysField プロパティと treatInputValuesAsDisplayValues プロパティのビットごとの演算の結果。
suppressAutoSysField	ブーリアン	システムフィールドの自動生成を抑制するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:システムフィールドの自動生成を抑制します。 • false:システムフィールドの自動生成を許可します。 デフォルト値：false
表示値としての入力値の処理	ブーリアン	実際の値ではなく表示値を使用してフィールド値を設定するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:表示値を使用します。 • false:実際の値を使用します。 デフォルト値：false

フィルター構造 - iOS

フィルター構造は、REST エンドポイントクエリーの戻り値で返すデータを定義するフィルターを構成する機能を提供します。

フィルター - init(criteria criteriaList: [Criteria], sortBy: [Sort]? = nil, queryCategory: String? = nil)

OR で結合された 1 つ以上のフィルター基準に基づいてフィルターを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
条件	アレイ	OR コネクタでグループ化するトップレベルの基準条件。
sortBy	文字列	オプション。戻り結果のソート順。 可能な値： • asc:昇順 • desc: 逆送信 デフォルト:asc
クエリカテゴリ	文字列	オプション。クエリカテゴリの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		デフォルト：なし

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例では、3 つの個別の基準を作成し、渡されたときにこれらの基準のいずれかが満たされた場合に、レコードが戻り結果に返される方法を示しています。

```
// All of criteria1 conditions must be met
let criteria1 = Criteria(conditions: …)

// OR all of criteria2 conditions must be met
let criteria2 = Criteria(conditions: …)

// OR all of criteria3 conditions must be met
let criteria3 = Criteria(conditions: …)

let filter = Filter(criterias: [criteria1, criteria2, criteria3])
```

フィルター - **init(conditions: [QueryProviding], sorts: [Sort]? = nil)**

指定されたすべての条件 (AND の組み合わせ) に基づいてフィルターを作成します

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
条件	クエリオファリング	`AND` コネクタでグループ化する条件。 可能な値： • ブール • dateTime • メール • 整数選択 • numeric • reference • 文字列 • 文字列選択
種類	文字列	オプション。戻り結果のソート順。 可能な値： • asc:昇順 • desc: 逆送信

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		デフォルト:asc

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
// Where the record is active
let condition1 = Condition.boolean(field: "active", .is(true))

// AND the date value of the SLA due field is on "today" or any date
 after today.
let condition2 = Condition.dateTime(field:
 "sla_due", .atOrAfter(0, .daysAgoStart))

let filter = Filter(conditions: [condition1, condition2])
```

フィルター - init(query: String, queryCategory: String? = nil)

指定されたエンコードクエリを使用してフィルターを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	エンコードされたクエリ テーブルから返されるレコードをフィルタリングするために使用するエンコードされたクエリ 。
クエリカテゴリ	文字列	オプション。クエリに使用するクエリカテゴリの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let query = "active=true^short_descriptionLIKEbroken"
let filter = Filter(query: query)
```

フィルター - init(keywords: String? = nil, conditions: [Condition], sortBy: [Sort]? = nil)

AND で結合された特定のキーワードと条件に基づいてフィルターを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
キーワード	文字列	オプション。検索する特定の単語またはフレーズ。 デフォルト:nil:特定の単語を検索しません。
条件	文字列	`AND` コネクタでグループ化する条件。 可能な値： • ブール • dateTime • メール • 整数選択 • numeric • reference • 文字列 • 文字列選択
sortBy	文字列	オプション。戻り結果のソート順。 可能な値： • asc:昇順 • desc: 逆送信 デフォルト:asc

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Keyword that must be found in the record
let searchTerm = "…"

// AND the specified condition must be met
let condition1 = Condition.email(field: "state", .changesFrom("4"))

let filter = Filter(keywords: searchTerm, condition: condition1)
```

NowAnalyticsService プロトコル - iOS

`NowAnalyticsService` プロトコルは、ユーザー分析データの収集を管理するための分析プロパティ、ユーザー設定、およびイベントを構成できる関数を提供します。

このプロトコルに準拠するオブジェクトは、 `sharedAnalyticsService` によって返されます。アプリケーションで使用して API 呼び出しを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件

名前	タイプ	Description (説明)
trackingConsent	ブーリアン	関連付けられたデバイスのアナリティクストラッキングにユーザーが同意したかどうかを示すフラグ。デフォルトでは、デバイスはオプトアウトされています。この値を 明示的に `false` に設定すると、進行中のセッションがすぐに終了し、ローカルに記録されたデータが削除されます。 有効な値： • true:ユーザーは、このデバイスで分析データが追跡されることに同意しました。 • false:ユーザーがデータ追跡を拒否しました。

NowAnalyticsService - addEvent(named eventName: String, with properties: [String: Any]?)

ユーザーが特定のレベルまたは画面に到達したなどのアプリケーションイベントを追加し、イベントのカスタムプロパティの設定を有効にします。これらのイベントは、発生した順序でダッシュボードに表示されます。

これらのイベントはアナリティクスダッシュボードに表示されます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き eventName	文字列	追加するイベントの名前。
プロパティあり	アレイ	オプション。イベントのカスタムプロパティのキーと値のペア。プロパティキーにドット記号 ('.') またはドル記号 ('$') を含めることはできません。それらはトリミングされます。 サポートされている値の型: • 日付 • NSヌル • NSNumber • 文字列 • URL 注: *eventName*、プロパティキー、および値の合計サイズは、(イベントあたり) 300 バイトを超えてはなりません。文字列は UTF-8 でエンコードされます。この制限を超えるイベントは無視されます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、「ログイン成功」イベントと「ケースを開く」イベントをプロパティとともに追加する方法を示しています。

```
// Add event with properties
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.addEvent(
  named: "Open Case", with: ["Screen Name": "Case",
                             "Case Number": "123",
                             "Case Priority": 5
])
```

NowAnalyticsService - addScreenAction(名前付き **actionName:** 文字列)

現在の画面にカスタムアクションを追加します。これらのアクションは、セッションデータの一部としてユーザーダッシュボードに表示され、アプリケーションの画面変更を示します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
名前付き actionName	文字列	画面に追加するアクションの名前 (`MyButtonClick` など)。 最大長:256 UTF-8 バイト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Add event
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.addEvent(named: "Successful Login")
```

NowAnalyticsService - appendToUserProperty(named propertyName: String, listItem: String)

指定されたユーザー プロパティ リストに 指定された項目を追加します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
名前付き propertyName	文字列	*listItem*を追加するユーザー プロパティ リストの名前。
リストアイテム	文字列	プロパティに追加するリストアイテム。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Append handled case to list
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.appendToUserProperty(named: "Case
 Identifiers", listItem: "TASK-1")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAnalyticsService - deleteCurrentUserData(completion: @escaping ((_ success: Bool) -> Void))

現在のユーザーに関連付けられているすべてのアナリティクスデータを削除します。この方法では、現在アクティブなユーザーの設定も解除され、このデバイスは将来の追跡からオプトアウトされます。

現在のユーザーを設定するには、 setUserId() メソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
完了	@escaping ((_ success: Bool) -> Void)	分析データが削除された後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:ブール値 true を返します。 • 障害:無効 - 接続がない場合など、Appsee サーバーに到達できない場合に障害が発生する可能性があります。エラーが発生した場合は、メソッドを再試行してください。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Delete user data
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.deleteCurrentUserData(completion:
 { (success) -> Void in
  if success {
    // deletion succeeded
  } else {
    // deletion failed
  }
})
```

NowAnalyticsService - incUserProperty(名前付き propertyName:文字列、値:Int)

指定された数値プロパティの値を指定された値だけインクリメントまたはデクリメントします。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き propertyName	文字列	インクリメントするユーザープロパティの名前。
値別	整数	プロパティをインクリメントする値。値をデクリメントするには、負の値を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Increment the "Cases Handled" count
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.incUserProperty(named: "Cases
 Handled", by: 2)
```

NowAnalyticsService - installJavascriptInterface(webView へ:WKWebView)

JavaScript を使用して *WebView* 内から *SNAnalytics()* API のメソッドを呼び出せるようにします。

このメソッドは、JavaScript で使用できる SNMobileAnalytics オブジェクトを返します。これにより、ネイティブ メソッドが公開されます。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
Web ビュー	WKWebView	JavaScriptインタフェースを挿入するWebビュー・オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	SNMobileAnalytics

```
// Register JS object inside the web page
// This will create an object named 'SNMobileAnalytics' on JS that will
 have the following methods:
// SNMobileAnalytics.setUserId(userId)                    example:
 SNMobileAnalytics.setUserId("John Doe")
// SNMobileAnalytics.startScreen(screenName)              example:
 SNMobileAnalytics.startScreen("WelcomeScreen")
// SNMobileAnalytics.addScreenAction(actionName)          example:
 SNMobileAnalytics.addScreenAction("MyButtonClick")
// SNMobileAnalytics.addEvent(eventName, properties)      example:
 SNMobileAnalytics.addEvent("Successful Login")
//
 SNMobileAnalytics.addEvent("Successful Login", JSON.stringify({"Screen
 Name": "Case", "Case Number": "123", "Case Priority": 5}))
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.installJavascriptInterface(into:
 webView)
```

NowAnalyticsService - removeUserProperty (名前付き **propertyName:** 文字列)

現在のユーザーの指定されたプロパティを削除します。

現在のユーザーを設定するには、 setUserId() メソッドを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き propertyName	文字列	削除するユーザープロパティの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Remove unnecessary property
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.removeUserProperty(named: "Temp
 Cases")
```

NowAnalyticsService - setDelegate(_ delegate: NowAnalyticsServiceDelegate?)

代理人が通知を受信する弱参照を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)

代理人	NowAnalyticsServiceDelegate	オプション。 デリゲート クラスへの参照を含むオブジェクト。
		`// Register delegate`
		`private var analyticsDelegate =`
		`NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of`
		`delegate`
		`NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDele`
		`gate(analyticsDelegate)`

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、 *NowAnalyticsServiceDelegate* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

NowAnalyticsService - setUserId(_ userId: 文字列?)

現在のユーザーのアプリケーションのユーザー ID を設定します。nil を渡すと、現在のユーザーがログアウトされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userId	文字列	オプション。アプリケーション固有のユーザー識別子。 現在のユーザーをログアウトさせるには、 `nil` を渡します。 ユーザー ID には、HTML タグや、名前、メール、電話番号などの個人データを含めることはできません。 最大長:256 UTF-8 バイト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Add several properties at once
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setUserProperties([
  "Cases Handled": 100,
  "Last Login": Date(),
  "Is Remote": true,
  "Profile URL": URL(string: "https://www.servicenow.com")!
])
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAnalyticsService - setUserProperties(_ userProperties: [文字列:任意])

現在のユーザーに対して、指定された値で複数のプロパティを設定します。プロパティは、ユーザーのダッシュボードで追跡するものであれば何でもかまいません。

この関数を呼び出す前に、 setUserId() 関数を呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
ユーザープロパティ	アレイ	設定するユーザープロパティのキーと値のペア。 サポートされている値の型: • NSNumber • 文字列 • 日付 • URL • NSヌル キーにドット ('.') またはドル記号 ('$') を含めることはできません。 最大長: • キー:256 文字 • 値:1,000 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Enable tracking consent
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.trackingConsent = true

// Set User Id for proper identification
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setUserId("John Doe")

// Set the "Role" property of the user to "Admin"
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setUserProperty(named: "Role", with:
 "Admin")

// Add several properties at once
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setUserProperties([
    "Cases Handled": 100,
    "Last Login": Date(),
    "Is Remote": true,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "Profile URL": URL(string: "https://www.servicenow.com")!
])
```

NowAnalyticsService - setUserProperty(名前付き **propertyName**:文字列、値:任意?)

現在のユーザーの指定されたプロパティに指定された値を設定します。アプリケーションに適した任意のプロパティを定義できます。

この関数を呼び出す前に、 setUserId() 関数を呼び出す必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
名前付き propertyName	文字列	設定するユーザープロパティの名前。ドット ('.') またはドル記号 ('$') を含めることはできません。 最大長:256 文字
値あり	任意	ユーザープロパティを設定する値。 サポートされている値の型: • 日付 • NSヌル • NSNumber • 文字列 • URL 最大長：1,000 文字

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Set the "Role" property of the user to "Admin"
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setUserProperty(named: "Role", with:
 "Admin")
```

NowAnalyticsService - startScreen(named screenName: String)

関連する画面が UI に最初に表示された時刻をログに記録します。

このメソッドは、 *viewDidAppear(_:)* メソッドの後に呼び出します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
名前付き screenName	文字列	開始時間をログに記録する画面の名前 (`WelcomeScreen` など)。これは、画面として定義し、アナリティクスダッシュボードに表示/アグリゲートするものであれば何でもかまいません。 最大長:256 UTF-8 バイト

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// Mark the appearance starting time of a screen
// This method should be usually called from the viewDidAppear
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.startScreen(named: "WelcomeScreen")
```

NowAnalyticsServiceDelegate プロトコル - iOS

`NowAnalyticsServiceDelegate` プロトコルは、ユーザー セッションの開始と終了に関する情報と画面変更の検出を提供するコールバック関数を提供します。

NowAnalyticsServiceDelegate:nowAnalyticsDidDetectScreen(_ sessionId:文字列)

画面の変更が検出されたときに通知します。画面名はナビゲーションバーから検出されます。それが不可能な場合は、viewControllerサブクラス名です。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
スクリーン名	文字列	変更があるかどうかを検出する画面の名前。

返される内容

タイプ	説明
文字列	渡された screenName を上書きするために使用するカスタム名。

この例では、 *`NowAnalyticsServiceDelegate`* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

NowAnalyticsServiceDelegate:nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId:文字列)

指定したセッションが 終了したことを通知します。

これは、指定されたセッションが実際に終了したときに呼び出されるコールバック関数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sessionId	文字列	チェックするセッションの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、 *NowAnalyticsServiceDelegate* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

自動翻訳

NowAnalyticsServiceDelegate:nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId:文字列)

指定したセッションが開始されたときに通知します。

これは、指定されたセッションが実際に開始されたときに呼び出されるコールバック関数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sessionId	文字列	チェックするセッションの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションが開始中であることを示すフラグ。 有効な値： • true:セッションを開始しています • false:セッションが開始されていません

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、 *NowAnalyticsServiceDelegate* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

NowAnalyticsServiceDelegate:nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId:文字列**)**

指定されたセッション の終了が近づいたときに通知します。

これは、指定されたセッションが終了する直前に呼び出されるコールバック関数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sessionId	文字列	チェックするセッションの一意の識別子。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	セッションが終了していることを示すフラグ。 有効な値： • true:セッションを終了しています • false:セッションは終了していません

この例では、 *NowAnalyticsServiceDelegate* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

NowAnalyticsServiceDelegate:nowAnalyticsSessionShouldStart(_ sessionId: 文字列)

指定したセッションが開始しようとしているかどうかを通知します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これは、指定されたセッションが開始される直前に呼び出されるコールバック関数です。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sessionId	文字列	チェックするセッションの一意の識別子。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、 *NowAnalyticsServiceDelegate* のデリゲートクラスを定義する方法を示します。

```
import NowAnalytics

// Initialize the Analytics SDK
NowAnalytics.configure(for: URL(string:
 "https://my.instance.service-now.com")!)

// Define a delegate class for NowAnalyticsServiceDelegate
class NowAnalyticsDelegate: NowAnalytics.NowAnalyticsServiceDelegate {
  func nowAnalyticsSessionShouldStart() -> Bool {
    // Session is about to start, return true to allow session to start
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidStart(_ sessionId: String) {
    // Session was started
  }

  func nowAnalyticsSessionShouldEnd(_ sessionId: String) -> Bool {
    // Session is about to end, return true to allow session to end
    return true
  }

  func nowAnalyticsSessionDidEnd(_ sessionId: String) {
    // Session was ended
  }

  func nowAnalyticsDidDetectScreen(_ screenName: String) -> String? {
    // Example of skipping specific screen detection
    if (screenName == "LoginViewController") {
      return nil
    }

    // Example of appending a prefix for every screen detected
    return "MyApp_" + screenName
  }
}

// Register delegate
private var analyticsDelegate = NowAnalyticsDelegate()  // Keep ref of
 delegate
NowAnalytics.sharedAnalyticsService.setDelegate(analyticsDelegate)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAPIEndpoint プロトコル - iOS

NowAPIEndpoint プロトコルは、公開されている ServiceNow REST API にアクセスするためのインターフェイスを提供します。

要件

名前	タイプ	説明
httpMethod	文字列	関連付けエンドポイントが実装する HTTP メソッド (get、delete、post、put、patch など)。
relativePath	文字列	`/api` パスに対する、関連付けられたエンドポイントの相対パス。 例: `/api/now/account`
認証が必要	ブーリアン	エンドポイントに認証が必要かどうかを示すフラグ。 デフォルト：true

NowAPIService クラス - iOS

NowAPIService クラスは、指定された ServiceNow REST API に対して要求を実行できるようにする関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	プロトコルに関連付けるサービス構成。

NowAPIService - data(エンドポイント:NowAPIEndpoint、queryItems:[文字列:文字列]、httpHeaders:[文字列:文字列]、body:データ、completion:@escaping(結果<DataResponse、NowDataError>)

指定された ServiceNow REST API にデータを要求し、完了ハンドラーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
エンドポイント向け	NowAPIEndpoint	HTTP メソッド、エンドポイントへの相対パス、パスパラメーター、認証が必要かどうかなど、アクセスする ServiceNow REST API エンドポイントを含むオブジェクト。
クエリアイテム	アレイ	オプション。エンドポイントのキー/値ペアとしてのクエリパラメーター。 デフォルト:nil
http ヘッダー	アレイ	オプション。エンドポイントで必要な HTTP ヘッダーをキーと値のペアとして要求します。 デフォルト:nil
本文	文字列	オプション。要求本文のパラメーター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		デフォルト:nil
完了	@escaping (Result<DataResponse、NowDataError>)	REST API コールの完了後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:REST API コールから返されたデータを含む DataResponse。 • 失敗:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ network(NetworkServiceError) ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
struct Endpoint: NowAPIEndpoint {
  let httpMethod: HTTPMethod
  let relativePath: String
  let requiresAuthentication: Bool
}

/// HTTP request method
public enum HTTPMethod: CaseIterable {
    case options, get, head, post, put, patch, delete, trace, connect
}
let relativePath = "/api/now/account"
let endPoint = Endpoint(httpMethod: HTTPMethod.get, relativePath:
 relativePath, requiresAuthentication: true)

apiService.data(for: endPoint, queryItems: ["name": "abel"], httpHeaders:
 httpHeaders, body: body.data(using: .utf8)) { [weak self] (result) in
  switch result {
    case .success(let response):
    // Data request successful
    case .failure(let error):
    // Data request failed, return NowDataError
    // .failure(error)
  }
}
```

NowAPIService - data(エンドポイント:NowAPIEndpoint、queryItems:[文字列:文字列]、httpHeaders:[文字列:文字列]、body:データ)非同期スロー

指定された ServiceNow REST API からのデータを要求します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
エンドポイント向け	NowAPIEndpoint	HTTP メソッド、エンドポイントへの相対パス、パスパラメーター、認証が必要かどうかなど、アクセス ServiceNow REST API エンドポイントを含むオブジェクト。
クエリアイテム	アレイ	オプション。キーと値のペアとしてのエンドポイントのクエリパラメーター 。 デフォルト:nil
http ヘッダー	アレイ	オプション。エンドポイントで必要な HTTP ヘッダーを キー/値ペアとして要求します。 デフォルト:nil
本文	文字列	オプション。body parameters を要求します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		デフォルト:nil

返される内容

タイプ	Description (説明)
データ応答	メソッドが成功したときに返されます。REST API コールからのデータ。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let dataResponse = try await apiService.data(for: endpoint,
 queryItems: queryItems, httpHeaders: httpHeaders, body: body)
    // Data request successful
} catch {
    // Data request failed, NowDataError thrown
}
```

NowAPIService - data(for endpoint: NowAPIEndpoint, queryItems: [String: String]? = nil, httpHeaders: [String: String]? = nil, body: Data? = nil)

指定された ServiceNow REST API からのデータを要求します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
エンドポイント向け	NowAPIEndpoint	HTTP メソッド、エンドポイントへの相対パス、パスパラメーター、認証が必要かどうかなど、アクセスする ServiceNow REST API エンドポイントを含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
クエリアイテム	アレイ	オプション。エンドポイントのキー/値ペアとしてのクエリパラメーター。 デフォルト:nil
http ヘッダー	アレイ	オプション。エンドポイントで必要な HTTP ヘッダーをキーと値のペアとして要求します。 デフォルト:nil
本文	Data (データ)	オプション。要求本文のパラメーター。 デフォルト:nil

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<DataResponse、NowDataError>	成功:REST API によって返されたデータ。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • network(NetworkServiceError) ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
struct Endpoint: NowAPIEndpoint {
    let httpMethod: HTTPMethod
    let relativePath: String
    let requiresAuthentication: Bool
}

/// HTTP request method
public enum HTTPMethod: CaseIterable {
    case options, get, head, post, put, patch, delete, trace, connect
}
let relativePath = "/api/now/account"
let endPoint = Endpoint(httpMethod: HTTPMethod.get, relativePath:
 relativePath, requiresAuthentication: true)

// Using Combine
apiService.data(for: Endpoint(httpMethod: httpMethod, relativePath:
 endpointPath, requiresAuthentication: requiresAuthentication),
 queryItems: queryItems, httpHeaders: httpHeaders, body:
 body.data(using: .utf8))
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { [weak self] (comp) in
    if case let .failure(error) = comp {
      // Data request failed, return NowDataError
    }
  } receiveValue: { [weak self] (response) in
    // Data request successful
    self?.publish(data: response.data)
  }
  .store(in: &self.subscriptions)
}
```

NowAttachment 構造体 - iOS

NowAttachment 構造体には、計算されたハッシュを比較して添付ファイルを検証できる関数が用意されています。

プロパティ

名前	タイプ	説明
データ	Data (データ)	添付ファイルデータ。
ハッシュ	文字列	添付ファイルデータの計算済みダイジェスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	説明
		この計算されたダイジェストは、添付ファイルのメタデータに格納されている既知のダイジェストと比較して、添付ファイルを検証するために使用されます。計算されたダイジェストの計算にはコストがかかります。UI での使用は避けてください。代わりに、 NowAttachmentMetadata クラスでハッシュ プロパティを使用することを検討してください。計算されたハッシュを使用する必要がある場合は、控えめに使用し、キャッシュすることを検討してください。
メタデータ	NowAttachmentMetadata	添付ファイルに関連付けられたメタデータ。

NowAttachment:validate()

添付ファイルデータの計算されたハッシュを、添付ファイルのメタデータに格納されているダイジェストと比較して、添付ファイルを検証します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	添付ファイルが有効かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:添付ファイルは有効です。 • false:添付ファイルが無効です。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let metadataHeader = response.httpResponse?.value(forHTTPHeaderField:
 NowAttachment.attachmentMetadataHeaderKey),
  let metadataHeaderData = metadataHeader.data(using: .utf8) else {
    throw NowDataError.missingAttachmentMetadata
  }

let metadata = try coder.decode(NowAttachmentMetadata.self, from:
 metadataHeaderData)
let attachment = NowAttachment(metadata: metadata, data: response.data)

if !attachment.validate() {
  throw NowDataError.attachmentValidation
}
// Attachment is valid
return attachment
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowAttachmentMetadata 構造体 - iOS

NowAttachmentMetadata 構造体は、添付ファイルのメタデータをエンコードおよび管理できるようにする関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
平均画像色	文字列	関連付けられた画像で最も目立つ色。
chunkSizeInBytes	整数	チャンクのサイズ。 単位：バイト
圧縮サイズ (バイト単位)	整数	添付ファイルの圧縮サイズ。 単位：バイト
作成日時	日付	添付ファイルが作成された日付。
createdBy	文字列	添付ファイルを作成したエンティティ。
ダウンロード	URL	ServiceNowインスタンスの添付ファイルの URL。
fileName	文字列	添付ファイルの名前。
ハッシュ	文字列	添付ファイルの想定される SHA256 ダイジェスト。 ダウンロードされた添付ファイルは、計算されたダイジェストをこの SHA256 ダイジェストと比較することで 検証 されます。
画像の高さ	整数	画像の高さ。 単位：ピクセル
imageWidth	整数	画像の幅。 単位：ピクセル
圧縮済み	ブーリアン	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:添付ファイルは圧縮されています。 • false:添付ファイルは圧縮されていません。
mimeType	文字列	添付ファイルの MIME タイプ。
modificationCount	整数	添付ファイルが変更された回数。
sizeInBytes	整数	添付ファイルのサイズ。 単位：バイト
sourceSysId	文字列	添付ファイルの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
ソーステーブル名	文字列	添付ファイルが存在するソーステーブルの名前。
state		条件付き、利用不可、利用可能、保留などの可用性ステータス。
sysId	文字列	ServiceNow インスタンス内の各レコードを識別する、一意の 32 文字のグローバル一意 ID (GUID)。
tags	文字列	添付ファイルに関連付けられたタグのリスト。
更新完了	日付	添付ファイルが最後に変更された日付。
updatedBy	文字列	添付ファイルを更新したエンティティ。

NowAttachmentMetadata - encode (エンコーダーへ: Encoder)

指定されたエンコーダーを使用して、現在のオブジェクト値をデータにエンコードします。

オブジェクトがデータへのエンコードに失敗した場合、エンコーダーは代わりに空の キー付きコンテナー をエンコードします。この関数は、指定されたエンコーダーの形式に対して無効な値がある場合にもエラーをスローします。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
エンコーダーへ	Encoder	エンコードされた出力の構造を定義するエンコーダー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let query = "active=true^short_descriptionLIKEbroken"
let filter = Filter(query: query)
metadataPublisher(filter: filter, limit: 1)
private func metadataPublisher(filter: Filter?, limit: Int?) {
  let publisher = attachmentService.attachmentMetadata(filter: filter,
 limit: limit)
  publisher
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .encode(encoder: JSONEncoder())
  .sink { [weak self] completion in
    if case let .failure(error) = completion {
      // attachment published failed, return NowDataError
    }
  } receiveValue: { [weak self] (data) in
    // Attachment published successful, return data
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .store(in: &subscriptions)
}
```

NowAttachmentMetadata - init(デコーダーから:デコーダー)

指定されたデコーダーからオブジェクトにデータをデコードすることで、新しい NowAttachmentMetadata インスタンスを作成します。

このメソッドは、デコーダーからの読み取りに失敗した場合、または読み取られたデータが破損しているか無効である場合にエラーをスローします。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
デコーダ	デコーダ	データを読み取るデコーダー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let metadataHeader = response.httpResponse?.value(forHTTPHeaderField:
 NowAttachment.attachmentMetadataHeaderKey),
  let metadataHeaderData = metadataHeader.data(using: .utf8) else {
    throw NowDataError.missingAttachmentMetadata
  }

let metadata = try coder.decode(NowAttachmentMetadata.self, from:
 metadataHeaderData)
let attachment = NowAttachment(metadata: metadata, data: response.data)
```

NowAttachmentService クラス - iOS

NowAttachmentService クラスは、ServiceNowインスタンス上のテーブル内のレコードに関連付けられている添付ファイルをアップロードしてクエリーできるようにする関数を提供します。

要求ごとに 1 つのファイルをアップロードまたは取得できます。*NowAttachmentService* は、最大ファイル サイズや許可される添付ファイルの種類など、アップロードされたファイルに関するシステム制限を尊重します。これらの設定は、インスタンスプロパティ com.glide.attachment.max_size、デフォルトで 1024MB、および glide.attachment.extensions を使用して制御できます。

注: *NowAttachmentService* は、すべての Content-Type 値 (/) を受け入れます。添付ファイルのアップロード時のファイルコンテンツタイプを指定します。コンテンツ タイプはファイル メタデータと共に格納され、他のツールがファイルを正しく識別して解析できるようにします。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスが初期化されたときに指定された構成設定。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAttachmentService - attachment(for sysId: String, validateAttachment: Boolean) async throws

指定されたsys_idで添付ファイルを取得し、添付ファイルの計算されたハッシュを予想される SHA256 チェックサムと比較して添付ファイルを検証します。

> **注:** 添付ファイルの検証は、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。*validateAttachment*パラメーターを `false` に設定することで、検証ステップをスキップできます。必要に応じて、 *`Attachment.validate()`* 関数を呼び出すことで、後のステージで添付ファイルを検証できます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId 用	文字列	取得する添付ファイルのSys_id。
validateAttachment	ブーリアン	添付ファイルを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:添付ファイルを検証します。 • false:添付ファイルを検証しません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowAttachment	メソッドが成功したときに返されます。指定された添付ファイル。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ◦ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func downloadAttachment(sysId: String) async throws -> NowAttachment {
    do {
        let nowAttachment = try await attachmentService.attachment(for:
 sysId, validateAttachment: false)
        return nowAttachment
    } catch {
        // Handle NowDataError
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        throw error
    }
}
```

NowAttachmentService - attachment(for sysId: String, validateAttachment: Boolean, completion: @escaping (Result<NowAttachment, NowDataError>))

指定されたsys_idで添付ファイルを取得し、添付ファイルの計算されたハッシュを予想される SHA256 チェックサムと比較して添付ファイルを検証します。終了すると、渡された完了ハンドラーが実行されます。

注: 添付ファイルの検証は、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。*validateAttachment*パラメーターを `false` に設定することで、検証ステップをスキップできます。必要に応じて、 *`Attachment.validate()`* 関数を呼び出すことで、後のステージで添付ファイルを検証できます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId 用	文字列	取得する添付ファイルのSys_id。
validateAttachment	ブーリアン	添付ファイルを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:添付ファイルを検証します。 • false:添付ファイルを検証しません。 デフォルト：true
完了	@escaping (結果 <NowAttachment、NowDataError>)	添付ファイルを取得した後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功: NowAttachment :要求された添付ファイル • 失敗:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let sysId = UUID().uuidString  // UUID for the attachment
private func downloadAttachment(sysId: String) {
  attachmentService.attachment(for: sysId, validateAttachment: false)
 { (result) in
    switch result {
      case .success(let attachment):
        // Attachment retrieved successful, return attachment
      case .failure(let error):
        // Attachment retrieved failed, return NowDataError
    }
  }
}
```

NowAttachmentService - attachment(sysId:String、validateAttachment:Boolean の場合)

指定されたsys_idで添付ファイルを取得し、添付ファイルの計算されたハッシュを予想されるハッシュと比較して添付ファイルを検証します。

注: 添付ファイルの検証は、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。*validateAttachment*パラメーターを `false` に設定することで、検証ステップをスキップできます。必要に応じて、後のステージで *`Attachment.validate()`* 関数を呼び出して添付ファイルを検証できます。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId 用	文字列	取得する添付ファイルのSys_id。
validateAttachment	ブーリアン	添付ファイルを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:添付ファイルを検証します。 • false:添付ファイルを検証しません。 デフォルト：true

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowAttachment, NowDataError>	成功：NowDataError - 指定された添付ファイルが含まれます。 失敗:NowDataError • `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • `cannotDecodeModel(デコードエラー)` ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)` ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let sysId = UUID().uuidString  // UUID for the attachment
private func downloadAttachment(sysId: String) {
  let publisher = self.attachmentService.attachment(for: sysId,
 validateAttachment: false)
  publisher
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .sink { [weak self] completion in
      if case let .failure(error) = completion {
        // Attachment retrieved failed, return NowDataError
      }
    } receiveValue: { [weak self] (attachment) in
      // Attachment retrieved successful, return attachment
    }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    .store(in: &subscriptions)
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(filter: Filter, limit: Int) async throws

指定されたクライテリアを満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:nil - 利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。 デフォルト:nil: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。

返される内容

タイプ	Description (説明)
[NowAttachmentMetadata]	メソッドが成功したときに返されます。一致する添付ファイルのメタデータを含むアレイ。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)` ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
let filter = Filter(criteria: [], sortBy: [.desc("created")],
                    queryCategory: nil)
do {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    let metadata = try await attachmentService.attachmentMetadata(filter:
 filter, limit: 10)
    // Metadata retrieval successful
} catch {
    // Metadata retrieval failed, NowDataError thrown
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(filter: Filter, limit: Int, completion: @escaping (Result<[NowAttachmentMetadata], NowDataError>))

指定されたクライテリアを満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:nil - 利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。 デフォルト:nil: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。
完了	@escaping (結果 <[NowAttachmentMetadata]、NowDataError>)	メタデータを取得した後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:NowAttachmentMetadata:要求されたメタデータを含むオブジェクト。 • エラー:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ network(NetworkServiceError) ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let query = "active=true^short_descriptionLIKEbroken"
let filter = Filter(query: query)
attachmentService.attachmentMetadata(filter: filter, limit: limit)
 { (result) in
  DispatchQueue.main.async { [weak self] in
    switch result {
    case .success(let response):
      do {
        let data = try JSONEncoder().encode(response)
        // Retrieve metadata successfully, return data
      } catch {
        // Retrieve metadata failed, return error
      }
    case .failure(let error):
      // Retrieve metadata failed, return NowDataError
    }
  }
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(フィルター:フィルター、制限:整数)

指定されたクライテリアを満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:nil - 利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。 デフォルト:nil: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<[NowAttachmentMetadata], NowDataError>	成功:NowAttachmentMetadata:一致する添付ファイルのメタデータを含むオブジェクト。 失敗:NowDataError

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let query = "active=true^short_descriptionLIKEbroken"
let filter = Filter(query: query)
let publisher = self.attachmentService.attachmentMetadata(filter: filter)
publisher
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .encode(encoder: JSONEncoder())
  .sink { [weak self] completion in
    if case let .failure(error) = completion {
      // Retrieve metadata failed, return NowDataError
  } receiveValue: { [weak self] (data) in
     // Retrieve metadata successfully, return data
  }
.store(in: &subscriptions
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(sysId:Stringの場合)非同期スロー

指定されたsys_idに関連付けられた添付ファイルのメタデータを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId 用	文字列	メタデータを取得する添付ファイルのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowAttachmentMetadata	メソッドが成功したときに返されます。要求された添付ファイルのメタデータ。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let metadata = try await attachmentService.attachmentMetadata(for:
 sysId)
    // Metadata retrieval successful
} catch {
    // Metadata retrieval failed, NowDataError thrown
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata(for sysId: String, completion: @escaping (Result<NowAttachmentMetadata, NowDataError>))

指定されたsys_idに関連付けられた添付ファイルのメタデータを取得し、メタデータを取得した後に完了ハンドラーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId用	文字列	メタデータを取得する添付ファイルのSys_id。
完了	@escaping (結果<NowAttachmentMetadata、NowDataError>)	メタデータを取得した後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功: NowAttachmentMetadata - 要求されたメタデータ • 失敗:NowDataError

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let sysId = UUID().uuidString  // UUID for the attachment
attachmentService.attachmentMetadata(for: sysId) { (result) in
  DispatchQueue.main.async { [weak self] in
    switch result {
      case .success(let response):
        do {
          let data = try JSONEncoder().encode(response)
          // Retrieve metadata successfully, return data
        } catch {
          // Retrieve metadata failed, return error
        }
      case .failure(let error):
        // Retrieve metadata failed, return NowDataError
    }
  }
}
```

NowAttachmentService - attachmentMetadata (sysId の場合:文字列)

指定されたsys_idに関連付けられた添付ファイルのメタデータを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId 用	文字列	メタデータを取得する添付ファイルのSys_id。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<[NowAttachmentMetadata], NowDataError>	成功:NowAttachmentMetadata:要求された添付ファイルのメタデータを含むオブジェクト。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let sysId = UUID().uuidString  // UUID for the attachment
let publisher = self.attachmentService.attachmentMetadata(for: sysId)
publisher
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .encode(encoder: JSONEncoder())
  .sink { [weak self] completion in
    if case let .failure(error) = completion {
      // Retrieve metadata failed, return NowDataError
    }
  } receiveValue: { [weak self] (data) in
     // Retrieve metadata successfully, return data
  }
.store(in: &subscriptions)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAttachmentService - attachmentMetadataPaginator(フィルター:フィルター、制限:整数)

指定された基準を満たすすべての添付ファイルのメタデータを取得し、返されたメタデータのページを反復処理するための Paginator オブジェクトを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
filter	フィルター	オプション。メタデータを返す添付ファイルをフィルタリングするために使用するクエリ文字列。 デフォルト:nil - 利用可能なすべての添付ファイルのメタデータを返します。*limit*パラメーターが考慮されます。
limit	整数	オプション。返す添付ファイルのメタデータの最大数。 デフォルト:nil: *filter*パラメーターの仕様を満たすすべてのメタデータを返します。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Paginator<[NowAttachmentMetadata]>	成功:NowAttachmentMetadata オブジェクトのアレイ。 失敗:NowDataError オブジェクト。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • network(NetworkServiceError) ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let paginator: Paginator<T> = makePaginator(query: query, fetchLimit: 1)

func makePaginator(query: String, fetchLimit: Int?) ->
 Paginator<[NowAttachmentMetadata]> {
  attachmentsService.attachmentMetadataPaginator(filter: Filter(query:
 query), limit: fetchLimit)
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowAttachmentService - delete(sysId: String) async throws

指定したsys_idの添付ファイルを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除する添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
なし	メソッドが成功した場合、何も返されません。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    try await attachmentService.delete(sysId: sysId)
    // Deletion successful
} catch {
    // Deletion failed, NowDataError thrown
}
```

NowAttachmentService - delete(sysId: 文字列, completion: @escaping (Result<Void, NowDataError>))

指定されたsys_idの添付ファイルを削除し、添付ファイルの削除後に渡された完了ハンドラーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除する添付ファイルの sys_id。
完了	@escaping (結果<無効、NowDataError>)	添付ファイルが削除された後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:無効 • エラー:NowDataError

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let sysId = UUID().uuidString  // UUID for the attachment
attachmentService.delete(sysId: sysId) { (result) in
  DispatchQueue.main.async { [weak self] in
    switch result {
      case .success:
        // Attachment with sysId is deleted
      case .failure(let error):
        // Failed to delete, with NowDataError
    }
  }
}
```

NowAttachmentService - delete(sysId: 文字列)

指定したsys_idの添付ファイルを削除します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除する添付ファイルの sys_id。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Void、NowDataError>	成功:何も返されませんでした 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let publisher = attachmentService.delete(sysId: sysId)
publisher
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { [weak self] completion in
    switch completion {
      case .finished:
        // Attachment with sysId is deleted
      case .failure(let error):
       // Failed to delete, with NowDataError
   }
 } receiveValue: {
 }
 .store(in: &subscriptions)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowAttachmentService - init(configuration: NowServiceConfiguration, coreServiceProvider: NowCoreServiceProviding)

新しい NowAttachmentService インスタンスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスを適切に初期化するために必要な構成情報。
coreServiceProvider	NowCoreServiceOffering	オプション。NowCoreServiceProviding プロトコルを実装するオブジェクト。 デフォルト:nil

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard let coreService = NowSDK.core() else {
  // Error with NowServiceError.sdkNotConfigured
  return
}
guard
  let instanceUrl = URL(string: "http://sample.service-now.com"),
  let serviceConfig = NowSDK.makeServiceConfiguration(for: instanceUrl)
 else {
    // Could not create service -
    // NowServiceError.serviceConfigurationInvalid
    return
}
let attachmentService = NowAttachmentService(configuration:
 serviceConfig, coreServiceProvider: coreService)
```

NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate) async throws

添付ファイルデータをアップロードし、アップロード構成で指定されたテーブルのレコードに添付します。

ProgressUpdate コールバックは、UI フィードバックを提供するために使用できるアップロードの進行状況情報を提供します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
データ	Data (データ)	アップロードする添付ファイル。
構成	NowAttachmentUpload 構成	次のような、添付ファイルのアップロードパラメーターを定義する構成情報。 • ファイルを添付するテーブルとレコード • 添付ファイル名 • 添付ファイルのタイプ • ファイルが暗号化されているかどうか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
プログレスアップデート	@escaping ProgressUpdate	添付ファイルを取得した後に実行する完了ハンドラー。これは、アップロードプロが完了するまで複数回呼び出されます。 完了ハンドラーの戻り値: ProgressUpdate - アップロードの現在の進行状況を返します。 `ProgressUpdate =(_bytesWritten:Int64、_totalBytesWritten:Int64、_totalBytesExpectedToWrite:I >void`

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowAttachmentMetadata	メソッドが成功したときに返されます。アップロードされたメタデータを含むオブジェクト。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func uploadFile(for tableName: String, sysId: String, mimeType: String,
 encryptionContext: String?, data: Data, filename: String) async throws
 -> NowAttachmentMetadata {

    let mimeType = MediaUtilities.mimeType(forFileName: filename)
    let uploadConfig = NowAttachmentUploadConfiguration(tableName:
 tableName,
                                                        recordSysId:
 sysId,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                                                                fileName:
 filename,
                                                                contentType:
 mimeType,

 encryptionContext: encryptionContext)

    do {
        let attachmentMetadata = try await attachmentService.upload(data:
 data, configuration: uploadConfig) { (_, _, _) in }
        return attachmentMetadata
    } catch {
        // Handle NowDataError
        throw error
    }
}
```

NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate, completion: @escaping (Result<NowAttachmentMetadata, NowDataError>))

添付ファイルデータをアップロードし、アップロード構成で指定されたテーブルのレコードに添付します。

ProgressUpdate コールバックは、UI フィードバックを提供するために使用できるアップロードの進行状況情報を提供します。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
データ	Data (データ)	アップロードする添付ファイル。
構成	NowAttachmentUpload 構成	次のような、添付ファイルのアップロードパラメーターを定義する構成情報。 • ファイルを添付するテーブルとレコード • 添付ファイル名 • 添付ファイルのタイプ • ファイルが暗号化されているかどうか
プログレスアップデート	@escaping ProgressUpdate	添付ファイルを取得した後に実行する完了ハンドラー。これは、アップロードが完了するまで複数回呼び出されます。 完了ハンドラーの戻り値: ProgressUpdate - アップロードの現在の進行状況を返します。 `ProgressUpdate =(_bytesWritten:Int64、_totalBytesWritten:Int64、_totalBytesExpectedToWrit >void`
完了	@escaping (結果 <NowAttachmentMetadata、NowDataError>)	メタデータがアップロードされた後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		• 成功: NowAttachmentMetadata :アップロードされた添付ファイルのメタ 含むオブジェクト。 • エラー:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラー またはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされ ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされ ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無 が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
typealias ProgressUpdate = (_ bytesWritten: Int64, _ totalBytesWritten:
 Int64, _ totalBytesExpectedToWrite: Int64) -> Void

let image = UIImage(named: "photo.png")
let data = image.pngData()
let recordSysId = "" // Sys_id of the record on the SN instance

let config = NowAttachmentUploadConfiguration(
  tableName: "tableName",
  recordSysId: recordSysId,
  fileName: "photo.png",
  contentType: "image/png",
  encryptionContext: nil)

private func uploadFile(
  data: Data,
  config: NowAttachmentUploadConfiguration,
  progress: @escaping ProgressUpdate) {
    attachmentService.upload(data: data, configuration: config,
 progressUpdate: progress) { (result) in
      DispatchQueue.main.async { [weak self] in
        switch result {
          case .success(let response)
            do {
              let data = try JSONEncoder().encode(response)
                // Upload file successfully, return data
            } catch
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                // Upload file decode failed, return error
            }
        case .failure(let error):
                // Upload file failed, return NowDataError
    }
  }
}
```

NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate)

添付ファイルデータをアップロードし、アップロード構成で指定されたテーブルのレコードに添付します。

ProgressUpdate コールバックは、UI フィードバックを提供するために使用できるアップロードの進行状況情報を提供します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
データ	Data (データ)	アップロードする添付ファイル。アップロードできる添付ファイルのタイプは、 ServiceNow インスタンスによって制御されます。
構成	NowAttachmentUploadConfiguration	次のような、添付ファイルのアップロードパラメーターを定義する構 • ファイルを添付するテーブルとレコード • 添付ファイル名 • 添付ファイルのタイプ • ファイルが暗号化されているかどうか
プログレスアップデート	@escaping ProgressUpdate	添付ファイルを取得した後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: ProgressUpdate - アップロードの現在の進行状況を返します。これロセスが完了するまで複数回呼び出されます。 `ProgressUpdate =(_bytesWritten:Int64、_totalBytesWritten:Int64、_totalBytesExp >void`

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowAttachmentUploadResponse, NowDataError>	成功: NowAttachmentUploadResponse :要求された添付ファイルのメタデータを含むオブジェクト。 失敗:NowDataError

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
typealias ProgressUpdate = (_ bytesWritten: Int64, _ totalBytesWritten:
 Int64, _ totalBytesExpectedToWrite: Int64) -> Void

let image = UIImage(named: "photo.png")
let data = image.pngData()
let recordSysId = "" // Sys_id of the record on the SN instance
let config = NowAttachmentUploadConfiguration(
  tableName: "tableName",
  recordSysId: recordSysId,
  fileName: "photo.png",
  contentType: "image/png",
  encryptionContext: nil)

private func uploadFile(data: Data,
  config: NowAttachmentUploadConfiguration,
  progress: @escaping ProgressUpdate) {
    let publisher = attachmentService.upload(data: data, configuration:
 config, progressUpdate: progress)

    publisher
      .receive(on: DispatchQueue.main)
      .encode(encoder: JSONEncoder())
      .sink { [weak self] completion in
        if case let .failure(error) = completion {
          // Upload file failed, return NowDataError
        }
      } receiveValue: { [weak self] (data) in
        // Upload file successfully, return data
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
        .store(in: &subscriptions)
  }
```

NowAttachmentUploadConfiguration 構造体 - iOS

NowAttachmentUploadConfiguration 構造体を使用すると、ServiceNow インスタンスにアップロードする添付ファイルの構成情報を定義できます。

プロパティ

名前	タイプ	説明
contentType	文字列	HTTP データコンテンツタイプ。
暗号化コンテキスト	文字列	オプション。暗号化コンテキストレコードの sys_id。指定された暗号化コンテキストを持つユーザーのみが添付ファイルにアクセスできるようにするには、このパラメーターを指定します。 デフォルト：添付ファイルはどの暗号化コンテキストでも暗号化されません。
fileName	文字列	添付ファイルの名前。
recordSysId	文字列	添付ファイルを関連付ける ServiceNow インスタンス上のレコードのSys_id。
tableName	文字列	*recordSysid* パラメーターで指定されたレコードを含むServiceNowインスタンス上のテーブルの名前。

NowAttachmentUploadConfiguration init(tableName: String, recordSysId: SysID, fileName: String, contentType: String, encryptionContext: String?)

指定した添付ファイルのアップロード構成値を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	*recordSysid* パラメーターで指定されたレコードを含むServiceNowインスタンス上のテーブルの名前。
recordSysId	文字列	添付ファイルを関連付ける ServiceNow インスタンス上のレコードのSys_id。
fileName	文字列	添付ファイルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
contentType	文字列	HTTP データコンテンツタイプ。
暗号化コンテキスト	文字列	オプション。暗号化コンテキストレコードの sys_id。指定された暗号化コンテキストを持つユーザーのみが添付ファイルにアクセスできるようにするには、このパラメーターを指定します。 デフォルト：添付ファイルはどの暗号化コンテキストでも暗号化されません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let recordSysId = "" // Sys_id of the record on the SN instance

let config = NowAttachmentUploadConfiguration(
  tableName: "tableName",
  recordSysId: recordSysId,
  fileName: "photo.png",
  contentType: "image/png",
  encryptionContext: nil)
```

自動翻訳

NowChat API - iOS

NowChat API は、ユーザーが NowChat サービスインスタンスをインスタンス化できるようにするトップレベルのグローバル API です。

NowChat - makeChatService(instanceUrl: URL, delegate: NowChatServiceDelegate?)

指定された構成で NowChatService のインスタンスを作成します。

注: この関数を呼び出す前に SDK を初期化する必要があり、そうでない場合は完了ブロックが `sdkNotConfigured` エラーで呼び出されます。SDK を初期化するには、必要な構成で `NowSDK.configure()` メソッドを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
instanceUrl	URL	チャットサービスを提供する ServiceNow インスタンスの URL。
代理人	NowChatServiceDelegate	オプション。NowChatServiceDelegate プロトコルを実装するデリゲートオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowChatService, NowServiceError>	成功した場合は、初期化された NowChatService オブジェクトを返します。失敗した場合は、NowServiceError オブジェクトを返します。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
….
guard
  let jwtUrl = URL(string: "http://xx.xx.xx.xxx:8080"),
  let instanceUrl = URL(string: "https://instance.service-now.com") else
 {
    return
  }
// AuthorizationProvider - struct conforming to
 NowSDKAuthorizationProviding protocol
let authorizationProvider = AuthorizationProvider(userEmail:
 "sdk@servicenow.com", jwtProviderUrl: jwtUrl, clientId:
 "deb8756b452d201039231ca568f26511")

// PermissionProvider - class conforming to DevicePermissionDelegate
 protocol
let permissionProvider = PermissionProvider()
let config = NowSDKConfiguration(authorizationProvider:
 authorizationProvider, permissionDelegate: permissionProvider,
 logLevel: .debug)

do {
  try NowSDK.configure(with: config)
  let chat = setup(with: instanceUrl)
} catch {
  // Return ConfigurationError.sdkError(error)
}
…..

func initializeChatService(with instanceURL: URL) ->
 AnyPublisher<NowService, ConfigurationError> {
  NowChat.makeChatService(instanceUrl: instanceURL, delegate: nil)
  .mapError { .sdkError($0) }
  .map { $0 as NowService }
  .eraseToAnyPublisher()
}
```

NowChat - makeChatService(instanceUrl: URL, delegate: NowChatServiceDelegate?, completion: @escaping ((Result<NowChatService, NowServiceError>) -> Void))

指定された構成で `NowChatService` のインスタンスを作成し、完了すると、指定された完了ハンドラーを呼び出します。

注: この関数を呼び出す前に SDK を初期化する必要があり、そうでない場合は完了ブロックが `sdkNotConfigured` エラーで呼び出されます。SDK を初期化するには、必要な構成で `NowSDK.configure()` メソッドを呼び出します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	チャットサービスを提供する ServiceNow インスタンスの URL。
代理人	NowChatServiceDelegate	オプション。NowChatServiceDelegate プロトコルを実装するデリゲートオブジェクト。
完了	@escaping ((結果 <NowChatService, NowServiceError>) -> 無効)	初期化された `NowChatService` インスタンス、または初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含んで呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func initializeChatService() {
  NowChat.makeChatService(instanceUrl: instanceUrl, delegate: self)
 { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }

    switch result {
    case .success(let service):
      self.chatService = service
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating the chat service failed with error: \(error)")
    }
    self.viewState = self.makeViewState()
  }
}
```

NowChatColoring プロトコル - iOS

`NowChatColoring` プロトコルは、ライブエージェント および 仮想エージェント チャット UI の要素の既定の色を定義します。

これらのデフォルトの色を変更して、特定のチャット実装用に独自のテーマを作成できます。

プロパティ

名前	Description (説明)
アラート重大 0	アラートポップアップの背景に適用される色。 デフォルトの暗色:#7B1E28 デフォルトのライトの色:#F8C8CD
アラート重大 3	アラートのポップアップアイコンとバーに適用される色。 デフォルトの暗い色:#E46876 デフォルトのライトの色:#B61C2D

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
backgroundPrimary	チャットビューの背景、選択ピッカー、入力背景、およびカードの背景に適用される背景色。 デフォルトの暗色:#07080B デフォルトのライトの色:#FFFFFF
backgroundPrimaryActionable	選択したページネーションとポップアップの背景に適用される背景色。 デフォルトの暗色:#FFFFFF デフォルトの明るい色:#151920
backgroundSecondary	ボトムバー、カードの列、および選択ピッカーの検索背景に適用される背景色。 デフォルトの暗い色:#151920 デフォルトのライトの色:#F6F6F8
backgroundSecondaryActionable	検索背景や日付/時刻の背景などの選択可能な入力に適用される背景色。 デフォルトの暗色:#C1C5CD デフォルトの明るい色:#2C323F
backgroundTertiary	エージェントとボットのチャットバブルに適用される背景色。 デフォルトの暗い色:#252A35 デフォルトのライトの色:#E4E6EA
borderTertiary	チャット入力の境界線に適用される色。 デフォルトの暗い色:#454D5B デフォルトのライトの色:#D3D6DC
ブランド	ページのロード中に表示されるアクティビティインジケーターに適用される色。 デフォルトの暗色:#302F4B デフォルトのライトの色:#302F4B
ブランドバックグラウンド	ユーザーバブルの背景に適用される背景色です。 デフォルトの暗色:#28284D デフォルトのライトの色:#D1D2EE
破壊的な	破棄アクション (例: 削除) をトリガーする UI 要素に適用される色

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルトの暗い色:#E46876 デフォルトのライトの色:#B61C2D
リンクプライマリテキスト	リンクのように動作するリンクと UI 要素に適用される色。 デフォルトの暗色:#647BFD デフォルトのライトの色:#3C59E7
リンクセカンダリ	非中間 (白以外) の背景のリンクに適用される色。 デフォルトの暗い色:#93A3FE デフォルトのライトの色:#293D9E
通知	新しいメッセージインジケーターに適用される色。 デフォルトの暗い色:#E46876 デフォルトの明るい色:#B61C2D
nowUIColor	すべての NowSDK UI 要素に使用される基盤 UI カラーテーマ。
プライマリ	ボタンまたはアクション可能なテキストに適用される色。 デフォルトの暗い色:#8486FF デフォルトの明るい色:#4F52BD
画面ヘッダーテキスト	チャット画面ヘッダーのテキストに適用される色。 デフォルトの暗色:#FFFFFF デフォルトのライトの色:#FFFFFF
セカンダリ	スワイプアクションに適用される色。 デフォルトの暗色:#CECFFF デフォルトのライトの色:#1C1D42
separatorプライマリ	チャット入力の境界線に適用される色。 デフォルトの暗い色:#8F95A1 デフォルトのライトの色:#8F95A1
セパレーターターシャリ	仕切りに適用される色。 デフォルトの暗い色:#353B49 デフォルトのライトの色:#D3D6DC
影	カードの影に適用される色。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルトの暗い色:#151920 デフォルトの明るい色:#151920
textActionable	ボタンのテキストまたはハイライトされた背景に適用される色。 デフォルトの暗色:#07080B デフォルトのライトの色:#FFFFFF
textSecondary	カードコンテンツと検索バーのアイコンとテキストに適用される色。 デフォルトの暗色:#C1C5CD デフォルトの明るい色:#2C323F
textTertiary	カレンダーの平日にプレースホルダーとして適用される色。 デフォルトの暗色:##8F95A1 デフォルトのライトの色:#454D5B

NowChatColoring に使用される既定の色を次に示します。これらの色のいずれかまたはすべてを上書きできます。

```
public extension NowChatColoring {
    var brand: UIColor {  nowUIColor.brand }
    var primary: UIColor {  nowUIColor.primary }
    var textActionable: UIColor { nowUIColor.textActionable }
    var screenHeaderText: UIColor { nowUIColor.screenHeaderText }
    var backgroundPrimary: UIColor { nowUIColor.backgroundPrimary }
    var backgroundSecondary: UIColor {
        nowUIColor.backgroundSecondary }
    var backgroundTertiary: UIColor {
        nowUIColor.backgroundTertiary }
    var backgroundPrimaryActionable: UIColor
 { nowUIColor.backgroundPrimaryActionable }
    var backgroundSecondaryActionable: UIColor
 { nowUIColor.backgroundSecondaryActionable }
    var brandBackground: UIColor { nowUIColor.brandBackground }
    var separatorPrimary: UIColor { nowUIColor.separatorPrimary }
    var separatorTertiary: UIColor { nowUIColor.separatorTertiary }
    var borderTertiary: UIColor { nowUIColor.borderTertiary }
    var shadow: UIColor { nowUIColor.shadow }
    var linkSecondary: UIColor { nowUIColor.linkSecondary }
    var notification: UIColor { nowUIColor.notification }
    var alertCritical0: UIColor { nowUIColor.alertCritical0 }
    var alertCritical3: UIColor { nowUIColor.alertCritical3 }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowChatOptions: iOS

NowChatOptions クラスを使用すると、チャット セッションで、チャット ウィンドウを閉じる前にプロンプトを表示したり、チャットの使用中に機能を無効にしたりするなどのオプションを構成できます。

NowChatOptions - ClosePrompt(header: String?, message: String, acceptButtonTitle: String, declineButtonTitle: String)

渡されたパラメーターに基づいて ClosePrompt オブジェクトを作成して返します。次に、このオブジェクトを *NowChatOptions()* メソッドに渡して、チャットセッション内のプロンプトを閉じるオプションを設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
header	文字列	プロンプトのヘッダーに表示するテキスト。 プロンプトヘッダーを表示したくない場合は、"nil" を渡します。
メッセージ	文字列	プロンプトのメインテキストとして表示するテキスト。
acceptButtonTitle	文字列	チャットウィンドウを閉じるためにプロンプトのプライマリボタンに表示するテキスト。
拒否ボタンのタイトル	文字列	プロンプトを却下するためにプロンプトのセカンダリボタンに表示するテキスト。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func makeChatScreen() -> UIViewController? {
  guard let chatService = chatService else { return nil }
  let closePrompt = NowChatOptions.ClosePrompt(
    header: "Close Window",
    message: "Are you sure you want to close the chat window?",
    acceptButtonTitle: "Yes",
    declineButtonTitle: "No")

  let disabledFeatures = [.startNewConversation]

  let chatOptions = NowChatOptions(closePrompt: closePrompt,
    disabledFeatures: disabledFeatures,
    forceNewConversation: true)

  let result = chatService.makeChatUI(theme:
 CarrascoChatTheme(chatColors: ChatColors()), chatOptions: chatOptions)

  switch result {
  case .success(let chatViewController):
    return chatViewController
  case .failure(let error):
    return nil
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowChatOptions - NowChatOptions(closePrompt: ClosePrompt?, disabledFeatures: [Feature]?, forceNewConversation: Bool)

現在のチャットセッションのオプションを設定します。このメソッドを使用すると、チャットウィンドウを閉じる前にプロンプトを表示したり、チャットの使用中に機能を無効にしたり、チャットサービスの開始時に新しいチャット会話を強制したりできます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
closePrompt	ClosePrompt オブジェクト	関連するチャットウィンドウを閉じる前に表示するプロンプト。 クローズプロンプトを表示したくない場合は、"nil" を渡します。
disabledFeatures	[特徴]	現在のチャットセッション内で無効にするチャット機能のリスト。 有効な値: • startNewConversation:チャットウィンドウに表示される **[StartNew Conversation**] ボタンを非表示/無効にします。 使用可能なチャット機能は、 *NowChatOptions.Feature* 列挙型クラスで定義されています。 どの機能も無効にしたくない場合は、"nil" を渡します。
forceNewConversation	ブール	チャットセッションの開始時に新しいチャット会話を強制するかどうかを示すフラグ。現在の会話はすべてクローズされます。 有効な値： • true:新しいチャット会話を開始します。新しいチャットウィンドウが開きます。 • false:新しいチャット会話を開始しません。既存のチャットウィンドウを使用します。 デフォルト値：false

返される内容

タイプ	Description (説明)
チャットオプション	NowChatService - makeChatUI(theme: NowChatThemeable, chatOptions: NowChatOptions? = nil) -> Result<UIViewController, NowChatServiceError>) メソッドで渡すことができる chatOptions オブジェクトを返します。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func makeChatScreen() -> UIViewController? {
  guard let chatService = chatService else { return nil }
  let closePrompt = NowChatOptions.ClosePrompt(
    header: "Close Window",
    message: "Are you sure you want to close the chat window?",
    acceptButtonTitle: "Yes",
    declineButtonTitle: "No")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  let disabledFeatures = [.startNewConversation]

  let chatOptions = NowChatOptions(closePrompt: closePrompt,
    disabledFeatures: disabledFeatures,
    forceNewConversation: true)

  let result = chatService.makeChatUI(theme:
 CarrascoChatTheme(chatColors: ChatColors()), chatOptions: chatOptions)

  switch result {
  case .success(let chatViewController):
    return chatViewController
  case .failure(let error):
    return nil
  }
}
```

NowChatService クラス - iOS

NowChatService クラスは、仮想チャット機能とライブエージェントチャット機能を提供します。

このクラスを使用すると、チャットサービスの開始と停止、チャットセッションの開始、チャットユーザーインターフェイスの作成、未読メッセージの登録/登録解除を行うことができます。

プロパティ

名前	Description (説明)
構成	サービスが初期化されたときに指定された構成設定。 データ型: NowServiceConfiguration
instanceVersion	関連付けられた ServiceNow インスタンスのバージョン (utah や Quebec など)。 データタイプ：文字列
ネットワークサービス	このチャットサービスに関連付けられたネットワークサービス。 データ型: NetworkService
セッションタイプ	セッションのタイプ。 可能な値： • 認証 • 客 • 偽装 • 不明 データタイプ:SessionType

NowChatService - init(configuration: NowServiceConfiguration, delegate: NowChatServiceDelegate?, coreServiceProvider: NowCoreServiceProviding? = nil)

新しい NowChatService インスタンスを初期化します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスを適切に初期化するために必要な構成情報。
代理人	NowChatServiceDelegate	オプション。NowChatServiceDelegate プロトコルを実装する NowChat コールバック デリゲートオブジェクト。 デフォルト:nil
coreServiceProvider	NowCoreServiceOffering	オプション。NowCoreServiceProviding プロトコルを実装するオブジェクト。NowChat サービスへのアクセスを提供します。 デフォルト:nil

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard let coreService = NowSDK.core() else {
  // Error with NowServiceError.sdkNotConfigured
  return
}

guard
  let instanceUrl = URL(string: "http://sample.service-now.com"),
  let serviceConfig = NowSDK.makeServiceConfiguration(for: instanceUrl)
 else {
    // Could not create service -
    // NowServiceError.serviceConfigurationInvalid
    return
  }

let chatService = NowChatService(configuration: serviceConfig, delegate:
 delegate, coreServiceProvider: coreService)
```

NowChatService - makeChatUI(theme: NowChatThemeable, chatOptions: NowChatOptions? = nil) -> Result<UIViewController, NowChatServiceError>)

チャット ユーザー インターフェイスをホストする `UIViewController` を作成します。

この関数はチャット UI を作成しますが、 *`startChat()`* 関数を呼び出してチャットセッションを開始する必要があります。この呼び出しは、チャット UI が表示されたときに行う必要があります。詳細については、関連するサンプルアプリケーションと Mobile SDK 開発者ガイド - iOSを参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
theme	NowChatThemeable オブジェクト	作成するチャット UI のテーマ情報。
チャットオプション	NowChatOptions?	オプション。チャットセッションに適用するオプション。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	成功: UI ビュー コントローラーの構成情報を含む UIViewController オブジェクト。 失敗:NowChatServiceError オブジェクト。 考えられるエラー: • chatServiceInvalid • coreServiceInvalid • ゲストユーザーは許可されていません • 無効な認証情報 • セッションなし • 不明 • サポートされていないサーバー

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func makeChatScreen() -> UIViewController? {
  guard let chatService = chatService else { return nil }
  let closePrompt = NowChatOptions.ClosePrompt(
    header: "Close Window",
    message: "Are you sure you want to close the chat window?",
    acceptButtonTitle: "Yes",
    declineButtonTitle: "No")

  let disabledFeatures = [.startNewConversation]

  let chatOptions = NowChatOptions(closePrompt: closePrompt,
    disabledFeatures: disabledFeatures,
    forceNewConversation: true)

  let result = chatService.makeChatUI(theme:
 CarrascoChatTheme(chatColors: ChatColors()), chatOptions: chatOptions)

  switch result {
  case .success(let chatViewController):
    return chatViewController
  case .failure(let error):
    return nil
  }
}
```

NowChatService - shutdown()

アクティブなチャットセッションを含むチャットサービスをシャットダウンします。

この関数を呼び出した後、関連付けられた `NowChatService` は非アクティブになり、再利用できなくなります。別のチャットセッションを確立するには、*`NowChat.makeChatService()`* 関数を呼び出して新しい `NowChatService` インスタンスを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private func resetChat() {
  chatService?.shutdown()
  chatService = nil
  initializeChatService()
  viewState = makeViewState()
}

func initializeChatService() {
  NowChat.makeChatService(instanceUrl: instanceUrl, delegate: self)
 { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }

    switch result {
    case .success(let service):
      self.chatService = service
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating the chat service failed with error: \(error)")
    }
    self.viewState = self.makeViewState()
}

func makeViewState() -> ViewState {
  ViewState(chatEnabled: chatService != nil,
    menuItems: menuItems)
}
```

NowChatService - startChat(contextData: [文字列: 任意]?)

チャットセッションを開始します。

注: チャットセッションの開始後に完了タスクを実行する場合は、 NowChatService - startChat(contextData: [String: Any]? = nil, _ completion: @escaping (結果<Void, NowChatServiceError>)) 機能を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
コンテキストデータ	[文字列: 任意]?	オプション。チャットセッションに渡されるチャットコンテキスト変数を含む辞書。 チャットコンテキスト変数の詳細については、「ライブエージェントチャットのコンテキスト変数」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容

タイプ	Description (説明)
void または String	成功:void エラー:NowChatServiceError 考えられるエラー: • chatServiceInvalid • coreServiceInvalid • ゲストユーザーは許可されていません • 無効な認証情報 • セッションなし • 不明 • サポートされていないサーバー

次のコード例は、コンテキスト変数を渡さずにこの関数を呼び出す方法を示しています。

```
chatService.startChat { [weak self] result in
  if case .failure(let error) = result {
    debugPrint("Chat session initialization failed with error: \(error)")
    self?.resetChat()
  }
}
```

次のコード例は、コンテキスト変数を渡してこの関数を呼び出す方法を示しています。

```
chatService.startChat { [weak self] result in
  let contextData = ["sys_id": "123456789", "table_name": "wm_task",
 "active": true] as [String: Any]
  chatService.startChat(contextData: contextData) { [weak self] result in
    if case .failure(let error) = result {
      debugPrint("Chat session initialization failed with error:
 \(error)")
      self?.resetChat()
    }
  }
}
```

NowChatService - startChat(contextData: [String: Any]? = nil, _ completion: @escaping (結果 **<Void, NowChatServiceError>))**

チャットセッションを開始し、チャットセッションの開始後に完了ブロックを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
コンテキストデータ	[文字列:任意]?	オプション。チャットセッションに渡されるチャットコンテキスト変数を含む辞書。 チャットコンテキスト変数の詳細については、「ライブエージェントチャットのコンテキスト変数」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
完了	オブジェクト	チャットセッションの開始後に実行する完了ブロック。

返される内容

タイプ	Description (説明)
void または String	補完ブロックの戻り値: • 成功:void • エラー:NowChatServiceError 考えられるエラー: • chatServiceInvalid • coreServiceInvalid • ゲストユーザーは許可されていません • 無効な認証情報 • セッションなし • 不明 • サポートされていないサーバー

次のコード例は、コンテキスト データなしでこの関数を呼び出す方法を示しています。

```
func startChat() {
  guard let chatService = chatService else {
    debugPrint("Chat service is invalid")
    viewState = makeViewState()
    return
  }
  chatService.startChat { [weak self] result in
    if case .failure(let error) = result {
      debugPrint("Chat session initialization failed with error:
 \(error)")
      self?.resetChat()
    }
  }
}

func makeViewState() -> ViewState {
  ViewState(chatEnabled: chatService != nil,
    menuItems: menuItems)
}
```

次のコード例は、コンテキスト データを使用してこの関数を呼び出す方法を示しています。

```
func startChat() {
  guard let chatService = chatService else {
    debugPrint("Chat service is invalid")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    viewState = makeViewState()
    return
  }

  let contextData = ["sys_id": "123456789", "table_name": "wm_task",
 "active": true] as [String: Any]
  chatService.startChat(contextData: contextData) { [weak self] result in
    if case .failure(let error) = result {
      debugPrint("Chat session initialization failed with error:
 \(error)")
      self?.resetChat()
    }
  }
}

func makeViewState() -> ViewState {
  ViewState(chatEnabled: chatService != nil,
    menuItems: menuItems)
}
```

NowChatService - subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval: TimeInterval, completion: @escaping (Int) -> Void)

未読メッセージ数リスナーに登録します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
pollingInterval	時間間隔	未読チャットメッセージ数について Web サービスをポーリングする頻度。 単位：秒
完了	@escaping (int) -> void)	未読チャットメッセージ数を報告するために呼び出す完了ハンドラー。 *Int*:未読のチャットメッセージの数。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
…
if viewModel.isPolling {
  viewModel.unsubscribeFromUnreadMessageCount()
  viewState.pollingInterval = ""
} else {
  viewModel.subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval: timeInterval)
}
…

func subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval: TimeInterval) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  chatService.subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval:
 pollingInterval) { [weak self] count in
    self?.unreadMessageCount = count
  }
  isPolling = true
}
```

NowChatService - unsubscribeFromUnreadMessageCount()

未読メッセージ数リスナーの受信を登録解除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
…
if viewModel.isPolling {
  viewModel.unsubscribeFromUnreadMessageCount()
  viewState.pollingInterval = ""
} else {
  viewModel.subscribeToUnreadMessageCount(pollingInterval: timeInterval)
}
…
func unsubscribeFromUnreadMessageCount() {
  chatService.unsubscribeFromUnreadMessageCount()
  isPolling = false
  unreadMessageCount = 0
}
```

NowChatServiceDelegate プロトコル - iOS

NowChatServiceDelegate プロトコルは、URL を開く要求やチャットビューコントローラーを閉じる要求など、*NowChatService* 内のアクションを通知するためのコールバックを提供します。

NowChatServiceDelegate - chatService(_chatService: NowChatService, didRequestOpenUrlurl: URL)

指定されたチャットサービスが URL を開く要求を受信したことをホストアプリケーションに通知するコールバック。このコールバックは通常、ユーザーがチャット UI のリンクをタップすることでトリガーされます。URL を開くか、要求を無視するかは、ホスト アプリケーションの責任です。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
チャットサービス	NowChatService	要求を行う NowChatService オブジェクト。
didRequestOpenUrl URL	URL	サービスが開くように要求した URL。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func chatService(_ chatService: NowChatService, didRequestOpenUrl url:
 URL) {
  var updatedViewState = makeViewState()
  updatedViewState.urlToOpen = url
  viewState = updatedViewState
}
```

NowChatServiceDelegate - chatServiceViewControllerWasDismissed(_chatService: NowChatService)

チャットビューコントローラーが却下されたことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
チャットサービス	NowChatService	ビューコントローラーが却下された NowChatService オブジェクト。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func chatServiceViewControllerWasDismissed(_ chatService: NowChatService)
 {
  resetChat()
}
```

NowChatThemeable プロトコル: iOS

NowWebThemeable プロトコルには、ネイティブ Web ビューで ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページ内で使用される色を上書きできるプロパティが用意されています。

このプロトコルには、 *ColorAdaptable* を拡張する NowWebColoring 色オブジェクトが含まれています。*ColorAdaptable* は、デバイスのディスプレイ設定に基づいて、明るい色と暗い色のどちらを表示するかを自動的に決定するために使用されます。

```
public protocol NowChatThemeable {
    var color: NowChatColoring { get }
}
```

NowChatColoring プロトコルには*NowUIColoring*が含まれています。このプロパティは、*NowWebThemeable* が使用できる既定の色変数を参照するために使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI のテーマ設定方法についての詳細は、『Mobile SDK Developer Guide - iOS (Mobile SDK 開発者ガイド - iOS)』の「 NowUIColoring を使用して NowWebTheme と NowChatTheme をテーマ化する 」を参照してください。

デフォルトの色を使用してチャットカラーを定義する

```
/// Sample structure for using default colors that comes with Mobile SDK.
struct ChatColors: NowUIColoring {
}
```

カスタム色を使用した **ChatColors** の定義

```
/// Use Custom Colors with light and dark theme
struct ChatColors: NowUIColoring {
    private var defaultTheme: NowChatDefaultTheme {
        NowChatDefaultTheme(nowUITheme: NowUIDefaultTheme())
    }

    var brand: UIColor {
        adaptiveColor(lightBrand, darkBrand)
    }
    var primary: UIColor {
        adaptiveColor(lightPrimary, darkPrimary)
    }
    var secondary: UIColor {
        adaptiveColor(lightSecondary, darkSecondary)
    }
    var textTertiary: UIColor {
        adaptiveColor(lightTextTertiary, darkTextTertiary)
    }
    var destructive: UIColor {
        adaptiveColor(lightDestructive, darkDestructive)
    }
    var textPrimary: UIColor {
        adaptiveColor(lightTextPrimary, darkTextPrimary)
    }
    var textSecondary: UIColor {
        adaptiveColor(lightTextSecondary, darkTextSecondary)
    }
    var textActionable: UIColor {
        adaptiveColor(lightTextActionable, darkTextActionable)
    }
    var screenHeaderText: UIColor {
        adaptiveColor(lightScreenHeaderText, darkScreenHeaderText)
    }
    var backgroundPrimary: UIColor {
        adaptiveColor(lightBackgroundPrimary, darkBackgroundPrimary)
    }
    var backgroundSecondary: UIColor {
        adaptiveColor(lightBackgroundSecondary, darkBackgroundSecondary)
    }
    var backgroundTertiary: UIColor {
        adaptiveColor(lightBackgroundTertiary, darkBackgroundTertiary)
    }
    var backgroundPrimaryActionable: UIColor {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        adaptiveColor(lightBackgroundPrimaryActionable,
darkBackgroundPrimaryActionable)
    }
    var backgroundSecondaryActionable: UIColor {
        adaptiveColor(lightBackgroundSecondaryActionable,
darkBackgroundSecondaryActionable)
    }
    var brandBackground: UIColor {
        adaptiveColor(lightBrandBackground, darkBrandBackground)
    }
    var linkPrimaryText: UIColor {
        adaptiveColor(lightLinkPrimary, darkLinkPrimary)
    }
    var linkSecondary: UIColor {
        adaptiveColor(lightLinkSecondary, darkLinkSecondary)
    }
    var separatorPrimary: UIColor {
        adaptiveColor(lightSeparatorPrimary, darkSeparatorPrimary)
    }
    var separatorTertiary: UIColor {
        adaptiveColor(lightSeparatorTertiary, darkSeparatorTertiary)
    }
    var borderTertiary: UIColor {
        adaptiveColor(lightBorderTertiary, darkBorderTertiary)
    }
    var shadow: UIColor {
        adaptiveColor(lightShadow, darkShadow)
    }
    var notification: UIColor {
        adaptiveColor(lightNotification, darkNotification)
    }
    var alertCritical0: UIColor {
        adaptiveColor(lightAlertCritical0, darkAlertCritical0)
    }
    var alertCritical3: UIColor {
        adaptiveColor(lightAlertCritical3, darkAlertCritical3)
    }

    // Light Colors
    var lightBrand: UIColor { defaultTheme.color.nowUIColor.brand }
    var lightPrimary: UIColor { defaultTheme.color.nowUIColor.primary }
    var lightSecondary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.secondary }
    var lightDestructive: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.destructive }
    var lightTextPrimary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.textPrimary }
    var lightTextSecondary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.textSecondary }
    var lightTextTertiary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.textTertiary }
    var lightTextActionable: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.textActionable }
    var lightScreenHeaderText: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.screenHeaderText }
    var lightBackgroundPrimary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.backgroundPrimary }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var lightBackgroundSecondary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.backgroundSecondary }
    var lightBackgroundTertiary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.backgroundTertiary }
    var lightBackgroundPrimaryActionable: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.backgroundPrimaryActionable
    }
    var lightBackgroundSecondaryActionable: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.backgroundSecondaryActionable
    }
    var lightBrandBackground: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.brandBackground }
    var lightLinkPrimary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.linkPrimaryText }
    var lightLinkSecondary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.linkSecondary }
    var lightSeparatorPrimary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.separatorPrimary }
    var lightSeparatorTertiary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.separatorTertiary }
    var lightBorderTertiary: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.borderTertiary }
    var lightShadow: UIColor { defaultTheme.color.nowUIColor.shadow }
    var lightNotification: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.notification }
    var lightAlertCritical0: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.alertCritical0 }
    var lightAlertCritical3: UIColor
{ defaultTheme.color.nowUIColor.alertCritical3 }

    // Dark Colors
    var darkBrand: UIColor { defaultTheme.color.nowUIColor.brand }
    var darkPrimary = UIColor(hex: "#8486FF")
    var darkSecondary = UIColor(hex: "#CECFFF")
    var darkDestructive = UIColor(hex: "#E46876")
    var darkTextPrimary = UIColor(hex: "#FFFFFF")
    var darkTextSecondary = UIColor(hex: "#C1C5CD")
    var darkTextTertiary = UIColor(hex: "#8F95A1")
    var darkTextActionable = UIColor(hex: "#07080B")
    var darkScreenHeaderText = UIColor(hex: "#FFFFFF")
    var darkBackgroundPrimary = UIColor(hex: "#07080B")
    var darkBackgroundSecondary = UIColor(hex: "#151920")
    var darkBackgroundTertiary = UIColor(hex: "#252A35")
    var darkBackgroundPrimaryActionable = UIColor(hex: "#FFFFFF")
    var darkBackgroundSecondaryActionable = UIColor(hex: "#C1C5CD")
    var darkBrandBackground = UIColor(hex: "#28284D")
    var darkLinkPrimary = UIColor(hex: "#647BFD")
    var darkLinkSecondary = UIColor(hex: "#93A3FE")
    var darkSeparatorPrimary = UIColor(hex: "#8F95A1")
    var darkSeparatorTertiary = UIColor(hex: "#353B49")
    var darkBorderTertiary = UIColor(hex: "#454D5B")
    var darkShadow = UIColor(hex: "#151920")
    var darkNotification = UIColor(hex: "#E46876")
    var darkAlertCritical0 = UIColor(hex: "#7B1E28")
    var darkAlertCritical3 = UIColor(hex: "#E46876")
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowChatThemeable プロトコルを使用して ChatTheme 構造体を定義する

```
struct CarrascoChatTheme: NowChatThemeable {
    var color: NowChatColoring

    struct Color: NowChatColoring {
        var nowUIColor: NowUIColoring

        var backgroundPrimary: UIColor
        var backgroundSecondary: UIColor
        var backgroundPrimaryActionable: UIColor
        var backgroundSecondaryActionable: UIColor
        var brandBackground: UIColor
        var backgroundTertiary: UIColor
        var separatorPrimary: UIColor
        var separatorTertiary: UIColor
        var borderTertiary: UIColor
        var shadow: UIColor
        var linkSecondary: UIColor

        init(inputs: ChatColors) {
            nowUIColor = ThemeColor(inputs)

            backgroundPrimary = inputs.backgroundPrimary
            backgroundSecondary = inputs.backgroundSecondary
            backgroundTertiary = inputs.backgroundTertiary
            backgroundPrimaryActionable =
 inputs.backgroundPrimaryActionable
            backgroundSecondaryActionable =
 inputs.backgroundSecondaryActionable
            brandBackground = inputs.brandBackground
            separatorPrimary = inputs.separatorPrimary
            separatorTertiary = inputs.separatorTertiary
            borderTertiary = inputs.borderTertiary
            shadow = inputs.shadow
            linkSecondary = inputs.linkSecondary
        }
    }

    init(chatColors: ChatColors) {
        color = Color(inputs: chatColors)
    }
}
```

入力として ChatColor を渡して ChatTheme オブジェクトをインスタンス化する

```
let chatTheme = CarrascoChatTheme(chatColors: ChatColors())
```

ChatTheme オブジェクトを NowChatService.makeChatUI () に渡す

```
func makeChatScreen() -> UIViewController? {
  guard let chatService = chatService else { return nil }
  let result = chatService.makeChatUI(theme:
 CarrascoChatTheme(chatColors: ChatColors()))

  switch result {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  case .success(let chatViewController):
    return chatViewController
  case .failure(let error):
    debugPrint("Chat screen creation failed with error: \(error)")
    return nil
  }
}
```

NowCoreService クラス - iOS

NowCoreService クラスは、さまざまな SDK 機能サービスに基本的なサービスを提供します。このクラスは、NowSDK によってのみインスタンス化する必要があります。

Now Analytics や NowChat などの機能サービスは、NowSDK.core プロパティを介して共有コアインスタンスにアクセスできます。

NowCoreService - accessTokenDidFail (サービス:NowService の場合)

指定されたサービスの ServiceNow インスタンスへの API 要求を許可するために使用されるアクセストークンが無効になったことを SDK コアに通知します。

SDK コアは、有効なアクセス トークンを生成できる場合はそのトークンを返すか、エラーを返します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	アクセストークンを要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowSDK.AccessToken、AccessTokenProviderError>	成功:有効なアクセストークン。 失敗:AccessTokenProviderError 可能な値： • ユーザーセッションエラー • アクセストークン取得に失敗しました • hostReturnedNoTokens:ゲストユーザーを示します

```
NowSDK.core()?.accessTokenDidFail(for: someService)
  .mapError { YourCustomError.accessTokenFailed($0) }

.flatMap(self.handleFailedAccessToken())
  .eraseToAnyPublisher()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowCoreService - accessTokenDidFail (サービス:NowService の場合) async throws

指定されたサービスの ServiceNow インスタンスへの API 要求を許可するために使用されるアクセストークンが無効になったことを SDK コアに通知します。

SDK コアは、有効なアクセス トークンを生成できる場合はそのトークンを返すか、エラーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	アクセストークンを要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowSDK.アクセストークン	メソッドが成功したときに返されます。有効なアクセストークン。
アクセストークンプロバイダーエラー	メソッドが失敗したときにスローされます。アクセストークンの取得中にエラーが発生したことを示します。 可能な値： • ユーザーセッションエラー • アクセストークン取得に失敗しました • hostReturnedNoTokens:ゲストユーザーを示します

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let accessToken = try await NowSDK.core()?.accessTokenDidFail(for:
 someService)
} catch {
    self.handleFailedAccessToken(error)
}
```

NowCoreService - canRequestPermission(_ permission: DevicePermission)

サービスがデバイスのアクセス許可を要求できるかどうかをホスト アプリケーションに照会します。

この関数はアクセス許可を要求せず、デバイスのアクセス許可を照会できるかどうかのみを要求します。フィーチャ サービスは、この関数を呼び出して、目的のデバイス権限の要求が許可されているかどうかを判断する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
権限	デバイス権限	要求対象のデバイス。 可能な値 (大文字と小文字を区別)： • カメラ • 場所

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• マイク • フォトライブラリー • speach認識

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたデバイス権限の要求を SDK がホストアプリケーションに許可するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:デバイスの権限を要求できます。 • false:デバイスの権限を要求できません。

```
extension AppDelegate: DevicePermissionDelegate {
  func canRequestPermission(_ permission: DevicePermission) -> Bool {
    return true
  }
}
```

NowCoreService - isGuestUser(サービス:NowService の場合) 非同期

現在のユーザーがゲストユーザーかどうかを確認します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	ゲスト ユーザー チェックを実行する機能サービス。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	現在のユーザーがゲストユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:指定されたサービスの現在のユーザーはゲストユーザーです。 • false:指定されたサービスの現在のユーザーはゲストユーザーではありません。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
let isGuestUser = await NowSDK.core()?.isGuestUser(for: someService)
```

NowCoreService:refreshAllSettings()

アクティブなサーバーから再フェッチすることで、すべてのサービスのすべての SDK 設定を更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

更新されるたびに更新された SDK 設定値を受け取るには、 NowCoreService - settingsPublisher (サービス用:NowService) 関数によって提供される発行元をサブスクライブします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
NowSDK.core()?.refreshAllSettings()
```

NowCoreService - refreshSettings(サービス用:NowService)

指定されたサービスの SDK 設定をサーバーから再フェッチして更新します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
サービス用	NowService	設定の更新を要求する NowChat や NowAnalytics などの機能サービス。

返される内容

タイプ	**Description** (説明)
AnyPublisher<Settings、SettingsError>	成功:更新された SDK 設定のディクショナリ。フィーチャ サービスは、返されたデータを調べて、特定のフィーチャに関連する設定を確認する必要があります。 エラー: SettingsError - 発生したエラーの種類と説明。 可能な値： • フェッチエラー • fetchFailed • 無効な JSON • invalidProvider • 未承認 • ライセンスされていない sdk • 設定NotFound • 不明

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var subscriptions = Set<AnyCancellable>()
NowSDK.core?.refreshSettings(for: someService)
  .sink(receiveCompletion: { completion in
    if case .failure(let error) = completion {
      print("Refresh failed with error:\ (error)")
    }
  }, receiveValue: { settings in
    print("Received refreshed settings:\ (settings)")
  })
  .store(in: &subscriptions)
```

NowCoreService - refreshSettings(for service: NowService) async throws

指定されたサービスの SDK 設定をサーバーから再フェッチして更新します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	設定の更新を要求する NowChat や NowAnalytics などの機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
設定	メソッドが成功したときに返されます。更新された SDK 設定のディクショナリ。フィーチャサービスは、返されたデータを調べて、特定のフィーチャに関連する設定を確認する必要があります。
設定エラー	メソッドが失敗したときにスローされます。 可能な値： • フェッチエラー • fetchFailed • 無効な JSON • invalidProvider • 未承認 • ライセンスされていない sdk • 設定NotFound • 不明

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let settings = try await NowSDK.core()?.refreshSettings(for:
 someService)
    print("Received refreshed settings: \(settings)")
} catch {
    print("Refresh failed with Settings error: \(error)")
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowCoreService - requestAccessToken (サービス用:NowService)

指定されたサービスのアクセストークンを取得します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	アクセストークンを要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowSDK.AccessToken、AccessTokenProviderError>	成功:NowSDK.AccessToken - ServiceNow インスタンスに対して行われた API 要求を許可するために使用するアクセストークン。 Failure: AccessTokenProviderError - 発生したエラーのタイプと説明。 可能な値： • アクセストークン取得に失敗しました • `hostReturnedNoTokens`：ゲストユーザーを示します • ユーザーセッションエラー

```
NowSDK.core()?.requestAccessToken(for: someService)
```

NowCoreService - requestAccessToken(サービス:NowService の場合) **async throws**

指定されたサービスのアクセストークンを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	アクセストークンを要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowSDK.アクセストークン	メソッドが成功したときに返されます。ServiceNowインスタンスに対して行われた API 要求を許可するために使用するアクセストークン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
アクセストークンプロバイダーエラー	メソッドが失敗したときにスローされます。アクセストークンの取得中にエラーが発生したことを示します。 可能な値： • アクセストークン取得に失敗しました • `hostReturnedNoTokens` :ゲストユーザーを示します • ユーザーセッションエラー

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let accessToken = try await NowSDK.core()?.requestAccessToken(for:
 someService)
} catch {
    self.handleFailedAccessToken(error)
}
```

NowCoreService - requestNetworkService (サービス:NowService の場合)

API 要求を行うために使用できる共有ネットワークサービスへの参照を返します。

注: これは共有サービスです。設定を変更したり、セッションを終了したりすると、このセッションを共有する他のフィーチャ サービスに問題が発生する可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	ネットワークサービスを要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
ネットワークサービス	API 呼び出しに使用できる共有ネットワークサービス。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
NowSDK.core()?.settingsPublisher(for: chatService)
.sink(receiveCompletion: { completion in
  if case .failure(let error) = completion {
    // Setting publisher failed with error
  }
}, receiveValue: { updatedSettings in
  // Receive array of SDK settings for chatService
})
.store(in: &subscriptions)
```

NowCoreService - requestSettings(forservice: NowService)

指定された機能サービスの SDK 設定を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	設定を要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Settings、SettingsError>	成功: 設定 - 指定された機能サービスの SDK 設定のアレイ。 失敗:SettingsError - 関連するエラーのタイプと説明。 可能な値： • フェッチエラー • fetchFailed • 無効な JSON • invalidProvider • 未承認 • ライセンスされていない sdk • 設定NotFound • 不明

```
NowSDK.core()?.requestSettings(for: someService)
```

NowCoreService - requestSettings(for service: NowService) async throws

指定された機能サービスの SDK 設定を返します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService	設定を要求する機能サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
設定	メソッドが成功したときに返されます。指定された機能サービスの SDK 設定のアレイ。
設定エラー	メソッドが失敗したときにスローされます。関連するエラーのタイプと説明。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• フェッチエラー • fetchFailed • 無効な JSON • invalidProvider • 未承認 • ライセンスされていない sdk • 設定NotFound • 不明

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let settings = try await NowSDK.core()?.requestSettings(for:
 someService)
    print("Received settings: \(settings)")
} catch {
    print("Refresh saved with Settings error: \(error)")
}
```

NowCoreService - settingsPublisher (サービス用:NowService)

指定されたサービスの公開者の設定を取得します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
サービス用	NowService プロトコル - iOS	公開者サブスクリプションを要求するフィーチャ サービス。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Settings、Never>	成功: 設定 - 指定された機能サービスの SDK 設定のアレイ。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
NowSDK.core()?.settingsPublisher(for: chatService)
.sink(receiveCompletion: { completion in
  if case .failure(let error) = completion {
    // Setting publisher failed with error
  }
}, receiveValue: { updatedSettings in
  // Receive array of SDK settings for chatService
})
.store(in: &subscriptions)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowData フレームワーク - iOS

NowData フレームワークには、*NowGraphQLService*、*NowTableService*、*NowAPIService* (カスタム API 用)、*NowAttachmentService* などの NowData サービスのインスタンス化を可能にするメソッドが含まれています。

NowData - makeApiService(instanceUrl: URL, path: String, completion: @escaping ((Result<NowApiService, NowServiceError>) -> Void))

NowApiService のインスタンスを作成し、完了すると、指定された完了ハンドラーを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスが REST API にアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。
path	文字列	API パス。 たとえば、API 呼び出しが `https://xxx.service-now.com/api/now/sg/incident` の場合、パスは `/api/now/sg/incident` です。
完了	@escaping ((Result<NowApiService, NowServiceError>) -> Void)	初期化された `NowApiService` インスタンスまたは初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む Result<NowApiService、NowServiceError> で呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let path = "api/now/sg"
let apiPublisher = apiService(for: path)

func apiService(for path: String) -> AnyPublisher<NowAPIService,
 ConfigurationError> {
  guard let instanceURL else {
    return Fail(error: ConfigurationError.invalidInstanceURL)
    .eraseToAnyPublisher()
  }
  return Future { promise in
    NowData.makeApiService(instanceUrl: instanceURL, path: path)
 { (result) in
      promise(result.mapError { .sdkError($0) })
    }
  }
  .eraseToAnyPublisher()
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowData - makeAttachmentService(instanceUrl: URL, completion: @escaping ((Result<NowAttachmentService, NowServiceError>) -> Void))

NowAttachmentService のインスタンスを作成し、完了後に指定された完了ハンドラーを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスが添付ファイルにアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。
完了	@escaping ((Result<NowAttachmentService, NowServiceError>) -> 無効)	初期化された `NowAttachmentService` インスタンスまたは初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む Result<NowAttachmentService、NowServiceError> で呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
….
guard
  let jwtUrl = URL(string: "http://13.57.38.237:8080"),
  let instanceUrl = URL(string: "https://mobilecoresdk.service-now.com")
 else {
    return
  }

// AuthorizationProvider - struct conforming to
 NowSDKAuthorizationProviding protocol
let authorizationProvider = AuthorizationProvider(userEmail:
 "sdk@servicenow.com", jwtProviderUrl: jwtUrl, clientId:
 "deb8756b452d201039231ca568f26511")

// PermissionProvider - class conforming to DevicePermissionDelegate
 protocol
let permissionProvider = PermissionProvider()
let config = NowSDKConfiguration(authorizationProvider:
 authorizationProvider, permissionDelegate: permissionProvider,
 logLevel: .debug)

do {
  try NowSDK.configure(with: config)
  initializeAttachmentService (with: instanceURL)
} catch {
  // Return ConfigurationError.sdkError(error)
}
…..

func initializeAttachmentService(instanceUrl: instanceURL) { result in
  switch result {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    case .success(let service)
      self?.attachmentService = service
    case .failure(let error)
      debug.print("Creating Attachment service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
      self?.attachmentService = nil
  }
}
```

NowData - makeGraphQLService(instanceUrl: URL, completion: @escaping ((Result<NowGraphQLService, NowServiceError>) -> Void))

NowGraphQLService のインスタンスを作成し、完了したら、指定された完了ハンドラーを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	GraphQL サービスを提供する ServiceNow インスタンスの URL。
完了	@escaping ((Result<NowGraphQLService, NowServiceError>) -> Void)	初期化された `NowGraphQLService` インスタンスまたは初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む Result<NowGraphQLService、NowServiceError> で呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
func initializeGraphQLService(instanceUrl: URL) {
  makeGraphQLService(instanceUrl: instanceUrl) { [weak self] result in
    switch result {
    case .success(let service):
      self?.graphQLService = service
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating GraphQL service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
      self?.graphQLService = nil
    }
  }
}
```

NowData - makeTableService(instanceUrl: URL, completion: @escaping ((Result<NowTableService, NowServiceError>) -> Void))

NowTableService のインスタンスを作成し、完了後に指定された完了ハンドラーを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスがテーブルにアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
完了	@escaping ((Result<NowTableService, NowServiceError>) -> 無効)	初期化された `NowTableService` インスタンスまたは初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む Result<NowTableService、NowServiceError> で呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
func initializeTableService(for instanceUrl: URL) {
  makeTableService(instanceUrl: instanceUrl) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }

    switch result {
      case .success(let tableService):
        self.tableService = tableService
        // Create a Paginator that will iterate over pages of customer
 support cases. The Paginator's response type will be
        // inferred from the Paginator's type definition (e.g.
 `Paginator<[CustomerServiceCase]>`).
        self.paginator = tableService.paginator(from: Self.tableName,
 configuration: self.fetchConfiguration)
        // Subscribe to the Paginator's publisher so we will be able to
 receive paged results.
        self.subscribeToPaginatorPublisher()
        // As we are now ready to start fetching data, inform the view
 controller.
        self.onReady(self)
      case .failure(let error):
        debugPrint("Creating table service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
        self.tableService = nil
        self.paginator = nil
    }
  }
}
```

NowGraphQLService クラス - iOS

NowGraphQLService クラスには、*GraphQL* REST API を介して ServiceNow インスタンス上のデータに対して GraphQL クエリを使用して要求を行うことができる関数が用意されています。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスが初期化されたときに指定された構成設定。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowGraphQLService - execute(query: GraphQLQuery) async throws

指定された GraphQL クエリを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	実行する GraphQL クエリ。

返される内容

タイプ	説明
Data (データ)	メソッドが成功したときに返されます。指定されたクエリから生成されたクエリデータ。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
private func fetchArticles() async throws -> [Article] {
    guard let graphQLService = graphQLService else {
        throw ArticleListError.invalidGraphQLService
    }

    do {
        let data = try await graphQLService.execute(GraphQLQuery(query:
 recentlyPublishedQuery))
        let articles = try dataToArticleList(data)
    } catch let error as NowDataError {
        throw ArticleListError.fetchError(error)
    } catch {
        throw error
    }
}
private let recentlyPublishedQuery =
"""

{
  GlideRecord_Query {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    kb_knowledge(queryConditions: "active=true^ORDERBYpublishedDESC"
 pagination: { limit: 10, offset: 0 }) {
      _results {
        sys_id {
          value
        },
        number {
          displayValue
        },
        short_description {
          displayValue
        },
        author {
          displayValue
        }
        published {
          displayValue
        }
      }
    }
  }
}
"""
```

NowGraphQLService - execute(query: GraphQLQuery, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>))

指定された GraphQL クエリを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
クエリ	文字列	実行する GraphQL クエリ。
完了	@escaping (結果<データ、NowDataError>)	クエリの完了後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:クエリデータを返します。 • エラー:NowDataError

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
gqlService.execute(GraphQLQuery(query: myQuery)) { result in
  switch result {
  case .success(let data):
    // use data
  case .failure(let error):
    // handle error
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

NowGraphQLService - init(configuration: NowServiceConfiguration, coreServiceProvider: NowCoreServiceProviding)

指定されたパラメーターに基づいて NowGraphQLService を作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスを初期化するときに使用する設定パラメーター (サービスと統合するアプリケーションのバンドル ID や、NowGraphQLService がアクセスする ServiceNow インスタンスの URL など)。
coreServiceProvider	NowCoreServiceOffering	オプション。コアサービスプロバイダー。 **注:** 現在、このパラメーターはオプションとして表示されていますが、必須です。 デフォルト:nil

NowGraphQLService - publisher (クエリ用:GraphQLQuery)

GraphQL データを要求するパブリッシャーを作成します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
クエリの場合	GraphQLQuery	実行する GraphQL クエリ文字列。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Data、NowDataError>	成功:GraphQL データセット。 失敗:NowDataError

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private func fetchArticles() -> AnyPublisher<[Article], ArticleListError>
 {
  guard let graphQLService = graphQLService else {
    return Fail(error: .invalidGraphQLService).eraseToAnyPublisher()
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  return graphQLService.publisher(for: GraphQLQuery(query:
 recentlyPublishedQuery))
    .mapError({ dataError -> ArticleListError in
      .fetchError(dataError)
    })
    .flatMap(dataToArticleList)
    .eraseToAnyPublisher()
}
```

NowLoggingService クラス - iOS

NowLoggingService クラスは、NowSDK を使用して機能サービスにログ記録機能を提供する関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 有効な値： • debug • エラー • 致死 • log • info • なし

NowLoggingService - logger (カテゴリ:NowLogCategory 用)

指定されたフィーチャ サービスのロガーを返します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
カテゴリ用	NowLogCategory	ロガーを返す機能サービス。 有効な値： • 解析学 • チャット • coresdk • データ • SDK • Web

返される内容

タイプ	Description (説明)
ナウロギング	関連付けられたサービスのすべてのログメッセージを保存するために使用するロガー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let logging = NowLoggingService.logger(for: .chat)
…
logger.error(message: "Could not create service - service configuration
 invalid")
…
logger.debug(message: "Verifying settings…")
```

NowLoggingService:setLogLevel(_ logLevel:NowLogLevel)

目的のログ記録レベルを設定します。

注: 設定されたログレベルのしきい値を満たさないタイプの受信ログメッセージは破棄されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 有効な値： • debug • エラー • 致死 • info • なし

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
NowLoggingService.setLogLevel(.info)
```

NowPush API - iOS

NowPush API は、ユーザーが NowPush サービスインスタンスをインスタンス化できるようにするトップレベルのグローバル API です。

NowPush - makePushService(instanceUrl: URL)

指定された構成で `NowChatService` のインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
instanceUrl	URL	プッシュ通知サービスを提供する ServiceNow インスタンスの URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowPushService, NowServiceError>	成功した場合は、初期化された NowPushService オブジェクトを返します。失敗した場合は、NowServiceError オブジェクトを返します。

この例では、 `NowChatService` のインスタンスを作成する方法を示します。

```
func setup(with instanceURL: URL) -> AnyPublisher<NowService,
 ConfigurationError> {
  NowPush.makePushService(instanceUrl: instanceURL)
    .mapError { .sdkError($0) }
    .map { $0 as NowService }
    .eraseToAnyPublisher()
}
```

NowPush - makePushService(instanceUrl: URL, completion: @escaping ((Result<NowPushService, NowServiceError>) -> Void))

指定された構成で `NowPushService` のインスタンスを作成し、完了すると、指定された完了ハンドラーを呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	プッシュ通知サービスを提供する ServiceNow インスタンスの URL。
完了	@escaping ((Result<NowPushService, NowServiceError>) -> 無効)	初期化された `NowPushService` インスタンス、または初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む、呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、 `NowPushService` のインスタンスを作成する方法を示します。

```
static func setup(with instanceURL: URL,completion: @escaping
  (Result<NowPushService, NowServiceError>) → Void) {
    NowPush.makePushService(instanceUrl: instanceURL} {result in
      switch result {
      case .success(letpushService):
        completion(.success(pushService))
      case .failure(let error):
        completion(.failure(eror))
      }
    }
  }
```

NowPushPayload プロトコル

`NowPushPayload` は、 `NowSDK` フレームワーク内でプッシュ通知プロトコルを定義するために使用できる汎用プロトコルです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要件

名前	タイプ	説明
message	文字列	プッシュ通知の [*body*] フィールドにある、プッシュ通知でユーザーに表示されるメッセージ。
type	`NowPushType`:文字列、コード化可能	プッシュ通知のタイプ。 可能な値： • launch仮想エージェント

NowPushService クラス: iOS

`NowPushService` クラスは、プッシュ通知サービスとの対話を可能にする関数を提供します。

プロパティ

名前	**Description** (説明)
構成	サービスが初期化されたときに指定された構成設定。 データ型: NowServiceConfiguration

NowPushService - registerPushToken(_token: Data, pushAppName: String, environment: NowPushEnvironment, completion: @escaping (Result<Data, NowPushError>) -> Void)

現在のiOSデバイスと指定されたアプリケーションのプッシュ通知を識別するために使用されるServiceNowインスタンスに一意のトークンを登録します。

パラメーター

名前	タイプ	**Description** (説明)
_トークン	Data (データ)	登録するプッシュトークンのデータオブジェクト。これは、Apple 開発者サイトから取得したトークンです。詳細については、『 Mobile SDK 開発者ガイド - iOS』を参照してください。
プッシュアプリ名	文字列	このトークンが登録されているプッシュアプリケーションの名前。
環境	NowPushEnvironment	トークンが登録されている環境。 有効な値： • 本番 • サンドボックス
完了	@escaping (Result<Data, NowPushError>) → void	トークンの登録が試行された後に実行する完了ハンドラー。 • 成功:iOS プッシュ通知証明書。 • エラー:NowPushError - トークンを登録しようとしたときに発生したエラーに関する情報。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ decoding: デコードエラーが発生しました。 ◦ httpRequestFailure:http 呼び出しが成功しなかった場合に返される汎用エラー (2xx)。 ◦ notAuthorized:要求者に、指定されたプッシュ通知操作を実行する権限がありません。 ◦ unsupportedData:プッシュペイロードが無効です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、TestPushApp アプリケーションのプッシュ通知トークンを登録する方法を示します。

```
func registerForPushNotifications(deviceToken: Data) {
  pushService.registerPushToken(deviceToken,
      pushAppName: "TestPushApp",
      environment: environment) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }
    switch result {
      case .success:
        UserDefaults.standard.set(true, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
        self.pushRegistrationState = .registrationSuccess
      case .failure:
        UserDefaults.standard.set(false, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
        self.pushRegistrationState = .registrationFailed
    }
  }
}
```

NowPushService - unregisterPushToken(_token: Data, pushAppName: String, environment: NowPushEnvironment, completion: @escaping (Result<Data, NowPushError>) -> Void)

以前に登録したプッシュトークンを登録解除します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
_トークン	Data (データ)	登録解除するプッシュトークンのデータオブジェクト。
プッシュアプリ名	文字列	このトークンを登録解除するプッシュアプリケーションの名前。
環境	NowPushEnvironment	トークンが登録されている環境。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• 本番 • サンドボックス
完了	@escaping (Result<Data, NowPushError>) → void	トークンの登録解除が試行された後に実行する完了ハンドラー。 • 成功: API 応答データ。 • エラー: `NowPushError` - トークンの登録解除を試みたときに発生したエラーに関する情報。 可能な値： ◦ decoding: デコードエラーが発生しました。 ◦ httpRequestFailure:http 呼び出しが成功しなかった場合に返される汎用エラー (2xx)。 ◦ notAuthorized:要求者に、指定されたプッシュ通知操作を実行する権限がありません。 ◦ unsupportedData:プッシュペイロードが無効です。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この例では、TestPushApp アプリケーションに関連付けられているプッシュ通知トークンを登録解除する方法を示します。

```
func unregisterFromPushNotifications(deviceToken: Data) {
  pushService.unregisterPushToken(deviceToken, pushAppName:
 "TestPushApp", environment: environment) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }
    switch result {
      case .success:
        UserDefaults.standard.set(false, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
        self.pushRegistrationState = .unregisterSuccess
      case .failure:
        self.pushRegistrationState = .unregisterFailed
    }
  }
}
```

NowPushService - payloadFromUserInfo(_userInfo: [AnyHashable:任意])

`userInfo` のキーと値のペアを解析して `NowPushPayload` オブジェクトにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
_userInfo	[AnyHashable:任意]	プッシュ通知の一部として受信したプッシュペイロードコンテンツ。

返される内容

タイプ	Description (説明)
Result<NowPushPayload、NowPushError>	ペイロード解析の結果を返します。 • 成功: `NowPushPayload` オブジェクトを解析しました。 • エラー: `NowPushError` - 指定されたユーザーペイロードの解析中に発生したエラーに関する情報。 可能な値： ◦ decoding: デコードエラーが発生しました。 ◦ httpRequestFailure:http 呼び出しが成功しなかった場合に返される汎用エラー (2xx)。 ◦ notAuthorized:要求者に、指定されたプッシュ通知操作を実行する権限がありません。 ◦ unsupportedData:プッシュペイロードが無効です。

この例では、ユーザー ペイロードを解析する方法を示します。

```
func userNotificationCenter(_ center: UNUserNotificationCenter,
    didReceive response: UNNotificationResponse,
    withCompletionHandler completionHandler: @escaping () -> Void) {
  guard let pushService = pushService else {
    completionHandler()
    return
  }
  let userInfo = response.notification.request.content.userInfo
  _ = pushService.payloadFromUserInfo(userInfo)
    .flatMap(handleNowPushPayload)
}


func handleNowPushPayload(_ payload: NowPushPayload) -> Result<Void,
 NowPushError> {
  guard payload is NowPushVirtualAgent else {
    return .failure(NowPushError.unsupportedData)
  }
  launchVirtualAgent()
  return .success(())
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowRecord クラス - iOS

NowRecord クラスは、ServiceNowインスタンス上のテーブルのレコードを表すモデルを定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNow インスタンス内の各レコードを識別する一意の 32 文字のグローバル一意識別子 (GUID)。
fields	セット	関連レコード内のフィールド。
id	文字列	レコードの Sys_id。

NowSDK フレームワーク - iOS

NowSDK フレームワークには、さまざまな機能サービスのインスタンス化を可能にするメソッドが含まれています。

NowSDK - configure(構成:NowSDKConfiguration) throws

使用する *NowSDK* を構成します。この関数は、 Mobile SDK内のフィーチャ サービスを呼び出す前に呼び出す必要があります。

注: 渡した構成が無効な場合は、 `NowSDKError` がスローされます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成あり	NowSDK 構成	NowSDK サービスの初期化に必要な情報を含む構成。

返される内容

タイプ	Description (説明)
なし、NowSDKError	NowSDKError は、渡された構成が無効な場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let jwtUrl = URL(string: "http://13.57.38.237:8080"),
  let instanceUrl = URL(string: "https://mobilecoresdk.service-now.com")
 else {
    return
  }

// AuthorizationProvider - struct conforming to
 NowSDKAuthorizationProviding protocol
let authorizationProvider = AuthorizationProvider(userEmail:
 "sdk@servicenow.com", jwtProviderUrl: jwtUrl, clientId:
 "deb8756b452d201039231ca568f26511")

// PermissionProvider - class conforming to DevicePermissionDelegate
 protocol
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
let permissionProvider = PermissionProvider()
let config = NowSDKConfiguration(authorizationProvider:
 authorizationProvider, permissionDelegate: permissionProvider,
 logLevel: .debug)

do {
  try NowSDK.configure(with: config)
            …
} catch {
   print("error is \(error.localizedDescription)")
}
```

NowSDK - core()

SDK コアサービスへの参照を返します。

注: ホスト アプリケーションは、この関数を呼び出す必要はありません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
オブジェクト	NowSDK - configure(構成:NowSDKConfiguration) throws メソッドを呼び出して SDK が初期化された場合は、*NowCoreServiceProviding* プロトコルに準拠するオブジェクトが返されます。それ以外の場合は `nil` です。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard let coreService = NowSDK.core() else {
  // Error with NowServiceError.sdkNotConfigured
  return
}
```

NowSDK - makeServiceConfiguration(instanceUrl:URL 用)

機能サービスが n 個の NowServiceConfiguration オブジェクトを構築するために使用できる便利な関数。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスがアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowServiceConfiguration	指定された URL が基本的な有効性チェックに合格し、サービス構成を適切に構築できる場合は、NowServiceConfiguration オブジェクトを返します。そうでなければ `nil` です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let instanceUrl = URL(string: "https://mobilecoresdk.service-now.com"),
  let serviceConfig = NowSDK.makeServiceConfiguration(for: instanceUrl)
 else {
    logger.error(message: "Could not create service - service
 configuration invalid")
    return
  }
```

NowSDKConfiguration クラス - iOS

NowSDKConfiguration クラスには、NowSDK の初期化に必要な構成情報が含まれています。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
認証プロバイダー	NowSDKソフトウェアの提供	要求に応じて NowSDK に認証トークンを提供するデリゲートオブジェクト。
logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 有効な値： • debug • エラー • 致死 • info • なし
permisionDelegate	DevicePermissionDelegate	ホストアプリケーションからの権限を要求するために NowSDK によって呼び出されるデリゲートオブジェクトで、指定されたデバイス権限を要求するシステムダイアログを表示します。

NowSDKConfiguration - init(authorizationProvider: NowSDKAuthorizationProviding, permissionDelegate: DevicePermissionDelegate, logLevel: NowLogLevel)

NowSDKConfiguration オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
認証プロバイダー	NowSDKソフトウェアの提供	要求に応じて NowSDK に認証トークンを提供する役割を担う委任オブジェクト。
permissionDelegate	DevicePermissionDelegate	ホストアプリケーションからの権限を要求するために NowSDK によって呼び出されるデリゲートオブジェクトで、指定されたデバイスの権限を要求するためのシステムダイアログを表示します。例：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		`class PermissionProvider: DevicePermissionDelegate { func canRequestPermission(_ permission: DevicePermission) → Bool { return true } }`
logLevel	NowLogLevel	関連するロガーが保存するログメッセージのレベル。 これにより、コアサービスロガーのロギングレベルが設定されます。*NowLoggingService* API を使用して、サービスのログ レベルを設定することもできます。 有効な値： • debug • エラー • 致死 • info • なし

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let instanceUrl = URL(string: "https://sn-instance.service-now.com")
 else {
  return
}

NowServiceConfiguration(instanceUrl: instanceUrl, appBundleId:
 "com.servicenow.appBundle")
```

NowService プロトコル - iOS

NowService プロトコルは、すべての機能サービスに対して NowSDK への単一のインターフェイスを提供します。ServiceNowインスタンスにアクセスするために必要な設定パラメーターを定義します。

すべての SDK 機能サービスは、このプロトコルを実装する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	プロトコルに関連付けるサービス構成。

NowServiceConfiguration 構造体 - iOS

NowServiceConfiguration 構造体は、フィーチャ サービスの構成情報を定義します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
appBundleID	文字列	NowSDK と統合するアプリケーションのバンドル ID。
instanceUrl	文字列	フィーチャ サービスがアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例:https://instance.servicenow.com。

NowServiceConfiguration - init(instanceUrl: URL, appBundleId: String)

指定した構成情報を使用して、呼び出し元のフィーチャ サービスを構成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
instanceUrl	文字列	フィーチャ サービスがアクセスする ServiceNow インスタンスの URL。例:https://instance.servicenow.com。
appBundleID	文字列	NowSDK と統合するアプリケーションのバンドル ID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
guard
  let instanceUrl = URL(string: "https://instance.service-now.com") else
 {
    return
  }

NowServiceConfiguration(instanceUrl: instanceUrl, appBundleId:
 "com.servicenow.appBundle")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowTableService クラス - iOS

NowTableService クラスは、既存のServiceNowテーブルのレコードに対して作成、読み取り、更新、および削除操作を実行できる関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスが初期化されたときに指定された構成設定。

NowTableService - create<Model: SysIdentifiableModel>(_ model: Model, in tableName: String, coder: coder, writeOptions: FieldWriteOptions, configuration: FetchConfiguration) async throws

指定されたコード化可能モデルを指定されたテーブルに挿入します。

モデル別に新しいレコードを作成するには、モデルが `SysIdentifiableModel` プロトコルに準拠している必要があります。通常、各テーブルには独自のモデルがあります。

*sysId*はServiceNowプラットフォームによって生成されるため、モデルの*sys_Id*パラメーターは作成時に無視されます。ServiceNowプラットフォームで生成された*sys_Id*は、*completion*ハンドラーの結果モデルに返されます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	SysIdentifiableModel	テーブルに挿入するフィールドのモデル定義。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
モデル	メソッドが成功したときに返されます。指定されたテーブルに挿入されたコード化可能モデル (sys_Idを含む)。このsys_idを使用して、今後のメソッド呼び出しでこのレコードを参照します。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
    var sysId: String = ""
    var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
do {
    let result = try await service.create(user, in: “sys_user”)
} catch {
    ...
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowTableService - create<Model: SysIdentifiableModel>(_ model: Model, in tableName: String, coder: Coder, writeOptions: FieldWriteOptions, configuration: FetchConfiguration, completion: @escaping (Result<Model, NowDataError>))

指定された Codable モデルを指定されたテーブルに挿入し、 *completion* ハンドラーを実行します。

モデル別に新しいレコードを作成するには、モデルが `SysIdentifiableModel` プロトコルに準拠している必要があります。通常、各テーブルには独自のモデルがあります。例：

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
service.create(Incident(fields: fields), in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: fetchConfiguration) { [weak self] result in
  switch result {
  case .success(let newUser):
    /// 'newUser' contains the platform assigned 'sys_id', use in
 subsequent 'update' or 'delete' calls.
  case .failure(let error):
      ...
  }
}
```

*sysId*はServiceNowプラットフォームによって生成されるため、モデルの*sys_Id*パラメーターは作成時に無視されます。ServiceNowプラットフォームで生成された*sys_Id*は、*completion*ハンドラーの結果モデルに返されます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	SysIdentifiableModel	テーブルに挿入するフィールドのモデル定義。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)

		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (Result<Model, NowDataError>)	指定された復号可能モデルの作成後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:モデル:作成されたモデルタイプのデータ。 • 失敗:NowDataError ◦ `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ▪ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ `cannotDecodeModel(デコードエラー)` ▪ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
service.create(Incident(fields: fields), in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: fetchConfiguration) { [weak self] result in
  switch result {
  case .success(let newUser):
    /// 'newUser' contains the platform assigned 'sys_id' to use in
 subsequent update or delete calls.
  case .failure(let error):
   ...
  }
}
```

NowTableService - create<Model: SysIdentifiableModel>(model: Model, in tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FetchConfiguration = nil)

指定されたテーブルに 1 つのコード化可能モデルを挿入します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

モデル別に新しいレコードを作成するには、モデルが `SysIdentifiableModel` プロトコルに準拠している必要があります。通常、各テーブルには独自のモデルがあります。例：

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
service.create(Incident(fields: fields), in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: fetchConfiguration) { [weak self] result in
  switch result {
  case .success(let newUser):
    /// 'newUser' contains the platform assigned 'sys_id', use in
 subsequent 'update' or 'delete' calls.
  case .failure(let error):
      ...
  }
}
```

注: モデルの *sys_Id* パラメータは作成時に無視されます。*sysId*はServiceNowプラットフォームによって割り当てられます。ServiceNowプラットフォームで生成された*sys_Id*は、パブリッシャの`receiveValue`コールバックモデルで返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	SysIdentifiableModel	テーブルに挿入する `SysIdentifiableModel` モデル。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
path	文字列	オプション。ネストされた型のドット区切りパス。たとえば、 より 深い入れ子の場合は `result` または `foo.bar.baz` です。 デフォルト: `Constants.resultPath`

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Model,NowDataError>	成功:指定されたテーブルに挿入されたコード化可能モデル (*sys_id*を含む)。このsys_idを使用して、今後のメソッド呼び出しでこのレコードを参照します。 失敗:NowDataError @escaping (Result<Model, NowDataError>)

ユーザー [sys_user] テーブルに単一のレコードを挿入する方法を示します。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
let publisher: AnyPublisher<User, NowDataError> = service.create(user,
 in: "sys_user")
publisher
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { [weak self] completion in
    ...
  } receiveValue: { [weak self] newUser in
     /// 'newUser' contains the ServiceNow platform assigned 'sys_id' to
 use in subsequent update and delete calls.
    ...
  }
  .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil) 非同期スロー

指定されたフィールドを含む指定されたテーブルにレコードを挿入します。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	説明
Data (データ)	メソッドが成功したときに返されます。新規レコードを含むデータオブジェクト。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)` ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let dataResult: Data = try await tableService.createRecord(with:
 fields, in: tableName, writeOptions: writeOptions, configuration:
 configuration)
    let recordResult: NowRecord = dataResult.convertToRecord()
} catch {
    print("Record creation failed with NowDataError: \(error)")
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions, configuration: FieldReadConfiguration, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>)

指定されたテーブルに指定されたレコードを挿入し、レコードが保存された後に *completion* ハンドラーを実行します。

必要に応じて、戻り値をカスタム Codable モデルにデコードするか、代わりに関数 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) を使用できます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myResult.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FieldReadConfiguration	オプション。返すフィールドとフィールドに含める内容を指定する構成オプション。 デフォルト:nil
完了	@escaping (結果<データ、NowDataError>)	レコードを取得した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:データ:要求されたレコード • エラー:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *`EncodingError`*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
let fields = ["short_description" : "test description"]
let writeOptions: FieldWriteOptions =
 [.suppressAutoSysField, .treatInputValuesAsDisplayValues]
let readConfiguration = FieldReadConfiguration(includeFields: ["number",
 "short_description"])

tableService.createRecord(with: fields, in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: readConfiguration) { [weak self] result in
  switch result {
    case .success(let dataResult):
      let recordResult: NowRecord = dataResult.convertToRecord()
    case .failure(let error):
       print("Record creation failed with NowDataError: \(error)")
  }
}
```

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil)

指定されたフィールドを含む指定されたテーブルにレコードを挿入します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Data、NowDataError>	成功:更新されたレコードを含むデータオブジェクト。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、指定されたテーブルに指定されたフィールドを使用してレコードを挿入する関数を作成する方法を示します。呼び出しの出力は ByteArray で、データを任意のモデルに変換できます。

```
tableService.createRecord(with: fields, in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: readConfiguration)
    .subscribe(on: DispatchQueue.global())
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .convertToRecord()
    .sink { completion in
        if case let .failure(error) = completion {
            print("Record creation failed with NowDataError: \(error)")
        }
    } receiveValue: { record in
        print("Created NowRecord: \(record)")
    }
    .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - delete(_ model: Model, from tableName: String) async throws

指定されたコード化可能モデルを指定されたテーブルから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
モデル	モデル	テーブルから削除する `SysIdentifiableModel`。削除するレコードのsys_idが含まれている必要があります。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	メソッドが成功したときには何も返されません。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    try await tableService.delete(model, from: tableName)
    print("Deletion successful.")
} catch {
    print("Deletion failed with NowDataError: \(error)")
}
```

自動翻訳

NowTableService - delete(_ model: Model, from tableName: String, completion: @escaping (Result<Void, NowDataError>))

指定されたテーブルから指定された Codable モデルを削除し、適切な *`completion`* ハンドラーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	モデル	テーブルから削除する `SysIdentifiableModel`。削除するレコードのsys_idが含まれている必要があります。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。
完了	@escaping (結果<無効、NowDataError>)	指定されたコード化可能モデルを削除した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:何も返されませんでした • 失敗:NowDataError

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
tableService.delete(Incident(sysId: sysId), from: tableName) { [weak
 self] result in
  switch result {
    case .success:
      // Delete successfully
    case .failure(let error):
      // Failed to delete with NowDataError
  }
}
```

NowTableService - delete(_ model: Model, from tableName: String)

指定されたコード化可能モデルを指定されたテーブルから削除します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
モデル	モデル	テーブルから削除する `SysIdentifiableModel`。削除するレコードのsys_idが含まれている必要があります。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Void、NowDataError>	成功:何も返されませんでした 失敗:NowDataError • `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ◦ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
tableService.delete(Incident(sysId: sysId), from: tableName)
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { [weak self] completion in
    switch completion {
      case .finished:
        // Delete successfully
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      case .failure(let error):
        // Failed to delete with NowDataError
    }
  } receiveValue: { _ in
  }
  .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - deleteRecord(sysId: SysID, from tableName: String) async throws

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除するレコードの sys_id。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	メソッドが成功したときには何も返されません。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    try await tableService.deleteRecord(sysId: sysId, from: tableName)
    print("Deletion successful.")
} catch {
    print("Deletion failed with NowDataError: \(error)")
}
```

NowTableService - deleteRecord(sysId: SysID, from tableName: String, completion: @escaping (Result<Void, NowDataError>))

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除し、レコードが削除された後に *completion* オブジェクトを実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId	文字列	削除するレコードの sys_id。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。
完了	@escaping (結果<無効、NowDataError>)	成功:何も返されません。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		• 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
tableService.deleteRecord(sysId: sysId, from: tableName) { [weak self]
 result in
  switch result {
    case .success:
      // Delete successfully
    case .failure(let error):
      // Failed to delete with NowDataError
  }
}
```

NowTableService - deleteRecord(sysId: SysID, from tableName: String)

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	削除するレコードの sys_id。
テーブル名から	文字列	*incident* などの情報の削除元のテーブルの名前。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Void、NowDataError>	成功:何も返されませんでした 失敗:NowDataError • `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ◦ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • `cannotDecodeModel(デコードエラー)` ◦ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)` ◦ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、指定したテーブルのレコードを削除する関数を作成する方法を示します。

```
tableService.deleteRecord(sysId: sysId, from: tableName)
    .subscribe(on: DispatchQueue.global())
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .sink { completion in
        switch completion {
        case .finished:
            print("Record deleted.")
        case .failure(let error):
            print("Deletion failed with NowDataError: \(error)")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
    } receiveValue: { _ in }
    .store(in: &subscriptions)
```

NowServiceTable - init(configuration: NowServiceConfiguration, coreServiceProvider: NowCoreServiceProviding? = nil)

NowTableService オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	サービスの作成時に使用する設定パラメーター。
coreServiceProvider	NowCoreServiceOffering	オプション。NowTableService に関連付けるサービスプロバイダー。 デフォルト:nil

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
guard let coreService = NowSDK.core() else {
  // Error with NowServiceError.sdkNotConfigured
  return
}

guard
  let instanceUrl = URL(string: "http://sample.service-now.com") ,
  let serviceConfig = NowSDK.makeServiceConfiguration(for: instanceUrl)
 else {
    // Could not create service -
    // NowServiceError.serviceConfigurationInvalid
    return
  }
let tableService = NowTableService (configuration: serviceConfig,
 coreServiceProvider: coreService)
```

NowTableService - model<Model: Decodable>(with sysId: SysID? = nil, from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 非同期スロー

指定されたテーブルから復号化可能なモデルを取得できるようにします。

テーブル API 応答は、次のような *result* パラメーター内にネストされます。

```
{
  "result": [
    { "name": "Ash Williams" },
    { "name": "Lionel Cosgrove" },
    { "name": "Laurie Strode" }
  ]
}
```

結果セットが大きい場合は、ページネーションされたモデルをフェッチするために、NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) または NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) のいずれかのページネーター関数を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId あり	SysID	オプション。返されるレコードの sys_id。特定のレコードを取得する場合は、sys_idを入力します。 デフォルト:nil
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
path	文字列	ネストされた型のドット区切りパス。たとえば、 `より` 深い入れ子の場合は `result` または `foo.bar.baz` です。 デフォルト: `result`

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用する`コーダー`。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスの`ロケール`と`タイムゾーン`を使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		`カスタム` コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
モデル	メソッドが成功したときに返されます。復号化可能なモデル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
struct User: Codable {
    var name: String
}

let service: NowTableService = ...
do {
    let result = try await service.model([User].self, from: "sys_user",
 path: "result")
    print("Fetched \(users.count) users")
} catch {
    dump(error)
}
```

次のコード例は、1 つの復号化可能なモデルを sys_id でフェッチする方法を示しています。`[User].self` ではなく `User.self` など、単一のモデルタイプを使用します。

```
let result = try await service.model(User.self, with:
 "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005", from: "sys_user", path: "result")
```

NowTableService - model<Model: Decodable>(_ type: Model.Type, with sysId: SysID? = nil, from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: Coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil, completion: @escaping (Result<Model, NowDataError>))

指定されたテーブルから復号化可能なモデルを取得します。

`テーブル` API 応答は、次のような *`result`* パラメーター内にネストされます。

```
{
  "result": [
    { "name": "Ash Williams" },
    { "name": "Lionel Cosgrove" },
    { "name": "Laurie Strode" }
  ]
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この関数を使用して、入れ子になった出力の代わりに復号化可能なモデルを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
type	Model.Type	デコードする値のタイプ。
sysId あり	文字列	オプション。返されるレコードの sys_id。 デフォルト: *configuration* 設定に従って返されるすべてのレコード。
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
path	文字列	オプション。ネストされた型のドット区切りパス。たとえば、 より深い入れ子の場合は `result` または `foo.bar.baz` です。 デフォルト: `Constants.resultPath`
コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。 デフォルト: `.default`
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (Result<Model, NowDataError>)	指定された復号可能モデルを取得した後に実行する完了ハンドラー。 完了ハンドラーの戻り値: • 成功:要求されたモデルタイプのデータ。 • 失敗:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ network(NetworkServiceError) ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

デコードされた *User* モデルのコレクションを取得します。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
    var sysId: String = ""
    var name: String
}
let service: NowTableService = ...
let user = User(name: "Ash Williams")
service.create(Incident(fields: fields), in: tableName, writeOptions:
 writeOptions, configuration: fetchConfiguration) { [weak self] result in
  switch result {
  case .success(let newUser):
    /// 'newUser' contains the platform assigned 'sys_id', use in
 subsequent 'update' or 'delete' calls.
  case .failure(let error):
   ...
 }
}
```

単一の復号化可能モデルをsys_idでフェッチするには、`[User].self` ではなく `User.self` などの単一のモデルタイプを使用します。

```
service.model(User.self, with: "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005", from:
 "sys_user", path: "result") { resultin ... }
```

NowTableService - model<Model: Decodable>(with sysId: SysID? = nil, from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil)

指定されたテーブルから復号化可能なモデルを取得できるパブリッシャーを作成します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

`テーブル` API 応答は、次のような *result* パラメーター内にネストされます。

```
{
  "result": [
    { "name": "Ash Williams" },
    { "name": "Lionel Cosgrove" },
    { "name": "Laurie Strode" }
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  ]
}
```

結果セットが大きい場合は、ページネーションされたモデルをフェッチするために、NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) または NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) のいずれかのページネーター関数を使用します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
sysId あり	SysID	オプション。返されるレコードの sys_id。特定のレコードを取得する場合は、sys_idを入力します。 デフォルト:nil
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
path	文字列	ネストされた型のドット区切りパス。たとえば、 `より` 深い入れ子の場合は `result` または `foo.bar.baz` です。 デフォルト: `result`

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用する`コーダー`。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスの`ロケール`と`タイムゾーン`を使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		`カスタム` コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Model、NowDataError>	成功:パブリッシャーがデコード可能なモデルを返します。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

`[Users].self` など、デコードされたユーザー モデルを型別に提供するパブリッシャーを取得するには、ドット区切りのパスを指定してモデルをフェッチします。

```
struct User: Codable {
  varname: String
}

let service: NowTableService = ...
let publisher: AnyPublisher<[User], NowDataError> = service.model(from:
 "sys_user", path: "user.photos.gps_location")
```

単一の復号可能モデルをsys_idでフェッチするには、`[User].self` ではなく単一の `User.self` モデルタイプを使用します。

```
let publisher: AnyPublisher<User, NowDataError> = service.model(with:
 "5137153cc611227c000bbd1bd8cd2005", from: "sys_user", path: "result")
```

NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil)

レコードのページを反復処理できるページネーターを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ページネーターの publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

注: *configuration* パラメーターでオーバーライドされない限り、ページネーターはページごとに 20 個のアイテムを返します。ACL 評価によっては、ページでフェッチされるアイテムの実際の数がデフォルト値または構成値よりも少なくなる場合があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
paginator<data>	成功:指定されたレコードを含むページネーターオブジェクト。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

```
private var tableService: NowTableService?
// Paginator creation uses type inference to determine the response type.
private var paginator: Paginator<[CustomerServiceCase]>?

func initializeTableService(for instanceUrl: URL) {
  makeTableService(instanceUrl: instanceUrl) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    switch result {
    case .success(let tableService):
      self.tableService = tableService
      // Create a paginator that iterates over pages of customer support
 cases. The paginator's response type is
      // inferred from the paginator's type definition (e.g.
 `Paginator<[CustomerServiceCase]>`).
      self.paginator = tableService.paginator(from: Self.tableName,
 configuration: self.fetchConfiguration)
      // Subscribe to the paginator's publisher so you are able to
 receive paged results.
      self.subscribeToPaginatorPublisher()
      // Ready to start fetching data, inform the view controller.
      self.onReady(self)
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating table service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
      self.tableService = nil
      self.paginator = nil
    }
  }
}
```

NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil)

ネストを処理するデコードされたモデルのページの反復を可能にするページネータを作成します。

ServiceNow REST *Table* API 応答は、次のような result プロパティ内にネストされます。

```
{
  "result": [
    { "name": "Ash Williams" },
    { "name": "Lionel Cosgrove" },
    { "name": "Laurie Strode" }
  ]
}
```

デコードされたUserモデルを提供するページネータを取得するには、ドットで区切られたパスを指定してページネータをフェッチします。この場合は *result* です。

```
struct User: Codable {
  varname: String
}

let service: NowTableService = ...
let paginator: Paginator<[User]> = service.paginator(from: "sys_user",
 path: "result")
```

注: *configuration* パラメーターでオーバーライドされない限り、ページネーターはページごとに 20 個のアイテムを返します。ACL 評価によっては、ページでフェッチされるアイテムの実際の数がデフォルト値または構成値よりも少なくなる場合があります。

Paginatorオブジェクトを取得したら、そのCombine Publisherをサブスクライブしてデータの受信を開始します。

```
paginator.publisher
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  .sink { … }
  .store(in: &subscriptions)
```

注: すべての Combine サブスクリプションと同様に、予期しない結果を避けるために、サブスクリプションは必ず保持してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
path	文字列	ネストされた型のドット区切りパス。たとえば、より深いネストの場合は `result` や `result.user.photos` などです。カスタムパスを指定すると、ネストされたデータをフェッチまたは反復処理できます。 デフォルト: `result`

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイムゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	**Description** (説明)
paginator<data>	成功:ページングされた `デコナブル` モデルを含むページネータオブジェクト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、デコードされた User モデルを提供する Paginator オブジェクトを取得する方法を示します。目的のPaginatorオブジェクトを取得するには、Userモデル([User])のコレクションを返すようにコンパイラにヒントを与え、ユーザーが結果パスの下にネストされていることをPaginatorオブジェクトに通知します。

```
struct User: Codable {
  var name: String
}

let service: NowTableService = ...
let paginator: Paginator<[User]> = service.paginator(from: "sys_user",
 path: "result")
```

注: *`Table`* API は常に結果パスの下に入れ子になった結果を返すため、*`path`*パラメーターを安全に削除できます。

NowTableService - record(with sysId: SysID, from tableName: String, configuration: FieldReadConfiguration? = nil) async throws

ServiceNowインスタンスの指定されたテーブルから指定されたレコードを取得します。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *`convertToRecords()`* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	説明
Data (データ)	メソッドが成功したときに返されます。指定されたレコードを含むデータオブジェクト。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。 • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func fetchTableRecord(sysId: String, tableName: String, includeFields:
 [FieldName] = [FieldName](), readOptions: FieldReadConfiguration.Options
 = []) async throws -> NowRecord {
    let readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields: includeFields,
 options: readOptions)
    do {
        let dataResult: Data = try await tableService.record(with: sysId,
 from: tableName, configuration: configuration)
        let recordResult: NowRecord = dataResult.convertToRecord()
        return recordResult
    } catch {
        print("Fetch failed with NowDataError: \(error)")
        throw error
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowTableService - record(with sysId: SysID, from tableName: String, configuration: FieldReadConfiguration, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>)

指定されたテーブルから指定されたレコードを取得し、レコードが取得された後に完了ハンドラーを実行します。

必要に応じて、戻り値をカスタム Codable モデルにデコードするか、代わりに関数 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) を使用できます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myResult.convertToRecords()
```

結果セットが大きい場合は、 NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用してページネーションされた結果をフェッチします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (結果<データ、NowDataError>)	レコードを取得した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:データ:要求されたレコード • エラー:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func fetchTableRecords( tableName: String, filterQuery: String,
 includeFields: [FieldName] = [FieldName](), readOptions:
 FieldReadConfiguration.Options = [], limit: Int?) {
  let readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields: includeFields,
 options: readOptions)
  let config = FetchConfiguration(Filter(query: filterQuery), limit,
 readConfig)
  tableService.records (from: tableName, configuration:
 fetchConfiguration) { [weak self] result in
    switch result {
      case .success(let dataResult):
        let recordResult: [NowRecord] = dataResult.convertToRecords()
        // Return recordResult

      case .failure(let error):
        // Failed to fetch record with NowDataError
    }
  }
}
```

NowTableService - record(with sysId: SysID, from tableName: String, configuration: FieldReadConfiguration? = nil)

ServiceNowインスタンスの指定されたテーブルから指定されたレコードを取得するパブリッシャーを作成します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	**Description** (説明)
AnyPublisher<Data、NowDataError>	成功:指定されたレコードを含むデータオブジェクト。 失敗:NowDataError • `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ◦ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • missingSysID 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • network(NetworkServiceError) ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、指定されたテーブルから指定されたフィールドを使用して、指定されたレコードを取得する関数を作成する方法を示します。呼び出しの出力は ByteArray で、データを任意のモデルに変換できます。

```
tableService.record(with: sysId, from: tableName, configuration:
 fetchConfiguration)
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    .subscribe(on: DispatchQueue.global())
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .convertToRecord()
    .sink { completion in
        if case let .failure(error) = completion {
            print("Record retrieval failed with NowDataError: \(error)")
        }
    } receiveValue: { record in
        print("Successfully retrieved record: \(record)")
    }
    .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - records(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) async throws

指定されたテーブルからレコードを取得します。

ザ publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

結果セットが大きい場合は、 NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用してページネーションされた結果をフェッチします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	説明
Data (データ)	メソッドが成功したときに返されます。指定されたレコードを含むデータオブジェクト。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func fetchTableRecords( tableName: String, filterQuery: String,
 includeFields: [FieldName] = [FieldName](), readOptions:
 FieldReadConfiguration.Options = [], limit: Int?) {
    let readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields: includeFields,
 options: readOptions)
    let config = FetchConfiguration(Filter(query: filterQuery), limit,
 readConfig)
    do {
      let dataResult: Data = try await tableService.records(from:
 tableName, configuration: config)
      let recordResult: [NowRecord] = dataResult.convertToRecords()
      // return recordResult
    } catch {
      print("Fetch failed with NowDataError: \(error)")
      throw error
  }
}
```

NowTableService - records(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>))

指定されたテーブルからレコードを取得し、レコードを取得した後に *completion* ハンドラーを実行します。

必要に応じて、戻り値をカスタム Codable モデルにデコードするか、代わりに関数 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) を使用できます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myResult.convertToRecords()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果セットが大きい場合は、 NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用してページネーションされた結果をフェッチします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (結果<データ、NowDataError>)	レコードを取得した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:データ:要求されたレコード • エラー:NowDataError ◦ `accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー)` ▪ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ `cannotDecodeModel(デコードエラー)` ▪ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)` ▪ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		◦ cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
func fetchTableRecords( tableName: String, filterQuery: String,
 includeFields: [FieldName] = [FieldName](), readOptions:
 FieldReadConfiguration.Options = [], limit: Int?) {
  let readConfig = FieldReadConfiguration(includeFields: includeFields,
 options: readOptions)
  let config = FetchConfiguration(Filter(query: filterQuery), limit,
 readConfig)
  tableService.records (from: tableName, configuration:
 fetchConfiguration) { [weak self] result in
    switch result {
      case .success(let dataResult):
        let recordResult: [NowRecord] = dataResult.convertToRecords()
        // return recordResult

      case .failure(let error):
        // Failed to fetch record with NowDataError
    }
  }
}
```

NowTableService - records(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil)

指定したテーブルからレコードを取得できるパブリッシャーを作成します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

結果セットが大きい場合は、 NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用してページネーションされた結果をフェッチします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル名から	文字列	レコードの取得元となるテーブルの名前 (*incident* など)。
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Data、NowDataError>	成功:指定されたレコードを含むデータオブジェクト。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、指定したテーブルから複数のレコードをフェッチする関数を作成する方法を示します。これは、将来のある時点で実行されるように要求をスケジュールし、ByteArray応答を返すオブジェクトを作成します。

```
tableService.records(from: tableName, configuration: fetchConfiguration)
    .subscribe(on: DispatchQueue.global())
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .convertToRecords()
    .sink { completion in
        if case let .failure(error) = completion {
            print("Record retrieval failed with NowDataError: \(error)")
        }
    } receiveValue: { records in
        print("Successfully retrieved records: \(records)")
    }
    .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - update<Model: SysIdentifiableModel>(_ model: Model, in tableName: String, coder: coder = .default, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FetchConfiguration? = nil) async throws

指定されたテーブル内の指定されたコード化可能モデルを更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	モデル	テーブルで更新する `SysIdentifiableModel` モデル。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
モデル	メソッドが成功したときに返されます。指定されたテーブルで更新された復号化可能なモデル。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
    var sysId: String = ""
    var name: String}

func updateUser(user: User) async throws -> User {
    do {
        let result = try await tableService.update(user, in: “sys_user”)
        return result
    } catch {
        print("Update failed with NowDataError: \(error)")
        throw error
    }
}
```

NowTableService - update<Model: SysIdentifiableModel>(_ model: Model, in tableName: String, coder: Coder = .default, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FetchConfiguration? = nil, completion: @escaping (Result<Model, NowDataError>))

指定されたテーブル内の指定された Codable モデルを更新し、 *completion* ハンドラーを実行します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	モデル	テーブルで更新する `SysIdentifiableModel` モデル。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用する`コーダー`。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)

		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		`カスタム` コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		デフォルト:.default

書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (Result<Model, NowDataError>)	指定されたコード化可能モデルを更新した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:モデル • 失敗:NowDataError ◦ `accessToken`(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *`AccessTokenProviderError`*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *`HTTPStatusCode`*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ `cannotDecodeModel(デコードエラー)` ▪ *`DecodingError`*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)` ▪ *`type`*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *`from`*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)` ▪ *`EncodingError`*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled ▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let user = User(sysId: "12345", name: "abel")
let coder: Coder = .default

tableService.update(user, in: "sys_user") { [weak self] result in
  switch result {
    case .success(let model):
      do {
        let data = try coder.jsonEncoder.encode(model)
        self?.publish(data: data)
      } catch {
        self?.publish(result: .failure(error))
      }
    case .failure(let error):
      // Failed to update with NowDataError
      self?.publish(result: .failure(error))
  }
}
```

NowTableService - update<Model: SysIdentifiableModel>(_ model: Model, in tableName: String, coder: Coder = .default, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FetchConfiguration? = nil)

指定されたテーブルの指定されたコード可能モデルを更新します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
モデル	モデル	テーブルで更新する `SysIdentifiableModel` モデル。
tableName 内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。

コーダー	コーダー	オプション。ServiceNow インスタンスとの間で送受信されるデータのエンコードまたはデコードに使用するコーダー。
		
		可能な値：
		• default: 既定のエンコーダーは、デバイスのロケールとタイム ゾーンを使用して、`yyy-MM-dd HH:mm:ss` 形式を使用して日付を書式設定します。
		• custom(JSONEncoder, JSONDecoder):
		
		カスタム コーダーを使用して、JSON のデコード/エンコードをよりきめ細かく制御します。
		
		この列挙は、特別な日付形式、タイムゾーン、またはロケールを使用する場合など、独自の `JSONEncoder` と `JSONDecoder`を指定する場合にのみ使用してください。
		`let myEncoder = JSONEncoder()`
		`myEncoder.dateFormat = …`
		`let myDecoder = JSONDecoder()`
		`myDecoder.dateFormat = …`
		`let coder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)`
		
		デフォルト:.default

書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Model、NowDataError>	成功:指定されたテーブルで更新されたデコード可能なモデル。 失敗:NowDataError

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
struct User: SysIdentifiableModel {
  var sysId: String = ""
  var name: String
}

let user = User(sysId: "12345", name: "abel")
let coder: Coder = .default

tableService.update(user, in: "sys_user")
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { [weak self] completion in
    if case let .failure(error) = completion {
      // Failed to update with NowDataError
      self?.publish(result: .failure(error))
    }
  } receiveValue: { [weak self] updatedModel in
    do {
      let data = try coder.jsonEncoder.encode(updatedModel)
      self?.publish(data: data)
    } catch {
      // Failed to update with NowDataError
      self?.publish(result: .failure(error))
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
  .store(in: &subscriptions)
```

NowTableService - updateRecord(sysId: SysID, in tableName: String, withfields: [FieldName: FieldValue], writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil) async throws

指定されたレコードを指定されたフィールドで更新します。

データをカスタム Codable モデル に復号化することも、関数 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) を使用することもできます。または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	説明
Data (データ)	メソッドが成功したときに返されます。更新されたレコードを含むデータオブジェクト。
NowDataError	メソッドが失敗したときにスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • attachmentValidation 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • badResponse(statusCode: HTTPStatusCode) ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • cannotParseResponse インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な URL URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • missingAttachmentMetadata 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • missingServiceConfiguration 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	説明
	• `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled ◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let dataResult: Data = try await tableService.updateRecord(with:
 fields, in: tableName, writeOptions: writeOptions, configuration:
 configuration)
    let recordResult: NowRecord = dataResult.convertToRecord()
} catch {
    print("Record update failed with NowDataError: \(error)")
}
```

NowTableService - updateRecord(sysId: SysID, in tableName: String, with fields: [FieldName: FieldValue], writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>)

指定されたフィールドで指定されたレコードを更新し、レコードが保存されたら *`completion`* ハンドラーを実行します。

必要に応じて、戻り値をカスタム Codable モデルにデコードするか、代わりに関数 NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) を使用できます。 または、便利な関数 *`convertToRecords()`* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myResult.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。
完了	@escaping (結果<データ、NowDataError>)	レコードを取得した後に実行する完了ハンドラー。 戻り値: • 成功:データ:要求されたレコード • エラー:NowDataError ◦ accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ▪ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 ◦ `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 ◦ `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ▪ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます ◦ cannotDecodeModel(デコードエラー) ▪ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列)` ▪ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ▪ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotEncodeModel(エンコーディングエラー)` ▪ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 ◦ `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 ◦ 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 ◦ `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 ◦ `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 ◦ `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 ◦ `network(NetworkServiceError)` ▪ genericError(文字列) ▪ operationCanceled ▪ serviceDisabled

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		▪ serverError(エラー) ▪ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
tableService.updateRecord(sysId: sysId, in: tableName, with: fields,
 writeOptions: writeOptions, configuration: readConfiguration) { [weak
 self] result in
  switch result {
    case .success(let data):
      self?.publish(data: data)
    case .failure(let error):
       // Failed to update with NowDataError
  }
}
```

NowTableService - updateRecord(sysId: SysID, in tableName: String, withfields: [FieldName: FieldValue], writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil)

指定されたレコードを指定されたフィールドで更新します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

publisher は、カスタム Codable モデル にデコードできるデータを出力するか、NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil) 関数を使用することもできます。 または、便利な関数 *convertToRecords()* を使用して、データを NowRecord オブジェクトに変換することもできます。NowRecords を出力するように発行元を変換する方法を次に示します。。

```
let dataPublisher: AnyPublisher<Data, NowDataError> = ...
let recordsPublisher: AnyPublisher<[NowRecord], NowDataError> =
 myPublisher.convertToRecords()
```

注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、プリフィックスが `sys_` のフィールドは、通常、自動的に生成され、更新できないシステムパラメーターです。指定されておらず、システムによって自動生成されていないフィールドは、関連するデータタイプの NULL 値に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
sysId	文字列	ServiceNowインスタンスから返されるレコードのSys_id。
フィールドあり	[FieldName:FieldValue]	レコードに含めるフィールドの名前と値のペア。
tableName内	文字列	レコードを書き込むテーブルの名前 (インシデントなど)。
書き込みオプション	フィールド書き込みオプション	オプション。レコードに書き込まれるデータに適用する構成オプション。 デフォルト:nil
構成	FetchConfiguration	オプション。返されるレコード、ページネーションページのサイズ制限、取得するフィールド、フィールドに含めるものを定義するフィルターなど、取得したレコードに適用する構成。 デフォルト:nil - すべてのレコードが返されます。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<Data、NowDataError>	成功:更新されたレコードを含むデータオブジェクト。 失敗:NowDataError • accessToken(アクセストークンプロバイダーエラー) ◦ *AccessTokenProviderError*:アクセストークンプロバイダーのエラーコードまたはメッセージ。 ▪ アクセストークン取得に失敗しました ▪ userSessionError(_エラー:エラー) アクセストークンにエラーがある場合にスローされます。 • `attachmentValidation` 添付ファイルが検証に失敗したときにスローされます。 • `badResponse(statusCode: HTTPStatusCode)` ◦ *HTTPStatusCode*:インスタンスから受信したステータスコード。 要求が予期しない応答を返した場合にスローされます • cannotDecodeModel(デコードエラー) ◦ *DecodingError*:デコードエラーが検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	Codable モデルを JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotDecodeProperty(タイプ:任意、差出人:文字列) ◦ *type*:文字列からデコードするラップされた型。 ◦ *from*:指定されたタイプにデコードする文字列。 文字列でラップされた値を JSON からデコードできない場合にスローされます。 • cannotEncodeModel(エンコーディングエラー) ◦ *EncodingError*:エンコードエラーが検出されました。 Codable モデルを JSON にエンコードできない場合にスローされます。 • `cannotParseResponse` インスタンスからの応答を予期される形式に解析できない場合にスローされます。 • 無効な `URL` URL を形成できない場合にスローされます。たとえば、文字列に URL で無効な文字が含まれているか、空の文字列である場合などです。 • `missingAttachmentMetadata` 添付ファイルのメタデータヘッダーがない場合にスローされます。 • `missingServiceConfiguration` 予期されるサービス構成がない場合にスローされます。 • `missingSysID` 予期されるsys_idパラメーターがない場合にスローされます。 • `network(NetworkServiceError)` ◦ genericError(文字列) ◦ operationCanceled ◦ serviceDisabled

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	◦ serverError(エラー) ◦ systemError(エラー) ネットワークサービスでエラーが発生した場合にスローされます。

この例では、指定したテーブルのレコードを指定したフィールドで更新する関数を作成する方法を示します。呼び出しの出力は ByteArray で、データを任意のモデルに変換できます。

```
tableService.updateRecord(sysId: sysId, in: tableName, with: fields,
 writeOptions: writeOptions, configuration: readConfiguration)
    .subscribe(on: DispatchQueue.global())
    .receive(on: DispatchQueue.main)
    .convertToRecord()
    .sink { completion in
        if case let .failure(error) = completion {
            print("Update failed with NowDataError: \(error)")
        }
    } receiveValue: { record in
        print("Record updated: \(record)")
    }
    .store(in: &subscriptions)
```

NowWeb API - iOS

NowWeb API は、ユーザーが NowWeb サービスインスタンスをインスタンス化できるようにするトップレベルのグローバル API です。

NowWeb - makeWebService(instanceUrl: URL) async throws

前に指定した構成を使用して NowWebService のインスタンスを作成します。

この関数を呼び出す前に SDK を初期化する必要があり、そうでない場合は完了ブロックが `sdkNotConfigured` エラーで呼び出されます。SDK を初期化するには、必要な構成で *`NowSDK.configure()`* を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスから Web サービスがアクセスされる ServiceNow インスタンスの URL。

返される内容

タイプ	Description (説明)
NowWeb サービス	成功した場合は、初期化された NowWebService オブジェクトを返します。
NowServiceError	メソッドが失敗した場合は、次のいずれかのエラーをスローします。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容 (続く)

タイプ	Description (説明)
	• sdkNotConfigured • serviceConfigurationInvalid • serviceDisabled • serviceSettingsInvalid • serviceSettingsNotFound • serviceSettingsRetrievalFailed

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
do {
    let service = try await NowWeb.makeWebService(instanceUrl:
 instanceUrl)
    self.webService = service
} catch {
    debugPrint("Web Service creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
}
```

NowWeb - makeWebService(instanceUrl: URL, completion: @escaping ((Result<NowWebService, NowServiceError>) -> Void))

前に指定した構成を使用して NowWebService のインスタンスを作成します。終了すると、指定された完了ハンドラーを呼び出します。

この関数を呼び出す前に SDK を初期化する必要があり、そうでない場合は完了ブロックが `sdkNotConfigured` エラーで呼び出されます。SDK を初期化するには、必要な構成で *`NowSDK.configure()`* を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスから Web サービスがアクセスされる ServiceNow インスタンスの URL。
完了	@escaping ((Result<NowWebService, NowServiceError>) -> 無効)	初期化された `NowWebService` インスタンスまたは初期化が失敗した理由を示す `NowServiceError` のいずれかを含む Result<NowWebService、NowServiceError> で呼び出される完了ハンドラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
func initializeNowSDK(userEmail: String) {
  currentUser = userEmail
  let sdkConfig = NowSDKConfiguration(authorizationProvider: self,
 permissionDelegate: self, logLevel: .debug)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  do {
      try NowSDK.configure(with: sdkConfig)
      configureAnalytics()
  } catch {
      debugPrint("Could not initialize NowSDK. Error:
 \(error.localizedDescription)")
  }
}
```

NowWeb - makeWebService(instanceUrl: URL)

前に指定した構成を使用して NowWebService のインスタンスを作成します。

注: このメソッドは廃止されました。代わりに、メソッドの async/await 実装を使用する必要があります。

この関数を呼び出す前に SDK を初期化する必要があり、そうでない場合は完了ブロックが `sdkNotConfigured` エラーで呼び出されます。SDK を初期化するには、必要な構成で *`NowSDK.configure()`* を呼び出します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
instanceUrl	URL	サービスから Web サービスがアクセスされる ServiceNow インスタンスの URL。

返される内容

タイプ	Description (説明)
AnyPublisher<NowWebService, NowServiceError>	成功した場合は、初期化された NowWebService オブジェクトを返します。失敗した場合は、NowServiceError オブジェクトを返します。

```
func initializeWebService() {
  NowWeb.makeWebService(instanceUrl: instanceUrl)
    .sink { completion in
      if case .failure(let error) = completion {
        debugPrint("Web Service creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
      }
    } receiveValue: { [weak self] service in
        self?.webService = service
    }
    .store(in: &subscriptions)
  }
```

NowWebColoring プロトコル - iOS

`NowWebColoring` プロトコルは、ネイティブ Web ビューの ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページ内で使用される色のデフォルト値を提供します。

次の表で指定されている色は、デフォルトの Web インターフェイスの色を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

名前	Description (説明)
アラート重大 0	エラーバナーに適用される背景色。 デフォルトの暗色:#7B1E28 デフォルトのライトの色:#F8C8CD
アラート重大 3	エラーテキストバナーに適用されるテキストの色。 デフォルトの暗い色:#E46876 デフォルトのライトの色:#B61C2D
alertLow0	情報バナーに適用される背景色。 デフォルトの暗色:#DBDBDE デフォルトのライトの色:#DBDBDE
アラート肯定的 0	成功メッセージを表示するバナーの背景色。 デフォルトの暗色:#CADFC0 デフォルトのライトの色:#CADFC0
アラート Positive3	成功メッセージを表示するバナーのテキスト色。 デフォルトの暗色:#3B7F00 デフォルトのライトの色:#3B7F00
アラート警告 0	警告バナーに適用される背景色。 デフォルトの暗色:#FBF7BF デフォルトのライトの色:#FBF7BF
backgroundPrimary	Web ビューを含むビューに適用される背景色。 デフォルトの暗色:#07080B デフォルトのライトの色:#FFFFFF
ブランド	ページのロード中に表示されるアクティビティインジケーターに適用される色。 デフォルトの暗色:#302F4B デフォルトのライトの色:#302F4B
プライマリ	Web 画面のアクションシートに適用される濃淡色。 デフォルトの暗い色:#8486FF デフォルトの明るい色:#4F52BD

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	Description (説明)
画面ヘッダーバックグラウンド	ボタンバッジに適用されるテキストの色。この色は、バッジの周りの細い境界線にも適用されます。 デフォルトの暗色:#CADFC0 デフォルトのライトの色:#CADFC0
画面ヘッダーテキスト	• ボタンバッジに適用されるテキストの色 • Web 画面で無効なナビゲーションバーボタン、バナーテキスト、バナーアイコンの濃淡に適用される色合い。 デフォルトの暗色:#FFFFFF デフォルトのライトの色:#FFFFFF
textActionble	アクションボタンのテキスト色。 デフォルトの暗色:#07080B デフォルトのライトの色:#FFFFFF
テキストプライマリ	フォントに適用されるテキストの色。 デフォルトの暗色:#FFFFFF デフォルトの明るい色:#151920

NowWebColoring に使用される既定の色を次に示します。これらの色のいずれかまたはすべてを上書きできます。

```
public extension NowWebColoring {
    var brand: UIColor { nowUIColor.brand }
    var primary: UIColor { nowUIColor.primary }
    var textPrimary: UIColor {
        nowUIColor.textPrimary.withAlphaComponent(0.25)
    }
    var screenHeaderText: UIColor { nowUIColor.screenHeaderText }
    var screenHeaderBackground: UIColor
 { nowUIColor.screenHeaderBackground }
    var textActionble: UIColor {
        nowUIColor.textActionable
    }
    var alertCritical0: UIColor { nowUIColor.alertCritical0 }
    var alertCritical3: UIColor { nowUIColor.alertCritical3 }
    var alertPositive0: UIColor { nowUIColor.alertPositive0 }
    var alertPositive3: UIColor { nowUIColor.alertPositive3 }
    var alertLow0: UIColor { nowUIColor.alertLow0 }
    var alertWarning0: UIColor { nowUIColor.alertWarning0 }
    var backgroundPrimary: UIColor { nowUIColor.backgroundPrimary }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NowWebService クラス - iOS

NowWebService クラスは、ServiceNowインスタンス上の Web ページの参照を可能にする関数を提供します。

プロパティ

名前	タイプ	説明
構成	NowServiceConfiguration	NowWebService インスタンスを初期化するときに使用する設定パラメーター。

NowWebService - init(configuration: NowServiceConfiguration, coreServiceProvider: NowCoreServiceProviding? = nil)

NowWebService インスタンスを初期化します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
構成	NowServiceConfiguration	NowWebService インスタンスを初期化するときに使用する設定パラメーター。
coreServiceProvider	NowCoreServiceOffering	オプション。NowWebService インスタンスに関連付けるサービスプロバイダー。 デフォルト:nil

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
guard let coreService = NowSDK.core() else {
  // Error with NowServiceError.sdkNotConfigured
  return
}
guard
  let instanceUrl = URL(string: "http://sample.service-now.com") ,
  let serviceConfig = NowSDK.makeServiceConfiguration(for: instanceUrl)
 else {
    // Could not create service -
    // NowServiceError.serviceConfigurationInvalid
    return
}

let webService = NowWebService(configuration: serviceConfig,
 coreServiceProvider: coreService)
```

NowWebService - makeWebViewController(URL の場合: URL、デリゲート: NowWebViewControllerDelegate、テーマ: **NowWebThemeable)**

Web ビューをホストする UIViewController オブジェクトを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
URL の場合	URL	ロードする Web ページの URL。この Web ページは、サービスが初期化されたターゲット

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
		ServiceNow インスタンス上にある必要があります。
代理人	NowWebViewControllerDelegate	オプション。WebViewController からネイティブアプリケーションへのコールバックイベントを受信するオブジェクト。
theme	NowWeb テーマ可能	オプション。NowUIビュー コントローラーの UI 要素 (色など) に適用する検出可能なプロトコル。 デフォルト:NowWebDefaultTheme(nowUITheme: NowUIDefaultTheme())

返される内容

タイプ	Description (説明)
Result<NowWebViewController、NowWebServiceError>	成功:NowWebViewController オブジェクト エラー:NowWebServiceError オブジェクト

```
private func webViewController(for url: URL) -> NowWebViewController? {
  guard let webService = webService else {
    debugPrint("Web service not initialized")
    return nil
  }

  let result = webService.makeWebViewController(for: url, delegate: self,
 theme: CarrascoWebTheme(nowUITheme: CarrascoTheme()))
  switch result {
    case .success(let viewController):
      return viewController
    case .failure(let error):
      debugPrint("Web view creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
  }
  return nil
}
```

NowWebService - preloadWebCache(urls: [URL], completion: PreloadWebCacheCompletion? = nil) throws

初期ロード時間を短縮するために、キャッシュ可能なリソースを含む指定されたページのリストをバックグラウンドで (NowWeb によって) プリロードします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
URL	URL オブジェクトのアレイ	プリロードするページの URL。
完了	PreloadWebCacheCompleted	オプション。Web ページのロードが完了したことを発信者に通知するクロージャ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次の例は、 *webService.preloadWebCache()* 関数を使用して、指定したページをプリロードする方法を示しています。

```
private func preloadURLs(urls: [URL]) {
  guard let webService = webService else {
    debugPrint("Web service not initialized")
    return
  }
  do {
       try webService.preloadWebCache(urls: urls) {
         debugPrint("URLs did complete preloading")
       }

  } catch {
      debugPrint(error.localizedDescription)
  }
}
```

NowWebThemeable プロトコル: iOS

NowWebThemeable プロトコルには、ネイティブ Web ビューで ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページ内で使用される色を上書きできるプロパティが用意されています。

このプロトコルには、 *ColorAdaptable* を拡張する NowWebColoring 色オブジェクトが含まれています。*ColorAdaptable* は、デバイスのディスプレイ設定に基づいて、明るい色と暗い色のどちらを表示するかを自動的に決定するために使用されます。

```
public protocol NowWebThemeable {
    var color: NowWebColoring { get }
}
```

NowWebColoring プロトコルには *NowUIColoring* が含まれています。このプロパティは、*NowWebThemeable* が使用できる既定の色変数を参照するために使用されます。

UI のテーマ設定方法についての詳細は、『Mobile SDK Developer Guide - iOS (Mobile SDK 開発者ガイド - iOS)』の「 NowUIColoring を使用して NowWebTheme と NowChatTheme をテーマ化する 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既定の色を使用して WebColors を定義する

```
/// Sample structure for using default colors that come with Mobile SDK.
struct WebColors: NowUIColoring {
}
```

カスタム色を使用して WebColors を定義する

```
/// Use custom colors with light and dark themes
struct WebColors: NowUIColoring {
    private var defaultTheme: NowWebDefaultTheme
 { NowWebDefaultTheme(nowUITheme: NowUIDefaultTheme())
    }

    var brand: UIColor { adaptiveColor(lightBrand, darkBrand) }
    var primary: UIColor { adaptiveColor(lightPrimary, darkPrimary) }
    var textPrimary: UIColor { adaptiveColor(lightTextPrimary,
 darkTextPrimary) }
    var screenHeaderText: UIColor { adaptiveColor(lightScreenHeaderText,
 darkScreenHeaderText) }
    var screenHeaderBackground: UIColor
 { adaptiveColor(lightScreenHeaderBackground,
 darkScreenHeaderBackground) }
    var textActionable: UIColor { adaptiveColor(lightTextActionable,
 darkTextActionable) }
    var alertCritical0: UIColor { adaptiveColor(lightAlertCritical0,
 darkAlertCritical0) }
    var alertCritical3: UIColor { adaptiveColor(lightAlertCritical3,
 darkAlertCritical3) }
    var alertPositive0: UIColor { adaptiveColor(lightAlertPositive0,
 darkAlertPositive0) }
    var alertPositive3: UIColor { adaptiveColor(lightAlertPositive3,
 darkAlertPositive3) }
    var alertLow0: UIColor { adaptiveColor(lightAlertLow0,
 darkAlertLow0) }
    var alertWarning0: UIColor { adaptiveColor(lightAlertWarning0,
 darkAlertWarning0) }
    var backgroundPrimary: UIColor
 { adaptiveColor(lightBackgroundPrimary, darkBackgroundPrimary) }

    // Light Colors
    var lightBrand: UIColor { defaultTheme.color.brand }
    var lightPrimary: UIColor { defaultTheme.color.primary }
    var lightTextPrimary: UIColor { defaultTheme.color.textPrimary }
    var lightScreenHeaderText: UIColor
 { defaultTheme.color.screenHeaderText }
    var lightScreenHeaderBackground: UIColor
 { defaultTheme.color.screenHeaderBackground }
    var lightTextActionable: UIColor { defaultTheme.color.textActionble }
    var lightAlertCritical0: UIColor
 { defaultTheme.color.alertCritical0 }
    var lightAlertCritical3: UIColor
 { defaultTheme.color.alertCritical3 }
    var lightAlertPositive0: UIColor
 { defaultTheme.color.alertPositive0 }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var lightAlertPositive3: UIColor
 { defaultTheme.color.alertPositive3 }
    var lightAlertLow0: UIColor { defaultTheme.color.alertLow0 }
    var lightAlertWarning0: UIColor { defaultTheme.color.alertWarning0 }
    var lightBackgroundPrimary: UIColor
 { defaultTheme.color.backgroundPrimary }

    // Dark Colors
    var darkBrand: UIColor { defaultTheme.color.brand }
    var darkPrimary = UIColor(hex: "#8486FF")
    var darkTextPrimary = UIColor(hex: "#FFFFFF")
    var darkScreenHeaderText = UIColor(hex: "#FFFFFF")
    var darkScreenHeaderBackground = UIColor(hex: "#CADFC0")
    var darkTextActionable = UIColor(hex: "#07080B")
    var darkAlertCritical0 = UIColor(hex: "#7B1E28")
    var darkAlertCritical3 = UIColor(hex: "#E46876")
    var darkAlertPositive0 = UIColor(hex: "#CADFC0")
    var darkAlertPositive3 = UIColor(hex: "#3B7F00")
    var darkAlertLow0 = UIColor(hex: "#DBDBDE")
    var darkAlertWarning0 = UIColor(hex: "#FBF7BF")
    var darkBackgroundPrimary = UIColor(hex: "#FFFFFF")
}
```

NowWebThemeable プロトコルで WebTheme 構造を定義する

```
struct CarrascoWebTheme: NowWebThemeable {
    var color: NowWebColoring

    struct Color: NowWebColoring {
        var nowUIColor: NowUIColoring

        var alertPositive0: UIColor
        var alertPositive3: UIColor
        var alertLow0: UIColor
        var alertWarning0: UIColor
        var backgroundPrimary: UIColor

        init(inputs: WebColors) {
            nowUIColor = ThemeColor(inputs)

            alertPositive0 = inputs.alertPositive0
            alertPositive3 = inputs.alertPositive3
            alertLow0 = inputs.alertLow0
            alertWarning0 = inputs.alertWarning0
            backgroundPrimary = inputs.backgroundPrimary
        }
    }

    public init(webColors: WebColors) {
        color = Color(inputs: webColors)
    }
}
```

WebColor を入力として渡して WebTheme オブジェクトをインスタンス化する

```
let webTheme = CarrascoWebTheme(webColors: WebColors())
```

自動翻訳

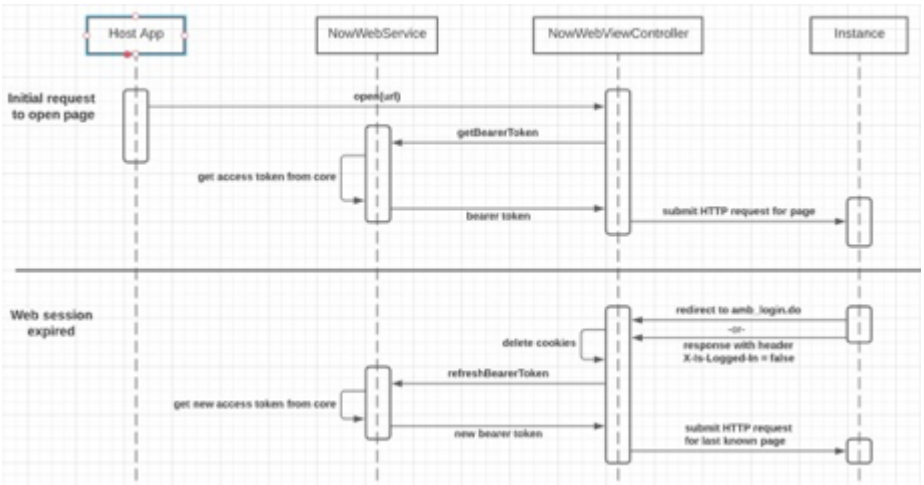
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WebTheme オブジェクトを NowWebService.makeWebViewController に渡す

```
func webViewController(for url: URL, delegate:
 NowWebViewControllerDelegate) -> NowWebViewController? {
  guard let webService = webService else {
    debugPrint("Web service not initialized")
    return nil
  }
  let result = webService.makeWebViewController(for: url, delegate:
 delegate, theme: CarrascoWebTheme(webColors: WebColors()) )

  switch result {
  case .success(let viewController):
    return viewController
  case .failure(let error):
    debugPrint("Web view creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
  }
  return nil
}
```

NowWebViewController クラス - iOS

NowWebViewController クラスは、Web ビューアを管理できるようにする関数を提供します。



NowWebViewController - loadPage()

要求が認証されると、 *makeWebViewController()* メソッドを使用してインスタンス化中に提供された初期 URL のロードを開始します。

要求が認証に失敗した場合、メソッド *nowWebViewController(:didFailNavigationWith:)* が、オブジェクトのインスタンス化時に渡されたデリゲートで呼び出されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、この関数を呼び出す方法を示しています。

```
private func openScreen(_ screen: ArticleListViewModel.Screen) {
  switch screen {
  case .articleDetail(let sysId):
    guard let url = URL(string:
 "/mesp?id=me_kb_view&sys_kb_id=\(sysId)"), let webViewController =
 webViewController(for: url) else {
      debugPrint("Could not create web view")
      return
    }
    webViewController.loadPage()
    navigationController?.pushViewController(webViewController, animated:
 true)
  }
}
```

NowWebViewControllerDelegate プロトコル - iOS

NowWebViewControllerDelegate プロトコルは、フローの終了時やナビゲーションの失敗時など、*NowWebViewController* 処理内の問題を通知するためのコールバックを提供します。

NowWebViewControllerDelegate - nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController, didReceive unsupportedUrl: URL)

Web ビューがサポートされていない URL を読み込もうとしたことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

サポートされていない URL は、別の ServiceNow インスタンスの URL または無効なスキームの絶対 URL である可能性があります。

注: 有効なスキームは http と https です。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
nowWebViewController	NowWebViewController	サポートされていない URL を読み込もうとするときに使用される NowWebViewController のインスタンス。
didReceive unsupportedUrl	URL	無効な URL を読み込もうとしています。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
func nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController,
 didReceive unsupportedUrl: URL) {
  debugPrint("nowWebViewController:receivedUnsupportedUrl:
 \(unsupportedUrl.absoluteString)")
}
```

NowWebViewControllerDelegate - nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController, didEndFlow flowName: String)

指定された Cabrillo (モバイル Web) フローが終了したことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
nowWebViewController	NowWebViewController	フローが終了した NowWebViewController のインスタンス。
didEndFlow フロー名	文字列	終了した Cabrillo フローの名前

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController,
 didEndFlow flowName: String) {
  debugPrint("ended flow named: \(flowName)")
}
```

NowWebViewControllerDelegate - nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController, didFailNavigationWith error: Swift.Error)

Web ビューのナビゲーションが失敗したことをホストアプリケーションに通知するコールバック。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
nowWebViewController	NowWebViewController	ナビゲーションが失敗した NowWebViewController のインスタンス。
didFailNavigation(エラーあり)	Swift.Error	ナビゲーションの失敗から発生したエラー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
func nowWebViewController(_ nowWebViewController: NowWebViewController,
 didFailNavigationWith error: Error) {
  debugPrint("NowWebViewController encountered a navigation error:
 \(error.localizedDescription)")
}
```

NowWebViewControllerDelegate - nowWebViewControllerDidRequestDismissal(_ nowWebViewController: NowWebViewController)

戻るナビゲーションの試行中にスタックを使い果たしたことをホストアプリケーションに通知するコールバック。その後、ホスト アプリケーションは NowWebViewController インスタンスを閉じるかどうかを決定できます。

パラメーター

名前	タイプ	Description (説明)
nowWebViewController	NowWebViewController	戻るナビゲーションが試行された NowWebViewController のインスタンス。

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
func nowWebViewControllerDidRequestDismissal(_ nowWebViewController:
 NowWebViewController) {
  navigationController?.popViewController(animated: true)
}
```

ページネーター API - iOS

Paginator クラスは、NowTableService を介したServiceNow テーブル API の呼び出しによって返されるレコード セットを反復処理するためのメソッドを提供します。これは、NowTableService *paginator()* メソッドによって返されるオブジェクトです。このメソッドをその環境の外部で呼び出さないでください。

プロパティ

名前	タイプ	Description (説明)
hasNext	ブーリアン	フェッチする次のページがあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:次のページが使用可能です。 • false:次のページは使用できません。
hasPrevious	ブーリアン	フェッチする前のページがあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:前のページが使用可能です。 • false:前のページは利用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ (続く)

名前	タイプ	Description (説明)
はビジー	ブーリアン	Paginator オブジェクトがデータのフェッチでビジー状態かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:公開者がビジー状態です。 • false:パブリッシャはビジー状態ではありません。
isFinished	ブーリアン	Paginator オブジェクトが完了したかどうかを示すフラグ。ページネーターが終了するように設定されている場合、最後のページがフェッチされたときに Paginator オブジェクトのパブリッシャーは終了します。Paginator オブジェクトは、終了後にページを取得できません。追加情報については、 *publisherShouldFinish* パラメーターの説明を参照してください。 有効な値： • true:パブリッシャーは終了しています。 • false:パブリッシャーが完了していません。
itemsPerPage	整数	ページごとにフェッチするアイテムの数。 デフォルト値：20
ページ数	整数	レコード セット内の合計ページ数。 Paginatorオブジェクトがまだページを取得していない場合、このパラメータは `Int.max`に設定されます。ServiceNowインスタンスに対して最初の要求が行われた後、ページ数はServiceNowインスタンスから受信した実際のページ数に更新されます。
ページ	整数	ページネーションされたレコードセット内の現在のページ。
publisher	文字列	ページネーションされたデータのストリームをサブスクライバーに提供するパブリッシャー。 **注:** 既定では、パブリッシャは終了しません。この動作を変更するには、 *publisherShouldFinish* プロパティを `true` に設定します。
publisherShouldFinish	ブーリアン	最後のページがフェッチされたときに Paginator オブジェクトのパブリッシャーを停止するかどうかを示すフラグ。Paginator オブジェクトは、終了後にページを取得できません。 有効な値： • true:最後のページがフェッチされると、公開者は追加のデータを提供できなくなります。 *reset()* メソッドは機能しなくなりました。 • false:パブリッシャが終了することはなく、すべてのメソッドはナビゲーションに関係なく完全に動作します。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページネーター - first() throws

返された結果の最初のページをフェッチします。

このメソッドが最初のページを取得できない場合、 `PaginationError` がスローされます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
class PaginatorTestViewModel<T: JSONRepresentable>: ObservableObject {
  @Published var result: Result<String, Error>?
  private let paginator: Paginator<T>
  private var subscriptions = Set<AnyCancellable>()

  init(paginator: Paginator<T>) {
    self.paginator = paginator
    subscribeToPaginator()
  }

  private func subscribeToPaginator() {
    paginator.publisher
      .receive(on: DispatchQueue.main)
      .sink { [weak self] comp in
        if case .failure(let error) = comp {
          self?.result = .failure(error)
        }
      } receiveValue: { [weak self] jsonRepresentable in
        self?.result = .success(jsonRepresentable.jsonDescription)
      }
      .store(in: &subscriptions)
  }

  func first() {
    result = nil
    do {
      try paginator.first()
    } catch {
      self.result = .failure(error)
    }
  }
}
```

ページネーター - last() throws

返された結果の最後のページをフェッチします。

このメソッドが最後のページを取得できない場合、 `PaginationError` がスローされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
…
func last() {
  result = nil
  do {
    try paginator.last()
  } catch {
    self.result = .failure(error)
  }
}
…
```

ページネーター - next() throws

返された結果の次のページをフェッチします。

フェッチするページがなくなると、メソッドは `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
…
func next() {
  result = nil
  do {
    try paginator.next()
  } catch {
    self.result = .failure(error)
  }
}
…
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページネーター - previous() throws

返された結果の前のページをフェッチします。

メソッドが前のページを取得できない場合は、 `PaginationError` をスローします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
…
func previous() {
  result = nil
  do {
    try paginator.previous()
  } catch {
    self.result = .failure(error)
  }
}
…
```

ページネーター - reset()

ページネーターを最初のページにリセットしますが、戻り結果の最初のページは返しません。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

```
…
func reset() {
  result = nil
  paginator.reset()
}
…
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SNMobileAnalytics API

SNMobileAnalytics API は、JavaScript を使用して WebView 内で呼び出すことができるメソッドを提供します。これらのメソッドを使用すると、カスタムアナリティクスデータ (イベント、ページ、およびユーザープロパティ) をサービスポータルのユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードにプッシュできます。

モバイルアプリケーション内でこれらのメソッドを使用するには、まず *installJavascriptInterface()* メソッドを呼び出す必要があります。これにより、これらの JavaScript メソッドが関連する WebView に公開されます。

iOS の実装については、「NowAnalyticsService - installJavascriptInterface(webView へ:WKWebView)」を参照してください。

Android の実装については、「NowAnalyticsSDK - installJavascriptInterface(webView: WebView)」を参照してください。

SNMobileAnalytics - addEvent(文字列 **eventName**, オブジェクトプロパティ)

新しい Web トリガー イベントとそれに関連するプロパティを 現在のモバイルセッションタイムラインに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
eventName	文字列	広告イベントの名前d。
プロパティ	オブジェクト	オプション。イベントのカスタム プロパティのキーと値のペアのリスト。 サポートされている値の型: • ブール • 日付 • 番号 • 文字列 注: *eventName*、プロパティキー、および値の合計サイズは、(イベントあたり) 300 バイトを超えてはなりません。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
SNMobileAnalytics.addEvent('MyEvent', JSON.stringify({'Type': 'Show',
 'Amount': 16}))
```

SNMobileAnalytics - addScreenAction(文字列 **actionName)**

現在のモバイルセッションのタイムラインに新しい 画面 UI アクションタグ を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
actionName	文字列	トリガーされた Web アクションの名前。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
SNMobileAnalytics.addScreenAction('Custom UI Action')
```

SNMobileAnalytics - setUserId(文字列 **userId)**

現在のモバイルセッションの現在アクティブなユーザーの ID を設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
userID	文字列	現在のユーザーに設定するID。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
SNMobileAnalytics.setUserId('user123')
```

SNMobileAnalytics - startScreen(文字列 **screenName)**

新しい Web トリガーページを現在のモバイルセッションのタイムラインに追加します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
screenName	文字列	開始時間をログに記録する画面の名前 (`WelcomeScreen` など)。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
SNMobileAnalytics.startScreen('My Web Page')
```

REST API リファレンス

REST インターフェイスを使用して、インスタンス上のデータにアクセスします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アカウント API

`アカウント` API は、カスタマーサービス管理 (CSM)アカウントレコードを取得および更新するためのエンドポイントを提供します。

さらに、アカウントの作成時に新しいソーシャルメディアプロファイルレコードを生成できます。

`アカウント` API にはカスタマーサービスプラグイン (com.sn_customerservice) が必要であり、`now` 名前空間内で提供されます。

ユーザーが API にフルアクセスするためには、csm_ws_integration ロールが必要です。

アカウント - GET /now/account

カスタマーサービス管理 (CSM) アカウントの指定されたセットを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/account`

デフォルトの URL：`/api/now/account`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`sysparm_offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 応答では、ブール値のパラメーター *`hasMore`* が返されます。フィルター基準を満たす、返されるレコードがまだあるかどうかを示します。 データタイプ：数値 デフォルト：10
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*`sysparm_offset`* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *`sysparm_offset`* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：0
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。 例： `sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇順に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
account_code	アプリケーションが予算予測と予算計画を識別するために使用する値の一意の組み合わせ。 データタイプ：文字列 最大長：255
account_parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account_path	アカウント階層内の親アカウントから子アカウントへのパス。 データタイプ：文字列 最大長：255
active_escalation	アカウントに関連付けられたアクティブなエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
apple_icon	iPhone ホームページのブックマークのアイコン。 データタイプ：画像
banner_image	カスタマーポータルに表示されるバナー画像。 データタイプ：画像
banner_image_light	小さなバナー画像。 データタイプ：画像

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
banner_text	カスタマーポータルに表示されるバナーテキスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
city	このアカウントに関連付けられている会社が所在する市。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact	このアカウントに関連付けられた連絡先レコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
country	このアカウントに関連付けられている会社が所在する国。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト： USA
customer	アカウントがパートナーアカウントではなく、顧客アカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：顧客アカウント • false：パートナーアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
discount	購入時にアカウントに付与される割引。 データタイプ：数値 最大長：15
fax_phone	このアカウントに関連付けられている会社の主要な FAX 電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
fiscal_year	アカウントに関連付けられている会社の会計年度。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
lat_long_error	緯度および経度情報と比較した実際の場所の差。 データタイプ：文字列 最大長：1,000
緯度	このアカウントに関連付けられている会社の緯度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
経度	このアカウントに関連付けられている会社の経度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
manufacturer	このアカウントに関連付けられている会社が商品を製造しているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：商品を製造している • false：商品を製造していない データタイプ：ブール デフォルト値：false
market_cap	関連付けられている会社の公開株式の時価。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
name	このアカウントに関連付けられている会社の名前。 データタイプ：文字列 最大長：80
notes	会社に関する補足情報。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
num_employees	会社に雇用されている人数。 データタイプ：数値 (整数)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	最大長：40
number	このアカウントを識別する番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	アカウントがパートナーアカウントか顧客アカウントかを示すフラグ。 可能な値： • true：パートナーアカウント • false：顧客アカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
phone	会社の主要な電話番号。 データタイプ：文字列
primary	これがプライマリアカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリアカウント • false：セカンダリアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
primary_contact	アカウントの主連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
profits	このアカウントに対して入力された利益情報。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：40
public_traded	このアカウントに関連付けられている会社の株式が証券取引所で公開されているかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	• true：株式公開 • false：株式非公開会社 データタイプ：ブール
rank_tier	アカウントのタイプ。 可能な値： • blacklist • strategic • tactical • valued • その他 データタイプ：文字列 最大長：40
registration_code	顧客がカスタマーポータルでログインを要求するときに使用する一意のコード。このコードは、アクセス権を付与する前に会社で顧客を検証する方法を提供します。 データタイプ：文字列 最大長：40
revenue_per_year	このアカウントに関連付けられている会社が生み出した収益。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
state	会社が所在する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
stock_price	会社の株価。 データタイプ：文字列 最大長：40
stock_symbol	会社の銘柄記号。 データタイプ：文字列 最大長：40
street	会社の番地

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列 最大長：255
sys_class_name	関連するアカウントレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
sys_created_by	最初にアカウントを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	アカウントが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_id	アカウントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	アカウント情報が更新された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_updated_by	アカウント情報を最後に変更したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	アカウント情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
theme	このアカウントで使用されるカスタマーポータルテーマの sys_id。テーマ [sys_ui_theme] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
vendor	このアカウントに関連付けられている会社がベンダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ベンダー • false：ベンダーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
vendor_manager	アカウントのベンダーマネージャーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
vendor_type	アプリケーション、ハードウェア、サービス、ソフトウェアなどのベンダーのタイプの sys_id のリスト。ベンダータイプ [vendor_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
website	会社の Web サイトの URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
zip	会社の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/account?sysparm_limit=2&sysparm
_offset=2>;rel="next" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```


```
{
"result": [
  {
   "banner_image_light": "",
   "country": "USA",
   "parent": "",
   "notes": "",
   "stock_symbol": "",
   "discount": "",
   "active_escalation": "",
   "sys_updated_on": "2019-01-03 19:37:55",
   "apple_icon": "",
   "number": "ACCT0000003",
    "sys_updated_by": "admin",
    "fiscal_year": "",
    "sys_created_on": "2018-12-23 05:25:17",
    "contact": "",
    "stock_price": "",
    "state": "",
    "banner_image": "",
    "sys_created_by": "admin",
    "longitude": "",
    "zip": "BR1 3QR",
    "profits": "0",
    "phone": "+44 20 8466 9992",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "fax_phone": "",
    "name": "Boxeo EMEA",
    "banner_text": "",
    "account_code": "~~~~3",
    "primary": "false",
    "city": "Bromley",
    "latitude": "",
    "sys_class_name": "customer_account",
    "manufacturer": "false",
    "account_parent": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
    "sys_id": "3eedd08413651200042ab3173244b088",
    "market_cap": "0",
    "num_employees": "",
    "rank_tier": "",
    "street": "18 London Rd",
    "vendor": "false",
    "lat_long_error": "",
    "theme": "",
    "vendor_type": "",
    "website": "",
    "revenue_per_year": "0",
    "publicly_traded": "false",
    "sys_mod_count": "5",
    "sys_tags": "",
    "partner": "false",
    "registration_code": "BOXEO-EMEA",
    "vendor_manager": "",
    "account_path": "~~~~1/~~~~3",
    "primary_contact": "ff66c1254fb81200025ba3618110c76e",
    "customer": "true"
  },
  {
    "banner_image_light": "",
    "country": "USA",
    "parent": "",
    "notes": "",
    "stock_symbol": "",
    "discount": "",
    "active_escalation": "",
    "sys_updated_on": "2019-01-03 19:38:04",
    "apple_icon": "",
    "number": "ACCT0000004",
    "sys_updated_by": "admin",
    "fiscal_year": "",
    "sys_created_on": "2018-12-23 05:19:24",
    "contact": "",
    "stock_price": "",
    "state": "",
    "banner_image": "",
    "sys_created_by": "admin",
    "longitude": "",
    "zip": "V5L 2G4",
    "profits": "0",
    "phone": "+1 604-255-9797",
    "fax_phone": "",
    "name": "Boxeo Canada",
    "banner_text": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "account_code": "~~~~4",
    "primary": "false",
    "city": "Vancouver",
    "latitude": "",
    "sys_class_name": "customer_account",
    "manufacturer": "false",
    "account_parent": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
    "sys_id": "609cd80413651200042ab3173244b03e",
    "market_cap": "0",
    "num_employees": "",
    "rank_tier": "",
    "street": "1362 Venables St,, BC V5L 2G4, Canada",
    "vendor": "false",
    "lat_long_error": "",
    "theme": "",
    "vendor_type": "",
    "website": "",
    "revenue_per_year": "0",
    "publicly_traded": "false",
    "sys_mod_count": "5",
    "sys_tags": "",
    "partner": "false",
    "registration_code": "BOXEO-CANADA",
    "vendor_manager": "",
    "account_path": "~~~~1/~~~~4",
    "primary_contact": "c07424a54f781200025ba3618110c746",
    "customer": "true"
  }
 ]
}
```


アカウント - **GET /now/account/{id}**

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) アカウントを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/account/{id}`

デフォルトの URL：`/api/now/account/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	取得するアカウントの sys_id。顧客 [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • 要求されたケースが存在しません。 • ユーザーにアカウントレコードへのアクセス権がありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
account_code	アプリケーションが予算予測と予算計画を識別するために使用する値の一意の組み合わせ。 データタイプ：文字列 最大長：255
account_parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account_path	アカウント階層内の親アカウントから子アカウントへのパス。 データタイプ：文字列 最大長：255
active_escalation	アカウントに関連付けられたアクティブなエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
apple_icon	iPhone ホームページのブックマークのアイコン。 データタイプ：画像
banner_image	カスタマーポータルに表示されるバナー画像。 データタイプ：画像
banner_image_light	小さなバナー画像。 データタイプ：画像
banner_text	カスタマーポータルに表示されるバナーテキスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
city	このアカウントに関連付けられている会社が所在する市。 データタイプ：文字列 最大長：50

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
contact	このアカウントに関連付けられた連絡先レコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
country	このアカウントに関連付けられている会社が所在する国。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト： USA
customer	アカウントがパートナーアカウントではなく、顧客アカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：顧客アカウント • false：パートナーアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
discount	購入時にアカウントに付与される割引。 データタイプ：数値 最大長：15
fax_phone	このアカウントに関連付けられている会社の主要な FAX 電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
fiscal_year	アカウントに関連付けられている会社の会計年度。 データタイプ：文字列
lat_long_error	緯度および経度情報と比較した実際の場所の差。 データタイプ：文字列 最大長：1,000
緯度	このアカウントに関連付けられている会社の緯度。 データタイプ：数値 (浮動小数点)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	最大長：40
経度	このアカウントに関連付けられている会社の経度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
manufacturer	このアカウントに関連付けられている会社が商品を製造しているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：商品を製造している • false：商品を製造していない データタイプ：ブール デフォルト値：false
market_cap	関連付けられている会社の公開株式の時価。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
name	このアカウントに関連付けられている会社の名前。 データタイプ：文字列 最大長：80
notes	会社に関する補足情報。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
num_employees	会社に雇用されている人数。 データタイプ：数値 (整数) 最大長：40
number	このアカウントを識別する番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
partner	アカウントがパートナーアカウントか顧客アカウントかを示すフラグ。 可能な値： • true：パートナーアカウント • false：顧客アカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
phone	会社の主要な電話番号。 データタイプ：文字列
primary	これがプライマリアカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリアカウント • false：セカンダリアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
primary_contact	アカウントの主連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
profits	このアカウントに対して入力された利益情報。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：40
public_traded	このアカウントに関連付けられている会社の株式が証券取引所で公開されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：株式公開 • false：株式非公開会社 データタイプ：ブール
rank_tier	アカウントのタイプ。 可能な値： • blacklist • strategic

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	• tactical • valued • その他 データタイプ：文字列 最大長：40
registration_code	顧客がカスタマーポータルでログインを要求するときに使用する一意のコード。このコードは、アクセス権を付与する前に会社で顧客を検証する方法を提供します。 データタイプ：文字列 最大長：40
revenue_per_year	このアカウントに関連付けられている会社が生み出した収益。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
state	会社が所在する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
stock_price	会社の株価。 データタイプ：文字列 最大長：40
stock_symbol	会社の銘柄記号。 データタイプ：文字列 最大長：40
street	会社の番地 データタイプ：文字列 最大長：255
sys_class_name	関連するアカウントレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
sys_created_by	最初にアカウントを作成したユーザー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	最大長：40
sys_created_on	アカウントが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_id	アカウントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	アカウント情報が更新された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_updated_by	アカウント情報を最後に変更したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	アカウント情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
theme	このアカウントで使用されるカスタマーポータルテーマの sys_id。テーマ [sys_ui_theme] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
vendor	このアカウントに関連付けられている会社がベンダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ベンダー • false：ベンダーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
vendor_manager	アカウントのベンダーマネージャーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
vendor_type	アプリケーション、ハードウェア、サービス、ソフトウェアなどのベンダーのタイプの sys_id のリスト。ベンダータイプ [vendor_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
website	会社の Web サイトの URL。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	最大長：1,024
zip	会社の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/account/bf60bef46f0331003b3c498
f5d3ee41a" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
"result": {
  "banner_image_light": "",
  "country": "USA",
  "parent": "",
  "notes": "",
  "stock_symbol": "",
  "discount": "",
  "active_escalation": "e4fa242887150300fe4433d4c6cb0b5f",
  "sys_updated_on": "2020-07-30 21:57:54",
  "apple_icon": "",
  "number": "ACCT0000009",
  "sys_updated_by": "admin",
  "fiscal_year": "",
  "sys_created_on": "2019-09-16 21:19:27",
  "contact": "bea1fef46f0331003b3c498f5d3ee4c5",
  "stock_price": "",
  "state": "California",
  "banner_image": "",
  "sys_created_by": "venki",
  "longitude": "-122.116445",
  "zip": "94022",
  "profits": "0",
  "phone": "(877) 729-4269",
  "fax_phone": "",
  "name": "Avid Corporation",
  "banner_text": "",
  "account_code": "~~~~9",
  "primary": "false",
  "city": "Los Altos",
  "latitude": "37.402666",
  "sys_class_name": "customer_account",
  "manufacturer": "false",
  "account_parent": "",
  "sys_id": "bf60bef46f0331003b3c498f5d3ee41a",
  "market_cap": "0",
  "num_employees": "",
  "rank_tier": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "street": "4440 El Camino Real",
  "vendor": "false",
  "lat_long_error": "",
  "theme": "",
  "vendor_type": "",
  "website": "http://www.avidcorp.com",
  "revenue_per_year": "0",
  "publicly_traded": "false",
  "sys_mod_count": "10",
  "sys_tags": "",
  "partner": "false",
  "registration_code": "AVID",
  "vendor_manager": "",
  "account_path": "~~~~9",
  "primary_contact": "bea1fef46f0331003b3c498f5d3ee4c5",
  "customer": "true"
 }
}
```


ActivitySubscriptions API

ActivitySubscriptions API は、サブスクリプションおよびアクティビティフィードフレームワークからアクティビティエンティティを取得するためのエンドポイントを提供します。

この API では、Subscriptions and Activity Feed Framework (com.snc.activity_subscriptions) プラグインを有効にする必要があります。Customer Central (com.sn_csm_customer_central) プラグインを有効にして、必要なすべてのテーブルで構成をシードします。顧客セントラルの構成設定の詳細については、「顧客セントラルの構成」を参照してください。

ActivitySubscriptions - GET /now/actsub/activities

サブスクリプションとアクティビティフィードフレームワークからアクティビティレコードを取得します。

このエンドポイントにアクセスするためにロールは必要ありませんが、返されるデータはユーザーアクセス設定によって制限されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/actsub/activities`

デフォルトの URL：`/api/now/actsub/activities`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
before	日付/時刻値。要求は、この日時より前に作成されたレコードのみを返します。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss または YYYY-MM-DD
コンテキスト	必須です。アクティビティコンテキストの sys_id。アクティビティコンテキスト [sn_actsub_activity_context] テーブルにあります。 事前定義済みのアクティビティコンテキストには、コンシューマーと連絡先が含まれます。 データタイプ：文字列
context_instance	必須です。取得するアクティビティのイニシエーターを表す、指定されたアクティビティコンテキストのインスタンスの sys_id。アクティビティコンテキストの適切なテーブルにあります。 たとえば、*context* をコンシューマーアクティビティコンテキストの sys_id に設定する場合は、このパラメーターを、アクティビティを取得するコンシューマーのコンシューマー [csm_consumer] テーブルレコードの sys_id に設定します。 データタイプ：文字列
end_date	日付/時刻値。この要求は、*start_date* とこのパラメーターで定義した期間中に作成されたレコードのみを返します。*start_date* とともに設定する必要があります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss または YYYY-MM-DD
facets	指定されたアクティビティコンテキストについて取得するアクティビティファセットタイプの sys_id のカンマ区切りリスト。これらの sys_id は、アクティビティファセット [sn_actsub_facet] テーブルにあります。 アクティビティファセットの詳細については、「アクティビティコンテキストのファセットの作成」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：アクティビティコンテキストに構成されているすべてのアクティビティファセットタイプを返します。
last	応答本文から省略される結果行の先頭になるインデックス値。結果行のインデックスは 0 から始まるため、応答本文に含まれる最後の行は *last* から 1 を引いたインデックスの行になります。 たとえば、「`last=5`」に設定すると、インデックス 5 以上の行は省略され、返される結果行は最大でも最初の 5 行 (インデックス値 0 ～ 4) のみになります。「`stFrom=1`」および「`last=5`」を設定すると、最初の結果行がスキップされ、2 ～ 5 番目の結果行 (インデックス値 1 ～ 4) が返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 (整数) デフォルト：**com.snc.actsub.activities.api.fetch.limit** システムプロパティの値 (デフォルトでは 10)。
record_id	動的ファセットをレンダリングするときに使用するレコードの sys_id。取得するアクティビティタイプの適切なテーブルにあります。 たとえば、ケースレコードのアクティビティをフェッチする場合は、このパラメーターを問題のケースレコードの sys_id に設定します。 動的ファセットの詳細については、「アクティビティコンテキストのファセットの作成」を参照してください。 データタイプ：文字列
start_date	日付/時刻値。この要求は、このパラメーターと *end_date* で定義した期間中に作成されたレコードのみを返します。*end_date* とともに設定する必要があります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss または YYYY-MM-DD
stFrom	応答本文に含める最初の結果行のインデックス値。結果行のインデックスは 0 から始まります。 たとえば、「`stFrom=2`」は最初の 2 つの結果行をスキップし、3 行目以降の結果を返します。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。応答本文 *result.message* パラメーターは、エラーの性質を示します。 エラーメッセージの例： • [有効なコンテキストと context_instance が渡されていることを確認してください] または [有効なストリームとユーザーが渡されていることを確認してください (Make sure a valid stream and user are passed)] は、要求で *context* と *context_instance* のいずれかまたは両方のクエリパラメーターが不足していることを示します。これらのパラメーターは必須です。 • [stFrom を最後より大きくすることはできません] は、*stFrom* クエリパラメーターの値が *last* クエリパラメーターの値を超えていることを示します。 • [start_date と end_date を入力してください] は、要求に *start_date* と *end_date* のいずれかのクエリパラメーターしか含まれていないことを示します。これのパラメーターは別々に使用することはできません。 • [start_date を end_date より後にすることはできません] は、指定された *start_date* クエリパラメーター値が、指定された *end_date* クエリパラメーター値の後に存在することを示します。 • [指定されたコンテキストがシステムに構成されていません] は、*context* クエリパラメーター値が有効なアクティビティ コンテキストを表していないことを示します。 • [有効な context_instance が渡されていることを確認してください] は、*context_instance* クエリパラメーター値が、指定されたアクティビティコンテキストの有効なインスタンスを表していないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	結果オブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "activities": [Array], "message": "String", "status": Number, "stream": "String", "user": "String" }`
result.activities	各オブジェクトが、指定されたアクティビティコンテキストとコンテキストインスタンスからのアクティビティレコードを表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"activities": [ { "activity_type_id": "String", "content_fields": [Array], "created": "String", "icon": "String", "source_table_name": "String", "subheader_fields": [Array], "subobject_sys_id": "String", "subobject_table_name": "String", "sys_id": "String", "title": "String" } ]`
result.activities.activity_type_id	このアクティビティレコードのタイプに対応するアクティビティタイプ [sn_actsub_activity_type] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.activities.content_fields	各オブジェクトがアクティビティレコードのタイルにコンテンツとして

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	表示するフィールドを表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"content_fields": [ { "deeplink_to_subobject": "String", "display_as_timeago": "String", "label": "String", "show_label": "String", "type": "String", "value": "String" } ]`
result.activities.content_fields.deeplink_to_subobject	コンテンツフィールドが、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：コンテンツフィールドが、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されます。 • false：コンテンツフィールドが、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.content_fields.display_as_timeago	コンテンツフィールドを「～前」の形式で表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：コンテンツフィールドは「～前」の形式で表示されます。 • false：コンテンツフィールドは「～前」の形式で表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.content_fields.label	コンテンツフィールドのラベル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.activities.content_fields.show_label	このアクティビティレコードのタイルのコンテンツフィールド値にコンテンツフィールドラベルを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このアクティビティレコードのタイルのコンテンツフィールド値にコンテンツフィールドラベルを表示します。 • false:コンテンツフィールドラベルは、このアクティビティレコードのタイルのコンテンツフィールド値に表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.content_fields.type	コンテンツフィールドのタイプ。 データタイプ：文字列
result.activities.content_fields.value	コンテンツフィールドの値。 データタイプ：文字列
result.activities.created	このアクティビティレコードの作成日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-DD-MM hh:mm:ss
result.activities.icon	このアクティビティレコードのタイルに表示されるアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.activities.source_table_name	このアクティビティレコードがあるテーブルの名前。 このアクティビティレコードに関連付けられたタイプのアクティビティタイプ [sn_actsub_activity_type] テーブルで定義されたアクティビティソースによって決定されます。 データタイプ：文字列
result.activities.subheader_fields	各オブジェクトがこのアクティビティレコードのタイルのサブヘッダーに表示されるフィールドを表すオブジェクトのアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"subheader_fields": [
	  {
	
	"deeplink_to_subobject":
	"String",
	  "display_as_timeago":
	"String",
	  "label": "String",
	  "show_label":
	"String",
	  "type": "String",
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

result.activities.subheader_fields.deeplink_to_subobject	サブヘッダーフィールドが、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サブヘッダーフィールドが、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されます。 • false:サブヘッダーフィールドは、このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードへのハイパーリンクとして表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.subheader_fields.display_as_timeago	サブヘッダーフィールドを前の形式で表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サブヘッダーフィールドは前の形式で表示されます。 • false:サブヘッダーフィールドは前の形式で表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.subheader_fields.label	サブヘッダーフィールドのラベル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.activities.subheader_fields.show_label	このアクティビティレコードのタイルのサブヘッダーフィールド値にサブヘッダーフィールドラベルを表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このアクティビティレコードのタイルのサブヘッダーフィールド値にサブヘッダーフィールドラベルを表示します。 • false:サブヘッダーフィールドラベルは、このアクティビティレコードのタイルのサブヘッダーフィールド値に表示されません。 データタイプ：文字列
result.activities.subheader_fields.type	サブヘッダーフィールドのタイプ。 データタイプ：文字列
result.activities.subheader_fields.value	サブヘッダーフィールドの値。 データタイプ：文字列
result.activities.subobject_sys_id	このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードのsys_id。*subobject_table_name*パラメーター値で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.activities.subobject_table_name	このアクティビティが実行されたオブジェクトのレコードを含むテーブルの名前。 このアクティビティレコードに関連付けられたアクティビティタイプを含むグループのアクティビティグループ[sn_actsub_subscribable_object]テーブルで定義されたテーブル名によって決定されます。 データタイプ：文字列
result.activities.sys_id	このアクティビティレコードのsys_id。*source_table_name*応答本文パラメーター値として指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.activities.title	このアクティビティレコードのタイルに表示されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.hasMoreRecords	応答本文内のアクティビティのリストが *last* クエリパラメーター値で切り捨てられるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：応答本文内のアクティビティのリストは *last* クエリパラメーター値で切り捨てられます。*last* クエリパラメーターの値を大きくして要求を繰り返すと、このコンテキストとコンテキストインスタンスの追加のアクティビティが返されます。 • false:応答本文のアクティビティのリストは、 *last* クエリパラメーター値で切り捨てられません。このコンテキストとコンテキストインスタンスでは、これ以上のアクティビティを使用できません。 データタイプ：文字列
result.message	要求の処理中に発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.status	要求に対して返された HTTP ステータスコード。 有効な値：「ステータスコード」を参照してください。 データタイプ：数値
result.stream	要求 *context* クエリパラメーターで指定された sys_id。アクティビティコンテキスト [sn_actsub_activity_context] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.user	要求 *context_instance* クエリパラメーターで指定された sys_id。アクティビティコンテキストの適切なテーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

特定の連絡先の 2 番目と 3 番目のアクティビティレコードを、2020 年からのデータに限定して要求します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/actsub/activities\
?context=4a6a035a73d30010e37d71ef64f6a714\
&context_instance=ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417\
&stFrom=1&last=3\
&start_date=2020-01-01%2000:00:00&end_date=2020-12-31%2023:59:59" \
--request GET \
--header "Accept: application/json" \
--user "username:password"
```

応答本文には、指定された連絡先の 2 つの要求されたアクティビティレコードが含まれます。


```
{
  "result": {
    "hasMoreRecords": true,
    "activities": [
      {
        "subobject_table_name": "sn_customerservice_case",
        "source_table_name": "sn_customerservice_case",
        "content_fields": [
          {
            "value": "Test",
            "show_label": "false",
            "type": "string",
            "label": "Short description",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          }
        ],
        "created": "2020-05-29 18:42:16",
        "activity_type_id": "baf0aace73530010e37d71ef64f6a748",
        "title": "Lamar Wilson created case",
        "subobject_sys_id": "1687360e8d819010f87705a074e52ac9",
        "icon": "clipboard_outline",
        "sys_id": "1687360e8d819010f87705a074e52ac9",
        "subheader_fields": [
          {
            "value": "CS0001007",
            "show_label": "false",
            "type": "string",
            "label": "Number",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "true"
          },
          {
            "value": "2020-05-29 18:42:16",
            "show_label": "false",
            "type": "glide_date_time",
            "label": "Created",
            "display_as_timeago": "true",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          },
          {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "value": "",
            "show_label": "false",
            "type": "reference",
            "label": "Assigned to",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          },
          {
            "value": "Lamar Wilson",
            "show_label": "false",
            "type": "reference",
            "label": "Contact",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          }
        ]
      },
      {
        "subobject_table_name": "kb_knowledge",
        "source_table_name": "kb_use",
        "content_fields": [
          {
            "value": "How to Set Up a Broadband Router",
            "show_label": "false",
            "type": "string",
            "label": "Short description",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          }
        ],
        "created": "2020-05-26 10:00:00",
        "activity_type_id": "4a8c329273d30010e37d71ef64f6a7c1",
        "title": "Lamar Wilson viewed knowledge article",
        "subobject_sys_id": "f855a0a89f011200550bf7b6077fcf4f",
        "icon": "document_outline",
        "sys_id": "b929dd5873941010e37d71ef64f6a719",
        "subheader_fields": [
          {
            "value": "KB0000110",
            "show_label": "false",
            "type": "string",
            "label": "Number",
            "display_as_timeago": "false",
            "deeplink_to_subobject": "true"
          },
          {
            "value": "2020-05-26 10:00:00",
            "show_label": "false",
            "type": "glide_date_time",
            "label": "Created",
            "display_as_timeago": "true",
            "deeplink_to_subobject": "false"
          }
        ]
      }
    ]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

ActivitySubscriptions - GET /now/actsub/facets/{activity_context}/{context_instance}

サブスクリプションとアクティビティフィードフレームワークから、アクティビティコンテキストに構成されたファセットを取得します。アクティビティタイプ、グループ、およびコンテキスト設定によって決定された各ファセットのアクティビティ数とデータを表示します。

ユーザーがこのエンドポイントにアクセスするには、actsub_user または admin ロールが必要です。返されるデータはユーザーアクセス設定によって制限されます。

アクティビティコンテキストファセットの詳細については、「アクティビティコンテキストのファセットの作成」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/actsub/facets/{activity_context}/{context_instance}`

デフォルトの URL：`/api/now/actsub/facets/{activity_context}/{context_instance}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
activity_context	アクティビティコンテキストの sys_id。アクティビティコンテキスト [sn_actsub_activity_context] テーブルにあります。 事前定義済みのアクティビティコンテキストには、コンシューマーと連絡先が含まれます。移動先 **Customer Central** (顧客セントラル) > 顧客アクティビティ > アクティビティコンテキスト をクリックして、インスタンスに定義されているアクティビティコンテキストの完全なリストを表示します。 データタイプ：文字列
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
context_instance	ファセットを取得するアクティビティのイニシエーターを表す、指定されたアクティビティコンテキストのインスタンスの sys_id。アクティビティコンテキスト [sn_actsub_activity_context] テーブルのアクティビティコンテキストレコードに指定されたコンテキストテーブルにあります。 たとえば、*`activity_context`* を連絡先アクティビティコンテキストの sys_id に設定する場合は、このパラメーターを、アクティビティファセットを取得する連絡先の連絡先 [customer_contact] レコードの sys_id に設定します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
end_date	日付/時刻値。この要求は、*start_date* とこのパラメーターで定義した期間中に作成されたレコードのみを返します。*start_date* とともに設定する必要があります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss または YYYY-MM-DD
facets	指定されたアクティビティコンテキストについて取得するアクティビティファセットの sys_id のカンマ区切りリスト。 アクティビティコンテキストに定義されているアクティビティファセットタイプを表示するには、 **Customer Central** (顧客セントラル) > 顧客アクティビティ > アクティビティコンテキスト [**Facets**] 関連リストを調べます。 データタイプ：文字列 デフォルト：アクティビティコンテキストに構成されているすべてのアクティビティファセットを返します。
get_activity_count	応答本文に各ファセットのアクティビティカウントを含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファセットのアクティビティカウントを含めます。 • false：ファセットのアクティビティカウントを省略します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
lazy_load	パフォーマンスを向上させるために、応答本文からファセットのアクティビティデータとアクティビティカウントを省略するかどうかを示すフラグ。このパラメーターは *get_activity_count* よりも優先されます。 有効な値： • true：ファセットのアクティビティデータとアクティビティカウントを省略します。 • false：ファセットのアクティビティデータとアクティビティカウントを取得します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
start_date	日付/時刻値。この要求は、このパラメーターと *end_date* で定義した期間中に作成されたレコードのみを返します。*end_date* とともに設定する必要があります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss または YYYY-MM-DD

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。応答本文 *result.message* パラメーターは、エラーの性質を示します。 エラーメッセージの例： • [有効なアクティビティコンテキストの詳細が渡されていることを確認してください] は、*activity_context* パスパラメーター値が有効なアクティビティコンテキストを表していないか、*context_instance* パスパラメーター値が指定されたアクティビティコンテキストの有効なインスタンスを表していないか、またはその両方であることを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• [start_date と end_date を入力してください] は、要求に *start_date* と *end_date* のいずれかのクエリパラメーターしか含まれていないことを示します。これのパラメーターは別々に使用することはできません。 • [start_date を end_date より後にすることはできません] は、指定された *start_date* クエリパラメーター値が、指定された *end_date* クエリパラメーター値の後に存在することを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
結果	アクティビティファセットのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"result": [ { "activity_count": Number, "children": [Array], "facets": [Array], "icon": "String", "is_dynamic": "String", "message": "String", "name": "String", "status": Number } ]`
result.activity_count	このファセットとその子 (存在する場合) に含まれるアクティビティレコードの数。*lazy_load* クエリパラメーターが false で *get_activity_count* クエリパラメーターが true の場合にのみ表示されます。 データタイプ：数値
result.children	各オブジェクトがアクティビティレコード (動的ファセットの場合) または子ファセット (静的ファセットの場合) を表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"children": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"activity_count": Number "facet": "String", "icon": "String", "title": "String" }]
result.children.activity_count	この子ファセットとその子 (存在する場合) に含まれるアクティビティレコードの数。*lazy_load* クエリパラメーターが false で *get_activity_count* クエリパラメーターが true の場合にのみ表示されます。 データタイプ：数値
result.children.created	このアクティビティレコードの作成日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.children.facet	この子ファセットレコードの sys_id。アクティビティファセット [sn_actsub_facet] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.children.icon	この子ファセットに関連付けられたアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.children.sys_id	このアクティビティレコードの sys_id。親ファセットタイプの適切なテーブルにあります。 たとえば、ケースファセットに含まれるアクティビティレコードには、ケース [sn_customerservice_case] テーブルに sys_id があります。 データタイプ：文字列

result.children.metadata	オブジェクトのアレイ。この中の各オブジェクトには、このファセットタイプのアクティビティファセット [sn_actsub_facet] テーブルレコードで構成されたファセットフィールドのアクティビティレコードデータが含まれています。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	"metadata": [
	{
	"key": "String",
	"label": "String",
	"type": "String",
	"value": "String"
	}
	]

result.children.metadata.key	このファセットフィールドの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.children.metadata.label	このファセットフィールドのラベル。 データタイプ：文字列
result.children.metadata.type	このファセットフィールドのタイプ。 データタイプ：文字列
result.children.metadata.value	このファセットフィールドの値。 データタイプ：文字列
result.children.title	このアクティビティレコードまたは子ファセットの名前。 データタイプ：文字列

result.facets	このファセットレコードに関連付けられた sys_id のアレイ。アクティビティファセット [sn_actsub_facet] テーブルにあります。動的ファセットの場合、この配列にはファセット自体の sys_id が含まれます。静的ファセットの場合は、ファセットの子であるすべてのファセットの sys_id が代わりに含まれます。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"facets": [`
	`  "510d7e2e73570010e37d71ef64f6a70d",`
	`  "bc9bfaaa73570010e37d71ef64f6a771"`
	`]`

result.icon	このファセットに関連付けられたアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.is_dynamic	このファセットが動的ファセットであるかどうかを示すフラグ。この値は、*children* 応答本文パラメーターに含まれる情報のタイプを決定します。 可能な値： • true：これは動的ファセットです。*children* 応答本文のパラメーター値にはアクティビティレコードの詳細が含まれ、*facets* パラメーターには動的ファセット sys_id が含まれます。 • false：これは静的ファセット (ファセットグループ) です。*children* 応答本文のパラメーター値には子ファセットが含まれ、*facets* パラメーターにはこれらの子ファセットの sys_id が含まれます。 データタイプ：ブーリアン
result.message	要求の処理中に発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.name	ファセットまたはファセットグループの名前。 データタイプ：文字列
result.status	要求に対して返された HTTP ステータスコード。 可能な値: ステータスコードの表を参照してください。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

連絡先のチャット、電話、ナレッジ記事のファセットとアクティビティカウントを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/actsub/facets/4a6a035a73d30010e
37d71ef64f6a714/ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417\
?get_activity_count=true\
&facets=510d7e2e73570010e37d71ef64f6a70d,bc9bfaaa73570010e37d71ef64f6a771
,c72d7e2e73570010e37d71ef64f6a7b8" \
--request GET \
--header "Accept: application/json" \
--user "username:password"
```

応答の本文には、要求された 3 つのファセットがそのファセットグループの子として含まれ、アクティビティカウントが表示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "is_dynamic": false,
      "name": "Interactions",
      "activity_count": 4.0,
      "facets": [
        "510d7e2e73570010e37d71ef64f6a70d",
        "bc9bfaaa73570010e37d71ef64f6a771"
      ],
      "children": [
        {
          "facet": "510d7e2e73570010e37d71ef64f6a70d",
          "icon": "chat_outline",
          "activity_count": 2.0,
          "title": "Chat"
        },
        {
          "facet": "bc9bfaaa73570010e37d71ef64f6a771",
          "icon": "phone_outline",
          "activity_count": 2.0,
          "title": "Phone"
        }
      ]
    },
    {
      "is_dynamic": false,
      "name": "Portal Activity",
      "activity_count": 5.0,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "facets": [
        "c72d7e2e73570010e37d71ef64f6a7b8"
      ],
      "children": [
        {
          "facet": "c72d7e2e73570010e37d71ef64f6a7b8",
          "icon": "document_outline",
          "activity_count": 5.0,
          "title": "Knowledge articles"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

Agent Client Collector API

Agent Client Collector API は、利用可能なエージェントのアクションと管理ポリシーを管理するためのエンドポイントを提供します。

この API は、エージェントクライアントコレクター Framework (sn_agent) ストアアプリケーションを必要とし、`sn_agent` 名前空間内で提供されます。この API のエンドポイントには agent_client_collector_admin ロールが必要です。詳細については、「エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

エージェント管理エンドポイント

- 1 つ以上のエージェントの詳細情報を取得します。これらのエンドポイントには、agent_client_collector_user ロールを持つユーザーもアクセスできます。
  - GET /agents/{agent_id}
  - GET /agents/list
- 要求を送信してエージェントログを取得し、要求の進捗状況に関する情報を取得します。
  - GET /agents/{agent_id}/log
  - GET /agents/log/{request_id}/
- エージェントデータ収集を無効または有効にします。
  - GET /agents/{agent_id}/data/off
  - GET /agents/{agent_id}/data/on
- GET /agents/{agent_id}/restart を使用してエージェントを再起動します。
- GET /agents/{agent_id}/discovery を使用してエージェントで検出を実行します。

スクリプトインクルードで同様のタスクを実行する方法については、「AccAgentsAPI」を参照してください。

ポリシー管理とワークフロー

ポリシー管理 API を使用して、詳細の表示、ポリシーの有効化/無効化、ポリシーの更新、ポリシーの公開を行います。

ポリシーを更新するには：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. GET /agents/policies/list を使用してポリシーと詳細のリストを取得します。このエンドポイントには agent_client_collector_user ロールが必要です。
   - 「ドラフト」ステータスのポリシーを更新するには、更新エンドポイントのポリシーリストから取得した sys_id を使用します。
   - 「公開済み」または「公開済み*」ステータスのポリシーを更新するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用して、編集可能なサンドボックスのコピーを取得します。この応答の sys_id を使用して、更新エンドポイントを使用してプロパティを変更します。
2. 更新エンドポイントを使用してポリシーの詳細を変更します。
   - POST /agents/update/policy/{policy_id}
   - POST /agents/update/check/{check_id}
   - POST /agents/update/check_param/{param_id}
   - POST /agents/update/check_secure_param/{param_id}
3. GET /agents/policy/publish/{policy_id} を使用してポリシーを公開します。

公開されると、ポリシーは「アクティブ」になります。この API には、公開されたポリシーを有効または無効にするためのエンドポイントも含まれています。

- GET /agents/policy/activate/{policy_id}
- GET /agents/policy/deactivate/{policy_id}

Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}

指定されたエージェントの情報を取得します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/{agent_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、*GET /agents/list* エンドポイントを実行してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_user ロールがありません。
404	指定された ID のエージェントが見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
<Array>	エージェントの詳細情報を含む JSON オブジェクトのアレイ。 `{ "agent_id": "String", "data_collection": Number, "ip_address": "String", "is_duplicate": Boolean, "is_restart_enabled": Boolean, "name": "String", "number_of_running_checks": Number, "status": Number, "up_since": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"version": "String"
	}</pre>

agent_id	送信されたエージェントの ID。 データタイプ：文字列
data_collection	データ収集は、スケジュールされたチェックを実行するかどうかを示します。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 可能な値： • 0：オン - チェックがスケジュールどおりに実行されます。 • 1：オフ (手動) – チェックは手動で無効にされています。 • 2：オフ (自動) - CPU の消費量が多いため、チェックが自動的に無効になりました データタイプ：数値
ip_address	エージェントの IP アドレス。 データタイプ：文字列
is_duplicate	このエージェントが別のエージェントの複製であるかどうかを示すフラグ。指定されたホストには 1 つのエージェントのみが存在している必要があります。 可能な値： • true：エージェントは、異なるエージェント ID を持つアライブ/稼動エージェントと同じホストを持っています。重複をオフにするかアンインストールします • false：このエージェントには、アライブ/稼働ステータスの重複はありません。 データタイプ：ブール
is_restart_enabled	再起動が有効かどうかを示すフラグ。エージェントの再起動は構成できません。OS と、エージェントが実行されている OS のバージョンによって異なります。 可能な値： • true：このエージェントの再起動が有効です。 • false：このエージェントの再起動が無効です。 データタイプ：ブール
name	エージェントの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
number_of_running_checks	エージェントの実行がスケジュールされているチェックの数。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 データタイプ：数値
status	エージェントのステータス。 可能な値： • 0：アライブ/稼動 – エージェントはアクティブです。 • 1：警告 - エージェントは過去数分間にキープアライブメッセージを受信していません。 • 2：停止 - エージェントが長期間にわたってキープアライブメッセージを受信していません。 • 3：再起動中 - エージェントを再起動しています。 データタイプ：数値
up_since	エージェントのステータスがアライブ/稼働になってからの UTC 時間。値は GlideDateTime 形式です。 データタイプ：文字列
version	エージェントが実行している エージェントクライアントコレクターのバージョン。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エージェントの詳細を取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<agent_id>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "name": "WIN-V26KAP7PI2G",
  "status": 2,
  "agent_id": "074b14e2eb3ce9d4",
  "ip_address": "10.196.55.14",
  "number_of_running_checks": 11,
  "data_collection": 0,
  "is_restart_enabled": true,
  "is_duplicate": false,
  "up_since": "2021-03-31 12:02:17",
  "version": "2.3.0"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}/data/off

ステータスが稼働/アライブの指定エージェントでデータ収集を無効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エージェントのデータ収集がオンかオフかを判断するには、*GET /agents/{agent_id}* エンドポイントを実行します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/{agent_id}/data/off
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、*GET /agents/list* エンドポイントを実行してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	エージェントが見つからないか、稼働中/アライブ状態ではありません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エージェントのデータ収集を無効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<agent_id>/data/o
ff" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
"message": "Data Collection Disabled For Agent With ID: <agent_id>"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}/data/on

ステータスが稼働/アライブの指定エージェントでデータ収集を有効にします。

エージェントのデータ収集がオンかオフかを判断するには、*GET /agents/{agent_id}* エンドポイントを実行します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/{agent_id}/data/on`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、*GET /agents/list* エンドポイントを実行してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	エージェントが見つからないか、稼働中/アライブ状態ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エージェントのデータ収集を有効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<agent_id>/da
ta/on" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Data Collection Enabled For Agent With ID: <agent_id>"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}/discovery

検出チェックを実行して、エージェントに関連する CI を特定します。指定されたエージェントは、アライブ/稼働ステータスである必要があります。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/{agent_id}/discovery
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、*GET /agents/list* エンドポイントを実行してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	エージェントが見つからないか、稼働中/アライブ状態ではありません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アライブ/稼働ステータスのエージェントで検出を実行する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<agent_id>/discove
ry" \
--request GET \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Running Discovery For Agent With ID: <agent_id>"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/check_defs/{check_def_id}

詳細を含む指定されたチェック定義を取得します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/check_defs/{check_def_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
X-Include-Check-Params	既存のチェックパラメーターの詳細が返されるかどうかを示すフラグ。標準およびセキュアな各チェックパラメーターの情報は、JSON オブジェクトに含まれています。 有効な値： • true：チェックパラメーターの詳細を返します。 • false：チェックパラメーターの詳細を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：False

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	指定された sys_id のチェック定義が見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

プロパティ	説明
check	指定されたチェック定義の詳細。 `{ "background": Boolean, "check_group": "String", "check_type": "String", "command": "String", "error": "String", "name": "String", "params": [Array], "plugins": [Array], "proxy_valid": Boolean, "secure_params": [Array], "sys_id": "String", "timeout": Number }`
background	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始し、実行が終了するのを待たないチェックです。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	データタイプ：ブール
check_group	このチェック定義に指定されたグループ。 データタイプ：文字列
check_type	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。 データタイプ：文字列
error	エラーがある場合のメッセージ。それ以外の場合は Null です。 データタイプ：文字列
name	チェックの名前。 データタイプ：文字列
params	チェック定義に関連付けられたパラメーター定義のリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"params": [ { "active": Boolean, "default_value": "String", "mandatory": Boolean, "name": "String", "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
params.default_value	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
params.mandatory	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。 データタイプ：ブール
params.name	チェックパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
params.sys_id	チェックセキュアパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
plugins	このチェックに関連付けられている エージェントクライアントコレクター プラグイン のリスト。 データタイプ：アレイ
proxy_valid	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。 データタイプ：ブール
secure_params	このチェックにアサインされたリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
secure_params.active	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	データタイプ：ブール
secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値
secure_params.sys_id	チェックセキュアなパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列
timeout	タイムアウト (秒)。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次の例は、指定されたチェック定義の情報を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/check_defs/94436b2
37f705300f128134f8dfa91a4" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力:

```
{
  "name": "app.apache.metrics-apache",
  "command": "metrics-apache-graphite.rb -p {{.labels.params_port}}
 --path {{.labels.params_path}} -h {{.labels.params_host}}",
  "plugins": [
    "monitoring-plugin-common"
  ],
  "timeout": 60,
  "proxy_valid": true,
  "background": false,
  "check_type": "Metrics",
  "check_group": "Apache",
  "sys_id": "94436b237f705300f128134f8dfa91a4",
  "params": [
    {
      "name": "port",
      "active": true,
      "mandatory": true,
      "default_value": "80",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_id": "58436b237f705300f128134f8dfa91a8"
    },
    {
      "name": "path",
      "active": true,
      "mandatory": true,
      "default_value": "/server-status?auto",
      "sys_id": "98436b237f705300f128134f8dfa91aa"
    },
    {
      "name": "scheme",
      "active": false,
      "mandatory": false,
      "default_value": null,
      "sys_id": "a4e57a96db3bbb4035305c55dc9619f6"
    },
    {
      "name": "host",
      "active": true,
      "mandatory": true,
      "default_value": "127.0.0.1",
      "sys_id": "d4436b237f705300f128134f8dfa91a6"
    },
    {
      "name": "ssl_secure_connection",
      "active": false,
      "mandatory": false,
      "default_value": null,
      "sys_id": "e3b272c4530100106ffeddeeff7b1275"
    }
  ],
  "secure_params": [
    {
      "name": "cred_user_name",
      "active": true,
      "order": 1,
      "sys_id": "2494cd6e53170010f42cddeeff7b1273"
    },
    {
      "name": "cred_password",
      "active": true,
      "order": 2,
      "sys_id": "35948d6e53170010f42cddeeff7b127f"
    }
  ]
}
```


Agent Client Collector - GET /agents/check_defs/list

詳細を含むチェック定義のリストを取得します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/check_defs/list
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
X-Enc-Query	チェック定義の結果リストをフィルタリングするための エンコードされたクエリ文字列 。システム内のチェック定義のフィルタリングされていないリストには null を使用します。 データタイプ：文字列
X-Include-Check-Params	既存のチェックパラメーターの詳細が返されるかどうかを示すフラグ。標準およびセキュアな各チェックパラメーターの情報は、JSON オブジェクトに含まれています。 有効な値： • true：チェックパラメーターの詳細を返します。 • false：チェックパラメーターの詳細を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：False
X-Limit	返されるレコードの数を制限します。デフォルト値を使用するには、null に設定します。 データタイプ：数値 デフォルト：20,000

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
チェック定義	JSON オブジェクトとして指定されたチェック定義と詳細のリスト。 `[ { "background": Boolean, "check_group": "String", "check_type": "String", "command": "String", "name": "String", "params": [Array], "plugins": [Array], "proxy_valid": Boolean, "secure_params": [Array], "sys_id": "String", "timeout": Number } ]` データタイプ：アレイ
background	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始し、実行が終了するのを待たないチェックです。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。 データタイプ：ブール
check_group	このチェック定義に指定されたグループ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
check_type	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。 データタイプ：文字列
name	チェックの名前。 データタイプ：文字列
params	チェック定義に関連付けられたパラメーター定義のリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"params": [ { "active": Boolean, "default_value": "String", "mandatory": Boolean, "name": "String", "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
params.default_value	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。 データタイプ：文字列
params.mandatory	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。 データタイプ：ブール
params.name	チェックパラメーターの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
params.sys_id	チェックセキュアパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
プラグイン	このチェックに関連付けられている エージェントクライアントコレクター プラグイン のリスト。 データタイプ：アレイ
proxy_valid	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。 データタイプ：ブール
secure_params	このチェックにアサインされたリスト。これらの結果は、*withParams* パラメーターが true に設定されている場合にのみ含まれます。 `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]` データタイプ：アレイ
secure_params.active	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
secure_params.sys_id	チェックセキュアなパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列
timeout	タイムアウト (秒)。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次の例は、パラメーター値を持つ 2 つのチェック定義のリストを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/check_defs/list" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "check_definitions": [
    {
      "name": "checks_api_test",
      "command": "echo hello",
      "plugins": [],
      "timeout": 9,
      "proxy_valid": true,
      "background": false,
      "check_type": "TestCheck",
      "check_group": "computer",
      "sys_id": "7f1f9026dba530106f4810284b96194f",
      "params": [],
      "secure_params": [
        {
          "name": "check_api_test_check_secure_param2",
          "active": true,
          "order": 2,
          "sys_id": "2d30a066dba530106f4810284b9619c1"
        },
        {
          "name": "check_api_test_check_secure_param1",
          "active": true,
          "order": 100,
          "sys_id": "4c20a066dba530106f4810284b9619a8"
        }
      ]
    },
    {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "checks_api_test222",
      "command": "echo hello1212121",
      "plugins": [],
      "timeout": 60,
      "proxy_valid": true,
      "background": false,
      "check_type": "TestCheck",
      "check_group": "computer",
      "sys_id": "99e12466dba530106f4810284b961976",
      "params": [
        {
          "name": "check_api_test_check_param_222",
          "active": true,
          "mandatory": false,
          "default_value": "test_test_test",
          "sys_id": "44026466dba530106f4810284b9619b2"
        }
      ],
      "secure_params": []
    }
  ]
}
```


Agent Client Collector - GET /agents/exec/background/stop/{request_id}

バックグラウンドチェックを停止します。

バックグラウンドチェックを開始するには、*POST /agents/check_defs/{check_def_id}/run* API を使用します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/exec/background/stop/{request_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
request_id	*POST /agents/check_defs/{check_def_id}/run* API を実行して生成されたバックグラウンドチェック要求の ID。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	指定された ID の要求が見つかりません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

次の例は、バックグラウンドチェックを停止する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/exec/background/stop/02359174db2a30108a0751f4f3961997" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

Agent Client Collector - GET /agents/exec/run/{request_id}

指定された ID の要求のステータスを取得します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/exec/run/{request_id}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
request_id	`POST /agents/check_defs/{check_def_id}/run` API を実行して生成されたバックグラウンドチェック要求の ID。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。`application/json` のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
202	要求が進行中であることを示す、指定された ID のメッセージ。
400	要求本文で指定された引数にエラーがあります。
404	指定された ID の要求が見つかりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
408	指定された ID の要求の実行タイムアウト。
500	指定された ID のステータスまたは要求のチェック中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
status	要求ステータス。 可能な値： • done - チェックに成功しました。 • failure – チェックに失敗しました。詳細はエラーメッセージを参照してください。 • mid_flow – 要求の出力は MID サーバーによって処理されています。 • processing – チェックが進行中です。 • timeout – チェックの処理が `runCheckForCis()` メソッドで設定された時間制限を超えました。 データタイプ：文字列
err_msg	エラーメッセージ (存在する場合)。 可能な値： • 関連する CI のエージェントが見つかりません。 • 指定された ID のバックグラウンドチェック要求はありません。 • 指定された ID の要求はありません。 • 指定された ID のテスト結果はありません。 • 要求タイムアウト。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、要求のステータスを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/exec/run/12fed13cd
b2a30108a0751f4f3961981" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

Agent Client Collector - GET /agents/exec/test/{test_result_id}

指定されたテスト結果のテストチェックステータスを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/exec/test/{test_result_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
test_result_id	テストチェック要求の作成によって生成されるテスト結果 ID。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
202	要求が進行中であることを示す、指定された ID のメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	指定された ID の要求が見つかりません。
408	指定された ID の要求の実行タイムアウト。
500	指定された ID の要求のステータスのチェック中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

プロパティ	説明
status	テスト結果のステータス。 可能な値： • 0：処理待ち • 1：処理中 • 2：完了 • 3：指定された ID のテスト結果なし データタイプ：文字列
output	ステータスを説明する出力。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、完了したテストチェック要求の結果ステータスを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/check_instances/99
e12466dba530106f4810284b961976/test" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

Agent Client Collector - GET /agents/check_defs/list

関連情報を含むエージェントのリストを取得します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/list
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
X-Enc-Query	標準の Glide 形式の Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルのエンコードクエリ。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。
X-Limit	結果をエージェントの最大数に制限します。必要ない場合は、両方に null または undefined を使用します。デフォルト/最大：20,000 データタイプ：数値

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_user ロールがありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

プロパティ	説明
<Array>	エージェントの詳細情報を含む JSON オブジェクトのアレイ。 `[ { "agent_id": "String", "data_collection": Number, "ip_address": "String", "is_duplicate": Boolean, "is_restart_enabled": Boolean, "name": "String", "number_of_running_checks": Number, "status": Number, "up_since": "String", "version": "String" } ]`
agent_id	送信されたエージェントの ID。 データタイプ：文字列
data_collection	データ収集は、スケジュールされたチェックを実行するかどうかを示します。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 可能な値： • 0：オン - チェックがスケジュールどおりに実行されます。 • 1：オフ (手動) – チェックは手動で無効にされています。 • 2：オフ (自動) - CPU の消費量が多いため、チェックが自動的に無効になりました データタイプ：数値
ip_address	エージェントの IP アドレス。 データタイプ：文字列
is_duplicate	このエージェントが別のエージェントの複製であるかどうかを示すフラグ。指定されたホストには 1 つのエージェントのみが存在している必要があります。 可能な値： • true：エージェントは、異なるエージェント ID を持つアライブ/稼動エージェントと同じホストを持っています。重複をオフにするかアンインストールします • false：このエージェントには、アライブ/稼働ステータスの重複はありません。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
is_restart_enabled	再起動が有効かどうかを示すフラグ。エージェントの再起動は構成できません。OS と、エージェントが実行されている OS のバージョンによって異なります。 可能な値： • true：このエージェントの再起動が有効です。 • false：このエージェントの再起動が無効です。 データタイプ：ブール
name	エージェントの名前。 データタイプ：文字列
number_of_running_checks	エージェントの実行がスケジュールされているチェックの数。これらのチェックは、このエージェントが実行されるようにスケジュールされたポリシーの一部です。 データタイプ：数値
status	エージェントのステータス。 可能な値： • 0：アライブ/稼動 – エージェントはアクティブです。 • 1：警告 - エージェントは過去数分間にキープアライブメッセージを受信していません。 • 2：停止 - エージェントが長期間にわたってキープアライブメッセージを受信していません。 • 3：再起動中 - エージェントを再起動しています。 データタイプ：数値
up_since	エージェントのステータスがアライブ/稼働になってからの UTC 時間。値は GlideDateTime 形式です。 データタイプ：文字列
version	エージェントが実行している エージェントクライアントコレクター のバージョン。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、クエリと数値によって結果を制限する方法を示しています。このクエリーは、ダウンステータスでないすべてのエージェントを最大 2 つの結果とともに返します。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/list" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--header "X-Enc-Query: agent_extended_info.status!=2" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "X-Limit: 2" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
   "agents": [
     {
       "name": "007-175",
       "status": 0,
        "agent_id": "007-175",
       "ip_address": "11.222.63.66",
        "number_of_running_checks": 0,
       "data_collection": 0,
       "is_restart_enabled": false,
       "is_duplicate": false,
       "up_since": "2021-03-24 14:36:45",
       "version": "2.4.0"
     },
     {
       "name": "win2016-dc-64bit",
       "status": 0,
       "agent_id": "007-64",
       "ip_address": "10.222.333.42",
       "number_of_running_checks": 1,
       "data_collection": 0,
       "is_restart_enabled": true,
       "is_duplicate": false,
       "up_since": "2021-03-24 11:04:38",
       "version": "2.4.0"
     }
   ]
}
```

自動翻訳

Example: cURL 要求

次の例は、システム内のすべてのエージェントを一覧表示する方法を示しています。この例では、クエリと結果の最大数を使用していません。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/list" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}/log

アライブ/稼働ステータスの指定されたエージェントのログを要求します。

注: ログを取得してその進捗状況を確認するには、返された要求 ID を *GET /agents/log/{request_id}/* エンドポイントに渡します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/{agent_id}/log
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、`GET /agents/list` エンドポイントを実行してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。`application/json` のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	エージェントが見つからないか、稼働中/アライブ状態ではありません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
request_id	Agent Client Collector Requests [sn_agent_request] テーブル内の要求の sys_id。 この ID を使用して、*GET /agents/log/{request_id}/* エンドポイントでログを取得してその進捗状況を確認できます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ログ要求 ID を取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<sys_id>/log"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
"request_id": "<sys_id>"
```

Agent Client Collector - GET /agents/log/{request_id}/

ログ取得要求のステータスを確認します。

GET /api/sn_agent/agents/{agent_id}/log を使用して送信されたログ取得要求の変更を検出します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/log/{request_id}/`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
request_id	Agent Client Collector Requests [sn_agent_request] テーブル内の要求の sys_id。 要求 ID について、*GET /api/sn_agent/agents/{agent_id}/log* を実行します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求ステータスが完了し、取得されたログの準備ができました。
202	指定された ID のログ取得要求がまだ進行中です。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された ID のログ取得要求が見つかりません。
408	ログ取得要求はタイムアウトしました。
500	ログ取得要求でエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

プロパティ	説明
output	ステータスを説明する情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、要求 ID を使用してログ取得要求のステータスを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/log/<request_ID>"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力 :

```
{
  "output": "SensuSnReadFile OK:
 {\"component\":\"agent\",\"level\":\"info\",\"msg\":\"Agent Protection:
 cpu of all checks: 0%\",\"time\":\"2021-04-05T00:21:41-07:00\"},...
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/policies/list

ステータスが公開済みまたは未公開ドラフトであるポリシーのリストを取得します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/policies/list`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
X-Enc-Query	オプション。 標準の Glide 形式のエンコードされたクエリ文字列。「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。
X-Include-Check-Params	オプション。チェックインスタンスとそのパラメーターを結果に返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックインスタンスとそのパラメーターを結果に含めます。 • false：チェックインスタンスとそのパラメーターを結果に含めません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
X-Include-Checks-And-Agents	オプション。チェックインスタンスとエージェントを結果に含めるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックインスタンスとエージェントを結果に含めます。 • false：チェックとエージェントを結果に含めません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_user ロールがありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

オブジェクト

プロパティ	説明
ポリシー	取得されたポリシーのリスト。特定の要求ヘッダーを使用してクエリした場合は、結果にチェックとエージェントが含まれます。ポリシーの詳細については、「デフォルトのチェックとポリシー」を参照してください。 `{ "policies": [{ "active": Boolean, "agent_ids": "String", "checks": [Array], "cred_alias": "String", "credential_alias": "String", "filter": "String", "interval": "Number", "monitored_ci_group": "String", "monitored_ci_script": "String", "monitored_ci_type_filter": Boolean, "monitored_ci_type_group": Boolean, "monitored_ci_type_script": "String", "name": "String", "params": [Array], "publish_status": "String", "secure_params": [Array], "sys_id": "String", "sys_updated_on": "String", "table": "String" }] }` データタイプ：アレイ
policies.active	ポリシーがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	• true：ポリシーはアクティブです。 • false:ポリシーはアクティブではありません。 データタイプ：ブーリアン
policies.agent_ids	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。これらの結果は、*X-Include-Checks-And-Agents* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 エージェントの詳細情報を確認するには、GET /agents/{agent_id} エンドポイントで ID を実行します。
policies.checks	チェックインスタンス [sn_agent_check] テーブルにリストされているチェックを定義するオブジェクトのリスト。これらの結果は、*X-Include-Checks-And-Agents* または *X-Include-Check-Params* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"checks": [ { "active": Boolean, "auto_generate": Boolean, "check_type": "String" "command_prefix": "String", "command": "String", "event_status_change_threshold": Number, "event_status_repair_threshold": Number, "interval": Number, "name": "String", "sys_id": "String", "timeout": "String" } ]`
policies.checks.active	ポリシーチェックがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	• true：ポリシーチェックはアクティブです。 • false：ポリシーチェックはアクティブではありません。 データタイプ：ブール
policies.checks.auto_generate	*command_prefix* 値を使用してコマンドを自動的に生成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：*command* プロパティにアクティブなパラメーター値を自動的に入力します。 • false:コマンドは自動的に生成されません。 データタイプ：ブーリアン
policies.checks.check_type	監視オプションを指定するチェックタイプ。 可能な値： • Discovery：エージェントに関連する CI を検索するチェック。 • Events：チェックの結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
policies.checks.command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。テンプレートまたは監視対象 CI から取得されたパラメーター。 注: *auto_generate* が true の場合、このプロパティには *parameters* オブジェクトにリストされているアクティブなパラメーターのプリフィックスとフラグが自動的に入力されます。 データタイプ：文字列
policies.checks.command_prefix	*auto_generate* プロパティが true の場合、このコマンドが自動生成に使用されます。プリフィックスは、スクリプト名など、静的な (変化しない) コマンドの部分で構成されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
policies.checks.event_status_change_threshold	新しいイベントが送信される前にチェックの応答ステータスが連続して発生する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [OK] から [エラー] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、[エラー] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値
policies.checks.event_status_repair_threshold	前のイベントをクローズするためにチェックの応答ステータスが連続して改善する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [エラー] から [OK] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、前のイベントがクローズされて [OK] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値
policies.checks.interval	チェックの実行間隔を待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 データタイプ：数値
policies.checks.name	チェックの名前。 データタイプ：文字列
policies.checks.sys_id	チェックインスタンス [sn_agent_check] テーブルにリストされているチェックの sys_id。 データタイプ：文字列
policies.checks.timeout	出力が返されないときにチェックの実行が停止するまでの時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックを実行して値が返されないまま 60 秒経過したときに実行が停止することを意味します。 データタイプ：文字列
policies.cred_alias	資格情報 [discovery_credentials] テーブルにリストされている名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：文字列
policies.credential_alias	接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルの資格情報エイリアスの sys_id。 データタイプ：文字列
policies.filter	指定された基準のみを監視するようにポリシーのチェックを制限するフィルター。 データタイプ：文字列
policies.interval	ポリシーチェックとチェックの間に待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 注: *checks.interval* プロパティの値は、このフィールドで設定された値を上書きします。 データタイプ：数値
policies.monitored_ci_group	ポリシーに関連付けられている CMDB グループ の名前。この CMDB は CMDB グループ [cmdb_group] テーブルにリストされています。 このフィールドは、*monitored_ci_type_group* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
policies.monitored_ci_script	CI を監視するためのスクリプト。 このフィールドは、*policies.monitored_ci_type_script* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
policies.monitored_ci_type_filter	CI タイプによるフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。CI タイプは *table* プロパティにリストされています。 有効な値： • true：チェックグループによるフィルタリングが有効です。 • false：チェックグループによるフィルタリングが無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：ブール
policies.monitored_ci_type_group	CMDB グループタイプによる監視が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CMDB グループタイプは有効です。 • false：CMDB グループタイプは無効です。 データタイプ：ブール
policies.monitored_ci_type_script	CI を監視するためのスクリプトが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CI を監視するためのスクリプトは有効です。 • false：CI を監視するためのスクリプトは無効です。 データタイプ：ブール
policies.name	ポリシーの名前。 データタイプ：文字列
policies.publish_status	ポリシーが公開されているかどうかを示します。 可能な値： • Draft：ポリシーは公開されておらず、更新エンドポイントを使用して編集できます。 • Published：ポリシーが公開されています。ドラフト (サンドボックスのコピー) と公開済みのコピーは同じです。 • Published*：ポリシーは公開されていますが、ドラフトコピー (サンドボックスビュー) には公開済みコピーにはない変更があります。 データタイプ：文字列
policies.sys_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブルにリストされているポリシーの sys_id。 データタイプ：文字列
policies.sys_updated_on	ポリシーが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
policies.table	ポリシーの監視対象 CI タイプ フィールド。このフィールドは、*monitored_ci_type_filter* が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
policies.params	チェックパラメーター [sn_agent_check_param] テーブルにリストされているチェックパラメーターの情報を含むオブジェクトのリスト。これらの結果は、*X-Include-Check-Params* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"params": [ { "active": Boolean, "flag": "String", "mandatory: Boolean, "name": "String", "sys_id": "String", "value": "String", "value_required": Boolean } ]`
policies.params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
policies.params.flag	チェックの発動時に使用するパラメーターフラグ。 データタイプ：文字列
policies.params.mandatory	チェックが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェックは必須です。 • false：このチェックはオプションです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	データタイプ：ブール
policies.params.name	パラメーターの名前です。 データタイプ：文字列
policies.params.sys_id	チェックパラメーター [sn_agent_check_param] テーブルにリストされたパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列
policies.params.value	パラメーターの値。 データタイプ：文字列
policies.params.value_required	value プロパティによって提供される情報が必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：value プロパティは必須です。 • false：value プロパティは null かまたは必須ではありません。 データタイプ：ブール
policies.secure_params	チェックセキュアパラメーター [sn_agent_check_secure_param] テーブルにリストされているチェックセキュアパラメーターの情報を含むオブジェクトのリスト。詳細については、「チェックのセキュアなパラメーターを作成する」を参照してください。これらの結果は、*X-Include-Check-Params* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]`
policies.secure_params.active	チェックのセキュアなパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクト (続く)

プロパティ	説明
	• true：チェックのセキュアなパラメーターはアクティブです。 • false：チェックのセキュアなパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
policies.secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
policies.secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値
policies.secure_params.sys_id	チェックのセキュアなパラメーター [sn_agent_check_secure_param] テーブルのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、クエリと数値によって結果を制限する方法を示しています。クエリは、関連付けられたエージェントのすべてのアクティブなポリシーと ID を返します。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/policies/list"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--header 'X-Enc-Query: active=true ' \
--header 'X-Include-Checks-And-Agents: true' \
--user 'username' : 'password'
```

出力：

```
{
  "policies": [
    {
      "name": "Basic Discovery",
      "sys_id": "68bfd27c536113006dfeddeeff7b12be",
      "active": "true",
      "interval": "43200",
      "sys_updated_on": "2020-07-21 10:14:12",
      "monitored_ci_type_filter": "true",
      "filter":
 "discovery_source=AgentClientCollector^ORlast_discoveredRELATIVELT@dayof
week@ago@14",
      "table": "cmdb_ci_server",
      "monitored_ci_type_script": "false",
      "monitored_ci_script": "/*\n      Provide a script to get monitored
 CI type. ...",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "monitored_ci_type_group": "false",
      "monitored_ci_group": "null// group name as seen in cmdb_group
 table",
      "cred_alias": "null// credential name as seen in
 discovery_credentials table",
      "credential_alias": "null// credential alias sys id as seen in
 sys_alias table",
      "publish_status": "Published",
      "checks": [
        {
          "name": "check-discovery-basic",
          "sys_id": "5b10c644c7e10010b9a4362c14c260aa",
          "active": "true",
          "command": "check_discover.rb",
          "command_prefix": "check_discover.rb",
          "auto_generate": "true",
          "timeout": "60",
          "interval": "43200",
          "event_status_change_threshold": null,
          "event_status_repair_threshold": null,
          "check_type": "Discovery"
        }
      ],
      "agent_ids": "b1faba21b066256f,a088b75b1b25b0a0"
    }
  ]
}
```


Agent Client Collector - GET /agents/policy/activate/{policy_id}

公開されたポリシーをアクティブにします。

公開されたポリシーのリストについては、GET /agents/policies/list を使用します。このエンドポイントは、ポリシーの *publish_status* プロパティの値が `Published` または `Published*` である sys_id のみをサポートします。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/policy/activate/{policy_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
policy_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブルにリストされている公開済みポリシーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

ヘッダー	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーをアクティブにする方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/policy/activate/<sys_id>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username' : 'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/policy/deactivate/{policy_id}

公開されたポリシーを無効にします。

公開されたポリシーのリストについては、GET /agents/policies/list を使用します。このエンドポイントは、ポリシーの *publish_status* プロパティの値が `Published` または `Published*` である sys_id のみをサポートします。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/policy/activate/{policy_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
policy_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブルにリストされている公開済みポリシーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

ヘッダー	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーを無効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/policy/deactiva
te/<sys_id>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username' : 'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Agent Client Collector - GET /agents/policy/publish/{policy_id}

ドラフトポリシーを公開します。

公開前にドラフトまたはサンドボックスのコピーを変更するには、次のいずれかのエンドポイントを使用します。

- POST /agents/update/policy/{policy_id}
- POST /agents/update/check/{check_id}
- POST /agents/update/check_param/{param_id}
- POST /agents/update/check_secure_param/{param_id}

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/policy/publish/{policy_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
policy_id	「ドラフト」ステータスまたはサンドボックスのコピーである、ポリシー [sn_agent_policy] テーブル内のポリシーの sys_id。 • ポリシーおよび公開ステータスを含む詳細のリストについては、GET /agents/policies/list を使用します。 • ポリシーのサンドボックスコピーを取得するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

ヘッダー	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーを公開する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/policy/publish/<sys_id>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username' : 'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Agent Client Collector - GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id}

公開されたポリシーのサンドボックスコピーを取得し、ポリシーの詳細を提供します。

サンドボックスのコピーを使用してポリシーを更新し、公開します。応答本文の sys_id を使用して、次のエンドポイントを操作できます。

- POST /agents/update/policy/{policy_id}
- POST /agents/update/check/{check_id}
- POST /agents/update/check_param/{param_id}
- POST /agents/update/check_secure_param/{param_id}

公開されたポリシーのリストについては、GET /agents/policies/list を使用します。このエンドポイントは、ポリシーの *publish_status* プロパティの値が `Published` または `Published*` である sys_id のみをサポートします。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
policy_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブルにリストされている公開済みポリシーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

プロパティ	説明
<Object>	ポリシーに関連付けられたサンドボックスコピーの拡張詳細。ポリシーの詳細については、「デフォルトのチェックとポリシー」を参照してください。 `{ "active": Boolean" "agent_ids": "String", "checks": [Array], "cred_alias": "String", "credential_alias": "String", "filter": "String", "interval": "Number", "monitored_ci_group": "String", "monitored_ci_script": "String", "monitored_ci_type_filter": Boolean, "monitored_ci_type_group": Boolean, "monitored_ci_type_script": "String", "name": "String", "params": [Array], "publish_status": "String", "secure_params": [Array], "sys_id": "String", "sys_updated_on": "String", "table": "String" }`
active	ポリシーがアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	有効な値： • true：ポリシーはアクティブです。 • false:ポリシーはアクティブではありません。 データタイプ：ブーリアン
agent_ids	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。これらの結果は、*X-Include-Checks-And-Agents* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 エージェントの詳細情報を確認するには、GET /agents/{agent_id} エンドポイントで ID を実行します。
checks	チェックインスタンス [sn_agent_check] テーブルにリストされているチェックを定義するオブジェクトのリスト。 `"checks": [ { "active": Boolean, "auto_generate": Boolean, "check_type": "String" "command_prefix": "String", "command": "String", "event_status_change_threshold": Number, "event_status_repair_threshold": Number, "interval": Number, "name": "String", "sys_id": "String", "timeout": "String" } ]` データタイプ：アレイ
checks.active	ポリシーチェックがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ポリシーチェックはアクティブです。 • false：ポリシーチェックはアクティブではありません。 データタイプ：ブール
checks.auto_generate	*command_prefix* 値を使用してコマンドを自動的に生成するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
	• true：*command* プロパティにアクティブなパラメーター値を自動的に入力します。 • false:コマンドは自動的に生成されません。 データタイプ：ブーリアン
checks.check_type	監視オプションを指定するチェックタイプ。 可能な値： • Discovery：エージェントに関連する CI を検索するチェック。 • Events：チェックの結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
checks.command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。テンプレートまたは監視対象 CI から取得されたパラメーター。 注: *auto_generate* が true の場合、このプロパティには *parameters* オブジェクトにリストされているアクティブなパラメーターのプリフィックスとフラグが自動的に入力されます。 データタイプ：文字列
checks.command_prefix	*auto_generate* プロパティが true の場合、このコマンドが自動生成に使用されます。プリフィックスは、スクリプト名など、静的な (変化しない) コマンドの部分で構成されます。 データタイプ：文字列
checks.event_status_change_threshold	新しいイベントが送信される前にチェックの応答ステータスが連続して発生する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [OK] から [エラー] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、[エラー] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値
checks.event_status_repair_threshold	前のイベントをクローズするためにチェックの応答ステータスが連続して改善する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [エラー] から [OK] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、前の

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
	イベントがクローズされて [OK] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値
checks.interval	チェックの実行間隔を待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 データタイプ：数値
checks.name	チェックの名前。 データタイプ：文字列
checks.sys_id	チェックインスタンス [sn_agent_check] テーブルにリストされているチェックの sys_id。POST /agents/update/check/{check_id} エンドポイントは、この値を取得してサンドボックスのコピーを更新します。 データタイプ：文字列
checks.timeout	出力が返されないときにチェックの実行が停止するまでの時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックを実行して値が返されないまま 60 秒経過したときに実行が停止することを意味します。 データタイプ：文字列
cred_alias	資格情報 [discovery_credentials] テーブルにリストされている名前。 データタイプ：文字列
credential_alias	接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルの資格情報エイリアスの sys_id。 データタイプ：文字列
filter	指定された基準のみを監視するようにポリシーのチェックを制限するフィルター。 データタイプ：文字列
interval	ポリシーチェックとチェックの間に待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 **注:** *checks.interval* プロパティの値は、このフィールドで設定された値を上書きします。 データタイプ：数値
monitored_ci_group	ポリシーに関連付けられている CMDB グループ の名前。この CMDB は CMDB グループ [cmdb_group] テーブルにリストされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	このフィールドは、*monitored_ci_type_group* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
monitored_ci_script	CI を監視するためのスクリプト。 このフィールドは、*policies.monitored_ci_type_script* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
monitored_ci_type_filter	CI タイプによるフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。CI タイプは *table* プロパティにリストされています。 有効な値： • true：チェックグループによるフィルタリングが有効です。 • false：チェックグループによるフィルタリングが無効です。 データタイプ：ブール
monitored_ci_type_group	CMDB グループタイプによる監視が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CMDB グループタイプは有効です。 • false：CMDB グループタイプは無効です。 データタイプ：ブール
monitored_ci_type_script	CI を監視するためのスクリプトが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CI を監視するためのスクリプトは有効です。 • false：CI を監視するためのスクリプトは無効です。 データタイプ：ブール
name	ポリシーの名前。 データタイプ：文字列
publish_status	ポリシーが公開されているかどうかを示します。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• Draft：ポリシーは公開されておらず、更新エンドポイントを使用して編集できます。 • Published：ポリシーが公開されています。ドラフト (サンドボックスのコピー) と公開済みのコピーは同じです。 • Published*：ポリシーは公開されていますが、ドラフトコピー (サンドボックスビュー) には公開済みコピーにはない変更があります。 データタイプ：文字列
params	チェックパラメーター [sn_agent_check_param] テーブルにリストされているチェックパラメーターの情報を含むオブジェクトのリスト。これらの結果は、*X-Include-Check-Params* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"params": [ { "active": Boolean, "flag": "String", "mandatory: Boolean, "name": "String", "sys_id": "String", "value": "String", "value_required": Boolean } ]`
params.active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
params.flag	チェックの発動時に使用するパラメーターフラグ。 データタイプ：文字列
params.mandatory	チェックが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェックは必須です。 • false：このチェックはオプションです。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
params.name	パラメーターの名前です。 データタイプ：文字列
params.sys_id	チェックパラメーター [sn_agent_check_param] テーブルにリストされたパラメーターの sys_id。POST /agents/update/check_param/{param_id} エンドポイントは、この値を取得してサンドボックスのコピーを更新します。 データタイプ：文字列
params.value	パラメーターの値。 データタイプ：文字列
params.value_required	value プロパティによって提供される情報が必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：value プロパティは必須です。 • false：value プロパティは null かまたは必須ではありません。 データタイプ：ブール
secure_params	チェックセキュアパラメーター [sn_agent_check_secure_param] テーブルにリストされているチェックセキュアパラメーターの情報を含むオブジェクトのリスト。詳細については、「チェックのセキュアなパラメーターを作成する」を参照してください。これらの結果は、*X-Include-Check-Params* ヘッダーパラメーターが true に設定されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"secure_params": [ { "active": Boolean, "name": "String", "order": Number, "sys_id": "String" } ]`
secure_params.active	チェックのセキュアなパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックのセキュアなパラメーターはアクティブです。 • false：チェックのセキュアなパラメーターは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	データタイプ：ブール
secure_params.name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
secure_params.order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値
secure_params.sys_id	チェックセキュアなパラメーター [sn_agent_check_secure_param] テーブルにあるレコードの sys_id。POST /agents/update/check_secure_param/{param_id} エンドポイントは、この値を取得してサンドボックスのコピーを更新します。 データタイプ：文字列
sys_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブルにリストされているポリシーの sys_id。POST /agents/update/policy/{policy_id} エンドポイントは、この値を取得してサンドボックスのコピーを更新します。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	ポリシーが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
table	ポリシーの監視対象 CI タイプフィールド。このフィールドは、*monitored_ci_type_filter* が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Docker コンテナ測定基準ポリシーの情報を取得する方法を次に示します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/policy/sandbox_fro
m_published/<sys_id>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "name": "Docker Container Metrics",
  "sys_id": "b01e609a1b9fe4943e7f0b05464bcb91",
  "active": "false",
  "interval": "60",
  "sys_updated_on": "2021-04-05 19:52:28",
  "monitored_ci_type_filter": "true",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "filter": "operational_status=1",
  "table": "cmdb_ci_docker_container",
  "monitored_ci_type_script": "false",
  "monitored_ci_script": "/*\n Provide a script to get monitored CI
 type.",
  "monitored_ci_type_group": "false",
  "monitored_ci_group": "null// group name as seen in cmdb_group table",
  "cred_alias": "null// credential name as seen in discovery_credentials
 table",
  "credential_alias": "null// credential alias sys id as seen in
 sys_alias table",
  "publish_status": "Published",
  "checks": [
    {
      "name": "container.docker.metrics-docker",
      "sys_id": "701e609a1b9fe4943e7f0b05464bcb94",
      "active": "true",
      "command": "metrics-docker-stats.rb -N
 {{.labels.params_ci_container_id}} -P -n -i",
      "command_prefix": "metrics-docker-stats.rb -N
 {{.labels.params_ci_container_id}}",
      "auto_generate": "true",
      "timeout": "60",
      "interval": "60",
      "event_status_change_threshold": null,
      "event_status_repair_threshold": null,
      "check_type": "Metrics",
      "params": [
        {
          "name": "scheme",
          "sys_id": "c11e609a1b9fe4943e7f0b05464bcb97",
          "value": null,
          "active": "false",
          "mandatory": "false",
          "value_required": "true",
          "flag": "-s"
        },
        ...
        {
          "name": "docker_host",
          "sys_id": "cd1e609a1b9fe4943e7f0b05464bcb97",
          "value": null,
          "active": "false",
          "mandatory": "false",
          "value_required": "true",
          "flag": "-H"
        }
      ],
      "secure_params": []
    }
  ]
}
```


Agent Client Collector - GET /agents/{agent_id}/restart

アライブ/稼働ステータスの指定されたエージェントを再起動します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エージェントクライアントコレクター のパフォーマンスの問題が発生した場合は、エージェントを再起動できます。手動再起動は次の環境でサポートされています。

- `systemd` を使用する Linux ベースのエージェント
- Windows エージェント

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/{agent_id}/restart
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
agent_id	Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされるエージェントの一意の ID。 エージェント ID のリストおよびその他の詳細については、*`GET /agents/list`* エンドポイントを実行してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つからないか、このエージェントが再起動をサポートしていません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エージェントを再起動する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/<agent_id>/resta
rt" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Restarting Agent With ID: <agent_id>"
}
```

Agent Client Collector - POST /agents/check_defs/{check_def_id}/run

指定された構成アイテムに対してチェックを実行します。

バックグラウンドチェックを停止するには、*`GET /agents/exec/background/stop/{request_id}`* API で指定された要求 ID を使用します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/check_defs/{check_def_id}/run
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルのチェック定義の sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
params	パラメーターの名前と値のマップ。これらの設定を使用して、チェック定義のパラメーターレコードとその指定された値を上書きできます。 `"params": { "<parameter name>": "String" }` データタイプ：オブジェクト
priority	ECC キューに設定される要求の優先度。 可能な値： • 0：インタラクティブ • 1：迅速化済み • 2：標準 データタイプ：数値
クエリ	*table* プロパティで指定されたテーブルから GlideRecord を取得するためのエンコードされたクエリ。 データタイプ：文字列
table	このバックグラウンドチェックの cmdb_ci テーブルの名前。 データタイプ：文字列
timeout	要求のタイムアウト値 (秒)。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求本文で指定された引数にエラーがあります。
404	指定された ID のチェック定義が見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
requestId	生成されたバックグラウンドチェック要求の sys_id。

Example: cURL 要求

次の例は、バックグラウンドチェックを実行してその要求 ID を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/check_defs/a90d3c361be1301060d2773ad54bcb6f/run" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"table\":\"sn_agent_check_def\"}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "request_id": "278c0170db2a30108a0751f4f3961926"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agent Client Collector - POST /agents/check_defs/{check_def_id}/test

チェック定義に対するテストチェック要求の構築を有効にします。

この API は次のタスクに使用します。

- テストするチェック定義を設定
- テストを実行するための構成アイテムを設定

テスト中に使用する次のいずれかの識別子を指定することもできます。

- 資格情報 sys_id
- 資格情報エイリアス ID
- 資格情報名

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/check_defs/{check_def_id}/test
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
ci_id	CMDB 構成アイテムの sys_id
credentials_id	資格情報レコードの sys_id。
credentials_name	資格情報レコードの名前。
credentials_alias_id	資格情報エイリアスレコードの sys_id。
credentials_alias_name	資格情報エイリアスの名前。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	テスト要求の構築中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
result_id	テスト結果レコードの sys_id。

Agent Client Collector - POST /agents/check_instances/{check_instance_id}/test

チェックインスタンスに対するテストチェック要求の構築を有効にします。

この API は次のタスクに使用します。

- テストするチェックインスタンスを設定
- テストを実行するための構成アイテムを設定

テスト中に使用する次のいずれかの識別子を指定することもできます。

- 資格情報 sys_id
- 資格情報エイリアス ID
- 資格情報名

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/check_instances/{check_instance_id}/test
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_instance_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
ci_id	CMDB 構成アイテムの sys_id
credentials_id	資格情報レコードの sys_id。
credentials_name	資格情報レコードの名前。
credentials_alias_id	資格情報エイリアスレコードの sys_id。
credentials_alias_name	資格情報エイリアスの名前。
proxy_agent_id	このチェックを実行するエージェントプロキシの一意の ID。この値は、Agent Client Collector [sn_agent_cmdb_ci_agent] テーブルの [Agent ID] 列にリストされます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	テスト要求の構築中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
result_id	テスト結果レコードの sys_id。

Agent Client Collector - POST /agents/update/check/{check_id}

選択したポリシーチェックを更新します。

ポリシーのサンドボックスコピーのプロパティを取得するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/update/check/{check_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_id	チェックインスタンス [sn_agent_check] テーブル内のポリシーチェックのサンドボックスコピーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
active	ポリシーチェックがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ポリシーチェックはアクティブです。 • false：ポリシーチェックはアクティブではありません。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
auto_generate	*command_prefix* 値を使用してコマンドを自動的に生成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：*command* プロパティにアクティブなパラメーター値を自動的に入力します。 • false:コマンドは自動的に生成されません。 データタイプ：ブーリアン
check_type	監視オプションを指定するチェックタイプ。 可能な値： • Discovery：エージェントに関連する CI を検索するチェック。 • Events：チェックの結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。テンプレートまたは監視対象 CI から取得されたパラメーター。 注: *auto_generate* が true の場合、このプロパティには *parameters* オブジェクトにリストされているアクティブなパラメーターのプリフィックスとフラグが自動的に入力されます。 データタイプ：文字列
command_prefix	*auto_generate* プロパティが true の場合、このコマンドが自動生成に使用されます。プリフィックスは、スクリプト名など、静的な (変化しない) コマンドの部分で構成されます。 データタイプ：文字列
event_status_change_threshold	新しいイベントが送信される前にチェックの応答ステータスが連続して発生する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [OK] から [エラー] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、[エラー] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
event_status_repair_threshold	前のイベントをクローズするためにチェックの応答ステータスが連続して改善する必要がある回数。設定されていない場合は null を返します。 たとえば、この値が 3 である場合、応答ステータスが [エラー] から [OK] に変化したチェックについて、そのステータス変化が 3 回連続して発生した後に、前のイベントがクローズされて [OK] ステータスの新しいイベントが生成されます。 データタイプ：数値
interval	チェックの実行間隔を待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 データタイプ：数値
name	チェックの名前。 データタイプ：文字列
timeout	出力が返されないときにチェックの実行が停止するまでの時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックを実行して値が返されないまま 60 秒経過したときに実行が停止することを意味します。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーチェックのイベント変更および修理プロパティを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check/<chec
k_sys_id>" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"event_status_change_threshold\" : \"2\",
    \"event_status_repair_threshold\" : \"1\"
}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

Agent Client Collector - POST /agents/update/check_def_params/{check_def_param_id}

指定されたチェックパラメーターの 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/update/check_def_params/{check_def_param_id}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_param_id	チェックパラメーター定義 [sn_agent_check_param_def] テーブルにリストされたチェックパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
default_value	このチェックパラメーターのデフォルト値を指定します。 データタイプ：文字列
mandatory	チェックパラメーターが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターは必須です。 • false：チェックパラメーターはオプションです。 データタイプ：ブーリアン
name	チェックパラメーターの名前。 データタイプ：文字列

注: チェック定義のフィールドとタイプの包括的なリストについては、データディクショナリを参照してください。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	指定された sys_id のチェックパラメーターが見つかりませんでした。
500	チェックパラメーターの更新中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
なし	成功またはエラーメッセージ。

Example: cURL 要求

次の例は、チェックパラメーターを有効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check_def_p
arams/02d89bb01b307490f271ea42b24bcb63" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"active\":\"true\"}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
"message": "Check Definition Parameter Updated Successfully"
```

Agent Client Collector - POST /agents/update/check_def_secure_params/{check_def_secure_param_id}

指定されたチェックセキュアパラメーターの 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/update/check_def_secure_params/
{check_def_secure_param_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_secure_param_id	チェックセキュアなパラメーター定義 [sn_agent_check_secure_param_def] テーブルにリストされたセキュアパラメーターの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
active	セキュアパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：セキュアパラメーターはアクティブです。 • false：セキュアパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	指定された sys_id のチェックセキュアなパラメーターが見つかりませんでした。
500	チェックセキュアなパラメーターの更新中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
なし	成功またはエラーメッセージ。

Example: cURL 要求

次の例は、チェックセキュアなパラメーターを有効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check_def_secure_params/2d30a066dba530106f4810284b9619c1" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"active\":\"true\"}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
"message": "Check Definition Secure Parameter Updated Successfully"
```

Agent Client Collector - POST /agents/update/check_defs/{check_def_id}

指定されたチェック定義の 1 つ以上のフィールド値を変更できるようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/update/check_defs/{check_def_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
check_def_id	チェック定義 [sn_agent_check_def] テーブルにリストされたチェック定義の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
active	このチェック定義がアクティブかどうかを示します。 有効な値： • 0：このチェック定義は非アクティブです。 • 1：このチェック定義はアクティブです。 データタイプ：数値
background	このチェック定義がバックグラウンドチェックかどうかを示すフラグ。バックグラウンドチェックは、エージェントが実行を開始するチェックであり、エージェントが実行を終了するまで待機しません。 有効な値： • true：このチェック定義はバックグラウンドチェックです。 • false：このチェック定義はバックグラウンドチェックではありません。 データタイプ：ブール
check_group	このチェック定義に指定されたグループ。
check_type	チェックのタイプ。 可能な値： • Events：チェック結果が Event Management イベントに変換されます。 • Metrics：チェック結果からの値が測定基準に変換されます。 データタイプ：文字列
command	エージェントクライアントコレクター が実行するコマンド。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	チェックの名前。 データタイプ：文字列

params	パラメーターの名前と値のマップ。これらの設定を使用して、チェック定義のパラメーターレコードとその指定された値を上書きできます。
	
	`"params": {`
	`  "<parameter name>": "String"`
	`}`
	
	データタイプ：オブジェクト

プラグイン	のリスト エージェントクライアントコレクター プラグイン このチェックに関連付けられています。 データタイプ：アレイ
proxy_valid	チェック定義ポリシーがプロキシとして機能するように設定されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されています。 • false：このチェック定義ポリシーはプロキシとして機能するように設定されていません。 データタイプ：ブーリアン
クエリ	*table* プロパティで指定されたテーブルから GlideRecord を取得するためのエンコードされたクエリ。 データタイプ：文字列
table	このチェックの cmdb_ci テーブルの名前。 データタイプ：文字列
timeout	タイムアウト (秒)。 データタイプ：数値

注: チェック定義のフィールドとタイプの包括的なリストについては、データディクショナリを参照してください。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	指定された sys_id のチェック定義が見つかりませんでした。
500	チェック定義の更新中にエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	成功またはエラーメッセージ。

Example: cURL 要求

次の例は、チェック定義を無効にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check_de
fs/99e12466dba530106f4810284b961976" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"active\":\"false\"}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
"message": "Check Definition Updated Successfully"
```

Agent Client Collector - POST /agents/update/check_param/{param_id}

選択したポリシーチェックパラメーターを更新します。

ポリシーのサンドボックスコピーのプロパティを取得するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/update/check_param/{param_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
param_id	チェックパラメーター [sn_agent_check_param] テーブル内のチェックパラメーターのサンドボックスコピーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
active	チェックパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックパラメーターはアクティブです。 • false：チェックパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
フラグ	
mandatory	チェックが必須かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このチェックは必須です。 • false：このチェックはオプションです。 データタイプ：ブール
name	パラメーターの名前です。 データタイプ：文字列
value	パラメーターの値。 データタイプ：文字列
value_required	value プロパティによって提供される情報が必須かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• true：value プロパティは必須です。 • false：value プロパティは null かまたは必須ではありません。 データタイプ：ブール

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーチェックパラメーターのいくつかのプロパティを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check_par
am/<param_sys_id>" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"flag\" : \"-d\",
   \"mandatory\" : \"true\",
   \"name\" : \"scheme2\",
   \"value\" : \"120\",
   \"value_required\" : \"false\"
}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

Agent Client Collector - POST /agents/update/check_secure_param/{param_id}

選択したポリシーのチェックセキュアなパラメーターを更新します。

ポリシーのサンドボックスコピーのプロパティを取得するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用します。

URL 形式

`/api/sn_agent/agents/update/check_secure_param/{param_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
param_id	チェックセキュアなパラメーター [sn_agent_check_secure_param] テーブル内のポリシーのチェックセキュアなパラメーターのサンドボックスコピーの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
active	チェックのセキュアなパラメーターがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：チェックのセキュアなパラメーターはアクティブです。 • false：チェックのセキュアなパラメーターは非アクティブです。 データタイプ：ブール
name	セキュアパラメーターの名前。 データタイプ：文字列
order	パラメーターがチェックコマンド/スクリプトに送信される順序。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーのチェックセキュアなパラメーターのプロパティを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/check_secur
e_param/<param_sys_id>" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"name\" : \"new name\",
   \"order\" : \"2\"
}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

Agent Client Collector - GET /agents/policy/activate/{policy_id}

ポリシーのサンドボックスコピーを更新します。

ポリシーのサンドボックスコピーのプロパティを取得するには、GET /agents/policy/sandbox_from_published/{policy_id} を使用します。

URL 形式

```
/api/sn_agent/agents/update/policy/{policy_id}
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
policy_id	ポリシー [sn_agent_policy] テーブル内のポリシーのサンドボックスコピーの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
cred_alias	資格情報 [discovery_credentials] テーブルにリストされている名前。 データタイプ：文字列
credential_alias	接続および資格情報エイリアス [sys_alias] テーブルの資格情報エイリアスの sys_id。 データタイプ：文字列
filter	指定された基準のみを監視するようにポリシーのチェックを制限するフィルター。 データタイプ：文字列
interval	ポリシーチェックとチェックの間に待機する時間 (秒)。たとえば、値 60 は、チェックが 60 秒ごとに実行されることを意味します。 注: *checks.interval* プロパティの値は、このフィールドで設定された値を上書きします。 データタイプ：数値
monitored_ci_group	ポリシーに関連付けられている CMDB グループ の名前。この CMDB は CMDB グループ [cmdb_group] テーブルにリストされています。 このフィールドは、*monitored_ci_type_group* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
monitored_ci_script	CI を監視するためのスクリプト。 このフィールドは、*policies.monitored_ci_type_script* プロパティの値が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列
monitored_ci_type_filter	CI タイプによるフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。CI タイプは *table* プロパティにリストされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • true：チェックグループによるフィルタリングが有効です。 • false：チェックグループによるフィルタリングが無効です。 データタイプ：ブール
monitored_ci_type_group	CMDB グループタイプによる監視が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CMDB グループタイプは有効です。 • false：CMDB グループタイプは無効です。 データタイプ：ブール
monitored_ci_type_script	CI を監視するためのスクリプトが有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：CI を監視するためのスクリプトは有効です。 • false：CI を監視するためのスクリプトは無効です。 データタイプ：ブール
name	ポリシーの名前。 データタイプ：文字列
table	ポリシーの監視対象 CI タイプフィールド。このフィールドは、*monitored_ci_type_filter* が true の場合にのみ適用されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーに agent_client_collector_admin ロールがありません。
404	指定された sys_id のレコードが見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
message	操作の成功または失敗の結果を含むメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ポリシーの名前およびフィルタープロパティ/フィールドを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_agent/agents/update/policy/<pol
icy_sys_id>" \--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"name\" : \"new policy name\",
  \"filter\" : \"operational_status=1\"
}" \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
  "message": "Operation was successful"
}
```

集計 API

集計 API は、既存のテーブルと列のデータに関する集計統計情報の計算を可能にするエンドポイントを提供します。

集計 API 要求の場合は、クエリ対象のテーブル内のすべてのレコードに対する読み取りアクセス権が必要です。ACL のために、要求元ユーザーがテーブル内のレコードにアクセスできない場合、要求は 403 Forbidden エラーを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

集計 - GET /now/stats/{tableName}

指定されたテーブルのレコードを取得し、返された値に対して集計関数を実行します。

<aggregate> を次のいずれかの集計関数に置き換えて、*sysparm_<aggregate>_fields* パラメーターまたは *sysparm_having=<aggregate>^field^operator^value* パラメーターのいずれかを使用して、実行する集計関数を指定できます。

- avg
- max
- min
- sum

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/stats/{tableName}`

デフォルトの URL：`/api/now/stats/{tableName}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
tableName	レコードを取得するテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	*sysparm_query* パラメーターの使用に代わるものです。キーがフィールドの名前である場合、キー値のペアを使用してクエリをフィルタリングできます。 たとえば、`&sysparm_query=active=true` パラメーターを使用する代わりに、`&active=true` を使用できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合に、表示値を使用できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、それぞれをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
sysparm_<aggregate>_fields	各集計操作を実行するフィールドのリスト。複数のフィールドを指定するには、それぞれをカンマで区切ります。たとえば、期間フィールドと優先度フィールドから平均値を取得するには、`sysparm_avg_fields=duration,priority` を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: クエリが意味のある結果を返すには、このパラメーター、*sysparm_count* パラメーター、またはその両方を指定します。どちらのパラメーターも渡されない場合、集計操作は実行されません。 データタイプ：文字列
sysparm_count	クエリで返されたレコードの数を返すかどうかを決定するフラグ。 **注:** クエリが意味のある結果を返すには、このパラメーター、*sysparm_<aggregate>_fields* パラメーター、またはその両方を指定します。どちらのパラメーターも渡されない場合、集計操作は実行されません。 データタイプ：文字列
sysparm_display_value	参照フィールドまたは選択フィールド別にグループ化するときのデータ取得操作。この値に基づいて、クエリでデータベースの表示値、実際の値、またはその両方が返されます。 • true：すべてのフィールドの表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。値が指定されていない場合、このパラメーターはデフォルトで false に設定されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。 データタイプ：文字列
sysparm_group_by	返されたデータのグループ化の基準となるフィールド。複数のフィールドを指定するには、各フィールドをカンマで区切ります (`sysparm_group_by=priority,state` など)。 データタイプ：文字列
sysparm_having	集計操作に基づくデータのフィルタリングを可能にする追加のクエリ。優先度が 3 を超えるクエリ結果内のレコードの数を取得するために、このパラメーターの値は `aggregate^field^operator^value` の構文に従う必要があります (`count^priority^>^3` など)。複数のクエリを指定するには、それぞれをカンマで区切ります (`ascount^state^=^1,avg^priority^>^3` など)。 データタイプ：文字列
sysparm_orderby	グループ化された結果の順序付けの基準となる値のリスト。フィールドまたは集計を使用して順序を指定できます。たとえば、`sysparm_orderby=AVG^state` を指定すると、平均ステータス値が低い結果のグループが最初に返されます。COUNT で並べ替えて、各グループのレコード数でレコードのグループを配置することもできます。 順序を指定すると、グループはデフォルトで昇順に並べられます。降順でソートするには、`^DESC` を使用します (`sysparm_orderby=state^DESC` など)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_query	エンコードされたクエリ。 例：`(sysparm_query=active=true)` `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
指定されたテーブルと指定された要求パラメーターに応じて異なります。	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/stats/incident?sysparm_avg_fiel
ds=reassignment_count%2Cbusiness_stc&sysparm_group_by=assignment_group" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": [
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "804162.7143",
          "reassignment_count": "1.0000"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "",
          "field": "assignment_group"
        }
      ]
    },
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "2037371.0000",
          "reassignment_count": "1.5000"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
          "field": "assignment_group"
        }
      ]
    },
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "1821488.2857",
          "reassignment_count": "1.1111"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "8a5055c9c61122780043563ef53438e3",
          "field": "assignment_group"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      ]
    },
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "1730322.0000",
          "reassignment_count": "1.2500"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e",
          "field": "assignment_group"
        }
      ]
    },
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "1564478.6250",
          "reassignment_count": "1.2500"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "d625dccec0a8016700a222a0f7900d06",
          "field": "assignment_group"
        }
      ]
    },
    {
      "stats": {
        "avg": {
          "business_stc": "1512202.2500",
          "reassignment_count": "1.1111"
        }
      },
      "groupby_fields": [
        {
          "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7",
          "field": "assignment_group"
        }
      ]
    }
  ]
}
```


AI 検索 外部ユーザーマッピング API

AI Search 外部ユーザーマッピング API は、外部ソースから ServiceNow® AI 検索 アプリケーションのインデックスへのユーザーマッピング情報の取り込みを可能にするエンドポイントを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI 検索 外部ユーザーマッピング - POST /ais/external_content/user_mapping/import_multiple/{target_table}

外部ユーザーマッピングのリストを AI 検索 ユーザーマッピングテーブルにインポートします。各マッピングは、Now Platform ユーザーに対して外部で定義されたユーザーとグループのエイリアスを指定します。AI 検索 はこれらのエイリアスを使用して、ユーザーが表示できる外部ドキュメントの検索結果を決定します。

外部コンテンツセキュリティ AI 検索 外部ユーザーマッピングを利用する方法については、「AI 検索の外部コンテンツセキュリティ」を参照してください。

外部ユーザーマッピングのユーザー名とグループ名は、外部コンテンツ取り込み API の *POST /ais/external_content/ingestDocument/{schema_table_name}* エンドポイントを介して取り込まれた外部ドキュメントのセキュリティアクセス権限で指定されているものと一致する必要があります。外部で定義されたユーザーおよびグループのセキュリティアクセス権限を持つ外部ドキュメントの取り込みの詳細については、「外部コンテンツ取り込み API」を参照してください。

このエンドポイントを介してインポートされた外部ユーザーマッピングレコードのインポート履歴を表示するには、次の場所に移動します: *AI* 検索 > 外部コンテンツ > ユーザーマッピングインポート履歴. 履歴レコードから、インポートタスクのインポートセット [sys_import_set] およびマルチインポートセット [sys_multi_import_set] レコードを表示できます。これらのレコードの情報を使用して、外部ユーザーマッピングが正しくインポートされたことを確認します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/ais/external_content/user_mapping/import_multiple/{target_table}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
target_table	インポートされたマッピングを表示させる AI 検索 ユーザーマッピングテーブルの名前。たとえば、`x_snc_sharepoint_user_table` などです。 **注:** ターゲット AI 検索 ユーザーマッピングテーブルは、*AI* 検索 > 外部コンテンツ > ユーザーマッピングの作成 このエンドポイントを使用する前に存在しないユーザーマッピングテーブルを指定すると、要求は失敗します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
{object}	必須です。名前なしオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `{ "records": [Array] }`
{object}.records	必須です。各オブジェクトが指定されたターゲットテーブルにインポートするユーザーマッピングを表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"records": [ { "external_group": [Array], "external_user": [Array], "mapping_value": "String" } ]`
{object}.records.external_group	**{object}.records.mapping_value** パラメーターで指定された Now Platform ユーザーのエイリアスとして設定される外部定義グループ名を各文字列とする文字列のアレイ。 データタイプ：アレイ 値は、ユーザーマッピング用に選択された外部定義グループの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例： `"external_group": [ "itil", "hr-admin", "report-dev" ]`
{object}.records.external_user	**{object}.records.mapping_value** パラメーターで指定された Now Platform ユーザーのエイリアスとして設定される外部定義ユーザー名を各文字列とする文字列のアレイ。 データタイプ：アレイ 値は、ユーザーマッピング用に選択された外部定義ユーザーアカウントの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例： `"external_user": [ "beth-anglin", "ad\beth.anglin",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre> "beth-anglin@sharepoint"]</pre>
{object}.records.mapping_value	ユーザー [sys_user] テーブル内の既存のレコードを一意に識別する [メール] フィールド値。要求内の外部で定義されたすべてのユーザーとグループのエイリアスは、このメールアドレスを持つ Now Platform ユーザーにマッピングされます。 **注:** API は、このパラメーターをユーザーマッピングレコードの一意の識別子として扱います。既存のユーザーマッピングレコードと同じ **mapping_value** を使用して別のユーザーマッピングをインポートすると、既存のレコードが新しいレコードで上書きされます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	要求の処理中に発生した発生したエラーを説明するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理中に発生したエラーのメッセージ。 データタイプ：文字列
import_set_id	成功した要求によってインポートセット [sys_import_set] テーブルに作成された新しいレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
multi_import_set_id	成功した要求によってマルチインポートセット [sys_multi_import_set] テーブルに作成された新しいレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result	失敗した要求の結果。要求が失敗した理由を説明するメッセージが含まれます。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。 有効な値： • *failure* データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

Now Platform ユーザーの Beth Anglin と Abel Tuter に対して外部で定義されたユーザーとグループのエイリアスを、x_snc_sharepoint_user_table という名前の AI 検索 ユーザーマッピングテーブルにインポートします。

```
curl -X POST
 'https://instance.servicenow.com/api/now/v1/ais/external_content/user_mapping/import_multiple/x_snc_sharepoint_user_table' \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password' \
  -d '{
    "records": [
      {
        "mapping_value": "beth.anglin@example.com",
        "external_user": [
          "ad\beth-anglin",
          "beth.anglin@sharepoint"
        ],
        "external_group": [
          "itil",
          "itil-admin",
          "itil-dev"
        ]
      },
      {
        "mapping_value": "abel.tuter@example.com",
        "external_user": [
          "ad\abel-tuter",
          "abel.tuter@sharepoint"
        ],
        "external_group": [
          "hr",
          "hr-admin",
          "hr-dev"
        ]
      }
    ]
  }'
```

応答には、生成されたインポートセットレコードとマルチインポートセットレコードの sys_id が表示されます。

```
{
  "import_set_id": "6e9ddb629d987010f877878bd9f0e9dd",
  "multi_import_set_id": "269ddb629d987010f877878bd9f0e9de"
}
```

Example: cURL 要求

空のマッピングレコードを含む無効な要求をインポートします。

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/now/v1/ais/external_content/user_mapping/import_multiple/u_ext_content_user_mapping' \
  --request POST \
  --user 'username':'password' \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  --header 'Accept: application/json' \
  --header 'Content-Type: application/json' \
  --data '{
    "records": [
      {
        "mapping_value": "beth.anglin@example.com",
        "external_user": [
          "ad\beth-anglin",
          "beth.anglin@sharepoint"
        ],
        "external_group": [
          "reports",
          "reports-admin",
          "reports-dev"
        ]
      },
      {}
    ]
  }'
```

要求はステータス 400 で失敗し、応答に失敗の内容が示されます。

```
{
  "result": "Error in processing the message"
}
```

アラーム管理オープン API

アラーム管理オープン API は、イベント [em_event] およびアラート [em_alert] テーブルからデータを作成、更新、および取得するためのエンドポイントを提供します。

テレコムアラーム管理オープン API (sn_ind_tmf642) は、TM Forum Open API 仕様の ServiceNow® 実装です。この API は、TMF642 Alarm Management API REST Specification Release 20 (2020 年 4 月) に基づいています。

呼び出し元ユーザーは、`sn_ind_tmf642.alarm_mgmt_integration` エンドポイントにアクセスする必要があります。

この API は `sn_ind_tmf642` 名前空間内で提供されます。

TM Forum Open API 仕様では、受信するすべてのインバウンド要求に対して同期応答が必要です。ペイロードをシステムに転送する前に、ソースの運用サポートシステム (OSS) で相関と重複排除を適用します。

この API を拡張して、必要なパラメーター、要求本文の検証、追加の REST 操作、およびフィールドマッピングに関するカスタマイズを実行できます。詳細については、次を参照してください：アラーム管理オープン API 開発者ガイドを参照してください。

アラーム管理オープン API は、TM Forum によって適合性が認定されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アラーム管理オープン **API – GET /sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm**

イベント [em_event] テーブルおよびアラート [em_alert] テーブルからすべてのアラームレコードリストを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
alarmRaisedTime	アラームが発せられた日付。日付がこのパラメーターの値に一致するアラームのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド： • alarmedObject • alarmRaisedTime • alarmType • crossedThresholdInformation • externalAlarmId • id • perceivedSeverity • probableCause • source • sourceSystemId • state • type デフォルト：すべてのフィールド データタイプ：文字列
id	アラーム ID。ID がこのパラメーターの値に一致するアラームのみが応答で返されます。イベント [em_event] テーブルの **Message key** フィールドにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：1000 最大：2000 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
probableCause	アラームの考えられる原因。考えられる原因がこのパラメーターの値に一致するアラームのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
state	アラームのステータス。ステータスがこのパラメーターの値に一致するアラームのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
sourceSystemId	アラームのソースシステム ID。ソースSys ID がこのパラメーターの値に一致するアラームのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"affectedService":[
	  {
	  "href": "String",
	  "id": "String"
	  },
	]</pre>

affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
affectedService.id	アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmDetails	アラームに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

alarmedObject	アラームオブジェクトの詳細。
	<pre>"alarmedObject":
	{
	  "href": "String",
	  "id": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

alarmedObject.id	アラームオブジェクトの一意の識別子。この値はシステム内の CI にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmedObject.href	アラームオブジェクトの詳細を取得するための URL 参照。 データタイプ：文字列
alarmedObjectType	イベントに関連付けられたオブジェクトのタイプまたはクラス。 データタイプ：文字列
alarmRaisedTime	ソースでアラームが発生した日時。 データタイプ：文字列
alarmReportingTime	OSS がアラームをレポートする日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	この値は *alarmRaisedTime* 値と異なる場合があります。たとえば、要素管理システム (EMS) がアラームリストを管理している場合： • *alarmRaisedTime* は、ネットワーク要素 (NE) によるアラーム検出の時間です。 • *alarmReportingTime* は、EMS アラームリスト内のストレージのアラームレポート時間です。 データタイプ：文字列
alarmType	アラームカテゴリ。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation	超過したしきい値に関する詳細。 `"crossedThresholdInformation": { "direction": "String", "granularity": "String", "indicatorName": "String", "indicatorUnit": "String", "observedValue": "String", "thresholdCrossingDescription": "String", "thresholdId": "String", "thresholdRef": "String" }` データタイプ：オブジェクト
crossedThresholdInformation.direction	しきい値交差方向。 可能な値： • UP • DOWN データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
crossedThresholdInformation.granularity	しきい値の超過についてインジケーターが評価される粒度。たとえば、 `5MINUTES` などです。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorName	アラームしきい値を超えるインジケーターの名前。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorUnit	超過したしきい値に対応するインジケーターの測定単位。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.observedValue	しきい値を超えるインジケーターを識別する番号。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdCrossingDescription	しきい値超過アラームのしきい値の詳細。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdId	アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdRef	しきい値オブジェクトの URL。 データタイプ：文字列
externalAlarmId	アラームを投稿しているソースシステムからのアラームの一意の識別子。 データタイプ：文字列
href	リソースの URL。 データタイプ：文字列
id	アラームペイロードをイベントとして識別して処理するシステムの一意の識別子。 データタイプ：文字列
perceivedSeverity	アラームの重大度。 可能な値： • CLEAR • CRITICAL

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列
plannedOutageIndication	このアラームの管理対象オブジェクトが計画された機能停止ステータスであることを示します。たとえば、計画メンテナンスやサービス停止などです。 データタイプ：文字列
probableCause	アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
proposedRepairActions	システムで利用可能な場合、アラームをトリガーする問題を解決する修正アクションを提供します。 データタイプ：文字列
serviceAffecting	アラームがサービスに影響を与えるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アラームはサービスパフォーマンスまたは可用性に影響します。 • false：アラームはサービスに影響しません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
sourceSystemId	ソースアラームのインスタンス ID。 データタイプ：文字列
specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
state	アラームのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • 準備完了 • 処理済み • 無視 • エラー 無効な値が指定された場合、ステータスは [準備完了] に設定されます。 ステータスが [準備完了] の場合、アラート [em_alert] テーブルにアラートが作成され、ステータスは [処理済み] になります。ステータスが [処理済み]、[無視]、または [エラー] の場合、アラートは作成されません。 デフォルト値：準備完了 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、すべてのアラームを取得します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
   {
      "externalAlarmId": "2212331",
      "alarmType": "QualityOfServiceAlarm23",
      "perceivedSeverity": "MAJOR",
      "probableCause": "ProbB",
      "sourceSystemId": "checkSB",
      "alarmedObject": {
         "id": "vManage_000000",
         "href": " http://api/alarmedobject/000000"
      },
      "crossedThresholdInformation": {
         "direction": "111",
         "granularity": "1234",
         "indicatorName": "sdfgds",
         "indicatorUnit": "asdfdsaf",
         "observedValue": "adsfds",
         "thresholdId": "12fasdfasdfasd",
         "thresholdCrossingDescription": "S23rtring",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
         "thresholdRef": "asdfasf"
      },
      "type": "QualityOfServiceAlarm",
      "ackState": "acknowledged",
      "specificProblem": "Inbound Traffic threshold crossed",
      "alarmedObjectType": "ROUTER",
      "alarmDetails": "Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000",
      "state": "processed",
      "alarmChangedTime": "2017-08-15T07:04:15.666Z",
      "proposedRepairActions": "Switch in standby equipment",
      "alarmReportingTime": "2017-06-15T07:04:15.666Z",
      "alarmRaisedTime": "2020-09-15T14:04:15.000Z",
      "plannedOutageIndication": "IN_SERVICE",
      "serviceAffecting": true,
      "affectedService": [
         {
            "id": "SD WAN Enterprise Solutions",
            "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
         },
         {
            "id": "Santa Clara SD WAN Application Service",
            "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
         }
      ],
      "source": "Alarm Management Open API",
      "href":
 "/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/001a0ca629078d10f87759e2f69e4c64_22
12331",
      "id": "001a0ca629078d10f87759e2f69e4c64_2212331"
   },
   {
      "externalAlarmId": "2212331",
      "alarmType": "QualityOfServiceAlarm23",
      "perceivedSeverity": "MAJOR",
      "probableCause": "ProbB",
      "sourceSystemId": "checkSB",
      "alarmedObject": {
         "id": "vManage_000000",
         "href": " http://api/alarmedobject/000000"
      },
      "crossedThresholdInformation": {
         "direction": "111",
         "granularity": "1234",
         "indicatorName": "sdfgds",
         "indicatorUnit": "asdfdsaf",
         "observedValue": "adsfds",
         "thresholdId": "12fasdfasdfasd",
         "thresholdCrossingDescription": "S23rtring",
         "thresholdRef": "asdfasf"
      },
      "type": "QualityOfServiceAlarm",
      "ackState": "acknowledged",
      "specificProblem": "Inbound Traffic threshold crossed",
      "alarmedObjectType": "ROUTER",
      "alarmDetails": "Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "state": "processed",
      "alarmChangedTime": "2017-08-15T07:04:15.666Z",
      "proposedRepairActions": "Switch in standby equipment",
      "alarmReportingTime": "2017-06-15T07:04:15.666Z",
      "alarmRaisedTime": "2020-09-15T14:04:15.000Z",
      "plannedOutageIndication": "IN_SERVICE",
      "serviceAffecting": true,
      "affectedService": [
         {
            "id": "SD WAN Enterprise Solutions",
            "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
         },
         {
            "id": "Santa Clara SD WAN Application Service",
            "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
         }
      ],
      "source": "Alarm Management Open API",
      "href":
 "/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/001c84aa29078d10f87759e2f69e4cfa_22
12331",
      "id": "001c84aa29078d10f87759e2f69e4cfa_2212331"
   }
]
```


アラーム管理オープン **API – GET /sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}**

イベント [em_event] テーブルまたはアラート [em_alert] テーブルから指定されたアラームレコードを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得するレコードの一意の識別子。イベント [em_event] テーブルの **Message key** フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド： • alarmedObject • alarmRaisedTime • alarmType

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• crossedThresholdInformation • externalAlarmId • id • perceivedSeverity • probableCause • source • sourceSystemId • state • type デフォルト値:すべてのフィールド データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の 1 つ以上の理由で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 無効なパスパラメーター。 • 無効な URI。
404	レコードが見つかりません。指定された ID に関連付けられたレコードがイベント [em_event] にもアラート [em_alert] テーブルにも見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"affectedService":[ { "href": "String", "id": "String" }, ]`
affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
affectedService.id	アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmDetails	アラームに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
alarmedObject	アラームオブジェクトの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"alarmedObject": { "href": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"id": "String"
	}</pre>

alarmedObject.id	アラームオブジェクトの一意の識別子。この値はシステム内の CI にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmedObject.href	アラームオブジェクトの詳細を取得するための URL 参照。 データタイプ：文字列
alarmedObjectType	イベントに関連付けられたオブジェクトのタイプまたはクラス。 データタイプ：文字列
alarmRaisedTime	ソースでアラームが発生した日時。 データタイプ：文字列
alarmReportingTime	OSS がアラームをレポートする日時。 この値は *alarmRaisedTime* 値と異なる場合があります。たとえば、要素管理システム (EMS) がアラームリストを管理している場合： • *alarmRaisedTime* は、ネットワーク要素 (NE) によるアラーム検出の時間です。 • *alarmReportingTime* は、EMS アラームリスト内のストレージのアラームレポート時間です。 データタイプ：文字列
alarmType	アラームカテゴリ。 データタイプ：文字列

crossedThresholdInformation	超過したしきい値に関する詳細。
	
	<pre>"crossedThresholdInformation":
	{
	"direction": "String",
	"granularity":
	"String",
	"indicatorName":
	"String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>{
	"indicatorUnit": "String",
	"observedValue": "String",
	"thresholdCrossingDescription": "String",
	"thresholdId": "String",
	"thresholdRef": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

crossedThresholdInformation.direction	しきい値交差方向。 可能な値： • UP • DOWN データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.granularity	しきい値の超過についてインジケーターが評価される粒度。たとえば、 `5MINUTES` などです。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorName	アラームしきい値を超えるインジケーターの名前。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorUnit	超過したしきい値に対応するインジケーターの測定単位。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.observedValue	しきい値を超えるインジケーターを識別する番号。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdCrossingDescription	しきい値超過アラームのしきい値の詳細。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdId	アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdRef	しきい値オブジェクトの URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
externalAlarmId	アラームを投稿しているソースシステムからのアラームの一意の識別子。 データタイプ：文字列
href	リソースの URL。 データタイプ：文字列
id	アラームペイロードをイベントとして識別して処理するシステムの一意の識別子。 データタイプ：文字列
perceivedSeverity	アラームの重大度。 可能な値： • CLEAR • CRITICAL • MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列
plannedOutageIndication	このアラームの管理対象オブジェクトが計画された機能停止ステータスであることを示します。たとえば、計画メンテナンスやサービス停止などです。 データタイプ：文字列
probableCause	アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
proposedRepairActions	システムで利用可能な場合、アラームをトリガーする問題を解決する修正アクションを提供します。 データタイプ：文字列
serviceAffecting	アラームがサービスに影響を与えるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：アラームはサービスパフォーマンスまたは可用性に影響します。 • false：アラームはサービスに影響しません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
sourceSystemId	ソースアラームのインスタンス ID。 データタイプ：文字列
specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
state	アラームのステータス。 有効な値： • 準備完了 • 処理済み • 無視 • エラー 無効な値が指定された場合、ステータスは [準備完了] に設定されます。 ステータスが [準備完了] の場合、アラート [em_alert] テーブルにアラートが作成され、ステータスは [処理済み] になります。ステータスが [処理済み]、[無視]、または [エラー] の場合、アラートは作成されません。 デフォルト値：準備完了 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、アラームを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/001a
0ca629078d10f87759e2f69e4c64_2212331" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。


```
{
   "externalAlarmId": "2212331",
   "alarmType": "QualityOfServiceAlarm23",
   "perceivedSeverity": "MAJOR",
   "probableCause": "ProbB",
   "sourceSystemId": "checkSB",
   "alarmedObject": {
      "id": "vManage_000000",
      "href": " http://api/alarmedobject/000000"
   },
   "crossedThresholdInformation": {
      "direction": "111",
      "granularity": "1234",
      "indicatorName": "ind_name",
      "indicatorUnit": "ind_unit",
      "observedValue": "232",
      "thresholdId": "200",
      "thresholdCrossingDescription": "sample_description",
      "thresholdRef": "sample_ref"
   },
   "type": "QualityOfServiceAlarm",
   "ackState": "acknowledged",
   "specificProblem": "Inbound Traffic threshold crossed",
   "alarmedObjectType": "ROUTER",
   "alarmDetails": "Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000",
   "state": "processed",
   "alarmChangedTime": "2017-08-15T07:04:15.666Z",
   "proposedRepairActions": "Switch in standby equipment",
   "alarmReportingTime": "2017-06-15T07:04:15.666Z",
   "alarmRaisedTime": "2020-09-15T14:04:15.000Z",
   "plannedOutageIndication": "IN_SERVICE",
   "serviceAffecting": true,
   "affectedService": [
      {
         "id": "SD WAN Enterprise Solutions",
         "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
      },
      {
         "id": "Santa Clara SD WAN Application Service",
         "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
      }
   ],
   "source": "Alarm Management Open API",
   "href":
 "/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/001a0ca629078d10f87759e2f69e4c64_22
12331",
   "id": "001a0ca629078d10f87759e2f69e4c64_2212331"
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アラーム管理オープン **API – PATCH /sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}**

指定されたアラームとすべての関連アラートを更新します。

このエンドポイントは、イベント [em_event] テーブルのイベントレコードの [追加情報] フィールドに応答本文を書き込みます。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新するレコードの一意の識別子。イベント [em_event] テーブルの **Message key** フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"affectedService":[ { "href": "String", "id": "String" }, ]`
affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
affectedService.id	必須。 アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
alarmChangedTime	アラーム所有システムでアラームが最後に変更された日時を示します。アラームが変更されると、アラームが指定されたリソースからの変更であるか、クライアントからの変更によってトリガーされたものであるかにかかわらず、この値が更新されます。 データタイプ：文字列
alarmDetails	アラームに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
alarmEscalation	アラームの重大度のエスカレーションを示すフラグ。 有効な値： • true：アラームの重大度にエスカレーションがあります。 • false：アラームの重大度は同じかそれ以下です。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
crossedThresholdInformation	超過したしきい値に関する詳細。 `"crossedThresholdInformation": { "direction": "String", "granularity": "String", "indicatorName": "String", "indicatorUnit": "String", "observedValue": "String", "thresholdCrossingDescription": "String", "thresholdId": "String", "thresholdRef": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト
crossedThresholdInformation.direction	しきい値交差方向。 可能な値： • UP • DOWN データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.granularity	しきい値の超過についてインジケーターが評価される粒度。たとえば、 `5MINUTES` などです。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorName	アラームしきい値を超えるインジケーターの名前。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorUnit	超過したしきい値に対応するインジケーターの測定単位。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.observedValue	しきい値を超えるインジケーターを識別する番号。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdCrossingDescription	しきい値超過アラームのしきい値の詳細。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdId	必須です。 アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdRef	しきい値オブジェクトの URL。 データタイプ：文字列
href	アラームへの URL 参照。 データタイプ：文字列
perceivedSeverity	必須です。アラームの重大度。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• CLEAR • CRITICAL • MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列
plannedOutageIndication	このアラームの管理対象オブジェクトが計画された機能停止ステータスであることを示します。たとえば、計画メンテナンスやサービス停止などです。 データタイプ：文字列
probableCause	必須。 アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
proposedRepairActions	システムで利用可能な場合、アラームをトリガーする問題を解決する修正アクションを提供します。 データタイプ：文字列
serviceAffecting	アラームがサービスに影響を与えるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アラームはサービスパフォーマンスまたは可用性に影響します。 • false：アラームはサービスに影響しません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 考えられる理由： • 無効なペイロード。必須のアラーム ID がありません。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません：<field name> 。 • 無効なペイロード。必須のオブジェクトがありません。 • イベントが作成されませんでした。失敗しました。 • イベントをクリアできません。 • イベントを更新できません。 • イベントが存在しません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
alarmChangedTime	アラーム所有システムの GMT でアラームが変更された日時。この値は GlideDateTime 形式で、Events [em_events] テーブルのレコードの *Time of event* フィールドにあります。この値は、アラームが指定されたリソースからのアラームへの変更が発生した場合、またはクライアント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	更新による変更によってアラームがトリガーされた場合に更新されます。この値は応答で必須です。 データタイプ：文字列
href	アラームへの URL 参照。 データタイプ：文字列
id	アラームの一意の識別子。アラームを所有するシステムによって決定される値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、重大度が MINOR に下がっています。

```
curl
 "https://<instance>.service-now.com/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/6
e116bb8db09201087b9a8394b961950_<external-alarm-id>" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
     \"href\":\"http://api/alarm/ROUTER_IF@Cisco-0000-0-0-0-0-00-00-0--
 Xz0/00@00\",
     \"externalAlarmId\":\"<external-alarm-id>\",
     \"alarmType\":\"QualityOfServiceAlarm\",
     \"type\":\"QualityOfServiceAlarm\",
     \"ackState\":\"acknowledged\",
     \"perceivedSeverity\":\"MINOR\",
     \"probableCause\":\"Threshold crossed\",
     \"specificProblem\":\"Inbound Traffic threshold crossed\",
     \"alarmedObjectType\":\"ROUTER\",
     \"alarmedObject\":{
        \"id\":\"vManage_000000\",
        \"href\":\" http://api/alarmedobject/000000\"
     },
     \"sourceSystemId\":\"SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00\",
     \"alarmDetails\":\"Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000\",
     \"alarmEscalation\": false,
     \"state\":\"RAISED\",
     \"alarmChangedTime\":\"2017-08-15T07:04:15.666Z\",
     \"proposedRepairActions\":\"Switch in standby equipment\",
     \"alarmReportingTime\":\"2017-06-15T07:04:15.666Z\",
     \"alarmRaisedTime\":\"2020-09-15T07:04:15.666Z\",
     \"plannedOutageIndication\":\"IN_SERVICE\",
     \"serviceAffecting\":true,
     \"affectedService\":[
        {
           \"id\":\"SD WAN Enterprise Solutions\",
           \"href\":\"http://api/service/vlan_dot0_dot0\"
        },
        {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            \"id\":\"Santa Clara SD WAN Application Service\",
            \"href\":\"http://api/service/vlan_dot0_dot0\"
         }
      ]
 }" \
--user 'user:'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "alarmChangedTime": "2017-08-15T07:04:15.666Z",
    "id": "6e116bb8db09201087b9a8394b961950_<external-alarm-id>"
  }
}
```

アラーム管理オープン API – POST /sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm

イベント [em_event] テーブルにアラームレコードを作成します。

アラームレコードが作成されると、アラームの ID が *Message key* フィールドに追加されます。

アラートレコードは、 アラート管理ルール に基づいて作成される場合もあります。

このエンドポイントは、イベント [em_event] テーブルのイベントレコードの [追加情報] フィールドに応答本文を書き込みます。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"affectedService":[ { "href": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"id": "String"
	},
	]</pre>

affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
affectedService.id	必須。 アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmDetails	アラームに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

alarmedObject	必須です。 アラームオブジェクトの詳細。
	<pre>"alarmedObject":
	{
	"href": "String",
	"id": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

alarmedObject.id	必須です。 アラームオブジェクトの一意の識別子。この値はシステム内の CI にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmedObject.href	アラームオブジェクトの詳細を取得するための URL 参照。 データタイプ：文字列
alarmedObjectType	イベントに関連付けられたオブジェクトのタイプまたはクラス。 データタイプ：文字列
alarmRaisedTime	ソースでアラームが発生した日時。 データタイプ：文字列
alarmReportingTime	OSS がアラームをレポートする日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	この値は *alarmRaisedTime* 値と異なる場合があります。たとえば、要素管理システム (EMS) がアラームリストを管理している場合： • *alarmRaisedTime* は、ネットワーク要素 (NE) によるアラーム検出の時間です。 • *alarmReportingTime* は、EMS アラームリスト内のストレージのアラームレポート時間です。 データタイプ：文字列
alarmType	必須です。 アラームカテゴリ。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation	超過したしきい値に関する詳細。 `"crossedThresholdInformation": { "direction": "String", "granularity": "String", "indicatorName": "String", "indicatorUnit": "String", "observedValue": "String", "thresholdCrossingDescription": "String", "thresholdId": "String", "thresholdRef": "String" }` データタイプ：オブジェクト
crossedThresholdInformation.direction	しきい値交差方向。 可能な値： • UP • DOWN

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.granularity	しきい値の超過についてインジケーターが評価される粒度。たとえば、 `5MINUTES` などです。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorName	アラームしきい値を超えるインジケーターの名前。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorUnit	超過したしきい値に対応するインジケーターの測定単位。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.observedValue	しきい値を超えるインジケーターを識別する番号。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdCrossingDescription	しきい値超過アラームのしきい値の詳細。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdId	必須です。 アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdRef	しきい値オブジェクトの URL。 データタイプ：文字列
externalAlarmId	必須です。 アラームを投稿しているソースシステムからのアラームの一意の識別子。 データタイプ：文字列
id	アラームペイロードをイベントとして識別して処理するシステムの一意の識別子。 ペイロードで使用する場合は、この値を空にする必要があります。システムはイベントに対してこの一意の ID を生成し、応答ペイロードの一部として送信します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
perceivedSeverity	必須です。アラームの重大度。 可能な値： • CLEAR • CRITICAL • MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列
plannedOutageIndication	このアラームの管理対象オブジェクトが計画された機能停止ステータスであることを示します。たとえば、計画メンテナンスやサービス停止などです。 データタイプ：文字列
probableCause	必須。 アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
proposedRepairActions	システムで利用可能な場合、アラームをトリガーする問題を解決する修正アクションを提供します。 データタイプ：文字列
serviceAffecting	アラームがサービスに影響を与えるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アラームはサービスパフォーマンスまたは可用性に影響します。 • false：アラームはサービスに影響しません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
sourceSystemId	必須です。 ソースアラームのインスタンス ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
state	アラームのステータス。 有効な値： • 準備完了 • 処理済み • 無視 • エラー 無効な値が指定された場合、ステータスは [準備完了] に設定されます。 ステータスが [準備完了] の場合、アラート [em_alert] テーブルにアラートが作成され、ステータスは [処理済み] になります。ステータスが [処理済み]、[無視]、または [エラー] の場合、アラートは作成されません。 デフォルト値：準備完了 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 考えられる理由： • 無効なペイロード。必須のアラーム ID がありません。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません：<field name> 。 • 無効なペイロード。必須のオブジェクトがありません。 • イベントが作成されませんでした。失敗しました。 • イベントをクリアできません。 • イベントを更新できません。 • イベントが存在しません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"affectedService":[ { "href": "String", "id": "String" },]`
affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
affectedService.id	アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmDetails	アラームに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
alarmedObject	アラームオブジェクトの詳細。 `"alarmedObject": { "href": "String", "id": "String" }` データタイプ：オブジェクト
alarmedObject.id	アラームオブジェクトの一意の識別子。この値はシステム内の CI にマップされます。 データタイプ：文字列
alarmedObject.href	アラームオブジェクトの詳細を取得するための URL 参照。 データタイプ：文字列
alarmedObjectType	イベントに関連付けられたオブジェクトのタイプまたはクラス。 データタイプ：文字列
alarmRaisedTime	ソースでアラームが発生した日時。 データタイプ：文字列
alarmReportingTime	OSS がアラームをレポートする日時。 この値は *alarmRaisedTime* 値と異なる場合があります。たとえば、要素管理システム (EMS) がアラームリストを管理している場合： • *alarmRaisedTime* は、ネットワーク要素 (NE) によるアラーム検出の時間です。 • *alarmReportingTime* は、EMS アラームリスト内のストレージのアラームレポート時間です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
alarmType	アラームカテゴリ。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation	超過したしきい値に関する詳細。 `"crossedThresholdInformation": { "direction": "String", "granularity": "String", "indicatorName": "String", "indicatorUnit": "String", "observedValue": "String", "thresholdCrossingDescription": "String", "thresholdId": "String", "thresholdRef": "String" }` データタイプ：オブジェクト
crossedThresholdInformation.direction	しきい値交差方向。 可能な値： • UP • DOWN データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.granularity	しきい値の超過についてインジケーターが評価される粒度。たとえば、 `5MINUTES` などです。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorName	アラームしきい値を超えるインジケーターの名前。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.indicatorUnit	超過したしきい値に対応するインジケーターの測定単位。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
crossedThresholdInformation.observedValue	しきい値を超えるインジケーターを識別する番号。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdCrossingDescription	しきい値超過アラームのしきい値の詳細。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdId	アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
crossedThresholdInformation.thresholdRef	しきい値オブジェクトの URL。 データタイプ：文字列
externalAlarmId	アラームを投稿しているソースシステムからのアラームの一意の識別子。 データタイプ：文字列
href	リソースの URL。 データタイプ：文字列
id	アラームペイロードをイベントとして識別して処理するシステムの一意の識別子。 データタイプ：文字列
perceivedSeverity	アラームの重大度。 可能な値： • CLEAR • CRITICAL • MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列
plannedOutageIndication	このアラームの管理対象オブジェクトが計画された機能停止ステータスであることを示します。たとえば、計画メンテナンスやサービス停止などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
probableCause	アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
proposedRepairActions	システムで利用可能な場合、アラームをトリガーする問題を解決する修正アクションを提供します。 データタイプ：文字列
serviceAffecting	アラームがサービスに影響を与えるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アラームはサービスパフォーマンスまたは可用性に影響します。 • false：アラームはサービスに影響しません。 デフォルト値：false データタイプ：ブーリアン
sourceSystemId	ソースアラームのインスタンス ID。 データタイプ：文字列
specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 データタイプ：文字列
state	アラームのステータス。 有効な値： • 準備完了 • 処理済み • 無視 • エラー 無効な値が指定された場合、ステータスは [準備完了] に設定されます。 ステータスが [準備完了] の場合、アラート [em_alert] テーブルにアラートが作成され、ステータスは

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[処理済み] になります。ステータスが [処理済み]、[無視]、または [エラー] の場合、アラートは作成されません。 デフォルト値：準備完了 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、アラームを作成します。

```
curl
 "https://<instance>.service-now.com/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
     "href":"http://api/alarm/ROUTER_IF@Cisco-0000-0-0-0-0-00-00-0--
 Xz0/00@00",
     "externalAlarmId":"<external-alarm-id>",
     "alarmType":"QualityOfServiceAlarm",
     "type":"QualityOfServiceAlarm",
     "ackState":"acknowledged",
     "perceivedSeverity":"CRITICAL",
     "probableCause":"Threshold crossed",
     "specificProblem":"Inbound Traffic threshold crossed",
     "alarmedObjectType":"ROUTER",
     "alarmedObject":{
        "id":"vManage_000000",
        "href":" http://api/alarmedobject/000000"
     },
     "sourceSystemId":"SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00",
     "alarmDetails":"Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000",
     "state":"RAISED",
     "alarmChangedTime":"2017-08-15T07:04:15.666Z",
     "proposedRepairActions":"Switch in standby equipment",
     "alarmReportingTime":"2017-06-15T07:04:15.666Z",
     "alarmRaisedTime":"2020-09-15T07:04:15.666Z",
     "plannedOutageIndication":"IN_SERVICE",
     "serviceAffecting":true,
     "affectedService":[
        {
           "id":"SD WAN Enterprise Solutions",
           "href":"http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        },
        {
           "id":"Santa Clara SD WAN Application Service",
           "href":"http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        }
     ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 }" \
--user 'user':'password'
```

応答本文。

```
{
     "href":"http://api/alarm/ROUTER_IF@Cisco-0000-0-0-0-0-00-00-0--
 Xz0/00@00",
     "externalAlarmId":"<external-alarm-id>",
     "alarmType":"QualityOfServiceAlarm",
     "type":"QualityOfServiceAlarm",
     "ackState":"acknowledged",
     "perceivedSeverity":"CRITICAL",
     "probableCause":"Threshold crossed",
     "specificProblem":"Inbound Traffic threshold crossed",
     "alarmedObjectType":"ROUTER",
     "alarmedObject":{
        "id":"vManage_000000",
        "href":" http://api/alarmedobject/000000"
     },
     "sourceSystemId":"SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00",
     "alarmDetails":"Software Failure on SD-WAN Controller
 vManage_000000",
     "state":"RAISED",
     "alarmChangedTime":"2017-08-15T07:04:15.666Z",
     "proposedRepairActions":"Switch in standby equipment",
     "alarmReportingTime":"2017-06-15T07:04:15.666Z",
     "alarmRaisedTime":"2020-09-15T07:04:15.666Z",
     "plannedOutageIndication":"IN_SERVICE",
     "serviceAffecting":true,
     "affectedService":[
        {
           "id":"SD WAN Enterprise Solutions",
           "href":"http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        },
        {
           "id":"Santa Clara SD WAN Application Service",
           "href":"http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        }
     ]
 }
```

アラーム管理オープン **API – POST /sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}/clear**

指定されたアラームをクリアし、関連するアラートをクローズします。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/{id}/clear`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	クリアするアラームの一意の識別子。イベント [em_events] テーブルの [メッセージキー] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
alarmClearedTime	ソースでアラームがクリアされた日時。この値は、イベント [em_events] テーブルのレコードの *Time of event* フィールドにあります。 データタイプ：文字列
clearSystemId	必須です。 *alarmCleared* 操作が呼び出されたインスタンスの名前。 データタイプ：文字列
clearUserId	必須です。 *alarmCleared* 操作を呼び出したユーザーの一意の ID。この値は、イベント [em_events] テーブルのレコードの *Source* フィールドにあります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

名前	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 考えられる理由： • 無効なペイロード。必須のアラーム ID がありません。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません：<field name> 。 • 無効なペイロード。必須のオブジェクトがありません。 • イベントが作成されませんでした。失敗しました。 • イベントをクリアできません。 • イベントを更新できません。 • イベントが存在しません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
alarmClearedTime	ソースでアラームがクリアされた日時。この値は、イベント [em_events] テーブルのレコードの *Time of event* フィールドにあります。 データタイプ：文字列
clearSystemId	*alarmCleared* 操作が呼び出されたインスタンスの名前。 データタイプ：文字列
clearUserId	*alarmCleared* 操作を呼び出したユーザーの一意の ID。この値は、イベント [em_events] テーブルのレコードの *Source* フィールドにあります。 データタイプ：文字列
href	アラームの URL。 データタイプ：文字列
id	イベント [em_events] テーブルのレコードの *Message key* フィールドにある一意の ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、アラームをクリアします。

```
curl
 "https://<instance>.service-now.com/api/sn_ind_tmf642/alarm_mgmt/alarm/6
e116bb8db09201087b9a8394b961950_<external-alarm-id>/clear" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"alarmClearedTime\": \"2017-08-15 06:04:15\",
  \"clearSystemId\": \"<source_instance_name>\",
  \"clearUserId\": \"SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00\"
}" \
--user 'user':'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "alarmClearedTime": "2017-08-15 06:04:15",
    "clearSystemId": "<source_instance_name>",
    "clearUserId": "SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00",
    "id": "6e116bb8db09201087b9a8394b961950_<external-alarm-id>"
  }
}
```

予約オープン API

Appointment Open API は、予約アプリケーションとのやり取りを提供します。この API を使用して、予約し、利用可能なタイムスロットを検索します。

このAPIは、Open API TMForum TMF646 Appointment API仕様の ServiceNow® 実装です。

この API には、 ServiceNow Store で利用可能な予約プラグイン (com.snc.appointment_booking) アプリケーションが必要です。この API を使用する前に、予約の構成とサービスの構成を設定する必要があります。さらに、予約されているタスクが存在する必要があります。

この API は、 `sn_tmf_api` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_tmf_api.appointment_integrator ロールが必要です。

予約のオープン:GET **/sn_tmf_api/appointment/searchTimeSlot**

指定された期間内で予約できる利用可能なタイムスロットを返します。

URL 形式

```
/api/sn_tmf_api/appointment/searchTimeSlot
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
start_date	必須。予約を検索する期間の開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。例:2025-01-31 `09:00:00`。 データタイプ：文字列
end_date	必須。予約を検索する期間の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。例:2025-01-31 `12:00:00`。 データタイプ：文字列
catalog_id	必須。予約サービス設定で構成されたレコードプロデューサーのSys_id。レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
場所	予約の場所 (cmn_location) のSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
opened_for	必須。予約しているユーザーのSys_id。Contact [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
availableTimeSlot	要求された指定された時間ブロック内の予約スロットのリスト。 データタイプ: オブジェクト `'availableTimeSlot': [ { 'available': Boolean, 'end_date': 'String', 'end_date_display': 'String', 'end_dateUTC': 'String', 'start_date': 'String', 'start_date_display': 'String', 'start_dateUTC': 'String', } ]`
availableTimeSlot.available	関連付けられたタイムスロットが利用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:タイムスロットが利用可能です。 • false:タイムスロットは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
availableTimeSlot.end_date	関連付けられた予約の終了日時。タイムゾーンは、time_zone パラメーターの値に基づいています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
availableTimeSlot.end_date_display	関連付けられた予約の終了日時を表示します。タイムゾーンは、time_zone_display_value パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列
availableTimeSlot.end_dateUTC	関連する予約の終了日時 (UTC 時間形式)。 データタイプ：文字列
availableTimeSlot.start_date	関連付けられた予約の開始日時。time_zoneパラメーターの値を反映します。 データタイプ：文字列
availableTimeSlot.start_date_display	関連付けられた予約の開始日時を表示します。time_zone_display_valueパラメーターの値を反映します。 データタイプ：文字列
availableTimeSlot.start_dateUTC	関連する予約の開始日時 (UTC 時間形式)。 データタイプ：文字列
hasMore	制限を返した後にフェッチする予約スロットがまだあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:より多くの予約スロットをフェッチできます。 • false:これ以上予約スロットを使用できません。 データタイプ：ブーリアン
noApptAvailable	指定された日時に利用可能な予約スロットがまだあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定された日時に利用可能な予約スロットが増えます。 • false:指定された日時に利用可能な予約スロットはこれ以上ありません。 データタイプ：ブーリアン
検索結果 (searchResult)	指定された検索時間枠内の予約可用性の結果。 可能な値： • 正常終了 • 失敗

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status	利用可能なタイムスロットの検索の完了ステータス。 データタイプ：文字列
タイムゾーン	予約スロットが表示されたタイムゾーン。予約サービス構成の値に基づきます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl --location --request GET
 'https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/appointment/searchTimeS
lot?
start_date=2024-07-10 09:00:00&end_date=2024-07-20
 23:00:00&catalog_id=ada50a93f0220210f8776517d8c8e776&
opened_for=51670151c35420105252716b7d40ddfe&location=f48b21850a0a0ba70041
82b18099696d ' \
--user 'username':'password'
```

結果：

```
{
  "searchResult": "success",
  "status": "done",
  "availableTimeSlot": [
    {
      "start_date": "2024-07-10 09:00:00",
      "end_date": "2024-07-10 12:00:00",
      "start_date_display": "09:00",
      "end_date_display": "12:00",
      "start_dateUTC": "2024-07-10 16:00:00",
      "end_dateUTC": "2024-07-10 19:00:00",
      "available": false
    },...
    {
      "start_date": "2024-07-11 13:00:00",
      "end_date": "2024-07-11 16:00:00",
      "start_date_display": "13:00",
      "end_date_display": "16:00",
      "start_dateUTC": "2024-07-11 20:00:00",
      "end_dateUTC": "2024-07-11 23:00:00",
      "available": true
    },
    {
      "start_date": "2024-07-12 09:00:00",
      "end_date": "2024-07-12 12:00:00",
      "start_date_display": "09:00",
      "end_date_display": "12:00",
      "start_dateUTC": "2024-07-12 16:00:00",
      "end_dateUTC": "2024-07-12 19:00:00",
      "available": true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      "start_date": "2024-07-12 13:00:00",
      "end_date": "2024-07-12 16:00:00",
      "start_date_display": "13:00",
      "end_date_display": "16:00",
      "start_dateUTC": "2024-07-12 20:00:00",
      "end_dateUTC": "2024-07-12 23:00:00",
      "available": true
    },...
    {
      "start_date": "2024-07-19 13:00:00",
      "end_date": "2024-07-19 16:00:00",
      "start_date_display": "13:00",
      "end_date_display": "16:00",
      "start_dateUTC": "2024-07-19 20:00:00",
      "end_dateUTC": "2024-07-19 23:00:00",
      "available": true
    }
  ],
  "hasMore": false,
  "noApptAvailable": false,
  "timeZone": "US/Arizona"
}
```


予約オープン:POST **/sn_tmf_api/appointment/appointment**

作業指示書の予約を行うことができます。

URL 形式

`/api/sn_tmf_api/appointment/appointment`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
カテゴリ	必須。予約サービス設定用に設定されたレコードプロデューサーのsys_id。レコードプロデューサーは、関連する予約サービス設定レコード - 予約サービス設定 [sn_apptmnt_booking_service_config] テーブルの [カタログアイテム] フィールドで定義されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける作業指示のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedEntity.id	必須。作業指示 [wm_order] テーブルにあるレコードのsys_id。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。たとえば、WorkOrder です。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	エンティティロールの説明。たとえば、作業指示などです。 データタイプ：文字列
relatedParty	予約の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。要求には、顧客アカウント情報を含むアイテムが少なくとも 1 つリストされている必要があります。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "role": "String" } ]`
relatedParty.id	必須。作業指示書に関連付けられている顧客連絡先のsys_idまたはexternal_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	顧客の名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。たとえば、個人です。 データタイプ：文字列
relatedParty.role	必須。連絡先の事前定義されたロール。たとえば、顧客です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
関連場所	予約に関連する場所のリスト。 `"relatedPlace": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "role": "String" } ]` データタイプ：アレイ
relatedPlace.id	必須。場所 [cmn_location] テーブルにリストされている場所の sys_id。 データタイプ：文字列
relatedPlace.name	場所 [cmn_location] テーブルにリストされている場所の名前。例:251 `Reddy St, Darwin, CA 93522` データタイプ：文字列
relatedPlace.@referredType	場所のタイプ。たとえば、 市区町村です。 データタイプ：文字列
relatedPlace.role	場所ロールの説明。たとえば、作業指示などです。 データタイプ：文字列
タイムゾーン	必須。指定された予約スロットを予約するときに使用するタイムゾーン。
validFor	必須。予約が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime": "String" }`
validFor.startDateTime	タイムスロットの開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、`2025-01-31 09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
validFor.endDateTime	タイムスロットの終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、`2025-01-31 09:35:43` などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
カテゴリ	予約サービス設定用に設定されたレコードプロデューサーのsys_id。レコードプロデューサーは、関連する予約サービス設定レコード - 予約サービス設定 [sn_apptmnt_booking_service_config] テーブルの [カタログアイテム] フィールドで定義されます。 データタイプ：文字列
creationDate	予約レコードが作成された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
id	作成された予約のsys_id。予約サービスの設定 [sn_apptmnt_booking_service_config] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
href	予約レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
lastUpdate	予約レコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける作業指示のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedEntity.id	作業指示 [wm_order] テーブルにあるレコードのsys_id。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	エンティティロールの説明。 データタイプ：文字列
relatedParty	予約の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。要求には、顧客アカウント情報を含むアイテムが少なくとも 1 つリストされている必要があります。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "role": "String" } ]`
relatedParty.id	作業指示書に関連付けられている顧客連絡先のsys_idまたはexternal_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.name	顧客の名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 データタイプ：文字列
relatedParty.role	連絡先の事前定義されたロール。 データタイプ：文字列
関連場所	予約に関連する場所のリスト。 `"relatedPlace": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "role": "String" } ]` データタイプ：アレイ
relatedPlace.id	場所 [cmn_location] テーブルにリストされている場所のsys_id。 データタイプ：文字列
relatedPlace.name	場所 [cmn_location] テーブルにリストされている場所の名前。 データタイプ：文字列
relatedPlace.@referredType	場所のタイプ。 データタイプ：文字列
relatedPlace.role	場所ロールの説明。 データタイプ：文字列
タイムゾーン	指定された予約スロットを予約するときに使用するタイムゾーン。
validFor	予約が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime": "String" }`
validFor.startDateTime	タイムスロットの開始日。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
validFor.endDateTime	タイムスロットの終了日。 データタイプ：文字列
正常終了	要求が成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:要求が成功しました。 • false:要求が失敗しました。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次の例は、新しい予約を作成する方法を示しています...

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/appointment/appointment"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"validFor\": {
    \"startDateTime\": \"2024-08-19 09:00:00\",
    \"endDateTime\": \"2024-08-19 11:00:00\"
  },
  \"category\": \"e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f\",
  \"relatedParty\": [
    {
      \"id\": \"eaf68911c35420105252716b7d40ddde\",
      \"name\": \"Sally Thomas\",
      \"role\": \"customer\",
      \"@referredType\": \"Individual\"
    }
  ],
  \"relatedPlace\": {
    \"id\": \"25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c\",
    \"name\": \"100 South Charles Street, Baltimore,MD\",
    \"role\": \"interventionAddress\",
    \"@referredType\": \"GeographicAddress\"
  },
  \"relatedEntity\": [
    {
      \"id\": \"48dbfbf9201f0250f877303e8a020dcd\",
      \"role\": \"work order\",
      \"@referredType\": \"WorkOrder\"
    }
  ],
  \"timeZone\": \"US/Arizona\"
}" \
--user 'username':'password'
```

応答：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "validFor": {
    "startDateTime": "2024-07-19 09:00:00",
    "endDateTime": "2024-07-19 11:00:00"
  },
  "category": "e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "role": "customer",
      "@referredType": "Individual"
    }
  ],
  "relatedPlace": {
    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
    "name": "100 South Charles Street, Baltimore,MD",
    "role": "interventionAddress",
    "@referredType": "GeographicAddress"
  },
  "relatedEntity": [
    {
      "id": "48dbfbf9201f0250f877303e8a020dcd",
      "role": "work order",
      "@referredType": "WorkOrder"
    }
  ],
  "timeZone": "US/Arizona",
  "success": true,
  "id": "feacb7f9201f0250f877303e8a020d38",
  "href":
 "api/sn_tmf_api/appointment/appointment/feacb7f9201f0250f877303e8a020d3
8",
  "creationDate": "2024-07-10 22:45:01",
  "lastUpdate": "2024-07-10 22:45:01"
}
```


アプリケーションサービス API

アプリケーションサービス API は、アプリケーションサービスの作成、変更、および更新を可能にするエンドポイントを提供します。

この API を使用するには、ユーザーにアプリケーションサービス管理者の [app_service_admin] ロールが必要です。

重要: Rome リリース以降、アプリケーションサービス API は拡張もサポートもされなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

アプリケーションサービス - GET /now/cmdb/app_service/{sys_id}/getContent

マップされたアプリケーションサービスの構成アイテム (CI) のリストとそれらの関係を取得します。手動で作成されたサービスのコンテンツのみを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/app_service/{sys_id}/getContent`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
sys_id	マッピングされたアプリケーションサービスのSys_id。マップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
モード	返される関係性データの量。 有効な値： • 簡易 (Shallow)：サービス内の CI 間の親と子の関係を返します。 • 完全：簡易 (shallow) モードで返されるデータに加えて、CI 属性とルックアップ情報を返します。 値の大文字と小文字は区別されません。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
cmdb	指定されたアプリケーションサービスに関連する CI を記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"cmdb": [ { "items": {Object}, "relations": [Array] } ]`
cmdb.items	アプリケーションサービス内の CI。完全なクエリパラメーターが要求で渡された場合、このセクションには、各 CI の属性とルックアップ情報が含まれます。 データタイプ：アレイ `"items": [ { "className": "String", "values": {Object} } ]`
cmdb.items.className	CI が含まれるクラスの名前。 データタイプ：文字列
cmdb.items.values	関連する CI を特定するために使用する情報。 データタイプ：オブジェクト `"values": { "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sys_id": "String" }</pre>
cmdb.items.values.name	CI の名前。 データタイプ：文字列
cmdb.items.values.sys_id	CI の sys_id。 データタイプ：文字列
cmdb.relations	ホストやその子など、関連する CI の関係性データ。 データタイプ：アレイ

service	識別されたサービスに関連するサービスのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"service": [
	  {
	  "name": "String",
	  "service_relations": [Array],
	  "url": "String"
	  }
	]</pre>

service.name	アプリケーションサービスの名前。 データタイプ：文字列

service.service_relations	アプリケーションサービス内の CI の階層データ。すべての CI は親 CI および子 CI とペアを形成します。アプリケーションサービスのエントリーポイントと呼ばれるトップレベル CI には親 CI がありません。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"service_relations": [
	  {
	  "child": "String",
	  "parent": "String"
	  }
	]</pre>

service.service_relations.child	CI に関連する子 CI の名前。 データタイプ：文字列
service.service_relations.parent	CI に関連する親 CI の名前。 データタイプ：文字列
service.url	アプリケーションサービスへの相対パス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/app_service/2fce42d80a0a0b
b4004af34d7e3984c8/getContent?mode=shallow" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```


```
{
  "service": {
    "name": "PeopleSoft Portals",
    "url":
 "/api/now/table/cmdb_ci_service_discovered/2fce42d80a0a0bb4004af34d7e398
4c8",
    "service_relations": [
      {
        "parent": "",
        "child": "3a2810c20a0a0bb400268337d6e942ca"
      },
      {
        "parent": "3a27f1520a0a0bb400ecd6ff7afcf036",
        "child": "3a5dd3dbc0a8ce0100655f1ec66ed42c"
      },
      {
        "parent": "3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf",
        "child": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
      },
      {
        "parent": "3a172e820a0a0bb40034228e9f65f1be",
        "child": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
      },
      {
        "parent": "",
        "child": "3a172e820a0a0bb40034228e9f65f1be"
      },
      {
        "parent": "",
        "child": "3a27f1520a0a0bb400ecd6ff7afcf036"
      },
      {
        "parent": "3a2810c20a0a0bb400268337d6e942ca",
        "child": "3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf"
      }
    ]
  },
  "cmdb": {
    "relations": [],
    "items": [
      {
        "values": {
          "sys_id": "3a172e820a0a0bb40034228e9f65f1be",
          "name": "PS LoadBal01"
        },
        "className": "cmdb_ci_win_server"
      },
      {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "values": {
          "sys_id": "3a2810c20a0a0bb400268337d6e942ca",
          "name": "PS Apache03"
        },
        "className": "cmdb_ci_web_server"
      },
      {
        "values": {
          "sys_id": "55b35562c0a8010e01cff22378e0aea9",
          "name": "ny8500-nbxs08"
        },
        "className": "cmdb_ci_netgear"
      },
      {
        "values": {
          "sys_id": "3a27f1520a0a0bb400ecd6ff7afcf036",
          "name": "PS Apache02"
        },
        "className": "cmdb_ci_web_server"
      },
      {
        "values": {
          "sys_id": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f",
          "name": "PS ORA01"
        },
        "className": "cmdb_ci_database"
      }
    ]
  }
}
```


アプリケーションサービス - **GET /now/cmdb/csdm/app_service/find_service**

指定されたアプリケーションサービスとそれに関連するビジネスコンテキストに関する基本情報を返します。

注: このエンドポイントは廃止されました。代わりに SG サービス – POST – /sg_services/app_service/find を使用してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/csdm/app_service/find_service`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
name	*number* が渡されない場合は必須です。情報を返すサービスの名前。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
number	*name* が渡されない場合は必須です。情報を返すアプリケーションサービスを特定する一意の番号。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	発生したエラーを説明します。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "details": "String", "message": "String" }`
error.details	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
のサービス	オブジェクトのアレイ。各オブジェクトには、指定されたアプリケーションサービスに関連付けられたサービスの詳細が含まれています。 データタイプ：アレイ `"services": [ { "environment": "String", "name": "String", "number": "String", "relationships": {Object}, "sys_id": "String", "version": "String" } ]`
services.environment	アプリケーションサービスが展開されている環境 (「本番」や「テストラボ 2」など)。これは、実装者が理解できる任意の値にすることができます。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：null
services.name	必須です。アプリケーションサービスの名前。他のすべてのアプリケーションサービスからの一意の名前である必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：255

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
services.number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。この値は最初にエンドポイントによって生成されます。 データタイプ：文字列
services.relationships	アプリケーションサービスに関連付けられたサービスタイプ。 データタイプ：オブジェクト `"relationships": { "business_app": [Array], "business_service_offering": [Array], "technical_service_offering": [Array] }`
services.relationships.business_app	アプリケーションサービスに関連するビジネスアプリケーションの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
services.relationships.technical_service_offering	アプリケーションサービスに関連するビジネスサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
services.relationships.business_service_offering	アプリケーションサービスに関連するテクニカルサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
services.sys_id	アプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
services.version	アプリケーションサービスのバージョン番号。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：ユーザー定義可能 デフォルト：null

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X GET \

 https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/csdm/app_service/find_service?name=Email_East&number=SNSVC0001018 \
  -H 'Accept: application/json' \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  -u 'username':'password'
```


```
{
"result": {
  "services": [
    {
      "name": "Email_East",
      "number": "SNSVC0001018",
      "sys_id": "f809cb60db94101037740f95ca96190f",
      "environment": "Production",
      "version": "1.1.1",
      "relationships": {
        "business_app": [
          "658c7620db54101037740f95ca9619f2"
        ],
        "technical_service_offering": [],
        "business_service_offering": [
          "069c7e20db54101037740f95ca9619bf"
        ]
      }
    }
  ]
 }
}
```


アプリケーションサービス - POST /now/cmdb/app_service/create

アプリケーションサービスを作成するか、既存のアプリケーションサービスを更新します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/app_service/create`

サポートされている要求パラメーター

パラメーター

パラメーター	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

要求本文

API は、次の JSON 要素を要求本文で受け入れます。さらに、マップ済みアプリケーションサービス [cmdb_ci_service_discovered] テーブルから任意のフィールドを追加して、アプリケーションサービスレコードにデータを渡すことができます。たとえば、Comments フィールドにコンテンツを追加するには、JSON 要求に `"comments": "Passing data to the Comments field"` を追加します。

要求本文で受け入れられる要素

要素	説明
name	作成または更新するアプリケーションサービスの名前。
service_relations	CI とそれらが形成する階層に関する情報。すべての CI は親 CI および子 CI とペアを形成します。アプリケーションサービスのエントリーポイントと呼ばれるトップレベル CI には親 CI がありません。
parent	送信接続によりこの CI がマップ階層の下位レベルの CI と結合される CI の sys_id。
child	受信接続によりこの CI がマップ階層の上位レベルにある CI と結合される CI の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文

API は、次の JSON 要素を応答本文で返します。

応答本文で返される要素

要素	説明
URL	アプリケーションサービスレコードの sys_id を表示するための標準テーブル REST API の URL。 この要素は、エンドポイントが成功した場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
getContentUrl	アプリケーションサービスコンテンツを取得するための REST API パス。 この要素は、エンドポイントが成功した場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
info	アプリケーションサービスに追加された CI の数。 この要素は、エンドポイントが成功した場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
error	エラーメッセージの詳細。 この要素は、エンドポイントが失敗した場合にのみ表示されます。 データタイプ：オブジェクト
message	失敗の内容を説明するエラーメッセージ。 この要素は、エンドポイントが失敗した場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
status	REST API が失敗した場合は、ステータス「failure」になります。 この要素は、エンドポイントが失敗した場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "http://<instance.servicenow.com>/api/now/cmdb/app_service/create" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"name\": \"myTestAppService\",
\"comments\": \"Passing data to the Comments field\",
\"service_relations\": [
{ \"parent\": \"\",
\"child\": \"3a70f789c0a8ce010091b0ea635b982a\"
},{ \"parent\": \"3a70f789c0a8ce010091b0ea635b982a\",
\"child\": \"b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1\"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
},{ \"parent\": \"b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1\",
\"child\": \"53fdbc8437201000deeabfc8bcbe5d10\"
}
]
}" \
--user 'admin':'admin'
```

```
{
  "result": {
    "url":
 "/api/now/table/cmdb_ci_service_discovered/b1cff89fc9e19300964fcbb1ac3059a5",
    "getContentUrl":
 "/api/now/cmdb/app_service/b1cff89fc9e19300964fcbb1ac3059a5/getContent",
    "info": "3 CIs added to service"
  }
}
```

アプリケーションサービス - POST /now/cmdb/csdm/app_service/register_service

アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにアプリケーションサービスレコードのスタブを作成し、渡された情報を入力します。

レコードを保存する前に、渡されたパラメーターとアプリケーションサービス名の一意性が検証されます。また、指定されたビジネスアプリケーション、ビジネスサービスオファリング、およびテクニカルサービスオファリングをサービスアプリケーションに関連付けることによって、サービスにビジネスコンテキストを提供するアップストリームの関係を作成します。インフラストラクチャへのダウンストリームの関係は作成されません。ダウンストリームの関係を定義するには、アプリケーションサービス - *PUT /now/cmdb/csdm/app_service/{service_sys_id}/populate_service* エンドポイントを呼び出す必要があります。

> **注:** このエンドポイントは廃止されました。代わりに SG サービス – POST – /sg_services/app_service/register を使用してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/csdm/app_service/register_service`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
basic_details	必須です。指定されたアプリケーションサービスに関連付けられたサービスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"basic_details": { "environment": "String", "name": "String", "version": "String" }`
basic_details.environment	アプリケーションサービスが展開されている環境 (「本番」や「テストラボ 2」など)。これは、実装者が理解できる任意の値にすることができます。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：null
basic_details.name	必須です。アプリケーションサービスの名前。他のすべてのアプリケーションサービスからの一意の名前である必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：255
basic_details.version	アプリケーションサービスのバージョン番号。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：ユーザー定義可能 デフォルト：null
relationships	アプリケーションサービスに関連付けるアップストリーム (親) サービスタイプ。これらの関係は CI 関係性 [cmdb_rel_ci] テーブルに保存されます。 データタイプ：オブジェクト `"relationships": { "business_app": [Array], "business_service_offering": [Array], "technical_service_offering": [Array] }`
relationships.business_app	アプリケーションサービスに関連付けるビジネスアプリケーションの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
relationships.business_service_offering	アプリケーションサービスに関連付けるビジネスサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
relationships.technical_service_offering	アプリケーションサービスに関連付けるテクニカルサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。アプリケーションサービスが正常に登録されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

error	発生したエラーを説明します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "details": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.details	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。この番号はエンドポイントによって生成されます。
service_sys_id	登録されたアプリケーションサービスの sys_id。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/csdm/app_service/register_service \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password'
  -d '{
  "basic_details": {
    "environment": "Test Lab 2",
    "name": "Test Lab 2",
    "version": "1.1.1"
  },
  "relationships": {
    "business_app":["f07c7620db54101037740f95ca96199a"],
    "business_service_offering":["069c7e20db54101037740f95ca9619bf"]
  }
}'
```

```
{
  "result": {
    "service_sys_id": "80f21bbadbd410103d3a93c3e296199a",
    "number": "SNSVC0001018
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションサービス - PUT /now/cmdb/csdm/app_service/{service_sys_id}/populate_service

指定されたアプリケーションサービスに、指定されたダウンストリームの構成アイテム (CI) のセットを入力します。

このエンドポイントを呼び出す前に、POST /now/cmdb/csdm/app_service/register_service エンドポイントを呼び出してアプリケーションサービスを作成する必要があります。

注: このエンドポイントは廃止されました。代わりに SG サービス – POST – /sg_services/app_service/populate を使用してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/csdm/app_service/{service_sys_id}/populate_service`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
service_sys_id	指定された CI を入力するアプリケーションサービスの sys_id。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
population_method	指定されたアプリケーションサービスに関連付ける CI。*populate_method* オブジェクトの要素は、*type* パラメーターで定義される、入力される情報のタイプによって異なります。 データタイプ：オブジェクト *type* = cmdb_group_based の場合 `{ "population_method": { "group_id": "String", "type": "String" } }` *type* = discovery の場合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	注: このタイプを使用するには、Service Mapping (com.snc.service-mapping) プラグインを有効にする必要があります。
	
	`{ "population_method": { "attributes": [Array], "entry_point_id": "String", "type":"String" } }`
	
	type = tag_list の場合
	
	注: このタイプを使用するには、Service Mapping (com.snc.service-mapping) プラグインを有効にする必要があります。
	
	`{ "population_method": { "tags":[Array], "type":"String" } }`

population_method.attributes	CI に関連付ける属性のリスト (ホスト、ポート、名前、URL など)。 エントリーポイントの詳細については、「エントリーポイント属性」を参照してください。 注: 必要なすべての属性を渡す必要があります。 データタイプ：アレイ `{ "attributes": { "name":"String", "value":"String" } }`
population_method.attributes.name	属性の名前 (ホスト、ポート、名前、URL など)。 データタイプ：文字列
population_method.attributes.value	属性値。 データタイプ：文字列
population_method.entry_point	*population_method.type* = discovery の場合は必須です。アプリケーションサービスへのエントリーポイント。エントリーポイントの詳細については、「エントリーポイント属性」および「サービスマッピングの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	エントリーポイントタイプの作成」 を参照してください。 データタイプ：文字列
population_method.group_id	*population_method.type* = cmdb_group_based の場合は必須です。CI と関連付けるグループの sys_id。CMDB グループ [cmdb_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
population_method.tags	CI に関連付けるタグのリスト。この情報は、キー値 [cmdb_key_value] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ `{ "tags": { "tag": "String", "value": "String" } }`
population_method.tags.tag	タグの名前。 データタイプ：文字列
population_method.tags.value	タグ値。 データタイプ：文字列
population_method.type	必須です。入力する CI のタイプ。 有効な値： • cmdb_group_based • discovery • tag_list データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	発生したエラーを説明します。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "details": "String", "message": "String" }`
error.details	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

次のコード例は、CI タイプが cmdb_group_based の場合にアプリケーションサービスを入力する方法を示しています。

```
curl -X PUT \

 https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/csdm/app_service/f809cb60db
94101037740f95ca96190f/populate_service \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password' \
  -d '{
  "population_method": {
    "type":"cmdb_group_based",
    "group_id": "e809cf60db94101037640f95ca961932"
  }
}'
```

```
{
    "result": {}
}
```

次のコード例は、検出アプリケーションサービスを入力する方法を示しています。

```
curl -X PUT \

 https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/csdm/app_service/f809cb60db
94101037740f95ca96190f/populate_service \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password' \
  -d '{
  "population_method": {
    "type":"discovery",
    "entry_point_id":"cmdb_ci_endpoint_ad_forest",
    "attributes": [
      {
        "name":"host",
        "value":"test1.com"
      },
      {
        "name":"port",
        "value":"500"
      },
      {
        "name":"protocol",
        "value":"ssh"
      }
    ]
  }
}'
```

```
{
    "result": {}
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションサービス - **PUT /now/cmdb/csdm/app_service/{service_sys_id}/service_details**

指定されたアプリケーションサービスを渡された基本情報で更新します。

また、渡された情報をアプリケーションサービスクラスで定義された識別および調整エンジン (IRE) ルールに照らしてチェックすることで、アプリケーションサービスの一意性を検証します。

注: このエンドポイントは廃止されました。代わりに SG サービス – POST – /sg_services/app_service/update を使用してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/csdm/app_service/{service_sys_id}/service_details`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
service_sys_id	更新するアプリケーションサービスの sys_id。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
basic_details	指定されたアプリケーションサービスに関連付けられたサービスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"basic_details": { "environment": "String", "name": "String" }`
basic_details.environment	アプリケーションサービスが展開されている環境 (「本番」や「テストラボ 2」など)。これは、実装者が理解できる任意の値にすることができます。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
basic_details.name	必須です。アプリケーションサービスの名前。他のすべてのアプリケーションサービスからの一意の名前である必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：255

relationships	アプリケーションサービスに関連付けるサービスタイプ。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"relationships": {`
	`  "business_app": [Array],`
	`  "business_service_offering": [Array],`
	`  "technical_service_offering": [Array]`
	`}`

relationships.business_app	アプリケーションサービスに関連付けるビジネスアプリケーションの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
relationships.business_service_offering	アプリケーションサービスに関連付けるビジネスサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
relationships.technical_service_offering	アプリケーションサービスに関連付けるテクニカルサービスオファリングの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	発生したエラーを説明します。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "details": "String", "message": "String" }`
error.details	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X PUT \

 https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/csdm/app_service/f809cb60db94101037740f95ca96190f/service_details \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password' \
  -d '{
  "basic_details": {
    "environment": "Test Lab 2"
  },  "relationships": {
    "business_app" :["f07c7620db54101037740f95ca96199a"]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}'
```

```
{
    "result": {}
}
```

予約 API

予約 API は、予約アプリケーションとやり取りするためのエンドポイントを提供します。この API を使用して、予約と再スケジュール、利用可能な予約スロットの確認、予約構成の詳細のフェッチを行います。

この API を使用する前に、予約構成とサービス構成をセットアップする必要があります。さらに、予約されているタスクが既に存在している必要があります。詳細については、「アポイントメント予約の設定」を参照してください。

Appointment API には Appointment Booking プラグイン (com.snc.appointment_booking) が必要であり、`sn_apptmnt_booking` 名前空間内で提供されます。この API にアクセスするには、snc_internal ロールが必要です。

予約:GET /sn_apptmnt_booking/appointment/calendar

予約できる時間範囲を返します。返される結果は、予約サービス構成で構成されたリードタイムと将来の最大予約可能日を優先します。

リード タイムと将来の最大予約可能日の構成の詳細については、 予約アプリケーション設定の作成または変更 を参照してください。

このエンドポイントにアクセスするには、snc_internal ロールまたは snc_external ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_apptmnt_booking/{api_version}/appointment/calendar`

デフォルト URL: `/api/sn_apptmnt_booking/appointment/calendar`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
catalog_id	必須。予約サービス設定で構成されたレコードプロデューサーのSys_id。レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
場所	必須。予約の場所 (cmn_location) のSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
opened_for	必須。予約しているユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
結果	エンドポイント要求の結果に関する情報。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "range_end": "String", "range_start": "String" }`
result.range_end	予約できる範囲の終わり。 範囲の終了 = 今日 + 今後の最大予約可能日数 データタイプ：文字列 形式:内部日時形式での予定のタイムゾーン。
result.range_start	予約できる範囲の開始。 範囲開始 = 今日 + リードタイム データタイプ：文字列 形式:内部日時形式での予定のタイムゾーン。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/v1/appointment/calendar?catalog_id=e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f&location=32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6&opened_for=6816f79cc0a8016401c5a33be04be441" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

結果：

```
{
  "result": {
    "range_start": "2023-02-08 03:52:27",
    "range_end": "2023-02-21 23:52:27"
  }
}
```

予約:GET /sn_apptmnt_booking/appointment/configuration

指定された予約サービス構成で定義されている構成を返します。

さらに、予約ウィジェットでスロットをレンダリングするために必要な翻訳とユーザーの日時設定を返します。

このエンドポイントにアクセスするには、snc_internal ロールまたは snc_external ロールが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_apptmnt_booking/{api_version}/appointment/configuration`

デフォルト URL: `/api/sn_apptmnt_booking/appointment/configuration`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
catalog_id	必須。予約サービス設定で構成されたレコードプロデューサーのSys_id。レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

結果	エンドポイント要求の結果。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "active_string": "String",`
	`  "advanced_calendar_view_po`
	`Boolean,`
	`  "auto_acceptance": Boolean`
	`  "locale_language": "String`
	`  "service_config": {Object}`
	`  "task_table": "String",`
	`  "translations": {Object},`
	`  "userDateFormatOptions": {`
	`  "useRR": Boolean,`
	`  "userTimeFormat": {Object}`
	`  "userTimeFormatOptions": {`
	`  "view_scale": "String"`
	`}`

result.active	関連付けられたカタログ ID のサービス アップがアクティブかどうかを示すフラ 可能な値： • true:カタログ ID のサービス構成セッ アクティブです。 • false:カタログ ID のサービス構成セッ はアクティブではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.active_string	関連付けられたカタログ ID のサービス アップのステータスをテキストで表した

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.advanced_calendar_view_portal	詳細なカレンダービューをポータルに表 ベースビューを表示するかを示すフラグ レンダービューの詳細については、「 ケーション設定の作成または変更」 ください。 可能な値： • true:詳細カレンダービューがポータル れます。 • false:ポータルに基本ビューが表示さ データタイプ：ブーリアン
result.auto_acceptance	予約が受入済みステータスに自動的に移 どうかを示すフラグ。 可能な値： • true:予約は自動的に承認済みステータ します。 • false:エージェントは手動で予約を承認 があります。 データタイプ：ブーリアン
result.locale_language	ユーザーの言語設定。 データタイプ：文字列 形式: ISO 639.1 言語コード
result.service_config	サービス構成の詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

```
"service_config": {
  "active": Boolean,
  "active_string": "String",
  "appointment_booking_confi
 "String",
  "appointment_duration": "S
  "appointments_per_bookable
 "String",
  "bookable_days": "String",
  "cancel_by_time": "String"
  "default_timezone": "Strin
  "enable_advanced_config":
  "field_mapping": {Object},
  "future_bookable_max_days"
 "String",
  "lead_time": "String",
  "mandatory": "String",
  "use_slot_end_time_as": "S
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"work_duration": "String"
	}</pre>

result.service_config.active	予約サービス設定のアクティブステータフラグ。 可能な値： • true:アクティブ • false:非アクティブ データタイプ：ブーリアン
result.service_config.active_string	予約サービス設定のステータスをテキストしたもの。 データタイプ：文字列
result.service_config。appointment_booking_config	関連付けられたカタログ ID の予約サービス成セットアップのSys_id。予約サービス[sn_apptmnt_booking_service_config]にあります。 データタイプ：文字列
result.service_config。appointment_duration	予約の長さ。 データタイプ：文字列 単位：分
result.service_config。appointments_per_bookable_slot	関連付けられたスロットに予約できる予 データタイプ：文字列
result.service_config。bookable_days	予約できる日を表すカンマ区切り値。 曜日は整数で表され、月曜日 = 1、日曜 ります。 データタイプ：文字列
result.service_config.cancel_by_time	ユーザーが予約をキャンセルできる、予の最小時間。たとえば、午後 1 時に予約て、時間までに 2 時間のキャンセルがは、午前 10:59 までに予約をキャンセルがあります。 形式: この値は、"1970-01-01 00:00:0時の差です。したがって、戻り値が "19 04:00:00" の場合、会議開始の 4 時間前キャンセルする必要があることを意味し データタイプ：文字列
result.service_config.default_timezone	予約が入るタイムゾーン構成。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • 場所:予約の場所のタイムゾーンを使用 • ユーザー:予約しているユーザーのタイ を使用します。 データタイプ：文字列
result.service_config。enable_advanced_config	予約時に予約設定と予約ルールを考慮す かを示すフラグ。詳細については、「予 設定を作成」を参照してください。 可能な値： • true:予約時に、予約構成と予約ルー れます。 • false:予約時に予約構成と予約ルール ません。 データタイプ：ブーリアン

result.service_config.field_mapping	予約に使用される場所と連絡先の値にマ
	されたカタログ変数の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"field_mapping": {`
	`"contact": "String",`
	`"contactRPVariable": {Obje`
	`"location": "String",`
	`"locationRPVariable": {Obj`
	`}`

result.service_config。field_mapping.連絡先	連絡先の値を含むカタログ変数の名前。 データタイプ：文字列

result.service_config.field_mapping。接触式RPVariable	場所カタログ変数データの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"contactRPVariable": {`
	`"displayName": "String",`
	`"label": "String",`
	`"name": "String"`
	`}`

result.service_config.field_mapping。contactRPVariable.displayName	連絡先カタログ変数の表示名。 データタイプ：文字列
result.service_config.field_mapping。contactRPVariable.label	連絡先カタログ変数のラベル。 データタイプ：文字列
result.service_config.field_mapping。contactRPVariable.name	連絡先カタログ変数の名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.service_config。field_mapping.場所	場所の値を含むカタログ変数の名前。 データタイプ：文字列

result.service_config.field_mapping。ロケーションRPVariable	場所カタログ変数データの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"locationRPVariable": {`
	`  "displayName": "String",`
	`  "label": "String",`
	`  "name": "String"`
	`}`

result.service_config.field_mapping。locationRPVariable.displayName	場所カタログ変数の表示名。 データタイプ：文字列
result.service_config.field_mapping。locationRPVariable.label	場所カタログ変数のラベル。 データタイプ：文字列
result.service_config.field_mapping。locationRPVariable.name	場所カタログ変数の名前。 データタイプ：文字列
result.service_config。future_bookable_max_days	予約できる未来の最大日数。 データタイプ：文字列
result.service_config.lead_time	ユーザーが予約できる予約開始前の最小 とえば、午後 1:00 に予約する予定で、 ムが 2 時間の場合は、午前 10:59 まで 必要があります。 形式: この値は、"1970-01-01 00:00:0 時の差です。したがって、戻り値が "19 04:00:00" の場合、会議開始の 4 時間前 予約する必要があることを意味します。 データタイプ：文字列
result.service_config.必須	予約が必須かどうかを示すインジケータ 可能な値： • 0:予約は必須ではありません。 • 1:予約は必須です。 データタイプ：文字列
result.service_config。use_slot_end_time_as	エージェントがいつ到着するか、または られた予約にスケジュールされた作業を かを示すインジケーター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • arrive_by:エージェントは、指定され に予約の場所に到着します。 • complete_by:エージェントは、指定 枠内に予約の作業を完了します。 • empty: completed_byと同じです。 データタイプ：文字列
result.service_config.work_duration	予約の作業にかかる時間。作業期間は、 ビスの構成で構成されます。詳細につい 「予約サービス構成の作成または変更 してください。 データタイプ：文字列 単位：分
result.task_table	予約できるテーブルの名前。予約サービ で設定されます。 データタイプ：文字列
result.translations	予約ウィジェットで使用されるテキスト 前と値のペア。アクション、メッセージ び月の翻訳された値が含まれています。 データタイプ: オブジェクト

result.userDateFormatOptions	JS 日付オブジェクトをレンダリングする
	要な日付形式オプションについて説明し
	れらの値は、変更できない予約定数で設
	す。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"userDateFormatOptions": {`
	`  "day": "String",`
	`  "month": "String",`
	`  "week": "String",`
	`  "weekday": "String"`
	`}`

result.userDateFormatOptions.day	日の日付形式。 データタイプ：文字列 形式: 数値 (値または 1 から 31)
result.userDateFormatOptions.month	月の日付形式。 データタイプ：文字列 形式:短い (1 月、2 月、3 月などの値)
result.userDateFormatOptions.week	週の日付形式。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式: 数値 (1 から 5 の値)
result.userDateFormatOptions.weekday	平日の日付形式。 データタイプ：文字列 形式:短い (月、火、水などの値)
result.useRR	sn_apptmnt_booking.use_read_repli プロパティの値。この値は、UI からク されるときに、読み取りレプリカデータ 使用して予約スロットをフェッチするか 定義します。 可能な値： • true:読み込みレプリカデータベースを スロットをフェッチします。 • false:スロットのフェッチに読み込み データベースを使用しません。 データタイプ：ブーリアン

result.userTimeFormat	ユーザーの時間形式を記述します。
	
	ユーザーは、エンドポイント要求を行う
	す。プラットフォームを介して行われた
	れはエージェントです。ポータルから作
	は顧客です。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"userTimeFormat": {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.userTimeFormat.type	時間形式のタイプ。 可能な値： • 12hr • 24hr データタイプ：文字列
result.userTimeFormat.value	「HH:mm:ss」などの優先時間形式。 データタイプ：文字列
result.userTimeFormatOptions	JS 時間オブジェクトをレンダリングす 要な時間形式オプションについて説明し れらの値は、変更できない予約定数で設 す。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ: オブジェクト `"userTimeFormatOptions": { "hour": "String", "hourCycle": "String", "minute": "String" }`
result.userTimeFormatOptions.hour	時間の形式。 形式: 数値 (値 1 ～ 12)
result.userTimeFormatOptions.hourCycle	時間サイクルの形式。 可能な値は `h23` のみです。
result.userTimeFormatOptions.minute	分形式。 形式: 数値 (1 ～ 60 の値)
result.view_scale	サービス構成で構成されたビュー。 可能な値： • 日 • week データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/v1/appointment/co
nfiguration?catalog_id=e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "active": true,
    "activeString": "true"
    "view_scale": "day",
    "auto_acceptance": true,
    "task_table": "wm_order",
    "advanced_calendar_view_portal": false,
    "service_config": {
      "appointment_booking_config": "deb1d2fd3b033200ce8a4d72f3efc4c2",
      "future_bookable_max_days": "14",
      "appointments_per_bookable_slot": "20",
      "bookable_days": "1,2,3,4,5",
      "active": true,
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "activeString": "true",
      "mandatory": "1",
      "lead_time": "1970-01-01 04:00:00",
      "cancel_by_time": "1970-01-01 04:00:00",
      "appointment_duration": "120",
      "default_timezone": "location",
      "work_duration": "60",
      "enable_advanced_config": true,
      "field_mapping": {
        "location": "location"
        "opened_for": "contact",
        "locationRPVariable": {
          "name": "location",
          "label": "Location",
          "displayName": "location"
        },
        "contactRPVariable": {
          "name": "contact",
          "label": "Contact",
          "displayName": "contact"
        }
      },
      "use_slot_end_time_as": ""
    },
    "translations": {
      "submit_btn_text": "Select",
      "cancel_btn_text": "Cancel",
      "calendar_prev_text": "Previous",
      "select_appointment_calendar_text": "Select Appointment Calendar",
      "calendar_next_text": "Next",
      "previous_btn_text": "Previous day",
      "next_btn_text": "Next day",
      "date_input_placeholder_text": "Pick a date",
      "show_calendar_btn_text": "Show Calendar",
      "app_window_btn_text_start_time": "Start time",
      "app_window_btn_text_end_time": "End time",
      "appointment_window_aria_label_start_text": "Available appointment
window ",
      "no_appointment": "No appointments",
      "time_zone": "Time zone",
      "selected_window": "The window which has been selected is ",
      "day_names": {
        "1": "Monday",
        "2": "Tuesday",
        "3": "Wednesday",
        "4": "Thursday",
        "5": "Friday",
        "6": "Saturday",
        "7": "Sunday"
      },
      "days": [
        "Sunday",
        "Monday",
        "Tuesday",
        "Wednesday",
        "Thursday",
        "Friday",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "Saturday"
    ],
    "daysShort": [
      "Sun",
      "Mon",
      "Tue",
      "Wed",
      "Thu",
      "Fri",
      "Sat"
    ],
    "daysMin": [
      "Su",
      "Mo",
      "Tu",
      "We",
      "Th",
      "Fr",
      "Sa"
    ],
    "months": [
      "January",
      "February",
      "March",
      "April",
      "May",
      "June",
      "July",
      "August",
      "September",
      "October",
      "November",
      "December"
    ],
    "monthsShort": [
      "Jan",
      "Feb",
      "Mar",
      "Apr",
      "May",
      "Jun",
      "Jul",
      "Aug",
      "Sep",
      "Oct",
      "Nov",
      "Dec"
    ],
    "today": "Today",
    "clear": "Clear",
    "language": "en",
    "arrive_by_msg": "The agent will arrive within the selected slot."
  },
  "useRR": true,
  "locale_language": "en",
  "userTimeFormat": {
    "value": "HH:mm:ss",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "type": "24hr"
    },
    "userDateFormatOptions": {
      "weekday": "short",
      "year": "numeric",
      "month": "short",
      "day": "numeric"
    },
    "userTimeFormatOptions": {
      "hour": "numeric",
      "minute": "numeric",
      "hourCycle": "h23"
    }
  }
}
```

予約:GET **/sn_apptmnt_booking/appointment/execute_rule_conditions**

指定されたタスクsys_idまたは指定されたカタログアイテムデータのセットに一致する予約サービス設定ルールのsys_idを返します。

渡されたタスク ID またはカタログアイテムデータは、サービス構成に対して定義されたルールに照らして評価されます。これらの条件が一致する最初のルールのsys_idが返されます。その後、このルールsys_idを後続の可用性要求に渡して、ルールで定義されている正しいスロットをフェッチする必要があります。

このエンドポイントにアクセスするには、snc_internal ロールまたは snc_external ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_apptmnt_booking/{api_version}/appointment/execute_rule_conditions`

デフォルト URL: `/api/sn_apptmnt_booking/appointment/execute_rule_conditions`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
catalogId	必須。予約サービス設定で構成されたレコードプロデューサーのSys_id。レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
その他の入力	*taskId*パラメーターが指定されていない場合は必須です。 サービス構成に対して定義されたルールと比較するカタログアイテム変数の名前と値のペア。 例： `"otherInputs": { "u_sn_point_of_sale_variable_set": "true", "short_description": "Point-of-Sale Installation", "contact": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441", "description": "Install new point-of-sale system with cash tray", "location": "32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6" }` データタイプ: オブジェクト
taskId	*otherInputs*パラメーターが指定されていない場合は必須です。 予約されているタスクレコードのSys_id。予約されているタスクテーブルにあります。*catalogId*は特定の予約構成に対応しており、すべての構成には予約されるタスクテーブルがあります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
結果	エンドポイントによって返される情報の説明。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "dedicatedCapacity": Boolean, "futureMaxBookableDays": "String", "ruleId": "String", "ruleName": "String" }`
result.dedicatedCapacity	関連付けられたルールに専用のキャパシティがあるかどうかを示すフラグ。専用容量の詳細については、「予約サービス構成ルールを作成する」を参照してください。 可能な値： • true:ルールに専用のキャパシティがあります。 • false:キャパシティは、関連付けられたルールと基本構成の間で共有されます。また、専用の容量を持たない他のルールとも共有されます。 データタイプ：ブーリアン
result.futureMaxBookableDays	一致ルールを使用して予約できる未来の最大日数。 データタイプ：文字列
result.ruleId	要求で渡された *taskId* または *otherInputs* パラメーターに一致する予約サービス設定ルールのSys_id。サービス構成ルール [sn_apptmnt_booking_config_rule] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.ruleName	渡されたパラメーターに一致したルールの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、 *taskId* パラメーターを使用してルール比較要求を行う方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/v1/appointment/ex
ecute_rule_conditions" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"catalogId\": \"e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f\",
  \"taskId\": \"ce1f397c43b861105e0dbcba6ab8f298\"}" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "ruleId": "f7d5d98f437c21105e0dbcba6ab8f2fc",
    "ruleName": "Priority 1 rule",
    "dedicatedCapacity": true,
    "futureMaxBookableDays": "14"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、 *otherInputs* パラメーターを使用してルール比較要求を行う方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/v1/appointment/ex
ecute_rule_conditions" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"catalogId\": \"e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f\",
  \"otherInputs\": {
    \"u_sn_point_of_sale_variable_set\": \"true\",
    \"short_description\": \"Point-of-Sale Installation\",
    \"contact\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
    \"description\": \"Install new point-of-sale system with cash tray\",
    \"location\": \"32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6\"
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "ruleId": " 1d1bb72b4334a1105e0dbcba6ab8f275",
    "ruleName": "Lake View SC rule",
    "dedicatedCapacity": false,
    "futureMaxBookableDays": "21"
  }
}
```

予約:POST **/sn_apptmnt_booking/appointment/appointment**

フィールドサービス管理 (FSM)タスクの予約とスケジュール変更ができます。

注: このエンドポイントでは、関連する予約サービス構成で開始時刻と終了時刻が定義され、利用可能なスロットがある予約のみを予約およびスケジュールできます。

フィールドサービス管理 (FSM)タスクの詳細については、「アポイントメント予約の設定」を参照してください。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_apptmnt_booking/{api_version}/appointment/appointment`

デフォルト URL: `/api/sn_apptmnt_booking/appointment/appointment`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
実績終了日	必須。予約のタイムゾーンでの予約スロットの終了日時。 日付タイプ：文字列 形式:YYYY-MM-dd HH:mm:ss
実績開始日	必須。予約のタイムゾーンでの予約スロットの開始日時。 日付タイプ：文字列 形式:YYYY-MM-dd HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
catalogId	必須。予約サービス設定用に設定されたレコードプロデューサーのSys_id。レコードプロデューサーは、関連する予約サービス設定レコード - 予約サービス設定 [sn_apptmnt_booking_service_config] テーブルの [カタログアイテム] フィールドで定義されます。 日付タイプ：文字列
終了日 UTC	必須。予約スロットの終了日時 (UTC タイムゾーン)。 日付タイプ：文字列 形式:YYYY-MM-dd HH:mm:ss
場所	必須。予約に関連する場所レコードのSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 日付タイプ：文字列
openedFor	必須。予約しているユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 日付タイプ：文字列
reschedule	必須。予約が再スケジュールされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:予約が現在存在し、スケジュールを変更しています。 • false:新規予約。 データタイプ：ブーリアン
service_cofig_rule	予約がルールに基づいて予約されている場合は、サービス構成ルールのsys_id。サービス構成ルール [sn_apptmnt_booking_config_rule] テーブルにあります。 日付タイプ：文字列
startDateUTC	必須。予約スロットの開始日時 (UTC タイムゾーン)。 日付タイプ：文字列 形式:UTC タイムゾーンの YYYY-MM-dd HH:mm:ss
taskId	必須。予約されているタスクレコードのSys_id。このsys_idを含むテーブルは、 *taskTable* パラメーターで定義されます。 日付タイプ：文字列
タスクテーブル	必須。予約されているタスクレコードを含むテーブルの名前。 日付タイプ：文字列
タイムゾーン	必須。指定された予約スロットを予約または更新するときに使用するタイムゾーン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	形式:国/都市またはエリア形式 (米国/東部など) 日付タイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

結果	エンドポイント要求の結果に関する情報。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "data": "String",`
	`  "message": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>{
	  "reason": "String",
	  "success": Boolean
	}</pre>

result.data	作成または再スケジュールされた予約レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
result.message	予約要求がスケジュールされたか失敗したかを説明するメッセージ。たとえば、エラー応答には次のようなものがあります。 • 予約をスケジュールできません。 • 予約を再スケジュールすることはできません。 操作が正常に完了すると、次のようなメッセージが返されます。Your appointment has been scheduled successfully. データタイプ：文字列
result.reason	予約要求の結果に関する追加情報。 データタイプ：文字列
result.success	要求が成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:要求が成功しました • false:要求が失敗しました データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

Example: cURL 要求

次の例は、作業指示 [wm_order] テーブルのタスクに対して新しい予約を作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/appointment/appo
intment" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"startDateUTC\": \"2023-02-01 20:00:00\",
\"endDateUTC\": \"2023-02-01 22:00:00\",
\"actualStartDate\": \"2023-02-01 15:00:00\",
\"actualEndDate\": \"2023-02-01 17:00:00\",
\"taskTable\": \"wm_order\",
\"location\": \"32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6\",
\"catalogId\": \"e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f\",
\"openedFor\": \"ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417\"
\"taskId\": \"ce1f397c43b861105e0dbcba6ab8f298\",
\"reschedule\": false,
\"service_configuration_rule\": \"\",
\"timezone\": \"US/Eastern\"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}" \

--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
"result": {
  "success": true,
  "message": "Your appointment has been scheduled successfully.",
  "reason": "Appointment created!",
  "data": "7a5f393c43b861105e0dbcba6ab8f29f"
  }
}
```

予約:POST /sn_apptmnt_booking/appointment/availability

予約サービス構成で構成されているスロットを、その可用性とともに返します。

サービス構成に対して詳細構成が有効になっている場合、エンドポイントはこれらの構成を受け入れ、ルールと詳細構成に従ってデータを返します。このエンドポイントを使用して、要求本文の *get_next_available_slot* パラメーターまたは *get_next_available_day_data* パラメーターを `true` として渡すことで、最初に使用可能なスロットを見つけることもできます。

このエンドポイントにアクセスするには、snc_internal ロールまたは snc_external ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_apptmnt_booking/{api_version}/appointment/availability`

デフォルト URL: `/api/sn_apptmnt_booking/appointment/availability`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
catalog_id	必須。予約サービス設定用に設定されたレコードプロデューサーの Sys_id。レコードプロデューサーは、関連する予約サービス設定レコー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	ド - 予約サービス設定 [sn_apptmnt_booking_service_config] テーブルの [カタログアイテム] フィールドで定義されます。 データタイプ：文字列
end_date	必須。予約をフェッチする終了日時。 データタイプ：文字列 形式:UTC タイムゾーンおよび内部日付と時刻の形式 YYYY-MM-DD HH:MM:SS
full_day	必須。開始日と終了日の時間値に関係なく、渡された指定された日付範囲のすべての予約を返すかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:指定した時間に関係なく、すべての予定を返します。 • false:指定された日時に対応する予約のみを返します。 データタイプ：ブーリアン
get_next_available_slot	最初に利用可能な予約スロットが、渡された *start_date* および *end_date* パラメーターに含まれていない場合でも、応答とともに返すかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:最初に利用可能な予約スロットを返します。 • false:最初に利用可能な予約スロットを返さない。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
limit	返される予約の最大数。 データタイプ：数値 デフォルト:sn_apptmnt_booking .max_appointments_ returned プロパティで指定された値。プロパティが空の場合は 1000。
場所	必須。予約に関連付けられた場所レコードのSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
opened_for	必須。予約しているユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
その他の入力	スクリプト化されたメソッドで可用性を計算するために必要なその他の値の名前と値のペア。通常、これらの値はカタログアイテム変数です

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	が、予約アプリケーションをカスタマイズする場合は、実装に必要な値を渡すことができます。 例： `"otherInputs": { "u_sn_point_of_sale_variable_set": "true", "short_description": "Point-of-Sale Installation", "contact": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441", "description": "Install new point-of-sale system with cash tray", "location": "32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6" }` データタイプ: オブジェクト
service_config_rule	予約スロットと可用性の計算に使用するサービス構成ルールのSys_id。サービス構成ルール [sn_apptmnt_booking_config_rule] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
start_date	必須。予約をフェッチする開始日時。 データタイプ：文字列 形式:UTC タイムゾーンおよび内部日付と時刻の形式 YYYY-MM-DD HH:MM:SS
task_table	必須。予約されているタスクレコードを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
use_read_replica	予約スロットとその可用性をフェッチするときに、データベースの読み込みレプリカを使用するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:データベースの読み込みレプリカを使用します。 • false:データベースの読み込みレプリカを使用しません。 デフォルト値：false
表示	必須。要求の発信元ポイント。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • プラットフォーム • portal データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

結果	要求に一致する予約の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": {`
	`"availability": [Array],`
	`"has_more": Boolean,`
	`"next_available_slot": {Object},`
	`"no_appt_available": Boolean,`
	`"success": Boolean,`
	`"time_zone": "String",`
	`"time_zone_display_value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.availability	指定された要求を満たす予約スロットのリスト。 データタイプ: オブジェクト `"availability": { "available": Boolean, "end_date": "String", "end_date_display": "String", "end_dateUTC": "String", "start_date": "String", "start_date_display": "String", "start_dateUTC": "String" }`
result.availability.available	関連付けられたタイムスロットが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:タイムスロットが利用可能です。 • false:タイムスロットは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
result.availability.end_date	関連付けられた予約の終了日時。タイムゾーンは、 *time_zone* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.availability.end_date_display	関連付けられた予約の終了日時を表示します。タイムゾーンは、 *time_zone_display_value* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 形式:要求ユーザーの日時形式。
result.availability.end_dateUTC	関連する予定の終了日時 (UTC 時間)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.availability.start_date	関連付けられた予約の開始日時。タイムゾーンは、 *time_zone* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.availability.start_date_display	関連付けられた予約の開始日時を表示します。タイムゾーンは、 *time_zone_display_value* パラメーターの値に基づいています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式:要求ユーザーの日時形式。
result.availability.start_dateUTC	関連する予約の開始日時 (UTC 時間)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.has_more	制限を返した後にフェッチする予約スロットがまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:より多くの予約スロットが利用可能です。 • false:これ以上スロットを使用できません。 データタイプ：ブーリアン
result.next_available_slot	*get_next_available_slot*パラメーターが true として渡された場合、渡された開始日と終了日に関係なく、最初に利用可能なスロットに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"next_available_slot": { "available": Boolean, "end_date": "String", "end_date_display": "String", "end_dateUTC": "String", "start_date": "String", "start_date_display": "String", "start_dateUTC": "String" }`
result.next_available_slot.利用可能	関連付けられたタイムスロットが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:タイムスロットが利用可能です。 • false:タイムスロットは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
result.next_available_slot.end_date	関連付けられた予約の終了日時。タイムゾーンは、 *time_zone* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.next_available_slot.end_date_display	関連付けられた予約の終了日時を表示します。タイムゾーンは、 *time_zone_display_value* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 Format (形式)：
result.next_available_slot.終了日UTC	関連する予定の終了日時 (UTC 時間)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.next_available_slot.start_date	関連付けられた予約の開始日時。タイムゾーンは、 *time_zone* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.next_available_slot.start_date_display	関連付けられた予約の開始日時を表示します。タイムゾーンは、 *time_zone_display_value* パラメーターの値に基づいています。 データタイプ：文字列 Format (形式)：
result.next_available_slot.start_dateUTC	関連する予約の開始日時 (UTC 時間)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
result.no_appt_available	指定された日時に利用可能な予約スロットがまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:より多くの予約タイムスロットが利用可能です。 • false:これ以上予約可能なタイムスロットはありません。 データタイプ：ブーリアン
result.success	エンドポイント呼び出しが成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エンドポイントコールに成功しました。 • false：エンドポイントコールに失敗しました。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.time_zone	予約スロットが表示されたタイムゾーン。予約サービス構成の値に基づきます。 データタイプ：文字列
result.time_zone_display_value	予約スロットが表示されたタイムゾーンを表示します。予約サービス構成の値に基づきます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_apptmnt_booking/v1/appointment/availability" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"start_date\": \"2023-02-05 05:00:00\",
  \"end_date\": \"2023-02-07 04:59:59\",
  \"location\": \"32e8499cdb2d2200d75270f5bf9619d6\",
  \"catalog_id\": \"e4c1116b3b810300ce8a4d72f3efc40f\",
  \"opened_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
  \"full_day\": false,
  \"task_table\": \"wm_order\",
  \"view\": \"portal\",
  \"get_next_available_slot\": true,
  \"use_read_replica\": true,
  \"service_config_rule\": \"f7d5d98f437c21105e0dbcba6ab8f2fc\"
}" \
--user 'username':'password
```

応答：

```
{
"result": {
  "success": true,
  "availability": [
    {
      "start_date": "2023-02-06 09:00:00",
      "end_date": "2023-02-06 11:00:00",
      "start_date_display": "09:00",
      "end_date_display": "11:00",
      "start_dateUTC": "2023-02-06 14:00:00",
      "end_dateUTC": "2023-02-06 16:00:00",
      "available": false
    },
    {
      "start_date": "2023-02-06 13:00:00",
      "end_date": "2023-02-06 15:00:00",
      "start_date_display": "13:00",
      "end_date_display": "15:00",
      "start_dateUTC": "2023-02-06 18:00:00",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "end_dateUTC": "2023-02-06 20:00:00",
      "available": false
    },
    {
      "start_date": "2023-02-06 15:00:00",
      "end_date": "2023-02-06 17:00:00",
      "start_date_display": "15:00",
      "end_date_display": "17:00",
      "start_dateUTC": "2023-02-06 20:00:00",
      "end_dateUTC": "2023-02-06 22:00:00",
      "available": false
    }
  ],
  "has_more": false,
  "no_appt_available": true,
  "time_zone": "US/Eastern",
  "time_zone_display_value": "US/Eastern",
  "next_available_slot": {
    "start_date": "2023-02-10 13:00:00",
    "end_date": "2023-02-10 15:00:00",
    "start_date_display": "13:00",
    "end_date_display": "15:00",
    "start_dateUTC": "2023-02-10 18:00:00",
    "end_dateUTC": "2023-02-10 20:00:00",
    "available": true
}
```


添付ファイル **API**

添付ファイル API は、添付ファイルのアップロードおよびクエリを可能にするエンドポイントを提供します。

要求ごとに 1 つのファイルをアップロードまたは取得できます。

添付ファイル API は、アップロードされたファイルに関するシステム制限 (最大ファイルサイズや許可された添付ファイルタイプなど) に従います。これらの設定は、*com.glide.attachment.max_size* プロパティ (デフォルトでは 1024MB) および *glide.attachment.extensions* プロパティを使用して制御できます。

注: 添付ファイル API は、すべての Content-Type 値 (*/*) を受け入れます。添付ファイルのアップロード時のファイルコンテンツタイプを指定します。コンテンツタイプは、他のツールがファイルを正しく識別して解析できるように、ファイルのメタデータとともに保存されます。

添付ファイル API の詳細については、次のビデオをご覧ください。

Web サービスパート 5 | REST 添付ファイル API 要求を行う方法 (Web Services Part 5 | How to Make REST Attachment API Requests)

添付ファイル **API** ロールの要件

添付ファイルを作成するには、ServiceNow の HTTP 要求を認証するために使用されるユーザーレコードに、添付ファイル [sys_attachment] レコードを作成するために必要なロールが必要です。また、ターゲットテーブルのレコードを読み書きするために必要なロール (インシデントレコードに添付ファイルを追加するための itil ロールなど) も必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、ユーザーが添付ファイルを追加できる単一のロールはありません。添付ファイルの追加を明示的に許可するロールを作成し、要求の実行に使用するユーザーアカウントにこのロールを割り当てることができます。

添付ファイル - **DELETE /now/attachment/{sys_id}**

このメソッドは、特定の sys_id 値を持つ添付ファイルを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/attachment/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/attachment/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
sys_id	削除する添付ファイルの sys_id 値。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	要求が正常に実行されたことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/615ea769c0a80166001cf5f2367302f5" \
--request DELETE \
--user 'username':'password'
```

```
""
```

添付ファイル - **GET /now/attachment**

複数の添付ファイルのメタデータを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`api/now/v1/attachment`

デフォルトの URL：`api/now/attachment`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
sysparm_limit	ページネーションに適用される制限。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	注: `sysparm_limit` 値が異常に大きい場合は、システムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：1000
sysparm_offset	クエリから除外するレコードの数。このパラメーターを使用すると、`sysparm_limit` で指定されている以上のレコードを取得できます。たとえば、`sysparm_limit` が 500 に設定されているが、クエリしたいレコードがまだある場合は、`sysparm_offset` の値を 500 に指定し、2 番目のレコードのセットを取得します。 データタイプ：文字列 デフォルト：0
sysparm_query	エンコードされたクエリです。添付ファイル API のクエリは、添付ファイル [sys_attachment] テーブルに関連しています。 例： *(sysparm_query=file_name=attachment.doc)* エンコードされたクエリは、順序をサポートしています。特定のフィールドに基づいて応答を並べ替えるには、sysparm_query で *ORDERBY* および *ORDERBYDESC* 句を使用します。たとえば、`sysparm_query=ORDERBYfile_name^ORDERBYDESCtable_Name` は、最初に名前で結果を昇順に並べ替え、次にテーブル名で降順に並べ替えます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答のコンテンツタイプ。メタデータ要求の場合、これは添付ファイルのコンテンツタイプではなく、メタデータのコンテンツタイプです。
Link	添付ファイルをダウンロードするためのリンク。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
返される情報は、選択された添付ファイルによって異なります。	

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment?sysparm_limit=1"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": [
    {
      "table_sys_id": "5054b6f8c0a800060056addcf551ecf8",
      "size_bytes": "462",
      "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/attachment/615ea769c0a80166001
cf5f2367302f5/file",
      "sys_updated_on": "2009-05-21 04:12:21",
      "sys_id": "615ea769c0a80166001cf5f2367302f5",
      "image_height": "",
      "sys_created_on": "2009-05-21 04:12:21",
      "file_name": "blocks.swf",
      "sys_created_by": "glide.maint",
      "compressed": "true",
      "average_image_color": "",
      "sys_updated_by": "glide.maint",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_tags": "",
      "table_name": "content_block_programmatic",
      "image_width": "",
      "sys_mod_count": "0",
      "content_type": "application/x-shockwave-flash",
      "size_compressed": "485"
    }
  ]
}
```


添付ファイル - GET /now/attachment/{sys_id}/file

特定の sys_id 値を持つバイナリ添付ファイルを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/attachment/{sys_id}/file`

デフォルトの URL：`/api/now/attachment/{sys_id}/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
sys_id	バイナリデータを返す元の添付ファイルレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。たとえば、JPEG または PNG 画像ファイルのみを受け入れるには、`image/jpeg` または `image/png` を使用します。すべての画像タイプを許可するには `image/*`を指定し、あらゆるファイルタイプを許可するには `*/*` を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト：*/*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
X-Attachment-Metadata	返されるファイルに関するメタデータ (サイズ、名前、ファイルタイプなど)。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
バイナリ添付ファイル	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/615ea769c0a80166001cf5f2367302f5/file" \
--request GET \
--header "Accept:*/*" \
--user "username":"password"
```

```
Binary response not shown.
```

添付ファイル - GET /now/attachment/{sys_id}

特定の sys_id 値を持つ添付ファイルのメタデータを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/attachment/{sys_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/now/attachment/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
sys_id	メタデータを取得する添付ファイルレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答のコンテンツタイプ。メタデータ要求の場合、これは添付ファイルのコンテンツタイプではなく、メタデータのコンテンツタイプです。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	指定された添付ファイルが存在しないか、現在のユーザーがそのファイルにアクセスできないことを示します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
指定された添付ファイルに固有のメタデータ。	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/615ea769c0a80166001cf5f2367302f5" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "table_sys_id": "5054b6f8c0a800060056addcf551ecf8",
    "size_bytes": "462",
    "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/attachment/615ea769c0a80166001cf5f2367302f5/file",
    "sys_updated_on": "2009-05-21 04:12:21",
    "sys_id": "615ea769c0a80166001cf5f2367302f5",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2009-05-21 04:12:21",
    "file_name": "blocks.swf",
    "sys_created_by": "glide.maint",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "glide.maint",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "content_block_programmatic",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "application/x-shockwave-flash",
    "size_compressed": "485"
  }
}
```

添付ファイル - **POST /now/attachment/file**

指定されたバイナリファイルを、指定されたレコードの添付ファイルとしてアップロードします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 添付するファイルは、渡される要求パラメーターリストの最後のパラメーターの後に指定する必要があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/attachment/file`

デフォルトの URL：`/api/now/attachment/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
encryption_context	暗号化コンテキストレコードの sys_id。指定された暗号化コンテキストを持つユーザーのみが添付ファイルにアクセスできるようにするには、このパラメーターを指定します。暗号化コンテキスト レコードの詳細については、「列レベル暗号化」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト:ファイルは、ユーザーがアクセスできる暗号化コンテキストを使用して暗号化されます。暗号化しない場合、添付ファイルは暗号化コンテキストで暗号化されません。
file_name	必須です。添付ファイルに付ける名前。 データタイプ：文字列
table_name	必須です。ファイルを添付するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
table_sys_id	必須です。*table_name* で指定されたテーブルの、ファイルを添付するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
<文字列>	指定されたレコードに添付するバイナリファイルへのパス。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	添付するファイルのコンテンツ タイプ (image/jpeg や */* など)。添付ファイルをポストするには、このヘッダーが必須です。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
場所	新しい添付ファイルの URL。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	クエリが正常に実行されたことを示します。
400	1 つ以上の必須パラメーターが要求になかったことを示します。
404	*table_name* および *table_sys_id* パラメーターで指定されたレコードが存在しないか、現在のユーザーがアクセスできないことを示します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明

result	要求された添付ファイルのメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "average_image_color": "String",`
	`  "compressed": "String",`
	`  "content_type": "String",`
	`  "created_by_name": "String",`
	`  "download_link": "String",`
	`  "file_name": "String",`
	`  "image_height": "String",`
	`  "image_width": "String",`
	`  "size_bytes": "String",`
	`  "size_compressed": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String", "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "table_name": "String", "table_sys_id": "String", "updated_by_name": "String" }
result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。 データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 単位：バイト
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/file?table_name=inci
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
dent&table_sys_id=d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6&file_name=Issue_screen
shot" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type: image/jpeg" \
--user "username":"password" \
--data-binary "@ location of the file on file system"
```

```
{
  "result": {
    "table_sys_id": "d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6",
    "size_bytes": "36597",
    "download_link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/6ea10fe64f411200adf9
f8e18110c739/file",
    "sys_updated_on": "2016-01-22 15:14:07",
    "sys_id": "6ea10fe64f411200adf9f8e18110c739",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2016-01-22 15:14:07",
    "file_name": "Issue_screenshot",
    "sys_created_by": "admin",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "incident",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "image/jpeg",
    "size_compressed": "25130"
  }
}
```

自動翻訳

添付ファイル - **POST /now/attachment/upload**

マルチパート添付ファイルをアップロードします。

マルチパート POST メソッドはパラメーターを受け入れません。フォーム本体内でテーブル名とレコード sys_id 値を指定する必要があります。multipart/form-data 要求のサンプルについては、cURL の例を参照してください。

重要: マルチパート POST を使用する場合は、ファイルコンテンツがメッセージの最後の部分のみに含まれていることを確認してください。前の部分には、テーブル名やレコード sys_id などのメタデータのみを含める必要があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/attachment/upload`

デフォルトの URL：`/api/now/attachment/upload`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求のコンテンツタイプ。マルチパート POST メソッドを使用する場合は、この値を multipart/form-data に設定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
場所	新しい添付ファイルの URL。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	クエリが正常に実行されたことを示します。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明

result	要求された添付ファイルのメタデータ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"result": {
	  "average_image_color": "String",
	  "compressed": "String",
	  "content_type": "String",
	  "created_by_name": "String",
	  "download_link": "String",
	  "file_name": "String",
	  "image_height": "String",
	  "image_width": "String",
	  "size_bytes": "String",
	  "size_compressed": "String",
	  "sys_created_by": "String",
	  "sys_created_on": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "sys_mod_count": "String",
	  "sys_tags": "String",
	  "sys_updated_by": "String",
	  "sys_updated_on": "String",
	  "table_name": "String",
	  "table_sys_id": "String",
	  "updated_by_name": "String"
	}</pre>

result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

POST マルチパートの必須の値

添付ファイルをアップロードするためにマルチパート POST 要求を送信する場合は、添付ファイルデータを、URL パラメーターではなくメッセージ本文に含めます。メッセージ本文で次の値を指定する必要があります。

必須の値

値	説明
Content-Type	マルチパートアップロードのメッセージ本文に含まれる、ファイルのコンテンツタイプ。 **注:** Content-Type を、フォームデータ内ではなく、POST メッセージのファイル部分内で定義する必要があります。マルチパートメッセージの例については、POST マルチパートメッセージのサンプルを参照してください。 データタイプ：文字列
table_name	ファイルを添付するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
table_sys_id	指定されたテーブルの、ファイルを添付するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/attachment/upload" \
--request POST \
--header "Accept:application/json"\
--user "username":"password"\
--header "Content-Type:multipart/form-data"\
 -F 'table_name=incident' \
 -F 'table_sys_id=d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6'\
 -F 'uploadFile=@ location of the file on file system'
\
```

```
{
  "result": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "table_sys_id": "d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6",
    "size_bytes": "36597",
    "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/attachment/994adbc64f511200adf
9f8e18110c796/file",
    "sys_updated_on": "2016-02-02 14:00:21",
    "sys_id": "994adbc64f511200adf9f8e18110c796",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2016-02-02 14:00:21",
    "file_name": "banner-CS0001345_v1_1.jpeg",
    "sys_created_by": "admin",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "incident",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "image/jpeg",
    "size_compressed": "25130"
  }
}
```


Automation Center API

オートメーションセンター API は、プロセス、ロボット、および実行ジョブを作成および更新するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、繰り返されるタスクのエンドツーエンドの自動化を定義し、それらのタスクを管理および監視できます。

この API を使用すると、ServiceNow インスタンス内で次のタイプのイベントを作成できます。

- ロボット：ボットプロセスを実行するソフトウェアエージェント。RPA ロボットは、有人または無人で実行できます。
- プロセス：特定のロボット上の RPA のインスタンス。ジョブの実行を担当します。プロセスを一意に識別するには、プロセス ID とロボット ID の両方を指定する必要があります。
- 実行：ロボットプロセスで実行する特定のタスク。たとえば、あるリソースから情報をコピーして別のリソースにコピーするタスクなど (メールからスプレッドシートに情報をコピーする場合など) です。

たとえば、この API を使用して、アプリケーションへのログイン、情報のコピーと貼り付け、ドキュメントとファイルの移動や、メール、PDF、フォームからのコンテンツの抽出を行うことができます。

通常、最初にロボットを作成し、その後でそのロボットに関連付けられたプロセスを作成する必要がありますが、これは API による強制ではありません。ただし、ロボットとプロセスのジョブ実行を試行する前に、ロボットとプロセスを作成する必要があります。作成しなければジョブ要求は失敗します。

注:

- この API を使用してイベントを削除することはできません。デフォルトでは、イベントは 14 日後にインスタンスから自動的に削除されます。
- 1 回の呼び出しで最大 2,000 件のレコードを渡すことができます。この値は変更できません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API を使用するには、Automation Center プラグインがアクティブになっており、ユーザーが sn_as.automation_technical_user または sn_ac.automation_admin のいずれかのロールを持っている必要があります。

Automation Center - POST /sn_ac/automation/rpa

ロボット、プロセス、および実行イベントを作成します。

これらのイベントはプロセスの自動化を提供します。Automation Center の概要および実行ダッシュボードに表示され、複数の RPA ベンダーからの出力を測定および監視します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_ac/{api_version}/automation/rpa`

デフォルトの URL：`/api/sn_ac/v1/automation/rpa`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
departmentName	プロセスおよびロボットイベントタイプのみ。イベントが属する部門の名前。 この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。 • process：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの department フィールド。 • robot：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの department フィールド。 データタイプ：文字列
domainId	イベントが属するドメインの sys_id。 この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• execution：自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの sys_domain フィールド。 • process：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの sys_domain フィールド。 • robot：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの sys_domain フィールド。 データタイプ：文字列
endtime	実行イベントタイプのみ。実行の終了時刻。この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの end_time フィールドに保存されます。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列
environment	実行イベントタイプのみ。実行の環境 (URL など)。この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの environment フィールドに保存されます。 **注:** この値は ServiceNow インスタンスでは使用されず、実装に必要な値を含めることができます。 データタイプ：文字列
errorMessage	実行イベントタイプのみ。エラーメッセージログの名前。この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの message フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列
eventName	必須です。イベントタイプの名前。この値は、処理するイベントのタイプを決定します。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • execution • process • robot データタイプ：文字列
id	必須です。関連付けられたイベントの数値による一意の識別子。 この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• execution：自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの automation_execution_id フィールド。 • process：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの correlation_id フィールド。 • robot：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの correlation_id フィールド。 データタイプ：整数
name	プロセスおよびロボットイベントタイプのみ。必須です。イベントの名前。 この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。 • process：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの name フィールド。 • robot：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの name フィールド。 データタイプ：文字列
priority	実行イベントタイプのみ。実行の優先度。 可能な値 (大文字と小文字を区別)： • Critical • High • 中程度 • Low この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの priority フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし - ダッシュボードに表示されません
processId	実行イベントタイプのみ。必須です。実行を実行するプロセスの一意の識別子。この値は、Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの対応するプロセスレコードの correlation_id フィールドにあります。 その後、この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの automation フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列
robotId	実行イベントタイプのみ。必須です。実行を実行するロボットの一意の識別子。この値は、Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの対応するロボットレコードの correlation_id フィールドにあります。 その後、この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの robot フィールドに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
source	必須です。イベントが属するソース (「servicenow_rpa」など)。この値は、自動化ソース [sn_ac_automation_source] テーブルの internal_name フィールドにあります。 その後、この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。 • execution：自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの Source フィールド。 • process：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの Source フィールド。 • robot：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの Source フィールド。 データタイプ：文字列
starttime	実行イベントタイプのみ。実行の開始時刻。この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの start_time フィールドに保存されます。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列
state	ロボットおよび実行イベントタイプのみ。関連付けられたイベントのステータス。 ロボットの可能な値 (大文字と小文字を区別)： • Cancelled • 完了 • エラー • キューに格納 • Running デフォルト：Queued 実行の可能な値 (大文字と小文字を区別)： • Available • Busy • Disconnected • New • Responsive デフォルト：New この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• **execution**：自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの state フィールド。 • **robot**：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの robot_state フィールド。 データタイプ：文字列
status	プロセスイベントタイプのみ。必須です。プロセスのステータス。 可能な値 (大文字と小文字を区別)： • Build • In Maintenance • In Use • Retired この値は、Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの life_cycle_stage_status フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列
triggeredBy	実行イベントタイプのみ。実行のトリガーソース。この値は、自動化実行 [sn_ac_automation_execution] テーブルの trigger_by フィールドに保存されます。 **注:** この値は ServiceNow インスタンスでは使用されず、実装に必要な値を含めることができます。 データタイプ：文字列
type	プロセスおよびロボットイベントタイプのみ。プロセスの場合は必須、ロボットの場合はオプションです。実行する処理のタイプ。 可能な値 (大文字と小文字を区別)： • Attended • Unattended この値は、イベントタイプに応じて次のテーブルに保存されます。 • **process**：Base ボットプロセス [cmdb_ci_base_rpa_process] テーブルの process_type フィールド。 • **robot**：Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの robot_type フィールド。 データタイプ：文字列 デフォルト：ロボットの場合は Unattended
version	ロボットイベントタイプのみ。ロボットのバージョン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	この値は、Base ロボット [cmdb_ci_base_rpa_robot] テーブルの version フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	失敗。必須フィールドがないか、要求に無効な値が含まれているために、要求は却下されました。関連するエラーメッセージに失敗の理由が記載されています。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	要求が成功した場合は空です。失敗の場合は、追加情報が提供されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェクト
	`"result": { "fields": { "<record_number>": [ "<field_in_err_or_missing>": "String" ] } "reason": "String" }`
	たとえば、レコード 1、2、および 3 のすべてに必須フィールドがない場合は、次のようなメッセージが返されます。
	`{ "result": { "fields": { "1": [ "id" ], "2": [ "status" ], "3": [ "name" ] }, "reason": "We are not able to process the data as following records have insufficient data" } }`

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、3 つのロボットイベントタイプレコードをポストする方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  records: [{
    id: 8001,
    name: "Quotes system Automation Robot",
    state: "Available",
    status: "In Use",
    version: 5.6,
    departmentName: "Customer Support",
    type: "Unattended",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "robot"
  },
  {
    id: 8002,
    name: "Invoice Matching Robot",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    state: "Responsive",
    status: "In Maintenance",
    version: 3,
    departmentName: "HR",
    type: "Unattended",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "robot"
  },
  {
    id: 8003,
    name: "Data Reconciliation Robot",
    state: "Busy",
    status: "Retired",
    version: 2,
    departmentName: "Finance",
    type: "Unattended",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "robot"
  }]
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、3 つのプロセスイベントタイプレコードをポストする方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  records: [{
    id: 9001,
    name: "RPA Execution Process",
    status: "In Maintenance",
    type: "Attended",
    departmentName: "Customer Support",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "process"
  },
  {
    id: 9002,
    name: "Customer Onboarding",
    status: "In Use",
    type: "Attended",
    departmentName: "Finance",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "process"
  },
  {
    id: 9003,
    name: "Data Reconciliation",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    status: "Retired",
    type: "Unattended",
    departmentName: "HR",
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "process"
  }]
}" \
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、3 つの実行イベントタイプレコードをポストする方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  records: [{
    id: 7001,
    name: "Customer Onboarding",
    starttime: "2022-03-18 00:49:13",
    endtime: "2022-03-20 00:58:03",
    state: "Running",
    priority: "Critical",
    environment: "system",
    triggeredBy: "Schedule",
    processId: 9001,
    robotId: 8001,
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "execution"
  },
  {
    id: 7002,
    name: "Data Reconciliation",
    starttime: "2022-04-30 00:19:11",
    endtime: "2022-05-02 00:41:35",
    state: "Error",
    priority: "Low",
    environment: "system",
    triggeredBy: "API",
    processId: 9002,
    robotId: 8002,
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "execution"
  },
  {
    id: 7003,
    name: "Customer Onboarding",
    starttime: "2022-01-22 02:38:53",
    endtime: "2022-01-23 02:50:44",
    state: "Queued",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    priority: "Moderate",
    environment: "system",
    triggeredBy: "Schedule",
    processId: 9003,
    robotId: 8003,
    source: "servicenow_rpa",
    eventName: "execution"
  }]
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、プロセスを作成または更新する方法を示しています。プロセスを作成するには、プロセスを実行するためのすべての必須パラメーターと、「process」に設定した *eventName* を渡します。プロセスの作成に必要な必須パラメーターは、*id*、*type*、*status*、*name*、および *source* です。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
records: [{
id: 9001,
name: "RPA Execution Process",
status: "In Maintenance",
type: "Attended",
departmentName: "Customer Support",
source: "servicenow_rpa",
eventName: "process"
}]
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、プロセスを公開する方法を示しています。プロセスを公開するには、「Published」に設定した *status* パラメーターを渡します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
records: [{
id: 9002,
name: "RPA Execution Process",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
status: "Published",
type: "Attended",
departmentName: "Customer Support",
source: "servicenow_rpa",
eventName: "process"
}]
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、ロボットを作成または更新する方法を示しています。ロボットを作成するには、ロボットのすべての必須パラメーターと、「robot」に設定した *eventName* を渡します。ロボットの作成に必要な必須パラメーターは、*id*、*status*、*name*、および *source* です。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
records: [{
id: 8001,
name: "Quotes system Automation Robot",
state: "Available",
status: "In Use",
version: 5.6,
departmentName: "Customer Support",
type: "Unattended",
source: "servicenow_rpa",
eventName: "robot"
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、実行を作成または更新する方法を示しています。実行を作成するには、実行のすべての必須パラメーターと、「execution」に設定した *eventName* を渡します。実行の作成に必要な必須パラメーターは、*id*、*processId*、*robotId*、および *source* です。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_ac/automation/rpa" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
records: [{
id: 7001,
name: "Customer Onboarding",
starttime: "2022-03-18 00:49:13",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
endtime: "2022-03-20 00:58:03",
state: "Running",
priority: "Critical",
environment: "http://acqa.servicenow.com",
triggeredBy: "Schedule",
processId: 9001,
robotId: 8001,
source: "servicenow_rpa",
eventName: "execution",
errorMessage:"Error due to Inactivity"
}]
} "\
--user "username":"password"
```

このエンドポイントは、成功した場合には HTTP ステータスコードのみを返し、失敗した場合は HTTP ステータスコードとエラーメッセージを返します。

```
None
```

AWA エージェント API

AWA (Advanced Work Assignment) エージェント API は、エージェントの在席状況、チャネルの可用性、および作業負荷を管理するためのエンドポイントを提供します。

この API には 高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインと awa_integration_user ロールが必要です。詳細については、 高度なワークアサインを参照してください 。

AWA エージェント - GET /now/awa/agents/{user_id}

現在のエージェントの在席状況とチャネルの可用性を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/agents/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/agents/{user_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルにリストされている作業アイテムの sys_id。 作業アイテムは次の基準を満たしている必要があります。 • 作業アイテムは、指定されたエージェントにアサインされている必要があります。 • 作業アイテムは、[承認保留中] ステータスになっている必要があります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

ヘッダー	説明
presence.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
presence.channels.sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
presents.sys_id	在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。各エラーメッセージには、*detail* プロパティに対応する説明があります。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
	• レコードが見つかりません:要求本文に指定された情報が不正確であるか、存在しません。 • ユーザーが認証されていません:ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 データタイプ：文字列

presence	エージェントの現在の在席状況とチャネルに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"presence": {`
	`  "available": Boolean,`
	`  "channels": [Array],`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

presence.available	エージェントが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エージェントは利用可能です。 • false:エージェントは利用できません。 データタイプ：ブーリアン

presence.channels	エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"channels": [`
	`  {`
	`  "available": Boolean,`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`  }`
	`]`

presence.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
presence.channels.name	チャネル名 (チャットや電話など)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
presence.channels.restrict_update	ユーザーが更新を制限できるかどうか、つまり可用性のチャネルを選択できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはこの可用性のチャネルを選択できます。 • false：ユーザーはこの可用性のチャネルを選択できません。 データタイプ：ブール
presence.channels.service_channel_type	サービスチャネルタイプ (チャットなど)。可能な値は、インストールされているプラグインによって異なります。 データタイプ：文字列
presence.channels.sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
presence.name	エージェントの在席状況の名前。 可能な値： • 利用可能 • 利用不可 データタイプ：文字列
presence.restrict_update	ユーザーが更新を制限できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーは更新を制限できます。 • false:ユーザーは更新を制限できません。 データタイプ：ブーリアン
presents.sys_id	在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： `failure` データタイプ：文字列
sys_id	エージェント sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
作業アイテム	*workItem*:イベントに関連付けられている作業アイテムに関する情報。
workItem.document	*workItem.document*:作業アイテムタスクに関連付けられたドキュメントのリスト。
workItem.document.sys_id	*workItem.document.sys_id*:作業アイテムタスクにアサインされたドキュメントのSys_id。
workItem.document.table	*workItem.document.table*:タスクに割り当てられたドキュメントテーブルの名前。
workItem.previousWorkItem	*workItem.previousWorkItem*:同じドキュメント ID の以前の作業アイテムのSys_id。非転送作業アイテムの場合、この値は空です。
workItem.serviceChannel	*workItem.serviceChannel*:作業アイテムタスクに関連付けられたサービスチャネルのリスト。
workItem.serviceChannel.name	*workItem.serviceChannel.name*:チャットや電話などのサービスチャネルの名前。
workItem.serviceChannel.sys_id	*workItem.serviceChannel.sys_id*:サービスチャネルのSys_id。
workItem.size	*workItem.size*:この作業アイテムがエージェントにアサインされたときに使用されるエージェントのキャパシティ。
workItem.sys_id	*workItem.sys_id*:承認または提供された作業アイテムのSys_id。
workItem.isQueueTransferred	*workItem.isQueueTransferred*:作業アイテムがキュー転送されているかどうかを示します。作業アイテムがキュー転送される場合は true に設定され、そうでない場合は false に設定されます。キュー転送の詳細については、「チャットを別のキューに転送する」を参照してください。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X GET \
https://instance.servicenow.com/api/now/awa/agents/46d44a23a9fe19810012d100cca80666 \
-H 'Accept: application/json' \
-H 'Content-Type: application/json' \
-u 'username':'password'\
```

```
{
  "result": {
    "presence": {
      "name": "Available",
      "sys_id": "0b10223c57a313005baaaa65ef94f970",
      "available": true,
      "channels": [
        {
          "name": "Chat",
          "available": true,
          "sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3"
        }
      ]
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_id": "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"
  }
}
```

AWA エージェント - GET /now/awa/agents/{user_id}/capacities

エージェントがケースを処理できるかどうかを確認するために、エージェントのチャネルキャパシティ、ユニバーサルキャパシティ、および現在の作業負荷を返します。

AWA エージェント - PUT /now/awa/agents/{user_id}/capacities メソッドを使用して、エージェントのチャネルキャパシティとユニバーサルキャパシティを変更します。

関連項目：

- サービスチャネルのキャパシティと使用率
- サービスチャネルの作成または設定
- エージェントの最大ユニバーサルキャパシティの設定

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/agents/{user_id}/capacities`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/agents/{user_id}/capacities`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
channels	エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"channels": [
	  {
	  "channel_sys_id": "String",
	  "current_workload": Number,
	  "max_capacity": Number
	  }
	]</pre>
	データタイプ：アレイ

channels.channel_sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
channels.current_workload	エージェントに現在アサインされている特定のサービスチャネルの作業アイテムの数。 データタイプ：数値
channels.max_capacity	エージェントを一度にアクティブにアサインできる特定のサービスチャネルの最大作業負荷。 データタイプ：文字列

error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。説明は *`error.detail`* プロパティで提供されます。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： `failure` データタイプ：文字列
universal_capacity	すべてのサービスチャネルにおけるエージェントの最大キャパシティ。エージェントの現在の作業負荷が最大ユニバーサルキャパシティと等しい場合、追加の作業アイテムはエージェントに割り当てられません。 このプロパティは、このエージェントのユニバーサルキャパシティレコードが存在する場合にのみ返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
universal_workload	指定されたエージェントに現在アサインされているすべてのサービスチャネルにわたる作業アイテムの数。 このプロパティは、エージェントのユニバーサルキャパシティレコードが存在する場合にのみ返されます。 データタイプ：数値

Example: サンプル cURL 要求

次の例は、ユーザーのキャパシティと作業負荷の値を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/awa/agents/46d44a23a9fe19810012d100cca80666/capacities" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

成功した応答には、各チャネルのキャパシティ値と作業負荷が含まれます。

```
{
  "result": {
    "universal_workload": 2,
    "channels": [
      {
        "channel_sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3",
        "current_workload": 2,
        "max_capacity": 4
      }
    ],
    "universal_capacity": 10
  }
}
```

AWAエージェント - GET /now/awa/agents/{user_id}/presence_states

エージェントの在席状況を返し、エージェントが対応可能か、または別の在席状況にあるかを示します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/agents/{user_id}/presence_states`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/agents/{user_id}/presence_states`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
user_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「 高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント 」を参照してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。説明は *error.detail* プロパティで提供されます。 データタイプ：文字列
<presence state>	オブジェクトとしてのエージェントの在席状況定義のリスト。各オブジェクトはステータスを表し、エージェントのチャネルを含んでいます。 データタイプ：アレイ `{ "available": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"channels": [Array],
	"disable_inactivity_check": Boolean,
	"name": "String",
	"show_channels": Boolean,
	"sys_id": "String"
	}</pre>

<presence state>.available	エージェントが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エージェントは利用可能です。 • false:エージェントは利用できません。 データタイプ：ブーリアン

<presence state>.channels	エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"channels": [
	{
	"available": Boolean,
	"name": "String",
	"restrict_update": Boolean,
	"service_channel_type": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

<presence state>.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
<presence state>.channels.name	チャネル名 (チャットや電話など)。 データタイプ：文字列
<presence state>.channels.sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
<presence state>.disable_inactivity_check	この在席状況の非アクティビティチェックを行うかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：在席状況の非アクティビティチェックは無効です。 • false：在席状況の非アクティビティチェックは有効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false この設定を変更する方法については、「エージェントの在席状況を構成する」を参照してください。
<presence state>.name	エージェントの在席状況の名前。デフォルトでインストールされる在席状況は、対応可能、退席中、オフラインです。 データタイプ：文字列
<presence state>.order	エージェントの受信ボックスでこの状況を表示する順番。 データタイプ：数値
<presence state>.show_channels	エージェントが在席状況を変更する (対応可能から退席中など) 権限を持っているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーに在席状況を変更する権限があります。 • false：ユーザーは在席状況の変更を制限されています。 データタイプ：ブーリアン
<presence state>.sys_id	在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： `failure` データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

次の例は、指定されたエージェントの在席状況を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/awa/agents/46d44a23a9fe19810012d100cca80666/presence_states" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答の本文には、エージェントの可能な在席状況がリストされ、エージェントが対応可能であることが示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "name": "Available",
      "order": 0,
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "show_channels": false,
      "sys_id": "0b10223c57a313005baaaa65ef94f970",
      "available": true,
      "channels": [
        {
          "name": "Chat",
          "available": true,
          "sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3",
          "restrict_update": false,
          "service_channel_type": "chat"
        }
      ],
      "disable_inactivity_check": false
    },
    {
      "name": "Away",
      "order": 1000,
      "show_channels": false,
      "sys_id": "41f9b8dfb31313005baa6e5f26a8dcac",
      "available": false,
      "channels": [],
      "disable_inactivity_check": false
    },
    {
      "name": "Offline",
      "order": 2000,
      "show_channels": false,
      "sys_id": "9cd83267575313005baaaa65ef94f98b",
      "available": false,
      "channels": [],
      "disable_inactivity_check": false
    }
  ]
}
```


AWA エージェント - PUT /now/awa/agents/{user_id}

指定されたエージェントの在席状況を設定し、指定した場合は、その状況のエージェントのチャネルの可用性を設定します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/agents/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/agents/{user_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	エージェントの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
presence.channels	エージェントが利用できるチャネルを定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"channels": [ { "available": Boolean, "sys_id": "String" } ]`
presence.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 **注:** 応答本文にチャネルを含めるには、この設定を指定する必要があります。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
presence.channels.sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
presents.sys_id	在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

パラメーター	説明
error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。各エラーメッセージには、*detail* プロパティに対応する説明があります。 可能な値： • レコードが見つかりません:要求本文に指定された情報が不正確であるか、存在しません。 • ユーザーが認証されていません:ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 データタイプ：文字列
presence	エージェントの現在の在席状況とチャネルに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"presence": { "available": Boolean, "channels": [Array], "name": "String", "sys_id": "String" }`
presence.available	エージェントが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エージェントは利用可能です。 • false:エージェントは利用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：ブーリアン
presence.channels	エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"channels": [ { "available": Boolean, "name": "String", "sys_id": "String" } ]`
presence.channels.available	チャネルが利用可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャネルは利用可能です。 • false:チャネルは利用できません。 データタイプ：ブーリアン
presence.channels.name	チャネル名 (チャットや電話など)。 データタイプ：文字列
presence.channels.restrict_update	ユーザーが更新を制限できるかどうか、つまり可用性のチャネルを選択できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはこの可用性のチャネルを選択できます。 • false：ユーザーはこの可用性のチャネルを選択できません。 データタイプ：ブール
presence.channels.service_channel_type	サービスチャネルタイプ (チャットなど)。可能な値は、インストールされているプラグインによって異なります。 データタイプ：文字列
presence.channels.sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
presence.name	エージェントの在席状況の名前。 可能な値： • 利用可能 • 利用不可

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
presence.restrict_update	ユーザーが更新を制限できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーは更新を制限できます。 • false:ユーザーは更新を制限できません。 データタイプ：ブーリアン
presents.sys_id	在席状況の sys_id。在席状況 [awa_presence_state] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： `failure` データタイプ：文字列
sys_id	エージェント sys_id。 データタイプ：文字列
作業アイテム	*workItem*:イベントに関連付けられている作業アイテムに関する情報。
workItem.document	*workItem.document*:作業アイテムタスクに関連付けられたドキュメントのリスト。
workItem.document.sys_id	*workItem.document.sys_id*:作業アイテムタスクにアサインされたドキュメントのSys_id。
workItem.document.table	*workItem.document.table*:タスクに割り当てられたドキュメントテーブルの名前。
workItem.previousWorkItem	*workItem.previousWorkItem*:同じドキュメント ID の以前の作業アイテムのSys_id。非転送作業アイテムの場合、この値は空です。
workItem.serviceChannel	*workItem.serviceChannel*:作業アイテムタスクに関連付けられたサービスチャネルのリスト。
workItem.serviceChannel.name	*workItem.serviceChannel.name*:チャットや電話などのサービスチャネルの名前。
workItem.serviceChannel.sys_id	*workItem.serviceChannel.sys_id*:サービスチャネルのSys_id。
workItem.size	*workItem.size*:この作業アイテムがエージェントにアサインされたときに使用されるエージェントのキャパシティ。
workItem.sys_id	*workItem.sys_id*:承認または提供された作業アイテムのSys_id。
workItem.isQueueTransferred	*workItem.isQueueTransferred*:作業アイテムがキュー転送されているかどうかを示します。作業アイテムがキュー転送される場合は true に設定され、そうでない場合は false に設定されます。キュー転送の詳細

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)** (続く)

パラメーター	説明
	については、「チャットを別のキューに転送する」を参照してください。

```
curl -X PUT \
 https://instance.servicenow.com/api/now/awa/agents/46d44a23a9fe19810012d
100cca80666 \
-H 'Accept: application/json' \
-H 'Content-Type: application/json' \
-u 'username':'password'\
-d '{"presence": {\
  "sys_id": "0b10223c57a313005baaaa65ef94f970",\
  "channels": [{ \
  "sys_id": "0bbdedbb3b892300a2bac9bb34efc445",\
  "available": true
}]
}}
```

```
{
  "result": {
    "presence": {
      "name": "Available",
      "sys_id": "0b10223c57a313005baaaa65ef94f970",
      "available": true,
      "channels": [
        {
          "name": "Chat",
          "available": true,
          "sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3"
        }
      ]
    },
    "sys_id": "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"
  }
}
```

AWA エージェント - PUT /now/awa/agents/{user_id}/capacities

エージェントのチャネルキャパシティとユニバーサルキャパシティの最大キャパシティ (作業負荷) を更新できます。

AWA エージェント - GET /now/awa/agents/{user_id}/capacities メソッドを使用して、エージェントの現在のチャネルキャパシティとユニバーサルキャパシティを取得します。

関連項目：

- サービスチャネルのキャパシティと使用率
- サービスチャネルの作成または設定
- エージェントの最大ユニバーサルキャパシティの設定

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/agents/{user_id}/capacities`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの URL：`/api/now/awa/agents/{user_id}/capacities`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
channels	指定されたエージェントの 1 つ以上のチャネルの最大値を更新する場合は必須です。エージェントに割り当てられた各チャネルについて、チャネルを最大キャパシティにマッピングする 1 つ以上のキーと値のペアを含む JSON オブジェクト。 データタイプ：オブジェクト ペアは次の形式です。 • キー (チャネル sys_id) – チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 • 値 (最大キャパシティ) – エージェントを一度にアクティブにアサインできる特定のサービスチャネルの最大作業負荷。 データタイプ：数値 `channels: {"<channel_sys_id>": <max_capacity>}`
universal_capacity	ユニバーサルキャパシティを更新する場合は必須です。 すべてのサービスチャネルにおけるエージェントの最大キャパシティ。エージェントの現在の作業負荷が最大ユニバーサルキャパシティと等しい場合、追加の作業アイテムはエージェントに割り当てられません。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
channels	エージェントとの利用可能な通信チャネルを説明するオブジェクトのリスト。 `"channels": [ { "channel_sys_id": "String", "max_capacity": Number } ]` データタイプ：アレイ
channels.channel_sys_id	チャネルの sys_id。サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
channels.max_capacity	エージェントを一度にアクティブにアサインできる特定のサービスチャネルの最大作業負荷。 データタイプ：文字列

error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。説明は *error.detail* プロパティで提供されます。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： `failure` データタイプ：文字列
universal_capacity	すべてのサービスチャネルにおけるエージェントの最大キャパシティ。エージェントの現在の作業負荷が最大ユニバーサルキャパシティと等しい場合、追加の作業アイテムはエージェントに割り当てられません。 このプロパティは、このエージェントのユニバーサルキャパシティレコードが存在する場合にのみ返されます。 データタイプ：数値

Example: サンプル cURL 要求

次の例は、エージェントのユニバーサルキャパシティおよび指定されたチャネルの最大キャパシティを変更する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/awa/agents/46d44a23a9fe19810012d100cca80666/capacities" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
 \"channels\": { \"27f675e3739713004a905ee515f6a7c3\": 6 },
 \"universal_capacity\" : 12
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答には、更新されたキャパシティ値が含まれます。

```
{
  "result": {
    "channels": [
      {
        "channel_sys_id": "27f675e3739713004a905ee515f6a7c3",
        "max_capacity": 6
      }
    ],
    "universal_capacity": 12
  }
}
```

AWA 手動アサイン API

AWA 手動アサイン API は、利用可能な作業アイテムを利用可能な高度な作業アサイン (AWA) エージェントに手動でアサインするためのエンドポイントを提供します。

作業アイテムは、AWA エージェントによって開始から終了まで処理される 1 件の作業のことです。たとえば、1 件のチャットまたは 1 件のケースは、エージェントにルーティングしてアサインできるオブジェクトになります。詳細については、 高度なワークアサインを参照してください 。

この API には 高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインが必要です。この API を呼び出すには、awa_manager ロールまたは awa_integration_user ロールが必要です。

AWA 手動アサイン – POST /now/awa/workitems/{work_item_sys_id}/assignments

対応可能な作業アイテムを対応可能な 高度な作業アサイン (AWA) エージェントにアサインします。

このエンドポイントの主なユースケースは、外部ルーティングシステムが作業アイテムをルーティングできるようにすることです。高度な作業アサイン が外部ルーティングを使用するように構成されている場合、キュー内の作業アイテムはAWAではなく外部ルーティングを使用してアサインされます。このエンドポイントを呼び出すことで、作業項目タスクをアサインできます。詳細は、次の情報を参照してください: 外部ルーティングの使用

URL 形式

バージョニングされた URL：`/now/{api_version}/awa/workitems/{sys_id}/assignments`

デフォルトの URL：`/now/awa/workitems/{sys_id}/assignments`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
work_item_sys_id	対応可能なエージェントにアサインする作業アイテムのsys_id。作業アイテム [awa_work_item] テーブルにあります。 作業アイテムは未アサインであり、[受入処理待ち] または [キューに格納] ステータスである必要があります。詳細については、「未アサインタスク作業アイテムの確認」を参照してください。 タイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
after_timeout_presence	*timeout*パラメーターの有効期限が切れた場合にエージェントが切り替える在席ステータスのSys_id。AWA プレゼンスステータス [awa_presence_state] テーブルにあります。 *timeout* パラメーターが渡されない場合、このパラメーターは無視されます。 在席状況の詳細については、「エージェントの在席状況の設定」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト: "" (空の文字列)
agent_sys_id	必須です。作業アイテムを受け取ることができる利用可能なエージェントの sys_id。エージェントは、ユーザー [sys_user] テーブルの awa_agent ロールを持つユーザーです。 エージェントが対応可能かどうかを判断する方法については、「エージェント受信ボックスのコントロール」を参照してください。 データタイプ：文字列
allowed_to_decline	エージェントが作業アイテムを却下できるかどうかを示すフラグ。このパラメーターが `true` の場合、受信ボックスカードには [承認] ボタンと [却下] ボタンの両方が表示されます。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • true/yes/1:エージェントは作業アイテムを却下できます。 • false/no/0:エージェントは作業アイテムを却下できません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：true
display_option	作業アイテムが自動的にアサインされたときのカードとタブの表示オプション。 このパラメーターは、 *enable_auto_assign* が `true` として渡された場合にのみ有効です。 有効な値： • card_only:カードのみを表示します。 • card_and_tab:カードとタブの両方を表示します。 データタイプ：文字列 デフォルト:card_only
enable_auto_assign	作業アイテムを自動的に承認するか、エージェントが作業アイテムを手動で承認または却下できるようにするかを示すフラグ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • true/yes/1:自動的に承認します。 • false/no/0:エージェントが手動で承認または拒否できるようにします。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
offered_on	作業アイテムの提供時間。オファー時間は、エージェントが受信ボックスの作業アイテムを承認するために残された残り時間を計算するために使用されます。これは、API 要求が処理されてからサードパーティルーティングシステムが API 要求を呼び出すまでの不一致を説明するのに役立ちます。このパラメーターを使用すると、このエンドポイントを呼び出す外部システムは、作業アイテムの外部システムの内部追跡と同期するように作業アイテムのオファー時間を設定できます。 たとえば、作業アイテムが 11:30:30 に提供され、タイムアウトが 30 秒で、現在の時刻が 11:30:45 の場合、カウントダウンタイマーには 00:15 が表示されます (残り 15 秒)。 この値は、作業アイテムの offered_on フィールドに格納されます。 *timeout* パラメーターが渡されない場合、このパラメーターは無視されます。 データタイプ：文字列 形式:UTC タイムスタンプ (yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss.SSS)
タイムアウト	エージェントがワークアサインメントを承認するのを作業アイテムがエージェントの受信ボックスに保持される時間。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	単位：秒

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	競合。指定された作業アイテムまたはエージェントsys_idでエラーが発生したため、要求を通過できませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
success	手動作業アイテムのアサインが成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：作業アイテムのアサインに成功しました。 • false：作業アイテムのアサインに失敗しました。 データタイプ：ブーリアン
メッセージ	アサインの成功または例外を確認する応答メッセージ。 成功:「手動割り当てが正常に要求されました。」 例外： • 「<work_item_sys_id> は有効な作業アイテムではありません」 – 指定された作業アイテム sys_id が存在しません。 • 「発信者 <API_caller_sys_id> には awa_manager または awa_integration_user ロールがありません」 – API 要求を行う認証済みユーザーには、awa_manager ロールまたは awa_integration_user ロールが必要です。 • 「作業アイテム<work_item_sys_id>をアサインできません」 – 指定された作業アイテムは 、[承認 済み] または [キャンセル] ステータスであるため、アサインできません。「作業アイテムと AWA イベントの確認」を参照してください。 • 「<agent_sys_id> は有効なエージェントではありません」 – エージェントに awa_agent ロールがありません。 • 「作業アイテムは既に<agent_sys_id>にアサインされています」:指定された作業アイテムが別のエージェントにアサインされています。 • 「エージェントは利用できません」 – エージェントは AWA で [利用可能] ステータスではありません。「エージェント受信ボックスのコントロール」を参照してください。 • 「タイムアウト値を負にすることはできません」:指定されたタイムアウト値を負の値にすることはできません。 • 「<presence_state_sys_id>は有効な在席状況ではありません」 – 指定された在席状況sys_idが AWA 在席状況 [awa_presence_state] テーブルに存在しません。 • 「提供時間 (<offered_on_timestamp>) は、yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss の形式である必要があります。SSS" – 指定された *offered_on* タイムスタンプは、指定された形式である必要があります。 • 「提供された時間 (<offered_on_timestamp >) は現在の時間より前にする必要があります。そうしないと、エージェントが作業アイテムを受け入れる時間が長くなります」 - 指定した<c0/>タイムスタンプを要求が行われた時間より前にすることはできません。*offered_on* • 「タイムアウト後のタイムスタンプ (<offered_on_timestamp >) は現在時刻より後にする必要があります。それ以外の場合、エージェントは作業アイテムを受け入れる時間がありません」 – 指定された<c0/>タイムスタンプにタイムアウト値を追加した後のタイムスタンプは、要求が行われた時刻より後である必要があります。*offered_on*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 「<display_option>は有効な表示オプションではありません」 – 指定display_optionは「card_only」または「card_and_tab」のいずれかの値である必要があります • "%s is not a valid boolean value" - 指定するブール型値は、"yes"/"no"、"true"/"false"、"1"/"0" のいずれかのブーリアン形式である必要があります データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、必要なパラメーターのみを使用して、対応可能な AWA エージェントに作業アイテムをアサインする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/awa/workitems/<work_item_sys_id>/assignments" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"agent_sys_id\":\"<agent_sys_id>\"}" \
--user 'username':'password'
```

結果は、タスクがエージェントに正常にアサインされたことを示しています。作業アイテム [awa_work_item] テーブルの [アサイン先] フィールドで結果を確認できます。

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "message": "Manual assignment successfully requested."
  }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、オプションのパラメーターを含めて、対応可能な AWA エージェントに作業アイテムをアサインする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/awa/workitems/<work_item_sys_id>/assignments" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data '{
    "agent_sys_id": "46d44a23a9fe19810012d100cca80666",
    "timeout":"10",
    "offered_on":"2024-04-03T23:09:31.000"
  }'
--user 'username':'password'
```

結果は、タスクがエージェントに正常にアサインされたことを示しています。作業アイテム [awa_work_item] テーブルの [アサイン先] フィールドで結果を確認できます。

```
{
  "result": {
    "success": true,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "message": "Manual assignment successfully requested."
  }
}
```

AWA 受信ボックスアクション API

AWA 受信ボックスアクション API は、エージェントの代わりに作業アイテムを承認または却下するためのエンドポイントを提供します。この API は、却下された作業アイテムの却下理由も取得します。

この API には 高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインと awa_integration_user ロールが必要です。詳細については、 高度なワークアサインを参照してください 。

AWA 受信ボックスアクション – GET /awa/inbox/actions/reject_reasons/{channel_id}

指定されたサービスチャネルの作業アイテムの却下理由を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/awa/inbox/actions/reject_reasons/{channel_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/{api_version}/awa/inbox/actions/reject_reasons/{channel_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
channel_id	サービスチャネル [awa_service_channel] テーブルにリストされたサービスチャネルの sys_id。詳細については、「」を参照してください。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
404	レコードが見つかりません。指定されたチャネル ID が有効ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
display_value	却下理由 [awa_reject_reason] テーブルの Reason フィールドの値を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
order	却下理由をエージェントの受信ボックスに表示する順序。 データタイプ：数値
value	データベースに保存されている却下理由フィールドの値。 データタイプ：文字列
Sys_id	このサービスチャネルの却下理由の sys_id。理由は、却下理由 [awa_reject_reason] テーブルに一覧表示されます。 データタイプ：文字列

次の例は、チャットサービスチャネルの却下理由を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/awa/inbox/actions/reject_reasons/27f675e3739713004a905ee515f6a7c3" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文には、却下されたタスクが却下理由とともに表示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "order": 2,
      "value": "Not my expertise",
      "display_value": "Not my expertise",
      "sys_id": "31e3fa29b38023002e7b6e5f26a8dc17"
    },
    {
      "order": 1,
      "value": "Busy",
      "display_value": "Busy",
      "sys_id": "4e93fa29b38023002e7b6e5f26a8dc20"
    }
  ]
}
```

AWA 受信ボックスアクション – POST /awa/inbox/actions/accept

エージェントの代わりに [保留中の承認] ステータスの作業アイテムを承認します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/inbox/actions/accept`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/inbox/actions/accept`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
agent_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列
work_item_id	AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルにリストされている作業アイテムの sys_id。 作業アイテムは次の基準を満たしている必要があります。 • 作業アイテムは、指定されたエージェントにアサインされている必要があります。 • 作業アイテムは、[承認保留中] ステータスになっている必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	無効な要求。 考えられる理由： • エージェント ID がありません。 • 作業アイテム ID がありません。 • 作業アイテムが別のエージェントにアサインされています。 • 作業アイテムが保留中の承認ステータスではありません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
documentTable	この作業アイテムにアサインされたドキュメントをリストするテーブルの名前。 データタイプ：文字列
documentSysId	タスクにアサインされたドキュメントレコードの sys_id。*`documentTable`* フィールドで指定されたテーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 可能な値： • エージェント ID がありません:要求本文に *agent_id* が指定されていません。 • 作業アイテム ID がありません:要求本文に *work_item_id* が指定されていません。 • 作業アイテムが別のエージェントにアサインされています – 指定された作業アイテムが指定されたエージェントにアサインされていません。 • 誤った作業アイテム ID：要求本文で指定された作業アイテムが不正確であるか、存在しません。 • 作業アイテムが［承認保留中］ステータスではありません – 要求本文で指定された作業アイテムが [受入処理待ち] 以外のステータスになっています。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。説明は *error.detail* プロパティで提供されます。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、選択したエージェントの作業アイテムのステータスを [受入処理待ち] から [受入済み] に変更する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/now/awa/inbox/actions/accept"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
 \"agent_id\":\"46c9e158a9fe198101d44d0d22cb640d\",
 \"work_item_id\":\"fd69abfc878b01101ae365b83cbb35fe\"
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文には、作業アイテムに関連するドキュメントの sys_id とテーブルがリストされます。

```
{
  "result": {
    "documentSysId": "57af7aec73d423002728660c4cf6a71c",
    "documentTable": "incident"
  }
}
```

AWA 受信ボックスアクション – POST /awa/inbox/actions/reject

エージェントの代わりに [承認保留中] ステータスの作業アイテムを却下します。成功すると、[アサイン先] フィールドは空になり、指定された作業アイテムの [却下] フィールドの値は true になります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/inbox/actions/reject`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/inbox/actions/reject`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
agent_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列
reject_reason_id	このサービスチャネルの却下理由の sys_id。理由は、却下理由 [awa_reject_reason] テーブルに一覧表示されます。 データタイプ：文字列
work_item_id	AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルにリストされている作業アイテムの sys_id。 作業アイテムは次の基準を満たしている必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 作業アイテムは、指定されたエージェントにアサインされている必要があります。 • 作業アイテムは、[承認保留中] ステータスになっている必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	無効な要求。 考えられる理由： • エージェント ID がありません。 • 作業アイテム ID がありません。 • 却下理由 ID がありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 作業アイテムが別のエージェントにアサインされています。 • 作業アイテムが保留中の承認ステータスではありません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。 考えられる理由: • ユーザーにawa_integration_userロールがありません。 • glide.awa.enabled プロパティの値が `true` ではありません。Advanced Work Assignment (com.glide.awa) プラグインがインストールされている場合、このプロパティはシステムのプロパティ [sys_property] テーブルにリストされます。詳細については、「 高度なワークアサインメントとともにインストールされるコンポーネント 」を参照してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。 考えられる理由： • 誤ったエージェント ID：指定されたユーザーのレコードがありません。 • 誤った却下理由 ID：指定された却下理由のレコードがありません。 • 誤った作業アイテム ID：指定された作業アイテムのレコードがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
agent_id	ユーザー [sys_user] テーブルにリストされているエージェントの sys_id。 データタイプ：文字列
error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• エージェント ID がありません – 要求本文で *agent_id* が提供されませんでした。 • 却下理由アイテム ID がありません – 要求本文で *reject_reason_id* が提供されませんでした。 • 作業アイテム ID がありません:要求本文に *work_item_id* が指定されていません。 • awa_reject_reason : <reason_sys_id> のレコードがありません – 要求本文に指定された *reject_reason_id* に一致するレコードが却下理由 [awa_reject_reason] テーブルにありません。 • awa_work_item : <work_item_sys_id> のレコードがありません – 要求本文で指定された *work_item_id* に一致するレコードが AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルにありません。 • sys_user : <agent_sys_id> のレコードがありません – 要求本文で指定された *agent_id* に一致するレコードがユーザー [sys_user] テーブルにありません。 • 作業アイテムが保留中の承認ステータスではない:要求本文で指定された作業アイテムが 保留中の承認以外のステータスです。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。説明は *error.detail* プロパティで提供されます。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。このプロパティは、エラーが発生した場合にのみ応答に含まれます。 有効な値： failure データタイプ：文字列
reject_reason_id	このサービスチャネルの却下理由の sys_id。理由は、却下理由 [awa_reject_reason] テーブルに一覧表示されます。 データタイプ：文字列
work_item_id	AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルにリストされている作業アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

次の例は、アサインされた作業アイテムを「専門知識がありません」という理由で却下する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/now/awa/inbox/actions/reject"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"agent_id\":\"46c9e158a9fe198101d44d0d22cb640d\",
    \"work_item_id\":\"3ed5df4d87cf01101ae365b83cbb35af\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    \"reject_reason_id\":\"31e3fa29b38023002e7b6e5f26a8dc17\"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功した出力には、要求本文で指定されたものと同じ作業アイテム、却下理由、およびユーザー ID が表示されます。AWA 作業アイテム [awa_work_item] テーブルの指定された作業アイテムの [アサイン先] フィールドは空で、[却下] フィールドの値は true です。

```
{
  "result": {
    "work_item_id": "3ed5df4d87cf01101ae365b83cbb35af",
    "reject_reason_id": "31e3fa29b38023002e7b6e5f26a8dc17",
    "agent_id": "46c9e158a9fe198101d44d0d22cb640d"
  }
}
```

AWA ルーティング API

`AWA ルーティング` API は、ドキュメントをキューにルーティングするためのエンドポイントを提供します。

この API には 高度な作業アサイン (com.glide.awa) プラグインと awa_integration_user ロールが必要です。

AWA ルーティング - POST /now/awa/queues/{queue_sys_id}/work_item

アクティブな作業アイテムが存在する場合、ドキュメントをキューにルーティングします。指定されたドキュメントにアクティブな作業アイテムが存在しない場合は、作業アイテムを作成し、それに応じてフィールドを設定します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/awa/queues/{queue_sys_id}/work_item`

デフォルトの URL：`/api/now/awa/queues/{queue_sys_id}/work_item`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
queue_sys_id	キュー [awa_queue] テーブルのキューレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
document_sys_id	キューにルーティングするドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列
document_table	ドキュメントに関連付けられたテーブルの名前 (インシデントなど)。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
display_name	この作業アイテムによってルーティングするドキュメントの名前 (ケースレコードなど)。 データタイプ：文字列
document_sys_id	キューにルーティングするドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列
document_table	ドキュメントに関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
queue_sys_id	ドキュメントをルーティングするキューの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	キューにアサインされた作業アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/now/awa/queues/339eed3f3b892300a2bac
9bb34efc4c3/work_item \
-H 'Content-Type: application/json' \
-H 'Accept: application/json' \
-u 'username':'password'
-d '{
  "document_sys_id": "9c573169c611228700193229fff72400",
  "document_table": "incident"
}'
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "cd57f90ddbb26300db2051735e9619f0",
    "document_table": "incident",
    "document_sys_id": "9c573169c611228700193229fff72400",
    "queue_sys_id": "339eed3f3b892300a2bac9bb34efc4c3",
    "display_name": "Incident: INC0000001"
  }
}
```

バッチ API

バッチ API は、複数の REST API 呼び出しを含む単一の要求を送信し、応答ペイロードのストリームを返すためのエンドポイントを提供します。

この REST API を使用すると、インテグレーターは次のことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- API 要求をまとめてバッチ処理することで送信に必要な時間を短縮し、認証、セッションのセットアップ、および往復トラフィックを 1 つのステップに絞り込むことでオーバーヘッドを削減します。
- クライアント側の統合のためにより効率的なコードを作成します。
- バッチアイテムの形式を混在させて、単一のバッチ要求に含めます。たとえば、1 つのバッチに、1 つのエンドポイントに送信する XML 形式の Bases64 エンコード要求と、別のエンドポイントに送信する JSON 形式の Base64 エンコード要求を含めることができます。
- 返される応答ペイロードのストリームを受信します。
- バッチ内の各 API 呼び出しに既存の ACL を適用します。

バッチ API 呼び出しには、インスタンスで利用可能な任意の API を含めることができます。パフォーマンス上の理由から、実行時間の長い要求や大量のデータを取得する要求は含めないでください。

重要: Batch API のパフォーマンス特性は個々の API 要求と同じですが、複数のクライアント/サーバー要求のオーバーヘッドを回避します。Batch API は並列トランザクション処理を意図しておらず、API 要求の実行時間が長いと、API 要求が最大トランザクション時間を超え、エラーが返される可能性があります。

サイズと処理の制限

ペイロードは次のサイズ制限に従います。

- 要求の各アイテム：5 MB。*glide.rest.batch.max.inputSize* システムプロパティを更新することで、このデフォルトを変更できます。最大値：10 MB。
- 応答の各アイテム：10 MB。*glide.rest.batch.max.outputSize* システムプロパティを更新するか、*X-BATCHREQUEST-MAX-OUTPUT-SIZE* ヘッダーを要求に追加することで、このデフォルトを変更できます。*X-BATCHREQUEST-MAX-OUTPUT-SIZE* ヘッダー値は、システムプロパティの値を超えることはできません。

注: 要求が 30 秒より長く実行されると、*REST Batch API request timeout* トランザクションクォータのルールによってトランザクションが終了します。このトランザクションクォータのルールの値を増やすと、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

バッチ要求がサイズまたは処理の制限に達すると、システムはトランザクションをキャンセルし、応答のサービスが実行されていない JSON アレイで未処理の要求を返します。

バッチ - POST /now/batch

1 回の呼び出しで複数の REST API 要求を送信します。

バッチ API 呼び出しには、インスタンスで利用可能な任意の API を含めることができます。パフォーマンス上の理由から、実行時間の長い要求や大量のデータを取得する要求は含めないでください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/batch`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
batch_request_id	要求のバッチを識別する ID。 データタイプ：文字列
rest_requests	必須です。バッチ要求に含める要求オブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"rest_requests":[ { "body": "String", "exclude_response_headers": Boolean, "headers":[Array], "id": "String", "method": "String", "url": "String" } ]`
rest_requests.body	Base64 でエンコードされた要求の本文。本文を必要とするメソッド (POST など) にのみ適用されます。エンコード前の本文は任意の形式にすることができます。たとえば、XML や JSON などです。 データタイプ：文字列
rest_requests.exclude_response_headers	応答から応答ヘッダーを除外するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：応答に応答ヘッダーは含まれません。 • false：応答に応答ヘッダーが含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
rest_requests.headers	エンドポイントに送信する要求ヘッダーオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"headers":[ { "name":"String", "value":"String" } ]`
rest_requests.headers.name	ヘッダーの名前。 データタイプ：文字列
rest_requests.headers.value	ヘッダーの値。 データタイプ：文字列
rest_requests.id	必須です。バッチの各アイテムの ID。 データタイプ：文字列
rest_requests.method	必須です。関連付けられたエンドポイントのために呼び出すメソッド。 データタイプ：文字列
rest_requests.url	必須です。要求の送信先のエンドポイントの相対パス。クエリパラメーターが含まれます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。
X-BATCHREQUEST-	バッチ応答内の各アイテムのサイズ制限。*glide.rest.batch.max.outputSize* システムプロパティで設定された

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
MAX-OUTPUT-SIZE	デフォルトよりも低いサイズ制限を指定するには、このヘッダーを追加します。システムプロパティの値よりも大きい値を設定することはできません。 デフォルト：10 MB

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
batch_request_id	要求の *batch_request_id* パラメーターと一致するバッチの ID。 データタイプ：文字列
serviced_request	バッチ要求からの応答オブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"serviced_requests":[ { "body": "String", "error_message": "String", "execution_time": Number, "headers": [Array], "id": "String", "redirect_url: "String", "status_code": Number, "status_text": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
serviced_requests.body	Base64 でエンコードされた要求の本文。本文の値を取得するには、このパラメーターの内容を Base64 でデコードします。 データタイプ：文字列
serviced_requests.error_message	存在する場合、エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
serviced_requests.execution_time	バッチアイテム要求の実行にかかった時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒

serviced_requests.headers	バッチアイテムのヘッダー。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"headers":[
	  {
	  "name":"String",
	  "value":"String"
	  }
	]</pre>

serviced_requests.headers.name	ヘッダーの名前。 データタイプ：文字列
serviced_requests.headers.value	ヘッダーの値。 データタイプ：文字列
serviced_requests.id	要求の *rest_requests.id* パラメーターと一致するバッチアイテムの ID。 データタイプ：文字列
serviced_requests.redirect_url	リダイレクト URL (存在する場合)。 データタイプ：文字列
serviced_requests.status_code	バッチアイテムのステータスコード。 データタイプ：数値
serviced_requests.status_text	バッチアイテムのステータスコードのテキスト。 データタイプ：文字列
unserviced_requests	バッチ要求がサイズまたは処理の制限に達したために処理されなかった要求の ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

このバッチ要求は、インスタンスに 2 つの GET 要求を、またインシデントテーブルに 1 つの POST 要求を送信します。POST 要求の本文は Base64 でエンコードされます。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/batch" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password"\
--data "{
   \"batch_request_id\":\"1\",
   \"rest_requests\":[
      {
         \"id\":\"11\",
         \"headers\":[
            {
               \"name\":\"Content-Type\",
               \"value\":\"application/xml\"
            },
            {
               \"name\":\"Accept\",
               \"value\":\"application/xml\"
            }
         ],
         \"url\":\"/api/global/user_role_inheritance\",
         \"method\":\"GET\"
      },
      {
         \"id\":\"12\",
         \"exclude_response_headers\":true,
         \"headers\":[
            {
               \"name\":\"Content-Type\",
               \"value\":\"application/json\"
            },
            {
               \"name\":\"Accept\",
               \"value\":\"application/json\"
            }
         ],
         \"url\":\"/api/now/table/incident?sysparm_limit=1\",
         \"method\":\"GET\"
      },
      {
         \"id\":\"13\",
         \"exclude_response_headers\":true,
         \"headers\":[
            {
               \"name\":\"Content-Type\",
               \"value\":\"application/json\"
            },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
               \"name\":\"Accept\",
               \"value\":\"application/json\"
            }
         ],
         \"url\": \"/api/now/table/incident\",
         \"method\":\"POST\",
         \"body\":
 \"eyd1cmdlbmN5JzonMScsICdzaG9ydF9kZXNjcmlwdGlvbic6J015IGNvbXB1dGVyIG

 Jyb2tlJywgJ2NvbW1lbnRzJzonRWxldmF0aW5nIHVyZ2VuY3ksIHRoaXMgaXMgYSBibG9ja2
luZyBpc3N1ZSd9\"
      }
   ]
}" \
```

```
{
    "batch_request_id": "1",
    "serviced_requests": [
        {
            "id": "11",
            "body":
 "PD94bWwgdmVyc2lvbj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0iVVRGLTgiPz48cmVzcG9uc2U+PHJlc3V
sdD48dX
            Nlcl9uYW1lLz48L3Jlc3VsdD48L3Jlc3BvbnNlPg==",
            "status_code": 200,
            "status_text": "OK",
            "headers": [
                {
                    "name": "Pragma",
                    "value": "no-store,no-cache"
                },
                {
                    "name": "Expires",
                    "value": "0"
                },
                {
                    "name": "Content-Length",
                    "value": "88"
                },
                {
                    "name": "Content-Type",
                    "value": "application/xml; charset=UTF-8"
                },
                {
                    "name": "Cache-control",
                    "value":
 "no-cache,no-store,must-revalidate,max-age=-1"
                }
            ],
            "execution_time": 5
        },
        {
            "id": "12",
            "body":
 "eyJyZXN1bHQiOlt7InBhcmVudCI6IiIsIm1hZGVfc2xhIjoidHJ1ZSIsImNhdXNlZF9
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 ieSI6IiIsIndhdGNoX2xpc3QiOiIiLCJ1cG9uX3JlamVjdCI6ImNhbmNlbCIsInN5c191cGR
hdGV

 kX29uIjoiMjAxNi0xMi0xNCAwMjo0Njo0NCIsImNoaWxkX2luY2lkZW50cyI6IjAiLCJob2x
kX3J

 lYXNvbiI6IiIsInRhc2tfZWZmZWN0aXZlX251bWJlciI6IklOQzAwMDAwNjAiLCJhcHByb3Z
hbF9

 oaXN0b3J5IjoiIiwibnVtYmVyIjoiSU5DMDAwMDA2MCIsInJlc29sdmVkX2J5Ijp7Imxpbms
iOiJ

 odHRwczovL2s4czAwNjc5Nzgtbm9kZTEudGh1bmRlci5sYWIzLnNlcnZpY2Utbm93LmNvbS9
hcGk

 vbm93L3RhYmxlL3N5c191c2VyLzUxMzcxNTNjYzYxMTIyN2MwMDBiYmQxYmQ4Y2QyMDA3Iiw
idmF

 sdWUiOiI1MTM3MTUzY2M2MTEyMjdjMDAwYmJkMWJkOGNkMjAwNyJ9LCJzeXNfdXBkYXRlZF9
ieSI

 6ImVtcGxveWVlIiwib3BlbmVkX2J5Ijp7ImxpbmsiOiJodHRwczovL2s4czAwNjc5Nzgtbm9
kZTE

 udGh1bmRlci5sYWIzLnNlcnZpY2Utbm93LmNvbS9hcGkvbm93L3RhYmxlL3N5c191c2VyLzY
4MWN

 jYWY5YzBhODAxNjQwMGI5OGEwNjgxOGQ1N2M3IiwidmFsdWUiOiI2ODFjY2FmOWMwYTgwMTY
0MDB

 iOThhMDY4MThkNTdjNyJ9LCJ1c2VyX2lucHV0IjoiIiwic3lzX2NyZWF0ZWRfb24iOiIyMDE
2LTE

 yLTEyIDE1OjE5OjU3Iiwic3lzX2RvbWFpbiI6eyJsaW5rIjoiaHR0cHM6Ly9rOHMwMDY3OTc
4LW5

 vZGUxLnRodW5kZXIubGFiMy5zZXJ2aWNlLW5vdy5jb20vYXBpL25vdy90YWJsZS9zeXNfdXN
lcl9

 ncm91cC9nbG9iYWwiLCJ2YWx1ZSI6Imdsb2JhbCJ9LCJzdGF0ZSI6IjciLCJyb3V0ZV9yZWF
zb24

 iOiIiLCJzeXNfY3JlYXRlZF9ieSI6ImVtcGxveWVlIiwia25vd2xlZGdlIjoiZmFsc2UiLCJ
vcmR

 lciI6IiIsImNhbGVuZGFyX3N0YyI6IjEwMjE5NyIsImNsb3NlZF9hdCI6IjIwMTYtMTItMTQ
gMDI",
            "status_code": 200,
            "status_text": "OK",
            "headers": [],
            "execution_time": 8
        },
        {
            "id": "13",
            "body":
 "eyJyZXN1bHQiOnsicGFyZW50IjoiIiwibWFkZV9zbGEiOiJ0cnVlIiwiY2F1c2VkX2J
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 5IjoiIiwid2F0Y2hfbGlzdCI6IiIsInVwb25fcmVqZWN0IjoiY2FuY2VsIiwic3lzX3VwZGF
0ZWR

 fb24iOiIyMDIwLTA1LTEyIDAxOjQ0OjM1IiwiY2hpbGRfaW5jaWRlbnRzIjoiMCIsImhvbGR
fcmV

 hc29uIjoiIiwidGFza19lZmZlY3RpdmVfbnVtYmVyIjoiSU5DMDAxMDAwNCIsImFwcHJvdmF
sX2h

 pc3RvcnkiOiIiLCJudW1iZXIiOiJJTkMwMDEwMDA0IiwicmVzb2x2ZWRfYnkiOiIiLCJzeXN
fdXB

 kYXRlZF9ieSI6ImFkbWluIiwib3BlbmVkX2J5Ijp7ImxpbmsiOiJodHRwczovL2s4czAwNjc
5Nzg

 tbm9kZTEudGh1bmRlci5sYWIzLnNlcnZpY2Utbm93LmNvbS9hcGkvbm93L3RhYmxlL3N5c19
1c2V

 yLzY4MTZmNzljYzBhODAxNjQwMWM1YTMzYmUwNGJlNDQxIiwidmFsdWUiOiI2ODE2Zjc5Y2M
wYTg

 wMTY0MDFjNWEzM2JlMDRiZTQ0MSJ9LCJ1c2VyX2lucHV0IjoiIiwic3lzX2NyZWF0ZWRfb24
iOiI

 yMDIwLTA1LTEyIDAxOjQ0OjM1Iiwic3lzX2RvbWFpbiI6eyJsaW5rIjoiaHR0cHM6Ly9rOHM
wMDY

 3OTc4LW5vZGUxLnRodW5kZXIubGFiMy5zZXJ2aWNlLW5vdy5jb20vYXBpL25vdy90YWJsZS9
zeXN

 fdXNlcl9ncm91cC9nbG9iYWwiLCJ2YWx1ZSI6Imdsb2JhbCJ9LCJzdGF0ZSI6IjEiLCJyb3V
0ZV9

 yZWFzb24iOiIiLCJzeXNfY3JlYXRlZF9ieSI6ImFkbWluIiwia25vd2xlZGdlIjoiZmFsc2U
iLCJ",
            "status_code": 201,
            "status_text": "Created",
            "headers": [],
            "execution_time": 2638
        }
    ],
    "unserviced_requests": []
}
```


ケース API

ケース API は、カスタマーサービス管理 (CSM) ケースレコードの取得と更新を可能にするエンドポイントを提供します。

さらに、ケースの作成時に新しいソーシャルメディアプロファイルレコードを生成できます。

ケース API は Customer Service プラグイン (com.sn_customerservice) を必要とし、sn_customerservice 名前空間内で提供されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーが API にフルアクセスするためには、csm_ws_integration ロールを持っている必要があります。sn_customerservice.customer または sn_customerservice.consumer ロールを持つ外部ユーザーもエンドポイントにアクセスできます。

ケース - GET /sn_customerservice/case/{id}/activities

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) ケースのアクティビティストリームを取得します。

このエンドポイントを使用して、ケース [sn_customerservice_case] テーブルの指定されたレコードのアクティビティストリームからすべてのエントリを取得します。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case/{id}/activities`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case/{id}/activities`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
ID	取得するケースの sys_id またはケース番号。ケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。指定されたケース番号が複数のケースで共有されている場合、結果は予測できません。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_activity_type	アクティビティストリームから返すアクティビティのタイプをフィルターします。*entries.element* パラメーターには、各アクティビティのアクティビティタイプが含まれています。 例： • `sysparm_activity_type=attachment` • `sysparm_activity_type=work_notes` • `sysparm_activity_type=attachment,work_notes` • `sysparm_ activity_type=attachment,work_notes,comments`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのタイプのアクティビティを返します。
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明

リンク	REST 応答データは、複数の結果セットに分割できます。応答ヘッダーには、必要に応じて最初のセット、前のセット、次のセット、最後のセットのレコードに対する各種リンクがあります。
	
	例：
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="next",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="prev",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=0&sysparm_limit=1000>;rel="first",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=2780&sysparm_limit=1000>;rel="last"`

X-Total-Count	*sysparm_limit* または *sysparm_offset* クエリパラメーターが指定されている場合、要求に一致するレコードの合計数を示す応答ヘッダー。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
display_value	CSM ケースのケース番号。 データタイプ：文字列

エントリー	各オブジェクトが CSM ケースのアクティビティストリームエントリを表すオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"entries": [`
	`{`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"attachment": {Object},
	"contains_code": Boolean,
	"element": "String",
	"field_label": "String",
	"initials": "String",
	"login_name": "String",
	"name": "String",
	"sys_created_on": "String",
	"sys_created_on_adjusted":
	"String",
	"sys_id": "String",
	"user_sys_id": "String",
	"value": "String"
	}
	]</pre>

entries.attachment	アクティビティストリームエントリの CSM ケースに添付されたファイルの説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"attachment": {
	"average_image_color": "String",
	"content_type": "String",
	"file_name": "String",
	"image_height": Number,
	"image_path": "String",
	"image_width": Number,
	"path": "String",
	"size": "String",
	"size_bytes": Number,
	"state": "String",
	"sys_id": "String",
	"thumbnail_path": "String"
	}</pre>

entries.attachment.average_image_color	画像添付ファイルの平均色の 16 進数表現。 データタイプ：文字列
entries.attachment.content_type	添付ファイルの MIME タイプ。 例： • application/pdf • image/jpeg • message/rfc822 データタイプ：文字列
entries.attachment.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
entries.attachment.image_height	画像添付ファイルの高さ (ピクセル)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
entries.attachment.image_path	画像添付ファイルの直接ダウンロードリンク。 データタイプ：文字列
entries.attachment.image_width	画像添付ファイルの幅 (ピクセル)。 データタイプ：数値
entries.attachment.path	添付ファイルへの直接リンク。 データタイプ：文字列
entries.attachment.size	添付ファイルのサイズ。 例： • 157.7 KB • 2.2 MB データタイプ：文字列
entries.attachment.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：数値 単位：バイト
entries.attachment.state	添付ファイル [sys_attachment] テーブル内の添付ファイルレコードのステータス。 可能な値： • 利用可能 • 条件付きで利用可能 • 利用不可 • 処理待ち データタイプ：文字列
entries.attachment.sys_id	添付ファイルの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entries.attachment.thumbnail_path	画像添付ファイルのサムネイルの直接ダウンロードリンク。 データタイプ：文字列
entries.contains_code	アクティビティストリームエントリにコードが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：アクティビティストリームエントリにコードが含まれています。 • false：アクティビティストリームエントリにコードが含まれていません。 データタイプ：ブーリアン
entries.element	アクティビティストリームエントリに関連付けられたジャーナルフィールドの名前。辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entries.field_label	アクティビティストリームエントリに関連付けられたジャーナルフィールドの表示名。 データタイプ：文字列
entries.initials	アクティビティストリームエントリを作成したユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
entries.login_name	アクティビティストリームエントリを作成したユーザーの完全なユーザー名。 データタイプ：文字列
entries.name	アクティビティストリームエントリを作成したユーザーの完全なユーザー名。 データタイプ：文字列
entries.sys_created_on	アクティビティストリームエントリの作成日時 (GMT タイムゾーン表記)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
entries.sys_created_on_adjusted	アクティビティストリームエントリの作成日時 (ログインユーザーのタイムゾーン表記)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
entries.sys_id	アクティビティストリームエントリの sys_id。 データタイプ：文字列
entries.user_sys_id	アクティビティストリームエントリを作成したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
entries.value	このジャーナルエントリの値。 データタイプ：文字列
journal_fields	各オブジェクトが、アクティビティエントリが取得されるケーステーブルに存在するジャーナルフィールドを表すオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"journal_fields": [ { "can read": Boolean, "can_write": Boolean, "color": "String", "label": "String", "name": "String" } ]`
journal_fields.can_read	ログインしているユーザーがこのジャーナルフィールドを読み取れるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ログインしているユーザーはこのジャーナルフィールドを読み取ることができます。 • false：ログインしているユーザーはこのジャーナルフィールドを読み取ることができません。 データタイプ：ブーリアン
journal_fields.can_write	ログインしているユーザーがジャーナルフィールドに書き込みできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ログインしているユーザーはこのジャーナルフィールドに書き込むことができます。 • false：ログインしているユーザーはこのジャーナルフィールドに書き込むことができません。 データタイプ：ブーリアン
journal_fields.color	Now Platform のケースアクティビティストリームのジャーナルフィールドを表す色。 データタイプ：文字列
journal_fields.label	ジャーナルフィールドの名前を表示します。 データタイプ：文字列
journal_fields.name	ジャーナルフィールドの名前。辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
label	CSM ケースレコードが表示されるテーブルのラベルを表示します。 可能な値：ケース データタイプ：文字列
number	CSM ケースのケース番号。 データタイプ：文字列
short_description	CSM ケースの簡単な説明。 データタイプ：文字列
sys_created_on	ケースの作成日時 (GMT タイムゾーン表記)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
sys_created_on_adjusted	ケースの作成日時 (ログインユーザーのタイムゾーン表記)。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
sys_id	CSM ケースの sys_id。ケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
table	CSM ケースが表示されるテーブルの名前。 可能な値：sn_customerservice_case データタイプ：文字列
thumbnail_path	添付ファイルのサムネイルを取得するための直接リンク (画像タイプの添付ファイルのみ) データタイプ：文字列
user_full_name	ログインしているユーザーのフルネーム。 データタイプ：文字列
user_login	ログインしているユーザーのユーザー ID。 データタイプ：文字列
user_sys_id	ログインしているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

CSM ケースの完全なアクティビティストリームを sys_id で取得します。

```
curl --request GET
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case/f352dc93876
32300d6b0a7da0acb0b60/activities'  \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答には、指定されたケースの単一のアクティビティストリームエントリ、エージェントによって送信された **Additional comments** ジャーナルエントリが表示されます。

```
{
  "result": {
    "display_value": "CS0001401",
    "sys_id": "f352dc9387632300d6b0a7da0acb0b60",
    "short_description": "Laptop is not working properly",
    "number": "CS0001401",
    "entries": [
      {
        "sys_created_on_adjusted": "2020-05-04 14:15:44",
        "sys_id": "600b6e4adb241010d045232d1396196a",
        "login_name": "John Jason",
        "user_sys_id": "da419c1fc312310015519f2974d3ae15",
        "initials": "JJ",
        "sys_created_on": "2020-05-04 21:15:44",
        "contains_code": "false",
        "field_label": "Additional comments",
        "name": "John Jason",
        "value": "Hi, Alex. Can you please send me a photo of the label
 on your laptop so we can send you the correct replacement?",
        "element": "comments"
      }
    ],
    "user_sys_id": "b1e0989f87232300d6b0a7da0acb0beb",
    "user_full_name": "Mark Johnson",
    "user_login": "admin",
    "label": "Case",
    "table": "sn_customerservice_case",
    "journal_fields": [
      {
        "can_read": true,
        "color": "transparent",
        "can_write": true,
        "name": "comments",
        "label": "Additional comments"
      },
      {
        "can_read": true,
        "color": "gold",
        "can_write": true,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "work_notes",
        "label": "Work notes"
      }
    ],
    "sys_created_on": "2019-02-15 21:57:04",
    "sys_created_on_adjusted": "2019-02-15 13:57:04"
  }
}
```


ケース - GET /sn_customerservice/case/field_values/{field_name}

ケース [sn_customerservice_case] テーブルの選択肢または参照フィールドの可能なフィールド値のリストを取得します。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

このエンドポイントを使用して、ケース作成フォームのフィールド値リストを入力します。

参照フィールドの値を要求すると、辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルの要求されたフィールドに対して定義された参照修飾子が適用されます。参照修飾子の詳細については、「参照修飾子」を参照してください。

sysparm_ref_qual_input クエリパラメーターを使用して、JavaScript 参照修飾子を評価するときに使用するフィールド値を指定できます。例については、以下のクエリパラメーターのリストを参照してください。

別のフィールドに依存する選択フィールドの値を要求する場合は、*sysparm_dependent_value* クエリパラメーターを使用して依存関係の親フィールドの値を指定し、それに応じて返されるフィールド値を制限できます。依存フィールドの詳細については、「フィールドに依存させる」を参照してください。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case/field_values/{field_name}`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case/field_values/{field_name}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
field_name	ケース [sn_customerservice_case] テーブルの選択肢または参照フィールドの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_dependent_value	要求されたフィールドが依存しているケース [sn_customerservice_case] テー 選択フィールドで選択する値。別のフィールドに依存する選択フィールドを要 場合にのみ使用します。 例として、デフォルトの *Channel* 選択フィールドに依存するカスタムチャ ネルインスタンス選択フィールドをケーステーブルに作成するとしま す。*sysparm_dependent_value* が指定されていない場合、このエンドポイ はカスタムフィールドの値の完全なセットを返します。代わりに、*Channel* フ ルドから Phone CSM チャネルが選択されたときに利用可能なカスタムフィー 値のサブセットのみを返すには、次のように指定します。 `sysparm_dependent_value=Phone` データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパ フォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場 は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーシ ます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコー 得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理 すい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は 「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offs` `+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_reference_field_columns	応答で返される、指定した参照フィールドのテーブルからの列名のカンマ区切 スト。たとえば、指定した参照フィールドが連絡先である場合、連絡先テーブ あるすべてのフィールドのリストが含まれます。 データタイプ：文字列
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。このパラ ターを使用して定義されたクエリは、参照修飾子によって生成されたエンコー れたクエリに追加されます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定 のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえ ば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcate`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇 に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンス 効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します の動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用して トロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパ を true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インス スのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列
sysparm_ref_qual_input	JavaScript 関数を使用する参照修飾子に渡す、現在のオブジェクトを表すエン ドされたフィールド値のセット。参照フィールドを要求する場合にのみ使用し たとえば、 *Asset* フィールドから値を要求する場合、指定されたケースに関連 られた製品に属する資産ではなく、指定された製品に属する資産のみを返すよ このクエリパラメーター値を設定できます。 `sysparm_ref_qual_input=product=5d1b7bb053401010dc25dceeff7` データタイプ：文字列 構文：`{field1}={value1}^{field2}={value2}[…]`

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明

リンク	REST 応答データは、複数の結果セットに分割できます。応答ヘッダーには、必要に応じて最初のセット、前のセット、次のセット、最後のセットのレコードに対する各種リンクがあります。
	
	例：
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="next",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="prev",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=0&sysparm_limit=1000>;rel="first",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=2780&sysparm_limit=1000>;rel="last"`

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	各オブジェクトが要求されたフィールドの単一の値を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "label": "String", "value": "String" } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.label	フィールド値の表示値。 データタイプ：文字列
result.value	フィールド値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

すべてのケースから連絡先参照フィールドの値を取得します。

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case/field_valu
es/contact' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答には、一致する連絡先のラベルと値が表示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "label": "Amy Pascal",
      "value": "268e22b0d7300200e5982cf65e6103d3"
    },
    {
      "label": "Marta Hoch",
      "value": "8c974d254fb81200025ba3618110c707"
    },
    {
      "label": "Charlie Brown",
      "value": "078d399dd7600200e5982cf65e6103a2"
    },
    {
      "label": "Alex Linde",
      "value": "60beb5e7d7600200e5982cf65e6103ad"
    },
    {
      "label": "Crissy Stark",
      "value": "00189b324f1e0200c0adfe618110c76d"
    },
    {
      "label": "Denis Koch",
      "value": "07e6fa386f0331003b3c498f5d3ee4a1"
    }
  ]
}
```

自動翻訳

ケース - GET /sn_customerservice/case/{id}/field_values/{field_name}

ケース [sn_customerservice_case] テーブルの指定されたレコードの選択肢または参照フィールドの可能なフィールド値のリストを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

このエンドポイントを使用して、ケース更新フォームのフィールド値リストを入力します。

参照フィールドの値を要求すると、指定されたケースレコードの値を使用して、辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルの要求されたフィールドに対して定義された参照修飾子が適用されます。参照修飾子の詳細については、「参照修飾子」を参照してください。

sysparm_ref_qual_input クエリパラメーターを使用して、JavaScript 参照修飾子を評価するときに指定されたケースからの値より優先される値を指定できます。例については、以下のクエリパラメーターのリストを参照してください。

別のフィールドに依存する選択フィールドの値を要求すると、このエンドポイントは、指定されたケースレコードで選択された依存関係の親フィールド値に基づいて返されるフィールド値を制限します。依存フィールドの詳細については、「フィールドに依存させる」を参照してください。

sysparm_dependent_value クエリパラメーターを使用して、依存関係の親フィールドからの選択を上書きできます。例については、以下のクエリパラメーターのリストを参照してください。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case/{id}/field_values/{field_name}`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case/{id}/field_values/{field_name}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
field_name	選択肢または参照フィールドの名前。ケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
ID	レコードの sys_id。参照修飾子を評価するときに使用するケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_dependent_value	要求されたフィールドが依存しているケース [sn_customerservice_case] テー 選択フィールドで選択する値。別のフィールドに依存する選択フィールドを要 場合にのみ使用します。 例として、デフォルトの *Channel* 選択フィールドに依存するカスタムチャ ネルインスタンス選択フィールドをケーステーブルに作成するとしま す。*sysparm_dependent_value* が指定されていない場合、このエンドポイ はカスタムフィールドの値の完全なセットを返します。代わりに、*Channel* フ ルドから Phone CSM チャネルが選択されたときに利用可能なカスタムフィー 値のサブセットのみを返すには、次のように指定します。 `sysparm_dependent_value=Phone` データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパ フォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場 は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーシ ます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコー 得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理 すい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* に 「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offs` `+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。このパラ ターを使用して定義されたクエリは、参照修飾子によって生成されたエンコー れたクエリに追加されます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定 のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえ ば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcate` はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇 に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンス 効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。 の動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用して

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	トロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リストスクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列
sysparm_reference_field_columns	応答で返される、指定した参照フィールドのテーブルからの列名のカンマ区切スト。たとえば、指定した参照フィールドが連絡先である場合、連絡先テーブあるすべてのフィールドのリストが含まれます。 データタイプ：文字列
sysparm_ref_qual_input	JavaScript 関数を使用する参照修飾子に渡す、現在のオブジェクトを表すエンドされたフィールド値のセット。参照フィールドを要求する場合にのみ使用し たとえば、 *Asset* フィールドから値を要求する場合、指定されたケースに関連られた製品に属する資産ではなく、指定された製品に属する資産のみを返すよこのクエリパラメーター値を設定できます。 `sysparm_ref_qual_input=product=5d1b7bb053401010dc25ddeeff7` データタイプ：文字列 構文：`{field1}={value1}^{field2}={value2}[…]`

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明

リンク	REST 応答データは、複数の結果セットに分割できます。応答ヘッダーには、必要に応じて最初のセット、前のセット、次のセット、最後のセットのレコードに対する各種リンクがあります。
	
	例：
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="next",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="prev",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=0&sysparm_limit=1000>;rel="first",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=2780&sysparm_limit=1000>;rel="last"`

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	各オブジェクトが要求されたフィールドの単一の値を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "label": "String", "value": "String" } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
result.label	フィールド値の表示値。 データタイプ：文字列
result.value	フィールド値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

既存のケースの連絡先参照フィールドの値を取得します。

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case/f352dc93876
32300d6b0a7da0acb0b60/field_values/contact' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答には、指定されたケースに割り当てられた連絡先のラベルと値が表示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "label": "Alex Linde",
      "value": "60beb5e7d7600200e5982cf65e6103ad"
    }
  ]
}
```

ケース - GET /sn_customerservice/case/{id}

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) ケースを取得します。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case/{id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
id	取得するケースの sys_id またはケース番号。ケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。指定されたケース番号が複数のケースで共有されている場合、結果は予測できません。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false **注:** このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • 要求されたケースが存在しません。 • ユーザーにはケースへのアクセス権がありません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
account	ケースに関連付けられたアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

account	アカウントの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"account": {`
	`"account_code": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"account_parent": "String", "account_path": "String", "active_escalation": "String", "apple_icon": Image, "banner_image": Image, "banner_image_light": Image, "banner_text": "String", "city": "String", "contact": "String", "country": "String", "customer": "String", "discount": "String", "fax_phone": "String", "fiscal_year": "String", "lat_long_error": "String", "latitude": "String", "longitude": "String", "market_cap": "String", "name": "String", "notes": "String", "num_employees": Number, "number": "String", "parent": "String", "partner": "String", "phone": "String", "primary": Boolean, "primary_contact": "String", "profits": Number, "publicly_traded": Boolean, "rank_tier": "String", "registration_code": "String", "revenue_per_year": Number, "state": "String", "stock_price": "String", "stock_symbol": "String", "street": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "theme": "String", "vendor": Boolean, "vendor_manager": "String", "vendor_type": "String", "website": "String", "zip": "String"}
account.account_code	アプリケーションが予算予測と予算計画を識別するために使用する値の一意の組み合わせ。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.account_parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.account_path	アカウント階層内の親アカウントから子アカウントへのパス。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.active_escalation	アカウントに関連付けられたアクティブなエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.apple_icon	iPhone ホームページのブックマークのアイコン。 データタイプ：画像
account.banner_image	カスタマーポータルに表示されるバナー画像。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：画像
account.banner_image_light	小さなバナー画像。 データタイプ：画像
account.banner_text	カスタマーポータルに表示されるバナーテキスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
account.city	このアカウントに関連付けられている会社が所在する市。 データタイプ：文字列 最大長：50
account.contact	このアカウントに関連付けられた連絡先レコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.country	このアカウントに関連付けられている会社が所在する国。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト： USA
account.customer	アカウントがパートナーアカウントではなく、顧客アカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：顧客アカウント • false：パートナーアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.discount	購入時にアカウントに付与される割引。 データタイプ：数値 最大長：15
account.fax_phone	このアカウントに関連付けられている会社の主要な FAX 電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
account.fiscal_year	アカウントに関連付けられている会社の会計年度。 データタイプ：文字列
account.lat_long_error	緯度および経度情報と比較した実際の場所の差。 データタイプ：文字列 最大長：1,000
account.latitude	このアカウントに関連付けられている会社の緯度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.longitude	このアカウントに関連付けられている会社の経度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.manufacturer	このアカウントに関連付けられている会社が商品を製造しているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：商品を製造している • false：商品を製造していない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.market_cap	関連付けられている会社の公開株式の時価。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
account.name	このアカウントに関連付けられている会社の名前。 データタイプ：文字列 最大長：80

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
account.notes	会社に関する補足情報。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
account.num_employees	会社に雇用されている人数。 データタイプ：数値 (整数) 最大長：40
account.number	このアカウントを識別する番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.partner	アカウントがパートナーアカウントか顧客アカウントかを示すフラグ。 可能な値： • true：パートナーアカウント • false：顧客アカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.phone	会社の主要な電話番号。 データタイプ：文字列
account.primary	これがプライマリアカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリアカウント • false：セカンダリアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.primary_contact	アカウントの主連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
account.profits	このアカウントに対して入力された利益情報。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：40
account.publicly_traded	このアカウントに関連付けられている会社の株式が証券取引所で公開されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：株式公開 • false：株式非公開会社 データタイプ：ブール
account.rank_tier	アカウントのタイプ。 可能な値： • blacklist • strategic • tactical • valued • その他 データタイプ：文字列 最大長：40
account.registration_code	顧客がカスタマーポータルでログインを要求するときに使用する一意のコード。このコードは、アクセス権を付与する前に会社で顧客を検証する方法を提供します。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.revenue_per_year	このアカウントに関連付けられている会社が生み出した収益。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
account.state	会社が所在する都道府県。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
account.stock_price	会社の株価。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.stock_symbol	会社の銘柄記号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.street	会社の番地 データタイプ：文字列 最大長：255
account.sys_class_name	関連するアカウントレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
account.sys_created_by	最初にアカウントを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.sys_created_on	アカウントが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
account.sys_id	アカウントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
account.sys_mod_count	アカウント情報が更新された回数。 データタイプ：数値 (整数)
account.sys_updated_by	アカウント情報を最後に変更したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.sys_updated_on	アカウント情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
account.theme	このアカウントで使用されるカスタマーポータルテーマの sys_id。テー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	マ [sys_ui_theme] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor	このアカウントに関連付けられている会社がベンダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ベンダー • false：ベンダーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.vendor_manager	アカウントのベンダーマネージャーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor_type	アプリケーション、ハードウェア、サービス、ソフトウェアなどのベンダーのタイプの sys_id のリスト。ベンダータイプ [vendor_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.website	会社の Web サイトの URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
account.zip	会社の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコードのSys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列 最大文字数：40 デフォルト：not requested
approval_history	ケースに関連付けられているすべての承認のリスト。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大文字数：4,000
approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
資産	ケースに関連付けられた資産レコードの sys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
case	ケースの簡単な説明とケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：300
case_report	関連するケースレポートの sys_id。ケースレポート [sn_customerservice_case_report] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変更	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
closed_at	ケースがクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：4,000
cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
comments_and_work_notes	ケースに対して入力されたコメントと作業メモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
company	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物のSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのパラメーターのアレイ。
consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	企業/企業間ケースの連絡先パラメーターのアレイ。
contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値 (整数)
contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 (日付)
contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
contact.state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
contact.sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列
contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_local_time	連絡先の現地時間。 データタイプ：文字列 最大長：70
contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列 最大長：40
contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。 データタイプ：文字列
correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。エンタイトルメントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
expected_start	ケースの作業開始予定日時。 データタイプ：文字列
first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
follow_up	次のフォローアップアクションの日時。 データタイプ：文字列
group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：アレイ
impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール デフォルト：true
major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列 最大長：40
needs_attention	ケースに注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースに追加の注意が必要です • false：ケースに追加の注意は必要ありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません データタイプ：ブール
notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値： • 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話 データタイプ：数値 (整数)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：1
number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
open_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
parent	このケース (子) が関連付けられている親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：4,000
問題	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple Mac Book Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列 最大長：40
resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result	各オブジェクトが要求されたフィールドの単一の値を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "label": "String", "value": "String" } ]`
result.label	フィールド値の表示値。 データタイプ：文字列
result.value	フィールド値。 データタイプ：文字列
short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列 最大長：160
skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile	Facebook、Twitter、YouTube などの特定のソーシャルメディアプロファイルの詳細を含むオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"sn_app_cs_social_social_profile": [ { "account": "String", "channel": [Array], "contact": {Object}, "consumer": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"created_on": "String", "profile": "String", "profile_url": "String", "social_id": "String", "source": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String" }]
sn_app_cs_social_social_profile.account	ソーシャルメディアプロファイルのアカウント情報が含まれているレコードの一意の識別子。アカウントは [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel	関連するソーシャルメディアプロファイルチャネルの詳細。 データタイプ：オブジェクト "channel": { "name": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_package": "String", "sys_policy": "String", "sys_scope": "String", "sys_tags": "String", "sys_update_name": "String", "sys_updated_by": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明

	<pre>"sys_updated_on": "String"
	}</pre>

sn_app_cs_social_social_profile.channel.name	ソーシャルメディアチャネルの名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_class_name	ソーシャルメディアチャネルレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_by	ソーシャルメディアチャネルを作成した人物。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが作成された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_id	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_name	チャネルのシステム名。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_package	プロファイルに関連付けられたパッケージに関する情報を含むレコードの一意の識別子。パッケージ [sys_package] テーブル。 データタイプ:参照
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_policy	システム保護ポリシー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • 保護 • 読み取り データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_scope	ソーシャル プロファイルのスコープに関する情報を含むレコードの一意の識別子。アプリケーション [sys_scope] テーブル。 データタイプ:参照
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_tags	チャネルに関連付けられたシステムタグ。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_update_name	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：250
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルチャネルが最後に更新された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40

sn_app_cs_social_social_profile.consumer	企業/消費者間ケースの場合。ケースに関連付けられたコンシューマーの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"consumer": {
	  "active": Boolean,
	  "business_phone":
	 "String",
	  "city": "String",
	  "country": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"date_format": "String", "email": "String", "fax": "String", "first_name": "String", "gender": "String", "home_phone": "String", "household": "String", "last_name": "String", "middle_name": "String", "mobile_phone": "String", "name": "String", "notes": "String", "notification": Number, "number": "String", "photo": Image, "preferred_language": "String", "prefix": "String", "primary": Boolean, "state": "String", "street": "String", "suffix": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_domain": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "time_format": "String", "time_zone": "String", "title": "String", "user": "String", "zip": "String" }
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：ブール デフォルト：true
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_tags	コンシューマーシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact	企業間ケースの場合。ケースに関連付けられた連絡先に属するソーシャルメディアプロファイルに関する詳細を含むレコードの一意の識別子。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
sn_app_cs_social_social_profile.contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
sn_app_cs_social_social_profile.contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.internal_itegration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
sn_app_cs_social_social_profile.contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
sn_app_cs_social_social_profile.contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.contact.state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_tags	連絡先システムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.created_on	関連するソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。
sn_app_cs_social_social_profile.profile	ソーシャルプロファイル。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.profile_url	ソーシャルメディアプロファイルへのアクセスに使用する URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
sn_app_cs_social_social_profile.social_id	関連付けられたソーシャルメディアアカウントの一意のソーシャルメディアアカウントプロバイダー識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.source	ソーシャルプロファイルのソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_id	ソーシャルメディアプロファイルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルの情報が変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_tags	プロファイルシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
state	ケースの現在のステータス。 可能な値： • 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み • 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
subcategory	ケースのサブカテゴリ。 可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ケースレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sys_created_by	ケースを最初にオープンしたユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	ケースが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	ケースに関連付けられたドメイン。 データタイプ：文字列 最大長：32 デフォルト：global
sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/
sys_id	ケースの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sys_mod_count	ケースが最初に作成されてからの更新回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_tags	システムタグ。
sys_updated_by	ケースを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	ケースが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	ケースの緊急度。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variable_pool	変数のグループ化。
variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	ケースの作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes	ケースの解決方法に関する情報、またはケースの解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	ケースの作業が開始された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case/ba325dbe64f
01300964fae39b050e9a6" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "parent": "",
    "caused_by": "",
    "watch_list": "",
    "active_escalation": "",
    "upon_reject": "cancel",
    "sys_updated_on": "2018-06-18 00:14:43",
    "support_manager": "",
    "approval_history": "",
    "skills": "",
    "number": "CS0000871",
    "problem": "",
    "state": "10",
    "case": "Acme Analytics performance degradationCS0000871",
    "sys_created_by": "john.jason",
    "knowledge": "false",
    "order": "",
    "cmdb_ci": "",
    "delivery_plan": "",
    "impact": "3",
    "contract": "",
    "active": "true",
    "work_notes_list": "",
    "auto_created_case": "false",
    "priority": "1",
    "sys_domain_path": "/",
    "rejection_goto": "",
    "first_response_time": "",
    "business_duration": "",
    "group_list": "",
    "child_case_creation_progress": "false",
    "sync_driver": "false",
    "approval_set": "",
    "wf_activity": "",
    "short_description": "Acme Analytics performance degradation",
    "correlation_display": "",
    "delivery_task": "",
    "work_start": "",
    "recipient_list": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "notify": "1",
    "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "closed_by": "",
    "follow_up": "",
    "contact_local_time": "",
    "sn_app_cs_social_social_profile": "",
    "reassignment_count": "0",
    "contact_time_zone": "",
    "notes_to_comments": "false",
    "assigned_to": "da419c1fc312310015519f2974d3ae15",
    "product": "4c84a024c3211200bb779f2974d3aef6",
    "variables": "",
    "variable_pool": "",
    "hierarchical_variables": "variable_pool",
    "sla_due": "",
    "change": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "partner": "",
    "escalation": "0",
    "upon_approval": "proceed",
    "partner_contact": "",
    "correlation_id": "",
    "asset": "",
    "made_sla": "true",
    "resolved_by": "",
    "sys_updated_by": "john.jason",
    "opened_by": "da419c1fc312310015519f2974d3ae15",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2018-06-18 00:14:39",
    "contact": "",
    "sys_domain": "global",
    "closed_at": "",
    "follow_the_sun": "false",
    "entitlement": "",
    "business_service": "",
    "business_impact": "Acme Anaytics performance is extremely slow.
Customers are not able to use it. ",
    "time_worked": "",
    "expected_start": "",
    "opened_at": "2018-06-18 00:14:39",
    "work_end": "",
    "resolved_at": "",
    "case_report": "27329dbe64f01300964fae39b050e93c",
    "subcategory": "0",
    "work_notes": "",
    "assignment_group": "",
    "cause": "",
    "description": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_notes": "",
    "sys_id": "ba325dbe64f01300964fae39b050e9a6",
    "contact_type": "web",
    "resolution_code": "",
    "probable_cause": "",
    "urgency": "3",
    "company": "",
    "major_case_state": "accepted",
    "consumer": "",
    "activity_due": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "comments": "",
    "approval": "not requested",
    "due_date": "",
    "sys_mod_count": "2",
    "sys_tags": "",
    "active_account_escalation": "",
    "location": "",
    "category": "1",
    "account": ""
  }
}
```


ケース - GET /sn_customerservice/case

カスタマーサービス管理 (CSM) ケースの指定されたセットを取得します。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	参照フィールドと選択フィールドのデータ取得操作。 この値に基づいてデータベースから表示値や実際の値を取得します。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇順に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を管理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_reference_fields	アカウント、連絡先、コンシューマー、sn_app_cs_social_social_profile などの参照テーブルからフィールドを取得するかどうか。デフォルトでは、ユーザーがフィールドへの読み取りアクセス権を持っている場合はこれらのフィールドが返されますが、これによりパフォーマンスのオーバーヘッドが増加します。多数のケースレコードを取得する場合は、`sysparm_reference_fields=false` を設定することでこのオーバーヘッドを排除できます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true **注:** このエンドポイントを使用する場合は、このクエリパラメーターの *sysparm_* プリフィックスを省略して *reference_fields*。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明

リンク	REST 応答データは、複数の結果セットに分割できます。応答ヘッダーには、必要に応じて最初のセット、前のセット、次のセット、最後のセットのレコードに対する各種リンクがあります。
	
	例：
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="next",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="prev",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明

	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=0&sysparm_limit=1000>;rel="first",`
	
	`https://<インスタンス名>.service-now.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=2780&sysparm_limit=1000>;rel="last"`

X-Total-Count	*sysparm_limit* または *sysparm_offset* クエリパラメーターが指定されている場合、要求に一致するレコードの合計数を示す応答ヘッダー。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
account	ケースに関連付けられたアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account	アカウントの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"account": { "account_code": "String", "account_parent": "String", "account_path": "String", "active_escalation": "String", "apple_icon": Image, "banner_image": Image, "banner_image_light": Image,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"banner_text": "String", "city": "String", "contact": "String", "country": "String", "customer": "String", "discount": "String", "fax_phone": "String", "fiscal_year": "String", "lat_long_error": "String", "latitude": "String", "longitude": "String", "market_cap": "String", "name": "String", "notes": "String", "num_employees": Number, "number": "String", "parent": "String", "partner": "String", "phone": "String", "primary": Boolean, "primary_contact": "String", "profits": Number, "publicly_traded": Boolean, "rank_tier": "String", "registration_code": "String", "revenue_per_year": Number, "state": "String", "stock_price": "String", "stock_symbol": "String", "street": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "theme": "String", "vendor": Boolean,

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"vendor_manager": "String", "vendor_type": "String", "website": "String", "zip": "String" }
account.account_code	アプリケーションが予算予測と予算計画を識別するために使用する値の一意の組み合わせ。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.account_parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.account_path	アカウント階層内の親アカウントから子アカウントへのパス。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.active_escalation	アカウントに関連付けられたアクティブなエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.apple_icon	iPhone ホームページのブックマークのアイコン。 データタイプ：画像
account.banner_image	カスタマーポータルに表示されるバナー画像。 データタイプ：画像
account.banner_image_light	小さなバナー画像。 データタイプ：画像
account.banner_text	カスタマーポータルに表示されるバナーテキスト。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：4,000
account.city	このアカウントに関連付けられている会社が所在する市。 データタイプ：文字列 最大長：50
account.contact	このアカウントに関連付けられた連絡先レコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.country	このアカウントに関連付けられている会社が所在する国。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト： USA
account.customer	アカウントがパートナーアカウントではなく、顧客アカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：顧客アカウント • false：パートナーアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.discount	購入時にアカウントに付与される割引。 データタイプ：数値 最大長：15
account.fax_phone	このアカウントに関連付けられている会社の主要な FAX 電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.fiscal_year	アカウントに関連付けられている会社の会計年度。 データタイプ：文字列
account.lat_long_error	緯度および経度情報と比較した実際の場所の差。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：1,000
account.latitude	このアカウントに関連付けられている会社の緯度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.longitude	このアカウントに関連付けられている会社の経度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.manufacturer	このアカウントに関連付けられている会社が商品を製造しているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：商品を製造している • false：商品を製造していない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.market_cap	関連付けられている会社の公開株式の時価。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
account.name	このアカウントに関連付けられている会社の名前。 データタイプ：文字列 最大長：80
account.notes	会社に関する補足情報。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
account.num_employees	会社に雇用されている人数。 データタイプ：数値 (整数) 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
account.number	このアカウントを識別する番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.partner	アカウントがパートナーアカウントか顧客アカウントかを示すフラグ。 可能な値： • true：パートナーアカウント • false：顧客アカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.phone	会社の主要な電話番号。 データタイプ：文字列
account.primary	これがプライマリアカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリアカウント • false：セカンダリアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.primary_contact	アカウントの主連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.profits	このアカウントに対して入力された利益情報。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：40
account.publicly_traded	このアカウントに関連付けられている会社の株式が証券取引所で公開されているかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：株式公開 • false：株式非公開会社 データタイプ：ブール
account.rank_tier	アカウントのタイプ。 可能な値： • blacklist • strategic • tactical • valued • その他 データタイプ：文字列 最大長：40
account.registration_code	顧客がカスタマーポータルでログインを要求するときに使用する一意のコード。このコードは、アクセス権を付与する前に会社で顧客を検証する方法を提供します。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.revenue_per_year	このアカウントに関連付けられている会社が生み出した収益。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20
account.state	会社が所在する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.stock_price	会社の株価。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.stock_symbol	会社の銘柄記号。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
account.street	会社の番地 データタイプ：文字列 最大長：255
account.sys_class_name	関連するアカウントレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
account.sys_created_by	最初にアカウントを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.sys_created_on	アカウントが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
account.sys_id	アカウントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
account.sys_mod_count	アカウント情報が更新された回数。 データタイプ：数値 (整数)
account.sys_updated_by	アカウント情報を最後に変更したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.sys_updated_on	アカウント情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
account.theme	このアカウントで使用されるカスタマーポータルテーマの sys_id。テーマ [sys_ui_theme] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor	このアカウントに関連付けられている会社がベンダーかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：ベンダー • false：ベンダーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.vendor_manager	アカウントのベンダーマネージャーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor_type	アプリケーション、ハードウェア、サービス、ソフトウェアなどのベンダーのタイプの sys_id のリスト。ベンダータイプ [vendor_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.website	会社の Web サイトの URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
account.zip	会社の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true
active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコード

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	のSys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列 最大文字数：40 デフォルト：not requested
approval_history	ケースに関連付けられているすべての承認のリスト。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
資産	ケースに関連付けられた資産レコードの sys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
case	ケースの簡単な説明とケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：300
case_report	関連するケースレポートの sys_id。ケースレポート [sn_customerservice_case_report] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：1
cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変更	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
closed_at	ケースがクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
コメント	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
comments_and_work_notes	ケースに対して入力されたコメントと作業メモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
company	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物のSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのパラメーターのアレイ。
consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.country	コンシューマーが居住する国。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：3
consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	[csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	企業/企業間ケースの連絡先パラメーターのアレイ。
contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.gender	連絡先の性別。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
contact.state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
contact.sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列
contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト：空 (システム時間形式)
contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.zip	連絡先の郵便番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
contact_local_time	連絡先の現地時間。 データタイプ：文字列 最大長：70
contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列 最大長：40
contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。 データタイプ：文字列
correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：100
delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。エンタイトルメントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
expected_start	ケースの作業開始予定日時。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
follow_up	次のフォローアップアクションの日時。 データタイプ：文字列
group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール デフォルト：true
major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値： • accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
needs_attention	ケースに注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースに追加の注意が必要です • false：ケースに追加の注意は必要ありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません データタイプ：ブール
notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値： • 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
open_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
parent	このケース (子) が関連付けられている親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
問題	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple Mac

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	Book Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列 最大長：40
resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result	各オブジェクトが要求されたフィールドの単一の値を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "label": "String", "value": "String" } ]`
result.label	フィールド値の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result.value	フィールド値。 データタイプ：文字列
short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列 最大長：160
skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile	Facebook、Twitter、YouTube などの特定のソーシャルメディアのプロファイルの詳細を含むオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ "sn_app_cs_social_social_profile": [{ "account": "String", "channel": [Array], "contact": {Object}, "consumer": {Object}, "created_on": "String", "profile": "String", "profile_url": "String", "social_id": "String", "source": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_tags": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	<pre>"sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String" }]</pre>
sn_app_cs_social_social_profile.account	ソーシャルメディアプロファイルのアカウント情報が含まれているレコードの一意の識別子。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel	関連するソーシャルメディアプロファイルチャネルの詳細。 データタイプ：オブジェクト <pre>"channel": { "name": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_package": "String", "sys_policy": "String", "sys_scope": "String", "sys_tags": "String", "sys_update_name": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String" }</pre>
sn_app_cs_social_social_profile.channel.name	ソーシャルメディアチャネルの名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_class_name	ソーシャルメディアチャネルレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_by	ソーシャルメディアチャネルを作成した人物。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが作成された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_id	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_name	チャネルのシステム名。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_package	プロファイルに関連付けられたパッケージに関する情報を含むレコードの一意の識別子。パッケージ [sys_package] テーブル。 データタイプ:参照
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_policy	システム保護ポリシー。 可能な値： • 保護 • 読み取り データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_scope	ソーシャル プロファイルのスコープに関する情報を含むレコードの一意の識別子。アプリケーション [sys_scope] テーブル。 データタイプ:参照

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_tags	チャネルに関連付けられたシステムタグ。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_update_name	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：250
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルチャネルが最後に更新された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer	企業/消費者間ケースの場合。ケースに関連付けられたコンシューマーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"consumer": { "active": Boolean, "business_phone": "String", "city": "String", "country": "String", "date_format": "String", "email": "String", "fax": "String", "first_name": "String", "gender": "String", "home_phone": "String", "household": "String", "last_name": "String", "middle_name": "String", "mobile_phone": "String", "name": "String", "notes": "String", "notification": Number, "number": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"photo": Image, "preferred_language": "String", "prefix": "String", "primary": Boolean, "state": "String", "street": "String", "suffix": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_domain": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "time_format": "String", "time_zone": "String", "title": "String", "user": "String", "zip": "String" }
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.photo	コンシューマーの写真。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_tags	コンシューマーシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact	企業間ケースの場合。ケースに関連付けられた連絡先に属するソーシャルメディアプロファイルに関する詳細を含むレコードの一意の識別子。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
sn_app_cs_social_social_profile.contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
sn_app_cs_social_social_profile.contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
sn_app_cs_social_social_profile.contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.internal_itegration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
sn_app_cs_social_social_profile.contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
sn_app_cs_social_social_profile.contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.contact.state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_tags	連絡先システムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.created_on	関連するソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。
sn_app_cs_social_social_profile.profile	ソーシャルプロファイル。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.profile_url	ソーシャルメディアプロファイルへのアクセスに使用する URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
sn_app_cs_social_social_profile.social_id	関連付けられたソーシャルメディアアカウントの一意のソーシャルメディアアカウントプロバイダー識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.source	ソーシャルプロファイルのソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_id	ソーシャルメディアプロファイルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルの情報が変更された回数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_tags	プロファイルシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
state	ケースの現在のステータス。 可能な値： • 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み • 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
subcategory	ケースのサブカテゴリ。 可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ケースレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sys_created_by	ケースを最初にオープンしたユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	ケースが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	ケースに関連付けられたドメイン。 データタイプ：文字列 最大長：32 デフォルト：global
sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/
sys_id	ケースの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32
sys_mod_count	ケースが最初に作成されてからの更新回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_tags	システムタグ。
sys_updated_by	ケースを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sys_updated_on	ケースが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	ケースの緊急度。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
variable_pool	変数のグループ化。
variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	ケースの作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes	ケースの解決方法に関する情報、またはケースの解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	ケースの作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

特定のアカウントに対してリストされている 3 番目と 4 番目の CSM ケースを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case?sysparm_que
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ry=account=86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca&sysparm_limit=2&sysparm_offse
t=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答には 2 つのケースが表示されます。


```
{
  "result": [{
    "parent": "",
    "caused_by": "",
    "watch_list": "",
    "active_escalation": "",
    "upon_reject": "cancel",
    "sys_updated_on": "2017-06-17 16:37:13",
    "support_manager": "",
    "approval_history": "",
    "skills":
 "a6d64b11d772120058c92cf65e610357,9b178b11d772120058c92cf65e610382,1c76e
c15d703120058c92cf65e61034a",
    "number": "CS0000009",
    "problem": "",
    "state": "18",
    "case": "Advanced and large routers making noiseCS0000009",
    "sys_created_by": "alex linde",
    "knowledge": "false",
    "order": "",
    "cmdb_ci": "",
    "delivery_plan": "",
    "impact": "3",
    "contract": "",
    "active": "true",
    "work_notes_list": "",
    "auto_created_case": "false",
    "priority": "3",
    "sys_domain_path": "/",
    "rejection_goto": "",
    "first_response_time": "",
    "business_duration": "",
    "group_list": "",
    "child_case_creation_progress": "false",
    "sync_driver": "false",
    "approval_set": "",
    "wf_activity": "",
    "short_description": "Advanced and large routers making noise",
    "correlation_display": "",
    "delivery_task": "",
    "work_start": "",
    "recipient_list": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "notify": "1",
    "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
    "closed_by": "",
    "follow_up": "",
    "contact_local_time": "",
    "sn_app_cs_social_social_profile": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reassignment_count": "1",
    "contact_time_zone": "",
    "notes_to_comments": "false",
    "assigned_to": "85453c616fc331003b3c498f5d3ee4fa",
    "product": "5f5fbcc3c0a8010e00f3b27814f3b96b",
    "variables": "",
    "variable_pool": "",
    "hierarchical_variables": "variable_pool",
    "sla_due": "",
    "change": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "partner": "",
    "escalation": "0",
    "upon_approval": "proceed",
    "partner_contact": "",
    "correlation_id": "",
    "asset": "a8fb6024d7700200e5982cf65e61034d",
    "made_sla": "true",
    "resolved_by": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "opened_by": "60beb5e7d7600200e5982cf65e6103ad",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2016-09-19 16:49:18",
    "contact": {
      "country": "",
      "calendar_integration": "1",
      "last_position_update": "",
      "last_login_time": "2018-05-10 19:50:26",
      "last_login_device": "0:0:0:0:0:0:0:1%0",
      "source": "",
      "sys_updated_on": "2018-02-16 21:30:03",
      "building": "",
      "web_service_access_only": "false",
      "notification": "1",
      "sys_updated_by": "venki",
      "enable_multifactor_authn": "false",
      "sys_created_on": "2018-02-16 21:29:11",
      "sys_domain": "global",
      "agent_status": "",
      "state": "",
      "vip": "false",
      "sys_created_by": "venki",
      "longitude": "",
      "zip": "",
      "home_phone": "",
      "time_format": "",
      "last_login": "",
      "default_perspective": "",
      "geolocation_tracked": "false",
      "active": "true",
      "time_sheet_policy": "",
      "sys_domain_path": "/",
      "phone": "(626) 722-6969",
      "cost_center": "",
      "name": "Julie Lewis",
      "employee_number": "",
      "gender": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "city": "",
      "user_name": "julie.lewis",
      "failed_attempts": "",
      "edu_status": "faculty",
      "latitude": "",
      "roles": "",
      "title": "Operations Manager",
      "sys_class_name": "customer_contact",
      "sys_id": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
      "internal_integration_user": "false",
      "ldap_server": "",
      "mobile_phone": "",
      "street": "",
      "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
      "department": "",
      "first_name": "Julie",
      "preferred_language": "en",
      "introduction": "",
      "email": "julie.lewis@mailinator.com",
      "manager": "",
      "locked_out": "false",
      "sys_mod_count": "1",
      "last_name": "Lewis",
      "photo": "",
      "sys_tags": "",
      "middle_name": "",
      "time_zone": "",
      "schedule": "",
      "on_schedule": "",
      "date_format": "",
      "location": "",
      "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
    },
    "sys_domain": "global",
    "closed_at": "",
    "follow_the_sun": "false",
    "entitlement": "",
    "business_service": "",
    "business_impact": "",
    "time_worked": "",
    "expected_start": "",
    "opened_at": "2016-09-19 16:49:18",
    "work_end": "",
    "resolved_at": "",
    "case_report": "",
    "subcategory": "0",
    "work_notes": "",
    "assignment_group": "6a42f4616fc331003b3c498f5d3ee46f",
    "cause": "",
    "description": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_notes": "",
    "sys_id": "dccc6024d7700200e5982cf65e6103e5",
    "contact_type": "web",
    "resolution_code": "",
    "probable_cause": "",
    "urgency": "3",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "company": "",
    "major_case_state": "",
    "consumer": "",
    "activity_due": "",
    "comments": "",
    "approval": "not requested",
    "due_date": "",
    "sys_mod_count": "5",
    "sys_tags": "",
    "active_account_escalation": "",
    "location": "",
    "category": "1",
    "account": {
      "banner_image_light": "",
      "country": "USA",
      "parent": "",
      "notes": "",
      "stock_symbol": "",
      "discount": "",
      "active_escalation": "",
      "sys_updated_on": "2019-01-03 19:37:35",
      "apple_icon": "",
      "number": "ACCT0000001",
      "sys_updated_by": "admin",
      "fiscal_year": "",
      "sys_created_on": "2018-02-20 21:29:16",
      "contact": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
      "stock_price": "",
      "state": "",
      "banner_image": "",
      "sys_created_by": "venki",
      "longitude": "-122.4005464",
      "zip": "94103",
      "profits": "0",
      "phone": "(626) 722-6999",
      "fax_phone": "",
      "name": "Boxeo",
      "banner_text": "",
      "account_code": "~~~~1",
      "primary": "false",
      "city": "San Francisco",
      "latitude": "37.7838391",
      "sys_class_name": "customer_account",
      "manufacturer": "false",
      "account_parent": "",
      "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
      "market_cap": "0",
      "num_employees": "",
      "rank_tier": "",
      "street": "747 Howard St",
      "vendor": "false",
      "lat_long_error": "",
      "theme": "",
      "vendor_type": "",
      "website": "www.boxeo.com",
      "revenue_per_year": "0",
      "publicly_traded": "false",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_mod_count": "9",
      "sys_tags": "",
      "partner": "false",
      "registration_code": "BOXEO",
      "vendor_manager": "",
      "account_path": "~~~~1",
      "primary_contact": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
      "customer": "true"
    }
  }, {
    "parent": "",
    "caused_by": "",
    "watch_list": "",
    "active_escalation": "",
    "upon_reject": "cancel",
    "sys_updated_on": "2019-01-15 23:28:00",
    "support_manager": "",
    "approval_history": "",
    "skills":
 "a6d64b11d772120058c92cf65e610357,9b178b11d772120058c92cf65e610382,1c76e
c15d703120058c92cf65e61034a",
    "number": "CS0000005",
    "problem": "",
    "state": "6",
    "case": "Urgent issue, need help ...CS0000005",
    "sys_created_by": "admin",
    "knowledge": "false",
    "order": "",
    "cmdb_ci": "",
    "delivery_plan": "",
    "impact": "",
    "contract": "495e16b96f0731003b3c498f5d3ee4af",
    "active": "true",
    "work_notes_list": "",
    "auto_created_case": "false",
    "priority": "1",
    "sys_domain_path": "/",
    "rejection_goto": "",
    "first_response_time": "",
    "business_duration": "",
    "group_list": "",
    "child_case_creation_progress": "false",
    "sync_driver": "false",
    "approval_set": "",
    "wf_activity": "",
    "short_description": "Urgent issue, need help ...",
    "correlation_display": "",
    "delivery_task": "",
    "work_start": "",
    "recipient_list": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "notify": "",
    "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
    "closed_by": "",
    "follow_up": "",
    "contact_local_time": "",
    "sn_app_cs_social_social_profile": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reassignment_count": "",
    "contact_time_zone": "",
    "notes_to_comments": "false",
    "assigned_to": "85453c616fc331003b3c498f5d3ee4fa",
    "product": "9068b0a16fc331003b3c498f5d3ee438",
    "variables": "",
    "variable_pool": "",
    "hierarchical_variables": "variable_pool",
    "sla_due": "",
    "change": "",
    "comments_and_work_notes": "",
    "partner": "",
    "escalation": "",
    "upon_approval": "proceed",
    "partner_contact": "",
    "correlation_id": "",
    "asset": "b8defca16fc331003b3c498f5d3ee4e7",
    "made_sla": "false",
    "resolved_by": "",
    "sys_updated_by": "jodi.seals",
    "opened_by": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2019-01-02 20:00:00",
    "contact": {
      "country": "",
      "calendar_integration": "1",
      "last_position_update": "",
      "last_login_time": "2018-03-10 21:48:11",
      "last_login_device": "",
      "source": "",
      "sys_updated_on": "2019-01-03 05:49:34",
      "building": "",
      "web_service_access_only": "false",
      "notification": "2",
      "sys_updated_by": "system",
      "enable_multifactor_authn": "false",
      "sys_created_on": "2018-03-04 20:26:32",
      "sys_domain": "global",
      "agent_status": "",
      "state": "",
      "vip": "false",
      "sys_created_by": "admin",
      "longitude": "",
      "zip": "",
      "home_phone": "",
      "time_format": "",
      "last_login": "",
      "default_perspective": "",
      "geolocation_tracked": "false",
      "active": "true",
      "time_sheet_policy": "",
      "sys_domain_path": "/",
      "phone": "+1 858 287 7834",
      "cost_center": "",
      "name": "George Warren",
      "employee_number": "",
      "gender": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "city": "",
      "user_name": "george.warren",
      "failed_attempts": "",
      "edu_status": "",
      "latitude": "",
      "roles": "",
      "title": "Network Administrator",
      "sys_class_name": "customer_contact",
      "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
      "internal_integration_user": "false",
      "ldap_server": "",
      "mobile_phone": "+1 858 867 7857",
      "street": "",
      "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
      "department": "",
      "first_name": "George",
      "preferred_language": "",
      "introduction": "",
      "email": "geo.warren@mailinator.com",
      "manager": "",
      "locked_out": "false",
      "sys_mod_count": "3",
      "last_name": "Warren",
      "photo": "",
      "sys_tags": "",
      "middle_name": "",
      "time_zone": "",
      "schedule": "",
      "on_schedule": "",
      "date_format": "",
      "location": "25ab8e460a0a0bb300857304ff811af5",
      "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
    },
    "sys_domain": "global",
    "closed_at": "",
    "follow_the_sun": "false",
    "entitlement": "1eb7893a6f1b31003b3c498f5d3ee4dd",
    "business_service": "",
    "business_impact": "",
    "time_worked": "",
    "expected_start": "",
    "opened_at": "2019-01-02 20:00:00",
    "work_end": "",
    "resolved_at": "",
    "case_report": "",
    "subcategory": "0",
    "work_notes": "",
    "assignment_group": "0df0c400c322310015519f2974d3ae23",
    "cause": "",
    "description": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_notes": "",
    "sys_id": "cf866683c3033100b12d9f2974d3ae1f",
    "contact_type": "web",
    "resolution_code": "",
    "probable_cause": "",
    "urgency": "3",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "company": "",
    "major_case_state": "",
    "consumer": "",
    "activity_due": "",
    "comments": "",
    "approval": "",
    "due_date": "2016-08-04 20:36:23",
    "sys_mod_count": "0",
    "sys_tags": "",
    "active_account_escalation": "",
    "location": "",
    "category": "1",
    "account": {
      "banner_image_light": "",
      "country": "USA",
      "parent": "",
      "notes": "",
      "stock_symbol": "",
      "discount": "",
      "active_escalation": "",
      "sys_updated_on": "2019-01-03 19:37:35",
      "apple_icon": "",
      "number": "ACCT0000001",
      "sys_updated_by": "admin",
      "fiscal_year": "",
      "sys_created_on": "2018-02-20 21:29:16",
      "contact": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
      "stock_price": "",
      "state": "",
      "banner_image": "",
      "sys_created_by": "venki",
      "longitude": "-122.4005464",
      "zip": "94103",
      "profits": "0",
      "phone": "(626) 722-6999",
      "fax_phone": "",
      "name": "Boxeo",
      "banner_text": "",
      "account_code": "~~~~1",
      "primary": "false",
      "city": "San Francisco",
      "latitude": "37.7838391",
      "sys_class_name": "customer_account",
      "manufacturer": "false",
      "account_parent": "",
      "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
      "market_cap": "0",
      "num_employees": "",
      "rank_tier": "",
      "street": "747 Howard St",
      "vendor": "false",
      "lat_long_error": "",
      "theme": "",
      "vendor_type": "",
      "website": "www.boxeo.com",
      "revenue_per_year": "0",
      "publicly_traded": "false",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_mod_count": "9",
      "sys_tags": "",
      "partner": "false",
      "registration_code": "BOXEO",
      "vendor_manager": "",
      "account_path": "~~~~1",
      "primary_contact": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
      "customer": "true"
    }
  }]
}
```


ケース - POST /sn_customerservice/case

新しい カスタマーサービス管理 (CSM) ケースを作成します。

このエンドポイントを使用するには、csm_ws_integration、sn_customerservice.customer、または sn_customerservice.consumer ロールが必要です。

企業間 (B2B) と企業 - 消費者間 (B2C) 環境のどちらで作業しているか、または注文または製品のケースを作成しているかに応じて、さまざまなタイプのケースを作成できます。

さらに、このエンドポイントを使用して、連絡先、コンシューマー、またはアカウントのソーシャルメディアプロファイルを作成できます。ソーシャルメディアプロファイルを作成するには、要求本文で次のパラメーターを指定する必要があります。

- *social_channel*
- *social_handle*
- *social_handle_type*
- *social_handle_url*
- *social_post_url*

要求本文パラメーターはすべてオプションです。一部のパラメーターは、いずれかの環境 (B2B または B2C) でのみ有効であり、要求本文パラメーターの説明にそのように記載されています。連絡先を指定すると、アカウント、ケースレポート、契約、およびエンタイトルメントパラメーターは、連絡先/アカウントレコードで定義された値にデフォルト設定されます。アカウントを指定すると、ケースレポート、契約、およびエンタイトルメントパラメーターは、アカウントレコードで定義された値にデフォルト設定されます (渡されたパラメーターの方が優先される場合を除く)。エンドポイントにパラメーターを渡さない場合は、デフォルトの情報 (以下のテーブルで定義) とインスタンスで生成された値 (*sys_**) のみでケースレコードが作成されます。他のパラメーターはすべて、null 値と同等に設定されます。以下で定義するパラメーターのリスト (ベースシステムにあるパラメーターを定義するもの) に加えて、エンドポイントでは、インスタンスで構成されたカスタムケースフィールドと追加のケースフィールドも受け入れます。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

⚠ **警告:** このエンドポイントでパラメーターの検証を実行すると、過度のオーバーヘッドが発生する可能性があるため、パラメーターの検証を実行しません。要求パラメーターが、スペルが間違っている、ケースのタイプに対して有効ではない、またはエンドポイントでサポートされていない場合、警告なしで無視されるか予期しない結果が生じる可能性があります。たとえば、間違ったタイプのケースに対してコンシューマーまたは連絡先を作成した場合、または連絡先とアカウントが一致しない場合などです。

⚠ **警告:** デフォルトでは、sn_customerservice.customer または sn_customerservice.consumer ロールを持つ外部ユーザーはこのエンドポイントを使用して、account、asset、comments、consumer、contact、contact_type、partner、partner_contact、priori および state のフィールドのみを設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case`

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
account	ケースに関連付けられたアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト： *contact* を指定すると、連絡先レコードで指定されたアカウントがデフォルトになります。
active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true
active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコードのSys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列 最大文字数：40 デフォルト：not requested
assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変更	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
closed_at	ケースがクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
company	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物の Sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	最大長：40
contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。 データタイプ：文字列
correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。エンタイトルメントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	• 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
expected_start	ケースの作業開始予定日時。 データタイプ：文字列
first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール デフォルト：true
major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値： • accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列 最大長：40
notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：ブール
notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値： • 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
open_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
parent	このケース (子) が関連付けられている親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	• 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
問題	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple Mac Book Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列 最大長：40
resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列 最大長：160
skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
social_channel	ソーシャルメディアチャネルのタイプ (Twitter、Facebook、Instagram など)。 データタイプ：文字列
social_handle	チャネルのユーザーハンドル。 データタイプ：文字列
social_handle_type	ソーシャルメディアプロファイルを関連付けるケースのタイプ。 有効な値： • account • consumer • 連絡先 データタイプ：文字列
social_handle_url	ユーザーのソーシャルメディアハンドルの URL。 データタイプ：文字列
social_post_url	ケースの生成元のソーシャルメッセージの URL。 データタイプ：文字列
state	ケースの現在のステータス。 可能な値： • 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	• 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
subcategory	ケースのサブカテゴリ。 可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/
time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	デフォルト：proceed
upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	ケースの緊急度。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	ケースの作業が終了した日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	ケースの作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	新しいケースレコードが正常に作成されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
number	関連ケース番号。 データタイプ：文字列
sys_id	ケース [sn_customerservice_case] テーブルに作成された新しいケースレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、コンシューマーに基づいてケースを作成する方法と、そのケースに関連付けられた新しいソーシャルメディアアカウントを作成する方法も示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{ \
    consumer: \"cd97ef1ddb8bc7006b7a9646db9619ac\", \
    contact_type: \"social\", \
    priority: \"4\", \
    short_description: \"Consumer Test Case\", \
    social_channel: \"TWITTER\", \
    social_handle: \"consumertwo\", \
    social_handle_type: \"Consumer\", \
    social_handle_url: \"https://www.twitter.com/consumertwo\", \
    social_post_url:
 \"https://twitter.com/MuleSoft/status/829092185022750720\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "0397c743db436f0057c3fd441d96197f",
    "number": "CS0001005"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、アカウントのケースを作成する方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{ \
    account: \"051f62b0d7300200e5982cf65e610333\", \
    contact_type: \"phone\", \
    priority: \"1\", \
    short_description: \"Power Outage\"}" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "sys_id": "b88366ffdb1b0b00216e9ee6db96190b",
    "number": "CS0001021"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、特定の連絡先のケースを作成する方法を示しています。連絡先レコード内でアカウントが指定されている場合、そのアカウントは自動的にケースにアサインされます。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_customerservice/case" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{ \
    contact: \"62fe1c97db76c3006b7a9646db961999\", \
    contact_type: \"phone\", \
    priority: \"3\", \
    short_description: \"Power Outage\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "bf916affdb1b0b00216e9ee6db961937",
    "number": "CS0001013"
  }
}
```

ケース - PUT /sn_customerservice/case/{id}

渡されたパラメーターで、指定された既存の カスタマーサービス管理 (CSM) ケースを更新します。

警告: このエンドポイントでパラメーターの検証を実行すると、過度のオーバーヘッドが発生する可能性があるため、パラメーターの検証を実行しません。要求パラメーターが、スペルが間違っている、ケースのタイプに対して有効ではない、またはエンドポイントでサポートされていない場合、警告なしで無視されるか予期しない結果が生じる可能性があります。たとえば、間違ったタイプのケースに対してコンシューマーまたは連絡先を作成した場合、または連絡先とアカウントが一致しない場合などです。

警告: デフォルトでは、sn_customerservice.customer または sn_customerservice.consumer ロールを持つ外部ユーザーは、このエンドポイントを使用してコメントとステータスのフィールドのみを設定できます。管理者は、*CaseRESTAPIValidatorForExternalUser* スクリプトインクルードで定義された UPDATE_ALLOWED_FIELDS アレイにフィールド名を指定することで、外部ユーザーが追加のフィールドを設定できるようにすることができます。このアレイに新しいフィールドを追加するときは、これらのフィールドに入力するための既存のバリデーターがない可能性があるため注意してください。スクリプトインクルードの詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。

注: フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customerservice/{api_version}/case/{id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_customerservice/case/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	更新するケースの sys_id。ケース [sn_customerservice_case] テーブルにあります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false **注:** このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_get_case_details	更新されたケースレコードを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：更新されたケースレコードを返します。 • false：更新されたケースレコードを返しません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
account	ケースに関連付けられたアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト： *contact* を指定すると、連絡先レコードで指定されたアカウントがデフォルトになります。
active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true
active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコードのSys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列 最大文字数：40 デフォルト：not requested
assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変更	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
closed_at	ケースがクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
company	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物の Sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列 最大長：40
contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。エンタイトルメントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	デフォルト：0
expected_start	ケースの作業開始予定日時。 データタイプ：文字列
first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール デフォルト：true
major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値： • accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列 最大長：40
notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません データタイプ：ブール
notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	• 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
open_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
parent	このケース (子) が関連付けられている親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	デフォルト：4
probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
問題	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple Mac Book Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列 最大長：40
resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	最大長：160
skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
social_channel	ソーシャルメディアチャネルのタイプ (Twitter、Facebook、Instagram など)。 データタイプ：文字列
social_handle	チャネルのユーザーハンドル。 データタイプ：文字列
social_handle_type	ソーシャルメディアプロファイルを関連付けるケースのタイプ。 有効な値： • account • 連絡先 • consumer データタイプ：文字列
social_handle_url	ユーザーのソーシャルメディアハンドルの URL。 データタイプ：文字列
social_post_url	ケースの生成元のソーシャルメッセージの URL。 データタイプ：文字列
state	ケースの現在のステータス。 可能な値： • 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み • 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
subcategory	ケースのサブカテゴリ。 可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/
time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	ケースの緊急度。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	ケースの作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	ケースの作業が開始された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
account	ケースに関連付けられたアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
account	アカウントの詳細。 データタイプ：オブジェクト "account": { "account_code": "String", "account_parent": "String", "account_path": "String", "active_escalation": "String", "apple_icon": Image, "banner_image": Image, "banner_image_light": Image, "banner_text": "String", "city": "String", "contact": "String", "country": "String", "customer": "String", "discount": "String", "fax_phone": "String", "fiscal_year": "String", "lat_long_error": "String", "latitude": "String", "longitude": "String", "market_cap": "String", "name": "String", "notes": "String", "num_employees": Number, "number": "String", "parent": "String", "partner": "String", "phone": "String", "primary": Boolean, "primary_contact": "String", "profits": Number, "publicly_traded": Boolean, "rank_tier": "String", "registration_code": "String", "revenue_per_year": Number, "state": "String", "stock_price": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"stock_symbol": "String", "street": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "theme": "String", "vendor": Boolean, "vendor_manager": "String", "vendor_type": "String", "website": "String", "zip": "String" }
account.account_code	アプリケーションが予算予測と予算計画を識別するために使用する固有の一意の組み合わせ。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.account_parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.account_path	アカウント階層内の親アカウントから子アカウントへのパス。 データタイプ：文字列 最大長：255
account.active_escalation	アカウントに関連付けられたアクティブなエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
account.apple_icon	iPhone ホームページのブックマークのアイコン。 データタイプ：画像
account.banner_image	カスタマーポータルに表示されるバナー画像。 データタイプ：画像
account.banner_image_light	小さなバナー画像。 データタイプ：画像
account.banner_text	カスタマーポータルに表示されるバナーテキスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
account.city	このアカウントに関連付けられている会社が所在する市。 データタイプ：文字列 最大長：50
account.contact	このアカウントに関連付けられた連絡先レコードの sys_id。ユーザ [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.country	このアカウントに関連付けられている会社が所在する国。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト： USA
account.customer	アカウントがパートナーアカウントではなく、顧客アカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：顧客アカウント • false：パートナーアカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.discount	購入時にアカウントに付与される割引。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値 最大長：15
account.fax_phone	このアカウントに関連付けられている会社の主要な FAX 電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.fiscal_year	アカウントに関連付けられている会社の会計年度。 データタイプ：文字列
account.lat_long_error	緯度および経度情報と比較した実際の場所の差。 データタイプ：文字列 最大長：1,000
account.latitude	このアカウントに関連付けられている会社の緯度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.longitude	このアカウントに関連付けられている会社の経度。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
account.manufacturer	このアカウントに関連付けられている会社が商品を製造しているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：商品を製造している • false：商品を製造していない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.market_cap	関連付けられている会社の公開株式の時価。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：20

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
account.name	このアカウントに関連付けられている会社の名前。 データタイプ：文字列 最大長：80
account.notes	会社に関する補足情報。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
account.num_employees	会社に雇用されている人数。 データタイプ：数値 (整数) 最大長：40
account.number	このアカウントを識別する番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.parent	このアカウントの親アカウントの sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.partner	アカウントがパートナーアカウントか顧客アカウントかを示すフラグ。 可能な値： • true：パートナーアカウント • false：顧客アカウント データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.phone	会社の主要な電話番号。 データタイプ：文字列
account.primary	これがプライマリアカウントであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリアカウント • false：セカンダリアカウント データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
account.primary_contact	アカウントの主連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.profits	このアカウントに対して入力された利益情報。 データタイプ：数値 (通貨) 最大長：40
account.publicly_traded	このアカウントに関連付けられている会社の株式が証券取引所で公開されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：株式公開 • false：株式非公開会社 データタイプ：ブール
account.rank_tier	アカウントのタイプ。 可能な値： • blacklist • strategic • tactical • valued • その他 データタイプ：文字列 最大長：40
account.registration_code	顧客がカスタマーポータルでログインを要求するときに使用する一意のコード。このコードは、アクセス権を付与する前に会社で顧客を検証する方法を提供します。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.revenue_per_year	このアカウントに関連付けられている会社が生み出した収益。 データタイプ：数値 (通貨)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：20
account.state	会社が所在する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.stock_price	会社の株価。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.stock_symbol	会社の銘柄記号。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.street	会社の番地 データタイプ：文字列 最大長：255
account.sys_class_name	関連するアカウントレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
account.sys_created_by	最初にアカウントを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
account.sys_created_on	アカウントが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
account.sys_id	アカウントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
account.sys_mod_count	アカウント情報が更新された回数。 データタイプ：数値 (整数)
account.sys_updated_by	アカウント情報を最後に変更したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
account.sys_updated_on	アカウント情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
account.theme	このアカウントで使用されるカスタマーポータルテーマの sys_id。テーマ [sys_ui_theme] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor	このアカウントに関連付けられている会社がベンダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ベンダー • false：ベンダーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
account.vendor_manager	アカウントのベンダーマネージャーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.vendor_type	アプリケーション、ハードウェア、サービス、ソフトウェアなどのベンダーのタイプの sys_id のリスト。ベンダータイプ [vendor_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
account.website	会社の Web サイトの URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
account.zip	会社の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true
active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコードのSys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大文字数：40 デフォルト：not requested
approval_history	ケースに関連付けられているすべての承認のリスト。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
資産	ケースに関連付けられた資産レコードの sys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
case	ケースの簡単な説明とケース番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：300
case_report	関連するケースレポート の sys_id。ケースレポート [sn_customerservice_case_report] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変更	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
closed_at	ケースがクローズされた日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
comments_and_work_notes	ケースに対して入力されたコメントと作業メモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
company	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物のSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	企業/消費者間ケースのパラメーターのアレイ。
consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
consumer.street	コンシューマーの番地。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：255
consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザーは [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	企業/企業間ケースの連絡先パラメーターのアレイ。
contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
contact.state	連絡先が居住する都道府県。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
contact.sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列
contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
contact.zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_local_time	連絡先の現地時間。 データタイプ：文字列 最大長：70
contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。 データタイプ：文字列
correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。エンタイトル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	メントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
expected_start	ケースの作業開始予定日時。 データタイプ：文字列
first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
follow_up	次のフォローアップアクションの日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト：true
major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値： • accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列 最大長：40
needs_attention	ケースに注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースに追加の注意が必要です • false：ケースに追加の注意は必要ありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません データタイプ：ブール
notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
open_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
parent	このケース (子) が関連付けられる親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
問題	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple MacBook Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result	各オブジェクトが要求されたフィールドの単一の値を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "label": "String", "value": "String" } ]`
result.label	フィールド値の表示値。 データタイプ：文字列
result.value	フィールド値。 データタイプ：文字列
short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列 最大長：160
skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile	Facebook、Twitter、YouTube などの特定のソーシャルメディアプロファイルの詳細を含むオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"sn_app_cs_social_social_profile": [{ "account": "String", "channel": [Array], "contact": {Object}, "consumer": {Object}, "created_on": "String", "profile": "String", "profile_url": "String", "social_id": "String", "source": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String" }]
sn_app_cs_social_social_profile.account	ソーシャルメディアプロファイルのアカウント情報が含まれているレコードの一意の識別子。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel	関連するソーシャルメディアプロファイルチャネルの詳細。 データタイプ：オブジェクト "channel": { "name": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_mod_count": Number, "sys_package": "String", "sys_policy": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"sys_scope": "String", "sys_tags": "String", "sys_update_name": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String" }
sn_app_cs_social_social_profile.channel.name	ソーシャルメディアチャネルの名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_class_name	ソーシャルメディアチャネルレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_by	ソーシャルメディアチャネルを作成した人物。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが作成された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_id	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルチャネルの情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_name	チャネルのシステム名。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_package	プロファイルに関連付けられたパッケージに関する情報を含むレ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	コードの一意の識別子。パッケージ [sys_package] テーブル。 データタイプ:参照
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_policy	システム保護ポリシー。 可能な値： • 保護 • 読み取り データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_scope	ソーシャル プロファイルのスコープに関する情報を含むレコードの一意の識別子。アプリケーション [sys_scope] テーブル。 データタイプ:参照
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_tags	チャネルに関連付けられたシステムタグ。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_update_name	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：250
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルチャネルを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.channel.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルチャネルが最後に更新された日時。 データタイプ:日付/時刻 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer	企業/消費者間ケースの場合。ケースに関連付けられたコンシューマーの詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明

	"consumer": {
	"active": Boolean,
	"business_phone": "String",
	"city": "String",
	"country": "String",
	"date_format": "String",
	"email": "String",
	"fax": "String",
	"first_name": "String",
	"gender": "String",
	"home_phone": "String",
	"household": "String",
	"last_name": "String",
	"middle_name": "String",
	"mobile_phone": "String",
	"name": "String",
	"notes": "String",
	"notification": Number,
	"number": "String",
	"photo": Image,
	"preferred_language": "String",
	"prefix": "String",
	"primary": Boolean,
	"state": "String",
	"street": "String",
	"suffix": "String",
	"sys_created_by": "String",
	"sys_created_on": "String",
	"sys_domain": "String",
	"sys_id": "String",
	"sys_mod_count": Number,
	"sys_tags": "String",
	"sys_updated_by": "String",
	"sys_updated_on": "String",
	"time_format": "String",
	"time_zone": "String",
	"title": "String",
	"user": "String",
	"zip": "String"
	}

sn_app_cs_social_social_profile.consumer.active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.household	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.name	コンシューマーのフルネーム。first_name+middle_name +last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.notification	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.suffix	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_tags	コンシューマーシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_format	時間を表示する形式。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.consumer.zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact	企業間ケースの場合。ケースに関連付けられた連絡先に属するソーシャルメディアプロファイルに関する詳細を含むレコードの一意の識別子。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
sn_app_cs_social_social_profile.contact.agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.building	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
sn_app_cs_social_social_profile.contact.city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
sn_app_cs_social_social_profile.contact.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.internal_itegration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.longitude	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
sn_app_cs_social_social_profile.contact.mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
sn_app_cs_social_social_profile.contact.notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sn_app_cs_social_social_profile.contact.on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
sn_app_cs_social_social_profile.contact.preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
sn_app_cs_social_social_profile.contact.roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.contact.state	連絡先が居住する都道府県。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_tags	連絡先システムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.contact.time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
sn_app_cs_social_social_profile.contact.user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.contact.vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
sn_app_cs_social_social_profile.contact.zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.created_on	関連するソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。
sn_app_cs_social_social_profile.profile	ソーシャルプロファイル。 データタイプ：文字列 最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.profile_url	ソーシャルメディアプロファイルへのアクセスに使用する URL。 データタイプ：文字列 最大長：1,024
sn_app_cs_social_social_profile.social_id	関連付けられたソーシャルメディアアカウントの一意のソーシャルメディアアカウントプロバイダー識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
sn_app_cs_social_social_profile.source	ソーシャルプロファイルのソース。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：255
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.sys_created_on	ソーシャルメディアプロファイルが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_id	ソーシャルメディアプロファイルの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sn_app_cs_social_social_profile.sys_mod_count	関連付けられたソーシャルメディアプロファイルの情報が変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sn_app_cs_social_social_profile.sys_tags	プロファイルシステムタグ。
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_by	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sn_app_cs_social_social_profile.sys_updated_on	ソーシャルメディアプロファイルを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
state	ケースの現在のステータス。 可能な値： • 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み • 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
subcategory	ケースのサブカテゴリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ケースレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sys_created_by	ケースを最初にオープンしたユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	ケースが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	ケースに関連付けられたドメイン。 データタイプ：文字列 最大長：32 デフォルト：global
sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト：/
sys_id	ケースの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32
sys_mod_count	ケースが最初に作成されてからの更新回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_tags	システムタグ。
sys_updated_by	ケースを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	ケースが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	ケースの緊急度。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variable_pool	変数のグループ化。
variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	ケースの作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes	ケースの解決方法に関する情報、またはケースの解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	ケースの作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーターに関する注意事項

要求本文パラメーターはすべてオプションです。すべてのパラメーターがすべてのケースタイプ (B2B と B2C、注文と製品) に適用されるわけではありません。設定するパラメーターが競合していないことを確認してください (アカウントと連絡先またはコンシューマーの間の不一致など)。以下で定義する要素のリスト (ベースシステムにある要素を定義するもの) に加えて、エンドポイントでは、インスタンスで構成されたカスタムケースフィールドと追加のケースフィールドも受け入れます。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

Example: cURL 要求

次の例は、コンシューマーベースのケースを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cusomerservice/case/0397c743db43
6f0057c3fd441d96197f" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{ \
  consumer: \"cd97ef1ddb8bc7006b7a9646db9619ac\", \
  contact_type: \"phone\", \
  priority: \"4\", \
  short_description: \"Consumer Test Case\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "0397c743db436f0057c3fd441d96197f",
    "number": "CS0001005"
  }
}
```

CCCIF メディアリソース API

カスタムチャットのチャットボット相互運用性フレームワーク *(CCCIF)* メディアリソース API は、プライマリボットが関連付けられた ServiceNow インスタンスに添付ファイルをアップロードできるようにするエンドポイントを提供します。

仮想エージェント (VA) を介して会話しているユーザーからのプライベート添付ファイルをアップロードするには、プライマリボットでこの API を呼び出します。その後、この API によって返される *mediaUrl* パラメーターを VA API に送信する必要があります。

添付ファイルが公開されている場合は、仮想エージェントボット統合呼び出しの要求本文で添付ファイル URL を送信するだけです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API にアクセスするには、Conversational Custom Chat Integration (com.glide.cs.custom.adapter) プラグインがアクティブになっている必要があります。さらに、添付ファイルのシステムプロパティを設定する必要があります。

仮想エージェント API の機能の詳細については、「仮想エージェント API」を参照してください。

CCCIF - POST /cccif/media/upload

呼び出された ServiceNow インスタンスにプライベート添付ファイルをアップロードします。このインスタンスにより、添付ファイルが添付ファイル [sys_attachment] テーブルに保存されます。

仮想エージェント (VA) を介して会話しているユーザーからのプライベート添付ファイルをアップロードするには、プライマリボットでこのメソッドを呼び出します。その後、仮想エージェントボット統合 API を使用して、このメソッドによって返される *mediaUrl* パラメーターを VA API に送信する必要があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cccif/media/upload`

デフォルトの URL：`/api/now/cccif/media/upload`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
ファイル	必須です。アップロードするファイルのパス。 データタイプ： 文字列 (@File path <file_path> など)
provider_application_id	VA ボットとやり取りする sys_cs_provider_application の sys_id。 デフォルト：VA ボット間プロバイダーアプリケーションの sys_id
user_id	必須です。VA ボットとやり取りするユーザーの一意のユーザー識別子。これは、ユーザーごとに一意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*multipart/form-data*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
attachmentId	保存された添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列

error	要求の処理中に検出されたエラーの説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	発生したエラーに関する詳細。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	データタイプ：文字列
error.message	スローされたエラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
mediaUrl	添付ファイルにアクセスするためにプライマリボットに送信する添付ファイル URL。プライマリボットは、この URL を *POST /sn_va_as_service/bot/integration* エンドポイントの要求本文の *message.attachment.url* パラメーターで送信する必要があります。 データタイプ：文字列
name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
state	添付ファイルテーブル内の添付ファイルのステータス。 可能な値： • available • conditionally available • not available • pending データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、.png 添付ファイルをアップロードする方法を示します。

```
curl --location --request POST
 'https://instance.servicenow.com/api/now/v1/cccif/media/upload' \
--header 'Authorization: Basic xxxxxxxxxxxx' \
--header 'Content-Type:multipart/form-data' \
--form 'user_id="lincoln"' \
--form 'file=@"/Users/Desktop/Screenshot 2021-10-25 at 5.08.14 PM.png"'
```

応答：

```
Response :{
  "result": {
    "mediaUrl":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/cs/media/vGfewkfAv0VBo2RxmlT
M448L789Pp6rqLFLUNYQxZsUUFrsgMA8aW9W0zWx1a5fG",
    "name": "Screenshot 2021-10-25 at 5.08.14 PM.png",
    "state": "pending",
    "attachmentId": "299c648887b73c1022b6a6cd0ebb3534"
  }
```

CdmApplicationsApi

CdmApplicationsApi は、DevOps コンフィグ Workspace UI にあるコンポーネント、コレクション、展開可能、およびコンポーネント変数フォルダーに構成データを

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`uploadzoominsoftware.io/utah-devops/` できるようにするエンドポイントを提供します。また、展開可能な構成データを DevOps パイプラインにエクスポートし、共有コンポーネントと共有アプリケーションを管理できるエンドポイントもあります。

エクスポートおよびアップロードのエンドポイントでは、非同期キュー実装を使用します。このタイプの実装では、最初に目的のエクスポートまたはアップロード要求エンドポイントを呼び出します。これらのエンドポイントは要求をキューに入れ、要求識別子を返します。次に、この要求識別子を使用して、アップロード用とエクスポート用の別々の適切なステータスエンドポイントを呼び出して、アップロード/エクスポートのステータスを取得します。エクスポート要求の場合、エクスポートが完了したら、エクスポートのコンテンツを要求することもできます。

この API は、アプリケーションレコードの簡単な取得を実行するエンドポイントは提供しません。これらのレコードを取得するには、テーブル API を使用します。

この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL (sn_cdm.cdm.viewer)
- スクリプト化された REST CDM エディター ACL (sn_cdm.cdm_editor)

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

構成データ管理 と DevOps コンフィグ Workspace UI の詳細については、「構成データのアップロード」を参照してください。

共有コンポーネントおよび共有ライブラリーについて詳しくは、 アプリケーション間でのコンポーネントの共用 - コンポーネント・ライブラリ ーを参照してください。

CdmApplicationsApi - DELETE /sn_cdm/applications/deployables

指定された Configuration Data Management (CDM) 展開可能項目を削除します。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM 管理者ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。展開可能項目が関連付けられている CDM アプリケーションの名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	削除する展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

次のコード例は、展開可能項目を削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables?appN
ame=testApp&name=Dep-1" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password1'
```

展開可能項目が正常に削除された場合、HTTP ステータスコード以外の応答は返されません。

```
None - results defined by the HTTP status code
```

CdmApplicationsApi:/sn_cdm/applications/shared_components を削除

指定された 構成データ管理 (CDM) アプリケーションから共有コンポーネント使用参照を削除します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/applications/shared_components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/applications/shared_components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須。指定された共有コンポーネントの関連付けを削除するアプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。指定するアプリケーションでは、type フィールドが「shared_library」に設定されている必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedComponentName	必須。指定されたアプリケーションから削除する共有コンポーネントの一意の名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
結果	空。HTTP ステータスコードは、呼び出しの結果を示します。
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、"App1" アプリケーションから "paymentService-V1.1" 共有コンポーネントを削除する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-name.service-now.com/api/sn_cdm/applications/shared_components?appName=App1&sharedComponentName=paymentService-V1.1&changesetNumber=Chset-25" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
""
```

CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/content

指定された構成データのエクスポート要求に関連付けられたコンテンツを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このエンドポイントは、CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/status エンドポイントから完全な応答を受信した後にのみ呼び出すようにします。エクスポートが完了する前にこのエンドポイントを呼び出すと、400 ステータスエラーが返されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables/exports/{export_id}/content`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/content`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
export_id	構成データを返すエクスポート要求の一意の識別子。この値は CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/exports エンドポイントによって返されます。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
エラー	エクスポート中に発生したエラーの説明。 データタイプ：文字列
export_id	エクスポート要求 ID。エンドポイントに渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
exporter_result	指定された構成データエクスポートのコンテンツ。 データタイプ： • JSON オブジェクト：要求が JSON 形式でデータをエクスポートすることだった場合。 • 文字列：要求が他の形式でデータをエクスポートすることだった場合。
request_id	エクスポート要求 ID。エンドポイントに渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
state	指定されたエクスポートの現在のステータス。CDM 要求キュー [sn_cdm_request_queue] テーブルのステータス列の値。 可能な値： • completed • error • in_progress • new • ready

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、ID が 3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f のエクスポート要求の構成データを要求します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables/expo
rts/3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f/content" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される可能な結果を次に示します。

```
// Successful completion of the export request
{
  "result": {
    "export_id": "3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f"
    "exporter_result": "DEP1.COMP.cdi_1=cdi-1-value"
  }
}

// Response when an incorrect export_id is passed. Note: Status code is
 200.
{
  "result": {
    "request_id": "3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12e",
    "state": "error",
    "errors": "Invalid requestId '3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12fe'",
    "export_id": "3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12e"
  }
}
```

CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/status

指定された構成データのエクスポート要求の現在のステータスを返します。

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/exports エンドポイントを使用してエクスポート要求を行います。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables/exports/{export_id}/status`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/status`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
export_id	ステータスを返すエクスポート要求の sys_id。この値は CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/exports エンドポイントによって返されます。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
エラー	エクスポート中に発生したエラーの説明。 データタイプ：文字列
export_id	エクスポート要求 ID。エンドポイントに渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
exporter_result	関連するエラーの詳細。 データタイプ：オブジェクト
exporter_result.errors	エクスポート中に発生したエラーの説明。 データタイプ：アレイ
exporter_result.execution_id	エクスポーター実行レコードの一意の識別子。sn_cdm_exporter_execution テーブルにあります。 データタイプ：文字列
exporter_result.state	指定されたエクスポートの現在のステータス。sn_cdm_exporter_execution テーブルにあります。 可能な値： • complete • error • in_progress • 新規 データタイプ：文字列
request_id	エクスポート要求 ID。エンドポイントに渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
state	指定されたエクスポートの現在のステータス。CDM 要求キュー [sn_cdm_request_queue] テーブルのステータス列の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • completed • error • in_progress • new • ready データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ID が 3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f のエクスポートのステータスを要求しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables/expo
rts/3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f/status" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される可能がある結果を次に示します。

```
// Successful completion of the export request
{
  "result": {
    "state": "completed",
    "export_id": "3ab14a7d53b1301096edddeeff7b12f0"
  }
}

// Response when an incorrect export_id is passed. Note: Status code is
 200.
{
  "result": {
    "request_id": "3ac8e1b05311301096edddeeff7b123c",
    "state": "error",
    "errors": "Invalid requestId '3ac8e1b05311301096edddeeff7b123c'",
    "export_id": "3ac8e1b05311301096edddeeff7b123c"
  }
}

// Response when the export encounters an error. The exporter_result
 array contains the error information. Note: Status code is 200.
{
  "result": {
    "state": "completed",
    "export_id": "24536c3353f9301096edddeeff7b12b1",
    "exporter_result": {
      "execution_id": "81536c3353f9301096edddeeff7b129e",
      "state": "failure",
      "errors": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "Snapshot 'SNA-001-published-non_compliant' has not passed
 validation. All snapshots of deployable '/ApplicationA/deployables/DEP3'
 are required to pass validation"
      ]
    }
  }
}
```

CdmApplicationsApi:/sn_cdm/applications/shared_components を取得

指定されたアプリケーションによって使用される共有コンポーネントのリストを返します。また、新しいバージョンが利用可能な共有コンポーネントのみを返すように指定することもできます。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/applications/shared_components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/applications/shared_components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須。共有コンポーネントのリストを返すアプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。アプリケーションのタイプフィールドを shared_library に設定する必要があります。 データタイプ：文字列
withUpdatesOnly	新しい更新バージョンが利用可能な共有コンポーネントのみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:新しい更新バージョンが利用可能な共有コンポーネントのみを返します。 • false:指定されたアプリケーションで使用されているすべての共有コンポーネントを返します。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
currentVersion	CDM アプリケーションの現在のバージョン。 データタイプ：整数
currentVersionName	現在使用されている共有コンポーネントバージョンの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
説明	共有コンポーネントの説明。 データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
name	共有コンポーネントの一意の名前。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	共有コンポーネントが属する共有ライブラリーの名前。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
updateVersionName	更新可能な共有コンポーネントバージョンの名前。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、"App1" で使用される新しいバージョンを持つ共有コンポーネントを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-name.service-now.com/api/sn_cdm/applications/shared_co
mponents?updatesOnly=true&appName=App1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "name": "Component_Name",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "description": "",
      "sharedLibraryName": "Shared Library",
      "currentVersion": "2",
      "currentVersionName": "Component_A-v2.shc",
      "updateVersionName": "Component_A-v3.shc"
    }
  ]
}
```

CdmApplicationsApi:/sn_cdm/applications/shared_libraries/components/applications を取得

指定されたライブラリ内にある共有コンポーネントとそれを使用するアプリケーションのマップを返します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/applications/shared_libraries/components/applications`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/applications/shared_libraries/components/applications`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sharedComponentName	必須。マップに含める共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。マップに含める共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。指定するアプリケーションでは、type フィールドが「shared_library」に設定されている必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
説明	共有コンポーネントを使用するアプリケーションの説明 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
managed_by_group	アプリケーションを管理できるグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列
name	コンポーネントを使用するアプリケーションの一意の名前。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
sys_id	共有コンポーネントを使用するアプリケーションのSys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、「paymentService-V1.1」共有コンポーネントを使用する「OracleG-Library-10」共有ライブラリ内のアプリケーションを示すマップを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-name.service-now.com/api/sn_cdm/applications/shared_libraries/components/applications?sharedLibraryName=OracleG-Library-10&sharedComponentName=paymentService-V1.1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "component_name": [
      {
        "name": "App Name",
        "description": "desc",
        "managed_by_group": null,
        "sys_id": "4e7808bb1b371110636e0fe0604bcb08"
      },
      {
        "name": "Config App",
        "description": "desc",
        "managed_by_group": null,
        "sys_id": "55a75cfb1b771110636e0fe0604bcb5c"
      },
      {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "Database App",
        "description": "desc",
        "managed_by_group": null,
        "sys_id": "2eb7503f1b771110636e0fe0604bcb06"
      }
    ]
  }
}
```


CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id}

指定された構成データのエクスポート要求の現在のステータスを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/upload-status/{upload_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
upload_id	ステータスを返すアップロード要求の sys_id。この値は、さまざまな CdmApplications アップロード要求エンドポイントによって返されます。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
エラー	アップロード中に発生したエラーの説明。 データタイプ：文字列

output	アップロードされたデータの説明、または発生したエラーを説明するエラーメッセージ (アップロード中にエラーが発生した場合)。
	
	データタイプ：文字列のアレイ
	
	`"output": {`
	`  "auto_validate": "String",`
	`  "cdm_application": "String",`
	`  "committed_at": "String",`
	`  "committed_by": "String",`
	`  "description": "String",`
	`  "last_conflict_detection_time":`
	`"String",`
	`  "number": "String",`
	`  "publish_option": "String",`
	`  "snapshot_description": "String",`
	`  "snapshot_name": "String",`
	`  "state": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>{
	  "sys_created_by": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "title": "String"
	}</pre>

output.auto_validate	コミット後に検証を呼び出すかどうかを示します。 データタイプ：文字列
output.cdm_application	アップロードが実行されたアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
output.committed_at	アップロードされたコンテンツがコミットされた日時。 データタイプ：文字列
output.committed_by	コミットを実行したエンティティのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.description	現在使用されていません。 データタイプ：文字列
output.last_conflict_detection_time	日時の競合検出の発動。 データタイプ：文字列
output.number	変更セットの一意の番号。 データタイプ：文字列
output.publish_option	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none 注: このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。
output.snapshot_description	関連付けられたスナップショットの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
output.snapshot_name	関連付けられたスナップショットの名前。 データタイプ：文字列
output.state	アップロードコンテンツのステータス。 可能な値： • blocked • checking_for_conflict • commit_failed • commit_in_progress • committed • open データタイプ：文字列
output.sys_created_by	レコードを作成したエンティティの sys_id。 データタイプ：文字列
output.sys_id	変更セットを含むレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.title	アップロードの一部として作成された変更セットのタイトル。 データタイプ：文字列
processing_state	アップロード要求の現在の処理ステータス。 可能な値： • NOT_PROCESSED • 処理済み データタイプ：文字列
state	アップロード要求の現在のステータス。 可能な値： • completed • error • in_progress • new • ready
type	アップロード要求のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • commit • export • upload_and_commit データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ID が 5560a6895326301096edddeeff7b1230 のアップロードのステータスの要求を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/upload-status/55
60a6895326301096edddeeff7b1230" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される可能がある結果を次に示します。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "type": "upload_and_commit",
    "state": "completed",
    "output": {
      "sys_id": "be681dc95362301096edddeeff7b12ba",
      "number": "Chset-102",
      "title": "admin2021-09-10 08:09:07",
      "description": null,
      "committed_at": "2021-09-10 20:23:37",
      "committed_by": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "sys_created_by": "admin",
      "state": "committed",
      "publish_option": "publish_none",
      "auto_validate": false,
      "snapshot_name": null,
      "snapshot_description": null,
      "cdm_application": "Demo_App1631126164773",
      "last_conflict_detection_time": "1631305417894"
    },
    "processing_state": "PROCESSED",
    "upload_id": "5560a6895326301096edddeeff7b1230"
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Response when an incorrect upload_id is passed. Note: Status code is
 200.
{
  "result": {
    "state": "error",
    "errors": "Invalid requestId '5560a6895326301096edddeeff7b1240'",
    "upload_id": "5560a6895326301096edddeeff7b1240"
  }
}

// Response when the upload encounters an error. The exporter_result
 array contains the error information. Note: Status code is 200.
{
  "result": {
    "type": "upload_and_commit",
    "state": "error",
    "output": "Error encountered during execution of request.\nError:
 Node 'dbSettings' of type 'sg_cdm_node_component' cannot create child
 'dbSettings' of type 'sg_cdm_node_folder'",
    "processing_state": "PROCESSED",
    "upload_id": "272f8a415326301096edddeeff7b1232"
  }
}
```

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables

新しい展開可能項目を作成し、指定された 構成データ管理 (CDM) アプリケーションに自動的に接続します。

開発、テスト、本番の 3 つの環境タイプのいずれか向けに展開可能項目を作成できます。

このエンドポイントにアクセスするには、呼び出し元に CDM 管理者ロールが必要です。

複数の展開可能項目を作成する必要がある場合は、CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/create エンドポイントを使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。展開可能項目に関連付ける既存のアクティブな CDM アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
envType	必須です。 展開可能な環境タイプ。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • 開発 • 本番 • テスト 注: 展開可能な環境の種類は、作成後に変更できません。 データタイプ：文字列
name	必須です。CDM 展開可能項目の名前。 255 文字以下にする必要があります。デフォルトで使用できる文字は、0 ～ 9、A ～ Z、a ～ z、_、-、.、%、$、空白文字、:、# です。 データタイプ：文字列 最大長：255 文字 許容される文字：0 ～ 9、A ～ Z、a ～ z、_、-、.、%、$、空白文字、:、#
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
cdi_count	関連する CDM アプリケーションに含まれる構成データアイテム (CDI) の数。 データタイプ：整数
cdi_usage	展開可能項目によって使用される CDI の割合。 データタイプ：整数

cdm_app	展開可能項目に関連付けられた CDM アプリケーションオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_app": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
cdm_app.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_app.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

cdm_ci	展開可能項目に関連付けられたアプリケーションサービスオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_ci": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_ci.link	REST テーブル API を使用してアプリケーションサービスにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_ci.value	関連付けられたアプリケーションサービスレコードの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	生成された CDM 展開可能項目の説明。 データタイプ：文字列
environment_type	展開可能な環境タイプ。 可能な値： • 開発 • 本番 • テスト データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
name	CDM 展開可能項目の名前。 データタイプ：文字列

node	展開可能ノードについての詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"node": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

node.link	REST テーブル API を使用して展開可能ノードレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
node.value	展開可能ノードレコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
snapshot_version_counter	展開可能項目に対して作成されたスナップショットの数。 データタイプ：整数
state	展開可能項目の現在のステータス。 可能な値： • active • deleted データタイプ：文字列
sys_created_by	CDM 展開可能項目を作成したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_created_on	CDM 展開可能項目が作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	作成された展開可能項目の sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	CDM 展開可能項目を最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_updated_on	CDM 展開可能項目が最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、展開可能項目を作成して CDM アプリケーションに関連付ける方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables?name
=Dep-1&returnFields=name%2Csys_id%2Cstate&appName=testApp&envType=Test" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password1'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "cmdb_ci": {
        "value": "f5b9e00b53901110a1d3ddeeff7b12b8",
        "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/cmdb_ci_service_auto/f5b9e00b53
901110a1d3ddeeff7b12b8"
      },
      "cdi_count": "0",
      "snapshot_version_counter": "0",
      "description": null,
      "sys_updated_on": "2022-06-29 12:53:57",
      "environment_type": "Test",
      "node": {
        "value": "7db9e00b53901110a1d3ddeeff7b12b6",
        "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/sn_cdm_node/7db9e00b53901110a1d
3ddeeff7b12b6"
      },
      "sys_id": "39b9e00b53901110a1d3ddeeff7b12b7",
      "sys_updated_by": "admin",
      "cdm_app": {
        "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
        "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a953b7
0110a1d3ddeeff7b128c"
      },
      "sys_created_on": "2022-06-29 12:53:57",
      "cdi_usage": "0",
      "name": "Dep-2",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "admin"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    ]
}
```

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/create

1 つ以上の新しい展開可能項目を作成します。

次の 2 種類のうちいずれかの展開可能項目を作成できます。

- アプリケーションモデル (CI サービス) への手動接続が必要な展開可能項目。
- 動的に作成された新しいアプリケーションモデル (CI サービス) に自動的に接続される展開可能項目。

開発、テスト、本番の 3 つの環境タイプのいずれか向けに展開可能項目を作成できます。 複数の展開可能項目を作成する場合、展開可能項目の自動生成名は、`DeployableType_Number` のパターンに従います。ここで、`Number` は新しい展開可能項目の作成に基づく実行中のシーケンス番号です。たとえば、エンドポイント呼び出しで `Test` タイプの展開可能項目を 3 件作成した場合、Test_1、Test_2、および Test_3 という名前になります。エンドポイントを再度呼び出して、別のテスト展開可能項目を作成すると、その自動生成名は Test_4 になります。展開可能項目が削除されても、これらの番号が再利用されることはありません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables/create`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables/create`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appSysId	必須です。展開可能項目に関連付けるアクティブな CDM アプリケーションの sys_id。 データタイプ：文字列
autoConnect	必須です。新しく作成された展開可能項目を動的に生成されたアプリケーションモデルに自動的に接続するかどうかを決定するフラグ。 有効な値： • true：新しく作成された展開可能項目を動的に生成されたアプリケーションモデルに接続します。 • false：展開可能項目の作成のみ行います。これらの展開可能項目は、UI を使用してアプリケーションモデルに手動でマッピングする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
envType	必須です。 展開可能な環境タイプ。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • 開発 • 本番 • テスト 注: 展開可能な環境の種類は、作成後に変更できません。 データタイプ：文字列
quantity	必須です。作成する展開可能項目の数。 データタイプ：数値

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result	作成された展開可能項目の sys_id。 データタイプ：アレイ
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、展開可能項目を 1 件作成して既存の CDM アプリケーションに関連付ける方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables/create?envType=Production&appSysId=5e118055b712011054c1e5a6ce11a9d4&quantity=5&autoConnect=true" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

この呼び出しに対して考えられる成功とエラーの両方の応答を以下に示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": [
    "8ba43a3db7d6011054c1e5a6ce11a9a4",
    "93a47a3db7d6011054c1e5a6ce11a90d",
    "dba47a3db7d6011054c1e5a6ce11a91d",
    "6fa47a3db7d6011054c1e5a6ce11a921",
    "efa47a3db7d6011054c1e5a6ce11a925"
  ]
}

// Error response
{
  "error": {
    "message": "Error: CDM Application with SysID
 5e118055b712011054c1e5a6ce11a9d1 was not found.
 (sys_script_include.8cf0fbf453626010a1d3ddeeff7b12fe.script; line 211)",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/deployables/exports

指定されたアプリケーションの現在のスナップショットと 1 つ以上の展開可能項目を CDM エクスポーターキャッシュ [sn_cdm_exporter_cache] テーブルにエクスポートする要求を送信します。

このエンドポイントは要求の一意の識別子を返します。この識別子を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/status エンドポイントを呼び出し、エクスポートのステータスを取得します。エクスポートが完了したら、CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/content エンドポイントを使用して、関連するアプリケーションの構成データを取得できます。

スナップショットは、構成の変更がコミットされた時点での展開可能項目の完全なデータモデルです。これには、含まれているコンポーネント、コレクション、変数、および展開可能項目固有の変数とオーバーライドが含まれます。展開可能項目の詳細については、「展開可能項目の作成と更新」を参照してください。

> **注:** スナップショットは、展開可能項目ごとに 10,000 構成データアイテム (CDI) またはアプリケーションごとに 100,000 CDI を超えることはできません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables/exports`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables/exports`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
additionalDeployables	非プライマリのエクスポートする展開可能項目。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalDeployables": [ { "app_name": "String", "deployable_name": "String" } ]` 例：`[{'app_name':'TestApp', "deployable_name:'DEP-1'}]` デフォルト：空のアレイ - []
additionalDeployables.app_name	*additionalDeployables* アレイが指定されている場合は必須です。構成データをエクスポートする展開可能項目に関連付けられているアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
additionalDeployables.deployable_name	*additionalDeployables* アレイが指定されている場合は必須です。構成データをエクスポートする非プライマリ展開可能項目の名前。 データタイプ：文字列
appName	必須です。構成データをエクスポートするアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
args	カスタム引数のキーと値のペアを含む JSON オブジェクト。 データタイプ：オブジェクト
dataFormat	エクスポートされたデータの出力形式。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • ini • json • properties • raw (データは文字列形式で返されます)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• xml • yaml データタイプ：文字列 デフォルト：json
deployableName	必須です。構成データをエクスポートする展開可能項目の名前。 データタイプ：文字列
exporterName	必須です。スナップショットデータのエクスポートに使用するエクスポーターの名前。エクスポーターは実装者ごとにカスタマイズされます。カスタムエクスポーターの作成の詳細については、「カスタムエクスポーターの作成」を参照してください。 データタイプ：文字列
restrictExport	データのエクスポート時にエンドポイントでスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false：スナップショットを検証しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
snapshotName	エクスポートするスナップショットの名前。*deployableName* または *additionalDeployables.deployable_name* で指定された展開可能項目に関連付けられたスナップショット名の 1 つのみにできます。 デフォルト：エンドポイントは最新の公開済みスナップショットをエクスポートします。公開されたスナップショットがない場合、「展開可能項目 '{0}' の最新の公開スナップショットが見つかりませんでした」というエラーがスローされます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 考えられるエラーメッセージ： • エラー：必要なパラメーター「appName」がありません • エラー：ユーザーにはエクスポート要求を作成するために必要な権限がありません • エラー：無効なブール値 (<xyz>)。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

error	発生したエラーの詳細。
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
export_id	エクスポート要求の一意の識別子。CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/deployables/exports/{export_id}/status エンドポイントを呼び出してエクスポート要求の現在のステータスを確認するときに、この ID を使用します。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エクスポーター = exporter-1-primary_deployable を使用して、アプリケーション名 = TestAppA、展開可能項目名 = DEP の構成データのエクスポートを要求しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/deployables/expo
rts?appName=TestAppA&args=%7B
%22arg_A_required%22%20%3A%20%22value%20A%22%7D&exporterName=exporter-1-p
rimary_deployable&deployableName=DEP1" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

エクスポート要求の一意の識別子を返します。

```
{
  "result": {
    "export_id": "64b5f79f5379301096edddeeff7b12eb"
  }
}
```

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/shared_components

指定された共有コンポーネントを、指定された変更セット内のアプリケーションに関連付けます。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

注: 指定した共有コンポーネントには、関連付けられた公開済みバージョン (スナップショット) が必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/applications/shared_components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/applications/shared_components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須。共有コンポーネントに関連付けるアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
changesetNumber	必須。コンポーネントに関連付けられた変更セットの一意の識別子。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
sharedComponentName	必須。指定されたアプリケーションに関連付ける共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。コンポーネントを作成する共有ライブラリの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。共有ライブラリーには、以下のフィールドが次のように定義されている必要があります。 • ステータス = アクティブ • 利用可能 = true • タイプ = shared_library データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された変更セットが存在しません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

応答フィールドは、要求の *returnFields* パラメーターで指定されたフィールドによって異なります。以下では、いくつかの重要なフィールドについて説明します。

名前	説明

changeset_id	ノードに関連付けられた変更セットレコードの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	CDM ノードの説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	エラーの概要を示すメッセージ。 データタイプ：文字列
linked_to	共有コンポーネントに関連付けられたメインノードの ID。 データタイプ：文字列

linked_to_version	ノードに関連付けられた CDM スナップショットレコードの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"linked_to_version": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

linked_to_version.リンク	*Table* REST API を使用してこのバージョンレコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
linked_to_version.value	バージョンレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
メイン	関連付けられたスナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false：スナップショットが公開されませんでした。
main_id	新しく作成されたメインノードの一意の ID。 データタイプ：文字列
main_id_encoded	新しく作成されたメインノードのエンコードされた ID。 データタイプ：文字列
name	CDM ノードの名前。 データタイプ：文字列
ノード	共有コンポーネントノードのSys_id。 データタイプ：文字列
node_path	共有コンポーネントを追加するときに作成される新しいリンクノードへのパス。 データタイプ：文字列
status	ノードのステータス。 可能な値:新規 データタイプ：文字列
sys_created_by	CDM ノードを作成するユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_created_on	CDM ノードが作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	CDM ノードを最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	CDM ノードが最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
type	ノードタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出して、アプリケーション「App1」を「Chset-20」変更セット内の共有ライブラリ「OracleG-Library-10」の下にある共有コンポーネント「paymentService-V1.1」に関連付ける方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/shared_components?appName=App1&changesetNumber=Chset-20&sharedLibraryName=OracleG-Library-10&sharedComponentName=paymentService-V1.1" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "74b7ff6fc33711100c257e2cc840dd6b",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/74b7ff6fc33711100c257e2cc840dd6b"
    },
    "node_path": "!,0!,1!/D",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2022-12-22 17:07:29",
    "type": "sn_cdm_node_linked_shared_component",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "ff8b37ebc3b711100c257e2cc840ddba",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2022-12-22 17:07:29",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": "210",
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "linked_to_version": {
      "value": "581fc3e9c3b311100c257e2cc840dd17",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_snapshot/581fc3e9c3b311100c257e2cc840dd17"
    },
    "level": "2",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "483",
    "effective_to": null,
    "secure_value": null,
    "node_classifier": "/application/components",
    "main_id_encoded": "/D",
    "name": "LIB2_C",
    "position": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```

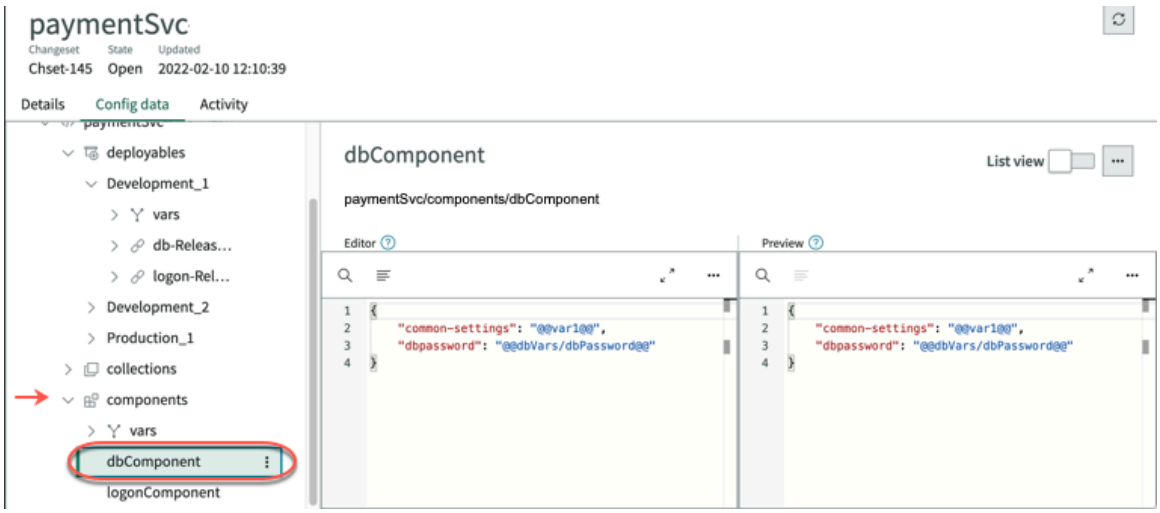
CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/uploads/components

指定されたアプリケーションのシステムコンポーネントフォルダー内の特定のコンポーネント用に渡された構成データをアップロードする要求を送信します。

このエンドポイントにより、アップロード要求の ID が返されます。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。

注: デフォルトのアップロードコンテンツの最大サイズは 2 MB です。このデフォルトを変更するには、プロパティ sn_cdm.max_allowed_upload_file_size を更新します。

次の画像は、ServiceNow DevOps コンフィグ UI を参照してコンポーネントの構成データがアップロードされる例を示しています。コンポーネントが **dbComponent**、アプリケーションが **paymentSvc** であると想定します。



注: このアップロード方法は、ノードの変更には使用できません。別の CdmApplicationsApi - POST sn_cdm/applications/uploads/components/file 方法を使用してノードを変更します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/components`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/uploads/components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoDelete	アップロードコンテンツの一部ではない既存のノードを処理の完了後に削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既存のノードを自動的に削除します。 • false:既存のノードを自動的に削除しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 **注:** このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値： • csv • ini • json • プロパティ • 生 • xml • yaml データタイプ：文字列

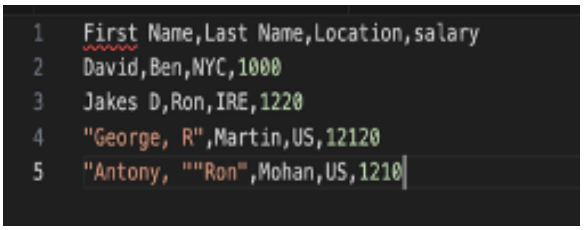
データフォーマット属性	*dataFormat* パラメーターが `csv` に設定されている場合にのみサポートされます。CSV データ形式を定義する属性。詳細については、「での CSV ファイルの解析 CDM 」を参照してください。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"dataFormatAttributes" {`
	`  "containsHeader": Boolean,`
	`  "delimeter": "String"`
	`  "headers": [Array],`
	`  "securedHeaders": [Array]`
	`}`

dataFormatAttributes.containsHeaders	データにヘッダー行が含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true:データにヘッダー行が含まれます。データの最初の行はヘッダー行と見なされます。  • false:データにヘッダー行が含まれていません。*dataFormatAttributes.headers* パラメーターにヘッダー情報を渡す必要があります。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
dataFormatAttributes.delimeter	データ内のフィールドを区切るために使用する文字。 データタイプ：文字列 デフォルト:カンマ ","
dataFormatAttributes.headers	パラメーター*dataFormatAttributes.containsHeaders* `false` の場合は必須です。ヘッダーを構成するデータ内のフィールド。これらのヘッダーは、JSON 形式の CDI のキー名に変換されます。ヘッダーの数は、レコードフィールドの数と一致する必要があります。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
dataFormatAttributes.securedHeaders	CDM にアップロードされたデータで暗号化する必要がある、安全なフィールドであるデータ内のフィールド。セキュリティで保護されたヘッダーの名前は、ヘッダー属性またはデータ ファイル内のヘッダーの名前と一致する必要があります。これらのフィールドは、パスワード (双方向暗号化) タイプの列に格納されます。 **注:** この属性を使用してのみフィールドを保護できます。保護されたフィールドの保護を解除することはできません。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
deleteRedundantOverrides	冗長な値が存在する場合に上書きを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true:冗長な値が存在する場合、上書きは作成されません。 • false:冗長な値が存在する場合、上書きを続行します。 デフォルト：true
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されます。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列

identifierKeys	同じノードを識別するために使用するアレイの子のキーを示す名前のリスト。
	
	たとえば、次のようにアップロードする場合:
	
	`[`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"},`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}`
	`]`
	
	次の既存のモデルで：
	
	`[`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Manila"},`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"}`
	`]`
	
	identifierKeys を `name` に設定すると、次の出力が生成されます。
	
	`[`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"},`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}`
	`]`
	
	それ以外の場合は、次の出力が生成されます。
	
	`[`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Manila"},`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"},`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"},`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}`
	`]`
	
	データタイプ：文字列のアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
ignoreAttributes	指定されたデータ形式が属性 (現在は XML のみ) をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内の属性はアップロード中にスキップされます。 • false:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内のすべての属性がアップロードに含まれます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。削除するコンポーネントが置かれている共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
	アップロードする構成データ。これは、クエリパラメーターの *dataFormat* パラメーターで定義された形式の任意のデータにすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
変数アップロードデータ	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*text/plain* および *application/x-www-form-urlencoded*。 デフォルト： *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーション Demo_App1631126164773 のアップロード要求を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/components?namePath=%2FSettings%2FdbSettings&dataFormat=json&appName=Demo_App1631126164773&changesetNumber=Chset-8&autoCommit=false&publishOption=publish_none&autoValidate=false&autoDelete=true" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "{
  \"dbIPAddress\": \"10.10.10.110\",
  \"dbPort\": \"8080\",
  \"dbConnectionString\": \"admin:admin server1.xyz.com:8080
 dbName_payments\",
  \"dbConnectionStringBackup\": \"admin:admin server2.xyz.com
 dbName_payments_backup\
"}" \
--user 'username':'password'
```

返される次の結果は、この要求の成功応答とエラー応答の両方を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Size of uploaded data:6853632.0(bytes) is greater than
 max allowed upload limit of 2097152.0(bytes)",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi - POST sn_cdm/applications/uploads/components/file

ファイルを構成データモデル (CDM) の一部としてコンポーネントフォルダーにアップロードします。

このメソッドを使用して、コンポーネントファイルノードにアップロードします。

URL 形式

バージョン管理された URL: `POST /api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/components/file`

デフォルト URL: `POST /api/sn_cdm/applications/uploads/components/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されます。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none 注: このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数アップロードデータ	アップロードする構成データ。デフォルトでは、アップロードできるファイルサイズは 5 MB に制限されています。アップロードファイルのサイズと種類を調整する方法については、こちらを参照してください。 Now Support article . データタイプ:文字列/ストリーム

ヘッダー

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*
Content-Type	アップロードするファイルのデータタイプ。サポートされているタイプ: *application/zip*、 *text/plain*、 *application/json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、コンテンツをテキストファイルにアップロードする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/componen
ts/file?autoValidate=true&appName=testApp&namePath=testComponent%2FfilesF
older&fileName=testFileNodeName.txt&publishOption=publish_valid&changeset
Number=Chset-108&autoCommit=true&fileNodeName=testFile.txt" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "This is sample content that will be uploaded to a plain text
 file."\
--user 'username':'password'
```

返される次の結果は、この要求の成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Could not find active application with name: 'testApp' of
 type application",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

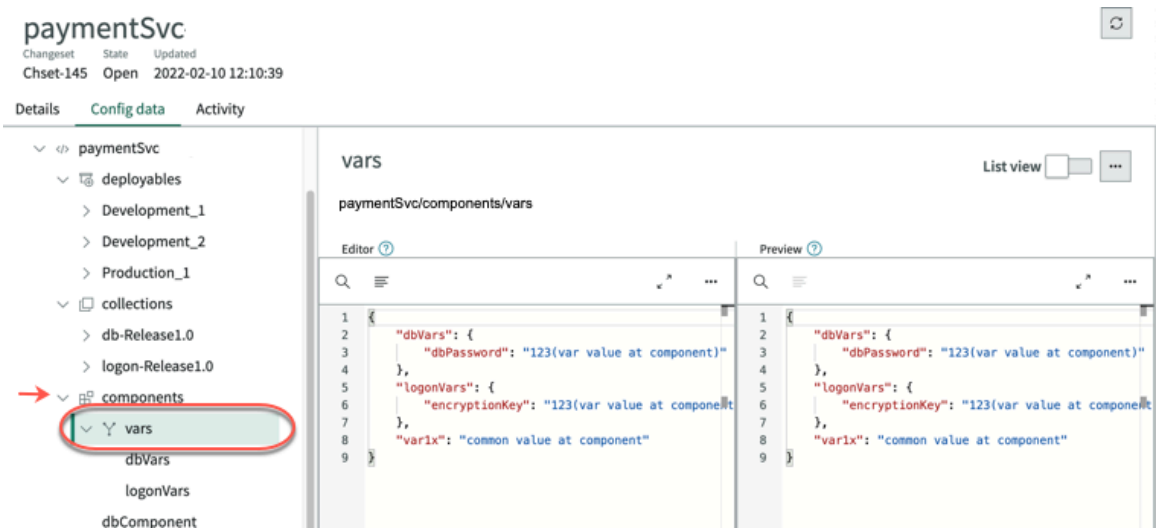
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/uploads/components/vars

指定されたアプリケーションのシステムコンポーネントフォルダー内の vars フォルダーに渡された構成データをアップロードする要求を送信します。

次の画像は、ServiceNow DevOps コンフィグ ワークスペース UI を参照してコンポーネントの vars 構成データがアップロードされる例を示しています。アプリケーションが **paymentSvc** であると想定します。



注: デフォルトのアップロードコンテンツの最大サイズは 2 MB です。このデフォルトを変更するには、プロパティ sn_cdm.max_allowed_upload_file_size を更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/components/vars`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/uploads/components/vars`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoDelete	アップロードコンテンツの一部ではない既存のノードを処理の完了後に削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既存のノードを自動的に削除します。 • false:既存のノードを自動的に削除しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• ini • json • プロパティ • 生 • xml • yaml データタイプ：文字列
deleteRedundantOverrides	冗長な値が存在する場合に上書きを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:冗長な値が存在する場合、上書きは作成されません。 • false:冗長な値が存在する場合、上書きを続行します。 デフォルト：true
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されます。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列

identifierKeys	同じノードを識別するために使用するアレイの子のキーを示す名前のリスト。
	
	たとえば、次のようにアップロードする場合:
	
	`[`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"},`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}`
	`]`
	
	次の既存のモデルで：
	
	`[`
	`  {"name" : "Karen, "city" : "Manila"},`
	`  {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"}`
	`]`
	
	identifierKeys を `name` に設定すると、次の出力が生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	[{"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}, {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}] それ以外の場合は、次の出力が生成されます。 [{"name" : "Karen, "city" : "Manila"}, {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"}, {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}, {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}] データタイプ：文字列のアレイ
ignoreAttributes	指定されたデータ形式が属性 (現在は XML のみ) をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内の属性はアップロード中にスキップされます。 • false:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内のすべての属性がアップロードに含まれます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。削除するコンポーネントが置かれている共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数アップロードデータ	アップロードする構成データ。これは、クエリパラメーターの *dataFormat* パラメーターで定義された形式の任意のデータにすることができます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*text/plain* および *application/x-www-form-urlencoded*。 デフォルト： *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーション Demo_App1631126164773 の vars アップロード要求を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/components/vars?changesetNumber=Chset-102&autoValidate=false&autoDelete=true&publ
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ishOption=publish_none&appName=Demo_App1631126164773&namePath=%2FSetti
ngs%2FdbSettings&autoCommit=false&dataFormat=json" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "{
  \"dbSettings\": {
    \"dbIPAddress\": \"10.10.10.110\",
    \"dbPort\": \"8080\",
    \"dbConnectionString\": \"username:password server1.xyz.com:8080
 dbName_payments\",
    \"dbConnectionStringBackup\": \"username:password server2.xyz.com
 dbName_payments_backup\"
  }
}"
--user 'username':'password'
```

返される次の結果は、この要求の成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "d21f71f45322301096eccceaff7b1ce3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Size of uploaded data:6853632.0(bytes) is greater than
 max allowed upload limit of 2097152.0(bytes)",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/uploads/collections

指定されたアプリケーションのシステムコレクションフォルダー内にある特定のコレクション用に渡された構成データをアップロードする要求を送信します。

このエンドポイントにより、アップロード要求の ID が返されます。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。

> **注:** デフォルトのアップロードコンテンツの最大サイズは 2 MB です。このデフォルトを変更するには、プロパティ sn_cdm.max_allowed_upload_file_size を更新します。

次の画像は、ServiceNow DevOps コンフィグ ワークスペース UI を参照して構成データがアップロードされる例を示しています。コレクションが **db0Release1.0**、アプリケーションが **paymentSvc** であると想定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このアップロード方法は、ノードの変更には使用できません。別の CdmApplicationsApi:/sn_cdm/applications/uploads/collections/file を POST 方法を使用してノードを変更します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/collections`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/uploads/collections`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoDelete	アップロードコンテンツの一部ではない既存のノードを処理の完了後に削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既存のノードを自動的に削除します。 • false:既存のノードを自動的に削除しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
collectionName	必須です。アップロードされたペイロードを保存するコレクションの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

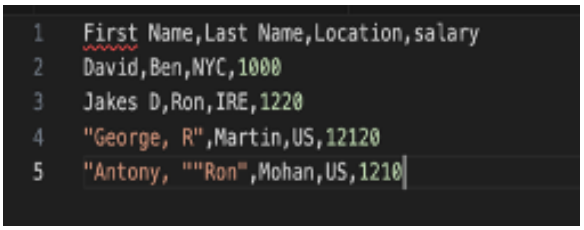
クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: 指定された *namePath* がこのコレクションに存在しない場合、システムは自動的にこのコレクションの下にコンポーネントを作成し、構成コンテンツをアップロードします。たとえば、コレクション `collA` をパス `compA/comp/compC` でアップロードする場合、データは `/collA/collections/compa/compB/compC` の下にアップロードされます。 `compA` が存在するが、`compB` および `compC` がない場合、エンドポイントはこれらのコンポーネントを作成し、データを `compC` の下にアップロードします。 データタイプ：文字列
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値： • csv • ini • json • プロパティ • 生 • xml • yaml データタイプ：文字列
データフォーマット属性	*dataFormat* パラメーターが `csv` に設定されている場合にのみサポートされます。CSV データ形式を定義する属性。詳細については、「での CSV ファイルの解析 CDM 」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト `"dataFormatAttributes" { "containsHeader": Boolean, "delimeter": "String" "headers": [Array], "securedHeaders": [Array] }`
dataFormatAttributes.containsHeaders	データにヘッダー行が含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true:データにヘッダー行が含まれます。データの最初の行はヘッダー行と見なされます。  • false:データにヘッダー行が含まれていません。*dataFormatAttributes.headers* パラメーターにヘッダー情報を渡す必要があります。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
dataFormatAttributes.delimeter	データ内のフィールドを区切るために使用する文字。 データタイプ：文字列 デフォルト:カンマ ","
dataFormatAttributes.headers	パラメーター*dataFormatAttributes.containsHeaders* `false` の場合は必須です。ヘッダーを構成するデータ内のフィールド。これらのヘッダーは、JSON 形式の CDI のキー名に変換されます。ヘッダーの数は、レコードフィールドの数と一致する必要があります。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
dataFormatAttributes.securedHeaders	CDM にアップロードされたデータで暗号化する必要がある、安全なフィールドであるデータ内のフィールド。セキュリティで保護されたヘッダーの名前は、ヘッダー属性またはデータ ファイル内のヘッダーの名前と一致する必要があります。これらのフィールドは、パスワード (双方向暗号化) タイプの列に格納されます。 **注:** この属性を使用してのみフィールドを保護できます。保護されたフィールドの保護を解除することはできません。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
deleteRedundantOverrides	冗長な値が存在する場合に上書きを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true:冗長な値が存在する場合、上書きは作成されません。 • false:冗長な値が存在する場合、上書きを続行します。 デフォルト：true
ignoreAttributes	指定されたデータ形式が属性 (現在は XML のみ) をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内の属性はアップロード中にスキップされます。 • false:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内のすべての属性がアップロードに含まれます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
	アップロードする構成データ。これは、クエリパラメーターの *dataFormat* パラメーターで定義された形式の任意のデータにすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
変数アップロードデータ	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*text/plain* および *application/x-www-form-urlencoded*。 デフォルト： *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例は、JSON 形式の *dbSettings* 構成日付を、アプリケーション Demo_App1631126164773 のコレクションフォルダーにアップロードする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/collecti
ons?dataFormat=json&autoValidate=false&changesetNumber=Chset-102&appName=
Demo_App1631126164773&autoDelete=true&namePath=%2FSettings%2FdbSettings&c
ollectionName=release-1.0&autoCommit=false&publishOption=publish_none" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "{
  \"dbSettings\": {
    \"dbIPAddress\": \"10.10.10.110\",
    \"dbPort\": \"8080\",
    \"dbConnectionString\": \"admin:admin server1.xyz.com:8080
 dbName_payments\",
    \"dbConnectionStringBackup\": \"admin:admin server2.xyz.com
 dbName_payments_backup\"
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この呼び出しに対して考えられる成功とエラーの両方の応答を以下に示します。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Size of uploaded data:6853632.0(bytes) is greater than
 max allowed upload limit of 2097152.0(bytes)",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi:/sn_cdm/applications/uploads/collections/file を POST

構成データモデル (CDM) のコレクションフォルダーにファイルをアップロードします。

URL 形式

バージョン管理された URL: `POST /api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/collections/file`

デフォルト URL: `POST /api/sn_cdm/applications/uploads/collections/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
collectionName	必須です。アップロードされたペイロードを保存するコレクションの名前。 注: 指定された `namePath` がこのコレクションの下に存在しない場合、システムはこのコレクションの下にコンポーネントを自動的に作成し、構成コンテンツをアップロードします。たとえば、コレクション `collA` をパス `compA/comp/compC` でアップロードする場合、データは `/collA/collections/compa/compB/compC` の下にアップロードされます。`compA` が存在するが、`compB` および `compC` がない場合、エンドポイントはこれらのコンポーネントを作成し、データを `compC` の下にアップロードします。 データタイプ：文字列
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されます。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` **注:** ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` **注:** 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none **注:** このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数 アップロード データ	アップロードする構成データ。デフォルトでは、アップロードできるファイルサイズは 5 MB に制限されています。アップロードファイルのサイズと種類を調整する方法については、こちらを参照してください。 Now Support article . データタイプ:文字列/ストリーム

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヘッダー

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	アップロードするファイルのコンテンツタイプ。例:application/zip、text/plain、application/json。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の呼び出しは、プレーンテキストファイルを CDM コレクションフォルダーにアップロードします。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/collecti
ons/file?autoValidate=true&collectionName=collA&appName=testApp&namePath=
testComponent%2FfilesFolder&fileName=testFileNodeName.txt&publishOption=p
ublish_valid&changesetNumber=Chset-108&autoCommit=true&fileNodeName=testF
ile.txt" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "This is sample content that will be uploaded to a plain text
 file."\
--user 'username':'password'
```

次の戻り値は、この要求に対する成功とエラーの両方の応答を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Could not find active application with name: 'testApp' of
 type application",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CdmApplicationsApi - POST /sn_cdm/applications/uploads/deployables

指定されたアプリケーションの展開可能項目システムフォルダー内にある特定の展開可能項目の構成コンテンツをアップロードする要求を送信します。

このエンドポイントにより、アップロード要求の ID が返されます。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。

注: デフォルトのアップロードコンテンツの最大サイズは 2 MB です。このデフォルトを変更するには、プロパティ sn_cdm.max_allowed_upload_file_size を更新します。

次の画像は、ServiceNow DevOps コンフィグ UI を参照して展開可能項目の構成データがアップロードされる例を示しています。展開可能項目が **Development_1**、アプリケーションが **paymentSvc** であると想定します。

注: このアップロード方法は、ノードの変更には使用できません。別の CdmApplicationsApi:POST /sn_cdm/applications/uploads/deployables/file 方法を使用してノードを変更します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/uploads/deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

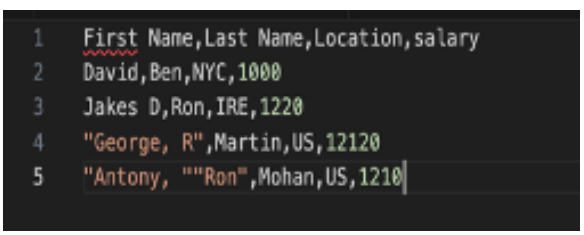
クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoDelete	アップロードコンテンツの一部ではない既存のノードを処理の完了後に削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既存のノードを自動的に削除します。 • false:既存のノードを自動的に削除しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値： • csv • ini • json • プロパティ • 生 • xml • yaml データタイプ：文字列
データフォーマット属性	*dataFormat* パラメーターが `csv` に設定されている場合にのみサポートされます。CSV データ形式を定義する属性。詳細については、「での CSV ファイルの解析 CDM 」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト `"dataFormatAttributes" { "containsHeader": Boolean, "delimeter": "String" "headers": [Array], "securedHeaders": [Array] }`
dataFormatAttributes.containsHeaders	データにヘッダー行が含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:データにヘッダー行が含まれます。データの最初の行はヘッダー行と見なされます。  • false:データにヘッダー行が含まれていません。*dataFormatAttributes.headers* パラメーターにヘッダー情報を渡す必要があります。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
dataFormatAttributes.delimeter	データ内のフィールドを区切るために使用する文字。 データタイプ：文字列 デフォルト:カンマ ","
dataFormatAttributes.headers	パラメーター*dataFormatAttributes.containsHeaders* `false` の場合は必須です。ヘッダーを構成するデータ内のフィールド。これらのヘッダーは、JSON 形式の CDI のキー名に変換されます。ヘッダーの数は、レコードフィールドの数と一致する必要があります。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
dataFormatAttributes.securedHeaders	CDM にアップロードされたデータで暗号化する必要がある、安全なフィールドであるデータ内のフィールド。セキュリティで保護されたヘッダーの名前は、ヘッダー属性またはデータ ファイル内のヘッダーの名前と一致する必要があります。これらのフィールドは、パスワード (双方向暗号化) タイプの列に格納されます。 **注:** この属性を使用してのみフィールドを保護できます。保護されたフィールドの保護を解除することはできません。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ
deleteRedundantOverrides	冗長な値が存在する場合に上書きを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:冗長な値が存在する場合、上書きは作成されません。 • false:冗長な値が存在する場合、上書きを続行します。 デフォルト：true
deployableName	必須です。アップロードされたペイロードを保存する展開可能項目の名前。 **注:** 指定された *namePath* がこの展開可能項目の下に存在しない場合、システムはこの展開可能項目の下にコンポーネントを自動的に作成し、構成コンテンツをアップロードします。
identifierKeys	同じノードを識別するために使用するアレイの子のキーを示す名前のリスト。 たとえば、次のようにアップロードする場合:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明

	<pre>[
	  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"},
	  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}
	]</pre>
	次の既存のモデルで：
	<pre>[
	  {"name" : "Karen, "city" : "Manila"},
	  {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"}
	]</pre>
	identifierKeys を `name` に設定すると、次の出力が生成されます。
	<pre>[
	  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"},
	  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}
	]</pre>
	それ以外の場合は、次の出力が生成されます。
	<pre>[
	  {"name" : "Karen, "city" : "Manila"},
	  {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"},
	  {"name" : "Allan, "city" : "Paris"},
	  {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}
	]</pre>
	データタイプ：文字列のアレイ

ignoreAttributes	指定されたデータ形式が属性 (現在は XML のみ) をサポートしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内の属性はアップロード中にスキップされます。 • false:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内のすべての属性がアップロードに含まれます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` **注:** ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` **注:** 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none **注:** このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数アップロードデータ	アップロードする構成データ。これは、クエリパラメーターの *dataFormat* パラメーターで定義された形式の任意のデータにすることができます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*text/plain* および *application/x-www-form-urlencoded*。 デフォルト： *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーション Demo_App1631126164773 のアップロード要求を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/deployab
les?deployableName=TST-1&autoValidate=false&dataFormat=json&autoDelete=fa
lse&changesetNumber=Chset-102&appName=Demo_App1631126164773&publishOption
=publish_none&autoCommit=true&namePath=%2FSettings%2FdbSettings" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "{
  \"dbIPAddress\": \"10.10.10.110\",
  \"dbPort\": \"8080\",
  \"dbConnectionString\": \"admin:admin server1.xyz.com:8080
 dbName_payments\",
  \"dbConnectionStringBackup\": \"admin:admin server2.xyz.com
 dbName_payments_backup\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される次の結果は、この要求の成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Size of uploaded data:6853632.0(bytes) is greater than
 max allowed upload limit of 2097152.0(bytes)",
    "detail": ""
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi:POST /sn_cdm/applications/uploads/deployables/file

構成データモデル (CDM) の展開可能項目フォルダーにファイルをアップロードします。

URL 形式

バージョニングされた URL: `POST /api/sn_cdm/{api_version}/applications/uploads/deployables/file`

デフォルト URL: `POST /api/sn_cdm/applications/uploads/deployables/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	構成データに関連付けられるアプリケーションの名前。このアプリケーションはアクティブステータスである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注：このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
deployableName	必須です。ポリシーをマッピングする CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されます。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none 注: このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数アップロードデータ	アップロードする構成データ。デフォルトでは、アップロードできるファイルサイズは 5 MB に制限されています。アップロードファイルのサイズと種類を調整する方法については、こちらを参照してください。 Now Support article . データタイプ:文字列/ストリーム

ヘッダー

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	アップロードするファイルのデータタイプ。サポートされているタイプ: *application/zip*、 *text/plain*、 *application/json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の要求は、CDM アプリケーションの展開可能フォルダーにプレーンテキストファイルをアップロードします。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/applications/uploads/deployables/file?autoValidate=true&deployableName=depA&appName=testApp&namePath=testComponent%2FfilesFolder&fileName=testFileNodeName.txt&publishOption=publish_valid&changesetNumber=Chset-108&autoCommit=true&fileNodeName=testFile.txt" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "This is sample content that will be uploaded to a plain text
 file."\
--user 'username':'password'
```

次の戻り値は、この要求に対する成功とエラーの両方の応答を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
    "message": "Could not find active application with name: 'testApp' of
 type application",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmApplicationsApi:PUT /sn_cdm/applications/deployables

指定された変更セット内のアプリケーション内の指定された共有コンポーネントを更新します。

次のフィールドを更新できます。

- 名前
- 説明
- アプリケーションサービス\ダイナミック CI グループ
- 展開可能項目の識別子

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/applications/deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/applications/deployables`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプション。アクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、v1 や v2。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須。CDM アプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
name	必須。展開可能な CDM の名前。 データタイプ：文字列
新しい説明	オプション。展開可能な CDM の説明。 データタイプ：文字列
newServiceId	オプション。目的のアプリケーションサービス/ダイナミック CI グループの ID。cURL 要求で、展開可能項目をサービスから切断するための「」を指定します。
新しい識別子	オプション。展開可能項目の識別子。 データタイプ:選択肢 (開発/テスト/本番)
newName	オプション。展開可能項目の新しい名前。 データタイプ：文字列
returnFields	オプション。応答の一部として返されるフィールドのカンマ区切りリスト。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされているタイプ:application/json

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
sys_id	CDM 展開可能sys_Id。
name	展開可能な CDM の名前。
ノード	展開可能ノードオブジェクト。 `{ '値': '<sysId>', 'リンク': 'http://localhost:8081/api/now/table/*'}`
説明	CDM 展開可能の説明。
識別子	展開可能項目の識別子。
cmdb_ci	展開可能項目に接続されているアプリサービスオブジェクト。 `{ '値': '<sysId>', 'リンク': 'http://localhost:8081/api/now/table/*'}`
cmdb_app	CDM アプリケーションオブジェクト。 `{ '値': '<sysId>', 'リンク': 'http://localhost:8081/api/now/table/*'}`
snapshot_version_counter	展開可能項目に対して作成されたスナップショットの数。
cdi_count	この CDM 展開可能項目に含まれる CDI の数。
cdi_usage	CDI 使用率。
environment_type	環境タイプ。可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 発達 • 本番 • テスト
state	アクティブまたは削除済みステータス . 可能な値： • active • 削除済み
sys_created_by	<username> によって作成された CDM 展開可能項目。
sys_created_on	<yyyy-MM-dd hh:mm:ss> 形式の CDM 展開可能項目の作成タイムスタンプ。
sys_updated_by	CDM 展開可能項目は <username> によって更新されました。
sys_updated_on	CDM 展開可能項目は、<yyyy-MM-dd hh:mm:ss> の形式のタイムスタンプによって更新されました。

Example: cURL 要求

```
curl
 "http://localhost:8080/api/sn_cdm/applications/deployables?appName=testA
pp&name=Dep-1" \
--request PUT\
--header "Accept:application/json" \
--user 'cdm_admin':'password1!'
```

出力:

```
{
  "result": {
    "identifier": "identiy1",
    "cmdb_ci": {
      "value": "f5b9e00b53901110a1d3ddeeff7b12b8",
      "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/cmdb_ci_service_auto/f5b9e00b53
901110a1d3ddeeff7b12b8"
    },
    "cdi_count": "3",
    "snapshot_version_counter": "1",
    "description": "cdcds",
    "sys_updated_on": "2022-07-27 13:40:13",
    "environment_type": "Test",
    "node": {
      "value": "30c00d4053015110a1d3ddeeff7b12bf",
      "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/sn_cdm_node/30c00d4053015110a1d
3ddeeff7b12bf"
    },
    "sys_id": "39b9e00b53901110a1d3ddeeff7b12b7",
    "sys_updated_by": "admin",
    "cdm_app": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
      "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a953b7
0110a1d3ddeeff7b128c"
    },
    "sys_created_on": "2022-06-29 12:53:57",
    "cdi_usage": "0.03",
    "name": "Dep-2",
    "state": "active",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


CdmApplicationsApi - /sn_cdm/applications/shared_components を PUT

指定された変更セット内のアプリケーション内の指定された共有コンポーネントを更新します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/applications/shared_components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/applications/shared_components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。コンポーネントに関連付けられた変更セットの一意の識別子。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
sharedComponentName	必須。指定されたアプリケーションに関連付けられた共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。コンポーネントが存在する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。共有ライブラリーには、以下のフィールドが次のように定義されている必要があります。 • ステータス = アクティブ • 利用可能 = true • タイプ = shared_library データタイプ：文字列
version	必須。共有コンポーネントに関連付けられたバージョン名。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された変更セットが存在しません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

応答フィールドは、要求の *returnFields* パラメーターで指定されたフィールドによって異なります。以下では、いくつかの重要なフィールドについて説明します。

名前	説明

changeset_id	ノードに関連付けられた変更セットレコードの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	CDM ノードの説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	エラーの概要を示すメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
linked_to	共有コンポーネントに関連付けられたメインノードの ID。 データタイプ：文字列

linked_to_version	ノードに関連付けられた CDM スナップショットレコードの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"linked_to_version": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

linked_to_version.リンク	*Table* REST API を使用してこのバージョンレコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
linked_to_version.value	バージョンレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
メイン	関連付けられたスナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false：スナップショットが公開されませんでした。
main_id	新しく作成されたメインノードの一意の ID。 データタイプ：文字列
main_id_encoded	新しく作成されたメインノードのエンコードされた ID。 データタイプ：文字列
name	CDM ノードの名前。 データタイプ：文字列
ノード	共有コンポーネントノードのSys_id。 データタイプ：文字列
node_path	共有コンポーネントを追加するときに作成される新しいリンクノードへのパス。 データタイプ：文字列
status	ノードのステータス。 可能な値:新規 データタイプ：文字列
sys_created_by	CDM ノードを作成するユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_created_on	CDM ノードが作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	CDM ノードを最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	CDM ノードが最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
type	ノードタイプ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出して、変更セット「Chset-20」内の共有ライブラリ「OracleG-Library-10」の下にある共有コンポーネント「paymentService-V1.1」でアプリケーション「App1」を更新する方法を示しています。

```
"https://instance-name.service-now.com/api/sn_cdm/applications/shared_com
ponents?sharedComponentName=paymentService-V1.1&sharedLibraryName=Oracl
eG-Library-10&changesetNumber=Chset-20&versionName=sComp3-v2.shc&appName=
App1" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
"result": {
  "changeset_id": {
    "value": "7343d0f71b771110636e0fe0604bcb0b",
    "link":
 "https://instance-name.service-now.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/73
43d0f71b771110636e0fe0604bcb0b"
  },
  "node_path": "!2!3!&`",
  "description": null,
  "sys_updated_on": "2022-12-22 18:52:38",
  "type": "sn_cdm_node_linked_shared_component",
  "sys_class_name": "sn_cdm_node",
  "sys_id": "339314b71b771110636e0fe0604bcba3",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "sys_updated_by": "admin",
  "previous_version": {
    "value": "a9ce80bf1b371110636e0fe0604bcb10",
    "link":
 "https://instance-name.service-now.com/api/now/table/sn_cdm_node/a9ce80b
f1b371110636e0fe0604bcb10"
  },
  "sys_created_on": "2022-12-22 18:52:38",
  "value": null,
  "effective_from": null,
  "linked_to": "146",
  "sys_created_by": "admin",
  "restricted_to": null,
  "linked_to_version": {
    "value": "54115c371b771110636e0fe0604bcb77",
    "link":
 "https://instance-name.service-now.com/api/now/table/sn_cdm_snapshot/541
15c371b771110636e0fe0604bcb77"
  },
  "level": "2",
  "conflict_type": null,
  "main_id": "166",
  "effective_to": null,
  "secure_value": null,
  "node_classifier": "/application/components",
  "main_id_encoded": "&`",
  "name": "Component_A",
  "position": null,
  "reason_for_conflict": null,
  "system_folder": false,
  "status": "updated",
  "conflict": false
}
```


自動翻訳

CdmChangesetsApi

CdmChangesetsApi は、変更セットの管理を可能にするエンドポイントを提供します。

これらのエンドポイントを使用して、次のことができます。

- 新しい変更セットの作成
- 変更セットの展開
- 変更セットのリストまたは個々の変更セットの取得
- 変更セット内のノード変更の取得
- 変更セットの影響を受けるアプリケーションまたは展開可能項目のリストの取得
- 変更セットの削除
- 指定された変更セットに関連付けられている共有コンポーネントのリストを返します。

変更セット作成のエンドポイントでは、非同期キュー実装を使用します。このタイプの実装では、最初に変更セット作成要求エンドポイントを呼び出します。このエンドポイントは要求をキューに入れ、コミット識別子を返します。次に、このコミット識別子を使用して適切なステータスエンドポイントを呼び出して、作成要求のステータスを取得します。

この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL (sn_cdm.cdm.viewer)
- スクリプト化された REST CDM エディター ACL (sn_cdm.cdm_editor)

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

変更セットの詳細については、「CDM の変更セットとバージョン管理」を参照してください。

CdmChangesetsApi - DELETE /sn_cdm/changesets

指定された変更セットを削除します。

このエンドポイントにアクセスするには、呼び出し元に CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

次のコード例は、変更セットを削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets?changesetNumber=Ch
set-760" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

変更セットが正常に削除された場合、HTTP ステータスコード以外の応答は返されません。

```
None - results defined by the HTTP status code
```

CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets

構成データ管理 (CDM) アプリケーションまたは指定された変更セットレコードに関連付けられたすべての変更セットを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。変更セットを返す CDM アプリケーションの名前。これはアクティブなアプリケーションである必要があります。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
number	変更セット番号。CDMChangeset [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 この値を渡すと、指定された変更セットのみが返されます。*appName* パラメーターで指定された CDM アプリケーションに関連付けられている変更セットである必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし - CDM アプリケーションに関連付けられたすべての変更セット、または *state* パラメーターで指定された変更セットを返します。
state	返す変更セットのステータス。指定されたステータスの指定された CDM アプリケーションに関連付けられた変更セットのみを返します。 有効な値： • ブロック済み • 競合をチェックしています • コミットに失敗しました • コミット進行中 • コミット済み • オープン データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのステータスのすべての変更セットを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
auto_validate	コミット時に作成された変更セットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットを検証します。 • false：変更セットを検証しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
cdm_application	変更セットに関連付けられた CDM アプリケーションの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"cdm_application": { "link": "String", "value": "String" }`
cdm_application.link	関連付けられた CDM アプリケーションを取得するためのテーブル REST エンドポイントの呼び出しに使用するクエリ。 データタイプ：文字列
cdm_application.value	関連付けられた CDM アプリケーションの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
committed_at	変更セットが最後にコミットされた日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss
committed_by	変更セットをコミットしたユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"committed_by": { "link": "String", "value": "String" }`
committed_by.link	REST テーブル API を使用して変更セットをコミットしたユーザーのレコードを取得するための呼び出し。 データタイプ：文字列
committed_by.value	変更セットをコミットしたユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
説明	変更セットの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_conflict_detection_time	前回の競合検出が実行されてからの時間数。変更セットがコミットされるたびに、競合の検出が実行されます。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
last_updated	この変更セットを介して関連付けられた構成データが変更された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
number	一意の変更セット番号。 データタイプ：文字列
publish_option	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none
state	変更セットの現在のステータス。 可能な値： • ブロック済み • 競合をチェックしています • コミットに失敗しました • コミット進行中 • コミット済み • オープン データタイプ：文字列
sys_created_by	変更セットを作成したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_created_on	変更セットが作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	変更セットの sys_id。CDMChangeset [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	変更セットを最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	変更セットが最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
title	変更セットのタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、特定の変更セットを取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets?appName=testApp&ch
angesetNumber=Chset-946&state=committed" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "description": "Auto generated for deletion of CDM Deployable
 Dep-12022-06-29 13:09:46",
      "cdm_application": {
        "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a
953b70110a1d3ddeeff7b128c"
      },
      "sys_updated_on": "2022-06-29 13:09:47",
      "title": "Auto generated for deletion of CDM Deployable
 Dep-12022-06-29 13:09:46",
      "number": "Chset-946",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sys_id": "955d6c0f53141110a1d3ddeeff7b1233",
      "sys_updated_by": "admin",
      "committed_at": "2022-06-29 13:09:46",
      "sys_created_on": "2022-06-29 13:09:46",
      "committed_by": {
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a801640
1c5a33be04be441"
      },
      "state": "committed",
      "auto_validate": true,
      "publish_option": "publish_none",
      "last_conflict_detection_time": "1656508187450",
      "sys_created_by": "admin",
      "last_updated": "2022-06-29 13:09:46"
    }
  ]
}
```


CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets

指定された変更セット内のノード変更を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/activity`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/activity`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

changeset_id	要求された変更セットの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
changeset_id.link	関連付けられた変更セットを取得するためのテーブル REST エンドポイントの呼び出しに使用するクエリ。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	関連付けられた変更セットの sys_id。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict	関連付けられた変更セットに競合があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：競合が検出されました。 • false：競合は見つかりませんでした。 データタイプ：ブーリアン
created	ノードが作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
created_by	ノードを作成するユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
name_path	ノードパス名。 データタイプ：文字列
new_name	ノードの現在の名前。 データタイプ：文字列
new_value	ノードの現在の値。リーフノードとアレイリテラルに使用します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
old_name	ノードの以前の名前。 データタイプ：文字列
old_value	ノードの以前の値。リーフノードとアレイリテラルに使用します。 データタイプ：文字列
updated	ノードが最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
updated_by	ノードを最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
secure	関連付けられたリーフノードがセキュリティ保護されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ノードはセキュリティ保護されています。 • false：ノードはセキュリティ保護されていません。 データタイプ：ブーリアン
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、特定の変更セットのノード変更を取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/activity?changeset
Number=Chset-783" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
      "sys_id": "ed5d6c0f53141110a1d3ddeeff7b1233",
      "changeset_id": "955d6c0f53141110a1d3ddeeff7b1233",
      "new_value": null,
      "new_state": "Deleted",
      "new_name": "Dep-1",
      "new_type": "Deployable",
      "new_encrypted": false,
      "updated_on": "2022-06-29 13:09:46",
      "updated_by": "admin",
      "resolution_method": "",
      "conflict": null,
      "path": "deployables/Dep-1",
      "created_by": null,
      "created_on": null,
      "old_value": null,
      "old_state": "Superseded",
      "old_name": "Dep-1",
      "old_type": "Deployable",
      "old_encrypted": false
    }
]
}
```


CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id}

指定された変更セットのコミット要求の現在のステータスを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/commit-status/{commit_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
commit_id	ステータスを返すコミット要求の sys_id。この値は CdmChangesetsApi - POST /sn_cdm/changesets/{changeset_id}/commit エンドポイントによって返されます。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
commit_id	要求レコード sys_id をコミットします。エンドポイントに渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
errors	アップロード中に発生したエラーの説明。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
output	アップロードされたデータの説明、または発生したエラーを説明するエラーメッセージ (アップロード中にエラーが発生した場合)。 データタイプ：オブジェクト `"output": { "auto_validate": "String", "cdm_application": "String", "committed_at": "String", "committed_by": "String", "description": "String", "last_conflict_detection_time": "String", "number": "String", "publish_option": "String", "snapshot_description": "String", "snapshot_name": "String", "state": "String", "sys_created_by": "String", "sys_id": "String", "title": "String" }`
output.auto_validate	コミット後に検証を呼び出すかどうかを示します。 データタイプ：文字列
output.cdm_application	アップロードが実行されたアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
output.committed_at	アップロードされたコンテンツがコミットされた日時。 データタイプ：文字列
output.committed_by	コミットを実行したエンティティのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.description	現在使用されていません。 データタイプ：文字列
output.last_conflict_detection_time	日時の競合検出の発動。 データタイプ：文字列
output.number	変更セットの一意の番号。 データタイプ：文字列
output.publish_option	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none
output.snapshot_description	関連付けられたスナップショットの説明。 データタイプ：文字列
output.snapshot_name	関連付けられたスナップショットの名前。 データタイプ：文字列
output.state	アップロードコンテンツのステータス。 可能な値： • committed • completed • error • in_progress • new • ready データタイプ：文字列
output.sys_created_by	レコードを作成したエンティティの sys_id。 データタイプ：文字列
output.sys_id	変更セットを含むレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.title	アップロードの一部として作成された変更セットのタイトル。 データタイプ：文字列
processing_state	コミット要求の現在の処理ステータス。 可能な値： • NOT_PROCREED • PROCESSED

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
request_id	要求 ID。エンドポイントと *commit_id* に渡されるものと同じです。 データタイプ：文字列
state	指定されたコミットの現在のステータス。CDM 要求キュー [sn_cdm_request_queue] テーブルのステータス列の値。 可能な値： • completed • error • in_progress • new • ready データタイプ：文字列
type	要求のタイプ。 可能な値： • commit • export • upload_and_commit データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出して、指定されたコミットのステータスを取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/commit-status/bf50
6e69537c3010a1d3ddeeff7b12c0"\
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

成功応答とエラー応答の例を次に示します。

```
// Successful response

{
  "result": {
    "type": "commit",
    "state": "completed",
    "output": {
      "sys_id": "4a4407e953124110da35ddeeff7b1235",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "number": "Chset-1207",
      "title": "admin064407e953124110da35ddeeff7b1235",
      "description": "A description of my changeset provided during
 creation",
      "committed_at": "2022-03-17 22:19:33",
      "committed_by": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "sys_created_by": "admin",
      "state": "committed",
      "publish_option": "publish_none",
      "auto_validate": false,
      "snapshot_name": null,
      "snapshot_description": null,
      "cdm_application": "DemoApp",
      "last_conflict_detection_time": null
    },
    "processing_state": "PROCESSED",
    "commit_id": "9cd583e953124110da35ddeeff7b128a"
  }
}



// Example of an error response

{
  "result": {
    "state": "error",
    "errors": "Invalid requestId '9cd583e953124110da35ddeeff7b128'",
    "commit_id": "9cd583e953124110da35ddeeff7b128"
  }
}
```

自動翻訳

CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/impacted-deployables

指定された変更セットに関連付けられている展開可能項目のリストを返します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM ビューアーロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/impacted-deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/impacted-deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
cdi_count	関連する CDM アプリケーションに含まれる構成データアイテム (CDI) の数。 データタイプ：整数
cdi_usage	展開可能項目によって使用される CDI の割合。 データタイプ：整数

cdm_app	展開可能項目に関連付けられた CDM アプリケーションオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_app": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_app.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_app.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

cdm_ci	展開可能項目に関連付けられたアプリケーションサービスオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_ci": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_ci.link	REST テーブル API を使用してアプリケーションサービスにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_ci.value	関連付けられたアプリケーションサービスレコードの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
説明	生成された CDM 展開可能項目の説明。 データタイプ：文字列
environment_type	展開可能な環境タイプ。 可能な値： • 開発 • 本番 • テスト データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
name	CDM 展開可能項目の名前。 データタイプ：文字列
node	展開可能ノードについての詳細。 データタイプ：オブジェクト `"node": { "link": "String", "value": "String" }`
node.link	REST テーブル API を使用して展開可能ノードレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
node.value	展開可能ノードレコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
snapshot_version_counter	展開可能項目に対して作成されたスナップショットの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：整数
state	展開可能項目の現在のステータス。 可能な値： • active • deleted データタイプ：文字列
sys_created_by	CDM 展開可能項目を作成したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_created_on	CDM 展開可能項目が作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	作成された展開可能項目の sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	CDM 展開可能項目を最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	CDM 展開可能項目が最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、指定された変更セットの影響を受ける展開可能項目を取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/impacted-deployables?changesetNumber=Chset-783" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "cmdb_ci": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": "75c5d7a953b70110a1d3ddeeff7b12a2",
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci_service_auto/75c5d
7a953b70110a1d3ddeeff7b12a2"
      },
      "cdi_count": "2",
      "snapshot_version_counter": "3",
      "description": null,
      "sys_updated_on": "2022-06-29 16:19:05",
      "environment_type": "Development",
      "node": {
        "value": "a1c517a953b70110a1d3ddeeff7b129b",
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_node/a1c517a953b701
10a1d3ddeeff7b129b"
      },
      "sys_id": "6dc517a953b70110a1d3ddeeff7b129b",
      "sys_updated_by": "admin",
      "cdm_app": {
        "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a
953b70110a1d3ddeeff7b128c"
      },
      "sys_created_on": "2022-05-31 13:03:23",
      "cdi_usage": "0.02",
      "name": "Development_1",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "admin"
    }
  ]
}
```


CdmChangesetsApi:/sn_cdm/changesets/impacted-shared-components を取得

指定された変更セットに関連付けられている共有コンポーネントのリストを返します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM ビューアーロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/impacted-shared-components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/changesets/impacted-shared-components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された変更セットが存在しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
cdm_shared__library	コンポーネントが存在する共有ライブラリーのSys_id。 データタイプ：文字列
説明	CDM 共有コンポーネントの説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。
	データタイプ：オブジェクト
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	エラーの概要を示すメッセージ。 データタイプ：文字列
name	CDM 共有コンポーネントの名前。 データタイプ：文字列
ノード	共有コンポーネントノードのSys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
node_main	共有コンポーネントノードレコードのmain_id Sys_id。CDM ノードメイン [sn_cdm_node_main] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
state	共有コンポーネントの現在のステータス。 可能な値： • active • deleted

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_created_by	CDM 共有コンポーネントを作成するユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_created_on	CDM 共有コンポーネントが作成された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
sys_id	共有コンポーネントのSys_id。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	CDM 共有コンポーネントを最後に更新したユーザーのユーザー名。たとえば、able.tuter などです。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	CDM 共有コンポーネントが最後に更新された日時。 形式：YYYY-mm-DD hh:mm:ss データタイプ：文字列
version_counter	共有コンポーネントに作成されたバージョンの数。 データタイプ：整数

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、changeset = "Chset-20" の影響を受ける共有コンポーネントを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/sn_cdm/changesets/impacted-shared-compo
nents?changesetNumber=Chset-20" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "version_counter": "1",
      "description": null,
      "cdm_shared_library": "acb905e097b3991052687b890353afcd",
      "sys_updated_on": "2022-12-12 20:28:49",
      "node": "3cb945e097b3991052687b890353af0d",
      "sys_id": "34b945e097b3991052687b890353af20",
      "sys_updated_by": "john.jones",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "node_main": "74b945e097b3991052687b890353af0d",
      "sys_created_on": "2022-12-12 20:28:39",
      "name": "logonService-V2.1",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "john.jones"
    },
    {
      "version_counter": "1",
      "description": null,
      "cdm_shared_library": "acb905e097b3991052687b890353afcd",
      "sys_updated_on": "2022-12-12 20:28:49",
      "node": "b0b945e097b3991052687b890353af11",
      "sys_id": "30b945e097b3991052687b890353af21",
      "sys_updated_by": "john.jones",
      "node_main": "f8b945e097b3991052687b890353af10",
      "sys_created_on": "2022-12-12 20:28:39",
      "name": "logonService-V2.2",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "john.jones"
    },
    {
      "version_counter": "1",
      "description": null,
      "cdm_shared_library": "acb905e097b3991052687b890353afcd",
      "sys_updated_on": "2022-12-12 20:28:49",
      "node": "6cb905e097b3991052687b890353afd3",
      "sys_id": "b4b945e097b3991052687b890353af21",
      "sys_updated_by": "john.jones",
      "node_main": "a4b905e097b3991052687b890353afd3",
      "sys_created_on": "2022-12-12 20:28:39",
      "name": "paymentService-V1.0",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "john.jones"
    },
    {
      "version_counter": "1",
      "description": null,
      "cdm_shared_library": "acb905e097b3991052687b890353afcd",
      "sys_updated_on": "2022-12-12 20:28:49",
      "node": "e0b905e097b3991052687b890353aff1",
      "sys_id": "3cb945e097b3991052687b890353af21",
      "sys_updated_by": "john.jones",
      "node_main": "2cb905e097b3991052687b890353aff0",
      "sys_created_on": "2022-12-12 20:28:39",
      "name": "paymentService-V1.1",
      "state": "active",
      "sys_created_by": "john.jones"
    }
  ]
}
```


CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/{changeset_id}/impacted-deployables

指定された変更セットに関連付けられている展開可能項目のリストを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/{changeset_id}/impacted-deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/{changeset_id}/impacted-deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
changeset_id	処理する変更セットレコードの sys_id。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
changeset_id	展開可能ノードに関連付けられた最後の変更セットの sys_id。 データタイプ：文字列
conflict	関連付けられた展開可能項目に競合があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • 0：競合していません。 • 1：競合しています - 詳細については、返される *conflict_type* の結果を参照してください。 データタイプ：数値
conflict_type	展開可能項目の競合のタイプ。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include • orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
説明	展開可能ノードの説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが有効になった時点のタイムスタンプ。ノードが作成された変更セットをコミットするまで、この値は `null` です。 データタイプ：数値
effective_to	ノードが有効でなくなった時点のタイムスタンプ。この値が `null` の場合、ノードは新しいバージョンに置き換えられるまで有効なままです。 データタイプ：数値

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	アプリケーションレベル (0) から始まるノードの深度。 データタイプ：数値

linked_to	コレクションおよびコンポーネント内の参照ノードの ID。
	
	たとえば、次のノードスニペットは、コレクション collA とコンポーネント compA の間のリンクを示しています。この例では、*`linkedTo`* 値は `1` です。
	
	`{`
	`components : {compA:{} //MainId: 1},`
	
	`Collections : { collA : {`
	`  compA :{} //Include, linkedTo: 1`
	`  }`
	`  }`
	`}`
	
	データタイプ：文字列

main_id	展開可能ノードの一意の識別子。この値は、ノードの作成時に生成され、展開可能ノードを識別するために使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
main_id_encoded	*mainId* のエンコード値は、基数 57 の文字列表現を使用して結果を返します。 データタイプ：文字列
name	展開可能項目の名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	開発、本番、テストなどのノード分類。 次の形式を使用します。 • /application/deployables/env:Development • /application/deployables/env:Production • /application/deployables/env:Test データタイプ：文字列
position	展開可能ノードの位置。アレイにのみ適用されます。 たとえば、アレイの場合、次のようになります。 `node1:{ arrayNode: [{}, "literal1", "literal2", []] }` {} は位置 1000 です。 "literal1" は位置 2000 です。 "literal2" は位置 3000 です。 [] は位置 4000 です。 データタイプ：数値
previous_version	関連付けられた展開可能ノードの以前のバージョンの sys_id。 データタイプ：文字列
restricted_to	関連付けられた展開可能ノードへのアクセスが許可されているユーザーの sys_id のリスト。この情報は、CDM 制限付きグループ [sn_cdm_restricted_groups] テーブルから取得されます。すべてのグループが展開可能項目にアクセスできる場合、この値は `null` です。 データタイプ：文字列
secure_value	CDI または変数の安全な値。リーフノードとアレイリテラルについてのみ返されます。これは *value* で返される結果と同じですが、暗号化されています。 データタイプ：文字列
status	展開可能ノードのステータスまたは失敗した要求のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • deleted • failure (エンドポイント呼び出しが失敗した場合に渡されます。) • new • superseded • updated • valid データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたフォルダーがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 有効な値： • 0：システムフォルダーではありません。 • 1：システムフォルダーです。 データタイプ：数値
sys_id	影響を受ける展開可能項目の sys_id。 データタイプ：文字列
type	ノードタイプ (sn_cdm_node_deployable など)。この値により、ノードがコンポーネント、構成データアイテム (CDI)、または展開可能のいずれであるかを判断できます。この値は、ノードの作成時に生成されます。 データタイプ：文字列
value	CDI または変数の値。リーフノードとアレイリテラルについてのみ返されます。この情報が暗号化されている場合は、*secure_value* の結果で返されます。 たとえば、このノードが CDI `nodeA:{cdi1: 1}` である場合、*value* の返される結果は `1` です。`node1: {arrayNode: [{}, "literal1", "literal2", []]}` などのアレイノードの場合、*value* の返される結果は `literal1` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、sys_id が bf506e69537c3010a1d3ddeeff7b12c0 である変更セットに関連付けられている展開可能項目を要求する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/bf506e69537c3010a1
d3ddeeff7b12c0/impacted-deployables"\
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このエンドポイントの成功応答とエラー応答の両方を次に示します。

```
// Successful response
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "833527a953924110da35ddeeff7b12c1",
      "type": "sn_cdm_node_deployable",
      "main_id": "150",
      "main_id_encoded": "&M",
      "node_path": "!&@!&D!&M",
      "level": 2,
      "status": "valid",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "position": null,
      "restricted_to": null,
      "changeset_id": "cb3527a953924110da35ddeeff7b12c0",
      "previous_version": "e8946f6953924110da35ddeeff7b1264",
      "effective_from": "1647563806950",
      "effective_to": null,
      "name": "Development_1",
      "description": "dev deployable decription",
      "value": null,
      "secure_value": null,
      "system_folder": "0",
      "linked_to": null,
      "conflict": "0",
      "conflict_type": null
    },
    {
      "sys_id": "a245e7a953924110da35ddeeff7b1223",
      "type": "sn_cdm_node_deployable",
      "main_id": "153",
      "main_id_encoded": "&P",
      "node_path": "!&@!&D!&P",
      "level": 2,
      "status": "valid",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Test",
      "position": null,
      "restricted_to": null,
      "changeset_id": "ea45e7a953924110da35ddeeff7b1222",
      "previous_version": "9505ef6953924110da35ddeeff7b121a",
      "effective_from": "1647563821422",
      "effective_to": null,
      "name": "Test_1",
      "description": "test deployable decription",
      "value": null,
      "secure_value": null,
      "system_folder": "0",
      "linked_to": null,
      "conflict": "0",
      "conflict_type": null
    }
  ]
}

// Example of an error response
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "error": {
    "message": "Error: Unexpected error occurred in create
 request.Error:Application not found",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmChangesetsApi - POST /sn_cdm/changesets/{changeset_id}/commit

指定された変更セットをコミットします。コミットされると、変更セットは関連付けられたインスタンス内の CDM テーブルに保持されます。

アプリケーションが更新され、変更は変更セット内の構成データに保持されます。変更セットのステータスが [コミット済み] に変更されます。次に、変更セットの影響を受ける各展開可能項目のスナップショットが生成されます。

このエンドポイントにより、コミット要求の ID が返されます。この ID を使用して CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id} エンドポイントを呼び出し、変更セットのコミットの現在のステータスを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/{changeset_id}/commit`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/{changeset_id}/commit`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
changeset_id	処理する変更セットレコードの sys_id。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットが検証されるかどうか、つまり、関連付けられたポリシーがスナップショットに対して実行されるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false：スナップショットを検証しません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
publishOption	関連付けられた構成スナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none：スナップショットを公開しません。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 注: このオプションは、 *autoCommit* パラメーターの値が true の場合にのみ使用できます。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。エラー：<エラーメッセージ> 渡した *changeset_id* パラメーターが正しいことを検証します。 このエンドポイントにアクセスするために必要なロールがあることを確認してください。
500	内部サーバーエラー「エラー：無効なブール値。」 *autoValidate* パラメーターを渡した場合は、それがブール値であることを確認します。

応答本文のパラメーター

名前	説明
commit_id	コミット要求の sys_id。 CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id} エンドポイントを呼び出してコミット要求のステータスを確認するときに、この ID を使用します。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	コミットのステータス。エラーが発生した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出して変更セットレコードをコミットする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/29e24001533030104b
acddeeff7b120c/commit?publishOption=publish_valid"\
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

変更セットのコミット要求が成功した場合の応答を次に示します。

```
// Successful response
{
  "result": {
    "commit_id": "64b5f79f5379301096edddeeff7b12eb"
  }
}

// Example of an error response
{
  "error": {
    "message": "Error: Unexpected error occurred in commit
 request.Error:Failed to insert request in queue",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmChangesetsApi - POST /sn_cdm/changesets/create

指定された CDM アプリケーションまたは共有ライブラリの新しい変更セットをオープンステータスで作成します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/create/`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/create/`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須。この変更セットに関連付ける CDM アプリケーションまたは共有ライブラリの名前。これは、アクティブなアプリケーションまたは共有ライブラリーでなければなりません。 データタイプ：文字列
説明	変更セットの説明。他のユーザーが変更セットの目的を理解できるような説明を入力します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
returnFields	応答の一部として返される CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。エラー：<エラーメッセージ> 指定した CDM アプリケーションまたは共有ライブラリーが存在し、アクティブ状況であることを確認してください。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
auto_validate	自動検証が実行されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:自動検証が実行されました。 • false:自動検証は事前実行されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
cdm_application	変更セットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"cdm_application": { "link": "String", "value": "String" }` 例: `{"value": "<sysId>", "link": "http://localhost:8081/api/now/table/*'}"`
cdm_application.link	関連付けられた CDM アプリケーションの URL。 データタイプ：文字列
cdm_application.value	関連付けられた CDM アプリケーションの sys_id。 データタイプ：文字列
committed_at	変更セットが関連付けられたリポジトリにコミットされた日時。 データタイプ：文字列
committed_by	変更セットを作成したエンティティの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
説明	エンドポイントが呼び出されたときに渡された変更セットの説明。 データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_conflict_detection_time	前回競合の検出が実行されたとき。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
番号	新しい変更セットの一意の識別子。 データタイプ：文字列
publish_option	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none
snapshot_description	変更セットに関連付けられたスナップショットの説明。 データタイプ：文字列
state	変更セット作成のステータス。 可能な値： • ブロック済み • 競合をチェックしています • コミットに失敗しました

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• コミット進行中 • コミット済み • オープン データタイプ：文字列
status	変更セット作成のステータス。エラーが発生した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列
sys_created_by	変更セットレコードを作成したエンティティの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	新しい変更セットの sys_id。 データタイプ：文字列
タイトル	アプリケーションに関連付けられた変更セットのタイトル。通常、システムによって自動生成されます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、App Service1 CDM アプリケーションに関連付けられた変更セットを作成する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/create?appName=
App%20Service1&description=Sample%20Description \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

変更セットの作成が成功した場合の応答を次に示します。

```
// Example of a successful response
{
"result": {
    "sys_id": "42748779c370301054c1582e1340ddcd",
    "number": "Chset-8",
    "title": "admin2021-06-18 10:06:46",
    "description": null,
    "committed_at": "",
    "committed_by": null,
    "sys_created_by": "admin",
    "state": "open",
    "publish_option": "publish_none",
    "auto_validate": false,
    "snapshot_name": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "snapshot_description": null,
    "cdm_application": "App%20Service1"
  }
}

// Example of an error response
{
  "error": {
    "message": "Error: Unexpected error occurred in create
 request.Error:Application not found",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、共有ライブラリ「javalib」の変更セットを作成する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/create?sharedLibra
ryName=javalib&description=description of changeset" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
```

CdmChangesetsApi - PUT /sn_cdm/changesets/commit

指定された変更セットを更新してコミットします。

アプリケーションが更新され、変更は変更セット内の構成データに保持されます。変更セットのステータスが [コミット済み] に変更されます。次に、変更セットの影響を受ける各展開可能項目のスナップショットが生成されます。

このエンドポイントにより、コミット要求の ID が返されます。この ID を使用して CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id} エンドポイントを呼び出し、変更セットのコミットの現在のステータスを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/changesets/{changeset_id}/commit`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/changesets/{changeset_id}/commit`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
autoValidate	コミット中に作成されたスナップショットが検証されるかどうかを示すフラグ。関連付けられたポリシーがスナップショットに対して実行されることを示します。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_none:スナップショットを公開しないでください。 • publish_valid：コミット後に検証に合格したスナップショットのみを公開します。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。エラー：<エラーメッセージ> 渡した *changeset_id* パラメーターが正しいことを検証します。 このエンドポイントにアクセスするために必要なロールがあることを確認してください。
500	内部サーバーエラー：無効なブール値。 *autoValidate* パラメーターを渡した場合は、それがブール値であることを確認します。

応答本文のパラメーター

名前	説明
commit_id	コミット要求の sys_id。 CdmChangesetsApi - GET /sn_cdm/changesets/commit-status/{commit_id} エンドポイントを呼び出してコミット要求のステータスを確認するときに、この ID を使用します。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "message": "String" }</pre>
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	コミットのステータス。エラーが発生した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用して変更セットを更新する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/changesets/commit?changesetNu
mber=Chset-146" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "commit_id": "cca8190f53141110a1d3ddeeff7b129e"
  }
}
```

CdmEditorApi

CdmEditorApi は、ノードの作成、ノードの更新、他のノードへの既存のノードのインクルード、ノードの削除、ノードとノードインクルードの取得を可能にするエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL (sn_cdm.cdm.viewer)
- スクリプト化された REST CDM エディター ACL (sn_cdm.cdm_editor)

暗号化されたフィールドを表示するには、CDM シークレットロールが必要です。

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

注: *CdmEditorApi* API を使用してファイルを変更することはできません。現在、ファイルの削除のみが許可されています。

CdmEditorApi - DELETE /sn_cdm/editor/nodes

指定されたノードを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/nodes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/nodes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
fullNamePath	必須です。削除するノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、 次のノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` を削除するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` **注:** ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

次のコード例は、ノード「cdi88」を削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/nodes?changesetNumber=
Chset783&fullNamePath=%2FtestApp%2Fdeployables%2FDevelopment-1%2Fcdi88" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
None - just the associated HTTP status code
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CdmEditorApi - GET /sn_cdm/editor/includes

指定されたノードパスに含まれていたノードのリストを返します。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM ビューアーロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/includes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/includes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
changesetNumber	関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
sourceFullNamePath	必須です。含まれているノードを返すソースノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、`testApp/collections` ディレクトリ内の `collectionA` ノードのインクルードを返すには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/collections/collectionA` **注:** ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	• 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp collections collectionA` • 配列: `['testApp','collections','collectionA']` データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
changeset_id	関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
conflict	ノードの処理中に競合が発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：競合が検出されました。 • false:競合は検出されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
conflict_type	*conflict* パラメーターが true の場合、検出された競合のタイプ。競合が検出されない場合は null です。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include • orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node データタイプ：文字列
説明	ノードの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが変更セットの一部としてコミットされたときのタイムスタンプ (長整数に変換)。ノードがコミットされていない場合、この値は「null」です。 データタイプ：整数
effective_to	削除された、または別のノードによって置き換えられたときのノードのタイムスタンプ (長整数に変換)。それ以外の場合は「null」です。 データタイプ：整数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	ルートノードから始まるノードのレベル。常に 0 です。たとえば、ノード `/AppA/components/compA` には 2 つのレベルがあります。 データタイプ：文字列
linked_to	このノードがリンクされている参照ノードの *main_id* パラメーター。 このノードが参照ノードにリンクされていない場合、値は「null」です。 データタイプ：文字列
main_id	ノードのプライマリ識別子。この値を *CdmQuery()* スクリプトインクルードで使用して、JSON ツリーを取得できます。例：`CdmQuery().mainId('123')/query().getTree();` データタイプ：文字列
main_id_encoded	ノードの *main_id* パラメーターの RADIX 57 文字列表現。 データタイプ：文字列
name	ターゲットパスに含まれていたノードの名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	ノードの分類子の階層。この情報を使用して、フォルダー階層内のノードを検索します。 たとえば、展開可能項目には `/application/deployables/env:Development` の階層があります コレクションには `/applications/collections` の階層がありますが、 データタイプ：文字列
node_path	ターゲットパスに含まれていたノードの完全パス名 (`/Production/deployables/Development1/cdi1` など)。 データタイプ：文字列
位置	ノード位置。 例：次のアレイをアップロードする場合： `arrayNode1: [ "literal1", {"cdi1": 1}, "literal3" ]` 位置の値は次のように設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• arrayNode1.literal1 = 1000 • arrayNode1.2000 = 2000 • arrayNode1.literal3 = 3000 複合オブジェクトがアレイ (この場合は `{"cdi1": 1}`) でアップロードされると、エンドポイントはその位置に等しい名前で新しい仮想ノードを作成します。上記の例では、これは 2000 です。インクルードの場合、位置は常に空です。 データタイプ：文字列
previous_version	ノードレコードの以前のバージョンの詳細。 注: 新しいノードが作成された場合、エンドポイントはこのパラメーターに対して `"previous_version" = null` を返します。 データタイプ：オブジェクト `"previous_version": { "link": "String", "value": "String" }`
restricted_to	関連付けられたノードにアクセスできるグループの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"restricted_to": { "link": "String", "value": "String" }`
secure_value	この値に保護のフラグが付けられている場合は、暗号化されたフィールド (マスク済み) が返されます。 この情報を復号化するには、sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。*returnFields* クエリパラメーターフィールドを設定することで、これらのフィールドを返さないようにエンドポイントに指示できます。 データタイプ：文字列
status	ノードステータス。 可能な値： • DELETED • NEW • SUPERSEDED • UPDATED • VALID データタイプ：文字列
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたノードがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ノードはシステムフォルダーです。 • false:ノードはシステムフォルダーではありません。 データタイプ：ブーリアン
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列
value	ノード値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、ソースパス `/testApp/collections/collA` 内のインクルードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/includes?changesetNumb
er=Chset5&sourceFullNamePath=%2FtestApp%2Fcollections%2FcollA" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "a1c517a953b70110a1d3ddeeff7b129b",
      "type": "sn_cdm_node_deployable",
      "main_id": "6",
      "main_id_encoded": ",",
      "node_path": "!$!+!,",
      "level": 2,
      "status": "valid",
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "position": null,
      "restricted_to": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "changeset_id": "e9c517a953b70110a1d3ddeeff7b1299",
      "previous_version": null,
      "effective_from": "1654002206866",
      "effective_to": null,
      "name": "Development_1",
      "description": null,
      "value": null,
      "secure_value": null,
      "system_folder": "0",
      "linked_to": null,
      "conflict": "0",
      "conflict_type": null
    }
  ]
}
```


CdmEditorApi - GET /sn_cdm/editor/nodes

指定されたノードの詳細、または指定された親ノードの子 構成データ管理 (CDM) ノードのリストを返します。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM ビューアーロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/nodes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/nodes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
decryptPassword	リーフノードの値を暗号化するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：暗号化します • false：暗号化しません データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
name	ノード名。このパラメーターを渡すと、指定されたノードの結果のみが返されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：親ノード内のすべてのノード
parentFullNamePath	必須です。子ノードを返す親ノード、または *name* パラメーターで指定されたノードが存在する親ノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、`testApp/collections` ディレクトリ内の `collectionA` ノードのノードを返すには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/collections/collectionA` **注:** ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp collections collectionA` • 配列: `['testApp','collections','collectionA']` データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi または cdi • sn_cdm_node_collection または collection • sn_cdm_node_component または component • sn_cdm_node_folder または folder • sn_cdm_node_variable または variable データタイプ：文字列 デフォルト：すべて

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
changeset_id	ノードに関連付けられた変更セットレコードの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"changeset_id": { "link": "String", "value": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict	ノードの処理中に競合が発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：競合が検出されました。 • false:競合は検出されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
conflict_type	*conflict* パラメーターが true の場合、検出された競合のタイプ。競合が検出されない場合は null です。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include • orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node データタイプ：文字列
説明	ノードの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが変更セットの一部としてコミットされたときのタイムスタンプ (長整数に変換)。ノードがコミットされていない場合、この値は「null」です。 データタイプ：整数
effective_to	削除された、または別のノードによって置き換えられたときのノードのタイムスタンプ (長整数に変換)。それ以外の場合は「null」です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：整数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	ルートノードから始まるノードのレベル。常に 0 です。たとえば、ノード `/AppA/components/compA` には 2 つのレベルがあります。 データタイプ：文字列
linked_to	このノードがリンクされている参照ノードの *main_id* パラメーター。 このノードが参照ノードにリンクされていない場合、値は「null」です。 データタイプ：文字列
main_id	ノードのプライマリ識別子。この値を *CdmQuery()* スクリプトインクルードで使用して、JSON ツリーを取得できます。例：`CdmQuery().mainId('123')/query().getTree();` データタイプ：文字列
main_id_encoded	ノードの *main_id* パラメーターの RADIX 57 文字列表現。 データタイプ：文字列
name	ノードの名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	ノードの分類子の階層。この情報を使用して、フォルダー階層内のノードを検索します。 たとえば、展開可能項目には `/application/deployables/env:Development` の階層があります コレクションには `/applications/collections` の階層がありますが、 データタイプ：文字列
node_path	完全なノードパス名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
位置	ノード位置。 例：次のアレイをアップロードする場合： `arrayNode1: [ "literal1", {"cdi1": 1}, "literal3" ]` 位置の値は次のように設定されます。 • arrayNode1.literal1 = 1000 • arrayNode1.2000 = 2000 • arrayNode1.literal3 = 3000 複合オブジェクトがアレイ (この場合は `{"cdi1": 1}`) でアップロードされると、エンドポイントはその位置に等しい名前で新しい仮想ノードを作成します。上記の例では、これは 2000 です。インクルードの場合、位置は常に空です。 データタイプ：文字列
previous_version	ノードレコードの以前のバージョンの詳細。 **注:** 新しいノードが作成された場合、エンドポイントはこのパラメーターに対して `"previous_version" = null` を返します。 データタイプ：オブジェクト `"previous_version": { "link": "String", "value": "String" }`
previous_version.link	テーブル REST API を使用してこのノードレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
previous_version.value	ノードレコードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reason_for_conflict	競合の詳細な説明。 データタイプ：文字列
restricted_to	関連付けられたノードにアクセスできるグループの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"restricted_to": { "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

restricted_to.link	テーブル REST API を使用してこのグループレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
restricted_to.value	グループレコードの sys_id。CDM グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
secure_value	この値に保護のフラグが付けられている場合は、暗号化されたフィールド (マスク済み) が返されます。 この情報を復号化するには、sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。*returnFields* クエリパラメーターフィールドを設定することで、これらのフィールドを返さないようにエンドポイントに指示できます。 データタイプ：文字列
status	ノードステータス。 可能な値： • DELETED • NEW • SUPERSEDED • UPDATED • VALID データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたノードがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ノードはシステムフォルダーです。 • false:ノードはシステムフォルダーではありません。 データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ノードが存在するテーブル。 データタイプ：文字列
sys_created_by	ノードを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	ノードが作成された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	ノードを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	ノードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列 デフォルト：すべて
value	ノード値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

このコード例は、`/testApp/Fdeployables/Development_1` の下にある sn_cdm_node_cdi タイプの子ノードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/nodes?decryptPassword=
true&name=cdi45&changesetNumber=Chset3&parentFullNamePath=%2FtestApp%2Fde
ployables%2FDevelopment_1&type=sn_cdm_node_cdi" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "changeset_id": {
        "value": "d403648653b70110a1d3ddeeff7b12c5",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/d40364865
3b70110a1d3ddeeff7b12c5"
      },
      "node_path": "!$!+!,![:",
      "description": null,
      "sys_updated_on": "2022-06-30 09:24:07",
      "type": "sn_cdm_node_cdi",
      "sys_class_name": "sn_cdm_node",
      "sys_id": "c93c7c1753981110a1d3ddeeff7b12c7",
      "sys_updated_by": "admin",
      "previous_version": null,
      "sys_created_on": "2022-06-30 08:53:13",
      "value": "cdcdc",
      "effective_from": null,
      "linked_to": null,
      "sys_created_by": "admin",
      "restricted_to": null,
      "level": "3",
      "conflict_type": null,
      "main_id": "2869",
      "effective_to": null,
      "secure_value": null,
      "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
      "main_id_encoded": "[:",
      "name": "cdi45",
      "position": null,
      "reason_for_conflict": null,
      "system_folder": false,
      "status": "new",
      "conflict": false
    }
  ]
}
```


CdmEditorApi - POST /sn_cdm/editor/includes

既存のノードを別のノードに含めます (たとえば、コンポーネントノードをコレクションノードに、またはコレクションノードを展開可能ノードに含めるなどです)。ノードを含めると、新しいノードには独自の sys_id と main_Id が設定されます。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/includes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/includes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須です。ターゲットノードに含めるオープンな変更セットの一意の番号。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
sourceFullNamePath	必須です。ターゲットノードに含めるノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、次のノード `Staging/deployables/Development1/cdi1` を含めるには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `Staging/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: ステージング展開可能項目 開発 `1 cdi1` • アレイ: `['Staging','deployables','Development1','cdi1']` データタイプ：文字列
targetFullNamePath	必須です。ソースノードを含めるノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、`Production/deployables/Development1` ノードを含めるには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `Production/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: 本番展開可能項目 開発 `1 cdi1` • 配列: `['Production','deployables','Development1','cdi1']` データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
changeset_id	関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict	ノードの処理中に競合が発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：競合が検出されました。 • false:競合は検出されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
conflict_type	*conflict* パラメーターが true の場合、検出された競合のタイプ。競合が検出されない場合は null です。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include • orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node データタイプ：文字列
説明	ノードの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが変更セットの一部としてコミットされたときのタイムスタンプ (長整数に変換)。ノードがコミットされていない場合、この値は「null」です。 データタイプ：整数
effective_to	削除された、または別のノードによって置き換えられたときのノードのタイムスタンプ (長整数に変換)。それ以外の場合は「null」です。 データタイプ：整数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	ルートノードから始まるノードのレベル。常に 0 です。たとえば、ノード `/AppA/components/compA` には 2 つのレベルがあります。 データタイプ：文字列
linked_to	このノードがリンクされている参照ノードの *main_id* パラメーター。 このノードが参照ノードにリンクされていない場合、値は「null」です。 データタイプ：文字列
main_id	ノードのプライマリ識別子。この値を *CdmQuery()* スクリプトインクルードで使用して、JSON ツリーを取得できます。例：`CdmQuery().mainId('123')/query().getTree();` データタイプ：文字列
main_id_encoded	ノードの *main_id* パラメーターの RADIX 57 文字列表現。 データタイプ：文字列
name	ターゲットパスに含まれていたノードの名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	ノードの分類子の階層。この情報を使用して、フォルダー階層内のノードを検索します。 たとえば、展開可能項目には `/application/deployables/env:Development` の階層があります コレクションには `/applications/collections` の階層がありますが、 データタイプ：文字列
node_path	ターゲットパスに含まれていたノードの完全パス名 (`/Production/deployables/Development1/cdi1` など)。 データタイプ：文字列

位置	ノード位置。
	
	例：次のアレイをアップロードする場合：
	
	`arrayNode1: [`
	`  "literal1",`
	`  {"cdi1": 1},`
	`  "literal3"`
	`]`
	
	位置の値は次のように設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• arrayNode1.literal1 = 1000 • arrayNode1.2000 = 2000 • arrayNode1.literal3 = 3000 複合オブジェクトがアレイ (この場合は `{"cdi1": 1}`) でアップロードされると、エンドポイントはその位置に等しい名前で新しい仮想ノードを作成します。上記の例では、これは 2000 です。インクルードの場合、位置は常に空です。 データタイプ：文字列
previous_version	ノードレコードの以前のバージョンの詳細。 注: 新しいノードが作成された場合、エンドポイントはこのパラメーターに対して `"previous_version" = null` を返します。 データタイプ：オブジェクト `"previous_version": { "link": "String", "value": "String" }`
restricted_to	関連付けられたノードにアクセスできるグループの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"restricted_to": { "link": "String", "value": "String" }`
secure_value	この値に保護のフラグが付けられている場合は、暗号化されたフィールド (マスク済み) が返されます。 この情報を復号化するには、sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。*returnFields* クエリパラメーターフィールドを設定することで、これらのフィールドを返さないようにエンドポイントに指示できます。 データタイプ：文字列
status	ノードステータス。 可能な値： • DELETED • NEW • SUPERSEDED • UPDATED • VALID データタイプ：文字列
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたノードがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ノードはシステムフォルダーです。 • false:ノードはシステムフォルダーではありません。 データタイプ：ブーリアン
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列
value	ノード値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、ノード `/testApp/collections/collA` を `/testApp/deployables/Development_1` に含める方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/includes?changesetNumber=Chset5&targetFullNamePath=%2FtestApp%2Fdeployables%2FDevelopment_1&sourceFullNamePath=%2FtestApp%2Fcollecti
ons%2FcollA" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "d403648653b70110a1d3ddeeff7b12c5",
      "link":
 "http://192.168.0.233:8080/api/now/table/sn_cdm_changeset/d403648653b701
10a1d3ddeeff7b12c5"
    },
    "node_path": "!$!+!,![?",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 09:19:47",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "type": "sn_cdm_node_linked",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "1642015b53981110a1d3ddeeff7b1232",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2022-06-30 09:19:47",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": "2870",
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "level": "3",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "2872",
    "effective_to": null,
    "secure_value": null,
    "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
    "main_id_encoded": "[?",
    "name": "collA",
    "position": null,
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```


CdmEditorApi - POST /sn_cdm/editor/nodes

コンポーネント、コレクション、フォルダー、構成データアイテム (CDI)、変数など、特定のタイプのノードを作成します。

現在定義されていない親ノードを自動的に生成するかどうかを指定することもできます。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールまたは CDM シークレットロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/nodes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/nodes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
autoCreateParents	名前パス内の親が存在しない場合に、コンポーネントとして自動的に作成するかどうかを示すフラグ。アプリ、展開可能項目、およびコレクションは例外です。このフラグを設定せず、かつ親がまだ存在しない場合、エンドポイントは失敗します。 有効な値： • true：存在しない親を自動的に作成します。 • false:存在しない親を自動的に作成しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
fullNamePath	必須です。ノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド
secure	リーフノードの値を暗号化するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：暗号化します • false：暗号化しません データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
type	必須です。新しいノードのタイプ。 有効な値： • sn_cdm_node_collection または collection • sn_cdm_node_component または component • sn_cdm_node_folder または folder • sn_cdm_node_cdi または cdi • sn_cdm_node_variable または variable データタイプ：文字列
value	新しいノードの値。 データタイプ：文字列 デフォルト：「null」に相当

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

changeset_id	ノードに関連付けられた変更セットレコードの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict	ノードの処理中に競合が発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：競合が検出されました。 • false:競合は検出されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
conflict_type	*conflict* パラメーターが true の場合、検出された競合のタイプ。競合が検出されない場合は null です。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node データタイプ：文字列
説明	ノードの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが変更セットの一部としてコミットされたときのタイムスタンプ (長整数に変換)。ノードがコミットされていない場合、この値は「null」です。 データタイプ：整数
effective_to	削除された、または別のノードによって置き換えられたときのノードのタイムスタンプ (長整数に変換)。それ以外の場合は「null」です。 データタイプ：整数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	ルートノードから始まるノードのレベル。常に 0 です。たとえば、ノード `/AppA/components/compA` には 2 つのレベルがあります。 データタイプ：文字列
linked_to	このノードがリンクされている参照ノードの *main_id* パラメーター。 このノードが参照ノードにリンクされていない場合、値は「null」です。 データタイプ：文字列
main_id	ノードのプライマリ識別子。この値を *CdmQuery()* スクリプトインクルードで使用して、JSON ツリーを取得できます。例： `CdmQuery().mainId('123')/query().getTree();`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
main_id_encoded	ノードの *main_id* パラメーターの RADIX 57 文字列表現。 データタイプ：文字列
name	ノードの名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	ノードの分類子の階層。この情報を使用して、フォルダー階層内のノードを検索します。 たとえば、展開可能項目には `/application/deployables/env:Development` の階層があります コレクションには `/applications/collections` の階層がありますが、 データタイプ：文字列
node_path	完全なノードパス名。 データタイプ：文字列
位置	ノード位置。 例：次のアレイをアップロードする場合： `arrayNode1: [ "literal1", {"cdi1": 1}, "literal3" ]` 位置の値は次のように設定されます。 • arrayNode1.literal1 = 1000 • arrayNode1.2000 = 2000 • arrayNode1.literal3 = 3000 複合オブジェクトがアレイ (この場合は `{"cdi1": 1}`) でアップロードされると、エンドポイントはその位置に等しい名前で新しい仮想ノードを作成します。上記の例では、これは 2000 です。インクルードの場合、位置は常に空です。 データタイプ：文字列
previous_version	ノードレコードの以前のバージョンの詳細。 **注:** 新しいノードが作成された場合、エンドポイントはこのパラメーターに対して `"previous_version" = null` を返します。 データタイプ：オブジェクト `"previous_version": { "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
previous_version.link	テーブル REST API を使用してこのノードレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
previous_version.value	ノードレコードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reason_for_conflict	競合の詳細な説明。 データタイプ：文字列

restricted_to	関連付けられたノードにアクセスできるグループの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"restricted_to": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

restricted_to.link	テーブル REST API を使用してこのグループレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
restricted_to.value	グループレコードの sys_id。CDM グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
secure_value	この値に保護のフラグが付けられている場合は、暗号化されたフィールド (マスク済み) が返されます。 この情報を復号化するには、sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。*returnFields* クエリパラメーターフィールドを設定することで、これらのフィールドを返さないようにエンドポイントに指示できます。 データタイプ：文字列
status	ノードステータス。 可能な値： • DELETED • NEW • SUPERSEDED • UPDATED • VALID

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたノードがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ノードはシステムフォルダーです。 • false:ノードはシステムフォルダーではありません。 データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ノードが存在するテーブル。 データタイプ：文字列
sys_created_by	ノードを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	ノードが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	ノードを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	ノードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列 デフォルト：すべて
value	ノード値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用してノードを作成する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/nodes?fullNamePath=%2F
testApp%2Fdeployables%2FDevelopment1%2Fcdi1&secure=true&value=someVal&typ
e=cdi&changesetNumber=Chset-760" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "d403648653b70110a1d3ddeeff7b12c5",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/d40364865
3b70110a1d3ddeeff7b12c5"
    },
    "node_path": "!$!+!,![:",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 08:53:13",
    "type": "sn_cdm_node_cdi",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "c93c7c1753981110a1d3ddeeff7b12c7",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2022-06-30 08:53:13",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": null,
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "level": "3",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "2869",
    "effective_to": null,
    "secure_value":
 "###113a0c6e53001110a1d3ddeeff7b121d##1##bAUA1wj-fxofbSrMyF-BAg==6qiho5f
_9DhnuHT2Km5SLf0Ck4XNX_w=##",
    "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
    "main_id_encoded": "[:",
    "name": "cdi45",
    "position": null,
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```

CdmEditorApi - PUT /sn_cdm/editor/nodes

指定されたノードの名前および/または値を更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールまたは CDM シークレットロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/editor/nodes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/editor/nodes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
fullNamePath	必須です。ノードのパス名。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` データタイプ：文字列
newName	関連付けられたノードの新しい名前。 データタイプ：文字列
newValue	関連付けられたノードの新しい値。 データタイプ：文字列
secure	リーフノードの値を暗号化するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true：暗号化します • false：暗号化しません データタイプ：ブール デフォルト値：false
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

changeset_id	ノードに関連付けられた変更セットレコードの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict	ノードの処理中に競合が発生したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：競合が検出されました。 • false:競合は検出されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
conflict_type	*conflict* パラメーターが true の場合、検出された競合のタイプ。競合が検出されない場合は null です。 可能な値： • corrupted_node • deleted_node • duplicated_node • incomplete_deleted_parent • incomplete_deleted_ref • incomplete_renamed_ref • invalid_include

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• orphaned_descendant • related_conflict • unlinked_include • unrenamed_include • updated_node データタイプ：文字列
説明	ノードの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列
effective_from	ノードが変更セットの一部としてコミットされたときのタイムスタンプ (長整数に変換)。ノードがコミットされていない場合、この値は「null」です。 データタイプ：整数
effective_to	削除された、または別のノードによって置き換えられたときのノードのタイムスタンプ (長整数に変換)。それ以外の場合は「null」です。 データタイプ：整数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
レベル	ルートノードから始まるノードのレベル。常に 0 です。たとえば、ノード `/AppA/components/compA` には 2 つのレベルがあります。 データタイプ：文字列
linked_to	このノードがリンクされている参照ノードの *main_id* パラメーター。 このノードが参照ノードにリンクされていない場合、値は「null」です。 データタイプ：文字列
main_id	ノードのプライマリ識別子。この値を *CdmQuery()* スクリプトインクルードで使用して、JSON ツリーを取得できます。例： `CdmQuery().mainId('123')/query().getTree();`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
main_id_encoded	ノードの *main_id* パラメーターの RADIX 57 文字列表現。 データタイプ：文字列
name	ノードの名前。 データタイプ：文字列
node_classifier	ノードの分類子の階層。この情報を使用して、フォルダー階層内のノードを検索します。 たとえば、展開可能項目には `/application/deployables/env:Development` の階層があります コレクションには `/applications/collections` の階層がありますが、 データタイプ：文字列
node_path	完全なノードパス名。 データタイプ：文字列
位置	ノード位置。 例：次のアレイをアップロードする場合： `arrayNode1: [ "literal1", {"cdi1": 1}, "literal3" ]` 位置の値は次のように設定されます。 • arrayNode1.literal1 = 1000 • arrayNode1.2000 = 2000 • arrayNode1.literal3 = 3000 複合オブジェクトがアレイ (この場合は `{"cdi1": 1}`) でアップロードされると、エンドポイントはその位置に等しい名前で新しい仮想ノードを作成します。上記の例では、これは 2000 です。インクルードの場合、位置は常に空です。 データタイプ：文字列
previous_version	ノードレコードの以前のバージョンの詳細。 **注:** 新しいノードが作成された場合、エンドポイントはこのパラメーターに対して `"previous_version" = null` を返します。 データタイプ：オブジェクト `"previous_version": { "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
previous_version.link	テーブル REST API を使用してこのノードレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
previous_version.value	ノードレコードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reason_for_conflict	競合の詳細な説明。 データタイプ：文字列

restricted_to	関連付けられたノードにアクセスできるグループの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"restricted_to": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

restricted_to.link	テーブル REST API を使用してこのグループレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
restricted_to.value	グループレコードの sys_id。CDM グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
secure_value	この値に保護のフラグが付けられている場合は、暗号化されたフィールド (マスク済み) が返されます。 この情報を復号化するには、sn_cdm.cdm_secrets ロールが必要です。*returnFields* クエリパラメーターフィールドを設定することで、これらのフィールドを返さないようにエンドポイントに指示できます。 データタイプ：文字列
status	ノードステータス。 可能な値： • DELETED • NEW • SUPERSEDED • UPDATED • VALID

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
system_folder	関連付けられたノードがシステムフォルダーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ノードはシステムフォルダーです。 • false:ノードはシステムフォルダーではありません。 データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	ノードが存在するテーブル。 データタイプ：文字列
sys_created_by	ノードを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	ノードが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	ノードの sys_id。CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	ノードを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	ノードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
type	ノードタイプ。 可能な値： • sn_cdm_node_cdi • sn_cdm_node_collection • sn_cdm_node_component • sn_cdm_node_folder • sn_cdm_node_variable データタイプ：文字列 デフォルト：すべて
value	ノード値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、ノードの値を更新する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/editor/nodes?newValue=cdcdc&f
ullNamePath=%2FtestApp%2Fdeployables%2FDe
velopment-1%2Fcdi45&changesetNumber=Chset-5" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "d403648653b70110a1d3ddeeff7b12c5",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/d40364865
3b70110a1d3ddeeff7b12c5"
    },
    "node_path": "!$!+!,![:",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 08:53:13",
    "type": "sn_cdm_node_cdi",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "c93c7c1753981110a1d3ddeeff7b12c7",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2022-06-30 08:53:13",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": null,
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "level": "3",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "2869",
    "effective_to": null,
    "secure_value":
 "###113a0c6e53001110a1d3ddeeff7b121d##1##bAUA1wj-fxofbSrMyF-BAg==6qiho5f
_9DhnuHT2Km5SLf0Ck4XNX_w=##",
    "node_classifier": "/application/deployables/env:Development",
    "main_id_encoded": "[:",
    "name": "cdi45",
    "position": null,
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CdmPoliciesApi

CdmPoliciesApi は、構成データ管理 (CDM) での展開可能項目のポリシーマッピングの管理を可能にするエンドポイントを提供します。展開可能項目に適切にマッピングされたポリシーは、展開可能項目のスナップショットの検証時に実行されます。

この API のエンドポイントにアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL
- スクリプト化された REST CDM 管理者 ACL

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

ポリシーマッピングの詳細については、「展開可能項目へのポリシーのマッピング」を参照してください。

CdmPoliciesApi - DELETE /sn_cdm/policies/mappings

指定されたポリシーの展開可能項目へのマッピングを削除します。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM 管理者ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/policies/mappings`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/policies/mappings`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。ポリシーへのマッピングを削除する 構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。ポリシーへのマッピングを削除する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
policyName	必須です。関連付けられたポリシーの名前。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された *policyName* パラメーターが無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、ポリシーマッピングを削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/policies/mappings?deployableName=Development_1&policyName=testALPolicy1&appName=testApp" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

マッピングが正常に削除された場合、HTTP ステータスコード以外の応答は返されません。

```
None - results defined by the HTTP status code
```

CdmPoliciesApi - GET /sn_cdm/policies/mappings/inputs/resolved

展開可能項目の指定されたポリシーマッピングの解決済み入力を返します。

ポリシーマッピングの詳細については、「展開可能項目へのポリシーのマッピング」および「構成データの検証と修正」を参照してください。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM ビューアーロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/policies/mappings/inputs/resolved`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs/resolved`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。解決済みのポリシー入力を返す展開可能項目に関連付けられた構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。解決済みのポリシーを返す CDM 展開可能ファイルの名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
policyName	必須です。関連付けられたポリシーの名前。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された *policyName* パラメーターが無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定されたポリシーマッピングのすべての解決済み入力の名前と値のペアのリスト。 例：`{"input_name": "user_1", "input_password": "" }` データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを使用して解決済みのポリシー入力を取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs/reso
lved?policyName=testALPolicy1&deployableName=Development_1&appName=testA
pp" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "key1": "someVal",
    "additionalDeployablesInput":
 "[{\"id\":\"e7e34a531b501110636e0fe0604bcba9\",\"label\":
\"testApp-Development_2\"}]"
  }
}
```

CdmPoliciesApi - POST /sn_cdm/policies/mappings

指定されたポリシーを展開可能項目にマッピングします。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM 管理者ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/policies/mappings`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/policies/mappings`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。ポリシーをマッピングする 構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。ポリシーをマッピングする CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
policyName	必須です。関連付けられたポリシーの名前。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
説明	マッピングの説明。 データタイプ：文字列
ドキュメント	ドキュメントの sys_Id。 データタイプ：文字列

document_ref	ノードに関連付けられた document_ref レコードの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"document_ref": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

document_ref.link	テーブル REST API を使用してポリシーにマッピングされた展開可能レコードをクエリーするための呼び出し構文。 PaCE は、このフィールドを使用して、ポリシーにマッピングされた展開可能項目への参照を格納します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
document_ref.sys_id	ポリシーにマッピングされた展開可能レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
例外	マッピングの実行中に例外が発生した場合は、例外レコードへのリンク。 データタイプ：文字列
exception_allowed	ポリシーで例外が許可されるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：例外は許可されます。 • false:例外は許可されません。 データタイプ：ブーリアン
input_status	入力のステータス。 可能な値： • invalid • valid データタイプ：文字列
last_updated_by	ポリシーマッピングを最後に更新したユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"last_updated_by": { "link": "String", "value": "String" }`
last_updated_by.link	テーブル REST API を使用してユーザーレコードをクエリーするための呼び出し構文。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
last_updated_by.sys_id	ユーザーレコードの Sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
number	マッピングを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
policy	マッピングに関連付けられたポリシーレコードの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"policy": { "link": "String", "value": "String" }`
policy.link	テーブル REST API を使用してポリシーにマッピングされたポリシーレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
policy.sys_id	ポリシーレコードの sys_id。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reason	現在のステータスの理由の説明。 データタイプ：文字列
state	マッピングの現在のステータス。 可能な値： • active • inactive データタイプ：文字列
sys_class_name	ポリシーマッピングのテーブル名。 データタイプ：文字列
sys_created_by	マッピングを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	マッピングが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_id	マッピングの sys_id。ポリシーマッピング [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	マッピングを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	マッピングが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

Example: cURL 要求

このコード例は、特定のポリシーを展開可能項目にマッピングする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/policies/mappings?appName=tes
tApp&deployableName=Development_1&policyName=testALPolicy1" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "exception": null,
    "reason": null,
    "exception_allowed": "--",
    "document": "0be34a531b501110636e0fe0604bcb21",
    "input_status": "valid",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 14:07:37",
    "sys_class_name": "sn_cdm_pace_policy_mapping",
    "sys_id": "ea24469f1b101110636e0fe0604bcbed",
    "number": "MAP0001001",
    "last_updated_by": {
      "value": "48630e131b501110636e0fe0604bcb53",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/48630e131b501110
636e0fe0604bcb53"
    },
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2022-06-30 14:07:37",
    "document_ref": {
      "value": "0be34a531b501110636e0fe0604bcb21",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_deployable/0be34a5
31b501110636e0fe0604bcb21"
    },
    "state": "active",
    "sys_created_by": "admin",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "policy": {
      "value": "12a3c2531b501110636e0fe0604bcb9b",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_pace_policy/12a3c2531b
501110636e0fe0604bcb9b"
    }
  }
}
```

CdmPoliciesApi - PUT /sn_cdm/policies/mappings/inputs/additional-deployables

構成データ管理 (CDM) ポリシーマッピングの additionalDeployablesInput 入力変数を更新します。

additionalDeployablesInput 入力変数には、既存のポリシーマッピングに割り当てることができる追加の展開可能項目が含まれています。マッピング入力に似ていますが、固有のアレイ構造を持っています。

ポリシーマッピングの詳細については、「展開可能項目へのポリシーのマッピング」を参照してください。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM 管理者ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/policies/mappings/inputs/additional-deployables`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs/additional-deployables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
additionalDeployables	必須です。additionalDeployablesInput 入力変数に追加する展開可能項目のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"additionalDeployables": [ { "appName": "String", "deployableName": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
additionalDeployables.appName	必須です。展開可能項目が関連付けられている CDM アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
additionalDeployables.deployableName	必須です。additionalDeployablesInput 入力変数に追加する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
appName	必須です。additionalDeployablesInput 入力変数を更新する CDM アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。additionalDeployablesInput 入力変数を更新する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
policyName	必須です。関連付けられたポリシーの名前。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された *policyName* パラメーターが無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

io_definition	関連付けられた PaCE IO 定義レコードの詳細。
	
	PaCEの詳細については、「ポリシーアズコードエンジン (PaCE)」を参照してください。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"io_definition": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

io_definition.link	*Table* REST API を使用してこの PaCE IO 定義レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
io_definition.value	PaCE IO 定義レコードのSys_id。IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
is_unused	マッピング入力変数が未使用かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:関連付けられたマッピング入力変数は現在使用されていません。 • false：関連付けられたマッピング入力変数は現在使用されています。 データタイプ：ブール
mapped_value	マッピング入力変数の現在の値。 データタイプ：オブジェクトのアレイまたは文字列

policy_mapping	PaCEポリシーマッピングレコードの詳細。
	PaCEの詳細については、「ポリシーアズコードエンジン (PaCE)」を参照してください。
	データタイプ: オブジェクト
	`"policy_mapping": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

policy_mapping.link	テーブル REST API を使用してポリシーマッピングレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
policy_mapping.value	PaCEポリシーマッピングレコードのSys_id。ポリシーマッピング [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_created_by	マッピング入力変数を作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	マッピング入力変数が作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	関連付けられたマッピングレコードの sys_id。IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	マッピング入力変数を更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	マッピング入力変数が最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

Example: cURL 要求

次の例は、additionalDeployablesInput 入力変数に展開可能項目を追加する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs/add
itional-deployables?additionalDeployables=%5B%7B
%22appName%22%3A%20%22testApp%22%2C%20%22deployableName%22%3A%22Developme
nt_2%22%7D%5D&policyName=testALPolicy1&deployableName=Development_1&appNa
me=testApp" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'admin':'admin
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "6bb746171b501110636e0fe0604bcb1c",
    "policy_mapping": {
      "value": "6bb746171b501110636e0fe0604bcb1b",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_pace_policy_mappi
ng/6bb746171b501110636e0fe0604bcb1b"
    },
    "sys_updated_by": "ameya",
    "sys_created_on": "2022-06-30 14:23:15",
    "io_definition": {
      "value": "4d0b061b1b501110636e0fe0604bcb2f",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_pace_io_definition/4d0
b061b1b501110636e0fe0604bcb2f"
    },
    "mapped_value":
 "[{\"id\":\"e7e34a531b501110636e0fe0604bcba9\",\"label\":
\"testApp-Development_2\"}]",
    "sys_updated_on": "2022-06-30 14:53:21",
    "sys_created_by": "ameya",
    "is_unused": false
  }
}
```

CdmPoliciesApi - PUT /sn_cdm/policies/mappings/inputs

構成データ管理 (CDM) ポリシーマッピングの指定された入力変数を更新します。

オプションマッピングの詳細については、「展開可能項目へのポリシーのマッピング」を参照してください。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM 管理者ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/policies/mappings/inputs`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。ポリシーマッピングの入力を更新する CDM アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。ポリシーマッピングの入力を更新する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inputName	必須です。更新する入力変数の名前。使用可能な入力変数は、IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルで定義されます。 データタイプ：文字列
inputValue	必須です。入力変数に割り当てる値。 データタイプ：入力変数によって異なります。データタイプは IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルにあります。
policyName	必須です。関連付けられたポリシーの名前。ポリシー [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。渡された *policyName* パラメーターが無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
io_definition	関連付けられた PaCE IO 定義レコードの詳細。 PaCEの詳細については、「ポリシーアズコードエンジン (PaCE)」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"io_definition": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

io_definition.link	*Table* REST API を使用してこの PaCE IO 定義レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
io_definition.value	PaCE IO 定義レコードのSys_id。IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
is_unused	マッピング入力変数が未使用かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:関連付けられたマッピング入力変数は現在使用されていません。 • false：関連付けられたマッピング入力変数は現在使用されています。 データタイプ：ブール
mapped_value	マッピング入力変数の現在の値。 データタイプ：オブジェクトのアレイまたは文字列

policy_mapping	PaCEポリシーマッピングレコードの詳細。
	
	PaCEの詳細については、「ポリシーアズコードエンジン (PaCE)」を参照してください。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"policy_mapping": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

policy_mapping.link	テーブル REST API を使用してポリシーマッピングレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
policy_mapping.value	PaCEポリシーマッピングレコードのSys_id。ポリシーマッピング [sn_pace_policy] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_created_by	マッピング入力変数を作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	マッピング入力変数が作成された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	関連付けられたマッピングレコードの sys_id。IO マッピング [sn_pace_io_mapping] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	マッピング入力変数を更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	マッピング入力変数が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

Example: cURL 要求

次の例は、testALPolicy に関連付けられた key1 入力変数を更新する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/policies/mappings/inputs?poli
cyName=testALPolicy1&appName=testApp&inputValue=value1&inputName=key1&dep
loyableName=Development_1" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "631b861b1b501110636e0fe0604bcb6f",
    "policy_mapping": {
      "value": "6bb746171b501110636e0fe0604bcb1b",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_pace_policy_mappi
ng/6bb746171b501110636e0fe0604bcb1b"
    },
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2022-06-30 14:38:00",
    "io_definition": {
      "value": "fe1b061b1b501110636e0fe0604bcb90",
      "link":
 "https://instance.servicenow.comm/api/now/table/sn_pace_io_definition/fe
1b061b1b501110636e0fe0604bcb90"
    },
    "mapped_value": "someVal",
    "sys_updated_on": "2022-06-30 14:39:21",
    "sys_created_by": "admin",
    "is_unused": false
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CdmSharedLibraryApi

CdmSharedLibraryApi は、共有ライブラリと共有コンポーネントを作成および管理できるようにするエンドポイントを提供します。また、共有コンポーネントの構成データをアップロードおよびエクスポートできるエンドポイントもあります。

この API をインスタンスで使用できるようにするには、 構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。さらに、この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- CDM 編集者ロール
- CDM admin ロール

共有ライブラリおよび共有コンポーネントの詳細については、「アプリケーション間でのコンポーネントの共有 - コンポーネントライブラリ」を参照してください。

CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries を削除

指定された名前の共有ライブラリを削除します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
name	必須。削除する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、共有ライブラリ「javalib」を削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/sn_cdm/shared_libraries?name='javalib'\
--request DELETE\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
""
```

自動翻訳

CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries/components を削除

指定されたライブラリから指定された共有コンポーネントを削除します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

注: コンポーネントを削除できるのは、現在使用されていない場合のみです。また、関連付けられた共有ライブラリーがアクティブでない場合は、コンポーネントを削除できません。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries/components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。コンポーネントに関連付けられた変更セットの番号。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	必須。削除する共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。削除するコンポーネントが置かれている共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 考えられる問題： • 共有ライブラリーが存在しません。 • 共有ライブラリがアクティブではありません。 • 共有コンポーネントが使用されています。削除できません。 • ユーザーは共有コンポーネントの削除を制限されています。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、"javalib" 共有ライブラリの下にあるコンポーネント "TestComponent" を削除する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/sn_cdm/shared_libraries/components?share
dLibraryName='javalib&changesetNumber='chset-8'&name='TestComponent'\
--request DELETE\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答：

```
""
```

CdmSharedLibraryApi:GET /sn_cdm/shared_libraries/upload-status/{upload-id}

指定された共有ライブラリアップロード要求の現在のステータスを返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries/upload-status/{upload-id}`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/upload-status/{upload-id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
upload-id	ステータスを返すアップロード要求の sys_id。この値は、さまざまな CdmSharedLibrary アップロード要求エンドポイントによって返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	• *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
エラー	アップロード中に発生したエラーの説明。 データタイプ：文字列

output	アップロードされたデータの説明、または発生したエラーを説明するエラーメッセージ (アップロード中にエラーが発生した場合)。
	データタイプ：文字列のアレイ
	`"output": {`
	`"auto_validate": "String",`
	`"cdm_application": "String",`
	`"committed_at": "String",`
	`"committed_by": "String",`
	`"description": "String",`
	`"last_conflict_detection_time":`
	`"String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"number": "String", "publish_option": "String", "sharedLibraryName": "String", "snapshot_description": "String", "snapshot_name": "String", "state": "String", "sys_created_by": "String", "sys_id": "String", "title": "String" }
output.auto_validate	コミット後に検証を呼び出すかどうかを示します。 データタイプ：文字列
output.cdm_application	アップロードが実行されたアプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
output.committed_at	アップロードされたコンテンツがコミットされた日時。 データタイプ：文字列
output.committed_by	コミットを実行したエンティティのレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.description	現在使用されていません。 データタイプ：文字列
output.last_conflict_detection_time	日時の競合検出の発動。 データタイプ：文字列
output.number	Chset-124 などの一意の変更セット識別値。 データタイプ：文字列
output.publish_option	関連するアップロード呼び出しで渡される公開オプションの値。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
output.sharedLibraryName	元のアップロード呼び出しで渡された共有ライブラリの名前。 データタイプ：文字列
output.snapshot_description	関連付けられたスナップショットの説明。 データタイプ：文字列
output.snapshot_name	関連付けられたスナップショットの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
output.state	アップロードのステータス。 可能な値： • COMPLETED:アップロードが完了しました。 • EXPIREDERROR:アップロード要求の処理中にエラーが発生しました。ジョブは 15 分以上実行され、システムによって終了されました。 • IN_PROGRESS:アップロードが処理中です。 • NEW:処理はまだ開始されていません。 • READY:要求がキューに入れられました。 データタイプ：文字列
output.sys_created_by	レコードを作成したエンティティの sys_id。 データタイプ：文字列
output.sys_id	変更セットを含むレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
output.title	アップロードの一部として作成された変更セットのタイトル。 データタイプ：文字列
processing_state	アップロード要求の現在の処理ステータス。 可能な値:PROCESSED データタイプ：文字列
state	アップロード要求の現在のステータス。 可能な値： • completed • エラー
type	アップロード要求のタイプ。 可能な値:upload_and_commit データタイプ：文字列
upload_id	アップロードされた構成ペイロードを含むレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、アップロード ID 0d91d9891b2b19109524cae0604bcbe6 のステータスを要求する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/shared_libraries/upload-status/0d91d9891b2b19109524cae0604bcbe6" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
// Successful response
{
  "result": {
    "type": "upload_and_commit",
    "state": "completed",
    "output": {
      "sys_id": "0002ea107768a1109ac0cf0bbb5a9963",
      "number": "Chset-457",
      "title": "admin8802ea107768a1109ac0cf0bbb5a9962",
      "description": null,
      "committed_at": "",
      "committed_by": null,
      "sys_created_by": "admin",
      "state": "open",
      "publish_option": "publish_none",
      "auto_validate": false,
      "snapshot_name": null,
      "snapshot_description": null,
      "cdm_application": "OracleG-Library-15",
      "last_conflict_detection_time": null
    },
    "processing_state": "PROCESSED",
    "upload_id": "00b226547768a1109ac0cf0bbb5a99f2"
  }
}
```

```
// Error response
{
  "result": {
    "type": "upload_and_commit",
    "state": "error",
    "output": "Error: Application with sys_id
 87fb1ecb1be3111050fc21b0604bcb95 is in State Deleted. No data can be
 modified on deleted applications",
    "processing_state": "PROCESSED",
    "upload_id": "fcdfaf7f1b88211050fc21b0604bcb79"
  }
}
```

CdmSharedLibraryApi - POST /sn_cdm/shared_libraries

指定された名前で新しい共有ライブラリーを作成します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
説明	共有ライブラリーの説明。 データタイプ：文字列 デフォルト：空
name	必須。作成する共有ライブラリーの名前。この名前は、すべての CDM アプリケーションとライブラリで一意である必要があります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのカンマ区切りリスト。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:システム以外のすべてのフィールドが返されます。
userGroupId	関連付けられた共有ライブラリーを編集できるユーザーグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。適切なロールを持つすべてのユーザーが共有ライブラリを表示できます。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:CDM エディターロールを持つすべてのユーザーが、共有ライブラリ内のデータを編集できます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	**Description** (説明)
<フィールド>	CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルからの要求されたフィールド。 データタイプ:変数
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、ライブラリにアクセスできるすべてのユーザーグループを持つ共有ライブラリ Java11Lib を作成する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/shared_libraries?name=Java11Lib&description=The%20new%20java%20library" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'userName':'password
```

応答：

```
{
  "result": {
    "sdlc_component": null,
    "cdi_count": "0",
    "available": false,
    "description": "Description of LibraryA",
    "managed_by_group": null,
    "sys_updated_on": "2023-01-18 11:34:43",
    "type": "shared_library",
    "node": {
      "value": "d852b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_node/d852b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa"
    },
    "sys_id": "185235dc77a4a1109ac0cf0bbb5a994e",
    "sys_updated_by": "admin",
    "node_main": {
      "value": "1852b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_node_main/1852b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa"
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_created_on": "2023-01-18 11:34:43",
    "cdi_usage": "0",
    "name": "LibraryA",
    "last_committed_changeset": {
      "value": "9052b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/9052b1587
7a4a1109ac0cf0bbb5a99aa"
    },
    "state": "active",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


CdmSharedLibraryApi:POST /sn_cdm/shared_libraries/components

指定されたライブラリの下に指定された共有コンポーネントを作成します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries/components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/components`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。 関連付けられた変更セットの一意の識別子 (「Chset-10」など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	共有コンポーネントの説明。 データタイプ：文字列
name	必須。共有ライブラリに作成する共有コンポーネントの名前。この名前は一意である必要があります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返す CDM ノード [sn_cdm_node] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト: すべての非内部フィールドが戻されます。
sharedLibraryName	必須。コンポーネントを作成する共有ライブラリの名前。このライブラリーは既に存在し、アクティブ状態である必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	Description (説明)
<要求されたフィールド>	CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルからの要求されたフィールド。
error	処理中にエラーが発生した場合にのみ返されます。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	エラーの概要を示すメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例では、共有ライブラリ「javalib」の下に「SharedComponent」という名前のコンポーネントを格納します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/sn_cdm/shared_libraries/components/?
sharedLibraryName=javalib&changeSetNumber='Chset-9'&name='SharedComponen
t'\
--request POST\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "changeset_id": {
      "value": "ca7e6a501b202110636e0fe0604bcb71",
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/ca7e6a50
1b202110636e0fe0604bcb71"
    },
    "node_path": "!2!3!:",
    "description": null,
    "sys_updated_on": "2023-01-18 16:04:52",
    "type": "sn_cdm_node_shared_component",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "6d2072901b602110636e0fe0604bcbec",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2023-01-18 16:04:52",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": null,
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "linked_to_version": null,
    "level": "2",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "19",
    "effective_to": null,
    "secure_value": null,
    "node_classifier": "/shared_library/shared_components",
    "main_id_encoded": ":",
    "name": "testSharedComponent",
    "position": null,
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```


CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components を POST

共有ライブラリーと共有コンポーネントを作成および管理できます。このエンドポイントは、CDM ノード [sn_cdm_node] テーブルに共有コンポーネントノードを作成し、CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルに共有コンポーネントレコードを作成します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

注: デフォルトでは、コンテンツアップロードの最大サイズは 2 MB です。このデフォルトを変更するには、sn_cdm.max_allowed_upload_file_size プロパティを更新します。

注: このアップロード方法は、ノードの変更には使用できません。別の CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components/file を POST 方法を使用してノードを変更します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries/uploads/components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
autoCommit	*`changesetNumber`* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoDelete	アップロードコンテンツの一部ではない既存のノードを処理の完了後に削除するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既存のノードを自動的に削除します。 • false:既存のノードを自動的に削除しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
changesetNumber	必須。アプリケーションに関連付けられた変更セットを一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。 データタイプ：文字列
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値： • csv • ini • json • プロパティ • 生

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• xml • yaml データタイプ：文字列
deleteRedundantOverrides	冗長な値が存在する場合に上書きを作成するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:冗長な値が存在する場合、上書きは作成されません。 • false:冗長な値が存在する場合、上書きを続行します。 デフォルト：true

identifierKeys	同じノードを識別するために使用するアレイの子のキーを示す名前のリスト。
	
	たとえば、次のようにアップロードする場合:
	`[ {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}, {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"} ]`
	
	次の既存のモデルで：
	`[ {"name" : "Karen, "city" : "Manila"}, {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"} ]`
	
	identifierKeys を `name` に設定すると、次の出力が生成されます。
	`[ {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"}, {"name" : "Allan, "city" : "Paris"} ]`
	
	それ以外の場合は、次の出力が生成されます。
	`[ {"name" : "Karen, "city" : "Manila"}, {"name" : "Allan, "city" : "Brussels"}, {"name" : "Allan, "city" : "Paris"}, {"name" : "Karen, "city" : "Sydney"} ]`
	
	データタイプ：文字列のアレイ

ignoreAttributes	指定されたデータ形式が属性 (現在は XML のみ) をサポートしているかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	有効な値： • true:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内の属性はアップロード中にスキップされます。 • false:指定されたデータ形式が属性をサポートしている場合、入力データ内のすべての属性がアップロードに含まれます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
publishOption	関連付けられた構成済みスナップショットの公開オプション。 有効な値： • publish_new_and_unpublish_old:コミット後に作成された新しいスナップショットを公開し、既存のスナップショットを非公開にします。 • publish_none：スナップショットを公開しません。 スナップショットの公開の詳細については、「スナップショットを公開または非公開にする」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：publish_none

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sharedLibraryName	必須。作成または管理する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
変数アップロードデータ	アップロードする構成データ。これは、クエリパラメーターの *dataFormat* パラメーターで定義された形式の任意のデータにすることができます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*text/plain* および *application/x-www-form-urlencoded*。 デフォルト： *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。アップロード要求が却下されました。 考えられる問題：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 構成ペイロードのサイズが許容される最大値 (デフォルトでは 2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用してエンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、構成データをプレーンテキストにして、Demo_App1631126164773 と呼ばれる共有ライブラリをアップロードする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/sharedlibrary/component/upload?namePath=%2FSettings%2FdbSettings&dataFormat=json&appName=Demo_App1631126164773&changesetNumber=Chset-8&autoCommit=false&publishOption=publish_none&autoDelete=true" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{
  \"dbIPAddress\": \"10.10.10.110\",
\"dbPort\": \"8080\",
\"dbConnectionString\": \"admin:admin server1.xyz.com:8080
 dbName_payments\",
\"dbConnectionStringBackup\": \"admin:admin server2.xyz.com
 dbName_payments_backup\ "}" \
--user 'username':'password'
```

次の戻り値は、この要求に対する成功とエラーの両方の応答を示しています。

```
// Successful response
{
"result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response

{
"error": {
   "message": "Size of uploaded data:6853632.0(bytes) is greater than max
 allowed upload limit of 2097152.0(bytes)",
   "detail": ""
},
"status": "failure"
}
```

CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components/file を POST

共有ライブラリのコンポーネントフォルダーにある構成データモデル (CDM) の一部としてファイルをアップロードします。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}shared_libraries/uploads/components/file`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

autoCommit	*changesetNumber* パラメーターで識別された変更セットがアップロード後にデータモデルにコミットされるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更セットはアップロード後にコミットされます。 • false:アップロード後に変更セットはコミットされません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
autoValidate	コミット時に作成されたスナップショットを検証するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：スナップショットを検証します。 • false:スナップショットを検証しません。 注: このオプションは、*autoCommit* パラメーターが `true` の場合にのみ使用できます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
changesetNumber	アプリケーションに関連付けられた 変更セット を一意に識別する文字列 (Chset-102 など)。この変更セットは [オープン] ステータスである必要があります。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:使用する変更セットを作成します。変更セットの詳細は CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} の結果の一部として返されます。
fileName	アップロードするファイルの名前。この名前は実際のファイル名と異なっていてもよく、ファイル拡張子を含むことができます。たとえば、.txt/.scv/.jar などです。fileName 値は、ファイルのダウンロード時に適用されます。 データタイプ：文字列
ファイルノード名	ファイルノードの名前。このファイル名は、構成データをエクスポートするときに使用されま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

	す。この名前にはファイル拡張子は必要なく、ダウンロードにも影響しません。 データタイプ：文字列
namePath	構成データをアップロードするターゲットノードのパス。このパスは、コンポーネント、コレクション、またはデプロイ可能なフォルダー (呼び出されるエンドポイントによって異なります) に対する相対パスです。 名前パスは、次のいずれかの形式で渡すことができます。たとえば、ノード `testApp/deployables/Development1/cdi1` の名前パスを定義するには、次のようにします。 • バックスラッシュ形式: `testApp/deployables/Development1/cdi1` 注: ノード名にバックスラッシュ ("/") が含まれている場合、この形式は使用できません。 • 置換文字を含むバックエンド名パス: `testApp deployables Development1 cdi1` • 配列: `['testApp','deployables','Development1','cdi1']` 注: 指定されたパスに指定されたコンポーネントが存在しない場合、指定されたパスにコンポーネントが自動的に作成され、データがアップロードされます。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。削除するコンポーネントが置かれている共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
変数 アップロード データ	アップロードする構成データ。デフォルトでは、アップロードできるファイルサイズは 5 MB に制限されています。アップロードファイルのサイズと種類を調整する方法については、こちらを参照してください。 Now Support article . データタイプ:文字列/ストリーム

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	アップロードするファイルのコンテンツタイプ。例:application/zip、text/plain、application/json。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 アップロード要求が却下されました。 考えられる問題： • 構成ペイロードのサイズが、デフォルトで許容される最大値 (2 MB) を超えています。 • 呼び出しに必要なパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列
upload_id	アップロード要求の sys_id。この ID を使用して CdmApplicationsApi - GET /sn_cdm/applications/upload-status/{upload_id} エンドポイントを呼び出し、アップロードのステータスを取得します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の呼び出しは、プレーン テキスト ファイルを共有ライブラリの components フォルダーにアップロードする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/shared_libraries/uploads/components/file?autoValidate=true&sharedLibraryName=sharedLibA
 &namePath=testComponent%2FfilesFolder&fileName=testFileNodeName.txt&publishOption=publish_valid&changesetNumber=Chset-108&autoCommit=true&fileNodeName=testFile.txt" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:text/plain" \
--data "This is sample content that will be uploaded to a plain text
 file."\
--user 'username':'password'
```

次の戻り値は、この要求に対する成功とエラーの両方の応答を示しています。

```
// Successful completion of the upload request
{
  "result": {
    "upload_id": "ec1f71f45322301096edddeeff7b12b3"
  }
}

// Error response. Payload is too large.
{
  "error": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "message": "Could not find active application with name: 'testApp' of
 type application",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmSharedLibraryApi - /sn_cdm/shared_libraries を配置

共有ライブラリ情報を更新します。このエンドポイントを使用して、共有ライブラリの名前、説明、状態、およびライブラリにアクセスできるユーザーグループを更新します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name	必須。更新する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
newAvailableState	共有ライブラリーのステータスを示すフラグ。 有効な値： • true:共有ライブラリはアクティブです。 • false:共有ライブラリは非アクティブです。ユーザーはこのライブラリにアクセスできません。 デフォルト：true
新しい説明	共有ライブラリの説明を更新しました。 データタイプ：文字列
newName	共有ライブラリの新しい名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
newUserGroupId	関連付けられた共有ライブラリにアクセスできるユーザーグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返す CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト:システム以外のすべてのフィールドが返されます。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	**Description** (説明)
<フィールド>	CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルからの要求されたフィールド。 データタイプ:変数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、共有ライブラリ Java11Lib に対してこのエンドポイントを呼び出し、ライブラリの名前と説明を更新する方法を示しています。

```
curl "http://instance.servicenow.com/sn_cdm/shared_libraries?name='
 javalib'&newName='NewLibraryName'&newDescription='new%20description%2
0of%20library'\
--request PUT\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "result": {
    "sdlc_component": null,
    "cdi_count": "0",
    "available": true,
    "description": "Set new description",
    "managed_by_group": null,
    "sys_updated_on": "2023-01-18 11:51:14",
    "type": "shared_library",
    "node": {
      "value": "021635dc77a4a1109ac0cf0bbb5a9952",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_node/021635dc77a4a1109ac
0cf0bbb5a9952"
    },
    "sys_id": "185235dc77a4a1109ac0cf0bbb5a994e",
    "sys_updated_by": "admin",
    "node_main": {
      "value": "1852b15877a4a1109ac0cf0bbb5a99aa",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_node_main/1852b15877a4a1
109ac0cf0bbb5a99aa"
    },
    "sys_created_on": "2023-01-18 11:34:43",
    "cdi_usage": "0",
    "name": "LibraryA",
    "last_committed_changeset": {
      "value": "4a1635dc77a4a1109ac0cf0bbb5a9951",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_changeset/4a1635dc77a4a1
109ac0cf0bbb5a9951"
    },
    "state": "active",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


CdmSharedLibraryApi:/sn_cdm/shared_libraries/components を配置

指定された共有コンポーネントの名前と説明を更新します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

> **注:** 名前の変更は、コンポーネントのスナップショットがインポートされていない場合など、コンポーネントが一度も使用されていない場合にのみ許可されます。名前変更シナリオは、主に新しいコンポーネントを作成する際の入力ミスを修正することを目的としています。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/shared_libraries/components`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/shared_libraries/components`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
changesetNumber	必須。関連付けられた変更セットの名前。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	必須。更新する共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
newName	必須。共有コンポーネントの名前を更新しました。 データタイプ：文字列
新しい説明	共有コンポーネントの説明を更新しました。 データタイプ：文字列 デフォルト：空
returnFields	応答の一部として返す CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト:システム以外のすべてのフィールドが返されます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	**Description** (説明)
<フィールド>	CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルから要求されたフィールド。 データタイプ:変数

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード サンプルは、コンポーネント SharedComponentTest の説明を更新する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/sn_cdm/shared_libraries/components/?
sharedLibraryName=javalib&changeSetNumber='chset-9'&name='SharedComponent
Test'&newDescription='The shared component description'\
--request POST\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password
```

応答：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "5c33311077e4a1109ac0cf0bbb5a9902",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/5c3331107
7e4a1109ac0cf0bbb5a9902"
    },
    "node_path": "!(1!(2!(3",
    "description": "Changing the description only",
    "sys_updated_on": "2023-01-18 12:09:05",
    "type": "sn_cdm_node_shared_component",
    "sys_class_name": "sn_cdm_node",
    "sys_id": "9953f99077a4a1109ac0cf0bbb5a99ec",
    "sys_updated_by": "admin",
    "previous_version": null,
    "sys_created_on": "2023-01-18 11:39:09",
    "value": null,
    "effective_from": null,
    "linked_to": null,
    "sys_created_by": "admin",
    "restricted_to": null,
    "linked_to_version": null,
    "level": "2",
    "conflict_type": null,
    "main_id": "183",
    "effective_to": null,
    "secure_value": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "node_classifier": "/shared_library/shared_components",
    "main_id_encoded": "(3",
    "name": "sharedComponentName",
    "position": null,
    "reason_for_conflict": null,
    "system_folder": false,
    "status": "new",
    "conflict": false
  }
}
```


CdmSnapshotApi

CdmSnapshotApi は、構成データ管理 (CDM) でのスナップショットの公開、公開中止、および再検証を可能にするエンドポイントを提供します。

エクスポートできるようにスナップショットを公開すると、継続的インテグレーションと継続的デリバリー (CICD) パイプラインで、関連付けられた構成データにアクセスして使用できるようになります。エクスポーターは、公開されたスナップショットでのみ実行できます。スナップショットが不要になった場合は、公開を中止して、スナップショットが実行可能かどうかについての混乱を軽減することができます。

この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL (sn_cdm.cdm.viewer)
- スクリプト化された REST CDM エディター ACL (sn_cdm.cdm_editor)

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

スナップショットの詳細については、「スナップショットの表示」を参照してください。

CdmSnapshotAPI - POST /sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/publish

公開を中止された指定のスナップショットを公開します。

スナップショットを公開する前に、検証する必要があります。CdmSnapshotAPI - POST /sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/publish エンドポイントを使用してスナップショットを検証するか、コミット時に自動的に検証されるようにできます。スナップショットを公開するには、展開可能項目をサービスに接続する必要があります。また、スナップショットが既に公開されている場合、要求は失敗します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/{snapshot_id}/publish`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/publish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
snapshot_id	処理するスナップショットレコードの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、sys_id が 3a168d9dc342301054c1582e1340dd68 のスナップショットを公開する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/snapshots/3a168d9dc342301054c
1582e1340dd68/publish"\
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

以下は、公開要求に対する成功応答と失敗応答の両方を示しています。

```
// Example of a successful response
{
  ""
}

// Example of an error response
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "error": {
    "message": "Error: Unexpected error occurred in publish
 request.Error:Snapshot not found",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmSnapshotAPI - POST /sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/unpublish

以前に公開されたスナップショットの公開を中止します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/{snapshot_id}/unpublish`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/unpublish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
snapshot_id	処理するスナップショットレコードの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、sys_id が 3a168d9dc342301054c1582e1340dd68 のスナップショットの公開を中止する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/snapshots/3a168d9dc342301054c
1582e1340dd68/unpublish"\
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

以下は、公開中止要求に対する成功応答と失敗応答の両方を示しています。

```
// Example of a successful response
{
  ""
}

// Example of an error response
{
  "error": {
    "message": "Error: Unexpected error occurred in publish
 request.Error:Snapshot not found",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmSnapshotAPI - POST /sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/publish

公開を中止された指定のスナップショットを検証します。

検証は非同期プロセスとして実行されます。このエンドポイントを呼び出すと、検証プロセスの開始のみが行われます。この呼び出しから返される結果は、検証自体の結果ではなく、検証プロセスが開始されたかどうかに限られます。スナップショットが検証されたかどうかを確認するには、テーブル API を使用してスナップショットを特定し、その検証ステータスを確認します。

注: 公開されたスナップショットは検証できません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/{snapshot_id}/validate`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/{snapshot_id}/validate`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
snapshot_id	処理するスナップショットレコードの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。指定されたスナップショットは既に公開されているか、見つけることができません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、sys_id が 3a168d9dc342301054c1582e1340dd68 のスナップショットを検証する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/snapshots/3a168d9dc342301054c
1582e1340dd68/validate"\
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

以下は、検証要求に対する成功応答と失敗応答の両方を示しています。

```
// Example of a successful response
{
  ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}

// Example of an error response
{
  "error": {
    "message": "Invalid Snapshot id:test",
    "detail": ""
  },
  "status": "failure"
}
```

CdmSnapshotApi - PUT /sn_cdm/snapshots/publish

公開を中止された指定のスナップショットを公開します。

スナップショットを公開する前に、検証する必要があります。CdmSnapshotApi - PUT /sn_cdm/snapshots/validate エンドポイントを使用してスナップショットを検証するか、コミット時に自動的に検証されるようにできます。スナップショットを公開するには、展開可能項目をサービスに接続する必要があります。また、スナップショットが既に公開されている場合、要求は失敗します。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/publish`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/publish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。スナップショットを作成する 構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。スナップショットを作成する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	必須です。スナップショットの名前。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

cdm_application_id	スナップショットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_application_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_application_id.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_application_id.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

cdm_deployable_id	スナップショットに関連付けられた CDM 展開可能項目に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_deployable_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_deployable_id.link	テーブル REST API を使用してこの展開可能レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id.value	展開可能レコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

changeset_id	スナップショットに関連付けられた変更セットに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	スナップショットの簡単な説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_published	スナップショットが最後に公開された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
last_validated	スナップショットが最後に検証された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
name	スナップショットの名前。 データタイプ：文字列
number	スナップショットを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
公開済	スナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：スナップショットが公開されました。 • false:スナップショットは公開されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
sys_created_by	スナップショットを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	スナップショットが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	スナップショットの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	スナップショットを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	スナップショットが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
妥当性検証	スナップショットの現在の検証ステータス。 可能な値： • execution_error • failed • in_progress • not_validated • passed • passed_with_exception • requested データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、スナップショットを公開する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/snapshots/publish?deployableN
ame=Development_1&name=Development_1-v1.dpl&appName=testApp" \
--request PUT \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：


```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "d4b9446e53001110a1d3ddeeff7b126c",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/d4b9446e5
3001110a1d3ddeeff7b126c"
    },
    "cdm_deployable_id": {
      "value": "6dc517a953b70110a1d3ddeeff7b129b",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_deployable/6dc517a9
53b70110a1d3ddeeff7b129b"
    },
    "description": null,
    "cdm_application_id": {
      "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a
953b70110a1d3ddeeff7b128c"
    },
    "published": true,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 12:57:02",
    "last_published": "2022-06-30 12:57:02",
    "number": "SNAP0001002",
    "sys_id": "9017fc2e53801110a1d3ddeeff7b12d7",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2022-06-15 14:19:38",
    "name": "Development_1-v2.dpl",
    "last_validated": "2022-06-30 12:56:07",
    "validation": "passed",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


CdmSnapshotApi - PUT /sn_cdm/snapshots/unpublish

以前に公開されたスナップショットの公開を中止します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/unpublish`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/unpublish`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。スナップショットを作成する 構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。スナップショットを作成する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	必須です。スナップショットの名前。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

cdm_application_id	スナップショットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_application_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_application_id.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_application_id.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id	スナップショットに関連付けられた CDM 展開可能項目に関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"cdm_deployable_id": { "link": "String", "value": "String" }`
cdm_deployable_id.link	テーブル REST API を使用してこの展開可能レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id.value	展開可能レコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
changeset_id	スナップショットに関連付けられた変更セットに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"changeset_id": { "link": "String", "value": "String" }`
changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	スナップショットの簡単な説明。 データタイプ：文字列
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
last_published	スナップショットが最後に公開された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
last_validated	スナップショットが最後に検証された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
name	スナップショットの名前。 データタイプ：文字列
number	スナップショットを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
公開済	スナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false:スナップショットは公開されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
sys_created_by	スナップショットを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	スナップショットが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	スナップショットの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	スナップショットを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	スナップショットが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
妥当性検証	スナップショットの現在の検証ステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• execution_error • failed • in_progress • not_validated • passed • passed_with_exception • requested データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、スナップショットの公開を中止する方法を示しています。

返される結果：

CdmSnapshotApi - PUT /sn_cdm/snapshots/validate

公開を中止された指定のスナップショットを、マップされたポリシーに対して検証します。

検証は非同期プロセスとして実行されます。このエンドポイントを呼び出すと、検証プロセスの開始のみが行われます。この呼び出しから返される結果は、検証自体の結果ではなく、検証プロセスが開始されたかどうかに限られます。スナップショットが検証されたかどうかを確認するには、テーブル API を使用してスナップショットを特定し、その検証ステータスを確認します。

注: 公開されたスナップショットは検証できません。

このエンドポイントの呼び出し元には、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cdm/{api_version}/snapshots/validate`

デフォルトの URL：`/api/sn_cdm/snapshots/validate`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
appName	必須です。スナップショットを作成する 構成データ管理 (CDM) アプリケーションの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
deployableName	必須です。スナップショットを作成する CDM 展開可能項目の名前。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	必須です。スナップショットの名前。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返すフィールドのリスト。sys_id、sys_updated_by、state などのレコード列名を渡します。 データタイプ：アレイ デフォルト：エンドポイントによって決定されるすべてのフィールド

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。指定されたスナップショットは既に公開されているか、見つけることができません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

cdm_application_id	スナップショットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_application_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_application_id.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_application_id.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

cdm_deployable_id	スナップショットに関連付けられた CDM 展開可能項目に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_deployable_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_deployable_id.link	テーブル REST API を使用してこの展開可能レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
cdm_deployable_id.value	展開可能レコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

changeset_id	スナップショットに関連付けられた変更セットに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	スナップショットの簡単な説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_published	スナップショットが最後に公開された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
last_validated	スナップショットが最後に検証された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
name	スナップショットの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
number	スナップショットを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
公開済	スナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false:スナップショットは公開されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
sys_created_by	スナップショットを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	スナップショットが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	スナップショットの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	スナップショットを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	スナップショットが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
妥当性検証	スナップショットの現在の検証ステータス。 可能な値： • execution_error • failed • in_progress • not_validated • passed • passed_with_exception • requested データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

このコード例は、スナップショットを検証する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/snapshots/validate?name=Devel
opment_1-v2.dpl&deployableName=Development_1&appName=testApp" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "d4b9446e53001110a1d3ddeeff7b126c",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/d4b9446e5
3001110a1d3ddeeff7b126c"
    },
    "cdm_deployable_id": {
      "value": "6dc517a953b70110a1d3ddeeff7b129b",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_deployable/6dc517a9
53b70110a1d3ddeeff7b129b"
    },
    "description": null,
    "cdm_application_id": {
      "value": "62b517a953b70110a1d3ddeeff7b128c",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_application/62b517a
953b70110a1d3ddeeff7b128c"
    },
    "published": false,
    "sys_updated_on": "2022-06-30 12:57:02",
    "last_published": "2022-06-30 12:57:02",
    "number": "SNAP0001002",
    "sys_id": "9017fc2e53801110a1d3ddeeff7b12d7",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2022-06-15 14:19:38",
    "name": "Development_1-v2.dpl",
    "last_validated": "2022-06-30 12:56:07",
    "validation": "passed",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```

CdmVersionApi

CdmVersionApi は、共有ライブラリの共有コンポーネントの 構成データ管理 (CDM) でバージョン (スナップショット) を公開、非公開、およびエクスポートできるようにするエンドポイントを提供します。

スナップショットを公開してエクスポートできるようにすると、 継続的インテグレーションと継続的デリバリー (CICD) パイプラインが関連する共有コンポーネントとライブラリにアクセスして使用できるようになります。エクスポーターは、公開されたスナップショットでのみ実行できます。ス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナップショットが不要になった場合は、公開を中止して、スナップショットが実行可能かどうかについての混乱を軽減することができます。

この API にアクセスするには、次のいずれかのロールが必要です。

- スクリプト化された REST CDM ビュー ACL (sn_cdm.cdm.viewer)
- スクリプト化された REST CDM エディター ACL (sn_cdm.cdm_editor)

また、この API をインスタンスで使用するには、構成データ管理 (CDM) プラグインを有効にする必要があります。

スナップショットの詳細については、「スナップショットの表示」を参照してください。

CdmVersionApi:GET /sn_cdm/versions/export

指定された公開バージョンについて、指定された共有ライブラリ内の指定された共有コンポーネントの構成データを返します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/versions/export`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/versions/export`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
dataFormat	必須。構成データの形式。 有効な値： • csv • ini • json • プロパティ • 生 • xml • yaml データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
decryptPassword	エンコードされたパスワード値と復号化されたパスワード値のどちらを表示するかを示すフラグ。 有効な値： • true:パスワードを復号化し、復号化された値を表示します。 • false:暗号化されたパスワード値を表示します。 デフォルト値：false
sharedComponentName	必須。構成データをエクスポートする共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。構成データを返すコンポーネントを含む共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。指定するアプリケーションでは、type フィールドが「shared_library」に設定されている必要があります。 データタイプ：文字列
substituteVariables	変数に従うかどうかを示すフラグ。変数に従う方法については、 構成データの検証と修正 を参照してください。 有効な値： • true:変数に従います。 • false:変数をフォローしません。 デフォルト：true

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	• *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの問題が発生した可能性があります。 • 共有ライブラリがアクティブではありません。 • 共有コンポーネントがアクティブではありません。 • バージョンは公開されていません。 • 呼び出しにパラメーターがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
結果	指定された形式の構成データ。
error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	要求のエラーステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、「JavaLib」共有ライブラリの下にある「jdk8」コンポーネントの構成データをエクスポートする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/shared_libraries/components/e
xports?sharedLibraryName=JavaLib&componentName=jdk8
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
"result": {
    "sharedComponentA": { "cdi": "val" }
 }
}
```

CdmVersionApi:PUT /sn_cdm/versions/publish

指定された共有ライブラリで共有コンポーネントのバージョンを公開します。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

注: スナップショットとバージョンは、この実装では同義の意味です。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/versions/publish`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/versions/publish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name	必須。公開する共有コンポーネントのバージョンの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返す CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト:すべての非システムフィールドを返します。
sharedComponentName	必須。公開する共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。指定されたコンポーネントが存在する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。関連するレコードのタイプフィールドを「shared_library」に設定する必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	• *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。公開中にエラーが発生しました。 考えられる問題： • バージョン名が見つかりません。 • コンポーネントバージョンは既に公開されています。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
cdm_application_id	スナップショットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"cdm_application_id": { "link": "String", "value": "String" }`
cdm_application_id.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
cdm_application_id.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

cdm_deployable_id	スナップショットに関連付けられた CDM 展開可能項目に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"cdm_deployable_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

cdm_deployable_id.link	テーブル REST API を使用してこの展開可能レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id.value	展開可能レコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

changeset_id	スナップショットに関連付けられた変更セットに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"changeset_id": {`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	スナップショットの簡単な説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"message": "String"
	}</pre>

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_published	スナップショットが最後に公開された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
last_validated	スナップショットが最後に検証された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
name	スナップショットの名前。 データタイプ：文字列
number	スナップショットを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
公開済	スナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false:スナップショットは公開されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
sys_created_by	スナップショットを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	スナップショットが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	スナップショットの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	スナップショットを更新したユーザーの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_updated_on	スナップショットが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
妥当性検証	スナップショットの現在の検証ステータス。 可能な値： • execution_error • failed • in_progress • not_validated • passed • passed_with_exception • requested データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、共有コンポーネント「Development」を「Development-v1.shc」というバージョン名で公開する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_cdm/versions/publish?sharedLibrar
yName=LibraryJdk&componentName=Development&name=Development-v1.shc" \
--request PUT\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password
```

応答：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "1a2bd15c7764a1109ac0cf0bbb5a99fc",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_changeset/1a2bd15c7
764a1109ac0cf0bbb5a99fc"
    },
    "cdm_deployable_id": null,
    "cdm_shared_component_node_id": {
      "value": "fe2b155c7764a1109ac0cf0bbb5a995d",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_node/fe2b155c7764a1
109ac0cf0bbb5a995d"
    },
    "cdm_shared_component_id": {
      "value": "362b155c7764a1109ac0cf0bbb5a9970",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_shared_component/36
2b155c7764a1109ac0cf0bbb5a9970"
    },
    "description": null,
    "cdm_application_id": {
      "value": "122bd15c7764a1109ac0cf0bbb5a99fa",
      "link":
 "http://instance.servicenow.com/api/now/table/sn_cdm_application/122bd15
c7764a1109ac0cf0bbb5a99fa"
    },
    "published": true,
    "sys_updated_on": "2023-01-18 14:15:44",
    "last_published": "2023-01-18 09:53:37",
    "sequence_number": "1",
    "number": "SNAP0001110",
    "sys_id": "df2b155c7764a1109ac0cf0bbb5a9949",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2023-01-18 09:53:36",
    "name": "logonService-V2.1-v1.shc",
    "last_validated": "",
    "validation": "passed",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


CdmVersionApi:PUT /sn_cdm/versions/unpublish

指定された共有ライブラリの共有コンポーネントのバージョンを非公開にします。

このエンドポイントにアクセスするには、CDM エディターロールが必要です。

注: スナップショットとバージョンは、この実装では同義の意味です。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_cdm/{api_version}/versions/publish`

デフォルト URL: `/api/sn_cdm/versions/publish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
name	必須。非公開にする共有コンポーネントのバージョンの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
returnFields	応答の一部として返す CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト:すべての非システムフィールドを返します。
sharedComponentName	必須。非公開にする共有コンポーネントの名前。CDM 共有コンポーネント [sn_cdm_shared_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sharedLibraryName	必須。指定されたコンポーネントが存在する共有ライブラリーの名前。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。関連するレコードのタイプフィールドを「shared_library」に設定する必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。 サポートされるタイプ： • *application/json* • *application/xml* • *text/xml* デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。非公開中にエラーが発生しました。 考えられる問題： • バージョン名が見つかりません。 • コンポーネントバージョンは既に公開されています。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
cdm_application_id	スナップショットに関連付けられた CDM アプリケーションに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"cdm_application_id": { "link": "String", "value": "String" }`
cdm_application_id.link	REST テーブル API を使用して CDM アプリケーションレコードにアクセスするために使用する呼び出し。 データタイプ：文字列
cdm_application_id.value	関連付けられた CDM アプリケーションレコードの sys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id	スナップショットに関連付けられた CDM 展開可能項目に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"cdm_deployable_id": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

cdm_deployable_id.link	テーブル REST API を使用してこの展開可能レコードをクエリするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
cdm_deployable_id.value	展開可能レコードの sys_id。CDM 展開可能項目 [sn_cdm_deployable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

changeset_id	スナップショットに関連付けられた変更セットに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"changeset_id": {
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

changeset_id.link	テーブル REST API を使用してこの変更セットレコードをクエリーするための呼び出し構文。 データタイプ：文字列
changeset_id.value	変更セットレコードの一意の識別子。CDM 変更セット [sn_cdm_changeset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
説明	スナップショットの簡単な説明。 データタイプ：文字列

error	処理中にエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理を試行中に生成されたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
last_published	スナップショットが最後に公開された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
last_validated	スナップショットが最後に検証された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
name	スナップショットの名前。 データタイプ：文字列
number	スナップショットを識別する一意の番号。この値は、人間が判読可能なマッピングの識別子を提供します。 データタイプ：文字列
公開済	スナップショットが公開されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：スナップショットが公開されました。 • false:スナップショットは公開されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
sys_created_by	スナップショットを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	スナップショットが作成された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
sys_id	スナップショットの sys_id。CDM スナップショット [sn_cdm_snapshot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	スナップショットを更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	スナップショットが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
妥当性検証	スナップショットの現在の検証ステータス。 可能な値： • execution_error • failed • in_progress

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• not_validated • passed • passed_with_exception • requested データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、"OracleG-Library-10"共有ライブラリから"paymentService-V1"共有コンポーネントを非公開にする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-name.service-now.com/api/sn_cdm/versions/unpublish?sha
redLibraryName=OracleG-Library-10&sharedComponentName=paymentService-V1.1
&name=paymentService-V1.1-v1.shc" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "changeset_id": {
      "value": "1a2bd15c7764a1109ac0cf0bbb5a99fc",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_changeset/1a2bd15c7764a1
109ac0cf0bbb5a99fc"
    },
    "cdm_deployable_id": null,
    "cdm_shared_component_node_id": {
      "value": "fe2b155c7764a1109ac0cf0bbb5a995d",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_node/fe2b155c7764a1109ac
0cf0bbb5a995d"
    },
    "cdm_shared_component_id": {
      "value": "362b155c7764a1109ac0cf0bbb5a9970",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_shared_component/362b155
c7764a1109ac0cf0bbb5a9970"
    },
    "description": null,
    "cdm_application_id": {
      "value": "122bd15c7764a1109ac0cf0bbb5a99fa",
      "link":
 "http://192.168.0.129:8080/api/now/table/sn_cdm_application/122bd15c7764
a1109ac0cf0bbb5a99fa"
    },
    "published": false,
    "sys_updated_on": "2023-01-18 14:15:44",
    "last_published": "2023-01-18 09:53:37",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sequence_number": "1",
    "number": "SNAP0001110",
    "sys_id": "df2b155c7764a1109ac0cf0bbb5a9949",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2023-01-18 09:53:36",
    "name": "logonService-V2.1-v1.shc",
    "last_validated": "",
    "validation": "passed",
    "sys_created_by": "admin"
  }
}
```


Change Management API

Change Management API は、ServiceNow 変更管理 プロセスとのサードパーティアプリケーションの統合を可能にするエンドポイントを提供します。

アプリケーションを ServiceNow 変更管理 プロセスと統合することで、開始された場所に関係なく、すべての変更要求が信頼できる一元化された情報源を使用でき、単一の監査ソースが提供されます。

ServiceNow クライアントサイドアプリケーションを開発するときに、この REST API を使用して、変更管理プロセスを外部アプリケーションと統合します。

この REST API を使用すると、インテグレーターは次のことができます。

- 公開された標準的な変更の要求テンプレートから標準的な変更の要求を開始します。
- 緊急タイプまたは通常タイプの変更要求を作成します。
- 任意の変更要求の変更要求テーブルに存在するフィールドを更新します。
- 変更タスクテーブルに存在するフィールドを更新し、作成からクローズ/キャンセルまでタスクを実施します。
- 特定の変更要求、標準テンプレート、変更要求タスク、または変更モデルを取得します。
- ページネーションを使用して、複数の変更要求、標準テンプレート、変更要求タスクを取得します。
- リスク評価を実行します。
- 影響を受けたサービスをリフレッシュします。
- 変更要求に関連する承認アクティビティを生成して処理します。
- 潜在的なスケジュールの競合を特定し、競合が存在しない期間を特定します。
- 変更要求、変更要求タスク、および競合チェックプロセスを削除します。
- 変更モデルレコードに基づいて変更要求レコードを作成します。
- 指定された変更要求で利用可能なステータスのリスト (現在のステータスを含む) を取得します。

Change Management API は、フローデザイナー および Workflowを使用して ITIL タイプと変更モデルをサポートします。変更モデルは、目的に適した変更を提供します。タイプとモデルは、変更要求が次のステータスに進む前に満たす必要がある移行基準を定義します。この基準は、ステータス、ワークフロー、ツール、およびビジネスルールを使用して定義できます。

- 従来の ITIL タイプ：標準、緊急、および通常。
- 変更モデルのステータス：新規、予約済み、実装、レビュー、およびクローズ済み。

ServiceNow インスタンス内で追加の変更モデルを構成し、この API のエンドポイントを使用して、それらの変更モデルに基づいて変更要求を作成できます。Change Management - GET /

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

sn_chg_rest/change/{sys_id} および Change Management - GET /sn_chg_rest/change/model エンドポイントを使用して、インスタンスで利用可能な変更モデルを取得します。次に、Change Management - POST /sn_chg_rest/change を使用して、指定された変更モデルに基づいて変更要求を作成します。

変更モデルの構成については、「変更管理の構成」を参照してください。

Change Management エンドポイントにアクセスするには、次のロールが必要です。

- DELETE：change_manager または admin
- GET：change_manager、itil、sn_change_read、または admin
- PATCH/POST：change_manager、itil、または admin

さらに、管理者は変更プロパティを設定して、Change Management の動作を設定できます。これらのプロパティのリストと使用可能な機能の説明については、「変更管理プロパティ」を参照してください。

Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}

指定された sys_id で識別される変更要求タスクを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	タスクが関連付けられている変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。指定された変更要求にタスクが実際に関連付けられていることを確認します。 データタイプ：文字列
task_sys_id	削除する変更要求タスクの sys_id。変更タスク [change_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	削除前に識別された変更要求タスクのすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
parent	このタスクが関連付けられた変更要求の情報。 データタイプ：オブジェクト `parent: { display_value: "String", value: "String" }`
parent.display_value	UI に表示する親タスクの sys_id。 データタイプ：文字列
parent.value	親タスクの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	削除された変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/task/12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5",
        display_value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5"
      },
      parent: {
        value: "0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe",
        display_value: "CHG0033046 "
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Retire both nodes",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        display_value: "Retire both nodes"
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/{sys_id}

指定された sys_id に関連付けられた変更要求を削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	削除する変更要求レコードの sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	削除された変更要求レコード。このオブジェクトの各要素は、変更要求 [change_request] テーブルのレコードのフィールドに対応します。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result":
    {
      "reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "watch_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
       },
       "proposed_change": {
         "display_value": "",
         "value": ""
       },
       "upon_reject": {
         "display_value": "Cancel all future Tasks",
         "value": "cancel"
       },
       "sys_updated_on": {
         "display_value": "2015-07-06 11:59:27",
         "value": "2015-07-06 18:59:27",
         "display_value_internal": "2015-07-06 11:59:27"
      },
      "type": {
        "display_value": "Standard",
        "value": "standard"
      },
      "approval_history": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "skills": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "test_plan": {
        "display_value": "--Confirm that there are no monitoring alerts
for the router",
        "value": "--Confirm that there are no monitoring alerts for the
router"
      },
      "number": {
        "display_value": "CHG0000024",
        "value": "CHG0000024"
      },
      "is_bulk": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "cab_delegate": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "requested_by_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "ci_class": {
      "display_value": "cmdb_ci",
      "value": "cmdb_ci"
    },
    "state": {
      "display_value": "Closed",
      "value": 3.0
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "knowledge": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "order": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "phase": {
      "display_value": "Requested",
      "value": "requested"
    },
    "cmdb_ci": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "delivery_plan": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "impact": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3.0
    },
    "contract": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "active": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "work_notes_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "priority": {
      "display_value": "4 - Low",
      "value": 4.0
    },
    "sys_domain_path": {
      "display_value": "/",
      "value": "/"
    },
    "cab_recommendation": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "production_system": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "rejection_goto": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "review_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "requested_by": {
        "display_value": "System Administrator",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      },
      "business_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "group_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "change_plan": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval_set": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "wf_activity": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "implementation_plan": {
        "display_value": "-- Place router into maintenance mode in
the monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n--
Run the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform",
        "value": "-- Place router into maintenance mode in the
monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n-- Run
the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform"
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "universal_request": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "end_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "short_description": {
      "display_value": "Reboot the server at 6 am",
      "value": "Reboot the server at 6 am"
    },
    "correlation_display": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "work_start": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:04",
      "value": "2015-07-06 18:56:04",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:04"
    },
    "delivery_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "outside_maintenance_schedule": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "additional_assignee_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "std_change_producer_version": {
      "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router - 1",
      "value": "16c2273c47010200e90d87e8dee49006"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Request",
      "value": "change_request"
    },
    "service_offering": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "follow_up": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "review_status": {
      "display_value": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": ""
      },
      "reassignment_count": {
        "display_value": "2",
        "value": 2.0
      },
      "start_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "assigned_to": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "variables": {
        "display_value": "variable_pool",
        "value": "variable_pool"
      },
      "sla_due": {
        "display_value": "UNKNOWN",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "comments_and_work_notes": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "escalation": {
        "display_value": "Normal",
        "value": 0.0
      },
      "upon_approval": {
        "display_value": "Proceed to Next Task",
        "value": "proceed"
      },
      "correlation_id": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "made_sla": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "backout_plan": {
        "display_value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work",
        "value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work"
      },
      "conflict_status": {
        "display_value": "Not Run",
        "value": "Not Run"
      },
      "task_effective_number": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "CHG0000024",
        "value": "CHG0000024"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "opened_by": {
        "display_value": "System Administrator",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      },
      "user_input": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2015-07-06 11:55:46",
        "value": "2015-07-06 18:55:46",
        "display_value_internal": "2015-07-06 11:55:46"
      },
      "on_hold_task": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "value": "global"
      },
      "route_reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "closed_at": {
        "display_value": "2015-07-06 11:56:23",
        "value": "2015-07-06 18:56:23",
        "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:23"
      },
      "review_comments": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "business_service": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "time_worked": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "chg_model": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "expected_start": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "opened_at": {
      "display_value": "2015-06-09 11:55:46",
      "value": "2015-06-09 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-06-09 11:55:46"
    },
    "work_end": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:10",
      "value": "2015-07-06 18:56:10",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:10"
    },
    "phase_state": {
      "display_value": "Open",
      "value": "open"
    },
    "cab_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "work_notes": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "close_code": {
      "display_value": "Successful",
      "value": "successful"
    },
    "assignment_group": {
      "display_value": "Network",
      "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
    },
    "description": {
      "display_value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n",
      "value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n"
    },
    "on_hold_reason": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "calendar_duration": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "close_notes": {
      "display_value": "Completed without issues",
      "value": "Completed without issues"
    },
    "sys_id": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
        "value": "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f"
      },
      "contact_type": {
        "display_value": "Phone",
        "value": "phone"
      },
      "cab_required": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "urgency": {
        "display_value": "3 - Low",
        "value": 3.0
      },
      "scope": {
        "display_value": "Medium",
        "value": 3.0
      },
      "company": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "justification": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "activity_due": {
        "display_value": "UNKNOWN",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "comments": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval": {
        "display_value": "Approved",
        "value": "approved"
      },
      "due_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "10",
        "value": 10.0
      },
      "on_hold": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "conflict_last_run": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "risk_value": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "unauthorized": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "risk": {
        "display_value": "Moderate",
        "value": 3.0
      },
      "location": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "category": {
        "display_value": "Other",
        "value": "Other"
      },
      "risk_impact_analysis": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    }
}
```


Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict

指定された変更要求 (sys_id) の実行中の競合チェックプロセスをキャンセルします。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/conflict`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	実行中の競合チェックプロセスをキャンセルする変更要求レコードの sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。キャンセル要求が失敗しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/conflict" \
--request DELETE \
--user "username":"password"
```

```
None
```

Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}

指定された sys_id で識別される緊急の変更要求を削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/emergency/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	削除する緊急の変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	削除前の変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> value: "String" }</pre>
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列

sys_id	変更要求の sys_id 情報。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>sys_id: {
	  display_value: "String",
	  value: "String"
	}</pre>

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

type	変更要求のタイプ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>type: {
	  display_value: "String",
	  value: "String"
	}</pre>

type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Emergency」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「emergency」です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/emergency/b0d
bda5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
        display_value: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "emergency",
        display_value: "Emergency"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Remove server",
        display_value: "Remove server"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/normal/{sys_id}

指定された sys_id で識別される通常の変更要求を削除します。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/normal/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/normal/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求 [change_request] テーブルにある、削除する通常の変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト
state	削除前の変更要求のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Normal」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「normal」です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/normal/b0dbda
5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Remove server",
        display_value: "Remove server"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - DELETE /sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}

指定された sys_id で識別される標準的な変更の要求を削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	削除する標準的な変更の要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	識別された変更要求のすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。

state	削除前の変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の一意の識別子。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard/1c87
925347c12200e0ef563dbb9a7177" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      },
    },
  ]
}
```

自動翻訳

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule

構成アイテム ID と期間で利用可能なタイムスロットを取得できるようにします。オプションで予定開始時間を含めることができます。

必要なロール： sn_change_writer

注: このエンドポイントを実行すると、利用可能な開始時間と終了時間が表示されません。応答本文の *worker.link* プロパティにあるリンクを使用して、スケジュールデータを取得します。

関連項目：

- GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule
- PATCH /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule/first_available

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
cmdb_ci_sys_id	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルのレコードの sys_id。このエンドポイントには変更要求は必要ありません。

クエリパラメーター

名前	説明
duration_in_seconds	変更の期間 (秒)、つまり、変更要求タスクの完了に必要な時間。 データタイプ：整数
planned_start_time	オプション。変更要求の実装開始が予定されている日時 (UTC)。 この時間以降の利用可能なタイムスロットの開始時間を取得します。指定しない場合、現在の時刻が開始時間として使用されます。 時間形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	システムが要求を承認しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 考えられる問題： • 指定された sys_id の cmdb_ci が見つかりません。レコードが存在しないか、ユーザーに読み取りアクセス権がありません。 • duration_in_seconds クエリパラメータ値が指定されていません。 • 無効な duration_in_seconds または planned_start_time クエリパラメーター値が指定されました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String", "status": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。 データタイプ：文字列
messages	メッセージ情報。 データタイプ：オブジェクト `"messages": { "errorMessages": [Array], "infoMessages": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "warningMessages": [Array] }</pre>
messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
要求	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列

state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>state: {
	  display_value: "String",
	  value: Number
	}</pre>

state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *state.value* パラメーターに直接関連付けられています。 可能な値： • 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値： • 1 • 2 • 3 • 4 データタイプ：数値
type	要求のタイプを示します。 有効な値：schedule

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
worker	関連付けられたワーカーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"worker": { "link": "String", "sysId": "String" }`
worker.link	タイムスロットデータを取得するためのリンク。結果を表示するには、GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id} で sys_id を使用します。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

利用可能なタイムスロットを取得

worker.link で指定された値を使用して、スケジュール枠の詳細を取得します。値の形式は次のとおりです。

```
https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/
<worker_sys_id>
```

結果を表示するには、GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id} で worker_sys_id を使用します。

応答の本文にはステータスが含まれ、処理が完了すると結果が提供されます。

ワーカー応答本文のパラメーターの結果は、タイムスロットの可用性によって異なります。

- 指定されたタイムスロットがスケジュールタイムスロット内の変更要求で利用可能な場合、ワーカー API は *payload.spans* プロパティで利用可能なタイムスロットをリストします。それ以外の場合は、*payload.spans* プロパティは結果に表示されません。
- 定義されたスケジューリングタイムスロット内に指定された変更要求期間で利用可能なタイムスロットがない場合、*messages.infoMessages* は次のように表示されます：`D`

> **注:** 変更要求スケジューリングタイムスロットのデフォルト値は 90 日です。この値を変更するには、*change.conflict.next_available.schedule_window* プロパティを変更します。詳細については、「競合分析プロパティの構成」を参照してください。

次の *GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id}* の例は、worker.link の詳細で指定された ID を使用して提供された出力を示しています。結果には、タスク期間で利用可能なオープンなタイムスパンがリストされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "d7d1f2b4a444b010f87712198fe9caae",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/d7d1f2b4
a444b010f87712198fe9caae"
    },
    "request":
 "{\"cmdb_ci_sys_id\":
\"82967cdd0ad3370236092104ce988d76\",\"planned_start_time\":
\"\",\"duration_in_seconds\":10800,\"timezone\":
\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 3,
      "display_value": "Complete"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    },
    "payload": {
      "spans": [
        {
          "start": {
            "value": "2021-05-15 08:00:00",
            "display_value": "2021-05-15 01:00:00"
          },
          "end": {
            "value": "2021-05-15 11:00:00",
            "display_value": "2021-05-15 04:00:00"
          }
        },
        {
          "start": {
            "value": "2021-05-22 08:00:00",
            "display_value": "2021-05-22 01:00:00"
          },
          "end": {
            "value": "2021-05-22 11:00:00",
            "display_value": "2021-05-22 04:00:00"
          }
        },
        ...
      ]
    }
  }
}
```


Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/ci/<cmdb_ci_sys
_id>/schedule?duration_in_seconds=10800" \
--request GET \
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

結果には、GET /sn_chg_rest/change/worker/endpoint で提供された sys_id を実行するために使用できる worker.link の詳細が含まれています。

```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "1049419c1b4c3010f58a6572604bcb7a",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/1049419c
1b4c3010f58a6572604bcb7a"
    },
    "request":
 "{\"cmdb_ci_sys_id\":\"<cmdb_ci_sys_id>\",\"planned_start_time\":
\"\",\"duration_in_seconds\":10800,\"timezone\":
\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 1,
      "display_value": "Waiting"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    }
  }
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change

指定された基準に基づいて 1 つ以上の変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィル リングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たと ば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出し トメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示 できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、 れをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
order	返された変更要求をソートするためのフィールド。 データタイプ：文字列 デフォルト：*name*
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべての を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されま す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使 て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並 るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替え テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効 リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての通常の変更要求レコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索で は、ServiceNow の全文検索プラットフォーム機能を使用します。ServiceNow検索機能の詳細につ は、「検索の管理」を参照してください。 デフォルト：`IR_AND_OR_QUERY`

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
result	1 つ以上の変更要求レコードオブジェクトを含むリスト。各オブジェクトは変更要求を表します。変更要求オブジェクトの各要素は、変更要求 [change_request] テーブルの関連付けられたレコードのフィールドに対応します。 すべての要素には、*value* および *display_value* の名前と値のペアが含まれています。日付フィールドには、*display_value_internal* の名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：アレイ
action_status	関連する変更要求の現在のアクションステータス。 可能な値： • 1：社内でブロック済み • 2：顧客によりブロック済み • 3：社内でおよび顧客によりブロック済み • 4：要注意 データタイプ：数値
active	変更要求がアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：変更要求はアクティブです • false：変更要求はアクティブではありません データタイプ：ブール デフォルト：true
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日時。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	変更要求の作業にアサインされた追加のユーザーの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
approval	必要な承認プロセスのタイプ。 データタイプ：文字列 デフォルト：not requested
approval_history	最新の承認履歴ジャーナルエントリ。 データタイプ：文字列
approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
assigned_to	変更要求にアサインされたユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
assignment_group	変更要求にアサインされたグループの sys_id。 データタイプ：文字列
backout_plan	変更を取り消す必要がある場合に実行する計画の説明。 データタイプ：文字列
business_duration	変更の完了までにかかったスケジュールされた作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_service	変更要求に関連付けられたビジネスサービスの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cab_date	変更諮問委員会 (CAB) の会議の日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
cab_delegate	CAB 会議中に CAB マネージャーの代理を務めることができるユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cab_recommendation	変更要求の CAB の提言の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cab_required	CAB が必須かどうかを示すフラグ 。 可能な値： • true：変更諮問委員会が必要です。 • false：変更諮問委員会は必要ではありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
calendar_duration	現在 変更管理 で使用されていません。 データタイプ：文字列
category	変更のカテゴリ (たとえば、ハードウェア、ネットワーク、ソフトウェアなどです)。 データタイプ：文字列 デフォルト：Other
change_plan	変更要求を管理および制御するためのアクティビティとロール。 データタイプ：文字列
chg_model	関連する変更要求の基になった変更モデルの sys_id。変更モデル [chg_model] テーブルにあります。変更モデルは、変更要求に対して完了する必要があるステータスフロー、移行、およびプロセスアクティビティを定義します。 データタイプ：文字列
closed_at	関連する変更要求がクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	変更要求をクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
close_code	変更要求がクローズされたときに変更要求に割り当てられたコード。たとえば、成功、成功 (問題あり)、不成功などです。 データタイプ：文字列
close_notes	ユーザーが変更要求をクローズしたときに入力したメモ。 データタイプ：文字列
cmdb_ci	変更要求に関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	関連する変更要求に入力された顧客向け作業メモのリスト。 データタイプ：アレイ
comments_and_work_notes	関連する変更要求に入力された内部および顧客向けの両方の作業メモのリスト。 データタイプ：アレイ 最大長：4,000
company	変更要求と関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict_last_run	変更要求で競合の検出スクリプトが最後に実行された日時。 データタイプ：文字列
conflict_status	競合の検出スクリプトによって検出された現在の競合ステータス (競合、未実行など)。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：未実行
contact_type	変更要求が最初に要求された方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
contract	変更要求と関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
correlation_display	*correlation_id*のユーザーに分かりやすい名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	サードパーティシステム内の一致する変更要求レコードのグローバル一意識別子 (GUID)。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	使用されなくなりました。変更要求と関連付ける配送計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
delivery_task	使用されなくなりました。変更要求と関連付ける配送タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
description	変更要求の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	タスクの期日。変更要求プロセスでは使用されません。 データタイプ：文字列
end_date	変更要求が完了する日時。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト：0
expected_start	タスクを開始する日時。変更要求プロセスでは使用されません。 データタイプ：文字列
follow_up	ユーザーが変更要求を要求した人物をフォローアップした日時。 データタイプ：文字列
group_list	変更要求に関連付けられたグループの sys_id と名前のリスト。 データタイプ：アレイ 最大長：4,000
impact	変更要求が顧客に与える影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
implementation_plan	この変更を実装するために実行する段階的なステップ。また、ステップごとに、ステップとアサイニーの間の依存関係も含まれています。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
理由	この変更を実装するメリットと、この変更が実装されない場合の影響。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
knowledge	変更要求に関連付けられたナレッジベース (KB) 記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：KB 記事が関連付けられています • false：KB 記事は関連付けられていません データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
location	変更要求で参照される機器の場所の sys_id と名前。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	使用されなくなりました。変更要求が関連するサービスレベルアグリーメントに従って実装されたかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
needs_attention	変更要求に注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更要求に追加の注意が必要です。 • false：変更要求に追加の注意は必要ありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
number	システムによって変更要求に割り当てられた変更番号 (CHG0040007 など)。 データタイプ：文字列
on_hold	変更要求が現在保留中かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：保留中 • false：保留中ではありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
on_hold_reason	*on_hold*パラメーターが「true」の場合、変更要求が保留にされている理由の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
on_hold_task	*on_hold*パラメーターが「true」の場合、保留が解除される前に完了する必要があるタスクの sys_id のリスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
open_at	変更リリースが作成された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
opened_by	変更リリースを作成したユーザーの sys_id と名前。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	変更管理 では使用されていません。データベースからレコードを取得するときなどにレコードを並べ替える基準となるオプションの数値フィールド。 データタイプ：数値 (整数)
outside_maintenance_schedule	変更要求に対して外部の会社によるメンテナンスがスケジュールされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：外部メンテナンスがスケジュールされています • false：外部メンテナンスがスケジュールされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
parent	この変更要求に対する親タスクの sys_id と名前 (存在する場合)。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
phase	変更要求の現在のフェーズ。これにより、変更の内容がより詳細に定義されます。 可能な値： • accept • build • プラン • requested データタイプ：文字列
phase_state	変更のために作成する必要がある change_phase レコード。カテゴリに依存するので、変更のタイプごとに異なる change_phase レコードがある場合があります。各 change_phase にはスケジュールと一連の承認者を設定できるため、change_phase レコードは承認プロセスを制御する機会を提供します。 可能な値： • complete • on hold • open • rejected

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• requested • work in progress データタイプ：文字列
priority	変更要求の優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
production_system	変更要求が本番環境の ServiceNow インスタンスに対するものかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：本番環境 • false：非本番環境 データタイプ：ブール
reason	変更要求が開始された理由の説明。 可能な値： • ビジネス要件 • ハードウェアのアップグレード • 法律 • 場所の変更 • ネットワーク要件 • 新規または削除された CI • その他 • 問題が解決された • 製品またはサービスが変更されました • ソフトウェアのアップグレード • ユーザー要求 データタイプ：文字列 最大長：40
reassignment_count	変更要求が新しいオーナーに再アサインされた回数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
rejection_goto	変更要求が却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_by	変更を要求したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_by_date	変更の実装が要求された日時。 データタイプ：文字列
review_comments	変更要求のレビュー時に入力されたコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
review_date	変更要求がレビューされた日付。 データタイプ：文字列
review_status	変更要求の要求されたレビューの現在のステータス。 データタイプ：文字列
risk	変更要求に関連付けられたリスクのレベル。 有効な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 デフォルト値：3
risk_impact_analysis	変更要求の実装に関するリスクと分析の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
route_reason	現在 変更管理 で使用されていません。変更要求が転送された理由。 可能な値： • 1：解決する転送 • 9：解決しない転送

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：数値
scope	変更要求のサイズ。 可能な値： • 1：大規模 • 2：大 • 3 ：中程度 • 4：小 • 5：非常に小さい データタイプ：数値 デフォルト値：3
service_offering	変更要求に関連付けられたサービスオファリングの sys_id。サービスオファリングは、可用性、スコープ、価格設定、およびパッケージングのオプションに関して、サービスのレベルを一意に定義します。オファリング [service_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
short_description	変更要求の説明。 データタイプ：文字列 最大長：40
skills	変更要求を実装するために必要なすべてのスキルの sys_id のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
sla_due	使用されなくなりました。関連するサービスレベルアグリーメントに基づいて変更要求を完了する必要がある日時。 データタイプ：文字列
sn_esign_document	変更要求に添付された電子署名済みドキュメントの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_esign_esignature_configuration	関連するドキュメントに使用される電子署名テンプレートの sys_id。電子署名テンプレート [sn_esign_configuration] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
start_date	変更要求の実装開始が予定されている日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
state	変更要求の現在のステータス。可能な値は変更モデルで定義されます。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
std_change_producer_version	変更要求と関連付けるレコードプロデューサーおよび変更提案の sys_id。また、提案から作成された成功した変更要求と失敗した変更要求の数と割合も含まれます。標準的な変更テンプレートのバージョン [std_change_producer_version] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_class_name	変更要求が配置されているテーブルの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_by	変更要求を最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	関連付けられた変更要求レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：文字列
sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレコードが存在するドメインパス。 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられた変更要求レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	ケースが最初に作成されてからの更新回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_updated_by	ケースを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	ケースが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
task_effective_number	ユニバーサル要求番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
task_for	変更管理 では使用されていません。タスクが作成されたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
test_plan	変更に関連するテスト計画の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
time_worked	変更要求の合計作業時間。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 可能な値： • emergency • normal • standard データタイプ：文字列 最大長：40
unauthorized	変更要求が認可されていないかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：認可されていない • false：認可済み データタイプ：ブール
universal_request	この変更要求が属する親ユニバーサル要求の sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
upon_approval	変更要求が承認された場合に実行するアクション。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	変更要求が却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	変更要求の緊急度。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variables	変更要求に関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、または変更要求のステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、この変更要求に関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
wf_activity	変更要求に関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	変更要求の作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes	変更要求の解決方法に関する情報、または変更要求の解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、この変更要求についての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	変更要求の作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change?sysparm_query
=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

簡潔にするため、結果には 1 つの変更要求レコードのみが含まれます。

```
{
  "result": [
    {
      "reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "watch_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
       },
       "proposed_change": {
         "display_value": "",
         "value": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "upon_reject": {
        "display_value": "Cancel all future Tasks",
        "value": "cancel"
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2015-07-06 11:59:27",
        "value": "2015-07-06 18:59:27",
        "display_value_internal": "2015-07-06 11:59:27"
    },
    "type": {
      "display_value": "Standard",
      "value": "standard"
    },
    "approval_history": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "skills": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "test_plan": {
      "display_value": "--Confirm that there are no monitoring alerts
for the router",
      "value": "--Confirm that there are no monitoring alerts for the
router"
    },
    "number": {
      "display_value": "CHG0000024",
      "value": "CHG0000024"
    },
    "is_bulk": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "cab_delegate": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "requested_by_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "ci_class": {
      "display_value": "cmdb_ci",
      "value": "cmdb_ci"
    },
    "state": {
      "display_value": "Closed",
      "value": 3.0
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "knowledge": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "order": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "phase": {
      "display_value": "Requested",
      "value": "requested"
    },
    "cmdb_ci": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "delivery_plan": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "impact": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3.0
    },
    "contract": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "active": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "work_notes_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "priority": {
      "display_value": "4 - Low",
      "value": 4.0
    },
    "sys_domain_path": {
      "display_value": "/",
      "value": "/"
    },
    "cab_recommendation": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "production_system": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "rejection_goto": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "review_date": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "requested_by": {
        "display_value": "System Administrator",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      },
      "business_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "group_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "change_plan": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval_set": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "wf_activity": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "implementation_plan": {
        "display_value": "-- Place router into maintenance mode in
the monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n--
Run the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform",
        "value": "-- Place router into maintenance mode in the
monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n-- Run
the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform"
      },
      "universal_request": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "end_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "short_description": {
        "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router",
        "value": "Clear BGP sessions on a Cisco router"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "correlation_display": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "work_start": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:04",
      "value": "2015-07-06 18:56:04",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:04"
    },
    "delivery_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "outside_maintenance_schedule": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "additional_assignee_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "std_change_producer_version": {
      "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router - 1",
      "value": "16c2273c47010200e90d87e8dee49006"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Request",
      "value": "change_request"
    },
    "service_offering": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "follow_up": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "review_status": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "reassignment_count": {
      "display_value": "2",
      "value": 2.0
    },
    "start_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "assigned_to": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "variables": {
        "display_value": "variable_pool",
        "value": "variable_pool"
      },
      "sla_due": {
        "display_value": "UNKNOWN",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "comments_and_work_notes": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "escalation": {
        "display_value": "Normal",
        "value": 0.0
      },
      "upon_approval": {
        "display_value": "Proceed to Next Task",
        "value": "proceed"
      },
      "correlation_id": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "made_sla": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "backout_plan": {
        "display_value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work",
        "value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work"
      },
      "conflict_status": {
        "display_value": "Not Run",
        "value": "Not Run"
      },
      "task_effective_number": {
        "display_value": "CHG0000024",
        "value": "CHG0000024"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "opened_by": {
        "display_value": "System Administrator",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      },
      "user_input": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2015-07-06 11:55:46",
      "value": "2015-07-06 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:55:46"
    },
    "on_hold_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "route_reason": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_at": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:23",
      "value": "2015-07-06 18:56:23",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:23"
    },
    "review_comments": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "business_service": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "time_worked": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "chg_model": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "expected_start": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "opened_at": {
      "display_value": "2015-06-09 11:55:46",
      "value": "2015-06-09 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-06-09 11:55:46"
    },
    "work_end": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:10",
      "value": "2015-07-06 18:56:10",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:10"
    },
    "phase_state": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Open",
        "value": "open"
      },
      "cab_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "work_notes": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "close_code": {
        "display_value": "Successful",
        "value": "successful"
      },
      "assignment_group": {
        "display_value": "Network",
        "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
      },
      "description": {
        "display_value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n",
        "value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n"
      },
      "on_hold_reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "calendar_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "close_notes": {
        "display_value": "Completed without issues",
        "value": "Completed without issues"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "1766f1de47410200e90d87e8dee490f6",
        "value": "1766f1de47410200e90d87e8dee490f6"
      },
      "contact_type": {
        "display_value": "Phone",
        "value": "phone"
      },
      "cab_required": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "urgency": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "3 - Low",
        "value": 3.0
      },
      "scope": {
        "display_value": "Medium",
        "value": 3.0
      },
      "company": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "justification": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "activity_due": {
        "display_value": "UNKNOWN",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "comments": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval": {
        "display_value": "Approved",
        "value": "approved"
      },
      "due_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "10",
        "value": 10.0
      },
      "on_hold": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "conflict_last_run": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "risk_value": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "unauthorized": {
        "display_value": "false",
        "value": false
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "risk": {
        "display_value": "Moderate",
        "value": 3.0
      },
      "location": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "category": {
        "display_value": "Other",
        "value": "Other"
      },
      "risk_impact_analysis": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    }
  ]
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/nextstates

指定された変更要求で利用可能なステータスのリスト (現在のステータスを含む) を取得します。

実装された Change Management のバージョンに基づいて次のステータスに移行する方法も、利用可能であれば提供します。変更が変更モデル駆動型の場合、エンドポイントは合格または不合格の条件を返します。また、指定された移行のすべての条件に合格しているかどうかに関する情報も提供します。この情報は、タイプ駆動型および従来の変更要求では使用できません。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/nextstates`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/nextstates`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
available_states	指定された変更要求で利用可能なステータスの値 (現在のステータスを含む)。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
state_label	利用可能なステータスにラベルを関連付けるキーと値のペア。 データタイプ：オブジェクト
state_transitions	利用可能な各ステータスに移行するために何が必要かに関する情報。利用可能な個別の「移行先ステータス」はそれぞれ独自のアレイ内にあり、独自のオブジェクト内にあるその移行先ステータスに対してそれぞれ異なる条件セットがあります。 データタイプ：アレイ `"state_transitions": [ { "automatic_transition": Boolean, "conditions": [Array], "display_value": "String", "from_state": "String", "sys_id": "String", "to_state": "String", "transition_available": Boolean } ]`
state_transitions.automatic_transition	このステータスに自動的に移行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：変更要求は自動的にこのステータスに移行します。 • false：変更要求は自動的にこのステータスに移行しません。 データタイプ：ブーリアン
state_transitions.conditions	ステータスに関連付けられた条件のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"conditions": [ { "condition": {Object}, "passed": Boolean } ]`
state_transitions.conditions.condition	特定の条件の値。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"condition": {
	  "description": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

state_transitions.conditions.condition.description	条件の説明。 データタイプ：文字列
state_transitions.conditions.condition.name	条件の名前。 データタイプ：文字列
state_transitions.conditions.condition.sys_id	条件の sys_id。 データタイプ：文字列
state_transitions.conditions.passed	変更要求が関連する条件を満たしているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：条件を満たしています。 • false：条件を満たしていません。
state_transitions.display_value	表示されるステータスの説明。 データタイプ：文字列
state_transitions.from_state	変更要求の移行元ステータスの値。 データタイプ：文字列
state_transitions.sys_id	移行ステータスの sys_id。 データタイプ：文字列
state_transitions.to_state	変更要求の移行先ステータスの値。 データタイプ：文字列
state_transitions.transition_available	変更要求が現在のステータスからこのステータスに移行できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：このステータスに移行できます。 • false：このステータスに移行できません。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f"/nextstates \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "available_states": [ "0", "4", "-1" ], // State values
    "state_transitions": [
      [
        {
          "sys_id": "7a0d2ccdc343101035ae3f52c1d3ae2e", //
 sttrm_state_transition sys id
          "display_value": "Implement to Review",
          "from_state": "-1",
          "to_state": "0",
          "transition_available": false, // If true, can move to this
 state
          "automatic_transition": true, // If true, automatically moves
 to this state
          "conditions": [
            {
              "passed": false, // If true, change request met this
 condition
              "condition": {
                "name": "No active Change Tasks",
                "description": null,
                "sys_id": "3c1d2ccdc343101035ae3f52c1d3aea4"
              }
            }
          ]
        },
        {
          "sys_id": "db401481c343101035ae3f52c1d3aedd",
          "display_value": "Implement to Review",
          "from_state": "-1",
          "to_state": "0",
          "transition_available": true,
          "automatic_transition": false,
          "conditions": [
            {
              "passed": true,
              "condition": {
                "name": "Not On hold",
                "description": null,
                "sys_id": "2132deb6c303101035ae3f52c1d3ae8c"
              }
            }
          ]
        }
      ],
      [
        {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "sys_id": "5327c551c343101035ae3f52c1d3aeec",
          "display_value": "Implement to Canceled",
          "from_state": "-1",
          "to_state": "4",
          "transition_available": true,
          "automatic_transition": false,
          "conditions": []
        }
      ]
    ],
    "state_label": { // state value to label pairs
      "0": "Review",
      "4": "Canceled",
      "-1": "Implement"
    }
  }
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule

変更要求に利用可能なタイムスロットを取得できるようにします。

必要なロール： sn_change_writer

注: このエンドポイントを実行すると、利用可能な開始時間と終了時間が表示されません。応答本文の *worker.link* プロパティにあるリンクを使用して、スケジュールスデータを取得します。

関連項目：

- GET /sn_chg_rest/change/ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule
- PATCH /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule/first_available

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/schedule`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	次の利用可能なタイムスロットを検索する変更要求の sys_id。[change_request] テーブルにあります。 選択した変更要求には、予定開始時間と予定終了時間のある構成アイテム (cmdb_ci) が必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	システムが要求を承認しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 考えられる問題： • 指定された変更要求に予定開始時間と予定終了時間がありません。 • 指定した変更要求には、関連付けられた構成アイテム (cmdb_ci) がありません。 • ユーザーに変更要求のフィールドへの読み取りアクセス権がありません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	考えられる問題： • 指定された情報に基づく変更要求を見つけることができません。 • ユーザーにはこのレコードへの読み取りアクセス権がありません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String", "status": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。 データタイプ：文字列
messages	メッセージ情報。 データタイプ：オブジェクト `"messages": { "errorMessages": [Array], "infoMessages": [Array], "warningMessages": [Array] }`
messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
要求	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列
state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: Number }`
state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *state.value* パラメーターに直接関連付けられています。 可能な値： • 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値： • 1 • 2 • 3 • 4 データタイプ：数値
type	要求のタイプを示します。 有効な値：schedule データタイプ：文字列
worker	関連付けられたワーカーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"worker": { "link": "String", "sysId": "String" }`
worker.link	タイムスロットデータを取得するためのリンク。結果を表示するには、GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id} で sys_id を使用します。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

利用可能なタイムスロットを取得

worker.link で指定された値を使用して、スケジュール枠の詳細を取得します。値の形式は次のとおりです。

```
https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/
<worker_sys_id>
```

結果を表示するには、GET /sn_chg_rest/change/worker/{worker_sys_id} で worker_sys_id を使用します。

応答の本文にはステータスが含まれ、処理が完了すると結果が提供されます。

ワーカー応答本文のパラメーターの結果は、タイムスロットの可用性によって異なります。

- 指定されたタイムスロットがスケジュールタイムスロット内の変更要求で利用可能な場合、ワーカー API は *payload.spans* プロパティで利用可能なタイムスロットをリストします。それ以外の場合は、*payload.spans* プロパティは結果に表示されません。
- 定義されたスケジューリングタイムスロット内に指定された変更要求期間で利用可能なタイムスロットがない場合、*messages.infoMessages* は次のように表示されます：`D`

> **注:** 変更要求スケジューリングタイムスロットのデフォルト値は 90 日です。この値を変更するには、*change.conflict.next_available.schedule_window* プロパティを変更します。詳細については、「競合分析プロパティの構成」を参照してください。

次の *GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id}* の例は、worker.link の詳細で指定された ID を使用して提供された出力を示しています。結果には、タスク期間で利用可能なオープンなタイムスパンがリストされます。


```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "9b3f62e0a4c87010f87712198fe9cad1",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/9b3f62e0
a4c87010f87712198fe9cad1"
    },
    "request":
 "{\"change_sys_id\":\"87ae5e900a0a2c3e263e8304e727c646\",\"timezone\":
\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 3,
      "display_value": "Complete"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    },
    "payload": {
      "spans": [
        {
          "start": {
            "value": "2021-05-08 08:00:00",
            "display_value": "2021-05-08 01:00:00"
          },
          "end": {
            "value": "2021-05-08 11:00:00",
            "display_value": "2021-05-08 04:00:00"
          }
        },
        {
          "start": {
            "value": "2021-05-15 08:00:00",
            "display_value": "2021-05-15 01:00:00"
          },
          "end": {
            "value": "2021-05-15 11:00:00",
            "display_value": "2021-05-15 04:00:00"
          }
        },
        ...
      ]
    }
  }
}
```


Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_i
d}/schedule" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

結果には、GET /sn_chg_rest/change/worker/endpoint で提供された sys_id を実行するために使用できる worker.link の詳細が含まれています。


```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "9b3f62e0a4c87010f87712198fe9cad1",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/9b3f62e0
a4c87010f87712198fe9cad1"
    },
    "request":
 "{\"change_sys_id\":\"87ae5e900a0a2c3e263e8304e727c646\",\"timezone\":
\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 1,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "Waiting"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    }
  }
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task

指定された基準に基づいて、指定された変更要求に関連付けられた 1 つ以上のタスクを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/task`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	タスクを取得する変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
key-value pairs	要求の作成時に変更するフィールド。キーはテンプレート内のフィールド名で、値はフィールドに 情報です。 変更できず、渡された場合に無視されるフィールド： • ビジネスルール • ACL で定義されている読み取り専用フィールド • 存在しないフィールド データタイプ：文字列
order	返された変更要求をソートするためのフィールド。デフォルト: *number*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー 用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：500
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべての を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されま す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使 て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えテゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての変更タスクレコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索では、Service全文検索プラットフォーム機能が使用され、デフォルトで `IR_AND_OR_QUERY` に設定されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	削除前に識別された変更要求タスクのすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト

parent	タスクに関連付けられた変更要求の情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`parent: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

parent.display_value	UI に表示する変更要求の情報。 データタイプ：文字列
parent.value	タスクに関連付けられた変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

sys_id	変更要求タスクの sys_id 情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_id.value	変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/task?sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

```
{
    result: [
        {
            sys_id: {
                value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5",
                display_value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5"
            },
            parent: {
                value: "0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe ",
                display_value: "CHG0033046 "
            },
            ..., // all valid fields in record, example below
            short_description: {
                value: "Retire node",
                display_value: "Retire node"
            }
        },
        { // next record found }, ... // and so on
    ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id}

指定された sys_id で識別される変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求 [change_request] テーブルから取得する変更要求レコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
result	1 つ以上の変更要求レコードオブジェクトを含むリスト。各オブジェクトは変更要求を表します。変更要求オブジェクトの各要素は、変更要求 [change_request] テーブルの関連付けられたレコードのフィールドに対応します。 すべての要素には、`value` および `display_value` の名前と値のペアが含まれています。日付フィールドには、`display_value_internal` の名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：アレイ
action_status	関連する変更要求の現在のアクションステータス。 可能な値： • 1：社内でブロック済み • 2：顧客によりブロック済み • 3：社内でおよび顧客によりブロック済み • 4：要注意 データタイプ：数値
active	変更要求がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更要求はアクティブです • false：変更要求はアクティブではありません データタイプ：ブール デフォルト：true
activity_due	関連付けられたケースの完了予定日時。 データタイプ：文字列
additional_assignee_list	変更要求の作業にアサインされた追加のユーザーの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
approval	必要な承認プロセスのタイプ。 データタイプ：文字列 デフォルト：not requested
approval_history	最新の承認履歴ジャーナルエントリ。 データタイプ：文字列
approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
assigned_to	変更要求にアサインされたユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
assignment_group	変更要求にアサインされたグループの sys_id。 データタイプ：文字列
backout_plan	変更を取り消す必要がある場合に実行する計画の説明。 データタイプ：文字列
business_duration	変更の完了までにかかったスケジュールされた作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
business_service	変更要求に関連付けられたビジネスサービスの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cab_date	変更諮問委員会 (CAB) の会議の日付。 データタイプ：文字列
cab_delegate	CAB 会議中に CAB マネージャーの代理を務めることができるユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cab_recommendation	変更要求の CAB の提言の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cab_required	CAB が必須かどうかを示すフラグ 。 可能な値： • true：変更諮問委員会が必要です。 • false：変更諮問委員会は必要ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
calendar_duration	現在 変更管理 で使用されていません。 データタイプ：文字列
category	変更のカテゴリ (たとえば、ハードウェア、ネットワーク、ソフトウェアなどです)。 データタイプ：文字列 デフォルト：Other
change_plan	変更要求を管理および制御するためのアクティビティとロール。 データタイプ：文字列
chg_model	関連する変更要求の基になった変更モデルの sys_id。変更モデル [chg_model] テーブルにあります。変更モデルは、変更要求に対して完了する必要があるステータスフロー、移行、およびプロセスアクティビティを定義します。 データタイプ：文字列
closed_at	関連する変更要求がクローズされた日時。 データタイプ：文字列
closed_by	変更要求をクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
close_code	変更要求がクローズされたときに変更要求に割り当てられたコード。たとえば、成功、成功 (問題あり)、不成功などです。 データタイプ：文字列
close_notes	ユーザーが変更要求をクローズしたときに入力したメモ。 データタイプ：文字列
cmdb_ci	変更要求に関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
コメント	関連する変更要求に入力された顧客向け作業メモのリスト。 データタイプ：アレイ
comments_and_work_notes	関連する変更要求に入力された内部および顧客向けの両方の作業メモのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：アレイ 最大長：4,000
company	変更要求と関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
conflict_last_run	変更要求で競合の検出スクリプトが最後に実行された日時。 データタイプ：文字列
conflict_status	競合の検出スクリプトによって検出された現在の競合ステータス (競合、未実行など)。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：未実行
contact_type	変更要求が最初に要求された方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web データタイプ：文字列
contract	変更要求と関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
correlation_display	*correlation_id*のユーザーに分かりやすい名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
correlation_id	サードパーティシステム内の一致する変更要求レコードのグローバル一意識別子 (GUID)。 データタイプ：文字列 最大長：100
delivery_plan	使用されなくなりました。変更要求と関連付ける配送計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
delivery_task	使用されなくなりました。変更要求と関連付ける配送タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
description	変更要求の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
due_date	タスクの期日。変更要求プロセスでは使用されません。 データタイプ：文字列
end_date	変更要求が完了する日時。 データタイプ：文字列
escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
expected_start	タスクを開始する日時。変更要求プロセスでは使用されません。 データタイプ：文字列
follow_up	ユーザーが変更要求を要求した人物をフォローアップした日時。 データタイプ：文字列
group_list	変更要求に関連付けられたグループの sys_id と名前のリスト。 データタイプ：アレイ 最大長：4,000
impact	変更要求が顧客に与える影響。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
implementation_plan	この変更を実装するために実行する段階的なステップ。また、ステップごとに、ステップとアサイニーの間の依存関係も含まれています。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
理由	この変更を実装するメリットと、この変更が実装されない場合の影響。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
knowledge	変更要求に関連付けられたナレッジベース (KB) 記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：KB 記事が関連付けられています • false：KB 記事は関連付けられていません データタイプ：ブール
location	変更要求で参照される機器の場所の sys_id と名前。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
made_sla	使用されなくなりました。変更要求が関連するサービスレベルアグリーメントに従って実装されたかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブール
needs_attention	変更要求に注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更要求に追加の注意が必要です。 • false：変更要求に追加の注意は必要ありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
number	システムによって変更要求に割り当てられた変更番号 (CHG0040007 など)。 データタイプ：文字列
on_hold	変更要求が現在保留中かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：保留中 • false：保留中ではありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
on_hold_reason	*on_hold*パラメーターが「true」の場合、変更要求が保留にされている理由の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
on_hold_task	*on_hold*パラメーターが「true」の場合、保留が解除される前に完了する必要があるタスクの sys_id のリスト。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
open_at	変更リリースが作成された日時。 データタイプ：文字列
opened_by	変更リリースを作成したユーザーの sys_id と名前。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order	変更管理 では使用されていません。データベースからレコードを取得するときなどにレコードを並べ替える基準となるオプションの数値フィールド。 データタイプ：数値 (整数)
outside_maintenance_schedule	変更要求に対して外部の会社によるメンテナンスがスケジュールされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：外部メンテナンスがスケジュールされています • false：外部メンテナンスがスケジュールされていません データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	デフォルト値：false
parent	この変更要求に対する親タスクの sys_id と名前 (存在する場合)。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
phase	変更要求の現在のフェーズ。これにより、変更の内容がより詳細に定義されます。 可能な値： • accept • build • プラン • requested データタイプ：文字列
phase_state	変更のために作成する必要がある change_phase レコード。カテゴリに依存するので、変更のタイプごとに異なる change_phase レコードがある場合があります。各 change_phase にはスケジュールと一連の承認者を設定できるため、change_phase レコードは承認プロセスを制御する機会を提供します。 可能な値： • complete • on hold • open • rejected • requested • work in progress データタイプ：文字列
priority	変更要求の優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
production_system	変更要求が本番環境の ServiceNow インスタンスに対するものかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：本番環境 • false：非本番環境 データタイプ：ブール
reason	変更要求が開始された理由の説明。 可能な値： • ビジネス要件 • ハードウェアのアップグレード • 法律 • 場所の変更 • ネットワーク要件 • 新規または削除された CI • その他 • 問題が解決された • 製品またはサービスが変更されました • ソフトウェアのアップグレード • ユーザー要求 データタイプ：文字列 最大長：40
reassignment_count	変更要求が新しいオーナーに再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
rejection_goto	変更要求が却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_by	変更を要求したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_by_date	変更の実装が要求された日時。 データタイプ：文字列
review_comments	変更要求のレビュー時に入力されたコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
review_date	変更要求がレビューされた日付。 データタイプ：文字列
review_status	変更要求の要求されたレビューの現在のステータス。 データタイプ：文字列
risk	変更要求に関連付けられたリスクのレベル。 有効な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 デフォルト値：3
risk_impact_analysis	変更要求の実装に関するリスクと分析の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
route_reason	現在 変更管理 で使用されていません。変更要求が転送された理由。 可能な値： • 1：解決する転送 • 9：解決しない転送 データタイプ：数値
scope	変更要求のサイズ。 可能な値： • 1：大規模 • 2：大 • 3 ：中程度 • 4：小 • 5：非常に小さい データタイプ：数値 デフォルト値：3
service_offering	変更要求に関連付けられたサービスオファリングの sys_id。サービスオファリングは、可用性、スコープ、価格設定、およびパッケージングのオプションに関して、サービスのレベルを一意に定義します。オファリング [service_offering] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
short_description	変更要求の説明。 データタイプ：文字列 最大長：40
skills	変更要求を実装するために必要なすべてのスキルの sys_id のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
sla_due	使用されなくなりました。関連するサービスレベルアグリーメントに基づいて変更要求を完了する必要がある日時。 データタイプ：文字列
sn_esign_document	変更要求に添付された電子署名済みドキュメントの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sn_esign_esignature_configuration	関連するドキュメントに使用される電子署名テンプレートの sys_id。電子署名テンプレート [sn_esign_configuration] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
start_date	変更要求の実装開始が予定されている日時。 データタイプ：文字列
state	変更要求の現在のステータス。可能な値は変更モデルで定義されます。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
std_change_producer_version	変更要求と関連付けるレコードプロデューサーおよび変更提案の sys_id。また、提案から作成された成功した変更要求と失敗した変更要求の数と割合も含まれます。標準的な変更テンプレートのバージョン [std_change_producer_version] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_class_name	変更要求が配置されているテーブルの名前。 データタイプ：文字列
sys_created_by	変更要求を最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
sys_created_on	関連付けられた変更要求レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付けられているドメインの名前。 データタイプ：文字列
sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレコードが存在するドメインパス。 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられた変更要求レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	ケースが最初に作成されてからの更新回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_updated_by	ケースを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	ケースが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
task_effective_number	ユニバーサル要求番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
task_for	変更管理 では使用されていません。タスクが作成されたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
test_plan	変更に関連するテスト計画の説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
time_worked	変更要求の合計作業時間。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • emergency • normal • standard データタイプ：文字列 最大長：40
unauthorized	変更要求が認可されていないかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：認可されていない • false：認可済み データタイプ：ブール
universal_request	この変更要求が属する親ユニバーサル要求の sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
upon_approval	変更要求が承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
upon_reject	変更要求が却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
urgency	変更要求の緊急度。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
variables	変更要求に関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
watch_list	追加のコメントが追加された場合、または変更要求のステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、この変更要求に関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
wf_activity	変更要求に関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
work_end	変更要求の作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
work_notes	変更要求の解決方法に関する情報、または変更要求の解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
work_notes_list	作業メモが追加されたときに、この変更要求についての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
work_start	変更要求の作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result":
    {
      "reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "watch_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
       },
       "proposed_change": {
         "display_value": "",
         "value": ""
       },
       "upon_reject": {
         "display_value": "Cancel all future Tasks",
         "value": "cancel"
       },
       "sys_updated_on": {
         "display_value": "2015-07-06 11:59:27",
         "value": "2015-07-06 18:59:27",
         "display_value_internal": "2015-07-06 11:59:27"
      },
      "type": {
        "display_value": "Standard",
        "value": "standard"
      },
      "approval_history": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "skills": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "test_plan": {
        "display_value": "--Confirm that there are no monitoring alerts
 for the router",
        "value": "--Confirm that there are no monitoring alerts for the
 router"
      },
      "number": {
        "display_value": "CHG0000024",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "CHG0000024"
    },
    "is_bulk": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "cab_delegate": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "requested_by_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "ci_class": {
      "display_value": "cmdb_ci",
      "value": "cmdb_ci"
    },
    "state": {
      "display_value": "Closed",
      "value": 3.0
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "knowledge": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "order": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "phase": {
      "display_value": "Requested",
      "value": "requested"
    },
    "cmdb_ci": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "delivery_plan": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "impact": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3.0
    },
    "contract": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "active": {
      "display_value": "false",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": false
    },
    "work_notes_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "priority": {
      "display_value": "4 - Low",
      "value": 4.0
    },
    "sys_domain_path": {
      "display_value": "/",
      "value": "/"
    },
    "cab_recommendation": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "production_system": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "rejection_goto": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "review_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "requested_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "business_duration": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "group_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "change_plan": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "approval_set": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "wf_activity": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "implementation_plan": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "-- Place router into maintenance mode in
the monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n--
Run the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform",
        "value": "-- Place router into maintenance mode in the
monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n-- Run
the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform"
      },
      "universal_request": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "end_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "short_description": {
        "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router",
        "value": "Clear BGP sessions on a Cisco router"
      },
      "correlation_display": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "work_start": {
        "display_value": "2015-07-06 11:56:04",
        "value": "2015-07-06 18:56:04",
        "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:04"
      },
      "delivery_task": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "outside_maintenance_schedule": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "additional_assignee_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "std_change_producer_version": {
        "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router - 1",
        "value": "16c2273c47010200e90d87e8dee49006"
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Request",
        "value": "change_request"
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "service_offering": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "follow_up": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "review_status": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "reassignment_count": {
      "display_value": "2",
      "value": 2.0
    },
    "start_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "assigned_to": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "variables": {
      "display_value": "variable_pool",
      "value": "variable_pool"
    },
    "sla_due": {
      "display_value": "UNKNOWN",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "comments_and_work_notes": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "escalation": {
      "display_value": "Normal",
      "value": 0.0
    },
    "upon_approval": {
      "display_value": "Proceed to Next Task",
      "value": "proceed"
    },
    "correlation_id": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "made_sla": {
      "display_value": "true",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": true
    },
    "backout_plan": {
      "display_value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work",
      "value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work"
    },
    "conflict_status": {
      "display_value": "Not Run",
      "value": "Not Run"
    },
    "task_effective_number": {
      "display_value": "CHG0000024",
      "value": "CHG0000024"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "opened_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "user_input": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2015-07-06 11:55:46",
      "value": "2015-07-06 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:55:46"
    },
    "on_hold_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "route_reason": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_at": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:23",
      "value": "2015-07-06 18:56:23",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:23"
    },
    "review_comments": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "business_service": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "time_worked": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "chg_model": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "expected_start": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "opened_at": {
      "display_value": "2015-06-09 11:55:46",
      "value": "2015-06-09 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-06-09 11:55:46"
    },
    "work_end": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:10",
      "value": "2015-07-06 18:56:10",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:10"
    },
    "phase_state": {
      "display_value": "Open",
      "value": "open"
    },
    "cab_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "work_notes": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "close_code": {
      "display_value": "Successful",
      "value": "successful"
    },
    "assignment_group": {
      "display_value": "Network",
      "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
    },
    "description": {
      "display_value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n",
      "value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n"
      },
      "on_hold_reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "calendar_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "close_notes": {
        "display_value": "Completed without issues",
        "value": "Completed without issues"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "1766f1de47410200e90d87e8dee490f6",
        "value": "1766f1de47410200e90d87e8dee490f6"
      },
      "contact_type": {
        "display_value": "Phone",
        "value": "phone"
      },
      "cab_required": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "urgency": {
        "display_value": "3 - Low",
        "value": 3.0
      },
      "scope": {
        "display_value": "Medium",
        "value": 3.0
      },
      "company": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "justification": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "activity_due": {
        "display_value": "UNKNOWN",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "comments": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval": {
        "display_value": "Approved",
        "value": "approved"
      },
      "due_date": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "10",
        "value": 10.0
      },
      "on_hold": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "conflict_last_run": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "risk_value": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "unauthorized": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "risk": {
        "display_value": "Moderate",
        "value": 3.0
      },
      "location": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "category": {
        "display_value": "Other",
        "value": "Other"
      },
      "risk_impact_analysis": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    }
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id}/ci

指定された関連付けタイプに基づいて、指定された変更要求に関連付けられた複数の構成アイテム (CI) を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/ci`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/ci`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられた CMDB CI を返す変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
association_type	必須です。CMDB CI と変更要求の間の関連付けのタイプ。 有効な値： • affected：変更要求によって影響を受ける CI • impacted：変更要求によって影響を受けるサービス • offering：影響を受けるサービスオファリング データタイプ：文字列
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィルリングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たとえば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出しトメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するにはれをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：500
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されす。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達す「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列で <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name>...<operat` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答 るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替 テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無 リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作 します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 エラー応答には、問題のトラブルシューティングに役立つ関連メッセージが含まれています。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
ci_item | cmdb_ci_service	関連付けタイプに応じて、ci_item または cmdb_ci_service 変数のいずれか。 データタイプ：アレイ `ci_item|cmdb_ci_service : { display_value: "String", value: "String" }`
ci_item | cmdb_ci_service.value	ci_item または cmdb_ci_service の sys_id。 データタイプ：文字列
ci_item | cmdb_ci_service.display_value	ci_item または cmdb_ci_service の表示値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
<record_fields>	ci_item または cmdb_ci_service レコードのすべての有効なフィールド。関連タイプに基づくテーブル。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/c286d61347c12
200e0ef563dbb9a71df/ci?association_type=affected" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "92b8544047810200e90d87e8dee490b0",
        display_value: "92b8544047810200e90d87e8dee490b0"
      },
      ci_item|cmdb_ci_service : {
        value: "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439",
        display_value: "PS Apache01"
      },
      ..., // all valid fields in record, table based on association type
    },
    { // next record found }, ... // and so on
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict

現在実行中の変更要求競合チェックプロセスのステータス、または指定された変更要求の最後に完了した競合チェックプロセスの結果を取得します。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/conflict`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	実行中/完了した競合チェックプロセスのステータスを返す変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	競合チェックプロセスの現在のステータス (検出された場合は競合を含む)。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
conflicts	見つかった変更要求の競合のリスト。オブジェクトが空の場合は、競合が検出されなかったことを示します。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
job_status	実際の競合チェックジョブのステータス。 データタイプ：文字列
last_run	前回の競合チェックプロセスが開始された日時。 データタイプ：文字列
record_count	チェックされたレコードの数。 データタイプ：文字列
status	「競合」または「未実行」などの競合チェックプロセスの結果。 **注:** 変更要求に競合がない場合でも、このフィールドは「競合」に設定されます。ただし、*conflicts* オブジェクトは空になります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/conflict" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

成功応答 - 競合なし

```
{
  result: {
    status: "Conflict",
    last_run": "2018-08-30 12:58:05",
    record_count: "1",
    job_status: "2",
    conflicts: []
  }
}
```

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/conflict" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

成功応答 - 競合あり

```
{
  result: {
    status: "Conflict",
    last_run": "2018-08-30 12:58:05",
    record_count: "1",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    job_status: "2",
    conflicts: [
      {
        change: {
          display_value: "CHG0030001",
          value: "afbffb24b758230096c3e4f6ee11a972"
        },
        type: {
          display_value: "Not In Maintenance Window",
          value: "not_in_maintenance_window"
        }
        ..., // all valid fields in record, example below
      }
    ]
  }
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/emergency

指定された基準に基づいて 1 つ以上の緊急の変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/emergency`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/emergency`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
order	返された変更要求をソートするためのフィールド。デフォルト: *number* データタイプ：文字列 デフォルト：*number*
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー 用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：500

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えテゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作します。 データタイプ：文字列
key-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィルリングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たとえば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出しトメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、れをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての緊急の変更要求レコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索では、ServiceNow の全文検索プラットフォーム機能が使用され、デフォルトで `IR_AND_OR_QUERY` されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト
state	変更要求のステータス。 データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Emergency」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「emergency」です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/emergency?sys
parm_query=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "emergency",
        display_value: "Emergency"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Reboot server",
        display_value: "Reboot server"
      },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    { // next record found }, ... // and so on
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}

指定された sys_id で識別される緊急の変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/emergency/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求 [change_request] テーブルから取得する緊急の変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	変更要求のステータス。
	データタイプ：オブジェクト
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_id	変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Emergency」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「emergency」です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/emergency/b0d
bda5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
        display_value: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      type: {
        value: "emergency",
        display_value: "Emergency"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Reboot server",
        display_value: "Reboot server"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/model

指定された基準に基づいて 1 つ以上の変更モデルを取得します。

このエンドポイントを使用して、作成しようとしている変更要求に最適な変更モデルを検索します。詳細については、「変更モデル」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/model`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/model`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィルタリングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たとえば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出しセグメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示値を使用できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、それをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
order	返された変更モデルをソートするためのフィールド。 データタイプ：文字列 デフォルト：*name*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato`のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えテゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての変更モデルレコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索では、Service全文検索プラットフォーム機能を使用します。ServiceNow検索機能の詳細については、「検索の管を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：`IR_AND_OR_QUERY`

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	1 つ以上の変更モデルレコードオブジェクトを含むリスト。各オブジェクトは変更 ジェクトの各要素は、変更モデル [chg_model] テーブルの関連レコードのフィー すべての要素には、`value` および `display_value` の名前と値のペアが含まれて は、`display_value_internal` の名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：アレイ
result.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを 有効な値： • true：変更モデルはアクティブです。 • false：変更モデルはアクティブではありません。 データタイプ：ブール デフォルト：true
result.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内で使用可能かどうかを 有効な値： • true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できます。 • false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できません。 データタイプ：ブール デフォルト：true
result.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。 データタイプ：文字列 デフォルト：#cbcbcb
result.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：デフォルトです。 • false：デフォルトではありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
result.description	変更モデルの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
result.name	変更モデルの名前。 データタイプ：文字列 最大長：200

result.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられた値とともに自動的に
	ア。値はキャレット記号で区切られます。
	
	例：
	
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018`
	`Change^EQ"`
	
	データタイプ：文字列

result.state_field	*table_name* での指定に基づいて選択肢を収集する選択リストフィールド。変更モ 設定されます。 データタイプ：文字列
result.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_model です。 データタイプ：文字列
result.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付 データタイプ：文字列
result.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレ データタイプ：文字列
result.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。 データタイプ：数値
result.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	変更モデルレコードに関連付けられたシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
result.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル。変更モデルの場合、定されます。 データタイプ：文字列 最大長：80

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例は、すべての変更モデルレコードを取得する要求を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/model \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

簡潔にするため、この応答には単一の変更モデルオブジェクトのみが表示されます。

```
{
  "result": [
    {
      "record_preset": {
        "display_value":
 "type=normal^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^short_des
cription=Automated : Change^EQ",
        "value":
 "type=normal^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018^short_des
cription=Automated : Change^EQ"
      },
      "color": {
        "display_value": "#488df4",
        "value": "#488df4"
      },
      "default_change_model": {
        "display_value": "false",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": false
      },
      "sys_mod_count": {
        "display_value": "6",
        "value": 6.0
      },
      "description": {
        "display_value": "This model is intended to capture  a record of
an automated change.  There are no approvals associated with this change
model.\r\n",
        "value": "This model is intended to capture  a record of an
automated change.  There are no approvals associated with this change
model.\r\n"
      },
      "active": {
        "display_value": "true",
        "value": true
      },
      "sys_updated_on": {
        "display_value": "2020-10-02 06:24:24",
        "value": "2020-10-02 13:24:24",
        "display_value_internal": "2020-10-02 06:24:24"
      },
      "sys_tags": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
        "table_name": {
        "display_value": "change_request",
        "value": "change_request"
      },
      "sys_class_name": {
        "display_value": "Change Model",
        "value": "chg_model"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "7840d2515323101034d1ddeeff7b12a6",
        "value": "7840d2515323101034d1ddeeff7b12a6"
      },
      "sys_updated_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "available_in_ui": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "state_field": {
        "display_value": "state",
        "value": "state"
      },
      "sys_created_on": {
        "display_value": "2020-09-28 07:33:25",
        "value": "2020-09-28 14:33:25",
        "display_value_internal": "2020-09-28 07:33:25"
      },
      "name": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Change Registration",
        "value": "Change Registration"
      },
      "sys_name": {
        "display_value": "Change Registration",
        "value": "Change Registration"
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      }
    }
  ]
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id}

指定された sys_id で識別される変更モデルを取得します。

この変更モデルを使用して、必要な変更要求を作成できます。変更モデルの詳細については、「変更モデル」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/model/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/model/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更モデル [chg_model] テーブルから取得する変更モデルレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	要求された変更モデルレコードオブジェクト。このオブジェクトの各要素は、変更コードのフィールドに対応します。 すべての要素には、*value* および *display_value* の名前と値のペアが含まれては、*display_value_internal* の名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：オブジェクト
result.active	関連する変更モデルレコードがアクティブでインスタンス内で使用可能かどうかを 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：変更モデルはアクティブです。 • false：変更モデルはアクティブではありません。 データタイプ：ブール デフォルト：true
result.available_in_ui	関連する変更モデルレコードがユーザーインターフェイス内で使用可能かどうかを 有効な値： • true：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できます。 • false：変更モデルはユーザーインターフェイスで使用できません。 データタイプ：ブール デフォルト：true
result.color	変更要求ランディングページの関連する変更モデルの色。 データタイプ：文字列 デフォルト：#cbcbcb
result.default_change_model	関連する変更モデルレコードがデフォルトの変更モデルかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトです。 • false：デフォルトではありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
result.description	変更モデルの目的の簡単な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
result.name	変更モデルの名前。 データタイプ：文字列 最大長：200

result.record_preset	新しい変更要求レコードが作成されたときに、関連付けられた値とともに自動的に
	ア。値はキャレット記号で区切られます。
	例：
	`"type=normal^assignment_group=a715cd759f2002002920bde8132e7018`
	`Change^EQ"`
	データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.state_field	*table_name* での指定に基づいて選択肢を収集する選択リストフィールド。変更モ 設定されます。 データタイプ：文字列
result.sys_class_name	モジュールテーブル名を変更します。常に変更モデル/chg_model です。 データタイプ：文字列
result.sys_created_by	関連する変更モジュールレコードを最初に作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	変更モジュールレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_domain	インスタンスでドメインを使用している場合は、変更モジュールレコードが関連付 データタイプ：文字列
result.sys_domain_path	インスタンスでドメインを使用している場合は、関連付けられた変更モジュールレ データタイプ：文字列
result.sys_id	関連する変更モデルレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	関連する変更モデルレコードが変更された回数。 データタイプ：数値
result.sys_name	変更モデルの名前。常に *name* パラメーターと同じです。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	変更モデルレコードに関連付けられたシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	関連する変更モデルレコードを最後に更新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
result.sys_updated_on	関連する変更モデルレコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	選択肢の収集元の選択リストフィールドを定義するテーブル。変更モデルの場合、 定されます。 データタイプ：文字列 最大長：80

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/model/c0efda5
347c12200e0ef563dbb9a81e3" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "record_preset": {
      "display_value": "type=emergency^EQ",
      "value": "type=emergency^EQ"
    },
    "color": {
      "display_value": "#ea3423",
      "value": "#ea3423"
    },
    "default_change_model": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "2",
      "value": 2.0
    },
    "description": {
      "display_value": "ITIL Mode 1 Emergency Change",
      "value": "ITIL Mode 1 Emergency Change"
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2020-09-28 08:53:12",
      "value": "2020-09-28 15:53:12",
      "display_value_internal": "2020-09-28 08:53:12"
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "table_name": {
      "display_value": "change_request",
      "value": "change_request"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Model",
      "value": "chg_model"
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "c0efda5347c12200e0ef563dbb9a81e3",
      "value": "c0efda5347c12200e0ef563dbb9a81e3"
    },
    "sys_updated_by": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "available_in_ui": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "state_field": {
      "display_value": "state",
      "value": "state"
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2020-09-04 09:16:03",
      "value": "2020-09-04 16:16:03",
      "display_value_internal": "2020-09-04 09:16:03"
    },
    "name": {
      "display_value": "Emergency",
      "value": "Emergency"
    },
    "sys_name": {
      "display_value": "Emergency",
      "value": "Emergency"
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    }
  }
}
```


Change Management - GET /sn_chg_rest/change/normal

指定された基準に基づいて 1 つ以上の通常の変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/normal`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/normal`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィル リングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たと ば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出し トメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示 できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、 れをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
order	返された変更要求をソートするためのフィールド。デフォルト: *number* データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー 用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：500
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべての を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されま す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使 て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato のように、複数のエントリを含めることができます。 例： (sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true) エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並 るには、ORDERBY と ORDERBYDESC の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • ORDERBY<col_name> • ORDERBYDESC<col_name> 例：sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替え テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効 リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作 します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての通常の変更要求レコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索で は、ServiceNow の全文検索プラットフォーム機能が使用され、デフォルトで IR_AND_OR_QUERY されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	削除前の変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id 情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Normal」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「normal」です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/normal?sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      },
    },
    { // next record found }, ... // and so on
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id}

指定された sys_id で識別される通常の変更要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/normal/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/normal/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求 [change_request] テーブルから取得する通常の変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	削除前の変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> value: "String" }</pre>
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

type	変更要求のタイプ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>type: {
	  display_value: "String",
	  value: "String"
	}</pre>

type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Normal」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「normal」です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/normal/b0dbda
5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/standard

指定された基準に基づいて 1 つ以上の標準的な変更の要求を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィルリングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たとば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出しトメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、れをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
order	返された変更要求をソートするためのフィールド。デフォルト: *number* データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：文字列 デフォルト：500
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのを取得できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使って、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べるには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えてカテゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	glide.invalid_query.returns_no_rows プロパティを使用してコントロールできます。無効リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての標準的な変更の要求レコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索では、ServiceNow の全文検索プラットフォーム機能が使用され、デフォルトで `IR_AND_OR_QUERY` されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	識別された変更要求のすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト

state	削除前の変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列

sys_id	変更要求の sys_id 情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

type	変更要求のタイプ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`type: {`
	`  display_value: "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> value: "String" }</pre>
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Standard」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「standard」です。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard?sys
parm_query=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "standard",
        display_value: "Standard"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      },
    },
    { // next record found }, ... // and so on
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}

指定された sys_id で識別される標準的な変更の要求を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求 [change_request] テーブルから取得する標準的な変更の要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	識別された変更要求のすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト
state	削除前の変更要求のステータス。 データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard/b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/standard/template

指定された基準に基づいて 1 つ以上の標準的な変更テンプレートを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/template`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/template`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。名前は、指定された値がフィル リングされるフィールドです。このパラメーターは、*sysparm_query* と相互に排他的です。たと ば、`&sysparm_query=active=true` を使用する代わりに、`&active=true` を使用して呼び出し トメントを簡素化できます。フィールドが選択フィールドや参照タイプフィールドの場合も、表示 できます (`&state=7` の代わりに `&state=closed` など)。複数のキーと値のペアを指定するには、 れをアンパサンドで区切ります (`&active=true&assigned_to=john.smith` など)。 データタイプ：文字列
order	返された標準的な変更テンプレートをソートするためのフィールド。 データタイプ：文字列 デフォルト:数値
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー 用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：500
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべての を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されま す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使 て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替え テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効 リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を します。 データタイプ：文字列
textSearch	すべての標準的な変更の要求レコードフィールドを検索するために使用する文字列。この検索で は、ServiceNow の全文検索プラットフォーム機能が使用され、デフォルトで `IR_AND_OR_QUERY` されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	識別された標準的な変更テンプレートのすべてのフィールドとその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト

sys_id	変更要求の sys_id 情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
template	標準的な変更テンプレートに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `template: { display_value: "String", value: "String" }`
template.display_value	UI に表示するテンプレート情報。 データタイプ：文字列
template.value	テンプレートの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard/temp
late?sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "92b8544047810200e90d87e8dee490b0",
        display_value: "92b8544047810200e90d87e8dee490b0"
      },
      template : {
        value: "1c8e02ec47410200e90d87e8dee49057",
        display_value: "Add network switch to datacenter cabinet"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Standard change template to add network switch to
 cabinet",
        display_value: "Standard change template to add network switch to
 cabinet"
      },
    },
    { // next record found }, ... // and so on
  ]
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/standard/template/{sys_id}

指定された sys_id で識別される標準的な変更テンプレートを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/template/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/template/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	[std_change_record_producer] テーブルから取得する標準的な変更テンプレートの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	識別された標準的な変更テンプレートのすべてのフィールドとその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

template	標準的な変更テンプレートに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`template: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

template.display_value	UI に表示するテンプレート情報。 データタイプ：文字列
template.value	テンプレートの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard/temp
late/92b8544047810200e90d87e8dee490b0" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "92b8544047810200e90d87e8dee490b0",
      template : {
        value: "1c8e02ec47410200e90d87e8dee49057",
        display_value: "Add network switch to datacenter cabinet"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Standard change template to add network switch to
 cabinet",
        display_value: "Standard change template to add network switch to
 cabinet"
      },
    },
  ]
}
```

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id}

指定された非同期ワーカーの現在のステータス、情報、およびエラーを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/worker/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/{change/worker/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更管理非同期ワーカーの sys_id。Change Management ワーカー [chg_mgt_worker] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
messages	メッセージ情報。 データタイプ：オブジェクト `"messages": { "errorMessages": [Array], "infoMessages": [Array], "warningMessages": [Array] }`
messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました` データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。例： `CMDB_CI sys_id が既に指定値に関連付けられています。` データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました。` データタイプ：アレイ
payload	スケジューリングエンドポイントの成功した応答本文からワーカー sys_id を使用するときに提供される一意のペイロード。 • GET /ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule • GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule `"payload": { "spans": [Array] }` データタイプ：オブジェクト
payload.spans	スケジュールエンドポイントで指定された期間内にタイムスパンが利用可能な場合、ワーカー API は利用可能なタイムスパンをリストします。 `"payload": { "spans": [ { "start": {Object}, "end": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre>] }</pre> データタイプ：アレイ

payload.spans.start	<pre>"start": {
	  "value": "String",
	  "display_value": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

payload.spans.start.value	変更要求の実装開始が予定されている日時。 データタイプ：文字列
payload.spans.start.display_value	変更要求の開始時間の値を表示します。 時間形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss データタイプ：文字列

payload.spans.end	<pre>"end": {
	  "value": "String",
	  "display_value": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

payload.spans.end.value	変更要求の完了が予定されている日時。 時間形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss データタイプ：文字列
payload.spans.end.display_value	変更要求の完了時間の値を表示します。 データタイプ：文字列
要求	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列

state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>state: {
	  display_value: "String",
	  value: Number
	}</pre>

state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *state.value* パラメーターに直接関連付けられています。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値： • 1 • 2 • 3 • 4 データタイプ：数値
type	CMDB CI と変更要求の間の関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
worker	関連付けられたワーカーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"worker": { "link": "String", "sysId": "String" }`
worker.link	関連付けられたワーカーのステータスおよびその他のワーカー関連情報を取得するための URL。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。 データタイプ：文字列
<other_params>	プロセス固有のその他のパラメーター (*ignored_cmdb_ci_sys_ids* など)。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/worker/0644cd
02dbec330084f07ffdbf9619c1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "worker": {
      "sysId": "0644cd02dbec330084f07ffdbf9619c1",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/0644cd02
dbec330084f07ffdbf9619c1"
    },
    "request": "{\"task\":\"c286d61347c12200e0ef563dbb9a71df\"}",
    "state": {
      "value": 3,
      "display_value": "Complete"
    },
    "type": "impacted",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    }
  }
}
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/{sys_id}

指定された sys_id によって識別される変更要求を、要求本文または URL のキーと値のペアで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更する変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
encrypted_fields	暗号化するカンマ区切りフィールドのリスト。これらのフィールドは、関連付けられたレコードに格納される前に暗号化されます。指定すると、エンドポイントは *setValue()* メソッドを呼び出す代わりに、GlideRecord *setDisplayValue()* メソッドを呼び出します。 このため、このパラメーターを使用して、sys_idsや値を渡す代わりに、参照フィールドや選択フィールドなどの暗号化されていないフィールドの表示値を渡すこともできます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
data	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` データタイプ：文字列
encrypted_fields	暗号化するカンマ区切りフィールドのリスト。これらのフィールドは、関連付けられたレコードに格納される前に暗号化されます。指定すると、エンドポイントは *setValue()* メソッドを呼び出す代わりに、GlideRecord *setDisplayValue()* メソッドを呼び出します。 このため、このパラメーターを使用して、sys_idsや値を渡す代わりに、参照フィールドや選択フィールドなどの暗号化されていないフィールドの表示値を渡すこともできます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	更新された変更要求レコード。このオブジェクトの各要素は、変更要求 [change_request] テーブルのレコードのフィールドに対応します。 すべての要素には、*value* および *display_value* の名前と値のペアが含まれています。一部の要素には、*display_value_internal* の名前と値のペアが含まれています。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f" \
--request PATCH \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{\"short_desription\": \"Reboot the server at 6 am\" }" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result":
    {
      "reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "parent": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "watch_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
       },
       "proposed_change": {
         "display_value": "",
         "value": ""
       },
       "upon_reject": {
         "display_value": "Cancel all future Tasks",
         "value": "cancel"
       },
       "sys_updated_on": {
         "display_value": "2015-07-06 11:59:27",
         "value": "2015-07-06 18:59:27",
         "display_value_internal": "2015-07-06 11:59:27"
      },
      "type": {
        "display_value": "Standard",
        "value": "standard"
      },
      "approval_history": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "skills": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "test_plan": {
        "display_value": "--Confirm that there are no monitoring alerts
for the router",
        "value": "--Confirm that there are no monitoring alerts for the
router"
      },
      "number": {
        "display_value": "CHG0000024",
        "value": "CHG0000024"
      },
      "is_bulk": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "cab_delegate": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "requested_by_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "ci_class": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "cmdb_ci",
        "value": "cmdb_ci"
      },
      "state": {
        "display_value": "Closed",
        "value": 3.0
      },
      "sys_created_by": {
        "display_value": "admin",
        "value": "admin"
      },
      "knowledge": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "order": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "phase": {
        "display_value": "Requested",
        "value": "requested"
      },
      "cmdb_ci": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "delivery_plan": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "impact": {
        "display_value": "3 - Low",
        "value": 3.0
      },
      "contract": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "active": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "work_notes_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "priority": {
        "display_value": "4 - Low",
        "value": 4.0
      },
      "sys_domain_path": {
        "display_value": "/",
        "value": "/"
      },
      "cab_recommendation": {
        "display_value": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": ""
      },
      "production_system": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "rejection_goto": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "review_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "requested_by": {
        "display_value": "System Administrator",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      },
      "business_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "group_list": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "change_plan": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "approval_set": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "wf_activity": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "implementation_plan": {
        "display_value": "-- Place router into maintenance mode in
the monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n--
Run the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform",
        "value": "-- Place router into maintenance mode in the
monitoring platform\r\n-- Logon to router through SSH\r\n-- Run
the following command\r\n\r\nrouter(config-router)#router bgp
12345\r\nrouter(config-router)#neighbor {neighbor ip} soft-reconfig
[inbound]\r\nrouter#clear ip bgp {neighbor ip} soft in\r\n\r\n-- Confirm
the sessions have been cleared\r\n-- Place router back into operational
mode in the monitoring platform"
      },
      "universal_request": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "end_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "short_description": {
      "display_value": "Reboot the server at 6 am",
      "value": "Reboot the server at 6 am"
    },
    "correlation_display": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "work_start": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:04",
      "value": "2015-07-06 18:56:04",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:04"
    },
    "delivery_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "outside_maintenance_schedule": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "additional_assignee_list": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "std_change_producer_version": {
      "display_value": "Clear BGP sessions on a Cisco router - 1",
      "value": "16c2273c47010200e90d87e8dee49006"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Request",
      "value": "change_request"
    },
    "service_offering": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "follow_up": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "review_status": {
      "display_value": "",
      "value": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "reassignment_count": {
      "display_value": "2",
      "value": 2.0
    },
    "start_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "assigned_to": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "variables": {
      "display_value": "variable_pool",
      "value": "variable_pool"
    },
    "sla_due": {
      "display_value": "UNKNOWN",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "comments_and_work_notes": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "escalation": {
      "display_value": "Normal",
      "value": 0.0
    },
    "upon_approval": {
      "display_value": "Proceed to Next Task",
      "value": "proceed"
    },
    "correlation_id": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "made_sla": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "backout_plan": {
      "display_value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work",
      "value": "Due to the limited number of commands in the
implementation plan it is not possible to backout the change.\r\n\r\nIf
required you are authorized to reboot the router if BGP fails to work"
    },
    "conflict_status": {
      "display_value": "Not Run",
      "value": "Not Run"
    },
    "task_effective_number": {
      "display_value": "CHG0000024",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "CHG0000024"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "opened_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "user_input": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2015-07-06 11:55:46",
      "value": "2015-07-06 18:55:46",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:55:46"
    },
    "on_hold_task": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "route_reason": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "closed_at": {
      "display_value": "2015-07-06 11:56:23",
      "value": "2015-07-06 18:56:23",
      "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:23"
    },
    "review_comments": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "business_service": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "time_worked": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "chg_model": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "expected_start": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "opened_at": {
        "display_value": "2015-06-09 11:55:46",
        "value": "2015-06-09 18:55:46",
        "display_value_internal": "2015-06-09 11:55:46"
      },
      "work_end": {
        "display_value": "2015-07-06 11:56:10",
        "value": "2015-07-06 18:56:10",
        "display_value_internal": "2015-07-06 11:56:10"
      },
      "phase_state": {
        "display_value": "Open",
        "value": "open"
      },
      "cab_date": {
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "work_notes": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "close_code": {
        "display_value": "Successful",
        "value": "successful"
      },
      "assignment_group": {
        "display_value": "Network",
        "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
      },
      "description": {
        "display_value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n",
        "value": "Resend the complete BGP table to neighboring
routers\r\n\r\n--Both neighbors need to support soft reset route refresh
capability.\r\n--Stores complete BGP table of you neighbor in router
memory.\r\n--Not a good idea on a peering router with full feed, due to
the memory requirements.\r\n"
      },
      "on_hold_reason": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "calendar_duration": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "close_notes": {
        "display_value": "Completed without issues",
        "value": "Completed without issues"
      },
      "sys_id": {
        "display_value": "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value": "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f"
    },
    "contact_type": {
      "display_value": "Phone",
      "value": "phone"
    },
    "cab_required": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "urgency": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3.0
    },
    "scope": {
      "display_value": "Medium",
      "value": 3.0
    },
    "company": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "justification": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "activity_due": {
      "display_value": "UNKNOWN",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "comments": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "approval": {
      "display_value": "Approved",
      "value": "approved"
    },
    "due_date": {
      "display_value": "",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "sys_mod_count": {
      "display_value": "10",
      "value": 10.0
    },
    "on_hold": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "sys_tags": {
      "display_value": "",
      "value": ""
    },
    "conflict_last_run": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "",
        "value": "",
        "display_value_internal": ""
      },
      "risk_value": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "unauthorized": {
        "display_value": "false",
        "value": false
      },
      "risk": {
        "display_value": "Moderate",
        "value": 3.0
      },
      "location": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      },
      "category": {
        "display_value": "Other",
        "value": "Other"
      },
      "risk_impact_analysis": {
        "display_value": "",
        "value": ""
      }
    }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、要求本文で暗号化されたフィールドを渡す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"encrypted_fields\":\"short_description,description\",
    \"short_description\":\"my short desc\",
    \"description\":\"my desc\"
}" \
--user "username":"password"
```

Example: cURL 要求

次の例は、暗号化されたフィールドをクエリパラメーターとして渡す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/b0dbda5347c12
200e0ef563dbb9a718f?encrypted_fields=short_description%2Cdescription&shor
t_description=my%20short%20desc&description=my%20desc" \
--request PATCH \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{}" \
--user "username":"password"
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/{sys_id}/approvals

現在のユーザーが、指定された変更要求の変更要求承認レコードを承認または却下できるようにします。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/approvals`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/approvals`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	承認/却下が適用される変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
comments	*state* が `rejected` の場合は必須です。変更が却下された理由。 データタイプ：文字列
state	必須です。承認ステータス。 例：`--data "{\"state\": \"approved\"}"` 有効な値： • 承認済み • が却下されました

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプを示します (変更要求を承認または却下する権限がないユーザーなど)。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト
state	変更要求の現在のステータス。 データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	承認/却下される変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 可能な値： • 緊急 • 通常 • 標準 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 可能な値： • emergency • normal • standard データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/approvals" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{\"state\": \"approved\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe",
      state: {
        value: "-2",
        display_value: "Scheduled"
      },
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
      ..., // all valid fields in record, single parameter example below
      short_description: {
        value: "Remove server",
        display_value: "Remove server"
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule/first_available

最初に見つかった利用可能なタイムスロットを使用して、変更要求の予定開始時間と予定終了時間を更新します。

必要なロール： sn_change_writer

注: 応答本文の *worker.link* プロパティにあるリンクを使用して、スケジュールステータスを表示します。

関連項目：

- GET /sn_chg_rest/change/ci/{cmdb_ci_sys_id}/schedule
- GET /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/schedule/first_available`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/schedule/first_available`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	次の利用可能なタイムスロットを更新する変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。選択した変更要求には、構成アイテム (cmdb_ci) が必要です。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
duration_in_seconds	変更の期間 (秒)、つまり、変更要求タスクの完了に必要な時間。 データタイプ：整数
planned_start_time	オプション。変更要求の実装開始が予定されている日時 (UTC)。 この時間以降の利用可能なタイムスロットの開始時間を取得します。指定しない場合、現在の時刻が開始時間として使用されます。 時間形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	システムが要求を承認しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 考えられる問題： • duration_in_seconds 本文パラメーター値が無効であるか、指定されていません。 • 無効な planned_start_time 本文パラメーター値が指定されました。 • 指定した変更要求には、関連付けられた構成アイテム (cmdb_ci) がありません。 • ユーザーに変更要求のフィールドへの読み取りアクセス権がありません。
403	禁止されています。ユーザーに、変更要求の開始予定日と終了予定日の値への書き込みアクセス権がありません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。 考えられる問題： • 指定された情報に基づく変更要求を見つけることができません。 • ユーザーにはこのレコードへの読み取りアクセス権がありません。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String", "status": "String" }`
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

messages	メッセージ情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`"messages": {`
	`  "errorMessages": [Array],`
	`  "infoMessages": [Array],`
	`  "warningMessages": [Array]`
	`}`

messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。 データタイプ：アレイ
要求	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列

state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: Number`
	`}`

state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *state.value* パラメーターに直接関連付けられています。 可能な値： • 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値： • 1 • 2

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 3 • 4 データタイプ：数値
type	要求のタイプを示します。 有効な値：schedule データタイプ：文字列

worker	関連付けられたワーカーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"worker": {`
	`  "link": "String",`
	`  "sysId": "String"`
	`}`

worker.link	変更要求のスケジュールのステータスを取得するためのリンク。結果を表示するには、GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id} で sys_id を使用します。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

変更要求のスケジュールのステータスの取得

worker.link に指定された値を使用して、変更レコードが最初の利用可能なタイムスロットに正常にスケジュールされたかどうかを判断します。値の形式は次のとおりです。

```
https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/
<worker_sys_id>
```

結果を表示するには、worker.link の詳細を使用して、GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id} で提供された sys_id を実行します。

応答の本文にはステータスが含まれ、処理が完了すると結果が提供されます。

利用可能なタイムスロットが見つかった場合、システムは最初の利用可能なスロットで変更要求を更新します。ステータスが完了になると、最初の利用可能なタイムスロットが設定されていることが *messages.infoMessages* によって示されます。

messages.infoMessages に対する次のいずれかのスケジューリング応答値が応答本文で指定されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 変更が更新されました：タイムスロットの変更要求が更新されました。
- 今から <number> 日間のスロットが見つかりません：スケジュール枠で定義された日数内に指定された変更要求期間に利用可能なタイムスロットはありません。

> **注:** 変更要求スケジューリングタイムスロットのデフォルト値は 90 日です。この値を変更するには、*change.conflict.next_available.schedule_window* プロパティを変更します。詳細については、「競合分析プロパティの構成」を参照してください。

次の *GET /sn_chg_rest/change/worker/{sys_id}* の例は、worker.link の詳細で指定された ID を使用して提供された出力を示しています。結果は、処理が完了し、最初の利用可能なタイムスロットで変更要求が更新されたことを示しています。

```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "355c62e0a4c87010f87712198fe9cacf",
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/355c62e0
a4c87010f87712198fe9cacf"
    },
    "request":
 "{\"change_sys_id\":
\"87ae5e900a0a2c3e263e8304e727c646\",\"duration_in_seconds\":10800,\"time
zone\":\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 3,
      "display_value": "Complete"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": [
        "Change has been updated"
      ]
    }
  }
}
```

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/87ae5e900a0a2c3
e263e8304e727c646/schedule/first_available" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"duration_in_seconds\":\"10800\"}" \
--user "username":"password"
```

結果には、GET /sn_chg_rest/change/worker/endpoint で提供された sys_id を実行するために使用できる worker.link の詳細が含まれています。

```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "355c62e0a4c87010f87712198fe9cacf",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "link":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/355c62e0
a4c87010f87712198fe9cacf"
    },
    "request":
 "{\"change_sys_id\":
\"87ae5e900a0a2c3e263e8304e727c646\",\"duration_in_seconds\":10800,\"time
zone\":\"America/Los_Angeles\"}",
    "state": {
      "value": 1,
      "display_value": "Waiting"
    },
    "type": "schedule",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
    }
  }
}
```


Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}

指定された sys_id によって識別される変更要求タスクを、要求本文または URL のキーと値のペアで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task/{task_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	タスクが関連付けられている変更要求の sys_id。指定された変更要求に指定されたタスクが関連付けられているかどうかを確認します。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
task_sys_id	変更するタスクの sys_id。変更タスク [change_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
key-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
data	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	削除前に識別された変更要求タスクのすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト

sys_id	変更要求タスクの sys_id 情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列

parent	このタスクに関連付けられた変更要求の一意の識別子情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`parent: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

parent.display_value	UI に表示するタスク情報。 データタイプ：文字列
parent.value	親タスクの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかったキーと値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/task/12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5?short_descripti
on=Retire both nodes" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{\"state\": \"assess\", \"no_such_field\": \"this will be
 ignored\" }" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5",
        display_value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5"
      },
      parent: {
        value: "0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe",
        display_value: "CHG0033046 "
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Retire both nodes",
        display_value: "Retire both nodes"
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}

指定された sys_id によって識別される緊急の変更要求を、要求本文または URL のキーと値のペアで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/emergency/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/emergency/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更する変更要求の sys_id。[change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
data	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：文字列

state	変更要求の現在のステータス。
	データタイプ：オブジェクト
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	type: {
	display_value: "String",
	value: "String"
	}

type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Emergency」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「emergency」です。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかった名前と値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/emergency/b0d
bda5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request PATCH \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{\"no_such_field\": \"this will be ignored\", }" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",    },
      state: {
        value: "-4",
        display_value: "Assess"
      },
      type: {
        value: "emergency",
        display_value: "Emergency"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Reboot server",
        display_value: "Reboot server"
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/normal/{sys_id}

指定された sys_id によって識別される通常の変更要求を、要求本文または URL のパラメーターで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/normal/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/normal/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更する変更要求の sys_id。[change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
data	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	変更要求の現在のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

type	変更要求のタイプ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`type: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Normal」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「normal」です。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかった名前と値のペア。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/normal/b0dbda
5347c12200e0ef563dbb9a718f?state=assess" \
--request PATCH \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{\"state\": \"assess\", \"no_such_field\": \"this will be
 ignored\" }" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
      state: {
        value: "-4",
        display_value: "Assess"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Remove server",
        display_value: "Remove server"
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}

指定された sys_id によって識別される標準的な変更の要求を、要求本文または URL のパラメーターで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更する変更要求の sys_id。[change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
data	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	識別された変更要求のすべてのフィールド (キー) とその関連付けられた値。 データタイプ：オブジェクト
state	変更要求のステータス。 データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	UI に表示するステータス。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 データタイプ：文字列
sys_id	変更要求の sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/standard/1c87
925347c12200e0ef563dbb9a7177?description=Reboot my email server" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },

      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Reboot my email server",
        display_value: "Reboot my email server"
      },
    }
  ]
}
```

Change Management - PATCH /sn_chg_rest/change/standard/{sys_id}/risk

リスク条件の評価に基づいて、指定された標準変更のリスクと影響度を計算します。

Change Risk Assessment プラグインがインストールされている場合は、リスクアセスメントが完了すると累積最大リスクも計算されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/risk`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/risk`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	評価する標準変更の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	リスクアセスメントが正常に完了しました。
400	リスクアセスメントが失敗しました。失敗のタイプの詳細はエラーデータに含まれています。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

impact	指定された標準変更に関連する影響度。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`impact: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

impact.display_value	UI に表示する影響度情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
impact.value	内部影響度の値。 データタイプ：文字列
name-value pairs	標準変更レコード内のすべての有効なフィールド。 データタイプ：オブジェクト

risk	指定された標準変更について計算されたリスク。
	データタイプ：オブジェクト
	`risk: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

risk.display_value	UI に表示するリスク情報。 データタイプ：文字列
risk.value	内部リスク値。 データタイプ：文字列

sys_id	標準的な変更の要求の sys_id 情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/1c87925347c12
200e0ef563dbb9a7177/risk" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  sys_id: {
    value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
    display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  risk: {
    value: "4",
    display_value: "Low"
  },
  impact: {
    value: "3",
    display_value: "3 - Low"
  }
  ..., // all valid fields in record
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change

変更要求に基づいて変更要求レコードを作成します。1 回の呼び出し内で複数の変更要求を作成することはサポートされていません。

Change Management - GET /sn_chg_rest/change/model または Change Management - GET /sn_chg_rest/change/{sys_id} エンドポイントを使用して、利用可能な変更モデルのリストを取得できます。

変更要求を作成するときは、変更モデル (*chg_model*) または *type*を設定します。*chg_model*と *type*の両方が設定されている場合、タイプは単に変更の分類です。これらの値を 1 つも指定しないと、デフォルト設定がリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。

値は、クエリ パラメーターまたは要求本文パラメーターとして設定できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	更新するフィールドを表す名前と値のペア。要求本文パラメーターは、URL パラメーターを上書きします。ただし、URL で必須のパラメーターを指定する必要があります。 代わりに、同じ値を要求本文パラメーターとして設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: 変更要求を作成するときは、変更モデル (*chg_model*) または *type*を設定します。*chg_model*と *type*の両方が設定されている場合、タイプは単に変更の分類です。これらの値を 1 つも指定しないと、デフォルト設定がリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。 データタイプ：文字列
chg_model	変更モデル [chg_model] テーブルにリストされている変更モデルの名前。 `chg_model=Normal` の形式で提供されます。 詳細については、「変更モデル」を参照してください。 注: 変更モデル (*chg_model*) または *type* 値を指定しない場合、デフォルト設定はリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。 データタイプ：文字列
encrypted_fields	暗号化するカンマ区切りフィールドのリスト。これらのフィールドは、関連付けられたレコードに格納される前に暗号化されます。指定すると、エンドポイントは *setValue()* メソッドを呼び出す代わりに、GlideRecord *setDisplayValue()* メソッドを呼び出します。 このため、このパラメーターを使用して、sys_idsや値を渡す代わりに、参照フィールドや選択フィールドなどの暗号化されていないフィールドの表示値を渡すこともできます。 データタイプ：文字列
type	選択肢 [sys_choice] テーブルにリストされている変更要求タイプの名前。*chg_model*も入力されている場合、このフィールドは変更の分類としてのみ使用されます。 `type=Normal` の形式で提供されます。 詳細については、「新しい変更要求タイプの追加」をご参照ください。 注: 変更モデル (*chg_model*) または *type* 値を指定しない場合、デフォルト設定はリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
オブジェクト	関連する変更要求で更新するフィールドを表す名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \` 代わりに、同じプロパティをクエリ パラメーターとして設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
Object.chg_model	変更モデル [chg_model] テーブルにリストされている変更モデルの名前。 次の形式で名前と値のペアとして指定されます: `{"chg_model" : "Cloud Infrastructure"}` 詳細については、「変更モデル」を参照してください。 注: 変更モデル (*chg_model*) または *type* 値を指定しない場合、デフォルト設定はリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。 データタイプ：文字列
Object.encrypted_fields	暗号化するカンマ区切りフィールドのリスト。これらのフィールドは、関連付けられたレコードに格納される前に暗号化されます。指定すると、エンドポイントは *setValue()* メソッドを呼び出す代わりに、GlideRecord *setDisplayValue()* メソッドを呼び出します。 このため、このパラメーターを使用して、sys_idsや値を渡す代わりに、参照フィールドや選択フィールドなどの暗号化されていないフィールドの表示値を渡すこともできます。 データタイプ：文字列
Object.type	選択肢 [sys_choice] テーブルにリストされている変更要求タイプの名前。*chg_model*も入力されている場合、このフィールドは変更の分類としてのみ使用されます。 名前と値のペアとして次の形式で指定されます: `{"type" : "emergency"}` 詳細については、「新しい変更要求タイプの追加」をご参照ください。 注: 変更モデル (*chg_model*) または *type* 値を指定しない場合、デフォルト設定はリリースによって変更される可能性があります。これらの値のうち少なくとも 1 つを設定することを強くお勧めします。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	新しい変更要求レコード。このオブジェクトの要素は、変更要求 [change_request] テーブルのレコード形式に対応します。要求で指定されていないすべての値は、デフォルトに設定されているか、空/null です。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

次の例は、標準的な変更モデルと標準的なタイプに基づいて変更要求レコードを作成する方法を示しています。この例では、変更要求はモデルによって駆動され、タイプフィールドはカテゴリ化としてのみ使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"chg_model\" : \"Standard\",
    \"description\" : \"Describes the change request.\",
    \"short_description\" : \"My change request\",
    \"type\" : \"Standard\"
}" \
--user "username":"password"
```

結果は、レコードが [変更要求 [change_request] テーブルに値が `CHG0030022` で正常に追加されたことを示しています。


```
{
  "result":
    "upon_reject": {
      "display_value": "Cancel all future Tasks",
      "value": "cancel"
    },
    "sys_updated_on": {
      "display_value": "2022-12-08 17:18:57",
      "value": "2022-12-09 01:18:57",
      "display_value_internal": "2022-12-08 17:18:57"
    },
    "type": {
      "display_value": "Standard",
      "value": "standard"
    }
    "number": {
      "display_value": "CHG0030022",
      "value": "CHG0030022"
    },
    "is_bulk": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    }
    "ci_class": {
      "display_value": "cmdb_ci",
      "value": "cmdb_ci"
    },
    "state": {
      "display_value": "New",
      "value": -5
    },
    "sys_created_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "knowledge": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "phase": {
      "display_value": "Requested",
      "value": "requested"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
    "impact": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3
    },
    "active": {
      "display_value": "true",
      "value": true
    },
    "priority": {
      "display_value": "4 - Low",
      "value": 4
    },
    "sys_domain_path": {
      "display_value": "/",
      "value": "/"
    },
    "production_system": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "requested_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    }
    "short_description": {
      "display_value": "My change request",
      "value": "My change request"
    },
    "sys_class_name": {
      "display_value": "Change Request",
      "value": "change_request"
    },
    "reassignment_count": {
      "display_value": "0",
      "value": 0
    },
    "variables": {
      "display_value": "variable_pool",
      "value": "variable_pool"
    },
    "sla_due": {
      "display_value": "UNKNOWN",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "escalation": {
      "display_value": "Normal",
      "value": 0
    },
    "upon_approval": {
      "display_value": "Proceed to Next Task",
      "value": "proceed"
    },
    "conflict_status": {
      "display_value": "Not Run",
      "value": "Not Run"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "task_effective_number": {
      "display_value": "CHG0030022",
      "value": "CHG0030022"
    },
    "sys_updated_by": {
      "display_value": "admin",
      "value": "admin"
    },
    "opened_by": {
      "display_value": "System Administrator",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "sys_created_on": {
      "display_value": "2022-12-08 17:18:57",
      "value": "2022-12-09 01:18:57",
      "display_value_internal": "2022-12-08 17:18:57"
    },
    "sys_domain": {
      "display_value": "global",
      "value": "global"
    },
    "chg_model": {
      "display_value": "Standard",
      "value": "e55d0bfec343101035ae3f52c1d3ae49"
    },
    "opened_at": {
      "display_value": "2022-12-08 17:18:57",
      "value": "2022-12-09 01:18:57",
      "display_value_internal": "2022-12-08 17:18:57"
    },
    "description": {
      "display_value": "Describes the change request.",
      "value": "Describes the change request."
    },
    "sys_id": {
      "display_value": "2ac52dd77c6b1510f877be3b096e64fe",
      "value": "2ac52dd77c6b1510f877be3b096e64fe"
    },
    "cab_required": {
      "display_value": "false",
      "value": false
    },
    "urgency": {
      "display_value": "3 - Low",
      "value": 3
    },
    "scope": {
      "display_value": "Medium",
      "value": 3
    },
    "activity_due": {
      "display_value": "UNKNOWN",
      "value": "",
      "display_value_internal": ""
    },
    "approval": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_value": "Not Yet Requested",
      "value": "not requested"
    },
  }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、要求本文で暗号化されたフィールドを渡す方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"encrypted_fields\":\"short_description,description\",
    \"short_description\":\"my short desc\",
    \"description\":\"my desc\"
}" \
--user "username":"password"
```

Example: cURL 要求

次の例は、暗号化されたフィールドをクエリパラメーターとして渡す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change?encrypted_fie
lds=short_description%2Cdescription&short_description=my%20short%20desc&d
escription=my%20desc" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{}" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/{sys_id}/ci

変更要求と 構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI) の関連付けを作成します。

関連付けの作成は非同期で行われます。つまり、応答はすぐに提供され、ワーカーの詳細を含みます。ワーカーは、応答後に実際の作業を行います。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/ci`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/ci`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
sys_id	CMDB CI と関連付ける変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
association_type	必須です。CMDB CI と変更要求の間の関連付けのタイプ。 有効な値： • affected：変更要求によって影響を受ける CI • impacted：変更要求によって影響を受けるサービス • offering：影響を受けるサービスオファリング データタイプ：文字列
cmdb_ci_sys_ids	必須です。変更要求に関連付ける CMDB CI sys_id のリスト。 データタイプ：アレイまたはカンマ区切りの文字列
refresh_impacted_services	影響を受ける CI のリストに基づいて、影響を受けるサービスを `association_type=affected` で入力するときに使用されるフラグ。 有効な値： • true：影響を受ける CI に基づいて、影響を受けるサービスを入力します。 • false：影響を受けるサービスを自動的に入力しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	受け入れ済み。処理要求が受け入れられました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 エラー応答には、問題のトラブルシューティングに役立つ関連メッセージが含まれています。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

messages	メッセージ情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"messages": {`
	`  "errorMessages": [Array],`
	`  "infoMessages": [Array],`
	`  "warningMessages": [Array]`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました` データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。例： `CMDB_CI sys_id が既に指定値に関連付けられています。` データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました。` データタイプ：アレイ
request	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列

state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *state.value* 要素に直接関連付けられています。 可能な値： • 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値： • 1 • 2 • 3 • 4 データタイプ：数値
type	CMDB CI と変更要求の間の関連付けのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
worker	関連付けられたワーカーに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"worker": { "link": "String", "sysId": "String" }`
worker.link	関連付けられたワーカーのステータスおよびその他のワーカー関連情報を取得するための URL。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/c286d61347c12
200e0ef563dbb9a71df/ci" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{cmdb_ci_sys_ids:'caf043a3b7fb23000999e4f6ee11a9c0,06f043a3b7fb23000999
e4f6ee11a9c1', association_type:'affected'}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "worker": {
      "sysId": "f490f4c6dbac330084f07ffdbf961952",
      "link":
 "instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/f490f4c6dbac3300
84f07ffdbf961952"
    },
    "request":
 "{\"cmdb_ci_sys_ids\":
[\"caf043a3b7fb23000999e4f6ee11a9c0\",\"06f043a3b7fb23000999e4f6ee11a9c1\
"],\"association_type\":\"affected\",\"task\":
\"c286d61347c12200e0ef563dbb9a71df\"}",
    "state": {
      "value": 1,
      "display_value": "Waiting"
    },
    "type": "affected",
    "messages": {
      "errorMessages": [],
      "warningMessages": [],
      "infoMessages": []
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    }
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict

指定された変更要求 (sys_id) の変更要求競合チェックプロセスを開始します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/conflict`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/conflict`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	競合チェックプロセスを開始する変更管理要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。競合チェック プロセスの詳細については、「競合の検出」を参照してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。解決できないエラーのため、要求を開始できませんでした。返されたメッセージに追加の詳細が記載されている場合があります。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	変更要求競合チェックプロセスの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/0f4ac6c4b7502
30096c3e4f6ee11a9fe/conflict" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
    result: "c0b5afe4b710230096c3e4f6ee11a93f"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/emergency

デフォルトの緊急変更要求レコードに基づいて、緊急の変更要求を作成します。単一の呼び出し内での複数の緊急変更要求の作成はサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/emergency`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/emergency`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
key-value pairs	要求の作成時に変更するフィールドのキーと値のペア。キーはテンプレート内のフィールド名で、値はフィールドに入力する情報です。 変更できず、渡された場合に無視されるフィールド： • ビジネスルール • ACL で定義されている読み取り専用フィールド • 存在しないフィールド データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	緊急の変更要求で作成されたフィールドの名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

state	削除前の変更要求のステータス。
	データタイプ：オブジェクト
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

state.display_value	UI に表示するステータス。 値は常に「New」です。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 値は常に「-5」です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_id	新しく作成された緊急の変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

type	変更要求のタイプ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`type: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Emergency」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「emergency」です。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかったキーと値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/emergency?no_
such_field=something&description=test&short_description=Reboot server" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
      state: {
        value: "-5",
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "emergency",
        display_value: "Emergency"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Reboot server",
        display_value: "Reboot server"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/normal

デフォルトの通常の変更要求レコードに基づいて、1 つの通常の変更要求を作成します。単一の呼び出し内での複数の通常の変更要求の作成はサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/normal`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/normal`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
key-value pairs	要求の作成時に変更するフィールド。キーはテンプレート内のフィールド名で、値はフィールドに入力する情報です。 変更できず、渡された場合に無視されるフィールド： • ビジネスルール • ACL で定義されている読み取り専用フィールド • 存在しないフィールド データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	関連する変更要求のすべてのフィールドの値。 データタイプ：オブジェクト

state	新しく作成された変更要求のステータス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`state: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
state.display_value	UI に表示するステータス。 値は常に「New」です。 データタイプ：文字列
state.value	内部ステータスの値。 値は常に「-5」です。 データタイプ：文字列
sys_id	新しく作成された通常の変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 データタイプ：オブジェクト `type: { display_value: "String", value: "String" }`
type.display_value	UI に表示する変更のタイプ。 値は常に「Normal」です。 データタイプ：文字列
type.value	内部タイプの値。 値は常に「normal」です。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかったキーと値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/normal?no_such_field=something&description=test&short_description=Remove server" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: "b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f",
      state: {
        value: "-5",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        display_value: "New"
      },
      type: {
        value: "normal",
        display_value: "Normal"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Remove server",
        display_value: "Remove server"
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/{sys_id}/refresh_impacted_services

プライマリ CI に基づいて、影響を受ける services/configuration アイテム (CI) 関連リストに値が入力されます。

プライマリ CI が、変更要求フォームと影響を受ける CI 関連リストに表示されます。

注: このエンドポイントのすべての作業アイテムは非同期で実行されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{sys_id}/refresh_impacted_services`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{sys_id}/refresh_impacted_services`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	影響を受けるサービスを更新するために使用する変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
messages	メッセージ情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"messages": { "errorMessages": [Array], "infoMessages": [Array], "warningMessages": [Array] }`
messages.errorMessages	要求の処理中にエラーメッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました` データタイプ：アレイ
messages.infoMessages	要求の処理中に情報メッセージが表示されました。例： `CMDB_CI sys_id が既に指定値に関連付けられています。` データタイプ：アレイ
messages.warningMessages	要求の処理中に警告メッセージが表示されました。例： `無効な CMDB_CI sys_id が指定されました。` データタイプ：アレイ
request	元のエンドポイント要求。 データタイプ：文字列
state	ワーカーの現在のステータスに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `state: { display_value: "String", value: "String" }`
state.display_value	ワーカーのステータス値を表示します。これらの値は *`state.value`* 要素に直接関連付けられています。 可能な値： • 完了 • エラー • 対応中 • 待機中 データタイプ：文字列
state.value	ワーカーのステータスの数値。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 1 • 2 • 3 • 4 データタイプ：数値
type	CMDB CI と変更要求の間の関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列

worker	関連付けられたワーカーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"worker": {`
	`  "link": "String",`
	`  "sysId": "String"`
	`}`

worker.link	関連付けられたワーカーのステータスおよびその他のワーカー関連情報を取得するための URL。 データタイプ：文字列
worker.sysId	変更要求と関連付けるワーカーの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_chg_rest/v1/change/c286d61347c12
200e0ef563dbb9a71df/refresh_impacted_services" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: {
    worker: {
      sysId: "aa31c308b75033000999e4f6ee11a9c2",
      link:
 "http://instance.service-now.com/api/sn_chg_rest/change/worker/aa31c308b
75033000999e4f6ee11a9c2"
    },
    request: "",
    state: {
      value: 1,
      display_value: "Waiting"
    },
    type: "impacted",
    messages: {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      errorMessages: [],
      warningMessages: [],
      infoMessages: []
    }
  }
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/standard/{standard_change_template_id}

渡されたテンプレート sys_id で指定された既存の標準的な変更テンプレートに基づいて、1 つの標準的な変更の要求を作成します。単一の呼び出し内での複数の標準的な変更の要求の作成はサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/standard/{standard_change_template_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/standard/{standard_change_template_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
standard_change_template_id	新しい標準的な変更の要求のベースとなる標準的な変更テンプレートの sys_id。標準的な変更テンプレート [std_change_record_producer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

パラメーター	説明
name-value pairs	要求の作成時に変更する、指定された標準的な変更テンプレート内のフィールド。キーはテンプレート内のフィールド名で、値はフィールドに入力する情報です。 変更できず、渡された場合に無視されるフィールド： • 説明 • 切り戻し計画 • テスト計画 • 実装計画

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	• ACL で定義されている読み取り専用フィールド • 指定された標準的な変更テンプレートに存在しないフィールド データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文

API は、次の JSON または XML 要素を応答本文で返します。

応答本文で返される要素

要素	説明
name-value pairs	標準的な変更の要求で作成されたフィールドの名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

sys_id	新しく作成された標準的な変更の要求の sys_id 情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`sys_id: {`
	`  display_value: "String",`
	`  value: "String"`
	`}`

sys_id.display_value	UI に表示する標準的な変更の要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	標準的な変更の要求の sys_id。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかったキーと値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177",
        display_value: "1c87925347c12200e0ef563dbb9a7177"
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      short_description: {
        value: "Add network switch to cabinet",
        display_value: "Add network switch to cabinet"
      }
      __meta: {
        ignoredFields: ["no_such_field"]
      }
    }
  ]
}
```

Change Management - POST /sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task

デフォルトの変更要求タスクレコードに基づいて 1 つの変更要求タスクを作成し、それを指定された変更要求に関連付けます。単一の呼び出し内での複数の変更要求タスクの作成はサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_chg_rest/{api_version}/change/{change_sys_id}/task`

デフォルトの URL：`/api/sn_chg_rest/change/{change_sys_id}/task`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
change_sys_id	このタスクを関連付ける変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
key-value pairs	要求の作成時に変更するフィールド。キーはテンプレート内のフィールド名で、値はフィールドに入力する情報です。 変更できず、渡された場合に無視されるフィールド： • ビジネスルール • ACL で定義されている読み取り専用フィールド • 存在しないフィールド データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	変更要求タスクで作成されたフィールドの名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト
parent	タスクに関連付けられた変更要求の情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `parent: { display_value: "String", value: "String" }`
parent.display_value	タスクに関連付けられた変更要求の UI に表示される情報。 データタイプ：文字列
parent.value	タスクに関連付けられた変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	新しく作成された変更要求タスクの sys_id 情報。 データタイプ：オブジェクト `sys_id: { display_value: "String", value: "String" }`
sys_id.display_value	UI に表示する変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id.value	変更要求タスクの sys_id。 データタイプ：文字列
__meta.ignoredFields	呼び出しで渡されたが、ベースレコードに存在しないか、フィールドが読み取り専用であるため、変更要求に適用されなかったキーと値のペア。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/change/0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe/task?short_description=Retire node&no_such_field=test" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  result: [
    {
      sys_id: {
        value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5",
        display_value: "12629ec4b750230096c3e4f6ee11a9d5"
      },
      parent: {
        value: "0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe ",
        display_value: "CHG0033046 "
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      ..., // all valid fields in record, example below
      short_description: {
        value: "Retire node",
        display_value: "Retire node"
      }
      __meta.ignoredFields": ["no_such_field"]
    }
  ]
}
```

CI ライフサイクル管理 API

CI ライフサイクル管理 API は、構成アイテム (CI) の運用ステータスを操作し、CI アクションを適用するためのエンドポイントを提供します。

この API インターフェイスは、許可されていない CI アクション、互換 CI アクション、および許可されていない運用上の移行によって指定された制限および許可を遵守します。インターフェイスが制限付き操作を試行すると、操作はブロックされ、エラーが記録され、必要に応じてタスクが作成されます。

CI ライフサイクル管理 - DELETE /now/cilifecyclemgmt/actions

CI のリストの構成アイテム (CI) アクションを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/actions`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/actions`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。構成アイテムのアクション名。 データタイプ：文字列
requestorId	必須です。 ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysids	必須です。CI sys_id のカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "errors": [Array], "result": "String" }`
result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	CI アクションが正常に削除されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：CI アクションが削除されました。 • false：CI アクションが削除されませんでした。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

2 つの CI から CI アクションを削除します。

```
curl --request DELETE \
'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/actions?actionName=Patching&requestorId=621b5a09309e5010f877773aa7167c0a&sysIds=00a9a80d3790200044e0bfc8bcbe5d1c,d0fdbc8437201000deeabfc8bcbe5d33' \
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

応答本文は、CI アクションが CI から削除されたことを確認します。

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - DELETE /now/cilifecyclemgmt/operators/{req_id}

ワークフロー以外のユーザーのオペレーターの登録を解除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/operators/{req_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/operators/{req_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_id	ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String",`
	`  "message": "String"`
	`  }`
	`]`

result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	オペレーターが正常に登録解除されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：オペレーターが正常に登録解除されました。 • false：オペレーターが正常に登録解除されませんでした。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

ユーザー ID でオペレーターを登録解除します。

```
curl --request DELETE \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/operators/3cf1b
3cc30121010f877773aa7167c6e" \
--header "Accept: application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文は、オペレーターが登録解除されたことを確認します。

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/actions/{sys_id}

指定された CI のアクティブな構成アイテム (CI) アクションのリストを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/actions/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/actions/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられている CI アクションを返す CI の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.ciActions* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.ciActions	CI のアクティブな CI アクションのカンマ区切りリスト。見つからない場合は `no_active_action`。 データタイプ：文字列

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String",`
	`  "message": "String"`
	`  }`
	`]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	指定されたすべての CI に対してアクティブな CI アクションのリストが返されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：アクティブな CI アクションのリストが返されました。 • false：アクティブな CI アクションのリストが返されませんでした。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl --request GET \
'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/actions/00a9a80
d3790200044e0bfc8bcbe5d1c' \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

応答本文は、指定された CI に対してアクティブな CI アクションがないことを示しています。

```
{
  "result": {
    "ciActions": [
      "no_active_action"
    ],
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/compatActions

指定された 2 つの構成アイテム (CI) アクションに互換性があるかどうかを判断します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/compatActions`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/compatActions`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。比較する CI アクションの名前。 データタイプ：文字列
otherActionName	必須です。比較する CI アクションの名前。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	指定された 2 つの CI アクションに互換性があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：CI アクションに互換性があります。 • false：CI アクションに互換性がありません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

パッチ適用とプロビジョニングの CI アクションの互換性を確認します。

```
curl --request GET \
'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/compatActions?a
ctionName=Patching&otherActionName=Provisioning' \
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

応答本文は、2 つの CI アクションに互換性があることを確認します。

```
{
  "result": true
}
```

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}/expired

指定された CI に適用される構成アイテム (CI) アクションの要求者に対してリースが期限切れかどうかを判断します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}/expired`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}/expired`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	適用された CI アクションのターゲットである CI の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。指定された CI に適用される CI アクションの名前。 データタイプ：文字列
requestorId	必須です。 ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "errors": [Array], "result": "String" }`
result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	適用された CI アクションの要求者のリース期限が切れたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：要求者のリース期限が切れました。 • false：要求者のリース期限が切れていません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl --request GET \
'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/leases/00a9a80d
3790200044e0bfc8bcbe5d1c/expired?actionName=Patching&requestorId=621b5a09
309e5010f877773aa7167c0a' \
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

応答本文は、適用された CI アクションの要求者のリース期限が切れていないことを示しています。

```
{
  "result": {
    "result": false
  }
}
```

自動翻訳

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/notAllowedAction

指定された運用ステータスのときに、指定されたクラスの CI に対して指定された構成アイテム (CI) アクションが許可されていないかどうかを判断します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/notAllowedAction`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/notAllowedAction`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。チェックする CI アクションの名前。 データタイプ：文字列
ciClass	必須です。CI クラス。 データタイプ：文字列
opsLabel	必須です。チェックする運用ステータス。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	指定された運用ステータスのときに、指定されたタイプの CI に対して CI アクションが制限されている (許可されていない) かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：CI アクションは制限されています (許可されていません)。 • false：CI アクションは無制限です (許可されています)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

DR スタンバイ運用ステータスのコンピューターに対して、パッチ適用 CI アクションが制限されている (許可されていない) かどうかを確認します。

```
curl --request GET \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/notAllowedActi
on?actionName=Patching&ciClass=cmdb_ci_computer&opsLabel=DR+Standby" \
--header "Accept: application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文は、指定された運用ステータスのときに、指定された CI クラスに対してこのアクションが制限されている (許可されていない) ことを確認します。

```
{
  "result": true
}
```

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/notAllowedOpsTransition

指定されたクラスの構成アイテム (CI) が、指定された運用ステータスから 2 番目に指定された運用ステータスに移行できるかどうかを判断します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/notAllowedOpsTransition`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/notAllowedOpsTransition`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
ciClass	必須です。移行の制限を確認する CI クラス。 データタイプ：文字列
opsLabel	必須です。現在の CI 運用ステータスのラベル。 データタイプ：文字列
transitionOpsLabel	必須です。移行のターゲットである運用ステータスのラベル。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	指定された CI クラスに対して、指定された運用ステータスの移行が制限されている (許可されていない) かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：運用ステータスの移行は制限されています (許可されていません)。 • false：運用ステータスの移行は無制限です (許可されています)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Linux サーバー CI に対して、廃止運用ステータスから DR スタンバイ運用ステータスへの移行が制限されている (許可されていない) かどうかを確認します。

```
curl --request GET \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/notAllowedOpsTransition?ciClass=cmdb_ci_computer&opsLabel=Retired&transitionOpsLabel=DR+Standby" \
--header "Accept: application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文は、この CI クラスに対して、指定された運用ステータスの移行が無制限である (許可されている) ことを示しています。

```
{
  "result": false
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/requestors/{req_id}/valid

指定されたアクティブなワークフローユーザーまたは登録されたユーザーが有効な要求者であるかどうかを判断します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/requestors/{req_id}/valid`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/requestors/{req_id}/valid`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_id	ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String",`
	`  "message": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	指定されたアクティブなワークフローユーザーまたは登録されたユーザーが有効な要求者であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：有効な要求者。 • false：無効な要求者。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl --request GET \
'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/requestors/4cab
9b95301a9010f877773aa7167ca9/valid' \
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - GET /now/cilifecyclemgmt/statuses/{sys_id}

指定された構成アイテム (CI) の現在の運用ステータスを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/statuses/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/statuses/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	CI の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.operationalStates	指定された CI の運用ステータス、またはステータスが指定されていない場合は `unknown` です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

```
curl --request GET
 'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/statuses/aac0b
1213784200044e0bfc8bcbe5de3' \
--header 'Accept: application/json' \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "operationalState": "Repair in Progress",
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - PATCH /now/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}

指定されたユーザーの指定された構成アイテム (CI) アクションのリース期限を延長します。

前のリース期限が切れている場合は、新しいリース時間がすぐに開始されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/leases/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	リースを延長する CI の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。関連付けられている CI アクションの名前。 データタイプ：文字列
leaseTime	必須です。*`actionName`* で指定された CI アクションに対してリースが有効である期間。 データタイプ：文字列 形式：HH:MM:SS

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
requestorId	必須です。 ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String",`
	`  "message": "String"`
	`  }`
	`]`

result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	リース時間が延長されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：リース時間が延長されました。 • false：リース時間が延長されませんでした。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

パッチ適用 CI アクションの要求者のリース期間を 24 時間延長します。

```
curl --request PATCH
 'https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/leases/affd3c8
437201000deeabfc8bcbe5dc3?actionName=Patching&leaseTime=24:00:00&requesto
rId=e7c3402d305a9010f877773aa7167c2a' \
--header 'Accept: application/json' \
--header 'Content-Type: application/json' \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/actions

指定された CI のリストに、指定された構成アイテム (CI) アクションを追加します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/actions`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/actions`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
actionName	必須です。リストに追加する CI アクションの名前。 データタイプ：文字列
leaseTime	指定された CI アクションに対してリースが有効である時間。 データタイプ：文字列 形式：HH:MM:SS
oldActionName	すべての CI が含まれているはずの古い CI アクションのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列
requestorId	必須です。 ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sysids	必須です。CI アクションを追加する CI sys_id のカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"errors": [ { "error": "String", "message": "String" } ]`
result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	リスト内のすべての CI に CI アクションが設定されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：CI アクションが設定されました。 • false：CI アクションが設定されませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

2 つの CI にパッチ適用 CI アクションを追加します。

```
curl --request POST \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/actions?actionName=Patching&requestorId=621b5a09309e5010f877773aa7167c0a&sysIds=00a9a80d3790200044e0bfc8bcbe5d1c,d0fdbc8437201000deeabfc8bcbe5d33" \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators

ワークフロー以外のユーザーのオペレーターを登録します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/operators`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/operators`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"result": {
	  "errors": [Array],
	  "result": "String"
	}</pre>

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "String",
	  "message": "String"
	  }
	]</pre>

result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値： • CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.requestorId	登録済みオペレーターの GUID。この値を使用して、CI アクションと運用ステータスを設定します。 データタイプ：文字列
result.result	オペレーターが正常に登録されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：オペレーターが正常に登録されました。 • false：オペレーターが正常に登録されませんでした。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl --request POST \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/operators" \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "result": true,
    "requestorId": "6f992b8430121010f877773aa7167c42"
  }
}
```

自動翻訳

CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/statuses

指定された構成アイテム (CI) のリストの運用ステータスを設定します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cilifecyclemgmt/statuses`

デフォルトの URL：`/api/now/cilifecyclemgmt/statuses`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
oldOpsLabels	すべての CI が含まれているはずの、古い CI 運用ステータスのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列
opsLabel	必須です。指定された CI に設定する運用ステータスのラベル。 データタイプ：文字列
requestorId	必須です。 ワークフローコンテキストの sys_id、または CI ライフサイクル管理 - POST /now/cilifecyclemgmt/operators エンドポイントから返されたオペレーターユーザー ID。 オペレーターユーザー ID は、CI ステータス登録済みユーザー [statemgmt_register_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sysids	必須です。運用ステータスが設定される CI の sys_id のカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。エンドポイントによって要求が正常に処理されました。 応答本文の *result.result* パラメーターを確認して、操作の結果を確認します。 要求の処理中にエンドポイントでエラーが発生した場合、エラーコードとメッセージが、応答本文の *result.errors* パラメーターに表示されます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

result	要求の結果をカプセル化するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "errors": [Array],`
	`  "result": "String"`
	`}`

result.errors	各オブジェクトが要求の処理中に発生したエラーを表すオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String",`
	`  "message": "String"`
	`  }`
	`]`

result.errors.error	要求の処理中に発生したステータス管理エラーの識別子。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• CI_ACTION_ALREADY_SET • CI_ACTION_NOT_SET • DUPLICATE_CI_ACTION_RECORD • DUPLICATE_OPS_STATE_RECORD • DUPLICATE_SYS_ID • INCOMPATIBLE_CI_ACTION • INVALID_CI_ACTION • INVALID_DELETE • INVALID_INPUT_PARAMETERS • INVALID_LEASETIME • INVALID_OPS_STATE • INVALID_OPS_STATE_TRANSITION • INVALID_REQUESTOR • INVALID_REQUESTOR_FOR_CI • INVALID_SYS_ID • MUTEX_UNAVAILABLE • NOT_ALLOWED_CI_ACTION • OPS_STATE_NOT_SET • UNPRIORITIZED_OPS_STATE • UNSUPPORTED_SYS_ID データタイプ：文字列
result.errors.message	関連する *error* の詳細を提供するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.result	要求に含まれているすべての CI に目的のステータスが設定されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：運用ステータスが設定されています。 • false：運用ステータスが設定されていません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

2 つの CI に `Repair in Progress` 運用ステータスを設定します。

```
curl --request POST \
"https://instance.service-now.com/api/now/cilifecyclemgmt/statuses?opsLabel=Repair%20in%20Progress&requestorId=23d58bc030121010f877773aa7167c83&sysIds=affd3c8437201000deeabfc8bcbe5dc3,aac0b1213784200044e0bfc8bcbe5de3" \
--header "Accept: application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文は、要求で指定された両方の CI に対して目的の運用ステータスが設定されたことを示しています。

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

クラウドサービスカタログ API

クラウドサービスカタログ API は、クラウドサービススタックの作成やリソース操作要求の呼び出しなど、クラウドサービスカタログで利用可能な 1 日目 (プロビジョニング) および 2 日目 (変更) の操作に関連するメソッドを提供します。また、カタログ要求に関する情報、スタック取得ステータス、およびその他の情報を取得することもできます。

この API は now 名前空間に含まれており、sn_cmp.cloud_service_user ロールが必要です。Cloud Services Catalog (CSC) アプリケーションは別のサブスクリプションとして利用でき、ITOM Enterprise バンドルまたは ITOM クラウドアクセラレート製品エンタイトルメントが必要です。

クラウドサービスカタログ API は、Day 2 の操作中に実行するアクションを特徴としています。この API のコンテキストでは、リソースカタログアイテムは 2 日目の操作に関連するカタログアイテムを参照します。

この API を使用するには、クラウドサービスカタログのガイド付きセットアッププロセスを完了していること、または UI でプロビジョニングとカタログ操作が機能する構成が機能していることを確認してください。これらの手順の詳細については、「 クラウドサービスカタログ 」を参照してください。

クラウドサービスカタログ - GET /now/cmp_catalog_api/itemsbyciclass

指定された構成アイテム (CI) クラスに基づいて、リソースカタログアイテムのリストを返します。

URL 形式

デフォルト URL: /api/now/cmp_catalog_api/itemsbyciclass

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
ci_class	必須。リソースカタログアイテムを取得する CI クラスの名前 (「cmdb_ci_vm_instance」など)。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの [参照 CI タイプ] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
display_variables	各カタログアイテムに関連付けられたカタログアイテム変数をリストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:リストカタログアイテム変数を表示します。 • false:リストカタログアイテム変数を表示しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：False
operation_name	オプション。操作の名前。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルのリソース インターフェイスの Name 列にあります。 注: このパラメーターは、操作の一部または全体を照会できます。たとえば、「Servicenow」で始まるすべてのインターフェイスを一覧表示する場合は、変数を `operation_name = Servicenow` として設定できます。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。 データタイプ：文字列
resource_interface	オプション。リソースカタログアイテムがホストされているリソースインターフェイス。ResourceInterfaces [sn_cmp_rb_resourceinterface] テーブルの Name 列にあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
active	リソース運用カタログアイテムのアクティブ状況。 可能な値： • true:リソース運用カタログアイテムがアクティブです。 • false:リソース運用カタログアイテムは非アクティブです。 データタイプ：文字列
created_on	リソース運用カタログアイテムが作成されたときのタイムスタンプ。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss。 データタイプ：文字列
display_name	リソースインターフェイスの名前。ResourceInterfaces [sn_cmp_rb_resourceinterface] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
id	リソース運用カタログアイテムのSys_id。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	リソース運用カタログアイテムの名前。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
short_description	リソース運用カタログアイテムの簡単な説明。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
updated_on	リソース運用カタログアイテムが最後に更新された時点のタイムスタンプ。必要な形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、要求アイテムのステータスを要求して返します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/itemsbycicla
ss?ci_class=cmdb_ci_vm_instance&resource_interface=Virtual%20Machine%20St
ore%20Extension%20Interface&operation_name=Execute%20Job%20Template" \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
[
  {
    "display_name": "Virtual Server-Virtual Machine Store Extension
 Interface-Execute Job Template",
    "id": "01b2341a56789012345d6ddeeff7b89fc",
    "created_on": "2019-04-28 12:58:26",
    "updated_on": "2019-04-28 12:58:26",
    "name": "Virtual Server-Virtual Machine Store Extension
 Interface-Execute Job Template",
    "short_description": "Catalog item to invoke operation",
    "active": true
  }
]
```

クラウドサービスカタログ - GET /now/cmp_catalog_api/itemsbyrb

指定されたリソースブロックに基づいてリソースカタログアイテムのリストを返します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/itemsbyrb`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
display_variables	各カタログアイテムに関連付けられたカタログアイテム変数をリストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:リストカタログアイテム変数を表示します。 • false:リストカタログアイテム変数を表示しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：False
operation_name	オプション。操作の名前。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルのリソース インターフェイスの Name 列にあります。 注: このパラメーターは、操作の一部または全体を照会できます。たとえば、「Servicenow」で始まるすべてのインターフェイスを一覧表示する場合は、変数を `operation_name = Servicenow` として設定できます。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。 データタイプ：文字列
resource_block	必須です。関連するリソース運用カタログアイテムを取得するリソースブロックの名前 (仮想サーバーなど)。リソースブロック [sn_cmp_rb_resourceblock] テーブルで利用可能です。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。 データタイプ：文字列
resource_interface	オプション。リソースカタログアイテムがホストされているリソースインターフェイス。ResourceInterfaces [sn_cmp_rb_resourceinterface] テーブルの Name 列にあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)
active	リソース運用カタログアイテムのアクティブ状況。 可能な値： • true:リソース運用カタログアイテムがアクティブです。 • false:リソース運用カタログアイテムは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
display_name	リソースインターフェイスの名前。ResourceInterfaces [sn_cmp_rb_resourceinterface] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
id	リソース運用カタログアイテムのSys_id。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	リソース運用カタログアイテムの名前。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
short_description	リソース運用カタログアイテムの簡単な説明。リソース運用カタログアイテム [sn_cmp_rsrc_opr_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変数	リソースカタログアイテムに関するその他の詳細のリスト。この API で返される変数は、渡されたクエリパラメーターによって異なります。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"variables": [ { "parameter1": "String", "parameter2": "String" } ]`

次の例は、仮想サーバーリソースブロックに基づくリソースカタログアイテムのリストです。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/itemsbyrb?resou
rce_interface=Virtual%20Machine%20Store%20Extension%20Interface&operation
_name=Execute%20Job%20Template&resource_block=Virtual%20Server" \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
[
  {
    "display_name": "Virtual Server-Virtual Machine Store Extension
 Interface-Execute Job Template",
    "id": "01b2341a56789012345d6ddeeff7b89fc",
    "created_on": "2019-04-28 12:58:26",
    "updated_on": "2019-04-28 12:58:26",
    "name": "Virtual Server-Virtual Machine Store Extension
 Interface-Execute Job Template",
    "short_description": "Catalog item to invoke operation",
    "active": true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
]
```

クラウドサービスカタログ - GET /now/cmp_catalog_api/services

プロビジョンまたはライフサイクルカタログタイプの指定された詳細計画に基づいて、カタログアイテムのリストを返します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/services`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	Description (説明)
catalog_type	オプション。カタログアイテムのタイプ。指定できる値 (大文字と小文字を区別): • `プロビジョン`: すべての詳細計画タイプのカタログアイテムを返します。 • `ライフサイクル` :操作タイプ 2 のすべてのカタログアイテムを返します。 入力が空 (デフォルト) の場合、両方のカタログタイプのすべてのサービスが返されます。 データタイプ：文字列
display_variables	各カタログアイテムに関連付けられたカタログアイテム変数をリストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:リストカタログアイテム変数を表示します。 • false:リストカタログアイテム変数を表示しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：False
blueprint_name	オプション。関連カタログアイテムをフェッチする詳細計画の名前。カテゴリアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 注: このパラメーターは、詳細計画名の一部または全部を照会できます。たとえば、「Servicenow」で始まるすべての詳細計画を一覧表示する場合は、変数を `blueprint_name = Servicenow` として設定できます。 デフォルト:すべてのブループリントのすべてのサービスが返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
active	カタログがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:カタログはアクティブです。 • false:カタログはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
詳細計画	ブループリントのsys_id。詳細計画 [sn_cmp_bp_blueprint] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_category	詳細計画カテゴリのsys_id。クラウドサービスカテゴリ [sn_capi_service_category] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_category_name	詳細計画カテゴリの名前。クラウドサービスカテゴリ [sn_capi_service_category] テーブルにあります。 可能な値： • アクセス • 分析 • アプリケーションサービス • ブロックチェーン • ビジネスの生産性 • 計算 • 設定管理 • コンテナ • データベース • 開発ツール • イベント • ハイブリッドクラウド • IOT (アイオット) • IPAM • ラウドバランサー • 機械学習 • 管理ツール • マーケットプレイス • モバイル • ネットワーク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• 生産性 • セキュリティ • シェルアクセス • ストレージ • ツール • 不明 • バーチャルリアリティ データタイプ：文字列
blueprint_name	詳細計画の名前。詳細計画 [sn_cmp_bp_blueprint] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_type	詳細計画のタイプ。 可能な値: `カスタムブループリント` データタイプ：文字列
catalog_name	カタログの名。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
catalog_type	カタログのタイプ。可能な値： • `1`:カタログのタイプはプロビジョンです。 • `2`:カタログのタイプがライフサイクルである。 データタイプ：文字列
catalog_type	カタログのタイプ。可能な値： • `1`:カタログのタイプはプロビジョンです。 • `2`:カタログのタイプがライフサイクルである。 データタイプ：文字列
createdOn	カタログアイテムが作成されたときのタイムスタンプ。 データタイプ：文字列
createdBy	カタログアイテムを作成したユーザー。 データタイプ：文字列
id	ブループリントのsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
last_updated_on	カタログアイテムが最後に更新された時点のタイムスタンプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
last_updated_by	管理者やシステムなど、カタログアイテムを最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列
operation	操作のsys_id。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルで使用できます。
operation_name	操作の名前。可能な値： • 開始:オフ状態のリソースを開始します。 • 停止:オン状態のリソースを停止します。 • ModifySchedule:プロビジョニングされたリソースのスケジュールを変更します。 • プロビジョニング解除:終了ステータスのリソースを削除し、それに応じてリソース CMDB テーブルを更新します。 • ModifyLease:プロビジョニングされたリソースでスケジュールされたリース操作を変更します。 データタイプ：文字列
変数	リストカタログアイテムに関する追加情報を含むオブジェクト。この API で返される変数は、要求で渡されるクエリパラメーターによって異なります。 データタイプ: オブジェクト `"variables": [ { "parameter1": "String", "parameter2": "String" } ]`

この例では、「classiclb」という名前のライフサイクルタイプ詳細計画のすべてのカタログアイテムを返します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.comapi/now/cmp_catalog_api/services?display
_variables=true&catalog_type=LifeCycle&blueprint_name=classiclb" \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
[
  {
    "catalog_name": "Deprovision",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": "Are you sure you want to perform this
operation?",
    "id": "01b2341a56789012345d6ddeeff7b89fc",
    "variables": [
      {
        "id": "a12d34c5678c91234bf45678912d34e4",
        "name": "StackID",
        "question_text": "StackID",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:46:03",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:46:02",
    "created_by": "user@password.com",
    "operation": "a70d51c0476c46104bf15222516d4375",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "Deprovision"
  },
  {
    "catalog_name": "ModifySchedule",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": null,
    "id": "361d55c0476c46104bf15222516d4351",
    "variables": [
      {
        "id": "031d55c0476c46104bf15222516d43af",
        "name": "ScheduleProfile",
        "question_text": "ScheduleProfile",
        "default_value": "Not specified"
      },
      {
        "id": "0b1d55c0476c46104bf15222516d43c9",
        "name": "ScheduleTimeZone",
        "question_text": "ScheduleTimeZone",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:45:53",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:45:52",
    "created_by": "user@password.com",
    "operation": "130d51c0476c46104bf15222516d436c",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "ModifySchedule"
  },
  {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "catalog_name": "Stop",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": "Are you sure you want to perform this
operation?",
    "id": "542dd5c0476c46104bf15222516d43b0",
    "variables": [
      {
        "id": "a02d19c0476c46104bf15222516d4301",
        "name": "StackID",
        "question_text": "StackID",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:46:00",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:45:58",
    "created_by": "user@password.com",
    "operation": "930d51c0476c46104bf15222516d436f",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "Stop"
  },
  {
    "catalog_name": "Cleanup",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": "Are you sure you want to perform this
operation?",
    "id": "712d59c0476c46104bf15222516d435c",
    "variables": [
      {
        "id": "da2d59c0476c46104bf15222516d43dc",
        "name": "resourceId",
        "question_text": "ResourceId",
        "default_value": "Not specified"
      },
      {
        "id": "da2d59c0476c46104bf15222516d43e2",
        "name": "operationName",
        "question_text": "OperationName",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:46:06",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:46:04",
    "created_by": "user@password.com",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "operation": "ab0d51c0476c46104bf15222516d437b",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "Cleanup"
  },
  {
    "catalog_name": "ModifyLease",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": null,
    "id": "bb1dd5c0476c46104bf15222516d4301",
    "variables": [
      {
        "id": "142dd5c0476c46104bf15222516d4382",
        "name": "resourceId",
        "question_text": "ResourceId",
        "default_value": "Not specified"
      },
      {
        "id": "d82dd5c0476c46104bf15222516d4394",
        "name": "operationName",
        "question_text": "OperationName",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:45:58",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:45:56",
    "created_by": "user@password.com",
    "operation": "2b0d51c0476c46104bf15222516d4378",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "ModifyLease"
  },
  {
    "catalog_name": "Start",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "active": true,
    "category": "86d85478678232005ca552e457415a79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "shortDescription": "Are you sure you want to perform this
operation?",
    "id": "d71d95c0476c46104bf15222516d4312",
    "variables": [
      {
        "id": "731d95c0476c46104bf15222516d43ae",
        "name": "resourceId",
        "question_text": "ResourceId",
        "default_value": "Not specified"
      },
      {
        "id": "731d95c0476c46104bf15222516d43b4",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "operationName",
        "question_text": "OperationName",
        "default_value": "Not specified"
      }
    ],
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:45:55",
    "last_updated_by": "system",
    "catalog_type": "2",
    "created_on": "2024-02-19 07:45:54",
    "created_by": "user@password.com",
    "operation": "270d51c0476c46104bf15222516d4372",
    "blueprint_type": "Custom Blueprint",
    "operation_name": "Start"
  }
]
```


クラウドサービスカタログ - GET /now/cmp_catalog_api/stacks

プロビジョンタイプの詳細計画 (スタックとも呼ばれる) に基づいてカタログアイテムのリストを返します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/stacks`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
blueprint_name	オプション。関連カタログアイテムをフェッチする詳細計画の名前。カテゴリアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 注: このパラメーターは、詳細計画名の一部または全部を照会できます。たとえば、「Servicenow」で始まるすべての詳細計画を一覧表示する場合は、変数を `blueprint_name = Servicenow` として設定できます。 デフォルト:すべてのブループリントのすべてのサービスが返されます。 データタイプ：文字列
display_variables	各カタログアイテムに関連付けられたカタログアイテム変数をリストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:リストカタログアイテム変数を表示します。 • false:リストカタログアイテム変数を表示しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	デフォルト：False

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
active	カタログがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:カタログはアクティブです。 • false:カタログはアクティブではありません。 データタイプ：文字列
詳細計画	ブループリントのsys_id。詳細計画 [sn_cmp_bp_blueprint] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_category	詳細計画カテゴリのsys_id。クラウドサービスカテゴリ [sn_capi_service_category] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_category_name	詳細計画カテゴリの名前。クラウドサービスカテゴリ [sn_capi_service_category] テーブルにあります。 可能な値： • アクセス • 分析 • アプリケーションサービス • ブロックチェーン • ビジネスの生産性 • 計算 • 設定管理 • コンテナ • データベース • 開発ツール • イベント • ハイブリッドクラウド • IOT (アイオット) • IPAM • ラウドバランサー • 機械学習 • 管理ツール • マーケットプレイス • モバイル • ネットワーク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• 生産性 • セキュリティ • シェルアクセス • ストレージ • ツール • 不明 • バーチャルリアリティ データタイプ：文字列
blueprint_name	詳細計画の名前。詳細計画 [sn_cmp_bp_blueprint] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
blueprint_type	詳細計画のタイプ。 可能な値: `カスタムブループリント` データタイプ：文字列
catalog_name	カタログの名。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
catalog_type	カタログのタイプ。可能な値： • `1`:カタログのタイプはプロビジョンです。 • `2`:カタログのタイプがライフサイクルである。 データタイプ：文字列
catalog_type_name	カタログタイプの名前。可能な値： • プロビジョニング操作 (Day 1):カタログタイプの名前は「プロビジョン」です。 • ライフサイクル操作 (2 日目):カタログタイプの名前はライフサイクルです。 データタイプ：文字列
id	ブループリントのsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
ライフサイクル操作	ライフサイクル操作の名前とsys_idを含むオブジェクト。 日付タイプ:オブジェクトのアレイ `"lifecycleOperations": [ { "id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"name": "String"
	}</pre>

lifecycleOperations.id	ライフサイクル操作のsys_id。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルで使用できます。
lifeCycleOperations.name	ライフサイクル操作のタイプ。可能な値： 1. プロビジョニング解除:終了ステータスのリソースを削除し、それに応じてリソースの CMDB テーブルを更新します。 2. ModifySchedule:プロビジョニング時のスタックまたは既存のスタックで営業時間のスケジューリングを実行します。 3. 停止:オン状態のリソースを停止します。 4. クリーンアップ:終了状態のリソースをクリーンアップします。 5. ModifyLease:プロビジョニングされたリソースでスケジュールされたリース操作を変更します。 6. 開始:オフ状態のリソースを開始します。 日付タイプ:オブジェクト
operation	操作のsys_id。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルで使用できます。
operation_name	操作の名前。可能な値： • 開始:オフ状態のリソースを開始します。 • 停止:オン状態のリソースを停止します。 • ModifySchedule:プロビジョニングされたリソースのスケジュールを変更します。 • プロビジョニング解除:終了ステータスのリソースを削除し、それに応じてリソース CMDB テーブルを更新します。 • ModifyLease:プロビジョニングされたリソースでスケジュールされたリース操作を変更します。 データタイプ：文字列
shortDescription	カタログの簡単な説明。 データタイプ：文字列
template_name	テンプレートの名前。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列
template_type	テンプレートタイプのsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
template_cloud_product_name	製品の名前。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列
変数	リストカタログアイテムに関する追加情報を含むオブジェクト。この API で返される変数は、要求で渡されるクエリパラメーターによって異なります。 データタイプ: オブジェクト `"variables": [ { "parameter1": "String", "parameter2": "String" } ]`

次の例では、プロビジョンカタログタイプのインスタンス内のすべてのカタログアイテムを返します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/stacks" \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

帰る：


```
[
  {
    "catalog_type": "1",
    "catalog_type_name": "Provision Operation (Day 1)",
    "catalog_name": "classiclb",
    "blueprint": "d90d9d80476c46104bf15222516d43b9",
    "blueprint_name": "classiclb",
    "blueprint_category": "57c0dbd9934b22004a9032bfa67ffb79",
    "blueprint_category_name": "Compute",
    "active": true,
    "category": "8641fe260b212200eff7ef9bb4673a3d",
    "shortDescription": null,
    "id": "07cc9580476c46104bf15222516d43c3",
    "last_updated_on": "2024-02-19 07:46:13",
    "last_updated_by": "user@servicenow.com",
    "blueprint_type": "Cloud Template",
    "template_type": "932f81e49f00320048111f80a57fcf6e",
    "template_name": "CloudFormation Template",
    "template_cloud_product": "52cfc4749f00320048111f80a57fcf9a",
    "template_cloud_product_name": "AWS CloudFormation",
    "lifecycleOperations": [
      {
        "id": "1d2d19c0476c46104bf15222516d4392",
        "name": "Deprovision"
      },
      {
        "id": "361d55c0476c46104bf15222516d4351",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "ModifySchedule"
      },
      {
        "id": "542dd5c0476c46104bf15222516d43b0",
        "name": "Stop"
      },
      {
        "id": "712d59c0476c46104bf15222516d435c",
        "name": "Cleanup"
      },
      {
        "id": "bb1dd5c0476c46104bf15222516d4301",
        "name": "ModifyLease"
      },
      {
        "id": "d71d95c0476c46104bf15222516d4312",
        "name": "Start"
      }
    ],
    "created_on": "2024-02-19 07:44:44",
    "created_by": "user@servicenow.com",
    "operation": "130d51c0476c46104bf15222516d4368",
    "operation_name": "Provision"
  }
]
```


クラウドサービスカタログ - **GET /now/cmp_catalog_api/status**

指定されたカタログ RITM (要求アイテム) のステータスと詳細を返します。

このメソッドを使用して、要求の発信元を特定してトレースし、そのフローを監視します。応答には次のものが含まれます。

1. 送信された要求の RITM 番号
2. 要求が属するステージ
3. 要求を開き、アサインされたユーザー
4. 要求にアサインされたグループ
5. 要求がオープンされたとき
6. 要求の状況
7. 送信データ

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/status`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
req_item	要求アイテム [sc_req_item] テーブル内の一意の要求アイテム番号。たとえば、`RITM0000001` などです。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
assignmentGroup	要求にアサインされたグループ。 データタイプ：文字列
assignedTo	要求にアサインされたユーザーのメール。 データタイプ：文字列
カタログアイテム	カタログアイテム要求のsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
エラー	返されたエラーに関する詳細を含むメッセージ。考えられるエラーメッセージ： • レコードが見つかりません:要求アイテムが存在しません。 • 認証されていないユーザー: ユーザーの資格情報には、この要求を行う権限がありません。 データタイプ：文字列
番号	新しい要求アイテムに与えられる一意の要求アイテム番号 (RITM)。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
openedAt	要求アイテムがオープンされたときのタイムスタンプ。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss。 日付タイプ：文字列
openedBy	要求を開いたユーザーのsys_id。 データタイプ：文字列
ステージ	要求アイテムの現在の処理ステージ。 可能な値： • ユーザー向けに作成されたタスク • 展開が正常に完了しました • プロビジョニング承認待ち • リソース制限超過

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 展開に失敗しました • 展開がキャンセルされました • スタックの展開を再試行中 • スタックを展開中 データタイプ：文字列
state	要求アイテムの現在の完了ステータス。 可能な値： • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ • 保留中 データタイプ：文字列
送信データ	クラウドアカウント、場所、アプリケーション、コストセンターデータなど、要求送信に関する情報。送信データは、要求で渡された要求アイテム番号によって異なります。 データタイプ: オブジェクト `"submissionData": "{\"key1\":\"value\", \"key2\":\"value\"}" }`
sys_id	要求アイテムレコードのsys_id。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、要求アイテム番号 RITM0010076 のステータス情報を返します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/statusreq_item=
RITM0010076" \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "catItem": "39737024c390719005091d75e0013115",
  "stage": "Task Created for User",
  "sys_id": "ee1197db476cc2904bf15222516d439f",
  "assignedTo": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "assignmentGroup": null,
  "number": "RITM0010072",
  "openedAt": "2024-02-29 18:32:55",
  "openedBy": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
  "state": "Open",
  "submissionData":
 "{\"CloudAccount\":\"AzureCA\",\"CSC_Azure_Functions_newResourceGroup\":
\"test-rg-dnd\",\"CSC_Azure_Functions_runTimeVersion\":
\"~18\",\"CSC_Azure_Functions_runTimeEngine\":\"node\",
\"CSC_Azure_Functions_os\":\"Windows\",
\"CSC_Azure_Functions_functionAppName\":\"sa02291029-fa\",
\"LeaseEndDate\":\"2024-05-29 17:29:57\",\"ScheduleProfile\":\"-- No
 Schedule
 --\",\"UserGroup\":\"cfcbad03d711110050f5edcb9e61038f\",
\"CSC_Azure_Functions_applicationName\":\"function-app\",
\"ScheduleTimeZone\":\"America/Los_Angeles\",\"BusinessService\":
\"\",\"environment\":\"Production\",\"CostCenter\":
\"\",\"UseExistingWorkspace\":false,\"CSC_Azure_Functions_existingResourc
eGroup\":\"cpg-dnd\",\"CSC_Azure_Functions_isNewResourceGroup\":
\"false\",\"CSC_Azure_Functions_storageAccountName\":\"sa02291029fasa\",
\"Application\":\"\",\"StackName\":\"sa02291029\",\"Location\":\"Azure
 Datacenter - eastus\",\"Workspace\":\"\"}"
}
```


クラウドサービスカタログ:POST **/now/cmp_catalog_api/submitoprequest**

リソース操作要求を送信して、プロビジョニングされたリソースに対して Day 2 操作を実行します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/submitoprequest`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
cat_id	必須。呼び出すクラウドカタログアイテムのsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
CloudAccount	必須。要求を送信するクラウドアカウントの名前。アカウント名は、クラウドアカウント [cmdb_ci_cmp_cloud_account] テーブルで使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
場所	必須。リソースをプロビジョニングするデータセンターの場所。たとえば、us-west-1 や asia-south-2 などです。この値は、クラウドアカウントのプラットフォームプロバイダーのデータセンターの場所と一致する必要があります。関連データセンター [sn_cmp_ca_assc_datacenter] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列
StackName	必須。スタックの名前。スタック名は動的であり、リソース管理に反映されます。 データタイプ：文字列
resourceId	必須。2 日目の操作が実行されるリソースのsys_id。スタックアイテム [sn_cmp_stack_item] テーブルにあります。
resource_block	必須です。関連するリソース運用カタログアイテムを取得するリソースブロックの名前 (仮想サーバーなど)。リソースブロック [sn_cmp_rb_resourceblock] テーブルで利用可能です。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。 データタイプ：文字列
operation_name	オプション。操作の名前。OperationSignature [sn_cmp_rb_op_signature] テーブルのリソース インターフェイスの Name 列にあります。 入力する操作名は、 *resourceBlock* パラメーターで渡された値によって異なります。 **注:** このパラメーターは、操作の一部または全体を照会できます。たとえば、「Servicenow」で始まるすべてのインターフェイスを一覧表示する場合は、変数を operation_name = Servicenow として設定できます。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。データタイプ：文字列
resourceInterface	必須です。関連するリソース運用カタログアイテムを取得するリソースブロックの名前 (仮想サーバーなど)。リソースブロック [sn_cmp_rb_resourceblock] テーブルで利用可能です。 入力するリソース・インターフェースは、 *resourceBlock* パラメーターと *operation_name* パラメーターで渡された値によって異なります。 デフォルト:すべての操作タイプのすべてのカタログアイテムが返されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
assignmentGroup	要求にアサインされたグループ。 データタイプ：文字列
assignedTo	要求にアサインされたユーザーのメール。 データタイプ：文字列
カタログアイテム	カタログアイテム要求のsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
番号	新しい要求アイテムに与えられる一意の要求アイテム番号 (RITM)。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
openedAt	要求アイテムがオープンされたときのタイムスタンプ。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss。 日付タイプ：文字列
openedBy	要求を開いたユーザーのsys_id。 データタイプ：文字列
ステージ	要求アイテムの現在の処理ステージ。 可能な値： • ユーザー向けに作成されたタスク • 展開が正常に完了しました • プロビジョニング承認待ち • リソース制限超過 • 展開に失敗しました • 展開がキャンセルされました • スタックの展開を再試行中 • スタックを展開中 データタイプ：文字列
state	要求アイテムの現在の完了ステータス。 可能な値： • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ • 保留中 データタイプ：文字列
送信データ	クラウドアカウント、場所、アプリケーション、コストセンターデータなど、要求送信に関する情報。送信データは、要求で渡された要求アイテム番号によって異なります。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	"submissionData": "{\"key1\":\"value\", \"key2\":\"value\"}" }
sys_id	要求アイテムレコードのsys_id。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

次の例では、2 日目の操作要求アイテムを作成します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/submitopreque
st?cat_id=e44dcd238731e5101126cbb4dabb3506" /
--request POST\
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'

//Request body:
{"StackName":"sa02292143","CloudAccount":"AWS","Location":"AWS Datacenter
 -
 us-
east-1","resourceId":"df8c61e3eb2cc210d298fbbdbad0cd74","operationName":"
Deprovision","resourceInterface":"S3 Interface","resourceBlock":"S3"}
```

応答本文：

```
{
  "number": "RITM0010078",
  "catItem": "e44dcd238731e5101126cbb4dabb3506",
  "stage": "request_approved",
  "sys_id": "9bf5cab3c3594610bc89b33605013190",
  "assignedTo": null,
  "assignmentGroup": null,
  "openedAt": "2024-04-08 09:08:47",
  "openedBy": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
  "state": "Open",
  "submissionData":
 "{\"StackName\":\"sa02292143\",\"CloudAccount\":\"AWS\",\"Location\":
\"AWS Datacenter -
 us-east-1\",\"resourceId\":
\"df8c61e3eb2cc210d298fbbdbad0cd74\",\"operationName\":\"Deprovision\",
\"resourceInterface\":\"S3 Interface\",\"resourceBlock\":\"S3\"}"
}

Sample Request Body for CSC S3 Bucket Catalog Order:

{"StackName":"sa02292143","CloudAccount":"AWS","Location":"AWS Datacenter
 -
 us-
east-1","resourceId":"df8c61e3eb2cc210d298fbbdbad0cd74","operationName":"
Deprovision","resourceInterface":"S3 Interface","resourceBlock":"S3"}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドサービスカタログ:POST /now/cmp_catalog_api/submitrequest

クラウドサービス要求を送信します。このメソッドは、Day 2 操作とスタックまたはリソース操作カタログアイテムの両方について、プロビジョニングされた要求を受け入れます。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/cmp_catalog_api/submitrequest`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
cat_id	必須。呼び出すクラウドカタログアイテムのsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
CloudAccount	必須。要求を送信するクラウドアカウントの名前。アカウント名は、クラウドアカウント [cmdb_ci_cmp_cloud_account] テーブルで使用できます。 データタイプ：文字列
場所	必須。リソースをプロビジョニングするデータセンターの場所。たとえば、`us-west-1` や `asia-south-2` などです。この値は、クラウドアカウントのプラットフォームプロバイダーのデータセンターの場所と一致する必要があります。関連データセンター [sn_cmp_ca_assc_datacenter] テーブルで利用可能です。 データタイプ：文字列
StackName	必須。スタックの名前。スタック名は動的であり、リソース管理に反映されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
assignmentGroup	要求にアサインされたグループ。 データタイプ：文字列
assignedTo	要求にアサインされたユーザーのメール。 データタイプ：文字列
カタログアイテム	カタログアイテム要求のsys_id。クラウドカタログアイテム [sn_cmp_bp_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
番号	新しい要求アイテムに与えられる一意の要求アイテム番号 (RITM)。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
openedAt	要求アイテムがオープンされたときのタイムスタンプ。 形式:yyyy-MM-dd HH:mm:ss。 日付タイプ：文字列
openedBy	要求を開いたユーザーのsys_id。 データタイプ：文字列
ステージ	要求アイテムの現在の処理ステージ。 可能な値： • ユーザー向けに作成されたタスク • 展開が正常に完了しました • プロビジョニング承認待ち • リソース制限超過 • 展開に失敗しました • 展開がキャンセルされました • スタックの展開を再試行中 • スタックを展開中 データタイプ：文字列
state	要求アイテムの現在の完了ステータス。 可能な値： • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ • 保留中 データタイプ：文字列
送信データ	クラウドアカウント、場所、アプリケーション、コストセンターデータなど、要求送信に関する情報。送信データは、要求で渡された要求アイテム番号によって異なります。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"submissionData": "{\"key1\":\"value\",
	\"key2\":\"value\"}"
	}</pre>

sys_id	要求アイテムレコードのsys_id。要求アイテム [sc_req_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

次の例では、インスタンスの AWS クラウドアカウントでクラウドリソース要求を送信します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmp_catalog_api/submitrequest?cat_id=022e3deec3122910a769f44ed40131b9" /
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'

//Request body:
{"CloudAccount":"AWS","Location":"us-east-1","StackName":"ss"}
```

応答：

```
{
  "number": "RITM0010001",
  "catItem": "022e3deec3122910a769f44ed40131b9",
  "stage": "check_permissions",
  "sys_id": "86d34233c3594610bc89b336050131dd",
  "assignedTo": null,
  "assignmentGroup": null,
  "openedAt": "2024-04-08 08:59:25",
  "openedBy": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
  "state": "Open",
  "submissionData":
 "{\"CloudAccount\":\"AWS\",\"Location\":\"us-east-1\",\"StackName\":\"ss\"}"
}
```

クラウドランナーテスト生成 REST API

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行するテストジョブの生成を管理します。

クラウドランナーテスト生成 API には ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインが必要です。この API で利用可能なメソッドは **now** 名前空間で実行され、REST API Explorer (REST API エクスプローラー) の API Name (API 名)、 **One-click regression testing for ATF (ATF** のワンクリック回帰テスト) を使用して呼び出すことができます。この API にアクセスするには、admin ロールが必要です。

この API は、次のタスクに使用できます。

- テスト生成ジョブを開始します。
- テスト生成ジョブの進行状況を確認します。
- テスト生成ジョブをキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cloud Runner Test Generation API は、クラウドランナーテストランナー REST API および クラウドランナーテストユーザー REST API と組み合わせて使用できます。たとえば、テスト生成 API を呼び出してテストを実行し、ブラウザオーケストレーションキュー (Cloud Runner テスト生成 API) でテストの進行状況を取得して、合格または不合格になったテストの数を確認できます。

この API のサーバー API リファレンス ドキュメントを表示するには、「クラウドランナー TestGenerationApi – スコープ対象、グローバル」を参照してください。

クラウドランナーテスト生成:GET **/now/sn_atf_tg/test_generation_progress**

提供されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードに対して生成された各テストのステータスを提供します。

URL 形式

デフォルト URL:GET `/api/now/sn_atf_tg/test_generation_progress`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
snboqId	必須。進行状況を取得するテスト生成ジョブの BOQ レコードsys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	BOQ ジョブの進捗状況を正常に取得しました。
400	BOQ レコードステータスの取得中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	生成されたテストジョブの進行状況の結果、または要求が失敗した理由を説明するメッセージを含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": { "testsSucceeded": Number, "testsFailed": Number, "testsPending": Number, "testsInProgress": Number, "testsSkipped": Number } }`
	
	または：
	
	`{ "result": { "message": "String" } }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.message	テスト生成の進行状況を取得できない理由を詳述したエラーメッセージ。メッセージ・パラメーターは、正常な応答では返されません。 データタイプ：文字列
result.testsSucceeded	合格した生成済みテストの数。 データタイプ：数値
result.testsFailed	失敗した生成済みテストの数。 データタイプ：数値
result.testsPending	生成されたテストを待機しているユースケースの数。 データタイプ：数値
result.testsInProgress	テストが作成されるユースケースの数。 データタイプ：数値
result.testsSkipped	ジョブのキャンセルによりスキップされたテストの数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次の GET 呼び出しは、snboqId 1234 に関連付けられた生成されたテストに関する進行状況情報を返します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_generation_prog
ress?snboqId=1234" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

出力:

```
{
  "result": {
    "testsSucceeded": 0,
    "testsFailed": 0,
    "testsPending": 0,
    "testsInProgress": 0,
    "testsSkipped": 161
  }
}
```

次の例では、BOQ ID が渡されない場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_generation_progr
ess" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "No SNBOQ ID passed in, add snboqId to request body"
  }
}
```

次の例では、無効な BOQ ID が渡された場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_generation_progr
ess?snboqId=invalid_sys_id" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "Invalid SNBOQ sys_id passed in"
  }
}
```

クラウドランナーテスト生成:POST /now/sn_atf_tg/cancel_test_generation

テスト生成ジョブとそれに関連する更新セットレコードを完了ステータスに設定します。実行中の生成済みテストのルートトラッカーをキャンセルします。キャンセル時にテストジョブが進行中の場合、このメソッドは生成された進行中のテストレコードをスキップに設定します。

ビジネスルールまたはアクセス制御ルール (ACL) の問題により、テストが自動的に失敗したりキャンセルされたりすることがあります。失敗したテストやキャンセルされたテストの詳細については、生成されたテストテーブルを表示します。

URL 形式

デフォルト URL:POST `/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_generation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
snboqId	必須。キャンセルするブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードの sys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	BOQ ジョブが正常にキャンセルされました。
400	ジョブのキャンセル中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	キャンセル要求の結果を含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "message": String }`
result.message	テストのキャンセルが成功したかどうかを示すメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の要求は、指定された BOQ レコードのテスト生成ジョブをキャンセルします。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_generati
on" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"snboqId\":\"<sys_id of BOQ record>\"}" \
--user "username":"password"
```

応答本文は、キャンセルの成功メッセージを返します。

```
{
  "result": {
    "message": "success"
  }
}
```

次の例では、BOQ ID が渡されない場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_generati
on" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "message": "No SNBOQ ID passed in, add snboqId to request body"
  }
}
```

次の例では、無効な BOQ ID が渡された場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_generati
on" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"snboqId\":\"invalid_sys_id\"}" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "No SNBOQ ID passed in, add snboqId to request body"
  }
}
```

クラウドランナーテスト生成:POST **/now/sn_atf_tg/test_generation**

ブラウザーオーケストレーションキュー (BOQ) [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにレコードを挿入して、テストジョブを開始します。

URL 形式

デフォルト URL:POST `/api/now/sn_atf_tg/test_generation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
カタログエンコードクエリ	テストを生成するカタログアイテムを指定するエンコードされたクエリ。空の文字列は、デフォルトですべてのカタログアイテムに適用されます。エンコードされたクエリの形成の詳細については、「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
メール	テストの生成が完了したときにアラートを出すメールアドレス。 データタイプ：文字列
maxTestCount	生成するテスト全体の数。 受け入れ可能な値: 1 から 9999 までの任意の数。 データタイプ：数値 デフォルト:9999
アイテム当たりの最大テスト数	カタログアイテムごとに生成するテストの数。 受け入れ可能な値: 1 から 10 までの任意の数。 データタイプ：数値 デフォルト値：10
テーブル当たりの最大テスト数	テーブルごとに生成するテストの数。 受け入れ可能な値: 1 から 10 までの任意の数。 データタイプ：数値 デフォルト値：10
tableEncodedQuery	テストを生成するテーブルを指定するエンコードされたクエリ。空の文字列は、デフォルトですべてのテーブルに適用されます。エンコードされたクエリの形成の詳細については、「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列
separateUpdateSetPerScope	生成されたテストをそれぞれのスイート、更新セット、およびスコープに分離するか、テストを 1 つのスイート、更新セット、およびスコープに配置するかを示すフラグ。 有効な値： • true:テストは、各テーブルまたはカタログアイテムのスコープに従って、それぞれのスイートと更新セットに配置されます。 • false:生成されたすべてのテストは、同じスイート、更新セット、およびスコープに配置されます。false の場合、要求に *scopeForGeneratingTests* が必要です。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true
scopeForGeneratingTests	*separateUpdateSetPerScope* が false に設定されている場合は必須です。生成されたすべてのテストを配置するスコープの Sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
userEncodedQuery	テストを生成するユーザーを指定するエンコードされたクエリ。空の文字列入力は、デフォルトですべてのテーブルに適用されます。エンコードされたクエリの形成の詳細については、「エンコードされたクエリ文字列」を参照してください。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	テスト生成 BOQ ジョブが正常に挿入されました。エラーは、処理中に BOQ レコードログに表示されます。すべての入力では、デフォルトですべてのテーブルとサービスカタログアイテムに対して最大数のテストが生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	要求の結果を含むオブジェクト。 `"result": { "snboqId": String }` データタイプ: オブジェクト
result.snboqId	テスト生成の開始時にsn_atf_tg_sn_boqテーブルに挿入されるレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の要求の例では、要求パラメーターなしでインスタンスで新しいテストジョブを開始し、ジョブを BOQ テーブルに挿入します。

```
curl "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_generation"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "snboqId": <sys_id of newly inserted BOQ record>
  }
}
```

次の要求の例では、最大テスト数が 2 の新しいテストジョブを開始し、テストをインシデントテーブルにフィルター処理してから、ジョブを BOQ テーブルに挿入します。

```
curl "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_generation"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{\"maxTestCount\":\"2\",\"tableEncodedQuery\":\"name=incident\"}"
 \
--user "username":"password"
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "snboqId": <sys_id of newly inserted BOQ record>
  }
}
```

クラウドランナーテストランナー **REST API**

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行するテストを管理します。

クラウドランナーテストランナー API には ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインが必要です。この API で利用可能なメソッドは **now** 名前空間で実行され、REST API Explorer (REST API エクスプローラー) の API Name (API 名)、 **One-click regression testing for ATF (ATF** のワンクリック回帰テスト) を使用して呼び出すことができます。この API にアクセスするには、admin ロールが必要です。

この API は、次のタスクに使用できます。

- Cloud Runner ブラウザーで ATF テストまたはテストスイートを開始します。
- テストジョブの進行状況を確認します。
- テストジョブをキャンセルします。

Cloud Runner Test Runner API は、クラウドランナーテスト生成 REST API および クラウドランナーテストユーザー REST API と組み合わせて使用できます。たとえば、テスト (Cloud Runner Test Generation API) を生成し、ブラウザーオーケストレーションキュー (Cloud Runner TEST Generation API) でテストの進行状況を取得して、合格または失敗したテストの数を確認できます。

この API のサーバー API リファレンス ドキュメントを表示するには、「 クラウドランナー TestRunnerApi – スコープ対象、グローバル」を参照してください。

クラウドランナーテストランナー - **GET /now/sn_atf_tg/test_runner_progress**

指定されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードに対して実行された各テストのステータスを提供します。

URL 形式

デフォルト URL:GET `/api/now/sn_atf_tg/test_runner_progress`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
snboqId	必須。進捗状況を取得するテスト ランナー ジョブの BOQ レコード sys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	BOQ ジョブの進捗状況を正常に取得しました。
400	BOQ レコードステータスの取得中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	テスト ランナー ジョブの進行状況の結果、または要求が失敗した理由を説明するメッセージを含むオブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": { "progress": 100, "state": "completed" }`
	
	または：
	
	`{ "result": { "message": "String" } }`

result.message	テストランナーの進捗状況を取得できない理由を詳述したエラーメッセージ。メッセージ・パラメーターは、正常な応答では返されません。 データタイプ：文字列
result.progress	実行中のテストがどの程度完了に近づいたかを示すパーセンテージ。 データタイプ：数値
result.state	BOQ レコードの現在のステータス。可能な値： • 保留中 – 要求されたテストアクティビティが作成され、実行を待機しています。 • 処理中:インスタンスはレコードをスキャンして、リクエストがクラウドインフラストラクチャに送信される前に、実行トラッカーが Cloud Runner 用にマークされていることを確認します。 • 要求されたブラウザー – テスト生成またはテスト実行のためにブラウザーを起動する要求がクラウドインフラストラクチャに送信されました。 • 実行中 – クラウドインフラストラクチャのブラウザは、保留中のテストを検出して実行します。 • 完了 – テストタスクが完了しました。 • [Failed (失敗)] ステータス – テストタスクが失敗しました。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の要求は、BOQ レコードのテスト ランナー ジョブの進行状況を取得します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_runner_progre
ss?snboqId=<sys_id of SNBOQ record>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

この応答は、テストが 100% 完了したことを示しています。

```
{
  "result": {
    "progress": 100,
    "state": "completed"
  }
}
```

次の例では、BOQ ID が渡されない場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_runner_progress"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "No SNBOQ ID passed in, add snboqId to request body"
  }
}
```

次の例では、無効な BOQ ID が渡された場合に 400 エラー メッセージを返します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_runner_progre
ss?snboqId=invalid_sys_id" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "Invalid SNBOQ sys_id passed in"
  }
}
```

クラウドランナーテストランナー:**/now/sn_atf_tg/cancel_test_runner** を **POST**

テストランナージョブを完了ステータスに設定し、実行中の生成されたテストのルートトラッカーをキャンセルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルト URL:GET `/now/sn_atf_tg/cancel_test_runner`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
snboqId	キャンセルするテスト ランナージョブに関連付けられたブラウザオーケストレーション キュー(BOQ)レコード(sn_atf_tg_sn_boq)のSys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	ジョブのキャンセル中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
結果	要求の結果を含むオブジェクト。 `"result": { "message": String }` データタイプ: オブジェクト
result.message	テストのキャンセルが成功したかどうかを示すメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、BOQ レコードのsys_idに従ってテスト ランナーのキャンセル要求を形成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_runner"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"snboqId\":\"<sys_id of BOQ record>\"}" \
--user "username:password"
```

テストランナーが正常にキャンセルされたことを示す応答メッセージ。

```
{
  "result": {
    "message": "success"
  }
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウドランナーテストランナー:**/now/sn_atf_tg/test_runner** を **POST**

指定されたテストまたはテストスイートの BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにテストランナージョブを挿入し、クラウドランナーで実行します。

URL 形式

デフォルト URL:POST `api/now/sn_atf_tg/test_runner`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
testId	Cloud Runner で実行するテスト [sys_atf_test] またはテストスイート [sys_atf_test_suite] のSys_id。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	テストランナー BOQ ジョブが正常に挿入されました。
400	テスト ランナー ジョブの開始中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • Unable to find test or test suite with Sys ID <testId>:テスト ID が無効です。テスト (sys_atf_test) またはテストスイート (sys_atf_test_suite) レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認してください。 • テスト ID が渡されませんでした – テスト ID が渡されませんでした。テスト ID を要求本文に追加します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	要求の結果を含むオブジェクト。
	`{ "result": { "snboqId": "String" } }`
	または：
	`{ "result": { "message": "String" } }`
	データタイプ: オブジェクト

result.snboqId	テストランナーの起動時に挿入される BOQ レコードのSys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。
result.message	テストランナーを開始できない理由を詳述したエラーメッセージ。

Example: cURL 要求

次の要求は、テスト ランナー ジョブを BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルに挿入します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_runner" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"testId\":\"<sys_id of ATF test or test suite>\"}" \
--user "username:password"
```

応答本文は、正常に挿入されたテスト ランナー ジョブのsys_idを返します。

```
{
  "result": {
    "snboqId": "<sys_id of newly inserted SNBOQ record>"
  }
}
```

クラウドランナーテストユーザー REST API

自動テストフレームワーク (ATF) のクラウドランナーで実行されるテストユーザージョブを管理します。

クラウドランナーテストユーザー API には ATF テストジェネレーターとクラウドランナー (sn_atf_tg) プラグインが必要です。この API で利用可能なメソッドは **now** 名前空間で実行され、REST API Explorer (REST API エクスプローラー) の API Name (API 名)、 **One-click regression testing for ATF (ATF** のワンクリック回帰テスト) を使用して呼び出すことができます。この API にアクセスするには、admin ロールが必要です。

この API は、次のタスクに使用できます。

- ユーザーテストジョブを開始します。
- クラウドユーザーを設定します。
- 指定されたユーザーが有効かどうかを確認します。
- ユーザーテストジョブの進捗状況を確認します。
- テストジョブをキャンセルします。

Cloud Runner Test Runner API は、クラウドランナーテスト生成 REST API および クラウドランナーテストユーザー REST API と組み合わせて使用できます。たとえば、テスト (Cloud Runner Test Generation API) を生成し、ブラウザーオーケストレーションキュー (Cloud Runner TEST Generation API) でテストの進行状況を取得して、合格または失敗したテストの数を確認できます。

この API のサーバー API リファレンス ドキュメントを表示するには、「クラウドランナー TestUserApi – スコープ指定、グローバル」を参照してください。

クラウドランナーテストユーザー:GET **/now/sn_atf_tg/test_user_progress**

指定されたブラウザオーケストレーションキュー (BOQ) レコードのテストユーザージョブのステータスを提供します。

URL 形式

デフォルト URL:GET `/api/now/sn_atf_tg/test_user_progress`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
snboqId	必須。進捗状況を取得するテストユーザージョブの BOQ レコードsys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	テストユーザージョブの進捗状況を正常に取得しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	BOQ レコードステータスの取得中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

結果	テスト ランナー ジョブの進行状況の結果、または要求が失敗した理由を説明するメッセージを含むオブジェクト。
	`"result": { "progress": 100, "state": "completed" }`
	または：
	`"result": { "message": "String" }`
	データタイプ: オブジェクト

result.message	テストランナーの進捗状況を取得できない理由を詳述したエラーメッセージ。メッセージ・パラメーターは、正常な応答では返されません。 データタイプ：文字列
result.progress	実行中のテストがどの程度完了に近づいたかを示すパーセンテージ。 データタイプ：数値
result.state	BOQ レコードの現在のステータス。 可能な値： • 保留中 – 要求されたテストアクティビティが作成され、実行を待機しています。 • 処理中:インスタンスはレコードをスキャンして、リクエストがクラウドインフラストラクチャに送信される前に、実行トラッカーが Cloud Runner 用にマークされていることを確認します。 • 要求されたブラウザー – テスト生成またはテスト実行のためにブラウザーを起動する要求がクラウドインフラストラクチャに送信されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 実行中 – クラウドインフラストラクチャのブラウザは、保留中のテストを検出して実行します。 • 完了 – テストタスクが完了しました。 • [Failed (失敗)] ステータス – テストタスクが失敗しました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の要求例は、テストユーザージョブの進行状況を確認する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_user_progress?s
nboqId=<sys_id of SNBOQ record>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "progress": 100,
    "state": "completed"
  }
}
```

クラウドランナーテストユーザー:GET **/now/sn_atf_tg/is_valid_cloud_user**

指定されたユーザーが有効なクラウドユーザーであるかどうかを確認します。

このメソッドは、ユーザーが次の基準を満たしているかどうかを確認します。

- 存在
- アクティブである、
- ロックアウトされていない、
- パスワードのリセットが必要です。
- 管理者である、
- 読み取り専用、
- Web サービスのみである

URL 形式

デフォルト URL:GET `/api/now/sn_atf_tg/is_valid_cloud_user`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
username	必須。ユーザーが次のベースライン基準を満たしているかどうかを確認するsys_userのユーザー名。 • 存在 • アクティブである、 • ロックアウトされていない、 • パスワードのリセットが必要です。 • 管理者である、 • 読み取り専用、 • Web サービスのみである これらの条件のいずれかが満たされない場合、API は false ブール値と、どの条件が失敗したかを示すメッセージを返します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	ユーザーが有効であり、クラウドユーザー基準を満たしている場合は、true または false を返します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
結果	要求の結果を含むオブジェクト。 `"result": { "validUser": Boolean }` データタイプ: オブジェクト
result.validUser	ユーザーがクラウドユーザー基準を満たしているかどうかを示すフラグ。true の場合、ユーザーは基準を満たしています。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次の要求は、指定されたsys_userがクラウド機能を使用するための基準を満たしているかどうかを確認します。

```
curl
 "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/is_valid_cloud_user?u
sername=<username of sys_user to check>" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "validUser": <Boolean value indicating whether user is valid cloud
 user>
  }
}
```

クラウドランナーテストユーザー:POST **/now/sn_atf_tg/test_user**

指定されたユーザー名の BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにテストユーザージョブを挿入し、Cloud Runner で実行します。

URL 形式

デフォルト URL:POST `/api/now/sn_atf_tg/test_user`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
username	必須。Cloud Runner のエンドツーエンドインフラストラクチャをテストするsys_user のユーザー名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	テストユーザーの BOQ ジョブが正常に挿入されました。
400	テストユーザージョブの開始中にエラーが発生しました。 空のユーザー名が指定されている場合、またはテーブルsys_userユーザーが見つからない場合、サーバーはエラーをスローします。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	要求の結果を含むオブジェクト。
	
	`"result": { "snboqId": String }`
	
	または：
	
	`"result": { "message": "String" }`
	
	データタイプ: オブジェクト

result.message	ユーザー名にテスト機能をアサインできない理由を詳述したエラーメッセージ。メッセージ・パラメーターは、正常な応答では返されません。 データタイプ：文字列
result.snboqId	テストユーザージョブが正常に開始されたときに挿入される BOQ レコードの Sys_id。BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の要求例は、特定のユーザー名の BOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにテストユーザージョブを挿入する方法を示しています。

```
curl "http://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_user" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"username\":\"<username of sys_user to test cloud
 infrastructure>\"}" \
--user "username:password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答は、テストユーザージョブの開始時に挿入される BOQ レコードのsys_idを返します。

```
{
  "result": {
    "snboqId": "<sys_id of newly inserted BOQ record>"
  }
}
```

次の例では、ユーザー名が渡されない場合、または無効なユーザー名が渡された場合に、400 エラーメッセージが返されます。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/test_user" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username:password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "message": "Unable to set cloud user as cloud user not valid"
  }
}
```

クラウドランナーテストユーザー:/now/sn_atf_tg/cancel_test_user を POST

ブラウザーオーケストレーションキュー (BOQ) [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルのテストユーザージョブステータスを完了に設定します。

URL 形式

デフォルト URL:POST `/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_user`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
snboqId	必須。テストユーザージョブに関連付けられたキャンセルする BOQ レコードの Sys_id。SNBOQ [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	BOQ ジョブが正常にキャンセルされました。
400	ジョブのキャンセル中にエラーが発生しました。次のいずれかのメッセージを返します。 • BOQ ID が渡されませんでした – BOQ ID が指定されていません。BOQ ID を要求本文に追加します。 • BOQ レコードが見つかりません:無効な Sys ID。BOQ レコードのsys_idが有効であり、レコードが存在することを確認します。
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
結果	要求の結果を含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"result": {
	  "message": String
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

result.message	テストユーザーのキャンセルが成功したかどうかを示すメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の要求は、ブラウザーオーケストレーションキュー [sn_atf_tg_sn_boq] テーブルのテストユーザージョブをキャンセルする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/cancel_test_user" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"snboqId\":\"<sys_id of BOQ record>\"}" \
--user "username:password"
```

Successful response body (成功した応答本文):

```
{
  "result": {
    "message": "success"
  }
}
```

クラウドランナーテストユーザー:POST **/now/sn_atf_tg/select_cloud_user**

Cloud Runner でエンドツーエンドのテストユーザージョブを開始します。ユーザーが admin ロールでログインできる場合、クラウドユーザープロパティは、将来のテスト実行およびテスト生成において、デフォルトでこのユーザーに設定されます。

URL 形式

デフォルト URL:POST `/api/now/sn_atf_tg/select_cloud_user`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
username	必須。テストするsys_userのユーザー名。今後のテストランナーとテスト生成ジョブのためにクラウドユーザーを設定します。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	エンドツーエンドのクラウドランナーインフラストラクチャのテストに成功し、将来のテスト実行およびテスト生成ジョブのクラウドユーザーを設定しました。
400	完全なエンドツーエンドのクラウドランナーインフラストラクチャのテストとクラウドユーザーの設定中にエラーが発生しました。ユーザー名が空でないこと、または指定されたユーザー名のsys_userテーブルにユーザーが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
403	エンドポイントへのユーザーアクセスの許可中にエラーが発生しました。ユーザーに admin ロールがあることを確認します。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	要求の結果を含むオブジェクト。 `"result": { "message": "String" }` データタイプ: オブジェクト
result.message	Cloud Runner インフラストラクチャでの今後のテスト実行とテスト生成のためにユーザーが正常に選択されたかどうかを詳述するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、Cloud Runner インフラストラクチャでの将来のテスト実行とテスト生成のために、特定のユーザーの選択をリクエストする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/sn_atf_tg/select_cloud_user" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"username\":\"<username of sys_user to set as cloud user>\"}" \
--user "username:password"
```

応答本文は、クラウドユーザーがテストの実行と生成のために正常に選択されたことを示す成功メッセージを返します。

```
{
  "result": {
    "message": "success"
  }
}
```

CMDB データ取り込み API

CMDB データ取り込み API は、オブジェクトのアレイをインポートセットテーブルにバッチ取り込みできるエンドポイントを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> ⚠ **警告:** この API は推奨されなくなりました。拡張性と安定性が向上した同じ機能を使用するには、インポートセット - POST /now/import/{stagingTableName}/insertMultiple エンドポイントを使用します。Quebec リリース以降、*CMDB* データ取り込み *API* の使用は、代わりにインポートセット – *insertMultiple* エンドポイントを使用するように移行する必要があります。
>
> さらに、この API は zboot されたインスタンスではデフォルトでは動作しません。

この API は 構成管理データベース (CMDB) (com.snc.cmdb) プラグインによってアクティブ化され、cmdb_import_api_admin ロールを必要とします。

CMDB データ取り込み - POST /cmdb/ingest/{data_source_sys_id}

渡された sys_id で識別されるデータソースレコードに関連付けられたインポートセットテーブルにレコードを挿入します。

> ⚠ **警告:** この API は推奨されなくなりました。拡張性と安定性が向上した同じ機能を使用するには、インポートセット - POST /now/import/{stagingTableName}/insertMultiple エンドポイントを使用します。Quebec リリース以降、*CMDB* データ取り込み *API* の使用は、代わりにインポートセット – *insertMultiple* エンドポイントを使用するように移行する必要があります。
>
> さらに、この API は zboot されたインスタンスではデフォルトでは動作しません。

要求本文には、インポートセットテーブルに挿入するオブジェクト (ペイロード) の JSON アレイが含まれている必要があります。各オブジェクトはテーブル内の行に相当し、名前と値の各ペアは列に相当します。JSON ペイロードは、「u_」プリフィックスのないインポートセットのフィールド名を利用する必要があります。たとえば、要求本文のペイロードのフィールド名「u_matching_record」は「matching_record」である必要があります。インポートセットテーブルが存在する場合、エンドポイントは既存のインポートセットテーブルに行 (オブジェクト) を追加します。重複のチェックや既存のレコードの更新は実行されません。

最初にアプリケーションを構築する場合は、このエンドポイントを呼び出す前に、関連するデータソースレコードをインスタンスに作成する必要があります。このエンドポイントを使用して既存のインポートセットテーブルにレコードを追加するだけの場合は、データソースレコードを作成する必要はありませんが、その sys_id を知っている必要があります。データソースレコードには、指定されたペイロードを挿入するインポートセットテーブルが記述されます。このテーブルは、インポートセット行 [sys_import_set_row] テーブルを拡張する必要があります。また、データソースを [添付ファイル] に設定し、形式を [JSON] に設定する必要があります。データソースの詳細については、「データソース」を参照してください。

データソースレコードで定義されたインポートセットテーブルが存在しない場合、エンドポイントは渡されたペイロードをデータソースレコードに添付します。初期インポートセットテーブルを作成するには、データをインポートセットテーブルに手動でインポートする必要があります。データをインポートするには、関連するデータソースフォームで、[関連リンク] セクションの **[20** 件のレコードのテストロード] または [すべてのレコードをロード] リンクをクリックします。インポートセットテーブルが作成されると、このエンドポイントを使用してテーブルに列を追加することはできなくなります。インポートセットテーブルに存在しない名前と値のペアが後で渡された場合、それらは警告なしで無視されます。インポートセットテーブル内の列を変更する必要がある場合は、手動でテーブルに追加できます。インポートセットテーブルを削除するか名前を変更し、新しいペイロードを使用してエンドポイントを再度呼び出すこともできます。

このエンドポイントにアクセスするには、cmdb_import_api_admin ロールが必要です。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cmdb/ingest/{data_source_sys_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/ingest/{data_source_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
data_source_sys_id	データソースレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アレイ	関連するインポートセットテーブルに追加するデータを記述するオブジェクトの自由形式のアレイ。アレイ内の各オブジェクトは、インポートセットテーブルの行を定義し、名前と値の各ペアは列を定義します。 **注:** このアレイには、`"{\"records\":[{\"hostname\": \"Hostname1\", \"serialnumber\": \"2acd3873-7fc5-454c-8844-e7769e4d6cfc\", \"model\": \"Model Id"},{\"vendor\": \"ABC Co\"}]}"` などの名前を付ける必要があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	作成されました。添付ファイルがデータソースに追加されました。
202	受け入れ済み。インポートセットテーブルに行が追加されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	競合。添付ファイルはデータソースに既に存在します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。
501	実装されていません。要求形式がサポートされていません。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	発生したエラーを説明します。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "details": "String", "message": "String" }`
error.details	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
import_set	ペイロードが追加されたインポートセットテーブルの名前。 データタイプ：文字列
staged_row_count	インポートセットテーブルに追加された行の数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
staging_table	ペイロードのステージングに使用されるデータソースレコードの名前。 データタイプ：文字列
status	エラーステータス。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "instance.service-now.com/api/now/cmdb/ingest/4dd9686d1b9800103d374087bc
4bcb3d" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"records\":[{\"hostname\": \"Hostname1\", \"serialnumber\":
 \"2acd3873-7fc5-454c-8844-e7769e4d6cfc\", \"model\": \"Model
 5100"},{\"vendor\": \"ABC Co\"},
{\"hostname\": \"Hostname2\", \"serialnumber\":
 \"3adb3873-7fc5-564d-8844-e7769e4d6ded\", \"model\": \"Model
 5200"},{\"vendor\": \"ACME Co\"}]}"
--user "username":"password"
```

成功応答：

```
{
  "result": {
    "staged_row_count": 2,
    "import_set": "ISET0010010",
    "staging_table": "sn_my_demo_integra_demo_data_source_01"
  }
}
```

CMDB インスタンス API

CMDB インスタンス API は、既存の 構成管理データベース (CMDB) テーブルでの作成、読み取り、更新、および削除操作を可能にするエンドポイントを提供します。一度に 1 つのレコードのみを挿入、更新、または削除できます。

この API を使用するには、ユーザーに ITIL ロールが必要です。

CMDB インスタンス - DELETE /now/cmdb/instance/{classname}/{sys_id}/relation/{rel_sys_id}

指定された構成アイテム (CI) の関係を削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}/{sys_id}/relation/{rel_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}/{sys_id}/relation/{rel_sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列
rel_sys_id	削除する関係の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	CI の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_server/0f4ac6c4b750230096c3e4f6ee11a9fe/relation/b0dbda5347c12200e0ef563dbb9a718f" \
--request DELETE \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

CMDB インスタンス - GET /now/cmdb/instance/{classname}

指定された 構成管理データベース (CMDB) クラス (テーブル) で利用可能な構成アイテム (CI) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー 用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコード 返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えま 注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべての を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されま す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。UI フィルターを使 て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並 るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替え テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効 リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name	指定されたクラス内の CI の名前。 データタイプ：文字列
sys_id	CI の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: サンプル **cURL** 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_server" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

```
"result": [
  {
    "sys_id": "3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf",
    "name": "PS LinuxApp01"
  },
  {
    "sys_id": "3a5dd3dbc0a8ce0100655f1ec66ed42c",
    "name": "PS LinuxApp02"
  }
]
```

CMDB インスタンス **- GET /now/cmdb/instance/{classname}/{sys_id}**

指定された構成アイテム (CI) レコードの属性と関係情報を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列
sys_id	取得する CI レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

応答パラメーター

名前	説明
attributes	現在 CI レコードにあるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト

error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
inbound_relations	CI に関連付けられたインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"inbound_relations": [ { "sys_id": "String", "target": {Object}, "type": {Object} } ]`
inbound_relations.sys_id	インバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target	ターゲットのインバウンド関係を説明する情報。 データタイプ：オブジェクト `"target": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
inbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからインバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.value	インバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type	インバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

inbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからインバウンド関係タイプを取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.value	インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations	CI に関連付けられたアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"outbound_relations": [
	  {
	  "sys_id": "String",
	  "target": {Object},
	  "type": {Object}
	  }
	]</pre>

outbound_relations.sys_id	アウトバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations.target	必須です。ターゲットのアウトバウンド関係に関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"target": {
	  "display_value": "String",
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

outbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
outbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.value	アウトバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	アウトバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.value	アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_server/70bc4e11c0a8210d01f074cbe6bd73b4" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "outbound_relations": [
      {
        "sys_id": "3a62e64ac0a8ce0100aead1e3fd5439f",
        "type": {
          "display_value": "Depends on::Used by",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
          "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS ORA01",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
          "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
        }
      },
      {
        "sys_id": "3a67513fc0a8ce0100914a76cea11b02",
        "type": {
          "display_value": "Exchanges data with::Exchanges data with",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/607ad1b2c0a
8010e01941856b365af90",
          "value": "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS ORA01",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
          "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
        }
      }
    ],
    "attributes": {
      "firewall_status": "Intranet",
      "os_address_width": "",
      "attested_date": "",
      "operational_status": "1",
      "os_service_pack": "",
      "cpu_core_thread": "",
      "cpu_manufacturer": "",
      "sys_updated_on": "2020-07-08 11:16:51",
      "discovery_source": "",
      "first_discovered": "",
      "due_in": "",
      "used_for": "Production",
      "invoice_number": "",
      "gl_account": "",
      "sys_created_by": "glide.maint",
      "warranty_expiration": "",
      "ram": "2048",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "cpu_name": "",
      "cpu_speed": "2800",
      "owned_by": "",
      "checked_out": "",
      "kernel_release": "",
      "sys_domain_path": "/",
      "classification": "Production",
      "disk_space": "40",
      "object_id": "",
      "maintenance_schedule": "",
      "cost_center": "",
      "attested_by": "",
      "dns_domain": "",
      "assigned": "2020-01-04 07:00:00",
      "purchase_date": "",
      "life_cycle_stage": "",
      "short_description": "",
      "cd_speed": "",
      "floppy": "",
      "managed_by": {
        "display_value": "Lynda Caraway",
        "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/8a826bf03710200
044e0bfc8bcbe5d72",
        "value": "8a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d72"
      },
      "os_domain": "",
      "last_discovered": "",
      "can_print": "false",
      "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server",
      "manufacturer": {
        "display_value": "Iris",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/core_company/c115c2f737e3
100044e0bfc8bcbe5d46",
        "value": "c115c2f737e3100044e0bfc8bcbe5d46"
      },
      "cpu_count": "1",
      "vendor": {
        "display_value": "Cloudward Inc",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/core_company/3efe8c4c3742
3000158bbfc8bcbe5d7d",
        "value": "3efe8c4c37423000158bbfc8bcbe5d7d"
      },
      "life_cycle_stage_status": "",
      "model_number": "",
      "assigned_to": "",
      "start_date": "",
      "os_version": "2.6.9-22.0.1.ELsmp",
      "serial_number": "",
      "cd_rom": "false",
      "support_group": "",
      "unverified": "false",
      "correlation_id": "",
      "attributes": "",
      "asset": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "P1000091 - Iris 5875",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/alm_asset/0bc1ba8837f3100
044e0bfc8bcbe5dbb",
        "value": "0bc1ba8837f3100044e0bfc8bcbe5dbb"
      },
      "form_factor": "",
      "cpu_core_count": "",
      "skip_sync": "false",
      "attestation_score": "",
      "sys_updated_by": "system",
      "sys_created_on": "2008-10-26 17:17:28",
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
        "value": "global"
      },
      "cpu_type": "Intel",
      "install_date": "2019-08-18 08:00:00",
      "asset_tag": "P1000091",
      "dr_backup": "",
      "hardware_substatus": "",
      "fqdn": "",
      "change_control": "",
      "internet_facing": "false",
      "delivery_date": "",
      "hardware_status": "",
      "install_status": "1",
      "supported_by": "",
      "name": "PS LinuxApp01",
      "subcategory": "",
      "default_gateway": "",
      "chassis_type": "",
      "virtual": "false",
      "assignment_group": "",
      "managed_by_group": "",
      "sys_id": "3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf",
      "po_number": "",
      "checked_in": "",
      "sys_class_path": "/!!/!2/!(/!!/!0",
      "mac_address": "",
      "company": {
        "display_value": "ACME Corporation",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/core_company/e7c1f3d53790
200044e0bfc8bcbe5deb",
        "value": "e7c1f3d53790200044e0bfc8bcbe5deb"
      },
      "justification": "",
      "department": "",
      "cost": "45557.5",
      "comments": "",
      "os": "Linux Red Hat",
      "sys_mod_count": "24",
      "monitor": "false",
      "model_id": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Iris 5875",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_model/5f5fbcc3c0a801
0e00f3b27814f3b96b",
        "value": "5f5fbcc3c0a8010e00f3b27814f3b96b"
      },
      "ip_address": "",
      "duplicate_of": "",
      "sys_tags": "",
      "cost_cc": "USD",
      "order_date": "",
      "schedule": "",
      "environment": "",
      "due": "",
      "attested": "false",
      "location": {
        "display_value": "322 West 52nd Street, New York,NY",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmn_location/25ab9f690a0a
0bb3001c5fec1d0d7bcb",
        "value": "25ab9f690a0a0bb3001c5fec1d0d7bcb"
      },
      "category": "Do not migrate to asset",
      "fault_count": "0",
      "host_name": "",
      "lease_id": ""
    },
    "inbound_relations": [
      {
        "sys_id": "3a5e4d8ac0a8ce010005145afb730818",
        "type": {
          "display_value": "Depends on::Used by",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
          "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS Apache01",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27d4370
a0a0bb4006316812bf45439",
          "value": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
        }
      },
      {
        "sys_id": "3a5e4d9cc0a8ce010097f2f5c2f65fd8",
        "type": {
          "display_value": "Depends on::Used by",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
          "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS Apache02",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27f1520
a0a0bb400ecd6ff7afcf036",
          "value": "3a27f1520a0a0bb400ecd6ff7afcf036"
        }
      },
      {
        "sys_id": "3a5e4d9fc0a8ce0100a3754fac26fe56",
        "type": {
          "display_value": "Depends on::Used by",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
          "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS Apache03",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a2810c20
a0a0bb400268337d6e942ca",
          "value": "3a2810c20a0a0bb400268337d6e942ca"
        }
      }
    ]
  }
}
```

CMDB インスタンス - POST /now/cmdb/instance/{classname}

指定された 構成管理データベース (CMDB) テーブル内に、指定された送信関係と受信関係を持つ単一の構成アイテム (CI) を作成します。

注: CMDBクラスに依存識別ルールが定義されている場合、入力ペイロードには既存の CI のsys_idが含まれている必要があります。たとえば、 *outbound_relations*の場合、*target* パラメーターには既存の CI のsys_idが含まれている必要があり、その後、子になります。*inbound_relations*の場合は、親になります。

```
 "depends_on": {
   "outbound_relations":
     {
       "target": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1",
       "type": "60bc4e22c0a8010e01f074cbe6bd73c3"
     }
   }
```

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
属性	CI レコードで定義するデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト
inbound_relations	CI に関連付けるインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"inbound_relations": [ { "target": "String", "type": "String" } ]`
inbound_relations.target	*inbound_relations* が指定されている場合は必須です。指定された CI に関連付けるターゲットインバウンド関係の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type	*inbound_relations* が指定されている場合は必須です。インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
outbound_relations	CI に関連付けるアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"outbound_relations": [ { "target": "String", "type": "String" } ]`
outbound_relations.target	*outbound_relations* が指定されている場合は必須です。ターゲットのアウトバウンド関係の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	*outbound_relations* が指定されている場合は必須です。アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
source	必須です。情報を更新したエンティティ。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドで指定された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

応答パラメーター

名前	説明
attributes	現在 CI レコードにあるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト

error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。 データタイプ：文字列
inbound_relations	CI に関連付けられたインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明

	<pre>"inbound_relations": [
	  {
	  "sys_id": "String",
	  "target": {Object},
	  "type": {Object}
	  }
	]</pre>

inbound_relations.sys_id	インバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

inbound_relations.target	ターゲットのインバウンド関係を説明する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"target": {
	  "display_value": "String",
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

inbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからインバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.value	インバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

inbound_relations.type	インバウンド関係のタイプに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"type": {
	  "display_value": "String",
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

inbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
inbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからインバウンド関係タイプを取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.value	インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations	CI に関連付けられたアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"outbound_relations": [ { "sys_id": "String", "target": {Object}, "type": {Object} } ]`
outbound_relations.sys_id	アウトバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target	必須です。ターゲットのアウトバウンド関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"target": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.value	アウトバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
outbound_relations.type	アウトバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.value	アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_ser
ver" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password" \
--data {
  "outbound_relations": [
    {
      "type" : "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5",
      "target" : "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
    },
    {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "type" : "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90",
      "target" : "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
    }
  ],
  "attributes": {
    "name" : "lnux999",
    "firewall_status": "Intranet"
  },
  "source": "ServiceNow",
  "inbound_relations": [
    {
      "type" : "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5",
      "target" : "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
    }
  ]
}
```

```
{
    "result": {
        "outbound_relations": [
            {
                "sys_id": "403ff2641b425010593876a61a4bcb4b",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            },
            {
                "sys_id": "443ff2641b425010593876a61a4bcb4c",
                "type": {
                    "display_value": "Exchanges data with::Exchanges data
 with",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/607ad1b2c0a
8010e01941856b365af90",
                    "value": "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            }
        ],
        "attributes": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "firewall_status": "Intranet",
            "os_address_width": "",
            "attested_date": "",
            "operational_status": "1",
            "os_service_pack": "",
            "cpu_core_thread": "",
            "cpu_manufacturer": "",
            "sys_updated_on": "2020-07-13 20:27:28",
            "discovery_source": "ServiceNow",
            "first_discovered": "2020-07-13 20:27:28",
            "due_in": "",
            "used_for": "Production",
            "invoice_number": "",
            "gl_account": "",
            "sys_created_by": "dora.gray",
            "warranty_expiration": "",
            "ram": "",
            "cpu_name": "",
            "cpu_speed": "",
            "owned_by": "",
            "checked_out": "",
            "kernel_release": "",
            "sys_domain_path": "/",
            "classification": "Production",
            "disk_space": "",
            "object_id": "",
            "maintenance_schedule": "",
            "cost_center": "",
            "attested_by": "",
            "dns_domain": "",
            "assigned": "",
            "purchase_date": "",
            "life_cycle_stage": "",
            "short_description": "",
            "cd_speed": "",
            "floppy": "",
            "managed_by": "",
            "os_domain": "",
            "last_discovered": "2020-07-13 20:27:28",
            "can_print": "false",
            "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server",
            "manufacturer": "",
            "cpu_count": "",
            "vendor": "",
            "life_cycle_stage_status": "",
            "model_number": "",
            "assigned_to": "",
            "start_date": "",
            "os_version": "",
            "serial_number": "",
            "cd_rom": "false",
            "support_group": "",
            "unverified": "false",
            "correlation_id": "",
            "attributes": "",
            "asset": "",
            "form_factor": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "cpu_core_count": "",
            "skip_sync": "false",
            "attestation_score": "",
            "sys_updated_by": "dora.gray",
            "sys_created_on": "2020-07-13 20:27:28",
            "sys_domain": {
                "display_value": "global",
                "link":
"https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
                "value": "global"
            },
            "cpu_type": "",
            "install_date": "",
            "asset_tag": "",
            "dr_backup": "",
            "hardware_substatus": "",
            "fqdn": "",
            "change_control": "",
            "internet_facing": "true",
            "delivery_date": "",
            "hardware_status": "installed",
            "install_status": "1",
            "supported_by": "",
            "name": "lnux299",
            "subcategory": "Computer",
            "default_gateway": "",
            "chassis_type": "",
            "virtual": "false",
            "assignment_group": "",
            "managed_by_group": "",
            "sys_id": "0c3ff2641b425010593876a61a4bcb39",
            "po_number": "",
            "checked_in": "",
            "sys_class_path": "/!!/!2/!(/!!/!0",
            "mac_address": "",
            "company": "",
            "justification": "",
            "department": "",
            "cost": "",
            "comments": "",
            "os": "",
            "sys_mod_count": "0",
            "monitor": "false",
            "model_id": "",
            "ip_address": "",
            "duplicate_of": "",
            "sys_tags": "",
            "cost_cc": "USD",
            "order_date": "",
            "schedule": "",
            "environment": "",
            "due": "",
            "attested": "false",
            "location": "",
            "category": "Hardware",
            "fault_count": "0",
            "host_name": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "lease_id": ""
        },
        "inbound_relations": [
            {
                "sys_id": "c03ff2641b425010593876a61a4bcb49",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS Apache01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27d4370
a0a0bb4006316812bf45439",
                    "value": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
                }
            }
        ]
    }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、依存識別ルールが定義されているクラスに対してこのエンドポイントを呼び出す方法を示しています。*outbound_relations.target*はペイロードに含まれ、既存の CI のsys_idが含まれている必要があります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_ser
ver" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password" \
--data {
  "attributes": {
    "name": "test",
    "sys_class_name":"cmdb_ci_db_mssql_instance",
    "instance_name":"Iname"
  },
  "source": "ServiceNow",
  "depends_on": {
    "outbound_relations":
      {
        "target": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1",
        "type": "60bc4e22c0a8010e01f074cbe6bd73c3"
      }
    }
  }
}
```

```
{
  "result": {
    "outbound_relations": [
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      {
        "sys_id": "505cfa3a53662110af64ddeeff7b1217",
        "type": {
          "display_value": "Runs on::Runs",
          "link":
 http://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/60bc4e22c0a80
10e01f074cbe6bd73c3,
          "value": "60bc4e22c0a8010e01f074cbe6bd73c3"
        },
        "target": {
          "display_value": "*ANNIE-IBM",
          "link":
 http://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/b4fd7c84372
01000deeabfc8bcbe5dc1,
          "value": "b4fd7c8437201000deeabfc8bcbe5dc1"
        }
      }
    ],
    "attributes": {
      "attested_date": "",
      "operational_status": "1",
      "running_process_command": "",
      "sys_updated_on": "2023-05-05 21:28:24",
      "type": "",
      "running_process_key_parameters": "",
      "rp_command_hash": "",
      "discovery_source": "ServiceNow",
      "first_discovered": "2023-05-05 21:28:24",
      "due_in": "",
      "service_pack": "",
      "used_for": "Production",
      "is_clustered": "false",
      "invoice_number": "",
      "gl_account": "",
      "sys_created_by": "admin",
      "warranty_expiration": "",
      "owned_by": "",
      "checked_out": "",
      "rp_key_parameters_hash": "",
      "sys_domain_path": "/",
      "business_unit": "",
      "version": "",
      "cpu_sockets": "",
      "maintenance_schedule": "",
      "cost_center": "",
      "attested_by": "",
      "dns_domain": "",
      "assigned": "",
      "purchase_date": "",
      "life_cycle_stage": "",
      "short_description": "",
      "managed_by": "",
      "port_dynamic": "false",
      "last_discovered": "2023-05-05 21:28:24",
      "can_print": "false",
      "sys_class_name": "cmdb_ci_db_mssql_instance",
      "manufacturer": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "cl_port": "",
      "vendor": "",
      "life_cycle_stage_status": "",
      "model_number": "",
      "config_file": "",
      "assigned_to": "",
      "start_date": "",
      "instance_name": "Iname",
      "serial_number": "",
      "engine_edition": "",
      "support_group": "",
      "version_name": "",
      "unverified": "false",
      "correlation_id": "",
      "attributes": "",
      "asset": "",
      "config_directory": "",
      "tcp_port": "",
      "listener_name": "",
      "skip_sync": "false",
      "pid": "",
      "attestation_score": "",
      "sys_updated_by": "admin",
      "install_directory": "",
      "sys_created_on": "2023-05-05 21:28:24",
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "link":
http://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global,
        "value": "global"
      },
      "install_date": "",
      "asset_tag": "",
      "fqdn": "",
      "change_control": "",
      "delivery_date": "",
      "install_status": "1",
      "supported_by": "",
      "name": "test",
      "subcategory": "Database",
      "assignment_group": "",
      "edition": "",
      "managed_by_group": "",
      "sys_id": "185cba3a53662110af64ddeeff7b12af",
      "po_number": "",
      "database": "",
      "checked_in": "",
      "sys_class_path": "/!!/!(/!2/!,",
      "mac_address": "",
      "company": "",
      "justification": "",
      "department": "",
      "cost": "",
      "comments": "",
      "attestation_status": "Not Yet Reviewed",
      "sys_mod_count": "0",
      "monitor": "false",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "model_id": "",
      "ip_address": "",
      "duplicate_of": "",
      "sys_tags": "",
      "cost_cc": "USD",
      "order_date": "",
      "schedule": "",
      "environment": "",
      "due": "",
      "attested": "false",
      "location": "",
      "category": "Resource",
      "fault_count": "0",
      "lease_id": ""
    },
    "inbound_relations": []
  }
}
```


Example: cURL 要求

次のコード例は、依存識別ルールが定義されているクラスに対してsys_idが渡されない場合に返される内容を示しています。sys_idが無効な場合も同じ結果になります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_ser
ver" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password" \
--data "{
  "attributes": {
    "name": "test",
    "sys_class_name":"cmdb_ci_db_mssql_instance",
    "instance_name":"Iname"
  },
  "source": "ServiceNow",
  "depends_on": {
    "outbound_relations": {
        "type": "60bc4e22c0a8010e01f074cbe6bd73c3"
    }
  }
}
```


```
{
  "error": {
    "detail": "Exception while executing request: null Check logs for
 error trace or enable glide.rest.debug property to verify REST request
 processing",
    "message": "Exception while executing request: null"
  },
  "status": "failure"
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CMDB インスタンス:PUT /now/cmdb/instance/{classname}/{sys_id}

指定された構成アイテム (CI) レコードを、指定された属性の名前と値のペアで更新します。このエンドポイントは、関連付けられた関係を作成、更新、または削除しません。

注: このエンドポイントは HTML 仕様に準拠していません。標準の PUT エンドポイントには、要求に含まれていない要素を削除するという破壊的な性質があります。このエンドポイントは、指定されていない要素を削除しません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列
sys_id	更新する CI レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
attributes	CI レコードで置き換えるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト
source	必須です。情報を更新したエンティティ。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドで指定された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

応答パラメーター

名前	説明
attributes	現在 CI レコードにあるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト

error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。 データタイプ：文字列

inbound_relations	CI に関連付けられたインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"inbound_relations": [`
	`  {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "target": {Object},`
	`  "type": {Object}`
	`  }`
	`]`

inbound_relations.sys_id	インバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

inbound_relations.target	ターゲットのインバウンド関係を説明する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"target": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

inbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンド関係の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
inbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからインバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.value	インバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

inbound_relations.type	インバウンド関係のタイプに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

inbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからインバウンド関係タイプを取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.value	インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations	CI に関連付けられたアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"outbound_relations": [`
	`  {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "target": {Object},`
	`  "type": {Object}`
	`  }`
	`]`

outbound_relations.sys_id	アウトバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
outbound_relations.target	必須です。ターゲットのアウトバウンド関係に関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"target": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.value	アウトバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	アウトバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.value	アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_ser
ver/70bc4e11c0a8210d01f074cbe6bd73b4" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password" \
--data {
  "attributes": {
    "firewall_status": "Extranet",
    "discovery_source": "ServiceNows",
    "name": "Linux299",
    "used_for": "Pre-production",
    "container": "Box"
  },
  "source": "ServiceNow"
}
```

```
{
    "result": {
        "outbound_relations": [
            {
                "sys_id": "403ff2641b425010593876a61a4bcb4b",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f1
571100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c93
0a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            },
            {
                "sys_id": "443ff2641b425010593876a61a4bcb4c",
                "type": {
                    "display_value": "Exchanges data with::Exchanges data
 with",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/cmdb_rel_type/607ad1b2c0
a8010e01941856b365af90",
                    "value": "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c93
0a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            }
        ],
        "attributes": {
            "firewall_status": "Extranet",
            "os_address_width": "",
            "attested_date": "",
            "operational_status": "1",
            "os_service_pack": "",
            "cpu_core_thread": "",
            "cpu_manufacturer": "",
            "sys_updated_on": "2020-07-13 20:59:40",
            "discovery_source": "ServiceNow",
            "first_discovered": "2020-07-13 20:27:28",
            "due_in": "",
            "used_for": "Pre-production",
            "invoice_number": "",
            "gl_account": "",
            "sys_created_by": "dora.gray",
            "warranty_expiration": "",
            "ram": "",
            "cpu_name": "",
            "cpu_speed": "",
            "owned_by": "",
            "checked_out": "",
            "kernel_release": "",
            "sys_domain_path": "/",
            "classification": "Production",
            "disk_space": "",
            "object_id": "",
            "maintenance_schedule": "",
            "cost_center": "",
            "attested_by": "",
            "dns_domain": "",
            "assigned": "",
            "purchase_date": "",
            "life_cycle_stage": "",
            "short_description": "",
            "cd_speed": "",
            "floppy": "",
            "managed_by": "",
            "os_domain": "",
            "last_discovered": "2020-07-13 20:59:40",
            "can_print": "false",
            "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server",
            "manufacturer": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "cpu_count": "",
            "vendor": "",
            "life_cycle_stage_status": "",
            "model_number": "",
            "assigned_to": "",
            "start_date": "",
            "os_version": "",
            "serial_number": "",
            "cd_rom": "false",
            "support_group": "",
            "unverified": "false",
            "correlation_id": "",
            "attributes": "",
            "asset": {
                "display_value": "Unknown",
                "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/alm_asset/21cfba641b4250
10593876a61a4bcb52",
                "value": "21cfba641b425010593876a61a4bcb52"
            },
            "form_factor": "",
            "cpu_core_count": "",
            "skip_sync": "false",
            "attestation_score": "",
            "sys_updated_by": "dora.gray",
            "sys_created_on": "2020-07-13 20:27:28",
            "sys_domain": {
                "display_value": "global",
                "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/sys_user_group/global",
                "value": "global"
            },
            "cpu_type": "",
            "install_date": "",
            "asset_tag": "",
            "dr_backup": "",
            "hardware_substatus": "",
            "fqdn": "",
            "change_control": "",
            "internet_facing": "true",
            "delivery_date": "",
            "hardware_status": "installed",
            "install_status": "1",
            "supported_by": "",
            "name": "Linux299",
            "subcategory": "Computer",
            "default_gateway": "",
            "chassis_type": "",
            "virtual": "false",
            "assignment_group": "",
            "managed_by_group": "",
            "sys_id": "0c3ff2641b425010593876a61a4bcb39",
            "po_number": "",
            "checked_in": "",
            "sys_class_path": "/!!/!2/!(/!!/!0",
            "mac_address": "",
            "company": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "justification": "",
            "department": "",
            "cost": "",
            "comments": "",
            "os": "",
            "sys_mod_count": "3",
            "monitor": "false",
            "model_id": {
                "display_value": "Unknown",
                "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/cmdb_model/0ce0a2681b4e1
010593876a61a4bcba6",
                "value": "0ce0a2681b4e1010593876a61a4bcba6"
            },
            "ip_address": "",
            "duplicate_of": "",
            "sys_tags": "",
            "cost_cc": "USD",
            "order_date": "",
            "schedule": "",
            "environment": "",
            "due": "",
            "attested": "false",
            "location": "",
            "category": "Hardware",
            "fault_count": "0",
            "host_name": "",
            "lease_id": ""
        },
        "inbound_relations": [
            {
                "sys_id": "c03ff2641b425010593876a61a4bcb49",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f1
571100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS Apache01",
                    "link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27d437
0a0a0bb4006316812bf45439",
                    "value": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
                }
            }
        ]
    }
}
```


CMDB インスタンス - POST /now/cmdb/instance/{classname}/{sys_id}/relation

指定された構成アイテム (CI) に受信および/または送信の関係を追加します。指定された CI は親です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}/{sys_id}/relation`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}/{sys_id}/relation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列
sys_id	更新する CI レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
inbound_relations	CI に関連付けるインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"inbound_relations": [ { "target": "String", "type": "String" } ]`
inbound_relations.target	*inbound_relations* が指定されている場合は必須です。指定された CI に関連付けるターゲットインバウンド関係の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type	*inbound_relations* が指定されている場合は必須です。インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
outbound_relations	CI に関連付けるアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"outbound_relations": [ { "target": "String", "type": "String" } ]`
outbound_relations.target	*outbound_relations* が指定されている場合は必須です。ターゲットのアウトバウンド関係の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	*outbound_relations* が指定されている場合は必須です。アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
source	必須です。情報を更新したエンティティ。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドで指定された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

応答パラメーター

名前	説明
attributes	現在 CI レコードにあるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト

error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
inbound_relations	CI に関連付けられたインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"inbound_relations": [ { "sys_id": "String", "target": {Object}, "type": {Object} } ]`
inbound_relations.sys_id	インバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target	ターゲットのインバウンド関係を説明する情報。 データタイプ：オブジェクト `"target": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
inbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからインバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.value	インバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type	インバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

inbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからインバウンド関係タイプを取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.value	インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations	CI に関連付けられたアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"outbound_relations": [
	  {
	  "sys_id": "String",
	  "target": {Object},
	  "type": {Object}
	  }
	]</pre>

outbound_relations.sys_id	アウトバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations.target	必須です。ターゲットのアウトバウンド関係に関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"target": {
	  "display_value": "String",
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

outbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
outbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.value	アウトバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	アウトバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.value	アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci_linux_server/3a290cc60a0a0bb400000bdb386af1cf/relation" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password" \
--data {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "outbound_relations": [
    {
      "type" : "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5",
      "target" : "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
    },
    {
      "type" : "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90",
      "target" : "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
    }
  ],
  "source": "ServiceNow",
  "inbound_relations": [
    {
      "type" : "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5",
      "target" : "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
    }
  ]
}
```

```
{
    "result": {
        "outbound_relations": [
            {
                "sys_id": "403ff2641b425010593876a61a4bcb4b",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            },
            {
                "sys_id": "443ff2641b425010593876a61a4bcb4c",
                "type": {
                    "display_value": "Exchanges data with::Exchanges data
 with",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/607ad1b2c0a
8010e01941856b365af90",
                    "value": "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS ORA01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
                    "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
                }
            }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ],
        "attributes": {
            "firewall_status": "Active",
            "os_address_width": "",
            "attested_date": "",
            "operational_status": "1",
            "os_service_pack": "",
            "cpu_core_thread": "",
            "cpu_manufacturer": "",
            "sys_updated_on": "2020-07-13 21:24:05",
            "discovery_source": "ServiceNow",
            "first_discovered": "2020-07-13 20:27:28",
            "due_in": "",
            "used_for": "Production",
            "invoice_number": "",
            "gl_account": "",
            "sys_created_by": "dora.gray",
            "warranty_expiration": "",
            "ram": "",
            "cpu_name": "",
            "cpu_speed": "",
            "owned_by": "",
            "checked_out": "",
            "kernel_release": "",
            "sys_domain_path": "/",
            "classification": "Production",
            "disk_space": "",
            "object_id": "",
            "maintenance_schedule": "",
            "cost_center": "",
            "attested_by": "",
            "dns_domain": "",
            "assigned": "",
            "purchase_date": "",
            "life_cycle_stage": "",
            "short_description": "",
            "cd_speed": "",
            "floppy": "",
            "managed_by": "",
            "os_domain": "",
            "last_discovered": "2020-07-13 21:24:05",
            "can_print": "false",
            "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server",
            "manufacturer": "",
            "cpu_count": "",
            "vendor": "",
            "life_cycle_stage_status": "",
            "model_number": "",
            "assigned_to": "",
            "start_date": "",
            "os_version": "",
            "serial_number": "",
            "cd_rom": "false",
            "support_group": "",
            "unverified": "false",
            "correlation_id": "",
            "attributes": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "asset": {
                "display_value": "Unknown",
                "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/alm_asset/21cfba641b42501
0593876a61a4bcb52",
                "value": "21cfba641b425010593876a61a4bcb52"
            },
            "form_factor": "",
            "cpu_core_count": "",
            "skip_sync": "false",
            "attestation_score": "",
            "sys_updated_by": "dora.gray",
            "sys_created_on": "2020-07-13 20:27:28",
            "sys_domain": {
                "display_value": "global",
                "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
                "value": "global"
            },
            "cpu_type": "",
            "install_date": "",
            "asset_tag": "",
            "dr_backup": "",
            "hardware_substatus": "",
            "fqdn": "",
            "change_control": "",
            "internet_facing": "true",
            "delivery_date": "",
            "hardware_status": "installed",
            "install_status": "1",
            "supported_by": "",
            "name": "Linux299",
            "subcategory": "Computer",
            "default_gateway": "",
            "chassis_type": "",
            "virtual": "false",
            "assignment_group": "",
            "managed_by_group": "",
            "sys_id": "0c3ff2641b425010593876a61a4bcb39",
            "po_number": "",
            "checked_in": "",
            "sys_class_path": "/!!/!2/!(/!!/!0",
            "mac_address": "",
            "company": "",
            "justification": "",
            "department": "",
            "cost": "",
            "comments": "",
            "os": "",
            "sys_mod_count": "4",
            "monitor": "false",
            "model_id": {
                "display_value": "Unknown",
                "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_model/0ce0a2681b4e10
10593876a61a4bcba6",
                "value": "0ce0a2681b4e1010593876a61a4bcba6"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            "ip_address": "",
            "duplicate_of": "",
            "sys_tags": "",
            "cost_cc": "USD",
            "order_date": "",
            "schedule": "",
            "environment": "",
            "due": "",
            "attested": "false",
            "location": "",
            "category": "Hardware",
            "fault_count": "0",
            "host_name": "",
            "lease_id": ""
        },
        "inbound_relations": [
            {
                "sys_id": "c03ff2641b425010593876a61a4bcb49",
                "type": {
                    "display_value": "Depends on::Used by",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
                    "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
                },
                "target": {
                    "display_value": "PS Apache01",
                    "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27d4370
a0a0bb4006316812bf45439",
                    "value": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
                }
            }
        ]
    }
}
```


CMDB インスタンス - PATCH /now/cmdb/instance/{classname}/{sys_id}

指定された構成アイテム (CI) レコードの属性を、指定された名前と値のペアに置き換えます。このエンドポイントは、関連付けられた関係を作成、更新、または削除しません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/v1/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/instance/{className}/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列
sys_id	更新する CI レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
attributes	CI レコードで置き換えるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト
source	必須です。情報を更新したエンティティ。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドで指定された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

応答パラメーター

名前	説明
attributes	現在 CI レコードにあるデータ属性。使用可能な属性は、指定された CMDB クラスによって異なります。cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_mfp_printer など、通常は「cmdb_ci」で始まる関連する CMDB テーブルで使用可能な属性を見つけることができます。 データタイプ：オブジェクト

error	エンドポイント要求の処理中に発生したエラーに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
	<pre> "message": "String" }</pre>
error.detail	エラーに関する追加情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーを識別するメッセージ。 データタイプ：文字列

inbound_relations	CI に関連付けられたインバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"inbound_relations": [
	  {
	  "sys_id": "String",
	  "target": {Object},
	  "type": {Object}
	  }
	]</pre>

inbound_relations.sys_id	インバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

inbound_relations.target	ターゲットのインバウンド関係を説明する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"target": {
	  "display_value": "String",
	  "link": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

inbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからインバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.target.value	インバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明

inbound_relations.type	インバウンド関係のタイプに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

inbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するインバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからインバウンド関係タイプを取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
inbound_relations.type.value	インバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations	CI に関連付けられたアウトバウンド関係を定義するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"outbound_relations": [`
	`  {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "target": {Object},`
	`  "type": {Object}`
	`  }`
	`]`

outbound_relations.sys_id	アウトバウンド CI 関係の sys_id。CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

outbound_relations.target	必須です。ターゲットのアウトバウンド関係に関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"target": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "link": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答パラメーター (続く)

名前	説明
outbound_relations.target.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンド関係の名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.link	構成アイテム [cmdb_ci] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用する CMDB REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.target.value	アウトバウンド CI の sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type	アウトバウンド関係のタイプに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "link": "String", "value": "String" }`
outbound_relations.type.display_value	ユーザーインターフェイスに表示するアウトバウンドタイプの名前。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.link	CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからアウトバウンド関係を取得するために使用するテーブル REST エンドポイント URL。 データタイプ：文字列
outbound_relations.type.value	アウトバウンド関係のタイプの sys_id。CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エラーが発生した場合にのみ表示されます。エンドポイント処理のステータス。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_class_sw/70bc4e11c0a8210d01f074cbe6bd73b4" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json"\
--user "username":"password"\
--data {
    "attributes": {
      "firewall_status": "Active",
      "name": "Linux299",
      "used_for": "Production"
    },
    "source": "ServiceNow"
}
```


```
{
  "result": {
    "outbound_relations": [
      {
        "sys_id": "403ff2641b425010593876a61a4bcb4b",
        "type": {
          "display_value": "Depends on::Used by",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
          "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS ORA01",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
          "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
        }
      },
      {
        "sys_id": "443ff2641b425010593876a61a4bcb4c",
        "type": {
          "display_value": "Exchanges data with::Exchanges data with",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/607ad1b2c0a
8010e01941856b365af90",
          "value": "607ad1b2c0a8010e01941856b365af90"
        },
        "target": {
          "display_value": "PS ORA01",
          "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a307c930
a0a0bb400353965d0b8861f",
          "value": "3a307c930a0a0bb400353965d0b8861f"
        }
      }
    ],
    "attributes": {
      "firewall_status": "Active",
      "os_address_width": "",
      "attested_date": "",
      "operational_status": "1",
      "os_service_pack": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "cpu_core_thread": "",
      "cpu_manufacturer": "",
      "sys_updated_on": "2020-07-13 21:24:05",
      "discovery_source": "ServiceNow",
      "first_discovered": "2020-07-13 20:27:28",
      "due_in": "",
      "used_for": "Production",
      "invoice_number": "",
      "gl_account": "",
      "sys_created_by": "dora.gray",
      "warranty_expiration": "",
      "ram": "",
      "cpu_name": "",
      "cpu_speed": "",
      "owned_by": "",
      "checked_out": "",
      "kernel_release": "",
      "sys_domain_path": "/",
      "classification": "Production",
      "disk_space": "",
      "object_id": "",
      "maintenance_schedule": "",
      "cost_center": "",
      "attested_by": "",
      "dns_domain": "",
      "assigned": "",
      "purchase_date": "",
      "life_cycle_stage": "",
      "short_description": "",
      "cd_speed": "",
      "floppy": "",
      "managed_by": "",
      "os_domain": "",
      "last_discovered": "2020-07-13 21:24:05",
      "can_print": "false",
      "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server",
      "manufacturer": "",
      "cpu_count": "",
      "vendor": "",
      "life_cycle_stage_status": "",
      "model_number": "",
      "assigned_to": "",
      "start_date": "",
      "os_version": "",
      "serial_number": "",
      "cd_rom": "false",
      "support_group": "",
      "unverified": "false",
      "correlation_id": "",
      "attributes": "",
      "asset": {
        "display_value": "Unknown",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/alm_asset/21cfba641b42501
0593876a61a4bcb52",
        "value": "21cfba641b425010593876a61a4bcb52"
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "form_factor": "",
      "cpu_core_count": "",
      "skip_sync": "false",
      "attestation_score": "",
      "sys_updated_by": "dora.gray",
      "sys_created_on": "2020-07-13 20:27:28",
      "sys_domain": {
        "display_value": "global",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
        "value": "global"
      },
      "cpu_type": "",
      "install_date": "",
      "asset_tag": "",
      "dr_backup": "",
      "hardware_substatus": "",
      "fqdn": "",
      "change_control": "",
      "internet_facing": "true",
      "delivery_date": "",
      "hardware_status": "installed",
      "install_status": "1",
      "supported_by": "",
      "name": "Linux299",
      "subcategory": "Computer",
      "default_gateway": "",
      "chassis_type": "",
      "virtual": "false",
      "assignment_group": "",
      "managed_by_group": "",
      "sys_id": "0c3ff2641b425010593876a61a4bcb39",
      "po_number": "",
      "checked_in": "",
      "sys_class_path": "/!!/!2/!(/!!/!0",
      "mac_address": "",
      "company": "",
      "justification": "",
      "department": "",
      "cost": "",
      "comments": "",
      "os": "",
      "sys_mod_count": "4",
      "monitor": "false",
      "model_id": {
        "display_value": "Unknown",
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_model/0ce0a2681b4e10
10593876a61a4bcba6",
        "value": "0ce0a2681b4e1010593876a61a4bcba6"
      },
      "ip_address": "",
      "duplicate_of": "",
      "sys_tags": "",
      "cost_cc": "USD",
      "order_date": "",
      "schedule": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "environment": "",
      "due": "",
      "attested": "false",
      "location": "",
      "category": "Hardware",
      "fault_count": "0",
      "host_name": "",
      "lease_id": ""
    },
    "inbound_relations": [
      {
        "sys_id": "c03ff2641b425010593876a61a4bcb49",
         "type": {
           "display_value": "Depends on::Used by",
            "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_rel_type/1a9cb166f15
71100a92eb60da2bce5c5",
            "value": "1a9cb166f1571100a92eb60da2bce5c5"
          },
          "target": {
            "display_value": "PS Apache01",
            "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/cmdb/instance/cmdb_ci/3a27d4370
a0a0bb4006316812bf45439",
            "value": "3a27d4370a0a0bb4006316812bf45439"
          }
        }
      ]
    }
}
```


CMDB メタ API

CMDB メタ API は、構成管理データベース (CMDB) クラスのメタデータを取得するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用するには、ユーザーに ITIL ロールが必要です。

CMDB メタ - GET /now/cmdb/meta/{classname}

指定された CMDB クラスのメタデータを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/cmdb/meta/{className}`

デフォルトの URL：`/api/now/cmdb/meta/{className}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
className	CMDB クラス名。これは、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_apache_web_server などの目的の CI レコードを含むテーブルの名前です。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
attributes	指定されたクラステーブルの利用可能なフィールド。 データタイプ：アレイ
children	指定されたクラスから拡張されたクラスのリスト。 データタイプ：アレイ
icon	クラスアイコンの sys_id。 データタイプ：文字列
icon_url	クラスアイコンの URL。 データタイプ：文字列
identification_rules	指定されたクラスの構成アイテム識別ルールに関連付けられた属性。 データタイプ：オブジェクト
is_extendable	クラスを拡張して他のクラスを作成できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：クラスを拡張できます。 • false：クラスを拡張できません。 データタイプ：ブーリアン
label	指定されたクラスの表示名。 データタイプ：文字列
name	テーブル/クラス名。 データタイプ：文字列
parent	親クラス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
relationship_rules	CMDB 内の指定されたクラスと他のクラスの間の関係。 データタイプ：アレイ

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow/api/now/cmdb/meta/cmdb_ci_computer" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```


```
{
  "result": {
    "icon_url": "images/app.ngbsm/computer.svg",
    "is_extendable": true,
    "parent": "cmdb_ci_hardware",
    "children": [
      "cmdb_ci_ucs_blade",
      "cmdb_ci_pc_hardware",
      "cmdb_ci_ucs_rack_unit",
      "cmdb_ci_mainframe_hardware",
      "cmdb_ci_server",
      "cmdb_ci_storage_switch"
    ],
    "name": "cmdb_ci_computer",
    "icon": "c6442dd69fb00200eb3919eb552e7012",
    "attributes": [
      {
        "is_inherited": "false",
        "is_mandatory": "false",
        "is_read_only": "false",
        "default_value": null,
        "label": "OS Address Width (bits)",
        "type": "integer",
        "element": "os_address_width",
        "max_length": "40",
        "is_display": "false"
      },
      {
        "is_inherited": "true",
        "is_mandatory": "false",
        "is_read_only": "true",
        "default_value": "false",
        "label": "Skip sync",
        "type": "boolean",
        "element": "skip_sync",
        "max_length": "40",
        "is_display": "false"
      },
      {
        "is_inherited": "true",
        "is_mandatory": "false",
        "is_read_only": "false",
        "default_value": null,
        "label": "DNS Domain",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "type": "string",
        "element": "dns_domain",
        "max_length": "255",
        "is_display": "false"
      },
      {
        "is_inherited": "true",
        "is_mandatory": "false",
        "is_read_only": "false",
        "default_value": null,
        "label": "Purchased",
        "type": "glide_date",
        "element": "purchase_date",
        "max_length": "40",
        "is_display": "false"
      },
      {
        "is_inherited": "true",
        "is_mandatory": "false",
        "is_read_only": "false",
        "default_value": null,
        "label": "Lease contract",
        "type": "string",
        "element": "lease_id",
        "max_length": "40",
        "is_display": "false"
      }
    ],
    "relationship_rules": [
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "cb5592603751200032ff8c00dfbe5d17",
        "child": "dscy_route_next_hop"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "cb5592603751200032ff8c00dfbe5d17",
        "child": "dscy_router_interface"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "cb5592603751200032ff8c00dfbe5d17",
        "child": "dscy_route_interface"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "55c95bf6c0a8010e0118ec7056ebc54d",
        "child": "cmdb_ci_storage_pool"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "55c95bf6c0a8010e0118ec7056ebc54d",
        "child": "cmdb_ci_disk_partition"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "55c95bf6c0a8010e0118ec7056ebc54d",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "child": "cmdb_ci_storage_volume"
      },
      {
        "parent": "cmdb_ci_computer",
        "relation_type": "55c95bf6c0a8010e0118ec7056ebc54d",
        "child": "cmdb_ci_storage_device"
      }
    ],
    "label": "Computer",
    "identification_rules": {
      "related_rules": [
        {
          "condition": "",
          "exact_count_match": false,
          "referenced_field": "installed_on",
          "active": true,
          "attributes": "name",
          "allow_fallback": false,
          "table": "cmdb_print_queue_instance",
          "order": 100,
          "allow_null_attribute": false
        }
      ],
      "applies_to": "cmdb_ci_hardware",
      "identifiers": [
        {
          "condition": "valid=true^absent=false^EQ",
          "exact_count_match": true,
          "referenced_field": "cmdb_ci",
          "active": true,
          "attributes": "serial_number,serial_number_type",
          "allow_fallback": false,
          "table": "cmdb_serial_number",
          "order": 100,
          "allow_null_attribute": false
        },
        {
          "condition": null,
          "exact_count_match": false,
          "referenced_field": null,
          "active": true,
          "attributes": "serial_number",
          "allow_fallback": false,
          "table": null,
          "order": 200,
          "allow_null_attribute": false
        },
        {
          "condition": null,
          "exact_count_match": false,
          "referenced_field": null,
          "active": true,
          "attributes": "name",
          "allow_fallback": false,
          "table": null,
          "order": 300,
          "allow_null_attribute": false
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        {
          "condition": "install_status!=100^EQ",
          "exact_count_match": true,
          "referenced_field": "cmdb_ci",
          "active": true,
          "attributes": "ip_address,mac_address",
          "allow_fallback": false,
          "table": "cmdb_ci_network_adapter",
          "order": 400,
          "allow_null_attribute": false
        }
      ],
      "name": "Hardware Rule",
      "description": "Identifier for hardware.",
      "active": true,
      "is_independent": true
    }
  }
}
```

コンシューマー API

コンシューマー API は、カスタマーサービス管理 (CSM)コンシューマーレコードを取得および更新するためのエンドポイントを提供します。

さらに、コンシューマーの作成時に新しいソーシャルメディアプロファイルレコードを生成できます。

コンシューマー API にはカスタマーサービスプラグイン (com.sn_customerservice) が必要であり、now 名前空間内で提供されます。

ユーザーが API にフルアクセスするためには、csm_ws_integration ロールが必要です。

コンシューマー - GET /now/consumer

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) コンシューマーレコードのセットを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：/api/now/{api_version}/consumer

デフォルトの URL：/api/now/consumer

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、v1 や v2。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 応答では、ブール値のパラメーター *hasMore* が返されます。フィルター基準を満たす、返されるレコードがまだあるかどうかを示します。 データタイプ：数値 デフォルト：10
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。 例： `sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇順に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

エンドポイントでは、次の JSON または XML 要素を応答本文で返すことができます。以下で定義する (ベースシステムにある要素を定義する) 要素のリストに加えて、エンドポイントでは、コンシューマー [csm_consumer] テーブルに追加されたカスタムフィールドも返します。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

要素	説明
active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
世帯	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
name	コンシューマーのフルネーム。 first_name+middle_name+last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
通知	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3
prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
サフィックス	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sys_tags	システムタグ。 データタイプ：文字列
sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/consumer?sysparm_query=account=
86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca&sysparm_limit=2&sysparm_offset=2>;rel="n
ext" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": [
    {
      "country": "USA",
      "notes": "",
      "gender": "Male",
      "city": "Plano",
      "prefix": "",
      "sys_updated_on": "2016-08-12 00:19:12",
      "suffix": "",
      "title": "",
      "number": "CSMR0000004",
      "notification": "2",
      "sys_id": "01d8403fdb1b1200b6075200cf961941",
      "business_phone": "",
      "sys_updated_by": "prithvi",
      "mobile_phone": "",
      "street": "6900 Dallas Pkwy",
      "sys_created_on": "2016-06-16 19:20:13",
      "sys_domain": "global",
      "state": "TX",
      "fax": "",
      "first_name": "Harding",
      "email": "harding.asher@mailinator.com",
      "preferred_language": "",
      "sys_created_by": "guest",
      "zip": "75024",
      "home_phone": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "time_format": "",
      "sys_mod_count": "8",
      "last_name": "Asher",
      "photo": "",
      "active": "true",
      "middle_name": "",
      "time_zone": "",
      "sys_tags": "",
      "name": "Harding Asher",
      "household": "",
      "date_format": "",
      "user": "c3d35d82c37122005871d44d81d3ae91",
      "primary": "false"
    },
    {
      "country": "USA",
      "notes": "",
      "gender": "Male",
      "city": "San Francisco",
      "prefix": "",
      "sys_updated_on": "2016-08-12 00:20:27",
      "suffix": "",
      "title": "",
      "number": "CSMR0000002",
      "notification": "2",
      "sys_id": "a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db",
      "business_phone": "",
      "sys_updated_by": "prithvi",
      "mobile_phone": "",
      "street": "144 2nd St",
      "sys_created_on": "2016-06-16 19:17:44",
      "sys_domain": "global",
      "state": "CA",
      "fax": "",
      "first_name": "Sam",
      "email": "sam.collins@mailinator.com",
      "preferred_language": "",
      "sys_created_by": "guest",
      "zip": "94105",
      "home_phone": "",
      "time_format": "",
      "sys_mod_count": "13",
      "last_name": "Collins",
      "photo": "",
      "active": "true",
      "middle_name": "",
      "time_zone": "",
      "sys_tags": "",
      "name": "Sam Collins",
      "household": "",
      "date_format": "",
      "user": "64488cfbdb1b1200b6075200cf9619db",
      "primary": "false"
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンシューマー - **GET /now/consumer/{id}**

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) コンシューマーレコードを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/consumer/{id}`

デフォルトの URL：`/api/now/consumer/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	返されるコンシューマーレコードの sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • 要求されたケースが存在しません。 • ユーザーにコンシューマーレコードへのアクセス権がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

エンドポイントでは、次の JSON または XML 要素を応答本文で返すことができます。以下で定義する (ベースシステムにある要素を定義する) 要素のリストに加えて、エンドポイントでは、コンシューマー [csm_consumer] テーブルに追加されたカスタムフィールドも返します。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

要素	説明
active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：100
country	コンシューマーが居住する国。 データタイプ：文字列 最大長：40
date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
世帯	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
name	コンシューマーのフルネーム。 first_name+middle_name+last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
通知	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
number	コンシューマーに関連付けられた一意の番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：3
prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
サフィックス	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
sys_created_by	コンシューマーレコードを作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	コンシューマーレコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	コンシューマー情報が存在する ServiceNow ドメイン。 データタイプ：文字列
sys_id	コンシューマーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	関連するコンシューマー情報が変更された回数。 データタイプ：整数
sys_updated_by	コンシューマー情報を最後に更新したユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	コンシューマー情報が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/consumer/01d8403fdb1b1200b60752
00cf961941 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "country": "USA",
    "notes": "",
    "gender": "Male",
    "city": "Plano",
    "prefix": "",
    "sys_updated_on": "2016-08-12 00:19:12",
    "suffix": "",
    "title": "",
    "number": "CSMR0000004",
    "notification": "2",
    "sys_id": "01d8403fdb1b1200b6075200cf961941",
    "business_phone": "",
    "sys_updated_by": "prithvi",
    "mobile_phone": "",
    "street": "6900 Dallas Pkwy",
    "sys_created_on": "2016-06-16 19:20:13",
    "sys_domain": "global",
    "state": "TX",
    "fax": "",
    "first_name": "Harding",
    "email": "harding.asher@mailinator.com",
    "preferred_language": "",
    "sys_created_by": "guest",
    "zip": "75024",
    "home_phone": "",
    "time_format": "",
    "sys_mod_count": "8",
    "last_name": "Asher",
    "photo": "",
    "active": "true",
    "middle_name": "",
    "time_zone": "",
    "sys_tags": "",
    "name": "Harding Asher",
    "household": "",
    "date_format": "",
    "user": "c3d35d82c37122005871d44d81d3ae91",
    "primary": "false"
  }
}
```


自動翻訳

コンシューマー - POST /now/consumer

新しい カスタマーサービス管理 (CSM) コンシューマーを作成します。

さらに、このエンドポイントを使用して、コンシューマーのソーシャルメディアプロファイルを作成できます。プロファイルを作成するには、要求本文で次のパラメーターを指定する必要があります。

- *social_channel*
- *social_handle*
- *social_handle_url*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ **警告:** このエンドポイントでパラメーターの検証を実行すると、過度のオーバーヘッドが発生する可能性があるため、パラメーターの検証を実行しません。要求パラメーターが、スペルが間違っている、有効ではない、またはエンドポイントでサポートされていない場合、警告なしで無視されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/consumer`

デフォルトの URL：`/api/now/consumer`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
active	コンシューマーがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：コンシューマーがアクティブ • false：コンシューマーが非アクティブ データタイプ：ブール デフォルト：true
business_phone	コンシューマーの勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
city	コンシューマーが居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：100
country	コンシューマーが居住する国。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
date_format	日付を表示する形式。 有効な値： • dd-mm-yyyy • dd/mm/yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
email	コンシューマーのメールアドレス。 データタイプ：文字列 最大長：100
fax	コンシューマーのファックス番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
first_name	コンシューマーの名。 データタイプ：文字列 最大長：50
gender	コンシューマーの性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
home_phone	コンシューマーの自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
世帯	世帯の特性を説明するレコードの sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
last_name	コンシューマーの姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
middle_name	コンシューマーのミドルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：50
mobile_phone	コンシューマーの携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
name	コンシューマーのフルネーム。 first_name+middle_name+last_name。 データタイプ：文字列 最大長：152
notes	コンシューマーに関するメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
通知	コンシューマーが通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：整数 最大長：40 デフォルト値：2
photo	コンシューマーの写真。 データタイプ：画像
preferred_language	コンシューマーのプライマリ言語。 データタイプ：文字列 最大長：3

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
prefix	Dr.、Mr.、Mrs.、Ms. などのコンシューマー名のプリフィックス データタイプ：文字列 最大長：40
primary	これがプライマリコンシューマーであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：プライマリコンシューマー • false：プライマリコンシューマーではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
social_channel	コンシューマーが関連付けられているソーシャルメディアチャネル (Twitter、Facebook、Instagram など)。 データタイプ：文字列
social_handle	ソーシャルメディアチャネルのユーザーハンドル。 データタイプ：文字列
social_handle_url	コンシューマーのソーシャルチャネルハンドルへの URL。 データタイプ：文字列
state	コンシューマーが居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：100
street	コンシューマーの番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
サフィックス	Jr.、Sr.、II などのコンシューマー名のサフィックス。 データタイプ：文字列
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_zone	コンシューマーのタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などのコンシューマーのビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
user	コンシューマーユーザーの sys_id。コンシューマーユーザー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
zip	コンシューマーの郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	新しいコンシューマーレコードが正常に作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
result	新しく作成されたコンシューマーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl -X POST "https://instance.servicenow.com/api/now/consumer" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-d " { \
  "country": "USA", \
  "notes": "Never comes in before 10am", \
  "gender": "Female", \
  "city": "San Marcos", \
  "prefix": "Ms", \
  "title": "Director", \
  "notification": "1", \
  "business_phone": "(555)555-1234", \
  "mobile_phone": "(555)555-1235", \
  "street": "123 Sesame St", \
  "state": "CA", \
  "fax": "(555)555-1236", \
  "first_name": "Jane", \
  "zip": "92001", \
  "home_phone": "(555)555-1234", \
  "last_name": "Brown", \
  "active": "true", \
  "middle_name": "Dell", \
  "time_zone": "PST", \
  "name": "Jane Brown", \
  "household": "4", \
  "user": "c3d35d82c37122005871d44d81d3ae91", \
  "primary": "false" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}"
--user "username":"password"
```

```
{
    "result": "0f5c13addb93230057c3fd441d9619b8"
}
```

連絡先 API

連絡先 API は、カスタマーサービス管理 (CSM) 連絡先レコードの取得と更新を可能にするエンドポイントを提供します。

さらに、連絡先の作成時に新しいソーシャルメディアプロファイルレコードを生成できます。

連絡先 API にはカスタマーサービスプラグイン (com.sn_customerservice) が必要であり、`now` 名前空間内で提供されます。

ユーザーが API にフルアクセスするためには、csm_ws_integration ロールが必要です。

連絡先 - GET /now/contact

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) 連絡先セットを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/contact`

デフォルトの URL：`/api/now/contact`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`sysparm_offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 応答では、ブール値のパラメーター *`hasMore`* が返されます。フィルター基準を満たす、返されるレコードがまだあるかどうかを示します。 データタイプ：数値 デフォルト：10
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットのフィルタリングに使用されるエンコードされたクエリ。 例： `sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true` エンコードされたクエリは、 順序 をサポートしています。特定のフィールドに基づいて回答を並べ替えるには、*ORDERBY* と *ORDERBYDESC* の句を *sysparm_query* で使用します。たとえば、`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` はすべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、最初に番号によって昇順に、次にカテゴリによって降順に結果を並び替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタンスは無効な部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します。この動作は *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコントロールできます。無効なクエリに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 **注:** *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リスト、スクリプト (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンスのすべてのクエリの動作を管理します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

エンドポイントでは、次の JSON または XML 要素を応答本文で返すことができます。以下で定義する (ベースシステムにある要素を定義する) 要素のリストに加えて、エンドポイントでは、連絡先 [customer_contact] テーブルに追加されたカスタムフィールドも返します。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

要素	説明
account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
agent_status	エージェントのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
建物	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
last_name	連絡先の姓。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：50
last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
経度	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_tags	システムタグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/contact?sysparm_query=account=8
6837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca&sysparm_limit=2&sysparm_offset=2>;rel="ne
xt" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": [
    {
      "country": "",
      "calendar_integration": "1",
      "last_position_update": "",
      "last_login_time": "2018-03-10 21:48:11",
      "last_login_device": "",
      "source": "",
      "sys_updated_on": "2019-01-03 05:49:34",
      "building": "",
      "web_service_access_only": "false",
      "notification": "2",
      "sys_updated_by": "system",
      "enable_multifactor_authn": "false",
      "sys_created_on": "2018-03-04 20:26:32",
      "sys_domain": "global",
      "agent_status": "",
      "state": "",
      "vip": "false",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_created_by": "admin",
    "longitude": "",
    "zip": "",
    "home_phone": "",
    "time_format": "",
    "last_login": "",
    "default_perspective": "",
    "geolocation_tracked": "false",
    "active": "true",
    "time_sheet_policy": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "phone": "+1 858 287 7834",
    "cost_center": "",
    "name": "George Warren",
    "employee_number": "",
    "gender": "",
    "city": "",
    "user_name": "george.warren",
    "failed_attempts": "",
    "edu_status": "",
    "latitude": "",
    "roles": "",
    "title": "Network Administrator",
    "sys_class_name": "customer_contact",
    "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
    "internal_integration_user": "false",
    "ldap_server": "",
    "mobile_phone": "+1 858 867 7857",
    "street": "",
    "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
    "department": "",
    "first_name": "George",
    "preferred_language": "",
    "introduction": "",
    "email": "geo.warren@mailinator.com",
    "manager": "",
    "locked_out": "false",
    "sys_mod_count": "3",
    "last_name": "Warren",
    "photo": "",
    "sys_tags": "",
    "middle_name": "",
    "time_zone": "",
    "schedule": "",
    "on_schedule": "",
    "date_format": "",
    "location": "25ab8e460a0a0bb300857304ff811af5",
    "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
  },
  {
    "country": "",
    "calendar_integration": "1",
    "last_position_update": "",
    "last_login_time": "2019-01-03 15:08:57",
    "last_login_device": "73.71.157.241",
    "source": "",
    "sys_updated_on": "2019-01-03 23:26:12",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "building": "",
    "web_service_access_only": "false",
    "notification": "2",
    "sys_updated_by": "admin",
    "enable_multifactor_authn": "false",
    "sys_created_on": "2019-01-03 15:07:25",
    "sys_domain": "global",
    "agent_status": "",
    "state": "",
    "vip": "false",
    "sys_created_by": "carl.customer",
    "longitude": "",
    "zip": "",
    "home_phone": "",
    "time_format": "",
    "last_login": "",
    "default_perspective": "",
    "geolocation_tracked": "false",
    "active": "true",
    "time_sheet_policy": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "phone": "+16692627777",
    "cost_center": "",
    "name": "Jane Contact",
    "employee_number": "",
    "gender": "",
    "city": "",
    "user_name": "Jane.Contact",
    "failed_attempts": "",
    "edu_status": "faculty",
    "latitude": "",
    "roles": "",
    "title": "",
    "sys_class_name": "customer_contact",
    "sys_id": "0a232a0013691200042ab3173244b075",
    "internal_integration_user": "false",
    "ldap_server": "",
    "mobile_phone": "",
    "street": "",
    "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
    "department": "",
    "first_name": "Jane",
    "preferred_language": "",
    "introduction": "",
    "email": "jane.contact@mailinator.com",
    "manager": "",
    "locked_out": "false",
    "sys_mod_count": "3",
    "last_name": "Contact",
    "photo": "",
    "sys_tags": "",
    "middle_name": "",
    "time_zone": "",
    "schedule": "",
    "on_schedule": "",
    "date_format": "",
    "location": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
    }
  ]
}
```

連絡先 - **GET /now/contact/{id}**

指定された カスタマーサービス管理 (CSM) 連絡先を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/contact/{id}`

デフォルトの URL：`/api/now/contact/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	取得する連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • 要求されたケースが存在しません。 • ユーザーにはケースへのアクセス権がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

エンドポイントでは、次の JSON または XML 要素を応答本文で返すことができます。以下で定義する (ベースシステムにある要素を定義する) 要素のリストに加えて、エンドポイントでは、連絡先 [customer_contact] テーブルに追加されたカスタムフィールドも返します。これらの要素の詳細については、特定のテーブル定義 [システム定義 > テーブル].

要素	説明
account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
agent_status	エージェントのステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40
建物	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：40
geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
last_login	連絡先が最後にシステムにログインした日付。 データタイプ：文字列 (日付)
last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
last_position_update	位置が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
経度	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	最大長：151
notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
source	連絡先のソース。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 最大長：255
state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
sys_class_name	連絡先レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
sys_created_by	関連付けられた連絡先レコードを最初に作成したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40
sys_created_on	関連付けられた連絡先が最初に作成された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
sys_domain	関連付けられた連絡先レコードの ServiceNow インスタンスドメイン。 データタイプ：文字列
sys_domain_path	連絡先レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/ (global)
sys_id	関連付けられた連絡先レコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	関連付けられた連絡先レコードが変更された回数。 データタイプ：数値 (整数)
sys_updated_by	関連付けられた連絡先情報を最後に更新したユーザー。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
sys_updated_on	関連付けられた連絡先情報が更新された日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60
user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/contact/ddce70866f9331003b3c498
f5d3ee417 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "country": "",
    "calendar_integration": "1",
    "last_position_update": "",
    "last_login_time": "2018-03-10 21:48:11",
    "last_login_device": "",
    "source": "",
    "sys_updated_on": "2019-01-03 05:49:34",
    "building": "",
    "web_service_access_only": "false",
    "notification": "2",
    "sys_updated_by": "system",
    "enable_multifactor_authn": "false",
    "sys_created_on": "2018-03-04 20:26:32",
    "sys_domain": "global",
    "agent_status": "",
    "state": "",
    "vip": "false",
    "sys_created_by": "admin",
    "longitude": "",
    "zip": "",
    "home_phone": "",
    "time_format": "",
    "last_login": "",
    "default_perspective": "",
    "geolocation_tracked": "false",
    "active": "true",
    "time_sheet_policy": "",
    "sys_domain_path": "/",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "phone": "+1 858 287 7834",
    "cost_center": "",
    "name": "George Warren",
    "employee_number": "",
    "gender": "",
    "city": "",
    "user_name": "george.warren",
    "failed_attempts": "",
    "edu_status": "",
    "latitude": "",
    "roles": "",
    "title": "Network Administrator",
    "sys_class_name": "customer_contact",
    "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
    "internal_integration_user": "false",
    "ldap_server": "",
    "mobile_phone": "+1 858 867 7857",
    "street": "",
    "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
    "department": "",
    "first_name": "George",
    "preferred_language": "",
    "introduction": "",
    "email": "geo.warren@mailinator.com",
    "manager": "",
    "locked_out": "false",
    "sys_mod_count": "3",
    "last_name": "Warren",
    "photo": "",
    "sys_tags": "",
    "middle_name": "",
    "time_zone": "",
    "schedule": "",
    "on_schedule": "",
    "date_format": "",
    "location": "25ab8e460a0a0bb300857304ff811af5",
    "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
  }
}
```


連絡先 - POST /now/contact

新しい カスタマーサービス管理 (CSM) 連絡先を作成します。

さらに、このエンドポイントを使用して、連絡先のソーシャルメディアプロファイルを作成できます。プロファイルを作成するには、要求本文で次のパラメーターを指定する必要があります。

- *social_channel*
- *social_handle*
- *social_handle_url*

⚠ **警告:** このエンドポイントでパラメーターの検証を実行すると、過度のオーバーヘッドが発生する可能性があるため、パラメーターの検証を実行しません。要求パラメーターが、スペルが間違っている、有効ではない、またはエンドポイントでサポートされていない場合、警告なしで無視されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/contact`

デフォルトの URL：`/api/now/contact`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
account	連絡先が関連付けられているアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブル。 データタイプ：文字列
active	システム内で連絡先がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先はアクティブです。 • false：連絡先は非アクティブです。 データタイプ：ブール デフォルト：true
agent_status	エージェントのステータス。 可能な値： • 業務時間外 • ブレーク時 • ルーティング時 • 現地 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
建物	連絡先が居住する建物を説明するレコードの sys_id。建物 [cmn_building] テーブル。 データタイプ：文字列
calendar_integration	連絡先が使用するカレンダーアプリケーション。 1：Outlook データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
city	連絡先が居住する市区町村。 データタイプ：文字列 最大長：40
company	連絡先が関連付けられている会社レコードの sys_id。会社 [core_company] テーブル。 データタイプ：文字列
cost_center	連絡先に関連付けられているコストセンターの sys_id。コストセンター [cmn_cost_center] テーブル データタイプ：文字列
country	連絡先が居住する国の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
date_format	連絡先に日付を表示する形式。 有効な値： • dd/mm/yyyy • dd-mm-yyyy • dd.mm.yyyy • mm-dd-yyyy • yyyy-mm-dd データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム日付形式)
default_perspective	連絡先のデフォルトの視点の sys_id。メニューリスト [sys_perspective] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
department	連絡先に関連付けられた部門の sys_id。部門 [cmn_department] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
edu_status	関連付けられた連絡先の学歴ステータス。 データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：faculty
email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
employee_number	連絡先の従業員番号。 データタイプ：文字列
enable_multifactor_authn	連絡先がサービスポータルにログインするためにマルチファクター認証が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：マルチファクター認証が有効 • false：マルチファクター認証が無効 データタイプ：ブール デフォルト値：false
failed_attempts	失敗したログイン試行回数。 データタイプ：数値 (整数)
first_name	連絡先の名。 データタイプ：文字列 最大長：50
gender	連絡先の性別。 データタイプ：文字列 最大長：40
geolocation_tracked	連絡先の場所が位置情報追跡によって取得されたかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	• true：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得された • false：連絡先の場所は位置情報追跡によって取得されていない データタイプ：ブール デフォルト値：false
home_phone	連絡先の自宅電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
internal_integration_user	連絡先が内部統合ユーザーかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：内部統合ユーザー • false：他のタイプのユーザー データタイプ：ブール デフォルト値：false
introduction	前書き データタイプ：文字列 最大長：40
last_login_device	コンシューマーが最後にシステムにログインしたときに使用したデバイス。 データタイプ：文字列 最大長：40
last_login_time	連絡先がシステムにログインした日時。 データタイプ：文字列 (日付/時間)
last_name	連絡先の姓。 データタイプ：文字列 最大長：50
latitude	連絡先の緯度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
ldap_server	連絡先がシステムに最後にログインしたときに使用した LDAP サーバーの sys_id。LDAP サーバー [ldap_server_config] テーブル データタイプ：文字列
location	連絡先の場所を記述するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブル データタイプ：文字列
locked_out	連絡先がロックアウトされているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：連絡先がロックアウトされました • false：連絡先はロックアウトされていません データタイプ：ブール デフォルト値：false
経度	連絡先の経度座標。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：40
manager	連絡先の直属の上司を記述したレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブル。 データタイプ：文字列
middle_name	連絡先のミドルネーム。 データタイプ：数値 (浮動小数点) 最大長：50
mobile_phone	連絡先の携帯電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
name	連絡先のフルネーム。 データタイプ：文字列 最大長：151
notification	連絡先が通知を受信するかどうかを示します。 有効な値： • 1：無効 • 2：有効

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：2
on_schedule	ディスパッチされたサービス担当者の適時性を示します。 有効な値： • Ahead：スケジュールの前倒し。 • behind_less30：スケジュール遅延 (ただし 30 分未満)。 • behind_30to60：スケジュール遅延 (30 ～ 60 分)。 • behind_more60：スケジュール遅延 (60 分超)。 • on_time：スケジュールどおり。 データタイプ：文字列 最大長：40
phone	連絡先の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
photo	連絡先の写真画像。 データタイプ：画像
preferred_language	連絡先のプライマリ言語の国コード。 データタイプ：文字列 最大長：3
roles	連絡先に関連付けられているユーザーロールのリスト。 データタイプ：文字列 最大長：40
schedule	関連する連絡先の作業スケジュールを記述するレコードの sys_id。スケジュール [cmn_schedule] テーブル。 データタイプ：文字列
social_channel	連絡先が関連付けられているソーシャルメディアチャネル (Twitter、Facebook、Instagram など)。 データタイプ：文字列
social_handle	ソーシャルメディアチャネルのユーザーハンドル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
social_handle_url	連絡先のソーシャルチャネルプロファイルへの URL。 データタイプ：文字列
source	連絡先のソース。 データタイプ：文字列 最大長：255
state	連絡先が居住する都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：40
street	連絡先の番地。 データタイプ：文字列 最大長：255
time_format	時間を表示する形式。 有効な値： • hh.mm.ss a: hh.mm.ss (12 時間制) • hh:mm:ss a: hh:mm:ss (12 時間制) • HH.mm.ss: hh.mm.ss (24 時間制) • HH:mm:ss: hh:mm:ss (24 時間制) データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：空 (システム時間形式)
time_sheet_policy	関連する連絡先のタイムシートポリシーを含むレコードの sys_id。タイムシートポリシー [time_sheet_policy] テーブル。 データタイプ：文字列
time_zone	連絡先が居住するタイムゾーン (カナダ/中央または米国/東部)。 データタイプ：文字列 最大長：40
title	マネージャー、ソフトウェア開発者、請負業者などの連絡先のビジネスタイトル。 データタイプ：文字列 最大長：60

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
user_name	連絡先のユーザー ID。 データタイプ：文字列 最大長：40
vip	関連付けられた連絡先が VIP ステータスかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：VIP • false：VIP ではない データタイプ：ブール デフォルト値：false
web_service_access_only	連絡先が Web 経由でのみサービスにアクセスできるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：Web アクセスのみ • false：利用可能なすべての方法によるアクセス データタイプ：ブール デフォルト値：false
zip	連絡先の郵便番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	新しい連絡先レコードが正常に作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
result	新しく作成された連絡先レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl -X POST "https://instance.servicenow.com/api/now/contact" \
-H 'Accept: application/json' \
-H 'Content-Type: application/json' \
-d '{ \
  "country": "USA", \
  "calendar_integration": "1", \
  "last_login_time": "2018-03-10 21:48:11", \
  "last_login_device": "tablet", \
  "building": "Cardinal West", \
  "web_service_access_only": "false", \
  "notification": "1", \
  "enable_multifactor_authn": "true", \
  "agent_status": "Travelling", \
  "state": "CA", \
  "vip": "false", \
  "longitude": "123.76", \
  "zip": "92069", \
  "home_phone": "(555)555-1234", \
  "time_format": "hh:mm:ss", \
  "geolocation_tracked": "false", \
  "active": "true", \
  "phone": "+1 858 287 7834", \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "cost_center": "1345", \
  "name": "Dora Warren", \
  "employee_number": "546", \
  "gender": "Female", \
  "city": "Orlando", \
  "user_name": "dora.warren", \
  "failed_attempts": "2", \
  "edu_status": "current", \
  "latitude": "57.6", \
  "title": "Network Administrator", \
  "internal_integration_user": "false", \
  "ldap_server": "10.24.23.123", \
  "mobile_phone": "+1 858 867 7857", \
  "street": "123 Lagume", \
  "company": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca", \
  "department": "IT", \
  "first_name": "Dora", \
  "preferred_language": "Spanish", \
  "email": "dora.warren@mailinator.com", \
  "manager": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417", \
  "locked_out": "false", \
  "last_name": "Warren", \
  "middle_name": "Dell", \
  "time_zone": "PST", \
  "schedule": "9-5", \
  "date_format": "MM/DD/YY", \
  "location": "25ab8e460a0a0bb300857304ff811af5", \
  "account": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca" \
}'
--user 'username':'password'
```

```
"result": "62fe1c97db76c3006b7a9646db961999"
```

自動翻訳

継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CICD) API

CICD API は、パイプラインを構築するための一般的なDevOpsツールとの統合を可能にするエンドポイントを提供します。これらのツールには、 Jenkins、 Azure Pipelines、 GitLab、 GitHub Actions、 Atlassian Bamboo/Pipelines などが含まれます。

これにより、インテグレーターは、ソース駆動型開発で一般的なプル/マージ要求ワークフローによって駆動されるNow PlatformアプリケーションのCICDパイプラインを構築できます。ソースコントロール、アプリケーションリポジトリ、および 自動テストフレームワーク (ATF) 機能を活用します。

CI/CD API は、次の製品および機能領域を提供します。

- ソースコントロール

  Studio のソースコントロール機能を使用して、特定のインスタンスでリモート Git リポジトリにリンクされたアプリケーションにリモート変更を適用します。

  指定されたリポジトリ URL と分岐名を使用してアプリケーションをインポートします。

- アプリケーションリポジトリ：スコープ対象のアプリケーション、グローバルアプリケーション、ServiceNow Store のスコープ対象アプリケーションのアプリケーションカスタマイズで使用でき、プラグインを介しても使用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

  - アプリケーションをインスタンスから、接続されたアプリケーションリポジトリに公開します。
  - アプリケーションを、接続されたアプリケーションリポジトリからインスタンスにインストールします。
  - ロールバックコンテキストを使用してインストールされたアプリケーションをロールバックします。
- バッチ
  - JSON マニフェストファイルを定義して複数のアプリケーションを一括インストールします。
  - ロールバックコンテキストを使用してバッチインストール全体をロールバックします。
  - 指定された結果識別子に基づいてバッチインストールの結果を返します。
- プラグイン
  - プラグインを有効化します。
  - ロールバックコンテキストを使用してプラグインをロールバックします。
- 自動テストフレームワーク (ATF) (ATF)
  - ATF テストスイートを開始します。
  - ATF テストスイートの合格/不合格の結果を取得します。
- インスタンススキャン
  - インスタンススキャン (フル、テーブルのポイントスキャン、レコードのポイントスキャン、スコープ対象のアプリケーション、更新セット、これらのアイテムの組み合わせ) を開始します。
  - インスタンススキャン実行の合格/不合格の結果を取得します。
- 進捗状況

  他のエンドポイント呼び出しによって開始されたプロセスのインスタンスで完了率を取得します。この機能を使用して、次のステップに進む前に進捗状況が完了するまでポーリングできます。

この API は非同期応答モデルを使用します。テストスイート `/sn_cicd/testsuite/run` を実行するなどのためにエンドポイントを呼び出すと、エンドポイントは関連機能を開始します (テストスイートの実行を開始するなど)。エンドポイントは、要求された関数の実行ステータス (通常は「処理待ち」)、および一意の識別子とリンクを含む応答メッセージを返します。この情報を使用して、要求の進捗状況、ソース、結果や、検出結果に関する追加情報を取得します。関数要求に応じて、次のいずれかの方法を使用して、要求に関する追加情報を取得できます。

- 開始エンドポイントによって返された `links.progress.id` パラメーターを使用して、`/sn_cicd/progress/{progress_id}` エンドポイントを呼び出します。
- 開始エンドポイントによって返された `links.result.id` パラメーターを使用して、`/sn_cicd/testsuite/results/{result_id}` エンドポイントを呼び出します。
- 開始エンドポイントによって返された `links.progress.id` パラメーターを使用して、`/sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}` エンドポイントを呼び出します。
- / `sn_cicd/sc/apply_stash/{stash_id}` エンドポイントから返された `links.stash.id` パラメーターを使用して、`sn_cicd/progress/{progress_id}` エンドポイントを呼び出します。
- 開始エンドポイントによって返された `links.<progress/result/source/findings>.url` パラメーターのリンクに移動します。

注: リポジトリからアプリケーションをインストールするには、最初に `/sn_cicd/app_repo/publish` エンドポイントを使用してアプリケーションをリポジトリに公開する必要があります。公開されると、そのリポジトリに接続されている任意のインスタンスでアプリケーションをインストールしてロールバックできます。アプリケーションが最初に公開されていない場合、インストール要求は失敗します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API を使用するには、sn_cicd.sys_ci_automation または admin ロールが必要です。

Tokyo以降、要求された操作を実行するためにインスタンス全体のロック/ミューテックスを取得する必要があるCICD API エンドポイントは、インスタンス全体のロック/ミューテックスが占有されている間は要求を拒否するのではなく、キューを使用します。複数の CICD パイプラインは、拒否を検出して再試行することなく同時に要求を行い、代わりに、以前に成功した要求の場合と同様に進行状況を監視するだけです。この動作はデフォルトでオンになっています。

admin ロールを持つユーザーは、[システム診断 >アプリケーション操作キュー] に移動して現在のキューを検査できます。ここから、管理者はキューを一時停止および再開して、インスタンス全体のロック/ミューテックスを必要とする可能性がある他の手動操作を行えるようにすることができます。

注: 一時停止すると、進行中の操作は完了するまで実行されますが、新しい操作は開始されません。API は引き続き新しい要求を受け入れ、キューに入れます。処理待ちの操作は、リストされた実行トラッカーをキャンセルステータスに更新することで、実行を開始する前にキャンセルすることもできます。何らかの理由で、com.glide.update_operation.job_cancel_timeout_minutes で指定されたタイムアウト (デフォルトは 48 時間) 後に操作を続行できない場合、その操作はキャンセルされます。

アップグレードがスケジュールされている場合、キューはプロパティ com.glide.update_operation.queue_upgrade_window によって上書きされない限り、アップグレードの 2 時間前にアップグレード一時停止状態になります。これにより、アップグレードが開始される前に進行中の操作を完了できます。

注: アップグレードが完了すると、キューは自動的に再開されます。

CICDの詳細については、以下を参照してください。

- 継続的インテグレーションと継続的デリバリー (CICD) スポーク
- https://plugins.jenkins.io/servicenow-cicd/
- https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ServiceNow.vss-services-servicenow-cicd
- https://github.com/marketplace?type=actions&query=servicenow
- https://hub.docker.com/r/servicenowdevx/sncicd-gitlab-docker

CI/CD - GET /sn_cicd/app/batch/results/{result_id}

指定された結果識別子に基づいてバッチインストールの結果を返します。

/sn_cicd/app/batch/install エンドポイントを呼び出した後にこのメソッドを呼び出し、バッチインストールの結果を取得します。*/sn_cicd/app/batch/install* エンドポイントで返される結果の *links.results.id* パラメーターで返された値を、このエンドポイントの *result_id* として使用します。インストールがまだ完了していない場合は、*/api/sn_cicd/progress/{progress_id}* エンドポイントを呼び出して、インストールの進捗状況に関する情報を取得することもできます。

URL 形式

バージョニングされた URL： `/api/sn_cicd/{api_version}/app/batch/results/{result_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app/batch/results/{result_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
result_id	結果情報を返すバッチインストールの sys_id。この値は、*`/sn_cicd/app/batch/install`* エンドポイントの *`links.results.id`* パラメーターで返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

batch_items	各オブジェクトがパッケージインストールの詳細を提供する JSON アレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"batch_items" [{`
	`  "customization_version": "String",`
	`  "id": "String",`
	`  "install_date": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "notes": "String",`
	`  "state": "String",`
	`  "status_message": "String",`
	`  "type": "String",`
	`  "url": "String",`
	`  "version": "String"`
	`}]`

batch_items.customization_version	*batch_items.type* パラメーターが *application* または *plugin* に設定され、*requested_customization_version* パラメーターがバッチインストール要求で渡された場合にのみ適用されます。インストールするストアアプリケーションまたはスコープ対象の ServiceNow プラグインのカスタマイズパッケージのバージョン (1.0.2 や 2.3 など)。 データタイプ：文字列
batch_items.id	インストールするアプリケーションの sys_id またはプラグインの識別子。開始する */sn_cicd/app/batch/install* エンドポイント呼び出しの *packages.id* パラメーターと同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
batch_items.install_date	パッケージがインストールされた日時。要求がまだ進行中の場合は空です。 データタイプ：文字列
batch_items.name	パッケージの名前。 データタイプ：文字列
batch_items.notes	パッケージに関するユーザー指定のメモ。開始する `/sn_cicd/app/batch/install` エンドポイント呼び出しの `packages.notes` パラメーターと同じです。 データタイプ：文字列
batch_items.state	関連するパッケージインストールの現在のステータス。 可能な値： • 失敗 • 進行中 • インストール済み • 無効 • 準備完了 • ロールバック済み データタイプ：文字列
batch_items.status_message	パッケージのインストールやカスタマイズ中に発生したエラーについて説明します。 データタイプ：文字列
batch_items.type	アプリケーションのタイプ。開始する `/sn_cicd/app/batch/install` エンドポイント呼び出しの `packages.type` パラメーターと同じです。 有効な値： • application • plugin データタイプ：文字列
batch_items.url	ServiceNow インスタンスの関連するパッケージインストールレコードの URL。 データタイプ：文字列
batch_items.version	インストールするパッケージのバージョン (1.0.2 や 2.3 など)。開始する `/sn_cicd/app/batch/install` エンドポイント呼び出しの `packages.requested_version` パラメーターと同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
batch_plan	インストールバッチ計画について記述します。 データタイプ：オブジェクト `"batch_plan": { "id": "String", "name": "String", "notes": "String", "state": "String", "url": "String" }`
batch_plan.id	返される結果情報の sys_id。*result_id* 要求パラメーターで渡された値と同じです。 データタイプ：文字列
batch_plan.name	ユーザーが指定したこのバッチ要求のわかりやすい名前。開始する */sn_cicd/app/batch/install* エンドポイント呼び出しの *name* パラメーターと同じです。 データタイプ：文字列
batch_plan.notes	バッチインストールが呼び出されたときに渡された注意事項。開始する */sn_cicd/app/batch/install* エンドポイント呼び出しの *notes* パラメーターと同じです。 データタイプ：文字列
batch_plan.state	バッチインストール全体の現在のステータス。 可能な値： • 失敗 • 進行中 • インストール済み • 無効 • 部分インストール • 準備完了 • ロールバック済み データタイプ：文字列
batch_plan.url	ServiceNow インスタンスのバッチインストール計画レコードの URL。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、「Release 2.0 IT Operations」というバッチインストール計画のステータスを確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app/batch/results/df24b1e9db2d0110b
5e3f6c5ae97c561 \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
  "batch_plan": {
    "name":"Release 2.0 IT Operations",
    "id": "df24b1e9db2d0110b5e3f6c5ae97c561",
    "url":
 "https://instance.service-now.com/sys_batch_install_plan.do?sys_id=df24b
1e9db2d0110b5e3f6c5ae97c561",
    "state": "Installed",
    "notes": "User specified notes for batch install plan",
  }
  "batch_items": [
    {
      "name": "com.sn_cicd_spoke",
      "type": "Application",
      "version": "7.0.0",
      "state": "Installed",
      "install_date": "2020-08-31 15:30:01",
      "id": "c159b1e9db1c0010b5e3f6c5ae961903",

 "url":"https://
instance.service-now.com/sys_batch_install_item.do?sys_id=c159b1e9db1c001
0b5e3f6c5ae961903",
      "notes" : ""
    },
    {
      "name": "Customization for CSM App1",
      "type": "Application",
      "version": "1.0.0",
      "state": "Installed",
      "install_date": "2020-08-31 15:32:01",
      "id": "e824b1e9db2d1001b5e3f6c5ae97d628",
      "url":
 "https://instance.service-now.com/sys_batch_install_item.do?sys_id=e824b
1e9db2d1001b5e3f6c5ae97d628",
      "notes": "Customized headers.",
      "customization_version": "2.1.1",
      "status_message": ""

    }]
  }
}
```

CI/CD - GET /sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}

渡された進捗 ID に関連付けられた CI/CD インスタンススキャン機能の現在の進捗状況とステータスを返します。このメソッドは、他のインスタンススキャン CI/CD エンドポイントの 1 つ (*/sn_cicd/instance_scan/full_scan* や */sn_cicd/instance_scan/point_scan* など) を呼び出した後に呼び出します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/result/{progress_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}`

サポートされている要求パラメーター

パラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
progress_id	進捗状況情報を返す関数の一意の識別子。この値は、アクションを開始したエンドポイントの *links.progress.id* パラメーター (*/sn_cicd/instance_scan/full_scan* や */sn_cicd/instance_scan/point_scan* など) で返されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

要求本文

API は、次の JSON または XML 要素を要求本文で受け入れます。

要求本文で受け入れられる要素

要素	説明
なし	

応答本文

API は、次の JSON または XML 要素を応答本文で返します。

応答本文で返される要素

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.findings	インスタンススキャン結果に関する情報を含むオブジェクト。
links.findings.label	インスタンススキャン結果に関する追加情報。
links.findings.url	チェックに違反したレコードリストを取得するために使用する URL。

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	説明
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.results	結果情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`"results": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.results.id	インスタンススキャン結果レコードの sys_id。
links.results.url	インスタンススキャンの結果を取得するために使用する URL。
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 'instance.service-now.com/api/sn_cicd/instance_scan/result/a74c70a11b780
0103d374087bc4bcb28' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```


```
{
    "result": {
        "links": {
            "findings": {
                "url":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/scan_finding?sysparm_qu
ery%3Dresult%3D6f4cf8651b7800103d374087bc4bcb41%5EORDERBYsys_id",
                "label": "First 10,000 findings"
            },
            "progress": {
                "id": "a74c70a11b7800103d374087bc4bcb28",
                "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/a74c70a11b7800103
d374087bc4bcb28"
            },
            "results": {
                "id": "a74c70a11b7800103d374087bc4bcb28",
                "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/instance_scan/result/a74c7
0a11b7800103d374087bc4bcb28"
            }
        },
        "status": "2",
        "status_label": "Successful",
        "status_message": "",
        "status_detail": "",
        "error": ""
    }
}
```


CI/CD - GET /sn_cicd/progress/{progress_id}

指定された進捗 ID に関連付けられた 継続的インテグレーションと継続的デリバリー (CICD) 関数の現在の進捗とステータスを返します。

/ *sn_cicd/app_repo/publish*、 */sn_cicd/app_repo/install*、 */sn_cicd/testsuite/run*、 または */sn_cicd/sc/apply_stash* などの非同期 CICD エンドポイントの 1 つを呼び出した後に、このメソッドを呼び出します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/progress/{progress_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/progress/{progress_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
progress_id	進捗状況情報を返す関数の一意の識別子。 この値は、*`/sn_cicd/app_repo/publish`*、*`/sn_cicd/app_repo/install`*、*`/sn_cicd/testsuite/run`*、*`/sn_cicd/sc/apply_stash`* など、アクションを開始したエンドポイントの *`links.progress.id`* パラメーターで返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

links.results	結果情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"results": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.results.id	結果情報の一意の識別子。関連する結果エンドポイントを呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.results.url	エンドポイント実行の結果 (results など) を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.source	ソース情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"source": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.source.id	実行トラッカー [sys_execution_tracker] テーブルのソースレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
links.source.url	実行トラッカー [sys_execution_tracker] テーブルのソース情報を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.stash	apply_changes操作中に作成された場合、このオブジェクトにはスタッシュに関する情報が含まれます。スタッシュが作成されなかった場合、このオブジェクトは返されません。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"stash": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.stash.id	作成されたスタッシュの一意の識別子。CI/CD - POST /sn_cicd/sc/apply_stash/{stash_id}エンドポイントを呼び出してスタッシュを適用する場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.stash.url	関連付けられたスタッシュの URL。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: テストスイート実行の進行状況の取得

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d374087bc
4bcbbd' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

変更の適用呼び出しの進行状況。

```
{
    "result": {
        "links": {
            "progress": {
                "id": "a4fae8911bdc00103d374087bc4bcbbd",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d
374087bc4bcbbd"
            },
            "source": {
                "id": "59c4c4d11b5c00103d374087bc4bcb26",
                "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_app/59c4c4d11b5c00103
d374087bc4bcb26"
            }
        },
        "status": "2",
        "status_label": "Successful",
        "status_message": "This operation succeeded",
        "status_detail": "Successfully applied commit
 1f14e11a7dedcbfa194beb5875fcdaa15ed8accb from source control",
        "error": "",
        "percent_complete": 100
    }
}
```

Example: 変更の適用呼び出しの進行状況を取得します。この場合、Studio のインスタンスに未保存/未コミットの変更があったため、保存されていない変更を保持するスタッシュが作成されました

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d374087bc
4bcbbd' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

作成されたスタッシュに関する情報提供の進捗状況。

```
{
"result": {
   "links": {
      "progress": {
         "id": "5b12eca4e0429110f8771827f8fd36a4",
         "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/5b12eca4e0429110f8
771827f8fd36a4"
       },
       "stash": {
         "id": "fc2224e4e0429110f8771827f8fd3634",
         "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/sc/apply_stash/fc2224e4e042
9110f8771827f8fd3634"
}
    },
    "status": "2",
    "status_label": "Successful",
    "status_message": "This operation succeeded",
    "status_detail": "Successfully applied commit
 fa5626f6f1f7fef677c16b4a0dd8b22ba8a6e311 from source control",
    "error": "",
    "percent_complete": 100
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}
```

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/5b12eca4e0429110f8771827f8
fd36a4' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

テストスイート実行の進捗状況 (/sn_cicd/testsuite/run)。

```
{
"result": {
   "links": {
      "progress": {
         "id": "e891389d1b1040103d374087bc4bcb75",
         "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/e891389d1b1040103d
374087bc4bcb75"
       },
       "results": {
         "id": "2891389d1b1040103d374087bc4bcb09",
         "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/testsuite/results/2891389d1
b1040103d374087bc4bcb09"
       }
    },
    "status": "2",
    "status_label": "Successful",
    "status_message": "Suite passed",
    "status_detail": "Suite passed",
    "error": "",
    "percent_complete": 100
  }
}
```

CI/CD - GET /sn_cicd/testsuite/results/{result_id}

指定された結果識別子に基づいてテストスイート実行の結果を返します。

/sn_cicd/progress/{progress_id} を呼び出した後にこのエンドポイントを呼び出して、実行されたテストスイートの結果を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL： `/api/sn_cicd/{api_version}/testsuite/results/{result_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/testsuite/results/{result_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
result_id	取得するテストスイート結果の一意の識別子。対応する *`/sn_cicd/progress/{progress_id}`* エンドポイント呼び出しがこの情報を返します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
child_suite_results	ネストされたテストスイートの結果。このコンテンツの形式は親テストと同じです。
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id を含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト
links.results	結果情報を含むオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト
links.results.id	結果情報の一意の識別子。エンドポイント `/sn_cicd/testsuite/results/{result_id}` を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.results.url	エンドポイント実行の結果 (results など) を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。
rolledup_test_error_count	エラーのあるテストの数。 データタイプ：数値
rolledup_test_failure_count	失敗したテストの数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
rolledup_test_skip_count	スキップされたテストの数。 データタイプ：数値
rolledup_test_success_count	正常に実行されたテストの数。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用します (「0：処理待ち」など)。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用します (「0：処理待ち」など)。 値： • 処理待ち • 実行中 • 成功 • 失敗 • キャンセル データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列
test_suite_duration	テストスイートの実行にかかった時間。 単位：秒 データタイプ：文字列
test_suite_name	テストスイートの名前。 データタイプ：文字列
test_suite_status	テストスイートのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/testsuite/results/2891389d1b1040103
d374087bc4bcb09' \
--request GET \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```


```
{
"result": {
   "links": {
       "results": {
           "id": "2891389d1b1040103d374087bc4bcb09",
           "url":
 "https://instance.servicenow.com/sys_atf_test_suite_result.do?sys_id=289
1389d1b1040103d374087bc4bcb09"
       }
   },
   "status": "2",
   "status_label": "Successful",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "test_suite_status": "success",
   "test_suite_duration": "1 Second",
   "rolledup_test_success_count": 1,
   "rolledup_test_failure_count": 0,
   "rolledup_test_error_count": 0,
   "rolledup_test_skip_count": 0,
   "test_suite_name": "Quick Test",
   "child_suite_results": []
 }
}
```


CI/CD - POST /sn_cicd/app/batch/install

指定された単一のバッチに 2 つ以上のパッケージをインストールします。

バッチには、次のタイプの任意の組み合わせを含めることができます。

- アプリケーション：
  - 会社が所有していない ServiceNow Store 内のスコープ対象のアプリケーション
  - 会社が所有しているアプリケーションリポジトリ内のスコープ対象のアプリケーションまたはグローバルアプリケーション
  - アプリケーションリポジトリ内のストアアプリケーションのアプリケーションカスタマイズ
- ServiceNow プラグイン：

  プラグインにパッケージ化され、アプリケーションリポジトリに公開された、スコープ対象のアプリケーションのアプリケーションカスタマイズ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このエンドポイントは非同期応答モデルを使用します。エンドポイントを呼び出すと、バッチインストール計画の実行の開始などの関連する機能が開始されます。エンドポイントは、要求された機能の実行ステータス (通常は「処理待ち」)、および一意の識別子とリンクを含む応答メッセージを返します。この情報を使用して、要求の進捗状況または結果に関する追加情報を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/app/batch/install`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app/batch/install`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
name	必須です。ユーザーが指定したこのバッチ要求のわかりやすい名前。 データタイプ：文字列
notes	バッチインストール計画に関するユーザー指定の追加メモ。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null

packages	必須です。インストールするパッケージの詳細を各オブジェクトが指定する JSON アレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"packages": [{`
	`"id": "String",`
	`"load_demo_data": Boolean,`
	`"notes": "String",`
	
	`"requested_customization_version":`
	`"String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"requested_version": "String",
	"type": "String"
	}]</pre>

packages.id	必須です。インストールするアプリケーションの sys_id またはプラグインの識別子。 データタイプ：文字列
packages.load_demo_data	パッケージのインストール時にデモデータをロードするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デモデータをロードします。 • false：デモデータをロードしません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
packages.notes	パッケージに関するユーザー指定のメモ。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null
packages.requested_customization_version	インストールするストアアプリケーションまたはスコープ対象の ServiceNow プラグインに対するアプリケーションカスタマイズのバージョン (1.0.2 や 2.3 など)。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし。このパラメーターが設定されていない場合、システムはアプリケーションのカスタマイズを検索しません。
packages.requested_version	*packages.type* が *application*に設定されている場合は必須です。*plugin* に設定されている場合は無視されます。インストールするパッケージのバージョン (1.0.2 や 2.3 など)。 データタイプ：文字列
packages.type	必須です。パッケージのタイプ。 有効な値： • application • plugin データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"links": {`
	`  "progress": {Object},`
	`  "results": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "rollback": {Object} }</pre>

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"progress": {
	  "id": "String",
	  "url": "String"
	}</pre>

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.results	結果リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"results": {
	  "id": "String",
	  "url": "String"
	}</pre>

links.results.id	バッチエンドポイント呼び出しの結果の sys_id。*links.results.url* で指定されたエンドポイントを呼び出してバッチインストールの結果をクエリする場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.results.url	バッチインストールの結果を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.rollback	バッチインストールのロールバック情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"rollback": {
	  "id": "String"
	}</pre>

links.rollback.id	インストールされたパッケージのロールバック詳細の sys_id。このパラメーターを使用すると、*/sn_cicd/app/batch/rollback/{rollback_id}* エンドポイントを使用して、指定されたパッケージのインストールを以前のバージョンにロールバックできます。 **注:** ロールバック機能は、インストールが完了した後にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、インストールする 3 つのパッケージ (タイプごとに 1 つ) を含む「Release 2.2 Deployment」と呼ばれるバッチインストールを開始します。

```
curl 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app/batch/install \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password' \
--data { "name": "Release 2.2 Deployment",
 "packages": [
   {
     "id": "syd_id_abcefghi",
     "type": "application",
     "load_demo_data": false,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "requested_version": "1.0.2",
      "notes": "User specific text to describe this application install"
    },
    {
      "id": "syd_id_defabcde",
      "type": "application",
      "requested_version": "1.0.0",
      "requested_customization_version": "2.0.7",
      "notes": "Customization for CSM App1"
    },
    {
      "id": "com.glide.some.plugin",
      "type": "plugin",
      "load_demo_data": true,
      "notes": "Plugin related notes"
    }]
 }
```

```
{
"result": {
   "links": {
     "progress": {
       "id": "c159b1e9db1c0010b5e3f6c5ae961903",
       "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/c159b1e9db1c0010b5
e3f6c5ae961903"
     },
     "results": {
       "id": "df24b1e9db2d0110b5e3f6c5ae97c561",
       "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app/batch/results/df24b1e9d
b2d0110b5e3f6c5ae97c561"
     },
     "rollback":{
       "id": "a329f82e871da64c724ba21c82a764f2"
     },
   },
   "status": "0",
   "status_label": "Pending",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/app/batch/rollback/{rollback_id}

特定のバッチインストールに関連するすべてのパッケージを以前のバージョンにロールバックします。

このエンドポイントは、*/sn_cicd/app/batch/install* エンドポイントと連携して機能します。*rollback_id*は、このエンドポイントで返される結果で提供されます。このエンドポイントが呼び出されると、関連するインストールで指定されたすべてのパッケージがロールバックされます。個々のパッケージをロールバックすることはできません。以前のバージョンがない場合、エンドポイントは関連するパッケージをアンインストールします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このエンドポイントは非同期応答モデルを使用します。エンドポイントを呼び出すと、バッチインストール計画の実行の開始などの関連する機能が開始されます。エンドポイントは、要求された機能の実行ステータス (通常は「処理待ち」)、および一意の識別子とリンクを含む応答メッセージを返します。この情報を使用して、要求の進捗状況または結果に関する追加情報を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/app/batch/rollback/{rollback_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app/batch/rollback/{rollback_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
rollback_id	インストールされたパッケージを以前のバージョンにロールバックするためのバッチインストール計画の sys_id。この値は、*`/sn_cicd/app/batch/install`* エンドポイントの *`links.rollback.id`* パラメーターで返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*`application/json`* または *`application/xml`*。 デフォルト： *`application/json`*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、指定されたインストールバッチ計画内のすべてのパッケージを以前のバージョンにロールバックします。

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app/batch/rollback/a329f82e871da64c
724ba21c82a764f2 \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
"result": {
   "links": {
     "progress": {
       "id": "c159b1e9db1c0010b5e3f6c5ae961903",
       "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/c159b1e9db1c0010b5
e3f6c5ae961903"
     },
   "status": "0",
   "status_label": "Pending",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "percent_complete": 0
  }
}
```


CI/CD - POST /sn_cicd/app_repo/install

指定されたアプリケーションを、アプリケーションリポジトリからエンドポイント呼び出しを行うインスタンスにインストールします。

このエンドポイントを使用すると、未変更とカスタマイズ済みの両方の ServiceNow ベースシステムと ServiceNow Store アプリケーション、カスタマイズされた ServiceNow プラグイン、および独自の ServiceNow アプリケーションをインストールできます。

特定のユースケースを実装するために渡す必要があるパラメーターの概要を以下に示します。指定されていないすべてのパラメーターは渡されず、関連付けられたデフォルトが使用されます。

- ベースアプリケーションのみをインストールし、対応するアプリケーションのカスタマイズをインストールしない場合は、次のようになります。
  - sys_id：カスタマイズされたベースアプリケーションの sys_id。
  - base_app_version：インストールするベースアプリケーションのバージョン。
- 指定されたバージョンのアプリケーションのカスタマイズをインストールし、推奨されるベースアプリケーションバージョンを自動的にインストールする場合は、次のようになります。推奨されるベースアプリケーションバージョンは、カスタマイズが最後に公開された時点でインスタンスにインストールされていたベースアプリケーションのバージョンです。アプリケーションのカスタマイズのすべてのバージョンに、対応する推奨のベースアプリケーションバージョンがあります。
  - sys_id：カスタマイズされたアプリケーションの sys_id。
  - auto_upgrade_base_app：true
  - version：インストールするアプリケーションのカスタマイズのバージョン。
- 最新バージョンのアプリケーションのカスタマイズと、その対応する推奨のベースアプリケーションバージョンをインストールする場合は、次のようになります。
  - sys_id：カスタマイズされたアプリケーションの sys_id。
  - auto_upgrade_base_app：true
- 最新バージョンのアプリケーションのカスタマイズをインストールするが、ベースアプリケーションをアプリケーションのカスタマイズの推奨されるベースアプリケーションバージョンにアップグレードしない場合は、次のようになります。
  - sys_id：カスタマイズされたアプリケーションの sys_id。
  - auto_upgrade_base_app：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 現在のリリースのスコープ対象 ServiceNow プラグインとともにアプリケーションのカスタマイズをインストールする。
  - scope：カスタマイズされたプラグインのスコープ、または
  - sys_id：カスタマイズされたアプリケーションの sys_id。これはプラグインの ID ではありません。
  - version：インストールするアプリケーションのカスタマイズのバージョン。
- 既にインストールされている有効化されたスコープ対象プラグインのアプリケーションのカスタマイズをインストールする場合は、次のようになります。
  - sys_id：カスタマイズされたアプリケーションの sys_id。これはプラグインの ID ではありません。
  - auto_upgrade_base_app：false
  - version：インストールするアプリケーションのカスタマイズのバージョン。

ベースプラグインはファミリーリリースごとに 1 つのバージョンのみを持つことができるため、*auto_upgrade_base_app* および *base_app_version* パラメーターはプラグインのアプリケーションカスタマイズのインストールには適用されません。インスタンスで初めてプラグインを有効にする場合は、代わりに */sn_cicd/plugin/{plugin_id}/activate* エンドポイントを使用します。

注: このエンドポイントは非同期応答モデルを使用します。エンドポイントを呼び出すと、バッチインストール計画の実行の開始などの関連する機能が開始されます。エンドポイントは、要求された機能の実行ステータス (通常は「処理待ち」)、および一意の識別子とリンクを含む応答メッセージを返します。この情報を使用して、要求の進捗状況または結果に関する追加情報を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/app_repo/install`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app_repo/install`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
auto_upgrade_base_app	アプリケーションのカスタマイズをインストールする予定であり、現在インストールされているバージョンよりも後のバージョンでベースアプリケーションが構築されている場合にのみ適用されます。 関連付けられたベースアプリケーションを新しいバージョンに自動的にアップグレードするかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	有効な値： • true：関連付けられたベースアプリケーションを自動的にアップグレードします。 • false：ベースアプリケーションを現在インスタンスにインストールされているバージョンのままにします。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
base_app_version	インストールするベースアプリケーションのバージョン。ベースアプリケーションは、ServiceNow Store で利用可能な任意のサードパーティアプリケーションです。 アプリケーションにアプリケーションのカスタマイズがない場合、またはアプリケーションにアプリケーションのカスタマイズがあり、ベースアプリケーションのみを更新する場合は、このパラメーターに、アプリケーションの更新されたバージョンを入力します。アプリケーションのカスタマイズを更新する場合は、このパラメーターを渡すのではなく、*version* パラメーターを渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null
scope	*sys_id* が指定されていない場合は必須です。アプリケーションのスコープ名 (x_aah_custom_app など)。この値は、カスタムアプリケーション [sys_app] テーブルまたはストアアプリケーション [sys_store_app] テーブルの *scope* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列
sys_id	*scope* が指定されていない場合は必須です。インストールするアプリケーションの sys_id。この値は、カスタムアプリケーション [sys_app] テーブルまたはストアアプリケーション [sys_store_app] テーブルの *Sys ID* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列
version	インストールするアプリケーションのバージョン。 データタイプ：文字列 デフォルト：*base_app_version* パラメーターが空で *auto_upgrade_base_app* パラメーターが true に設定されている場合、最新のアプリケーションのカスタマイズと、その推奨されるベースアプリケーションバージョンがインストールされます (ベースアプリケーションがダウングレードされない限り)。 *auto_upgrade_base_app* パラメーターが false の場合、アプリケーションのカスタマイズをインストールしますが、ベースアプリケーションはアップグレードしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	base_app_version パラメーターが定義されている場合、ベースアプリケーションのみをインストールします。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
rollback_version	利用可能な場合は、以前にインストールされたバージョン。利用可能でない場合は null です。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app_repo/install?sys_id=2d146921dbd
80010caf55268dc9619d8' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
     "progress": {
        "id": "c159b1e9db1c0010b5e3f6c5ae961903",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/c159b1e9db1c0010b5
e3f6c5ae961903"
      }
   },
   "status": "0",
   "status_label": "Pending",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "percent_complete": 0,
   "rollback_version": "1.1.0"
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/app_repo/publish

指定されたアプリケーションとそのすべてのアーティファクトをアプリケーションリポジトリに公開します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このエンドポイントを呼び出すときに記録対象ファイルにコミットされていない変更がある場合は、400 Bad Request 状態コードが返されます。スタジオ で手動で変更をコミットするか、CI/CD - POST /sn_cicd/sc/apply_changes エンドポイントを呼び出して変更をスタッシュすることができます。顧客アップデート [sys_update_xml] テーブルで追跡されない変更は、アプリケーションリポジトリに公開された後に自動的にコミットされます。顧客アップデート テーブルの変更のレイアウトと、このテーブルに表示されていない変更の説明については、「顧客アップデートテーブル」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/app_repo/publish`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app_repo/publish`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
dev_notes	アプリケーションとともに保存する開発者メモ。 データタイプ：文字列
scope	*sys_id*が指定されていない場合は必須です。アプリケーションのスコープ。この値は、カスタムアプリケーション [sys_app] テーブルの *scope* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列
sys_id	*scope*が指定されていない場合は必須です。リポジトリに保存するアプリケーションの sys_id。この値は、カスタムアプリケーション [sys_app] テーブルの *Sys ID* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列
version	アプリケーションを保存するバージョン。 バージョン番号が渡されると、公開プロセスはそのバージョンを使用し、ローカルアプリケーションのバージョンが異なる場合は更新します。バージョン番号が渡されない場合、公開プロセスはローカルアプリケーションの現在のバージョンを使用し、そのバージョンがアプリケーションリポジトリに存在する場合は失敗します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求は失敗しました。 考えられる問題： • アプリケーションのバージョンが正しくないか、ダウングレードです。 • アプリケーションはソースコントロールに接続されており、解決する必要があるコミットされていない変更が含まれています。 追加情報については、返されたエラーメッセージを参照してください。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

次の例は、指定されたsys_idとそのすべてのアーティファクトを含むアプリケーションをアプリケーションリポジトリに公開する方法を示しています。

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app_repo/publish?sys_id=4dd9686d1b9
800103d374087bc4bcb3d' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
       "progress": {
           "id": "d174f8e11bd800103d374087bc4bcbd9",
           "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/d174f8e11bd800103
d374087bc4bcbd9"
       }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
    "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/app_repo/rollback

指定されたバージョンへの、指定されたアプリケーションのロールバックを開始します。

注: ロールバック機能は、インストールが完了した後にのみ使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/app_repo/rollback`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/app_repo/rollback`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
scope	*sys_id*が指定されていない場合は必須です。ロールバックするアプリケーションのスコープ名。 データタイプ：文字列
sys_id	*scope* が指定されていない場合は必須です。ロールバックするアプリケーションの sys_id。 データタイプ：文字列
version	必須です。ロールバック操作後に想定されるアプリケーションのバージョン。要求がアプリのカスタマイズのインストールをロールバックすることである場合は、ロールバック操作後にシステムが持つと想定されるベースアプリケーションのバージョンにこのフィールドを設定します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/app_repo/rollback?sys_id=2d146921db
d80010caf55268dc9619d8&version=1.1.0' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
      "progress": {
          "id": "f7ddb1eddb1c0010b5e3f6c5ae9619c1",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/f7ddb1eddb1c0010b
5e3f6c5ae9619c1"
        }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
    "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/instance_scan/full_scan

インスタンスに存在するすべてのアクティブなチェックが実行されます。

インスタンススキャン で提供されるチェックを実行することも、独自のチェックを作成することもできます。詳細については、「Instance Scan」を参照してください。

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/full_scan`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/full_scan`

サポートされている要求パラメーター

パラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

要求本文

API は、次の JSON または XML 要素を要求本文で受け入れます。

要求本文で受け入れられる要素

要素	説明
なし	

応答本文

API は、次の JSON または XML 要素を応答本文で返します。

応答本文で返される要素

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。 データタイプ：オブジェクト `"links": { "progress": {Object} }`
links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	説明
	データタイプ：オブジェクト `"progress": { "id": "String", "url": "String" }`
links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl 'instance.service-now.com/api/sn_cicd/instance_scan/full_scan' \
--request POST \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
       "progress": {
           "id": "a4fae8911bdc00103d374087bc4bcbbd",
           "url":
 "https://instance.service-now/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d374
087bc4bcbbd"
       }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": ""
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/instance_scan/point_scan

指定されたレコードに対して適用可能なすべてのチェックを実行します。

たとえば、カタログアイテムに対してポイントスキャンを実行すると、カタログアイテムテーブルに適用可能なチェックのみが実行され、指定されたレコードのみがスキャンされます。

インスタンススキャン で提供されるチェックを実行することも、独自のチェックを作成することもできます。詳細については、「 Instance Scan」 を参照してください。

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/point_scan`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/point_scan`

サポートされている要求パラメーター

パラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
target_table	必須です。スキャンするレコードが存在するテーブルの名前 (「Incident」など)。 データタイプ：文字列
target_sys_id	必須です。スキャンする指定されたテーブル内のレコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。クエリパラメーターが無効であるか空です。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

要求本文

API は、次の JSON または XML 要素を要求本文で受け入れます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文で受け入れられる要素

要素	説明
なし	

応答本文

API は、次の JSON または XML 要素を応答本文で返します。

応答本文で返される要素

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。エンドポイント `/sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}` を呼び出す場合は、この値を使用します。
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。`status_label` とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 'instance.service-now.com/api/sn_cicd/instance_scan/point_scan?target_ta
ble=incident&target_sys_id=2d146921dbd80010caf55268dc9619d8' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
       "progress": {
           "id": "a4fae8911bdc00103d374087bc4bcbbd",
           "url":
 "https://instance.service-now/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d374
087bc4bcbbd"
        }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": ""
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/instance_scan/suite_scan/combo/{combo_sys_id}

以前に実行されたスイートとターゲット (スコープ対象アプリまたは更新セット) を使用してスキャンを実行します。

このエンドポイントを呼び出す前に、 */sn_cicd/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/scoped_apps* または */sn_cicd/instance_scan/suite_scan/*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

{suite_sys_id}/update_sets エンドポイントを呼び出すか、UI で スイートスキャンを実行する 必要があります。

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/suite_scan/combo/{combo_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/combo/{combo_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
combo_sys_id	実行するスキャンの sys_id。スキャンは再実行が必要な既存のスキャンである必要があります。コンボ [scan_combo] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/co
mbo/245d29cc1bd32010178aed72604bcb4b" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文 - 成功。

```
{
  "result": {
    "links": {
      "progress": {
        "id": "c08be5c71b1b2010178aed72604bcb6e",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/c08be5c71b1b201017
8aed72604bcb6e"
      }
    },
    "status": "0",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": ""
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/scoped_apps

スコープ対象のアプリのリストに対して、スイート内のすべてのアクティブなチェックを実行します。

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/scoped_apps`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/scoped_apps`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
suite_sys_id	実行する スイート のsys_id。スイート [scan_check_suite] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
app_scope_sys_ids	必須です。スキャンするスコープ対象アプリケーションの sys_id のリスト。アプリケーション [sys_scope] テーブルにあります。アレイを空のアレイにすることはできません。 データタイプ：アレイ `app_scope_sys_ids: ["String", "String", "String"]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。 データタイプ：オブジェクト `"progress": { "id": "String", "url": "String" }`
links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、スコープ対象の 1 つのアプリケーションに対して、スイート内のすべてのアクティブなチェックを実行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/83
3655cc1b94101046e87733cd4bcb4e/scoped_apps" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{app_scope_sys_ids: [\"078e8020950f12a215a92e8ad9b346e0\"]}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文 - 成功。

```
{
  "result": {
    "links": {
      "progress": {
        "id": "147fc14b1b572010178aed72604bcbca",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/147fc14b1b57201017
8aed72604bcbca"
      }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": ""
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/update_sets

更新セットのリストに対して、スイート内のすべてのアクティブなチェックを実行します。

注: このエンドポイントは、*CICD* インスタンススキャン実行サービス API の一部であり、sn_cicd 名前空間で使用されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/update_sets`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/{suite_sys_id}/update_sets`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
suite_sys_id	実行する スイート のsys_id。スイート [scan_check_suite] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
update_set_sys_ids	必須です。update_set_sys_ids 更新セット [sys_update_set] テーブルにあります。アレイを空のアレイにすることはできません。 データタイプ：アレイ `update_set_sys_ids: ["String", "String", "String"]`

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	進捗状況の詳細の一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/instance_scan/result/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、1 つの更新セットに対して、スイート内のすべてのアクティブなチェックを実行します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/instance_scan/suite_scan/83
3655cc1b94101046e87733cd4bcb4e/update_sets" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{update_set_sys_ids: [\"7abef63c1b572010178aed72604bcbfd\"]}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文 - 成功。

```
{
  "result": {
    "links": {
      "progress": {
        "id": "d27511031b972010178aed72604bcb72",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/d27511031b97201017
8aed72604bcb72"
      }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": ""
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI/CD - POST /sn_cicd/plugin/{plugin_id}/activate

指定されたプラグインを有効にします。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/plugin/{plugin_id}/activate`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/plugin/{plugin_id}/activate`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
plugin_id	プラグインの一意の識別子。この識別子は、「ID」という名前で識別され、目的のプラグインのカード内の [プラグイン] ページで見つけることができます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.results	結果情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"results": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.results.id	結果情報の一意の識別子。関連する結果エンドポイントを呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.results.url	エンドポイント実行の結果 (results など) を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/plugin/com.glide.web_service_aggreg
ate/activate' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
      "progress": {
          "id": "5b3f052ddb580010caf55268dc961963",
          "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/5b3f052ddb580010c
af55268dc961963"
       }
   },
   "status": "0",
   "status_label": "Pending",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/plugin/{plugin_id}/rollback

指定されたプラグインを、以前にインストールされているバージョンにロールバックします。以前のバージョンがインストールされていない場合は、エラーが返されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}plugin/{plugin_id}/rollback`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/plugin/{plugin_id}/rollback`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
plugin_id	プラグインの一意の識別子。この識別子は、「ID」という名前で識別され、目的のプラグインのカード内の [プラグイン] ページで見つけることができます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl
 'instance.servicenow.com/api/sn_cicd/plugin/com.glide.web_service_aggreg
ate/rollback' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
      "progress": {
         "id": "6185dd61db980010caf55268dc961916",
          "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/6185dd61db980010c
af55268dc961916"
        }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/sc/apply_changes

リモートソースコントロールから指定されたローカルアプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズへの変更の適用を開始します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/sc/apply_changes`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/sc/apply_changes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
auto_upgrade_base_app	アプリのカスタマイズに変更が適用され、Git リポジトリの最新のコミットが現在ローカルインスタンスにインストールされているベースアプリケーションのバージョンよりも新しいバージョンで構築されている場合にのみ適用されます。ベースアプリケーションを新しいバージョンに自動アップグレードするかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true
branch_name	アプリケーションを取得するソースコントロールシステム内の分岐の名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソースコントロールシステムで指定されたデフォルトの分岐。
scope	*sys_id*が指定されていない場合は必須です。変更を適用するアプリケーションのスコープ名 (x_aah_custom_app など)。この値は、アプリのカスタマイズのカスタムアプリケーション [sys_app] テーブルまたはストアアプリケーション [sys_store_app] テーブルの *scope* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sys_id	*scope* が指定されていない場合は必須です。変更を適用するアプリケーションの sys_id。この値は、アプリのカスタマイズのカスタムアプリケーション [sys_app] テーブルまたはストアアプリケーション [sys_store_app] テーブルの *Sys ID* フィールドで見つけることができます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	データタイプ：オブジェクト
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	操作が失敗した理由に関する追加情報。操作が成功した場合は空です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/sc/apply_changes?app_sys_id
=043db024db737300a9a754e4dc961915' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
       "progress": {
           "id": "a4fae8911bdc00103d374087bc4bcbbd",
           "url":
 "https://instance.service-now/api/sn_cicd/progress/a4fae8911bdc00103d374
087bc4bcbbd"
       }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
    "percent_complete": 0
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI/CD - POST /sn_cicd/sc/apply_stash/{stash_id}

以前に生成された変更の「スタッシュ」をリモートソースコントロールから指定されたローカルアプリケーションまたはアプリケーションのカスタマイズに適用し始めます。

このエンドポイントは、 POST/api/sn_cicd/sc/apply_changes および CI/CD - GET /sn_cicd/progress/{progress_id} エンドポイントと連携して機能します。*POST /api/sn_cicd/sc/apply_changes* エンドポイントが呼び出されると、関連付けられたインスタンスのApp Engine Studioの未保存またはコミットされていない変更は、スタッシュ としてデータベースに保存されます。

変更が最初に適用されたときにスタッシュが作成されたかどうかを判断する方法は、 *GET /sn_cicd/progress/{progress_id}* エンドポイントを呼び出すことです。スタッシュが作成された場合は、スタッシュのsys_id (*stash_id*) と URL が返されます。関連付けられたアプリケーションにスタッシュされた変更を適用するには、進行状況エンドポイントによって返された*stash_id*を使用して、この*apply_stash*エンドポイントを呼び出します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_cicd/{api_version}/sc/apply_stash/{stash_id}`

デフォルト URL: `/api/sn_cicd/sc/apply_stash/{stash_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
stash_id	適用するスタッシュの一意の識別子。この値は、対応する CI/CD - GET /sn_cicd/progress/{progress_id} エンドポイント呼び出しの *links.stash.id*パラメーターで返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"links": {
	  "progress": {Object}
	}</pre>

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"progress": {
	  "id": "String",
	  "url": "String"
	}</pre>

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、*stash_id*fc2224e4e0429110f8771827f8fd3634 の *apply_stash* エンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/sc/apply_stash/fc2224e4e042
9110f8771827f8fd3634"\
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content_Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

スタッシュは処理待ちであるため、まだ適用されていません。

```
{
  "result": {
    "links": {
      "progress": {
        "id": "6b04ec28e0429110f8771827f8fd36a4",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/6b04ec28e0429110f8
771827f8fd36a4"
      }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
    "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/sc/import

指定されたリポジトリ URL と分岐名を使用してアプリケーションをインポートします。

このエンドポイントを使用して呼び出し元インスタンスのソースコントロールからアプリケーションをインポートすると、/sn_cicd/sc/apply_changes などの 継続的インテグレーションと継続的デリバリー (CICD) エンドポイントを使用してアプリケーションを上位環境に展開できます。

注: このエンドポイントを使用する前に、[ソースコントロールにリンク] を使用して別のインスタンスによってセットアップされた Git リポジトリが利用可能である必要があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/sc/import`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/sc/import`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
auto_upgrade_base_app	インポートされるアプリケーションがアプリのカスタマイズであり、Git リポジトリの最新のコミットが現在ローカルインスタンスにインストールされているベースアプリケーションのバージョンよりも新しいバージョンで構築されている場合にのみ適用されます。 ベースアプリケーションを新しいバージョンに自動アップグレードするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ベースアプリケーションを自動アップグレードします。 • false：ベースアプリケーションを自動アップグレードしません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：True
branch_name	必須です。アプリケーションのインポート元であるソースコントロールシステム内の分岐の名前。 データタイプ：文字列
credential_sys_id	Git リポジトリにアクセスできる資格情報の sys_id。 データタイプ：文字列 デフォルト：*repo_url* パラメーターが https リポジトリか ssh リポジトリかに応じて、システムプロパティ glide.source_control.default_basic_auth_credential_sys_id または glide.source_control.default_ssh_private_key_credential_sys_id に設定された sys_id。デフォルトでは、このプロパティは空です。
mid_server_sys_id	このアプリケーションのソースコントロール操作に使用する MID サーバーの sys_id。 データタイプ：文字列 デフォルト：空の文字列/NULL
repo_url	必須です。アプリケーションのインポート元の Git リポジトリの URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"links": {`
	`  "progress": {Object}`
	`}`

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"progress": {`
	`  "id": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル) データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、`https://code.devsnc.com/some-user/ncRegrApp1.git` の `main_branch`にあるアプリケーションをインポートする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/sc/import?repo_url=https%3A
%2F
%2Fcode.devsnc.com%2Fsome-user%2FncRegrApp1.git&branch_name=main_branch&c
redential_sys_id=af9b6d6180feb010f8779c30d4dd6b6b" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'admin':'admin'
```

インポートの進捗状況を返します。

```
{
  "result": {
    "links": {
      "progress": {
        "id": "a18c06ea64f23010f87769cd983d4574",
        "url":
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/progress/a18c06ea64f23010f8
7769cd983d4574"
      }
    },
    "status": "0",
    "status_label": "Pending",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "",
    "percent_complete": 0
  }
}
```

CI/CD - POST /sn_cicd/testsuite/run

指定された自動テストスイートを開始します。テストスイートは、エンドポイントが呼び出されたインスタンスで実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 実行しているスイートに UI テストが含まれている場合は、スケジュール設定済みのクライアントテストランナーが開いているか、ヘッドレステストランナーの実行を設定できる必要があります。詳細については、「自動テストフレームワーク (ATF) のヘッドレスブラウザー」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_cicd/{api_version}/testsuite/run`

デフォルトの URL：`/api/sn_cicd/testsuite/run`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
browser_name	クライアントテストの実行に使用するブラウザーの名前。この値は、スケジュール済みのクライアントテストランナーで指定された値と一致する必要があります。スケジュール済みのクライアントテストランナーの詳細については、「スケジュール済みのクライアントテストランナー」を参照してください。 データタイプ：文字列 有効な値：(すべて小文字にする) • any • chrome • firefox • edge • ie • safari デフォルト：any
browser_version	テストの実行に使用する *browser_name* で指定されたブラウザーのバージョンの開始値。たとえば、「9」と入力すると、すべての「9.x.x.x」バージョンが有効になります。この値は、スケジュール済みのクライアントテストランナーで指定された値と一致する必要があります。 データタイプ：文字列
is_performance_run	オプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	テストスイートをパフォーマンステスト (パフォーマンス実行) として実行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:テストスイートをパフォーマンステストとして実行します。 • false:インスタンスの標準的な機能テストのデフォルトの動作でテストスイートを実行します。 デフォルト値：false
os_name	テストスイートを実行するオペレーティングシステムの名前。この値は、スケジュール済みのクライアントテストランナーで指定された値と一致する必要があります。 データタイプ：文字列
os_version	テストスイートを実行するオペレーティングシステムのバージョンの開始値。たとえば、「8」と入力すると、すべての「8.x.x.x」バージョンが有効になります。この値は、スケジュール済みのクライアントテストランナーで指定された値と一致する必要があります。 データタイプ：文字列
run_in_cloud	オプション。テストスイートを Cloud Runner で実行するか手動で実行するかを示すフラグ。 有効な値： • true:クラウドランナーを使用してテストスイートを実行します。 • false:手動テスト ランナーを使用してテストスイートを実行します。 デフォルト値：false
test_suite_sys_id	*test_suite_name* が指定されていない場合は必須です。実行するテストスイートの sys_id。この値はテスト [sys_atf_test_suite] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
test_suite_name	*test_suite_sys_id* が指定されていない場合は必須です。実行するテストスイートの名前。この値はテスト [sys_atf_test_suite] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザー資格情報が正しくありません。
403	禁止されました。ユーザーがアドミンでないか、sn_cicd.sys_ci_automation ロールがありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は非アクティブです。
409	競合。要求アイテムが一意ではありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
error	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
links	応答に関連付けられたすべてのリンクと sys_id。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"links": {
	  "progress": {Object}
	}</pre>

links.progress	進捗状況リンク情報を記述します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"progress": {
	  "id": "String",
	  "url": "String"
	}</pre>

links.progress.id	操作の進捗状況の詳細を取得するために使用する一意の識別子。エンドポイント */sn_cicd/progress/{progress_id}* を呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.progress.url	進捗状況の詳細を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列

links.results	結果情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"results": {
	  "id": "String",
	  "url": "String"
	}</pre>

links.results.id	結果情報の一意の識別子。関連する結果エンドポイントを呼び出す場合は、この値を使用します。 データタイプ：文字列
links.results.url	エンドポイント実行の結果 (results など) を取得するために使用する URL。 データタイプ：文字列
percent_complete	完了した要求の割合。 データタイプ：数値
status	数値による実行ステータス。*status_label* とともに使用されます。 値： • 0 (処理待ち) • 1 (実行中) • 2 (成功) • 3 (失敗) • 4 (キャンセル)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
status_detail	現在のステータスに関する追加情報。 データタイプ：文字列
status_label	実行ステータスの説明。*status* とともに使用されます。 値： • キャンセル • 失敗 • 保留 • 実行中 • 成功 データタイプ：文字列
status_message	現在のステータスの説明。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_cicd/testsuite/run?test_suite_sy
s_id=632e43900b20220050192f15d6673a7e' \
--request POST \
--header 'Accept: application/json' \
--user 'username':'password'
```

```
{
"result": {
   "links": {
       "progress": {
           "id": "0578a8d91bdc00103d374087bc4bcbcc",
           "url":
 "https://instance.service-now.com/api/sn_cicd/progress/0578a8d91bdc00103
d374087bc4bcbcc"
        }
   },
   "status": "0",
   "status_label": "Pending",
   "status_message": "",
   "status_detail": "",
   "error": "",
   "percent_complete": 0
  }
}
```

失敗応答:

```
{
"result": {
    "status": "3",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "status_label": "Failed",
    "status_message": "",
    "status_detail": "",
    "error": "Scheduled test/suite execution is disabled. Change the
 value of property 'sn_atf.schedule.enabled' to true to enable it"
  }
}
```

CSM 添付ファイル API

CSM 添付ファイル API は、内部と外部の両方のユーザーが、テーブルに関連付けられた添付ファイルのアップロード、ダウンロード、削除や、添付ファイルメタデータの取得を行えるようにするエンドポイントを提供します。

glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables システムプロパティで指定されたテーブルに関連付けられた添付ファイルのみが、関連付けられたエンドポイント呼び出しで有効です。ログインしているユーザーは誰でも (snc_internal と snc_external の両方)、この API にアクセスできます。ゲストとパブリックユーザーにはアクセス権がありません。

この API は、アップロードされたファイルに関するシステム制限 (最大ファイルサイズや許可された添付ファイルタイプなど) に従います。これらの設定は、*com.glide.attachment.max_size* および *glide.attachment.extensions* プロパティを使用して制御できます。

デフォルトでは、非認証ユーザーおよび snc_external ユーザーに対して、この API には 1 時間当たり 500 のレート制限があります。レート制限の詳細については、「受信 REST API レート制限」を参照してください。

CSM 添付ファイル - DELETE /now/attachment_csm/{sys_id}

指定した添付ファイルを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	削除する添付ファイルの sys_id。この添付ファイルは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* プロパティ内にリストされているテーブルの 1 つに属している必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	成功。要求が正常に完了したことを示します。
400	要求が正しくありません。このテーブルの添付ファイルにアクセスできない可能性があることを示します。関連付けられたテーブルが *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティに含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/attachment_csm/615ea769c0a80
166001cf5f2367302f5" \
--request DELETE \
--user 'username':'password'
```

```
None
```

CSM 添付ファイル - GET /now/attachment_csm

複数の添付ファイルのメタデータを返します。

> **注:** フルネームまたは短縮名 (*sysparm_* プリフィックスなし) を使用して、すべての sysparm クエリパラメーターを参照できます。たとえば、*sysparm_limit* の場合は *limit* も使用できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメータ用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコード返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えま **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります データタイプ：数値 デフォルト：10000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	必須です。添付ファイルの検索に使用するエンコードクエリー。 このパラメーターには少なくとも `sysparm_query=table_name=<table>` が含まれている必要があります。ここで *<table>* には、システムプロパティ [sys_properties] テーブルにある *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* プロパティで指定されたテーブルのみをきます。例：`sysparm_query=file_name=kb_knowledge`。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列であ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator><col_name><operato` のように、複数のエントリを含めることができます。 例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^active=true)` エンコードされたクエリは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィールドに基づいて回替えるには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用します。 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESCcategory` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果を番号で昇順に並べ替えテゴリで降順に並べ替えます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明

result	要求された添付ファイルのメタデータ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"result": {
	  "average_image_color": "String",
	  "compressed": "String",
	  "content_type": "String",
	  "created_by_name": "String",
	  "download_link": "String",
	  "file_name": "String",
	  "image_height": "String",
	  "image_width": "String",
	  "size_bytes": "String",
	  "size_compressed": "String",
	  "sys_created_by": "String",
	  "sys_created_on": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "sys_mod_count": "String",
	  "sys_tags": "String",
	  "sys_updated_by": "String",
	  "sys_updated_on": "String",
	  "table_name": "String",
	  "table_sys_id": "String",
	  "updated_by_name": "String"
	}</pre>

result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm?sysparm_limi
t=1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": [
    {
      "table_sys_id": "5054b6f8c0a800060056addcf551ecf8",
      "size_bytes": "462",
      "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm/615ea769c0a8
0166001cf5f2367302f5/file",
      "sys_updated_on": "2009-05-21 04:12:21",
      "sys_id": "615ea769c0a80166001cf5f2367302f5",
      "image_height": "",
      "sys_created_on": "2009-05-21 04:12:21",
      "file_name": "blocks.swf",
      "sys_created_by": "glide.maint",
      "compressed": "true",
      "average_image_color": "",
      "sys_updated_by": "glide.maint",
      "sys_tags": "",
      "table_name": "content_block_programmatic",
      "image_width": "",
      "sys_mod_count": "0",
      "content_type": "application/x-shockwave-flash",
      "size_compressed": "485",
      "created_by_name": "John Smith",
      "updated_by_name": "John Smith"
    }
  ]
}
```

自動翻訳

CSM 添付ファイル - GET /now/attachment_csm/{sys_id}/file

指定された添付ファイル sys_id の添付ファイルを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm/{sys_id}/file`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm/{sys_id}/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	添付ファイル [sys_attachment] テーブルにリストされている添付ファイルの sys_id。この添付ファイルは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* プロパティ内にリストされているテーブルの 1 つに属している必要があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。たとえば、JPEG または PNG 画像ファイルのみを受け入れるには、`image/jpeg` または `image/png` を使用します。すべての画像タイプを許可するには `image/*`を指定し、あらゆるファイルタイプを許可するには `*/*` を指定します。 デフォルト：*/*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
X-Attachment-Metadata	返されるファイルに関するメタデータ (サイズ、名前、ファイルタイプなど)。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。このテーブルの添付ファイルにアクセスできない可能性があることを示します。関連付けられたテーブルが *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティに含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
	添付ファイルのコンテンツ。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/attachment_csm/<attachment_sys_id>/file" \
--request GET \
--header "Accept:*/*" \
--user 'username':'password'
```

```
Recipient list Internal users Sheet1
sys_id email
 Recipient list Internal users.xlsx
```

CSM 添付ファイル - GET /now/attachment_csm/{sys_id}

特定の添付ファイル sys_id を持つ添付ファイルのメタデータを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	メタデータを返す添付ファイルレコードの sys_id。この添付ファイルは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* プロパティ内にリストされているテーブルの 1 つに属している必要があります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。このテーブルの添付ファイルにアクセスできない可能性があることを示します。関連付けられたテーブルが *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティに含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が正しくありません。
404	見つかりません。指定された添付ファイルが存在しないか、現在のユーザーにそのファイルのアクセス権限がないことを示します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
result	要求された添付ファイルのメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "average_image_color": "String", "compressed": "String", "content_type": "String", "created_by_name": "String", "download_link": "String", "file_name": "String", "image_height": "String", "image_width": "String", "size_bytes": "String", "size_compressed": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String", "sys_tags": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "table_name": "String", "table_sys_id": "String", "updated_by_name": "String" }
result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。 データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/attachment_csm/615ea769c0a80
166001cf5f2367302f5" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "table_sys_id": "5054b6f8c0a800060056addcf551ecf8",
    "size_bytes": "462",
    "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm/615ea769c0a8
0166001cf5f2367302f5/file",
    "sys_updated_on": "2019-05-21 04:12:21",
    "sys_id": "615ea769c0a80166001cf5f2367302f5",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2019-05-21 04:12:21",
    "file_name": "blocks.swf",
    "sys_created_by": "glide.maint",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "glide.maint",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "content_block_programmatic",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "application/x-shockwave-flash",
    "size_compressed": "485",
    "created_by_name": "John Smith",
    "updated_by_name": "John Smith"
  }
}
```


CSM 添付ファイル - POST /now/attachment_csm/file

指定されたバイナリファイルを、指定されたレコードの添付ファイルとしてアップロードします。

エンドポイントは、保存された添付ファイルのメタデータも返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm/file`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm/file`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
encryption_context	暗号化コンテキストレコードの sys_id。指定された暗号化コンテキストを持つユーザーのみが添付ファイルにアクセスできるようにするには、この

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	パラメーターを指定します。暗号化コンテキスト レコードの詳細については、「 列レベル暗号化 」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：添付ファイルはどの暗号化コンテキストでも暗号化されません。
file_name	必須です。添付ファイルに付ける名前。 注: 添付するファイルは、渡されるクエリパラメーターリストの最後のパラメーターの後に指定する必要があります。 データタイプ：文字列
table_name	必須です。ファイルを添付するテーブルの名前。このテーブルは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティ内にリストされている必要があります。 データタイプ：文字列
table_sys_id	必須です。指定されたテーブルの、ファイルを添付するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
<文字列>	指定されたレコードに添付するバイナリファイルへのパス。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	必須です。ポストするファイルのデータ形式。たとえば、JPEG または PNG 画像ファイルのみをポストするには、`image/jpeg` または `image/png` を使用します。すべての

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	画像タイプを許可するには `image/*`を指定し、あらゆるファイルタイプを許可するには `*/*` を指定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。このテーブルの添付ファイルにアクセスできない可能性があることを示します。関連付けられたテーブルが *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティに含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。*table_name* および *table_sys_id* パラメーターで指定されたレコードが存在しないか、現在のユーザーがアクセスできないことを示します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明

result	要求された添付ファイルのメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "average_image_color": "String",`
	`  "compressed": "String",`
	`  "content_type": "String",`
	`  "created_by_name": "String",`
	`  "download_link": "String",`
	`  "file_name": "String",`
	`  "image_height": "String",`
	`  "image_width": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"size_bytes": "String", "size_compressed": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String", "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "table_name": "String", "table_sys_id": "String", "updated_by_name": "String" }
result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。 データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

/images ディレクトリにある .jpg ファイル (Issue_screenshot.jpg) をアップロードする方法を示します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/attachment_csm/file?table_name=incident&table_sys_id=d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6&file_name=Issue_screenshot" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type: image/jpeg" \
--user "username":"password" \
--data-binary "@/images/Issue_screenshot.jpg"
```

```
{
  "result": {
    "table_sys_id": "d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6",
    "size_bytes": "36597",
    "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm/6ea10fe64f411200adf9f8e18110c739/file",
    "sys_updated_on": "2019-01-22 15:14:07",
    "sys_id": "6ea10fe64f411200adf9f8e18110c739",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2019-01-22 15:14:07",
    "file_name": "Issue_screenshot",
    "sys_created_by": "username",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "username",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "incident",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "image/jpeg",
    "size_compressed": "25130",
    "created_by_name": "John Smith",
    "updated_by_name": "John Smith"
  }
}
```

CSM 添付ファイル - POST /now/attachment_csm/upload

マルチパート添付ファイルをアップロードします。

マルチパート POST メソッドはパラメーターを受け入れません。フォーム本体内でテーブル名とレコード sys_id 値を指定する必要があります。multipart/form-data 要求のサンプルについては、以下の cURL の例を参照してください。

注: マルチパート POST を使用する場合は、ファイルコンテンツがメッセージの最後の部分のみに含まれていることを確認してください。前の部分には、テーブル名やレコード sys_id などのメタデータのみを含める必要があります。

添付ファイルをアップロードするために multipart/form-data POST 要求を送信する場合は、添付ファイルデータを URL パラメーターまたは要求本文ではなく、フォーム本文に含めます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須の値

値	説明
Content-Type	マルチパートアップロードのメッセージ本文に含まれる、ファイルのコンテンツタイプ。 **注:** フォームデータ内ではなく、POST メッセージのファイル部分内で Content-Type を定義する必要があります。 データタイプ：文字列
table_name	ファイルを添付するテーブルの名前。このテーブルは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* プロパティ内に指定されている必要があります。 データタイプ：文字列
table_sys_id	指定されたテーブルの、ファイルを添付するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/attachment_csm/upload`

デフォルトの URL：`/api/now/v1/attachment_csm/upload`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。マルチパート POST メソッドを使用する場合は、この値を `multipart/form-data` に設定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
場所	ServiceNow プラットフォームインスタンスの新しい添付ファイルの URL。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に完了したことを示します。
400	要求が正しくありません。このテーブルの添付ファイルにアクセスできない可能性があることを示します。関連付けられたテーブルが *glide.rest.attachment_csm_api.allowed_tables* システムプロパティに含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明

result	要求された添付ファイルのメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "average_image_color": "String",`
	`  "compressed": "String",`
	`  "content_type": "String",`
	`  "created_by_name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	"download_link": "String", "file_name": "String", "image_height": "String", "image_width": "String", "size_bytes": "String", "size_compressed": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String", "sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "table_name": "String", "table_sys_id": "String", "updated_by_name": "String" }
result.average_image_color	添付ファイルが画像の場合は、すべての色の合計。 データタイプ：文字列 単位：RGB またはピクセル数。
result.compressed	添付ファイルが圧縮されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ファイルは圧縮されています。 • false：ファイルは圧縮されていません。 データタイプ：文字列
result.content_type	関連付けられた添付ファイルのコンテンツタイプ (image、 jpeg、 application/x-shockflow-flash など)。 データタイプ：文字列
result.created_by_name	添付ファイルを最初に作成したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列
result.download_link	ServiceNow インスタンスの添付ファイルのダウンロード URL。 データタイプ：文字列
result.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
result.image_height	画像ファイルの場合、画像の高さ。 データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.image_width	画像ファイルの場合、画像の幅。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列 単位：ピクセル
result.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.size_compressed	圧縮された添付ファイルのサイズ。ファイルが圧縮されていない場合は、空になります。 データタイプ：文字列 単位：バイト
result.sys_created_by	添付ファイルを最初に作成したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_created_on	添付ファイルが最初にインスタンスに保存された日時。 データタイプ：文字列
result.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.sys_mod_count	添付ファイルが変更された (インスタンスにアップロードされた) 回数。 データタイプ：文字列
result.sys_tags	添付ファイルに関連付けられているシステムタグ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_by	添付ファイルを最後に更新したエンティティ。 データタイプ：文字列
result.sys_updated_on	添付ファイルが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.table_name	添付ファイルが関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.table_sys_id	添付ファイルに関連付けられたテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列
result.updated_by_name	添付ファイルを最後に更新したエンティティのフルネーム。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm/upload"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:multipart/form-data" \
--user "username":"password" \
 -F "table_name=incident" \
 -F "table_sys_id=d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6" \
 -F "uploadFile=@/image/banner-CS0001345_v1_1.jpeg"
```


```
{
  "result": {
    "table_sys_id": "d71f7935c0a8016700802b64c67c11c6",
    "size_bytes": "36597",
    "download_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/attachment_csm/994adbc64f51
1200adf9f8e18110c796/file",
    "sys_updated_on": "2019-02-02 14:00:21",
    "sys_id": "994adbc64f511200adf9f8e18110c796",
    "image_height": "",
    "sys_created_on": "2019-02-02 14:00:21",
    "file_name": "banner-CS0001345_v1_1.jpeg",
    "sys_created_by": "username",
    "compressed": "true",
    "average_image_color": "",
    "sys_updated_by": "username",
    "sys_tags": "",
    "table_name": "incident",
    "image_width": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "content_type": "image/jpeg",
    "size_compressed": "25130",
    "created_by_name": "John Smith",
    "updated_by_name": "John Smith"
  }
}
```


CTI API

CTI API は、コンピューター電話統合 (CTI) プロバイダーがクラウドコールセンターフレームワークと対話できるようにするエンドポイントを提供します。

この API を使用して、インテグレーターは次のことができます。

- クラウドコールセンターフレームワーク内のカスタム操作ハンドラーを使用して、CTI 操作を呼び出します。
- CCP プロバイダーから ServiceNow インスタンスにイベントを渡します。
- 指定されたエージェント呼び出しのトランスクリプトと記録をレンダリングします。

この API は *sn_cti_core* 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、Cloud Call Center Core (sn_cti_core) アプリケーションをインストールする必要があります。このインストールの詳細については、「クラウドコールセンターアプリケーションのインストール」を参照してください。

クラウドコールセンターの詳細については、「クラウドコールセンター」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CTI_API - GET /sn_cti_core/cti_api/call_analysis/{interaction_sys_id}

指定されたエージェント呼び出しのトランスクリプトと記録をレンダリングします。

コンポーネントは、エージェントおよびマネージャーのワークスペースでこのエンドポイントを使用して、関連するエージェント呼び出しのトランスクリプトと記録をレンダリングします。このエンドポイントにアクセスするには、呼び出しで渡すユーザー資格情報に workspace_user、interaction_agent、または admin ロールが必要です。

このエンドポイントには、呼び出しデータのレンダリングを行う対応する拡張ポイント、sn_cti_core.CTICallAnalysisExtractor があります。ベースシステムは、Amazon Connect の実装を提供します。実装が異なる場合は、このエンドポイントを利用する前に、この拡張ポイントをカスタマイズする必要があります。また、このエンドポイントによって返される応答パラメーターは、この拡張ポイントの実装に対応しています。拡張ポイントの実装の詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」および「クラウドコールセンターの拡張ポイント」を参照してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_cti_core/cti_api/call_analysis/{interaction_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
interaction_sys_id	トランスクリプトと記録をレンダリングするエージェント呼び出しの sys_id。インタラクション [interaction] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
多様	sn_cti_core.CTICallAnalysisExtractor 拡張ポイントの実装によって異なります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
sn_cti_core.CTICallAnalysisExtractor 拡張ポイントの実装によって異なります。	

Example: cURL 要求

次の例では、特定のエージェント呼び出しのレンダリングを要求します。

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/sn_cti_core/cti_api/call_analysis/88f2d9b7dbd7101058f05214dc96192a \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password'
```

sn_cti_core.CTICallAnalysisExtractor 拡張ポイントで指定された処理に基づいてレンダリングされる呼び出しデータ。

```
{
  "result":{
    "status":"success",
    "recordingData":{
      "recordingUrls":[

 "https://instance.awsapps.com/connect/get-recording?format=wav&callLegId=7626da7f-e083-4085-b77a-85bfea18fe24",

 "https://s3.console.aws.amazon.com/s3/object/connect-60f8665899b6/conne
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ct/instance/CallRecordings/2020/09/23/7626da7f-e083-4085-b77a-85bfea18fe24_20200923T18%3A24_UTC.wav"
      ],
      "status":"success"
    },
    "transcriptData":{
      "transcript":[
        {
          "content":"Okay. Hello? Mhm. Okay, okay.",
          "beginOffsetMillis":3940,
          "participantId":"CUSTOMER",
          "additionalInfo":[
            {
              "value":"Neutral",
              "highlightColor":"info"
            }
          ]
        },
        {
          "content":"bye.",
          "beginOffsetMillis":26040,
          "participantId":"AGENT",
          "additionalInfo":[
            {
              "value":"Neutral",
              "highlightColor":"info"
            }
          ]
        }
      ],
      "sentimentTrend":[
        {
          "x":0,
          "y":0
        },
        {
          "x":3939,
          "y":0
        },
        {
          "x":3940,
          "y":0
        },
        {
          "x":26450,
          "y":0
        }
      ],
      "sentimentPercents":{
        "positive":0,
        "neutral":100,
        "negative":0
      },
      "talkTimePercents":{
        "agent_talk_time":2.515491747959998,
        "customer_talk_time":28.82998956991226,
        "non_talk_time":68.65451868212774
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "metadata":{
        "ctiVendor":"amazon_connect",
        "customerId":"Alice Smith",
        "agentId":"Piper Epps"
      },
      "status":"success"
    },
    "metadata":{

 "callMonitorURL":"https://
instance.awsapps.com/connect/real-time-metrics?tableType=user",
      "recordingState":"success",
      "transcriptState":"success",
      "emptyStateImages":{
        "in_progress":"call_in_progress.png",
        "processing":"processing_post_call.png",
        "unavailable":"transcript_failed.png"
      }
    }
  }
}
```

CTI_API - POST /sn_cti_core/cti_api/providers/{provider}/components/{component}/versions/{version}

クラウドコールセンターフレームワーク内の指定された操作ハンドラーを使用して、コンピューター電話統合 (CTI) 操作を呼び出します。

このエンドポイントを呼び出す前に、プロバイダー設定レコードおよび関連するメッセージトランスフォーマーを作成する必要があります。これは通常、クラウドコールセンターフレームワークがインスタンスに最初に実装されたときに行われます。詳細については、「クラウドコールセンターでのプロバイダー構成」を参照してください。

メッセージトランスフォーマーは、このエンドポイントの要求本文で指定されたペイロードを解析し、関連する CTIOperationRequest オブジェクトにペイロードデータを設定する役割を担います。操作ハンドラーは、CTIOperationRequest オブジェクトから情報を取得し、そのデータを使用して要求された操作を処理する役割を担います。

メッセージトランスフォーマーが渡されたペイロードの解析を終了すると、クラウドコールセンターフレームワークは、指定された操作ハンドラーをインスタンス化します。操作ハンドラーは、CTIOperationResponse CTIOperationResponse：スコープ付き、グローバル API の GET メソッドを使用して、要求された操作を処理するために必要な情報を関連する CTIOperationRequest オブジェクトから取得します。

このエンドポイント呼び出しの要求本文で、呼び出す操作ハンドラーとその関連パラメーターを定義します。指定された操作ハンドラーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブル内のインスタンスで定義する必要があります。操作ハンドラーの作成の詳細については、「発信者との自動インタラクションの連絡先フローの構成」を参照してください。

ServiceNow ベースシステムは、Amazon Connect への接続を有効にする機能している操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーを提供します。Amazon Connect 内で連絡先フローを構築する場合、Amazon サービスと ServiceNow インスタンスの間に次の 2 つの統合ポイントがあります。

- Amazon Web Services (AWS) Lambda プロキシ (AWS Lambda 関数の呼び出し)
- AWS Lex ボット (顧客入力を取得)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの統合ポイントに利用可能な操作ハンドラーとメッセージトランスフォーマーは、操作ハンドラー [sn_cti_operation_handler] テーブルおよびプロバイダーメッセージトランスフォーマー [sn_cti_provider_msg_transormer] テーブルにあります。

また、このエンドポイントにアクセスするには、呼び出しで渡すユーザー資格情報に sn_cti_core.service または admin ロールが必要です。

クラウドコールセンターの詳細については、「クラウドコールセンター」を参照してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_cti_core/cti_api/providers/{provider}/components/{component}/versions/{version}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
component	プロバイダーコンポーネントのラベル (sn_aws_connect_lambda_proxy_component または sn_aws_connect_lex_intent_processor_component など)。プロバイダーコンポーネント [sn_cti_provider_component] テーブルのコンポーネントフィールドにあります。 データタイプ：文字列
プロバイダー	CTI プロバイダーレコードの sys_id。プロバイダーコンポーネント [sn_cti_provider_component] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
version	指定されたプロバイダーレコードのバージョン。プロバイダーコンポーネント [sn_cti_provider_component] テーブルのバージョンフィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
呼び出される操作ハンドラーとその固有の実装によって異なります。	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
多様	呼び出される操作とその固有の実装によって異なります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
呼び出される操作とその固有の実装によって異なります。	

Example: cURL 要求

次の例では、sn_aws_connect_lambda_proxy_component コンポーネントを介して interactionEvent 操作ハンドラーを呼び出します。

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/sn_cti_core/cti_api/providers/c4b12a
a6e700001034b36584c2f6a9bc/components/sn_aws_connect_lambda_proxy_compone
nt/versions/v1.0 \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password'
  -d '{
  "context": {
    "callbackWaitsForEmptyEventLoop": true,
    "functionVersion": "$LATEST",
    "functionName": "snRALJNLambda",
    "memoryLimitInMB": "128",
    "logGroupName": "/aws/lambda/snRALJNLambda",
    "logStreamName":
 "2020/09/24/[$LATEST]b604a9579ef548a1b3f6b6739d19e1d9",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "invokedFunctionArn":
 "arn:aws:lambda:us-west-2:028738656045:function:snRALJNLambda",
    "awsRequestId": "b528a5a8-bb0b-4ec8-8e76-aa568f68fdc8"
  },
  "event": {
    "Details": {
      "ContactData": {
        "Attributes": {
          "$accepted_terms": "true"
        },
        "Channel": "VOICE",
        "ContactId": "8fe7c107-78df-4eec-85b3-91c6dcb8e912",
        "CustomerEndpoint": {
          "Address": "+16693504374",
          "Type": "TELEPHONE_NUMBER"
        },
        "Description": null,
        "InitialContactId": "8fe7c107-78df-4eec-85b3-91c6dcb8e912",
        "InitiationMethod": "INBOUND",
        "InstanceARN":
 "arn:aws:connect:us-west-2:028738656045:instance/d276bd83-6305-4f63-ab
ee-e66fd5bdf503",
        "LanguageCode": "en-US",
        "MediaStreams": {
          "Customer": {
            "Audio": null
          }
        },
        "Name": null,
        "PreviousContactId": "8fe7c107-78df-4eec-85b3-91c6dcb8e912",
        "Queue": {
          "ARN":
 "arn:aws:connect:us-west-2:028738656045:instance/d276bd83-6305-4f63-ab
ee-e66fd5bdf503/queue/0f17b62d-d493-439a-88c6-42db0d0e652f",
          "Name": "BasicQueue",
          "OutboundCallerId": {
            "Address": "+18335441399",
            "Type": "TELEPHONE_NUMBER"
          }
        },
        "References": {},
        "SystemEndpoint": {
          "Address": "+18335441399",
          "Type": "TELEPHONE_NUMBER"
        }
      },
      "Parameters": {
        "sn_component": "sn_aws_connect_lambda_proxy_component",
        "sn_operation": "interactionEvent"
      }
    },
    "Name": "ContactFlowEvent"
  }
}'
```

interactionEvent 操作ハンドラー呼び出しへの応答の例。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "snc_user_first_name": "Jane",
    "snc_user_last_name": "Doe",
    "snc_user_sys_id": "bbe591bfdb5710100231dbdb5e9619e3",
    "snc_user_vip": "false",
    "interactionTable": "interaction",
    "interactionId": "973b07c8dbe710100231dbdb5e961908",
    "statusCode": 200,
    "message": "success"
  }
}
```


CTI_API - POST /sn_cti_core/cti_api/softphone/sources/{source}/actor/{actor}/events/{event}

連絡先コントロールパネル (CCP) プロバイダーから ServiceNow インスタンスにイベントを渡します。

通常、このエンドポイントを CCP UI ページから呼び出して、エージェントの在席状況の変更や、呼び出し完了時のレコードのステータスの変更などの、さまざまなタスク (イベント) を実行します。このエンドポイントにアクセスするには、呼び出しで渡すユーザー資格情報に sn_openframe_user または admin ロールが必要です。

このエンドポイントには、イベントごとにこのエンドポイント呼び出しで実際に実行されるアクションを決定する役割を担う、対応する拡張ポイント sn_cti_core.SoftPhoneEventSink があります。ベースシステムは、Amazon Connect イベントの実装を提供します。実装が異なる場合は、このエンドポイントを利用する前に、この拡張ポイントをカスタマイズする必要があります。このエンドポイントの要求本文および応答フォーマットは、この拡張ポイントの実装に対応しています。拡張ポイントの実装の詳細については、「 拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張 する」および 「クラウドコールセンターの拡張ポイント 」を参照してください。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_cti_core/cti_api/softphone/sources/{source}/actor/{actor}/events/{event}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
actor	イベントの発信者 (agent や external_system など)。固有の値は実装者が決定します。 データタイプ：文字列
event	コンピューター電話統合 (CTI) ベンダーのシステム内のイベントの名前 (「使用可否」や「オフライン」など)。固有の値は実装者が決定しますが、スペースや特殊文字を含まない 1 つの単語/フレーズである必要があります。 データタイプ：文字列
sources	ベンダーのソフトフォン UI ページの識別子 (aws_ccp など)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
実装に固有です。sn_cti_core.SoftPhoneEventSink 拡張ポイントの実装によって決定されます。	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例では、AgentStatusOne イベント情報を ServiceNow インスタンスに渡します。要求本文パラメーターは、sn_cti_core.SoftPhoneEventSink 拡張ポイントの実装によって決定されます。

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/sn_cti_core/cti_api/softphone/sources/aws_ccp/actor/agent/events/AgentStatusOne \
  -H 'Accept: application/json' \
  -H 'Content-Type: application/json' \
  -u 'username':'password'
  -d '{
   "agent":{
      "sys_id":"doe.john@snc",
      "status":{
         "agentStateARN":null,
         "type":"not_routable",
         "name":"AgentStatusOne",
         "startTimestamp":"2020-09-24T21:43:20.957Z"
      }
   },
   "window":{
      "location":{

 "href":"https://instance.servicenow.com/sn_cti_amzn_cct_aws_ccp.do?id=44106eabdb5710100231dbdb5e96191d",
         "search":"?id=44106eabdb5710100231dbdb5e96191d"
      }
   },
   "aws":{
      "connect":{
         "config":{
            "ccpHost":"instance.awsapps.com",
            "ccpUrl":"https://instance.awsapps.com/connect/ccp-v2/",
            "loginPopup":true,

 "audioRecordingUrlPrefix":"https://instance.awsapps.com/connect/get-recording?format=wav&callLegId=",
            "softphone":{
               "allowFramedSoftphone":true
            },
            "region":"us-west-2"
         }
      }
   }
}'
```

応答パラメーターは返されません。

```
{
  "result": {}
}
```

顧客セントラル API

顧客セントラル API は、顧客情報と構成詳細にアクセスするためのエンドポイントを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API を使用して、以前に顧客セントラルのインターフェイスで生成された情報レコード (カード) を取得します。

この API にアクセスするには、admin または sn_esm_agent ロールが必要です。また、この API をインスタンスで使用できるようにするには、*com.sn_csm_customer_central* プラグインを有効にする必要があります。

詳細については、「顧客セントラル」を参照してください。

顧客セントラル - **GET /cust_central/custinfo/{context}/{context_instance}/{target}**

特定の顧客コンテキストの顧客情報と構成詳細を返します。

顧客コンテキストは、指定した顧客コンテンツテーブル (コンシューマー [csm_consumer] または連絡先 [customer_contact] テーブル)、およびその関連ターゲットテーブルによって決定されます。この情報は、顧客情報コンテキスト [sn_customercentral_cust_info_config] テーブルにあります。

このエンドポイントは、指定された顧客コンテキスト用の次の顧客セントラル構成テーブル内のすべてのアクティブなレコード (カード) を返します。

- リスト構成 [sn_customercentral_list_config]
- レコード構成 [sn_customercentral_record_config]
- レポート構成 [sn_customercentral_report_config]
- レポートグループ構成 [sn_customercentral_report_group_config]

必要な追加の設定レコードは、顧客セントラルのインターフェイスで定義する必要があります。詳細については、「顧客セントラルの構成」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_customercentral/{api_version}/cust_central/custinfo/{context}/{context_instance}/{target}`

デフォルトの URL：`/api/sn_customercentral/cust_central/custinfo/{context}/{context_instance}/{target}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
context	使用する顧客コンテキストテーブルの名前。 有効な値： • customer_contact • csm_consumer データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
context_instance	*context* パラメーターで指定されたテーブル内の、返されるレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
target	*context* パラメーターで指定された顧客コンテキストテーブルに関連付けられたターゲットテーブル。*context* パラメーターと *target* パラメーターの組み合わせで、一意の顧客情報コンテキストを定義します。 この情報は、顧客情報コンテキスト [sn_customercentral_cust_info_config] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
before	指定された日時より前に作成されたすべての設定レコードを返します。 日付タイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD または *glide.sys.date_format* システムプロパティで定義された形式 デフォルト：現在のセッション時間の前に作成されたすべての設定レコードを返します。
end	返される最後のレコード。この値を使用してレコード取得をページネーションするか、*start* パラメーターとともに使用して、返される特定のレコードセットを選択します。 データタイプ：数値 デフォルト：ファイル内の最後のレコード
start	レコード取得を開始する開始レコードインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 負の数を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。パスパラメーターに有効な値が含まれていることを確認します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
cards_info	指定された顧客に関連付けら データタイプ：アレイ (コン

cards_info.data_configurations	構成情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"data_configurations`
	`"aggregate_field":`
	`"aggregate_functio`
	`"chart_settings":`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"decimal_precision "filter_query": "S "group_by": "Strin "number_of_groups" "show_other": Bool "source_id": "Stri "source_type": "St "stack_by_field": "sys_id": "String" "trend_field": "St "trend_interval": "type": "String" }
cards_info.data_configurations.aggregate_field	集計する列名。 データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.aggregate_function	指定されたテーブル列を集計 可能な値： • AVG • COUNT • COUNT(DISTINCT) • SUM データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.decimal_precision	返される小数点以下の桁数。 データタイプ：数値
cards_info.data_configurations.filter_query	レポートで使用されるデータ データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.group_by	レポートデータをグループ化 データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.number_of_groups	レポートに表示するグループ 可能な値： • `all`：すべてのグループを • 0：*glide.ui.chart.g* 注：*glide.ui.char* ンス内のすべてのレポ • 0 より大きい値：表示する 大きいグループです。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
cards_info.data_configurations.show_other	グループ「その他」がレポー グ。*number_of_groups* パ されない場合は、非表示グル 表示されます。 可能な値： • true：「その他」グループ • false：「その他」グループ データタイプ：ブール
cards_info.data_configurations.source_id	レポートのソース情報のテー *cards_info.reportGroup* パラメーターの情報に関連付 データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.source_type	ソーステーブルを識別するた *cards_info.reportGroup* パラメーター内の情報のタイ 可能な値： • source：ソーステーブルの • table：ソーステーブルの データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.stack_by_field	レポートに「積み重ね基準」 データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.sys_id	レポート構成で使用されるレ データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.trend_field	傾向分析で使用するテーブル データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.trend_interval	傾向情報の時間間隔。たとえ データタイプ：文字列
cards_info.data_configurations.type	レポートのタイプ (単一スコ データタイプ：文字列
cards_info.encodedQuery	レポートに表示されるデータ データタイプ：文字列
cards_info.fields	関連レコード内のフィールド データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"fields": [
	  {
	  "label": "String
	  "value": "String
	  }
	]</pre>

cards_info.fields.label	フィールドラベル。 データタイプ：文字列
cards_info.fields.value	フィールド値。 データタイプ：文字列
cards_info.listLimit	ページネーション制限。リス データタイプ：文字列

cards_info.reportGroupConfigurations	レポートグループを定義する
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"reportGroupConfigur
	  {
	  "data_configurat
	  "style_configura
	  "title": "String
	  "type": "String"
	  }
	]</pre>

cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations	構成情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"data_configurations
	  "aggregate_field":
	  "aggregate_functio
	  "chart_settings":
	  "decimal_precision
	  "filter_query": "S
	  "group_by": "Strin
	  "number_of_groups"
	  "show_other": Bool
	  "source_id": "Stri
	  "source_type": "St
	  "stack_by_field":
	  "sys_id": "String"
	  "trend_field": "St
	  "trend_interval":
	  "type": "String"
	}</pre>

cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.aggregate_field	集計する列名。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.aggregate_function	指定されたテーブル列を集計 可能な値： • AVG • COUNT • COUNT(DISTINCT) • SUM データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.decimal_precision	返される小数点以下の桁数。 データタイプ：数値
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.filter_query	レポートで使用されるデータ データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.group_by	レポートデータをグループ化 データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.number_of_groups	レポートに表示するグループ 可能な値： • `all`：すべてのグループを • 0：*glide.ui.chart.g* 注：*glide.ui.cha* ンス内のすべてのレポ • 0 より大きい値：表示する 大きいグループです。 データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.show_other	グループ「その他」がレポー グ。*number_of_groups* パ されない場合は、非表示グル 表示されます。 可能な値： • true：「その他」グループ • false：「その他」グループ データタイプ：ブール
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.source_id	レポートのソース情報のテー *cards_info.reportGroup* パラメーターの情報に関連付

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.source_type	ソーステーブルを識別するた *cards_info.reportGrou* パラメーター内の情報のタイ 可能な値： • source：ソーステーブルの • table：ソーステーブルの データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.stack_by_field	レポートに「積み重ね基準」 データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.sys_id	レポート構成で使用されるレ データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.trend_field	傾向分析で使用するテーブル データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.trend_interval	傾向情報の時間間隔。たとえ データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.data_configurations.type	レポートグループに関連付け データタイプ：文字列

cards_info.reportGroupConfigurations.style_configurations	関連するレポートグループ内
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"style_configuration`
	`"colorPalette": "S`
	`"scoreColor": "Str`
	`"show_zero": Boole`
	`}`

cards_info.reportGroupConfigurations.style_configurations.colorPalette	レポートで使用される色。 データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.style_configurations.scoreColor	レポート内のスコア値の色。 データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.style_configurations.show_zero	0 に等しいデータポイントを 可能な値： • true：0 値が表示されます • false：0 値が表示されま

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
cards_info.reportGroupConfigurations.title	レポートグループのタイトル データタイプ：文字列
cards_info.reportGroupConfigurations.type	情報が返されるファイルタイ 常に sn_customercentral_re データタイプ：文字列
cards_info.sourceTableName	関連するリストカードに使用 データタイプ：文字列

cards_info.style_configurations	関連するレポート内で使用す
	データタイプ：オブジェクト
	`"style_configuration`
	`"colorPalette": "S`
	`"dataLabelConfig":`
	`"height": "String"`
	`"hideRegister": Bo`
	`"registerConfig":`
	`"registerPosition"`
	`"scoreColor": "Str`
	`"showDataLabels":`
	`"showTooltip": Boo`
	`"show_zero": Boole`
	`"width": "String"`
	`}`

cards_info.style_configurations.colorPalette	レポートで使用される色。 データタイプ：文字列

cards_info.style_configurations.dataLabelConfig	レポートでのデータラベルの
	データタイプ：オブジェクト
	`"dataLabelConfig": [`
	`{`
	`"showTotal": Boo`
	`}`
	`]`

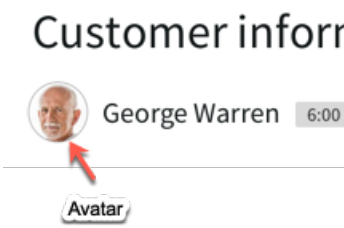
cards_info.style_configurations.dataLabelConfig.showTotal	レポートに合計を表示するか 可能な値： • true：合計を表示します。 • false：合計を表示しませ データタイプ：ブーリアン
cards_info.style_configurations.height	関連するレポートの高さ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

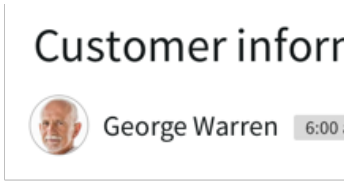
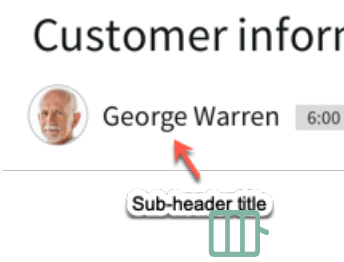
名前	説明
	データタイプ：文字列 単位：ピクセルまたは「auto
cards_info.style_configurations.hideRegister	カードにレジスターを表示す 可能な値： • true：レジスターを表示し • false：レジスターを表示し データタイプ：ブーリアン
cards_info.style_configurations.registerConfig	レポートでのレジスターの表 データタイプ：オブジェクト `"registerConfig": { "hideBorder": Bool "showPercentages": }`
cards_info.style_configurations.registerConfig.hideBorder	レジスターの周囲の境界線を 可能な値： • true：レジスターの境界線 • false：レジスターの境界線 データタイプ：ブーリアン
cards_info.style_configurations.registerConfig.showPercentages	レジスターのパーセンテージ 可能な値： • true：レジスターのパーセ • false：レジスターのパーセ データタイプ：ブーリアン
cards_info.style_configurations.registerPosition	カード内のレジスターの位置 データタイプ：文字列
cards_info.style_configurations.scoreColor	レポート内のスコア値の色。 データタイプ：文字列
cards_info.style_configurations.showDataLabels	レポート内にデータラベルを 可能な値： • true：データラベルを表示 • false：データラベルを非表 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
cards_info.style_configurations.showTooltip	レポート内にツールヒントを 可能な値： • true：ツールヒントを表示 • false：ツールヒントを非表 データタイプ：ブーリアン
cards_info.style_configurations.show_zero	0 に等しいデータポイントを 可能な値： • true：0 値が表示されます • false：0 値が表示されませ データタイプ：ブール
cards_info.style_configurations.width	関連するレポートの幅。 データタイプ：文字列 単位：ピクセルまたは「auto
cards_info.subheader_fields	関連するカードのサブヘッダ データタイプ：オブジェクト `"subheader_fields": { "title": "String", "subheader_tags": "avatar": "String" "sys_id": "String" }`
cards_info.subheader_fields.avatar	指定された *context_insta* ターなど)。  データタイプ：文字列
cards_info.subheader_fields.subheader_tags	レコードサブヘッダーに関連

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	 データタイプ：アレイ (内容
cards_info.subheader_fields.sys_id	関連付けられた顧客の sys_i データタイプ：文字列
cards_info.subheader_fields.title	サブヘッダーに表示するタイ  データタイプ：文字列
cards_info.title	カード (レコード) のタイトル データタイプ：文字列
cards_info.type	情報が返されるファイルタイ 可能な値： • sn_customercentral_list_ • sn_customercentral_rec • sn_customercentral_rep • sn_customercentral_rep データタイプ：文字列
cards_info.viewName	*cards_info.sourceTabl* データタイプ：文字列
has_more_records	さらに取得するレコードがあ 可能な値： • true：さらに取得するレコ • false：それ以上レコードが データタイプ：ブーリアン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
layout	行あたりの列数を定義します す。たとえば「6,6」は、そ の 2 つの列があることを示し データタイプ：文字列
status	要求の HTTP ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow/api/sn_customercentral/cust_central/custin
fo/csm_consumer/a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db/interaction" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "layout": "6,6",
    "cards_info": [
      {
        "title": "Consumer",
        "type": "sn_customercentral_record_config",
        "subheader_fields": {
          "title": "Sam Collins",
          "subheader_tags": [],
          "avatar": "",
          "sys_id": "64488cfbdb1b1200b6075200cf9619db"
        },
        "fields": [
          {
            "label": "Mobile phone",
            "value": ""
          },
          {
            "label": "Business phone",
            "value": ""
          },
          {
            "label": "Email",
            "value": "sam.collins@mailinator.com"
          },
          {
            "label": "Street",
            "value": "144 2nd St"
          },
          {
            "label": "City",
            "value": "San Francisco"
          },
          {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "label": "State / Province",
            "value": "CA"
          }
        ]
      },
      {
        "title": "High priority cases",
        "type": "sn_customercentral_report_group_config",
        "reportGroupConfigurations": [
          {
            "title": "Escalated",
            "type": "sn_customercentral_report_config",
            "data_configurations": {
              "type": "single_score",
              "source_type": "table",
              "source_id": "sn_customerservice_case",
              "group_by": "",
              "trend_interval": "year",
              "trend_field": "",
              "stack_by_field": "",
              "aggregate_function": "COUNT",
              "aggregate_field": "",
              "filter_query":
 "active=true^active_escalationISNOTEMPTY^EQ^consumer=a0488cfbdb1b1200b60
75200cf9619db^ORDERBYDESCsys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07
 13:40:48",
              "decimal_precision": 2,
              "number_of_groups": 0,
              "show_other": true,
              "sys_id": "c169a0f50f3b0010e6d4fd820b767e2e"
            },
            "style_configurations": {
              "scoreColor": "#000000",
              "show_zero": true
            }
          },
          {
            "title": "P1",
            "type": "sn_customercentral_report_config",
            "data_configurations": {
              "type": "single_score",
              "source_type": "table",
              "source_id": "sn_customerservice_case",
              "group_by": "",
              "trend_interval": "year",
              "trend_field": "",
              "stack_by_field": "",
              "aggregate_function": "COUNT",
              "aggregate_field": "",
              "filter_query":
 "active=true^priority=1^EQ^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORD
ERBYDESCsys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
              "decimal_precision": 2,
              "number_of_groups": 0,
              "show_other": true,
              "sys_id": "cce86cb50f3b0010e6d4fd820b767eba"
            },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "style_configurations": {
              "scoreColor": "#000000",
              "show_zero": true
            }
          },
          {
            "title": "SLA breached",
            "type": "sn_customercentral_report_config",
            "data_configurations": {
              "type": "single_score",
              "source_type": "table",
              "source_id": "task_sla",
              "group_by": "",
              "trend_interval": "year",
              "trend_field": "",
              "stack_by_field": "",
              "aggregate_function": "COUNT",
              "aggregate_field": "",
              "filter_query":
 "task.active=true^task.sys_class_name=sn_customerservice_case^stage!=can
celled^task.closed_atISEMPTY^sla.type=SLA^has_breached=true^EQ^taskIN59b6
5dc4db952200d75270f5bf96193eccc8cf82db912200d75270f5bf9619de^ORDERBYDESCs
ys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
              "decimal_precision": 2,
              "number_of_groups": 0,
              "show_other": true,
              "sys_id": "e739a0f50f3b0010e6d4fd820b767e22"
            },
            "style_configurations": {
              "scoreColor": "#000000",
              "show_zero": true
            }
          }
        ]
      },
      {
        "title": "Case overview",
        "type": "sn_customercentral_report_config",
        "data_configurations": {
          "type": "donut",
          "source_type": "table",
          "source_id": "sn_customerservice_case",
          "group_by": "state",
          "trend_interval": "year",
          "trend_field": "",
          "stack_by_field": "",
          "aggregate_function": "COUNT",
          "aggregate_field": "",
          "filter_query":
 "^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDERBYDESCsys_created_on^sy
s_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
          "decimal_precision": 2,
          "number_of_groups": 0,
          "show_other": true,
          "sys_id": "d169216c0f770010e6d4fd820b767ea8"
        },
        "style_configurations": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "width": "auto",
          "height": "auto",
          "colorPalette": [
            "#278ecf",
            "#4bd762",
            "#ffca1f",
            "#ff9416",
            "#d42ae8"
          ],
          "hideRegister": false,
          "registerConfig": {
            "hideBorder": true,
            "showPercentages": false
          },
          "registerPosition": "right",
          "showDataLabels": false,
          "dataLabelConfig": {
            "showTotal": false
          },
          "showTooltip": true
        }
      },
      {
        "title": "Recent cases",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
        "encodedQuery":
 "active=true^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDERBYDESCsys_cr
eated_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "sn_customerservice_case"
      },
      {
        "title": "Recent chat interactions",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
        "encodedQuery":
 "active=false^type=chat^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDERB
YDESCsys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "interaction"
      },
      {
        "title": "Recent phone calls",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
        "encodedQuery":
 "active=false^type=phone^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDER
BYDESCsys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "interaction"
      },
      {
        "title": "Recent viewed articles",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "encodedQuery":
 "user=64488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^viewed=true^ORDERBYDESCsys_create
d_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "kb_use"
      },
      {
        "title": "Contracts",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
        "encodedQuery":
 "active=true^state=Active^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDE
RBYDESCsys_created_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "ast_contract"
      },
      {
        "title": "Entitlements",
        "type": "sn_customercentral_list_config",
        "listLimit": "3",
        "viewName": "customer_central",
        "encodedQuery": "active=true^end_date=NULL^ORend_date>=2020-05-07
 07:00:00^consumer=a0488cfbdb1b1200b6075200cf9619db^ORDERBYDESCsys_create
d_on^sys_created_on>=2020-04-07 13:40:48",
        "sourceTableName": "service_entitlement"
      }
    ],
    "has_more_records": false,
    "status": "200"
  }
}
```


データ分類 API

データ分類 API は、データをタイプ別にグループ化するためのエンドポイントを提供します。

データ分類 *API* を使用すると、次のことができます。

- 既存の辞書エントリにデータ分類を割り当てます。
- 特定の辞書エントリのデータ分類を検索します。
- 特定の辞書エントリに関連付けられているすべてのデータ分類を削除します。
- 現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

この API には、データ分類 [com.glide.data_classification] プラグインが必要です。

詳細については、「データ分類」を参照してください。

データ分類 - GET /data_classification/getAllDataClasses

現在のドメインで利用可能なすべてのデータ分類のリストを返します。

admin、data_classification_admin、または data_classification_auditor ロールが必要です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/data_classification/getAllDataClasses`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	要求の結果です。利用可能な各データ分類の sys_id と名前を返します。データ分類がない場合は、空のアレイを返します。 データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "parent": {Object}, "sys_id": "String", "name": "String" } ]`
result.parent	親データ分類のエントリです。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "sys_id": "String", "name": "String" }`
result.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
result.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
result.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
result.name	データ分類名。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

利用可能なすべてのデータ分類のリストを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/data_classification/getAllDataC
lasses" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": [
    {
      "parent": {
        "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
        "name": "Confidential"
      },
      "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
      "name": "Personally identifiable information"
    },
    {
      "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
      "name": "Confidential"
    },
    {
      "sys_id": "59b7070b73fc1010ae8dd21efaf6a764",
      "name": "Restricted"
    },
    {
      "sys_id": "11d60fc773fc1010ae8dd21efaf6a744",
      "name": "Internal"
    },
    {
      "sys_id": "f5b4cf4773fc1010ae8dd21efaf6a766",
      "name": "Public"
    }
  ]
}
```


データ分類 - POST /data_classification/classify

既存の辞書エントリに事前定義済みまたはユーザー定義のデータ分類を割り当てます。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/data_classification/classify`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
dictionary_entries	必須です。 分類するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。 データタイプ：文字列
data_classes	必須です。 割り当てるデータ分類の sys_id。sys_id は、データ分類 [data_classification] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	操作の結果を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

辞書エントリにデータ分類を割り当てます。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/data_classification/classify" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"dictionary_entries\": \"445de0a6dba30300efc57416bf9619b0\",
    \"data_classes\": \"40edb1f51bbcec50b92a10a61a4bcb8a\"
}" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": "Successfully stored the data classification configurations"
}
```

データ分類 - POST /data_classification/clear

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を削除します。

admin または data_classification_admin ロールが必要です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/data_classification/clear`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
dictionary_entries	必須です。 分類を削除するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	操作の結果を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

辞書エントリのデータ分類をクリアします。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/data_classification/clear"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"dictionary_entries\": \"445de0a6dba30300efc57416bf9619b0\"
}" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": "Classifications removed for the specified dictionary
 entries"
}
```

データ分類 - POST /data_classification/getClassification

指定された辞書エントリのすべてのデータ分類を取得します。

admin、data_classification_admin、または data_classification_auditor ロールが必要です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/data_classification/getClassification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
dictionary_entries	必須です。 分類を取得するレコードの sys_id。sys_id はディクショナリ [sys_dictionary] テーブルからのものです。文字列で囲まれたカンマ区切りリストとして入力します。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	要求の結果です。各辞書エントリの sys_id とその関連データ分類のアレイを含む JSON オブジェクトを返します。関連するデータ分類がない場合は、操作の結果を記述するメッセージを返します。 データ分類は親子関係に整理できます。親データ分類がある場合は、それらが結果で識別されます。 データタイプ：オブジェクト `"result": { <sys_dictionary_sys_id>: [ { "parent": {Object}, "sys_id": "String", "name": "String" } ] }`
result.name	データ分類名。 データタイプ：文字列
result.parent	親データ分類のエントリです。 データタイプ：オブジェクト `"parent": { "sys_id": "String", "name": "String" }`
result.parent.name	親データ分類の名前です。 データタイプ：文字列
result.parent.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからの親データ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列
result.sys_id	データ分類 [data_classification] テーブルからのデータ分類の sys_id です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

特定の辞書エントリに関連付けられているデータ分類を取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/data_classification/getClassifi
cation" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"dictionary_entries\": \"445de0a6dba30300efc57416bf9619b0\"
}" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": {
    "445de0a6dba30300efc57416bf9619b0": [
      {
        "parent": {
          "sys_id": "a9670fc773fc1010ae8dd21efaf6a735",
          "name": "Confidential"
        },
        "sys_id": "348107b951d71010f877f3f178e7dd0d",
        "name": "Personally identifiable information"
      }
    ]
  }
}
```

DevOps API

`DevOps` API は、外部DevOpsツールとのやり取りを可能にするエンドポイントを提供します。

この REST API を使用すると、インテグレーターは次のことができます。

- インスタンスに関連付けられている利用可能な DevOps ツールを取得します。
- コードリソース、計画、またはオーケストレーションリソースのスキーマオブジェクトを取得します。
- オーケストレーションタスクが変更管理下にあるかどうかを確認し、その変更管理ステータスを確認します。
- 変更管理下でタスク実行に関連付けるコールバックを作成します。
- さまざまなイベントペイロードを送信します。これらは、正規化されたオブジェクトに変換され、コード、オーケストレーション、および計画オブジェクトとして保存されます。
- エンコードされたクエリと特定の検索/ソート基準を使用して、コミット、分岐、またはリポジトリを検索します。
- 関連するパイプライン実行およびコミットとともに、アーティファクトのバージョンとパッケージを登録します。
- オンボーディングアプリケーションとツールイベントを作成および管理します。

詳細については、「DevOps コンフィグ」を参照してください。

v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。

インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「 DevOps チェンジベロシティ のプロパティ 」を参照してください。

DevOps - GET /devops/code/schema

指定されたコードリソース (コミット、リポジトリ、または分岐) のスキーマオブジェクトを返します。

必要なスキーマオブジェクトを取得したら、それを使用して、対応する POST 呼び出しの要求本文を作成します (*POST /code/commit*、*POST /code/repository*、または *POST /code/branch*)。

注: このエンドポイントは、必要な要求本文要素のみを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL： `/api/sn_devops/{api_version}/devops/code/schema`

デフォルト URL： `/api/sn_devops/devops/code/schema`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
resource	必須です。返されるリソーススキーマのタイプ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • commit • repository • branch データタイプ：文字列

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

branch	コードのコミットが行われたブランチの説明。
	データタイプ：オブジェクト
	`"branch": {`
	`  "name": "String",`
	`  "path": "String"`
	`}`

branch.name	コードのコミットが行われたブランチの名前。 データタイプ：文字列
branch.path	ブランチの相対パス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
コミット	コミットの説明。 データタイプ：アレイ `"commits": [ { "committedDate": "String", "committer": Object, "details": Array, "id": "String", "url": "String" } ]`
commits.committedDate	ソース DevOps ツールでコードがコミットされた日時。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (タイムゾーンオフセットあり) 例：1970-01-01T08:15:30-05:00
commits.committer	コミットを要求したユーザー/エンティティの説明。 データタイプ：オブジェクト `"committer": { "email": "String" }`
commits.committer.email	コミットを要求したユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
commits.details	コミットの詳細。 **注:** コミットに詳細を含めることは必須ではありません。このエンドポイントは、詳細がコミットに含まれていない場合、空のアレイを返します。 データタイプ：アレイ `"details": [ { "action": "String", "additions": Number, "changes": Number, "deletions": Number, "file": "String", "totalChanges": Number } ]`
commits.details.action	ファイルに対して実行されたアクション。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
commits.details.additions	ファイル内の追加の合計数。 データタイプ：数値
commits.details.changes	行われた変更の合計数。 データタイプ：数値
commits.details.deletions	ファイル内の削除の合計数。 データタイプ：数値
commits.details.file	ブランチに対して相対的に変更されたファイルのパス。 データタイプ：文字列
commits.details.totalChanges	追加と削除の合計数。 データタイプ：数値
commits.id	ソースプラットフォーム識別子またはコミット SHA。 データタイプ：文字列
commits.url	コミットの URL (「https://github.com/mycompany/mobileplatform/commit/3fa85f6457174562b3fc2c963f66afa6」など)。 データタイプ：文字列
name	分岐またはリポジトリの名前 (「Master」や「Platform-Mobile」など)。 データタイプ：文字列
path	ブランチの相対パス。 データタイプ：文字列

repository	コミットが行われたリポジトリの説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"repository": {`
	`  "name": "String",`
	`  "url": "String"`
	`}`

repository.name	リポジトリの名前。 データタイプ：文字列
repository.url	ソース DevOps ツールのリポジトリの URL。 データタイプ：文字列
url	リポジトリの URL (「https://github.com/mycompany/mobileplatform」など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: resource=branch のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/code/schema?res
ource=branch" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
   "result": {
      "name": "Master",
      "path": "refs/heads/master",
      "repository": {
         "name": "Platform-Mobile",
         "url": "https://github.com/mycompany/mobileplatform"
      }
   }
}
```

Example: resource=commit のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/code/schema?res
ource=commit" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
   "result": {
      "repository": {
         "name": "Platform-Mobile",
         "url": "https://github.com/mycompany/mobileplatform"
      },
      "branch": {
         "name": "refs/heads/master"
      },
      "commits": [
         {
            "committer": {
               "email": "name@email.com"
            },
            "id": "3fa85f64-5717-4562-b3fc-2c963f66afa6",
            "url":
 "https://github.com/mycompany/mobileplatform/commit/3fa85f6457174562b3fc
2c963f66afa6",
            "committedDate": "2022-01-01T08:15:30-05:00",
            "details": [
               {
                  "action": "edit",
                  "changes": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "file": "/azure-pipelines.yml",
                    "additions": 1,
                    "deletions": 0,
                    "totalChanges": 1
                }
            ]
        }
    ]
  }
}
```

Example: resource=repository のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/code/schema?res
ource=repository" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
    "result": {
        "name": "Platform-Mobile",
        "url": "https://github.com/mycompany/mobileplatform"
    }
}
```

DevOps - GET /devops/onboarding/status

DevOps サービスによって処理されている、または非同期に処理されている、指定されたオンボーディングイベントの現在のステータスを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL： `/api/sn_devops/{api_version}/devops/onboarding/status`

デフォルト URL：`/api/sn_devops/devops/onboarding/status`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
id	ステータスを返すオンボーディングイベントの一意の識別子。この値は、イベント要求を呼び出したエンドポイントの結果として返されます (*/devops/onboarding/app* や */devops/onboarding/tool* など)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
202	処理待ち：オンボーディング要求が作成され、DevOps サービスが要求を処理しています。
207	部分的に成功：オンボーディング要求が作成され、DevOps サービスで要求が処理されます。
400	失敗：オンボーディングイベントが失敗しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	失敗：エンドポイントは、指定されたイベント ID に一致する要求を見つけることができませんでした。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	オンボーディング要求の結果。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "code": "String",`
	`  "importRequestsSysIds"`
	`  "messageDetails": {Obj`
	`  "onboardingRequestID":`
	`  "status": "String"`
	`}`

result.code	HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
result.importRequestsSysIds	オンボーディング要求の一部として求のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ

result.messageDetails	オンボーディングイベントの進捗
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"messageDetails": {`
	`  "apps": [Array],`
	`  "pipelines": [Array],`
	`  "plans": [Array],`
	`  "repositories": [Array`
	`  "status": "String",`
	`  "toolResponse": [Array`
	`}`

result.messageDetails.apps	関連する ServiceNow インスタン義するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"apps": [{`
	`  "appId": "String",`
	`  "message": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "status": "String",`
	`}]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.messageDetails.apps.appId	アプリケーションのオンボーディン ケーションの sys_id。アプリ [sn_ あります。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.apps.message	アプリケーションのオンボーディン るメッセージ。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.apps.name	オンボーディングされるアプリケー データタイプ：文字列
result.messageDetails.apps.status	アプリケーションオンボーディング 可能な値： • 失敗 • 部分的に成功 • 成功 データタイプ：文字列

result.messageDetails.pipelines	オンボーディングイベントに関連付
	リストとそれに対応する詳細。
	
	データタイプ：アレイ
	`"pipelines": [{`
	`"changeStepAssociation`
	`"errors": "String",`
	`"message": "String",`
	`"name": "String",`
	`"status": "String",`
	`}]`

result.messageDetails.pipelines.changeStepAssociation	オンボーディングに関連付けられて
	するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	`"changeStepAssociation":`
	`"changeStepName": "Str`
	`"status": "String",`
	`"summary": "String",`
	`}]`

result.messageDetails.pipelines.changeStepAssociation.changeStepName	変更ステップの名前。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.pipelines.changeStepAssociation.status	パイプラインへの変更ステップの関 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 失敗 • 成功 データタイプ：文字列
result.messageDetails.pipelines.changeStepAssociation.summary	変更ステップの関連付けのステー データタイプ：文字列
result.messageDetails.pipelines.errors	パイプラインの関連付け時に検出 データタイプ：アレイ
result.messageDetails.pipelines.message	パイプラインの関連付けのステー ジ。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.pipelines.name	パイプラインの名前。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.pipelines.status	パイプラインの関連付けのステー データタイプ：文字列

result.messageDetails.plans	オンボーディングイベントに関連
	それに対応する詳細。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"plans": [{`
	`  "errors": "String",`
	`  "message": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "status": "String",`
	`}]`

result.messageDetails.plans.errors	計画の関連付け時に検出されたエ データタイプ：アレイ
result.messageDetails.plans.message	パイプラインの関連付けのステー ジ。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.plans.name	計画の名前 データタイプ：文字列
result.messageDetails.plans.status	計画の関連付けのステータス。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.repositories	オンボーディングイベントに関連 ストとそれに対応する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"repositories": [{ "configureStatus": {Ob "name": "String", "status": "String", }]`
result.messageDetails.repositories.configureStatus	リポジトリの Webhook 構成ステ データタイプ：オブジェクト `"configureStatus": { "message": "String", "status": "String", }`
result.messageDetails.repositories.configureStatus.message	現在の Webhook 構成ステータス データタイプ：文字列
result.messageDetails.repositories.configureStatus.status	Webhook 構成のステータス。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.repositories.message	現在のリポジトリの関連付けのス セージ。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.repositories.name	リポジトリの名前。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.repositories.status	リポジトリの関連付けのステータ データタイプ：文字列
result.messageDetails.status	オンボーディング要求のステータ 可能な値： • 失敗 • 部分的に成功 • 成功 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse	関連する ServiceNow インスタン るツールを定義するオブジェクト データタイプ：アレイ `"toolResponse": [{ "configureStatus": {Ob "connectStatus": {Obje "createStatus": {Objec`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"discoveryStatus": {Ob
	"name": "String",
	"status": "String",
	"type": "String"
	}]</pre>

result.messageDetails.toolResponse.configureStatus	ツールの構成ステータスを説明し
	は、*status* および *message* を返
	は、*status* および *error* を返し
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"configureStatus": {
	"error": "String",
	"message": "String",
	"status": "String"
	}</pre>

result.messageDetails.toolResponse.configureStatus.error	ツールの構成中に検出されたエラー データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.configureStatus.message	ツール構成の成功ステータスを説明 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.configureStatus.status	ツール構成のステータス。 データタイプ：文字列

result.messageDetails.toolResponse.connectStatus	ツールの接続ステータスを説明し
	は、*status* および *message* を返
	は、*status* および *error* を返し
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"connectStatus": {
	"error": "String",
	"message": "String",
	"status": "String"
	}</pre>

result.messageDetails.toolResponse.connectStatus.error	ツールの接続中に検出されたエラー データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.connectStatus.message	ツール接続の成功ステータスを説明 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.connectStatus.status	ツール接続のステータス。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.createStatus	ツールの作成ステータスを説明し は、*status* および *message* を返 は、*status* および *error* を返し

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェクト
	`"createStatus": {`
	`"error": "String",`
	`"message": "String",`
	`"status": "String"`
	`}`

result.messageDetails.toolResponse.createStatus.error	ツールの作成中に検出されたエラー データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.createStatus.message	ツール作成の成功ステータスを説明 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.createStatus.status	ツール作成のステータス。 データタイプ：文字列

result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus	ツールの検出ステータスを説明しま
	は、*status* および *message* を返
	は、*status* および *error* を返し
	データタイプ：オブジェクト
	`"discoveryStatus": {`
	`"error": "String",`
	`"imports": [Array],`
	`"message": "String",`
	`"status": "String"`
	`}`

result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.error	ツールの検出中に検出されたエラー データタイプ：文字列

result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.imports	検出された各エンティティを記述す
	イ。
	データタイプ：アレイ
	`"imports": [{`
	`"details": "String",`
	`"id": "String",`
	`"status": "String"`
	`}]`

result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.imports.details	実行されたインポートを説明する詳 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.imports.id	インポート要求の sys_id。sn_devops_m2m_inbou テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.imports.status	インポートのステータス。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.message	ツール検出のステータスを説明す データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.discoveryStatus.status	ツール検出のステータス。 データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.name	オンボーディングされるツールの データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.status	ツールオンボーディングのステー データタイプ：文字列
result.messageDetails.toolResponse.type	ツールのタイプ (Jira や Jenkins な データタイプ：文字列
result.onboardingRequestID	オンボーディング要求の一意の識 *onboarding/status* エンドポイ るツールのオンボーディングプロ るときに、この値を使用します。 データタイプ：文字列
result.status	オンボーディング要求のステータ 可能な値： • 失敗 • 部分的に成功 • 成功 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ツールオンボーディングのステータス要求を示しています。

```
curl -X GET
 "https://servicenow-instance/api/sn_devops/v1/devops/onboarding/status?id=IBE0001603" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
```

```
{
    "result": {
        "code": "207",
        "onboardingRequestID": "IBE0001603",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "status": "partial-success",
        "messageDetails": {
            "status": "Partial Success",
            "toolResponse": [
                {
                    "name": "Primary Azure",
                    "type": "Azure DevOps",
                    "status": "Partial Success",
                    "createStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Created successfully"
                    },
                    "connectStatus": {
                        "status": "Failed",
                        "error": "Method failed:
(/testFirst/_apis/work/boards) with code: 401 - Invalid
username/password combo"
                    }
                },
                {
                    "name": "Primary Jenkins",
                    "type": "Jenkins",
                    "status": "Success",
                    "createStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Created successfully"
                    },
                    "connectStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Connected successfully"
                    },
                    "discoveryStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Discovered successfully",
                        "imports": [
                            {
                                "status": "completed",
                                "id": "2a4d216bdb2d2450fe4fd6a75e9619c3",
                                "details": "Discovered 1 new job(s) and 3
new pipeline(s)\n"
                            }
                        ]
                    }
                },
                {
                    "name": "Primary GitHub",
                    "type": "GitHub",
                    "status": "Success",
                    "createStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Created successfully"
                    },
                    "connectStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Connected successfully"
                    },
                    "discoveryStatus": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "status": "Success",
                        "message": "Discovered successfully",
                        "imports": [
                            {
                                "status": "completed",
                                "id": "7f4d616bdb2d2450fe4fd6a75e9619c2",
                                "details": "Discovered 5 new
repositories. "
                            }
                        ]
                    }
                },
                {
                    "name": "Primary Bitbucket",
                    "type": "BitBucket",
                    "status": "Success",
                    "createStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Created successfully"
                    },
                    "connectStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Connected successfully"
                    },
                    "discoveryStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Discovered successfully",
                        "imports": [
                            {
                                "status": "completed",
                                "id": "815da16bdb2d2450fe4fd6a75e9619d0",
                                "details": "Discovered 11 new
repositories. "
                            }
                        ]
                    }
                },
                {
                    "name": "Primary Gitlab",
                    "type": "GitLab",
                    "status": "Partial Success",
                    "createStatus": {
                        "status": "Success",
                        "message": "Created successfully"
                    },
                    "connectStatus": {
                        "status": "Failed",
                        "error": "The current operation ended in state:
ERROR"
                    }
                }
            ],
            "importRequestsSysIds": [
                "2a4d216bdb2d2450fe4fd6a75e9619c3",
                "7f4d616bdb2d2450fe4fd6a75e9619c2",
                "815da16bdb2d2450fe4fd6a75e9619d0"
            ]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
    }
}
```

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションオンボーディングのステータス要求を示しています。

```
curl -X POST
 "https://servicenow-instance/api/sn_devops/v1/devops/onboarding/status?o
nboardingRequestID=IBE0001604" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
```

```
{
    "result": {
        "code": "207",
        "onboardingRequestID": "IBE0001604",
        "status": "partial-success",
        "messageDetails": {
            "status": "Partial Success",
            "apps": [
                {
                    "name": "Bike Rentals Service",
                    "status": "Success",
                    "appId": "c7fd696bdb2d2450fe4fd6a75e961993",
                    "message": "App by name 'Bike Rentals Service' has
 been successfully created"
                }
            ],
            "pipelines": [
                {
                    "name": "Bike Rentals",
                    "status": "Success",
                    "message": "Successfully associated with app 'Bike
 Rentals Service'",
                    "changeStepAssociation": [
                        {
                            "status": "Success",
                            "changeStepName": "Prod",
                            "summary": "Change step with name 'Prod' has
 been created"
                        }
                    ]
                }
            ],
            "repositories": [
                {
                    "name": "nowdevops01/BikeRentals",
                    "status": "Partial Success",
                    "message": "Successfully associated with app 'Bike
 Rentals Service'",
                    "configureStatus": {
                        "status": "Failed",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "message": "Webhook configuration failed due to
empty credentials for repository by name nowdevops01/BikeRentals in tool
Primary GitHub"
                    }
                }
            ],
            "plans": [
                {
                    "status": "Failed",
                    "name": "testFirst",
                    "errors": [
                        "Plan by name 'testFirst' does not exist in tool
Primary Azure"
                    ]
                }
            ]
        }
    }
}
```

DevOps - GET /devops/orchestration/changeControl

オーケストレーションタスクが変更管理下にあるかどうかを確認します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/changeControl`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/changeControl`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
orchestrationTaskName	確認するオーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
testConnection	インスタンスと DevOps ツール間のエンドツーエンド接続をテストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エンドツーエンド接続をテストします。 • false：エンドツーエンド接続をテストしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
toolId	必須です。オーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
toolType	ツールのタイプ。 有効な値： jenkins データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「 DevOps チェンジベロシティ のプロパティ 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
changeControl	オーケストレーションタスクが変更管理下にあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更管理下にあります。 • false：変更管理下にありません。 データタイプ：ブーリアン

Example: 変更管理下にあり、API **v2** を使用

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v2/devops/orchestration/changeControl?toolId=1c219f7e8708f1508ca933383cbb3543&orchestrationTaskName=Platform-Analytics-UAT-Deployment&orchestrationTaskURL=https%253A%252F%252Fjenkins.mycompany.com%253A8080%252Fjob%252FMobile-Platform-deploy%252F&toolType=jenkins"
-H "accept: application/json"\
-H "Authorization: sn_devops.DevOpsToken
 1c219f7e8708f1508ca933383cbb3543:FtN13dfDuahYEtdfDvhHorh0QPp9na3u"
```

応答本文。

```
{
"result": {
  "changeControl": true,
  "status": "Success"
  }
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Example: 変更管理されておらず、API v1 を使用

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/c
hangeControl?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&orchestrationTaskName=
Platform-Analytics-UAT-Deployment&orchestrationTaskURL=https%253A%252F%25
2Fjenkins.mycompany.com%253A8080%252Fjob%252FMobile-Platform-deploy%252F&
toolType=jenkins"
-H "accept: application/json"\
-u "username":"password"
```

応答本文。

```
{
    "result": {
        "changeControl": false
    }
}
```

DevOps - GET /devops/orchestration/changeInfo

指定されたオーケストレーションパイプライン実行の変更要求の詳細を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/changeInfo`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/changeInfo`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
branchName	オーケストレーションタスクに関連付けられた分岐の名前。 **注:** 複数分岐パイプラインを参照する場合は、このパラメーターを指定する必要があります。指定しないと、応答に誤った変更の詳細が含まれる可能性があります。 データタイプ：文字列
buildNumber	必須です。オーケストレーションツール内のパイプラインビルド番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
pipelineName	Jenkins Freestyle または Maven プロジェクトの場合はオプションですが、それ以外の場合は必須です。オーケストレーションパイプライン名。 データタイプ：文字列
projectName	Jenkins Freestyle または Maven プロジェクトの場合は必須ですが、それ以外の場合はオプションです。オーケストレーションツールのプロジェクト名。 データタイプ：文字列
stageName	Jenkins Freestyle または Maven プロジェクトの場合はオプションですが、それ以外の場合は必須です。オーケストレーションステージ名。 データタイプ：文字列 最大長：160
toolId	必須です。オーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	注: トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
changeFound	変更要求が見つかったかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更要求が見つかりました。 • false：変更要求が見つかりませんでした。 データタイプ：ブーリアン
number	変更要求番号。 データタイプ：文字列
phase	現在のフェーズ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
phase_state	現在のフェーズのステータス。 データタイプ：文字列
priority	変更要求の優先度。優先度は、要求の影響度と緊急度に基づいています。Service Desk が要求をどの程度迅速に対処すべきかを示します。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：文字列
risk	変更のリスクのレベル。 可能な値： • 低 • 高 • 中 データタイプ：文字列
state	変更要求のステータス。 可能な値： • 評価 • 許可 • キャンセル • クローズ済み • 実装 • 新規 • 評価 • スケジュール済み データタイプ：文字列 デフォルト：New
sys_id	変更要求の sys_id。 データタイプ：文字列
type	変更要求のタイプ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 緊急 • 通常 • 標準 データタイプ：文字列
url	関連する ServiceNow インスタンス内の変更要求の URL。 データタイプ：文字列
変更アサイン先グループ	変更要求のアサイン先グループ。 データタイプ：文字列
changeApprovers	変更の承認待ちとなっている承認者のリスト。 データタイプ：文字列
plannedStartDate	変更の開始予定日時。 データタイプ：文字列
plannedEndDate	変更の終了予定日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/c
hangeInfo?toolId=1487f457db642810765555535e9619d3&pipelineName=Automati
on/apps HR/family release&stageName=deployfamilyrelease&buildNumber=1639"
-H "accept: application/json"\
-u "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "changeFound": true,
    "sys_id": "ee89341bdb642810765555535e96196e",
    "number": "CHG0030001",
    "type": "normal",
    "state": "0",
    "phase": "requested",
    "phase_state": "open",
    "priority": "4",
    "risk": "4",
    "url":
 "https://instance.servicenow.com/change_request.do?sys_id=ee89341bdb6428
10765555535e96196e",
    "changeAssignmentGroup": "Change Management",
    "changeApprovers": "Ron Kettering, Christen Mitchell, Howard Johnson,
 Luke Wilson",
    "plannedStartDate": "2023-02-05 08:00:00",
    "plannedEndDate": "2024-02-05 08:00:00"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

DevOps - GET /devops/orchestration/schema

指定されたオーケストレーションリソースのスキーマオブジェクトを返します。

必要なスキーマオブジェクトを取得したら、それを使用して、対応する POST 呼び出しの要求本文を作成します (*/orchestration/orchestrationTask* または */orchestration/taskExecution*)。

注: このエンドポイントは、必要な要求本文要素のみを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/schema`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/schema`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
resource	返されるリソーススキーマのタイプ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • build_details • callback • orchestration_task • task_execution データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
callbackURL	コールバックの URL。 データタイプ：文字列
endDateTime	タスク実行が終了した日時。 データタイプ：文字列
name	オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
number	タスクの実行数。インシデント番号と同じです。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails	オーケストレーションタスクの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"orchestrationTaskDetails": { "message": "String", "name": "String", "triggerType": "String", "url": "String" }`
orchestrationTaskDetails.message	自由形式のテキストメッセージ。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.name	オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.triggerType	オーケストレーションタスクが開始された方法。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.url	関連するオーケストレーションツールのオーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskURL	オーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列
result	タスク実行の実行結果。 有効な値： • 失敗 • 成功 データタイプ：文字列
startDateTime	タスク実行が開始された日時。 データタイプ：文字列
taskExecutionURL	実行するタスクの URL。 データタイプ：文字列
triggerType	オーケストレーションタスクが開始された方法。 有効な値： • scm：Git/scm ツールのコードコミットによってジョブがトリガーされました。 • upstream：アップストリームのジョブがこのジョブをトリガーしました。 • user：ユーザーが手動でジョブを開始しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
url	関連するオーケストレーションツールのオーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列

Example: resource=task_execution によるサンプル cURL 要求

```
curl -X GET \
'https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/schema?resource=task_execution' \
-H 'Accept: application/json'\
-u 'username':'password'
```

```
{
"result": {
  "number": 40,
  "url": "https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-CI/40/",
  "startDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
  "endDateTime": "1970-01-01T08:25:30-05:00",
  "triggerType": "upstream",
  "result": "Success",
  "orchestrationTaskDetails": {
    "name": "Mobile-Platform-CI",
    "url": "https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-CI/"
    }
  }
}
```

Example: resource=orchestration_task によるサンプル cURL 要求

```
curl -X GET \
'https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/schema?resource=orchestration_task' \
-H 'Accept: application/json'\
-u 'username':'password'
```

```
{
"result": {
  "name": "Mobile-Platform-CI",
  "url": "https://jenkins.mycompnay.com:8080/job/Mobile-Platform-CI/"
  }
}
```

Example: resource=callback によるサンプル cURL 要求

```
curl -X GET \
'https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/schema?resource=task_execution' \
-H 'Accept: application/json' \
-u 'username':'password'
```

```
{
  "result": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "callbackURL":
 "http://127.0.0.1:8090/jenkins/sn-
devops/9b0feb79-f0b9-4661-83ef-2861b8924784",
    "orchestrationTaskURL":
 "http://127.0.0.1:8090/jenkins/job/felipe-downstream/",
    "orchestrationTaskDetails": {
      "message": "Started by upstream project \"felipe-upstream\" build
 number 27",
      "triggerType": "upstream"
    }
  }
}
```

DevOps - GET /devops/orchestration/stepMapping

渡される情報がオーケストレーションタスクの作成に有効であり、以前に作成されたステップへの関連付けに有効であることを確認します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/stepMapping`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/stepMapping`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
branchName	オーケストレーションタスクに関連付けられたブランチの名前。 データタイプ：文字列
isMultiBranch	オーケストレーションツールが Jenkins の場合、プロジェクトがマルチブランチかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：プロジェクトはマルチブランチタイプです。 • false：プロジェクトはマルチブランチタイプではありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
parentStageName	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、親オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
parentStageURL	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、親オーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskName	必須です。オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskURL	必須です。オーケストレーションタスクの URL。 注: パーセント (%) エンコードする必要があります (例：https%3A%2F%2Fjenkins.mycompany.com%3A8080%2Fjob%2FMobile-Platform-deploy%2F)。 データタイプ：文字列
testConnection	インスタンスと DevOps ツール間のエンドツーエンド接続をテストするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エンドツーエンド接続をテストします。 • false：エンドツーエンド接続をテストしません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
toolId	必須です。オーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
toolType	必須です。ツールのタイプ。 有効な値：jenkins データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

要素	説明
status	検証が成功したかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true:検証に成功しました。 • false:検証に失敗しました。 データタイプ：ブーリアン
stepValid	送信された情報が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:送信された情報は有効です。 • false:送信された情報が有効ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：ブーリアン

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/s
tepMapping?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&orchestrationTaskName=Pl
atform-Analytics-UAT-Deployment&orchestrationTaskURL=https%253A%252F%252F
jenkins.mycompany.com%253A8080%252Fjob%252FMobile-Platform-deploy%252F&to
olType=jenkins "
 -H "Accept: application/json" \
 -u "username":"password"
```

情報が有効な場合の結果。

```
{
  "result": {
    "stepValid": true,
    "status": "Success"
  }
}
```

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/s
tepMapping?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&orchestrationTaskName=Pl
atform-Analytics-UAT-Deployment&orchestrationTaskURL=https%253A%252F%252F
jenkins.mycompany.com%253A8080%252Fjob%252FMobile-Platform-deploy%252F&to
olType=jenkins "
 -H "Accept: application/json" \
 -u "username":"password"
```

情報が無効な場合の結果。

```
{
"result": {
  "stepValid": false,
  "status": "Success"
}
```

DevOps - GET /devops/plan/schema

特定の計画 (アプリ、バージョン、または作業アイテム) のスキーマオブジェクトを返します。

必要なスキーマオブジェクトを取得したら、それを使用して、対応する POST 呼び出しの要求本文を作成します (*`POST /plan/app`*、*`POST /plan/version`*、または *`POST /plan/workitem`*)。

注: このエンドポイントは、必要な要求本文要素のみを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/plan/schema`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/plan/schema`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
resource	返されるリソーススキーマのタイプ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • app • version • work_item データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	認証が無効か見つかりません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
app	バージョンに関連付けられたアプリケーションの説明。 データタイプ：オブジェクト `"app": { "createdDateTime": "String", "id": "String", "shortDescription": "String", "team": {Object}, "url": "String" }`
app.createdDateTime	ソース DevOps ツールでアプリケーションが作成された日時。 データタイプ：文字列
app.id	アプリケーションの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
app.shortDescription	関連付けられたアプリケーションの簡単な説明。 データタイプ：文字列
app.team	アプリケーションに関連付けられたチームの説明。 データタイプ：オブジェクト `"team": { "id": "String", "name": "String" }`
app.team.id	アプリケーションに関連付けられたチームの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
app.team.name	アプリケーションに関連付けられたチームの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
app.url	ソース計画立案ツールサイトのアプリケーションの URL。 データタイプ：文字列

assignedTo	作業アイテムがアサインされているユーザーの説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"assignedTo": {`
	`  "email": "String",`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "userName": "String"`
	`}`

assignedTo.email	作業アイテムにアサインされたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
assignedTo.id	作業アイテムにアサインされたユーザーの一意の識別子。 データタイプ：文字列
assignedTo.name	作業アイテムにアサインされたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
assignedTo.userName	作業アイテムにアサインされたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
createDateTime	アプリケーション、バージョン、または作業アイテムのレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
id	アプリケーション、バージョン、または作業アイテムの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
name	アプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
path	アプリケーションへの相対パス。 データタイプ：文字列
shortDescription	アプリケーション、バージョン、または作業アイテムの簡単な説明。 データタイプ：文字列
state	作業アイテムのステータス。ソース計画立案ツールによって生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
team	アプリケーションに関連付けられたチームの説明。 データタイプ：オブジェクト `"team": { "id": "String", "name": "String" }`
team.id	アプリケーションに関連付けられたチームの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
team.name	アプリケーションに関連付けられたチームの名前。 データタイプ：文字列
type	作業アイテムのタイプ。計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
url	アプリケーション、バージョン、または作業アイテムにアクセスするために使用する URL。 データタイプ：文字列
version	バージョンを記述するアレイ。 データタイプ：オブジェクト `"version": { "app": {Object}, "createdDateTime": "String", "id": "String", "shortDescription": "String", "url": "String" }`
version.app	バージョンに関連付けられたアプリケーションの説明。 データタイプ：オブジェクト `"app": { "createdDateTime": "String", "id": "String", "shortDescription": "String", "team": {Object}, "url": "String" }`
version.app.createdDateTime	ソース DevOps ツールでバージョンが作成された日付/時刻。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
version.app.id	アプリケーションの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
version.app.shortDescription	関連付けられたアプリケーションの簡単な説明。 データタイプ：文字列

version.app.team	アプリケーションに関連付けられたチームの説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"team": {`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String"`
	`}`

version.app.team	アプリケーションに関連付けられたチームの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
version.app.team.id	アプリケーションに関連付けられたチームの名前。 データタイプ：文字列
version.app.url	ソース計画立案ツールサイトのアプリケーションの URL。 データタイプ：文字列
version.createdDateTime	ソース DevOps ツールでバージョンが作成された日付/時刻。 データタイプ：文字列
version.id	バージョンの一意の識別子。ソース計画立案ツールによって生成されます。 データタイプ：文字列
version.shortDescription	関連付けられたバージョンの簡単な説明。 データタイプ：文字列
version.url	ソース計画立案ツールサイトのバージョンの URL。 データタイプ：文字列

Example: resource=app のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/plan/schema?res
ource=app" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "id": "PRODUCT1234",
    "shortDescription": "Mobile UI",
    "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
    "team": {
      "name": "Mobile UI",
      "id": "f0ca45679323008b52f3b457415ae6"
    },
    "url": "https://jira.com/mycompany/browse/PRODUCT-125"
  }
}
```


Example: resource=version のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/plan/schema?res
ource=version" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "id": "REL1234",
    "shortDescription": "APIs Release",
    "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
    "app": {
      "id": "PRODUCT1234",
      "shortDescription": "Mobile UI",
      "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
      "team": {
        "name": "Mobile UI",
        "id": "f0ca45679323008b52f3b457415ae6"
      },
      "url": "https://jira.com/mycompany/browse/PRODUCT-125"
    },
    "url": "https://jira.com/mycompany/browse/REL-125"
  }
}
```


Example: resource=work_item のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/plan/schema?res
ource=work_item" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "id": "STR1234",
    "type": "Story",
    "shortDescription": "Planning API Spec",
    "state": "In-progress",
    "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "assignedTo": {
      "name": "Leo Neo",
      "userName": "lenn",
      "id": "3fa85f64-5717-4562-b3fc-2c963f66afa6",
      "email": "lenn@smithworksinc.com"
    },
    "version": {
      "id": "REL1234",
      "shortDescription": "APIs Release",
      "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
      "app": {
        "id": "PRODUCT1234",
        "shortDescription": "Mobile UI",
        "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
        "team": {
          "name": "Mobile UI",
          "id": "f0ca45679323008b52f3b457415ae6"
        },
        "url": "https://jira.com/mycompany/browse/PRODUCT-125"
        },
        "url": "https://jira.com/mycompany/browse/REL-125"
    },
    "app": {
      "id": "PRODUCT1234",
      "shortDescription": "Mobile UI",
      "createdDateTime": "1970-01-01T08:15:30-05:00",
      "team": {
        "name": "Mobile UI",
        "id": "f0ca45679323008b52f3b457415ae6"
      },
      "url": "https://jira.com/mycompany/browse/PRODUCT-125"
    },
    "url": "https://jira.com/mycompany/browse/HALOKEY-25"
  }
}
```


DevOps - POST/devops/artifact/registration

アーティファクトを ServiceNow インスタンスに登録するオーケストレーションツールを有効にします。

このエンドポイントは、新しいアーティファクトとアーティファクトバージョンを作成し、それらをコミットに関連付けます。以下で、エンドポイントのプロセスフローについて説明します。

- 要求で *toolId* が渡されると、エンドポイントはツールがインスタンス内に存在することを検証します。また、*artifacts.repositoryName* で指定されたアーティファクトリポジトリが存在するかどうかを確認し、存在しない場合は、関連するアーティファクトツールの下に作成します。
- 要求で *toolId* が渡されない場合、リポジトリは作成されますが、アーティファクトツールにリンクされません。
- その後、*artifacts.name* で指定されたアーティファクトが既に存在しているかどうかを確認し、存在しない場合は、関連するリポジトリの下に作成します。
- *artifact.version* が要求で渡された場合：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 存在しない場合は、関連するアーティファクトバージョン [sn_devops_artifact_version] テーブルに新しいアーティファクトバージョンレコードが作成されます。
- エンドポイントは、指定されたビルドの詳細 (*pipelineName* または *projectName*、*taskExecutionNumber*、*branchName*、および *stageName*) と *orchestrationToolId* パラメーターに基づいて、関連するタスク実行を検索します。
- タスク実行が検出され、その後処理が完了すると、アーティファクトバージョンがタスク実行にリンクされ、TaskExecution のアーティファクト [sn_devops_m2m_artifact_execution] テーブルに格納されます。これらのタスク実行にリンクされたコミットは、アーティファクトバージョンにも関連付けられ、コミットするアーティファクトバージョン [sn_devops_m2m_artifact_version_commit] テーブルに格納されます。アーティファクトを作成しなかった以前のタスク実行にリンクされているコミットも、そのアーティファクトバージョンに関連付けられます。
- タスク実行が検出され、その後処理が完了していない場合、要求はアーティファクトステージング済み要求 [sn_devops_artifact_staging] テーブルに保持されます。ステージング済み要求には、タスク実行への参照が含まれています。
- タスク実行が見つからない場合、要求はステージングテーブルに保持されます。ステージング済み要求には、ビルドの詳細が含まれています。

- *artifact.version* が渡されない場合、ツール構成に応じて、アーティファクトツールが Webhook をサポートしている場合は */devops/tool/artifact* エンドポイントを呼び出すことで、またはアーティファクトツールからアーティファクトバージョンを取得するカスタムサブフローを使用して、アーティファクトバージョンが取得されます。

アーティファクトの詳細については、「リリースでの DevOps 変更の促進の使用」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/artifact/registration`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/artifact/registration`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
orchestrationToolId	必須です。アーティファクトに関連付けられたオーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。エンドポイントはこの情報を使用して、タスク実行情報を特定します。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
toolId	アーティファクトに関連付けられたアーティファクトツールの sys_id。アーティファクトツール [sn_devops_artifact_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
artifacts	エントリが少なくとも 1 つ必要です。登録するアーティファクトバージョンを各オブジェクトが一意に識別するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"artifacts": [ { "name": "String", "repositoryName": "String", "semanticVersion": "String", "version": "String" } ]`
artifacts.name	必須です。アーティファクトファイル名。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字
artifacts.repositoryName	必須です。アーティファクトリポジトリ名。 指定されたリポジトリレコードが存在しない場合は作成されます。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字
artifacts.semanticVersion	アーティファクトのセマンティックバージョン。 データタイプ：文字列 形式：MAJOR.MINOR.PATCH 可能な値の例： • 2.0.0 • 2.0.0-rc.2 • 2.0.0-rc.1 • 1.0.0-beta 最大長：160 文字 デフォルト：Null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
artifacts.version	*toolId*が渡されない場合は必須です。アーティファクトバージョン データタイプ：文字列 形式：MAJOR.MINOR 最大長：160 文字 デフォルト：Null
branchName	複数分岐プロジェクトの場合は必須です。アーティファクトが保存されているリポジトリ内の分岐の名前。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
pipelineName	*projectName* が渡されない場合は必須です。パイプライン名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
projectName	*pipelineName* が渡されない場合は必須です。自由形式のプロジェクト名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
stageName	*pipelineName* が渡されない場合は必須です。ステージ名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功です。応答本文ありで成功しました。
201	作成されました。応答本文ありで成功しました。
400	要求が正しくありません。要求 URI がシステム内の API と一致しないか、不明な理由で操作が失敗しました。無効なヘッダーによっても、このエラーが発生する場合があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
response	アーティファクト登録要求の結果。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"response": {
	  "artifact": {Object},
	  "artifact_register_requests":
	 {Object},
	  "artifact_repository": {Object},
	  "artifact_version": {Object}
	}</pre>

response.artifact	処理された各アーティファクトの結果。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"artifact": {
	  "create": [Array],
	  "found": [Array],
	  "update": [Array]
	}</pre>

response.artifact.create	要求でアーティファクトレコードが作成された場合は、アーティファクト [sn_devops_artifact] テーブル内の作成されたレコードの sys_id のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"create": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact.create.id	要求によって作成されたアーティファクトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

response.artifact.found	アーティファクトが既にアーティファクトテーブルに存在する場合、既存のアーティファクトレコードの sys_id のリスト。
	
	注: 既存のパッケージは変更されません。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"found": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact.found.id	既存のアーティファクトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact.update	現在、使用されていません。
response.artifact.update.id	現在、使用されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
response.artifact_register_requests	処理が完了せず、アーティファクトステージング済み要求テーブルに格納されているアーティファクト登録要求の結果。 データタイプ：オブジェクト `"artifact_register_requests": { "create": [Array], "found": [Array], "update": [Array] }`
response.artifact_register_requests.create	要求でアーティファクトステージングレコードが作成された場合は、作成されたレコードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ `"create": [ { "id": "String" } ]`
response.artifact_register_requests.create.id	要求によって作成されたアーティファクトステージングレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact_register_requests.found	関連するアーティファクトステージングレコードがアーティファクトにある場合は、既存のアーティファクトステージングレコードの sys_id のリスト。 注: 既存のパッケージは変更されません。 データタイプ：アレイ `"found": [ { "id": "String" } ]`
response.artifact_register_requests.found.id	既存のアーティファクトステージングレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact_register_requests.update	現在、使用されていません。
response.artifact_register_requests.update.id	現在、使用されていません。
response.artifact_repository	要求の処理中に操作されたアーティファクトリポジトリレコードの結果。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"artifact_repository": {
	  "create": [Array],
	  "found": [Array],
	  "update": [Array]
	}</pre>

response.artifact_repository.create	要求によってアーティファクトリポジトリが作成された場合は、作成されたレコードの sys_id のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"create": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact_repository.create.id	要求によって作成されたアーティファクトリポジトリレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

response.artifact_repository.found	登録要求で使用されるアーティファクトリポジトリレコードが既に存在する場合、既存のレコードの sys_id のリスト。
	
	注: 既存のパッケージは変更されません。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"found": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact_repository.found.id	要求によって使用された既存のアーティファクトリポジトリレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

response.artifact_repository.update	エンドポイントがリポジトリの追跡フラグを (false から) true に更新した場合、変更されたリポジトリレコードの sys_id のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"update": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact_repository.update.id	追跡フラグが変更されたリポジトリレコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
response.artifact_version	要求の処理中に操作されたアーティファクトバージョンレコードの結果。 データタイプ：オブジェクト `"artifact_version": { "create": [Array], "found": [Array], "update": [Array] }`
response.artifact_version.create	要求の処理中に作成されたアーティファクトバージョンレコードの結果。 データタイプ：アレイ `"create": [ { "id": "String" } ]`
response.artifact_version.create.id	要求によって作成されたアーティファクトバージョンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact_version.found	登録要求で使用されるアーティファクトバージョンレコードが既に存在する場合、既存のレコードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ `"found": [ { "id": "String" } ]`
response.artifact_version. found.id	要求によって使用された既存のアーティファクトバージョンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact_version.update	現在、使用されていません。
response.artifact_version.update.id	現在、使用されていません。
status	登録要求のステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 成功：応答本文に返される結果が含まれています。 • エラー：応答本文にすべてのエラーのリストが含まれています。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST \
'https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/devops/artifact/registrati
on?toolId=391b4ff6dba24010bc8cdd384b96198f&orchestrationToolId=99d70b36db
a24010bc8cdd384b961985' \
-H 'Accept: application/json' \
-H 'Content-Type: application/json' \
-u 'username':'password' \
-d ' {"artifacts": [\
 {\
 "name": "sa-web.jar",\
 "version": "3.1",\
 "semanticVersion": "3.1.0",\
 "repositoryName": "services-1031"\
 },\
 {\
 "name": "sa-frontend.jar",\
 "version": "3.2",\
 "semanticVersion": "3.2.0",\
 "repositoryName": "services-1031"\
 }\
 ],\
 "pipelineName": "spring-boot-app",\
 "taskExecutionNumber": "160",\
 "stageName": "Build",\
 "branchName": "primary"\
}]'
```

```
{
"result": {
  "status": "Success",
  "response": {
    "artifact_repository": {
      "create": [
        {
          "id": "2e50ba8bdbaa4010bc8cdd384b961988"
        }
      ],
      "update": [],
      "found": [
        {
          "id": "2e50ba8bdbaa4010bc8cdd384b961988"
        }
      ]
    },
    "artifact": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "create": [
        {
          "id": "6a50f603dbea4010bc8cdd384b96193d"
        },
        {
          "id": "2e50f603dbea4010bc8cdd384b96193f"
        }
      ],
      "update": [],
      "found": []
    },
    "artifact_version": {
      "create": [
        {
          "id": "a650f603dbea4010bc8cdd384b96193e"
        },
        {
          "id": "6250f603dbea4010bc8cdd384b961940"
        }
      ],
      "update": [],
      "found": []
    },
    "artifact_register_requests": {
      "create": [
        {
          "id": "6250f603dbea4010bc8cdd384b96193f"
        },
        {
          "id": "6650f603dbea4010bc8cdd384b961940"
        }
      ],
      "update": [],
      "found": []
    }
  }
 }
}
```


DevOps - POST /devops/onboarding/app

DevOps サービスによって非同期に処理されるオンボーディングアプリイベントを作成します。

このエンドポイントは次のアクションを実行できます。

- アプリケーションを作成します。
- 計画、リポジトリ、パイプラインなどの DevOps オブジェクトをアプリケーションに関連付けます。
- 変更ステップレコードを作成し、変更承認プロセスをパイプラインに関連付けます。

これらのアクションはすべてツールと機能に固有です。次の表は、サポートされている各ツールで利用可能なアクションの概要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Tool	Capabilities	Actions		
		App Association	Configure	Change Step creation
ServiceNow Agile	Plans	✓	NA	NA
Azure	Plans	✓	NA	NA
	Repos	✓	NA	NA
	Pipelines	✓	NA	✓
BitBucket	Repos	✓	✓	NA
GitHub	Repos	✓	✓	NA
GitLab	Repos	✓	✓	NA
	Pipelines	✓	✓	✓
Jenkins	Pipelines	✓	NA	✓
Jira	Plans	✓	NA	NA

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/onboarding/app`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/onboarding/app`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
apps	関連する ServiceNow インスタンス内に作成するアプリを定義するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"apps": [{ "bussinessApp": "String", "name": "String" }]`
apps.bussinessApp	アプリケーションのマップ先の cmdb_ci_business_app の名前。これに

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	より、DevOps アプリケーションが指定された CMDB アプリケーションに関連付けられます。 データタイプ：文字列
apps.name	必須です。作成するアプリケーションの分かりやすい名前。アプリは、計画、リポジトリ、およびパイプラインを結び付ける DevOps 製品コンテナーオブジェクトです。 データタイプ：文字列

credentials	必須です。Webhook の作成に使用する資格情報。作成された Webhook は、通知を送信するためにツールで使用されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"credentials": {`
	`  "name": "String",`
	`  "password": "String"`
	`}`

credentials.name	必須です。エンドポイント要求を行うユーザーの ServiceNow ユーザー ID。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。このユーザーには devops.integration.user ロールが必要です。バージョン 1.34.1 以降、このユーザーには sn_devops.admin ロールが必要です。 データタイプ：文字列
credentials.password	必須です。*credenitals.name* パラメーターで指定されたユーザーのパスワード。 データタイプ：文字列

pipelines	アプリケーションに関連付けるパイプラインを定義するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"pipelines": [{`
	`  "app": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "tool": "String"`
	`}]`

pipelines.app	*pipelines* オブジェクトが指定されている場合は必須です。*pipelines.name* パラメーターで指定された計画に関連付けるアプリケーションの名前。アプリケー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	ションは既に作成されているか、この要求の *apps* オブジェクトで指定されている必要があります。 データタイプ：文字列
pipelines.changeSteps	*pipelines.name* フィールドで指定されたパイプラインに対して作成する変更ステップを定義するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"changeSteps": [{ "changeApprovalGroup": "String", "changeControlledBranches": "String", "changeType": "String", "name": "String", "type": "String" }]` データタイプ：文字列
pipelines.changeSteps.changeApprovalGroup	*changeSteps* オブジェクトが指定されている場合は必須です。パイプラインに関連付ける変更承認グループの名前。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。このグループは ServiceNow インスタンスに既に存在している必要があります。 データタイプ：文字列
pipelines.changeSteps.changeControlledBranches	変更管理下にあるコード分岐のカンマ区切りリスト。これは複数分岐のサポートにのみ適用されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：* (すべての分岐)
pipelines.changeSteps.changeType	*changeSteps* オブジェクトが指定されている場合は必須です。作成する変更要求のタイプ。使用可能なタイプは、変更要求 [change_request] テーブルの Type フィールドで定義されます。 データタイプ：文字列
pipelines.changeSteps.name	*changeSteps* オブジェクトが指定されている場合は必須です。作成するステップの名前。ステップ名は、オーケストレーションツールのパイプライン内の対応す

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	るステップの名前と一致する必要があります。 データタイプ：文字列
pipelines.changeSteps.type	*changeSteps* オブジェクトが指定されている場合は必須です。作成するステップのタイプ。利用可能なステップタイプは、ステップ [sn_devops_step] テーブルの Type フィールドで定義されます。 データタイプ：文字列
pipelines.name	*pipelines* オブジェクトが指定されている場合は必須です。*pipelines.app* パラメーターで指定されたアプリケーションに関連付けるパイプラインの名前。このパイプラインは ServiceNow インスタンスで既に検出されている必要があります。 データタイプ：文字列
pipelines.project	`pipelines` オブジェクトが指定され、pipelines.tool がプロジェクト エンティティ (ADO ツールなど) をサポートしている場合は必須です。一意のパイプライン/ツール識別子を作成するためにパイプラインに関連付けるプロジェクト。パラメーター値は、プロジェクト [sn_devops_project] テーブルのプロジェクトから派生する必要があります。 データタイプ：文字列
pipelines.tool	*pipelines* オブジェクトが指定されている場合は必須です。パイプラインに関連付けて、一意のパイプライン/ツール識別子を作成するツール。 データタイプ：文字列
plans	アプリケーションに関連付ける計画を定義するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"plans": [{ "app": "String", "name": "String", "tool": "String" }]`
plans.apps	*plans* オブジェクトが指定されている場合は必須です。*plans.name* パラメー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	ターで指定された計画に関連付けるアプリケーションの名前。これらのアプリケーションは既に作成されているか、この要求の *apps* オブジェクトで指定される必要があります。 データタイプ：文字列のアレイ
plans.name	*plans* オブジェクトが指定されている場合は必須です。*plans.app* パラメーターで指定されたアプリケーションに関連付ける計画の名前。この計画は ServiceNow インスタンスで既に検出されている必要があります。 データタイプ：文字列
plans.project	`plans` オブジェクトが指定されていて、plans.tool がプロジェクトエンティティ (ADO ツールなど) をサポートしている場合は必須です。一意の計画/ツール識別子を作成するためにパイプラインに関連付けるツール。パラメーター値は、プロジェクト [sn_devops_project] テーブルのプロジェクトから派生する必要があります。 データタイプ：文字列
plans.tool	*plans* オブジェクトが指定されている場合は必須です。計画に関連付けて、一意の計画/ツール識別子を作成するツール。 データタイプ：文字列
repositories	アプリケーションに関連付けるリポジトリを定義するオブジェクトのアレイ。リポジトリオブジェクトにアプリパラメーターが含まれている場合は、リポジトリをアプリケーションにマッピングします。 データタイプ：アレイ `"repositories": [{ "app": "String", "name": "String", "tool": "String" }]`
repositories.app	*repositories* オブジェクトが指定されている場合は必須です。このリポジトリに関連付けるアプリケーションの名前。アプリケーションは既に作成されている

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	か、この要求の *apps* オブジェクトで指定されている必要があります。 データタイプ：文字列
repositories.name	*repositories* オブジェクトが指定されている場合は必須です。*repositories.app* パラメーターで指定されたアプリケーションに関連付けるリポジトリの名前。このリポジトリは ServiceNow インスタンスで既に検出されている必要があります。 データタイプ：文字列
repositories.project	`リポジトリ`オブジェクトが指定され、*repositories.tool*がプロジェクトエンティティ (ADO ツールなど) をサポートしている場合は必須です。リポジトリに関連付けて一意のリポジトリ/ツール識別子を作成するツール。パラメーター値は、プロジェクト [sn_devops_project] テーブルのプロジェクトから派生する必要があります。 データタイプ：文字列
repositories.tool	*repositories* オブジェクトが指定されている場合は必須です。一意のリポジトリ/ツール識別子を作成するためにリポジトリに関連付ける分かりやすいツール名。ツールは ServiceNow インスタンスで既に作成されている必要があります。 データタイプ：文字列
artifactRepositories.app	`artifactRepositories` オブジェクトが指定されている場合は必須です。このアーティファクトリポジトリに関連付けるアプリケーションの名前。アプリケーションは、既に作成されているか、この要求の `apps` オブジェクトで指定されている必要があります。 データタイプ：文字列
artifactRepositories.name	`artifactRepositories` オブジェクトが指定されている場合は必須です。*artifactRepositories*.appパラメーターで指定されたアプリケーションに関連付けるartifactRepositoriesの名前。このアーティファクトリポジトリは、ServiceNow インスタンスで既に検出されている必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
artifactRepositories.tool	`artifactRepositories` オブジェクトが指定されている場合は必須です。一意の artifactRepositories /ツール識別子を作成するために artifactRepositories に関連付ける分かりやすいツール名。ツールは、ServiceNow インスタンスで既に作成されている必要があります。 データタイプ：文字列
artifactRepositories.project	`artifactRepositories` オブジェクトが指定されていて、*`repositories.tool`* がプロジェクトエンティティ (ADO ツールなど) をサポートしている場合は必須です。一意のパイプライン/ツール識別子を作成するために *`artifactRepositories`* に関連付けるツール。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	オンボーディング要求が正常に作成されました。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	オンボーディング要求の結果。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "code": "String", "details": "String", "errors": {Object], "onboardingRequestID": "String", "status": "String" }`
result.code	HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
result.details	オンボーディング要求に関する詳細。 データタイプ：文字列
result.errors	発生したエラーの説明。 データタイプ：オブジェクト
result.error.message	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.onboardingRequestID	オンボーディング要求の一意の識別子。*/devops/onboarding/status* エンドポイントを呼び出して、関連するオンボーディングプロセスのステータスを取得するときに、この値を使用します。 データタイプ：文字列
result.status	オンボーディング要求のステータス (成功または失敗)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、Bike Rental Service アプリケーションを作成し、Jenkins パイプラインの Bike Rentals、GitHub リポジトリ nowDevops01/CorpSite、および Azure プラン testPlan_Bike_Rental に関連付けています。

```
curl -X POST
 "https://servicenow-instance/api/sn_devops/v1/devops/onboarding/app" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
-u "username":"password" \
-d "{
  "apps": [
    {
      "name": "Bike Rental Service"
    }
  ]
  "pipelines": [
    {
      "tool": "Primary Jenkins",
      "name": "Bike Rentals",
      "app": "Bike Rental Service",
      "changeSteps": [
        {
          "name": "Prod",
          "type": "deploy",
          "changeApprovalGroup": "Change Management",
          "changeType": "normal"
        }
      ]
    }
  ],
  "repositories": [
    {
      "tool": "Primary GitHub",
      "name": "nowDevops01/CorpSite",
      "app": "Bike Rental Service"
    }
  ]
  "plans": [
    {
      "tool": "Primary Azure",
      "name": "testPlan_Bike_Rental",
"project": "DemoProjecttt",
      "apps": [
        "Bike Rental Service"
      ]
    }
  ]
"artifactRepositories": [
{
"tool": "AdoTool",
"name": "empb5-sonar",
"apps": [
"appXXXXtz"
]
}
]

  "credentials" : {
    "name": "devops_user",
    "password": "devops_password"
  }
}
```

出力:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "result":{
    "status": "Success",
    "details": "Onboarding request has been created. Please use
 the /status api and the onboarding request number to get the status of
 the request",
    "onboardingRequestID": "IBE0001045",
    "code": "202"
  }
}
```

DevOps - POST /devops/onboarding/tool

DevOps サービスによって非同期に処理されるオンボーディングツールイベントを作成します。

要求がポストされたツールのタイプに応じて、エンドポイントは次のアクションを実行します。

- 関連する ServiceNow インスタンス内にツールを作成する
- ツールに接続する
- ツールの設定を試行する (接続に成功した場合のみ)
- ツールを検出する (接続に成功した場合のみ)

これらのアクションはすべてツール固有であり、指定されたツールの統合機能に基づいて実行されます。

Tool	Action			
	Create	Connect	Discover	Configure
ServiceNow Agile	✓	✓	✓	NA
Azure	✓	✓	✓	✓
BitBucket	✓	✓	✓	×
GitHub	✓	✓	✓	×
GitLab	✓	✓	✓	×
Jenkins	✓	✓	✓	×
Jira	✓	✓	✓	✓

このエンドポイントで返される結果は、要求がポストされたかどうかのみを示し、関連するツールが作成されたかどうかは示しません。実際のツールの作成は非同期に処理されます。ツールの作成と他のすべてのアクションのステータスを取得するには、*/devops/onboarding/status* エンドポイントを呼び出し、このエンドポイントによって返される *onboardingRequestID* パラメーターを渡す必要があります。

このエンドポイントにアクセスするには、管理者が、インスタンスでツールを設定するために DevOps 接続と資格情報エイリアス (CreateDevOpsTool) を設定する必要があります。詳細については、「DevOps チェンジベロシティのインストール」を参照してください。さらに、呼び出し元エンティティには devops.integration.user ロールが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/onboarding/tool`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/onboarding/tool`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明

credentials	必須です。Webhook の作成に使用する資格情報。作成された Webhook は、通知を送信するためにツールで使用されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"credentials": {`
	`  "name": "String",`
	`  "password": "String"`
	`}`

credentials.name	必須です。エンドポイント要求を行うユーザーの ServiceNow ID。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。このユーザーには devops.integration.user ロールが必要です。バージョン 1.34.1 以降、このユーザーには sn_devops.admin ロールが必要です。 データタイプ：文字列
credentials.password	必須です。*`credenitals.name`* パラメーターで指定されたユーザーのパスワード。 データタイプ：文字列

tools	必須です。関連する ServiceNow インスタンス内に作成するツールを定義するオブジェクトのアレイ。1 つの要求で 1 つ以上のツールを作成できます。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"tools": [{`
	`  "name": "String",`
	`  "password": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明

	<pre> "type": "String",
	  "useMidServer": Boolean,
	  "username": "String",
	  "url": "String"
	}]</pre>

tools.name	必須です。作成するツールの分かりやすい名前またはラベル。この名前は、DevOps サービスでツールを識別するために使用されます。 データタイプ：文字列
tools.password	アジャイルツール以外で必須です。ツールへのアクセスに使用するパスワード。サポートされている認証は基本認証とトークン認証です。OAuth はサポートされていません。 データタイプ：文字列
tools.type	必須です。作成するツールのタイプ (GitHub や BitBucket など)。指定された値は、ツール統合 [sn_devops_tool_integration] テーブルのツールラベルの 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
tools.useMidServer	ツールが MID サーバー を介して接続するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：MID サーバー を介して接続します。 • false：MID サーバー を介して接続しません。 データタイプ：ブーリアン
tools.username	アジャイルツール以外で必須です。このエンドポイントを介してツールにアクセスするために使用するユーザー名。 データタイプ：文字列
tools.url	アジャイルツール以外で必須です。作成するツールの URL。DevOps サービスでは、この URL を使用してツールと統合します。「Azure DevOps」ツールを使用する場合、 *`tools.url`* には ADO 組織 URL または ADO プロジェクト URL のいずれかを含めることができます。 ADO 組織の URL を指定すると、API は指定された組織の下にあるすべてのプロジェクトを検出し、プロジェクトは構成しません。ADO プロジェクト URL を指定すると、API はプロジェクトに関連するエンティティ (パイプライン、リポジトリ、プラン) を検出し、 *`credentials`* オブジェクトが存在する場合はプロジェクトも構成します。プロジェクト構成をスキップするように API に明示的に指示するには、フラグ *`configureTool`* (タイプ: ブーリアン) を `false` に設定します。ペイロードで *`configureTool`* が明示的に指定されていない場合、または `true` に設定されている場合、ツールは自動的に構成されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
202	オンボーディング要求が正常に作成されました。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	オンボーディング要求の結果。
	データタイプ：オブジェクト
	`"result": {`
	`  "code": "String",`
	`  "details": "String",`
	`  "errors": {Object},`
	`  "onboardingRequestID": "String",`
	`  "status": "String"`
	`}`

result.code	HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
result.details	オンボーディング要求に関する詳細メッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.errors	発生したエラーの説明。 データタイプ：オブジェクト
result.error.message	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.onboardingRequestID	オンボーディング要求の一意の識別子。*/devops/onboarding/status* エンドポイントを呼び出して、関連するツールのオンボーディングプロセスのステータスを取得するときに、この値を使用します。 データタイプ：文字列
result.status	オンボーディング要求のステータス (成功または失敗)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、GitHub をオンボーディングする方法を示しています。

```
curl -X POST
 "https://servicenow-instance/api/sn_devops/v1/devops/onboarding/tool" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "tool":[{
    "name": "Primary GitHub",
    "type": "GitHub",
    "url": "https"//api.github.com",
    "username": "username",
    "password": "password",
    "useMidServer": false
  }]
  "credentials" : {
    "name": "devops_user",
    "password": "devops_password"
  }
}
```

```
{
  "result":{
    "status": "Success",
    "details": "Onboarding request has been created. Please use
 the /status api and the onboarding request number to get the status of
 the request",
    "onboardingRequestID": "IBE0001041",
    "code": "202"
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DevOps - POST /devops/orchestration/changeControl

変更管理下にあるオーケストレーションタスクの ServiceNow インスタンスでコールバックを登録します。変更要求で決定が行われたら、これを呼び出すことができます。

このエンドポイントを呼び出す前に、ServiceNow インスタンスにオーケストレーションタスクを作成しておく必要があります。このタスクは、Discovery を使用するか、DevOps - POST /devops/orchestration/stepMapping エンドポイントを呼び出すことで作成できます。また、オーケストレーションタスクが以前に定義されたパイプラインステップに関連付けられていること、および変更コントロールが有効になっていることも確認する必要があります ([App Stage] フォームで [**Change control** (変更コントロール)] オプションを選択します)。詳細については、「DevOps 変更の促進」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/changeControl`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/changeControl`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
toolId	必須です。指定されたタスクを変更管理下に置く DevOps ツールの sys_id。オーケストレーションツール sn_devops_orchestration_tool テーブルにあります。 データタイプ：文字列
toolType	ツールのタイプ。 有効な値：ツールを識別する任意の値 (「jenkins」など)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
callbackURL	必須です。関連する変更要求承認プロセスが完了したときに ServiceNow インスタンスがコールバックできる URL。このコールバックは、承認結果に基づいてパイプラインの実行を続行するか、または続行しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
changeRequestDetails	変更要求をクローズするときに設定するフィールドの名前と値のペア。このオブジェクトには、以下を除く変更要求レコードの任意のフィールドを含めることができます。 • impact • number • risk • risk_impact_analysis • sys_id これらのフィールドが要求に含まれている場合、エンドポイントは 400 エラーを返し、変更要求は更新されません。また、他の必須フィールドの設定を必要とするフィールドを含めたが、それらのフィールドが送信されない場合は、パイプラインの後の処理で要求が失敗します。この失敗は、変更要求の作業メモに、その変更要求のエラーメッセージとともに記載されています。例：変更の要求の更新が理由 <プラットフォームからのエラーメッセージ> で失敗しました。変更要求および関連するステップの実行をキャンセルしています。 このオブジェクトでブーリアンパラメーター *setCloseCode* を渡して、関連する変更要求レコードのクローズ情報を設定するかどうかを指定することもできます。 • true に設定すると、close_code フィールドがジョブのステータスに設定され、close_notes フィールドが関連する変更要求レコードのステップ実行へのリンクに設定されます。デフォルト値は true です。 • false に設定すると、close_code フィールドと close_notes フィールドは設定されず、ステップ実行へのリンクが work_notes フィールドに設定されます。 データタイプ：オブジェクト
isMultiBranch	オーケストレーションツールが Jenkins の場合、プロジェクトがマルチブランチかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	有効な値： • true：プロジェクトはマルチブランチタイプです。 • false：プロジェクトはマルチブランチタイプではありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
orchestrationTaskDetails	必須です。 オーケストレーションタスクの説明。 データタイプ：オブジェクト `"orchestrationTaskDetails": { "message": "String", "triggerType": "String", "upstreamTaskExecutionURL": "String" }`
orchestrationTaskDetails.message	自由形式のテキストメッセージ。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.triggerType	必須です。オーケストレーションタスクが開始された方法。 有効な値： • scm：Git/scm ツールのコードコミットによってジョブがトリガーされました。 • upstream：アップストリームのジョブがこのジョブをトリガーしました。 • user：ユーザーが手動でジョブを開始しました。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.upstreamTaskExecutionURL	*triggerType* が `upstream` に設定されている場合は必須です。アップストリームタスク実行 URL。 例：https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-test/40/ データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
orchestrationTaskURL	必須です。コールバックを作成するオーケストレーションタスクの URL。 例：https://jenkins.mycompany.com:8080/orchestration_task/Mobile-Platform-deploy/ データタイプ：文字列
parentNode	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、この値には親ノードの詳細が含まれます。 データタイプ：オブジェクト `"parentNode": { "id": "String", "name": "String", "upstreamStageName": "String", "upstreamTaskExecutionURL": "String" }`
parentNode.id	親ノードの一意の ID。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ ID に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.name	親ノードの名前。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ名に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.upstreamStageName	親ノードのアップストリームオーケストレーションタスクの名前。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ名に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.upstreamTaskExecutionURL	親ノードのアップストリームタスク実行の URL。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ実行に対応します。 データタイプ：文字列
parentStageName	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	子である場合、親オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
parentStageURL	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、親オーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
changeControl	オーケストレーションタスクが変更管理下にあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更管理下にあります。 • false：変更管理下にありません。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/c
hangeControl?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&toolType=jenkins"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{

 \"orchestrationTaskURL\":
\"https://jenkins.mycompany.com:8080/orchestration
 task/Mobile-Platform-deploy/\",

 \"callbackURL\":\"https://jenkins.mycompany.com:8080/sn-
devops/964aca59-0cae-4d9b-a36d-5929f426cf31\",
  \"orchestrationTaskDetails\":{
    \"message\":\"Started by upstream project
 \\\"Mobile-Platform-test\\\" build number 40\",
    \"triggerType\":\"upstream\",

 \"upstreamTaskExecutionURL\":
\"https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-test/40/\"}
}"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。

```
{
"result": {
   "changeControl": true,
   "status": "Success"
   }
}
```

Example: cURL 要求

この例では、変更要求をクローズするときに *changeRequestDetails* オブジェクトのフィールドを渡す方法を示します。

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/changeControl?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&toolType=jenkins"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{

 "callbackURL":"http://192.168.0.4:3000/jenkins/sn-devops/pipeline_839b7605-b98d-4831-bc87-96829de7da37",

 "orchestrationTaskURL":"http://192.168.0.4:3000/jenkins/job/java_sample_tests#deploy/",
  "isMultiBranch":"false",
  "orchestrationTaskName":"java_sample_tests#deploy",
  "orchestrationTaskDetails":{
    "triggerType":"upstream",

 "upstreamTaskExecutionURL":"http://192.168.0.4:3000/jenkins/job/java_sample_tests/129/execution/node/35/wfapi/describe",

 "taskExecutionURL":"http://192.168.0.4:3000/jenkins/job/java_sample_tests/129/execution/node/50/wfapi/describe"
  },
  "changeRequestDetails":{
    "setCloseCode":false,
    "attributes":{
      "sys_created_by":"1832fbe1d701120035ae23c7ce610369",
      "sys_updated_by":"56826bf03710200044e0bfc8bcbe5dca",
      "requested_by":{
         "name":"test user1"
      },
      "watch_list":[
        {
          "name":"test user1"
        },
        {
          "name":"test user2"
        },
        {
          "name":"Alejandra Prenatt"
        },
          "56826bf03710200044e0bfc8bcbe5dca"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ],
      "work_notes_list":[
        "56826bf03710200044e0bfc8bcbe5dca",
        "46c6f9efa9fe198101ddf5eed9adf6e7",
        "d8f57f140b20220050192f15d6673a98"
      ],
      "assigned_to":"1832fbe1d701120035ae23c7ce610369",
      "category":"Service",
      "sys_created_on":"2021-02-09 18:58:41",
      "priority":"2",
    }
  }
}"
```

応答本文。

```
{
"result": {
   "changeControl": true,
   "status": "Success"
   }
}
```

DevOps - POST /devops/orchestration/stepMapping

渡される情報がオーケストレーションタスクの作成に有効であり、以前に作成されたステップへの関連付けに有効であることを確認します。両方が有効な場合、オーケストレーションタスクが作成され、関連付けが行われます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/stepMapping`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/stepMapping`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
toolId	必須です。オーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
toolType	必須です。ツールのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	有効な値：jenkins データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
branchName	オーケストレーションタスクに関連付けられたブランチの名前。 データタイプ：文字列
isMultiBranch	オーケストレーションツールが Jenkins の場合、プロジェクトがマルチブランチかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：プロジェクトはマルチブランチタイプです。 • false：プロジェクトはマルチブランチタイプではありません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
parentNode	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、この値には親ノードの詳細が含まれます。 データタイプ：オブジェクト `"parentNode": { "id": "String", "name": "String", "upstreamStageName": "String", "upstreamTaskExecutionURL": "String" }`
parentNode.id	親ノードの一意の ID。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ ID に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.name	親ノードの名前。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ名に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.upstreamStageName	親ノードのアップストリームオーケストレーションタスクの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	Jenkins では、この値はパイプラインステージ名に対応します。 データタイプ：文字列
parentNode.upstreamTaskExecutionURL	親ノードのアップストリームタスク実行の URL。 Jenkins では、この値はパイプラインステージ実行に対応します。 データタイプ：文字列
parentStageName	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、親オーケストレーションタスクの名前。 データタイプ：文字列
parentStageURL	オーケストレーションタスクが親オーケストレーションタスク内にネストされた子である場合、親オーケストレーションタスクの URL。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskName	必須です。 オーケストレーションタスクの名前。これは、 *orchestrationTaskURL* で参照されているものと同じタスクです。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskURL	必須です。オーケストレーションタスクの URL。 例：https://jenkins.mycompany.com:8080/orchestration_task/Mobile-Platform-deploy/ データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。`DevOpsToken <tool_sys_id>:<tool_token>`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	注: トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

要素	説明
status	検証が成功したかどうかを示すフラグです。 有効な値： • true:検証に成功しました。 • false:検証に失敗しました。 データタイプ：ブーリアン
stepValid	送信された情報が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• true:送信された情報は有効です。 • false:送信された情報が有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/s
tepMapping?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6&toolType=jenkins"
-H "Accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{
  \"orchestrationTaskURL\":\"
 http://127.0.0.1:8090/jenkins/job/CorpSite/job/primary#deploy PROD/\",
  \"orchestrationTaskName\":\" primary#deploy PROD\"
}"
```

情報が有効な場合の結果。

```
{
  "result": {
    "stepValid": true,
    "status": "Success"
  }
}
```

情報が無効な場合の結果。

```
{
  "result": {
    "stepValid": false,
    "status": "Success"
  }
}
```

DevOps - POST /devops/package/registration

指定されたアーティファクトバージョンを含む新しいアーティファクトパッケージを作成するオーケストレーションツールを有効にします。

アーティファクトパッケージは、変更要求を表示するときに変更承認者にコミットを表示するために使用されます。変更要求にコミットを表示するには、変更承認を含むステージの前のステージでパッケージを作成する必要があります。

パッケージ登録要求に含まれるすべてのアーティファクトバージョンは、既に DevOps に登録されている必要があります。アーティファクトバージョンの登録の詳細については、「DevOps - POST/devops/artifact/registration」を参照してください。

通常は、パッケージに含めるアーティファクトのバージョンを識別するときに、*artifacts.version* および *artifacts.name* パラメーターを渡します。このエンドポイントの高度な機能を使用すると、バージョン自体の代わりに、各アーティファクトバージョンのビルドの詳細を渡すことができます。アーティファクト固有のビルドの詳細には、次のパラメーターが含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *artifacts.pipelineName* または *artifacts.projectName*
- *artifacts.taskExecutionNumber*
- *artifacts.stageName*
- *artifacts.branchName*

エンドポイントは、これらのアーティファクト固有のビルドの詳細を使用してタスク実行情報を検索し、関連するバージョンをパッケージにコピーします。アーティファクト固有でないビルドの詳細 (*pipelineName* または *projectName*、*taskExecutionNumber*、*branchName*、および *stageName*) を使用して、作成されたパッケージをパイプライン実行に関連付けます。

注: このエンドポイントは更新をサポートしていません。同じ名前のパッケージが既に存在する場合でも、常に新しいパッケージが作成されます。

アーティファクトパッケージの詳細については、「リリースでの DevOps 変更の促進の使用」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/package/registration`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/package/registration`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
orchestrationToolId	必須です。アーティファクトパッケージに関連付けられたオーケストレーションツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。エンドポイントはこの情報を使用して、タスク実行情報を特定します。 データタイプ：文字列
toolId	アーティファクトパッケージに関連付けられたアーティファクトツールの sys_id。アーティファクトツール [sn_devops_artifact_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
artifacts	エントリが少なくとも 1 つ必要です。パッケージに含めるアーティファクトバージョンを各オブジェクトが一意に識別するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"artifacts": [ { "branchName": "String", "name": "String", "pipelineName": "String", "projectName": "String", "repositoryName": "String", "stageName": "String", "taskExecutionNumber": "String", "version": "String" ]`
artifacts.branchName	*artifact.version* が渡されず、複数分岐セットアップの場合は必須です。アーティファクトのバージョンが保存される分岐の名前。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
artifacts.name	必須です。アーティファクトファイル名。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字
artifacts.pipelineName	*artifact.version* および *artifacts.projectName* が渡されない場合は必須です。パイプライン名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
artifacts.projectName	*artifact.version* および *artifact.pipelineName* が渡されない場合は必須です。自由形式のプロジェクト名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
artifacts.repositoryName	必須です。アーティファクトリポジトリ名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	最大長：160 文字
artifacts.stageName	*artifact.version* が渡されない場合は必須です。ステージ名。 データタイプ：文字列 最大長：160 デフォルト：Null
artifacts.taskExecutionNumber	*artifact.version* が渡されない場合は必須です。パイプライン実行番号。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null
artifacts.version	ビルドの詳細が指定されていない場合は必須です。アーティファクトのバージョン。 データタイプ：文字列 形式：<Major>.<Minor> デフォルト：Null
branchName	複数分岐プロジェクトの場合は必須です。アーティファクトが保存されているリポジトリ内の分岐の名前。 データタイプ：文字列 最大長：200 文字 デフォルト：Null
name	必須です。パッケージの名前。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字
pipelineName	*projectName* が渡されない場合は必須です。パイプライン名。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字 デフォルト：Null
projectName	*pipelineName* が渡されない場合は必須です。自由形式のプロジェクト名。 データタイプ：文字列 最大長：160

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：Null
stageName	*pipelineName* が渡されない場合は必須です。ステージ名。 データタイプ：文字列 最大長：160 文字 デフォルト：Null
taskExecutionNumber	必須です。パイプライン実行番号。 データタイプ：文字列 最大長：128 文字 デフォルト：Null

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功です。応答本文ありで成功しました。
201	作成されました。応答本文ありで成功しました。
400	要求が正しくありません。要求 URI がシステム内の API と一致しないか、不明な理由で操作が失敗しました。無効なヘッダーによっても、このエラーが発生する場合があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
response	パッケージ登録要求の結果。 データタイプ：オブジェクト `"response": { "artifact_register_requests": {Object}, "sn_devops_m2m_artifact_version_package": {Object}, "sn_devops_package": {Object} }`
response.artifact_register_requests	処理が完了せず、アーティファクトステージング済み要求 [sn_devops_artifact_staging] テーブルに格納されている登録要求の結果。 データタイプ：オブジェクト `"artifact_register_requests": { "create": [Array], "found": [Array], "update": [Array] }`
response.artifact_register_requests.create	要求でパッケージステージングレコードが作成された場合は、作成されたステージングレコードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ `"create": [ { "id": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
response.artifact_register_requests.create.id	要求によって作成されたパッケージステージングレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

response.artifact_register_requests.found	関連するパッケージステージングレコードが既に存在する場合、既存のレコードの sys_id のリスト。
	
	注: 既存のパッケージは変更されません。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"found": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

response.artifact_register_requests.found.id	既存のパッケージステージングレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.artifact_register_requests.update	現在、使用されていません。
response.artifact_register_requests.update.id	現在、使用されていません。

response.sn_devops_m2m_artifact_version_package	パッケージに関連付けられた各アーティファクトバージョンの結果。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sn_devops_m2m_artifact_version_package": {
	  "create": [Array],
	  "found": [Array],
	  "update": [Array]
	}</pre>

response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.create	要求でアーティファクトバージョンをパッケージにリンクするレコードが作成された場合は、パッケージ化するアーティファクトバージョン [sn_devops_m2m_artifact_version_package] テーブル内の作成されたレコードの sys_id のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"create": [
	  {
	  "id": "String"
	  }
	]</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.create.id	要求によって作成されたパッケージ化するアーティファクトバージョンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.found	パッケージ化するアーティファクトバージョンテーブルにリンクレコードが既に存在する場合は、既存のリンクレコードの sys_id リスト。 注: 既存のレコードは変更されません。 データタイプ：アレイ `"found": [ { "id": "String" } ]`
response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.found.id	パッケージ化する既存のアーティファクトバージョンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.update	現在、使用されていません。
response.sn_devops_m2m_artifact_version_package.update.id	現在、使用されていません。
response.sn_devops_package	要求の処理中に操作されたパッケージ [sn_devops_package] テーブル内のパッケージレコードの結果。 データタイプ：オブジェクト `"sn_devops_package": { "create": [Array], "found": [Array], "update": [Array] }`
response.sn_devops_package.create	要求によってパッケージレコードが作成された場合は、作成されたレコードの sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ `"create": [ { "id": "String" } ]`
response.sn_devops_package.create.id	要求によって作成されたパッケージレコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
response.sn_devops_package.found	登録要求で使用されるパッケージレコードが既に存在する場合、既存のレコードの sys_id のリスト。 注: 既存のレコードは変更されません。 データタイプ：アレイ `"found": [ { "id": "String" } ]`
response.sn_devops_package.found.id	要求によって参照される既存のパッケージレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
response.sn_devops_package.update	現在、使用されていません。
response.sn_devops_package.update.id	現在、使用されていません。
status	登録要求のステータス。 可能な値： • 成功：応答本文に返される結果が含まれています。 • エラー：応答本文にすべてのエラーのリストが含まれています。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: サンプル cURL 要求

```
# Example passing the artifact version
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/devops/package/registrati
on?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6"\
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{\
"name": "sentimentpackage",\
"artifacts": [\
{\
"name": "sa-web.jar",\
"repositoryName": "services-1031",\
"version": "3.1"\
},\
{\
"name": "sa-frontend.jar",\
"repositoryName": "services-1031",\
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"version": "9.2"\
}\
],\
"pipelineName": "spring-boot-app",\
"taskExecutionNumber": "160",\
"stageName": "Build",\
"branchName": "primary"\
}"
```

応答：パッケージが作成されました：

```
"result": {
"status": "Success",
"response": {
  "sn_devops_package": {
    "create": [
        {
          "id": "0d57367a532e00107109ddeeff7b122a"
        }
      ],
    "update": [],
    "found": []
  },
  "sn_devops_m2m_artifact_version_package": {
    "create": [
      {
        "id": "c957367a532e00107109ddeeff7b122b"
      },
      {
        "id": "8157367a532e00107109ddeeff7b122c"
      }
    ],
    "update": [],
    "found": []
    }
  },
  "responseCode": 201
  }
}
```

Example: サンプル cURL 要求

```
# Example passing the build details
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/devops/package/registrati
on?toolId=f0ca45679323008b52f3b457415ae6"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{\
"name": "sentimentpackage",\
"artifacts": [\
{\
"name": "sa-web.jar",\
"repositoryName": "services-1031",\
"pipelineName": "spring-boot-app",\
"taskExecutionNumber": "160",\
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"stageName": "Build",\
"branchName": "primary"\
},\
{\
"name": "sa-frontend.jar",\
"repositoryName": "services-1031",\
"pipelineName": "spring-boot-fe",\
"taskExecutionNumber": "991",\
"stageName": "Build",\
"branchName": "primary"\
}\
],\
"pipelineName": "spring-boot-app",\
"taskExecutionNumber": "160",\
"stageName": "Build",\
"branchName": "primary"\
}"
```

応答：要求がステージング済みパッケージを作成しました：

```
{
"result": {
  "status": "Success",
  "response": {
    "artifact_register_requests": {
      "create": [
        {
          "id": "4628f276532e00107109ddeeff7b1245"
        },
        {
          "id": "4e28f276532e00107109ddeeff7b1245"
        },
        {
          "id": "ce28f276532e00107109ddeeff7b1245"
        }
      ],
      "update": [],
      "found": []
    }
  },
  "responseCode": 201
 }
}
```

自動翻訳

DevOps - POST /devops/tool/{capability}

カスタム DevOps サブフローで処理するために、渡されたペイロードを受信イベント [sn_devops_inbound] テーブルにポストします。

渡された *capability* パラメーターで指定された、ツールの関連 Webhook からこのエンドポイントを呼び出します。渡されたペイロードを処理するカスタムサブフローは、ServiceNow インスタンスで既に定義されている必要があります。事前定義されたスケジュールに基づいて、DevOps マスターフローは受信イベントテーブルから Webhook イベント情報を取得し、それをカスタムサブフローに渡し、それによりペイロードが処理されます。カスタムサブフローの作成の詳細については、「DevOps サブフローの作成」を参照してください。

テストツール統合の詳細については、「DevOps テストツール統合」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム DevOps ツールのこのエンドポイントを呼び出す前に、*sn_devops.DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler* から *handleTool()* および *getNativeIdForOrchestrationTask()* メソッドを実装する必要があります。詳細については、「DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - スコープ付きDevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - スコープ付き」を参照してください。

注: バージョン 1.34.1 以降、この API の新しいバージョンが導入されています。この API を使用すると、適応認証ポリシーが期待どおりに実行されない場合があります。これらのポリシーの詳細については、「適応認証」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/tool/{capability}`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/tool/{capability}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
capability	受信イベントテーブルに格納するペイロードを渡すツールのタイプ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • artifact • code • orchestration • plan • test データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
orchestrationToolId	オプション。関連するパイプラインが属するオーケストレーションツールの sys_id。*capability* 要求パラメーターがテストまたはソフトウェア品質に設定されている場合は、*orchestrationToolId* が必要です。 *toolId* orchestrationToolId が存在しない場合は、デフォルトのオーケストレーションツールになります。
testType	*capability* が `test` に設定されている場合は必須です。実行されているテストのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	このパラメーターの有効な値は、テストタイプ [sn_devops_test_type] テーブルの Test type 列の値です。
toolId	必須です。エンドポイントが呼び出されているツールの sys_id。

要求本文パラメーター

名前	説明
ツール依存	ツールによってペイロードのコンテンツが決定されます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター

名前	説明

details	すべてのエラー条件のエントリ。
	データタイプ：オブジェクト
	`"details": {`
	`  "errors": [Array]`
	`}`

details.errors	単一のエラーの説明。
	データタイプ：アレイ
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "message": "String"`
	`  }`
	`]`

details.errors.message	詳細なエラーメッセージ。 • 要求にパスパラメーターがありません：呼び出しにパスパラメーターが含まれていません。 • 要求に `capability` パスパラメーターがありません：呼び出しに capability パスパラメーターが含まれていませんでした。 • サポートされていない機能タイプ：指定された capability パラメーターが有効な値ではありません。 データタイプ：文字列
status	「成功」や「データエラー」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列
sys_id	受信イベントテーブルに作成されたレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: アーティファクトのサンプル cURL 要求

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/v1/tool/artifact?toolId=
3b59043ee4ea556e6850d61bc1a77e8a"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{
   "artifacts": [
      {
         "name": "sp-boot-app",
         "version": "1.320",
         "semanticVersion": "1.320.0",
         "repositoryName": "sp-boot-app-repo"
      }
   ],
   "pipelineName": "spring-boot-app-gitea",
   "taskExecutionNumber": "320",
   "stageName": "Build"
}"
```

成功応答：

```
{
   "result": {
      "status": "Success",
      "sysId": "33c57245dbf68410bc8cdd384b961966"
   }
}
```

Example: アーティファクトのサンプル cURL 要求

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/v1/tool/artifact?toolId=
3b59043ee4ea556e6850d61bc1a77e8a"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{\
   "timestamp": "2020-01-11T00:52:01.541+0000",\
   "nodeId": "137BEECF-E1BF7BC1-90212D1C-0749A6D4-BC670F6B",\
   "initiator": "admin/172.17.0.1",\
   "repositoryName": "maven-releases29",\
   "action": "CREATED",\
   "component": {\
      "id": "2a59043ed2ea556e6850d61bc1a77c7b",\
      "componentId":
 "c3AtYm9vdC1hcHAtcmVwbzoyYTU5MDQzZWQyZWE1NTZlNjg1MGQ2MWJjMWE3N2M3Yg",\
      "format": "maven2",\
      "name": "sentiment-analysis-web",\
      "group": "com.spboot",\
      "version": "1.1"\
   }\
}"
```

エラー応答：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
   "result": {
      "status": "Data Error",
      "details": {
         "errors": [
            {
               "message": "Unsupported capability type"
            }
         ]
      }
   }
}
```

Example: コードのサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/code?toolId=
8d4f56598702c510f894419d0ebb35aa&testType=junit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "commits": [
      {
         "totalFiles": 1,
         "nativeIdList": [
            "49",
            "50"
         ],
         "id": "f14732d0cc854ce3ec374b97ecd4ec3c383386cd",
         "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_git/DeployableRepo/commit/f1473
2d0cc854ce3ec374b97ecd4ec3c383386cd",
         "apiURL":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/9fe32a65-60a5-46fe-bc8d-11a92bf059f9/_ap
is/git/repositories/8d7ba019-1739-431c-beb4-6025dd41f1ac/commits/f14732d0
cc854ce3ec374b97ecd4ec3c383386cd",
         "message": "Fixes #49 and #50",
         "committedDate": "2022-03-23T11:59:46Z",
         "committer": {
            "email": "xyz.abcd@email.com"
         },
         "details": [
            {
               "action": "edit",
               "changes": "",
               "file": "/LICENSE",
               "additions": 0,
               "deletions": 0,
               "totalChanges": 0
            }
         ]
      }
   ],
   "repository": {
      "id": "8d7ba019-1739-431c-beb4-6025dd41f1ac",
      "name": "DeployableRepo",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "url": "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_git/DeployableRepo"
   },
   "branch": {
      "name": "refs/heads/master",
      "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_git/DeployableRepo?version=GBma
ster"
   }
}" \
--user 'username':'passsword'
```

成功応答：

```
{
   "result": {
      "status": "Success",
      "sysId: "1f8e586b879e85100f71cbfc0ebb3526"
   }
}
```

Example: オーケストレーションのサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/orchestrati
on?toolId=8d4f56598702c510f894419d0ebb35aa&testType=junit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "toolId": "d450f5c887e609100f71cbfc0ebb35e5",
  "buildNumber": 5676,
  "nativeId": "adoTests/DeployableRepo#deploy#5676",
  "pipelineId": "2",
  "name": "adoTests/DeployableRepo#deploy",
  "id": "adoTests/DeployableRepo#deploy#5676",
  "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/_build/results?buildId=5676#deploy/",
  "previousAttemptUrl": "",
  "attemptNumber": 1,
  "pipelineExecutionUrl":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/_build/results?buildId=5676",
  "orchestrationTaskUrl":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_build?name=DeployableRepo#deplo
y",
  "orchestrationTaskName": "adoTests/DeployableRepo #deploy",
  "orchestrationTask": {
    "orchestrationTaskName": "adoTests/DeployableRepo#deploy",
    "toolId": "d450f5c887e609100f71cbfc0ebb35e5",
    "orchestrationTaskURL":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_build?name=DeployableRepo#deplo
y",
    "stageName": "deploy"
  },
  "upstreamTaskUrl": [],
  "result": "building",
  "startDateTime": "2022-03-23 12:01:31",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "log":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_build/results?buildId=5676&view
=logs&j=5264e576-3c6f-51f6-f055-fab409685f20",
  "logUrl":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_build/results?buildId=5676&view
=logs&j=5264e576-3c6f-51f6-f055-fab409685f20"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

```
{
   "result": {
      "status": "Success",
      "sysId: "37dfd8a7879e85100f71cbfc0ebb35c0"
   }
}
```

Example: 計画のサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/plan?toolId=
8d4f56598702c510f894419d0ebb35aa&testType=junit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "id": "1053",
   "type": "bug",
   "state": "planned",
   "shortDescription": "Title - Work Item test in 1.33.3",
   "createdDateTime": "2022-03-23T10:45:53.02Z",
   "parentId": "",
   "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/9fe32a65-60a5-46fe-bc8d-11a92bf059f9/_wor
kitems/edit/1053",
   "version": {
      "id": "adoTests",
      "shortDescription": "adoTests",
      "createdDateTime": "2022-03-23T10:46:12.355Z",
      "url": "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests",
      "app": {
         "id": "adoTests",
         "shortDescription": "adoTests",
         "createdDateTime": "2022-03-23T10:46:12.355Z",
         "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/9fe32a65-60a5-46fe-bc8d-11a92bf059f9/_wor
kitems/edit/1053"
      }
   },
   "app": {
      "id": "adoTests",
      "shortDescription": "adoTests",
      "createdDateTime": "2022-03-23T10:46:12.355Z",
      "url": "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests"
   },
   "native_type": "Issue",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "native_state": "To Do",
   "assignedTo": {
      "name": "Xyz Abcd",
      "userName": "xyz.abcd@email.com",
      "id": "84c92fcd-e08b-6a5f-a8a6-ccda27055560",
      "email": "xyz.abcd@email.com"
   },
   "createdBy": {
      "name": "Xyz Abcd",
      "userName": "xyz.abcd@email.com",
      "id": "84c92fcd-e08b-6a5f-a8a6-ccda27055560",
      "email": "xyz.abcd@email.com"
   }
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

```
{
   "result": {
      "status": "Success",
      "sysId: "533020eb879e85100f71cbfc0ebb3591"
   }
}
```

Example: テストのサンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/test?toolId=
8d4f56598702c510f894419d0ebb35aa&testType=junit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "attemptNumber": 1,
   "blockedTests": 0,
   "buildNumber": 675,
   "duration": 0.079,
   "failedTests": 0,
   "finishTime": "2022-03-23T12:02:25.957Z",
   "name": "adoTests/DeployableRepo/Test #675-2982",
   "passedTests": 20,
   "pipelineName": "adoTests/DeployableRepo",
   "skippedTests": 0,
   "stageName": "Test",
   "startTime": "2022-03-23T12:02:24.36Z",
   "taskExecutionUrl":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_build/results?buildId=675#Te
st/{Job name}",
   "totalTests": 20,
   "url":
 "https://dev.azure.com/xyzabcd/adoTests/_TestManagement/Runs?runId=2982&
_a=runCharts"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
   "result": {
      "status": "Success",
      "sysId: "fd3fdc6b879e85100f71cbfc0ebb356a"
   }
}
```

DevOps - POST /devops/tool/event/{sn_tool_id}

構築済みサブフローで処理するために、GitHub、Jira、または Bitbucket から渡されたペイロードをイベント [sn_devops_event] テーブルにポストします。

このエンドポイントを呼び出す前に、使用しているツールとの統合を作成する必要があります。

- DevOps との GitHub 統合
- Jira と DevOps の統合
- Bitbucket と DevOps の統合

GitHub、Jira、Bitbucket 以外のツールからのイベントを処理するには、代わりに DevOps - POST /devops/tool/{capability} エンドポイントを使用します。

注: バージョン 1.34.1 以降、この API の新しいバージョンが導入されています。この API を使用すると、適応認証ポリシーが期待どおりに実行されない場合があります。これらのポリシーの詳細については、「適応認証」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/tool/event/{sn_tool_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/tool/event/{sn_tool_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sn_tool_id	要求に使用するツールの sys_id。DevOps ツール [sn_devops_tool] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
ツール依存	ツールによってペイロードのコンテンツが決定されます。ペイロードは、ツールの Webhook 情報の下にあります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
201	要求が正常に完了しました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	認証が無効か見つかりません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	応答ステータス。 可能な値： • `failure`：ツール ID が正しくありません。イベントは作成されません。 • `success`：イベント [sn_devops_event] テーブルにイベントが作成されました。ただし、誤ったペイロードが指定された場合、イベントステータスが [エラー] になる場合があります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

GitHub

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/event/46a07b
2f471e011028c23a34846d43b2" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "ref": "refs/heads/master",
   "before": "59078a17cad1f4129754971c808d6c399b6141a5",
   "after": "b7957bab20835449c4d597fee24075a9a5a2c099",
   "repository": {
      "id": 252146476,
      "node_id": "MDEwOlJlcG9zaXRvcnkyNTIxNDY0NzY=",
      "name": "test",
      "full_name": "Xyz002/test",
      "private": false,
      "owner": {
         "name": "Xyz002",
         "email": "62993516+Xyz002@users.noreply.github.com",
         "login": "Xyz002",
         "id": 62993516,
         "node_id": "MDQ6VXNlcjYyOTkzNTE2",
         "avatar_url":
 "https://avatars.githubusercontent.com/u/62993516?v=4",
         "gravatar_id": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "url": "https://api.github.com/users/Xyz002",
        "html_url": "https://github.com/Xyz002",
        "followers_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/followers",
        "following_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/following{/other_user}",
        "gists_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/gists{/gist_id}",
        "starred_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/starred{/owner}{/repo}",
        "subscriptions_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/subscriptions",
        "organizations_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/orgs",
        "repos_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/repos",
        "events_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/events{/privacy}",
        "received_events_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/received_events",
        "type": "User",
        "site_admin": false
    },
    "html_url": "https://github.com/Xyz002/test",
    "description": null,
    "fork": false,
    "url": "https://github.com/Xyz002/test",
    "forks_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/forks",
    "keys_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/keys{/key_id}",
    "collaborators_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/collaborators{/collaborator}",
    "teams_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/teams",
    "hooks_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/hooks",
    "issue_events_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/issues/events{/number}",
    "events_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/events",
    "assignees_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/assignees{/user}",
    "branches_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/branches{/branch}",
    "tags_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/tags",
    "blobs_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/git/blobs{/sha}",
    "git_tags_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/git/tags{/sha}",
    "git_refs_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/git/refs{/sha}",
    "trees_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/git/trees{/sha}",
    "statuses_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/statuses/{sha}",
    "languages_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/languages",
    "stargazers_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/stargazers",
    "contributors_url":
"https://api.github.com/repos/Xyz002/test/contributors",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "subscribers_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/subscribers",
      "subscription_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/subscription",
      "commits_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/commits{/sha}",
      "git_commits_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/git/commits{/sha}",
      "comments_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/comments{/number}",
      "issue_comment_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/issues/comments{/number}",
      "contents_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/contents/{+path}",
      "compare_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/compare/{base}...{head}",
      "merges_url": "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/merges",
      "archive_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/{archive_format}{/ref}",
      "downloads_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/downloads",
      "issues_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/issues{/number}",
      "pulls_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/pulls{/number}",
      "milestones_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/milestones{/number}",
      "notifications_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/notifications{?since,all,parti
cipating}",
      "labels_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/labels{/name}",
      "releases_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/releases{/id}",
      "deployments_url":
 "https://api.github.com/repos/Xyz002/test/deployments",
      "created_at": 1585737871,
      "updated_at": "2022-01-04T14:37:36Z",
      "pushed_at": 1648103939,
      "git_url": "git://github.com/Xyz002/test.git",
      "ssh_url": "git@github.com:Xyz002/test.git",
      "clone_url": "https://github.com/Xyz002/test.git",
      "svn_url": "https://github.com/Xyz002/test",
      "homepage": null,
      "size": 1378,
      "stargazers_count": 0,
      "watchers_count": 0,
      "language": "Java",
      "has_issues": true,
      "has_projects": true,
      "has_downloads": true,
      "has_wiki": true,
      "has_pages": false,
      "forks_count": 0,
      "mirror_url": null,
      "archived": false,
      "disabled": false,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "open_issues_count": 2,
      "license": null,
      "allow_forking": true,
      "is_template": false,
      "topics": [],
      "visibility": "public",
      "forks": 0,
      "open_issues": 2,
      "watchers": 0,
      "default_branch": "master",
      "stargazers": 0,
      "master_branch": "master"
   },
   "pusher": {
      "name": "Xyz002",
      "email": "62993516+Xyz002@users.noreply.github.com"
   },
   "sender": {
      "login": "Xyz002",
      "id": 62993516,
      "node_id": "MDQ6VXNlcjYyOTkzNTE2",
      "avatar_url":
"https://avatars.githubusercontent.com/u/62993516?v=4",
      "gravatar_id": "",
      "url": "https://api.github.com/users/Xyz002",
      "html_url": "https://github.com/Xyz002",
      "followers_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/followers",
      "following_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/following{/other_user}",
      "gists_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/gists{/gist_id}",
      "starred_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/starred{/owner}{/repo}",
      "subscriptions_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/subscriptions",
      "organizations_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/orgs",
      "repos_url": "https://api.github.com/users/Xyz002/repos",
      "events_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/events{/privacy}",
      "received_events_url":
"https://api.github.com/users/Xyz002/received_events",
      "type": "User",
      "site_admin": false
   },
   "created": false,
   "deleted": false,
   "forced": false,
   "base_ref": null,
   "compare":
"https://github.com/Xyz002/test/compare/59078a17cad1...b7957bab2083",
   "commits": [
      {
         "id": "b7957bab20835449c4d597fee24075a9a5a2c099",
         "tree_id": "fa8d699762ec0a25868fa1ab4d299da392f0a974",
         "distinct": true,
         "message": "updated this file",
         "timestamp": "2022-03-24T12:08:59+05:30",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
         "url":
 "https://github.com/Xyz002/test/commit/b7957bab20835449c4d597fee24075a9a
5a2c099",
         "author": {
            "name": "Xyz002",
            "email": "62993516+Xyz002@users.noreply.github.com",
            "username": "Xyz002"
         },
         "committer": {
            "name": "GitHub",
            "email": "noreply@github.com",
            "username": "web-flow"
         },
         "added": [],
         "removed": [],
         "modified": [
            "README.me"
         ]
      }
   ],
   "head_commit": {
      "id": "b7957bab20835449c4d597fee24075a9a5a2c099",
      "tree_id": "fa8d699762ec0a25868fa1ab4d299da392f0a974",
      "distinct": true,
      "message": "updated this file",
      "timestamp": "2022-03-24T12:08:59+05:30",
      "url":
 "https://github.com/Xyz002/test/commit/b7957bab20835449c4d597fee24075a9a
5a2c099",
      "author": {
         "name": "Xyz002",
         "email": "62993516+Xyz002@users.noreply.github.com",
         "username": "Xyz002"
      },
      "committer": {
         "name": "GitHub",
         "email": "noreply@github.com",
         "username": "web-flow"
      },
      "added": [],
      "removed": [],
      "modified": [
         "README.me"
      ]
   },
   "sn_tool_id": "46a07b2f471e011028c23a34846d43b2"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

```
{
   "result": "success"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

Jira

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/event/9ed237
af471e011028c23a34846d4327" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "timestamp": 1648104684180,
   "webhookEvent": "jira:issue_created",
   "issue_event_type_name": "issue_created",
   "user": {
      "self": "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/user?username=admin",
      "name": "admin",
      "key": "admin",
      "emailAddress": "username@email.com",
      "avatarUrls": {
         "48x48":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=48",
         "24x24":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=24",
         "16x16":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=16",
         "32x32":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=32"
      },
      "displayName": "Administrator",
      "active": true,
      "timeZone": "America/Los_Angeles"
   },
   "issue": {
      "id": "84800",
      "self": "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issue/84800",
      "key": "BAL-2",
      "fields": {
         "issuetype": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issuetype/10002",
            "id": "10002",
            "description": "A task that needs to be done.",
            "iconUrl":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/viewavatar?size=xsmall&avatarId=10318&
avatarType=issuetype",
            "name": "Task",
            "subtask": false,
            "avatarId": 10318
         },
         "timespent": null,
         "project": {
            "self": "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/project/10507",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "10507",
            "key": "BAL",
            "name": "balu_devops",
            "projectTypeKey": "software",
            "avatarUrls": {
               "48x48":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/projectavatar?avatarId=10324",
               "24x24":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/projectavatar?size=small&avatarId=1032
4",
               "16x16":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/projectavatar?size=xsmall&avatarId=103
24",
               "32x32":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/projectavatar?size=medium&avatarId=103
24"
            }
         },
         "fixVersions": [],
         "aggregatetimespent": null,
         "resolution": null,
         "customfield_10302": null,
         "customfield_10105": null,
         "resolutiondate": null,
         "workratio": 0,
         "lastViewed": null,
         "watches": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issue/BAL-2/watchers",
            "watchCount": 0,
            "isWatching": false
         },
         "created": "2022-03-24T06:51:22.896+0000",
         "priority": {
            "self": "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/priority/3",
            "iconUrl":
 "http://jira1.sndevops.xyz/images/icons/priorities/medium.svg",
            "name": "Medium",
            "id": "3"
         },
         "customfield_10100": "0|i0cprw:",
         "customfield_10101": "SCRUMBOARD-14",
         "customfield_10300": null,
         "labels": [],
         "timeestimate": 240,
         "aggregatetimeoriginalestimate": 300,
         "versions": [],
         "issuelinks": [
            {
               "id": "10701",
               "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issueLink/10701",
               "type": {
                  "id": "10000",
                  "name": "Blocks",
                  "inward": "is blocked by",
                  "outward": "blocks",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                  "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issueLinkType/10000"
               },
               "outwardIssue": {
                  "id": "84741",
                  "key": "BAL-1",
                  "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issue/84741",
                  "fields": {
                     "summary": "log4jtesting",
                     "status": {
                        "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/status/3",
                        "description": "This issue is being actively
 worked on at the moment by the assignee.",
                        "iconUrl":
 "http://jira1.sndevops.xyz/images/icons/statuses/inprogress.png",
                        "name": "In Progress",
                        "id": "3",
                        "statusCategory": {
                           "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/statuscategory/4",
                           "id": 4,
                           "key": "indeterminate",
                           "colorName": "yellow",
                           "name": "In Progress"
                        }
                     },
                     "priority": {
                        "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/priority/3",
                        "iconUrl":
 "http://jira1.sndevops.xyz/images/icons/priorities/medium.svg",
                        "name": "Medium",
                        "id": "3"
                     },
                     "issuetype": {
                        "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issuetype/10004",
                        "id": "10004",
                        "description": "A problem which impairs or
 prevents the functions of the product.",
                        "iconUrl":
 "http://jira1.sndevops.xyz/secure/viewavatar?size=xsmall&avatarId=10303&
avatarType=issuetype",
                        "name": "Bug",
                        "subtask": false,
                        "avatarId": 10303
                     }
                  }
               }
            }
         ],
         "assignee": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/user?username=admin",
            "name": "admin",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "key": "admin",
            "emailAddress": "username@email.com",
            "avatarUrls": {
               "48x48":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=48",
               "24x24":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=24",
               "16x16":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=16",
               "32x32":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=32"
            },
            "displayName": "Administrator",
            "active": true,
            "timeZone": "America/Los_Angeles"
         },
         "updated": "2022-03-24T06:51:22.896+0000",
         "status": {
            "self": "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/status/10000",
            "description": "",
            "iconUrl": "http://jira1.sndevops.xyz/",
            "name": "To Do",
            "id": "10000",
            "statusCategory": {
               "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/statuscategory/2",
               "id": 2,
               "key": "new",
               "colorName": "blue-gray",
               "name": "To Do"
            }
         },
         "components": [],
         "timeoriginalestimate": 300,
         "description": "Task description",
         "timetracking": {
            "originalEstimate": "5m",
            "remainingEstimate": "4m",
            "originalEstimateSeconds": 300,
            "remainingEstimateSeconds": 240
         },
         "customfield_10203": null,
         "customfield_10204": null,
         "customfield_10205": null,
         "attachment": [],
         "aggregatetimeestimate": 240,
         "summary": "Task Summary",
         "creator": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/user?username=admin",
            "name": "admin",
            "key": "admin",
            "emailAddress": "username@email.com",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "avatarUrls": {
               "48x48":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=48",
               "24x24":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=24",
               "16x16":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=16",
               "32x32":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=32"
            },
            "displayName": "Administrator",
            "active": true,
            "timeZone": "America/Los_Angeles"
         },
         "subtasks": [],
         "reporter": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/user?username=admin",
            "name": "admin",
            "key": "admin",
            "emailAddress": "username@email.com",
            "avatarUrls": {
               "48x48":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=48",
               "24x24":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=24",
               "16x16":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=16",
               "32x32":
 "https://www.gravatar.com/avatar/eccd6ec2c978f1f1d4a1fed4e81265eb?d=mm&s
=32"
            },
            "displayName": "Administrator",
            "active": true,
            "timeZone": "America/Los_Angeles"
         },
         "customfield_10000":
 "{summaryBean=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryBean@2ccf8
c6[summary={pullrequest=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryI
temBean@fbc42d4[overall=PullRequestOverallBean{stateCount=0,
 state='OPEN', details=PullRequestOverallDetails{openCount=0,
 mergedCount=0, declinedCount=0}},byInstanceType={}],
 build=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryItemBean@71e33347[
overall=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.summary.beans.BuildOverallBea
n@1c24654d[failedBuildCount=0,successfulBuildCount=0,unknownBuildCount=0,
count=0,lastUpdated=<null>,lastUpdatedTimestamp=<null>],byInstanceType={
}],
 review=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryItemBean@1ea8fb17
[overall=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.summary.beans.ReviewsOverall
Bean@6dc95939[stateCount=0,state=<null>,dueDate=<null>,overDue=false,coun
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
t=0,lastUpdated=<null>,lastUpdatedTimestamp=<null>],byInstanceType={}],
 deployment-environment=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryI
temBean@55826cc[overall=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.summary.beans
.DeploymentOverallBean@3ae93527[topEnvironments=[],showProjects=false,suc
cessfulCount=0,count=0,lastUpdated=<null>,lastUpdatedTimestamp=<null>],by
InstanceType={}],
 repository=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryItemBean@6340
012e[overall=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.summary.beans.CommitOver
allBean@44678cee[count=0,lastUpdated=<null>,lastUpdatedTimestamp=<null>],
byInstanceType={}],
 branch=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.rest.SummaryItemBean@4dbce8[o
verall=com.atlassian.jira.plugin.devstatus.summary.beans.BranchOverallBea
n@737ee1cb[count=0,lastUpdated=<null>,lastUpdatedTimestamp=<null>],byInst
anceType={}]},errors=[],configErrors=[]],
 devSummaryJson={\"cachedValue\":{\"errors\":[],\"configErrors\":[],
\"summary\":{\"pullrequest\":{\"overall\":
{\"count\":0,\"lastUpdated\":null,\"stateCount\":0,\"state\":\"OPEN\",
\"details\":
{\"openCount\":0,\"mergedCount\":0,\"declinedCount\":0,\"total\":0},\"o
pen\":true},\"byInstanceType\":{}},\"build\":{\"overall\":
{\"count\":0,\"lastUpdated\":null,\"failedBuildCount\":0,\"successfulBuil
dCount\":0,\"unknownBuildCount\":0},\"byInstanceType\":{}},\"review\":
{\"overall\":
{\"count\":0,\"lastUpdated\":null,\"stateCount\":0,\"state\":null,\"dueD
ate\":null,\"overDue\":false,\"completed\":false},\"byInstanceType\":
{}},\"deployment-environment\":{\"overall\":
{\"count\":0,\"lastUpdated\":null,\"topEnvironments\":[],
\"showProjects\":false,\"successfulCount\":0},\"byInstanceType\":
{}},\"repository\":{\"overall\":
{\"count\":0,\"lastUpdated\":null},\"byInstanceType\":{}},\"branch\":
{\"overall\":{\"count\":0,\"lastUpdated\":null},\"byInstanceType\":
{}}}},\"isStale\":false}}",
         "aggregateprogress": {
            "progress": 0,
            "total": 240,
            "percent": 0
         },
         "customfield_10200": null,
         "customfield_10201": null,
         "customfield_10202": null,
         "environment": null,
         "duedate": "2022-03-24",
         "progress": {
            "progress": 0,
            "total": 240,
            "percent": 0
         },
         "comment": {
            "comments": [],
            "maxResults": 0,
            "total": 0,
            "startAt": 0
         },
         "votes": {
            "self":
 "http://jira1.sndevops.xyz/rest/api/2/issue/BAL-2/votes",
            "votes": 0,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "hasVoted": false
         },
         "worklog": {
            "startAt": 0,
            "maxResults": 20,
            "total": 0,
            "worklogs": []
         }
      }
   },
   "changelog": {
      "id": "14401",
      "items": [
         {
            "field": "Link",
            "fieldtype": "jira",
            "from": null,
            "fromString": null,
            "to": "BAL-1",
            "toString": "This issue blocks BAL-1"
         }
      ]
   },
   "sn_tool_id": "9ed237af471e011028c23a34846d4327"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

```
{
   "result": "success"
}
```

Example: cURL 要求

Bitbucket

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/devops/tool/event/6975ec
af879e85100f71cbfc0ebb3575" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "eventKey": "repo:refs_changed",
   "date": "2022-03-23T15:57:05+0000",
   "actor": {
      "name": "admin",
      "emailAddress": "username@email.com",
      "id": 1,
      "displayName": "Admin",
      "active": true,
      "slug": "admin",
      "type": "NORMAL",
      "links": {
         "self": [
            {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "href": "http://bitbucket2.sndevops.xyz/users/admin"
             }
          ]
       }
    },
    "repository": {
       "slug": "testautomationrepo1",
       "id": 12,
       "name": "TestAutomationRepo1",
       "scmId": "git",
       "state": "AVAILABLE",
       "statusMessage": "Available",
       "forkable": true,
       "origin": {
          "slug": "testautomationrepo1",
          "id": 1,
          "name": "TestAutomationRepo1",
          "scmId": "git",
          "state": "AVAILABLE",
          "statusMessage": "Available",
          "forkable": true,
          "project": {
             "key": "TES",
             "id": 1,
             "name": "TestAutomation",
             "public": false,
             "type": "NORMAL",
             "links": {
                "self": [
                   {
                      "href":
 "http://bitbucket2.sndevops.xyz/projects/TES"
                   }
                ]
             }
          },
          "public": false,
          "links": {
             "clone": [
                {
                   "href":
 "ssh://git@bitbucket2.sndevops.xyz:7999/tes/testautomationrepo1.git",
                   "name": "ssh"
                },
                {
                   "href":
 "http://bitbucket2.sndevops.xyz/scm/tes/testautomationrepo1.git",
                   "name": "http"
                }
             ],
             "self": [
                {
                   "href":
 "http://bitbucket2.sndevops.xyz/projects/TES/repos/testautomationrepo1/b
rowse"
                }
             ]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
         }
      },
      "project": {
         "key": "~ADMIN",
         "id": 3,
         "name": "Admin",
         "type": "PERSONAL",
         "owner": {
            "name": "admin",
            "emailAddress": "username@email.com",
            "id": 1,
            "displayName": "Admin",
            "active": true,
            "slug": "admin",
            "type": "NORMAL",
            "links": {
               "self": [
                  {
                     "href": "http://bitbucket2.sndevops.xyz/users/admin"
                  }
               ]
            }
         },
         "links": {
            "self": [
               {
                  "href": "http://bitbucket2.sndevops.xyz/users/admin"
               }
            ]
         }
      },
      "public": false,
      "links": {
         "clone": [
            {
               "href":
 "http://bitbucket2.sndevops.xyz/scm/~admin/testautomationrepo1.git",
               "name": "http"
            },
            {
               "href":
 "ssh://git@bitbucket2.sndevops.xyz:7999/~admin/testautomationrepo1.git",
               "name": "ssh"
            }
         ],
         "self": [
            {
               "href":
 "http://bitbucket2.sndevops.xyz/users/admin/repos/testautomationrepo1/br
owse"
            }
         ]
      }
   },
   "changes": [
      {
         "ref": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "refs/heads/master",
            "displayId": "master",
            "type": "BRANCH"
         },
         "refId": "refs/heads/master",
         "fromHash": "b482b2e232f5fbdee73feed8ca1cfb774de6976e",
         "toHash": "d783254fe6f77bc7cc079358158aeef52a457587",
         "type": "UPDATE"
      }
   ],
   "sn_tool_id": "6975ecaf879e85100f71cbfc0ebb3575"
}" \
--user 'username':'password'
```

成功応答：

```
{
   "result": "success"
}
```

DevOps - PUT /devops/orchestration/changeControl/{changeControlId}

指定されたオーケストレーションタスクの変更管理情報を更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/changeControl/{changeControlId}`

デフォルトの URL：`/api/sn_devops/devops/orchestration/changeControl/{changeControlId}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
changeControlId	変更管理タスクの sys_id。コールバック [sn_devops_callback] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
toolId	必須です。変更管理タスクに関連付けられた DevOps ツールの sys_id。オーケストレーションツール [sn_devops_orchestration_tool] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
callbackURL	必須です。関連する変更要求承認プロセスが完了したときに ServiceNow インスタンスがコールバックできる URL。このコールバックは、承認結果に基づいてパイプラインの実行を続行するか、または続行しません。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails	必須です。 オーケストレーションタスクの説明。 データタイプ：オブジェクト `"orchestrationTaskDetails": { "message": "String", "triggerType": "String", "upstreamTaskExecutionURL": "String" }`
orchestrationTaskDetails.message	自由形式のテキストメッセージ。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.triggerType	必須です。オーケストレーションタスクが開始された方法。 有効な値： • scm：Git/scm ツールのコードコミットによってジョブがトリガーされました。 • upstream：アップストリームのジョブがこのジョブをトリガーしました。 • user：ユーザーが手動でジョブを開始しました。 データタイプ：文字列
orchestrationTaskDetails.upstreamTaskExecutionURL	*triggerType* が `upstream` に設定されている場合は必須です。アップストリームタスク実行 URL。 例：https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-test/40/

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
orchestrationTaskURL	必須です。オーケストレーションタスクの URL。 例：https://jenkins.mycompany.com:8080/orchestration_task/Mobile-Platform-deploy/ データタイプ：文字列
toolType	DevOps ツールのタイプ。 有効な値：jenkins データタイプ：文字列
taskExecutionURL	必須。実行するタスクの URL。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	認証が無効か見つかりません。
404	見つかりません。指定されたレコードが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
change_control	オーケストレーションタスクが変更管理下にあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：変更管理下にあります。 • false：変更管理下にありません。 データタイプ：ブーリアン
details	すべてのエラー条件のエントリ。 データタイプ：オブジェクト `"details": { "errors": [Array] }`
details.errors	単一のエラーの説明。 データタイプ：アレイ `"errors": [ { "message": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
details.errors.message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X PUT
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestrati
on/changeControl/f0ca45679323008b52f3b457415ae6?toolId=f0ca45679323008b52
f3b457415ae6"
-H "accept: application/json"\
-H "Content-Type: application/json"\
-u "username":"password"\
-d "{

 \"orchestrationTaskURL\":
\"https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-deploy/\",
  \"toolType\":\"jenkins\",

 \"callbackURL\":\"https://jenkins.mycompany.com:8080/sn-
devops/964aca59-0cae-4d9b-a36d-5929f426cf31\",
\"taskExecutionURL\":
\"https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-test/40/\",
"\orchestrationTaskName\":\"StageName\",
  \"orchestrationTaskDetails\":{
    \"message\":\"Started by upstream project
 \\\"Mobile-Platform-test\\\" build number 40\",
    \"triggerType\":\"upstream\",

 \"upstreamTaskExecutionURL\":
\"https://jenkins.mycompany.com:8080/job/Mobile-Platform-test/40/\"}
}"
```

応答：

```
{
    "result": {
        "change_control": true
    }
}
```

DevOps - PUT /devops/orchestration/changeInfo/{changeInfo}

指定された変更要求のフィールドを更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_devops/{api_version}/devops/orchestration/changeInfo/{changeInfo}`

デフォルト URL: `/api/sn_devops/devops/orchestration/changeInfo/{changeInfo}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
changeRequestNumber	必須。更新するオーケストレーションタスクに関連付けられた変更要求番号。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
データ	必須。関連する変更要求で更新するフィールドの名前と値のペア。 たとえば、簡単な説明ファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。 `"{\"short_description\": \"my short desc\" }"` *state* パラメーターでは、次の遷移のみがサポートされています。 • キャンセル： ◦ ステータスをキャンセルに移行するには、変更要求ステータスを実装する必要があります。 ◦ *reason* パラメーターは、ステータスをキャンセルに更新するための必須入力です。 • クローズド： ◦ ステータスをクローズに移行するには、変更要求ステータスが実装済みまたは実装後である必要があります。 ◦ close_codeとclose_notesは、ステータスを「クローズ済み」に更新するための必須入力です。 可能な値： ▪ 4:キャンセル (sn_devops.change_request.cancel_state プロパティで設定された値) ▪ 3:クローズ済み (sn_devops.change_request.closed_state プロパティで設定された値) データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
認証	v2 以降、この API はトークンベースの認証をサポートしています。トークンは、ツール [sn_devops_tool] テーブルにあるツール レコードの [トークンをコピー] ボタンをクリックすることで取得できます。その後、トークンを Authorization: sn_devops の形式で認証ヘッダーで使用できます 。DevOpsToken `<tool_sys_id>:<tool_token>`。 **注:** トークン付きの認証ヘッダーに加えて基本認証の詳細 (ユーザー名とパスワード) が指定されている場合は、基本認証が優先されます。 インスタンスで *devops.system* ユーザーが利用できない場合は、[トークンベースの認証が成功した後にこのユーザーに切り替え る] プロパティを使用します。このプロパティを使用すると、トークン認証を完了するために必要な sn_devops.integration ロールを持つ任意のユーザーを設定できます。詳細については、「DevOps チェンジベロシティ のプロパティ」を参照してください。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
メッセージ	更新の結果の説明。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス 可能な値： • 成功:変更要求が見つかり、変更の詳細が正常に更新されました。 • エラー:変更要求が見つからなかったため、変更の詳細が更新されませんでした。 データタイプ：文字列
updateStatus	更新のステータス。 可能な値： • 完了 • エラー データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、CHG0030023変更要求のさまざまなフィールドを更新する方法を示しています。

```
curl -X PUT"
https://instance.servicenow.com/api/sn_devops/v1/devops/orchestration/cha
ngeInfo?changeRequestNumber=CHG0030023

-H "accept: application/json"\
-u "username":"password"
- D
{
  "short_description": "Test description",
  "priority": "1",
  "start_date": "2021-02-05 08:00:00",
  "end_date": "2022-04-05 08:00:00",
  "justification": "test justification",
  "description": "test description",
  "cab_required": true,
  "comments": "This update for work notes is from jenkins file",
  "work_notes": "test work notes",
  "assignment_group": "a715cd759f2002002920bde8132e7018"
}
```

応答：

```
{
  "result": {
    "updateStatus": "Done",
    "status": "Success",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "message": "change request update successful"
  }
}
```

DevOps コンフィグ API

DevOps コンフィグ API は、アプリケーションを管理するためのエンドポイントを提供します。

この API には DevOps コンフィグ アプリケーションが必要であり、 `sn_devops_config` 名前空間内で提供されます。

DELETE、PATCH、および POST 操作の場合、呼び出し元ユーザーには sn_devops_config.admin ロールが必要です。GET 操作の場合、呼び出し元ユーザーには sn_devops_config.viewer または sn_devops_config.admin ロールが必要です。

アプリケーションのライフサイクル管理には 、DevOps *Config* API を使用します。DevOps コンフィグ を使用したアプリケーションの管理の詳細については、「DevOps コンフィグの構成」を参照してください。

DevOps コンフィグ:/devops_config/application/{appid} を削除

アプリケーションを削除します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_devops_config/v1/devops_config/application/{appid}`

デフォルト URL: `/api/sn_devops_config/devops_config/application/{appid}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
appid	削除するアプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。アプリケーション ID が無効です。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "message": "String", "detail": "String" }`
error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
結果	要求に関する情報を含む結果オブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ: オブジェクト `"result": { "errors": [Array], "success": [Array] }`
result.errors	要求からのエラーのアレイ。成功した要求のアレイは空です。 データタイプ：アレイ
result.success	要求の成功メッセージ。失敗した要求のアレイは空です。 データタイプ：アレイ
status	要求のステータス。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、アプリケーションを削除します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication/38e17dc3473d111072566862736d43c7" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "errors": [],
    "success": [
      "CDM Application Demo Application 1234 has been deleted
 successfully."
    ]
  }
}
```

Example: cURL 要求

この例は、ユーザーに API へのアクセス権限がない場合のエラー応答を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication/38e17dc3473d111072566862736d43c7" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラー応答。

```
{
  "error": {
    "message": "User Not Authorized",
    "detail": "Failed API level ACL Validation"
  },
  "status": "failure"
}
```

DevOps コンフィグ:GET /devops_config/application/{appid}

アプリケーションを取得します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_devops_config/v1/devops_config/application/{appid}`

デフォルト URL: `/api/sn_devops_config/devops_config/application/{appid}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
appid	取得するアプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。アプリケーション ID が無効です。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明

エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "message": "String",`
	`  "detail": "String"`
	`}`

error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

結果	要求に関する情報を含む結果オブジェクト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "data": {Object},`
	`  "message": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "status": Number }</pre>

result.data	アプリケーションのデータ。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"data": {
	  "appDescription": "String",
	  "appId": "String",
	  "appManagedByGroups": [Array],
	  "appManufacturerId": "String",
	  "appManufacturerName": "String",
	  "appModelId": "String",
	  "appModelName": "String",
	  "appModelOwnerId": "String",
	  "appModelOwnerName": "String",
	  "appName": "String",
	  "sdlcType": "String"
	}</pre>

result.data.appDescription	アプリケーションの説明 データタイプ：文字列
result.data.appId	アプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.data.appManagedByGroups	アプリケーションを管理するグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.data.appManufacturerId	メーカーのSys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.data.appManufacturerName	メーカーの名前。 データタイプ：文字列
result.data.appModelId	アプリケーションモデルのSys_id。アプリケーションモデル [cmdb_application_product_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.data.appModelName	アプリケーションモデルの名前。アプリケーションモデル [cmdb_application_product_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.data.appModelOwnerId	アプリケーションモデルオーナーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.data.appModelOwnerName	アプリケーションモデルオーナーの名前。 データタイプ：文字列
result.data.appName	アプリケーションの名前。 データタイプ：文字列
result.data.error	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 データタイプ：文字列
result.data.sdlcType	アプリケーションのタイプ。 可能な値： • application • インフラ データタイプ：文字列
result.message	要求の成功または失敗した結果に関する情報。 データタイプ：文字列
result.status	要求のステータスコード。 可能な値： • 200 • 400 • 403 データタイプ：数値
status	要求のステータス。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、アプリケーションを取得します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication/38e17dc3473d111072566862736d43c7" \
--request GET \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "status": 200,
    "message": "Success",
    "data": {
      "appName": "Demo Application 1234",
      "appId": "38e17dc3473d111072566862736d43c7",
      "appDescription": "Updated description of Demo Application created
 from REST API",
      "sdlcType": "application",
      "appModelId": "a4e13dc3473d111072566862736d4307",
      "appModelName": "Demo Application 1234",
      "appManufacturerId": "262702654725d950a34a3085d36d435e",
      "appManufacturerName": "",
      "appModelOwnerId": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "appModelOwnerName": "System Administrator",
      "appManagedByGroups": []
    }
  }
}
```

Example: cURL 要求

この例は、ユーザーが無効なアプリケーション ID を指定した場合のエラー応答を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication/18a17de3283d151072566862777777777" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

エラー応答。

```
{
  "result": {
    "status": 400,
    "message": "No valid Application",
    "data": {
      "error": "No valid Application"
    }
  }
}
```

DevOps コンフィグ:PATCH /devops_config/application/{appid}

アプリケーションを更新します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_devops_config/v1/devops_config/application/{appid}`

デフォルト URL: `/api/sn_devops_config/devops_config/application/{appid}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
appid	更新するアプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
アプリの説明	アプリケーションの説明 データタイプ：文字列
appManagedByGroup	アプリケーションを管理するグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。呼び出し元ユーザーは、これらのグループに属している必要があります。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 `"appManagedByGroups": "sys_id, sys_id"`
appManufacturerId	メーカーのSys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
appModelOwnerId	アプリケーションモデルオーナーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	アプリケーションが正常に更新されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
404	アプリケーションが更新されていません。*result* オブジェクトの *message* プロパティには、エラーに関する追加情報が含まれています。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "message": "String", "detail": "String" }`
error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
結果	アプリケーションに関する情報を含む結果オブジェクト。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"result": {
	   "message": "String",
	   "data": "String"
	}</pre>

result.message	要求の成功または失敗した結果に関する情報。 データタイプ：文字列
result.data	アプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、既存のアプリケーションを更新します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication/38e17dc3473d111072566862736d43c7" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"appDescription\": \"Updated description of Demo Application created
 from REST API\",
  \"appManufacturerId\": \"262702654725d950a34a3085d36d435e\",
  \"appModelOwnerId\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\"
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "message": "Application with name Demo Application 1234 updated
 successfully.",
    "data": "38e17dc3473d111072566862736d43c7"
  }
}
```

DevOps コンフィグ:POST /devops_config/application

アプリケーションを作成します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_devops_config/v1/devops_config/application`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルト URL: `/api/sn_devops_config/devops_config/application`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
アプリの説明	アプリケーションの説明 データタイプ：文字列
appManagedByGroup	アプリケーションを管理するグループのsys_idsのカンマ区切りリスト。呼び出し元ユーザーは、これらのグループに属している必要があります。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 `"appManagedByGroups": "sys_id, sys_id"`
appManufacturerId	メーカーのSys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
appModelId	アプリケーションの作成に使用する既存のアプリケーションモデルのSys_id。アプリケーションモデル [cmdb_application_product_model] テーブルにあります。 このパラメーターを指定する場合は、 *appName*、 *appModelName*、 *appServiceName*、 *appServiceId*、または *technicalServiceId* パラメーターを指定しないでください。 データタイプ：文字列
appModelName	アプリケーションの作成に使用する既存のアプリケーションモデルの名前。アプリケーションモデル [cmdb_application_product_model] テーブルにあります。 このパラメーターを指定する場合は、 *appName*、 *appModelId*、 *appServiceName*、 *appServiceId*、または *technicalServiceId* パラメーターを指定しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
appModelOwnerId	アプリケーションモデルオーナーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
appName	アプリケーションの名前。 既存のアプリケーションと同じ名前を使用しないでください。 このパラメーターを指定する場合は、 *appModelName*、*appModelId*、 *appServiceName*、 *appServiceId*、または *technicalServiceId* パラメーターを指定しないでください。 データタイプ：文字列
appServiceId	アプリケーションの作成に使用する既存のアプリケーションサービスのSys_id。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *type* が `アプリケーション` である場合にのみ使用します。 このパラメーターを指定する場合は、 *appName*、 *appModelName*、*appModelId*、 *appServiceName*、または *technicalServiceId* パラメーターを指定しないでください。 データタイプ：文字列
appServiceName	アプリケーションの作成に使用する既存のアプリケーションサービスの名前。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *type* が `アプリケーション` である場合にのみ使用します。 このパラメーターを指定する場合は、 *appName*、 *appModelName*、*appModelId*、 *appServiceId*、または *technicalServiceId* パラメーターを指定しないでください。 データタイプ：文字列
technicalServiceId	アプリケーションの作成に使用する既存の動的 CI グループのSys_id。ダイナミック CI グループ [cmdb_ci_query_based_service] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *type* が `インフラストラクチャ` の場合にのみ使用します。 このパラメーターを指定する場合は、 *appName*、 *appModelName*、*appModelId*、 *appServiceName*、または *appServiceId* パラメーターを指定しないでください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
type	必須。作成するアプリケーションのタイプ。 有効な値： • application • インフラ データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	アプリケーションが正常に作成されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
404	アプリケーションが作成されませんでした。*result* オブジェクトの *message* プロパティには、エラーに関する追加情報が含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "message": "String", "detail": "String" }`
error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
結果	アプリケーションに関する情報を含む結果オブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "message": "String", "data": "String" }`
result.message	要求の成功または失敗した結果に関する情報。 データタイプ：文字列
result.data	アプリケーションのSys_id。CDM アプリケーション [sn_cdm_application] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	要求のステータス。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 可能な値：failure データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、新しいアプリケーションを作成します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_devops_config/devops_config/app
lication" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"type\": \"application\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  \"appName\": \"Demo Application 1234\",
  \"appDescription\": \"Description of Demo Application created from REST
 API\",
  \"appManufacturerId\": \"262702654725d950a34a3085d36d435e\",
  \"appModelOwnerId\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\"
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "result": {
    "message": "Application with name Demo Application 1234 created
 successfully.",
    "data": "38e17dc3473d111072566862736d43c7"
  }
}
```

メール API

メール API は、REST を使用したメールメッセージの送受信を可能にするエンドポイントを提供します。

ユーザーがメールを送信するには、email_api_send ロールが必要です。

注: メール [sys_email] テーブルへの読み取り/書き込みアクセス権がない場合は、エラーが発生する可能性があります。

メール - GET /now/email/{id}

指定されたメールレコードのメールの詳細を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/email/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	詳細を返すメールの sys_id。メール [sys_email] テーブルにあります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	レコードが見つからないか、要求元ユーザーにレコードへのアクセス権がないことを示します。ユーザーに適切なロールとアクセス権限があることを確認します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
bcc	メールメッセージを Bcc される受信者のメールアドレスのリスト。blind_copied フィールドにマップされます。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
cc	メールメッセージを Cc される受信者のメールアドレスのリスト。copied フィールドにマップされます。 データタイプ：アレイ
headers	メッセージとその値に関連付けられたヘッダーの名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト
html	メールメッセージの HTML 対応本文。body フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
id	メールレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
importance	メールメッセージの重要性。重要性フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
state	メールメッセージの処理ステータス。システムスケジュール設定済みジョブがメールメッセージを処理したかどうかを示します。 次の値が含まれます。 • error • ignored • processed • ready データタイプ：文字列
subject	メールメッセージの件名。subject フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
text	メールメッセージのテキストのみの本文。body_text フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
to	メールメッセージを直接送られる受信者のメールアドレスのリスト。recipients フィールドにマップされます。 データタイプ：アレイ
type	受信または送信メールとしてのメールメッセージの現在のステータス。 次の値が含まれます。 • 受信 • 受信 - 無視 • 送信-失敗 • 送信 - 無視

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	• 送信-準備完了 • 送信 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/now/email/06e095427f0022007f005212bd
fa91b3" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "user-name":"password"
```


```
{
  "result" : {
    "headers" : {
      "X-ServiceNow-SysEmail-Version" : "2",
      "X-ServiceNow-Source" :
 "Notification-24e34b54c61122aa0108c1b7a33697cf"
    },
    "cc" : [
      ""
    ],
    "type" : "send-ready",
    "html" : "<html><head></head><body><div><p><font size=\"5\"
 color=\"#808080\" face=\"helvetica\"><strong>Incident has
 been closed.</strong></font></p></div>\n\t\t<div><p><font
 size=\"4\" color=\"#808080\" face=\"helvetica\"><strong>Summary
 details</strong></font></p><p><font size=\"3\" color=\"#808080\"
 face=\"helvetica\">Closed by: System Administrator</font></p><p><font
 size=\"3\" color=\"#808080\" face=\"helvetica\">Closed notes:
 Fixed</font></p></div>\n\t\t<div><p><font size=\"3\" color=\"#808080\"
 face=\"helvetica\">You can view all the details of the incident
 by following the link below:</font></p><font face=\"helvetica\"><a
 href=\"incident.do?sys_id=e8e875b0c0a80164009dc852b4d677d5&amp;sysparm_s
tack=incident_list.do?sysparm_query=active=true\"
 style=\"background-color: #278efc;border: 1px solid
 #0368d4;color: #ffffff;font-size: 16px;font-family: Helvetica,
 Arial, sans-serif;text-decoration: none; border-radius:
 3px;-webkit-border-radius: 3px;-moz-border-radius:
 3px;display: inline-block;padding: 5px;\">Take me to the
 Incident</a></font><br /><br /><p><font size=\"3\" color=\"#808080\"
 face=\"helvetica\">Thank you.</font></p></div><div> </div><div
 style=\"display:inline\">Ref:MSG0000006</div></body></html>",
    "bcc" : [
      ""
    ],
    "subject" : "Your incident INC0000005 has been closed",
    "to" : [
      "alejandro.mascall@example.com"
    ],
    "state" : "ready",
    "id" : "06e095427f0022007f005212bdfa91b3",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "importance" : "",
    "text" : ""
  }
}
```

メール - **POST /now/email**

渡された情報を使用してメールレコードを作成します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/email`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
bcc	メールメッセージを Bcc される受信者のメールアドレスのリスト。blind_copied フィールドにマップされます。 **注:** このフィールドには最大 100 件のアドレスのみを指定できます。 データタイプ：アレイ
cc	メールメッセージを Cc される受信者のメールアドレスのリスト。copied フィールドにマップされます。 **注:** このフィールドには最大 100 件のアドレスのみを指定できます。 データタイプ：アレイ
headers	メッセージとその値に関連付けられたヘッダーの名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト
html	メールメッセージの HTML 対応本文。body フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
importance	メールメッセージの重要性。重要性フィールドにマップされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：文字列
subject	メールメッセージの件名。subject フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
table_name	メールを保存するテーブルの名前。このパラメーターを使用して、システムの別の場所にある特定の関連レコードにメールメッセージを関連付けます。 注: このパラメーターでは、*table_record_id* パラメーターも指定する必要があります。 データタイプ：文字列
table_record_id	メールが適用されるターゲット関連レコード。このパラメーターを使用して、システムの別の場所にある特定の関連レコードにメールメッセージを関連付けます。 注: このパラメーターでは、*table_name* パラメーターも指定する必要があります。 データタイプ：文字列
text	メールメッセージのテキストのみの本文。body_text フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
to	必須です。メールメッセージを直接送られる受信者のメールアドレスのリスト。recipients フィールドにマップされます。 注: このフィールドには最大 100 件のアドレスのみを指定できます。 データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	要求元ユーザーにレコードへのアクセス権がありません。ユーザーに適切なロールとアクセス権限があることを確認します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
href	メール API GET 要求としてのメールレコードへのリンク。 データタイプ：文字列
id	メールレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
links	メールレコードへのリンクのリスト。 データタイプ：アレイ
rel	*href* パラメーターにリストされているリンクのタイプ。 可能な値： • self：メールレコードのメール API GET 要求。 • status：メールレコードのメール API GET 要求であり、id、タイプ、ステータス、およびエラーフィールドのみを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/now/email" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'\
--data "{
  \"to\": [
    \"User1 <user1@example.com>\",
    \"User2 <user2@example.com>\"
  ],
  \"cc\": [
    \"User3 <user3@example.com>\",
    \"User4 <user4@example.com>\"
  ],
  \"bcc\": [
    \"User5 <user5@example.com>\",
    \"User6 <user6@example.com>\"
  ],
  \"subject\": \"Hello There\",
  \"text\": \"Test Message\",
  \"html\": \"<b>Test Message</b>\",
  \"table_name\": \"incident\",
  \"table_record_id\": \"136b2140bd0312004d7d1371f1abbdb6\",
  \"headers\": {
    \"X-Custom\": \"header\"
  }
}"
```

```
{
 "result": {
   "id": "b963219a44b02200964f63773cd6adfc",
   "links": [
     {
       "rel": "self",
       "href": "/now/v1/email/b963219a44b02200964f63773cd6adfc"
     },
     {
       "rel": "status",
       "href":
 "/now/v1/email/b963219a44b02200964f63773cd6adfc?sysparm_fields=id,type,s
tate,error"
     }
   ]
 }
}
```

エンタイトルメント API

エンタイトルメント API は、インスタンスからエンタイトルメントレコードを作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタイトルメントチェックは、アプライアンスやコンピューターなどの製品を購入する顧客向けの販売後サポートサービスの一環として行われます。エンタイトルメントチェックは、顧客が購入した製品に対してどのサービスを受ける資格があるかを判断するためにエージェントによって行われます。`エンタイトルメント` API を使用して、エンタイトルメントを定義および取得します。

この API は、次のテーブルのデータにアクセスして保存します。

- アカウント (customer_account)
- コンシューマー (csm_consumer)
- 世帯 [csm_household]
- インストールベース [sn_install_base_item]
- 製品モデル [cmdb_model]
- 製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]
- 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product]

この API にアクセスするには、関連するインスタンスで次のプラグインを有効にする必要があります。

- カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core)
- Customer Service インストールベース管理 (com.snc.install_base)
- 製品カタログ管理コア (com.sn_prd_pm)

さらに、この API を正常に呼び出すには、sn_pss_core.pss_integrator ロールが必要です。この API は `sn_pss_core` 名前空間で実行されます。

エンタイトルメント:GET **/sn_pss_core/entitlement/{id}**

指定されたエンタイトルメントレコード、それに関連する補償範囲、および最新の使用状況の詳細を返します。

エンタイトルメントデータが保存されるテーブルのリストは次のとおりです。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]
- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品とインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/entitlement/{id}`

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/entitlement/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
id	取得するエンタイトルメントレコードのSys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
display_value	返されるデータのタイプ。 有効な値： • false:すべてのフィールド の値 を返します。たとえば、"state":"draft" です。 • true:すべてのフィールドの display_value を返します。例: "state":"Draft" • all:すべてのフィールドのすべての情報を返します。 `"state": { "name": "state", "label": "State", "value": "draft", "display_value": "Draft", "type": "string" }` データタイプ：文字列 デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
アカウント	エンタイトルメントが属するアカ ドのSys_id。アカウント [custom テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	エンタイトルメントが属するコン マーレコードのSys_id。コンシ [csm_consumer] テーブルにあ データタイプ：文字列
契約	エンタイトルメントが属する契約 レコードのSys_id。サービス契約 [sn_pss_core_service_contract ります。 データタイプ：文字列
end_date	エンタイトルメントの終了日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除するまで

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

entitlement_characteristics	エンタイトルメントに関連付けら
	性のリスト。この配列のデータは
	[sn_pss_core_entitlement_cha
	ブルに挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェクトのア
	
	"entitlement_characteri
	{
	"characteristic": "
	"characteristic_opt
	"String",
	"entitlement": "Str
	"entitlement_usage"
	"service_contract_l
	"String",
	"sys_created_by": "
	"sys_created_on": "
	"sys_id": "String",
	"sys_updated_by": "
	"sys_updated_on": "
	"type": "String",
	"value": "String"
	}
	]

entitlement_characteristics。特性	エンタイトルメントに関連付けら ドのSys_id。特性 [sn_prd_pm_ テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイトルメントに関連付けら プションレコードのSys_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic_op あります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。資格	関連付けられたエンタイトルメン コードのSys_id。エンタイトルメ [service_entitlement] テーブル データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage	エンタイトルメント特性に関連付 イトルメント使用状況のリスト。 データタイプ：オブジェクトのア "entitlement_usage": [{ "entitlement": "Str "entitlement_charac "String", "period_end": "Stri "period_start": "St

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"service_contract_l "String", "sys_created_by": " "sys_created_on": " "sys_id": "String", "sys_updated_by": " "sys_updated_on": " "total_units": "Str "used_units": "Stri }]
entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタイトルメントの使用状況に エンタイトルメントレコードのS トルメント [service_entitlemen ります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタイトルメント使用状況に関 ンタイトルメント特性レコードの [sn_pss_core_entitlement_cha ブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタイトルメントの使用状況を 終了日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタイトルメントの使用状況を 日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
entitlement_characteristics。entitlement_usage。service_contract_line	現在のエンタイトルメントの使用 サービス契約品目のSys_id。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタイトルメント使用レコード ザーの名前。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタイトルメント使用レコード 時。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイトルメント使用状況レコ Sys_id。エンタイトルメントの使

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_pss_core_entitlement_usag ります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタイトルメント使用状況レコ 新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタイトルメント使用状況レコ 新された日時。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付けられたエンタイトルメン 囲値。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	*period_start*と*period_end*の またはコンシューマーによって使 トの数。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。種類	エンタイトルメント特性のタイプ 有効な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。価値	特性の値。 データタイプ：文字列
entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列
世帯	エンタイトルメントに関連付けら ドのSys_id。世帯 [csm_househ あります。 データタイプ：文字列

install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象となる
	ベースアイテムのリスト。対象の
	[sn_install_base_m2m_contrac
	テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクトのア
	
	`"install_base_items_co`
	`{`
	`"added": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"contract": "String
	"entitlement": "Str
	"install_base": "St
	"removed": "String"
	"service_contract_l
	"String",
	"sys_created_by": "
	"sys_created_on": "
	"sys_id": "String",
	"sys_updated_by": "
	"sys_updated_on": "
	}
	]</pre>

install_base_items_covered。追加	関連するインストールベースアイトルメントに追加された日付。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。契約	インストールベースアイテムに関サービス契約レコードのSys_id。[sn_pss_core_service_contractります。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。install_base	サービス契約品目の対象となるイスアイテムのSys_id。インストーム [sn_install_base_item] テーブ データタイプ：文字列
install_base_items_covered。削除	関連するインストールベースアイトルメントから削除された日付。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。資格	インストールベースアイテムに関ンタイトルメントレコードのSysルメント [service_entitlement]ます。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。service_contract_line	関連付けられたサービス契約品目コードのSys_id。サービス契約品[sn_pss_core_service_contractにあります。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。sys_created_by	インストールベースアイテムレコユーザーの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
install_base_items_covered。sys_created_on	インストールベースアイテムレコ た日時。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。sys_id	対象のインストールベースアイテ のSys_id。対象の販売済み製品の [sn_install_base_m2m_contrac テーブルにあります。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。sys_updated_by	インストールベースアイテムレコ 新したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。sys_updated_on	インストールベースアイテムレコ 新された日時。 データタイプ：文字列
product	エンタイトルメントに関連付けら レコードのSys_id。製品モデル テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product_offering	エンタイトルメントに関連付けら リングレコードのSys_id。製品オ [sn_prd_pm_product_offering] ます。 データタイプ：文字列
sold_entitlement	エンタイトルメントに関連付けら 製品レコードのSys_id。販売済み [sn_install_base_sold_product] ます。 データタイプ：文字列

sold_products_covered	対象製品のリスト。対象の販売済
	[sn_install_base_m2m_contrac
	テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクトのア
	
	`"sold_products_covered"`
	`{`
	`"added": "String",`
	`"contract": "String`
	`"entitlement": "Str`
	`"removed": "String"`
	`"service_contract_l`
	`"String",`
	`"sold_product": "St`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"sys_created_by": " "sys_created_on": " "sys_id": "String", "sys_updated_by": " "sys_updated_on": " }]
sold_products_covered。追加	関連する販売済み製品がエンタ 加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
sold_products_covered。契約	対象の販売済み製品に関連付け ビス契約レコードのSys_id。サ [sn_pss_core_service_contract ります。 データタイプ：文字列
sold_products_covered。資格	対象の販売済み製品に関連付け ルメントレコードのSys_id。エ [service_entitlement]テーブル データタイプ：文字列
sold_products_covered.削除	関連する販売済み製品がエンタ 削除された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
sold_products_covered。service_contract_line	対象の販売済み製品に関連付け 契約品目レコードのSys_id。サ [sn_pss_core_service_contract にあります。 データタイプ：文字列
sold_products_covered。sold_product	エンタイトルメントの対象とな 品Sys_id。販売済み製品テーブ [sn_install_base_sold_product] ます。 データタイプ：文字列
sold_products_covered。sys_created_by	販売済み製品対象レコードを作 名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sold_products_covered。sys_created_on	販売済み製品の対象レコードが作 データタイプ：文字列
sold_products_covered。sys_id	このサービス契約の対象となる製品Sys_id。対象の販売済み製品の[sn_install_base_m2m_contrac テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sold_products_covered。sys_updated_by	販売済み製品対象レコードを最後ザーの名前。 データタイプ：文字列
sold_products_covered。sys_updated_on	対象の販売済み製品レコードが最日時。 データタイプ：文字列
start_date	エンタイトルメントの開始日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
state	エンタイトルメントの現在のステ 有効な値：(大文字と小文字を区 • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列
sys_created_by	エンタイトルメントレコードを作の名前。 データタイプ：文字列
sys_created_on	エンタイトルメントレコードが作 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられたエンタイトルメンコードのSys_id。エンタイトルメ[service_entitlement] テーブル データタイプ：文字列
sys_updated_by	エンタイトルメントレコードを最ユーザーの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_updated_on	エンタイトルメントレコードが作 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出してエンタイトルメントテンプレートを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/entitlement/fc73d2de892
26110f877430a4e008" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2023-10-09 11:31:59",
    "sys_updated_on": "2023-10-09 11:31:59",
    "entitlement_name": "indep entl",
    "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
    "consumer": null,
    "household": null,
    "contract": null,
    "service_contract_line": null,
    "state": "active",
    "product_offering": null,
    "sold_entitlement": null,
    "product": null,
    "start_date": "2023-10-03",
    "end_date": "2024-12-03",
    "sold_products_covered": [
      {
        "sys_id": "d6651515d1f53110f8776589fa411f7c",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "contract": null,
        "service_contract_line": null,
        "entitlement": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
        "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b",
        "added": "",
        "removed": ""
      }
    ],
    "install_base_items_covered": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
        "sys_id": "12651515d1f53110f8776589fa411f7d",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "contract": null,
        "service_contract_line": null,
        "entitlement": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
        "install_base": "e2639951d1f53110f8776589fa411f2b",
        "added": "",
        "removed": ""
      }
    ],
    "entitlement_characteristics": [
      {
        "sys_id": "12651515d1f53110f8776589fa411f7e",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:31:59",
        "service_contract_line": null,
        "entitlement": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
        "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
        "value": "5",
        "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
        "type": "coverage_and_usage",
        "entitlement_usage": [
          {
            "sys_id": "de651515d1f53110f8776589fa411f7e",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:31:59",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:31:59",
            "entitlement": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
            "service_contract_line": null,
            "entitlement_characteristic":
 "12651515d1f53110f8776589fa411f7e",
            "period_start": "2023-10-03",
            "period_end": "2024-12-03",
            "total_units": "5",
            "used_units": "25"
          }
        ]
      }
    ]
  }
}
```


エンタイトルメント:POST **/sn_pss_core/entitlement**

エンタイトルメントレコードとそれに関連するすべての詳細レコードを作成します。

エンタイトルメントデータが保存されるテーブルのリストは次のとおりです。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]
- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品と対象のインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/entitlement`

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/entitlement`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
アカウント	*consumer*パラメーターが渡されない場合は必須 エンタイトルメントが属するアカウントレコード Sys_id。アカウント [customer_account] テー あります。 データタイプ：文字列
consumer	*account*パラメーターが渡されない場合は必須 エンタイトルメントが属するコンシューマーレコ Sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テー あります。 データタイプ：文字列
end_date	エンタイトルメントの終了日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除するまで終了しません。
entitlement_characteristics	エンタイトルメントに関連付けられた特性のリスト。この配列のデータは、特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic] テー 挿入されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"entitlement_characteristics": [ { "characteristic": "String", "characteristic_option": "Strin "entitlement_usage": {Object}, "type": "String", "value": "String" } ]`
entitlement_characteristics。特性	必須。 エンタイトルメントに関連付けられた特性レコー Sys_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テー あります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイトルメントに関連付けられた特性オ プションレコードのSys_id。特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option] テーブル す。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連するエンタイトルメント特性に使用される単 位値。このデータはエンタイトルメント使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage] テーブルに ます。 entitlement_characteristicsエンタイトルメント ある場合にのみ、このパラメーターを渡します。 データタイプ: オブジェクト `"entitlement_usage": { "used_units": "String" }`
entitlement_characteristics。entitlement_usage。usage_units	関連するエンタイトルメント特性の使用状況。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。種類	エンタイトルメント特性のタイプ。 有効な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
entitlement_characteristics。価値	*entitlement_characteristics.characte* パラメーターに指定されたレコードに含まれ る*input_type*パラメーターが選択でない場合は す。 特性の値。 データタイプ：文字列
entitlement_name	必須。 エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列
世帯	世帯プラグインがアクティブで、 *consumer*パ ターが渡された場合にのみ渡されます。 エンタイトルメントに関連付けられた世帯レコー Sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあり データタイプ：文字列
install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象となるインス トールベースアイテムのリスト。このア レイの情報は、Sold Product Covered [sn_install_base_m2m_contract_sold_produc ブルに挿入されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"install_base_items_covered": [ { "added": "String", "install_base": "String", "removed": "String" } ]` インストールベースアイテム インストールベー 定 の詳細については、以下を参照してくださ
install_base_items_covered.added	関連するインストールベースアイテムがエンタ ントに追加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
install_base_items_covered。install_base	関連付けられたインストールベースアイテムレ コードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered。削除	関連するインストールベースアイテムがエンタ ントから削除された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
product	エンタイトルメントに関連付けられた製品モデルのSys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product_offering	エンタイトルメントに関連付けられた製品オファリングレコードのSys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあり データタイプ：文字列
sold_entitlement	エンタイトルメントに関連付けられた販売済み製品レコードのSys_id。販売済み製品テーブル [sn_install_base_sold_product] テーブルにあり データタイプ：文字列
sold_products_covered	エンタイトルメントの対象となる製品のリスト。このパラメーターのデータは、対象の販売済み製 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product ブルに挿入されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"sold_products_covered": [ { "added": "String", "removed": "String", "sold_product": "String" } ]`
sold_products_covered.added	関連する販売済み製品がエンタイトルメントに追た日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
sold_products_covered.削除	関連する販売済み製品がエンタイトルメントかられた日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト:終了日なし
sold_products_covered.sold_product	エンタイトルメントの対象となる製品Sys_id。製品テーブル [sn_install_base_sold_product] にあります。 データタイプ：文字列
start_date	必須。 エンタイトルメントの開始日。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
state	必須。 エンタイトルメントの現在のステータス。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理され、レコードが作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
entitlement_characteristics	エンタイトルメントの下に作成されたエンタイトルメント特性オブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"entitlement_characteristics" [ { "entitlement_usage": {Object}, "sys_id": "String" } ]`
entitlement_characteristics。entitlement_usage	entitlement_characteristicの下に挿入されたエンタイトルメント使用オブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"entitlement_usage": { "sys_id": "String" }`
entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイトルメント使用状況レコードの Sys_id。エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
entitlement_characteristics。sys_id	エンタイトルメントに関連付けられたエンタイトルメント特性レコードのSys_id。特性[sn_pss_core_entitlement_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象となるインストールベースアイテムのsys_idsのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"install_base_items_covered": [ { "sys_id": "String" } ]`
install_base_items_covered。sys_id	エンタイトルメントの対象となるインストールベースアイテムのSys_id。対象の販売済み製品の[sn_install_base_m2m_contract_sold_product] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sold_prodocts_covered	エンタイトルメントの対象となる製品のsys_idsのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"sold_products_covered": [ { "sys_id": "String" } ]`
sold_products_covered。sys_id	エンタイトルメントに関連付けられた製品のSys_id。対象の販売済み製品の[sn_install_base_m2m_contract_sold_product] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_id	関連付けられたエンタイトルメントレコードのSys_id。エンタイトルメント[service_entitlement] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、エンタイトルメントテンプレートを作成する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/entitlement" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--data
{
  "state": "active",
  "entitlement_name": "indep entl",
  "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
  "start_date": "2023-10-03",
  "end_date": "2024-12-03",
  "sold_products_covered": [
    {
      "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b"
    }
  ],
  "install_base_items_covered": [
    {
      "install_base": "e2639951d1f53110f8776589fa411f2b"
    }
  ],
  "entitlement_characteristics": [
    {
      "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
      "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
      "value": "20",
      "type": "coverage_and_usage",
      "entitlement_usage": {
        "used_units": "25"
      }
    }
  ]
}
```

応答：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "5a651515d1f53110f8776589fa411f7b",
    "entitlement_name": "indep entl",
    "sold_products_covered": [
      {
        "sys_id": "d6651515d1f53110f8776589fa411f7c"
      }
    ],
    "install_base_items_covered": [
      {
        "sys_id": "12651515d1f53110f8776589fa411f7d"
      }
    ],
    "entitlement_characteristics": [
      {
        "sys_id": "12651515d1f53110f8776589fa411f7e",
        "entitlement_usage": {
          "sys_id": "de651515d1f53110f8776589fa411f7e"
        }
      }
    ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

イベント管理トピックオープン API

イベント管理トピックオープン API は、メッセージブローカーを介してトピックを送信し、ServiceNowインスタンスに保存できるようにするエンドポイントを提供します。

この API を使用すると、メッセージブローカーを介して作成されたトピックを ServiceNow トピック [topic] テーブルに保存できます。

この API は `sn-api-notif-mgmt` 名前空間で実行され、sn_api_notif_mgmt.event_mgmt_integration ロールが必要です。

イベント管理トピックを開く - POST /sn_api_notif_mgmt/topic

トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルに新しいレコードを作成し、渡されたトピック情報をそのレコードに保存します。

このエンドポイントを使用して、メッセージバスミドルウェアで作成されたトピックを ServiceNow インスタンス内のトピックと同期します。

このエンドポイントを使用してトピックが作成されると、関連するトピックレコードの user_created フィールドが `false` に設定され、タイプフィールドが `エグレス`に設定されます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_api_notif_mgmt/v1/topic`

デフォルト URL: `/api/sn_api_notif_mgmt/topic`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	Description (説明)
contentQuery	イベントのペイロードに適用するフィルター。このクエリは、イベントの重大度やチケットタイプなどの情報を検索するために使用されるより詳細なイベントフィルターです。このパラメーターは、入れ子になったクエリとして渡すことができます。 たとえば、次のトラブルチケットイベントペイロードの場合、このクエリはペイロードの 「event」オブジェクトにある属性に適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)

	<pre>{
	  "eventId":"dc2003c2c3bb3550054e20bdc0013136",
	  "@type":"Troubleticket",
	  "eventType":"TroubleTicketCreateEvent",
	  "event":{
	  "troubleTicket":{
	  "short_description":"Test payload",
	  "severity":3,
	  "ticketType":"incident"
	  }
	  }
	}</pre>
	このパラメーターは、次の条件をサポートします。
	• AND:`variable1=value1&variable2=value2&variable3=value3` など
	• OR:`variable1=value1,value2,value3` など
	• 階層変数:`variable1.variable2.variable3=value1` など
	例: `"contentQuery": "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",`
	このフィールドは、関連するトピックレコードのcontent_queryフィールドにマッピングされます。
	詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。
	データタイプ：文字列

externalId	GUID などの、トピックの一意の外部識別子。このフィールドは、関連するトピックレコードのtopic_idフィールドにマッピングされます。 データタイプ：文字列
ヘッダークエリ	イベントヘッダープロパティに適用するフィルター。このクエリは、関連するトピックについてリッスンするイベントのタイプを定義します。このパラメーターは、入れ子になったクエリとして渡すことができます。 このパラメーターは、次の条件をサポートします。 • AND:`variable1=value1&variable2=value2&variable3=value3` など • OR:`variable1=value1,value2,value3` など • 階層変数:`variable1.variable2.variable3=value1` など 例: `"headerQuery": "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEven` このフィールドは、関連するトピックレコードのheader_queryフィールドにマッピングされます。 詳細については、『TMF688 Event Management API User Guide (TMF688 イベント管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
name	トピックの名前。 このフィールドは、関連するトピックレコードのtopic_nameフィールドにマッピングされます。 データタイプ：文字列
namespace	トピックの名前空間。関連付けられた名前空間がない場合は空です。 このフィールドは、関連するトピックレコードの名前空間フィールドにマッピングされます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	渡されたトピック外部 `ID` は既に存在します。一意のトピック外部 `ID` を渡してください: 渡された外部 ID がトピックテーブルに既に存在することを示します。 トピック名、ヘッダークエリ、コンテンツクエリ、名前空間の一意の組み合わせを渡してください :トピック名、名前空間、ヘッダークエリ、およびコンテンツクエリの組み合わせが既に存在することを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	Description (説明)
contentQuery	作成されたトピックレコードのcontent_queryフィールドの値。 データタイプ：文字列
externalId	作成されたトピックレコードのtopic_idフィールドの値。 データタイプ：文字列
ヘッダークエリ	作成されたトピックレコードのheader_queryフィールドの値。このフィールドは、トピックに送信するイベントメッセージを決定するために、トピックピッカーフレームワークによって使用されます。 データタイプ：文字列
id	作成されたトピックレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
name	トピックの名前。 データタイプ：文字列
namespace	作成されたトピックレコードの名前空間フィールドの値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/sn_api_notif_mgmt/topic" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
--data
{
  "name": "HighPriorityTroubleTicket",
  "headerQuery":
 "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEvent",
  "contentQuery":
 "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",
  "externalId": "ext001",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "namespace": "telecomEvents"
}
```

応答：

```
{
  "externalId": "ext001",
  "name": "HighPriorityTroubleTicket",
  "headerQuery":
 "eventType=TroubleTicketStatusChangeEvent,TroubleTicketAttributeChangeEv
ent",
  "contentQuery":
 "troubleTicket.ticketType=incident&troubleTicket.severity=1",
  "namespace": "telecomEvents",
  "id": "7ee9850443c3f550461f99612bb8f223"
}
```

イベント通知管理オープン API

イベント通知管理オープン API は、イベント [em_event] テーブルからイベントを作成、更新、および削除するためのエンドポイントを提供します。

イベント通知管理オープン API (sn_ind_tmf688) は、TM Forum オープン API 仕様のServiceNow実装です。この API は、 TMF688 Event Management API User Guide v4.0.0 に基づいています。追加のアラーム情報については、『 TMF642 Alarm Management API User Guide (TMF642 アラーム管理 API ユーザーガイド)』を参照してください。

この API を拡張して、必要なパラメーター、要求本文の検証、追加の REST 操作、およびフィールドマッピングに関するカスタマイズを実行できます。詳細については、次を参照してください：イベント通知管理オープン API 開発者ガイド。

イベント通知管理オープン API – POST instance_name/scope_id/GUID

関連する要求のペイロードを NowMQ キューに配置します。このキューはバックグラウンドで処理され、Events [em_event] テーブル内のイベントを作成、更新、および削除されます。

このエンドポイントは、 ServiceNow プラットフォームの他のエンドポイントとは異なります。作成、更新、削除などの特定のタスクごとにエンドポイントを用意するのではなく、すべての機能に対して 1 つのエンドポイントのみを用意します。コールペイロードで *eventType* パラメータは、 渡された値の `AlarmCreateEvent`、 `AlarmUpdateEvent`、または `AlarmDeleteEvent` に基づいて、実行するタスクを決定します。

REST 呼び出しの形式も、標準の REST 実装とは異なります。Kafka、データベースモニター、その他のアプリケーションなど、この API を使用する各外部システムは、最初に ServiceNow プラットフォームに登録する必要があります。また、登録時に提供された情報を使用して、このエンドポイントを呼び出すために必要な署名を生成する独自の Webhook (`instance_name`、アプリケーション `scope_id`、一意の `GUID` など) を用意する必要があります。`GUID` は、要求の送信元である外部ネットワーク システムを識別します。

このエンドポイントに渡すペイロードは、対応する *eventType* パラメーター値の `TMFAlarmAPIConstants` スクリプトインクルードで定義されているペイロードと相関している必要があります。ペイロードで渡され、スキーマで定義されていないパラメーターは、エンドポイントによって無視されます。

- `AlarmCreateEvent`: `ALARM_CREATE_EVENT_SCHEMA`
- `AlarmUpdateEvent`: `ALARM_CHANGE_EVENT_SCHEMA`
- `AlarmDeleteEvent`: `ALARM_DELETE_EVENT_SCHEMA`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

デフォルト URL: `<instance_name>/<scope_id>/<GUID>`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	Description (説明)
イベント	発生したイベントの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"event": { "alarm": {Object} }`
event.alarm	*eventType*が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 関連するアラームの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"alarm": { "affectedService": [Array], "alarmedObject": {Object}, "alarmType": "String", "crossedThresholdInformation": {Object}, "externalAlarmId": "String", "href": "String", "id": "String", "perceivedSeverity": "String", "probableCause": "String", "sourceSystemId": "String", "specificProblem": "String", }`
event.alarm.affectedService	アラームの影響を受ける 1 つ以上のサービスを識別するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)

	<pre>"affectedService":[
	  {
	  "href": "String",
	  "id": "String"
	  },
	]</pre>

event.alarm.affectedService.href	影響を受けるサービスの詳細を提供する URL 参照。 データタイプ：文字列
event.alarm.affectedService.id	アラームの影響を受けるサービスの識別子。この値は、アラートの影響を受ける構成アイテム (CI) にマップされます。 データタイプ：文字列

event.alarm.alarmedObject	イベントの作成時に必要です。
	アラームオブジェクトの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"alarmedObject":
	{
	  "href": "String",
	  "id": "String"
	}</pre>

event.alarm.alarmedObject.href	イベントの作成時に必要です。 アラームオブジェクトの詳細を取得するための URL 参照。 データタイプ：文字列
event.alarm.alarmedObject.id	*eventType*が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 アラームオブジェクトの一意の識別子。この値はシステム内の CI にマップされます。 データタイプ：文字列
event.alarm.alarmType	*eventType*が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 アラームのタイプ。アラームを分類するために使用されます。 例:「QualityOfServiceAlarm」 データタイプ：文字列

event.alarm.crossedThresholdInfomation	超過したしきい値に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"crossedThresholdInformation":
	{</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	<pre> "thresholdId": "String" }</pre>
event.alarm.crossedThresholdInfomation.thresholdId	アラームを発生させたしきい値の一意の識別子。 データタイプ：文字列
event.alarm.externalAlarmId	*eventType* が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。*eventType* が `AlarmDeleteEvent` の場合、または *Id* パラメーターが指定されていない場合は `AlarmChangeEvent` の場合に必要です。 アラームを投稿しているソースシステムからのアラームの一意の識別子。 データタイプ：文字列
event.alarm.href	アラームへの URL 参照。 例:「http://api/alarm/ROUTER_IF@Cisco-0000-0-0-0-0-00-00-0--Xz0/00@00」 データタイプ：文字列
event.alarm.id	*eventType* が `AlarmDeleteEvent` または `AlarmChangeEvent` (*externalAlarmId* が指定されていない場合) に必要です。 アラームの一意の識別子。アラームを所有するシステムによって指定されます。 例:「8675399」 データタイプ：文字列
event.alarm.perceivedSeverity	*eventType* が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 アラームに関連付けられている可能性のある重大度。これらの値は、ITU-T 勧告 X.733 に準拠しています。アラームがクリアされると、その重大度は「CLEAR」に設定され、設定できなくなります。 可能な値： • CLEAR • CRITICAL • MAJOR • MINOR • 警告 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
event.alarm.probableCause	*eventType*が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 アラームをトリガーする可能性が最も高い状況。*alarmType* とともに使用してアラームを認定します。 可能な値は、ITU-T 勧告 X.733 または 3GPP TS 32.111-2 Annex B に準拠しています。 例:「しきい値を超えました」 データタイプ：文字列
event.alarm.sourceSystemId	*eventType*が `AlarmCreateEvent` の場合は必須です。 アラームのソースシステムの一意の識別子。 例:「SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00」 データタイプ：文字列
event.alarm.specificProblem	アラームをトリガーする特定の問題。*probableCause* とともに使用してアラームを認定します。 例:「受信トラフィックのしきい値を超えました」 データタイプ：文字列
eventType	必須。処理するイベントのタイプ。 有効な値： • アラーム変更通知 • アラーム作成通知 • アラーム削除通知 データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	呼び出しの実際の処理ステータスに関係なく、すべての呼び出しに対して返されます。エンドポイントが要求を受信したことを示すだけです。

応答本文のパラメーター

名前	説明
なし	このエンドポイントは非同期であるため、応答データは返されません。

Example: cURL 要求

次に、アラーム作成イベントの可能なペイロードを示します。この例は、デフォルト実装(`AlarmCreateEventSchema`)のパラメータを反映しています。

```
--data "{
  "eventType": "AlarmCreateNotification",
  "event": {
    "alarm": {
      "id": "",
      "externalAlarmId": "ext123456",
      "alarmType": "QualityOfServiceAlarm",
      "perceivedSeverity": "MINOR",
      "alarmedObject": {
        "id": "vManage_000000",
        "href": " http://api/alarmedobject/000000"
      },
      "probableCause": "Threshold crossed",
      "sourceSystemId": "SOURCE_SYSTEM_vManage_00000_000_00",
      "href": "http://api/alarm/ROUTER_IF@Cisco-0000-0-0-0-0-00-00-0--
 Xz0/00@00",
      "specificProblem": "Inbound Traffic threshold crossed",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "crossedThresholdInformation": {
        "thresholdId": "12fasdfasdfasd"
      },
      "affectedService": [
        {
          "id": "SD WAN Enterprise Solutions",
          "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        }
      ]
    }
  }
}
```

応答が返されませんでした。

Example: cURL 要求

次に、変更アラーム イベントの可能なペイロードを示します。この例は、デフォルト実装 (`AlarmChangeEventSchema`)のパラメータを反映しています。

```
--data "{
  "eventType": "AlarmChangeEventSchema",
  "event": {
    "alarm": {
      "id": "",
      "externalAlarmId": "ext123456",
      "perceivedSeverity": "MAJOR",
      "probableCause": "Threshold crossed",
      "crossedThresholdInformation": {
        "thresholdId": "12fasdfasdfasd"
      },
      "affectedService": [
        {
          "id": "SD WAN Enterprise Solutions",
          "href": "http://api/service/vlan_dot0_dot0"
        }
      ]
    }
  }
}
```

応答が返されませんでした。

Example: cURL 要求

次に、削除(クリア)アラーム イベントの可能なペイロードを示します。この例は、デフォルト実装 (`AlarmDeleteEventSchema`)のパラメータを反映しています。

```
--data "{
  "eventType": "AlarmDeleteEventSchema",
  "event": {
    "alarm": {
      "id": "",
      "externalAlarmId": "ext123456",
      "perceivedSeverity": "MAJOR",
      "probableCause": "Threshold crossed",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "crossedThresholdInformation": {
        "thresholdId": "12fasdfasdfasd"
      }
    }
  }
}
```

応答が返されませんでした。

外部コンテンツ取り込み API

外部コンテンツ取り込み API は、ServiceNow® インスタンスの外部のソースから ServiceNow® AI 検索 アプリケーションのインデックスへ、コンテンツを取り込めるようにするエンドポイントを提供します。

外部コンテンツ取り込み API – DELETE /ais/external_content/deleteByQuery/{schema_table_name}

指定されたクエリに一致するすべての外部ドキュメントを AI 検索 インデックスから削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/ais/external_content/deleteByQuery/{schema_table_name}?query={query}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
schema_table_name	削除するインデックス付きドキュメントのスキーマを定義する外部コンテンツスキーマテーブルの名前。たとえば、`u_ext_content` などです。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
query	*`schema_table_name`*で指定されたスキーマテーブルの有効な URL エスケープクエリ。たとえば、`title=Introduction` は、タイトルが `Introduction` のドキュメントをクエリします。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

error	要求の処理中に発生した発生したエラーを説明するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
error.detail	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理中に発生したエラーのメッセージ。 データタイプ：文字列
result	正常に処理された要求の結果。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。 有効な値： • *failure* データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

u_ext_content スキーマテーブルから、タイトルフィールドの値が `Introduction` および `Report for 31 October 2020` のドキュメントを削除します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/v2/ais/external_content/delete
ByQuery/u_ext_content?query=title%3DIntroduction%20OR%20title%3DReport%20
for%2031%20October%202020" \
--request DELETE \
--user "username":"password" \
--header "Accept: application/json"
```

```
{
  "result": "Delete By Query Successfully Executed"
}
```

外部コンテンツ取り込み API – DELETE /ais/external_content/deleteDocument/{schema_table_name}/{document_id}

指定された一意の識別子を持つ外部ドキュメントを AI 検索 インデックスから削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/ais/external_content/deleteDocument/{schema_table_name}/{document_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
document_id	削除する外部ドキュメントの一意の識別子。たとえば、`ADMIN-2027858531-16` などです。 データタイプ：文字列
schema_table_name	削除するインデックス付きドキュメントのスキーマを定義する外部コンテンツスキーマテーブルの名前。たとえば、`u_ext_content` などです。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明

error	要求の処理中に発生した発生したエラーを説明するオブジェクト。
	データタイプ：オブジェクト
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理中に発生したエラーのメッセージ。 データタイプ：文字列
result	正常に処理された要求の結果。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。 有効な値： • *failure* データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

u_ext_content スキーマテーブルから識別子 `ADMIN-2587918521-27` のドキュメントを削除します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl
 'https://instance.service-now.com/api/now/v2/ais/external_content/delete
Document/u_ext_content/ADMIN-2587918521-27' \
--request DELETE \
--user 'username':'password' \
--header 'Accept: application/json'
```

```
{
  "result":"Document removed"
}
```

外部コンテンツ取り込み API – POST /ais/external_content/ingestDocument/{schema_table_name}

インデックス作成のために、外部ドキュメントのリストを AI 検索 取り込みバッチャーに送信します。インデックス作成が完了すると、取り込まれたドキュメントのコンテンツが検索可能になります。

このエンドポイントを使用して、テキストコンテンツとメタデータを含む外部ドキュメントをフィードできます。

検索可能なバイナリコンテンツとメタデータを外部ドキュメントに関連付ける必要がある場合は、次の手順を実行します。

1. *POST /ais/external_content/storeContent* エンドポイントを使用して、AI 検索 にバイナリコンテンツを保存します。*result* 応答本文パラメーターの値を記録します。
2. このエンドポイントを使用して、外部ドキュメントを AI 検索 に送信します。記録された *result* 応答本文パラメーター値と一致するように、ドキュメントの *content_pointer* 要求本文パラメーターを設定します。

取り込み中、AI 検索 はバイナリコンテンツを解析し、その検索可能なコンテンツを外部ドキュメントを表すインデックス付きレコードに追加します。解析により、保存されているコンテンツオブジェクトが削除されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/ais/external_content/ingestDocument/{schema_table_name}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
schema_table_name	要求内の外部ドキュメントのスキーマを定義する外部コンテンツスキーマテーブルの名前。たとえば、`u_ext_content` などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
[array]	必須です。オブジェクトの名前なしアレイです。各オブジェクトは、インデックス作成のために取り込む外部ドキュメントを表します。 データタイプ：アレイ `[ { "content_pointer": "String", "document_id": "String", "principals": {Object}, "properties": {Object} } ]`
[array].content_pointer	*POST /ais/external_content/storeContent* エンドポイントを使用して保存されたバイナリコンテンツのインスタンスの識別子。 取り込み中、AI 検索 はバイナリコンテンツを解析し、その検索可能なコンテンツを外部ドキュメントを表すインデックス付きレコードに追加します。解析により、保存されているコンテンツオブジェクトが削除されます。 **注:** この識別子は、*storeContent* エンドポイントによって返される *result* 応答本文要素と一致する必要があります。 データタイプ：文字列
[array].document_id	必須です。*schema_table_name* パスパラメーターで指定された外部コンテンツスキーマテーブル内の外部ドキュメントの一意の識別子。 **注:** ドキュメントを取り込むと、同じ *document_id* を持つ同じ外部コンテンツスキーマテーブル内の既存のドキュメントが上書きされます。同じ取り込み要求内の 2 つ以上のドキュメントに同じ *document_id* がある場合、要求は失敗します。 データタイプ：文字列
[array].principals	外部定義のセキュリティプリンシパル (ユーザーとグループ) に対する外部ドキュメントのアクセス権限を記述するキーと値のペアを含むオブジェクト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	注: ドキュメントでこのパラメーターを省略すると、要求は成功しますが、AI 検索 は「`The principal of the document is missing`」という取り込みフィードバックメッセージとともにドキュメントを却下します。 このパラメーターオブジェクトにドキュメントへのアクセス権を付与するキーと値のペアが含まれていない場合、要求は成功しますが、AI 検索 は「`The principal of the document is invalid`」という取り込みフィードバックメッセージとともにドキュメントを却下します。 データタイプ：オブジェクト `"principals": { "everyone": Boolean, "groups.deny": [Array], "groups.read": [Array], "none": Boolean, "users.deny": [Array], "users.read": [Array] }` サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。
[array].principals.everyone	すべてのユーザーの外部ドキュメントへのアクセスが許可されているかどうかを示すフラグ。このパラメーターを *true* に設定すると、すべての Now Platform ユーザーが、ドキュメントから作成されたインデックス付きレコードを表示できます。 **注:** ドキュメントでこのパラメーターと *[array].principals.none* の両方を *true* に設定すると、要求は成功しますが、AI 検索 は「`The principal of the document is invalid`」という取り込みフィードバックメッセージとともにドキュメントを却下します。要求では、これらの 2 つのパラメーターの片方のみを *true* に設定できます。 有効な値： • *true*：すべてのユーザーにドキュメントへのアクセスを許可します。AI 検索 は、ドキュメントのすべての *[array].principals.groups.** および *[array].principals.users.** パラメーター設定を無視します。 • *false*：すべてのユーザーに外部ドキュメントへのアクセスを許可しません。*[array].principals.none* が false に設定されており、ユーザーマッピングと *[array].principals.groups.** および

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	*[array].principals.users.** パラメーターのインタラクションによって許可されている場合にのみ、ユーザーはドキュメントにアクセスできます。 データタイプ：ブーリアン デフォルト： *true* サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。

[array].principals.groups.deny	文字列のアレイで、各文字列は、外部ドキュメントへのアクセスが拒否された外部定義グループの名前です。これらの外部グループのいずれかにマップされた Now Platform ユーザーは、ドキュメントから作成されたインデックス付き検索結果レコードを表示できません。
	
	[array].principals.everyone または *[array].principals.none* のいずれかが *true* に設定されている場合、このパラメーターは無効です。
	
	このパラメーターは *[array].principals.groups.read* よりも優先されます。同じユーザーが、ドキュメントの読み取りおよびアクセス拒否権限の両方を持つ外部グループにマップされている場合、AI 検索 はそのユーザーに対してインデックス付きレコードへのアクセスを拒否します。
	
	デフォルトでは、*[array].principals.users.read* はこのパラメーターよりも優先されます。インデックス付きソースのこの優先順位を逆にするには、「外部コンテンツのインデックス付きソースのユーザー読み取り権限とグループ拒否権限の優先順位を変更する」を参照してください。
	
	データタイプ：アレイ
	
	値は、指定された外部定義グループの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例：
	
	`"groups.deny": [`
	`  "hr-admin",`
	`  "legal"`
	`]`
	
	サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。

[array].principals.groups.read	文字列のアレイで、各文字列は、外部ドキュメントへのアクセスが許可された外部定義グループの名前です。これらの外部グループのいずれかにマップされた Now Platform ユーザーは、ドキュメントから作成されたインデックス付き検索結果レコードを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	[array].principals.everyone または *[array].principals.none* のいずれかが *true* に設定されている場合、このパラメーターは無効です。 *[array].principals.groups.deny* はこのパラメーターよりも優先されます。同じユーザーが、ドキュメントの読み取りおよびアクセス拒否権限の両方を持つ外部グループにマップされている場合、AI 検索 はそのユーザーに対してインデックス付きレコードへのアクセスを拒否します。 データタイプ：アレイ 値は、指定された外部定義グループの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例： `"groups.read": [ "devops", "it", "report-admins" ]` サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。
[array].principals.none	すべてのユーザーの外部ドキュメントへのアクセスが拒否されているかどうかを示すブーリアンオプション。このパラメーターを *true* に設定すると、昇格された ais_high_security_admin 権限ロールを持つ Now Platform ユーザーのみが、ドキュメントから作成されたインデックス付きレコードを表示できます。 **注:** ドキュメントでこのパラメーターと *[array].principals.everyone* の両方を *true* に設定すると、取り込み時に、AI 検索 は「`The principal of the document is invalid`」というエラーメッセージとともにドキュメントを却下します。要求では、これらの 2 つのパラメーターの片方のみを *true* に設定できます。 有効な値： • *true*：昇格された ais_high_security_admin 権限ロールを持つユーザーを除き、すべてのユーザーにドキュメントへのアクセスを拒否します。AI 検索 は、ドキュメントのすべての *[array].principals.groups.** および *[array].principals.users.** パラメーター設定を無視します。 • *false*：すべてのユーザーのドキュメントへのアクセスを拒否しません。*[array].principals.everyone* が *true* に設定されているか、そのユーザーマッピングと *[array].principals.groups.read* および *[array].principals.users.read* パラメーターのインタラクションによって許可されている場合、ユーザーはドキュメントにアクセスできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト： *false* サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。

[array].principals.users.deny	文字列のアレイで、各文字列は、外部ドキュメントへのアクセスが拒否された外部定義ユーザーの名前です。これらの外部ユーザーのいずれかにマップされた Now Platform ユーザーは、ドキュメントから作成されたインデックス付き検索結果レコードを表示できません。
	
	[array].principals.everyone または *[array].principals.none* のいずれかが *true* に設定されている場合、このパラメーターは無効です。
	
	このパラメーターは *[array].principals.users.read* よりも優先されます。同じユーザーが、ドキュメントの読み取りおよびアクセス拒否権限の両方を持つ外部ユーザーにマップされている場合、AI 検索 はそのユーザーに対してインデックス付きレコードへのアクセスを拒否します。
	
	データタイプ：アレイ
	
	値は、指定された外部定義ユーザーの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例：
	
	`"users.deny": [`
	`  "ad\bow-ruggeri",`
	`  "abel-tuter@sharepoint"`
	`]`
	
	サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。

[array].principals.users.read	文字列のアレイで、各文字列は、外部ドキュメントへのアクセスが許可された外部定義ユーザーの名前です。これらの外部ユーザーのいずれかにマップされた Now Platform ユーザーは、ドキュメントから作成されたインデックス付き検索結果レコードを表示できます。 *[array].principals.everyone* または *[array].principals.none* のいずれかが *true* に設定されている場合、このパラメーターは無効です。 *[array].principals.users.deny* はこのパラメーターよりも優先されます。同じユーザーが、ドキュメントの読み取りおよびアクセス拒否権限の両方を持つ外部ユーザーにマップされている場合、AI 検索 はそのユーザーに対してインデックス付きレコードへのアクセスを拒否します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	デフォルトでは、このパラメーターは *[array].principals.groups.deny* よりも優先されます。インデックス付きソースのこの優先順位を逆にするには、「外部コンテンツのインデックス付きソースのユーザー読み取り権限とグループ拒否権限の優先順位を変更する」を参照してください。 データタイプ：アレイ 値は、指定された外部定義ユーザーの名前に応じて、任意の形式にすることができます。例： `"users.read": [ "ad\abel-tuter", "beth-anglin@sharepoint" ]` サポートされているバージョン：API の v2 以降で利用可能です。
[array].properties	名前と値のペアを含むオブジェクトで、各ペアは、ドキュメントのために取り込むフィールド名と値を表します。フィールド名と値は、すべて文字列として指定する必要があります。 取り込み後、これらのドキュメントフィールド値は、*schema_table_name* パスパラメーターで指定された外部コンテンツスキーマテーブルに定義されたインデックス付きソースを介してアクセスできます。ユーザーは、このインデックス付きソースから派生した検索ソースでこれらのフィールド値を検索できます。 データタイプ：オブジェクト フィールド名に使用できるのは、小文字とアンダースコアのみです。値には任意の文字を含めることができます。値の長さは、外部コンテンツスキーマテーブルのフィールドに定義された *max_length* 属性によって制限されます。フィールドの名前と値のペアの例は次のとおりです。 `"properties": { "creation_date": "2020-11-03 12:27:43", "file_size": "10285", "title": "Introduction", "url": "file:///myhost/reports/Introduction.pdf" }`

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
202	部分的に成功。要求は処理されました。一部のドキュメントには、取り込みフィードバックの警告またはエラーメッセージがあります。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

error	要求の処理中に発生した発生したエラーを説明するオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理中に発生したエラーのメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result	取り込み要求の結果オブジェクトを表す JSON 形式の文字列。 データタイプ：文字列 `"result": "{\"duration_in_ms\": Number, \"feedback\": [Array] }"`
result.duration_in_ms	外部ドキュメントの取り込みに費やされた時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.feedback	オブジェクトのアレイで、各オブジェクトは、要求本文から取り込まれたドキュメントのフィードバックを表します。 データタイプ：アレイ `"feedback": [ { "document_id": "String", "messages": [Array] } ]`
result.feedback.document_id	要求本文で指定された外部ドキュメントの一意の識別子。 データタイプ：文字列
result.feedback.messages	名前なしオブジェクトのアレイで、各オブジェクトは、外部ドキュメントのインデックス作成中にログに記録された取り込みフィードバックメッセージを表します。 データタイプ：アレイ `"messages": [ { "code": "String", "component": "String", "level": "String", "message": "String" } ]`
result.feedback.messages.code	取り込みフィードバックメッセージを記録したインデックス作成ワークフローコンポーネントによってスローされた例外のコード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.feedback.messages.component	取り込みフィードバックメッセージを記録したインデックス作成ワークフローコンポーネントの識別子。 データタイプ：文字列
result.feedback.messages.level	取り込みフィードバックメッセージのログ記録レベル。 有効な値： • *ERROR* • *INFO* • *MINOR_ERROR* • *WARN* データタイプ：文字列
result.feedback.messages.message	取り込みフィードバックメッセージについてログに記録されたテキスト。 データタイプ：文字列
status	失敗した要求のステータス。 有効な値： • *failure* データタイプ：文字列

プリンシパル権限の優先順位

[array].principals 権限の優先順位は、外部ドキュメントの取り込みに使用されるインデックス付きソースの *user_read_takes_precedence_over_group_deny* 属性の値によって異なります。

属性値	プリンシパル権限の優先順位
true	優先順位の高いものから低いものへ： **1.** *[array].principals.everyone*、*[array].principals.* **2.** *[array].principals.users.deny* **3.** *[array].principals.users.read* **4.** *[array].principals.groups.deny* **5.** *[array].principals.groups.read* **注:** これは、外部コンテンツのインデックス付きソースのデフォルトの属性値です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性値	プリンシパル権限の優先順位
false	優先順位の高いものから低いものへ： 1. *[array].principals.everyone*、*[array].principals.* 2. *[array].principals.users.deny*、*[array].principa* 3. *[array].principals.users.read*、*[array].principa* 注：この属性値の設定手順については、「外部コンテンツのインデックス付きソースに対するユーザーの読み取り権限とグループ拒否権限の優先順位を変更する」を参照してください。

Example: cURL 要求

u_ext_content スキーマテーブルにインデックスを作成するために、2 つの外部ドキュメント (*POST /ais/external_content/storeContent* エンドポイントを使用して以前に保存されたバイナリコンテンツオブジェクトへのコンテンツポインターあり) をフィードします。

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/now/v2/ais/external_content/ingestD
ocument/u_ext_content' \
  --request POST \
  --user 'username':'password' \
  --header 'Accept: application/json' \
  --header 'Content-Type: application/json' \
  --data '[
  {
    "document_id": "ADMIN-2027858531-16",
    "content_pointer": "749b52a1-baa8-4556-a4f3-00404c95e6a8",
    "properties": {
      "title": "Introduction",
      "url": "file:///myhost/reports/Introduction.pdf",
      "file_name": "Introduction.pdf",
      "file_size": "10285",
      "creation_date": "2020-11-01 12:27:43"
    },
    "principals": {
      "everyone": false,
      "groups.read": [
        "report-users",
        "report-admins"
      ],
      "users.deny": [
        "ad\abel-tuter"
      ]
    }
  },
  {
    "document_id": "ADMIN-2587918521-27",
    "content_pointer": "bd605435-268b-464f-a7c3-0c5ea894a5c2",
    "properties": {
      "title": "Report for 31 August 2020",
      "url": "file:///myhost/reports/Report-2020-08-31.pdf",
      "file_size": "27597",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "creation_date": "2020-09-01 12:48:13"
    },
    "principals": {
      "everyone": false,
      "groups.read": [
        "report-users",
        "report-admins"
      ],
      "users.read": [
        "ad\beth-anglin"
      ]
    }
  }
]'
```

```
{

 "result":"{\"duration_in_ms\":3822,\"feedback\":[{\"messages\":
[{\"level\":\"INFO\",\"message\":\"CREATED\",\"component\":
\"init\"},{\"level\":\"INFO\",\"message\":\"OK\",\"component\":
\"index-886de18e750030108b23bcd69cdc2dd3-indexer.index-886de18e750030108b
23bcd69cdc2dd3-content-dispatcher\"},{\"level\":\"INFO\",\"message\":
\"COMPLETED\",\"component\":\"sink.sink\"}],\"document_id\":
\"ADMIN-2027858531-16\"},{\"messages\":[{\"level\":\"INFO\",\"message\":
\"CREATED\",\"component\":\"init\"},{\"level\":\"WARN\",\"message\":
\"field \\u0027text\\u0027 tokens exceed
 index.maxTokens\",\"code\":\"INDEX_ENGINE-32\",\"component\":
\"ingestGlideDocument.standardAnalyzer\"},{\"level\":\"INFO\",
\"message\":\"OK\",\"component\":
\"index-886de18e750030108b23bcd69cdc2dd3-indexer.index-886de18e750030108b
23bcd69cdc2dd3-content-dispatcher\"},{\"level\":\"INFO\",\"message\":
\"COMPLETED\",\"component\":\"sink.sink\"}],\"document_id\":
\"ADMIN-2587918521-27\"}]}"
}
```

自動翻訳

外部コンテンツ取り込み API – POST ais/external_content/storeContent

バイナリコンテンツをコンテンツオブジェクトとして AI 検索 に保存します。

保存されているバイナリコンテンツを外部ドキュメントに関連付けるには、次の手順を実行します。

1. このエンドポイントを使用してバイナリコンテンツを保存します。*result* 応答本文パラメーターの値を記録します。
2. *POST /ais/external_content/ingestDocument/{schema_table_name}* エンドポイントを使用して、外部ドキュメントを AI 検索 に送信します。記録された *result* 応答本文パラメーター値と一致するように、ドキュメントの *content_pointer* 要求本文パラメーターを設定します。

取り込み中、AI 検索 はバイナリコンテンツを解析し、その検索可能なコンテンツを外部ドキュメントを表すインデックス付きレコードに追加します。解析により、保存されているコンテンツオブジェクトが削除されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/ais/external_content/storeContent`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

要素	説明
[binary data]	必須です。コンテンツオブジェクトとして AI 検索 に保存するバイナリコンテンツ。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。 有効な値： • *application/msword* • *application/octet-stream* • *application/pdf* • *application/vnd.ms-excel* • *application/vnd.ms-powerpoint* • *application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroenabled.12* • *application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation* • *application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.template* • *application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	• *application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document* • *application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template* • *text/html* • *text/plain*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
error	要求の処理中に発生した発生したエラーを説明するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求の処理中に発生したエラーのメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列
result	成功した要求によって保存されたバイナリコンテンツオブジェクトの識別子。 データタイプ：文字列 `"result" : "91841766-2a5f-4c64-a20a-27ca485eca21"` 注: 保存されているコンテンツを、取り込んだ外部ドキュメントに添付するには、この識別子を *ingestDocument* エンドポイントへの要求の *content_pointer* 要求本文要素として指定します。
status	失敗した要求のステータス。 有効な値： • *failure* データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

PDF ファイルのバイナリコンテンツをコンテンツオブジェクトとして保存します。

```
curl
 'https://instance.servicenow.com/api/now/v2/ais/external_content/storeCo
ntent' \
--request POST \
--user 'username':'password' \
--header 'Content-Type: application/pdf' \
--data-binary '@Report-2020-08-31.pdf'
```

応答本文には、新しいコンテンツオブジェクトの一意の識別子が含まれています。

```
{
  "result" : "fb439a4f-62ad-4dab-9654-5088d99a6ff9"
}
```

HR REST API

HR REST API は、米国で勤務または居住する従業員に関する情報を返すエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、sn_hr_core.usa_employee_only ロールを持っていること、および Human Resources Scoped App: Core (com_sn_hr_core) プラグインが有効になっていることが必要です。

HR REST - GET /get_usa_employee_profile

米国に拠点を置く従業員の従業員プロファイル情報を返します。

返される情報は次のいずれかです。

- 指定された従業員 ID の従業員プロファイル情報。
- 指定された日付以降に追加された従業員の情報、または情報が更新された従業員の情報。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 返される結果に従業員を含めるには、このエンドポイントで、それらの従業員の勤務先の国または自宅の国が「米国」として指定されている必要があります。

さらに、エンドポイントは統合された CIC Plus アプリケーションに次のパラメーターを送信します (詳細については「返される内容」セクションを参照してください)。

- EmployeeIdentifier
- FirstName
- MiddleName
- LastName
- Email
- WorkAddress
- WorkCity
- WorkState
- WorkPostalCode
- WorkCountry
- HomeAddress
- HomeCity
- HomeState
- HomePostalCode
- HomeCountry
- BirthDate
- HireDate

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_hr_core/hr_rest_api/get_usa_employee_profile`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメーター

パラメーター	説明
employee_identifier	従業員の一意の識別子。呼び出し元システムがこの値を生成します。システムと一貫性のあるどのような形式にもできます。この値を取得するには、最初に *updated_after* パラメーターを使用してエンドポイントを呼び出します。 **注:** このパラメーターは、*updated_after* パラメーターと相互に排他的です。このパラメーターは一意の従業員を定義しますが、*updated_after* は指定された日付以降に作成/更新された従業員のグループを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：1000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。
updated_after	返す従業員データを決定するために使用する日付。インスタンスに追加された、またはこの日付以降に情報が更新された米国ベースのすべての従業員 (勤務先または自宅) が、返される結果に含まれます。 **注:** このパラメーターは、*employee_identifier* パラメーターと相互に排他的です。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS または YYYY-MM-DD (時間はデフォルトで 00:00:00 に設定されます)

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Next-Page	後続の呼び出しで取得する追加データがあるかどうかを示すフラグ。たとえば、検索条件に一致する従業員レコードが合計 120 件あり、sysparm_limit が 100 に設定されている場合、*Next-Page* は true です。追加の結果がない場合、*Next-Page* は false です。 有効な値： • true：追加のデータが利用可能です。次のデータのチャンクを取得するには、別の呼び出しを行う必要があります。 • false：追加のデータはありません。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
BirthDate	従業員の生年月日。 データタイプ：文字列
Company	会社名。 データタイプ：文字列
Email	従業員のメールアドレス。 データタイプ：文字列
EmployeeIdentifier	従業員の一意の識別子。 データタイプ：文字列
FirstName	従業員の名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
HireDate	従業員が雇用された日付。 データタイプ：文字列
LastName	従業員の姓。 データタイプ：文字列
MiddleName	従業員のミドルネーム。 データタイプ：文字列
ReHire	将来の使用のため。 データタイプ：文字列
ResidenceAddress	従業員の自宅の番地。 データタイプ：文字列
ResidenceCity	従業員の自宅の市区町村。 データタイプ：文字列
ResidenceCountry	従業員の自宅の国。 データタイプ：文字列
ResidencePostalCode	従業員の自宅の郵便番号。 データタイプ：文字列
ResidenceState	従業員の自宅の都道府県。 データタイプ：文字列
サフィックス	従業員のサフィックス (Mr.、Mrs.、Dr. など) データタイプ：文字列
WorkAddress	従業員の勤務先の番地。 データタイプ：文字列
WorkCity	従業員の勤務先の市区町村 データタイプ：文字列
WorkCountry	従業員の勤務先の国。 データタイプ：文字列
WorkPostalCode	従業員の勤務先の郵便番号。 データタイプ：文字列
WorkState	従業員の勤務先の都道府県。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
	データタイプ：文字列

Example: 特定の従業員の情報のサンプル cURL 要求

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_hr_core/V1/hr_rest_api/get_usa_e
mployee_profile?employee_identifier=231"
-H "accept: application/json" \
-u "username":"password"
```

```
{"result": [
 {
  "EmployeeIdentifier": "231",
  "FirstName": "Harold",
  "MiddleName": "William",
  "LastName": "Lewis",
  "Suffix": "Mr.",
  "Email": "Howard.Lewis@example.com",
  "BirthDate": "",
  "HireDate": "2021-02-18",
  "Company": "ServiceNow Inc",
  "ResidenceAddress": "",
  "ResidenceCity": "SD",
  "ResidenceState": "CA",
  "ResidencePostalCode": "",
  "ResidenceCountry": "",
  "WorkAddress": "2617 South Robinson Avenue, Oklahoma City",
  "WorkCity": "Oklahoma",
  "WorkState": "OK",
  "WorkPostalCode": "73109",
  "WorkCountry": "USA",
  "ReHire": ""
 }
]}
```

Example: 2019 年 5 月 18 日以降に追加/更新された従業員のリストのサンプル cURL 要求

```
curl -X GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_hr_core/V1/hr_rest_api/get_usa_e
mployee_profile?update_after=2019-05-18"
-H "accept: application/json" \
-u "username":"password"
```

```
{"result": [
 {
  "EmployeeIdentifier": "2345",
  "FirstName": "Cheryl",
  "MiddleName": "Lynn",
  "LastName": "Smith",
  "Suffix": "Mrs.",
  "Email": "Cheryl.Smith@example.com",
  "BirthDate": "",
  "HireDate": "2019-06-18",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "Company": "ServiceNow Inc",
  "ResidenceAddress": "",
  "ResidenceCity": "SD",
  "ResidenceState": "CA",
  "ResidencePostalCode": "",
  "ResidenceCountry": "",
  "WorkAddress": "2617 South Robinson Avenue, Oklahoma City",
  "WorkCity": "Oklahoma",
  "WorkState": "OK",
  "WorkPostalCode": "73109",
  "WorkCountry": "USA",
  "ReHire": ""
  },
  {
  "EmployeeIdentifier": "1111",
  "FirstName": "Thomas",
  "MiddleName": "",
  "LastName": "Doe",
  "Suffix": "Mr.",
  "Email": "Thomas.Doe@example.com",
  "BirthDate": "1978-05-22",
  "HireDate": "2019-08-14",
  "Company": "",
  "ResidenceAddress": "",
  "ResidenceCity": "San Jose",
  "ResidenceState": "CA",
  "ResidencePostalCode": "",
  "ResidenceCountry": "",
  "WorkAddress": "13308 Midland Road, Poway",
  "WorkCity": "Poway",
  "WorkState": "CA",
  "WorkPostalCode": "",
  "WorkCountry": "USA",
  "ReHire": ""
  }
]}
```


識別および調整 API

識別および調整 API は、識別および調整エンジン (IRE) を使用して重複する構成アイテム (CI) の作成を最小限に抑え、構成管理データベース (CMDB)の更新時に許可されたソースからの情報のみを受け入れることで CI 属性を調整するエンドポイントを提供します。

ユーザーがこの API を使用するには、itil または asset ロールが必要です。

IRE の詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してください。

識別および調整 - POST /now/identifyreconcile

指定されたペイロード (要求本文) に識別および調整ルールを適用して、CMDB の構成アイテム (CI) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/query エンドポイントを使用して、データベースへの変更をコミットせずに、このエンドポイントへのペイロードの送信をシミュレートします。

拡張 IRE オプションを指定する必要がある場合は、代わりに 識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/enhanced エンドポイントを使用します。拡張 IRE オプションの詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/identifyreconcile`

デフォルトの URL：`/api/now/identifyreconcile`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_data_source	CI 情報のソース。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：API ペイロードを不完全なペイロードテーブルに挿入します。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アイテム	作成または更新する CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"items": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "lookup": [Array], "related": [Array], "settings": {Object}, "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre> }]</pre>
items.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name (クラス/テーブル名)。この値は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB テーブルにすることができます。 データタイプ：文字列
items.internal_id	このペイロードのこのアイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列

items.lookup	各オブジェクトがルックアップベースの識別レコードを説明するオブジェクトのアレイ。これらのレコードは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルへの参照を含むルックアップテーブルに基づいて最上位レベルの構成アイテムを識別するために使用されます。
	
	データタイプ:アレイオフオブジェクト
	<pre>"lookup": [
	  {
	  "className":
	"String",
	  "internal_id":
	"String",
	
	"sys_object_source_
	info": {Object},
	  "values":
	{Object}
	  }
	]</pre>

items.lookup.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name またはクラス/テーブル名。この値は、cmdb_serial_number

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルまたは非 CMDB 階層クラスにすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.internal_id	このペイロードのこのルックアップレコードの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.lookup.values	このルックアップアイテムのフィールドを名前/値のペアとして記述するオブジェクト。名前はフィールド名です。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "ip_address": "String", "mac_address": "String", "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", "valid": "String" }`
items.related	識別される最上位レベル CI への参照を持つ関連テーブルに基づいて、各オブジェクトが作成または更新するアイテムレコードを説明するオブジェクトのアレイ。関連エントリ [cmdb_related_entry] テーブルのルールは、このアレイに含めることができるレ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	コードのタイプを定義します。 関連するテーブルは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを拡張する場合もあれば拡張しない場合もあります。これらのレコードは、構成アイテムの識別には使用されません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"related": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.related.className	必須です。作成または更新する関連アイテムの sys_class_name またはクラス/テーブル名。 データタイプ：文字列
items.related.internal_id	このペイロードのこの関連アイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	"source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }
items.related.sys_object_source_info.source_feed	この関連アイテムを送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_name	関連アイテム情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_native_key	関連アイテムのソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	関連アイテムがスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.related.values	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
items.settings	許可される更新のタイプを定義するパラメーターが含まれるオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"settings": { "skipReclassificationRestrictionRules": Boolean, "updateWithoutDowngrade": Boolean, "updateWithoutSwitch": Boolean, "updateWithoutUpgrade": Boolean }`
items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールの実行をスキップすべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.settings.updateWithoutDowngrade	この CI に対して更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutSwitch	この CI を更新できるかどうか、およびそのクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutUpgrade	この CI に対して更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.sys_object_source_info	一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.values	この CI 用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	ジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
referenceItems	ペイロード内の 2 つのアイテム間の参照のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"referenceItems": [ { "referenced": "String", "referencedBy": "String", "referenceField": "String" } ]`
referenceItems.referenced	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referencedBy	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
referenceItems.referenceField	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。 データタイプ：文字列

relations	ペイロードで定義された 2 つのアイテム間の関係のリスト。
	
	このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。
	
	• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
	• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"relations": [ { "child": Number, "parent": Number, "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
	
	`"relations": [ { "child_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"parent_id": "String",
	"sys_rel_source_info": {Object},
	"type": "String"
	}
	]</pre>

relations.child	関係内の子を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.child_id	関係内の子アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列
relations.parent	関係の親を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.parent_id	関係内の親アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列

relations.sys_rel_source_info	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_rel_source_info": {
	"source_name": "String",
	"source_feed": "String"
	}</pre>

relations.sys_rel_source_info.source_name	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
relations.sys_rel_source_info.source_feed	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト値：「UNKNOWN」は、sys_rel_source テーブルにレコードを作成するときに source_feed 列に格納されます。
relations.type	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからの名前フィールド値である必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

結果	クエリによって生成された結果
	ト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"result": [`
	
	`"additionalCommitted`
	`s": [Array],`
	
	`"additionalCommitted`
	`ons": [Array],`
	`"items": [Array],`
	`"relations": [Array`
	`]`

result.additionalCommittedItems	要求本文に含まれていない CI
	リスト 挿入または更新するア
	items。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"additionalCommittedI`
	`[`
	`{`
	`"className": "Str`
	`"errorCount": Num`
	
	`"identificationAttem`
	`[Array],`
	`"inputIndices":`
	`[Array],`
	`"markers": [Array`
	`"mergedPayloads":`
	`[Array],`
	`"operation": "Str`
	`"sysId": "String"`
	`}`
	`]`

result.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_class_n データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発生 ラーの数。 データタイプ：数値
result.additionalCommittedItems.errors	この追加 CI の処理中に発生し ラーのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"errors": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.additionalCommittedItems.errors.error	この追加 CI の処理中に発生し ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errors.message	この追加 CI の処理中に発生し ラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts	この追加の CI を識別するため された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"identificationAttemp { "attemptResult": "String", "attributes": [Ar "hybridEntryCiAttrib [Array], "identiferName": "String", "searchOnTable": [Array] } ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の結 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI の識別の試行中 される CI ID エントリ属性の データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String" ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI 識別試行中に使 る CI ID エントリー属性のリ データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"hybridEntryCiAttribu [ "name": "String", "serial_number": "S ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に使 る識別子ルール。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で検 たテーブルの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するため される識別子ルールの sys_id 注目すべき値： • Unknown：この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくだ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求本 *items* アレイからの CI のイン ス値のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"inputIndices": [ { Number } ]`
result.additionalCommittedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合さ た CMDB IRE 部分のペイロー [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行さ 作。 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：追加の CI が新し ドとしてターゲットテーブル されます。 • NO_CHANGE：追加の CI 実行された操作はありませ • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別 に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこの の sys_id。 重要な値: 不明:この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくださ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生し のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発生 告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発生 告メッセージ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文 *relations* リストに含まれて 依存関係 CI のリスト。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"additionalCommittedR
	ns": [
	{
	"className": "Str
	"operation": "Str
	"markers": [Array
	"inputIndices":
	[Array],
	"mergedPayloadIds
	[Array]
	}
	]

result.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーの数。 データタイプ：数値

result.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処理
	生したエラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	"errors": [
	{
	"error": "String"
	"message": "Strin
	}
	]

result.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処理 ラーが発生したエラーメッセ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係 CI に対応 求本文 *relations* アレイ内 係 CI オブジェクトのインデッ のリスト。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	`"inputIndices": [ Number ]`
result.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処理 結合された、CMDB IRE 部分 ロード [cmdb_ire_partial_pa テーブルの部分的ペイロード 値のリスト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.additionalCommittedRelations.operation	この追加の依存関係 CI に対し される操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されます。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 存の依存関係 CI が更新され データタイプ：文字列
result.items	要求本文 *items* アレイに含ま のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"items": [ { ...`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"additionalRelatedIt
	[Array],
	"className": "Str
	
	"duplicateLookupIndi
	{Object},
	"errorCount": Num
	"errors": [Array]
	
	"identificationAttem
	[Array],
	"identifierEntryS
	"String",
	"info": [Array],
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"operation": "Str
	"relatedItems":
	[Array],
	"relatedSysIds":
	[Array],
	"sysId": "String"
	"warnings": [Arra
	}
	]</pre>

result.items.additionalRelatedItems	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルからの関連 CI のリスト (テ
	ルックアップ CI)。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"additionalRelatedIte
	{
	"className": "Str
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

result.items.additionalRelatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要 *items* アレイの CI のインデ のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.items.additionalRelatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	この関連アイテムの処理中に れた CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_i スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.items.additionalRelatedItems.sysId	この関連 CI のSys_id。 データタイプ：文字列
result.items.className	この CI のSys_class_name。 データタイプ：文字列
result.items.duplicateLookupIndices	同じ関連 CI を参照する *items.lookup* アレイ要素の デックス値のアレイを含むオ ト。 アレイ名は、指定された関連 照する要求本文 *items.look* イの最初の要素を示します。 は、同じ関連 CI を参照する同 イの追加要素のセットです。 データタイプ：オブジェクト この例は、 *items.lookup* ア 2 番目の要素が、そのアレイの 要素と同じ関連 CI を参照する を示しています。 `"duplicateLookupIndic "2": [Array] ]`
result.items.errorCount	この CI の処理中に発生したエ 数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値

result.items.errors	この CI の処理中に発生したエ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.items.errors.error	この CI の処理中に発生したエ タイプ。 データタイプ：文字列
result.items.errors.message	この CI の処理中に発生したエ メッセージ。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts	この CI を識別するために行わ
	行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"identificationAttemp`
	`  {`
	`  "attemptResult":`
	`"String",`
	`  "attributes": [Ar`
	
	`"hybridEntryCiAttrib`
	`[Array],`
	`  "identiferName":`
	`"String",`
	`  "searchOnTable":`
	`[Array]`
	`  }`
	`]`

result.items.identificationAttempts.attemptResult	この CI 識別試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts.attributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"attributes"`
	`"serial_number":`
	`"String",`
	`"serial_number_type`
	`"String",`
	`]`

result.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttribu`
	`[`
	`"name": "String",`
	`"serial_number": "S`
	`]`

result.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用され 子ルール。 データタイプ：文字列
result.items.identificationAttempts.searchOnTable	この CI 識別試行で検索された ルの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.items.identifierEntrySysId	この CI を識別するために使用 識別子ルールのSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列
result.items.info	アイテムの処理に関する追加情 スト。 データタイプ：オブジェクトの `"info": [ { "code": "String", "message": "Strin "ruleSysId": "Str } ]`
result.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGR • SKIPPED_CLASS_UPGRADE
result.items.info.message	再分類をスキップする理由に関 加のインサイトを提供するメッ ジ。 データタイプ：文字列
result.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの 再分類制限ルールのために IR 類をスキップする場合にのみ返 ます。ペイロードまたはグロー ラグのために再分類がスキップ 場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
result.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 ア レイからの CI のインデックス スト。 データタイプ：オブジェクトの `"inputIndices": [ { Number`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.items.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>

result.items.mergedPayloadIds	この CI の処理中に結合された
	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_i
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"mergedPayloadIds": [
	  "String"
	]</pre>

result.items.operation	この CI に対して実行された操 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：CI が新しいレコ てターゲットテーブルに挿入 す。 • NO_CHANGE：CI に対して れた操作はありません。 • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが、 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別の に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより特 たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup* アレ の関連 CI (テーブルルックアッ のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"relatedItems": [ { "className": "Str "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "sysId": "String" } ]`
result.items.relatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.relatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要 *items* および *items.looku* からの CI およびルックアップ ムのインデックス値のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"inputIndices": [ { "mainIndex": Numb "subIndex": Numbe } ]`
result.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応 求本文 *items* アレイからのイ クス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本 *items.lookup* アレイからの デックス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中にこの CI に結合された CMDB IRE 部分のペイロード

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	[cmdb_ire_partial_payload
	ル内のエントリのsys_id値のリ
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレ
	連アイテム (テーブルルックア
	イテム) のsys_id値のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	注目すべき値：
	
	• null：この関連アイテムの識
	た sys_id がありませんでし
	
	`"relatedSysIds": [`
	`  Number,`
	`  Number`
	`]`

result.items.sysId	識別によってこの CI に対して かったSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細については 「*errors*」を参照してくだ データタイプ：文字列

result.items.warnings	この CI の処理中に発生した警
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"warnings": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.items.warnings.error	この CI の処理中に発生した警 イプ。 データタイプ：文字列
result.items.warnings.message	この CI の処理中に発生した警 セージ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.logContextId	このペイロードに対してレポ たコンテキスト ID。 データタイプ：文字列
result.relations	要求本文 *relations* アレイ 存関係 CI のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"relations": [ { "className": "Str "errorCount": Num "errors": [Array] "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "operation": "Str "warnings": [Arra } ]`
result.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.relations.errorCount	この依存関係 CI の処理中に発 エラーの数。 データタイプ：数値
result.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"errors": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.relations.errors.error	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に発 エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する要 *relations* アレイ内の依存関 オブジェクトのインデックス位 ト。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.relations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.relations.mergedPayloadIds	この依存関係 CI の処理中に結 れた CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_payloads ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.relations.operation	この依存関係 CI に対して実行 操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 既存の依存関係 CI が更新さ た。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings	この依存関係 CI の処理中に発 警告のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.relations.warnings.error	この依存関係 CI の処理中に発 警告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings.message	この依存関係 CI の処理中に警 セージが表示されました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

IP 接続の依存関係がある Linux サーバー (シリアル番号とネットワークアダプター関連アイテムのルックアップを含む) と IP スイッチを含むペイロードを送信します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username:password" \
--data '{ \
  "items": [{ \
    "className": "cmdb_ci_linux_server", \
    "values": { \
      "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server", \
      "name": "lnux101", \
      "host_name": "lnux101.servicenow.com", \
      "ip_address": "10.11.12.173", \
      "os_name": "Linux Red Hat" \
    }, \
    "lookup": [{ \
      "className": "cmdb_serial_number", \
      "values": { \
        "serial_number": "lnux101", \
        "serial_number_type": "uuid", \
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "valid": "true" \
      } \
    }, { \
      "className": "cmdb_ci_network_adapter", \
      "values": { \
        "name": "eth0", \
        "ip_address": "10.11.12.173", \
        "mac_address": "00:55:51:21:26:2f" \
      } \
    }] \
  }, { \
    "className": "cmdb_ci_ip_switch", \
    "values": { \
      "name": "IP-Switch-1", \
      "serial_number": "Switch23587", \
      "serial_number_type": "uuid" \
    } \
  }], \
  "relations": [{ \
    "parent": 0, \
    "child": 1, \
    "type": "IP Connection::IP Connection" \
  }]
}'
```

Linux サーバーの CI は、ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルの名前に対するハードウェアルール検索によって識別され、Linux サーバー [cmdb_ci_linux_server] テーブルの既存の CI に対する更新として処理されます。同様に、IP スイッチは、ハードウェアテーブルの名前に対するハードウェアルール検索によって識別され、IP スイッチ [cmdb_ci_ip_switch] テーブル内の既存の CI を更新します。最後に、サーバーとスイッチ間の IP 接続の依存関係が、CI 関係性 [cmdb_rel_ci] テーブルに新しいレコードとして挿入されます。

```
{
  "result": {
    "items": [{
      "className": "cmdb_ci_linux_server",
      "operation": "UPDATE",
      "sysId": "539747cac0a801640163e60735fbbf6e",
      "relatedSysIds": [null, null],
      "relatedItems": [{
        "markers": [],
        "inputIndices": [{
          "mainIndex": 0,
          "subIndex": 0
        }],
        "mergedPayloadIds": [],
        "className": "cmdb_serial_number"
      }, {
        "markers": [],
        "inputIndices": [{
          "mainIndex": 0,
          "subIndex": 1
        }],
        "mergedPayloadIds": [],
        "className": "cmdb_ci_network_adapter"
      }],
      "additionalRelatedItems": [],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [{
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "attributes": ["serial_number", "serial_number_type"],
        "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["serial_number"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "MATCHED",
        "attributes": ["name"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }],
      "markers": [],
      "inputIndices": [0],
      "mergedPayloadIds": [],
      "errorCount": 0
    }, {
      "className": "cmdb_ci_ip_switch",
      "operation": "UPDATE",
      "sysId": "304481257f701200bee45f19befa915b",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [{
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["serial_number", "serial_number_type"],
        "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "attributes": ["serial_number"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "MATCHED",
        "attributes": ["name"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }],
      "markers": [],
      "inputIndices": [1],
      "mergedPayloadIds": [],
      "errorCount": 0
    }],
    "additionalCommittedItems": [],
    "relations": [{
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "markers": [],
      "inputIndices": [0],
      "mergedPayloadIds": [],
      "errorCount": 0
    }],
    "additionalCommittedRelations": []
  }
}
```

識別および調整 **- POST /now/identifyreconcile/enhanced**

指定されたペイロード (要求本文) に識別および調整ルールを適用して、CMDB の構成アイテム (CI) を挿入または更新します。CMDB を直接更新する代わりに、この API を使用します。

識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/queryEnhanced エンドポイントを使用して、データベースへの変更をコミットせずに、このエンドポイントへのペイロードの送信をシミュレートします。

このメソッドは 識別および調整 - POST /now/identifyreconcile メソッドに似ていますが、次の機能も追加されます。

- 部分的ペイロード
  - アイテムに警告またはエラーがある場合は、アイテムの操作が INSERT_AS_PARTIAL か INSERT_INCOMPLETE かを示します。
  - 既存の部分的ペイロードと結合された部分的ペイロードの sys_id を返します。
- ペイロードの重複排除機能をサポートします。
- サマリを生成します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/identifyreconcile/enhanced`

デフォルトの URL：`/api/now/identifyreconcile/enhanced`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
options	要求に適用される拡張 IRE オプションを表す名前と値のペアのカンマ区切りリスト。 例として、部分的ペイロードと部分的コメントのデフォルト値を上書きし、ペイロードを重 のサマリーを生成するには、次のコマンドを実行します。 `partial_payloads:false,partial_commits:false,deduplicate_payloads:fa`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: デフォルトでは、または *partial_payloads* が true に設定されている場合は、*deduplicate_payloads* の両方が (これらが false に設定されている場合でも) 有効に分的ペイロード機能に不可欠であるためです。 拡張 IRE オプションの詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してく 名前と値の各ペアの有効な値： • true：この拡張 IRE オプションを有効にします。 • false：この拡張 IRE オプションを無効にします。 データタイプ：文字列
sysparm_data_source	CI 情報のソース。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィー である必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：API ペイロードを不完全なペイロードテーブルに挿入します。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アイテム	作成または更新する CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"items": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "lookup": [Array], "related": [Array], "settings": {Object}, "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name (クラス/テーブル名)。この値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB テーブルにすることができます。 データタイプ：文字列
items.internal_id	このペイロードのこのアイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup	各オブジェクトがルックアップベースの識別レコードを説明するオブジェクトのアレイ。これらのレコードは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルへの参照を含むルックアップテーブルに基づいて最上位レベルの構成アイテムを識別するために使用されます。 データタイプ:アレイオフオブジェクト `"lookup": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.lookup.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name またはクラス/テーブル名。この値は、cmdb_serial_number や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルまたは非 CMDB 階層クラスにすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.lookup.internal_id	このペイロードのこのルックアップレコードの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.lookup.values	このルックアップアイテムのフィールドを名前/値のペアとして記述するオブジェクト。名前はフィールド名です。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "ip_address": "String", "mac_address": "String", "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", "valid": "String" }`
items.related	識別される最上位レベル CI への参照を持つ関連テーブルに基づいて、各オブジェクトが作成または更新するアイテムレコードを説明するオブジェクトのアレイ。関連エントリ [cmdb_related_entry] テーブルのルールは、このアレイに含めることができるレコードのタイプを定義します。 関連するテーブルは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを拡張する場合もあれば拡張しない場合もあります。これらのレコードは、構成アイテ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	ムの識別には使用されません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"related": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.related.className	必須です。作成または更新する関連アイテムの sys_class_name またはクラス/テーブル名。 データタイプ：文字列
items.related.internal_id	このペイロードのこの関連アイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	"source_recency_timestamp": "String" }
items.related.sys_object_source_info.source_feed	この関連アイテムを送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_name	関連アイテム情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_native_key	関連アイテムのソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	関連アイテムがスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.related.values	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"values": {
	"host_name":
	"String",
	"ip_address":
	"String",
	"name": "String",
	"os_name":
	"String",
	"sys_class_name":
	"String"
	}</pre>

items.settings	許可される更新のタイプを定義するパラメーターが含まれるオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"settings": {
	
	"skipReclassificationRestrictionRules":
	Boolean,
	
	"updateWithoutDowngrade": Boolean,
	
	"updateWithoutSwitch": Boolean,
	
	"updateWithoutUpgrade": Boolean
	}</pre>

items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールの実行をスキップすべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutDowngrade	この CI に対して更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutSwitch	この CI を更新できるかどうか、およびそのクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutUpgrade	この CI に対して更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.sys_object_source_info	一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }
items.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.values	この CI 用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
referenceItems	ペイロード内の 2 つのアイテム間の参照のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"referenceItems": [ { "referenced": "String", "referencedBy": "String", "referenceField": "String" } ]`
referenceItems.referenced	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referencedBy	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referenceField	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

relations	ペイロードで定義された 2 つのアイテム間の関係のリスト。
	
	このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。
	
	• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
	
	• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"relations": [ { "child": Number, "parent": Number, "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
	
	`"relations": [ { "child_id": "String", "parent_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"sys_rel_source_info": {Object},
	"type": "String"
	}
	]</pre>

relations.child	関係内の子を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.child_id	関係内の子アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列
relations.parent	関係の親を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.parent_id	関係内の親アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列

relations.sys_rel_source_info	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"sys_rel_source_info": {
	"source_name": "String",
	"source_feed": "String"
	}</pre>

relations.sys_rel_source_info.source_name	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
relations.sys_rel_source_info.source_feed	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト値：「UNKNOWN」は、sys_rel_source テーブルにレコードを作成するときに source_feed 列に格納されます。
relations.type	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからの名前フィールド値である必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。 エラーメッセージの詳細「チャンク [...] は有効なエントリーではありません (Chunk [...] is not a valid entry)」は、*options* クエリパラメーターが正しい名前と値のペア形式でないことを示しています。 たとえば、部分的な *options* パラメーターを指定すると、メッセージの詳細に「チャンク [部分的] は有効なエントリではありません (Chunk [partial] is not a valid entry)」というメッセージと 500 ステータスコードが生成されます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	クエリによって生成された結果
	ト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"result": [`
	
	`"additionalCommitted`
	`s": [Array],`
	
	`"additionalCommitted`
	`ons": [Array],`
	`"items": [Array],`
	`"relations": [Array`
	`]`

result.additionalCommittedItems	要求本文に含まれていない C
	リスト 挿入または更新するア
	items。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"additionalCommittedI`
	`[`
	`{`
	`"className": "Str`
	`"errorCount": Num`
	
	`"identificationAttem`
	`[Array],`
	`"inputIndices":`
	`[Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"markers": [Array
	"mergedPayloads":
	[Array],
	"operation": "Str
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_class_n データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発生 ラーの数。 データタイプ：数値

result.additionalCommittedItems.errors	この追加 CI の処理中に発生し
	ラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"errors": [
	{
	"error": "String"
	"message": "Strin
	}
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.errors.error	この追加 CI の処理中に発生し ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errors.message	この追加 CI の処理中に発生し ラーメッセージ。 データタイプ：文字列

result.additionalCommittedItems.identificationAttempts	この追加の CI を識別するため
	された試行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"identificationAttemp
	{
	"attemptResult":
	"String",
	"attributes": [Ar
	
	"hybridEntryCiAttrib
	[Array],
	"identiferName":
	"String",
	"searchOnTable":
	[Array]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の結 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗し た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列

result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI の識別の試行中
	される CI ID エント 属性の
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	
	<pre>"attributes": [
	  "serial_number":
	 "String",
	  "serial_number_type
	 "String"
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI 識別試行中に使
	る CI ID エントリー属性のリ
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	
	<pre>"hybridEntryCiAttribu
	 [
	  "name": "String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "serial_number": "S]</pre>
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に使 る識別子ルール。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で検 たテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するため される識別子ルールの sys_id 注目すべき値： • Unknown：この追加の CI に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列

result.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求本
	items アレイから CI のイン
	ス値のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	  Number
	  }
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>

result.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合さ
	た CMDB IRE 部分のペイロー
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_i
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"mergedPayloadIds": [
	  "String"
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行さ 作。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：追加の CI が新し ドとしてターゲットテーブ されます。 • NO_CHANGE：追加の CI 実行された操作はありませ • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既 が更新され、そのクラスが 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別 に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこの追 の sys_id。 重要な値: 不明:この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくださ データタイプ：文字列

result.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生し
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"warnings": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発生 告のタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発生 告メッセージ。 データタイプ：文字列

result.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文
	relations リストに含まれて
	依存関係 CI のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"additionalCommittedR`
	`ns": [`
	`  {`
	`  "className": "Str`
	`  "operation": "Str`
	`  "markers": [Array`
	`  "inputIndices":`
	` [Array],`
	`  "mergedPayloadIds`
	` [Array]`
	`  }`
	`]`

result.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーの数。 データタイプ：数値

result.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処理
	生したエラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処理 ラーが発生したエラーメッセ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係 CI に対応 求本文 *relations* アレイ内 係 CI オブジェクトのインデッ のリスト。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処理 結合された、CMDB IRE 部分 ロード [cmdb_ire_partial_pa テーブルの部分的ペイロード 値のリスト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.additionalCommittedRelations.operation	この追加の依存関係 CI に対し される操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されます。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 存の依存関係 CI が更新され

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

result.items	要求本文 *items* アレイに含ま
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	"items": [
	{
	
	"additionalRelatedIt
	[Array],
	"className": "Str
	
	"duplicateLookupIndi
	{Object},
	"errorCount": Num
	"errors": [Array]
	
	"identificationAttem
	[Array],
	"identifierEntryS
	"String",
	"info": [Array],
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"operation": "Str
	"relatedItems":
	[Array],
	"relatedSysIds":
	[Array],
	"sysId": "String"
	"warnings": [Arra
	}
	]

result.items.additionalRelatedItems	CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payload ルからの関連 CI のリスト (テ ルックアップ CI)。 データタイプ：オブジェクトの "additionalRelatedIte { "className": "Str "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "sysId": "String"

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
result.items.additionalRelatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列

result.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要
	items アレイの CI のインデ
	のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	`"inputIndices": [`
	`  Number`
	`]`

result.items.additionalRelatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`

result.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	この関連アイテムの処理中に結
	れた CMDB IRE 部分のペイロ
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_id
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.items.additionalRelatedItems.sysId	この関連 CI のSys_id。 データタイプ：文字列
result.items.className	この CI のSys_class_name。 データタイプ：文字列
result.items.duplicateLookupIndices	同じ関連 CI を参照する *items.lookup* アレイ要素の デックス値のアレイを含むオブ ト。 アレイ名は、指定された関連 照する要求本文 *items.look* イの最初の要素を示します。そ は、同じ関連 CI を参照する同 イの追加要素のセットです。 データタイプ：オブジェクト この例は、 *items.lookup* ア 2 番目の要素が、そのアレイの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	要素と同じ関連 CI を参照する
	を示しています。
	`"duplicateLookupIndic`
	`"2": [Array]`
	`]`

result.items.errorCount	この CI の処理中に発生したエ 数。 データタイプ：数値

result.items.errors	この CI の処理中に発生したエ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"errors": [`
	`{`
	`"error": "String"`
	`"message": "Strin`
	`}`
	`]`

result.items.errors.error	この CI の処理中に発生したエ タイプ。 データタイプ：文字列
result.items.errors.message	この CI の処理中に発生したエ メッセージ。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts	この CI を識別するために行わ
	行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	`"identificationAttemp`
	`{`
	`"attemptResult":`
	`"String",`
	`"attributes": [Ar`
	
	`"hybridEntryCiAttrib`
	`[Array],`
	`"identiferName":`
	`"String",`
	`"searchOnTable":`
	`[Array]`
	`}`
	`]`

result.items.identificationAttempts.attemptResult	この CI 識別試行の結果。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts.attributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"attributes": [`
	`  "serial_number":`
	`  "String",`
	`  "serial_number_type`
	`  "String",`
	`]`

result.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttribu`
	`  [`
	`  "name": "String",`
	`  "serial_number": "S`
	`]`

result.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用され 子ルール。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.items.identificationAttempts.searchOnTable	この CI 識別試行で検索された ルの名前。 データタイプ：文字列
result.items.identifierEntrySysId	この CI を識別するために使用 識別子ルールのSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列
result.items.info	アイテムの処理に関する追加情 スト。 データタイプ：オブジェクト `"info": [ { "code": "String", "message": "Strin "ruleSysId": "Str } ]`
result.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGR • SKIPPED_CLASS_UPGRADE
result.items.info.message	再分類をスキップする理由に関 加のインサイトを提供するメ ジ。 データタイプ：文字列
result.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの 再分類制限ルールのために IR 類をスキップする場合にのみ送 ます。ペイロードまたはグロー ラグのために再分類がスキッ 場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
result.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 J レイからの CI のインデックス スト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"inputIndices": [ { Number } ]`
result.items.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.mergedPayloadIds	この CI の処理中に結合された CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_i スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.items.operation	この CI に対して実行された操 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：CI が新しいレコ てターゲットテーブルに挿 す。 • NO_CHANGE：CI に対し れた操作はありません。 • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既 が更新され、そのクラスが 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別 に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより たクラス (子孫クラス) に変 す。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup* アレ の関連 CI (テーブルルックアッ のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"relatedItems": [ { "className": "Str "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "sysId": "String" } ]`
result.items.relatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.relatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要 *items* および *items.looku* からの CI およびルックアップ ムのインデックス値のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"inputIndices": [ { "mainIndex": Numb "subIndex": Numbe } ]`
result.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応 求本文 *items* アレイからのイ クス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本 *items.lookup* アレイからの デックス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

result.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中にこの CI に結合された
	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ル内のエントリのsys_id値のリ
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレ
	連アイテム (テーブルルックア
	イテム) のsys_id値のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	注目すべき値：
	
	• null：この関連アイテムの識
	た sys_id がありませんでし
	
	`"relatedSysIds": [`
	`  Number,`
	`  Number`
	`]`

result.items.sysId	識別によってこの CI に対して かったSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列

result.items.warnings	この CI の処理中に発生した警
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"warnings": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.items.warnings.error	この CI の処理中に発生した警 イプ。 データタイプ：文字列
result.items.warnings.message	この CI の処理中に発生した警 セージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.logContextId	このペイロードに対してレポ たコンテキスト ID。 データタイプ：文字列

result.relations	要求本文 *relations* アレイ
	存関係 CI のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"relations": [`
	`  {`
	`  "className": "Str`
	`  "errorCount": Num`
	`  "errors": [Array]`
	`  "inputIndices":`
	`[Array],`
	`  "markers": [Array`
	`  "mergedPayloadIds`
	`[Array],`
	`  "operation": "Str`
	`  "warnings": [Arra`
	`  }`
	`]`

result.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.relations.errorCount	この依存関係 CI の処理中に発 エラーの数。 データタイプ：数値

result.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発
	エラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.relations.errors.error	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのタイプ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に発 エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する要 *relations* アレイ内の依存関 オブジェクトのインデックス ト。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.relations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.relations.mergedPayloadIds	この依存関係 CI の処理中に結 れた CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.relations.operation	この依存関係 CI に対して実行 操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されました。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 既存の依存関係 CI が更新さ た。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings	この依存関係 CI の処理中に発 警告のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.relations.warnings.error	この依存関係 CI の処理中に発 警告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings.message	この依存関係 CI の処理中に警 セージが表示されました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

コンピューター CI の部分的ペイロードを送信します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile/enhanced"
 \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data '{ \
  "items" : [ \
    { \
      "className" : "cmdb_ci_computer", \
      "sys_object_source_info" : { \
        "source_name" : "ServiceNow", \
        "source_native_key" : "ncomputer3367" \
      }, \
      "values" : { \
        "cpu_core_count" : "6", \
        "ram" : "8192", \
        "manufacturer" : "DELL", \
        "company" : "My Company" \
      } \
    } \
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ] \
}'
```

応答は、ペイロードが CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルに挿入されたことを示します。

```
{
  "result": {
    "items": [{
      "className": "cmdb_ci_computer",
      "operation": "INSERT_AS_PARTIAL",
      "sysId": "Unknown",
      "partialSysIds": ["1aec79151bb45010593876a61a4bcb28"],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errors": [],
      "warnings": [{
        "error": "MISSING_MATCHING_ATTRIBUTES",
        "message": "In payload missing minimum set of input
 values for criterion (matching) attributes from identify rule for
 table [cmdb_ci_hardware]. Add these input values in payload item
 '{\"className\":\"cmdb_ci_computer\",\"values\":{\"discovery_source\":
\"ServiceNow\",\"company\":\"My
 Company\",\"cpu_core_count\":\"6\",\"ram\":\"8192\",\"manufacturer\":
\"DELL\"},\"sys_object_source_info\":{\"source_name\":\"ServiceNow\",
\"source_native_key\":\"ncomputer3367\"},\"settings\":{},
\"sys_ire_info\":{\"ire_received_time\":\"2020-05-14 20:14:51\"}}'"
      }],
      "identificationAttempts": [{
        "info": "sys_object_source NO_MATCH",
        "identifierName": "",
        "attemptResult": "NO_MATCH",
        "attributes": [],
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["serial_number", "serial_number_type"],
        "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["serial_number"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["name"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
        "hybridEntryCiAttributes": []
      }, {
        "identifierName": "Hardware Rule",
        "attemptResult": "SKIPPED",
        "attributes": ["mac_address", "name"],
        "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter",
        "hybridEntryCiAttributes": []
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "warningCount": 1,
      "mergedPayloadIds": ["7ddcb9551bb45010593876a61a4bcb08"],
      "inputIndices": [0]
    }],
    "additionalCommittedItems": [],
    "relations": [],
    "additionalCommittedRelations": []
  }
}
```

サマリ生成の拡張 IRE オプションを有効にして、コンピューター CI の説明を完了する 2 番目の部分的ペイロードを送信します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile/enhanced?opti
ons=generate_summary:true" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data '{ \
}'
```

応答は、コンピューター CI が挿入されたことを示し、実行された操作のサマリが表示されます。

```
{
  "result": {
    "relations": [],
    "hasError": false,
    "additionalCommittedItems": [],
    "hasWarning": false,
    "items": [
      {
        "relatedSysIds": [
          "735c79151bb45010593876a61a4bcb67"
        ],
        "identifierEntrySysId": "Unknown",
        "sysId": "ff5c79151bb45010593876a61a4bcb64",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "className": "cmdb_ci_computer",
        "inputIndices": [
          0
        ],
        "operation": "INSERT",
        "relatedItems": [
          {
            "operation": "INSERT",
            "warningCount": 0,
            "errors": [],
            "sysId": "735c79151bb45010593876a61a4bcb67",
            "className": "cmdb_ci_network_adapter",
            "errorCount": 0,
            "markers": [],
            "inputIndices": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
              "subIndex": 0,
              "mainIndex": 0
            }
          ],
          "mergedPayloadIds": []
        }
      ],
      "mergedPayloadIds": [
        "fe4c39151bb45010593876a61a4bcbd3"
      ],
      "identificationAttempts": [
        {
          "info": "sys_object_source NO_MATCH",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "identifierName": "",
          "attributes": [],
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
        },
        {
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
        },
        {
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "mac_address",
            "name"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ],
        "warningCount": 0
      }
    ],
    "additionalCommittedRelations": [],
    "summary": {
      "cmdb_ci_network_adapter": {
        "mergedPartialPayloads": 0,
        "inserted": 1,
        "partial": 0,
        "warnings": 0,
        "incomplete": 0,
        "additionalInserted": 0,
        "unchanged": 0,
        "skipped": 0,
        "updated": 0,
        "errors": 0
      },
      "cmdb_ci_computer": {
        "mergedPartialPayloads": 1,
        "inserted": 1,
        "partial": 0,
        "warnings": 0,
        "incomplete": 0,
        "additionalInserted": 0,
        "unchanged": 0,
        "skipped": 0,
        "updated": 0,
        "errors": 0
      }
    }
  }
}
```


識別および調整 - **POST /now/identifyreconcile/query**

データベース内の CMDB の操作をコミットせずに指定されたペイロード (要求の本文) で実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

このエンドポイントを使用して、識別および調整 - POST /now/identifyreconcile エンドポイントへのペイロード (要求本文) の送信をシミュレートします。

拡張 IRE オプションを指定する必要がある場合は、代わりに 識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/enhanced エンドポイントを使用します。拡張 IRE オプションの詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/identifyreconcile/query`

デフォルトの URL：`/api/now/identifyreconcile/query`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_data_source	CI 情報のソース。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：API ペイロードを不完全なペイロードテーブルに挿入します。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アイテム	作成または更新する CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"items": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "lookup": [Array], "related": [Array], "settings": {Object}, "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name (ク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	ラス/テーブル名)。この値は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB テーブルにすることができます。 データタイプ：文字列
items.internal_id	このペイロードのこのアイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup	各オブジェクトがルックアップベースの識別レコードを説明するオブジェクトのアレイ。これらのレコードは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルへの参照を含むルックアップテーブルに基づいて最上位レベルの構成アイテムを識別するために使用されます。 データタイプ:アレイオフオブジェクト `"lookup": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.lookup.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name またはクラス/テーブル名。この値は、cmdb_serial_number や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルまたは非 CMDB

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	階層クラスにすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.internal_id	このペイロードのこのルックアップレコードの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.lookup.values	このルックアップアイテムのフィールドを名前/値のペアとして記述するオブジェクト。名前はフィールド名です。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "ip_address": "String", "mac_address": "String", "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", "valid": "String" }`
items.related	識別される最上位レベル CI への参照を持つ関連テーブルに基づいて、各オブジェクトが作成または更新するアイテムレコードを説明するオブジェクトのアレイ。関連エントリ [cmdb_related_entry] テーブルのルールは、このアレイに含めることができるレコードのタイプを定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	関連するテーブルは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを拡張する場合もあれば拡張しない場合もあります。これらのレコードは、構成アイテムの識別には使用されません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"related": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.related.className	必須です。作成または更新する関連アイテムの sys_class_name またはクラス/テーブル名。 データタイプ：文字列
items.related.internal_id	このペイロードのこの関連アイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"source_name": "String",
	
	"source_native_key": "String",
	
	"source_recency_timestamp": "String"
	}</pre>

items.related.sys_object_source_info.source_feed	この関連アイテムを送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_name	関連アイテム情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_native_key	関連アイテムのソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	関連アイテムがスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.related.values	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
items.settings	許可される更新のタイプを定義するパラメーターが含まれるオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"settings": { "skipReclassificationRestrictionRules": Boolean, "updateWithoutDowngrade": Boolean, "updateWithoutSwitch": Boolean, "updateWithoutUpgrade": Boolean }`
items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールの実行をスキップすべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.settings.updateWithoutDowngrade	この CI に対して更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutSwitch	この CI を更新できるかどうか、およびそのクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutUpgrade	この CI に対して更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.sys_object_source_info	一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.values	この CI 用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	ジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }`
referenceItems	ペイロード内の 2 つのアイテム間の参照のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"referenceItems": [ { "referenced": "String", "referencedBy": "String", "referenceField": "String" } ]`
referenceItems.referenced	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referencedBy	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
referenceItems.referenceField	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。 データタイプ：文字列

relations	ペイロードで定義された 2 つのアイテム間の関係のリスト。
	
	このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。
	
	• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
	• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"relations": [ { "child": Number, "parent": Number, "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
	
	`"relations": [ { "child_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"parent_id": "String",
	"sys_rel_source_info": {Object},
	"type": "String"
	}
	]</pre>

relations.child	関係内の子を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.child_id	関係内の子アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列
relations.parent	関係の親を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.parent_id	関係内の親アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列

relations.sys_rel_source_info	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sys_rel_source_info": {
	"source_name": "String",
	"source_feed": "String"
	}</pre>

relations.sys_rel_source_info.source_name	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
relations.sys_rel_source_info.source_feed	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト値：「UNKNOWN」は、sys_rel_source テーブルにレコードを作成するときに source_feed 列に格納されます。
relations.type	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルからの名前フィールド値である必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

結果	クエリによって生成された結果
	ト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"result": [`
	
	`"additionalCommitted`
	`s": [Array],`
	
	`"additionalCommitted`
	`ons": [Array],`
	`"items": [Array],`
	`"relations": [Array`
	`]`

result.additionalCommittedItems	要求本文に含まれていない CI
	リスト 挿入または更新するア
	items。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"additionalCommittedI`
	`[`
	`{`
	`"className": "Str`
	`"errorCount": Num`
	
	`"identificationAttem`
	`[Array],`
	`"inputIndices":`
	`[Array],`
	`"markers": [Array`
	`"mergedPayloads":`
	`[Array],`
	`"operation": "Str`
	`"sysId": "String"`
	`}`
	`]`

result.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_class_n データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発生 ラーの数。 データタイプ：数値
result.additionalCommittedItems.errors	この追加 CI の処理中に発生し ラーのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"errors": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.additionalCommittedItems.errors.error	この追加 CI の処理中に発生し ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errors.message	この追加 CI の処理中に発生し ラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts	この追加の CI を識別するため された試行のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"identificationAttemp { "attemptResult": "String", "attributes": [Ar "hybridEntryCiAttrib [Array], "identiferName": "String", "searchOnTable": [Array] } ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の結 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI の識別の試行中 される CI ID エントリ属性の データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String" ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI 識別試行中に使 る CI ID エントリー属性のリ データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"hybridEntryCiAttribu [ "name": "String", "serial_number": "S ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に使 る識別子ルール。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で検 たテーブルの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するため される識別子ルールの sys_id 注目すべき値： • Unknown：この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくだ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求本 *items* アレイからの CI のイン ス値のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"inputIndices": [ { Number } ]`
result.additionalCommittedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合さ た CMDB IRE 部分のペイロー [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行さ 作。 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：追加の CI が新し ドとしてターゲットテーブル されます。 • NO_CHANGE：追加の CI 実行された操作はありませ • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別 に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこの の sys_id。 重要な値: 不明:この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくださ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生し のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発生 告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発生 告メッセージ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文 *relations* リストに含まれて 依存関係 CI のリスト。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"additionalCommittedR
	ns": [
	{
	"className": "Str
	"operation": "Str
	"markers": [Array
	"inputIndices":
	[Array],
	"mergedPayloadIds
	[Array]
	}
	]

result.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーの数。 データタイプ：数値

result.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処理
	生したエラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	"errors": [
	{
	"error": "String"
	"message": "Strin
	}
	]

result.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処理 ラーが発生したエラーメッセ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係 CI に対応 求本文 *relations* アレイ内 係 CI オブジェクトのインデッ のリスト。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"inputIndices": [
	  Number
	]</pre>

result.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>

result.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処理
	結合された、CMDB IRE 部分
	ロード [cmdb_ire_partial_pa
	テーブルの部分的ペイロード
	値のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"mergedPayloadIds": [
	  "String"
	]</pre>

result.additionalCommittedRelations.operation	この追加の依存関係 CI に対し される操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されます。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 存の依存関係 CI が更新され データタイプ：文字列

result.items	要求本文 *items* アレイに含ま
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"items": [
	  {</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"additionalRelatedIt [Array], "className": "Str "duplicateLookupIndi {Object}, "errorCount": Num "errors": [Array] "identificationAttem [Array], "identifierEntryS "String", "info": [Array], "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "operation": "Str "relatedItems": [Array], "relatedSysIds": [Array], "sysId": "String" "warnings": [Arra }]

result.items.additionalRelatedItems	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルからの関連 CI のリスト (テ
	ルックアップ CI)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	"additionalRelatedIte
	{
	"className": "Str
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"sysId": "String"
	}
	]

result.items.additionalRelatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する *items* アレイの CI のインデ のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.items.additionalRelatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	この関連アイテムの処理中に れた CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_i スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.items.additionalRelatedItems.sysId	この関連 CI のSys_id。 データタイプ：文字列
result.items.className	この CI のSys_class_name。 データタイプ：文字列
result.items.duplicateLookupIndices	同じ関連 CI を参照する *items.lookup* アレイ要素の デックス値のアレイを含むオ ト。 アレイ名は、指定された関連 照する要求本文 *items.look* イの最初の要素を示します。 は、同じ関連 CI を参照する同 イの追加要素のセットです。 データタイプ：オブジェクト この例は、 *items.lookup* ア 2 番目の要素が、そのアレイの 要素と同じ関連 CI を参照する を示しています。 `"duplicateLookupIndic "2": [Array] ]`
result.items.errorCount	この CI の処理中に発生したエ 数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値

result.items.errors	この CI の処理中に発生したエ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.items.errors.error	この CI の処理中に発生したエ タイプ。 データタイプ：文字列
result.items.errors.message	この CI の処理中に発生したエ メッセージ。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts	この CI を識別するために行わ
	行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"identificationAttemp`
	`  {`
	`  "attemptResult":`
	`"String",`
	`  "attributes": [Ar`
	
	`"hybridEntryCiAttrib`
	`[Array],`
	`  "identiferName":`
	`"String",`
	`  "searchOnTable":`
	`[Array]`
	`  }`
	`]`

result.items.identificationAttempts.attemptResult	この CI 識別試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts.attributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"attributes"`
	`"serial_number":`
	`"String",`
	`"serial_number_type`
	`"String",`
	`]`

result.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この CI 識別の試行中に使用さ
	ID エントリー属性のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	属性の名前とタイプは、次の
	使用される要求本文データと
	よって異なります。
	`"hybridEntryCiAttribu`
	`[`
	`"name": "String",`
	`"serial_number": "S`
	`]`

result.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用され 子ルール。 データタイプ：文字列
result.items.identificationAttempts.searchOnTable	この CI 識別試行で検索された ルの名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.items.identifierEntrySysId	この CI を識別するために使用 識別子ルールのSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくだ データタイプ：文字列
result.items.info	アイテムの処理に関する追加情 スト。 データタイプ：オブジェクトの `"info": [ { "code": "String", "message": "Strin "ruleSysId": "Str } ]`
result.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGR • SKIPPED_CLASS_UPGRADE
result.items.info.message	再分類をスキップする理由に関 加のインサイトを提供するメッ ジ。 データタイプ：文字列
result.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの 再分類制限ルールのために IR 類をスキップする場合にのみ返 ます。ペイロードまたはグロー ラグのために再分類がスキップ 場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列
result.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 ア レイからの CI のインデックス スト。 データタイプ：オブジェクトの `"inputIndices": [ { Number`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.items.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>

result.items.mergedPayloadIds	この CI の処理中に結合された
	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_i
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"mergedPayloadIds": [
	  "String"
	]</pre>

result.items.operation	この CI に対して実行された操 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：CI が新しいレコ てターゲットテーブルに挿入 す。 • NO_CHANGE：CI に対して れた操作はありません。 • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが、 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別の に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより特 たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup* アレ の関連 CI (テーブルルックアッ のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"relatedItems": [ { "className": "Str "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "sysId": "String" } ]`
result.items.relatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.relatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要 *items* および *items.looku* からの CI およびルックアップ ムのインデックス値のリスト。 データタイプ：オブジェクトの `"inputIndices": [ { "mainIndex": Numb "subIndex": Numbe } ]`
result.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応 求本文 *items* アレイからのイ クス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本 *items.lookup* アレイからの デックス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中にこの CI に結合された CMDB IRE 部分のペイロード

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	[cmdb_ire_partial_payload
	ル内のエントリのsys_id値のリ
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレ
	連アイテム (テーブルルックア
	イテム) のsys_id値のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	注目すべき値：
	
	• null：この関連アイテムの識
	た sys_id がありませんでし
	
	`"relatedSysIds": [`
	`  Number,`
	`  Number`
	`]`

result.items.sysId	識別によってこの CI に対して かったSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細については 「*errors*」を参照してくだ データタイプ：文字列

result.items.warnings	この CI の処理中に発生した警
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"warnings": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.items.warnings.error	この CI の処理中に発生した警 イプ。 データタイプ：文字列
result.items.warnings.message	この CI の処理中に発生した警 セージ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.logContextId	このペイロードに対してレポ たコンテキスト ID。 データタイプ：文字列
result.relations	要求本文 *relations* アレイ 存関係 CI のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"relations": [ { "className": "Str "errorCount": Num "errors": [Array] "inputIndices": [Array], "markers": [Array "mergedPayloadIds [Array], "operation": "Str "warnings": [Arra } ]`
result.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.relations.errorCount	この依存関係 CI の処理中に発 エラーの数。 データタイプ：数値
result.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"errors": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.relations.errors.error	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのタイプ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に発 エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する要 *relations* アレイ内の依存関 オブジェクトのインデックス位 ト。 データタイプ：アレイ `"inputIndices": [ Number ]`
result.relations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.relations.mergedPayloadIds	この依存関係 CI の処理中に結 れた CMDB IRE 部分のペイロ [cmdb_ire_partial_payloads ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.relations.operation	この依存関係 CI に対して実行 操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 既存の依存関係 CI が更新さ た。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings	この依存関係 CI の処理中に発 警告のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.relations.warnings.error	この依存関係 CI の処理中に発 警告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.relations.warnings.message	この依存関係 CI の処理中に警 セージが表示されました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

IP 接続の関係がある Linux サーバー (シリアル番号とネットワークアダプター関連アイテムのルックアップを含む) と IP スイッチを含むペイロードの送信をシミュレートします。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile/query" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data '{ \
  "items": [{ \
    "className": "cmdb_ci_linux_server", \
    "values": { \
      "sys_class_name": "cmdb_ci_linux_server", \
      "name": "lnux101", \
      "host_name": "lnux101.servicenow.com", \
      "ip_address": "10.11.12.173", \
      "os_name": "Linux Red Hat" \
    }, \
    "lookup": [{ \
      "className": "cmdb_serial_number", \
      "values": { \
        "serial_number": "lnux101", \
        "serial_number_type": "uuid", \
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "valid": "true" \
      } \
    }, { \
      "className": "cmdb_ci_network_adapter", \
      "values": { \
        "name": "eth0", \
        "ip_address": "10.11.12.173", \
        "mac_address": "00:55:51:21:26:2f" \
      } \
    }] \
  }, { \
    "className": "cmdb_ci_ip_switch", \
    "values": { \
      "name": "IP-Switch-1", \
      "serial_number": "Switch23587", \
      "serial_number_type": "uuid" \
    } \
  }], \
  "relations": [{ \
    "parent": 0, \
    "child": 1, \
    "type": "IP Connection::IP Connection" \
  }] \
}'
```

Linux サーバーの CI は、ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルの名前に対するハードウェアルール検索によって識別され、Linux サーバー [cmdb_ci_linux_server] テーブルの既存の CI に対する更新として処理されます。同様に、IP スイッチは、ハードウェアテーブルの名前に対するハードウェアルール検索によって識別され、IP スイッチ [cmdb_ci_ip_switch] テーブル内の既存の CI を更新します。最後に、サーバーとスイッチ間の IP 接続の関係が、CI 関係性 [cmdb_rel_ci] テーブルに新しいレコードとして挿入されます。

```
{
  "result": {
    "relations": [
      {
        "operation": "INSERT",
        "mergedPayloadIds": [],
        "className": "cmdb_rel_ci",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          0
        ]
      }
    ],
    "items": [
      {
        "relatedSysIds": [
          null,
          null
        ],
        "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
        "sysId": "539747cac0a801640163e60735fbbf6e",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "identificationAttempts": [
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
        },
        {
          "attemptResult": "MATCHED",
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "hybridEntryCiAttributes": [],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
        }
      ],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "additionalRelatedItems": [],
      "operation": "UPDATE",
      "relatedItems": [
        {
          "markers": [],
          "mergedPayloadIds": [],
          "inputIndices": [
            {
              "subIndex": 0,
              "mainIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_serial_number"
        },
        {
          "markers": [],
          "mergedPayloadIds": [],
          "inputIndices": [
            {
              "subIndex": 1,
              "mainIndex": 0
            }
          ],
          "className": "cmdb_ci_network_adapter"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ],
        "mergedPayloadIds": [],
        "className": "cmdb_ci_linux_server"
      },
      {
        "operation": "UPDATE",
        "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
        "mergedPayloadIds": [],
        "sysId": "304481257f701200bee45f19befa915b",
        "identificationAttempts": [
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number",
              "serial_number_type"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_serial_number"
          },
          {
            "attemptResult": "NO_MATCH",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          },
          {
            "attemptResult": "MATCHED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "name"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          }
        ],
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "className": "cmdb_ci_ip_switch",
        "inputIndices": [
          1
        ]
      }
    ],
    "additionalCommittedRelations": [],
    "additionalCommittedItems": []
  }
}
```


識別および調整 - **POST /now/identifyreconcile/queryEnhanced**

データベース内の CMDB の操作をコミットせずに指定されたペイロード (要求の本文) で実行する操作 (挿入か更新か) を決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このエンドポイントを使用して、識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/enhanced エンドポイントへのペイロード (要求本文) の送信をシミュレートします。

このメソッドは 識別および調整 - POST /now/identifyreconcile/query メソッドに似ていますが、次の機能も追加されます。

- 部分的ペイロード
  - アイテムに警告またはエラーがある場合は、アイテムの操作が INSERT_AS_PARTIAL か INSERT_INCOMPLETE かを示します。
  - 既存の部分的ペイロードと結合された部分的ペイロードの sys_id を返します。
- ペイロードの重複排除機能をサポートします。
- サマリを生成します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/identifyreconcile/queryEnhanced`

デフォルトの URL：`/api/now/identifyreconcile/queryEnhanced`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
options	要求に適用される拡張 IRE オプションを表す名前と値のペアのカンマ区切りリスト。 例として、部分的ペイロードと部分的コメントのデフォルト値を上書きし、ペイロードを重 のサマリーを生成するには、次のコマンドを実行します。 `partial_payloads:false,partial_commits:false,deduplicate_payloads:fa` 注: デフォルトでは、または *partial_payloads* が true に設定されている場合は、*deduplicate_payloads* の両方が (これらが false に設定されている場合でも) 有効 分的ペイロード機能に不可欠であるためです。 拡張 IRE オプションの詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してく 名前と値の各ペアの有効な値： • true：この拡張 IRE オプションを有効にします。 • false：この拡張 IRE オプションを無効にします。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sysparm_data_source	CI 情報のソース。これは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィーである必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：API ペイロードを不完全なペイロードテーブルに挿入します。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アイテム	作成または更新する CI のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"items": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "lookup": [Array], "related": [Array], "settings": {Object}, "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name (クラス/テーブル名)。この値は、cmdb_ci_linux_server や cmdb_ci_win_server などの任意の CMDB テーブルにすることができます。 データタイプ：文字列
items.internal_id	このペイロードのこのアイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.lookup	各オブジェクトがルックアップベースの識別レコードを説明するオブジェクトのアレイ。これらのレコードは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルへの参照を含むルックアップテーブルに基づいて最上位レベルの構成アイテムを識別するために使用されます。 データタイプ:アレイオフオブジェクト `"lookup": [ { "className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} } ]`
items.lookup.className	必須です。作成または更新する CI の sys_class_name またはクラス/テーブル名。この値は、cmdb_serial_number や cmdb_ci_network_adapter などの任意の CMDB クラス/テーブルまたは非 CMDB 階層クラスにすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.internal_id	このペイロードのこのルックアップレコードの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
items.lookup.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }`
items.lookup.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.lookup.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.lookup.values	このルックアップアイテムのフィールドを名前/値のペアとして記述するオブジェクト。名前はフィールド名です。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "ip_address": "String", "mac_address": "String", "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", "valid": "String" }`
items.related	識別される最上位レベル CI への参照を持つ関連テーブルに基づいて、各オブジェクトが作成または更新するアイテムレコードを説明するオブジェクトのアレイ。関連エントリ [cmdb_related_entry] テーブルのルールは、このアレイに含めることができるレコードのタイプを定義します。 関連するテーブルは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルを拡張する場合もあれば拡張しない場合もあります。これらのレコードは、構成アイテムの識別には使用されません。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"related": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre>"className": "String", "internal_id": "String", "sys_object_source_info": {Object}, "values": {Object} }]</pre>
items.related.className	必須です。作成または更新する関連アイテムの sys_class_name またはクラス/テーブル名。 データタイプ：文字列
items.related.internal_id	このペイロードのこの関連アイテムの一意の識別子。任意の値にすることができますが、ペイロード内で一意である必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info	指定されたデータソースの一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。同じ CI でもソースが異なると、名前と値のペアが異なる場合があります。 データタイプ：オブジェクト <pre>"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String", "source_recency_timestamp": "String" }</pre>
items.related.sys_object_source_info.source_feed	この関連アイテムを送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィード

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	を持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_name	関連アイテム情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_native_key	関連アイテムのソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.related.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	関連アイテムがスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss
items.related.values	この関連アイテム用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。 データタイプ：オブジェクト フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。 `"values": { "host_name": "String", "ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"sys_class_name": "String"
	}</pre>

items.settings	許可される更新のタイプを定義するパラメーターが含まれるオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"settings": {
	
	"skipReclassificationRestrictionRules": Boolean,
	
	"updateWithoutDowngrade": Boolean,
	
	"updateWithoutSwitch": Boolean,
	
	"updateWithoutUpgrade": Boolean
	}</pre>

items.settings.skipReclassificationRestrictionRules	IRE がペイロードアイテムのクラスに一致する再分類制限ルールの実行をスキップすべきかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ルールの実行をスキップします。 • false：ルールを実行します。 デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutDowngrade	この CI に対して更新とダウングレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、ダウングレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とダウングレードの両方が許可されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutSwitch	この CI を更新できるかどうか、およびそのクラスを切り替えることができるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、クラスの切り替えは許可されません。 • false：アイテムの更新とクラスの切り替えの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.settings.updateWithoutUpgrade	この CI に対して更新とアップグレードの両方が許可されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：アイテムを更新しますが、アップグレードは許可されません。 • false：アイテムの更新とアップグレードの両方が許可されます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
items.sys_object_source_info	一意の CI 識別子を記述するオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"sys_object_source_info": { "source_feed": "String", "source_name": "String", "source_native_key": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"source_recency_timestamp": "String"
	}</pre>

items.sys_object_source_info.source_feed	この CI を送信するフィードを一意に識別する名前。ソースが複数のフィードを持つことができる場合に使用します。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_name	CI 情報のデータソース。この値は、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの discovery_source フィールドに定義された選択値の 1 つである必要があります。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_native_key	CI のソースからの一意のキー/ID。アイテムに固有の任意の文字列にすることができます。 データタイプ：文字列
items.sys_object_source_info.source_recency_timestamp	CI がスキャンされた UTC 日時。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD hh:mm:ss

items.values	この CI 用に名前/値のペアとして作成または更新するフィールドを説明するオブジェクト。名前はフィールド名です。参照フィールドの場合、値は参照される sys_id である必要があります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	フィールド名とタイプは、次のようにユーザーが選択したフィールドによって異なります。
	<pre>"values": {
	"host_name":
	"String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre>"ip_address": "String", "name": "String", "os_name": "String", "sys_class_name": "String" }</pre>
referenceItems	ペイロード内の 2 つのアイテム間の参照のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ <pre>"referenceItems": [{ "referenced": "String", "referencedBy": "String", "referenceField": "String" }]</pre>
referenceItems.referenced	別のアイテムによって参照されているアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referencedBy	別のアイテムを参照するアイテムに対して定義された *internal_id*。 データタイプ：文字列
referenceItems.referenceField	*referencedBy* アイテムのクラス/テーブル内の参照フィールドの名前。 データタイプ：文字列
relations	ペイロードで定義された 2 つのアイテム間の関係のリスト。 このアレイ内のオブジェクトは、2 つの形式のいずれかを使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	• オブジェクトは、*parent* および *child* の名前と値のペアを使用して 2 つのトップレベルアイテム (のみ) の間の関係を定義できます。この値はペイロード *items* アレイのアイテムインデックスを表します。
	• オブジェクトは、*parent_id* および *child_id* のキー/値のペアを使用して、最上位レベルのアイテム、関連するアイテム、ルックアップアイテムを含む任意の 2 つのアイテム間の関係を定義できます。この値は、それらのアイテムに対して定義された *internal_id* 値を表します。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"relations": [ { "child": Number, "parent": Number, "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`
	
	`"relations": [ { "child_id": "String", "parent_id": "String", "sys_rel_source_info": {Object}, "type": "String" } ]`

relations.child	関係内の子を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値
relations.child_id	関係内の子アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列
relations.parent	関係の親を表す *items* アレイ内の CI オブジェクトの整数インデックス。 データタイプ：数値
relations.parent_id	関係内の親アイテムの *internal_id*。 データタイプ：文字列
relations.sys_rel_source_info	関係の検出ソース情報。非依存関係の場合、この情報は関係ソース [sys_rel_source] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"sys_rel_source_info": { "source_name": "String", "source_feed": "String" }`
relations.sys_rel_source_info.source_name	検出ソース名。 デフォルト：API メソッドパラメーターで渡される検出ソース。
relations.sys_rel_source_info.source_feed	検出ソース内のサブ検出/スキャンである文字列。 デフォルト値：「UNKNOWN」 は、sys_rel_source テーブルにレコードを作成するときに source_feed 列に格納されます。
relations.type	親アイテムと子アイテムの間に存在する関係のタイプ。これは、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	からの名前フィールド値である必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。 エラーメッセージの詳細「チャンク [...] は有効なエントリーではありません (Chunk [...] is not a valid entry)」は、*options* クエリパラメーターが正しい名前と値のペア形式でないことを示しています。 たとえば、部分的な *options* パラメーターを指定すると、メッセージの詳細に「チャンク [部分的] は有効なエントリではありません (Chunk [partial] is not a valid entry)」というメッセージと 500 ステータスコードが生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

結果	クエリによって生成された結
	ト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"result": [`
	
	`"additionalCommitted`
	`s": [Array],`
	
	`"additionalCommitted`
	`ons": [Array],`
	`"items": [Array],`
	`"relations": [Array`
	`]`

result.additionalCommittedItems	要求本文に含まれていない CI
	リスト 挿入または更新するア
	items。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"additionalCommittedI`
	`[`
	`{`
	`"className": "Str`
	`"errorCount": Num`
	
	`"identificationAttem`
	`[Array],`
	`"inputIndices":`
	`[Array],`
	`"markers": [Array`
	`"mergedPayloads":`
	`[Array],`
	`"operation": "Str`
	`"sysId": "String"`
	`}`
	`]`

result.additionalCommittedItems.className	この追加の CI の sys_class_n データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errorCount	この追加の CI の処理中に発生 ラーの数。 データタイプ：数値
result.additionalCommittedItems.errors	この追加 CI の処理中に発生し ラーのリスト。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "String"
	  "message": "Strin
	  }
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.errors.error	この追加 CI の処理中に発生し ラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.errors.message	この追加 CI の処理中に発生し ラーメッセージ。 データタイプ：文字列

result.additionalCommittedItems.identificationAttempts	この追加の CI を識別するため
	された試行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"identificationAttemp
	  {
	  "attemptResult":
	"String",
	  "attributes": [Ar
	
	"hybridEntryDiAttrib
	[Array],
	  "identifierName":
	"String",
	  "searchOnTable":
	[Array]
	  }
	]</pre>

result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attemptResult	この追加の CI 識別の試行の結 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.attributes	この追加の CI の識別の試行中 される CI ID エントリ属性の データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String" ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この追加の CI 識別試行中に使 る CI ID エントリー属性のリス データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"hybridEntryCiAttribu [ "name": "String", "serial_number": "S ]`
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.identifierName	この追加の CI 識別の試行に使 る識別子ルール。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identificationAttempts.searchOnTable	この追加の CI 識別の試行で検 たテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.identifierEntrySysId	この追加の CI を識別するため される識別子ルールの sys_id 注目すべき値： • Unknown：この追加の CI に失敗しました。詳細につ 「*errors*」を参照してく

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.inputIndices	この追加 CI に対応する要求本 *items* アレイからの CI のイン ス値のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"inputIndices": [ { Number } ]`
result.additionalCommittedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.additionalCommittedItems.mergedPayloads	この追加 CI の処理中に結合さ た CMDB IRE 部分のペイロー [cmdb_ire_partial_payload ルの部分的ペイロードのsys_i スト。 データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.additionalCommittedItems.operation	この追加の CI に対して実行さ 作。 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：追加の CI が新し ドとしてターゲットテーブ されます。 • NO_CHANGE：追加の CI 実行された操作はありませ • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	たは子孫クラスではない別 に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.sysId	識別によって検出されたこの の sys_id。 重要な値: 不明:この追加の CI に失敗しました。詳細につい 「*errors*」を参照してくださ データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings	この追加 CI の処理中に発生し のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"warnings": [ { "error": "String" "message": "Strin } ]`
result.additionalCommittedItems.warnings.error	この追加の CI の処理中に発生 告のタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedItems.warnings.message	この追加の CI の処理中に発生 告メッセージ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations	挿入または更新する要求本文 *relations* リストに含まれて 依存関係 CI のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"additionalCommittedR ns": [ { "className": "Str "operation": "Str "markers": [Array "inputIndices": [Array], "mergedPayloadIds [Array]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.additionalCommittedRelations.className	この追加の依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errorCount	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーの数。 データタイプ：数値

result.additionalCommittedRelations.errors	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"errors": [
	  {
	  "error": "String"
	  "message": "Strin
	  }
	]</pre>

result.additionalCommittedRelations.errors.error	この追加の依存関係 CI の処理 生したエラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.additionalCommittedRelations.errors.message	この追加の依存関係 CI の処理 ラーが発生したエラーメッセ データタイプ：文字列

result.additionalCommittedRelations.inputIndices	この追加の依存関係 CI に対応 求本文 *relations* アレイ内 係 CI オブジェクトのインデッ のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"inputIndices": [
	  Number
	]</pre>

result.additionalCommittedRelations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>
result.additionalCommittedRelations.mergedPayloadIds	この追加の依存関係 CI の処理 結合された、CMDB IRE 部分

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	ロード [cmdb_ire_partial_pa
	テーブルの部分的ペイロードの
	値のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.additionalCommittedRelations.operation	この追加の依存関係 CI に対し される操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されます。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されます。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されます。 • NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 存の依存関係 CI が更新され データタイプ：文字列

result.items	要求本文 *items* アレイに含ま
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"items": [`
	`  {`
	
	`"additionalRelatedIt`
	`[Array],`
	`  "className": "Str`
	
	`"duplicateLookupIndi`
	`{Object},`
	`  "errorCount": Num`
	`  "errors": [Array]`
	
	`"identificationAttem`
	`[Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"identifierEntryS
	"String",
	"info": [Array],
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"operation": "Str
	"relatedItems":
	[Array],
	"relatedSysIds":
	[Array],
	"sysId": "String"
	"warnings": [Arra
	}
	]</pre>

result.items.additionalRelatedItems	CMDB IRE 部分のペイロード
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルからの関連 CI のリスト (テ
	ルックアップ CI)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"additionalRelatedIte
	{
	"className": "Str
	"inputIndices":
	[Array],
	"markers": [Array
	"mergedPayloadIds
	[Array],
	"sysId": "String"
	}
	]</pre>

result.items.additionalRelatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列

result.items.additionalRelatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要
	items アレイの CI のインデ
	のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"inputIndices": [
	Number
	]</pre>

result.items.additionalRelatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

result.items.additionalRelatedItems.mergedPayloadIds	この関連アイテムの処理中に
	れた CMDB IRE 部分のペイロ
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_i
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.items.additionalRelatedItems.sysId	この関連 CI のSys_id。 データタイプ：文字列
result.items.className	この CI のSys_class_name。 データタイプ：文字列

result.items.duplicateLookupIndices	同じ関連 CI を参照する
	items.lookup アレイ要素の
	デックス値のアレイを含むオ
	ト。
	
	アレイ名は、指定された関連
	照する要求本文 *items.look*
	イの最初の要素を示します。
	は、同じ関連 CI を参照する同
	イの追加要素のセットです。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	この例は、 *items.lookup* ア
	2 番目の要素が、そのアレイの
	要素と同じ関連 CI を参照する
	を示しています。
	
	`"duplicateLookupIndic`
	`  "2": [Array]`
	`]`

result.items.errorCount	この CI の処理中に発生したエ 数。 データタイプ：数値

result.items.errors	この CI の処理中に発生したエ
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"errors": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.items.errors.error	この CI の処理中に発生したエ タイプ。 データタイプ：文字列
result.items.errors.message	この CI の処理中に発生したエ メッセージ。 データタイプ：文字列

result.items.identificationAttempts	この CI を識別するために行わ
	行のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"identificationAttemp
	  {
	  "attemptResult":
	"String",
	  "attributes": [Ar
	
	"hybridEntryUtAttrib
	[Array],
	  "identifeName":
	"String",
	  "searchOnTable":
	[Array]
	  }
	]</pre>

result.items.identificationAttempts.attemptResult	この CI 識別試行の結果。 可能な値： • MATCHED：識別に成功し 指定された属性と完全に一 意の CI が識別子ルールテー 見つかりました。 • MULTI_MATCH：エラーの 別に失敗しました。指定さ に対して照合しているとき 子ルールテーブルに重複す 見つかりました。 • NO_MATCH：識別に失敗 た。指定された属性と一致 が識別子ルールテーブルで ませんでした。 • SKIPPED：識別は試行され でした。この識別子ルール ルの検索に必要な属性が指 かったため、ルールは適用 んでした。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.items.identificationAttempts.attributes	この CI 識別の試行中に使用さ ID エントリー属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"attributes": [ "serial_number": "String", "serial_number_type": "String", ]`
result.items.identificationAttempts.hybridEntryCiAttributes	この CI 識別の試行中に使用さ ID エントリー属性のリスト。 データタイプ：アレイ 属性の名前とタイプは、次の 使用される要求本文データと よって異なります。 `"hybridEntryCiAttribu [ "name": "String", "serial_number": "S ]`
result.items.identificationAttempts.identifierName	この CI の識別試行に使用され 子ルール。 データタイプ：文字列
result.items.identificationAttempts.searchOnTable	この CI 識別試行で検索された ルの名前。 データタイプ：文字列
result.items.identifierEntrySysId	この CI を識別するために使用 識別子ルールのSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列
result.items.info	アイテムの処理に関する追加 スト。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"info": [
	  {
	  "code": "String",
	  "message": "Strin
	  "ruleSysId": "Str
	  }
	]</pre>

result.items.info.code	スキップされた再分類タイプ。 可能な値： • SKIPPED_CLASS_SWITCH • SKIPPED_CLASS_DOWNGR • SKIPPED_CLASS_UPGRADE
result.items.info.message	再分類をスキップする理由に関 加のインサイトを提供するメッ ジ。 データタイプ：文字列
result.items.info.ruleSysId	一致した再分類制限ルールの 再分類制限ルールのために IRE 類をスキップする場合にのみ適 ます。ペイロードまたはグロー ラグのために再分類がスキップ 場合、この値は空になります。 データタイプ：文字列

result.items.inputIndices	この CI に対応する要求本文 ア
	レイからの CI のインデックス
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"inputIndices": [
	  {
	  Number
	  }
	]</pre>

result.items.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ <pre>"markers": []</pre>
result.items.mergedPayloadIds	この CI の処理中に結合された CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payloads ルの部分的ペイロードのsys_id スト。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"mergedPayloadIds": [
	  "String"
	]</pre>

result.items.operation	この CI に対して実行された操 可能な値： • DELETE：既存の CI がター テーブルから削除されます。 • INSERT：CI が新しいレコ てターゲットテーブルに挿入 す。 • NO_CHANGE：CI に対して れた操作はありません。 • UPDATE：ターゲットテー 存の CI が更新されます。 • UPDATE_WITH_DOWNG ターゲットテーブル内の既存 が更新され、そのクラスが、 的なクラス (先祖クラス) に ます。 • UPDATE_WITH_SWITCH ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスが先祖 たは子孫クラスではない別の に変更されます。 • UPDATE_WITH_UPGRAD ゲットテーブル内の既存の 新され、そのクラスがより特 たクラス (子孫クラス) に変 す。 データタイプ：文字列

result.items.relatedItems	要求本文 *items.lookup* アレ
	の関連 CI (テーブルルックア
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"relatedItems": [
	  {
	  "className": "Str
	  "inputIndices":
	[Array],
	  "markers": [Array
	  "mergedPayloadIds
	[Array],
	  "sysId": "String"
	  }
	]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.items.relatedItems.className	関連アイテムの sys_class_na データタイプ：文字列
result.items.relatedItems.inputIndices	この関連アイテムに対応する要 *items* および *items.looku* からの CI およびルックアップ ムのインデックス値のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"inputIndices": [ { "mainIndex": Numb "subIndex": Numbe } ]`
result.items.relatedItems.inputIndices.mainIndex	関連アイテムの CI の親に対応 求本文 *items* アレイからのイ クス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.inputIndices.subIndex	関連アイテムに対応する要求本 *items.lookup* アレイからの デックス値。 データタイプ：数値
result.items.relatedItems.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ `"markers": []`
result.items.relatedItems.mergedPayloadIds	処理中にこの CI に結合された CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payload ル内のエントリのsys_id値のリ データタイプ：アレイ `"mergedPayloadIds": [ "String" ]`
result.items.relatedSysIds	要求本文 *items.lookup* アレ 連アイテム (テーブルルックア イテム) のsys_id値のリスト。 データタイプ：アレイ 注目すべき値： • null：この関連アイテムの調 た sys_id がありませんでし

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedSysIds": [
	    Number,
	    Number
	]</pre>

result.items.sysId	識別によってこの CI に対して かったSys_id。 注目すべき値： • Unknown：この CI の識別 敗しました。詳細について 「*errors*」を参照してくた データタイプ：文字列

result.items.warnings	この CI の処理中に発生した警
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"warnings": [
	  {
	    "error": "String"
	    "message": "Strin
	  }
	]</pre>

result.items.warnings.error	この CI の処理中に発生した警 イプ。 データタイプ：文字列
result.items.warnings.message	この CI の処理中に発生した警 セージ。 データタイプ：文字列
result.logContextId	このペイロードに対してレポ たコンテキスト ID。 データタイプ：文字列

result.relations	要求本文 *relations* アレイ
	存関係 CI のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"relations": [
	  {
	    "className": "Str
	    "errorCount": Num
	    "errors": [Array]
	    "inputIndices":
	 [Array],
	    "markers": [Array</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"mergedPayloadIds
	[Array],
	"operation": "Str
	"warnings": [Arra
	}
	]</pre>

result.relations.className	この依存関係 CI の sys_class_name。 サポートされている値のみ： • cmdb_rel_ci：CI 関係テー データタイプ：文字列
result.relations.errorCount	この依存関係 CI の処理中に発 エラーの数。 データタイプ：数値

result.relations.errors	この依存関係 CI の処理中に発
	エラーのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"errors": [
	{
	"error": "String"
	"message": "Strin
	}
	]</pre>

result.relations.errors.error	この依存関係 CI の処理中に発 エラーのタイプ。 データタイプ：文字列
result.relations.errors.message	この依存関係 CI の処理中に発 エラーメッセージ。 データタイプ：文字列

result.relations.inputIndices	この依存関係 CI に対応する要
	relations アレイ内の依存関
	オブジェクトのインデックス
	ト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"inputIndices": [
	Number
	]</pre>

result.relations.markers	内部使用のマーカー値のリス データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	`"markers": []`

result.relations.mergedPayloadIds	この依存関係 CI の処理中に結
	れた CMDB IRE 部分のペイロ
	[cmdb_ire_partial_payload
	ルの部分的ペイロードのsys_i
	スト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"mergedPayloadIds": [`
	`  "String"`
	`]`

result.relations.operation	この依存関係 CI に対して実行 操作。 可能な値： • INSERT：依存関係 CI が新 コードとしてターゲットテ 挿入されました。 • INSERT_AS_INCOMPLET 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 不完全ペイ [cmdb_ire_incomplete_p テーブルに挿入されました。 • INSERT_AS_PARTIAL： 依存関係 CI にエラーがあ り、CMDB IRE 部分的ペイ [cmdb_ire_partial_payloa ブルに挿入されました。 • NO_CHANGE：依存関係 C て実行された操作はありま • UPDATE：ターゲットテー 既存の依存関係 CI が更新さ た。 データタイプ：文字列

result.relations.warnings	この依存関係 CI の処理中に発
	警告のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"warnings": [`
	`  {`
	`  "error": "String"`
	`  "message": "Strin`
	`  }`
	`]`

result.relations.warnings.error	この依存関係 CI の処理中に発 警告のタイプ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.relations.warnings.message	この依存関係 CI の処理中に警 セージが表示されました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

コンピューター CI の部分的ペイロードの送信をシミュレートします。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile/queryEnhanc
ed" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data '{ \
  "items" : [ \
    { \
      "className" : "cmdb_ci_computer", \
      "sys_object_source_info" : { \
        "source_name" : "ServiceNow", \
        "source_native_key" : "ncomputer3367" \
      }, \
      "values" : { \
        "cpu_core_count" : "6", \
        "ram" : "8192", \
        "manufacturer" : "DELL", \
        "company" : "My Company" \
      } \
    } \
  ] \
}'
```

応答は、ペイロードが CMDB IRE 部分のペイロード [cmdb_ire_partial_payloads] テーブルに挿入されることを示します。

```
{
  "result": {
    "relations": [],
    "items": [
      {
        "identifierEntrySysId": "Unknown",
        "partialSysIds": [
          "1aec79151bb45010593876a61a4bcb28"
        ],
        "sysId": "Unknown",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "className": "cmdb_ci_computer",
        "inputIndices": [
          0
        ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "operation": "INSERT_AS_PARTIAL",
        "errors": [],
        "identificationAttempts": [
          {
            "info": "sys_object_source NO_MATCH",
            "attemptResult": "NO_MATCH",
            "identifierName": "",
            "attributes": [],
            "hybridEntryCiAttributes": []
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number",
              "serial_number_type"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_serial_number"
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "name"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "mac_address",
              "name"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter"
          }
        ],
        "warningCount": 1,
        "warnings": [
          {
            "message": "In payload missing minimum set of input
 values for criterion (matching) attributes from identify rule for
 table [cmdb_ci_hardware]. Add these input values in payload item
 '{\"className\":\"cmdb_ci_computer\",\"values\":{\"discovery_source\":
\"ServiceNow\",\"company\":\"My
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 Company\",\"cpu_core_count\":\"6\",\"ram\":\"8192\",\"manufacturer\":
\"DELL\"},\"sys_object_source_info\":{\"source_name\":\"ServiceNow\",
\"source_native_key\":\"ncomputer3367\"},\"settings\":{},
\"sys_ire_info\":{\"ire_received_time\":\"2020-05-14 20:14:51\"}}'",
            "error": "MISSING_MATCHING_ATTRIBUTES"
          }
        ],
        "mergedPayloadIds": [
          "7ddcb9551bb45010593876a61a4bcb08"
        ]
      }
    ],
    "additionalCommittedRelations": [],
    "additionalCommittedItems": []
  }
}
```

サマリ生成の拡張 IRE オプションを有効にして、コンピューター CI の説明を完了する 2 番目の部分的ペイロードの送信をシミュレートします。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/identifyreconcile/queryEnhanc
ed?options=generate_summary:true" \
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username:password" \
--data '{ \
}'
```

応答は、コンピューター CI が挿入されることを示し、実行される操作のサマリが表示されます。

```
{
  "result": {
    "relations": [],
    "hasError": false,
    "additionalCommittedItems": [],
    "hasWarning": false,
    "items": [
      {
        "relatedSysIds": [
          "735c79151bb45010593876a61a4bcb67"
        ],
        "identifierEntrySysId": "Unknown",
        "sysId": "ff5c79151bb45010593876a61a4bcb64",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "className": "cmdb_ci_computer",
        "inputIndices": [
          0
        ],
        "operation": "INSERT",
        "relatedItems": [
          {
            "operation": "INSERT",
            "warningCount": 0,
            "errors": [],
            "sysId": "735c79151bb45010593876a61a4bcb67",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "className": "cmdb_ci_network_adapter",
            "errorCount": 0,
            "markers": [],
            "inputIndices": [
              {
                "subIndex": 0,
                "mainIndex": 0
              }
            ],
            "mergedPayloadIds": []
          }
        ],
        "mergedPayloadIds": [
          "fe4c39151bb45010593876a61a4bcbd3"
        ],
        "identificationAttempts": [
          {
            "info": "sys_object_source NO_MATCH",
            "attemptResult": "NO_MATCH",
            "identifierName": "",
            "attributes": [],
            "hybridEntryCiAttributes": []
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number",
              "serial_number_type"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_serial_number"
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "serial_number"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          },
          {
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "name"
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware"
          },
          {
            "attemptResult": "NO_MATCH",
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attributes": [
              "mac_address",
              "name"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            ],
            "hybridEntryCiAttributes": [],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_network_adapter"
          }
        ],
        "warningCount": 0
      }
    ],
    "additionalCommittedRelations": [],
    "summary": {
      "cmdb_ci_network_adapter": {
        "mergedPartialPayloads": 0,
        "inserted": 1,
        "partial": 0,
        "warnings": 0,
        "incomplete": 0,
        "additionalInserted": 0,
        "unchanged": 0,
        "skipped": 0,
        "updated": 0,
        "errors": 0
      },
      "cmdb_ci_computer": {
        "mergedPartialPayloads": 1,
        "inserted": 1,
        "partial": 0,
        "warnings": 0,
        "incomplete": 0,
        "additionalInserted": 0,
        "unchanged": 0,
        "skipped": 0,
        "updated": 0,
        "errors": 0
      }
    }
  }
}
```


インポートセット API

`インポートセット` API は、インポートセットテーブルの操作を可能にするエンドポイントを提供します。

この API は、関連する変換マップに基づいて受信データを変換します。インポートセット API は、同期変換に対応しています。インポートセット API は、既存の SOAP インターフェイスを反映します。

セキュリティ

REST API 経由によるテーブルへのアクセスは BasicAuth によって制限されています。認証や認可なしでテーブルにアクセスできるようにするには、テーブル名を sys_public.list に追加します。テーブルに定義された ACL は引き続き適用されます。ACL を無効にするのは管理者の責任です。

インポートセット - GET /now/import/{stagingTableName}/{sys_id}

指定されたインポートステージングレコードと結果の変換結果を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/import/{stagingTableName}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/import/{stagingTableName}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
stagingTableName	インポートデータの取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列
sys_id	データを含むレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	指定されたリソースが利用できなかったことを示します。インポートセットテーブルはスケジュールに基づいて頻繁に削除されるため、変換結果が存在しなくなった場合、GET 要求は 404 Not Found 応答を返すことがあります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
import_set	インポートセットの名前。 データタイプ：文字列
result	インポートされたデータセットに関する情報を含むオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"result": [ { "display_name": "String", "display_value": "String", "record_link": "String", "status": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "transform_map": "String" } ]`
result.display_name	インポートセットの表示名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.display_value	インポートセットの値。 データタイプ：文字列
result.record_link	インポートされたレコードのテーブル API GET 要求。 データタイプ：文字列
result.status	インポートのステータス。 データタイプ：文字列
result.sys_id	インポートレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.table	データがインポートされたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.transform_map	変換マップの名前。 データタイプ：文字列
staging_table	インポートステージングテーブルの名前。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/import/imp_user/e2928be64f41120
0adf9f8e18110c777" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "import_set": "ISET0010001",
  "staging_table": "imp_user",
  "result": [
    {
      "transform_map": "User",
      "table": "sys_user",
      "display_name": "name",
      "display_value": "John Public",
      "record_link":
 "https://instance.service-now.com/api/now/table/sys_user/ea928be64f41120
0adf9f8e18110c777",
      "status": "inserted",
      "sys_id": "ea928be64f411200adf9f8e18110c777"
    }
  ]
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートセット - POST /now/import/{stagingTableName}

指定されたステージングテーブルに受信データを挿入し、インポートセットテーブルの事前定義された変換マップに基づいて変換をトリガーします。

変換は同期的に行われます。定義する変換マップごとに、応答にはターゲットレコードに関する情報などの変換結果が含まれます。

注: 変換スクリプトの status_message フィールドと error_message フィールドが処理され、カスタム応答フィールドとともに応答で返されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/import/{stagingTableName}`

デフォルトの URL：`/api/now/import/{stagingTableName}`

サポートされている要求パラメーター

注: インポートセット POST メソッドは、要求本文パラメーターで文字列データタイプの名前と値のペアのみを受け入れます。他のデータタイプが指定されている場合、インポートセットテーブルに保存される結果の値が、意図した形式に準拠しない可能性があります。たとえば、ネストされた JSON オブジェクトの「:」表記が「=」に変更されます。

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
stagingTableName	データのインポート元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
呼び出し固有	インポートフィールドに挿入する名前と値のペア。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
201	成功。要求が正常に作成されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
import_set	インポートセットの名前。 データタイプ：文字列

result	インポートされたデータセットに関する情報を含むオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"result": [`
	`  {`
	`  "display_name": "String",`
	`  "display_value": "String",`
	`  "record_link": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"status": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "transform_map": "String" }]
result.display_name	インポートセットの表示名。 データタイプ：文字列
result.display_value	インポートセットの値。 データタイプ：文字列
result.record_link	インポートされたレコードのテーブル API GET 要求。 データタイプ：文字列
result.status	インポートのステータス。 データタイプ：文字列
result.sys_id	インポートレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.table	データがインポートされたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.transform_map	変換マップの名前。 データタイプ：文字列
staging_table	インポートステージングテーブルの名前。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/import/imp_user" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{'first_name':'John','last_name':'Public','user_id':'john.public','emai
l':'john.public@company.com'}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "import_set": "ISET0010001",
  "staging_table": "imp_user",
  "result": [
    {
      "transform_map": "User",
      "table": "sys_user",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "display_name": "name",
      "display_value": "John Public",
      "record_link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/ea928be64f411200
adf9f8e18110c777",
      "status": "inserted",
      "sys_id": "ea928be64f411200adf9f8e18110c777"
    }
  ]
}
```

インポートセット - POST /now/import/{stagingTableName}/insertMultiple

指定されたステージングテーブルに複数のレコードを挿入し、単一の要求で事前定義された変換マップまたは強力な変換エンジン (RTE) 構成に基づいて変換をトリガーします。

デフォルトでは、変換は非同期です。同期変換を設定するには、REST での複数挿入 [sys_rest_insert_multiple] テーブルに新しいレコードを作成し、ソーステーブルを選択して、変換を同期に設定します。

このエンドポイントは、2 つの可能な形式で要求本文を送信できます。

データソースファイル形式

JSON データソースからステージングテーブルを生成した場合、ソースファイルの JSON 形式と一致します。

ステージングテーブル列形式

デフォルトです。キーと値のペアのステージングテーブル列の要求本文の形式と一致します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/import/{stagingTableName}/insertMultiple`

デフォルトの URL：`/api/now/import/{stagingTableName}/insertMultiple`

サポートされている要求パラメーター

注: インポートセット POST メソッドは、要求本文パラメーターで文字列データタイプの名前と値のペアのみを受け入れます。他のデータタイプが指定されている場合、インポートセットテーブルに保存される結果の値が、意図した形式に準拠しない可能性があります。たとえば、ネストされた JSON オブジェクトの「:」表記が「=」に変更されます。

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
stagingTableName	データのインポート元のインポートセットテーブルの名前。「インポートセットの主要な概念」を参照してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
multi_import_set_id	マルチインポートセット [sys_multi_import_set] テーブル内のエントリの sys_id。指定すると、現在のインポートが新しい複数インポートセットに追加されるのではなく、この複数インポートセットに追加されます。 データタイプ：文字列
run_after	インポートセット [sys_import_set] テーブル内のエントリの sys_id。指定されたインポートセットが完了した後、現在のインポートセットを実行できるようにします。このパラメーターを使用して、インポートの順序を強制できます。 このパラメーターは、非同期変換でのみ有効です。 データタイプ：文字列

要求本文 **(JSON)**

フォーマット	説明
データソースファイル	この要求本文の形式は、データソースの作成に使用された JSON ファイル形式と一致します。データソースの JSON と同じ形式で要求本文を提供します。JSON 入力は、データソースのプロパティによって異なります。ファイルタイプのデータソース の JSON 情報を参照してください。 • このオプションは、ステージングテーブルが JSON データソースを使用して作成された場合にのみ使用できます。「ファイルタイプのデータソースを作成する 」を参照してください。 • データソース [sys_data_source] テーブルの [各行のパス] フィールドでデータソースのパスを定義する必要があります。 • REST での複数挿入ユーザーのデフォルトの動作を変更するには、REST での複数挿入 [sys_rest_insert_multiple] テーブルにエントリを作成します。 • REST での複数挿入エントリで [データソース形式を使用] を有効にします。 データタイプ：オブジェクト
ステージングテーブル列 (デフォルト)	この要求本文の形式は、ステージングテーブルの列と一致します。ステージングテーブル列に一致するキーと値のペアの *records* アレイを使用して、インポートフィールドに挿入します。各 JSON キーは、挿入される値を表す JSON 値にテーブル列をマップします。JSON 入力は、ステージングテーブルのフィールドによって異なります。 列マッピングのデフォルトのキー値は列テーブルです。 `{ "records":[ { "<ColumnLabel1>":"<value>", "<ColumnLabel2>":"<value>" }, { "<ColumnLabel1>":"<value>", "<ColumnLabel2>":"<value>"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文 **(JSON)** (続く)

フォーマット	説明

	<pre> }
	    ]
	}</pre>
	マッピング設定を変更するには、REST での複数挿入 [sys_rest_insert_multiple] テーブルにエントリを追加し、[列マッピング] を [ラベル] から [列名] に変更します。
	<pre>{
	   "records":[
	      {
	         "<column_name1>":"<value>",
	         "<column_name2>":"<value>"
	      },
	      {
	         "<column_name1>":"<value>",
	         "<column_name2>":"<value>"
	      }
	   ]
	}</pre>
	データ辞書テーブル には、システム内のテーブルフィールドの詳細が表示されます。
	データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
201	成功。要求が正常に作成されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文 (JSON)

名前	説明
import_set_id	インポートセット [sys_import_set] テーブルに追加されたレコードの sys_id。非同期要求の場合は、このインポートセットプロセスが完了した後に、この値を使用して別のインポートセットを実行できます。 データタイプ：文字列
multi_import_set_id	マルチインポートセット [sys_multi_import_set] テーブルに追加されたレコードの sys_id。この値を使用して、複数のインポートセットを 1 つのセットにグループ化できます。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

次の例は、ステージングテーブル列の形式を使用して、u_employee_import_set_table という名前のインポートテーブルで変換を実行する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/import/u_employee_import_set_table/insertMultiple" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"records\": [
  {
   \"Address\": \"Hollywood\",
   \"Name\": \"Tom\",
   \"ID\": \"123\"
  },
  {
   \"Address\": \"Vine\",
   \"Name\": \"Irene\",
   \"ID\": \"456\"
  }
  ]
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果には、インポートセット [sys_import_set] テーブルとマルチインポートセット [sys_multi_import_set] テーブルの新しいレコードの sys_id が含まれます。

```
{
  "import_set_id": "<import_set_sys_id>",
  "multi_import_set_id": "<multi_import_set_sys_id>"
}
```

インストールベースアイテム API

`インストールベースアイテム` API は、ServiceNowインスタンス内のインストールベースアイテムレコードにアクセスして管理するためのエンドポイントを提供します。

インストールベースアイテムは、顧客用に設定された製品のインスタンスを表します。インストールベースアイテムを使用すると、顧客が行ったすべての購入を追跡できます。

この API を使用して、[インストールベース関連パーティ] 関連リストで CRUD 操作を実行することもできます。さらに、ケース、契約、エンタイトルメント、メンテナンス計画、販売済み製品、作業指示書など、他のインストールベースアイテム関連リストのレコードを読み取ることができます。

この API にアクセスするには、実行しようとしている CRUD アクションのタイプに応じて、sn_install_base.ib_api_write または sn_install_base.ib_api_read ロールが必要です。

この API のさまざまなエンドポイントにアクセスするには、次のプラグインをインストールする必要があります。

- Customer Service インストールベース管理 (com.snc.install_base)
- Planned Work Management (sn_fsm_planned_wm) メンテナンス計画と作業指示データを取得する場合。

この API は `sn_install_base` 名前空間で実行されます。

> **注:** この API は、エンドポイント応答の空でないフィールドのみを返します。また、システムレベルのフィールド (先頭に「sys_」が付いているフィールド) は、sys_id フィールドを除いて返されません。

インストールベースアイテムの詳細については、「インストールベースアイテムの作成」を参照してください。

インストールベースアイテム:DELETE **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}**

指定されたインストールベースアイテムレコードから指定された関係者レコードの関連付けを解除します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
related_party_sys_id	関係者レコードのSys_id。デフォルトでは、これはインストールベース関連パーティ [sn_install_base_related_party] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
結果	エンドポイントの結果の説明。 データタイプ: オブジェクト
result.status	エンドポイント要求のステータス。 可能な値： • SUCCESS • FAILURE データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991/relatedparties/2a42dfae872521
100b6afc86dabb356b" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```

インストールベースアイテム:GET /sn_install_base/integrations/installbaseitems

すべてのインストールベースアイテムを返します。呼び出し内でパラメーターを渡して、返される結果をフィルター処理できます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	インストールベースアイテムレコードのフィルタリングに使用するフィールドと値のペア。インストールベースアイテム [sn_istall_base_item] テーブルにあります。*`sys_class_name`* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、state フィールドが "in_use" に設定され、status フィールドが "replacement" に設定されているレコードのみを返すには、`&state=in_use&status=replacement` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
related_party	関係者レコードのSys_id。インストールベース関連パーティ [sn_install_base_related_party] テーブルにあります。 指定された関係者に基づいてインストールベースアイテムレコードをフィルタリングします。関係者は、インストールベースアイテムまたは販売済み製品にリンクできます。 有効な値： • アカウント sys_id - アカウント [customer_account] テーブルにあります。 • コンシューマー sys_id:コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 • 連絡先sys_id:連絡先 [customer-contact] テーブルにあります。 • サービス組織 sys_id:サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 • ユーザー sys_id:ユーザー [sys-user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
責任	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。 このパラメーターは、 *related_party* フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、 *related_party* パラメーターと *responsibility* パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については、「受領したアイテムの関係者を構成する」を参照してください。 データタイプ：文字列
sys_class_name	インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張するテーブルに目的のレコードがある場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、 *sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

次の戻り値は、インストールベースアイテム [sn_install_base_items] テーブルから返されたレコードの戻り値のみを示しています。

名前	説明

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列

アイテム	指定したフィルター結果に一致したインストールベースアイテムのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"items":[`
	`  {`
	`  "account": {Object},`
	`  "active": "String",`
	`  "asset": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"configuration_item": {Object}, "consumer": {Object}, "consumer_profile": {Object}, "contact": {Object}, "health_status": {Object}, "health_status_last_updated": "String", "household": {Object}, "install_date": {Object}, "location": {Object}, "name": "String", "number": "String", "parent": {Object}, "product": {Object}, "service_context": {Object}, "service_organization" {Object}, "sys_class_name": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String", "state": {Object}, "status": {Object}, "uninstall_date": "String" }]

items.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	"account": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}

items.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
items.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ:ブール文字列
items.asset	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"asset": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.asset.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のテキスト名。この値を使用して、UI に資産名を表示します。 データタイプ：文字列
items.asset.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"configuration_item": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.configuration_item.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのテキスト名。この値を使用して、UI に構成アイテム名を表示します。 データタイプ：文字列
items.configuration_item.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.consumer	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーの詳細。 注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.consumer.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
items.consumer.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルの詳細。 注: [コンシューマープロファイル] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer_profile": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.consumer_profile.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマープロファイル名を表示します。 データタイプ：文字列
items.consumer_profile.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.contact	インストールベースアイテムレコードを担当するアカウント連絡先の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"contact": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.contact.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先のテキスト名。この値を使用して、アカウントの連絡先名を UI に表示します。 データタイプ：文字列
items.contact.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

items.health_status	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスに関する詳細。プロアクティブカスタマーサービスオペレーション (com.snc.proactive_cs_itom) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"health_status": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

items.health_status.display_value	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI に健全性ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.health_status.value	インストールベースアイテムの健全性ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
items.health_status_last_updated	インストールベースアイテムの健全性ステータスが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列

items.household	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯に関する詳細。カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"household": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.household.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯のテキスト名。この値を使用して、UI に世帯名を表示します。 データタイプ：文字列
items.household.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。 データタイプ：文字列
items.install_date	インストールベースアイテムがアクティブになった日付に関する詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"install_date": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

items.install_date.display_value	インストール日をテキストで表示。UI にインストール日を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
items.install_date.value	インストール日の内部値。 データタイプ：文字列

items.location	インストールベースアイテムの場所に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"location": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.location.display_value	インストールベースアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所名を表示します。 データタイプ：文字列
items.location.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた場所レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
items.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

items.parent	インストールベースアイテムレコードの親レコードに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"parent": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.parent.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのテキスト名。この値を使用して、UI に親名を表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.parent.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.product	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルの詳細。この情報を使用して、製品モデルに関連付けられているサービスを識別します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.product.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのテキスト名。この値を使用して、UIに製品名を表示します。 データタイプ：文字列
items.product.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.service_context	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"service_context": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.service_context.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストのテキスト名。この値を使用して、UI にサービスコンテキスト名を表示します。 データタイプ：文字列
items.service_context.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.service_organization	インストールベースアイテムレコードに関連付けられているサービス組織の詳細。サービス組織 (com.snc.service_organization) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"service_organization": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

items.service_organization.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UIにサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列
items.service_organization.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
items.sys_id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。*sys_class_name*パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
items.sys_mod_count	関連付けられたインストールベースアイテムレコードが変更された回数。 データタイプ：文字列

items.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"state": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

items.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

items.status	インストールベースアイテムのステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"status": {
	"display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
items.status.display_value	インストールベースアイテムのステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.status.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

items.uninstall_date	インストールベースアイテムが非アクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"uninstall_date": {
	  "display_value": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

items.uninstall_date.display_value	テキストのアンインストール日。この値を使用して、UI にアンインストール日を表示します。 データタイプ：文字列
items.uninstall_date.value	アンインストール日の内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_depth	返された子インストールベースアイテムが階層内に存在する階層の深さのレベル数。 データタイプ：整数
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、オフセット 5 から始まる 1 つのレコードのみを返す単純な呼び出しを示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/v1/integrations/ins
tallbaseitems?sysparm_limit=1&sysparm_offset=5" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": "5",
    "sysparm_limit": 1,
    "has_more": true,
    "items": [
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM001100",
        "sys_id": "181df7ff530a1110539dddeeff7b12f4",
        "state": {
          "value": "in_use",
          "display_value": "In Use"
        },
        "sys_mod_count": "2",
        "active": "true",
        "configuration_item": {
          "sys_id": "62446ae8535e5510539dddeeff7b12db",
          "display_value": "boxeoproderp"
        },
        "name": "boxeoproderp",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、インストールベースアイテムテーブル内のフィールド *state* = "in_use" および *status* = "replacement" を検索する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems?state=in_use&status=replacement" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": "0",
    "sysparm_limit": "10",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "has_more": false,
  "items": [
    {
      "parent": {
        "sys_id": "ffd023f453de9910539dddeeff7b1264",
        "display_value": "Point of Sale System"
      },
      "sys_class_name": "sn_install_base_item",
      "number": "IBITM001140",
      "sys_id": "a1a123745312d910539dddeeff7b127b",
      "state": {
        "value": "in_use",
        "display_value": "In Use"
      },
      "install_date": {
        "value": "2018-12-14 07:00:00",
        "display_value": "2018-12-13 23:00:00"
      },
      "product": {
        "sys_id": "2dd1e7b753421110539dddeeff7b12d1",
        "display_value": "Stand"
      },
      "active": "true",
      "name": "Stand",
      "service_organization": {
        "sys_id": "42b51f5ab3401010700b4d43c6a8dc5a",
        "display_value": "LA City Center - West"
      },
      "status": {
        "value": "replacement",
        "display_value": "Replacement"
      }
    },
    {
      "parent": {
        "sys_id": "ffd023f453de9910539dddeeff7b1264",
        "display_value": "Point of Sale System"
      },
      "sys_class_name": "sn_install_base_item",
      "number": "IBITM001139",
      "sys_id": "d0916bb05312d910539dddeeff7b1232",
      "state": {
        "value": "in_use",
        "display_value": "In Use"
      },
      "install_date": {
        "value": "2018-12-14 07:00:00",
        "display_value": "2018-12-13 23:00:00"
      },
      "product": {
        "sys_id": "dfc127b753421110539dddeeff7b12ac",
        "display_value": "Register"
      },
      "active": "true",
      "name": "Register",
      "service_organization": {
        "sys_id": "42b51f5ab3401010700b4d43c6a8dc5a",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_value": "LA City Center - West"
        },
        "status": {
          "value": "replacement",
          "display_value": "Replacement"
        }
      },
      {
        "parent": {
          "sys_id": "ffd023f453de9910539dddeeff7b1264",
          "display_value": "Point of Sale System"
        },
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM001141",
        "sys_id": "ffb123745312d910539dddeeff7b12cb",
        "state": {
          "value": "in_use",
          "display_value": "In Use"
        },
        "install_date": {
          "value": "2018-12-14 07:00:00",
          "display_value": "2018-12-13 23:00:00"
        },
        "product": {
          "sys_id": "59e1e7b753421110539dddeeff7b12cc",
          "display_value": "Terminal"
        },
        "active": "true",
        "name": "Terminal",
        "service_organization": {
          "sys_id": "42b51f5ab3401010700b4d43c6a8dc5a",
          "display_value": "LA City Center - West"
        },
        "status": {
          "value": "replacement",
          "display_value": "Replacement"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


Example: cURL 要求

次のコード例は、 *related_party* および *responsibility* クエリ パラメーターを使用して戻り値をフィルター処理する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems?related_party=dc0185d94f341200025ba3618110c77c&responsibility=
c009bbedb3730010700b4d43c6a8dce" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": "0",
    "sysparm_limit": "10",
    "has_more": false,
    "items": [
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM0001004",
        "sys_id": "3ea014a778de1110f877d304c76fdd0d",
        "state": {
          "value": "in_use",
          "display_value": "In Use"
        },
        "consumer": {
          "sys_id": "feb5139ab3401010700b4d43c6a8dc43",
          "display_value": "Kenny Smith"
        },
        "product": {
          "sys_id": "63c8bc9778921110f877d304c76fdd34",
          "display_value": "X4 Sport Utility 4D"
        },
        "active": "true",
        "name": "X4 Sport Utility 4D",
        "status": {
          "value": "original",
          "display_value": "Original"
        }
      },
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM001003",
        "sys_id": "6e94e3c853500010df5dddeeff7b1234",
        "contact": {
          "sys_id": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
          "display_value": "Julie Lewis"
        },
        "active": "true",
        "configuration_item": {
          "sys_id": "a96a570453500010df5dddeeff7b1206",
          "display_value": "boxeosandbox"
        },
        "name": "Boxeo - Sandbox",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      },
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM0001010",
        "sys_id": "83332fde87e5a1105d0055373cbb3567",
        "contact": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "state": {
          "value": "in_use",
          "display_value": "In Use"
        },
        "install_date": {
          "value": "2023-02-26 18:59:52",
          "display_value": "2023-02-26 10:59:52"
        },
        "health_status": {
          "value": "not_available",
          "display_value": "Not Available"
        },
        "product": {
          "sys_id": "a9a2d0c3c6112276010db16c5ddd3461",
          "display_value": "Lenovo ThinkStation S20"
        },
        "active": "true",
        "configuration_item": {
          "sys_id": "affd3c8437201000deeabfc8bcbe5dc3",
          "display_value": "*BETH-IBM"
        },
        "name": "IB B2B",
        "location": {
          "sys_id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "display_value": "100 South Charles Street, Baltimore,MD"
        },
        "asset": {
          "sys_id": "bfc1fa8837f3100044e0bfc8bcbe5ddf",
          "display_value": "P1000228 - Lenovo ThinkStation S20"
        },
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        },
        "status": {
          "value": "original",
          "display_value": "Original"
        }
      },
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM0001011",
        "sys_id": "9d766f168729a1105d0055373cbb3597",
        "health_status": {
          "value": "not_available",
          "display_value": "Not Available"
        },
        "product": {
          "sys_id": "8583ce8237732000158bbfc8bcbe5dd9",
          "display_value": "Fujitsu 1TB Hybrid Solid State Drive"
        },
        "active": "true",
        "name": "IBA",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM0001013",
        "sys_id": "bd955a2687ada1100b6afc86dabb35fb",
        "health_status": {
          "value": "not_available",
          "display_value": "Not Available"
        },
        "consumer": {
          "sys_id": "59e788fbdb1b1200b6075200cf9619d2",
          "display_value": "Gilly Parker"
        },
        "product": {
          "sys_id": "1a13974053500010df5dddeeff7b122c",
          "display_value": "12000XHD Digital Press"
        },
        "active": "true",
        "name": "IBConsumer"
      },
      {
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
        "number": "IBITM0000901",
        "sys_id": "f77c7542b7343300ece839a6ee11a991",
        "product": {
          "sys_id": "8583ce8237732000158bbfc8bcbe5dd9",
          "display_value": "Fujitsu 1TB Hybrid Solid State Drive"
        },
        "active": "true",
        "name": "KX Series - KX5001",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitem/{id}**

指定されたインストールベースアイテムレコードとその子階層を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitem/{id}`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitem/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
sys_class_name	インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張するテーブルに目的のレコードがある場合、クエリーする拡張テーブルの名前。このテーブルは、sn_install_base_itemテーブルを拡張する必要があります。 データタイプ：文字列
sysparm_depth	返される子インストールベースアイテムの階層の最大深度。 データタイプ：整数 デフォルト値：7 最大: 10
sysparm_limit	各子階層で返すレコードの最大数。 データタイプ：整数 デフォルト値：10 最大：100

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

子インストールベース	指定されたインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテムレコードのリスト。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"childinstallbase": {`
	`  "items": [Array],`
	`  "sysparm_depth": Integer`
	`}`

childinstallbase.items	指定されたインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテム。 この配列内の値は、このセクションの下の方にある *items[]* 配列で定義されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
childinstallbase.sysparm_depth	インストールベースアイテムの子レベル。 データタイプ：整数
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_children	要求されたインストールベースアイテムレコードに子インストールベースアイテムレコードがあるかどうかを示すフラグ。 • true:子インストールベースアイテムレコードがあります。 • false:子インストールベースアイテムレコードがありません。 データタイプ：ブーリアン
item	指定したフィルター結果に一致したインストールベースアイテム。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"item": { "account": {Object}, "active": "String", "asset": {Object}, "configuration_item": {Object}, "consumer": {Object}, "consumer_profile": {Object}, "contact": {Object}, "health_status": "Object", "health_status_last_updated": "String", "household": {Object}, "install_date": {Object}, "location": {Object}, "name": "String", "number": "String", "parent": {Object}, "product": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"service_context": {Object},
	"service_organization" {Object},
	"sys_class_name": "String",
	"sys_id": "String",
	"state": {Object},
	"status": {Object},
	"uninstall_date": "String"
	}</pre>

item.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"account": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
item.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列

item.asset	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"asset": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.asset.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のテキスト名。この値を使用して、UI に資産名を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.asset.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"configuration_item": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.configuration_item.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのテキスト名。この値を使用して、UIに構成アイテム名を表示します。 データタイプ：文字列
item.configuration_item.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.consumer	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーの詳細。
	
	注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"consumer": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.consumer.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
item.consumer.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	注: [コンシューマープロファイル] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer_profile": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.consumer_profile.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマープロファイル名を表示します。 データタイプ：文字列
item.consumer_profile.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.contact	インストールベースアイテムレコードを担当するアカウント連絡先の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"contact": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.contact.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先のテキスト名。この値を使用して、アカウントの連絡先名を UI に表示します。 データタイプ：文字列
item.contact.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.health_status	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスに関する詳細。プロアクティブカスタマーサービスオペレーション (com.snc.proactive_cs_itom) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"health_status": { "display_value": "String", "value": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.health_status.display_value	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI に健全性ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.health_status.value	インストールベースアイテムの健全性ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.health_status_last_updated	インストールベースアイテムの健全性ステータスが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列

item.household	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯に関する詳細。カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"household": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.household.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯のテキスト名。この値を使用して、UI に世帯名を表示します。 データタイプ：文字列
item.household.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。 データタイプ：文字列

item.install_date	インストールベースアイテムがアクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"install_date": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.install_date.display_value	インストール日をテキストで表示。UI にインストール日を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
item.install_date.value	インストール日の内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

item.location	インストールベースアイテムの場所に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.location.display_value	インストールベースアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所名を表示します。 データタイプ：文字列
item.location.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた場所レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
item.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

item.parent	インストールベースアイテムレコードの親レコードに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.parent.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのテキスト名。この値を使用して、UI に親名を表示します。 データタイプ：文字列
item.parent.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.product	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルの詳細。この情報を使用して、製品モデルに関連付けられているサービスを識別します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

item.product.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのテキスト名。この値を使用して、UI に製品名を表示します。 データタイプ：文字列
item.product.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.service_context	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"service_context": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_context.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"service_context": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_context.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.service_organization	インストールベースアイテムレコードに関連付けられているサービス組織の詳細。サービス組織 (com.snc.service_organization) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"service_organization": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_organization.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UI にサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.service_organization.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
item.sys_id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。*sys_class_name* パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
item.sys_mod_count	関連付けられたインストールベースアイテムレコードが変更された回数。 データタイプ：文字列

item.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"state": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

item.status	インストールベースアイテムのステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"status": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.status.display_value	インストールベースアイテムのステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.status.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

item.uninstall_date	インストールベースアイテムが非アクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"uninstall_date": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.uninstall_date.display_value	テキストのアンインストール日。この値を使用して、UI にアンインストール日を表示します。 データタイプ：文字列
item.uninstall_date.value	アンインストール日の内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。関連付けられたインストールベースアイテムに子がありません。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitem/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "item": {
      "sys_class_name": "sn_install_base_item",
      "number": "IBITM0000901",
      "sys_id": "f77c7542b7343300ece839a6ee11a991",
      "product": {
        "sys_id": "8583ce8237732000158bbfc8bcbe5dd9",
        "display_value": "Fujitsu 1TB Hybrid Solid State Drive"
      },
      "active": "true",
      "name": "KX Series - KX5001",
      "account": {
        "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Boxeo"
      }
    },
    "hasChildren": "false"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、最大深度を 4 つの子レベルに指定して、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/e0a80e4b87b521100b6afc86dabb3565?depth=4" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "item": {
      "sys_class_name": "sn_install_base_item",
      "number": "IBITM0001073",
      "sys_id": "e0a80e4b87b521100b6afc86dabb3565",
      "health_status": {
        "value": "not_available",
        "display_value": "Not Available"
      },
      "active": "true",
      "name": "parent",
      "account": {
        "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
        "display_value": "Boxeo"
      }
    },
    "hasChildren": "true",
    "childinstallbase": {
      "sysparm_depth": 2,
      "items": [
        {
          "parent": {
            "sys_id": "e0a80e4b87b521100b6afc86dabb3565",
            "display_value": "parent"
          },
          "sys_class_name": "sn_install_base_item",
          "number": "IBITM0001074",
          "sys_id": "6db80e4b87b521100b6afc86dabb356b",
          "state": {
            "value": "in_use",
            "display_value": "In Use"
          },
          "health_status": {
            "value": "not_available",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "display_value": "Not Available"
          },
          "active": "true",
          "name": "child1",
          "account": {
            "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
            "display_value": "Boxeo"
          },
          "hasChildren": "true",
          "items": {
            "sysparm_depth": 3,
            "items": [
              {
                "parent": {
                  "sys_id": "6db80e4b87b521100b6afc86dabb356b",
                  "display_value": "child1"
                },
                "sys_class_name": "sn_install_base_item",
                "number": "IBITM0001075",
                "sys_id": "36ecce4b87b521100b6afc86dabb3503",
                "health_status": {
                  "value": "not_available",
                  "display_value": "Not Available"
                },
                "active": "true",
                "name": "childL2",
                "account": {
                  "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
                  "display_value": "Boxeo"
                },
                "hasChildren": "false"
              }
            ]
          }
        }
      ]
    }
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/cases**
指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたケースを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/cases`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/cases`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
フィールドの名前と値のペア	ケースレコードのフィルタリングに使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これはケース [sn_customerservice_case] テーブルのフィールドを参照します。*`sys_class_name`* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、承認フィールドが「却下」に設定され、カテゴリフィールドが「2」に設定されているレコードのみを返すには、`&approval=rejected&category=2` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張ケーステーブル (sn_customerservice_caseではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_customerservice_case
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`sysparm_offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *`sysparm_limit`* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	**Description** (説明)
ケース	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたケースのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"cases": [{ "account": "String", "active": Boolean, "active_account_escalation": "String", "active_escalation": "String", "activity_due": "String", "additional_assignee_list": "String", "approval": "String", "approval_history": "String", "approval_set": "String", "asset": "String", "assigned_on": "String", "assigned_to": "String", "assignment_group": "String", "auto_close": Boolean, "business_duration": "String", "business_impact": "String", "business_service": "String", "calendar_duration": "String", "case": "String", "case_report": "String", "category": Number, "cause": "String", "caused_by": "String", "change": "String", "child_case_creation_progress": Boolean, "closed_at": "String", "closed_by": "String", "close_notes: "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	"cmdb_ci": "String", "comments": "String", "comments_and_work_notes": "String", "company": "String", "consumer": "String", "contact": "String", "contact_local_time: "String", "contact_time_zone": "String", "contact_type": "String", "contract": "String", "contributor_groups": "String", "contributor_users": "String", "correlation_display": "String", "correlation_id": "String", "delivery_plan": "String", "delivery_task": "String", "description": "string", "due_date": "String", "entitlement": "String", "escalation": Number, "expected_start": "String", "first_response_time": "String", "follow_the_sun": Boolean, "follow_up": "String", "group_list": [Array], "impact": Number, "internal_user": "String", "initiated_as_request": Boolean, "knowledge": Boolean, "location": "String", "made_sla": Boolean, "major_case_state": "String", "needs_attention": Boolean, "notes_to_comments": Boolean, "notify": Number, "number": "String", "opened_at": "String", "opened_by": "String", "order": Number, "parent": "String", "partner": "String", "partner_contact": "String", "priority": Number, "proactive": Boolean, "probable_cause": "String", "problem": "String", "product": "String", "reassignment_count": Number, "recipient_list": "String", "rejection_goto": "String", "resolution_code": "String", "resolved_at": "String", "resolved_by": "String", "route_reason": "String", "service_offering": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	"short_description": "String", "skills": "String", "sla_due": "String", "sn_app_cs_social_social_profile": "String", "sold_product": "String", "stage": "String", "state": Number, "subcategory": Number, "support_manager" "String", "sync_driver": Boolean, "sys_class_name": "String", "sys_domain": "String", "sys_domain_path": "String", "sys_id": "String", "task_effective_number": "String", "time_worked": "String", "universal_request": "String", "upon_approval": "String", "upon_reject": "String", "urgency": Number, "user_input": "String", "variables": "String", "watch_list": [Array], "wf_activity": "String", "work_end": "String", "work_notes": "String", "work_notes_list": [Array], "work_start": "String"
Cases.Account	ケースに関連付けられたアカウントレコードの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Active	ケースがオープンかアクティブかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースはアクティブです。 • false：ケースはクローズされました。 データタイプ：ブール デフォルト：true
cases.active_account_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなアカウントエスカレーションの sys_id。エスカレーション [sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.active_escalation	ケースに関連付けられたアクティブなエスカレーションレコードのSys_id。エスカレーション

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	[sn_customerservice_escalation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.activity_due	関連付けられたケースの完了予定日。 データタイプ：文字列
cases.additional_assignee_list	アカウントにアサインされた追加の個人 (プライマリアサイニーを除く) のsys_idsのリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 最大：4,000
Cases.Approval	必要な承認のタイプを説明する文字列。 可能な値： • approved • cancelled • duplicate • not_required • not requested • rejected • requested データタイプ：文字列 最大文字数：40 デフォルト：not requested
cases.approval_history	ケースに関連付けられているすべての承認のリスト。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
cases.approval_set	関連するアクションが承認された日時。 データタイプ：文字列
cases.asset	ケースに関連付けられた資産レコードの sys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.assigned_on	*assigned_to* パラメーターで識別されたユーザーにケースがアサインされた日時。 データタイプ：文字列 (日付)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	最大長：40
cases.assigned_to	ケースにアサインされたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.assignment_group	ケースにアサインされたカスタマーサービスエージェントグループの sys_id。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.auto_close	ケースが自動的にクローズされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースは自動的にクローズされました • false:ケースは自動クローズされませんでした データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
cases.business_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の作業時間、作業日数、および作業週数。 データタイプ：文字列
cases.business_impact	関連する顧客に対する問題の影響。 データタイプ：文字列 最大文字数：4,000
cases.business_service	ケースに関連付けられたサービスレコードの sys_id。サービス [cmdb_ci_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.calendar_duration	ケースの完了までにかかったカレンダー上の時間、日数、および週数。 データタイプ：文字列 (期間) 最大長：40
Cases.Case	ケースの簡単な説明とケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：300
cases.case_report	関連するケースレポートの sys_id。ケースレポート [sn_customerservice_case_report] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	データタイプ：文字列
Cases.Category	ケースカテゴリ。 可能な値： • 0：質問 • 1：問題 • 2：機能 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cases.cause	問題の原因に関する詳細。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cases.caused_by	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Change	ケースが作成される原因となった変更要求の sys_id。変更要求 [change_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.child_case_creation_progress	ケースが重大なケースから作成された子ケースであるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：重大なケースから作成された子ケース • false：子ケースではありません データタイプ：ブール
cases.closed_at	ケースがクローズされた日時。 データタイプ：文字列
cases.closed_by	ケースをクローズしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.close_notes	ケースがクローズされたときに作成されたメモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
cases.cmdb_ci	ケースに関連付けられた構成アイテムの sys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Comments	ケースに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cases.comments_and_work_notes	ケースに対して入力されたコメントと作業メモ。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
ケース.会社	ケースに関連付けられた会社の sys_id。会社 [core_company] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Consumer	企業/消費者間ケースのみ。このケースに関して連絡する人物のSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Contact	企業間ベースのケースのみ。このケースに関する連絡担当者の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.contact_local_time	連絡先の現地時間。 データタイプ：文字列 最大長：70
cases.contact_time_zone	ケースに関連付けられた連絡先のタイムゾーン。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.contact_type	ケースが最初にレポートされた方法。 可能な値： • chat • email • phone • social • web

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	データタイプ：文字列 最大長：40
Cases.Contract	ケースに関連付けられた契約の sys_id。契約 [ast_contract] テーブルにあります。この契約には、ケースに関連付けられた会社に提供されるサポートのタイプに関する情報が含まれています。契約には会社と連絡先、および対象となる特定の資産が含まれる場合があります。1 つの契約に、複数のサービスエンタイトルメントと SLA を含めることもできます。 データタイプ：文字列
cases.contributor_groups	ケースに貢献したユーザーグループの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.contributor_users	ケースに貢献したユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.correlation_display	相関ディスプレイ。 データタイプ：文字列 最大長：100
cases.correlation_id	相関識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
cases.delivery_plan	このケースの親実行計画の sys_id。実行計画 [sc_cat_item_delivery_plan] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.delivery_task	実行計画タスクの sys_id。実行計画タスク [sc_cat_item_delivery_task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.description	ケースに関連する問題の詳細な説明。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cases.due_date	ケースのクローズ予定日。 データタイプ：文字列
cases.entitlement	ケースに関連付けられたエンタイトルメントレコードの sys_id。エンタイトルメント [service_entitlement]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	テーブルにあります。エンタイトルメントによって、顧客が受けるサポートのタイプやサポートされるコミュニケーションチャネルが定義されます。エンタイトルメントは、製品、資産、アカウント、契約に関連付けることができます。 データタイプ：文字列
Cases.Escalation	現在のエスカレーションレベル。 可能な値： • 0：通常 • 1：中 • 2：高 • 3：期限切れ データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
cases.expected_start	ケースの作業開始予定日時。 データタイプ：文字列
cases.first_response_time	ケースに対して最初のアクションが実行された日時。 データタイプ：文字列
cases.follow_the_sun	ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があるかどうかを示すフラグ。 顧客が [優先度 1：重大] または [優先度 2 - 高] のケースにさらにコメントを入力した場合、またはケースが昇格された場合は、このフラグが自動的に true に設定されます。 可能な値： • true：ケースをグローバルフォローアップに渡す必要があります • false:ケースをグローバルフォローアップに渡すべきではありません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
cases.follow_up	次のフォローアップアクションの日時。 データタイプ：文字列
cases.group_list	ケースに関連付けられたグループレコードの sys_id のリスト。グループ [sys_user_group] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	データタイプ：アレイ
Cases.Impact	顧客への影響。 可能な値： • 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
cases.internal_user	このケースの内部ユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.initiated_as_request	この照会が顧客による要求として開始されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：照会は顧客によって開始されました。 • false:照会は顧客によって開始されませんでした。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
ケース.ナレッジ	指定された問題に利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：この問題に利用可能なナレッジベース記事があります • false：この問題に利用可能なナレッジベース記事がありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
Cases.Location	会社の場所を説明するレコードの sys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.made_sla	ケースが関連するサービスレベルアグリーメントに従って解決されたかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	• true：SLA に従ってケースが解決されました • false：SLA に従ってケースが解決されませんでした データタイプ：ブール デフォルト：true
cases.major_case_state	重大なケースの現在のステータス。 可能な値： • accepted：マネージャーが重大なケースを作成したとき、またはマネージャーが候補ケースを昇格させたときの初期ステータス。 • canceled：ケースがキャンセルされました。 • proposed：エージェントまたはマネージャーが候補ケースを作成または提案したときの初期ステータス。 • rejected：マネージャーが候補ケースを却下しました。 データタイプ：文字列 最大長：40
needs_attention	ケースに注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ケースに追加の注意が必要です • false：ケースに追加の注意は必要ありません データタイプ：ブール デフォルト値：false
cases.notes_to_comments	解決メモをコメントに追加するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：解決メモを追加すると、コメントにも追加されます • false：コメント内の解決メモは必要ありません データタイプ：ブール
cases.notify	連絡先/コンシューマーに通知するために使用する方法。 可能な値： • 1：通知しない • 2：メール送信 • 3：電話

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
cases.number	ケース番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.opened_at	ケースがオープンされた日時。 データタイプ：文字列
cases.opened_by	ケースを最初にオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Order	ケースの順序。 データタイプ：数値 (整数)
cases.parent	このケース (子) が関連付けられている親ケースの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Partner	ケースに関連付けられたパートナーの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.partner_contact	ケースに関連付けられたパートナーの連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.priority	ケースの優先度。 可能な値： • 1：重大 • 2：高 • 3：中 • 4：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：4
Cases.Proactive	照会がプロアクティブに監視されているかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	• true：プロアクティブに監視されています。 • false：監視されていません。 データタイプ：ブール デフォルト ：false
cases.probable_cause	ケースに関連する問題の考えられる原因。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
Cases.Problem	顧客に発生している問題の sys_id。問題 [problem] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
ケース.製品	ケースに関連付けられた資産の製品モデルの sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。モデルとは、「Apple Mac Book Pro」など、資産の特定のバージョンや構成のことです。 データタイプ：文字列
cases.reassignment_count	ケースを進行させる担当者にケースが再アサインされた回数。 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
cases.recipient_list	このケースに関するコミュニケーションの受信者のリストを含むレコードの sys_id。受信者リスト [sn_publications_recipients_list] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.rejection_goto	ケースが却下された場合に実行するタスクの sys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.resolution_code	ケースの解決ステータス (「Solved - サポートによって解決/ガイダンスの提供」など)。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.resolved_at	ケースが解決された日時。 データタイプ：文字列
cases.resolved_by	ケースを解決したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	データタイプ：文字列
cases.route_reason	ケースが別のアサイニーにルーティングされた理由。 データタイプ：数値 (整数) 最大長：40
cases.service_offering	支払照会に関連付けられたサービスオファリングの Sys_id。サービスオファリングは、可用性、スコープ、価格設定、およびパッケージングのオプションに関して、サービスのレベルを一意に定義します。サービスオファリング [service_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.short_description	ケースの簡潔な説明。 データタイプ：文字列 最大長：160
Cases.Skills	ケースを完了するために必要なスキルの一意の識別子 (sys_id) のリスト。スキル [cmn_skill] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.sla_due	関連するサービスレベルアグリーメントに基づいてケースをクローズする必要がある日時。 データタイプ：文字列
cases.sn_app_cs_social_social_profile	ケースに関連付けられたソーシャルメディアプロファイルの sys_id。ソーシャルプロファイル [sn_app_cs_social_social_profile] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.sold_product	関連付けられた製品の sys_id。販売済み製品テーブル [sn_install_base_sold_product] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Cases.Stage	[完了してクローズ]、[却下してクローズ]、[ドキュメントの確認]、[認証] などの照会のステージ。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.state	ケースの現在のステータス。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	• 1：新規 • 3：クローズ済み • 6：解決済み • 10：オープン • 18：情報待ち データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：1
Cases.Subcategory	ケースのサブカテゴリ。 可能な値： 0：質問 データタイプ：数値 (整数) デフォルト：0
cases.support_manager	ケースにアサインされた CSM マネージャーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.sync_driver	ドライバーの同期があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ドライバーは同期されています • false:ドライバーが同期されていません データタイプ：ブーリアン
cases.sys_class_name	ケースレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 最大長：80
cases.sys_domain	ケースに関連付けられたドメイン。 データタイプ：文字列 最大長：32 デフォルト：global
cases.sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列 最大長：255 デフォルト：/

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
cases.sys_id	ケースの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32
cases.task_effective_number	識別番号。 タスクにユニバーサル要求が関連付けられている場合、それは UR 番号です。それ以外の場合は、現在のタスク番号です。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.time_worked	ケースの合計作業時間。 データタイプ：文字列
cases.universal_request	この照会が含まれているユニバーサルタスクのSys_id。タスク [task] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.upon_approval	ケースが承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：proceed
cases.upon_reject	ケースが却下された場合に実行するアクション。 可能な値： • cancel • goto データタイプ：文字列 最大長：40 デフォルト：cancel
cases.urgency	ケースの緊急度。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
	• 1 ：高 • 2 ：中 • 3：低 データタイプ：数値 (整数) デフォルト値：3
cases.user_input	追加のユーザー入力。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cases.variables	ケースに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：文字列 最大長：40
cases.watch_list	追加のコメントが追加された場合、またはケースのステータスが「解決済み」または「クローズ済み」に変更された場合に、このケースに関する通知を受信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
cases.wf_activity	ケースに関連付けられたワークフローアクティビティレコードの sys_id。ワークフローアクティビティ [wf_activity] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
cases.work_end	ケースの作業が終了した日時。 データタイプ：文字列
cases.work_notes	ケースの解決方法に関する情報、またはケースの解決手順。 データタイプ：文字列 最大長：4,000
cases.work_notes_list	作業メモが追加されたときに、このケースについての通知を受け取る内部ユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
cases.work_start	ケースの作業が開始された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Description (説明)
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 応答では、ブール値のパラメーター *hasMore* が返されます。フィルター基準を満たす、返されるレコードがまだあるかどうかを示します。 データタイプ：数値 デフォルト：10
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset +sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/1474a3c853500010df5dddeeff7b12ec/cases" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される結果：


```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 10,
    "has_more": false,
    "cases": [
      {
        "upon_reject": {
          "value": "cancel",
          "display_value": "Cancel all future Tasks"
        },
        "number": "CS0001034",
        "initiated_as_request": "0",
        "state": "1",
        "case": "Performance is impacted with latest updateCS0001034",
        "knowledge": "0",
        "impact": "3",
        "contract": {
          "sys_id": "495e16b96f0731003b3c498f5d3ee4af",
          "display_value": "CNTR0000603"
        },
        "active": "1",
        "auto_created_case": "0",
        "priority": "4",
        "sys_domain_path": "/",
        "child_case_creation_progress": "0",
        "sync_driver": "0",
        "needs_attention": "0",
        "short_description": "Performance is impacted with latest
 update",
        "notify": "1",
        "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
        "reassignment_count": "0",
        "notes_to_comments": "0",
        "hierarchical_variables": "variable_pool",
        "escalation": "0",
        "upon_approval": {
          "value": "proceed",
          "display_value": "Proceed to Next Task"
        },
        "made_sla": "1",
        "task_effective_number": "CS0001034",
        "opened_by": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
        "contact": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
        "follow_the_sun": "0",
        "entitlement": {
          "sys_id": "1eb7893a6f1b31003b3c498f5d3ee4dd",
          "display_value": "24x7 Customer Support"
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "opened_at": {
          "value": "2023-03-20 14:53:51",
          "display_value": "2023-03-20 07:53:51"
        },
        "case_report": {
          "sys_id": "85e8604c87f521100b6afc86dabb35b9",
          "display_value": "CSR0010014"
        },
        "subcategory": "0",
        "install_base": {
          "sys_id": "1474a3c853500010df5dddeeff7b12ec",
          "display_value": "Boxeo - Development"
        },
        "proactive": "0",
        "auto_close": "0",
        "sys_id": "92c8684087b521105d0055373cbb357e",
        "contact_type": {
          "value": "web",
          "display_value": "Web"
        },
        "urgency": "3",
        "approval": {
          "value": "not requested",
          "display_value": "Not Yet Requested"
        },
        "category": "1",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      },
      {
        "upon_reject": {
          "value": "cancel",
          "display_value": "Cancel all future Tasks"
        },
        "number": "CS0001008",
        "initiated_as_request": "0",
        "state": "1",
        "case": "Test AlertCS0001008",
        "knowledge": "0",
        "impact": "3",
        "active": "1",
        "auto_created_case": "0",
        "priority": "1",
        "sys_domain_path": "/",
        "child_case_creation_progress": "0",
        "sync_driver": "0",
        "needs_attention": "1",
        "short_description": "Test Alert",
        "notify": "1",
        "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
        "reassignment_count": "0",
        "notes_to_comments": "0",
        "hierarchical_variables": "variable_pool",
        "escalation": "0",
        "upon_approval": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": "proceed",
        "display_value": "Proceed to Next Task"
      },
      "made_sla": "1",
      "task_effective_number": "CS0001008",
      "opened_by": {
        "sys_id": "08c83021acbe7300964fca436af2bb97",
        "display_value": "noc_operator "
      },
      "follow_the_sun": "0",
      "opened_at": {
        "value": "2023-03-15 08:02:58",
        "display_value": "2023-03-15 01:02:58"
      },
      "case_report": {
        "sys_id": "a4fa9d9a872d61105d0055373cbb356e",
        "display_value": "CSR0010005"
      },
      "subcategory": "0",
      "proactive": "1",
      "auto_close": "0",
      "sys_id": "60ea199a872d61105d0055373cbb35c9",
      "contact_type": {
        "value": "proactive",
        "display_value": "Alert"
      },
      "alert": {
        "sys_id": "506a559a872d61105d0055373cbb3581",
        "display_value": "Alert0010008"
      },
      "urgency": "3",
      "action_status": "4",
      "approval": {
        "value": "not requested",
        "display_value": "Not Yet Requested"
      },
      "category": "1"
    },
    {
      "upon_reject": {
        "value": "cancel",
        "display_value": "Cancel all future Tasks"
      },
      "number": "CS0001033",
      "initiated_as_request": "0",
      "state": "1",
      "case": "System is downCS0001033",
      "knowledge": "0",
      "impact": "3",
      "contract": {
        "sys_id": "495e16b96f0731003b3c498f5d3ee4af",
        "display_value": "CNTR0000603"
      },
      "active": "1",
      "auto_created_case": "0",
      "priority": "4",
      "sys_domain_path": "/",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "child_case_creation_progress": "0",
        "sync_driver": "0",
        "needs_attention": "0",
        "short_description": "System is down",
        "notify": "1",
        "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
        "reassignment_count": "0",
        "notes_to_comments": "0",
        "hierarchical_variables": "variable_pool",
        "escalation": "0",
        "upon_approval": {
          "value": "proceed",
          "display_value": "Proceed to Next Task"
        },
        "made_sla": "1",
        "task_effective_number": "CS0001033",
        "opened_by": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
        "contact": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
        "follow_the_sun": "0",
        "entitlement": {
          "sys_id": "1eb7893a6f1b31003b3c498f5d3ee4dd",
          "display_value": "24x7 Customer Support"
        },
        "opened_at": {
          "value": "2023-03-20 14:52:48",
          "display_value": "2023-03-20 07:52:48"
        },
        "case_report": {
          "sys_id": "64b86c0c87f521100b6afc86dabb35fc",
          "display_value": "CSR0010013"
        },
        "subcategory": "0",
        "install_base": {
          "sys_id": "1474a3c853500010df5dddeeff7b12ec",
          "display_value": "Boxeo - Development"
        },
        "proactive": "0",
        "auto_close": "0",
        "sys_id": "7c98a04087b521105d0055373cbb352e",
        "contact_type": {
          "value": "web",
          "display_value": "Web"
        },
        "urgency": "3",
        "approval": {
          "value": "not requested",
          "display_value": "Not Yet Requested"
        },
        "category": "1",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_value": "Boxeo"
        }
      },
      {
        "upon_reject": {
          "value": "cancel",
          "display_value": "Cancel all future Tasks"
        },
        "number": "CS0001048",
        "initiated_as_request": "0",
        "state": "1",
        "case": "AIB with Single accountCS0001048",
        "knowledge": "0",
        "impact": "3",
        "active": "1",
        "auto_created_case": "0",
        "priority": "4",
        "sys_domain_path": "/",
        "child_case_creation_progress": "0",
        "sync_driver": "0",
        "needs_attention": "1",
        "short_description": "AIB with Single account",
        "notify": "1",
        "sys_class_name": "sn_customerservice_case",
        "reassignment_count": "0",
        "notes_to_comments": "0",
        "hierarchical_variables": "variable_pool",
        "escalation": "0",
        "upon_approval": {
          "value": "proceed",
          "display_value": "Proceed to Next Task"
        },
        "made_sla": "1",
        "task_effective_number": "CS0001048",
        "opened_by": {
          "sys_id": "08c83021acbe7300964fca436af2bb97",
          "display_value": "noc_operator "
        },
        "contact": {
          "sys_id": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
          "display_value": "Julie Lewis"
        },
        "follow_the_sun": "0",
        "opened_at": {
          "value": "2023-03-24 03:28:58",
          "display_value": "2023-03-23 20:28:58"
        },
        "case_report": {
          "sys_id": "4082be81877161100b6afc86dabb35fe",
          "display_value": "CSR0010023"
        },
        "subcategory": "0",
        "proactive": "1",
        "auto_close": "0",
        "sys_id": "6a723e81877161100b6afc86dabb35cf",
        "contact_type": {
          "value": "proactive",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_value": "Alert"
        },
        "alert": {
          "sys_id": "6b227681877161100b6afc86dabb35d5",
          "display_value": "Alert0010094"
        },
        "urgency": "3",
        "action_status": "4",
        "approval": {
          "value": "not requested",
          "display_value": "Not Yet Requested"
        },
        "category": "1",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/childinstallbaseitems**

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた子インストールベースアイテムを返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/childinstallbaseitems`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/childinstallbaseitems`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	子インストールベースアイテムレコードをフィルタリングするために使用するフィールドと値のペア。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。*sys_class_name* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、state フィールドが "in_use" に設定され、status フィールドが "replacement" に設定されているレコードのみを返すには、`&state=in_use&status=replacement` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張インストールベースアイテムテーブル (sn_install_base_itemではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_item
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列

アイテム	指定したフィルター結果に一致したインストールベースアイテムのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	"items":[
	  {
	  "account": {Object},
	  "active": "String",
	  "asset": {Object},
	  "configuration_item": {Object},
	  "consumer": {Object},
	  "consumer_profile": {Object},
	  "contact": {Object},
	  "health_status": {Object},
	  "health_status_last_updated":
	"String",
	  "household": {Object},
	  "install_date": {Object},
	  "location": {Object},
	  "name": "String",
	  "number": "String",
	  "parent": {Object},
	  "product": {Object},
	  "service_context": {Object},
	  "service_organization" {Object},
	  "sys_class_name": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "sys_mod_count": "String",
	  "state": {Object},
	  "status": {Object},
	  "uninstall_date": "String"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>

items.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"account": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
items.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列

items.asset	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"asset": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.asset.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のテキスト名。この値を使用して、UI に資産名を表示します。 データタイプ：文字列
items.asset.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"configuration_item": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.configuration_item.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのテキスト名。この値を使用して、UIに構成アイテム名を表示します。 データタイプ：文字列
items.configuration_item.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.consumer	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーの詳細。 注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
items.consumer.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
items.consumer.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルの詳細。 注: [コンシューマープロファイル] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer_profile": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

items.consumer_profile.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマープロファイル名を表示します。 データタイプ：文字列
items.consumer_profile.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.contact	インストールベースアイテムレコードを担当するアカウント連絡先の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"contact": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

items.contact.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先のテキスト名。この値を使用して、アカウントの連絡先名を UI に表示します。 データタイプ：文字列
items.contact.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.health_status	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスに関する詳細。プロアクティブカスタマーサービスオペレーション (com.snc.proactive_cs_itom) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"health_status": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

items.health_status.display_value	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI に健全性ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.health_status.value	インストールベースアイテムの健全性ステータスの内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.health_status_last_updated	インストールベースアイテムの健全性ステータスが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列

items.household	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯に関する詳細。カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"household": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.household.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯のテキスト名。この値を使用して、UI に世帯名を表示します。 データタイプ：文字列
items.household.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。 データタイプ：文字列

items.install_date	インストールベースアイテムがアクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"install_date": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

items.install_date.display_value	インストール日をテキストで表示。UI にインストール日を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
items.install_date.value	インストール日の内部値。 データタイプ：文字列

items.location	インストールベースアイテムの場所に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sys_id": "String" }</pre>
items.location.display_value	インストールベースアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所名を表示します。 データタイプ：文字列
items.location.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた場所レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
items.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

items.parent	インストールベースアイテムレコードの親レコードに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"parent": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.parent.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのテキスト名。この値を使用して、UI に親名を表示します。 データタイプ：文字列
items.parent.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.product	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルの詳細。この情報を使用して、製品モデルに関連付けられているサービスを識別します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"product": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

items.product.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのテキスト名。この値を使用して、UI に製品名を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.product.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.service_context	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"service_context": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.service_context.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストのテキスト名。この値を使用して、UI にサービスコンテキスト名を表示します。 データタイプ：文字列
items.service_context.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

items.service_organization	インストールベースアイテムレコードに関連付けられているサービス組織の詳細。サービス組織 (com.snc.service_organization) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"service_organization": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

items.service_organization.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UI にサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列
items.service_organization.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
items.sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.sys_id	インストールベースアイテムレコードの Sys_id。*sys_class_name* パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
items.sys_mod_count	関連付けられたインストールベースアイテムレコードが変更された回数。 データタイプ：文字列
items.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"state": { "display_value": "String", "value": "String" }`
items.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
items.status	インストールベースアイテムのステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"status": { "display_value": "String", "value": "String" }`
items.status.display_value	インストールベースアイテムのステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
items.status.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
items.uninstall_date	インストールベースアイテムが非アクティブになった日付に関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"uninstall_date": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

items.uninstall_date.display_value	テキストのアンインストール日。この値を使用して、UI にアンインストール日を表示します。 データタイプ：文字列
items.uninstall_date.value	アンインストール日の内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_depth	返された子インストールベースアイテムが階層内に存在する階層の深さのレベル数。 データタイプ：整数
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/767f34d378d21110f877d304c76fdd2a/childinstallbaseitems?sysparm
_limit=1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 1,
    "has_more": true,
    "items": [
      {
        "parent": {
          "sys_id": "767f34d378d21110f877d304c76fdd2a",
          "display_value": "X5 Sport Utility 4D"
        },
        "sys_class_name": "sn_install_base_item",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "number": "IBITM0001005",
        "sys_id": "0704dfcc39265110f87734024cfbc222",
        "state": {
          "value": "in_use",
          "display_value": "In Use"
        },
        "consumer": {
          "sys_id": "bab5139ab3401010700b4d43c6a8dc41",
          "display_value": "Charles Barkley"
        },
        "product": {
          "sys_id": "56c84f0439265110f87734024cfbc233",
          "display_value": "Electric Power-Assist Speed-Sensing Steering"
        },
        "active": "true",
        "name": "Electric Power-Assist Speed-Sensing Steering",
        "status": {
          "value": "original",
          "display_value": "Original"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/contracts**
指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた契約を返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/contracts`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/contracts`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	契約レコードのフィルタリングに使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これは契約 [ast_contract] テーブルのフィールドを参照します。*sys_class_name* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、更新可能フィールドが「true」に設定されているレコードのみを返すには、 `&renewable=true` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張契約テーブル (ast_contractではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:ast_contract
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)
契約	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた契約のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	"contracts": [
	{
	"active": "String",
	"approver": {Object},
	"commitment": "String",
	"consumer": {Object},
	"cost_adjustment": "String",
	"cost_adjustment_percentage": "String",
	"cost_per_unit": "String",
	"contract_composite": "String",
	"ends": "String",
	"expiration": {Object},
	"lifetime_cost": "String",
	"monthly_cost": "String",
	"number": "String",
	"payment_amount": "String",
	"payment_schedule": {Object},
	"ratecard": "String",
	"renewable": "String",
	"sales_tax": "String",
	"short_description": "String",
	"starts": "String",
	"state": {Object},
	"sub_total_cost": "String",
	"sys_class_name": "String",
	"sys_domain_path": "String",
	"sys_id": "String",
	"tax_cost": "String",
	"tax_exempt": "String",
	"tax_rate": "String",
	"total_cost": "String",
	"vendor_contract": "String",
	"yearly_cost": "String"
	}
	]

契約.有効	契約がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:契約はアクティブです。 • false:契約は非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列

契約.承認者	契約を承認する権限を持つ人物に関する詳細。
	データタイプ: オブジェクト
	"approver": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
contracts.approver.display_value	契約レコードに関連付けられた承認者のテキスト名。この値を使用して、UI に承認者名を表示します。 データタイプ：文字列
contracts.approver.sys_id	契約レコードに関連付けられた承認者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
契約.消費者	契約レコードに関連付けられたコンシューマーに関する詳細。 注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
contracts.consumer.display_value	契約レコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
contracts.consumer.sys_id	契約レコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
contracts.cost_adjustment	契約に適用された費用調整のタイプ 可能な値： • 修正済み • マニュアル • CPI(消費者物価指数) データタイプ：文字列
contracts.cost_adjustment_percentage	契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。 データタイプ：文字列
contracts.cost_per_unit	製品プロバイダーからのユニット当たりのコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
contracts.ends	契約が終了する日付。 データタイプ：文字列
contracts.expiration	関連付けられた契約の有効期限切れステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"expiration": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
contracts.expiration.display_value	関連付けられた契約の有効期限ステータス。この値を使用して、UI に有効期限ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
contracts.expiration.sys_id	契約レコードに関連付けられた有効期限レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
contracts.lifetime_cost	契約のライフタイム コスト。 データタイプ：文字列
contracts.monthly_cost	契約の月次コスト。 データタイプ：文字列
contracts.number	契約番号。 データタイプ：文字列
contracts.payment_amount	この契約の受領者に直接支払われた金額。 データタイプ：文字列
contracts.payment_schedule	契約に関連付けられた支払スケジュールの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"payment_schedule": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
contracts.payment_schedule.display_value	関連付けられた契約の支払スケジュール。この値を使用して、UI に支払いスケジュールを表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
contracts.payment_schedule.value	日次、週次、月次など、この契約の支払いスケジュールの内部値。 データタイプ：文字列
Contracts.RateCard	この契約に関連付けられたレート カード があるかどうかを示すフラグ。レートケア [fm_contract_rate_card] テーブルにあります。 可能な値： • true:レートカード。 • false:レートカードなし。 データタイプ:ブール文字列
契約.更新可能	契約が更新可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:契約は更新可能です。 • false:契約は更新できません。 データタイプ:ブール文字列
contracts.sales_tax	この契約によって参照されるアイテムに対して消費税が請求されるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:売上税が課税されます。 • false:売上税はかかりません。 データタイプ:ブール文字列
contracts.short_description	契約の簡単な説明。 データタイプ：文字列
契約.開始	契約の開始日。 データタイプ：文字列

contracts.state	契約の現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"state": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

contracts.state.display_value	契約の現在の状態を示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
contracts.state.value	内部値または契約のステータス。 データタイプ：文字列
contracts.sub_total_cost	契約のコストの小計。 データタイプ：文字列
contracts.sys_class_name	契約レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
contracts.sys_domain_path	この契約が利用可能なドメインへのパス。 データタイプ：文字列 デフォルト: "/" = グローバルドメイン
contracts.sys_id	関連付けられた契約レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
contracts.tax_cost	契約にかかる合計税額。 このフィールドは、該当する税フィールドが [営業] として選択されている場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
contracts.tax_exempt	この契約に関連付けられたアイテムが非課税かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:アイテムは非課税です。 • false:アイテムは非課税ではありません。 データタイプ:ブール文字列
contracts.tax_rate	契約に関連付けられた課税対象アイテムに課される税率。 データタイプ：文字列
contracts.total_cost	調整適用後の契約の最終費用。契約に 1 つ以上のレートカードがある場合、このフィールドにはすべてのレートカードの合計値が表示されます。 データタイプ：文字列
contracts.vendor_contract	ベンダーの契約番号。 データタイプ：文字列
contracts.yearly_cost	契約の 1 年当たりのコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/167e96f053961910539dddeeff7b1298/contracts" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される結果：


```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 10,
    "has_more": false,
    "contracts": [
      {
        "cost_adjustment_percentage": "0",
        "total_cost": "0",
        "cost_adjustment": "0",
        "tax_rate": "7.75",
        "number": "CNTR0000701",
        "tax_cost": "0",
        "sub_total_cost": "0",
        "state": {
          "value": "expired",
          "display_value": "Expired"
        },
        "starts": "2016-07-01",
        "contract_composite": "CoolMate KL300 1 year Limited
 Warranty\n\t\tCNTR0000701",
        "tax_exempt": "false",
        "yearly_cost": "0",
        "active": "true",
        "payment_amount": "0",
        "commitment": "0",
        "sys_domain_path": "/",
        "payment_schedule": {
          "value": "Monthly",
          "display_value": "Monthly"
        },
        "renewable": "true",
        "expiration": {
          "sys_id": "c752e78ec3103000c111113e5bba8f3a",
          "display_value": "Expired"
        },
        "short_description": "CoolMate KL300 1 year Limited
 Warranty\n\t\t",
        "ratecard": "false",
        "sys_class_name": "ast_contract",
        "sys_id": "3f9db778c3302200e7c7d44d81d3ae0a",
        "ends": "2017-06-30",
        "consumer": {
          "sys_id": "59e788fbdb1b1200b6075200cf9619d2",
          "display_value": "Gilly Parker"
        },
        "approver": {
          "sys_id": "f2c0b27247702000cdd1706eecde27c8",
          "display_value": "Software Manager"
        },
        "monthly_cost": "0",
        "vendor_contract": "CNTR0000701",
        "lifetime_cost": "0",
        "sales_tax": "true",
        "cost_per_unit": "0"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```

インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/entitlements**

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたエンタイトルメントを返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/entitlements`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/entitlements`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	エンタイトルメントレコードをフィルタリングするために使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これはエンタイトルメント [service_entitlement] テーブルのフィールドを参照します。*`sys_class_name`* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、アクティブなレコードのみを返すには、 `&active=true` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張されたエンタイトルメントテーブル (service_entitlementではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルト:service_entitlement
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)
エンタイトルメント	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたエンタイトルメントのリスト。 データタイプ: オブジェクト `"entitlements": { "account": {Object}, "active": "String", "business_hour": {Object}, "contract": {Object}, "end_date": "String", "entitlement_name": "String", "install_base_item": {Object}, "per_unit": "String", "start_date": "String", "sys_id": "String", "total_units": "String", "remaining_units": "String", "unit": {Object} }`
entitlements.account	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアカウントの詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"account": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

entitlements.account.display_value	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアカウントのテキスト名。この値を使用して、UI にアカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
entitlements.account.sys_id	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
entitlements.active	エンタイトルメントがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • 0:エンタイトルメントはアクティブではありません。 • 1:エンタイトルメントはアクティブです。 データタイプ：文字列 デフォルト値：1

entitlements.business_hour	エンタイトルメントレコードの営業時間に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"business_hour": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

entitlements.business_hour.display_value	エンタイトルメントレコードに関連付けられた営業時間レコードのテキスト名。UI に営業時間を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
entitlements.business_hour.sys_id	エンタイトルメントレコードに関連付けられた営業時間レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

entitlements.contract	エンタイトルメントレコードに関連付けられた契約の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"contract": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

entitlements.contract.display_value	エンタイトルメントレコードに関連付けられた契約のテキスト名。UI に契約名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
entitlements.contract.sys_id	エンタイトルメントレコードに関連付けられた契約レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
entitlements.end_date	エンタイトルメントの終了日。 データタイプ：文字列
entitlements.entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列

entitlements.install_base_item	エンタイトルメントレコードに関連付けられたインストールベースアイテムの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"install_base_item": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

entitlements.install_base_item.display_value	エンタイトルメントレコードに関連付けられたインストールベースアイテムのテキスト名。UI にインストールベースアイテム名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
entitlements.install_base_item.sys_id	エンタイトルメントレコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
entitlements.per_unit	単位内の製品の数。たとえば、 *unit* が ケースの場合、ケースあたりのアイテム数が 12 であれば、この値は 12 になります。 データタイプ：文字列
entitlements.start_date	エンタイトルメントの開始日。 データタイプ：文字列
entitlements.sys_id	関連付けられたエンタイトルメントレコードのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
entitlements.total_units	最初に利用可能だったユニットの数。 データタイプ：文字列
entitlements.remaining_units	残りのユニットの数。 データタイプ：文字列

entitlements.unit	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアイテムの単位に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"unit": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

entitlements.unit.display_value	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアイテムの単位のテキスト名。この値を使用して、UI にユニット名を表示します。 データタイプ：文字列
entitlements.unit.value	エンタイトルメントレコードに関連付けられたアイテムの単位の内部名。 データタイプ：文字列

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ:ブール文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/42746a3b876121100b6afc86dabb3597/entitlements" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 10,
    "has_more": false,
    "entitlements": [
      {
        "end_date": "2023-04-28",
        "remaining_units": "4978",
        "business_hour": {
          "sys_id": "08fcd0830a0a0b2600079f56b1adb9ae",
          "display_value": "8-5 weekdays"
        },
        "entitlement_name": "Entitlement",
        "sys_id": "7206095d87f121105d0055373cbb3504",
        "total_units": "5000",
        "start_date": "2023-03-27",
        "contract": {
          "sys_id": "495e16b96f0731003b3c498f5d3ee4af",
          "display_value": "CNTR0000603"
        },
        "active": "1",
        "install_base_item": {
          "sys_id": "42746a3b876121100b6afc86dabb3597",
          "display_value": "KX Series - KX5000"
        },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "unit": {
          "value": "cases",
          "display_value": "Cases"
        },
        "per_unit": "0",
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET /sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/maintenanceplans

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたメンテナンス計画を返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/maintenanceplans`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/maintenanceplans`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
フィールドの名前と値のペア	メンテナンス計画レコードのフィルタリングに使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これはメンテナンス計画 [sm_maint_plan] テーブルのフィールドを参照します。*`sys_class_name`* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、アクティブなレコードのみを返すには、 `&active=true` を渡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	(メンテナンス計画ではなく) 拡張メンテナンス計画テーブルを使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:maintenanceplans
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列
メンテナンス計画	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられたメンテナンス計画のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"maintenanceplans": [{ "active": "String", "apply_to_new": "String", "allow_future_wo": "String", "maintenance_override_policy": {Object}, "model": "String", "name": "String", "number": "String", "propagation_flag": "String", "sys_class_name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "type": {Object} }]`
メンテナンス計画。能動	メンテナンス計画がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:メンテナンス計画はアクティブです。 • false:メンテナンス計画は非アクティブです。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。apply_to_new	このメンテナンス計画に対して定義されたスケジュールが、前回の計画実行以降に指定されたテーブルに追加されたすべてのレコードに適用され、フィルター条件に入力された条件を満たしているかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• true:すべての新規レコードに適用されます。 • false:すべての新しいレコードには適用されません。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。allow_future_wo	作業指示をメンテナンス計画に関連付けることができるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:新しい作業指示を関連付けることができます。 • false:新しい作業指示を関連付けることはできません。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。maintenance_override_policy	メンテナンス計画のメンテナンス上書きポリシーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"maintenance_override_policy": { "display_value": "String", "value": "String" }`
メンテナンス計画。maintenance_override_policy。display_value	上書きポリシーを説明するテキスト文字列。この値を使用して、UI に上書きポリシーを表示します。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。maintenance_override_policy。価値	上書きポリシーの内部値。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。モデル	メンテナンス計画に関連付けられたモデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。数	メンテナンス計画番号。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。propagation_flag	メンテナンス計画を伝搬できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:メンテナンス計画を伝搬できます。 • false:メンテナンス計画を伝搬できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
メンテナンス計画。sys_class_name	メンテナンス計画レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。sys_id	関連付けられたメンテナンス計画のSys_id。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。テーブル	関連するインストールベース時間レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列

メンテナンス計画。種類	メンテナンス計画のタイプに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

メンテナンス計画。種類。display_value	メンテナンス計画タイプを説明するテキスト文字列。この値を使用して、UI にタイプを表示します。 データタイプ：文字列
メンテナンス計画。種類。価値	メンテナンス計画タイプの内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/167e96f053961910539dddeeff7b1298/maintenanceplans" \
--request GET \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：


```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 1,
    "has_more": true,
    "maintenanceplans": [
      {
        "propagation_flag": "false",
        "active": "true",
        "type": {
          "value": "install_base",
          "display_value": "Install base"
        },
        "maintenance_override_policy": {
          "value": "do_nothing",
          "display_value": "Leave alone"
        },
        "sys_class_name": "wm_planned_work_plan",
        "allow_future_wo": "true",
        "sys_id": "0b809d70877561105d0055373cbb357f",
        "number": "WP0001026",
        "name": "Plan 10",
        "model": "8583ce8237732000158bbfc8bcbe5dd9",
        "apply_to_new": "true",
        "table": "sn_install_base_item"
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET /sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた関係者を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	関係者レコードをフィルタリングするために使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、こ [sn_install_base_related_party] テーブルのフィールドを参照します。*sys_class_name* で別の 場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、特定のアカウントと責任者をフィルタリングする場合は、2 つのレコードのsys_ids & `account=86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca&responsibility=c009bbedb37300107` を渡します。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張された関係者テーブル (sn_install_base_related_partyではない) を使用する場合、クエリー 名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_related_party
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメー コード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコード 場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネー の機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコード たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定され す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達する 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列
関係者	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた関係者のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedparties": [ { "account": {Object}, "consumer": {Object}, "contact": {Object}, "install_base_item": {Object}, "responsibility": {Object}, "service_organization": {Object}, "sys_class_name": "String", "sys_id": "String", "type": {Object}, "user": {Object} } ]`
relatedparties.account	関係者レコードに関連付けられたアカウントの詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>account": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

relatedparties.account.display_value	関係者レコードに関連付けられたアカウントのテキスト名。この値を使用して、UI にアカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
relatedparties.account.sys_id	関係者レコードに関連付けられたアカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

relatedparties.consumer	関係者レコードに関連付けられているコンシューマーに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"consumer": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

relatedparties.consumer.display_value	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
relatedparties.consumer.sys_id	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

relatedparties.contact	関係者レコードを担当するアカウント連絡先の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"contact": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

relatedparties.contact.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のテキスト名。この値を使用して、UI に連絡先名を表示します。 データタイプ：文字列
relatedparties.contact.sys_id	関係者レコードに関連付けられた連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedparties.install_base_item	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"install_base_item": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
relatedparties.install_base_item.display_value	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムのテキスト名。UI にインストールベースアイテム名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
relatedparties.install_base_item.sys_id	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedparties.responsibility	インストールベース情報のアクセスレベルに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"responsibility": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
relatedparties.responsibility.display_value	インストールベース情報のアクセスレベルのテキスト表示値。 データタイプ：文字列
relatedparties.responsibility.sys_id	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。責任の定義 [sn_customerservice_responsibility_def] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *related_party* フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、 *related_party* パラメーターと *responsibility* パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については次を参照してください。 受領したアイテムの関係者を構成する データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
relatedparties.service_organization	関係者レコードに関連付けられているサービス組織の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"service_organization": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
relatedparties.service_organization.display_value	関係者レコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UI にサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列
relatedparties.service_organization.sys_id	関係者レコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedparties.sys_class_name	関係者レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_related_party
relatedparties.sys_id	関連付けられた関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedparties.type	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"type": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
relatedparties.type.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプのテキスト名。この値を使用して、連絡先のタイプを UI に表示します。詳細については、「ケース、販売済み製品、インストールベース、サービス組織への関係者構成の追加」を参照してください。 可能なタイプ: • 承認済みアカウント • 認定コンシューマー • 認定連絡先 • 認定貢献者

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたアカウント • リストされたコンシューマー • リストされた連絡先 • リストされた貢献者 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 データタイプ：文字列
relatedparties.type.sys_id	関係者レコードに関連付けられたタイプレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedparties.user	関係者レコードに関連付けられているユーザーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"user": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
relatedparties.user.display_value	関係者レコードに関連付けられたユーザーのテキスト名。この値を使用して、UI にユーザー名を表示します。 データタイプ：文字列
relatedparties.user.sys_id	関係者レコードに関連付けられたユーザーレコードのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/42746a3b876121100b6afc86dabb3597/relatedparties" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：


```
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 10,
    "has_more": false,
    "relatedparties": [
      {
        "type": {
          "sys_id": "68ec8b2965e99110f87764df53db779f",
          "display_value": "Authorized Contact"
        },
        "install_base_item": {
          "sys_id": "42746a3b876121100b6afc86dabb3597",
          "display_value": "KX Series - KX5000"
        },
        "sys_class_name": "sn_install_base_related_party",
        "sys_id": "8547774087f561100b6afc86dabb351a",
        "responsibility": {
          "sys_id": "c009bbedb3730010700b4d43c6a8dcef",
          "display_value": "Authorized Representative"
        },
        "contact": {
          "sys_id": "dc0185d94f341200025ba3618110c77c",
          "display_value": "Cindy Contact"
        },
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/soldproducts**

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた販売済み製品レコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/soldproducts`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/soldproducts`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
フィールドの名前と値のペア	関係者レコードをフィルタリングするために使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これは販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルのフィールドを参照します。*`sys_class_name`*で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、特定のアカウントに販売された製品をフィルタリングする場合は、次のようなものを渡します。ここで、渡される値はアカウントのsys_idです: `&account=86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca` データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張販売済み製品テーブル (sn_install_base_sold_product ではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_sold_product
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`sysparm_offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列

販売済み製品	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた販売済み製品のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"soldproducts":[`
	`  {`
	`  "account": {Object},`
	`  "contact": {Object},`
	`  "name": "String",`
	`  "number": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"product": {Object},
	"sys_class_name": "String",
	"sys_id": "String",
	"state": {Object}
	}
	]</pre>

soldproducts.account	製品レコードに関連付けられているアカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>account": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

soldproducts.account.display_value	製品レコードに関連付けられたアカウントのテキスト名。この値を使用して、UI にアカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
soldproducts.account.sys_id	製品レコードに関連付けられたアカウントレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列

販売済み製品.連絡先	製品を担当するアカウント担当者に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"contact": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

soldproducts.contact.display_value	製品に関連付けられた連絡先のテキスト名。この値を使用して、UI に連絡先名を表示します。 データタイプ：文字列
soldproducts.contact.sys_id	製品レコードに関連付けられた連絡先レコードの Sys_id。 データタイプ：文字列
soldproducts.name	製品の名前。 データタイプ：文字列
SoldProducts.Number	製品番号。 データタイプ：文字列
soldproducts.sys_class_name	製品レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
soldproducts.sys_id	関連付けられた製品の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
soldproducts.state	製品の現在のステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"state": { "display_value": "String", "value": "String" }`
soldproducts.state.display_value	製品の現在の状態を示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
SoldProducts.State.Value	製品のステータスの内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991/soldproducts?sysparm_limit=1"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 1,
    "has_more": true,
    "soldproducts": [
      {
        "product": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "sys_id": "a9a2d0c3c6112276010db16c5ddd3461",
          "display_value": "Lenovo ThinkStation S20"
        },
        "sys_class_name": "sn_install_base_sold_product",
        "number": "SLPRD0001008",
        "sys_id": "17a3a7128729a1105d0055373cbb35fb",
        "contact": {
          "sys_id": "ddce70866f9331003b3c498f5d3ee417",
          "display_value": "George Warren"
        },
        "name": "SP B2B",
        "state": {
          "value": "active",
          "display_value": "Active"
        },
        "account": {
          "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
          "display_value": "Boxeo"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:GET **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/workorders**

指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた作業指示を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/workorders`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/workorders`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
フィールドの名前と値のペア	関係者レコードをフィルタリングするために使用するフィールドと値のペア。デフォルトでは、これは販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルのフィールドを参照します。*sys_class_name* で別のテーブルを指定する場合は、そのテーブルのフィールドを指定します。 1 つ以上のフィールドと値のペアを渡して、戻り値をフィルタリングできます。 たとえば、特定のアカウントに販売された製品をフィルタリングする場合は、次のようなものを渡します。ここで、渡される値はアカウントのsys_idです: `&account=86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca`。 データタイプ：文字列 デフォルト：すべてのフィールド
sys_class_name	拡張販売済み製品テーブル (sn_install_base_sold_product ではない) を使用する場合、クエリーする拡張テーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_sold_product
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト値：10
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
has_more	返すレコードがテーブルにまだあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:返されるレコードの数が増えます。 • false:返すレコードはありません。 データタイプ:ブール文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列
作業指示	指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けられた作業指示書のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"workorders":[{ "active": "String", "approval": {Object}, "billable": "String", "escalation": "String", "has_appointment": "String", "hierarchical_variables": "String", "impact": "String", "install_base_item": {Object}, "is_catalog": "String", "knowledge": "String", "location": {Object}, "made_sla": "String", "needs_attention": "String", "number": "String", "opened_at": {Object}, "opened_by": {Object}, "opened_for": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	"priority": "String", "reassignment_count": "String", "reschedule_maintenance_if_canceled": "String", "short_description": "String", "sla_suspended": "String", "state": "String", "sys_class_name": "String", "sys_domain_path": "String" "sys_id": "String", "task_created": "String", "task_effective_number": "String", "template_workflow_invoked": "String", "upon_approval": {Object}, "upon_reject": {Object}, "urgency": "String" }]
WorkOrders.Active	作業指示がアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:作業指示はアクティブです。 • false:作業指示書は非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列

workorders.approval	作業指示の現在の承認プロセスに関する詳細。
	データタイプ: オブジェクト
	"approval": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}

作業指示。approval.display_value	承認プロセスの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI に承認ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
作業指示。approval.value	承認プロセスのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
作業指示。請求	作業指示書が請求可能かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:作業指示は請求可能です。 • false:作業指示は請求対象ではありません

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ:ブール文字列
作業指示。エスカレーション	作業指示のエスカレーションのレベル。 データタイプ：文字列
作業指示。has_appointment	作業指示にスケジュールされた予約があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:作業指示に予約があります。 • false:作業指示に予約がありません。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。install_base_item	作業指示レコードに関連付けられたインストールベースアイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"install_base_item": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
作業指示。install_base_item。display_value	作業指示レコードに関連付けられたインストールベースアイテムのテキスト名。UI にインストールベースアイテム名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
作業指示。install_base_item.sys_id	作業指示レコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
作業指示。is_catalog	がカタログの一部であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:作業指示はカタログの一部です。 • false:作業指示はカタログの一部ではありません。 データタイプ:ブール文字列
WorkOrders.Knowledge	指定された作業指示書の問題で利用可能なナレッジベース記事があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:この問題のナレッジベース記事が利用可能です。 • false:この問題のナレッジベース記事は利用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ:ブール文字列

WorkOrders.Location	作業が必要なアイテムの場所に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

作業指示。場所。display_value	作業するアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所を表示します。 データタイプ：文字列
作業指示。場所。sys_id	作業指示レコードに関連付けられた場所レコードの Sys_id。 データタイプ：文字列
作業指示。made_sla	作業指示書に関連付けられた作業が、関連付けられたサービスレベルアグリーメント (SLA) を満たしているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:SLA が満たされました。 • false:SLA が満たされていませんでした。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。needs_attention	この作業指示に注意が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:作業指示には注意が必要です。 • false:作業指示に注意は必要ありません。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。数	作業指示を識別するために使用される一意の番号。 データタイプ：文字列

作業指示。opened_at	作業指示がいつオープンされたかについての詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"opened_at": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

作業指示。opened_at。display_value	作業指示がオープンされた日時。この値を使用して、UI に値を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
作業指示。opened_at。価値	作業指示がオープンされた日時。 データタイプ：文字列

作業指示。opened_by	作業指示書をオープンした人物に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"opened_by": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

作業指示。opened_by。display_value	作業指示をオープンしたユーザーのテキスト名。この値を使用して、この名前を UI に表示します。 データタイプ：文字列
作業指示。opened_by。sys_id	作業指示をオープンしたユーザーのユーザーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

workorders.opened_for	*opened_by*担当者と異なる場合、作業指示書がオープンされた担当者に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"opened_for": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

作業指示。opened_for。display_value	作業指示書のオープン対象者のテキスト名。この値を使用して、この名前を UI に表示します。 データタイプ：文字列
作業指示。opened_for。sys_id	作業指示書がオープンされたユーザーのユーザーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
WorkOrders.Priority	作業指示の優先度。 データタイプ：文字列
作業指示。reassignment_count	作業指示を先に進める担当者に作業指示書が再アサインされた回数。 データタイプ：文字列
作業指示。reschedule_maintenance_if_canceled	関連する作業指示がキャンセルされた場合に作業を再スケジュールするかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	可能な値： • true:作業を再スケジュールします。 • false:作業を再スケジュールする前にチェックします。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。short_description	作業指示書に関連付けられた作業を説明する簡単なテキスト。 データタイプ：文字列
作業指示。sla_suspended	作業指示書に関連付けられた SLA が一時停止されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:SLA が一時停止されました。 • false:SLA は一時停止されていません。 データタイプ:ブール文字列
workorders.state	作業指示の現在のステータス。 データタイプ：文字列
作業指示。sys_class_name	作業指示レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
作業指示。sys_domain_path	ドメインパス。 データタイプ：文字列
workorders.sys_id	関連付けられた作業指示レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
作業指示。task_created	この作業指示に対してタスクが作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:この作業指示に対してタスクが作成されました。 • false:タスクはこの作業指示に対して作成されていません。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。task_effective_number	作業指示を識別するために使用される一意の番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
作業指示。template_workflow_invoked	この作業指示書に対して関連ワークフローが呼び出されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:ワークフローが呼び出されました。 • false:ワークフローは呼び出されていません。 データタイプ:ブール文字列
作業指示。upon_approval	作業指示が承認された場合に実行する次のアクションに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"upon_approval": { "display_value": "String", "value": "String" }`
作業指示。upon_approval。display_value	作業指示書が承認された場合に実行するアクションのテキスト文字列。この値を UI に表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
作業指示。upon_approval。価値	作業指示書が承認された場合に実行するアクション。 可能な値： • do_nothing • proceed データタイプ：文字列
作業指示。upon_reject	作業指示が却下された場合に実行する次のアクションに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"upon_reject": { "display_value": "String", "value": "String" }`
作業指示。upon_reject。display_value	作業指示が却下された場合に実行するアクションのテキスト文字列。この値を UI に表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
作業指示。upon_reject。価値	作業指示が却下された場合に実行するアクション。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• cancel • goto データタイプ：文字列
WorkOrders.Urgency	作業指示の緊急度。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991/workorders?sysparm_limit=1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": 0,
    "sysparm_limit": 10,
    "has_more": false,
    "workorders": [
      {
        "upon_reject": {
          "value": "cancel",
          "display_value": "Cancel all future Tasks"
        },
        "number": "WO0010372",
        "state": "1",
        "template_workflow_invoked": "false",
        "knowledge": "false",
        "impact": "3",
        "active": "true",
        "priority": "4",
        "sys_domain_path": "/",
        "sla_suspended": "false",
        "needs_attention": "false",
        "short_description": "Test WO1",
        "sys_class_name": "wm_order",
        "reschedule_maintenance_if_canceled": "true",
        "reassignment_count": "0",
        "hierarchical_variables": "variable_pool",
        "opened_for": {
          "sys_id": "85453c616fc331003b3c498f5d3ee4fa",
          "display_value": "Jodi Seals"
        },
        "install_base_item": {
          "sys_id": "42746a3b876121100b6afc86dabb3597",
          "display_value": "KX Series - KX5000"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        "has_appointment": "false",
        "escalation": "0",
        "upon_approval": {
          "value": "proceed",
          "display_value": "Proceed to Next Task"
        },
        "spam": "false",
        "made_sla": "true",
        "is_catalog": "false",
        "task_effective_number": "WO0010372",
        "opened_by": {
          "sys_id": "85453c616fc331003b3c498f5d3ee4fa",
          "display_value": "Jodi Seals"
        },
        "opened_at": {
          "value": "2023-03-20 13:33:22",
          "display_value": "2023-03-20 06:33:22"
        },
        "task_created": "false",
        "sys_id": "19761cc087b521100b6afc86dabb352f",
        "urgency": "3",
        "approval": {
          "value": "not requested",
          "display_value": "Not Yet Requested"
        },
        "billable": "false",
        "location": {
          "sys_id": "1cd145bc230701107667l3d1d7bf654f",
          "display_value": "2866 Stevens Creek Blvd,Santa Clara,CA"
        }
      }
    ],
    "status": "SUCCESS"
  }
}
```


インストールベースアイテム:PATCH **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}**

指定されたインストールベースアイテムレコードを指定されたフィールド値で更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
アカウント	アカウントのインストールベースアイテムを作成するときに必要です。 インストールベースアイテムに関連付けるアカウントの Sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 注: *account* パラメーターを渡す場合、*consumer* パラメーターを渡すことはできません。 データタイプ：文字列
active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true、"true"、または"0":アイテムはアクティブです。 • false、"false"、または "1":アイテムはアクティブではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true
資産	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の Sys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_install_base_items	このインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテムのリスト。 注: 次の子インストールベースアイテムフィールドは、その親と異なるものであってはなりません。 • アカウント • consumer • contact • サービス組織

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"child_install_base_items": [ { "name": "String", "product": "String" } ]`
child_install_base_items.name	子インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
child_install_base_items.製品	関連付けられた子ベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのSys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	コンシューマーのインストールベースアイテムを作成するときに必要です。 インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 **注:** *consumer* パラメーターを渡す場合、*account* パラメーターを渡すことはできません。また、コンシューマーをインストールベースアイテムに関連付けることができるのは、インスタンスに B2B2C プラグインがインストールされている場合のみです。 データタイプ：文字列
consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのSys_id。消費者プロファイル [sn_csm_consumer_profile] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	インストールベースアイテムを主に担当するアカウント連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 **注:** 連絡先は、アカウントのインストールベースアイテムに対してのみ指定できます。 データタイプ：文字列
世帯	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	注: このフィールドは、カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ有効です。 データタイプ：文字列
install_date	インストールベースアイテムがアクティブになる日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-MM-dd HH:mm:ss
場所	関連製品の場所のSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
番号	インストールベースアイテムの一意の識別子。 データタイプ：文字列 デフォルト:エンドポイントによって自動的に生成されます。
親	このインストールベースアイテムレコードの親レコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product_model	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのSys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
数量	インストールされたアイテムの数。 データタイプ：整数
service_context	イベント管理から影響の重大度を計算するために基礎となる CI に関連付けられているサービスのSys_id。詳細については、「インストールベースのサービス健全性ステータス」を参照してください。 注: このフィールドは、イベント管理によるプロアクティブカスタマーサービスオペレーションプラグインがインストールされている場合にのみ有効です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
service_organization	サービス組織のインストールベースアイテムを作成するときに必要です。 顧客にサービスを提供する際に関係するサービス組織レコードのSys_id。サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 注: このパラメーターを渡す場合、account、contact、または consumer パラメーターも渡さないでください。*service_organization*パラメーターは、Service Organization (com.snc.service_organization) プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ：文字列
state	インストールベースアイテムの現在のステータス。 有効な値： • in_use • inactive データタイプ：文字列
status	製品のステータス。 有効な値： • オリジナル • 置換 データタイプ：文字列
sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを更新する拡張インストールベーステーブルの名前。 データタイプ：文字列
uninstall_date	インストールベースが非アクティブになる日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-MM-dd HH:mm:ss

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

item	更新されたインストールベースアイテムに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"item": {`
	`  "account": {Object},`
	`  "active": Boolean,`
	`  "name": "String",`
	`  "number": "String",`
	`  "state": {Object},`
	`  "sys_class_name": {Object},`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"account": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
item.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列
item.name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
item.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"state": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.sys_class_name	インストールベースアイテムを含むテーブルの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"sys_class_name": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.sys_class_name.display_value	インストールベースアイテムを含むテーブルの名前のテキスト文字列。この値を使用して、UI にテーブル名を表示します。 データタイプ：文字列
item.sys_class_name.value	インストールベースアイテムを含むテーブルの内部値 データタイプ：文字列
item.sys_id	インストールベースアイテムレコードの Sys_id。*sys_class_name* パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、インストールベースアイテムレコードの名前とアクティブフィールドを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"name\": \"KX Series - KX5001\",
  \"active\":true
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "item": {
      "sys_class_name": {
        "value": "sn_install_base_item",
        "display_value": "Install Base Item"
      },
      "number": "IBITM0001001",
      "sys_id": "bc610d38cb76211050501ebfe8076d8b",
      "state": {
        "value": "inactive",
        "display_value": "Inactive"
      },
      "active": "false",
      "name": "NewTestIB",
      "account": {
        "sys_id": "8637a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
        "display_value": "Boxeo"
      }
    }
  }
}

}
```

インストールベースアイテム:PATCH /sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}

指定されたインストールベースアイテムに関連付けられた指定された関係者レコードを、要求本文の値で更新します。

インストールベースアイテムに関連付けられた関係者のタイプを変更する必要がある場合は、現在の関係者タイプのタイプ固有フィールドを削除し、新しい関係者タイプのタイプ固有フィールドに置き換える必要があります。たとえば、承認済みアカウントの種類から認定コンシューマーに変更するには、以下を渡します。

- *type* = 「認定コンシューマー」
- *account* = ""
- *consumer* = "コンシューマーレコードの<sys_id>"
- *responsibility* =「消費者の責任<sys_id>」

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties/{related_party_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
related_party_sys_id	関係者レコードのSys_id。デフォルトでは、これはインストールベース関連パーティ [sn_install_base_related_party] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
アカウント	*type*パラメーターが次のいずれかの場合は必須です。 • 承認済みアカウント • 認定連絡先 • リストされたアカウント • リストされた連絡先 インストールベースアイテムに関連付けるアカウントのSys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 注: *account* パラメーターを渡す場合、*consumer* パラメーターを渡すことはできません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
consumer	*type*パラメーターが [認定コンシューマー] または [リストされたコンシューマー] の場合は必須です。 インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 注: *consumer*パラメーターを渡す場合、*account*パラメーターを渡すことはできません。また、コンシューマーをインストールベースアイテムに関連付けることができるのは、インスタンスに B2B2C プラグインがインストールされている場合のみです。 データタイプ：文字列
contact	関係者レコードに関連付けられた連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
責任	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。責任の定義 [sn_customerservice_responsibility_def] テーブルにあります。 このパラメーターは、*related_party*フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、*related_party*パラメーターと*responsibility*パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については次を参照してください。 受領したアイテムの関係者を構成する データタイプ：文字列
service_organization	*type*パラメーターが次のいずれかの場合は必須です。 • 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 顧客にサービスを提供する際に関係するサービス組織レコードのSys_id。サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 注: このパラメーターを渡す場合、account、contact、または consumer パラメーターも渡さないでください。*service_organization*パラメーターは、Service Organization (com.snc.service_organization) プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ：文字列
sys_class_name	関係者レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト:sn_install_base_related_party
type	必須。作成する関係者のタイプのSys_id。関係者構成 [sn_customerservice_related_party_configuration] テーブルにあります。 可能なタイプ: • 承認済みアカウント • 認定コンシューマー • 認定連絡先 • 認定貢献者 • 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたアカウント • リストされたコンシューマー • リストされた連絡先 • リストされた貢献者 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 データタイプ：文字列
user	*type*パラメーターが次のいずれかの関係者タイプである場合は必須です。 • 認定貢献者 • 認定メンバー • リストされた貢献者 • リストされたメンバー 関係者レコードに関連付けられたユーザーレコードのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 認定メンバーおよびリストメンバーの場合、このユーザーは指定された*service_organization*レコードに関連付けられている必要があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

item	関係者レコードの詳細。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"item": {`
	`  "account": {Object},`
	`  "consumer": {Object},`
	`  "contact": {Object},`
	`  "install_base_item": {Object},`
	`  "responsibility": {Object},`
	`  "service_organization": {Object},`
	`  "sys_class_name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "type": {Object},`
	`  "user": {Object}`
	`}`

item.account	関係者レコードに関連付けられたアカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`account": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.account.display_value	関係者レコードに関連付けられたアカウントのテキスト名。この値を使用して、UI にアカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
item.account.sys_id	関係者レコードに関連付けられたアカウントレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列

item.consumer	関係者レコードに関連付けられているコンシューマーに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"consumer": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.consumer.display_value	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.consumer.sys_id	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.contact	関係者レコードを担当するアカウント連絡先の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"contact": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.contact.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のテキスト名。この値を使用して、UI に連絡先名を表示します。 データタイプ：文字列
item.contact.sys_id	関係者レコードに関連付けられた連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

item.install_base_item	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"install_base_item": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.install_base_item.display_value	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムのテキスト名。UI にインストールベースアイテム名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
item.install_base_item.sys_id	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.responsibility	インストールベース情報のアクセスレベルに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"responsibility": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.responsibility.display_value	インストールベース情報のアクセスレベルのテキスト表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.responsibility.sys_id	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。責任の定義 [sn_customerservice_responsibility_def] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *related_party* フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、 *related_party* パラメーターと *responsibility* パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については次を参照してください。 受領したアイテムの関係者を構成する データタイプ：文字列
item.sys_class_name	関係者レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_related_party
item.sys_id	関連付けられた関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.type	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.type.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプのテキスト名。この値を使用して、連絡先のタイプを UI に表示します。詳細については、「ケース、販売済み製品、インストールベース、サービス組織への関係者構成の追加」を参照してください。 可能なタイプ: • 承認済みアカウント • 認定コンシューマー • 認定連絡先 • 認定貢献者 • 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたアカウント • リストされたコンシューマー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• リストされた連絡先 • リストされた貢献者 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 データタイプ：文字列
item.type.sys_id	関係者レコードに関連付けられたタイプレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列
item.user	関係者レコードに関連付けられているユーザーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"user": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.user.display_value	関係者レコードに関連付けられたユーザーのテキスト名。この値を使用して、UI にユーザー名を表示します。 データタイプ：文字列
item.user.sys_id	関係者レコードに関連付けられたユーザーレコードの Sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット (開始点)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、関係者に関連付けられた取引先担当者レコードを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/relate
dparties/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"contact\": \"dc0185d94f341200025ba3618110c77c\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
"result":
  {
    "type": {
      "display_value":"Authorized Contact",
      "sys_id":"68ec8b2965e99110f87764df53db779f"
    },
    "install_base_item": {
      "display_value":"KX Series - KX5000",
      "sys_id":"f77c7542b7343300ece839a6ee11a991"
    },
    "sys_class_name":"sn_install_base_related_party",
    "sys_id":"4659539814ac6910f877ae314c1fb43a",
    "responsibility": {
      "display_value":"Authorized Representative",
      "sys_id":"c009bbedb3730010700b4d43c6a8dcef"
    },
    "contact": {
      "display_value":"Cindy Contact",
      "sys_id":"dc0185d94f341200025ba3618110c77c"
    },
    "account": {
      "display_value":"Boxeo",
      "value":"86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
    },
    "status":"SUCCESS",
  }
}
```

インストールベースアイテム:PATCH /sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/uninstall

指定されたインストールベースアイテムをアンインストールします。

アンインストールは、[*active*] フィールドを `false` に設定し、[*unistall_date*] フィールドを指定された日付に設定することで構成されます。日付値が指定されていない場合は空です。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/uninstall`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/uninstall`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
uninstall_date	指定されたインストールベースアイテムをアンインストールする日付。指定しない場合は、すぐにアンインストールされます。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

item	アンインストールされたアイテムの説明。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"item": {`
	`  "account": {Object},`
	`  "active": "String",`
	`  "asset": {Object},`
	`  "configuration_item": {Object},`
	`  "consumer": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"consumer_profile": {Object},
	"contact": {Object},
	"health_status": {Object},
	"health_status_last_updated":
	"String",
	"household": {Object},
	"install_date": {Object},
	"location": {Object},
	"name": "String",
	"number": "String",
	"parent": {Object},
	"product": {Object},
	"service_context": {Object},
	"service_organization" {Object},
	"sys_class_name": "String",
	"sys_id": "String",
	"state": {Object},
	"status": {Object},
	"uninstall_date": "String"
	}</pre>

item.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"account": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
item.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列
item.asset	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ: オブジェクト `"asset": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.asset.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のテキスト名。この値を使用して、UI に資産名を表示します。 データタイプ：文字列
item.asset.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.child_install_base_items	このインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテムのリスト。 注: 次の子インストールベースアイテムフィールドは、その親と異なるものであってはなりません。 • アカウント • consumer • contact • サービス組織 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"child_install_base_items": [ { "name": "String", "product": "String" } ]`
item.child_install_base_items.name	子インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
item.child_install_base_items.製品	関連付けられた子ベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
item.configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"configuration_item": { "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

item.configuration_display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのテキスト名。この値を使用して、UI に構成アイテム名を表示します。 データタイプ：文字列
item.configuration_sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.consumer	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーの詳細。
	
	注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"consumer": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.consumer.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
item.consumer.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルの詳細。
	
	注: [コンシューマープロファイル] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"consumer_profile": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.consumer_profile.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマープロファイル名を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.consumer_profile.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.contact	インストールベースアイテムレコードを担当するアカウント連絡先の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"contact": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.contact.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先のテキスト名。この値を使用して、アカウントの連絡先名を UI に表示します。 データタイプ：文字列
item.contact.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.health_status	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスに関する詳細。プロアクティブカスタマーサービスオペレーション (com.snc.proactive_cs_itom) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"health_status": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.health_status.display_value	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI に健全性ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.health_status.value	インストールベースアイテムの健全性ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.health_status_last_updated	インストールベースアイテムの健全性ステータスが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

item.household	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯に関する詳細。カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"household": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.household.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯のテキスト名。この値を使用して、UI に世帯名を表示します。 データタイプ：文字列
item.household.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。 データタイプ：文字列

item.install_date	インストールベースアイテムがアクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"install_date": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.install_date.display_value	インストール日をテキストで表示。UI にインストール日を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
item.install_date.value	インストール日の内部値。 データタイプ：文字列

item.location	インストールベースアイテムの場所に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.location.display_value	インストールベースアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所名を表示します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.location.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた場所レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
item.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

item.parent	インストールベースアイテムレコードの親レコードに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.parent.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのテキスト名。この値を使用して、UI に親名を表示します。 データタイプ：文字列
item.parent.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.product	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルの詳細。この情報を使用して、製品モデルに関連付けられているサービスを識別します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.product.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのテキスト名。この値を使用して、UI に製品名を表示します。 データタイプ：文字列
item.product.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.quantity	インストールされたアイテムの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：整数
item.service_context	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"service_context": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.service_context.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"service_context": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.service_context.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.service_organization	インストールベースアイテムレコードに関連付けられているサービス組織の詳細。サービス組織 (com.snc.service_organization) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"service_organization": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.service_organization.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UIにサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列
item.service_organization.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.sys_id	インストールベースアイテムレコードの Sys_id。*sys_class_name* パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列

item.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"state": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

item.status	インストールベースアイテムのステータスに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"status": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

item.status.display_value	インストールベースアイテムのステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.status.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列

item.uninstall_date	インストールベースアイテムが非アクティブになった日付に関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"uninstall_date": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.uninstall_date.display_value	テキストのアンインストール日。この値を使用して、UI にアンインストール日を表示します。 データタイプ：文字列
item.uninstall_date.value	アンインストール日の内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems/42746a3b876121100b6afc86dabb3597/uninstall" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "item": {
      "sys_class_name": {
        "value": "sn_install_base_item",
        "display_value": "Install Base Item"
      },
      "number": "IBITM0000901",
      "sys_id": "f77c7542b7343300ece839a6ee11a991",
      "contact": {
        "sys_id": "4d147a386f0331003b3c498f5d3ee437",
        "display_value": "Julie Lewis"
      },
      "state": {
        "value": "inactive",
        "display_value": "Inactive"
      },
      "active": "false",
      "configuration_item": {
        "sys_id": "e5a28e07c30202001efd5cb981d3aedb",
        "display_value": "KX Series - KX5000"
      },
      "name": "KX Series - KX5000",
      "account": {
        "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
        "display_value": "Boxeo"
      }
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

インストールベースアイテム:POST /sn_install_base/integrations/installbaseitems

デフォルトのインストールベースアイテムテーブルまたはその拡張テーブル (指定されている場合) に 1 つ以上のインストールベースアイテムレコードを作成し、指定されたフィールド値をそれらに入力します。

単一のインストールベースアイテムレコードを作成する場合は、要求本文に含めるすべてのフィールドを含むオブジェクトを要求本文に渡します。1 回の呼び出しで複数のインストールベースアイテムレコードを作成する場合は、作成するすべてのレコードを含むオブジェクトのアレイを要求本文に渡します。エンドポイントは、各レコード作成オブジェクトを個別に処理して報告します。1 つ以上のレコードの作成に失敗しても、他のレコードの作成には影響しません。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
アカウント	アカウントのインストールベースアイテムを作成するときに必要です。 インストールベースアイテムに関連付けるアカウントの Sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 注: *`account`* パラメーターを渡す場合、*`consumer`* パラメーターを渡すことはできません。 データタイプ：文字列
active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • true、"true"、または"0":アイテムはアクティブです。 • false、"false"、または "1":アイテムはアクティブではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true
資産	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のSys_id。資産 [alm_asset] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_install_base_items	このインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテムのリスト。 注: 次の子インストールベースアイテムフィールドは、その親と異なるものであってはなりません。 • アカウント • consumer • contact • サービス組織 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"child_install_base_items": [ { "name": "String", "product": "String" } ]`
child_install_base_items.name	子インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
child_install_base_items.製品	関連付けられた子ベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのSys_id。構成アイテム [cmdb_ci] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
consumer	コンシューマーのインストールベースアイテムを作成するときに必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 注: *consumer* パラメーターを渡す場合、*account* パラメーターを渡すことはできません。また、コンシューマーをインストールベースアイテムに関連付けることができるのは、インスタンスに B2B2C プラグインがインストールされている場合のみです。 データタイプ：文字列
consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのSys_id。消費者プロファイル [sn_csm_consumer_profile] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
contact	インストールベースアイテムを主に担当するアカウント連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 注: 連絡先は、アカウントのインストールベースアイテムに対してのみ指定できます。 データタイプ：文字列
世帯	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 注: このフィールドは、カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ有効です。 データタイプ：文字列
install_date	インストールベースアイテムがアクティブになる日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-MM-dd HH:mm:ss
場所	関連製品の場所のSys_id。場所 [cmn_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
番号	インストールベースアイテムの一意の識別子。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト:エンドポイントによって自動的に生成されます。
親	このインストールベースアイテムレコードの親レコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
product_model	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのSys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
数量	インストールされたアイテムの数。 データタイプ：整数
service_context	イベント管理から影響の重大度を計算するために基礎となる CI に関連付けられているサービスのSys_id。詳細については、「インストールベースのサービス健全性ステータス」を参照してください。 **注:** このフィールドは、イベント管理によるプロアクティブカスタマーサービスオペレーションプラグインがインストールされている場合にのみ有効です。 データタイプ：文字列
service_organization	サービス組織のインストールベースアイテムを作成するときに必要です。 顧客にサービスを提供する際に関係するサービス組織レコードのSys_id。サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 **注:** このパラメーターを渡す場合、account、contact、または consumer パラメーターも渡さないでください。*service_organization*パラメーターは、Service Organization (com.snc.service_organization) プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ：文字列
state	インストールベースアイテムの現在のステータス。 有効な値： • in_use • inactive データタイプ：文字列
status	製品のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • オリジナル • 置換 データタイプ：文字列
sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを作成する拡張インストールベーステーブルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト:インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブル
uninstall_date	インストールベースが非アクティブになる日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-MM-dd HH:mm:ss

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }`
error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
item	指定したフィルター結果に一致したインストールベースアイテム。空でないフィールドのみが返されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"item": { "account": {Object}, "active": "String", "asset": {Object}, "child_install_base_items": {Object}, "condition": "String", "configuration_item": {Object}, "consumer": {Object}, "consumer_profile": {Object}, "contact": {Object}, "health_status": {Object}, "health_status_last_updated": "String", "household": {Object}, "install_date": {Object}, "location": {Object}, "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"number": "String",
	"parent": {Object},
	"product": {Object},
	"quantity": Integer,
	"service_context": {Object},
	"service_organization" {Object},
	"sys_id": "String",
	"state": {Object},
	"status": {Object},
	"uninstall_date": "String"
	}</pre>

item.account	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"account": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

item.account.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントのテキスト名。この値を使用して、UI に顧客アカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
item.account.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた顧客アカウントレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.active	インストールベースアイテムがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:インストールベースアイテムはアクティブです。 • false:インストールベースアイテムは非アクティブです。 データタイプ:ブール文字列

item.asset	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"asset": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
item.asset.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産のテキスト名。この値を使用して、UI に資産名を表示します。 データタイプ：文字列
item.asset.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた資産レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.child_install_base_items	このインストールベースアイテムに関連付けられた子インストールベースアイテムのリスト。 注: 次の子インストールベースアイテムフィールドは、その親と異なるものであってはなりません。 • アカウント • consumer • contact • サービス組織 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"child_install_base_items": [ { "name": "String", "product": "String" } ]`
item.child_install_base_items.name	子インストールベースアイテムの名前。 データタイプ：文字列
item.child_install_base_items.製品	関連付けられた子ベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
item.configuration_item	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"configuration_item": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.configuration_item.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムのテキスト名。この値を使用して、UI に構成アイテム名を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.configuration_item.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた構成アイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.consumer	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーの詳細。 注: [コンシューマー] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.consumer.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
item.consumer.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.consumer_profile	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルの詳細。 注: [コンシューマープロファイル] フィールドは、B2B2C プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ: オブジェクト `"consumer_profile": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.consumer_profile.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマープロファイル名を表示します。 データタイプ：文字列
item.consumer_profile.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマープロファイルレコードのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.contact	インストールベースアイテムレコードを担当するアカウント連絡先の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"contact": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
item.contact.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先のテキスト名。この値を使用して、アカウントの連絡先名を UI に表示します。 データタイプ：文字列
item.contact.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたアカウント連絡先レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.health_status	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスに関する詳細。プロアクティブカスタマーサービスオペレーション (com.snc.proactive_cs_itom) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。 データタイプ: オブジェクト `"health_status": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.health_status.display_value	インストールベースアイテムの現在の健全性ステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI に健全性ステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.health_status.value	インストールベースアイテムの健全性ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.health_status_last_updated	インストールベースアイテムの健全性ステータスが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
item.household	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯に関する詳細。カスタマーサービス世帯 (com.snc.household) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	データタイプ: オブジェクト
	`"household": {`
	`"display_value": "String",`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

item.household.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた世帯のテキスト名。この値を使用して、UI に世帯名を表示します。 データタイプ：文字列
item.household.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられている世帯のSys_id。 データタイプ：文字列

item.install_date	インストールベースアイテムがアクティブになった日付に関する詳細。
	データタイプ: オブジェクト
	`"install_date": {`
	`"display_value": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

item.install_date.display_value	インストール日をテキストで表示。UI にインストール日を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
item.install_date.value	インストール日の内部値。 データタイプ：文字列

item.location	インストールベースアイテムの場所に関する詳細。
	データタイプ: オブジェクト
	`"location": {`
	`"display_value": "String",`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

item.location.display_value	インストールベースアイテムの場所のテキスト名。この値を使用して、UI に場所名を表示します。 データタイプ：文字列
item.location.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた場所レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.name	インストールベースアイテムの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
item.number	インストールベースアイテムの一意の ID。 データタイプ：文字列

item.parent	インストールベースアイテムレコードの親レコードに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.parent.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのテキスト名。この値を使用して、UI に親名を表示します。 データタイプ：文字列
item.parent.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた親レコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.product	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルの詳細。この情報を使用して、製品モデルに関連付けられているサービスを識別します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

item.product.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルのテキスト名。この値を使用して、UI に製品名を表示します。 データタイプ：文字列
item.product.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられた製品モデルレコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.quantity	インストールされたアイテムの数。 データタイプ：整数
item.service_context	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"service_context": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_context.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"service_context": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_context.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービスコンテキストレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

item.service_organization	インストールベースアイテムレコードに関連付けられているサービス組織の詳細。サービス組織 (com.snc.service_organization) プラグインがインストールされている場合にのみ返されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"service_organization": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

item.service_organization.display_value	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織のテキスト名。この値を使用して、UIにサービス組織名を表示します。 データタイプ：文字列
item.service_organization.sys_id	インストールベースアイテムレコードに関連付けられたサービス組織レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
item.sys_class_name	インストールベースアイテムレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
item.sys_id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。*sys_class_name* パラメーターで指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
item.state	インストールベースアイテムの現在のステータスに関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ: オブジェクト `"state": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.state.display_value	インストールベースアイテムの現在のステータスを示すテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.state.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.status	インストールベースアイテムのステータスに関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"status": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.status.display_value	インストールベースアイテムのステータスのテキスト文字列。この値を使用して、UI にステータスを表示します。 データタイプ：文字列
item.status.value	インストールベースアイテムのステータスの内部値。 データタイプ：文字列
item.uninstall_date	インストールベースアイテムが非アクティブになった日付に関する詳細。 データタイプ: オブジェクト `"uninstall_date": { "display_value": "String", "value": "String" }`
item.uninstall_date.display_value	テキストのアンインストール日。この値を使用して、UI にアンインストール日を表示します。 データタイプ：文字列
item.uninstall_date.value	アンインストール日の内部値。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、単一のインストールベースアイテムレコードを作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"name\":\"Base Monitor\",
  \"quantity\": 4,
  \"account\":\"86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca\",
  \"contact\": \"dc0185d94f341200025ba3618110c77c\",
  \"configuration_item\":\"0c43baaac61122750182c132ee74bcf0\",
  \"state\":\"in_use\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果:空でないフィールドのみが返されます。

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "item": {
      "sys_class_name": "sn_install_base_item",
      "number": "IBITM0001003",
      "sys_id": "27cb093114c66910f877324710112fd6",
      "contact": {
        "sys_id": "dc0185d94f341200025ba3618110c77c",
        "display_value": "Cindy Contact"
      },
      "state": {
        "value": "in_use",
        "display_value": "In Use"
      },
      "quantity": "4",
      "active": "true",
      "configuration_item": {
        "sys_id": "0c43baaac61122750182c132ee74bcf0",
        "display_value": "3D Pinball"
      },
      "name": "Base Monitor",
      "account": {
        "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
        "display_value": "Boxeo"
      }
    }
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、複数のインストールベースアイテムレコードを作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/instal
lbaseitems" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "[
  {
    \"name\":\"AST4 Laptop\",
    \"consumer\":\"b119803fdb1b1200b6075200cf961917\",
    \"status\":\"replacement\",
    \"install_date\":\"2023-05-18 12:00:00\",
    \"uninstall_date\":\"2023-09-28 12:00:00\"
  },
{
    \"name\":\"Base Monitor\",
    \"quantity\": 4,
    \"account\":\"86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca\",
    \"contact\": \"dc0185d94f341200025ba3618110c77c\",
    \"configuration_item\":\"0c43baaac61122750182c132ee74bcf0\",
    \"state\":\"in_use\"
  }
]" \
--user 'username':'password'
```

返される結果:空でないフィールドのみが返されます。

```
{
  "result": {
    "status": "SUCCESS",
    "items": [
      {
        "status": "SUCCESS",
        "item": {
          "sys_class_name": "sn_install_base_item",
          "number": "IBITM0001018",
          "sys_id": "16fe91b1140a6910f877324710112f40",
          "uninstall_date": {
            "value": "2023-09-28 12:00:00",
            "display_value": "2023-09-28 05:00:00"
          },
          "install_date": {
            "value": "2023-05-18 12:00:00",
            "display_value": "2023-05-18 05:00:00"
          },
          "consumer": {
            "sys_id": "b119803fdb1b1200b6075200cf961917",
            "display_value": "Silvester Erik"
          },
          "active": "true",
          "name": "AST4 Laptop",
          "status": {
            "value": "replacement",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "display_value": "Replacement"
          }
        }
      },
      {
        "status": "SUCCESS",
        "item": {
          "sys_class_name": "sn_install_base_item",
          "number": "IBITM0001019",
          "sys_id": "5efe91b1140a6910f877324710112f40",
          "contact": {
            "sys_id": "dc0185d94f341200025ba3618110c77c",
            "display_value": "Cindy Contact"
          },
          "state": {
            "value": "in_use",
            "display_value": "In Use"
          },
          "quantity": "4",
          "active": "true",
          "configuration_item": {
            "sys_id": "0c43baaac61122750182c132ee74bcf0",
            "display_value": "3D Pinball"
          },
          "name": "Base Monitor",
          "account": {
            "sys_id": "86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
            "display_value": "Boxeo"
          }
        }
      }
    ]
  }
}
```


インストールベースアイテム:POST **/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties**

関係者レコードを作成し、指定されたインストールベースアイテムレコードに関連付けます。要求パラメーターで指定された値は、新しく作成された関係者レコードに格納されます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_install_base/{api_version}/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties`

デフォルト URL: `/api/sn_install_base/integrations/installbaseitems/{id}/relatedparties`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
id	インストールベースアイテムレコードのSys_id。インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
アカウント	*type*パラメーターが次のいずれかの場合は必須です。 • 承認済みアカウント • 認定連絡先 • リストされたアカウント • リストされた連絡先 インストールベースアイテムに関連付けるアカウントのSys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 注: *account* パラメーターを渡す場合、*consumer* パラメーターを渡すことはできません。 データタイプ：文字列
consumer	*type*パラメーターが [認定コンシューマー] または [リストされたコンシューマー] の場合は必須です。 インストールベースアイテムレコードに関連付けられたコンシューマーのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 注: *consumer* パラメーターを渡す場合、*account* パラメーターを渡すことはできません。また、コンシューマーをインストールベースアイテムに関連付けることができるのは、インスタンスに B2B2C プラグインがインストールされている場合のみです。 データタイプ：文字列
contact	関係者レコードに関連付けられた連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
install_base_item	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
責任	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。責任の定義 [sn_customerservice_responsibility_def] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *related_party* フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、 *related_party* パラメーターと *responsibility* パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については次を参照してください。 受領したアイテムの関係者を構成する データタイプ：文字列
service_organization	*type*パラメーターが次のいずれかの場合は必須です。 • 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 顧客にサービスを提供する際に関係するサービス組織レコードのSys_id。サービス組織 [sn_customer_service_organization] テーブルにあります。 注: このパラメーターを渡す場合、account、contact、または consumer パラメーターも渡さないでください。 *service_organization*パラメーターは、Service Organization (com.snc.service_organization) プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。 データタイプ：文字列
sys_class_name	関係者レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_related_party
type	必須。作成する関係者のタイプのSys_id。関係者構成 [sn_customerservice_related_party_configuration] テーブルにあります。 可能なタイプ: • 承認済みアカウント • 認定コンシューマー • 認定連絡先 • 認定貢献者 • 認定メンバー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 認証サービス組織 • リストされたアカウント • リストされたコンシューマー • リストされた連絡先 • リストされた貢献者 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 データタイプ：文字列
user	*type*パラメーターが次のいずれかの関係者タイプである場合は必須です。 • 認定貢献者 • 認定メンバー • リストされた貢献者 • リストされたメンバー 認定メンバーおよびリストメンバーの場合、このユーザーは指定された*service_organization*レコードに関連付けられている必要があります。 関係者レコードに関連付けられたユーザーレコードのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明

アカウント	関係者レコードに関連付けられたアカウントの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`account": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

account.display_value	関係者レコードに関連付けられたアカウントのテキスト名。この値を使用して、UI にアカウント名を表示します。 データタイプ：文字列
account.sys_id	関係者レコードに関連付けられたアカウントレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列

consumer	関係者レコードに関連付けられているコンシューマーに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"consumer": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sys_id": "String" }</pre>
consumer.display_value	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーのテキスト名。この値を使用して、UI にコンシューマー名を表示します。 データタイプ：文字列
consumer.sys_id	関係者レコードに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

contact	関係者レコードを担当するアカウント連絡先の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"contact": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

contact.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のテキスト名。この値を使用して、UI に連絡先名を表示します。 データタイプ：文字列
contact.sys_id	関係者レコードに関連付けられた連絡先レコードのSys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

エラー	要求の処理中に発生したエラーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"error": {
	  "detail": "String",
	  "message": "String"
	}</pre>

error.detail	関連するエラーに関するその他の詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求を実行しようとしたときに発生した問題を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

install_base_item	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"install_base_item": {
	  "display_value": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sys_id": "String" }</pre>
install_base_item.display_value	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムのテキスト名。UI にインストールベースアイテム名を表示するには、この値を使用します。 データタイプ：文字列
install_base_item.sys_id	関係者レコードに関連付けられたインストールベースアイテムレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

責任	インストールベース情報のアクセスレベルに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"responsibility": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

responsibility.display_value	インストールベース情報のアクセスレベルのテキスト表示値。 データタイプ：文字列
responsibility.sys_id	関連付けられた責任レコードのSys_id。このレコードは、インストールベース情報のアクセスレベルを定義します。責任の定義 [sn_customerservice_responsibility_def] テーブルにあります。 このパラメーターは、 *related_party* フィールドも指定されている場合にのみ有効です。指定した場合、 *related_party* パラメーターと *responsibility* パラメーターの両方に一致するインストールベースアイテムのみが返されます。 詳細については次を参照してください。 受領したアイテムの関係者を構成する データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 データタイプ：文字列
sys_class_name	関係者レコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列 デフォルト:sn_install_base_related_party
sys_id	関連付けられた関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されたレコードの数。元の要求でこの値が指定されていない場合は、デフォルト値が使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
sysparm_offset	レコードが評価され取得された関連テーブル内のオフセット(開始点)。 データタイプ：文字列

type	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプに関する詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"type": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

type.display_value	関係者レコードに関連付けられた連絡先のタイプのテキスト名。この値を使用して、連絡先のタイプを UI に表示します。詳細については、「ケース、販売済み製品、インストールベース、サービス組織への関係者構成の追加」を参照してください。 可能なタイプ: • 承認済みアカウント • 認定コンシューマー • 認定連絡先 • 認定貢献者 • 認定メンバー • 認証サービス組織 • リストされたアカウント • リストされたコンシューマー • リストされた連絡先 • リストされた貢献者 • リストされたメンバー • リストされたサービス組織 データタイプ：文字列
type.sys_id	関係者レコードに関連付けられたタイプレコードのSys_id。 データタイプ：文字列

user	関係者レコードに関連付けられているユーザーの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"user": {`
	`  "display_value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sys_id": "String" }</pre>
user.display_value	関係者レコードに関連付けられたユーザーのテキスト名。この値を使用して、UI にユーザー名を表示します。 データタイプ：文字列
user.sys_id	関係者レコードに関連付けられたユーザーレコードのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して承認済みアカウント関連レコードを作成し、それをインストールベースアイテムに関連付ける方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_install_base/integrations/relate
dparties/f77c7542b7343300ece839a6ee11a991" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "contact":"0a232a0013691200042ab3173244b075",
  "type":"68ec8b2965e99110f87764df53db779f",
  "account":"86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca",
  "install_base_item":"f77c7542b7343300ece839a6ee11a991",
  "responsibility":"c009bbedb3730010700b4d43c6a8dcef",
  "sys_class_name":"sn_install_base_related_party"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
"result":
  {
    "type": {
      "display_value":"Authorized Contact",
      "sys_id":"68ec8b2965e99110f87764df53db779f"
    },
    "install_base_item": {
      "display_value":"KX Series - KX5000",
      "sys_id":"f77c7542b7343300ece839a6ee11a991"
    },
    "sys_class_name":"sn_install_base_related_party",
    "sys_id":"4659539814ac6910f877ae314c1fb43a",
    "responsibility": {
      "display_value":"Authorized Representative",
      "sys_id":"c009bbedb3730010700b4d43c6a8dcef"
    },
    "contact": {
      "display_value":"Cindy Contact",
      "sys_id":"dc0185d94f341200025ba3618110c77c"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "account": {
      "display_value":"Boxeo",
      "value":"86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca"
    },
    "status":"SUCCESS",
  }
}
```

Interaction Management API

`Interaction Management` API は、インタラクションを作成するためのエンドポイントを提供します。

このクラスには Interaction Logging, Routing, and Queueing プラグイン (com.glide.interaction) が必要です。

インタラクション - POST /now/interaction

インタラクションテーブルのレコードを挿入または更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/interaction`

デフォルトの URL：`/api/now/interaction`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

要素	説明
channel	必須です。インタラクションを作成するインタラクションコネクタの sys_id。 データタイプ：文字列
context	マップまたはテーブル/sys_id のペア。デフォルトでは、インタラクションのレコードは、コンテキストデータを JSON オブジェクトとして保存する interaction_json_blob テーブルにあります。インタラクションがコンテキストの別のレコードを指すようにできま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

要素	説明
	す。context または context_table/context_id を使用して、インタラクションのコンテキストを定義します。 データタイプ：文字列
context_id	コンテキストを保存するために使用するレコードのドキュメント ID。デフォルトは insteraction_json_blob テーブルの新しいレコードです。コンテキスト ID を定義する場合は、テーブルも定義する必要があります。 データタイプ：文字列
context_table	インタラクションコンテキストを保存するために使用するコンテキストテーブル。デフォルトは interaction_json_blob です。コンテキストテーブルを定義する場合は、コンテキスト ID も定義する必要があります。 データタイプ：文字列
channel_metadata	マップまたはテーブル/sys_id のペア。チャネルメタデータには、コネクタが関連するチャネルを介した通信に使用できる情報が含まれています。 データタイプ：文字列
channel_metadata_id	チャネルメタデータを保存するために使用するレコードのドキュメント ID。デフォルトは live_group_profile テーブルの新しいレコードです。チャネルメタデータ ID を定義する場合は、テーブルも定義する必要があります。 データタイプ：文字列
channel_metadata_table	チャネルメタデータを保存するために使用するテーブル。デフォルトは live_group_profile テーブルです。チャネルメタデータテーブルを定義する場合は、チャネルメタデータ ID も定義する必要があります。 データタイプ：文字列
queue	インタラクションに関連付けるキューの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	クエリが正常に実行されたことを示します。
400	1 つ以上の必須パラメーターが要求になかったことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
assigned_to	インタラクションがアサインされているユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
channelMetadataDocument	インタラクションに関連付けられたチャネルメタデータドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列
channelMetadataTable	インタラクションに関連付けられたチャネルメタデータテーブルのテーブル名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
channel_metadata	インタラクションに含まれる任意のチャネルメタデータ。 データタイプ：文字列
closed_by	インタラクションをクローズしたユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
contextDocument	インタラクションに関連付けられたコンテキストドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列
contextTable	インタラクションに関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
number	新しいインタラクションの番号。 データタイプ：文字列
opened_for	インタラクションをオープンした対象のユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
キュー	インタラクションを作成する対象のキューの sys_id。 データタイプ：文字列
state	インタラクションのステータス。キューをアサインすると、ステータスは自動的に [キューに格納] に変わります。それ以外の場合は、デフォルトは [新規] になります。 データタイプ：文字列
sys_id	インタラクションの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/now/interaction" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{\"channel\":\"28a59893873103002ae97e2526cb0b5d\",\"queue\":
\"f3a50867b30303002186a72256a8dcb7\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "channel": "28a59893873103002ae97e2526cb0b5d",
    "context": {
      "present": true
    },
    "queue": "f3a50867b30303002186a72256a8dcb7",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "state": "queued",
    "number": "IMS0000075",
    "contextDocument": "1863a6f0d9471300964f387107a8a36d",
    "contextTable": "interaction_json_blob",
    "channelMetadataDocument": "9463a6f0d9471300964f387107a8a36c",
    "channelMetadataTable": "live_group_profile",
    "channel_metadata": {
      "present": true
    },
    "sys_id": "dc63a6f0d9471300964f387107a8a36b",
    "assigned_to": "",
    "closed_by": "",
    "opened_for": ""
  }
}
```


インタラクション - POST /now/interaction/{interaction_id}/close

インタラクションのステータスを、クローズ済み、または完了してクローズに変更します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}interaction/{interaction_id}/close`

デフォルトの URL：`/api/now/interaction/{interaction_id}/close`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
interaction_id	クローズするインタラクションの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
assigned_to	インタラクションがアサインされているユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
channelMetadataDocument	インタラクションに関連付けられたチャネルメタデータドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
channelMetadataTable	インタラクションに関連付けられたチャネルメタデータテーブルのテーブル名。 データタイプ：文字列
channel_metadata	インタラクションに含まれる任意のチャネルメタデータ。 データタイプ：文字列
closed_by	インタラクションをクローズしたユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
contextDocument	インタラクションに関連付けられたコンテキストドキュメントの sys_id。 データタイプ：文字列
contextTable	インタラクションに関連付けられたテーブルの名前。 データタイプ：文字列
number	新しいインタラクションの番号。 データタイプ：文字列
opened_for	インタラクションをオープンした対象のユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
キュー	インタラクションを作成する対象のキューの sys_id。 データタイプ：文字列
state	インタラクションのステータス。キューをアサインすると、ステータスは自動的に [キューに格納] に変わります。それ以外の場合は、デフォルトは [新規] になります。 データタイプ：文字列
sys_id	インタラクションの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/now/interaction/b243cde4208f1700964f
959e0488dee8/close" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "channel": "28a59893873103002ae97e2526cb0b5d",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "context": {
      "present": true
    },
    "queue": "f3a50867b30303002186a72256a8dcb7",
    "state": "closed_complete",
    "number": "IMS0000060",
    "contextDocument": "3a43cde4208f1700964f959e0488dee7",
    "contextTable": "interaction_json_blob",
    "channelMetadataDocument": "fa43cde4208f1700964f959e0488dee8",
    "channelMetadataTable": "live_group_profile",
    "channel_metadata": {
      "present": true
    },
    "sys_id": "b243cde4208f1700964f959e0488dee8",
    "assigned_to": "",
    "closed_by": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
    "opened_for": "46d44a23a9fe19810012d100cca80666"
  }
}
```


Knowledge Management REST API

ナレッジ管理 API は、最も閲覧された注目のナレッジ記事のリストを検索、表示、およびフェッチするためのエンドポイントを提供します。

この API は、Knowledge API (sn_km_api) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。ナレッジ管理 *REST* API は当初、ServiceNow Store で利用可能なナレッジ API アプリを使用して Orlando 年にリリースされました。

> **注:** *Knowledge Management REST API* は公的にアクセス可能であり、公的にアクセス可能なナレッジベースを、非認証ユーザーを含むすべてのユーザーが利用できるようにします。バージョン 1.0.1 以降では API が編集可能になっており、管理者は API に関連付けられた [スクリプト化済み REST サービスセキュリティ (Scripted REST Service Security)] タブで [認証が必要] フラグを選択することで、非認証アクセスを禁止するように各エンドポイントを構成できます。

他のドメインで *Knowledge Management REST API* エンドポイントを使用できるようにするには、クロスオリジンリソース共有 (CORS) ルールを定義します。詳細については、「CORS ルールの定義」を参照してください。

この REST API を使用してスコープ付きナレッジベースから記事を表示するには、制限付きの申請者アクセス特権 [sys_restricted_caller_access] テーブルで要求スコープからの sn_km_api スコープ読み取りアクセスを許可します。詳細については、「アプリケーション リソースへのクロススコープ アクセスの定義」を参照してください。

デフォルトでは、非認証ユーザーおよび snc_external ユーザーに対して、この API には 1 時間当たり 500 のレート制限があります。レート制限の詳細については、「受信 REST API レート制限」を参照してください。

Knowledge Management - GET /knowledge/articles

さまざまなパラメーターを使用して検索およびフィルタリングできるナレッジベース (KB) 記事のリストを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_km_api/{api_version}/knowledge/articles`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_km_api/knowledge/articles`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
filter	結果セットのフィルタリングに使用するエンコードされたクエリ。 構文：`filter=<attr><operator><value>`. • `<attr>`：テーブル列の名前。 • `<operator>`： 有効な値： ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数の条件を指定し、それらに論理的 AND を指定することができます。 ◦ ^OR：複数の条件を指定し、それらに論理的 OR を指定することができます。 ◦ LIKE：<attr> に指定された文字列が含まれています。データタイプが文字列である <attr> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<attr> は指定された文字列で始まります。データタイプが文字列である <attr> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<attr> は指定した文字列で終了します。データタイプが文字列である <attr> フィールドに対してのみ機能します。 • `<value>`：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリには、`filter=<attr><operator><value>[<operator><attr><operator><value>]`. データタイプ：文字列 デフォルト：空
fields	結果の詳細を表示するナレッジ [kb_knowledge] テーブルのフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
kb	結果を制限するナレッジ ベース [kb_knowledge_base] テーブルのナレッジベース sys_id のカンマ区切りリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
language	結果を制限する 2 文字の ISO 639-1 言語コード形式でのカンマ区切りの言語のリスト。または、「all」と入力すると、インスタンスにインストールされているすべての有効な言語で検索できます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ユーザーのセッション言語または en
limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：30
offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*offset* は「0」に設定されます。利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの最後に達するまで `offset=offset+limit` を使用します。 データタイプ：数値 デフォルト：0
query	検索するテキスト。空にすることができます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
articles	応答で返される記事のリスト。 データタイプ：アレイ `"articles": [ { "fields": {Object}, "link": "String", "id": "String", "number": "String", "rank": Number, "score": Number, "snippet": "String", "title": "String" } ]`
articles.fields	要求されたフィールドの値 (存在する場合)。 データタイプ：オブジェクト `"fields": { "<field_name>": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
articles.fields.<field_name>	fields パラメーターを使用して要求された各フィールドを一覧表示します (存在する場合)。 データタイプ：オブジェクト `"<field_name>": { "display_value": "String", "label": "String", "name": "String", "type": "String", "value": "String" }`
articles.fields.<field_name>.display_value	要求されたフィールドの表示値。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.label	要求されたフィールドを表すラベル。たとえば、`Knowledge` などです。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.name	要求されたフィールドの名前。*<field_name>* に一致します。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.type	要求されたフィールドのデータタイプ。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.value	要求されたフィールドの値。 データタイプ：文字列
articles.id	ナレッジ [kb_knowledge] テーブルのナレッジ記事の sys_id。 データタイプ：文字列
articles.link	記事へのリンク。 データタイプ：文字列
articles.number	ナレッジ記事の番号。 データタイプ：文字列
articles.rank	この検索に固有の記事の検索ランク。 データタイプ：数値 (浮動小数点)
articles.snippet	ナレッジ記事の一部を示すテキスト。 データタイプ：文字列
articles.score	関連性スコア。スコアの降順でソートされた結果です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
articles.title	ナレッジ記事の簡単な説明またはタイトル。 データタイプ：文字列
meta	結果と要求パラメーターのメタ情報。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "count": Number, "end": Number, "fields": "String", "filter": "String", "kb": "String", "language": "String", "query": "String", "start": Number, "status": {Object}, "ts_query_id": "String" }`
meta.count	利用可能な KB 記事の数。 データタイプ：数値
meta.end	結果セットの終了インデックス。 データタイプ：数値
meta.fields	記事のフィールド。 データタイプ：文字列
meta.filter	データの取得に使用されるフィルター。 データタイプ：文字列
meta.kb	ナレッジベース記事の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列
meta.language	要求された KB 記事のカンマ区切りの言語のリスト。 データタイプ：文字列
meta.query	指定された要求クエリ。 データタイプ：文字列
meta.start	結果セットの開始インデックス。 データタイプ：数値
meta.status	コールのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
meta.ts_query_id	クエリの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_km_api/knowledge/articles?query=
Windows&limit=2&fields=short_description&fields=sys_class_name" \
--request GET \
--header "Accept:application/xml" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "meta": {
      "start": 0,
      "end": 2,
      "fields": "short_description,sys_class_name",
      "query": "Windows",
      "filter": "",
      "kb": "",
      "language": "en",
      "count": 19,
      "ts_query_id": "7976f36129c30410f877796e70786991",
      "status": {
        "code": 200
      }
    },
    "articles": [
      {
        "link":
 "?
sys_kb_id=9e528db1474321009db4b5b08b9a71a6&id=kb_article_view&sysparm_ran
k=1&sysparm_tsqueryId=7976f36129c30410f877796e70786991",
        "rank": 1,
        "id": "kb_knowledge:9e528db1474321009db4b5b08b9a71a6",
        "title": "Windows: Should I upgrade to Windows 8.x?",
        "snippet": "    Should I upgrade to <B>Windows</B> 8.x?
 <B>Windows</B> 8.x is designed for using touch, mouse, and keyboard
 the <B>Windows</B> Store and access apps such as Calendar, Mail,
 and Messaging. By most accounts, <B>Windows</B> boot times, smaller
 memory footprint, and more free memory for the programs you run.
 <B>Windows</B>",
        "score": 14.869,
        "number": "KB0000020",
        "fields": {
          "short_description": {
            "display_value": "Windows: Should I upgrade to Windows
 8.x?\n\t\t",
            "name": "short_description",
            "label": "Short description",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "type": "string",
            "value": "Windows: Should I upgrade to Windows 8.x?\n\t\t"
          },
          "sys_class_name": {
            "display_value": "Knowledge",
            "name": "sys_class_name",
            "label": "Class",
            "type": "sys_class_name",
            "value": "kb_knowledge"
          }
        }
      },
      {
        "link":
 "?
sys_kb_id=3b07857187032100deddb882a2e3ec20&id=kb_article_view&sysparm_ran
k=2&sysparm_tsqueryId=7976f36129c30410f877796e70786991",
        "rank": 2,
        "id": "kb_knowledge:3b07857187032100deddb882a2e3ec20",
        "title": "What is the Windows key?",
        "snippet": "What is the <B>Windows</B> key? The <B>Windows</B>
 key is a standard key on most keyboards on computers built to use a
 <B>Windows</B> operating system. It is labeled with a <B>Windows</B>
 logo, and is usually placed between on the right side as well. Pressing
 Win (the <B>Windows</B> key) on its own will do the following:
 <B>Windows</B> 8.x: Toggle",
        "score": 13.4826,
        "number": "KB0000017",
        "fields": {
          "short_description": {
            "display_value": "What is the Windows key?\t\t",
            "name": "short_description",
            "label": "Short description",
            "type": "string",
            "value": "What is the Windows key?\t\t"
          },
          "sys_class_name": {
            "display_value": "Knowledge",
            "name": "sys_class_name",
            "label": "Class",
            "type": "sys_class_name",
            "value": "kb_knowledge"
          }
        }
      }
    ]
  }
}
```


Knowledge Management - GET /knowledge/articles/{article_sys_id}/attachments/{attachment_sys_id}

ナレッジ記事の添付ファイルをファイルとして返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_km_api/{api_version}/knowledge/articles/{article_sys_id}/attachments/{attachment_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_km_api/knowledge/articles/{article_sys_id}/attachments/{attachment_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
article_sys_id	取得しようとしている添付ファイルを含むナレッジ記事の sys_id。ナレッジベース [kb_knowledge] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
attachment_sys_id	添付ファイルが属しているレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答のコンテンツタイプ (例：`image/gif` または `*/*`)。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
ファイルは応答として返されます。	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_km_api/knowledge/articles/0b48fd75474321009db4b5b08b9a71c2/attachments/fedf5614294f4010f877796e70786956"
 \
--request GET \
--header "Accept:*/*" \
--user "username":"password"
```

```
Binary response not shown (file is returned as a response).
```

Knowledge Management - GET /knowledge/articles/featured

最も多く閲覧されたナレッジ記事と注目のナレッジ記事のリストを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_km_api/{api_version}/knowledge/articles/featured`

デフォルトの URL：`/api/sn_km_api/knowledge/articles/featured`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	結果の詳細を表示するナレッジ [kb_knowledge] テーブルのフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
kb	結果を制限するナレッジ ベース [kb_knowledge_base] テーブルのナレッジベース sys_id のカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列
language	結果を制限する 2 文字の ISO 639-1 言語コード形式でのカンマ区切りの言語のリスト。または、「all」と入力すると、インスタンスにインストールされているすべての有効な言語で検索できます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ユーザーのセッション言語または en
limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：30
offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*offset* は「0」に設定されます。利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの最後に達するまで `offset=offset+limit` を使用します。 データタイプ：数値 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

articles	応答で返される記事のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"articles":[`
	`  {`
	`  "fields": {Object},`
	`  "id": "String",`
	`  "link": "String",`
	`  "number": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"rank": Number,
	"score": Number,
	"snippet": "String",
	"title": "String"
	}
	]</pre>

articles.fields	要求されたフィールドの値 (存在する場合)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"fields": {
	"<field_name>": {Object}
	}</pre>

articles.fields.<field_name>	fields パラメーターを使用して要求された各フィールドを一覧表示します (存在する場合)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"<field_name>": {
	"display_value": "String",
	"name": "String",
	"label": "String",
	"type": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

articles.fields.<field_name>.display_value	要求されたフィールドの表示値。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.name	要求されたフィールドの名前。*<field_name>* に一致します。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.label	要求されたフィールドを表すラベル。たとえば、`Knowledge` などです。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.type	要求されたフィールドのデータタイプ。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.value	要求されたフィールドの値。 データタイプ：文字列
articles.id	ナレッジ [kb_knowledge] テーブルのナレッジ記事の sys_id。 データタイプ：文字列
articles.link	記事へのリンク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
articles.number	ナレッジ記事の番号。 データタイプ：文字列
articles.rank	この検索に固有の記事の検索ランク。 データタイプ：数値 (浮動小数点)
articles.score	関連性スコア。スコアの降順でソートされた結果です。 データタイプ：文字列
articles.snippet	ナレッジ記事の一部を示すテキスト。 データタイプ：文字列
articles.title	ナレッジ記事の簡単な説明またはタイトル。 データタイプ：文字列

meta	結果と要求パラメーターのメタ情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "count": Number,`
	`  "end": Number,`
	`  "fields": "String",`
	`  "filter": "String",`
	`  "kb": "String",`
	`  "language": "String",`
	`  "query": "String",`
	`  "start": Number,`
	`  "status": {Object},`
	`  "ts_query_id": "String"`
	`}`

meta.count	利用可能な KB 記事の数。 データタイプ：数値
meta.end	結果セットの終了インデックス。 データタイプ：数値
meta.fields	記事のフィールド。 データタイプ：文字列
meta.filter	データの取得に使用されるフィルター。 データタイプ：文字列
meta.kb	ナレッジベース記事の sys_id のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
meta.language	要求された KB 記事のカンマ区切りの言語のリスト。 データタイプ：文字列
meta.query	指定された要求クエリ。 データタイプ：文字列
meta.start	結果セットの開始インデックス。 データタイプ：数値
meta.status	呼び出しの HTTP ステータス。 データタイプ：文字列
meta.ts_query_id	クエリの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_km_api/knowledge/articles/featur
ed?fields=short_description&limit=3" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳


```
{
  "result": {
    "meta": {
      "start": 0,
      "end": 3,
      "fields": "short_description",
      "query": "homepage",
      "filter": "",
      "kb": "",
      "language": "en",
      "status": {
        "code": 200
      },
      "count": 2
    },
    "articles": [
      {
        "link":
 "?id=kb_article_view&sys_kb_id=f27d7f79c0a8011b0018f9d700d2b9aa",
        "id": "kb_knowledge:f27d7f79c0a8011b0018f9d700d2b9aa",
        "title": "Email Interruption Tonight at 11:00 PM Eastern",
        "snippet": " If the site is UP but you cant access the page,
 try one of the below solutions: Browser Related Problems Force a full
 refresh for the site. This can be achieved by pressing CTRL + F5 keys
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
at the same time on your favourite browser (Firefox, Chrome, Explorer,
etc.) Try alternative urls such as m.outlook.com Clear the temporary
cache and cookies ",
       "score": -1,
       "number": "KB0000002",
       "fields": {
         "short_description": {
           "display_value": "Email Interruption Tonight at 11:00 PM
Eastern\n\t\t",
           "name": "short_description",
           "label": "Short description",
           "type": "string",
           "value": "Email Interruption Tonight at 11:00 PM
Eastern\n\t\t"
         }
       }
     },
     {
       "link":
"?id=kb_article_view&sys_kb_id=f2765f9fc0a8011b0120ec1b352bf09b",
       "id": "kb_knowledge:f2765f9fc0a8011b0120ec1b352bf09b",
       "title": "Sales Force Automation is DOWN",
       "snippet": "  On Friday, January 20th, we experienced a
widespread outage that affected all Zoho services. The outage started
around 8:13 am Pacific Time. Zoho services started coming back online
for customer use at 3:49 pm, and all services were fully restored at
6:22 pm PST. We absolutely realize how important our services are for
businesses and users who",
       "score": -1,
       "number": "KB0000001",
       "fields": {
         "short_description": {
           "display_value": "Sales Force Automation is DOWN",
           "name": "short_description",
           "label": "Short description",
           "type": "string",
           "value": "Sales Force Automation is DOWN"
         }
       }
     }
   ]
 }
}
```


Knowledge Management - GET /knowledge/articles/{id}

特定のナレッジ記事のコンテンツとそのフィールド値を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_km_api/{api_version}/knowledge/articles/{id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_km_api/knowledge/articles/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	ナレッジ [kb_knowledge] テーブル内のナレッジ記事の sys_id またはナレッジベース (KB) 番号。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	結果の詳細を表示するナレッジ [kb_knowledge] テーブルのフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
language	2 文字の ISO 639-1 言語コード。たとえば、フランス語の場合は「fr」です。検索でナレッジ記事の KB 番号が *id* として使用され、指定された言語で記事の翻訳版が利用可能な場合にのみ、結果が表示されます。 注: *id* パラメーターを (sys_id ではなく) KB 番号として設定している場合にのみ有効です。 データタイプ：文字列
search_id	*search_rank* を使用する場合を除き、オプションです。この記事を返した検索の一意の識別子。 *articles.id* 要素を返す次のいずれかの API を使用して、*search_id* を取得できます。 • Knowledge Management - GET /knowledge/articles • Knowledge Management - GET /knowledge/articles/featured • Knowledge Management - GET knowledge/articles/most_viewed *search_id* および *search_rank* パラメーターを渡すと、記事の閲覧数がインクリメントされ、ナレッジ使用 [kb_use] テーブルに記事のエントリが記録されます。インクリメントされた閲覧数は、ナレッジベース [kb_view2] ページでも確認できます。 データタイプ：文字列
search_rank	*search_id* を使用する場合を除き、オプションです。*articles.rank* 要素を返す次のいずれかの API を使用して取得できるクリック率による記事検索ランク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• Knowledge Management - GET /knowledge/articles • Knowledge Management - GET /knowledge/articles/featured • Knowledge Management - GET knowledge/articles/most_viewed データタイプ：数値
update_view	記事の閲覧数が更新され、ナレッジ使用 [kb_use] テーブルに記事のエントリが記録されます。スタンドアロンパラメーターとして存在するか、true に設定されるかに関係なく、true となります。 注: *update_view* を *search_id* および *search_rank* とともに渡すと、閲覧数が既にインクリメントされるため、*update_view* は無視されます。 データタイプ：ブール値。`"true"`、`"false"` に設定されているか、まったく設定されていないかにかかわらず、渡されると、常に true として処理されます。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
添付ファイル	添付ファイルが存在する場合、各インスタンスの添付ファイルの詳細を提供します。 `display_attachments = true` の場合にのみ表示されます。 データタイプ：アレイ `"attachments": [ { "file_name": "String", "size_bytes": "String", "state": "String", "sys_id": "String" } ]`
attachments.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
attachments.size_bytes	ファイルサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
attachments.state	ステータス。 可能な値： • available • available_conditionally • not_available • pending データタイプ：文字列
attachments.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
content	記事の HTML コンテンツ全体。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
display_attachments	その記事に対して *display_attachments* フラグがアクティブであるかどうかを示すフラグ。添付ファイルは、ナレッジ記事レコードで *display_attachments* が true (アクティブ) の場合にのみ返されます。 • true：*display_attachments* はアクティブです。 • false：*display_attachments* は非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
embedded_content	埋め込みコンテンツを含む各添付ファイルを sys_id 別に一覧表示し、関連する添付ファイル情報を含めます。 `display_attachments = true` の場合にのみ表示されます。 データタイプ：アレイ `"attachments": [ { "file_name": "String", "size_bytes": "String", "state": "String", "sys_id": "String" } ]`
embedded_content.file_name	添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
embedded_content.size_bytes	添付ファイルのサイズ。 データタイプ：文字列 単位：バイト
embedded_content.state	添付ファイルのステータス。 可能な値： • available • available_conditionally • not_available • pending データタイプ：文字列
embedded_content.sys_id	添付ファイルの sys_id。 データタイプ：文字列
fields	要求されたフィールドの値 (存在する場合)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"fields": { "<field_name>": {Object} }`
fields.<field_name>	fields パラメーターを使用して要求された各フィールドを一覧表示します (存在する場合)。 データタイプ：オブジェクト `"<field_name>": { "display_value": "String", "label": "String", "name": "String", "type": "String", "value": "String" }`
fields.<field_name>.display_value	要求されたフィールドの表示値。 データタイプ：文字列
fields.<field_name>.label	要求されたフィールドを表すラベル。たとえば、`Knowledge` などです。 データタイプ：文字列
fields.<field_name>.name	要求されたフィールドの名前。*<field_name>* に一致します。 データタイプ：文字列
fields.<field_name>.type	要求されたフィールドのデータタイプ。 データタイプ：文字列
fields.<field_name>.value	要求されたフィールドの値。 データタイプ：文字列
language	現在の記事の 2 文字の ISO 639-1 言語コード (翻訳が利用可能な場合)。 データタイプ：文字列
languages	ナレッジ記事の翻訳版ごとに (翻訳されている場合)： `"languages": [ { "label": "String", "language": "String", "sys_id": "String" } ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ
languages.label	言語の文字列表現。 データタイプ：文字列
languages.language	2 文字の ISO 639-1 コード言語。 データタイプ：文字列
languages.sys_id	ナレッジ記事の翻訳版の一意の識別子。 データタイプ：文字列
number	記事番号。 データタイプ：文字列
short_description	ナレッジ記事の簡単な説明またはタイトル。 データタイプ：文字列
sys_id	ナレッジ [kb_knowledge] テーブルのナレッジ記事の sys_id。 データタイプ：文字列
template	返された記事がテンプレートかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：記事はテンプレートです。 • false：記事はテンプレートではありません。 データタイプ：ブーリアン
template_table	テンプレートテーブルの名前。ナレッジ記事がテンプレートの場合にのみ返されます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_km_api/knowledge/articles/0b48fd
75474321009db4b5b08b9a71c2?search_id=spam&search_rank=26.426" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "content": "<p><span style=\"font-size: 18pt;\"><strong>How to Deal
 with Spam</strong></span></p>\r\n<p>Spam has increasingly become a
 problem on the Internet. While every Internet user receives some spam,
 email  addresses posted to web sites or in newsgroups and chat rooms
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 attract the most spam.</p>\r\n<p>To reduce the amount of spam you
 receive:</p>\r\n<p>
    "template": false,
    "number": "KB0000011",
    "sys_id": "0b48fd75474321009db4b5b08b9a71c2",
    "short_description": "How to Deal with Spam",
    "display_attachments": true,
    "attachments": [
      {
        "sys_id": "dc27ae18294f4010f877796e707869c8",
        "file_name": "image.jpg",
        "size_bytes": "66792",
        "state": "available_conditionally"
      },
      {
        "sys_id": "fedf5614294f4010f877796e70786956",
        "file_name": "attachment.txt",
        "size_bytes": "75",
        "state": "available_conditionally"
      }
    ],
    "embedded_content": []
  }
}
```


Example: サンプル cURL 要求 (update_view)

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_km_api/knowledge/KB0000020?updat
e_view=' \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "content": "<p> </p>\r\n<p> </p>\r\n<p><strong><span
 style=\"font-size: 18pt;\">Should I upgrade to Windows
 8.x?</span></strong></p>\r\n<p>Windows 8.x is designed for using touch,
 mouse, and keyboard together, on hardware ranging from touch-enabled
 tablets and laptops to PCs and all-in-one computers...(intentionally
 truncated)</p>",
    "template": false,
    "number": "KB0000020",
    "sys_id": "9e528db1474321009db4b5b08b9a71a6",
    "short_description": "Windows: Should I upgrade to Windows 8.x?\t\t",
    "display_attachments": true,
    "attachments": [],
    "embedded_content": []
  }
}
```


Knowledge Management - GET knowledge/articles/most_viewed

最も多く閲覧された順に優先順位付けしてナレッジ記事のリストを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_km_api/{api_version}/knowledge/articles/most_viewed`

デフォルトの URL：`/api/sn_km_api/knowledge/articles/most_viewed`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	結果の詳細を表示するナレッジ [kb_knowledge] テーブルのフィールドのカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
kb	結果を制限するナレッジ ベース [kb_knowledge_base] テーブルのナレッジベース sys_id のカンマ区切りリスト。 データタイプ：文字列
language	結果を制限する 2 文字の ISO 639-1 言語コード形式でのカンマ区切りの言語のリスト。または、「all」と入力すると、インスタンスにインストールされているすべての有効な言語で検索できます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ユーザーのセッション言語または en
limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい *limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 デフォルト：30
offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*offset* は「0」に設定されます。利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの最後に達するまで `offset=offset+limit` を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 デフォルト：0

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
articles	応答で返される記事のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `[ { "fields": {Object}, "id": "String", "link": "String", "number": "String", "rank": Number, "score": Float, "snippet": "String", "title": "String" } ]`
articles.fields	要求されたフィールドの値 (存在する場合)。 データタイプ：オブジェクト `"fields": { "<field_name>": {Object} }`
articles.fields.<field_name>	fields パラメーターを使用して要求された各フィールドを一覧表示します (存在する場合)。 データタイプ：オブジェクト `"<field_name>": { "display_value": "String", "label": "String", "name": "String", "type": "String", "value": "String" }`
articles.fields.<field_name>.display_value	要求されたフィールドの表示値。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.label	要求されたフィールドを表すラベル。たとえば、`Knowledge` などです。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.name	要求されたフィールドの名前。<field_name> に一致します。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.type	要求されたフィールドのデータタイプ。 データタイプ：文字列
articles.fields.<field_name>.value	要求されたフィールドの値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
articles.id	ナレッジ [kb_knowledge] テーブルのナレッジ記事の sys_id。 データタイプ：文字列
articles.link	記事へのリンク。 データタイプ：文字列
articles.number	ナレッジ記事の番号。 データタイプ：文字列
articles.rank	この検索に固有の記事の検索ランク。 データタイプ：浮動小数点
articles.score	関連性スコア。スコアの降順でソートされた結果です。 データタイプ：文字列
articles.snippet	ナレッジ記事の一部を示すテキスト。 データタイプ：文字列
articles.title	ナレッジ記事の簡単な説明またはタイトル。 データタイプ：文字列

meta	結果と要求パラメーターのメタ情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "count": Number,`
	`  "end": Number,`
	`  "fields": "String",`
	`  "filter": "String",`
	`  "kb": "String",`
	`  "language": "String",`
	`  "query": "String",`
	`  "start": Number,`
	`  "status": {Object},`
	`  "ts_query_id": "String"`
	`}`

meta.count	利用可能な KB 記事の数。 データタイプ：数値
meta.end	結果セットの終了インデックス。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
meta.fields	記事のフィールド。 データタイプ：文字列
meta.filter	データの取得に使用されるフィルター。 データタイプ：文字列
meta.kb	ナレッジベース記事の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列
meta.language	要求された KB 記事のカンマ区切りの言語のリスト。 データタイプ：文字列
meta.query	指定された要求クエリ。 データタイプ：文字列
meta.start	結果セットの開始インデックス。 データタイプ：数値
meta.status	呼び出しの HTTP ステータス。 データタイプ：文字列
meta.ts_query_id	クエリの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_km_api/knowledge/articles/most_viewed?limit=5" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "meta": {
      "start": 0,
      "end": 5,
      "fields": "",
      "query": "",
      "filter":
 "workflow_state=published^valid_to>=javascript:gs.beginningOfToday()^active=true^sys_class_name!=kb_knowledge_block^sys_view_count>0^ORDERBYDESCsys_view_count^ORDERBYshort_description",
      "kb": "",
      "count": 2,
      "status": {
        "code": 200
      },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "language": "en"
    },
    "articles": [
      {
        "link":
"?id=kb_article_view&sys_kb_id=0b48fd75474321009db4b5b08b9a71c2",
        "id": "kb_knowledge:0b48fd75474321009db4b5b08b9a71c2",
        "title": "How to Deal with Spam",
        "snippet": "How to Deal with Spam Spam has increasingly become a
problem on the Internet. While every Internet user receives some spam,
email addresses posted to web sites or in newsgroups and chat rooms
attract the most spam. To reduce the amount of spam you receive: Don't
reply to spam Be careful releasing your email address, and know how it
will be used ",
        "score": 7,
        "tags": [],
        "number": "KB0000011"
      },
      {
        "link":
"?id=kb_article_view&sys_kb_id=c85cd2519f77230088aebde8132e70c2",
        "id": "kb_knowledge:c85cd2519f77230088aebde8132e70c2",
        "title": "Microsoft Outlook Issues",
        "snippet": "Microsoft Outlook Issues This article explains how to
use automatic replies in Outlook 2010 for Exchange accounts. Setting Up
Automatic Replies Click the File tab. Click Automatic Replies. Select
Send automatic replies. If desired, select the Only send during this
time range check box to schedule when your out of office replies are
active. If yo",
        "score": 6,
        "tags": [],
        "number": "KB99999999"
      }
    ]
  }
}
```


MetricBase 時系列 API

MetricBase 時系列 API は、メトリックベース データベースに対してデータの挿入、情報の取得、変換の実行を行うためのエンドポイントを提供します。

この API は、 メトリックベース プラグイン (com.snc.clotho) がインストールされ、アクティブ化されている場合にのみ使用できます。

この API への書き込みに必要なロール：clotho_rest_put。

このセクションの例は、MetricBase (com.snc.clotho) プラグインのデータを使用して作成されています。

MetricBase 時系列 - GET /now/clotho/table/{table}/{subject}/{metric}

指定された時系列データを メトリックベース データベースから取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/table/{table}/{subject}/{metric}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	
metric	測定基準として使用する *subject* パラメーターで識別されるテーブルの列の名前。 データタイプ：文字列
subject	この系列に関連付けられた GlideRecord の sys_id。 データタイプ：文字列
table	この系列に関連付けられた GlideRecord を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	他のラベルが指定されていない場合に、結果データに対象レコードの表示値のラベルを付けるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされます。 • false：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_end	必須です。評価期間の終了時間。空または値がない場合は現在の時間として扱われます。時間値には、この終了時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
sysparm_start	必須です。評価期間の開始時間。特別な値 `all` を使用すると、現在の時刻から指定した測定基準の最大保持期間を引いた時刻を開始時刻として設定できます。空または値がない場合は、暗黙的な `all`として扱われます。時間値には、この開始時間が含まれます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
label	この測定基準の結果セットを識別するために使用されるラベル。 データタイプ：文字列
seriesRef	データ系列の結果。 データタイプ：アレイ `"seriesRef": [ { "metric": "String", "subject": "String", "table": "String" } ]`
seriesRef.metric	データ系列の取得元の測定基準の名前。*metrics* オブジェクトが要求で渡された場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
seriesRef.subject	データ系列レコードの sys_id。*seriesRef.table* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
seriesRef.table	データ系列の取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列
values	変換された系列値。 データタイプ：アレイ `"values": [ { "timestamp": "String", "value": Number } ]`
values.timestamp	値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列
values.value	測定基準値。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/
  table/mb_demo_drone/626b051787333200a328c5b836cb0b99/
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  mb_demo_mt_altitude?sysparm_start=2019-03-20T17%3A04%3A55
  &sysparm_end=2019-03-20T17%3A09%3A55" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "seriesRef": {
    "subject": "626b051787333200a328c5b836cb0b99",
    "table": "mb_demo_drone",
    "metric": "mb_demo_mt_altitude"
  },
  "label": "626b051787333200a328c5b836cb0b99:
            mb_demo_drone|mb_demo_mt_altitude",
  "values": [
    {
      "timestamp": "2019-03-20T17:05:00Z",
      "value": 83.150185
    },
    {
      "timestamp": "2019-03-20T17:06:00Z",
      "value": 83.46074
    },
    {
      "timestamp": "2019-03-20T17:07:00Z",
      "value": 83.83104
    },
    {
      "timestamp": "2019-03-20T17:08:00Z",
      "value": 84.260635
    },
    {
      "timestamp": "2019-03-20T17:09:00Z",
      "value": 84.749
    }
  ]
}
```


MetricBase 時系列 - GET /now/clotho/transform/{table}/{metric}

指定されたパラメーターに基づいて、指定されたデータを変換します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/transform/{table}/{metric}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	
metric	測定基準として使用する *subject* パラメーターで識別されるテーブルの列の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
table	この系列に関連付けられた GlideRecord を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	他のラベルが指定されていない場合に、結果データに対象レコードの表示値のラベルを付けるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされます。 • false：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_end	必須です。評価期間の終了時間。空または値がない場合は現在の時間として扱われます。時間値には、この終了時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
sysparm_query	対象レコードを検索するためのエンコードされたクエリ文字列。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
sysparm_start	必須です。評価期間の開始時間。特別な値 `all` を使用すると、現在の時刻から指定した測定基準の最大保持期間を引いた時刻を開始時刻として設定できます。空または値がない場合は、暗黙的な `all`として扱われます。時間値には、この開始時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
sysparm_subject_limit	対象クエリ結果のサイズを制限します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 デフォルト：10,000
sysparm_transforms	変換のカンマ区切りリスト。 有効な変換： • add • avg • label • mul • resample • sum • top データタイプ：文字列 デフォルト：なし

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
label	この測定基準の結果セットを識別するために使用されるラベル。 データタイプ：文字列
seriesRef	データ系列の結果。 データタイプ：アレイ `"seriesRef": [ { "metric": "String", "subject": "String", "table": "String" } ]`
seriesRef.metric	データ系列の取得元の測定基準の名前。*metrics* オブジェクトが要求で渡された場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
seriesRef.subject	データ系列レコードの sys_id。*seriesRef.table* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
seriesRef.table	データ系列の取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列
values	変換された系列値。 データタイプ：アレイ `"values": [ { "timestamp": "String", "value": Number`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
values.timestamp	値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列
values.value	測定基準値。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/
  transform/mb_demo_drone/mb_demo_mt_speed?
  sysparm_query=model%3DKingfisher%20Phantom&
  sysparm_start=2019-03-25T17%3A04%3A55&
  sysparm_end=2019-03-25T17%3A05%3A10" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

出力：

```
[
  {
    "seriesRef": {
      "subject": "2a6b051787333200a328c5b836cb0b92",
      "table": "mb_demo_drone",
      "metric": "mb_demo_mt_speed"
    },
    "label": "2a6b051787333200a328c5b836cb0b92:mb_demo_drone
             |mb_demo_mt_speed",
    "values": [
      {
        "timestamp": "2019-03-25T17:05:00Z",
        "value": 33.67892
      }
    ]
  },
  {
    "seriesRef": {
      "subject": "666b051787333200a328c5b836cb0b92",
      "table": "mb_demo_drone",
      "metric": "mb_demo_mt_speed"
    },
    "label": "666b051787333200a328c5b836cb0b92:mb_demo_drone
             |mb_demo_mt_speed",
    "values": [
      {
        "timestamp": "2019-03-25T17:05:00Z",
        "value": 41.94985
      }
    ]
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "seriesRef": {
      "subject": "a26b051787333200a328c5b836cb0b92",
      "table": "mb_demo_drone",
      "metric": "mb_demo_mt_speed"
    },
    "label": "a26b051787333200a328c5b836cb0b92:mb_demo_drone
             |mb_demo_mt_speed",
    "values": [
      {
        "timestamp": "2019-03-25T17:05:00Z",
        "value": 37.74187
      }
    ]
  },
  {
    "seriesRef": {
      "subject": "ea6b051787333200a328c5b836cb0b92",
      "table": "mb_demo_drone",
      "metric": "mb_demo_mt_speed"
    },
    "label": "ea6b051787333200a328c5b836cb0b92:mb_demo_drone
             |mb_demo_mt_speed",
    "values": [
      {
        "timestamp": "2019-03-25T17:05:00Z",
        "value": 34.914192
      }
    ]
  },
  {
    "seriesRef": {
      "subject": "ee6b051787333200a328c5b836cb0b91",
      "table": "mb_demo_drone",
      "metric": "mb_demo_mt_speed"
    },
    "label": "ee6b051787333200a328c5b836cb0b91:mb_demo_drone
             |mb_demo_mt_speed",
    "values": [
      {
        "timestamp": "2019-03-25T17:05:00Z",
        "value": 44.170887
      }
    ]
  }
]
```


MetricBase 時系列 - POST /now/clotho/accumulate

指定されたタイムスタンプの測定基準値を累積し、値を上書きするのではなく結果をデータベースに保存します。

この API の使用：を使用して、電力のキロワット時 (kWh) など、合計して累積できる測定基準を処理します。累積では、指定されたタイムスタンプで各測定基準の呼び出しを行います。たとえば、ヒーター、電気ケトル、洗濯機用に収集されたキロワットは、蓄積の呼び出しが 3 回発生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/accumulate`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
default_value	指定されたタイムスタンプでの累積のデフォルト値。指定されたタイムスタンプの値が利用できない場合に、accumulate に対する最初の呼び出し中にのみ使用されます。 ユースケースとして、total_power のワット測定基準の累積が考えられます。電力量計なしでコンセントに接続されたルーターのワット数を累積して測定する必要があります。消費値がわかっていて定数である場合は、定数値をデフォルト値として使用して total_power を累積できます。たとえば、ルーターが常に接続されていて、20 ワットを消費する場合は、20 を使用します。 データタイプ：文字列 デフォルト：0
sysparm_ignore_unknown_series	不明な系列を無視し、エラーを返さずにトランザクションを続行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不明な系列を無視します。 • false：不明な系列を無視しません。 デフォルト：true

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明

seriesRef	更新するデータ系列情報を表す文字列のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"seriesRef": [`
	`  {`
	`  "metric": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"subject": "String",
	"table": "String"
	}
	]</pre>

seriesRef.metric	必須です。更新する累積測定基準の名前。 データタイプ：文字列
seriesRef.subject	必須です。データを更新するレコードの sys_id。*seriesRef.table* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
seriesRef.table	必須です。データを保存するテーブルの名前。 データタイプ：文字列

values	必須です。累積して保存する系列値。同じタイムスタンプを持つ値は、*default_value* クエリパラメーターで合計されます。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"values": [
	{
	"timestamp": "String",
	"value": Number
	}
	]</pre>

values.timestamp	必須です。値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-ddTHH:mm:ddZ 「Z」で表される文字は、ISO 形式のタイムスタンプで UTC タイムゾーンを示します。タイムスタンプ形式のこの部分はオプションです。 例：`2019-03-21T17:05:00Z`
values.value	必須です。測定基準値。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
message	成功 (OK) またはエラーを示すメッセージ。

Example: cURL 要求

この例は、指定されたタイムスタンプで測定基準値を累積する方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/accumulate" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"seriesRef\": {
    \"subject\": \"3D666b051787333200a328c5b836cb0b92\",
    \"table\": \"power_monitoring\",
    \"metric\": \"total_power\"
  },
  \"values\": [
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z\",
      \"value\": 0.150185
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z \",
      \"value\": 0.46074
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z \",
      \"value\": 0.83104
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z \",
      \"value\": 1.260635
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z \",
      \"value\": 1.749
    }
  ]
}" \
--user "username":"password"
```

出力に成功した結果が表示されます。

```
{
    "result": {
        "message": "ok"
    }
}
```

MetricBase 時系列 - POST /now/clotho/transform

線形パイプラインを形成する変換の指定されたリストを適用した後、1 つ以上の測定基準の時系列データを取得し、オプションでグループ化します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/transform`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	他のラベルが指定されていない場合に、結果データに対象レコードの表示値のラベルを付けるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• true：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされます。 • false：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされません。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
end	必須です。評価期間の終了時間。空または値がない場合は現在の時間として扱われます。時間値には、この終了時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10,000

metrics	変換で使用する測定基準オブジェクトのリスト。メトリクスの詳細については、「メトリクス」を参照してください。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"metrics": [`
	`  {`
	`  "groupBy": "String"`
	`  "label": "String",`
	`  "metric": "String",`
	`  "transforms": [Array]`
	`  }`
	`]`

metrics.groupBy	*table* パラメーターで指定されたテーブルに含まれるフィールドをカンマで区切ったリスト。集計された変換を収集または適用する前に系列をグループ化するために使用します。 リスト内のアイテムの順序は、データがグループ化される順序です。たとえば、リストに「state, zip code」の 2 つのアイテムがある場合、系列は最初に state 別にグループ化され、次に state 内の zip code 別にグループ化されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：データはグループ化されません。
metrics.label	この測定基準の結果セットに使用するラベル。変換チェーンによって生成されたラベルを置き換えます。 データタイプ：文字列 デフォルト：生成されたデフォルトのラベル。
metrics.metric	*metrics* オブジェクトが渡されない場合は必須です。変換で使用する測定基準フィールド。このフィールドは、*table* パラメーターで指定されたテーブルに存在する必要があります。 データタイプ：文字列
metrics.transforms	取得された時系列データに適用する変換のリスト (変換チェーン) 。各変換は、前の変換の結果に基づいて構築されます。利用可能な変換のリストについては、以下の「サポートされている変換」を参照してください。 データタイプ：アレイ `"transforms": [ { "arg": {Object}, "name": "String" } ]`
metrics.transforms.arg	変換に依存します。変換に渡す 1 つまたは複数のパラメーター。 一般的なガイドライン： • パラメーターを取得しない変換を指定する場合は、*arg* パラメーターを使用しないでください。 • 単一のパラメーターを取得する変換には、数値、文字列、またはブールを使用します。 • 複数のパラメーターを取得する変換には、適切な名前と値のペアを持つ JSON オブジェクトを使用します。 データタイプ：変換に応じて、数値、文字列、ブール、または JSON オブジェクト。(利用可能な変換のリストについては、以下の「サポートされている変換」の表を参照してください)。
metrics.transforms.name	*transforms* オブジェクトが指定されている場合は必須です。変換の名前。 利用可能な変換のリストについては、以下の「サポートされている変換」の表を参照してください。 データタイプ：文字列
クエリ	結果セットのフィルタリングに使用するエンコードされたクエリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	指定されたテーブルのフィルターエディターを使用してクエリを作成できます。作成したら、フィルターのブレッドクラムコンテキストメニューから **[URL** のコピー] を選択します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
start	必須です。評価期間の開始時間。特別な値 `all` を使用すると、現在の時刻から指定した測定基準の最大保持期間を引いた時刻を開始時刻として設定できます。空または値がない場合は、暗黙的な `all`として扱われます。時間値には、この開始時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
table	必須です。この系列に関連付けられた GlideRecord を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
results	クエリを満たす 0 個以上の結果オブジェクトが返されます。*series* アレイまたは *grouped* アレイのいずれかが含まれます。 データタイプ：アレイ `"results":[ { "grouped": [Array], "marker": "String", "series": [Array] } ]`
results.grouped	各 *grouped* 結果オブジェクトが特定のグループに対応する、グループ化された結果オブジェクトのリスト。この形式は、*metrics.groupBy* パラメーターが要求本文で渡されたときに返されます。 データタイプ：アレイ `"grouped": [ { "groupingBy": "String", "groups": [Array] } ]`
results.grouped.groupingBy	要求の *metrics.groupBy* パラメーターに渡される値。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups	要求の *metrics.groupBy* パラメーターの内容に基づいて生成されたグループのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"groups": [ { "group": "String", "label": "String", "series": {Object} } ]`
results.grouped.groups.group	グループの名前。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.label	グループのラベル。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series	グループの結果の変換された値。 データタイプ：アレイ `"series": [ { "label": "String", "seriesRef": {Object}, "values": [Array] } ]`
results.grouped.groups.series.label	系列のラベル。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series.seriesRef	単一のデータ系列の結果。応答に複数のデータ系列がある場合は表示されません。 データタイプ：オブジェクト `"seriesRef": { "metric": "String", "subject": "String", "table": "String" }`
results.grouped.groups.series.seriesRef.metric	データ系列の取得元の測定基準の名前。*metrics* オブジェクトが要求で渡された場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series.seriesRef.subject	データ系列レコードの sys_id。*results.series.seriesRef.table* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series.seriesRef.table	データ系列の取得元のテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series.values	グループの結果値のリスト。 データタイプ：アレイ `"values": [ { "timestamp": "String", "value": Number } ]`
results.grouped.groups.series.values.timestamp	値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列
results.grouped.groups.series.values.value	変換された値。 データタイプ：数値
results.marker	対応する結果の一意の識別子。 データタイプ：文字列
results.series	結果オブジェクトのグループ化されていない系列のリスト。 データタイプ：アレイ `"series": [ { "label": "String", "seriesRef": {Object}, "values": [Array] } ]`
results.series.label	データ系列ラベル。この値は、エンドポイントによって生成されるか、*metrics.label* パラメーターに渡される値です。 データタイプ：文字列
results.series.seriesRef	単一のデータ系列の結果。応答に複数のデータ系列がある場合は表示されません。 データタイプ：オブジェクト `"seriesRef": { "metric": "String", "subject": "String", "table": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
results.series.seriesRef.metric	データ系列の取得元の測定基準の名前。*metrics* オブジェクトが要求で渡された場合にのみ表示されます。 データタイプ：文字列
results.series.seriesRef.subject	データ系列レコードの sys_id。*results.series.seriesRef.table* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
results.series.seriesRef.table	データ系列の取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列
results.series.values	変換された系列値。 データタイプ：アレイ `"values": [ { "timestamp": "String", "value": Number } ]`
results.series.values.timestamp	値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列
results.series.values.value	変換された値。 データタイプ：数値

サポートされている変換

データ変換タイプ

変換	説明
add	指定された数値を各タイムスタンプ値に追加します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 加算する数値。 例： `"transforms": [ { "name": "add", "arg": 8 } ]`
autocorrelate	1 から始まって増加する期間の数で区切られたタイムスタンプ値間の相関を計算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
avg	入力全体の対応する各タイムスタンプの平均値を含む 1 つの系列に時系列を集計します。
bottom	最小値を含む指定された数の系列を返します。 引数： `arg` (整数) – 返される系列の数。 たとえば、次の場合、最も小さい値のセットを含む 2 つの時系列が返されます。 `"transforms": [ { "name": "bottom", "arg": 2 } ]`
ceil	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り上げます：`ceil(value / <arg>) * <arg>)` 引数: arg (Decimal データ型) -- 切り上げ後の小数点以下桁数。
collect	収集変換呼び出しの時点までの変換チェーンの変換結果を表示します。収集変換の結果には一意のマーカーが含まれていますが、ラベルを定義することもできます。 例： `{ "start": "PT1H", "end": "", "table": "mb_demo_drone", "limit": 5000, "metrics": [ { "metric": "mb_demo_mt_altitude", "transforms": [ { "name": "label", "arg": "Series Timestamp Values" }, { "name": "collect" }, { "name": "avg" }, { "name": "label", "arg": "Average Timestamp Values" } ] }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	<pre>] }</pre>

constrainValues	指定された範囲外の値を、対応する最大値または最小値に置き換えます。
	
	たとえば、次のように指定すると、0 未満の値は 0 に、100 を超える値は 100 に置き換えられます。
	<pre>"transforms": [
	  {
	  "name": "constrainValues",
	  "val1": 0,
	  "val2": 100
	  }
	]</pre>
	引数：
	• val1 (10 進数データ型): 最小値または最大値。
	• val2 (10 進数データ型): 最小値または最大値。

カウント	時系列を 1 つの系列に集計します。新しい系列には、系列全体で対応する各タイムスタンプの NaN (数値以外) ではない値の数が含まれます。
derivative	タイムスタンプ間の変更率を決定します。各タイムスタンプの値と次のタイムスタンプの値の差をタイムスタンプの期間で除算します。 **注:** この変換は、系列内の値の数より 1 つ少ない値を返します。
div	各タイムスタンプの値を指定された数値 (arg) で除算します。 引数： arg (10 進数：各タイムスタンプの値を除算する数値。
エンベロープ	2 つの時系列を返します。いずれかの時点における最大値が一方に含まれ、もう一方に最小値が含まれます。 **注:** NaN は無視されますが、他の戻り値がない場合は返されます。
exp	指定された基準値を各タイムスタンプの値でべき乗します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 基準値。
filter	移動平均の生成など、スライディングウィンドウのコンテンツに集計関数を適用します。 引数： • aggregator (アグリゲーターデータ型): 実行するアグリゲーションのタイプ。 • window (期間データ型): スライディング ウィンドウの期間。
フロア	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り下げます：`floor(value / <arg>) * <arg>` 引数: arg (10 進数データ型) -- 切り捨て後の小数点以下桁数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
fractiles	指定されたアレイの各分数の時系列を返します。各タイムスタンプ値は、入力系列全体の対応するタイムスタンプに関して、指定された値の分数が、指定された割合を下回っている値です。たとえば、分数が 0.5 の場合、タイムスタンプの値は、入力系列の値の半分が 0.5 未満の値になります。 引数：arg (10 進数のアレイ)：入力系列で使用する分数。 例： `"transforms": [ { "name": "fractiles", "arg": [0.25, 0.5, 0.75, 1] } ]`
groupBy	集計された変換を収集または適用する前に、指定されたフィールドでデータをグループ化します。 引数： arg (文字列)：変換結果をグループ化するために使用するテーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 例： `"transforms": [ { "name": "groupBy", "arg": "model" }, { "name": "avg" }, { "name": "label", "arg": "Model: %g" } ]`
integrate	各タイムスタンプの値をその期間で乗算します。
interpolate	隣接するデータ値から補間して NaN データアイテムのデータ値を作成します。 引数：arg (整数)：非 NaN 値をチェックする各方向のデータサンプルの数。非 NaN 値が見つからない場合は、NaN が使用されます。
inverse	各タイムスタンプ値の反転を計算します。
iqr	四分位範囲変換を実行し、次の 4 つの系列を含む結果セットを作成します。 **1.** -IQR：以下のすべてのエントリの中央値 `Q1 - (1.5 * IQR)`。 **2.** Q1：エントリの最小の半分の中央値。 **3.** Q3：エントリの最大の半分の中央値。 **4.** -IQR：上のすべてのエントリの中央値 `Q3 + (1.5 * IQR)`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	注: `IQR = Q3 - Q1`

label	変換チェーンにラベルを付けます。
	
	注: 後続の変換でラベルが変更されるか、ラベルが置き換えられる場合があります。
	
	引数： arg (文字列) ：ラベルのテキスト。次の書式設定式を含めることができます。
	• %%：「%」リテラルをエスケープします。
	• %l：置換される現在のラベル。
	• %s：系列の件名。
	• %g：グループ化フィールドの値。これが参照レコードの場合、レコードの名前フィールドの値。*groupBy* 変換で複数のグループが指定されている場合、ラベルはカンマで区切られます。
	• %G：グループ化フィールドの値。これが参照レコードの場合、レコードの sys_id。複数のグループが選択されている場合、値はカンマで区切られます。
	
	例：
	`"transforms": [ { "name": "label", "arg": "Series Timestamp Values" }, ]`
	
	`"transforms": [ { "name": "groupBy", "arg": "model" }, { "name": "avg" }, { "name": "label", "arg": "Model: %g" } ]`

limit	最後に保存された値から始めて、指定された期間または値の数の最大値を返します。 引数： • arg (整数)：各時系列に対して返すタイムスタンプ値の数。 OR • arg (期間データ型): 各時系列を制限する期間。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
log	各タイムスタンプの値に対して対数計算を実行します。結果は、タイムスタンプ値の指定された基準値の対数です。 引数: arg (10 進数データ型) -- 対数計算の基数。
mapValues	指定された範囲内 (包含) の値を指定された値に置き換えます。*lowerBound* と *upperBound* の両方が NaN として指定されている場合、NaN 値を *targetValue* に置き換えます。 引数： • lowerBound (10 進数データ型): 範囲内の最小値。 • upperBound (10 進数データ型): 範囲内の最大値。 • targetValue (10 進数データ型): 置換値。 たとえば、次の例では、.1 と .9 の間の時系列のすべての値を 1 に変更します。 `"transforms": [ { "name": "mapValues", "lowerBound": .1, "upperBound": .9, "targetValue": 1 } ]`
max	入力全体の対応する各タイムスタンプの最大値を含む系列を返します。
median	系列のセット全体の各タイムスタンプの値の中央値を含む系列を作成します。 `n` 系列がある場合： • `n` が奇数の場合、中央値はタイムスタンプの `(n / 2 + 1)` 値です。 • `n` が偶数の場合、中央値はタイムスタンプの `(n / 2)` 値と `(n / 2 + 1)` 値の平均です。
min	入力全体の対応する各タイムスタンプの最小値を含む系列を返します。
mul	各タイムスタンプの値を指定された数値で乗算します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 各タイムスタンプの値を乗算する数値。
パーティション	指定された集計関数を重複しないウィンドウに適用することによって、値をフィルタリングして新しい系列を生成します。 引数： • aggregator (アグリゲーターデータ型): 実行するアグリゲーションのタイプ。 • window (Duration データ型): アグリゲーターを適用する重複しないウィンドウの期間。 • base (DateTime データ型): パーティション分割に使用するゼロ オフセット。たとえば、日 (24 時間) で分割するには、この値をタイムゾーンの月曜日

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	の午前 0 時に設定します。30 日間でパーティション化するには、この値を直近の月の最初の日に設定します。 デフォルト：EPOCH の先頭。
pow	各タイムスタンプ値を指定された値でべき乗します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 各値を上げるべき乗。
product	選択した測定基準系列を、各タイムスタンプのすべての値の積を含む 1 つの系列に集計します。NaN は除外されます。系列内のすべての数値が NaN の場合、出力も NaN になります。
resample	固定数のポイントに、またはある頻度から別の頻度に時系列をリサンプルします。 リサンプル変換を使用して、結果セット内のサンプル数を減らし、表示するサンプル数により密接に一致するようにします。 引数：この変換にはさまざまな引数を渡すことができます。可能な各引数グループのリストを以下に示します。単一の変換内で渡すことができるこれらの引数グループは 1 つだけです。次の引数グループは AND/OR で区切られます。AND は、引数が現在のグループの一部であることを意味します。OR は、新しい引数グループの開始を意味します。 • arg (整数)：結果セットに含めるサンプルの数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • arg (Duration データ型): リサンプリングする頻度。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • minValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最小数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。 AND • maxValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最大数。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • values (整数)：結果セットに含めるサンプルの数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	プルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、指定した *aggregator* がそれらに適用されて減少します。 OR • aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • period (期間データ型): リサンプリングする頻度。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、指定した *aggregator* がそれらに適用されて減少します。 OR • aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • minValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最小数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。 AND • maxValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最大数。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。
round	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り上げます：`(value / <arg>) * <arg>` 引数: arg (10 進数データ型) -- 切り上げ後の小数点以下桁数。
root	指定されたインデックスを使用して、各タイムスタンプ値のルートを計算します。 引数: arg (10 進数データ型) -- ルートのインデックス。 たとえば、次の例では、各タイムスタンプの平方根が返されます。 `"transforms": [ { "name": "root", "arg": "2" }, ]`
stddev	系列のセット全体の各タイムスタンプの値の標準偏差を含む系列を作成します。
sub	各タイムスタンプの値から指定された数値を減算します。 引数：arg (数値)：各タイムスタンプの値から減算する数値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
sum	選択した測定基準系列を、NaN を除く各タイムスタンプのすべての値の合計を含む 1 つの系列に集計します。系列内のすべての数値が NaN の場合、出力は NaN になります。
timeshift	値を変更せずに、指定されたオフセットを値のタイムスタンプに追加することで、時間範囲をシフトします。この変換を使用して、タイムスタンプを別のタイムゾーンにシフトします。 引数: arg (期間データ型) -- シフトする時間の長さ。
上	最大値を含む指定された数の系列を返します。 引数： arg (整数) – 返される系列の数。 たとえば、次の場合、最も大きい値のセットを含む 2 つの時系列が返されます。 `"transforms": [ { "name": "top", "arg": 2 } ]`

データタイプ	説明
集計関数	変換内で使用できる集計関数。 • AVG：現在選択されているすべての系列の算術平均を計算します。 • CHISQUARE：統計モデルが測定基準データセットにどの程度適合するかを示します。 • LAST：期間のウィンドウ内で最後に定義された値を返します。 • MAX：測定基準データセットの各時点での最大値を示します。 • MEDIAN：測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。 • MIN：測定基準データセットの各時点での最小値を示します。 • STDDEV：基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。 • SUM：現在選択されているすべての系列の合計を計算します。
DateTime	絶対日付/時刻値は、ISO 8601 の日付と時刻形式 `YYYY-MM-DDThh:mm:ss` で指定されます。例：2020-02-28T13:10:42 各項目の意味は次のとおりです。 • [YYYY]：4 桁の年。 • [MM]：01 ～ 12 のゼロパディングされた月。 • [DD]：01 ～ 31 のゼロパディングされた日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	説明
	• T：時間を表し、時間コンポーネントが指定される前に必須です。 • [hh]：00 ～ 23 のゼロパディングされた時間。 • [mm]：00 ～ 59 のゼロパディングされた分。 • [ss]：00 ～ 59 のゼロパディングされた秒。うるう秒は前の 1,000 秒間に均等に分散されます。 相対日付/時刻値は、現在の時刻から減算される期間 (Duration データ型) を使用して指定されます。 例：P7D = 7 日前。
10 進数	次のいずれかの 10 進値。 • 指数表記を使用できる任意精度の符号付き 10 進数。 例： ◦ 2 ◦ 1.7 ◦ -3.47 ◦ 1.0E+2 • 次の文字列表現： ◦ 指数表記を使用することができ、倍精度の 64 ビット IEEE 754 浮動小数点数であることが保証されている符号付き 10 進数。 ◦ 「NaN」 ◦ 「-Infinity」 ◦ 「+Infinity」
期間	時間間隔の時間。期間の値は ISO 8601 期間形式で指定されます： `P[n]Y[n]M[n]DT[n]H[n]M[n]S` 各項目の意味は次のとおりです。 • P：期間指定子。「期間」と呼ばれ、常に期間の先頭に配置されます。 • [n]Y：年数。 • [n]M：月数。 • [n]D：日数。 • T：時間指定子。時間コンポーネントが指定される前に必須です。 • [n]H：時間数。 • [n]M：分数。 • [n]S：秒数。 例： • P7D：7 日間の期間。 • P1M：1 か月の期間。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	説明
	• PT15M：15 分間の期間。 • P1DT12H：1 日と 12 時間の期間。

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/transform \
--request POST \
--header "Accept:application/json", "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password"
-d {\
  "start": "PT15M",\
  "end": "",\
  "table": "mb_demo_drone",\
  "query": "fleet.nameSTARTSWITHB",\
  "limit": 5000,\
  "metrics": [\
    {\
      "metric": "mb_demo_mt_altitude",\
      "label": "Series - Avg",\
      "transforms": [\
        {\
          "name": "partition",\
          "arg": {\
            "aggregator": "AVG",\
            "window": "PT5M"\
          }\
        },
        {\
          "name": "avg"\
        }\
      ]\
    },
    {\
      "metric": "mb_demo_mt_altitude",\
      "groupBy": "fleet",\
      "label": "Fleet - AVG",\
      "transforms": [\
        {\
          "name": "partition",\
          "arg": {\
            "aggregator": "AVG",\
            "window": "PT5M"\
          }\
        },
        {\
          "name": "avg"\
        }\
      ]\
    }\
  ]\
} \
```

出力：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"results:" [
  {
    "marker": "674d86ba-a810-4065-942b-0b7ca2f95db2",
    "series": [
      {
        "label": "Series - Avg",
        "values": [
          {
            "timestamp": "2020-05-01T21:05:00Z",
            "value": 157.43086
          },
          {
            "timestamp": "2020-05-01T21:10:00Z",
            "value": 162.92278
          }
        ]
      }
    ]
  },
  {
    "marker": "846aa334-232a-4015-b033-d18ebc4b1d23",
    "grouped": [
      {
        "groupingBy": "fleet",
        "groups": [
          {
            "group": "86fac11787333200a328c5b836cb0b4e",
            "label": "Bantams",
            "series": {
              "label": "Fleet - AVG",
              "values": [
                {
                  "timestamp": "2020-05-01T21:05:00Z",
                  "value": 159.70201
                },
                {
                  "timestamp": "2020-05-01T21:10:00Z",
                  "value": 165.1136
                }
              ]
            }
          },
          {
            "group": "4afac11787333200a328c5b836cb0b4e",
            "label": "Bumble Untd",
            "series": {
              "label": "Fleet - AVG",
              "values": [
                {
                  "timestamp": "2020-05-01T21:05:00Z",
                  "value": 154.5403
                },
                {
                  "timestamp": "2020-05-01T21:10:00Z",
                  "value": 160.13445
                }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                ]
              }
            }
          ]
        }
      ]
    }
]
```

MetricBase 時系列 - POST /now/clotho/transform/stream

指定された変換のリストを適用した後、1 つ以上の測定基準の変換された時系列データのストリームを返します。

この方法でデータをストリーミングすると、すべての変換結果が完了してダウンロードされるのを待つのではなく、個々の変換が完了して返されるときにデータを処理できます。大量のデータをクライアントで処理する必要がある場合、このタイプの処理はエンドツーエンドの処理時間を短縮し、クライアントのメモリ使用量を削減できる可能性があります。

対応する Accept ヘッダー値を要求に設定することで、次のことができます。

- バイナリ形式でエンコードするストリーミングデータを指定します。
- ストリーミングされたデータを JSON アレイにシリアル化します。
- データをワイドまたはナローの CSV 形式でクライアントにストリーミングします。

メトリックベース サーバーで変換が完了すると、グループ化や事前定義された順序付けなしに、エンドポイントはデータをストリーミングします。バイナリ形式でストリーミングされるデータは、MetricBase 時系列 - POST /now/clotho/transform エンドポイントによって返される JSON 表現よりもサイズが小さくなります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/transform/stream`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	他のラベルが指定されていない場合に、結果データに対象レコードの表示値のラベルを付けるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされます。 • false：結果データは対象レコードの表示値でラベル付けされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
end	必須です。評価期間の終了時間。空または値がない場合は現在の時間として扱われます。時間値には、この終了時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか： • 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
limit	返されるレコードの最大数。異常に大きい値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10,000
metrics	変換で使用する測定基準オブジェクトのリスト。メトリクスの詳細については、「メトリクス」を参照してください。 データタイプ：アレイ `"metrics": [ { "label": "String", "metric": "String", "transforms": [Array] } ]`
metrics.label	この測定基準の結果セットに使用するラベル。変換チェーンによって生成されたラベルを置き換えます。 データタイプ：文字列 デフォルト：生成されたデフォルトのラベル。
metrics.metric	*metrics* オブジェクトが渡されない場合は必須です。変換で使用する測定基準フィールド。このフィールドは、*table* パラメーターで指定されたテーブルに存在する必要があります。 データタイプ：文字列
metrics.transforms	取得された時系列データに適用する変換のリスト (変換チェーン) 。各変換は、前の変換の結果に基づいて構築されます。利用可能な変換の

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	リストについては、以下の「サポートされている変換」を参照してください。 データタイプ：アレイ `"transforms": [ { "arg": {Object}, "name": "String" } ]`
metrics.transforms.arg	変換に依存します。変換に渡す 1 つまたは複数のパラメーター。 一般的なガイドライン： • パラメーターを取得しない変換を指定する場合は、*arg* パラメーターを使用しないでください。 • 単一のパラメーターを取得する変換には、数値、文字列、またはブールを使用します。 • 複数のパラメーターを取得する変換には、適切な名前と値のペアを持つ JSON オブジェクトを使用します。 データタイプ：変換に応じて、数値、文字列、ブール、または JSON オブジェクト。(利用可能な変換のリストについては、以下の「サポートされている変換」の表を参照してください)。
metrics.transforms.name	*transforms* オブジェクトが指定されている場合は必須です。変換の名前。 利用可能な変換のリストについては、以下の「サポートされている変換」の表を参照してください。 データタイプ：文字列
クエリ	結果セットのフィルタリングに使用するエンコードされたクエリ。 指定されたテーブルのフィルターエディターを使用してクエリを作成できます。作成したら、フィルターのブレッドクラムコンテキストメニューから **[URL** のコピー] を選択します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
start	必須です。評価期間の開始時間。特別な値 `all` を使用すると、現在の時刻から指定した測定基準の最大保持期間を引いた時刻を開始時刻として設定できます。空または値がない場合は、暗黙的な `all`として扱われます。時間値には、この開始時間が含まれます。 データタイプ：文字列 形式：ISO 8601 (UTC)、次のいずれか：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 絶対日付形式：[YYYY-MM-DDThh:mm:ss] (`2019-03-20T17:04:55` など) • 現在の期間に相対的な形式：`[P(n)Y(n)M(n)DT(n)H(n)M(n)S]` (`P1M` など)
table	必須です。この系列に関連付けられた GlideRecord を含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。以下をサポートします。 • *application/json* • *application/octet-stream* 又は • *text/csv* CSV 形式を指定するには、 `text/csv` を使用します。format=narrow または `text/csv;format=wide` です。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	応答本文のデータフォーマット。要求の指定された Accept 値に基づいて、以下を使用します。 • *application/json* • *application/octet-stream* 又は • *text/csv* 複数の Accept タイプが指定されている場合は、サポートされている最初のタイプが返されます。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理され、データのストリーミングが開始されます。 注: 200 応答では、変換が計算される途中でも処理エラーが発生する可能性があります。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (Octet-stream または JSON)

名前	説明
出力ストリーム (Octet-Stream)	Accept 要求ヘッダーが *application/octet-stream* に設定されている場合、一致する MetricBase データは、バイナリのシリアル化されたストリームとして返されます。Clotho-Util for Java アプリケーションは、このデータを解析できるデシリアライザーを提供します。 ストリームは、長さを表す整数と、それに続く各データのバイナリシリアル化で構成されます。次のエントリでは、バイナリ表現内のデータとそのデータの順序について説明します。
CSV ストリーム (UTF-8 ストリーム)	Accept 要求ヘッダーが *text/csv* に設定されている場合、一致するメトリックベースデータは、ワイド形式またはナロー形式の UTF-8 エンコード CSV データとして返されます。 ナロー形式では、件名とタイムスタンプの列と、返された各メトリクスの列が返されます。ワイド形式では、メトリックとサブジェクトのペアごとに個別の列を持つタイムスタンプ列が返されます。
[件名]	データのソース。たとえば、データの測定基準がドローンの高度である場合、この値は特定のドローンの ID にできます。値にコロンが含まれている場合、サブジェクトの後の部分は、データが含まれている測定基準を表します。Null 値は、エンコードされた空の文字列で表されます。 サイズ：2 バイト以上 データタイプ：Java 修正 UTF 文字列
Dimension	データの取得元の測定基準。Null 値は、エンコードされた空の文字列で表されます。 サイズ：2 バイト以上 データタイプ：Java 修正 UTF 文字列
Label	データのラベル。Null 値は、エンコードされた空の文字列で表されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	サイズ：2 バイト以上 データタイプ：Java 修正 UTF 文字列
Type	バイトにエンコードされたデータのタイプ。 可能な値： • 浮動小数点シグナル • 倍精度シグナル • 浮動小数点モード • 倍精度モデル サイズ：1 バイト データタイプ：バイト
Flags	エンコードされた *serializeFlags* 変数。*serializeTags* が true で、データにタグが含まれている場合、値は 2 です。それ以外の場合は 0 です。 サイズ：1 バイト データタイプ：バイト
Period	データに関連付けられた期間。 サイズ：4 バイト データタイプ：整数
Number of Tags	*serializeTags* が true の場合、これはデータに保存されているタグの数です。 サイズ：4 バイト データタイプ：整数
Tags	*serializeTags* が true の場合、各タグがデータに保存されます。 サイズ：タグの数によって異なります (2 バイト以上)。 データタイプ：Java 修正 UTF 文字列
Start Epoch Second	このデータ系列の開始時間を表すエポック UTC 時間。 サイズ：8 バイト データタイプ：長整数
Number of Values	このデータに保存されている値の数。 サイズ：4 バイト データタイプ：整数
Values	*Type* が `Float Signal` の場合、残りの部分は浮動小数点値で構成されます。 サイズ：*Number of Values* * 4

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：浮動小数点
Values	*Type* が倍精度シグナルの場合、残りの部分は倍精度値で構成されます。 サイズ：*Number of Values* * 4 バイト データタイプ：倍精度
モデル Json (Model)	*Type* が `Float Model` または `Double Model` の場合、残りの部分は JSON としてモデルを表す Java 修正 UTF 文字列です。 サイズ：2 バイト以上 データタイプ：JSON (Java 修正 UTF 文字列)
大きなモデルマーカー (Big Model)	モデルの JSON の長さが 65,535 バイトを超える場合、*Model Json* の代わりにこのフィールドが書き込まれます。 サイズ：5 データタイプ：Java 修正 UTF 文字列
大きなモデルサイズ (Big Model)	大きなモデルの JSON 表現の長さ。 サイズ：4 バイト データタイプ：整数
大きなモデル Json (Big Model)	一連の UTF 文字としてのモデルの JSON 表現。サイズは *Big Model Size* フィールドによって決まります。 サイズ：65535 ～ 256000 バイト データタイプ：UTF 文字
JSON ストリーム (JSON)	Accept 要求ヘッダーが *application/json* に設定されている場合、一致する MetricBase データは、新しい改行区切りの JASON オブジェクトのストリームとして返されます。次のエントリでは、返される各オブジェクトの可能な要素について説明します。
label	データのラベル。この値は、エンドポイントによって生成されるか、*metrics.label* パラメーターに渡される値です。 データタイプ：文字列
period	各値の間の時間間隔。たとえば、60 の period は、各値が 1 分離れていることを意味します。 単位：秒 データタイプ：数値
range	ISO 8601 (UTC) 形式のデータの開始時間と終了時間。 データタイプ：アレイ
系列	個々のデータを識別します。存在する場合、通常は `[glide record id]:[metric]` の形式です。変換を使用する場合、これは存在しない可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
species	返されるデータのタイプ。一連の浮動小数点値または倍精度値の場合、これは FLOAT_SIGNAL または DOUBLE_SIGNAL のいずれかです。浮動小数点データまたは倍精度データを分析するためのモデルの場合、これは FLOAT_MODEL または DOUBLE_MODEL のいずれかです。 データタイプ：文字列
tags	データに関連付けられたタグ。 データタイプ：文字列のアレイ
value	データの浮動小数点値または倍精度値。 データタイプ：数値のアレイ
error	指定されたデータ系列の変換に失敗した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列

サポートされている変換

データ変換タイプ

変換	説明
add	指定された数値を各タイムスタンプ値に追加します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 加算する数値。 例： `"transforms": [ { "name": "add", "arg": 8 } ]`
autocorrelate	1 から始まって増加する期間の数で区切られたタイムスタンプ値間の相関を計算します。
avg	入力全体の対応する各タイムスタンプの平均値を含む 1 つの系列に時系列を集計します。
bottom	最小値を含む指定された数の系列を返します。 引数： `arg` (整数) – 返される系列の数。 たとえば、次の場合、最も小さい値のセットを含む 2 つの時系列が返されます。 `"transforms": [ { "name": "bottom", "arg": 2`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	<pre> }]</pre>
ceil	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り上げます：`ceil(value / <arg>) * <arg>)` 引数: arg (Decimal データ型) -- 切り上げ後の小数点以下桁数。

collect	収集変換呼び出しの時点までの変換チェーンの変換結果を表示します。収集変換の結果には一意のマーカーが含まれていますが、ラベルを定義することもできます。
	
	例：
	
	<pre>{
	  "start": "PT1H",
	  "end": "",
	  "table": "mb_demo_drone",
	  "limit": 5000,
	  "metrics": [
	    {
	      "metric": "mb_demo_mt_altitude",
	      "transforms": [
	        {
	          "name": "label",
	          "arg": "Series Timestamp Values"
	        },
	        {
	          "name": "collect"
	        },
	        {
	          "name": "avg"
	        },
	        {
	          "name": "label",
	          "arg": "Average Timestamp Values"
	        }
	      ]
	    }
	  ]
	}</pre>

constrainValues	指定された範囲外の値を、対応する最大値または最小値に置き換えます。
	
	たとえば、次のように指定すると、0 未満の値は 0 に、100 を超える値は 100 に置き換えられます。
	
	<pre>"transforms": [
	  {
	    "name": "constrainValues",
	    "val1": 0,
	    "val2": 100
	  }
	]</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	引数： • val1 (10 進数データ型): 最小値または最大値。 • val2 (10 進数データ型): 最小値または最大値。
カウント	時系列を 1 つの系列に集計します。新しい系列には、系列全体で対応する各タイムスタンプの NaN (数値以外) ではない値の数が含まれます。
derivative	タイムスタンプ間の変更率を決定します。各タイムスタンプの値と次のタイムスタンプの値の差をタイムスタンプの期間で除算します。 注: この変換は、系列内の値の数より 1 つ少ない値を返します。
div	各タイムスタンプの値を指定された数値 (arg) で除算します。 引数： arg (10 進数：各タイムスタンプの値を除算する数値。
エンベロープ	2 つの時系列を返します。いずれかの時点における最大値が一方に含まれ、もう一方に最小値が含まれます。 注: NaN は無視されますが、他の戻り値がない場合は返されます。
exp	指定された基準値を各タイムスタンプの値でべき乗します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 基準値。
filter	移動平均の生成など、スライディングウィンドウのコンテンツに集計関数を適用します。 引数： • aggregator (アグリゲーターデータ型): 実行するアグリゲーションのタイプ。 • window (期間データ型): スライディング ウィンドウの期間。
フロア	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り下げます：`floor(value / <arg>) * <arg>` 引数: arg (10 進数データ型) -- 切り捨て後の小数点以下桁数。
fractiles	指定されたアレイの各分数の時系列を返します。各タイムスタンプ値は、入力系列全体の対応するタイムスタンプに関して、指定された値の分数が、指定された割合を下回っている値です。たとえば、分数が 0.5 の場合、タイムスタンプの値は、入力系列の値の半分が 0.5 未満の値になります。 引数：arg (10 進数のアレイ)：入力系列で使用する分数。 例： `"transforms": [ { "name": "fractiles", "arg": [0.25, 0.5, 0.75, 1] } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
groupBy	集計された変換を収集または適用する前に、指定されたフィールドでデータをグループ化します。 引数： arg (文字列)：変換結果をグループ化するために使用するテーブル内のフィールドのカンマ区切りリスト。 例： `"transforms": [ { "name": "groupBy", "arg": "model" }, { "name": "avg" }, { "name": "label", "arg": "Model: %g" } ]`
integrate	各タイムスタンプの値をその期間で乗算します。
interpolate	隣接するデータ値から補間して NaN データアイテムのデータ値を作成します。 引数：arg (整数)：非 NaN 値をチェックする各方向のデータサンプルの数。非 NaN 値が見つからない場合は、NaN が使用されます。
inverse	各タイムスタンプ値の反転を計算します。
iqr	四分位範囲変換を実行し、次の 4 つの系列を含む結果セットを作成します。 **1.** -IQR：以下のすべてのエントリの中央値 `Q1 - (1.5 * IQR)`。 **2.** Q1：エントリの最小の半分の中央値。 **3.** Q3：エントリの最大の半分の中央値。 **4.** -IQR：上のすべてのエントリの中央値 `Q3 + (1.5 * IQR)`。 **注:** `IQR = Q3 - Q1`
label	変換チェーンにラベルを付けます。 **注:** 後続の変換でラベルが変更されるか、ラベルが置き換えられる場合があります。 引数： arg (文字列) ：ラベルのテキスト。次の書式設定式を含めることができます。 • %%：「%」リテラルをエスケープします。 • %l：置換される現在のラベル。 • %s：系列の件名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明

	• %g：グループ化フィールドの値。これが参照レコードの場合、レコードの名前フィールドの値。*groupBy* 変換で複数のグループが指定されている場合、ラベルはカンマで区切られます。
	• %G：グループ化フィールドの値。これが参照レコードの場合、レコードの sys_id。複数のグループが選択されている場合、値はカンマで区切られます。
	
	例：
	`"transforms": [ { "name": "label", "arg": "Series Timestamp Values" }, ]`
	`"transforms": [ { "name": "groupBy", "arg": "model" }, { "name": "avg" }, { "name": "label", "arg": "Model: %g" } ]`

limit	最後に保存された値から始めて、指定された期間または値の数の最大値を返します。 引数： • arg (整数)：各時系列に対して返すタイムスタンプ値の数。 OR • arg (期間データ型): 各時系列を制限する期間。
log	各タイムスタンプの値に対して対数計算を実行します。結果は、タイムスタンプ値の指定された基準値の対数です。 引数: arg (10 進数データ型) -- 対数計算の基数。
mapValues	指定された範囲内 (包含) の値を指定された値に置き換えます。*lowerBound* と *upperBound* の両方が NaN として指定されている場合、NaN 値を *targetValue* に置き換えます。 引数： • lowerBound (10 進数データ型): 範囲内の最小値。 • upperBound (10 進数データ型): 範囲内の最大値。 • targetValue (10 進数データ型): 置換値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	たとえば、次の例では、.1 と .9 の間の時系列のすべての値を 1 に変更します。 `"transforms": [ { "name": "mapValues", "lowerBound": .1, "upperBound": .9, "targetValue": 1 } ]`
max	入力全体の対応する各タイムスタンプの最大値を含む系列を返します。
median	系列のセット全体の各タイムスタンプの値の中央値を含む系列を作成します。 `n` 系列がある場合： • `n` が奇数の場合、中央値はタイムスタンプの `(n / 2 + 1)` 値です。 • `n` が偶数の場合、中央値はタイムスタンプの `(n / 2)` 値と `(n / 2 + 1)` 値の平均です。
min	入力全体の対応する各タイムスタンプの最小値を含む系列を返します。
mul	各タイムスタンプの値を指定された数値で乗算します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 各タイムスタンプの値を乗算する数値。
パーティション	指定された集計関数を重複しないウィンドウに適用することによって、値をフィルタリングして新しい系列を生成します。 引数： • aggregator (アグリゲーターデータ型): 実行するアグリゲーションのタイプ。 • window (Duration データ型): アグリゲーターを適用する重複しないウィンドウの期間。 • base (DateTime データ型): パーティション分割に使用するゼロ オフセット。たとえば、日 (24 時間) で分割するには、この値をタイムゾーンの月曜日の午前 0 時に設定します。30 日間でパーティション化するには、この値を直近の月の最初の日に設定します。 デフォルト：EPOCH の先頭。
pow	各タイムスタンプ値を指定された値でべき乗します。 引数: arg (10 進数データ型) -- 各値を上げるべき乗。
product	選択した測定基準系列を、各タイムスタンプのすべての値の積を含む 1 つの系列に集計します。NaN は除外されます。系列内のすべての数値が NaN の場合、出力も NaN になります。
resample	固定数のポイントに、またはある頻度から別の頻度に時系列をリサンプルします。 リサンプル変換を使用して、結果セット内のサンプル数を減らし、表示するサンプル数により密接に一致するようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	引数：この変換にはさまざまな引数を渡すことができます。可能な各引数グループのリストを以下に示します。単一の変換内で渡すことができるこれらの引数グループは 1 つだけです。次の引数グループは AND/OR で区切られます。AND は、引数が現在のグループの一部であることを意味します。OR は、新しい引数グループの開始を意味します。 • arg (整数)：結果セットに含めるサンプルの数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • arg (Duration データ型): リサンプリングする頻度。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • minValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最小数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。 AND • maxValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最大数。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。 OR • aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • values (整数)：結果セットに含めるサンプルの数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、指定した *aggregator* がそれらに適用されて減少します。 OR • aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • period (期間データ型): リサンプリングする頻度。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。この数よりも多くのサンプルがある場合は、指定した *aggregator* がそれらに適用されて減少します。 OR

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明
	• aggregator (アグリゲーターデータ型): リサンプリング時に使用するアグリゲーター。 AND • minValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最小数。利用可能なサンプルがこの数よりも少ない場合、エンドポイントは、補間を使用して追加のサンプルを作成します。 AND • maxValues (整数)：結果セットに含めるサンプルの最大数。この数よりも多くのサンプルがある場合は、平均化されて減少します。
round	各タイムスタンプの値を指定された精度に切り上げます：`(value / <arg>) * <arg>` 引数: arg (10 進数データ型) -- 切り上げ後の小数点以下桁数。
root	指定されたインデックスを使用して、各タイムスタンプ値のルートを計算します。 引数: arg (10 進数データ型) -- ルートのインデックス。 たとえば、次の例では、各タイムスタンプの平方根が返されます。 `"transforms": [ { "name": "root", "arg": "2" }, ]`
stddev	系列のセット全体の各タイムスタンプの値の標準偏差を含む系列を作成します。
sub	各タイムスタンプの値から指定された数値を減算します。 引数：arg (数値)：各タイムスタンプの値から減算する数値。
sum	選択した測定基準系列を、NaN を除く各タイムスタンプのすべての値の合計を含む 1 つの系列に集計します。系列内のすべての数値が NaN の場合、出力は NaN になります。
timeshift	値を変更せずに、指定されたオフセットを値のタイムスタンプに追加することで、時間範囲をシフトします。この変換を使用して、タイムスタンプを別のタイムゾーンにシフトします。 引数: arg (期間データ型) -- シフトする時間の長さ。
上	最大値を含む指定された数の系列を返します。 引数： arg (整数) – 返される系列の数。 たとえば、次の場合、最も大きい値のセットを含む 2 つの時系列が返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ変換タイプ (続く)

変換	説明

	<pre>"transforms": [
	  {
	  "name": "top",
	  "arg": 2
	  }
	]</pre>

データタイプ	説明
集計関数	変換内で使用できる集計関数。 • AVG：現在選択されているすべての系列の算術平均を計算します。 • CHISQUARE：統計モデルが測定基準データセットにどの程度適合するかを示します。 • LAST：期間のウィンドウ内で最後に定義された値を返します。 • MAX：測定基準データセットの各時点での最大値を示します。 • MEDIAN：測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。 • MIN：測定基準データセットの各時点での最小値を示します。 • STDDEV：基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。 • SUM：現在選択されているすべての系列の合計を計算します。
DateTime	絶対日付/時刻値は、ISO 8601 の日付と時刻形式 `YYYY-MM-DDThh:mm:ss` で指定されます。例：2020-02-28T13:10:42 各項目の意味は次のとおりです。 • [YYYY]：4 桁の年。 • [MM]：01 ～ 12 のゼロパディングされた月。 • [DD]：01 ～ 31 のゼロパディングされた日。 • T：時間を表し、時間コンポーネントが指定される前に必須です。 • [hh]：00 ～ 23 のゼロパディングされた時間。 • [mm]：00 ～ 59 のゼロパディングされた分。 • [ss]：00 ～ 59 のゼロパディングされた秒。うるう秒は前の 1,000 秒間に均等に分散されます。 相対日付/時刻値は、現在の時刻から減算される期間 (Duration データ型) を使用して指定されます。 例：P7D = 7 日前。
10 進数	次のいずれかの 10 進値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	説明
	• 指数表記を使用できる任意精度の符号付き 10 進数。 例： ◦ 2 ◦ 1.7 ◦ -3.47 ◦ 1.0E+2 • 次の文字列表現： ◦ 指数表記を使用することができ、倍精度の 64 ビット IEEE 754 浮動小数点数であることが保証されている符号付き 10 進数。 ◦ 「NaN」 ◦ 「-Infinity」 ◦ 「+Infinity」
期間	時間間隔の時間。期間の値は ISO 8601 期間形式で指定されます： `P[n]Y[n]M[n]DT[n]H[n]M[n]S` 各項目の意味は次のとおりです。 • P：期間指定子。「期間」と呼ばれ、常に期間の先頭に配置されます。 • [n]Y：年数。 • [n]M：月数。 • [n]D：日数。 • T：時間指定子。時間コンポーネントが指定される前に必須です。 • [n]H：時間数。 • [n]M：分数。 • [n]S：秒数。 例： • P7D：7 日間の期間。 • P1M：1 か月の期間。 • PT15M：15 分間の期間。 • P1DT12H：1 日と 12 時間の期間。

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出して、mb_demo_drone テーブルの測定基準の JSON ストリームを返す方法を示しています。注意：この例のオブジェクトは、読みやすいように複数の行に展開されていますが、実際の結果では、返された各オブジェクトが個別の行に表示されます。`--header "Accept:application/octet-stream" \` を設定することで、同じ呼び出しを行ってオクテットストリームを返すことができます。

```
curl "localhost:8080/api/now/v1/clotho/transform/stream" \
--request POST \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password" \
-d "{\
  \"start\": \"PT5M\",\
  \"end\": \"\",\
  \"table\": \"mb_demo_drone\",\
  \"query\": \"fleet.nameSTARTSWITHB\",\
  \"limit\": 5000,\
  \"metrics\": [\
    {\
      \"metric\": \"mb_demo_mt_altitude\",\
      \"label\": \"Series - Avg\",\
      \"transforms\": [\
        {\
          \"name\": \"partition\",\
          \"arg\": {\
            \"aggregator\": \"AVG\",\
            \"window\": \"PT5M\"\
          }\
        },
        {\
          \"name\": \"avg\"\
        }\
      ]\
    },
    {\
      \"metric\": \"mb_demo_mt_altitude\",\
      \"groupBy\": \"fleet\",\
      \"label\": \"Fleet - AVG\",\
      \"transforms\": [\
        {\
          \"name\": \"partition\",\
          \"arg\": {\
            \"aggregator\": \"AVG\",\
            \"window\": \"PT5M\"\
          }\
        },
        {\
          \"name\": \"avg\"\
        }\
      ]\
    }\
  ]\
}"
```

応答：

```
[
  {
    "label": "Series - Avg",
    "tags": [
      "#4fb1114f-2426-4acb-8e3e-6435dd62134c"
    ],
    "species": "DOUBLE_SIGNAL",
    "range": [
      "2022-06-16T17:50:00Z",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "2022-06-16T17:50:00Z"
    ],
    "values": [
      132.86805196126303
    ],
    "period": 300
  },
  {
    "label": "Fleet - AVG",
    "tags": [
      ":fleet:86fac11787333200a328c5b836cb0b4e:Bantams",
      "#6641aab4-c55f-4d11-8846-26b0b706ec1c"
    ],
    "species": "DOUBLE_SIGNAL",
    "range": [
      "2022-06-16T17:50:00Z",
      "2022-06-16T17:50:00Z"
    ],
    "values": [
      134.3775875908988
    ],
    "period": 300
  },
  {
    "label": "Fleet - AVG",
    "tags": [
      "#6641aab4-c55f-4d11-8846-26b0b706ec1c",
      ":fleet:4afac11787333200a328c5b836cb0b4e:Bumble Untd"
    ],
    "species": "DOUBLE_SIGNAL",
    "range": [
      "2022-06-16T17:50:00Z",
      "2022-06-16T17:50:00Z"
    ],
    "values": [
      129.02530271356756
    ],
    "period": 300
  }
]
```


次の cURL の例では、CSV 形式オプションを使用して、メトリックベースデモプラグインの mb_demo_drone [ドローン] テーブルに保存されている各ドローンの最終日の高度値 (「mb_demo_mt_altitude」としてデータベースに保存) をストリーミングバックします。この例では、データは、ドローンを識別する対象者のSys_id、値のタイムスタンプ、高度値の 3 つの列を持つ狭いテーブル形式で返されます。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/transform/stream"
 \
--request POST \
--header "Accept:text/csv;format=narrow" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "user name":"password" \
-d "{\
  \"start\": \"P1D\",\
  \"end\": \"\",\
  \"table\": \"mb_demo_drone\",\
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  \"metrics\": [\
    {\
      \"metric\": \"mb_demo_mt_altitude\",\
      \"transforms\": []\
    }]\
}"
```

出力:

```
Subject, Timestamp,"mb_demo_drone|mb_demo_mt_altitude"
"a66b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,92.84400939941406
"a66b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,92.2428970336914
"6a6b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,92.0076904296875
"ea6b051787333200a328c5b836cb0b92",2022-11-07T22:35:00Z,97.3113021850586
"a66b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,108.49791717529
297
"6a6b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,109.04239654541
016
"6a6b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,93.72159576416016
"ee6b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,107.69989776611
328
"ee6b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,100.86473083496
094
"ee6b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,95.77774047851562
"666b051787333200a328c5b836cb0b92",2022-11-07T22:35:00Z,105.19712829589
844
"666b051787333200a328c5b836cb0b95",2022-11-07T22:35:00Z,105.92308807373
047
"6e6b051787333200a328c5b836cb0b99",2022-11-07T22:35:00Z,93.59339141845703
"666b051787333200a328c5b836cb0b98",2022-11-07T22:35:00Z,94.51266479492188
"e26b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,105.4367904663086
"6e6b051787333200a328c5b836cb0b96",2022-11-07T22:35:00Z,94.64836883544922
"6e6b051787333200a328c5b836cb0b93",2022-11-07T22:35:00Z,94.78523254394531
"e26b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,96.99283599853516
"aa6b051787333200a328c5b836cb0b96",2022-11-07T22:35:00Z,106.67017364501
953
"e26b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,94.2446517944336
"aa6b051787333200a328c5b836cb0b93",2022-11-07T22:35:00Z,91.659912109375
"226b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,99.5401840209961
"226b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,98.13501739501953
"226b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,92.2428970336914
"226b051787333200a328c5b836cb0b90",2022-11-07T22:35:00Z,106.41876983642
578
"aa6b051787333200a328c5b836cb0b99",2022-11-07T22:35:00Z,107.69989776611
328
"626b051787333200a328c5b836cb0b93",2022-11-07T22:35:00Z,92.96666717529297
"e66b051787333200a328c5b836cb0b99",2022-11-07T22:35:00Z,93.85079193115234
"e66b051787333200a328c5b836cb0b93",2022-11-07T22:35:00Z,96.07303619384766
"e66b051787333200a328c5b836cb0b96",2022-11-07T22:35:00Z,98.47595977783203
"2a6b051787333200a328c5b836cb0b92",2022-11-07T22:35:00Z,95.9247055053711
"226b051787333200a328c5b836cb0b9a",2022-11-07T22:35:00Z,99.5401840209961
"2a6b051787333200a328c5b836cb0b98",2022-11-07T22:35:00Z,103.1417465209961
"2a6b051787333200a328c5b836cb0b95",2022-11-07T22:35:00Z,96.99283599853516
"ae6b051787333200a328c5b836cb0b95",2022-11-07T22:35:00Z,94.64836883544922
"ae6b051787333200a328c5b836cb0b98",2022-11-07T22:35:00Z,101.8689956665039
"ae6b051787333200a328c5b836cb0b92",2022-11-07T22:35:00Z,107.4388198852539
"a26b051787333200a328c5b836cb0b98",2022-11-07T22:35:00Z,94.78523254394531
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"266b051787333200a328c5b836cb0b93",2022-11-07T22:35:00Z,94.51266479492188
"2e6b051787333200a328c5b836cb0b97",2022-11-07T22:35:00Z,108.49791717529
297
"2e6b051787333200a328c5b836cb0b91",2022-11-07T22:35:00Z,97.15129852294922
"2e6b051787333200a328c5b836cb0b94",2022-11-07T22:35:00Z,103.36128997802
734
"a26b051787333200a328c5b836cb0b92",2022-11-07T22:35:00Z,100.47681427001
953
"266b051787333200a328c5b836cb0b96",2022-11-07T22:35:00Z,103.5830078125
"266b051787333200a328c5b836cb0b99",2022-11-07T22:35:00Z,97.3113021850586
"a26b051787333200a328c5b836cb0b95",2022-11-07T22:35:00Z,105.92308807373
047
"ea6b051787333200a328c5b836cb0b98",2022-11-07T22:35:00Z,95.34477996826172
"ea6b051787333200a328c5b836cb0b95",2022-11-07T22:35:00Z,100.47681427001
953
"626b051787333200a328c5b836cb0b99",2022-11-07T22:35:00Z,100.86473083496
094
"626b051787333200a328c5b836cb0b96",2022-11-07T22:35:00Z,106.9239730834961
```

MetricBase 時系列 - POST /now/clotho/put

メトリックベース データベースに時系列データを追加します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/clotho/put`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	アクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_ignore_unknown_series	不明な系列を無視し、エラーを返さずにトランザクションを続行するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不明な系列を無視します。 • false：不明な系列を無視しません。 デフォルト：true

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
seriesRef	必須です。更新する情報。 データタイプ：アレイ `"seriesRef": [ { "metric": "String", "subject": "String", "table": "String" } ]`
seriesRef.metric	必須です。更新する測定基準の名前。 データタイプ：文字列
seriesRef.subject	必須です。データを更新するレコードの sys_id。*`seriesRef.table`* で指定されたテーブルにあります。 データタイプ：文字列
seriesRef.table	必須です。データを保存するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
values	必須です。保存する系列値。 データタイプ：アレイ `"values": [ { "timestamp": "String", "value": Number } ]`
values.timestamp	必須です。値の ISO 8601 タイムスタンプ。 データタイプ：文字列 形式：`YYYY-MM-ddTHH:mm:ddZ` ISO 形式のタイムスタンプで UTC タイムゾーンを示す末尾の「Z」はオプションです。
values.value	必須です。測定基準値。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
message	要求のステータスを示すメッセージ (要求が正常に処理された場合は `ok` など)。

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/v1/clotho/put" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"seriesRef\": {
    \"subject\": \"3D666b051787333200a328c5b836cb0b92\",
    \"table\": \"mb_demo_drone\",
    \"metric\": \"mb_demo_mt_altitude\"
  },
  \"values\": [
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:05:00Z\",
      \"value\": 0.150185
    },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:06:00Z\",
      \"value\": 0.46074
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:07:00Z\",
      \"value\": 0.83104
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:08:00Z\",
      \"value\": 1.260635
    },
    {
      \"timestamp\": \"2019-03-21T17:09:00Z\",
      \"value\": 1.749
    }
  ]
}" \
--user "username":"password"
```

```
{
    "result": {
        "message": "ok"
    }
}
```

注文 API

Order API は、カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションの注文明細品目を含む注文を取得および作成するためのエンドポイントを提供します。

この API には 注文管理 (app-csm-order-mgmt) ストアアプリケーションが必要であり、`sn_csm_order_mgmt` 名前空間内で提供されます。詳細については、「セールスと注文管理」を参照してください。

この API には、アクセスするための sn_csm_om.order_integrator と、次のいずれかが必要です。

- sn_csm_om.consumer_agent – B2C 注文に制限された API 書き込みアクセス。
- sn_csm_om.customer_agent – B2B 注文に制限された API 書き込みアクセス。
- sn_csm_om.order_admin – B2B または B2C 注文の API 書き込みアクセス。

B2B および B2C 注文の詳細については、「B2B2C の顧客データモデル」を参照してください。

注文 API – GET /sn_csm_order_mgmt/order/{id}

sys_id または注文番号を指定して、完全な注文の詳細を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_csm_order_mgmt/{api_version}/order/{id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_csm_order_mgmt/order/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにある、取得するレコードの sys_id または注文番号 (order_id)。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	参照フィールドの表示値を表示するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：応答の参照フィールド、選択肢フィールド、および日付フィールドの表示値を表示します。 • false：応答の参照フィールド、選択肢フィールド、および日付フィールドの実際の値を表示します。 デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	ユーザーが認証されていません。
403	ユーザーは許可されていません。 • ユーザーが API にアクセスするために必要なロールを持っていません。 • ユーザーに注文を読み込む権限がありません。 この API には、アクセスするための sn_csm_om.order_integrator と、次のいずれかが必要です。 • sn_csm_om.consumer_agent – B2C 注文に制限された API 書き込みアクセス。 • sn_csm_om.customer_agent – B2B 注文に制限された API 書き込みアクセス。 • sn_csm_om.order_admin – B2B または B2C 注文の API 書き込みアクセス。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
account	アカウント [customer_account] テーブルにあるレコードの sys_id。B2B 注文のアカウントを識別します。 データタイプ：文字列
actual_end_date	注文の終了日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
actual_start_date	注文の開始日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
billing_city	請求先市区町村の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
billing_country	請求先国の略語。 データタイプ：文字列
billing_state	請求先都道府県の略語。 データタイプ：文字列
billing_street	請求先の番地。 データタイプ：文字列
billing_zip	請求先の郵便番号。 データタイプ：文字列
comments	注文の追加情報。 データタイプ：文字列
consumer	コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあるレコードの sys_id。B2C 注文のコンシューマーを識別します。 データタイプ：文字列
contact	アカウントに関連する顧客連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
contract	契約 [ast_contract] テーブルにリストされているカスタマーサービス 契約の sys_id。 データタイプ：文字列

error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。各エラーメッセージには、*detail* プロパティに対応する説明があります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
expected_end_date	注文の終了予定日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
expected_start_date	注文の開始予定日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
external_id	サードパーティのシステム上の関連レコードを表す外部 ID。 データタイプ：文字列
external_system	顧客のシステムの名前。 データタイプ：文字列
order_category	顧客の注文タイプ。 可能な値： • product • service データタイプ：文字列
order_currency	注文が購入された通貨を表す通貨コード。たとえば、米ドルの場合は `USD` です。この通貨は、注文および明細発注のすべての金額フィールドで使用されます。通貨コードは通貨 [fx_currency] テーブルにリストされます。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_date	注文の作成日時。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
order_id	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにリストされている注文の注文番号。 データタイプ：文字列
order_line_items	必須です。注文の発注書明細を定義するオブジェクトのリスト。発注書明細 [sn_csm_om_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	各発注書明細オブジェクトに必要なプロパティ： • *account* (B2B 注文の場合)または *consumer* (B2C 注文の場合)。 • *product_offering-* • *quantity* • *unit_of_measurements* • *order_line_characteristics*

```
"order_line_items": [
 {
   "account": "String",
   "action": "String",
   "comments": "String",
   "consumer": "String",
   "contact": "String",
   "delivered_quantity": "String",
   "effective_date": "String",
   "expiration_date": "String",
   "external_id": "String",
   "external_system": "String",
   "list_price": "String",
   "location": "String",
   "order_line_characteristics":
 [Array],
   "order_line_id": "String",
   "order": "String",
   "parent_line_item": "String",
   "previous_product_model":
 "String",
   "price_list": "String",
   "product_offering": "String",
   "product_specification": "String",
   "product": "String",
   "quantity": "String",
   "shipping_city": "String",
   "shipping_country": "String",
   "shipping_state": "String",
   "shipping_street": "String",
   "shipping_zip": "String",
   "short_description": "String",
   "sku": "String",
   "sold_product": "String",
   "specification": "String",
   "state": "String",
   "status": "String",
   "sys_class_name": "String",
   "sys_created_by": "String",
   "sys_created_on": "String",
   "sys_id": "String",
   "sys_mod_count": "String",
   "sys_tags": "String",
   "sys_updated_by": "String",
   "sys_updated_on": "String",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"top_line_item": "String", "total_price": "String", "unit_of_measurement": "String", "unit_price": "String", "work_notes": "String" }]
order_line_items	注文の発注書明細を定義するオブジェクトのリスト。発注書明細 [sn_csm_om_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ "order_line_items": [{ "account": "String", "action": "String", "comments": "String", "consumer": "String", "contact": "String", "delivered_quantity": "String", "effective_date": "String", "expiration_date": "String", "external_id": "String", "external_system": "String", "list_price": "String", "location": "String", "order_line_characteristics": [Array], "order_line_id": "String", "order": "String", "parent_line_item": "String", "previous_product_model": "String", "price_list": "String", "product_offering": "String", "product_specification": "String", "product": "String", "quantity": "String", "shipping_city": "String", "shipping_country": "String", "shipping_state": "String", "shipping_street": "String", "shipping_zip": "String", "short_description": "String", "sku": "String", "sold_product": "String", "specification": "String", "state": "String", "status": "String", "sys_class_name": "String", "sys_created_by": "String", "sys_created_on": "String", "sys_id": "String", "sys_mod_count": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"sys_tags": "String", "sys_updated_by": "String", "sys_updated_on": "String", "top_line_item": "String", "total_price": "String", "unit_of_measurement": "String", "unit_price": "String", "work_notes": "String" }]
order_line_items.account	B2B 注文に必須です。この発注書明細にアサインされたビジネスアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。B2C 注文にはコンシューマープロパティが必要です。 データタイプ：文字列
order_line_items.account	この発注書明細にアサインされたビジネスアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order_line_items.action	注文明細を注文に追加する方法を決定するアクション。 可能な値： • add • change データタイプ：文字列
order_line_items.comments	発注書明細の追加情報。 データタイプ：文字列
order_line_items.consumer	この発注書明細にアサインされたコンシューマーの sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
order_line_items.contact	アカウントに関連する連絡先の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.delivered_quantity	配送された注文のアイテム数。 データタイプ：文字列
order_line_items.effective_date	注文明細の有効日。 形式：UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items.expiration_date	注文明細の有効期限。 形式：UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
order_line_items.external_id	発注書明細の外部 ID。 データタイプ：文字列
order_line_items.external_system	発注書明細の外部 sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.list_price	製品オファリングの単価。 注: このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.location	場所 [cmn_location] テーブルにリストされている出荷場所の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.order	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにリストされているこの品目の注文番号。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics	関連する注文明細の特性を定義するオブジェクトのリスト。注文明細の特性は、注文明細特性 [sn_csm_om_order_characteristic_value] テーブルにあります。 `"order_line_characteristics": [ { "characteristic": "String", "characteristic_option": "String" } ]` データタイプ：アレイ
order_line_items. order_line_characteristics. characteristic_option	除外ルールをトリガーする製品特性の一意のオプション。たとえば、製品のサイズや色などです。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. characteristic_option_value	特性オプションの値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
order_line_items. order_line_characteristics. external_id	注文明細特性の外部 ID。 データタイプ：オブジェクト
order_line_items. order_line_characteristics. number	注文明細特性 [sn_csm_om_order_characteristic_value] テーブルにリストされている注文明細特性番号。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. order_line_item	オーダー品目 [sn_csm_om_order_line_item] テーブル内のこの特性のオーダー品目の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. previous_characteristic_option_value	オーダーラインの製品モデルに関連付けられた前の特性オプションの名前。 データタイプ：オブジェクト
order_line_items. order_line_characteristics.specification	サービスオーダー特性に関連付けられているサービス仕様。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_class_name	この注文明細特性レコードがあるテーブルのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_characteristics. sys_created_by	このレコードを作成したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_created_on	レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_domain	注文レコードにアクセスできるドメインスコープ。たとえば、 global です。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_domain_path	レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 デフォルト：/ (global)
order_line_items. order_line_characteristics. sys_id	注文明細特性 [sn_csm_om_order_characteristic_value] テーブルにある注文レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_mod_count	このレコードが変更された回数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_updated_by	このレコードを最後に更新したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. sys_updated_on	レコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics.type	注文明細特性のタイプ。 可能な値： • product • service データタイプ：文字列
order_line_items.order_line_id	このオーダー品目に関連付けられた注文の注文番号。 データタイプ：文字列
order_line_items.parent_line_item	該当する場合、この品目の親品目を識別します。 データタイプ：文字列
order_line_items.previous_product_model	オーダーラインでこのアイテムの前にリストされている製品の製品モデルを識別します。製品モデル [cmdb_model] テーブルにリストされている製品の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.price_list	価格リスト [sn_csm_pricing_price_list] テーブル内の価格リストレコードの sys_id。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.product	製品モデル [cmdb_model] テーブルにリストされている製品の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.product_offering	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにリストされている製品の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items.product	製品モデル [cmdb_model] テーブルにリストされている製品モデルの sys_id。一致するオーダー品目を指定する必要があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.product_specification	発注書明細に関連付けられている製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにリストされています。 データタイプ：文字列
order_line_items.quantity	注文された製品モデルの数。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_city	宛先の都市の名前。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_country	宛先の国の略語。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_state	宛先の都道府県の略語。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_street	宛先の番地。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_zip	宛先の郵便番号。 データタイプ：文字列
order_line_items.short_description	発注書明細の簡単な説明。 データタイプ：文字列
order_line_items.sku	サプライヤーによって販売された製品を一意に識別するサプライヤーによって生成される番号。 データタイプ：文字列
order_line_items.sold_product	販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルにリストされているインストールベースの販売済み製品の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.specification	発注書明細の仕様。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
order_line_items.state	注文明細のステータス。たとえば、draft、new、in_progress、completed などです。 データタイプ：文字列
order_line_items.status	発注書明細のステータス。 可能な値： • success • failure データタイプ：文字列
order_line_items.sys_class_name	このオーダー品目レコードがあるテーブルのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_created_by	このレコードを作成したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_created_on	レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_domain	注文レコードにアクセスできるドメインスコープ。たとえば、 global です。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_domain_path	レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 デフォルト：/ (global)
order_line_items.sys_id	オーダー品目 [sn_csm_om_order_line_item] テーブルにある品目レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_mod_count	このレコードが変更された回数。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_updated_by	このレコードを最後に更新したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
order_line_items.sys_updated_on	レコードが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items.top_line_item	この注文で累計されたすべてのオーダー品目の合計価格。 データタイプ：文字列
order_line_items.total_price	オーダーラインの合計価格。API では正味価格と数量に基づいて合計を計算しません。 データタイプ：文字列
order_line_items.unit_of_measurement	測定単位 [sn_prd_pm_uom] テーブルにリストされている注文済み測定単位の sys_id。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.unit_of_measurement	必須です。測定単位 [sn_prd_pm_uom] テーブルにリストされている注文済み測定単位の sys_id。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.unit_price	通貨インスタンス [fx_currency_instance] テーブルにリストされている製品オファリングの正味単価。 データタイプ：文字列
order_line_items.work_notes	発注書明細の自由形式の内部作業メモ。 データタイプ：文字列
order_type	注文の追加方法を決定する注文アクション。 可能な値： • add • change データタイプ：文字列
partner	B2B 注文の場合、アカウント [customer_account] テーブルにリストされているアカウントの関連パートナーの sys_id。 データタイプ：文字列
partner_contact	B2B 注文の場合、パートナーアカウントのパートナーのプライマリ連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにリストされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
payment_ref_id	支払の一意の識別子。たとえば、小切手番号です。 データタイプ：文字列
price_list	価格リスト [sn_csm_pricing_price_list] テーブルにリストされている関連付けられた価格リストの sys_id。この API では、正味価格と数量に基づいて価格は計算されません。 注: このプロパティは、以前のバージョンの注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
quote_id	注文価格見積もりの一意の ID。 データタイプ：文字列
same_as_shipping_address	購入者の住所が出荷先住所と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：購入者の住所が出荷先住所と同じです。 • false：購入者の住所が出荷先住所と異なります。 データタイプ：ブーリアン
shipping_city	宛先の都市の名前。 データタイプ：文字列
shipping_country	宛先の国の略語。 データタイプ：文字列
shipping_location	場所 [cmn_location] テーブルにリストされている出荷場所の sys_id。 データタイプ：文字列
shipping_state	宛先の都道府県の略語。 データタイプ：文字列
shipping_street	宛先の番地。 データタイプ：文字列
shipping_zip	宛先の郵便番号。 データタイプ：文字列
short_description	注文の簡単な説明

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
special_instructions	注文に関する特別な指示。 データタイプ：文字列
state	注文のステータス。たとえば、new、in_progress、completed などです。 データタイプ：文字列
status	注文のステータス。 可能な値： • success • failure データタイプ：文字列
sys_class_name	この注文レコードがあるテーブルのシステム名。 データタイプ：文字列
sys_created_by	このレコードを作成したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
sys_created_on	レコードが最初に作成された日時。 データタイプ：文字列
sys_domain	注文レコードにアクセスできるドメインスコープ。たとえば、 global です。 データタイプ：文字列
sys_domain_path	レコードのドメインパス。 データタイプ：文字列 デフォルト：/ (global)
sys_id	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにリストされている注文の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_mod_count	このレコードが変更された回数。 データタイプ：文字列
sys_tags	コンテンツのシステムタグ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_updated_by	このレコードを最後に更新したユーザーのシステム名。 データタイプ：文字列
sys_updated_on	レコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
total_amount	注文全体の合計コスト。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、注文番号で注文を受ける方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_csm_order_mgmt/order/ORD00010
34" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "actual_start_date": "",
    "payment_ref_id": null,
    "shipping_city": null,
    "channel": "api",
    "expected_end_date": "",
    "sys_updated_on": "2022-03-30 21:59:41",
    "price_list": null,
    "sys_updated_by": "username",
    "sys_created_on": "2022-03-30 21:59:41",
    "contact": "96d0461553ab70101aaeddeeff7b120b",
    "sys_domain": "global",
    "state": "draft",
    "order_type": "add",
    "sys_created_by": "eseruser",
    "shipping_street": null,
    "special_instructions": null,
    "contract": null,
    "quote_id": null,
    "expected_start_date": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "billing_street": null,
    "billing_city": null,
    "total_amount": "2000",
    "order_id": "ORD0001034",
    "shipping_country": "USA",
    "status": "new",
    "short_description": null,
    "shipping_state": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "external_id": null,
    "sys_class_name": "sn_csm_om_order",
    "sys_id": "24fdf5bd75eec510f877f30c01a15aa0",
    "shipping_zip": null,
    "billing_state": null,
    "billing_zip": null,
    "same_as_shipping_address": "0",
    "consumer": null,
    "comments": "",
    "order_currency": "USD",
    "billing_country": "USA",
    "sys_mod_count": "1",
    "billing_location": null,
    "shipping_location": null,
    "sys_tags": "",
    "order_date": "2022-03-30 21:59:41",
    "order_category": "product",
    "actual_end_date": "",
    "partner": null,
    "partner_contact": null,
    "account": "c480021553ab70101aaeddeeff7b120f",
    "external_system": null,
    "order_line_items": [
      {
        "short_description": null,
        "shipping_state": "CA",
        "shipping_city": "Santa Clara",
        "product_offering": "2d4376760f740110603bf634a7767e46",
        "external_id": null,
        "sys_updated_on": "2022-03-30 21:59:41",
        "expiration_date": "",
        "sys_class_name": "sn_csm_om_order_line_item",
        "sold_product": null,
        "sys_id": "ecfdf5bd75eec510f877f30c01a15aa3",
        "unit_of_measurement": "cb2795d553020110286eddeeff7b12ff",
        "price_list": null,
        "sys_updated_by": "username",
        "shipping_zip": "94560",
        "sys_created_on": "2022-03-30 21:59:41",
        "contact": "96d0461553ab70101aaeddeeff7b120b",
        "sys_domain": "global",
        "effective_date": "",
        "action": "add",
        "order_line_id": "ORDL0001060",
        "state": "draft",
        "sku": null,
        "consumer": null,
        "sys_created_by": "username",
        "order": "24fdf5bd75eec510f877f30c01a15aa0",
        "previous_product_model": null,
        "shipping_street": "222 Star St",
        "product": "561dba7e0f740110603bf634a7767ebe",
        "quantity": "1",
        "comments": "",
        "total_price": "2000",
        "parent_line_item": null,
        "sys_mod_count": "1",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "specification": "104f66720f740110603bf634a7767e7d",
        "list_price": "2000",
        "unit_price": "2000",
        "sys_domain_path": "/",
        "sys_tags": "",
        "delivered_quantity": null,
        "top_line_item": null,
        "product_specification": "104f66720f740110603bf634a7767e7d",
        "location": null,
        "work_notes": "",
        "shipping_country": "USA",
        "account": "c480021553ab70101aaeddeeff7b120f",
        "external_system": null,
        "status": "new",
        "order_line_characteristics": [
          {
            "characteristic_option": "1c6ceabe0f340110603bf634a7767e97",
            "sys_mod_count": "0",
            "specification": "104f66720f740110603bf634a7767e7d",
            "external_id": null,
            "sys_updated_on": "2022-03-30 21:59:41",
            "type": "1",
            "sys_domain_path": "/",
            "sys_tags": "",
            "characteristic": "4e76f1b20fb00110603bf634a7767ee3",
            "sys_class_name": "sn_csm_om_order_characteristic_value",
            "previous_characteristic_option_value": null,
            "number": "ORC000001041",
            "sys_id": "acfd79bd75eec510f877f30c01a15a94",
            "sys_updated_by": "username",
            "sys_created_on": "2022-03-30 21:59:41",
            "sys_domain": "global",
            "characteristic_option_value": "1.2 cu",
            "order_line_item": "ecfdf5bd75eec510f877f30c01a15aa3",
            "sys_created_by": "user"
          },
          {
            "characteristic_option": "2d0d66fe0f340110603bf634a7767ef6",
            "sys_mod_count": "0",
            "specification": "104f66720f740110603bf634a7767e7d",
            "external_id": null,
            "sys_updated_on": "2022-03-30 21:59:41",
            "type": "1",
            "sys_domain_path": "/",
            "sys_tags": "",
            "characteristic": "11e639b20fb00110603bf634a7767e17",
            "sys_class_name": "sn_csm_om_order_characteristic_value",
            "previous_characteristic_option_value": null,
            "number": "ORC000001042",
            "sys_id": "e0fd79bd75eec510f877f30c01a15a95",
            "sys_updated_by": "username",
            "sys_created_on": "2022-03-30 21:59:41",
            "sys_domain": "global",
            "characteristic_option_value": "Stainless steel",
            "order_line_item": "ecfdf5bd75eec510f877f30c01a15aa3",
            "sys_created_by": "user"
          }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ]
        }
      ]
    }
}
```

注文 API – POST /sn_csm_order_mgmt/order

品目と特性を使用して新しい注文を作成します。

品目を含む注文は、要求本文パラメーターを使用して定義されます。注文管理 のほとんどのバージョンでは、次のプロパティが必要です。

- *account* (B2B 注文の場合)または *consumer* (B2C 注文の場合)。
  - *account* – アカウント [customer_account] テーブルにあるレコードの sys_id。
  - *consumer* – コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあるレコードの sys_id。
- *order_currency* – 注文が購入された通貨を表す通貨コード。たとえば、米ドルの場合は `USD` です。この通貨は、注文および明細発注のすべての金額フィールドで使用されます。通貨コードは通貨 [fx_currency] テーブルにリストされます。
- *order_line_items* – 注文の発注書明細を定義するオブジェクトのリスト。発注書明細 [sn_csm_om_order_line_item] テーブルにあります。 各発注書明細オブジェクトに必要なプロパティ：
  - *account* (B2B 注文の場合)または *consumer* (B2C 注文の場合)。
    - *account* – この発注書明細にアサインされたビジネスアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。
    - *consumer* – この発注書明細にアサインされたコンシューマーの sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。
  - *order_line_characteristics* – 関連する注文明細の特性を定義するオブジェクトのリスト。注文明細の特性は、注文明細特性 [sn_csm_om_order_characteristic_value] テーブルにあります。
  - *product_offering* – 製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにリストされている製品の sys_id。
  - *quantity* – 注文された製品モデルの数。
  - *unit_of_measurements* – 測定単位 [sn_prd_pm_uom] テーブルにリストされている注文済み測定単位の sys_id。

要求本文パラメーターテーブルに、詳細が含まれています。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_csm_order_mgmt/{api_version}/order`

デフォルトの URL：`/api/sn_csm_order_mgmt/order`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
account	B2B 注文に必須です。アカウント [customer_account] テーブルにあるレコードの sys_id。B2C 注文にはコンシューマープロパティが必要です。 データタイプ：文字列
actual_end_date	注文の終了日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
actual_start_date	注文の開始日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
billing_city	請求先市区町村の名前。 データタイプ：文字列
billing_country	請求先国の略語。 データタイプ：文字列
billing_state	請求先都道府県の略語。 データタイプ：文字列
billing_street	請求先の番地。 データタイプ：文字列
billing_zip	請求先の郵便番号。 データタイプ：文字列
comments	注文の追加情報。 データタイプ：文字列
consumer	B2C 注文に必須です。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあるレコードの sys_id。B2B 注文にはアカウントプロパティが必要です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
contact	アカウントに関連する顧客連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
contract	契約 [ast_contract] テーブルにリストされている カスタマーサービス 契約の sys_id。 データタイプ：文字列
expected_end_date	注文の終了予定日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
expected_start_date	注文の開始予定日。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
external_id	サードパーティのシステム上の関連レコードを表す外部 ID。 データタイプ：文字列
external_system	顧客のシステムの名前。 データタイプ：文字列
order_category	顧客の注文タイプ。 可能な値： • product • service データタイプ：文字列
order_currency	必須です。注文が購入された通貨を表す通貨コード。たとえば、米ドルの場合は `USD` です。この通貨は、注文および明細発注のすべての金額フィールドで使用されます。通貨コードは通貨 [fx_currency] テーブルにリストされます。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_date	注文の作成日時。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
order_line_items	必須です。注文の発注書明細を定義するオブジェクトのリスト。発注書明細 [sn_csm_om_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ 各発注書明細オブジェクトに必要なプロパティ： • *account* (B2B 注文の場合)または *consumer* (B2C 注文の場合)。 • *product_offering*– • *quantity* • *unit_of_measurements* • *order_line_characteristics* `"order_line_items": [{ "account": "String", "action": "String", "comments": "String", "consumer": "String", "contact": "String", "delivered_quantity": "String", "effective_date": "String", "expiration_date": "String", "external_id": "String", "external_system": "String", "list_price": "String", "location": "String", "order_line_characteristics": [Array], "order_line_id": "String", "order": "String", "parent_line_item": "String", "previous_product_model": "String", "price_list": "String", "product_offering": "String", "product_specification": "String", "product": "String", "quantity": "String", "shipping_city": "String", "shipping_country": "String", "shipping_state": "String", "shipping_street": "String", "shipping_zip": "String", "short_description": "String", "sku": "String", "sold_product": "String", "specification": "String", "state": "String", "status": "String", "sys_class_name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"sys_created_by": "String",
	"sys_created_on": "String",
	"sys_id": "String",
	"sys_mod_count": "String",
	"sys_tags": "String",
	"sys_updated_by": "String",
	"sys_updated_on": "String",
	"top_line_item": "String",
	"total_price": "String",
	"unit_of_measurement": "String",
	"unit_price": "String",
	"work_notes": "String"
	}
	]

order_line_items.account	B2B 注文に必須です。この発注書明細にアサインされたビジネスアカウントの sys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。B2C 注文にはコンシューマープロパティが必要です。 データタイプ：文字列
order_line_items.action	注文明細を注文に追加する方法を決定するアクション。 可能な値： • add • change データタイプ：文字列
order_line_items.comments	発注書明細の追加情報。 データタイプ：文字列
order_line_items.consumer	B2C 注文に必須です。この発注書明細にアサインされたコンシューマーの sys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。B2B 注文にはアカウントプロパティが必要です。 データタイプ：文字列
order_line_items.contact	アカウントに関連する連絡先の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.delivered_quantity	配送された注文のアイテム数。 データタイプ：文字列
order_line_items.effective_date	注文明細の有効日。 形式：UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items.expiration_date	注文明細の有効期限。 形式：UTC タイムゾーンでの yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
order_line_items.external_id	発注書明細の外部 ID。 データタイプ：文字列
order_line_items.external_system	発注書明細の外部 sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.list_price	製品オファリングの単価。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics	必須です。関連する注文明細の特性を定義するオブジェクトのリスト。注文明細の特性は、注文明細特性 [sn_csm_om_order_characteristic_value] テーブルにあります。 最新のリリースでは、オファリングが製品仕様に関連付けられている場合は、製品モデルを決定するために注文特性を含める必要があります。 以前のリリースでは、このプロパティは *order_line_items.product_specification* プロパティが設定された単純な注文にのみ必要でした。 データタイプ：アレイ `"order_line_characteristics": [ { "characteristic": "String", "characteristic_option": "String" } ]`
order_line_items. order_line_characteristics. characteristic	製品モデルに関連付けられた特性の名前。例：Dishwasher Size。 データタイプ：文字列
order_line_items. order_line_characteristics. characteristic_option	除外ルールをトリガーする製品特性の一意のオプション。たとえば、製品のサイズや色などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
order_line_items.price_list	価格リスト [sn_csm_pricing_price_list] テーブル内の価格リストレコードの sys_id。 注: このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.product	製品モデル [cmdb_model] テーブルにリストされている製品モデルの sys_id。要求本文に含まれる場合、関連する注文明細の特性が一致する必要があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.product_offering	必須です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにリストされている製品の sys_id。 オファリングが製品モデルに関連付けられている場合、製品モデルは注文によって決定されます。オファリングが製品仕様に関連付けられている場合は、製品モデルを決定するために注文特性を含める必要があります。 データタイプ：文字列
order_line_items. product_specification	必須です。発注書明細に関連付けられている製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにリストされています。 注: このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では必要ありませんでした。 データタイプ：文字列
order_line_items.quantity	必須です。注文された製品モデルの数。 注: このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 で必要でした。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_city	宛先の都市の名前。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_country	宛先の国の略語。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_state	宛先の都道府県の略語。 データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_street	宛先の番地。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
order_line_items.shipping_zip	宛先の郵便番号。 データタイプ：文字列
order_line_items.short_description	発注書明細の簡単な説明。 データタイプ：文字列
order_line_items.sku	サプライヤーによって販売された製品を一意に識別するサプライヤーによって生成される番号。 データタイプ：文字列
order_line_items.sold_product	販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルにリストされているインストールベースの販売済み製品の sys_id。 データタイプ：文字列
order_line_items.specification	発注書明細の仕様。 データタイプ：文字列
order_line_items.state	注文明細のステータス。たとえば、draft、new、in_progress、completed などです。 データタイプ：文字列
order_line_items.total_price	オーダーラインの合計価格。この API では、正味価格と数量に基づいて合計価格は計算されません。 データタイプ：文字列
order_line_items. unit_of_measurement	必須です。測定単位 [sn_prd_pm_uom] テーブルにリストされている注文済み測定単位の sys_id。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
order_line_items.unit_price	通貨インスタンス [fx_currency_instance] テーブルにリストされている製品オファリングの正味単価。 データタイプ：文字列
order_line_items.work_notes	発注書明細の自由形式の内部作業メモ。 データタイプ：文字列
order_type	注文の追加方法を決定する注文アクション。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• add • change データタイプ：文字列
partner	B2B 注文の場合、アカウント [customer_account] テーブルにリストされているアカウントの関連パートナーの sys_id。 データタイプ：文字列
partner_contact	B2B 注文の場合、パートナーアカウントのパートナーのプライマリ連絡先の sys_id。連絡先 [customer_contact] テーブルにリストされます。 データタイプ：文字列
price_list	価格リスト [sn_csm_pricing_price_list] テーブルにリストされている関連付けられた価格リストの sys_id。この API では、正味価格と数量に基づいて価格は計算されません。 **注:** このプロパティは、以前のバージョンの 注文管理 では使用できない場合があります。 データタイプ：文字列
quote_id	注文価格見積もりの一意の ID。 データタイプ：文字列
shipping_city	宛先の都市の名前。 データタイプ：文字列
shipping_country	宛先の国の略語。 データタイプ：文字列
shipping_state	宛先の都道府県の略語。 データタイプ：文字列
shipping_street	宛先の番地。 データタイプ：文字列
shipping_zip	宛先の郵便番号。 データタイプ：文字列
short_description	注文の簡単な説明 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
special_instructions	注文に関する特別な指示。 データタイプ：文字列
state	注文のステータス。たとえば、new、in_progress、completed などです。 データタイプ：文字列
total_amount	注文全体の合計コスト。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。 ペイロードが予期された形式ではありません。
401	ユーザーが認証されていません。
403	ユーザーは許可されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• ユーザーが API にアクセスするために必要なロールを持っていません。 • ユーザーに注文を読み込む権限がありません。 この API には、アクセスするための sn_csm_om.order_integrator と、次のいずれかが必要です。 • sn_csm_om.consumer_agent – B2C 注文に制限された API 書き込みアクセス。 • sn_csm_om.customer_agent – B2B 注文に制限された API 書き込みアクセス。 • sn_csm_om.order_admin – B2B または B2C 注文の API 書き込みアクセス。
500	内部サーバーエラー。1 つ以上の検証に失敗しました。 考えられる問題： • *Account* または *consumer* パラメーターがありません。これらのフィールドはヘッダーとアイテムで必須です。 • *Account*/*contact* および *consumer* パラメーターが渡されました。これらのパラメーターを一緒に渡すことはできません。 • 選択肢パラメーター：無効な選択値が渡されました。 • 数量パラメーター：無効な値です。 • 無効な参照フィールドです。 • 必須フィールドがありません。 • 無効な日時形式です。 • 開始日が終了日より後の日付になっています。 • 無効な特性です。 • 無効な特性オプションです。 • 指定された特性に対して複数の製品モデルが見つかりました。 • 指定された特性に対する製品モデルが見つかりませんでした。 • ユーザーには注文を作成するためのアクセス権がありません。 • B2B 注文にコンシューマーのオーダーラインが含まれています。 • B2C 注文にアカウント、連絡先、パートナー、またはパートナー連絡先パラメーターが含まれています。 • 金額フィールドの通貨が注文通貨と一致しません。 • *product_offering* が製品モデルに関連付けられているオーダーラインに *Order_line_characteristics* が渡されました。 • オファータイプ = 構成に指定された測定単位が、製品オファリングで定義された許容測定単位に属していません。 • 製品オファリングが構成を想定している場合に、構成のオファータイプに特性が渡されませんでした。 • オーダーラインにバンドルアイテムと簡単な構成を含む注文は作成できません。 • 渡されたパラメーターに、バンドルオファリングの特性が含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 親オーダーラインまたは子オーダーライン、またはその両方を作成できません。バンドルオファリング呼び出しでは、親バンドルアイテムのみが有効です。 • バンドルオファリングの指定された unit_of_measurement レコードに「EACH」以外の値が含まれています。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明

error	要求プロセス中に発生したエラーを説明する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	要求プロセス中に発生したエラーの詳細。 データタイプ：文字列
error.message	要求プロセス中に発生したエラーのメッセージ。各エラーメッセージには、*detail* プロパティに対応する説明があります。 データタイプ：文字列
order_id	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにリストされている注文の注文番号。 データタイプ：文字列
status	エラーオブジェクトに加えて含まれる失敗メッセージ。 データタイプ：文字列
sys_id	注文 [sn_csm_om_order] テーブルにリストされている注文の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ステンレス鋼電子レンジの単一アイテムの注文を作成する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_csm_order_mgmt/order" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"account\": \"c480021553ab70101aaeddeeff7b120f\",
\"contact\":\"96d0461553ab70101aaeddeeff7b120b\",
\"order_currency\": \"USD\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\"order_line_items\": [
{
\"account\": \"c480021553ab70101aaeddeeff7b120f\",
\"action\": \"add\",
\"contact\": \"96d0461553ab70101aaeddeeff7b120b\",
\"list_price\": \"2000\",
\"order_line_characteristics\": [
{
\"characteristic\" : \"Solana color\",
\"characteristic_option\" : \"Stainless steel\"
},
{
\"characteristic\" :\"Microvawe Capacity\",
\"characteristic_option\" : \"1.2 cu\"
}
],
\"product_offering\": \"2d4376760f740110603bf634a7767e46\",
\"quantity\": \"1\",
\"shipping_city\": \"Santa Clara\",
\"shipping_country\": \"USA\",
\"shipping_state\": \"CA\",
\"shipping_street\": \"222 Star St\",
\"shipping_zip\": \"94560\",
\"state\": \"draft\",
\"status\": \"new\",
\"total_price\": \"2000\",
\"unit_of_measurement\": \"cb2795d553020110286eddeeff7b12ff\",
\"unit_price\": \"2000\"
}
]
}" \
--user 'user':'password'
```

応答：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "24fdf5bd75eec510f877f30c01a15aa0",
    "order_id": "ORD0001034"
  }
}
```

予測インテリジェンス API

Predictive Intelligence API は、1 つ以上の入力フィールドとトレーニング済みソリューションに基づいてフィールド値を予測するエンドポイントを提供します。

この API は、予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

予測インテリジェンス - GET /agent_intelligence/solution/{solution_name}/prediction

特定のソリューションを使用して出力フィールド値を予測します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/agent_intelligence/solution/{solution_name}/prediction`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
solution_name	予測に使用するソリューションの名前。たとえば、`ml_incident_categorization` などです。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
ソリューション定義入力フィールドのキーと値のペア	ソリューション入力フィールドの名前と値のペア。たとえば、「`short_description`」という名前と、「`VPN に接続できません`」という値を入力します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

要素	説明
入力	呼び出しへの入力として指定された名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

output	指定されたソリューションに基づいて予測された結果の値。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"output": {`
	`  "confidence": Number",`
	`  "outcome": "String",`
	`  "threshold": Number"`
	`}`

output.confidence	予測の推定精度 (%)。例：**53.84615375762915** データタイプ：数値
output.outcome	予測出力フィールド値。たとえば、インシデントカテゴリ化ソリューションは、インシデントカテゴリ (**inquiry** など) を返します。 データタイプ：文字列
output.threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/now/predictive_intelligence/solution/ml_incident_categorization/prediction?short_description=unable%20to%20connect%20to%20VPN" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "input": {
      "short_description": "unable to connect to VPN",
      "api": "api"
    },
    "output": {
      "outcome": "inquiry",
      "confidence": 53.84615375762915,
      "threshold": 5
    }
  }
}
```

予測インテリジェンス - GET /agent_intelligence/solution/prediction

複数のソリューションの予測を返します。

注: 得られる結果オブジェクトは、ソリューション名と sys_id を用いて `result.<solutionname>.<sys_id>.[{ <result1> },{ <result2>}]` という形式でグループ化されます。

カスタマイズ情報については、 MLSolutionFactory スクリプト可能オブジェクト を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/now/{api_version}/agent_intelligence/solution/prediction`

デフォルトの URL：`/now/agent_intelligence/solution/prediction`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

パラメーター	説明
input_filter	必須パラメーター *input_table* を使用する場合は、このパラメーターを *input_maps* パラメーターと一緒に使用しないでください。予測を実行するレコードを選択するためのフィルター。例： `sys_id 0ef47232db801300864adfea5e961912` データタイプ：文字列
input_maps	*input_table* パラメーターを使用する場合を除き、必須です。入力の名前と値のペアのアレイ。例：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	`[{"short_description":"my email is not working"}, {"short_description":"need help with password"}]` データタイプ：オブジェクトのアレイ
input_table	*input_maps* パラメーターを使用する場合を除き、必須です。予測を実行するテーブル名。例： `incident` データタイプ：文字列
options	オプションの引数を持つ JSON オブジェクト。例： `{"top_n" : 5, "apply_threshold":false}` 有効なオプション： • top_n：数値。指定されている場合、指定された予測の数までの上位の結果を返します • apply_threshold：ブール。ソリューションのしきい値をチェックして結果セットに適用します。しきい値は、類似性のソリューションしきい値または分類のクラスレベルのしきい値です。デフォルト値は true です。 • custom_results_filter：文字列。類似性ソリューションのみ。エンコードされたクエリを使用して結果が返される元になる許可されたセットを指定します。 データタイプ：オブジェクト
solution_names	必須です。予測を実行するソリューション名のカンマ区切りリスト。例： `ml_incident_categorization,ml_incident_assignment` データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

要素	説明
confidence	予測に関連付けられた信頼性の値。例：53.84。 データタイプ：数値
detailedResults	類似性ソリューションのみ。一致するテキストインデックスに関する詳細を含む JSON のキーと値のペア。 データタイプ：文字列
predictedSysId	予測値の sys_id。結果は、情報が予測されている任意のテーブルから取得できます。 データタイプ：文字列
predictedValue	予測結果を表す値。 データタイプ：文字列
threshold	予測に関連付けられた構成済みのしきい値の値。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/now/agent_intelligence/solution/pred
iction?input_table=incident&input_filter=sys_id%3D0ef47232db801300864adfe
a5e961912&solution_names=ml_incident_categorization%2Cml_incident_assignm
ent&options=%7B
%22top_n%22%20%3A%202%2C%20%22apply_threshold%22%3Afalse%7D" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "ml_incident_categorization": {
      "0ef47232db801300864adfea5e961912": [
        {
          "confidence": 29.12211732875455,
          "threshold": 15,
          "predictedValue": "Email",
          "predictedSysId": ""
        },
        {
          "confidence": 19.08583525847071,
          "threshold": 14,
          "predictedValue": "Platform Performance",
          "predictedSysId": ""
        }
      ]
    },
    "ml_incident_assignment": {
      "0ef47232db801300864adfea5e961912": [
        {
          "confidence": 5.782322543467415,
          "threshold": 5,
          "predictedValue": "IT Finance CAB",
          "predictedSysId": "5f63e48fc0a8010e00eeaad81cd4dd37"
        },
        {
          "confidence": 5.303589009246953,
          "threshold": -1,
          "predictedValue": "NY DB",
          "predictedSysId": "5f74727dc0a8010e01efe33a251993f9"
        }
      ]
    }
  }
}
```

プロアクティブエンゲージメント API

プロアクティブエンゲージメント API は、デジタルエクスペリエンスの問題を作成するためのエンドポイントを提供します。

この API は、カスタムスクリプト済み REST API として利用できます。プロアクティブエンゲージメント (proactive-engagement) プラグインと sn_pren.experience_issue_create ロールが必要です。この API は `sn_pren` 名前空間に属します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーのインスタンスで問題が検出されたときに、 プロアクティブエンゲージメント API を使用してエクスペリエンスの問題を作成します。作成されたエクスペリエンスの問題は、ユーザーとのエンゲージメントを促進し、ユーザーが問題を自己解決するのに役立ちます。

この API を使用するには、次のテーブルにレコードが入力されていることを確認してください。

- 問題レジストリテンプレート [sn_pren_issue_registry_template]
- 問題レジストリ [sn_pren_issue_registry]
- 解決 [sn_pren_resolution]
- 通知コンテンツ [sn_pren_notification_content]
- プロバイダー [sn_pren_provider]

詳細については、「 プロアクティブエンゲージメント 」を参照してください。

プロアクティブエンゲージメント:CREATE **/api/sn_pren/self_remediation/experience_issue/create**

ユーザーのエンドポイントで問題が検出されると、エクスペリエンスの問題を作成します。エクスペリエンスの問題 [sn_pren_experience_issue] テーブルを更新します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_pren/self_remediation/experience_issue/create`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)

endpoint	必須。問題の詳細を検出するために使用される構成アイテム (CI) とユーザー情報を含むオブジェクト。
	
	注: このオブジェクト内のすべてのパラメータはオプションです。ユーザーまたはデバイスを識別するには、オブジェクト内に少なくとも 1 つのパラメーターを渡す必要があります。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"endpoint": {`
	`"CI": "String",`
	`"email": "String",`
	`"user_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"user_name": "String"
	}</pre>

エンドポイント。CI	問題が検出された CI デバイスのSys_id。コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
endpoint.email	問題が検出されたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
endpoint.user_id	問題が検出されたユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
endpoint.user_name	問題が検出されたユーザーのユーザー名。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
experience_id	オプション。作成された問題に割り当てるユーザー定義 ID。このパラメーターを指定しない場合は、ID が自動的に生成されます。 データタイプ：数値

input_parameters	オプション。デバイスで実行されるアクションに渡すパラメーター。送信された入力パラメーターは、サブフロー、フローアクション、CI アクションなどの設定された解決修復アクションに渡されます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"input_parameters": {
	"process_id": "String"
	}</pre>

input_parameters.process_id	オプション。終了または再起動するプロセスの sys_id。 データタイプ：文字列

investigative_details	オプション。電力使用効率 (PUE) の解決に失敗した場合の手動調査に役立つ可能性のある詳細。調査の詳細は、PUE 解決に失敗した場合のフォールバックとして作成されたインシデントにコピーされます。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"investigative_details": {
	"cpu_usage": "String",
	"processes_running": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"available_memory": "String"
	}</pre>

investigative_details.cpu_usage	デバイスで使用されている CPU 使用率。 データタイプ:数値 (文字列として解析)
investigative_details.processes_running	デバイスで実行されているプロセスの数。 データタイプ:数値 (文字列として解析)
investigative_details.available_memory	デバイスで利用可能なメモリ。 データタイプ:数値 (文字列として解析)
issue_code	必須。問題に関連付ける問題コード。問題コードが利用可能であり、インスタンスに展開されている必要があります。問題レジストリ [sn_pren_issue_registry] テーブルにあります。空または無効な問題が指定された場合、API はエラーを返します。 データタイプ：文字列
プロバイダー	必須。プロバイダーの一意のコード。このコードは *provider_code* インスタンス *sn_pren_provider* テーブルのフィールドと一致する必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード	説明
200	エクスペリエンスの問題が正常に作成されました。
400	無効な要求。エンドポイントの詳細を指定します。 空の *endpoint* オブジェクトが要求で送信されました。
400	無効な問題コードです。有効な問題コードを指定してください。 要求で空の *issue_code* が送信されました。
400	プロバイダーが無効です。有効なプロバイダーを指定してください。 空のプロバイダーが要求で送信されました。
400	無効な問題コードまたはプロバイダーです。有効な詳細を入力してください。 インスタンスで問題を検出できません。*issue_code*と*provider*の詳細を確認します。
400	問題コードに適切な解決策がありません。 特定された問題の PUE フレームワークに有効な解決策が構成されていません。
400	エンドポイントの詳細からユーザーを解決できませんでした。有効な詳細を入力してください。 このエラーは、PUE フレームワーク ID が指定されたエンドポイントの詳細からユーザーを識別できない場合に返されます。
400	指定されたユーザーの指定された問題コードでエクスペリエンスの問題が解決されています。 指定されたエクスペリエンスの問題は現在、進行中またはオープンステータスです。
400	指定された *experience_id* の既存のエクスペリエンスの問題はまだ実行中であるか、クローズされています。 このエラーは、エクスペリエンスの問題がチェーン シナリオにある場合に発生します。たとえば、新しい *issue_code* キーが既存の *experience_id*とともに送信され、以前のエクスペリエンスの問題が実行中またはクローズ済みステータスである場合などです。 以前のexperience_idで新しいissue_codeを送信するには、このexperience_idのエクスペリエンスの問題がaction_waitステータスである必要があります。
400	エクスペリエンスの問題の作成中にエラーが発生しました。 これは技術的なエラーを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
experienceId	作成されたエクスペリエンスの問題のエクスペリエンス ID。*experience_id*要求パラメーターから生成されます。エクスペリエンスの問題は、エクスペリエンスの問題 [sn_pren_experience_issue] テーブルに作成されます。 *experience_id*が渡されない場合、結果の ID は常に作成されたレコードのsys_idになります。

Example: cURL 要求

次の例では、ユーザー Abel Tuter のエクスペリエンスの問題を作成します。本文の問題コードにより、プロアクティブエンゲージメントは問題レジストリテンプレートから解決策を特定し、仮想エージェントを介してエンドユーザーとやり取りして、問題の自己解決を支援できます。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com//
api/sn_srf/self_remediation/experience_issue/create" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
--data "{
  "endpoint": {
    "CI": "d049b28e936aa1106f98f6db5cba10d5",
    "user_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "user_name": "abel.tuter",
    "email": ""
  },
  "issue_code": "100",
  "provider": "sn",
  "experience_id": "09ed4830f393739df33",
  "input_parameters": {
    "process_id": "10644"
  },
  "investigative_details": {
    "cpu usage": "78%",
    "processes running": "35",
    "available memory": "23%"
  }
}"\
```

応答本文は、問題の作成が成功したことを示すエクスペリエンス ID を返します。

```
{
  "result": {
    "experience_id": "09ed4830f393739df33"
  }
}
```

Product Catalog オープン API

Product Catalog Open API は、製品カタログ、製品オファリング、および製品仕様を作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API を使用して、外部システムと Now Platform の間で製品カタログ情報を管理します。*Product Catalog* オープン API は、TM Forum Product Catalog Management API REST 仕様の ServiceNow® 実装です。この実装は、TMF620 Product Catalog Management API REST Specification Version 4 (2021 年 8 月) に基づいています。

この API は、ServiceNow Store で入手可能な Product Catalog Advanced アプリケーションに含まれています。

この API は、 `sn_tmf_api` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_prd_pm_adv.catalog_integrator ロールが必要です。

この API は、次のテーブルのデータを作成および更新します。

- 特性 [sn_prd_pm_characteristic]
- 特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option]
- 製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]
- 製品オファリングカタログ [sn_prd_pm_product_offering_catalog]
- 製品オファリング特性 [sn_prd_pm_product_offering_characteristic]
- 製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification]
- 仕様関係 [sn_prd_pm_specification_relationship]

製品カタログオープン **API - /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}** を削除

指定された製品オファリングを削除します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	削除する製品オファリングのSys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
メッセージ	製品仕様の削除またはアーカイブに関する失敗または成功のメッセージ。

Example: cURL 要求

次の例では、ID が d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb の製品オファリングを削除します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb" \
--request DELETE\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文は、削除成功メッセージを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"The product offering (d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb) is successfully
 deleted"
```

製品カタログオープン API - /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id} を削除

指定された製品仕様を削除またはアーカイブします。

この DELETE メソッドを呼び出すと、製品仕様は、その状態に応じて削除またはアーカイブされます。

- ドラフト状況の製品仕様が正常に削除されました。応答は成功メッセージを返します。
- アーカイブ済みステータスの製品仕様は削除できません。応答は、仕様がすでにアーカイブされているというメッセージを返します。
- ドラフトステータスではなく、他の製品仕様またはオファリングに関連付けられている製品仕様はアーカイブされますが、削除はされません。応答は、スペシフィケーションがアクティブステータスからアーカイブステータスに移行したことを示すメッセージを返します。
- アクティブな製品仕様またはオファリングに関連付けられている製品仕様は削除できません。応答はエラーメッセージを返します。

URL 形式

デフォルト URL: `/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	削除する製品仕様のSys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
メッセージ	製品仕様の削除またはアーカイブに関する失敗または成功のメッセージ。

Example: cURL 要求

次の例では、ID が 8ef57fa05b308210235d85cced81c7d8 の製品仕様を削除します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/product
Specification/8ef57fa05b308210235d85cced81c7d8" \
--request DELETE\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文は、成功または失敗のメッセージを返します。

```
"The product specification (8ef57fa05b308210235d85cced81c7d8) is
 successfully deleted"
```

製品カタログオープン API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog

すべての製品オファリングカタログのリストを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	製品オファリングカタログの説明。 データタイプ：文字列
id	製品オファリングカタログ [sn_prd_pm_product_offering_catalog] テーブルの製品オファリングカタログの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	製品オファリングカタログの名前。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品オファリングカタログを取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catal
og" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
    {
        "id": "SD-WAN1344314wrfw14345",
        "name": "New Catalog",
        "description": "New Catalog"
    },
    {
        "id": "9919291ac34c20105252716b7d40dd0f",
        "name": "Enterprise Mobile Plan",
        "description": " Product Catalog for Enterprise Mobile Plan"
    }
]
```

製品カタログオープン **API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog/{id}**
製品オファリングカタログを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得する製品オファリングカタログの sys_id。製品オファリングカタログ [sn_prd_pm_product_offering_catalog] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	製品オファリングカタログの説明。 データタイプ：文字列
id	製品オファリングカタログ [sn_prd_pm_product_offering_catalog] テーブルの製品オファリングカタログの sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品オファリングカタログの名前。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、Enterprise Mobile Plan の製品オファリングカタログを取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog/9919291ac34c20105252716b7d40dd0f" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "9919291ac34c20105252716b7d40dd0f",
   "name": "Enterprise Mobile Plan",
   "description": " Product Catalog for Enterprise Mobile Plan"
}
```

製品カタログオープン API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering

すべての製品オファリングを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	有効なフィールド： • category • channel • description • externalId • id • internalId • internalVersion • lastUpdate • name • productCharacteristic • productOfferingPrice • productOfferingTerm • productSpecification • prodSpecCharValueUse • validFor • version デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
specification	製品仕様 sys_id で製品オファリングをフィルタリングします。指定された製品仕様 sys_id を持つ製品オファリングのみが応答で返されます。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
state	製品オファリングをステータス別にフィルタリングします。指定されたステータスの製品オファリングのみが応答で返されます。 受け入れ可能な値: • archived • ドラフト • published • 引退 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"category:" [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
category.id	カテゴリの ID。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。 データタイプ：文字列
channel	製品オファリングの販売に使用するチャネル。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"channel:" [
	  {
	  "description":
	"String",
	  "id": "String",
	  "name": "String"
	  }
	]</pre>

channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列
channel.id	流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルのチャネルの sys_id。 データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。 データタイプ：文字列
description	製品オファリングの説明。 データタイプ：文字列
externalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_id。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	必須。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_versionまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	ブルの製品オファリングのバージョン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	製品オファリングの現在のライフサイクルステータス。 受け入れ可能な値: • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	製品オファリングの名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productOfferingPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Object} }`
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": "String" }`
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通貨コード。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリングの価格。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.priceType	製品オファリング価格のタイプ (1回払いまたは繰り返し支払い)。 有効な値： • nonRecurring (1 回) • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリングの有効な契約期間。 データタイプ：文字列
productSpecification	製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。製品仕様[sn_prd_pm_product_specification]テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様[sn_prd_pm_product_specification]テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様のexternal_version。製品仕様[sn_prd_pm_product_specification]テーブルにあります。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse	製品オファリング特性。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"prodSpecCharValueUse": [ { "productSpecCharacteristicValue": [Array], "description": "String", "name": "String", "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecCharacteristicValue": [ { "value": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	特性の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。
validFor	製品オファリングが有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	製品オファリングの終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	製品オファリングの開始日。 データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品オファリングを取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering" \
--user 'username':'password'
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文：


```
[
   {
      "id": "24413",
      "name": "Premium SD-WAN Offering New",
      "version": "",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "0199f8e65b430110235d85cced81c7d2",
      "description": "Premium SD-WAN Offering",
      "lastUpdate": "2022-01-27 05:41:16",
      "validFor": {
         "startDateTime": "2021-08-05",
         "endDateTime": "2026-09-04"
      },
      "productOfferingTerm": "not_applicable",
      "productOfferingPrice": [
         {
            "priceType": "recurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "JPY",
                  "value": 984.0913
               }
            }
         },
         {
            "priceType": "nonRecurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "GBP",
                  "value": 2434
               }
            }
         }
      ],
      "productSpecification": {
         "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
         "name": "SD-WAN Service Package",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
      },
      "prodSpecCharValueUse": [
         {
            "name": "Routing",
            "description": "Routing",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
               "startDatetime": "2021-12-15 21:08:20"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
               {
                  "value": "Premium",
                  "validFor": {
                     "startDateTime": ""
                  }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "WAN Optimization",
         "description": "WAN Optimization",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-12-15 21:10:28"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Premium",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
            "name": "CPE Model",
            "description": "CPE Model",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2021-12-15 21:11:54"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "ISR",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "ASR",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ],
            "productSpecification": {
                "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                "name": "SD-WAN Edge Device",
                "version": "v1",
                "internalVersion": "1",
                "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
            }
        },
        {
            "name": "Security Type",
            "description": "Security Type",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2021-12-30 12:51:13"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "Premium",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Advance",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Base",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ],
            "productSpecification": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
            "name": "SD-WAN Security",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
         }
      },
      {
         "name": "CPE Type",
         "description": "CPE Type",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-12-15 21:11:16"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Virtual",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Physical",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "Tenancy",
         "description": "Tenancy",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-12-15 21:04:24"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Advance (50 site)",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Base (10 site)",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "value": "Premium (>50 sites)",
                    "validFor": {
                       "startDateTime": ""
                    }
                 }
              ],
              "productSpecification": {
                 "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
                 "name": "SD-WAN Controller",
                 "version": "v1",
                 "internalVersion": "1",
                 "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5"
              }
           }
        ],
        "channel": [
           {
              "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
              "name": "Web"
           }
        ],
        "category": {
           "id": "c0ed043653b02010cd6dddeeff7b1277",
           "name": "SD-WAN"
        }
     }
]
```


製品カタログオープン **API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}**
製品オファリングを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得する製品オファリングの initial_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• category • channel • description • externalId • id • internalId • internalVersion • lastUpdate • name • productCharacteristic • productOfferingPrice • productOfferingTerm • productSpecification • prodSpecCharValueUse • validFor • version デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列
specification	製品仕様 sys_id で製品オファリングをフィルタリングします。指定された製品仕様 sys_id を持つ製品オファリングのみが応答で返されます。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
state	製品オファリングをステータス別にフィルタリングします。指定されたステータスの製品オファリングのみが応答で返されます。 受け入れ可能な値: • archived • ドラフト • published • 引退 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリスト。 データタイプ：アレイ `"category:" [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
category.id	カテゴリの id。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
channel	製品オファリングの販売に使用するチャネル。 データタイプ：アレイ `"channel:" [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列
channel.id	流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルのチャネルの sys_id。 データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。 データタイプ：文字列
description	製品オファリングの説明。 データタイプ：文字列
externalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_id。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	必須。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_versionまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	テーブルからの製品オファリングの initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの製品オファリングのバージョン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	製品オファリングの現在のライフサイクルステータスを示します。受け入れ可能な値: • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	製品オファリングの名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"productOfferingPrice": [
	  {
	  "price": Object,
	  "priceType":
	"String"
	  }
	]</pre>

productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"price": {
	  "taxIncludedAmount":
	Object
	}</pre>

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通貨コード。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリングの価格。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.priceType	製品オファリング価格が 1 回払いまたは繰り返し支払いであるかを識別します。 有効な値： • nonRecurring • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリングの有効な契約期間。 データタイプ：文字列

productSpecification	製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"productSpecification": {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre>"internalVersion": "String", "version": "String" }</pre>
productSpecification.id	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse	製品オファリング特性。 データタイプ：アレイ <pre>"prodSpecCharValueUse": [{ "productSpecCharacteristicValue": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object, "valueType": "String" }]</pre>
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ <pre>"productSpecCharacteristicValue": [{ "value": "String"</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>}
	]</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime":
	"String",
	"startDateTime":
	"String"
	}</pre>

prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。

validFor	製品オファリングが有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime":
	"String",
	"startDateTime":
	"String"
	}</pre>

validFor.endDateTime	製品オファリングの終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	製品オファリングの開始日。 データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	テーブルからの製品オファリングの external_version。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、製品オファリングを取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/produ
ctOffering/24413" \
--user 'username':'password'
```

応答本文：

```
{
   "id": "24413",
   "name": "Premium SD-WAN Offering New",
   "description": "Premium SD-WAN Offering",
   "lastUpdate": "2022-01-27 05:41:16",
   "version": "",
   "internalVersion": "2",
   "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2021-08-05",
      "endDateTime": "2026-09-04"
   },
   "productOfferingTerm": "not_applicable",
   "productOfferingPrice": [
      {
         "priceType": "recurring",
         "price": {
            "taxIncludedAmount": {
               "unit": "JPY",
               "value": 984.0913
            }
         }
      },
      {
         "priceType": "nonRecurring",
         "price": {
            "taxIncludedAmount": {
               "unit": "GBP",
               "value": 2434
            }
         }
      }
   ],
   "productSpecification": {
      "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
      "name": "SD-WAN Service Package",
      "version": "v1",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
   },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "prodSpecCharValueUse": [
     {
        "name": "Routing",
        "description": "Routing",
        "valueType": "choice",
        "validFor": {
           "startDatetime": "2021-12-15 21:08:20"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": [
           {
              "value": "Premium",
              "validFor": {
                 "startDateTime": ""
              }
           },
           {
              "value": "Base",
              "validFor": {
                 "startDateTime": ""
              }
           },
           {
              "value": "Advance",
              "validFor": {
                 "startDateTime": ""
              }
           }
        ],
        "productSpecification": {
           "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
           "name": "SD-WAN Edge Device",
           "version": "v2",
           "internalVersion": "2",
           "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
        }
     },
     {
        "name": "WAN Optimization",
        "description": "WAN Optimization",
        "valueType": "choice",
        "validFor": {
           "startDatetime": "2021-12-15 21:10:28"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": [
           {
              "value": "Base",
              "validFor": {
                 "startDateTime": ""
              }
           },
           {
              "value": "Advance",
              "validFor": {
                 "startDateTime": ""
              }
           },
           {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "value": "Premium",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             }
          ],
          "productSpecification": {
             "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
             "name": "SD-WAN Edge Device",
             "version": "v2",
             "internalVersion": "2",
             "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
          }
       },
       {
          "name": "CPE Model",
          "description": "CPE Model",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2021-12-15 21:11:54"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
                "value": "ISR",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "ASR",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             }
          ],
          "productSpecification": {
             "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
             "name": "SD-WAN Edge Device",
             "version": "v2",
             "internalVersion": "2",
             "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
          }
       },
       {
          "name": "Security Type",
          "description": "Security Type",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2021-12-30 12:51:13"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
                "value": "Premium",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
            "name": "SD-WAN Security",
            "version": "abc",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
         }
      },
      {
         "name": "CPE Type",
         "description": "CPE Type",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-12-15 21:11:16"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Virtual",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Physical",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "",
            "internalVersion": "2",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "Tenancy",
         "description": "Tenancy",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-12-15 21:04:24"
         },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "productSpecCharacteristicValue": [
               {
                  "value": "Advance (50 site)",
                  "validFor": {
                     "startDateTime": ""
                  }
               },
               {
                  "value": "Base (10 site)",
                  "validFor": {
                     "startDateTime": ""
                  }
               },
               {
                  "value": "Premium (>50 sites)",
                  "validFor": {
                     "startDateTime": ""
                  }
               }
            ],
            "productSpecification": {
               "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
               "name": "SD-WAN Controller",
               "version": "",
               "internalVersion": "1",
               "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5"
            }
         }
      ],
      "channel": [
         {
            "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
            "name": "Web"
         }
      ],
      "category": {
         "id": "c0ed043653b02010cd6dddeeff7b1277",
         "name": "SD-WAN"
      }
}
```


製品カタログオープン **API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification**
すべての製品仕様を取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド： • description • externalId • id • internalId • internalVersion • lastUpdate • name • productSpecCharacteristic • productSpecificationRelationship • resourceSpecification • serviceSpecification • validFor • version デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
state	製品仕様をステータス別にフィルタリングします。指定されたステータスの製品仕様のみが応答で返されます。 受け入れ可能な値: • archived • ドラフト • published • 引退

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_id。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様のバージョン。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
isBundle	*productSpecification*が単一の製品を表すか、製品のバンドルを表すかを示すフラグ。 有効な値： • true:製品仕様は製品バンドルであり、複数の製品が含まれています。 • false:製品仕様には単一の製品が含まれています。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	製品仕様の現在のライフサイクルステータス。 受け入れ可能な値: • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecCharacteristic": [ { "description": "String", "name": "String", "productSpecCharacteristicValue": [Array], "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
productSpecCharacteristic.description	特性の説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecCharacteristicValue": [ { "value": "String" } ]`
productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との関係。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecificationRelationship": [ { "id": "String", "type": "String", "validFor": {Object} } ]`
productSpecificationRelationship.id	関連仕様の ID。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.type	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	この製品仕様に関連するリソース仕様のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"resourceSpecification":[ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様のバージョン。リソース仕様

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification	この製品仕様に関連するサービス仕様のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品仕様を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/produ
ctSpecification" \
--user 'username':'password'
```

応答本文：

```
[
   {
      "id": "0c47f2257441c110f877ca57242ff9bd",
      "name": "SD-WAN My Device",
      "version": "v1",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "0c47f2257441c110f877ca57242ff9bd",
      "description": "This is my product specification ...",
      "lastUpdate": "2022-01-14 17:57:23",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "validFor": {
         "startDateTime": "2022-01-11",
         "endDateTime": "2027-01-10"
      },
      "serviceSpecification": [
         {
            "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
            "name": "IP Sec Tunnel",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56"
         }
      ],
      "productSpecificationRelationship": [
         {
            "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
            "name": "SD-WAN Security",
            "version": "1",
            "type": "Service",
            "validFor": {
               "startDateTime": "2022-01-11",
               "endDateTime": "2027-02-12"
            }
         }
      ],
      "resourceSpecification": [
         {
            "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
            "name": "Customer Premise SD-WAN Router",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6"
         }
      ],
      "productSpecCharacteristic": [
         {
            "name": "New characteristic",
            "description": "This product has new spec characteristic.",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
               "startDatetime": "2022-01-13 06:47:43"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
               {
                  "value": "TestValue",
                  "validFor": {
                     "startDateTime": "2022-01-11"
                  }
               }
            ]
         }
      ]
   }
]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品カタログオープン **API - GET /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}**
指定された製品仕様を取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
specificationId	取得する製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド： • description • externalId • id • internalId • internalVersion • lastUpdate • name • productSpecCharacteristic • productSpecificationRelationship • resourceSpecification • serviceSpecification • validFor • version デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列
state	製品仕様をステータス別にフィルタリングします。指定されたステータスの製品仕様のみが応答で返されます。 受け入れ可能な値: • archived • ドラフト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• published • 引退 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_id。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
isBundle	*productSpecification*が単一の製品を表すか、製品のバンドルを表すかを示すフラグ。 有効な値： • true:製品仕様は製品バンドルであり、複数の製品が含まれています。 • false:製品仕様には単一の製品が含まれています。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
ライフサイクルステータス	製品仕様の現在のライフサイクルステータスを示します。 有効な値： • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic	仕様特性。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"productSpecCharacteristic": [
	  {
	  "description": "String",
	  "name": "String",
	  "productSpecCharacteristicValue": [Array],
	  "validFor": {Object},
	  "valueType": "String"
	  }
	]</pre>

productSpecCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"productSpecCharacteristicValue": [
	  {
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との関係。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecificationRelationship": [ { "id": "String", "type": "String", "validFor": {Object} } ]`
productSpecificationRelationship.id	関連仕様の ID。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.type	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	この製品仕様に関連するリソース仕様のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様のバージョン。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification	この製品仕様に関連するサービス仕様のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、製品仕様を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/produ
ctSpecification/0c47f2257441c110f877ca57242ff9bd" \
--user 'username':'password'
```

応答本文：

```
{
   "id": "0c47f2257441c110f877ca57242ff9bd",
   "name": "SD-WAN My Device",
   "version": "v1",
   "internalVersion": "1",
   "internalId": "0c47f2257441c110f877ca57242ff9bd",
   "description": "This is my product specification ...",
   "lastUpdate": "2022-01-14 17:57:23",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2022-01-11",
      "endDateTime": "2027-01-10"
   },
   "serviceSpecification": [
      {
         "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
         "name": "IP Sec Tunnel",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56"
      }
   ],
   "productSpecificationRelationship": [
      {
         "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
         "name": "SD-WAN Security",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": " a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
         "type": "Service",
         "validFor": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "startDateTime": "2022-01-11",
            "endDateTime": "2027-02-12"
         }
      }
   ],
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
         "name": "Customer Premise SD-WAN Router",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6"
      }
   ],
   "productSpecCharacteristic": [
      {
         "name": "New characteristic",
         "description": "This product has new spec characteristic.",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2022-01-13 06:47:43"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "TestValue",
               "validFor": {
                  "startDateTime": "2022-01-11"
               }
            }
         ]
      }
   ]
}
```


自動翻訳

製品カタログオープン **API - PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}**
指定された製品オファリングを更新します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新する製品オファリングのSys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリ ゴリ [sc_category] テーブ ます。 データタイプ：オブジェク `"category:" [ { "id": "String", "name": "String } ]`
category.id	*category* パラメーターを 合は必須です。カテゴリの ゴリ [sc_category] テーブ ます。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
channel	必須です。製品オファリン 使用するチャネル。 データタイプ：オブジェク `"channel:" [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String } ]`
channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
channel.id	必須です。流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_c テーブルのチャネルの sys_ データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
description	必須です。製品オファリング データタイプ：文字列
externalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ external_id。 データタイプ：文字列
id	必須。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ initial_versionまたはextern データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe ブルの製品オファリングの ン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に 日付。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	必須です。製品オファリン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

productCharacteristic	製品特性のリスト。
	データタイプ：オブジェク
	`"productCharacteris`
	`{`
	`"name": "String`
	`"value": "Strin`
	`}`
	`]`

productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

productOfferingPrice	製品オファリングの価格情
	データタイプ：オブジェク
	`"productOff ngPri`
	`{`
	`"price": {Objec`
	`"priceType": "S`
	`}`
	`]`

productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情
	データタイプ：オブジェク
	`"price": {`
	`"taxIncludedAmoun`
	`{Object}`
	`}`

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情
	データタイプ：オブジェク
	`"taxIncludedAmount"`
	`"unit": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリングの格。10 進数値 (123.45 など)します。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOfferingPrice.priceType	製品オファリングタイプのプ。*productOfferingPr*メーターを使用する場合は必 有効な値： • nonRecurring (1 回) • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリング他が有効な(月)。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

productSpecification	必須です。製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productSpecificati`
	`"id": "String",`
	`"internalId": "St`
	`"internalVersion"`
	`"String",`
	`"version": "Strin`
	`}`

productSpecification.id	必須です。製品仕様の initio または external_id。製品仕 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse	製品オファリングの特性。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"prodSpecCharValueU
	{
	
	"productSpecCharac
	cValue": [Array],
	"description":
	"String",
	"name": "string
	"validFor": {Ob
	"valueType": "S
	}
	]

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレ
	
	データタイプ:オブジェクト
	
	"productSpecCharact
	Value": [
	{
	"validFor": {
	"startDateT
	"String"
	},
	"value": "Str
	}
	]

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor	特性が有効になる日時。 データタイプ: オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"validFor": {
	  "startDateTime":
	 "String"
	}</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor.startDateTime	特性が有効になる開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	必須です。特性の名前。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	  "endDateTime": "S
	  "startDateTime":
	 "String"
	}</pre>

prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日時 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメ ど)。 データタイプ：文字列

validFor	必須です。製品オファリング
	日付範囲。
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	  "endDateTime": "S</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"startDateTime": "String"
	}</pre>

validFor.endDateTime	必須。製品オファリングの 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	必須。製品オファリングの 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ external_version。 データタイプ：文字列

応答本文のパラメーター **(JSON)**

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリ データタイプ：オブジェク `"category:" [ { "id": "String", "name": "String } ]`
category.id	カテゴリの ID。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。 データタイプ：文字列
channel	製品オファリングの販売に チャネル。 データタイプ：オブジェク `"channel:" [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列
channel.id	流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_c テーブルのチャネルの sys_
	データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。 データタイプ：文字列
description	製品オファリングの説明。 データタイプ：文字列
externalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ external_id。
	データタイプ：文字列
href	リソースレコードの相対
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	必須。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ initial_versionまたはexterr
	データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ initial_version。
	データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe ブルの製品オファリングの ン。
	データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に 日付。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
リフトサイクルステータス	現在のライフサイクルステ します。受け入れ可能な値: • アクティブ • ドラフト • 非アクティブ データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	製品オファリングの名前。 データタイプ：文字列

productCharacteristic	製品特性のリスト。
	データタイプ：オブジェク
	`"productCharacteris`
	`{`
	`"name": "string`
	`"value": "Strin`
	`}`
	`]`

productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列

productOfferingPrice	製品オファリングの価格情
	データタイプ：オブジェク
	`"productOfferingPri`
	`{`
	`"price": {Objec`
	`"priceType": "S`
	`}`
	`]`

productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情
	データタイプ：オブジェク
	`"price": {`
	`"taxIncludedAmoun`
	`{Object}`
	`}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情報
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"taxIncludedAmount"`
	`"unit": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通貨 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリング データタイプ：文字列
productOfferingPrice.priceType	製品オファリングの価格タ 払いまたは繰り返し支払い) 値: • nonRecurring (1 回) • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリング他が有効な データタイプ：文字列

productSpecification	製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productSpecificati`
	`"id": "String",`
	`"internalId": "St`
	`"internalVersion"`
	`"String",`
	`"version": "Strin`
	`}`

productSpecification.id	製品仕様のinitial_version。 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse	製品オファリング特性。 データタイプ：オブジェク "prodSpecCharValueU { "productSpecCharac cValue": [Array], "description": "String", "name": "String "validFor": {Ob "productSpecCharac cValue": [Array], "valueType": "S }]
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレ データタイプ:オブジェクト "productSpecCharact Value": [{ "validFor": { "startDateT "String" }, "value": "Str }]
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor	特性が有効になる日時。 データタイプ: オブジェクト "validFor": { "startDateTime": "String" }

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor.startDateTime	特性が有効になる開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェク `"validFor": { "endDateTime": "S "startDateTime": "String" }`
prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ(選択肢やメ ど)。
validFor	製品オファリングが有効な データタイプ：オブジェク `"validFor": { "endDateTime": "S "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	製品オファリングの終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	製品オファリングの開始日。 データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offe テーブルからの製品オファ external_version。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、ID d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb の製品オファリングを、要求本文で提供された情報で更新します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/product
Offering/d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb" \
--request PATCH\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
--data '{
  "name": "Offering 1",
  "displayName": "Offering 1",
  "description": "Offering 1 desc",
  "lastUpdate": "2024-04-01 16:05:19",
  "version": "Offering 1 EXTV",
  "validFor": {
    "startDateTime": "2028-02-29",
    "endDateTime": "2033-03-30"
  },
  "productOfferingTerm": "12_months",
  "productOfferingPrice": [
    {
      "priceType": "recurring",
      "price": {
        "taxIncludedAmount": {
          "unit": "USD",
          "value": 632.1483
        }
      }
    },
    {
      "priceType": "nonRecurring",
      "price": {
        "taxIncludedAmount": {
          "unit": "USD",
          "value": 1264.2966
        }
      }
    }
  ],
  "productSpecification": {
    "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
    "name": "SD-WAN Service Package",
    "internalVersion": "3"
  },
  "prodSpecCharValueUse": [
    {
      "name": "Bandwidth",
      "description": "Bandwidth",
      "valueType": "choice",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "validFor": {
        "startDatetime": "2026-12-06 02:32:11"
      },
      "productSpecCharacteristicValue": [
        {
          "value": "1 Gbps",
          "validFor": {
            "startDateTime": ""
          }
        },
        {
          "value": "5 Gbps",
          "validFor": {
            "startDateTime": ""
          }
        },
        {
          "value": "2 Gbps",
          "validFor": {
            "startDateTime": ""
          }
        },
        {
          "value": "500 Mbps",
          "validFor": {
            "startDateTime": ""
          }
        }
      ],
      "productSpecification": {
        "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
        "name": "SD-WAN Service Package",
        "internalVersion": "3"
      }
    }
  ],
  "channel": [
    {
      "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
      "name": "Web"
    }
  ],
  "category": [
    {
      "id": "13e305a143b631105029d1529ab8f267",
      "name": "SD-WAN_all_offers"
    }
  ]
}'
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "name": "Offering 1",
    "displayName": "Offering 1",
    "description": "Offering 1 desc",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "lastUpdate": "2024-04-01 16:05:19",
    "version": "Offering 1 EXTV",
    "validFor": {
      "startDateTime": "2028-02-29",
      "endDateTime": "2033-03-30"
    },
    "productOfferingTerm": "12_months",
    "productOfferingPrice": [
      {
        "priceType": "recurring",
        "price": {
          "taxIncludedAmount": {
            "unit": "USD",
            "value": 632.1483
          }
        }
      },
      {
        "priceType": "nonRecurring",
        "price": {
          "taxIncludedAmount": {
            "unit": "USD",
            "value": 1264.2966
          }
        }
      }
    ],
    "productSpecification": {
      "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
      "name": "SD-WAN Service Package",
      "internalVersion": "3",
      "sys_id": "79fa17da775131108e191e599a5a997b",
      "version": "",
      "status": "published",
      "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
    },
    "prodSpecCharValueUse": [
      {
        "name": "Bandwidth",
        "description": "Bandwidth",
        "valueType": "choice",
        "validFor": {
          "startDatetime": "2026-12-06 02:32:11"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": [
          {
            "value": "1 Gbps",
            "validFor": {
              "startDateTime": ""
            }
          },
          {
            "value": "5 Gbps",
            "validFor": {
              "startDateTime": ""
            }
          },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          {
            "value": "2 Gbps",
            "validFor": {
              "startDateTime": ""
            }
          },
          {
            "value": "500 Mbps",
            "validFor": {
              "startDateTime": ""
            }
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "name": "SD-WAN Service Package",
          "internalVersion": "3",
          "version": "",
          "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
        }
      }
    ],
    "channel": [
      {
        "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
        "name": "Web"
      }
    ],
    "category": [
      {
        "id": "13e305a143b631105029d1529ab8f267",
        "name": "SD-WAN_all_offers"
      }
    ],
    "href":
 "/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering/d6f8d9995b020210235d8
5cced81c7eb"
  }
}
```


製品カタログオープン **API - PATCH /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}**

指定された製品仕様を更新します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新する製品オファリングのSys_id。製品仕様[sn_prd_pm_product_specification]テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	必須です。仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	必須。製品仕様[sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の exte データタイプ：文字列
id	製品仕様[sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の initio は external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様[sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の initia データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様[sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様のバー データタイプ：文字列
isBundle	*productSpecificatio* 表すか、製品のバンドルを ラグ。 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• true:製品仕様は製品バン 数の製品が含まれていま • false:製品仕様には単一の ています。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
lastUpdate	仕様が最後に更新された日 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	必須です。仕様の名前。 データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic	仕様特性。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productSpecCharact`
	`{`
	`"desc ption"`
	`"name": "Stri`
	
	`"productSpecCharac`
	`ue": [Array],`
	`"validFor": {`
	`"valueType":`
	`}`
	`]`

productSpecCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.name	必須です。特性の名前。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレ
	
	データタイプ:オブジェクト
	
	`"productSpecCharact`
	`e": [`
	`{`
	`"validFor": {`
	`"startDateT`
	`"String"`
	`},`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"value": "Str
	}
	]</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor	特性が有効になる日時。
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	"startDateTime":
	}</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor.startDateTime	特性が有効になる開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime": "
	"startDateTime":
	}</pre>

productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日時 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメ データタイプ：文字列

productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"productSpecificati
	hip": [
	{</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"id": "String
	"type": "Stri
	"validFor": O
	}
	]</pre>

productSpecificationRelationship.id	関連仕様の id。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.type	*productSpecification* パラメーターを使用する場 関係のタイプ。 有効な値： • bundles • composed_of データタイプ：文字列

productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime": "
	"startDateTime":
	}</pre>

productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4 データタイプ：文字列

resourceSpecification	必須です。この製品仕様に
	ス仕様のアレイ。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"resourceSpecificat
	{
	"id": "String
	"internalId":
	"internalVers
	"String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"name": "Stri
	"version": "S
	}
	]</pre>

resourceSpecification.id	必須です。リソース仕様の または external_id。リソー [sn_prd_pm_resource_spe テーブルの sys_id または e フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕 [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様のバージョン。 様 [sn_prd_pm_resource_ テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソ [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列

serviceSpecification	この製品仕様に関連するサ
	スト。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"serviceSpecificati
	{
	"id": "String",
	"internalId": "
	"internalVersio
	"String",
	"name": "String
	"version": "Str
	}
	]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_versi たは external_id。サービス [sn_prd_pm_service_spec ブルの sys_id または extern ドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_vers 仕様 [sn_prd_pm_service_ テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。 [sn_prd_pm_service_spec ブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サー [sn_prd_pm_service_spec ブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス [sn_prd_pm_service_spec ブルにあります。 データタイプ：文字列

validFor	必須です。仕様が有効な日付
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"validFor": {`
	`"endDateTime": "`
	`"startDateTime":`
	`}`

validFor.endDateTime	仕様の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 ば、2025-01-31 09:35:4

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対 データタイプ：文字列
id	製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の initia または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様のバー データタイプ：文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日 形式:YYYY-MM-DD 00:00 データタイプ：文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic	仕様の特性。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productSpecCharact`
	`c": [`
	`{`
	`"description"`
	`"String",`
	`"name": "Stri`
	
	`"productSpecCharac`
	`Value": Array,`
	`"validFor": O`
	`"valueType":`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
productSpecCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレ
	データタイプ:オブジェクト
	<pre>"productSpecCharact
	alue": [
	    {
	      "validFor": {
	        "startDateT
	 "String"
	      },
	      "value": "Str
	    }
	  ]</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor	特性が有効になる日時。
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	  "startDateTime":
	}</pre>

prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.validFor.startDateTime	特性が有効になる開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00: データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	   "endDateTime": "
	   "startDateTime":
	 "String"
	}</pre>

productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日時 形式:YYYY-MM-DD 00:00 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメ ど)。 データタイプ：文字列

productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productSpecificati`
	`onship": [`
	`{`
	`"id": "String`
	`"type": "Stri`
	`"validFor": O`
	`}`
	`]`

productSpecificationRelationship.id	関連仕様のSys_id。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.type	関係のタイプ。 データタイプ：文字列

productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"validFor": {`
	`"endDateTime": "`
	`"startDateTime":`
	`"String"`
	`}`

productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日とタイプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日とタイプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 データタイプ：文字列
resourceSpecification	この製品仕様に関連するリ のリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェク
	`"resourceSpecificat`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"internalId": "`
	`"internalVersio`
	`"String",`
	`"name": "String`
	`"version": "Str`
	`}`
	`]`

resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_versi たは external_id。リソース [sn_prd_pm_resource_spe テーブルの sys_id または e フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕 [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様の ジョン。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソ [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース [sn_prd_pm_resource_spe テーブルにあります。 データタイプ：文字列

serviceSpecification	この製品仕様に関連するサ
	のリスト。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"serviceSpecificati`
	`{`
	`"id": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"internalId": "
	"internalVersio
	"String",
	"name": "String
	"version": "Str
	}
	]</pre>

serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_versi たは external_id。サービス [sn_prd_pm_service_spec テーブルの sys_id または e フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕 [sn_prd_pm_service_spec テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバー ジョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_spec テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サー [sn_prd_pm_service_spec テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス [sn_prd_pm_service_spec テーブルにあります。 データタイプ：文字列

validFor	仕様が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime": "
	"startDateTime":
	"String"
	}</pre>

validFor.endDateTime	仕様の終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00 データタイプ：文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_spe テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、製品仕様 ID d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb を、要求本文で指定された情報で更新します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/product
Specification/d6f8d9995b020210235d85cced81c7eb" \
--request PATCH\
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
--data '{
  "id": "1001",
  "name": "SD-WAN 0322 test",
  "description": "This is my product specification ...",
  "validFor": {
    "startDateTime": "2017-06-19T00:00",
    "endDateTime": "2018-01-13T00:00"
  },
  "productSpecCharacteristic": [
    {
      "name": "New characteristic",
      "description": "This product has new spec characteristic.",
      "valueType": "label",
      "validFor": {
        "startDateTime": "2017-06-20T00:00"
      }
    }
  ],
  "serviceSpecification": [
    {
      "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
      "name": "IP Sec Tunnel",
      "internalVersion": "2"
    }
  ],
  "productSpecificationRelationship": [
    {
      "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
      "name": "SD-WAN Security",
      "internalVersion": "2",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "type": "bundles",
      "validFor": {
        "startDateTime": "2017-06-16T00:00"
      }
    }
  ],
  "resourceSpecification": [
    {
      "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
      "name": "Customer Premise SD-WAN Router"
    }
  ],
  "@type": "ProductSpecification"
}
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "id": "1001",
    "name": "SD-WAN 0322 test",
    "description": "This is my product specification ...",
    "validFor": {
      "startDateTime": "2017-06-19T00:00",
      "endDateTime": "2018-01-13T00:00"
    },
    "productSpecCharacteristic": [
      {
        "name": "New characteristic",
        "description": "This product has new spec characteristic.",
        "valueType": "label",
        "validFor": {
          "startDateTime": "2017-06-20T00:00"
        }
      }
    ],
    "serviceSpecification": [
      {
        "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
        "name": "IP Sec Tunnel",
        "internalVersion": "2",
        "sys_id": "dd8354205b550210235d85cced81c7cd",
        "version": "",
        "status": "published",
        "internalId": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56"
      }
    ],
    "productSpecificationRelationship": [
      {
        "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
        "name": "SD-WAN Security",
        "internalVersion": "2",
        "type": "bundles",
        "validFor": {
          "startDateTime": "2017-06-16T00:00"
        },
        "sys_id": "7a491dd3776301108b2a1e599a5a99d3",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "version": "",
        "status": "published",
        "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
      }
    ],
    "resourceSpecification": [
      {
        "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
        "name": "Customer Premise SD-WAN Router",
        "sys_id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
        "internalVersion": "1",
        "version": "",
        "status": "published",
        "internalId": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6"
      }
    ],
    "@type": "ProductSpecification",
    "href":
 "/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification/3d140fe85be1c210
235d85cced81c73a"
  }
}
```


製品カタログオープン **API - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog**
製品オファリングカタログを作成します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catalog`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	製品オファリングカタログの説明。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
externalId	外部システムからの製品オファリングカタログの一意の識別子。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	必須です。製品オファリングカタログの名前。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	製品オファリングカタログの説明。 データタイプ：文字列
id	製品オファリングカタログ [sn_prd_pm_product_offering_catalog] テーブルの製品オファリングカタログの sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品オファリングカタログの名前。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、製品オファリングカタログを作成します。

```
curl --location --request POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/catal
og" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data-raw '{
    "id": "testId",
    "name": "Catalog",
    "description": "Description"
}'
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "45715d02c3510110bc0526083c40dd6b",
   "description": "Description",
   "name": "Catalog1"
}
```

製品カタログオープン API - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering

製品オファリングを作成します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productOffering`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリスト。カテゴリ [sc_category] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"category:" [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
category.id	*category* パラメーターを使用する場合は必須です。カテゴリの ID。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。 データタイプ：文字列
チャネル	必須です。製品オファリングの販売に使用するチャネル。 データタイプ：アレイ `"channel:" [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列
channel.id	必須です。流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルのチャネルの sys_id。 データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
説明	必須です。製品オファリングの説明。 データタイプ：文字列
externalId	外部システムからの製品オファリングの一意の識別子。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	必須です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの製品オファリングの initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの製品オファリングのバージョン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	現在のライフサイクルステータスを示します。受け入れ可能な値: • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列
name	必須です。製品オファリングの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productOfferingPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String" } ]`
productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Object} }`
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": "String" }`
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通貨コード。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリングの価格。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOfferingPrice.priceType	*productOfferingPrice* パラメーターを使用する場合は必須です。製品オファリング価格タイプ (1 回払いまたは繰り返し支払い)。 有効な値： • nonRecurring (1 回) • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリングの有効な契約期間。 データタイプ：文字列
productSpecification	必須です。製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	必須です。製品仕様の initial_version または external_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
prodSpecCharValueUse	製品オファリング特性。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"prodSpecCharValueUse": [ { "productSpecCharacteristicValue": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	必須です。特性の可能な値のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecCharacteristicValue": [ { "value": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	必須です。特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	必須です。特性の名前。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	必須です。製品オファリングが有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	製品オファリングの終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	製品オファリングの開始日。 データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

応答本文のパラメーター **(JSON)**

自動翻訳

名前	説明
category	製品が属するカテゴリのリスト。 データタイプ：アレイ `"category:" [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
category.id	カテゴリの ID。 データタイプ：文字列
category.name	カテゴリの名前。 データタイプ：文字列
channel	製品オファリングの販売に使用するチャネル。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"channel:" [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String"`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>}
	]</pre>

channel.description	チャネルの説明。 データタイプ：文字列
channel.id	流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルのチャネルの sys_id。 データタイプ：文字列
channel.name	チャネルの名前。 データタイプ：文字列
description	製品オファリングの説明。 データタイプ：文字列
externalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_id。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	必須。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_versionまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
internalId	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの製品オファリングのバージョン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	製品オファリングが最後に更新された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	製品オファリングの現在のライフサイクルステータス。 受け入れ可能な値: • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	製品オファリングの名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productOfferingPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String" } ]`
productOfferingPrice.price	製品オファリングの価格情報。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"price": {
	  "taxIncludedAmount":
	 {Object}
	}</pre>

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount	製品オファリングの価格情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.unit	製品オファリング価格の通貨コード。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品オファリングの価格。 データタイプ：文字列
productOfferingPrice.priceType	製品オファリング価格タイプ (1 回払いまたは繰り返し支払い)。 可能な値： • nonRecurring (1 回) • recurring データタイプ：文字列
productOfferingTerm	製品オファリングの有効な契約期間。 データタイプ：文字列

productSpecification	製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"productSpecification": {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",
	  "internalVersion":
	 "String",
	  "version": "String"
	}</pre>

productSpecification.id	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様のinitial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse	製品オファリング特性。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"prodSpecCharValueUse": [ { "productSpecCharacteristicValue": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"productSpecCharacteristicValue": [ { "value": "String" } ]`
prodSpecCharValueUse.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor	特性が有効な日付範囲。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
prodSpecCharValueUse.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
prodSpecCharValueUse.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	製品オファリングが有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	製品オファリングの終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	製品オファリングの開始日。 データタイプ：文字列
version	製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルからの製品オファリングの external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、製品オファリングを作成します。

```
curl --location --request POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/produ
ctOffering" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data-raw '{
   "id": "d52a756b5bde0110235d85cced81c7ab",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "name": "Premium SD-WAN Offering New",
   "version": "",
   "internalVersion": "2",
   "description": "Premium SD-WAN Offering",
   "lastUpdate": "2021-08-16 04:55:52",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2021-08-05",
      "endDateTime": "2026-09-04"
   },
   "productOfferingTerm": "24_months",
   "productOfferingPrice": [
      {
         "priceType": "recurring",
         "price": {
            "taxIncludedAmount": {
               "unit": "JPY",
               "value": 984.0913488140197
            }
         }
      },
      {
         "priceType": "nonRecurring",
         "price": {
            "taxIncludedAmount": {
               "unit": "GBP",
               "value": 2434
            }
         }
      }
   ],
   "productSpecification": {
      "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
      "name": "SD-WAN Service Package",
      "version": "v1",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
   },
   "prodSpecCharValueUse": [
      {
         "name": "Tenancy",
         "description": "Tenancy",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:04:24"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Premium (>50 sites)",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance (50 site)",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            {
               "value": "Base (10 site)",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
            "name": "SD-WAN Controller",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5"
         }
      },
      {
         "name": "CPE Id",
         "description": "CPE Id",
         "valueType": "single_line_text",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-08-15 17:50:26"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "Routing",
         "description": "Routing",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:08:20"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Premium",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "WAN Optimization",
         "description": "WAN Optimization",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:10:28"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Premium",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "CPE Model",
         "description": "CPE Model",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:11:54"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "ISR",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
         },
         {
            "value": "ASR",
            "validFor": {
               "startDateTime": ""
            }
         }
      ],
      "productSpecification": {
         "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
         "name": "SD-WAN Edge Device",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
      }
   },
   {
      "name": "Security Type",
      "description": "Security Type",
      "valueType": "choice",
      "validFor": {
         "startDatetime": "2021-07-23 12:51:13"
      },
      "productSpecCharacteristicValue": [
         {
            "value": "Base",
            "validFor": {
               "startDateTime": ""
            }
         },
         {
            "value": "Premium",
            "validFor": {
               "startDateTime": ""
            }
         },
         {
            "value": "Advance",
            "validFor": {
               "startDateTime": ""
            }
         }
      ],
      "productSpecification": {
         "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
         "name": "SD-WAN Security",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": " a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
      }
   },
   {
      "name": "CPE Type",
      "description": "CPE Type",
      "valueType": "choice",
      "validFor": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "startDatetime": "2021-07-08 21:11:16"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Physical",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Virtual",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": " 39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      }
   ],
   "channel": [
      {
         "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
         "name": "Web"
      }
   ],
   "category": {
      "id": "c0ed043653b02010cd6dddeeff7b1277",
      "name": "SD-WAN"
   }
}'
--user 'username':'password'
```

応答本文：

```
{
   "id": "d52a756b5bde0110235d85cced81c7ab",
   "name": "Premium SD-WAN Offering New",
   "version": null,
   "internalVersion": "5",
   "description": "Premium SD-WAN Offering",
   "lastUpdate": "2021-08-16 04:55:52",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2021-08-05",
      "endDateTime": "2026-09-04"
   },
   "productOfferingTerm": "24_months",
   "productOfferingPrice": [
      {
         "priceType": "recurring",
         "price": {
            "taxIncludedAmount": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "unit": "JPY",
                "value": 984.0913488140197
            }
        }
    },
    {
        "priceType": "nonRecurring",
        "price": {
            "taxIncludedAmount": {
                "unit": "GBP",
                "value": 2434
            }
        }
    }
],
"productSpecification": {
    "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
    "name": "SD-WAN Service Package",
    "version": null,
    "internalVersion": "1",
    "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6"
},
"prodSpecCharValueUse": [
    {
        "name": "Tenancy",
        "description": "Tenancy",
        "valueType": "choice",
        "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:04:24"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": [
            {
                "value": "Premium (>50 sites)",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            },
            {
                "value": "Advance (50 site)",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            },
            {
                "value": "Base (10 site)",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            }
        ],
        "productSpecification": {
            "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
            "name": "SD-WAN Controller",
            "version": null,
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
       "name": "CPE Id",
       "description": "CPE Id",
       "valueType": "single_line_text",
       "validFor": {
          "startDatetime": "2021-08-15 17:50:26"
       },
       "productSpecCharacteristicValue": [],
       "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "version": null,
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
       }
    },
    {
       "name": "Routing",
       "description": "Routing",
       "valueType": "choice",
       "validFor": {
          "startDatetime": "2021-07-08 21:08:20"
       },
       "productSpecCharacteristicValue": [
          {
             "value": "Premium",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "Base",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "Advance",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          }
       ],
       "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "version": null,
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
       }
    },
    {
       "name": "WAN Optimization",
       "description": "WAN Optimization",
       "valueType": "choice",
       "validFor": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "startDatetime": "2021-07-08 21:10:28"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "Base",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Advance",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "Premium",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": null,
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
         }
      },
      {
         "name": "CPE Model",
         "description": "CPE Model",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2021-07-08 21:11:54"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "ISR",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "ASR",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
            "name": "SD-WAN Edge Device",
            "version": null,
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
        },
        {
            "name": "Security Type",
            "description": "Security Type",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2021-07-23 12:51:13"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "Base",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Premium",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Advance",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ],
            "productSpecification": {
                "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                "name": "SD-WAN Security",
                "version": null,
                "internalVersion": "1",
                "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
            }
        },
        {
            "name": "CPE Type",
            "description": "CPE Type",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2021-07-08 21:11:16"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "Physical",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Virtual",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ],
        "productSpecification": {
           "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
           "name": "SD-WAN Edge Device",
           "version": null,
           "internalVersion": "1",
           "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202"
        }
     }
  ],
  "channel": [
     {
        "id": "e561aae4c3e710105252716b7d40dd8f",
        "name": "Web"
     }
  ],
  "category": {
     "id": "c0ed043653b02010cd6dddeeff7b1277",
     "name": "SD-WAN"
  },
  "internalId": "fbc1c0a25b030110235d85cced81c724",
  "externalId": "d52a756b5bde0110235d85cced81c7ab"
}
```


製品カタログオープン **API - POST /sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification**
製品仕様を作成します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/productSpecification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	必須です。仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	外部システムからの製品仕様の一意の識別子。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	必須です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	必須です。仕様の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：アレイ `"productSpecCharacteristic": [ { "description": "String", "name": "String", "productSpecCharacteristicValue": Array, "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
productSpecCharacteristic.description	特性の説明。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecCharacteristic.name	必須です。特性の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue	必須です。特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"productSpecCharacteristicValue": [ { "value": "String" } ]`
productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue.value	必須です。特性の値。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との関係。 データタイプ：アレイ `"productSpecificationRelationship": [ { "id": "String", "type": "String", "validFor": Object } ]`
productSpecificationRelationship.id	関連仕様の ID。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecificationRelationship.type	*productSpecificationRelationship* パラメーターを使用する場合は必須です。 関係のタイプ。 有効な値： • composed_of • bundles データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列
resourceSpecification	必須です。この製品仕様に関連するリソース仕様のアレイ。 データタイプ：アレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	必須。リソース仕様のinitial_versionまたはexternal_id。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様のバージョン。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification	この製品仕様に関連するサービス仕様のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
validFor	必須です。仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"startDateTime": "String"
	}</pre>

validFor.endDateTime	仕様の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
internalId	必須。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
internalVersion	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
isBundle	*productSpecification*が単一の製品を表すか、製品のバンドルを表すかを示すフラグ。 有効な値： • true:製品仕様は製品バンドルであり、複数の製品が含まれています。 • false:製品仕様には単一の製品が含まれています。 データタイプ：ブーリアン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	デフォルト値：false
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
ライフサイクルステータス	製品仕様の現在のライフサイクルステータス。 可能な値： • アクティブ • 非アクティブ • ドラフト データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：アレイ `"productSpecCharacteristic": [ { "description": "String", "name": "String", "productSpecCharacteristicValue": Array, "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
productSpecCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"productSpecCharacteristicValue": [`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>{
	"value": "String"
	}
	]</pre>

productSpecCharacteristic.productSpecCharacteristicValue.value	特性の値。 データタイプ：文字列

productSpecCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	"endDateTime": "String",
	"startDateTime":
	"String"
	}</pre>

productSpecCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
productSpecCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列

productSpecificationRelationship	この仕様と他の製品仕様との関係。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productSpecificationRelationship": [
	{
	"id": "String",
	"type": "String",
	"validFor": Object
	}
	]</pre>

productSpecificationRelationship.id	関連仕様のSys_id。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.type	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
productSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
productSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	この製品仕様に関連するリソース仕様のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様のバージョン。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様の external_version。リソース仕様 [sn_prd_pm_resource_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification	この製品仕様に関連するサービス仕様のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。 データタイプ：文字列
version	製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの製品仕様の external_version。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、製品仕様を作成します。

```
curl --location --request POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/catalogmanagement/produ
ctSpecification" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data-raw '{
   "name": "SD-WAN My Device",
   "description": "This is my product specification ...",
   "internalId": "1c3c9a325bc34110235d85cced81c7d5",
   "isBundle": false,
   "lastUpdate": "2017-06-17T00:00",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2017-06-19T00:00",
      "endDateTime": "2018-01-13T00:00"
   },
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "productSpecCharacteristic": [
      {
         "name": "New characteristic",
         "description": "This product has new spec characteristic.",
         "valueType": "label",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-06-20T00:00"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "validFor": {
                  "startDateTime": "2017-06-17T00:00"
               },
               "value": "TestValue"
            }
         ]
      }
   ],
   "serviceSpecification": [
      {
         "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
         "name": "IP Sec Tunnel"
      }
   ],
   "productSpecificationRelationship": [
      {
         "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
         "name": "SD-WAN Security",
         "type": "bundles",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-06-16T00:00"
         }
      }
   ],
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
         "name": "Customer Premise SD-WAN Router"
      }
   ]
}'
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "exter123",
   "name": "SD-WAN My Device",
   "version": "v1",
   "internalId": "63c3d946745d8150f877ca57242ff918",
   "description": "This is my product specification ...",
   "isBundle": false,
   "lastUpdate": "2017-06-17T00:00",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2017-06-19T00:00",
      "endDateTime": "2018-01-13T00:00"
   },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "productSpecCharacteristic": [
      {
         "name": "New characteristic",
         "description": "This product has new spec characteristic.",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-06-20T00:00"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "validFor": {
                  "startDateTime": "2017-06-17T00:00"
               },
               "value": "TestValue"
            }
         ]
      }
   ],
   "serviceSpecification": [
      {
         "id": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56",
         "name": "IP Sec Tunnel",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "e23ae2d01bb420106ba59acf034bcb56"
      }
   ],
   "productSpecificationRelationship": [
      {
         "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
         "name": "SD-WAN Security",
         "type": "bundles",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-06-16T00:00"
         },
         "valid": true,
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247"
      }
   ],
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
         "name": "Customer Premise SD-WAN Router",
         "version": "v1",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6"
      }
   ]
}
```


製品在庫オープン **API**

製品在庫オープン API は、製品在庫を作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、外部システムと Now Platform の間で製品在庫情報を管理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API は、ServiceNow Store で入手可能な Product Inventory Advanced アプリケーションに含まれています。

この API は、`sn_prd_invt` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_prd_invt.product_inventory_integrator ロールが必要です。

この API は、次のテーブルのデータを作成および更新します。

- 製品特性 [sn_prd_invt_product_characteristics]
- 製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory]
- 製品モデル [cmdb_model]
- 製品モデル特性 [sn_prd_pm_product_model_characteristic]

`製品在庫オープン` API は、TM Forum Product Inventory Management API REST 仕様の ServiceNow® 実装です。この実装は、TMF637 Product Inventory Management API REST Specification Release 19 (2019 年 8 月) に基づいています。`製品在庫オープン` API は、TM Forum によって適合性が認定されています。

製品在庫オープン **API - GET /sn_prd_invt/product**

すべての製品在庫のリストを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`api/sn_prd_invt/product`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
customer	顧客別に製品在庫をフィルタリングします。顧客の sys_id または外部 ID がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
place	場所別に製品在庫をフィルタリングします。場所の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
status	ステータス別に製品在庫をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する製品在庫のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*Content-Range* ヘッダーの値は `items 3-5` です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
href	製品在庫レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	データタイプ：文字列
place	製品に関連付けられた場所。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productPrice	空のアレイを返します。 データタイプ：アレイ
productRelationship	関連製品のリスト。 データタイプ：アレイ `"productRelationship": [ { "productId": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecification	製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

realizingResource	製品を実現するリソース。実現のためのリソースは、この製品在庫の子製品在庫です。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingResource": {`
	`  "id": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

realizingResource.id	実現のためのリソースの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列

realizingService	製品を実現するサービス。実現のためのサービスは、この製品在庫の子製品在庫です。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingService": {`
	`  "id": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

realizingService.id	実現のためのサービスの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedParty": [
	  {
	  "id": "String",
	  "@referredType": "String"
	  }
	]</pre>

relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品在庫を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_prd_invt/product" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
   {
      "id": "037fd87ec3603010abc8b5183c40ddf2",
      "relatedParty": [
         {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Example Company",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
         },
         {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
         }
      ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "Routing and Configuration PI0000318",
      "productSpecification": {
         "id": "aec57e981bb420106ba59acf034bcb08",
         "name": "Routing and Configuration",
         "version": "",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "aec57e981bb420106ba59acf034bcb08"
      },
      "status": "Active",
      "productOffering": {
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "name": "Premium SD-WAN Offering",
         "version": "",
         "internalVersion": "1",
         "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
      },
      "product": "ce0b52c7532520103b6bddeeff7b12f5",
      "place": {
         "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
         "name": "100 South Charles Street, Baltimore,MD"
      },
      "productCharacteristic": [],
      "productRelationship": [],
      "realizingService": [],
      "realizingResource": [
         {
            "id": "9b2fa60b536520103b6bddeeff7b1233",
            "name": "Route Target"
         }
      ],
      "productPrice": [],
      "href":
 "/api/sn_prd_invt/product/037fd87ec3603010abc8b5183c40ddf2",
      "billingAccount": "Not Specified."
   }
]
```


製品在庫オープン **API - GET /sn_prd_invt/product/{id}**

指定された製品在庫レコードを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_invt/product/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ID	取得する製品在庫の sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
customer	顧客別に製品在庫をフィルタリングします。顧客の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
place	場所別に製品在庫をフィルタリングします。場所の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
status	ステータス別に製品在庫をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する製品在庫のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
href	製品在庫レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
place	製品に関連付けられた場所。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"productOffering": {
	"id": "String",
	"internalId": "String",
	"internalVersion": "String",
	"name": "String",
	"version": "String"
	}

productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productPrice	空のアレイを返します。 データタイプ：アレイ

productRelationship	関連製品のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	"productRelationship": [
	{
	"productId": "String",
	"relationshipType": "String"
	}
	]

productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productSpecification	製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource	製品を実現するリソース。実現のためのリソースは、この製品在庫の子製品在庫です。 データタイプ：オブジェクト `"realizingResource": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingResource.id	実現のためのリソースの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 有効な値：child

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
realizingService	製品を実現するサービス。実現のためのサービスは、この製品在庫の子製品在庫です。 データタイプ：オブジェクト `"realizingService": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingService.id	実現のためのサービスの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、指定された製品在庫を取得します。

```
curl -X GET
 'https://instance.service-now.com/api/sn_prd_invt/product/037fd87ec3603010abc8b5183c40ddf2' \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力：


```
{
   "id": "037fd87ec3603010abc8b5183c40ddf2",
   "relatedParty": [
      {
         "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
         "name": "Example Company",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "Customer"
      },
      {
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
         "name": "Sally Thomas",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "CustomerContact"
      }
   ],
   "name": "Routing and Configuration PI0000318",
   "productSpecification": {
      "id": "aec57e981bb420106ba59acf034bcb08",
      "name": "Routing and Configuration",
      "version": "",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "aec57e981bb420106ba59acf034bcb08"
   },
   "status": "Active",
   "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering",
      "version": "",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
   },
   "product": "ce0b52c7532520103b6bddeeff7b12f5",
   "place": {
      "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
      "name": "100 South Charles Street, Baltimore,MD"
   },
   "productCharacteristic": [],
   "productRelationship": [],
   "realizingService": [],
   "realizingResource": [
      {
         "id": "9b2fa60b536520103b6bddeeff7b1233",
         "name": "Route Target"
      }
   ],
   "productPrice": [],
   "href": "/api/sn_prd_invt/product/037fd87ec3603010abc8b5183c40ddf2",
   "billingAccount": "Not Specified."
}
```


製品在庫オープン API - GET /sn_prd_invt/productinventory

すべての製品在庫のリストを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品在庫オープン API - GET /sn_prd_invt/product です。

URL 形式

デフォルトの URL：`api/sn_prd_invt/productinventory`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
customer	顧客別に製品在庫をフィルタリングします。顧客の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
place	場所別に製品在庫をフィルタリングします。場所の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
status	ステータス別に製品在庫をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する製品在庫のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
place	製品に関連付けられた場所。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "name": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOffering.id	製品オファリングの sys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productRelationship	関連製品のリスト。 データタイプ：アレイ `"productRelationship": [ { "productId": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecification	製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String" }`
productSpecification.id	製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource	実現のためのリソース。 データタイプ：オブジェクト `"realizingResource": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingResource.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのリソースの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 データタイプ：文字列

realizingService	実現のためのサービス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingService": {`
	`"id": "String",`
	`"type": "String"`
	`}`

realizingService.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 データタイプ：文字列

relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty": [`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"@referredType": "String"`
	`}`
	`]`

relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • カスタマー • 顧客連絡先 • consumer データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品在庫を取得します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_prd_invt/productinventory" \
--request GET \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
   {
      "id": "075072aec3a83010abc8b5183c40dd44",
      "relatedParty": [
         {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
         },
         {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
         }
      ],
      "name": "Firewall Administration PI0000300",
      "productSpecification": {
         "id": "31c5caff07266010a7955b7e0ad3006b",
         "name": "Firewall Administration"
      },
      "status": "Active",
      "productOffering": {
         "id": "",
         "name": ""
      },
      "place": {
         "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
         "name": "200 South James street,Atlanta, GA"
      },
      "productCharacteristic": [
         {
            "name": "Firewall Administration CPE Type",
            "valueType": "Choice",
            "value": "Physical"
         },
         {
            "name": "Configuration and Policy backup",
            "valueType": "Choice",
            "value": ""
         },
         {
            "name": "Firewall Administration CPE ID",
            "valueType": "Single Line Text",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "value": "CPE123456789"
         },
         {
            "name": "Remote CLI troubleshoot support",
            "valueType": "Choice",
            "value": ""
         },
         {
            "name": "Firewall Administration CPE Model",
            "valueType": "Choice",
            "value": "9300 series"
         }
      ],
      "productRelationship": [],
      "realizingService": [],
      "realizingResource": [
         {
            "id": "3546463307666010a7955b7e0ad3005d",
            "name": "Cisco Firewall Management system"
         }
      ]
   },
   {
      "id": "0303a8ea74418510f877ca57242ff96d",
      "relatedParty": [
         {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
         },
         {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
         }
      ],
      "name": "SD-WAN Edge Device PI0001114",
      "productSpecification": {
         "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
         "name": "SD-WAN Edge Device"
      },
      "status": "Installation Pending",
      "productOffering": {
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "place": "",
      "productCharacteristic": [],
      "productRelationship": [],
      "realizingService": [
         {
            "id": "bf65eadc1b7420106ba59acf034bcb57",
            "name": "SD-WAN Routing"
         },
         {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "16d79ec3532520103b6bddeeff7b12a6",
            "name": "SD WAN Optimization Service"
         },
         {
            "id": "16d79ec3532520103b6bddeeff7b12a6",
            "name": "SD WAN Optimization Service"
         },
         {
            "id": "bf65eadc1b7420106ba59acf034bcb57",
            "name": "SD-WAN Routing"
         },
         {
            "id": "bf65eadc1b7420106ba59acf034bcb57",
            "name": "SD-WAN Routing"
         },
         {
            "id": "bf65eadc1b7420106ba59acf034bcb57",
            "name": "SD-WAN Routing"
         }
      ],
      "realizingResource": [
         {
            "id": "493fa60b536520103b6bddeeff7b12b6",
            "name": "Customer Premise SD-WAN Router"
         }
      ]
   }
]
```


製品在庫オープン **API - GET /sn_prd_invt/productinventory/{inventoryId}**

製品在庫を取得します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品在庫オープン API - GET /sn_prd_invt/product/{id} です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_invt/productinventory/{inventoryId}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
inventoryId	取得する製品在庫の sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
customer	顧客別に製品在庫をフィルタリングします。顧客の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
place	場所別に製品在庫をフィルタリングします。場所の sys_id または外部 id がこのパラメーターの値に一致する製品オファリングのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
status	ステータス別に製品在庫をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する製品在庫のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
place	製品に関連付けられた場所。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"name": "String"
	}</pre>

productOffering.id	製品オファリングの sys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

productRelationship	関連製品のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productRelationship": [
	{
	"productId": "String",
	"relationshipType": "String"
	}
	]</pre>

productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列

productSpecification	製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"productSpecification": {
	"id": "String"
	}</pre>

productSpecification.id	製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

realizingResource	実現のためのリソース。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"realizingResource": {
	"id": "String",
	"type": "String"
	}</pre>

realizingResource.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのリソースの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 データタイプ：文字列
realizingService	実現のためのサービス。 データタイプ：オブジェクト `"realizingService": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingService.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

この例では、SD-WAN サービスパッケージの製品在庫を取得します。

```
curl --location --request GET 'https://
 instance.servicenow.com/api/sn_prd_invt/productinventory/074450fc74918d1
0f877ca57242ff9e3' \
--user 'username':'password'
```

出力：

```
{
   "id": "074450fc74918d10f877ca57242ff9e3",
   "relatedParty": [
      {
         "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
         "name": "Funco Intl",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "Customer"
      },
      {
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
         "name": "Sally Thomas",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "CustomerContact"
      }
   ],
   "name": "SD-WAN Service Package PI0001576",
   "productSpecification": {
      "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
      "name": "SD-WAN Service Package"
   },
   "status": "Installation Pending",
   "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering"
   },
   "place": "",
   "productCharacteristic": [],
   "productRelationship": [
      {
         "id": "a74490fc74918d10f877ca57242ff942",
         "name": "SD-WAN Edge Device PI0001582",
         "relationshipType": "Bundles"
      },
      {
         "id": "b85414fc74918d10f877ca57242ff90e",
         "name": "SD-WAN Controller PI0001602",
         "relationshipType": "Bundles"
      },
      {
         "id": "d74490fc74918d10f877ca57242ff907",
         "name": "SD-WAN Security PI0001577",
         "relationshipType": "Bundles"
      }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
    "realizingService": [],
    "realizingResource": []
}
```

製品在庫オープン **API - POST /sn_prd_invt/product**

製品在庫レコードを作成します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_invt/product`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
name	必須です。製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
pid	外部システムからの製品在庫の一意の識別子。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOffering	必須です。製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOffering.id	必須です。製品オファリングの initial_version または external_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productRelationship	関連製品のリスト。 データタイプ：アレイ `"productRelationship": [ { "productId": "String", "relationshipType": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productRelationship.productId	*productRelationship* パラメーターを使用する場合は必須です。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。有効な値は `child` のみです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecification	必須です。製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	必須です。製品仕様の initial_version または external_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource	製品を実現するリソース。実現のためのリソースは、この製品在庫の子製品在庫です。 データタイプ：オブジェクト `"realizingResource": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingResource.id	*realizingResource* パラメーターを使用する場合は必須です。 実現のためのリソースの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列

realizingService	製品を実現するサービス。実現のためのサービスは、この製品在庫の子製品在庫です。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingService": {`
	`  "id": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

realizingService.id	*realizingService* パラメーターを使用する場合は必須です。 実現のためのサービスの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列

relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty": [`
	`  {`
	`  "id": "String",`
	`  "@referredType": "String"`
	`  }`
	`]`

relatedParty.id	*relatedParty* パラメーターを使用する場合は必須です。チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• customer • customer_contact • consumer データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
state	製品の現在のステータス。 可能な値： • active • change_pending • inactivation_pending • inactive • installation_pending データタイプ：文字列 デフォルト：installation_pending

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
href	製品在庫レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
pid	外部システムからの製品在庫の一意の識別子。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalId": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"internalVersion": "String",
	"name": "String",
	"version": "String"
	}</pre>

productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productPrice	空のアレイを返します。 データタイプ：アレイ

productRelationship	関連製品のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productRelationship": [
	{
	"productId": "String",
	"relationshipType": "String"
	}
	]</pre>

productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
productSpecification	製品の製品仕様。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "version": "String" }`
productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource	製品を実現するリソース。実現のためのリソースは、この製品在庫の子製品在庫です。 データタイプ：オブジェクト `"realizingResource": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingResource.id	実現のためのリソースの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列
realizingService	製品を実現するサービス。実現のためのサービスは、この製品在庫の子製品在庫です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"realizingService": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingService.id	実現のためのサービスの sys_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 有効な値：child データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ユーザーのボイスオーバー IP ソリューションの製品在庫を作成します。

```
curl -X POST "https://instance.service-now.com/api/sn_prd_invt/product" \
--header "Accept: application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data "[
   {
      "pid": "PO-456",
      "description": "inventory description",
      "isBundle": false,
      "name": "Voice Over IP Basic instance for Jean",
      "productOffering": {
         "@referredType": "ProductOffering",
         "name": "Premium SD-WAN Offering",
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
      },
      "productCharacteristic": [],
      "productRelationship": [
         {
            "productId": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
            "relationshipType": "child"
         }
      ],
      "realizingService": {
         "id": "fe6d13f45b5620102dff5e92dc81c786",
         "relationshipType": "child"
      },
      "realizingResource": {
         "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c78c",
         "relationshipType": "child"
      },
      "relatedParty": [
         {
            "@referredType": "CustomerContact",
            "@type": "RelatedParty",
            "name": "Sally Thomas",
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde"
         },
         {
            "@referredType": "Customer",
            "@type": "RelatedParty",
            "name": "Funco Intl",
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55"
         }
      ],
      "productSpecification": {
         "@referredType": "ProductSpecification",
         "@type": null,
         "name": null,
         "id": "3ee1fdb1c3331010d216b5183c40dd81",
         "internalVersion": "1"
      },
      "bundle": false
   }
]"
```

応答本文。

```
{
   "pid": "PO-456",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   "description": "inventory description",
   "isBundle": false,
   "name": "Voice Over IP Basic instance for Jean",
   "productOffering": {
      "@referredType": "ProductOffering",
      "name": "Premium SD-WAN Offering",
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "internalVersion": "1",
      "version": null,
      "status": "published",
      "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
   },
   "productCharacteristic": [],
   "productRelationship": [
      {
         "productId": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
         "relationshipType": "child"
      }
   ],
   "realizingService": {
      "id": "fe6d13f45b5620102dff5e92dc81c786",
      "relationshipType": "child"
   },
   "realizingResource": {
      "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c78c",
      "relationshipType": "child"
   },
   "relatedParty": [
      {
         "@referredType": "CustomerContact",
         "@type": "RelatedParty",
         "name": "Sally Thomas",
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde"
      },
      {
         "@referredType": "Customer",
         "@type": "RelatedParty",
         "name": "Example Company",
         "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55"
      }
   ],
   "productSpecification": {
      "@referredType": "ProductSpecification",
      "@type": null,
      "name": null,
      "id": "3ee1fdb1c3331010d216b5183c40dd81",
      "internalVersion": "1",
      "version": null,
      "status": "published",
      "internalId": "3ee1fdb1c3331010d216b5183c40dd81"
   },
   "bundle": false,
   "productPrice": [],
   "id": "25b07475471789108761b955d36d439d",
   "href": "/api/sn_prd_invt/product/25b07475471789108761b955d36d439d"
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品在庫オープン **API - POST /sn_prd_invt/productinventory**

製品在庫を作成します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品在庫オープン API - POST /sn_prd_invt/product です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_invt/productinventory`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
name	必須です。製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
pid	外部システムからの製品在庫の一意の識別子。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" } ]`
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列
productOffering	必須です。製品在庫が関連付けられている製品オファリング。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "name": "String" }`
productOffering.id	必須です。製品オファリングの sys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productRelationship	関連製品のリスト。 データタイプ：アレイ `"productRelationship": [ { "productId": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productRelationship.productId	*productRelationship* パラメーターを使用する場合は必須です。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。有効な値は `child` のみです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productSpecification	必須です。製品の製品仕様。 データタイプ：オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productSpecification.id	必須です。製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
realizingResource	実現のためのリソース。 データタイプ：オブジェクト `"realizingResource": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingResource.id	*realizingResource* パラメーターを使用する場合は必須です。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのリソースの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。有効な値は `child` のみです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
realizingService	実現のためのサービス。 データタイプ：オブジェクト `"realizingService": { "id": "String", "type": "String" }`
realizingService.id	*realizingService* パラメーターを使用する場合は必須です。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。有効な値は `child` のみです。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"id": "String",
	"@referredType": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.id	*relatedParty* パラメーターを使用する場合は必須です。チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_Consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • customer • customer_contact • consumer データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
state	製品の現在のステータス。 可能な値： • active • change_pending • inactivation_pending • inactive • installation_pending データタイプ：文字列 デフォルト：installation_pending

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
ID	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの製品在庫の sys_id。 データタイプ：文字列
name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
pid	外部システムからの製品在庫の一意の識別子。 データタイプ：文字列
productCharacteristic	製品特性のリスト。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
productCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
productCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列

productOffering	製品在庫が関連付けられている製品オファリング。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"productOffering": {
	   "id": "String",
	   "name": "String"
	}</pre>

productOffering.id	製品オファリングの sys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

productRelationship	関連製品のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"productRelationship": [
	   {
	      "productId": "String",
	      "relationshipType": "String"
	   }
	]</pre>

productRelationship.productId	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの関連製品の sys_id。 データタイプ：文字列
productRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列

productSpecification	製品の製品仕様。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"productSpecification": {
	      "id": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productSpecification.id	製品仕様の sys_id。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

realizingResource	実現のためのリソース。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingResource": {`
	`"id": "String",`
	`"type": "String"`
	`}`

realizingResource.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのリソースの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingResource.type	実現のためのリソースのタイプ。 データタイプ：文字列

realizingService	実現のためのサービス。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"realizingService": {`
	`"id": "String",`
	`"type": "String"`
	`}`

realizingService.id	製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの実現のためのサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
realizingService.type	実現のためのサービスのタイプ。 データタイプ：文字列

relatedParty	チケットに関連付けられている関係者のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty": [`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"@referredType": "String"`
	`}`
	`]`

relatedParty.id	チケットに関連付けられているアカウントまたは顧客連絡先の sys_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
state	製品の現在のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ユーザーのボイスオーバー IP ソリューションの製品在庫を作成します。

```
curl --location --request POST
 “https://instance.servicenow.com/api/sn_prd_invt/productinventory” \
--header “Content-Type: application/json” \
--data-raw '[
    {
        "pid": "demoInventory",
        "description": "inventory description",
        "isBundle": false,
        "name": "Voice Over IP Basic instance for Jean",
        "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering",
            "@referredType": "ProductOffering"
        },
        "productCharacteristic": [
            {
                "name": "CPE Type",
                "valueType": "choice",
                "value": "Virtual"
            },
            {
                "name":"Routing",
                "valueType": "choice",
                "value": "Premium"
            }
        ],
        "productRelationship": [
            {
                "productId": "7e6d13f45b5620102dff5e92dc81c787",
                "relationshipType": "child"
            }
        ],
        "relatedParty": [
            {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
                "name": "Sally Thomas",
                "role": "User",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "CustomerContact"
            },
            {
                "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
                "name": "Funco Intl",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Customer"
            }
        ],
        "productSpecification": {
            "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
            "@referredType": "ProductSpecification",
            "version": "1"
        }
    }
]'
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "pid": "demoInventory",
   "description": "inventory description",
   "isBundle": false,
   "name": "Voice Over IP Basic instance for Jean",
   "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering",
      "@referredType": "ProductOffering"
   },
   "productCharacteristic": [
      {
         "name": "CPE Type",
         "valueType": "choice",
         "value": "Virtual"
      },
      {
         "name": "Routing",
         "valueType": "choice",
         "value": "Premium"
      }
   ],
   "productRelationship": [
      {
         "productId": "7e6d13f45b5620102dff5e92dc81c787",
         "relationshipType": "child"
      }
   ],
   "relatedParty": [
      {
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
         "name": "Sally Thomas",
         "role": "User",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        }
    ],
    "productSpecification": {
        "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
        "@referredType": "ProductSpecification",
        "version": "1"
    },
    "id": "3ac715c6745d8150f877ca57242ff97a"
}
```

製品注文オープン API

Product Order Open API は、製品注文を行うための標準化されたメカニズムを有効にするエンドポイントを提供します。

製品注文は、製品カタログで定義および公開されている製品オファリングに基づいて作成されます。製品オファリングは、顧客が利用できる製品または製品セットを識別し、製品の一意のオプションをキャプチャする関連製品特性、および他の関連属性 (価格設定、契約条件、提供状況など) を含みます。

この API にアクセスするには、Order Management for Telecommunications (sn_ind_tmt_orm) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_ind_tmt_orm` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_ind_tmt_orm.order_integrator ロールが必要です。

この API を拡張して、必要なパラメーター、要求本文の検証、追加の REST 操作、およびフィールドマッピングに関するカスタマイズを実行できます。詳細については、次を参照してください：『Product Order Open API Developer Guide (製品注文オープン API 開発者ガイド)』を参照してください。

製品注文オープン API は、TM Forum TMF622 Product Ordering Management API REST 仕様の ServiceNow® 実装であり、TM Forum によって適合性が認定されています。

製品注文オープン API - GET /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder

すべての製品注文を取得します。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
state	注文をステータスでフィルターします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する注文のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明 ブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使 用するチャネルの一意の識別子。 チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] の external_id フィールドにありま データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用す ネルの名前。 データタイプ：文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 る日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、そ である必要があります。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列
href	製品注文レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	製品注文の sys_id。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "author": "String", "date": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"text": "String"
	}
	]</pre>

note.author	関連するメモを作成したユーザーの名 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/ ト。 データタイプ：文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 データタイプ：文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しま • false： 注文の返品不可期日に達し せん。 データタイプ：ブール

productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付け
	アイテムを説明するリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productOrderItem:" [
	{
	"action": "String",
	"committedDueDate":
	"String",
	"externalProductInvento
	[Array],
	"id": "String",
	"itemPrice": [Array],
	"product": {Object},
	"productOffering": {Obj
	
	"productOrderItemReleatio
	p": [Array],
	"quantity": Number,
	"state": "String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ブルの [アクション辞書エントリ (Ac Dictionary Entry)] の [選択リスト] タ 義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィール ド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す がある日時。 データタイプ：文字列

productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	グされた外部 ID を含むオブジェクト
	イ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"externalProductInventory"`
	`{`
	`"externalProductInventory`
	`"String"`
	`}`
	`]`

productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた ID。 データタイプ：文字列
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"itemPrice": [`
	`{`
	`"price": {Object},`
	`"priceType": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"recurringChargePeriod
	"String"
	}
	]</pre>

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"price": {
	"taxIncludedAmount": {Ob
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	"unit": "String",
	"value": Number
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon の繰り返し期間。 データタイプ：文字列
productOrderItem.ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しま • false： 注文の返品不可期日に達し せん。 データタイプ：ブール

productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの
	説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"product:" {
	"place": {Object},</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"productCharacteristic": [Array], "productRelationship": [Array], "productSpecification": {Object}, "relatedParty": {Object}, "@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"place": {
	"id": "String",
	"@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連れた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オープに関する連絡先の注釈。この値は常にです。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するジェクトのアレイ。
	
	value が *previousValue* と異なる性のみが返されます。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productCharacteristic": [
	{
	"name": "String",
	"previousValue": "Strin
	"value": "String"
	}
	]</pre>

productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの特性 [sn_prd_pm_characteristic] テにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オン値。*productOrderItem.actio*メーターが `add` 以外の場合、要求はです。特性オプション値の詳細につい

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション性オプション値の詳細については、製品と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productRelationship	注文品目の商品関係の詳細のリスト。 データタイプ：アレイ `"productRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "St } ]`
productOrderItem.product.productRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テルの sys_id または sn_prd_invt_exte フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productRelationship.relationshipType	注文品目とプロダクトインベントリの係のタイプ。 可能な値： Requires データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "Stri "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様初のバージョンの sys_id です。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification ルの sys_id または external_id フィー あります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。initial_v は、仕様の最初のバージョ ンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の仕様。この仕 ProductSpecificationRef です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]`
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目 先の sys_id。オーダー品目に関する連 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列

productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリン
	明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"productOffering:" {`
	`"id": "String",`
	`"internalId": "String",`
	`"internalVersion": "Strin`
	`"name": "String",`
	`"version": "String"`
	`}`

productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version ま external_id。initial_version は、オフ グの最初のバージョンの sys_id です。 ファリング [sn_prd_pm_product_o テーブルの sys_id または external_id ルドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。initial_version は、 オファリングの最初のバージョン の sys_id です。製品オファリング

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 リング [sn_prd_pm_product_offerin ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファ [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	購入された製品アイテムの数。 データタイプ：数値

productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ
	のアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productOrderItemRelationsh`
	`[`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"relationshipType": "St`
	`}`
	`]`

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 関係階層を識別するために使用されま 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	`HasChild` と `HasParent` は親子関係されます。`Requires` は水平関係に使ます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.state	関連する製品アイテムの注文のステー データタイプ：文字列
productOrderItem.version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `ProductOrderItem` T の情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア のオブジェクトです。顧客アカウント コンシューマーアカウント情報を含む とも 1 つのアイテムをリストする必要 ます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、 顧客の連絡先、またはコンシューマー のSys_idまたはexternal_id。アカウ ント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、また シューマー [csm_consumer] テーブ ります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー 名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `RelatedParty` です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `ProductOrder` です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品注文を取得します。

```
curl --location --request GET
 'https://instance.service-now.com/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder'
 \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
   {
      "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
      "href":
 "/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/8d75939453126010a795ddeeff7b126
a",
      "ponr": "false",
      "orderCurrency": "USD",
      "expectedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
      "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.000Z",
    "channel": [
       {
          "id": "1",
          "name": "Agent Assist"
       }
    ],
    "note": [
       {
          "author": "System Administrator",
          "date": "2021-02-25T14:22:07.000Z",
          "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
       },
       {
          "author": "System Administrator",
          "date": "2021-02-25T14:22:06.000Z",
          "text": "This is a TMF product order illustration"
       }
    ],
    "productOrderItem": [
       {
          "id": "POI130",
          "ponr": "false",
          "quantity": 1,
          "action": "add",
          "actionReason": "adding service package OLI",
          "itemPrice": [
             {
                "priceType": "recurring",
                "price": {
                   "taxIncludedAmount": {
                      "unit": "USD",
                      "value": 20
                   }
                }
             },
             {
                "priceType": "nonRecurring",
                "price": {
                   "taxIncludedAmount": {
                      "unit": "INR",
                      "value": 0
                   }
                }
             }
          ],
          "product": {
             "@type": "Product",
             "productCharacteristic": [
                {
                   "name": "Security Type",
                   "valueType": "Choice",
                   "value": "Base",
                   "previousValue": ""
                }
             ],
             "productSpecification": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                "name": "SD-WAN Security",
                "version": "v1",
                "internalVersion": "1",
                "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                "@type": "ProductSpecificationRef"
             },
             "relatedParty": [
                {
                   "id": "4175939453126010a795ddeeff7b127d",
                   "name": "John Smith",
                   "email": "abc2@example.com",
                   "phone": "32456768",
                   "@type": "RelatedParty",
                   "@referredType": "OrderLineItemContact"
                },
                {
                   "id": "c175939453126010a795ddeeff7b127c",
                   "name": "Joe Doe",
                   "email": "abc@example.com",
                   "phone": "1234567890",
                   "@type": "RelatedParty",
                   "@referredType": "OrderLineItemContact"
                }
             ]
          },
          "productOffering": {
             "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
             "name": "Premium SD-WAN Offering",
             "version": "v1",
             "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
             "internalVersion": "1"
          },
          "productOrderItemRelationship": [
             {
                "id": "POI100",
                "relationshipType": "HasParent"
             }
          ],
          "state": "in_progress",
          "version": "1",
          "@type": "ProductOrderItem"
       },
       {
          "id": "POI100",
          "ponr": "false",
          "quantity": 1,
          "action": "add",
          "itemPrice": [
             {
                "priceType": "recurring",
                "price": {
                   "taxIncludedAmount": {
                      "unit": "INR",
                      "value": 0
                   }
                }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            {
               "priceType": "nonRecurring",
               "price": {
                  "taxIncludedAmount": {
                     "unit": "INR",
                     "value": 0
                  }
               }
            }
         ],
         "product": {
            "@type": "Product",
            "productSpecification": {
               "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
               "name": "SD-WAN Service Package",
               "version": "v1",
               "internalVersion": "1",
               "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
               "@type": "ProductSpecificationRef"
            }
         },
         "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering",
            "version": "v1",
            "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "internalVersion": "1"
         },
         "productOrderItemRelationship": [
            {
               "id": "POI130",
               "relationshipType": "HasChild"
            },
            {
               "id": "POI120",
               "relationshipType": "HasChild"
            },
            {
               "id": "POI110",
               "relationshipType": "HasChild"
            }
         ],
         "state": "in_progress",
         "version": "1",
         "@type": "ProductOrderItem"
      },
      {
         "id": "POI120",
         "ponr": "false",
         "quantity": 1,
         "action": "add",
         "itemPrice": [
            {
               "priceType": "recurring",
               "price": {
                  "taxIncludedAmount": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "unit": "USD",
                        "value": 20
                     }
                  }
               },
               {
                  "priceType": "nonRecurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                     }
                  }
               }
            ],
            "product": {
               "@type": "Product",
               "productCharacteristic": [
                  {
                     "name": "CPE Type",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Physical",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "WAN Optimization",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Advance",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "Routing",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Premium",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "CPE Model",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "ASR",
                     "previousValue": ""
                  }
               ],
               "productSpecification": {
                  "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                  "name": "SD-WAN Edge Device",
                  "version": "v1",
                  "internalVersion": "1",
                  "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                  "@type": "ProductSpecificationRef"
               },
               "productRelationship": [
                  {
                     "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
                     "relationshipType": "Requires"
                  }
               ]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            "productOffering": {
               "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
               "name": "Premium SD-WAN Offering",
               "version": "v1",
               "internalVersion": "1",
               "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
               {
                  "id": "POI100",
                  "relationshipType": "HasParent"
               },
               {
                  "id": "POI110",
                  "relationshipType": "Requires"
               }
            ],
            "state": "in_progress",
            "version": "1",
            "@type": "ProductOrderItem"
         },
         {
            "id": "POI110",
            "ponr": "false",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "itemPrice": [
               {
                  "priceType": "recurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                     }
                  }
               },
               {
                  "priceType": "nonRecurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "USD",
                        "value": 5
                     }
                  }
               }
            ],
            "product": {
               "@type": "Product",
               "productCharacteristic": [
                  {
                     "name": "Tenancy",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Base (10 site)",
                     "previousValue": ""
                  }
               ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "productSpecification": {
               "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
               "name": "SD-WAN Controller",
               "version": "v1",
               "internalVersion": "1",
               "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
               "@type": "ProductSpecificationRef"
            },
            "place": {
               "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
               "@type": "Place"
            }
         },
         "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering",
            "version": "v1",
            "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "internalVersion": "1"
         },
         "productOrderItemRelationship": [
            {
               "id": "POI100",
               "relationshipType": "HasParent"
            }
         ],
         "state": "in_progress",
         "version": "1",
         "@type": "ProductOrderItem"
       }
    ],
    "relatedParty": [
      {
          "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
          "name": "Sally Thomas",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "CustomerContact"
      },
      {
          "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
          "name": "Funco Intl",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "Customer"
      },
      {
          "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
          "name": "Funco External",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "Consumer"
      }
   ],
     "state": "in_progress",
     "version": "1",
     "@type": "ProductOrder"
  }
]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品注文オープン **API - GET /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id}**

指定された製品注文を取得します。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得する顧客注文の sys_id または external_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明

200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
	
	選択した注文に処理の問題がある場合、応答は正常とエラーメッセージを返します。
	
	• 200 OK 応答は、注文が受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあり、スケジューラーが処理するレコードを選択するのを待っている場合に発生します。[エラーメッセージ] フィールドには、レコードの詳細が含まれます。例：
	
	`{ "code": 102, "reason": "Request in queue", "message": "Request in queue", "details": [ { "message": "This Order is still in the inbound queue table waiting to be processed.", "datapath": "" } ] }`
	
	• 注文の作成に失敗し、受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルのレコードがエラーステータスの場合、200 OK 応答が発生します。[エラーメッセージ] フィールドには、受信キューテーブルレコードの詳細が含まれています。例：
	
	`{ "code": 23, "reason": "Missing body field", "message": "Missing body field", "details": [ { "message": "Invalid payload: orderCurrency is missing", "datapath": "/" } ] }`

206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明ブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] の external_id フィールドにあります データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用すネルの名前。 データタイプ：文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必る日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、そである必要があります。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
href	製品注文レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	製品注文の sys_id。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "author": "String", "date": "String", "text": "String" } ]`
note.author	関連するメモを作成したユーザーの名 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/ ト。 データタイプ：文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 データタイプ：文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しま • false： 注文の返品不可期日に達し せん。 データタイプ：ブール
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付け アイテムを説明するリスト。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem:" [ { "action": "String", "actionReason": "String`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre>"committedDueDate": "String", "externalProductInvento [Array], "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Ob "productOrderItemReleatio p": [Array], "quantity": Number, "state": "String", "@type": "String" }]</pre>
productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ブルの [アクション辞書エントリ (Ac Dictionary Entry)] の [選択リスト] タ 義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す がある日時。 データタイプ：文字列
productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ グされた外部 ID を含むオブジェクト イ。 データタイプ：アレイ <pre>"externalProductInventory" { "externalProductInventory "String" }]</pre>
productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた ID。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] の sn_ind_tmt_orm_external_id フィにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"itemPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String", "recurringChargePeriod "String" } ]`
productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Obj }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたり返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon の繰り返し期間。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しま • false： 注文の返品不可期日に達し せん。 データタイプ：ブール
productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの 説明。 データタイプ：オブジェクト `"product:" { "place": {Object}, "productCharacteristic": [Array], "productRelationship": [Array], "productSpecification": {Object}, "relatedParty": {Object}, "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ データタイプ：オブジェクト `"place": { "id": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連 れた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー に関する連絡先の注釈。この値は常に です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する ジェクトのアレイ。 *value* が *previousValue* と異なる 性のみが返されます。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"productCharacteristic": [
	  {
	  "name": "String",
	  "previousValue": "Stri
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの 特性 [sn_prd_pm_characteristic] テ にあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ ン値。*productOrderItem.actio* メーターが `add` 以外の場合、要求は です。特性オプション値の詳細につい 製品特性と特性オプションの作成 を てください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション 性オプション値の詳細については、 と特性オプションの作成 を参照して い。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productRelationship	注文品目の商品関係の詳細のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productRelationship": [
	  {
	  "id": "String",
	  "relationshipType": "St
	  }
	]</pre>

productOrderItem.product.productRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テ ルの sys_id または sn_prd_invt_exte フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productRelationship.relationshipType	注文品目とプロダクトインベントリの 係のタイプ。 可能な値： Requires データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ: オブジェクト `"productSpecification:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "Stri "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様 初のバージョンの sys_id です。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification ルの sys_id または external_id フィー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。initial_v は、仕様の最初のバージョ ンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この仕 `ProductSpecificationRef` です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"relatedParty:" {
	"email": "String",
	"firstName": "String",
	"id": "String",
	"lastName": "String",
	"phone": "String",
	"@referredType": "String
	"@type": "String"
	}

productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目 先の sys_id。オーダー品目に関する [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_ テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保 せん。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリン 明。 データタイプ：オブジェクト "productOffering:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "Stri

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"name": "String",
	"version": "String"
	}</pre>

productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version ま external_id。initial_version は、オ グの最初のバージョンの sys_id です。 ファリング [sn_prd_pm_product_o テーブルの sys_id または external_id ルドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。initial_version は、 オファリングの最初のバージョン の sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 リング [sn_prd_pm_product_offerin ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファ [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	購入された製品アイテムの数。 データタイプ：数値

productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ
	のアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productOrderItemRelationsh
	[
	{
	"id": "String",
	"relationshipType": "St</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 関係階層を識別するために使用されま 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 されます。`Requires` は水平関係に使 ます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.state	関連する製品アイテムの注文のステー データタイプ：文字列
productOrderItem.version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `ProductOrderItem` の情報は保存されません。 データタイプ：文字列

relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア のオブジェクトです。顧客アカウント コンシューマーアカウント情報を含む とも 1 つのアイテムをリストする必要 ます。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty:" [`
	`  {`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "@referredType": "Strin`
	`  "@type": "String"`
	`  }`
	`]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またシューマー [csm_consumer] テーブります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部、製品この値は常に `RelatedParty` です。報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品この値は常に `ProductOrder` です。報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、指定された製品注文を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl -X GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrd
er/8d75939453126010a795ddeeff7b126a" \
-u "username":"password"
```

応答本文。

```
{
   "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
   "href":
 "/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/8d75939453126010a795ddeeff7b126
a",
   "ponr": "false",
   "orderCurrency": "USD",
   "expectedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
   "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
   "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.000Z",
   "channel": [
      {
         "id": "1",
         "name": "Agent Assist"
      }
   ],
   "note": [
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-02-25T14:22:07.000Z",
         "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
      },
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-02-25T14:22:06.000Z",
         "text": "This is a TMF product order illustration"
      }
   ],
   "productOrderItem": [
      {
         "id": "POI130",
         "ponr": "false",
         "quantity": 1,
         "action": "add",
         "actionReason": "adding service package OLI",
         "itemPrice": [
            {
               "priceType": "recurring",
               "price": {
                  "taxIncludedAmount": {
                     "unit": "USD",
                     "value": 20
                  }
               }
            },
            {
               "priceType": "nonRecurring",
               "price": {
                  "taxIncludedAmount": {
                     "unit": "INR",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "value": 0
                }
            }
        }
    ],
    "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
            {
                "name": "Security Type",
                "valueType": "Choice",
                "value": "Base",
                "previousValue": ""
            }
        ],
        "productSpecification": {
            "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
            "name": "SD-WAN Security",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
            "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
            {
                "id": "4175939453126010a795ddeeff7b127d",
                "name": "John Smith",
                "email": "abc2@example.com",
                "phone": "32456768",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "OrderLineItemContact"
            },
            {
                "id": "c175939453126010a795ddeeff7b127c",
                "name": "Joe Doe",
                "email": "abc@example.com",
                "phone": "1234567890",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
        ]
    },
    "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering",
        "version": "v1",
        "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "internalVersion": "1"
    },
    "productOrderItemRelationship": [
        {
            "id": "POI100",
            "relationshipType": "HasParent"
        }
    ],
    "state": "in_progress",
    "version": "1",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "ProductOrderItem"
        },
        {
            "id": "POI100",
            "ponr": "false",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "actionReason":"adding service package OLI",
            "itemPrice": [
                {
                    "priceType": "recurring",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "INR",
                            "value": 0
                        }
                    }
                },
                {
                    "priceType": "nonRecurring",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "INR",
                            "value": 0
                        }
                    }
                }
            ],
            "product": {
                "@type": "Product",
                "productSpecification": {
                    "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
                    "name": "SD-WAN Service Package",
                    "version": "v1",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering",
                "version": "v1",
                "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "internalVersion": "1"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI130",
                    "relationshipType": "HasChild"
                },
                {
                    "id": "POI120",
                    "relationshipType": "HasChild"
                },
                {
                    "id": "POI110",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "relationshipType": "HasChild"
         }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
   },
   {
      "id": "POI120",
      "ponr": "false",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason": "adding service package OLI",
      "itemPrice": [
         {
            "priceType": "recurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "USD",
                  "value": 20
               }
            }
         },
         {
            "priceType": "nonRecurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "INR",
                  "value": 0
               }
            }
         }
      ],
      "product": {
         "@type": "Product",
         "productCharacteristic": [
            {
               "name": "CPE Type",
               "valueType": "Choice",
               "value": "Physical",
               "previousValue": ""
            },
            {
               "name": "WAN Optimization",
               "valueType": "Choice",
               "value": "Advance",
               "previousValue": ""
            },
            {
               "name": "Routing",
               "valueType": "Choice",
               "value": "Premium",
               "previousValue": ""
            },
            {
               "name": "CPE Model",
               "valueType": "Choice",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "value": "ASR",
                "previousValue": ""
             }
          ],
          "productSpecification": {
             "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
             "name": "SD-WAN Edge Device",
             "version": "v1",
             "internalVersion": "1",
             "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
             "@type": "ProductSpecificationRef"
          },
          "productRelationship": [
             {
                "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
                "relationshipType": "Requires"
             }
          ]
       },
       "productOffering": {
          "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
          "name": "Premium SD-WAN Offering",
          "version": "v1",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
       },
       "productOrderItemRelationship": [
          {
             "id": "POI100",
             "relationshipType": "HasParent"
          },
          {
             "id": "POI110",
             "relationshipType": "Requires"
          }
       ],
       "state": "in_progress",
       "version": "1",
       "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
       "id": "POI110",
       "ponr": "false",
       "quantity": 1,
       "action": "add",
       "actionReason": "adding service package OLI",
       "itemPrice": [
          {
             "priceType": "recurring",
             "price": {
                "taxIncludedAmount": {
                   "unit": "INR",
                   "value": 0
                }
             }
          },
          {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "priceType": "nonRecurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "USD",
                  "value": 5
               }
            }
         }
      ],
      "product": {
         "@type": "Product",
         "productCharacteristic": [
            {
               "name": "Tenancy",
               "valueType": "Choice",
               "value": "Base (10 site)",
               "previousValue": ""
            }
         ],
         "productSpecification": {
            "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
            "name": "SD-WAN Controller",
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
            "@type": "ProductSpecificationRef"
         },
         "place": {
            "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
            "@type": "Place"
         }
      },
      "productOffering": {
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "name": "Premium SD-WAN Offering",
         "version": "v1",
         "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "internalVersion": "1"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
         {
            "id": "POI100",
            "relationshipType": "HasParent"
         }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
   }
],
"relatedParty": [
     {
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
         "name": "Sally Thomas",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "CustomerContact"
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "state": "in_progress",
   "version": "1",
   "@type": "ProductOrder"
}
```


製品注文オープン **API - GET /sn_ind_tmt_orm/productorder**

すべての製品注文を取得します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品注文オープン API - GET /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder です。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/productorder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 データタイプ：文字列 デフォルト:返されるすべてのフィールド。
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
state	注文をステータスでフィルターします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する注文のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列 デフォルト:すべての状況が返されます。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	• first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルの external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用するチャネルの名前。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": { "author": "String", "date": "String", "text": "String" }`
note.author	関連するメモを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しました。 • false： 注文の返品不可期日に達していません。 データタイプ：ブール
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付けられたアイテムを説明するリスト。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem:" [ { "action": "String", "actionReason": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"id": "String",
	"itemPrice": [Array],
	"product": {Object},
	"productOffering": {Object}
	
	"productOrderItemReleationship": [Array],
	"quantity": Number,
	"state": "String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_item テーブルの [アクション辞書エントリ (Action Dictionary Entry)] の [選択リスト] タブで定義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item/action_reason
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"itemPrice": [
	{
	"price": {Object},
	"priceType": "String",
	"recurringChargePeriod": "String"
	}
	]</pre>

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"price": {
	  "taxIncludedAmount": {Object}
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは非繰り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、month など、の繰り返し期間。 データタイプ：文字列
productOrderItem.ponr	注文が返品不可期日に達したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しました。 • false： 注文の返品不可期日に達していません。 データタイプ：ブール

productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの詳細の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"product:" {
	  "place": {Object},
	  "productCharacteristic":
	 [Array],
	  "productSpecification":
	 {Object},
	  "relatedParty": {Object},
	  "@type": "String"
	}</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマップ。 データタイプ：オブジェクト `"place": { "id": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `Plac` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するオブジェクトのアレイ。 *value* が *previousValue* と異なる製品特性のみが返されます。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "String", "value": "String" } ]`
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*productOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指です。特性オプション値の詳細については、製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、 製品特と特性オプションの作成 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明。 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification:" { "id": "String", "name": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ProductSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目の連絡先の sys_id。オーダー品目に関する連絡先

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contac テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリングの説明。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。initial_version は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	購入された製品アイテムの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItemRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String } ]`
productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係に使用されます。`Requires` は水平関係に使用されます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.state	関連する製品アイテムの注文のステータス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrderItem` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。顧客アカウントまたはコンシューマーアカウント情報を含む少なくとも 1 つのアイテムをリストする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
version	発注バージョン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、すべての製品注文を取得します。

```
curl --location --request GET
 'https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tmt_orm/productorder' \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
[
   {
      "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
      "ponr": "false",
      "expectedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
      "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
      "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.000Z",
      "channel": [
         {
            "id": "1",
            "name": "Agent Assist"
         }
      ],
      "note": [
         {
            "author": "System Administrator",
            "date": "2021-02-25T14:22:07.000Z",
            "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
         },
         {
            "author": "System Administrator",
            "date": "2021-02-25T14:22:06.000Z",
            "text": "This is a TMF product order illustration"
         }
      ],
      "productOrderItem": [
         {
            "id": "POI130",
            "ponr": "false",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "actionReason": "adding service package OLI",
            "itemPrice": [
               {
                  "priceType": "recurring",
                  "price": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "USD",
                        "value": 20
                    }
                }
            },
            {
                "priceType": "nonRecurring",
                "price": {
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                    }
                }
            }
        ],
        "product": {
            "@type": "Product",
            "productCharacteristic": [
                {
                    "name": "Security Type",
                    "valueType": "Choice",
                    "value": "Base",
                    "previousValue": ""
                }
            ],
            "productSpecification": {
                "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                "name": "SD-WAN Security",
                "@type": "ProductSpecificationRef"
            },
            "relatedParty": [
                {
                    "id": "4175939453126010a795ddeeff7b127d",
                    "name": "John Smith",
                    "email": "abc2@example.com",
                    "phone": "32456768",
                    "@type": "RelatedParty",
                    "@referredType": "OrderLineItemContact"
                },
                {
                    "id": "c175939453126010a795ddeeff7b127c",
                    "name": "Joe Doe",
                    "email": "abc@example.com",
                    "phone": "1234567890",
                    "@type": "RelatedParty",
                    "@referredType": "OrderLineItemContact"
                }
            ]
        },
        "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
            {
                "id": "POI100",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "relationshipType": "HasParent"
            }
        ],
        "state": "in_progress",
        "version": "1",
        "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
        "id": "POI100",
        "ponr": "false",
        "quantity": 1,
        "action": "add",
        "itemPrice": [
            {
                "priceType": "recurring",
                "price": {
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                    }
                }
            },
            {
                "priceType": "nonRecurring",
                "price": {
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                    }
                }
            }
        ],
        "product": {
            "@type": "Product",
            "productSpecification": {
                "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
                "name": "SD-WAN Service Package",
                "@type": "ProductSpecificationRef"
            }
        },
        "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
            {
                "id": "POI130",
                "relationshipType": "HasChild"
            },
            {
                "id": "POI120",
                "relationshipType": "HasChild"
            },
            {
                "id": "POI110",
                "relationshipType": "HasChild"
            }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            ],
            "state": "in_progress",
            "version": "1",
            "@type": "ProductOrderItem"
         },
         {
            "id": "POI120",
            "ponr": "false",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "actionReason":"adding service package OLI",
            "itemPrice": [
               {
                  "priceType": "recurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "USD",
                        "value": 20
                     }
                  }
               },
               {
                  "priceType": "nonRecurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                     }
                  }
               }
            ],
            "product": {
               "@type": "Product",
               "productCharacteristic": [
                  {
                     "name": "CPE Type",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Physical",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "WAN Optimization",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Advance",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "Routing",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Premium",
                     "previousValue": ""
                  },
                  {
                     "name": "CPE Model",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "ASR",
                     "previousValue": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                }
            ],
            "productSpecification": {
                "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                "name": "SD-WAN Edge Device",
                "@type": "ProductSpecificationRef"
            }
        },
        "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
            {
                "id": "POI100",
                "relationshipType": "HasParent"
            }
        ],
        "state": "in_progress",
        "version": "1",
        "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
        "id": "POI110",
        "ponr": "false",
        "quantity": 1,
        "action": "add",
        "actionReason": "adding service package OLI",
        "itemPrice": [
            {
                "priceType": "recurring",
                "price": {
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                    }
                }
            },
            {
                "priceType": "nonRecurring",
                "price": {
                    "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "USD",
                        "value": 5
                    }
                }
            }
        ],
        "product": {
            "@type": "Product",
            "productCharacteristic": [
                {
                    "name": "Tenancy",
                    "valueType": "Choice",
                    "value": "Base (10 site)",
                    "previousValue": ""
                }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                ],
                "productSpecification": {
                   "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
                   "name": "SD-WAN Controller",
                   "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "place": {
                   "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                   "@type": "Place"
                }
             },
             "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
             },
             "productOrderItemRelationship": [
                {
                   "id": "POI100",
                   "relationshipType": "HasParent"
                }
             ],
             "state": "in_progress",
             "version": "1",
             "@type": "ProductOrderItem"
          }
       ],
       "relatedParty": [
         {
             "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
             "name": "Sally Thomas",
             "@type": "RelatedParty",
             "@referredType": "CustomerContact"
         },
         {
             "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
             "name": "Funco Intl",
             "@type": "RelatedParty",
             "@referredType": "Customer"
         },
         {
             "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
             "name": "Funco External",
             "@type": "RelatedParty",
             "@referredType": "Consumer"
         }
     ],
       "state": "in_progress",
       "version": "1",
       "@type": "ProductOrder"
    }
]
```


製品注文オープン **API - GET /sn_ind_tmt_orm/productorder/{id}**

指定された製品注文を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品注文オープン API - GET /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id} です。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/productorder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得する顧客注文の sys_id または external_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • クエリパラメーターがありません • 無効な URI
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルの external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用するチャネルの名前。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": { "author": "String", "date": "String", "text": "String" }`
note.author	関連するメモを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しました。 • false： 注文の返品不可期日に達していません。 データタイプ：ブール
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付けられたアイテムを説明するリスト。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem:" [ { "action": "String", "actionReason": "String", "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Object} "productOrderItemReleationship": [Array], "quantity": Number, "state": "String", "@type": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_item テーブルの [アクション辞書エントリ (Action Dictionary Entry)] の [選択リスト] タブで定義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item/action_reason
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"itemPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String", "recurringChargePeriod": "String" } ]`
productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Object} }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは非繰り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、`month` などの繰り返し期間。 データタイプ：文字列
productOrderItem.ponr	注文が返品不可期日に達したかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しました。 • false： 注文の返品不可期日に達していません。 データタイプ：ブール
productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの詳細の説明。 データタイプ：オブジェクト `"product:" { "place": {Object}, "productCharacteristic": [Array], "productSpecification": {Object}, "relatedParty": {Object}, "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマップ。 データタイプ：オブジェクト `"place": { "id": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `Plac` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するオブジェクトのアレイ。 *value* が *previousValue* と異なる製品特性のみが返されます。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "String", "value": "String" } ]`
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*productOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指です。特性オプション値の詳細については、製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、 製品特と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明。 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification:" { "id": "String", "name": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_product_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ProductSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目の連絡先の sys_id。オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contac テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリングの説明。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。initial_version は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	購入された製品アイテムの数。 データタイプ：数値
productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItemRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係に使用されます。`Requires` は水平関係に使用されます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.state	関連する製品アイテムの注文のステータス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrderItem` です。その情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。顧客アカウントまたはコンシューマーアカウント情報を含む少なくとも 1 つのアイテムをリストする必要があります。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
version	発注バージョン。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例では、既存の顧客注文を要求します。

```
curl -X GET
 "https://servicenow-instance/api/sn_ind_tmt_orm/productorder/8d75939453126010a795ddeeff7b126a" \
-u "username":"password"
```

応答本文。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
  "ponr": "false",
  "expectedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
  "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
  "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.000Z",
  "channel": [
    {
      "id": "1",
      "name": "Agent Assist"
    }
  ],
  "note": [
    {
      "author": "System Administrator",
      "date": "2021-02-25T14:22:07.000Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    },
    {
      "author": "System Administrator",
      "date": "2021-02-25T14:22:06.000Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    }
  ],

  "productOrderItem": [
    {
      "id": "POI130",
      "ponr": "false",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        },
        {
          "priceType": "nonRecurring",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "INR",
              "value": 0
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "name": "Security Type",
            "valueType": "Choice",
            "value": "Base",
            "previousValue": ""
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "name": "SD-WAN Security",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "id": "4175939453126010a795ddeeff7b127d",
            "name": "John Smith",
            "email": "abc2@example.com",
            "phone": "32456768",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          },
          {
            "id": "c175939453126010a795ddeeff7b127c",
            "name": "Joe Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ]
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
    "id": "POI100",
    "ponr": "false",
    "quantity": 1,
    "action": "add",
    "itemPrice": [
      {
        "priceType": "recurring",
        "price": {
          "taxIncludedAmount": {
            "unit": "INR",
            "value": 0
          }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      },
      {
        "priceType": "nonRecurring",
        "price": {
          "taxIncludedAmount": {
            "unit": "INR",
            "value": 0
          }
        }
      }
    ],
    "product": {
      "@type": "Product",
      "productSpecification": {
        "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
        "name": "SD-WAN Service Package",
        "@type": "ProductSpecificationRef"
      }
    },
    "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering"
    },
    "productOrderItemRelationship": [
      {
        "id": "POI130",
        "relationshipType": "HasChild"
      },
      {
        "id": "POI120",
        "relationshipType": "HasChild"
      },
      {
        "id": "POI110",
        "relationshipType": "HasChild"
      }
    ],
    "state": "in_progress",
    "version": "1",
    "@type": "ProductOrderItem"
  },
  {
    "id": "POI120",
    "ponr": "false",
    "quantity": 1,
    "action": "add",
    "itemPrice": [
      {
        "priceType": "recurring",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
          "priceType": "nonRecurring",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "INR",
              "value": 0
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "CPE Type",
            "valueType": "Choice",
            "value": "Physical",
            "previousValue": ""
          },
          {
            "name": "WAN Optimization",
            "valueType": "Choice",
            "value": "Advance",
            "previousValue": ""
          },
          {
            "name": "Routing",
            "valueType": "Choice",
            "value": "Premium",
            "previousValue": ""
          },
          {
            "name": "CPE Model",
            "valueType": "Choice",
            "value": "ASR",
            "previousValue": ""
           }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      "id": "POI110",
      "ponr": "false",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
            "price": {
              "taxIncludedAmount": {
                "unit": "INR",
                "value": 0
              }
            }
          },
          {
          "priceType": "nonRecurring",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 5
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
      "@type": "Product",
      "productCharacteristic": [
        {
          "name": "Tenancy",
          "valueType": "Choice",
          "value": "Base (10 site)",
          "previousValue": ""
        }
      ],
      "productSpecification": {
        "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
        "name": "SD-WAN Controller",
        "@type": "ProductSpecificationRef"
      },
      "place": {
        "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
        "@type": "Place"
      }
    },
    "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering"
    },
    "productOrderItemRelationship": [
      {
        "id": "POI100",
        "relationshipType": "HasParent"
      }
    ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "state": "in_progress",
    "version": "1",
    "@type": "ProductOrderItem"
  }
],
"relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
"state": "in_progress",
"version": "1",
"@type": "ProductOrder"
}
```


製品注文オープン **API - PATCH /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id}**
指定された顧客注文を更新します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新する顧客注文の sys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
channel.id	*channel* パラメーターが使用される を販売するために使用するチャネルの 値は、流通チャネル [sn_prd_pm_dis external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用す チャネル名は、sn_ind_tmt_orm_ord トリ (Channel Dictionary Entry)] の す。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committed* ある必要があります。 注文品目のアクションが `一時停止` ま ターは更新できません。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date
externalId	顧客注文の一意の識別子。この値は外 す。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn デフォルト：空白の文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 サポートされていません。注文に既に 外の値を指定すると、更新が拒否され データタイプ：文字列
productOrderItem	製品注文と関連アクション関連付け ト。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem": [ { "action": "String", "actionReason": "Strin "committedDueDate": "S "externalProductInvento "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Ob "productOrderItemRelat "quantity": Number, "revisionOperation": " "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn
productOrderItem.action	*productOrderItem* パラメーターか です。製品に対して実行するアクショ は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ントリ (Action Dictionary Entry)] の す。 可能な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ action デフォルト:add
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す アイテムのアクションが 一時停止 ま ターは更新できません。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ committed_due_date

productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"externalProductInventory"`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`
	
	注: 以前は、すでに存在する外部
	注文を作成すると、操作が中止さ
	た。Xanadu リリースでは、既存
	ID が指定されている場合、このパ
	ラーはスローされません。

productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングする外 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド:sn_i external_inventory_id および sn_pro sn_prd_invt_external_id
productOrderItem.id	*productOrderItem* パラメーターか の一意の識別子。発注書明細 [sn_inc ブルの sn_ind_tmt_orm_external_id データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn external_id 最大長：40 デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する データタイプ：アレイ `"itemPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String", "recurringChargePeriod } ]` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Obj }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまた データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon データタイプ：文字列

productOrderItem.product	*productOrderItem.action*が変更
	客が購入した製品のインスタンスの詳
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "id": "String",`
	`  "place": {Object},`
	`  "productCharacteristic":`
	`  "productSpecification":`
	`  "relatedParty": {Object}`
	`  "@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.id	*productOrderItem.action*が変更 は必須です。販売済み製品の一意の識 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`  "id": "String",`
	`  "@type": "String"`
	`}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.product.place.id	*productOrderItem.product.pla* 合は必須です。場所 [cmn_location] コードの sys_id。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ location デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `Place` です。この情報は データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "Stri "value": "Strin } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの [sn_prd_pm_characteristic] テーブ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ 値。*productOrderItem.action* パ 求は変更指示です。特性オプション値 性オプションの作成 を参照してく データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris previous_characteristic_option_va デフォルト：空白の文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション いては、 製品特性と特性オプション データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris characteristic_option_value デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明
	
	注: 変更管理 (変更*productOr*
	は、*sn_ind_tmt_orm.allowS*
	システム プロパティの値に基づい
	このシステムプロパティの値によ
	注文に示されたバージョンと異な
	れるかが決まります。
	• このシステムプロパティが tru
	場合、参照される製品仕様を変
	バージョンに自動的にアップグ
	文を正常に処理できます。
	• このシステムプロパティが fal
	ンベントリが注文に示されたバ
	の不一致が原因で注文が失敗し
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"productSpecification": {`
	`"id": "String",`
	`"internalVersion": "Stri`
	`"name": "String",`
	`"version": "String",`
	`"@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.productSpecification.id	*productOrderItem.product.pro* ターが使用される場合は必須です。製 external_id。initial_version は、仕様 す。製品仕様 [sn_prd_pm_product_ または external_id フィールドにあり データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_ ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品 [sn_prd_pm_product_specificatio データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この `ProductSpecificationRef` です。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品 に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_o にあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `RelatedParty` です。こ データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリン データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalVersion": "Stri "name": "String", "version": "String" }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
productOrderItem.productOffering.id	*productOrderItem.productOffe* れる場合は必須です。製品オファリン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	external_id。initial_version は、オ sys_id です。製品オファリング [sn_p ルの sys_id または external_id フィー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファ [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_versio [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：null

productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productOrderItemRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"relationshipType": "St`
	`}`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	*productOrderItem.productOrde* メーターが使用される場合は必須です 別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_ sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ parent_line_item デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 平関係に使用されます (品目には別の データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文されたアイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.revisionOperation	品目に対して実行する更新のタイプ。 更新されるか、まだ存在しない場合は 値が `cancel` の場合、品目はキャンセ データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrderItem` です。この情報 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア アカウントまたはコンシューマーアカ のアイテムをリストする必要があります データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧 マーのSys_idまたはexternal_id。アカ 連絡先 [customer_contact] テーブル [csm_consumer] テーブルにあります データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `RelatedParty` です。この情報は保 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_end_date デフォルト：空白の文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_start_date デフォルト：空白の文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrder` です。この情報は保 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。 • 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 *<characteristic.name>* を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：*<characteristic.name>* と特性値：*<characteristic.value>* は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - 製品オーダー品目オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem action` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *action* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem productOffering` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オファリングオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOffering id` がありません - ペイロードの製品オファリングオブジェクトの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品オファリングが存在しません - 製品オーダー品目の製品オファリングが有効ではありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem product` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オブジェクトまたは JSON がありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード：`product productSpecification` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品仕様オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productSpecification id` がありません - ペイロードの製品仕様オブジェクトの製品オーダー品目に *`id`* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品仕様が存在しません - 製品オーダー品目の製品仕様が有効ではありません。 • 無効なペイロード：製品在庫が存在しません - 変更指示 (action = change) で、アイテムの数量が在庫数を超えています。 • 無効なペイロード：製品在庫 `ID` がありません - 変更指示で、ペイロードに *`product.id`* がありません。 • 無効なペイロード：販売済み製品が非アクティブです - 変更指示で、ペイロードで指定された製品が非アクティブです。 • 無効なペイロード：`relatedParty` がありません - 関係者オブジェクトがペイロードにありません。 • 顧客アカウントまたはコンシューマーがありません :関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません :指定された関係者コンシューマーが ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：顧客アカウントが存在しません - 指定された関係者顧客が ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました - 要求されたオーダーを作成できません。 • 注文通貨への実行中の変更はサポートされていません - オーダーが作成された後は *`orderCurrency`* パラメーターを更新できません。 • この注文は顧客注文テーブルでまだ作成されていません。詳細については、受信キューを確認してください。 – 指定された注文 ID が顧客注文テーブルにありません。 • 注文のフルフィルメントタイプが「配送」でないため、パッチ要求を行うことができません。 – パッチ要求は、出荷以外のフルフィルメントタイプの注文に対して行われました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明ブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] の external_id フィールドにあります データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用すネルの名前。 データタイプ：文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必る日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、そである必要があります。 データタイプ：文字列
externalId	顧客注文の外部識別子 (発注書番号な データタイプ：文字列
href	製品注文レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	この要求で更新された顧客注文の sy データタイプ：文字列

note	注文時に顧客が追加したメモを説明すジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"note": [
	  {
	  "text": "String"
	  }
	]</pre>

note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/ト。 データタイプ：文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付け
	アイテムを説明するリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	"productOrderItem:" [
	{
	"action": "String",
	"committedDueDate":
	"String",
	"externalProductInvento
	[Array],
	"id": "String",
	"itemPrice": [Array],
	"product": {Object},
	"productOffering": {Ob
	
	"productOrderItemReleatio
	p": [Array],
	"quantity": Number,
	"state": "String",
	"@type": "String"
	}
	]

productOrderItem.action	製品に対して実行するアク ション。可能なアクション は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ブルの [アクション辞書エントリ (Ac Dictionary Entry)] の [選択リスト] タ 義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィール ド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す がある日時。 データタイプ：文字列
productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ グする外部 ID を含むオブジェクトの データタイプ：アレイ "externalProductInventory" { "externalProductInventory "String"

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre> **注:** 以前は、すでに存在する外部 在庫 ID を使用して PATCH 注文 すると、操作が中止され、エラー されていました。Xanadu リリー は、既存の外部プロダクトインベ リ ID が指定されている場合、こ メーターは単に無視され、エラー ローされません。
productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた ID。 データタイプ：文字列
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"itemPrice": [
	  {
	  "price": {Object},
	  "priceType": "String",
	  "recurringChargePeriod
	"String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"price": {
	  "taxIncludedAmount": {Ob
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount	税込みの関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.unit	価格が表示される通貨コード。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたり返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mor の繰り返し期間。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの
	説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"product": {`
	`"id": "String",`
	`"place": {Object},`
	`"productCharacteristic":`
	`[Array],`
	`"productSpecification":`
	`{Object},`
	`"relatedParty": {Object}`
	`"@type": "String"`
	`}`

productOrderItem.product.id	販売済み製品の一意の識別子。製品在 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor テーブルの sys_id または sn_ind_tmt_orm_external_id フィー あります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`"id": "String",`
	`"@type": "String"`
	`}`

productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連 れた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する ジェクトのアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "Stri "value": "String" } ]`
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの特性 [sn_prd_pm_characteristic] テにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オン値。*productOrderItem.actio*メーターが `add` 以外の場合、要求はです。特性オプション値の詳細につい製品特性と特性オプションの作成 てください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション性オプション値の詳細については、と特性オプションの作成 を参照しい。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "Stri "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様初のバージョンの sys_id です。製品仕[sn_prd_pm_product_specificationルの sys_id または external_id フィーあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。initial_v は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification ルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この仕 `ProductSpecificationRef` です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]`
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目 先の sys_id。オーダー品目に関する詳 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_d テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保 せん。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `Product` です。この情 存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリン 明。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "Stri "name": "String", "version": "String" }`
productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version ま external_id。initial_version は、オ グの最初のバージョンの sys_id です。 ファリング [sn_prd_pm_product_o テーブルの sys_id または external_i ルドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。initial_version は、 オファリングの最初のバージョン の sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 リング [sn_prd_pm_product_offerin ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファ [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テー あります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ
	のアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	"productOrderItemRelationshi
	[
	{
	"id": "String",
	"relationshipType": "St
	}
	]

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 関係階層を識別するために使用されま データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値
productOrderItem.state	製品オーダーアイテムの現在のステー データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `ProductOrderItem` の情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア のオブジェクトです。顧客アカウント コンシューマーアカウント情報を含む とも 1 つのアイテムをリストする必要 ます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、 顧客の連絡先、またはコンシューマー のSys_idまたはexternal_id。アカウ ント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、また シューマー [csm_consumer] テーブ ります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー 名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.type	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の この値は常に `ProductOrder` です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、製品注文のチャネルを更新します。

```
curl -X PATCH
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrd
er/8d75939453126010a795ddeeff7b126a" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "channel": [
    {
      "id": "1",
      "name": "Agent Assist"
    }
  ]
}
```

応答本文。

```
{
   "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
   "href":
 "/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/8d75939453126010a795ddeeff7b126
a",
   "expectedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
   "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.000Z",
   "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.000Z",
   "externalId": "PO-456",
   "orderCurrency": "USD",
   "channel": [
      {
         "id": "1",
         "name": "Agent Assist"
      }
   ],
   "note": [
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-02-25T14:22:07.000Z",
         "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
      },
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-02-25T14:22:06.000Z",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "text": "This is a TMF product order illustration"
         }
      ],
      "productOrderItem": [
         {
            "id": "POI130",
            "ponr": "false",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "actionReason": "adding service package OLI",
            "itemPrice": [
               {
                  "priceType": "recurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "USD",
                        "value": 20
                     }
                  }
               },
               {
                  "priceType": "nonRecurring",
                  "price": {
                     "taxIncludedAmount": {
                        "unit": "INR",
                        "value": 0
                     }
                  }
               }
            ],
            "product": {
               "@type": "Product",
               "productCharacteristic": [
                  {
                     "name": "Security Type",
                     "valueType": "Choice",
                     "value": "Base",
                     "previousValue": ""
                  }
               ],
               "productSpecification": {
                  "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                  "name": "SD-WAN Security",
                  "version": "v1",
                  "internalVersion": "1",
                  "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                  "@type": "ProductSpecificationRef"
               },
               "relatedParty": [
                  {
                     "id": "4175939453126010a795ddeeff7b127d",
                     "name": "John Smith",
                     "email": "abc2@example.com",
                     "phone": "32456768",
                     "@type": "RelatedParty",
                     "@referredType": "OrderLineItemContact"
                  },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
               "id": "c175939453126010a795ddeeff7b127c",
               "name": "Joe Doe",
               "email": "abc@example.com",
               "phone": "1234567890",
               "@type": "RelatedParty",
               "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
         ]
      },
      "productOffering": {
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "name": "Premium SD-WAN Offering",
         "version": "v1",
         "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "internalVersion": "1"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
         {
            "id": "POI100",
            "relationshipType": "HasParent"
         }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
   },
   {
      "id": "POI100",
      "ponr": "false",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "itemPrice": [
         {
            "priceType": "recurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "INR",
                  "value": 0
               }
            }
         },
         {
            "priceType": "nonRecurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "INR",
                  "value": 0
               }
            }
         }
      ],
      "product": {
         "@type": "Product",
         "productSpecification": {
            "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
            "name": "SD-WAN Service Package",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "version": "v1",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
            "@type": "ProductSpecificationRef"
         }
      },
      "productOffering": {
         "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "name": "Premium SD-WAN Offering",
         "version": "v1",
         "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
         "internalVersion": "1"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
         {
            "id": "POI130",
            "relationshipType": "HasChild"
         },
         {
            "id": "POI120",
            "relationshipType": "HasChild"
         },
         {
            "id": "POI110",
            "relationshipType": "HasChild"
         }
      ],
      "state": "in_progress",
      "version": "1",
      "@type": "ProductOrderItem"
   },
   {
      "id": "POI120",
      "ponr": "false",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason": "adding service package OLI",
      "itemPrice": [
         {
            "priceType": "recurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "USD",
                  "value": 20
               }
            }
         },
         {
            "priceType": "nonRecurring",
            "price": {
               "taxIncludedAmount": {
                  "unit": "INR",
                  "value": 0
               }
            }
         }
      ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "product": {
           "@type": "Product",
           "productCharacteristic": [
              {
                 "name": "CPE Type",
                 "valueType": "Choice",
                 "value": "Physical",
                 "previousValue": ""
              },
              {
                 "name": "WAN Optimization",
                 "valueType": "Choice",
                 "value": "Advance",
                 "previousValue": ""
              },
              {
                 "name": "Routing",
                 "valueType": "Choice",
                 "value": "Premium",
                 "previousValue": ""
              },
              {
                 "name": "CPE Model",
                 "valueType": "Choice",
                 "value": "ASR",
                 "previousValue": ""
              }
           ],
           "productSpecification": {
              "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
              "name": "SD-WAN Edge Device",
              "version": "v1",
              "internalVersion": "1",
              "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
              "@type": "ProductSpecificationRef"
           }
        },
        "productOffering": {
           "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
           "name": "Premium SD-WAN Offering",
           "version": "v1",
           "internalVersion": "1",
           "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
           {
              "id": "POI100",
              "relationshipType": "HasParent"
           }
        ],
        "state": "in_progress",
        "version": "1",
        "@type": "ProductOrderItem"
     },
     {
        "id": "POI110",
        "ponr": "false",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "quantity": 1,
        "action": "add",
        "actionReason":"adding service package OLI",
        "itemPrice": [
           {
              "priceType": "recurring",
              "price": {
                 "taxIncludedAmount": {
                    "unit": "INR",
                    "value": 0
                 }
              }
           },
           {
              "priceType": "nonRecurring",
              "price": {
                 "taxIncludedAmount": {
                    "unit": "USD",
                    "value": 5
                 }
              }
           }
        ],
        "product": {
           "@type": "Product",
           "productCharacteristic": [
              {
                 "name": "Tenancy",
                 "valueType": "Choice",
                 "value": "Base (10 site)",
                 "previousValue": ""
              }
           ],
           "productSpecification": {
              "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
              "name": "SD-WAN Controller",
              "version": "v1",
              "internalVersion": "1",
              "internalId": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
              "@type": "ProductSpecificationRef"
           },
           "place": {
              "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
              "@type": "Place"
           }
        },
        "productOffering": {
           "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
           "name": "Premium SD-WAN Offering",
           "version": "v1",
           "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
           "internalVersion": "1"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
           {
              "id": "POI100",
              "relationshipType": "HasParent"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
         ],
         "state": "in_progress",
         "version": "1",
         "@type": "ProductOrderItem"
      }
   ],
   "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "state": "in_progress",
   "@type": "ProductOrder"
}
```


製品注文オープン **API - PATCH /sn_ind_tmt_orm/productorder/{id}**

指定された顧客注文を更新します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品注文オープン API - PATCH /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/{id} です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/productorder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新する顧客注文の sys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
channel.id	*channel* パラメーターが使用される を販売するために使用するチャネルの 値は、流通チャネル [sn_prd_pm_dis external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用す チャネル名は、sn_ind_tmt_orm_orc トリ (Channel Dictionary Entry)] の す。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committed* ある必要があります。 注文品目のアクションが `一時停止` ま ターは更新できません。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date
externalId	顧客注文の一意の識別子。この値は外 す。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn デフォルト：空白の文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 サポートされていません。注文に既に 外の値を指定すると、更新が拒否され データタイプ：文字列
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付け ト。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem": [ { "action": "String", "actionReason": "Strin "committedDueDate": "S "externalProductInvento "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Ob "productOrderItemRelat "quantity": Number, "revisionOperation": " "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.action	*productOrderItem* パラメーターカ です。製品に対して実行するアクショ は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ントリ (Action Dictionary Entry)] の す。 可能な値： • add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ action デフォルト:add
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す アイテムのアクションが 一時停止 ま ターは更新できません。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date

productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"externalProductInventory"`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	注: 以前は、すでに存在する外部 注文を作成すると、操作が中止さ た。Xanadu リリースでは、既存 ID が指定されている場合、このパ ラーはスローされません。
productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングする外 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i external_inventory_id および sn_pro sn_prd_invt_external_id
productOrderItem.id	*productOrderItem* パラメーターか の一意の識別子。発注書明細 [sn_inc ブルの sn_ind_tmt_orm_external_id データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ external_id 最大長：40 デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"itemPrice": [`
	`  {`
	`  "price": {Object},`
	`  "priceType": "String",`
	`  "recurringChargePeriod`
	`  }`
	`]`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
	
	デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"price": {`
	`  "taxIncludedAmount": {Obj`
	`}`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
	
	デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまた データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon データタイプ：文字列
productOrderItem.product	*productOrderItem.action*が変更 客が購入した製品のインスタンスの詳 データタイプ：オブジェクト `"product": { "id": "String", "place": {Object}, "productCharacteristic": "productSpecification": "relatedParty": {Object} "@type": "String" }` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.product.id	*productOrderItem.action*が変更 は必須です。販売済み製品の一意の識 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`  "id": "String",`
	`  "@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.place.id	*productOrderItem.product.pla* 合は必須です。場所 [cmn_location] コードの sys_id。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ location デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部、オー の値は常に `Place` です。この情報は データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productCharacteristic": [`
	`  {`
	`  "name": "String",`
	`  "previousValue": "Strin`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：
	sn_ind_tmt_orm_order_characteris

productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの [sn_prd_pm_characteristic] テーブ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性 値。*productOrderItem.action*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	求は変更指示です。特性オプション値 性オプションの作成 を参照してく データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris previous_characteristic_option_va デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション いては、 製品特性と特性オプション データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris characteristic_option_value デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明
	
	注: 変更管理 (変更*productOrd*
	は、*sn_ind_tmt_orm_allowS*
	システム プロパティの値に基づい
	このシステムプロパティの値によ
	注文に示されたバージョンと異な
	れるかが決まります。
	• このシステムプロパティが tru
	場合、参照される製品仕様を変
	バージョンに自動的にアップグ
	文を正常に処理できます。
	• このシステムプロパティが fal
	ンベントリが注文に示されたバ
	の不一致が原因で注文が失敗し
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"productSpecification": {`
	`"id": "String",`
	`"internalVersion": "Strin`
	`"name": "String",`
	`"version": "String",`
	`"@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.productSpecification.id	*productOrderItem.product.pro* ターが使用される場合は必須です。製 external_id。initial_version は、仕様

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	す。製品仕様 [sn_prd_pm_product_ または external_id フィールドにあり データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_ ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この仕 `ProductSpecificationRef` です。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "email": "String", "firstName": "String", "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_or にあります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `RelatedParty` です。こ データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品 す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリン データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"productOffering": {
	  "id": "String",
	  "internalVersion": "Stri
	  "name": "String",
	  "version": "String"
	}</pre>
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or

productOrderItem.productOffering.id	*productOrderItem.productOffe* れる場合は必須です。製品オファリン external_id。initial_version は、オ sys_id です。製品オファリング [sn_p ルの sys_id または external_id フィー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファ [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_versio [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：null

productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productOrderItemRelationsh
	  {
	  "id": "String",
	  "relationshipType": "St
	  }
	]</pre>
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	*productOrderItem.productOrde* メーターが使用される場合は必須です

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_ sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ parent_line_item デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 平関係に使用されます (品目には別の データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文されたアイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.revisionOperation	品目に対して実行する更新のタイプ。 更新されるか、まだ存在しない場合は 値が `cancel` の場合、品目はキャンセ データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrderItem` です。この情報 データタイプ：文字列

relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア
	アカウントまたはコンシューマーアカ
	のアイテムをリストする必要があり
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty": [`
	`  {`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"@referredType": "Stri
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧 マーのSys_idまたはexternal_id。アカ 連絡先 [customer_contact] テーブル [csm_consumer] テーブルにありま データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `RelatedParty` です。この情報は保
	データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_end_date デフォルト：空白の文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_start_date デフォルト：空白の文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrder` です。この情報は保
	データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。 • 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 *<characteristic.name>* を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：*<characteristic.name>* と特性値：*<characteristic.value>* は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - 製品オーダー品目オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem action` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *action* パラメーターがありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード：`productOrderItem productOffering` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オファリングオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOffering id` がありません - ペイロードの製品オファリングオブジェクトの製品オーダー品目に *`id`*パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品オファリングが存在しません - 製品オーダー品目の製品オファリングが有効ではありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem product` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`product productSpecification` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品仕様オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productSpecification id` がありません - ペイロードの製品仕様オブジェクトの製品オーダー品目に *`id`*パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品仕様が存在しません - 製品オーダー品目の製品仕様が有効ではありません。 • 無効なペイロード：製品在庫が存在しません - 変更指示 (action = change) で、アイテムの数量が在庫数を超えています。 • 無効なペイロード：製品在庫 `ID` がありません - 変更指示で、ペイロードに *`product.id`* がありません。 • 無効なペイロード：販売済み製品が非アクティブです - 変更指示で、ペイロードで指定された製品が非アクティブです。 • 無効なペイロード：`relatedParty` がありません - 関係者オブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントまたはコンシューマーがありません :関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません :指定された関係者コンシューマーが ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：顧客アカウントが存在しません - 指定された関係者顧客が ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました - 要求されたオーダーを作成できません。 • 無効なペイロード:この注文は顧客注文テーブルでまだ作成されていません。詳細については、受信キューを確認してください。- 顧客注文テーブルにまだない注文に対してパッチ要求が行われました。注文は受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあり、スケジューラーが処理するレコードを選択するのを待っています。 • 無効なペイロード:注文のフルフィルメントタイプが「配送」でないため、パッチ要求を行うことができません。- フルフィルメントタイプが *`deliver`*以外の注文に対してパッチ要求が行われました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。 チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルの external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用するチャネルの名前。 データタイプ：文字列
id	この要求で更新された顧客注文の sys_id。 データタイプ：文字列
externalId	顧客注文の外部識別子 (発注書番号など)。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付けられたアイテムを説明するリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"productOrderItem:" [
	  {
	  "action": "String",
	  "actionReason": "String",
	  "id": "String",
	  "itemPrice": [Array],
	  "product": {Object},
	  "productOffering": {Object}
	
	  "productOrderItemReleationshi
	p": [Array],
	  "quantity": Number,
	  "state": "String",
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_item テーブルの [アクション辞書エントリ (Action Dictionary Entry)] の [選択リスト] タブで定義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item/action_reason
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"itemPrice": [
	  {
	  "price": {Object},
	  "priceType": "String",
	  "recurringChargePeriod":
	 "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Object} }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは非繰り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、`month` などの繰り返し期間。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの詳細の説明。 データタイプ：オブジェクト `"product": { "id": "String", "place": {Object}, "productCharacteristic": [Array], "productSpecification": {Object}, "relatedParty": {Object}, "@type": "String" }`
productOrderItem.product.id	販売済み製品の一意の識別子。製品在庫 [sn_ind_tmt_orm_product_inventory] テーブルの sys_id または sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマップ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"place": { "id": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "String", "value": "String" } ]`
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*productOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指です。特性オプション値の詳細については、製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、 製品特と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明。 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ProductSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedParty": [
	  {
	  "email": "String",
	  "firstName": "String",
	  "id": "String",
	  "lastName": "String",
	  "phone": "String",
	  "@referredType": "String",
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目の連絡先の sys_id。オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `Product` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリングの説明。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。initial_version は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"productOrderItemRelationship":
	[
	{
	"id": "String",
	"relationshipType": "String
	}
	]</pre>

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値
productOrderItem.state	製品オーダーアイテムの現在のステータス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrderItem` です。その情報は保存されません。 データタイプ：文字列

relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。顧客アカウントまたはコンシューマーアカウント情報を含む少なくとも 1 つのアイテムをリストする必要があります。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedParty": [
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"@referredType": "String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	シューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.type	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例では、顧客注文のチャネルを更新します。

```
curl -X PATCH
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tmt_orm/productorder/6be0a925c3a220103e2e73ce3640ddfe" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "channel": [
    {
      "id": "1",
      "name": "Agent Assist"
    }
  ]
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。


```
{
    "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
    "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
    "externalId": "PO-456",
    "channel": [
        {
            "id": "1",
            "name": "Agent Assist"
        }
    ],
    "note": [
        {
            "text": "This is a TMF product order illustration"
        },
        {
            "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
        }
    ],
    "productOrderItem": [
        {
            "id": "POI100",
            "quantity": 1,
            "action": "change",
            "actionReason":"adding service package OLI",
            "product": {
                "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
                "@type": "Product",
                "productSpecification": {
                    "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
                    "name": "SD-WAN Service Package",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "place": {
                    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                    "@type": "Place"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI120",
                    "relationshipType": "HasChild"
                },
                {
                    "id": "POI130",
                    "relationshipType": "HasChild"
                }
            ],
            "@type": "ProductOrderItem",
            "state": "new"
        },
        {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "POI120",
            "quantity": 1,
            "action": "change",
            "actionReason":"adding service package OLI",
            "itemPrice": [
                {
                    "priceType": "recurring",
                    "recurringChargePeriod": "month",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "USD",
                            "value": 20
                        }
                    }
                }
            ],
            "product": {
                "id": "766d13f45b5620102dff5e92dc81c78a",
                "@type": "Product",
                "productCharacteristic": [
                    {
                        "name": "WAN Optimization",
                        "value": "Base",
                        "previousValue": "Advance"
                    }
                ],
                "productSpecification": {
                    "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                    "name": "SD-WAN Edge Device",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "relatedParty": [
                    {
                        "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
                        "firstName": "Joe",
                        "lastName": "Doe",
                        "email": "abc@example.com",
                        "phone": "1234567890",
                        "@type": "RelatedParty",
                        "@referredType": "OrderLineItemContact"
                    }
                ],
                "place": {
                    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                    "@type": "Place"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI100",
                    "relationshipType": "HasParent"
                }
            ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "ProductOrderItem",
            "state": "new"
        },
        {
            "id": "POI130",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "actionReason":"adding service package OLI",
            "itemPrice": [
                {
                    "priceType": "recurring",
                    "recurringChargePeriod": "month",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "USD",
                            "value": 20
                        }
                    }
                }
            ],
            "product": {
                "@type": "Product",
                "productCharacteristic": [
                    {
                        "name": "Security Type",
                        "value": "Base",
                        "previousValue": "Advance"
                    }
                ],
                "productSpecification": {
                    "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                    "name": "SD-WAN Security",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "relatedParty": [
                    {
                        "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
                        "firstName": "Joe",
                        "lastName": "Doe",
                        "email": "abc@example.com",
                        "phone": "1234567890",
                        "@type": "RelatedParty",
                        "@referredType": "OrderLineItemContact"
                    }
                ],
                "place": {
                    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                    "@type": "Place"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI100",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "relationshipType": "HasParent"
                }
            ],
            "@type": "ProductOrderItem",
            "state": "new"
        }
    ],
    "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
    "@type": "ProductOrder",
    "id": "6be0a925c3a220103e2e73ce3640ddfe",
    "state": "in_progress"
}
```


製品注文オープン **API - POST /sn_ind_tmt_orm/cancelproductorder**

指定された顧客注文をキャンセルします。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/cancelproductorder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
cancellationReason	キャンセルの理由。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOrder	製品注文に関するデータが含まれます。 データタイプ：オブジェクト `"productOrder": { "id": "String", "href": "String", "@referredType": "String" }`
productOrder.id	必須です。キャンセルする顧客注文の sys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrder.href	キャンセルする顧客注文の URL。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
productOrder.@referredType	このパラメーターの値は `ProductOrder` である必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
requestedCancellationDate	注文をキャンセルする日付。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
@type	このパラメーターの値は `CancelProductOrder` である必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません：<フィールド名>。 • 注文 ID が無効です。 • 無効な注文 ID: この注文は顧客注文テーブルでまだ作成されていません。まだ作成されていない注文に対してキャンセル要求が行われました。注文は受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあり、スケジューラーがレコードを取得するのを待機しています。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
cancellationReason	キャンセルの理由。 データタイプ：文字列
href	キャンセルされた注文の URL。 データタイプ：文字列
id	キャンセルされた注文の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrder	製品注文に関するデータが含まれます。 データタイプ：オブジェクト `"productOrder": { "id": "String", "href": "String", "@referredType": "String" }`
productOrder.id	キャンセルされた注文の sys_id。 データタイプ：文字列
productOrder.href	キャンセルされた注文の URL。 データタイプ：文字列
productOrder.@referredType	このパラメーターの値は `ProductOrder` です。 データタイプ：文字列
requestedCancellationDate	注文をキャンセルする日付。 データタイプ：文字列
state	キャンセルのステータス。キャンセル要求が正常に処理された場合 (ステータスコード 201)、このパラメーターの値は `done` になります。 データタイプ：文字列
@type	このパラメーターの値は `CancelProductOrder` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例では、顧客注文をキャンセルします。

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tmt_orm/cancelproductorder"
 \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
    "cancellationReason": "Duplicate order",
    "requestedCancellationDate": "2019-04-30T12:56:21.931Z",
    "productOrder": {
        "id": "163ee2805358811032a4ddeeff7b122d",
        "href":
 "https://instance.servicenow.com/productOrderingManagement/v4/productOrd
er/64a9607feb45301032a442871352285b",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "@referredType": "ProductOrder"
    },
    "@type": "CancelProductorder"
}
```

```
{
    "id": "163ee2805358811032a4ddeeff7b122d",
    "href":
 "https://instance.servicenow.com/productOrderingManagement/v4/productOrd
er/64a9607feb45301032a442871352285b",
    "cancellationReason": "Duplicate order",
    "requestedCancellationDate": "2019-04-30T12:56:21.931Z",
    "@type": "CancelProductorder",
    "productOrder": {
        "id": "163ee2805358811032a4ddeeff7b122d",
        "href":
 "https://instance.servicenow.com/productOrderingManagement/v4/productOrd
er/64a9607feb45301032a442871352285b",
        "@referredType": "ProductOrder"
    },
    "state": "done"
}
```

製品注文オープン **API - POST /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder**

指定された顧客注文および顧客オーダー品目を作成します。

処理されると、次のテーブルにレコードが作成されます。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	非同期注文処理を有効にします。つまり、注文は受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されて作成されます。含まれていない場合、注文は同期的に処理されます。 可能な値:async

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
channel.id	必須です。関連する製品を販売するた ネルの一意の識別子。チャネル ID の [sn_prd_pm_distribution_channel] にあります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用す チャネル名は、sn_ind_tmt_orm_ord トリ **(Channel Dictionary Entry)]** の す。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committed* ある必要があります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date
externalId	顧客注文の一意の識別子。この値は外 す。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを含むオ データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
note.text	必須です。注文時に顧客が作成した追 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
orderCurrency	必須です。注文および発注書明細の通 明細のすべての要素で同じである必要 ラーが返され、注文は作成されません コードは変更できません。 データタイプ：文字列
productOrderItem	必須です。製品注文と関連アクション するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem": [ { "action": "String", "actionReason": "Strin "committedDueDate": "S "externalProductInvento "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Ob "productOrderItemRelat "quantity": Number, "@type": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.action	必須です。製品に対して実行するアク は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite ントリ (Action Dictionary Entry)] の す。 可能な値： • add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ action
productOrderItem.actionReason	オプション。注文品目の理由の説明。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date

productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	`"externalProductInventory"`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`

productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングするタ データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド:sn_i external_inventory_id および sn_pro sn_prd_invt_external_id
productOrderItem.id	必須です。品目の一意の識別子。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ external_id 最大長：40 デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する データタイプ：アレイ `"itemPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String", "recurringChargePeriod } ]` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Obj }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"taxIncludedAmount": { "unit": "String", "value": Number }` 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格が繰り返し発生するか データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon す。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product	*productOrderItem.action*が変更
	客が購入した製品のインスタンスの詳
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"product": {`
	`"id": "String",`
	`"place": {Object},`
	`"productCharacteristic":`
	`"productSpecification":`
	`"relatedParty": {Object}`
	`"@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.id	*productOrderItem.action*が変更 は必須です。販売済み製品の一意の識 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`"id": "String",`
	`"@type": "String"`
	`}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.product.place.id	必須です。場所 [cmn_location] テーブルの sys_id。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ location
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーケ の値は常に `Place` です。この情報は データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "Strin "value": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられた特性レコードの [sn_prd_pm_characteristic] テーブル データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ 値。*`productOrderItem.action`* 求は変更指示です。特性オプション値 性オプションの作成 を参照してく データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris previous_characteristic_option_va デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション いては、 製品特性と特性オプション

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_characteris characteristic_option_value デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productSpecification	必須です。製品に関連付けられた製品 注: 変更管理 (変更*productOr* は、*sn_ind_tmt_orm.allows* システム プロパティの値に基づい このシステムプロパティの値によ 注文に示されたバージョンと異な れるかが決まります。 • このシステムプロパティが tru 場合、参照される製品仕様を変 バージョンに自動的にアップグ 文を正常に処理できます。 • このシステムプロパティが fal ンベントリが注文に示されたバ の不一致が原因で注文が失敗し データタイプ: オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalVersion": "Strin "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.product.productSpecification.id	必須です。製品仕様の initial_version external_id。initial_version は、仕様 す。製品仕様 [sn_prd_pm_product_ または external_id フィールドにあり データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_p ブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この仕 `ProductSpecificationRef` です。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	OrderLineItemContact にリンクされ ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	必須です。顧客のタイプ。 可能な値 – OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `RelatedParty` です。こ データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品 す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

productOrderItem.productOffering	必須です。製品に関連付けられた製品
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"productOffering": {`
	`  "id": "String",`
	`  "internalVersion": "Stri`
	`  "name": "String",`
	`  "version": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or

productOrderItem.productOffering.id	必須です。製品オファリングの initia external_id。initial_version は、オ sys_id です。製品オファリング [sn_p ルの sys_id または external_id フィー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オフ [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_versio [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：null

productOrderItem.productOrderItemRelationship	必須です。注文アイテム間の親子関係
	イ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productOrderItemRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"relationshipType": "St`
	`}`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	必須です。*productOrderItem.id* す。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ parent_line_item デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	必須です。2 つの品目間の関係のタイ するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文されたアイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrderItem` です。この情報 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア アカウントまたはコンシューマーアカ のアイテムをリストする必要があり データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウントまた または external_id。アカウント [cus 絡先 [customer_contact] テーブル、 [csm_consumer] テーブルのいずれか データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	必須です。顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `RelatedParty` です。この情報は保 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_end_date デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_start_date デフォルト：空白の文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrder` です。この情報は保 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 *<characteristic.name>* を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：*<characteristic.name>* と特性値：*<characteristic.value>* は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
202	受け入れ済み。非同期モードでの注文の要求が成功しました。つまり、要求は *mode* パラメーターを `async` に設定して行われ、レコードは受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルで処理されるようにスケジュールされています。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - 製品オーダー品目オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem action` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *action* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem productOffering` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オファリングオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOffering id` がありません - ペイロードの製品オファリングオブジェクトの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品オファリングが存在しません - 製品オーダー品目の製品オファリングが有効ではありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem product` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`product productSpecification` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品仕様オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productSpecification id` がありません - ペイロードの製品仕様オブジェクトの製品オーダー品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品仕様が存在しません - 製品オーダー品目の製品仕様が有効ではありません。 • 無効なペイロード：製品在庫が存在しません - 変更指示 (action = change) で、アイテムの数量が在庫数を超えています。 • 無効なペイロード：製品在庫 `ID` がありません - 変更指示で、ペイロードに *product.id* がありません。 • 無効なペイロード：販売済み製品が非アクティブです - 変更指示で、ペイロードで指定された製品が非アクティブです。 • 無効なペイロード：`relatedParty` がありません - 関係者オブジェクトがペイロードにありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード:顧客アカウントまたはコンシューマーがありません :関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません :指定された関係者コンシューマーが ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：顧客アカウントが存在しません - 指定された関係者顧客が ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました - 要求されたオーダーを作成できません。 • 無効なペイロード：`orderCurrency` が必要です - *`orderCurrency`* パラメーターがペイロードにありません。 • 非アクティブな通貨コード：<通貨> - 指定された通貨は ServiceNow インスタンスで非アクティブです。 • `1` つ以上の品目に注文通貨と異なる通貨コードがあります - すべての品目に注文通貨と同じ通貨コードがあるわけではありません。 • 注文通貨への実行中の変更はサポートされていません - オーダーが作成された後は *`orderCurrency`* パラメーターを更新できません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルの external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用するチャネルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必要がある日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、それ以降である必要があります。 データタイプ：文字列
externalId	顧客注文の外部識別子 (発注書番号など)。 データタイプ：文字列
href	製品注文レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	この要求で作成された顧客注文の sys_id。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/メント。 データタイプ：文字列
orderCurrency	注文および発注書明細の通貨コード。 データタイプ：文字列
orderId	作成する注文のSys_id。要求が成功すると、処理されるスケジュールに従って注文が受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されます。 **注:** この値は、 *mode* クエリパラメーターを使用して注文が非同期で作成された場合の唯一の結果です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	{
	"orderId":
	"b0fc877ac3ab5110856d73ce
	640dde0"
	}
	
	データタイプ：文字列

productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付
	られたアイテムを説明するリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	"productOrderItem:" [
	{
	"action": "String",
	"committedDueDate":
	"String",
	
	"externalProductInventor
	y": [Array],
	"id": "String",
	"itemPrice": [Array],
	"product": {Object},
	"productOffering":
	{Object},
	
	"productOrderItemRelatio
	ship": [Array],
	"quantity": Number,
	"state": "String",
	"@type": "String"
	}
	]

productOrderItem.action	製品に対して実行するアク ション。可能なアクション は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite テーブルの [アクション辞書エントリ (Action Dictionary Entry)] の [選択リ スト] タブで定義されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィール ド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す る必要がある日時。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマッピングされた外部 ID を含むオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"externalProductInventory" [ { "externalProductInventoryId": "String" } ]`
productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた外部 ID。 データタイプ：文字列
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"itemPrice": [ { "price": {Object}, "priceType": "String", "recurringChargePeriod": "String" } ]`
productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト `"price": { "taxIncludedAmount": {Object} }`
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount	税込みの関連製品の価格の説明。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは非繰り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、`month` などの繰り返し期間。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの詳細の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"product": {
	  "id": "String",
	  "place": {Object},
	  "productCharacteristic":
	[Array],
	  "productSpecification":
	{Object},
	  "relatedParty": {Object}
	  "@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.id	販売済み製品の一意の識別子。製品在庫 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor テーブルの sys_id または sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。このパラメーターは、*productOrderItem.action*変更または削除の場合にのみ返されます。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマップ。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"place": {
	  "id": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productCharacteristic": [
	  {
	  "name": "String",
	  "previousValue":
	"String",
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*productOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指示です。特性オプション値の詳細については、 製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、 製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productRelationship	注文品目の商品関係の詳細のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"productRelationship": [
	  {
	  "id": "String",
	  "relationshipType":
	"String"</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
productOrderItem.product.productRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの sys_id または sn_prd_invt_external_id フィールドあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productRelationship.relationshipType	注文品目とプロダクトインベントリの間の関係のタイプ。 可能な値： Requires データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"productSpecification:" {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",
	  "internalVersion":
	 "String",
	  "name": "String",
	  "version": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalId	製品仕様の initial_version。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ProductSpecificationRe` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `Product` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリングの説明。 データタイプ：オブジェクト `"productOffering:" { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" }`
productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。initial_version は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalId	製品オファリングの initial_version。initial_version は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_version。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItemRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係に使用されます。`Requires` は水平関

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	係に使用されます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値
productOrderItem.state	製品オーダーアイテムの現在のステータス。この値は常に `new` です。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrderItem` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。顧客アカウントまたはコンシューマーアカウント情報を含む少なくとも 1 つのアイテムをリストする必要があります。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.type	顧客のタイプ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
state	注文の現在のステータス。このエントポイントでは、この値は常に `new` です。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: 非同期処理

この例では、 *mode* クエリパラメーターを使用して注文を非同期的に作成する方法を示します。注文は、作成予定のスケジュールで受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されます。

```
curl -X POST
 'https://instance.service-now.com/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrd
er?mode=async' \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d '{
  "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
  "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
  "orderDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
  "externalId": "PO-4ddd56",
  "orderCurrency": "USD",
  "note": [
    {
      "id": "1",
      "author": "Jean Pontus",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "id": "2",
      "author": "Jean Pontus1",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
  ],
  "productOrderItem": [
    {
      "id": "100",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "product": {
        "isBundle": false,
        "@type": "Product",
        "productSpecification": {
          "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "name": "SD-WAN Service Package",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "firstName": "John",
            "lastName": "Smith",
            "email": "abc2@example.com",
            "phone": "32456768",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "productRelationship": [
          {
            "id": "be6d13f45b5620102dff5e92dc81c781",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "110",
          "relationshipType": "HasChild"
        },
        {
          "id": "120",
          "relationshipType": "HasChild"
        },
        {
          "id": "130",
          "relationshipType": "HasChild"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "110",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "itemPrice": [
        {
          "description": "Access Fee",
          "name": "Access Fee",
          "priceType": "nonRecurring",
          "price": {
            "taxRate": 0,
            "dutyFreeAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 100
            },
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 220
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "isBundle": false,
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "Tenancy",
            "valueType": "string",
            "value": "Premium (>50 sites)"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "216663aa53702010cd6dddeeff7b12b5",
          "name": "SD-WAN Controller",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "@type": "Place",
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "firstName": "John",
            "lastName": "Smith",
            "email": "abc2@example.com",
            "phone": "32456768",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "productRelationship": [
          {
            "id": "be6d13f45b5620102dff5e92dc81c781",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "productOffering": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "120",
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "quantity": 1,
      "itemPrice": [
        {
          "description": "Tariff plan monthly fee",
          "name": "MonthlyFee",
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxRate": 0,
            "dutyFreeAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 300
            },
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 349
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "isBundle": false,
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "CPE Model",
            "valueType": "string",
            "value": "ASR"
          },
          {
            "name": "WAN Optimization",
            "valueType": "string",
            "value": "Advance"
          },
          {
            "name": "CPE Type",
            "valueType": "string",
            "value": "Physical"
          },
          {
            "name": "Routing",
            "valueType": "string",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "value": "Premium"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "@type": "Place",
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "firstName": "John",
            "lastName": "Smith",
            "email": "abc2@example.com",
            "phone": "32456768",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "productRelationship": [
          {
            "id": "be6d13f45b5620102dff5e92dc81c781",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "130",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "description": "Tariff plan monthly security",
          "name": "MonthlySecurity",
          "priceType": "nonRecurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxRate": 0,
            "dutyFreeAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 30
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 30
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "isBundle": false,
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "Security Type",
            "valueType": "string",
            "value": "Premium"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "name": "SD-WAN Security",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "@type": "Place",
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "firstName": "John",
            "lastName": "Smith",
            "email": "abc2@example.com",
            "phone": "32456768",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "productRelationship": [
          {
            "id": "be6d13f45b5620102dff5e92dc81c781",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
  "@type": "ProductOrder"
}'
```

応答本文。

```
{
  "orderId": "304e877ac3ab5110856d73ce3640dde5"
}
```

Example: 同期処理 (デフォルト)

次の例は、製品注文を作成する方法を示しています。

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder"
 \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
  "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
  "externalId": "PO-456",
  "currencyCode": "USD",
  "channel": [
    {
      "id": "2",
      "name": "Online channel"
    }
  ],
  "note": [
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ],
  "productOrderItem": [
    {
      "id": "POI100",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "product": {
        "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
        "@type": "Product",
        "productSpecification": {
          "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "name": "SD-WAN Service Package",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI120",
          "relationshipType": "HasChild"
        },
        {
          "id": "POI130",
          "relationshipType": "HasChild"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "POI120",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "id": "766d13f45b5620102dff5e92dc81c78a",
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "name": "WAN Optimization",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "productRelationship": [
           {
              "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
              "relationshipType": "Requires"
           }
        ],
        "relatedParty": [
          {
            "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
            "firstName": "Joe",
            "lastName": "Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        },
        {
          "id": "POI130",
          "relationshipType": "Requires"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "POI130",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "Security Type",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "name": "SD-WAN Security",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
            "firstName": "Joe",
            "lastName": "Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    }
  ],
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
  "@type": "ProductOrder"
}
```

応答本文。

```
{
  "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
  "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
  "externalId": "PO-456",
  "currencyCode": "USD",
  "channel": [
    {
      "id": "2",
      "name": "Online chanel"
    }
  ],
  "note": [
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
  ],
  "productOrderItem": [
    {
      "id": "POI100",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "product": {
        "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
        "@type": "Product",
        "productSpecification": {
          "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "name": "SD-WAN Service Package",
          "internalVersion": "1",
          "version": "v1",
          "internalId": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering",
        "internalVersion": "1",
        "version": "v1",
        "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI120",
          "relationshipType": "HasChild"
        },
        {
          "id": "POI130",
          "relationshipType": "HasChild"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem",
      "state": "new"
    },
    {
      "id": "POI120",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "id": "766d13f45b5620102dff5e92dc81c78a",
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "WAN Optimization",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "internalVersion": "1",
          "version": "v1",
          "internalId": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "productRelationship": [
        {
          "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
          "relationshipType": "Requires"
        }
      ],
      "relatedParty": [
        {
          "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
          "firstName": "Joe",
          "lastName": "Doe",
          "email": "abc@example.com",
          "phone": "1234567890",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "OrderLineItemContact"
        }
      ],
      "place": {
        "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
        "@type": "Place"
      }
    },
    "productOffering": {
      "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
      "name": "Premium SD-WAN Offering",
      "internalVersion": "1",
      "version": "v1",
      "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
    },
    "productOrderItemRelationship": [
      {
        "id": "POI100",
        "relationshipType": "HasParent"
      },
      {
        "id": "POI130",
        "relationshipType": "Requires"
      }
    ],
    "@type": "ProductOrderItem",
    "state": "new"
  },
  {
    "id": "POI130",
    "quantity": 1,
    "action": "add",
    "actionReason":"adding service package OLI",
    "itemPrice": [
      {
        "priceType": "recurring",
        "recurringChargePeriod": "month",
        "price": {
          "taxIncludedAmount": {
            "unit": "USD",
            "value": 20
          }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          }
        }
      ],
      "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "Security Type",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "name": "SD-WAN Security",
          "internalVersion": "1",
          "version": "v1",
          "internalId": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
            "firstName": "Joe",
            "lastName": "Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering",
        "internalVersion": "1",
        "version": "v1",
        "internalId": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem",
      "state": "new"
    }
  ],
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
  "@type": "ProductOrder",
  "id": "8d75939453126010a795ddeeff7b126a",
  "href":
 "/api/sn_ind_tmt_orm/order/productOrder/8d75939453126010a795ddeeff7b126
a",
  "state": "new"
}
```


製品注文オープン **API - POST /sn_ind_tmt_orm/productorder**

指定された顧客注文および顧客オーダー品目を作成します。

> **重要:** Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは 製品注文オープン API - POST /sn_ind_tmt_orm/order/productOrder です。

処理されると、次のテーブルに新しいレコードが作成されます。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tmt_orm/productorder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
channel.id	必須です。関連する製品を販売するた ネルの一意の識別子。チャネル ID の [sn_prd_pm_distribution_channel] にあります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用す チャネル名は、sn_ind_tmt_orm_orc トリ **(Channel Dictionary Entry)]** の す。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committed* ある必要があります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date
externalId	顧客注文の一意の識別子。この値は外 す。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを含むオ データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
note.text	必須です。注文時に顧客が作成した追 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
orderCurrency	必須です。注文および発注書明細の通 明細のすべての要素で同じである必要 ラーが返され、注文は作成されません コードは変更できません。 データタイプ：文字列
productOrderItem	必須です。製品注文と関連アクション するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItem": [ { "action": "String", "actionReason": "Strin "committedDueDate": "S "externalProductInvento "id": "String", "itemPrice": [Array], "product": {Object}, "productOffering": {Ob "productOrderItemRelat "quantity": Number, "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
productOrderItem.action	必須です。製品に対して実行するアク は、sn_ind_tmt_orm_order_line_ite

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	ントリ (Action Dictionary Entry)] の す。 可能な値： • add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ action
productOrderItem.actionReason	オプション。注文品目の理由の説明。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i action_reason
productOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i committed_due_date

productOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	ジェクトのアレイ。
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"externalProductInventory"`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`

productOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングするタ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_i external_inventory_id および sn_pro sn_prd_invt_external_id
productOrderItem.id	必須です。品目の一意の識別子。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド：sn_ external_id 最大長：40 デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明する
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"itemPrice": [`
	`  {`
	`  "price": {Object},`
	`  "priceType": "String",`
	`  "recurringChargePeriod`
	`  }`
	`]`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
	
	デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"price": {`
	`  "taxIncludedAmount": {Obj`
	`}`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or
	
	デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount	税込みの関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"taxIncludedAmount": {`
	`  "unit": "String",`
	`  "value": Number`
	`}`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludedAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	更新されたテーブル/フィールド：sn_ mrc または nrc
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格が繰り返し発生するか データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、mon す。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product	*productOrderItem.action*が変更
	客が購入した製品のインスタンスの詳
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"product": {`
	`  "id": "String",`
	`  "place": {Object},`
	`  "productCharacteristic":`
	`  "productSpecification":`
	`  "relatedParty": {Object}`
	`  "@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.id	*productOrderItem.action*が変更 は必須です。販売済み製品の一意の識 [sn_ind_tmt_orm_product_inventor sn_ind_tmt_orm_external_id フィー データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマッ
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`  "id": "String",`
	`  "@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.place.id	必須です。場所 [cmn_location] テー ドの sys_id。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ location

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `Place` です。この情報は データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明する データタイプ：アレイ `"productCharacteristic": [ { "name": "String", "previousValue": "Stri "value": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris
productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられた特性レコードの [sn_prd_pm_characteristic] テーブ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ 値。*productOrderItem.action* パ 求は変更指示です。特性オプション値 性オプションの作成 を参照してく データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris previous_characteristic_option_va デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション いては、 製品特性と特性オプション データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_characteris characteristic_option_value デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.productSpecification	必須です。製品に関連付けられた製品

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	注: 変更管理 (変更*productOr*
	は、*sn_ind_tmt_orm.allowS*
	システム プロパティの値に基づ
	このシステムプロパティの値によ
	注文に示されたバージョンと異な
	れるかが決まります。
	• このシステムプロパティが tru
	場合、参照される製品仕様を変
	バージョンに自動的にアップグ
	文を正常に処理できます。
	• このシステムプロパティが fal
	ンベントリが注文に示されたバ
	の不一致が原因で注文が失敗し
	
	データタイプ: オブジェクト
	`"productSpecification": {`
	`"id": "String",`
	`"internalVersion": "Strin`
	`"name": "String",`
	`"version": "String",`
	`"@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.product.productSpecification.id	必須です。製品仕様の initial_version external_id。initial_version は、仕様 す。製品仕様 [sn_prd_pm_product_ または external_id フィールドにあり データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.internalVersion	製品仕様のバージョン。製品仕様 [sn テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_p ブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.version	製品仕様の external_version。製品仕 [sn_prd_pm_product_specification データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この仕 `ProductSpecificationRef` です。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
productOrderItem.product.relatedParty	OrderLineItemContact にリンクさ ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Stri "@type": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c
productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド： sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	必須です。顧客のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	可能な値 – OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オー の値は常に `RelatedParty` です。こ データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品 す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

productOrderItem.productOffering	必須です。製品に関連付けられた製品
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"productOffering": {`
	`  "id": "String",`
	`  "internalVersion": "Stri`
	`  "name": "String",`
	`  "version": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル：sn_ind_tmt_or

productOrderItem.productOffering.id	必須です。製品オファリングの initia external_id。initial_version は、オ sys_id です。製品オファリング [sn_p ルの sys_id または external_id フィ データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.internalVersion	製品オファリングのバージョン。製品 [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オフ [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.version	製品オファリングの external_versio [sn_prd_pm_product_offering] テー データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：null

productOrderItem.productOrderItemRelationship	必須です。注文アイテム間の親子関係
	イ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productOrderItemRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"relationshipType": "St`
	`}`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_

productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	必須です。*productOrderItem.id* す。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ parent_line_item デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	必須です。2 つの品目間の関係のタイ するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文されたアイテムの数。 データタイプ：数値 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrderItem` です。この情報 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア アカウントまたはコンシューマーアカ のアイテムをリストする必要があり データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"relatedParty": [
	  {
	  "id": "String",
	  "name": "String",
	  "@referredType": "Stri
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウントまた または external_id。アカウント [cus 絡先 [customer_contact] テーブル、 [csm_consumer] テーブルのいずれか データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	必須です。顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `RelatedParty` です。この情報は保
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_end_date デフォルト：空白の文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ expected_start_date デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の `ProductOrder` です。この情報は保 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。 • 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 *`<characteristic.name>`* を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：*`<characteristic.name>`* と特性値：*`<characteristic.value>`* は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - 製品オーダー品目オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *`id`* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem action` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に *`action`* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem productOffering` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オファリングオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productOffering id` がありません - ペイロードの製品オファリングオブジェクトの製品オーダー品目に *`id`* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品オファリングが存在しません - 製品オーダー品目の製品オファリングが有効ではありません。 • 無効なペイロード：`productOrderItem product` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`product productSpecification` がありません - ペイロードの製品オーダー品目に製品仕様オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：`productSpecification id` がありません - ペイロードの製品仕様オブジェクトの製品オーダー品目に *`id`* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード：製品仕様が存在しません - 製品オーダー品目の製品仕様が有効ではありません。 • 無効なペイロード：製品在庫が存在しません - 変更指示 (action = change) で、アイテムの数量が在庫数を超えています。 • 無効なペイロード：製品在庫 `ID` がありません - 変更指示で、ペイロードに *`product.id`* がありません。 • 無効なペイロード：販売済み製品が非アクティブです - 変更指示で、ペイロードで指定された製品が非アクティブです。 • 無効なペイロード：`relatedParty` がありません - 関係者オブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントまたはコンシューマーがありません :関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません :指定された関係者コンシューマーが ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：顧客アカウントが存在しません - 指定された関係者顧客が ServiceNow インスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました - 要求されたオーダーを作成できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
channel	製品の販売に使用するチャネルを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"channel": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
channel.id	関連する製品を販売するために使用するチャネルの一意の識別子。チャネル ID の値は、流通チャネル [sn_prd_pm_distribution_channel] テーブルの external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
channel.name	関連する製品を販売するために使用するチャネルの名前。 データタイプ：文字列
id	この要求で作成された顧客注文の sys_id。 データタイプ：文字列
externalId	顧客注文の外部識別子 (発注書番号など)。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
productOrderItem	製品注文と関連アクションに関連付けられたアイテムを説明するリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：アレイ
	<pre>"productOrderItem:" [
	  {
	  "action": "String",
	  "id": "String",
	  "itemPrice": [Array],
	  "product": {Object},
	  "productOffering":
	{Object},
	
	"productOrderItemReleation
	ship": [Array],
	  "quantity": Number,
	  "state": "String",
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

productOrderItem.action	製品に対して実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_item テーブルの [アクション辞書エントリ (Action Dictionary Entry)] の [選択リスト] タブで定義されます。 データタイプ：文字列
productOderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item/action_reason
productOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列

productOrderItem.itemPrice	製品に関連付けられた価格を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"itemPrice": [
	  {
	  "price": {Object},
	  "priceType": "String",
	
	"recurringChargePeriod":
	"String"</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>

productOrderItem.itemPrice.price	関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"price": {
	  "taxIncludedAmount":
	 {Object}
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount	税込みの関連製品の価格の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"taxIncludedAmount": {
	  "unit": "String",
	  "value": Number
	}</pre>

productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.unit	価格が表示される通貨コード。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.price.taxIncludeAmount.value	税込みの製品価格。 データタイプ：数値
productOrderItem.itemPrice.priceType	アイテムの価格タイプ (繰り返しまたは非繰り返し)。 データタイプ：文字列
productOrderItem.itemPrice.recurringChargePeriod	価格が繰り返し発生する場合は、`month` などの繰り返し期間。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product	顧客が購入した製品のインスタンスの詳細の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"product": {
	  "id": "String",
	  "place": {Object},
	  "productCharacteristic":
	 [Array],
	  "productSpecification":
	 {Object},
	  "relatedParty": {Object},
	  "@type": "String"
	}</pre>

productOrderItem.product.id	販売済み製品の一意の識別子。製品在庫

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_ind_tmt_orm_product_inventory] テーブルの sys_id または sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。このパラメーターは、*productOrderItem.action*変更または削除の場合にのみ返されます。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.place	製品をインストールする場所のマップ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"place": {`
	`  "id": "String",`
	`  "@type": "String"`
	`}`

productOrderItem.product.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

productOrderItem.product.productCharacteristic	関連付けられた製品の特性を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"productCharacteristic": [`
	`  {`
	`  "name": "String",`
	`  "previousValue":`
	` "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

productOrderItem.product.productCharacteristic.name	製品に関連付けられる特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*productOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指示です。特性オプション値の詳細については、 製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productCharacteristic.value	製品に関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、 製品特性と特性オプションの作成 を参照してください。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification	製品に関連付けられた製品仕様の説明。 データタイプ: オブジェクト `"productSpecification": { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }`
productOrderItem.product.productSpecification.id	製品仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.name	製品仕様の名前。製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.productSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ProductSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"@referredType": "String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

productOrderItem.product.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
productOrderItem.product.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
productOrderItem.product.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `Product` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

productOrderItem.productOffering	製品に関連付けられた製品オファリングの説明。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"productOffering": {
	"id": "String",
	"internalVersion": "String",
	"name": "String",
	"version": "String"
	}</pre>

productOrderItem.productOffering.id	製品オファリングの initial_version または external_id。initial_version

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	は、オファリングの最初のバージョンの sys_id です。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。sys_id と external_id の両方が存在する場合は、external_id が返されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOffering.name	製品オファリングの名前。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"productOrderItemRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String" } ]`
productOrderItem.productOrderItemRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
productOrderItem.productOrderItemRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 データタイプ：文字列
productOrderItem.quantity	注文する関連アイテムの数。 データタイプ：数値
productOrderItem.state	製品オーダーアイテムの現在のステータス。この値は常に `new` です。 データタイプ：文字列
productOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	`ProductOrderItem` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。顧客アカウントまたはコンシューマーアカウント情報を含む少なくとも 1 つのアイテムをリストする必要があります。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.type	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
state	注文の現在のステータス。このエンドポイントでは、この値は常に `new` です。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。製品の注釈。この値は常に `ProductOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例では、顧客注文を作成します。

```
curl -X POST
 "https://servicenow-instance/api/sn_ind_tmt_orm/productorder" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
  "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
  "externalId": "PO-456",
  "channel": [
    {
      "id": "2",
      "name": "Online channel"
    }
  ],
  "note": [
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
  ],
  "productOrderItem": [
    {
      "id": "POI100",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "product": {
        "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
        "@type": "Product",
        "productSpecification": {
          "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
          "name": "SD-WAN Service Package",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI120",
          "relationshipType": "HasChild"
        },
        {
          "id": "POI130",
          "relationshipType": "HasChild"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "POI120",
      "quantity": 1,
      "action": "change",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "id": "766d13f45b5620102dff5e92dc81c78a",
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "WAN Optimization",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
          "name": "SD-WAN Edge Device",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
            "firstName": "Joe",
            "lastName": "Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    },
    {
      "id": "POI130",
      "quantity": 1,
      "action": "add",
      "itemPrice": [
        {
          "priceType": "recurring",
          "recurringChargePeriod": "month",
          "price": {
            "taxIncludedAmount": {
              "unit": "USD",
              "value": 20
            }
          }
        }
      ],
      "product": {
        "@type": "Product",
        "productCharacteristic": [
          {
            "name": "Security Type",
            "value": "Base",
            "previousValue": "Advance"
          }
        ],
        "productSpecification": {
          "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
          "name": "SD-WAN Security",
          "@type": "ProductSpecificationRef"
        },
        "relatedParty": [
          {
            "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
            "firstName": "Joe",
            "lastName": "Doe",
            "email": "abc@example.com",
            "phone": "1234567890",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
        ],
        "place": {
          "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
          "@type": "Place"
        }
      },
      "productOffering": {
        "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
        "name": "Premium SD-WAN Offering"
      },
      "productOrderItemRelationship": [
        {
          "id": "POI100",
          "relationshipType": "HasParent"
        }
      ],
      "@type": "ProductOrderItem"
    }
  ],
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
  "@type": "ProductOrder"
}
```


応答本文。


```
{
    "requestedCompletionDate": "2021-05-02T08:13:59.506Z",
    "requestedStartDate": "2020-05-03T08:13:59.506Z",
    "externalId": "PO-456",
    "channel": [
        {
            "id": "2",
            "name": "Online chanel"
        }
    ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "note": [
        {
            "text": "This is a TMF product order illustration"
        },
        {
            "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
        }
    ],
    "productOrderItem": [
        {
            "id": "POI100",
            "quantity": 1,
            "action": "change",
            "product": {
                "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
                "@type": "Product",
                "productSpecification": {
                    "id": "cfe5ef6a53702010cd6dddeeff7b12f6",
                    "name": "SD-WAN Service Package",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "place": {
                    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                    "@type": "Place"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI120",
                    "relationshipType": "HasChild"
                },
                {
                    "id": "POI130",
                    "relationshipType": "HasChild"
                }
            ],
            "@type": "ProductOrderItem",
            "state": "new"
        },
        {
            "id": "POI120",
            "quantity": 1,
            "action": "change",
            "itemPrice": [
                {
                    "priceType": "recurring",
                    "recurringChargePeriod": "month",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "USD",
                            "value": 20
                        }
                    }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                }
            ],
            "product": {
                "id": "766d13f45b5620102dff5e92dc81c78a",
                "@type": "Product",
                "productCharacteristic": [
                    {
                        "name": "WAN Optimization",
                        "value": "Base",
                        "previousValue": "Advance"
                    }
                ],
                "productSpecification": {
                    "id": "39b627aa53702010cd6dddeeff7b1202",
                    "name": "SD-WAN Edge Device",
                    "@type": "ProductSpecificationRef"
                },
                "relatedParty": [
                    {
                        "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
                        "firstName": "Joe",
                        "lastName": "Doe",
                        "email": "abc@example.com",
                        "phone": "1234567890",
                        "@type": "RelatedParty",
                        "@referredType": "OrderLineItemContact"
                    }
                ],
                "place": {
                    "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                    "@type": "Place"
                }
            },
            "productOffering": {
                "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
                "name": "Premium SD-WAN Offering"
            },
            "productOrderItemRelationship": [
                {
                    "id": "POI100",
                    "relationshipType": "HasParent"
                }
            ],
            "@type": "ProductOrderItem",
            "state": "new"
        },
        {
            "id": "POI130",
            "quantity": 1,
            "action": "add",
            "itemPrice": [
                {
                    "priceType": "recurring",
                    "recurringChargePeriod": "month",
                    "price": {
                        "taxIncludedAmount": {
                            "unit": "USD",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "value": 20
                    }
                }
            }
        ],
        "product": {
            "@type": "Product",
            "productCharacteristic": [
                {
                    "name": "Security Type",
                    "value": "Base",
                    "previousValue": "Advance"
                }
            ],
            "productSpecification": {
                "id": "a6514bd3534560102f18ddeeff7b1247",
                "name": "SD-WAN Security",
                "@type": "ProductSpecificationRef"
            },
            "relatedParty": [
                {
                    "id": "51670151c35420105252716b7d40ddfe",
                    "firstName": "Joe",
                    "lastName": "Doe",
                    "email": "abc@example.com",
                    "phone": "1234567890",
                    "@type": "RelatedParty",
                    "@referredType": "OrderLineItemContact"
                }
            ],
            "place": {
                "id": "25ab9c4d0a0a0bb300f7dabdc0ca7c1c",
                "@type": "Place"
            }
        },
        "productOffering": {
            "id": "69017a0f536520103b6bddeeff7b127d",
            "name": "Premium SD-WAN Offering"
        },
        "productOrderItemRelationship": [
            {
                "id": "POI100",
                "relationshipType": "HasParent"
            }
        ],
        "@type": "ProductOrderItem",
        "state": "new"
    }
],
"relatedParty": [
    {
        "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
        "name": "Sally Thomas",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
    "@type": "ProductOrder",
    "id": "6be0a925c3a220103e2e73ce3640ddfe",
    "state": "new"
}
```

プロジェクトポートフォリオ管理 API

プロジェクトポートフォリオ管理 API は、コスト計画とプロジェクトタスクを一括インポートするためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が必要です。呼び出し元のユーザーには、it_project_managerロールが必要です。

この API は now 名前空間内で提供されます。

プロジェクトポートフォリオ管理 - POST /now/ppm/insert_cost_plans

コスト計画 [cost_plan] テーブルにコスト計画を作成します。

URL 形式

デフォルト URL: /api/now/ppm/insert_cost_plans

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	Description (説明)
end_fiscal_period	必須。コスト計画の会計期間の終了Sys_id。会計期間 [fiscal_period] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
name	必須。コスト計画の名前。 データタイプ：文字列
resource_type	必須。リソースタイプのSys_id。リソースタイプ定義 [resource_type_definition] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
start_fiscal_period	必須。コスト計画の会計期間の開始Sys_id。会計期間 [fiscal_period] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
タスク	必須。コスト計画のプロジェクトまたはデマンドのSys_id。プロジェクト [pm_project] またはデマンド [dmn_demand] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
unit_cost	必須。コスト計画の単位コスト。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
結果	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "status": "String" }`
result.status	API 要求のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、2 つのコスト計画をインポートします。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/ppm/insert_cost_plans" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "[
   {
      "name": "Cost plan 1",
      "resource_type": "3d16eaf79330120064f572edb67ffb04",
      "start_fiscal_period": "ed47e5d90b3010108d9ac74363673a98",
      "end_fiscal_period": "0a47e5d90b3010108d9ac74363673afd",
      "task": "0fc9f992db601810852ca6dc13961951",
      "unit_cost": 1200
   },
   {
      "name": "Cost plan 2",
      "resource_type": "3d16eaf79330120064f572edb67ffb04",
      "start_fiscal_period": "ed47e5d90b3010108d9ac74363673a98",
      "end_fiscal_period": "7947e5d90b3010108d9ac74363673ac9",
      "task": "0fc9f992db601810852ca6dc13961951",
      "unit_cost": 3600
   }
]" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "result": {
      "status": "success"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

プロジェクトポートフォリオ管理 - POST /now/ppm/insert_project_tasks

プロジェクトおよび関連するプロジェクトタスクを作成します。

プロジェクトはプロジェクト [pm_project] テーブルに作成され、プロジェクトタスクはプロジェクトタスク [pm_project_task] テーブルに作成されます。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/now/ppm/insert_project_tasks`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	Description (説明)
child_tasks	プロジェクトのタスクのアレイ。各タスクはアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"child_tasks": [ { "child_tasks": [Array], "external_id": "String", "short_description": "String" } ]`
child_tasks.child_tasks	親タスクの子タスクのアレイ。各子タスクはアレイ内のオブジェクトです。各子タスクは、子タスクの独自のアレイを持つことができます。 データタイプ：アレイ `"child_tasks": [ { "child_tasks": [Array], "external_id": "String", "short_description": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	<pre> }]</pre>
child_tasks.external_id	外部システムからのタスクの一意の識別子。 データタイプ：文字列
child_tasks.short_description	タスクの簡単な説明。 データタイプ：文字列
end_date	プロジェクトの終了日。 データタイプ：文字列
external_id	外部システムからのプロジェクトの一意の識別子。 データタイプ：文字列
short_description	プロジェクトの簡単な説明。 データタイプ：文字列
start_date	プロジェクトの開始日。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
結果	API 要求のステータスに関する情報を含むオブジェクト。 データタイプ: オブジェクト `"result": { "status": "String" }`
result.status	API 要求のステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、2 つのタスク (zpq_T1 と zpq_T2) を持つプロジェクトをインポートします。最初のタスクには複数の子タスクが含まれており、2 番目のタスクは最初のタスクの子タスクに依存しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/ppm/insert_project_tasks" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "start_date": "2022-05-18 08:00:00",
   "end_date": "2022-05-18 17:00:00",
   "short_description": "zpq_Project",
   "external_id": "0",
   "child_tasks": [
      {
         "short_description": "zpq_T1",
         "external_id": "1",
         "child_tasks": [
            {
               "external_id": "1.1",
               "short_description": "zpq_T11",
               "child_tasks": [
                  {
                     "external_id": "1.1.1",
                     "short_description": "zpq_T111"
                  }
               ]
            },
            {
               "external_id": "1.2",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "short_description": "zpq_T12"
            }
         ]
      },
      {
         "short_description": "zpq_T2",
         "external_id": "2",
         "dependencies": [
            {
               "external_id": "1.1",
               "lag": -1,
               "type": "fs"
            },
            {
               "external_id": "1.2",
               "lag": 2,
               "type": "fs"
            }
         ]
      }
   ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "result": {
      "status": "success"
   }
}
```

自動翻訳

プッシュインストール API

プッシュインストール API は、モバイルデバイスがアプリケーションからプッシュ通知を受信できるようにするトークンの登録および登録解除を行うためのエンドポイントを提供します。

プッシュ通知は、重要なことを知らせる、またはアクションの実行を要求する、ユーザーのモバイル端末に表示されるテキスト メッセージです。

カスタムモバイルアプリケーションを作成する場合、プッシュ通知を設定するには、デバイスをメーカーのサービスに登録する必要があります。サービスは、プッシュトークンを使用してそのデバイスに適切に通知を送信できるように、ユーザーのデバイスのアドレスを認識する必要があります。また、デバイスは通知を受信して対処できる必要があります。デバイスを登録してプッシュトークンを取得する方法については、デバイスのオペレーティングシステムの開発者向けドキュメントを参照してください。たとえば、Apple デバイスについては、次を参照してください：https://developer.apple.com/documentation/usernotifications/registering_your_app_with_apns

プッシュインストール - POST /now/push/{pushApplicationName}/installation

デバイスが指定されたアプリケーションからプッシュ通知を受信できるようにするトークンを追加または更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/push/{pushApplicationName}/installation`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの URL：`/api/now/push/{pushApplicationName}/installation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

パラメーター	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
pushApplicationName	プッシュ通知を登録するアプリケーションの名前。このパラメーターは、プッシュアプリケーション [sys_push_application] テーブルの関連するアプリケーションの [名前] 列の値と同じである必要があります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
platform	プッシュ通知を登録するプラットフォーム。このパラメーターは、プッシュプラットフォーム [sys_push_platform] テーブルの [名前] 値である必要があります。 データタイプ：文字列
token	プッシュ通知を受信できるようにモバイルアプリケーションを登録するときに、Apple などのデバイスメーカーによって提供されるトークン。エンドポイントは、トークン値をプッシュ通知インストール [sys_push_notif_app_install] テーブルに書き込みます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/now/push/ServiceNowPushApp/installation \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data
 '{"platform":"Apple","token":"544836d77ac2e551bbf78204630509a7d494fc87f52e85da52e5b5d42910e2cf"}' \
```

```
None
```

プッシュインストール - POST /now/push/{pushApplicationName}/removeInstallation

モバイルデバイスが指定されたアプリケーションからプッシュ通知を受信できるようにするトークンを無効にします。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/push/{pushApplicationName}/removeInstallation`

デフォルトの URL：`/api/now/push/{pushApplicationName}/removeInstallation`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
pushApplicationName	プッシュ通知の登録を解除するアプリケーションの名前。このパラメーターは、プッシュアプリケーション [sys_push_application] テーブルの関連するアプリケーションの [名前] 列の値と同じである必要があります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

要素	説明
platform	プッシュ通知を登録するプラットフォーム。このパラメーターは、プッシュプラットフォーム [sys_push_platform] テーブルの [名前] 値である必要があります。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。サーバー側のコードで論理エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: サンプル cURL 要求

```
curl -X POST \

 https://instance.servicenow.com/api/now/push/ServiceNowPushApp/removeInstallation \
--header "Content-Type: application/json" \
--user "username":"password" \
--data '{"platform":"Apple"}' \
```

```
None
```

プッシュメトリクス API

Push Metrics API は、外部ソースから MID サーバー に生のオペレーショナルインテリジェンスデータをプッシュできるようにするエンドポイントを提供します。

この API は、外部ソースから MID サーバー に生データをプッシュするクライアント側ツールに基づいています。運用評価指標 拡張は、[**REST** リスナーを有効にする] オプションを有効にして構成する必要があります。MID サーバーの設定の詳細については、「オペレーショナルインテリジェンス入門」を参照してください。

認証要件の詳細については、「MID Web サーバー拡張の設定」を参照してください。

測定基準のプッシュ - POST /mid/sa/metrics

生の オペレーショナルインテリジェンス データを外部ソースから MID サーバー にプッシュします。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/mid/sa/metrics`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
ci2metric_id	構成アイテム (CI) を識別するために使用するキーと値のペアのリスト。 以前は *ci_identifier* と呼ばれていました。スクリプトでは引き続き *ci_identifier* を受け入れます。 データタイプ：オブジェクト
metric_type	測定基準の名前。 データタイプ：文字列
node	IP アドレス、FQDN、CI の名前、またはホスト。以下の例では、ディスクがインストールされている Linux サーバーの名前。 データタイプ：文字列
resource_path	メトリクスデータが収集されるリソースのパス。以下の例では、`C:\` は測定基準データが収集されるリソースです。 データタイプ：文字列
source	測定基準タイプを監視するデータソースです。 データタイプ：文字列
timestamp	測定基準のエポックタイムスタンプ。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
value	測定基準の値。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

この例に示すように、要求本文は角括弧で囲む必要があります。

```
curl -X POST "https://servicenow-instance/api/mid/sa/metrics"
-H "Content-Type: application/json"
-U "username":"password"
-d "[{
    "metric_type": "Disk C: % Free Space",
    "resource_path": "C:\\",
    "node": "lnux100",
    "value": 50,
    "timestamp": 1473183012000,
    "ci2metric_id": {
        "node": "lnux100"
    },
    "source": "Splunk"
}]"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リモートヘルプ要求 API

リモートヘルプ要求 API は、電子医療記録 (EMR) システムから IT サービス要求とその詳細のリストを作成、表示、およびフェッチするためのエンドポイントを提供します。IT サービス要求は、タスクタイプ (ServiceNow インスタンスのインシデントなど) に関連付けられます。

この API は、 EMR Help アプリケーション (sn_ind_rmt_help) は ServiceNow Store からインストールされます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

この API のエンドポイントにアクセスするために必要なロール：sn_ind_rmt_help.requester。

リモートヘルプ要求 - POST /remote_help_request/{req_defn_id}

電子医療記録 (EMR) システムデータを、対応する ServiceNow テーブルに挿入します。

タスクのパラメーターと、タスクに関連付けられた要求データテーブルに保持される EMR システムからの追加データに加えて、要求定義 ID を指定する必要があります。2 つのタイプのデータをこのエンドポイントに渡します。1 つ目は要求データで、エンドポイントがリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルとその関連子テーブルに挿入します。2 つ目は IT サービス要求のタスクパラメーターで、エンドポイントがリモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param] テーブルにこれを挿入します。エンドポイントでは、 要求定義 で定義されているデータまたはフィールドのみが処理されます。このデータモデルの詳細については、「 EMR Help データモデル 」を参照してください。

レコードは、要求定義 ID を使用して識別されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_ind_rmt_help/{api_version}/remote_help_request/{req_defn_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_rmt_help/remote_help_request/{req_defn_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_defn_id	要求定義の一意の ID。この値は、リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルの ID 列に対応します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
request_data	必須です。リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルとその子テーブルに追加する、EMR システムからの要求データの名前と値のペア。 例： `"request_data":{ "additional_info": "String", "application": "String", "environment": "String", "issue_type": "String", "millennium_username": "String", "position": "String", "server": "String", "session_recording_id": "String", "user_is_physician": "String", "work_station": "String" }` **注:** *request_data* オブジェクトの要求定義で構成されたパラメーターのみを渡します。他のパラメーターは無視されます。詳細については、「EMR システムのリクエスト定義の構成」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト
source	必須です。要求定義で指定されたエンドポイントを呼び出す EMR システムの名前。 例： `"source":"Cerner"` データタイプ：文字列
task_parameters	必須です。IT サービス要求のタスクパラメーターを記述する名前と値のペア。オブジェクトの各要素は、インシデント [incident] テーブルなどの対応するタスクテーブルの列に対応します。 例： `"task_parameters": { "caller_id": "String", "contact_type": "String", "impact": "String", "short_description": "String" }` **注:** *task_parameters* オブジェクトの要求定義で構成されたパラメーターのみを渡します。他のパラメーターは無視されます。詳細については、「EMR システムのリクエスト定義の構成」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明

result	結果オブジェクト。
	`"result": {`
	`  "code": "String",`
	`  "error": "String",`
	`  "errorTranslated": "String",`
	`  "status": "String",`
	`  "task_id": "String",`
	`  "task_table": "String",`
	`  "warning": "String",`
	`  "warningTranslated": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト
result.code	*result.status* が failure として返された場合のアプリケーションエラーコード。 データタイプ：文字列
result.error	*result.status* が失敗の場合に含まれるエラーメッセージ。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.errorTranslated	オプションのローカライズされたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.status	応答のステータス。 有効な値： • success • failure データタイプ：文字列
result.task_id	作成されたタスクの sys_ID。 データタイプ：文字列
result.task_table	要求定義で定義されたタスクが作成されたタスクテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.warning	オプションの警告メッセージ。*result.status* が success の場合に含まれることがあります。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.warningTranslated	オプションのローカライズされた警告メッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Cerner EMR システムからデータを挿入します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_rmt_help/v1/remote_help_requ
est/sn_it_request"
--request POST \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{
  "source":"Cerner",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "task_parameters":{
    "short_description":"Unable to load patient data",
    "caller_id":"82d4ecb4db40e8100e28aa594b96195c",
    "impact":"2",
    "contact_type":"email"
  },
  "request_data":{
    "application":"Powerchart",
    "server":"CTXCHSITN453",
    "environment":"CTX24",
    "issue_type":"Helpdesk",
    "millennium_username":"JOHN JASON",
    "position":"Lab Tech",
    "session_recording_id":"s5ds34dd96491b959a35010651896k",
    "user_is_physician":"Yes",
    "work_station":"PC354FLR3STATION7",
    "additional_info":"MRN 222333"
  }
}" \
--user "username":"password"
```

次の出力は成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful response
{
  "result": {
    "task_id": "75b09061db2cac100e28aa594b9619fa",
    "status": "success",
    "task_table": "incident",
    "warning": "Ignored invalid fields on table incident : test1",
    "warningTranslated": "Ignored invalid fields on table incident :
 test1"
  }
}

// Error response
{
      "result": {
      "status": "failure",
      "code": "1001",
      "error": "Invalid request definition: test_request1",
      "errorTranslated": "Invalid request definition: test_request1"
      }
      }
```

リモートヘルプ要求 - PUT /remote_help_request/{req_defn_id/task/{task_id}

タスクの指定されたリモート要求データテーブルのレコードを更新します。

タスク sys_id に加えて要求定義 ID を指定して、以前に作成されたリモート要求を更新できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_ind_rmt_help/{api_version}/remote_help_request/{req_defn_id/task/{task_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_rmt_help/remote_help_request/{req_defn_id/task/{task_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_defn_id	要求定義の一意の ID。この値は、リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルの ID 列に対応します。 データタイプ：文字列
task_id	更新するタスクの sys_id。このフィールドは EMR システムによって提供されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
request_data	必須です。リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルまたはその子テーブルを更新する、EMR システムからの要求データの名前と値のペア。 例： `"request_data": { "additional_info" : "Please contact my office for more information." }` **注:** *`request_data`* オブジェクトの要求定義で構成されたパラメーターのみを渡します。他のパラメーターは無視されます。詳細については、「EMR システムのリクエスト定義の構成」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト
source	必須です。要求定義で指定されたエンドポイントを呼び出す EMR システムの名前。 例： `"source":"Cerner"` データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
task_parameters	必須です。IT サービス要求のタスクパラメーターを記述する名前と値のペア。オブジェクトの各要素は、インシデント [incident] テーブルなどの対応するタスクテーブルの列に対応します。 例： `"task_parameters": { "impact":"1", "contact_type":"phone" }` **注:** *task_parameters* オブジェクトの要求定義で構成されたパラメーターのみを渡します。他のパラメーターは無視されます。詳細については、「EMR システムのリクエスト定義の構成」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
result	結果オブジェクト。 `"result": { "code": "String", "error": "String", "errorTranslated": "String", "status": "String", "warning": "String", "warningTranslated": "String" }` データタイプ：オブジェクト
result.code	*result.status* が failure として返された場合のアプリケーションエラーコード。 データタイプ：文字列
result.error	*result.status* が失敗の場合に含まれるエラーメッセージ。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.errorTranslated	オプションのローカライズされたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.status	応答のステータス。 有効な値： • success • failure データタイプ：文字列
result.warning	オプションの警告メッセージ。*result.status* が success の場合に含まれることがあります。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.warningTranslated	オプションのローカライズされた警告メッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Cerner EMR システムで以前に作成された IT サービス要求を更新します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_rmt_help/v1/remote_help_requ
est/sn_it_request/task/207e57c1db60a410f50fdc5b4b96192e"
--request PUT \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json" \
--data "{
  "source":"Cerner",
  "task_parameters":{
    "impact":"1",
    "contact_type":"phone"
  },
  "request_data":{
    "additional_info" : "Please contact my office for more information."
  }
}" \
--user "username":"password"
```

次の出力は成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful response
{
  "result": {
    "status": "success"
  }
}

// Error response
{
      {
      "result": {
      "status": "failure",
      "code": "1018",
      "error": "Record with sys_id 207e57js1db60a410f50fdc5b4b96192e does
 not exist in table incident",
      "errorTranslated": "Record with sys_id
 207e57js1db60a410f50fdc5b4b96192e incident does not exist in table
 incident"
      }
      }
      }
```

リモートヘルプ要求 - GET /remote_help_request/{req_defn_id}

指定された ID とクエリフィルターに一致するタスクのリストをフェッチします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 参照タイプおよび選択肢タイプのフィールドは、常に value と display_value を含む JSON オブジェクトとして返されます。
- DateTime フィールドは文字列として、常に UTC で返されます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_ind_rmt_help/{api_version}/remote_help_request/{req_defn_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_rmt_help/remote_help_request/{req_defn_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_defn_id	更新する要求定義の一意の ID。この値は、リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルの ID 列に対応します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
query	必須。結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエリ。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
result	返される結果： `"result": { "code": "String", "error": "String", "errorTranslated": "String", "status": "String", "task_list": [Array], "warning": "String", "warningTranslated": "String" }` データタイプ：オブジェクト
result.code	*result.status* が failure として返された場合のアプリケーションエラーコード。 データタイプ：文字列
result.error	*result.status* が失敗の場合に含まれるエラーメッセージ。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.errorTranslated	オプションのローカライズされたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.status	応答のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • failure • success データタイプ：文字列
result.task_list	タスクのリスト。 データタイプ：アレイ
result.warning	オプションの警告メッセージ。*result.status* が success の場合に含まれることがあります。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.warningTranslated	オプションのローカライズされた警告メッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Cerner EMR システムからデータをフェッチします。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/remote_help_request/v1/sn_it_reque
st/?query=active=true" \
--header "Accept: application/json" \
--header "Content-Type: application/json"
{
  "source":"Cerner",
} \
--user "username":"password"
```

次の出力は成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful response
{
  "result": {
    "status": "success",
    "task_list": [
      {
        "number": "INC0010096",
        "short_description": "Unable to load data - 1",
        "assigned_to": {
          "value": "7a381da2dbfb5410f50fdc5b4b9619f2",
          "display_value": "Abel Tuter (IT agent)"
        },
        "opened_at": "2020-11-16 18:37:57",
        "closed_at": "",
        "closed_by": {},
        "state": {
          "value": "2",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_value": "In Progress"
        },
        "priority": {
          "value": "5",
          "display_value": "5 - Planning"
        },
        "resolved_at": "",
        "resolved_by": {},
        "task_id": "207e57c1db60a410f50fdc5b4b96192e"
      },
      {
        "number": "INC0010095",
        "short_description": "Application freezes intermittently 3",
        "assigned_to": {},
        "opened_at": "2020-11-16 18:32:05",
        "closed_at": "",
        "closed_by": {},
        "state": {
          "value": "1",
          "display_value": "New"
        },
        "priority": {
          "value": "5",
          "display_value": "5 - Planning"
        },
        "resolved_at": "",
        "resolved_by": {},
        "task_id": "561d1f8ddb20a410f50fdc5b4b9619da"
      }
    ]
  }
}

// Error response
{
  "result": {
  "status": "failure",
  "code": "1019",
  "error": "Invalid query in the request for table incident",
  "errorTranslated": "Invalid query in the request for table incident"
}
```

自動翻訳

リモートヘルプ要求 - **GET /remote_help_request/{req_defn_id}/task/{task_id}**

task_id で指定された単一のタスクをフェッチします。

要求定義 ID とタスク ID を指定して、タスクの詳細を取得できます。

注:

- 参照タイプおよび選択肢タイプのフィールドは、常に value と display_value を含む JSON オブジェクトとして返されます。
- DateTime フィールドは文字列として、常に UTC で返されます。
- ジャーナルタイプフィールドでは、追加のコメントのみがサポートされます。
- 追加のコメントは、オブジェクトの JSON アレイとして渡し返されます。各オブジェクトは、*created_on*、*created_by*、および *value* フィールドでコメントを表します。最新のコメントが最初に送信されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_ind_rmt_help/{api_version}/remote_help_request/{req_defn_id}/task/{task_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_rmt_help/remote_help_request/{req_defn_id}/task/{task_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
req_defn_id	要求定義の一意の ID。この値は、リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルの ID 列に対応します。 データタイプ：文字列
task_id	返されるタスクの sys_id。このフィールドは EMR システムによって提供されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
result	返される結果： `"result": { "code": "String", "error": "String", "errorTranslated": "String", "status": "String", "task_parameters": {Object}, "warning": "String", "warningTranslated": "String" }` データタイプ：オブジェクト
result.code	*result.status* が failure として返された場合のアプリケーションエラーコード。 データタイプ：文字列
result.error	*result.status* が失敗の場合に含まれるエラーメッセージ。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.errorTranslated	オプションのローカライズされたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.status	応答のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • failure • success データタイプ：文字列
result.task_parameters	必須です。IT サービス要求のタスクパラメーターを記述する名前と値のペア。オブジェクトの各要素は、インシデント [incident] テーブルなどの対応するタスクテーブルの列に対応します。 データタイプ：オブジェクト
result.warning	オプションの警告メッセージ。*result.status* が `success` の場合に含まれることがあります。 このメッセージは英語のみです。 データタイプ：文字列
result.warningTranslated	オプションのローカライズされた警告メッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

Cerner EMR システムからデータをフェッチします。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_rmt_help/v1/remote_help_requ
est/sn_it_request/task/207e57c1db60a410f50fdc5b4b96192e"\
--request GET \
--header "Accept: application/json"\
--user "username":"password"
```

次の出力は成功応答とエラー応答の両方を示しています。

```
// Successful response
{
  "result": {
    "status": "success",
    "task_parameters": {
      "number": "INC0010096",
      "short_description": "Unable to load data - 1",
      "state": {
        "value": "2",
      "display_value": "In Progress"
      },
      "assigned_to": {
        "value": "7a381da2dbfb5410f50fdc5b4b9619f2",
        "display_value": "Abel Tuter (IT agent)"
      },
      "priority": {
        "value": "5",
        "display_value": "5 - Planning"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "caller_id": {
      "value": "82d4ecb4db40e8100e28aa594b96195c",
      "display_value": "Abel Tuter Requester"
    },
    "opened_at": "2020-11-16 18:37:57",
    "closed_at": "",
    "closed_by": {},
    "description": "",
    "impact": {
      "value": "1",
      "display_value": "1 - High"
    },
    "opened_by": {
      "value": "82d4ecb4db40e8100e28aa594b96195c",
      "display_value": "Abel Tuter Requester"
    },
    "close_code": {},
    "close_notes": "",
    "urgency": {
      "value": "3",
      "display_value": "3 - Low"
    },
    "category": {
      "value": "inquiry",
      "display_value": "Inquiry / Help"
    },
    "resolved_at": "",
    "resolved_by": {},
    "comments": [
      {
        "created_on": "2020-11-17 18:20:04",
        "created_by": "Abel Tuter Requester",
        "value": "You can reach me during office hours."
      },
      {
        "created_on": "2020-11-16 18:40:14",
        "created_by": "Abel Tuter Requester",
        "value": "You can reach me during office hours."
      },
      {
        "created_on": "2020-11-16 18:38:29",
        "created_by": "Abel Tuter",
        "value": "Hello there\rName of app please"
      }],
    "task_id": "207e57c1db60a410f50fdc5b4b96192e"
    }
  }
}

// Error response
{
  "result": {
    "status": "failure",
    "code": "1001",
    "error": "Invalid request definition: test_request2",
    "errorTranslated": "Invalid request definition: test_request2"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

リソース在庫オープン API

リソース在庫オープン API は、リソースを作成、取得、および削除するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、次のテーブルのリソースを管理します。

- ケーブル [cmdb_ci_cable]
- 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder]
- インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card]
- IP アドレス [cmdb_ci_ip_address]
- 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path]
- ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface]
- ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site]
- 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link]
- ストランド [cmdb_ci_strand]
- トポロジ [cmdb_ci_topology]
- *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテーブル、および指定されたテーブルを拡張するテーブル。
- 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。
- 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル:
  - ケーブル [cmdb_ci_cable]
  - 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder]
  - ストランド [cmdb_ci_strand]

この API は、ServiceNow Store で入手可能な Network Inventory Core アプリケーションに含まれています。

この API は、 `sn_ni_core` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_ni_core.inventory_integrator ロールが必要です。

この API を拡張して、必須パラメーター、要求本文の検証、およびフィールドマッピングをカスタマイズできます。詳細については、「リソースインベントリオープン API 開発者ガイド」を参照してください。

リソース在庫オープン API は、TM Forum Resource Inventory API REST 仕様の ServiceNow® 実装です。この実装は、TMF639 Resource Inventory API User Guide v4.0.1 (2020 年 7 月) に基づいています。

リソース在庫オープン API - DELETE /sn_ni_core/resource/{id}

指定されたリソースレコードを削除します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resource/{id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブルにあります。 • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテーブル、および指定されたテーブルを拡張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 **注:** IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] テーブル内のリソースは、この API を使用して削除することはできません。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
215	処理のため要求が正常に受信されました。要求は非同期的に完了します。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
403	禁止されています。リソースの削除に失敗しました。リソースは、その関連リソースによって必要とされる場合があります。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

この例では、リソースを削除します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ni_core/resource/54ada05e875c15109a9c0f65dabb3586" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
""
```

リソース在庫オープン **API - GET /sn_ni_core/resource**

すべてのリソースレコードリストを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resource`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	Description (説明)
@type	必須。取得するリソースのタイプのテーブル名。API 呼び出しごとに 1 つのタイプのリソースのみを取得できます。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ) • *`sn_ni_core.equipment_tables`* sys_propertyで指定されたテーブルの名前、または指定されたテーブルを拡張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
description	リソースをフィルタリングするために使用する説明。指定された説明を持つリソースのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効な値： • description • href • id • name • note • place • relatedParty • resourceCharacteristic • resourceRelationship • resourceSpecification • startOperatingDate デフォルト：すべてのフィールドを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 データタイプ：数値
name	リソースをフィルタリングするために使用する名前。指定された名前を持つリソースのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
resourceSpecification.id	リソースのフィルタリングに使用するリソース仕様の sys_id。sys_id は、次のいずれかのテーブルにあるモデルのものである必要があります。 • 機器所有者モデル [sn_ni_core_equipment_holder_product_model] • 機器モデル [sn_ni_core_equipment_product_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ni_core_interface_card_product_model] • 論理接続モデル [sn_ni_core_logical_connection_product_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ni_core_network_interface_product_model] • 物理接続モデル [sn_ni_core_physical_connection_product_model] 指定された sys_id に一致するモデルを持つリソースのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	**Description** (説明)
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*Content-Range* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。 **注:** レコードの合計数が 100,000 を超える場合、このヘッダーは常に 100,000 を返します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	**Description** (説明)
200	成功。要求が正常に処理されました。
206	部分的なコンテンツ。要求は正常に処理され、ページネーションされた呼び出しによって指定されたコンテンツの部分的な範囲が返されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ) • *`sn_ni_core.equipment_tables`* sys_propertyで指定されたテーブル張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブル • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *`sn_ni_core.equipment_tables`* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列
name	リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`
note.text	メモのテキスト。 データタイプ：文字列
place	リソースのネットワークサイト。 このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ データタイプ: オブジェクト `"place": { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String" }`
place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列
relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String", "role": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedParty.role	関係者のロール。チーム [cmdb_rel_team] テーブルの [グループタイプ] データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性 • 物理接続および論理接続リソースの場合、 `ポート A` または `ポート Z` の クルステージステータスが [使用中] の場合は、`Port A` と `Port Z` の両 • 機器ホルダーリソースの場合、 `コンテナタイプ` 特性が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
resourceCharacteristic.name	*`@type`* パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド 名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが • インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。 • ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。 • コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceRelationship": [ { "relationshipType": "String", "resource": {Object} } ]`
resourceRelationship.relationshipType	[このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で 記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource	関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで • ケーブル • 機器 • 機器ホルダー • インターフェイスカード • Logical Connection (論理接続) • ネットワークインターフェイス • ネットワークサイト • 物理接続 • ストランド • トポロジ データタイプ: オブジェクト `"resource": { "id": "String", "href": "String" }`
resourceRelationship.resource.id	関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列

resourceSpecification	リソース仕様。
	
	データタイプ: オブジェクト
	`"resourceSpecification": {`
	`"id": "String"`
	`}`

resourceSpecification.id	リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか • ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、最初の 5 つのネットワークサイトリソースレコードの *name*、 *id*、および *href* フィールドを取得します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ni_core/resource?@type=cmdb_ci_
ni_site&fields=name%2Cid%2Chref&limit=5" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。


```
[
   {
      "name": "DALLAS TX CO/HUB",
      "id": "c23683c54051c910f8772175cacd725c",
      "href": "/api/sn_ni_core/resource/c23683c54051c910f8772175cacd725c"
   },
   {
      "name": "PFP LOC F-800",
      "id": "0ac19bc54051c910f8772175cacd724b",
      "href": "/api/sn_ni_core/resource/0ac19bc54051c910f8772175cacd724b"
   },
   {
      "name": "FIBER SERVICE TERMINAL 003",
      "id": "d0541fcd4051c910f8772175cacd72c8",
      "href": "/api/sn_ni_core/resource/d0541fcd4051c910f8772175cacd72c8"
   },
   {
      "name": "270 RUMWOOD MAIN",
      "id": "e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2",
      "href": "/api/sn_ni_core/resource/e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2"
   },
   {
      "name": "3620 CHESTER ROMI48073",
      "id": "917dd8f6870e851079c40f2d0ebb353d",
      "href": "/api/sn_ni_core/resource/917dd8f6870e851079c40f2d0ebb353d"
   }
]
```


リソース在庫オープン **API - GET /sn_ni_core/resource/{id}**
指定されたリソースレコードを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resource/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブルにあります。 • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	• ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテーブル、および指定されたテーブルを拡張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効な値： • description • href • id • name • note • place • relatedParty • resourceCharacteristic • resourceRelationship • resourceSpecification • startOperatingDate デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• `cmdb_ci_topology` (トポロジ) • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyで指定されたテーブル張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブル • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列
name	リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
note.text	メモのテキスト。 データタイプ：文字列

place	リソースのネットワークサイト。
	このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"place": {
	   "@referredType": "String",
	   "href": "String",
	   "id": "String"
	}</pre>

place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列

relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedParty": [
	   {
	      "@referredType": "String",
	      "href": "String",
	      "id": "String",
	      "role": "String"
	   }
	]</pre>

relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 物理接続および論理接続リソースの場合、 ポート A または ポート Z の クルステージステータスが [使用中] の場合は、Port A と Port Z の両 • 機器ホルダーリソースの場合、 コンテナタイプ 特性が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
resourceCharacteristic.name	*@type* パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド 名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string データタイプ：文字列
resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが • インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。 • ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。 • コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceRelationship": [ { "relationshipType": "String", "resource": {Object}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
resourceRelationship.relationshipType	[このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で 記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列

resourceRelationship.resource	関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで
	• ケーブル
	• 機器
	• 機器ホルダー
	• インターフェイスカード
	• Logical Connection (論理接続)
	• ネットワークインターフェイス
	• ネットワークサイト
	• 物理接続
	• ストランド
	• トポロジ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"resource": {
	   "id": "String",
	   "href": "String"
	}</pre>

resourceRelationship.resource.id	関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ 張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	リソース仕様。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"resourceSpecification": {
	   "id": "String"
	}</pre>

resourceSpecification.id	リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか • ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、指定されたリソースレコードを取得します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ni_core/resource/915da8e140ddc9
10f8772175cacd72de" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "href": "/api/sn_ni_core/resource/915da8e140ddc910f8772175cacd72de",
   "id": "915da8e140ddc910f8772175cacd72de",
   "name": "DLLSTXMR/ESS7450/IOM-01/MDA-01/NI-01",
   "place": {
      "id": "c23683c54051c910f8772175cacd725c",
      "href":
 "/api/now/table/cmdb_ci_ni_site/c23683c54051c910f8772175cacd725c",
      "@referredType": "GeographicAddress"
   },
   "resourceCharacteristic": [
      {
         "name": "attested",
         "valueType": "boolean",
         "value": "false"
      },
      {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "name": "availability",
            "valueType": "string",
            "value": "used"
        },
        {
            "name": "cabled",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
        },
        {
            "name": "can_print",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
        },
        {
            "name": "connector_type",
            "valueType": "string",
            "value": "sc"
        },
        {
            "name": "cost_cc",
            "valueType": "string",
            "value": "USD"
        },
        {
            "name": "equipment_clli",
            "valueType": "string",
            "value": "DLLSTXESS01"
        },
        {
            "name": "fault_count",
            "valueType": "integer",
            "value": "0"
        },
        {
            "name": "install_status",
            "valueType": "integer",
            "value": "1"
        },
        {
            "name": "life_cycle_stage",
            "valueType": "reference",
            "value": "Operational"
        },
        {
            "name": "life_cycle_stage_status",
            "valueType": "reference",
            "value": "In Use"
        },
        {
            "name": "manufacturer",
            "valueType": "reference",
            "value": "a2f6a4914055c910f8772175cacd723a"
        },
        {
            "name": "monitor",
            "valueType": "boolean",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "value": "false"
         },
         {
            "name": "network_domain",
            "valueType": "string",
            "value": "core"
         },
         {
            "name": "ni_type",
            "valueType": "reference",
            "value": "646cf25fe42e0510f877e70ec9bcaca8"
         },
         {
            "name": "port_bandwidth",
            "valueType": "reference",
            "value": "ff39ae92eb900110700ca73bc152286d"
         },
         {
            "name": "replaceable",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
         },
         {
            "name": "skip_sync",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
         },
         {
            "name": "telco_equipment",
            "valueType": "reference",
            "value": "583e7b95405dc910f8772175cacd7292"
         },
         {
            "name": "unverified",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
         },
         {
            "name": "virtual",
            "valueType": "boolean",
            "value": "false"
         }
      ],
      "resourceRelationship": [
         {
            "relationshipType": "Contained by::Contains",
            "resource": {
               "id": "81baac6140ddc910f8772175cacd728e",
               "href":
"/api/sn_ni_core/resource/81baac6140ddc910f8772175cacd728e"
            }
         },
         {
            "relationshipType": "Contained by::Contains",
            "resource": {
               "id": "bf624bc640194d10f8772175cacd7225",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/bf624bc640194d10f8772175cacd7225"
         }
      }
   ],
   "resourceSpecification": {
      "id": "980416b0874e8110d28eb259dabb356b",
      "href":
 "/api/now/table/sn_ni_core_network_inventory_product_model/980416b0874e8
110d28eb259dabb356b",
      "@referredType": "NetworkInterfaceModel"
   },
   "@type": "cmdb_ci_ni_interface"
}
```

リソースインベントリオープン **API - PATCH /sn_ni_core/resource/{id}**

指定されたリソースレコードを更新します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resource/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブルにあります。 • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテーブル、および指定されたテーブルを拡張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ) • *`sn_ni_core.equipment_tables`* sys_propertyで指定されたテーブル張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
name	リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note": [ { ...`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)

	<pre>"text": "String"
	}
	]</pre>

note.text	*note* パラメーターが使用される場合は必須です。 メモのテキスト。 データタイプ：文字列

place	リソースのネットワークサイト。
	
	このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"place": {
	"@referredType": "String",
	"href": "String",
	"id": "String"
	}</pre>

place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	*place* パラメーターが使用される場合は必須です。 ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列

relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedParty": [
	{
	"@referredType": "String",
	"href": "String",
	"id": "String",
	"role": "String"
	}
	]</pre>
	注: リソースからの relatedParty レコードの削除は、このエンドポイ
	ん。Teams [cmdb_rel_team] テーブルからレコードを手動で削除で

relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
relatedParty.id	*relatedParty* パラメーターが使用される場合は必須です。 グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedParty.role	関係者のロール。チーム [cmdb_rel_team] テーブルの [グループタイプ] データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性 • 物理接続および論理接続リソースの場合、 `ポート A` または `ポート Z` の クルステージステータスが [使用中] の場合は、`Port A` と `Port Z` の両 • 機器ホルダーリソースの場合、 `コンテナタイプ` 特性が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
resourceCharacteristic.name	*resourceCharacteristic* パラメーターが使用される場合は必須です。 *@type* パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド 名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	*resourceCharacteristic* パラメーターが使用される場合は必須です。 特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが • インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。 • ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。 • コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceRelationship": [ { "relationshipType": "String", "resource": {Object} } ]`
resourceRelationship.relationshipType	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 [このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で 記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで • ケーブル • 機器 • 機器ホルダー • インターフェイスカード • Logical Connection (論理接続) • ネットワークインターフェイス • ネットワークサイト • 物理接続 • ストランド • トポロジ データタイプ: オブジェクト `"resource": { "id": "String", "href": "String" }`
resourceRelationship.resource.id	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	• インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列

resourceSpecification	リソース仕様。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"resourceSpecification": {`
	`  "id": "String"`
	`}`

resourceSpecification.id	*resourceSpecification* パラメーターが使用される場合は必須です。リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか • ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/merge-patch+json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	Description (説明)
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
415	要求本文がサポートされていない形式であるか、Content-Type 要求ヘッダーが正しく設定されていません。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyで指定されたテーブル 張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブル • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ 張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列
name	リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
note.text	メモのテキスト。 データタイプ：文字列
place	リソースのネットワークサイト。 このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ データタイプ: オブジェクト `"place": { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String" }`
place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列
relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String", "role": "String" } ]`
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
relatedParty.role	関係者のロール。チーム [cmdb_rel_team] テーブルの [グループタイプ] データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	• 物理接続および論理接続リソースの場合、 ポート A または ポート Z の
	クルステージステータスが [使用中] の場合は、Port A と Port Z の両
	• 機器ホルダーリソースの場合、 コンテナタイプ 特性が必要です。
	
	データタイプ：アレイ
	
	"resourceCharacteristic": [
	{
	"name": "String",
	"value": "String",
	"valueType": "String"
	}
	]

resourceCharacteristic.name	@type パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド 名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string データタイプ：文字列
resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが • インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。 • ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。 • コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。 データタイプ：アレイ "resourceRelationship": [{ "relationshipType": "String", "resource": {Object}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
resourceRelationship.relationshipType	[このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で 記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列

resourceRelationship.resource	関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで
	• ケーブル
	• 機器
	• 機器ホルダー
	• インターフェイスカード
	• Logical Connection (論理接続)
	• ネットワークインターフェイス
	• ネットワークサイト
	• 物理接続
	• ストランド
	• トポロジ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"resource": {
	   "id": "String",
	   "href": "String"
	}</pre>

resourceRelationship.resource.id	関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ 張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	リソース仕様。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"resourceSpecification": {
	"id": "String"
	}

resourceSpecification.id	リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか • ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、リソースの名前を更新します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_ni_core/resource/583e7b95405dc910
f8772175cacd7292" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type: application/merge-patch+json" \
--user 'username':'password' \
--data '{"name": "new name"}'
```

応答本文。


```
{
  "href": "/api/sn_ni_core/resource/583e7b95405dc910f8772175cacd7292",
  "id": "583e7b95405dc910f8772175cacd7292",
  "name": "new name",
  "note": [
    {
      "text": "TECHNICIAN SCHECULED TO BE ONSITE THE WEEK OF APRIL 4,
 2022."
    }
  ],
  "place": {
    "id": "c23683c54051c910f8772175cacd725c",
    "href":
 "/api/now/table/cmdb_ci_ni_site/c23683c54051c910f8772175cacd725c",
    "@referredType": "GeographicAddress"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  },
  "resourceCharacteristic": [
    {
      "name": "alarmable",
      "valueType": "boolean",
      "value": "true"
    },
    {
      "name": "attested",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "can_hub",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "can_partitionvlans",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "can_print",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "can_route",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "can_switch",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "comments",
      "valueType": "string",
      "value": "ETHERNET SWITCH"
    },
    {
      "name": "cost_cc",
      "valueType": "string",
      "value": "USD"
    },
    {
      "name": "cpu_count",
      "valueType": "integer",
      "value": "1"
    },
    {
      "name": "equipment_clli",
      "valueType": "string",
      "value": "DLLSTXESS01"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
      "name": "fault_count",
      "valueType": "integer",
      "value": "0"
    },
    {
      "name": "firmware_manufacturer",
      "valueType": "reference",
      "value": "0c441abbc6112275000025157c651c89"
    },
    {
      "name": "firmware_version",
      "valueType": "string",
      "value": "A09DX887"
    },
    {
      "name": "hardware_status",
      "valueType": "string",
      "value": "installed"
    },
    {
      "name": "install_status",
      "valueType": "integer",
      "value": "1"
    },
    {
      "name": "internet_facing",
      "valueType": "boolean",
      "value": "true"
    },
    {
      "name": "inventory_category",
      "valueType": "string",
      "value": "equipment"
    },
    {
      "name": "last_service_date",
      "valueType": "datetime",
      "value": "2022-02-18T16:36:54.000Z"
    },
    {
      "name": "life_cycle_stage",
      "valueType": "reference",
      "value": "Deploy"
    },
    {
      "name": "life_cycle_stage_status",
      "valueType": "reference",
      "value": "Reserved"
    },
    {
      "name": "managed_by",
      "valueType": "reference",
      "value": "46c9e158a9fe198101d44d0d22cb640d"
    },
    {
      "name": "manufacturer",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "valueType": "reference",
      "value": "b7e831bdc0a80169015ae101f3c4d6cd"
    },
    {
      "name": "model_number",
      "valueType": "string",
      "value": "7450ESS-1"
    },
    {
      "name": "monitor",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "network_domain",
      "valueType": "string",
      "value": "core"
    },
    {
      "name": "ni_function",
      "valueType": "reference",
      "value": "2d22153940990d10f8772175cacd728b"
    },
    {
      "name": "ni_role",
      "valueType": "reference",
      "value": "c68e3f15405dc910f8772175cacd72f1"
    },
    {
      "name": "ni_type",
      "valueType": "reference",
      "value": "3772e8d54015c910f8772175cacd721c"
    },
    {
      "name": "ram",
      "valueType": "integer",
      "value": "3000"
    },
    {
      "name": "replaceable",
      "valueType": "boolean",
      "value": "true"
    },
    {
      "name": "serial_number",
      "valueType": "string",
      "value": "7894564568225"
    },
    {
      "name": "skip_sync",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    },
    {
      "name": "spare",
      "valueType": "boolean",
      "value": "true"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      "name": "template_id",
      "valueType": "reference",
      "value": "49433535e5d28110f877657a33339131"
    },
    {
      "name": "unit_position",
      "valueType": "integer",
      "value": "2"
    },
    {
      "name": "unverified",
      "valueType": "boolean",
      "value": "false"
    }
  ],
  "resourceRelationship": [
    {
      "relationshipType": "Contains::Contained by",
      "resource": {
        "id": "f5d1c429405dc910f8772175cacd723f",
        "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/f5d1c429405dc910f8772175cacd723f"
      }
    },
    {
      "relationshipType": "Contains::Contained by",
      "resource": {
        "id": "d6e100e5405dc910f8772175cacd72e9",
        "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/d6e100e5405dc910f8772175cacd72e9"
      }
    },
    {
      "relationshipType": "Contained by::Contains",
      "resource": {
        "id": "5b10e8154015c910f8772175cacd724d",
        "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/5b10e8154015c910f8772175cacd724d"
      }
    }
  ],
  "resourceSpecification": {
    "id": "0ae34df1e5528110f877657a33339119",
    "href": "/api/now/table/cmdb_model/0ae34df1e5528110f877657a33339119",
    "@referredType": "EquipmentModel"
  },
  "@type": "cmdb_ci_ni_telco_equipment"
}
```


リソース在庫オープン **API - POST /sn_ni_core/resource**

リソースレコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resource`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ) • *`sn_ni_core.equipment_tables`* sys_propertyで指定されたテーブル 張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
name	必須です。 リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"note": [
	  {
	  "text": "String"
	  }
	]</pre>

note.text	*note* パラメーターが使用される場合は必須です。 メモのテキスト。 データタイプ：文字列

place	コンテナタイプがケージ、ベイ、キャビネット、ラック、ラインアップ、ま
	る機器ホルダーリソースに必要です。すべての機器リソースに必要です。
	リソースのネットワークサイト。
	
	このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"place": {
	  "@referredType": "String",
	  "href": "String",
	  "id": "String"
	}</pre>

place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	*place* パラメーターが使用される場合は必須です。 ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列

relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedParty": [
	  {
	  "@referredType": "String",
	  "href": "String",
	  "id": "String",
	  "role": "String"
	  }
	]</pre>

relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.id	*relatedParty* パラメーターが使用される場合は必須です。 グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性 • 物理接続および論理接続リソースの場合、 `ポート A` または `ポート Z` の クルステージステータスが [使用中] の場合は、`Port A` と `Port Z` の両 • 機器ホルダーリソースの場合、 `コンテナタイプ` 特性が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
resourceCharacteristic.name	*resourceCharacteristic* パラメーターが使用される場合は必須です。 *@type* パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド 名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	*resourceCharacteristic* パラメーターが使用される場合は必須です。 特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string データタイプ：文字列
resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。 • ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。 • コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。 データタイプ：アレイ `"resourceRelationship": [ { "relationshipType": "String", "resource": {Object} } ]`
resourceRelationship.relationshipType	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 [このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で 記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで • ケーブル • 機器 • 機器ホルダー • インターフェイスカード • Logical Connection (論理接続) • ネットワークインターフェイス • ネットワークサイト • 物理接続 • ストランド • トポロジ データタイプ: オブジェクト `"resource": { "id": "String", "href": "String" }`
resourceRelationship.resource.id	*resourceRelationship* パラメーターが使用される場合は必須です。 関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列

resourceSpecification	リソース仕様。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"resourceSpecification": {`
	`  "id": "String"`
	`}`

resourceSpecification.id	*resourceSpecification* パラメーターが使用される場合は必須です。リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか • ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
場所	作成されたリソースの URL。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
215	処理のため要求が正常に受信されました。要求は非同期的に完了します。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
@type	リソースのタイプ。 有効な値： • `cmdb_ci_cable` (ケーブル) • `cmdb_ci_interface_card` (インターフェイスカード) • `cmdb_ci_ip_address` (IP アドレス) • `cmdb_ci_ni_logical_path` (論理接続) • `cmdb_ci_ni_interface` (ネットワークインターフェイス) • `cmdb_ci_ni_site` (ネットワークサイト) • `cmdb_ci_ni_physical_link` (物理接続) • `cmdb_ci_strand` (ストランド) • `cmdb_ci_topology` (トポロジ)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyで指定されたテーブル張するテーブルの名前。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブルの名 データタイプ：文字列
description	リソースの説明。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	リソースの sys_id。リソースのタイプに応じて、次のいずれかのテーブル • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand] • トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列
name	リソースの名前。 データタイプ：文字列
note	リソースに関するメモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
note.text	メモのテキスト。 データタイプ：文字列
place	リソースのネットワークサイト。 このパラメーターは、ネットワークサイト、物理接続、または論理接続リ データタイプ: オブジェクト `"place": { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String" }`
place.@referredType	場所のタイプ。この値は常に `GeographicAddress` です。 データタイプ：文字列
place.href	場所レコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
place.id	ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] テーブル内の場所レコードの sys_ データタイプ：文字列
relatedParty	リソースの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "@referredType": "String", "href": "String", "id": "String", "role": "String" } ]`
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。グループ [sys_user_group] テーブルの [タイ データタイプ：文字列
relatedParty.href	関連するパーティレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	グループ [sys_user_group] テーブル内の関係者レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic	リソースの特性のリスト。次のリソースタイプには、特定のリソース特性 • 物理接続および論理接続リソースの場合、 `ポート A` または `ポート Z` の クルステージステータスが [使用中] の場合は、`Port A` と `Port Z` の両 • 機器ホルダーリソースの場合、 `コンテナタイプ` 特性が必要です。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"resourceCharacteristic": [
	  {
	  "name": "String",
	  "value": "String",
	  "valueType": "String"
	  }
	]</pre>

resourceCharacteristic.name	*@type* パラメーターで指定されたリソーステーブルのフィールド名。model_id、name、network_site、operation_notes、operational_s のフィールド、または sys_id などの sys_ プリフィックスが付いたフィール データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列
resourceCharacteristic.valueType	値のタイプ。 有効な値： • ブール • 日時 • 浮動小数点数 • integer • ph_number • 参照 • string データタイプ：文字列

resourceRelationship	関連リソースのリスト。次のリソースタイプには、特定の関連リソースが
	• インターフェイスカードリソースの場合、コンテナタイプがスロットま ソースとの関係が必要です。
	• ネットワークインターフェイスリソースの場合、機器またはインターフ す。
	• コンテナタイプがスロットまたはサブスロットである機器ホルダーリソ スカードリソースとの関係が必要です。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"resourceRelationship": [
	  {
	  "relationshipType": "String",
	  "resource": {Object}
	  }
	]</pre>

resourceRelationship.relationshipType	[このリソース記述子]::[関連リソース記述子] 形式の 2 つのリソース間の関 ば、`Contains::Contained by` は、関連リソースがこのリソースの子で

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	記述子の有効な値は、CI 関係タイプ [cmdb_rel_type] テーブルの、**Pare** 列にあります。 データタイプ：文字列

resourceRelationship.resource	関連リソースの詳細。関連リソースは、次のいずれかのリソースタイプで
	• ケーブル
	• 機器
	• 機器ホルダー
	• インターフェイスカード
	• Logical Connection (論理接続)
	• ネットワークインターフェイス
	• ネットワークサイト
	• 物理接続
	• ストランド
	• トポロジ
	
	データタイプ: オブジェクト
	`"resource": {`
	`"id": "String",`
	`"href": "String"`
	`}`

resourceRelationship.resource.id	関連リソースの sys_id。関連リソースのタイプに応じて、次のいずれかの • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテ 張するテーブル。 • 機器ホルダーを拡張するテーブル [cmdb_ci_equipment_holder] データタイプ：文字列
resourceRelationship.resource.href	関連リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列

resourceSpecification	リソース仕様。
	
	データタイプ: オブジェクト
	`"resourceSpecification": {`
	`"id": "String"`
	`}`

resourceSpecification.id	リソースの関連モデルの sys_id。モデルのタイプに応じて、次のいずれか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• ケーブルモデル [sn_ent_cable_model] • 機器ホルダーモデル [sn_ent_nw_holder_model] • 設備モデル [sn_ent_nw_equipment_model] • インターフェイスカードモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 論理接続モデル [sn_ent_logical_nw_connection_model] • ネットワークインターフェイスモデル [sn_ent_nw_interface_model] • 物理接続モデル [sn_ent_physical_nw_connection_model] • ストランドモデル [sn_ent_strand_model] • トポロジモデル [sn_ent_network_topology_model] データタイプ：文字列
startOperatingDate	リソースが最初に運用を開始した日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、コロラド州デンバーにネットワークサイトを作成します。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_ni_core/resource" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"name\": \"DENVER CO CO/HUB\",
  \"note\": [
    {
      \"text\": \"Cisco maintenance team onsite June 22, 2022.\"
    }
  ],
  \"resourceCharacteristic\": [
    {
      \"name\": \"attested\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    },
    {
      \"name\": \"can_print\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    },
    {
      \"name\": \"clli_code\",
      \"valueType\": \"string\",
      \"value\": \"DNVRCOMR02T\"
    },
    {
      \"name\": \"comments\",
      \"valueType\": \"string\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      \"value\": \"Site is scheduled for diesel generator test July 13,
2022 at 9am CST.\"
    },
    {
      \"name\": \"cost_cc\",
      \"valueType\": \"string\",
      \"value\": \"USD\"
    },
    {
      \"name\": \"county\",
      \"valueType\": \"string\",
      \"value\": \"DENVER\"
    },
    {
      \"name\": \"data_center_code\",
      \"valueType\": \"string\",
      \"value\": \"DNVR00564\"
    },
    {
      \"name\": \"fault_count\",
      \"valueType\": \"integer\",
      \"value\": \"0\"
    },
    {
      \"name\": \"install_status\",
      \"valueType\": \"integer\",
      \"value\": \"1\"
    },
    {
      \"name\": \"life_cycle_stage\",
      \"valueType\": \"reference\",
      \"value\": \"Operational\"
    },
    {
      \"name\": \"life_cycle_stage_status\",
      \"valueType\": \"reference\",
      \"value\": \"In Use\"
    },
    {
      \"name\": \"location\",
      \"valueType\": \"reference\",
      \"value\": \"25ab8f300a0a0bb300d99f69c3ac24cd\"
    },
    {
      \"name\": \"managed_by\",
      \"valueType\": \"reference\",
      \"value\": \"b0f31e5673500010c2e7660c4cf6a711\"
    },
    {
      \"name\": \"monitor\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    },
    {
      \"name\": \"network_domain\",
      \"valueType\": \"string\",
      \"value\": \"core\"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      \"name\": \"ni_type\",
      \"valueType\": \"reference\",
      \"value\": \"8e8f3770404d0110f8772175cacd7204\"
    },
    {
      \"name\": \"pots_number\",
      \"valueType\": \"ph_number\",
      \"value\": \"(214) 555-1234\"
    },
    {
      \"name\": \"skip_sync\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    },
    {
      \"name\": \"third_party_ownership\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    },
    {
      \"name\": \"unverified\",
      \"valueType\": \"boolean\",
      \"value\": \"false\"
    }
  ],
  \"resourceRelationship\": [
    {
      \"relationshipType\": \"Connects to::Connected by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2\",
        \"href\":
\"/api/sn_ni_core/resource/e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Connects to::Connected by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"0ac19bc54051c910f8772175cacd724b\",
        \"href\":
\"/api/sn_ni_core/resource/0ac19bc54051c910f8772175cacd724b\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Connects to::Connected by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"997e5c11875851109a9c0f65dabb35ac\",
        \"href\":
\"/api/sn_ni_core/resource/997e5c11875851109a9c0f65dabb35ac\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"5b10e8154015c910f8772175cacd724d\",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/5b10e8154015c910f8772175cacd724d\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"57e73b51405dc910f8772175cacd726e\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/57e73b51405dc910f8772175cacd726e\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"bf58f751405dc910f8772175cacd72e8\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/bf58f751405dc910f8772175cacd72e8\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"b5711e31405d0d10f8772175cacd7232\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/b5711e31405d0d10f8772175cacd7232\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"ed811e31405d0d10f8772175cacd72d3\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/ed811e31405d0d10f8772175cacd72d3\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"d74937d1405dc910f8772175cacd7288\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/d74937d1405dc910f8772175cacd7288\"
      }
    },
    {
      \"relationshipType\": \"Contains::Contained by\",
      \"resource\": {
        \"id\": \"da0df2e3e4e64510f877e70ec9bcacc6\",
        \"href\":
 \"/api/sn_ni_core/resource/da0df2e3e4e64510f877e70ec9bcacc6\"
      }
    }
  ],
  \"@type\": \"cmdb_ci_ni_site\"
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。


```
{
   "href": "/api/sn_ni_core/resource/00399f0aed349150f877305f29f832b2",
   "id": "00399f0aed349150f877305f29f832b2",
   "name": "DENVER CO CO/HUB",
   "note": [
      {
         "text": "Cisco maintenance team onsite June 22, 2022."
      }
   ],
   "resourceCharacteristic": [
      {
         "name": "altitude_units",
         "valueType": "string",
         "value": "feet"
      },
      {
         "name": "attestation_status",
         "valueType": "string",
         "value": "Not Yet Reviewed"
      },
      {
         "name": "attested",
         "valueType": "boolean",
         "value": "false"
      },
      {
         "name": "can_print",
         "valueType": "boolean",
         "value": "false"
      },
      {
         "name": "clli_code",
         "valueType": "string",
         "value": "DNVRCOMR02T"
      },
      {
         "name": "comments",
         "valueType": "string",
         "value": "Site is scheduled for diesel generator test July 13,
 2022 at 9am CST."
      },
      {
         "name": "cost_cc",
         "valueType": "string",
         "value": "USD"
      },
      {
         "name": "county",
         "valueType": "string",
         "value": "DENVER"
      },
      {
         "name": "data_center_code",
         "valueType": "string",
         "value": "DNVR00564"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
       "name": "discovery_source",
       "valueType": "string",
       "value": "Resource Inventory Open API"
    },
    {
       "name": "fault_count",
       "valueType": "integer",
       "value": "0"
    },
    {
       "name": "first_discovered",
       "valueType": "datetime",
       "value": "2022-07-21T19:38:04.000Z"
    },
    {
       "name": "install_status",
       "valueType": "integer",
       "value": "1"
    },
    {
       "name": "last_discovered",
       "valueType": "datetime",
       "value": "2022-07-21T19:38:04.000Z"
    },
    {
       "name": "life_cycle_stage",
       "valueType": "reference",
       "value": "Operational"
    },
    {
       "name": "life_cycle_stage_status",
       "valueType": "reference",
       "value": "In Use"
    },
    {
       "name": "location",
       "valueType": "reference",
       "value": "25ab8f300a0a0bb300d99f69c3ac24cd"
    },
    {
       "name": "managed_by",
       "valueType": "reference",
       "value": "b0f31e5673500010c2e7660c4cf6a711"
    },
    {
       "name": "monitor",
       "valueType": "boolean",
       "value": "false"
    },
    {
       "name": "network_domain",
       "valueType": "string",
       "value": "core"
    },
    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "ni_type",
        "valueType": "reference",
        "value": "8e8f3770404d0110f8772175cacd7204"
     },
     {
        "name": "pots_number",
        "valueType": "ph_number",
        "value": "(214) 555-1234"
     },
     {
        "name": "skip_sync",
        "valueType": "boolean",
        "value": "false"
     },
     {
        "name": "third_party_ownership",
        "valueType": "boolean",
        "value": "false"
     },
     {
        "name": "unverified",
        "valueType": "boolean",
        "value": "false"
     }
  ],
  "resourceRelationship": [
     {
        "relationshipType": "Connects to::Connected by",
        "resource": {
           "id": "e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2",
           "href":
"/api/sn_ni_core/resource/e6f6df8d4051c910f8772175cacd72b2"
        }
     },
     {
        "relationshipType": "Connects to::Connected by",
        "resource": {
           "id": "0ac19bc54051c910f8772175cacd724b",
           "href":
"/api/sn_ni_core/resource/0ac19bc54051c910f8772175cacd724b"
        }
     },
     {
        "relationshipType": "Connects to::Connected by",
        "resource": {
           "id": "997e5c11875851109a9c0f65dabb35ac",
           "href":
"/api/sn_ni_core/resource/997e5c11875851109a9c0f65dabb35ac"
        }
     },
     {
        "relationshipType": "Contains::Contained by",
        "resource": {
           "id": "5b10e8154015c910f8772175cacd724d",
           "href":
"/api/sn_ni_core/resource/5b10e8154015c910f8772175cacd724d"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "57e73b51405dc910f8772175cacd726e",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/57e73b51405dc910f8772175cacd726e"
         }
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "bf58f751405dc910f8772175cacd72e8",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/bf58f751405dc910f8772175cacd72e8"
         }
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "b5711e31405d0d10f8772175cacd7232",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/b5711e31405d0d10f8772175cacd7232"
         }
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "ed811e31405d0d10f8772175cacd72d3",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/ed811e31405d0d10f8772175cacd72d3"
         }
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "d74937d1405dc910f8772175cacd7288",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/d74937d1405dc910f8772175cacd7288"
         }
      },
      {
         "relationshipType": "Contains::Contained by",
         "resource": {
            "id": "da0df2e3e4e64510f877e70ec9bcacc6",
            "href":
 "/api/sn_ni_core/resource/da0df2e3e4e64510f877e70ec9bcacc6"
         }
      }
   ],
   "@type": "cmdb_ci_ni_site"
}
```


リソースインベントリオープン **API - POST /sn_ni_core/resourceInventoryViatemplate**
テンプレートに基づいてリソース構成アイテム (CI) と関連 CI 階層を作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このエンドポイントを呼び出す前に、在庫テンプレート [sn_ni_core_inventory_template] テーブルに在庫テンプレートを作成する必要があります。関連 CI の階層全体を在庫テンプレートで定義できます。その後、単一の API 要求を介してすべての CI と関係を作成できます。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ni_core/resourceinventoryviatemplate`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明

overrides	オーバーライドする列と使用する値のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"overrides": {`
	`  "column_name": "String"`
	`}`

overrides.column_name	*overrides* パラメーターが使用される場合は必須です。列の名前と値。 データタイプ：文字列
parentId	必須です。親 CI の sys_id。親 CI のタイプに応じて、次のいずれかのテーブルにあります。 • ケーブル [cmdb_ci_cable] • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] • インターフェイスカード [cmdb_ci_interface_card] • IP アドレス [cmdb_ci_ip_address] • 論理接続 [cmdb_ci_ni_logical_path] • ネットワークインターフェイス [cmdb_ci_ni_interface] • ネットワークサイト [cmdb_ci_ni_site] • 物理接続 [cmdb_ci_ni_physical_link] • ストランド [cmdb_ci_strand]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• トポロジ [cmdb_ci_topology] • *sn_ni_core.equipment_tables* sys_propertyによって指定されたテーブル、および指定されたテーブルを拡張するテーブル。 • 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] を拡張するテーブル。 • 次のいずれかのテーブルを拡張する子テーブル: ◦ ケーブル [cmdb_ci_cable] ◦ 機器ホルダー [cmdb_ci_equipment_holder] ◦ ストランド [cmdb_ci_strand] データタイプ：文字列
templateId	必須です。テンプレートの sys_id。在庫テンプレート [sn_ni_core_inventory_template] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
templateOverride	テンプレートのオーバーライドリスト。 データタイプ：アレイ `"templateOverrides": [ { "overrideTemplateId": "String", "templateId": "String" } ]`
templateOverrides.overrideTemplateId	*templateOverrides* パラメーターが使用される場合は必須です。利用可能なテンプレート sys_id。 データタイプ：文字列
templateOverrides.templateId	*templateOverrides* パラメーターが使用される場合は必須です。関連テンプレートの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
場所	階層の最上位にある作成された CI の URL。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	リソースが作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	エラー。要求でエラーが発生しました。たとえば、要求が検証チェックに失敗したなどです。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
result	作成された CI に関する情報を含む結果オブジェクト。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "sys_id": "String" }`
result.sys_id	階層の最上位にある作成された CI の sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、テンプレートを使用して CI 階層を作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ni_core/resourceinventoryviatem
plate" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "templateId": "90475711ed6ec110f877d2f57b8accda",
   "parentId": "917dd8f6870e851079c40f2d0ebb353d",
   "overrides": {
      "equipment_clli": "test"
   },
   "templateOverrides": [
      {
         "templateId": "ac3b679ded6ec110f877d2f57b8acc29",
         "overrideTemplateId": "f9604efb54e18110f87749bbc4ad38d8"
      },
      {
         "templateId": "171c23dded6ec110f877d2f57b8acc33",
         "overrideTemplateId": "0f38e59187424110e14f64e73cbb35b4"
      }
   ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
"result": {
   "sys_id": "00598f0aed346259f388105f29f892c4"
}
```

応答テンプレート API

応答テンプレート API は、応答テンプレート [sn_templated_snip_note_template] テーブルのレコードを処理するためのエンドポイントを提供します。

このスクリプトインクルードには、デフォルトで有効になっており、 `sn_templated_snip` 名前空間内で実行される Templated Responses プラグイン (com.sn_templated_snip) が必要です。

応答テンプレートの詳細については、「応答テンプレート」を参照してください。

応答テンプレート - POST /response_templates/get_templates

応答テンプレート [sn_templated_snip_note_template] テーブルからレコードを返します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_templated_snip/response_templates/get_templates`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
errorFormat	エラーに使用する HTML 書式設定。 データタイプ：文字列 デフォルト：`"<span style='color:#ff0000'>${%s}</span>"`

includeEvaluatedBody	テンプレートの変数をレンダリングするかどうかを示すフラグ。
	
	有効な値：
	
	• false：テンプレートの変数をレンダリングしない。応答にはメッセージ変数が含まれます。
	
	例：
	
	`ケース ${number} が ${assignment_group} にエスカレーションされました。`
	
	• true：テンプレート変数をレンダリングして、結果の中で *evaluated_response* を返します。
	
	例：
	
	`ケース INC100001 が施設にエスカレーションされました。`
	
	データタイプ：ブーリアン
	
	デフォルト値：false

limit	返される応答テンプレートの最大数。 データタイプ：数値 デフォルト：50
offset	ページネーションの場合は、検索を開始するインデックス。 データタイプ：数値 デフォルト：0
opts	sn_templated_snip.response_template 拡張ポイントに渡すパラメーター。これらのパラメーターの形式と内容は、拡張ポイントの実装によって異なります。拡張ポイントの詳細については、「拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する」を参照してください。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
recordId	必須です。応答テンプレートの変数をレンダリングするために使用するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
searchTerm	一致する応答テンプレートのリストをフィルタリングするために使用するテキスト。 このエンドポイントは、名前と本文のフィールドでこのテキストの CONTAINS 検索を実行し、短い名前のフィールドで STARTS WITH 検索を実行します。たとえば、検索用語が「crash」の場合、このエンドポイントは、クエリ条件に一致し、名前または本文に「crash」が含まれているか、短い名前が「crash」で始まる応答テンプレートを返します。 短い名前が完全に一致する応答テンプレートは、返される結果の最初に表示されます。返された他の応答テンプレートはすべて名前順にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：一致するすべての応答テンプレートを返します。
tableName	必須です。応答テンプレートテーブルを検索して対応する応答テンプレートを見つけるために使用するテーブルの名前。たとえば、「incident」や「sn_hr_core_case」などです。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	指定された検索条件に一致するすべてのテンプレートをリストするオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"result": [ {Object} ]`
result.<object>	短い名前が完全に一致する応答テンプレートは、返される結果の最初に表示されます。返された他の応答テンプレートはすべて名前順にソートされます。 データタイプ：オブジェクト `{ "evaluated_response": [Array], "name": "String", "short_name": "String", "short_name_match": Boolean, "sys_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"template_body": "String"
	}</pre>

result.<object>.evaluated_response	テンプレート評価の結果をリストするアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"elevated_response":[
	"error": [Array],
	"evaluated_body": "String",
	"success": Boolean
	]</pre>

result.<object>.evaluated_response.error	発生した評価エラーそれぞれのエントリのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"error":[
	
	"inAccessibleVariables": "String",
	"message": "String",
	
	"unEvaluatedVariables": "String"
	]</pre>

result.<object>.evaluated_response.error.inAccessibleVariables	解決できなかった応答テンプレート本文内の変数。 データタイプ：文字列
result.<object>.evaluated_response.error.message	エラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.<object>.evaluated_response.error.unEvaluatedVariables	評価されなかった応答テンプレート本文内の変数。 データタイプ：文字列
result.<object>.evaluated_response.evaluated_body	HTML の評価済み応答テンプレート本文。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.<object>.evaluated_response.success	すべての変数が適切にレンダリングされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：すべての変数が適切にレンダリングされました。 • false：変数が適切にレンダリングされませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.<object>.name	応答テンプレートの名前。 データタイプ：文字列
result.<object>.short_name	応答テンプレートの短い名前。 データタイプ：文字列
result.<object>.short_name_match	応答テンプレートの短い名前が完全に一致したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：検索用語は完全に一致しています。 • false：検索用語は完全には一致していません。 データタイプ：ブーリアン
result.<object>.sys_id	応答テンプレートの sys_id。 データタイプ：文字列
result.<object>.template_body	HTML の応答テンプレート本文。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_templated_snip/response_templat
es/get_templates" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"tableName\": \"sn_hr_core_case_total_rewards\",
  \"recordId\": \"2c9e43320b30220097432da0d5673a9c\"
}" \
--user "username":"password"
```


```
{
   "result": [
      {
         "sys_id": "2552c4ec0b03320036e62c7885673a5a",
         "name": "Escalation Notes - Total Rewards",
         "short_name": "Escalation Notes - Total Rewards",
         "template_body": "<p>Dear ${subject_person},<\/p>\n<p>Please
 note that your case ${number} has been escalated to ${assignment_group}.
 An agent will be assigned on your case and will keep you
 updated. If you have more questions please reach out to our
 team.<\/p>\n<p>Regards,<\/p>\n<p>${sys_updated_by}<\/p>"
      },
      {
         "sys_id": "698388ec0b03320036e62c7885673ab5",
         "name": "Resolution Notes - Phone Inquiry",
         "short_name": "Resolution Notes - Phone Inquiry",
         "template_body": "<p>Thank you ${subject_person} for reaching
 out to the Global HR Services Team for your inquiry. As discussed
 over the phone, we have resolved your case ${number}.<\/p>\n<p>We
 are happy to help if you have more questions for our team.
 Please reach out and mention the case number ${number} on the
 call.<\/p>\n<p>Regards,<\/p>\n<p>${assigned_to}<\/p>"
      }
   ]
}
```


SAM-ソフトウェア使用状況データ統合 API

SAM-ソフトウェア使用状況データ統合 API は、ソフトウェア使用状況 [samp_sw_usage] テーブルのレコードを作成および更新するためのエンドポイントを提供します。

この API では、Software Asset Management Professional (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。また、このエンドポイントにアクセスするには、sam_admin または sam_developer ロールも必要です。

SAM-ソフトウェア使用状況データ統合 - POST /sam_software_usage_integration/createOrUpdate

ソフトウェア使用状況 [samp_sw_usage] テーブル内の指定されたレコードを作成または更新します。

1 回の呼び出しで 1 つ以上のソフトウェア使用状況レコードを作成/更新できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/sam_software_usage_integration/createOrUpdate`

デフォルトの URL：`/api/now/sam_software_usage_integration/createOrUpdate`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
items	ソフトウェア使用状況レコードに保存する各フィールドの列名と値のリスト。 渡す必要がある列情報は、*reclamation_type* (必須フィールド) に指定する値によって異なります。 可能な *reclamation_type* 値および渡す必要がある列情報： • total_usage： ◦ configuration_item ◦ last_used_time ◦ month_used ◦ norm_product ◦ year • last_used_date： ◦ configuration_item ◦ norm_product これらのフィールドの組み合わせによってレコードが一意に識別されます。レコードがテーブルで見つからない場合は、指定されたフィールドを持つ新しいレコードが作成されます。それ以外の場合は、既存のレコードが更新されます。 データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
items	ソフトウェア使用状況レコード内のすべてのフィールドの名前と値のペアのリスト。 データタイプ：アレイ (内容はさまざまです)

Example: cURL 要求

次の例は、新しいソフトウェア使用状況レコードを作成する方法を示しています。

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow/api/now/sam_software_usage_integration/crea
teOrUpdate" \
-H "Accept: application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
-H "Content-Type: application/json" \
-d "{'items': [\
  {
    'configuration_item':'eaa9604d3790200044e0bfc8bcbe5dc1',\
    'month_used':2,\
    'norm_product':'40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher':'24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type':'total_usage',\
    'usage_count': 13,\
    'total_usage_time':13,\
    'year':2020
  }\
]}"
```

```
{
  "result": {
    "reply": {
      "items": [
        {
          "configuration_item": "eaa9604d3790200044e0bfc8bcbe5dc1",
          "month_used": 2,
          "norm_product": "40209c060b3022002d6c650d37673a89",
          "norm_publisher": "24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3",
          "reclamation_type": "total_usage",
          "usage_count": 13,
          "total_usage_time": 13,
          "year": 2020,
          "sysId": "13d15fe59d511010f8772c637e39afe5",
          "status": "INSERT"
        }
      ]
    },
    "message": "Ok"
  }
}
```

次の例は、複数のソフトウェア使用状況レコードを 1 回の呼び出しで更新する方法を示しています。

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow/api/now/sam_software_usage_integration/crea
teOrUpdate" \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-d "{'items': [\
  {\
    'configuration_item': 'eaa9604d3790200044e0bfc8bcbe5dc1',\
    'month_used': 2,\
    'norm_product': '40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher': '24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type': 'total_usage',\
    'usage_count': 13,\
    'total_usage_time': 13,\
    'year': 2020
  },
  {\
    'configuration_item': '0aa9e80d3790200044e0bfc8bcbe5da0',\
    'month_used': 2,\
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    'norm_product': '40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher': '24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type': 'total_usage',\
    'usage_count': 19,\
    'total_usage_time': 19,\
    'year': 2020
  },
  {\
    'configuration_item': 'a0a9a80d3790200044e0bfc8bcbe5d3c',\
    'month_used': 2,\
    'norm_product': '40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher': '24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type': 'total_usage',\
    'usage_count': 7,\
    'total_usage_time': 7,\
    'year': 2020},
  {\
    'configuration_item': '48a9280d3790200044e0bfc8bcbe5d55',\
    'month_used': 2,\
    'norm_product': '40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher': '24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type': 'total_usage',\
    'usage_count': 1,\
    'total_usage_time': 1,\
    'year': 2020},
  {\
    'configuration_item': '61a9680d3790200044e0bfc8bcbe5d11',\
    'month_used': 2,\
    'norm_product': '40209c060b3022002d6c650d37673a89',\
    'norm_publisher': '24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3',\
    'reclamation_type': 'total_usage',\
    'usage_count': 18,\
    'total_usage_time': 18,\
    'year': 2020}
]}"
```

自動翻訳


```
{
  "result": {
    "reply": {
      "items": [
        {
          "configuration_item": "eaa9604d3790200044e0bfc8bcbe5dc1",
          "month_used": 2,
          "norm_product": "40209c060b3022002d6c650d37673a89",
          "norm_publisher": "24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3",
          "reclamation_type": "total_usage",
          "usage_count": 13,
          "total_usage_time": 13,
          "year": 2020,
          "sysId": "13d15fe59d511010f8772c637e39afe5",
          "status": "INSERT"
        },
        {
          "configuration_item": "0aa9e80d3790200044e0bfc8bcbe5da0",
          "month_used": 2,
          "norm_product": "40209c060b3022002d6c650d37673a89",
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "norm_publisher": "24dcccc20b3022002d6c650d37673ab3",
            "reclamation_type": "total_usage",
            "usage_count": 19,
            "total_usage_time": 19,
            "year": 2020,
            "sysId": "2cd15fe59d521010f9772c637e39aff4",
            "status": "UPDATE"
          },
          {
            ...
          },
        ]
      },
      "message": "Ok"
    }
}
```


スコアカード API

スコアカード API は、パフォーマンス分析インジケーターに関するデータのクエリを可能にするエンドポイントを提供します。クエリパラメーターは、アナリティクスハブでインジケーターにドリルダウンするために使用できる関数と同等です。

スコアカード - GET /now/pa/scorecards

アナリティクスハブ からインジケーターの詳細を取得します。

REST API を介したテーブルへのアクセスは BasicAuth によって制限されています。データへのアクセスを制限するために、テーブルで定義されたアクセス制御リストが適用されます。

パフォーマンスアナリティクス API を使用してクエリを作成するには、pa_viewer ロールも必要です。

ほぼすべてのクエリで、*sysparm_uuid* パラメーターが使用されます。このパラメーターは、インジケーター sys_id と、それに続くオプションとして追加される sys_id のコロン区切りリストで構成されます。*sysparm_uuid* は常に最初のパラメーターです。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/pa/scorecards`

デフォルトの URL：`/api/now/pa/scorecards`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

パラメーター	説明
sysparm_breakdown	ブレークダウンの sys_id。そのブレークダウンの定義に基づいて編成されたチャート情報が返されます。たとえば、優先度ブレークダウンの sys_id を入力すると、優先度の値ごとに個別のタスクチャート情報が返されます ([オープン中のインシデントの数/優先度/ 2 - 高] など)。 データタイプ：文字列
sysparm_breakdown_relation	ブレークダウンの関連付けの sys_id。その関連付けを使用して返されたデータをブレークダウンします。 データタイプ：文字列
sysparm_contains	名前または説明のカンマ区切りリスト。一致する値を持つインジケーターからのみ結果が返されます。すべてのカンマ区切りリストアイテムが一致する必要があります。一致しない場合、結果は返されません。リストは OR ロジックではなく AND ロジックに従います。 データタイプ：文字列
sysparm_display	返されるインジケーターのタイプを示すフラグ。 有効な値： • true： アナリティクスハブ に表示されるインジケーターのみを返します。 • all：すべてのインジケーターを返します。 データタイプ：文字列 デフォルト：true
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	• true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false 注: このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905) 」を参照してください。
sysparm_elements_filter	返されるデータに適用される要素フィルターの sys_id。 データタイプ：文字列
sysparm_exclude_reference_link	参照フィールドに指定された追加情報 (参照リソースに対する URI など) を非表示にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドに指定された追加情報を非表示にします。 • false：参照フィールドに指定された追加情報を非表示にしません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_favorites	クエリユーザーのお気に入りであるインジケーターのみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：クエリユーザーのお気に入りであるインジケーターのみを返します。 • false：すべてのインジケーターを返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_from	スコアを返す最も早い日付。この日付以降のスコアのみが返されます。 このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。 形式：ISO-8601 標準 日付タイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
sysparm_include_aggregates	既に適用済みの集計を含め、インジケーターで可能なすべての集計を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：既に適用済みの集計を含め、インジケーターで可能なすべての集計を返します。 • false：集計を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_available_aggregates	集計が適用されていない場合に、インジケーターで利用可能なすべての集計を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：集計が適用されていない場合、インジケーターで利用可能なすべての集計を返します。 • false：集計を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_available_breakdowns	インジケーターで利用可能なすべてのブレークダウンを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：インジケーターで利用可能なすべてのブレークダウンを返します。 • false：ブレークダウンを返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_forecast_scores	アナリティクスハブ の予測データを定義する日付と値のペアのアレイを含む forecast_scores 要素を返すかどうかを示すフラグ。 このパラメーターでは、*include_scores* パラメーターも `true` に設定されている必要があります。 有効な値： • true：forecast_scores 要素を返します。 • false：forecast_scores 要素を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
sysparm_include_realtime	インジケーターのリアルタイムスコアが有効かどうかを示す realtime_enabled 要素と、リアルタイムスコア値を含む realtime_value 要素を返すかどうかを示すフラグ。このパラメーターは、計算式インジケーターではサポートされていません。 有効な値： • true：realtime_enabled 要素を返します。 • false：realtime_enabled 要素を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_score_notes	スコアに関連付けられたすべてのメモを返すかどうかを示すフラグ。メモが追加されると、ノード要素には、メモのテキスト、著者、タイムスタンプが含まれます。 有効な値： • true：スコアに関連付けられたすべてのメモを返します。 • false：スコアに関連付けられたすべてのメモを返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_scores	アナリティクスハブ で選択された時間範囲全体のインジケータースコアを返すかどうかを示すフラグ。値を指定しない場合、このパラメータのデフォルトは false になり、最新のスコア値のみが返されます。 返されるスコアの日付範囲を制限するには、このパラメーターを *from* および *to* と組み合わせます。 有効な値： • true：選択した時間範囲全体のインジケータースコアを返します。 • false：選択した時間範囲全体のインジケータースコアを返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_target_color_scheme	最小値と最大値を含むtarget_color_scheme要素と、 アナリティクスハブ のターゲットカラースキームの各セクションの色を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：target_color_scheme 要素を返します。 • false：target_color_scheme 要素を返しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_include_trendline_scores	アナリティクスハブ のトレンドラインを定義する日付と値のペアのアレイを含む trendline_scores 要素を返すかどうかを示すフラグ。 このパラメーターでは、*include_scores* パラメーターも `true` に設定されている必要があります。 有効な値： • true：trendline_scores 要素を返します。 • false：trendline_scores 要素を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_key	キーインジケーターの結果のみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：trendline_scores 要素を返します。 • false：trendline_scores 要素を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_limit	返されるスコアの最大数。 データタイプ：数値
sysparm_page	ページ番号。たとえば、デフォルトの sysparm_per_page 値 (10) を使用してインジケーターを 20 個クエリする場合、インジケーター 11 ～ 20 を取得するには sysparm_page 値に 2 を指定します。 データタイプ：数値
sysparm_per_page	各クエリが 1 ページで返すことができるインジケーターの最大数。 デフォルト値：10 最大：100 データタイプ：数値
sysparm_sortby	結果をソートするときに使用する値。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	• bullet • change • changeperc • date • default • direction • duedate • frequency • gap • gapperc • group • indicator_group • name • order • target • trend • value データタイプ：文字列 デフォルト：value
sysparm_sortdir	ソートの方向。 有効な値： • asc：昇順を示します。 • des：降順を示します。 データタイプ：文字列 デフォルト：降順
sysparm_step	インジケーターの頻度に基づいてスコアをスキップするための数値。たとえば、日次インジケーターの場合は 3 日ごと、週次インジケーターの場合は 3 週ごとのスコアのみを返すには、値に 3 を指定します。 データタイプ：数値
sysparm_tags	インジケーターグループの sys_id。そのグループのインジケーターが返されます。このパラメーターには *sysparm_uuid* を使用しないでください。 この API を使用してインジケーターグループの sys_id を取得することはできません。代わりに、インジケーターグループレコードか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

パラメーター	説明
	ら sys_id を取得します。レコードからの sys_id の取得の詳細については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。 データタイプ：文字列
sysparm_target	アナリティクスハブ にターゲットが設定されているインジケーターの結果のみを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ターゲットが設定されているインジケーターの結果のみを返します。 • false：該当するすべてのインジケーターの結果を返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sysparm_to	スコアを返す最も遅い日付。この日付以前のスコアのみが返されます。 このパラメーターでは、*include_scores* が `true` に設定されている必要があります。 データタイプ：文字列 形式：ISO-8601 標準
sysparm_uuid	クエリするインジケーター、ブレークダウン、集計、およびドメインを指定するための、sys_id 値のコロン区切りリスト。パラメーターの形式は次のとおりです。 <indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id> パラメーターは、インジケーターレコードの sys_id で始める必要があります。必要に応じて、ブレークダウンの sys_id 値とブレークダウン要素を追加し、ブレークダウンに応じた応答をグループ化して、集計の sys_id を追加し、この集計を適用します。集計とともにブレークダウンを使用することや、片方のみを使用することができます。 **注:** インジケーターが [デフォルトの時系列] を使用するように設定されていると、この API が取得するそのインジケーターのすべての値で、選択された集計が使用されます。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
要求パラメーターによって異なります。	

Example: 分析ハブのすべてのインジケーターを取得

```
# Request a list of all indicators that
# are displayed in the アナリティクスハブ,
# including their unique record identifiers.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl --verbose --user "user:password" \
--header "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards"
```

```
// The following response is truncated
// to show only the Number of open incidents
// indicator, which is used in the other
// examples on this page.
{
  "result" : [
...

    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "gap" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d732
0100ba986f14ce6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb00720
2d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is
 empty."
    },
...
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ]
}
```

Example: インジケーターの詳細を返す

*sysparm_uuid*パラメーターにインジケーター sys_id 値を指定することで、特定のインジケーターの アナリティクスハブ をクエリできます。

```
# In this example, you use the sys ID for the
# Number of open incidents indicator,
# which you retrieved in the first example,
# when you got all the indicators in the
# アナリティクスハブ:
# "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
# "name" : "Number of open incidents"

curl --verbose --user "user:password" \
--header "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
```

```
{
  "result" : [
    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "gap" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb00720
2d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is
 empty."
    }
  ]
}
```

Example: インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す

sysparm_include_available_breakdowns および *sysparm_include_available_aggregates* パラメーターを true に設定することで、インジケーターの利用可能なブレークダウンと集計のリストをクエリします。

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=f
b007202d7130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_include_available_breakdowns=true
&sysparm_include_available_aggregates=true"
```

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "aggregates" : [
        {
          "display_value" : "7d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c1
1d7001100ba986f14ce6103dc",
          "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
        },
        {
          "display_value" : "28d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/4dfa4c1
1d7001100ba986f14ce6103e2",
          "value" : "4dfa4c11d7001100ba986f14ce6103e2"
        },
        {
          "display_value" : "30d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/3e40901
1d7001100ba986f14ce610319",
          "value" : "3e409011d7001100ba986f14ce610319"
        },
        // Aggregates truncated for brevity

      ],
      "changeperc" : null,
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "gapperc" : null,
      "value_unit" : "",
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d732
0100ba986f14ce6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "breakdowns" : [
        {
          "display_value" : "Priority",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e0
2d7130100b96d45a3ce610399",
          "value" : "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
        },
        {
          "display_value" : "Category",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f91883
5d7231100b96d45a3ce6103fe",
          "value" : "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
        },
        {
          "display_value" : "Assignment Group",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec075
2bf130100b96dac808c0739ed",
          "value" : "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
        },
        // Information for State and Age indicators truncated

      ],
      "changeperc_formatted" : "",
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "direction" : 2,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb00720
2d7130100b96d45a3ce6103b4",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is
 empty."
    }
  ]
}
```

Example: インジケータースコアの時系列集計を返す

```
# Apply the 7d running SUM aggregate returned in
# the previous response to the
# アナリティクスハブ using the
# sysparm_uuid value
# with the sys_id of the aggregate.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=f
b007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
```

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "aggregate" : {
        "display_value" : "7d running SUM",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c1
1d7001100ba986f14ce6103dc",
        "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
      },
      "gapperc" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" :
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
      "name" : "Number of open incidents / 7d running SUM",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d732
0100ba986f14ce6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb00720
2d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is
 empty."
    }
  ]
}
```

Example: ブレークダウンの要素を返す

```
# To get the scores associated with
# each element of a breakdown and
# the sys_ids of those elements, pass
# the sysparm_breakdown
# parameter with the sys_id of the breakdown.
# In this example, you get the elements of
# the Assignment Group breakdown for the
# Number of open incidents indicator.
# From the previous example, you have the
# sys_id of fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4
# for the Number of open incidents indicator and the
# sys_id of baec0752bf130100b96dac808c0739ed
# for the Assignment Group breakdown.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=f
b007202d7130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac8
08c0739ed"
```

```
// The response consists of a set of
// indicator objects, each
// containing one element object.
// The element objects each
// contain the name and sys_id of an object.
// Because the information about the indicator
// is the same for each indicator
// object, in this example only the first
// indicator object is given
// in detail.
{
  "result":[
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d713010
0b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf13010
0b96dac808c0739ed",
        "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739e
d:unmatched",
      "frequency":10,
      "gap":null,
      "value_unit":"14",
      "indicator_frequency":10,
      "value":14.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"Unassigned",      //Element name

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/unmatched",
        "value":"unmatched"                //No sys_id for unmatched
 scores
      },
      "period_title":"Jul 22",
      "period":"Jul 22",
      "target_formatted":"",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs
.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISE
MPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "target":null,
      "unit": {
        "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba98
6f14ce6103ad",
        "type":"formatted",
        "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "value_formatted":"14",             // Score where Assignment
 Group=Unassigned
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Unassigned",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    },
    {"indicator": {

      "element": {
        "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c61122
78017a6a4baf547aa7",
        "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"    // sys_id of
 element Software
      },
      ...

      "value_formatted":"6",                          // Score where
 Assignment Group: Software
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    },
    {"indicator": {
      ...

      "element": {
        "display_value":"Service Desk",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/d625dccec0a801
6700a222a0f7900d06",
        "value":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06"   // sys_id of element
 Service Desk
      },

      ...

      "value_formatted":"5",                          // Score for
 Assignment Group: Service Desk
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Service
 Desk",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    },
    {"indicator": {

      ...

      "element": {
        "display_value":"Hardware",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a5055c9c61122
780043563ef53438e3",
        "value":"8a5055c9c61122780043563ef53438e3"   // sys_id for
 element Hardware
      },

      ...

      "value_formatted":"3",                          // Score for
 Assignment Group: Hardware
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Hardware",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    },
    {"indicator": {

  ...

      "element": {
        "display_value":"Network",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ebd7da9fe19
8100f92cc8d1d2154e",
        "value":"287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"},  // sys_id for
 element Network

...

      "value_formatted":"3",                           // Score for
 Assignment Group: Network
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Network",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    },
  ...
  ]
...
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

Example: ブレークダウンと要素でフィルタリングされたインジケーターを返す

```
# The GET request gets the details for
# the indicator Number of open
# incidents, where the Priority of the
# incident is 1 - Critical. The sys_id
# values for the indicator, the
# Priority breakdown, and the  1 -
# Critical element are all passed in
# the sysparm_uuid parameter.

curl --verbose --user "username":"password" \
--header "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3"
```

```
{
// The request is made Dec 12. The
// score is 76, which is unchanged from
// Dec 11, and which exceeds the
// target of 70.
  "result": [
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"-6",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Priority",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "value_color":"#ff8c00",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
      "frequency":10,
      "gap":-6.0,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "value_unit":"76",
      "indicator_frequency":10,
      "value":76.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"1 - Critical",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/5f012106db5123003ee8
f93baf9619bd",
        "value":"5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
      },
      "period_title":"Dec 12",
      "period":"Dec 12",
      "target_formatted":"70",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"-8.6%",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs
.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISE
MPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8^priority=1^EQ",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
      "target":70.0,
      "unit": {
        "display_value":"#",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f
14ce6103ad",
        "type":"formatted","value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "value_formatted":"76",
      "name":"Number of open incidents > Priority = 1 - Critical",
      "gapperc":-0.08571428571428572,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":true,
      "personal_target_formatted":""
    }
  ]
}
```


Example: 場所別にブレークダウンしたインジケーターを返す

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid
=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=656d5662eb23310065dea
c6aa206fee7"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": [
    {
      ...
      "element": {
        "display_value": "San Diego",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/108752
c8c611227501d4ab0e392ba97f",
        "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
        "longitude": -117.15726,
        "latitude": 32.71533
      },
      ...
    }
    {
      ...
      "element": {
        "display_value": "Florida",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/8e3e85
f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
        "value": "8e3e85f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
        "longitude": -95.71289,
        "latitude": 37.09024
      },
      ...
    }
  ]
}
```


Example: 第 1 および第 2 レベルのブレークダウンスコアを返す

複数のブレークダウンを適用するには、複数のブレークダウン sys_id を sysparm_uuid パラメーターに付加します。

```
# In this example, the data is broken
# down by priority to show priority 1
# incidents, and by category to show
# database incidents.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=f
b007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e5900140
200331007665978299a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d402003310
07665978299a805c1"
```


```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202
d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "gapperc": null,
      "change": null,
      "value_color": "#000000",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": null,
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "name": "Number of open incidents / Priority / 1 - Critical /
 Category / Database",
      "value": null,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "1 - Critical",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/e5900140200
331007665978299a805f3",
        "value": "e5900140200331007665978299a805f3"
      },
      "precision": 0,
      "element_level2": {
        "display_value": "Database",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/9e418d40200
331007665978299a805c1",
        "value": "9e418d4020033100766597829 9a805c1"
      },
      "breakdown": {
        "display_value": "Priority",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02
d7130100b96d45a3ce610399",
        "value": "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "period": null,
      "favorite": false,
      "change_formatted": "",
      "unit": {
        "display_value": "#",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320
100ba986f14ce6103ad",
        "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "frequency_label": "Daily",
      "breakdown_level2": {
        "display_value": "Category",
        "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835
d7231100b96d45a3ce6103fe",
        "value": "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "target": null,
      "changeperc": null,
      "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e5900
1402003310076659782 99a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d402003
31007665978299a805c1",
      "gapperc_formatted": "",
      "value_unit": "",
      "gap": null
    }
  ]
}
```


Example: 第 2 レベルのブレークダウンの日付の範囲のスコアを返す

すべての使用可能な日付の個々のスコアのリストを要求するには、sysparm_include_scores パラメーターを true に設定します。

スコアの日付範囲を指定するには、*sysparm_from* パラメーターと *sysparm_to* パラメーターも使用します。

```
# In this example, the level 1 breakdown and
# element are Assignment Group: Software
# (sys_id baec0752bf130100b96dac808c0739ed
# and 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7).
# The level 2 breakdown and element are Priority: 1 -
# Critical (sys_id 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399
# and e590014020033100766597829 9a805f3).
# Only scores on and after 30 November 2018 are returned.

curl -v -u "resttest:resttest" -H "Accept:application/json" \
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid
=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde
73c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033
1007665978299a805f3&sysparm_include_scores=true&sysparm_from=2018-11-30"
```


```
{
  "result": [
    { "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d713010
0b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "scores": [
        { "end_at":"2018-12-04",
          "period":"Dec 04",
          "value_formatted":"2",
          "start_at":"2018-12-04",
          "value":2.0
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ...

        { "end_at":"2018-11-30",
          "period":"Nov 30",
          "value_formatted":"0",
          "start_at":"2018-11-30",
          "value":0.0
        }
      ],
      "changeperc_formatted":"",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {                        //First-level breakdown
        "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf13010
0b96dac808c0739ed",
        "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739e
d:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e5900
1402003310076659782 99a805f3",
      "frequency":10,
      "gap":null,
      "value_unit":"2",
      "indicator_frequency":10,
      "value":2.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {                          //First-level breakdown element
        "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c61122
78017a6a4baf547aa7",
        "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
      },
      "period_title":"Dec 04",
      "period":"Dec 04",
      "target_formatted":"",
      "change":2.0,
      "gapperc_formatted":"",
      "realtime_enabled":false,
      "changeperc":null,
      "target":null,
      "unit":{
        "display_value":"#",

 "link":"https://
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba98
6f14ce6103ad",
        "type":"formatted",
        "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "value_formatted":"2",               //Second-level breakdown and
 element
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software >
 Priority = e59001402003310076659782 99a805f3",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"2",
      "favorite":false,
      "breakdown_level2": {
        "display_value":"Priority",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d713010
0b96d45a3ce610399",
        "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "personal_target_formatted":""
    }
  ]
}
```

Example: ブレークダウンと要素のブレークダウンの関連付けを返す

インジケーターに関連付けられたすべてのブレークダウンの関連付けの sys_id 値を取得するには、*sysparm_include_available_breakdowns* パラメーターを使用します。*sysparm_uuid* パラメーターには、第 1 レベルのブレークダウンの sys_ids と、見つけたい関連付けを持っている要素を含めます。

```
# In this example, the sysparm_uuid
# parameter includes the sys_id for the
# Assignment Group breakdown and the
# sys_id for the Software element.
# The sys_id of the Assignment Group
# was obtained in the example where all
# breakdowns and aggregates were returned.
# The sys_id of the Software element was
# obtained in the previous example, where
# all the elements of Assignment Group were
# returned. The sys_id of the Assignment
# Group breakdown is
# baec0752bf130100b96dac808c0739ed
# and of the Software element is
# 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7.
# The breakdown relation is obtained for the
# Number of open incidents indicator,
# whose sys_id is
# fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uui
d=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dd
e73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_include_available_breakdowns=true"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007
202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "32.1%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Software",
      "value": 37.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Software",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287e
e6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
        "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
      },
      "precision": 0,
      "breakdowns": [
        // Information about each breakdown

      ],
      "breakdown_relations": [
        {
          "display_value": "Child Groups",
          "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relati
ons/301fd511eb23310065deac6aa206fe31",
          "value": "301fd511eb23310065deac6aa206fe31"
        },
        {
          "display_value": "Parent Group",
          "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relati
ons/790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c",
          "value": "790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c"
        },
        {
          "display_value": "Sibling Groups",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relati
ons/15e15a12eb233100871aac6aa206fe59",
          "value": "15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
        }
      ],
      "breakdown": {
        "display_value": "Assignment Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0
752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "period": "Jul 22",
      "favorite": false,
      "change_formatted": "9",
      "unit": {
        "display_value": "#",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7
320100ba986f14ce6103ad",
        "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "frequency_label": "Daily",
      "target": null,
      "changeperc": 0.32142857142857145,
      "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dd
e73c6112278017a6a4baf547aa7",
      "gapperc_formatted": "",
      "value_unit": "6",
      "gap": null
    }
  ]
}
```

Example: ブレークダウンの関連付けを使用してインジケーターを返す

ブレークダウンの関連付けを使用するには、*sysparm_uuid* パラメーターにインジケーター、ブレークダウン、および要素の sys_id 値を含め、*sysparm_breakdown_relation* パラメーターにブレークダウンの関連付けの sys_id を含めます。

```
# This example returns the
# Sibling Group values for Assignment
# Group: Software from the previous example.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid
=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde
73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_breakdown_relation=15e15a12eb233100871
aac6aa206fe59"
```

```
{
  "result": [
    {
      "indicator": {
      "gap_formatted":"",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf13010
0b96dac808c0739ed",
        "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is
 empty",
      "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739e
d:0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "frequency":10,
      "gap":null,
      "value_unit":"0",
      "indicator_frequency":10,
      "value":0.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"Application Development",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/0a52d3dcd70112
00f2d224837e6103f2",
        "value":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2"
      },
      "period_title":"Dec 03",
      "period":"Dec 03",
      "target_formatted":"",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs
.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISE
MPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8^assignment_group=0
a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2^EQ",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
      "target":null,
      "unit": {
        "display_value":"#",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba98
6f14ce6103ad",
        "type":"formatted",
        "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "value_formatted":"0",
      "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Application
 Development",
      "gapperc":null,
      "change_formatted":"0",
      "favorite":false,
      "personal_target_formatted":""
    }
    // Followed by an indicator object with an element object for every
 element in the Sibling Group
  ]
}
```

Example: ブレークダウンの要素のフィルタリングされたセットを返す

アナリティクスハブデータに要素フィルターを適用するには、パフォーマンスアナリティクス要素フィルターレコードのsys_idで **sysparm_elements_filter** パラメーターを使用します。

```
# In this example, the element filter applies
# to the Groups breakdown source, with the
# condition [[Parent][is][Database]].
# The sys_id of this element filter is
# 7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11.
# The example gets the elements of the Assignment
# Group breakdown that have the element Database
# as a parent.

curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json" \
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid
=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96da
c808c0739ed&sysparm_elements_filter=7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11"
```

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007
202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "32.1%",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database",
      "value": 37.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Database",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287e
e6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
        "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
      },
      "precision": 0,
      "breakdown": {
        "display_value": "Assignment Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0
752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "period": "Jul 22",
      "favorite": false,
      "change_formatted": "9",
      "unit": {
        "display_value": "#",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7
320100ba986f14ce6103ad",
        "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "frequency_label": "Daily",
      "target": null,
      "changeperc": 0.32142857142857145,
      "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:287ee
6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
      "gapperc_formatted": "",
      "value_unit": "37",
      "gap": null
    },
    {
      "value_formatted": "20",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007
202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      // Database Atlanta
      "gapperc": null,
      "change": 4.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "25.0%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database
 Atlanta",
      "value": 20.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Database Atlanta",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53
580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
        "value": "db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b"
      },
      "precision": 0,
      "breakdown": {
        "display_value": "Assignment Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0
752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "period": "Jul 22",
      "favorite": false,
      "change_formatted": "4",
      "unit": {
        "display_value": "#",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7
320100ba986f14ce6103ad",
        "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "frequency_label": "Daily",
      "target": null,
      "changeperc": 0.25,
      "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db535
80b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
      "gapperc_formatted": "",
      "value_unit": "20",
      "gap": null
    },
    {
      "value_formatted": "19",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007
202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      ...
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      // Database San Diego
      "gapperc": null,
      "change": 0.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "0.0%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is
 empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database San
 Diego",
      "value": 10.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Database San Diego",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53
a9290a0a0a650091abebccf833c6",
        "value": "db53a9290a0a0a650091abebccf833c6"
      },
      "precision": 0,
      "breakdown": {
        "display_value": "Assignment Group",
        "link":
 "http://localhost:8080/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b9
6dac808c0739ed",
        "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      "period": "Jul 22",
      "favorite": false,
      "change_formatted": "0",
      "unit": {
        "display_value": "#",
        "link":
 "http://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d73
20100ba986f14ce6103ad",
        "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "frequency_label": "Daily",
      "target": null,
      "changeperc": 0.0,
      "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53a
9290a0a0a650091abebccf833c6",
      "gapperc_formatted": "",
      "value_unit": "10",
      "gap": null
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトデバッガー API

スクリプトデバッガー API は、ビジネスルールやスクリプトインクルードなど、サーバー側の JavaScript コード行をデバッグするためのエンドポイントを提供します。

スクリプトデバッガーの詳細については、「スクリプトデバッガーとセッションログ」を参照してください。

この API はデフォルトで利用可能です。

スクリプトデバッガー - GET /js/debugpoints/script/{tableName}/{sysId}/{fieldName}

ビジネスルールやスクリプトインクルードなど、サーバー側スクリプト内のブレークポイントまたはログポイントのリストを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/js/debugpoints/script/{tableName}/{sysId}/{fieldName}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
tableName	sys_script や sys_script_include などのサーバー側スクリプトを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
sysId	サーバー側スクリプトの sys_id。 データタイプ：文字列
fieldName	サーバー側スクリプトのコンテンツを含むフィールドの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	ユーザーは許可されていません。要求を実行したユーザーに、指定されたレコードのブレークポイントまたはログポイント情報にアクセスする権限がありません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
canWrite	現在ログインしているユーザーがスクリプトのブレークポイントを設定または変更できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ブレークポイントを設定または変更できます。 • false：ブレークポイントの設定も変更もできません。 データタイプ：ブーリアン
debugpoints	スクリプト内のすべてのブレークポイントとログポイントのリスト。 `"debugpoints": { "breakpoint": {Object} "logpoint": {Object} }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト
debugpoints.breakpoint	スクリプト内のすべてのブレークポイントのリスト。キーと値のペアとして表示されます。キーはブレークポイントの行番号です。値は、ブレークポイントの sys_id とテキストを含むオブジェクトです。 `"breakpoint": { <line_number>: {Object} }` データタイプ：オブジェクト
debugpoints.breakpoint.<line_number>	ブレークポイントの行番号。 `<line_number>: { "evaluationString": "String" "sysId": "String" }` データタイプ：オブジェクト
debugpoints.breakpoint.<line_number>.evaluationString	ブレークポイントのテキスト。ブレークポイントが条件付きの場合、evaluationString に条件テキストが含まれます。ブレークポイントが条件付きでない場合、evaluationString は空の文字列です。 データタイプ：文字列
debugpoints.breakpoint.<line_number>.sysId	ブレークポイントの sys_id。 データタイプ：文字列
debugpoints.logpoint	スクリプト内のすべてのログポイントのリスト。キーと値のペアとして表示されます。キーはログポイントの行番号です。値は、ログポイントの sys_id とテキストを含むオブジェクトです。 `"logpoint": { <line_number>: {Object} }` データタイプ：オブジェクト
debugpoints.logpoint.<line_number>	ログポイントの行番号。 `<line_number>: { "evaluationString": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "sysId": "String" }</pre> データタイプ：オブジェクト
debugpoints.logpoint.<line_number>.evaluationString	ログポイントのテキスト。ログに記録されるメッセージが含まれます。 データタイプ：文字列
debugpoints.logpoint.<line_number>.sysId	ログポイントの sys_id。 データタイプ：文字列

key	デバッグされるスクリプトの詳細を提供するオブジェクト。
	<pre>"key": {
	  "scriptField": "String"
	  "scriptId": "String"
	  "scriptType": "String"
	  "value": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

key.scriptField	スクリプトを含むフィールドの名前。 データタイプ：文字列
key.scriptId	スクリプトの sys_id。 データタイプ：文字列
key.scriptType	スクリプトを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
key.value	要求を行うために使用されるパスパラメーター。次の順序でリストされます。 • tableName • sysId • fieldName データタイプ：文字列
name	スクリプトの名前 データタイプ：文字列
script	スクリプトのコードを表示するテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

cURL 要求の例

Example: cURL 要求

サーバー側スクリプトのログポイントとブレークポイントのリストを取得します。このスクリプトには、2 行目にログポイント、11 行目にブレークポイント、18 行目に条件付きブレークポイントがあります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/js/debugpoints/script/sys_scrip
t_include/d65f78c40a0a0b6900196656f35913d3/script" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": {
    "canWrite": true,
    "debugpoints": {
      "LOGPOINT": {
        "2": {
          "evaluationString": "A log message",
          "sysId": "ba28b0fa739310101c233096fbf6a75e"
        }
      },
      "BREAKPOINT": {
        "11": {
          "evaluationString": "",
          "sysId": "dc5f5bf341256010f877587fbdf5ec1d"
        },
        "18": {
          "evaluationString": "a == true",
          "sysId": "3d4f5bf341256010f877587bdf5ecf6"
        }
      }
    },
    "script": "// script code",
    "name": "AbstractAjaxProcessor",
    "key": {
      "scriptType": "sys_script_include",
      "scriptId": "d65f78c40a0a0b6900196656f35913d3",
      "scriptField": "script",
      "value":
 "sys_script_include.d65f78c40a0a0b6900196656f35913d3.script"
    }
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトデバッガー - POST js/debugpoints/process

ビジネスルールやスクリプトインクルードなど、サーバー側スクリプト内のブレークポイントまたはログポイントを追加、更新、または削除します。一度に複数のブレークポイントまたはログポイントを処理します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/now/js/debugpoints/process`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fetchAll	true の場合、ユーザーが追加または更新したすべてのブレークポイントまたはログポイントのリストを返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
fetchAllFilter	ユーザーが追加または更新したすべてのブレークポイントまたはログポイントのフィルター済みリストを返します。 有効な値： • debugpointType。ブレークポイントまたはログポイントのいずれかに設定します。 • scriptId。デバッグポイントを検索するスクリプトの sys_id に設定します。 • scope。デバッグポイントを検索するスコープの名前に設定します。 複数のプロパティのセパレーターとしてキャレット (^) 記号を使用します。 例：`fetchAllFilter=debugpointType=logpoint^scope=MyApp` データタイプ：文字列

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
debugpointType	必須です。追加、削除、または更新するデバッグポイントのタイプ。 有効な値： • breakpoint • logpoint

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
evaluationString	ログポイントまたは条件付きブレークポイントのテキスト。 ログポイントの場合、*evaluationString* はログメッセージです。 条件付きブレークポイントの場合、*evaluationString* は条件です。たとえば、ユーザー ID のリストをループしていて、ユーザー ID が 38493 の場合にのみデバッガーを一時停止する場合は、`userID == 38493` を条件としてループ内に条件付きブレークポイントを追加できます。条件が true の場合、デバッガーはこのブレークポイントでのみ一時停止します。 ブレークポイントが条件付きブレークポイントでない場合、*evaluationString* は空の文字列です。 データタイプ：文字列
fieldName	必須です。サーバー側スクリプトのコンテンツを含むフィールドの名前。 データタイプ：文字列
lineNumber	ブレークポイントまたはログポイントを追加、削除、または更新する場所を指定するサーバー側スクリプトの行番号。 データタイプ：数値
operation	必須です。ブレークポイントまたはログポイントに対して実行する操作。 有効な値： • add • delete • update データタイプ：文字列
scriptId	必須です。サーバー側スクリプトの sys_id。 データタイプ：文字列
tableName	必須です。sys_script や sys_script_include などのサーバー側スクリプトを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
requestedDebugpoints	要求されたブレークポイントとログポイントのリスト。オブジェクトのアレイとして表示されます。 `"requestedDebugpoints": [ { "scriptId": "String", "evaluationString": "String", "operation": "String", "tableName": "String", "fieldName": "String", "status": "String", "lineNumber": Number, "debugpointType": "String" } ]` データタイプ：アレイ
requestedDebugpoints.ScriptId	サーバー側スクリプトの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.evaluationString	ログポイントまたは条件付きブレークポイント用に追加されたテキスト。ログポイントの場合、*evaluationString* はログメッセージです。条件付きブレークポイントの場合、*evaluationString* は条件です。 データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.operation	ブレークポイントまたはログポイントに対して実行された操作。 可能な値： • add • delete • update データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.tableName	sys_script や sys_script_include などのサーバー側スクリプトを含むテーブルの名前。 データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.fieldName	サーバー側スクリプトのコンテンツを含むフィールドの名前。 データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.status	特定のブレークポイントまたはログポイントを追加、削除、または更新する指示の結果。 可能な値： • failure • ignored • success デバッグポイントを追加、削除、または更新する要求は、次の状況では無視されます。 • 存在しないブレークポイントまたはログポイントの削除を要求しています。 • 既に存在するものと同じブレークポイントまたはログポイントを追加するように要求しています。 データタイプ：文字列
requestedDebugpoints.lineNumber	ブレークポイントまたはログポイントが追加、削除、または更新された場所を指定するサーバー側スクリプトの行番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
requestedDebugpoints.debugpointType	追加、削除、または更新されたデバッグポイントのタイプ。 可能な値： • breakpoint • logpoint データタイプ：文字列
status	全体的なアクションの結果。HTTP 呼び出しのステータスコード。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

この例では、スクリプトの 12 行目に条件付きブレークポイントを追加します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/js/debugpoints/process" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "[
{
\"tableName\": \"sys_script_include\",
\"scriptId\": \"d65f78c40a0a0b6900196656f35913d3\",
\"fieldname\": \"script\",
\"lineNumber\": 12,
\"evaluationString\": \"a == false\",
\"debugpointType\": \"breakpoint\",
\"operation\": \"add\"
}
]" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": {
    "requestedDebugpoints": [
      {
        "scriptId": "d65f78c40a0a0b6900196656f35913d3",
        "evaluationString": "a == false",
        "operation": "add",
        "tableName": "sys_script_include",
        "fieldName": "script",
        "status": "success",
        "lineNumber": 12,
        "debugpointType": "breakpoint"
      }
    ],
    "status": 200
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

サービスカタログ API

サービスカタログ API は、サービスポータル内からサービスカタログ設定とアクションにアクセスするエンドポイントを提供します。

Service Catalog - DELETE /sn_sc/servicecatalog/cart/{cart_item_id}

指定されたアイテムを現在の買い物かごから削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/{cart_item_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/{cart_item_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
cart_item_id	現在の買い物かごから削除するアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	要求が正常に完了し、指定されたアイテムが買い物かごから削除されたことを示します。
400	指定された *cart_item_id* が無効であるか、またはユーザーに買い物かごアイテムへのアクセス権がないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/v1/servicecatalog/cart/1f4cc597db21120064301150f0b8f5fc" \
--request DELETE \
--user "username":"password"
```

```
None
```

Service Catalog - DELETE /sn_sc/servicecatalog/cart/{sys_id}/empty

指定された買い物かごとその内容を削除します。

ユーザーが何を削除できるか (アイテムや買い物かご) は、ユーザーが認証に使用するロールによって異なります。

買い物かごと買い物かごの内容を削除するために必要なユーザーロール：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- admin/catalog_admin：任意のユーザーの買い物かごを空にすることができます。
- admin：買い物かごのすべての内容を削除した後、買い物かごを削除できます。
- catalog_admin：買い物かご内のすべてのアイテムを削除できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/{sys_id}/empty`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/{sys_id}/empty`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	空にして削除する買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	要求は正常に完了し、買い物かごを空にして削除します。
400	次のいずれかの理由によるエラーを示します。 • 無効な cartId。 • ユーザーが admin/catalog_admin ロールを持っていないか、別のユーザーの買い物かごを空にしようとしています。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/cart/dde34ad713426300027879d96144b072/empty" \
--request DELETE \
--user 'username':'password'
```

```
None
```

Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/cart

ログインしているユーザーの買い物かご内のアイテムの詳細を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。買い物かごにアイテムがない場合は、ユーザーの基本的な買い物かご情報と価格設定が返されます。買い物かごにアイテムが含まれている場合は、アイテムとそれらの個々の価格設定に関する情報も含まれます。
400	買い物かごが空でチェックアウトできないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

パラメーター	説明
cart_id	買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>	買い物かご内で特定の発生頻度で繰り返されるアイテムのリスト。可能な値には次のようなものがあります。 • daily • monthly • yearly • none (定期料金なし) データタイプ：オブジェクト `"<recurring_frequency>": { "frequency_label": "String", "items": [Array], "show_subtotal_price": "String", "subtotal_price": "String", "subtotal_recurring_frequency": "String", "subtotal_recurring_price": "String", "subtotal_title": "String", "total_title": "String"`
<recurring_frequency>.frequency_label	関連する定期料金の頻度。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
<recurring_frequency>.items	指定された繰り返し発生頻度カテゴリに関連付けられた各アイテムの詳細を含むオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"items": [{ "cart_item_id": "String", "catalog_item_id": "String", "created.by": "String", "created_on": "String", "delivery_time": "String", "item_id": "String", "item_name": "String", "localized_price": "String", "localized_recurring_price": "String", "name": "String", "order_guide": "String", "picture": "String", "price": "String", "quantity": "String", "recurring_frequency": "String", "recurring_price": "String", "recurring_subtotal": Number, "recurring_subtotal_price": "String", "short_description": "String", "show_price": Boolean, "show_quantity": Boolean, "show_recurring_price": Boolean, "subtotal": Number, "subtotal_price": "String", "sys_class_name": "String", "sys_id": "String", "updated_by": "String", "updated_on": "String", "variables": {Object} }]`
<recurring_frequency>.items.cart_item_id	この買い物かご内のアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.catalog_item_id	アイテムに関連付けられたカタログの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created.by	最初に買い物かごにアイテムを入れたユーザー。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられた日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.delivery_time	指定されたアイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_id	アイテムのカタログ sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_name	指定されたアイテムの名前。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_price	現地通貨でのアイテムの価格。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_recurring_price	指定されたアイテムの定期料金 (現地通貨)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.name	アイテム名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.order_guide	このアイテムが関連付けられている注文ガイドの名前。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.picture	アイテムの画像のファイル名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.price	アイテムの価格です。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.quantity	買い物かご内の指定されたアイテムの数。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_frequency	指定されたアイテムに対して定期料金が請求される頻度。 データタイプ：文字列 デフォルト：Null
<recurring_frequency>.items.recurring_price	指定されたアイテムの定期料金。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal	アイテムの定期料金の小計 (*recurring_price* x *quantity*)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：数値
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal_price	アイテムの定期料金の小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.short_description	アイテムの短い説明。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの価格を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの価格を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show_quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの数量を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの数量を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show_recurring_price	買い物かご内で定期料金を表示する必要があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の定期料金を表示します。 • false：買い物かご内の定期料金を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.subtotal	アイテム数の小計。 データタイプ：数値
<recurring_frequency>.items.subtotal_price	アイテムの小計 (*price* x *quantity*)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_class_name	アイテムのシステム分類名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_id	アイテムレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.updated_by	最初に買い物かごに入れた後にアイテムを更新したユーザー。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.updated_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられたか、更新された最終日時。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.variables	アイテム変数の名前/値ペアのリスト。 データタイプ：オブジェクト
<recurring_frequency>.show_subtotal_price	関連する定期料金カテゴリの小計を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の小計を表示します。 • false：買い物かご内の小計を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.subtotal_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリに関するすべてのアイテムのコスト小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。*subtotal_recurring_frequency* と同じです。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリ内のアイテムの定期料金の小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_title	*show_subtotal_price* が `true` に設定されている場合、買い物かごに表示される関連するサブタイトルのテキスト。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.total_title	関連する繰り返し発生頻度カテゴリの合計タイトルに表示するテキスト。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
show_subtotal_price	買い物かご内で小計の価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の小計を表示します。 • false：買い物かご内の小計を表示しません。 データタイプ：文字列
subtotal_price	買い物かご内のすべてのアイテムの小計 (ドル単位)。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。*<recurring_frequency>.subtotal_recurring_freq* と同じです。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_price	買い物かご内にあるすべてのアイテムの繰り返し発生頻度料金の小計。 データタイプ：文字列
subtotal_title	小計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示するテキスト。 データタイプ：文字列
total_title	合計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示するテキスト。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/cart" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "cart_id": "6d88bc29137d2300027879d96144b04b",
    "subtotal_price": "$1,598.00",
    "subtotal_recurring_frequency": "",
    "subtotal_recurring_price": "$0.00",
    "total_title": "Total",
    "none": {
      "subtotal_price": "$1,598.00",
      "subtotal_recurring_frequency": "",
      "subtotal_recurring_price": "$0.00",
      "total_title": "Total",
      "frequency_label": null,
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "items": [
      {
        "updated_on": "2018-11-15 14:24:00",
        "catalog_item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
        "short_description": "Apple iPhone 7 ",
        "recurring_subtotal_price": "$0.00",
        "delivery_time": "2 Days",
        "sys_class_name": "sc_cat_item",
        "sys_id": "1f88bc29137d2300027879d96144b056",
        "price": "$799.00",
        "recurring_frequency": null,
        "subtotal_price": "$799.00",
        "variables": {},
        "quantity": "1",
        "item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
        "recurring_price": "$0.00",
        "show_price": true,
        "item_name": "Apple iPhone7",
        "cart_item_id": "1f88bc29137d2300027879d96144b056",
        "recurring_subtotal": 0,
        "show_quantity": true,
        "created_by": "admin",
        "picture": "e823ee6b0bf00300eba42da0d5673a95.iix",
        "created_on": "2018-11-15 14:24:00",
        "localized_price": "$799.00",
        "subtotal": 799,
        "show_recurring_price": false,
        "name": "Apple iPhone7",
        "updated_by": "admin",
        "localized_recurring_price": "$0.00",
        "order_guide": ""
      },
    ],
    "show_subtotal_price": "true",
    "subtotal_title": "Subtotal"
   },
   "show_subtotal_price": "true",
   "subtotal_title": "Subtotal"
 }
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/cart/delivery_address/{user_id}

glide.sc.req_for.roles プロパティ、および *glide.sc.req_for.roles.defaultproperty* で構成されたデフォルトの動作に基づいて、指定されたユーザーの出荷先を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/delivery_address/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/delivery_address/{user_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	出荷先を取得するユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。指定されたユーザーの出荷先を返します。
400	ユーザー sys_id が無効です。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	指定されたユーザーのアドレス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/cart/delivery_
address/62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
'result': '25 New Chardon Street, Boston\nBoston, MA, 02114-1801\nUSA'
}
```

自動翻訳

Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/catalogs

渡されたパラメーターに基づいて、ユーザーがアクセスできるカタログのリストを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/catalogs`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/catalogs`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_text	利用可能なサービスカタログの「タイトル」フィールドで検索するキーワード。 データタイプ：文字列
sysparm_view	アイテムを表示できるデバイス： • *desktop*:デスクトップ上。 • *mobile*:モバイルデバイス上。 • *both*:デスクトップとモバイルデバイスの両方。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。有効なクエリで結果が返されなかった場合、応答の本文には空の結果アレイのみが含まれます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
description	カタログの説明 データタイプ：文字列
desktop_image	desktop_image データタイプ：文字列
has_categories	カタログにカテゴリが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カタログにカテゴリが含まれています。 • false：カタログにカテゴリは含まれていません。 データタイプ：ブーリアン
has_items	カタログにアイテムが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カタログにアイテムが含まれています。 • false：カタログにアイテムは含まれていません。 データタイプ：ブーリアン
sys_id	カタログの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
title	カタログタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/catalogs?syspa
rm_limit=10" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": [
    {
      "title": "Technical Catalog",
      "sys_id": "742ce428d7211100f2d224837e61036d",
      "has_categories": true,
      "has_items": true,
      "description": "Products and services for the IT department",
      "desktop_image": "7a7c8271475211002ee987e8dee4906d.iix"
    },
    {
      "title": "Service Catalog",
      "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
      "has_categories": true,
      "has_items": true,
      "description": "Service Catalog - IT Now",
      "desktop_image": "adbcc271475211002ee987e8dee49001.iix"
    }
  ]
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/catalogs/{sys_id}/categories

指定されたカタログで利用可能なカテゴリのリストを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/catalogs/{sys_id}/categories`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/catalogs/{sys_id}/categories`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sys_id	カテゴリが要求されているカタログの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_top_level_only	親がカタログであるカテゴリのみを返します。 有効な値： • true：親がカタログであるカテゴリのみを返します。 • false：すべてのカテゴリを返します。 データタイプ：ブーリアン
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	カタログ内のカテゴリのリストを返します。クエリ結果がない場合は、空の配列が返されます。
400	要求またはカタログの sys_id が無効であることを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
count	カテゴリ内のアイテムの数。 データタイプ：数値
description	カテゴリの簡単な説明。 データタイプ：文字列
完全な説明	カテゴリの詳細な説明。 データタイプ：文字列
header_icon	カテゴリヘッダー上で使用されるアイコン。 データタイプ：文字列
homepage_image	カテゴリのホームページでこのカテゴリに表示される画像。 データタイプ：文字列
icon	このカテゴリを示すために使用するアイコン。 データタイプ：文字列
サブカテゴリ	カテゴリ内のサブカテゴリのリスト。 データタイプ：アレイ `"subcategories": [ "sys_id": "String", "title": "String ]`
subcategories.sys_id	サブカテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
subcategories.title	サブカテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列
sys_id	カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
title	カテゴリのタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/catalogs/e0d08
b13c3330100c8b837659bba8fb4/categories?sysparm_limit=2 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": [
    {
      "title": "Can We Help You?",
      "description": "Your IT gateway. Report issues and submit
 requests.\n\t\t",
      "full_description": null,
      "icon": "",
      "header_icon": "",
      "homepage_image": "29f8ffa9471211002ee987e8dee4905e.iix",
      "count": 14,
      "subcategories": [],
      "sys_id": "e15706fc0a0a0aa7007fc21e1ab70c2f"
    },
    {
      "title": "Departmental Services",
      "description": "Services offered by different departments in the
 organization",
      "full_description": null,
      "icon": "",
      "header_icon": "",
      "homepage_image": "6fb4a1d95f2211001c9b2572f2b47748.iix",
      "count": 1,
      "subcategories": [],
      "sys_id": "95fc11615f1211001c9b2572f2b477c6"
    },
    {
      "title": "Desktops",
      "description": "Desktop computers for your work area.",
      "full_description": null,
      "icon": "",
      "header_icon": "",
      "homepage_image": "1bface31475211002ee987e8dee49095.iix",
      "count": 1,
      "subcategories": [],
      "sys_id": "900682363731300054b6a3549dbe5d5f"
    }
  ]
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/catalogs/{sys_id}

指定されたカタログの利用可能な情報を取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/catalogs/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/catalogs/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	取得するカタログの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_view	アイテムを表示できるデバイス： • *desktop*:デスクトップ上。 • *mobile*:モバイルデバイス上。 • *both*:デスクトップとモバイルデバイスの両方。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了し、指定されたカタログの利用可能な情報を返すことを示します。
400	次のいずれかの理由により要求が無効であることを示します。 • ユーザーにカタログへのアクセス権がありません。 • 無効な sys_id。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
カテゴリ	カタログ内のカテゴリを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"categories": [ "description": "String", "header_image": "String", "sys_id": "String", "title": "String ]`
categories.description	カテゴリの説明。 データタイプ：文字列
categories.header_image	カテゴリヘッダー画像。 データタイプ：文字列
categories.sys_id	一意のカテゴリ識別子 (sys_id)。 データタイプ：文字列
categories.title	カテゴリのタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
description	カタログの説明 データタイプ：文字列
desktop_image	デスクトップビューでカタログとともに表示される画像のソース。 データタイプ：文字列
has_categories	カタログにカテゴリが含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カタログにカテゴリが含まれています。 • false：カタログにカテゴリは含まれていません。 データタイプ：ブーリアン
has_items	カテゴリ内にアイテムがあるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カタログにアイテムが関連付けられています。 • false：カタログにアイテムが関連付けられていません。 データタイプ：ブーリアン
sys_id	一意のカタログ sys_id。 データタイプ：文字列
title	カタログタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.servicenow.comaqsw" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "title": "Customer Service",
    "sys_id": "65bcd377c3011200b12d9f2974d3aea0",
    "has_categories": true,
    "categories": [
      {
        "header_image": "",
        "sys_id": "4cb69d19c3921200b0449f2974d3ae69",
        "description": null,
        "title": "Services"
      },
      {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "header_image": "",
        "sys_id": "1b8611d5c3921200b0449f2974d3ae12",
        "description": null,
        "title": "Support"
      }
    ],
    "has_items": true,
    "description": "Customer Service",
    "desktop_image": ""
  }
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/categories/{sys_id}

指定されたカタログの利用可能な情報を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/categories/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/categories/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	情報を返すカテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	次のいずれかの理由により要求が無効であることを示します。 • ユーザーにカテゴリへのアクセス権がありません。 • 無効な sys_id。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
child_categories	このカテゴリに属する子カテゴリを記述するオブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"child_categories": [ "count": Number, "isParentCategory": "String", "parent": "String", "subcategories": [Array], "sys_id": "String", "title": "String" ]`
child_categories.count	子カテゴリのアイテムの数。 データタイプ：数値
child_categories.isParentCategory	これが親カテゴリかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：親カテゴリです。 • false：親カテゴリではありません。 データタイプ：ブーリアン
child_categories.parent	子カテゴリの親の sys_id。 データタイプ：文字列
child_categories.subcategories	この子カテゴリのサブカテゴリを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"subcategories": [ "sys_id": "String", "title": "String" ]`
child_categories.subcategories.sys_id	子サブカテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
child_categories.subcategories.title	子サブカテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列
child_categories.sys_id	子カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
child_categories.title	子カテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列
description	カテゴリの短い説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
full_description	カテゴリの詳細な説明。 データタイプ：文字列
header_icon	カテゴリがトップレベルのカテゴリにリストされている場合、カテゴリヘッダーの横に表示されるアイコンのソース。 データタイプ：文字列
homepage_image	カテゴリのホームページ画像のソース。 データタイプ：文字列
icon	カテゴリがサブカテゴリとしてリストされている場合、カテゴリ名の横に表示される小さなアイコンのソース。 データタイプ：文字列
sys_id	カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
title	カテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/categories/b0f
dfb01932002009ca87a75e57ffbe9" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "title": "Office",
    "description": "Office services such as printing, supplies
 requisition\n\t\t\tand document shipping and delivery.\n\t\t\t",
    "full_description": null,
    "icon": "",
    "header_icon": "",
    "homepage_image": "498b0271475211002ee987e8dee490ea.iix",
    "sys_id": "109cdff8c6112276003b17991a09ad65",
    "child_categories": [
      {
        "sys_id": "109f0438c6112276003ae8ac13e7009d",
        "title": "Services",
        "count": 16,
        "parent": "109cdff8c6112276003b17991a09ad65",
        "subcategories": [],
        "isParentCategory": false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      ]
    }
}
```

Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/items

指定されたパラメーターに基づいて、カタログアイテムのリストを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_catalog	アイテムのカタログ sys_id。このパラメーターを使用して、特定のカタログ内のアイテムを見つけます。 データタイプ：文字列
sysparm_category	アイテムのカテゴリ sys_id。このパラメーターを使用して、特定のカテゴリ内のカタログアイテムを見つけます。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sysparm_offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含まれているのにレコードが何も返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコードの順序を並べ替えます。 **注:** 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影響する可能性があります。 データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offset* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_text	カテゴリアイテムを検索するための特定のテキスト。たとえば、`sysparm_text="iPhone"` や `sysparm_text="Mobile devices"` などです。 データタイプ：文字列
sysparm_type	アイテムのタイプ。 有効な検索値： • レコードプロデューサー • 注文ガイド 他の値が渡された場合、その情報は無視されます。 データタイプ：文字列
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	指定されたパラメーターに基づいて、カタログとアイテムのリストを返します。有効なクエリの結果にアイテムがない場合、応答の本文には空の結果アレイのみが含まれます。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

パラメーター	説明
catalogs	このアイテムを含むカタログを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"catalogs": [{ "sys_id": "String", "title": "String" }]`
catalogs.sys_id	カタログの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
catalogs.title	カタログタイトル。 データタイプ：文字列

category	category
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"catalogs": {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "title": "String"`
	`}`

category.sys_id	カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
category.title	カテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列
content_type	コンテンツのタイプ。 データタイプ：文字列
description	アイテムの詳細な説明。 データタイプ：文字列
icon	アイテム名の横に表示される小さなアイコンのソース。 データタイプ：文字列
kb_article	アイテムに関連付けられたナレッジベースの記事。 データタイプ：文字列
local_currency	現地通貨の国通貨コード。 データタイプ：文字列
localized_price	*local_currency* で定義された通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
localized_recurring_price	*local_currency* で定義された通貨で表される定期料金の価格。 データタイプ：文字列
name	アイテムの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
order	アイテムが属する事前定義された順序。 データタイプ：数値
画像	アイテムに表示する画像へのパス。 データタイプ：文字列
price	*price_currency* で定義された通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
price_currency	アイテムの価格が表わされる国の通貨コード。 データタイプ：文字列
recurring_frequency	定期料金が適用される頻度 (日次、月次、年次など)。アイテムに料金がない場合は null です。 データタイプ：文字列
recurring_price	アイテムに関連付けられた定期料金の金額。 データタイプ：文字列
recurring_price_currency	定期料金が表わされる国の通貨コード。 データタイプ：文字列
short_description	アイテムの簡単な説明。 データタイプ：文字列
show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：名前と値のペアが応答パラメーターで返されます。 • false：名前と値のペアが応答パラメーターで返されません。 データタイプ：ブーリアン
show_quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの数量を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの数量を表示しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：ブーリアン
sys_class_name	レコードが属するテーブル (sc_cat_item_producer など)。 データタイプ：文字列
sys_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
type	アイテムのタイプ。 データタイプ：文字列
url	アイテムの URL。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items?sysparm_
catalog=e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4&sysparm_limit=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": [
    {
      "short_description": null,
      "kb_article": "",
      "icon": "images/icons/catalog_item.gifx",
      "description": "<p class=\"p1\"><font size=\"2\"><span
 class=\"s1\">Request an existing Standard Change Template is made
 unavailable when it is no longer required or no longer acceptable as
 a Standard Change.  This will be confirmed by your Change Management
 team.</span></font></p>",
      "show_price": false,
      "type": "record_producer",
      "show_quantity": true,
      "sys_class_name": "sc_cat_item_producer",
      "picture": "",
      "url": "",
      "sys_id": "011f117a9f3002002920bde8132e7020",
      "content_type": "",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
          "title": "Service Catalog"
        }
      ],
      "name": "Retire a Standard Change Template",
      "category": {
        "sys_id": "00728916937002002dcef157b67ffb6d",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "title": "Template Management"
      },
      "order": 30
    },
    {
      "short_description": null,
      "kb_article": "",
      "icon": "4cc3ec3d471211002ee987e8dee490d0.iix",
      "description": "<p><font size=\"3\" color=\"#808080\"
 face=\"arial,helvetica,sans-serif\">A role delegator may delegate any
 role they have to any member of the specified group</font></p>",
      "show_price": false,
      "type": "record_producer",
      "show_quantity": true,
      "sys_class_name": "sc_cat_item_producer",
      "picture": "ed44b5804f889200086eeed18110c7ca.iix",
      "url": "",
      "sys_id": "01205b180a0a0b3000b6efd641d24b75",
      "content_type": "",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
          "title": "Service Catalog"
        }
      ],
      "name": "Grant role delegation rights within a group",
      "category": {
        "sys_id": "496a3a7e0a0a0bc00089b39df14eb56e",
        "title": "Role Delegation"
      },
      "order": 100
    }
  ]
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/items/{item_sys_id}/delegation/{user_sys_id}

指定された代理人ユーザーが、指定されたサービスカタログアイテムに対する取得権を持っているかどうかを確認します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{item_sys_id}/delegation/{user_sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{item_sys_id}/delegation/{user_sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
item_sys_id	指定されたユーザーが取得権を持っているかどうかを確認するためのサービスカタログアイテムの sys_id。サービスカタログ [sc_catalog] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
user_sys_id	指定されたサービスカタログアイテムに対する取得権を持っているかどうかを確認するユーザーの sys_id。ユーザー [sys_users] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	指定されたユーザーが、指定されたサービスカタログアイテムに対する取得権を持っているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは取得権を持っています。 • false：ユーザーは取得権を持っていません。

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/5c7e9fd20f1010108af26b198b767eb8/delegation/62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "result": true
  }
}
```

Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}

指定されたカタログアイテムを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	返すカタログアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了し、カタログアイテムの詳細を返すことを示します。
400	次のいずれかの理由により要求が無効であることを示します。 • ユーザーにカタログアイテムへのアクセス権がありません。 • 無効な sys_id。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
catalogs	このアイテムを含むカタログを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"catalogs": [{ "sys_id": "String", "title": "String" }]`
catalogs.sys_id	カタログの sys_id。 データタイプ：文字列
catalogs.title	カタログタイトル。 データタイプ：文字列
カテゴリ	このアイテムを含むカテゴリを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"categories": [{ "active": Boolean, "category": {Object}, "sys_id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "title": "String" }]</pre>
categories.active	カテゴリがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カテゴリはアクティブです。 • false：カテゴリは非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン

categories.category	関連するカテゴリを記述します。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"category": {
	  "active": Boolean,
	  "sys_id": "String",
	  "title": "String"
	}</pre>

categories.category.active	カテゴリがアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：カテゴリはアクティブです。 • false：カテゴリは非アクティブです。 データタイプ：ブーリアン
categories.category.sys_id	カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
categories.category.title	カテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列
categories.sys_id	*categories.category* で指定されたカテゴリの親カテゴリ。 データタイプ：文字列

category	アイテムが属するプライマリカテゴリ。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"category": {
	  "sys_id": "String",
	  "title": "String"
	}</pre>

category.sys_id	プライマリカテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
category.title	プライマリカテゴリのタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
client_script	カタログアイテムで定義されているすべてのカタログクライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：オブジェクト `"client_script": { "onChange": [Array], "onLoad": [Array], "onSubmit": [Array] }`
client_script.onChange	アイテムに関連付けられた onChange クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
client_script.onSubmit	アイテムに関連付けられた onSubmit クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
client_script.onLoad	アイテムに関連付けられた onLoad クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
content_type	コンテンツのタイプ。 データタイプ：文字列
data_lookup	カタログアイテムで定義されたデータルックアップのリスト。 データタイプ：アレイ
description	アイテムの詳細な説明。 データタイプ：文字列
icon	アイテム名の横に表示される小さなアイコンのソース。 データタイプ：文字列
kb_article	アイテムに関連付けられたナレッジベースの記事。 データタイプ：文字列
local_currency	現地通貨の国通貨コード。 データタイプ：文字列
localized_price	*local_currency* で定義された通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
localized_recurring_price	*local_currency* で定義された通貨で表される定期料金の価格。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	アイテムの名前。 データタイプ：文字列
order	アイテムの注文の数。 データタイプ：数値
画像	アイテムに表示する画像のファイル名。 データタイプ：文字列
price	*price_currency* で定義された通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
price_currency	アイテムの価格が表わされる国の通貨コード。 データタイプ：文字列
recurring_frequency	定期料金が適用される頻度 (日次、月次、年次など)。 データタイプ：文字列
recurring_price	アイテムに関連付けられた定期料金の金額。 データタイプ：文字列
recurring_price_currency	定期料金が表わされる国の通貨コード。 データタイプ：文字列
short_description	アイテムの簡単な説明。 データタイプ：文字列
show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：価格設定の名前と値のペアが応答パラメーターで返されます。 • false：価格設定の名前と値のペアが応答パラメーターで返されません。 データタイプ：ブーリアン
show_quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの数量を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの数量を表示しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sys_class_name	このレコードが属するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
sys_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
type	アイテムのタイプ。 データタイプ：文字列
ui_policy	アイテムに関連付けられた UI ポリシーのリスト。 データタイプ：アレイ
url	アイテム画像の URL。 データタイプ：文字列
variables	アイテムに関連付けられた利用可能な変数のリスト。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/0cf74772
37153000158bbfc8bcbe5dec" \
  --request GET \
  --header "Accept:application/json" \
  --user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "short_description": "Apple iPad 3",
    "kb_article": "",
    "icon": "e6b3bc0647311200e0ef563dbb9a71fc.iix",
    "description": "\n\t\t\t<p>\n\t\t\t\t<font
 size=\"3\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"color:
 gray;\">\n\t\t\t\t\t\tiPad with Retina display Wi-Fi 16GB - Black
 </span>\n\t\t\t\t</font>\n\t\t\t</p>\n\t\t\t<p>\n\t\t\t\t<span
 style=\"color: gray;\">Key Features:</span>\n\t\t\t</p>\n\t\t\t<ul><li
 style=\"color: gray;\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"font-size:
 10.0pt;\">Retina display (2048x1536 resolution)</span>\n\t\t\t\t</li><li
 style=\"color: gray;\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"font-size:
 10.0pt;\">16GB storage</span>\n\t\t\t\t</li><li style=\"color:
 gray;\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"font-size: 10.0pt;\">Wi-Fi
 enabled</span>\n\t\t\t\t</li><li style=\"color:
 gray;\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"font-size: 10.0pt;\">Built-in
 speaker, microphone and camera</span>\n\t\t\t</li><li style=\"color:
 gray;\">\n\t\t\t\t\t<span style=\"font-size: 10.0pt;\">Up to 10 hours
 battery life</span>\n\t\t\t</li></ul>",
    "show_price": true,
    "recurring_price": "$0.00",
    "type": "catalog_item",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "show_quantity": true,
    "local_currency": "USD",
    "sys_class_name": "pc_hardware_cat_item",
    "picture": "5b977690cb921200f2de77a4634c9c6a.iix",
    "url": "",
    "sys_id": "060f3afa3731300054b6a3549dbe5d3e",
    "recurring_price_currency": "USD",
    "content_type": "",
    "localized_price": "$600.00",
    "price": "$600.00",
    "catalogs": [
      {
        "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
         "title": "Service Catalog"
      }
    ],
    "recurring_frequency": null,
    "name": "Apple iPad 3",
    "localized_recurring_price": "$0.00",
    "category": {
      "sys_id": "b06546f23731300054b6a3549dbe5dd8",
      "title": "Tablets"
    },
    "price_currency": "USD",
    "order": 0,
    "categories": [
      {
        "sys_id": "d258b953c611227a0146101fb1be7c31",
        "active": true,
        "category": {
          "sys_id": "b06546f23731300054b6a3549dbe5dd8",
          "active": true,
          "title": "Tablets"
        },
        "title": "Hardware"
      }
    ],
    "variables": [],
    "ui_policy": [],
    "client_script": {
      "onChange": [],
      "onSubmit": [],
      "onLoad": []
    },
    "data_lookup": []
  }
}
```


Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/wishlist

ログインしているユーザーのウィッシュリスト内のアイテムのリストを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/wishlist`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/wishlist`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
cart_id	ウィッシュリストの買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
items	ウィッシュリストの買い物かご内のアイテムを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"items": [{ "cart_item_id": "String", "catalog_item_id": "String", "created_by": "String", "created_on": "String", "delivery_time": "String", "item_id": "String", "item_name": "String", "localized_price": "String", "localized_recurring_price": "String", "name": "String", "order_guide": "String", "picture": "String", "price": "String", "quantity": "String", "recurring_frequency": "String", "recurring_price": "String", "recurring_subtotal": Number, "recurring_subtotal_price": "String", "short_descriptions": "String", "show_price": Boolean, "show_quantity": Boolean, "show_recurring_price": Boolean, "subtotal": Number, "subtotal_price": "String", "sys_class_name": "String", "sys_id": "String", "updated_by": "String", "updated_on": "String", "variables": {Object} }]`
items.cart_item_id	アイテムの sys_id。*items.sys_id*と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.catalog_item_id	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムに対するカタログ識別子の sys_id。*items.item_id*と同じです。 データタイプ：文字列
items.created_by	最初にウィッシュリストの買い物かごにアイテムを入れたユーザー。 データタイプ：文字列
items.created_on	アイテムが最初にウィッシュリストの買い物かごに入れられた日時。 データタイプ：文字列
items.delivery_time	アイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
items.item_id	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムに対する一意のカタログ識別子 (sys_id)。items.catalog_item_id と同じです。 データタイプ：文字列
items.item_name	アイテムの名前。 データタイプ：文字列
items.localized_price	現地通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
items.localized_recurring_price	現地通貨で表される定期料金の価格。 データタイプ：文字列
items.name	アイテムの名前。 データタイプ：文字列
items.order_guide	アイテムが関連付けられている注文ガイド。 データタイプ：文字列
items.picture	アイテムに表示する画像へのパス。 データタイプ：文字列
items.price	アイテムの価格。 データタイプ：文字列
items.quantity	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムの数。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.recurring_frequency	定期料金が適用される頻度 (日次、月次、年次など)。このアイテムに定期料金がない場合は Null です。 データタイプ：文字列
items.recurring_price	アイテムに関連付けられた定期料金の金額。 データタイプ：文字列
items.recurring_subtotal	このアイテムの定期料金の小計 (recurring_price x quantity)。 データタイプ：数値
items.recurring_subtotal_price	このアイテムの定期料金の小計 (recurring_price x quantity)。 データタイプ：文字列
items.short_description	アイテムの簡単な説明。 データタイプ：文字列
items.show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示すフラグ。このパラメーターが「false」に設定されている場合、価格設定の名前と値のペアが応答パラメーターで返されません。 データタイプ：ブーリアン
items.show_quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブーリアン
items.show_recurring_price	買い物かご内で定期料金を表示するかどうかを示すフラグ。 データタイプ：ブーリアン
items.subtotal	このアイテムの小計 - セントを含まない (price x quantity)。 データタイプ：数値
items.subtotal_price	このアイテムの小計 - セントを含む (price x quantity)。 データタイプ：文字列
items.sys_class_name	関連アイテムレコードが属する子クラス。 データタイプ：文字列
items.sys_id	アイテムの一意の識別子 (sys_id)。items.cart_item_id と同じです。 データタイプ：文字列
items.updated_by	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムを更新したユーザー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
items.updated_on	アイテムがウィッシュリストに入れられた日時。 データタイプ：文字列
items.variables	アイテムに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/wishlist" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

```
{
  "result": {
    "cart_id": "3a68c46013f12300027879d96144b0ce",
    "items": [
      {
        "updated_on": "2018-11-16 05:54:41",
        "catalog_item_id": "774906834fbb4200086eeed18110c737",
        "short_description": "Macbook Pro",
        "recurring_subtotal_price": "$100.00",
        "delivery_time": "5 Days 0 seconds",
        "sys_class_name": "sc_cat_item",
        "sys_id": "3b8d887113b5a300027879d96144b0c2",
        "price": "$1,499.00",
        "recurring_frequency": "Annually",
        "subtotal_price": "$1,499.00",
        "variables": {
          "Adobe Photoshop": "false",
          "Adobe Acrobat": "false",
          "Optional Software": "true",
          "Additional software requirements": "",
          "Eclipse IDE": "true"
        },
        "quantity": "1",
        "item_id": "774906834fbb4200086eeed18110c737",
        "recurring_price": "$100.00",
        "show_price": true,
        "item_name": "Developer Laptop (Mac)",
        "cart_item_id": "3b8d887113b5a300027879d96144b0c2",
        "recurring_subtotal": 100,
        "show_quantity": true,
        "created_by": "admin",
        "picture": "4e4efd444f889200086eeed18110c7e6.iix",
        "created_on": "2018-11-16 05:54:41",
        "localized_price": "$1,499.00",
        "subtotal": 1499,
        "show_recurring_price": true,
        "name": "Developer Laptop (Mac)",
        "updated_by": "admin",
        "localized_recurring_price": "$100.00",
        "order_guide": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      ]
    }
}
```

Service Catalog - GET /sn_sc/servicecatalog/wishlist/{cart_item_id}

ウィッシュリストの買い物かごに保存されている指定されたアイテムの詳細を取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/v1/servicecatalog/wishlist/{cart_item_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/wishlist/{cart_item_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
cart_item_id	取得するウィッシュリストの買い物かごのアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	失敗した要求を示します。買い物かごのアイテム ID が正しくないか、ウィッシュリストの買い物かごにアイテムが存在しません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
cart_item_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
catalog_item_id	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムに対するカタログ識別子の sys_id。 データタイプ：文字列
delivery_time	アイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
item_name	アイテムの名前。 データタイプ：文字列
localized_price	現地通貨で表されるアイテムの価格。 データタイプ：文字列
localized_recurring_price	現地通貨で表される定期料金の価格。 データタイプ：文字列
price	アイテムの価格。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
quantity	ウィッシュリストの買い物かご内のこのアイテムの数。 データタイプ：文字列
recurring_frequency	定期料金が適用される頻度 (日次、月次、年次など)。このアイテムに定期料金がない場合は Null です。 データタイプ：文字列
recurring_price	アイテムに関連付けられた定期料金の金額。 データタイプ：文字列
variables	アイテムに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

Example: cURL 要求

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/wishlist/774906
834fbb4200086eeed18110c737" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "catalog_item_id": "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd",
    "variables": {
      "Adobe Photoshop": "",
      "Adobe Acrobat": "",
      "Optional Software": "",
      "Additional software requirements": ""
    },
    "quantity": "1",
    "localized_price": "$1,100.00",
    "price": "$1,100.00",
    "recurring_frequency": "Annually",
    "localized_recurring_price": "$100.00",
    "recurring_price": "$100.00",
    "item_name": "Standard Laptop &",
    "cart_item_id": "d31be364c3012200d68d3b0ac3d3aecf",
    "delivery_time": "5 Days"
  }
}
```

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/cart/checkout

2 ステップ精算プロセスが有効かどうかに基づいて、現在の買い物かごの精算を取得して処理します。

1 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごをチェックアウト (保存) し、要求番号と要求注文 ID を返します。2 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごの注文ステータスと、2 ステップ精算に必要なすべての情報を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/checkout`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/checkout`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。合計と小計の情報、および買い物かご内のアイテムに関する情報を返します。 1 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごをチェックアウト (保存) し、要求番号と要求注文 ID を返します。2 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごの注文ステータスと、2 ステップ精算に必要なすべての情報を返します。
400	買い物かごが空でチェックアウトできないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
cart_id	買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
delivery_address	買い物かごのアイテムの配送先住所。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>	買い物かご内で特定の発生頻度で繰り返されるアイテムのリスト。可能な値には次のようなものがあります。 • daily • monthly • yearly • none (定期料金なし) データタイプ：オブジェクト "<recurring_frequency>": { "frequency_label": "String", "items": [Array], "show_subtotal_price": "String", "subtotal_price": "String", "subtotal_recurring_frequency": "String", "subtotal_recurring_price": "String", "subtotal_title": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明

	<pre>"total_title": "String"
	}</pre>

<recurring_frequency>.frequency_label	関連する定期料金の頻度。アイテムに定期料金がない場合、このパラメーターには「null」が含まれます。 データタイプ：文字列

<recurring_frequency>.items	指定された繰り返し発生頻度カテゴリに関連付けられた各アイテムの詳細を含むオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"items": [{
	"cart_item_id": "String",
	"catalog_item_id": "String",
	"created.by": "String",
	"created_on": "String",
	"delivery_time": "String",
	"item_id": "String",
	"item_name": "String",
	"localized_price": "String",
	"localized_recurring_price":
	"String",
	"name": "String",
	"order_guide": "String",
	"picture": "String",
	"price": "String",
	"quantity": "String",
	"recurring_frequency": "String",
	"recurring_price": "String",
	"recurring_subtotal": Number,
	"recurring_subtotal_price":
	"String",
	"short_description": "String",
	"show_price": Boolean,
	"show_quantity": Boolean,
	"show_recurring_price": Boolean,
	"subtotal": Number,
	"subtotal_price": "String",
	"sys_class_name": "String",
	"sys_id": "String",
	"updated_by": "String",
	"updated_on": "String",
	"variables": {Object}
	}]</pre>

<recurring_frequency>.items.cart_item_id	この買い物かご内のアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.catalog_item_id	アイテムのカタログ sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created.by	最初に買い物かごにアイテムを入れたユーザー。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられた日付。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.delivery_time	指定されたアイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_name	指定されたアイテムの名前。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_price	現地通貨でのアイテムの価格。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_recurring_price	指定されたアイテムの定期料金 (現地通貨)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.name	アイテム名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.order_guide	このアイテムが関連付けられている注文ガイドの名前。このアイテムが注文ガイドに関連付けられていない場合、このパラメーターには空の文字列が含まれます。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.picture	アイテムの画像のファイル名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.price	アイテムの価格です。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.quantity	買い物かご内の指定されたアイテムの数。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
<recurring_frequency>.items.recurring_frequency	指定されたアイテムに対して定期料金が請求される頻度。アイテムに定期料金がない場合、このパラメーターには「null」が含まれます。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_price	指定されたアイテムの定期料金。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal	アイテムの定期料金の小計 (*recurring_price* x *quantity*)。 データタイプ：数値
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal_price	アイテムの定期料金の小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.short_description	アイテムの短い説明。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの価格を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの価格を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show_quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの数量を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの数量を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show_recurring_price	買い物かご内で定期料金を表示する必要があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の定期料金を表示します。 • false：買い物かご内の定期料金を表示しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.subtotal	アイテム数の小計。 データタイプ：数値
<recurring_frequency>.items.subtotal_price	アイテムの小計 (*price* x *quantity*)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_class_name	アイテムのシステム分類名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_id	アイテムレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.updated_by	最初に買い物かごに入れた後にアイテムを更新したユーザー。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.updated_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられたか、更新された最終日時。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.variables	アイテム変数の名前/値ペアのリスト。 データタイプ：オブジェクト
<recurring_frequency>.show_subtotal_price	関連する定期料金カテゴリの小計を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の小計を表示します。 • false：買い物かご内の小計を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.subtotal_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリに関するすべてのアイテムのコスト小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。*subtotal_recurring_frequency* と同じです。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリ内のアイテムの定期料金の小計。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
<recurring_frequency>.subtotal_title	*show_subtotal_price* が `true` に設定されている場合、買い物かごに表示される関連するサブタイトルのテキスト。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.total_title	関連する繰り返し発生頻度カテゴリの合計タイトルに表示するテキスト。 データタイプ：文字列
requested_for	アイテムの注文対象ユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
requested_for_user	他のユーザーの代わりにアイテムを要求したユーザー。 データタイプ：文字列
show_subtotal_price	買い物かご内で小計の価格を表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：買い物かご内の小計を表示します。 • false：買い物かご内の小計を表示しません。 データタイプ：文字列
special_instructions	アイテムに関して顧客により提供された指示。 データタイプ：文字列
subtotal_price	買い物かご内のすべてのアイテムの小計 (ドル単位)。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。*<recurring_frequency>.subtotal_recurring_freq* と同じです。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_price	買い物かご内にあるすべてのアイテムの繰り返し発生頻度料金の小計。 データタイプ：文字列
subtotal_title	小計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示するテキスト。 データタイプ：文字列
total_title	合計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示するテキスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/cart/checkout"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "cart_id": "0830db8413a56300397533e2e144b0ba",
    "subtotal_price": "$1,598.00",
    "subtotal_recurring_frequency": "",
    "delivery_address": "",
    "special_instructions": "",
    "subtotal_recurring_price": "$0.00",
    "total_title": "Total",
    "requested_for_user": "System Administrator",
    "none": {
      "subtotal_price": "$1,598.00",
      "subtotal_recurring_frequency": "",
      "subtotal_recurring_price": "$0.00",
      "total_title": "Total",
      "frequency_label": null,
      "items": [
        {
          "updated_on": "2018-11-06 17:01:21",
          "catalog_item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "short_description": "Apple iPhone 7 ",
          "recurring_subtotal_price": "$0.00",
          "delivery_time": "2 Days",
          "sys_class_name": "sc_cat_item",
          "sys_id": "a846872a1369e300027879d96144b07e",
          "price": "$799.00",
          "recurring_frequency": null,
          "subtotal_price": "$799.00",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "recurring_price": "$0.00",
          "show_price": true,
          "item_name": "Apple iPhone7",
          "cart_item_id": "a846872a1369e300027879d96144b07e",
          "recurring_subtotal": 0,
          "show_quantity": true,
          "created_by": "admin",
          "picture": "e823ee6b0bf00300eba42da0d5673a95.iix",
          "created_on": "2018-11-06 17:01:21",
          "localized_price": "$799.00",
          "subtotal": 799,
          "show_recurring_price": false,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "Apple iPhone7",
          "updated_by": "admin",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "order_guide": ""
        },
        {
          "updated_on": "2018-11-06 17:34:15",
          "catalog_item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "short_description": "Apple iPhone 7 ",
          "recurring_subtotal_price": "$0.00",
          "delivery_time": "2 Days",
          "sys_class_name": "sc_cat_item",
          "sys_id": "7d138fa21329e300027879d96144b065",
          "price": "$799.00",
          "recurring_frequency": null,
          "subtotal_price": "$799.00",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "recurring_price": "$0.00",
          "show_price": true,
          "item_name": "Apple iPhone7",
          "cart_item_id": "7d138fa21329e300027879d96144b065",
          "recurring_subtotal": 0,
          "show_quantity": true,
          "created_by": "admin",
          "picture": "e823ee6b0bf00300eba42da0d5673a95.iix",
          "created_on": "2018-11-06 16:47:30",
          "localized_price": "$799.00",
          "subtotal": 799,
          "show_recurring_price": false,
          "name": "Apple iPhone7",
          "updated_by": "admin",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "order_guide": ""
        }
      ],
      "show_subtotal_price": "true",
      "subtotal_title": "Subtotal"
    },
    "requested_for": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
    "show_subtotal_price": "true",
    "subtotal_title": "Subtotal"
  }
}
```


Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/cart/submit_order

現在のチェックアウトタイプ (1 ステップまたは 2 ステップ) に基づいて、ユーザーの買い物かごをチェックアウトします。

1 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごをチェックアウト (保存) し、要求番号と要求注文 ID を返します。2 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごの注文ステータスと、2 ステップ精算に必要なすべての情報を返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/submit_order`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/submit_order`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了し、買い物かご内のアイテムが正常にチェックアウトされたことを示します。 1 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごをチェックアウト (保存) し、要求番号と要求注文 ID を返します。2 ステップ精算の場合、メソッドは買い物かごの注文ステータスと、2 ステップ精算に必要なすべての情報を返します。
400	ユーザーの買い物かごが空であることを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
parent_id	利用可能な場合、要求の作成元の親レコードの sys_id。詳細については、「要求の親マッピングの構成」を参照してください。 データタイプ：文字列
parent_table	親テーブルの名前。 データタイプ：文字列
request_id	生成された注文要求の sys_id。 データタイプ：文字列
request_number	生成された要求の番号。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com /
api/sn_sc/v1/servicecatalog/cart/submit_order " \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "request_number": "REQ0010010",
    "request_id": "f89ed597db21120064301150f0b8f5ff"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_cart

指定されたアイテムを現在のユーザーのカートに追加します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_cart`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_cart`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	現在のカートに追加するアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
sysparm_also_request_for	指定されたアイテムを注文する他のユーザーのユーザー sys_id のカンマ区切り文字列。ユーザー sys_id はユーザー [sys_user] テーブルにあります。 • アイテムを受け取る追加ユーザーを 50 人を超えて指定することはできません。 • リスト内のいずれかのユーザーがアイテムの対象ではない場合、要求全体が却下されます。 • 関連アイテムに *requested_for* 変数が設定されていない場合、要求は却下されます。 • 関連アイテムに *requested_for* 変数が設定されていても、 [追加要求の有効化] 変数が設定されていないか、呼び出し元ユーザーに適切なロールがない場合、要求は却下されます。
sysparm_quantity	必須です。アイテムの数量。負の値にすることはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：数値
sysparm_requested_for	指定されたアイテムを注文するユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
変数	すべての必須の買い物かごアイテム変数の名前と値のペア。必須の変数は、関連するフォームで定義されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	次のエラーが発生する可能性があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効な数量値 *(Invalid quantity* value)：*sysparm_quantity* パラメーターが指定されていないか、無効な値が含まれていることを示します。 • セキュリティ上の制約により、アイテムを注文できません *(Security constraints prevent ordering of* Item)：パスパラメーターで指定された買い物かごのアイテムの sys_id が無効であるか、ユーザーにアイテムへのアクセス権がないことを示します。 • 必須変数が必要です *(Mandatory Variables are* required)： 1 つ以上の必須変数が要求で指定されていないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
cart_id	買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
items	買い物かご内のすべてのアイテムの詳細。 データタイプ：アレイ `"items":[ { "cart_item_id":"String", "catalog_item_id":"String", "item_name":"String", "localized_recurring_price":"String", "localized_price":"String", "price":"String", "quantity":"String", "recurring_frequency":"String", "recurring_price":"String" } ]`
items.cart_item_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
items.catalog_item_id	アイテムのカタログ sys_id。 データタイプ：文字列
items.item_name	アイテムの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
items.localized_price	ユーザーの現地通貨でのアイテムの価格。 データタイプ：文字列
items.localized_recurring_price	ユーザーの現地通貨でのアイテムの定期的な価格。 データタイプ：文字列
items.price	基本価格。 データタイプ：文字列
items.quantity	買い物かご内のアイテムの数量。 データタイプ：文字列
items.recurring_frequency	定期的な価格が適用される頻度。 データタイプ：文字列
items.recurring_price	定期的な価格。 データタイプ：文字列
subtotal	買い物かご内のアイテムの小計。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求と応答

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/0d088372
37153000158bbfc8bcbe5d02/add_to_cart" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--data "{ 'sysparm_quantity' : '1',
  'variables' : {
    'acrobat' : 'true'
  }
}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "cart_id": "0951c597db21120064301150f0b8f5cf",
    "subtotal": "$1,599.98",
    "items": [
      {
        "catalog_item_id": "0d08837237153000158bbfc8bcbe5d02",
        "quantity": "1",
        "localized_price": "$799.99",
        "price": "$799.99",
        "recurring_frequency": "Monthly",
        "localized_recurring_price": "$30.00",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "recurring_price": "$29.00",
        "item_name": "Apple iPhone 5",
        "cart_item_id": "ac61c597db21120064301150f0b8f5f9"
      }
    ]
  }
}
```

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_wishlist

指定されたアイテムをウィッシュリストのカートに追加します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_wishlist`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/ servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_wishlist`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	ウィッシュリストに追加するアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	失敗した要求を示します。要求データが無効であるか、ユーザーがアイテムをウィッシュリストに追加できません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
なし	

Example: cURL 要求

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/04b7e94b4
f7b4200086eeed18110c7fd/add_to_wishlist" \
 --request POST \
 --header "Accept:application/json" \
 --header "Content-Type:application/json" \
 --data "{\"sysparm_quantity\":\"1\"}" \
 --user "username":"password"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": {
    "cart_id": "02a559a7c3b02200d68d3b0ac3d3ae5d",
    "items": [
      {
        "catalog_item_id": "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd",
        "variables": {
          "Adobe Photoshop": "",
          "Adobe Acrobat": "",
          "Optional Software": "",
          "Additional software requirements": ""
        },
        "quantity": "1",
        "localized_price": "$1,100.00",
        "price": "$1,100.00",
        "recurring_frequency": "Annually",
        "localized_recurring_price": "$100.00",
        "recurring_price": "$100.00",
        "item_name": "Standard Laptop &",
        "cart_item_id": "d31be364c3012200d68d3b0ac3d3aecf",
        "delivery_time": "5 Days"
      }
    ]
  }
}
```


Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/checkout_guide

チェックアウトが要求されたコンテンツのアレイを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/checkout_guide`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/checkout_guide`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	情報を返すチェックアウトガイドの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
items	チェックアウトが要求されたアイテムを記述するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"items": [{ "sys_id": "String", "sysparm_quantity": "String", "variables": {Object} }]`
items.sys_id	必須です。カタログアイテムの sys_id です。 データタイプ：文字列
items.sysparm_quantity	アイテムの数。 データタイプ：文字列 デフォルト：1
items.variables	アイテムに関連付けられた変数の名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト デフォルト：変数なし

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。 • 2 ステップではない *(Is not two-*step)：アイテムがカートに追加され、買い物かごの内容が返されます。 • 2 ステップ *(Is two-*step)： 精算後に要求番号と要求 sys_id を返します。
400	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • 送信された 1 つ以上のアイテムが存在しません。 • ユーザーに 1 つ以上のアイテムへのアクセス権がありません。 • 1 つ以上のアイテムの必須変数が回答されていません(必須として定義された変数のみが優先されます)。 • 送信された数量値が、正の整数ではありません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

2 ステップ精算が **false** の場合に応答本文で返される要素

名前	説明
cart_id	買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
items	買い物かご内のすべてのアイテムの詳細を含むオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"items": [{ "cart_item_id": "String", "catalog_item_id": "String", "delivery_time": "String", "item_name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2 ステップ精算が **false** の場合に応答本文で返される要素 (続く)

名前	説明

	<pre>"localized_price": "String",
	"localized_recurring_price": "String",
	"price": "String",
	"quantity": "String",
	"recurring_frequency": "String",
	"recurring_price": "String",
	"variables": {Object}
	}]</pre>

items.cart_item_id	買い物かご内のアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
items.catalog_item_id	買い物かご内のカタログアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
items.delivery_time	アイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
items.item_name	買い物かご内のアイテムの名前。 データタイプ：文字列
items.localized_price	現地通貨でのアイテムの価格。 データタイプ：文字列
items.localized_recurring_price	現地通貨でのアイテムの定期的な価格。 データタイプ：文字列
items.price	アイテムの価格です。 データタイプ：文字列
items.quantity	買い物かご内のアイテムの数。 データタイプ：文字列
items.recurring_frequency	アイテムの繰り返し発生頻度。 データタイプ：文字列
items.recurring_price	アイテムの定期的な価格。 データタイプ：文字列
items.variables	買い物かご内のアイテムに関連付けられた名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2 ステップ精算が **false** の場合に応答本文で返される要素 (続く)

名前	説明
parent_id	要求の作成元の親レコードの sys_id (利用可能な場合)。詳細については、「 要求の親マッピングの構成 」を参照してください。 データタイプ：文字列
parent_table	親テーブルの名前 (大文字と小文字を区別)。 データタイプ：文字列
request_number	要求レコード番号。 データタイプ：文字列
request_id	要求の sys_id。 データタイプ：文字列
subtotal_price	買い物かごの小計。 データタイプ：文字列
subtotal_price	現在の頻度ブロックの小計。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_frequency	買い物かごの繰り返し発生頻度の小計。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_frequency	現在の頻度ブロックの繰り返し発生頻度の小計。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_price	買い物かごの定期的な価格の小計。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_price	現在の頻度ブロックの定期的な価格の小計。 データタイプ：文字列
total_title	ページの合計フィールドのタイトル。 データタイプ：文字列
total_title	現在の頻度ブロックの合計フィールドのタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/v1/servicecatalog/items/6690750f4f7b4200086eeed18110c761/checkout_guide" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request POST \
--header "Accept:application/json"  \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"items\":[{
  \"sys_id\":\"04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd\",
  \"variables\":{
    \"acrobat\":\"true\",
    \"Additional_software_requirements\":\"MS Office 2007\"
  },
  \"sysparm_quantity\":\"3\"
},
{
  \"sys_id\":\"e1be6dcb4f7b4200086eeed18110c74c\"
},
{
  \"sys_id\":\"186d917a6fab7980575967ddbb3ee4f2\",
  \"variables\":{
    \"new_email\":\"abel.tuter@example.com\"
  }
},
{
  \"sys_id\":\"8b3ae7fedc1be1004ece5c08239e522b\"
},
{
  \"sys_id\":\"962967674ff38200086eeed18110c7e7\",
  \"variables\":{
    \"ergonomic_office\":\"Office chair should have lumbar support\"
  }
}]}" \
--user "username":"password"
```

```
<!--Case-1: if two-step is false:-->
{
  "result": {
    "cart_id": "0d8c7a32c3211200d68d3b0ac3d3aeba",
    "subtotal_price": "$3,350.00",
    "subtotal_recurring_frequency": "",
    "subtotal_recurring_price": "$300.00",
    "total_title": "Total",
    "monthly": {
      "subtotal_price": "$50.00",
      "subtotal_recurring_frequency": "Monthly",
      "subtotal_recurring_price": "$0.00",
      "total_title": "Total",
      "items": [
        {
          "catalog_item_id": "90af095bcd38798071a208d710d1b64f",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "localized_price": "$50.00",
          "price": "$50.00",
          "recurring_frequency": "Monthly",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "recurring_price": "$0.00",
          "item_name": "Belkin iPad Mini Case",
          "cart_item_id": "cb6e485fc3211200d68d3b0ac3d3ae35",
          "delivery_time": "2 Days"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      ],
      "show_subtotal_price": "true",
      "subtotal_title": "Subtotal"
    },
    "none": {
      "subtotal_price": "-",
      "subtotal_recurring_frequency": "",
      "subtotal_recurring_price": "$0.00",
      "total_title": "Total",
      "items": [
        {
          "catalog_item_id": "186d917a6fab7980575967ddbb3ee4f2",
          "variables": {
            "Preferred Email address": "abel.tuter@example.com"
          },
          "quantity": "1",
          "localized_price": "$0.00",
          "price": "$0.00",
          "recurring_frequency": "",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "recurring_price": "$0.00",
          "item_name": "New Email Account",
          "cart_item_id": "17c5241fc3211200d68d3b0ac3d3ae7f",
          "delivery_time": "global.Workflow"
        },
        {
          "catalog_item_id": "8b3ae7fedc1be1004ece5c08239e522b",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "localized_price": "$0.00",
          "price": "$0.00",
          "recurring_frequency": "",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "recurring_price": "$0.00",
          "item_name": "Corp VPN",
          "cart_item_id": "97c5241fc3211200d68d3b0ac3d3ae7f",
          "delivery_time": "2 Days"
        },
        {
          "catalog_item_id": "e1be6dcb4f7b4200086eeed18110c74c",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "localized_price": "$0.00",
          "price": "$0.00",
          "recurring_frequency": "",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "recurring_price": "$0.00",
          "item_name": "External Monitor",
          "cart_item_id": "d3c5241fc3211200d68d3b0ac3d3ae7f",
          "delivery_time": "2 Days"
        },
        {
          "catalog_item_id": "962967674ff38200086eeed18110c7e7",
          "variables": {
            "Please describe any ergonomic requirements\n\t\t": "Office
chair should have lumbar support"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          },
          "quantity": "1",
          "localized_price": "$0.00",
          "price": "$0.00",
          "recurring_frequency": "",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "recurring_price": "$0.00",
          "item_name": "Desk Set Up",
          "cart_item_id": "d7c5241fc3211200d68d3b0ac3d3ae7f",
          "delivery_time": "5 Days"
        }
      ],
      "show_subtotal_price": "false",
      "subtotal_title": "Subtotal"
    },
    "yearly": {
      "subtotal_price": "$3,300.00",
      "subtotal_recurring_frequency": "Annually",
      "subtotal_recurring_price": "$300.00",
      "total_title": "Total",
      "items": [
        {
          "catalog_item_id": "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd",
          "variables": {
            "Adobe Photoshop": "",
            "Adobe Acrobat": "true",
            "Optional Software": "",
            "Additional software requirements": "MS Office 2007"
          },
          "quantity": "3",
          "localized_price": "$1,100.00",
          "price": "$1,100.00",
          "recurring_frequency": "Annually",
          "localized_recurring_price": "$100.00",
          "recurring_price": "$100.00",
          "item_name": "Standard Laptop",
          "cart_item_id": "9fc5241fc3211200d68d3b0ac3d3ae7e",
          "delivery_time": "5 Days"
        }
      ],
      "show_subtotal_price": "true",
      "subtotal_title": "Subtotal"
    },
    "show_subtotal_price": "true",
    "subtotal_title": "Subtotal"
  }
}
```


Case-2: if two-step is true:


```
{
  "result": {
    "request_number": "REQ0010001",
    "request_id": "82a7e89fc3211200d68d3b0ac3d3ae0a"
  }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{item_sys_id}/get_invalid_delegated_users

指定されたアイテムの要求を委任できない (別のユーザーから要求された) ユーザーのリストを返します。

このエンドポイントを、Service Catalog API - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/add_to_cart や Service Catalog API - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/order_now などのエンドポイントを呼び出す前に呼び出して、他のユーザーに代わってサービスカタログアイテムを要求することができます。これらの呼び出しは、関連アイテムについて許可されていないユーザーを渡すと失敗します。このエンドポイントを使用すると、アイテムを注文したり、買い物かごへのアイテムの追加を試行したりするエンドポイントを呼び出す前に、ユーザーのリストを確認できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{item_sys_id}/get_invalid_delegated_users`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{item_sys_id}/get_invalid_delegated_users`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
item_sys_id	指定されたユーザーが取得権を持っているかどうかを確認するためのサービスカタログアイテムの sys_id。サービスカタログ [sc_catalog] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
sysparm_also_request_for	有効なユーザー sys_id のカンマ区切り文字列。エンドポイントは、これらのユーザーが指定されたサービスカタログアイテムに対する取得権限を持っていることを確認します。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求は失敗しました。処理の要求が正しくありません。エラーの詳細については、返される結果のメッセージを参照してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
エラーコード	エラーに関連付けられた番号。エンドポイントが失敗した場合にのみ返されます。 データタイプ：文字列
errMsg	エンドポイントが失敗したときに発生したエラーの説明。
invalidUsers	指定されたカタログアイテムを要求できないユーザーの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/04b7e94b
4f7b4200086eeed18110c7fd/get_invalid_delegated_users" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{\"sysparm_also_request_for\":
\"a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a,62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "invalidUsers": [
      "Abel Tuter"
    ]
  }
}
```

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com /
api/sn_sc/servicecatalog/items/04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd/get_inval
id_delegated_users" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{\"sysparm_also_request_for\":
\"a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a,62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "errCode": "42202",
    "errMsg": "This item cannot be submitted for multiple people as it is
 not configured with Requested For"
  }
}
```

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/order_now

指定されたカタログアイテムを注文します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/order_now`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/order_now`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	サービスカタログアイテムの sys_id。カタログアイテム [sc_cat_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
sysparm_also_request_for	指定されたアイテムを注文する他のユーザーのユーザー sys_id のカンマ区切り文字列。ユーザー sys_id はユーザー [sys_user] テーブルにあります。 • アイテムを受け取る追加ユーザーを 50 人を超えて指定することはできません。 • リスト内のいずれかのユーザーがアイテムの対象ではない場合、要求全体が却下されます。 • 関連アイテムに *requested_for* 変数が設定されていない場合、要求は却下されます。 • 関連アイテムに *requested_for* 変数が設定されていても、 [追加要求の有効化] 変数が設定されていないか、呼び出し元ユーザーに適切なロールがない場合、要求は却下されます。
sysparm_quantity	必須です。アイテムの数量。負の値にすることはできません。 データタイプ：数値
sysparm_requested_for	指定されたアイテムを注文するユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 *glide.sc.req_for.roles* プロパティと *glide.sc.req_for.roles.default* プロパティの設定によって、ユーザーがアイテムを要求できるレベルが決まります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• *glide.sc.req_for.roles* プロパティに値が指定されている場合、システムは、ユーザーが他のユーザーの情報を要求するために指定されたロールを持っているかどうかを確認します。 • *glide.sc.req_for.roles* プロパティ値が空で、*glide.sc.req_for.roles.default*プロパティ値が `deny` の場合、ユーザーは他のユーザーのためにアイテムを要求できません。 • *glide.sc.req_for.roles* プロパティ値が空で、*glide.sc.req_for.roles.default*プロパティ値が `allow` の場合、すべてのユーザーが他のユーザーのアイテムを要求できます。 データタイプ：文字列
変数	すべての必須の買い物かごアイテム変数の名前と値のペア。必須の変数は、関連するフォームで定義されます。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	数量の値が無効であり、要求が送信されていないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
number	生成された要求の番号。
parent_id	要求の作成元の親レコードの sys_id (利用可能な場合)。詳細については、「要求の親マッピングの構成」を参照してください。 データタイプ：文字列
parent_table	利用可能な場合、要求の作成元の親テーブルの名前。 データタイプ：文字列
request_id	注文要求の sys_id。 データタイプ：文字列
request_number	要求番号。 データタイプ：文字列
sys_id	注文の sys_id。 データタイプ：文字列
table	要求のテーブル名。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/d82ea085
10247200964f77ffeec6c4ee/order_now" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  sysparm_quantity: 1,
  variables: {
    replacement: 'Yes',
    originalnumber: '1640000',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    data_plan: '500MB'
  }
}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "cf56a3fcdb3a2300e890f71fbf9619ac",
    "number": "REQ0010012",
    "request_number": "REQ0010012",
    "request_id": "cf56a3fcdb3a2300e890f71fbf9619ac",
    "table": "sc_request"
  }
}
```

Service Catalog - POST /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_producer

レコードを作成し、作成されたレコードにアクセスするためのテーブル API の相対パスとリダイレクト URL を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_producer`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_producer`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	レコードプロデューサーを作成するテーブルの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
variables	定義するプロデューサーレコードの変数の名前と値のペア。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が成功したことを示し、作成されたレコードにアクセスするためのテーブル API と URL で構成される応答オブジェクトを返します。
400	要求メッセージが正しくないため、要求が処理されません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	要求されたリソースが見つかりません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
number	レコードプロデューサーに関連付けられたチケットの番号。 データタイプ：文字列
parent_id	利用可能な場合、要求の作成元の親レコードの sys_id。詳細については、「要求の親マッピングの構成」を参照してください。 データタイプ：文字列
parent_table	親テーブルの名前。 データタイプ：文字列
record	新しく作成されたレコードプロデューサーのテーブル API 相対パス。 データタイプ：文字列
redirect_portal_url	サービスポータルのリダイレクト先の URL。 データタイプ：文字列
redirect_to	リダイレクト値 データタイプ：文字列
redirect_url	作成されたレコードプロデューサーにアクセスするためのリダイレクト URL。 データタイプ：文字列
sys_id	作成されたレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
table	要求が行われたテーブルの名前。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/items/3f1dd032
0a0a0b99000a53f7604a2ef9/submit_producer" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{'variables':{'urgency':'2','comments':'This is sample
 incident'}}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "sys_id": "6baf4e1ddbba2300e890f71fbf961963",
    "number": "INC0010006",
    "parent_id": null,
    "record": "api/now/table/incident/6baf4e1ddbba2300e890f71fbf961963",
    "redirect_portal_url": "",
    "parent_table": "task",
    "redirect_url":
 "incident.do?sys_id=6baf4e1ddbba2300e890f71fbf961963&sysparm_view=ess",
    "table": "incident",
    "redirect_to": ""
  }
}
```

Service Catalog - POST /sn/sc/servicecatalog/variables/{sys_id}/display_value

指定された変数の表示値を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/variables/{sys_id}/display_value`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/variables/{sys_id}/display_value`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	表示値を返す変数の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
sysparm_value	返される表示値を含むレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	変数の表示値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/servicecatalog/variables/2a39
47a10a0a020e007f12648f8790c0/display_value" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"sysparm_value\":\"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\"}" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": "Abel Tuter (Architect)"
}
```

Service Catalog - PUT /sn_sc/servicecatalog/cart/{cart_item_id}

ログインしているユーザーの買い物かご内の指定されたアイテムを更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/cart/{cart_item_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/cart/{cart_item_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
cart_item_id	更新する買い物かごアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
sysparm_quantity	必須です。買い物かごを更新するアイテムの数量。 データタイプ：文字列
variables	アイテムに必須の変数が指定されている場合は必須です。すべての必須変数の名前と値のペアで構成されるオブジェクト。 データタイプ：オブジェクト

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に完了し、アイテムがカートに追加されたことを示します。
400	次の 3 つのエラーが発生する可能性があります。 • 無効な数量値 *(Invalid quantity* value)：sysparm_quantity パラメーターが指定されていないか、無効な値が含まれていることを示します。 • セキュリティ上の制約により、アイテムを注文できません *(Security constraints prevent ordering of* Item)：パスパラメーターで指定されたアイテム ID が無効であるか、ユーザーにアイテムへのアクセス権がないことを示します。 • 必須変数が必要です *(Mandatory Variables are* required)：1 つ以上の必須変数値が要求で指定されていないことを示します。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
cart_id	買い物かごの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>	買い物かご内の特定の繰り返し発生頻度があるアイテムです。 可能な値には次のようなものがあります。 • daily • monthly • yearly • none (定期料金なし) データタイプ：オブジェクト `"<recurring_frequency>": { "frequency_label": "String", "items": [Array], "show_subtotal_price": "String", "subtotal_price": "String", "subtotal_recurring_frequency": "String", "subtotal_recurring_price": "String", "subtotal_title": "String", "total_title": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
<recurring_frequency>.frequency_label	関連する定期料金の頻度。アイテムに定期料金がない場 ラメーターには「null」が含まれます。 データタイプ：文字列

<recurring_frequency>.items	指定された繰り返し発生頻度カテゴリに関連付けられた
	を記述するオブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"items": [{`
	`  "cart_item_id": "String",`
	`  "catalog_item_id": "String",`
	`  "created.by": "String",`
	`  "created_on": "String",`
	`  "delivery_time": "String",`
	`  "item_id": "String",`
	`  "item_name": "String",`
	`  "localized_price": "String",`
	`  "localized_recurring_price": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "order_guide": "String",`
	`  "picture": "String",`
	`  "price": "String",`
	`  "quantity": "String",`
	`  "recurring_frequency": "String",`
	`  "recurring_price": "String",`
	`  "recurring_subtotal": Number,`
	`  "recurring_subtotal_price": "String",`
	`  "short_description": "String",`
	`  "show_price": Boolean,`
	`  "show_quantity": Boolean,`
	`  "show_recurring_price": Boolean,`
	`  "subtotal": Number,`
	`  "subtotal_price": "String",`
	`  "sys_class_name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "updated_by": "String",`
	`  "updated_on": "String",`
	`  "variables": {Object}`
	`}]`

<recurring_frequency>.items.cart_item_id	この買い物かご内のアイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.catalog_item_id	アイテムのカタログ sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created.by	最初に買い物かごにアイテムを入れたユーザー。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.created_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられた日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.delivery_time	指定されたアイテムの配送にかかる時間。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_id	アイテム sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.item_name	指定されたアイテムの名前。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_price	アイテムの価格 (現地通貨)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.localized_recurring_price	指定されたアイテムの定期料金 (現地通貨)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.name	アイテム名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.order_guide	このアイテムが関連付けられている注文ガイドの名前。ムが注文ガイドに関連付けられていない場合、このパラは空の文字列が含まれます。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.picture	アイテムの画像のファイル名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.price	アイテムの価格です。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.quantity	買い物かご内の指定されたアイテムの数。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_frequency	指定されたアイテムに対して定期料金が請求される頻度 データタイプ：文字列 デフォルト：Null
<recurring_frequency>.items.recurring_price	指定されたアイテムの定期料金。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal	アイテムの定期料金の小計 (*recurring_price* x *quan* データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
<recurring_frequency>.items.recurring_subtotal_price	アイテムの定期料金の小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.short_description	アイテムの短い説明。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.show_price	買い物かご内でアイテムの価格を表示するかどうかを示 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの価格を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの価格を表示しません データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show.quantity	買い物かご内でアイテムの数量を表示するかどうかを示 可能な値： • true：買い物かご内のアイテムの数量を表示します。 • false：買い物かご内のアイテムの数量を表示しません データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.show_recurring_price	買い物かご内で定期料金を表示する必要があるかどうか グ。 可能な値： • true：買い物かご内の定期料金を表示します。 • false：買い物かご内の定期料金を表示しません。 データタイプ：ブーリアン
<recurring_frequency>.items.subtotal	アイテム数の小計。 データタイプ：数値
<recurring_frequency>.items.subtotal_price	アイテムの小計 (*price* x *quantity*)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_class_name	アイテムのシステム分類名。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.sys_id	アイテムの sys_id。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.updated_by	最初に買い物かごに入れた後にアイテムを更新したユー データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
<recurring_frequency>.items.updated_on	アイテムが最初に買い物かごに入れられたか、更新され時。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.items.variables	アイテム変数の名前と値のペア。 データタイプ：オブジェクト
<recurring_frequency>.show_subtotal_price	関連する定期料金カテゴリの小計を表示するかどうかをグ。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリに関するすべてのアスト小計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_recurring_price	関連する繰り返し発生頻度カテゴリ内のアイテムの定期計。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.subtotal_title	*show_subtotal_price* が `true` に設定されている場合かごに表示される関連するサブタイトルのテキスト。 データタイプ：文字列
<recurring_frequency>.total_title	関連する繰り返し発生頻度カテゴリの合計タイトルに表スト。 データタイプ：文字列
show_subtotal_price	買い物かご内で小計の価格を表示するかどうかを示すフ 可能な値： • true：買い物かご内の小計を表示します。 • false：買い物かご内の小計を表示しません。 データタイプ：文字列
subtotal_price	買い物かご内のすべてのアイテムの小計。 データタイプ：文字列
subtotal_recurring_frequency	小計の繰り返し発生頻度のタイプ (日次、月次など)。*<recurring_frequency>.subtotal_recurri* と同じです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
subtotal_recurring_price	買い物かご内にあるすべてのアイテムの繰り返し発生頻計。 データタイプ：文字列
subtotal_title	小計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示する データタイプ：文字列
total_title	合計フィールドのタイトルとして買い物かごに表示する データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/v1/servicecatalog/cart/7d138f
a21329e300027879d96144b065" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--data "{\"sysparm_quantity\": \"2\" }" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": {
    "cart_id": "0830db8413a56300397533e2e144b0ba",
    "subtotal_price": "$2,397.00",
    "subtotal_recurring_frequency": "",
    "subtotal_recurring_price": "$0.00",
    "total_title": "Total",
    "none": {
      "subtotal_price": "$2,397.00",
      "subtotal_recurring_frequency": "",
      "subtotal_recurring_price": "$0.00",
      "total_title": "Total",
      "frequency_label": null,
      "items": [
        {
          "updated_on": "2018-11-06 17:01:21",
          "catalog_item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "short_description": "Apple iPhone 7 ",
          "recurring_subtotal_price": "$0.00",
          "delivery_time": "2 Days",
          "sys_class_name": "sc_cat_item",
          "sys_id": "a846872a1369e300027879d96144b07e",
          "price": "$799.00",
          "recurring_frequency": null,
          "subtotal_price": "$799.00",
          "variables": {},
          "quantity": "1",
          "item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "recurring_price": "$0.00",
          "show_price": true,
          "item_name": "Apple iPhone7",
          "cart_item_id": "a846872a1369e300027879d96144b07e",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "recurring_subtotal": 0,
          "show_quantity": true,
          "created_by": "admin",
          "picture": "e823ee6b0bf00300eba42da0d5673a95.iix",
          "created_on": "2018-11-06 17:01:21",
          "localized_price": "$799.00",
          "subtotal": 799,
          "show_recurring_price": false,
          "name": "Apple iPhone7",
          "updated_by": "admin",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "order_guide": ""
        },
        {
          "updated_on": "2018-11-06 17:21:08",
          "catalog_item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "short_description": "Apple iPhone 7 ",
          "recurring_subtotal_price": "$0.00",
          "delivery_time": "2 Days",
          "sys_class_name": "sc_cat_item",
          "sys_id": "7d138fa21329e300027879d96144b065",
          "price": "$799.00",
          "recurring_frequency": null,
          "subtotal_price": "$1,598.00",
          "variables": {},
          "quantity": "2",
          "item_id": "07f1666b0bf00300eba42da0d5673ab0",
          "recurring_price": "$0.00",
          "show_price": true,
          "item_name": "Apple iPhone7",
          "cart_item_id": "7d138fa21329e300027879d96144b065",
          "recurring_subtotal": 0,
          "show_quantity": true,
          "created_by": "admin",
          "picture": "e823ee6b0bf00300eba42da0d5673a95.iix",
          "created_on": "2018-11-06 16:47:30",
          "localized_price": "$799.00",
          "subtotal": 1598,
          "show_recurring_price": false,
          "name": "Apple iPhone7",
          "updated_by": "admin",
          "localized_recurring_price": "$0.00",
          "order_guide": ""
        }
      ],
      "show_subtotal_price": "true",
      "subtotal_title": "Subtotal"
    },
    "show_subtotal_price": "true",
    "subtotal_title": "Subtotal"
  }
}
```


Service Catalog - PUT /sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_guide

注文ガイドについて記述されたニーズに基づいて、アイテムのリストを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_sc/{api_version}/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_guide`

デフォルトの URL：`/api/sn_sc/servicecatalog/items/{sys_id}/submit_guide`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	アイテムを取得する注文ガイドの sys_id。注文ガイド [sc_cat_item_guide] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
variables	アイテムに対して要求された変数。各変数は、名前と値のペアで構成される JSON オブジェクトです。 データタイプ：アレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了したことを示します。渡された変数リストに基づいて、アイテムのリストを返します。結果セットにアイテムが含まれていない場合は、空の配列が返されます。
400	要求が無効であることを示します。次のいずれかの理由が考えられます。 • ユーザーにアイテムへのアクセス権がありません。 • 1 つ以上のアイテムの必須変数が回答されていません(必須として定義された変数のみが優先されます)。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	選択されたオプションに基づいてアイテムを計算中に内部エラーが発生しました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
catalogs	アイテムが属するカタログのオブジェクトのリストと、各カタログタイトルおよびカタログの sys_id。 データタイプ：アレイ `"catalogs": [{ "sys_id": "String", "title": "String" }]`
catalogs.sys_id	カタログの sys_id。 データタイプ：文字列
catalogs.title	カタログタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

category	category
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"catalogs": {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "title": "String"`
	`}`

category.sys_id	カテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
category.title	カテゴリのタイトル。 データタイプ：文字列

client_script	カタログアイテムで定義されているすべてのカタログクライアントスクリプトのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"client_script": {`
	`  "onChange": [Array],`
	`  "onLoad": [Array],`
	`  "onSubmit": [Array]`
	`}`

client_script.onChange	アイテムに関連付けられた onChange クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
client_script.onLoad	アイテムに関連付けられた onLoad クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
client_script.onSubmit	アイテムに関連付けられた onSubmit クライアントスクリプトのリスト。 データタイプ：アレイ
data_lookup	カタログアイテムで定義されたデータルックアップ。 データタイプ：アレイ
description	カタログアイテムの完全な説明。 データタイプ：文字列
icon	カタログアイテムの横にアイコンとして表示される画像のパス。 データタイプ：文字列
name	カタログアイテムの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
short_description	サービスカタログホームページや検索結果ページのテキスト、またはカタログアイテムの注文フォームのタイトル。 データタイプ：文字列
show_price	価格の詳細を表示するかどうかを示します。true の場合、次の詳細を返します。 • local_currency • localized_price • localized_recurring_price • price • price_currency • recurring_frequency • recurring_price • recurring_price_currency データタイプ：ブーリアン
sys_id	カタログアイテムの sys_id です。 データタイプ：文字列
type	アイテムタイプ。 可能な値： • カタログアイテム • 注文ガイド • レコードプロデューサーアイテム データタイプ：文字列
variables	カタログアイテムに関連付けられたすべての変数の名前と値のペア。 データタイプ：アレイ
ui_policy	カタログアイテムで定義されているすべてのカタログ UI ポリシーのリスト。 データタイプ：アレイ

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_sc/v1/servicecatalog/items/66907
50f4f7b4200086eeed18110c761/submit_guide" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{
  \"variables\":{
    \"hiring_manager\":\"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
    \"hiring_group\":\"221f3db5c6112284009f4becd3039cc9\",
    \"remote\":\"No\",
    \"standard_package\":\"No\",
    \"laptop_type\":\"developer\"
  }
}" \
--user "username":"password"
```


```
{
  "result": [
    {
      "short_description": "Lenovo - Carbon x1",
      "icon": "1195c2084f889200086eeed18110c74a.iix",
      "description": "<p class=\"p1\"><font size=\"3\"
 color=\"#808080\"><span class=\"s1\">x1 Carbon</span></font></p>\n<p
 class=\"p1\"><font size=\"2\" color=\"#808080\"
 face=\"arial,helvetica,sans-serif\"><span class=\"s1\">The x1 Carbon is
 Lenovo's lightest ThinkPad yet. It provides a QHD display that fights
 glare and weighs less than three pounds. Ideal for most computing
 tasks, and highly mobile. </span></font></p>\n<p class=\"p2\"><font
 size=\"2\" color=\"#808080\" face=\"arial,helvetica,sans-serif\"><span
 class=\"s1\">Technical Specs:</span></font></p>\n<ul class=\"ul1\"><li
 class=\"li3\"><font size=\"2\" color=\"#808080\"><span
 class=\"s1\">Intel core i5 processor</span></font></li><li
 class=\"li3\"><font size=\"2\" color=\"#808080\"><span
 class=\"s1\">512GB solid state drive (SSD) </span></font></li><li
 class=\"li3\"><font size=\"2\" color=\"#808080\"><span
 class=\"s1\">Backlit keyboard</span></font></li></ul>",
      "show_price": true,
      "recurring_price": "$100.00",
      "type": "catalog_item",
      "local_currency": "USD",
      "sys_id": "04b7e94b4f7b4200086eeed18110c7fd",
      "recurring_price_currency": "USD",
      "localized_price": "$1,100.00",
      "price": "$1,100.00",
      "catalogs": [
       {
         "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
         "title": "Service Catalog"
       }
      ],
      "recurring_frequency": "Annually",
      "name": "Standard Laptop",
      "localized_recurring_price": "$100.00",
      "category": {
        "sys_id": "d258b953c611227a0146101fb1be7c31",
        "title": "Hardware"
      },
      "price_currency": "USD",
      "show_quantity": false,
      "quantity": "1",
      "order": "100",
      "variables": [
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
          "label": "Optional Software",
          "type": 0,
          "mandatory": false,
          "displayvalue": "",
          "friendly_type": "container_start",
          "render_label": true,
          "read_only": false,
          "children": [
            {
              "label": "Adobe Acrobat",
              "type": 7,
              "mandatory": false,
              "displayvalue": "false",
              "friendly_type": "check_box",
              "display_type": "CheckBox",
              "render_label": true,
              "read_only": false,
              "pricing_implications": false,
              "name": "acrobat",
              "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
              "id": "90b72d4b4f7b4200086eeed18110c701",
              "value": false,
              "help_text": "",
              "max_length": 0
            },
            {
              "label": "Adobe Photoshop",
              "type": 7,
              "mandatory": false,
              "displayvalue": "false",
              "friendly_type": "check_box",
              "display_type": "CheckBox",
              "render_label": true,
              "read_only": false,
              "pricing_implications": false,
              "name": "photoshop",
              "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
              "id": "a8b72d4b4f7b4200086eeed18110c701",
              "value": false,
              "help_text": "",
              "max_length": 0
            }
          ],
          "name": "optional_label",
          "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
          "id": "10b72d4b4f7b4200086eeed18110c700",
          "value": "",
          "help_text": "",
          "max_length": 0
        },
        {
          "label": "Additional software requirements",
          "type": 2,
          "mandatory": false,
          "displayvalue": "",
          "friendly_type": "multi_line_text",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_type": "Multi Line Text",
          "render_label": true,
          "read_only": false,
          "name": "Additional_software_requirements",
          "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
          "id": "a8b72d4b4f7b4200086eeed18110c702",
          "value": "",
          "help_text": "",
          "max_length": 0
        }
      ],
      "ui_policy": [],
      "client_script": {
        "onChange": [],
        "onSubmit": [],
        "onLoad": []
      },
      "data_lookup": []
    },
    {
      "sys_id": "e1be6dcb4f7b4200086eeed18110c74c",
      "short_description": "LG IPS 27\" Monitor",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
          "title": "Service Catalog"
        }
      ],
      "name": "External Monitor",
      "icon": "08569a4c4f889200086eeed18110c77b.iix",
      "description": "<p><font size=\"2\"><span style=\"color:
#485563;\"><br /> <font size=\"3\" color=\"#808080\">The striking design
of the LG Cinema Screen incorporates an ultra-narrow bezel, so virtually
all you see is picture. The viewing experience is more immersive
for your favorite movies and games. Make the most of your time,
with an LG Full HD LED monitor. </font></span></font></p>\n<p><font
size=\"2\" color=\"#808080\">Item Specs:</font></p>\n<ul><li
style=\"color: #485563;\"><font size=\"2\" color=\"#808080\">Screen
Size: 27"</font></li><li style=\"color: #485563;\"><font size=\"2\"
color=\"#808080\">Resolution: 1920 x 1080</font></li><li style=\"color:
#485563;\"><font size=\"2\" color=\"#808080\">Aspect Ratio:
16:9</font></li><li style=\"color: #485563;\"><font size=\"2\"
color=\"#808080\">Brightness: 250 cd/m2</font></li><li style=\"color:
#485563;\"><font size=\"2\" color=\"#808080\">Supports Split
Screen</font></li></ul>",
      "show_price": false,
      "type": "catalog_item",
      "category": {
        "sys_id": "2c0b59874f7b4200086eeed18110c71f",
        "title": "Peripherals"
      },
      "show_quantity": false,
      "quantity": "1",
      "order": "200",
      "variables": [],
      "ui_policy": [],
      "client_script": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "onChange": [],
        "onSubmit": [],
        "onLoad": []
      },
      "data_lookup": []
    },
    {
      "sys_id": "186d917a6fab7980575967ddbb3ee4f2",
      "short_description": "New Email Creation",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
          "title": "Service Catalog"
        }
      ],
      "name": "New Email Account",
      "icon": "b630e97e6fab7980575967ddbb3ee4d2.iix",
      "description": "<p style=\"font-size: 13px;\"><font
size=\"4\"><span style=\"color: #485563;\">Service
Overview:</span></font></p>\n\t<p style=\"font-size: 13px;\"><font
size=\"3\">Creation of a new email account within our Microsoft Exchange
environment.  Creation of your email address will also create your
Active Directory account. </font></p>\n\t<p> </p>",
      "show_price": false,
      "type": "catalog_item",
      "category": {
        "sys_id": "109f0438c6112276003ae8ac13e7009d",
        "title": "Services"
      },
      "show_quantity": false,
      "quantity": "1",
      "order": "300",
      "variables": [
        {
          "label": "Preferred Email address",
          "type": 6,
          "mandatory": true,
          "displayvalue": "",
          "friendly_type": "single_line_text",
          "display_type": "Single Line Text",
          "render_label": true,
          "read_only": false,
          "name": "new_email",
          "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
          "id": "65865e474fbb4200086eeed18110c7dd",
          "value": "",
          "help_text": "",
          "max_length": 0
        }
      ],
      "ui_policy": [],
      "client_script": {
        "onChange": [],
        "onSubmit": [],
        "onLoad": []
      },
      "data_lookup": []
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    {
      "sys_id": "8b3ae7fedc1be1004ece5c08239e522b",
      "short_description": "Remote access to Internal Corporate
Systems\n\t\t",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "e0d08b13c3330100c8b837659bba8fb4",
          "title": "Service Catalog"
        }
      ],
      "name": "Corp VPN",
      "icon": "11dc8df74f778200086eeed18110c78e.iix",
      "description": "<p><font size=\"3\"><span style=\"color:
#485563;\">Corp VPN Account</span></font></p>\n<ul><li style=\"color:
#485563;\"><font size=\"2\">Corp VPN provides VPN (Virtual
Private Network) access to all Internal Corporate Systems and to
IP Restricted Customer Instances</font></li><li style=\"color:
#485563;\"><font size=\"2\">By utilizing Corp VPN, users will
be provided a similar experience to being within one of the
Corporate office locations, while offsite</font></li></ul>\n<p><font
size=\"2\"><span style=\"color: #485563;\"> </span></font></p>\n<p><font
size=\"2\"><span style=\"color: #485563;\">Please reference the
<span style=\"color: #485563;\">CORP VPN </span><span style=\"color:
#485563;\">Installation</span><span style=\"color: #485563;\"> and
Support Documentation</span> for instructions on installation, usage
and FAQ’s. For all other questions, please contact <span style=\"color:
#485563;\">IT Support.</span></span></font></p>\n<p> </p>\n<p><span
style=\"font-size: 10pt; font-family: tahoma, arial, helvetica,
sans-serif;\"><br /><br /></span></p>",
      "show_price": false,
      "type": "catalog_item",
      "category": {
        "sys_id": "d2f7cae4c611227a018ddc481b34e099",
        "title": "Security and Access"
      },
      "show_quantity": false,
      "quantity": "1",
      "order": "600",
      "variables": [],
      "ui_policy": [],
      "client_script": {
        "onChange": [],
        "onSubmit": [],
        "onLoad": []
      },
      "data_lookup": []
    },
    {
      "sys_id": "962967674ff38200086eeed18110c7e7",
      "short_description": "Desk Set Up for New Hires or Employee
Moves\n\t\t",
      "catalogs": [
        {
          "sys_id": "",
          "title": "Service Catalog"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ],
      "name": "Desk Set Up",
      "icon": "aa6b08ff4ff38200086eeed18110c7ed.iix",
      "description": "<p><font size=\"3\" face=\"arial, helvetica,
 sans-serif\">The facilities organization will set up your new
 desk with the following configuration:</font></p>\n<ul><li><font
 size=\"3\" face=\"arial, helvetica, sans-serif\">Docking
 Station</font></li><li><font size=\"3\" face=\"arial, helvetica,
 sans-serif\">Power Station</font></li><li><font size=\"3\" face=\"arial,
 helvetica, sans-serif\">Phone</font></li><li><font size=\"3\"
 face=\"arial, helvetica, sans-serif\">Office Chair</font></li></ul>",
      "show_price": false,
      "type": "catalog_item",
      "category": {
        "sys_id": "",
        "title": null
      },
      "show_quantity": false,
      "quantity": "1",
      "order": "900",
      "variables": [
        {
          "label": "Please describe any ergonomic requirements\n\t\t",
          "type": 2,
          "mandatory": false,
          "displayvalue": "",
          "friendly_type": "multi_line_text",
          "display_type": "Multi Line Text",
          "render_label": true,
          "read_only": false,
          "name": "ergonomic_office",
          "attributes": "edge_encryption_enabled=true",
          "id": "b0b9ab674ff38200086eeed18110c755",
          "value": "",
          "help_text": "",
          "max_length": 0
        }
      ],
      "ui_policy": [],
      "client_script": {
        "onChange": [],
        "onSubmit": [],
        "onLoad": []
      },
      "data_lookup": []
    }
  ]
}
```


サービスカタログオープン API

サービスカタログオープン API は、サービス仕様を作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、外部システムと Now Platform の間でサービスカタログ情報を管理します。*Service Catalog Open* API は、TM Forum Service Catalog API REST 仕様

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のServiceNow®実装です。この実装は、TMF633 Service Catalog API REST Specification Version 4 (2020 年 10 月) に基づいています。

この API は、ServiceNow Store で入手可能な Product Catalog Advanced アプリケーションに含まれています。

この API は、 `sn_prd_pm_adv` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_prd_pm_adv.catalog_integrator ロールが必要です。

この API は、次のテーブルのデータを作成および更新します。

- 特性 [sn_prd_pm_characteristic]
- 特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option]
- サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification]
- 仕様関係 [sn_prd_pm_specification_relationship]

サービスカタログオープン - GET /servicespecification

すべてのサービス仕様のリストを取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/servicespecification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値
state	ステータス別にサービス仕様をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する仕様のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	サービス仕様の external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	このサービス仕様のリソース仕様。 データタイプ：アレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様の external_version。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship	この仕様と他のサービス仕様との関係。 データタイプ：アレイ `"serviceSpecificationRelationship": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "relationshipType": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"validFor": {Object}, "version": "String" }]
serviceSpecificationRelationship.id	関連仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.internalId	関連仕様の initial_version。
serviceSpecificationRelationship.internalVersion	関連仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト "validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }
serviceSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.version	関連仕様の external_version。 データタイプ：文字列
specCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：アレイ "specCharacteristic": [{ "characteristicValueSpecification": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object,

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre>"valueType": "String" }]</pre>
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ <pre>"characteristicValueSpecification": [{ "value": "String" }]</pre>
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト <pre>"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }</pre>
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列
version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
@type	仕様のタイプ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、すべてのサービス仕様を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/ser
vicespecification" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。


```
[
   {
      "id": "16d79ec3532520103b6bddeeff7b12a6",
      "name": "SD WAN Optimization Service",
      "description": "SD WAN Optimization Service",
      "lastUpdate": "2022-01-23 22:48:55",
      "validFor": {
         "startDateTime": "2022-01-12",
         "endDateTime": "2027-02-11"
      },
      "serviceSpecificationRelationship": [
         {
            "id": "a1f5fe981bb420106ba59acf034bcb4f",
            "name": "Deduplication and Compression",
            "version": "1",
            "type": "rfs",
            "validFor": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "startDateTime": "2021-02-11",
                "endDateTime": "2027-02-11"
            }
        }
    ],
    "resourceSpecification": [],
    "serviceSpecCharacteristic": [
        {
            "name": "SSL Optimization",
            "description": "SSL Optimization",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2022-01-14 07:47:57"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "False",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "True",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ]
        },
        {
            "name": "CIFS Optimization",
            "description": "CIFS Optimization Protocol",
            "valueType": "choice",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2022-01-14 07:49:09"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": [
                {
                    "value": "SMB1",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "SMB2",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ]
        }
    ]
},
{
    "id": "31c5caff07266010a7955b7e0ad3006b",
    "name": "Firewall Administration",
    "description": "Firewall Administration",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "lastUpdate": "2022-01-23 11:46:48",
    "validFor": {
       "startDateTime": "2021-11-22",
       "endDateTime": ""
    },
    "serviceSpecificationRelationship": [],
    "resourceSpecification": [
       {
          "id": "3546463307666010a7955b7e0ad3005d",
          "name": "Cisco Firewall Management system",
          "version": "1"
       }
    ],
    "serviceSpecCharacteristic": [
       {
          "name": "Firewall Administration CPE Model",
          "description": "Firewall Administration CPE Model",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2022-02-20 00:55:37"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
                "value": "2100 series",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "4100 series",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "7300 series",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "9300 series",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             }
          ]
       },
       {
          "name": "Firewall Administration CPE Type",
          "description": "Firewall Administration CPE Type",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2022-02-20 00:53:45"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "value": "Physical",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "Virtual",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             }
          ]
       },
       {
          "name": "Configuration and Policy backup",
          "description": "Configuration and Policy backup",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2022-01-21 10:46:02"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
                "value": "Weekly",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "Monthly",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "Daily",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             }
          ]
       },
       {
          "name": "Remote CLI troubleshoot support",
          "description": "Remote CLI troubleshoot support",
          "valueType": "choice",
          "validFor": {
             "startDatetime": "2022-01-21 10:45:38"
          },
          "productSpecCharacteristicValue": [
             {
                "value": "Standard support",
                "validFor": {
                   "startDateTime": ""
                }
             },
             {
                "value": "Premium support",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                },
                {
                    "value": "Basic support",
                    "validFor": {
                        "startDateTime": ""
                    }
                }
            ]
        },
        {
            "name": "Firewall Administration CPE ID",
            "description": "Firewall Administration CPE ID",
            "valueType": "single_line_text",
            "validFor": {
                "startDatetime": "2022-02-20 00:57:50"
            },
            "productSpecCharacteristicValue": []
        }
    ]
}
]
```


サービスカタログを開く **- GET /servicespecification/{specificationId}**

サービス仕様を取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/servicespecification/{specificationId}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
specificationId	取得するサービス仕様の sys_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ：文字列
state	ステータス別にサービス仕様をフィルタリングします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する仕様のみが応答で返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがテーブルに見つかりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	サービス仕様の external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	このサービス仕様のリソース仕様。 データタイプ：アレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様の external_version。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様のバージョン。 データタイプ：文字列

serviceSpecificationRelationship	この仕様と他のサービス仕様との関係。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"serviceSpecificationRelationship": [
	   {
	      "id": "String",
	      "internalId": "String",
	      "internalVersion": "String",
	      "relationshipType": "String",
	      "validFor": {Object},
	      "version": "String"
	   }
	]</pre>

serviceSpecificationRelationship.id	関連仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.internalId	関連仕様の initial_version。
serviceSpecificationRelationship.internalVersion	関連仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.relationshipType	関係のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
serviceSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.version	関連仕様の external_version。 データタイプ：文字列
specCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：アレイ `"specCharacteristic": [ { "characteristicValueSpecification": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"characteristicValueSpecification": [ { "value": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列
version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
@type	仕様のタイプ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ファイアウォールサービスのサービス仕様を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/ser
vicespecification/31c5caff07266010a7955b7e0ad3006b" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "31c5caff07266010a7955b7e0ad3006b",
   "name": "Firewall Administration",
   "description": "Firewall Administration",
   "lastUpdate": "2022-01-23 11:46:48",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2021-11-22",
      "endDateTime": ""
   },
   "serviceSpecificationRelationship": [],
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "3546463307666010a7955b7e0ad3005d",
         "name": "Cisco Firewall Management system",
         "version": "1"
      }
   ],
   "serviceSpecCharacteristic": [
      {
         "name": "Firewall Administration CPE Model",
         "description": "Firewall Administration CPE Model",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDatetime": "2022-02-20 00:55:37"
         },
         "productSpecCharacteristicValue": [
            {
               "value": "2100 series",
               "validFor": {
                  "startDateTime": ""
               }
            },
            {
               "value": "4100 series",
               "validFor": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "7300 series",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "9300 series",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          }
       ]
    },
    {
       "name": "Firewall Administration CPE Type",
       "description": "Firewall Administration CPE Type",
       "valueType": "choice",
       "validFor": {
          "startDatetime": "2022-02-20 00:53:45"
       },
       "productSpecCharacteristicValue": [
          {
             "value": "Physical",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "Virtual",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          }
       ]
    },
    {
       "name": "Configuration and Policy backup",
       "description": "Configuration and Policy backup",
       "valueType": "choice",
       "validFor": {
          "startDatetime": "2022-01-21 10:46:02"
       },
       "productSpecCharacteristicValue": [
          {
             "value": "Weekly",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
             }
          },
          {
             "value": "Monthly",
             "validFor": {
                "startDateTime": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                }
            },
            {
                "value": "Daily",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            }
        ]
    },
    {
        "name": "Remote CLI troubleshoot support",
        "description": "Remote CLI troubleshoot support",
        "valueType": "choice",
        "validFor": {
            "startDatetime": "2022-01-21 10:45:38"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": [
            {
                "value": "Standard support",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            },
            {
                "value": "Premium support",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            },
            {
                "value": "Basic support",
                "validFor": {
                    "startDateTime": ""
                }
            }
        ]
    },
    {
        "name": "Firewall Administration CPE ID",
        "description": "Firewall Administration CPE ID",
        "valueType": "single_line_text",
        "validFor": {
            "startDatetime": "2022-02-20 00:57:50"
        },
        "productSpecCharacteristicValue": []
    }
  ]
}
```


サービスカタログを開く - **POST /servicespecification**

サービス仕様を作成します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/servicespecification`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	必須です。仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	サービス仕様の external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 *externalId*と *id*の両方が指定されている場合は、同じ仕様を参照する必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	サービス仕様の initial_version または external_id。*id*が指定されていない場合、このエンドポイントは version=1 で新しい仕様を作成します。*id*が指定されている場合、このエンドポイントは当該仕様の新しいバージョンを作成します。 *externalId*と *id*の両方が指定されている場合は、同じ仕様を参照する必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
name	必須です。仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	必須です。このサービス仕様のリソース仕様。 データタイプ：アレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	必須です。リソース仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様の external_version。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様のバージョン。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
serviceSpecificationRelationship	この仕様と他のサービス仕様との関係。 データタイプ：アレイ `"serviceSpecificationRelationship": [ { "id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre>"internalVersion": "String", "relationshipType": "String", "validFor": {Object}, "version": "String" }]</pre>
serviceSpecificationRelationship.id	*serviceSpecificationRelationship* パラメーターを使用する場合は必須です。関連仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.internalVersion	関連仕様のバージョン。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
serviceSpecificationRelationship.relationshipType	*serviceSpecificationRelationship* パラメーターを使用する場合は必須です。関係のタイプ。 有効な値： • composed_of • bundles データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト <pre>"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }</pre>
serviceSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
serviceSpecificationRelationship.version	関連仕様の external_version。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
specCharacteristic	仕様特性。 データタイプ：アレイ `"specCharacteristic": [ { "characteristicValueSpecification": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	必須です。特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ：アレイ `"characteristicValueSpecification": [ { "value": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	必須です。特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
specCharacteristic.name	必須です。特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
specCharacteristic.valueType	必須です。特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	必須です。仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 バージョンは、指定されたバージョンチェーンに対して一意である必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
@type	必須です。仕様のタイプ。 有効な値： • CustomerFacingServiceSpecification • ResourceFacingServiceSpecification

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード必須フィールドがありません：<フィールド名>

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
description	仕様の説明。 データタイプ：文字列
externalId	サービス仕様の external_id。サービス仕様

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
id	サービス仕様の initial_version または external_id。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalId	サービス仕様の initial_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
lastUpdate	仕様が最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
name	仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification	このサービス仕様のリソース仕様。 データタイプ：アレイ `"resourceSpecification": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "name": "String", "version": "String" } ]`
resourceSpecification.id	リソース仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalId	リソース仕様の initial_version。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
resourceSpecification.internalVersion	リソース仕様の external_version。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.name	リソース仕様の名前。 データタイプ：文字列
resourceSpecification.version	リソース仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship	この仕様と他のサービス仕様との関係。 データタイプ：アレイ `"serviceSpecificationRelationship": [ { "id": "String", "internalId": "String", "internalVersion": "String", "relationshipType": "String", "validFor": {Object}, "version": "String" } ]`
serviceSpecificationRelationship.id	関連仕様の initial_version または external_id。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.internalId	関連仕様の initial_version。
serviceSpecificationRelationship.internalVersion	関連仕様のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor	関係が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"startDateTime": "String"
	}</pre>

serviceSpecificationRelationship.validFor.endDateTime	関係の終了日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.validFor.startDateTime	関係の開始日。 データタイプ：文字列
serviceSpecificationRelationship.version	関連仕様の external_version。 データタイプ：文字列

specCharacteristic	仕様特性。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"specCharacteristic": [
	{
	
	"characteristicValueSpecification": Array,
	"description": "String",
	"name": "String",
	"validFor": Object,
	"valueType": "String"
	}
	]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。
	データタイプ：アレイ
	<pre>"characteristicValueSpecification": [
	{
	"value": "String"
	}
	]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性の値タイプ (選択肢やメールなど)。 データタイプ：文字列
validFor	仕様が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	仕様の終了日。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	仕様の開始日。 データタイプ：文字列
version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
@type	仕様のタイプ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

この例では、ファイアウォールサービスのサービス仕様を作成します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_prd_pm_adv/catalogmanagement/ser
vicespecification" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "externalId": "7655",
   "name": "Firewall Service",
   "description": "This service specification describes a firewall
 service that can be deployed in customer-premises equipment.",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2017-08-23T00:00",
      "endDateTime": "2021-03-25T00:00"
   },
   "lastUpdate": "2020-08-15T00:00",
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "af66e551c32f10105252716b7d40dd52",
         "name": "Firewall"
      }
   ],
   "specCharacteristic": [
      {
         "name": "Edge",
         "description": "This characteristic describes the operating
 system run by the service",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-08-12T00:00",
            "endDateTime": "2021-03-07T00:00"
         },
         "characteristicValueSpecification": [
            {
               "value": "Android KitKat"
            }
         ],
      }
   ],
   "serviceSpecRelationship": [
      {
         "relationshipType": "composed_of",
         "id": "65033023ebdb30107ee5302698522849",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-08-25T00:00",
            "endDateTime": "2021-03-25T00:00"
         }
      }
   ],
   "@type": "ResourceFacingServiceSpecification"
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。


```
{
   "id": "21a7ee64c32310105253716b8d40dd60",
   "name": "Firewall Service",
   "description": "This service specification describes a firewall
 service that can be deployed in customer-premises equipment.",
   "validFor": {
      "startDateTime": "2017-08-23T00:00",
      "endDateTime": "2021-03-25T00:00"
   },
   "lastUpdate": "2020-08-15T00:00",
   "resourceSpecification": [
      {
         "id": "af66e551c32f10105252716b7d40dd52",
         "name": "Firewall"
      }
   ],
   "specCharacteristic": [
      {
         "name": "Edge",
         "description": "This characteristic describes the operating
 system run by the service",
         "valueType": "choice",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-08-12T00:00",
            "endDateTime": "2021-03-07T00:00"
         },
         "characteristicValueSpecification": [
            {
               "value": "Android KitKat"
            }
         ],
      }
   ],
   "serviceSpecRelationship": [
      {
         "relationshipType": "composed_of",
         "id": "65033023ebdb30107ee5302698522849",
         "validFor": {
            "startDateTime": "2017-08-25T00:00",
            "endDateTime": "2021-03-25T00:00"
         }
      }
   ],
   "@type": "ResourceFacingServiceSpecification"
}
```


サービス契約 API

サービス契約 API は、サービス契約レコードを作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

注: この API は、 Post-Sales Support アプリケーションのテーブルにデータを作成するためのものです。汎用 API ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API にアクセスするには、関連するインスタンスで次のプラグインを有効にする必要があります。

- カスタマー契約とエンタイトルメント (com.sn_pss_core)
- カスタマーサービスインストールベース管理 (com.snc.install)
- 製品カタログ管理コア (com.sn_prd)

さらに、この API を正常に呼び出すには、sn_pss_core.pss_integrator ロールが必要です。この API は `sn_pss_core` 名前空間で実行されます。

この API を使用する前に、次のテーブルのデータを関連付けておく必要があります。詳細については、「サービス契約の作成」を参照してください。

- アカウント (customer_account)
- コンシューマー (csm_consumer)
- 世帯 [csm_household]
- インストールベース [sn_install_base_item]
- 製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]
- 製品モデル [cmdb_model]
- 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product]

サービス契約:GET **/sn_pss_core/servicecontract/{id}**

指定されたサービス契約レコードを取得します。

このエンドポイントは、要求を処理するときに次のテーブルのデータを取得します。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]
- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品とインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。
- サービス契約 [sn_pss_core_service_contract]
- サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line]

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/servicecontract/{id}`

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/servicecontract/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
id	取得するサービス契約のSys_id。サービス契約 [sn_pss_core_service_contract] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
display_value	返されるデータのタイプ。 有効な値： • false:すべてのフィールド の値 を返します。たとえば、"state":"draft" です。 • true:すべてのフィールドの display_value を返します。例: "state":"Draft" • all:すべてのフィールドのすべての情報を返します。 `"state": { "name": "state", "label": "State", "value": "draft", "display_value": "Draft", "type": "string" }` データタイプ：文字列 デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
アカウント	サービ Sys_id ブルに データ
consumer	サービ Sys_id ブルに データ
終了	サービ データ
世帯	サービ Sys_id す。 データ
install_base_items_covered	サービ スアイ データ "ins {

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"St
	}
	]</pre>

install_base_items_covered。追加	関連す テムの データ
install_base_items_covered。契約	インス サービ [sn_ps ります データ
install_base_items_covered。資格	インス ンタイ ルメン ます。 データ
install_base_items_covered。install_base	関連付 コード [sn_ins データ
install_base_items_covered。削除	関連付 スアイ データ
install_base_items_covered。service_contract_line	関連付 コード [sn_ps にあり データ
install_base_items_covered。sys_created_by	インス ユーザ データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
install_base_items_covered。sys_created_on	インス た日時 データ
install_base_items_covered。sys_id	対象の のSys [sn_ins テーブ データ
install_base_items_covered。sys_updated_by	インス 新した データ
install_base_items_covered。sys_updated_on	インス 新され データ
番号	自動生 データ
service_contract_lines	サービ 品目 (データ "ser { [Ar [Ar [Ar "St [Ar

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>

service_contract_lines。child_contract_lines	サービ
	約品目
	
	データ
	<pre>"chi
	  {
	
	[Ar
	
	[Ar
	
	[Ar
	
	"St
	
	[Ar
	
	  }
	]</pre>

service_contract_lines。child_contract_lines。child_contract_lines	子サー 契約品 同じバ
service_contract_lines。child_contract_lines。契約	子サー サービ [sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。終了	子サー データ 形式： デフォ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント	子サー
	ルメン
	
	データ
	"ent
	{
	
	[Ar
	
	[Ar
	
	"St
	
	[Ar
	
	}
	]

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント	エンタ ドのSy テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。消費者	エンタ マーレ [csm_ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。契約	エンタ レコー [sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。end_date	エンタ データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式： デフォ

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタト。
	
	データ
	
	"ent
	{
	
	"St
	
	"St
	
	}
	]

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。特性	エンタドのSテーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタプショ[sn_prありま データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。資格	エンタトルメります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連製 データ "ent { "St

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"St }]
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタ エンタ トルメ ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタ ンタイ [sn_ps ブルに データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタ 終了日 データ 形式：
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタ 日。 データ 形式：
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。service_contract_line	現在の サービ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタ Sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタ 新した データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタ 新され データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付 囲値。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	*perio* または トの数 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。service_contract_line	現在の 目。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタ 前。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	エンタ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。種類	エンタ 有効な

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 対象 • cov データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。価値	特性の データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エンタ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。世帯	エンタ ドのSy ありま データ

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	子サー
	ベース
	[sn_ins
	テーブ
	データ
	"ir
	{
	"St
	}
	]

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連す 契約品 データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。契約	インス サービ [sn_ps ります

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。資格	インスタンス ンタイ 約 [sn_ ありま データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base	関連付 コード [sn_ins データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連付 ベース データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付 コード [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_by	インス ユーザ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_on	インス た日時 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	対象の のSys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_by	インス 新した データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_on	インス 新され

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。積	エンタ レコー テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering	エンタ リング [sn_pr ます。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。service_contract_line	エンタ 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタ 製品レ [sn_ins ます。 データ

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	対象製
	[sn_ins
	テーブ
	
	データ
	"so
	{
	"St
	}
	]

service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連す 始され データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。契約	対象の ビス契 [sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。資格	対象の ルメン [servic データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。削除	関連付 製品の データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。service_contract_line	対象の 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	サービ み製品 テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_by	販売済 名前。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_on	販売済 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	このサ 品Sys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済 ザーの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_on	販売済 ザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。start_date	エンタ データ 形式：
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。状態	エンタ 有効な • acti • キャ • ドラ • 期限 • 中断 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_by	エンタ の名前 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_on	エンタ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	関連付 コード [servic データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_by	エンタ ユーザ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_on	エンタ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics	エンタ ト。 データ "ent {

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"St
	
	"St
	
	}
	]</pre>

service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。特性	エンタドのSテーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタプショ[sn_prありま データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。資格	エンタトルメります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタス契約[sn_psにあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタ時。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_id	エンタ データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタ たユー データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタ れた日 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。種類	エンタ 有効な • 対象 • cov データ
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。価値	特性の データ

service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered	子サー
	ベース
	[sn_ins
	テーブ
	データ
	"in
	{
	"St
	}
	]

service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。追加	関連す 契約品 データ 形式： デフォ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。契約	インス サービ [sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。資格	インス ンタイ 約 [sn_ ありま データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。install_base	関連付 コード [sn_ins データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。削除	関連付 ベース データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付 コード [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_by	インス ユーザ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_on	インス た日時 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_id	対象の のSys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_by	インス 新した データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_on	インス 新され データ
service_contract_lines。child_contract_lines。名前	子サー データ
service_contract_lines。child_contract_lines。parent_contract_line	子サー レコー データ
service_contract_lines。child_contract_lines。product_model	子サー Sys_id ありま データ
service_contract_lines。child_contract_lines。product_offering	子サー リング [sn_pr ます。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_product	子サー 製品レ [sn_ins ます。 データ

service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered	対象製
	[sn_ins
	テーブ
	
	データ
	
	"so
	{
	
	"St
	
	}
	]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。追加	関連す 始され データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。契約	対象の ビス契 [sn_ps ります データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。資格	対象の ルメン [servic データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。削除	関連付 製品の データ 形式： デフォ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。service_contract_line	対象の 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sold_product	サービ み製品 テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_by	販売済 名前。 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_on	販売済 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_id	このサ 品Sys [sn_ins テーブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済 ザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_on	販売済 ザーの データ
service_contract_lines。child_contract_lines。開始	子サー データ 形式：
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_created_by	子サー の名前 データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_created_on	子サー データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_id	子サー 契約品 テーブ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_updated_by	子サー ユーザ データ
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_updated_on	子サー 日時。 データ
service_contract_lines。契約	サービ サービ [sn_ps ります データ
service_contract_lines。終了	サービ データ 形式： デフォ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

service_contract_lines。エンタイトルメント	サービルメン[servic
	
	データ
	"ent
	{
	
	[Ar
	
	[Ar
	
	"St
	
	[Ar
	
	}
	]

service_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント	エンタドのSyテーブ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。消費者	エンタマーレ[csm_ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。契約	エンタレコー[sn_psります データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。end_date	エンタ データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式： デフォ

service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタ
	けられ
	[sn_ps
	ブルに
	
	データ
	
	"ent
	{
	
	"St
	
	"St
	
	}
	]

service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性	エンタ ドのSy テーブ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.characteristic_option	エンタ プショ [sn_pr ありま データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。資格	関連付 コード [servic データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連製 データ "ent { "St

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタ エンタ トルメ ります データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタ ンタイ [sn_ps ブルに データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタ 終了日 データ 形式：
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタ 日。 データ 形式：
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタ Sys_id [sn_ps ります データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタ 新した データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタ 新され データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付 囲値。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	*perio* または トの数 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタ ス契約 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	エンタ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタ たユー データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタ れた日 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type	エンタ 有効な • 対象 • cov

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。価値	特性の データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エンタ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。世帯	エンタ ドのSy ありま データ

service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	サービ
	スアイ
	
	データ
	"ins
	{
	"St
	}
	]

service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連す トルメ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。契約	インス サービ [sn_ps ります データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。資格	インス ンタイ ルメン ます。 データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base	関連付 コード [sn_ins データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連す トルメ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付 コード [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_by	インス ユーザ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_on	インス た日時 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	対象の のSys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_by	インス 新した データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_on	インス 新され データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。積	エンタ レコー テーブ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering	エンタ リング [sn_pr ます。 データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。エンタイトルメント。service_contract_line	エンタ 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタ 製品レ [sn_ins ます。 データ

service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	対象製
	[sn_ins
	テーブ
	
	データ
	"so
	{
	
	"St
	
	}
	]

service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連す 加され データ 形式： デフォ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。契約	対象の ビス契 [sn_ps ります データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。資格	対象の ルメン [servic

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered.削除	関連す 削除さ データ 形式： デフォ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。service_contract_line	対象の 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	エンタ 品Sys [sn_ins ます。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_by	販売済 名前。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_on	販売済 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	このサ 品Sys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済 ザーの データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_on	対象の 日時。 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。start_date	エンタ データ 形式：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。エンタイトルメント。状態	エンタ 有効な • acti • キャ • ドラ • 期限 • 中断 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_by	エンタ の名前 データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_on	エンタ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	関連付 コード [servic データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_by	エンタ ユーザ データ
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_on	エンタ データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics	サービ られた [sn_ps ブルに データ "ent { "St "St

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
service_contract_lines。entitlement_characteristics.特性	エンタドのSテープ データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics.characteristic_option	エンタプショ[sn_prありま データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。資格	関連付コード[servic データ

service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連製
	
	データ
	<pre>"ent
	  {
	
	 "St
	
	 "St
	
	  }
	]</pre>

service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタエンタトルメります データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタンタイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_ps ブルに データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタ 終了日 データ 形式：
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタ 日。 データ 形式：
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタ Sys_id [sn_ps ります データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタ 新した データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタ 新され データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	購入し データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	使用さ データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタ ス契約 [sn_ps にあり

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタ ザーの データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタ 時。 データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_id	エンタ データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタ たユー データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタ れた日 データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics.type	エンタ 有効な • 対象 • cov データ
service_contract_lines。entitlement_characteristics.value	特性の データ
service_contract_lines。install_base_items_covered	サービ スアイ [sn_ins テーブ データ "in { "St

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
service_contract_lines。install_base_items_covered。追加	関連す 契約品 データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。契約	インス サービ [sn_ps ります データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。資格	インス ンタイ ルメン ます。 データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。install_base	サービ スアイ ム [sn_ データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。削除	関連付 ベース データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付 コード [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_by	インス ユーザ データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_on	インス た日時 データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。sys_id	対象の のSys [sn_ins テーブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_by	インス 新した データ
service_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_on	インス 新され データ
service_contract_lines。名前	サービ データ
service_contract_lines。parent_contract_line	現在の 品目の 契約に Null。 データ
service_contract_lines。product_model	サービ Sys_id ありま データ
service_contract_lines。product_offering	サービ リング [sn_pr ます。 データ
service_contract_lines。sold_product	サービ 品レコ [sn_ins ます。 データ
service_contract_lines。sold_products_covered	対象製 [sn_ins テーブ データ "so {

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"St
	
	}
	]</pre>

service_contract_lines。sold_products_covered。追加	関連す された データ 形式： デフォ
service_contract_lines。sold_products_covered。契約	対象の ビス契 [sn_ps ります データ
service_contract_lines。sold_products_covered。資格	対象の ルメン [servic データ
service_contract_lines。sold_products_covered.削除	関連す 除され データ 形式： デフォ
service_contract_lines。sold_products_covered。service_contract_line	対象の 契約品 [sn_ps にあり データ
service_contract_lines。sold_products_covered。sold_product	エンタ 品Sys [sn_ins ます。 データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
service_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_by	販売済 名前。 データ
service_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_on	販売済 データ
service_contract_lines。sold_products_covered。sys_id	このサ 品Sys [sn_ins テーブ データ
service_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済 ザーの データ
service_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_on	対象の 日時。 データ
service_contract_lines。開始	サービ データ 形式：
service_contract_lines。状態	契約品 有効な • acti • キャ • ドラ • 期限 • 中断 データ
service_contract_lines。sys_created_by	サービ 名前。 データ
service_contract_lines。sys_created_on	サービ データ
service_contract_lines。sys_id	サービ 契約品 テーブ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データ
service_contract_lines。sys_updated_by	サービ ザーの データ
service_contract_lines。sys_updated_on	サービ 時。 データ
short_description	サービ データ

sold_products_covered	対象製
	[sn_ins
	テーブ
	
	データ
	"so
	{
	
	"St
	
	}
	]

sold_products_covered。追加	関連す データ
sold_products_covered。契約	対象の ビス契 [sn_ps ります データ
sold_products_covered。資格	対象の ルメン [servic データ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
sold_products_covered。削除	関連す 付。 データ
sold_products_covered。service_line_contract	対象の 契約品 [sn_ps にあり データ
sold_products_covered。sold_product	サービ み製品 テーブ データ
sold_products_covered。sys_created_by	販売済 名前。 データ
sold_products_covered。sys_created_on	販売済 データ
sold_products_covered。sys_id	このサ 品Sys [sn_ins テーブ データ
sold_products_covered。sys_updated_by	販売済 ザーの データ
sold_products_covered。sys_updated_on	対象の 日時。 データ
開始	サービ データ 形式： デフォ
state	サービ 有効な • acti • キャ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• ドラ • 期限 データ
sys_created_by	サービ 前。 データ
sys_created_on	サービ データ
sys_id	サービ [sn_ps ります データ
sys_updated_by	サービ の名前 データ
sys_updated_on	サービ データ
vendor_contract	関連付 データ

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/servicecontract/fc73d2d
e89226110f877430a4e008add" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
{
    "result": {
        "sys_id": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
        "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
        "consumer": null,
        "household": null,
        "number": "CNTR0010004",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "state": "active",
        "starts": "2022-12-03",
        "ends": "",
        "short_description": null,
        "vendor_contract": "External Reference",
        "service_contract_lines": [
            {
                "sys_id": "d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                "sys_created_by": "admin",
                "sys_updated_by": "admin",
                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "name": "CLI",
                "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                "parent_contract_line": null,
                "sold_product": null,
                "starts": "2022-12-03",
                "ends": "",
                "product_offering": null,
                "product_model": null,
                "child_contract_lines": [
                    {
                        "sys_id": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "name": "Child CLI",
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "parent_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                        "sold_product": null,
                        "starts": "2022-12-03",
                        "ends": "",
                        "product_offering": null,
                        "product_model": null,
                        "child_contract_lines": [],
                        "entitlements": [
                            {
                                "sys_id":
"7439fd84c2494ba6951e58f333cfe8d4",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
                                "account":
"4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
                                "consumer": null,
                                "household": null,
                                "contract":
"d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                                "service_contract_line":
"3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
                                "state": "active",
                                "product_offering": null,
                                "sold_entitlement": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                                "product": null,
                                "start_date": "2022-12-03",
                                "end_date": "",
                                "entitlement_characteristics": [],
                                "sold_products_covered": [],
                                "install_base_items_covered": []
                            }
                        ],
                        "sold_products_covered": [
                            {
                                "sys_id":
"dfb62e9c4c6843009be02a68f65b9118",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "contract":
"d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                                "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                                "entitlement": null,
                                "sold_product":
"ec235d9dd1b53110f8776589fa411fe2",
                                "added": "2023-12-03",
                                "removed": "2023-12-03"
                            }
                        ],
                        "install_base_items_covered": [
                            {
                                "sys_id":
"2583912e81964501b52a2e44d4797a28",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "contract":
"d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                                "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                                "entitlement": null,
                                "install_base":
"a1731551d1f53110f8776589fa411f8d",
                                "added": "2023-12-03",
                                "removed": "2023-12-03"
                            }
                        ],
                        "entitlement_characteristics": [
                            {
                                "sys_id":
"3a00c975bb49412cae169200c7f6236e",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                                "entitlement": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                                "characteristic_option":
"495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
                                "value": "5",
                                "characteristic":
"63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
                                "type": "coverage"
                            }
                        ]
                    }
                ],
                "entitlements": [
                    {
                        "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "entitlement_name": "ENTL",
                        "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
                        "consumer": null,
                        "household": null,
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                        "state": "active",
                        "product_offering": null,
                        "sold_entitlement": null,
                        "product": null,
                        "start_date": "2022-12-03",
                        "end_date": "",
                        "sold_products_covered": [
                            {
                                "sys_id":
"a0641d91d1f53110f8776589fa411fc2",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "contract":
"d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                                "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                                "entitlement":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
                                "sold_product":
"da23d151d1f53110f8776589fa411f27",
                                "added": "",
                                "removed": ""
                            }
                        ],
                        "install_base_items_covered": [
                            {
                                "sys_id":
"e0641d91d1f53110f8776589fa411fc3",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "contract":
"d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                                "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                                "entitlement":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
                                "install_base":
"43739151d1f53110f8776589fa411fc1",
                                "added": "2023-12-03",
                                "removed": "2023-12-03"
                            }
                        ],
                        "entitlement_characteristics": [
                            {
                                "sys_id":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fd0",
                                "sys_created_by": "admin",
                                "sys_updated_by": "admin",
                                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                                "service_contract_line": null,
                                "entitlement":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
                                "characteristic_option":
"495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
                                "value": "5",
                                "characteristic":
"63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
                                "type": "coverage_and_usage",
                                "entitlement_usage": [
                                    {
                                        "sys_id":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fd1",
                                        "sys_created_by": "admin",
                                        "sys_updated_by": "admin",
                                        "sys_created_on": "2023-10-09
11:27:29",
                                        "sys_updated_on": "2023-10-09
11:27:29",
                                        "entitlement":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
                                        "service_contract_line": null,
                                        "entitlement_characteristic":
"a8641d91d1f53110f8776589fa411fd0",
                                        "period_start": "2022-12-03",
                                        "period_end": "",
                                        "total_units": "5",
                                        "used_units": "3"
                                    }
                                ]
                            }
                        ]
                    }
                ],
                "sold_products_covered": [
                    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "sys_id": "98641d91d1f53110f8776589fa411fbc",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                        "entitlement": null,
                        "sold_product":
"ec235d9dd1b53110f8776589fa411fe2",
                        "added": "2023-12-03",
                        "removed": "2023-12-03"
                    }
                ],
                "install_base_items_covered": [
                    {
                        "sys_id": "58641d91d1f53110f8776589fa411fbd",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                        "entitlement": null,
                        "install_base":
"a1731551d1f53110f8776589fa411f8d",
                        "added": "2023-12-03",
                        "removed": "2023-12-03"
                    }
                ],
                "entitlement_characteristics": [
                    {
                        "sys_id": "e0641d91d1f53110f8776589fa411fbf",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "service_contract_line":
"d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
                        "entitlement": null,
                        "characteristic_option":
"495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
                        "value": "5",
                        "characteristic":
"63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
                        "type": "coverage"
                    }
                ]
            },
            {
                "sys_id": "e4641d91d1f53110f8776589fa411fd2",
                "sys_created_by": "admin",
                "sys_updated_by": "admin",
                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "name": "CLI 2",
                "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                "parent_contract_line": null,
                "sold_product": null,
                "starts": "2022-12-03",
                "ends": "",
                "product_offering": null,
                "product_model": null,
                "child_contract_lines": [],
                "entitlements": [],
                "sold_products_covered": [
                    {
                        "sys_id": "e8641d91d1f53110f8776589fa411fd3",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "service_contract_line":
"e4641d91d1f53110f8776589fa411fd2",
                        "entitlement": null,
                        "sold_product":
"7f23995dd1b53110f8776589fa411f66",
                        "added": "2023-12-03",
                        "removed": "2023-12-03"
                    }
                ],
                "install_base_items_covered": [
                    {
                        "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd4",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                        "service_contract_line":
"e4641d91d1f53110f8776589fa411fd2",
                        "entitlement": null,
                        "install_base":
"a483d951d1f53110f8776589fa411fad",
                        "added": "2023-12-03",
                        "removed": "2023-12-03"
                    }
                ],
                "entitlement_characteristics": [
                    {
                        "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd5",
                        "sys_created_by": "admin",
                        "sys_updated_by": "admin",
                        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                        "service_contract_line":
"e4641d91d1f53110f8776589fa411fd2",
                        "entitlement": null,
                        "characteristic_option":
"495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
                        "value": "5",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                        "characteristic":
 "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
                        "type": "coverage"
                    }
                ]
            }
        ],
        "sold_products_covered": [
            {
                "sys_id": "9c641d91d1f53110f8776589fa411fb9",
                "sys_created_by": "admin",
                "sys_updated_by": "admin",
                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                "service_contract_line": null,
                "entitlement": null,
                "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b",
                "added": "2023-12-03",
                "removed": "2023-12-03"
            }
        ],
        "install_base_items_covered": [
            {
                "sys_id": "d8641d91d1f53110f8776589fa411fba",
                "sys_created_by": "admin",
                "sys_updated_by": "admin",
                "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
                "contract": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
                "service_contract_line": null,
                "entitlement": null,
                "install_base": "e2639951d1f53110f8776589fa411f2b",
                "added": "2023-12-03",
                "removed": "2023-12-03"
            }
        ]
    }
}
```


サービス契約:GET **/sn_pss_core/servicecontract/contractline/{id}**

指定されたサービス契約品目レコードを取得します。

このエンドポイントは、要求を処理するときに次のテーブルのデータを取得します。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]
- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品とインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。
- サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line]

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/servicecontract/contractline/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/servicecontract/contractline/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	取得するサービス契約品目レコードのSys_id。サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
display_value	返されるデータのタイプ。 有効な値： • false:すべてのフィールド `の値` を返します。たとえば、`"state":"draft"` です。 • true:すべてのフィールドの `display_value` を返します。例: `"state":"Draft"` • all:すべてのフィールドのすべての情報を返します。 `"state": { "name": "state", "label": "State", "value": "draft", "display_value": "Draft", "type": "string" }` データタイプ：文字列 デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	Descriptio
child_contract_lines	サービス 約品目の データタ "child { "c [Arra "c "e "e "e [Arra " [Arra "r

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	"p "Stri "p "p "s "s [Arra "s "s "s "s "s "s "s }]
child_contract_lines。child_contract_lines	子サービ 契約品目 ジェクト メーター データタ
child_contract_lines。契約	子サービ サービス fm_pss_c います。 データタ
child_contract_lines。終了	子サービ データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント	子サービ ルメント データタ "entit { "a "c "c "e "e [Arra "e "k "i [Arra "p

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	"p "s "Stri "s "s [Arra "s "s "s "s "s "s "s }]
child_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント	エンタイ ドのSys_ テーブル データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。消費者	エンタイ マーレコ csm_co データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。契約	エンタイ コード sm_pss_c ります。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。end_date	エンタイ データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイ ト。 データタ "entit { " " "Stri " " " "Stri "

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	"s "s "s "s "t "v }]
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。特性	エンタイ ドのSys_ テーブル データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイ プション [sn_prd_ あります データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。資格	エンタイ トルメン ます。 データタ

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	ンタイ
	トルメ
	
	データタ
	"entit
	{
	"e
	"e
	"Stri
	"p
	"p
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"t
	"u
	}
	]

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタイ エンタイ トルメン ります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタイ ンタイト [sn_pss_ ブルにあ データタ
cchild_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタイ 終了日。 データタ 形式：yy
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタイ 日。 データタ 形式：yy
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。service_contract_line	現在のエ サービス データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタイ ザーの名 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタイ 時。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイ Sys_id。 [sn_pss_ ります。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタイ 新したユ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタイ 新された データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付け 囲値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	*period* またはコ トの数。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。種類	エンタイ 有効な値 • 対象範 • covere データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。価値	特性の値 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エンタイ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。世帯	エンタイ のSys_ ります。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	サービ ベースア [sn_insta テーブル データタ "inst { "Stri }]
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連する 契約品目

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。契約	インスト サービス [sn_pss_ ります。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。資格	インスト ンタイト 約 [sn_ps あります データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base	関連付け コードの [sn_insta データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連付け ベースア データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付け コードの [sn_pss_ にありま データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_by	インスト ユーザー データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_on	インスト た日時。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	対象のイ のSys_id [sn_insta テーブル

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_by	インスト 新したユ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_on	インスト 新された データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。積	エンタイ レコード テーブル データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering	エンタイ リングレ [sn_prd_ ます。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。service_contract_line	エンタイ 契約品目 [sn_pss_c にありま データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタイ 製品レコ [sn_insta ます。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	対象製品 [sn_insta テーブル データタ "sold_ { "a "c "e "r "s "Stri "s "s "s

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	"s "s "s }]
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連する 始される データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。契約	対象の販 ビス契約 [sn_pss_c ります。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。資格	対象の販 ルメント service_ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。削除	関連付け 製品の補 データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。service_contract_line	対象の販 契約品目 [sn_pss_c にありま データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	サービス み製品テ テーブル データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_coveredsys_created_by	販売済み 名前。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_on	販売済み

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	このサー 品Sys_id [sn_insta テーブル データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済み ザーの名 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_on	販売済み ザーの名 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。start_date	エンタイ データタ 形式：yy
child_contract_lines。エンタイトルメント。状態	エンタイ 有効な値 • active • キャン • ドラフ • 期限 切 • 中断 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_by	エンタイ の名前。 データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_created_on	エンタイ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	関連付け コードの [service_ データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_by	エンタイ ユーザー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_updated_on	エンタイ データタ

child_contract_lines。entitlement_characteristics	エンタイ
	ト。
	
	データタ
	"entit
	{
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	}

child_contract_lines。entitlement_characteristics。特性	エンタイ ドのSys_ テーブル データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイ プション [sn_prd_ あります データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。資格	エンタイ トルメン ります。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage	エンタイ イトルメ データタ "entit { "e

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	"e "Stri "p "p "s "Stri "s "s "s "s "s "t "u }]
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタイ エンタイ トルメン ります。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタイ ンタイト {sn_pss_c ブルにあ データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタイ 終了日。 データタ 形式：yy
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタイ 日。 データタ 形式：yy
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。service_contract_line	現在のエ サービス データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタイ ザーの名 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタイ 時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイ Sys_id。 [sn_pss_ ります。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタイ 新したユ データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタイ 新された データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付け 囲値。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	period またはコ トの数。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタイ ス契約品 [sn_pss_ にありま データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタイ ザーの名 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタイ 時。 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_id	エンタイ データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタイ たユーザ データタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタイ れた日時 データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。種類	エンタイ 有効な値 • 対象範 • covera データタ
child_contract_lines。entitlement_characteristics。価値	特性の値 データタ

child_contract_lines。install_base_items_covered	子サービ
	ベースア
	[sn_insta
	テーブル
	
	データタ
	
	"inst
	{
	"a
	"c
	"e
	"i
	"n
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

child_contract_lines。install_base_items_covered。追加	関連する 契約品目 データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。install_base_items_covered。契約	インスト サービス [sn_pss_c ります。 データタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
child_contract_lines。install_base_items_covered。資格	インスト ンタイト 約 [sn_ps あります データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。install_base	関連付け コードの [sn_insta データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。削除	関連付け ベースア データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付け コードの [sn_pss_c にありま データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_by	インスト ユーザー データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_created_on	インスト た日時。 データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_id	対象のイ のSys_id [sn_insta テーブル データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_by	インスト 新したユ データタ
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_updated_on	インスト 新された データタ
child_contract_lines。名前	子サービ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
child_contract_lines。parent_contract_line	子サービ レコード データタ
child_contract_lines。product_model	子サービ Sys_id。 あります データタ
child_contract_lines。product_offering	子サービ リングレ [sn_prd_ ます。 データタ
child_contract_lines。sold_product	子サービ 製品レコ [sn_insta す。 データタ

child_contract_lines。sold_products_covered	対象製品
	[sn_insta
	テーブル
	
	データタ
	
	"sold_
	{
	"a
	"c
	"e
	"i
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

child_contract_lines。sold_products_covered。追加	関連する 始される データタ 形式：yy

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	デフォル
child_contract_lines。sold_products_covered。契約	対象の販 ビス契約 [sn_pss_c ります。 データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。資格	対象の販 ルメント [service_ データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。削除	関連付け 製品の補 データタ 形式：yy デフォル
child_contract_lines。sold_products_covered。service_contract_line	対象の販 契約品目 [sn_pss_c にありま データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。sold_product	サービス み製品テ テーブル データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_by	販売済み 名前。 データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。sys_created_on	販売済み データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。sys_id	このサー 品Sys_id [sn_insta テーブル データタ
child_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済み ザーの名 データタ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
child_contract_lines。sold_products_covered。sys_updated_on	販売済み ザーの名 データタ
child_contract_lines。開始	子サービ データタ 形式：yy
child_contract_lines。状態	契約品目 有効な値 • active • キャン • ドラフ • 期限 切 • 中断 データタ
child_contract_lines。sys_created_by	子サービ の名前。 データタ
child_contract_lines。sys_created_on	子サービ データタ
child_contract_lines。sys_id	子サービ 契約品目 テーブル データタ
child_contract_lines。sys_updated_by	子サービ ユーザー データタ
child_contract_lines。sys_updated_on	子サービ 日時。 データタ
契約	サービス サービス [sn_pss_ ります。 データタ
終了	サービス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ 形式：yy デフォル

エンタイトルメント	サービス
	トルメン
	[service_
	データタ
	"entit
	{
	"a
	"c
	"c
	"e
	"e
	[Arra
	"e
	"h
	"i
	[Arra
	"p
	"p
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	[Arra
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

エンタイトルメント。アカウント	エンタイ ドのSys_ テーブル データタ
エンタイトルメント。消費者	エンタイ マーレコ [csm_co データタ
エンタイトルメント。契約	エンタイ レコード

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	[sn_pss_c ります。 データタ
エンタイトルメント。end_date	エンタイ データタ 形式：yy デフォル

エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイ
	けられた
	[sn_pss_c
	ブルにあ
	
	データタ
	
	"entit
	{
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	"t
	"
	}
	]

エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性	エンタイ ドのSys_ テーブル データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.characteristic_option	エンタイ プション [sn_prd_ あります。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。資格	関連付け コードの [service_ データタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio

エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	データタ
	"entit
	{
	"e
	"e
	[Arra
	"p
	"p
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"t
	"u
	}
	]

エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。資格	エンタイ エンタイ トルメン ります。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。entitlement_characteristic	エンタイ タイト [sn_pss_ ブルにあ データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_end	エンタイ 終了日。 データタ 形式：yy
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。period_start	エンタイ 日。 データタ 形式：yy
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。service_contract_line	現在のエ サービス データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_by	エンタイ ザーの名

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_created_on	エンタイ 時。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイ Sys_id。 [sn_pss_ ります。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_by	エンタイ 新したユ データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_updated_on	エンタイ 新された データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。total_units	関連付け 囲値。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	period_ またはコ トの数。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタイ ス契約品 [sn_pss_ にありま データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタイ ザーの名 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタイ 時。 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	エンタイ データタ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタイ たユーザ データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタイ れた日時 データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type	エンタイ 有効な値 • 対象範 • covere データタ
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.value	特性の値 データタ
エンタイトルメント。entitlement_name	エンタイ データタ
エンタイトルメント。世帯	エンタイ トのSys_ あります データタ

エンタイトルメント。install_base_items_covered	サービス
	スアイテ
	
	データタ
	"insta
	{
	"a
	"c
	"e
	"i
	"n
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連する トルメン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。契約	インスト サービス [sn_pss_ ります。 データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。資格	インスト ンタイト ルメント ます。 データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base	関連付け コードの [sn_insta データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連する ルメン データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。service_contract_line	関連付け コードの [sn_pss_ ありま データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_by	インスト ユーザー データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_created_on	インスト た日時。 データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	対象のイ のSys_id [sn_insta テーブル データタ
エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_by	インスト 新したユ データタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_updated_on	インスト 新された データタ
エンタイトルメント。積	エンタイ レコード テーブル データタ
エンタイトルメント。product_offering	エンタイ リングレ [sn_prd_ ます。 データタ
エンタイトルメント。service_contract_line	エンタイ 契約品目 [sn_pss_c にありま データタ
エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタイ 製品レコ [sn_insta ます。 データタ

エンタイトルメント。sold_products_covered	対象製品
	[sn_insta
	テーブル
	
	データタ
	`"sold_`
	`{`
	`"a`
	`"c`
	`"e`
	`"i`
	`"s`
	`"Stri`
	`"s`
	`"s`
	`"s`
	`"s`
	`"s`
	`"s`
	`}`
	`]`

エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連する 加された

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ 形式：yy デフォル
エンタイトルメント。sold_products_covered。契約	対象の販 ビス契約 [sn_pss_ ります。 データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。資格	対象の販 ルメント [service_ データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered.削除	関連する 削除され データタ 形式：yy デフォル
エンタイトルメント。sold_products_covered。service_contract_line	対象の販 契約品目 [sn_pss_ にありま データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	エンタイ 品Sys_id [sn_insta ます。 データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_by	販売済み 名前。 データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_created_on	販売済み データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	このサー 品Sys_id [sn_insta テーブル

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_by	販売済み ザーの名 データタ
エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_updated_on	対象の販 日時。 データタ
エンタイトルメント。start_date	エンタイ データタ 形式：yy
エンタイトルメント。状態	エンタイ 有効な値 • active • キャン • ドラフ • 期限 切 • 中断 データタ
エンタイトルメント。sys_created_by	エンタイ の名前。 データタ
エンタイトルメント。sys_created_on	エンタイ データタ
エンタイトルメント。sys_id	関連付け コードの [service_ データタ
エンタイトルメント。sys_updated_by	エンタイ ユーザー データタ
エンタイトルメント。sys_updated_on	エンタイ データタ
entitlement_characteristics	サービス ンタイト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio

	[sn_pss_c
	ブルにあ
	
	データタ
	"entit
	{
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"Stri
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	"
	}
	]

entitlement_characteristics。特性	エンタイ トのSys_ テーブル データタ
entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイ プション sn_prd_ あります データタ
entitlement_characteristics。資格	エンタイ トルメン ります。 データタ
entitlement_characteristics。service_contract_line	エンタイ ス契約品 [sn_pss_c にありま データタ
entitlement_characteristics。sys_created_by	エンタイ ザーの名 データタ
entitlement_characteristics。sys_created_on	エンタイ 時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
entitlement_characteristics。sys_id	エンタイ データタ
entitlement_characteristics。sys_updated_by	エンタイ たユーザ データタ
entitlement_characteristics。sys_updated_on	エンタイ れた日時 データタ
entitlement_characteristics。種類	エンタイ 有効な値 • 対象範 • covera データタ
entitlement_characteristics。価値	特性の値 データタ

install_base_items_covered	サービス
	ルアイテ
	sh_insta
	テーブル
	データタ
	"inst
	{
	"a
	"c
	"e
	"i
	"r
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

install_base_items_covered。追加	関連する 契約品目

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
install_base_items_covered。契約	インスト サービス [sn_pss_ ります。 データタ
install_base_items_covered。資格	インスト ンタイト ルメント ます。 データタ
install_base_items_covered。install_base	サービス スアイテ ム [sn_in データタ
install_base_items_covered。削除	関連付け ベースア データタ
install_base_items_covered。service_contract_line	関連付け ードの sn_pss_ にありま データタ
install_base_items_covered。sys_created_by	インスト ユーザー データタ
install_base_items_covered。sys_created_on	インスト た日時。 データタ
install_base_items_covered。sys_id	対象のイ のSys_id [sn_insta テーブル データタ
install_base_items_covered。sys_updated_by	インスト 新したユ データタ
install_base_items_covered。sys_updated_on	インスト 新された

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
name	サービス データタ
parent_contract_line	現在のサ 品目のSy 契約に基 Null。 データタ
product_model	サービス Sys_id。 あります データタ
product_offering	サービス リングレ [sn_prd_ ます。 データタ
sold_product	サービス のレコー [sn_insta ます。 データタ

sold_products_covered	対象製品
	[sn_insta
	テーブル
	
	データタ
	
	"sold_
	{
	"a
	"c
	"e
	"l
	"s
	"Stri
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	"s
	}
	]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
sold_products_covered。追加	関連する された日 データタ 形式：yy デフォル
sold_products_covered。契約	対象の販 ビス契約 [sn_pss_c ります。 データタ
sold_products_covered。資格	対象の販 ルメント [service_ データタ
sold_products_covered.削除	関連する 除された データタ 形式：yy デフォル
sold_products_covered。service_contract_line	対象の販 契約品目 [sn_pss_c にありま データタ
sold_products_covered。sold_product	エンタイ 品Sys_id [sn_insta ます。 データタ
sold_products_covered。sys_created_by	販売済み 名前。 データタ
sold_products_covered。sys_created_on	販売済み データタ
sold_products_covered。sys_id	このサー 品Sys_id [sn_insta テーブル

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Descriptio
	データタ
sold_products_covered。sys_updated_by	販売済み ザーの名 データタ
sold_products_covered。sys_updated_on	対象の販 日時。 データタ
開始	サービス データタ 形式：yy
state	契約品目 有効な値 • active • キャン • ドラフ • 期限 切 • 中断 データタ
sys_created_by	サービス 名前。 データタ
sys_created_on	サービス データタ
sys_id	サービス 契約品目 テーブル データタ
sys_updated_by	サービス ザーの名 データタ
sys_updated_on	サービス 時。 データタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/servicecontract/contrac
tline/fc73d2de89226110f877430a4e008add" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答：


```
{
  "result": {
    "sys_id": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:47",
    "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:47",
    "name": "CLI",
    "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
    "parent_contract_line": null,
    "sold_product": null,
    "starts": "2022-12-03",
    "ends": "",
    "product_offering": null,
    "product_model": null,
    "child_contract_lines": [
      {
        "sys_id": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
        "name": "Child CLI",
        "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
        "parent_contract_line": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
        "sold_product": null,
        "starts": "2022-12-03",
        "ends": "",
        "product_offering": null,
        "product_model": null,
        "child_contract_lines": [],
        "entitlements": [
          {
            "sys_id": "7439fd84c2494ba6951e58f333cfe8d4",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
            "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
            "consumer": null,
            "household": null,
            "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
            "service_contract_line": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "state": "active",
            "product_offering": null,
            "sold_entitlement": null,
            "product": null,
            "start_date": "2022-12-03",
            "end_date": "",
            "entitlement_characteristics": [],
            "sold_products_covered": [],
            "install_base_items_covered": []
          }
        ],
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "dfb62e9c4c6843009be02a68f65b9118",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
            "service_contract_line": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
            "entitlement": null,
            "sold_product": "ec235d9dd1b53110f8776589fa411fe2",
            "added": "2023-12-03",
            "removed": "2023-12-03"
          }
        ],
        "install_base_items_covered": [
          {
            "sys_id": "2583912e81964501b52a2e44d4797a28",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
            "service_contract_line": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
            "entitlement": null,
            "install_base": "a1731551d1f53110f8776589fa411f8d",
            "added": "2023-12-03",
            "removed": "2023-12-03"
          }
        ],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "3a00c975bb49412cae169200c7f6236e",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:27:29",
            "service_contract_line": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
            "entitlement": null,
            "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
            "value": "5",
            "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
            "type": "coverage"
          }
        ]
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
    "entitlements": [
      {
        "sys_id": "16e419d1d1f53110f8776589fa411f3c",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:48",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:48",
        "entitlement_name": "ENTL 2",
        "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
        "consumer": null,
        "household": null,
        "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
        "service_contract_line": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
        "state": "active",
        "product_offering": null,
        "sold_entitlement": null,
        "product": null,
        "start_date": "2022-12-03",
        "end_date": "",
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "1ae419d1d1f53110f8776589fa411f3d",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:48",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:48",
            "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
            "service_contract_line": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
            "entitlement": "16e419d1d1f53110f8776589fa411f3c",
            "sold_product": "da23d151d1f53110f8776589fa411f27",
            "added": "",
            "removed": ""
          }
        ],
        "install_base_items_covered": [],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "1ae419d1d1f53110f8776589fa411f3e",
            "sys_created_by": "admin",
            "sys_updated_by": "admin",
            "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:48",
            "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:48",
            "service_contract_line": null,
            "entitlement": "16e419d1d1f53110f8776589fa411f3c",
            "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
            "value": "5",
            "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
            "type": "coverage_and_usage",
            "entitlement_usage": [
              {
                "sys_id": "56e419d1d1f53110f8776589fa411f3f",
                "sys_created_by": "admin",
                "sys_updated_by": "admin",
                "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:48",
                "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:48",
                "entitlement": "16e419d1d1f53110f8776589fa411f3c",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "service_contract_line": null,
                "entitlement_characteristic":
 "1ae419d1d1f53110f8776589fa411f3e",
                "period_start": "2022-12-03",
                "period_end": "",
                "total_units": "5",
                "used_units": "2"
              }
            ]
          }
        ]
      }
    ],
    "sold_products_covered": [
      {
        "sys_id": "5ae451d1d1f53110f8776589fa411f81",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:47",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:47",
        "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
        "service_contract_line": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
        "entitlement": null,
        "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b",
        "added": "2023-12-03",
        "removed": "2023-12-03"
      }
    ],
    "install_base_items_covered": [],
    "entitlement_characteristics": [
      {
        "sys_id": "dae451d1d1f53110f8776589fa411f82",
        "sys_created_by": "admin",
        "sys_updated_by": "admin",
        "sys_created_on": "2023-10-09 11:29:47",
        "sys_updated_on": "2023-10-09 11:29:47",
        "service_contract_line": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
        "entitlement": null,
        "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
        "value": "5",
        "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
        "type": "coverage"
      }
    ]
  }
}
```


サービス契約:POST **/sn_pss_core/servicecontract**

指定されたペイロードからサービス契約レコードとそのすべての関連エンティティを作成します。

サービス契約 API は、さまざまなテーブルにデータを格納します。以下は、サービス契約の作成時にこのエンドポイントによってレコードが作成されるテーブルのリストです。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品とインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。
- サービス契約 [sn_pss_core_service_contract]
- サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line]

このエンドポイントの要求本文は、次のテーブルのフィールドを参照します。この API を利用する前に、この情報をインスタンスに追加する必要があります。詳細については、「サービス契約の作成」を参照してください。

- アカウント (customer_account)
- 特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option]
- コンシューマー (csm_consumer)
- 世帯 [csm_household]

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/servicecontract`

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/servicecontract`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前
アカウント
consumer

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
終了
世帯
install_base_items_covered
install_base_items_covered.added
install_base_items_covered。install_base
install_base_items_covered。削除

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines
service_contract_lines。child_contract_lines

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。child_contract_lines
service_contract_lines。child_contract_lines。終了
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。消費者

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。end_date
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.characteristic_option
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage。used_units

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.value
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。世帯
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。積
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。削除
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。start_date
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。状態
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.特性

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.characteristic_option
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.entitlement_usage
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.entitlement_usage。usage_units
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.type
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics.value
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。追加

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。install_base
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。削除
service_contract_lines。child_contract_lines。名前
service_contract_lines。child_contract_lines。product_model
service_contract_lines。child_contract_lines。product_offering
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_product
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered
service_contract_lines。child_contract_lines。.sold_products_covered。追加

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。削除
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sold_product
service_contract_lines。child_contract_lines。開始
service_contract_lines。child_contract_lines。状態
service_contract_lines.終了
service_contract_lines.エンタイトルメント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント
service_contract_lines。エンタイトルメント。消費者
service_contract_lines。エンタイトルメント。end_date
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.characteristic_option
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage。usage_units
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.value
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。エンタイトルメント。世帯
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除
service_contract_lines。エンタイトルメント。積

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。削除
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product
service_contract_lines。エンタイトルメント。start_date

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。エンタイトルメント。状態
service_contract_lines。entitlement_characteristics
service_contract_lines。entitlement_characteristics。特性
service_contract_lines。entitlement_characteristics。characteristic_option
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。usage_units
service_contract_lines。entitlement_characteristics。種類
service_contract_lines。entitlement_characteristics。価値
service_contract_lines。install_base_items_covered
service_contract_lines。install_base_items_covered。追加
service_contract_lines。install_base_items_covered。install_base

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。install_base_items_covered。削除
service_contract_lines。名前
service_contract_lines。product_model
service_contract_lines。product_offering
service_contract_lines。sold_product
service_contract_lines。sold_products_covered
service_contract_lines。sold_products_covered。追加
service_contract_lines。sold_products_covered。削除

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
service_contract_lines。sold_products_covered。sold_product
service_contract_lines。開始
service_contract_lines。状態
short_description
sold_products_covered

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前
sold_products_covered.added
sold_products_covered.削除
sold_products_covered.sold_product
開始
state
vendor_contract

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理され、レコードが作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	Desc
install_base_items_covered	サー のsy デー "i]
install_base_items_covered。sys_id	対象 のSy

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
	[sn_ ルに デー
番号	自動 デー
service_contract_lines	サー リス デー "s [[ ]
service_contract_lines。child_contract_lines	サー オブ デー "c [[ ]
service_contract_lines。child_contract_lines。child_contract_lines	子サ 子サ ト。 *ser* パラ デー
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント	子サ トの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
	デー "e [[ ]
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エン デー
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エン ト特 デー "e]
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	子サ イト [sn_ あり デー
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	エン イテ デー "i]
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	エン ベー [sn_ ルに デー
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	エン ト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
	デー "s]
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	エン 製品 [sn_ ルに デー
service_contract_lines。child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	子サ ルメ [serv デー
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics	チリ デー "e]
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage	enti ルメ デー "e }
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エン Sys_ [sn_ す。 デー
service_contract_lines。child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_id	子サ イト [sn_ あり デー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered	子契 sys_i デー "i]
service_contract_lines。child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_id	対象 のSy [sn_ ルに デー
service_contract_lines。child_contract_lines。名前	子サ デー
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered	子サ ト。 デー "s]
service_contract_lines。child_contract_lines。sold_products_covered。sys_id	子サ 品Sy [sn_ ルに デー
service_contract_lines。child_contract_lines。sys_id	子サ 目 [s ます デー
service_contract_lines。エンタイトルメント	サー スト デー "e [

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
	[ ]
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エン デー
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エン ト特 デー "e]
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	enti ルメ デー "e }
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エン Sys_ [sn_ す。 デー
service_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	サー イト [sn_ あり デー
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	エン イテ デー "i]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Desc
service_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	エン ベー [sn_ ルに デー
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	エン ト。 デー "s]
service_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	エン 製品 [sn_ ルに デー
service_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	サー メン [serv デー
short_description	サー デー
sold_products_covered	サー デー "s]
sold_products_covered。sys_id	サー Sys_ [sn_ ルに デー
sys_id	サー [sn_ デー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出し、1 つの販売済み製品対象レコード、1 つのインストールベースアイテム対象レコード、および 2 つのサービス契約品目を含むサービス契約を作成する方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/servicecontract" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--data
{
  "state": "active",
  "account": "4c325111d1f53110f8776589fa411f3d",
  "vendor_contract": "External Reference",
  "starts": "2022-12-03",
  "service_contract_lines": [
    {
      "state": "active",
      "name": "CLI",
      "starts": "2022-12-03",
      "child_contract_lines": [
        {
          "state": "active",
          "name": "Child CLI",
          "starts": "2022-12-03",
          "entitlements": [
            {
              "state": "active",
              "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
              "start_date": "2022-12-03"
            }
          ],
          "sold_products_covered": [
            {
              "sold_product": "8db4258949f14ef7b90d90822dfc5800",
              "added": "2023-12-03",
              "removed": "2023-12-03"
            }
          ],
          "install_base_items_covered": [
            {
              "install_base": "2f270832699b46e78aa899a5a5dc6682",
              "added": "2023-12-03",
              "removed": "2023-12-03"
            }
          ],
          "entitlement_characteristics": [
            {
              "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
              "characteristic_option":
 "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
              "value": "20",
              "type": "coverage"
            }
          ]
        }
      ],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "entitlements": [
        {
          "state": "active",
          "entitlement_name": "ENTL",
          "start_date": "2022-12-03",
          "sold_products_covered": [
            {
              "sold_product": "da23d151d1f53110f8776589fa411f27"
            }
          ],
          "install_base_items_covered": [
            {
              "install_base": "43739151d1f53110f8776589fa411fc1",
              "added": "2023-12-03",
              "removed": "2023-12-03"
            }
          ],
          "entitlement_characteristics": [
            {
              "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
              "characteristic_option":
"495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
              "value": "20",
              "type": "coverage_and_usage",
              "entitlement_usage": {
                "used_units": "3"
              }
            }
          ]
        }
      ],
      "sold_products_covered": [
        {
          "sold_product": "ec235d9dd1b53110f8776589fa411fe2",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "install_base_items_covered": [
        {
          "install_base": "a1731551d1f53110f8776589fa411f8d",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "entitlement_characteristics": [
        {
          "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
          "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
          "value": "20",
          "type": "coverage"
        }
      ]
    },
    {
      "state": "active",
      "name": "CLI 2",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "starts": "2022-12-03",
      "sold_products_covered": [
        {
          "sold_product": "7f23995dd1b53110f8776589fa411f66",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "install_base_items_covered": [
        {
          "install_base": "a483d951d1f53110f8776589fa411fad",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "entitlement_characteristics": [
        {
          "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
          "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
          "value": "20",
          "type": "coverage"
        }
      ]
    }
  ],
  "sold_products_covered": [
    {
      "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b",
      "added": "2023-12-03",
      "removed": "2023-12-03"
    }
  ],
  "install_base_items_covered": [
    {
      "install_base": "e2639951d1f53110f8776589fa411f2b",
      "added": "2023-12-03",
      "removed": "2023-12-03"
    }
  ]
}
--user "username":"password"
```

応答：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "d8641151d1f53110f8776589fa411fde",
    "number": "CNTR0010004",
    "short_description": null,
    "service_contract_lines": [
      {
        "sys_id": "d4641d91d1f53110f8776589fa411fbb",
        "name": "CLI",
        "child_contract_lines": [
          {
            "sys_id": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
            "name": "Child CLI",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "child_contract_lines": [],
            "entitlements": [
              {
                "sys_id": "7439fd84c2494ba6951e58f333cfe8d4",
                "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
                "sold_products_covered": [],
                "install_base_items_covered": [],
                "entitlement_characteristics": []
              }
            ],
            "sold_products_covered": [
              {
                "sys_id": "dfb62e9c4c6843009be02a68f65b9118"
              }
            ],
            "install_base_items_covered": [
              {
                "sys_id": "2583912e81964501b52a2e44d4797a28"
              }
            ],
            "entitlement_characteristics": [
              {
                "sys_id": "3a00c975bb49412cae169200c7f6236e",
                "entitlement_usage": {}
              }
            ]
          }
        ],
        "entitlements": [
          {
            "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fc0",
            "entitlement_name": "ENTL",
            "sold_products_covered": [
              {
                "sys_id": "a0641d91d1f53110f8776589fa411fc2"
              }
            ],
            "install_base_items_covered": [
              {
                "sys_id": "e0641d91d1f53110f8776589fa411fc3"
              }
            ],
            "entitlement_characteristics": [
              {
                "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd0",
                "entitlement_usage": {
                  "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd1"
                }
              }
            ]
          }
        ],
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "98641d91d1f53110f8776589fa411fbc"
          }
        ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "install_base_items_covered": [
          {
            "sys_id": "58641d91d1f53110f8776589fa411fbd"
          }
        ],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "e0641d91d1f53110f8776589fa411fbf",
            "entitlement_usage": {}
          }
        ]
      },
      {
        "sys_id": "e4641d91d1f53110f8776589fa411fd2",
        "name": "CLI 2",
        "child_contract_lines": [],
        "entitlements": [],
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "e8641d91d1f53110f8776589fa411fd3"
          }
        ],
        "install_base_items_covered": [
          {
            "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd4"
          }
        ],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "a8641d91d1f53110f8776589fa411fd5",
            "entitlement_usage": {}
          }
        ]
      }
    ],
    "sold_products_covered": [
      {
        "sys_id": "9c641d91d1f53110f8776589fa411fb9"
      }
    ],
    "install_base_items_covered": [
      {
        "sys_id": "d8641d91d1f53110f8776589fa411fba"
      }
    ]
  }
}
```


サービス契約:POST **/sn_pss_core/servicecontract/contractline**

契約品目レコードとそのすべての関連エンティティを作成します。

このエンドポイントは、要求を処理するときに次のテーブルにデータを格納します。

- 特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] - このテーブルには、対象の販売済み製品とインストールベースアイテムの両方の情報が含まれています。
- サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line]

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_pss_core/v1/servicecontract/contractline`

デフォルト URL: `/api/sn_pss_core/servicecontract/contractline`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	Description (説明)
child_contract_lines	サービス契約品目の下に作 目オブジェクトのリスト。 [sn_pss_core_service_co データタイプ：オブジェク "child_contract_li { "child_contrac "contract": "S "ends": "Strin "entitlements" "entitlement_c [Array], "install_base_ [Array], "name": "Strin "parent_contra "product_model "product_offer "sold_product" "sold_products "starts": "Str "state": "Stri

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	}]
child_contract_lines。child_contract_lines	子サービス契約品目の下 オブジェクトのリスト。 *child_contract_line* トと同じ要素があります。 データタイプ：オブジェク
child_contract_lines。契約	子サービス契約品目に関連 サービス契約のSys_id。 [sn_pss_core_service_co データタイプ：文字列
child_contract_lines。終了	子サービス契約品目が終了 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除す

child_contract_lines。エンタイトルメント	子サービス契約品目に関連
	トのリスト。これらのエン
	トルメント [service_enti
	ます。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	"entitlements:" [
	{
	"account": "St
	"consumer": "S
	"end_date": "S
	"entitlement_c
	[Array],
	"entitlement_n
	"household": "
	"install_base_
	[Array],
	"product": "St
	"product_offer
	"sold_entitlem
	"sold_products
	"start_date":
	"state": "Stri
	}
	]

child_contract_lines。エンタイトルメント。アカウント	*consumer*パラメーターか エンタイトルメントが属す Sys_id。アカウント [cus あります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。消費者	*account*パラメーターが エンタイトルメントが属す Sys_id。コンシューマー あります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。end_date	エンタイトルメントの終了 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除す

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイトルメントに関連
	性のリスト。この配列のテ
	[sn_pss_core_entitlemen
	挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"entitlement_chara
	{
	"characteristi
	"characteristi
	"entitlement_u
	"type": "Strin
	"value": "Stri
	}
	]</pre>

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性	必須。 エンタイトルメントに関連 Sys_id。特性 [sn_prd_pr あります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメン ト。entitlement_characteristics.characteristic_option	エンタイトルメントに関連 プションレコードのSys_i [sn_prd_pm_characteris す。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメン ト。entitlement_characteristics.entitlement_usage	関連するエンタイトルメン 位値。このデータはエンタ [sn_pss_core_entitlemen ます。 entitlement_characteris ある場合にのみ、このパラ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	データタイプ: オブジェク
	`"entitlement_usage`
	`"used_units":`
	`}`

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage。used_units	関連するエンタイトルメ データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type	エンタイトルメント特性の 有効な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics.value	*entitlement_charact* パラメーターに指定され る*input_type*パラメー す。 特性の値。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	必須。 エンタイトルメントの名 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。世帯	世帯プラグインがアクテ ターが渡された場合にの エンタイトルメントに関 Sys_id。世帯 [csm_hous データタイプ：文字列

child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	エンタイトルメントの対
	トールベースアイテムの
	レイの情報は、Sold Proc
	[sn_install_base_m2m_c
	ブルに挿入されます。
	データタイプ：オブジェク
	`"install_base_item`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"install_base"`
	`"removed": "St`
	`}`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連するインストールベントに追加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。install_base	エンタイトルメントの対スアイテムのSys_id。イ[sn_install_base_item] テ データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連するインストールベントから削除された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
child_contract_lines。エンタイトルメント。積	エンタイトルメントに関ドのSys_id。製品モデルります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。product_offering	エンタイトルメントに関リングレコードのSys_id。[sn_prd_pm_product_of データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタイトルメントに関製品レコードのSys_id。[sn_install_base_sold_pr データタイプ：文字列

child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	エンタイトルメントの対ト。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"sold_products_cov`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"removed": "St`
	`"sold_product"`
	`}`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連する販売済み製品がこた日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。削除	関連する販売済み製品がこれた日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	エンタイトルメントに関連製品のSys_id。対象の販売[sn_install_base_m2m_cブルにあります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。start_date	必須。 エンタイトルメントの開始 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
child_contract_lines。エンタイトルメント。状態	必須。 エンタイトルメントの現在 有効な値：(大文字と小文 • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列

child_contract_lines。entitlement_characteristics	エンタイトルメントに関連性のリスト。この配列の[sn_pss_core_entitlemen挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"entitlement_chara`
	`{`
	`"characteristi`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"characteristi
	"entitlement_u
	"type": "Strin
	"value": "Stri
	}
	]</pre>

child_contract_lines。entitlement_characteristics。特性	エンタイトルメントに関連 Sys_id。特性 [sn_prd_pr あります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。entitlement_characteristics。characteristic_option	エンタイトルメントに関連 プションレコードのSys_i [sn_prd_pm_characteris す。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連するエンタイトルメン
	位値。このデータはエンタ
	[sn_pss_core_entitlemen
	ます。
	
	entitlement_characteris
	ある場合にのみ、このパラ
	
	データタイプ：オブジェク
	<pre>"entitlement_usage
	"used_units":
	}</pre>

child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	関連するエンタイトルメン データタイプ：文字列
child_contract_lines。entitlement_characteristics。種類	エンタイトルメント特性の 有効な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列
child_contract_lines。entitlement_characteristics。価値	特性の値。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象 トールベースアイテムのリ レイの情報は、Sold Proc

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	[sn_install_base_m2m_c
	ブルに挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"install_base_item`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"install_base"`
	`"removed": "St`
	`}`
	`]`

child_contract_lines。install_base_items_covered。追加	関連するインストールベー 品目に追加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
child_contract_lines。install_base_items_covered。install_base	子サービス契約品目の対象 スアイテムのSys_id。イン [sn_install_base_item] テ データタイプ：文字列
child_contract_lines。install_base_items_covered。削除	関連付けられた子サービス スアイテムの補償を終了す データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
child_contract_lines。名前	子サービス契約品目の名前 データタイプ：文字列
child_contract_lines。parent_contract_line	子サービス契約品目に関連 ドのSys_id。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。product_model	子サービス契約品目に関連 品モデル [cmdb_model] データタイプ：文字列
child_contract_lines。product_offering	子サービス契約品目に関連 リングレコードのSys_id。 [sn_prd_pm_product_of

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
child_contract_lines。sold_product	子サービス契約品目に関連 製品レコードのSys_id。 [sn_install_base_sold_pr データタイプ：文字列

child_contract_lines。sold_products_covered	子サービス契約品目の対象
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"sold_products_cov`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"removed": "St`
	`"sold_product"`
	`}`
	`]`

child_contract_lines。sold_products_covered。追加	関連付けられた子サービス 製品のカバーを開始する日 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
child_contract_lines。sold_products_covered。削除	関連付けられた子サービス 製品の補償を終了する日付 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
child_contract_lines。sold_products_covered。sold_product	子サービス契約品目に関連 製品のSys_id。対象の販売 [sn_install_base_m2m_c ブルにあります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。開始	子サービス契約品目の開始 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
child_contract_lines。状態	契約品目の現在のステータ 有効な値： (大文字と小文

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列
契約	サービス契約品目に関連付 サービス契約のSys_id。 [sn_pss_core_service_co データタイプ：文字列
終了	サービス契約品目が終了す データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除す
エンタイトルメント	サービス契約品目に関連付 スト。これらのエンタイト ント [service_entitlemen データタイプ：オブジェク `"entitlements:" [ { "account": "St "consumer": "S "end_date": "S "entitlement_c [Array], "entitlement_n "household": " "install_base_ [Array], "product": "St "product_offer "sold_entitlem "sold_products "start_date": "state": "Stri } ]`
エンタイトルメント。アカウント	*consumer*パラメーターか エンタイトルメントが属す Sys_id。アカウント [cus あります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
エンタイトルメント。消費者	*account*パラメーターが エンタイトルメントが属す Sys_id。コンシューマー あります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。end_date	エンタイトルメントの終了 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:手動で削除す

エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイトルメントに関連
	性のリスト。この配列のテ
	[sn_pss_core_entitlemen
	挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェク
	`"entitlement_chara`
	`{`
	`"characteristi`
	`"charac cristi`
	`"entitlement_u`
	`"type" "Strin`
	`"value" "Stri`
	`}`
	`]`

エンタイトルメント。entitlement_characteristics.特性	必須。 エンタイトルメントに関連 Sys_id。特性 [sn_prd_pr あります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.characteristic_option	エンタイトルメントに関連 プションレコードのSys_i [sn_prd_pm_characteris す。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage	関連するエンタイトルメン 位値。このデータはエンタ [sn_pss_core_entitlemen ます。 entitlement_characteris ある場合にのみ、このパラ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	データタイプ: オブジェク
	`"entitlement_usage`
	`"used_units":`
	`}`

エンタイトルメント。entitlement_characteristics.entitlement_usage。used_units	関連するエンタイトルメン データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.type	エンタイトルメント特性の 有効な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_characteristics.value	*entitlement_charact* パラメーターに指定され る*input_type*パラメー す。 特性の値。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_name	必須。 エンタイトルメントの名 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。世帯	世帯プラグインがアクテ ターが渡された場合にの エンタイトルメントに関 Sys_id。世帯 [csm_hous データタイプ：文字列

エンタイトルメント。install_base_items_covered	エンタイトルメントの対
	トールベースアイテムの
	レイの情報は、Sold Proc
	[sn_install_base_m2m_c
	ブルに挿入されます。
	データタイプ：オブジェク
	`"install_base_item`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"install_base"`
	`"removed": "St`
	`}`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
エンタイトルメント。install_base_items_covered。追加	関連するインストールベントに追加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
エンタイトルメント。install_base_items_covered。削除	関連するインストールベントから削除された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
エンタイトルメント。積	エンタイトルメントに関連ドのSys_id。製品モデルります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。product_offering	エンタイトルメントに関連リングレコードのSys_id。[sn_prd_pm_product_of データタイプ：文字列
エンタイトルメント。sold_entitlement	エンタイトルメントに関連製品レコードのSys_id。販[sn_install_base_sold_pro データタイプ：文字列
エンタイトルメント。sold_products_covered	エンタイトルメントの対象ト。 データタイプ：オブジェク `"sold_products_cov { "added": "Stri "removed": "St "sold_product" } ]`
エンタイトルメント。sold_products_covered。追加	関連する販売済み製品がた日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	デフォルト:現在の日付
エンタイトルメント。sold_products_covered。削除	関連する販売済み製品がこれた日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
エンタイトルメント。sold_products_covered。sold_product	エンタイトルメントに関連製品のSys_id。対象の販売[sn_install_base_m2m_cブルにあります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。start_date	必須。 エンタイトルメントの開始 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd
エンタイトルメント。状態	必須。 エンタイトルメントの現在 有効な値： (大文字と小文 • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列

entitlement_characteristics	サービス契約品目に関連付のリスト。この配列のデー[sn_pss_core_entitlemen挿入されます。
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"entitlement_chara`
	`{`
	`"characteristi`
	`"characteristi`
	`"entitlement_u`
	`"type": "Strin`
	`"value": "Stri`
	`}`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
entitlement_characteristics。特性	必須。 サービス契約品目に関連付 Sys_id。特性 [sn_prd_pr あります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。characteristic_option	*entitlement_charact* パラメーターで指定された *input_type* パラメータ る場合は必須です。 サービス契約品目に関連付 ションレコードのSys_id。 [sn_prd_pm_characteris す。 データタイプ：文字列

entitlement_characteristics。entitlement_usage	関連するサービス契約品目
	値。このデータはエンタ
	[sn_pss_core_entitlemen
	ます。
	
	データタイプ: オブジェク
	`"entitlement_usage`
	`"used_units":`
	`}`

entitlement_characteristics。entitlement_usage。used_units	関連するエンタイトルメン データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。種類	サービス契約品目特性の 有効な値： • 対象範囲の拡大 • 補償_and_usage データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。価値	*entitlement_charact* が渡されない場合は必須 特性の値。 データタイプ：文字列
install_base_items_covered	*sold_products_cover* 場合は必須です。 サービス契約品目の対象と トールベースアイテムのリ メーターのデータは、対象 [sn_install_base_m2m_c ブルに挿入されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	データタイプ：オブジェク
	
	`"install_base_ite`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"install_base"`
	`"removed": "St`
	`}`
	`]`

install_base_items_covered。追加	関連するインストールベー 目に追加された日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
install_base_items_covered。install_base	サービス契約品目の対象と アイテムのSys_id。インス [sn_install_base_item] テ データタイプ：文字列
install_base_items_covered。削除	関連付けられたサービス契 アイテムの補償を終了する データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
name	必須。 サービス契約品目の名前。 データタイプ：文字列
parent_contract_line	現在のサービス契約品目が Sys_id。 契約に基づいて作成された データタイプ：文字列
product_model	サービス契約品目に関連付 製品モデル [cmdb_mode データタイプ：文字列
product_offering	サービス契約品目に関連付 リングレコードのSys_id。 [sn_prd_pm_product_of

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
sold_product	サービス契約品目に関連付 品レコードのSys_id。販売 [sn_install_base_sold_pro データタイプ：文字列

sold_products_covered	*install_base_items_*
	れない場合は必須です。
	サービス契約品目の対象と
	
	データタイプ：オブジェク
	
	`"sold_products_cov`
	`{`
	`"added": "Stri`
	`"removed": "St`
	`"sold_product"`
	`}`
	`]`
	
	データは、対象の販売済み
	[sn_install_base_m2m_c
	ブルに保存されます。

sold_products_covered。追加	関連付けられたサービス契 象範囲で開始される日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:現在の日付
sold_products_covered。削除	関連付けられたサービス契 償を終了する日付。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd デフォルト:終了日なし
sold_products_covered。sold_product	サービス契約品目に関連付 品のSys_id。対象の販売済 [sn_install_base_m2m_c ブルにあります。 データタイプ：文字列
開始	必須。 サービス契約品目の開始日 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	形式：yyyy-mm-dd
state	必須。 契約品目の現在のステータ 有効な値： (大文字と小文 • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理され、レコードが作成されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
403	禁止されました。ユーザーには API にアクセスする権限がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)

child_contract_lines	サービス契約品目の下に作成さ
	約品目オブジェクトのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	`"child_contract_lines"`
	`{`
	`"child_contract_li`
	`[Array],`
	`"entitlements": [A`
	`"entitlement_chara`
	`[Array],`
	`"install_base_item`
	`[Array],`
	`"name": "String",`
	`"sold_products_cov`
	`[Array],`
	`"sys_id" "String"`
	`}`
	`]`

child_contract_lines。child_contract_lines	子サービス契約品目の下に作成 契約品目オブジェクトのリスト ブジェクトには、 *child_con* ラメーターと同じ要素があり データタイプ：オブジェクトの

child_contract_lines。エンタイトルメント	子サービス契約品目に関連付け
	ルメントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	`"entitlements": [`
	`{`
	`"entitlement_name"`
	`"entitlement_chara`
	`[Array],`
	`"install_base_item`
	`[Array],`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"sold_products_cov
	[Array],
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイトルメントの下に作成
	ルメント特性オブジェクトのリ
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"entitlement_character
	{
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

child_contract_lines。エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	子サービス契約品目に関連付け イトルメント特性レコードのS [sn_pss_core_entitlement_ch ブルにあります。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象とな
	ベースアイテムのsys_idsのリス
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"install_base_items_co
	{
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

child_contract_lines。エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	エンタイトルメントの対象とな ベースアイテムのSys_id。対象 [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered	エンタイトルメントの対象とな
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"sold_products_covered
	{
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
child_contract_lines。エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	エンタイトルメントに関連付け 製品のSys_id。対象の販売済み [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。エンタイトルメント。sys_id	子サービス契約品目に関連付け ルメントレコードのSys_id。エ [service_entitlement] テーブル データタイプ：文字列

child_contract_lines。entitlement_characteristics	チリの契約品目に関連付けられ
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"entitlement_character`
	`{`
	`"entitlement_usage`
	`"sys_id": "String"`
	`}`
	`]`

child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage	entitlement_characteristicの
	ンタイトルメント使用オブジェ
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"entitlement_usage": {`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

child_contract_lines。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイトルメント使用状況レ Sys_id。エンタイトルメントの [sn_pss_core_entitlement_us ります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。entitlement_characteristics。sys_id	子サービス契約品目に関連付け イトルメント特性レコードのS [sn_pss_core_entitlement_ch ブルにあります。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。install_base_items_covered	子サービス契約品目の対象とな
	ベースアイテムのsys_idsのリス
	
	データタイプ：オブジェクトの
	
	`"install_base_items_co`
	`{`
	`"sys_id": "String"`
	`}`
	`]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
child_contract_lines。install_base_items_covered。sys_id	対象のインストールベースアイ のSys_id。対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contra テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。名前	子サービス契約品目の名前。 データタイプ：文字列

child_contract_lines。sold_products_covered	子サービス契約品目の対象とな
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	`"sold_products_covered`
	`{`
	`"sys_id": "String"`
	`}`
	`]`

child_contract_lines。sold_products_covered。sys_id	子サービス契約品目の対象とな 品Sys_id。対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contra テーブルにあります。 データタイプ：文字列
child_contract_lines。sys_id	子契約アイテムの対象となる製 のSys_id。対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contra テーブルにあります。 データタイプ：文字列

エンタイトルメント	サービス契約品目に関連付けら
	メントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	`"entitlements": [`
	`{`
	`"entitlement_chara`
	`[Array],`
	`"entitlement_name"`
	`"install_base_item`
	`[Array],`
	`"sold_products_cov`
	`[Array],`
	`"sys_id": "String"`
	`}`
	`]`

エンタイトルメント。entitlement_characteristics	エンタイトルメントの下に作成 ルメント特性オブジェクトのリ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"entitlement_character
	  {
	  "entitlement_usage
	  "sys_id": "String"
	  }
	]</pre>

エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage	entitlement_characteristicの
	ンタイトルメント使用オブジェ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"entitlement_usage": {
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

エンタイトルメント。entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイトルメント使用状況レ Sys_id。エンタイトルメントの [sn_pss_core_entitlement_us ります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_characteristics。sys_id	エンタイトルメント特性レコー データタイプ：文字列
エンタイトルメント。entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列

エンタイトルメント。install_base_items_covered	エンタイトルメントの対象とな
	ベースアイテムのsys_idsのリス
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"install_base_items_co
	  {
	  "sys_id": "String"
	  }
	]</pre>

エンタイトルメント。install_base_items_covered。sys_id	エンタイトルメントの対象とな ベースアイテムのSys_id。対象 [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列

エンタイトルメント。sold_products_covered	エンタイトルメントの対象とな
	リスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"sold_products_covered
	  {</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

エンタイトルメント。sold_products_covered。sys_id	エンタイトルメントに関連付け 製品のSys_id。対象の販売済み [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列
エンタイトルメント。sys_id	サービス契約品目に関連付けら メントレコードのSys_id。エン [service_entitlement] テーブル データタイプ：文字列

entitlement_characteristics	サービス契約品目の下に作成さ
	メント特性オブジェクトのリス
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"entitlement_character
	{
	"entitlement_usage
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

entitlement_characteristics。entitlement_usage	entitlement_characteristicの
	ンタイトルメント使用オブジェ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"entitlement_usage": {
	"sys_id": "String"
	}</pre>

entitlement_characteristics。entitlement_usage。sys_id	エンタイトルメント使用状況レ Sys_id。エンタイトルメントの [sn_pss_core_entitlement_us ります。 データタイプ：文字列
entitlement_characteristics。sys_id	エンタイトルメント特性レコー データタイプ：文字列

install_base_items_covered	サービス契約品目の対象となる
	スアイテムのsys_idsのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"install_base_items_co
	{
	"sys_id": "String"</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	<pre> }]</pre>
install_base_items_covered。sys_id	対象のインストールベースアイ のSys_id。対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	サービス契約品目の名前。 データタイプ：文字列

sold_products_covered	サービス契約品目の対象となる
	スト。
	
	データタイプ：オブジェクトの
	<pre>"sold_products_covered
	  {
	  "sys_id": "String"
	  }
	]</pre>

sold_products_covered。sys_id	サービス契約品目の対象となる のSys_id。対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contro テーブルにあります。 データタイプ：文字列
sys_id	サービス契約品目レコードのS 契約品目 [sn_pss_core_servic テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出してサービス契約品目レコードを作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_pss_core/servicecontract/contrac
tline" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--data
{
  "state": "active",
  "contract": "a4b415d1d1f53110f8776589fa411f20",
  "parent_contract_line": null,
  "name": "CLI",
  "starts": "2022-12-03",
  "child_contract_lines": [
    {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "state": "active",
      "name": "Child CLI",
      "starts": "2022-12-03",
      "entitlements": [
        {
          "state": "active",
          "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
          "start_date": "2022-12-03"
        }
      ],
      "sold_products_covered": [
        {
          "sold_product": "8db4258949f14ef7b90d90822dfc5800",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "install_base_items_covered": [
        {
          "install_base": "2f270832699b46e78aa899a5a5dc6682",
          "added": "2023-12-03",
          "removed": "2023-12-03"
        }
      ],
      "entitlement_characteristics": [
        {
          "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
          "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
          "value": "20",
          "type": "coverage"
        }
      ]
    }
  ],
  "entitlements": [
    {
      "state": "active",
      "entitlement_name": "ENTL 1",
      "start_date": "2022-12-03",
      "sold_products_covered": [
        {
          "sold_product": "ec235d9dd1b53110f8776589fa411fe2"
        }
      ],
      "entitlement_characteristics": [
        {
          "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
          "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
          "value": "20",
          "type": "coverage_and_usage",
          "entitlement_usage": {
            "used_units": "3"
          }
        }
      ]
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "sold_products_covered": [
    {
      "sold_product": "0df21151d1f53110f8776589fa411f1b",
      "added": "2023-12-03",
      "removed": "2023-12-03"
    }
  ],
  "entitlement_characteristics": [
    {
      "characteristic": "63418db7539e61106bfcddeeff7b1238",
      "characteristic_option": "495149b7539e61106bfcddeeff7b1262",
      "value": "tyfy6h",
      "type": "coverage"
    }
  ]
}
```


応答：


```
{
  "result": {
    "sys_id": "16e451d1d1f53110f8776589fa411f80",
    "name": "CLI",
    "child_contract_lines": [
      {
        "sys_id": "3a39ecdc01154f4ab782da0169c9c922",
        "name": "Child CLI",
        "child_contract_lines": [],
        "entitlements": [
          {
            "sys_id": "7439fd84c2494ba6951e58f333cfe8d4",
            "entitlement_name": "Child CLI - ENTL",
            "sold_products_covered": [],
            "install_base_items_covered": [],
            "entitlement_characteristics": []
          }
        ],
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "dfb62e9c4c6843009be02a68f65b9118"
          }
        ],
        "install_base_items_covered": [
          {
            "sys_id": "2583912e81964501b52a2e44d4797a28"
          }
        ],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "3a00c975bb49412cae169200c7f6236e",
            "entitlement_usage": {}
          }
        ]
      }
    ],
    "entitlements": [
      {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "sys_id": "9ee451d1d1f53110f8776589fa411f83",
        "entitlement_name": "ENTL 1",
        "sold_products_covered": [
          {
            "sys_id": "92e451d1d1f53110f8776589fa411f85"
          }
        ],
        "install_base_items_covered": [],
        "entitlement_characteristics": [
          {
            "sys_id": "92e451d1d1f53110f8776589fa411f86",
            "entitlement_usage": {
              "sys_id": "dee451d1d1f53110f8776589fa411f86"
            }
          }
        ]
      }
    ],
    "sold_products_covered": [
      {
        "sys_id": "5ae451d1d1f53110f8776589fa411f81"
      }
    ],
    "install_base_items_covered": [],
    "entitlement_characteristics": [
      {
        "sys_id": "dae451d1d1f53110f8776589fa411f82",
        "entitlement_usage": {}
      }
    ]
  }
}
```


サービス注文オープン API

`サービス注文オープン` API は、サービス注文を行うための標準化されたメカニズムを有効にするエンドポイントを提供します。

この API は、Open API TMForum TMF641 Service Ordering Management API 仕様の ServiceNow® 実装です。

この API にアクセスするには、通信事業向け注文管理 (sn_ind_tmt_orm) プラグインを有効にする必要があります。詳細については、「注文管理 のインストール」を参照してください。注文管理テーブル、エンティティ、およびリレーションシップの詳細については、「注文管理データモデル」を参照してください。

この API は、`sn_tmf_api` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_ind_tmt_orm.order_integrator ロールが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API を拡張して、必要なパラメーター、要求本文の検証、追加の REST 操作、およびフィールドマッピングに関するカスタマイズを実行できます。詳細については、次を参照してください：サービス注文オープン API 開発者ガイドを参照してください。

サービス注文オープン **API – GET /sn_tmf_api/order/serviceOrder**

すべてのサービスオーダーを取得します。

この API は、次のテーブルからサービスオーダー情報を取得します。

- 注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性値 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

```
/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 データタイプ：文字列 デフォルト:返されるすべてのフィールド。
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：20 最大：100 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
state	注文をステータスでフィルターします。ステータスがこのパラメーターの値に一致する注文のみが応答で返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト:すべての状況が返されます。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必る日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、そである必要があります。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	要求されたサービスオーダーの sys_id データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明すジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "author": "String", "date": "String", "text": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
note.author	関連するメモを作成したユーザーの名 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コ ト。 データタイプ：文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値： • true：注文の返品不可期日に達しま 履行の進行中は、注文を変更または セルできません。 • false： 注文の返品不可期日に達して せん。注文を変更またはキャンセル す。 データタイプ：ブーリアン
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、 顧客の連絡先、またはコンシューマー のSys_idまたはexternal_id。アカウ ント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、また シューマー [csm_consumer] テーブル ります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー 名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem	サービスオーダーの品目と関連アクシ 説明するオブジェクトのアレイ。 `"serviceOrderItem:" [{ "action": "String", "actionReason": "String "committedDueDate": "String", "externalProductInvento [Array], "id": "String", "orderRelationship": [Array], "quantity": "Number", "place": {Object}, "ponr": Boolean, "relatedParty": {Object "service": {Object}, "state": "String", "@type": "String", "version": "String" }]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：アレイ
serviceOrderItem.action	サービスオーダーアイテムで実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_iter ブルの [アクション辞書エントリー] フ ドの [選択リスト] タブで定義されます 詳細については、「顧客およびサービ 管理のアクションタイプ 」を参照し さい。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィール ド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item, action_reason
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す がある日時。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ グされた外部 ID を含むオブジェクトの イ。 データタイプ：アレイ `"externalProductInventory": { "externalProductInventoryI "String" } ]`
serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた ID。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジ のアレイ。 データタイプ：アレイ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"orderRelationship:" [
	  {
	  "id": "String",
	  "relationshipType": "St
	  }
	]</pre>

serviceOrderItem.orderRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ の sn_ind_tmt_orm_external_id フィ にあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情 関係階層を識別するために使用されま 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 されます。`Requires` は水平関係に使 ます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文された品目の数。 データタイプ：数値

serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマ
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"place:" {
	  "id": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連 れた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ に関する連絡先の注釈。この値は常に です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.ponr	オーダー品目が返品不可期日に達した かを示すフラグ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	有効な値： • true：オーダー品目の返品不可期日 ました。履行の進行中は、オーダー 変更またはキャンセルできません。 • false： オーダー品目の返品不可期日 していません。オーダー品目は変更 キャンセルできます。 データタイプ：ブーリアン
serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" [ { "email": "String", "firstName": "String" "id": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目 先の sys_id。オーダー品目に関する連 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	必須です。 顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ 品目に関する連絡先の注釈。この値は

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	`RelatedParty` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service	顧客が購入したサービスのインスタン 細の説明。 データタイプ：オブジェクト `"service:" { "serviceCharacteristic": [Array], "serviceRelationship": [Array], "serviceSpecification": {Object}, "serviceType": "String", "state": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明 スト。 現在の *value* が *previousValue* と サービス特性のみが返されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceCharacteristic:" [ { "name": "String", "previousValue": "Strin "value": "String", "valueType": "String" } ]`
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプシ 値。特性オプション値の詳細について 以下を参照してください製品特性と特 ションの作成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship	サービスに関連する製品在庫のリスト データタイプ：アレイ `"serviceRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "St`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	<pre> }]</pre>
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テ ルの sys_id または sn_prd_invt_extern フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.relationshipType	サービスと製品在庫間の関係のタイプ。 可能な値： Requires データタイプ：文字列

serviceOrderItem.service.serviceSpecification	サービスに関連付けられたサービス仕 明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"serviceSpecification:" {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",
	  "internalVersion": "Strin
	  "name": "String",
	  "version": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様 のバージョンの sys_id です。サービス [sn_prd_pm_service_specification] ルの sys_id または external_id フィー あります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。initial_version は、仕 初のバージョンの sys_id です。サービ [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サス仕様 [sn_prd_pm_service_specific テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceSpecificationRef`です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceType	サービスタイプ。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.state	販売済み製品のステータス。たとえば です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.state	サービスオーダーアイテムのステータ とえば、new です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.version	サービスオーダー品目のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceOrderItem` です。この情報 されません。 データタイプ：文字列
state	サービスオーダーのステータス。詳し 「サービス注文ステータス」を参照 ださい。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceOrder` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、すべてのサービスオーダーを取得します。

```
curl --location --request GET
 'http://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder' \
--user 'username':'password'
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文。


```
[
    {
        "id": "bd30366ec3a83010abc8b5183c40dd92",
        "ponr": "true",
        "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/bd30366ec3a83010abc8b5183c40dd92",
        "completionDate": "2021-06-07T21:52:12.000Z",
        "expectedCompletionDate": "2018-01-14T20:07:40.000Z",
        "orderDate": "2021-06-08T05:34:59.000Z",
        "requestedCompletionDate": "2018-01-14T20:07:40.000Z",
        "requestedStartDate": "2018-01-14T20:07:40.000Z",
        "serviceOrderItem": [
            {
                "id": "100",
                "ponr": "true",
                "quantity": 1,
                "action": "add",
                "service": {
                    "@type": "Service",
                    "id": "4b5072aec3a83010abc8b5183c40dd42",
                    "state": "active",
                    "serviceType": "cfs",
                    "serviceCharacteristic": [
                        {
                            "name": "Firewall coverage",
                            "valueType": "choice",
                            "value": "Premium(Up to 50 sites)\n\t\t",
                            "previousValue": ""
                        },
                        {
                            "name": "Firewall Security",
                            "valueType": "choice",
                            "value": "Premium",
                            "previousValue": ""
                        },
                        {
                            "name": "CPE Type",
                            "valueType": "choice",
                            "value": "Physical",
                            "previousValue": ""
                        },
                        {
                            "name": "Administration Support",
                            "valueType": "choice",
                            "value": "Basic( Customer Managed)\n\t\t",
                            "previousValue": ""
                        }
                    ],
                    "serviceSpecification": {
                        "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
                        "name": "Managed Firewall Service",
                        "version": "",
                        "internalVersion": "1",
                        "internalId": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
                        "@type": "ServiceSpecificationRef"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    }
                },
                "place": {
                    "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
                    "@type": "Place"
                },
                "state": "completed",
                "version": "2",
                "@type": "ServiceOrderItem"
            }
        ],
        "relatedParty": [
            {
                "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
                "name": "Funco Intl",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Customer"
            },
            {
                "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
                "name": "Sally Thomas",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "CustomerContact"
            }
        ],
        "state": "completed",
        "version": "2",
        "@type": "ServiceOrder"
    }
]
```


サービス注文オープン **API – GET /sn_tmf_api/order/serviceOrder/{id}**

指定されたサービスオーダーを取得します。

この API は、次のテーブルからサービスオーダー情報を取得します。

- 注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー特性値 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

`/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得するサービスオーダーの sys_id。注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。 選択した注文に処理の問題がある場合、応答は正常とエラーメッセージを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明

	• 200 OK 応答は、注文が受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあり、スケジューラーが処理するレコードを選択するのを待っている場合に発生します。[エラーメッセージ] フィールドには、レコードの詳細が含まれます。例：
	`{ "code": 102, "reason": "Request in queue", "message": "Request in queue", "details": [ { "message": "This Order is still in the inbound queue table waiting to be processed.", "datapath": "" } ] }`
	• 注文の作成に失敗し、受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルのレコードがエラーステータスの場合、200 OK 応答が発生します。[エラーメッセージ] フィールドには、受信キューテーブルレコードの詳細が含まれています。例：
	`{ "code": 23, "reason": "Missing body field", "message": "Missing body field", "details": [ { "message": "Invalid payload: orderCurrency is missing", "datapath": "/" } ] }`

400	要求が正しくありません。考えられる理由： • クエリパラメーターがありません • 無効な URI
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必る日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、そ である必要があります。 データタイプ：文字列
expectedCompletionDate	注文が完了する日付。 データタイプ：文字列
id	要求されたサービスオーダーの sys_id データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "author": "String", "date": "String", "text": "String" } ]`
note.author	関連するメモを作成したユーザーの名 データタイプ：文字列
note.date	メモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コ ト。 データタイプ：文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
ponr	注文が返品不可期日に達したかどうか フラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	• true：注文の返品不可期日に達しま 履行の進行中は、注文を変更または セルできません。 • false： 注文の返品不可期日に達して せん。注文を変更またはキャンセル す。 データタイプ：ブーリアン
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、 顧客の連絡先、またはコンシューマー のSys_idまたはexternal_id。アカウ ント [customer_account]、連絡先 [customer_contact] テーブル、また シューマー [csm_consumer] テーブル ります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー 名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem	サービスオーダーの品目と関連アクシ 説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"serviceOrderItem:" [{ "action": "String", "actionReason": "String "committedDueDate": "String", "externalProductInvento [Array], "id": "String", "orderRelationship": [Array], "quantity": "Number", "place": {Object}, "ponr": Boolean, "relatedParty": {Object "service": {Obj}, "state": "String "@type": "Strin "version": "Str" }]`
serviceOrderItem.action	サービスオーダーアイテムで実行す るアクション。可能なアクション は、sn_ind_tmt_orm_order_line_iter ブルの [アクション辞書エントリー] フ ドの [選択リスト] タブで定義されます 詳細については、「顧客およびサービ 管理のアクションタイプ」を参照し さい。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィール ド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item, action_reason
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す がある日時。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマグされた外部 ID を含むオブジェクトのイ。 データタイプ：アレイ `"externalProductInventory": { "externalProductInventoryI "String" } ]`
serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされたID。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テの sn_ind_tmt_orm_external_id フィにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジのアレイ。 データタイプ：アレイ `"orderRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "St } ]`
serviceOrderItem.orderRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テの sn_ind_tmt_orm_external_id フィにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報関係階層を識別するために使用されま 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	`HasChild` と `HasParent` は親子関係されます。`Requires` は水平関係に使ます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文された品目の数。 データタイプ：数値

serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマ
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"place:" {`
	`  "id": "String",`
	`  "@type": "String"`
	`}`

serviceOrderItem.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連れた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダに関する連絡先の注釈。この値は常にです。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.ponr	オーダー品目が返品不可期日に達したかを示すフラグ。 有効な値： • true：オーダー品目の返品不可期日ました。履行の進行中は、オーダー変更またはキャンセルできません。 • false： オーダー品目の返品不可期日していません。オーダー品目は変更キャンセルできます。 データタイプ：ブーリアン

serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty:" {`
	`  "email": "String",`
	`  "firstName": "String"`
	`  "id": "String",`
	`  "lastName": "String",`
	`  "phone": "String",`
	`  "@referredType": "String"`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	<pre> "@type": "String" }</pre>
serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.id	発注書明細に関連付けられている品目 先の sys_id。オーダー品目に関する連 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_c テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	必須です。 顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ 品目に関する連絡先の注釈。この値は `RelatedParty` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列

serviceOrderItem.service	顧客が購入したサービスのインスタン
	細の説明。
	
	<pre>"service:" {
	  "serviceCharacteristic":
	[Array],
	  "serviceRelationship":
	[Array],
	  "serviceSpecification":
	{Object},
	  "serviceType": "String",
	  "state": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>
	データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明 スト。 現在の *value* が *previousValue* と サービス特性のみが返されます。 データタイプ：アレイ `"serviceCharacteristic:" [ { "name": "String", "previousValue": "Strin "value": "String", "valueType": "String" } ]`
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプシ 値。特性オプション値の詳細について 以下を参照してください製品特性と特 ションの作成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship	サービスに関連する製品在庫のリスト データタイプ：アレイ `"serviceRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "St } ]`
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テ ルの sys_id または sn_prd_invt_extern フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.relationshipType	サービスと製品在庫間の関係のタイプ 可能な値： Requires データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification	サービスに関連付けられたサービス仕 明。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"serviceSpecification:" {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",
	  "internalVersion": "Strin
	  "name": "String",
	  "version": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様のバージョンの sys_id です。サービス [sn_prd_pm_service_specification] ルの sys_id または external_id フィー あります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。initial_version は、仕 初のバージョンの sys_id です。サービ [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] ルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サ ス仕様 [sn_prd_pm_service_specific テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceSpecificationRef`です。 報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceType	サービスタイプ。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.state	販売済み製品のステータス。たとえば です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.state	サービスオーダーアイテムのステータ とえば、new です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.version	サービスオーダー品目のバージョン。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceOrderItem` です。この情報 されません。 データタイプ：文字列
state	サービスオーダーのステータス。詳し 「サービス注文ステータス」を参照 ださい。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceOrder` です。この情報は保存 せん。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次の例では、指定されたサービスオーダーを取得します。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/4f2a
f65ac3a030106e2473ce3640ddcf" \
--request GET \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "ponr": "false",
   "expectedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.000Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.000Z",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.000Z",
   "note": [
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-06-07T14:53:04.000Z",
         "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
      },
      {
         "author": "System Administrator",
         "date": "2021-06-07T14:53:03.000Z",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "text": "This is a TMF service order illustration"
        }
    ],
    "serviceOrderItem": [
        {
            "id": "100",
            "ponr": "false",
            "action": "add",
            "actionReason": "adding service package OLI",
            "quantity": 1,
            "service": {
                "@type": "Service",
                "state": "",
                "serviceType": "cfs",
                "serviceCharacteristic": [
                    {
                        "name": "Firewall coverage",
                        "valueType": "choice",
                        "value": "Premium (Up to 50 sites)",
                        "previousValue": ""
                    },
                    {
                        "name": "Firewall Security",
                        "valueType": "choice",
                        "value": "Standard",
                        "previousValue": ""
                    },
                    {
                        "name": "Administration Support",
                        "valueType": "choice",
                        "value": "Basic (Customer Managed)",
                        "previousValue": ""
                    }
                ],
                "serviceRelationship": [
                    {
                        "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
                        "relationshipType": "Requires"
                    }
                ],
                "serviceSpecification": {
                    "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
                    "name": "Managed Firewall Service",
                    "version": "v2",
                    "internalVersion": "2",
                    "internalId": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
                    "@type": "ServiceSpecificationRef"
                }
            },
            "place": {
                "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
                "@type": "Place"
            },
            "relatedParty": [
                {
                    "id": "972af65ac3a030106e2473ce3640ddda",
                    "firstName": "Mike",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "lastName": "Hudson",
                "email": "mike@example.com",
                "phone": "1234567890",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
         ],
         "state": "new",
         "version": "1",
         "@type": "ServiceOrderItem"
      }
   ],
   "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "state": "new",
   "version": "1",
   "@type": "ServiceOrder"
   "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcfç",
   "orderDate": "2021-06-08T05:34:59.000Z",
}
```


サービス注文オープン **API - PATCH /sn_tmf_api/order/serviceOrder/{id}**

指定されたサービス注文を更新します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新する顧客注文の sys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committedD* ある必要があります。 注文品目のアクションが 一時停止 また ターは更新できません。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_in committed_due_date
externalId	外部サービスオーダーの一意の注文番 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_ デフォルト：空白の文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア には、顧客アカウントまたはコンシュ テムが少なくとも 1 つリストされてい データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"@referredType": "Strin
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.id	必須。注文に関連付けられたアカウン たはコンシューマーのSys_idまたはex [customer_account] テーブル、連絡 ル、またはコンシューマー [csm_con データタイプ：文字列 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_orm
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ の値は常に `RelatedParty` です。この データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i expected_end_date デフォルト：空白の文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i expected_start_date デフォルト：空白の文字列
serviceOrderItem	必須です。サービスオーダーの品目と ジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"serviceOrderItem:" [
	  {
	  "action": "String",
	  "actionReason": "String
	  "committedDueDate": "St
	  "externalProductInvento
	  "id": "String",
	  "orderRelationship": [A
	  "place": {Object},
	  "quantity": "Number",
	  "relatedParty": {Object
	  "service": {Object},
	  "@type": "String",
	  "version": "String"
	  }
	]</pre>
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i

serviceOrderItem.action	必須です。 サービスオーダーアイテム クションは、sn_ind_tmt_orm_order_ ン辞書エントリー] フィールドの [選択 可能な値： • add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する 詳細については、「顧客およびサービ プ」を参照してください。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i action
serviceOrderItem.actionReason	オプション。品目の理由の説明。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:注文 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行す アイテムのアクションが 一時停止 また ターは更新できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_in committed_due_date

serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマ
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"externalProductInventory":`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`
	
	注: 以前は、すでに存在する外部
	注文を作成すると、操作が中止さ
	た。Xanadu リリースでは、既存
	ID が指定されている場合、このパ
	ラーはスローされません。

serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングする外 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_in external_inventory_id および sn_prd_ sn_prd_invt_external_id
serviceOrderItem.id	必須です。品目の一意の識別子。発注 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ sn_ind_tmt_orm_external_id フィール データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i external_id

serviceOrderItem.orderRelationship	必須です。発注書明細間の関係を説明
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"orderRelationship:" [`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"relationshipType": "St`
	`}`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i

serviceOrderItem.orderRelationship.id	必須です。関連する品目の一意の識別 細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item sn_ind_tmt_orm_external_id フィール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i parent_line_item または sn_ind_tmt_ related_order_line_item
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	必須です。 2 つの品目間の関係のタイ するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 平関係に使用されます (品目には別の品 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマ データタイプ: オブジェクト `"place:" { "id": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.place.id	必須です。 場所 [cmn_location] テー ドの sys_id。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i location
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文する品目の数を設定します。 このプロパティは、サービス注文を追 つまり、 *`action`* プロパティの値は データタイプ：数値 デフォルト:空の文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i
serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"relatedParty:" {
	  "email": "String",
	  "firstName": "String",
	  "lastName": "String",
	  "phone": "String",
	  "@referredType": "String"
	  "@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	必須です。 顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ の値は常に `RelatedParty` です。この
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service	必須です。顧客が購入したサービスの データタイプ：オブジェクト

	<pre>"service:" {
	  "id": "String",
	  "serviceCharacteristic":
	  "serviceRelationship": [A
	  "serviceSpecification": {
	  "@type": "String"
	}</pre>

	更新されたテーブル/フィールド：sn_
serviceOrderItem.service.id	販売済みサービスの一意の識別子。こ [sn_ind_tmt_orm_product_inventory です。この値は、変更/切断指示にのみ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明 現在の *value* が *previousValue* と ます。 データタイプ：アレイ `"serviceCharacteristic:" [ { "name": "String", "previousValue": "Strin "value": "String", } ]`
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.name	サービスに関連付けられた特性レコー [sn_prd_pm_characteristic] テーブル データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ 値。*serviceOrderItem.action* パ 求は変更指示です。特性オプション値 てください製品特性と特性オプション データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプシ については、以下を参照してください 成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification	必須。 サービスに関連付けられたサー **注:** 変更管理 (変更*serviceOrd* は、*sn_ind_tmt_orm.allowSp* システム プロパティの値に基づい • プロパティが true (デフォルト) スが順番に示されたバージョン スの仕様を変更することで、サ 的にアップグレードされます。 きます。 • プロパティが false に設定され ンが順序に示されているものと が原因で順序が失敗します。 データタイプ: オブジェクト `"serviceSpecification:" { "id": "String", "name": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"@type": "String"
	}</pre>
	発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_li
	service_specification フィールドを更

serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	必須です。 サービス仕様の initial_vers external_id。initial_version は、仕様 す。サービス仕様 [sn_prd_pm_servic sys_id または external_id フィールドに データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	必須です。 サービス仕様の名前。サー [sn_prd_pm_service_specification] データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceSpecificationRef`です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 の情報は保存されません。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。 • 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 *<specification.name>* を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：*<characteristic.name>* と特性値：*<characteristic.value>* は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem がありません :サービス注文明細品目オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem `id` がありません :ペイロードのサービス注文品目に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem アクションがありません :ペイロードのサービス注文品目に *action* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem `serviceOffering` がありません :ペイロードのサービス注文明細にサービスオファリングオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード:serviceOffering `id` がありません :ペイロードのサービスオファリングオブジェクトのサービス注文明細に *id* パラメーターがありません。 • 無効なペイロード:サービスオファリングが存在しません :サービス注文品目のサービスオファリングが有効ではありません。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem サービスがありません :サービス注文明細品目のサービスオブジェクトまたは JSON がペイロードにありません。 • 無効なペイロード:サービス `serviceSpecification` がありません :サービス注文明細品目のサービス仕様オブジェクトまたは JSON がペイロードにありません。 • 無効なペイロード:serviceSpecification `id` がありません :サービス仕様オブジェクトのサービス注文明細品目の *id* パラメーターがペイロードにありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード:サービス仕様が存在しません :サービス注文明細品目のサービス仕様が無効です。 • 無効なペイロード:サービスインベントリが存在しません :変更指示 (アクション = 変更) で、アイテムの数量が在庫数量を超えています。 • 無効なペイロード:サービスインベントリ `ID` がありません :変更管理で、ペイロードに *`service.id`* がありません。 • 無効なペイロード:販売済みサービスが非アクティブです - 変更指示で、ペイロードで指定されたサービスが非アクティブです。 • 無効なペイロード：`relatedParty` がありません - 関係者オブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントまたはコンシューマーがありません :関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントが存在しません :指定された関係者顧客がインスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません :指定された関係者コンシューマーがインスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました - 要求されたオーダーを作成できません。 • 注文通貨への実行中の変更はサポートされていません - オーダーが作成された後は *`orderCurrency`* パラメーターを更新できません。 • この注文は顧客注文テーブルでまだ作成されていません。詳細については、受信キューを確認してください。 – 指定された注文 ID が顧客注文テーブルにありません。 • 注文のフルフィルメントタイプが「配送」でないため、パッチ要求を行うことができません。 – パッチ要求は、出荷以外のフルフィルメントタイプの注文に対して行われました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必要がある日時。 この値は、各注文品目の *`committedDueDate`* 値と同じか、それ以降である必要があります。 データタイプ：文字列
externalId	外部サービスオーダーの一意の注文番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	サービスオーダーの sys_id。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]`
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客、またはコンシューマーの連絡先のSys_idまたはexternal_id。 アカウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem	サービスオーダーの品目と関連アクションを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"serviceOrderItem:" [ { "action": "String", "actionReason": "String", "committedDueDate": "String", "externalProductInventory": [Array], "id": "String", "orderRelationship": [Array], "place": {Object}, "quantity": "Number", "relatedParty": {Object}, "service": {Object}, "@type": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"version": "String"
	}
	]</pre>

serviceOrderItem.action	サービスオーダーアイテムで実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_iter テーブルの [アクション辞書エントリー] フィールドの [選択リスト] タブで定義されます。 可能な値： • add • change • 削除 詳細については、「顧客およびサービス注文管理のアクションタイプ」を参照してください。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.actionReason	注文品目を追加する理由。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_ind_tmt_orm_order_line_item/action_reason
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行する必要がある日時。 データタイプ：文字列

serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマッピングする外部 ID を含むオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"externalProductInventory":
	[
	{
	
	"externalProductInventoryId": "String"
	}
	]</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	注: 以前は、すでに存在する外部製品在庫 ID を使用して PATCH 注文を作成すると、操作が中止され、エラーが返されていました。Xanadu リリースでは、既存の外部プロダクトインベントリ ID が指定されている場合、このパラメーターは単に無視され、エラーはスローされません。
serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた外部 ID。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"orderRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String" } ]`
serviceOrderItem.orderRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	`HasChild` と `HasParent` は親子関係に使用されます。`Requires` は水平関係に使用されます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマップ。 データタイプ: オブジェクト `"place:" { "id": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `Place` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文された品目の数。 データタイプ：数値
serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service	顧客が購入したサービスのインスタンスの詳細の説明。 データタイプ：オブジェクト `"service:" { "id": "String", "serviceCharacteristic": [Array], "serviceRelationship": [Array], "serviceSpecification": {Object}, "@type": "String" }`
serviceOrderItem.service.id	販売済みサービスの一意の識別子。この値は、製品在庫 [sn_ind_tmt_orm_product_inventory] テーブルの sys_id または外部 ID です。この値は、変更/切断オーダーに対してのみ返されます。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明するリスト。 現在の *value* が *previousValue* と異なるサービス特性のみが返されます。 データタイプ：アレイ `"serviceCharacteristic:" [ { "name": "String", "previousValue": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"value": "String",
	}
	]</pre>

serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.name	サービスに関連付けられた特性レコードの名前。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*serviceOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指示です。特性オプション値の詳細については、以下を参照してください製品特性と特性オプションの作成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、以下を参照してください製品特性と特性オプションの作成 。 データタイプ：文字列

serviceOrderItem.service.serviceSpecification	サービスに関連付けられたサービス仕様の説明。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"serviceSpecification:" {
	"id": "String",
	"name": "String",
	"@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ServiceSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ServiceOrderItem` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
state	サービスオーダーのステータス。詳しくは、「サービス注文ステータス」を参照してください。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、サービス注文を更新する方法を示します。

```
curl -X PATCH
 'https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/a831
e56e77602110c8b3a4d54b5a9954' \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d '{
  "externalId": "BSS748",
  "priority": "1",
  "description": "Managed Security",
  "category": "TMF resource illustration",
  "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "@type": "ServiceOrder",
  "note": [
    {
      "id": "1",
      "author": "Jean Pontus",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "id": "2",
      "author": "Jean Pontus1",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
  ],
  "serviceOrderItem": [
    {
      "id": "100",
      "action": "add",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "quantity": 1,
      "@type": "ServiceOrderItem",
      "service": {
        "serviceState": "active",
        "@type": "CFS",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "CPE Type",
            "valueType": "string",
            "value": "Virtual"
          },
          {
            "name": "Administration Support",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic( Customer Managed)"
          },
          {
            "name": "Firewall coverage",
            "valueType": "string",
            "value": "Standard(Up to 20 sites)"
          },
          {
            "name": "Firewall Security",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
          "name": "Managed Firewall Service",
          "internalVersion": "1",
          "@type": "Managed Firewall Service"
        },
        "serviceRelationship": [
          {
            "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "place": {
        "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
        "@type": "Place"
      }
    }
  ],
  "relatedParty":[
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ]
}'
```

応答本文。

```
{
  "externalId": "BSS748",
  "priority": "1",
  "description": "Managed Security",
  "category": "TMF resource illustration",
  "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "@type": "ServiceOrder",
  "note": [
    {
      "id": "1",
      "author": "Jean Pontus",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "id": "2",
      "author": "Jean Pontus1",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
  ],
  "serviceOrderItem": [
    {
      "id": "100",
      "action": "add",
      v"actionReason": "adding service package OLI",
      "quantity": 1,
      "@type": "ServiceOrderItem",
      "service": {
        "serviceState": "active",
        "@type": "CFS",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "CPE Type",
            "valueType": "string",
            "value": "Virtual"
          },
          {
            "name": "Administration Support",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic(Customer Managed)"
          },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          {
            "name": "Firewall coverage",
            "valueType": "string",
            "value": "Standard(Up to 20 sites)"
          },
          {
            "name": "Firewall Security",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
          "name": "Managed Firewall Service",
          "internalVersion": "1",
          "@type": "Managed Firewall Service",
          "sys_id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
          "version": "",
          "status": "published",
          "internalId": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8"
        },
        "serviceRelationship": [
          {
            "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "place": {
        "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
        "@type": "Place"
      }
    }
  ],
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
  "orderType": "add",
  "state": "revision_received",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/a831e56e77602110c8b3a4d54b5a9954"
}
```

サービス注文オープン **API - POST /sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelserviceorder**

指定されたサービス注文をキャンセルします。

注: このエンドポイントは、ポイント・オブ・ノー・リターンに達した注文には使用できません。履行の進行中は、注文品目をキャンセルできません。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/cancelserviceorder`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
cancellationReason	キャンセルの理由。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
サービス注文	サービス注文に関するデータが含まれています。 データタイプ: オブジェクト `"serviceOrder": { "id": "String", "href": "String", "@referredType": "String" }`
serviceOrder.id	必須。キャンセルする顧客注文の sys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrder.href	キャンセルする顧客注文の URL。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト：空白の文字列
serviceOrder.@referredType	このパラメーターの値は `ServiceOrder` にする必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
requestedCancellationDate	注文をキャンセルする日付。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
@type	このパラメーターの値は `CancelServiceOrder` にする必要があります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません：<フィールド名>。 • 注文 ID が無効です。 • 無効な注文 ID: この注文は顧客注文テーブルでまだ作成されていません。まだ作成されていない注文に対してキャンセル要求が行われました。注文は受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにあり、スケジューラーがレコードを取得するのを待機しています。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
cancellationReason	キャンセルの理由。 データタイプ：文字列
id	キャンセルされた注文の sys_id。 データタイプ：文字列

サービス注文	サービス注文に関するデータが含まれています。
	データタイプ: オブジェクト
	`"serviceOrder": {`
	`  "id": "String",`
	`  "@referredType": "String"`
	`}`

serviceOrder.id	キャンセルされた注文の sys_id。 データタイプ：文字列
serviceOrder.@referredType	このパラメーターの値は `ServiceOrder` です。 データタイプ：文字列
requestedCancellationDate	注文をキャンセルする日付。 データタイプ：文字列
state	キャンセルのステータス。キャンセル要求が正常に処理された場合 (ステータスコード 201)、このパラメーターの値は `done` になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
@type	このパラメーターの値は `CancelServiceOrder` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例では、顧客注文をキャンセルします。

```
curl -X POST
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/cancelserviceorder" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "cancellationReason": "Duplicate order",
  "requestedCancellationDate": "2023-01-24T11:56:21.931Z",
  "serviceOrder": {
    "id": "5f4f5e5377a311101fa5a4d54b5a99fd",
    "@referredType": "ServiceOrder"
  },
  "@type": "CancelServiceOrder"
}
```

```
{
  "id": "5f4f5e5377a311101fa5a4d54b5a99fd",
  "cancellationReason": "Duplicate order",
  "requestedCancellationDate": "2023-01-24T11:56:21.931Z",
  "@type": "CancelServiceOrder",
  "serviceOrder": {
    "id": "5f4f5e5377a311101fa5a4d54b5a99fd",
    "@referredType": "ServiceOrder"
  },
  "state": "done"
}
```

サービスオーダーオープン API – POST /sn_tmf_api/order/serviceOrder

サービスオーダーまたは品目を作成、更新、または削除します。

追加アクションが受信され承認されると、次のテーブルに新規レコードが作成されます。

- 注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー特性値 [sn_ind_tmt_orm_order_characteristic_value]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]
- オーダー品目に関する連絡先 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item_contact]
- 注文明細関連商品 [sn_ind_tmt_orm_order_line_related_items]

URL 形式

`/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	非同期注文処理を有効にします。つまり、注文は受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されて作成されます。含まれていない場合、注文は同期的に処理されます。 可能な値:async データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必 この値は、各注文品目の *committed* ある必要があります。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_in committed_due_date
externalId	外部サービスオーダーの一意の注文番 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明す データタイプ：アレイ `"note": [ { "text": "String" } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コ データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i デフォルト：空白の文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はア には、顧客アカウントまたはコンシュ テムが少なくとも 1 つリストされてい データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "Strin "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	必須。注文に関連付けられたアカウン たはコンシューマーのSys_idまたはex [customer_account] テーブル、連絡 ル、またはコンシューマー [csm_con データタイプ：文字列 更新されたテーブル：sn_ind_tmt_orm
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ の値は常に `RelatedParty` です。この データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i expected_end_date デフォルト：空白の文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i expected_start_date デフォルト：空白の文字列

serviceOrderItem	必須です。サービスオーダーの品目と
	ジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"serviceOrderItem:" [`
	`{`
	`"action": "String",`
	`"actionReason": "String`
	`"committedDueDate": "St`
	`"externalProductInvento`
	`"id": "String",`
	`"orderRelationship": [A`
	`"place": {Object},`
	`"quantity": "Number",`
	`"relatedParty": {Object`
	`"service": {Object},`
	`"@type": "String",`
	`"version": "String"`
	`}`
	`]`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i

serviceOrderItem.action	必須です。 サービスオーダーアイテム クションは、sn_ind_tmt_orm_order_ ン辞書エントリー] フィールドの [選択 可能な値： • add • change

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する 詳細については、「顧客およびサービプ 」を参照してください。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_action デフォルト:add
ServiceOrderItem.actionReason	オプション。品目の理由の説明。 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:注文[sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクション実行す データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_committed_due_date

serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマジェクトのアレイ。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	`"externalProductInventory":`
	`{`
	`"externalProductInvento`
	`}`
	`]`

serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングする外 データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド:sn_external_inventory_id および sn_prd_sn_prd_invt_external_id
serviceOrderItem.id	必須です。品目の一意の識別子。発注[sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テsn_ind_tmt_orm_external_id フィール データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i external_id
serviceOrderItem.orderRelationship	必須です。発注書明細間の関係を説明 データタイプ：アレイ `"orderRelationship:" [ { "id": "String", "relationshipType": "St } ]` 更新されたテーブル/フィールド：sn_i
serviceOrderItem.orderRelationship.id	必須です。関連する品目の一意の識別 細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item sn_ind_tmt_orm_external_id フィール データタイプ：文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i parent_line_item または sn_ind_tmt_ related_order_line_item
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	必須です。 2 つの品目間の関係のタイ するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係 平関係に使用されます (品目には別の品 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマ データタイプ: オブジェクト `"place:" { "id": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.place.id	必須です。 場所 [cmn_location] テー ドの sys_id。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i location デフォルト：空白の文字列
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文する品目の数を設定します。 このプロパティは、サービス注文を追 つまり、 *action* プロパティの値は データタイプ：数値 デフォルト:空の文字列 更新されたテーブル/フィールド：sn_i

serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"relatedParty:" {`
	`  "email": "String",`
	`  "firstName": "String",`
	`  "lastName": "String",`
	`  "phone": "String",`
	`  "@referredType": "String"`
	`  "@type": "String"`
	`}`

serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	必須です。 顧客のタイプ。 可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダ の値は常に `RelatedParty` です。この データタイプ：文字列

serviceOrderItem.service	必須です。顧客が購入したサービスの
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"service:" {`
	`"id": "String",`
	`"serviceCharacteristic":`
	`"serviceRelationship": [A`
	`"serviceSpecification": {`
	`"@type": "String"`
	`}`
	
	更新されたテーブル/フィールド：sn_i

serviceOrderItem.service.id	販売済みサービスの一意の識別子。こ [sn_ind_tmt_orm_product_inventory です。この値は、変更/切断指示にのみ データタイプ：文字列

serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明
	
	現在の *value* が *previousValue* と
	ます。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"serviceCharacteristic:" [`
	`{`
	`"name": "String",`
	`"previousValue": "Strin`
	`"value": "String",`
	`}`
	`]`

serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.name	サービスに関連付けられた特性レコー [sn_prd_pm_characteristic] テーブル データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オ 値。*serviceOrderItem.action* パ 求は変更指示です。特性オプション値 てください製品特性と特性オプション データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプシ については、以下を参照してください 成 。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship	サービスに関連する製品在庫のリスト データタイプ：アレイ `"serviceRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "St } ]`
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt 庫 [sn_prd_invt_product_inventory] sn_prd_invt_external_id フィールドに データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.relationshipType	サービスと製品在庫間の関係のタイプ 可能な値： Requires データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification	必須。 サービスに関連付けられたサー 注: 変更管理 (変更*serviceOrd* は、*sn_ind_tmt_orm_allowSp* システム プロパティの値に基づい • プロパティが true (デフォルト) スが順番に示されたバージョン スの仕様を変更することで、サ 的にアップグレードされます。 きます。 • プロパティが false に設定され ンが順序に示されているものと が原因で順序が失敗します。 データタイプ: オブジェクト `"serviceSpecification:" { "id": "String", "internalVersion": "Strin "name": "String", "version": "String", "@type": "String" }` 発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_li service_specification フィールドを更

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	必須です。 サービス仕様の initial_vers external_id。initial_version は、仕様 す。サービス仕様 [sn_prd_pm_servic sys_id または external_id フィールド データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス [sn_prd_pm_service_specification] データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	必須です。 サービス仕様の名前。サー [sn_prd_pm_service_specification] データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サ [sn_prd_pm_service_specification] データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 `ServiceSpecificationRef` です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 す。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。この値 の情報は保存されません。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
201	成功。 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは関連する顧客オーダー品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します。 • 次の注文アイテム特性は存在しません：仕様 <*specification.name*> を確認し、注文を承認する前に発注書明細の特性と特性オプションを修正してください。 • 注文アイテム特性：<*characteristic.name*> と特性値：<*characteristic.value*> は無効です。注文を承認する前に特性値を修正してください。
202	受け入れ済み。非同期モードでの注文の要求が成功しました。つまり、要求は *mode* パラメーターを `async` に設定して行われ、レコードは受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルで処理されるようにスケジュールされています。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード：要求本文がありません。- ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード：serviceOrderItem がありません。- サービス発注書明細オブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：serviceOrderItem ID がありません。 – サービス発注書明細に ID がありません。 • 無効なペイロード：serviceOrderItem アクションがありません。 – ペイロードにサービスオブジェクトまたは JSON がありません。 • 無効なペイロード：serviceOrderItem サービスがありません。 – サービス発注書明細にサービスプロパティがありません。 • 無効なペイロード：serviceSpecification がありません。- サービス発注書明細のサービス仕様オブジェクトまたは JSON がペイロードにありません。 • 無効なペイロード：serviceSpecification ID がありません。- サービス仕様オブジェクトのサービス発注書明細の *id* パラメーターがペイロードにありません。 • 無効なペイロード：サービス仕様が存在しません。- サービス発注書明細のサービス仕様が無効です。 • 無効なペイロード：製品在庫が存在しません。- 変更または削除指示 (つまり、action = change or delete) で、送信された販売済みサービスがシステムに存在しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 無効なペイロード：製品在庫 ID がありません。 - 変更または削除指示で、販売済み製品 ID がペイロードにありません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントまたはコンシューマーがありません:関係者の顧客またはコンシューマーオブジェクトがペイロードにありません。 • 無効なペイロード：販売済み製品が非アクティブです - 変更または削除指示で、ペイロードで送信された販売済み製品がアクティブな状態ではありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません:指定された関係者コンシューマーがインスタンスに存在しません。 • 無効なペイロード：顧客アカウントが存在しません。 – ペイロードで指定された関係者顧客がシステムに存在しません。 • 無効なペイロード：注文の作成に失敗しました。- 要求された注文を作成できません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
committedDueDate	注文に対してアクションを実行する必要がある日時。 この値は、各注文品目の *committedDueDate* 値と同じか、それ以降である必要があります。 データタイプ：文字列
externalId	外部サービスオーダーの一意の注文番号。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
id	サービスオーダーの sys_id。 データタイプ：文字列
note	注文時に顧客が追加したメモを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"note": [
	{
	"text": "String"
	}
	]</pre>

note.text	注文時に顧客が作成した追加のメモ/コメント。 データタイプ：文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

orderId	作成する注文のSys_id。要求が成功すると、処理されるスケジュールに従って注文が受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されます。
	
	注：この値は、 *mode* クエリパラメーターを使用して注文が非同期で作成された場合の唯一の結果です。
	
	<pre>{
	"orderId":
	"b0fc877ac3ab5110856d73ce3640dde0"
	}</pre>
	データタイプ：文字列

relatedParty	注文の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"relatedParty": [
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"@referredType":
	"String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客、またはコンシューマーの連絡先のSys_idまたはexternal_id。 アカ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	ウント [customer_account]、連絡先 [customer_contact]、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	顧客のタイプ。 可能な値： • Customer • CustomerContact • コンシューマー データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
requestedCompletionDate	顧客によって要求された配送日。 データタイプ：文字列
requestedStartDate	顧客によって要求された注文開始日。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem	サービスオーダーの品目と関連アクションを説明するオブジェクトのアレイ。 データタイプ：アレイ `"serviceOrderItem:" [ { "action": "String", "actionReason": "String", "committedDueDate": "String", "externalProductInventory": [Array], "id": "String", "orderRelationship": [Array], "place": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"quantity": "Number",
	"relatedParty": {Object},
	"service": {Object},
	"@type": "String",
	"version": "String"
	}
	]</pre>

serviceOrderItem.action	サービスオーダーアイテムで実行するアクション。可能なアクションは、sn_ind_tmt_orm_order_line_iter テーブルの [アクション辞書エントリー] フィールドの [選択リスト] タブで定義されます。 可能な値： • add • change • 削除 • 変更なし • 再開 • 停止する 詳細については、「顧客および サービス注文管理のアクションタイプ」を参照してください。 データタイプ：文字列
ServiceOrderItem.actionReason	品目を追加する理由の説明。注文明細品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.committedDueDate	注文品目に対してアクションを実行する必要がある日時。 データタイプ：文字列

serviceOrderItem.externalProductInventory	注文に対して作成された製品在庫にマッピングされた外部 ID を含むオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"externalProductInventory": [
	{
	
	"externalProductInventoryId": "String"</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	<pre> }]</pre>
serviceOrderItem.externalProductInventory.externalProductInventoryId	製品インベントリにマッピングされた外部 ID。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.id	品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列

serviceOrderItem.orderRelationship	発注書明細間の関係を説明するオブジェクトのアレイ。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"orderRelationship:" [
	  {
	    "id": "String",
	    "relationshipType":
	 "String"
	  }
	]</pre>

serviceOrderItem.orderRelationship.id	関連する品目の一意の識別子。発注書明細 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの sn_ind_tmt_orm_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.orderRelationship.relationshipType	2 つの品目間の関係のタイプ。この情報は、関係階層を識別するために使用されます。 可能な値： • HasChild • HasParent • 必要 `HasChild` と `HasParent` は親子関係に使用されます。`Requires` は水平関係に使用されます (品目には別の品目が必要です)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
serviceOrderItem.place	サービスをインストールする場所のマップ。 データタイプ: オブジェクト `"place:" { "id": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.place.id	場所 [cmn_location] テーブルの関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `Place` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.quantity	注文された品目の数。 データタイプ：数値
serviceOrderItem.relatedParty	品目の連絡先のリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedParty:" { "email": "String", "firstName": "String", "lastName": "String", "phone": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" }`
serviceOrderItem.relatedParty.email	連絡先のメールアドレス。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.firstName	担当者の名。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.lastName	担当者の姓。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.phone	担当者の勤務先電話番号。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@referredType	必須です。 顧客のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	可能な値：OrderLineItemContact データタイプ：文字列
serviceOrderItem.relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。オーダー品目に関する連絡先の注釈。この値は常に `RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service	顧客が購入したサービスのインスタンスの詳細の説明。 データタイプ：オブジェクト `"service:" { "id": "String", "serviceCharacteristic": [Array], "serviceRelationship": [Array], "serviceSpecification": {Object}, "@type": "String" }`
serviceOrderItem.service.id	販売済みサービスの一意の識別子。この値は、製品在庫 [sn_ind_tmt_orm_product_inventory] テーブルの sys_id または外部 ID です。この値は、変更/切断オーダーに対してのみ返されます。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic	関連付けられたサービスの特性を説明するリスト。 現在の *value* が *previousValue* と異なるサービス特性のみが返されます。 データタイプ：アレイ `"serviceCharacteristic:" [ { "name": "String", "previousValue": "String", "value": "String", } ]`
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.name	サービスに関連付けられた特性レコードの名前。特性

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	[sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.previousValue	更新が変更指示の場合は、前の特性オプション値。*serviceOrderItem.action* パラメーターが `add` 以外の場合、要求は変更指示です。特性オプション値の詳細については、以下を参照してください製品特性と特性オプションの作成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceCharacteristic.value	サービスに関連付けられた特性オプション値。特性オプション値の詳細については、以下を参照してください製品特性と特性オプションの作成 。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship	サービスに関連する製品在庫のリスト。 データタイプ：アレイ `"serviceRelationship": [ { "id": "String", "relationshipType": "String" } ]`
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.id	製品在庫の sys_id または sn_prd_invt_external_id。製品在庫 [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの sys_id または sn_prd_invt_external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceRelationship.relationshipType	サービスと製品在庫間の関係のタイプ。 可能な値： Requires データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification	サービスに関連付けられたサービス仕様の説明。 データタイプ：オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"serviceSpecification:" {
	  "id": "String",
	  "internalId": "String",
	  "internalVersion":
	 "String",
	  "name": "String",
	  "version": "String",
	  "@type": "String"
	}</pre>

serviceOrderItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の initial_version または external_id。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の initial_version。initial_version は、仕様の最初のバージョンの sys_id です。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様のバージョン。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の external_version。サービス仕様 [sn_prd_pm_service_specification] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ServiceSpecificationRef` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
serviceOrderItem.state	サービスオーダーアイテムのステータス。たとえば、new です。 データタイプ：文字列
serviceOrderItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ServiceOrderItem` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
state	サービスオーダーのステータス。詳しくは、「サービス注文ステータス」を参照してください。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。この値は常に `ServiceOrder` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列

Example: 非同期処理

この例では、 *mode* クエリパラメーターを使用して注文を非同期的に作成する方法を示します。注文は、作成予定のスケジュールで受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルに追加されます。

```
curl -X POST
 'https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/serviceorder?mode=asy
nc' \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d '{
  "externalId": "BSS748",
  "priority": "1",
  "description": "Managed Security",
  "category": "TMF resource illustration",
  "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
  "@type": "ServiceOrder",
  "note": [
    {
      "id": "1",
      "author": "Jean Pontus",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration"
    },
    {
      "id": "2",
      "author": "Jean Pontus1",
      "date": "2019-04-30T08:13:59.509Z",
      "text": "This is a TMF product order illustration no 2"
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ],
  "serviceOrderItem": [
    {
      "id": "100",
      "action": "add",
      "actionReason":"adding service package OLI",
      "quantity": 1,
      "@type": "ServiceOrderItem",
      "service": {
        "serviceState": "active",
        "@type": "CFS",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "CPE Type",
            "valueType": "string",
            "value": "Virtual"
          },
          {
            "name": "Administration Support",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic( Customer Managed)"
          },
          {
            "name": "Firewall coverage",
            "valueType": "string",
            "value": "Standard(Up to 20 sites)"
          },
          {
            "name": "Firewall Security",
            "valueType": "string",
            "value": "Basic"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
          "name": "Managed Firewall Service",
          "internalVersion": "1",
          "@type": "Managed Firewall Service"
        },
        "serviceRelationship": [
          {
            "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
            "relationshipType": "Requires"
          }
        ]
      },
      "place": {
        "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
        "@type": "Place"
      }
    }
  ],
  "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ]
}'
```

応答本文。

```
{
  "orderId": "304e877ac3ab5110856d73ce3640dde5"
}
```

Example: 同期処理 (デフォルト)

次の例は、 *serviceOrderItem.action* プロパティを `add` に設定してサービス注文を作成する方法を示しています。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/serviceorder" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "@type": "ServiceOrder",
   "note": [
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration"
      },
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
      }
   ],
   "serviceOrderItem": [
      {
         "id": "100",
         "action": "add",
         "actionReason":"adding service package OLI",
         "quantity": 1,
         "@type": "ServiceOrderItem",
         "service": {
            "@type": "CFS",
            "serviceCharacteristic": [
               {
                  "name": "Firewall Security",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "value": "Standard"
            },
            {
                "name": "Firewall coverage",
                "value": "Premium (Up to 50 sites)"
            },
            {
                "name": "Administration Support",
                "value": "Basic (Customer Managed)"
            }
        ],
        "serviceRelationship": [
            {
                "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
                "relationshipType": "Requires"
            }
        ],
        "serviceSpecification": {
            "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
            "name": "Managed Firewall Service",
            "@type": "Managed Firewall Service"
        }
    },
    "relatedParty": [
        {
            "firstName": "Mike",
            "lastName": "Hudson",
            "email": "mike@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
        }
    ],
    "place": {
        "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
        "@type": "Place"
    }
  }
],
"relatedParty": [
    {
        "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
        "name": "Sally Thomas",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
        "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
        "name": "Funco Intl",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Customer"
    },
    {
        "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
        "name": "Funco External",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Consumer"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
    ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文：

```
{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "@type": "ServiceOrder",
   "note": [
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration"
      },
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
      }
   ],
   "serviceOrderItem": [
      {
         "id": "100",
         "action": "add",
         "actionReason":"adding service package OLI",
         "quantity": 1,
         "@type": "ServiceOrderItem",
         "service": {
            "@type": "CFS",
            "serviceCharacteristic": [
               {
                  "name": "Firewall Security",
                  "value": "Standard"
               },
               {
                  "name": "Firewall coverage",
                  "value": "Premium (Up to 50 sites)"
               },
               {
                  "name": "Administration Support",
                  "value": "Basic (Customer Managed)"
               }
            ],
            "serviceRelationship": [
               {
                  "id": "326d13f45b5620102dff5e92dc81c785",
                  "relationshipType": "Requires"
               }
            ],
            "serviceSpecification": {
               "id": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8",
               "name": "Managed Firewall Service",
               "@type": "Managed Firewall Service",
               "internalVersion": "2",
               "version": "v2",
               "internalId": "f99546ff07266010a7955b7e0ad300a8"
            }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
         },
         "relatedParty": [
            {
               "firstName": "Mike",
               "lastName": "Hudson",
               "email": "mike@example.com",
               "phone": "1234567890",
               "@type": "RelatedParty",
               "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
         ],
         "place": {
            "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
            "@type": "Place"
         },
         "state": "new"
      }
   ],
   "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "id": "4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "orderDate": "2024-06-20T10:38:55.000Z",
   "state": "new"
}
```


Example: cURL 要求

次の例では、*serviceOrderItem.action* プロパティを `change` に設定してサービスオーダーを更新します。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/serviceorder" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
"requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
"@type": "ServiceOrder",
"note": [
   {
      "text": "This is a TMF service order illustration"
   },
   {
      "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
   }
],
"serviceOrderItem": [
   {
      "id": "100",
      "action": "change",
      "actionReason":"change service package OLI",
      "@type": "ServiceOrderItem",
      "service": {
         "@type": "CFS",
         "serviceCharacteristic": [
            {
               "name": "Firewall Security",
               "value": "Premium",
               "previousValue": "Standard"
            }
         ],
         "id": "4b5072aec3a83010abc8b5183c40dd42"
      },
      "relatedParty": [
         {
            "firstName": "Mike",
            "lastName": "Hudson",
            "email": "mike@example.com",
            "phone": "1234567890",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "OrderLineItemContact"
         }
      ],
      "place": {
         "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
         "@type": "Place"
      }
   }
],
"relatedParty": [
     {
         "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
         "name": "Sally Thomas",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "CustomerContact"
     },
     {
         "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
         "name": "Funco Intl",
         "@type": "RelatedParty",
         "@referredType": "Customer"
     },
     {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "@type": "ServiceOrder",
   "note": [
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration"
      },
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
      }
   ],
   "serviceOrderItem": [
      {
         "id": "100",
         "action": "change",
         "actionReason":"change service package OLI",
         "@type": "ServiceOrderItem",
         "service": {
            "@type": "CFS",
            "serviceCharacteristic": [
               {
                  "name": "Firewall Security",
                  "value": "Premium",
                  "previousValue": "Standard"
               }
            ],
            "id": "4b5072aec3a83010abc8b5183c40dd42"
         },
         "relatedParty": [
            {
               "firstName": "Mike",
               "lastName": "Hudson",
               "email": "mike@example.com",
               "phone": "1234567890",
               "@type": "RelatedParty",
               "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
         ],
         "place": {
            "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
            "@type": "Place"
         },
         "state": "new"
      }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   ],
   "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "id": "4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "orderDate": "2024-06-20T10:38:55.000Z",
   "state": "new"
}
```

Example: cURL 要求

次の例では、*serviceOrderItem.action* プロパティを `delete` に設定してサービスオーダー品目を削除します。

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_tmf_api/serviceorder" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "@type": "ServiceOrder",
   "note": [
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration"
      },
      {
         "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
      }
   ],
   "serviceOrderItem": [
      {
         "id": "100",
         "action": "delete",
         "actionReason":"delete service package OLI",
         "@type": "ServiceOrderItem",
         "service": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "CFS",
            "serviceCharacteristic": [
               {
                  "name": "Firewall Security",
                  "value": "Premium",
                  "previousValue": "Standard"
               }
            ],
            "id": "4b5072aec3a83010abc8b5183c40dd42"
         },
         "relatedParty": [
            {
               "firstName": "Mike",
               "lastName": "Hudson",
               "email": "mike@example.com",
               "phone": "1234567890",
               "@type": "RelatedParty",
               "@referredType": "OrderLineItemContact"
            }
         ],
         "place": {
            "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
            "@type": "Place"
         }
      }
   ],
   "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "externalId": "BSS748",
   "requestedStartDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "requestedCompletionDate": "2018-01-15T09:37:40.508Z",
   "@type": "ServiceOrder",
   "note": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
       "text": "This is a TMF service order illustration"
    },
    {
       "text": "This is a TMF service order illustration no 2"
    }
 ],
 "serviceOrderItem": [
    {
       "id": "100",
       "action": "delete",
       "actionReason":"delete service package OLI",
       "@type": "ServiceOrderItem",
       "service": {
          "@type": "CFS",
          "serviceCharacteristic": [
             {
                "name": "Firewall Security",
                "value": "Premium",
                "previousValue": "Standard"
             }
          ],
          "id": "4b5072aec3a83010abc8b5183c40dd42"
       },
       "relatedParty": [
          {
             "firstName": "Mike",
             "lastName": "Hudson",
             "email": "mike@example.com",
             "phone": "1234567890",
             "@type": "RelatedParty",
             "@referredType": "OrderLineItemContact"
          }
       ],
       "place": {
          "id": "920cf6ac73d423002728660c4cf6a799",
          "@type": "Place"
       },
       "state": "new"
    }
 ],
 "relatedParty": [
      {
          "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
          "name": "Sally Thomas",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "CustomerContact"
      },
      {
          "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
          "name": "Funco Intl",
          "@type": "RelatedParty",
          "@referredType": "Customer"
      },
      {
          "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
          "name": "Funco External",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
   "id": "4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "href":
 "/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/4f2af65ac3a030106e2473ce3640ddcf",
   "orderDate": "2024-06-20T10:38:55.000Z",
   "state": "new"
}
```

サービス注文オープン **API – POST /sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundResponse**

送信要求 [sn_tmt_core_outbound_request] テーブルの指定されたドメイン注文レコードの履行ステータスを更新します。

この方法を使用するには、送信要求テーブルに指定されたドメイン注文レコードが含まれている必要があります。また、要求本文で指定されたレコードまたは状況が既存の送信レコードにない場合、メソッド検証はエラーをスローします。

注: このエンドポイントを使用してこのテーブルに新しいレコードを作成することはできません。

ドメイン注文の詳細については、「注文管理データモデル」を参照してください。

URL 形式

```
/api/sn_tmf_api/order/serviceOrder/outboundResponse
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
externalId	必須。フルフィルメントのために送信されたドメイン注文レコードの送信要求識別子。送信要求 [sn_tmt_core_outbound_request] テーブルの [request_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
サービス注文アイテム	必須。外部フルフィルメントステータスを更新する必要があるドメイン注文のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"ServiceOrderItem": [
	  {
	  "id": "String",
	  "state": "String"
	  }
	]</pre>

ServiceOrderItem.id	必須。外部フルフィルメントステータスを更新するドメイン注文レコードのSys_id。ドメイン注文 [sn_ind_tmt_orm_domain_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
ServiceOrderItem.state	必須。ドメイン注文の外部フルフィルメントステータス。 有効な値： • エラー • 達成 • 保留中 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード:externalId がありません:外部 ID (*externalId*) が渡されなかったことを示します。 • 無効なペイロード:serviceOrderItem ステータスがありません: 外部フルフィルメントステータス (*ServiceOrderItem.state*) が 1 つ以上のドメイン注文で渡されなかったことを示します。 • 外部 ID が無効です。Please pass the correct external id:渡された外部 ID (*externalId*) がシステムに存在しないことを示します。 • 無効なドメイン注文 ID。Please pass the correct domain order id:渡されたドメイン注文 ID (*ServiceOrderItem.id*) がシステムに存在しないことを示します。 • 渡されたドメイン注文 ID は外部 ID に関連付けられていません:外部 ID (*externalId*) がどのドメイン注文にも関連付けられていないことを示します。システムは、ペイロードで渡された外部 ID に関連付けられているドメイン注文のみを更新します。 • 無効なフルフィルメントステータス:正しいフルフィルメントステータスを指定してください:1 つ以上のドメイン注文の渡されたフルフィルメントステータス (*ServiceOrderItem.state*) が有効でないことを示します。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
externalId	フルフィルメントのために送信されたドメイン注文レコードの送信要求識別子。送信要求 [sn_tmt_core_outbound_request] テーブルの [request_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
href	リソースレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列
orderDate	注文の日付とタイムスタンプ。 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS データタイプ：文字列 デフォルト：空白の文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
サービス注文アイテム	外部フルフィルメントステータスを更新する必要があるドメイン注文のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"ServiceOrderItem": [ { "id": "String", "state": "String" } ]`
ServiceOrderItem.id	外部フルフィルメントステータスを更新するドメイン注文レコードの Sys_id。ドメイン注文 [sn_ind_tmt_orm_domain_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
ServiceOrderItem.state	ドメイン注文の外部フルフィルメントステータス。 可能な値： • エラー • 達成 • 保留中 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_tmf_api/serviceorder/outboundresponse" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--data "{
  "externalId": "607017d243322110461f99612bb8f25c",
  "serviceOrderItem": [
    {
      "id": "19913c3577b301108e191e599a5a9988",
      "state": "error"
    }
  ]
}"
--user 'username':'password'
```

応答：

```
{
  "externalId": "607017d243322110461f99612bb8f25c",
  "serviceOrderItem": [
    {
      "id": "19913c3577b301108e191e599a5a9988",
      "state": "error"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    ]
}
```

サービステスト管理オープン API

サービステスト管理オープン API は、サービステスト定義とサービステストを作成および取得するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、外部システムと Now Platformの間のサービス問題管理情報を管理します。*Service Test Management Open* API は、TM Forum Service Problem Management API REST 仕様のServiceNow実装です。この実装は https://www.tmforum.org/resources/specification/tmf653-service-test-management-api-user-guide-v4-1-0/ に基づいています。

この REST API は、通信環境内でサービステストを管理および実行するように設計されています。これにより、ユーザーはサービステストを定義、トリガー、監視して、サービスが品質とパフォーマンスの基準を満たしていることを確認できます。API は、テスト定義の作成と更新、テストの実行、テスト結果の取得、テストスケジュールの管理など、テスト管理の機能を提供します。

サービステスト管理オープン API には、カスタマーサービス問題管理 (com.sn_sprb_mgmt) プラグインと sn_sprb_mgmt.test_integrator ロールが必要です。この API は sn_sprb_mgmt 名前空間に属します。サービス問題管理の詳細については、以下を参照してください。このアプリケーションの詳細については、「 カスタマーサービス問題管理 」を参照してください。

サービステスト管理オープン API は、次のテーブルのデータを作成または更新します。

- テスト実行 [sn_st_mgmt_test]
- サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition]
- テスト定義の特性 [sn_st_mgmt_test_definition_characteristic]
- テスト特性 [sn_st_mgmt_test_characteristic]
- 仕様とテスト定義の関係 [sn_st_mgmt_test_definition_m2m]
- テスト定義関係 [sn_st_mgmt_test_definition_rel]
- テスト測定 [sn_st_mgmt_test_measure]
- 測定結果 [sn_st_mgmt_measure_consequence]
- テスト測定定義 [sn_st_mgmt_test_measure_definition]
- 適用された結果 [sn_st_mgmt_applied_consequence]
- しきい値ルール [sn_st_mgmt_threshold_rule]
- しきい値ルール違反 [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation]

サービステスト管理オープン API – GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest

すべてのサービステストのリストを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
フィールド	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 有効なフィールド： • 特性 • 説明 • endDateTime • id • mode • 関連サービス • startDateTime • state • testMeasure • テスト仕様 • validFor データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 最大値:100 デフォルト値：20
オフセット	レコードの取得を開始する開始インデックス。このパラメーターを使用して、小さくて管理しやすいチャンクに結果をページネーションします。最初のレコードのインデックスは 0 です。 データタイプ：数値 デフォルト：0
state	テストの現在のステータスでテスト定義をフィルタリングします。指定されたステータスのテスト定義のみが応答で返されます。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	• 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、 `offset=2` と `limit=3` の場合、Content-Range ヘッダーの値は items `3` から `5` になります。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。
リンク	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	**Description** (説明)
200	成功。要求が正常に処理されました。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。テスト定義の特性の詳細については、 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristic": [ { "id": "String", "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
href	サービステストへのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
mode	サービステストが実行されているモード。 有効な値： • ONDEMAND:サービステストを手動でトリガーします。 • 積極的:サービステストを自動的にトリガーします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト:ONDEMAND
name	必須。サービステストの名前。 データタイプ：文字列
関連サービス	必須。サービステストに関連付けられたテスト定義。 データタイプ: オブジェクト `"relatedService": { "href": "String", "id": "String", "name": "String" }`
relatedService.id	製品インベントリのSys_idまたはexternal_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedService.name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
startDateTime	サービステストの開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
state	サービステストの現在のステータス。 有効な値： • 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソーステストの特定の側面の測定。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"testMeasure": [ { "accuracy": "String", "captureDateTime": "String", "captureMethod": "String", "id": "String", "metricDescription": "String", "metricName": "String", "ruleViolation": [Array], "unitOfMeasure": "String", "value": {Object} } ]`
testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	検定測定のSys_idまたは external_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.Measure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定メトリクスの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"ruleViolation"[ { appliedConsequence: [Array], conformanceTargetUpper: Number, conformanceComparatorUpper: "String", description: "String", id: "String", name: "String", numberOfAllowedCrossing: Number, thresholdRuleSeverity: "String", tolerancePeriod: "String" } ]`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	結果を適用するまでの期間数。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールを超えた場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。 データタイプ:オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	"appliedConsequence": [
	{
	"appliedAction": "String",
	"description": "String",
	"id": "String",
	"name": "String",
	"repeatAction": Boolean
	}
	]

testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるアクションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.description	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.id	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.name	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	2 回目の違反が発生したときに結果を繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorExact	値が同一かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorLower	値がしきい値を下回っているかどうかを確認するための演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかをチェックするための演算子。 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact* 値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_id またはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	ただちに結果やアクションをトリガーすることなく交差の発生が有効になる時間間隔を指定します。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	テスト測定のコンフォーマンスターゲット値の測定単位を指定します。 データタイプ：文字列
testMeasure.value	検定測定値の値。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"value": {
	"id": "String",
	"name": "String",
	"valueType": "String",
	"value": "String
	}</pre>

testMeasure.value.id	検定測定値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	検定測定値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.value	検定測定値の値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列

テスト仕様	必須。このテストに関連付けられたテスト定義。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"testSpecification": {
	"id": "String",
	"href": "String"
	}</pre>

testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
testSpecification.id	サービステスト定義のsys_idまたは external_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

validFor	サービステストが有効な日付範囲。
	
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	"startDateTime": "String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"endDateTime ": "String"
	}</pre>

validFor.endDateTime	サービステストの有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ:文字列
validFor.startDateTime	サービステストの有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ:文字列

Example: cURL 要求

次の例では、インスタンス内の 2 つのサービステストに関する情報を取得します。

```
curl --location --request GET
 “https://instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanageme
nt/serviceTest” \
--user 'username’: ‘password'
```

応答本文。

```
[
  {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/09d1f42e3be28210d14
0068aa4e45ae2",
    "id": "09d1f42e3be28210d140068aa4e45ae2",
    "description": "Service test",
    "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
    "mode": "proactive",
    "name": "Speed Test TR0001002",
    "startDateTime": "2024-06-05 09:07:10",
    "validFor": {
      "startDateTime": "",
      "endDateTime": ""
    },
    "relatedService": {
      "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
      "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
    },
    "testSpecification": {
      "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/7d3854
864316c6500e51203d5fb8f2d8",
      "id": "7d3854864316c6500e51203d5fb8f2d8"
    },
    "characteristic": [],
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "testMeasure": [
      {
        "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2e",
        "accuracy": "0.0001",
        "captureDateTime": "",
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "",
        "metricName": "Flow speed",
        "unitOfMeasure": "A second",
        "value": "3000",
        "ruleViolation": [
          {
            "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2f",
            "description": "This speed is greater than the target",
            "name": "tooMuchTraffic",
            "numberOfAllowedCrossing": "0",
            "thresholdRuleSeverity": "high",
            "tolerancePeriod": "",
            "conformanceTargetLower": "2500",
            "conformanceComparatorLower": "greater than",
            "appliedConsequence": [
              {
                "id": "65d1382e3be28210d140068aa4e45a31",
                "appliedAction": "sendWarning",
                "description": "send a warning to the system",
                "name": "sendWarning",
                "repeatAction": "0"
              }
            ]
          }
        ]
      }
    ]
  },
  {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/18682a2a3b2682107222bf9985e45a55",
    "id": "18682a2a3b2682107222bf9985e45a55",
    "description": "Service test",
    "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
    "mode": "proactive",
    "name": "Speed Test TR0001012",
    "startDateTime": "2024-06-05 17:45:07",
    "validFor": {
      "startDateTime": "",
      "endDateTime": ""
    },
    "relatedService": {
      "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
      "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
    },
    "testSpecification": {
      "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/7d3854864316c6500e51203d5fb8f2d8",
      "id": "7d3854864316c6500e51203d5fb8f2d8"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "characteristic": [
      {
        "id": "5c682a2a3b2682107222bf9985e45a5a",
        "name": "url",
        "valueType": "single_line_text",
        "value": "http://abc.com"
      }
    ],
    "testMeasure": [
      {
        "id": "7c686a2a3b2682107222bf9985e45a4d",
        "accuracy": "0.0001",
        "captureDateTime": "",
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "",
        "metricName": "Flow speed",
        "unitOfMeasure": "A second",
        "value": "3000",
        "ruleViolation": [
          {
            "id": "38686a2a3b2682107222bf9985e45a4e",
            "description": "This speed is greater than the target",
            "name": "tooMuchTraffic",
            "numberOfAllowedCrossing": "0",
            "thresholdRuleSeverity": "high",
            "tolerancePeriod": "",
            "conformanceTargetLower": "2500",
            "conformanceComparatorLower": "greater than",
            "appliedConsequence": [
              {
                "id": "34686a2a3b2682107222bf9985e45a50",
                "appliedAction": "sendWarning",
                "description": "send a warning to the system",
                "name": "sendWarning",
                "repeatAction": "0"
              }
            ]
          }
        ]
      }
    ]
  }
]
```


サービステスト管理オープン **API – GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id}**

指定されたサービステストの ID に基づいてサービステストエンティティを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ID	必須。取得するサービステストのSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
フィールド	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 有効なフィールド： • 特性 • 説明 • endDateTime • id • mode • 関連サービス • startDateTime • state • testMeasure • テスト仕様 • validFor データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristic": [ { "id": "String", "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
href	サービステストへのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
mode	サービステストが実行されているモード。 有効な値： • ONDEMAND:サービステストを手動でトリガーします。 • 積極的:サービステストを自動的にトリガーします。 デフォルト:ONDEMAND

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
name	サービステストの名前。 データタイプ：文字列
関連サービス	このテストに関連付けられたテスト定義。 データタイプ: オブジェクト `"relatedService": { "href": "String", "id": "String", "name": "String" }`
relatedService.id	製品インベントリのsys_idまたは external_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedService.name	プロダクトインベントリアイテムの名前。 データタイプ：文字列
startDateTime	サービステストの開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
state	サービステストのステータス。 有効な値： • 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました
testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソーステストの特定の側面の測定。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"testMeasureDefinition": [ { "accuracy": "String", "captureDateTime": "String", "captureMethod": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"id": "String", "metricDescription": "String", "metricName": "String", "ruleViolation": [Array] "unitOfMeasure": "String", "value": {Object} }]
testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値： • 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	テスト測定のSys_idまたはexternal_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定におけるメトリクスの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"RuleViolation": [
	{
	"appliedConsequence": [Array],
	"conformanceComparatorExact": Boolean,
	"conformanceComparatorLower": "String",
	"conformanceComparatorUpper": "String",
	"conformanceTargetExact": "String",
	"conformanceTargetLower": "String",
	"conformanceTargetUpper": "String",
	"description": "String",
	"id": "String",
	"name": "String",
	"numberOfAllowedCrossing": Number,
	"thresholdRuleSeverity": "String",
	"tolerancePeriod": {Object}
	}
	]

testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	"appliedConsequence": [
	{
	"appliedAction": "String",
	"description": "String",
	"id": "String",
	"name": "String",
	"repeatAction": Boolean
	}
	]

testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるアクションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	適用されたアクションを繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequenceDescription	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequenceId	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequenceName	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComparatorExact	値が *conformanceTargetExact* の値と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値に等しい (=) • 未満 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact*値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルール違反の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_idまたはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.name	しきい値ルール違反の名前。 日付タイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrossings	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。 データタイプ：数値 最大:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • 低 • medium データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	結果が開始される前に許可された交差が発生する可能性がある期間または時間間隔。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	期間の数量 (数値)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に使用される測定可能な時間 (日、分、秒)。 データタイプ：文字列

testMeasure.value	テストのメトリクスの値。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"value": {`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "valueType": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

testMeasure.value.id	テスト内のメトリクス値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	テスト内のメトリクス値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.value	テストのメトリクスの値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列

テスト仕様	このテストに関連付けられたテスト定義。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"testSpecification": {`
	`  "href": "String",`
	`  "id": "String"`
	`}`

testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testSpecification.id	サービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
validFor	サービステストが有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	サービステストの終了日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの開始日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、指定された ID 44b7a8ea3b6a42107222bf9985e45a45 に関連付けられたサービステストエンティティに関する詳細を取得します。

```
curl --location --request GET
 “https://instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanageme
nt/serviceTest/44b7a8ea3b6a42107222bf9985e45a45 \
--user 'username’: ‘password'
```

応答本文。

```
{
  "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/44b7a8ea3b6a4210722
2bf9985e45a45",
  "id": "44b7a8ea3b6a42107222bf9985e45a45",
  "description": "Service test",
  "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
  "mode": "proactive",
  "name": "Speed Test TR0001001",
  "startDateTime": "2024-06-05 08:22:52",
  "validFor": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "startDateTime": "",
    "endDateTime": ""
  },
  "relatedService": {
    "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
    "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
  },
  "testSpecification": {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/7d3854
864316c6500e51203d5fb8f2d8",
    "id": "7d3854864316c6500e51203d5fb8f2d8"
  },
  "characteristic": [
        {
        "id": "5c682a2a3b2682107222bf9985e45a5a",
        "name": "url",
        "valueType": "single_line_text",
        "value": "test"
         }
],
  "testMeasure": [
    {
      "id": "62ade42a3ba28210d140068aa4e45a71",
      "accuracy": "0.0001",
      "captureDateTime": "",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "",
      "metricName": "Downstream Speed",
      "unitOfMeasure": "",
      "value": "16",
      "ruleViolation": [
        {
          "id": "b9bee4ae3ba28210d140068aa4e45a3a",
          "description": "This speed is less than the target upper",
          "name": "tooMuchTraffic",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetUpper": "75",
          "conformanceComparatorUpper": "less than",
          "appliedConsequence": [
            {
              "id": "489074aa3be28210d140068aa4e45a42",
              "appliedAction": "generateReport",
              "description": "",
              "name": "generateReport",
              "repeatAction": "0"
            },
            {
              "id": "785f2ce23be28210d140068aa4e45a75",
              "appliedAction": "sendWarning",
              "description": "",
              "name": "sendWarning",
              "repeatAction": "0"
            }
          ]
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
          ]
        }
    ]
}
```

サービステスト管理オープン API - GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification

すべてのサービステスト定義のリストを取得します。

URL 形式

デフォルト URL: `GET /api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
フィールド	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルにあります。 有効な値： • 説明 • id • name • 関連サービス仕様 • serviceTestSpecRelationship • specCharacteristic • testMeasureDefinition • validFor データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 データタイプ：数値 最大値:100 デフォルト値：20

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
オフセット	レコードの取得を開始する開始インデックス。このパラメーターを使用して、小さくて管理しやすいチャンクに結果をページネーションします。最初のレコードのインデックスは 0 です。 データタイプ：数値 デフォルト：0
state	テストの現在のステータスでテスト定義をフィルタリングします。指定されたステータスのテスト定義のみが応答で返されます。 有効な値： • archived • ドラフト • published • 引退 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。たとえば、 `offset=2` と `limit=3` の場合、Content-Range ヘッダーの値は items `3` から `5` になります。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
リンク	クエリ結果間を移動するための次のリンクが含まれています。 • 1 • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	**Description** (説明)
200	成功。要求が正常に処理されました。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたは [sn_st_mgmt_test_definition] テー データタイプ：文字列
name	必須。サービステスト定義の名前。 データタイプ：文字列

関連サービス仕様	必須。テスト定義のサービス仕様。
	データタイプ：オブジェクトのアレ
	`"relatedServiceSpecificati`
	`{`
	`"id": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"name": "String"
	}
	]</pre>

relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のSys_idまたはextern テーブルの [sys_id] または [externc データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列

serviceTestSpecRelationship	関連サービステスト定義。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"serviceTestSpecRelationsh
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"relationshipType": "Str
	}
	]</pre>

serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_ [sn_st_mgmt_test_definition] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値: • 代入 • 属国 • 独占 データタイプ：文字列

specCharacteristic	テスト定義の特性。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"specCharacteristic": [
	{
	"characteristicValueSpec
	"description": "String",
	"name": "String",
	"validFor": {Object},
	"valueType": "String"</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"characteristicValueSpeci
	  {
	    "value": "String"
	  }
	]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ: オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	  "endDateTime": "String",
	  "startDateTime": "String"
	}</pre>

specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列

testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測
	ストのテスト測定定義 」を
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	"testMeasureDefinition":
	{
	"captureFrequency": "Str
	"captureMethod": "String
	"capturePeriod": {Object
	"id": "String",
	"metricDescription": "St
	"metricName": "String",
	"name": "String",
	"unitOfMeasure": "String
	"thresholdRule": [Array
	"validFor": {Object},
	"valueType": "String"
	}
	]

testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。 有効な値： • なし • 1 回 • 日次 • 週次 • 月次 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために 有効な値： • automatic:メトリクスを自動的に • manual:メトリクスを手動でキャ • none:メトリクスをキャプチャし データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.capturePeriod	メトリクスキャプチャの期間。 データタイプ: オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"capturePeriod": {
	  "amount": Number,
	  "units": "String"
	}</pre>

testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_test_measure_defini データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.thresholdRule	テスト測定定義のしきい値を超えた
	する前に達成すべき条件を定義する
	定義のしきい値ルールの定義 」を
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>{
	  "thresholdRule": {
	  "consequence": Array,
	  "conformanceComparator
	  "conformanceComparator
	  "conformanceComparator
	  "conformanceTargetExac
	  "conformanceTargetLowe
	  "conformanceTargetUppe
	  "consequence": Array,
	  "description": "String
	  "id": "String",
	  "name": "String",</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"numberOfAllowedCrossi
	"thresholdRuleSeverity
	"tolerancePeriod": Obj
	}
	}</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *testMeasureDefinition.thres* 設定された値と同一かどうかを示す *testMeasureDefinition.thres* が必要です。 有効な値： • true:値は *conformanceTargeti* • false:値は同一ではありません *co* データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどう 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうか 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* す。*conformanceComparatorExa* の値は *conformanceTargetExac* データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行 通知)。詳細については、「しきい値 照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ:オブジェクトのアレイ `"consequence": [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String", "prescribeAction": "Stri "repeatAction": Boolean, "validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String } ]`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユーンスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用された結果を繰り返すかどうか 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しませ データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime ": "String" }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_threshold_rule] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に 最大値:40 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度レベル。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に 秒)。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：文字列
	
	`"validFor": {`
	`"endDateTime": "String",`
	`"startDateTime": "String"`
	`}`

testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor	テスト定義が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	テスト定義のステータスが廃止され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	テスト定義のステータスが公開され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、インスタンス内のすべてのテストサービスのテスト定義に関する詳細を取得します。この場合、2 つの定義が返されます。

```
curl --location --request GET
“https://instance.servicenow.com//
api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification” \
--user 'username’: ‘password'
```

応答本文。

```
[
  {
    "description": "Operation, Administration and Maintenance",
    "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "name": "OAM Test",
    "validFor": {
      "startDateTime": "",
      "endDateTime": ""
    },
    "testMeasureDefinition": [
      {
        "id": "77b9b964432a02104fefe4511fb8f26e",
        "captureFrequency": "once",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "This is the Rx signal level",
        "metricName": "Rx Optical Signal Level",
        "name": "Rx Optical Signal Level",
        "unitOfMeasure": "a minute",
        "valueType": "",
        "capturePeriod": "",
        "validFor": {
          "startDateTime": "",
          "endDateTime": ""
        },
        "thresholdRule": [
          {
            "id": "d3e97d64432a02104fefe4511fb8f281",
            "description": "",
            "name": "gponOntAniOpInfoRxOpticalSignalLevel",
            "numberOfAllowedCrossing": "",
            "thresholdRuleSeverity": "",
            "tolerancePeriod": "",
            "conformanceTargetUpper": "0",
            "conformanceComparatorUpper": "less than",
            "conformanceTargetLower": "-50",
            "conformanceComparatorLower": "greater than",
            "consequence": []
          }
        ]
      },
      {
        "id": "878afd64432a02104fefe4511fb8f28d",
        "captureFrequency": "once",
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "This is the Tx signal level",
        "metricName": "TX Optical Signal Level",
        "name": "TX Optical Signal Level",
        "unitOfMeasure": "a minute",
        "valueType": "",
        "capturePeriod": "",
        "validFor": {
          "startDateTime": "",
          "endDateTime": ""
        },
        "thresholdRule": [
          {
            "id": "b3dab5a4432a02104fefe4511fb8f2d3",
            "description": "",
            "name": "gponOntAniOpInfoTxOpticalSignalLevel",
            "numberOfAllowedCrossing": "",
            "thresholdRuleSeverity": "",
            "tolerancePeriod": "",
            "conformanceTargetUpper": "65",
            "conformanceComparatorUpper": "less than",
            "conformanceTargetLower": "-65",
            "conformanceComparatorLower": "greater than",
            "consequence": []
          }
        ]
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
    "specCharacteristic": [
      {
        "name": "AccessRequired",
        "description": "AccessRequired",
        "valueType": "yes_no",
        "validFor": {
          "startDatetime": "2024-05-30 09:09:57"
        },
        "characteristicValueSpecification": [
          {
            "value": "Yes",
            "validFor": {
              "startDateTime": "",
              "endDateTime": ""
            }
          },
          {
            "value": "No",
            "validFor": {
              "startDateTime": "",
              "endDateTime": ""
            }
          }
        ]
      }
    ],
    "serviceTestSpecRelationship": [],
    "relatedServiceSpecification": [
      {
        "id": "f559b564432a02104fefe4511fb8f2e0",
        "name": "OAM"
      }
    ]
  },
  {
    "description": "Upstream and Downstream speed ",
    "id": "89d2b920432a02104fefe4511fb8f22e",
    "name": "Speed Test",
    "validFor": {
      "startDateTime": "2024-05-31",
      "endDateTime": "2024-06-27"
    },
    "testMeasureDefinition": [
      {
        "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
        "captureFrequency": "once",
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
        "metricName": "Downstream Speed",
        "name": "Downstream Speed",
        "unitOfMeasure": "a second",
        "valueType": "",
        "capturePeriod": "30 Minutes",
        "validFor": {
          "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
          "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        "thresholdRule": [
          {
            "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
            "description": "This speed is greater than the target upper",
            "name": "InternetSpeedValue",
            "numberOfAllowedCrossing": "0",
            "thresholdRuleSeverity": "high",
            "tolerancePeriod": "15 Minutes",
            "conformanceTargetLower": "75",
            "conformanceComparatorLower": "greater than",
            "consequence": [
              {
                "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
                "prescribeAction": "null",
                "description": "generate a waring report",
                "name": "degradedQualityOfService",
                "repeatAction": "0",
                "validFor": {
                  "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
                  "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
                }
              },
              {
                "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
                "prescribeAction": "null",
                "description": "send a warning to the system",
                "name": "packetdrop",
                "repeatAction": "0",
                "validFor": {
                  "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
                  "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
                }
              }
            ]
          },
          {
            "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
            "description": "",
            "name": "InternetSpeedValue",
            "numberOfAllowedCrossing": "0",
            "thresholdRuleSeverity": "medium",
            "tolerancePeriod": "",
            "conformanceTargetUpper": "120",
            "conformanceComparatorUpper": "less than",
            "consequence": []
          }
        ]
      },
      {
        "id": "8f987524432a02104fefe4511fb8f2f0",
        "captureFrequency": "once",
        "captureMethod": "automatic",
        "metricDescription": "This is the upstream speed in the service",
        "metricName": "Upstream Speed",
        "name": "Upstream Speed",
        "unitOfMeasure": "a second",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "valueType": "",
        "capturePeriod": "",
        "validFor": {
          "startDateTime": "",
          "endDateTime": ""
        },
        "thresholdRule": []
      }
    ],
    "specCharacteristic": [
      {
        "name": "restart",
        "description": "restart",
        "valueType": "yes_no",
        "validFor": {
          "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
        },
        "characteristicValueSpecification": [
          {
            "value": "No",
            "validFor": {
              "startDateTime": "",
              "endDateTime": ""
            }
          },
          {
            "value": "Yes",
            "validFor": {
              "startDateTime": "",
              "endDateTime": ""
            }
          }
        ]
      }
    ],
    "serviceTestSpecRelationship": [
      {
        "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
        "name": "OAM Test",
        "relationshipType": ""
      }
    ],
    "relatedServiceSpecification": [
      {
        "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
        "name": "Home Internet"
      }
    ]
  }
]
```


サービステスト管理オープン API - GET /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id}

サービステスト定義エンティティを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	必須。取得するサービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
フィールド	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターを使用しない場合、すべてのフィールドが返されます。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルにあります。 有効な値： • 説明 • id • name • 関連サービス仕様 • serviceTestSpecRelationship • specCharacteristic • testMeasureDefinition • validFor データタイプ：文字列
state	テストの現在のステータスでテスト定義をフィルタリングします。指定されたステータスのテスト定義のみが応答で返されます。 有効な値： • archived • ドラフト • published • 引退 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたは[sn_st_mgmt_test_definition] テー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	必須。サービステスト定義の名前。 データタイプ：文字列

関連サービス仕様	必須。テスト定義のサービス仕様。
	データタイプ：オブジェクトのアレ
	`"relatedServiceSpecificati`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String"`
	`}`
	`]`

relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のSys_idまたはextern テーブルの [sys_id] または [externa データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列

serviceTestSpecRelationship	関連サービステスト定義。
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"serviceTestSpecRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String",`
	`"relationshipType": "Str`
	`}`
	`]`

serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_ [sn_st_mgmt_test_definition] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値: • 代入 • 属国 • 独占

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
specCharacteristic	テスト定義の特性。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"specCharacteristic": [ { "characteristicValueSpec "description": "String", "name": "String", "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristicValueSpeci { "value": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測 ストのテスト測定定義の定義 」を データタイプ:オブジェクトのアレイ `"testMeasureDefinition": [ { "captureFrequency": "Str "captureMethod": "String "capturePeriod": "Object "id": "String", "metricDescription": "St "metricName": "String", "name": "String", "unitOfMeasure": "String "thresholdRule": [Array "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。 有効な値： • なし • 1 回 • 日次 • 週次 • 月次 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• automatic:メトリクスを自動的に • manual:メトリクスを手動でキャ • none:メトリクスをキャプチャし データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.capturePeriod	メトリクスキャプチャの期間。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"capturePeriod": {`
	`  "amount": Number,`
	`  "units": "String"`
	`}`

testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_test_measure_defini データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.thresholdRule	テスト測定定義のしきい値を超えた
	する前に達成すべき条件を定義する
	定義のしきい値ルールの定義 」を
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	`{`
	`  "thresholdRule": {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"consequence": Array, "conformanceComparator "conformanceComparator "conformanceComparator "conformanceTargetExac "conformanceTargetLowe "conformanceTargetUppe "consequence": Array, "description": "String "id": "String", "name": "String", "numberOfAllowedCrossi "thresholdRuleSeverity "tolerancePeriod": Obj } }
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *testMeasureDefinition.thres* 設定された値と同一かどうかを示す *testMeasureDefinition.thres* が必要です。 有効な値： • true:値は *conformanceTarget* • false:値は同一ではありません *co* データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどう 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうか 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* す。*conformanceComparatorEx* の値は *conformanceTargetExac* データタイプ：数値

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行 通知)。詳細については、「しきい値 照してください。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"consequence": [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String", "prescribeAction": "Str "repeatAction": Boolean, "validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String } ]`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユー ンスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用された結果を繰り返すかどうか 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime ": "String" }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたはexte[sn_st_mgmt_threshold_rule] テーフィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に 最大値:40 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度レベル。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に秒)。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。 データタイプ：文字列 `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor	テスト定義が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	テスト定義のステータスが廃止され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	テスト定義のステータスが公開され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、指定された ID を持つサービステスト定義の詳細を取得します。

```
curl --location --request GET
 "https:/instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/89d2b920432a02104fefe4511fb8f22e" \
--user 'username’: ‘password'
```

応答本文。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "description": "Upstream and Downstream speed ",
  "id": "89d2b920432a02104fefe4511fb8f22e",
  "name": "Speed Test",
  "validFor": {
    "startDateTime": "2024-05-31",
    "endDateTime": "2024-06-27"
  },
  "testMeasureDefinition": [
    {
      "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
      "metricName": "Downstream Speed",
      "name": "Downstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "30 Minutes",
      "validFor": {
        "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
        "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
      },
      "thresholdRule": [
        {
          "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
          "description": "This speed is greater than the target upper",
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "15 Minutes",
          "conformanceTargetLower": "75",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "consequence": [
            {
              "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "generate a waring report",
              "name": "degradedQualityOfService",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
              }
            },
            {
              "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "packetdrop",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
              }
            }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ]
        },
        {
          "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
          "description": "",
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "medium",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetUpper": "120",
          "conformanceComparatorUpper": "less than",
          "consequence": []
        }
      ]
    }
  ],
  "specCharacteristic": [
    {
      "name": "restart",
      "description": "restart",
      "valueType": "yes_no",
      "validFor": {
        "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
      },
      "characteristicValueSpecification": [
        {
          "value": "No",
          "validFor": {
            "startDateTime": "",
            "endDateTime": ""
          }
        },
        {
          "value": "Yes",
          "validFor": {
            "startDateTime": "",
            "endDateTime": ""
          }
        }
      ]
    }
  ],
  "serviceTestSpecRelationship": [
    {
      "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "name": "OAM Test",
      "relationshipType": ""
    }
  ],
  "relatedServiceSpecification": [
    {
      "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
      "name": "Home Internet"
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービステスト管理オープン **API - PATCH /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id}**

サービステストエンティティを更新します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ID	必須。取得するサービステストのSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。テスト定義の特性の詳細については、 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristic": [ { "id": "String", "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
mode	サービステストが実行されているモード。 有効な値： • ONDEMAND:サービステストを手動でトリガーします。 • 積極的:サービステストを自動的にトリガーします。 デフォルト:ONDEMAND
name	必須。サービステストの名前。 データタイプ：文字列
関連サービス	必須。サービステストに関連付けられたテスト定義。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ: オブジェクト `"relatedService": { "href": "String", "id": "String", "name": "String" }`
relatedService.href	関連サービスへのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
relatedService.id	製品インベントリのSys_idまたはexternal_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
startDateTime	サービステストの開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
state	サービステストの現在のステータス。 有効な値： • 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました データタイプ：文字列
testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソーステストの特定の側面の測定。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"testMeasure": [ { "accuracy": "String", "captureDateTime": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"captureMethod": "String",
	"id": "String",
	"metricDescription":
	"String",
	"metricName": "String",
	"ruleViolation": [Array],
	"unitOfMeasure": "String",
	"value": {Object}
	}
	]</pre>

testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	検定測定のSys_idまたは external_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.Measure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値： • 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定メトリクスの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"ruleViolation"[ { appliedConsequence: [Array], conformanceTargetUpper: Number, conformanceComparatorUpper: "String", description: "String", id: "String", name: "String", numberOfAllowedCrossing: Number, thresholdRuleSeverity: "String", tolerancePeriod: "String" } ]`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	結果を適用するまでの期間数。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールを超えた場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"appliedConsequence": [ { "appliedAction": "String", "description": "String", "id": "String", "name": "String", "repeatAction": Boolean } ]`
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるア

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	クションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.description	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.id	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.name	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	2 回目の違反が発生したときに結果を繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorExact	値が同一かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorLower	値がしきい値を下回っているかどうかを確認するための演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかをチェックするための演算子。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact*値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_id またはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	ただちに結果やアクションをトリガーすることなく交差の発生が有効になる時間間隔を指定します。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	テスト測定のコンフォーマンスターゲット値の測定単位を指定します。 データタイプ：文字列
testMeasure.value	検定測定値の値。 データタイプ: オブジェクト `"value": { "id": "String", "name": "String", "valueType": "String", "value": "String }`
testMeasure.value.id	検定測定値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	検定測定値の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasure.value.value	検定測定値の値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列
テスト仕様	必須。このテストに関連付けられたテスト定義。 データタイプ: オブジェクト `"testSpecification": { "id": "String", "href": "String" }`
testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
testSpecification.id	サービステスト定義のsys_idまたはexternal_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
validFor	サービステストが有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime ": "String" }`
validFor.endDateTime	サービステストの有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristic": [ { "id": "String", "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	サービステストの名前。 データタイプ：文字列

関連サービス	このテストに関連付けられたテスト定義。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"relatedService": {`
	`  "href": "string",`
	`  "id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"name": "String"
	}</pre>

relatedService.id	製品インベントリのSys_idまたはexternal_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedService.name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列

testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソーステストの特定の側面の測定。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"testMeasureDefinition": [
	{
	"accuracy": "String",
	"captureDateTime": "String",
	"captureMethod": "String",
	"id": "String",
	"metricDescription": "String",
	"metricName": "String",
	"ruleViolation": [Array]
	"unitOfMeasure": "String",
	"value": {Object}
	}
	]</pre>

testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	テスト測定のSys_idまたはexternal_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定におけるメトリクスの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"RuleViolation": [{ "appliedConsequence": [Array], "conformanceComparatorExact": Boolean, "conformanceComparatorLower": "String", "conformanceComparatorUpper": "String", "conformanceTargetExact": "String", "conformanceTargetLower": "String", "conformanceTargetUpper": "String", "description": "String", "id": "String", "name": "String", "numberOfAllowedCrossing": Number, "thresholdRuleSeverity": "String", "tolerancePeriod": {Object} }]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"appliedConsequence": [ { "appliedAction": "String", "description": "String", "id": "String", "name": "String", "repeatAction": Boolean } ]`
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるアクションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	適用されたアクションを繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.description	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.id	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.name	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceCompareToExact	値が *conformanceTargetExact* の値と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComparator	値がしきい値を下回っているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComparator	値がしきい値を超えているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値に等しい (=) • 未満 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact*値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルール違反の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_idまたはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrashes	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値 最大:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • 低 • medium データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	結果が開始される前に許可された交差が発生する可能性がある期間または時間間隔。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	期間の数量 (数値)。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に使用される測定可能な時間 (日、分、秒)。 データタイプ：文字列
testMeasure.value	テストのメトリクスの値。 データタイプ: オブジェクト `"value": { "id": "String", "name": "String", "valueType": "String", "value": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.value.id	テスト内のメトリクス値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	テスト内のメトリクス値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.value	テストのメトリクスの値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列

テスト仕様	このテストに関連付けられたテスト定義。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"testSpecification": {`
	`  "href": "String",`
	`  "id": "String"`
	`}`

testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
testSpecification.id	サービステスト定義のSys_idまたは external_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

validFor	サービステストが有効な日付範囲。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"validFor": {`
	`  "startDateTime": "String",`
	`  "endDateTime": "String"`
	`}`

validFor.endDateTime	サービステストの終了日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの開始日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、要求本文に指定された詳細に従って、指定されたサービステストエンティティを更新します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/s
erviceTest/2b406ec043b202104fefe4511fb8f211" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
--data {
  "description": "Service test description",
  "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
  "mode": "proactive",
  "name": "Speed Test TR0001002",
  "startDateTime": "2024-06-05 09:07:10",
  "validFor": {
    "startDateTime": "",
    "endDateTime": ""
  },
  "relatedService": {
    "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
    "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
  },
  "testSpecification": {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/76a3b1
60432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad"
  },
  "characteristic": [
    {
      "id": "e7ef960443f202104fefe4511fb8f224",
      "name": "AccessRequired",
      "valueType": "yes_no",
      "value": "No"
    }
  ],
  "testMeasure": [
    {
      "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2e",
      "accuracy": "0.0001",
      "captureDateTime": "",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "",
      "metricName": "Flow speed",
      "unitOfMeasure": "A second",
      "value": "3000",
      "ruleViolation": [
        {
          "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2f",
          "description": "This speed is greater than the target",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "tooMuchTraffic",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetLower": "2500",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "appliedConsequence": [
            {
              "id": "65d1382e3be28210d140068aa4e45a31",
              "appliedAction": "sendWarning",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "sendWarning",
              "repeatAction": "0"
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

応答は、指定されたテストサービスで変更された情報を返すことで、更新が成功したことを示します。

```
{
  "description": "Service test description",
  "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
  "mode": "proactive",
  "name": "Speed Test TR0001002",
  "startDateTime": "2024-06-05 09:07:10",
  "validFor": {
    "startDateTime": "",
    "endDateTime": ""
  },
  "relatedService": {
    "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
    "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
  },
  "testSpecification": {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/76a3b1
60432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad"
  },
  "characteristic": [
    {
      "id": "e7ef960443f202104fefe4511fb8f224",
      "name": "AccessRequired",
      "valueType": "yes_no",
      "value": "yes"
    }
  ],
  "testMeasure": [
    {
      "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2e",
      "accuracy": "0.0001",
      "captureDateTime": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "",
      "metricName": "Flow speed",
      "unitOfMeasure": "A second",
      "value": "3000",
      "ruleViolation": [
        {
          "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2f",
          "description": "This speed is greater than the target",
          "name": "tooMuchTraffic",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetLower": "2500",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "appliedConsequence": [
            {
              "id": "65d1382e3be28210d140068aa4e45a31",
              "appliedAction": "sendWarning",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "sendWarning",
              "repeatAction": "0"
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```


サービステスト管理オープン **API - PATCH /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id}**

サービステスト定義エンティティの部分的な更新を許可します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	必須。取得するサービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
name	必須。サービステスト定義の名前。 データタイプ：文字列

関連サービス仕様	必須。テスト定義のサービス仕様。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレ
	
	`"relatedServiceSpecificati`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String"`
	`}`
	`]`

relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のSys_idまたはextern テーブルの [sys_id] または externa データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列

serviceTestSpecRelationship	関連サービステスト定義。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	`"serviceTestSpecRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String",`
	`"relationshipType": "Str`
	`}`
	`]`

serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_ [sn_st_mgmt_test_definition] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値: • 代入 • 属国 • 独占 データタイプ：文字列
specCharacteristic	テスト定義の特性。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"specCharacteristic": [ { "characteristicValueSpec "description": "String", "name": "String" "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristicValueSpeci { "value": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"startDateTime": "String"
	}</pre>

specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列

testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測
	ストのテスト測定定義 」を
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"testMeasureDefinition":
	{
	"captureFrequency": "Str
	"captureMethod": "String
	"capturePeriod": {Object
	"id": "String",
	"metricDescription": "St
	"metricName": "String",
	"name": "String",
	"unitOfMeasure": "String
	"thresholdRule": [Array
	"validFor": {Object},
	"valueType": "String"
	}
	]</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。 有効な値： • なし • 1 回 • 日次 • 週次 • 月次 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために 有効な値： • automatic:メトリクスを自動的に • manual:メトリクスを手動でキャ • none:メトリクスをキャプチャし データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.capturePeriod	メトリクスキャプチャの期間。
	データタイプ: オブジェクト
	`"capturePeriod": {`
	`  "amount": Number,`
	`  "units": "String"`
	`}`

testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_test_measure_defini データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule	テスト測定定義のしきい値を超えた する前に達成すべき条件を定義する 定義のしきい値ルールの定義 」を データタイプ:オブジェクトのアレイ `{ "thresholdRule": { "consequence": Array, "conformanceComparator "conformanceComparator "conformanceComparator "conformanceTargetExac "conformanceTargetLowe "conformanceTargetUppe "consequence": Array, "description": String "id": "String", "name": "String", "numberOfAllowedCrossi "thresholdRuleSeverity "tolerancePeriod": Obj } }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *testMeasureDefinition.thres* 設定された値と同一かどうかを示す *testMeasureDefinition.thres* が必要です。 有効な値： • true:値は *conformanceTargeti* • false:値は同一ではありません *co* データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどう

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうか 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* す。*conformanceComparatorExa* の値は *conformanceTargetExac* データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行 通知)。詳細については、「しきい値 照してください。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"consequence": [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String", "prescribeAction": "Stri "repeatAction": Boolean, "validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String } ]`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユーンスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用された結果を繰り返すかどうか 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しませ データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime ": "String" }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_threshold_rule] テー フィールドにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に 最大値:40 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度レベル。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に 秒)。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。 データタイプ：文字列 `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のsys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	サービステスト定義の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
関連サービス仕様	テスト定義のサービス仕様。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"relatedServiceSpecificati n": [ { "id": "String", "name": "String" } ]`
relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のsys_idまたはexternal_id。仕様 [sn_prd_pm_specification] テーブル [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship	関連サービステスト定義。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"serviceTestSpecRelationsh p": [ { "id": "String", "name": "String", "relationshipType": "String" } ]`
serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_またはexternal_id。テスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 代入 • 属国 • 独占 データタイプ：文字列
specCharacteristic	テスト定義の特性。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"specCharacteristic": [ { "characteristicValueSpecification": Array, "description": "String", "name": "String", "validFor": Object, "valueType": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristicValueSpecification": [ { "value": "String" } ]`
specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。 データタイプ：オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などで データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などで データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測定定義。詳細については、「サービステストのテスト測定定義の定義」を参照してください。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"testMeasureDefinition": [ { "captureFrequency": "String", "captureMethod": "String", "capturePeriod": {Object "id": "String", "metricDescription": "String", "metricName": "String", "name": "String", "unitOfMeasure": "String", "thresholdRule": [Array] "validFor": {Object}, "valueType": "String" } ]`
testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • 日次 • 月次 • なし • 1 回 • 週次 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために される方法。 有効な値： • manual - メトリクスを手動でキ チャします。 • 自動 - メトリクスを自動的にキャ チャします。 • none - メトリクスをキャプチャし せん。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.capturePeriod	キャプチャの期間。
	データタイプ: オブジェクト
	`"capturePeriod": {`
	`  "amount": Number,`
	`  "units": "String"`
	`}`

testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたは external_id。テスト測定定義テーブ [sn_st_mgmt_test_measure_defini テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ 義名。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.thresholdRule	特定のテスト測定定義についてしき
	を超えたとき、またはしきい値を超
	くなったときに結果を適用するため
	成条件 (発生またはクリア) を定義す
	ルール。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	{
	"thresholdRule": {
	
	"conformanceComparatorExa
	t": Boolean,
	
	"conformanceComparatorLow
	r": "String",
	
	"conformanceComparatorUpp
	r": "String",
	
	"conformanceTargetExact"
	"String",
	
	"conformanceTargetLower"
	"String",
	
	"conformanceTargetUpper"
	"String",
	"consequence": Array,
	"description": "String
	"id": "String",
	"name": "String",
	
	"numberOfAllowedCrossing"
	Number,
	"thresholdRuleSeverity
	"String",
	"tolerancePeriod":
	Object

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	} }
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *conformanceTargetExact* と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は *conformanceTargetExact* の値と同じです。 • false:値は同一ではありません *conformanceTargetExact*。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどうか確認する演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかチェックする演算子。 有効な値： • 未満 • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下しきい値。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上しきい値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行 アクション (所定のアクションまたは 知)。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"consequence": [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String", "prescribeAction": "String", "repeatAction": Boolean, "validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String } ]`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユー 定義のアクション。アクションはイ タンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用されたアクションを繰り返すか かを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しませ データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"validFor": {
	"startDateTime": "String"
	"endDateTime ": "String"
	}</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたはexternal_id。しきい値ルール[sn_st_mgmt_threshold_rule] テーにあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内にされる最大交差。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • 低 • medium データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算にされる測定可能な時間 (日、分、秒) データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime": "String" }`
testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、要求本体に指定された変更に従って、指定されたサービステスト定義 ID を部分的に更新します。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/s
erviceTestSpecification/89d2b920432a02104fefe4511fb8f22e "
--request PATCH
--header "Accept:application/json"
--user 'username':'password'
--data {
  "description": "Upstream and Downstream speed ",
  "name": "This is my new Speed Test",
  "testMeasureDefinition": [
    {
      "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
      "metricName": "Downstream Speed",
      "name": "Downstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "30 Minutes",
      "validFor": {
        "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
        "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
      },
      "thresholdRule": [
        {
          "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
          "description": "This speed is greater than the target upper",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "15 Minutes",
          "conformanceTargetLower": "75",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "consequence": [
            {
              "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "generate a waring report",
              "name": "degradedQualityOfService",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
              }
            },
            {
              "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "packetdrop",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
              }
            }
          ]
        },
        {
          "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
          "description": "",
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "medium",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetUpper": "120",
          "conformanceComparatorUpper": "less than",
          "consequence": []
        }
      ]
    },
    {
      "id": "8f987524432a02104fefe4511fb8f2f0",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the upstream speed in the service",
      "metricName": "Upstream Speed",
      "name": "Upstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "",
      "validFor": {
        "startDateTime": "",
        "endDateTime": ""
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "thresholdRule": []
    }
  ],
  "specCharacteristic": [
    {
      "name": "restart",
      "description": "restart",
      "valueType": "yes_no",
      "validFor": {
        "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
      }
    }
  ],
  "serviceTestSpecRelationship": [
    {
      "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "name": "OAM Test",
      "relationshipType": ""
    }
  ],
  "relatedServiceSpecification": [
    {
      "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
      "name": "Home Internet"
    }
  ]
}
```


応答本文は、サービステスト仕様の更新された部分を返します。


```
{
  "description": "Upstream and Downstream speed ",
  "name": "This is my new Speed Test",
  "testMeasureDefinition": [
    {
      "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
      "metricName": "Downstream Speed",
      "name": "Downstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "30 Minutes",
      "validFor": {
        "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
        "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
      },
      "thresholdRule": [
        {
          "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
          "description": "This speed is greater than the target upper",
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "15 Minutes",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "conformanceTargetLower": "75",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "consequence": [
            {
              "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "generate a waring report",
              "name": "degradedQualityOfService",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
              }
            },
            {
              "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
              "prescribeAction": "null",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "packetdrop",
              "repeatAction": "0",
              "validFor": {
                "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
                "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
              }
            }
          ]
        },
        {
          "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
          "description": "",
          "name": "InternetSpeedValue",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "medium",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetUpper": "120",
          "conformanceComparatorUpper": "less than",
          "consequence": []
        }
      ]
    },
    {
      "id": "8f987524432a02104fefe4511fb8f2f0",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the upstream speed in the service",
      "metricName": "Upstream Speed",
      "name": "Upstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "",
      "validFor": {
        "startDateTime": "",
        "endDateTime": ""
      },
      "thresholdRule": []
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "specCharacteristic": [
    {
      "name": "restart",
      "description": "restart",
      "valueType": "yes_no",
      "validFor": {
        "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
      }
    }
  ],
  "serviceTestSpecRelationship": [
    {
      "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "name": "OAM Test",
      "relationshipType": ""
    }
  ],
  "relatedServiceSpecification": [
    {
      "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
      "name": "Home Internet"
    }
  ]
}
```

サービステスト管理オープン **API - POST /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest**
サービステストを作成します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTest`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。テスト定義の特性の詳細については、 データタイプ:オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"characteristic": [
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"value": "String",
	"valueType": "String"
	}
	]</pre>

characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
id	サービステストのSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。この ID はサービステストを作成し、external_idとして使用されます。 データタイプ：文字列
mode	サービステストが実行されているモード。 有効な値： • ONDEMAND:サービステストを手動でトリガーします。 • 積極的:サービステストを自動的にトリガーします。 デフォルト:ONDEMAND
name	必須。サービステストの名前。 データタイプ：文字列
関連サービス	必須。サービステストに関連付けられたテスト定義。 データタイプ: オブジェクト `"relatedService": { "href": "String", "id": "String", "name": "String" }`
relatedService.href	関連サービスへのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列
relatedService.id	製品インベントリのSys_idまたはexternal_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedService.name	プロダクトインベントリアイテムの名前。 データタイプ：文字列
startDateTime	サービステストの開始日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
state	サービステストの現在のステータス。 有効な値： • 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました データタイプ：文字列
testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソースのテストの特定の側面の測定。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"testMeasure": [ { "accuracy": "String", "captureDateTime": "String", "captureMethod": "String", "id": "String", "metricDescription": "String", "metricName": "String", "ruleViolation": [Array], "unitOfMeasure": "String", "value": {Object} } ]`
testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	検定測定のSys_idまたは external_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルの sys_id または external_id フィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.Measure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値： • 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定メトリクスの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"ruleViolation"[ { appliedConsequence: [Array], conformanceTargetUpper: Number, conformanceComparatorUpper: "String", description: "String", id: "String", name: "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>numberOfAllowedCrossing: Number,
	thresholdRuleSeverity: "String",
	tolerancePeriod: "String"
	}
	]</pre>

testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールを超えた場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"appliedConsequence": [
	{
	"appliedAction": "String",
	"description": "String",
	"id": "String",
	"name": "String",
	"repeatAction": Boolean
	}
	]</pre>

testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるアクションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.description	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.id	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.name	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	2 回目の違反が発生したときに結果を繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorExact	値が同一かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorLower	値がしきい値を下回っているかどうかを確認するための演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComporatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかをチェックするための演算子。 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact*値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_id またはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	ただちに結果やアクションをトリガーすることなく交差の発生が有効になる時間間隔を指定します。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	結果を適用するまでの期間数。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	• 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	テスト測定のコンフォーマンスターゲット値の測定単位を指定します。 データタイプ：文字列
testMeasure.value	検定測定値の値。 データタイプ: オブジェクト `"value": { "id": "String", "name": "String", "valueType": "String", "value": "String }`
testMeasure.value.id	検定測定値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	検定測定値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.value	検定測定値の値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列
テスト仕様	必須。このテストに関連付けられたテスト定義。 データタイプ: オブジェクト `"testSpecification": { "id": "String", "href": "String" }`
testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
testSpecification.id	サービステスト定義のsys_idまたは external_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
validFor	サービステストが有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime ": "String" }`
validFor.endDateTime	サービステストの有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
特性	関連付けられたサービステストの特性を説明するリスト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"characteristic": [ { "id": "String", "name": "String", "value": "String", "valueType": "String" } ]`
characteristic.id	特性のSys_idまたはexternal_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。そのレコードにexternal_idが存在する場合、応答はexternal_idを返し、そうでない場合はsys_idを返します。 データタイプ：文字列
characteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
characteristic.value	サービステストに関連する特性オプション。特性はカスタマーインスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
characteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
説明	サービステストの説明。 データタイプ：文字列
endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
mode	サービステストが実行されているモード。 有効な値： • ONDEMAND:サービステストを手動でトリガーします。 • 積極的:サービステストを自動的にトリガーします。 デフォルト:ONDEMAND
name	サービステストの名前。 データタイプ：文字列

関連サービス	このテストに関連付けられたテスト定義。
	データタイプ: オブジェクト
	`"relatedService": {`
	`"href": "string",`
	`"id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"name": "String" }
relatedService.id	製品インベントリのSys_idまたはexternal_id。製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedService.name	製品在庫の名前。 データタイプ：文字列
startDateTime	サービステストの開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
state	サービステストのステータス。 有効な値： • 確認済み • キャンセル済み • completed • failed • 進行中 • 保留中 • が却下されました

testMeasure	失われたパケットや接続ステータスなど、製品、サービス、またはリソーステストの特定の側面の測定。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	"testMeasureDefinition": [
	{
	"accuracy": "String",
	"captureDateTime": "String",
	"captureMethod": "String",
	"id": "String",
	"metricDescription": "String",
	"metricName": "String",
	"ruleViolation": [Array]
	"unitOfMeasure": "String",
	"value": {Object}
	}
	]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.accuracy	関連するメトリクスに対してキャプチャされたテスト測定精度を表す浮動小数点数の 10 進数値。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasure.captureDateTime	メトリクスがキャプチャされた日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 09:35:43 などです。 データタイプ：文字列
testMeasure.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために使用される方法。 有効な値： • 自動 - メトリクスを自動的にキャプチャします。 • manual - メトリクスを手動でキャプチャします。 • none - メトリクスをキャプチャしません。 データタイプ：文字列
testMeasure.id	テスト測定のSys_idまたはexternal_id。検定測定テーブル [sn_st_mgmt_test_measure] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.metricName	テスト測定におけるメトリクスの名前。 データタイプ：文字列

testMeasure.ruleViolation	しきい値ルール定義でルールを定義し、ルールに違反した場合の結果を定義するためのオブジェクト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"RuleViolation": [`
	`{`
	`"appliedConsequence": [Array],`
	`"conformanceComparatorExact": Boolean,`
	`"conformanceComparatorLower": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"conformanceComparatorUpper": "String", "conformanceTargetExact": "String", "conformanceTargetLower": "String", "conformanceTargetUpper": "String", "description": "String", "id": "String", "name": "String", "numberOfAllowedCrossing": Number, "thresholdRuleSeverity": "String", "tolerancePeriod": {Object} }]
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション (所定のアクションまたは通知)。 データタイプ：オブジェクトのアレイ "appliedConsequence": [{ "appliedAction": "String", "description": "String", "id": "String", "name": "String", "repeatAction": Boolean }]
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.appliedAction	しきい値ルールに違反した場合に実行するアクション。たとえば、警告の送信やレポートの生成などです。適用されるアクションはインスタンス間で異なる場合があります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.repeatAction	適用されたアクションを繰り返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequence.description	適用された結果の説明。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequenc	適用された結果のSys_idまたはexternal_id。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.appliedConsequenc	適用された結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComp	値が *conformanceTargetExact* の値と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は同じです。 • false:値が同一ではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasure.ruleViolation.conformanceComp	値がしきい値を下回っているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceComp	値がしきい値を超えているかどうかをチェックする演算子。 有効な値： • 次の値に等しい (=) • 未満 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* が true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExact*値が true に設定されている場合、その値は *conformanceTargetExact* で定義された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasure.ruleViolation.conformanceTargetUpper	下記と測定結果を比較するための上限しきい値。しきい値を超えたか、超えなくなったかを判断します。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.description	しきい値ルール違反の説明。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.id	しきい値ルール違反のSys_idまたはexternal_id。しきい値ルール違反テーブル [sn_st_mgmt_threshold_rule_violation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.name	しきい値ルール違反の名前。 日付タイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.numberOfAllowedCrossings	結果が適用される前に許容期間内に許可される最大交差。 データタイプ：数値 最大:40
testMeasure.ruleViolation.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • 低 • medium データタイプ：文字列
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod	結果が開始される前に許可された交差が発生する可能性がある期間または時間間隔。 日付タイプ:オブジェクト `"tolerancePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.amount	期間の数量 (数値)。 データタイプ：数値
testMeasure.ruleViolation.tolerancePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasure.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に使用される測定可能な時間 (日、分、秒)。 データタイプ：文字列

testMeasure.value	テストのメトリクスの値。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"value": {`
	`  "id": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "valueType": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

testMeasure.value.id	テスト内のメトリクス値の ID。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	テスト内のメトリクス値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.name	テスト内のメトリクス値の名前。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.value	テストのメトリクスの値。 データタイプ：文字列
testMeasure.value.valueType	数値、テキストなどのテスト測定値のタイプ。 データタイプ：文字列

テスト仕様	このテストに関連付けられたテスト定義。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"testSpecification": {`
	`  "href": "String",`
	`  "id": "String"`
	`}`

testSpecification.href	サービステスト定義へのハイパーリンク参照。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testSpecification.id	サービステスト定義のSys_idまたは external_id。サービステスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
validFor	サービステストが有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String", "endDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	サービステストの終了日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの開始日とタイムスタンプ。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たとえば、2025-01-31 `09:35:43` などです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

次の例では、要求本文で指定された特定の詳細に従って、新しいサービステストを作成します。

```
curl
 "https:/instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/s
erviceTest" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data {
  "description": "Service test",
  "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
  "mode": "proactive",
  "name": "Speed Test TR0001002",
  "startDateTime": "2024-06-05 09:07:10",
  "validFor": {
    "startDateTime": "",
    "endDateTime": ""
  },
  "relatedService": {
    "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
    "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
  },
  "testSpecification": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/76a3b1
60432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad"
  },
  "characteristic": [
    {
      "id": "e7ef960443f202104fefe4511fb8f224",
      "name": "AccessRequired",
      "valueType": "yes_no",
      "value": "Yes"
    }
  ],
  "testMeasure": [
    {
      "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2e",
      "accuracy": "0.0001",
      "captureDateTime": "",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "",
      "metricName": "Flow speed",
      "unitOfMeasure": "A second",
      "value": "3000",
      "ruleViolation": [
        {
          "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2f",
          "description": "This speed is greater than the target",
          "name": "tooMuchTraffic",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetLower": "2500",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "appliedConsequence": [
            {
              "id": "65d1382e3be28210d140068aa4e45a31",
              "appliedAction": "sendWarning",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "sendWarning",
              "repeatAction": "0"
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```


応答は、新しいテストサービスに関する確認の詳細を返し、一意の ID 2b406ec043b202104fefe4511fb8f211 を割り当てます。


```
{
  "description": "Service test",
  "endDateTime": "2025-01-31 15:05:43",
  "mode": "proactive",
  "name": "Speed Test TR0001002",
  "startDateTime": "2024-06-05 09:07:10",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "validFor": {
    "startDateTime": "",
    "endDateTime": ""
  },
  "relatedService": {
    "id": "fa6d13f45b5620102dff5e92dc81c77f",
    "name": "Internet_VPLS_PI0000011"
  },
  "testSpecification": {
    "href":
 "/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification/76a3b1
60432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad"
  },
  "characteristic": [
    {
      "id": "e7ef960443f202104fefe4511fb8f224",
      "name": "AccessRequired",
      "valueType": "yes_no",
      "value": "Yes"
    }
  ],
  "testMeasure": [
    {
      "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2e",
      "accuracy": "0.0001",
      "captureDateTime": "",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "",
      "metricName": "Flow speed",
      "unitOfMeasure": "A second",
      "value": "3000",
      "ruleViolation": [
        {
          "id": "61d1382e3be28210d140068aa4e45a2f",
          "description": "This speed is greater than the target",
          "name": "tooMuchTraffic",
          "numberOfAllowedCrossing": "0",
          "thresholdRuleSeverity": "high",
          "tolerancePeriod": "",
          "conformanceTargetLower": "2500",
          "conformanceComparatorLower": "greater than",
          "appliedConsequence": [
            {
              "id": "65d1382e3be28210d140068aa4e45a31",
              "appliedAction": "sendWarning",
              "description": "send a warning to the system",
              "name": "sendWarning",
              "repeatAction": "0"
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "id": "2b406ec043b202104fefe4511fb8f211"
}
```

サービステスト管理オープン API - POST /sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification

新しいサービステスト定義を作成します。

URL 形式

デフォルト URL: `/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/serviceTestSpecification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のSys_idまたは[sn_st_mgmt_test_definition] テー データタイプ：文字列
name	必須。サービステスト定義の名前。 データタイプ：文字列

関連サービス仕様	必須。テスト定義のサービス仕様。
	データタイプ：オブジェクトのアレ
	`"relatedServiceSpecificat`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String"`
	`}`
	`]`

relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のSys_idまたはextern テーブルの [sys_id] または [externa

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列

serviceTestSpecRelationship	関連するサービステスト定義。
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"serviceTestSpecRelationsh`
	`{`
	`"id": "String",`
	`"name": "String",`
	`"relationshipType": "Str`
	`}`
	`]`

serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_ [sn_st_mgmt_test_definition] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値: • 代入 • 属国 • 独占 データタイプ：文字列

specCharacteristic	テスト定義の特性。
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"specCharacteristic": [`
	`{`
	`"characteristicValueSpec`
	`"description": "String",`
	`"name": "String",`
	`"validFor": {Object},`
	`"valueType": "String"`
	`}`
	`]`

specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"characteristicValueSpeci`
	`{`
	`"value": "String"`
	`}`
	`]`

specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	データタイプ: オブジェクト
	`"validFor": {`
	`"endDateTime": "String",`
	`"startDateTime": "String"`
	`}`

specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• label • 1 行テスト データタイプ：文字列

testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測
	ストのテスト測定定義 」を
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	"testMeasureDefinition":
	{
	"captureFrequency": "Str
	"captureMethod": "String
	"capturePeriod": {Object
	"id": "String",
	"metricDescription": "St
	"metricName": "String",
	"name": "String",
	"unitOfMeasure": "String
	"thresholdRule": [Array
	"validFor": {Object},
	"valueType": "String"
	}
	]

testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。 有効な値： • なし • 1 回 • 日次 • 週次 • 月次 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために 有効な値： • automatic:メトリクスを自動的に • manual:メトリクスを手動でキャ • none:メトリクスをキャプチャし データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.capturePeriod	メトリクスキャプチャの期間。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	データタイプ: オブジェクト
	`"capturePeriod": {`
	`  "amount": Number,`
	`  "units": "String"`
	`}`

testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_test_measure_defini データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。 データタイプ：文字列

testMeasureDefinition.thresholdRule	テスト測定定義のしきい値を超えた
	する前に達成すべき条件を定義する
	定義のしきい値ルールの定義」を
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`{`
	`  "thresholdRule": {`
	`  "consequence": Array,`
	`  "conformanceComparator`
	`  "conformanceComparator`
	`  "conformanceComparator`
	`  "conformanceTargetExac`
	`  "conformanceTargetLowe`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"conformanceTargetUppe
	"consequence": Array,
	"description": "String
	"id": "String",
	"name": "String",
	"numberOfAllowedCross
	"thresholdRuleSeverity
	"tolerancePeriod": Ob
	}
	}</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *testMeasureDefinition.thres* 設定された値と同一かどうかを示す *testMeasureDefinition.thres* が必要です。 有効な値： • true:値は *conformanceTarget* • false:値は同一ではありません *co* データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどう 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値以上 (>=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうか 有効な値： • 次の値未満 (<) • 次の値以下 (<=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* す。*conformanceComparatorEx* の値は *conformanceTargetExac* データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上 データタイプ：数値

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行
	通知)。詳細については、「しきい値
	照してください。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"consequence": [
	{
	"description": "String",
	"id": "String",
	"name": "String",
	"prescribeAction": "Stri
	"repeatAction": Boolean,
	"validFor": {
	"endDateTime": "String",
	"startDateTime": "String
	}
	]</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユー ンスタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用された結果を繰り返すかどうか 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	`"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime ": "String" }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た す。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたはexte [sn_st_mgmt_threshold_rule] テー フィールドにあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に 最大値:40 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度レベル。 有効な値： • 高 • medium • 低 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に 秒)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。 データタイプ：文字列 `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor	テスト定義が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "endDateTime": "String", "startDateTime": "String" }`
validFor.endDateTime	テスト定義のステータスが廃止され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	テスト定義のステータスが公開され 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たす。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
説明	サービステスト定義の説明。 データタイプ：文字列
id	サービステスト定義のsys_idまたはexternal_id。サービステスト [sn_st_mgmt_test] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
name	サービステスト定義の名前。 データタイプ：文字列

関連サービス仕様	テスト定義のサービス仕様。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	`"relatedServiceSpecification": [`
	`{`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"id": "String",
	"name": "String"
	}
	]</pre>

relatedServiceSpecification.id	サービス仕様のsys_idまたはexternal_id。仕様 [sn_prd_pm_specification] テーブル [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
relatedServiceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列

serviceTestSpecRelationship	関連サービステスト定義。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"serviceTestSpecRelationship": [
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"relationshipType":
	"String"
	}
	]</pre>

serviceTestSpecRelationship.id	関連するサービステスト定義のSys_またはexternal_id。テスト定義 [sn_st_mgmt_test_definition] テーブルの [sys_id] または [external_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.name	関連するテスト定義の名前。 データタイプ：文字列
serviceTestSpecRelationship.relationshipType	関係のタイプ。 受け入れ可能な値: • 代入 • 属国 • 独占 データタイプ：文字列
specCharacteristic	テスト定義の特性。 データタイプ:オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"specCharacteristic": [
	 {
	
	 "characteristicValueSpeci
	cation": Array,
	 "description": "String",
	 "name": "String",
	 "validFor": Object,
	 "valueType": "String"
	 }
	]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification	特性の可能な値を含むアレイ。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	<pre>"characteristicValueSpeci
	ation": [
	 {
	 "value": "String"
	 }
	]</pre>

specCharacteristic.characteristicValueSpecification.value	特性の値。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.description	特性の説明。 データタイプ：文字列
specCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列

specCharacteristic.validFor	特性が有効な日付範囲。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"validFor": {
	 "endDateTime": "String",
	 "startDateTime": "String
	}</pre>

specCharacteristic.validFor.endDateTime	特性の終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
specCharacteristic.validFor.startDateTime	特性の開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
specCharacteristic.valueType	特性値のタイプ。 • はい/いいえ • 選択 • date • 日付/時刻 • 期間 • メール • label • 1 行テスト データタイプ：文字列
testMeasureDefinition	このサービステスト定義のテスト測 義。詳細については、「サービステ のテスト測定定義の定義 」を参照 てください。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"testMeasureDefinition": [{ "captureFrequency": "String", "captureMethod": "String", "capturePeriod": {Object}, "id": "String", "metricDescription": "String", "metricName": "String", "name": "String", "unitOfMeasure": "String", "thresholdRule": [Array], "validFor": {Object}, "valueType": "String" }]`
testMeasureDefinition.captureFrequency	メトリクスをキャプチャする頻度。 有効な値： • 日次 • 月次 • なし • 1 回 • 週次 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
testMeasureDefinition.captureMethod	メトリクスをキャプチャするために される方法。 有効な値： • manual - メトリクスを手動でキ チャします。 • 自動 - メトリクスを自動的にキャ チャします。 • none - メトリクスをキャプチャし せん。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.capturePeriod	キャプチャの期間。 データタイプ: オブジェクト `"capturePeriod": { "amount": Number, "units": "String" }`
testMeasureDefinition.capturePeriod.amount	キャプチャ期間の数。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.capturePeriod.units	期間の単位。 受け入れ可能な値: • 秒 • 分 • 日 • 時間 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.id	テスト測定定義のSys_idまたは external_id。テスト測定定義テーブ [sn_st_mgmt_test_measure_defini テーブルにあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricDescription	メトリクスの簡潔な説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.metricName	テスト測定内のメトリクスのユーザ 義名。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.name	テスト測定定義の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule	特定のテスト測定定義についてしき を超えたとき、またはしきい値を超 くなったときに結果を適用するため 成条件 (発生またはクリア) を定義す ルール。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `{ "thresholdRule": { "conformanceComparatorExa t": Boolean, "conformanceComparatorLow r": "String", "conformanceComparatorUpp r": "String", "conformanceTargetExact" "String", "conformanceTarg ower" "String", "conformanceTarg pper" "String", "consequence": Array, "description": "String "id": "String", "name": "String", "numberOfAllowedCrossing" Number, "thresholdRuleSeverity "String", "tolerancePeriod": Object } }`
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorExact	値が *conformanceTargetExact* の と同じかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:値は *conformanceTargetExact* の値 同じです。 • false:値は同一ではありません *conformanceTargetExact*。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorLower	値がしきい値を下回っているかどう確認する演算子。 有効な値： • 次の値を超える (>) • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceComparatorUpper	値がしきい値を超えているかどうかチェックする演算子。 有効な値： • 未満 • 次の値に等しい (=) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetExact	*conformanceComparatorExact* true に設定されている場合は必須です。*conformanceComparatorExa* が true に設定されている場合、その は *conformanceTargetExact* で された値と一致します。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetLower	テスト測定結果を比較するための下きい値。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.conformanceTargetUpper	テスト測定結果を比較するための上きい値。 データタイプ：数値
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence	しきい値ルールを超えた場合に実行アクション (所定のアクションまたは知)。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"consequence": [ { "description": "String", "id": "String", "name": "String", "prescribeAction": "String",`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"repeatAction": Boolean,
	"validFor": {
	"endDateTime": "String",
	"startDateTime": "String
	}
	]</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.description	結果の説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.id	測定結果のSys_idまたはexternal_id データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.name	結果の名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.prescribeAction	しきい値違反に対して実行するユー定義のアクション。アクションはイタンスによって異なります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.repeatAction	適用されたアクションを繰り返すかかを示すフラグ。 有効な値： • true:アクションを繰り返します。 • false:アクションを繰り返しません データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor	結果が有効な日付範囲。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"validFor": {
	"startDateTime": "String"
	"endDateTime ": "String"
	}</pre>

testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.endDateTime	結果の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.consequence.validFor.startDateTime	結果の有効開始日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 `09:35:43` などで

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.description	しきい値ルールの説明。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.id	しきい値ルールのSys_idまたは external_id。しきい値ルール [sn_st_mgmt_threshold_rule] テー にあります。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.name	しきい値ルールの名前。 データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.thresholdRule.numberOfAllowedCrossing	結果が適用される前に許容期間内に される最大交差。 データタイプ：数値 最大値:40
testMeasureDefinition.thresholdRule.thresholdRuleSeverity	しきい値ルールの重大度。 有効な値： • 高 • 低 • medium データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.unitOfMeasure	サービスのパフォーマンスの計算に される測定可能な時間 (日、分、秒) データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor	テスト測定定義が有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime": "String" }`
testMeasureDefinition.validFor.endDateTime	テスト測定定義の有効終了日。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。た ば、2025-01-31 `09:35:43` などで データタイプ：文字列
testMeasureDefinition.validFor.startDateTime	テスト測定定義の有効開始日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 09:35:43 などで データタイプ：文字列
validFor	サービステストが有効な日付範囲。 データタイプ: オブジェクト `"validFor": { "startDateTime": "String" "endDateTime ": "String" }`
validFor.endDateTime	サービステストの終了日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 09:35:43 などで データタイプ：文字列
validFor.startDateTime	サービステストの開始日時。 形式:YYYY-MM-DD 00:00:00。たば、2025-01-31 09:35:43 などで データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例では、新しいサービステスト定義を作成します。

```
curl
 "https:/instance.servicenow.com/api/sn_sprb_mgmt/servicetestmanagement/s
erviceTestSpecification" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
-- data {
  "description": "Upstream and Downstream speed ",
  "name": "Speed Test",
  "validFor": {
    "startDateTime": "2024-05-31",
    "endDateTime": "2024-06-27"
  },
  "testMeasureDefinition": [
    {
      "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
      "metricName": "Downstream Speed",
      "name": "Downstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "capturePeriod": "30 Minutes",
    "validFor": {
      "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
      "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
    },
    "thresholdRule": [
      {
        "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
        "description": "This speed is greater than the target upper",
        "name": "InternetSpeedValue",
        "numberOfAllowedCrossing": "0",
        "thresholdRuleSeverity": "high",
        "tolerancePeriod": "15 Minutes",
        "conformanceTargetLower": "75",
        "conformanceComparatorLower": "greater than",
        "consequence": [
          {
            "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
            "prescribeAction": "null",
            "description": "generate a waring report",
            "name": "degradedQualityOfService",
            "repeatAction": "0",
            "validFor": {
              "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
              "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
            }
          },
          {
            "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
            "prescribeAction": "null",
            "description": "send a warning to the system",
            "name": "packetdrop",
            "repeatAction": "0",
            "validFor": {
              "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
              "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
            }
          }
        ]
      },
      {
        "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
        "description": "",
        "name": "InternetSpeedValue",
        "numberOfAllowedCrossing": "0",
        "thresholdRuleSeverity": "medium",
        "tolerancePeriod": "",
        "conformanceTargetUpper": "120",
        "conformanceComparatorUpper": "less than",
        "consequence": []
      }
    ]
  },
  {
    "id": "8f987524432a02104fefe4511fb8f2f0",
    "captureFrequency": "once",
    "captureMethod": "automatic",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "metricDescription": "This is the upstream speed in the service",
      "metricName": "Upstream Speed",
      "name": "Upstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "",
      "validFor": {
        "startDateTime": "",
        "endDateTime": ""
      },
      "thresholdRule": []
    }
  ],
  "specCharacteristic": [
    {
      "name": "restart",
      "description": "restart",
      "valueType": "yes_no",
      "validFor": {
        "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
      },
      "characteristicValueSpecification": [
        {
          "value": "No",
        },
        {
          "value": "Yes",
        }
      ]
    }
  ],
  "serviceTestSpecRelationship": [
    {
      "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "name": "OAM Test",
      "relationshipType": ""
    }
  ],
  "relatedServiceSpecification": [
    {
      "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
      "name": "Home Internet"
    }
  ]
}
```


応答本文。


```
{
  "description": "Upstream and Downstream speed ",
  "name": "Speed Test",
  "validFor": {
    "startDateTime": "2024-05-31",
    "endDateTime": "2024-06-27"
  },
  "testMeasureDefinition": [
    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "id": "1a04f560432a02104fefe4511fb8f2ad",
    "captureFrequency": "once",
    "captureMethod": "automatic",
    "metricDescription": "This is the downstream speed in a service",
    "metricName": "Downstream Speed",
    "name": "Downstream Speed",
    "unitOfMeasure": "a second",
    "valueType": "",
    "capturePeriod": "30 Minutes",
    "validFor": {
      "startDateTime": "2024-05-30 08:49:26",
      "endDateTime": "2024-05-31 08:49:29"
    },
    "thresholdRule": [
      {
        "id": "a754f960432a02104fefe4511fb8f2d0",
        "description": "This speed is greater than the target upper",
        "name": "InternetSpeedValue",
        "numberOfAllowedCrossing": "0",
        "thresholdRuleSeverity": "high",
        "tolerancePeriod": "15 Minutes",
        "conformanceTargetLower": "75",
        "conformanceComparatorLower": "greater than",
        "consequence": [
          {
            "id": "15a4bd60432a02104fefe4511fb8f2b8",
            "prescribeAction": "null",
            "description": "generate a waring report",
            "name": "degradedQualityOfService",
            "repeatAction": "0",
            "validFor": {
              "startDateTime": "2024-05-30 08:51:29",
              "endDateTime": "2024-08-06 08:51:31"
            }
          },
          {
            "id": "e6847d60432a02104fefe4511fb8f2c3",
            "prescribeAction": "null",
            "description": "send a warning to the system",
            "name": "packetdrop",
            "repeatAction": "0",
            "validFor": {
              "startDateTime": "2024-05-30 08:50:53",
              "endDateTime": "2024-08-06 08:50:55"
            }
          }
        ]
      },
      {
        "id": "cb55b5a0432a02104fefe4511fb8f201",
        "description": "",
        "name": "InternetSpeedValue",
        "numberOfAllowedCrossing": "0",
        "thresholdRuleSeverity": "medium",
        "tolerancePeriod": "",
        "conformanceTargetUpper": "120",
        "conformanceComparatorUpper": "less than",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "consequence": []
        }
      ]
    },
    {
      "id": "8f987524432a02104fefe4511fb8f2f0",
      "captureFrequency": "once",
      "captureMethod": "automatic",
      "metricDescription": "This is the upstream speed in the service",
      "metricName": "Upstream Speed",
      "name": "Upstream Speed",
      "unitOfMeasure": "a second",
      "valueType": "",
      "capturePeriod": "",
      "validFor": {
        "startDateTime": "",
        "endDateTime": ""
      },
      "thresholdRule": []
    }
  ],
  "specCharacteristic": [
    {
      "name": "restart",
      "description": "restart",
      "valueType": "yes_no",
      "validFor": {
        "startDatetime": "2024-05-30 08:45:49"
      },
      "characteristicValueSpecification": [
        {
          "value": "No",
          "validFor": {
            "startDateTime": "",
            "endDateTime": ""
          }
        },
        {
          "value": "Yes",
          "validFor": {
            "startDateTime": "",
            "endDateTime": ""
          }
        }
      ]
    }
  ],
  "serviceTestSpecRelationship": [
    {
      "id": "76a3b160432a02104fefe4511fb8f2ad",
      "name": "OAM Test",
      "relationshipType": ""
    }
  ],
  "relatedServiceSpecification": [
    {
      "id": "aeddcd1fb7d69910ff00f203ae11a990",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "Home Internet"
    }
  ]
  "id": "89d2b920432a02104fefe4511fb8f22e"
}
```

SG サービス API

SG サービス API は、アプリケーションサービスと、それらの間のアップストリームの関係を作成および管理するためのエンドポイントを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリースノート情報については、 ServiceNow Store のリリースノート を参照してください。

この API は、CMDB アプリケーション API および CLI (sn_service_graph) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。この API は、 `sn_service_graph` 名前空間内で使用されます。

この API を使用するために、ソーステーブルや関係タイプに関する詳細は必要ありません。

企業全体の自動化をサポートする重要な操作をスクリプト化するために、ユーザーインターフェイスを使用する代わりに、API を活用するか、CMDB アプリケーション CLI および API ストアアプリが提供するコマンドライン操作を実行できます。CMDB アプリケーション CLI および API ストアアプリは、アプリケーションサービスに関連するすべての API と、それらの API へのインターフェイスにアクセスできるようにするコマンドラインを統合する堅牢なフレームワークを提供します。

CMDB アプリケーションの CLI および API コマンドは、次のタスクをアクティブ化します。

- アプリケーションサービスの登録と作成、およびアップストリームの関係の確立
- 指定されたアプリケーションサービスとそのアップストリームの関係の詳細の取得
- ビジネスアプリケーションやビジネスサービスオファリングなどの上位レベルの構成要素の接続
- 指定された入力タイプのアプリケーションサービスへの入力
- アプリケーションサービスのステータスの変更

コマンドラインソリューションについては、「 CMDB アプリケーション CLI および API の利用可能なコマンド 」を参照してください。

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/convert

手動または空のタイプのアプリケーションサービスを計算されたアプリケーションサービスに変換します。変換中、アプリケーションサービスレコードは新しくアサインされたクラスとともに [cmdb_ci_service_calculated] テーブルに移動します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/convert`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/convert`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
levels	変換に含めるレベルの数。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスタイプを変換する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/convert" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
 \"name\": \"Test Register\",
 \"environment\": \"Test\",
 \"version\": \"1.0\",
 \"levels\" : 8
}" \
--user 'username':'password'
```

計算されたアプリケーションサービスへの変換に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/delete

アプリケーションサービスを削除します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/delete`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/delete`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスを削除する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/delete" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{
   \"name\": \"Test Register\",
   \"environment\": \"Test\",
   \"version\": \"1.0\"
}" \
--user 'username':'password'
```

アプリケーションサービスの削除に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/find

指定されたアプリケーションサービスとそのアップストリームの関係の詳細を検索します。

app_service_user ロールを持つユーザーはこの API を使用できますが、結果は運用ステータスのアプリケーションサービスに制限されます。app_service_admin ロールは、アプリケーションサービスを無制限に表示できます。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/find`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/find`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
<IRE フィールド>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
operational_status	アプリケーションサービスの運用ステータス。たとえば、active です。 データタイプ：文字列
relationships	アプリケーションサービスのアップストリームの関係を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"relationships": [ { "name": "String", "number": "String", "sys_id": "String", "class_name": "String", "relationship": "String" } ]`
relationships.class_name	アプリケーションサービスを含むクラスの名前。 データタイプ：文字列
relationships.name	関係の名前。 データタイプ：文字列
relationships.number	関係の一意の番号。 データタイプ：文字列
relationships.relationship	関係性ルール。 データタイプ：文字列
relationships.sys_id	関係の sys_id。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスの詳細を検索する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_s
ervice/find" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"name\": \"Test App Service1\"
 }" \
--user 'username':'password'
```

応答の本文に、アプリケーションサービスと関係情報が含まれています。

```
{
  "result": {
    "aliases": null,
    "asset": null,
    "asset_tag": null,
    "assigned": "",
    "assigned_to": null,
    "assignment_group": null,
    "attestation_score": null,
    "attested": "0",
    "attested_by": null,
    "attested_date": "",
    "attributes": null,
    "bucket": null,
    "business_contact": null,
    "business_need": null,
    "business_relation_manager": null,
    "business_unit": null,
    "busines_criticality": "4 - not critical",
    "can_print": "0",
    "category": null,
    "change_control": null,
    "checked_in": "",
    "checked_out": "",
    "checkout": null,
    "comments": null,
    "company": null,
    "compatibility_dependencies": null,
    "consumer_type": "internal",
    "correlation_id": null,
    "cost": null,
    "cost_cc": "USD",
    "cost_center": null,
    "delivery_date": "",
    "delivery_manager": null,
    "department": null,
    "discovery_source": "Manual Entry",
    "dns_domain": null,
    "due": "",
    "due_in": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "duplicate_of": null,
    "end_date": "",
    "environment": null,
    "fault_count": "0",
    "first_discovered": "2021-07-19 20:09:48",
    "fqdn": null,
    "gl_account": null,
    "hide_from_dashboard": "0",
    "install_date": "",
    "install_status": "1",
    "invoice_number": null,
    "ip_address": null,
    "justification": null,
    "last_discovered": "2021-07-19 20:09:48",
    "last_review_date": "",
    "layer": null,
    "lease_id": null,
    "life_cycle_stage": null,
    "life_cycle_stage_status": null,
    "location": null,
    "mac_address": null,
    "maintenance_schedule": null,
    "managed_by": null,
    "managed_by_group": null,
    "manufacturer": null,
    "model_id": null,
    "model_number": null,
    "monitor": "0",
    "monitoring_requirements": null,
    "name": "Test App Service1",
    "number": "SNSVC0001014",
    "operational_status": "2",
    "order_date": "",
    "owned_by": null,
    "parent": null,
    "portfolio_status": "pipeline",
    "po_number": null,
    "prerequisites": null,
    "price_model": "per_unit",
    "price_unit": null,
    "published_ref": null,
    "purchase_date": "",
    "schedule": null,
    "serial_number": null,
    "service_classification": "Application Service",
    "service_level_requirement": null,
    "service_owner_delegate": null,
    "service_status": "requirements",
    "severity": null,
    "short_description": null,
    "skip_sync": "0",
    "sla": null,
    "spm_service_portfolio": null,
    "spm_taxonomy_node": null,
    "stakeholders": null,
    "start_date": "",
    "state": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "subcategory": null,
    "supported_by": null,
    "support_group": null,
    "sys_class_name": "cmdb_ci_service_auto",
    "sys_class_path": "/!!/!7/!(",
    "sys_created_by": "admin",
    "sys_created_on": "2021-07-19 20:09:48",
    "sys_domain": "global",
    "sys_domain_path": "/",
    "sys_id": "a2f0618040697410f87713b656474255",
    "sys_mod_count": "0",
    "sys_updated_by": "admin",
    "sys_updated_on": "2021-07-19 20:09:48",
    "unit_description": null,
    "unverified": "0",
    "used_for": "Production",
    "user_group": null,
    "vendor": null,
    "version": null,
    "view_service": "61e1cb757f23220002d31ccebefa9120",
    "warranty_expiration": "",
    "relationships": [
      {
        "name": "Test Biz App1",
        "sys_id": "0250a94040697410f87713b656474250",
        "number": "APM0001001",
        "class_name": "cmdb_ci_business_app",
        "relationship": "Consumes::Consumed by"
      },
      {
        "name": "Tech Service Offering1",
        "sys_id": "98d0ed4040697410f87713b6564742ef",
        "number": "BSN0001005",
        "class_name": "service_offering",
        "relationship": "Contains::Contained by"
      }
    ]
  }
}
```


SG サービス – POST – /sg_services/app_service/populate

サービスの作成方法を使用して、アプリケーションサービスを設定します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/populate`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/populate`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
population_method	必須。入力するコンテンツを識別するための入力方法とそれに付随するプロパティを識別します。 タイプごとに 1 つの付随オブジェクトのみが有効です。 データタイプ：オブジェクト

population_method.group_id	cmdb_group 入力タイプで構成された CMDB グループのグループ ID。
	
	データタイプ：「文字列」
	
	`"population_method": {`
	`  "group_id": "String",`
	`  "type": "cmdb_group"`
	`}`
	
	関連付けられた入力タイプ：cmdb_group

population_method.levels	サービスのビルドに使用するレベルの数。レベル値が指定されていない場合、システムは値の sys_property をチェックします。svc.manual.convert.levels.default_value が入力されていない場合は、デフォルト値の 3 が使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 `"population_method": { "levels": Number, "type": "dynamic_service" }` 関連する入力タイプ：dynamic_service デフォルト：sys_property にレベル値が設定されていない場合は 3
population_method.service_candidate	サービス候補の一意の識別子。 データタイプ：文字列 `"population_method": { "service_candidate": "String", "type": "tag_based_service_family" }` 関連する入力タイプ：tag_based_service_family
population_method.service_relations	アプリケーションサービス内の CI の階層データを含むオブジェクトのリスト。すべての CI は親および子 CI とのペアを形成します。アプリケーションサービスのエントリーポイントと呼ばれるトップレベル CI には親 CI がありません。 データタイプ：アレイ `"population_method": { "service_relations":[ { "child": "String", "parent": "String" } ], "type": "service_hierarchy" }` 関連する入力タイプ： service_hierarchy
population_method.service_relations.child	CI に関連する子 CI の名前。 データタイプ：文字列
population_method.service_relations.parent	CI に関連する親 CI の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

population_method.tags	CI に関連付けるタグを含むオブジェクトのリスト。この情報は、キー値 [cmdb_key_value] テーブルにあります。
	
	データタイプ：アレイ
	
	`"population_method": {`
	`  "tags": [`
	`  {`
	`  "tag": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`  ],`
	`  "type": "tag_list"`
	`}`
	
	関連付けられた入力タイプ：tag_list

population_method.tags.tag	タグ名。 データタイプ：文字列
population_method.tags.value	タグ値。 データタイプ：文字列
population_method.type	必須。アプリケーションサービスに追加する入力タイプ。 データタイプ：オブジェクト 有効な値： • cmdb_group • service_hierarchy • dynamic_service • tag_list • tag_based_service_family
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、dynamic_service タイプでアプリケーションサービスを作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/populate" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{
  \"name\": \"Test Register\",
  \"environment\": \"Test\",
  \"version\": \"1.0\",

 \"population_method\": {
   \"type\": \"dynamic_service\",
   \"levels\" : 8
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

アプリケーションサービスの作成に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/register

アプリケーションサービス、タグを作成し、ビジネスアプリケーション、ビジネスサービスオファリング、その他のアプリケーションサービスなどのアップストリームの関係をビルドします。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/register`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/register`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
relationships	タイプ別に分類されたアップストリームの関係。 データタイプ：オブジェクト `"relationships": { "business_app": [Array], "business_service_offering": [Array], "parent_app_service": [Array], "technical_service_offering": [Array] }` 関係の最大数は 25 です。
relationships.business_app	ビジネスアプリケーション関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のいずれかのアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
relationships.business_service_offering	ビジネスサービスオファリング関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
relationships.parent_app_service	アプリケーションサービス関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：アレイ
relationships.technical_service_offering	テクニカルサービスオファリング関係タイプを表すオブジェクトのリスト。これらの値は、次のアイテムをキーと値のペアとして使用して定義できます。 • <IRE field name> • number • sys_id データタイプ：アレイ
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
tags	キーと値のペアとしてのタグ定義を含むオブジェクトのリスト。 `"tags": [ { "key": "String", "value": "String" }]` データタイプ：アレイ
tags.key	タグカテゴリ名。 データタイプ：文字列
tags.value	タグ値。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

cHeader	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

cHeader	説明

app_service	アプリケーションサービスの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"app_service": {`
	`  "name": "String",`
	`  "number": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

app_service.name	アプリケーションサービスの名前。 データタイプ：文字列
app_service.number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
app_service.sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
message	ステータスを説明するメッセージ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cHeader	説明
	• Service already exists • Service registered successfully データタイプ：文字列
status	サービスが登録されているかどうかを示すステータス。 可能な値： • Insert：アプリケーションサービスが正常に作成されました。 • No action：アプリケーションサービスは既に存在していますアクションは実行されません。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスを登録する方法を示しています。

```
curl
 "instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/r
egister" \--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"name\": \"Test Register\",
  \"environment\": \"Test\",
  \"version\": \"1.0\",
  \"number\": \" SNSVC0001014\",
  \"relationships\": {
    \"business_application\": [
      {
        \"sys_id\": \"0250a94040697410f87713b656474250\"
      },
      {
        \"number\": \"APM0001002\"
      },
      {
        \"name\": \"Test Biz App1\"
      }
    ],
    \"business_service_offering\": [
      {
        \"sys_id\": \"ed32e98040697410f87713b656474259\"
      }
    ],
    \"technical_service_offering\": [
      {
        \"sys_id\": \"80e12d8040697410f87713b65647421c\"
      },
      {
        \"number\": \"BSN0001005\"
      },
      {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        \"name\": \"Tech Service Offering2\"
      }
    ],
    \"parent_app_service\": [
      {
        \"sys_id\": \"a2f0618040697410f87713b656474255\"
      }
    ]
  },
  \"tags\": [
    {
      \"key\": \"key1\",
      \"value\": \"value1\"
    },
    {
      \"key\": \"key2\",
      \"value\": \"value2\"
    }
  ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答の本文には、ID とステータス情報が含まれます。

```
{
  "result": {
    "app_service": {
      "sys_id": "5780cb604061f410f87713b656474271",
      "name": "Test Register",
      "number": " SNSVC0001014"
    },
    "message": "Service registered successfully",
    "status": "INSERT"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/relationship/create

ビジネスアプリケーション、ビジネスサービスオファリング、その他のアプリケーションサービスなどのアップストリームの関係をビルドします。

この API は、1 つの親と対応する子オブジェクトを含む入力を取得して、関係を作成します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/relationship/create`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/relationship/create`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明

child	関係を作成する子アプリケーションサービスを特定する情報。アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブル内にある子。
	
	動的 CI グループは子として追加できますが、親になることはできません。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"child": {`
	`  "<service_app_identifier>": "String"`
	`}`

child.<service_app_identifier>	関係の作成に使用する子アプリケーションサービスを特定する詳細情報。 必要なオプションは 1 つだけです。各オプションは、処理の優先順位別にリストされます。 • sys_id – 子アプリケーションサービスの sys_id。 • number – 子アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 • <IRE フィールド名> – アプリケーションサービスを特定する IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列

parent	関係の作成に使用する親アプリケーションサービスを特定する詳細情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`  "<service_app_identifier>": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre> "class_name": "String" }</pre>
parent.<service_app_identifier>	アプリケーションサービスを特定する情報。 必要なオプションは 1 つだけです。各オプションは、処理の優先順位別にリストされます。 • sys_id – アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] にリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 • number – アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 • <IRE フィールド名> – アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
parent.class_name	アプリケーションサービスを含むクラスの名前。 親クラス名は、次のいずれかのテーブルからのものである必要があります。 • cmdb_ci_service_auto • cmdb_ci_service_discovered • cmdb_ci_service_by_tags • cmdb_ci_service_calculated • service_offering • cmdb_ci_business_app デフォルト：cmdb_ci_service_auto データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスから関係を作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_s
ervice/relationship/create" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"child\": {
   \"name\": \"wdfsdf\",
   \"environment\": \"Test\",
   \"version\": \"1.0\"
   },
  \"parent\": {
   \"sys_id\": \"abcdefg\",
   \"name\": \"business App1\",
   \"class_name\": \"service_offering\"
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションサービスの関係の作成に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/relationship/delete

アプリケーションサービスのアップストリームの関係を削除します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/relationship/delete`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/relationship/delete`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
child	サービスアプリケーションから削除する子の関係を説明する情報。 データタイプ：オブジェクト `"child": { "<IRE field name>": "String", "number": "String", "sys_id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
child.<IRE field name>	子アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
child.number	子アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
child.sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] にリストされている子アプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

parent	関係の削除元となる親アプリケーションサービスを特定する詳細情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"parent": {`
	`  "<IRE field name>": "String",`
	`  "number": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "class_name": "String"`
	`}`

parent.<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
parent.number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
parent.sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
parent.class_name	アプリケーションサービスを含むクラスの名前。 親クラス名は、次のいずれかのテーブルからのものである必要があります。 • cmdb_ci_service_auto • cmdb_ci_service_discovered • cmdb_ci_service_by_tags • cmdb_ci_service_calculated • service_offering • cmdb_ci_business_app デフォルト：cmdb_ci_service_auto

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスから関係を削除する方法を示しています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_s
ervice/relationship/delete" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"child\": {
  \"name\": \"Test Register\",
  \"environment\": \"Test\",
  \"version\": \"1.0\"

  },
  \"parent\": {
   \"sys_id\": \"abcdefg\",
   \"name\": \"business App1\",
   \"class_name\": \"service_offering\"
     }
 }" \
--user 'username':'password'
```

アプリケーションサービスの関係の削除に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/state

アプリケーションサービスのライフサイクル状況をアクティブ化、非アクティブ化、または廃止に変更します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/state`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/state`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
state	必須です。アプリケーションサービスのライフサイクル状況。これらの値は、アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブル内で更新されます。 有効な値： • ACTIVATE – ライフサイクルが運用中で、使用中です。 ◦ operational_status=Operational ◦ life_cycle_stage=Operational ◦ life_cycle_stage_status=In Use • DEACTIVATE – ライフサイクルが運用されておらず、設計段階です。 ◦ operational_status=Non-Operational ◦ life_cycle_stage=Design ◦ life_cycle_stage_status=Build • 廃止 – 提供終了。 ◦ operational_status=Retired ◦ life_cycle_stage=End Of Life ◦ life_cycle_stage_status=Retired データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
status	成功または失敗を示します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、アプリケーションサービスのライフサイクルステータスを有効に変更する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/state" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  {
  \"name\": \"Test Register\",
  \"environment\": \"Test\",
  \"version\": \"1.0\",
  \"state\": \"activate\"
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

操作に成功したことを示す結果。

```
{
  "result": {
  "status": "success"
  }
}
```

SG サービス – POST – /sg_services/app_service/update

提供された既存のアプリケーションサービスを更新し、指定されたアプリケーションサービスのタグを作成します。

CI を識別する以下のプロパティは、次のように優先されます。

1. sys_id – sys_id の場合、システムは sys_id のみを使用し、追加の値は無視します。
2. 数値 – sys_id なしで指定された場合、システムは数値のみを使用し、追加の値は無視します。
3. <IRE field name> – sys_id または数値が指定されていない場合のみ、システムはこれらの値を使用します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_service_graph/{api_version}/sg_services/app_service/update`

デフォルトの URL：`/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/update`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
<fields or tags to update>	キーと値のペアを使用して、更新する各フィールドまたはタグを特定します。 基本的な情報のみを更新できます。アップストリームの関係は更新できません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 sys_id、number、または IRE を送信してアプリケーションサービスを特定することができます。ただし、これらのフィールドは、識別子として使用する場合は更新できません。IRE フィールドを更新するには、入力に識別子として sys_id または number を含める必要があります。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
401	権限がありません。ユーザー認証情報が間違っているか、app_service_admin ロールがありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
<IRE field name>	アプリケーションサービスを特定する 1 つ以上の IRE フィールド。たとえば、名前やバージョン。 データタイプ：文字列
number	アプリケーションサービスを特定する一意の番号。 データタイプ：文字列
sys_id	アプリケーションサービス [cmdb_ci_service_auto] テーブルにリストされるアプリケーションサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
<更新されたフィールド>	更新が成功すると、ペイロードで送信された変更済みの各フィールドが応答本文にリストされます。

Example: cURL 要求

次の例は、name を IRE フィールドとして使用して、アプリケーションサービスを更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_service_graph/sg_services/app_service/update" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  {
   \"name\": \"Test Register\",
   \"environment\": \"Test\",
   \"version\": \"1.0\"
  }
}" \
--user 'username':'password'
```

応答には、アプリケーションサービスの識別情報と更新されたフィールドが含まれます。

```
{
  "result": {
  "sys_id": "123456",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "number": "SVCKji0w9e",
  "name": "Test Register",
  "environment": "Test",
  "version": "1.0"
  }
}
```

Spendint API

Spendint API は、カタログ、価格、使用可否、注文、出荷、および請求書の情報をサードパーティから ServiceNow インスタンスにプッシュするエンドポイントを提供します。この API は Procurement Integration Framework アプリケーションの一部です。

この API は Procurement Integration Framework (com.glide.sn_spend_intg) ストアアプリケーションを必要とし、`sn_spend_intg` 名前空間内で提供されます。詳細については、「Procurement File Transfer Framework」を参照してください。

この API にアクセスするには、sn_spend_intg.procurement_integrator ロールが必要です。

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/catalog

サプライヤーが複数のカタログを転記して、サプライヤー製品、モデル製品、契約、および価格設定レコードを作成できるようにします。

`カタログ` API 統合では、サードパーティのカタログからデータを受け取ったときに、次を実行できます。

1. 新しいサードパーティカテゴリを作成し、これらのカテゴリをモデルカテゴリにマップします。
   - 可能な場合は、国連標準製品とサービスコード (UNSPSC) を使用してから、カテゴリ名を使用します。
   - UNSPSC が利用できない場合は、カテゴリ名のみを使用します。
2. サードパーティカテゴリをモデルカテゴリにマッピングした後、メーカー品番 (MPN) を使用して既存の製品モデルを検索します (利用可能な場合)。
   a. MPN の製品モデルが見つかった場合は、変更を加えて製品モデルを更新してから、製品モデルに関連するサプライヤー製品を作成または更新します。
   b. MPN の製品モデルが存在しない場合は、次の手順を実行します。
      i. 製品モデルクラスは、通常、製品のサードパーティカテゴリによって参照されているモデルカテゴリで利用できます。この製品モデルクラスを使用して、製品モデルを作成する必要がある製品モデルテーブル (ハードウェア、ソフトウェア、消耗品など) を取得します。利用可能な製品モデルクラスがない場合は、基本製品モデルテーブルに製品モデルを作成します。
      ii. 正しい製品モデルクラスが特定されたら、次のように正しいクラスに新しい製品モデルを作成します。
         - メーカー、公開者、またはプロバイダーは、製品モデルでメーカーにマップする必要があります。
         - API からの製品名は、製品モデルの名前にマップする必要があります。
         - API からの MPN は、モデル番号を更新する必要があります。
         - API からの製品説明は、製品モデルの説明を更新する必要があります。
         - モデルカテゴリは、サードパーティカテゴリレコードで参照されている製品カテゴリで更新する必要があります。
         - 製品カテゴリは、サードパーティカテゴリレコードで参照されている製品カテゴリで更新する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- API での代替製品に値がある場合は、現在の製品モデルと他の製品モデルの間に代替製品レコードを作成します。
- API での互換製品に値がある場合は、現在の製品モデルと他の製品モデルの間に互換製品レコードを作成します。
- API からの製品属性は、製品モデルの製品属性関連リストで作成または更新する必要があります。

3. 製品モデルが利用可能な場合は、サプライヤーの部品番号を使用して、製品モデルに関連するサプライヤー製品を作成または更新します。

サードパーティモデルマッピング

次のテーブルを使用して、サードパーティのカテゴリ、モデル、およびユニットのマッピングを実行します。

- サードパーティカテゴリ：内部の既存のモデルカテゴリにマップする、ShoppingHub 管理者のすべてのサードパーティカテゴリレコードを保存します。
- サードパーティモデルマッピング：製品モデルとサードパーティモデルカテゴリ間のすべてのマッピング情報を保存します。
- サードパーティユニット：ShoppingHub 管理者がサプライヤー製品ユニットとマップするための、すべてのサードパーティユニットレコードを保存します。
- サードパーティユニットマッピング：製品モデルとサードパーティユニット間のすべてのマッピング情報を保存します。

注: サードパーティカテゴリとサードパーティユニットの両方が適切にマッピングされると、サードパーティ統合製品が自動公開されます。

サプライヤー製品の販売日

販売終了日を迎えたサプライヤー製品は廃止され、カタログで公開されなくなります。サプライヤー製品フォームの [販売開始日] フィールドと [販売終了日] フィールドは、カタログ API からのサードパーティ統合によって入力されます。

ステータステーブル

製品の一括インポート要求のステータスを確認するには、テーブル REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、一括インポート要求に失敗したレコードがリストされます。一括製品インポート応答の場合は、次のパラメーターを使用してカタログエラーテーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/catalog
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値： • 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
customer_id	顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
catalog_id	顧客が購入できるカタログコンテンツの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
製品	作成または更新する製品を定義するオブジェクトのリスト。各トランザクションには 1000 製品の制限があります。 データタイプ：アレイ `"products": [ { "available_units": "String", "available_for_country": [Array], "bundled_components": [Array], "contract_agreement": {Object}, "delivery_time": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"images": [Array],
	"manufacturer": "String",
	"mpn": "String",
	"parent_bundle": "String",
	"product_attributes": {Object},
	"product_category_name": "String",
	"product_description": "String",
	"product_name": "String",
	"sku": "String",
	"unit": "String",
	"unspsc": "String",
	}
	]</pre>

products.available_units	在庫のある製品に必要です。この値は、この製品で利用可能なユニットの数量を示します。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.available_for_country	サプライヤー製品を購入できる国コードのリスト。国が指定されていない場合は、どの国のユーザーでも製品を購入できます。 データタイプ：アレイ <pre>"available_for_country": ["US","IN","GB"]</pre>
products.bundled_components	カタログペイロードの一部として製品バンドルを送信するシナリオでのみ有効で、親バンドルペイロードにのみ適用されます。この値には、子バンドルコンポーネントへの参照が含まれます。子バンドルコンポーネントの MPN と数量のリストは、ここで維持されます。 **注:** 同じ子バンドルコンポーネントがバンドル内に複数回追加される可能性があるため、入力された数量は同じ子バンドルコンポーネント間の差別化要素となります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	子バンドルコンポーネントとその詳細 (MPN と数量) は、同じサプライヤーにマッピングする必要があります。 データタイプ：アレイ `"bundled_components": [ { "mpn": "String", "quantity": "String" } ]`
products.contract_agreement	製品の契約の詳細。 注: これは、子バンドルコンポーネントには必要ありません。 データタイプ：オブジェクト `"contract_agreement": { "contract_end_date": "String", "contract_number": "String", "contract_start_date": "String", "negotiated_currency ": "String", "negotiated_price": "String" }`
products.contract_agreement.contract_end_date	契約期間の終了日付。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
products.contract_agreement.contract_number	必須です。製品に関連付けられているアクティブな契約の番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
products.contract_agreement.contract_start_date	契約期間の開始日付。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
products.contract_agreement.negotiated_currency	必須です。交渉価格の通貨。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.contract_agreement.negotiated_price	必須です。サプライヤーまたはリセラーとの契約を通じて交渉された製品の単価。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.delivery_time	製品が顧客に出荷されるまでにかかる推定日数。この値は日数を表し、整数である必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.images	サプライヤー製品のイメージ URL を指定する文字列のリスト。 データタイプ：アレイ
products.manufacturer	必須です。製品を製造、公開、または提供する会社。これは製品のサプライヤーまたはリセラーではありません。 データタイプ：文字列 最大長：100
products.mpn	必須です。メーカー、発行者、またはプロバイダーによって提供される製品の識別子。 **注:** SKU 値が利用可能な場合、これはリセラーの親バンドルには必要ありません。 データタイプ：文字列 最大長：100
products.parent_bundle	カタログペイロードの一部として製品バンドルを送信するシナリオでのみ有効で、子バンドルコンポーネントペイロードにのみ適用されます。子バンドルコンポーネントの場合、親への参照はここで維持されます。親の MPN と SKU の値もここで設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 最大長：100
products.product_attributes	製品属性を定義するキーと値のペアのリスト。たとえば、`"Color": "Space Grey"`。製品には複数の属性を使用できます。ただし、API を介して提供する必要があるのは、価格設定または在庫の有無に影響する属性のみです。 データタイプ：オブジェクト
products.product_category_name	必須です。*unspsc* プロパティを設定しない場合に入力する名前。この名前は、製品が属するカテゴリです。このカテゴリ名は、製品を購入するための商取引シナリオで使用できます。たとえば、電源タップ製品はオフィス機器カテゴリに属すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100
products.product_description	商取引エクスペリエンス内で購入者に表示される製品の完全な説明。 **注:** 特に子バンドルコンポーネントがある製品バンドルカタログアイテムについては、サプライヤーができるだけ詳細に説明することをお勧めします。 データタイプ：文字列 最大長：65000
products.product_name	必須です。製品の名前。 データタイプ：文字列 最大長：1000
products.sku	必須です。サプライヤーによって販売された製品を一意に識別するサプライヤーによって生成される番号。 データタイプ：文字列 最大長：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
products.unit	必須です。サプライヤーでの製品販売単位またはレート。たとえば、個数や時間などです。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.unspsc	必須です。*product_category_name* プロパティを設定しない場合に入力する識別子。この識別子は、製品が属するカテゴリの UNSPSC です。たとえば、UNSPSC コード 43210000 は、製品カテゴリ「コンピューター」の識別子です。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_id	必須です。顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	この識別子により、サードパーティは、インポートされたデータのセットを一意に識別する文字列値を渡すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	SKU、MPN、およびエラーメッセージでリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_spend_intg/spendint/catalog" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
{"root": [{
  "customer_id": "AB-1234323",
  "catalog_id": "ACME CORP-12347898",
  "supplier_id": "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "DELL1234567",
  "products": [
    {
      "product_name": "Apple MacBook Pro 13 Core i7",
      "mpn": "Z0WQ-20004301931",
      "sku": "55788741",
      "manufacturer": "Apple",
      "product_category_name": "Computer",
      "parent_bundle": "920-0045362002",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "bundled_components": {
        "mpn": "Z0WQ-20004301931",
        "quantity": "4",
       },
      "unspsc": "43211500",
      "product_description": "Apple MacBook Pro 13 Core i7 2.8GHz 16GB
 512GB - Touch Bar - Space Gray",
      "product_attributes": {
        "Color": "Space Grey",
        "RAM": "16GB",
        "Screen Size": "13inch"
      },
      "images": ["http://test123.image1.png",
 "http://test123.image2.jpeg"],
      "unit": "Each",
      "available_units": "4",
      "available_for_country": ["US","IN","GB"],
      "delivery_time": "4",
      "contract_agreement": {
        "contract_number": "34567892",
        "contract_start_date": "YYYY-MM-DD",
        "contract_end_date": "YYYY-MM-DD",
        "negotiated_price": "456",
        "negotiated_currency ": "USD"
      }
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

// Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "AB-1234323",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "DELL1234567",
                "status_code": "failure",
                "error_response_body": [
                    {
                        "sku": "55788741",
                        "mpn": "Z0WQ-20004301931",
                        "error_message": "Field Value empty/Formatting
 issue Negotiated currency \n"
                    }
                ]
            }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            ]
        }
}
```

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/price

サプライヤー製品レコードの価格設定を更新します。

サプライヤー製品レコードの価格設定が利用可能な場合、API は製品 SKU を使用して既存のサプライヤー製品を検索します。一致するサプライヤー製品が存在する場合、対応する契約価格が更新されます。一致するサプライヤー製品が見つからない場合は、価格更新対象の製品が存在しないことを示すエラーメッセージが生成されます。

ステータステーブル

価格インポート要求のステータスを確認するには、テーブル REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、価格インポート要求に失敗したレコードがリストされます。価格インポート応答の場合は、次のパラメーターを使用して価格エラーテーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/price
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値： • 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
catalog_id	必須です。顧客が購入できるカタログコンテンツの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
customer_id	必須です。顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
製品	作成または更新する製品を定義するオブジェクトのリスト。各トランザクションには 1000 製品の制限があります。 データタイプ：アレイ `"products": [ { "contract_agreement": {Array}, "sku": "String" } ]`
products.contract_agreement	製品の契約の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"contract_agreement": { "contract_end_date": "String", "contract_number": "String", "contract_start_date": "String", "negotiated_currency ": "String", "negotiated_price": "String" }`
products.contract_agreement.contract_end_date	契約期間の終了日付。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
products.contract_agreement.contract_number	必須です。製品に関連付けられているアクティブな契約の番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 最大長：100
products.contract_agreement.contract_start_date	契約期間の開始日付。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
products.contract_agreement.negotiated_currency	必須です。交渉価格の通貨。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.contract_agreement.negotiated_price	必須です。サプライヤーまたはリセラーとの契約を通じて交渉された製品の単価。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.sku	必須です。サプライヤーによって販売された製品を一意に識別するサプライヤーによって生成される番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_id	必須です。顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	この識別子により、サードパーティは、インポートされたデータのセットを一意に識別する文字列値を渡すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	SKU およびエラーメッセージ別にリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl "https://instance.service-now.com/api/sn_spend_intg/spendint/price"
 \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
{"root": [{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "customer_id": "ACME CORP",
  "catalog_id": "AB-1234323",
  "supplier_id": "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "DEL789876",
  "products": [
    {
      "sku": "5578874",
      "contract_agreement": {
        "contract_number": "34567892",
        "contract_start_date": "YYYY-MM-DD",
        "contract_end_date": "YYYY-MM-DD",
        "negotiated_price": "456",
        "negotiated_currency ": "USD"
      }
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

// Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "ACME CORP",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "DEL789876",
                "status_code": "failure",
                "error_response_body": [
                    {
                        "sku": "5578874",
                        "error_message": "The product for which you are
 trying to update pricing does not exist\nField Value empty/Formatting
 issue Negotiated currency\nField Value empty/Formatting issue Contract
 start date\nField Value empty/Formatting issue Contract end date\n"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/availability

サプライヤー製品レコードの使用可否を更新します。

サプライヤー製品レコードが利用可能な場合、API は製品 SKU を使用して既存のサプライヤー製品を検索します。一致する場合サプライヤー製品が存在する場合、対応する **available_units** フィール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドが更新されます。一致するサプライヤー製品が見つからない場合は、使用可否の更新対象の製品が存在しないことを示すエラーメッセージが生成されます。

ステータステーブル

使用可否更新要求のステータスを確認するには、テーブル REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、使用可否更新要求に失敗したレコードがリストされます。使用可否更新応答の場合は、次のパラメーターを使用して使用可否エラーテーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/availability
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値： • 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
catalog_id	必須です。顧客が購入できるカタログコンテンツの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
customer_id	必須です。顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
製品	更新する製品を定義するオブジェクトのリスト。各トランザクションには 1000 製品の制限があります。 データタイプ：アレイ `"products": [ { "available_units": "String", "sku": "String", "unit": "String" } ]`
products.available_units	在庫のある製品に必要です。この製品で利用可能なユニットの数。 データタイプ：文字列 最大長：40
products.sku	必須です。サプライヤーによって販売された製品を一意に識別する、サプライヤーによって生成される番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
products.unit	必須です。サプライヤーでの製品販売単位またはレート。たとえば、個数や時間などです。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_id	顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	インポートされたデータのセットを一意に識別するための文字列値を渡すことをサードパーティに許可します。 データタイプ：文字列 最大長：100

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	SKU およびエラーメッセージ別にリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_spend_intg/spendint/availabili
ty" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{"root": [{
  "customer_id": "AB-1234323",
  "catalog_id": "ACME CORP",
  "supplier_id": "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "DEL6789876",
  "products": [
    {
      "sku": "5578874",
      "unit": "Each",
      "available_units": "20"
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "AB-1234323",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "DEL6789876",
                "status_code": "failure",
                "error_response_body": [
                    {
                        "sku": "5578874",
                        "error_message": "The product for which
 you are trying to update availability does not exist\nField Value
 empty/Formatting issue Unit\n"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/orderack

ユーザーがサードパーティカタログから製品を購入する際の注文情報を更新します。ユーザーがチェックアウトすると、購入の承認またはその他のタスクを完了できるように購入明細が作成されます。

ServiceNow データベースで発注書が生成されると、その注文は次のテーブルにプッシュされます。

- 送信オーダー：注文ヘッダーが含まれます。
- 送信オーダーライン：オーダーラインが含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サプライヤーは、これらのテーブルをクエリし、処理待ちの注文をフェッチする必要があります。サプライヤーは、ServiceNow データベースと統合するための フローデザイナー アクションのスコープ対象アプリを作成する必要があります。

次のパラメーターを使用してテーブルをクエリします。

- `sysparm_query=supplier_id=<supplier_id>^purchase_order.status=20 for header`
- `sysparm_query=purchase_order.supplier_id=<supplier_id>^purchase_order.status=20 for header`

購入明細が発注明細に変換されると、次のプロセスが実行されます。

1. 該当する場合、発注書と発注明細はエンタープライズリソースプランニング (ERP) に送信されます。
2. 発注書と発注明細は、顧客 ID、サプライヤー ID、発注書番号、注文日、発注書金額、発注書金額通貨、および発注明細とともに、統合を通じてサードパーティに転送されます。
3. 発注書と発注明細は、サードパーティカタログの統合と ERP の両方が確認メッセージを受信するまで、[保留中の送信] ステータスのままになります。確認を受信した後、ステータスが [オーダー] に更新されます。ERP Integration が関連していない場合は、サードパーティ統合からの確認メッセージのみが必要です。

ステータステーブル

注文確認要求のステータスを確認するには、`テーブル` REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、注文確認要求に失敗したレコードがリストされます。注文確認応答の場合は、次のパラメーターを使用して注文確認エラーテーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/orderack
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	• 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
customer_id	必須です。顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
order_number	必須です。この注文に対して顧客から提供された発注書番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
sales_order_lines	この注文の購入に対する一意の更新を含む受注明細行を定義するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"sales_order_lines":[ { "estimated_arrival_date": "String", "line_number": "String", "sales_order_line_number": "String" } ]`
sales_order_lines.estimated_arrival_date	注文の到着予定日。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
sales_order_lines.line_number	必須です。特定の購入について顧客が生成された発注書明細行番号。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
sales_order_lines.sales_order_line_number	サプライヤーによって生成された受注明細行番号。この番号は、この購入のリビジョンにのみ必要です。 データタイプ：文字列 最大長：40
sales_order_number	この注文についてサプライヤーが生成した番号または値。 データタイプ：文字列 最大長：40
status_code	必須です。注文が正常に行われたかどうかを確認する送信済み注文のステータス。 データタイプ：文字列 有効な値： • 確認済み (confirmed)：注文が正常に完了しました。 • 却下 (rejected)：注文は行われませんでした。
status_message	ステータスコードに添付されたメッセージ。たとえば、注文が正常に行われて取り寄せ中であるメッセージが表示される場合があります。 データタイプ：文字列 最大長：1000
supplier_id	必須です。顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	この識別子により、サードパーティは、インポートされたデータのセットを一意に識別する文字列値を渡すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	受注番号、受注明細行番号、およびエラーメッセージ別にリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_spend_intg/spendint/orderack" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
{"root":[{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "customer_id": "ACME CORP",
  "supplier_id": "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "undefined",
  "order_number": "PO08903323",
  "sales_order_number": "SO03323212",
  "status_code": "CONFIRMED",
  "status_message": "BACKORDERED",
  "sales_order_lines":[
    {
      "line_number": "POL6789876",
      "sales_order_line_number": "SOL5678909",
      "estimated_arrival_date": "YYYY-MM-DD"
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

// Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "ACME CORP",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "undefined",
                "status_code": "failure",
                "error_response_body": [
                    {
                        "sales_order_number": "SO03323212",
                        "sales_order_line_number": "SOL5678909",
                        "error_message": "Field Value empty/Formatting
 issue Purchase order number\nField Value empty/Formatting issue Purchase
 order line number\n"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/shipment

このエンドポイントを使用して、サードパーティからの購入に関する更新を受け入れます。

データを受け取ったら、受注明細行番号を使用して出荷データを発注明細と照合する必要があります。トラッキング番号を使用して、発注明細に関連する既存の出荷詳細レコード を見つけることができます。該当するレコードが見つからない場合は、新しい出荷詳細レコードを作成します。出荷データの発注書または発注明細が存在しない場合、この出荷の発注書が存在しないことを示すエラーメッセージが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 発注書と発注明細が [保留中の送信] ステータスで、発注書と発注明細が設定されていない場合、サードパーティリセラーからの出荷と請求書の転記は許可されません。これは、発注書および発注明細のステータスが [オーダー] の場合にのみ許可されます。また、出荷と請求書の転記に連続した制限はありません。

ステータステーブル

出荷要求のステータスを確認するには、テーブル REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、出荷の更新に失敗したレコードがリストされます。出荷応答を取得するには、次のパラメーターを使用して [出荷エラー] テーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/shipment
```

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値： • 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
customer_id	顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
order_number	必須です。この注文に対して顧客から提供された発注書番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	最大長：40
sales_order_number	必須です。この注文についてサプライヤーが生成した番号または値。 データタイプ：文字列 最大長：40
shipment_lines	資産のシリアル番号、IMEI 番号、および資産タグの詳細を含めることができる出荷明細のリスト。 データタイプ：アレイ `"shipment_lines": [{ "actual_shipment_date": "String", "estimated_arrival_date": "String", "line_number": "String", "planned_shipment_date": "String", "product_details": [Array], "sales_order_line_number": "String", "shipping_address": {Object}, "shipping_carrier": "String", "shipment_quantity": "String", "ship_to": "String", "tracking_number": "String" }]`
shipment_lines.actual_shipment_date	貨物がサプライヤーの場所を離れる日。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
shipment_lines.estimated_arrival_date	貨物が指定された場所に到着する予定日。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
shipment_lines.line_number	必須です。特定の購入について顧客で生成される発注書明細行番号。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	最大長：40
shipment_lines.planned_shipment_date	貨物がサプライヤーの場所を離れる予定日。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
shipment_lines.product_details	出荷される製品の詳細を定義するオブジェクトのリスト。オプションには、シリアル番号、IMEI 番号、および資産タグの詳細が含まれます。 データタイプ：アレイ `"product_details": [ { "asset_tag": "String", "imei": "String", "serial_number": "String" } ]`
shipment_lines.product_details.asset_tag	出荷された製品の資産タグ。 データタイプ：文字列 最大長：100
shipment_lines.product_details.imei	出荷された製品の IMEI 番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
shipment_lines.product_details.serial_number	必須です。出荷された製品のシリアル番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
shipment_lines.sales_order_line_number	サプライヤーによって生成される受注明細行番号。この番号は、この購入のリビジョンにのみ必要です。 データタイプ：文字列 最大長：40
shipment_lines.shipping_address	製品の出荷先住所。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"shipping_address":
	  {
	  "city": "String",
	  "country": "String",
	  "name": "String",
	  "state": "String",
	  "street": "String",
	  "zip_code": "String"
	  }</pre>

shipment_lines.shipping_address.city	製品の出荷先住所の市町村名。 データタイプ：文字列 最大長：1000
shipment_lines.shipping_address.country	製品の出荷先の国。 データタイプ：文字列 最大長：40
shipment_lines.shipping_address.name	製品の出荷先の顧客の名前。 データタイプ：文字列 最大長：1000
shipment_lines.shipping_address.state	製品の出荷先の州/都道府県。 データタイプ：文字列 最大長：1000
shipment_lines.shipping_address.street	製品の出荷先住所の番地名。 データタイプ：文字列 最大長：1000
shipment_lines.shipping_address.zip_code	製品の出荷先の郵便番号または PIN コード。 データタイプ：文字列 最大長：40
shipment_lines.shipment_quantity	必須です。物品として出荷されている製品の数。この数には、出荷されている製品の数量が含まれている必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
shipment_lines.shipping_carrier	FedEx、UPS、USPS など、指定された場所に製品を配送する配送業者。 データタイプ：文字列 最大長：100
shipment_lines.ship_to	製品の出荷先の受取人の名前。 データタイプ：文字列 最大長：100
shipment_lines.tracking_number	購入の全体または一部について配送業者から提供された追跡番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_id	必須です。顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_shipment_number	必須です。この出荷に対して生成された識別番号。通常、この番号は、エンタープライズリソースプランニング (ERP) または注文トラッキングシステムによって生成されます。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	この識別子により、サードパーティは、インポートされたデータのセットを一意に識別する文字列値を渡すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	受注明細行番号、受注番号、サプライヤー出荷番号、およびエラーメッセージ別にリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_spend_intg/spendint/shipment" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
{"root":[{
  "customer_id" : "ACME CORP",
  "supplier_id" : "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "DEL2134324",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "supplier_shipment_number" : "TN-YU67898723",
  "order_number": "PO0001002",
  "sales_order_number": "SO00223002",
  "shipment_lines": [
    {
      "line_number": "POL0001005",
      "sales_order_line_number": "SOL0231325",
      "shipment_quantity": "4",
      "shipping_carrier": "FedEx",
      "tracking_number": "E-901290092",
      "shipping_address":
        {
          "name" : "1640 Camino Del Rio North #202, San Diego,CA",
          "street" : "1640 Camino Del Rio North",
          "city" : "San Diego",
          "state" : "CA",
          "zip_code" : "92108-1512",
          "country" : "US"
        },
      "ship_to": "John doe",
      "planned_shipment_date": "YYYY-MM-DD",
      "actual_shipment_date": "YYYY-MM-DD",
      "estimated_arrival_date": "YYYY-MM-DD",
      "product_details": [
        {
          "serial_number": "FL1234-23242319001",
          "imei": "2134890294",
          "asset_tag": ""
        },{
          "serial_number": "FL1234-23242319110",
          "imei": "245499003",
          "asset_tag": ""
        }
      ]
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

// Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "ACME CORP",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "DEL2134324",
                "status_code": "failure",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "error_response_body": [
                    {
                        "sales_order_line_number": "SOL0231325",
                        "sales_order_number": "SO00223002",
                        "supplier_shipment_number": "TN-YU67898723",
                        "error_message": "The purchase order for this
 shipment does not exist\nThe purchase order line for this shipment does
 not exist\n"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

Spendint API - POST /sn_spend_intg/spendint/invoice

サードパーティプロバイダーからの請求書を受け入れます。

発注書と発注明細が [保留中の送信] ステータスで、発注書と発注明細が設定されていない場合、サードパーティリセラーからの出荷と請求書の転記は許可されません。これは、発注書および発注明細のステータスが [オーダー] の場合にのみ許可されます。また、出荷と請求書の転記に連続した制限はありません。

請求書が送信された後、請求書と請求書明細が発注書にマップされます。マッピングが成功すると、請求書のステータスは次のように設定されます。

- 配信待ち：領収書がない場合、注文の一部が配送済みか、請求書の承認が必要です。
- 請求書確認済み：発注書が配送され、請求金額が発注書の合計金額と一致した場合。
- レビューが必要：発注書は配送されたが、請求金額が発注書の合計金額と一致しない場合。

有効な請求書が品目に転記されると、その請求書は更新できなくなります。

指定された請求書に発注書番号がない場合、請求書は却下され、指定された 1 つ以上の請求書に発注書番号がないことを示すエラーメッセージが表示されます。指定された請求書に発注書番号が含まれていてもそれが発注書と一致しない場合、または発注書が存在しない場合は、エラーメッセージが表示されます。このメッセージは、1 つ以上の請求書に、請求書の発注書番号と一致する発注書がないことを示しています。また、サードパーティリセラーから送信された請求金額が請求した金額と一致しない場合、その請求書は却下されます。

ステータステーブル

請求書要求のステータスを確認するには、テーブル REST API を使用して ServiceNow データベースへの REST 呼び出しを行います。API からの応答には、請求書作成に失敗したレコードがリストされます。請求書応答の場合は、次のパラメーターを使用して請求書エラーテーブルをクエリします。

```
sysparm_query=outbound_error.supplier_id=<supplier_id>^outbound_error.state=20
```

顧客 ID、サプライヤー ID、エラータイプ、一意のインポートセット ID、およびステータスの詳細は、親エラーテーブルである [送信ステータス] テーブルで確認できます。

URL 形式

```
/api/sn_spend_intg/spendint/invoice
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
mode	サードパーティ統合のための非同期モードと同期モードのサポート。 データタイプ：文字列 有効な値： • 非同期：非同期モード。 • 同期：同期モード。 デフォルト：非同期

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
currency	必須です。小計、税、および送料の通貨。小計、税、および送料は同じ通貨である必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：40
customer_id	顧客に対する識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
discounts	請求書に適用される割引。これは編集可能なフィールドです。 データタイプ：文字列 最大長：100
invoice_date	必須です。顧客が請求された日付。 データタイプ：文字列 最大長：40 形式：YYYY-MM-DD
invoice_line	この注文内の購入に対して請求される明細を定義するオブジェクトのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"invoice_lines": [ { "invoiced_line_amount": "String", "invoiced_quantity": "String", "line_number": "String", "supplier_invoice_line_number": "String", "sales_order_line_number": "String" } ]`
invoice_lines.invoiced_line_amount	必須です。特定の発注明細に対して顧客に請求される総コスト (税と送料を除く)。 データタイプ：文字列 最大長：40
invoice_lines.invoiced_quantity	必須です。顧客への請求対象となる、物品またはサービスの数量。 データタイプ：文字列 最大長：40
invoice_lines.line_number	必須です。特定の購入について顧客で生成される発注書明細行番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
invoice_lines.sales_order_line_number	必須です。サプライヤーによって生成される受注明細行番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
invoice_lines.supplier_invoice_line_number	必須です。この請求書明細行に対してサプライヤーが生成する識別番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
other_charges	請求書に関連するその他の追加料金。これは編集可能なフィールドです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	最大長：100
order_number	必須です。この注文に対して顧客から提供された発注書番号。 データタイプ：文字列 最大長：40
remit_to_address	必須です。支払いが行われる場所。 データタイプ：文字列 最大長：1000
sales_order_number	必須です。この注文についてサプライヤーが生成した番号または値。 データタイプ：文字列 最大長：40
shipping	必須です。購入全体の合計送料。 データタイプ：文字列 最大長：40
subtotal	必須。税および配送料を除いたサプライヤーに支払われる合計金額。 データタイプ：文字列 最大長：40
supplier_id	必須です。顧客が注文できるリセラーまたはサプライヤーの識別子。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_invoice_number	必須です。この請求書に対してサプライヤーが生成した識別番号。 データタイプ：文字列 最大長：100
supplier_tax_id	サードパーティリセラーに関連付けられている税金識別子これは編集可能なフィールドです。 データタイプ：文字列 最大長：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
tax	必須です。購入に対して請求される税金の合計額。 データタイプ：文字列 最大長：40
tax_rate	注文に適用される税率 (%) これは編集可能なフィールドです。 データタイプ：文字列 最大長：100
third_party_import_id	この識別子により、サードパーティは、インポートされたデータのセットを一意に識別する文字列値を渡すことができます。 データタイプ：文字列 最大長：100
total_amount_invoiced	必須。税および配送料を含む、サプライヤーに支払われる合計金額。 データタイプ：文字列 最大長：40

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

注: Procurement Integration Framework では *application/json* データ形式のみがサポートされています。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。

ステータスコード

ステータスコード	説明
success	成功。要求が正常に処理されました。
failure	不成功。要求が処理されました (エラーあり)。

応答本文のパラメーター (JSON)

これらの応答本文パラメーターは、同期モードで照会されたときに受信されます。

名前	説明
error_response_body	受注明細行番号、受注番号、サプライヤー請求書番号、サプライヤー請求書明細行番号、およびエラーメッセージ別にリストされたエラーの説明。 データタイプ：アレイ
error_response_body.error_message	詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status_code	「success」や「failure」などの応答ステータス。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_spend_intg/spendint/invoice" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
{"root":[{
  "customer_id": "Customer - A",
  "supplier_id": "SUP-123456",
  "third_party_import_id": "undefined",
  "supplier_invoice_number": "QAAP89873220071",
  "supplier_tax_id": "TIN000000",
  "order_number": "POL7987633",
  "sales_order_number": "SO0000000081",
  "invoice_date": "YYYY-MM-DD",
  "subtotal": "6000",
  "tax_rate": "10%",
  "tax": "600",
  "shipping": "120",
  "other_charges": "100",
  "discounts": "200",
  "total_amount_invoiced": "6620",
  "remit_to_address": "1640 Camino Del Rio North #202, San Diego,CA",
  "currency": "USD",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "invoice_lines": [
    {
      "supplier_invoice_line_number": "QA789A867877ABN32251",
      "line_number": "POL587667",
      "sales_order_line_number": "SOL00000081",
      "invoiced_quantity": "45",
      "invoiced_line_amount": "4000"
    },
    {
      "line_number": "POL587668",
      "supplier_invoice_line_number": "78987323",
      "sales_order_line_number": "SOL98769",
      "invoiced_quantity": "12",
      "invoiced_line_amount": "2000"
    }
  ]
}
]}
```

考えられる応答：

```
// Success response:
{
    "result": {
        "response": "success"
    }
}

// Error response:
{
    "result": {
        "response": [
            {
                "customer_id": "Customer - A",
                "supplier_id": "SUP-123456",
                "third_party_import_id": "undefined",
                "status_code": "failure",
                "error_response_body": [
                    {
                        "sales_order_line_number": "SOL00000081",
                        "sales_order_number": "SO0000000081",
                        "supplier_invoice_number": "QAAP89873220071",
                        "supplier_invoice_line_number":
 "QA789A867877ABN32251",
                        "error_message": "The invoice do not have a
 corresponding purchase order which matches the purchase order number of
 the invoice provided\n"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API は、SCIM プロトコルを使用してユーザーとグループの操作を作成、読み取り、更新、および削除するためのエンドポイントを提供します。

SCIM プロトコルは、HTTP (RFC7230) 標準を基礎とするアプリケーションレベルの HTTP ベースプロトコルです。この API は、Web およびクロスドメイン環境 (エンタープライズからクラウドへのサービスプロバイダーやクラウド間のシナリオなど) でのユーザーやグループなどの ID データのプロビジョニングと管理に使用します。

この API にアクセスするには、SCIM v2 - ServiceNow® Cross-domain Identity Management (com.snc.integration.scim2) プラグインを有効にする必要があります。

リソースマッピング

SCIM サービスには、次の 6 つのリソースがあります。

- ユーザー (コアおよび拡張)
- グループ (コアおよび拡張)
- 会社
- CostCenter
- 部門
- 場所

これらの SCIM リソースの属性のほとんどは、既存の ServiceNow テーブルの対応するフィールドにマップされます。次のテーブルでこれらのマッピングを定義します。既存の ServiceNow テーブルのフィールドに対応しない属性は、2 つの SCIM 固有のテーブルにマップされます。これらのテーブルの詳細については、「SCIM 固有のテーブル」を参照してください。

SCIM ユーザーリソースには、コア (schema: urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User) スキーマと拡張 (urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User) スキーマの両方があります。ユーザーのコアおよび拡張スキーマ属性のほとんどは、ユーザー [sys_user] テーブルにマップされます。

ユーザーリソースからユーザー **[sys_user]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	ユーザーフィールド名
active	active
addresses.country	country
addresses.default.country	country
addresses.home.country	country
addresses.locality	city
addresses.default.locality	city
addresses.home.locality	city
addresses.postalCode	zip
addresses.default.postalCode	zip
addresses.home.postalCode	zip
addresses.region	state

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーリソースからユーザー **[sys_user]** テーブルへのマッピング (続く)

SCIM 属性名	ユーザーフィールド名
addresses.default.region	state
addresses.home.region	state
addresses.streetAddress	street
addresses.default.streetAddress	street
addresses.home.streetAddress	street
displayName	name
emails.value	email
emails.default.value	email
emails.work.value	email
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on
name.familyName	last_name
name.givenName	first_name
name.honorificPrefix	introduction
name.middleName	middle_name
phoneNumbers.value	phone
phoneNumbers.home.value	home_phone
phoneNumbers.mobile.value	mobile_phone
phoneNumbers.work.value	phone
preferredLanguage	preferred_language
timezone	time_zone
title	title
userName	user_name

ユーザーリソースから **Sys Scim** ユーザー **[sys_scim_user]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	Sys Scim ユーザーフィールド名
externalId	external_id

SCIM ユーザー拡張スキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User) は、ユーザー [sys_user] テーブルにマップされます。

ユーザー拡張リソースからユーザー **[sys_user]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	ユーザーフィールド名
company.name	company.name

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー拡張リソースからユーザー **[sys_user]** テーブルへのマッピング (続く)

SCIM 属性名	ユーザーフィールド名
company.value	company.sys_id
costCenter.name	cost_center.name
costCenter.value	cost_center.sys_id
department.name	department.name
department.value	department.sys_id
employeeNumber	employee_number
gender	gender
location.name	location.name
location.value	location.sys_id
manager.displayName	manager.name
manager.value	manager.sys_id

SCIM グループリソーススキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group) は、グループ [sys_user_group] テーブルにマップされます。

グループリソースからグループ **[sys_user_group]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	グループフィールド名
displayName	name
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on

SCIM グループの externalId パラメーターは、Sys Scim グループ [sys_scim_group] テーブルにマップされます。

グループリソースから **Sys Scim** グループ **[sys_scim_group]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	Sys Scim グループフィールド名
externalId	external_id

SCIM グループ ServiceNow 拡張スキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group) は、グループ [sys_user_group] テーブルにマップされます。

グループリソースからグループ **[sys_user_group]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	グループフィールド名
company.value	company.sys_id
company.name	company.name

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCIM 会社リソーススキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Company) は、会社 [core_company] テーブルにマップされます。

会社リソースから会社 **[core_company]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	会社フィールド名
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on
name	name

SCIM CostCenter リソーススキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCenter) は、コストセンター [cmn_cost_center] テーブルにマップされます。

CostCenter リソースからコストセンター **[cmn_cost_center]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	コストセンターフィールド名
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on
name	name

SCIM 部門リソーススキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Department) は、部門 [cmn_department] テーブルにマップされます。

部門リソースから部門 **[cmn_department]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	部門フィールド名
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on
name	name

SCIM 場所リソーススキーマ (urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location) は、場所 [cmn_location] テーブルにマップされます。

場所リソースから場所 **[cmn_location]** テーブルへのマッピング

SCIM 属性名	場所フィールド名
id	sys_id
meta.created	sys_created_on
meta.lastModified	sys_updated_on
name	name

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCIM 固有のテーブル

Sys Scim ユーザー [sys_scim_user] と Sys Scim グループ [sys_scim_group] の 2 つのテーブルには、既存の ServiceNow テーブルにマップされない SCIM 属性が含まれています。これらのテーブルの内容は次のとおりです。

Sys Scim ユーザー [sys_scim_user] テーブル

フィールド名	説明
作成日時	関連レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列 最大長：40
作成者	レコードを作成したエンティティの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
外部 ID (External ID)	このユーザーレコードを作成したエンティティがシステム内のユーザーを参照するために使用する外部 ID。 データタイプ：文字列 最大長：255
Sys ID	ServiceNow インスタンス内のレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32
更新日時	関連レコードが最後に更新された日時。 データタイプ：文字列 最大長：40
更新者	関連レコードを最後に更新したエンティティの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
更新	レコードが更新された回数。 データタイプ：整数 最大長：40
ユーザー	このレコードに関連付けられたユーザーへの参照 参照：ユーザー [sys_user] テーブル 最大長：32

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Sys Scim ユーザー [sys_scim_user] テーブル (続く)

フィールド名	説明
ユーザータイプ	ユーザーレコードのタイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • 外部 • インターン • 一時 • 不明 データタイプ：文字列 最大長：40

Sys Scim グループ [sys_scim_group] テーブル

フィールド名	説明
作成日時	関連レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列 最大長：40
作成者	レコードを作成したエンティティの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
外部 ID (External ID)	このグループレコードを作成したエンティティがシステム内のグループを参照するために使用する外部 ID。 データタイプ：文字列 最大長：255
グループ	このレコードに関連付けられたグループへの参照。 参照：グループ [sys_user_group] テーブル 最大長：32
Sys ID	ServiceNow インスタンス内のレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列 最大長：32
更新日時	関連レコードが最後に更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Sys Scim グループ [sys_scim_group] テーブル (続く)

フィールド名	説明
	データタイプ：文字列 最大長：40
更新者	関連レコードを最後に更新したエンティティの名前。 データタイプ：文字列 最大長：40
更新	レコードが更新された回数。 データタイプ：整数 最大長：40

ロールとアクセス制御リスト

scim_admin ロールは、SCIM 固有のテーブルとプライベート SCIM エンドポイントにアクセスするために必要であり、ユーザー [sys_user] テーブルとグループ [sys_user_group] テーブルへのアクセスを有効にします。

SCIM サービスには、Sys Scim ユーザー [sys_scim_user] テーブルと Sys Scim グループ [sys_scim_group] テーブルにアクセスするための、作成、削除、読み取り、書き込みを可能にする 4 つの ACL があります。これらの ACL は、scim_admin ロールにのみマップされます。

SCIM - DELETE /scim/Groups/{group_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのグループ [sys_user_group] テーブルから指定されたグループレコードを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups/{group_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups/{group_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
group_id	削除するグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	コンテンツがありません。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"errors": {
	  "details": "String",
	  "schemas": "String",
	  "scimType": "String",
	  "status": "String"
	}</pre>

errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列

Example: グループを削除する cURL 要求

この例は、グループ [sys_user_group] テーブルからグループレコードを削除する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/a0a9e9fb1b7e3010593
876a61a4bcbe0" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

SCIM - GET /scim/Groups

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のグループ [sys_user_group] テーブルから 1 つ以上のグループレコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。 デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はこのメソッドではサポートされていません。 たとえば、名前が「HR」で始まるすべてのグループをフィルタリングするには、「`displayName SW "HR"`」と入力します。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「HR」で始まり、最終変更日が 2021 年 10 月 3 日より前であるすべてのグループをフィルタリングするには、「`displayName SW "HR" AND meta.lastModified lt "2021-10-33T00:00:00Z"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 フィルターでは、次の SCIM グループフィールドのみを使用できます。 • displayName • externalId：`EQ` 演算子のみがサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• id • meta.created • meta.lastModified データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングで利用可能なパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートなし
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列 デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するテーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。 **注:** 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値
リソース	グループレコードリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"Resources": [
	  {
	  "company": {Object},
	  "displayName": "String",
	  "externalId": "String",
	  "id": "String",
	  "meta": [Array]
	  }
	]</pre>

Resources.company	グループの会社または組織に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"company": {
	  "display": "String",
	  "$ref": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

Resources.company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
Resources.company.$ref	会社の参照 URI。 形式：<host>/Companies/<company sys_id>。 例：http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63 。 データタイプ：文字列
Resources.company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
Resources.displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
Resources.externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
Resources.id	グループの sys_id。 データタイプ：文字列

Resources.meta	グループに関するメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"meta": {
	  "created": "String",
	  "lastModified": "String",
	  "location": String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "resourceType": String" }</pre>
Resources.meta.created	グループレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	グループレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.location	取得されるグループの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM グループのリソースタイプ。 データタイプ：文字列

Resources.members	グループに関連付けるユーザーおよびグループのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"members": [
	  {
	  "display": "String",
	  "value": "String",
	  "$ref": "String"
	  }
	]</pre>

Resources.members.display	関連付けられたグループメンバーの名前。 データタイプ：文字列
Resources.members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
Resources.members.$ref	関連付けられたグループメンバーの URI。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ
schemas	要求の処理に使用される SCIM リスト応答スキーマの URI のリスト。 データタイプ：アレイ
startIndex	エンドポイントがレコードの取得を開始したグループ [sys_user_group] テーブルの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：数値
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

Example: 複数のグループに対する cURL 要求

この例は、*count* パラメーターを使用して複数のグループ (この場合は 4 つ) を要求する方法を示しています。

```
curl "https://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups?count=4" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{"schemas":
  ["urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"],
  "totalResults":44,
  "Resources":[
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
      ],
      "id":"019ad92ec7230010393d265c95c260dd",
      "meta":{
        "resourceType":"Group",
        "created":"2020-03-17T11:39:14Z",
        "lastModified":"2020-03-17T11:39:14Z",

 "location":"https://
instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups/019ad92ec7230010393d265c95c260
dd"
      },
      "displayName":"Analytics Settings Managers"
    },
    {"schemas":
      [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
      ],
      "id":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "meta":{
        "resourceType":"Group",
        "created":"2021-09-29T16:42:02Z",
        "lastModified":"2021-09-29T16:42:02Z",

 "location":"https://
instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups/0a52d3dcd7011200f2d224837e6103
f2"
      },
      "displayName":"Application Development",
      "members":[
        {
          "value":"dc6053dcd7011200f2d224837e6103e0",
          "display":"John Doe",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Users/dc6053dcd7011200f2d224
837e6103e0"
        },
        {
          "value":"443193dcd7011200f2d224837e61037d",
          "display":"Abel Tutor",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Users/443193dcd7011200f2d224
837e61037d"
        }
      ],
      "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
        "company": {
          "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
          "name": "ACME Japan",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42
a426568fc87a63"
        }
      }
    },
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
      ],
      "id":"0c4e7b573b331300ad3cc9bb34efc461",
      "meta":{
        "resourceType":"Group",
        "created":"2021-09-29T05:11:33Z",
        "lastModified":"2021-09-29T05:11:33Z",

 "location":"instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups/0c4e7b573b331300a
d3cc9bb34efc461"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "displayName":"Problem Analyzers",
      "members":[
        {
          "value":"d3dbbf173b331300ad3cc9bb34efc466",
          "display":"Problem Manager",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Users/babb4639b76233004fbc20
89ee11a97f"
        },
        {
          "value":"38cb3f173b331300ad3cc9bb34efc4d6",
          "display":"Problem Coordinator B",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Users/cbcc4639b76233004fbc20
89ee111047"
        },
        {
          "value":"26fbff173b331300ad3cc9bb34efc4bd",
          "display":"Problem Administrator",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Users/45324639b76232189fbc20
89ee11bc34"
        }
      ],
      "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
        "company": {
          "value": "913465ecac1d569b42a426568fc88af3",
          "name": "ACME London",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Companies/913465ecac1d569b42
a426568fc88af3"
        }
      }
    },
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
      ],
      "id":"0c5e2a7ce4001410f877ce457cda6b98",
      "meta":{
        "resourceType":"Group",
        "created":"2020-04-06T03:47:08Z",
        "lastModified":"2020-07-29T04:02:26Z",

 "location":"instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups/0c5e2a7ce4001410f
877ce457cda6b98"
      },
      "displayName":"Business Application Registration Approval Group"
    }
  ],
  "startIndex":1,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "itemsPerPage":4
}
```

Example: excludedAttributes を使用した複数グループの cURL 要求

この例は、*count* パラメーターを使用して複数のグループ (この場合は 4 つ) を要求し、メタフィールドとメンバーフィールドを除外する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Groups?excludedAttributes=meta%2C%20members&count=4" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{"schemas":
  ["urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"],
  "totalResults":44,
  "Resources":[
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group”,

 “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group”
      ],
      "id":"019ad92ec7230010393d265c95c260dd",
      "displayName":"Analytics Settings Managers",
      "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
        "company": {
          "value": "913465ecac1d569b42a426568fc88af3",
          "name": "ACME London",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Companies/913465ecac1d569b42a426568fc88af3"
        }
      }
    },
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group”,

 “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group”
      ],
      "id":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "displayName":"Application Development"
    },
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group”,

 “urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group”
      ],
      "id":"0c4e7b573b331300ad3cc9bb34efc461",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "displayName":"Problem Analyzers"
    },
    {"schemas":
      [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group"",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
      ],
      "id":"0c5e2a7ce4001410f877ce457cda6b98",
      "displayName":"Business Application Registration Approval Group",
      "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
        "company": {
          "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
          "name": "ACME Japan",
          "$ref":
 "http://instance-sevicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42
a426568fc87a63"
        }
      }
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":4
}
```


SCIM - GET /scim/Groups/{group_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のグループ [sys_user_group] テーブルから指定されたグループレコードを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups/{group_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups/{group_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
group_id	返されるグループレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	excludedAttributes パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
company	グループの会社または組織に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "$ref": "String", "value": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：`<host>/Companies/<company sys_id>`。 例：`http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63` 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
id	グループの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
meta	グループに関するメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": String, "resourceType": String" }`
meta.created	グループレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	グループレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるグループの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM グループのリソースタイプ。 データタイプ：文字列
members	グループに関連付けるユーザーおよびグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"members": [ { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
members.display	関連付けられたグループメンバーの名前。 データタイプ：文字列
members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
members.$ref	関連付けられたグループメンバーの URI。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

Example: 特定のグループに対する cURL 要求

この例は、特定のグループレコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/e0140d671bbe3010593
876a61a4bcb11" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{"schemas":
  [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"
  ],
  "id":"e0140d671bbe3010593876a61a4bcb11",
  "externalId":"8ae5dc9e-c7ad-4d3d-a152-35a6b6222b83",
  "meta":{
    "resourceType":"Group",
    "created":"2021-09-30T18:20:43Z",
    "lastModified":"2021-09-30T18:20:43Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/e0140d671bbe3010593876a61a4bc
b11"},
    "displayName":"HR Group",
    "members":[
      {
        "value":"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
        "display":"Abel Tuter",
        "$ref":
 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0b
fc8bcbe5df1"
      }
    ],
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "company": {
        "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
        "name": "ACME Japan",
        "$ref":
 "http://111.111.1.11:8080/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a4265
68fc87a63"
      }
    }
  }
}
```

SCIM - PATCH /scim/Groups/{group_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのグループ [sys_user_group] テーブル内のグループレコードの指定されたフィールドを追加、更新、および削除できます。

詳細については、RFC 7644 の「PATCH を使用した変更 (Modifying with PATCH)」セクションを参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups/{group_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups/{group_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
group_id	更新するグループレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
Operations	必須です。指定されたグループレコードにパッチを適用する操作オブジェクトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"Operations": [ { "op": "String", "path": "String", "value": Any } ]`
Operations.op	必須です。実行する操作。 有効な値： • add：指定されたフィールドと値をグループレコードに追加します。 • remove：指定されたフィールドから値を削除します。データタイプ「null」に置き換えられます。 • replace：指定されたフィールドの値を置き換えます。 データタイプ：文字列
Operations.path	`remove` 操作の場合は必須、それ以外の場合はオプションです。変更するフィールドの名前/パス。 *`path`* パラメーターは、次のいずれかの形式にすることができます。 • フィールドを直接使用 (`displayName` など) • 複合アレイの場合は、フィルターのある特定の要素へのポインター (例：`emails[type eq "work"]`) `{ "schemas": [ "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp" ], "Operations": [ { "op": "add", "path": "displayName", "value": "HR Group" }, { "op": "replace", "path": "members[value eq \"sysid1\"]",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"value": {
	"value": "sysid2"
	}
	}
	]
	}</pre>
	データタイプ：文字列
	
	デフォルト：フィールドをリソースと見なします。

Operations.value	*Operations.path* パラメーターで指定されたフィールドの値。このパラメーターの形式は、関連するフィールドのデータ タイプによって異なります。
	
	たとえば、タイトルなどの単純な文字列を更新する場合、*value* フィールドは文字列として表されます。
	<pre>"Operations": [
	{
	"op": "add",
	"path": "displayName",
	"value": "HR Group"
	}
	]</pre>
	次のように、*path* パラメーターのない単純な文字列値を宣言することもできます。
	<pre>"Operations": [
	{
	"op": "add",
	"value": {
	"displayName": "HR Group"
	}
	}
	]</pre>
	グループにメンバーを追加する方法は次のとおりです。
	<pre>{
	"op": "add",
	"value": {
	"members": {
	"value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
	}
	}
	}</pre>
	更新されるフィールドがベーススキーマにない場合は、関連するスキーマの URN を指定するオブジェクトで名前と値のペアを囲む必要があります。
	<pre>"value": {
	"<schema_urn>": {</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"<field_name>": "<new_value>"
	},
	}</pre>
	例：
	<pre>"value": {
	
	"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
	"groupNumber": "13454"
	},
	}</pre>
	データタイプ：任意

Operations.value.type	更新するフィールドの名前。 データタイプ：文字列
Operations.value.value	フィールドを更新する値。 データタイプ：文字列
schemas	必須です。パッチ操作の SCIM スキーマ URI："urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp” データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
204	成功。コンテンツなし (SCIM グループパッチ API にのみ適用) - この 204 ステータスは、SCIM UI プロパティの [コンテンツのないグループパッチ API 応答を有効にする] のステータスに依存し、RFC: https://www.rfc-editor.org/rfc/rfc7644#page-35 に従って渡された属性パラメーターの対象となります。 デフォルトのプロパティ値:false クライアントが応答リソースを消費する予定がない場合、[Enable Group Patch API response with No Content] プロパティを使用すると、応答の実行パフォーマンスをさらに向上させることができます。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • 次の無効な値を確認します。 ◦ 要求本文が正しくありません。 ◦ 必須フィールドが指定されていないか、空です。 ◦ 無効なユーザーまたはグループ sys_id が指定されました。 • 読み取り専用または不変のフィールドの変更が試みられているかどうかを確認します。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないこと、または要求が最大メンバー数を超えていないことを確認してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	グループは既に存在します。*displayName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
company	グループの会社または組織に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "$ref": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：<host>/Companies/<company sys_id>。 例：http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"errors": {
	"details": "String",
	"schemas": "String",
	"scimType": "String",
	"status": "String"
	}</pre>

errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
id	グループの sys_id。 データタイプ：文字列
members	グループに関連付けるユーザーおよびグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"members": [ { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
members.display	関連付けられたグループメンバーの名前。 データタイプ：文字列
members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
members.$ref	関連付けられたグループメンバーの URI。 データタイプ：文字列
meta	グループに関するメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": String", "resourceType": String" }`
meta.created	グループレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	グループレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるグループの URI。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
meta.resourceType	SCIM グループのリソースタイプ。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

Example: cURL 要求

この例は、グループレコードに外部 ID を追加し、関連付けられたメンバー (ユーザー) の現在のリストを置き換える方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/a92b84f96b073010638
c83eece44af4e" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/scim+json" \
--header "Content-Type:application/scim+json" \
--data "{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp"
  ],
  "Operations": [
    {
      "op": "add",
      "path": "externalId",
      "value": "278fdc2e-a6aa-4140-bd23-9ba4987a2938"
    },
    {
      "op": "replace",
      "path": "members",
      "value": [
        {
          "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"
        },
        {
          "value": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a"
        }
      ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ]
}"
```

応答：

```
{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",
    'urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group'
  ],
  "id": "a92b84f96b073010638c83eece44af4e",
  "externalId": "278fdc2e-a6aa-4140-bd23-9ba4987a2938",
  "meta": {
    "resourceType": "Group",
    "created": "2021-10-07T13:58:22Z",
    "lastModified": "2021-10-07T15:48:44Z",
    "location":

 "https://instance-sevicenow/api/now/scim/Groups/a92b84f96b073010638c83ee
ce44af4e"
  },
  "displayName": "HR Team",
  "members": [
    {
      "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
      "display": "Abel Tuter",
      "$ref":

 "https://instance-sevicenow/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0bfc8b
cbe5df1"
    },
    {
      "value": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
      "display": "Abraham Lincoln",
      "$ref":

 "https://instance-sevicenow/api/now/scim/Users/a8f98bb0eb32010045e1a5115
206fe3a"
    }
  ],
  "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
    "company": {
      "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
      "name": "ACME Japan",
      "$ref":
 "http://instance-sevicenow/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426
568fc87a63"
    }
  }
}
```

SCIM - POST /scim/Groups

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのグループ [sys_user_group] テーブルにグループレコードを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

グループの表示名、このグループを外部システムに相関付けるために使用する外部 ID を定義し、メンバー (ユーザー/グループ) をグループに追加できます。

注: RFC7643 仕様に記載されている検索および一括変更機能は、このエンドポイントではサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明

company	グループの会社または組織に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"company": {`
	`  "display": "String",`
	`  "$ref": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre> "value": "String" }</pre>
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：`<host>/Companies/<company sys_id>`。 例：`http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63` 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	必須です。HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

members	グループに関連付けるユーザーまたは他のグループのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"members:" [
	  {
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>
	最大サイズ：100 - システムプロパティ com.snc.interation.scim2.max.member.count を更新することで、この最大サイズを変更できます。

members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
schemas	必須です。 要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	• urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• 次の無効な値を確認します。 ◦ 要求本文が正しくありません。 ◦ 必須フィールドが指定されていないか、空です。 ◦ 無効なユーザーまたはグループ sys_id が指定されました。 • 読み取り専用または不変のフィールドの変更が試みられているかどうかを確認します。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないこと、または要求が最大メンバー数を超えていないことを確認してください。
409	グループは既に存在します。*displayName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
company	グループの会社または組織に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "$ref": "String", "value": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：`<host>/Companies/<company sys_id>`。 例：`http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63` 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
id	グループの sys_id。 データタイプ：文字列

meta	グループに関するメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": String",`
	`  "resourceType": String"`
	`}`

meta.created	グループレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	グループレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるグループの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM グループのリソースタイプ。 データタイプ：文字列

members	グループに関連付けるユーザーおよびグループのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"members": [`
	`  {`
	`  "display": "String",`
	`  "value": "String",`
	`  "$ref": "String"`
	`  }`
	`]`

members.display	関連付けられたグループメンバーの名前。 データタイプ：文字列
members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
members.$ref	関連付けられたグループメンバーの URI。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

Example: cURL 要求での新しいグループの POST とメンバーの追加

この例では、group51 を作成し、ユーザー Abel Tutor をメンバーとして追加しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups" \
--request POST \
--header "Accept:application/scim+json" \
--header "Content-Type:application/scim+json" \
--data "{
  \"schemas\": ["urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"],
  \"displayName\": \"HR Team\",
  \"externalId\": \"8ae5dc9e-c7ad-4d3d-a152-35a6b6222b83\",
  \"members\": [
    {
      \"value\": \"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\",
      \"$ref\": \"Users/62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\"
    }
  ]
}"
```

応答：

```
{"schemas":
  [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",
    'urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group'
  ],
  "id":"e0140d671bbe3010593876a61a4bcb11",
  "externalId":"8ae5dc9e-c7ad-4d3d-a152-35a6b6222b83",
  "meta":{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "resourceType":"Group",
    "created":"2021-09-30T18:20:43Z",
    "lastModified":"2021-09-30T18:20:43Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/e0140d671bbe3010593876a61a4bc
b11"},
    "displayName":"HR Team",
    "members":[
      {
        "value":"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
        "display":"Abel Tuter",
        "$ref":
 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0b
fc8bcbe5df1"
      }
    ],
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
      "company": {
        "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
        "name": "ACME Japan",
        "$ref":
 http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42
a426568fc87a63
      }
    }
  }
}
```


SCIM - PUT /scim/Groups/{group_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのグループ [sys_user_group] テーブルの指定されたグループレコードを更新します。

要求で省略されたフィールドは更新されません。フィールドを明示的にクリアするには、その値を単一値フィールドでは null に設定し、*members* などのアレイタイプのフィールドでは空のアレイに設定します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Groups/{group_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups/{group_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
group_id	更新するグループレコードの sys_id。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明

company	グループの会社または組織に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"company": {`
	`  "display": "String",`
	`  "$ref": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：`<host>/Companies/<company sys_id>`。 例：`http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63` 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
members	現在のメンバーリストを置き換えるユーザーのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"members:" [ { "value": "String" } ]` 最大サイズ：100 - システムプロパティ com.snc.interation.scim2.max.member.count を更新することで、この最大サイズを変更できます。
members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
schemas	必須です。 要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • 次の無効な値を確認します。 ◦ 要求本文が正しくありません。 ◦ 必須フィールドが指定されていないか、空です。 ◦ 無効なユーザーまたはグループ sys_id が指定されました。 • 読み取り専用または不変のフィールドの変更が試みられているかどうかを確認します。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないこと、または要求が最大メンバー数を超えていないことを確認してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	グループは既に存在します。*displayName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
company	グループの会社または組織に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"company": {
	  "display": "String",
	  "$ref": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 形式：`<host>/Companies/<company sys_id>`。 例：`http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63` 。 データタイプ：文字列
company.value	関連付けられた会社の sys_id。 データタイプ：文字列
displayName	HR チームなど、グループの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列

errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"errors": {
	  "details": "String",
	  "schemas": "String",
	  "scimType": "String",
	  "status": "String"
	}</pre>

errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
externalId	グループをプロビジョニングするエンティティによってグループにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
id	グループの sys_id。 データタイプ：文字列
members	グループに関連付けるユーザーおよびグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"members": [ { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
members.display	関連付けられたグループメンバーの名前。 データタイプ：文字列
members.value	関連付けられたユーザーまたはグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
members.$ref	関連付けられたグループメンバーの URI。 データタイプ：文字列
meta	グループに関するメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": String", "resourceType": String" }`
meta.created	グループレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	グループレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるグループの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM グループのリソースタイプ。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM グループスキーマの URI のリスト。 サポート済みグループスキーマ：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group - クロスドメイン ID 管理のためにインターネットエンジニアリングタスクフォースシステムで指定されたコアスキーマ：コアスキーマドキュメント (https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7643#section-4.2) • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group - ServiceNow 拡張スキーマ。このスキーマには、基本 ServiceNow システムのグループ [sys_user_group] テーブルに存在している属性が含まれています。ただし、この属性はコアスキーマの一部ではありません。 • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group" - カスタム拡張スキーマ。このスキーマは、sys_scim_schema_extension テーブルの「Group」resourceType の一部です。スキーマがアクティブでない場合、スキーマ URN は応答で返されません。 データタイプ：文字列のアレイ

Example: PUT を使用してグループメンバーを更新する cURL 要求

次の例は、グループに関連付けられたメンバーを Abel Tutor ではなく Abraham Lincoln に変更し、グループの名前を HR Team に変更しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/e0140d671bbe3010593
876a61a4bcb11" \
--request PUT \
--header "Accept:application/scim+json" \
--header "Content-Type:application/scim+json" \
--data "{
  \"schemas\": ["urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",

 "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group"],
  \"displayName\": \"HR Team\",
  \"externalId\": \"8ae5dc9e-c7ad-4d3d-a152-35a6b6222b83\",
  \"members\": [
    {
      \"value\": \"a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a\",
      \"$ref\": \"Users\"
    }
  ]
}"
```

応答：

```
{"schemas":
  [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group",
    'urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:custom:2.0:Group'
  ],
  "id":"e0140d671bbe3010593876a61a4bcb11",
  "externalId":"8ae5dc9e-c7ad-4d3d-a152-35a6b6222b83",
  "meta":{
    "resourceType":"Group",
    "created":"2021-09-30T18:20:43Z",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "lastModified":"2021-09-30T21:19:40Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Groups/e0140d671bbe3010593876a61a4bc
b11"
  },
  "displayName":"HR Team",
  "members":[
    {
      "value":"a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
      "display":"Abraham Lincoln",
      "$ref":
 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0b
fc8bcbe5df1"
    }
  ],
  "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:Group": {
    "company": {
      "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
      "name": "ACME Japan",
      "$ref":
 "http://192.168.1.25:8080/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb42a4265
68fc87a63"
    }
  }
}
```


SCIM - DELETE /scim/Users/{user_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブルから指定されたユーザーレコードを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users/{user_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	削除するユーザーレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	コンテンツがありません。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明

errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。
	データタイプ：オブジェクト
	`"errors": {`
	`  "details": "String",`
	`  "schemas": "String",`
	`  "scimType": "String",`
	`  "status": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例は、ユーザー [sys_user] テーブルからユーザーレコードを削除する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/b7c5015f778330102e8cc5179e5a9992" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/scim+json"  \
```

SCIM - GET /scim/Users

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のユーザー [sys_user] テーブルから 1 つ以上のユーザーレコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	excludedAttributes パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。 デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はサポートされていません。 たとえば、名前が「Jo」で始まるすべてのユーザーをフィルタリングするには、「`userName SW "jo"`」と入力します (大文字と小文字を区別しません)。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「Jo」で始まり、姓に「smi」が含まれているすべてのユーザーをフィルタリングするには、「`userName SW "john" AND name.familyName CO "smi"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 フィルターで使用できるのは次の SCIM ユーザーフィールドのみです。前述のとおり、一部は固定形式のみをサポートしています。 • active • addresses - 次のような固定形式のみ： ◦ [type eq "home" and streetAddress eq "xxxx"] ◦ [type eq "home" and locality eq "xxxx"] ◦ [type eq "home" and region eq "xxxx"] ◦ [type eq "home" and postalCode eq "xxxx"] ◦ [type eq "home" and country eq "xxxx"] • displayName • emails - [type eq "work" and value eq "emailValue"] などの固定形式のみ • externalId - `EQ` 演算子のみがサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• id • meta.created • meta.lastModified • name.familyName • name.givenName • name.middleName • preferredLanguage • phoneNumbers - 次のような固定形式のみ： ◦ [type eq “work” and value eq “xxxx”] ◦ [type eq “mobile” and value eq “xxxx”] ◦ [type eq “home” and value eq “xxxx”] • timezone • title • userName • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:employeeNumber • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:gender • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:department.name • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:department.value • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:manager.displayName • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:manager.value • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:costCenter.name • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:costCenter.value • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:company.name • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:company.value • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:location.name • urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User:location.value データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングに使用できるパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 また、次のドット連結パラメーターのみがサポートされています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• *addressess* - 次の値のみが許可されています。 ◦ *addresses.streetAddress* - 自宅の番地にマップします。 ◦ *addresses.home.streetAddress* ◦ *addresses.locality* - ローカルに自宅にマップします。 ◦ *addresses.home.locality* ◦ *addresses.region* - 自宅のリージョンにマップします。 ◦ *addresses.home.region* ◦ *addresses.postalCode* - 自宅の郵便番号にマップします。 ◦ *addresses.home.postalCode* ◦ *addresses.country* - 自国にマップします。 ◦ *addresses.home.country* • *emails* - 次の値のみが許可されています。 ◦ *emails.value* - メールタイプの仕事にマップします。 ◦ *emails.work.value* • *phoneNumbers* - 次の値のみが許可されています。 ◦ *phoneNumbers.value* - 電話番号タイプの仕事にマップします。 ◦ *phoneNumbers.home.value* ◦ *phoneNumbers.mobile.value* ◦ *phoneNumbers.work.value* null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートは実行されません
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列 デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するユーザー [sys_user] テーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 *id* パスパラメーターでは無効です。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値
リソース	ユーザーレコードリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"Resources": [{ "active": Boolean, "addresses": {Object}, "displayName": "String", "emails": [Array], "externalId": "String", "groups": [Array], "id": "String", "meta": {Object}, "name": {Object}, "phoneNumbers": [Array], "preferredLanguage": "String", "schemas": [Array], "timezone": "String", "title": "String", "userName": "String", "userType": "String" }]`
Resources.active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。 データタイプ：ブール
Resources.adresses	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェクト
	`"addresses": {`
	`  "country": "String",`
	`  "locality": "String",`
	`  "postalCode": "String",`
	`  "region": "String",`
	`  "streetAddress": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

Resources.addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
Resources.addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
Resources.addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
Resources.addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
Resources.addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
Resources.addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
Resources.displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *name* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

Resources.emails	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	`"emails:" [`
	`  {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

Resources.emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
Resources.emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列
Resources.externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
Resources.groups	直接メンバーシップ、ネストされたグループ、または動的な計算を介してユーザーが属しているグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"groups": [ { "display": "String", "type": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
Resources.groups.display	関連付けられたグループの名前。 データタイプ：文字列
Resources.groups.type	直接または間接など、グループの関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
Resources.groups.value	関連付けられたグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
Resources.groups.ref	関連付けられたグループの URI。 データタイプ：文字列
Resources.id	関連付けられたユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
Resources.meta	ユーザーに関するメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": String", "resourceType": String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
Resources.meta.created	ユーザーレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	ユーザーレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.location	取得されるユーザーの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM ユーザーのリソースタイプ。 データタイプ：文字列
Resources.name	ユーザーの名前情報。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "familyName": "String", "givenName": "String", "honorificPrefix": "String", "middleName": "String" }`
Resources.name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列
Resources.name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
Resources.name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
Resources.name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列
Resources.phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"phoneNumbers": [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
Resources.phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
Resources.phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。 データタイプ：文字列
Resources.preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	要求の処理に使用される SCIM ユーザースキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
Resources.timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
Resources.title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
Resources.userName	関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列
Resources.userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM ListResponse スキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
startIndex	レコードが返されたユーザー [sys_user] テーブルの 1 ベースのインデックス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

返される拡張パラメーター

名前	説明
company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.value	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"costCenter": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
costCenter.display	コストセンターの名前 データタイプ：文字列
costCenter.value	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter.$ref	コストセンターの参照 URI。 データタイプ：文字列
department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"department": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
department.display	部門の名前。 データタイプ：文字列
department.value	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
department.$ref	部門の参照 URI。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列
location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
location.display	場所の名前。 データタイプ：文字列
location.value	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
location.$ref	場所の参照 URI。 データタイプ：文字列
manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"manager": { "display": "String", "value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"$ref": "String" }
manager.display	マネージャーの名前。 データタイプ：文字列
manager.value	マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
manager.$ref	マネージャーの参照 URI。 データタイプ：文字列

Example: 属性を使用した cURL 要求

次の例は、6 番目のレコードから始まり、表示名のみを返す 2 人のユーザーを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users?attributes=displayName&startIndex=6&count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：


```
{"schemas":
  ["urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"],
  "totalResults":619,
  "Resources":
    [
      {
        "schemas":
          [
            "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
            "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
          ],
        "id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d6d",
        "displayName":"Sean Bonnet"
      },
      {
        "schemas":
          [
            "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
            "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
           ],
         "id":"02826bf03710200044e0bfc8bcbe5d76",
         "displayName":"Jacinto Gawron"
      }
    ],
  "startIndex":6,
  "itemsPerPage":2
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: フィルターを使用した cURL 要求

次の例は、*filter*パラメーターを使用して、名が「a」で始まる最初の 2 つのユーザーレコードを返す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users?filter=name.givenN
ame%20SW%20%22a%22&count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{"schemas":
  ["urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"],
  "totalResults":42,
  "Resources":
    [
      {
        "schemas":
          [
            "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
            "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
          ],
        "id":"06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d8a",
        "meta":
          {
            "resourceType":"User",
            "created":"2012-02-18T03:04:50Z",
            "lastModified":"2021-10-01T14:23:32Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/06826bf03710200044e0bfc8bcbe5d
8a"
          },
          "userName":"allyson.gillispie",
          "name":
            {
              "familyName":"Gillispie",
              "givenName":"Allyson"
            },
          "displayName":"Allyson Gillispie",
          "active":true,
          "emails":
            [
              {
                "value":"allyson.gillispie@example.com",
                "type":"work"
              }
            ],
          "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User":
            {
              "gender":"Female",
              "costCenter":
                {
                  "value":"d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
                  "name":"Engineering"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                },
              "company":
                {
                  "value":"31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
                  "name":"ACME North America"
                },
              "department":
                {
                  "value":"221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
                  "name":"Development"
                },
              "location":
                {
                  "value":"f9084ba00a0a0b910060ba2ce83f882b",
                  "name":"946 Donax Avenue, Imperial Beach,CA"
                }
            }
         },
      {
        "schemas":
          [
            "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
            "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
          ],
        "id":"0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d7a"
        "meta":
          {
            "resourceType":"User",
            "created":"2012-02-18T03:04:50Z",
            "lastModified":"2021-10-01T14:23:32Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/0a826bf03710200044e0bfc8bcbe5d
7a"
          },
        "userName":"adela.cervantsz",
        "name":
          {
            "familyName":"Cervantsz",
            "givenName":"Adela"
          },
        "displayName":"Adela Cervantsz",
        "active":true,
        "emails":
          [
            {
              "value":"adela.cervantsz@example.com",
              "type":"work"
            }
          ],
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User":
          {
            "gender":"Female",
            "costCenter":
              {
                "value":"91e8bbf43710200044e0bfc8bcbe5daa",
                "name":"Customer Support"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
          "company":
            {
              "value":"31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec",
              "name":"ACME North America"
            },
          "department":
            {
              "value":"5d7f17f03710200044e0bfc8bcbe5d43",
              "name":"Customer Support"
            },
          "location":
            {
              "value":"25ab93750a0a0bb30067bd2ef3d4a5c9",
              "name":"8306 Mills Drive, Miami,FL"
            }
        }
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":2
}
```


SCIM - GET /scim/Users/{user_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のユーザー [sys_user] テーブルから指定されたユーザーレコードを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users/{user_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	返されるユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。 データタイプ：ブール
住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"addresses": { "country": "String", "locality": "String", "postalCode": "String", "region": "String", "streetAddress": "String", "type": "String" }`
addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *`name`* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列
メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"emails:" [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。 データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
groups	直接メンバーシップ、ネストされたグループ、または動的な計算を介してユーザーが属しているグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"groups": [ { "display": "String", "type": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
groups.display	関連付けられたグループの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
groups.type	直接または間接など、グループの関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
groups.value	関連付けられたグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
groups.$ref	関連付けられたグループの URI。 データタイプ：文字列
id	関連付けられたユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

meta	ユーザーに関するメタデータ。
	データタイプ：オブジェクト
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": String",`
	`  "resourceType": String"`
	`}`

meta.created	ユーザーレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	ユーザーレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるユーザーの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM ユーザーのリソースタイプ。 データタイプ：文字列

name	ユーザーの名前情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`"name": {`
	`  "familyName": "String",`
	`  "givenName": "String",`
	`  "honorificPrefix": "String",`
	`  "middleName": "String"`
	`}`

name.familyName	ユーザーの姓。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列
phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"phoneNumbers": [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。 データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM ユーザースキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列

返される拡張パラメーター

名前	説明
company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.value	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"costCenter": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
costCenter.display	コストセンターの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
costCenter.value	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter.$ref	コストセンターの参照 URI。 データタイプ：文字列
department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"department": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
department.display	部門の名前。 データタイプ：文字列
department.value	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
department.$ref	部門の参照 URI。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列
location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
location.display	場所の名前。 データタイプ：文字列
location.value	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
location.$ref	場所の参照 URI。 データタイプ：文字列

manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"manager": {`
	`  "display": "String",`
	`  "value": "String",`
	`  "$ref": "String"`
	`}`

manager.display	マネージャーの名前。 データタイプ：文字列
manager.value	マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
manager.$ref	マネージャーの参照 URI。 データタイプ：文字列

Example: ユーザー sys_id を使用した cURL 要求

次の例は、sys_id を渡して特定のユーザーレコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0
bfc8bcbe5df1" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{"schemas":
  [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
  ],
    "id":"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
    "meta":
      {
        "resourceType":"User",
        "created":"2012-02-18T03:04:52Z",
        "lastModified":"2021-10-01T14:23:34Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/62826bf03710200044e0bfc8bcbe5d
f1"
      },
    "userName":"abel.tuter",
    "name":
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
        "familyName":"Tuter",
        "givenName":"Abel"
      },
    "displayName":"Abel Tuter",
    "active":true,
    "emails":[
      {
        "value":"abel.tuter@example.com",
        "type":"work"
      }
    ],
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User":
      {
        "gender":"Male",
        "costCenter":
          {
            "value":"d9d07bddc0a80a647cf932056ed24652",
            "name":"Engineering"
          },
        "company":
          {
            "value":"227cdfb03710200044e0bfc8bcbe5d6b",
            "name":"ACME South America"
          },
        "department":
          {
            "value":"9a7ed3f03710200044e0bfc8bcbe5db7",
            "name":"Product Management"
           },
        "location":
          {
            "value":"25b3d04b0a0a0bb300176b546c22db27",
            "name":"SHS quadra 5, Bloco E., Brasilia"}
          }
      }
```


SCIM - PATCH /scim/Users/{user_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブル内のユーザーレコードの指定されたフィールドを追加、置き換え、および削除できます。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users/{user_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
user_id	変更するユーザーレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
Operations	必須です。指定されたユーザーレコードにパッチを適用する操作オブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"Operations": [ { "op": "String", "path": "String", "value": Any } ]`
Operations.op	必須です。実行する操作。 有効な値： • add：指定されたフィールドと値をユーザーレコードに追加します。 • remove：指定されたフィールドから値を削除します。 • replace：指定されたフィールドの値を置き換えます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
Operations.path	`remove` 操作の場合は必須です。変更するフィールドの名前/パス。 *path* パラメーターは、次のいずれかの形式にすることができます。 • 直接フィールド (`title` など) • ネストされたフィールド (`name.givenName` など) • 複合アレイの場合は、フィルターのある特定の要素をポイントできます (例：`emails[type eq "work"]`) `{ "schemas": [ "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp" ], "Operations": [ { "op": "add", "path": "title", "value": "xyz" }, { "op": "replace", "path": "name.givenName", "value": "Jennifer" }, { "op": "replace", "path": "emails[type eq \"work\"]", "value": "xyz@test.com" } ] }` データタイプ：文字列 デフォルト：フィールドをユーザーリソースと見なします。
Operations.value	*Operations.path* パラメーターで指定されたフィールドの値。このパラメーターの形式は、関連するフィールドのデータ タイプによって異なります。 たとえば、タイトルなどの単純な文字列を更新する場合、*value* フィールドは文字列として表されます。 `"Operations": [ { "op": "add", "path": "title", "value": "xyz" } ]` 次のように、*value* または *path* パラメーターを使用せずに単純な文字列値を宣言することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"Operations": [
	  {
	    "op": "add",
	    "title": "xyz"
	  }
	]</pre>
	ただし、ユーザーレコードに追加する追加フィールドとその関連値を定義するオブジェクトを含むアレイである電話番号を更新する場合、*value* フィールドはオブジェクトのアレイとして表されます。
	<pre>"Operations": [
	  {
	    "op": "add",
	    "path": "phoneNumbers",
	    "value": [
	      {
	        "type": "work",
	        "value": "9876543210"
	      },
	      {
	        "type": "home",
	        "value": "9876783216"
	      }
	    ]
	  }
	]</pre>
	属性ノードを指定する場合、エントリには次のようにネストを含めることができます。
	<pre>{
	  "op": "replace",
	  "value": {
	    "name": {
	      "familyName": "Jones",
	      "givenName": "Jennifer"
	    }
	  }
	}</pre>
	または、*Operations.path* でネストを指定することもできます。
	<pre>{
	  "op": "replace",
	  "path": "name.givenName",
	  "value": "Jennifer"
	}</pre>
	更新されるフィールドがベーススキーマにない場合は、関連するスキーマの URN を指定するオブジェクトで名前と値のペアを囲む必要があります。
	<pre>"value": {
	  "<schema_urn>": {</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"<field_name>": "<new_value>"
	},
	}</pre>
	例：
	<pre>"value": {
	
	"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User": {
	"employeeNumber": "13454"
	},
	}</pre>
	データタイプ：任意

Operations.value.type	更新するフィールドの名前。 データタイプ：文字列
Operations.value.value	フィールドを更新する値。 データタイプ：文字列
schemas	必須です。パッチ操作の SCIM スキーマ URI `urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp`。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • 次の無効な値を確認します。 ◦ 要求本文が正しくありません。 ◦ 必須フィールドが指定されていないか、空です。 ◦ 無効なユーザーまたはグループ sys_id が指定されました。 • 読み取り専用または不変のフィールドの変更が試みられているかどうかを確認します。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないこと、または要求が最大メンバー数を超えていないことを確認してください。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	ユーザーが既に存在しています *userName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。 データタイプ：ブール

住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"addresses": {`
	`"country": "String",`
	`"locality": "String",`
	`"postalCode": "String",`
	`"region": "String",`
	`"streetAddress": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "type": "String" }</pre>
addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *name* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"emails:" [
	  {
	  "type": "String",
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。 データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列
errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"errors": {
	  "details": "String",
	  "schemas": "String",
	  "scimType": "String",
	  "status": "String"
	}</pre>

errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

groups	直接メンバーシップ、ネストされたグループ、または動的な計算を介してユーザーが属しているグループのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"groups": [
	  {
	  "display": "String",
	  "type": "String",
	  "value": "String",
	  "$ref": "String"
	  }
	]</pre>

groups.display	関連付けられたグループの名前。 データタイプ：文字列
groups.type	直接または間接など、グループの関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
groups.value	関連付けられたグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
groups.$ref	関連付けられたグループの URI。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
id	関連付けられたユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
meta	ユーザーに関するメタデータ。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": String", "resourceType": String" }`
meta.created	ユーザーレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	ユーザーレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるユーザーの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM ユーザーのリソースタイプ。 データタイプ：文字列
name	ユーザーの名前情報。 データタイプ：オブジェクト `"name": { "familyName": "String", "givenName": "String", "honorificPrefix": "String", "middleName": "String" }`
name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"phoneNumbers": [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。 データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM ユーザースキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 外部 • 不明 データタイプ：文字列

返される拡張パラメーター

名前	説明
company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.value	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"costCenter": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
costCenter.display	コストセンターの名前 データタイプ：文字列
costCenter.value	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter.$ref	コストセンターの参照 URI。 データタイプ：文字列
department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"department": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
department.display	部門の名前。 データタイプ：文字列
department.value	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
department.$ref	部門の参照 URI。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列
location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
location.display	場所の名前。 データタイプ：文字列
location.value	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
location.$ref	場所の参照 URI。 データタイプ：文字列
manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"manager": { "display": "String", "value": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "$ref": "String" }</pre>
manager.display	マネージャーの名前。 データタイプ：文字列
manager.value	マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
manager.$ref	マネージャーの参照 URI。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ユーザーレコード内の値を追加、削除、および置き換える方法を示しています。

```
curl -X PATCH \

 https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/005d500b536073005e0ad
deeff7b12f4 \
  -d '{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:PatchOp"
  ],
  "Operations": [
    {
      "op" : "remove",
      "path" : "title"
    },
    {
      "op" : "add",
      "path" : "phoneNumbers",
      "value" : [
        {
          "type" : "work",
          "value" : "9876543210"
        }
      ]
    },
    {
      "op": "replace",
      "value": {
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User": {
            "employeeNumber": "13454"
        },
        "name": {
            "familyName": "John",
            "givenName": "Smith"
        }
      }
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ]
}'
```

応答：

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
  ],
  "id":"005d500b536073005e0addeeff7b12f4",
  "meta":{
    "resourceType":"User",
    "created":"2019-04-05T21:09:12Z",
    "lastModified":"2021-10-12T18:29:27Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/005d500b536073005e0addeeff7b12
f4"
  },
  "userName":"survey.user",
  "name":{
    "familyName":"John",
    "givenName":"Smith"
  },
  "displayName":"Smith John",
  "active":true,
  "emails":[
    {
      "value":"survey.user@email.com",
      "type":"work"
    }
  ],
  "phoneNumbers":[
    {
      "value":"9876543210",
      "type":"work"
    }
  ],
  "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User":{
    "employeeNumber":"13454"
  }
}
```

SCIM - POST /scim/Users

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブルにユーザーレコードを作成します。

注: RFC7643 仕様に記載されている検索および一括変更機能は、このエンドポイントではサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。 データタイプ：ブール
住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"addresses": { "country": "String", "locality": "String", "postalCode": "String", "region": "String", "streetAddress": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	<pre> "type": "String" }</pre>
addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *`name`* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"emails:" [
	  {
	  "type": "String",
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>

emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。 データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

name	ユーザーの名前情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`  "familyName": "String",`
	`  "givenName": "String",`
	`  "honorificPrefix": "String",`
	`  "middleName": "String"`
	`}`

name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列

phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"phoneNumbers": [`
	`  {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	必須です。 関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列
拡張スキーマ	

company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"company": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

company.value	会社が投稿に含まれている場合は必須です。 会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	`"costCenter": { "value": "String" }`
costCenter.value	costCenter が投稿に含まれている場合は必須です。 コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"department": { "value": "String" }`
department.value	部門が投稿に含まれている場合は必須です。 部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列
location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "value": "String" }`
location.value	場所が投稿に含まれている場合は必須です。 場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"manager": { "value": "String" }`
manager.value	マネージャーが投稿に含まれている場合は必須です。 マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
409	ユーザーが既に存在しています *userName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール

住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"addresses": {`
	`  "country": "String",`
	`  "locality": "String",`
	`  "postalCode": "String",`
	`  "region": "String",`
	`  "streetAddress": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *name* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"emails:" [`
	`  {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列
errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。 データタイプ：オブジェクト `"errors": { "details": "String", "schemas": "String", "scimType": "String", "status": "String" }`
errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
groups	直接メンバーシップ、ネストされたグループ、または動的な計算を介してユーザーが属しているグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"groups": [ { "display": "String", "type": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
groups.display	関連付けられたグループの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
groups.type	直接または間接など、グループの関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
groups.value	関連付けられたグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
groups.$ref	関連付けられたグループの URI。 データタイプ：文字列
id	関連付けられたユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

meta	ユーザーに関するメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": String",`
	`  "resourceType": String"`
	`}`

meta.created	ユーザーレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	ユーザーレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるユーザーの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM ユーザーのリソースタイプ。 データタイプ：文字列

name	ユーザーの名前情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`  "familyName": "String",`
	`  "givenName": "String",`
	`  "honorificPrefix": "String",`
	`  "middleName": "String"`
	`}`

name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列
phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"phoneNumbers": [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。 データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM ユーザースキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列

Example: POST ユーザーへの cURL 要求

この例は、ユーザー [sys_user] テーブルにユーザー Jack Sparrow を POST する方法を示しています。

```
curl -X POST \
  https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users \
  -d '{
    "schemas": [
        "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
    ],
    "externalId": "123456",
    "userName": "jack.sparrow",
    "name": {
        "familyName": "Sparrow",
        "givenName": "Jack"
    },
    "title": "Senior Developer",
    "preferredLanguage": "en",
    "timezone": "ET",
    "active": true,
    "emails": [
      {
        "value": "jack.sparrow@abc.com",
        "display": null,
        "type": "work",
        "primary": true
      }
    ],
    "phoneNumbers": [
      {
        "value": "9977553312",
        "type": "mobile",
        "primary": true
      }
    ]
}'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答


```
{"schemas":
  [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
  ],
  "id":"d6287d7b1bbe3010593876a61a4bcbc3",
  "externalId":"123456",
  "meta":{
    "resourceType":"User",
    "created":"2021-10-01T16:46:48Z",
    "lastModified":"2021-10-01T16:46:48Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/d6287d7b1bbe3010593876a61a4bcb
c3"
  },
  "userName":"jack.sparrow",
  "name":{
    "familyName":"Sparrow",
    "givenName":"Jack"
  },
  "displayName":"Jack Sparrow",
  "title":"Senior Developer",
  "preferredLanguage":"en",
  "timezone":"ET",
  "active":true,
  "emails":[
    {
      "value":"jack.sparrow@abc.com",
      "type":"work"
    }
  ],
  "phoneNumbers":[
    {
      "value":"9977553312",
      "type":"mobile"
    }
  ]
}
```


SCIM - PUT /scim/Users/{user_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブルの指定されたユーザーレコードを更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Users/{user_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Users/{user_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
user_id	更新するユーザーレコードの sys_id。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *`excludedAttributes`* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*`excludedAttributes`* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *`attributes`* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。 データタイプ：ブール

住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"addresses": {`
	`"country": "String",`
	`"locality": "String",`
	`"postalCode": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"region": "String",
	"streetAddress": "String",
	"type": "String"
	}</pre>

addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *`name`* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"emails:" [
	{
	"type": "String",
	"value": "String"
	}
	]</pre>

emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。 データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列

name	ユーザーの名前情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`  "familyName": "String",`
	`  "givenName": "String",`
	`  "honorificPrefix": "String",`
	`  "middleName": "String"`
	`}`

name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列

phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"phoneNumbers": [`
	`  {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	必須です。 関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列
拡張スキーマ	

company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"company": {`
	`  "value": "String"`
	`}`

company.value	会社が投稿に含まれている場合は必須です。 会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"costCenter": {
	  "value": "String"
	}</pre>

costCenter.value	costCenter が投稿に含まれている場合は必須です。 コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"department": {
	  "value": "String"
	}</pre>

department.value	部門が投稿に含まれている場合は必須です。 部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列

location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"location": {
	  "value": "String"
	}</pre>

location.value	場所が投稿に含まれている場合は必須です。 場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"manager": {
	  "value": "String"
	}</pre>

manager.value	マネージャーが投稿に含まれている場合は必須です。 マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
409	ユーザーが既に存在しています *userName* パラメーターは一意である必要があります。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
active	関連するユーザーが ServiceNow インスタンス内でアクティブかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ユーザーはアクティブです。 • false：ユーザーは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール

住所	ユーザーの現在のメールアドレスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"addresses": {`
	`  "country": "String",`
	`  "locality": "String",`
	`  "postalCode": "String",`
	`  "region": "String",`
	`  "streetAddress": "String",`
	`  "type": "String"`
	`}`

addresses.country	国名。 データタイプ：文字列
addresses.locality	市区町村名。 データタイプ：文字列
addresses.postalCode	郵便番号。 データタイプ：文字列
addresses.region	都道府県。 データタイプ：文字列
addresses.streetAddress	完全な所在地住所。これには、家屋番号、番地、私書箱、および複数行の拡張された所在地住所情報を含めることができます。 データタイプ：文字列
addresses.type	住所のタイプ。現在は `home` のみをサポートしています。 データタイプ：文字列
displayName	ユーザーの表示名。この値は、 *name* フィールドを連結することによって自動的に生成されます。 データタイプ：文字列

メール	ユーザーに関連付けられているメールアカウントのリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"emails:" [`
	`  {`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`  }`
	`]`

emails.type	ユーザーのメールタイプ。現在、「work」のタイプのみがサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
emails.value	ユーザーのメールアドレス。これは関連付けられたユーザーの一意のキーです。 データタイプ：文字列
errors	要求の処理中に発生した可能性のあるエラーを説明する応答。 データタイプ：オブジェクト `"errors": { "details": "String", "schemas": "String", "scimType": "String", "status": "String" }`
errors.detail	要求が失敗した理由に関する詳細なエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
errors.scimType	SCIM エラーの詳細キーワード。 データタイプ：文字列
errors.schemas	エラー応答の処理に使用される SCIM スキーマの URI。 データタイプ：文字列のアレイ
errors.status	エラー応答の HTTP ステータスコード。 データタイプ：文字列
externalId	ユーザーをプロビジョニングするエンティティによってユーザーにアサインされた一意の識別子。 データタイプ：文字列
groups	直接メンバーシップ、ネストされたグループ、または動的な計算を介してユーザーが属しているグループのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"groups": [ { "display": "String", "type": "String", "value": "String", "$ref": "String" } ]`
groups.display	関連付けられたグループの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
groups.type	直接または間接など、グループの関連付けのタイプ。 データタイプ：文字列
groups.value	関連付けられたグループレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
groups.$ref	関連付けられたグループの URI。 データタイプ：文字列
id	関連付けられたユーザーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

meta	ユーザーに関するメタデータ。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": String",`
	`  "resourceType": String"`
	`}`

meta.created	ユーザーレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	ユーザーレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	取得されるユーザーの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM ユーザーのリソースタイプ。 データタイプ：文字列

name	ユーザーの名前情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"name": {`
	`  "familyName": "String",`
	`  "givenName": "String",`
	`  "honorificPrefix": "String",`
	`  "middleName": "String"`
	`}`

name.familyName	ユーザーの姓。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
name.givenName	ユーザーの名。 データタイプ：文字列
name.honorificPrefix	ユーザーの敬称または役職 (Dr.、Bishop、Baron など)。 データタイプ：文字列
name.middle	ユーザーのミドルネーム。 データタイプ：文字列
phoneNumbers	ユーザーに関連付けられた電話番号のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"phoneNumbers": [ { "type": "String", "value": "String" } ]`
phoneNumbers.type	電話番号のタイプ。 可能な値： • ホーム • mobile • work データタイプ：文字列
phoneNumbers.value	ユーザーの電話番号。 データタイプ：文字列
preferredLanguage	ユーザーの優先される話し/書き言葉。 データタイプ：文字列
schemas	要求の処理に使用される SCIM ユーザースキーマの URI のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
timezone	ユーザーのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
title	ユーザーの役職 (CEO や社長など)。 データタイプ：文字列
userName	関連付けられたユーザーの一意のユーザー名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
userType	ユーザータイプ。この値は、組織とユーザーの関係を識別するために使用されます。 これは任意の値にできますが、一般的な値には次のようなものがあります。 • 契約社員 • 従業員 • インターン • 一時 • 外部 • 不明 データタイプ：文字列

返される拡張パラメーター

名前	説明
company	ユーザーの関連する会社に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"company": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
company.display	会社の名前 データタイプ：文字列
company.value	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
company.$ref	会社の参照 URI。 データタイプ：文字列
costCenter	ユーザーの関連するコストセンターに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"costCenter": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
costCenter.display	コストセンターの名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
costCenter.value	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
costCenter.$ref	コストセンターの参照 URI。 データタイプ：文字列
department	ユーザーの関連する部門に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"department": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
department.display	部門の名前。 データタイプ：文字列
department.value	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
department.$ref	部門の参照 URI。 データタイプ：文字列
employeeNumber	数値または英数字の従業員番号。 データタイプ：文字列
gender	ユーザーの性別 (男性、女性など)。 データタイプ：文字列
location	ユーザーの関連する場所に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "display": "String", "value": "String", "$ref": "String" }`
location.display	場所の名前。 データタイプ：文字列
location.value	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
location.$ref	場所の参照 URI。 データタイプ：文字列

manager	ユーザーの関連するマネージャーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"manager": {`
	`  "display": "String",`
	`  "value": "String",`
	`  "$ref": "String"`
	`}`

manager.display	マネージャーの名前。 データタイプ：文字列
manager.value	マネージャーレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
manager.$ref	マネージャーの参照 URI。 データタイプ：文字列

Example: PUT を使用してユーザー情報を更新する cURL 要求

この例は、PUT エンドポイントを使用して既存のユーザーの情報を更新する方法を示しています。

```
curl -X PUT \

 https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/cdfef423e0423010f8778
ac6d674f5ae \
  -d '{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
  ],
  "externalId": "123457",
  "userName": "john.Doe",
  "name": {
    "familyName": "Doe",
    "givenName": "John"
  },
  "title": "Sir",
  "preferredLanguage": "en",
  "timezone": "ET",
  "active": true,
  "emails": [
    {
      "value": "john.doe@abc.com",
      "display": null,
      "type": "work",
      "primary": true
    }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  ],
  "phoneNumbers": [
    {
      "value": "9977553312",
      "type": "mobile",
      "primary": true
    }
  ],
  "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User": {
    "gender": "Male",
    "employeeNumber" : "13453",
    "location" : {
      "value" : "0002c0a93790200044e0bfc8bcbe5df5"
    },
    "company" : {
      "value" : "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63"
    },
    "costCenter" : {
      "value" : "7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf"
    },
    "department" : {
      "value":"221db0edc611228401760aec06c9d929"
    }
  }
}'
```

応答

```
{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"
  ],
  "id": "b7c5015f778330102e8cc5179e5a9992",
  "externalId": "123457",
  "meta": {
    "resourceType": "User",
    "created": "2021-10-12T10:05:32Z",
    "lastModified": "2021-10-12T10:08:04Z",
    "location":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/b7c5015f778330102e8cc
5179e5a9992"
  },
  "userName": "john.doe",
  "name": {
    "familyName": "Doe",
    "givenName": "John"
  },
  "displayName": "John Doe",
  "title": "Sir",
  "preferredLanguage": "en",
  "timezone": "ET",
  "active": true,
  "emails": [
    {
      "value": "tony.stark@abc.com",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "type": "work"
    }
  ],
  "phoneNumbers": [
    {
      "value": "9977553312",
      "type": "mobile"
    }
  ],
  "urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User": {
    "employeeNumber": "13453",
    "gender": "Male",
    "costCenter": {
      "value": "7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf",
      "name": "Sales",
      "$ref":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a80a6
d30c04574d14c0acf"
    },
    "company": {
      "value": "81fd65ecac1d55eb42a426568fc87a63",
      "name": "ACME Japan",
      "$ref":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/81fd65ecac1d55eb4
2a426568fc87a63"
    },
    "department": {
      "value": "221db0edc611228401760aec06c9d929",
      "name": "Sales",
      "$ref":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611228
401760aec06c9d929"
    },
    "manager": {
      "value": "7027fda8773230102e8cc5179e5a99ea",
      "displayName": "Jack Sparrow",
      "$ref":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Users/7027fda8773230102e8cc
5179e5a99ea"
    },
    "location": {
      "value": "0002c0a93790200044e0bfc8bcbe5df5",
      "name": "2-10-1 Yurakucho, Chiyoda-ku, Tokyo",
      "$ref":

 "http://instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations/0002c0a9379020004
4e0bfc8bcbe5df5"
    }
  }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCIM - GET /scim/ResourceTypes

関連する ServiceNow インスタンスでサポートされているすべてのクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) リソースタイプに関する情報を取得します。

これはパブリックエンドポイントであり、アクセスするためにロールは必要ありません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/ResourceTypes`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/ResourceTypes`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値
Resources	利用可能なリソースタイプのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"Resources": [ { "description": "String", "endpoint": "String", "id": "String", "meta": {Object}, "name": "String", "schema": "String" "schemas": [Array], "schemaExtensions": [Array] } ]`
Resources.description	リソースタイプの簡単な説明。 データタイプ：文字列
Resources.endpoint	サービスプロバイダーのベース URL に相対的な HTTP アドレス可能なエンドポイントの名前 (「Users」など)。 データタイプ：文字列
Resources.id	リソースの一意の識別子。GET /scim/ResourceType/{resource_id} エンドポイントを呼び出すときに、この属性を使用します。 データタイプ：文字列
Resources.meta	関連付けられたリソースをさらに説明する情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"metadata": { "location": "String", "resourceType": "String" }`
Resources.meta.location	関連付けられた ServiceNow インスタンス上の関連付けられたリソースタイプの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	常に「ResourceType」。 データタイプ：文字列
Resources.name	ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。 データタイプ：文字列
Resources.schema	リソースタイプのプライマリ/ベーススキーマ URI。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"`。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	`/ResourceType` 要求を処理するために使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"` データタイプ：文字列
Resources.schemaExtensions	関連するリソースタイプに適用されるスキーマ拡張のリスト。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User"`。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"schemaExtensions": { "required": Boolean, "schema": "String" }`
Resources.schemaExtensions.required	リソースタイプにスキーマ拡張が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：このタイプのリソースには、このスキーマ拡張が含まれている必要があり、さらにこのスキーマ拡張で必須として宣言された属性が含まれている必要があります。 • false：このタイプのリソースはこのスキーマ拡張を省略できます。 データタイプ：ブール
Resources.schemaExtensions.schema	拡張スキーマの URI。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User"`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
schemas	要求に対するリスト応答の処理に使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"` データタイプ：文字列
startIndex	レコードが取得されたリソーステーブルへの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次の例は、ServiceNow インスタンスでサポートされている SCIM リソースタイプを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":6,
  "Resources":[
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"User",
      "name":"User",
      "description":"User Account",
      "endpoint":"/Users",
      "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User",
      "schemaExtensions":[
        {

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:enterprise:2.0:User",
          "required":false
        },
        {

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
          "required":false
        }
      ],
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/User"
      }
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"Group",
      "name":"Group",
      "description":"Group",
      "endpoint":"/Groups",
      "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.service-now.com/api/now/scim/ResourceTypes/Group"
      }
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"Company",
      "name":"Company",
      "description":"Company",
      "endpoint":"/Companies",

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Company",
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/Company"
      }
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"Department",
      "name":"Department",
      "description":"Department",
      "endpoint":"/Departments",

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Departmen
t",
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/Department"
      }
    },
    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"CostCenter",
      "name":"CostCenter",
      "description":"CostCenter",
      "endpoint":"/CostCenters",

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCente
r",
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/CostCenter"
      }
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
      ],
      "id":"Location",
      "name":"Location",
      "description":"Location",
      "endpoint":"/Locations",

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location",
      "meta":{
        "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/Location"
      }
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":6
}
```


SCIM - GET /scim/ResourceTypes/{ResourceName}

指定されたクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) リソースタイプに関する情報を取得します。

これはパブリックエンドポイントであり、アクセスするためにロールは必要ありません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/ResourceTypes/{ResourceName}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/ResourceTypes/{ResourceName}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
ResourceName	取得するリソースタイプの一意の ID。 有効な値： • 会社 • CostCenter • 部門 • グループ • 場所 • ユーザー データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
description	リソースタイプの簡単な説明。 データタイプ：文字列
endpoint	サービスプロバイダーのベース URL に相対的な HTTP アドレス可能なエンドポイントの名前 (「Companies」など)。 データタイプ：文字列
id	リソースの一意の識別子。GET /scim/ResourceType/{resource_id} エンドポイントを呼び出すときに、この属性を使用します。 データタイプ：文字列

meta	関連付けられたリソースをさらに説明する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"metadata": {`
	`  "location": "String",`
	`  "resourceType": "String"`
	`}`

meta.location	関連付けられた ServiceNow インスタンス上の関連付けられたリソースタイプの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	常に「ResourceType」。 データタイプ：文字列
name	ユーザーやグループなどのリソースタイプの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
schema	リソースタイプのプライマリ/ベーススキーマ URI。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User"`。 データタイプ：文字列
schemas	`/ResourceType` 要求を処理するために使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"`。 データタイプ：文字列
schemaExtensions	関連するリソースタイプに適用されるスキーマ拡張のリスト。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User"`。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"schemaExtensions": { "required": Boolean, "schema": "String" }`
schemaExtensions.required	リソースタイプにスキーマ拡張が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：このタイプのリソースには、このスキーマ拡張が含まれている必要があり、さらにこのスキーマ拡張で必須として宣言された属性が含まれている必要があります。 • false：このタイプのリソースはこのスキーマ拡張を省略できます。 データタイプ：ブール
schemaExtensions.schema	拡張スキーマの URI。 例：`"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User"`。 データタイプ：文字列
schemas	要求に対するリスト応答の処理に使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"` データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、ServiceNow インスタンスからユーザー SCIM リソースタイプを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/"User" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ResourceType"
  ],
  "id":"User",
  "name":"User",
  "description":"User Account",
  "endpoint":"/Users",
  "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User",
  "schemaExtensions":[
    {

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:servicenow:2.0:User",
      "required":false
    },
    {

 "schema":"urn:ietf:params:scim:schemas:extension:enterprise:2.0:User",
      "required":false
    }
  ],
  "meta":{
    "resourceType":"ResourceType",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/ResourceTypes/User"
  }
}
```


SCIM - GET /scim/Schemas

ServiceNow インスタンスでサポートされているすべてのクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) リソーススキーマに関する情報を取得します。これらのスキーマは、各リソースタイプで使用可能な属性を定義します。

これはパブリックエンドポイントであり、アクセスするためにロールは必要ありません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Schemas`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Schemas`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
標準 RFC7643 で返される結果 (Standard RFC7643 return results)	メソッドは、RFC7643 標準に準拠して結果を返します。詳細については、RFC7643 仕様の「スキーマ定義 (Schema Definition)」 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、ServiceNow インスタンスでサポートされている SCIM スキーマを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Schemas \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":8,
  "Resources":[
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Schema"
      ],
      "id":"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User",
      "name":"User",
      "description":"User Account",
      "attributes":[
        {
          "name":"active",
          "type":"boolean",
          "multiValued":false,
          "description":"A Boolean value indicating the User's
 administrative status.",
          "required":false,
          "caseExact":true,
          "mutability":"readWrite",
          "returned":"default",
          "uniqueness":"none"
        },
        {
          "name":"addresses",
          "type":"complex",
          "subAttributes":[
            {
              "name":"country",
              "type":"string",
              "multiValued":false,
              "description":"The country name component.",
              "required":false,
              "caseExact":false,
              "mutability":"readWrite",
              "returned":"default",
              "uniqueness":"none"
            },
            {
              "name":"formatted",
              "type":"string",
              "multiValued":false,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "description":"The full mailing address, formatted
for display or use with a mailing label. This attribute MAY contain
newlines.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readWrite",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          },
          {
            "name":"locality",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The city or locality component.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readWrite",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          },
          {
            "name":"postalCode",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The zipcode or postal code component.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readWrite",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          },
          {
            "name":"primary",
            "type":"boolean",
            "multiValued":false,
            "description":"A Boolean value indicating the 'primary' or
              preferred attribute value for this attribute, e.g., the
preferred address.
              The primary attribute value 'true' MUST appear no more
than once.",
            "required":false,
            "caseExact":true,
            "mutability":"readWrite",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          },
          {
            "name":"region",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The state or region component.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readWrite",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            {
              "name":"streetAddress",
              "type":"string",
              "multiValued":false,
              "description":"The full street address component, which may
include house number,
                street name, PO BOX, and multi-line extended street
address information. This
                attribute MAY contain newlines.",
              "required":false,
              "caseExact":false,
              "mutability":"readWrite",
              "returned":"default",
              "uniqueness":"none"
            },
            {
              "name":"type",
              "type":"string",
              "multiValued":false,
              "description":"A label indicating the attribute's function;
e.g., 'work' or 'home'.",
              "required":false,
              "canonicalValues":["other","work","home"],
              "caseExact":false,
              "mutability":"readWrite",
              "returned":"default",
              "uniqueness":"none"
            }
          ],
          "multiValued":true,
          "description":"Physical mailing addresses for this User.",
          "required":false,
          "caseExact":true,
          "mutability":"readWrite",
          "returned":"default",
          "uniqueness":"none"
        },
.
.
.
      {
        "schemas":[
          "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Schema"
        ],

"id":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Department",
        "name":"Department",
        "description":"Department",
        "attributes":[
          {
            "name":"name",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The name of the department.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readOnly",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          }
        ],
        "meta":{
          "resourceType":"Schema",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Schemas/urn:ietf:params:scim:schemas
:custom:servicenow:2.0:Department"
        }
      },
      {
        "schemas":[
          "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Schema"
        ],

 "id":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCenter",
        "name":"CostCenter",
        "description":"CostCenter",
        "attributes":[
          {
            "name":"name",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The name of the cost center.",
            "required":false,
            "caseExact":false,
            "mutability":"readOnly",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          }
        ],
        "meta":
          {
            "resourceType":"Schema",

 "location":"https://
instance.servicenow.com/api/now/scim/Schemas/urn:ietf:params:scim:schemas
:custom:servicenow:2.0:CostCenter"
         }
        },
        {
          "schemas":[
            "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Schema"
          ],

 "id":"urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location",
        "name":"Location",
        "description":"Location",
        "attributes":[
          {
            "name":"name",
            "type":"string",
            "multiValued":false,
            "description":"The location name.",
            "required":false,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "caseExact":false,
            "mutability":"readOnly",
            "returned":"default",
            "uniqueness":"none"
          }
        ],
        "meta":{
          "resourceType":"Schema",

 "location":"https://
instance.servicenow.com/api/now/scim/Schemas/urn:ietf:params:scim:schemas
:custom:servicenow:2.0:Location"
        }
      }
    ],
    "startIndex":1,
  "itemsPerPage":8
}
```


SCIM - GET /scim/Schemas/{SchemaName}

ServiceNow インスタンスでサポートされている指定されたクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) リソーススキーマに関する情報を取得します。これらのスキーマは、各リソースタイプで使用可能な属性を定義します。

これはパブリックエンドポイントであり、アクセスするためにロールは必要ありません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Schemas/{SchemaName}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Schemas/{SchemaName}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
SchemaName	返されるリソーススキーマの URI。 有効な値： • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:User • urn:ietf:params:scim:schemas:extension: enterprise:2.0:User • urn:ietf:params:scim:schemas:extension: servicenow:2.0:User • urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group • urn:ietf:params:scim:schemas:custom: servicenow:2.0:Company • urn:ietf:params:scim:schemas:custom: servicenow:2.0:Department

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	• urn:ietf:params:scim:schemas:custom: servicenow:2.0:CostCenter • urn:ietf:params:scim:schemas:custom: servicenow:2.0:Location データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
標準 RFC7643 で返される結果 (Standard RFC7643 return results)	メソッドは、RFC7643 標準に準拠して結果を返します。詳細については、RFC7643 仕様の「スキーマ定義 (Schema Definition)」 を参照してください。

Example: cURL 要求

次の例は、ServiceNow インスタンスからコアグループ SCIM スキーマを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Schemas/"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Schema"
  ],
  "id":"urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:Group",
  "name":"Group",
  "description":"Group",
  "attributes":[
    {
      "name":"displayName",
      "type":"string",
      "multiValued":false,
      "description":"A human-readable name for the Group.",
      "required":true,
      "caseExact":false,
      "mutability":"readWrite",
      "returned":"default",
      "uniqueness":"none"
    },
    {
      "name":"members",
      "type":"complex",
      "subAttributes":[
        {
          "name":"display",
          "type":"string",
          "multiValued":false,
          "description":"A human readable name, primarily used for
 display purposes.",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "required":false,
          "caseExact":false,
          "mutability":"immutable",
          "returned":"default",
          "uniqueness":"none"
        },
        {
          "name":"value",
          "type":"string",
          "multiValued":false,
          "description":"The identifier of a group member.",
          "required":true,
          "caseExact":false,
          "mutability":"immutable",
          "returned":"default",
          "uniqueness":"none"
        },
        {
          "name":"$ref",
          "type":"reference",
          "multiValued":false,
          "description":"The URI of the member resource.",
          "required":false,
          "caseExact":true,
          "mutability":"immutable",
          "returned":"default",
          "uniqueness":"none",
          "referenceTypes":["Group","User"]
        }
      ],
      "multiValued":true,
      "description":"A list of members of the Group.",
      "required":false,
      "caseExact":true,
      "mutability":"readWrite",
      "returned":"default",
      "uniqueness":"none"
    }
  ],
  "meta":{
    "resourceType":"Schema",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Schemas/urn:ietf:params:scim:schemas
:core:2.0:Group"
  }
}
```


SCIM - GET /scim/ServiceProviderConfig

ServiceNow インスタンス内で利用可能なクロスドメイン ID 管理システム (SCIM) エンドポイントのサービス機能、構成、スキーマ、およびリソースタイプに関する情報を取得するために使用する構成メタデータを返します。

これはパブリックエンドポイントであり、アクセスするためにロールは必要ありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/ServiceProviderConfig`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/ServiceProviderConfig`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
標準 RFC7643 で返される結果 (Standard RFC7643 return results)	メソッドは、RFC7643 標準に準拠して結果を返します。詳細については、RFC7643 仕様の「サービスプロバイダー構成スキーマ (Service Provider Configuration Schema)」 を参照してください。

Example: cURL 要求

次の例は、ServiceNow インスタンスの SCIM 構成メタデータを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/ServiceProviderConfig
 \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas": [
    "urn:ietf:params:scim:schemas:core:2.0:ServiceProviderConfig"
  ],
  "patch": {
    "supported": true
  },
  "bulk": {
    "supported": false,
    "maxOperations": 0,
    "maxPayloadSize": 1000000
  },
  "filter": {
    "supported": true,
    "maxResults": 500
  },
  "changePassword": {
    "supported": false
  },
  "sort": {
    "supported": false
  },
  "etag": {
    "supported": false
  },
  "authenticationSchemes": [
    {
      "name": "OAuth 2.0 Bearer Token",
      "description": "The OAuth 2.0 Bearer Token Authentication scheme.
 OAuth
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        enables clients to access protected resources by obtaining an
 access token, which is
        defined in RFC 6750 as \"a string representing an access
 authorization issued to the
        client\", rather than using the resource owner's credentials
 directly.",
      "specUri": "http://tools.ietf.org/html/rfc6750",
      "type": "oauthbearertoken",
      "primary": true
    }
  ]
}
```

SCIM - GET /scim/Companies

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の会社 [core_company] テーブルから 1 つ以上の会社レコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Companies`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Companies`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はこのメソッドではサポートされていません。 たとえば、名前が「Acme」で始まるすべての会社をフィルタリングするには、「`displayName SW "Acme"`」と入力します。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「Acme」で始まり、最終変更日が 2021 年 10 月 3 日より前であるすべての会社をフィルタリングするには、「`displayName SW "Acme" AND meta.lastModified lt "2021-10-03T00:00:00Z"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングで利用可能なパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートなし
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するテーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。 **注:** 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値

リソース	返されるコストセンターレコードリスト。
	データタイプ：オブジェクト
	`"Resources": {`
	`  "id": "String",`
	`  "meta": {Object},`
	`  "name": "String",`
	`  "schemas": "String"`
	`}`

Resources.id	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Resources.meta	会社レコードに関する情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": "String",`
	`  "resourcType": "String"`
	`}`

Resources.meta.created	関連する会社レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	関連する会社レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
Resources.meta.location	関連付けられた会社レコードの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Company。 データタイプ：文字列
Resources.name	会社名。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列
schemas	要求に対するリスト応答の処理に使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"` データタイプ：文字列
startIndex	レコードが返された会社 [core_company] テーブルの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

この例は、最初の 2 つの会社レコードを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies?count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":182,
  "Resources":[
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Company"
      ],
      "id":"0c43af40c6112275011a4bd4c0143fbf",
      "meta":{
        "resourceType":"Company",
        "created":"2005-05-24T01:14:19Z",
        "lastModified":"2013-05-06T23:44:48Z",

 "location":"https://
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/0c43af40c6112275011a4bd4c0
143fbf"
      },
      "name":"ABC Company"
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Company"
      ],
      "id":"0c43b088c6112275011a4bd46a4e6cc4",
      "meta":{
        "resourceType":"Company",
        "created":"2005-05-24T01:14:19Z",
        "lastModified":"2013-06-05T17:53:26Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/0c43b088c6112275011a4bd46a
4e6cc4"
      },
      "name":"Acme Co"
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":2
}
```

SCIM - GET /scim/Companies/{company_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の会社 [core_company] テーブルから指定された会社レコードを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Companies/{company_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Groups/{company_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
company_id	返される会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
id	会社レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
meta	会社レコードに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": "String", "resourcType": "String" }`
meta.created	関連する会社レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	関連する会社レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	関連付けられた会社レコードの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Company。 データタイプ：文字列
name	会社名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例は、特定の会社レコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/0c43af40c6112275
011a4bd4c0143fbf" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Company"
  ],
  "id":"0c43af40c6112275011a4bd4c0143fbf",
  "meta":{
    "resourceType":"Company",
    "created":"2005-05-24T01:14:19Z",
    "lastModified":"2013-05-06T23:44:48Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Companies/0c43af40c6112275011a4bd4c0
143fbf"
  },
  "name":"ABC Company"
}
```

自動翻訳

SCIM - GET /scim/CostCenters

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のコストセンター [cmn_cost_center] テーブルから 1 つ以上のコストセンターレコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/CostCenters`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/CostCenters`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。 デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はこのメソッドではサポートされていません。 たとえば、名前が「HR」で始まるすべてのコストセンターをフィルタリングするには、「`displayName SW "HR"`」と入力します。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「HR」で始まり、最終変更日が 2021 年 10 月 3 日より前であるすべてのコストセンターをフィルタリングするには、「`displayName SW "HR" AND meta.lastModified lt "2021-10-03T00:00:00Z"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングで利用可能なパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートなし
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列 デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するテーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。 注: 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(SON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値

リソース	返されるコストセンターレコードリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"Resources": {`
	`  "id": "String",`
	`  "meta": {Object},`
	`  "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "schemas": "String" }</pre>
Resources.id	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Resources.meta	コストセンターレコードに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"meta": {
	  "created": "String",
	  "lastModified": "String",
	  "location": "String",
	  "resourcType": "String"
	}</pre>

Resources.meta.created	関連するコストセンターレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	関連するコストセンターレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.location	関連付けられたコストセンターレコードの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に CostCenter。 データタイプ：文字列
Resources.name	コストセンター名。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列
schemas	要求に対するリスト応答の処理に使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"` データタイプ：文字列
startIndex	レコードが返されたコストセンター [cmn_cost_center] テーブルの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

この例は、最初の 2 つのコストセンターレコードを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters?count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":8,
  "Resources":[
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCenter"
      ],
      "id":"7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf",
      "meta":{
        "resourceType":"CostCenter",
        "created":"2012-01-19T21:02:39Z",
        "lastModified":"2012-02-25T23:06:36Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a80a6d30c04574
d14c0acf"
      },
      "name":"Sales"
    },
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCenter"
      ],
      "id":"91e8bbf43710200044e0bfc8bcbe5daa",
      "meta":{
        "resourceType":"CostCenter",
        "created":"2012-02-18T04:40:24Z",
        "lastModified":"2012-02-25T23:05:58Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters/91e8bbf43710200044e0bfc8
bcbe5daa"
      },
      "name":"Customer Support"
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":2
}
```

SCIM - GET /scim/CostCenters/{cost_center_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内のコストセンター [cmn_cost_center] テーブルから指定されたコストセンターレコードを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/CostCenters/{cost_center_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/CoostCenters/{cost_center_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
cost_center_id	返されるコストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
id	コストセンターレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
meta	コストセンターレコードに関する情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": "String", "resourcType": "String" }`
meta.created	関連するコストセンターレコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	関連するコストセンターレコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	関連付けられたコストセンターレコードの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に CostCenter。 データタイプ：文字列
name	コストセンター名。 データタイプ：文字列
schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例は、特定のコストセンターレコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a80a
6d30c04574d14c0acf" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:CostCenter"
  ],
  "id":"7fb1cc99c0a80a6d30c04574d14c0acf",
  "meta":{
    "resourceType":"CostCenter",
    "created":"2012-01-19T21:02:39Z",
    "lastModified":"2012-02-25T23:06:36Z",

 "location":"https://
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
instance-servicenow.com/api/now/scim/CostCenters/7fb1cc99c0a80a6d30c04574
d14c0acf"
  },
  "name":"Sales"
}
```

SCIM - GET /scim/Departments

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の部門 [cmn_department] テーブルから 1 つ以上の部門レコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Departments`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Departments`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。 デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はこのメソッドではサポートされていません。 たとえば、名前が「Engineer」で始まるすべての部門をフィルタリングするには、「`displayName SW "Engineer"`」と入力します。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「Engineer」で始まり、最終変更日が 2021 年 10 月 3 日より前であるすべての部門をフィルタリングするには、「`displayName SW "Engineer" AND meta.lastModified lt "2021-10-03T00:00:00Z"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングで利用可能なパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートなし
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列 デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するテーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値

リソース	返される部門レコードリスト。
	データタイプ：オブジェクト
	`"Resources": {`
	`  "id": "String",`
	`  "meta": {Object},`
	`  "name": "String",`
	`  "schemas": "String"`
	`}`

Resources.id	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Resources.meta	部門レコードに関する情報。
	データタイプ：オブジェクト
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": "String",`
	`  "resourcType": "String"`
	`}`

Resources.meta.created	関連する部門レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	関連する部門レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.location	関連付けられた部門レコードの URI。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Department。 データタイプ：文字列
Resources.name	部門名。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	
schemas	
startIndex	レコードが返された部門 [cmn_department] テーブルの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

この例は、最初の 2 つの部門レコードを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments?count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":7,
  "Resources":[
    {
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Department"
      ],
      "id":"221db0edc611228401760aec06c9d929",
      "meta":{
        "resourceType":"Department",
        "created":"2006-01-31T20:18:24Z",
        "lastModified":"2012-02-18T07:01:40Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611228401760aec
06c9d929"
      },
      "name":"Sales"
    },
    {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "schemas":[
        "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Department"
      ],
      "id":"221f3db5c6112284009f4becd3039cc9",
      "meta":{
        "resourceType":"Department",
        "created":"2008-03-20T20:20:06Z",
        "lastModified":"2012-02-18T07:01:22Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments/221f3db5c6112284009f4bec
d3039cc9"
      },
      "name":"Development"
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":2
}
```


SCIM - GET /scim/Departments/{deparment_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の部門 [cmn_department] テーブルから指定された部門レコードを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Departments/{department_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Departments/{department_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
department_id	返される部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
id	部門レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
meta	部門レコードに関する情報。 データタイプ：オブジェクト `"meta": { "created": "String", "lastModified": "String", "location": "String", "resourcType": "String" }`
meta.created	関連する部門レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	関連する部門レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	関連付けられた部門レコードの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Department。 データタイプ：文字列
name	部門名。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例は、特定の部門レコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611228401760aec06c9d929" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答：

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Department"
  ],
  "id":"221db0edc611228401760aec06c9d929",
  "meta":{
    "resourceType":"Department",
    "created":"2006-01-31T20:18:24Z",
    "lastModified":"2012-02-18T07:01:40Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Departments/221db0edc611228401760aec06c9d929"
  },
  "name":"Sales"
}
```

自動翻訳

SCIM - GET /scim/Locations

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の場所 [cmn_location] テーブルから 1 つ以上の場所レコードを返します。

注: 一致を返さないクエリは、*totalResults* が 0 に設定された状態で成功 (HTTP ステータスコード 200) を返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Locations`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Locations`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *excludedAttributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*excludedAttributes* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
count	返されるレコードの数。負の値はゼロと解釈されます。 データタイプ：数値 最大：500 - これより大きい値を指定すると、不正な要求エラーが発生します。 デフォルト：10
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *attributes* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。
filter	返される結果に適用するフィルター式。フィールドフィルターは、`<field_name> <operator> <"value">` として表されます。有効な演算子のリストについては、RFC7644 を参照してください。 注: `NOT` 演算子はこのメソッドではサポートされていません。 たとえば、名前が「Ch」で始まるすべての場所をフィルタリングするには、「`displayName SW "Ch"`」と入力します。 複数のフィールドフィルターを指定するには、`AND` オペランドを使用してフィルターを連結します。たとえば、名前が「Ch」で始まり、最終変更日が 2021 年 10 月 3 日より前であるすべての場所をフィルタリングするには、「`displayName SW "Ch" AND meta.lastModified lt "2021-10-03T00:00:00Z"`」と入力します。ネストされた属性を指定するには、ドット連結を使用します。 データタイプ：文字列 デフォルト：フィルタリングなし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
sortBy	*sortOrder* パラメーターで指定する必要があります。返される結果をソートするフィールド。ソートでは大文字と小文字が区別されません。 *sortBy* パラメーターのフィルタリングで利用可能なパラメーターのみを使用できます。ただし、*externalId* は、例外であり、許可されません。 null の値の場合： • 昇順でソート - Null 値は一番上にソートされます。 • 降順でソート - Null 値は一番下にソートされます。 データタイプ：文字列 デフォルト：ソートなし
sortOrder	*sortBy* パラメーターで指定する必要があります。*sortBy* パラメーターが返される結果に適用される順序。 有効な値： • 昇順 • 降順 データタイプ：文字列 デフォルト：昇順
startIndex	レコードの取得を開始するテーブルへの 1 ベースのインデックス。たとえば、このパラメーターを 100 に設定し、*count* パラメーターを 20 に設定すると、エンドポイントは 100 ～ 119 のレコードを返します。 注: 1 未満に設定された値は 1 と解釈されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：1

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

応答本文のパラメーター (JSON)

名前	説明
itemsPerPage	返される結果で返されるレコードの数。 データタイプ：数値

リソース	返される場所レコードリスト。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"Resources": {`
	`  "id": "String",`
	`  "meta": {Object},`
	`  "name": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "schemas": "String" }</pre>
Resources.id	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

Resources.meta	場所レコードに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"meta": {
	  "created": "String",
	  "lastModified": "String",
	  "location": "String",
	  "resourceType": "String"
	}</pre>

Resources.meta.created	関連する場所レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.lastModified	関連する場所レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
Resources.meta.location	関連付けられた場所レコードの URI。 データタイプ：文字列
Resources.meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Location。 データタイプ：文字列
Resources.name	場所の名前。 データタイプ：文字列
Resources.schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列
schemas	要求に対するリスト応答の処理に使用されるスキーマ。 例：`"urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"` データタイプ：文字列
startIndex	レコードが返された場所 [cmn_location] テーブルの 1 ベースのインデックス。 データタイプ：文字列
totalResults	要求に一致するレコードの合計数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

この例は、最初の 2 つの会社レコードを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations?count=2" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{
  "schemas":[
    "urn:ietf:params:scim:api:messages:2.0:ListResponse"
  ],
  "totalResults":426,
  "Resources":[
    {

 "schemas":["urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location
"],
      "id":"0002c0a93790200044e0bfc8bcbe5df5",
      "meta":{
        "resourceType":"Location",
        "created":"2012-02-19T18:39:00Z",
        "lastModified":"2012-02-19T18:39:00Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations/0002c0a93790200044e0bfc8bc
be5df5"
      },
      "name":"2-10-1 Yurakucho, Chiyoda-ku, Tokyo"
    },
    {

 "schemas":["urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location
"],
      "id":"0594ed7437d0200044e0bfc8bcbe5df0",
      "meta":{
        "resourceType":"Location",
        "created":"2012-02-17T17:54:15Z",
        "lastModified":"2021-08-31T14:13:11Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations/0594ed7437d0200044e0bfc8bc
be5df0"
      },
      "name":"Colombia"
    }
  ],
  "startIndex":1,
  "itemsPerPage":2
}
```

SCIM - GET /scim/Locations/{location_id}

クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用して、ServiceNow インスタンス内の場所 [cmn_location] テーブルから指定された場所レコードを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/scim/Locations/{location_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/scim/Locations/{location_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
location_id	返される場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attributes	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。他のフィールドは返されません。 *`excludedAttributes`* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：*`excludedAttributes`* が指定されていない限り、すべてのフィールドを返します。
excludedAttributes	応答で返されるレコードから除外するフィールドのカンマ区切りのリスト。他のすべてのフィールドが返されます。 *`attributes`* パラメーターと一緒に使用することはできません。 データタイプ：文字列 デフォルト：どのフィールドも除外しません。

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/scim+json*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。 • *attributes* と *excludedAttributes* の両方のクエリパラメーターが要求で渡されていないことを確認してください。 • *count* パラメーターが 500 を超えないようにしてください。 • すべての *filter* パラメーターが有効であることを確認してください。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
id	場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

meta	場所レコードに関する情報。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"meta": {`
	`  "created": "String",`
	`  "lastModified": "String",`
	`  "location": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"resourceType": "String" }
meta.created	関連する場所レコードが作成された日時。 データタイプ：文字列
meta.lastModified	関連する場所レコードが最後に変更された日時。 データタイプ：文字列
meta.location	関連付けられた場所レコードの URI。 データタイプ：文字列
meta.resourceType	SCIM リソースタイプ。常に Location。 データタイプ：文字列
name	場所の名前。 データタイプ：文字列
schemas	要求を処理するときに使用されるスキーマ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例は、特定の場所レコードを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations/0c43af40c6112275
011a4bd4c0143fbf" \
--request GET \
--header "Accept:application/scim+json" \
```

応答

```
{

 "schemas":["urn:ietf:params:scim:schemas:custom:servicenow:2.0:Location
"],
  "id":"0594ed7437d0200044e0bfc8bcbe5df0",
  "meta":{
    "resourceType":"Location",
    "created":"2012-02-17T17:54:15Z",
    "lastModified":"2021-08-31T14:13:11Z",

 "location":"https://
instance-servicenow.com/api/now/scim/Locations/0594ed7437d0200044e0bfc8bc
be5df0"
  },
  "name":"Colombia"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル API

テーブル API は、既存のテーブルでの作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 操作の実行を可能にするエンドポイントを提供します。

呼び出し元ユーザーは、要求で指定されたテーブルのデータにアクセスするための十分なロールを持っている必要があります。

テーブル - DELETE /now/table/{tableName}/{sys_id}

指定されたテーブルから指定されたレコードを削除します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	削除するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
tableName	指定したレコードを削除するテーブルの名前 (「incident」や「asset」など)。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_query_no_domain	ログインユーザーが設定されているドメインだけにレコード検索を制限するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • false：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードを除外します。 • true：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードも含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: *sysparm_query_no_domain* パラメーターは、システム管理者または、query_no_domain_table_api ロールを持つユーザーのみが利用できるパラメーターです。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
204	要求が正常に完了したことを示します。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

インシデントテーブルからレコードを削除します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/incident/d977b66a4f411200
adf9f8e18110c7b2" \
--request DELETE \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文はありません。

```
None
```

テーブル - **GET /now/table/{tableName}**

指定されたテーブルの複数のレコードを取得します。

基本的な手順については、「既存のインシデントの取得」を参照してください。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 このエンドポイントは、バージョンに応じて、有効なクエリに対して異なる結果を返します。 • バージョン 1 は、結果なしでエラーコード 404 を返します。 • バージョン 2 は、成功コード 200 と空の配列を応答本文として返します。 データタイプ：文字列
tableName	レコードの取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
name-value pairs	結果セットをフィルタリングするために使用する名前と値のペア。このパ と相互に排他的です。たとえば、`&sysparm_query=active=true` を使 を使用して呼び出しステートメントを簡素化できます。フィールドが選択 ドの場合も、表示値を使用できます (`&state=7` の代わりに `&state=clo` アを指定するには、それぞれをアンパサンドで区切ります (`&active=tru` など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方が • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタ ります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザ て非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコー データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false 注: このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値 から直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照するこ スに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細につ (KB0534905) 」を参照してください。
sysparm_exclude_reference_link	参照フィールドのテーブル API リンクを除外するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドのテーブル API リンクを除外します。 • false：参照フィールドのテーブル API リンクを含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*sys* 用してレコード取得をページネーションします。 この制限は、ACL 評価の前に適用されます。アクセスできるレコードが含 返されない場合は、アクセスできるレコードが最初に返されるようにレコ 注: 異常に大きい *sysparm_limit* 値はシステムパフォーマンスに影

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 デフォルト：10000
sysparm_no_count	テーブルに対して `select count(*)` クエリを実行して、関連テーブルの グ。 有効な値： • true：`select count(*)` を実行しません。 • false：`select count(*)` を実行します。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_offset	レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レ ます。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャ を取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*sysparm_offs* す。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレ 「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用しま *sysparm_offset* パラメーターに負の数値を渡さないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0
sysparm_query	結果セットをフィルタリングするために使用されるエンコードされたクエ て、適切にエンコードクエリーを取得できます。 構文：`sysparm_query=<col_name><operator><value>`。 • <col_name>：フィルターを適用するテーブル列の名前。 • <operator>：次の値をサポートします。 ◦ =：<value> と完全一致します。 ◦ !=：<value> と一致しません。 ◦ ^：複数のクエリステートメントの論理 AND。 ◦ ^OR：複数のクエリステートメントの論理 OR。 ◦ LIKE：指定された文字列が <col_name> に含まれています。データ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ STARTSWITH：<col_name> は指定された文字列で始まります。テ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 ◦ ENDSWITH：<col_name> は指定した文字列で終了します。データ <col_name> フィールドに対してのみ機能します。 <value>：照合する値。 すべてのパラメーターで大文字と小文字が区別されます。クエリに は、`sysparm_query=<col_name><operator><value>[<operator>` のように、複数のエントリを含めることができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	例： `(sysparm_query=caller_id=javascript:gs.getUserID()^acti` エンコードクエリーは、機能別の順番もサポートしています。特定のフィ るには、`ORDERBY` と `ORDERBYDESC` の句を *sysparm_query* で使用しま 構文： • `ORDERBY<col_name>` • `ORDERBYDESC<col_name>` 例：`sysparm_query=active=true^ORDERBYnumber^ORDERBYDESC` このクエリは、すべてのアクティブなレコードをフィルタリングし、結果 テゴリで降順に並べ替えます。 フィールド名が無効というようにクエリの一部が無効であると、インスタ 部分を無視します。次に、クエリの有効部分のみを使用して行を返します *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティを使用してコン リに行を返さないようにするには、このプロパティを true に設定します。 注: *glide.invalid_query.returns_no_rows* プロパティは、リ (*GlideRecord.query()*)、Web サービス API など、インスタンス します。 データタイプ：文字列
sysparm_query_category	クエリに使用するカテゴリの名前。 データタイプ：文字列
sysparm_query_no_domain	ログインユーザーが設定されているドメインだけにレコード検索を制限す 有効な値： • false：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあ • true：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあ データタイプ：ブール デフォルト値：false 注: *sysparm_query_no_domain* パラメーターは、システム管理者 は、query_no_domain_table_api ロールを持つユーザーのみが利用
sysparm_suppress_pagination_header	応答からリンクヘッダーを削除するかどうかを示すフラグ。リンクヘッダ をページネーションするために使用できるレコードセット内の相対ページ す。 有効な値： • true：応答からリンクヘッダーを削除します。 • false：応答からリンクヘッダーを削除しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定し 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明

Link	前の要求に基づく相対 URL。利用可能なレコードセットのページングに使用できます。
	例：
	`https://<インスタンス名>.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="next",`
	`https://<インスタンス名>.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=40&sysparm_limit=1000>;rel="prev",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明

	`https://<インスタンス名>.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=0&sysparm_limit=1000>;rel="first",`
	
	`https://<インスタンス名>.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci?sysparm_offset=2780&sysparm_limit=1000>;rel="last"`
	rel パラメーターの詳細については、「https://html.spec.whatwg.org/multipage/links.html#linkTypes 」を参照してください。

X-Total-Count	クエリによって返されたレコードの合計数。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に完了しました。有効なクエリで結果が返されなかった場合、応答の本文には空の結果配列のみが含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
name-value pairs	指定されたレコード内のすべてのパラメーターのフィールド名と値、またはクエリパラメーターで指定されたフィールド名と値。

Example: cURL 要求

問題テーブルから最初のレコードを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/problem?sysparm_limit=1"
 \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答には、要求されたレコードの名前と値のペアが含まれます。

```
{
  "result": [
    {
      "parent": "",
      "made_sla": "true",
      "watch_list": "",
      "upon_reject": "cancel",
      "sys_updated_on": "2016-01-19 04:52:04",
      "approval_history": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "number": "PRB0000050",
      "sys_updated_by": "glide.maint",
      "opened_by": {
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/glide.maint",
        "value": "glide.maint"
      },
      "user_input": "",
      "sys_created_on": "2016-01-19 04:51:19",
      "sys_domain": {
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
        "value": "global"
      },
      "state": "4",
      "sys_created_by": "glide.maint",
      "knowledge": "false",
      "order": "",
      "closed_at": "2016-01-19 04:52:04",
      "cmdb_ci": {
        "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci/55b35562c0a8010e0
1cff22378e0aea9",
        "value": "55b35562c0a8010e01cff22378e0aea9"
      },
      "delivery_plan": "",
      "impact": "3",
      "active": "false",
      "work_notes_list": "",
      "business_service": "",
      "priority": "4",
      "sys_domain_path": "/",
      "time_worked": "",
      "expected_start": "",
      "rejection_goto": "",
      "opened_at": "2016-01-19 04:49:47",
      "business_duration": "1970-01-01 00:00:00",
      "group_list": "",
      "work_end": "",
      "approval_set": "",
      "wf_activity": "",
      "work_notes": "",
      "short_description": "Switch occasionally drops connections",
      "correlation_display": "",
      "delivery_task": "",
      "work_start": "",
      "assignment_group": "",
      "additional_assignee_list": "",
      "description": "Switch occasionally drops connections",
      "calendar_duration": "1970-01-01 00:02:17",
      "close_notes": "updated firmware",
      "sys_class_name": "problem",
      "closed_by": "",
      "follow_up": "",
      "sys_id": "04ce72c9c0a8016600b5b7f75ac67b5b",
      "contact_type": "phone",
      "urgency": "3",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "company": "",
      "reassignment_count": "",
      "activity_due": "",
      "assigned_to": "",
      "comments": "",
      "approval": "not requested",
      "sla_due": "",
      "comments_and_work_notes": "",
      "due_date": "",
      "sys_mod_count": "1",
      "sys_tags": "",
      "escalation": "0",
      "upon_approval": "proceed",
      "correlation_id": "",
      "location": ""
    }
  ]
}
```


テーブル - **GET /now/table/{tableName}/{sys_id}**

指定されたテーブルから、指定された sys_id で識別されるレコードを取得します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	取得するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
tableName	レコードの取得元のテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false **注:** このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_exclude_reference_link	参照フィールドのテーブル API リンクを除外するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドのテーブル API リンクを除外します。 • false：参照フィールドのテーブル API リンクを含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_query_no_domain	ログインユーザーが設定されているドメインだけにレコード検索を制限するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• false：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードを除外します。 • true：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードも含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false 注: *sysparm_query_no_domain* パラメーターは、システム管理者または、query_no_domain_table_api ロールを持つユーザーのみが利用できるパラメーターです。
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

パラメーター	説明
name-value pairs	指定されたレコード内のすべてのパラメーターのフィールド名と値、またはクエリパラメーターで指定されたフィールド名と値。

Example: cURL 要求

インシデントテーブルからレコードを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/incident/a9e30c7dc6112276
0116894de7bcc7bd" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答には、要求されたレコードの名前と値のペアが含まれます。

```
{
  "result": {
    "upon_approval": "",
    "location": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmn_location/105cf7f3c611
227501e75e08b14a38ba",
      "value": "105cf7f3c611227501e75e08b14a38ba"
    },
    "expected_start": "",
    "reopen_count": "",
    "close_notes": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "impact": "1",
    "urgency": "3",
    "correlation_id": "",
    "sys_tags": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_domain": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "description": "",
    "group_list": "",
    "priority": "3",
    "delivery_plan": "",
    "sys_mod_count": "4",
    "work_notes_list": "",
    "business_service": "",
    "follow_up": "",
    "closed_at": "",
    "sla_due": "2015-11-11 22:04:15",
    "delivery_task": "",
    "sys_updated_on": "2015-11-01 22:37:27",
    "parent": "",
    "work_end": "",
    "number": "INC0000046",
    "closed_by": "",
    "work_start": "",
    "calendar_stc": "",
    "category": "software",
    "business_duration": "",
    "incident_state": "1",
    "activity_due": "",
    "correlation_display": "",
    "company": "",
    "active": "true",
    "due_date": "",
    "assignment_group": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/8a4dde73c6
112278017a6a4baf547aa7",
      "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
    },
    "caller_id": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/46c6f9efa9fe1981
01ddf5eed9adf6e7",
      "value": "46c6f9efa9fe198101ddf5eed9adf6e7"
    },
    "knowledge": "false",
    "made_sla": "false",
    "comments_and_work_notes": "",
    "parent_incident": "",
    "state": "1",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2015-11-01 22:05:30",
    "approval_set": "",
    "reassignment_count": "1",
    "rfc": "",
    "child_incidents": "",
    "opened_at": "2015-11-02 22:04:15",
    "short_description": "Can't access SFA software",
    "order": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_updated_by": "glide.maint",
    "resolved_by": "",
    "notify": "1",
    "upon_reject": "",
    "approval_history": "",
    "problem_id": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/problem/a9e4890bc6112276003d7a5a5c774a74",
      "value": "a9e4890bc6112276003d7a5a5c774a74"
    },
    "work_notes": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_code": "",
    "sys_id": "a9e30c7dc6112276011689 4de7bcc7bd",
    "approval": "not requested",
    "caused_by": "",
    "severity": "3",
    "sys_created_by": "admin",
    "resolved_at": "",
    "assigned_to": "",
    "business_stc": "",
    "wf_activity": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "cmdb_ci": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci/a9c0c8d2c6112276018f7705562f9cb0",
      "value": "a9c0c8d2c6112276018f7705562f9cb0"
    },
    "opened_by": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/46c6f9efa9fe198101ddf5eed9adf6e7",
      "value": "46c6f9efa9fe198101ddf5eed9adf6e7"
    },
    "subcategory": "",
    "rejection_goto": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "watch_list": "",
    "time_worked": "",
    "contact_type": "phone",
    "escalation": "0",
    "comments": ""
  }
}
```


テーブル - **PATCH /now/table/{tableName}/{sys_id}**

指定されたレコードを要求本文に含まれる名前と値のペアで更新します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	更新するレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
tableName	指定されたレコードがあるテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_input_display_value	表示値または実際の値を使用してフィールド値を設定するかを示すフラグ。さまざまなフィールドタイプに応じて、エンドポイントは、渡された表示値を処理して適正値をデータベースに格納します。たとえば参照フィールドの表示名を送信すると、エンドポイントはその値の sys_id をデータベースに格納します。日付と時刻のフィールドの場合、このパラメーターが true であると、日付と時刻の値は現在のユーザーのタイムゾーンに合わせて調整されます。false の場合、日付と時刻の値は GMT タイムゾーンを使用して挿入されます。 有効な値： • true：入力値を表示値として扱い、データベースに適切に格納されるように処理します。 • false：入力値を実際の値として扱い、処理せずにデータベースに格納します。 データタイプ：ブール デフォルト値：false。これは、データ検索 (GET メソッド) 中に返されるデータタイプ (実際の値) と一致します。 **注:** 暗号化されたフィールドの値を設定するには、このパラメーターを `true` に設定する必要があります。このパラメーターを true に設定しない場合、暗号化されたフィールドに送信される値は保存されません。さらに、要求側ユーザーは、適切な暗号化コンテキストがある状態で要求を送信する必要があります。暗号化されたフィールドは、適切な暗号化コンテキストがないユーザーには表示されません。フィールド暗号化の詳細については、「列レベル暗号化」を参照してください。
sysparm_query_no_domain	ログインユーザーが設定されているドメインだけにレコード検索を制限するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • false：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードを除外します。 • true：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードも含めます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブール デフォルト値：false 注: *sysparm_query_no_domain* パラメーターは、システム管理者または、query_no_domain_table_api ロールを持つユーザーのみが利用できるパラメーターです。
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
name-value pairs	指定されたレコードで更新する各パラメーターのフィールド名と新しい値。 注: レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、「sys_」のプリフィックスを持つフィールドは、通常、自動的に生成されるシステムパラメーターであり、更新することはできません。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
X-no-response-body	デフォルトでは、応答には変更されたレコードの詳細を示す本文コンテンツが含まれます。応答本文を抑制するには、この要求ヘッダーを true に設定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	指定されたレコード内のすべてのパラメーターのフィールド名と値、またはクエリパラメーターで指定されたフィールド名と値。

Example: cURL 要求

インシデントテーブルのレコードを更新します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/incident/ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{'assigned_to':'681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd','urgency':'1','comments':'Elevating urgency, this is a blocking issue'}" \
--user 'username':'password'
```

応答には、更新されたレコードの名前と値のペアが含まれます。

```
{
  "result": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "upon_approval": "proceed",
    "location": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmn_location/108752c8c611
227501d4ab0e392ba97f",
      "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f"
    },
    "expected_start": "",
    "reopen_count": "",
    "close_notes": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "impact": "1",
    "urgency": "1",
    "correlation_id": "",
    "sys_tags": "",
    "sys_domain": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "description": "",
    "group_list": "",
    "priority": "1",
    "delivery_plan": "",
    "sys_mod_count": "7",
    "work_notes_list": "",
    "business_service": "",
    "follow_up": "",
    "closed_at": "",
    "sla_due": "2017-07-05 05:58:24",
    "delivery_task": "",
    "sys_updated_on": "2016-01-22 14:12:37",
    "parent": "",
    "work_end": "",
    "number": "INC0000050",
    "closed_by": "",
    "work_start": "",
    "calendar_stc": "",
    "category": "hardware",
    "business_duration": "",
    "incident_state": "2",
    "activity_due": "2016-01-22 16:12:37",
    "correlation_display": "",
    "company": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/core_company/31bea3d53790
200044e0bfc8bcbe5dec",
      "value": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec"
    },
    "active": "true",
    "due_date": "",
    "assignment_group": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/8a5055c9c6
1122780043563ef53438e3",
      "value": "8a5055c9c61122780043563ef53438e3"
    },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "caller_id": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/5b7c200d0a640069
006b3845b5d0fa7c",
      "value": "5b7c200d0a640069006b3845b5d0fa7c"
    },
    "knowledge": "false",
    "made_sla": "true",
    "comments_and_work_notes": "",
    "parent_incident": "",
    "state": "2",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2015-11-02 18:05:40",
    "approval_set": "",
    "reassignment_count": "0",
    "rfc": "",
    "child_incidents": "",
    "opened_at": "2015-11-02 21:58:24",
    "short_description": "Can't access Exchange server - is it down?",
    "order": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "resolved_by": "",
    "notify": "1",
    "upon_reject": "cancel",
    "approval_history": "",
    "problem_id": "",
    "work_notes": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_code": "",
    "sys_id": "ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3",
    "approval": "not requested",
    "caused_by": "",
    "severity": "3",
    "sys_created_by": "glide.maint",
    "resolved_at": "",
    "assigned_to": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/681b365ec0a80164
000fb0b05854a0cd",
      "value": "681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd"
    },
    "business_stc": "",
    "wf_activity": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "cmdb_ci": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci/281190e3c0a8000b0
03f593aa3f20ca6",
      "value": "281190e3c0a8000b003f593aa3f20ca6"
    },
    "opened_by": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/glide.maint",
      "value": "glide.maint"
    },
    "subcategory": "",
    "rejection_goto": "",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_class_name": "incident",
    "watch_list": "",
    "time_worked": "",
    "contact_type": "phone",
    "escalation": "3",
    "comments": ""
  }
}
```

テーブル - POST /now/table/{tableName}

指定されたテーブルに 1 つのレコードを挿入します。このメソッドでは、複数のレコードの挿入はサポートされていません。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
tableName	レコードを保存するテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。 デフォルト値：false 注: このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_exclude_reference_link	参照フィールドのテーブル API リンクを除外するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドのテーブル API リンクを除外します。 • false：参照フィールドのテーブル API リンクを含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_input_display_value	表示値または実際の値を使用してフィールド値を設定するかを示すフラグ。さまざまなフィールドタイプに応じて、エンドポイントは、渡された表示値を処理して適正値をデータベースに格納します。たとえば参照フィールドの表示名を送信すると、エンドポイントはその値の sys_id をデータベースに格納します。日付と時刻のフィールドの場合、このパラメーターが true であると、日付と時刻の値は現在のユーザーのタイムゾーンに合わせて調整されます。false の場合、日付と時刻の値は GMT タイムゾーンを使用して挿入されます。 有効な値： • true：入力値を表示値として扱い、データベースに適切に格納されるように処理します。 • false：入力値を実際の値として扱い、処理せずにデータベースに格納します。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false。これは、データ検索 (GET メソッド) 中に返されるデータタイプ (実際の値) と一致します。 **注:** 暗号化されたフィールドの値を設定するには、このパラメーターを `true` に設定する必要があります。このパラメーターを true に設定しない場合、暗号化されたフィールドに送信される値は保存されません。さらに、要求側ユーザーは、適切な暗号化コンテキストがある状態で要求を送信する必要があります。暗号化されたフィールドは、適切な暗号化コンテキストがないユーザーには表示されません。フィールド暗号化の詳細については、「列レベル暗号化」を参照してください。
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *sysparm_fields* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
name-value pairs	指定されたレコードで定義する各パラメーターのフィールド名および関連付けられた値。 **注:** レコード内のすべてのフィールドは更新できない場合があります。たとえば、「sys_」のプリフィックスを持つフィールドは、通常、自動的に生成されるシステムパラメーターであり、更新することはできません。 指定されておらず、システムによって自動生成されないフィールドは、関連付けられたデータタイプの null 値に設定されます。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
X-no-response-body	デフォルトでは、応答には新規レコードの詳細を示す本文コンテンツが含まれます。応答本文を抑制するには、要求内でこのヘッダーを true に設定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
場所	作成されたリソースの場所。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に完了したことを示します。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
name-value pairs	新しく作成されたレコード内のすべてのパラメーターのフィールド名と値、またはクエリパラメーターで指定されたフィールド名と値。

Example: cURL 要求

新規レコードをインシデントテーブルに挿入します。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/now/table/incident" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--data "{'short_description':'Unable to connect to office
 wifi','assignment_group':'287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e','urgency':'2
','impact':'2'}" \
--user 'username':'password'
```

応答には、新規レコードの名前と値のペアが含まれます。

```
{
  "result": {
    "upon_approval": "proceed",
    "location": "",
    "expected_start": "",
    "reopen_count": "0",
    "close_notes": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "impact": "2",
    "urgency": "2",
    "correlation_id": "",
    "sys_tags": "",
    "sys_domain": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "description": "",
    "group_list": "",
    "priority": "3",
    "delivery_plan": "",
    "sys_mod_count": "0",
    "work_notes_list": "",
    "business_service": "",
    "follow_up": "",
    "closed_at": "",
    "sla_due": "",
    "delivery_task": "",
    "sys_updated_on": "2016-01-22 14:28:24",
    "parent": "",
    "work_end": "",
    "number": "INC0010002",
    "closed_by": "",
    "work_start": "",
    "calendar_stc": "",
    "category": "inquiry",
    "business_duration": "",
    "incident_state": "1",
    "activity_due": "",
    "correlation_display": "",
    "company": "",
    "active": "true",
    "due_date": "",
    "assignment_group": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/287ebd7da9
fe198100f92cc8d1d2154e",
      "value": "287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"
    },
    "caller_id": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "knowledge": "false",
    "made_sla": "true",
    "comments_and_work_notes": "",
    "parent_incident": "",
    "state": "1",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2016-01-22 14:28:24",
    "approval_set": "",
    "reassignment_count": "0",
    "rfc": "",
    "child_incidents": "0",
    "opened_at": "2016-01-22 14:28:24",
    "short_description": "Unable to connect to office wifi",
    "order": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "resolved_by": "",
    "notify": "1",
    "upon_reject": "cancel",
    "approval_history": "",
    "problem_id": "",
    "work_notes": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_code": "",
    "sys_id": "c537bae64f411200adf9f8e18110c76e",
    "approval": "not requested",
    "caused_by": "",
    "severity": "3",
    "sys_created_by": "admin",
    "resolved_at": "",
    "assigned_to": "",
    "business_stc": "",
    "wf_activity": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "cmdb_ci": "",
    "opened_by": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/6816f79cc0a80164
01c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
    },
    "subcategory": "",
    "rejection_goto": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "watch_list": "",
    "time_worked": "",
    "contact_type": "phone",
    "escalation": "0",
    "comments": ""
  }
}
```


テーブル - **PUT /now/table/{tableName}/{sys_id}**

要求本文で指定されたレコードを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/now/{api_version}/table/{tableName}/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/now/table/{tableName}/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	更新するレコードの一意の識別子。 データタイプ：文字列
tableName	レコードがあるテーブルの名前。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
sysparm_display_value	返されるデータ (データベースからの実際の値またはフィールドの表示値) のタイプを決定します。表示値は、データベース内の実際の値と、ユーザーやシステムの設定と環境設定に基づいて操作されます。 表示値を返す場合、返される値はフィールドタイプに依存します。 • 選択肢フィールド：データベース値は数値にできますが、表示値の方がわかりやすくなります。 • 日付フィールド：データベース値は UTC 形式で、表示値はユーザーのタイムゾーンに基づいたものになります。 • 暗号化テキスト：データベース値は暗号化されますが、表示値はユーザーの暗号化コンテキストに基づいて非暗号化されます。 • 参照フィールド：データベース値は sys_id ですが、表示値は参照レコードの表示フィールドになります。 データタイプ：文字列 有効な値： • true：すべてのフィールドに対して表示値が返されます。 • false：データベースから実際の値が返されます。 • all：実際の値と表示値の両方が返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false **注:** このパラメーター設定に推奨方法はありません。ただし、表示値を指定すると、データベースから直接読み取られず、その他のフィールドやレコードを参照することがあるため、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905)」を参照してください。
sysparm_exclude_reference_link	参照フィールドのテーブル API リンクを除外するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：参照フィールドのテーブル API リンクを除外します。 • false：参照フィールドのテーブル API リンクを含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false
sysparm_fields	応答で返すカンマで区切られたフィールドのリストです。 データタイプ：文字列
sysparm_input_display_value	表示値または実際の値を使用してフィールド値を設定するかを示すフラグ。 有効な値： • true：入力値を表示値として扱い、データベースに適切に格納できるように操作します。 • false：入力値を実際の値として扱い、操作せずにデータベースに格納します。 データタイプ：ブール デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	注: • このパラメーターが *true* に設定されている場合、入力値、特に日付値に注意します。これらの値は、ユーザーのタイムゾーン設定で指定されたもので解釈され、UTC 形式に変換されます。 • 暗号化されたフィールドの値を設定するには、このパラメーターを `true` に設定する必要があります。このパラメーターを true に設定しない場合、暗号化されたフィールドに送信される値は保存されません。さらに、要求側ユーザーは、適切な暗号化コンテキストがある状態で要求を送信する必要があります。暗号化されたフィールドは、適切な暗号化コンテキストがないユーザーには表示されません。表示値と実際の値の詳細については、「テーブル API FAQ (KB0534905) 」を参照してください。フィールド暗号化の詳細については、「 暗号化のサポート 」を参照してください。
sysparm_query_no_domain	ログインユーザーが設定されているドメインだけにレコード検索を制限するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • false：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードを除外します。 • true：現在ログインしているユーザーにアクセス権がないドメインにあるレコードも含めます。 データタイプ：ブール デフォルト値：false 注: *`sysparm_query_no_domain`* パラメーターは、システム管理者または、query_no_domain_table_api ロールを持つユーザーのみが利用できるパラメーターです。
sysparm_view	データをレンダリングする UI ビュー。応答で返されるフィールドを指定します。 有効な値： • desktop • mobile • both *`sysparm_fields`* パラメーターが優先されます (指定した場合)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
name-value pairs	関連テーブルで更新するフィールドの名前と値のペア。たとえば、簡単な説明のファイルを更新するには、次のような名前と値のペアを入力します。`--data "{\"short_description\": \"my short desc\" }" \`

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
Accept	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。
X-no-response-body	デフォルトでは、応答には変更されたレコードの詳細を示す本文コンテンツが含まれます。応答本文を抑制するには、要求内でこのヘッダーを true に設定します。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
name-value pairs	変更要求のすべてのフィールド (変更されたフィールド以外も含む) とその関連付けられた値。

Example: cURL 要求

インシデントテーブルのレコードを更新します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/incident/ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3" \
--request PUT \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{'assigned_to':'681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd','urgency':'1','comments':'Elevating urgency, this is a blocking issue'}" \
--user 'username':'password'
```

応答には、更新されたレコードの名前と値のペアが含まれます。

```
{
  "result": {
    "upon_approval": "proceed",
    "location": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmn_location/108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
      "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f"
    },
    "expected_start": "",
    "reopen_count": "",
    "close_notes": "",
    "additional_assignee_list": "",
    "impact": "1",
    "urgency": "1",
    "correlation_id": "",
    "sys_tags": "",
    "sys_domain": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/global",
      "value": "global"
    },
    "description": "",
    "group_list": "",
    "priority": "1",
    "delivery_plan": "",
    "sys_mod_count": "7",
    "work_notes_list": "",
    "business_service": "",
    "follow_up": "",
    "closed_at": "",
    "sla_due": "2017-07-05 05:58:24",
    "delivery_task": "",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "sys_updated_on": "2016-01-22 14:12:37",
    "parent": "",
    "work_end": "",
    "number": "INC0000050",
    "closed_by": "",
    "work_start": "",
    "calendar_stc": "",
    "category": "hardware",
    "business_duration": "",
    "incident_state": "2",
    "activity_due": "2016-01-22 16:12:37",
    "correlation_display": "",
    "company": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/core_company/31bea3d53790
200044e0bfc8bcbe5dec",
      "value": "31bea3d53790200044e0bfc8bcbe5dec"
    },
    "active": "true",
    "due_date": "",
    "assignment_group": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user_group/8a5055c9c6
1122780043563ef53438e3",
      "value": "8a5055c9c61122780043563ef53438e3"
    },
    "caller_id": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/5b7c200d0a640069
006b3845b5d0fa7c",
      "value": "5b7c200d0a640069006b3845b5d0fa7c"
    },
    "knowledge": "false",
    "made_sla": "true",
    "comments_and_work_notes": "",
    "parent_incident": "",
    "state": "2",
    "user_input": "",
    "sys_created_on": "2015-11-02 18:05:40",
    "approval_set": "",
    "reassignment_count": "0",
    "rfc": "",
    "child_incidents": "",
    "opened_at": "2015-11-02 21:58:24",
    "short_description": "Can't access Exchange server - is it down?",
    "order": "",
    "sys_updated_by": "admin",
    "resolved_by": "",
    "notify": "1",
    "upon_reject": "cancel",
    "approval_history": "",
    "problem_id": "",
    "work_notes": "",
    "calendar_duration": "",
    "close_code": "",
    "sys_id": "ef43c6d40a0a0b5700c77f9bf387afe3",
    "approval": "not requested",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "caused_by": "",
    "severity": "3",
    "sys_created_by": "glide.maint",
    "resolved_at": "",
    "assigned_to": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/681b365ec0a80164
000fb0b05854a0cd",
      "value": "681b365ec0a80164000fb0b05854a0cd"
    },
    "business_stc": "",
    "wf_activity": "",
    "sys_domain_path": "/",
    "cmdb_ci": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/cmdb_ci/281190e3c0a8000b0
03f593aa3f20ca6",
      "value": "281190e3c0a8000b003f593aa3f20ca6"
    },
    "opened_by": {
      "link":
 "https://instance.servicenow.com/api/now/table/sys_user/glide.maint",
      "value": "glide.maint"
    },
    "subcategory": "",
    "rejection_goto": "",
    "sys_class_name": "incident",
    "watch_list": "",
    "time_worked": "",
    "contact_type": "phone",
    "escalation": "3",
    "comments": ""
  }
}
```


自動翻訳

テクニカルサービス認定オープン API

テクニカルサービス認定オープン API は、履行の注文を送信する前にリソースとサービスの可用性を確認するためのエンドポイントを提供します。

この API は、TMF645 サービス認定 API REST 仕様の ServiceNow 実装です。サービス認定要求の詳細については、「サービス認定要求」を参照してください。

テクニカルサービス認定オープン API は `sn_ord_qual_mgmt` 名前空間内で提供され、次のプラグインが必要です。

- 製品カタログ管理コア [com.sn_prd_pm]
- 製品カタログ Advanced [com.sn_prd_pm_adv]
- 注文認定管理 [com.sn_ord_qual_mgmt]
- Telecom, Media & Tech の注文管理 [com.sn_tmt_core]
- テレコムコア [com.sn_tmt_core]

この API を使用するには、sn_ind_tmt_orm.order_integrator ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクニカルサービス認定オープン **API - GET sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/{id}**

指定された顧客注文 ID に関連付けられている技術認定要求を取得します。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	取得する認定顧客注文のSys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
id	認定顧客注文のSys_ [sn_ind_tmt_orm_o す。 データタイプ：文字
href	認定注文レコードへ データタイプ：文字
説明	顧客注文の short_de からフェッチされた 注文 [sn_ind_tmt_o あります。 データタイプ：文字
externalId	顧客注文の [externa 部 ID。顧客注文 [sn テーブルにありま データタイプ：文字
認定結果	顧客注文の結果フィ ス。可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
state	顧客注文のステータ 客注文のステータス データタイプ：文字
@type	TMF オープン API 標 部。認定の注釈。こ CheckServiceQua の情報は保存されま データタイプ：文字
checkServiceQualificationDate	顧客注文のorder_d 作成された認定要求 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
有効資格日	顧客注文の order_c フェッチされた有効 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
expectedQualificationDate	予定されている認定 顧客注文のexpecte フィールドに保持さ [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
relatedParty	認定要求の連絡先の レイ内のオブジェク データタイプ：オブ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedParty"
	  {
	  "id": "Str
	  "name": "S
	  "@referred
	  "@type": "
	  }
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられ 客の連絡先、または Sys_idまたはextern [customer_accoun [customer_contac ンシューマー [csm_ あります。 データタイプ：文字
relatedParty.name	アカウント、顧客、 の名前。 データタイプ：文字
relatedParty.@type	TMF オープン API 標 絡先の注釈。この値 です。この情報は保 データタイプ：文字
relatedParty.@referredType	関係者のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerConta データタイプ：文字

serviceQualificationItem	場所、サービス情報
	性に関する情報を含
	ムのリスト。顧客注
	存されます。
	
	データタイプ：オブ
	<pre>"serviceQualif
	  {
	  "id": "Strin
	  "action": "S
	
	  "expectedServ
	te": "Number",
	  "service": {
	  "@type": "St</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}],
serviceQualificationItem.id	認定アイテムの ID。[sn_ind_tmt_orm_o ブルの顧客注文明細 フィールドに保存さ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.qualificationResult	認定アイテムの結果 文明細品目の [結果] に保存されます。注 [sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 可能な値： • オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.state	顧客の注文明細品目 フィールドから導出 テムのステータス。 [sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.quantity	顧客の注文明細品目 ら導出された認定ア 細品目 [sn_ind_tmt_ テーブルにあります データタイプ：数値
serviceQualificationItem.@type	TMF オープン API 標 定アイテムの注釈。 *ServiceQualificatio* は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service	場所 (場所)、サービ 特性に関する詳細を
	
	データタイプ: オブジ
	`"service": {`
	`  "@type": "St`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"place": [Ar
	"serviceChar
	[Array],
	"serviceSpec
	{Object}
	}</pre>

serviceQualificationItem.service.@type	TMF Open API 標準 釈。この値は常に S 報は保存されません データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.place	サービス資格アイテ
	
	データタイプ:オブジ
	
	注: この配列に
	を含めることが
	
	<pre>"place": [
	{
	"id": "Strin
	"name": "Str
	"@referredTy
	}
	]</pre>

serviceQualificationItem.service.place.id	場所 [cmn_location Sys_id。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.name	場所の名前。場所 [c ルのエントリに対し ん。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.@type	TMF オープン API 標 注釈。この値は常に す。この情報は保存 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.serviceSpecification	認定アイテムのサー
	
	データタイプ:オブジ
	
	<pre>"serviceSpecif
	"id": "Strin
	"internalVer
	"internalId"
	"name": "Str
	"@type":
	"ServiceSpeci
	"version": "</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の外部 ン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の外部 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様の内部 データタイプ：数値
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の初期 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 ServiceSpecific は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic	サービス特性のリス
	データタイプ:オブシ
	"serviceCharac
	{
	"name": "Str
	"value": "St
	"valueType":
	}
	]

serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性の値タイプ。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal	認定注文の代替サー 提案。代替案は、代 [sn_ord_qual_mgm テーブルに保存され

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.id	代替提案 [sn_ord_qual_mgm テーブルの代替提案 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateServiceAvailabilityDate	代替提案 [sn_ord_qual_mgm テーブルの代替提案 available_dateフィ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService	代替案で表されるサ データタイプ: Obje
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification	代替提案のサービス [sn_ord_qual_mgm テーブルの仕様に保 データタイプ: オブジ
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.id	代替サービス仕様の ジョン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.name	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.version	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalVersion	代替サービス仕様の データタイプ：数値
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalId	代替サービス仕様の データタイプ：文字
ServiceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 `ServiceSpecific` は保存されません。 データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic	代替サービス提案の イ。 データタイプ:オブジ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"serviceCharac
	{
	"name": "Str
	"value": "St
	"valueType":
	}
	]

serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.valueType	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.name	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.value	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason	サービスが利用でき サービス適格性利用 この値はunavailab 文 [sn_ind_tmt_orm ブルのフィールドに データタイプ：アレ
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.code	サービス適格性利用 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.label	サービス適格性利用 データタイプ：文字

Example: サンプル cURL 要求

次の例では、認定顧客注文の特定のSys_idに関連付けられた特定の認定注文全体を取得します。

```
curl -location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification/4b5aa0a538b31110f877c8d44c4b8947" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
[
  {
    "id": "001b359545371150f877e0588eca21ca",
    "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/001b35954
5371150f877e0588eca21ca",
    "description": "check service qualification illustration",
    "externalId": "CSQ1",
    "qualificationResult": "none",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "state": "new",
    "@type": "CheckServiceQualification",
    "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
    "relatedParty": [
      {
        "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
        "name": "Sally Thomas",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "CustomerContact"
      },
      {
        "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
        "name": "Funco Intl",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Customer"
      },
      {
        "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
        "name": "Funco External",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Consumer"
      }
    ],
    "serviceSpecification": {
      "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
      "name": "Broadband Service",
      "version": "",
      "internalVersion": "1",
      "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
      "@type": "ServiceSpecification"
    },
    "place": {
      "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
      "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
      "@referredType": "GeographicSite"
    },
    "expectedQualificationDate": "2022-10-11T15:20:39.000Z"
  },
  {
    "id": "0236b75145fb1150f877e0588eca2145",
    "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/0236b7514
5fb1150f877e0588eca2145",
    "description": "check service qualification illustration",
    "externalId": "CSQ1",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
    "@type": "CheckServiceQualification",
    "checkServiceQualificationDate": "2022-12-15T08:57:50.000Z",
    "relatedParty": [
      {
        "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
        "name": "Sally Thomas",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "CustomerContact"
      },
      {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
        "name": "Funco Intl",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Customer"
      },
      {
        "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
        "name": "Funco External",
        "@type": "RelatedParty",
        "@referredType": "Consumer"
      }
    ],
    "serviceQualificationItem": [
      {
        "id": "110",
        "qualificationResult": "none",
        "state": "new",
        "quantity": "1",
        "@type": "ServiceQualificationItem",
        "service": {
          "@type": "Service",
          "serviceCharacteristic": [
            {
              "name": "Fiber Speed",
              "valueType": "choice",
              "value": "1Gbps"
            }
          ],
          "serviceSpecification": {
            "id": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
            "name": "CFS3",
            "version": "",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
            "@type": "ServiceSpecification"
          },
          "place": {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        }
      },
      {
        "id": "130",
        "qualificationResult": "none",
        "state": "new",
        "quantity": "1",
        "@type": "ServiceQualificationItem",
        "service": {
          "@type": "Service",
          "serviceCharacteristic": [
            {
              "name": "Wireless Speed",
              "valueType": "choice",
              "value": "100 Mbps"
            }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
          "name": "CFS2",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      }
    },
    {
      "id": "100",
      "qualificationResult": "none",
      "state": "new",
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "Speed",
            "valueType": "choice",
            "value": ""
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
          "name": "Access Service",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      }
    },
    {
      "id": "120",
      "qualificationResult": "none",
      "state": "new",
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "DSL Speed",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
              "valueType": "choice",
              "value": "500 Mbps"
            }
          ],
          "serviceSpecification": {
            "id": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
            "name": "CFS1",
            "version": "",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
            "@type": "ServiceSpecification"
          },
          "place": {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        }
      }
    ],
    "expectedQualificationDate": "2022-10-11T15:20:39.000Z"
  }
]
```


テクニカルサービス認定オープン **API - GET sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification**

すべての技術認定要求のリストを取得します。

このエンドポイントは、次のテーブルから注文情報を取得します。

- 顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order]
- オーダー品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item]

このエンドポイントはデフォルトで 20 件のレコードを返しますが、最大 100 件のレコードを返すことができます。クエリフィルターを使用して、ステータス、フィールド名、説明、および条件結果に従って結果を絞り込みます。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ パラメーター

パラメーター	**Description** (説明)
説明	顧客注文の [short_description] フィールドで認定注文をフィルタリングします。簡単な説明がこのパラメーターの値と一致するの注文のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
fields	応答で返すフィールド名のリスト。無効なフィールドは無視されます。このパラメーターが要求で指定されていない場合は、すべてのフィールドが返されます。 データタイプ:文字列、カンマ区切り
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、 offset パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト値：20 最大：100 データタイプ：数値
認定結果	認定順序を結果でフィルタリングします。このパラメーターの値に一致する結果を持つ注文のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
state	認定順序をステータスでフィルタリングします。ステータスがこの パラメーターの値と一致する注文のみが応答で返されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	フィルター基準に当てはまるレコードが見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
id	認定顧客注文のSys_ [sn_ind_tmt_orm_o す。 データタイプ：文字
href	認定注文レコードへ データタイプ：文字
説明	顧客注文の short_de からフェッチされた 注文 [sn_ind_tmt_o あります。 データタイプ：文字
externalId	顧客注文の [externa 部 ID。顧客注文 [sn テーブルにあります データタイプ：文字
認定結果	顧客注文の結果フィ ス。可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
state	顧客注文のステータ 客注文のステータス データタイプ：文字
@type	TMF オープン API 標 部。認定の注釈。こ CheckServiceQua の情報は保存されま データタイプ：文字
checkServiceQualificationDate	顧客注文のorder_d 作成された認定要求 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
有効資格日	顧客注文の order_c フェッチされた有効 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
expectedQualificationDate	予定されている認定 顧客注文のexpecte フィールドに保持さ [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
relatedParty	認定要求の連絡先の レイ内のオブジェク データタイプ：オブ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedParty"
	  {
	  "id": "Str
	  "name": "S
	  "@referred
	  "@type": "
	  }
	]</pre>

relatedParty.id	注文に関連付けられ 客の連絡先、または Sys_idまたはextern [customer_accoun [customer_contac ンシューマー [csm_ あります。 データタイプ：文字
relatedParty.name	アカウント、顧客、 の名前。 データタイプ：文字
relatedParty.@type	TMF オープン API 標 絡先の注釈。この値 です。この情報は保 データタイプ：文字
relatedParty.@referredType	関係者のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerConta データタイプ：文字

serviceQualificationItem	場所、サービス情報
	性に関する情報を含
	ムのリスト。顧客注
	存されます。
	
	データタイプ：オブ
	<pre>"serviceQualif
	  {
	  "id": "Strin
	  "action": "S
	
	  "expectedServ
	te": "Number",
	  "service": {
	  "@type": "St</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}],
serviceQualificationItem.id	認定アイテムの ID。[sn_ind_tmt_orm_o ブルの顧客注文明細 フィールドに保存さ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.qualificationResult	認定アイテムの結果 文明細品目の [結果] に保存されます。注 [sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 可能な値： • オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.state	顧客の注文明細品目 フィールドから導出 テムのステータス。 [sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.quantity	顧客の注文明細品目 ら導出された認定ア 細品目 [sn_ind_tmt_ テーブルにあります データタイプ：数値
serviceQualificationItem.@type	TMF オープン API 標 定アイテムの注釈。 *ServiceQualificatio* は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service	場所 (場所)、サービ 特性に関する詳細を
	
	データタイプ: オブジ
	`"service": {`
	`"@type": "St`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"place": [Ar
	"serviceChar
	[Array],
	"serviceSpec
	{Object}
	}</pre>

serviceQualificationItem.service.@type	TMF Open API 標準 釈。この値は常に S 報は保存されません データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.place	サービス資格アイテ
	
	データタイプ:オブジ
	
	注: この配列に
	を含めることが
	
	<pre>"place": [
	{
	"id": "Strin
	"name": "Str
	"@referredTy
	}
	]</pre>

serviceQualificationItem.service.place.id	場所 [cmn_location Sys_id。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.name	場所の名前。場所 [c ルのエントリに対し ん。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.@type	TMF オープン API 標 注釈。この値は常に す。この情報は保存 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.serviceSpecification	認定アイテムのサー
	
	データタイプ:オブジ
	
	<pre>"serviceSpecif
	"id": "Strin
	"internalVer
	"internalId"
	"name": "Str
	"@type":
	"ServiceSpeci
	"version": "</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	}]
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の外部 ン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の外部 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様の内部 データタイプ：数値
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の初期 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 ServiceSpecific は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic	サービス特性のリス
	データタイプ:オブシ
	"serviceCharac
	{
	"name": "Str
	"value": "St
	"valueType":
	}
	]

serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性の値タイプ。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal	認定注文の代替サー 提案。代替案は、代 [sn_ord_qual_mgm テーブルに保存され

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.id	代替提案 [sn_ord_qual_mgm テーブルの代替提案 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateServiceAvailabilityDate	代替提案 [sn_ord_qual_mgm テーブルの代替提案 available_dateフィ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService	代替案で表されるサ データタイプ: Obje
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification	代替提案のサービス [sn_ord_qual_mgm テーブルの仕様に保 データタイプ: オブジ
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.id	代替サービス仕様の ジョン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.name	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.version	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalVersion	代替サービス仕様の データタイプ：数値
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalId	代替サービス仕様の データタイプ：文字
ServiceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 ServiceSpecific は保存されません。 データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic	代替サービス提案の イ。 データタイプ:オブジ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"serviceCharac
	{
	"name": "Str
	"value": "St
	"valueType":
	}
	]</pre>

serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.valueType	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.name	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.value	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason	サービスが利用でき サービス適格性利用 この値はunavailab 文 [sn_ind_tmt_orm ブルのフィールドに データタイプ：アレ
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.code	サービス適格性利用 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.label	サービス適格性利用 データタイプ：文字

Example: サンプル cURL 要求

次の GET 呼び出しは、インスタンスのすべての認定順序を取得します。

```
curl -location --request GET
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification" \
--user "username":"password"
```

応答：

```
[{
        "id": "001b359545371150f877e0588eca21ca",
        "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/001b35954
5371150f877e0588eca21ca",
        "description": "check service qualification illustration",
        "externalId": "CSQ1",
        "qualificationResult": "none",
        "state": "new",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "@type": "CheckServiceQualification",
        "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
        "relatedParty": [{
                "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
                "name": "Sally Thomas",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "CustomerContact"
            },
            {
                "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
                "name": "Funco Intl",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Customer"
            },
            {
                "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
                "name": "Funco External",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Consumer"
            }
            {
                "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
                "name": "Funco External",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Consumer"
            }
        ],
        "serviceSpecification": {
            "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
            "name": "Broadband Service",
            "version": "",
            "internalVersion": "1",
            "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
            "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
            "@referredType": "GeographicSite"
        }
    }
}],
"expectedQualificationDate": "2022-10-11T15:20:39.000Z"
}, {
    "id": "0236b75145fb1150f877e0588eca2145",
    "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/0236b7514
5fb1150f877e0588eca2145",
    "description": "check service qualification illustration",
    "externalId": "CSQ1",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
    "@type": "CheckServiceQualification",
    "checkServiceQualificationDate": "2022-12-15T08:57:50.000Z",
    "relatedParty": [{
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        }
            {
                "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
                "name": "Funco External",
                "@type": "RelatedParty",
                "@referredType": "Consumer"
            }
    ],
    "serviceQualificationItem": [{
            "id": "110",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [{
                    "name": "Fiber Speed",
                    "valueType": "choice",
                    "value": "1Gbps"
                }],
                "serviceSpecification": {
                    "id": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
                    "name": "CFS3",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
                    "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        },
        {
            "id": "130",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [{
                    "name": "Wireless Speed",
                    "valueType": "choice",
                    "value": "100 Mbps"
                }],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                "serviceSpecification": {
                    "id": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
                    "name": "CFS2",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
                    "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        },
        {
            "id": "100",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [{
                    "name": "Speed",
                    "valueType": "choice",
                    "value": ""
                }],
                "serviceSpecification": {
                    "id": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
                    "name": "Access Service",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
                    "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        },
        {
            "id": "120",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [{
                    "name": "DSL Speed",
                    "valueType": "choice",
                    "value": "500 Mbps"
                }],
                "serviceSpecification": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    "id": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
                    "name": "CFS1",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
                    "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        }
    ],
    "expectedQualificationDate": "2022-10-11T15:20:39.000Z"
}
]
```


テクニカルサービス認定オープン **API - POST sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification**

認定アイテムのリストを含むテクニカルサービス認定要求エンティティを作成します。

サービス認定要求は、履行タイプが認定の顧客注文として保持されます。各認定アイテムは、注文 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルに顧客品目注文として保持されます。

このエンドポイントの使用

この API メソッドは、次の 3 つの特定のユースケースに使用できます。

1. 指定された住所でのサービスの認定を要求します。
2. 既存のアクティブなアクセスサービスと同じ場所で新しいサービスを認定することを要求します。
3. 既存のサービスのアップグレードまたはダウングレードを要求します。

各ユースケースには同じ要求構造が必要ですが、異なる要求パラメーターを使用します。各ユースケースと受け入れられるパラメーターの詳細が提供されます。

- 指定した住所でサービスを認定するには、 *place* 配列 (*serviceQualificationItem.service.place*) を使用して、特定の場所とサービスの仕様を指定します。オプションで、要求に追加のサービス特性を定義できます。
- 既存のアクティブなサービスと同じ場所で新しいサービスを認定するには、*place* 配列の代わりに *referenceServiceInventory* オブジェクト (serviceQualificationItem.service.referenceServiceInventory) を使用します。このオブジェクトを使用すると、場所の詳細を指定しなくても、要求を作成し、サービス仕様を定義できます。オプションで、要求に追加のサービス特性を定義できます。
- 既存のサービスをアップグレードまたはダウングレードするには、*place* アレイまたは *referenceServiceInventory* オブジェクトの代わりに、*serviceInventory* オブジェクト (serviceQualificationItem.service.ServiceInventory) を使用します。このユースケースでは、場所情報と仕様の詳細は既存のサービスから取得されます。要求で、変更するサービス特性を定義します。

  たとえば、既存のアクティブなサービスのダウンロード速度を 100 Mb/s から 600 Mb/s にアップグレードできることを確認するとします。この場合、 *serviceInventory* パラメーターを使用して、「速度」特性を「低」から「高」に変更することで要求を定義できます。API は、既存のサービスから残りの特性を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のユースケースごとに API 要求を形成する方法を理解するには、このページの 「例 」セクションにある呼び出し例を参照してください。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

パラメーター	**Description** (説明)
@type	オプション。TMF オープン API 標準の `CheckServiceQualification` です データタイプ：文字列
checkServiceQualificationDate	オプション。認定要求が作成された日 テーブルの [order_date] フィールドに 合、order_dateは現在の日付と時刻に データタイプ：文字列 形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SS
説明	オプション。認定要求の説明。顧客注 [short_description] フィールドにあり データタイプ：文字列 最大文字数:100
有効資格日	オプション。資格が有効になる日付。 ブルの顧客注文の「actual_end_date_ データタイプ：文字列 形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SS
expectedQualificationDate	オプション。予定されている認定日。 フィールドに保持されます。顧客注文 ります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター	**Description** (説明)
	形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SS
externalId	オプション。顧客注文にアサインされた[sn_ind_tmt_orm_order] テーブルの顧持されます。 データタイプ：文字列
relatedParty	認定要求の連絡先のリスト。各連絡先アカウント、顧客連絡先、またはコンくとも 1 つのアイテムをリストする必 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedParty": [ { "@referredType": "String", "@type": "String", "id": "String", "name": "String" } ]`
relatedParty.@referredType	関係者のタイプ。 可能な値： • consumer • カスタマー • 顧客連絡先 データタイプ：文字列
relatedParty.@type	オプション。TMF オープン API 標準の は常に `RelatedParty` です。この情報 データタイプ：文字列
relatedParty.id	関係者のsys_idまたはexternal_id (該当[customer_account] テーブル、連絡たはコンシューマー [csm_consumer] データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシュー データタイプ：文字列
serviceQualificationItem	場所、サービス情報、および特性を含客注文の注文品目として保存されます。資格アイテムが含まれている必要があ データタイプ:オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター	**Description** (説明)
	`"serviceQualificationItem": [ "@type": "String", "id": "String", "qualificationResult": "St "quantity": "Number", "service": {Object}, "state": "String" ]`
serviceQualificationItem.@type	オプション。TMF オープン API 標準の 常に `ServiceQualificationItem` データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.qualificationItemRelationship	オプション。同じ要求内の他のサービ の情報は、親注文品目を持つ注文品目 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"qualificationItemRelationsh { "id": "String" "relationshipType": "Strin } ]`
serviceQualificationItem.qualificationItemRelationship.id	必須。関係内のターゲット資格アイテ データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.qualificationItemRelationship.relationshipType	必須。品目関係のタイプ。 有効な値： • HasChild: 子項目を示します。 • HasParent:親アイテムを示します。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.quantity	オプション。認定アイテムの数量。顧 に保持されます。 データタイプ：数値 指定しない場合の既定値: 1
serviceQualificationItem.service	必須。場所、サービス仕様、サービス データタイプ:オブジェクト `"service": { "@type": "String", "place": [Array], "serviceCharacteristic":`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター	Description (説明)

	<pre>"serviceSpecification": {
	}</pre>

serviceQualificationItem.service.@type	オプション。TMF オープン API 標準の 注釈。この値は常に `Service` です。こ データタイプ：文字列

serviceQualificationItem.service.place	オプション。サービス認定アイテムの
	[cmn_location] テーブルにあります。
	
	注: 配列はサポートされています
	ります。
	
	データタイプ:オブジェクトのアレイ
	
	<pre>"place": [
	{
	"@type": "String"
	"id": "String",
	"name": "String"
	}
	]</pre>

serviceQualificationItem.service.place.@type	オプション。TMF オープン API 標準の `GeographicSite` です。この情報は保 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.place.id	必須。場所 [cmn_location] テーブル 所 [cmn_location] テーブルの有効な データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.place.name	オプション。場所の名前。この値は、 トリに対して検証されません。 データタイプ：文字列

serviceQualificationItem.service.referenceServiceInventory	必須。必要な場所のアクティブなサー
	ントリエンティティ。認定注文の場所
	場所から取得されます。
	
	重要: *referenceServiceInve*
	て、既存のアクティブな Access
	サービスを認定します。これを行
	serviceInventory オブジェク
	ないと、API はエラーを返します。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	<pre>"referenceServiceInventory"
	"id": "String"
	}</pre>

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター	**Description** (説明)
serviceQualificationItem.service.referenceServiceInventory.id	要求で *serviceQualificationItem.ser* を使用する場合は必須です。必要な場 有効なサービスインベントリエンティ メモにのみ記載されています。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic	オプション。サービス特性のアレイ。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"serviceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String", "valueType": "String", } ]`
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.name	必須。特性の名前。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.value	オプション。特性の値。TM オープン 釈。この値は常に `ServiceQualific` れません。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.valueType	オプション。特性の値タイプ。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceInventory	オプション。アップグレードまたはダ サービスを参照する有効なサービスイ **重要:** サービスのアップグレード *serviceInventory* オブジェク 求から場所 *array* と *reference* 省略する必要があります。省略し データタイプ: オブジェクト `"serviceInventory": { "id": "String" }`
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification	必須。認定アイテムのサービス仕様。 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テ service_specification フィールドに保 仕様をリソース向けにすることはでき データタイプ:オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター	**Description** (説明)

	<pre>"serviceSpecification": {
	  "@type": "String",
	  "id": "String",
	  "name": "String"
	}</pre>

serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.@type	オプション。TMF オープン API 標準の 常に `ServiceSpecification` です。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.id	必須。サービス仕様の外部 ID または初 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalVersion	オプション。サービス仕様の内部バー データタイプ：数値
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.name	必須。サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.version	オプション。サービス仕様の外部バー データタイプ：文字列

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	要求が正常に処理されました。 注: 特性または特性オプション情報に問題がある場合、エンドポイントは、既存の配送注文と同様に、関連する顧客注文明細品目レコードの作業メモフィールドに次のコメントを保存します
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード:必須フィールドがありません:<フィールド名> • 無効なペイロード：要求本文がありません - ペイロードが要求本文で渡されませんでした。 • 無効なペイロード:relatedParty がありません。 • 無効なペイロード:serviceQualificationItem がありません。 • 無効なペイロード:serviceQualificationItem id がありません。 • 無効なペイロード:serviceQualificationItem サービスがありません。 • 無効なペイロード:場所情報がありません。place、serviceInventory、または referenceServiceInventory を指定してください。 • 無効なペイロード:仕様情報がありません。serviceSpecification または serviceInventory を指定してください。 • 無効なペイロード:サービス仕様が存在しません。 • 無効なペイロード:顧客アカウントが存在しません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

応答本文で返される要素

要素	**Description** (説明)
id	認定顧客注文のSys_id。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
href	認定注文レコードへの相対リンク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	データタイプ：文字列
説明	顧客注文の short_description フィールドからフェッチされた認定要求の説明。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
externalId	顧客注文の [external_id] フィールドの外部 ID。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
認定結果	顧客注文の結果フィールドの認定ステータス。可能な値： • オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字列
state	顧客注文のステータスフィールドにある顧客注文のステータス。 データタイプ：文字列
@type	TMF オープン API 標準の一部。認定の注釈。この値は常に `CheckServiceQualification` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
checkServiceQualificationDate	顧客注文のorder_dateフィールドから作成された認定要求の日時。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SSSZの データタイプ：文字列
有効資格日	顧客注文の order_date フィールドからフェッチされた有効な認定日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SSSZの データタイプ：文字列
expectedQualificationDate	予定されている認定日を保存します。顧客注文の expected_end_dateフィールドに保持されます。顧客注文 [sn_ind_tmt_orm_order] テーブルにあります。 形式:YYYY-MM-DDTHH:MM:SS。SSSZの データタイプ：文字列
relatedParty	認定要求の連絡先のリスト。各連絡先はアレイ内のオブジェクトです。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedParty.id	注文に関連付けられたアカウント、顧客の連絡先、またはコンシューマーのSys_idまたはexternal_id。アカウント [customer_account] テーブル、連絡先 [customer_contact] テーブル、またはコンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	アカウント、顧客、またはコンシューマーの名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@type	TMF オープン API 標準の一部。注文品目連絡先の注釈。この値は常に

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	`RelatedParty` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関係者のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerContact データタイプ：文字列
serviceQualificationItem	場所、サービス情報、およびサービスの特性に関する情報を含むサービス認定アイテムのリスト。顧客注文の注文品目として保存されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceQualificationItem": [ { "id": "String", "action": "String", "expectedServiceAvailabilityDate": "Number", "service": {Object}, "@type": "String" } ],`
serviceQualificationItem.id	認定アイテムの ID。注文明細品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルの顧客注文明細品目の external_id フィールドに保存されます。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.qualificationResult	認定アイテムの結果。顧客の注文明細品目の [結果] フィールドに保存されます。注文明細品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルにあります。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	• オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.state	顧客の注文明細品目の [ステータス] フィールドから導出された認定アイテムのステータス。注文明細品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.quantity	顧客の注文明細品目の [数量] フィールドから導出された認定アイテムの数量。注文明細品目 [sn_ind_tmt_orm_order_line_item] テーブルにあります。 データタイプ：数値
serviceQualificationItem.@type	TMF オープン API 標準の一部。認定アイテムの注釈。この値は常に *ServiceQualificationItem* です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service	場所 (場所)、サービスの仕様、サービスの特性に関する詳細を含むサービス情報。 データタイプ: オブジェクト `"service": { "@type": "String", "place": [Array], "serviceCharacteristic": [Array], "serviceSpecification": {Object} }`
serviceQualificationItem.service.@type	TMF Open API 標準の一部。サービスの注釈。この値は常に `Service` です。この情報は保存されません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.place	サービス資格アイテムの場所情報。 データタイプ:オブジェクトのアレイ 注: この配列には、1 つの場所のみを含めることができます。 `"place": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
serviceQualificationItem.service.place.id	場所 [cmn_location] テーブル内の場所のSys_id。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.place.name	場所の名前。場所 [cmn_location] テーブルのエントリに対して検証されていません。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.place.@type	TMF オープン API 標準の一部。サービスの注釈。この値は常に `GeographicSite` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification	認定アイテムのサービス仕様の詳細。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"serviceSpecification": { "id": "String", "internalVersion": "Number", "internalId": "String", "name": "String" "@type": "ServiceSpecification" "version": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文で返される要素 (続く)

要素	Description (説明)
	} }
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の外部 ID または初期バージョン。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の外部バージョン。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様の内部バージョン。 データタイプ：数値
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の初期バージョン。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標準の一部。サービス仕様の注釈。この値は常に `ServiceSpecification` です。この情報は保存されません。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic	サービス特性のリスト。 データタイプ:オブジェクトのアレイ `"serviceCharacteristic": [ { "name": "String", "value": "String" "valueType": "String", } ]`
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性の値タイプ。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字列
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ユースケース 1

次の例は、単一の認定アイテムを含む単純な要求を示しています。

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification " \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "description": "check service qualification illustration",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z",
  "externalId": "CSQ1",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "place": [
          {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "Jean Pontus home",
            "@type": "GeographicSite"
          }
        ],
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "Speed",
            "value": "High"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "Broadband Service",
          "@type": "ServiceSpecification"
        }
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    }
  ],
  "@type": "CheckServiceQualification"
}
```

応答：

```
{
  "id": "0b45c47938bf1110f877c8d44c4b895d",
  "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/0b45c4793
8bf1110f877c8d44c4b895d",
  "description": "check service qualification illustration",
  "externalId": "CSQ1",
  "qualificationResult": "none",
  "state": "new",
  "@type": "CheckServiceQualification",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "qualificationResult": "none",
      "state": "new",
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "Speed",
            "valueType": "choice",
            "value": "High"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
          "name": "Broadband Service",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      }
    }
  ],
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z"
}
```

Example: ユースケース 2

次の例は、ID を使用して簡単なサービス資格を要求し、既存のサービスで顧客の場所を取得する方法を示しています。

注: ID の参照サービスインベントリ = 場所 = 20220 Bow Willow、テキサス州ヒューストンの製品インベントリ

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification " \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "description": "check service qualification illustration",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z",
  "externalId": "CSQ1",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "referenceServiceInventory": {
          "id": "f1b2d99e777301108e191e599a5a99d2"
        },
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "Speed",
            "value": "High"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
          "name": "Broadband Service",
          "@type": "ServiceSpecification"
        }
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    }
  ],
  "@type": "CheckServiceQualification"
}
```

応答。*place* は要求内の *referenceServiceInventory* から入力されます。

```
{
    "id": "1683497138b35110f877c8d44c4b890a",

 "href":"/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/16
83497138b35110f877c8d44c4b890a",
    "description": "check service qualification illustration",
    "externalId": "CSQ1",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
    "@type": "CheckServiceQualification",
    "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
    "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
    "serviceQualificationItem": [
        {
            "id": "100",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [
                    {
                        "name": "Speed",
                        "valueType": "choice",
                        "value": "High"
                    }
                ],
                "serviceSpecification": {
                    "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
                    "name": "Broadband Service",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "25aba4010a0a0bb3008f329002f12211",
                    "name": "20220 Bow Willow, Houston,TX",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        }
    ],
    "effectiveQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
    "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z"
}
```

Example: ユースケース 3

次の例は、ユーザーのブロードバンド サービスを高速にアップグレードする方法を示しています。ID = のサービスインベントリは、サービス仕様 = 'ブロードバンドサービス'、場所 = 20220 Bow Willow, Houston, TX, Characteristics=[{Speed:Medium}] の製品インベントリです。

```
{
  "description": "check service qualification illustration",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z",
  "externalId": "CSQ1",
  "relatedParty": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceInventory": {
          "id": "f1b2d99e777301108e191e599a5a99d2"
        },
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "Speed",
            "value": "High"
          }
        ]
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    }
  ],
  "@type": "CheckServiceQualification"
}
```


応答。要求内の*serviceInventory*から*place*と*specification*が入力されます。

注: 最初に要求ペイロードから特性が取得され、次に残りの特性 (存在する場合) が *serviceInventory* から取得されます。


```
{
    "id": " db8485b138b35110f877c8d44c4b892b",
    "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/
 db8485b138b35110f877c8d44c4b892b",
    "description": "check service qualification illustration",
    "externalId": "CSQ1",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
    "@type": "CheckServiceQualification",
    "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "relatedParty": [
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "CustomerContact"
        },
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Customer"
        },
        {
            "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
            "name": "Funco External",
            "@type": "RelatedParty",
            "@referredType": "Consumer"
        }
    ],
    "serviceQualificationItem": [
        {
            "id": "100",
            "qualificationResult": "none",
            "state": "new",
            "quantity": "1",
            "@type": "ServiceQualificationItem",
            "service": {
                "@type": "Service",
                "serviceCharacteristic": [
                    {
                        "name": "Speed",
                        "valueType": "choice",
                        "value": "High"
                    }
                ],
                "serviceSpecification": {
                    "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
                    "name": "Broadband Service",
                    "version": "",
                    "internalVersion": "1",
                    "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
                    "@type": "ServiceSpecification"
                },
                "place": {
                    "id": "25aba4010a0a0bb3008f329002f12211",
                    "name": "20220 Bow Willow, Houston,TX",
                    "@referredType": "GeographicSite"
                }
            }
        }
    ],
    "effectiveQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
    "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z"
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ユースケース 4

親と子の品目とその関係タイプの階層について説明します。quantity [数量] 属性を使用して複数の広告申込情報を作成する方法を示します。

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification " \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "description": "check service qualification illustration",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z",
  "externalId": "CSQ1",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "quantity": 2,
      "qualificationItemRelationship": [
        {
          "relationshipType": "HasChild",
          "id": "110"
        },
        {
          "relationshipType": "HasChild",
          "id": "120"
        },
        {
          "relationshipType": "HasChild",
          "id": "130"
        }
      ],
      "service": {
        "@type": "Service",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "place": [
          {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "Jean Pontus home",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        ],
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "string",
            "name": "Speed",
            "value": "High"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
          "name": "Access Service"
        }
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    },
    {
      "id": "110",
      "action": "add",
      "expectedServiceAvailabilityDate": "2022-12-10T19:20:39.239Z",
      "qualificationItemRelationship": [
        {
          "relationshipType": "HasParent",
          "id": "100"
        }
      ],
      "service": {
        "@type": "Service",
        "place": [
          {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "Jean Pontus home",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        ],
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "Fiber Speed",
            "value": "1Gbps"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "name": "CFS3",
          "internalVersion": "1",
          "id": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116"
        },
        "state": "new"
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    },
    {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "id": "120",
      "action": "add",
      "qualificationItemRelationship": [
        {
          "relationshipType": "HasParent",
          "id": "100"
        }
      ],
      "expectedServiceAvailabilityDate": "2022-11-12T19:20:39.239Z",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "place": [
          {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "Jean Pontus home",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        ],
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "DSL Speed",
            "value": "500 Mbps"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "name": "CF1",
          "internalVersion": "1",
          "id": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd"
        },
        "state": "new"
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    },
    {
      "id": "130",
      "action": "add",
      "expectedServiceAvailabilityDate": "2020-04-11T19:20:39.239Z",
      "qualificationItemRelationship": [
        {
          "relationshipType": "HasParent",
          "id": "100"
        }
      ],
      "service": {
        "@type": "Service",
        "place": [
          {
            "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
            "name": "Jean Pontus home",
            "@referredType": "GeographicSite"
          }
        ],
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "valueType": "choice",
            "name": "Wireless Speed",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "value": "100 Mbps"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "name": "CFS2",
          "internalVersion": "1",
          "id": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163"
        },
        "state": "new"
      },
      "@type": "ServiceQualificationItem"
    }
  ],
  "@type": "CheckServiceQualification"
}
```

応答：

```
{
  "id": "7bf9cd7538b35110f877c8d44c4b89e4",
  "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/7bf9cd753
8b35110f877c8d44c4b89e4",
  "description": "check service qualification illustration",
  "externalId": "CSQ1",
  "qualificationResult": "none",
  "state": "new",
  "@type": "CheckServiceQualification",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "120",
      "qualificationResult": "none",
      "state": "new",
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "@type": "Service",
      "serviceCharacteristic": [
        {
          "name": "DSL Speed",
          "valueType": "choice",
          "value": "500 Mbps"
        }
      ],
      "serviceSpecification": {
        "id": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
        "name": "CFS1",
        "version": "",
        "internalVersion": "1",
        "internalId": "1d43f91d45f31150f877e0588eca21cd",
        "@type": "ServiceSpecification"
      },
      "place": {
        "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
        "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
        "@referredType": "GeographicSite"
      }
    }
  },
  {
    "id": "110",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
    "quantity": "1",
    "@type": "ServiceQualificationItem",
    "service": {
      "@type": "Service",
      "serviceCharacteristic": [
        {
          "name": "Fiber Speed",
          "valueType": "choice",
          "value": "1Gbps"
        }
      ],
      "serviceSpecification": {
        "id": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
        "name": "CFS3",
        "version": "",
        "internalVersion": "1",
        "internalId": "4d2b5799457b1150f877e0588eca2116",
        "@type": "ServiceSpecification"
      },
      "place": {
        "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
        "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
        "@referredType": "GeographicSite"
      }
    }
  },
  {
    "id": "130",
    "qualificationResult": "none",
    "state": "new",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "Wireless Speed",
            "valueType": "choice",
            "value": "100 Mbps"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
          "name": "CFS2",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "28733d1d45f31150f877e0588eca2163",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      }
    },
    {
      "id": "100",
      "qualificationResult": "none",
      "state": "new",
      "quantity": "2",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "Speed",
            "valueType": "choice",
            "value": "High"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
          "name": "Access Service",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "b3933d9d45f31150f877e0588eca21fc",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      }
    }
  ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z"
}
```

テクニカルサービス認定オープン **API - POST sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/processResult**

プロセステクニカルサービス認定オープン API に送信されるテクニカルサービスの認定結果。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/processResult`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

パラメーター
serviceQualificationItem

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター
serviceQualificationItem.@type
serviceQualificationItem.alternateProposal
serviceQualificationItem.alternateProposal.@type
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.alternateService.serviceCharacteristic.valueTyp
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceCharacteristic

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceCharacteristic.name
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceCharacteristic.value
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService .serviceSpecification
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService .serviceSpecification.@type
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceSpecification.id
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceSpecification.internalVersion
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceSpecification.name

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateService.serviceSpecification.version
serviceQualificationItem.alternateProposal.alternateServiceAvailabilityDate
serviceQualificationItem.alternateProposal.id
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.code
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.label

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

パラメーター
serviceQualificationItem.id
serviceQualificationItem.qualificationResult

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。以下のいずれかの理由が考えられます。 • 無効なペイロード:認定結果は [代替、保留中、認定済み、非認定] のいずれかである必要があります。 • 無効なペイロード:認定アイテム ID が存在しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
	• すべての認定品目は、同じ上位注文品目に属している必要があります。 • 無効なペイロード:serviceQualificationItem qualificationResult がありません。 • 無効なペイロード:コンシューマーが存在しません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
id	認定顧客注文のSys_ [sn_ind_tmt_orm_o す。 データタイプ：文字
href	認定注文レコードへ データタイプ：文字
説明	顧客注文の short_de からフェッチされた 注文 [sn_ind_tmt_o あります。 データタイプ：文字
externalId	顧客注文の [externa 部 ID。顧客注文 [sn テーブルにあります データタイプ：文字
認定結果	顧客注文の結果フィ ス。可能な値： • オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
state	顧客注文のステータ 客注文のステータス データタイプ：文字

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
@type	TMF オープン API 標 部。認定の注釈。こ CheckServiceQua の情報は保存されま データタイプ：文字
checkServiceQualificationDate	顧客注文のorder_d 作成された認定要求 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
有効資格日	顧客注文の order_c フェッチされた有効 [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字
expectedQualificationDate	予定されている認定 顧客注文のexpecte フィールドに保持さ [sn_ind_tmt_orm_o す。 形式:YYYY-MM-DD の データタイプ：文字

relatedParty	認定要求の連絡先の
	レイ内のオブジェク
	
	データタイプ：オブ
	`"relatedParty"`
	`{`
	`"id": "Str`
	`"name": "S`
	`"@referred`
	`"@type": "`
	`}`
	`]`

relatedParty.id	注文に関連付けられ 客の連絡先、または Sys_idまたはextern [customer_accour [customer_contac

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	ンシューマー [csm_ あります。 データタイプ：文字
relatedParty.name	アカウント、顧客、 の名前。 データタイプ：文字
relatedParty.@type	TMF オープン API 標 絡先の注釈。この値 です。この情報は保 データタイプ：文字
relatedParty.@referredType	関係者のタイプ。 可能な値： • コンシューマー • カスタマー • CustomerConta データタイプ：文字

serviceQualificationItem	場所、サービス情報
	性に関する情報を含
	ムのリスト。顧客注
	存されます。
	
	データタイプ：オブ
	`"serviceQualif`
	`{`
	`"id": "Strin`
	`"action": "S`
	
	`"expectedServ`
	`te": "Number",`
	`"service": {`
	`"@type": "St`
	`}`
	`],`

serviceQualificationItem.id	認定アイテムの ID。 [sn_ind_tmt_orm_o ブルの顧客注文明細 フィールドに保存さ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.qualificationResult	認定アイテムの結果 文明細品目の [結果] に保存されます。注

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 可能な値： • オルタネイト • なし • 保留中 • 認定済み • 無資格の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.state	顧客の注文明細品目 フィールドから導出 テムのステータス。 [sn_ind_tmt_orm_o ルにあります。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.quantity	顧客の注文明細品目 ら導出された認定ア 細品目 [sn_ind_tmt_ テーブルにあります データタイプ：数値
serviceQualificationItem.@type	TMF オープン API 標 定アイテムの注釈。 *ServiceQualificatio* は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItem.service	場所 (場所)、サービ
	特性に関する詳細を
	
	データタイプ: オブジ
	
	`"service": {`
	`"@type": "St`
	`"place": [Ar`
	`"serviceChar`
	`[Array],`
	`"serviceSpec`
	`{Object}`
	`}`

serviceQualificationItem.service.@type	TMF Open API 標準 釈。この値は常に S 報は保存されません データタイプ：文字

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

serviceQualificationItem.service.place	サービス資格アイテ
	
	データタイプ:オブシ
	
	注: この配列に
	を含めることが
	
	"place": [
	{
	"id": "Strin
	"name": "Str
	"@referredTy
	}
	]

serviceQualificationItem.service.place.id	場所 [cmn_location Sys_id。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.name	場所の名前。場所 [c ルのエントリに対し ん。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.place.@type	TMF オープン API 標 注釈。この値は常に す。この情報は保存 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification	認定アイテムのサー データタイプ:オブシ "serviceSpecif "id": "Strin "internalVer "internalId" "name": "Str "@type": "ServiceSpeci "version": " }
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.id	サービス仕様の外部 ン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.name	サービス仕様の名前 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.version	サービス仕様の外部

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalVersion	サービス仕様の内部 データタイプ：数値
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.internalId	サービス仕様の初期 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 `ServiceSpecific` は保存されません。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic	サービス特性のリス データタイプ:オブシ `"serviceCharac { "name": "Str "value": "St "valueType": } ]`
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.valueType	特性の値タイプ。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.name	特性の名前。 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.service.serviceCharacteristic.value	特性の値。 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal	認定注文の代替サー 提案。代替案は、代 [sn_ord_qual_mgm テーブルに保存され データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.id	代替提案 [sn_ord_qual_mgm テーブルの代替提案 データタイプ：文字
ServiceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateServiceAvailabilityDate	代替提案 [sn_ord_qual_mgm

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	テーブルの代替提案 available_dateフィ データタイプ：文字
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService	代替案で表されるサ データタイプ: Obje
serviceQualificationItem.alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification	代替提案のサービス [sn_ord_qual_mgm テーブルの仕様に保 データタイプ: オブジ
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.id	代替サービス仕様の ジョン。 データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.name	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.version	代替サービス仕様の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalVersion	代替サービス仕様の データタイプ：数値
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.internalId	代替サービス仕様の データタイプ：文字
ServiceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceSpecification.@type	TMF オープン API 標 サービス仕様の注釈 `ServiceSpecific` は保存されません。 データタイプ：文字

serviceQualificationItemで
す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic
	代替サービス提案の
	イ。
	
	データタイプ:オブジ
	
	`"serviceCharac`
	`{`
	`"name": "Str`
	`"value": "St`
	`"valueType":`
	`}`
	`]`

serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.valueType	代替サービス特性の

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.name	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItemで す。alternateServiceProposal.alternateService.serviceCharacteristic.value	代替サービス特性の データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason	サービスが利用でき サービス適格性利用 この値はunavailab 文 [sn_ind_tmt_orm ブルのフィールドに データタイプ：アレ
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.code	サービス適格性利用 データタイプ：文字
serviceQualificationItem.eligibilityUnavailabilityReason.label	サービス適格性利用 データタイプ：文字

Example: サンプル cURL 要求

次の例は、API 要求で送信された認定注文をエンドポイントがどのように処理するかを示しています。

```
curl -X POST
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/che
ckServiceQualification/processResult " \
-H "Accept: application/json" \
-H "Content-Type: application/json" \
-u "username":"password" \
-d {
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "eligibilityUnavailabilityReason": [
        {
          "code": "26-001",
          "label": "not enough bandwith at this place"
        }
      ],
      "qualificationResult": "alternate",
      "alternateServiceProposal": [
        {
          "alternateServiceAvailabilityDate": "2022-12-15T19:20:39.239Z",
          "@type": "AlternateServiceProposal",
          "id": "1",
          "alternateService": {
            "@type": "Service",
            "serviceSpecification": {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "ServiceSpecification",
            "name": "Mobile Service",
            "id": "23",
            "href": "string"
          },
          "serviceCharacteristic": [
            {
              "@type": "ServiceCharacteristic",
              "valueType": "string",
              "name": "BroadcastQuality",
              "id": "1",
              "value": "HD"
            }
          ]
        }
      }
    ],
    "@type": "ServiceQualificationItem",
    "id": "295580b938bf1110f877c8d44c4b8912"
  },
  {
    "qualificationResult": "alternate",
    "alternateServiceProposal": [
      {
        "alternateServiceAvailabilityDate": "2022-12-15T19:20:39.239Z",
        "@type": "AlternateServiceProposal",
        "id": "1",
        "alternateService": {
          "@type": "Service",
          "serviceSpecification": {
            "@type": "ServiceSpecification",
            "name": "Mobile Service",
            "id": "23",
            "href": "string"
          },
          "serviceCharacteristic": [
            {
              "@type": "ServiceCharacteristic",
              "valueType": "string",
              "name": "BroadcastQuality",
              "id": "1",
              "value": "HD"
            }
          ]
        }
      }
    ],
    "@type": "ServiceQualificationItem",
    "action": "add",
    "id": "295580b938bf1110f877c8d44c4b8915"
  },
  {
    "qualificationResult": "alternate",
    "alternateServiceProposal": [
      {
        "alternateServiceAvailabilityDate": "2022-12-15T19:20:39.239Z",
        "@type": "AlternateServiceProposal",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "id": "1",
          "alternateService": {
            "@type": "Service",
            "serviceSpecification": {
              "@type": "ServiceSpecification",
              "name": "Mobile Service",
              "id": "23",
              "href": "string"
            },
            "serviceCharacteristic": [
              {
                "@type": "ServiceCharacteristic",
                "valueType": "string",
                "name": "BroadcastQuality",
                "id": "1",
                "value": "HD"
              }
            ]
          }
        }
      ],
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "id": "2d5580b938bf1110f877c8d44c4b8902"
    }
  ],
  "@type": "CheckServiceQualification",
  "description": "check service qualification illustration"
}
```


応答本文：


```
{
  "id": "0b45c47938bf1110f877c8d44c4b895d",
  "href":
 "/api/sn_ord_qual_mgmt/qualification/checkServiceQualification/0b45c4793
8bf1110f877c8d44c4b895d",
  "description": "check service qualification illustration",
  "externalId": "CSQ1",
  "qualificationResult": "alternate",
  "state": "new",
  "@type": "CheckServiceQualification",
  "checkServiceQualificationDate": "2022-12-14T23:44:44.000Z",
  "relatedParty": [
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "CustomerContact"
    },
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Customer"
    },
    {
      "id": "59f16de1c3b67110ff00ed23a140dd9e",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "name": "Funco External",
      "@type": "RelatedParty",
      "@referredType": "Consumer"
    }
  ],
  "serviceQualificationItem": [
    {
      "id": "100",
      "qualificationResult": "alternate",
      "state": "in_progress",
      "quantity": "1",
      "@type": "ServiceQualificationItem",
      "service": {
        "@type": "Service",
        "serviceCharacteristic": [
          {
            "name": "Speed",
            "valueType": "choice",
            "value": "High"
          }
        ],
        "serviceSpecification": {
          "id": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
          "name": "Broadband Service",
          "version": "",
          "internalVersion": "1",
          "internalId": "91478553b7969910ff00f203ae11a97d",
          "@type": "ServiceSpecification"
        },
        "place": {
          "id": "5671dd2ec3a53010188473ce3640dd81",
          "name": "3000 Main Street, Santa Clara, CA",
          "@referredType": "GeographicSite"
        }
      },
      "alternateServiceProposal": [
        {
          "id": "350e66a2e5331110f87741b459ef19b0",
          "alternateServiceAvailabilityDate": "2022-12-15 19:20:39",
          "alternateService": {
            "serviceCharacteristic": [
              {
                "@type": "ServiceCharacteristic",
                "valueType": "string",
                "name": "BroadcastQuality",
                "id": "1",
                "value": "HD"
              }
            ],
            "serviceSpecification": {
              "id": "23e7ed67c32310105252716b7d40dd80",
              "name": "Mobile Service",
              "version": "",
              "internalVersion": "1",
              "internalId": "23e7ed67c32310105252716b7d40dd80",
              "@type": "ServiceSpecification"
            },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "Service"
          },
          "@type": "AlternateServiceProposal"
        }
      ],
      "eligibilityUnavailabilityReason": [
        {
          "label": "not enough bandwith at this place",
          "@type": "string"
        }
      ]
    }
  ],
  "effectiveQualificationDate": "2023-12-14T23:44:44.000Z",
  "expectedQualificationDate": "2023-10-11T15:20:39.000Z"
}
```


TISC API

TISC API は、脅威インテリジェンスセキュリティセンター (TISC) アプリケーションで脅威インテリジェンスデータを追加および取得するためのエンドポイントを提供します。

この API によって取得されたデータは、セキュリティ情報イベント管理 (SIEM) システムなどの他のセキュリティツールで使用できます。SIEM システムは、この API を使用して TISC と統合し、TISC 内の脅威に関連する観測事象を取得し、組織のネットワーク内でこれらの脅威を自動的に検出して監視できます。この API を使用すると、セキュリティツールから観測事象を双方向で共有できます。SIEM システムは、環境内の異常なアクティビティを監視し、 TISCする異常なアクティビティに関連付けられた観測事象のリストを提供できます。

この API を使用して、脅威インテリジェンスのコンテキストで SIEM アラートを強化することもできます。たとえば、IP アドレスからの異常に高いトラフィックに基づいて SIEM アラートが生成された場合、 TISC は、関連する IP アドレスまたはドメインが既知の悪意のあるアクティビティにリンクされているかどうかなどの追加情報を提供できます。この拡張データにより、セキュリティアナリストはアラートをトリアージし、コンテキスト情報を使用して効率的に修復できます。

この API には、ServiceNow Store で利用可能な 脅威インテリジェンスセキュリティセンター アプリケーションが必要です。

この API は `sn_sec_tisc` 名前空間で実行されます。

この API の現在のバージョンは `v1` です。

API 認証の詳細については、「 REST API」の「REST API セキュリティ」セクションを参照してください。

TISCの詳細については、「脅威インテリジェンスセキュリティセンター 」を参照してください。

TISC API:POST/sn_sec_tisc/threat_intel_data/add_observables

観測事象ソースレコードを 脅威インテリジェンスセキュリティセンター (TISC) アプリケーションに追加します。

観測事象ソースレコード は観測事象ソース [sn_sec_tisc_observable_source] テーブルに作成され、TISC データフロー の重複排除と集計によって処理されます。

> **注:** このエンドポイントを使用して観測事象ソースレコードを直接更新することはできません。新規レコードのみ作成できます。したがって、更新が必要なフィールドが少ない場合でも、すべてのフィールドを要求に含める必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このエンドポイントにアクセスするには、sn_sec_tisc.api_obs_write_access ロールが必要です。このロールは、デフォルトで脅威インテリジェンスアドミンロール (sn_sec_tisc.admin) に含まれています。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_sec_tisc/{api_version}/threat_intel_data/add_observables`

デフォルト URL: `/api/sn_sec_tisc/threat_intel_data/add_observables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
観測事象	必須。TISCに追加する観測事象オブジェクトのアレイ。すべての検証に合格すると、観測事象オブジェクトごとに、要求本文の *source* パラメーターで定義されたソースを使用して観測事象ソースレコードが作成されます。 `"observables": [ { "attributes": {Object}, "<field>": "String" } ]` データタイプ:オブジェクトのアレイ
observables.attributes	観測事象に関する属性データを含むフィールドと値のペア。属性は、IP アドレスの AS 番号やネットワークのソケットタイプなど、観測事象タイプに固有です。 すべての観測事象タイプのすべての属性がサポートされています。有効な属性の完全なリストについては、以下の「観測事象属性」セクションを参照してください。 `"attributes": { "<field>": "<value>" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ: オブジェクト
observables.<field>	観測事象に関する一般的なデータを含むフィールドと値のペア。このパラメーターで指定できるフィールドは、すべての観測事象タイプに共通で、観測事象ソース [sn_sec_tisc_observable_source] テーブルにあります。 [*type*] および [*value*] フィールドは、すべての観測事象で必須です。 **注:** 値を指定する際は、次のガイドラインに従ってください。 • すべての日付は、UTC タイムゾーンの ISO 形式である必要があります。 • 一部のフィールドには、指定されたテーブルの値が必要であるか、使用可能な値のリストがあります。これらのフィールドに無効な値が指定された場合でも、観測事象ソースレコードは作成されますが、無効な値はスキップされます。 有効なフィールド： additional_context 観測事象に関する追加コンテキスト。 attack_phases 攻撃フェーズ名をカンマ区切り値でリストします。有効な攻撃フェーズの完全なリストについては、キルチェーンフェーズ [sn_sec_tisc_kill_chain_phase] テーブルの [キルチェーンフェーズ名] フィールドを参照してください。 例： `"attack_phases": "Lockheed Martin: Reconnaissance,Lockheed Martin: Installation"` author 観測事象の作成者。 信頼性 観測事象データの正確性に対するソースシステムの信頼性。0 ～ 100 の数値である必要があります。 説明 観測事象の説明。 expiration_time 観測事象レコードの有効期限。 external_source_id ソースシステムからの観測事象の外部 ID。 first_observed データが最初に確認された日付。 first_seen

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	この観測事象が悪意のあるアクティビティを実行していることが最初に確認された日付。 last_observed データが最後に表示された日付。 last_seen この観測事象が悪意のあるアクティビティを実行していることが最後に確認された日付。 メモ 観測事象に関する追加のメモ。HTML として書式設定できます。 reputation 観測事象の評判。 可能な値： • クリア • 悪意がある • 怪しい • 不明 source_reported_score ソースシステムによって報告された観測事象の悪意スコア。0 ～ 100 の数値である必要があります。 tags タグをカンマ区切り値としてリストします。有効なタグの完全なリストについては、タグ [sn_sec_tisc_tag] テーブルの [名前] フィールドを参照してください。指定されたタグが存在しない場合は、タグが自動的に作成され、観測事象に関連付けられます。 taxonomies 分類をカンマ区切り値でリストします。有効な分類の完全なリストについては、分類値 [sn_sec_tisc_taxonomy_value] テーブルの [分類値] フィールドを参照してください。 threat_level 観測事象の脅威レベル。 可能な値： • 低 • medium • 高 threat_severity 観測事象の脅威の重大度。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• 低 • medium • 高 • 重大 tlp トラフィックライトプロトコル (TLP) を使用する観測事象のデータ機密性レベル。TLP ラベル [sn_sec_tisc_tlp_label] テーブルの [ラベル] フィールドにあります。 可能な値： • CLEAR • 緑 • 琥珀色 • 琥珀色 + 厳格 (AMBER+STRICT) • 赤 type 必須。観測事象のタイプ。 有効な観測事象タイプの完全なリストについては、観測事象タイプ [sn_sec_tisc_observable_type] テーブルの [値] フィールド、または以下の「観測事象属性」セクションを参照してください。 usage_categories 使用カテゴリのリスト (カンマ区切り値)。有効な使用カテゴリの完全なリストについては、使用カテゴリ [sn_sec_tisc_usage_category] テーブルの [使用カテゴリ] フィールドを参照してください。 値 必須。IP アドレスや URL など、観測事象に関連付けられた値。 データタイプ：文字列
source	必須。観測事象を最初に検出したソース (SIEM システムなど)。 ソースは、API 要求にリストされているすべての観測事象に使用されます。 要求本文で指定されたソースは、API 統合 [sn_sec_tisc_api_integration] テーブルに追加されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。要求パラメーターが無効であるか、要求本文 JSON に構文エラーがあります。 エラーの詳細を表示するには、応答本文の *error* パラメーターを参照してください。
401	権限がありません。ユーザー認証が無効です。ユーザー名とパスワードまたは OAuth トークンを確認してください。
403	禁止されました。呼び出し元ユーザーに必要なロールがありません。このエンドポイントにアクセスするには、sn_sec_tisc.api_obs_write_access ロールが必要です。
429	要求が多すぎます。API 要求の数が API のレート制限を超えています。デフォルトでは、制限は 1 時間あたり 100 要求です。
500	内部サーバーエラーエラーの詳細については、ログ [syslog] テーブルのアプリケーションログを確認してください。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	<pre>"error": {
	  "message": "String",
	  "detail": "String"
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

error_records	TISCに追加できなかった要求に含まれる観測事象に関する詳細。
	<pre>"error_records": [
	  {
	  "error_message": "String",
	  "type": "String",
	  "value": "String"
	  }
	]</pre>
	データタイプ:オブジェクトのアレイ

error_records.error_message	観測事象のレコードを作成できなかった理由を説明するエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
error_records.type	観測事象のタイプ。 有効な観測事象タイプの完全なリストについては、観測事象タイプ [sn_sec_tisc_observable_type] テーブルの [値] フィールド、または以下の「観測事象属性」セクションを参照してください。 データタイプ：文字列
error_records.value	IP アドレスや URL など、観測事象に関連付けられた値。 データタイプ：文字列

メタデータ	API 要求によって作成されたレコードの数に関するメタデータ。
	<pre>"metadata": {
	  "error_records": Number,
	  "success_records": Number,
	  "total_records": Number
	}</pre>
	データタイプ: オブジェクト

metadata.error_records	要求に含まれていて、 TISCに追加できなかった観測事象の数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：数値
metadata.success_records	TISC 年に正常に作成された観測事象レコードの数。 データタイプ：数値
metadata.total_records	要求に含まれる観測事象の合計数。 データタイプ：数値
status	API 要求のステータス。 可能な値： • `success`:すべての観測事象が TISCに正常に追加されました。 • `partial_success`:一部の観測事象が TISCに正常に追加されました。 • エラー:観測事象が TISC に正常に追加されました。 • `failure`:不正な要求またはシステムエラーが原因で、要求が失敗しました。エラーの詳細については、応答本文の *`error`* パラメーターを参照してください。 データタイプ：文字列
success_records	正常に作成された観測事象レコードに関する詳細。 `"success_records": [ { "sys_id": "String", "type": "String", "value": "String" } ]` データタイプ:オブジェクトのアレイ
success_records.sys_id	観測事象レコードのSys_id。 データタイプ：文字列
success_records.type	観測事象のタイプ。 有効な観測事象タイプの完全なリストについては、観測事象タイプ [sn_sec_tisc_observable_type] テーブルの [値] フィールド、または以下の「観測事象属性」セクションを参照してください。 データタイプ：文字列
success_records.value	IP アドレスや URL など、観測事象に関連付けられた値。 データタイプ：文字列

観測可能属性

次の表に、各観測事象タイプの有効な属性を示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: すべての日付は、UTC タイムゾーンの ISO 形式である必要があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
artifact	decryption_key	文字列
	encryption_algorithm	文字列
	md5_hash	文字列
	mime_type	文字列
	sha1_hash	文字列
	sha256_hash	文字列
	sha512_hash	文字列
	url	文字列
autonomous_system_number	name	文字列
	RIR	文字列
ディレクトリ	directory_creation_time	日付
	directory_last_accessed_time	日付
	directory_last_modified_time	日付
	encoded_path	文字列
domain_name	is_fqdn (完全修飾ドメイン名)	ブール
	resolves_to	文字列
email_address	display_name	文字列
email_message	email_body	文字列
	email_recipients_bcc	文字列
	email_recipients_cc	文字列
	email_recipients_to	文字列
	email_sender	文字列
	email_subject	文字列
	sent_date	日付
email_subject	なし	
ファイル	encoded_file_name	文字列
	file_created_time	日付
	file_last_accessed_time	日付
	file_last_modified_time	日付
	file_name	文字列
	magic_number	文字列
	md5_hash	文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
	mime_type	文字列
	sha1_hash	文字列
	sha256_hash	文字列
	sha512_hash	文字列
ip_v4_address	as_number	文字列
	mac_address	文字列
ip_v4_cidr	as_number	文字列
	mac_address	文字列
ip_v6_address	as_number	文字列
	mac_address	文字列
ip_v6_cidr	as_number	文字列
	mac_address	文字列
mac_address	なし	
md5_hash	なし	
mutex_name	なし	
ネットワーク	destination_bytes_count	整数
	destination_packets_count	整数
	destination_port	
	end_time	日付
	http_message_body_length	整数
	http_request_header	文字列
	http_request_method	文字列
	http_request_value	文字列
	http_request_version	文字列
	network_source	文字列
	network_destination	文字列
	icmp_code_byte	文字列
	icmp_type_byte	文字列
	is_network_active	ブール
	is_socket_blocking	ブール
	is_socket_listening	ブール
	network_protocols	文字列
	socket_address_family	文字列 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
		• af_unspec • af_inet • af_ipx • af_appletalk • af_netbios • af_inet6 • af_irda • af_bth
	socket_descriptor	整数
	socket_handle	整数
	socket_options	文字列
	socket_type	文字列 可能な値： • service_kernel_driver • service_file_system_driver • service_win32_own_process • service_win32_share_process
	source_bytes_count	整数
	source_packets_count	整数
	source_port	文字列
	start_time	日付
	tcp_destination_flags	文字列
	tcp_source_flags	文字列
その他	なし	
process	aslr_enabled	ブール
	command_line	文字列
	CWD (現在の作業ディレクトリ)	文字列
	dep_enabled	ブール
	environment_variables	文字列
	is_hidden	ブール
	owner_sid	文字列
	pid (プロセス ID)	文字列
	priority	文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
	process_created_time	日付
	service_descriptions	文字列
	service_display_name	文字列
	service_group_name	文字列
	service_name	文字列
	service_start_type	文字列 可能な値： • service_auto_start • service_boot_start • service_demand_start • service_disabled • service_system_alert
	service_status	文字列 可能な値： • service_continue_pending • service_pause_pending • service_paused • service_running • service_start_pending • service_stop_pending • service_stopped
	service_type	文字列 可能な値： • service_kernel_driver • service_file_system_driver • service_win32_own_process • service_win32_share_process
	startup_info	文字列
	windows_integrity_level	文字列 可能な値： • 低 • medium • 高 • システム
	window_title	文字列
sha1_hash	なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
sha256_hash	なし	
sha512_hash	なし	
ソフトウェア	cpe (共通プラットフォーム列挙)	文字列
	supported_languages	文字列
	SWID (ソフトウェアの識別)	文字列
	ベンダー	文字列
	version	文字列
url	なし	
user_account	account_created_time	日付
	account_expiry_time	日付
	口座_タイプ	文字列
	can_escalate_privileges	ブール
	credentials_last_changed_time	日付
	display_name	文字列
	first_login_time	日付
	is_account_disabled	ブール
	is_privileged	ブール
	is_service_account	ブール
	last_login_time	日付
	account_login	文字列
	user_id	文字列
windows_registry_key	key_modified_time	日付
	registry_value	文字列
	subkeys_count	整数
x509_certificate	authority_key_identifier	文字列
	basic_constraints	文字列
	certificate_policies	文字列
	crl_distribution_points	文字列
	extended_key_usage	文字列
	inhibit_any_policy	文字列
	issuer	文字列
	issuer_alternative_name	文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

観測事象タイプ	属性	データタイプ
	is_self_signed	ブール
	key_usage	文字列
	name_constraints	文字列
	policy_constraints	文字列
	policy_mappings	文字列
	private_key_usage_valid_from	日付
	private_key_usage_valid_until	日付
	signature_algorithm	文字列
	subject	文字列
	subject_alternative_name	文字列
	subject_directory_attributes	文字列
	subject_key_identifier	文字列
	subject_public_key_algorithm	文字列
	subject_public_key_exponent	整数
	subject_public_key_modulus	文字列
	valid_from	日付
	valid_until	日付
	version	文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この要求例には、 TISCでレコードを作成する 3 つの観測事象が含まれています。

```
curl
 'http://instance.servicenow.com/api/sn_sec_tisc/v1/threat_intel_data/add
_observables' \
--request POST \
--header 'Content-Type: application/json' \
--header 'Authorization: Basic YWRtaW46YWRtaW4=' \
--data '{
   "source": "Sentinel",
   "observables": [
      {
         "value": "1.2.1.45",
         "type": "ip_v4_address",
         "reputation": "malicious",
         "confidence": "90",
         "tags": "critical,important",
         "taxonomies": "MITRE: T121",
         "attack_phases": "Lockheed Martin: Reconnaissance",
         "usage_categories": "Infected Bot",
         "first_seen": "2023-10-14T18:01:34.000Z",
         "attributes": {
            "as_number": "14280"
         }
      },
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
         "value": "https://example.com",
         "type": "url",
         "tags": "important",
         "confidence": "50",
         "reputation": "malicious"
      },
      {
         "value": "1.1.1.1",
         "type": "ip_add",
         "confidence": "50",
         "reputation": "malicious"
      }
   ]
}'
```

3 つの観測事象のうち 2 つが TISC に正常に追加されました。観測事象タイプが無効なため、1 つのレコードが作成されませんでした。

```
{
   "status": "partial_success",
   "metadata": {
      "total_records": 3,
      "success_records": 2,
      "error_records": 1
   },
   "success_records": [
      {
         "value": "1.2.1.45",
         "type": "ip_v4_address",
         "sys_id": "e519392643e642102164e0ea78b8f29d"
      },
      {
         "value": "https://example.com",
         "type": "url",
         "sys_id": "ad1979ae43ea42102164e0ea78b8f241"
      }
   ],
   "error_records": [
      {
         "value": "1.1.1.1",
         "type": "ip_va",
         "error_message": "The 'type' field value is invalid"
      }
   ]
}
```

TISC API - POST /sn_sec_tisc/threat_intel_data/observables

観測事象と他の脅威インテリジェンスデータ (構造化脅威情報表現 (STIX) オブジェクトなど) との関係を含む、観測事象データを取得します。

応答で返される観測事象は、 *sys_id* の昇順でソートされます。

観測事象と STIX オブジェクトの詳細については、「IoC リポジトリ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このエンドポイントにアクセスするには、sn_sec_tisc.api_obs_read_access ロールが必要です。このロールは、デフォルトで脅威インテリジェンスアドミンロール (sn_sec_tisc.admin) に含まれています。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_sec_tisc/{api_version}/threat_intel_data/observables`

デフォルト URL: `/api/sn_sec_tisc/threat_intel_data/observables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
included_fields	応答内の観測事象、観測事象参照、ブジェクトに対して返されるフィー象、参照、および STIX オブジェク に異なるフィールドを返すことがで ServiceNow システムフィールド (sys_created_on、sys_updated_ sys_id を除く) は、応答で返されま `"included_fields": { "observable": {Object} "reference": {Object}, "<stix_object>": {Obje }` データタイプ: オブジェクト
included_fields.observable	観測事象に対して返されるフィール `"observable": { "attributes": {Object} "common_fields": {Obje }` データタイプ: オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	デフォルト:すべての観測事象タイ syd_id、タイプ、および値を返しま
included_fields.observable.attributes	指定された観測事象タイプに対して フィールドを含むオブジェクト。 `"attributes": { "<observable_type>": { } }` データタイプ: オブジェクト デフォルト:観測事象タイプに固有 返されません。フィールド syd_id、 び値のみが返されます。
included_fields.observable.attributes.<observable_type>	観測事象タイプに対して返される むオブジェクト。 `"<observable_type>": { "include_all_fields": "values": [Array] }` `<observable_type>` は観測事象 (アーティファクトなど)に置き換え 観測事象タイプの完全なリストにつ 事象タイプ [sn_sec_tisc_observab ブルの [値] フィールドを参照して データタイプ: オブジェクト
included_fields.observable.attributes.<observable_type>.include_all_fields	観測事象タイプで利用可能なすべて を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:観測事象タイプのすべての します。 • false:観測事象タイプの *values* で指定されたフィールドのみを返 データタイプ：ブーリアン
included_fields.observable.attributes.<observable_type>.values	観測事象タイプに対して返される ルドのリスト。このパラメーターは *include_all_fields* の値が fal み使用してください。 `"values": [ "String" ]`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	指定されたフィールドは、観測事象 ブルからcolumn_namesする必要 のテーブルは、観測事象タイプに使 • アーティファクト [sn_sec_tisc_ • AS 番号 [sn_sec_tisc_as_numbe • ディレクトリ [sn_sec_tisc_direc • ドメイン名 [sn_sec_tisc_domai • メールアドレス [sn_sec_tisc_en • メールメッセージ [sn_sec_tisc_email_message] • 電子メールの件名 [sn_sec_tisc_ • ファイル [sn_sec_tisc_file] • IPv4 [アドレス sn_sec_tisc_ipv4 • IPv4 CIDR [sn_sec_tisc_ipv4_cid • IPv6 アドレス [sn_sec_tisc_ipv6 • IPv6 CIDR [sn_sec_tisc_ipv6_cid • MAC アドレス [sn_sec_tisc_ma • MD5 ハッシュ [sn_sec_tisc_md • ミューテックス名 [sn_sec_tisc_ • ネットワーク [sn_sec_tisc_netw • その他の観測事象 [sn_sec_tisc_other_observable • プロセス [sn_sec_tisc_process] • SHA1 ハッシュ [sn_sec_tisc_sha • SHA256 ハッシュ [sn_sec_tisc_s • SHA512 ハッシュ [sn_sec_tisc_s • ソフトウェア [sn_sec_tisc_softw • URL [sn_sec_tisc_url] • ユーザーアカウント [sn_sec_tisc_user_account] • Windows レジストリ キー [sn_sec_tisc_windows_registry_ • X.509 証明書 [sn_sec_tisc_x_509 データタイプ：アレイ
included_fields.observable.common_fields	すべての観測事象タイプに対して適 ルドを含むオブジェクト。 フィールドはすべての観測事象タイ 共通である必要があるため、観測事

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	[sn_sec_tisc_observable] テーブル
	ある必要があります。
	`"common_fields": {`
	`"include_all_fields":`
	`"values": [Array]`
	`}`
	データタイプ: オブジェクト
	デフォルト:すべての観測事象タイ
	syd_id、タイプ、および値を返しま

included_fields.observable.common_fields.include_all_fields	すべての観測事象タイプの観測事象 [sn_sec_tisc_observable] テーブル フィールドを返すかどうかを示すブ 有効な値： • true:観測事象 [sn_sec_tisc_obse ルのすべてのフィールドを返しま • false: *common_fields.values* で指定されたフィールドのみを返 データタイプ：ブーリアン

included_fields.observable.common_fields.values	すべての観測事象タイプに対して返
	フィールドのリスト。このパラメー
	common_fields.include_all
	false の場合にのみ使用してくださ
	`"values": [`
	`"String"`
	`]`
	指定されたフィールドは、観測事象
	[sn_sec_tisc_observable] テーブル
	column_namesする必要がありま
	データタイプ：アレイ

included_fields.参照	観測事象参照に対して返されるフィ
	事象参照は、STIX の外部で表され
	インターを記述するために使用され
	す。
	`"reference": {`
	`"include_all_fields":`
	`"values": [Array]`
	`}`
	データタイプ: オブジェクト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	デフォルト:フィールド reference_source、sys_id、URL
included_fields.reference.include_all_fields	観測事象参照で利用可能なすべての返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:観測事象参照のすべてのフィます。 • false: *reference.values* パラ定されたフィールドのみを返しま データタイプ：ブーリアン
included_fields.reference.values	観測事象参照に対して返されるフィルドのリスト。このパラメーターは *reference.include_all_fiel* の場合にのみ使用してください。 `"values": [ "String" ]` 指定されたフィールドは、観測事象 [sn_sec_tisc_observable_referen らcolumn_namesされている必要 データタイプ：アレイ
included_fields.<stix_object>	STIX オブジェクトタイプに対して返ルドを含むオブジェクト。 `"<stix_object>": { "include_all_fields": "values": [Array] }` `<stix_object>` をSTIX オブジェ名前 (attack_pattern など) に置き 有効な STIX オブジェクトタイプ: • attack_pattern • キャンペーン • course_of_action • data_component • data_source • グルーピング • identity • インシデント

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• インジケーター • インフラ • intrusion_set • 場所 • マルウェア • malware_analysis • note • observed_data • 意見 • レポート • threat_actor • ツール • 脆弱性 データタイプ: オブジェクト デフォルト:id、name、sys_id フィ ます。
included_fields.<stix_object>.include_all_fields	STIX オブジェクトタイプで使用可能 フィールドを返すかどうかを示すブ 有効な値： • true:STIX オブジェクトタイプのす ルドを返します。 • false:STIX オブジェクトタイプの メーターで指定されたフィールド す。 データタイプ：ブーリアン
included_fields.<stix_object>.values	STIX オブジェクトタイプに対して返 フィールドのリスト。このパラメー *include_all_fields* の値が fal み使用してください。 `"values": [ "String" ]` 指定されたフィールドは、STIX オ プのテーブルからcolumn_names ます。STIX オブジェクトには、次 用されます。 • 攻撃パターン [sn_sec_tisc_atta • キャンペーン [sn_sec_tisc_cam

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• 対処措置 [sn_sec_tisc_course_ • データコンポーネント [sn_sec_tisc_aggregated_dat • データソース [sn_sec_tisc_aggregated_dat • グループ化 [sn_sec_tisc_threat_ • ID [sn_sec_tisc_identity] • インシデント [sn_sec_tisc_thre • インジケーター [sn_sec_tisc_in • インフラストラクチャ [sn_sec_tisc_infrastructure] • 侵入セット [sn_sec_tisc_intrusi • 場所 [sn_sec_tisc_location] • マルウェア [sn_sec_tisc_malwa • マルウェア分析 [sn_sec_tisc_malware_analysis • 注記 [sn_sec_tisc_threat_note] • 観測データ [sn_sec_tisc_observ • 意見 [sn_sec_tisc_threat_opini • レポート [sn_sec_tisc_threat_re • 攻撃者 [sn_sec_tisc_threat_act • ツール [sn_sec_tisc_tool] • 脆弱性 [sn_sec_tisc_vulnerabili データタイプ：アレイ

observable_filters	観測事象に適用するフィルター。フ
	に一致する観測事象のみが応答で返
	
	`"observable_filters": {`
	`"boolean_operator": "S`
	`"filters": [Array]`
	`}`
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	デフォルト:空のオブジェクト (フィ
	されていません)

observable_filters.boolean_operator	フィルター条件に使用するブール演 有効な値：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• AND:すべてのフィルター条件を を返します。 • OR - 少なくとも 1 つのフィルタ 観測事象を返します。 データタイプ：文字列

observable_filters.フィルター	観測事象に適用するフィルターのア
	
	各フィルター オブジェクトは、単純
	雑なものにすることもできます。
	• 簡易フィルターには、フィールド
	および値が含まれます。
	• 複合フィルターには、ブール演算
	フィルターの配列が含まれます。
	は、単純なフィルターの配列に適
	
	`"filters": [`
	`  //Simple filter`
	`  {`
	`  "field_name": "Stri`
	`  "operator": "String`
	`  "field_value": "Str`
	`  },`
	`  //Complex filter`
	`  {`
	`  "boolean_operator":`
	`  "filters": [`
	`  {`
	`  "field_name": "Stri`
	`  "operator": "String`
	`  "field_value": "Str`
	`  }`
	`  ]`
	`  }`
	`]`
	
	データタイプ：アレイ

observable_filters.filters.field_name	観測事象をフィルタリングするため フィールドの名前。 有効な値： • 信頼性 • reputation • security_type • status • sys_created_on

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• sys_updated_on • threat_score • type • 値 • watch_list データタイプ：文字列
observable_filters.filters.operator	フィルターに使用する演算子。 演算子の詳細については、「フィル に使用できる演算子」を参照し フィルターフィールドのデータ型に な演算子が決まります。次の演算子 ごとに有効です。 ブール 適用フィールド:watch_list • != • = • ISEMPTY • ISNOTEMPTY 選択肢 適用可能なフィールド:評 判、security_type、ステー • != • = • ENDSWITH • IN • LIKE • NOT IN • NOT LIKE • STARTSWITH 日付-時刻 適用フィールド:sys_create • < • <= • >

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• >= • ISEMPTY • ISNOTEMPTY • ノートン • オン 番号 適用可能なフィールド:信頼性、threat_score • != • <= • = • >= • ISEMPTY • ISNOTEMPTY 参照 適用フィールド:タイプ • != • = • IN • ISEMPTY • ISNOTEMPTY 文字列 適用フィールド:値 • != • <= • = • >= • ENDSWITH • IN • ISEMPTY • ISNOTEMPTY • LIKE

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• NOT LIKE • STARTSWITH データタイプ：文字列
observable_filters.filters.field_value	フィールドの値です。 選択フィールドの場合、値は表示値 値である必要があります。日付/時 場合、値は UTC タイムゾーンの IS 要があります。 注: このパラメーターは、ISE ISNOTEMPTY 演算子を使用する ありません。 データタイプ：文字列
page_size	API 応答で返される観測事象の数を ページネーションに使用されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：100 最大値:1000
page_token	現在のページの観測事象データを取 使用されます。 最初のページを取得するには、この を省略するか、このパラメーターの 列にする必要があります。次の要求 を取得するには、応答本文の *next* 値をこのパラメーターの値として使 データタイプ：文字列 デフォルト:空の文字列
relationships	応答内の観測事象ごとに返される関 レイ。 関係には、別の観測事象、観測事象 構造化脅威情報表現 (STIX) オブジェ ことができます。 有効な値： • attack_pattern • キャンペーン • course_of_action • data_component

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	• data_source • グルーピング • identity • インシデント • インジケーター • インフラ • intrusion_set • 場所 • マルウェア • malware_analysis • note • 観測可能項目 • observed_data • 意見 • reference • レポート • threat_actor • ツール • 脆弱性 たとえば、配列 `["observable", "threat_actor"]` を渡すと、応答 象に関連するすべての観測事象と脅 返されます。 データタイプ：アレイ デフォルト:空のアレイ (関係は返さ

自動翻訳

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。要求パラメーターが無効であるか、要求本文 JSON に構文エラーがあります。 エラーの詳細を表示するには、応答本文の *error* パラメーターを参照してください。
401	権限がありません。ユーザー認証が無効です。ユーザー名とパスワードまたは OAuth トークンを確認してください。
403	禁止されました。呼び出し元ユーザーに必要なロールがありません。このエンドポイントにアクセスするには、sn_sec_tisc.api_obs_read_access ロールが必要です。
429	要求が多すぎます。API 要求の数が API のレート制限を超えています。デフォルトでは、制限は 1 時間あたり 500 要求です。
500	内部サーバーエラーエラーの詳細については、ログ [syslog] テーブルのアプリケーションログを確認してください。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	**Description** (説明)
エラー	エラー情報。このパラメーターは、要求が失敗した場合にのみ返されます。 `"error": { "message": "String", "detail": "String" }` データタイプ: オブジェクト
error.message	要求が失敗した理由を含むエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
error.detail	要求が失敗した理由に関するその他の詳細。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
is_last_page	これが観測事象データの最後のページであるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:この応答にはデータの最後のページが含まれます。 • false:返される追加のページがあります。 データタイプ：ブーリアン
next_page_token	次の API 要求でこの値を使用して、観測事象データの次のページを取得します。この値は、要求本文の *page_token* パラメーターで指定します。 データタイプ：文字列
観測事象	観測事象オブジェクトのアレイ。 `"observables": [ { "attributes": {Object}, "relationships": {Object}, "sys_id": "String", "type": "String", "value": "String" } ]` 各観測事象オブジェクトには、要求本文の *included_fields.observable.common_fields* パラメーターで指定されたフィールドも含まれます。 データタイプ：アレイ
observables.attributes	要求本文の *included_fields.observable.attributes.<observable_type>* パラメーターで指定されたフィールドのフィールドと値のペアを含むオブジェクト。 `"attributes": { "<field>": "<value>" }` データタイプ: オブジェクト
observables.relationships	観測事象の関係を含むオブジェクト。返されるリレーションシップのタイプは要求本文の *relationships* パラメーターで指定され、各リレーションシップに対して返されるフィールドは要求本体の *included_fields* パラメーターで指定されます。 この例は、このパラメーターの基本構造を示しています。ただし、返される関係タイプとフィールドは、要求本文のパラメーターによって異なります。 `"relationships": { "observable": [ { "sys_id": "String", "type": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)

	"value": "String"
	}
	],
	"indicator": [
	{
	"id": "String",
	"name": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	],
	"attack_pattern": [
	{
	"name": "String",
	"sys_id": "String",
	"id": "String"
	}
	]
	}
	
	データタイプ: オブジェクト

observables.sys_id	観測事象のSys_id。観測事象 [sn_sec_tisc_observable] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
observables.type	観測事象のタイプ。有効な観測事象タイプの完全なリストについては、観測事象タイプ [sn_sec_tisc_observable_type] テーブルの [値] フィールドを参照してください。 データタイプ：文字列
observables.value	IP アドレスや URL など、観測事象に関連付けられた値。 データタイプ：文字列
origin	応答の作成元アプリケーション (脅威インテリジェンスセキュリティセンター (TISC)。このパラメーターの値は `sn_sec_tisc` です。 API 応答を消費する SIEM はオプションでこの値を使用して、 TISC からのインテリジェンスによってセキュリティインシデントが作成されたかどうかを追跡できます。 データタイプ：文字列
page_size	応答で返される観測事象の最大数。ページネーションに使用されます。 データタイプ：文字列
status	API 要求のステータス。 可能な値： • success • 失敗

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	要求が失敗した場合は、応答本文の *error* パラメーターでエラーの詳細を参照してください。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、観測事象データの最初のページを返します。*observable_filters*パラメーターは、ステータス = アクティブ AND [threat_score >= 70 OR 信頼度 >= 50] の条件に一致する観測事象のみを返すように指定します。

```
curl
 'http://instance.servicenow.com/api/sn_sec_tisc/v1/threat_intel_data/obs
ervables' \
--request POST \
--header 'Content-Type: application/json' \
--header 'Authorization: Basic YWRtaW46YWRtaW4=' \
--data '{
   "page_size": "100",
   "page_token": "",
   "relationships": [
      "observable",
      "threat_actor",
      "indicator",
      "reference",
      "attack_pattern"
   ],
   "included_fields": {
      "observable": {
         "common_fields": {
            "include_all_fields": false,
            "values": [
               "value",
               "reputation",
               "confidence"
            ]
         },
         "attributes": {
            "ip_v4_address": {
               "include_all_fields": false,
               "values": [
                  "as_number"
               ]
            },
            "artifact": {
               "include_all_fields": false,
               "values": [
                  "mime_type",
                  "encryption_algorithm"
               ]
            }
         }
      },
      "threat_actor": {
         "include_all_fields": false,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "values": [
               "name",
               "aliases",
               "description",
               "threat_actor_roles"
            ]
         },
         "attack_pattern": {
            "include_all_fields": true
         },
         "indicator": {
            "include_all_fields": false,
            "values": [
               "name",
               "pattern",
               "pattern_type",
               "indicator_types"
            ]
         },
         "reference": {
            "include_all_fields": true,
            "values": [
               "description"
            ]
         }
      },
      "observable_filters": {
         "boolean_operator": "AND",
         "filters": [
            {
               "field_name": "status",
               "operator": "=",
               "field_value": "active"
            },
            {
               "boolean_operator": "OR",
               "filters": [
                  {
                     "field_name": "threat_score",
                     "operator": ">=",
                     "field_value": "70"
                  },
                  {
                     "field_name": "confidence",
                     "operator": ">=",
                     "field_value": "50"
                  }
               ]
            }
         ]
      }
}'
```

応答本文。

```
{
   "status": "success",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "observables": [
     {
        "sys_id": "792e3d1543a0421060eee0ea78b8f227",
        "type": "url",
        "value": "https://www.example.com",
        "confidence": "60",
        "reputation": "",
        "relationships": {
           "observable": [
              {
                 "sys_id": "ccadb19143a0421060eee0ea78b8f25a",
                 "type": "ip_v4_address",
                 "value": "1.1.1.1",
                 "confidence": "20",
                 "reputation": "malicious"
              }
           ],
           "indicator": [
              {
                 "id": "indicator--294d97754364c21060eee0ea78b8f2ae",
                 "indicator_types": "",
                 "name": "Poison Ivy",
                 "pattern": "",
                 "pattern_type": "sigma",
                 "sys_id": "a54d97754364c21060eee0ea78b8f2ae",
                 "type": "indicator"
              }
           ],
           "attack_pattern": [
              {
                 "name": "Phishing",
                 "sys_id": "010d5bf14364c21060eee0ea78b8f2ac",
                 "id":
"attack-pattern--810d5bf14364c21060eee0ea78b8f2ac",
                 "type": "attack-pattern"
              }
           ],
           "reference": [
              {
                 "description": "phishing",
                 "reference_source": "CAPEC-98",
                 "sys_created_on": "2024-02-25T03:34:45.000Z",
                 "sys_id": "a42d97354364c21060eee0ea78b8f28c",
                 "sys_updated_on": "2024-02-25T03:34:45.000Z",
                 "url": " https://capec.mitre.org/data/98.html "
              }
           ]
        },
        "attributes": {
           "encryption_algorithm": "mime-type-indicated",
           "mime_type": "application/zip"
        }
     },
     {
        "sys_id": "ccadb19143a0421060eee0ea78b8f2242",
        "type": "ip_v4_address",
        "value": "1.2.2.1",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "confidence": "70",
            "reputation": "",
            "relationships": {}
        },
        {
            "sys_id": "7ccd359143a0421060eee0ea78b8f264",
            "type": "artifact",
            "value": "pom.xml",
            "confidence": "",
            "reputation": "",
            "relationships": {}
        }
    ],
    "page_size": "100",
    "next_page_token": "drejvfgbresg|7ccd359143a0421060eee0ea78b8f264",
    "is_last_page": true,
    "origin": "sn_sec_tisc"
}
```


トラブルチケットオープン API

トラブルチケットオープン API は、ケース [sn_customerservice_case] およびインシデント [incident] テーブルからデータを作成、更新、および取得するためのエンドポイントを提供します。

この API を使用して、外部のチケットシステムと Now Platform の間のチケット情報を管理します。

この API は、ServiceNow Store で利用可能な電気通信保証ワークフロー アプリケーションに含まれています。この API をケース [sn_customerservice_case] テーブルとともに使用するには、カスタマーサービス (com.sn_customerservice) および Customer Service Install Base Management (com.snc.install_base) アプリケーションが必要です。

この API は、 `sn_ind_tsm_sdwan` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、ticket_integrator ロールが必要です。

この API を拡張して、必要なパラメーター、要求本文の検証、追加の REST 操作、およびフィールドマッピングに関するカスタマイズを実行できます。詳細については、次を参照してください：トラブルチケットオープンAPI開発者ガイドを参照してください。

トラブルチケットオープン API は、TM Forum Trouble Ticket Management API REST 仕様の ServiceNow® 実装です。この実装は、TMF621 Trouble Ticket Management API REST Specification Release 19 (2019 年 6 月) に基づいています。トラブルチケットオープン API は、TM Forum によって適合性が認定されています。

トラブルチケット - GET /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket

すべてのトラブルチケットレコードリストを、ケース [sn_customerservice_case] およびインシデント [incident] テーブルから取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効なフィールド： • channel • creationDate • 説明 • href • id • lastUpdate • name • note • relatedEntity • relatedParty • severity • status • ticketType • @type デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列
id	トラブルチケットを sys_id でフィルタリングします。指定された sys_id のチケットのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
limit	返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*offset* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 デフォルト：25 最大：100

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメータ (続く)

名前	説明
	デフォルト値と最大値を変更するには、*sn_ind_tsm_sdwan.pagination.set_limit* および *sn_ind_tsm_sdwan.pagination.max_limit* システムプロパティを更新します。 データタイプ：数値
offset	レコードの取得を開始する開始インデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 デフォルト：0 データタイプ：数値
severity	トラブルチケットを重大度でフィルタリングします。指定された重大度のチケットのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットをステータスでフィルタリングします。指定されたステータスのチケットのみが応答で返されます。 データタイプ：文字列
ticketType	トラブルチケットをチケットタイプでフィルタリングします。指定されたタイプのチケットのみが応答で返されます。 有効な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
Content-Range	ページネーションされた呼び出しで返されるコンテンツの範囲を指定します。 たとえば、`offset=2` および `limit=3` の場合、*`Content-Range`* ヘッダーの値は `items 3-5` です。
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Link	クエリー結果内を移動するための次のリンクが含まれています。 • first • last • next • previous
X-Total-Count	ページネーションされたクエリの場合、このヘッダーはサーバーで利用可能なレコードの合計数を指定します。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	要求が正常に処理されました。応答で完全なリソースが返されました (ページネーションなし)。
206	応答で部分的なリソースが返されました (ページネーションあり)。
400	要求が正しくありません。考えられる理由： • 無効なパスパラメーター • 無効な URI
404	レコードが見つかりません。クエリパラメーターに一致するレコードがテーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"channel":{
	  "name": "String"
	}</pre>

channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
creationDate	ケースまたはインシデントレコードが作成された日付。[作成日時] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
href	ケースまたはインシデントレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	ケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	レコードが最後に更新された日付。[更新日時] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列

note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"note":[
	  {
	  "author": "String",
	  "date": "String",
	  "text": "String",
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
note.author	コメントを作成した POST または PATCH 要求を行った ServiceNow 統合ユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。sys_id は、チケットタイプと関係者タイプに応じて、次のテーブルから取得できます。 ケース： • アカウント [customer_account] - 関係者タイプは `customer` です。 • 連絡先 [customer_contact] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 インシデント： • 会社 [core_company] - 関係者タイプは `customer` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 ケースまたはインシデント： • グループ [sys_user_group] - 関係者タイプは `assignment_group` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `assigned_to` です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 可能な値： • `assigned_to`：チケットの作業にアサインされたユーザー。 • `assignment_group`：チケットの作業にアサインされたグループ。 • `customer`：チケットの会社またはアカウント。 • `customer_contact`：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ。 可能な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、最初の 5 つのトラブルチケットケースレコードの指定されたフィールドを返します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket?limit=5&fields=id%2Cname%2Cdescription%2Cstatus%2Cseverity%2CticketType&ticketType=case" \
--request GET \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
[
   {
      "id": "0004609eb9830110f877b3758cd21d37",
      "name": "Compliant Over 2796",
      "description": "checkNo2796",
      "status": "New",
      "severity": "3 - Moderate",
      "ticketType": "Case"
   },
   {
      "id": "000560d2b9c30110f877b3758cd21d36",
      "name": "Compliant Over 4696",
      "description": "checkNo4696",
      "status": "New",
      "severity": "3 - Moderate",
      "ticketType": "Case"
   },
   {
      "id": "0007ac5eb9c30110f877b3758cd21d34",
      "name": "Compliant Over 8817",
      "description": "checkNo8817",
      "status": "New",
      "severity": "3 - Moderate",
      "ticketType": "Case"
   },
   {
      "id": "0007ac5eb9c30110f877b3758cd21d39",
      "name": "Compliant Over 8819",
      "description": "checkNo8819",
      "status": "New",
      "severity": "3 - Moderate",
      "ticketType": "Case"
   },
   {
      "id": "0007ac5eb9c30110f877b3758cd21d3e",
      "name": "Compliant Over 8821",
      "description": "checkNo8821",
      "status": "New",
      "severity": "3 - Moderate",
      "ticketType": "Case"
   }
]
```


自動翻訳

トラブルチケット - **GET /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id}**

指定されたレコードを、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルから取得します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	取得するケースまたはインシデントレコードの sys_id。ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すフィールドのリスト。無効なフィールドは無視されます。 有効な値： • channel • creationDate • 説明 • href • id • lastUpdate • name • note • relatedEntity • relatedParty • severity • status • ticketType • @type デフォルト：すべてのフィールドを返します。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の 1 つ以上の理由で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 無効なパスパラメーター。 • 無効な URI。
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
creationDate	ケースまたはインシデントレコードが作成された日付。[作成日時] フィールドにマップされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
href	ケースまたはインシデントレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	ケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	レコードが最後に更新された日付。[更新日時] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "author": "String", "date": "String", "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列
note.author	コメントを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。sys_id は、チケットタイプと関係者タイプに応じて、次のテーブルから取得できます。 ケース： • アカウント [customer_account] - 関係者タイプは `customer` です。 • 連絡先 [customer_contact] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 インシデント： • 会社 [core_company] - 関係者タイプは `customer` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 ケースまたはインシデント： • グループ [sys_user_group] - 関係者タイプは `assignment_group` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `assigned_to` です。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 可能な値： • `assigned_to`：チケットの作業にアサインされたユーザー。 • `assignment_group`：チケットの作業にアサインされたグループ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• `customer`：チケットの会社またはアカウント。 • `customer_contact`：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ。 可能な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ケース [sn_customerservice_case] テーブルからトラブルチケットレコードを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/6467508d47e345508761b955d36d43f6" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
    "id": "370415f03c20e910f8772f1bc332b31b",
    "href":
 "/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/370415f03c20e910f8772f1bc332b31b",
    "creationDate": "2023-01-19 22:39:28",
    "lastUpdate": "2023-01-19 22:41:39",
    "description": "Router is not working, my devices cannot detect any
 signals from the router. First button from the left is flashing red,
 all others are black. Resetting the router does not solve the problem, I
 need urgent assistance.",
    "severity": "2 - High",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "ticketType": "Case",
    "name": "My router is not working properly",
    "status": "Open",
    "channel": {
        "name": "e_bonding"
    },
    "relatedParty": [
        {
            "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
            "name": "Funco Intl",
            "@referredType": "customer"
        },
        {
            "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
            "name": "Sally Thomas",
            "@referredType": "customer_contact"
        },
        {
            "id": "",
            "name": "",
            "@referredType": "assignment_group"
        },
        {
            "id": "",
            "name": "",
            "@referredType": "assigned_to"
        }
    ],
    "relatedEntity": [
        {
            "id": "b7fa12c7532520103b6bddeeff7b123b",
            "href": "",
            "name": "Deduplication and Compression PRD00001965",
            "role": "This is the product associated with the case.",
            "@type": "relatedEntity",
            "@referredType": "product"
        },
        {
            "id": "71e73d87c3e23010ff00ed23a140dde8",
            "href": "",
            "name": "",
            "role": "This is the asset associated with the case.",
            "@type": "relatedEntity",
            "@referredType": "asset"
        },
        {
            "id": "a1913c3577b301108e191e599a5a99e8",
            "href": "",
            "name": "Deduplication and Compression PI0000037",
            "role": "This is the product inventory associated with the
case.",
            "@type": "relatedEntity",
            "@referredType": "product_inventory"
        }
    ],
    "note": [
        {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "text": "This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>",
            "date": "2023-01-19 14:41:39",
            "author": "System Administrator",
            "@type": "comments"
        },
        {
            "text": "This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>",
            "date": "2023-01-19 14:39:28",
            "author": "System Administrator",
            "@type": "comments"
        }
    ],
    "@type": "TroubleTicket"
}
```


トラブルチケット - **GET /sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}/{id}**

指定されたレコードを、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルから取得します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは トラブルチケット - GET /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id} です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ticketType	チケットのタイプ。この値は、レコードをケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルから取得するかどうかを決定します。 有効な値： • case • incident データタイプ：文字列
id	取得するケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
fields	応答で返すカンマ区切りのフィールドのリストです。無効なフィールドは無視されます。この値が渡されない場合は、すべてのフィールドが返されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	有効なフィールド： • channel • creationDate • 説明 • id • lastUpdate • name • note • relatedEntity • relatedParty • severity • status • ticketType • @type データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の 1 つ以上の理由で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 無効なパスパラメーター。 • 無効な URI。
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
creationDate	ケースまたはインシデントレコードが作成された日付。[作成日時] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
id	ケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
lastUpdate	レコードが最後に更新された日付。[更新日時] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "author": "String", "date": "String", "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列
note.author	コメントを作成した POST または PATCH 要求を行った ServiceNow 統合ユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている会社と連絡先の詳細。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedParty": [
	    {
	      "id": "String",
	      "name": "String",
	      "@referredType": "String"
	    }
	]</pre>

relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。ケースの場合は、[連絡先] または [アカウント] フィールドにマップされます。インシデントの場合は、[問い合わせユーザー] または [会社] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ (ケースまたはインシデント)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ケースの名前、説明、重大度、およびステータスを取得します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/case/a78e2c8cdb68b41015364c9b0b96193e?fields=name%2Cdescription%2Cseverity%2Cstatus" \
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "name": "Short description of issue",
  "description": "Example description of an issue",
  "severity": "2 - High",
  "status": "Open"
}
```

トラブルチケット - PATCH /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id}

ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブル内の指定されたレコードを更新します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
id	更新するケースまたはインシデントレコードの sys_id。ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値は、contact_type フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。例： 仮想エージェントまたは `virtual_agent`。 データタイプ：文字列
説明	問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットに追加する作業メモとコメントのリスト。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。この値は、メモが [作業メモ] フィールドと [追加コメント] フィールドのどちらに記録されるかを決定します。 有効な値： • work_notes • comments データタイプ：文字列
note.text	メモのテキスト。[作業メモ] または [追加コメント] フィールドにマッピングします。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。ケースの場合、このパラメーターは、[連絡先] または [アカウント] フィールドに入力されます。インシデントの場合、このパラメーターは、[問い合わせユーザー] または [会社] フィールドに入力されます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 有効な値： • 1：重大。 • 2：高。 • 3：中。 • 4：低。 • 5 ：計画中。インシデントのみ。 有効な値は、[優先度] フィールドの選択肢です。選択値のみを指定する必要があります。例では、`1`。無効な値が指定された場合、重大度は「低」に設定されます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 有効な値は、[ステータス] フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。たとえば、「`New`」または「`1`」です。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の 1 つ以上の理由で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 無効なパスパラメーター。 • 無効な URI。
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。 データタイプ：文字列
creationDate	レコードが作成された日付。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
href	ケースまたはインシデントレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	ケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	レコードが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。 データタイプ：文字列
note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "author": "String", "date": "String", "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列
note.author	コメントを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ {`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"id": "String",
	"href": "String",
	"name": "String",
	"role": "String",
	"@referredType": "String",
	"@type": "String"
	}
	]</pre>

relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。sys_id は、チケットタイプと関係者タイプに応じて、次のテーブルから取得できます。 ケース： • アカウント [customer_account] - 関係者タイプは `customer` です。 • 連絡先 [customer_contact] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 インシデント： • 会社 [core_company] - 関係者タイプは `customer` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 ケースまたはインシデント： • グループ [sys_user_group] - 関係者タイプは `assignment_group` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `assigned_to` です。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。 データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 可能な値： • `assigned_to`：チケットの作業にアサインされたユーザー。 • `assignment_group`：チケットの作業にアサインされたグループ。 • `customer`：チケットの会社またはアカウント。 • `customer_contact`：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ。 可能な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ケースレコードを更新します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTick
et/6467508d47e345508761b955d36d43f6" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   description: "Updated description",
   "note": [
      {
         "text": "Adding another comment",
         "@type": "comments"
      }
   ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "6467508d47e345508761b955d36d43f6",
   "href":
 "/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/6467508d47e345508761b955d36d
43f6",
   "creationDate": "2022-05-16 23:38:55",
   "lastUpdate": "2022-05-16 23:48:42",
   "description": "Updated description",
   "severity": "2 - High",
   "ticketType": "Case",
   "name": "Laptop problem",
   "status": "New",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "channel": {
     "name": "web"
  },
  "relatedParty": [
     {
        "id": "",
        "name": "",
        "@referredType": "customer"
     },
     {
        "id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
        "name": "",
        "@referredType": "customer_contact"
     },
     {
        "id": "",
        "name": "",
        "@referredType": "assignment_group"
     },
     {
        "id": "",
        "name": "",
        "@referredType": "assigned_to"
     }
  ],
  "relatedEntity": [
     {
        "id": "",
        "href": "",
        "name": "",
        "role": "This is the product associated with the case",
        "@type": "relatedEntity",
        "@referredType": "product"
     },
     {
        "id": "74a9ec0d3790200044e0bfc8bcbe5d7f",
        "href": "",
        "name": "P1000597 - Apple MacBook Pro 15\"",
        "role": "This is the asset associated with the case",
        "@type": "relatedEntity",
        "@referredType": "asset"
     }
     {
        "id": "a1913c3577b301108e191e599a5a99e8",
        "href": "",
        "name": "Deduplication and Compression PI0000037",
        "role": "This is the product inventory associated with the
case.",
        "@type": "relatedEntity",
        "@referredType": "product_inventory"
     }
  ],
  "note": [
     {
        "text": "Adding another comment",
        "date": "2022-05-16 16:48:42",
        "author": "admin",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "@type": "comments"
        },
        {
            "text": "Comment about this case",
            "date": "2022-05-16 16:38:55",
            "author": "admin",
            "@type": "comments"
        }
    ],
    "@type": "TroubleTicket"
}
```

トラブルチケット - **PATCH /sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}/{id}**

ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブル内のレコードを更新します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは トラブルチケット - PATCH /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/{id} です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ticketType	チケットのタイプ。この値は、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルでレコードを更新するかどうかを決定します。 有効な値： • case • incident データタイプ：文字列
id	更新するケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。 有効な値は、contact_type フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。例： 仮想エージェントまたは `virtual_agent`。 データタイプ：文字列
説明	問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットに追加する作業メモとコメントのリスト。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。この値は、メモが [作業メモ] フィールドと [追加コメント] フィールドのどちらに記録されるかを決定します。 有効な値： • work_notes • comments データタイプ：文字列
note.text	メモのテキスト。[作業メモ] または [追加コメント] フィールドにマッピングします。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。ケースの場合、このパラメーターは、[連絡先] または [アカウント] フィールドに入力されます。インシデントの場合、このパラメーターは、[問い合わせユーザー] または [会社] フィールドに入力されます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"@referredType": "String"
	}
	]</pre>

relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 有効な値： • 1：重大。 • 2：高。 • 3：中。 • 4：低。 • 5 ：計画中。インシデントのみ。 有効な値は、[優先度] フィールドの選択肢です。選択値のみを指定する必要があります。例では、`1`。無効な値が指定された場合、重大度は「低」に設定されます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 有効な値は、[ステータス] フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。たとえば、「`New`」または「`1`」です。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の 1 つ以上の理由で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 無効なパスパラメーター。 • 無効な URI。
404	レコードが見つかりません。ID に関連付けられたレコードがケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルに見つかりません。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"channel":{
	   "name": "String"
	}</pre>

channel.name	連絡方法の名前。 データタイプ：文字列
creationDate	レコードが作成された日付。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。 データタイプ：文字列
id	ケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	レコードが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。 データタイプ：文字列

note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"note":[
	      {
	         "author": "String",
	         "date": "String",
	         "text": "String",
	         "@type": "String"
	      }
	]</pre>

note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列
note.author	コメントを作成した POST または PATCH 要求を行った ServiceNow 統合ユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている会社と連絡先の詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
status	トラブルチケットの現在のステータス。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ (ケースまたはインシデント)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、ケースレコードを更新します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/case
/370415f03c20e910f8772f1bc332b31b" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"description\":\"Router is not working, my devices cannot detect any
 signals from the router. First button from the left is flashing red, all
 others are black. Resetting the router does not solve the problem, I
 need urgent assistance.\",
    \"name\":\"My router is not working properly\",
    \"severity\":\"2\",
    \"status\":\"10\",
    \"ticketType\":\"Case\",
    \"channel\":{
        \"id\":\"8774\",
        \"name\":\"eBonding\",
        \"@type\":\"Channel\"
    },
    \"note\":[
        {
            \"id\":\"77456\",
            \"author\":\"Jack Smith\",
            \"date\":\"2019-05-31T07:34:45.968Z\",
            \"text\":\"This is a testing work note<html>hello
 world</html> and <h1>title</h1>\",
            \"@type\":\"Worknotes\"
        },
        {
            \"id\":\"77457\",
            \"author\":\"Jack Smith\",
            \"date\":\"2019-05-31T07:35:45.968Z\",
            \"text\":\"This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>\",
            \"@type\":\"Comment\"
        }
    ],
    \"relatedParty\":[
        {
            \"id\":\"eaf68911c35420105252716b7d40ddde\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 \"href\":
\"https://mycsp.com:8080/tmf-api/partyManagement/v1/individual/9866\",
            \"name\":\"Sally Thomas\",
            \"role\":\"customer\",
            \"@referredType\":\"customer_contact\"
        },
        {
            \"id\":\"ffc68911c35420105252716b7d40dd55\",

 \"href\":
\"https://mycsp.com:8080/tmf-api/partyManagement/v4/customer/9176\",
            \"name\":\"Funco Intl\",
            \"role\":\"customer\",
            \"@referredType\":\"customer\"
        }
    ],
    \"relatedEntity\": [
        {
            \"id\": \"b7fa12c7532520103b6bddeeff7b123b\",
            \"href\": \"www.google.com\",
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"product\"
        },
        {
            \"id\": \"71e73d87c3e23010ff00ed23a140dde8\",
            \"href\": \"www.google.com\",
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"asset\"
        },
        {
            \"id\": \"a1913c3577b301108e191e599a5a99e8\",
            \"href\": \"www.google.com\",
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"product_inventory\"
        }
    ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "id": "370415f03c20e910f8772f1bc332b31b",
  "href":
 "/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/370415f03c20e910f8772f1bc332
b31b",
  "creationDate": "2023-01-19 22:39:28",
  "lastUpdate": "2023-01-19 22:41:39",
  "description": "Router is not working, my devices cannot detect any
 signals from the router. First button from the left is flashing red,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
all others are black. Resetting the router does not solve the problem, I
need urgent assistance.",
 "severity": "2 - High",
 "ticketType": "Case",
 "name": "My router is not working properly",
 "status": "Open",
 "channel": {
   "name": "e_bonding"
 },
 "relatedParty": [
   {
     "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
     "name": "Funco Intl",
     "@referredType": "customer"
   },
   {
     "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
     "name": "Sally Thomas",
     "@referredType": "customer_contact"
   },
   {
     "id": "",
     "name": "",
     "@referredType": "assignment_group"
   },
   {
     "id": "",
     "name": "",
     "@referredType": "assigned_to"
   }
 ],
 "relatedEntity": [
   {
     "id": "b7fa12c7532520103b6bddeeff7b123b",
     "href": "",
     "name": "Deduplication and Compression PRD00001965",
     "role": "This is the product associated with the case.",
     "@type": "relatedEntity",
     "@referredType": "product"
   },
   {
     "id": "71e73d87c3e23010ff00ed23a140dde8",
     "href": "",
     "name": "",
     "role": "This is the asset associated with the case.",
     "@type": "relatedEntity",
     "@referredType": "asset"
   },
   {
     "id": "a1913c3577b301108e191e599a5a99e8",
     "href": "",
     "name": "Deduplication and Compression PI0000037",
     "role": "This is the product inventory associated with the case.",
     "@type": "relatedEntity",
     "@referredType": "product_inventory"
   }
 ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "note": [
    {
      "text": "This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>",
      "date": "2023-01-19 14:41:39",
      "author": "System Administrator",
      "@type": "comments"
    },
    {
      "text": "This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>",
      "date": "2023-01-19 14:39:28",
      "author": "System Administrator",
      "@type": "comments"
    }
  ],
  "@type": "TroubleTicket"
}
```


トラブルチケット - POST /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket

ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにレコードを作成します。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター (JSON)

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	有効な値は、contact_type フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。例： 仮想エージェントまたは `virtual_agent`。 データタイプ：文字列
説明	必須です。問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットに追加する作業メモとコメントのリスト。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。この値は、メモが [作業メモ] フィールドと [追加コメント] フィールドのどちらに記録されるかを決定します。 有効な値： • work_notes • comments データタイプ：文字列
note.text	メモのテキスト。[作業メモ] または [追加コメント] フィールドにマッピングします。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。ケースの場合、このパラメーターは、[連絡先] または [アカウント] フィールドに入力されます。インシデントの場合、このパラメーターは、[問い合わせユーザー] または [会社] フィールドに入力されます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	必須です。トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 有効な値： • 1：重大。 • 2：高。 • 3：中。 • 4：低。 • 5 ：計画中。インシデントのみ。 有効な値は、[優先度] フィールドの選択肢です。選択値のみを指定する必要があります。例では、`1`。無効な値が指定された場合、重大度は「低」に設定されます。 データタイプ：文字列
status	必須です。トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 有効な値は、[ステータス] フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。たとえば、「`New`」または「`1`」です。無効な値を指定すると、ステータスは「New」に設定されます。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ。この値は、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにレコードを作成するかどうかを決定します。 有効な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列 デフォルト：インシデント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の理由のうち 1 つ以上で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません。 • 無効な ticketType。

応答本文のパラメーター **(JSON)**

名前	説明
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"channel":{
	"name": "String"
	}

channel.name	連絡方法の名前。 データタイプ：文字列
creationDate	ケースまたはインシデントレコードが作成された日付。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。 データタイプ：文字列
href	ケースまたはインシデントレコードへの相対リンク。 データタイプ：文字列
id	作成されたケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	ケースまたはインシデントレコードが最後に更新された日付。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。 データタイプ：文字列

note	チケットのすべてのコメントのリスト。このリストには作業メモは含まれません。
	データタイプ：アレイ
	"note":[
	{
	"author": "String",
	"date": "String",
	"text": "String",
	"@type": "String"
	}
	]

note.@type	メモのタイプ。(作業メモではなく) コメントのみが返されるため、この値は常に `comments` です。 データタイプ：文字列
note.author	コメントを作成したユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでコメントが作成された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
note.text	コメントのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String" } ]`
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "name": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.id	関係者の sys_id。sys_id は、チケットタイプと関係者タイプに応じて、次のテーブルから取得できます。 ケース： • アカウント [customer_account] - 関係者タイプは `customer` です。 • 連絡先 [customer_contact] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 インシデント： • 会社 [core_company] - 関係者タイプは `customer` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `customer_contact` です。 ケースまたはインシデント： • グループ [sys_user_group] - 関係者タイプは `assignment_group` です。 • ユーザー [sys_user] - 関係者タイプは `assigned_to` です。 データタイプ：文字列
relatedParty.name	関係者の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 可能な値： • `assigned_to`：チケットの作業にアサインされたユーザー。 • `assignment_group`：チケットの作業にアサインされたグループ。 • `customer`：チケットの会社またはアカウント。 • `customer_contact`：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ。 可能な値： • ケース • インシデント データタイプ：文字列

自動翻訳

Example: cURL 要求

この例では、トラブルチケットケースレコードを作成します。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTick
et" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   "name": "Laptop problem",
   "description": "Laptop keeps shutting off unexpectedly",
   "severity": "2",
   "status": "New",
   "ticketType": "Case",
   "channel": {
      "name": "Web"
   },
   "note": [
      {
         "text": "Work note about this case",
         "@type": "work_notes"
      },
      {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "text": "Comment about this case",
            "@type": "comments"
         }
      ],
      "relatedEntity": [
         {
            "id": "74a9ec0d3790200044e0bfc8bcbe5d7f",
            "@referredType": "asset"
         }
      ],
      "relatedParty": [
         {
            "id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
            "@referredType": "customer_contact"
         }
      ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
   "id": "6467508d47e345508761b955d36d43f6",
   "href":
 "/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/6467508d47e345508761b955d36d
43f6",
   "creationDate": "2022-05-16 23:38:55",
   "lastUpdate": "2022-05-16 23:38:55",
   "description": "Laptop keeps shutting off unexpectedly",
   "severity": "2 - High",
   "ticketType": "Case",
   "name": "Laptop problem",
   "status": "New",
   "channel": {
      "name": "web"
   },
   "relatedParty": [
      {
         "id": "",
         "name": "",
         "@referredType": "customer"
      },
      {
         "id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
         "name": "",
         "@referredType": "customer_contact"
      },
      {
         "id": "",
         "name": "",
         "@referredType": "assignment_group"
      },
      {
         "id": "",
         "name": "",
         "@referredType": "assigned_to"
      }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   ],
   "relatedEntity": [
      {
         "id": "",
         "href": "",
         "name": "",
         "role": "This is the product associated with the case.",
         "@type": "relatedEntity",
         "@referredType": "product"
      },
      {
         "id": "74a9ec0d3790200044e0bfc8bcbe5d7f",
         "href": "",
         "name": "P1000597 - Apple MacBook Pro 15\"",
         "role": "This is the asset associated with the case.",
         "@type": "relatedEntity",
         "@referredType": "asset"
      }
      {
         "id": "a1913c3577b301108e191e599a5a99e8",
         "href": "",
         "name": "Deduplication and Compression PI0000037",
         "role": "This is the product inventory associated with the
 case.",
         "@type": "relatedEntity",
         "@referredType": "product_inventory"
      }
   ],
   "note": [
      {
         "text": "Comment about this case",
         "date": "2022-05-16 16:38:55",
         "author": "admin",
         "@type": "comments"
      }
   ],
   "@type": "TroubleTicket"
}
```


トラブルチケット **- POST /sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}**

ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにレコードを作成します。

重要: Tokyo リリース以降、このエンドポイントは廃止されました。このエンドポイントの新しいバージョンは トラブルチケット - POST /sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket です。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/{ticketType}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
ticketType	チケットのタイプ。この値は、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにレコードを作成するかどうかを決定します。 有効な値： • case • incident データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。ケースのチャネル [contact_type] フィールドとインシデントの連絡先タイプ [contact_type] フィールドにマップされます。 有効な値は、contact_type フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。例： 仮想エージェントまたは `virtual_agent`。 データタイプ：文字列
説明	必須です。問題の説明。[説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。[簡単な説明] フィールドにマップされます。 データタイプ：文字列
note	チケットに追加する作業メモとコメントのリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"note":[
	  {
	  "text": "String",
	  "@type": "String"
	  }
	]</pre>

note.@type	メモのタイプ。この値は、メモが [作業メモ] フィールドと [追加コメント] フィールドのどちらに記録されるかを決定します。 有効な値： • work_notes • comments データタイプ：文字列
note.text	メモのテキスト。[作業メモ] または [追加コメント] フィールドにマッピングします。 データタイプ：文字列

relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	<pre>"relatedEntity": [
	  {
	  "id": "String",
	  "@referredType": "String"
	  }
	]</pre>

relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedParty	チケットの連絡先に関する詳細。ケースの場合、このパラメーターは、[連絡先] または [アカウント] フィールドに入力されます。インシデントの場合、このパラメーターは、[問い合わせユーザー] または [会社] フィールドに入力されます。 データタイプ：アレイ `"relatedParty": [ { "id": "String", "@referredType": "String" } ]`
relatedParty.@referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。 データタイプ：文字列
severity	必須です。トラブルチケットに記載されている問題の重大度。[優先度] フィールドにマップされます。 有効な値： • 1：重大。 • 2：高。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	• 3：中。 • 4：低。 • 5 ：計画中。インシデントのみ。 有効な値は、[優先度] フィールドの選択肢です。選択値のみを指定する必要があります。例では、`1`。無効な値が指定された場合、重大度は「低」に設定されます。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。[ステータス] フィールドにマップされます。 有効な値は、[ステータス] フィールドの選択肢です。選択肢ラベルまたは値を指定できます。たとえば、「`New`」または「`1`」です。 データタイプ：文字列 デフォルト：New
ticketType	必須です。チケットのタイプ。この値は、ケース [sn_customerservice_case] またはインシデント [incident] テーブルにレコードを作成するかどうかを決定します。 有効な値： • case • incident データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*`application/json`* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*`application/json`* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
201	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。次の理由のうち 1 つ以上で、不適切な要求タイプまたは誤った形式の要求が検出されました。 • 空のペイロード。 • 無効なペイロード。必須フィールドがありません。 • ticketType が無効であるか、または ticketType がパスパラメーター ticketType と一致しません。たとえば、ticketType は `case` ですが、パスパラメーターは `incident` です。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
@type	この値は常に `TroubleTicket` です。 データタイプ：文字列
channel	チケットの作成に使用された連絡方法。 データタイプ：オブジェクト `"channel":{ "name": "String" }`
channel.name	連絡方法の名前。 データタイプ：文字列
creationDate	ケースまたはインシデントレコードが作成された日付。 データタイプ：文字列
説明	チケットの問題の説明。 データタイプ：文字列
id	作成されたケースまたはインシデントレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
lastUpdate	ケースまたはインシデントレコードが最後に更新された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
name	トラブルチケットの名前 (通常は問題の簡単な説明)。 データタイプ：文字列
note	POST 要求によってチケットに追加されたコメントと作業メモのリスト。 データタイプ：アレイ `"note":[ { "author": "String", "date": "String", "text": "String", "@type": "String" } ]`
note.@type	メモのタイプ。 有効な値： • work_notes • comments データタイプ：文字列
note.author	メモを作成した POST 要求を行った ServiceNow 統合ユーザーの名前。 データタイプ：文字列
note.date	ServiceNow インスタンスでメモが作成された日付。 データタイプ：文字列
note.text	メモのテキスト。 データタイプ：文字列
relatedEntity	影響を受ける資産、製品、販売済み製品 (製品インベントリ)、構成アイテム、またはサービスのリスト。 データタイプ：アレイ `"relatedEntity": [ { "id": "String", "href": "String", "name": "String", "role": "String", "@referredType": "String", "@type": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
relatedEntity.id	影響を受けるアイテムまたはサービスの sys_id。 この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 資産 [alm_asset] • 製品モデル [cmdb_model] • 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] • 製品インベントリ [sn_prd_invt_product_inventory] は、販売済み製品 [sn_install_base_sold_product] テーブルを拡張します。 インシデントの場合、この値は次のいずれかのテーブルから取得されます。 • 構成アイテム (CI) [cmdb_ci] • サービス [cmdb_ci_service] データタイプ：文字列
relatedEntity.href	空の文字列を返します。 データタイプ：文字列
relatedEntity.name	影響を受けるアイテムまたはサービスの名前。 データタイプ：文字列
relatedEntity.role	影響を受けるアイテムまたはサービスの説明。 データタイプ：文字列
relatedEntity.@referredType	アイテムまたはサービスのタイプ。 ケースチケットの有効な値： • 資産 • product • product_inventory インシデントチケットの有効な値： • cmdb_ci • cmdb_ci_service データタイプ：文字列
relatedEntity.@type	この値は常に `relatedEntity` です。 データタイプ：文字列
relatedParty	チケットに関連付けられている会社と連絡先の詳細。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"relatedParty": [
	    {
	      "id": "String",
	      "@referredType": "String"
	    }
	]</pre>

relatedParty.id	関係者の sys_id。ケースの場合、sys_id は、連絡先 [customer_contact] またはアカウント [customer_account] テーブルからのものです。インシデントの場合、sys_id は、ユーザー [sys_user] または会社 [core_company] テーブルからのものです。連絡先またはユーザー (問い合わせユーザー) を指定すると、そのアカウントまたは会社が自動的にチケットに入力されます。 データタイプ：文字列
relatedParty.referredType	関連するパーティのタイプ。 有効な値： • customer：チケットの会社またはアカウント。 • customer_contact：チケットの問い合わせユーザーまたは連絡先。 データタイプ：文字列
severity	トラブルチケットに記載されている問題の重大度。 データタイプ：文字列
status	トラブルチケットの現在のステータス。 データタイプ：文字列
ticketType	チケットのタイプ (ケースまたはインシデント)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

この例では、優先度が高くオープンステータスのケースを作成します。

```
ccurl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ind_tsm_sdwan/troubleticket/ca
se" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"description\":\"Router is not working, my devices cannot detect any
 signals from the router. First button from the left is flashing red, all
 others are black. Resetting the router does not solve the problem, I
 need urgent assistance.\",
    \"name\":\"My router is not working properly\",
    \"severity\":\"2\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    \"status\":\"10\",
    \"ticketType\":\"Case\",
    \"channel\":{
        \"id\":\"8774\",
        \"name\":\"eBonding\",
        \"@type\":\"Channel\"
    },
    \"note\":[
        {
            \"id\":\"77456\",
            \"author\":\"Jack Smith\",
            \"date\":\"2019-05-31T07:34:45.968Z\",
            \"text\":\"This is a testing work note<html>hello
 world</html> and <h1>title</h1>\",
            \"@type\":\"Worknotes\"
        },
        {
            \"id\":\"77457\",
            \"author\":\"Jack Smith\",
            \"date\":\"2019-05-31T07:35:45.968Z\",
            \"text\":\"This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>\",
            \"@type\":\"Comment\"
        }
    ],
    \"relatedParty\":[
        {
            \"id\":\"eaf68911c35420105252716b7d40ddde\",

 \"href\":
\"https://mycsp.com:8080/tmf-api/partyManagement/v1/individual/9866\",
            \"name\":\"Sally Thomas\",
            \"role\":\"customer\",
            \"@referredType\":\"customer_contact\"
        },
        {
            \"id\":\"ffc68911c35420105252716b7d40dd55\",

 \"href\":
\"https://mycsp.com:8080/tmf-api/partyManagement/v4/customer/9176\",
            \"name\":\"Funco Intl\",
            \"role\":\"customer\",
            \"@referredType\":\"customer\"
        }
    ],
    \"relatedEntity\": [
        {
            \"id\": \"b7fa12c7532520103b6bddeeff7b123b\",
            \"href\": \"www.google.com\",
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"product\"
        },
        {
            \"id\": \"71e73d87c3e23010ff00ed23a140dde8\",
            \"href\": \"www.google.com\",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"asset\"
        },
        {
            \"id\": \"a1913c3577b301108e191e599a5a99e8\",
            \"href\": \"www.google.com\",
            \"name\": \"Some random name\",
            \"role\": \"I dont know what this is\",
            \"@type\": \"relatedEntity\",
            \"@referredType\": \"product_inventory\"
        }
    ]
}" \
--user 'username':'password'
```

応答本文。

```
{
  "id": "5bbb5cbc3c2ca910f8772f1bc332b34d",
  "href":
 "/api/sn_ind_tsm_sdwan/ticket/troubleTicket/5bbb5cbc3c2ca910f8772f1bc332
b34d",
  "creationDate": "2023-01-19 18:33:24",
  "lastUpdate": "2023-01-19 18:33:24",
  "description": "Router is not working, my devices cannot detect any
 signals from the router. First button from the left is flashing red,
 all others are black. Resetting the router does not solve the problem, I
 need urgent assistance.",
  "severity": "2 - High",
  "ticketType": "Case",
  "name": "My router is not working properly",
  "status": "Open",
  "channel": {
    "name": "e_bonding"
  },
  "relatedParty": [
    {
      "id": "ffc68911c35420105252716b7d40dd55",
      "name": "Funco Intl",
      "@referredType": "customer"
    },
    {
      "id": "eaf68911c35420105252716b7d40ddde",
      "name": "Sally Thomas",
      "@referredType": "customer_contact"
    },
    {
      "id": "",
      "name": "",
      "@referredType": "assignment_group"
    },
    {
      "id": "",
      "name": "",
      "@referredType": "assigned_to"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ],
  "relatedEntity": [
    {
      "id": "b7fa12c7532520103b6bddeeff7b123b",
      "href": "",
      "name": "Deduplication and Compression PRD00001965",
      "role": "This is the product associated with the case.",
      "@type": "relatedEntity",
      "@referredType": "product"
    },
    {
      "id": "71e73d87c3e23010ff00ed23a140dde8",
      "href": "",
      "name": "",
      "role": "This is the asset associated with the case.",
      "@type": "relatedEntity",
      "@referredType": "asset"
    },
    {
      "id": "a1913c3577b301108e191e599a5a99e8",
      "href": "",
      "name": "Deduplication and Compression PI0000037",
      "role": "This is the product inventory associated with the case.",
      "@type": "relatedEntity",
      "@referredType": "product_inventory"
    }
  ],
  "note": [
    {
      "text": "This is a testing comment<script>gs.info('Hello
 World')</script>",
      "date": "2023-01-19 10:33:24",
      "author": "System Administrator",
      "@type": "comments"
    }
  ],
  "@type": "TroubleTicket"
}
```


ユーザーロール継承 API

ユーザーロール継承 API は、特定のユーザーが継承したロールを表示できるエンドポイントを提供します。

この API には、Jakarta リリース以降の新しいインスタンスで自動的に有効化される Contextual Security: Role Management V2 REST API (com.glide.role_management.inh_count.rest_api) プラグイン、または Geneva リリース以降で自動的に有効化される Contextual Security: Role Management Enhancements REST API プラグインが必要です。Contextual Security: Role Management V2 REST API は、Contextual Security: Role Management V2 (com.glide.role_management.inh_count) プラグインに依存します。

ユーザーのロールは、直接付与することも、他のロールから継承することも、グループから継承することもできます。この API にアクセスするには、user_admin ロールが必要です。

ユーザーロール継承 - GET /global/user_role_inheritance

指定されたユーザーの付与および継承されたロールを返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/global/{api_version}/user_role_inheritance`

デフォルトの URL： `/api/global/user_role_inheritance`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
user_sysid	必須です。ロール情報を返すユーザーの sys_id。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
from_group	ロールを持つグループから継承されたロールのリスト。 データタイプ：アレイ
from_role	直接付与されたロール、または他のロールから継承されたロールのリスト。 データタイプ：アレイ
user_name	ユーザーのフルネーム。 データタイプ：文字列

Example: サンプル cURL 要求

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/global/user_role_inheritance?user_
sysid=62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

```
{
  "result": {
    "user_name": "abel.tuter",
    "from_group": [
      "[Azure Operators]/sn_azure.operator",
      "[Azure Operators]/sn_azure.operator/sn_azure.user"
    ],
    "from_role": [
      "/snc_internal",
      "/cloud_user",
      "/cloud_user/pa_viewer",
      "/cloud_user/sn_azure.user",
      "/cloud_user/aws_user"
    ]
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタイトルメント API の検証

`エンタイトルメントの検証 API` は、有効なエンタイトルメントのリスト、エンタイトルメントの特性に関する詳細、およびエンタイトルメントの最新の使用状況情報を取得できるエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、エンタイトルメント検証 (sn_ent_verify) プラグインを有効にする必要があります。

この API は、 `sn_ent_verify` 名前空間内で提供されます。

呼び出し元ユーザーには、sn_pss_core.pss_integrator ロールが必要です。

この API の REST エンドポイントは、次のテーブルからデータをクエリします。

- アカウント (customer_account)
- コンシューマー (csm_consumer)
- エンタイトルメント [service_entitlement]
- エンタイトルメント特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic]
- エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage]
- 世帯 [csm_household]
- インストールベース [sn_install_base_item]
- 製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering]
- 製品モデル [cmdb_model]
- サービス契約 [sn_pss_core_service_contract]
- サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line]
- 販売済み製品 [sn_install_base_sold_product]

エンタイトルメントの検証:/sn_ent_verify/**verifyentitlements**

指定されたフィルターに基づいて、有効なエンタイトルメントレコードを返します。

エンタイトルメントは、以下に基づいてフィルタリングできます。

- アカウント
- コンシューマー
- 契約
- 世帯
- インストールベース
- 製品モデル
- 製品オファリング
- サービス契約品目
- 販売済みエンタイトルメント
- 販売済み製品
- 状況

少なくとも、エンタイトルメントをフィルターするアカウントまたはコンシューマーのいずれかを指定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のフィルターパラメーターが渡された場合、エンドポイントは `AND` 演算子をパラメーターに適用します。たとえば、「`account = boxeo`」や「`state = draft`」などのフィルターパラメーターを渡すと、エンドポイントは Account = boxeo `AND` state = draft のすべてのエンタイトルメントを返します。

システムのページネーションパラメーター *`sysparm_offset`* と *`sysparm_limit`* を渡すことで、返される結果のページネーションを実装できます。デフォルトでは、*`sysparm_offset`* は 0 に設定され、*`sysparm_limit`* は 10 に設定されます。したがって、フィルターを適用した後に、100 件のエンタイトルメントが基準を満たした場合、応答には最初の 10 件のエンタイトルメントが含まれます。これらの値は、エンドポイント呼び出しで渡すことで変更できます。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_ent_verify/v1/verifyentitlements`

デフォルト URL: `/api/sn_ent_verify/verifyentitlements`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	オプション。 返されるレコードの最大数。このレコード数を超える要求の場合は、*`sysparm_offset`* パラメーターを使用してレコード取得をページネーションします。 応答では、ブール値のパラメーター *`hasMore`* が返されます。フィルター基準を満たす、返されるレコードがまだあるかどうかを示します。 データタイプ：数値 デフォルト：10 最大：100
sysparm_offset	オプション。 レコード取得を開始するレコードのインデックス。この値を使用して、レコード取得をページネーションします。この機能により、レコード数に関係なく、管理しやすい小さなチャンクに分割してすべてのレコードを取得できます。 たとえば、このエンドポイントを初めて呼び出すときに、*`sysparm_offset`* は「0」に設定されます。単に利用可能なすべてのレコードをページングするには、すべてのレコードの終わりに達するまで「`sysparm_offset=sysparm_offset+sysparm_limit`」を使用します。 *`sysparm_offset`* パラメーターには負数を指定しないでください。 データタイプ：数値 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
アカウント	*account* または *consumer* パラメーターのいずれかを渡す必要があります。これらは相互に排他的です。エンタイトルメントレコードを返すアカウントレコードのSys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
consumer	*account* または *consumer* パラメーターのいずれかを渡す必要があります。これらは相互に排他的です。エンタイトルメントレコードを返すコンシューマーレコードのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
契約	エンタイトルメントレコードを返す契約レコードのSys_id。契約 [sn_pss_core_service_contract] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
display_value	関連付けられたフィールド値、表示値、またはその両方を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:応答にはフィールドの表示値のみが含まれます。例: `"state": "Draft"`。 • false:応答にはフィールドの値のみが含まれます。例: `"state": "draft"`。 • all:応答には、フィールドのすべての情報が含まれます。 例： `"state": { "name": "state", "label": "State", "value": "draft", "display_value": "Draft", "type": "string" },` データタイプ：文字列 デフォルト値：false
世帯	エンタイトルメントレコードを返す世帯レコードのSys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：なし
install_base	エンタイトルメントレコードを返すインストールベースレコードのSys_id。インストールベース [sn_install_base_item] テーブルにあります。 エンドポイントは、インストールベースレコードのsys_idを使用して、対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] テーブルを検索し、関連するインストールベースの対象となるすべてのエンタイトルメントを返します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
product	エンタイトルメントレコードを返す製品レコードのSys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
product_offering	エンタイトルメントレコードを返す製品オファリングレコードのSys_id。製品オファリング [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
service_contract_line	エンタイトルメントレコードを返すサービス契約品目レコードのSys_id。サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
sold_entitlement	エンタイトルメントレコードを返す販売済みエンタイトルメントレコードのSys_id。販売済み製品テーブル [sn_install_base_sold_product] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
sold_product	エンタイトルメントレコードを返す販売済み製品レコードのSys_id。販売済み製品テーブル [sn_install_base_sold_product] テーブルにあります。 エンドポイントは、販売済み製品レコードのsys_idを使用して、対象の販売済み製品 [sn_install_base_m2m_contract_sold_product] テーブルを検索し、関連する販売済み製品の対象となるすべてのエンタイトルメントを返します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：なし
state	返却するエンタイトルメントのステータス。 有効な値： • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断 データタイプ：文字列 デフォルト：すべて

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)
エンタイトルメント	渡されたフィルター基準に一致するエンタイトルメントのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"entitlements": [{ "account": "String", "consumer": "String", "contract": "String", "end_date": "String", "entitlement_name": "String" "household": "String", "product": "String", "product_offering": "String", "service_contract_line": "String", "sold_entitlement": "String", "start_date": "String", "state": "String", "sys_id": "String" }]`
entitlements.account	このエンタイトルメントに関連付けられたアカウントレコードのSys_id。アカウント [customer_account] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.consumer	このエンタイトルメントに関連付けられたコンシューマーレコードのSys_id。コンシューマー [csm_consumer] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.contract	このエンタイトルメントに関連付けられた契約レコードのSys_id。契約 [sn_pss_core_service_contract] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
end_date	関連付けられたエンタイトルメントレコードの [終了日] フィールドの値。 データタイプ：文字列
entitlements.entitlement_name	エンタイトルメントの名前。 データタイプ：文字列
entitlements.household	このエンタイトルメントに関連付けられた世帯レコードの Sys_id。世帯 [csm_household] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.product	このエンタイトルメントに関連付けられた製品レコードの Sys_id。製品モデル [cmdb_model] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.product_offering	このエンタイトルメントに関連付けられた製品オファーレコードのSys_id。製品オファー [sn_prd_pm_product_offering] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.service_contract_line	このエンタイトルメントに関連付けられたサービス契約品目レコードのSys_id。サービス契約品目 [sn_pss_core_service_contract_line] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.sold_entitlement	このエンタイトルメントに関連付けられた販売済みエンタイトルメントレコードのSys_id。販売済み製品テーブル [sn_install_base_sold_product] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlements.start_date	関連するエンタイトルメントレコードの [開始日] フィールドの値。 データタイプ：文字列
entitlements.state	エンタイトルメントレコードのステータス。 有効な値： • active • キャンセル • ドラフト • 期限 切れ • 中断

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
entitlements.sys_id	エンタイトルメントレコードのSys_id。エンタイトルメント [service_entitlement] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
エラー	発生したエラーについて説明します。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" }` エラー応答の例: • エラー メッセージ: ページ サイズ -20 は無効です。ページ サイズは 1 ～ 100 の整数である必要があります エラー条件:無効な *sysparm_limit* パラメーターが渡されました。*sysparm_limit*パラメーターは 1 から 100 の範囲でなければなりません。 • エラー メッセージ: ページ オフセット -23 が無効です。オフセットは 0 以上の整数である必要があります エラー条件:無効な *sysparm_offset* パラメーターが渡されました。*sysparm_offset*パラメーターは整数でなければなりません。 • エラーメッセージ:無効なクエリパラメーター - accnt エラー条件:無効なクエリパラメーター「accnt」が渡されました。パラメーターは「account」である必要があります。 • エラーメッセージ:無効な選択値:ステータス = drft エラー状態:無効な値「drft」が渡されました。パラメーター値は「draft」にする必要があります。
error.detail	エンドポイント呼び出しが失敗した理由に関する詳細情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーの概要を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
hasMore	返すエンタイトルメントレコードがまだあるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:返されるエンタイトルメントレコードが増えます。 • false:これ以上エンタイトルメントレコードはありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	データタイプ：ブーリアン
status	エンドポイントコールのステータス。 有効な値： • failure:要求の処理中にエラーが発生しました。 • success:コールは正常に処理されました。 データタイプ：文字列
sysparm_limit	*sysparm_limit*パラメーターがエンドポイント呼び出しで渡された場合は渡された値が含まれ、それ以外の場合はデフォルト値が含まれます。 データタイプ：数値
sysparm_offset	*sysparm_offset*パラメーターがエンドポイント呼び出しで渡された場合は渡された値が含まれ、それ以外の場合はデフォルト値が含まれます。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次のコード例は、特定のアカウントのエンタイトルメントを返す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ent_verify/verifyentitlements?a
ccount=9e2fd2ee11b43110f877366201dea674" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": "0",
    "sysparm_limit": "10",
    "has_more": "false",
    "entitlements": [
      {
        "sys_id": "38374bf251e27110f877bf82d3ddf30a",
        "entitlement_name": "test ent",
        "account": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674",
        "consumer": null,
        "household": null,
        "contract": "0e1747f251e27110f877bf82d3ddf31c",
        "service_contract_line": "da278fb251e27110f877bf82d3ddf3b7",
        "state": "active",
        "product_offering": null,
        "sold_entitlement": null,
        "product": null,
        "start_date": "2023-11-21",
        "end_date": ""
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      {
        "sys_id": "e6ad4e4151723d10f877bf82d3ddf3fb",
        "entitlement_name": "tets entitlement",
        "account": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674",
        "consumer": null,
        "household": null,
        "contract": "0e1747f251e27110f877bf82d3ddf31c",
        "service_contract_line": "e79dce4151723d10f877bf82d3ddf31d",
        "state": "active",
        "product_offering": null,
        "sold_entitlement": null,
        "product": null,
        "start_date": "2023-11-21",
        "end_date": ""
      }
    ],
    "status": "success"
  }
}
```


Example: cURL 要求

次のコード例は、特定のアカウントとサービス契約品目のエンタイトルメントを返す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ent_verify/verifyentitlements?service_contract_line=e79dce4151723d10f877bf82d3ddf31d&account=9e2fd2ee11b43110f877366201dea674" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：


```
{
  "result": {
    "sysparm_offset": "0",
    "sysparm_limit": "10",
    "has_more": "false",
    "entitlements": [
      {
          "sys_id": "e6ad4e4151723d10f877bf82d3ddf3fb",
          "entitlement_name": "test entitlement",
          "account": "9e2fd2ee11b43110f877366201dea674",
          "consumer": null,
          "household": null,
          "contract": "0e1747f251e27110f877bf82d3ddf31c",
          "service_contract_line": "e79dce4151723d10f877bf82d3ddf31d",
          "state": "active",
          "product_offering": null,
          "sold_entitlement": null,
          "product": null,
          "start_date": "2023-11-21",
          "end_date": ""
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
    "status": "success"
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、エラー応答を示しています。

```
curl
 "https://instance.service-now.com/api/sn_ent_verify/verifyentitlements?s
ervice_contract_line=e79dce4151723d10f877bf82d3ddf31d" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "error": {
    "detail": "At least one of Account or Consumer parameter is
 mandatory.",
    "message": "At least one of Account or Consumer parameter is
 mandatory."
  },
  "status": "failure"
}
```

エンタイトルメントの検証:/sn_ent_verify/**verifyentitlements/getEntitlementCharacteristic/{id}**

指定されたエンタイトルメント特性レコードとその最新の使用状況レコードの詳細を返します。

特性の最新の使用レコードは、期間の開始日が現在の日付以前で、期間の終了日が現在の日付以降のレコードとして定義されます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/sn_ent_verify/v1/verifyentitlements/getEntitlementCharacteristic/{id}`

デフォルト URL: `/api/sn_ent_verify/verifyentitlements/getEntitlementCharacteristic/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	返されるエンタイトルメント特性レコードのSys_id。エンタイトルメント特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クエリパラメーター

名前	説明
display_value	関連付けられたフィールド値、表示値、またはその両方を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:応答にはフィールドの表示値のみが含まれます。例: `"state": "Draft"`。 • false:応答にはフィールドの値のみが含まれます。例: `"state": "draft"`。 • all:応答には、フィールドのすべての情報が含まれます。 例： `"state": { "name": "state", "label": "State", "value": "draft", "display_value": "Draft", "type": "string" },` データタイプ：文字列 デフォルト値：false

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
403	禁止されました。ユーザーには、指定されたレコードへのアクセス権がありません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	**Description** (説明)
特性	関連付けられたエンタイトルメント特性レコードのSys_id。特性 [sn_prd_pm_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
characteristic_option	関連付けられた特性オプションレコードのSys_id。特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_usage	指定されたエンタイトルメント特性レコードに関連付けられたエンタイトルメント使用レコードに関する詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"entitlement_usage": [ { "entitlement_characteristic": "String", "period_end": "String, "period_start": "String", "sys_id": "String", "total_units": "String", "used_units": "String" } ]`
entitlement_usage。entitlement_characteristic	関連付けられたエンタイトルメント特性レコードのSys_id。エンタイトルメント特性

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	[sn_pss_core_entitlement_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_usage。period_end	エンタイトルメント使用状況レコードの期間終了フィールドの値。この値は、このエンタイトルメントの使用状況トラッキングが終了する日付です。 データタイプ：文字列
entitlement_usage。period_start	エンタイトルメント使用状況レコードの期間開始フィールドの値。この値は、このエンタイトルメントの使用状況トラッキングが開始される日付です。 データタイプ：文字列
entitlement_usage。sys_id	返されたエンタイトルメント使用状況レコードの Sys ID。エンタイトルメントの使用状況 [sn_pss_core_entitlement_usage] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_usage。total_units	購入したユニットの合計数。エンタイトルメント使用状況レコードの [合計ユニット数] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
entitlement_usage。used_units	使用されたユニットの数。エンタイトルメント使用状況レコードの使用済みユニットフィールドにあります。 データタイプ：文字列
sys_id	エンタイトルメント特性レコードの Sys ID。エンタイトルメント特性 [sn_pss_core_entitlement_characteristic] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
type	エンタイトルメント特性レコードのタイプフィールドの値。 可能な値： • 対象範囲の拡大 • coverage_and_usage データタイプ：文字列
値	特性を付与する範囲。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	Description (説明)
	一部の特性では、対象範囲は特性オプションテーブルで定義されます。ただし、[特性オプション] テーブルに補償が定義されていない場合は、 *value* パラメータで補償情報を渡すことができます。 特性オプションは、以下の特性タイプに対してのみ定義されます。 • チェックボックス • 選択 • はい/いいえ 他のすべてのタイプの特性では、 *value* パラメータに範囲値を含める必要があります。 たとえば、特性が「置換回数」で、その補償が特性オプションテーブルで定義されていない場合、このパラメータで「10」、「20」などの補償を指定できます。 **注:** このパラメータには、特性の最終的な対象範囲値が含まれます。[特性オプション] テーブルに情報がある場合は、このパラメーターに伝播されます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、すべての既定値を使用してこのエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ent_verify/verifyentitlements/ge
tEntitlementCharacteristic/3c817faa43823110341605ed0bb8f23a" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "3c817faa43823110341605ed0bb8f23a",
    "characteristic": "b73177aa43823110341605ed0bb8f246",
    "type": "coverage",
    "characteristic_option": "ff617baa43823110341605ed0bb8f266",
    "value": "Minor parts",
    "entitlement_usage": [
      {
        "sys_id": "03e3224d51b23d10f877bf82d3ddf310",
        "period_start": "2022-12-12",
        "period_end": "2025-12-12",
        "entitlement_characteristic": "3c817faa43823110341605ed0bb8f23a",
        "total_units": "10",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "used_units": "5"
      }
    ]
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出し、すべての表示値を返す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_ent_verify/verifyentitlements/ge
tEntitlementCharacteristic/3c817faa43823110341605ed0bb8f23a?display_value
=all" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": {
      "label": "Sys ID",
      "value": "3c817faa43823110341605ed0bb8f23a",
      "displayValue": "3c817faa43823110341605ed0bb8f23a",
      "type": "GUID"
    },
    "characteristic": {
      "name": "characteristic",
      "label": "Characteristic",
      "value": "b73177aa43823110341605ed0bb8f246",
      "display_value": "Repair parts covered",
      "type": "reference"
    },
    "type": {
      "name": "type",
      "label": "Type",
      "value": "coverage",
      "display_value": "Coverage",
      "type": "string"
    },
    "characteristic_option": {
      "name": "characteristic_option",
      "label": "Characteristic option",
      "value": "ff617baa43823110341605ed0bb8f266",
      "display_value": "Minor parts",
      "type": "reference"
    },
    "value": {
      "name": "value",
      "label": "Value",
      "value": "Minor parts",
      "display_value": "Minor parts",
      "type": "string"
    },
    "entitlement_usage": [
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      {
        "sys_id": {
          "label": "Sys ID",
          "value": "03e3224d51b23d10f877bf82d3ddf310",
          "displayValue": "03e3224d51b23d10f877bf82d3ddf310",
          "type": "GUID"
        },
        "period_start": {
          "name": "period_start",
          "label": "Period start",
          "value": "2022-12-12",
          "display_value": "2022-12-12",
          "type": "glide_date"
        },
        "period_end": {
          "name": "period_end",
          "label": "Period end",
          "value": "2025-12-12",
          "display_value": "2025-12-12",
          "type": "glide_date"
        },
        "entitlement_characteristic": {
          "name": "entitlement_characteristic",
          "label": "Entitlement characteristic",
          "value": "3c817faa43823110341605ed0bb8f23a",
          "display_value": "Repair parts covered",
          "type": "reference"
        },
        "total_units": {
          "name": "total_units",
          "label": "Total units",
          "value": "10",
          "display_value": "10",
          "type": "string"
        },
        "used_units": {
          "name": "used_units",
          "label": "Used units",
          "value": "5",
          "display_value": "5",
          "type": "string"
        }
      }
    ]
  }
}
```


仮想エージェントボット統合 API

仮想エージェントボット統合 API は、ユーザーが任意のチャットインターフェイスまたはボットエコシステムをServiceNow 仮想エージェントまたはライブエージェントと統合できるようにするエンドポイントを提供します。

この API は、 仮想エージェント で提供される会話型カスタムチャット統合フレームワークに基づいてビルドされ、 `sn_va_as_service` 名前空間で動作します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

仮想エージェント ボット統合 API のインストールと構成の詳細については、「仮想エージェント API」を参照してください。

VA ボット統合 - POST /sn_va_as_service/bot/integration

指定されたメッセージ、添付ファイル、または URL を指定されたセカンダリ ServiceNow 仮想エージェント (VA) ボットに送信します。

顧客のサイトには、1 つ以上のセカンダリ ServiceNow ボットを配置できます。ServiceNow VA セカンダリボットにメッセージを渡すだけでなく、プライマリボットまたはチャットクライアントはライブエージェントチャットを介してこのエンドポイントを使用し、エージェントにメッセージを渡すことができます。要求の本文で渡された *action* パラメーターを使用して、指定されたコンテンツの処理方法を指定します。

注: このエンドポイントは、構成方法に応じて同期または非同期のいずれかになります。非同期の場合、要求がエンドポイントによって受信されると、要求が検証され、成功または失敗のコールステータスと該当する HTTP ステータスコードが返されます。続いて VA は要求を処理し、構成された応答エンドポイントに 2 つ目の応答を送信します。たとえば、ボット間の統合の場合、2 番目の応答はプライマリボットの URL に対するものになります。これらの応答は両方とも以下で定義されています。この構成された応答エンドポイントの詳細については、「仮想エージェント API の出力応答 REST エンドポイントと送信認証の構成」を参照してください。

注: このエンドポイントのコード例の応答は、VA から構成された応答エンドポイントに送信される内容を示しています。このエンドポイントに対する実際の応答 (単純な成功または失敗の応答) は表示されません。

URL 形式

デフォルトの URL：`/api/sn_va_as_service/bot/integration`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
なし	

クエリパラメータ

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
action	VA が実行する必要があるアクション。 有効な値： • AGENT：VA からライブエージェントに会話を切り替えます。 • END_CONVERSATION：チャット会話を終了します。このアクションを使用する場合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	は、*message.text* パラメーターを空にする必要があります。 • START_CONVERSATION：チャット会話を開始します。 • SWITCH：*intent.id* または *topic.name* パラメーターで指定された内容と一致するトピックに会話を切り替えます。 **注:** プライマリボットで Intent Discovery が行われた場合は、トピックの切り替えに対してのみ `SWITCH` アクションを使用します。ServiceNow® VA で Intent Discovery が行われる場合は、*message.text* パラメーターを使用します。 • SET_USER_TIMEZONE：ユーザーのタイムゾーンを *timezone* パラメーターで指定されたタイムゾーンに設定します。同じパラメーターを使用してリセットするまで、このタイムゾーンは有効です。 • TYPING/VIEWING：ライブエージェントに入力インジケーターを表示します。最初に `TYPING` を送信し、ユーザーが入力を終えたら `VIEWING`を送信します。 • null またはパラメーターが渡されない：メッセージを ServiceNow VA に送信します。 データタイプ：文字列 デフォルト：null
botToBot	会話がボット間 (プライマリボットとセカンダリボット間など) であるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ボット間の会話。 • false：スタンドアロンの ServiceNow ボットの会話。 データタイプ：ブーリアン デフォルト：true
clientSessionId	エンドユーザーが ServiceNow ボットとの通信に使用しているアプリケーション/サービスの一意のクライアントセッション識別子。この ID は、特定のユーザーの会話に関する要求/応答のセッ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	トを識別するのに役立ちます。このパラメーターの形式は、実装者が決定します。 データタイプ：文字列 デフォルト：null
clientVariables	応答で返されるパススルー JSON 形式の名前と値のペア。これらの値はエンドポイントでは処理されませんが、特定の顧客情報を会話に添付しておくために使用できます。 データタイプ: オブジェクト デフォルト：null
contextVariables	ユーザーに関する追加情報を提供する JSON 形式の名前と値のペア。この情報を入力して、会話エクスペリエンスをカスタマイズします。コンテキスト変数の詳細については、「チャットコンテキスト変数の定義と公開」を参照してください。 例： `"contextVariables": { "requester_session_language": "es", "deviceTimeZone": "America/Los_Angeles" "live_agent_only": "true", "liveagent_deviceType": "test_device_type" "topic": "7c3c819073a3101066c7e9344ef6a7e4" }` データタイプ：オブジェクト デフォルト：null
emailId	アカウントのリンクを有効にする場合は必須です。それ以外の場合は、すべてのユーザーがゲストユーザーと見なされます。チャットクライアントのエンドユーザー (ボットがやり取りしているユーザー) のメールアドレス。アカウントのリンクの詳細については、「仮想エージェントの会話用に ServiceNow ユーザーアカウントをメッセージングアプリケーションにリンクする」を参照してください。 データタイプ：文字列
history	ユーザーによる最初の要求から開始される、ユーザーとプライマリボットの会話の履歴。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明

	データタイプ：オブジェクト
	`"history": { "displayName": "String", "isBotMessage": Boolean, "type": "String", "value": "String" }`
	例：
	`{ "isBotMessage": true, "value": "message 1", "displayName": "Bot", "type": "text" }, { "isBotMessage": false, "value": "message 2", "displayName": "User", "type": "text" }`

history.displayName	メッセージの送信先ユーザーの名前。プライマリボットの場合は、`Bot` を渡します。 データタイプ：文字列
history.isBotMessage	メッセージがプライマリボットによって送信されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メッセージはプライマリボットによって送信されました。 • false:メッセージはユーザーによって送信されました。 データタイプ：ブーリアン
history.type	送信されたメッセージのタイプ。 有効な値：text データタイプ：文字列
history.value	情報のコンテンツ。たとえば、メッセージテキストです。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
インテント	会話の意図を説明します。*action* パラメーターが SWITCH に設定されている場合は、この情報を指定します。 データタイプ：オブジェクト `"intent": { "id": "String" }`
intent.id	会話の切り替え先となるシステムトピックの NLU インテント ID。CS トピック言語 [sys_cs_topic_language] テーブルにあります。*intent.id* は、チャットセッションで渡された言語に基づいて解決されます。会話の開始時に言語が渡されない場合は、ユーザーのセッション/プロファイルから言語が取得されます。 データタイプ：文字列
message	必須。ServiceNow ボットに送信するメッセージの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"message": { "attachment": {Object}, "clientMessageId": "String", "text": "String", "typed": Boolean }`
message.attachment	添付ファイルを送信する場合は必須です。送信する各添付ファイルの詳細。 添付ファイルは URL としてのみ渡すことができます。すべての添付ファイルに対してウイルススキャンがトリガーされます。添付ファイルのサイズに制限はありませんが、大きなファイルは転送にかなりの時間がかかる場合があります。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"attachment": [ { "clientAttachmentId": "String", "contentType": "String", "fileName": "String", "headers":{Object}, "url": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
message.attachment.clientAttachmentId	ServiceNow ボットに送信する添付ファイルの一意の識別子。この識別子の形式は、実装者が決定します。 データタイプ：文字列 デフォルト：null
message.attachment.contentType	添付ファイルが指定されている場合は必須です。添付ファイルの標準的な MIME タイプ。 有効な値 (値の大文字と小文字を区別しない)： • application/pdf • application/msword • image/png • image/jpeg • text/plain • video/mpeg データタイプ：文字列
message.attachment.fileName	添付ファイルが指定されている場合は必須です。添付ファイルのファイル名。 データタイプ：文字列
message.attachment.headers	添付ファイルが非公開で保護されている場合に必要な追加情報。 データタイプ：オブジェクト `"headers":{ "Authorization":"String" }`
message.attachment.headers.Authorization	添付ファイルにアクセスするための認証を取得するために必要な情報 (ユーザー名やパスワードなど)。 データタイプ：文字列
message.attachment.url	添付ファイルが指定されている場合は必須です。添付ファイルが配置されている URL。VA はこの URL から添付ファイルを取得し、ウイルススキャンを実行してからファイルを処理します。添付ファイルがパブリック ファイルでない場合は、添付ファイルにアクセスできるように、認証情報を含む *message.attachment.header* オブジェクトを渡す必要があります。*sys_cs_provider* にファイル登録された信頼できるドメインに URL ドメインが存在することも確認する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
message.clientMessageId	メッセージの一意の英数字識別子。この識別子の形式は、実装者が決定します。 データタイプ：文字列 デフォルト：null
message.text	*attachment*パラメーターが指定されていない場合は必須です。メッセージのテキストです。メッセージの言語は *contextVariables* パラメーターで渡す必要があります。 データタイプ：文字列 最大長：無制限
message.typed	必須。メッセージが入力されたか、オプション選択 (選択) であったかを示すフラグ。 有効な値： • true：メッセージはユーザーによって入力されました。 • false：メッセージはオプション選択です。 データタイプ：ブーリアン
requestId	必須。この要求に対する一意の英数字の識別子。この識別子の形式は、実装者が決定します。 データタイプ：文字列
silentMessage	これがサイレントメッセージかどうかを示すフラグ。サイレントメッセージは、応答を必要としないメッセージです。 有効な値： • true：サイレントメッセージ。応答メッセージは必要ありません。 • false：通常のメッセージ。応答メッセージが必要です。 注: `silentMessage = true` の要求が送信された場合、`silentMessage = false` を渡してサイレントモードをオフにする要求が送信されるまで、後続のすべてのボットメッセージは抑制されたままになります。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
timestamp	チャットクライアントのエンドユーザーからメッセージが送信された Unix エポック時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒 デフォルト：現在の時刻
タイムゾーン	チャットクライアントのエンドユーザーの GMT タイムゾーン。 例： `"timezone":"Asia/Kolkata"` 使用可能なタイムゾーン値のリストについては、https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_tz_database_time_zones を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト：ServiceNow インスタンスの GMT タイムゾーン。

topic	ユーザーがトピック名を指定して特定のトピックに切り替える場合は必須です。切り替え先となるトピックの名前と値のペア。トピック名またはトピック sys_id のいずれかを指定できます。
	
	注: オブジェクトには単一のトピック名または ID のみを指定できます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"topic": {`
	`  "name": "String",`
	`  "id": "String"`
	`}`
	
	例：
	
	`{`
	`  "requestId":`
	`"xxxx-xxxx-xxxx-xxxx",`
	`  "clientSessionId":`
	`"xxx-xxx-xxx-xxx",`
	`  "action":"SWITCH",`
	`  "topic":{`
	`"name": "Topic Name"`
	`},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明

	<pre>"userId": "beth"
	}</pre>

topic.name	切り替え先となるトピックの名前。仮想エージェントトピック [sys_cs_topic] テーブルの名前フィールドにあります。 データタイプ：文字列
topic.id	切り替え先となるトピックの sys_id。仮想エージェントトピック [sys_cs_topic] テーブルの [sys_id] フィールドにあります。 データタイプ：文字列
userId	必須。一意のユーザー識別子。これは、ボットとやり取りしているエンドユーザーの識別子です。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。
トークン	トークンベースの認証を使用する場合は必須です。基本認証または OAuth 認証の場合はオプションです。このエンドポイントにトークン認証が設定されている場合に使用する認証トークン。 データタイプ：文字列

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。 状態コード 200 を受け取ったのに応答が返ってこない場合は、次の点を確認してください。 • 静的、JWT、またはハッシュベースのトークン検証 (通常は 仮想エージェント のワーカースレッドで発生する) で要求が失敗しているかどうか。 • 要求本文の形式が正しいかどうか。正しくない場合、変換は正しく行われません。 • 要求本文に一部の必須パラメーターが欠落しているかどうか。ServiceNow インスタンスのシステムログで例外とエラーをトレースできます。 • 応答を受信するために REST メッセージで定義されたサイトが稼働していて、ログで検出できるかどうか。 • 応答の投稿先を定義する REST メッセージが正しく設定されていることを確認します。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
405	無効なメソッドです。この機能は無効です。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

エンドポイントコールのステータス。これは、最初のコール要求の受信時に送信されます。要求はまだ処理されていません。

名前	説明

error	検出されたエラーの説明。エラーが発生した場合にのみ返されます。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"error": {`
	`  "detail": "String",`
	`  "message": "String"`
	`}`

error.detail	発生したエラーに関する詳細。 データタイプ：文字列
error.message	スローされたエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
status	エンドポイントコールのステータス。 有効な値： • failure • success

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

VA 応答本文のパラメーター

VA から構成された応答エンドポイントに送信される応答本文。

名前	説明
agentChat	会話が ServiceNow ライブエージェントに接続されているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：チャットメッセージはライブエージェントから送信されます。 • false:チャットメッセージはボットから送信されており、このパラメーターは応答に返されません。 データタイプ：ブーリアン
body	応答メッセージ本文の要素を説明するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"body": [{ "actionType": "String", "agentInfo": {Object}, "data": "String", "group": "String", "header": "String", "height": Number, "itemType": "String", "label": "String", "maskType": "String", "maxCount": Number, "maxSize": Number, "message": "String", "multiSelect": Boolean, "nluTextEnabled": Boolean, "options": {Object}, "promptMsg": "String", "required": Boolean, "style": "String", "templateName": "String", "type": "String", "uiType": "String", "value": "String/{Object}", "width": Number }]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

body.actionType	セカンダリボットからプライマリボットにディスパッチされるアクションメッセージのタイプ。たとえば、入力インジケーターまたはエージェントの待機時間です。
	
	有効な値：
	• EndTypeingIndicator
	• StartSpinner
	• StartTypeingIndicator
	
	例：
	
	入力インジケーターが有効になっている場合は、`StartTypeIndicator` をプライマリボットに送信します。
	`"body": { "uiType":"ActionMsg", "actionType":"StartTypingIndicator" }`
	
	ライブエージェントへの転送時に `StartSpinner` を送信してエンドユーザーに待機時間を表示します。
	`"body": { "uiType":"ActionMsg", "actionType":"StartSpinner", "spinnerType":"wait_time", "message":"Routing you to a live agent...", "waitTime":"8 Seconds" }`
	
	データタイプ：文字列

body.agentInfo	エージェントチャットセットアップで有効になっている場合、関連付けられたエージェントの名前とアバター。
	
	データタイプ: オブジェクト
	`"agentInfo":{ "agentAvatar":"String", "agentName": "String", "sentFromAgent": Boolean }`
	
	例：
	`"agentInfo":{ "sentFromAgent": true, "agentName":"Beth Anglin", "agentAvatar":"https://`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	instance.servicenow.com/ee4eebf30a0004d963b5c5ac0d734dc4.iix?t=small" }
body.agentInfo.agentAvatar	エージェントに関連付けられたアバターファイルのURL。 例：「https://instance.servicenow.com/ee4eebf30a0004d963b5c5ac0d734dc4.iix?t=small」 データタイプ：文字列
body.agentInfo.agentName	エージェントの表示名。 データタイプ：文字列
body.agentInfo.sentFromAgent	メッセージがライブエージェントによって送信されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：ライブエージェントによって送信されました。 • false：仮想エージェントによって送信されました。 データタイプ：ブーリアン
body.data	カード内のデータを定義する JSON 文字列。 データタイプ：文字列
body.group	本文要素が属するリッチコントロールグループ。送信変換スクリプトを記述することで、これらのデフォルトのコントロールをさらに変換できます。これらのスクリプトの詳細については、「仮想エージェントアクションスクリプト」を参照してください。 可能な値： • DefaultOutputCard • DefaultDate • DefaultGroupedPartsOutputControl • DefaultHtml • DefaultOutputImage • DefaultOutputLink • DefaultText • DefaultPicker データタイプ：文字列
body.header	リンクヘッダー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
body.height	HTML 要素の高さ。 データタイプ：数値 単位：ピクセル
body.itemType	本文要素のタイプ。 可能な値：(大文字と小文字を区別) • DefaultText ◦ File ◦ Image ◦ Inputtext ◦ outputtext • DefaultPicker ◦ Picture：アイテムがカルーセルに表示されます。 ◦ List：アイテムはドロップダウンスタイルのリストに表示されます。 データタイプ：文字列
body.label	関連する要素に表示するラベル。 データタイプ：文字列
body.maskType	関連データの機密性を示します。 可能な値： • なし:関連データは一般的な性質のものであり、保護する必要はありません。 • SECURE：関連データは機密性の高いものであり、安全に処理する必要があります。 データタイプ：文字列
body.maxCount	*uiType*が `FileUpload` の場合にのみ返されます。一度にアップロードできる添付ファイルの最大数。 データタイプ：数値 (整数)
body.maxSize	*uiType*が `FileUpload` の場合にのみ返されます。アップロード可能な添付ファイルの最大サイズ。 データタイプ：数値 (整数) 単位:メガバイト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
body.message	*actionType* が `StartSpinner` の場合にのみ返されます。ユーザーに表示するメッセージ。 データタイプ：文字列
body.multiSelect	ユーザーが複数のオプションを選択できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：複数の選択。 • false：単一の選択。 データタイプ：ブーリアン
body.nluTextEnabled	ユーザーのチャットクライアントが Natural Language Understanding (NLU) テキストメッセージを受信できるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：NLU メッセージを受信できます。 • false:NLU メッセージを受信できません。 データタイプ：ブーリアン
body.options	ピッカーコントロールで使用可能なオプションを説明するオブジェクトのリスト。 データタイプ：アレイ `"options": [ { "attachment": "String", "description": "String", "enabled": Boolean, "label": "String", "renderStyle": "String", "value": "String" } ]`
body.options.attachment	取得するカルーセル内の画像の URL。 データタイプ：文字列
body.options.description	カルーセルアイテムの説明。 データタイプ：文字列
body.options.enabled	エンドユーザーのチャットクライアントでピッカーコントロールが有効になっているかどうかを示すフラグ。ボット間の実装では、ピッカーコントロールが無効になっていることを確認するのはプライマリボットです。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：有効 • false：無効 データタイプ：ブーリアン
body.options.label	関連する *body.options.value* パラメーターに表示するラベル。 データタイプ：文字列
body.options.renderStyle	関連する要素をレンダリングするときに使用するスタイル。 可能な値：data データタイプ：文字列
body.options.value	関連する *body.options.label* パラメーターに表示する値。 データタイプ：文字列
body.promptMsg	ピッカーコントロールで表示するプロンプトメッセージ。 データタイプ：文字列
body.required	エンドユーザーが本文要素のクエリに応答する必要があるかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：必須 • false：オプション データタイプ：ブーリアン
body.spinnerType	*actionType* が `StartSpinner` の場合にのみ返されます。チャットユーザーに表示されるスピナーのタイプ。 可能な値： wait_time：ライブエージェントに転送されるまでの遅延時間を示すメッセージ。 データタイプ：文字列
body.style	本文要素のスタイル。 可能な値： • button • carousel • list • null

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
body.templateName	関連するカードを表示するために使用するテンプレートの名前。 データタイプ：文字列
body.type	DefaultOutputLink に対してのみ返されます。返されるデータのタイプ。 可能な値：link データタイプ：文字列
body.uiType	本文要素のタイプ。可能な値は *body.group* パラメーターの値によって異なります。これらの値は、仮想エージェントデザイナーで定義されたコントロールにマッピングされます。詳細については、「仮想エージェントデザイナーの開始」 を参照してください。 可能な値： • ActionMsg • DefaultOutputCard OutputCard • DefaultDate ◦ Date ◦ DateTime ◦ Time • DefaultGroupedPartsOutputControl GroupedPartsOutputControl • DefaultHtml OutputHtml • DefaultOutputImage OutputImage • DefaultOutputLink OutputLink • DefaultText ◦ InputText ◦ OutputText ◦ FileUpload • DefaultPicker

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	◦ Picker ◦ TopicPickerControl ◦ ブーリアン データタイプ：文字列
body.value	本文要素を処理するために使用するデータ。返される情報のタイプは、本文要素のタイプによって異なります。 OutputLink：オブジェクト。 `"value": { "action": "String" }` OutputImage：文字列。画像 URL。 OutputHtml：文字列。クライアントが表示する必要がある HTML。 データタイプ：文字列またはオブジェクト
body.value.action	DefaultOutputLink に対してのみ返されます。返されるリンクの URL。 データタイプ：文字列
body.waitTime	ユーザーがライブエージェントに接続するまでに待機する必要がある時間。 データタイプ：文字列
body.width	関連する HTML 要素の幅。 データタイプ：数値 単位：ピクセル
clientSessionId	エンドユーザーが ServiceNow ボットとの通信に使用しているチャットアプリケーション/サービスの一意のクライアントセッション識別子。 データタイプ：文字列
clientVariables	要求本文の *clientVariables* パラメーターで渡されたものからコピーされた、JSON 形式の名前と値のペア。これらの値はエンドポイントでは処理されませんが、特定の顧客情報を会話に添付しておくために使用できます。 データタイプ: オブジェクト
completed	ServiceNow 仮想エージェントが会話を正常に完了したかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • true：会話は正常に完了しています。 • false:会話が完了していないため、このパラメーターは応答に返されません。 データタイプ：ブーリアン
enterpriseId	現在、使用されていません。
message	ServiceNow VA に送信されたメッセージの詳細。これは、渡されたメッセージオブジェクトと同じです。 データタイプ: オブジェクト `"message": { "attachment": {Object}, "clientMessageId": "String", "text": "String", "typed": Boolean }`
message.attachment	添付ファイルの詳細。添付ファイルはファイルまたは URL のいずれかです。 データタイプ：オブジェクト `"attachment": { "clientAttachmentId": "String", "contentType": "String", "fileName": "String", "url": "String"`
message.attachment.clientAttachmentId	ServiceNow VA に送信された添付ファイルの一意の識別子。この識別子の形式は、実装者が決定します。 データタイプ：文字列
message.attachment.contentType	添付ファイルの標準的な MIME タイプ。 可能な値 (大文字と小文字を区別しない)： • text/plain • application/pdf • application/msword • image/png • image/jpeg • video/mpeg データタイプ：文字列
message.attachment.fileName	添付ファイルのファイル名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
message.attachment.url	添付ファイルが配置されている URL。 データタイプ：文字列
message.clientMessageId	メッセージの一意の英数字識別子。 データタイプ：文字列
message.text	メッセージのテキスト。 データタイプ：文字列 最大長：無制限
message.typed	メッセージが入力されたか、オプション選択 (選択) であったかを示すフラグ。 有効な値： • true：メッセージはユーザーによって入力されました。 • false：メッセージはオプション選択です。 データタイプ：ブーリアン
nowBotId	現在、使用されていません。
nowSessionId	現在、使用されていません。
requestId	この要求に対する一意の識別子。 データタイプ：文字列
スコア	ServiceNow NLU モデルからのインテント信頼スコア。87.3% など、パーセントで指定します。このスコアにより、プライマリボットは、プライマリボットの NLU モデルの信頼度しきい値に基づいて、関連するインテントを表示するかどうかを決定できます。ServiceNow NLU モデルの信頼度しきい値は、プライマリボットの NLU モデルの信頼度しきい値をすべてのセカンダリボットに一貫して適用できるように、ServiceNow インスタンスで無視されます。 データタイプ：数値
takeControl	ServiceNow 仮想エージェントがコントロールをプライマリボットに戻すことを希望していることを示すフラグ。 有効な値： • true：コントロールをプライマリボットに返します。 • false：コントロールを保持します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
userId	ボットとやり取りしているエンドユーザーの識別子。 データタイプ：文字列

Example: START_CONVERSATION アクションを使用して会話を開始する

次の例は、 START_CONVERSATION アクションを使用して仮想エージェントとの会話を開始する方法を示しています。このコールにより、ユーザーは挨拶トピックに誘導されます。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "asd2423-sda23-qwe23-we23",
  "action": "START_CONVERSATION",
  "enterpriseId": "ServiceNow",
  "nowBotId": "A85PWLERF",
  "clientSessionId": "",
  "nowSessionId": "",
  "message":{
    "text": "",
    "typed": true,
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
  "userId": "beth.anglin",
  "emailId": "beth.anglin@example.com",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
}"
--user "username":"password"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"asd2423-sda23-qwe23-we23",
  "clientSessionId":"",
  "nowSessionId":"",
  "message":{
    "text":"",
    "typed":true,
    "clientMessageId":"ABC-123"
  },
  "userId":"beth.anglin",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"Hi, I'm your Virtual Agent. Let me know how I can help you
 today.",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "maskType":"NONE"
    },
    {
      "uiType":"TopicPickerControl",
      "group":"DefaultPicker",
      "nluTextEnabled":false,
      "promptMsg":"Hi guest, please enter your request or make a
 selection of what I can help with. You can type help any time when you
 need help.",
      "label":"Show me everything",
      "options":[
        {
          "label":"b2b topic",
          "value":"2bb7bd7670de6010f877c7f188266fc7",
          "enabled":true
        },
        {
           "label":"Live Agent Support.",
           "value":"ce2ee85053130010cf8cddeeff7b12bf",
           "enabled":true
        }
      ]
    }
  ],
  "score":1
}
```

Example: 発言を使用してライブエージェントに会話を転送する

次の例は、*message.text* パラメーターに発言として `agent` を渡すことで、挨拶トピックをバイパスして会話をライブエージェントに転送する方法を示しています。可能な発言の値は sys_cs_contextual_action テーブルで定義されます。コンテキストアクションの詳細については、「 カスタムチャット統合のコンテキストアクション 」を参照してください。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: ORANGE" \
--data " {
  "requestId": "322bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "botToBot": true,
  "clientSessionId": "",
  "silentMessage": false,
  "message":{
    "text": "agent",
    "typed": true
  },
  "userId": "abel.tuter",
  "emailId": "abel.tuter@servicenow.com",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
}"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "requestId":"322bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "clientSessionId":"",
  "message":{
    "text":"agent",
    "typed":true
  },
  "userId":"abel.tuter",
  "body":[
    {
      "uiType":"Picker",
      "group":"DefaultPicker",
      "required":true,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"I want to be sure I got this right. What item best
 describes what you want to do?",
      "itemType":"List",
      "style":"list",
      "multiSelect":false,
      "options":[
        {
          "label":"Live Agent Support.",
          "value":"Live Agent Support.",
          "renderStyle":"data",
          "enabled":false
        },
        {
          "label":"Virtual Agent Capabilities.",
          "value":"Virtual Agent Capabilities.",
          "renderStyle":"data",
          "enabled":false
        },
        {
          "label":"I want something else",
          "value":"-1",
          "renderStyle":"data",
          "enabled":false
        }
      ],
      "scriptedData":null
    }
  ],
  "score":1
}
```

Example: ユーザーの選択に基づいてライブエージェントサポートに会話を転送する

次の例は、前のインタラクションからのユーザーの選択に基づいて会話をライブエージェントサポートに転送することを示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: ORANGE" \
--data "{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "requestId": "322bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "botToBot": true,
  "clientSessionId": "",
  "silentMessage": false,
  "message":{
    "text": "Live Agent Support.",
    "typed": true
  },
  "userId": "abel.tuter",
  "emailId": "abel.tuter@servicenow.com",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
} "
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"322bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "clientSessionId":"",
  "message":{
    "text":"Live Agent Support.",
    "typed":true
  },
  "userId":"abel.tuter",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"Please stand by while I connect you to a live agent."
    }
  ],
  "agentChat":true,
  "score":1
}
```

Example: アクションパラメーターを設定して仮想エージェントの会話を終了する

次の例は、*action* パラメーターを `END_CONVERSATION` に設定して仮想エージェントの会話を終了する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "s345ew-sjg554-qwe23-we23",
  "action": "END_CONVERSATION",
  "enterpriseId": "ServiceNow",
  "nowBotId": "A85PWLERF",
  "clientSessionId": "",
  "nowSessionId": "",
  "message":{
    "text": "b2b topic",
    "typed": true,
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "userId": "beth.anglin",
  "emailId": beth.anglin@example.com,
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
}"
--user "username":"password"
```

終了した会話を示す、VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"s345ew-sjg554-qwe23-we23",
  "clientSessionId":"",
  "nowSessionId":"",
  "message":{
    "text":"",
    "typed":true,
    "clientMessageId":"ABC-123"
  },
  "userId":"beth.anglin",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"The conversation has ended. If you need help again, type
 hi.",
      "maskType":"NONE"
    }
  ],
  "score":1
}
```

Example: アクションパラメーターを設定してライブエージェントの会話を終了する

次の例は、*action* パラメーターを END_CONVERSATION に設定してライブエージェントの会話を終了する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "sad-sjg554-qwe23-we23",
  "action": "END_CONVERSATION",
  "enterpriseId": "ServiceNow",
  "nowBotId": "A85PWLERF",
  "clientSessionId": "",
  "nowSessionId": "",
  "message":{
    "text": "",
    "typed": true,
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
  "userId": "beth.anglin",
  "emailId": "beth.anglin@example.com",
  "timestamp": 1588824102,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "timezone": "America/New_York"
}"
--user "username":"password"
```

終了した会話を示す、VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"sad-sjg554-qwe23-we23",
  "clientSessionId":"",
  "nowSessionId":"",
  "message":{
    "text":"",
    "typed":true,
    "clientMessageId":"ABC-123"
  },
  "userId":"beth.anglin",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"The conversation has ended. If you need help again, type
 hi.",
      "maskType":"NONE"
    }
  ],
  "completed":true,
  "score":1
}
```

Example: sys_cs_contextual_action テーブルで定義されたコマンドを発言として使用して仮想エージェントとの会話を開始する

次の例は、前の例のように *action* パラメーターを START_CONVERSATION に設定する代わりに、sys_cs_contextual_action テーブルで定義された *Hi* コマンドを発言として使用して仮想エージェントとの会話を開始する方法を示しています。この例では、*Hi* コマンドの言語バリアントの 1 つである「hola」を使用しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: ORANGE" \
--data "{
  "requestId": "302bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "botToBot": true,
  "clientSessionId": "",
  "silentMessage": false,
  "message":{
    "text": "hola",
    "typed": true
  },
  "userId": "fred.ludy",
  "emailId": "abel.tuter@servicenow.com",
  "timestamp": 1588824102,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "timezone": "America/New_York"
}"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"302bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "clientSessionId":"",
  "message":{
    "text":"hola",
    "typed":true
  },
  "userId":"fred.ludy",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"Hi, I'm your Virtual Agent. Let me know how I can help you
 today.",
      "maskType":"NONE"
    },
    {
      "uiType":"TopicPickerControl",
      "group":"DefaultPicker",
      "nluTextEnabled":false,
      "promptMsg":"Hi guest, please enter your request or make a
 selection of what I can help with. You can type hellllp! any time when
 you need help.",
      "label":"Show me everything",
      "options":[
        {
          "label":"boolean check",
          "value":"1b5257a1db712010d3d6d9595e9619f3",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Test_table_datepicker",
          "value":"6515f0cadb4220108249f7541d961980",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Test File upload",
          "value":"76c1f4b2db7520108249f7541d9619a7",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Test B2B 2",
          "value":"8373e55cdb8120108249f7541d96196d",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"FAQ Conversation Builder_Global",
          "value":"9f3114a3dbc520108249f7541d961981",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Get to know you",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "value":"a443dd6adb812010d3d6d9595e961954",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Get to know you_Global",
          "value":"b1a56b87db8120108249f7541d9619b2",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Live Agent Support.",
          "value":"ce2ee85053130010cf8cddeeff7b12bf",
          "enabled":true
        },
        {
          "label":"Apply for PTO_B2B NLU",
          "value":"d948c94cdb052010d3d6d9595e961969",
          "enabled":true
        }
      ]
    }
   ],
   "score":1
}
```

Example: sys_cs_contextual_action テーブルで定義されたコマンドを発言として使用して会話を終了する

次の例は、前の例のように *action* を `END_CONVERSATION` に設定する代わりに、sys_cs_contextual_action テーブルで定義された *Bye* コマンドを発言として使用して仮想エージェントとの会話を終了する方法を示しています。この例では、*Bye* コマンドの言語バリアントの 1 つである「choa」を使用しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: ORANGE" \
--data "{
  "requestId": "302bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
  "botToBot": true,
  "clientSessionId": "",
  "silentMessage": false,
  "message":{
    "text": "choa",
    "typed": true
  },
  "userId": "fred.ludy",
  "emailId": "abel.tuter@servicenow.com",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
}"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"302bas2be70-sadsa-we32-3eq2-1231ra9",
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
  "clientSessionId":"",
  "message":{
    "text":"chao",
    "typed":true
  },
  "userId":"fred.ludy",
  "body":[
    {
      "uiType":"Picker",
      "group":"DefaultPicker",
      "required":true,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"Please make a selection.",
      "itemType":"List",
      "style":"list",
      "multiSelect":false,
      "options":[
        {
          "label":"End conversation",
          "value":"1",
          "renderStyle":"data",
          "enabled":false
        },
        {
          "label":"Cancel",
          "value":"0",
          "renderStyle":"data",
          "enabled":false
        }
      ],
      "scriptedData":null
    }
  ],
  "score":1
}
```

Example: SWITCH アクションパラメーターを使用して進行中の会話を変更する

次の例は、`SWITCH` *`action`* パラメーターを使用して、進行中の会話を *`intent.id`* パラメーターの指定内容と一致するトピックに変更する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "sdfsfs-hgfhg-34fssd-zxcz-sd43",
  "enterpriseId": "ServiceNow",
  "nowBotId": "A85PWLERF",
  "clientSessionId": "",
  "nowSessionId": "",
  "action": "SWITCH",
  "intent" : {
    "id": "Saloon Vehicle"
  },
  "message":{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "typed": true,
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
  "userId": "Guest",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York"
}"
--user "username":"password"
```

VA が新しいトピックに切り替えられたことを示す、VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
   "requestId":"sdfsfs-hgfhg-34fssd-zxcz-sd43",
   "clientSessionId":"",
   "nowSessionId":"",
   "message":{
      "typed":true,
      "clientMessageId":"ABC-123"
   },
   "userId":"Guest",
   "body":[
      {
         "uiType":"InputText",
         "group":"DefaultText",
         "required":true,
         "nluTextEnabled":false,
         "label":"limo input:",
         "maskType":"NONE"
      }
   ],
   "score":1
}
```

Example: 発言の 自然言語理解 (NLU) (NLU) 信頼スコアを取得する

次の例は、VA で NLU が有効になっている場合に発言のNLU信頼スコアを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "sdfsfs-hgfhg-34fssd-zxcz-sd43",
  "enterpriseId": "ServiceNow",
  "nowBotId": "A85PWLERF",
  "clientSessionId": "",
  "nowSessionId": "",
 "message":{
   "text": "most popular choice",
  "typed": true,
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
  "userId": "Guest",
  "timestamp": 1588824102,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "timezone": "America/New_York"
}"
--user "username":"password"
```

NLU 信頼スコアを示す、VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
 "requestId":"sdfsfs-hgfhg-34fssd-zxcz-sd43",
 "clientSessionId":"",
 "nowSessionId":"",
 "message":{
   "text":"most popular choice",
   "typed":true,
   "clientMessageId":"ABC-123"
 },
 "userId":"Guest",
 "body":[
  {
    "uiType":"InputText",
   "group":"DefaultText",
   "required":true,
   "nluTextEnabled":false,
   "label":"model input:",
   "maskType":"NONE"
  }
 ],
 "score":"0.92"
}
```

Example: 特定のキューのライブエージェントに会話を転送する

次の例は、特定のキュー内のライブエージェントに会話を転送する方法を示しています。最初に特定の条件でキューを設定する必要があります。次に、これらの条件を要求本文で *contextVariables* として渡します。作業項目キューの作成の詳細については、「 作業項目キューの作成 」を参照してください。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  "requestId": "34re-dasd-qwe23-dsds", // Unique value for a message
 (hash)
  "enterpriseId": "ServiceNow", // ServiceNow (Optional
  "nowBotId": "A85PWLERF", // In case of multiple ServiceNow secondary
 bots (one for HR, one for ITSM)
  "action":"AGENT", // Actions to close conversation. Other possible
 value is END_CONVERSATION
  "clientSessionId": "", // Client conversation id
  "nowSessionId": "", // ServiceNow conversation id
  "message":{
    "text": "How are you?", // User passed message
    "typed": true, // typed or clicked
    "clientMessageId": "ABC-123"
  },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  "userId": "abraham.lincoln", // User's id in their system
  "emailId": "abraham.lincoln@example.com",
  "timestamp": 1588824102,
  "timezone": "America/New_York",
  "contextVariables":{
    "b2b_category":"humanresource"
  }
}"
--user "username":"password"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"34re-dasd-qwe23-dsds",
  "clientSessionId":"",
  "nowSessionId":"",
  "message":{
    "text":"How are you?",
    "typed":true,
    "clientMessageId":"ABC-123"
   },
   "userId":"abraham.lincoln",
   "body":[
     {
       "uiType":"OutputText",
       "group":"DefaultText",
       "value":"I am sorry but I didn't understand your request.",
       "maskType":"NONE"
    },
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "value":"Please try giving me your request in a different way. I'm
 currently better at understanding short sentences.",
      "maskType":"NONE"
    },
    {
      "uiType":"TopicPickerControl",
      "group":"DefaultPicker",
      "nluTextEnabled":false,
      "promptMsg":"Hi guest, please enter your request or make a
 selection of what I can help with. You can type help any time when you
 need help.",
      "label":"Show me everything",
      "options":[
        {
          "label":"Live Agent Support.",
          "value":"ce2ee85053130010cf8cddeeff7b12bf",
          "enabled":true
        }
      ]
    }
  ],
  "score":0
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 公開アプリケーション/PDF 添付ファイルを転送する

この例は、公開アプリケーション/PDF 添付ファイルを転送する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: BOT_Token" \
--data "{
  "requestId": "f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId": "U94CSJLEN",
  "message": {
    "attachment": {
    "clientAttachmentId": "my-unique-identifier",
    "contentType": "application/pdf",
    "fileName": "MY PDF TEST",
    "url": "http://www.africau.edu/images/default/sample.pdf"
    }
  },
  "userId": "U94CSJLEN",
  "emailId": "admin@example.com"
}"
--user "username":"password"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId":"U94CSJLEN",
  "message":{
    "attachment":{
      "clientAttachmentId":"my-unique-identifier",
      "contentType":"application/pdf",
      "fileName":"MY PDF TEST",
      "url":"http://www.africau.edu/images/default/sample.pdf"}
    },
    "userId":"U94CSJLEN",
    "body":[
      {
        "uiType":"OutputText",
        "group":"DefaultText",
        "required":false,
        "nluTextEnabled":false,
        "label":"File got",
        "maskType":"NONE",
        "itemType":"outputtext"
      },
      {
        "uiType":"OutputText",
        "group":"DefaultText",
        "required":false,
        "nluTextEnabled":false,
        "label":"The conversation has ended. If you need help again, type
 hi.",
        "maskType":"NONE",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "itemType":"outputtext"
       }
    ],
  "completed":true,
  "score":1
}
```

Example: ビデオ/mpeg 添付ファイルを転送する

この例は、ビデオ/mpeg 添付ファイルをアップロードするための要求/応答を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: BOT_TOKEN" \
--data "{
  "requestId": "f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId": "U94CSJLEN",
  "message": {
    "attachment": {
    "clientAttachmentId": "my-unique-identifier10",
    "contentType": "video/mpeg",
    "fileName": "MY TEST10.mp4",
    "url":
 "https://sample-videos.com/video123/mp4/720/big_buck_bunny_720p_1mb.mp4"
    }
  },
  "userId": "U94CSJLEN",
  "emailId": "admin@example.com"
}"
--user "username":"password"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId":"U94CSJLEN",
  "message":{
    "attachment":{
      "headers":{
        "Authorization":"Basic amFzbWluZS53YWRod2FuaWE6VGVzdGluZ0AxMjM="
      },
      "clientAttachmentId":"my-unique-identifier10",
      "contentType":"video/mpeg",
      "fileName":"MY TEST10.mp4",

 "url":"https://
sample-videos.com/video123/mp4/720/big_buck_bunny_720p_1mb.mp4"
    }
  },
  "userId":"U94CSJLEN",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "required":false,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"File got",
      "maskType":"NONE",
      "itemType":"outputtext"
    },
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "required":false,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"The conversation has ended. If you need help again, type
 hi.",
      "maskType":"NONE","itemType":"outputtext"
    }
  ],
  "completed":true,
  "score":1
}
```

Example: 画像/jpeg 添付ファイルを転送する

この例は、画像/jpeg 添付ファイルをアップロードするための要求/応答を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_va_as_service/bot/integration" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--header "token: BOT_TOKEN" \
--data "{
  "requestId": "f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId": "U94CSJLEN",
  "message": {
    "attachment": {
      "clientAttachmentId": "my-unique-identifier10",
      "contentType": "image/jpeg",
      "fileName": "MY TEST10.jpg",
      "url":
 "https://image.imagestock.com/image-photo/pink-butterfly-isolated-on-
white-260nw-1218104047.jpg"
    }
  },
  "userId": "U94CSJLEN",
  "emailId": "admin@example.com"
}"
--user "username":"password"
```

VA から構成済み応答エンドポイントに送信される応答本文は次のとおりです。

```
{
  "requestId":"f42f3550-5b44-4cde-aa52-9b6756b3131c",
  "clientSessionId":"U94CSJLEN",
  "message":{
    "attachment":{
      "headers":{
        "Authorization":"Basic amFzbWluZS53YWRod2FuaWE6VGVzdGluZ0AxMjM="
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

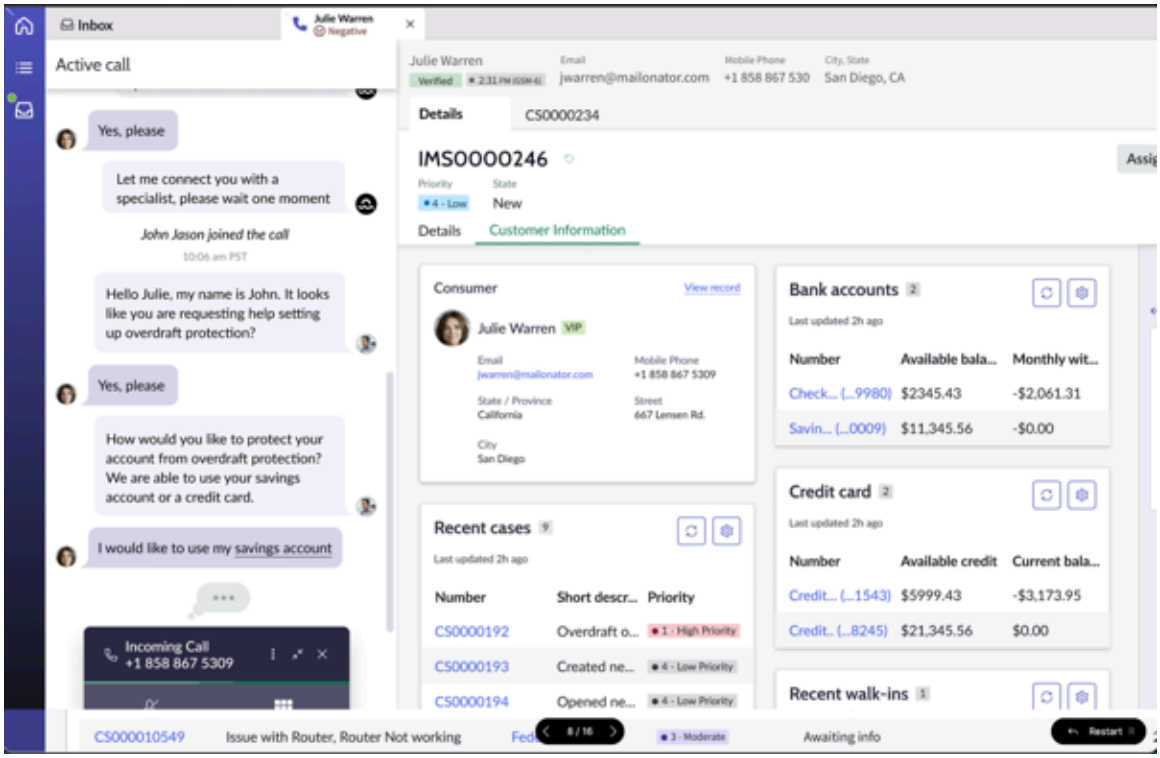
```
      },
      "clientAttachmentId":"my-unique-identifier10",
      "contentType":"image/jpeg",
      "fileName":"MY TEST10.jpg",

 "url":"https://
image.imagestock.com/image-photo/pink-butterfly-isolated-on-
white-260nw-1218104047.jpg"
    }
  },
  "userId":"U94CSJLEN",
  "body":[
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "required":false,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"File got",
      "maskType":"NONE",
      "itemType":"outputtext"
    },
    {
      "uiType":"OutputText",
      "group":"DefaultText",
      "required":false,
      "nluTextEnabled":false,
      "label":"The conversation has ended. If you need help again, type
 hi.",
      "maskType":"NONE",
      "itemType":"outputtext"
    }
  ],
  "completed":true,
  "score":1
}
```


Voice Interaction Resource API

Voice Interaction API は、電話での会話中にエージェントと発信者間の音声インタラクションを書き起こして保存するためのエンドポイントを提供します。仮想エージェントおよびライブエージェントチャットと連携して機能します。

この API を使用して、進行中の通話から文字起こしされたメッセージをリアルタイムで保持したり、既存の音声会話録音を履歴用に文字起こしして保存したりできます。文字起こしされたメッセージはエージェントワークスペースで表示されるため、エージェントは発信者と話しているときにエージェントアシストや検索などの機能を活用できます。文字起こしされたメッセージは、会話メッセージ [sys_cs_message] テーブルに保持されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コールフロー

次のコールフローは、 *Voice Interaction* API を使用して音声インタラクションレコードを作成し、その音声会話内のメッセージを文字起こしして保存してから、音声会話レコードをクローズする方法を示しています。ビジネスルールやその他のスクリプトを使用してこの機能を実行することもできますが、このタイプの実装についてはこのセクションでは説明しません。

1. まず、 音声対話リソース:POST /cs/voice-interactions エンドポイントを呼び出して、インタラクション [interaction] テーブルに音声インタラクションレコードを作成します。
2. 次に、 音声インタラクション リソース:POST /cs/voice-interactions/{interactionId}/messages エンドポイントを呼び出して、音声会話から翻訳されたメッセージを会話メッセージテーブルに保存します。リアルタイムの会話を処理する場合は、メッセージが適切なタイミングで エージェントワークスペース に表示されるように、このエンドポイントを頻繁に呼び出す必要があります。履歴目的で記録を処理する場合、1 回のエンドポイント呼び出しですべてのメッセージを渡すことができます。
3. 音声メッセージの永続化が完了したら、 音声対話リソース:PATCH /cs/voice-interactions/{interactionId}/state エンドポイントを呼び出してキャプチャを終了し、音声対話レコードを閉じます。

可用性

この API はベース ServiceNow システムで使用できます。アクセスは、インタラクション [interaction] テーブルと会話 [sys_cs_conversation] テーブルに課せられた ACL によって制限されます。

音声対話リソース:PATCH **/cs/voice-interactions/{interactionId}/state**

指定された音声インタラクションを終了します。いったんコールされると、電話での会話用にそれ以上の音声メッセージが翻訳されて保存されることはありません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/now/{api_version}/cs/voice-interactions/{interactionId}/state`

デフォルト URL: `/api/now/v1/cs/voice-interactions/{interactionId}/state`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
interactionId	音声インタラクションを終了するインタラクションレコードのSys_id。インタラクション [interaction] テーブルにあり、 音声対話リソース:POST /cs/voice-interactions エンドポイントによって返されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	Description (説明)
recordingURL (英語)	元の音声録音がある URL。 設定されている場合、この URL は エージェントワークスペース で表示されます。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
state	必須。音声インタラクションのステータス。 サポートされている値のみ:closed_complete データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。JSON の形式が正しくないか、必須パラメーターが渡されませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	操作のステータス。 可能な値： • 成功 • 失敗 エラーが発生した場合は、エラーを説明するメッセージも返されます。エラーが ServiceNow インスタンスにある場合、インスタンスは関連するスタックトレースをログに記録します。

Example: cURL 要求

次の例は、音声インスタンスを終了する方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/now/v1/
 cs/voice-interactions/86837a386f0331003b3c498f5d3ee4ca/state" \
--request PATCH \
--header "Content-Type: application/json" \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password' \
-d {
  "state": "closed_complete",
  "recordingURL": "https: //zoom_instance/rec/QbF7XmPFHPlX1LG"
}'
```

応答：

```
{
  "result": "Success"
}
```

音声対話リソース:POST **/cs/voice-interactions**

インタラクション [interaction] テーブル内に音声インタラクションレコードを作成します。

文字起こしされた音声メッセージを保存する前に、このレコードを作成する必要があります。また、このエンドポイントを使用して、特定のユーザー ID を渡すことで、特定のエージェントにコールをアサインすることもできます。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/now/{api_version}/cs/voice-interactions`

デフォルト URL: `/api/now/v1/cs/voice-interactions`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
agentId	音声インタラクションをアサインするエージェントの一意の識別子。ユーザー [sys_user] テーブルの [ユーザー ID] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	デフォルト:仮想エージェントの呼び出し
発信者電話番号	発信者のコールバック電話番号。これは、コールが切断された場合に、エージェントが発信者に連絡するために使用する番号です。 データタイプ：文字列 フォーマット:E.164規格準拠 デフォルト：なし
clientSessionId	この電話を追跡するために使用される外部システム内のレコードの一意の識別子。この情報は、2 つのシステム間でレコードをリンクします。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
inboundId	音声サービスのアプリケーションプロバイダーの一意の識別子。プロバイダーチャネルアプリケーション [sys_cs_provider_application] テーブルの [受信 ID] フィールドにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:チャットから取得
userId	必須です。音声トランザクションに関連付けられたコールを発信した発信者の電話番号。 データタイプ：文字列 形式:音声会話スクリプトを作成したソフトウェアによって定義されます。通常、E.164 標準に準拠しています。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。JSON の形式が正しくないか、必須パラメーターが渡されませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
interactionId	新しく作成された音声インタラクションレコードのSys_id。インタラクション [interaction] テーブルにあります。 このsys_idは、次の場合に使用します。 • 音声インタラクション リソース:POST /cs/voice-interactions/{interactionId}/messages エンドポイントを呼び出して、音声対話にメッセージを追加します。 • 音声対話リソース:PATCH /cs/voice-interactions/{interactionId}/state エンドポイントを呼び出して音声対話を終了します。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、音声対話を開始し、通話を特定のエージェントに転送する方法を示しています。

```
curl "http://instance.servicenow.com/api/now/v1/cs/voice-interactions" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password' \
--header "Content-Type: application/json"\
-d '{
  "userId": "+14089178877",
  "agentId": "beth.anglin",
  "callerPhoneNumber": "+14089178878",
  "clientSessionId": "f8453abb-a33d-45b7-bf01-52b7a821e99z"
}'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答：

```
{
  "result": {
    "interactionId": "4462cb4753751110b6e8ddeeff7b12ca"
  }
}
```

音声インタラクション リソース - **POST /cs/voice-interactions/{interactionId}/conversation**

指定されたインタラクションの会話 [sys_cs_conversation] テーブル内に会話レコードを作成します。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/now/{api_version}/cs/voice-interactions/{interactionId}/conversation`

デフォルト URL: `/api/now/v1/cs/voice-interactions/{interactionId}/conversation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
interactionId	会話レコードを作成するインタラクションレコードのSys_id。この値は 音声対話リソース:POST /cs/voice-interactions エンドポイントによって返され、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	Description (説明)
agentId	音声インタラクションをアサインするエージェントの一意の識別子。ユーザー [sys_user] テーブルの [ユーザー ID] フィールドにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:仮想エージェントの呼び出し
発信者電話番号	発信者のコールバック電話番号。これは、コールが切断された場合に、エージェントが発信者に連絡するために使用する番号です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列 フォーマット:E.164規格準拠 デフォルト：なし
clientSessionId	この電話を追跡するために使用される外部システム内のレコードの一意の識別子。この情報は、2 つのシステム間でレコードをリンクします。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
inboundId	音声サービスのアプリケーションプロバイダーの一意の識別子。プロバイダーチャネルアプリケーション [sys_cs_provider_application] テーブルの [受信 ID] フィールドにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト:チャットからプル
userId	必須です。音声トランザクションに関連付けられたコールを発信した発信者の電話番号。 データタイプ：文字列 形式:音声会話スクリプトを作成したソフトウェアによって定義されます。通常、E.164 標準に準拠しています。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。JSON の形式が正しくないか、必須パラメーターが渡されませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	Description (説明)
conversationId	新しく作成された会話レコードのSys_id。会話 [sys_cs_conversation] テーブルにあります。

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl  "http://
instance.servicenow.com/api/now/v1/cs/voice-interactions/7662cb4721751ea0
b6e8dda1b27b131f/conversation" \
--request  POST \
--header  "Accept:application/json" \
--user  'username':'password' \
--header  "Content-Type:  application/json"\
-d  '{
  "userId": "+14089178877",
  "agentId": "admin@example.com",
  "callerPhoneNumber": "+14089178878",
  "clientSessionId": "f8453abb-a33d-45b7-bf01-52b7a821e99z"
}'
```

応答：

```
{
  "result": "a47e1afdb7471110b6e8bc15ae11a934"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

音声インタラクション リソース:POST **/cs/voice-interactions/{interactionId}/messages**

指定された音声トランザクションレコードに指定された音声会話メッセージを追加します。これらのメッセージは通常、サードパーティベンダーのソフトウェアを使用して生成されます。現在、Amazon Connect のみがサポートされています。

コールのリアルタイム文字起こし中にこのエンドポイントを複数回呼び出すことも、履歴目的でコールを文字起こしする場合は、1 回の呼び出しですべてのメッセージを渡すこともできます。リアルタイムの会話を処理する場合は、メッセージが適切なタイミングで エージェントワークスペース に表示されるように、このエンドポイントを頻繁に呼び出す必要があります。メッセージは、コールの開始を基準にした開始時刻と終了時刻に基づいて順序付けされます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/now/{api_version}/cs/voice-interactions/{interactionId}/messages`

デフォルト URL: `/api/now/v1/cs/voice-interactions/{interactionId}/messages`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	Description (説明)
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
interactionId	指定されたメッセージを追加するインタラクションレコードのSys_id。この値は 音声対話リソース:POST /cs/voice-interactions エンドポイントによって返され、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文のパラメーター **(Amazon Connect)**

名前	Description (説明)
<json_string>	指定された音声インタラクションに添付するメッセージのリスト。 `"<json_string>":[ { "attributes": [Array], "beginOffsetMillis": Long, "content": "String" "endOffsetMillis": Long, "id": "String", "isEvent": Boolean,`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求本文のパラメーター **(Amazon Connect)** (続く)

名前	**Description** (説明)

	<pre>"isInternalMessage": Boolean,
	"loudnessScore": "Number",
	"participantId": "String",
	"sentiment": "String"
	}
	]</pre>

<json_string>.属性	音声インタラクションに関連付けるキーと値のペア。 これらは、単純なオブジェクトから複雑な複合オブジェクトまで、あらゆるタイプのデータオブジェクトにすることができます。これらは、Amazon Web サービス API を呼び出すときに一意の識別子として使用されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ デフォルト：なし
<json_string>.beginOffsetMillis	必須です。音声インタラクションの開始と関連するメッセージの開始の間の時間オフセット。例:"beginOffsetMillis": 2650。 データタイプ：長整数 単位：ミリ秒
<json_string>.コンテンツ	必須です。音声インタラクションに追加するメッセージのテキスト。 データタイプ：文字列
<json_string>.endOffsetMillis	必須です。音声インタラクションの開始からメッセージの終了までの時間オフセット。例:"endOffsetMillis": 9380。 データタイプ：長整数 単位：ミリ秒
<json_string>.id	この音声会話のソースのメッセージ UUID (AmazonConnect など)。ソースメッセージ ID 列の値を設定します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
<json_string>.isEvent	Amazon Connect によって設定されますが、メソッドでは現在使用されていません。関連付けられたメッセージがイベントかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メッセージはイベントです。 • false:メッセージはイベントではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文のパラメーター **(Amazon Connect)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	デフォルト値：false
<json_string>.isInternalMessage	これが内部メッセージであり、発信者に表示してはならないかどうかを示すフラグ。 文字起こしは通常、内部メッセージと見なされ、エージェントにのみ表示され、発信者には表示されません。さらに、エージェントウィスパーは、サイレントなサードパーティがチャット中、または発信者に知られずに電話での会話に持ち込まれ、エージェントにアドバイスを提供する場合に使用されます。発信者はこれらのメッセージを聞いたり見たりしませんが、エージェントには聞こえます。 有効な値： • true:内部メッセージ。発信者に表示されません。 • false:内部メッセージではなく、発信者に表示します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
<json_string>.loudnessScore	顧客またはエージェントが通話中にどれだけ大きな声で話しているかに関する測定。 Contact Lens は、会話の分析を表示し、どこで大声で話していて、否定的な感情を持っているかを示します。 データタイプ：数値 範囲: -1.0 (負) から 1.0 (正) デフォルト：Null
<json_string>.participantId	必須。メッセージに関連付けられた参加者。 有効な値： • 顧客 • エージェント データタイプ：文字列
<json_string>.sentiment	メッセージの感情。 この値は、サードパーティプロバイダーによって生成されます。ServiceNowインスタンス構成設定に基づいて、この値は正、負、または中立のいずれかに変換され、会話およびインタラクションレコードに保存されます。 有効な値： • ー • ニュートラル • ＋

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文のパラメーター **(Amazon Connect)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列 デフォルト：Null

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。JSON の形式が正しくないか、必須パラメーターが渡されませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	コールの結果を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
会話 ID	作成された音声インタラクションメッセージレコードのSys_id。音声トランスクリプト会話メッセージ [sys_cs_message_voice_transcript] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、既存の音声インタラクションレコードにメッセージを追加する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/now/v1/cs/voice-interactions/86837a3
86f0331003b3c498f5d3ee4ca/messages" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type: application/json"\
--user 'username':'password' \
-d ' [
  {
    "isEvent": "false",
    "isInternalMessage": "false",
    "beginOffsetMillis": 10000,
    "content": "This is John. How can I help you?",
    "endOffsetMillis": 15000,
    "id": "954c4edc-31a8-48b0-8f6e-7fa0c4ca00a8",
    "participantId": "AGENT",
    "sentiment": "NEUTRAL",
    "loudnessScore": "null",
    "attributes": [{
      "key": "key1",
      "value": "value1"
      }, {
      "key": "key2",
      "value": "value2"
    }]
  },
  {
    "isEvent": "false",
    "isInternalMessage": "false",
    "beginOffsetMillis": 20000,
    "content": "Uh, yes, John. Um, I'm a little very frustrated right now
.",
    "endOffsetMillis": 25000,
    "id": "18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
    "participantId": "CUSTOMER",
    "sentiment": "NEGATIVE"
  },
  {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "isEvent": "false",
    "isInternalMessage": "false",
    "beginOffsetMillis": 30000,
    "content": "I am sorry to hear that",
    "endOffsetMillis": 35000,
    "id": "18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
    "participantId": "AGENT",
    "sentiment": "NEGATIVE",

  },
  {
   "isEvent":"false",
    "isInternalMessage":"false",
    "beginOffsetMillis":40000,
    "content":"Can you help me with my insurance? My ssn is 123-12-1234",
    "endOffsetMillis":45000,
    "id":"ab09b3b6-23fd-4e41-be05-6b2b53c19059",
    "participantId":"CUSTOMER",
    "sentiment":"NEUTRAL"
  },
  {
    "isEvent":"False",
    "isInternalMessage":"False",
    "beginOffsetMillis":50000,
    "content":"Of course, let me check your account",
    "endOffsetMillis":55000,
    "id":"18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
    "participantId":"AGENT",
    "sentiment":"NEUTRAL"
  }
]'
```

応答：

```
{
  "result": "Voice conversation transcript has been successfully saved.
 Conversation id: 8439d3c753b51110b6e8ddeeff7b12e2"
}
```

音声インタラクションリソース:POST **/cs/voice-interactions/transcript**

通話が完了した後、既存の音声インタラクションにメッセージを追加します。この API を使用して、エージェントと発信者間の音声通話の文字起こしメッセージを添付できます。

URL 形式

バージョニングされた URL: `/api/now/{api_version}/cs/voice-interactions/{interactionId}/transcript`

デフォルト URL: `/api/now/v1/cs/voice-interactions/{interactionId}/transcript`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
conversationStarted	会話の開始時間インタラクション [interaction] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD HH:MM:SS
interactionId	指定されたメッセージを追加するインタラクションレコードのSys_id。この値は 音声対話リソース:POST /cs/voice-interactions エンドポイントによって返され、インタラクション [interaction] テーブルに格納されます。 データタイプ：文字列
source	会話のインタラクショントランスクリプトを最初に作成したチャネルの名前。 現在サポートされている値は `Amazon Connect` のみです。 データタイプ：文字列
写し	指定された音声インタラクションに添付するメッセージのリスト。 `"transcript":[ { "attributes": [Array], "beginOffsetMillis": Long, "content": "String" "endOffsetMillis": Long, "id": "String", "isEvent": Boolean, "isInternalMessage": Boolean, "loudnessScore": "String", "participantId": "String", "sentiment": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	<pre> }]</pre> データタイプ：オブジェクトのアレイ
transcript.attributes	音声インタラクションに関連付けるキーと値のペア。 これらは、単純なオブジェクトから複雑な複合オブジェクトまで、あらゆるタイプのデータオブジェクトにすることができます。これらは、Amazon Web サービス API を呼び出すときに一意の識別子として使用されます。 データタイプ：オブジェクトのアレイ デフォルト：なし
transcript.beginOffsetMillis	必須です。音声インタラクションの開始と関連するメッセージの開始の間の時間オフセット。例:"beginOffsetMillis": 2650。 データタイプ：長整数 単位：ミリ秒
transcript.content	必須です。音声インタラクションに追加するメッセージのテキスト。 データタイプ：文字列
transcript.endOffsetMillis	必須です。音声インタラクションの開始からメッセージの終了までの時間オフセット。例:"endOffsetMillis": 9380。 データタイプ：長整数 単位：ミリ秒
transcript.id	この音声会話のソースのメッセージ UUID (AmazonConnect など)。ソースメッセージ ID 列の値を設定します。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
transcript.isEvent	Amazon Connect によって設定されますが、メソッドでは現在使用されていません。関連付けられたメッセージがイベントかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:メッセージはイベントです。 • false:メッセージはイベントではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
transcript.isInternalMessage	これが内部メッセージであり、発信者に表示してはならないかどうかを示すフラグ。 文字起こしは通常、内部メッセージと見なされ、エージェントにのみ表示され、発信者には表示されません。さらに、エージェントウィスパーは、サイレントなサードパーティがチャット中、または発信者に知られずに電話での会話に持ち込まれ、エージェントにアドバイスを提供する場合に使用されます。発信者はこれらのメッセージを聞いたり見たりしませんが、エージェントには聞こえます。 有効な値： • true:内部メッセージ。発信者に表示されません。 • false:内部メッセージではなく、発信者に表示します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
transcript.loudnessScore	顧客またはエージェントが通話中にどれだけ大きな声で話しているかに関する測定。 Contact Lens は、会話の分析を表示し、どこで大声で話していて、否定的な感情を持っているかを示します。 データタイプ：数値 範囲: -1.0 (負) から 1.0 (正) デフォルト：Null
transcript.participantId	必須。メッセージに関連付けられた参加者。 有効な値： • 顧客 • エージェント データタイプ：文字列
transcript.sentiment	メッセージの感情。 この値は、サードパーティプロバイダーによって生成されます。ServiceNowインスタンス構成設定に基づいて、この値は正、負、または中立のいずれかに変換され、会話およびインタラクションレコードに保存されます。 有効な値： • ー • ニュートラル • ＋

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	データタイプ：文字列 デフォルト：Null

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。JSON の形式が正しくないか、必須パラメーターが渡されませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	コールの結果を説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
会話 ID	メッセージが添付された音声会話テーブルのSys_id。会話 [sys_cs_message_conversation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次の例は、既存の音声インタラクションレコードにメッセージを追加する方法を示しています。

```
curl  "http://
instance.servicenow.com/api/now/v1/cs/voice-interactions/transcript" \
--request  POST \
--header  "Accept:application/json" \
--header  "Content-Type:  application/json"\
--user  'username':'password' \
-d  ' {
  "interactionId": "e67a6c30c7233010967a34c91dc26068",
  "source": "Amazon Connect",
  "conversationStarted": "2021-08-06 15:07:51",
  "transcript": [
    {
      "isEvent": "False",
      "isInternalMessage": "False",
      "beginOffsetMillis": 100000,
      "content": "This is John. How can I help you?",
      "endOffsetMillis": 150000,
      "id": "954c4edc-31a8-48b0-8f6e-7fa0c4ca00a8",
      "participantId": "AGENT",
      "sentiment": "NEUTRAL"
    },
    {
      "isEvent": "False",
      "isInternalMessage": "False",
      "beginOffsetMillis": 200000,
      "content": "Uh, yes, John. Um, I'm a little frustrated right now.",
      "endOffsetMillis": 25000,
      "id": "18bcf19c-4a9b-4af1-9bd7-7bfb5ba53b9f",
      "participantId": "CUSTOMER",
      "sentiment": "NEGATIVE"
    }
  ]
} '
```

応答：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "result": "Voice conversation transcript has been successfully saved. C
onversation id: 8439d3c753b51110b6e8ddeeff7b12e2"
}
```

ワークプレイスコネクタ Webhook API

ワークプレイスコネクタ *Webhook* API は、さまざまな種類のワークプレイスハードウェアまたはセンサー (バッジシステムや占有センサーなど) からのデータをワークプレイスサービスデリバリテーブルに保存できるようにする汎用インターフェイスです。

この API は sn_wsd_wc 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、ワークプレイスコネクタ (com.sn_wsd_wc) プラグインをアクティブ化する必要があります。

この API を呼び出す前に、コネクタ構成 [sn_wsd_wc_connector_config] テーブルとプロバイダー構成 [sn_wsd_wc_provider_config] テーブルでレコードを構成する必要があります。これらのレコードの設定方法については、「 ワークプレイスコネクタ の構成 」を参照してください。

さらに、ハードウェア/センサーベースのイベントペイロードからターゲット ServiceNow テーブル (従業員参加データ [sn_wsd_wc_employee_attendance_data] テーブルなど) へのデータ変換/マッピングを定義する拡張ポイントを設定する必要があります。

ワークプレイスコネクタ Webhook の詳細については、「 ワークプレイスコネクタ 」を参照してください。

ワークプレイスコネクタ Webhook - POST /workplace_connector_webhook/event

コネクタイベント [sn_wsd_wc_connector_events] テーブルにレコードを作成し、エンドポイントのペイロードに渡されたハードウェア/センサーベースのイベントデータをそのレコードのペイロードフィールドに保存します。

エンドポイントは、ペイロードを保存した後、コネクタイベントレコード内の [ステータス] フィールドを [新規] に設定し、ペイロードが処理されていないことを示します。

スケジュール済みジョブは、コネクタイベントテーブル内の新しいバッジレコードを検索し、変換して従業員参加データ [sn_wsd_wc_employee_attendance_data] テーブルに書き込みます。その後、[ステータス] フィールドが [処理済み] に設定されます。

コネクタイベントレコードのペイロードデータと従業員参加データレコードの間のデータのマッピングは、拡張ポイントで定義されます。この拡張ポイントは、関連するコネクタ構成 [sn_wsd_wc_connector_config] テーブルの [拡張ポイント定義] フィールドで識別されます。このエンドポイントの場合、これは BadgingDataHandler 拡張ポイントです。

> **注:** [処理済み] ステータスのコネクタイベントテーブル内のレコードは、作成日から 2 日後に消去されます。エラーステータスのレコードは、作成日から 7 日後に消去されます。新しいステータスのレコードは消去されません。

URL 形式

バージョニングされた URL: /api/sn_wsd_wc/v1/workplace_connector_webhook/event

デフォルト URL: /api/sn_wsd_wc/workplace_connector_webhook/event

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	**Description** (説明)
ni.nolog.id	必須。イベント情報を生成したハードウェアに関連付けられたプロバイダー設定レコードのSys_id。プロバイダー構成 [sn_wsd_wc_provider_config] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
token_name	セキュリティトークンを識別するユーザー名やその他の値など、セキュリティトークンの名前。要求の認証に使用されます。プロバイダー構成 [sn_wsd_wc_provider_config] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
token_value	セキュリティトークンに関連付けられた値 (パスワードなど)。要求の認証に使用されます。プロバイダー構成 [sn_wsd_wc_provider_config] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	**Description** (説明)
<payload>	ハードウェア/センサーベースのイベントデータの名前と値のペア。 名前は、BadgingDataHandler 拡張ポイントで識別される名前に対応している必要があります。 例： `{ "Time zone": "(UTC-08:00) Pacific Time (US & Canada)", "Event": "Access granted", "Door": "L_SJC005_B1.101_ELEVATOR 2 INT", "Side": "Reader - In", "Cardholder": "ninat.salem", "First name": "Nina T", "Last name": "Salem", "Credential": " ninat.salem's credential", "Employee ID (Cardholder)": "10097", "Event timestamp": "11/07/2022 00:56:57" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	**Description** (説明)
	1 つのエンドポイント呼び出し内で複数のイベントのデータを渡すことができます。各イベントのデータを個別のオブジェクトで渡します。各イベントのデータは、個別の従業員出席データレコードに保存されます。 **注:** 日付解析の問題を回避するために、指定されたタイムスタンプが ISO 8601 形式に準拠していることを確認してください。 データタイプ:JSON オブジェクト

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。*application/json* のみをサポートします。
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
エラー	データの処理中に発生したエラーの説明。 データタイプ: オブジェクト `"error": { "detail": "String", "message": "String" "status": "String" }`
error.detail	エラーの詳細を示す情報。 データタイプ：文字列
error.message	エラーメッセージ データタイプ：文字列
status	エンドポイント処理のステータス。 可能な値： • failure:エンドポイントに障害が発生しました。詳細については、 *error* オブジェクトを参照してください。 • success:エンドポイントが正常に完了しました。レコードが追加されました。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、複数のカードリーダーイベントをコネクタイベントテーブルに追加する方法を示しています。要求を処理する前に、要求が認証されます。

```
curl
 http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_wc/v1/workplace_connector_webhook/event?token_name=token&ni.nolog.id=8e666cb0a3053110bc6e146546fcdad1&token_value=babugosha  \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data --data "{
  \"Time zone\": \"(UTC+02:00) Jerusalem\",
  \"Event\": \"Access granted\",
  \"Door\": \"L_TLV001_A3.07_KITCHEN AREA INT\",
  \"Side\": \"Reader - In\",
  \"Cardholder\": \" ninat.alem\",
  \"First name\": \" Nina T\",
  \"Last name\": \" Salem\",
  \"Credential\": \" ninat.salem's credential\",
  \"Employee ID (Cardholder)\": 10097,
  \"Event timestamp\": \"11/07/2022 10:57:24\"
}
{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  \"Time zone\": \"(UTC+02:00) Jerusalem\",
  \"Event\": \"Access granted\",
  \"Door\": \"L_TLV003_A4.07_FRONT ENT\",
  \"Side\": \"Reader - In\",
  \"Cardholder\": \" joe.blue\",
  \"First name\": \" Joe\",
  \"Last name\": \" Blue\",
  \"Credential\": \" joe.blue's credential\",
  \"Employee ID (Cardholder)\": 24098,
  \"Event timestamp\": \"11/07/2022 10:59:33\"
}"
```

応答：

```
// Successful response
{
  "staus": "success"
}

// Error response
{
  "error": {
    "message": "Events request is invalid. Events query parms incomplete,
 some fields are missing",
    "detail": "Missing fields: token_name, token_value"
  }
  "status": "failure"
}
```

WSD Extra Service Request API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 追加サービス要求 API は、予約の追加サービス要求を管理するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要です。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Extra Service - GET /sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_layouts

指定された職場の場所に関連する場所のレイアウトの詳細を返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/extra_service/list_loc_layouts`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_layouts`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
location	必須です。場所レイアウトの詳細を返す職場の場所の sys_id。 職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	必須。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された職場の場所に関連付けられたレイアウトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"result": [ { "capacity": Number, "cleanup_duration": "String", "image": {Object}, "is_default": Boolean, "max_capacity": Number, "name": "String", "preparation_duration": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.capacity	会議に出席する人数。 データタイプ：数値
result.cleanup_duration	このレイアウトの予約可能項目の除去にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。 画像 [db_image] テーブルにあります。 `"image": { "link": "String", "sys_id": "String" }`
result.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.is_default	関連付けられたレイアウトが予約可能項目のデフォルトかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルト。 • false：デフォルトではない。 データタイプ：ブール
result.name	場所のレイアウトの名前。 データタイプ：文字列
result.max_capacity	予約可能項目に関連付けられたレイアウトで収容できる最大人数。 データタイプ：数値
result.preparation_duration	関連付けられた場所のレイアウトの準備にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.short_description	場所のレイアウトの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.sys_id	場所のレイアウトの sys_id。 レイアウト [sn_wsd_rsv_layout] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
"http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_layouts&location=d2716d4adb7210106c731dcd13961994" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "f4fee556534301103cf7ddeeff7b12ed",
      "name": "Test",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "short_description": "test",
      "is_default": false,
      "image": {
        "sys_id": "9648a7c5531301103cf7ddeeff7b1286",
        "link": "9648a7c5531301103cf7ddeeff7b1286.iix"
      },
      "capacity": null,
      "max_capacity": null,
      "preparation_duration": 172800000,
      "cleanup_duration": 86400000
    }
  ]
}
```


WSD Extra Service - GET /api/sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_standard_services

指定された職場の場所に関連する標準サービスの詳細を返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/extra_service/list_loc_standard_services`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_standard_services`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
location	必須。場所のレイアウトの標準サービスを返す職場の場所の sys_id。 職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result.standard_services	フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"standard_services": [ { "font_awesome_icon": "String", "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して標準サービスを取得する方法を示しています。

```
"http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/extra_service/list_loc_sta
ndard_services&location=d2716d4adb7210106c731dcd13961994" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "9b01458edb7650106c731dcd13961945",
      "name": "Flip chart",
      "short_description": "Flip chart with paper sheets",
      "font_awesome_icon": "fa-calendar-o"
    },
    {
      "sys_id": "abd0c18edb7650106c731dcd13961965",
      "name": "Projector screen",
      "short_description": "Connect laptop to screen (HDMI and DVI)",
      "font_awesome_icon": "fa-caret-square-o-right"
    },
    {
      "sys_id": "9841858edb7650106c731dcd1396193c",
      "name": "Whiteboard",
      "short_description": "Whiteboard and markers",
      "font_awesome_icon": "fa-pencil-square-o"
    }
  ]
}
```

WSD Extra Service API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 追加サービス API は、職場の場所のレイアウトや標準サービスなどの追加サービスを取得するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Extra Service Request - PATCH /api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_request/reservation/{sys_id}

単一の予約に関連付けられている追加のサービス要求を返します。

注: このエンドポイントは、グループまたは複数の予約では機能しません。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_extra_service_request/reservation/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_request/reservation/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	追加のサービス要求の詳細を返す予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。予約 sys_id がないか、無効か、または存在しません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された追加のサービス要求の詳細。 データタイプ：オブジェクト `{ "result": { "reservableId": "String", "reservationId": "String", "serviceCategories": {Object}, "serviceTimes": {Object} } }`
result.reservableId	予約が作成される職場の場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservationId	追加のサービス要求の詳細を返す予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.serviceCategory	関連する追加サービスのサービスカテゴリに関する詳細。 データタイプ： `"serviceCategories": { "String": { "categoryFriendlyName": "String", "categoryCurrencyCode": "String", "comment": "String", "flexibleServices": [Array], "serviceTimes": {Object} } }`
result.serviceCategories.categoryFriendlyName	スペースの配置など、職場サービスまたは追加サービスのカテゴリの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.categoryCurrencyCode	職場サービスアイテムまたは追加サービスのコストを計算するために使用される通貨コード。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.comment	サービスカテゴリに関するコメント。 データタイプ：文字列
result.flexibleService	予約に対して要求された各職場サービスアイテムまたは追加のサービスの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexibleServices": [{ "capacity": Number, "capacityEnabled": Boolean, "category": "String", "categoryComment": "String", "categoryFriendlyName": "String", "comment": "String", "currencyCode": "String", "deliveryTime": "String", "flexibleServiceId": "String", "flexibleServiceName": "String", "maxCapacity": Number,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"quantity": Number, "quantityEnabled": Boolean, "requestId": "String", "serviceItemImage": "String", "servicePrice": Number, "serviceTimes": {Object}, "state": {Object}, "subCategory": {Object}, "totalPrice": Number, }]
result.serviceCategories.flexibleServices.capacity	職場サービスアイテムを要求するときに要求されるキャパシティ。 データタイプ：数値
result.serviceCategories.flexibleServices.capacityEnabled	予約を作成するユーザーが職場のキャパシティを指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーはキャパシティを指定できます。 • false：ユーザーはキャパシティを指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.serviceCategories.flexibleServices.category	予約に関連付けられた職場サービスまたは追加サービスのカテゴリの sys_id。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.categoryComment	カテゴリに関する追加のコメント。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.categoryFriendlyName	スペースの配置など、職場サービスまたは追加サービスのカテゴリの分かりやすい名前。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.comment	職場サービスアイテムまたは追加サービスに関する追加コメント。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.currencyCode	関連する職場サービスアイテムまたは追加サービスのコストを計算するために使用される通貨コード。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.deliveryTime	職場サービスアイテムまたは追加サービスの配送時間。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.serviceCategories.flexibleServices.flexibleServiceId	追加サービスまたは職場サービスアイテムの sys_id。[sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.flexibleServiceName	関連する追加サービスまたは職場サービスアイテムの名前。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.maxCapacity	要求可能な職場の最大キャパシティ。 データタイプ：数値
result.serviceCategories.flexibleServices.quantity	要求された追加サービスアイテムの数。 データタイプ：数値
result.serviceCategories.flexibleServices.quantityEnabled	予約を作成するユーザーがサービスアイテムの数量を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは数量を指定できます。 • false：ユーザーは数量を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.serviceCategories.flexibleServices.requestId	追加サービスまたは職場サービスアイテムの sys_id。[sn_wsd_case_service_item_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.serviceItemImage	職場サービスアイテムのサムネイル画像のファイル名。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.servicePrice	職場サービスアイテムまたは追加サービスのコスト。 データタイプ：文字列

result.serviceCategories.flexibleServices.serviceTimes	職場サービスアイテムの準備とクリーンアップにかかる時間の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"serviceTimes": {`
	`  "endCleanup": "String",`
	`  "endPreparation": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"startCleanup": "String",
	"startPreparation": "String"
	}</pre>

result.serviceCategories.flexibleServices.serviceTimes.endCleanup	職場サービスアイテムのクリーンアップが終了する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.serviceTimes.endPreparation	職場サービスアイテムの準備が終了する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.serviceTimes.startCleanup	職場サービスアイテムのクリーンアップが開始する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.serviceTimes.startPreparation	職場サービスアイテムの準備が開始する日時。 データタイプ：文字列

result.serviceCategories.flexibleServices.state	関連する職場サービスアイテムの現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"state": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

result.serviceCategories.flexibleServices.state.display_value	職場サービスアイテムのステータスの表示値 (Open など)。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.state.value	職場サービスアイテムのステータスの内部値 (Open など)。 データタイプ：文字列

result.serviceCategories.flexibleServices.subCategory	関連する職場サービスアイテムのサブカテゴリに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"subCategory": {
	"display_value": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

result.serviceCategories.flexibleServices.subCategory.display_value	職場サービスアイテムまたは追加サービスのサブカテゴリ (椅子のレイアウト、ドリンク、IT サポートなど) の表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.serviceCategories.flexibleServices.subCategory.value	職場サービスアイテムまたは追加サービスのサブカテゴリの内部値 (chair_layout、drinks、IT_support など)。 データタイプ：文字列
result.serviceCategories.flexibleServices.total_price	予約に対する職場サービスアイテムまたは追加サービスの総コスト。 データタイプ：数値
result.serviceTime	職場サービスアイテムの準備とクリーンアップにかかる時間の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"serviceTimes": { "endCleanup": "String", "endPreparation": "String", "startCleanup": "String", "startPreparation": "String" }`
result.serviceTimes.endCleanup	職場サービスアイテムのクリーンアップが終了する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceTimes.endPreparation	職場サービスアイテムの準備が終了する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceTimes.startCleanup	職場サービスアイテムのクリーンアップが開始する日時。 データタイプ：文字列
result.serviceTimes.startPreparation	職場サービスアイテムの準備が開始する日時。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、予約に対する追加サービスまたは職場サービスアイテムの詳細を要求する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_reque
st/reservation/383e36c1536f01103cf7ddeeff7b1245" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username": "password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reservationId": "383e36c1536f01103cf7ddeeff7b1245",
    "serviceTimes": {
      "startPreparation": "2022-05-17T11:45:00ZZ",
      "endPreparation": "2022-05-17T12:00:00ZZ",
      "startCleanup": "2022-05-17T13:00:00ZZ",
      "endCleanup": "2022-05-17T13:15:00ZZ"
    },
    "reservableId": "02000d4edb7650106c731dcd13961914",
    "serviceCategories": {
      "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4": {
        "serviceTimes": {
          "startPreparation": "2022-05-17T11:45:00Z",
          "endPreparation": "2022-05-17T12:00:00Z",
          "startCleanup": "2022-05-17T13:00:00Z",
          "endCleanup": "2022-05-17T13:15:00Z"
        },
        "flexibleServices": [
          {
            "requestId": "743eb605536f01103cf7ddeeff7b126b",
            "category": "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4",
            "categoryComment": "test2",
            "subCategory": {
              "value": "chair_layout",
              "display_value": "Chair layout"
            },
            "categoryFriendlyName": "Space arrangement",
            "servicePrice": 0,
            "serviceItemImage": "4c6a0d7107600110c9b36b6e0ad300fc.iix",
            "currencyCode": "GBP",
            "totalPrice": 0,
            "flexibleServiceId": "21e2c08407600110c9b36b6e0ad3007c",
            "flexibleServiceName": "Theater Style",
            "deliveryTime": "2022-05-17 12:00:00",
            "comment": "test1",
            "quantity": 1,
            "capacity": 1,
            "quantityEnabled": false,
            "capacityEnabled": true,
            "maxCapacity": null,
            "state": {
              "value": "2",
              "display_value": "Work in Progress"
            },
            "serviceTimes": {
              "startPreparation": "2022-05-17T11:45:00Z",
              "endPreparation": "2022-05-17T12:00:00Z",
              "startCleanup": "2022-05-17T13:00:00Z",
              "endCleanup": "2022-05-17T13:15:00Z"
            }
          }
        ],
        "comment": "test2",
        "categoryFriendlyName": "Space arrangement",
        "categoryCurrencyCode": "GBP"
      }
    }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

WSD Extra Service Request - PATCH /api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_request/submit

指定された単一の予約に新しい追加のサービス要求を追加するか、既存の追加のサービス要求を更新します。

注: このエンドポイントは、グループまたは複数の予約では機能しません。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_extra_service_request/submit`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_request/submit`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	Description (説明)
reservationDateTimeChanged	予約日時が変更されたかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:予約日時が変更されました。 • false:予約日時は変更されませんでした。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
reservableId	必須です。 予約が作成される職場の場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
reservationId	必須。追加のサービス要求を追加する予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceCategories	必須。予約に追加する職場サービスアイテムまたは追加サービスのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"serviceCategories": [ { "category": "String", "comment": "String", "flexibleServices": [Array] } ]`
serviceCategories.category	必須。予約に追加する職場サービスの sys_id または名前。職場サービス [sn_wsd_case_workplace_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceCategories.comment	必須です。 サービスカテゴリに関するコメント。 データタイプ：文字列
serviceCategories.flexibleServices	必須。予約に追加/予約からキャンセルする各職場サービスアイテムまたは追加サービスの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexibleServices": [ { "cancelFlag": Boolean, "comment": "String", "deliveryTime": "String", "extraServiceRequestId": "String", "flexibleServiceId": "String", "quantity": Number } ]`
serviceCategories.flexibleServices.cancelFlag	指定された追加のサービス要求をキャンセルするかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	• true：関連する追加のサービス要求を削除します。 • false：操作はありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
serviceCategories.flexibleServices.comment	必須です。 職場サービスアイテムまたは追加サービスに関する追加コメント。 データタイプ：文字列
serviceCategories.flexibleServices.deliveryTime	必須です。 職場サービスアイテムまたは追加サービスの配送時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
serviceCategories.flexibleServices.extraServiceRequestId	既存の追加のサービス要求の sys_id。既存の追加のサービス要求を更新するには、このパラメーターを指定します。サービスアイテムの要求 [sn_wsd_case_service_item_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceCategories.flexibleServices.flexibleServiceId	必須。追加サービスまたは職場サービスアイテムの sys_id。職場サービスアイテム [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
serviceCategories.flexibleServices.quantity	必須です。 要求された追加サービスアイテムの数。 データタイプ：数値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	要求の結果を返します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "extraServiceRequests": [Array],`
	`  "reservableId": "String",`
	`  "reservationId": "String",`
	`  "success": Boolean`
	`}`

result.extraServiceRequests	追加またはキャンセルされた追加のサービス要求の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"result": {`
	`  "extraServiceRequests": [`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>{
	"flexibleServiceId": "String",
	"requestId": "String"
	}
	]
	}</pre>

result.extraServiceRequests.flexibleServiceId	予約に追加された追加サービスアイテム要求の sys_id。職場サービスアイテム [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.extraServiceRequests.requestId	要求に追加された追加サービスアイテムの sys_id。サービスアイテムの要求 [sn_wsd_case_service_item_request] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableId	予約が作成される職場の場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservationId	追加のサービス要求が追加された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.success	追加のサービス要求が予約に正常に追加されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に追加されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次のコード例は、追加サービスアイテム要求を予約に追加する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/wsd_extra_service_reque
st/submit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Concept-Type:application/json" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される結果：


```
{
  "result": {
    "reservationId": "2dc2efdf531701103cf7ddeeff7b1227",
    "reservableId": "02000d4edb7650106c731dcd13961914",
    "extraServiceRequests": [
      {
        "requestId": "bea46dbc53e701103cf7ddeeff7b1236",
        "flexibleServiceId": "e2ecf7b307500110c9b36b6e0ad30033"
      }
],
    "success": true
  }
}
```


WSD Group Reservation API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Group Reservation* API は、グループ予約を管理するためのエンドポイントを提供します。

グループ予約を使用すると、同じ会議のさまざまな人 (グループ) に対して異なる場所を予約できます。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Group Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/group_reservation/{parent_id}

指定されたグループ予約の親予約とすべての子予約を返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/group_reservation/{parent_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/{parent_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
parent_id	親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 グループ予約が作成されると、1 つのグループ親レコードと 1 つ以上の子予約レコードが作成されます。予約レコードには、予約レコードのタイプを示す reservation_subtype と呼ばれるフィールドが含まれています。グループの親レコー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	ドの場合、このフィールドは「グループの親」に設定され、グループの親レコードであることを示します。子レコードの場合、このフィールドは「単一」に設定されます。 子レコード内で、関連する親予約レコードの sys_id は source_reservation フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。無効な要求であるか、親予約 sys_id が指定されていません。
404	アクセスが拒否されました。グループ予約をキャンセルできません。ユーザーには、要求されたグループ予約をキャンセルする十分な権限がありません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	グループ予約に関連付けられた親と子の予約に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `{ "result": { "parent": {Object}, "children": [Array] }`

Example: cURL 要求

次のコード例は、グループ予約の詳細を取得する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/e2245051533b01103cf7ddeeff7b12d6" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "parent": {
      "sys_id": "e2245051533b01103cf7ddeeff7b12d6",
      "number": "WRES0001142",
      "start": "2022-05-30T04:30:00Z",
      "end": "2022-05-30T05:30:00Z",
      "sys_created_on": "2022-05-30T04:19:02Z",
      "sys_updated_on": "2022-05-30T04:19:04Z",
      "source_reservation": null,
      "check_in_state": {
        "value": "not_required",
        "display_value": "Not required"
      },
      "external_id": null,
      "external_ical": null,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "active": true,
      "state": {
        "value": "confirmed",
        "display_value": "Confirmed"
      },
      "sensitivity": {
        "value": "normal",
        "display_value": "Normal"
      },
      "reservation_type": {
        "value": "space",
        "display_value": "Space"
      },
      "reservation_subtype": {
        "value": "group_parent",
        "display_value": "Group parent"
      },
      "reservation_purpose": {
        "value": "meeting",
        "display_value": "Meeting"
      },
      "attendees": null,
      "number_of_attendees": 1,
      "is_parent": true,
      "subject": "Test#52",
      "virtual_meeting": null,
      "recording_details": [],
      "sync_state": {
        "value": "not_required",
        "display_value": "Synchronization not required"
      },
      "sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "last_updated_sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "reservable_module": {
        "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
        "name": "Desks",
        "title": "Desks",
        "inline_title": "desk",
        "font_awesome_icon": "fa-desktop",
        "reservable_table": "sn_wsd_core_space",
        "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^location_type=5f017383eb512010b89bfdfc9c
5228c8^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
        "short_description": "Reserve a single desks",
        "reservable_type": "location",
        "require_subject": null,
        "require_cancel_notes": false,
        "virtual_meeting_provider": {
          "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
          "display_value": "Template"
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "allow_invitees": null,
        "display_number_of_attendees": null,
        "display_on_behalf_of": "1",
        "display_sensitivity": null,
        "max_days_in_future": "90",
        "allow_whole_day": "1",
        "require_whole_day": null,
        "selection_type": "unit",
        "reservable_container_field": null,
        "reservable_quantity_field": null,
        "apply_to_shift": null,
        "max_occurrences": "90",
        "enable_facet_filter": false,
        "search_limit": 10000,
        "enable_ical_generation": null,
        "enable_group_reservations": "1",
        "enable_browse_near_a_person": "1",
        "enable_browse_by_area": "1",
        "display_value": "Desks",
        "browse_near_a_person_enabled": true,
        "browse_by_area_enabled": true,
        "reservable_columns": [
          "sys_id",
          "external_id",
          "email",
          "name",
          "title",
          "description",
          "image",
          "number",
          "site",
          "campus",
          "building",
          "floor",
          "area",
          "capacity",
          "reservable_quantity",
          "location_type",
          "order",
          "requires_check_in",
          "is_reservable"
        ],
        "layout_mapping": {
          "title": [
            "name"
          ],
          "description": [
            "description"
          ],
          "subtitle": [
            "campus",
            "building",
            "floor",
            "area"
          ],
          "subtitle_asc": [
            "area",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "floor",
            "building",
            "campus"
          ],
          "image": "image",
          "body": [
            {
              "label": "Capacity",
              "icon": "fa-users",
              "field": "capacity",
              "field_to_display": ""
            },
            {
              "label": "Standard services",
              "icon": "fa-check",
              "field": "standard_services",
              "field_to_display": "name"
            },
            {
              "label": "Reservable purposes",
              "icon": "fa-tags",
              "field": "reservable_purposes",
              "field_to_display": "name"
            }
          ]
        },
        "timeSlots": [
          {
            "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
            "name": "All day",
            "short_description": "8am - 6pm",
            "slot_start": "08:00",
            "slot_end": "18:00"
          },
          {
            "sys_id": "de131cf2dbb5f01038e42b24ca961931",
            "name": "Before noon",
            "short_description": "8am - 12pm",
            "slot_start": "08:00",
            "slot_end": "12:00"
          },
          {
            "sys_id": "6e99ab5ddbb930102e8e853e68961929",
            "name": "After noon",
            "short_description": "1pm - 6pm",
            "slot_start": "13:00",
            "slot_end": "18:00"
          }
        ],
        "buildingSysIds": [
          "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
        ],
        "reservable_views": [
          {
            "type": "card",
            "label": "Card view",
            "iconClass": "fa-th-large",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "isDefault": true,
            "order": "1"
          },
          {
            "type": "schedule",
            "label": "Schedule view",
            "iconClass": "fa-calendar-o",
            "isDefault": false,
            "order": "2"
          }
        ],
        "checkin_before_minutes": 30,
        "reservation_paths": [
          {
            "value": "browse_all",
            "displayValue": "Browse all"
          },
          {
            "value": "browse_near_a_person",
            "displayValue": "Browse near a person"
          },
          {
            "value": "browse_by_area",
            "displayValue": "Browse by area"
          }
        ],
        "override_approval_policy": "never_required"
      },
      "notification_recipients": null,
      "notification_custom_message": null,
      "opened_by": {
        "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "displayValue": "System Administrator",
        "display_value": "System Administrator",
        "name": "System Administrator",
        "user_name": "admin",
        "table": "sys_user",
        "avatar": "c148e1d13741310042106710ce41f149.iix?t=small",
        "initials": "SA",
        "email": "admin@example.com",
        "label": "System Administrator, Finance"
      },
      "requested_for": {
        "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "displayValue": "System Administrator",
        "display_value": "System Administrator",
        "name": "System Administrator",
        "user_name": "admin",
        "table": "sys_user",
        "avatar": "c148e1d13741310042106710ce41f149.iix?t=small",
        "initials": "SA",
        "email": "admin@example.com",
        "label": "System Administrator, Finance"
      },
      "edit_restriction": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "value": "no_restriction",
        "display_value": "No restriction"
      },
      "source": {
        "value": "servicenow",
        "display_value": "Workplace Services"
      },
      "source_icon": {
        "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
        "tooltip": "Reservation is confirmed",
        "imgSrc": ""
      },
      "shift": null,
      "locations": [
        {
          "sys_id": "73c2698adb7210106c731dcd13961968",
          "name": "B1-03-03",
          "description": "Desk reserved for the Team-C. After 10am, free
to reserve for everyone.",
          "display_value": "B1-03-03",
          "capacity": 1,
          "label_value": "Workspace/Desk name",
          "email": null,
          "reservable_module": {
            "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
            "name": "Desks",
            "title": "Desks",
            "inline_title": "desk"
          },
          "region": {
            "sys_id": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
            "display_value": "Europe",
            "active": true
          },
          "site": {
            "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
            "display_value": "Western Europe",
            "active": true
          },
          "campus": {
            "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
            "display_value": "Amsterdam Campus",
            "active": true
          },
          "building": {
            "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
            "display_value": "AMS-B1",
            "active": true,
            "timezone": {
              "value": "Europe/Amsterdam",
              "displayValue": "Europe/Amsterdam"
            }
          },
          "floor": {
            "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
            "display_value": "Floor 3",
            "active": true
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          },
          "area": {
            "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
            "display_value": "Desks C1",
            "active": true
          },
          "reservation": {
            "sys_id": "2a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126b",
            "number_of_attendees": 1,
            "state": {
              "value": "confirmed",
              "display_value": "Confirmed"
            },
            "requested_for": {
              "sys_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
              "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
              "displayValue": "Abel Tuter",
              "display_value": "Abel Tuter",
              "name": "Abel Tuter",
              "user_name": "abel.tuter",
              "table": "sys_user",
              "avatar": "063e38383730310042106710ce41f13b.iix?t=small",
              "initials": "AT",
              "email": "abel.tuter@example.com",
              "label": "Product Management"
            },
            "number": "WRES0001143",
            "active": true
          },
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "number": "WRES0001143",
          "requested_for": {
            "sys_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
            "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
            "displayValue": "Abel Tuter",
            "display_value": "Abel Tuter",
            "name": "Abel Tuter",
            "user_name": "abel.tuter",
            "table": "sys_user",
            "avatar": "063e38383730310042106710ce41f13b.iix?t=small",
            "initials": "AT",
            "email": "abel.tuter@example.com",
            "label": "Product Management"
          }
        },
        {
          "sys_id": "32f2a98adb7210106c731dcd13961972",
          "name": "B1-03-04",
          "description": "Desk reserved for the Team-C. After 10am, free
to reserve for everyone.",
          "display_value": "B1-03-04",
          "capacity": 1,
          "label_value": "Workspace/Desk name",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "email": null,
        "reservable_module": {
          "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
          "name": "Desks",
          "title": "Desks",
          "inline_title": "desk"
        },
        "region": {
          "sys_id": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
          "display_value": "Europe",
          "active": true
        },
        "site": {
          "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
          "display_value": "Western Europe",
          "active": true
        },
        "campus": {
          "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
          "display_value": "Amsterdam Campus",
          "active": true
        },
        "building": {
          "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
          "display_value": "AMS-B1",
          "active": true,
          "timezone": {
            "value": "Europe/Amsterdam",
            "displayValue": "Europe/Amsterdam"
          }
        },
        "floor": {
          "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
          "display_value": "Floor 3",
          "active": true
        },
        "area": {
          "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
          "display_value": "Desks C1",
          "active": true
        },
        "reservation": {
          "sys_id": "6a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126e",
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "requested_for": {
            "sys_id": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
            "value": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
            "displayValue": "Abraham Lincoln",
            "display_value": "Abraham Lincoln",
            "name": "Abraham Lincoln",
            "user_name": "abraham.lincoln",
            "table": "sys_user",
            "avatar": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "initials": "AL",
            "email": "abraham.lincoln@example.com",
            "label": ""
          },
          "number": "WRES0001144",
          "active": true
        },
        "number_of_attendees": 1,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "number": "WRES0001144",
        "requested_for": {
          "sys_id": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
          "value": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
          "displayValue": "Abraham Lincoln",
          "display_value": "Abraham Lincoln",
          "name": "Abraham Lincoln",
          "user_name": "abraham.lincoln",
          "table": "sys_user",
          "avatar": null,
          "initials": "AL",
          "email": "abraham.lincoln@example.com",
          "label": ""
        }
      }
    ],
    "reservationAcl": {
      "write": {
        "record": true,
        "fields": {
          "subject": true,
          "sensitivity": true,
          "requested_for": true,
          "number_of_attendees": true,
          "location": true
        },
        "allFields": true
      },
      "read": true
    }
  },
  "children": [
    {
      "sys_id": "2a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126b",
      "number": "WRES0001143",
      "location": {
        "sys_id": "73c2698adb7210106c731dcd13961968",
        "name": "B1-03-03",
        "description": "Desk reserved for the Team-C. After 10am, free
to reserve for everyone.",
        "display_value": "B1-03-03",
        "capacity": 1,
        "label_value": "Workspace/Desk name",
        "email": null,
        "reservable_module": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
            "name": "Desks",
            "title": "Desks",
            "inline_title": "desk"
          },
          "region": {
            "sys_id": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
            "display_value": "Europe",
            "active": true
          },
          "site": {
            "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
            "display_value": "Western Europe",
            "active": true
          },
          "campus": {
            "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
            "display_value": "Amsterdam Campus",
            "active": true
          },
          "building": {
            "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
            "display_value": "AMS-B1",
            "active": true,
            "timezone": {
              "value": "Europe/Amsterdam",
              "displayValue": "Europe/Amsterdam"
            }
          },
          "floor": {
            "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
            "display_value": "Floor 3",
            "active": true
          },
          "area": {
            "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
            "display_value": "Desks C1",
            "active": true
          },
          "reservation": {
            "sys_id": "2a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126b",
            "number_of_attendees": 1,
            "state": {
              "value": "confirmed",
              "display_value": "Confirmed"
            },
            "requested_for": {
              "sys_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
              "name": "Abel Tuter",
              "user_name": "abel.tuter"
            },
            "number": "WRES0001143",
            "active": true
          },
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "number": "WRES0001143",
          "requested_for": {
            "sys_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
            "name": "Abel Tuter",
            "user_name": "abel.tuter"
          }
        },
        "start": "2022-05-30T04:30:00Z",
        "end": "2022-05-30T05:30:00Z",
        "sys_created_on": "2022-05-30T04:19:02Z",
        "sys_updated_on": "2022-05-30T04:19:04Z",
        "source_reservation": {
          "sys_id": "e2245051533b01103cf7ddeeff7b12d6",
          "display_value": "WRES0001142",
          "name": "WRES0001142"
        },
        "check_in_state": {
          "value": "awaiting_check_in",
          "display_value": "Awaiting check-in"
        },
        "external_id": null,
        "external_ical": null,
        "active": true,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "sensitivity": {
          "value": "normal",
          "display_value": "Normal"
        },
        "reservation_type": {
          "value": "space",
          "display_value": "Space"
        },
        "reservation_subtype": {
          "value": "single",
          "display_value": "Single"
        },
        "reservation_purpose": {
          "value": "meeting",
          "display_value": "Meeting"
        },
        "attendees": null,
        "number_of_attendees": 1,
        "is_parent": false,
        "subject": "Test#52",
        "virtual_meeting": null,
        "recording_details": [],
        "sync_state": {
          "value": "not_required",
          "display_value": "Synchronization not required"
        },
        "sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "last_updated_sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "reservable_module": {
          "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
          "name": "Desks",
          "title": "Desks",
          "inline_title": "desk",
          "font_awesome_icon": "fa-desktop",
          "reservable_table": "sn_wsd_core_space",
          "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^location_type=5f017383eb512010b89bfdfc9c
5228c8^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
          "short_description": "Reserve a single desks",
          "reservable_type": "location",
          "require_subject": null,
          "require_cancel_notes": false,
          "virtual_meeting_provider": {
            "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
            "display_value": "Template"
          },
          "allow_invitees": null,
          "display_number_of_attendees": null,
          "display_on_behalf_of": "1",
          "display_sensitivity": null,
          "max_days_in_future": "90",
          "allow_whole_day": "1",
          "require_whole_day": null,
          "selection_type": "unit",
          "reservable_container_field": null,
          "reservable_quantity_field": null,
          "apply_to_shift": null,
          "max_occurrences": "90",
          "enable_facet_filter": false,
          "search_limit": 10000,
          "enable_ical_generation": null,
          "enable_group_reservations": "1",
          "enable_browse_near_a_person": "1",
          "enable_browse_by_area": "1",
          "display_value": "Desks",
          "browse_near_a_person_enabled": true,
          "browse_by_area_enabled": true,
          "reservable_columns": [
            "sys_id",
            "external_id",
            "email",
            "name",
            "title",
            "description",
            "image",
            "number",
            "site",
            "campus",
            "building",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "floor",
            "area",
            "capacity",
            "reservable_quantity",
            "location_type",
            "order",
            "requires_check_in",
            "is_reservable"
          ],
          "layout_mapping": {
            "title": [
              "name"
            ],
            "description": [
              "description"
            ],
            "subtitle": [
              "campus",
              "building",
              "floor",
              "area"
            ],
            "subtitle_asc": [
              "area",
              "floor",
              "building",
              "campus"
            ],
            "image": "image",
            "body": [
              {
                "label": "Capacity",
                "icon": "fa-users",
                "field": "capacity",
                "field_to_display": ""
              },
              {
                "label": "Standard services",
                "icon": "fa-check",
                "field": "standard_services",
                "field_to_display": "name"
              },
              {
                "label": "Reservable purposes",
                "icon": "fa-tags",
                "field": "reservable_purposes",
                "field_to_display": "name"
              }
            ]
          },
          "timeSlots": [
            {
              "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
              "name": "All day",
              "short_description": "8am - 6pm",
              "slot_start": "08:00",
              "slot_end": "18:00"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          },
          {
            "sys_id": "de131cf2dbb5f01038e42b24ca961931",
            "name": "Before noon",
            "short_description": "8am - 12pm",
            "slot_start": "08:00",
            "slot_end": "12:00"
          },
          {
            "sys_id": "6e99ab5ddbb930102e8e853e68961929",
            "name": "After noon",
            "short_description": "1pm - 6pm",
            "slot_start": "13:00",
            "slot_end": "18:00"
          }
        ],
        "buildingSysIds": [
          "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
        ],
        "reservable_views": [
          {
            "type": "card",
            "label": "Card view",
            "iconClass": "fa-th-large",
            "isDefault": true,
            "order": "1"
          },
          {
            "type": "schedule",
            "label": "Schedule view",
            "iconClass": "fa-calendar-o",
            "isDefault": false,
            "order": "2"
          }
        ],
        "checkin_before_minutes": 30,
        "reservation_paths": [
          {
            "value": "browse_all",
            "displayValue": "Browse all"
          },
          {
            "value": "browse_near_a_person",
            "displayValue": "Browse near a person"
          },
          {
            "value": "browse_by_area",
            "displayValue": "Browse by area"
          }
        ],
        "override_approval_policy": "never_required"
      },
      "notification_recipients": null,
      "notification_custom_message": null,
      "opened_by": {
        "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "displayValue": "System Administrator",
          "display_value": "System Administrator",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin",
          "table": "sys_user",
          "avatar": "c148e1d13741310042106710ce41f149.iix?t=small",
          "initials": "SA",
          "email": "admin@example.com",
          "label": "System Administrator, Finance"
        },
        "requested_for": {
          "sys_id": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
          "value": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
          "displayValue": "Abel Tuter",
          "display_value": "Abel Tuter",
          "name": "Abel Tuter",
          "user_name": "abel.tuter",
          "table": "sys_user",
          "avatar": "063e383837303100421067l0ce41f13b.iix?t=small",
          "initials": "AT",
          "email": "abel.tuter@example.com",
          "label": "Product Management"
        },
        "edit_restriction": {
          "value": "fully_restricted",
          "display_value": "Fully restricted"
        },
        "source": {
          "value": "servicenow",
          "display_value": "Workplace Services"
        },
        "source_reservation_requester": {
          "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin"
        },
        "source_icon": {
          "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
          "tooltip": "Reservation is confirmed",
          "imgSrc": ""
        },
        "shift": null,
        "reservationAcl": {
          "write": {
            "record": true,
            "fields": {
              "subject": true,
              "sensitivity": true,
              "requested_for": true,
              "number_of_attendees": true,
              "location": true
            },
            "allFields": true
          },
          "read": true
        }
      },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    {
      "sys_id": "6a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126e",
      "number": "WRES0001144",
      "location": {
        "sys_id": "32f2a98adb7210106c731dcd13961972",
        "name": "B1-03-04",
        "description": "Desk reserved for the Team-C. After 10am, free
to reserve for everyone.",
        "display_value": "B1-03-04",
        "capacity": 1,
        "label_value": "Workspace/Desk name",
        "email": null,
        "reservable_module": {
          "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
          "name": "Desks",
          "title": "Desks",
          "inline_title": "desk"
        },
        "region": {
          "sys_id": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
          "display_value": "Europe",
          "active": true
        },
        "site": {
          "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
          "display_value": "Western Europe",
          "active": true
        },
        "campus": {
          "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
          "display_value": "Amsterdam Campus",
          "active": true
        },
        "building": {
          "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
          "display_value": "AMS-B1",
          "active": true,
          "timezone": {
            "value": "Europe/Amsterdam",
            "displayValue": "Europe/Amsterdam"
          }
        },
        "floor": {
          "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
          "display_value": "Floor 3",
          "active": true
        },
        "area": {
          "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
          "display_value": "Desks C1",
          "active": true
        },
        "reservation": {
          "sys_id": "6a24d0d1533b01103cf7ddeeff7b126e",
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "requested_for": {
            "sys_id": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
            "name": "Abraham Lincoln",
            "user_name": "abraham.lincoln"
          },
          "number": "WRES0001144",
          "active": true
        },
        "number_of_attendees": 1,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "number": "WRES0001144",
        "requested_for": {
          "sys_id": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
          "name": "Abraham Lincoln",
          "user_name": "abraham.lincoln"
        }
      },
      "start": "2022-05-30T04:30:00Z",
      "end": "2022-05-30T05:30:00Z",
      "sys_created_on": "2022-05-30T04:19:02Z",
      "sys_updated_on": "2022-05-30T04:19:04Z",
      "source_reservation": {
        "sys_id": "e2245051533b01103cf7ddeeff7b12d6",
        "display_value": "WRES0001142",
        "name": "WRES0001142"
      },
      "check_in_state": {
        "value": "awaiting_check_in",
        "display_value": "Awaiting check-in"
      },
      "external_id": null,
      "external_ical": null,
      "active": true,
      "state": {
        "value": "confirmed",
        "display_value": "Confirmed"
      },
      "sensitivity": {
        "value": "normal",
        "display_value": "Normal"
      },
      "reservation_type": {
        "value": "space",
        "display_value": "Space"
      },
      "reservation_subtype": {
        "value": "single",
        "display_value": "Single"
      },
      "reservation_purpose": {
        "value": "meeting",
        "display_value": "Meeting"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        "attendees": null,
        "number_of_attendees": 1,
        "is_parent": false,
        "subject": "Test#52",
        "virtual_meeting": null,
        "recording_details": [],
        "sync_state": {
          "value": "not_required",
          "display_value": "Synchronization not required"
        },
        "sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "last_updated_sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "reservable_module": {
          "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
          "name": "Desks",
          "title": "Desks",
          "inline_title": "desk",
          "font_awesome_icon": "fa-desktop",
          "reservable_table": "sn_wsd_core_space",
          "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^location_type=5f017383eb512010b89bfdfc9c
5228c8^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
          "short_description": "Reserve a single desks",
          "reservable_type": "location",
          "require_subject": null,
          "require_cancel_notes": false,
          "virtual_meeting_provider": {
            "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
            "display_value": "Template"
          },
          "allow_invitees": null,
          "display_number_of_attendees": null,
          "display_on_behalf_of": "1",
          "display_sensitivity": null,
          "max_days_in_future": "90",
          "allow_whole_day": "1",
          "require_whole_day": null,
          "selection_type": "unit",
          "reservable_container_field": null,
          "reservable_quantity_field": null,
          "apply_to_shift": null,
          "max_occurrences": "90",
          "enable_facet_filter": false,
          "search_limit": 10000,
          "enable_ical_generation": null,
          "enable_group_reservations": "1",
          "enable_browse_near_a_person": "1",
          "enable_browse_by_area": "1",
          "display_value": "Desks",
          "browse_near_a_person_enabled": true,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "browse_by_area_enabled": true,
        "reservable_columns": [
          "sys_id",
          "external_id",
          "email",
          "name",
          "title",
          "description",
          "image",
          "number",
          "site",
          "campus",
          "building",
          "floor",
          "area",
          "capacity",
          "reservable_quantity",
          "location_type",
          "order",
          "requires_check_in",
          "is_reservable"
        ],
        "layout_mapping": {
          "title": [
            "name"
          ],
          "description": [
            "description"
          ],
          "subtitle": [
            "campus",
            "building",
            "floor",
            "area"
          ],
          "subtitle_asc": [
            "area",
            "floor",
            "building",
            "campus"
          ],
          "image": "image",
          "body": [
            {
              "label": "Capacity",
              "icon": "fa-users",
              "field": "capacity",
              "field_to_display": ""
            },
            {
              "label": "Standard services",
              "icon": "fa-check",
              "field": "standard_services",
              "field_to_display": "name"
            },
            {
              "label": "Reservable purposes",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "icon": "fa-tags",
            "field": "reservable_purposes",
            "field_to_display": "name"
          }
        ]
      },
      "timeSlots": [
        {
          "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
          "name": "All day",
          "short_description": "8am - 6pm",
          "slot_start": "08:00",
          "slot_end": "18:00"
        },
        {
          "sys_id": "de131cf2dbb5f01038e42b24ca961931",
          "name": "Before noon",
          "short_description": "8am - 12pm",
          "slot_start": "08:00",
          "slot_end": "12:00"
        },
        {
          "sys_id": "6e99ab5ddbb930102e8e853e68961929",
          "name": "After noon",
          "short_description": "1pm - 6pm",
          "slot_start": "13:00",
          "slot_end": "18:00"
        }
      ],
      "buildingSysIds": [
        "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
      ],
      "reservable_views": [
        {
          "type": "card",
          "label": "Card view",
          "iconClass": "fa-th-large",
          "isDefault": true,
          "order": "1"
        },
        {
          "type": "schedule",
          "label": "Schedule view",
          "iconClass": "fa-calendar-o",
          "isDefault": false,
          "order": "2"
        }
      ],
      "checkin_before_minutes": 30,
      "reservation_paths": [
        {
          "value": "browse_all",
          "displayValue": "Browse all"
        },
        {
          "value": "browse_near_a_person",
          "displayValue": "Browse near a person"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            },
            {
              "value": "browse_by_area",
              "displayValue": "Browse by area"
            }
          ],
          "override_approval_policy": "never_required"
        },
        "notification_recipients": null,
        "notification_custom_message": null,
        "opened_by": {
          "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "displayValue": "System Administrator",
          "display_value": "System Administrator",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin",
          "table": "sys_user",
          "avatar": "c148e1d13741310042106710ce41f149.iix?t=small",
          "initials": "SA",
          "email": "admin@example.com",
          "label": "System Administrator, Finance"
        },
        "requested_for": {
          "sys_id": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
          "value": "a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a",
          "displayValue": "Abraham Lincoln",
          "display_value": "Abraham Lincoln",
          "name": "Abraham Lincoln",
          "user_name": "abraham.lincoln",
          "table": "sys_user",
          "avatar": null,
          "initials": "AL",
          "email": "abraham.lincoln@example.com",
          "label": ""
        },
        "edit_restriction": {
          "value": "fully_restricted",
          "display_value": "Fully restricted"
        },
        "source": {
          "value": "servicenow",
          "display_value": "Workplace Services"
        },
        "source_reservation_requester": {
          "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin"
        },
        "source_icon": {
          "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
          "tooltip": "Reservation is confirmed",
          "imgSrc": ""
        },
        "shift": null,
        "reservationAcl": {
          "write": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "record": true,
            "fields": {
              "subject": true,
              "sensitivity": true,
              "requested_for": true,
              "number_of_attendees": true,
              "location": true
            },
            "allFields": true
          },
          "read": true
        }
      }
    ]
  }
}
```

WSD Group Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/group_reservation/cancel/{id}

指定されたグループ予約をキャンセルします。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/group_reservation/cancel/{id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/cancel/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 グループ予約が作成されると、1 つのグループ親レコードと 1 つ以上の子予約レコードが作成されます。予約レコードには、予約レコードのタイプを示す reservation_subtype と呼ばれるフィールドが含まれています。グループの親レコードの場合、このフィールドは「グループの親」に設定され、グループの親レコードであることを示します。子レコードの場合、このフィールドは「単一」に設定されます。 子レコード内で、関連する親予約レコードの sys_id は source_reservation フィールドにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
cancel_notes	予約をキャンセルする理由 データタイプ：文字列 デフォルト値：「グループキャンセルでキャンセルされた予約」

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。無効な要求であるか、親予約 sys_id が指定されていません。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	アクセスが拒否されました。グループ予約をキャンセルできません。ユーザーには、要求されたグループ予約をキャンセルする十分な権限がありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	グループ予約のキャンセル要求の結果。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "allChildrenCanceled": Boolean,`
	`  "cancelledParent": Boolean,`
	`  "canceledReservations": [Array],`
	`  "failedChildMeetings": [Array],`
	`  "msg": "String",`
	`  "parent": "String",`
	`  "success": Boolean,`
	`  "user_msg": "String"`
	`}`

result.allChildrenCanceled	グループ予約に関連付けられたすべての子予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：すべての子予約がキャンセルされたわけではありません。*failedChildMeetings* パラメーターには、キャンセルされなかった子予約の sys_id のリストが含まれています。 データタイプ：ブーリアン
result.cancelledParent	グループ予約の親予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：親予約はキャンセルされました。 • false：親予約はキャンセルされませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.canceledReservations	正常にキャンセルされた子予約の sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ
result.failedChildMeetings	キャンセルされなかった子予約の sys_id のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.msg	予約のキャンセルに失敗した場合、このパラメーターには失敗の原因に関するメッセージが含まれます。 データタイプ：文字列
result.parent	キャンセルされた親予約の sys_id。 データタイプ：文字列
result.success	グループ予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：グループ予約は正常にキャンセルされました。 • false：1 つ以上の関連するグループ予約がキャンセルされませんでした。追加の詳細が結果内に表示されます。 データタイプ：ブーリアン
result.user_msg	将来の使用のために予約されています。予約のキャンセルに失敗した場合、このパラメーターには UI に表示できる失敗の原因に関する翻訳されたメッセージが含まれます。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、グループ予約をキャンセルする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/cancel/
22c1aee353af01103cf7ddeeff7b12d5" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"cancel_notes\":\"Need to postpone until next quarter\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "canceledReservations": [
      "6ec1aee353af01103cf7ddeeff7b12d8",
      "aac1aee353af01103cf7ddeeff7b12db"
    ],
    "failedChildMeetings": [],
    "cancelledParent": true,
    "allChildrenCanceled": true,
    "msg": "",
    "user_msg": "",
    "parent": "22c1aee353af01103cf7ddeeff7b12d5"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

WSD Group Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/group_reservation/update/{id}

指定されたグループ予約を更新します。

次の予約パラメーターを更新できます。

- 件名
- 開始日時
- 終了日時
- 予約に関連付けられたシフト
- 子予約の職場の場所

注: エンドポイントコールの要求本文で、これらのパラメーターの少なくとも 1 つを指定する必要があります。渡されていないパラメーターは関連レコードで変更できません。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/group_reservation/update/{id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/update/{id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
id	親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 グループ予約が作成されると、1 つのグループ親レコードと 1 つ以上の子予約レコードが作成されます。予約レコードには、予約レコードのタイプを示す reservation_subtype と呼ばれるフィールドが含まれています。グループの親レコードの場合、このフィールドは「グループの親」に設定され、グループの親レコードであることを示します。子レコードの場合、このフィールドは「単一」に設定されます。 子レコード内で、関連する親予約レコードの sys_id は source_reservation フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
children	予約に関連付ける子予約レコードの更新されたリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"children": [ { "is_private": Boolean, "location": "String", "requested_for": "String" } ]`
children.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
children.location	予約する場所の更新された sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
children.requested_for	予約が要求されているユーザーの更新された sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
end	予約の更新された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
shift	予約に関連付けるシフトの更新された sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	予約の更新された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss) デフォルト：空 - 開始時間は子予約に指定されている
subject	予約に関連付けられた会議の更新された件名。 データタイプ：文字列 デフォルト：空
workplace_location	グループ予約に関連付ける職場の場所の更新された sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：空 - 場所は子予約に指定されている

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	複数予約の作成または更新の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "parent": "String", "success": Boolean, "successfulReservations": Array, "unSuccessfulReservations": Array }`
result.parent	更新された親予約の sys_id。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations	正常に更新された予約のリスト。 データタイプ：アレイ `"successfulReservations": [ { "msg": "String", "operation": "String" "sys_id": "String", "user_msg": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.successfulReservations.msg	更新に関する内部メッセージ。操作に関する技術情報を提供します。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.operation	作成や更新など、実行された操作のタイプ。追加された部屋など、新しい可能な予約がグループ予約に追加された場合、この値は `create` として返されます。それ以外の場合は `update` に設定されます。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.sys_id	作成された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.user_msg	更新に関するユーザーメッセージ。このメッセージは、ユーザーの言語設定に基づいて翻訳される可能性があり、UI に表示されます。 データタイプ：文字列

result.unSuccessfulReservations	正常に更新されなかった予約のリスト。
	
	データタイプ：アレイ
	
	<pre>"unSuccessfulReservations": [
	  {
	  "msg": "String",
	  "operation": "String"
	  "sys_id": "String",
	  "user_msg": "String"
	  }
	]</pre>

result.unSuccessfulReservations.msg	更新エラーに関するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.operation	作成や更新など、実行された操作のタイプ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.sys_id	作成された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.user_msg	更新エラーに関するメッセージ。 データタイプ：文字列

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: cURL 要求

次の例は、このエンドポイントを呼び出してグループ予約を更新する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/upda
te/b84e218a87586550cfaa99b73cbb35ec" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"reservable_module\": \"5db44502dbb650106c731dcd13961937\",
    \"subject\": \"Test-123\",
    \"reservation_purpose\": \"meeting\",
    \"timezone\": \"US/Pacific\",
    \"children\": [
        {
            \"location\": \"6a11a94adb7210106c731dcd1396194e\",
            \"requested_for\": \"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\",
            \"is_private\": false
        },
        {
            \"location\": \"9841e94adb7210106c731dcd13961914\",
            \"requested_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
            \"is_private\": false
        }
    ],
    \"start\": \"2023-02-12T11:30:00Z\",
    \"end\": \"2023-02-12T12:30:00Z\"
}" \
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "parent": "b84e218a87586550cfaa99b73cbb35ec",
    "success": true,
    "successfulReservations": [
      {
        "operation": "create",
        "sys_id": "7b9e658a87586550cfaa99b73cbb357d",
        "msg": "",
        "user_msg": null,
        "location": "6a11a94adb7210106c731dcd1396194e"
      },
      {
        "operation": "create",
        "sys_id": "3b9e658a87586550cfaa99b73cbb3580",
        "msg": "",
        "user_msg": null,
        "location": "9841e94adb7210106c731dcd13961914"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": []
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WSD Group Reservation - POST /api/sn_wsd_rsv/group_reservation/add

グループ予約を作成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/group_reservation/add`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/add`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
children	必須。予約に関連付ける子予約レコードリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"children": [ { "is_private": Boolean, "location": "String", "requested_for": "String" } ]`
children.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
children.location	必須です。 予約する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
children.requested_for	必須。予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
終了	*shift*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end*パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「 シフトベースの予約を有効にする 」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
subject	必須です。 予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列
workplace_location	グループ予約に関連付ける職場の場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：空 - 場所は子予約に指定されている

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	作成されたグループ予約の詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"result": {
	  "created_children": [Array],
	  "failed_children": [Array],
	  "msg": "String",
	  "parent": "String",
	  "success": Boolean,
	  "user_msg": "String"
	}</pre>

result.created_children	作成された子予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"created_children": [
	  {
	  "location": String,
	  "requested_for": String,
	  "sys_id": String
	  }
	]</pre>

result.created_children.location	予約する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.created_children.requested_for	作成された子予約のユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
result.created_children.sys_id	作成された子予約レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.failed_children	作成に失敗した子予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"failed_children": [
	  {
	  "location": String,
	  "requested_for": String,
	  "sys_id": String
	  }
	]</pre>

result.failed_children.location	失敗した予約に関連付けられた場所レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.failed_children.requested_for	要求された子予約のユーザーの sys_id。 データタイプ：文字列
result.failed_children.sys_id	常に -1。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.msg	要求が失敗した場合にエラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.parent	親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 グループ予約が作成されると、1 つのグループ親レコードと 1 つ以上の子予約レコードが作成されます。予約レコードには、予約レコードのタイプを示す reservation_subtype と呼ばれるフィールドが含まれています。グループの親レコードの場合、このフィールドは「グループの親」に設定され、グループの親レコードであることを示します。子レコードの場合、このフィールドは「単一」に設定されます。 子レコード内で、関連する親予約レコードの sys_id は source_reservation フィールドにあります。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.userMsg	要求が失敗した場合にエラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用してグループ予約を作成する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/group_reservation/add" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"reservable_module\": \"5db44502dbb650106c731dcd13961937\",
    \"subject\": \"Test-123\",
    \"reservation_purpose\": \"meeting\",
    \"timezone\": \"US/Pacific\",
    \"children\": [
        {
            \"location\": \"6a11a94adb7210106c731dcd1396194e\",
            \"requested_for\": \"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\",
            \"is_private\": false
        },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
            \"location\": \"9841e94adb7210106c731dcd13961914\",
            \"requested_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
            \"is_private\": false
        }
    ],
    \"start\": \"2023-01-12T11:30:00Z\",
    \"end\": \"2023-01-12T12:30:00Z\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "parent": "b84e218a87586550cfaa99b73cbb35ec",
    "success": true,
    "created_children": [
      {
        "sys_id": "7c4e218a87586550cfaa99b73cbb35ee",
        "location": "6a11a94adb7210106c731dcd1396194e",
        "requested_for": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1"
      },
      {
        "sys_id": "3c4e218a87586550cfaa99b73cbb35f1",
        "location": "9841e94adb7210106c731dcd13961914",
        "requested_for": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441"
      }
    ],
    "failed_children": [],
    "user_msg": "",
    "msg": ""
  }
}
```

WSD Multi Reservation API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Multi Reservation* API は、複数の職場の場所を含む予約を管理するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Safety Management (sn_wsd_core) と Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Multi Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/cancel/{sys_id}

指定された複数予約をキャンセルします。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/multi_reservation/cancel/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/cancel/{sys_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	キャンセルする複数予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
cancel_notes	予約をキャンセルする理由 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	キャンセル要求の結果の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "error": "String",`
	`  "parent": "String",`
	`  "success": Boolean,`
	`  "successfulReservations": [Array],`
	`  "unSuccessfulReservations": [Array]`
	`}`

result.error	関連するエラーを説明するメッセージ。 データタイプ：文字列
result.parent	親予約の sys_id。親には、1 つ以上の子予約を関連付けることができます。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：予約はキャンセルされませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.successfulReservations	複数予約の正常なキャンセルに関する詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"successfulReservations": [
	{
	"msg": "String",
	"success": Boolean,
	"sys_id": "String"
	}
	]

result.successfulReservations.msg	キャンセルメッセージ。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.success	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations.sys_id	キャンセルされた予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.unSuccessfulReservations	正常にキャンセルされなかった複数予約に関する詳細。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	"unSuccessfulReservations": [
	{
	"msg": "String",
	"success": Boolean,
	"sys_id": "String"
	}
	]

result.unSuccessfulReservations.msg	キャンセルメッセージ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.success	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.sys_id	キャンセルされなかった予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、複数予約をキャンセルする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/cancel
/1b1fdf5987ab01506342b846dabb35ec" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{\"cancel_notes\":\"Meeting no longer needed.\"}" \
--user "username":"password’"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "msg": "Cancelled successfully.",
        "sys_id": "5b1f9f1d87ab01506342b846dabb35a4"
      },
      {
        "success": true,
        "msg": "Cancelled successfully.",
        "sys_id": "931f9f1d87ab01506342b846dabb35a0"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": [],
    "error": null,
    "parent": "1b1fdf5987ab01506342b846dabb35ec"
  }
}
```

WSD Multi Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update/{sys_id}

同じ予約 (会議) に複数の職場の場所がある複数予約に関連付けられている予約を更新します。

このエンドポイントは、次の 4 つの異なる更新シナリオを処理できます。

1. 件名、日付、時刻などの複数の予約レコードの内容を更新します。
2. 複数予約を親 (単一の職場の場所に対する予約) に基づいて単一予約に変換します。
3. 単一予約 (単一の職場の場所に対する予約) を複数予約に変換します。
4. 職場の場所を既存の複数予約に追加または複数予約から削除します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/multi_reservation/update/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update/{sys_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	更新する予約の sys_id。 • 単一予約から複数予約：単一予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 • 複数予約のコンテンツを更新：親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 子レコードから複数の親予約の詳細を取得するには、子レコードの [source_reservation] フィールドで sys_id を参照します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
終了	*shift*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
予約可能	予約に関連付けられた予約可能に関する詳細のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservables": [ { "is_private": Boolean, "sys_id": "String" } ]`
reservables.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
reservables.sys_id	予約を行う場所のSys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「 シフトベースの予約を有効にする 」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
subject	予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー (続く)

ヘッダー	説明
	デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	複数予約の作成または更新の結果を返します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "parent": "String",`
	`  "success": Boolean,`
	`  "successfulReservations": Array,`
	`  "unSuccessfulReservations": Array`
	`}`

result.parent	親予約の sys_id。親には、1 つ以上の子予約を関連付けることができます。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations	正常に作成された予約のリスト。 データタイプ：アレイ `"successfulReservations": [ { "cancelled": Boolean, "error": "String", "reservable": "String" "success": Boolean, "sys_id": "String", "updated": Boolean } ]`
result.successfulReservations.cancelled	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：キャンセルされませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.successfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.SuccessfulReservations.insert	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。予約が追加されたときなど。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations.reservable	予約が行われた職場の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.success	関連する操作が成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：操作に成功しました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブーリアン
result.successfulReservations.sys_id	作成された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.update	予約が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に更新されました。 • false：更新されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.unSuccessfulReservations	正常に作成されなかった予約のリスト。 データタイプ：アレイ `"unSuccessfulReservations": [ { "cancelled": Boolean, "error": "String", "insert": Boolean "reservable": "String" "success": Boolean, "sys_id": "String", "updated": Boolean } ]`
result.unSuccessfulReservations.cancelled	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：キャンセルされませんでした。 データタイプ：ブーリアン
result.unSuccessfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.insert	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.reservable	予約が試行された職場の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.sys_id	失敗した予約の sys_id。 常に null です。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.update	予約が正常に更新されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に更新されました。 • false：更新されませんでした。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

Example: cURL 要求

次のコード例は、既存の複数予約のコンテンツを変更する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update
/02000d4edb7650106c731dcd13961914" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"reservables\":[
        {
            \"sys_id\":\"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\"
        },
        {
            \"sys_id\":\"02000d4edb7650106c731dcd13961914\"
        }
    ],
    \"reservable_module\":\"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
    \"subject\":\"Test 1\",
    \"start\":\"2022-05-27 13:00:00\",
    \"end\":\"2022-05-27 14:00:00\",
    \"requested_for\": \"workplace_user@example.com\"
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "parent": "98ccb4348723cd106342b846dabb359a",
    "success": true,
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "updated": true,
        "cancelled": false,
        "sys_id": "6cccb4348723cd106342b846dabb359d",
        "error": null,
        "reservable": "5eafb44edb7650106c731dcd13961943"
      },
      {
        "success": true,
        "updated": true,
        "cancelled": false,
        "sys_id": "74af283c87ef8d106342b846dabb3592",
        "error": null,
        "reservable": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": []
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、既存の複数予約に職場の場所を追加する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update
/02000d4edb7650106c731dcd13961914" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"reservables\":[
       {
           \"sys_id\":\"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
           \"is_private\": false
       },
       {
           \"sys_id\":\"5eafb44edb7650106c731dcd13961943\",
           \"is_private\": false
       },
    {
           \"sys_id\":\"c4308d4edb7650106c731dcd1396194c\",
           \"is_private\": false
       }
   ],
   \"reservable_module\":\"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   \"subject\":\"Test 1\",
   \"start\":\"2022-05-27 13:00:00\",
   \"end\":\"2022-05-27 14:00:00\",
   \"requested_for\": \"workplace_user@example.com\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "parent": "98ccb4348723cd106342b846dabb359a",
    "success": true,
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "updated": true,
        "cancelled": false,
        "sys_id": "6cccb4348723cd106342b846dabb359d",
        "error": null,
        "reservable": "5eafb44edb7650106c731dcd13961943"
      },
      {
        "success": true,
        "updated": true,
        "cancelled": false,
        "sys_id": "74af283c87ef8d106342b846dabb3592",
        "error": null,
        "reservable": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca"
      },
      {
        "success": true,
        "inserted": true,
        "sys_id": "9e6d78748723cd106342b846dabb35a5",
        "error": null,
        "reservable": "c4308d4edb7650106c731dcd1396194c"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": []
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、単一予約を複数予約に変換する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update
/02000d4edb7650106c731dcd13961914" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"reservables\":[
       {
           \"sys_id\":\"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
           \"is_private\": false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        },
        {
            \"sys_id\":\"5eafb44edb7650106c731dcd13961943\",
            \"is_private\": false
        }
    ],
    \"reservable_module\":\"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
    \"subject\":\"Test 1\",
    \"start\":\"2022-05-27 13:00:00\",
    \"end\":\"2022-05-27 14:00:00\",
    \"requested_for\": \"workplace_user@example.com\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "parent": "98ccb4348723cd106342b846dabb359a",
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "inserted": true,
        "sys_id": "6cccb4348723cd106342b846dabb359d",
        "error": null,
        "reservable": "5eafb44edb7650106c731dcd13961943"
      },
      {
        "success": true,
        "insert": false,
        "update": true,
        "cancel": false,
        "sys_id": "74af283c87ef8d106342b846dabb3592",
        "reservable": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": [],
    "error": null
  }
}
```

Example: cURL 要求

次のコード例は、複数予約を単一予約に変換する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/update
/02000d4edb7650106c731dcd13961914" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
   \"reservables\":[
       {
           \"sys_id\":\"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
           \"is_private\": false
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
    ],
    \"reservable_module\":\"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
    \"subject\":\"Test 1\",
    \"start\":\"2022-05-27 13:00:00\",
    \"end\":\"2022-05-27 14:00:00\",
    \"requested_for\": \"workplace_user@example.com\"
}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "74af283c87ef8d106342b846dabb3592",
    "success": true,
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "insert": false,
        "update": true,
        "cancel": false,
        "sys_id": "74af283c87ef8d106342b846dabb3592",
        "reservable": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
        "error": ""
      },
      {
        "success": true,
        "insert": false,
        "update": true,
        "cancel": true,
        "sys_id": "3caf283c87ef8d106342b846dabb3596",
        "reservable": "5eafb44edb7650106c731dcd13961943"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": [],
    "error": null
  }
}
```

WSD Multi Reservation - POST /api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/add

異なる職場の場所で同じ時間に職場予約を作成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/multi_reservation/add`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/add`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
終了	*shift*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
予約可能	予約に関連付けられた予約可能に関する詳細のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservables": [ { "is_private": Boolean, "sys_id": "String" } ]`
reservables.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
reservables.sys_id	予約を行う場所のSys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end*パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「 シフトベースの予約を有効にする 」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
subject	必須です。 予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	複数予約の作成または更新の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "parent": "String", "success": Boolean, "successfulReservations": Array, "unSuccessfulReservations": Array }`
result.parent	親予約の sys_id。親には、1 つ以上の子予約を関連付けることができます。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations	正常に作成された予約のリスト。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"successfulReservations": [
	{
	"error": "String",
	"inserted": Boolean,
	"reservable": "String"
	"success": Boolean,
	"sys_id": "String"
	}
	]

result.successfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.inserted	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。予約が追加されたときなど。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations.reservable	予約が行われた職場の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations.sys_id	作成された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations	正常に作成されなかった予約のリスト。 データタイプ：アレイ "unSuccessfulReservations": [{ "error": "String", "inserted": Boolean, "reservable": "String" "success": Boolean, "sys_id": "String"

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.unSuccessfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.inserted	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.reservable	予約が試行された職場の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.success	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.sys_id	失敗した予約の sys_id。 常に null です。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、同じ予約に対して 2 つの異なる職場を予約する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/multi_reservation/add" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"reservable_module\": \"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
    \"subject\": \"Test-123\",
    \"reservation_purpose\": \"meeting\",
    \"timezone\": \"US/Pacific\",
    \"requested_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
    \"reservables\": [
        {
            \"sys_id\": \"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            \"is_private\": false
        },
        {
            \"sys_id\": \"d1208d4edb7650106c731dcd1396194a\",
            \"is_private\": false
        }
    ],
    \"start\": \"2023-01-12T11:30:00Z\",
    \"end\": \"2023-01-12T12:30:00Z\",
    \"reservation_type\": \"space\"
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "parent": "08e8a18687586550cfaa99b73cbb354f",
    "successfulReservations": [
      {
        "success": true,
        "inserted": true,
        "sys_id": "44e8a18687586550cfaa99b73cbb3552",
        "error": null,
        "reservable": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca"
      },
      {
        "success": true,
        "inserted": true,
        "sys_id": "04e8a18687586550cfaa99b73cbb3555",
        "error": null,
        "reservable": "d1208d4edb7650106c731dcd1396194a"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": []
  }
}
```

WSD Recurring Reservation API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Recurring Reservation* API は、同時に発生するが、日付が異なる予約を管理するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Safety Management (sn_wsd_core) と Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Recurring Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/list/{parent_id}

指定された繰り返し予約を返します。

6 回を超える繰り返し会議が予約で利用可能な場合は、クエリパラメーターを使用して会議をページネーションできます。返さない発生件数レコードを指定することもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/recurring_reservation/list/{parent_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/list/{parent_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
parent_id	繰り返し発生する親予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 繰り返し予約が作成されると、1 つの繰り返し発生する親レコードと 1 つ以上の子予約レコードが作成されます。予約レコードには、予約レコードのタイプを示す reservation_subtype と呼ばれるフィールドが含まれています。繰り返し発生する親レコードの場合、このフィールドは [繰り返し発生する親] に設定されます。子レコードの場合、このフィールドは [発生件数] に設定されます。 子レコード内で、関連する繰り返し発生する親レコードの sys_id は [source_reservation] フィールドにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
end_index	繰り返し発生するレコードセットでページネーションする場合に、発生件数レコードを返すのを停止するゼロベースのレコード番号。 **注:** 繰り返し発生件数が 6 回未満の場合、エンドポイントはすべての発生件数を返します。そうでない場合は、最初の 6 回の発生件数を返します。6 回を超える発生件数を取得するには、それに応じて end_index パラメーターを渡す必要があります。 データタイプ：数値
occurrence_sys_id	返さない繰り返し発生する系列の発生件数レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。
start_index	繰り返し発生するレコードセットでページネーションする場合に、発生件数レコードを返すのを開始するゼロベースのレコード番号。 データタイプ：数値 デフォルト：0

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	要求された繰り返し予約の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "occurencesTotalCount": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"reservation": {Object}
	}</pre>

result.occurencesTotalCount	繰り返し発生する系列の会議の合計数。 データタイプ：文字列

result.reservation	要求された繰り返し予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"reservation": {
	"active": Boolean,
	"attendees": [Array],
	"check_in_state": {Object},
	"edit_restriction": {Object},
	"end": "String",
	"external_ical": "String",
	"external_id": "String",
	"is_parent": Boolean,
	"last_updated_sub_source":
	{Object},
	"location": {Object},
	"notification_custom_message":
	"String",
	"notification_recipients":
	[Array],
	"number": "String",
	"number_of_attendees": Number,
	"opened_by": {Object},
	"recording_details": [Array],
	"recurring_pattern": {Object},
	"requested_for": {Object},
	"reservable_module": {Object},
	"sensitivity": {Object},
	"shift": {Object},
	"source": {Object},
	"source_icon": {Object},
	"source_reservation": {OObject},
	"source_reservation_requester":
	{Object},
	"start": "String",
	"state": {OObject},
	"sys_created_on": "String",
	"sys_id": "String",
	"sys_updated_on": "String",
	"subject": "String",
	"sub_source": {Object},
	"sync_state": {Object},
	"virtual_meeting": "String"
	}</pre>

result.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.attendees	予約の出席者のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"attendees": [ { "avatar": "String", "displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" } ]`
result.reservation.attendees.avatar	出席者に関連付けられたアバターの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.displayValue	出席者の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.display_value	出席者の表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.email	出席者のメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.initials	出席者のイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.name	出席者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.sys_id	出席者レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.table	出席者レコードが存在するテーブル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.user_name	出席者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.value	出席者の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.check_in_state	予約のチェックインステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"check_in_state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.check_in_state.display_value	予約の現在のチェックインステータスの表示値 (処理中、完了など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.check_in_state.value	予約の現在のチェックインステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列

result.reservation.edit_restriction	予約のユーザー編集制限の説明 (no_restrictions、service_only、full_restricted など)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"edit_restriction": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.edit_restriction.display_value	予約の編集制限の表示値 ([制限なし] など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.edit_restriction.value	予約の編集制限の内部値 (`no_restriction` など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.external_ical	予約の一意の外部 iCalendar ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.external_id	予約の一意の外部 ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.is_parent	この予約が親予約かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：親予約。 • false：親予約ではない。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.last_updated_sub_source	予約の最後に更新されたサブソースに関する詳細。サブソースは、予約を外部カレンダーと統合するときに使用されます。このオブジェクトには、「servicenow_workplace_service_delivery」、「google_calendar」、「microsoft_exchange」などの情報が含まれています。 データタイプ：オブジェクト `"last_updated_sub_source": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.last_updated_sub_source.display_value	`ServiceNow Workplace Service Delivery` や `Google` カレンダーなど、予約の最後に更新されたサブソースの表示値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.last_updated_sub_source.value	`servicenow_workplace_service_delivery` や `google_calendar` など、予約の最後に更新されたサブソースの内部値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.location	予約に関連付けられた場所の詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"location": {
	"area": {Object},
	"building": {Object},
	"campus": {Object},
	"capacity": Number,
	"description": "String",
	"display_value": "String",
	"email": "String",
	"floor": {Object},
	"label_value": "String",
	"name": "String",
	"number": "String",
	"number_of_attendees": Boolean,
	"reservable_module": {Object},
	"region": {Object},
	"reservation": {Object},
	"site": {Object},
	"requested_for": {Object},
	"state": {Object},
	"sys_id": "String",
	}

result.reservation.location.area	場所に関連付けられたエリアに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	"area": {
	"active": Boolean,
	"display_value": "String,"
	"sys_id": "String"
	}

result.reservation.location.area.active	エリアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エリアはアクティブです。 • false：エリアは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.area.display_value	Desk A2 など、この場所が属するエリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.area.sys_id	この場所が属するエリアの sys_id。エリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building	場所に関連付けられた建物に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト "building": { "active": Boolean,

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"display_value": "String",
	"sys_id": "String",
	"timezone": {Object}
	}</pre>

result.reservation.location.building.active	建物がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：建物はアクティブです。 • false：建物は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.building. display_value	AMS - Bld1 など、この場所が属する建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.sys_id	この場所が属する建物の sys_id。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.building.timezone	建物のタイムゾーンの詳細。
	<pre>"timezone": {
	"displayValue": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.building.timezone. display_value	関連する建物が存在するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.timezone. value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.campus	場所に関連付けられた敷地に関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"campus": {
	"active": Boolean,
	"display_value": "String,"
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.campus.active	敷地がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：敷地はアクティブです。 • false：敷地は非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
result.reservation.location.campus.display_value	Amsterdam Campus など、この場所が属する敷地の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.campus.sys_id	この場所が属する敷地の sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.capacity	場所の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.description	場所の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.display_value	この場所の UI に表示する値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.email	場所のメールアドレス。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.floor	場所に関連付けられたフロアに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"floor": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.floor.active	フロアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フロアはアクティブです。 • false：フロアは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.floor.display_value	First floor など、この場所が属するフロアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.floor.sys_id	この場所が属するフロアの sys_id。フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.label_value	*name* パラメーターで指定された値のタイプ (部屋名など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.name	場所の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値

result.reservation.location.reservable_module	予約に関連付けられている予約可能モジュールに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservable_module": {`
	`  "inline_title": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "title": "String",`
	`},`

result.reservation.location.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.region	場所に関連付けられたリージョンに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"region": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "display_value": "String,"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.region.active	リージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：リージョンはアクティブです。 • false：リージョンは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.region.display_value	Europe など、この場所が属するリージョンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.region.sys_id	この場所が属するリージョンの sys_id。リージョン [sn_wsd_core_region] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.reservation	場所に関連付けられた予約の詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"reservation": {
	"active": Boolean,
	"number": "String",
	"number_of_attendees": Number,
	"requested_for": {Object},
	"state": {Object},
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.reservation.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.reservation.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"requested_for": {
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "user_name": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.reservation. requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation. requested_for.sys_id	要求されたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation. requested_for.user_name	予約が要求されたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.reservation.state	場所の予約のステータスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"state": {
	  "display_value": "String,"
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.reservation. .state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation. .state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.site	場所が属するサイト。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"site": {
	  "active": Boolean,
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String",
	}</pre>

result.reservation.location.site.active	サイトがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サイトはアクティブです。 • false：サイトは非アクティブです。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.site.display_value	Western Europe など、この場所が属するサイトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.site.sys_id	この場所が属するサイトの sys_id。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.standard_services	

result.reservation.location.state	場所の予約のステータスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.location.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.sys_id	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_custom_message	*reservation.notification_recipients* にリストされている受信者に送信される通知のカスタムメッセージ。 データタイプ：文字列

result.reservation.notification_recipients	予約に関する通知を受信する受信者のリスト。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"notification_recipients":[`
	`  {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "user_name": "String"`
	`  }`
	`]`

result.reservation.notification_recipients.name	受信者の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.notification_recipients.sys_id	受信者の sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients.user_name	受信者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.number	予約レコードの一意の番号。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。この値を使用して予約を照会できます。 データタイプ：文字列
result.reservation.number_of_attendees	この予約の出席者の数。 データタイプ：数値

result.reservation.opened_by	予約を作成したユーザーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"opened_by": {`
	`  "avatar": "String",`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "display_value": "String",`
	`  "email": "String",`
	`  "initials": "String",`
	`  "label": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "table": "String",`
	`  "user_name": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.opened_by.avatar	予約をオープンしたユーザーのアバター。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.displayValue	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.display_value	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.email	予約をオープンしたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.initials	予約をオープンしたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.opened_by.name	予約をオープンしたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.user_name	予約をオープンしたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.value	予約をオープンしたユーザーの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.recording_details	予約 (会議) に関連付けられている記録に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"recording_details": [ "recording_url": "String" ]`
result.reservation.recording_details.recording_url	予約に関連付けられている記録の URL。 データタイプ：文字列
result.reservation.recurring_pattern	予約の繰り返し発生するパターンの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"recurring_pattern": { "amountOfDates": "String", "duration": Number, "label": "String", "options": {Object}, "repeats": "String", "startDate":"String", "startDateGdt": Object, }`
result.reservation.recurring_pattern.amountOfDates	可能な予約が予約される日付の数。 データタイプ：文字列
result.reservation.recurring_pattern.duration	予約可能項目を予約する時間の長さ。 データタイプ：数値 単位：秒
result.reservation.recurring_pattern.label	繰り返し予約のわかりやすい名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.recurring_pattern.options	繰り返し予約に関連付けられたオプションの詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"options": {
	  "count": Number,
	  "daysOfWeek": "String",
	  "every": Number,
	  "endDate": "String"
	  "endDateGdt": Object
	}</pre>

result.reservation.recurring_pattern.options.count	パターンを繰り返す回数。 データタイプ：数値
result.reservation.recurring_pattern.options.daysOfWeek	予約が必要な曜日。 有効な値： • 1 = 月曜日 • 2 = 火曜日 • 3 = 水曜日 • 4 = 木曜日 • 5 = 金曜日 • 6 = 土曜日 • 7 = 日曜日 たとえば、火曜日、木曜日、金曜日を指定するには、245 (区切り文字なし) を渡します。*repeats* が週次、*count* が 5、*daysOfWeek* が `245` の場合、戻り値の合計は `count*daysOfWeek.length` (5*3=15) に等しくなります。 データタイプ：文字列
result.reservation.recurring_pattern.options.every	パターンの繰り返し間隔。たとえば、値「2」は、*repeats* プロパティの値に応じて、パターンが 2 日ごとまたは 2 か月ごとに繰り返されることを示します。 **注:** この設定は、毎週の繰り返し間隔には適用されません。*repeats* プロパティを毎日に設定し、隔週の繰り返し間隔でこの値を `14` に設定できます。 データタイプ：数値 デフォルト値： 1
result.reservation.recurring_pattern.options.endDate	会議の繰り返しの終了日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.recurring_pattern.options.endDateGdt	会議の繰り返しの終了日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss
result.reservation.recurring_pattern.repeats	予約可能項目の繰り返しパターン。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • daily • monthly • 週次 注: パターンの繰り返し間隔は、*options.every* プロパティで設定されます。週次パターンの有効な繰り返し間隔は 1 のみです。 データタイプ：文字列
result.reservation.recurring_pattern.startDate	繰り返しパターンの開始日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss
result.reservation.recurring_pattern.startDateGdt	繰り返しパターンの開始日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss
result.reservation.requested_for	予約が代理で行われたユーザーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"requested_for": { "avatar": "String", "displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" }`
result.reservation.requested_for.avatar	予約が代理で行われたユーザーのアバター。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.requested_for.displayValue	予約が代理で行われたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.display_value	予約が代理で行われたユーザーの表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.email	予約が代理で行われたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.initials	予約が代理で行われたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.label	予約が代理で行われたユーザーのラベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.name	予約が代理で行われたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.rservation.requested_for.sys_id	予約が代理で行われたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.rservation.requested_for.table	ユーザーレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.user_name	予約が代理で行われたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.value	予約が代理で行われたユーザーの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module	要求された予約可能モジュールの詳細。 データタイプ：オブジェクト `{ "reservable_module": { "allow_invitees": Boolean, "allow_whole_day": Boolean, "apply_to_shift": Boolean, "browse_by_area_enabled": Boolean, "browse_near_a_person_enabled": Boolean, "buildingSysIds": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"checkin_before_minutes": Number, "display_number_of_attendees": Boolean, "display_on_behalf_of": Boolean, "display_sensitivity": Boolean, "display_value": "String", "enable_browse_by_area": Boolean, "enable_browse_near_a_person": Boolean, "enable_facet_filter": Boolean, "enable_group_reservations": Boolean, "enable_ical_generation": Boolean, "font_awesome_icon": "String", "inline_title": "String", "layout_mapping": {JSON Object}, "max_days_in_future": Number, "max_occurrences": Number, "name": "String", "override_approval_policy": "String", "require_cancel_notes": Boolean, "require_cc_dept_check": Boolean, "require_subject": Boolean, "reservable_columns": [Array], "reservable_container_field": "String", "reservable_filter": "String", "reservable_quantity_field": "String", "reservable_table": "String", "reservable_type": "String", "reservable_views": [Array], "reservation_paths": [Array], "search_limit": Number, "selection_type": "String", "short_description": "String", "show_map_view": Boolean, "sys_id": "String", "timeSlots": [Array], "title": "String", "virtual_meeting_provider": {Object} } }

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.allow_whole_day	ユーザーが予約可能項目を終日予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが終日予約できるようにします。 • false:ユーザーに終日の予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.apply_to_shift	予約可能モジュールに対してシフトベースの予約が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：シフトベースの予約を許可します。 • false:シフトベースの予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_by_area_enabled	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_near_a_person_enabled	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.buildingSysIds	予約可能モジュールに関連付けられた建物の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.reservation.reservable_module.checkin_before_minutes	ユーザーが予約にチェックインできる予約開始前の時間。 単位：分 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_value	予約可能モジュールの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.enable_browse_by_area	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。*browse_by_area_enabled* と同じです。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_browse_near_a_person	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 *browse_near_a_person_enabled* と同じです。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_facet_filter	職場アイテムのファセットフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。有効にすると、表示されるフィルターオプションは検索結果に基づきます。ユーザーは、生成された検索結果で使用可能なアイテムのみをフィルターで選択できます。 有効な値： • true：ファセットフィルターは有効です。 • false:ファセットフィルターは有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.enable_ical_generation	ユーザーが予約の iCalendar を生成できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：iCalendar の生成を許可します。 • false:iCalendar の生成は許可されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.font_awesome_icon	予約可能モジュールに添付されているフォントアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.layout_mapping	場所のレイアウトマッピングの構造に関する詳細。このデータを使用して、UI に情報をレイアウトします。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"layout_mapping": {`
	`  "body": [Array],`
	`  "description": [Array],`
	`  "image": "String",`
	`  "subtitle": [Array],`
	`  "subtitle_asc": [Array],`
	`  "title": [Array]`
	`}`

result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"body": [`
	`  {`
	`  "field": "String",`
	`  "field_to_display": "String",`
	`  "icon": "String",`
	`  "label": "String"`
	`  }`
	`]`

result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.field	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.field_to_display	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.icon	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.label	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.description	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。レイアウトマッピングの説明。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.image	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.subtitle	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.subtitle_asc	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.title	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.max_days_in_future	ユーザーが予約可能モジュールを予約できる、今後の最大日数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.max_occurrences	予約可能モジュールの繰り返し予約が利用可能な場合の繰り返し予約の最大発生回数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.override_approval_policy	承認ポリシーの実装方法を指定するオプション。選択肢は次のとおりです。 • 上書きなし：承認ポリシーは、職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に従って実装されます。 • 常に承認が必要：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが必要です。 • 承認の必要なし：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.require_cancel_notes	予約可能モジュールをキャンセルする前にユーザーがキャンセルメモを入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：キャンセルメモが必要です。 • false：キャンセルメモは必要ありません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.require_cc_dept_check	ワークスペースアイテムとログインユーザーの間にコストセンターまたは部門の不一致があるかどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不一致を確認します。 • false:不一致をチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_columns	予約可能項目の列のリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.reservable_container_field	特定のエリアのデスクのグループなどのコンテナーのレベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_filter	関連付けられた予約可能テーブルの予約可能アイテムのフィルタリングに使用されるフィルター条件。予約可能テーブルは、予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブル内のフィールドです。これらのフィルター条件は、フィールドの予約可能テーブルに含まれるテーブルに適用されました。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_quantity_field	すべてのスペースの予約可能な数量。数は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	されます。詳細については、「エリアへの近隣スペースの割り当て」を参照してください。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_table	予約可能な職場アイテムを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_type	予約可能アイテムのタイプ (場所など)。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.reservable_views	カードビューやスケジュールビューなど、予約可能モジュールに関連付けられたさまざまなビューに関する詳細。
	
	予約可能なビュー [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservable_views": {`
	`  "iconClass": "String",`
	`  "isDefault": Boolean,`
	`  "label": "String",`
	`  "order": Number,`
	`  "type": "String"`
	`}`

result.reservation.reservable_module.reservable_views.iconClass	予約可能なビューのアイコンクラス。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.isDefault	この予約可能なビューを予約可能なモジュールのデフォルトにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトにします。 • false:デフォルトにしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_views.label	予約可能なビューの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.order	UI の予約可能モジュールのビューが表示される順序。UI では小さい順序番号が先に表示されます。同じ順序番号の場合は、ランダムな順序が割り当てられます。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.reservable_views.type	予約可能なビューのバックエンド名。内部処理に使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservation_paths	[すべて参照]、 [人の近くで参照する] などの予約可能なモジュールに関連付けられた予約パス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservation_paths": [ { "displayValue": "String", "value": "String" }`
result.reservation.reservable_module.reservation_paths.display_value	[人の近くで参照する] などの予約パスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservation_paths.value	「browse_near_a_person」などの予約パスの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.search_limit	ユーザーが職場の場所を検索するときに返される検索結果の最大数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.selection_type	検索結果に表示する選択のタイプ。 次のいずれかのオプションを指定できます。 • [特定の単位]：検索結果には、すべての職場アイテムが表示されます。 • [コンテナー]：検索結果には、職場アイテムの親またはコンテナーが表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.short_description	予約可能なモジュールの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.show_map_view	この予約可能なモジュールのマップビューを有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：マップビューを有効にします。 • false:マップビューを有効にしません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots	予約可能モジュールに関連付けられたタイムスロットの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `[ { "name": "String", "short_description": "String", "slot_end": "String", "slot_start": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservation.reservable_module.timeSlots.name	タイムスロットの名前 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.short_description	タイムスロットの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_end	タイムスロットの終了時間 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_start	スロットの開始時間。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.sys_id	タイムスロットレコードの sys_id。 タイムスロット [sn_wsd_rsv_time_slot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider	予約可能モジュールに関連付けられている仮想プロバイダーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"virtual_meeting_provider": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.display_value	バーチャル会議プロバイダーの表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.sys_id	バーチャル会議プロバイダーの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservationAcl	関連する予約に設定されているユーザーアクセス制御レベル (ACL) チェックの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservationAcl": {`
	`  "read": Boolean,`
	`  "write": {Object}`
	`}`

result.reservation.reservationAcl.read	ユーザーがこの予約を読み取り可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約を読み取り可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約を読み取れるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservation.reservationAcl.write	関連付けられている予約のユーザーの書き込み機能に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"write": {`
	`  "allFields": Boolean,`
	`  "fields": {Object},`
	`  "record": Boolean`
	`}`

result.reservation.reservationAcl.write.allFields	ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。ユーザーが一部の特定のフィールドにのみアクセスできる場合は、それらのフィールドのみが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで true になります。 有効な値： • true：ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• false:ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込めるかどうかは確認しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields	予約のさまざまなフィールドに対するアクセス制御の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"fields": { "location": Boolean, "number_of_attendees": Boolean, "requested_for": Boolean, "sensitivity": Boolean, "subject": Boolean }`
result.reservation.reservationAcl.write.fields.location	ユーザーがこの予約の場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが場所フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.number_of_attendees	ユーザーがこの予約の出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが出席者数フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.requested_for	ユーザーがこの予約の要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが要求元フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.sensitivity	ユーザーがこの予約の機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが機密性フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.subject	ユーザーがこの予約の件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが件名フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.record	ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約レコード全体に書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservation_purpose	予約の目的の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"reservation_purpose": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

result.reservation.reservation_type	予約のタイプの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_type": {`
	`"display_value": "String,"`
	`"value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_type.display_value	スペースなどの予約のタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_type.value	space などの予約のタイプの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservation_subtype	予約のサブタイプの詳細。サブタイプは、単一、複数の親、複数の子、繰り返し発生する親、発生件数などの予約のタイプを示します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_subtype": {`
	`"display_value": "String,"`
	`"value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_subtype.display_value	単一などの予約のサブタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_subtype.value	single などの予約のサブタイプの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.sensitivity	予約の機密性の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sensitivity": {`
	`"display_value": "String,"`
	`"value": "String"`
	`}`

result.reservation.sensitivity.display_value	高、低などの予約の機密性の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sensitivity.value	1、3 などの予約の機密性の内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift	予約に適用されるシフトの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"shift": { "display_value": "String", "name": "String", "shiftDetails": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservation.shift.display_value	シフトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift.name	シフトの名前。*display_value* と同じです。 データタイプ：文字列
Result.reservation.shift.shiftDetails	シフトの詳細。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift.sys_id	シフトレコードの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.source	職場サービスや Google メールなどの予約のソースに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String", "value": "String" }`
result.reservation.source.display_value	職場サービスなど予約ソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source.value	servicenow など予約ソースの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon	予約で使用されるアイコンのソースの詳細。このアイコンは UI で使用されます。 データタイプ：オブジェクト `"source_icon": { "classNames": "String", "imgSrc": "String", "tooltip": "String" }`
result.reservation.source_icon.classNames	ソースアイコンのカンマ区切りのクラス名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.imgSrc	ソースアイコンの画像ソースの名前。このアイコンは画像 [db_image] テーブルに保存されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.tooltip	ソースアイコンに関連付けられたツールヒント。 データタイプ：文字列

result.reservation.source_reservation	現在の予約のソース予約。たとえば、繰り返し予約の場合、繰り返し発生する親予約が発生する一連の予約のソースになります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"source_reservation": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.source_reservation. display_value	ソース予約の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation.name	ソース予約の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation.sys_id	ソース予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.source_reservation_
requester
	繰り返し予約を要求したユーザー。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"source_reservation": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "user_name": "String"`
	`}`

result.reservation.source_reservation_ requester.name	繰り返し予約の要求者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation_ requester.sys_id	繰り返し予約を要求したユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation_requester.user_name	繰り返し予約の要求者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservation.state	予約のステータスに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservation.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列
result.reservation.sub_source	予約のサブソースの詳細。サブソースは、Google カレンダーや Microsoft Exchange などの予約の作成元を指定します。 データタイプ：オブジェクト `"sub_source": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.sub_source.display_value	Google カレンダーなどの予約のサブソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sub_source.value	google_calendar などの予約のサブソースフィールドの内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.sync_state	「sync_enqueued」や「synchronized」など、別のサービスからの予約の同期ステータスに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"sync_state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.sync_state.display_value	同期済みなど予約の現在の同期ステータスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sync_state.value	synchronized など予約の現在の同期ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sys_created_on	予約が作成された日時。 データタイプ：文字列
result.reservation.sys_id	予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Result.reservation.sys_updated_on	予約が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.reservation.virtual_meeting	バーチャル会議リンクの URL。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、特定の繰り返し予約を取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/list/d98a381587b789506342b846dabb3563" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username": "password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "reservations": [
      {
        "sys_id": "198a381587b789506342b846dabb3565",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "number": "WRES0001247",
        "location": {
          "sys_id": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
          "name": "Aspen",
          "description": "A room with large windows, dark leather seats
and a large wooden table.",
          "display_value": "Aspen",
          "capacity": 16,
          "label_value": "Room name",
          "email": null,
          "reservable_module": {
            "sys_id": "c31241cedb7650106c731dcd13961917",
            "name": "Meeting rooms",
            "title": "Meeting rooms",
            "inline_title": "meeting room"
          },
          "region": {
            "sys_id": "3752ac8edb3650106c731dcd139619e0",
            "display_value": "Americas",
            "active": true
          },
          "site": {
            "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
            "display_value": "North America",
            "active": true
          },
          "campus": {
            "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
            "display_value": "California Campus",
            "active": true
          },
          "building": {
            "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
            "display_value": "CAL-B1",
            "active": true,
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          },
          "floor": {
            "sys_id": "2f554296dbba10106c731dcd139619ed",
            "display_value": "Floor 2",
            "active": true
          },
          "area": {
            "sys_id": "",
            "display_value": "",
            "active": false
          },
          "reservation": {
            "sys_id": "198a381587b789506342b846dabb3565",
            "number_of_attendees": 1,
            "state": {
              "value": "confirmed",
              "display_value": "Confirmed"
            },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "requested_for": {
              "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
              "name": "Workplace User",
              "user_name": "workplace_user"
            },
            "number": "WRES0001247",
            "active": true
          },
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "number": "WRES0001247",
          "requested_for": {
            "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
            "name": "Workplace User",
            "user_name": "workplace_user"
          }
        },
        "start": "2022-06-11T13:00:00Z",
        "end": "2022-06-11T14:00:00Z",
        "sys_created_on": "2022-05-30T07:06:37Z",
        "sys_updated_on": "2022-05-30T07:06:40Z",
        "source_reservation": {
          "sys_id": "d98a381587b789506342b846dabb3563",
          "display_value": "WRES0001246",
          "name": "WRES0001246"
        },
        "check_in_state": {
          "value": "not_required",
          "display_value": "Not required"
        },
        "external_id": null,
        "external_ical": null,
        "active": true,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "sensitivity": {
          "value": "normal",
          "display_value": "Normal"
        },
        "reservation_type": {
          "value": "space",
          "display_value": "Space"
        },
        "reservation_subtype": {
          "value": "occurrence",
          "display_value": "Occurrence"
        },
        "reservation_purpose": {
          "value": "meeting",
          "display_value": "Meeting"
        },
        "attendees": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "number_of_attendees": 1,
        "is_parent": false,
        "subject": "Rec 1",
        "virtual_meeting": null,
        "recording_details": [],
        "sync_state": {
          "value": "not_required",
          "display_value": "Synchronization not required"
        },
        "sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "last_updated_sub_source": {
          "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
          "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
        },
        "reservable_module": {
          "sys_id": "c31241cedb7650106c731dcd13961917",
          "name": "Meeting rooms",
          "title": "Meeting rooms",
          "inline_title": "meeting room",
          "font_awesome_icon": "fa-building",
          "reservable_table": "sn_wsd_core_room",
          "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^building!=6c0364cedb3650106c731dcd139619
27^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
          "short_description": "Reserve a meeting room",
          "reservable_type": "location",
          "require_subject": "1",
          "require_cancel_notes": true,
          "virtual_meeting_provider": {
            "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
            "display_value": "Template"
          },
          "allow_invitees": "1",
          "display_number_of_attendees": "1",
          "display_on_behalf_of": "1",
          "display_sensitivity": "1",
          "max_days_in_future": "180",
          "allow_recurring": "1",
          "allow_whole_day": "1",
          "require_whole_day": null,
          "selection_type": "unit",
          "reservable_container_field": null,
          "reservable_quantity_field": null,
          "apply_to_shift": null,
          "max_occurrences": "180",
          "enable_facet_filter": false,
          "search_limit": 10000,
          "enable_ical_generation": "1",
          "enable_group_reservations": null,
          "enable_browse_near_a_person": "1",
          "enable_browse_by_area": "1",
          "enable_floor_search": "1",
          "display_value": "Meeting rooms",
          "browse_near_a_person_enabled": true,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "browse_by_area_enabled": true,
        "reservable_columns": [
          "sys_id",
          "external_id",
          "email",
          "name",
          "title",
          "description",
          "image",
          "number",
          "site",
          "campus",
          "building",
          "floor",
          "area",
          "capacity",
          "reservable_quantity",
          "location_type",
          "order",
          "requires_check_in",
          "is_reservable"
        ],
        "layout_mapping": {
          "title": [
            "name"
          ],
          "description": [
            "description"
          ],
          "subtitle": [
            "campus",
            "building",
            "floor",
            "area"
          ],
          "subtitle_asc": [
            "area",
            "floor",
            "building",
            "campus"
          ],
          "image": "image",
          "body": [
            {
              "label": "Capacity",
              "icon": "fa-users",
              "field": "capacity",
              "field_to_display": ""
            },
            {
              "label": "Standard services",
              "icon": "fa-check",
              "field": "standard_services",
              "field_to_display": "name"
            },
            {
              "label": "Reservable purposes",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "icon": "fa-tags",
            "field": "reservable_purposes",
            "field_to_display": "name"
          }
        ]
      },
      "timeSlots": [],
      "buildingSysIds": [
        "4703a4cedb3650106c731dcd13961945",
        "6c0364cedb3650106c731dcd13961927",
        "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
      ],
      "reservable_views": [
        {
          "type": "card",
          "label": "Card view",
          "iconClass": "fa-th-large",
          "isDefault": true,
          "order": "1"
        },
        {
          "type": "schedule",
          "label": "Schedule view",
          "iconClass": "fa-calendar-o",
          "isDefault": false,
          "order": "2"
        }
      ],
      "checkin_before_minutes": 30,
      "reservation_paths": [
        {
          "value": "browse_all",
          "displayValue": "Browse all",
          "availableFor": true
        },
        {
          "value": "browse_favorites",
          "displayValue": "Browse favorites",
          "availableFor": false
        },
        {
          "value": "browse_near_a_person",
          "displayValue": "Browse near a person",
          "availableFor": true
        },
        {
          "value": "browse_by_area",
          "displayValue": "Browse by area",
          "availableFor": true
        }
      ],
      "override_approval_policy": "never_required"
    },
    "notification_recipients": null,
    "notification_custom_message": null,
    "opened_by": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
        "value": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
        "displayValue": "Workplace User",
        "display_value": "Workplace User",
        "name": "Workplace User",
        "user_name": "workplace_user",
        "table": "sys_user",
        "avatar": null,
        "initials": "WU",
        "email": "workplace_user@example.com",
        "label": ""
      },
      "requested_for": {
        "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
        "value": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
        "displayValue": "Workplace User",
        "display_value": "Workplace User",
        "name": "Workplace User",
        "user_name": "workplace_user",
        "table": "sys_user",
        "avatar": null,
        "initials": "WU",
        "email": "workplace_user@example.com",
        "label": ""
      },
      "edit_restriction": {
        "value": "no_restriction",
        "display_value": "No restriction"
      },
      "source": {
        "value": "servicenow",
        "display_value": "Workplace Services"
      },
      "source_reservation_requester": {
        "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
        "name": "Workplace User",
        "user_name": "workplace_user"
      },
      "source_icon": {
        "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
        "tooltip": "Reservation is confirmed",
        "imgSrc": ""
      },
      "shift": null,
      "recurring_pattern": {
        "duration": "3600000",
        "repeats": "daily",
        "options": {
          "count": 3,
          "daysOfWeek": "",
          "every": 1,
          "endDate": "2022-06-13 14:00:00",
          "endDateGdt": {}
        },
        "label": "Repeats daily, 3 times",
        "startDate": "2022-06-11 13:00:00",
        "startDateGdt": "{}",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "amountOfDates": "3"
        },
        "reservationAcl": {
          "write": {
            "record": true,
            "fields": {
              "subject": true,
              "sensitivity": true,
              "requested_for": true,
              "number_of_attendees": true,
              "location": true
            },
            "allFields": true
          },
          "read": true
        }
      }
    ],
    "occurencesTotalCount": "1"
  }
}
```


WSD Recurring Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/cancel_series/{sys_id}

指定された繰り返し予約全体または系列内の特定の会議をキャンセルします。

注: 1 度のコールで複数の会議を削除することはできません。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/recurring_reservation/cancel_series/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/cancel_series/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	系列全体をキャンセルするには、繰り返し発生する親予約レコードの sys_id を渡します。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 系列の特定の発生をキャンセルするには、系列の発生の sys_id を渡します。 繰り返し発生する親レコードでは、[reservation_subtype] 列が `Recurring parent` に設定されています。個々の発生件数レコードでは、[reservation_subtype] フィールドが `Occurrence` に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	発生件数レコードから繰り返し発生する親予約の詳細を取得するには、発生件数レコードの [source_reservation] フィールドの sys_id を参照します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
cancel_notes	予約をキャンセルする理由。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	繰り返し予約要求のキャンセルの結果を返します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	
	`"failedToCancelOccurrenceReservations": [Array],`
	`"seriesId": "String",`
	`"success": Boolean,`
	`"successCanceledOccurrences": [Array],`
	`"user_msg": "String"`
	`}`

result.failedToCancelOccurrenceReservations	キャンセルに失敗した個々の会議の発生件数レコードの sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.seriesId	系列全体がキャンセルされた場合は繰り返し発生する親の sys_id、1 回の発生がキャンセルされた場合は特定の発生の sys_id。 データタイプ：文字列
result.success	予約が正常にキャンセルされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常にキャンセルされました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブーリアン
result.failedToCancelOccurrenceReservations	正常にキャンセルされた個々の会議の発生件数レコードの sys_id のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列のアレイ
result.user_msg	要求に関するメッセージ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、繰り返し予約全体をキャンセルする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/ca
ncel_series/f64983a347274550003a4587746d43b8" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "failedToCancelOccurrenceReservations": [],
    "successCanceledOccurrences": [
      "cb4983a347274550003a4587746d43bd",
      "cf4983a347274550003a4587746d43ba"
    ],
    "user_msg": "Your Recurring reservation has been canceled
 successfully!",
    "seriesId": "f64983a347274550003a4587746d43b8",
    "success": true
  }
}
```

自動翻訳

WSD Recurring Reservation - POST /api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/create_series

同じ時間でも日付が異なる (週次、月次、隔週など) 職場予約を作成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/recurring_reservation/create_series`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/create_series`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パスパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明

recurringPattern	予約の繰り返し発生するパターンの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"recurringPattern": {`
	`  "duration": Number,`
	`  "label": "String",`
	`  "options": {Object},`
	`  "repeats": "String",`
	`  "startDate": "String"`
	`}`

recurringPattern.duration	シフトベースの予約でない場合は必須です。 予約可能項目を予約する時間の長さ。 データタイプ：数値 単位：秒
recurringPattern.label	繰り返し予約のわかりやすい名前。 データタイプ：文字列

recurringPattern.options	必須です。
	繰り返し発生するパターンのオプションセットの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"options": {`
	`  "count": Number,`
	`  "daysOfWeek": "String",`
	`  "every": Number,`
	`  "endDate": "String"`
	`}`

recurringPattern.options.count	シフトベースの予約でない場合は必須です。シフトベースの予約では無視されます。 パターンを繰り返す回数。 データタイプ：数値

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
recurringPattern.options.daysOfWeek	*repeats* パラメーターが `weekly` に設定されている場合は必須です。 予約が必要な曜日。 有効な値： • 1 = 月曜日 • 2 = 火曜日 • 3 = 水曜日 • 4 = 木曜日 • 5 = 金曜日 • 6 = 土曜日 • 7 = 日曜日 たとえば、火曜日、木曜日、金曜日を指定するには、245 (区切り文字なし) を渡します。*repeats* が週次、*count* が `5`、*daysOfWeek* が `245` の場合、戻り値の合計は `count*daysOfWeek.length` (5*3=15) に等しくなります。 データタイプ：文字列
recurringPattern.options.every	パターンの繰り返し間隔。たとえば、値「2」は、*repeats* プロパティの値に応じて、パターンが 2 日ごとまたは 2 か月ごとに繰り返されることを示します。 **注:** この設定は、毎週の繰り返し間隔には適用されません。*repeats* プロパティを毎日に設定し、隔週の繰り返し間隔でこの値を `14` に設定できます。 データタイプ：数値 デフォルト値： 1
recurringPattern.options.endDate	会議の繰り返しの終了日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss
recurringPattern.repeats	シフトベースの予約でない場合は必須です。 予約可能項目の繰り返しパターン。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • daily • monthly • 週次

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	注: パターンの繰り返し間隔は、*options.every* プロパティで設定されます。週次パターンの有効な繰り返し間隔は 1 のみです。 データタイプ：文字列
recurringPattern.startDate	必須です。 繰り返しパターンの開始日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss

予約	作成する繰り返し予約の詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"reservation": {`
	`  "is_private": Boolean,`
	`  "location": "String",`
	`  "reservable_module": "String",`
	`  "shift": "String",`
	`  "subject": "String"`
	`}`

reservation.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
reservation.location	必須です。 予約する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservation.reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
reservation.shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
reservation.subject	必須です。 予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	複数予約の作成または更新の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "isValid": Boolean, "parent": "String", "successfulReservations": Array, "unSuccessfulReservations": Array }`
result.isValid	予約が正常に作成されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：正常に作成されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.parent	更新された親予約の sys_id。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations	正常に更新された予約のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"successfulReservations": [ { "collision": Boolean, "end": "String", "error": "String", "inserted": Boolean, "start": "String" "sys_id": "String" } ]`
result.successfulReservations.collision	指定された時間に予約が既に存在し、現在の予約と競合するかどうかを示すフラグ。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：競合。 • false：競合なし。 データタイプ：ブーリアン
result.successfulReservations.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.successfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.successfulReservations.inserted	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。予約が追加されたときなど。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.successfulReservations.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.successfulReservations.sys_id	作成された予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations	正常に更新されなかった予約のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"unSuccessfulReservations": [ { "collision": Boolean, "end": "String", "error": "String", "inserted": Boolean, "start": "String" "sys_id": "String" } ]`
result.unSuccessfulReservations.collision	指定された時間に予約が既に存在し、現在の予約と競合するかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • true：競合。 • false：競合なし。 データタイプ：ブーリアン
result.unSuccessfulReservations.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.unSuccessfulReservations.error	予約の作成中に問題が発生した場合のエラーメッセージ。 データタイプ：文字列
result.unSuccessfulReservations.inserted	予約が正常に挿入されたかどうかを示すフラグ。予約が追加されたときなど。 可能な値： • true：正常に挿入されました。 • false：操作に失敗しました。 データタイプ：ブール
result.unSuccessfulReservations.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.unSuccessfulReservations.sys_id	予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、2 日間連続する日次繰り返し予約を作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/recurring_reservation/cr
eate_series" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
    \"reservation\": {
        \"reservable_module\": \"5db44502dbb650106c731dcd13961937\",
        \"subject\": \"Test-123\",
        \"reservation_purpose\": \"meeting\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        \"timezone\": \"US/Pacific\",
        \"requested_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
        \"location\": \"6a11a94adb7210106c731dcd1396194e\",
        \"attendees\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
        \"is_private\": false
    },
    \"recurringPattern\": {
        \"duration\": 3600000,
        \"repeats\": \"daily\",
        \"options\": {
            \"count\": 2,
            \"daysOfWeek\": \"\",
            \"every\": 1
        },
        \"label\": \"Repeats daily, 2 times\",
        \"startDate\": \"2023-01-12T12:00:00Z\"
    }
}" \
```

返される結果：


```
{
  "result": {
    "isValid": true,
    "parent": "1e5f65ca87586550cfaa99b73cbb3513",
    "successfulReservations": [
      {
        "inserted": true,
        "collision": false,
        "sys_id": "9e5f65ca87586550cfaa99b73cbb3517",
        "error": null,
        "start": "2023-01-13T12:00:00Z",
        "end": "2023-01-13T13:00:00Z"
      }
    ],
    "unSuccessfulReservations": [
      {
        "inserted": true,
        "collision": true,
        "sys_id": "5e5f65ca87586550cfaa99b73cbb3515",
        "error": null,
        "start": "2023-01-12T12:00:00Z",
        "end": "2023-01-12T13:00:00Z"
      }
    ]
  }
}
```


自動翻訳

WSD Reservable API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 予約可能 API は、予約可能 (職場の場所など、予約可能なエンティティ) の詳細をServiceNowインスタンスから取得するためのエンドポイントを提供します。

注: この API の新しいバージョンである WSD 予約可能 V2 API を使用できます。新しいバージョンでは、 *sys_Id* パラメータの文字制限を回避するために、すべての予約可能をPOSTリクエストに含めることができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要です。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Reservable - GET /sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}

指定された 1 つ以上の可能な予約の詳細を返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservable/list_reservables/{sys_ids}`

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/{sys_ids}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_ids	詳細を返す可能な予約の sys_id。 複数の可能な予約を指定する場合は、sys_id をカンマで区切ります。これらの sys_id は職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
include_flexible_services	可能な予約に関連付けられた柔軟なサービスを応答に返すかどうかを示すフラグ。 柔軟なサービスは、予約時に予約可能な職場アイテムとともに利用可能な追加のプロビジョンです。たとえば、すべての参加者が部屋の前を向くようにテーブルの列が配置された教室のスタイルなどです。柔軟なサービスの詳細については、「柔軟なサービスの作成」を参照してください。 有効な値： • true：柔軟なサービス情報を返します。 • false：柔軟なサービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
include_layouts	応答で場所のレイアウト情報を返すかどうかを示すフラグ。 場所のレイアウト情報には、キャパシティ、最大キャパシティ、準備、クリーンアップ期間などが含まれます。この情報は、場所のレイアウト [sn_wsd_rsv_m2m_location_layout] テーブルにあります。 有効な値： • true：場所のレイアウト情報を返します。 • false：場所のレイアウト情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_standard_services	応答で標準サービス情報を返すかどうかを示すフラグ。 標準サービスでは、ホワイトボード、追加のモニター、および類似サービスなど、予約時に予約可能な職場アイテムで利用可能な基本的なプロビジョニングについて説明します。標準サービスの詳細については、「 標準サービス 」を参照してください。この情報は、標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 有効な値： • true：標準サービス情報を返します。 • false:標準サービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
reservable_module_sys_id	必須。予約可能モジュールの sys_id。 予約可能モジュールは、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。この sys_id は予約可能モジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 予約可能なモジュールの詳細については、「 予約可能なモジュールの構成 」を参照してください。 データタイプ：文字列
reservation_start_time	追加サービスのリードタイムを検証する予約開始時間。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	一致する可能な予約の詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	{
	  "result": [
	    {
	      "allow_invitees": Boolean,
	      "area": {Object},
	      "building": {Object},
	      "campus": {Object},
	      "capacity": Number,
	      "description": "String",
	
	"display_number_of_attendees":
	Boolean,
	      "display_on_behalf_of":
	Boolean,
	      "display_sensitivity":
	Boolean,
	      "email": "String",
	      "employee_override_privacy":
	Boolean
	      "enable_group_reservations":
	Boolean,
	
	"enable_reservation_privacy":
	Boolean,
	      "external_id": "String",
	      "flexible_services":
	[Array],
	      "floor": {Object},
	      "image": {Object},
	      "is_reservable": Boolean,
	      "layouts": [Array],
	      "location_type": {Object},
	      "meetingProviders": [Array],
	      "moduleType": "String",
	      "name": "String",
	      "number": "String",
	      "order": Number,
	      "require_approval": Boolean,
	      "requires_check_in":
	Boolean,
	      "require_subject": Boolean,
	      "reservable_quantity":
	Number,
	      "site": {Object},
	      "standard_services":
	[Array],
	      "sys_id": "String",
	      "title": "String",
	      "type": "String",
	      "tableName": "String"
	    }
	  ]
	}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。 データタイプ：ブーリアン

result.area	可能な予約があるエリア。
	
	この情報はエリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。
	
	`"area": {`
	`"display_value": "String",`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

result.area.display_value	エリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.area.sys_id	関連するエリアレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.building	予約可能項目がある建物。
	
	この情報は建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
	
	`"building": {`
	`"display_value": "String",`
	`"sys_id": "String",`
	`"timezone": {Object}`
	`}`

result.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.building.timezone	建物のタイムゾーンの詳細。
	
	`"timezone": {`
	`"displayValue": "String",`
	`"value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.building.timezone.display_value	関連する建物が存在するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.building.timezone.value	関連する建物が存在するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列

result.campus	可能な予約がある敷地。
	
	この情報は敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。
	
	`"campus": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.campus.display_value	敷地の表示値。 データタイプ：文字列
result.campus.sys_id	関連する敷地レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.capacity	可能な予約に含めることができる人数。 データタイプ：数値
result.description	可能な予約の説明。 データタイプ：文字列
result.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
result.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.email	可能な予約に関連付けられたメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.employee_override_privacy	関連付けられた予約可能なプライバシー設定をユーザーが上書きできるかどうかを示すフラグ。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:ユーザーは、関連付けられた予約可能なプライバシー設定を上書きできます。 • false:ユーザーは、関連付けられた予約可能なプライバシー設定を上書きできません。
result.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.enable_reservation_privacy	予約プライバシーのデフォルト設定を示すフラグ。 これらのプライバシー設定の詳細については、「 場所のプライバシー設定と影響 」を参照してください。 可能な値： • true:予約はデフォルトでプライベートです。 • false:予約はデフォルトではプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.external_id	可能な予約の外部 ID。 データタイプ：文字列
result.flexible_services	*include_flexible_services* パラメーターが true に設定され、Workplace Case Management プラグインがインストールされている場合にのみ設定されます。可能な予約に関連付けられた柔軟なサービスの説明。柔軟な親サービスと複数の柔軟な子サービスが存在する可能性があります。 この情報は [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 `flexible_services": [ { "additional_text": "String", "allow_only_single_service_item_selection": Boolean, "category": "String", "currency_code": "String", "flexible_service": [Array], "label": "String", "sub_category": "String", "sub_title": "String", "text": "String", "title": {Object} } ]`
result.flexible_services.additional_text	追加の柔軟なサービスの選択をユーザーに促すテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.allow_only_single_service_item_selection	予約内の柔軟なサービスグループのうち、ユーザーが選択できるサービスアイテムを 1 つのみとするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：1 つのみ選択できます。 • false：複数選択できます。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.category	柔軟なサービスのカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.currency_code	柔軟なサービスを注文するときに通貨金額の計算に使用される通貨コード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service	柔軟な親サービスに対応する柔軟なサービス。この情報は [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexible_service": [ { "flexible_service": [Array], "label": "String", "sub_category": "String" } ]`
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service	柔軟な親サービスに対応するそれぞれの柔軟なサービスの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexible_service": [{ "additional_text": "String", "capacity_enabled": Boolean, "category": "String", "category_label": "String", "cleanup_duration": "String", "image": "String", "max_capacity": Number, "name": "String", "preparation_duration": "String", "price_per_unit": {Object}, "quantity_enabled": Boolean, "quantity_required": Boolean, "short_description": "String", "sub_category": "String", "sub_category_label": "String", "sub_title": "String", "sys_id": "String", "text": "String", "title": {Object} }]`
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.additional_text	追加の柔軟なサービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.capacity_enabled	予約に部屋のキャパシティを表示するかどうかを示すフラグ。これが true に設定されている場

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	合、*quantity_enabled*は常に false になります。 有効な値： • true：キャパシティが表示されます。 • false：キャパシティは表示されません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.category	柔軟なサービスのカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.category_label	柔軟なサービスのカテゴリレベル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.cleanup_duration	可能な予約に追加されたサービスのクリーンアップまたは削除にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.image	柔軟なサービスの画像へのリンク。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.max_capacity	可能な予約に含めることができる参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.name	柔軟なサービスの名前。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.preparation_duration	可能な予約へのサービスの追加にかかる時間。 データタイプ：文字列 単位：ミリ秒

result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.price_per_unit	柔軟なサービスを可能な予約に追加するコストの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"price_per_unit": {`
	`  "code": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.price_per_unit.code	コストを計算するときに使用する通貨コード (GBP や USD など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.price_per_unit.value	コードパラメーターで定義された通貨による柔軟なサービスの各単位のコスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.quantity_enabled	予約に数量フィールドを表示するかどうかを示すフラグ。これが true に設定されている場合、*capacity_enabled* は常に false になります。 有効な値： • true：数量が表示されます。 • false：数量は表示されません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.quantity_required	数量が必須かどうかを示すフラグ 。 有効な値： • true：数量は必須です。 • false：数量は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.short_description	柔軟なサービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.sub_category	柔軟なサービスのサブカテゴリ名 (chair_layout など)。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.sub_category_label	柔軟なサービスのサブカテゴリラベル (椅子のレイアウトなど)。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.sub_title	柔軟な子サービスのサブタイトル名。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.sys_id	柔軟なサービスの sys_id。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.text	柔軟なサービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title	UI で柔軟な子サービスを追加および編集するときに使用するタイトルの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"title": { "add": "String", "edit": "String" }`
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title.add	UI で柔軟な子サービスを追加するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title.edit	UI で柔軟な子サービスを編集するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.label	柔軟なサービスラベル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.sub_category	追加の椅子など、柔軟な親サービスのサブカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.sub_title	柔軟な親サービスのサブタイトル名。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.text	柔軟な親サービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.title	UI で柔軟な親サービスを追加および編集するときに使用するタイトルの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"title": { "add": "String", "edit": "String" }`
result.flexible_services.flexible_service.title.add	UI で柔軟な親サービスを追加するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.title.edit	UI で柔軟な親サービスを編集するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.floor	可能な予約があるフロアの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。 `"floor": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
result.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.floor.sys_id	フロアテーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.image	関連する可能な予約を表す画像の詳細。 画像 [db_image] テーブルにあります。 `"image": { "link": "String", "sys_id": "String" }`
result.image.link	可能な予約を表す画像へのリンク。 データタイプ：文字列
result.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.is_reservable	柔軟なサービスを予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：柔軟なサービスを予約できます。 • false：柔軟なサービスを予約できません。 データタイプ：ブーリアン
results.layouts	*include_layouts* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。 予約可能項目に関連付けられているレイアウトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"layouts": [ { "capacity": Number, "cleanup_duration": "String", "image": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"is_default": Boolean,
	"max_capacity": Number,
	"name": "String",
	"preparation_duration":
	"String",
	"short_description": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

result.layouts.capacity	会議に出席する人数。 データタイプ：数値
result.layouts.cleanup_duration	このレイアウトの予約可能項目の除去にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒

result.layouts.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。
	
	画像 [db_image] テーブルにあります。
	<pre>"image": {
	"link": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.layouts.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.layouts.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.layouts.is_default	関連付けられたレイアウトが予約可能項目のデフォルトかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルト。 • false：デフォルトではない。 データタイプ：ブール
result.layouts.max_capacity	予約可能項目に関連付けられたレイアウトで収容できる最大人数。 データタイプ：数値
result.layouts.name	場所のレイアウトの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.layouts.preparation_duration	関連付けられた場所のレイアウトの準備にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.layouts.short_description	場所のレイアウトの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.layouts.sys_id	場所のレイアウトの sys_id。 レイアウト [sn_wsd_rsv_layout] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.location_type	予約可能項目の場所のタイプに関する詳細 (workplace/desk、cafe、gym など)。 スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルにあります。 `"location_type": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
result.location_type.display_value	場所タイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.location_type.sys_id	スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルの関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.meetingProviders	可能な予約に関連付けられているバーチャル会議プロバイダーの詳細。 この情報はバーチャル会議プロバイダー [sn_wsd_rsv_virtual_meeting_provider] テーブルにあります。 `"meetingProviders": [ { "display_value": "String", "value": "String" } ]`
result.meetingProviders.display_value	バーチャルプロバイダー名の表示値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.meetingProviders.value	レコード内のバーチャルプロバイダー名の実際の値。 データタイプ：文字列
result.moduleType	デスクや会議室など、可能な予約に関連付けられた予約可能なモジュール。 データタイプ：文字列
result.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列
result.order	予約可能項目の注文番号。 データタイプ：数値
result.require_approval	予約可能項目の予約に承認が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：承認が必要です。 • false:承認は不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.requires_check_in	予約可能でユーザーにチェックインを要求するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:チェックインが必要です。 • false:チェックインは不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservable_quantity	関連する予約可能項目を同じ時間に予約できる最大回数。この値は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。 データタイプ：整数

result.site	予約可能項目が存在するサイトの詳細。
	
	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。
	
	`"site": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.site.display_value	サイトの表示値。 データタイプ：文字列

result.standard_services	*include_standard_services* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。
	フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"standard_services": [`
	`  {`
	`  "font_awesome_icon": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "short_description": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`  }`
	`]`

result.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.site.sys_id	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルの関連サイトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.tableName	予約可能項目レコードが存在するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.title	予約可能項目のタイトル。 データタイプ：文字列
result.type	予約可能項目のタイプ (場所など)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservable/list_reservables/dad3df5977220110b3d7be377b5a99ce,3ed3139977220110b3d7be377b5a99d1?include_flexible_services=true&include_layouts=false&include_reservable_purposes=true&include_standard_services=true&reservable_module_sys_id=c31241cedb7650106c731dcd13961917" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "3e41e94adb7210106c731dcd1396198c",
      "external_id": null,
      "wsd_email": null,
      "name": "A1-02-04",
      "title": "A1-02-04",
      "description": "General desk available for reservation.",
      "image": null,
      "number": "SPCE0009004",
      "site": {
        "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
        "display_value": "North America"
      },
      "campus": {
        "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
        "display_value": "California Campus"
      },
      "building": {
        "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "display_value": "CAL-B1",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "timezone": {
          "value": "US/Pacific",
          "displayValue": "US/Pacific"
        }
      },
      "floor": {
        "sys_id": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902",
        "display_value": "Floor 1"
      },
      "area": null,
      "capacity": "1",
      "reservable_quantity": null,
      "location_type": {
        "sys_id": "5f017383eb512010b89bfdfc9c5228c8",
        "display_value": "Workspace/Desk"
      },
      "order": null,
      "requires_check_in": null,
      "is_reservable": "1",
      "type": "location",
      "moduleType": "Desks",
      "meetingProviders": [],
      "require_subject": false,
      "allow_invitees": true,
      "display_number_of_attendees": false,
      "display_on_behalf_of": true,
      "display_sensitivity": false,
      "enable_group_reservations": false,
      "enable_reservation_privacy": true,
      "employee_override_privacy": true,
      "tableName": "sn_wsd_core_space",
      "require_approval": false
    },
    {
      "sys_id": "fd41a94adb7210106c731dcd1396195a",
      "external_id": null,
      "wsd_email": null,
      "name": "A1-02-03",
      "title": "A1-02-03",
      "description": "General desk available for reservation.",
      "image": null,
      "number": "SPCE0009003",
      "site": {
        "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
        "display_value": "North America"
      },
      "campus": {
        "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
        "display_value": "California Campus"
      },
      "building": {
        "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "display_value": "CAL-B1",
        "timezone": {
          "value": "US/Pacific",
          "displayValue": "US/Pacific"
        }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "floor": {
        "sys_id": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902",
        "display_value": "Floor 1"
      },
      "area": null,
      "capacity": "1",
      "reservable_quantity": null,
      "location_type": {
        "sys_id": "5f017383eb512010b89bfdfc9c5228c8",
        "display_value": "Workspace/Desk"
      },
      "order": null,
      "requires_check_in": null,
      "is_reservable": "1",
      "type": "location",
      "moduleType": "Desks",
      "meetingProviders": [],
      "require_subject": false,
      "allow_invitees": true,
      "display_number_of_attendees": false,
      "display_on_behalf_of": true,
      "display_sensitivity": false,
      "enable_group_reservations": false,
      "enable_reservation_privacy": true,
      "employee_override_privacy": true,
      "tableName": "sn_wsd_core_space",
      "require_approval": false
    }
  ]
}
```


自動翻訳

WSD 予約可能 V2 API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Reservable V2* API は、予約可能 (職場の場所など、予約可能なエンティティ) の詳細をServiceNowインスタンスから取得するためのエンドポイントを提供します。

WSD 予約可能 *V2* API は、WSD Reservable API の新しいバージョンです。*WSD* 予約可能 *V2* API は、予約時に選択した WSD ポータル上のすべての予約可能スペースの詳細をフェッチします。元の WSD 予約可能 API バージョンでは GET 呼び出しが使用されていましたが、sys_IDパスパラメーターは 35 文字に制限されていました。新しい WSD 予約可能 V2 API バージョンは POST 呼び出しであり、文字制限を回避するために要求本文のすべてのsys_idsを取得します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要です。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。この API にアクセスするには、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD 予約可能 V2 API:POST /sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables

指定された 1 つ以上の可能な予約の詳細を返します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

デフォルト URL: `POST api/sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	必須。アクセスするエンドポイントのバージョン。この API を使用する場合は `v2` を指定します。それ以外の場合は、 `v1` を使用すると WSD 予約可能 API のデフォルトバージョンが使用されます。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
include_flexible_services	可能な予約に関連付けられた柔軟なサービスを応答に返すかどうかを示すフラグ。 柔軟なサービスは、予約時に予約可能な職場アイテムとともに利用可能な追加のプロビジョンです。たとえば、すべての参加者が部屋の前を向くようにテーブルの列が配置された教室のスタイルなどです。柔軟なサービスの詳細については、「柔軟なサービスの作成」を参照してください。 有効な値： • true：柔軟なサービス情報を返します。 • false：柔軟なサービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_standard_services	応答で標準サービス情報を返すかどうかを示すフラグ。 標準サービスでは、ホワイトボード、追加のモニター、および類似サービスなど、予約時に予約可能な職場アイテムで利用可能な基本的なプロビジョニングについて説明します。標準サービスの詳細については、「標準サービス」を参照してください。この情報は、標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 有効な値： • true：標準サービス情報を返します。 • false:標準サービス情報を返しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_reservable_purposes	オプション。予約可能に関連付けられた目的を返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:予約可能な目的を返します。 • false:予約の目的を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_layouts	応答で場所のレイアウト情報を返すかどうかを示すフラグ。 場所のレイアウト情報には、キャパシティ、最大キャパシティ、準備、クリーンアップ期間などが含まれます。この情報は、場所のレイアウト [sn_wsd_rsv_m2m_location_layout] テーブルにあります。 有効な値： • true：場所のレイアウト情報を返します。 • false：場所のレイアウト情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
reservable_module_sys_id	必須。予約可能なモジュールのSys_id (デスク、会議室など)。 予約可能モジュールは、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。この sys_id は予約可能モジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 予約可能なモジュールの詳細については、「予約可能なモジュールの構成」を参照してください。 データタイプ：文字列 デフォルト:空の値
reservation_start_time	追加サービスのリードタイムを検証する予約開始時間。 形式：UTC 形式、yyyy-MM-dd HH:mm:ss データタイプ：文字列
space_sys_ids	必須。選択したスペースのカンマ区切りsys_ids。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	デフォルト:空の値

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	応答本文のデータフォーマット。application/json のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
404	予約可能項目が見つかりませんでした。 WSD Core Spaces [sn_wsd_core_spaces] テーブルを探し、スペースレコードが存在することを確認します。
500	エラーが発生しました! 予約可能項目を取得できません。 これはサーバーエラーです。システム管理者にお問い合わせください。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	一致する可能な予約の詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	{
	"result": [
	{
	"allow_invitees": Boolean,
	"area": {Object},
	"building": {Object},
	"campus": {Object},
	"capacity": Number,
	"description": "String",
	
	"display_number_of_attendees": Boolean,
	"display_on_behalf_of": Boolean,
	"display_sensitivity": Boolean,
	"email": "String",
	"employee_override_privacy": Boolean
	"enable_group_reservations": Boolean,
	
	"enable_reservation_privacy": Boolean,
	"external_id": "String",
	"flexible_services": [Array],
	"floor": {Object},
	"image": {Object},
	"is_reservable": Boolean,
	"layouts": [Array],
	"location_type": {Object},
	"meetingProviders": [Array],
	"moduleType": "String",
	"name": "String",
	"number": "String",
	"order": Number,
	"require_approval": Boolean,
	"requires_check_in": Boolean,
	"require_subject": Boolean,
	"reservable_quantity": Number,
	"site": {Object},
	"standard_services": [Array],
	"sys_id": "String",
	"title": "String",
	"type": "String",
	"tableName": "String"
	}

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre>] }</pre>
result.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。 データタイプ：ブーリアン

result.area	可能な予約があるエリア。
	
	この情報はエリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。
	<pre>"area": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.area.display_value	エリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.area.sys_id	関連するエリアレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.building	予約可能項目がある建物。
	
	この情報は建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
	<pre>"building": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "timezone": {Object}
	}</pre>

result.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.building.timezone	建物のタイムゾーンの詳細。
	<pre>"timezone": {
	  "displayValue": "String",</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

result.building.timezone.display_value	関連する建物が存在するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.building.timezone.value	関連する建物が存在するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列

result.campus	可能な予約がある敷地。
	
	この情報は敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。
	
	<pre>"campus": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.campus.display_value	敷地の表示値。 データタイプ：文字列
result.campus.sys_id	関連する敷地レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.capacity	可能な予約に含めることができる人数。 データタイプ：数値
result.description	可能な予約の説明。 データタイプ：文字列
result.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。 データタイプ：ブール
result.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.email	可能な予約に関連付けられたメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.employee_override_privacy	関連付けられた予約可能なプライバシー設定をユーザーが上書きできるかどうかを示すフラグ。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:ユーザーは、関連付けられた予約可能なプライバシー設定を上書きできます。 • false:ユーザーは、関連付けられた予約可能なプライバシー設定を上書きできません。
result.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.enable_reservation_privacy	予約プライバシーのデフォルト設定を示すフラグ。 これらのプライバシー設定の詳細については、「 場所のプライバシー設定と影響 」を参照してください。 可能な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true:予約はデフォルトでプライベートです。 • false:予約はデフォルトではプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.external_id	可能な予約の外部 ID。 データタイプ：文字列
result.flexible_services	*include_flexible_services* パラメーターが true に設定され、Workplace Case Management プラグインがインストールされている場合にのみ設定されます。可能な予約に関連付けられた柔軟なサービスの説明。柔軟な親サービスと複数の柔軟な子サービスが存在する可能性があります。 この情報は [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 `flexible_services": [ { "additional_text": "String", "allow_only_single_service_item_selection": Boolean, "category": "String", "currency_code": "String", "flexible_service": [Array], "label": "String", "sub_category": "String", "sub_title": "String", "text": "String", "title": {Object} } ]`
result.flexible_services.additional_text	追加の柔軟なサービスの選択をユーザーに促すテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.allow_only_single_service_item_selection	予約内の柔軟なサービスグループのうち、ユーザーが選択できるサービスアイテムを 1 つのみとするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：1 つのみ選択できます。 • false：複数選択できます。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.flexible_services.category	柔軟なサービスのカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.currency_code	柔軟なサービスを注文するときに通貨金額の計算に使用される通貨コード。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service	柔軟な親サービスに対応する柔軟なサービス。この情報は [sn_wsd_case_workplace_service_item] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexible_service": [ { "flexible_service": [Array], "label": "String", "sub_category": "String" } ]`
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service	柔軟な親サービスに対応するそれぞれの柔軟なサービスの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"flexible_service": [{ "additional_text": "String", "capacity_enabled": Boolean, "category": "String", "category_label": "String", "cleanup_duration": "String", "image": "String", "max_capacity": Number, "name": "String", "preparation_duration": "String", "price_per_unit": {Object}, "quantity_enabled": Boolean, "quantity_required": Boolean, "short_description": "String", "sub_category": "String", "sub_category_label": "String", "sub_title": "String", "sys_id": "String", "text": "String", "title": {Object} }]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.additional_text	追加の柔軟なサービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.capacity_enabled	予約に部屋のキャパシティを表示するかどうかを示すフラグ。これが true に設定されている場合、*quantity_enabled* は常に false になります。 有効な値： • true：キャパシティが表示されます。 • false：キャパシティは表示されません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.category	柔軟なサービスのカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.category_label	柔軟なサービスのカテゴリレベル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.cleanup_duration	可能な予約に追加されたサービスのクリーンアップまたは削除にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.image	柔軟なサービスの画像へのリンク。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.max_capacity	可能な予約に含めることができる参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.name	柔軟なサービスの名前。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.preparation_duration	可能な予約へのサービスの追加にかかる時間。 データタイプ：文字列 単位：ミリ秒

result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.price_per_unit	柔軟なサービスを可能な予約に追加するコストの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"price_per_unit": {`
	`  "code": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"value": "String" }
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.price_per_unit.code	コストを計算するときに使用する通貨コード (GBP や USD など)。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.price_per_unit.value	コードパラメーターで定義された通貨による柔軟なサービスの各単位のコスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.quantity_enabled	予約に数量フィールドを表示するかどうかを示すフラグ。これが true に設定されている場合、*capacity_enabled* は常に false になります。 有効な値： • true：数量が表示されます。 • false：数量は表示されません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.quantity_required	数量が必須かどうかを示すフラグ 。 有効な値： • true：数量は必須です。 • false：数量は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.short_description	柔軟なサービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.sub_category	柔軟なサービスのサブカテゴリ名 (chair_layout など)。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.sub_category_label	柔軟なサービスのサブカテゴリラベル (椅子のレイアウトなど)。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.sub_title	柔軟な子サービスのサブタイトル名。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service. flexible_service.sys_id	柔軟なサービスの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.text	柔軟なサービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title	UI で柔軟な子サービスを追加および編集するときに使用するタイトルの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"title": { "add": "String", "edit": "String" }`
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title.add	UI で柔軟な子サービスを追加するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.flexible_service.title.edit	UI で柔軟な子サービスを編集するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.label	柔軟なサービスラベル。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.sub_category	追加の椅子など、柔軟な親サービスのサブカテゴリ。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.sub_title	柔軟な親サービスのサブタイトル名。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.text	柔軟な親サービスの選択をユーザーに促すために使用されるテキスト。 データタイプ：文字列
result.flexible_services.flexible_service.title	UI で柔軟な親サービスを追加および編集するときに使用するタイトルの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"title": { "add": "String", "edit": "String" }`
result.flexible_services.flexible_service.title.add	UI で柔軟な親サービスを追加するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.flexible_services.flexible_service.title.edit	UI で柔軟な親サービスを編集するときに使用されるタイトル。 データタイプ：文字列

result.floor	可能な予約があるフロアの詳細。
	
	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。
	
	`"floor": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.floor.sys_id	フロアテーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.image	関連する可能な予約を表す画像の詳細。
	
	画像 [db_image] テーブルにあります。
	
	`"image": {`
	`  "link": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.image.link	可能な予約を表す画像へのリンク。 データタイプ：文字列
result.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.is_reservable	柔軟なサービスを予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：柔軟なサービスを予約できます。 • false：柔軟なサービスを予約できません。 データタイプ：ブーリアン
results.layouts	*include_layouts* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。 予約可能項目に関連付けられているレイアウトのリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	"layouts": [
	{
	"capacity": Number,
	"cleanup_duration": "String",
	"image": {Object},
	"is_default": Boolean,
	"max_capacity": Number,
	"name": "String",
	"preparation_duration":
	"String",
	"short_description": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	]

result.layouts.capacity	会議に出席する人数。 データタイプ：数値
result.layouts.cleanup_duration	このレイアウトの予約可能項目の除去にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒

result.layouts.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。
	
	画像 [db_image] テーブルにあります。
	"image": {
	"link": "String",
	"sys_id": "String"
	}

result.layouts.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.layouts.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.layouts.is_default	関連付けられたレイアウトが予約可能項目のデフォルトかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルト。 • false：デフォルトではない。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.layouts.max_capacity	予約可能項目に関連付けられたレイアウトで収容できる最大人数。 データタイプ：数値
result.layouts.name	場所のレイアウトの名前。 データタイプ：文字列
result.layouts.preparation_duration	関連付けられた場所のレイアウトの準備にかかる時間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
result.layouts.short_description	場所のレイアウトの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.layouts.sys_id	場所のレイアウトの sys_id。 レイアウト [sn_wsd_rsv_layout] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.location_type	予約可能項目の場所のタイプに関する詳細 (workplace/desk、cafe、gym など)。 スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルにあります。 `"location_type": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
result.location_type.display_value	場所タイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.location_type.sys_id	スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルの関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.meetingProviders	可能な予約に関連付けられているバーチャル会議プロバイダーの詳細。 この情報はバーチャル会議プロバイダー [sn_wsd_rsv_virtual_meeting_provider] テーブルにあります。 `"meetingProviders": [ { "display_value": "String", "value": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.meetingProviders.display_value	バーチャルプロバイダー名の表示値。 データタイプ：文字列
result.meetingProviders.value	レコード内のバーチャルプロバイダー名の実際の値。 データタイプ：文字列
result.moduleType	デスクや会議室など、可能な予約に関連付けられた予約可能なモジュール。 データタイプ：文字列
result.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列
result.order	予約可能項目の注文番号。 データタイプ：数値
result.require_approval	予約可能項目の予約に承認が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：承認が必要です。 • false:承認は不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.requires_check_in	予約可能でユーザーにチェックインを要求するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:チェックインが必要です。 • false:チェックインは不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservable_quantity	関連する予約可能項目を同じ時間に予約できる最大回数。この値は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。 データタイプ：整数

result.site	予約可能項目が存在するサイトの詳細。
	
	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。
	
	`"site": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.site.display_value	サイトの表示値。 データタイプ：文字列

result.standard_services	*include_standard_services* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。
	フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"standard_services": [`
	`  {`
	`  "font_awesome_icon": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "short_description": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`  }`
	`]`

result.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.site.sys_id	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルの関連サイトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.tableName	予約可能項目レコードが存在するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.title	予約可能項目のタイトル。 データタイプ：文字列
result.type	予約可能項目のタイプ (場所など)。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して、指定された予約可能に関する詳細を返す方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/v2/reservable/list_reservables" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data
 "{\"space_sys_ids\":
\"3ed3139977220110b3d7be377b5a99d1\",\"reservable_module_sys_id\":
\"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",\"include_flexible_services\":true,\
"include_standard_services\":true,\"include_reservable_purposes\":true,\"
include_layouts\":false}" \
--user 'username:'password'
```

応答本文。この例では、要求本文にリストされているすべての予約可能に関する詳細を返します。

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "3ed3139977220110b3d7be377b5a99d1",
      "external_id": "447b9dfb475a011064062782846d4382",
      "wsd_email": null,
      "name": "A263",
      "title": "A263",
      "description": null,
      "image": null,
      "number": "ROOM0000181",
      "site": {
        "sys_id": "b35f47ffdba05010f342a0da4b961998",
        "display_value": "Italy"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "campus": {
        "sys_id": "87831b1977220110b3d7be377b5a9946",
        "display_value": ""
      },
      "building": {
        "sys_id": "dea39b1977220110b3d7be377b5a9955",
        "display_value": "",
        "timezone": {
          "value": "",
          "displayValue": ""
        }
      },
      "floor": {
        "sys_id": "68d31f5977220110b3d7be377b5a991b",
        "display_value": ""
      },
      "area": null,
      "capacity": "17",
      "reservable_quantity": "1",
      "location_type": {
        "sys_id": "20713b83eb512010b89bfdfc9c522899",
        "display_value": "Room"
      },
      "order": null,
      "requires_check_in": null,
      "is_reservable": "1",
      "type": "location",
      "moduleType": "Meeting rooms",
      "meetingProviders": [],
      "require_subject": true,
      "allow_invitees": false,
      "display_number_of_attendees": false,
      "display_on_behalf_of": true,
      "display_sensitivity": true,
      "enable_group_reservations": false,
      "allow_reservation_message": false,
      "warn_employee_for_duplicate_reservation": false,
      "enable_reservation_privacy": false,
      "employee_override_privacy": false,
      "tableName": "sn_wsd_core_room",
      "require_approval": false,
      "flexible_services": [
        {
          "allow_only_single_service_item_selection": true,
          "category": "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4",
          "label": "Space arrangement",
          "description": "This is a service to request a different space
configuration as part of a reservation.",
          "sub_category": "chair_layout",
          "title": {
            "edit": "Update Space arrangement for A263",
            "add": "Add Space arrangement for A263"
          },
          "sub_title": "Add a space arrangement item to get started",
          "text": "Select space arrangement item",
          "additional_text": "Select another space arrangement item",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "currency_code": "GBP",
          "flexible_service": [
            {
              "sub_category": "chair_layout",
              "label": "Chair layout",
              "flexible_service": [
                {
                  "sys_id": "e2ecf7b307500110c9b36b6e0ad30033",
                  "name": "Classroom Style",
                  "short_description": "Rows of tables arranged with all
participants facing towards the front of the room",
                  "category": "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4",
                  "category_label": "Space arrangement",
                  "sub_category": "chair_layout",
                  "sub_category_label": "Chair layout",
                  "image": "08d6ff68d5122110fa9b1500c1d696c5.iix",
                  "quantity_enabled": false,
                  "quantity_required": false,
                  "capacity_enabled": true,
                  "max_capacity": "",
                  "preparation_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "cleanup_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "price_per_unit": {
                    "value": 0,
                    "code": "GBP"
                  },
                  "title": {
                    "edit": "Update Space arrangement for A263",
                    "add": "Add Space arrangement for A263"
                  },
                  "sub_title": "Add a space arrangement item to get
started",
                  "text": "Select space arrangement item",
                  "additional_text": "Select another space arrangement
item"
                },
                {
                  "sys_id": "1cf33fff07100110c9b36b6e0ad30077",
                  "name": "Banquet Rounds",
                  "short_description": "Round tables arranged throughout
the room. Participants are seated around the entire perimeter of each
table",
                  "category": "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4",
                  "category_label": "Space arrangement",
                  "sub_category": "chair_layout",
                  "sub_category_label": "Chair layout",
                  "image": "cdc67720d5522110fa9b1500c1d69636.iix",
                  "quantity_enabled": false,
                  "quantity_required": false,
                  "capacity_enabled": true,
                  "max_capacity": "",
                  "preparation_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "cleanup_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "price_per_unit": {
                    "value": 0,
                    "code": "GBP"
                  },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                  "title": {
                    "edit": "Update Space arrangement for A263",
                    "add": "Add Space arrangement for A263"
                  },
                  "sub_title": "Add a space arrangement item to get
started",
                  "text": "Select space arrangement item",
                  "additional_text": "Select another space arrangement
item"
                },
                {
                  "sys_id": "21e2c08407600110c9b36b6e0ad3007c",
                  "name": "Theater Style",
                  "short_description": "Rows of chairs (no tables)
arranged with all participants facing towards the front of the room",
                  "category": "50723fbf07100110c9b36b6e0ad300b4",
                  "category_label": "Space arrangement",
                  "sub_category": "chair_layout",
                  "sub_category_label": "Chair layout",
                  "image": "f3d67fa4d5122110fa9b1500c1d6968b.iix",
                  "quantity_enabled": false,
                  "quantity_required": false,
                  "capacity_enabled": true,
                  "max_capacity": "",
                  "preparation_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "cleanup_duration": "1970-01-01 00:15:00",
                  "price_per_unit": {
                    "value": 0,
                    "code": "GBP"
                  },
                  "title": {
                    "edit": "Update Space arrangement for A263",
                    "add": "Add Space arrangement for A263"
                  },
                  "sub_title": "Add a space arrangement item to get
started",
                  "text": "Select space arrangement item",
                  "additional_text": "Select another space arrangement
item"
                }
              ]
            }
          ]
        },
        {
          "allow_only_single_service_item_selection": false,
          "category": "c9ab1c89c3500110547e3810a840dd41",
          "label": "Catering",
          "description": "This is a service to request catering as part
of a reservation.",
          "sub_category": "drinks",
          "title": {
            "edit": "Update Catering for A263",
            "add": "Add Catering for A263"
          },
          "sub_title": "Add a catering item to get started",
          "text": "Select catering item",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "additional_text": "Select another catering item",
          "currency_code": "GBP",
          "flexible_service": [
            {
              "sub_category": "drinks",
              "label": "Drinks",
              "flexible_service": [
                {
                  "sys_id": "48d72985c3900110547e3810a840dd7d",
                  "name": "Champagne",
                  "short_description": "",
                  "category": "c9ab1c89c3500110547e3810a840dd41",
                  "category_label": "Catering",
                  "sub_category": "drinks",
                  "sub_category_label": "Drinks",
                  "image": "",
                  "quantity_enabled": true,
                  "quantity_required": false,
                  "capacity_enabled": false,
                  "max_capacity": "",
                  "preparation_duration": 0,
                  "cleanup_duration": 0,
                  "price_per_unit": {
                    "value": 0,
                    "code": "GBP"
                  },
                  "title": {
                    "edit": "Update Catering for A263",
                    "add": "Add Catering for A263"
                  },
                  "sub_title": "Add a catering item to get started",
                  "text": "Select catering item",
                  "additional_text": "Select another catering item"
                }
              ]
            }
          ]
        }
      ],
      "standard_services": [],
      "reservable_purposes": []
    }
  ]
}
```


WSD 予約可能モジュール API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 予約可能モジュール API は、ServiceNowインスタンスから予約可能モジュールの詳細を取得するためのエンドポイントを提供します。

予約可能モジュールは、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。従業員は、これらの類似アイテムを 1 つのカテゴリで表示できます。たとえば、部屋は予約可能モジュールであり、会議室、会議室、その他の部屋などの類似の職場アイテムが含まれています。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD 予約可能モジュール:GET /sn_wsd_rsv/reservable_module/{sys_id}

指定された予約可能モジュールの詳細を返します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservable_module/{sys_id}`

デフォルト URL: `/api/sn_wsd_rsv/reservable_module/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	取得する取り消し可能なモジュールレコードのSys_id。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
is_buildings_tree_data_required	予約可能モデルに関連付けられた建物データを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:建物データを返します。 • false:建物データを返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
近隣	スペース管理 (sn_wsd_spc_mgmt_neighborhood) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。 エンコードクエリで使用する近隣レコードのSys_id。近隣 [sn_wsd_spcmgmt_neighborhood] テーブルにあります。 近隣スペースの予約の詳細については、「近隣予約の作成」を参照してください。 エンドポイントは、近隣が有効かどうかをチェックし、近隣で参照パスに必要なデータを取得します。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター **(JSON** または **XML)**

名前	説明
results	要求された予約可能モジュールの詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	{
	"result": {
	"allow_invitees": Boolean,
	"allow_whole_day": Boolean,
	"apply_to_shift": Boolean,
	"browse_by_area_enabled": Boolean,
	"browse_by_neighborhood_enabled": Boolean,
	"browse_near_a_person_enabled": Boolean,
	"buildingsTreeData": [Array],
	"buildingSysIds": [Array],
	"checkin_before_minutes": Number,
	"display_number_of_attendees": Boolean,
	"display_on_behalf_of": Boolean,
	"display_sensitivity": Boolean,
	"display_value": "String",
	"enable_browse_by_area": Boolean,
	"enable_browse_by_neighborhood": Boolean,
	"enable_browse_near_a_person": Boolean,
	"enable_facet_filter": Boolean,
	"enable_group_reservations": Boolean,
	"enable_ical_generation": Boolean,
	"font_awesome_icon": "String",
	"inline_title": "String",
	"layout_mapping": {JSON Object},
	"max_days_in_future": Number,
	"max_occurrences": Number,
	"name": "String",
	"nbhBuildingIds": [Array],
	"nbhBuildingsData": [Array];
	"nbhBuildingsTreeData": [Array],
	"override_approval_policy": "String",
	"require_cancel_notes": Boolean,
	"require_cc_dept_check": Boolean,
	"require_subject": Boolean,

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"reservable_columns": [Array], "reservable_container_field": "String", "reservable_filter": "String", "reservable_quantity_field": "String", "reservable_table": "String", "reservable_type": "String", "reservable_views": [Array], "reservation_paths": [Array], "search_limit": Number, "selection_type": "String", "short_description": "String", "show_map_view": Boolean, "sys_id": "String", "timeSlots": [Array], "title": "String", "virtual_meeting_provider": {Object} } }
result.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.allow_whole_day	ユーザーが予約可能項目を終日予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが終日予約できるようにします。 • false:ユーザーに終日の予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.apply_to_shift	予約可能モジュールに対してシフトベースの予約が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：シフトベースの予約を許可します。 • false:シフトベースの予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.browse_by_area_enabled	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.browse_by_neighborhood_enabled	「スペース管理 - sn_wsd_spc_mgmt」プラグインがインストールされている場合のみ使用できます。 ユーザーが予約可能モジュール内を近隣で検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ユーザーが近隣別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールを近隣別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.browse_near_a_person_enabled	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.buildingTreeData	*is_buildings_tree_data_required* クエリパラメーターが `true` に設定されている場合にのみ返されます。予約可能モジュールに関連付けられた建物の階層。 階層順序： • リージョン：リージョン [sn_wsd_core_region] テーブルにあります。 • サイト：サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• 敷地：敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 • 建物：建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 各 `children[ ]` ノードは、異なる建物レベル/階層を反映します。 • buildingsTreeData：リージョン • buildingsTreeData.children：サイト • buildingsTreeData.children.children：敷地 • buildingsTreeData.children.children：建物 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"buildingsTreeData": [ { "children": [Array], "data": {Object}, "isSelectable": Boolean, "isValid": Boolean, "label": "String", "uId": "String" } ]`
result.buildingsTreeData.children	予約可能モジュールに関連付けられているサイト、敷地、または建物の詳細。すべての `children[ ]` ノードの各パラメータは同じです。これらは異なる建築エンティティにのみ適用され、このセクションでは 1 回だけ説明します。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"children": [ { "children": [Array], "data": {Object}, "isSelectable": Boolean, "isValid": Boolean, "label": "String", "uId": "String" } ]`
result.buildingsTreeData.children.data	建物エンティティの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"data": { "sysId": "String", "table": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"timezone": {Object}
	}</pre>

result.buildingsTreeData.children.data.sys_id	関連付けられた建物エンティティの sys_id。 データタイプ：文字列
result.buildingsTreeData.children.data.table	sys_id で識別される建物エンティティレコードが配置されているテーブルの名前。 データタイプ：文字列

result.buildingsTreeData.children.data.timezone	建物エンティティのタイムゾーンに関する詳細。
	
	<pre>"timezone": {
	"displayValue": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

result.buildingsTreeData.children.data.timezone.displayValue	タイムゾーンのレコードの表示値。 データタイプ：文字列
result.buildingsTreeData.children.data.timezone.value	タイムゾーンのレコードの内部値。 データタイプ：文字列
result.buildingsTreeData.children.isSelectable	関連する建物エンティティが予約可能モデルで利用可能 (選択可能) かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能モジュールで建物エンティティが利用可能です。 • false:予約可能モジュールでエンティティの作成を使用できません。 データタイプ：ブーリアン
result.buildingsTreeData.children.isValid	関連する建物エンティティが予約可能モデルで有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能モジュールで建物エンティティが有効です。 • false:建物エンティティは予約可能モジュールに対して有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.buildingsTreeData.children.label	建物エンティティの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.buildingsTreeData.children.uId	関連付けられた建物エンティティレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.buildingSysIds	予約可能モジュールに関連付けられた建物の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.checkin_before_minutes	ユーザーが予約にチェックインできる予約開始前の時間。 単位：分 データタイプ：数値
result.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。 データタイプ：ブール
result.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.display_value	予約可能モジュールの表示値。 データタイプ：文字列
result.enable_browse_by_area	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。*browse_by_area_enabled* と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.enable_browse_by_neighborhood	ユーザーが予約可能なモジュールを近隣で検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:ユーザーが近隣別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールを近隣別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.enable_browse_near_a_person	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 *browse_near_a_person_enabled* と同じです。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.enable_facet_filter	職場アイテムのファセットフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。有効にすると、表示されるフィルターオプションは検索結果に基づきます。ユーザーは、生成された検索結果で使用可能なアイテムのみをフィルターで選択できます。 有効な値： • true：ファセットフィルターは有効です。 • false:ファセットフィルターは有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.enable_ical_generation	ユーザーが予約の iCalendar を生成できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：iCalendar の生成を許可します。 • false:iCalendar の生成は許可されません。 データタイプ：ブーリアン
result.font_awesome_icon	予約可能モジュールに添付されているフォントアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列

result.layout_mapping	場所のレイアウトマッピングの構造に関する詳細。このデータを使用して、UI に情報をレイアウトします。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"layout_mapping": {`
	`  "body": [Array],`
	`  "description": [Array],`
	`  "image": "String",`
	`  "subtitle": [Array],`
	`  "subtitle_asc": [Array],`
	`  "title": [Array]`
	`}`

result.layout_mapping.body	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"body": [`
	`  {`
	`  "field": "String",`
	`  "field_to_display": "String",`
	`  "icon": "String",`
	`  "label": "String"`
	`  }`
	`]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.layout_mapping.body.field	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.layout_mapping.body.field_to_display	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.layout_mapping.body.icon	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.layout_mapping.body.label	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.layout_mapping.description	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。レイアウトマッピングの説明。 データタイプ：アレイ
result.layout_mapping.image	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.layout_mapping.subtitle	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.layout_mapping.subtitle_asc	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.layout_mapping.title	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.max_days_in_future	ユーザーが予約可能モジュールを予約できる、今後の最大日数。 データタイプ：数値
result.max_occurrences	予約可能モジュールの繰り返し予約が利用可能な場合の繰り返し予約の最大発生回数。 データタイプ：数値
result.name	予約可能モジュールの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.nbhBuildingIds	スペース管理プラグインがインストールされていて、 *browse_by_neighborhood_enabled* パラメーターが `true` に設定されていて、 *neighborhood* パラメーターがクエリパラメーターで渡される場合にのみ返されます。 予約可能モジュールに関連付けられ、近隣用に構成されている建物のsys_idsのリスト。 データタイプ：文字列のアレイ

result.nbhBuildingsData	スペース管理プラグインがインストールされていて、 *browse_by_neighborhood_enabled* パラメーターが `true` に設定されていて、 *neighborhood* パラメーターがクエリパラメーターで渡される場合にのみ返されます。
	
	予約可能モジュールに関連付けられ、近隣用に構成されている建物のsys_idsのリスト。各建物要素には、建物で利用可能な対応するフロアのsys_idsのリストも含まれています。
	
	例：
	
	`"nbhBuildingsData": {`
	
	`"4703a4cedb3650106c731dcd13961945": [`
	
	`"0f9e304edb7650106c731dcd13961911"`
	`],`
	
	`"6c0364cedb3650106c731dcd13961927": [`
	
	`"b23328cedb3650106c731dcd139619f9"`
	`]`
	`}`
	
	建物sys_idsに関連付けられたレコードは、建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。フロアsys_idsに関連付けられたレコードは、フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ

result.nbhBuildingsTreeData	スペース管理プラグインがインストールされていて、 *browse_by_neighborhood_enabled* パラメーターが `true` に設定されていて、 *neighborhood* パラメーターがクエリパラメーターで渡される場合にのみ返されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	予約可能なモジュールと近隣に関連付けられた建物の階層。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"buildingsTreeData": [ { "children": [Array], "data": {Object}, "isSelectable": Boolean, "isValid": Boolean, "label": "String", "uId": "String" } ]` 階層順序： • リージョン：リージョン [sn_wsd_core_region] テーブルにあります。 • サイト：サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 • 敷地：敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 • 建物：建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
result.nbhBuildingsTreeData.children	建物に関連付けられた子の階層を示します。 各 `children[]` ノードは、異なる建物レベル/階層を反映しています。 • buildingsTreeData：リージョン • buildingsTreeData.children：サイト • buildingsTreeData.children.children：敷地 • buildingsTreeData.children.children：建物 データタイプ：アレイ `"children": [ { "children": [Array], "data": {Object}, "isSelectable": Boolean, "isValid": Boolean, "label": "String", "uId": "String" } ]` `children[]` 配列のパラメーターは、関連する場所タイプ (地域、サイト、敷地、または建物) に対してのみ、*`nbhBuildingsTreeData`* オブジェクトのパラメーターと同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

result.nbhBuildingsTreeData.data	関連付けられたエンティティに関する詳細。地域、サイト、敷地、または建物。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"data": {`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "table": "String",`
	`  "timezone": {Object}`
	`}`

result.nbhBuildingsTreeData.data.sysId	関連付けられたエンティティレコードの Sys_id。 データタイプ：文字列
result.nbhBuildingsTreeData.data.table	関連するレコードが配置されているテーブル。 データタイプ：文字列

result.nbhBuildingsTreeData.data.timezone	関連付けられたエンティティが存在するタイムゾーンに関する情報。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"timezone": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.nbhBuildingsTreeData.data.timezone.displayValue	ユーザーインターフェイスで使用するタイムゾーン値。 データタイプ：文字列
result.nbhBuildingsTreeData.data.timezone.value	内部タイムゾーン値。 データタイプ：文字列
result.nbhBuildingsTreeData.isSelectable	関連付けられたエンティティが予約可能モデルで利用可能 (選択可能) かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:エンティティは予約可能モジュールで使用できます。 • false:エンティティは予約可能モジュールで使用できません。 データタイプ：ブーリアン
result.nbhBuildingsTreeData.isValid	関連付けられたエンティティが予約可能モデルに対して有効かどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true:エンティティは予約可能モジュールに対して有効です。 • false:エンティティは予約可能モジュールに対して有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.nbhBuildingsTreeData.label	予約可能なビューの名前。 データタイプ：文字列
result.nbhBuildingsTreeData.uId	関連付けられたエンティティのSys_id。 データタイプ：文字列
result.override_approval_policy	承認ポリシーの実装方法を指定するオプション。選択肢は次のとおりです。 • 上書きなし：承認ポリシーは、職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に従って実装されます。 • 常に承認が必要：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが必要です。 • 承認の必要なし：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが削除されます。 データタイプ：文字列
result.require_cancel_notes	予約可能モジュールをキャンセルする前にユーザーがキャンセルメモを入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：キャンセルメモが必要です。 • false：キャンセルメモは必要ありません。 データタイプ：ブール
result.require_cc_dept_check	ワークスペースアイテムとログインユーザーの間にコストセンターまたは部門の不一致があるかどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不一致を確認します。 • false:不一致をチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservable_columns	予約可能項目の列のリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
result.reservable_container_field	特定のエリアのデスクのグループなどのコンテナーのレベル。 データタイプ：文字列
result.reservable_filter	関連付けられた予約可能テーブルの予約可能アイテムのフィルタリングに使用されるフィルター条件。予約可能テーブルは、予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブル内のフィールドです。これらのフィルター条件は、フィールドの予約可能テーブルに含まれるテーブルに適用されました。 データタイプ：文字列
result.reservable_quantity_field	すべてのスペースの予約可能な数量。数は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。詳細については、「エリアへの近隣スペースの割り当て」を参照してください。 データタイプ：文字列
result.reservable_table	予約可能な職場アイテムを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservable_type	予約可能アイテムのタイプ (場所など)。 データタイプ：文字列

result.reservable_views	カードビューやスケジュールビューなど、予約可能モジュールに関連付けられたさまざまなビューに関する詳細。
	
	予約可能なビュー [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservable_views": {`
	`  "iconClass": "String",`
	`  "isDefault": Boolean,`
	`  "label": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"order": Number,
	"type": "String"
	}</pre>

result.reservable_views.iconClass	予約可能なビューのアイコンクラス。 データタイプ：文字列
result.reservable_views.isDefault	この予約可能なビューを予約可能なモジュールのデフォルトにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトにします。 • false:デフォルトにしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservable_views.label	予約可能なビューの名前。 データタイプ：文字列
result.reservable_views.order	UI の予約可能モジュールのビューが表示される順序。UI では小さい順序番号が先に表示されます。同じ順序番号の場合は、ランダムな順序が割り当てられます。 データタイプ：数値
result.reservable_views.type	予約可能なビューのバックエンド名。内部処理に使用されます。 データタイプ：文字列

result.reservation_paths	[すべて参照]、 [人の近くで参照する] などの予約可能なモジュールに関連付けられた予約パス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"reservation_paths": [
	{
	"displayValue": "String",
	"value": "String"
	}</pre>

result.reservation_paths.displayValue	[人の近くで参照する] などの予約パスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation_paths.value	「browse_near_a_person」などの予約パスの内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.search_limit	ユーザーが職場の場所を検索するときに返される検索結果の最大数。 データタイプ：数値
result.selection_type	検索結果に表示する選択のタイプ。 次のいずれかのオプションを指定できます。 • [特定の単位]：検索結果には、すべての職場アイテムが表示されます。 • [コンテナー]：検索結果には、職場アイテムの親またはコンテナーが表示されます。 データタイプ：文字列
result.short_description	予約可能なモジュールの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.show_map_view	この予約可能なモジュールのマップビューを有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：マップビューを有効にします。 • false:マップビューを有効にしません。 データタイプ：ブーリアン
result.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.timeSlots	予約可能モジュールに関連付けられたタイムスロットの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `[ { "name": "String", "short_description": "String", "slot_end": "String", "slot_start": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.timeSlots.name	タイムスロットの名前 データタイプ：文字列
result.timeSlots.short_description	タイムスロットの簡単な説明。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.timeSlots.slot_end	タイムスロットの終了時間 データタイプ：文字列
result.timeSlots.slot_start	スロットの開始時間。 データタイプ：文字列
result.timeSlots.sys_id	タイムスロットレコードの sys_id。 タイムスロット [sn_wsd_rsv_time_slot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列
result.virtual_meeting_provider	予約可能モジュールに関連付けられている仮想プロバイダーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"virtual_meeting_provider": { "display_value": "String", "sys_id": "String" }`
result.virtual_meeting_provider.display_value	バーチャル会議プロバイダーの表示値。 データタイプ：文字列
result.virtual_meeting_provider.sys_id	バーチャル会議プロバイダーの sys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、建物のツリーデータを使用して予約可能なモジュールを要求する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservable_module/5db44502dbb650106c731dcd13961937&is_buildings_tree_data_required=true" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

応答本文：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937", "name": "Desks",
    "title": "Desks",
    "inline_title": "desk",
    "font_awesome_icon": "fa-desktop",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "reservable_table": "sn_wsd_core_space",
    "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^location_type=5f017383eb512010b89bfdfc9c
5228c8^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
    "short_description": "Reserve a single desks",
    "reservable_type": "location",
    "require_subject": null,
    "require_cancel_notes": false,
    "virtual_meeting_provider": {
      "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
      "display_value": "Template"
    },
    "allow_invitees": null,
    "display_number_of_attendees": null,
    "display_on_behalf_of": null,
    "display_sensitivity": null,
    "max_days_in_future": "90",
    "allow_whole_day": "1",
    "selection_type": "unit",
    "reservable_container_field": null,
    "reservable_quantity_field": null,
    "apply_to_shift": null,
    "max_occurrences": "90",
    "enable_facet_filter": false,
    "search_limit": 10000,
    "enable_ical_generation": null,
    "enable_group_reservations": null,
    "enable_browse_near_a_person": "1",
    "enable_browse_by_area": "1",
    "enable_browse_by_neighborhood": "1",
    "show_map_view": false,
    "require_cc_dept_check": false,
    "display_value": "Desks",
    "browse_near_a_person_enabled": true,
    "browse_by_area_enabled": true,
    "browse_by_neighborhood_enabled": true,
    "reservable_columns": [
      "sys_id",
      "external_id",
      "email",
      "name",
      "title",
      "description",
      "image",
      "number",
      "site",
      "campus",
      "building",
      "floor",
      "area",
      "capacity",
      "reservable_quantity",
      "location_type",
      "order",
      "requires_check_in",
      "is_reservable"
    ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "layout_mapping": {
      "title": [
        "name"
      ],
      "description": [
        "description"
      ],
      "subtitle": [
        "campus",
        "building",
        "floor",
        "area"
      ],
      "subtitle_asc": [
        "area",
        "floor",
        "building",
        "campus"
      ],
      "image": "image",
      "body": [
        {
          "label": "Capacity",
          "icon": "fa-users",
          "field": "capacity",
          "field_to_display": ""
        },
        {
          "label": "Standard services",
          "icon": "fa-check",
          "field": "standard_services",
          "field_to_display": "name"
        },
        {
          "label": "Reservable purposes",
          "icon": "fa-tags",
          "field": "reservable_purposes",
          "field_to_display": "name"
        }
      ]
    },
    "timeSlots": [
      {
        "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
        "name": "All day",
        "short_description": "8am - 6pm",
        "slot_start": "08:00",
        "slot_end": "18:00"
      },
      {
        "sys_id": "de131cf2dbb5f01038e42b24ca961931",
        "name": "Before noon",
        "short_description": "8am - 12pm",
        "slot_start": "08:00",
        "slot_end": "12:00"
      },
      {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "sys_id": "6e99ab5ddbb930102e8e853e68961929",
        "name": "After noon",
        "short_description": "1pm - 6pm",
        "slot_start": "13:00",
        "slot_end": "18:00"
      }
    ],
    "buildingSysIds": [
      "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
    ],
    "buildingsTreeData": [
      {
        "isValid": true,
        "label": "Europe",
        "uId": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
        "isSelectable": false,
        "children": [
          {
            "isValid": true,
            "label": "Western Europe",
            "uId": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
            "isSelectable": false,
            "children": [
              {
                "isValid": true,
                "label": "Amsterdam Campus",
                "uId": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
                "isSelectable": false,
                "children": [
                  {
                    "isValid": true,
                    "label": "AMS-B1",
                    "uId": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
                    "isSelectable": true,
                    "children": [],
                    "data": {
                      "sysId": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
                      "table": "sn_wsd_core_building",
                      "timezone": {
                        "value": "Europe/Amsterdam",
                        "displayValue": "Europe/Amsterdam"
                      }
                    }
                  }
                ],
                "data": {
                  "sysId": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
                  "table": "sn_wsd_core_campus",
                  "timezone": null
                }
              }
            ],
            "data": {
              "sysId": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
              "table": "sn_wsd_core_site",
              "timezone": null
            }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          }
        ],
        "data": {
          "sysId": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
          "table": "sn_wsd_core_region",
          "timezone": null
        }
      }
    ],
    "reservable_views": [
      {
        "type": "card",
        "label": "Card view",
        "iconClass": "fa-th-large",
        "isDefault": true,
        "order": "1"
      },
      {
        "type": "schedule",
        "label": "Schedule view",
        "iconClass": "fa-calendar-o",
        "isDefault": false,
        "order": "2"
      }
    ],
    "checkin_before_minutes": 30,
    "reservation_paths": [
      {
        "value": "browse_all",
        "displayValue": "Browse all"
      },
      {
        "value": "browse_near_a_person",
        "displayValue": "Browse near a person"
      },
      {
        "value": "browse_by_area",
        "displayValue": "Browse by area"
      }
    ],
    "override_approval_policy": "never_required"
  }
}
```


WSD Reservation API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Reservation* API は、職場予約を管理するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Safety Management (sn_wsd_core) と Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WSD Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/reservation/get

指定された職場予約を取得します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/get`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/get`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
external_ical	予約の一意の外部 iCalendar ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。関連する外部 iCalendar アプリケーションからこの値を取得します。 データタイプ：文字列
external_id	予約の一意の外部 ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。関連する外部アプリケーションからこの値を取得します。 データタイプ：文字列
include_multi_child_data	関連する職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] レコードの reservation_subtype フィールド値が multi_child に設定されている場合、このフラグは予約の詳細を返すかどうかを示します。 有効な値： • true：予約の詳細を返します。 • false：予約の詳細を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_standard_services	応答で標準サービス情報を返すかどうかを示すフラグ。 標準サービスでは、ホワイトボード、追加のモニター、および類似サービスなど、予約時に予約可能な職場アイテムで利用可能な基本的なプロビジョニングについて説明します。標準サービスの詳細については、「標準サービス」を参照してください。この情報は、標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	有効な値： • true：標準サービス情報を返します。 • false:標準サービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result.reservation	予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation": {`
	`"active": Boolean,`
	`"attendees": [Array],`
	`"check_in_state": {Object},`
	`"end": "String",`
	`"external_ical": "String",`
	`"external_id": "String",`
	`"is_parent": Boolean,`
	`"is_private": Boolean,`
	`"informEmployeePrivacy":`
	`Boolean.`
	`"last_updated_sub_source":`
	`{Object},`
	`"location" {Object},`
	`"number": "String",`
	`"number_of_attendees": Number,`
	`"recording_details": [Array],`
	`"reservable_module": {Object},`
	`"reservation_purpose": {Object},`
	`"reservation_type": {Object},`
	`"reservation_subtype": {Object},`
	`"sensitivity": {Object},`
	`"start": "String",`
	`"state": {Object},`
	`"source_reservation": "String",`
	`"subject": "String",`
	`"sub_source": {Object},`
	`"sync_state": {Object},`
	`"sys_created_on: "String",`
	`"sys_id": "String",`
	`"sys_updated_on": "String",`
	`"virtual_meeting": "String"`
	`}`

result.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.attendees	予約の出席者のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"attendees": [ { "avatar": "String", "displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" } ]`
result.reservation.attendees.avatar	出席者に関連付けられたアバターの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.displayValue	出席者の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.display_value	出席者の表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.email	出席者のメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.initials	出席者のイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.name	出席者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.sys_id	出席者レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.attendees.table	出席者レコードが存在するテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.user_name	出席者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.value	出席者の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.check_in_state	予約のチェックインステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"check_in_state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.check_in_state.display_value	予約の現在のチェックインステータスの表示値 (処理中、完了など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.check_in_state.value	予約の現在のチェックインステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列

result.reservation.edit_restriction	予約のユーザー編集制限の説明 (no_restrictions、service_only、full_restricted など)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"edit_restriction": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.edit_restriction.display_value	予約の編集制限の表示値 ([制限なし] など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.edit_restriction.value	予約の編集制限の内部値 (`no_restriction` など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.external_ical	予約の一意の外部 iCalendar ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.external_id	予約の一意の外部 ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.is_parent	この予約が親予約かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：親予約。 • false：親予約ではない。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
result.reservation.last_updated_sub_source	予約の最後に更新されたサブソースに関する詳細。サブソースは、予約を外部カレンダーと統合するときに使用されます。このオブジェクトには、「servicenow_workplace_service_delivery」、「google_calendar」、「microsoft_exchange」などの情報が含まれています。 データタイプ：オブジェクト `"last_updated_sub_source": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.last_updated_sub_source.display_value	ServiceNow Workplace Service Delivery や Google カレンダーなど、予約

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	の最後に更新されたサブソースの表示値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.last_updated_sub_source.value	`servicenow_workplace_service_delivery` や `google_calendar` など、予約の最後に更新されたサブソースの内部値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列

result.reservation.location	予約に関連付けられた場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "area": {Object},`
	`  "building": {Object},`
	`  "campus": {Object},`
	`  "capacity": Number,`
	`  "description": "String",`
	`  "display_value": "String",`
	`  "email": "String",`
	`  "floor": {Object},`
	`  "label_value": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "number_of_attendees": Number,`
	`  "region": {Object},`
	`  "reservable_module": {Object},`
	`  "reservation": {Object},`
	`  "site": {Object},`
	`  "state": {Object},`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.area	場所に関連付けられたエリアに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"area": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.area.active	エリアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エリアはアクティブです。 • false：エリアは非アクティブです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
result.reservation.location.area.display_value	Desk A2 など、この場所が属するエリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.area.sys_id	この場所が属するエリアの sys_id。エリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.building	場所に関連付けられた建物に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"building": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "timezone": {Object}`
	`}`

result.reservation.location.building.active	建物がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：建物はアクティブです。 • false：建物は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.building.display_value	AMS - Bld1 など、この場所が属する建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.sys_id	この場所が属する建物の sys_id。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.building.timezone	場所に関連付けられたタイムゾーンに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"timezone": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.location.building.timezone.display_value	この場所が属するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.timezone.value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.location.campus	場所に関連付けられた敷地に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"campus": { "active": Boolean, "display_value": "String," "sys_id": "String" }`
result.reservation.location.campus.active	敷地がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：敷地はアクティブです。 • false：敷地は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.campus.display_value	Amsterdam Campus など、この場所が属する敷地の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.campus.sys_id	この場所が属する敷地の sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.capacity	場所の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.description	場所の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.display_value	この場所の UI に表示する値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.email	場所のメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.floor	場所に関連付けられたフロアに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"floor": { "active": Boolean, "display_value": "String," "sys_id": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.floor.active	フロアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フロアはアクティブです。 • false：フロアは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.floor.display_value	First floor など、この場所が属するフロアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.floor.sys_id	この場所が属するフロアの sys_id。フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.label_value	*name* パラメーターで指定された値のタイプ (部屋名など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.name	場所の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値

result.reservation.location.region	場所に関連付けられたリージョンに関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	`"region": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.region.active	リージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：リージョンはアクティブです。 • false：リージョンは非アクティブです。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.region.display_value	Europe など、この場所が属するリージョンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.region.sys_id	この場所が属するリージョンの sys_id。リージョン [sn_wsd_core_region] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"requested_for": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "user_name": "String"`
	`}`

result.reservation.location.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.requested_for.sys_id	予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.requested_for.user_name	予約が要求されたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.reservation	場所に関連付けられた予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "number": "String",`
	`  "number_of_attendees": Number,`
	`  "requested_for": {Object},`
	`  "state": {Object},`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.reservation.number	予約番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.reservation.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"requested_for": { "name": "String", "sys_id": "String", "user_name": "String" }`
result.reservation.location.reservation.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.requested_for.sys_id	要求されたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.requested_for.user_name	予約が要求されたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module	予約に関連付けられている予約可能モジュールに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"reservable_module": { "inline_title": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "title": "String", },`
result.reservation.location.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
	予約可能なモジュールのタイトル。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.reservable_module.title	データタイプ：文字列
result.reservation.location.site	場所が属するサイト。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"site": { "active": Boolean, "display_value": "String", "sys_id": "String", }`
result.reservation.location.site.active	サイトがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サイトはアクティブです。 • false：サイトは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.site.display_value	Western Europe など、この場所が属するサイトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.site.sys_id	この場所が属するサイトの sys_id。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.state	場所の予約のステータスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.location.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.sys_id	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.notification_custom_message	*reservation.notification_recipients* にリストされている受信者に送信される通知のカスタムメッセージ。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients	予約に関する通知を受信する受信者のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"notification_recipients":[ { "name": "String", "sys_id": "String", "user_name": "String" } ]`
result.reservation.notification_recipients.name	受信者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients.sys_id	受信者の sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients.user_name	受信者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.number	予約レコードの一意の番号。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。この値を使用して予約を照会できます。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by	予約を作成したユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"opened_by": { "avatar": "String", "displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" }`
result.reservation.opened_by.avatar	予約をオープンしたユーザーのアバター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.displayValue	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.display_value	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.email	予約をオープンしたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.initials	予約をオープンしたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.label	予約をオープンしたユーザーのラベル。これは、ユーザーの役職と部門の組み合わせです。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.name	予約をオープンしたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.rservation.opened_by.sys_id	予約をオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.rservation.opened_by.table	ユーザーレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.user_name	予約をオープンしたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.value	予約をオープンしたユーザーの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.number_of_attendees	この予約の出席者の数。 データタイプ：数値
result.reservation.recording_details	予約 (会議) に関連付けられている記録に関する詳細。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"recording_details": [
	  "recording_url": "String"
	]</pre>

result.reservation.recording_details.recording_url	予約に関連付けられている記録の URL。 データタイプ：文字列

result.reservation.requested_for	予約が代理で行われたユーザーに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"requested_for": {
	  "avatar": "String",
	  "displayValue": "String",
	  "display_value": "String",
	  "email": "String",
	  "initials": "String",
	  "label": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "table": "String",
	  "user_name": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservation.requested_for.avatar	予約が代理で行われたユーザーのアバター。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.displayValue	予約が代理で行われたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.display_value	予約が代理で行われたユーザーの表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.email	予約が代理で行われたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.initials	予約が代理で行われたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.label	予約が代理で行われたユーザーのラベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.name	予約が代理で行われたユーザーの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.rservation.requested_for.sys_id	予約が代理で行われたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.rservation.requested_for.table	ユーザーレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.user_name	予約が代理で行われたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.value	予約が代理で行われたユーザーの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module	要求された予約可能モジュールの詳細。 データタイプ：オブジェクト `{ "reservable_module": { "allow_invitees": Boolean, "allow_whole_day": Boolean, "apply_to_shift": Boolean, "browse_by_area_enabled": Boolean, "browse_near_a_person_enabled": Boolean, "buildingSysIds": [Array], "checkin_before_minutes": Number, "display_number_of_attendees": Boolean, "display_on_behalf_of": Boolean, "display_sensitivity": Boolean, "display_value": "String", "enable_browse_by_area": Boolean, "enable_browse_near_a_person": Boolean, "enable_facet_filter": Boolean, "enable_group_reservations": Boolean, "enable_ical_generation": Boolean, "font_awesome_icon": "String", "inline_title": "String", "layout_mapping": {JSON Object}, "max_days_in_future": Number,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"max_occurrences": Number, "name": "String", "override_approval_policy": "String", "require_cancel_notes": Boolean, "require_cc_dept_check": Boolean, "require_subject": Boolean, "reservable_columns": [Array], "reservable_container_field": "String", "reservable_filter": "String", "reservable_quantity_field": "String", "reservable_table": "String", "reservable_type": "String", "reservable_views": [Array], "reservation_paths": [Array], "search_limit": Number, "selection_type": "String", "short_description": "String", "show_map_view": Boolean, "sys_id": "String", "timeSlots": [Array], "title": "String", "virtual_meeting_provider": {Object} } }
result.reservation.reservable_module.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.allow_whole_day	ユーザーが予約可能項目を終日予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが終日予約できるようにします。 • false:ユーザーに終日の予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.apply_to_shift	予約可能モジュールに対してシフトベースの予約が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：シフトベースの予約を許可します。 • false:シフトベースの予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_by_area_enabled	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_near_a_person_enabled	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.buildingSysIds	予約可能モジュールに関連付けられた建物の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.reservation.reservable_module.checkin_before_minutes	ユーザーが予約にチェックインできる予約開始前の時間。 単位：分 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_value	予約可能モジュールの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.enable_browse_by_area	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。*browse_by_area_enabled*と同じです。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_browse_near_a_person	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 *browse_near_a_person_enabled* と同じです。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_facet_filter	職場アイテムのファセットフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。有効にすると、表示

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	されるフィルターオプションは検索結果に基づきます。ユーザーは、生成された検索結果で使用可能なアイテムのみをフィルターで選択できます。 有効な値： • true：ファセットフィルターは有効です。 • false:ファセットフィルターは有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.enable_ical_generation	ユーザーが予約の iCalendar を生成できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：iCalendar の生成を許可します。 • false:iCalendar の生成は許可されません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.font_awesome_icon	予約可能モジュールに添付されているフォントアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.layout_mapping	場所のレイアウトマッピングの構造に関する詳細。このデータを使用して、UI に情報をレイアウトします。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"layout_mapping": {`
	`"body": [Array],`
	`"description": [Array],`
	`"image": "String",`
	`"subtitle": [Array],`
	`"subtitle_asc": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "title": [Array] }</pre>

result.reservation.reservable_module.
layout_mapping.body
	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"body": [
	  {
	    "field": "String",
	    "field_to_display": "String",
	    "icon": "String",
	    "label": "String"
	  }
	]</pre>

result.reservation.reservable_module. layout_mapping.body.field	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.body.field_to_display	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.body.icon	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.body.label	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.description	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。レイアウトマッピングの説明。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.image	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.subtitle	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module. layout_mapping.subtitle_asc	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.title	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.max_days_in_future	ユーザーが予約可能モジュールを予約できる、今後の最大日数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.max_occurrences	予約可能モジュールの繰り返し予約が利用可能な場合の繰り返し予約の最大発生回数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.override_approval_policy	承認ポリシーの実装方法を指定するオプション。選択肢は次のとおりです。 • 上書きなし：承認ポリシーは、職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に従って実装されます。 • 常に承認が必要：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが必要です。 • 承認の必要なし：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが削除されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.require_cancel_notes	予約可能モジュールをキャンセルする前にユーザーがキャンセルメモを入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：キャンセルメモが必要です。 • false：キャンセルメモは必要ありません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.require_cc_dept_check	ワークスペースアイテムとログインユーザーの間にコストセンターまたは部門の不一致があるかどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不一致を確認します。 • false:不一致をチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_columns	予約可能項目の列のリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.reservable_container_field	特定のエリアのデスクのグループなどのコンテナーのレベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_filter	関連付けられた予約可能テーブルの予約可能アイテムのフィルタリングに使用されるフィルター条件。予約可能テーブルは、予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブル内のフィールドです。これらのフィルター条件は、フィールドの予約可能テーブルに含まれるテーブルに適用されました。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_quantity_field	すべてのスペースの予約可能な数量。数は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。詳細については、「エリアへの近隣スペースの割り当て」を参照してください。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_table	予約可能な職場アイテムを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_type	予約可能アイテムのタイプ (場所など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views	カードビューやスケジュールビューなど、予約可能モジュールに関連付けられたさまざまなビューに関する詳細。 予約可能なビュー [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"reservable_views": {
	  "iconClass": "String",
	  "isDefault": Boolean,
	  "label": "String",
	  "order": Number,
	  "type": "String"
	}</pre>

result.reservation.reservable_module.reservable_views.iconClass	予約可能なビューのアイコンクラス。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.isDefault	この予約可能なビューを予約可能なモジュールのデフォルトにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトにします。 • false:デフォルトにしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_views.label	予約可能なビューの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.order	UI の予約可能モジュールのビューが表示される順序。UI では小さい順序番号が先に表示されます。同じ順序番号の場合は、ランダムな順序が割り当てられます。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.reservable_views.type	予約可能なビューのバックエンド名。内部処理に使用されます。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.reservation_paths	[すべて参照]、 [人の近くで参照する] などの予約可能なモジュールに関連付けられた予約パス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"reservation_paths": [
	  {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservation.reservable_module.reservation_paths.display_value	[人の近くで参照する] などの予約パスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservation_paths.value	「browse_near_a_person」などの予約パスの内部値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.search_limit	ユーザーが職場の場所を検索するときに返される検索結果の最大数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.selection_type	検索結果に表示する選択のタイプ。 次のいずれかのオプションを指定できます。 • [特定の単位]：検索結果には、すべての職場アイテムが表示されます。 • [コンテナー]：検索結果には、職場アイテムの親またはコンテナーが表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.short_description	予約可能なモジュールの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.show_map_view	この予約可能なモジュールのマップビューを有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：マップビューを有効にします。 • false:マップビューを有効にしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots	予約可能モジュールに関連付けられたタイムスロットの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `[ { "name": "String", "short_description": "String", "slot_end": "String", "slot_start": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservation.reservable_module.timeSlots.name	タイムスロットの名前 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.reservable_module.timeSlots.short_description	タイムスロットの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_end	タイムスロットの終了時間 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_start	スロットの開始時間。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.sys_id	タイムスロットレコードの sys_id。 タイムスロット [sn_wsd_rsv_time_slot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider	予約可能モジュールに関連付けられている仮想プロバイダーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"virtual_meeting_provider": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.display_value	バーチャル会議プロバイダーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.sys_id	バーチャル会議プロバイダーの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservationAcl	関連する予約に設定されているユーザーアクセス制御レベル (ACL) チェックの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservationAcl": {`
	`  "read": Boolean,`
	`  "write": {Object}`
	`}`

result.reservation.reservationAcl.read	ユーザーがこの予約を読み取り可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：ユーザーが予約を読み取り可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約を読み取れるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write	関連付けられている予約のユーザーの書き込み機能に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"write": { "allFields": Boolean, "fields": {Object}, "record": Boolean }`
result.reservation.reservationAcl.write.allFields	ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。ユーザーが一部の特定のフィールドにのみアクセスできる場合は、それらのフィールドのみが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで true になります。 有効な値： • true：ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込めるかどうかは確認しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields	予約のさまざまなフィールドに対するアクセス制御の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"fields": { "location": Boolean, "number_of_attendees": Boolean, "requested_for": Boolean, "sensitivity": Boolean, "subject": Boolean }`
result.reservation.reservationAcl.write.fields.location	ユーザーがこの予約の場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：ユーザーが場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが場所フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.number_of_attendees	ユーザーがこの予約の出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが出席者数フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.requested_for	ユーザーがこの予約の要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが要求元フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.sensitivity	ユーザーがこの予約の機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが機密性フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.subject	ユーザーがこの予約の件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：ユーザーが件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが件名フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.record	ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約レコード全体に書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservation.reservation_purpose	予約の目的の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_purpose": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservation_type	予約のタイプの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_type": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_type.display_value	スペースなどの予約のタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_type.value	space などの予約のタイプの内部値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

result.reservation.reservation_subtype	予約のサブタイプの詳細。サブタイプは、単一、複数の親、複数の子、繰り返し発生する親、発生件数などの予約のタイプを示します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_subtype": {`
	`"display_value": "String,"`
	`"value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_subtype.display_value	単一などの予約のサブタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_subtype.value	single などの予約のサブタイプの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.sensitivity	予約の機密性の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sensitivity": {`
	`"display_value": "String,"`
	`"value": "String"`
	`}`

result.reservation.sensitivity.display_value	高、低などの予約の機密性の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sensitivity.value	1、3 などの予約の機密性の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.shift	予約に適用されるシフトの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"shift": {`
	`"display_value": "String",`
	`"name": "String",`
	`"shiftDetails": "String",`
	`"sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.shift.display_value	シフトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift.name	シフトの名前。*display_value* と同じです。 データタイプ：文字列
Result.reservation.shift.shiftDetails	シフトの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.shift.sys_id	シフトレコードの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.source	職場サービスや Google メールなどの予約のソースに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String", "value": "String" }`
result.reservation.source.display_value	職場サービスなど予約ソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source.value	servicenow など予約ソースの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon	予約で使用されるアイコンのソースの詳細。このアイコンは UI で使用されます。 データタイプ：オブジェクト `"source_icon": { "classNames": "String", "imgSrc": "String", "tooltip": "String" }`
result.reservation.source_icon.classNames	ソースアイコンのカンマ区切りのクラス名。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.imgSrc	ソースアイコンの画像ソースの名前。このアイコンは画像 [db_image] テーブルに保存されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.tooltip	ソースアイコンに関連付けられたツールヒント。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation	現在の予約のソース予約。 たとえば、複数の予約の場合、親予約が子予約のソースになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservation.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列
result.reservation.sub_source	予約のサブソースの詳細。サブソースは、Google カレンダーや Microsoft Exchange などの予約の作成元を指定します。 データタイプ：オブジェクト `"sub_source": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.sub_source.display_value	Google カレンダーなどの予約のサブソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sub_source.value	google_calendar などの予約のサブソースフィールドの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sync_state	「sync_enqueued」や「synchronized」など、別のサービスからの予約の同期ステータスに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"sync_state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservation.sync_state.display_value	同期済みなど予約の現在の同期ステータスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sync_state.value	synchronized など予約の現在の同期ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sys_created_on	予約が作成された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Result.reservation.sys_updated_on	予約が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.reservation.virtual_meeting	バーチャル会議リンクの URL。 データタイプ：文字列

result.reservationAcl	関連する予約に設定されているユーザーアクセス制御レベル (ACL) チェックの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservationAcl": {`
	`  "read": Boolean,`
	`  "write": {Object}`
	`}`

result.reservationAcl.read	ユーザーがこの予約を読み取り可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約を読み取り可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約を読み取れるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservationAcl.write	関連付けられている予約のユーザーの書き込み機能に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"write": {`
	`  "allFields": Boolean,`
	`  "fields": {Object},`
	`  "record": Boolean`
	`}`

result.reservationAcl.write.allFields	ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。ユーザーが一部の特定のフィールドにのみアクセスできる場合は、それらのフィールドのみが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで true になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込めるかどうかは確認しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields	予約のさまざまなフィールドに対するアクセス制御の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"fields": { "location": Boolean, "number_of_attendees": Boolean, "requested_for": Boolean, "sensitivity": Boolean, "subject": Boolean }`
result.reservationAcl.write.fields.location	ユーザーがこの予約の場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが場所フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.number_of_attendees	ユーザーがこの予約の出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが出席者数フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.requested_for	ユーザーがこの予約の要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：ユーザーが要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが要求元フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.sensitivity	ユーザーがこの予約の機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが機密性フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.subject	ユーザーがこの予約の件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが件名フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.record	ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約レコード全体に書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.standard_services	*include_standard_services* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。 フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"standard_services": [
	  {
	  "font_awesome_icon": "String",
	  "name": "String",
	  "short_description": "String",
	  "sys_id": "String"
	  }
	]</pre>

result.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して標準サービス情報を含める方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/get?sys_id=8e87c722870741106342b846dabb3573&include_standard_services=true" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
 "result": {
   "reservation": {
     "sys_id": "bf3621de842c2110fa9b813be354f327",
     "number": "WRES0001005",
     "location": {
       "sys_id": "9841e94adb7210106c731dcd13961914",
       "name": "A1-02-02",
       "description": "General desk available for reservation.",
       "display_value": "A1-02-02",
       "capacity": 1,
       "label_value": "Workspace/Desk name",
       "wsd_email": null,
       "reservable_module": {
         "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "name": "Desks",
        "title": "Desks",
        "inline_title": "desk",
        "table": "sn_wsd_core_space"
      },
      "region": {
        "sys_id": "3752ac8edb3650106c731dcd139619e0",
        "display_value": "Americas",
        "active": true
      },
      "site": {
        "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
        "display_value": "North America",
        "active": true
      },
      "campus": {
        "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
        "display_value": "California Campus",
        "active": true
      },
      "building": {
        "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "display_value": "CAL-B1",
        "active": true,
        "timezone": {
          "value": "US/Pacific",
          "displayValue": "US/Pacific"
        }
      },
      "floor": {
        "sys_id": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902",
        "display_value": "Floor 1",
        "active": true
      },
      "area": {
        "sys_id": "",
        "display_value": "",
        "active": false
      },
      "is_favorite": false,
      "reservation": {
        "sys_id": "bf3621de842c2110fa9b813be354f327",
        "number_of_attendees": 1,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "auto_conflict_resolution_state": {
          "value": null,
          "display_value": null
        },
        "requested_for": {
          "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin"
        },
        "number": "WRES0001005",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "active": true
      },
      "number_of_attendees": 1,
      "state": {
        "value": "confirmed",
        "display_value": "Confirmed"
      },
      "number": "WRES0001005",
      "requested_for": {
        "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "name": "System Administrator",
        "user_name": "admin"
      },
      "is_private": true
    },
    "start": "2023-01-24T16:00:00Z",
    "end": "2023-01-24T17:00:00Z",
    "sys_created_on": "2023-01-24T15:49:49Z",
    "sys_updated_on": "2023-01-24T15:49:50Z",
    "source_reservation": null,
    "check_in_state": {
      "value": "awaiting_check_in",
      "display_value": "Awaiting check-in"
    },
    "external_id": null,
    "external_ical": null,
    "building": {
      "active": true,
      "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
      "display_value": "CAL-B1",
      "campus": {
        "display_value": "California Campus",
        "value": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
        "active": true
      },
      "site": {
        "display_value": "North America",
        "value": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
        "active": true
      },
      "timezone": {
        "value": "US/Pacific",
        "displayValue": "US/Pacific"
      }
    },
    "active": true,
    "state": {
      "value": "confirmed",
      "display_value": "Confirmed"
    },
    "sensitivity": {
      "value": "normal",
      "display_value": "Normal"
    },
    "reservation_type": {
      "value": "space",
      "display_value": "Space"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      },
      "reservation_subtype": {
        "value": "single",
        "display_value": "Single"
      },
      "reservation_purpose": {
        "value": "meeting",
        "display_value": "Meeting"
      },
      "attendees": [
        {
          "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
          "displayValue": "System Administrator",
          "display_value": "System Administrator",
          "name": "System Administrator",
          "user_name": "admin",
          "table": "sys_user",
          "avatar": "a5d3c898c3222010ae17dd981840dd8b.iix?t=small",
          "initials": "SA",
          "email": "admin@example.com",
          "label": "System Administrator, Finance"
        }
      ],
      "number_of_attendees": 1,
      "is_parent": false,
      "is_private": true,
      "subject": "Reservation for A1-02-02",
      "virtual_meeting": null,
      "recording_details": [],
      "sync_state": {
        "value": "not_required",
        "display_value": "Synchronization not required"
      },
      "sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "last_updated_sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "reservable_module": {
        "sys_id": "5db44502dbb650106c731dcd13961937",
        "name": "Desks",
        "title": "Desks",
        "inline_title": "desk",
        "font_awesome_icon": "fa-desktop",
        "reservable_table": "sn_wsd_core_space",
        "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^location_type=5f017383eb512010b89bfdfc9c
5228c8^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
        "short_description": "Reserve a single desks",
        "reservable_type": "location",
        "require_subject": null,
        "require_cancel_notes": false,
        "virtual_meeting_provider": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "enable_reservation_privacy": true,
        "allow_invitees": "1",
        "display_number_of_attendees": null,
        "display_on_behalf_of": "1",
        "display_sensitivity": null,
        "max_days_in_future": "90",
        "allow_recurring": "1",
        "auto_resolve_conflict": null,
        "allow_whole_day": "1",
        "allow_multi_building": "1",
        "require_whole_day": null,
        "selection_type": "unit",
        "reservable_container_field": null,
        "reservable_quantity_field": null,
        "apply_to_shift": null,
        "max_occurrences": "90",
        "enable_facet_filter": false,
        "search_limit": 10000,
        "enable_ical_generation": null,
        "enable_group_reservations": null,
        "enable_browse_near_a_person": "1",
        "enable_browse_by_area": "1",
        "enable_floor_search": null,
        "enable_browse_by_neighborhood": null,
        "require_cc_dept_check": false,
        "display_value": "Desks",
        "browse_near_a_person_enabled": true,
        "browse_by_area_enabled": true,
        "browse_by_neighborhood_enabled": false,
        "reservable_columns": [
          "sys_id",
          "external_id",
          "wsd_email",
          "name",
          "title",
          "description",
          "image",
          "number",
          "site",
          "campus",
          "building",
          "floor",
          "area",
          "capacity",
          "reservable_quantity",
          "location_type",
          "order",
          "requires_check_in",
          "is_reservable"
        ],
        "layout_mapping": {
          "title": [
            "name"
          ],
          "description": [
            "description"
          ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "subtitle": [
            "campus",
            "building",
            "floor",
            "area"
          ],
          "subtitle_asc": [
            "area",
            "floor",
            "building",
            "campus"
          ],
          "image": "image",
          "body": [
            {
              "label": "Capacity",
              "icon": "fa-users",
              "field": "capacity",
              "field_to_display": ""
            },
            {
              "label": "Standard services",
              "icon": "fa-check",
              "field": "standard_services",
              "field_to_display": "name"
            },
            {
              "label": "Reservable purposes",
              "icon": "fa-tags",
              "field": "reservable_purposes",
              "field_to_display": "name"
            }
          ]
        },
        "timeSlots": [
          {
            "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
            "name": "All day",
            "short_description": "8am - 6pm",
            "slot_start": "08:00",
            "slot_end": "18:00"
          },
          {
            "sys_id": "de131cf2dbb5f01038e42b24ca961931",
            "name": "Before noon",
            "short_description": "8am - 12pm",
            "slot_start": "08:00",
            "slot_end": "12:00"
          },
          {
            "sys_id": "6e99ab5ddbb930102e8e853e68961929",
            "name": "After noon",
            "short_description": "1pm - 6pm",
            "slot_start": "13:00",
            "slot_end": "18:00"
          }
        ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "buildingSysIds": [
          "03c45bf7dba41010d7981dcd1396196d",
          "07c45bf7dba41010d7981dcd1396196b",
          "07c45bf7dba41010d7981dcd13961972",
          "0bc45bf7dba41010d7981dcd13961970",
          "0fc45bf7dba41010d7981dcd1396196e",
          "1aa39b1977220110b3d7be377b5a9953",
          "2130659ae7321010809a268b03f6a91e",
          "22c41bf7dba41010d7981dcd139619fe",
          "2ac45bf7dba41010d7981dcd13961901",
          "2ec41bf7dba41010d7981dcd139619ff",
          "32c45bf7dba41010d7981dcd13961905",
          "32c45bf7dba41010d7981dcd1396190c",
          "32c45bf7dba41010d7981dcd13961943",

          "e2c41bf7dba41010d7981dcd139619fb"
        ],
        "reservable_views": [
          {
            "type": "card",
            "label": "Card view",
            "iconClass": "fa-th-large",
            "isDefault": true,
            "order": "1"
          },
          {
            "type": "schedule",
            "label": "Schedule view",
            "iconClass": "fa-calendar-o",
            "isDefault": false,
            "order": "2"
          }
        ],
        "checkin_before_minutes": 30,
        "reservation_paths": [
          {
            "value": "browse_all",
            "displayValue": "Browse all",
            "availableFor": true
          },
          {
            "value": "browse_favorites",
            "displayValue": "Browse favorites",
            "availableFor": false
          },
          {
            "value": "browse_near_a_person",
            "displayValue": "Browse near a person",
            "availableFor": true
          },
          {
            "value": "browse_by_area",
            "displayValue": "Browse by area",
            "availableFor": true
          }
        ],
        "override_approval_policy": "never_required"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "notification_recipients": null,
    "notification_custom_message": null,
    "opened_by": {
      "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "displayValue": "System Administrator",
      "display_value": "System Administrator",
      "name": "System Administrator",
      "user_name": "admin",
      "table": "sys_user",
      "avatar": "a5d3c898c3222010ae17dd981840dd8b.iix?t=small",
      "initials": "SA",
      "email": "admin@example.com",
      "label": "System Administrator, Finance"
    },
    "requested_for": {
      "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "displayValue": "System Administrator",
      "display_value": "System Administrator",
      "name": "System Administrator",
      "user_name": "admin",
      "table": "sys_user",
      "avatar": "a5d3c898c3222010ae17dd981840dd8b.iix?t=small",
      "initials": "SA",
      "email": "admin@example.com",
      "label": "System Administrator, Finance"
    },
    "auto_conflict_resolution_state": {
      "value": null,
      "display_value": null
    },
    "parent_reservation": {},
    "edit_restriction": {
      "value": "no_restriction",
      "display_value": "No restriction"
    },
    "source": {
      "value": "servicenow",
      "display_value": "Workplace Services"
    },
    "source_icon": {
      "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
      "tooltip": "Reservation is confirmed",
      "imgSrc": ""
    },
    "shift": null,
    "hasPrivateReservation": true,
    "reservationAcl": {
      "write": {
        "record": true,
        "fields": {
          "subject": true,
          "sensitivity": true,
          "requested_for": true,
          "number_of_attendees": true,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "location": true,
            "is_private": true
          },
          "allFields": true
        },
        "read": true
      }
    },
    "reservationAcl": {
      "write": {
        "record": true,
        "fields": {
          "subject": true,
          "sensitivity": true,
          "requested_for": true,
          "number_of_attendees": true,
          "location": true,
          "is_private": true
        },
        "allFields": true
      },
      "read": true
    }
  }
}
```

WSD Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/reservation/get_user_reservations

指定されたユーザーに対する今後 7 日間の予約のリストを取得します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/get_user_reservations`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/get_user_reservations`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
userId	予約を返すユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	予約の返される結果： データタイプ: オブジェクト `"result":{ "informEmployeePrivacy": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"reservationsByDate": {Object},
	"searchEndDate": "String",
	"searchStartDate": "String",
	"sortedReservationDates" :
	[Array],
	"workplaceProfile": {Object}
	}</pre>

result.informEmployeePrivacy	プライベートとしてマークされた予約が返されたときにメッセージを表示するかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true:表示されていないプライベート予約があるというメッセージをユーザーに表示します。 • false:メッセージを表示しません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservationsByDate	日付別の各予約の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト - 独自のアレイ内の各日付
	<pre>"reservationsByDate": {
	string: [
	{
	"building": {Object},
	"floor": {Object},
	"location": {Object}
	}
	]
	}</pre>

result.reservationsByDate.building	予約可能項目がある建物。
	
	この情報は建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
	<pre>"building": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String",
	"timezone": {Object}
	}</pre>

result.reservationsByDate.building. display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.building.timezone	建物のタイムゾーンの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"timezone": {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservationsByDate.building.timezone.display_value	関連する建物が存在するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.building.timezone.sys_id	関連する建物が存在するタイムゾーンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.building.value	建物の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservationsByDate.floor	予約に関連付けられているフロアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"floor": {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservationsByDate.floor.displayValue	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.floor.value	予約が存在するフロアの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservationsByDate.location	予約の場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"location": {
	  "displayValue": "String",
	  "type": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservationsByDate.location.displayValue	South Parks などの場所の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.location.type	職場/デスク、カフェ、ジムなど、場所のタイプ。 データタイプ：文字列
result.reservationsByDate.location.value	south_parks など、場所の内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.searchEndDate	予約検索の終了日。開始日から 7 日間。 形式：yyyy-mm-dd データタイプ：文字列
result.searchStartDate	予約検索の開始日。エンドポイントが呼び出された日付。 形式：yyyy-mm-dd データタイプ：文字列
result.sortedReservationDates	指定されたユーザーが今後 7 日間で予約している日付 (日付順にソート)。 データタイプ：アレイ

result.workplaceProfile	ユーザー職場プロファイル。指定されたユーザーが働いている場所について説明します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservationsByDate": {`
	`  "building": {Object},`
	`  "floor": {Object},`
	`  "location": {Object}`
	`}`

result.workplaceProfile.building	ユーザーが働いている建物。
	
	この情報は建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
	
	`"building": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String",`
	`  "timezone": {Object}`
	`}`

result.workplaceProfile.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.workplaceProfile.building.timezone	建物のタイムゾーンの詳細。
	
	`"timezone": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.workplaceProfile.building.timezone.display_value	関連する建物が存在するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.building.timezone.sys_id	関連する建物が存在するタイムゾーンレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.building.value	建物の内部値。 データタイプ：文字列

result.workplaceProfile.floor	ユーザーが働いているフロアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"floor": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.workplaceProfile.floor.displayValue	ユーザーが働いているフロアの階数を表示します (フロア 8 など)。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.floor.value	ユーザーが働いているフロアの内部値。 データタイプ：文字列

result.workplaceProfile.location	ユーザーの場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "type": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.workplaceProfile.location.displayValue	San Diego などの場所の表示値。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.location.type	デスクやオフィスなど、場所のタイプ。 データタイプ：文字列
result.workplaceProfile.location.value	san_diego など、場所の内部値。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/get_user_res
ervations?userId=2de07e1887cb89106342b846dabb35fe" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sortedReservationDates": [
      "2023-01-24"
    ],
    "workplaceProfile": {
      "location": {
        "displayValue": "DDC-A2.0016A",
        "value": "96d3139977220110b3d7be377b5a9918",
        "externalId": "0e7bddfb475a011064062782846d43c2",
        "type": "Workspace/Desk"
      },
      "floor": {
        "displayValue": "Floor 2",
        "value": "68d31f5977220110b3d7be377b5a991b"
      },
      "building": {
        "displayValue": "Building A",
        "value": "dea39b1977220110b3d7be377b5a9955",
        "timezone": {
          "value": "Europe/Paris",
          "displayValue": "Europe/Paris"
        }
      }
    },
    "reservationsByDate": {
      "2023-01-24": [
        {
          "location": {
            "displayValue": "A1-02-04",
            "value": "3e41e94adb7210106c731dcd1396198c",
            "externalId": "",
            "type": "Workspace/Desk"
          },
          "floor": {
            "displayValue": "Floor 1",
            "value": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902"
          },
          "building": {
            "displayValue": "CAL-B1",
            "value": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          }
        },
        {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "location": {
            "displayValue": "A1-02-02",
            "value": "9841e94adb7210106c731dcd13961914",
            "externalId": "",
            "type": "Workspace/Desk"
          },
          "floor": {
            "displayValue": "Floor 1",
            "value": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902"
          },
          "building": {
            "displayValue": "CAL-B1",
            "value": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          }
        },
        {
          "location": {
            "displayValue": "A1-02-03",
            "value": "fd41a94adb7210106c731dcd1396195a",
            "externalId": "",
            "type": "Workspace/Desk"
          },
          "floor": {
            "displayValue": "Floor 1",
            "value": "fc7368cedb3650106c731dcd13961902"
          },
          "building": {
            "displayValue": "CAL-B1",
            "value": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          }
        }
      ]
    },
    "searchStartDate": "2023-01-24",
    "searchEndDate": "2023-01-31",
    "informEmployeePrivacy": true
  }
}
```


WSD Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/reservation/icalendar/{sys_id}

指定された予約の iCalendar ファイル本文を生成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/icalendar/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/icalendar/{sys_id}`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	iCalendar ファイル本文を生成する予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された予約の iCalendar ファイル本文。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出して iCalender 本文を作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/icalendar/60
d26a0f47578910003a4587746d4331" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": "BEGIN:VCALENDAR\nPRODID:-//Service-now.com//Outlook 11.0
 MIMEDIR//EN
\nVERSION:2.0\nMETHOD:REQUEST\nBEGIN:VEVENT\nATTENDEE;ROLE=REQ-PARTICIPAN
T;RSVP=TRUE:MAILTO:workplace_user@example.com\nDTSTART:20220521T050000Z\n
DTEND:20220521T060000Z\nUID:60d26a0f47578910003a4587746d4331\nDTSTAMP:202
20511T044018Z\nSUMMARY:For user 1\nDESCRIPTION:Dear System
 Administrator,\\n\\nThank you for your reservation.\\n\\nYou
 can find more details on your reservation, or
 manage your reservation using the following link:
 https://damay2.service-now.com/ws?
id=wsd_reservation_summary&reservation_id=60d26a0f47578910003a4587746d43
31\\n\\nKind regards,\\nWorkplace Services
 Team\nLOCATION:Berlin\nCLASS:PUBLIC\nORGANIZER;CN=Workplace
 User:MAILTO:workplace_user@example.com\nATTENDEE;ROLE=REQ-PARTICIPANT;CN
=Workplace
 User:RSVP=TRUE:MAILTO:workplace_user@example.com\nEND:VEVENT\nEND:VCALEN
DAR"
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WSD Reservation - GET /api/sn_wsd_rsv/reservation/list

指定されたユーザーに属する予約のリストを取得します。

このエンドポイントは、指定されたユーザーによって要求または作成された予約のみを返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/list`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/list`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
encodedQuery	返された予約レコードの結果をフィルタリングするために使用するエンコードされたクエリ。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブル内のすべてのフィールドは、クエリ内で有効です。 例：`active=true^requested_for=2de07e1887cb89106342b846dabb35fe^building=4703a4cedb3650106c731dcd13961945` データタイプ：文字列
endIndex	ページネーションのインデックスを指定するときに返される結果セットの最後の予約レコード。返される結果レコードの利用可能な数よりこの値が大きい場合は、残りのすべてのレコードが返されます。 データタイプ：数値
orderByEndDesc	返される結果を開始時間の降順で返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：結果を降順で返します。 • false：結果を昇順で返します。 デフォルト値：false
searchCriteria	返される結果に含めるために、予約内で一致する必要があるテキスト。エンドポイントは、次のフィールドでこの値をチェックします。 • configuration_item.name • location.name • private_subject

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	• requested_for.name • subject データタイプ：文字列
startIndex	レコードを返す開始レコード (ゼロベース)。このパラメーターを使用して、大きなレコードセットをページネーションします。 データタイプ：文字列 デフォルト：0
userId	返された予約情報から除外するユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 この値が渡されると、[requested_for] フィールドまたは [opened_by] フィールドが現在ログインしているユーザーと等しい予約がエンドポイントによって除外されます。その予約リストから、渡された *userId* と requested_for または opened_by が等しい予約を除外します。 データタイプ：文字列 デフォルト：[requested_for] フィールドまたは [opened_by] フィールドが現在ログインしているユーザーと等しいすべての予約を返します。

要求本文パラメーター

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result.reservation	予約の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"reservation": { "active": Boolean, "attendees": [Array], "check_in_state": {Object}, "end": "String", "external_ical": "String", "external_id": "String", "is_parent": Boolean, "is_private": Boolean, "informEmployeePrivacy": Boolean. "last_updated_sub_source": {Object}, "location" {Object}, "number": "String", "number_of_attendees": Number, "recording_details": [Array], "reservable_module": {Object}, "reservation_purpose": {Object}, "reservation_type": {Object}, "reservation_subtype": {Object}, "sensitivity": {Object}, "start": "String", "state": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"source_reservation": "String", "subject": "String", "sub_source": {Object}, "sync_state": {Object}, "sys_created_on: "String", "sys_id": "String", "sys_updated_on": "String", "virtual_meeting": "String" }
result.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール

result.reservation.attendees	予約の出席者のリスト。
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	"attendees": [
	{
	"avatar": "String",
	"displayValue": "String",
	"display_value": "String",
	"email": "String",
	"initials": "String",
	"label": "String",
	"name": "String",
	"sys_id": "String",
	"table": "String",
	"user_name": "String",
	"value": "String"
	}
	]

result.reservation.attendees.avatar	出席者に関連付けられたアバターの sys_id。添付ファイル [sys_attachment] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.displayValue	出席者の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.display_value	出席者の表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.email	出席者のメールアドレス。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.attendees.initials	出席者のイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.name	出席者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.sys_id	出席者レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.table	出席者レコードが存在するテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.user_name	出席者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.attendees.value	出席者の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.check_in_state	予約のチェックインステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"check_in_state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.check_in_state.display_value	予約の現在のチェックインステータスの表示値 (処理中、完了など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.check_in_state.value	予約の現在のチェックインステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列

result.reservation.edit_restriction	予約のユーザー編集制限の説明 (no_restrictions、service_only、full_restricted など)。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"edit_restriction": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.edit_restriction.display_value	予約の編集制限の表示値 ([制限なし] など)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.edit_restriction.value	予約の編集制限の内部値 (`no_restriction` など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservation.external_ical	予約の一意の外部 iCalendar ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.external_id	予約の一意の外部 ID。これがカレンダー同期関連の予約である場合は、この値を使用して予約を識別します。 データタイプ：文字列
result.reservation.is_parent	この予約が親予約かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：親予約。 • false：親予約ではない。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.is_private	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
result.reservation.last_updated_sub_source	予約の最後に更新されたサブソースに関する詳細。サブソースは、予約を外部カレンダーと統合するときに使用されます。このオブジェクトには、「servicenow_workplace_service_delivery」、「google_calendar」、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	「microsoft_exchange」などの情報が含まれています。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"last_updated_sub_source": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.last_updated_sub_source.display_value	`ServiceNow Workplace Service Delivery` や `Google` カレンダーなど、予約の最後に更新されたサブソースの表示値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.last_updated_sub_source.value	`servicenow_workplace_service_delivery` や `google_calendar` など、予約の最後に更新されたサブソースの内部値。予約を Google カレンダーや Microsoft Outlook などの外部サービスと統合するときに使用されます。 データタイプ：文字列

result.reservation.location	予約に関連付けられた場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "active": Boolean,`
	`  "area": {Object},`
	`  "building": {Object},`
	`  "campus": {Object},`
	`  "capacity": Number,`
	`  "description": "String",`
	`  "display_value": "String",`
	`  "email": "String",`
	`  "floor": {Object},`
	`  "label_value": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "number_of_attendees": Number,`
	`  "region": {Object},`
	`  "reservable_module": {Object},`
	`  "reservation": {Object},`
	`  "site": {Object},`
	`  "state": {Object},`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservation.location.area	場所に関連付けられたエリアに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"area": {
	  "active": Boolean,
	  "display_value": "String,"
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.area.active	エリアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：エリアはアクティブです。 • false：エリアは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.area.display_value	Desk A2 など、この場所が属するエリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.area.sys_id	この場所が属するエリアの sys_id。エリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.building	場所に関連付けられた建物に関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"building": {
	  "active": Boolean,
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String",
	  "timezone": {Object}
	}</pre>

result.reservation.location.building.active	建物がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：建物はアクティブです。 • false：建物は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.building. display_value	AMS - Bld1 など、この場所が属する建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.sys_id	この場所が属する建物の sys_id。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.timezone	場所に関連付けられたタイムゾーンに関する詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"timezone": { "displayValue": "String", "value": "String" }`
result.reservation.location.building.timezone.display_value	この場所が属するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.building.timezone.value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.campus	場所に関連付けられた敷地に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"campus": { "active": Boolean, "display_value": "String," "sys_id": "String" }`
result.reservation.location.campus.active	敷地がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：敷地はアクティブです。 • false：敷地は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.campus.display_value	Amsterdam Campus など、この場所が属する敷地の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.campus.sys_id	この場所が属する敷地の sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.capacity	場所の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.description	場所の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.display_value	この場所の UI に表示する値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.email	場所のメールアドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.location.floor	場所に関連付けられたフロアに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"floor": { "active": Boolean, "display_value": "String," "sys_id": "String" }`
result.reservation.location.floor.active	フロアがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：フロアはアクティブです。 • false：フロアは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.floor.display_value	First floor など、この場所が属するフロアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.floor.sys_id	この場所が属するフロアの sys_id。フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.label_value	*name* パラメーターで指定された値のタイプ (部屋名など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.name	場所の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値
result.reservation.location.region	場所に関連付けられたリージョンに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"region": { "active": Boolean, "display_value": "String,"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.region.active	リージョンがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：リージョンはアクティブです。 • false：リージョンは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.region.display_value	Europe など、この場所が属するリージョンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.region.sys_id	この場所が属するリージョンの sys_id。リージョン [sn_wsd_core_region] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"requested_for": {
	"name": "String",
	"sys_id": "String",
	"user_name": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.requested_for.sys_id	予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.requested_for.user_name	予約が要求されたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.reservation	場所に関連付けられた予約の詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"reservation": {
	"active": Boolean,
	"number": "String",
	"number_of_attendees": Number,
	"requested_for": {Object},
	"state": {Object},</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.reservation.active	予約がアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約はアクティブです。 • false：予約は非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.reservation.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.number_of_attendees	予約の出席者の数。 データタイプ：数値

result.reservation.location.reservation.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"requested_for": {
	"name": "String",
	"sys_id": "String",
	"user_name": "String"
	}</pre>

result.reservation.location.reservation.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.requested_for.sys_id	要求されたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservation.requested_for.user_name	予約が要求されたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列

result.reservation.location.reservable_module	予約に関連付けられている予約可能モジュールに関する詳細。
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"reservable_module": {
	"inline_title": "String",
	"name": "String",
	"sys_id": "String",
	"title": "String",
	},</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.reservable_module.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.site	場所が属するサイト。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"site": { "active": Boolean, "display_value": "String", "sys_id": "String", }`
result.reservation.location.site.active	サイトがアクティブかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：サイトはアクティブです。 • false：サイトは非アクティブです。 データタイプ：ブール
result.reservation.location.site.display_value	Western Europe など、この場所が属するサイトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.site.sys_id	この場所が属するサイトの sys_id。サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.state	場所の予約のステータスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "display_value": "String," "value": "String" }`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.location.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservation.location.sys_id	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_custom_message	*reservation.notification_recipients* にリストされている受信者に送信される通知のカスタムメッセージ。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients	予約に関する通知を受信する受信者のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"notification_recipients":[ { "name": "String", "sys_id": "String", "user_name": "String" } ]`
result.reservation.notification_recipients.name	受信者の名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients.sys_id	受信者の sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.notification_recipients.user_name	受信者のユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.number	予約レコードの一意の番号。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。この値を使用して予約を照会できます。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by	予約を作成したユーザーの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"opened_by": { "avatar": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" }
result.reservation.opened_by.avatar	予約をオープンしたユーザーのアバター。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.displayValue	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.display_value	オープンしたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.email	予約をオープンしたユーザーのメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.initials	予約をオープンしたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.label	予約をオープンしたユーザーのラベル。これは、ユーザーの役職と部門の組み合わせです。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.name	予約をオープンしたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.rservation.opened_by.sys_id	予約をオープンしたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.rservation.opened_by.table	ユーザーレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.user_name	予約をオープンしたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.opened_by.value	予約をオープンしたユーザーの内部値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservation.number_of_attendees	この予約の出席者の数。 データタイプ：数値
result.reservation.recording_details	予約 (会議) に関連付けられている記録に関する詳細。 データタイプ：アレイ `"recording_details": [ "recording_url": "String" ]`
result.reservation.recording_details.recording_url	予約に関連付けられている記録の URL。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for	予約が代理で行われたユーザーに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"requested_for": { "avatar": "String", "displayValue": "String", "display_value": "String", "email": "String", "initials": "String", "label": "String", "name": "String", "sys_id": "String", "table": "String", "user_name": "String", "value": "String" }`
result.reservation.requested_for.avatar	予約が代理で行われたユーザーのアバター。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.displayValue	予約が代理で行われたユーザーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.display_value	予約が代理で行われたユーザーの表示値。*displayValue* と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.email	予約が代理で行われたユーザーのメールアドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.initials	予約が代理で行われたユーザーのイニシャル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.label	予約が代理で行われたユーザーのラベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.name	予約が代理で行われたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.rservation.requested_for.sys_id	予約が代理で行われたユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.rservation.requested_for.table	ユーザーレコードを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.user_name	予約が代理で行われたユーザーのユーザー名。 データタイプ：文字列
result.reservation.requested_for.value	予約が代理で行われたユーザーの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module	要求された予約可能モジュールの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`{`
	`  "reservable_module": {`
	`  "allow_invitees": Boolean,`
	`  "allow_whole_day": Boolean,`
	`  "apply_to_shift": Boolean,`
	`  "browse_by_area_enabled": Boolean,`
	
	`  "browse_near_a_person_enabled": Boolean,`
	`  "buildingSysIds": [Array],`
	`  "checkin_before_minutes": Number,`
	`  "display_number_of_attendees": Boolean,`
	`  "display_on_behalf_of": Boolean,`
	`  "display_sensitivity": Boolean,`
	`  "display_value": "String",`
	`  "enable_browse_by_area": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"enable_browse_near_a_person": Boolean, "enable_facet_filter": Boolean, "enable_group_reservations": Boolean, "enable_ical_generation": Boolean, "font_awesome_icon": "String", "inline_title": "String", "layout_mapping": {JSON Object}, "max_days_in_future": Number, "max_occurrences": Number, "name": "String", "override_approval_policy": "String", "require_cancel_notes": Boolean, "require_cc_dept_check": Boolean, "require_subject": Boolean, "reservable_columns": [Array], "reservable_container_field": "String", "reservable_filter": "String", "reservable_quantity_field": "String", "reservable_table": "String", "reservable_type": "String", "reservable_views": [Array], "reservation_paths": [Array], "search_limit": Number, "selection_type": "String", "short_description": "String", "show_map_view": Boolean, "sys_id": "String", "timeSlots": [Array], "title": "String", "virtual_meeting_provider": {Object} } }
result.reservation.reservable_module.allow_invitees	従業員が招待者を予約に追加できるどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：従業員が招待者を予約に追加できるようにします。 • false:従業員が招待者を予約に追加できないようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.allow_whole_day	ユーザーが予約可能項目を終日予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが終日予約できるようにします。 • false:ユーザーに終日の予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.apply_to_shift	予約可能モジュールに対してシフトベースの予約が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：シフトベースの予約を許可します。 • false:シフトベースの予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_by_area_enabled	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.browse_near_a_person_enabled	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.buildingSysIds	予約可能モジュールに関連付けられた建物の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.reservation.reservable_module.checkin_before_minutes	ユーザーが予約にチェックインできる予約開始前の時間。 単位：分

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.display_number_of_attendees	ユーザーが予約の出席者の数を指定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーは出席者の数を指定できます。 • false:ユーザーは出席者の表示数を指定できません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.display_on_behalf_of	他のユーザーの代わりに予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：代理がサポートされます。 • false：代理はサポートされません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_sensitivity	ユーザーが、normal、private などの予約の機密性を設定できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：機密性を設定できます。 • false：機密性を設定できません。デフォルトは normal です。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.display_value	予約可能モジュールの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.enable_browse_by_area	ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。*browse_by_area_enabled*と同じです。 有効な値： • true：ユーザーがエリア別に予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:予約可能モジュールをエリア別に参照することをユーザーに許可しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_browse_near_a_person	ユーザーが特定のユーザーによって配置された予約可能モジュールを検索できるかどうかを示すフラグ。 *browse_near_a_person_enabled* と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	有効な値： • true：ユーザーが特定のユーザーに近い予約可能モジュールを参照できるようにします。 • false:ユーザーが人の近くにある予約可能なモジュールを参照できないようにします。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_facet_filter	職場アイテムのファセットフィルタリングが有効かどうかを示すフラグ。有効にすると、表示されるフィルターオプションは検索結果に基づきます。ユーザーは、生成された検索結果で使用可能なアイテムのみをフィルターで選択できます。 有効な値： • true：ファセットフィルターは有効です。 • false:ファセットフィルターは有効ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.enable_group_reservations	ユーザーがグループ予約できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：グループ予約ができます。 • false：グループ予約はできません。 データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.enable_ical_generation	ユーザーが予約の iCalendar を生成できるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：iCalendar の生成を許可します。 • false:iCalendar の生成は許可されません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.font_awesome_icon	予約可能モジュールに添付されているフォントアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.inline_title	予約可能モジュールのインラインタイトル。タイトルは、職場サービスポータルの説明テキストとともインラインに表示されます。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

result.reservation.reservable_module.layout_mapping	場所のレイアウトマッピングの構造に関する詳細。このデータを使用して、UI に情報をレイアウトします。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"layout_mapping": {`
	`"body": [Array],`
	`"description": [Array],`
	`"image": "String",`
	`"subtitle": [Array],`
	`"subtitle_asc": [Array],`
	`"title": [Array]`
	`}`

result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"body": [`
	`{`
	`"field": "String",`
	`"field_to_display": "String",`
	`"icon": "String",`
	`"label": "String"`
	`}`
	`]`

result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.field	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.field_to_display	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.icon	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.body.label	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.description	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。レイアウトマッピングの説明。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.image	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.subtitle	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.subtitle_asc	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.layout_mapping.title	フロントエンド UI データをマッピングするためのプレースホルダー。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.max_days_in_future	ユーザーが予約可能モジュールを予約できる、今後の最大日数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.max_occurrences	予約可能モジュールの繰り返し予約が利用可能な場合の繰り返し予約の最大発生回数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.name	予約可能モジュールの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.override_approval_policy	承認ポリシーの実装方法を指定するオプション。選択肢は次のとおりです。 • 上書きなし：承認ポリシーは、職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に従って実装されます。 • 常に承認が必要：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが必要です。 • 承認の必要なし：職場スペースまたは部屋の [承認が必要] フィールドの設定に関係なく、承認ポリシーが削除されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.require_cancel_notes	予約可能モジュールをキャンセルする前にユーザーがキャンセルメモを入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：キャンセルメモが必要です。 • false：キャンセルメモは必要ありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブール
result.reservation.reservable_module.require_cc_dept_check	ワークスペースアイテムとログインユーザーの間にコストセンターまたは部門の不一致があるかどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：不一致を確認します。 • false:不一致をチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.require_subject	予約時にユーザーが件名を入力する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：件名が必要です。 • false:件名は必須ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_columns	予約可能項目の列のリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
result.reservation.reservable_module.reservable_container_field	特定のエリアのデスクのグループなどのコンテナーのレベル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_filter	関連付けられた予約可能テーブルの予約可能アイテムのフィルタリングに使用されるフィルター条件。予約可能テーブルは、予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブル内のフィールドです。これらのフィルター条件は、フィールドの予約可能テーブルに含まれるテーブルに適用されました。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_quantity_field	すべてのスペースの予約可能な数量。数は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。詳細については、「エリアへの近隣スペースの割り当て」を参照してください。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_table	予約可能な職場アイテムを含むテーブル。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_type	予約可能アイテムのタイプ (場所など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views	カードビューやスケジュールビューなど、予約可能モジュールに関連付けられたさまざまなビューに関する詳細。 予約可能なビュー [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"reservable_views": { "iconClass": "String", "isDefault": Boolean, "label": "String", "order": Number, "type": "String" }`
result.reservation.reservable_module.reservable_views.iconClass	予約可能なビューのアイコンクラス。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.isDefault	この予約可能なビューを予約可能なモジュールのデフォルトにするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：デフォルトにします。 • false:デフォルトにしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.reservable_views.label	予約可能なビューの名前。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservable_views.order	UI の予約可能モジュールのビューが表示される順序。UI では小さい順序番号が先に表示されます。同じ順序番号の場合は、ランダムな順序が割り当てられます。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.reservable_views.type	予約可能なビューのバックエンド名。内部処理に使用されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservation_paths	[すべて参照]、 [人の近くで参照する] などの予約可能なモジュールに関連付けられた予約パス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"reservation_paths": [
	  {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservation.reservable_module.reservation_paths.display_value	[人の近くで参照する] などの予約パスの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.reservation_paths.value	「browse_near_a_person」などの予約パスの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.search_limit	ユーザーが職場の場所を検索するときに返される検索結果の最大数。 データタイプ：数値
result.reservation.reservable_module.selection_type	検索結果に表示する選択のタイプ。 次のいずれかのオプションを指定できます。 • [特定の単位]：検索結果には、すべての職場アイテムが表示されます。 • [コンテナー]：検索結果には、職場アイテムの親またはコンテナーが表示されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.short_description	予約可能なモジュールの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.show_map_view	この予約可能なモジュールのマップビューを有効にするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：マップビューを有効にします。 • false:マップビューを有効にしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservable_module.sys_id	予約可能モジュールの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots	予約可能モジュールに関連付けられたタイムスロットの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	[
	{
	"name": "String",
	"short_description": "String",
	"slot_end": "String",
	"slot_start": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	]

result.reservation.reservable_module.timeSlots.name	タイムスロットの名前 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.short_description	タイムスロットの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_end	タイムスロットの終了時間 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.slot_start	スロットの開始時間。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.timeSlots.sys_id	タイムスロットレコードの sys_id。 タイムスロット [sn_wsd_rsv_time_slot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.title	予約可能なモジュールのタイトル。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider	予約可能モジュールに関連付けられている仮想プロバイダーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	"virtual_meeting_provider": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}

result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.display_value	バーチャル会議プロバイダーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservable_module.virtual_meeting_provider.sys_id	バーチャル会議プロバイダーの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservationAcl	関連する予約に設定されているユーザーアクセス制御レベル (ACL) チェックの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"reservationAcl": { "read": Boolean, "write": {Object} }`
result.reservation.reservationAcl.read	ユーザーがこの予約を読み取り可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約を読み取り可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約を読み取れるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write	関連付けられている予約のユーザーの書き込み機能に関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"write": { "allFields": Boolean, "fields": {Object}, "record": Boolean }`
result.reservation.reservationAcl.write.allFields	ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。ユーザーが一部の特定のフィールドにのみアクセスできる場合は、それらのフィールドのみが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで true になります。 有効な値： • true：ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込めるかどうかは確認しません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields	予約のさまざまなフィールドに対するアクセス制御の詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"fields": {
	  "location": Boolean,
	  "number_of_attendees": Boolean,
	  "requested_for": Boolean,
	  "sensitivity": Boolean,
	  "subject": Boolean
	}</pre>

result.reservation.reservationAcl.write.fields.location	ユーザーがこの予約の場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが場所フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.number_of_attendees	ユーザーがこの予約の出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが出席者数フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.requested_for	ユーザーがこの予約の要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが要求元フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.sensitivity	ユーザーがこの予約の機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：ユーザーが機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが機密性フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.fields.subject	ユーザーがこの予約の件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが件名フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservation.reservationAcl.write.record	ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約レコード全体に書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservation.reservation_purpose	予約の目的の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_purpose": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservation_type	予約のタイプの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_type": {`
	`  "display_value": "String,"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"value": "String"
	}</pre>

result.reservation.reservation_type.display_value	スペースなどの予約のタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_type.value	space などの予約のタイプの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.reservation_subtype	予約のサブタイプの詳細。サブタイプは、単一、複数の親、複数の子、繰り返し発生する親、発生件数などの予約のタイプを示します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"reservation_subtype": {
	"display_value": "String,"
	"value": "String"
	}</pre>

result.reservation.reservation_subtype.display_value	単一などの予約のサブタイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.reservation_subtype.value	single などの予約のサブタイプの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.sensitivity	予約の機密性の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"sensitivity": {
	"display_value": "String,"
	"value": "String"
	}</pre>

result.reservation.sensitivity.display_value	高、低などの予約の機密性の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sensitivity.value	1、3 などの予約の機密性の内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.shift	予約に適用されるシフトの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"shift": {
	"display_value": "String",
	"name": "String",
	"shiftDetails": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.shift.display_value	シフトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift.name	シフトの名前。*display_value* と同じです。 データタイプ：文字列
Result.reservation.shift.shiftDetails	シフトの詳細。 データタイプ：文字列
result.reservation.shift.sys_id	シフトレコードの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservation.source	職場サービスや Google メールなどの予約のソースに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"source": { "display_value": "String", "value": "String" }`
result.reservation.source.display_value	職場サービスなど予約ソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source.value	servicenow など予約ソースの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon	予約で使用されるアイコンのソースの詳細。このアイコンは UI で使用されます。 データタイプ：オブジェクト `"source_icon": { "classNames": "String", "imgSrc": "String", "tooltip": "String" }`
result.reservation.source_icon.classNames	ソースアイコンのカンマ区切りのクラス名。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.imgSrc	ソースアイコンの画像ソースの名前。このアイコンは画像 [db_image] テーブルに保存されます。 データタイプ：文字列
result.reservation.source_icon.tooltip	ソースアイコンに関連付けられたツールヒント。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservation.source_reservation	現在の予約のソース予約。 たとえば、複数の予約の場合、親予約が子予約のソースになります。 データタイプ：文字列
result.reservation.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservation.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列

result.reservation.sub_source	予約のサブソースの詳細。サブソースは、Google カレンダーや Microsoft Exchange などの予約の作成元を指定します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sub_source": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.sub_source.display_value	Google カレンダーなどの予約のサブソースの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sub_source.value	google_calendar などの予約のサブソースフィールドの内部値。 データタイプ：文字列

result.reservation.sync_state	「sync_enqueued」や「synchronized」など、別のサービスからの予約の同期ステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"sync_state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservation.sync_state.display_value	同期済みなど予約の現在の同期ステータスの表示値。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservation.sync_state.value	synchronized など予約の現在の同期ステータスの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservation.sys_created_on	予約が作成された日時。 データタイプ：文字列
result.reservation.sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
Result.reservation.sys_updated_on	予約が最後に更新された日時。 データタイプ：文字列
result.reservation.virtual_meeting	バーチャル会議リンクの URL。 データタイプ：文字列

result.reservationAcl	関連する予約に設定されているユーザーアクセス制御レベル (ACL) チェックの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservationAcl": {`
	`  "read": Boolean,`
	`  "write": {Object}`
	`}`

result.reservationAcl.read	ユーザーがこの予約を読み取り可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約を読み取り可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約を読み取れるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservationAcl.write	関連付けられている予約のユーザーの書き込み機能に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"write": {`
	`  "allFields": Boolean,`
	`  "fields": {Object},`
	`  "record": Boolean`
	`}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservationAcl.write.allFields	ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。ユーザーが一部の特定のフィールドにのみアクセスできる場合は、それらのフィールドのみが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで true になります。 有効な値： • true：ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが *reservationACL.write.fields* オブジェクトで指定されたすべてのフィールドに書き込めるかどうかは確認しません。 データタイプ：ブーリアン

result.reservationAcl.write.fields	予約のさまざまなフィールドに対するアクセス制御の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"fields": {`
	`  "location": Boolean,`
	`  "number_of_attendees": Boolean,`
	`  "requested_for": Boolean,`
	`  "sensitivity": Boolean,`
	`  "subject": Boolean`
	`}`

result.reservationAcl.write.fields.location	ユーザーがこの予約の場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが場所フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが場所フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.number_of_attendees	ユーザーがこの予約の出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：ユーザーが出席者の数フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが出席者数フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.requested_for	ユーザーがこの予約の要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが要求元フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが要求元フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.sensitivity	ユーザーがこの予約の機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが機密フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが機密性フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.write.fields.subject	ユーザーがこの予約の件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが件名フィールドに書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが件名フィールドに書き込めるかどうかをチェックしません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservationAcl.record	ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：ユーザーが予約レコード全体に書き込み可能かどうかを確認します。 • false:ユーザーが予約レコード全体に書き込めるかどうかをチェックしません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.standard_services	*include_standard_services* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。 フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"standard_services": [ { "font_awesome_icon": "String", "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

このコード例は、このエンドポイントを呼び出して、指定されたユーザーに関連付けられた予約のリストを取得する方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/list" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "reservations": [
      {
      "sys_id": "12e2da5e87c701106342b846dabb354d",
      "number": "WRES0001010",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "location": {
        "sys_id": "02000d4edb7650106c731dcd13961914",
        "name": "Eureka",
        "description": "A comfortable meeting room with leather chairs
and a wooden table. Client meeting room.",
        "display_value": "Eureka",
        "capacity": 12,
        "label_value": "Room name",
        "email": "eureka@example.com",
        "reservable_module": {
          "sys_id": "c31241cedb7650106c731dcd13961917",
          "name": "Meeting rooms",
          "title": "Meeting rooms",
          "inline_title": "meeting room"
        },
        "region": {
          "sys_id": "2d626c4edb3650106c731dcd1396194b",
          "display_value": "Europe",
          "active": true
        },
        "site": {
          "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
          "display_value": "Western Europe",
          "active": true
        },
        "campus": {
          "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
          "display_value": "Amsterdam Campus",
          "active": true
        },
        "building": {
          "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
          "display_value": "AMS-B1",
          "active": true,
          "timezone": {
            "value": "Europe/Amsterdam",
            "displayValue": "Europe/Amsterdam"
          }
        },
        "floor": {
          "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
          "display_value": "Floor 3",
          "active": true
        },
        "area": {
          "sys_id": "",
          "display_value": "",
          "active": false
        },
        "reservation": {
          "sys_id": "12e2da5e87c701106342b846dabb354d",
          "number_of_attendees": 1,
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "requested_for": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
            "name": "Workplace User",
            "user_name": "workplace_user"
          },
          "number": "WRES0001010",
          "active": true
        },
        "number_of_attendees": 1,
        "state": {
          "value": "confirmed",
          "display_value": "Confirmed"
        },
        "number": "WRES0001010",
        "requested_for": {
          "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
          "name": "Workplace User",
          "user_name": "workplace_user"
        }
      },
      "start": "2022-05-15T16:00:00Z",
      "end": "2022-05-15T17:00:00Z",
      "sys_created_on": "2022-04-26T09:19:37Z",
      "sys_updated_on": "2022-04-26T09:20:04Z",
      "source_reservation": null,
      "check_in_state": {
        "value": "not_required",
        "display_value": "Not required"
      },
      "external_id": null,
      "external_ical": null,
      "active": true,
      "state": {
        "value": "confirmed",
        "display_value": "Confirmed"
      },
      "sensitivity": {
        "value": "normal",
        "display_value": "Normal"
      },
      "reservation_type": {
        "value": "space",
        "display_value": "Space"
      },
      "reservation_subtype": {
        "value": "single",
        "display_value": "Single"
      },
      "reservation_purpose": {
        "value": "meeting",
        "display_value": "Meeting"
      },
      "attendees": [
        {
          "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
          "value": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
          "displayValue": "Workplace User",
          "display_value": "Workplace User",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "name": "Workplace User",
          "user_name": "workplace_user",
          "table": "sys_user",
          "avatar": "eb513744c3222010ae17dd981840dd97",
          "initials": "WU",
          "email": "workplace_user@example.com",
          "label": ""
        }
      ],
      "number_of_attendees": 1,
      "is_parent": false,
      "subject": "Add rsv_1",
      "virtual_meeting": "https://samplemeetingurl.com",
      "recording_details": [
        {
          "recording_url": "https://samplerecordingurl.com"
        }
      ],
      "sync_state": {
        "value": "not_required",
        "display_value": "Synchronization not required"
      },
      "sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "last_updated_sub_source": {
        "value": "servicenow_workplace_service_delivery",
        "display_value": "ServiceNow Workplace Service Delivery"
      },
      "reservable_module": {
        "sys_id": "c31241cedb7650106c731dcd13961917",
        "name": "Meeting rooms",
        "title": "Meeting rooms",
        "inline_title": "meeting room",
        "font_awesome_icon": "fa-building",
        "reservable_table": "sn_wsd_core_room",
        "reservable_filter":
 "active=true^is_reservable=true^building!=6c0364cedb3650106c731dcd139619
27^building.is_reservable=true^floor.is_reservable=true^EQ",
        "short_description": "Reserve a meeting room",
        "reservable_type": "location",
        "require_subject": "1",
        "require_cancel_notes": true,
        "virtual_meeting_provider": {
          "sys_id": "e33d9e6853c201103cf7ddeeff7b1205",
          "display_value": "Template"
        },
        "allow_invitees": "1",
        "display_number_of_attendees": "1",
        "display_on_behalf_of": "1",
        "display_sensitivity": "1",
        "max_days_in_future": "180",
        "allow_whole_day": "1",
        "selection_type": "unit",
        "reservable_container_field": null,
        "reservable_quantity_field": null,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "apply_to_shift": null,
        "max_occurrences": "180",
        "enable_facet_filter": false,
        "search_limit": 10000,
        "enable_ical_generation": null,
        "enable_group_reservations": null,
        "enable_browse_near_a_person": "1",
        "enable_browse_by_area": "1",
        "display_value": "Meeting rooms",
        "browse_near_a_person_enabled": true,
        "browse_by_area_enabled": true,
        "reservable_columns": [
          "sys_id",
          "external_id",
          "email",
          "name",
          "title",
          "description",
          "image",
          "number",
          "site",
          "campus",
          "building",
          "floor",
          "area",
          "capacity",
          "reservable_quantity",
          "location_type",
          "order",
          "requires_check_in",
          "is_reservable"
        ],
        "layout_mapping": {
          "title": [
            "name"
          ],
          "description": [
            "description"
          ],
          "subtitle": [
            "campus",
            "building",
            "floor",
            "area"
          ],
          "subtitle_asc": [
            "area",
            "floor",
            "building",
            "campus"
          ],
          "image": "image",
          "body": [
            {
              "label": "Capacity",
              "icon": "fa-users",
              "field": "capacity",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "field_to_display": ""
          },
          {
            "label": "Standard services",
            "icon": "fa-check",
            "field": "standard_services",
            "field_to_display": "name"
          },
          {
            "label": "Reservable purposes",
            "icon": "fa-tags",
            "field": "reservable_purposes",
            "field_to_display": "name"
          }
        ]
      },
      "timeSlots": [
        {
          "sys_id": "d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906",
          "name": "All day",
          "short_description": "8am - 6pm",
          "slot_start": "08:00",
          "slot_end": "18:00"
        }
      ],
      "buildingSysIds": [
        "4703a4cedb3650106c731dcd13961945",
        "6c0364cedb3650106c731dcd13961927",
        "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b"
      ],
      "reservable_views": [
        {
          "type": "card",
          "label": "Card view",
          "iconClass": "fa-th-large",
          "isDefault": true,
          "order": "1"
        },
        {
          "type": "schedule",
          "label": "Schedule view",
          "iconClass": "fa-calendar-o",
          "isDefault": false,
          "order": "2"
        }
      ],
      "checkin_before_minutes": 30,
      "reservation_paths": [
        {
          "value": "browse_all",
          "displayValue": "Browse all"
        },
        {
          "value": "browse_near_a_person",
          "displayValue": "Browse near a person"
        },
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
          "value": "browse_by_area",
          "displayValue": "Browse by area"
        }
      ],
      "override_approval_policy": "never_required"
    },
    "notification_recipients": [
      {
        "sys_id": "7016f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "name": "workplace user",
        "user_name": "workplace.user"
      }
    ],
    "notification_custom_message": "Demo notification message",
    "opened_by": {
      "sys_id": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "value": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
      "displayValue": "System Administrator",
      "display_value": "System Administrator",
      "name": "System Administrator",
      "user_name": "admin",
      "table": "sys_user",
      "avatar": "eb513744c3222010ae17dd981840dd97",
      "initials": "SA",
      "email": "admin@example.com",
      "label": "System Administrator"
    },
    "requested_for": {
      "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
      "value": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
      "displayValue": "Workplace User",
      "display_value": "Workplace User",
      "name": "Workplace User",
      "user_name": "workplace_user",
      "table": "sys_user",
      "avatar": "d3513744c3222010ae17dd981840dd97",
      "initials": "WU",
      "email": "workplace_user@example.com",
      "label": ""
    },
    "edit_restriction": {
      "value": "no_restriction",
      "display_value": "No restriction"
    },
    "source": {
      "value": "servicenow",
      "display_value": "Workplace Services"
    },
    "source_icon": {
      "classNames": "fa fa-calendar-check-o",
      "tooltip": "Reservation is confirmed",
      "imgSrc": ""
    },
    "shift": {
      "sys_id": "e5d23acfdb42a01097acc9003996193a",
      "name": "Test shift AMS-B1",
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Test shift AMS-B1",
        "shiftDetails": "8-5 weekdays excluding holidays\n  -
 Monday-Friday 8-5"
      },
      "reservationAcl": {
        "write": {
          "record": true,
          "fields": {
            "subject": true,
            "sensitivity": true,
            "requested_for": true,
            "number_of_attendees": true,
            "location": true
          },
          "allFields": true
        },
        "read": true
      }
      }
     ]
   }
}
```


WSD Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/reservation/cancel/{sys_id}

指定された職場予約をキャンセルします。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/cancel/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/cancel/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	キャンセルする予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
cancel_notes	予約をキャンセルする理由 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
sys_id	キャンセルされた予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用して予約をキャンセルする方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/cancel/12e2d
a5e87c701106342b846dabb354d" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
"result": {
  "sys_id": "73c316d2474b0150003a4587746d4337"
}
```

WSD Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/reservation/share_details/{sys_id}

予約の詳細を更新し、メール通知を使用して指定された受信者リストを共有します。オプションで、予約とともに指定されたメッセージを送信できます。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/share_details/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/share_details/{sys_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	共有する予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (XML または JSON)

名前	説明
notification_custom_message	指定された受信者に送信するメッセージ。 データタイプ：文字列
notification_recipients	必須。メール通知を送信するユーザーの sys_id のリスト。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
notification_type	送信する通知のタイプ。 有効なタイプ： • reservation_cancelled • reservation_created • reservation_updated データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
sys_id	共有された予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用して予約を共有する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/share_detai
ls/60d26a0f47578910003a4587746d4331" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"notification_recipients\": [\"5dfb9fcf47d78910003a4587746d4367\"],
\"notification_type\":\"reservation_updated\",
\"notification_custom_message\": \"Please join our design brainstorming
 meeting!\"
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
"result": {
  "sys_id": "60d26a0f47578910003a4587746d4331"
}
```

WSD Reservation - PATCH /api/sn_wsd_rsv/reservation/update/{sys_id}

指定された職場予約を更新します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/update/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/update/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	変更する予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
ignore_same_day_validation	予約検索で開始パラメーターと終了パラメーターの間の日付変更の検証を無視するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：日付変更の検証を無視します。 • false:変更日の検証を無視しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

要求本文パラメーター

名前	説明
終了	*shift*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
は_プライベート	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
場所	必須です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	予約する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
subject	必須です。 予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
result	更新された予約の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "location_id": "String", "sys_id": "String", "type_of_change": "String" }`
result.location_id	予約場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.sys_id	変更された予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.type_of_change	予約で更新された情報のタイプ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用して予約を更新する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/update/b537abc947db4510003a4587746d4351" \
--request PATCH \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\"subject\": \"Rsv Update_1\",
\"start\": \"2022-07-21 14:00:00\",
\"end\": \"2022-07-21 15:00:00\",
\"requested_for\": \"workplace_user@example.com\",
\"workplace_location\": \"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
\"is_private\": \false\
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "sys_id": "b537abc947db4510003a4587746d4351",
    "location_id": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
    "type_of_change": "location"
  }
}
```

WSD Reservation - POST /api/sn_wsd_rsv/reservation/add

新しい職場予約を作成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/add`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/add`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
ignore_same_day_validation	予約検索で開始パラメーターと終了パラメーターの間の日付変更の検証を無視するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：日付変更の検証を無視します。 • false:変更日の検証を無視しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
timezone	要求の検証を実行するための優先タイムゾーン。例：ヨーロッパ/アムステルダム。この検証では、開始時間と終了時間が同じ日付かどうかを確認します。 データタイプ：文字列 デフォルト：ユーザーのタイムゾーン

要求本文パラメーター

名前	説明
終了	*shift*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
は_プライベート	予約がプライベートかどうかを示すフラグ。プライベートである場合、予約は所有者以外の誰にも表示されません。 これらのプライバシー設定について詳しくは、 場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:予約はプライベートです。 • false:予約はプライベートではありません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト:システムプロパティでプライバシーに設定される値。
場所	必須です。 予約する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
requested_for	予約対象のユーザーの sys_id またはメールアドレス。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end*パラメーターは必要ありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
subject	必須です。 予約に関連付けられた会議の件名。 データタイプ：文字列

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
sys_id	作成された予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用して予約を作成する方法を示しています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/add" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"reservable_module\": \"c31241cedb7650106c731dcd13961917\",
  \"subject\": \"Test-123\",
  \"reservation_purpose\": \"meeting\",
  \"timezone\": \"US/Pacific\",
  \"requested_for\": \"6816f79cc0a8016401c5a33be04be441\",
  \"location\": \"5eafb44edb7650106c731dcd13961943\",
  \"is_private\": false,
  \"start\": \"2023-01-12T11:00:00Z\",
  \"end\": \"2023-01-12T12:00:00Z\"
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
"result": {
  "sys_id": "4b036a9e474b0150003a4587746d43b1"
}
```

WSD Reservation - POST /api/sn_wsd_rsv/reservation/quick_reserve

クイック予約を使用して新しい職場予約を作成します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/reservation/quick_reserve`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/quick_reserve`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	**Description** (説明)
終了	*`shift`*パラメーターが渡されない場合は必須です。予約の要求された終了時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
ignore_same_day_validation	必須。エンドポイントが *`start`* パラメーターと *`end`*パラメーターの間の日付変更の検証を無視するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：日付変更の検証を無視します。開始日と終了日が同じ場合は、これを true に設定します。 • false：日付変更の検証を無視しません。 データタイプ：ブーリアン
reference_location_id	必須。ユーザーが予約を希望する場所の近くにある場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。予約に関連付ける予約可能モジュールの sys_id。予約可能モジュール は、予約に必要な職場アイテムを定義します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *`end`*パラメーターは必要ありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。予約の要求された開始時間。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
sys_id	作成された予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、クイック予約エンドポイントを使用して予約を作成する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/reservation/quick_reser
ve" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"start\":\"2022-05-23 16:00:00\",
  \"end\": \"2022-05-23 17:00:00\",
  \"reservable_module\": \"5db44502dbb650106c731dcd13961937\",
  \"reference_location_id\": \"05f5290edb7210106c731dcd13961951\",
  \"ignore_same_day_validation\": \"true\"
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
"result": {
  "sys_id": "4b036a9e474b0150003a4587746d43b1"
}
```

WSD Reservation Invitees API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 予約招待者 API は、予約への招待者の追加、予約の招待者のフェッチ、予約の招待者の再アサインを行うためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Reservation Invitees - GET /api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/reservation/{sys_id}

指定された予約に関連付けられている招待者の詳細を取得します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_reservation_invitees/reservation/{sys_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/reservation/{sys_id}`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
sys_id	招待者の詳細を返す予約の sys_id。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された予約に関連付けられている招待者の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `{ "result": { "invitees": [Array], "reservationId": "String", "reservationSubType": "String", "success": Boolean } }`
result.invitees	予約に関連付けられている招待者の詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"invitees": [{ "email": "String", "firstName": "String", "inviteeId": "String", "inviteState": {Object}, "inviteeType": "String", "isVIP": Boolean, "isWifiRequired": Boolean, "isParkingRequired": Boolean, "lastName": "String", "licensePlate": "String", "location": {Object}, "name": "String", "org": "String", "parkingType": "String", "phoneNumber": "String", "privateNotes": "String", "reservationId": "String", "reservationInviteeId": "String", "title": "String", "visitorType": "String"`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> }]</pre>
result.invitees.email	招待者のメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.invitees.firstName	招待者の名。 データタイプ：文字列
result.invitees.inviteeId	従業員のユーザーレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.invitees.inviteState	予約に対する招待者の現在のステータスに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"inviteState": {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.invitees.inviteState.displayValue	New または Removed などの招待者のステータスの表示値。 データタイプ：文字列
result.invitees.inviteState.value	招待者のステータスの内部値。 データタイプ：文字列
result.invitees.inviteeType	招待者のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • 従業員 • visitor データタイプ：文字列
result.invitees.isVIP	招待者が VIP として分類されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：招待者は VIP です。 • false:招待者は VIP ではありません。 データタイプ：ブーリアン
result.invitees.isWifiRequired	入場時に WIFI パスワードを訪問者に提供する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：Wi-Fi パスワードを提供します。 • false:WIFI パスワードを指定しません。 データタイプ：ブーリアン
result.invitees.isParkingRequired	招待者が駐車場を必要とするかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：駐車場が必要です。 • false：駐車場は必要ありません。 データタイプ：ブーリアン
result.invitees.lastName	招待者の姓。 データタイプ：文字列
result.invitees.licensePlate	招待者のライセンスプレート。 データタイプ：文字列

result.invitees.location	招待者の職場の場所に関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"location": {`
	`"displayName": "String",`
	`"sysId": "String"`
	`}`

result.invitees.location.displayName	招待者の職場の場所の表示名 (Dublin など)。 データタイプ：文字列
result.invitees.location.sysId	招待者の職場の場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_worplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.invitees.name	招待者の名前。 データタイプ：文字列
result.invitees.org	招待者の組織。 データタイプ：文字列
result.invitees.parkingType	招待者に必要な駐車場のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • ev_parking • なし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• normal_parking • van_accessible_parking データタイプ：文字列
result.invitees.phoneNumber	招待者の電話番号。 データタイプ：文字列
result.invitees.privateNotes	招待者によって提供された追加のメモ。 データタイプ：文字列
result.invitees.reservationId	招待者が関連付けられている予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.invitees.reservationInviteeId	訪問者の予約招待者の sys_id。予約招待者 [sn_wsd_rsv_m2m_reservation_invitee] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.invitees.title	招待者の役職。 データタイプ：文字列
result.invitees.visitorType	招待者のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • client • contractor • friend_family • others データタイプ：文字列
result.reservationId	招待者が関連付けられている予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservationSubType	単一または複数の子など、予約レコードのサブタイプ。 データタイプ：文字列
result.success	コールが成功したかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：エンドポイントコールに成功しました。 • false：エンドポイントコールに失敗しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次のコード例は、予約の招待者を取得する方法を示しています。

```
curl
"http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/r
eservation/17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "reservationId": "17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3",
    "reservationSubType": "single",
    "invitees": [
      {
        "reservationId": "17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3",
        "location": {
          "sysId": "19efb84edb7650106c731dcd1396193c",
          "displayName": "Dublin"
        },
        "reservationInviteeId": "1f97d58d53e701103cf7ddeeff7b129a",
        "inviteeType": "employee",
        "inviteState": {
          "displayValue": "New",
          "value": "new"
        },
        "inviteeId": "6816f79cc0a8016401c5a33be04be441",
        "name": "System Administrator",
        "email": "admin@example.com"
      },
      {
        "reservationId": "17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3",
        "location": {
          "sysId": "19efb84edb7650106c731dcd1396193c",
          "displayName": "Dublin"
        },
        "reservationInviteeId": "8ee7ddc9536b01103cf7ddeeff7b1219",
        "inviteeType": "employee",
        "inviteState": {
          "displayValue": "New",
          "value": "new"
        },
        "inviteeId": "62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1",
        "name": "Abel Tuter",
        "email": "abel.tuter@example.com"
      },
      {
        "reservationId": "17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "location": {
          "sysId": "19efb84edb7650106c731dcd1396193c",
          "displayName": "Dublin"
        },
        "reservationInviteeId": "4ae7d10d536b01103cf7ddeeff7b126b",
        "inviteeType": "visitor",
        "inviteState": {
          "displayValue": "New",
          "value": "new"
        },
        "inviteeId": "86e7d10d536b01103cf7ddeeff7b1267",
        "firstName": "Visitor",
        "lastName": "User",
        "name": "Visitor User",
        "email": "visitoruser@example.com",
        "phoneNumber": "+919876543210",
        "isVIP": true,
        "parkingType": "normal_parking",
        "licensePlate": "1234",
        "isParkingRequired": true,
        "org": "Senow",
        "visitorType": "contractor",
        "title": "President",
        "isWifiRequired": true,
        "privateNotes": "Visiting"
      }
    ]
  }
}
```


WSD Reservation Invitees - POST /api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/reassign

ある予約から別の予約に指定された招待者を再アサインします。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_reservation_invitees/reassign`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/reassign`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
reservationId	必須。招待者を再アサインする予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservationInvitees	*reservationId* パラメーターで識別された予約に再アサインする招待者のリスト。予約招待者 [sn_wsd_rsv_m2m_reservation_invitee] テーブルにあります。 これにより、指定された招待者が予約招待者テーブルに従って以前の予約から削除され、この予約に移動されます。 データタイプ：文字列のアレイ

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	招待者の再アサインに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "reservationInviteeIds": Array, "success": Boolean }`
result.reservationInviteeIds	指定された予約に再アサインされた予約招待者の sys_id のリスト。 データタイプ：文字列のアレイ
result.success	招待者が予約に再アサインされたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：招待者は正常に再アサインされました。 • false：招待者は再アサインされませんでした。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次のコード例は、招待者を予約に再アサインする方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invite
es/reassign" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
\"reservationId\":\"3984e6c1532f01103cf7ddeeff7b129b\",
\"reservationInvitees\":
{\"aa31427f531701103cf7ddeeff7b1243\",\"e231427f531701103cf7ddeeff7b1243
\"}
}" \
--user 'username':'password'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "reservationInviteeIds": [
      "aa31427f531701103cf7ddeeff7b1243",
      "e231427f531701103cf7ddeeff7b1243"
    ]
  }
}
```

WSD Reservation Invitees - POST /api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/submit

指定された招待者を指定された予約に追加します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_reservation_invitees/submit`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/wsd_reservation_invitees/submit`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
invitees	指定された予約に追加する招待者のリスト。 データタイプ：オブジェクト `"invitees": [ { "email": "String", "firstName": "String", "inviteeId": "String", "inviteeType": "String", "isVIP": Boolean, "isWifiRequired": Boolean, "lastName": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明

	<pre>"licensePlate": "String",
	"org": "String",
	"parkingType": "String",
	"phone": "String",
	"privateNotes": "String",
	"title": "String",
	"visitorType": "String"
	}
	]</pre>

invitees.email	*inviteeType* が「訪問者」の場合は必須です。 招待者のメールアドレス。 データタイプ：文字列
invitees.firstName	招待者の名。 データタイプ：文字列
invitees.inviteeId	*inviteeType* が「従業員」の場合は必須です。 従業員のユーザーレコードの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
invitees.inviteeType	必須です。 招待者のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • 従業員 • visitor データタイプ：文字列
invitees.isVIP	招待者が VIP として分類されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：招待者は VIP です。 • false:招待者は VIP ではありません。 データタイプ：ブーリアン
invitees.isWifiRequired	入場時に WIFI パスワードを訪問者に提供する必要があるかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：Wi-Fi パスワードを提供します。 • false:WIFI パスワードを指定しません。 データタイプ：ブーリアン
invitees.lastName	招待者の姓。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)** (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
invitees.licensePlate	招待者のライセンスプレート。 データタイプ：文字列
invitees.org	招待者の組織。 データタイプ：文字列
invitees.parkingType	招待者に必要な駐車場のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • ev_parking • なし • normal_parking • van_accessible_parking データタイプ：文字列
invitees.phone	招待者の電話番号。 データタイプ：文字列
invitees.privateNotes	招待者によって提供された追加のメモ。 データタイプ：文字列
invitees.title	招待者の役職。 データタイプ：文字列
invitees.visitorType	招待者のタイプ。 有効な値： (大文字と小文字を区別) • client • contractor • friend_family • others データタイプ：文字列
reservationId	必須です。 招待者を追加する予約の sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	招待者を予約に追加した結果。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "reservationId": "String",`
	`  "success": Boolean`
	`}`

result.reservationId	招待者が追加された予約の sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.success	招待者が予約に追加されたかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：招待者は正常に追加されました。 • false：招待者は追加されませんでした。 データタイプ：ブーリアン

Example: cURL 要求

次のコード例は、訪問者と従業員の両方を予約に追加する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/v1/wsd_reservation_invite
es/submit" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{[
  \"reservationId\": \"041c4a13532f01103cf7ddeeff7b12c0\",
  \"invitees\": [
  {
    \"inviteeType\": \"employee\",
    \"inviteeId\": \"62826bf03710200044e0bfc8bcbe5df1\"
  },
  {
    \"inviteeType\":  \"visitor\",
    \"email\": \"visitoruser@example.com\",
    \"firstName\": \"Visitor\",
    \"lastName\":\"User\",
    \"isVIP\":true,
    \"visitorType\":\"contractor\",
    \"title\": \"ServiceNow Developer\",
    \"phone\": \"+91 9876543210\",
    \"isWifiRequired\": true,
    \"parkingType\": \"ev_parking\",
    \"licensePlate\": \"TS00TS0000\",
    \"org\": \"ServiceNow\",
    \"privateNotes\": \"Remarks\"
  }
]}" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "success": true,
    "reservationId": "17979dc9536b01103cf7ddeeff7b12b3"
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WSD Search API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 検索 API は、予約可能なモジュールやシフトなど、利用可能な場所と職場アイテムを検索するためのエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Safety Management (sn_wsd_core) と Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Search - GET /api/sn_wsd_rsv/search/availability

指定された可能な予約が、指定された時間に利用可能かどうかをチェックします。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/availability`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/search/availability`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
end	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する終了時間。この値は、*`start`* パラメーターで指定された値よりも後でなければなりません。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
include_reservations_within_days	1 日の各予約可能項目について、応答で利用可能な時間のすべての空きスロットを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての空きスロットを返します。 • false:すべての空きスロットを返しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
reservable_ids	必須。使用可否を評価する予約可能 sys_id のカンマ区切りリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservation_ids	既存の予約sys_idsのカンマ区切りリスト。関連する予約を編集する場合は、このパラメーターを渡します。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 対応する予約可能項目のこれらの sys_id に対してブロックされた時間は、利用可能として扱われます。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
reservable_module	必須です。検索に含める予約可能なモジュールの sys_id。予約可能モジュール は、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
schedule_view_obj	返されるスケジュールビューの詳細。1 日を超える予約に対して 24 時間の可用性データが必要な場合は、このオブジェクトを渡します。返される結果には、指定された日付の利用可能な時間と予約のみが含まれます。 この機能を正しく動作させるには、パラメーター *ignore_same_day_validation* と *include_reservations_within_days* を `true` に設定する必要があります。 データタイプ: オブジェクト `"schedule_view_obj": { "schedule_view_date": "String", "timezone": "String" }`
schedule_view_obj.schedule_view_date	予約可用性の返却を開始する日付。この日付は、 *schedule_view_obj.timezone* パラメーターで指定されたタイムゾーンである必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD
schedule_view_obj.timezone	返す予約可用性データを決定するために使用する建物のタイムゾーン。例:US/Pacific。 データタイプ：文字列
shift	指定された予約可能なモジュールがシフトに基づいている場合は必須です。 予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
start	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する開始時間。この値は、*end* パラメーターで指定された値よりも前でなければなりません。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された時間に利用可能なすべての可能な予約のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"result": [ { "availableTimes": [Array], "building": {Object}, "campus": {Object}, "email": "String", "floor": {Object}, "is_available": Boolean, "name": "String", "reservations": [Array], "sys_id": "String" } ]`
result.availableTimes	関連する予約可能項目が使用可能な日時のリスト。 データタイプ：アレイ
result.building	可能な予約に関連付けられている建物の詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"building": {
	  "display_value": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.building.name	建物の名前。 データタイプ：文字列
result.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.campus	可能な予約に関連付けられている敷地の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"campus": {
	  "display_value": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.campus.display_value	予約可能項目が存在する敷地の表示数 (イーストベイなど)。 データタイプ：文字列
result.campus.name	敷地の名前。 データタイプ：文字列
result.campus.sys_id	関連レコードの sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.email	関連する可能な予約のメールアドレス。 データタイプ：文字列

result.floor	予約に関連付けられているフロアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"floor": {
	  "display_value": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.floor.name	予約可能項目が存在するフロアの名前。 データタイプ：文字列
result.floor.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.is_available	予約可能項目が使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約不可能。 データタイプ：ブール
result.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.reservations	関連付けられている予約の詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservations": [ { "configuration_item": "String", "end": "String", "is_collided": Boolean, "location": {Object}, "number": "String", "requested_for": {Object}, "reservation_purpose": {Object}, "start": "String", "state": {Object}, "subject": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservations.configuration_item	予約に対応する構成アイテム。cmdb_ci テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservations.end	予約の終了日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservations.is_collided	予約が検索の開始時間と終了時間と競合するかどうかを示すフラグ。 これは、関連する予約可能な場所が指定された検索タイムスパンで既に予約されていることを示します。 可能な値： • true：競合。 • false：競合なし。 データタイプ：ブール
result.reservations.location	予約の場所の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"location": { "location": "String", "timezone": {Object} }`
result.reservations.location.location	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservations.location.timezone	場所に関連付けられたタイムゾーンに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト `"timezone": { "displayValue": "String", "value": "String" }`
result.reservations.location.timezone.displayValue	この場所が属するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservations.location.timezone.value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservations.number	予約番号。 データタイプ：文字列
result.reservations.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：オブジェクト `"requested_for": { "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservations.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservations.requested_for.sys_id	予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservations.reservation_purpose	予約の目的の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"reservation_purpose": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservations.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservations.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。 データタイプ：文字列
result.reservations.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservations.state	場所の予約のステータスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservations.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservations.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservations.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列
result.reservations.sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。注: 読みやすくするために、クエリ パラメーターに改行が追加されています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/availability?
reservable_module=5db44502dbb650106c731dcd13961937&
start=2023-10-12T11:00:00Z&
end=2023-10-15T12:00:00Z&
reservable_ids=adb35f1977220110b3d7be377b5a99fc&
reservation_ids=undefined&
shift=undefined&
schedule_view_obj={"schedule_view_date":"2023-10-12","timezone":"Europe/P
aris"}&
timezone=Europe/Paris&
include_reservations_within_days=true&
ignore_same_day_validation=true&
include_unavailable_items=true"  \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": [
    {
      "sys_id": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
      "email": null,
      "name": "Aspen",
      "is_available": true,
      "availableTimes": [
        [
          "2022-04-23 07:00:00",
          "2022-04-23 08:30:00"
        ],
        [
          "2022-04-23 09:30:00",
          "2022-04-23 23:00:00"
        ],
        [
          "2022-04-24 00:00:00",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          "2022-04-24 06:59:59"
        ]
      ],
      "floor": {
        "sys_id": "2f554296dbba10106c731dcd139619ed",
        "display_value": "Floor 2",
        "name": "Floor 2"
      },
      "building": {
        "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
        "display_value": "CAL-B1",
        "name": "CAL-B1"
      },
      "campus": {
        "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
        "display_value": "California Campus",
        "name": "California Campus"
      },
      "reservations": [
        {
          "sys_id": "5fe65830874bc9106342b846dabb352b",
          "number": "WRES0001001",
          "location": {
            "location": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          },
          "configuration_item": null,
          "start": "2022-04-23T08:30:00Z",
          "end": "2022-04-23T09:30:00Z",
          "subject": null,
          "reservation_purpose": {
            "value": "meeting",
            "display_value": "Meeting"
          },
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "is_collided": false,
          "requested_for": {
            "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
            "name": "Workplace User"
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```


WSD Search - GET /api/sn_wsd_rsv/search/best_match

指定された検索条件に基づいて、最も一致する予約可能なアイテムを検索します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/best_match`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/search/best_match`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
best_match_count	返される最も一致した可能な予約の数。 データタイプ：数値 デフォルト値：1
end	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する終了時間。この値は、*`start`* パラメーターで指定された値よりも後でなければなりません。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
include_reservable_purposes	返される結果で各予約可能項目の職場の場所を予約する目的を返すかどうかを示すフラグ。この情報は予約可能な目的 [sn_wsd_rsv_reservable_purpose] テーブルにあります。 有効な値： • true：予約可能な目的を返します。 • false:予約可能な目的を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_reservations_within_days	1 日の各予約可能項目について、応答で利用可能な時間のすべての空きスロットを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての空きスロットを返します。 • false:すべての空きスロットを返しません。 データタイプ：ブーリアン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト値：false
include_standard_services	応答で標準サービス情報を返すかどうかを示すフラグ。 標準サービスでは、ホワイトボード、追加のモニター、および類似サービスなど、予約時に予約可能な職場アイテムで利用可能な基本的なプロビジョニングについて説明します。標準サービスの詳細については、「 標準サービス 」を参照してください。この情報は、標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 有効な値： • true：標準サービス情報を返します。 • false:標準サービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
q	必須です。返された検索結果をフィルタリングするために使用するエンコードされたクエリ。このクエリ内では、建物の sys_id を指定する必要があり、floor、area、capacity、standard services、reservable_purposes などのパラメーターを指定できます。 数値である capacity を除いて、渡すパラメーターはすべて sys_id である必要があります。 例：`q=building=94e264cedb3650106c731dcd13961919^floorINfc7368cedb3650106c731dcd13961902^capacity>=1^standard_services=55c0818edb7650106c731dcd13961904^reservable_purposes=d6e5c7cd1ba4e01051848489cc4bcb81` この情報は、次のテーブルにあります。 • エリア：sn_wsd_core_area • 建物：sn_wsd_core_building • フロア：sn_wsd_core_floor • 予約可能な目的：sn_wsd_rsv_reservable_purpose • 標準サービス：sn_wsd_rsv_standard_service データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。検索に含める予約可能なモジュールの sys_id。予約可能モジュール は、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
start	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する開始時間。この値は、*end*パラメーターで指定された値よりも前でなければなりません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
time_slot	最も一致する可能な予約の検索を試みているタイムスロットレコードの sys_id。タイムスロット [sn_wsd_rsv_time_slot] テーブルにあります。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
タイムゾーン	優先タイムゾーン (ヨーロッパ/アムステルダムなど)。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし

要求本文パラメーター

ヘッダー	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	最も一致する可能な予約の結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "floorsOfSelectedBuilding": [Array], "hasMore": Boolean, "nextItemIndex": Number, "reservableContainers": [Array], "reservableUnits": [Array] }`
result.floorsOfSelectedBuilding	可能な予約があるフロアの詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"floorsOfSelectedBuilding": [ { "display_value": "String", "external_id": "String", "name": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.floorsOfSelectedBuilding.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.floorsOfSelectedBuilding.external_id	フロアの外部識別子。 データタイプ：文字列
result.floorsOfSelectedBuilding.name	予約可能項目が存在するフロアの名前。 データタイプ：文字列
result.floorsOfSelectedBuilding.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.hasMore	返される結果にさらに予約可能項目が含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：より多くの予約可能項目が利用可能です。 • false：これ以上の予約可能項目は利用できません。 データタイプ：ブール
result.nextItemIndex	フェッチする次の予約可能レコードのインデックス。予約可能レコードをページネーションするときに、この値を使用します。 データタイプ：数値
result.reservableContainers	selection_type フィールドが `container` に設定されている予約可能モジュールに対してのみ返されます。コンテナーは、デスクのグループなど、類似のアイテムをグループ化したものです。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservableContainers": [ { "building": {Object}, "campus": {Object}, "capacity": Number, "display_value": "String", "floor": {Object}, "image": {Object} "sys_id": "String" } ]`
result.reservableContainers.building	予約可能コンテナーに関連付けられている建物の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"building": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableContainers.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.building.name	建物の名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableContainers.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus	予約可能項目がある敷地の詳細。 敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"campus": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableContainers.campus.display_value	予約可能項目が存在する敷地の表示数 (イーストベイなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus.name	敷地の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus.sys_id	関連レコードの sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.capacity	予約可能項目の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservableContainers.display_value	予約可能コンテナーの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.floor	予約可能コンテナーに関連付けられているフロアの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"floor": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableContainers.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableContainers.floor.name	予約可能項目が存在するフロアの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.floor.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。 画像 [db_image] テーブルにあります。 `"image": { "link": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableContainers.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.sys_id	関連コンテナーレコードの sys_id。これが存在するテーブルは、任意のコンテナータイプに設定できます。デフォルトでは、エリア [sn_wsd_core_Area] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits	指定された検索条件に一致する予約可能ユニットに関する詳細。予約可能ユニットは、デスクや椅子などの単一の予約可能なアイテムです。 データタイプ：オブジェクト `"reservableUnits": [ { "area": "String", "availableTimes": [Array], "building": {Object}, "campus": {Object}, "capacity": "String", "defaultPrivacyValue": Boolean, "description": "String", "email": "String", "external_id": "String", "floor": {Object}, "image": {Object}, "includedInResult": Boolean,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	"is_available": Boolean, "is_favorite": Boolean, "is_reservable": "String", "is_reserved": Boolean, "is_selected": Boolean, "location_type": {Object}, "name": "String", "number": "String", "order": "String", "require_approval": Boolean, "requires_check_in": Boolean, "reservable_quantity": "String", "showPrivacyOption": Boolean, "site": {Object}, "standard_services": [Array], "tableName": "String", "title": "String", "reservable_purposes": [Array], "reservations": [Array], "sys_id": "String" }]

result.reservableUnits.area	予約可能モジュールがあるエリアの詳細。エリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	"area": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}

result.reservableUnits.area.display_value	予約可能モジュールエリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.area.sys_id	予約可能項目に関連するエリアレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.availableTimes	関連する予約可能項目が使用可能な日時のリスト。 データタイプ：アレイ
result.reservableUnits.building	予約可能項目がある建物の詳細。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト "building": { "display_value": "String",

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.campus	予約可能項目がある敷地の詳細。
	
	敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	<pre>"campus": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.campus.display_value	予約可能項目が存在する敷地の表示数 (イーストベイなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.campus.sys_id	関連レコードの sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.capacity	予約可能項目の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservableUnits.defaultPrivacyValue	予約可能な項目のデフォルトのプライバシー設定を示すフラグ。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 可能な値： • true:予約可能なプライバシー設定を上書きできます。 • false:予約可能なプライバシー設定を上書きできません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.description	予約可能項目の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.email	予約可能項目のメールアドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableUnits.external_id	CMS でマッピングされたスペースを同期するために使用される予約可能項目の外部 ID。この値は、この場所に関連付けられたマップがある場合にのみ入力されます。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.floor	可能な予約があるフロアの詳細。
	
	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"floor": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.floor.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。
	
	画像 [db_image] テーブルにあります。
	
	`"image": {`
	`  "link": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.includedInResult	現在の予約可能項目が返される結果に含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• true：返される結果に含まれます。 • false：返される結果に含まれません。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_available	予約可能項目が使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約不可能。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_favorite	予約可能項目が関連するユーザーのお気に入りの 1 つとしてフラグ付けされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：お気に入り。 • false：お気に入りではありません。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_reservable	この予約可能を予約できるかどうかを示すフラグ。 注: *include_unavailable_items* クエリパラメーターが true に設定されている場合は、利用できない場所も返されます。この場合、場所が既に予約されている場合、*is_available* パラメーターは false ですが、*is_reservable* は true です。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約不可能。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_reserved	予約可能項目が既に予約されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約済み。 データタイプ：ブール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableUnits.is_selected	予約可能項目が既に予約されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約済み。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.location_type	予約可能項目の場所のタイプに関する詳細 (workplace/desk、cafe、gym など)。 職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 `"location_type": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableUnits.location_type.display_value	場所タイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.location_type.name	地下やストレージなどの場所タイプの名前。表示値と同じです。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.location_type.sys_id	スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルの関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.order	予約可能項目の注文番号。 データタイプ：数値
result.reservableUnits.require_approval	予約可能項目の予約に承認が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：承認が必要です。 • false:承認は不要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.requires_check_in	予約可能でユーザーにチェックインを要求するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:チェックインが必要です。 • false:チェックインは不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.reservable_purposes	関連する予約可能項目の予約の目的に関する詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservable_purposes": [ { "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservableUnits.reservable_purposes.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservable_purposes.short_description	予約可能項目の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservable_purposes.sys_id	予約可能な目的レコードの sys_id。予約可能な目的 [sn_wsd_rsv_reservable_purpose] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations	予約可能項目に関連付けられている予約に関する詳細。*include_reservations_within_days* クエリパラメーターが true で、*reservation_ids* パラメーターに予約 ID が含まれている場合にのみ入力されます。これは、この予約可能項目の予約が既に存在することを意味します。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservations": [ { "configuration_item": "String", "end": "String", "is_collided": Boolean, "location": {Object},`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"number": "String",
	"requested_for": {Object},
	"reservation_purpose": {Object},
	"start": "String",
	"state": {Object},
	"subject": "String",
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

result.reservableUnits.reservations.configuration_item	予約に対応する構成アイテム。cmdb_ci テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservableUnits.reservations.is_collided	予約が検索の開始時間と終了時間と競合するかどうかを示すフラグ。 これは、関連する予約可能な場所が指定された検索タイムスパンで既に予約されていることを示します。 可能な値： • true：競合。 • false：競合なし。 データタイプ：ブール

result.reservableUnits.reservations.location	予約の場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"location": {
	"location": "String",
	"timezone": {Object}
	}</pre>

result.reservableUnits.reservations.location.location	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.location.timezone	場所に関連付けられたタイムゾーンに関する詳細。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"timezone": {
	  "displayValue": "String",
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.reservations.location.timezone.displayValue	この場所が属するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.location.timezone.value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.reservations.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"requested_for": {
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.reservations.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.requested_for.sys_id	予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose	予約の目的の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"reservation_purpose": {
	  "display_value": "String,"
	  "value": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservableUnits.reservations.state	場所の予約のステータスの詳細。 データタイプ：オブジェクト `"state": { "display_value": "String," "value": "String" }`
result.reservableUnits.reservations.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservable_quantity	関連する予約可能項目を同じ時間に予約できる最大回数。この値は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。 データタイプ：整数
result.reservableUnits.showPrivacyOption	関連付けられた予約可能なプライバシー設定を従業員が上書きできるかどうかを示すフラグ。 これらのプライバシー設定について詳しくは、場所のプライバシー設定と影響 をご覧ください。 有効な値： • true:プライバシー設定を上書きできます。 • false:プライバシー設定を上書きできません。 データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.site	予約可能項目が存在するサイトの詳細。 サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"site": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.site.display_value	サイトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.site.sys_id	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルの関連サイトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.standard_services	フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	<pre>"standard_services": [
	  {
	  "font_awesome_icon": "String",
	  "name": "String",
	  "short_description": "String",
	  "sys_id": "String"
	  }
	]</pre>

result.reservableUnits.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.name	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.sys_id	予約可能レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.tableName	予約可能項目レコードが存在するテーブルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableUnits.title	予約可能項目のタイトル。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/best_match?q=buil
ding%3D9e0364cedb3650106c731dcd1396192b&start=2023-01-04T07%3A00%3A00Z&ti
me_slot=d5331cf2dbb5f01038e42b24ca961906&end=2023-01-04T17%3A00%3A00Z&bes
t_match_count=1&reservable_module=2b636b7e1b4e60103523ff751a4bcbe2&timezo
ne=Europe%2FAmsterdam" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "hasMore": false,
    "reservableUnits": [
      {
        "sys_id": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
        "external_id": null,
        "email": null,
        "name": "Aspen",
        "title": "Aspen",
        "description": "A room with large windows, dark leather seats and
 a large wooden table.",
        "image": {
          "sys_id": "41c74902dbb650106c731dcd13961944",
          "link": "41c74902dbb650106c731dcd13961944.iix"
        },
        "number": "ROOM0000903",
        "site": {
          "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
          "display_value": "North America"
        },
        "campus": {
          "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
          "display_value": "California Campus"
        },
        "building": {
          "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
          "display_value": "CAL-B1"
        },
        "floor": {
          "sys_id": "2f554296dbba10106c731dcd139619ed",
          "display_value": "Floor 2"
        },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "area": null,
        "capacity": "16",
        "reservable_quantity": null,
        "location_type": {
          "sys_id": "20713b83eb512010b89bfdfc9c522899",
          "display_value": "Room",
          "name": "Room"
        },
        "order": null,
        "requires_check_in": null,
        "is_reservable": "1",
        "tableName": "sn_wsd_core_room",
        "require_approval": false,
        "standard_services": [
          {
            "sys_id": "abd0c18edb7650106c731dcd13961965",
            "name": "Projector screen",
            "short_description": "Connect laptop to screen (HDMI and
DVI)",
            "font_awesome_icon": "fa-caret-square-o-right"
          }
        ],
        "reservable_purposes": [
          {
            "sys_id": "18f4c3cd1ba4e01051848489cc4bcb82",
            "name": "Board room",
            "short_description": null
          }
        ],
        "is_available": true,
        "reservations": [
          {
            "sys_id": "5fe65830874bc9106342b846dabb352b",
            "number": "WRES0001001",
            "location": {
              "location": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
              "timezone": {
                "value": "US/Pacific",
                "displayValue": "US/Pacific"
              }
            },
            "configuration_item": null,
            "start": "2022-04-23T08:30:00Z",
            "end": "2022-04-23T09:30:00Z",
            "subject": null,
            "reservation_purpose": {
              "value": "meeting",
              "display_value": "Meeting"
            },
            "state": {
              "value": "confirmed",
              "display_value": "Confirmed"
            },
            "is_collided": false,
            "requested_for": {
              "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
              "name": "Workplace User"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            }
          },
          {
            "sys_id": "af075c30874bc9106342b846dabb3572",
            "number": "WRES0001002",
            "location": {
              "location": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
              "timezone": {
                "value": "US/Pacific",
                "displayValue": "US/Pacific"
              }
            },
            "configuration_item": null,
            "start": "2022-04-23T23:00:00Z",
            "end": "2022-04-24T00:00:00Z",
            "subject": null,
            "reservation_purpose": {
              "value": "meeting",
              "display_value": "Meeting"
            },
            "state": {
              "value": "confirmed",
              "display_value": "Confirmed"
            },
            "is_collided": false,
            "requested_for": {
              "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
              "name": "Workplace User"
            }
          }
        ],
        "availableTimes": [
          [
            "2022-04-23 07:00:00",
            "2022-04-23 08:30:00"
          ],
          [
            "2022-04-23 09:30:00",
            "2022-04-23 23:00:00"
          ],
          [
            "2022-04-24 00:00:00",
            "2022-04-24 06:59:59"
          ]
        ],
        "is_favorite": false
      }
    ],
    "reservableContainers": [],
    "nextItemIndex": -1,
    "floorsOfSelectedBuilding": [
      {
        "sys_id": "2f554296dbba10106c731dcd139619ed",
        "display_value": "Floor 2",
        "external_id": null,
        "name": "Floor 2"
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ]
  }
}{
  "result": {
    "hasMore": false,
    "reservableUnits": [
      {
        "sys_id": "32f2a98adb7210106c731dcd13961972",
        "external_id": null,
        "wsd_email": null,
        "name": "B1-03-04",
        "title": "B1-03-04",
        "description": "Desk reserved for the Team-C. After 10am, free to
 reserve for everyone.",
        "image": {
          "sys_id": "57b42dcadb7210106c731dcd13961945",
          "link": "57b42dcadb7210106c731dcd13961945.iix"
        },
        "number": "SPCE0009018",
        "site": {
          "sys_id": "b17220cedb3650106c731dcd1396197a",
          "display_value": "Western Europe"
        },
        "campus": {
          "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
          "display_value": "Amsterdam Campus"
        },
        "building": {
          "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
          "display_value": "AMS-B1"
        },
        "floor": {
          "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
          "display_value": "Floor 3"
        },
        "area": {
          "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
          "display_value": "Desks C1"
        },
        "capacity": "1",
        "reservable_quantity": null,
        "location_type": {
          "sys_id": "5f017383eb512010b89bfdfc9c5228c8",
          "display_value": "Workspace/Desk",
          "name": "Workspace/Desk"
        },
        "order": null,
        "requires_check_in": null,
        "is_reservable": "1",
        "tableName": "sn_wsd_core_space",
        "require_approval": false,
        "is_available": true,
        "reservations": [],
        "availableTimes": [
          [
            "2023-01-04 07:00:00",
            "2023-01-04 17:00:00"
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        ]
      ],
      "showPrivacyOption": false,
      "defaultPrivacyValue": false,
      "container": {
        "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
        "display_value": "Desks C1",
        "floor": {
          "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
          "display_value": "Floor 3",
          "name": "Floor 3"
        },
        "building": {
          "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
          "display_value": "AMS-B1",
          "name": "AMS-B1"
        },
        "campus": {
          "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
          "display_value": "Amsterdam Campus",
          "name": "Amsterdam Campus"
        },
        "capacity": 6,
        "image": {
          "sys_id": "d52c27b21b8e60103523ff751a4bcb49",
          "link": "d52c27b21b8e60103523ff751a4bcb49.iix"
        }
      },
      "includedInResult": true,
      "is_favorite": true
    }
  ],
  "reservableContainers": [
    {
      "sys_id": "410ff04edb7650106c731dcd13961973",
      "display_value": "Desks C1",
      "floor": {
        "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
        "display_value": "Floor 3",
        "name": "Floor 3"
      },
      "building": {
        "sys_id": "9e0364cedb3650106c731dcd1396192b",
        "display_value": "AMS-B1",
        "name": "AMS-B1"
      },
      "campus": {
        "sys_id": "44d2e0cedb3650106c731dcd13961988",
        "display_value": "Amsterdam Campus",
        "name": "Amsterdam Campus"
      },
      "capacity": 6,
      "image": {
        "sys_id": "d52c27b21b8e60103523ff751a4bcb49",
        "link": "d52c27b21b8e60103523ff751a4bcb49.iix"
      }
    }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ],
    "nextItemIndex": -1,
    "floorsOfSelectedBuilding": [
      {
        "sys_id": "5373a8cedb3650106c731dcd1396198a",
        "display_value": "Floor 3",
        "external_id": null,
        "name": "Floor 3"
      }
    ]
  }
```

WSD 検索:GET /api/sn_wsd_rsv/search/overlapping_reservation

渡されたパラメーターに基づいて、重複する予約が存在するかどうかを判断します。

URL 形式

バージョン管理された URL: `/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/overlapping_reservation`

デフォルト URL: `/api/sn_wsd_rsv/search/overlapping_reservation`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
終了	必須。重複予約の確認に使用する終了時間。 データタイプ：文字列 形式:YYY-MM-DDTHH:MM:SSZ
recurring_pattern	予約の繰り返し発生するパターンの詳細。 データタイプ: オブジェクト `"recurring_pattern": { "duration": Number, "options": {Object}, "repeats": "String", "startDate":"String" }`
recurring_pattern.期間	チェックする時間の長さ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：数値 単位：秒

recurring_pattern.オプション	繰り返し予約に関連付けられたオプションの詳細。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"options": {`
	`  "count": Number,`
	`  "daysOfWeek": "String",`
	`  "every": Number`
	`}`

recurring_pattern.options.count	パターンが繰り返される回数。 データタイプ：数値
recurring_pattern.options.daysOfWeek	重複をチェックする曜日。 有効な値： • 1 = 月曜日 • 2 = 火曜日 • 3 = 水曜日 • 4 = 木曜日 • 5 = 金曜日 • 6 = 土曜日 • 7 = 日曜日 たとえば、火曜日、木曜日、金曜日を指定するには、245 (区切り文字なし) を渡します。 データタイプ：文字列
recurring_pattern.options.every	チェックするパターンの繰り返し間隔。たとえば、この値が `2` の場合、1 日おきや隔週など、 *`repeats`* パラメーターの選択に基づいて繰り返しパターンがチェックされます。 データタイプ：数値
recurring_pattern.options.repeats	予約重複チェックの繰り返しパターン。 可能な値：(大文字と小文字を区別) • 日次 • monthly • weekly • yearly

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列
reservable_id	重複予約をチェックする予約可能モジュールのSys_id。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservation_id	重複を確認する予約のSys_id。この値は、マルチ/グループの親の編集フローで必要です。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

shift_info_object	重複をチェックするシフトの詳細。
	
	シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。
	
	データタイプ: オブジェクト
	
	`"shift_info_object": {`
	`  "applyToShift": Boolean,`
	`  "shift": "String",`
	`  "timezone": "String"`
	`}`

shift_info_object.applyToShift	予約可能モジュールに対してシフトベースの予約が有効かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：シフトベースの予約を許可します。 • false:シフトベースの予約を許可しません。 データタイプ：ブーリアン
shift_info_object.シフト	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 データタイプ：文字列
shift_info_object.タイムゾーン	重複をチェックするシフトのタイムゾーン。 データタイプ：文字列
start	必須。重複する予約をチェックするために使用する開始時間。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	説明
	形式:YYY-MM-DDTHH:MM:SSZ
user_id	必須。予約の重複を確認するユーザーのSys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

要求本文パラメーター **(XML** または **JSON)**

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「 REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
400	要求が正しくありません。不適切な要求タイプまたは誤った要求が検出されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター (JSON または XML)

名前	説明
結果	重複チェックの結果の詳細。 データタイプ: オブジェクト `"results": { "isOverlapped": Boolean, "reservableId": "String" }`
results.isOverlapped	重複する予約が存在するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:重複予約が存在します。 • false:重複予約は存在しません。 データタイプ：ブーリアン
results.reservableId	グループ予約の場合、重複が発生した予約可能なsys_id。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、特定のユーザーと、 *start* パラメーターと *end* パラメーターで示される特定の期間の予約の重複を確認する方法を示しています。

```
curl
 "http://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/overlapping_reserv
ation?user_id=2e617fecc3d365101e38b23bb00131ec&end=2023-06-19T8:00:00Z&st
art=2023-06-19T07:00:00Z" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user 'username':'password'
```

返される結果：

```
{
"results": {
  "isOverlapped": True,
  "reservableId": ""
  }
}
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

WSD Search - GET /api/sn_wsd_rsv/search/reservable

指定された予約可能なモデル構成を使用して、利用可能な予約可能アイテムを検索します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/reservable`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/search/reservable`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	Description (説明)
end	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する終了時間。この値は、*start* パラメーターで指定された値よりも後でなければなりません。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
exclude_reservables	検索結果から除外する 1 つ以上の予約可能なsys_idsのリスト。これらのsys_idsが配置されているテーブルは、予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルの reservable_table フィールドで指定されます。スペース [sn_wsd_core_space] テーブルまたは部屋 [sn_wsd_core_room] テーブルのいずれかです。 データタイプ:文字列またはアレイ
ignore_same_day_validation	予約検索で開始パラメーターと終了パラメーターの間の日付変更の検証を無視するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：日付変更の検証を無視します。 • false:変更日の検証を無視しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_reservable_purposes	返される結果で各予約可能項目の職場の場所を予約する目的を返すかどうかを示すフラグ。この情報は予約可能な目的 [sn_wsd_rsv_reservable_purpose] テーブルにあります。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	• true：予約可能な目的を返します。 • false:予約可能な目的を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_reservations_within_days	1 日の各予約可能項目について、応答で利用可能な時間のすべての空きスロットを返すかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：すべての空きスロットを返します。 • false:すべての空きスロットを返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
include_standard_services	応答で標準サービス情報を返すかどうかを示すフラグ。 標準サービスでは、ホワイトボード、追加のモニター、および類似サービスなど、予約時に予約可能な職場アイテムで利用可能な基本的なプロビジョニングについて説明します。標準サービスの詳細については、「 標準サービス 」を参照してください。この情報は、標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 有効な値： • true：標準サービス情報を返します。 • false:標準サービス情報を返しません。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
near_by_location_id	*rsv_path* パラメーターが `browse_near_a_person` に設定されている場合は必須です。エンコードされたクエリで使用する場所の sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
近隣	`rsv_path` パラメーターが `browse_by_neighborhood` に設定されている場合は必須です。 スペース管理 (sn_wsd_spc_mgmt_neighborhood) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。 エンコードクエリで使用する近隣レコードのSys_id。近隣 [sn_wsd_spcmgmt_neighborhood] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	近隣スペースの予約の詳細については、「近隣予約の作成」を参照してください。 データタイプ：文字列
next_item_index	取得する次のアイテムのインデックス。返される結果をページネーションするときに、このパラメーターを渡します。 データタイプ：数値 デフォルト：0
page_size	返される結果で返されるレコードの最大数。 データタイプ：数値 デフォルト：6
q	必須です。返された検索結果をフィルタリングするために使用するエンコードされたクエリ。このクエリ内では、建物の sys_id を指定する必要があり、floor、area、capacity、standard services、reservable_purposes などのパラメーターを指定できます。 数値である capacity を除いて、渡すパラメーターはすべて sys_id である必要があります。 例：`q=building=94e264cedb3650106c731dcd13961912^floorINfc7368cedb3650106c731dcd13961902^capacity>=1^standard_services=55c0818edb7650106c731dcd13961904^reservable_purposes=d6e5c7cd1ba4e01051848489cc4bcb81` この情報は、次のテーブルにあります。 • エリア：sn_wsd_core_area • 建物：sn_wsd_core_building • フロア：sn_wsd_core_floor • 予約可能な目的：sn_wsd_rsv_reservable_purpose • 標準サービス：sn_wsd_rsv_standard_service データタイプ：文字列
reservable_module	必須です。検索に含める予約可能なモジュールの sys_id。予約可能モジュールは、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。予約可能なモジュール [sn_wsd_rsv_reservable_module] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
reservation_ids	既存の予約sys_idsのカンマ区切りリスト。関連する予約を編集する場合は、このパラメーターを渡します。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	対応する予約可能項目のこれらの sys_id に対してブロックされた時間は、利用可能として扱われます。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし
rsv_path	検索に適用する予約パス。 有効な値： • browse_all：可能なすべての予約を検索します。 • browse_by_area：特定の場所の近くにある可能な予約を検索します。エリア識別子は、エンコードされたクエリ (*q*パラメーター) で渡す必要があります。 • browse_by_neighborhood: *neighborhood*パラメーターで指定された近隣の近くの予約可能を検索します。 • browse_near_a_person：*near_by_location_id*パラメーターで指定されたユーザーの職場の場所の近くにある可能な予約を検索します。 データタイプ：文字列 デフォルト：browser_all
schedule_view_obj	返されるスケジュールビューの詳細。1 日を超える予約に対して 24 時間の可用性データが必要な場合は、このオブジェクトを渡します。返される結果には、指定された日付の利用可能な時間と予約のみが含まれます。 この機能を正しく動作させるには、パラメーター *ignore_same_day_validation* と *include_reservations_within_days* を `true` に設定する必要があります。 データタイプ: オブジェクト `"schedule_view_obj": { "schedule_view_date": "String", "timezone": "String" }`
schedule_view_obj.schedule_view_date	予約可用性の返却を開始する日付。この日付は、*schedule_view_obj.timezone*パラメーターで指定されたタイムゾーンである必要があります。 データタイプ：文字列 形式：YYYY-MM-DD
schedule_view_obj.timezone	返す予約可用性データを決定するために使用する建物のタイムゾーン。例:US/Pacific。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリパラメーター (続く)

名前	Description (説明)
	データタイプ：文字列
start	必須です。利用可能な予約可能モジュールを検索するために使用する開始時間。この値は、*end* パラメーターで指定された値よりも前でなければなりません。 データタイプ：文字列 形式：UTC または現地時間 (yyyy-mm-dd hh:mm:ss)
shift	予約に関連付けるシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。このパラメーターが渡される場合、 *end* パラメーターは必要ありません。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列
sort_by	返された予約可能なアイテムの望ましいソート順。 有効な値： • a_z：昇順のソート順。 • favorites_first：ユーザーのお気に入りの予約可能な職場の順にソートされ、残りは昇順になります。 • z_a:降順のソート順。 データタイプ：文字列 デフォルト：a_z
タイムゾーン	優先タイムゾーン (ヨーロッパ/アムステルダムなど)。 データタイプ：文字列 デフォルト：なし

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	指定された検索の結果を返します。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result": {`
	`  "filter": {Object},`
	`  "hasMore": Boolean,`
	`  "nextFavIndex": Number,`
	`  "nextItemIndex": Number,`
	`  "reservableContainers": [Array],`
	`  "reservableUnits": [Array],`
	`  "totalProcessed": Number`
	`}`

result.filter	予約可能なフロア、標準サービス、予約可能な目的に関する詳細。*include_standard_services* または *include_reservable_purposes* パラメーターが false に設定されてい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	る場合、*standard_services* および *reservable_purposes* は空のアレイです。 データタイプ：オブジェクト `"filter": { "floors": [Array], "reservable_purposes": [Array], "standard_services": [Array] }`
result.filter.floors	可能な予約があるフロアの詳細。 フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト `"floors": [ { "display_value": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.filter.floors.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.filter.floors.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.filter.standard_services	*include_standard_services* パラメーターが true に設定されている場合にのみ入力されます。 フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"standard_services": [ { "font_awesome_icon": "String", "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.filter.standard_services. font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.filter.standard_services.name	標準サービスの名前。 データタイプ：文字列
result.filter.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.filter.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.filter.reservable_purposes	関連する予約可能項目の予約の目的に関する詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservable_purposes": [ { "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.filter.reservable_purposes.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.filter.reservable_purposes. short_description	予約可能項目の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.filter.reservable_purposes.sys_id	予約可能な目的レコードの sys_id。予約可能な目的 [sn_wsd_rsv_reservable_purpose] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.hasMore	返される結果にさらに予約可能項目が含まれているかどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：より多くの予約可能項目が利用可能です。 • false：これ以上の予約可能項目は利用できません。 データタイプ：ブール
result.nextFavIndex	ユーザーの次にお気に入りの可能な予約のインデックス。ユーザーのお気に入りの可能な予約をページネーションするときに、この値を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：数値
result.nextItemIndex	フェッチする次の予約可能レコードのインデックス。予約可能レコードをページネーションするときに、この値を使用します。 データタイプ：数値
result.reservableContainers	selection_type フィールドが `container` に設定されている予約可能モジュールに対してのみ返されます。コンテナーは、デスクのグループなど、類似のアイテムをグループ化したものです。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservableContainers": [ { "building": {Object}, "campus": {Object}, "capacity": Number, "display_value": "String", "floor": {Object}, "image": {Object} "sys_id": "String" } ]`
result.reservableContainers.building	予約可能コンテナーに関連付けられている建物の詳細。 データタイプ：オブジェクト `"building": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableContainers.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.building.name	建物の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus	予約可能項目がある敷地の詳細。 敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"campus": {
	  "display_value": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableContainers.campus.display_value	予約可能項目が存在する敷地の表示数 (イーストベイなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus.name	敷地の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.campus.sys_id	関連レコードの sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.capacity	予約可能項目の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservableContainers.display_value	予約可能コンテナーの表示値。 データタイプ：文字列

result.reservableContainers.floor	予約可能コンテナーに関連付けられているフロアの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"floor": {
	  "display_value": "String",
	  "name": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableContainers.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.floor.name	予約可能項目が存在するフロアの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.floor.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.image	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableContainers.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableContainers.sys_id	関連コンテナーレコードの sys_id。これが存在するテーブルは、任意のコンテナータイプに設定できます。デフォルトでは、エリア [sn_wsd_core_Area] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits	指定された検索条件に一致する予約可能ユニットに関する詳細。予約可能ユニットは、デスクや椅子などの単一の予約可能なアイテムです。 データタイプ：オブジェクト `"reservableUnits": [{ "area": "String", "availableTimes": [Array], "building": {Object}, "campus": {Object}, "capacity": "String", "defaultPrivacyValue": Boolean, "description": "String", "email": "String", "external_id": "String", "floor": {Object}, "image": {Object}, "includedInResult": Boolean, "is_available": Boolean, "is_favorite": Boolean, "is_reservable": "String", "is_reserved": Boolean, "is_selected": Boolean, "location_type": {Object}, "name": "String", "number": "String", "order": "String", "require_approval": Boolean, "requires_check_in": Boolean, "reservable_quantity": "String", "showPrivacyOption": Boolean, "site": {Object}, "standard_services": [Array],`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"tableName": "String",
	"title": "String",
	"reservable_purposes":
	[Array],
	"reservations": [Array],
	"sys_id": "String"
	}
	]</pre>

result.reservableUnits.area	予約可能モジュールがあるエリアの詳細。エリア [sn_wsd_core_area] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"area": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.area.display_value	予約可能モジュールエリアの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.area.sys_id	予約可能項目に関連するエリアレコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.availableTimes	関連する予約可能項目が使用可能な日時のリスト。 データタイプ：アレイ

result.reservableUnits.building	予約可能項目がある建物の詳細。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"building": {
	"display_value": "String",
	"sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.building.display_value	建物の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.building.sys_id	関連付けられた建物レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.campus	予約可能項目がある敷地の詳細。 敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：オブジェクト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明

	<pre>"campus": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.campus.display_value	予約可能項目が存在する敷地の表示数 (イーストベイなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.campus.sys_id	関連レコードの sys_id。敷地 [sn_wsd_core_campus] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.capacity	予約可能項目の参加者の最大人数。 データタイプ：数値
result.reservableUnits.description	予約可能項目の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.email	予約可能項目のメールアドレス。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.external_id	CMS でマッピングされたスペースを同期するために使用される予約可能項目の外部 ID。この値は、この場所に関連付けられたマップがある場合にのみ入力されます。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.floor	可能な予約があるフロアの詳細。
	
	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブルにあります。
	
	データタイプ：オブジェクト
	<pre>"floor": {
	  "display_value": "String",
	  "sys_id": "String"
	}</pre>

result.reservableUnits.floor.display_value	予約可能項目が存在するフロアの階数を表示します (12 など)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.floor.sys_id	フロア [sn_wsd_core_floor] テーブル内の関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableUnits.image	関連する予約可能項目のレイアウトを表す画像の詳細。 画像 [db_image] テーブルにあります。 `"image": { "link": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableUnits.image.link	この予約可能項目のレイアウトを表す画像へのリンク。画像 [db_image] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.image.sys_id	関連する画像レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.includedInResult	現在の予約可能項目が返される結果に含まれているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：返される結果に含まれます。 • false：返される結果に含まれません。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_available	予約可能項目が使用可能かどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約不可能。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_favorite	予約可能項目が関連するユーザーのお気に入りの 1 つとしてフラグ付けされているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：お気に入り。 • false：お気に入りではありません。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_reservable	この予約可能を予約できるかどうかを示すフラグ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	注: *include_unavailable_items* クエリパラメーターが true に設定されている場合は、利用できない場所も返されます。この場合、場所が既に予約されている場合、*is_available* パラメーターは false ですが、*is_reservable* は true です。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約不可能。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_reserved	予約可能項目が既に予約されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約済み。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.is_selected	予約可能項目が既に予約されているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能。 • false：予約済み。 データタイプ：ブール
result.reservableUnits.location_type	予約可能項目の場所のタイプに関する詳細 (workplace/desk、cafe、gym など)。 職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 `"location_type": { "display_value": "String", "name": "String", "sys_id": "String" }`
result.reservableUnits.location_type.display_value	場所タイプの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.location_type.name	地下やストレージなどの場所タイプの名前。表示値と同じです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableUnits.location_type.sys_id	スペースタイプ [sn_wsd_core_space_type] テーブルの関連レコードの sys_id。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.order	予約可能項目の注文番号。 データタイプ：数値
result.reservableUnits.require_approval	予約可能項目の予約に承認が必要かどうかを示すフラグ。 可能な値： • true：承認が必要です。 • false:承認は不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.requires_check_in	予約可能でユーザーにチェックインを要求するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true:チェックインが必要です。 • false:チェックインは不要です。 データタイプ：ブーリアン
result.reservableUnits.reservable_purposes	関連する予約可能項目の予約の目的に関する詳細。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservable_purposes": [ { "name": "String", "short_description": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservableUnits.reservable_purposes.name	予約可能項目の名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableUnits.reservable_purposes.short_description	予約可能項目の簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservable_purposes.sys_id	予約可能な目的レコードの sys_id。予約可能な目的 [sn_wsd_rsv_reservable_purpose] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations	予約可能項目に関連付けられている予約に関する詳細。*include_reservations_within_days* クエリパラメーターが true で、*reservation_ids* パラメーターに予約 ID が含まれている場合にのみ入力されます。これは、この予約可能項目の予約が既に存在することを意味します。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"reservations": [ { "configuration_item": "String", "end": "String", "is_collided": Boolean, "location": {Object}, "number": "String", "requested_for": {Object}, "reservation_purpose": {Object}, "start": "String", "state": {Object}, "subject": "String", "sys_id": "String" } ]`
result.reservableUnits.reservations.configuration_item	予約に対応する構成アイテム。cmdb_ci テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.end	予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)
result.reservableUnits.reservations.is_collided	予約が検索の開始時間と終了時間と競合するかどうかを示すフラグ。 これは、関連する予約可能な場所が指定された検索タイムスパンで既に予約されていることを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	可能な値： • true：競合。 • false：競合なし。 データタイプ：ブール

result.reservableUnits.reservations.location	予約の場所の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"location": {`
	`  "location": "String",`
	`  "timezone": {Object}`
	`}`

result.reservableUnits.reservations.location.location	関連付けられた場所レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.reservations.location.timezone	場所に関連付けられたタイムゾーンに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"timezone": {`
	`  "displayValue": "String",`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.reservations.location.timezone.displayValue	この場所が属するタイムゾーンの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.location.timezone.value	この場所が属するタイムゾーンの内部値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.number	予約可能項目の一意の識別子。この値は、sys_id よりも人間が判読しやすい値です。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.reservations.requested_for	代理で予約が要求されたユーザーの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"requested_for": {`
	`  "name": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.reservations.requested_for.name	予約が要求されたユーザーの名前。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableUnits.reservations.requested_for.sys_id	予約が要求されているユーザーの sys_id。ユーザー [sys_user] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose	予約の目的の詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"reservation_purpose": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose.display_value	会社の会議などの予約の目的の表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.reservation_purpose.value	company_meeting などの予約の目的の内部値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.start	予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2021-02-05T18:00:00Z など)

result.reservableUnits.reservations.state	場所の予約のステータスの詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"state": {`
	`  "display_value": "String,"`
	`  "value": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.reservations.state.display_value	予約の現在のステータスの表示値 (確定済みなど)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.state.value	予約の現在のステータスの内部値 (2 など)。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.subject	予約の件名。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.reservations.sys_id	必須です。 予約レコードの sys_id。職場予約 [sn_wsd_rsv_reservation] テーブルにあります。 データタイプ：文字列

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
result.reservableUnits.reservable_quantity	関連する予約可能項目を同じ時間に予約できる最大回数。この値は、エリアに近隣スペースをアサインするときに使用されます。 データタイプ：整数

result.reservableUnits.site	予約可能項目が存在するサイトの詳細。
	
	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルにあります。
	
	`"site": {`
	`  "display_value": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`}`

result.reservableUnits.site.display_value	サイトの表示値。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.site.sys_id	サイト [sn_wsd_core_site] テーブルの関連サイトレコードの sys_id。 データタイプ：文字列

result.reservableUnits.standard_services	フリップチャート、プロジェクタースクリーン、ホワイトボードとマーカーなどの関連する標準サービス。
	
	データタイプ：オブジェクトのアレイ
	
	`"standard_services": [`
	`  {`
	`  "font_awesome_icon": "String",`
	`  "name": "String",`
	`  "short_description": "String",`
	`  "sys_id": "String"`
	`  }`
	`]`

result.reservableUnits.standard_services.font_awesome_icon	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.name	標準サービスに関連付けられたサムネイルアイコンの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.short_description	標準サービスの簡単な説明。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.standard_services.sys_id	標準サービスレコードの sys_id。標準サービス [sn_wsd_rsv_standard_service] テーブルにあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	データタイプ：文字列
result.reservableUnits.sys_id	予約可能レコードの sys_id。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.tableName	予約可能項目レコードが存在するテーブルの名前。 データタイプ：文字列
result.reservableUnits.title	予約可能項目のタイトル。 データタイプ：文字列
result.totalProcessed	処理されるレコードの合計数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

この例では、このエンドポイントを使用して予約可能を検索する方法を示します。注: 読みやすくするために、クエリ パラメーターに改行が追加されています。

```
curl "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/reservable?
reservable_module=d9864189c3653910977396cb05013100&
start=2023-10-12T10:30:00Z&
end=2023-10-13T11:30:00Z&
include_standard_services=true&
include_reservable_purposes=true&
include_reservations_within_days=true&
include_unavailable_items=true&
near_by_location_id=undefined&
timezone=Europe/Paris&
page_size=6&
sort_by=a_z&
view=schedule&
rsv_path=browse_all&
ignore_same_day_validation=true&
schedule_view_obj={"schedule_view_date":"2023-10-12","timezone":"Europe/P
aris"}&
q=building=dea39b1977220110b3d7be377b5a9955\
--request GET \
--header "Accept:application/json"
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "hasMore": true,
    "reservableUnits": [
      {
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "sys_id": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
        "external_id": null,
        "email": null,
        "name": "Aspen",
        "title": "Aspen",
        "description": "A room with large windows, dark leather seats and
a large wooden table.",
        "image": {
          "sys_id": "41c74902dbb650106c731dcd13961944",
          "link": "41c74902dbb650106c731dcd13961944.iix"
        },
        "number": "ROOM0000903",
        "site": {
          "sys_id": "628eec06db7650106c731dcd139619dd",
          "display_value": "North America"
        },
        "campus": {
          "sys_id": "82b2a0cedb3650106c731dcd139619e9",
          "display_value": "California Campus"
        },
        "building": {
          "sys_id": "94e264cedb3650106c731dcd13961919",
          "display_value": "CAL-B1"
        },
        "floor": {
          "sys_id": "2f554296dbba10106c731dcd139619ed",
          "display_value": "Floor 2"
        },
        "area": null,
        "capacity": "16",
        "reservable_quantity": null,
        "location_type": {
          "sys_id": "20713b83eb512010b89bfdfc9c522899",
          "display_value": "Room",
          "name": "Room"
        },
        "order": null,
        "requires_check_in": null,
        "is_reservable": "1",
        "tableName": "sn_wsd_core_room",
        "require_approval": false,
        "standard_services": [
          {
            "sys_id": "9b01458edb7650106c731dcd13961945",
            "name": "Flip chart",
            "short_description": "Flip chart with paper sheets",
            "font_awesome_icon": "fa-calendar-o"
          }
        ],
        "reservable_purposes": [
          {
            "sys_id": "18f4c3cd1ba4e01051848489cc4bcb82",
            "name": "Board room",
            "short_description": null
          }
        ],
        "is_available": true,
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "reservations": [
        {
          "sys_id": "5fe65830874bc9106342b846dabb352b",
          "number": "WRES0001001",
          "location": {
            "location": "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca",
            "timezone": {
              "value": "US/Pacific",
              "displayValue": "US/Pacific"
            }
          },
          "configuration_item": null,
          "start": "2022-04-23T08:30:00Z",
          "end": "2022-04-23T09:30:00Z",
          "subject": null,
          "reservation_purpose": {
            "value": "meeting",
            "display_value": "Meeting"
          },
          "state": {
            "value": "confirmed",
            "display_value": "Confirmed"
          },
          "is_collided": false,
          "requested_for": {
            "sys_id": "2de07e1887cb89106342b846dabb35fe",
            "name": "Workplace User"
          }
        }
      ],
      "availableTimes": [
        [
          "2022-04-23 07:00:00",
          "2022-04-23 08:30:00"
        ],
        [
          "2022-04-23 09:30:00",
          "2022-04-23 23:00:00"
        ]
      ],
     "is_reserved": true,
     "is_selected": true,
      "includedInResult": true,
      "is_favorite": false
    }
  ],
  "reservableContainers": [],
  "nextItemIndex": -1,
  "filter": {
    "floors": [],
    "standard_services": [
      {
        "sys_id": "9b01458edb7650106c731dcd13961945",
        "name": "Flip chart",
        "short_description": "Flip chart with paper sheets",
        "font_awesome_icon": "fa-calendar-o"
      }
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ],
      "reservable_purposes": [
        {
          "sys_id": "18f4c3cd1ba4e01051848489cc4bcb82",
          "name": "Board room",
          "short_description": null
        }
      ]
    },
    "totalProcessed": 2,
    "nextFavIndex": 0
  }
}
```


WSD Search - GET /api/sn_wsd_rsv/search/shift/{building_id}/{module_id}

シフト [sn_wsd_core_shift] テーブル内の利用可能なシフトを検索するために使用できるエンコードされたクエリを返します。

指定された予約可能なモジュールの [appy_to_shift] フィールドが有効になっている場合にのみ適用されます。有効になっていない場合、返されるエンコードされたクエリ文字列は空になります。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/shift/{building_id}/{module_id}`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/search/shift/{building_id}/{module_id}`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
building_id	検索クエリに含める建物の sys_id。建物 [sn_wsd_core_building] テーブルにあります。 データタイプ：文字列
module_id	検索クエリに含める予約可能なモジュールの sys_id。予約可能なモジュール [sn_wsd_core_reservable_module] テーブルにあります。予約可能なモジュールは、椅子やデスクなど、類似タイプの職場アイテムをグループ化します。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
end_date	エンコードされたクエリに含めるシフト終了日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
start_date	エンコードされたクエリに含めるシフト開始日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された利用可能なシフトを取得するために使用するエンコードされたクエリ。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "moduleHasShift" : Boolean, "query": "String" }`
moduleHasShift	指定された予約可能なモジュールでシフトが有効になっているかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：予約可能なモジュールでシフトが有効になっています。 • false：予約可能なモジュールでシフトが有効になっていません。エンコードされたクエリが返されませんでした。 データタイプ：ブーリアン
query	指定された予約可能なモジュールのシフト情報を取得するために使用するエンコードされたクエリ。 データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを使用してシフトのエンコードされたクエリを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/shift/94e264cedb3
650106c731dcd13961919/fc71f64fdb42a01097acc900399619a8?start_date=2022-04
-23 16:00:00&end_date=2022-04-28 16:00:00"  \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "moduleHasShift" : true,
    "query" :
 "active=true^state=2^building=94e264cedb3650106c731dcd13961919^building.
is_reservable=true^building.active=true^floorISEMPTY^ORfloor.is_reservabl
e=true^floorISEMPTY^ORfloor.active=true^start<=2022-04-26
 16:00:00^ORstartISEMPTY^end>=2022-04-28
 16:00:00^ORendISEMPTY^start<=2022-04-28
 16:00:00^ORstartISEMPTY^end>=2022-04-28 16:00:00^ORendISEMPTY"
  }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WSD Search - POST /api/sn_wsd_rsv/search/availability_score

指定されたタイムスロットの予約可能なアイテムの使用可否スコアを返します。

URL 形式

バージョニングされている URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/search/availability_score`

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/search/availability_score`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
なし	

要求本文パラメーター

名前	説明
recurringPattern	*startEndDateTimes* パラメーターが指定されていない場合は必須です。可能な予約を検索するために使用する繰り返しパターン。指定された繰り返しイベントで利用可能です。 データタイプ：オブジェクト `"recurringPattern": { "duration": Number, "label": "String", "options": {Object}, "repeats": "String", "startDate": "String" }`
recurringPattern.duration	必須。予約可能でなければならない期間。 データタイプ：数値 単位：ミリ秒
recurringPattern.label	「`Repeats daily, 5 times`」など、繰り返し発生するパターンの説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	データタイプ：文字列

recurringPattern.options	検索する繰り返し予約の使用可否オプション。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"options": {`
	`  "count": Number,`
	`  "daysOfWeek": "String",`
	`  "endDate": "String",`
	`  "every": Number`
	`}`

recurringPattern.options.count	*endDate* が渡されない場合に必須です。両方が渡される場合、*count* が使用されます。会議パターンを繰り返す回数。 データタイプ：数値
recurringPattern.options.daysOfWeek	*recurringPattern.repeats* パラメーターが `weekly` に設定されている場合は必須です。予約が必要な曜日。 有効な値： • 1 = 月曜日 • 2 = 火曜日 • 3 = 水曜日 • 4 = 木曜日 • 5 = 金曜日 • 6 = 土曜日 • 7 = 日曜日 たとえば、火曜日、木曜日、金曜日を指定するには、245 (区切り文字なし) を渡します。*repeat* が weekly、*count* が 5、*daysOfWeek* が 245 の場合、返される結果の合計は `count*daysOfWeek.length` (5*3=15) になります。 データタイプ：文字列
recurringPattern.options.endDate	*recurringPattern.options.count* が渡されない場合に必須です。両方が渡される場合、*count* が使用されます。会議の繰り返しの終了日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
recurringPattern.options.every	パターンの繰り返し間隔。たとえば、この値が `2` の場合は、*`repeats`* パラメーターの選択に基づいて隔日や隔週など、パターンを繰り返します。 データタイプ：数値
recurringPattern.repeats	必須。可能な予約の繰り返しパターン。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • daily • monthly • weekly • yearly データタイプ：文字列
recurringPattern.startDate	必須です。繰り返しパターンの開始日時 (「2022-07-08T14:00:00Z」など)。 データタイプ：文字列 形式：UTC yyyy-mm-dd hh:mm:ss
reservableIds	必須。使用可否スコアに含める可能な予約の sys_id のリスト。職場の場所 [sn_wsd_core_workplace_location] テーブルにあります。 データタイプ：アレイ
reservableType	必須。使用可否スコアに含める可能な予約のタイプ。検索を絞り込むために使用します。 有効な値 (大文字と小文字を区別)： • location • configuration_item データタイプ：文字列
startEndDateTimes	検索するユーザーのタイムゾーンでの開始日時と終了日時のリスト。 データタイプ：オブジェクトのアレイ `"startEndDateTimes": [ { "end": "String", "start": "String" } ]`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター (続く)

名前	説明
	デフォルト：*recurringPattern* パラメーターを指定する必要があります。
startEndDateTimes.end	可能な予約の終了日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss
startEndDateTimes.start	可能な予約の開始日時。 データタイプ：文字列 形式：yyyy-mm-dd hh:mm:ss

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	応答本文のデータフォーマット。サポートされるタイプ：*application/json* または *application/xml*。 デフォルト： *application/json*
Content-Type	要求本文のデータ形式。*application/json* のみをサポートします。

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスコード (続く)

ステータスコード	説明
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明
result	指定された使用可否スコアの結果を返します。 データタイプ：オブジェクト `"result": { "reservable_sys_id": { "available": Number, "score": "String", "total": Number } }`
result.available	指定された検索条件を満たした利用可能な予約の数。 データタイプ：数値
result.score	使用可否スコア。指定された検索条件を満たした利用可能な予約の合計数に対する、利用可能な予約の数。たとえば、*available* が 2 で *total* が 4 の場合、*score* の値は 2/4 です。 データタイプ：文字列
result.total	指定された検索条件を満たした利用可能な予約の合計数。 データタイプ：数値

Example: cURL 要求

次のコード例は、このエンドポイントを呼び出す方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/search/availability_sco
re" \
--request POST \
--header "Accept:application/json" \
--header "Content-Type:application/json" \
--data "{
  \"reservableType\": \"location\",
  \"reservableIds\": [
    \"fe1f744edb7650106c731dcd139619ca\",
    \"5eafb44edb7650106c731dcd13961943\"
  ],
  \"recurringPattern\": {
    \"duration\": 3600000,
    \"repeats\": \"daily\",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    \"options\": {
      \"count\": 150,
      \"daysOfWeek\": \"\",
      \"every\": 1
    },
    \"label\": \"Repeats daily, 5 times\",
    \"startDate\": \"2022-04-26T14:00:00Z\"
  },
  \"startEndDateTimes\": [
    {
      \"start\": \"2022-07-05 14:00:00\",
      \"end\": \"2022-07-05 15:00:00\"
    },
    {
      \"start\": \"2022-07-06 14:00:00\",
      \"end\": \"2022-07-06 15:00:00\"
    }
  ]
}" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "fe1f744edb7650106c731dcd139619ca": {
      "available": 2,
      "total": 2,
      "score": "2/2"
    },
    "5eafb44edb7650106c731dcd13961943": {
      "available": 2,
      "total": 2,
      "score": "2/2"
    }
  }
```

WSD Shift API

ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) *Shift* API は、指定された日時のシフトのタイムスパンを返すエンドポイントを提供します。

この API にアクセスするには、問い合わせユーザーに sn_wsd_core.workplace_user ロールが必要であり、Workplace Safety Management (sn_wsd_core) と Workplace Reservation Management (sn_wsd_rsv) プラグインを有効にする必要があります。

この API は `sn_wsd_rsv` 名前空間で実行されます。

ワークプレイス予約管理の詳細については、「ワークプレイス予約管理」を参照してください。

WSD Shift - GET /api/sn_wsd_rsv/wsd_shift/{shift_id}/timespan

指定された日付/時刻とシフトのタイムスパンを返します。

URL 形式

バージョニングされた URL：`/api/sn_wsd_rsv/{api_version}/wsd_shift/{shift_id}/timespan`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの URL：`/api/sn_wsd_rsv/wsd_shift/{shift_id}/timespan`

サポートされている要求パラメーター

パスパラメーター

名前	説明
api_version	オプションアクセスするエンドポイントのバージョン。たとえば、`v1` や `v2`。最新以外のエンドポイントバージョンを使用する場合にのみ、この値を指定してください。 データタイプ：文字列
shift_id	タイムスパンを取得するシフトの sys_id。シフト [sn_wsd_core_shift] テーブルにあります。 シフトベースの予約の詳細については、「シフトベースの予約を有効にする」を参照してください。 データタイプ：文字列

クエリパラメーター

名前	説明
attempt_earlier_start	指定された開始値がシフトのタイムスパン内にある場合に、早い開始時間を設定するかどうかを示すフラグ。 有効な値： • true：指定されたシフトに *start* パラメーターで指定された日付/時刻が含まれている場合、指定された開始日時をタイムスパンの開始として返します。 • false：関連するレコードで定義されているシフトのタイムスパンを返します。 データタイプ：ブーリアン デフォルト値：false
start	必須。返すシフトのタイムスパンの開始日時。 形式：UTC - yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2022-05-23T08:00:00Z など)
timezone	シフトのタイムスパンを認定するときに使用するタイムゾーン (ECT や PST など)。このタイムゾーンでのシフトのタイムスパンも返します。 形式：UTC データタイプ：文字列 デフォルト：ユーザーのタイムゾーン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求本文パラメーター

名前	説明
なし	

ヘッダー

次のリクエストや応答ヘッダーは、この HTTP アクションにのみ適用されるか、またはこのアクションに別個の方法で適用されます。REST API で使用される一般的なヘッダーのリストについては、「サポートされている REST API ヘッダー」を参照してください。

要求ヘッダー

ヘッダー	説明
承認	要求本文のデータ形式。サポートされるタイプ：*application/json*、*application/xml*、または *text/xml*。 デフォルト： *application/json*

応答ヘッダー

ヘッダー	説明
なし	

ステータスコード

この HTTP アクションには、次のステータスコードが適用されます。REST API で使用される可能性のあるステータスコードのリストについては、「REST API HTTP 応答コード」を参照してください。

ステータスコード

ステータスコード	説明
200	成功。要求が正常に処理されました。
401	権限がありません。ユーザー資格情報が間違っているか、渡されていません。
404	見つかりません。要求アイテムが見つかりませんでした。
500	内部サーバーエラー。要求の処理中に予期しないエラーが発生しました。応答に、エラーに関する追加情報が含まれます。

応答本文のパラメーター

名前	説明

result	検索条件に一致したシフトのタイムスパンに関する詳細。
	
	データタイプ：オブジェクト
	
	`"result":{`
	`  "end": "String",`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	<pre> "start": "String" }</pre>
result.end	指定されたタイムゾーンでのシフトのタイムスパンの終了日時。 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2022-05-23T08:00:00Z など) データタイプ：文字列
result.start	指定されたタイムゾーンでのシフトのタイムスパンの開始日時。 形式：UTC：yyyy-mm-ddThh:mm:ssZ (2022-05-23T08:00:00Z など) データタイプ：文字列

Example: cURL 要求

次のコード例は、シフトのタイムスパンを取得する方法を示しています。

```
curl
 "https://instance.servicenow.com/api/sn_wsd_rsv/wsd_shift/e5d23acfdb42a0
1097acc9003996193a/timespan?attempt_earlier_start=true&start=2022-05-23T0
8:00:00Z&timezone=ECT" \
--request GET \
--header "Accept:application/json" \
--user "username":"password"
```

返される結果：

```
{
  "result": {
    "start": "2022-05-23T08:00:00Z",
    "end": "2022-05-23T15:00:00Z"
  }
}
```

ServiceNow Fluent

ServiceNow Fluent ドメイン固有のプログラミング言語を使用して、ソースコードでアプリケーションメタデータを定義します。

概要

ServiceNow Fluent は、アプリケーションを構成するメタデータファイル [sys_metadata] を定義するための TypeScript に基づくドメイン固有言語 (DSL) であり、テーブル、ロール、ACL、ビジネスルール、自動テストフレームワーク (ATF) テストなど、さまざまなタイプのメタデータの API が含まれています。

開発者は、フォームやビルダーツールのユーザーインターフェイスではなく、数行のコードでこのメタデータを定義します。ServiceNow IDE または ServiceNow SDK で作成されたアプリケーションは、ServiceNow Fluent での開発をサポートします。

ServiceNow Fluent は双方向同期をサポートしています。これにより、メタデータへの変更を他の Now Platform ユーザーインターフェイスからソースコードに同期し、ソースコードへの変更をインスタンス全体のメタデータに同期することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 自動テストフレームワーク (ATF) のテスト API は一方向の同期のみをサポートします。ソースコードで ATF テストを定義した後、メタデータがソースコードの外部で変更された場合、それらの変更は同期されず、ソースコードに反映されません。

ServiceNow IDE または ServiceNow SDK の使用を開始するには、『ServiceNow IDE』または『ServiceNow SDK』のドキュメントを参照してください。

API

ServiceNow Fluent には、次のタイプのメタデータの API が含まれています。レコード API を使用して、専用 API を持たないアプリケーションメタデータを定義できます。API と例の詳細については、「ServiceNow Fluent API リファレンス」を参照してください。

- アクセス制御リスト (ACL)
- アプリケーションメニュー
- 自動テストフレームワーク (ATF) テスト
- ビジネスルール
- クライアントスクリプト
- リスト
- プロパティ
- レコード
- ロール
- スクリプト済み REST API
- テーブル

使用法

拡張子が `.now.ts` のファイルで、ServiceNow Fluent API のオブジェクトを使用して、アプリケーションのメタデータを定義します。また、`@servicenow/sdk/core` からの API に、必要なインポートも含める必要があります。

次の例には、アプリケーションのテーブル、クライアントスクリプト、およびビジネスルールの定義が含まれています。ビジネスルールは、`script.js` JavaScript モジュールの関数を使用します。

```
import '@servicenow/sdk/global'
import { BusinessRule } from '@servicenow/sdk/core'
import { ClientScript } from '@servicenow/sdk/core'
import { Table, DateColumn, StringColumn } from '@servicenow/sdk/core'
import { showStateUpdate } from '../server/script.js'

//creates todo table, with three columns (deadline, status and task)
export const x_snc_example_to_do = Table({
    name: 'x_snc_example_to_do',
    schema: {
        deadline: DateColumn({ label: 'deadline' }),
        state: StringColumn({
            label: 'State',
            choices: {
                ready: { label: 'Ready' },
                completed: { label: 'Completed' },
                in_progress: { label: 'In Progress' },
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

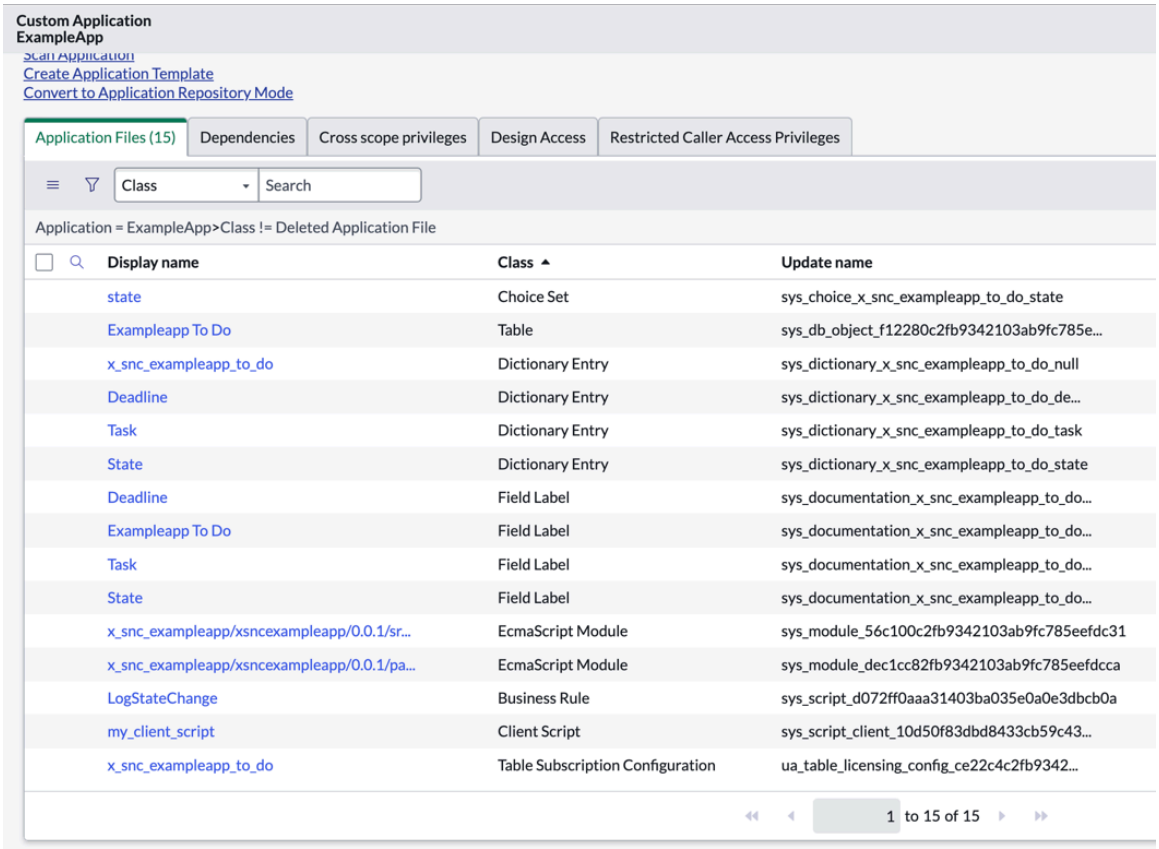
```
            },
        }),
        task: StringColumn({ label: 'Task', maxLength: 120 }),
    },
})

//creates a client script that pops up 'Table loaded successfully!!' message everytime todo
 record is loaded
ClientScript({
    $id: Now.ID['cs0'],
    name: 'my_client_script',
    table: 'x_snc_example_to_do',
    active: true,
    applies_extended: false,
    global: true,
    ui_type: 'all',
    description: 'Custom client script generated by Now SDK',
    messages: '',
    isolate_script: false,
    type: 'onLoad',
    script: script`function onLoad() {
        g_form.addInfoMessage("Table loaded successfully!!")
    }`,
})

//creates a business rule that pops up state change message whenever a todo record is
 updated
BusinessRule({
    $id: Now.ID['br0'],
    action: ['update'],
    table: 'x_snc_example_to_do',
    script: showStateUpdate,
    name: 'LogStateChange',
    order: 100,
    when: 'after',
    active: true,
})
```

アプリケーションのビルド後、このソースコードはインスタンスで次のアプリケーションメタデータファイルを生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Fluent コードから生成されたアプリケーションメタデータ



関連情報

ServiceNow IDE の ServiceNow Fluent を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

ServiceNow Fluent と ServiceNow SDK を使用してコードでアプリケーションメタデータを定義する

製品別に API を参照

ServiceNow製品で使用する API を検索します。

特定の ServiceNow 製品でサポートされているサーバー、REST、クライアント API を確認するには、以下の表を参照してください。デフォルトでは、すべての製品と API がアルファベット順に表示されます。関心のある製品の API のみを表示するには、このページの [製品 フィルター] ドロップダウンで 1 つ以上の製品名を選択します。フィルターで製品を選択すると、選択した API のみがテーブルに表示されます。フィルタードロップダウンのオプションの選択を解除して、フィルター基準をクリアします。

[API] 列で、リンクにカーソルを合わせるだけで API の機能に関する簡単な説明を読むか、リンクをクリックして完全なリファレンスドキュメントを表示します。アスタリスク* は、API がすべての ServiceNow 製品で提供されていることを示します。

製品	API
高度な作業アサイン	サーバー

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

製品	API
	• エージェント - グローバル • キュー - グローバル • キュー - スコープ指定 REST • AWA エージェント API • AWA 手動アサイン API • AWA 受信ボックスアクション API • AWA ルーティング API
エージェントクライアントコレクター	サーバー • AccAgentsAPI :スコープ指定 • AccCheckDefsAPI :スコープ指定 • AgentNowHandler - スコープ指定 • CheckDefinitionTestBuilder - スコープ指定 • CheckInstanceTestBuilder - スコープ指定 REST • Agent Client Collector API • プッシュメトリクス API
エージェントワークスペース	クライアント GlideAgentWorkspace (g_aw)
AI 検索	サーバー • GeniusResultAnswer - スコープ付き • GeniusResultContext -スコープ付き REST • AI 検索 外部ユーザーマッピング API • 外部コンテンツ取り込み API
オートメーションセンター	REST Automation Center API
変更管理	サーバー ChangeCollisionHelper - グローバル ChangeSuccess - スコープ付き REST Change Management API
構成管理データベース (CMDB)	サーバー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• CIRelatedList - グローバル • CIUtils - グローバル • CMDBDuplicateTaskUtils - グローバル • CMDBDuplicateTemplateUtil - グローバル • CMDBGroupAPI - スコープ指定 • CMDBQueryBuilderAPI - グローバル • CMDBTransformUtil - グローバル • CMDBUtil - グローバル • DuplicateTemplate - スコープ指定 • IdentificationEngine - スコープ指定 • IdentificationEngineScriptableApi - グローバル • ProductInstance - スコープ対象、グローバル • StateManagementScriptableApi - グローバル REST • アプリケーションサービス API • CI ライフサイクル管理 API • CMDB データ取り込み API • CMDB インスタンス API • CMDB メタ API • 識別および調整 API • SG サービス API
コスト管理	サーバー • ExpenseAllocation - グローバル • ExpenseLine :グローバル
カスタマーサービス管理 (CSM)	REST • アカウント API • ActivitySubscriptions API • 予約 API • ケース API • コンシューマー API • 連絡先 API • • CSM 添付ファイル API • 顧客セントラル API • エンタイトルメント API

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• インストールベースアイテム API • LeadtoCashCore - スコープ指定 • 注文 API • サービス契約 API • エンタイトルメント API の検証 サーバー • NotifyJTelephoneDriver - グローバル • NotifyPhoneNumber - グローバル • NotifyPhoneNumber - スコープ指定 • NotifySMS - グローバル • NotifyNow (レガシー) - グローバル • NotifyUtil - グローバル • PDAutomationProvider - スコープ指定、グローバル • SMSPreferenceHandlerSNC:スコープ指定、グローバル クライアント openFrameAPI - クライアント
DevOps	サーバー • DevOpsOrchestrationToolIntegrationHandler - スコープ付き • CdmQuery - スコープ指定 REST • CdmApplicationsApi • CdmChangesetsApi • CdmEditorApi • CdmPoliciesApi • CdmSharedLibraryApi • CdmSnapshotApi • CdmVersionApi • DevOps API • DevOps コンフィグ API
ディスカバリー	サーバー • AbstractReconciler - グローバル • APCHandler - グローバル • ApcPduOutletReconciler - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• CIData - グローバル • CIIdentification - グローバル • CIIdentifierResult:グローバル • CimCIData - グローバル • CimIDSensor - グローバル • CimInstanceToken - グローバル • CimProbe - グローバル • CimProbeResult:グローバル • ClassifierProbes - グローバル • DiscoveryAPI - スコープ指定 • IDResult - グローバル • IPAddress - スコープ対象、グローバル* • IPAddressFixup - グローバル • IPService - グローバル • QuickRanges - グローバル • ReportCiStatusOutputJS - スコープ指定 • RoundingInterval - グローバル • SerialNumberManager - グローバル • ServiceRegistryQuery - グローバル • ShazzamLaunch - グローバル • ShazzamResult - グローバル • ShazzamScanner - グローバル • SLPServiceRegistryQuery - グローバル • SNMPGatherDocParts - グローバル • SNMPNetworkInterfaces - グローバル • SNMPResponse - グローバル • StartDiscovery - グローバル • JSUtil - グローバル • UPSHandler - グローバル • VMUtils - グローバル* • WindowsOSNameHelper - グローバル* • XMLUtilJS - グローバル
ドキュメントサービス	サーバー • Cell - スコープ付き、グローバル • Color -スコープ付き、グローバル • Document - スコープ付き、グローバル • DocumentListEntryService - スコープ付き、グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• DocumentListService - スコープ付き、グローバル • DocumentReferenceService - スコープ付き、グローバル • DocumentService - スコープ付き、グローバル • DocumentVersionService - スコープ付き、グローバル • Line - スコープ指定、グローバル • logger: グローバル • Paragraph - スコープ指定、グローバル • PDFGenerationAPI - スコープ付き、グローバル • PdfMergeSignRequestor:スコープ指定、グローバル • PdfPage - スコープ指定、グローバル • Image - スコープ指定、グローバル • Style - スコープ指定、グローバル • SVGToPDFConversionAPI - スコープ付き、グローバル • SystemDocument - スコープ指定、グローバル • SystemDocumentList - スコープ指定、グローバル • SystemDocumentListEntry - スコープ指定、グローバル • SystemDocumentVersion - スコープ指定、グローバル • Table - スコープ対象、グローバル
動的翻訳	クライアント DynamicTranslation - クライアント サーバー DynamicTranslation - スコープ指定
EMR Help	REST リモートヘルプ要求 API
イベント管理	サーバー • イベント - グローバル • IEventSender - グローバル • SNEventSenderProvider - グローバル
フローデザイナー	クライアント GlideFlow - クライアント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	サーバー • ActivityHistoryRecord - グローバル • FlowAPI - スコープ指定、グローバル • FlowScriptAPI :スコープ指定 • フロー - スコープ指定 (非推奨) • JSONStreamingAPI :スコープ指定 • JSONStreamingBuilder - スコープ指定 • プロデューサー :スコープ指定 (非推奨) • ProducerV2 - スコープ指定 • ScriptableDataStream - スコープ指定、グローバル • ScriptableFlowRunner - スコープ指定 • ScriptableFlowRunnerResult - スコープ指定 • サブフロー :スコープ指定 (非推奨) • XMLStreamingAPI - スコープ指定 • XMLStreamingBuilder - スコープ指定
Glide API – 添付ファイルとファイル	サーバー • GlideEmailOutbound - スコープ指定 • GlideExcelParser - スコープ対象、グローバル • GlideJsonPath - グローバル • GlideScriptableInputStream - スコープ対象、グローバル • GlideSysAttachment - グローバル • GlideSysAttachment - スコープ指定 • GlideSystem - スコープ指定 • GlideSystem - グローバル • GlideTextReader - スコープ指定 • GlideXMLUtil - スコープ指定、グローバル
Glide API - クライアント/サーバー通信	サーバー • action - スコープ対象、グローバル • GlideappCalculationHelper - グローバル • GlideApplicationProperty - スコープ付き、グローバル • GlideHTTPRequest - グローバル • GlideHTTPResponse - グローバル • GlideScriptedProcessor - スコープ指定 • GlideServletRequest - スコープ指定 • GlideServletResponse - スコープ指定

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GlideURI - グローバル • GlideURI - スコープ指定 クライアント • GlideAjax - クライアント • GlideURLV3 - クライアント
Glide API - 通貨	サーバー • GlideCurrencyConfig - スコープ付き • GlideCurrencyConverter - スコープ付き • GlideCurrencyExchangeValue - スコープ付き • GlideCurrencyFormatter - スコープ付き • GlideCurrencyParser - スコープ付き • GlideCurrencyValue - スコープ付き • GlideElementCurrency2 - スコープ指定
Glide API – データベース操作とデータ解析	サーバー • GlideAggregate :グローバル • GlideAggregate :スコープ指定 • GlideDBFunctionCaseBuilder - グローバル • GlideFilter - スコープ対象、グローバル • GlideQuery - スコープ対象、グローバル • GlideQueryCondition - グローバル • GlideQueryCondition - スコープ指定 • GlideRecord - グローバル • GlideRecord - スコープ指定 • GlideRecordUtil - グローバル • GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GlideUser - グローバル • GlideUser - スコープ指定 • オプション - スコープ対象、グローバル クライアント • GlideRecord - クライアント • GlideUser - クライアント • i18N - クライアント

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	REST • 集計 API • テーブル API
Glide API – 日付と時刻	サーバー • DateTimeUtils - グローバル • GlideCalendarDateTime - スコープ指定 (非推奨) • GlideDate - グローバル • GlideDate - スコープ指定 • GlideDateTime - グローバル • GlideDateTime - スコープ指定 • GlideDuration - スコープ指定 • GlideImportSetTransformMap - スコープ対象、グローバル • GlideMultiRecurrence - スコープ指定 • GlideSchedule - スコープ指定 • GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GlideTime - スコープ指定 • GlideTimeline - グローバル • GlideTimelineItem - グローバル クライアント StopWatch - クライアント
Glide API - デバッグ	サーバー • GlideScopedEvaluator - グローバル • GlideScopedEvaluator - スコープ指定 • GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GSLog - スコープ指定、グローバル
Glide API – フィールド、フォーム、リスト	サーバー • GlideElement - グローバル • GlideElement - スコープ指定 • GlideElementDescriptor - スコープ対象、グローバル • GlideGeoPoint - グローバル • GlideListProperties - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• GlideSysListControl - スコープ指定 • GlideTableHierarchy - スコープ指定 クライアント • GlideDocument - クライアント • GlideForm - クライアント • GlideList2 (g_list) - クライアント • GlideListV3 (g_list) - クライアント (非推奨)
Glide API – インポートセットトランスフォーマー	サーバー • GlideImportLog - スコープ対象、グローバル • GlideImportSetRun - スコープ対象、グローバル • GlideImportSetTable - スコープ対象、グローバル • GlideImportSetTransformer - スコープ対象、グローバル • GlideImportSetTransformMap - スコープ対象、グローバル
Glide API - ローカリゼーション	サーバー • NumberFormatter - スコープ対象、グローバル • GlideElement - スコープ指定 ◦ getDisplayValueLang() ◦ getLabelLang()
Glide API - メッセージ	サーバー • GlideDigest - スコープ指定 • GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GlideTransformLog - スコープ対象、グローバル クライアント • GlideDialogWindow - クライアント (非推奨) • GlideNotification - クライアント
Glide API - モバイル	クライアント Mobile GlideForm (g_form) - クライアント
Glide API - OAuth	サーバー • GlideOAuthClient - スコープ対象、グローバル • GlideOAuthClientRequest - スコープ対象、グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• GlideOAuthClientResponse - スコープ対象、グローバル • GlideOAuthToken - スコープ対象、グローバル
Glide API - セキュリティ	サーバー • GlideCertificateEncryption - グローバル • GlideEncrypter - グローバル (非推奨) • GlideSecureRandomUtil - スコープ指定、グローバル • GlideSecurityUtils - スコープ指定、グローバル
Glide API – システム	サーバー • GlideEventManager - グローバル • GlideImpersonate - グローバル • GlideLocale - スコープ指定 • GlidePluginManager - スコープ指定 • GlideScriptedExtensionPoint - スコープ指定 • GlideSession - グローバル • GlideSession - スコープ指定 • GlideStringUtil - スコープ対象、グローバル • GlideSystem - グローバル • GlideSystem - スコープ指定 • GlideSystemRunLevel - グローバル クライアント GlideGuid - クライアント
Glide API - UI – クラシック UI	サーバー GlideUICompatibility - スコープ指定 クライアント • GlideList2 (g_list) - クライアント • GlideMenu (g_menu および g_item) - クライアント • GlideModalForm - クライアント • GlideModal - クライアント • GlideNavigation - クライアント • GlideUIScript - クライアント
Glide API – UI – ネクストエクスペリエンス	クライアント • GlideList (Now Experience) - クライアント • PolarisUI - スコープ指定

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
HR サービスデリバリ (HRSD)	サーバー • hr_ActivitySet - スコープ指定 • hr_ActivityUtils - スコープ指定 • hr_Utils - スコープ指定 REST HR REST API
インスタンススキャン	サーバー • 検索結果 - スコープ対象、グローバル • LinterCheckAstNode - スコープ指定、グローバル
統合ハブ	サーバー PersonalAuthAPI - スコープ指定 REST 継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CICD) API
インタラクション管理	REST Interaction Management API
IT Operations Management (ITOM)	サーバー • クラウドサービスカタログ API • GenericUPSAlarmsReconciler - グローバル • GenericUPSBypassReconciler - グローバル • GenericUPSInputsReconciler - グローバル • GenericUPSOutputsReconciler - グローバル • LSOFParser - グローバル • NetwareHandler - グローバル • ProbeHandlerCim - グローバル • ProbeHandlerMulti - グローバル • ProbeHandlerSNMP - グローバル • ProbeHandlerWMI - グローバル
IT Service Management	サーバー • CIActionEngine - スコープ指定 • OCRosterSpanApprovalUtil - グローバル • OCRotation - グローバル • OCRotationV2 - グローバル • OCRotaICalendarSNC - グローバル • OCRotaICalendar - グローバル • OCRotaMember - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• OnCallContactPreferenceUtil - グローバル • OnCallRotation - グローバル • OCSeriesEventGenerator - グローバル • OCTimer - グローバル • RemedialActionEngine - スコープ指定 • プロアクティブエンゲージメント API
ナレッジ管理	REST Knowledge Management REST API
メトリックベース	サーバー • Client - スコープ対象、グローバル • Data - スコープ付き、グローバル • DataBuilder - スコープ付き、グローバル • MetricInfo：スコープ指定、グローバル • Transformer - スコープ指定、グローバル • TransformPart - スコープ指定、グローバル • TransformResult - スコープ指定、グローバル REST MetricBase 時系列 API
MID サーバー	サーバー • AgentMetrics - グローバル • JavascriptProbe - グローバル • MIDServer - グローバル • MIDServerAjax - グローバル • MIDServerCluster - グローバル • MIDServerFileSync - グローバル • MIDServerFinder - グローバル • MIDServerManage - グローバル • MIDServerSelector - グローバル • MonitorMIDServer - グローバル
モバイルプラットフォーム	クライアント • m_form - クライアント • MobileScriptIncludeCaller - クライアント
Notifications	サーバー TemplatePrinter - スコープ指定 REST

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• メール API • プッシュインストール API
Now Platform	サーバー • AbstractDBObject - グローバル • AbstractScriptProcessor - グローバル • AbstractTimelineSchedulePage - グローバル • action - スコープ対象、グローバル • ArrayUtil - グローバル • AssessmentCreation - グローバル • AuthCredential - スコープ付き`sn_auth` 名前空間内でのみ使用できます。 • AutomationException - グローバル • 会話 - スコープ対象 • CriteriaEvaluator - グローバル • CSVParser - スコープ指定 • DSCScriptableAPI - グローバル • DurationCalculator - グローバル • DynamicSchemaAPI - グローバル • FormInfoHeader - グローバル • GeniusResultAnswer - スコープ付き • GeniusResultContext -スコープ付き • GSLog - スコープ指定、グローバル • GlideDynamicAttributeStore - グローバル • GlideElementDynamicAttributeStore - グローバル • HistoryWalker - スコープ指定、グローバル • HostnameJS - グローバル • HttpRequestData - スコープ指定 • HttpRequestAuthedData - スコープ対象 • ICalUtilSNC - グローバル • インタラクション - スコープ対象 • j2js - グローバル • JSON - グローバル • JSON - スコープ指定 • JSONParser - グローバル (非推奨) • メッセージング - スコープ対象 • MobileDeepLinkGenerator - グローバル (非推奨)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• NameValuePairs - グローバル • 通知 - グローバル • NotifyScoped - スコープ指定 • NotifyAction - グローバル • NotifyConferenceUtil：スコープ指定、グローバル • OrderGuide - スコープ対象 • PreferenceDestination - スコープ指定、グローバル • Preferences - スコープ指定、グローバル • RecordToHTML - グローバル • RenderProperties - グローバル • RenderProperties - スコープ指定 • RequestAuthAPI - スコープ指定 • ResponseTemplate - スコープ指定、グローバル • RESTAPIRequest - スコープ対象、グローバル • RESTAPIRequestBody - スコープ対象、グローバル • RESTAPIResponse - スコープ対象、グローバル • RESTAPIResponseStream - スコープ対象、グローバル • RESTMessageV2 - スコープ対象、グローバル • RESTResponseV2 - スコープ対象、グローバル • RTETransformer - スコープ指定 • ScopedCacheManager - スコープ指定 • SentimentAnalyser :スコープ指定 • SOAPMessageV2 - スコープ指定、グローバル • SOAPResponseV2 - スコープ指定、グローバル • ストリーム - スコープ対象、グローバル • SummaryTableWriter - グローバル • TableUtils - グローバル • TaskStateUtil - グローバル • TimelineSpan - グローバル • Transformer - スコープ指定、グローバル • TransformerDefinition - スコープ指定、グローバル • TransformerRuleList - スコープ指定、グローバル • UserCriteria - スコープ指定

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• v_query – スコープ、グローバル • v_table – スコープ、グローバル • VoiceTranscriptObject - スコープ指定 • XMLDocument2 - スコープ指定、グローバル • XMLNode - スコープ対象、グローバル • XMLNodeIterator - スコープ指定 REST • 集計 API • 添付ファイル API • バッチ API • インポートセット API • 応答テンプレート API • スクリプトデバッガー API • テーブル API クライアント • g_service_catalog - クライアント • ガイド付きツアー - クライアント • NotifyClient - クライアント • NotifyOnTaskClient - クライアント • ScriptLoader - クライアント
Now Platform のレガシー機能	サーバー • ConnectActionResponse - グローバル • GlideConversation - グローバル
Now Platform -安全	サーバー • OAuthUtil - グローバル • SCIM2Client - スコープ指定 • SCIM2ClientUtil - スコープ指定 • StandardCredentialsProvider - スコープ指定、グローバル • CertificateEncryption - スコープ指定 • ConnectionInfo - スコープ指定、グローバル • ConnectionInfoProvider - スコープ付き、グローバル • KMFCryptoOperation - スコープ指定、グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• DCManager - グローバル • ScopedDCManager - スコープ付き REST • データ分類 API • クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) API • ユーザーロール継承 API クライアント ScopedSessionDomain - クライアント
通信事業、メディア、およびテクノロジー向け 注文管理	サーバー • EventProcessorUtilOOB: スコープ指定 • EventQueueProcessorOOB :スコープ指定 • HermesEventPublisherOOB :スコープ指定 • OpenMessageBusEventPublisherOOB :スコープ指定 • TMFTopicEventAPIUtilOOB: スコープ指定 • TopicAPIUtilsOOB :スコープ指定 • TopicSubscriptionUtilOOB :スコープ指定 • TopicUtilOOB: スコープ指定 • TroubleTicketNotificationUtilOOB :スコープ指定 REST • アラーム管理オープン API • イベント通知管理オープン API • Product Catalog オープン API • 製品在庫オープン API • 製品注文オープン API • サービスカタログオープン API • サービス注文オープン API • サービステスト管理オープン API • テクニカルサービス認定オープン API • トラブルチケットオープン API
パフォーマンスアナリティクス	サーバー • PADomainUtils - グローバル • PAScorecard - スコープ指定 • PASnapshot - スコープ対象

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	REST スコアカード API
予測インテリジェンス	サーバー • ClassificationSolution - グローバル • ClassificationSolutionStore - グローバル • ClassificationSolutionVersion - グローバル • ClusteringSolution - グローバル • ClusteringSolutionStore - グローバル • ClusteringSolutionVersion - グローバル • DatasetDefinition - グローバル • エンコーダー - グローバル • EncoderStore - グローバル • EncoderVersion - グローバル • MLPredictor - グローバル (非推奨) • MLSolution - グローバル • MLSolutionFactory - グローバル • MLSolutionResult - グローバル (非推奨) • MLSolutionUtil - グローバル • PredictabilityEstimate - グローバル • PredictabilityEstimateStore - グローバル • PredictabilityEstimateVersion - グローバル • RegressionSolution - グローバル • RegressionSolutionStore - グローバル • RegressionSolutionVersion - グローバル • SimilaritySolution - グローバル • SimilaritySolutionStore - グローバル • SimilaritySolutionVersion - グローバル REST 予測インテリジェンス API
プロアクティブトリガー	サーバー ProactiveTriggerAPI :スコープ指定
調達サービス管理	REST Spendint API
プロジェクトポートフォリオ管理	サーバー CostPlanBatchOperations - グローバル REST プロジェクトポートフォリオ管理 API

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
Security Operations	REST TISC API
サービスブリッジ	サーバー CSBScratchpadUtil :スコープ指定 PSBPublicAPIUtil - スコープ指定、グローバル PSBScratchpadUtil - スコープ指定
サービスカタログ	サーバー • CatalogClientScript - スコープ指定 • CatalogItemVariable - スコープ指定 • CatalogItemVariableSet - スコープ指定 • CatalogItemVariableSetM2M - スコープ指定 • CatalogJS - スコープ指定 • CatalogSearch - スコープ指定 • CatCategory - スコープ対象 • CatItem - スコープ指定 • CartJS - スコープ指定 REST サービスカタログ API
サービスレベル管理	サーバー SLARepair - グローバル
サービスマッピング	サーバー BusinessServiceManager - グローバル
ServiceNow 音声アシスト機能	REST • CTI API • CTIOperationRequest：スコープ付き、グローバル • CTIOperationResponse：スコープ付き、グローバル
サービスポータル	サーバー • GlideSPScriptable - スコープ指定 • GlideSPSearchAnalytics - グローバル • GlideSPUtil - グローバル • SPScriptedFacet - スコープ指定 • SPScriptedFacetService - スコープ指定 • SPSEOUtilsSNC - グローバル • SPWidgetAccessControl - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	クライアント • spAriaUtil • spContextManager • spModal • spUtil - クライアント • SNAnalytics - クライアント
スキル管理	サーバー • SkillDeterminationUtils - スコープ指定 • UserSkillAnalyzer - グローバル • UserSkillRanking - グローバル
ソフトウェア資産管理	REST SAM-ソフトウェア使用状況データ統合 API
通信事業ネットワークインベントリ	REST リソース在庫オープン API
UI ビルダー	クライアント • api - UI Builder • DecisionTableAPI - スコープ付き、グローバル • helpers - UI Builder • PlaybookExperience :スコープ指定
ユニバーサル要求	サーバー UniversalRequestUtilsSNC :スコープ指定
ユニバーサルタスク	サーバー UniversalTaskUtils - スコープ指定、グローバル
仮想エージェント	REST • CCCIF メディアリソース API • 仮想エージェントボット統合 API • Voice Interaction Resource API サーバー ProactiveTriggerAPI :スコープ指定
Workflow (レガシー)	サーバー • WalkWorkflow - グローバル • WFActivityHandler - グローバル • ワークフロー - グローバル • ワークフロー - スコープ対象 • WorkflowDuration - グローバル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	API
	• WorkflowModelManager - グローバル • WorkflowModelManagerAjax - グローバル • WorkflowScheduler - グローバル • WorkflowTimeline - グローバル
ワークプレイスサービスデリバリ	REST • ワークプレイスコネクタ Webhook API • WSD Extra Service Request API • WSD Extra Service API • WSD Group Reservation API • WSD Multi Reservation API • WSD Recurring Reservation API • WSD Reservable API • WSD Reservation API • WSD Reservation Invitees API • WSD Search API • WSD Shift API

開発者ガイド

ここで説明する開発者ガイドは、自社のアプリケーションを Now Platform と統合する際に役立ちます。

それぞれの開発者ガイドで、ファイナンシャルサービスオペレーション など単一の ServiceNow 製品を取り扱います。

利用可能な **ServiceNow** 開発者ガイド

開発者ガイド	説明
アラーム管理オープン API 開発者ガイド	アラーム管理オープン *API* を使用して、イベント [em_event] テーブルのデータを作成および更新します。 この開発者ガイドでは、アラーム管理オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。
イベント通知管理オープン API 開発者ガイド	イベント通知管理オープン API を使用して、イベント [em_event] テーブルのイベントレコードを作成、更新、および削除します。 この開発者ガイドでは、 イベント通知管理オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。
ファイナンシャルサービスオペレーション 開発者ガイド	ServiceNow® ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) を使用すれば、金融サービス機関 (FSI) は構築済みのデジタルアプリケーションとワークフローを使用して、主要な運用プロセスを安全に自動化できます。FSO は、金融機関のすべての業務 (フロント、ミドル、バックオフィス) を 1 つのプラットフォームでつなぐものです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な **ServiceNow** 開発者ガイド (続く)

開発者ガイド	説明
	この開発者ガイドでは、FSO の基本機能を拡張する方法や、既存のアプリケーションを ServiceNow の FSO と統合する方法について説明します。
GlideGeoPoint 開発者ガイド	GlideGeoPoint 開発者ガイドには、緯度と経度の値の間の距離 (ジオポイント) を計算する方法、ジオポイントと半径の値内の位置を返す方法、およびサポートされている *GlideGeoPoint* API 関数によって提供される追加機能に関する情報が含まれています。
製品注文オープン API 開発者ガイド	製品注文オープン *API* を使用して、製品の注文情報を作成、更新、取得します。 この開発者ガイドでは、製品注文オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。
リソースインベントリオープン API 開発者ガイド	リソースインベントリオープン *API* を使用して、インターフェイスカード、論理接続と物理接続、ネットワークサイトなどのリソースを作成、取得、更新、および削除します。 この開発者ガイドでは、リソース在庫オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。
ScopedCacheManager API 開発者ガイド	スコープ済みキャッシュを使用すると、カスタムデータをメモリーに格納してアクセスを高速化し、さらにいつ無効にするかを定義できます。これは、複数のテーブルにわたるクエリーの結果など、データを最初から取得するのに時間がかかる場合に便利です。*ScopedCacheManager* API を使用して、スコープ対象アプリケーションのキャッシュデータを取得、設定、およびフラッシュします。 この開発者ガイドでは、スコープ指定のキャッシュを作成して、そこにペアタイプを割り当てる方法について説明します。
サービスオーダーオープン API 開発者ガイド	サービス注文オープン *API* を使用して、サービスの注文情報を作成、更新、取得します。 この開発者ガイドでは、サービス注文オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。
トラブルチケットオープン API 開発者ガイド	トラブルチケットオープン *API* を使用して、外部のチケットシステムと Now Platform の間のチケット情報を管理します。この API は、ケース [sn_customerservice_case] およびインシデント [incident] テーブルのデータを作成、更新、取得します。 この開発者ガイドでは、トラブルチケットオープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

アラーム管理オープン **API** 開発者ガイド

アラーム管理オープン *API* を使用して、イベント [em_event] テーブルのデータを作成および更新します。

この開発者ガイドでは、アラーム管理オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アラーム管理オープン API の拡張

アラーム管理オープン *API* は、スクリプトインクルードを編集することによって拡張できます。

これらのスクリプトインクルードは、変更の結果を理解した上でのみ編集する必要があります。

- TMFAlarmAPIConstants：定数と必要なパラメーター情報が含まれています。
- TMFAlarmAPIUtil：API 要求を処理する関数が含まれています。
- AlarmAPIProcessorOOB：TMFAlarmAPIUtil 内の関数をサポートするヘルパー関数が含まれています。
- AlarmAPIProcessor：空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを使用して、AlarmAPIProcessorOOB から上書きする関数を定義します。

アラーム管理オープン *API* を拡張して、次のカスタマイズを行います。

必要なパラメーター

アラーム管理 API は、JSON スキーマを使用して必要なパラメーター情報を保持します。この JSON スキーマは、*TMFAlarmAPIConstants* スクリプトインクルードで定義されています。これらのスキーマを使用して、要求ペイロードが有効かどうかを検証します。これらのスキーマはスクリプトインクルード内で直接参照されず、*AlarmAPIProcessorOOB* スクリプトインクルード内の次のメソッドによって返されます。

- getCreateEventSchema：イベントを作成するための検証スキーマを返します。
- getClearEventSchema：イベントアラームをクリアするための検証スキーマを返します。
- getPatchEventSchema：イベントをパッチ適用するための検証スキーマを返します。

既存のスキーマを上書きするには、AlarmAPIProcessor スクリプトインクルードで新しいスキーマを定義し、AlarmAPIProcessorOOB スクリプトインクルードのメソッドを上書きします。

```
var AlarmAPIProcessor = Class.create();
AlarmAPIProcessor.prototype = Object.extendsObject(AlarmAPIProcessorOOB,
 {
 // Define overriding functions here

 // Define getCreateEventSchema here to override OOTB method in
 AlarmAPIProcessorOOB
 getCreateEventSchema: function() {
  return JSON.parse(AlarmAPIProcessor.CUSTOMIZED_SCHEMA);
 },
    type: 'AlarmAPIProcessor'
});

// Define a new schema
AlarmAPIProcessor.CUSTOMIZED_SCHEMA =
 "{\"title\":\"CreateAlarm\",\"type\":\"object\",
\"properties\":{\"externalAlarmId\":{\"type\":\"string\"},\"alarmType\":
{\"type\":\"string\"},
\"perceivedSeverity\":{\"type\":\"string\"},\"probableCause\":{\"type\":
\"string\"},
\"alarmedObject\":{\"type\":\"object\",\"properties\":{\"id\":{\"type\":
\"string\"},
\"href\":{\"type\":\"string\"}},\"required\":
[\"id\"]},\"sourceSystemId\":{\"type\":\"string\"}},
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\"required\":[\"externalAlarmId\",\"alarmType\",\"perceivedSeverity\",
\"probableCause\",
\"alarmedObject\",\"sourceSystemId\"]}";
```

要求本文の検証

要求本文で追加の検証を実行するには、`AlarmAPIProcessorOOB` スクリプトインクルードの次の関数 をオーバーライドします。これらの関数は指定された関数によって `TMFAlarmAPIUtil` スクリプトインクルードで呼び出されます。

- `verifyCreateEventPayload()`：`processCreateEvent()` によって呼び出されます。
- `verifyClearEventPayload()`：`processClearEvent()` によって呼び出されます。
- `verifyPatchEventPayload()`：`processPatchEvent()` によって呼び出されます。

これらの関数はすべて、defalut によって `true` を返します。ヘルパー関数が `false` を返すと、API 操作が停止します。
カスタム検証を適用するには、AlarmAPIProcessor 内の同じ名前の関数名とパラメーターで、AlarmAPIProcessorOOB ヘルパー関数を上書きします。新しい AlarmAPIProcessor 関数が TMFAlarmAPIUtil によって呼び出され、デフォルトの AlarmAPIProcessorOOB ヘルパー関数を置き換えます。

この例では、カスタムの AlarmAPIProcessor スクリプトインクルード内の関数が AlarmAPIProcessorOOB のデフォルト関数を上書きして、name 属性の検証を実行します。

```
var AlarmAPIProcessor = Class.create();
AlarmAPIProcessor.prototype = Object.extendsObject(AlarmAPIProcessorOOB,
 {
 // Define overriding functions here

    verifyCreateEventPayload: function(eventPayload,
 apiResponseProcessor){
        // Returning false terminates the POST request
        // Make sure to assign error message and reason
        if (eventPayload.type != "unique") {
            apiResponseProcessor.setMessage("Failed");
            apiResponseProcessor.setReason("No reason needed");
            return false;
        }
    },

    type: 'AlarmAPIProcessor'
});
```

追加の REST 操作

既存の GET、PATCH、および POST 操作以外の操作を作成するには、アラーム管理オープン API のスクリプト化された REST リソースを追加で作成 します。新しいスクリプト化済み REST リソースのロジックは、既存の操作と一致する必要があります。新しい操作の関数は TMFAlarmAPIUtil で定義します。

フィールドマッピング

レコードを作成したり更新したりする際は、アラーム管理オープン API は要求本文パラメーターをイベントレコードのフィールドにマッピングします。レコードを取得する際には、API はレコードのフィールドを応答オブジェクトの属性にマッピングします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AlarmAPIProcessorOOB スクリプトインクルードには、PATCH または POST 要求の本文をイベント [em_event] テーブルのレコードにマッピングする次の関数が含まれています。

- `mapCreateAlarmObjectToEvent()`
- `mapClearAlarmObjectToEvent()`
- `mapPatchAlarmObjectToEvent()`

また、イベントの GlideRecord を GET、PATCH、または POST 要求の JSON 応答オブジェクトにマッピングする次の関数も含まれています。

- `modifyCreateEventResponse()`
- `modifyClearEventResponse()`
- `modifyPatchEventResponse()`

フィールドマッピングを使用して、追加のイベント [em_event] テーブルフィールドのデータを追加および取得したり、デフォルトのフィールドマッピングを変更したりすることができます。マッピングを操作するには、同じ名前とパラメーターを持つ関数を *AlarmAPIProcessor* 内に作成して、*AlarmAPIProcessorOOB* のマッピング関数を上書きします。*TMFAlarmAPIUtil* が *AlarmAPIProcessor* 関数を使用して、デフォルトの *AlarmAPIProcessorOOB* ヘルパー関数を置き換えます。

次の例では、2 つの *AlarmAPIProcessor* 関数が *AlarmAPIProcessorOOB* のデフォルト関数をオーバーライドして、 タイプのフィールドマッピングを変更し重大度フィールドのマッピングを追加します。

```
var AlarmAPIProcessor = Class.create();
AlarmAPIProcessor.prototype = Object.extendsObject(AlarmAPIProcessorOOB,
 {
 // Define overriding functions here

    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides
    mapCreateAlarmObjectToEvent: function(eventGr, eventObject){
        // Override default mapping for the severity field
        eventGr.severity = "High";
    },

    modifyCreateEventResponse: function(eventGr, eventObject){
        // Override default mapping for the type field
        eventGr.type = "Customized Event";
    },

    type: 'AlarmAPIProcessor'
});
```

イベント通知管理オープン API 開発者ガイド

イベント通知管理オープン API を使用して、イベント [em_event] テーブルのイベントレコードを作成、更新、および削除します。

この開発者ガイドでは、 イベント通知管理オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

イベント通知管理オープン API の拡張

関連するスクリプトインクルードファイルを編集することで、 イベント通知管理オープン API の機能を拡張および変更できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イベント通知管理オープン API が API に渡されるイベント通知要求を処理するために使用するスクリプトインクルードは次のとおりです。

- AlarmAPIProcessorOOB:TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードの関数をサポートするヘルパー関数が含まれています。AlarmAPIProcessorOOB スクリプトインクルードの詳細については、アラーム管理オープン API 開発者ガイドを参照してください。
- AlarmAPIProcessor：空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを更新して、AlarmAPIProcessorOOB スクリプトインクルードで上書きする関数を定義します。
- JSONSchemaValidation: TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されたペイロードのスキーマの妥当性検査を処理する関数が含まれています。このスクリプトインクルードは tmt_core プラグインの下にあります。
- TMFAlarmAPIConstants：定数と必要なパラメーター情報が含まれています。また、イベント通知管理オープン エンドポイントで渡されるペイロードのスキーマも含まれています。
- TMFTopicEventAPIUtilOOB:イベントを作成、更新、削除するアクション AlarmCreateNotification、AlarmChangeNotification、AlarmDeleteNotification を持つ外部トリガー定義フロー によってトリガーされる API 要求を処理する関数が含まれています。
- TMFTopicEventAPIUtil:空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを更新して、TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードで上書きする関数を定義します。

次のセクションでは、これらのスクリプトインクルードファイルを拡張/変更することによって、イベント通知管理オープン API 処理をカスタマイズできるいくつかの例を示します。

必要なパラメーター

イベント通知管理 API は、JSON スキーマを使用して必要なパラメーターを定義します。この JSON スキーマは、TMFAlarmAPIConstants スクリプトインクルードで定義されています。これらのスキーマを使用して、要求ペイロードが有効かどうかを検証します。これらのスキーマは、スクリプトインクルードでは直接参照されませんが、 *TMFTopicEventAPIUtilOOB* スクリプトインクルードの次の関数によって返されます。

- getAlarmCreateEventSchema(): イベントを作成するための検証スキーマを返します。
- getAlarmDeleteEventSchema():イベントアラームを削除するための検証スキーマを返します。
- getAlarmChangeEventSchema(): イベント内のフィールドを変更するための検証スキーマを返します。

既存のスキーマを上書きするには、 TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードで新しいスキーマを定義し、 TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルード関数を上書きします。

例：

```
var TMFTopicEventAPIUtil = Class.create();
TMFTopicEventAPIUtil.prototype =
 Object.extendsObject(TMFTopicEventAPIUtilOOB, {
 // Define overriding functions here
 // Define getAlarmCreateEventSchema here to override OOTB function in
 TMFTopicEventAPIUtilOOB
 getAlarmCreateEventSchema: function() {
  return JSON.parse(TMFTopicEventAPIUtil.CUSTOMIZED_SCHEMA);
 },
    type: 'TMFTopicEventAPIUtil'
});

// New schema
TMFTopicEventAPIUtil.CUSTOMIZED_SCHEMA = "{
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
\"title\":\"AlarmCreateEvent\",
\"type\":\"object\",
\"properties\":{
  \"event\":{
    \"type\":\"object\",
    \"properties\":{
      \"alarm\":{
        \"type\":\"object\",
        \"properties\":{
          \"id\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"href\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"externalAlarmId\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"alarmType\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"perceivedSeverity\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"probableCause\":{
            \"type\":\"string\"
          },
          \"alarmedObject\":{
            \"type\":\"object\",
            \"properties\":{
              \"id\":{
                \"type\":\"string\"
              },
              \"href\":{
                \"type\":\"string\"
              }
            },
            \"required\":[
              \"id\"
            ]
          },
          \"crossedThresholdInformation\":{
            \"type\":\"object\",
            \"properties\":{
              \"thresholdId\":{
                \"type\":\"string\"
              }
            },
            \"required\":[
              \"thresholdId\"
            ]
          },
          \"affectedService\":{
            \"type\":\"array\",
            \"properties\":{
              \"id\":{
                \"type\":\"string\"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                },
                \"href\":{
                  \"type\":\"string\"
                }
              },
              \"items\":{
                \"type\":\"object\",
                \"required\":[
                  \"id\"
                ]
              }
            },
            \"sourceSystemId\":{
              \"type\":\"string\"
            },
            \"specificProblem\":{
              \"type\":\"string\"
            }
          },
          \"required\":[

 \"externalAlarmId\",\"alarmType\",\"perceivedSeverity\",
\"probableCause\",\"sourceSystemId\",\"alarmedObject\"
          ]
        }
      },
      \"required\":[
        \"alarm\"
      ]
    }
  },
  \"required\":[
    \"event\"
  ]
}";
```

要求本文の検証

要求本文で追加の検証を実行するには、 `TMFTopicEventAPIUtilOOB` スクリプトインクルードで次の関数をオーバーライドします。これらの関数は、同じスクリプトインクルード内の指定された関数によって呼び出されます。

- `verifyAlarmCreateEventPayload():processAlarmCreateEvent()` によって呼び出されます。
- `verifyAlarmDeleteEventPayload():processAlarmDeleteEvent()` によって呼び出されます。
- `verifyAlarmChangeEventPayload():processAlarmChangeEvent()` によって呼び出されます。

これらの関数はすべて、既定で success を返します。ヘルパー関数がエラーを返すと、API 操作が停止します。

カスタム検証を適用するには、 `TMFTopicEventAPIUtilOOB` スクリプトインクルードのヘルパー関数を、 `TMFTopicEventAPIUtil` スクリプトインクルードの同一の関数名とパラメーターで上書きします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、カスタム TMFTopicEventAPIUtil スクリプトインクルードの関数が TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードのデフォルト関数をオーバーライドして、name 属性の検証を実行します。

```
var TMFTopicEventAPIUtil = Class.create();
TMFTopicEventAPIUtil.prototype =
 Object.extendsObject(TMFTopicEventAPIUtilOOB, {

    // Define overriding functions here
    verifyAlarmCreateEventPayload: function(eventPayload,responseObject){

        // Returning error status terminates the POST request
        // Make sure to assign error message and reason
        if (eventPayload.type != "unique") {
            responseObject.setMessage("Failed");
            responseObject.setReason("No reason needed");
            return responseObject.status = “error”;
        }
    },

    type: ‘TMFTopicEventAPIUtil’
});
```

要求本文のサブスクリプション検証

API の要求本文のサブスクリプション検証を変更するには、TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードの validateSubscription() 関数を上書きする必要があります。この関数は、イベント通知の作成に使用している callbackURL が登録されているかどうかを検証し、発生したコールバックに対して *eventType* が登録されているかどうかを判断します。この関数は、TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードにもある processAlarmCreateEvent()、processAlarmDeleteEvent()、*processAlarmChangeEvent()* 関数によって呼び出されます。

フィールドマッピング

レコードを作成または更新するとき、 イベント通知管理オープン API は要求本文パラメーターをイベントレコードフィールドにマップします。レコードを取得するとき、API はイベントレコードフィールドを応答オブジェクト属性にマッピングします。

TMFTopicEventAPIUtilOOB スクリプトインクルードには、*eventType* パラメーターの値に基づいて変更、作成、および削除要求をイベント [em_event] テーブルのレコードにマップする次の関数が含まれています。

- *mapAlarmChangeObjectToEvent()*
- *mapCreateAlarmObjectToEvent()*
- *mapDeleteAlarmObjectToEvent()*

フィールドマッピングをカスタマイズすると、イベント [em_event] テーブルの他のフィールドに対してデータを追加・取得したり、デフォルトのフィールドマッピングを変更したりすることが可能です。マッピングを操作するには、 TMFTopicEventAPIUtil で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成し、 TMFTopicEventAPIUtilOOB マッピング関数をオーバーライドします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GlideGeoPoint 開発者ガイド

GlideGeoPoint 開発者ガイドには、緯度と経度の値 (ジオポイント) 間の距離を計算する方法、指定されたジオポイントと半径の値内の位置を返す方法、サポートされている *GlideGeoPoint* API 関数によって提供される追加機能を使用する方法に関する情報が含まれています。

ジオポイントフィールドタイプ を使用すると、緯度と経度のペアを 1 つのフィールドに格納できます。ジオポイントは、地理的な目標物を保存したり、パート 2 の目標物が互いにどれだけ離れているかを調べたり、別のポイントから一定の距離内にあるすべてのポイントを検索したりする場合に便利です。たとえば、ジオポイント機能を使用して、顧客のすべての配送場所をすばやく特定し、店舗からの距離に基づいて配送料を調整できます。

ジオタイプ データ タイプの主な側面は次のとおりです。

- これは、経度と緯度の値を表す 10 進数のペアで構成されます。
- 経度の範囲は (-180, 180) です。この範囲外の値は、この範囲内の同等の値に正規化されます。
- 緯度の範囲は [-90, 90] です。この範囲外の値は、この範囲内の同等の値に正規化されます。
- ジオポイント値は常に入力として受け入れられ、"longitude,latitude" のようにカンマで区切られたペアとして表示されます。オプションで式を括弧で囲むことができます。
- 経度と緯度の両方の値は、小数点以下 6 桁までの精度で格納されます。

geopoint データ型の詳細については、「 機能フィールド 」を参照してください。

このガイドの例では、カスタム テーブル `u_geopoint` にフィールド `u_name` と `u_location` が入力されていることを前提としています。ここで、 `u_name` は 'string' 型で主要都市の名前をリストし、 `u_location` は 'geopoint' タイプで、各都市の緯度/経度ポイントをそれぞれリストします。

GlideGeoPoint API を使用したジオポイントの作成

GlideGeoPoint API を使用して、新しいレコードを挿入し、新しいジオポイントを作成します。

GlideGeoPoint - グローバル API を使用すると、ジオポイント値を設定および取得できます。ただし、文字列表記または GlideGeoPoint オブジェクトを使用してスクリプトにジオポイントを直接設定することで、新しいレコードを挿入する追加機能を実行できます。

文字列表記を使用して新しいレコードを挿入します。

文字列を使用してジオポイント フィールド `u_location` の値を設定します。文字列は、経度と緯度の値のコンマ区切りのペアで構成されます。次の例は、文字列表記を使用して `u_geopoint` テーブルに新しいジオポイントを設定する方法を示しています。

> **注:** *GlideGeoPoint* API 値は常に経度、緯度の順にリストされます。

```
const longitude = "-87.628018";
const latitude = "41.885778";
const geopoint = longitude + "," + latitude;

const myGeoPoint = new GlideRecord("u_geopoint");
myGeoPoint.initialize();
myGeoPoint.setValue("u_name", "Chicago");
myGeoPoint.setValue("u_location", geopoint);
myGeoPoint.insert();
```

GlideGeoPoint オブジェクトを使用して新しいレコードを挿入します。

GlideGeoPoint オブジェクトを使用して、ジオポイントフィールド `u_location` の値を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
const longitude = -87.628018;
const latitude = 41.885778;
const geopoint = new GlideGeoPoint(longitude, latitude);

const myGeoPoint = new GlideRecord("u_geopoint");
myGeoPoint.initialize();
myGeoPoint.setValue("u_name", "Chicago");
myGeoPoint.setValue("u_location", geopoint);
myGeoPoint.insert();
```

GlideGeoPoint API を使用したジオポイント値の読み取り

getDisplayValue() GlideGeoPoint API 関数を使用して、特定のテーブルからすべてのジオポイント値を読み取ります。

標準の GlideGeoPoint API では、 GlideGeoPoint - getDisplayValue() 関数を使用してジオポイント値を取得できます。ただし、テーブル全体で定義されているすべてのジオポイントを読み取ることは可能です。次のスクリプト例は、*getDisplayValue()* 関数を使用して、「geopoint」タイプの`u_location`フィールドを含む`u_geopoint`テーブルからすべてのレコードを取得する方法を示しています。このサンプルスクリプトを使用して、特定のユースケースに合わせて調整できます。

注: *GlideGeoPoint* API 値は常に経度、緯度の順にリストされます。

```
const myGeoPoint = new GlideRecord("u_geopoint");
myGeoPoint.query();

while (gr.next())
  gs.info("Name: {0}  Location: {1}",
    myGeoPoint.getDisplayValue('u_name'),
    myGeoPoint.getDisplayValue('u_location'));
```

出力は、 `u_geopoint` テーブル内のすべてのレコードを返します。ジオポイントの表示値には、経度とそれに続く緯度が含まれ、カンマで区切られ、括弧で囲まれています。

```
Name: London  Location: (-0.189937, 51.473584)
Name: Puerto Rico  Location: (-66.561301, 18.291136)
Name: Glasgow  Location: (-4.223964, 55.867846)
Name: Chicago  Location: (-87.628018, 41.885778)
Name: Tasmania  Location: (146.757677, -42.173578)
Name: Bermuda  Location: (-64.761595, 32.315798)
Name: Miami  Location: (-80.206458, 25.767242)
Name: Sydney  Location: (151.205230, -33.890115)
Name: Perth  Location: (115.871253, -31.971583)
Name: Dublin  Location: (-6.304994, 53.348317)
```

2 つのジオポイント間の距離を計算する

`distance_sphere` Glide 関数を使用して、ジオポイント間の距離をメートル単位で返します。

ジオポイント グライド関数 `distance_sphere` を使用すると、2 つのジオポイント間の距離を計算できます。この関数は、距離をメートル単位で返します。 `distance_sphere` は、テーブルの機能フィールド要素の定義で使用することも、スクリプトを介して使用することもできます。次の 3 つの構文がサポートされており、すべてのパラメーターが必要です。

- `glidefunction:distance_sphere(geopoint1, geopoint2)`
- `glidefunction:distance_sphere(geopoint1, longitude2, latitude2)`
- glidefunction:distance_sphere(経度 `1`, 緯度 `1`, 経度 `2`, 緯度 `2`)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらの構文を使用する場合は、次の点に注意してください。

- geopoint1 と geopoint2 はタイプ「geopoint」のテーブル要素です
- 経度 1、経度 2、緯度 1、緯度 2 は数値テーブル要素または定数です
- いずれの場合も、この関数の戻り値は 2 つのジオポイント間の距離をメートル単位で表す 10 進数です

次のスクリプト例では、`u_geopoint` テーブルの `u_location` フィールドに格納されているすべてのジオポイントと、経度 `-0.189937`、緯度 `51.473584` (ロンドンのおおよその位置) のポイント間の距離を計算する `distance_sphere` 関数を定義しています。関数が GlideRecord クエリーに追加され、結果が生成されます。

```
const distToLondon =
"glidefunction:distance_sphere(u_location, '-0.189937', '51.473584')";

const myGeoPoint = new GlideRecord('u_geopoint');
gr.addFunction(distToLondon);
gr.query();

while(myGeoPoint.next())
  gs.info("Name: {0}  Dist to London(m): {1}",
    myGeoPoint.u_name, gr.getValue(distToLondon));
```

出力には、ロンドンと都市間の距離が `[u_location]` フィールドにメートル単位でリストされます。

```
Name: London  Dist to London(m): 0
Name: Glasgow  Dist to London(m): 555985.58456358
Name: Dublin  Dist to London(m): 464000.328892816
Name: Miami  Dist to London(m): 7123803.25406323
Name: Bermuda  Dist to London(m): 5547607.95564083
Name: Puerto Rico  Dist to London(m): 6799201.00905107
Name: Perth  Dist to London(m): 14485217.5596414
Name: Sydney  Dist to London(m): 17001034.4875494
Name: Tasmania  Dist to London(m): 17324634.4559516
```

2 つのジオポイント間の距離をフィルタリングする

`DISTANCE_SPHERE_WITHIN`クエリ条件を使用して、定義された緯度経度ポイントの半径内にジオポイント値を持つレコードをフィルタリングします。

`DISTANCE_SPHERE_WITHIN` 構文 `geopointDISTANCE_SPHERE_WITHINlongitude,latitude<radius` に従う必要があります。

- `geopoint` はジオポイントフィールドです
- 経度 と 緯度 は 10 進定数です
- `radius` は 10 進定数 (メートル単位) です。

> **注:** この式の小なり記号 (<) は必須であり、区切り文字としてのみ使用されます。その他の比較演算子は無効です。

`DISTANCE_SPHERE_WITHIN`は要求でキロメートルまたはメートルの値を受け入れますが、出力値は常にメートル単位で返します。

次のスクリプト例は、点 `-0.189937` 経度、緯 `51.473584` 度 (おおよそロンドンの場所) から`u_location`が 1,000,000 km 未満のレコードのみを返すエンコードされたクエリーをビルドする

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

方法を示しています。実行すると、ロンドンの指定された半径内の都市を表す 3 つのレコードが返されます。

```
const myGeoPoint = new GlideRecord("u_geopoint");
myGeoPoint.addEncodedQuery("u_locationDISTANCE_SPHERE_WITHIN-0.189937,51.
473584<1000000");
myGeoPoint.query();

while(gr.next())
    gs.info("Name:" + myGeoPoint.getDisplayValue("u_name")
         + " Location:" + myGeoPoint.getDisplayValue("u_location"));
```

出力:

```
Name:London Location:(-0.189937, 51.473584)
Name:Dublin Location:(-6.304994, 53.348317)
Name:Glasgow Location:(-4.223964, 55.867846)
```

次のサンプルスクリプトは最初のスクリプトと同じですが、GlideRecord に別の構文を使用しています。

```
const myGeoPoint = new GlideRecord("u_geopoint");
myGeoPoint.addQuery("u_location", "DISTANCE_SPHERE_WITHIN",
 "-0.189937,51.473584<1000000");
myGeoPoint.query();

while(myGeoPoint.next())
    gs.info("Name:" + myGeoPoint.getDisplayValue("u_name")
         + " Location:" + myGeoPoint.getDisplayValue("u_location"));
```

出力:

```
Name:London Location:(-0.189937, 51.473584)
Name:Dublin Location:(-6.304994, 53.348317)
Name:Glasgow Location:(-4.223964, 55.867846)
```

自動翻訳

Mobile SDK デベロッパー ガイド - Android

ServiceNow Mobile SDKを使用すると、スタンドアロンのモバイル Android アプリケーション内で ServiceNow プラットフォームの機能とリソースを活用できます。

Mobile SDKを使用すると、アプリケーション内で次の操作を実行できます。

- 作成した公開 REST API またはカスタムスクリプト済み REST API を使用して、 ServiceNow インスタンスのデータにアクセスします。
- アプリケーションインターフェイス内に 仮想エージェント を埋め込んで有効にします。
- 分析のためにカスタムアナリティクスイベントを収集して追跡します。
- ServiceNowインスタンス内のレコードにドキュメント (添付ファイル) を添付します。
- ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページをネイティブ Web ビューまたは Cabrillo にロードします。
- サードパーティアプリケーションがユーザーを認証するための JSON Web トークンを使用して、シンプルな認証フローを提供します。
- プッシュ通知を送信します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Mobile SDKには、さまざまなMobile SDKモジュールと統合するためのコード例を含むサンプルアプリが用意されています。2.1 リリース以降では、 エンゲージメントメッセンジャー がサンプルアプリに含まれています。 エンゲージメントメッセンジャーの詳細については、「 https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1587611 」を参照してください。

NowSDK アーキテクチャ

NowSDK は、 Mobile SDK クラスフレームワークの最上位エンティティです。

Mobile SDK と ServiceNow インスタンスが提供する重要な機能を活用できるようにする多数のクラス、インターフェイス、および関数が含まれています。このドキュメントでは、 Mobile SDK で公開され、 ServiceNow インスタンスとのやり取りを可能にする主要な機能サービスについて説明します。

Mobile SDKが提供する機能サービスを使用するには、NowSDK ライブラリをコードに統合する必要があります。SDK 機能を使用する前に、コア ライブラリを呼び出して SDK を構成および初期化する必要があります。

NowSDK には次の機能があります。

- SDK の初期化と設定の取得と構成。
- シームレスな認証とユーザーセッション処理。
- ログ記録インターフェイス。NowSDK は、すべての機能サービスにログ記録サービスを提供します。デフォルトでは、ログメッセージはプラットフォーム固有の機能を使用してシステムログに書き込まれます。ログ記録のしきい値は、SDK を構成する呼び出しの一部であるパラメーターを使用して制御できます。また、SDK とそのフィーチャ サービスによって生成されるすべてのログメッセージを抑制するオプションもあります (`ログ レベル = none`)。独自のログ記録ソリューションを既に導入している場合は、 Mobile SDK でそれを使用できます。
- インフラストラクチャを構築してリリースします。

NowSDK は、次の機能サービスと関連 API を提供します。

- NowDataSDK

  サードパーティアプリケーションが、 ServiceNow インスタンスによって公開されたパブリック REST API にアクセスできるようにします。NowDataSDK は NowSDK が提供する認証機能とセッション処理機能を利用するため、開発が簡素化されます。

  - プライマリ API:
    - NowAPIService:この API は、ServiceNow インスタンスで公開されているREST APIとやり取りできるようにする機能を提供します。
    - NowAttachmentService:この API は、Android アプリケーション内の ServiceNow インスタンスで添付ファイルをアップロードしてクエリを実行する機能を提供します。
    - NowGraphQLService:この API は、GraphQL クエリを使用し、ServiceNow REST *`GraphQL API`* を使用して ServiceNow インスタンス内のテーブルからデータを取得できるようにする機能を提供します。
    - NowTableService:この API は、ServiceNow REST *`Table API`* を介してサービスされる ServiceNow インスタンス内の既存のテーブルに対して、作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 操作を実行できるようにする機能を提供します。
- Now アナリティクス

  モバイルアプリケーション内の利用状況分析を収集して追跡できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プライマリ API:
  - NowAnalytics:この API は、ユーザーアナリティクスデータを収集して ServiceNow プラットフォーム内に保存し、後で分析および追跡する機能を提供します。

- NowChat

  ネイティブ 仮想エージェント チャットウィンドウをアプリケーションに埋め込むことができます。このサービスにはUI/UX機能が含まれています。

  - プライマリ API:
    - NowChatService: この API は、Android アプリケーションに 仮想エージェント および ライブエージェント チャット機能を提供します。アプリケーション内に *`NowChatService`* を実装するだけで、ServiceNowプラットフォームが提供するすべてのサービスのチャット機能を活用します。

- NowPush

  NowChat/仮想エージェント 機能を利用するアプリケーションに未承諾メッセージを送信できます。

  - プライマリ API:
    - NowPushSDK: この API は、Android デバイスへの非請求 (プッシュ) 通知の送信を可能にする `NowPushService` を作成するために必要な関数を提供します。
    - NowPushService: この API は、プッシュ サービスとのやり取りを可能にする関数を提供します。

- ナウウェブ

  ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページをネイティブ Web ビューまたは Cabrillo でロードできるようにします。ログイン Web ページを介してユーザーにインスタンスへのログインを強制する代わりに、ユーザー認証とセッション管理を自動的に処理します。

  Web ビューは、 ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページを読み込むように要求されると、NowSDK によって提供される OAuth アクセストークンを含む適切なベアラーヘッダーを使用して HTTP 要求を作成します。インスタンスはこの要求を受信すると、新しいユーザーセッションを開始し、そのセッションに関連する Cookie を返します。ユーザーが Web ビューで Web ページを操作すると、インスタンスは Cookie を使用してセッションがまだ有効であることを検証します。この時点で、ベアラーヘッダーは関係なくなり、Cookieのみがセッションの検証に使用されます。ユーザーがタイムアウト期間より長く Web サイトとのやり取りを停止すると、Web セッションは期限切れになります。セッションの有効期限が切れた後、ユーザーが Web ページを操作しようとすると、ログインページに自動的にリダイレクトされます。NowWebViewController はリダイレクトを検出し、NowSDK から更新されたアクセス トークンを要求し、そのトークンを使用して最後に読み込まれた既知のページの HTTP 要求 (ベアラーヘッダーを含む) を作成することで、新しい Web セッションの開始を試みます。

  - プライマリ API:

    NowWebSDK: この API は、 ServiceNow インスタンスの Web ページを Android アプリケーションに表示できるようにする NowWeb サービスオブジェクトを作成する機能を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スタートガイド **Mobile SDK - Android**

このセクションで説明するタスクを完了して、 ServiceNow Mobile SDK と統合する Android アプリケーションの作成をサポートする開発環境を準備する必要があります。

- ServiceNow Mobile SDKライブラリをダウンロードしてインストールします。詳細な手順については、「Mobile SDKライブラリのダウンロードとインストール」を参照してください。
- Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションをインストールして構成します。詳細な手順については、「Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションのインストールと構成」を参照してください。
- プロジェクトを構成します。詳細については、「プロジェクトの構成」を参照してください。
- ServiceNow インスタンスでMobile SDKを有効にして構成します。詳細については、「証明書の設定と OAuth エンティティの作成」を参照してください。

これらのタスクがすべて完了すると、 ServiceNow インスタンスの大量のリソースを活用するモバイルアプリケーションの作成を開始できます。

Mobile SDKライブラリのダウンロードとインストール

ServiceNow インスタンスとやり取りするモバイルアプリケーションを作成する前に、まず ServiceNow Mobile SDK Android ライブラリをダウンロードしてインストールする必要があります。

始める前に

必要なロール：なし

ダウンロードとインストールのプロセスを開始する前に、開発環境が次の最小要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow インスタンスは Tokyo 以降である必要があります。
- Android バージョンは API 26 以降である必要があります。

手順

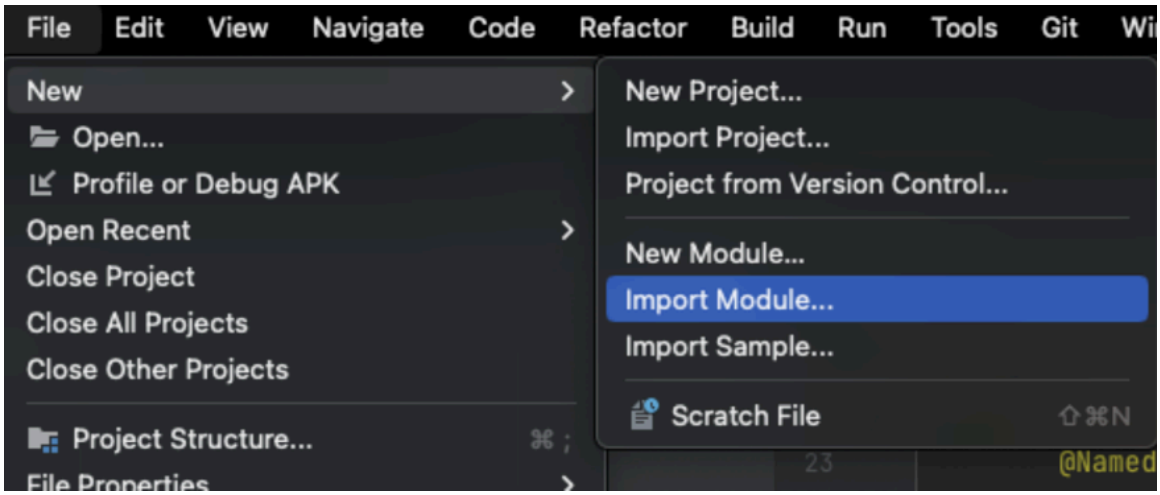
1. ServiceNow Store から NowSDK という Mobile SDK Android ライブラリをダウンロードします。
   Android ライブラリは、次の場所にあります。
   - モバイル SDK: https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/528218468031201010 40fe43e5b9ee8c
   - Android ライブラリ: https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/f06b29b487ea3014970e2178cebb3511

   インスタンスへのアプリケーションのインストールの詳細については、「 アプリケーションの管理 」を参照してください。
2. NowSDK ファイルを一時フォルダーに解凍します。
3. Android Studio IDE を使用して、NowSDK をモジュールとしてプロジェクトにインポートします。

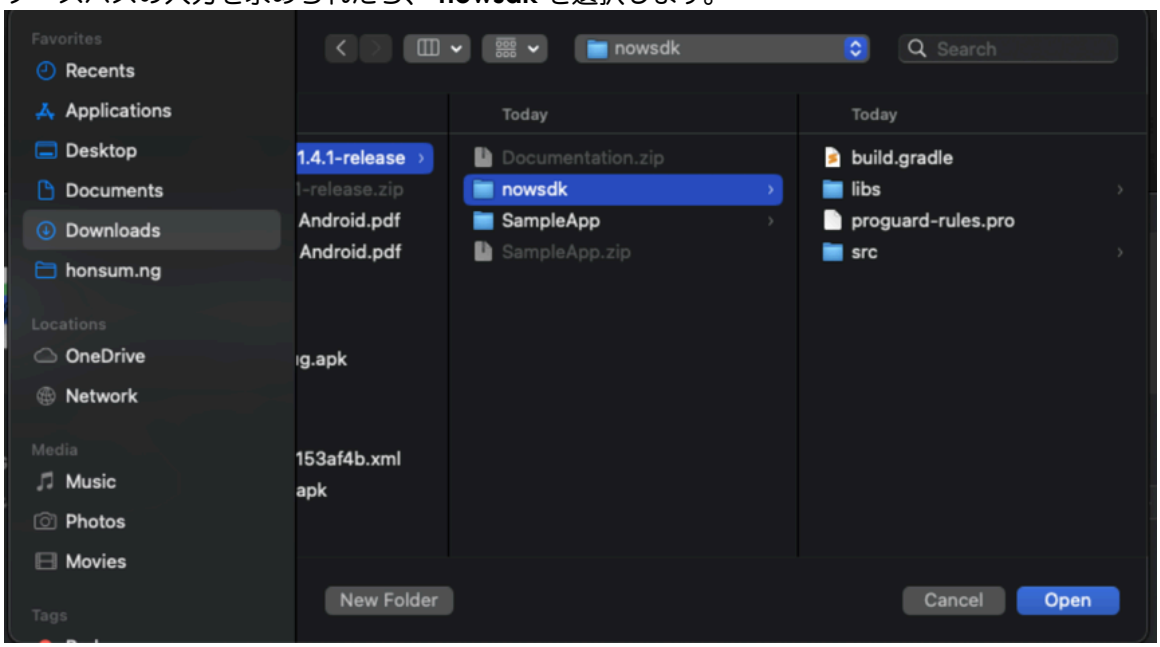
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. Android Studio IDEで、 ファイル -> 新規 -> インポートモジュール.



b. ソースパスの入力を求められたら、 **nowsdk** を選択します。



プロジェクトがインポートされると、IDE は構築エラーを報告します。

c. ビルドエラーを解決するには、nowsdk モジュールの `build.gradle` ファイル内に次のキーと値のペアが追加されていることを確認します。
この情報は、NowSDK の各推移的な依存関係のバージョンを定義します。

```
ext {
    kotlin_version = "1.8.22"
    hilt_version = "2.47"
    androidxCoreVersion = '1.10.1'
    recyclerViewVersion = '1.3.0'
    appCompatVersion = '1.6.1'
    constraintLayoutVersion = '2.1.4'
    lifecycleVersion = '2.6.1'
    roomRuntimeVersion = '2.5.2'
    roomRxJavaVersion = '2.5.2'
    timberVersion = '5.0.1'
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    rxAndroidVersion = '3.0.2'
    rxJavaVersion = '3.1.6'
    rxKotlinVersion = '3.0.1'
    daggerVersion = '2.46.1'
    androidxAnnotationVersion = '1.6.0'
    materialVersion = '1.9.0'
    retrofitVersion = '2.9.0'
    okhttpVersion = '4.11.0'
    cardViewVersion = '1.0.0'
    gsonVersion = '2.8.7'
    firebaseBomVersion = '32.1.1'
    exifinterfaceVersion = '1.3.6'
    kotlinxCoroutinesVersion = '1.6.4'
    moshiVersion = '1.15.0'
    composeUiVersion = '1.4.3'
    composeMaterialVersion = '1.4.3'
    composeAnimationVersion = '1.4.2'
    composeFoundationVersion = '1.4.3'
    composeViewmodelVersion = '2.5.1'
    composeActivityVersion = '1.7.2'
    fragmentKtxVersion = '1.5.2'
    coroutinesCoreVersion = '1.5.1'
    coroutinesAndroidVersion = '1.5.1'
    cameraxVersion = '1.2.1'
    jsoupVersion= '1.16.1'
}
```

d. nowsdk モデルの `build.gradle` ファイルで、NowSDK リポジトリを含めるために次のセクションが追加されていることを確認します。

```
rootProject.allprojects {
  repositories {
    flatDir { dirs rootProject.rootDir.path + "/nowsdk/libs" }
  }
}
```

e. アプリレベルの `build.gradle` ファイルで、NowSDK を依存関係として追加します。

```
dependencies {
  // NowSDK
  implementation project (":nowsdk")
```

Gradle が同期すると、NowSDK API を参照できるようになります。

Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションのインストールと構成

Mobile SDKを利用するアプリケーションを作成する前に、Mobile SDKスコープ対象のアプリケーションをインストールして構成する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow Store Web サイトの Mobile SDK ページに移動します。
   詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

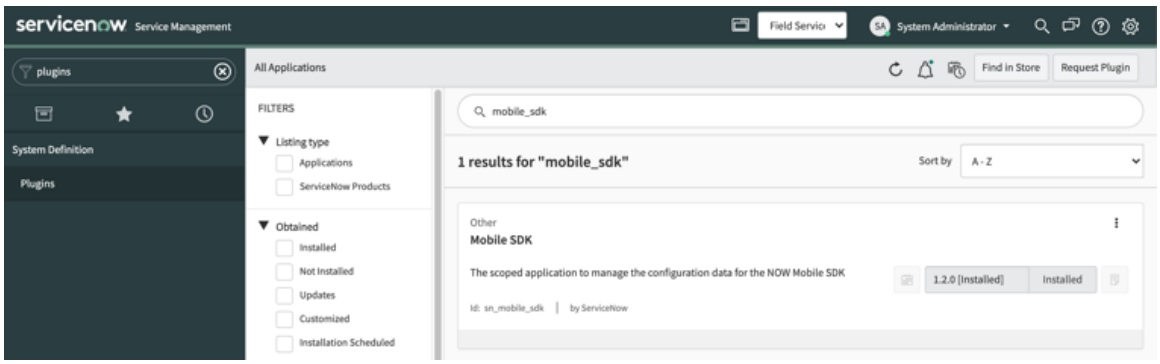
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. [**Request Install** (インストールを要求)] を選択して、 Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションを ServiceNow インスタンスにダウンロードします。
3. Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションが ServiceNow インスタンスに正しくインストールされていることを確認します。

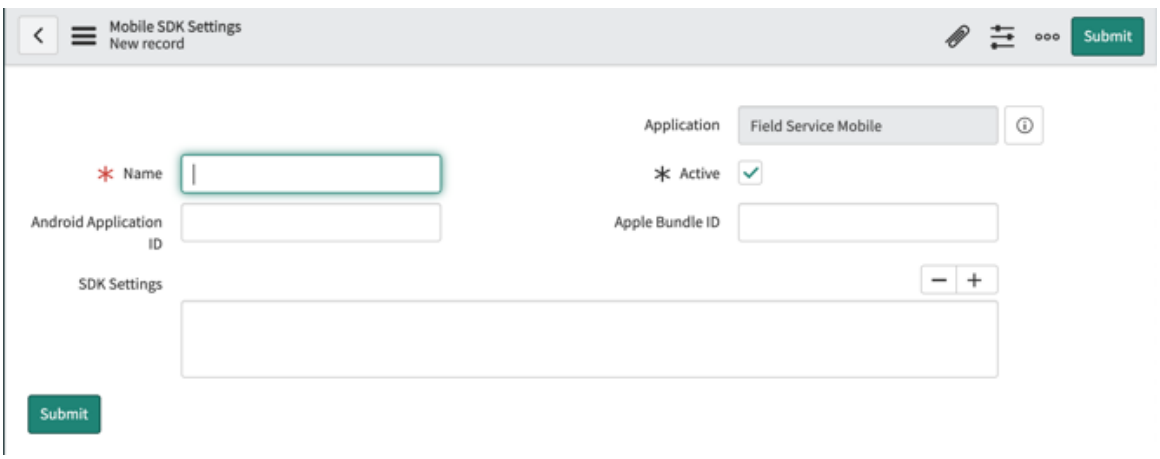
   a. プラグインのフォーム [システム定義] > [プラグイン] を開きます。

   b. 検索フィールドに 「mobile_sdk」と入力します。
   次のような画面が表示されます。



   c. プラグイン **ID** が `sn_mobile_sdk` であり、バージョンが最新であることを確認します。

4. Mobile SDK設定 [sn_mobile_sdk] テーブルを開き、Mobile SDKを利用するアプリケーションの新しいアプリケーションレコードを作成します。



   a. [名前] フィールドに、 Mobile SDKを利用するアプリケーションの名前を入力します。

   b. **[Android** アプリケーション **ID**] フィールドと **[Apple** バンドル **ID**] フィールドに、モバイルアプリケーションの ID を入力します。
   たとえば、 Mobile SDK がモバイルアプリケーションに追加された場合、これらの ID はモバイルアプリケーションの ID になります。

   c. [**SDK** 設定] フィールドに、アプリケーションが利用するすべてのフィーチャ サービスの JSON 構成プロパティを入力し、 `true` に設定します。

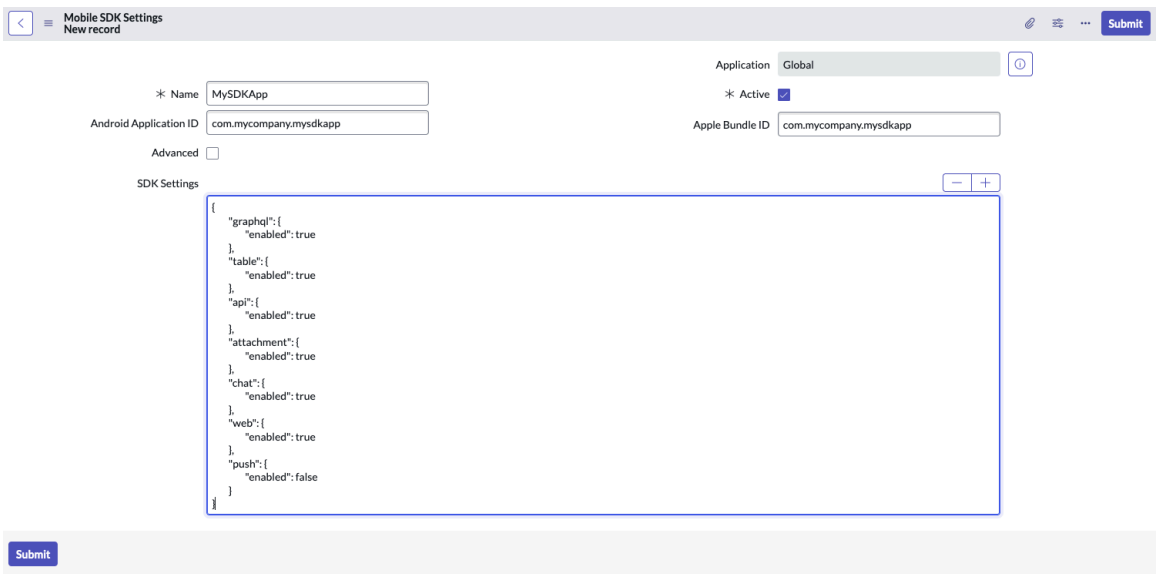
   例：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
    "graphql": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "table": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "api": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "attachment": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "chat": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "web": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "push": {
        "enabled" : true
    }
}
```

[詳細] チェックボックスがオフになっていることを確認します。これにより、[**SDK** 設定] フィールドに JSON を入力できます。



SDK 設定で追加された適用可能な構成は、ServiceNowインスタンス構成と組み合わせて使用されます。

たとえば、 `chat: enabled = true` の場合、チャット機能を活用するには、 ServiceNow インスタンスに 仮想エージェント プラグインがインストールされている必要があります。仮

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

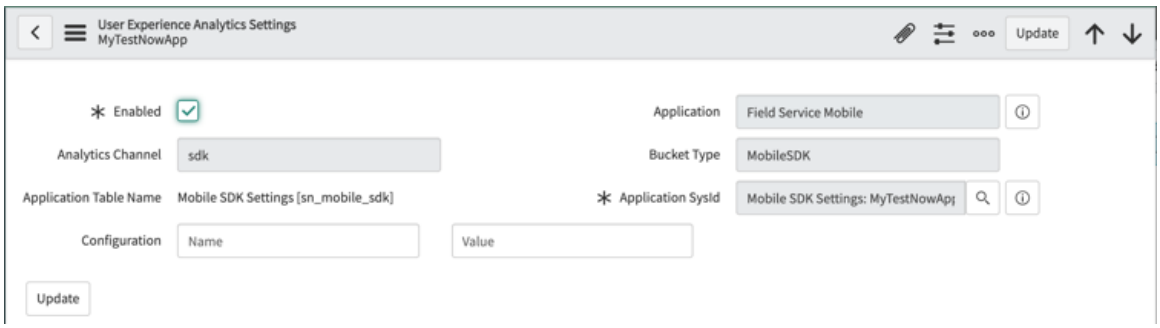
想エージェント プラグインがインストールされていても、**SDK** 設定に `chat: enabled = false` が含まれている場合、アプリケーションはチャットインターフェイスを活用できません。

d. [送信] を選択して、アプリケーション設定を保存します。

5. オプション。アプリケーションでユーザーエクスペリエンスアナリティクスを利用する場合は、アプリケーションをユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションに登録します。

a. アプリケーションの Mobile SDK 設定レコードを再度開きます。

b. 画面の左下にある [アナリティクスに登録] を選択します。
次のような画面が表示されます。



c. [更新] を選択して登録を保存します。

6. SDK 設定を確認します。

a. REST API Explorer に移動します。

b. 指定されたフィールドに次のように入力します。

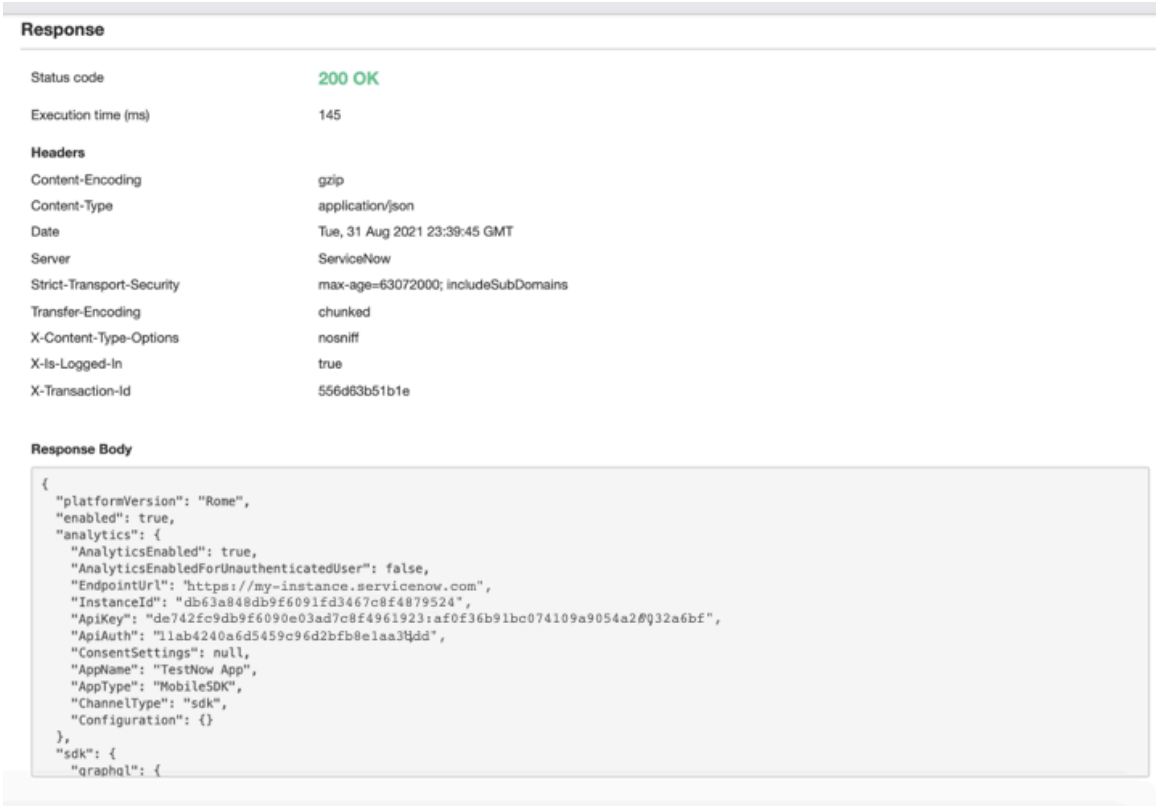
- 名前空間: `sn_mobile_sdk`
- **API** 参照名: `Mobile SDK`
- **API** バージョン: 最新

c. [Android アプリ **(GET)** の設定を取得] を選択します。

d. applicationID フィールドに、関連する Mobile SDK 設定 レコードに入力した Android アプリケーション ID を入力し、送信 を選択します。
応答は次のようになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



JSON 応答本文 は、次のようになります。

```
{
 "platformVersion": "utah",
 "enabled": true,
 "analytics": {
 "AnalyticsEnabled": true,
 "AnalyticsEnabledForUnauthenticatedUser": false,
 "EndpointUrl": "https://my-instance.servicenow.com.com",
 "InstanceId": "db63a848db9f6091fd3467c8f4879524",
 "ApiKey":
 "de742fc9db9f6090e03ad7c8f4961923:af0f36b91bc074109a9054a26032a6bf",
 "ApiAuth": "11ab4240a6d5459c96d2bfb8e1aa3ddd",
 "ConsentSettings": null,
 "AppName": "TestNow App",
 "AppType": "MobileSDK",
 "ChannelType": "sdk",
 "Configuration": {}
 },
 "sdk": {
 "graphql": {
 "enabled": true
 },
 "table": {
 "enabled": true
 },
 "api": {
 "enabled": true
 },
 "attachment": {
 "enabled": true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 },
 "chat": {
 "enabled": true
 },
 "web": {
 "enabled": true
 },
   "push": {
   "enabled": true
 }
}
```

プロジェクトの構成

Android 用 Mobile SDK を利用するアプリケーションを作成する前に、SDK を使用するようにプロジェクトを構成する必要があります。

始める前に
必要なロール：なし

手順

nowsdk モジュールをプロジェクトに含めるには、アプリケーション フォルダーの settings.gradle ファイルに次の行を追加します。
`インクルード ':nowsdk'`

証明書の設定と **OAuth** エンティティの作成

JSON Web トークン (JWT) を受け入れて OAuth アクセストークンと交換するように ServiceNow インスタンスを構成する必要があります。この機能を有効にするには、JWT トークンコンシューマーとして使用する ServiceNow インスタンスに JWT プロバイダーの秘密鍵と一致する証明書をインストールし、そのインスタンスに OAuth エンティティを作成する必要があります。

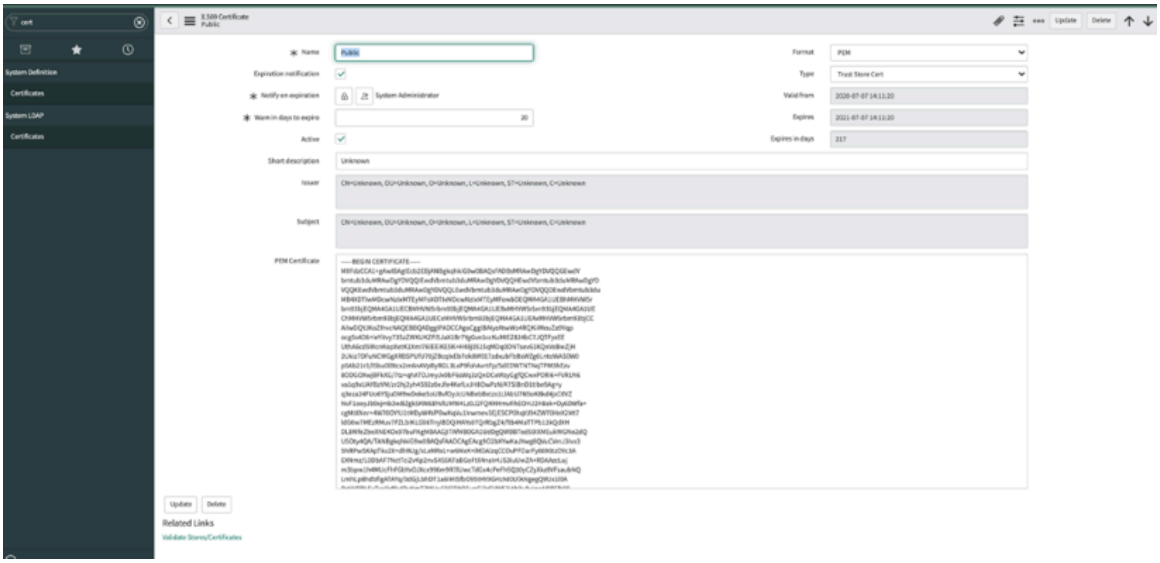
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. まだ構成されていない場合は、 ServiceNow インスタンスを OAuth JWT プロバイダーとして構成します。
   詳細については、「外部クライアント向けの OAuth JWT API エンドポイントの作成 (マシン間の統合)」を参照してください。
2. 移動先 システム定義 > 証明書.
3. [新規] を選択し、次の図に示すように新しい公開証明書を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



この証明書の作成の詳細については、「X.509 証明書の更新」を参照してください。

4. OAuth エンティティを作成します。
   詳細については、「外部クライアント向けの OAuth JWT API エンドポイントの作成 (マシン間の統合)」を参照してください。
5. フォームに [公開クライアント] フィールドを追加して選択します。

   注: このフィールドは、デフォルトでは表示されません。

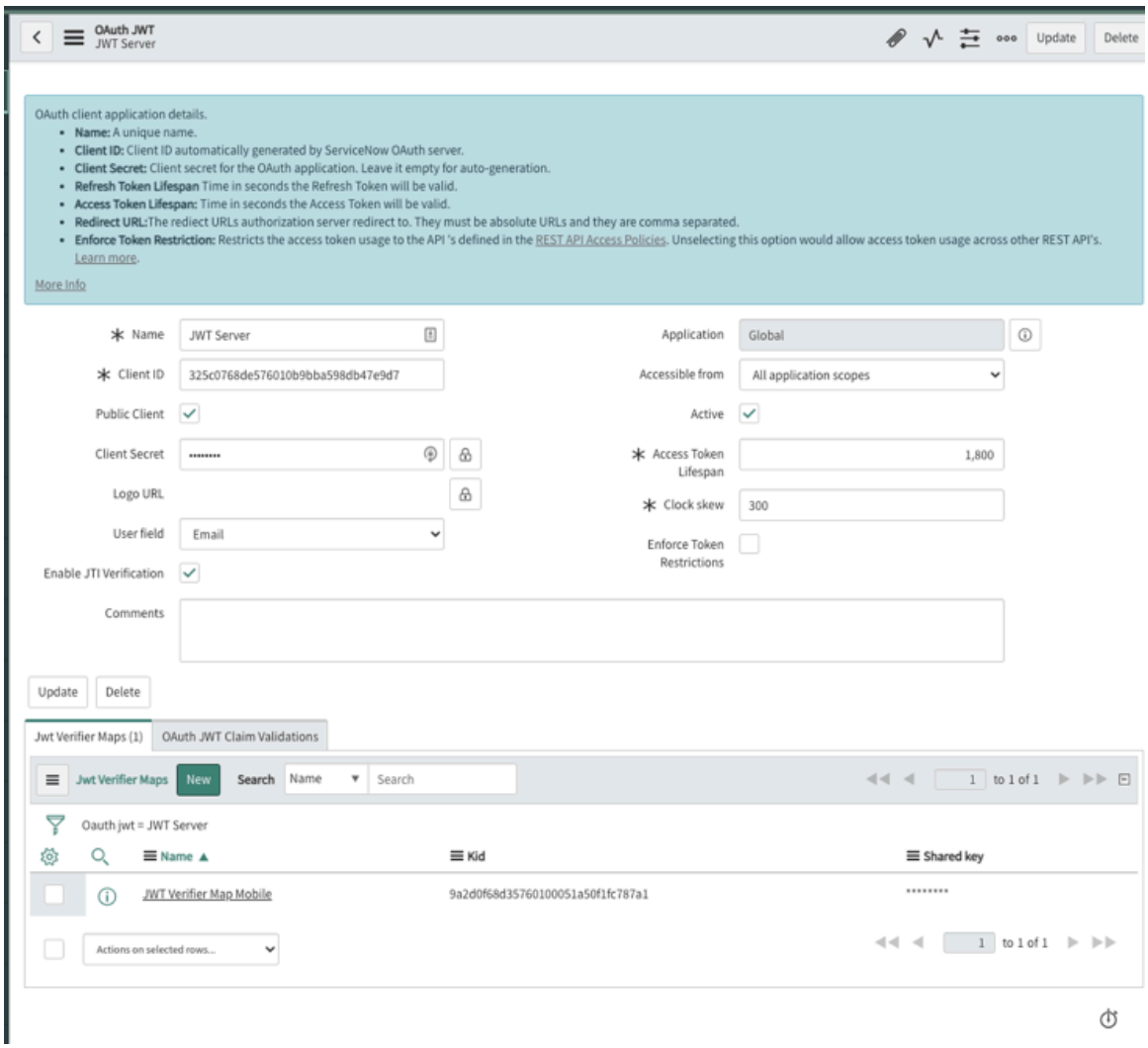
6. レコードを保存します。
7. JWT 検証者マップエントリを追加します。
   レコードが保存されると、[**Jwt** 検証者マップ] という新しいセクションがフォームの下部に表示されます。

   a. [名前] フィールドに名前を追加し (任意の名前にすることができます)、追加された証明書を選択します。
      その他のフィールド **[Kid**] と **[Shared key**] は自動入力されるため、空白のままでもかまいません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 構成が完了したら、フォームに次のような情報が含まれていることを確認します。



ゲストユーザーアクセスの設定

非認証ユーザーが SDK サービスにアクセスできるようにするには、ゲストユーザーアクセスを許可するように ServiceNow インスタンスのMobile SDKを構成する必要があります。ゲストユーザーは、 *NowWeb* を使用してインスタンスでホストされている公開 Web ページを表示し、 *NowChat* を使用してゲストとして会話し、 *NowTableService* と *NowGraphQLService* を使用してインスタンスの公開データにアクセスし、 *NowAPIService* を使用して非認証ユーザー用に構成されたカスタム API サービスにアクセスできます。

始める前に

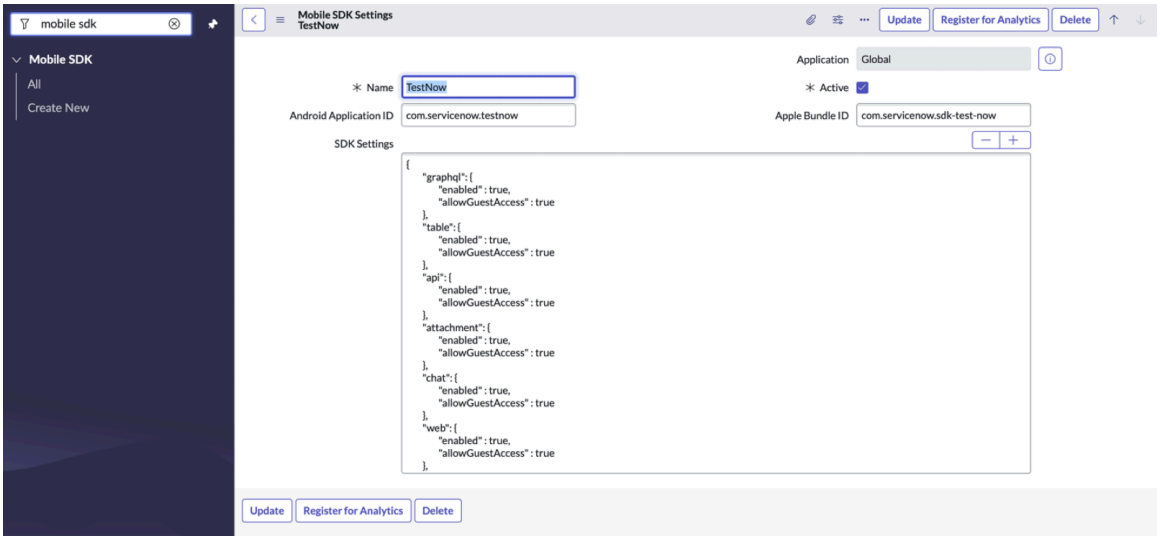
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Mobile SDK** > すべて をクリックし、ゲストアクセスを許可するアプリケーションを選択します。
2. ゲスト アクセスを有効にするサービスごとに、その構成配列に `"allowGuestSccess":true` を追加します。

> **注:** *NowAttachment* サービスは現在、ゲスト アクセスをサポートしていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [更新] を選択して、変更を保存します。

アプリケーションで **NowSDK** を初期化する

アプリケーションで Mobile SDK を使用するには、SDK の初期化、承認、およびログ記録を実行する必要があります。

NowSDK を使用すると、SDK を構成する要求が行われ、SDK からのコールバックが提供されます。SDK が構成されると、アプリケーションはフィーチャ サービスとその関連 API を使用できるようになります。このセットアップ/構成は、 ServiceNow インスタンスへの認証された呼び出しを行うのに役立ちます。

Android アプリケーションで NowSDK を初期化する方法の例を次に示します。

```
//Helper class to encapsulate value needed to initialize the sdk
data class NowSDKSettings(val instanceBaseURL : String, val clientId:
 String, val user: String?)

class SampleApplication : Application(), NowSDKAuthorizationProviding,
 DevicePermissionDelegate {

    private val nowSdkSettings = NowSDKSettings(
        instanceBaseURL = "https://instance-name.service-now.com",
        clientId = "client_id",
        user = "user"
    )

    private val coroutineScope = CoroutineScope(Dispatchers.IO)

    private val nowSDKConfiguration = NowSDKConfiguration(this, this,
 NowLogLevel.Debug)

    override fun onCreate() {
        super.onCreate()
        NowSDK.configure(this, nowSDKConfiguration)
    }

    override fun requestAuthorization(
        instanceURL: URL,
        callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ) {
        coroutineScope.launch {
            when {
                nowSdkSettings.user.isNullOrBlank().not() ->
authorizeWithJWT(
                    callback = callback,
                    user = nowSdkSettings.user,
                    clientId = nowSdkSettings.clientId
                )

                else -> authorizeWithGuest(callback = callback)
            }
        }
    }

    override fun canRequestPermission(permission: DevicePermission):
Boolean {
        return true
    }

    private fun authorizeWithJWT(
        callback: Consumer<List<AuthorizationToken>?>,
        user: String?,
        clientId: String
    ) {
        //Get JWT token needed for the sdk initialization.
        val jwtToken ="jwt_token"


callback.accept(listOf(AuthorizationToken(AuthorizationTokenType.JWT,
jwtToken)))
    }

    private fun authorizeWithGuest(callback:
Consumer<List<AuthorizationToken>?>) {
        callback.accept(
            listOf(
                AuthorizationToken(
                    AuthorizationTokenType.Guest,
                    ""
                )
            )
        )
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

仮想チャットと ライブエージェント チャットを実装する

このMobile SDKを使用すると、Androidアプリケーション内に仮想チャットサービスおよびライブエージェントチャットサービスを簡単に実装できます。

NowChatSDK API を使用してチャットサービスを作成します。サービスが作成されたら、チャットユーザーインターフェイスを開始する必要があります。

以下は、チャットサービスを作成してインターフェイスを開始する方法を示すスニペットです。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances.
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {

    private var chatService: NowChatService? = null

    /**
     * Create the NowChatService once in the lifetime of the application,
 inside the Application class or another manager class
     * that will be injected into other classes via dagger/hilt.
     * NowChatService should be created after initializing the NowSDK.
     */
    suspend fun getNowChatService(): NowChatService? {
        if (chatService != null) return chatService

        return
 NowChatSDK.makeChatService(URL("https://instance-name.service-now.com"),
            object : NowChatSdkCallbacks {})
            .getOrThrow()
            .also { this.chatService = it }
    }
}

//Activity that will start the NowChat
class MainActivity : AppCompatActivity() {

    @Inject
    lateinit var sdkManager: SdkManager

    override fun onCreate(savedInstanceState: Bundle?) {
        super.onCreate(savedInstanceState)

        //Start NowChat using the activity
        lifecycleScope.launch {
            sdkManager.getNowChatService()?.start(this@MainActivity)
        }
    }
}
```

アプリケーション内でチャット機能を利用する前に、ServiceNowインスタンス内で仮想エージェントを設定する必要があります。詳細については、「仮想エージェント」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライブエージェントおよび仮想エージェントチャットへのコンテキスト変数の受け渡し

NowChatService-start() 関数で *contextData* パラメーターを渡すことで、チャットセッションの開始時にチャットコンテキスト変数を渡すことができます。チャットコンテキスト変数の詳細については、「ライブエージェントチャットのコンテキスト変数」を参照してください。

```
class MainActivity : AppCompatActivity() {
  @Inject

  lateinit var sdkManager: SdkManager

  override fun onCreate(savedInstanceState: Bundle?) {
    super.onCreate(savedInstanceState)

    val contextData = mapOf("sys_id" to "123456789", "table" to
 "wm_task")
    //Start NowChat using the activity
    lifecycleScope.launch {
      sdkManager.getNowChatService()?.start(this@MainActivity,
 contextData = contextData)
    }
  }
}
```

チャットユーザーインターフェイスのテーマを設定する

ライブエージェントと仮想エージェントチャット UI の色をカスタマイズするには、*start()* 呼び出しでテーマオブジェクトを渡します。カスタマイズできる要素の一覧については、「NowChatService - launchIntent(context:Context, themeColors:NowChatTheme):インテント」を参照してください。デフォルトでは、チャット UI はすべての NowSDK UI 要素に *nowUIColor* テーマを使用します。チャット UI にテーマを適用する方法の例については、サンプルアプリケーションを参照してください。

NowChatOptions を渡して **NowChat** の動作を変更します

チャットセッションの開始時にオプションの *NowChatOptions* パラメーターを渡して、NowChat の動作の一部を変更できます。

NowChatOptions オブジェクトには、次のオプションが含まれています。

- *closePrompt*:チャットウィンドウを終了する前に表示されるプロンプトテキスト。このプロンプトテキストは、次のパラメーターを使用して定義します。
  - *header*:プロンプトのヘッダーに表示される null 許容文字列値。
  - *message*:プロンプトの本文に表示される文字列値。
  - *acceptButtonTitle*:プロンプトのプライマリボタンに表示される文字列値。このボタンをクリックすると、チャットウィンドウが閉じます。
  - *declineButtonTitle*:プロンプトのセカンダリボタンに表示される文字列値。このボタンは、チャットウィンドウを閉じずにプロンプトを閉じます。
- *disabledFeatures*:無効にする NowChat 機能のリスト。無効にできる機能の一覧については、*NowChatOptions.Feature* 列挙型クラスを参照してください。
- *forceNewConversation*:NowChat の開始時に新しい会話を強制的に開始するかどうかを示すブール値。進行中の会話はすべてクローズされます。デフォルト値：false。

次のコード例は、このメソッドを呼び出す方法を示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
class MainActivity : AppCompatActivity() {
  @Inject

  lateinit var sdkManager: SdkManager

  override fun onCreate(savedInstanceState: Bundle?) {
    super.onCreate(savedInstanceState)

    val chatOptions = NowChatOptions(
      NowChatOptions.ClosePrompt(
        header = null,
        message = "Are you sure you want to leave?",
        acceptButtonTitle = "Yes",
        declineButtonTitle = "No"
      ),
      disabledFeatures =
 listOf(NowChatOptions.Feature.START_NEW_CONVERSATION),
      forceNewConversation = true
    )

    //Start NowChat using the activity
    lifecycleScope.launch {
      sdkManager.getNowChatService()?.start(this@MainActivity,
 chatOptions = chatOptions)
    }
  }
}
```

詳細については、「NowChatOptions: Android と NowChatService - start(activity: Activity, themeColors: NowChatTheme = object : NowChatTheme{}, contextData: map<String, Any> = mapOf(), chatOptions: NowChatOptions? = null)」を参照してください。

ServiceNowインスタンス内のテーブルデータの操作

Mobile SDKを使用すると、ServiceNowインスタンスに存在するテーブル内のデータを操作できます。このデータは、REST インターフェイスを直接呼び出す *NowTableService()* API を使用する ServiceNow REST *Table* API を介して、または REST *GraphQL* API に対して指定された GraphQL クエリを実行する *NowGraphQLService()* API を介して操作できます。

1回の呼び出しで複数のテーブルからデータを返す場合は、 *NowGraphQLService()* APIを使用する必要があります。テーブル API 以外の ServiceNow REST API とやり取りする必要がある場合は、「ServiceNowインスタンスでのパブリック REST API とのやり取り」を参照してください。

NowGraphQLService を使用した ServiceNow テーブルとのやり取り

NowGraphQLService クラスは、ログインしているユーザーが適切な権限を持っている場合に、ServiceNow インスタンス内の指定されたテーブルで GraphQL クエリを構築して実行できるメソッドを提供します。すべての CRUD 操作を GraphQL クエリ内で定義できます。

次の例は、NowData フレームワークをインポートし、 ServiceNow インスタンス内のテーブルとのやり取りに使用できる NowGraphQLService オブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances.
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    private var nowGraphQLService: NowGraphQLService? = null

    /**
     * Create the NowGraphQLService once in the lifetime of the
 application inside the Application class or another manager class
     * that will be injected into other classes via dagger/hilt.
     * NowGraphQLService should be created after initializing the NowSDK
     */
    suspend fun getNowGraphQLService(): NowGraphQLService? {
        if (nowGraphQLService != null) return nowGraphQLService

        return
 NowDataSDK.makeGraphQLService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
            .also { this.nowGraphQLService = it }
    }
}
```

この例では、GraphQL クエリを使用して公開された KB 記事を取得する方法を示します。

```
suspend fun loadList() = withContext(Dispatchers.IO) {
    val kbArticlesQuery = """
    {
        GlideRecord_Query {
            kb_knowledge(queryConditions:
 "active=true^ORDERBYpublishedDESC"
            pagination:{ limit: 10, offset: 0 }) {
                _results {
                    sys_id { value },
                    number { displayValue },
                    short_description { displayValue },
                    author { displayValue }
                    published { displayValue }
                }
            }
        }
     }
 """
    val graphQLService = sdkManager.getNowGraphQLService()

    //graphQLService?.graphQLRequest(kbArticlesQuery)?.execute() can also
 be used
    graphQLService?.graphQLRequest(kbArticlesQuery)?.enqueue(
        { response ->
            response.body?.let {
                val resultString = String(it)
            }

        }, { nowDataError ->
            //handle error
        })
}
```

NowTableService を使用した ServiceNow テーブルとの対話

NowTableService クラスは、ServiceNowインスタンスに存在するテーブル内のレコードに対して CRUD 操作を実行するためのメソッドを提供します。このインターフェイスから、ログインし

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ているユーザーが許可されている ServiceNow テーブル内の任意のレコードに直接アクセスできます。*NowTableService* は、 参照フィールドのドット連結をサポートしています。たとえば、テーブルにユーザーテーブルへの参照が含まれている場合、ドット連結値 `user.name` はユーザーの名前を返します。

要求されたデータを返すと、該当するすべてのアクセス制御リスト (ACL) がデータに適用されるため、結果が予想よりも少なくなるか、認証されたユーザーが指定されたテーブルへのアクセス権を持っていない場合は認証エラーが発生する可能性があります。

次の例は、 *NowData* フレームワークをインポートし、 ServiceNow インスタンステーブルとのやり取りに使用できる NowTableServce オブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances. It has an
 application scope or is Singleton
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {

    private var nowTableService: NowTableService? = null

    /**
     * Create the NowTableService once in the lifetime of the application
 inside the Application class or another manager class
     * that will be injected into other classes via dagger/hilt.
     * NowTableService should be created after initializing the NowSDK
     */
    suspend fun getNowTableService(): NowTableService? {
        if (nowTableService != null) return nowTableService

        return
 NowDataSDK.makeTableService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
            .also { this.nowTableService = it }
    }
 }


suspend fun loadCases() = withContext(Dispatchers.IO) {
    val tableService = sdkManager.getNowTableService()

    //configure what data to pass back
    val fetchConfiguration =  FetchConfiguration(Filter("active=true"),
 10)

    val response = runCatching {
        tableService?.records(
            "sn_customerservice_case",
            fetchConfiguration
        )?.execute()
    }

    if (response.isSuccess) {
        val resultString = response.getOrNull()?.body?.let { String(it) }
    } else {
        //handle unsuccessful result
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
}
```

使用可能な *NowTableService* メソッドを使用するその他のコード例については、NowTableService API ドキュメントを参照してください。

返却結果データの構成

Mobile SDK内では、REST エンドポイントを介してServiceNowインスタンスからのデータを操作するときに、返される結果で返されるデータを構成できます。

返すデータは、 FetchConfiguration API を使用して構成します。このインターフェイスでは、次の項目を設定できます。

- テーブルから返す特定のレコード。
- レコードから返される特定のフィールド。
- 返されるレコードの数。

注: 通常、返されるフィールドを決定するため、特定のモデルの種類のすべての CRUD 操作に同じ FetchConfiguration を使用します。少なくともモデルに必要なプロパティと一致する必要があり、そうでない場合は JSON デコードは失敗します。

返す特定のレコードを構成する

FetchConfiguration 呼び出し内の Filter オブジェクトを使用すると、ServiceNow インスタンスからフェッチされ、REST エンドポイントから返される結果で返されるレコードのフィルターと並べ替えの要件を定義できます。このフィルターは、REST API エンドポイントの *sysparm_query* パラメーターで渡されます。詳細については、「テーブル API」を参照してください。

Filter オブジェクトは、目的のフィルター処理機能に応じて、2 つの異なる方法で初期化できます。

1. 基準でフィルタリングします。このフィルターを使用すると、OR で結合された 1 つ以上のフィルター基準に基づいてフィルターを適用できます。

   たとえば、マネージャーに PTO 中の従業員 Abel Tuter がいるとします。彼らは、誰にもアサインされていない、または Abel Tuter にアサインされていないアクティブなインシデントがあるかどうかを確認し、それらをアサイン/再アサインできるようにしたいと考えています。また、同じリストで、エスカレーションが高いインシデントや期限切れのインシデントをすべて確認し、それらにも対処できるようにしたいと考えています。次に、このデータを取得するために必要なフィルターを作成する方法を示します。

```
val activeIncidents = BooleanSimpleCondition.conditionIs("active",
 true)
val assignedToEmpty = StringSimpleCondition.isEmpty("assigned_to")
val assignedToAbel = StringSimpleCondition.conditionIs("assigned_to",
 "Abel Tuter")

val assignedToAbelOrEmpty =
  CompoundCondition(
  ConditionUtils.CompoundOperator.OR,
  listOf(assignedToEmpty, assignedToAbel))

val needToReassign = Criteria().addConditions(listOf(activeIncidents,
  assignedToAbelOrEmpty))

val highEscelations = StringSimpleCondition.conditionIs("escalation",
 "2")
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
val overdueEscelations =
 StringSimpleCondition.conditionIs("escalation", "3")

val highOrOverdueEscelations =
  CompoundCondition(ConditionUtils.CompoundOperator.OR,
    listOf(highEscelations, overdueEscelations))

val needToHandleEscalation =
  Criteria().addCondition(highOrOverdueEscelations)

val myPrioritiesForTodayFilter = Filter(listOf(needToReassign,
  needToHandleEscalation))

// Get record using filter
val response = runCatching {
  getNowTableService()?.records(
    "sn_customerservice_case",
    FetchConfiguration(myPrioritiesForTodayFilter, 10)
  )?.execute()
}
```

この種類のフィルター処理を使用するには、 Filter(criteriaList: List: List<Criteria>, sortBy: List<Sort>? = null) 関数を使用します。

2. キーワードと条件でフィルタリングします。このフィルターを使用すると、AND または OR で結合できる特定のキーワードと条件に基づいてレコードをフィルタリングできます。

   例：

```
val keywords = "iOS 13 | iOS 14"
val conditionA = BooleanSimpleCondition.conditionIs(testField, true)
val conditionB = BooleanSimpleCondition.conditionIs(testField2, false)
val sortA = Sort(testField, ConditionUtils.SortOperator.ORDER_ASC)
val filter = Filter(conditions = listOf(conditionA, conditionB),
 keywords = keywords, sortBy = listOf(sortA))
assertEquals(filter.query().second,
 "${conditionA.makeConditionQuery()}^${conditionB.makeConditionQuery()}
^123TEXTQUERY321=$keywords^EQ^${sortA.makeSortQuery()}")
```

   このタイプのフィルタリングを使用するには、 フィルター - Filter(conditions: List<Condition>, keywords: String? = null, sortBy: List<Sort>? = null) 関数を使用します。

返す特定のフィールドの構成

FetchConfiguration() メソッド呼び出し内の FieldReadConfiguration オブジェクトを使用すると、返される結果で返されるフィールドを設定できます。さらに、返されるフィールドの形式/コンテンツを次のように構成できます。

- 表示値
- 実際の値
- 参照リンクを除外

フィールド書き込みオプションの設定

Mobile SDK内で、REST エンドポイントを介してServiceNowインスタンスにデータを書き込むときに、フィールド書き込みオプションを定義できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド書き込みオプションは、 FieldWriteOptions API を使用して構成します。このインターフェイスでは、次の項目を設定できます。

- システムフィールドの自動生成を抑制するかどうか。
- 実際の値ではなく表示値 の表示値 を使用してフィールド値を設定するかどうか。

リターン結果レコードセットをページネーション

Mobile SDK内では、`NowTableService` を使用して REST エンドポイントを介して ServiceNow インスタンスからのデータを操作するときに、返される結果のレコードを反復処理できる Paginator オブジェクトを作成できます。

通常、ページ分割された戻り値の結果は、テーブル レコードに無限スクロール機能を提供したり、結果のページの反復処理を簡略化したりするために使用します。

`NowTableService` クラスは、REST エンドポイント呼び出しからの戻り値を含む Paginator オブジェクトを作成するためのメソッドを提供します。

NowTableService - paginator(tableName: String, configuration: FetchConfiguration)

このメソッドは、指定されたテーブルの指定されたレコードを生データ形式で含む Paginator オブジェクトを作成します。呼び出しに FetchConfiguration オブジェクトを含めない場合、返される結果にはすべてのレコードとその関連フィールドが含まれます。

返された Paginator オブジェクトは、返されたレコードをページングできるようにする次のメソッドを提供します。Paginatorのコールバックを設定するには、まず `observe()` 関数を呼び出す必要があります。

- `first()`
- `hasNext()`
- `hasPrevious`
- はビジー
- `last()`
- `next()`
- オブザーブ `()`
- `previous()`
- `reset()`

注: 一部の `Paginator` メソッドは、フェッチするページがなくなった場合など、例外をスローする場合があります。

次のコード例は、データをページ分割する方法を示しています。

```
// Configure what data to pass back
val fetchConfiguration = FetchConfiguration(Filter("active=true"), 10)

val paginator = getNowTableService()?.paginator(
  "sn_customerservice_case", fetchConfiguration)
  ?.observe(object : PaginatorCallBack<ByteArray> {
    override fun onSuccess(response: Response<List<ByteArray>>) {
      val byteArray = response.rawBody ?: throw Exception("Null Result")
      val responseString = String(byteArray)
    }

    override fun onFailure(e: NowDataError) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      // Handle error
    }
  })

// Use paginator operators to navigate. Example
while (paginator.hasNext() && !paginator.isBusy()) {
  paginator.next()
}
```

ゲストと連携するためのテーブルの構成

ゲストユーザーが ServiceNow インスタンス上のテーブル内のデータを操作できるようにする場合は、ゲストがアクセスできるようにテーブルを構成する必要があります。

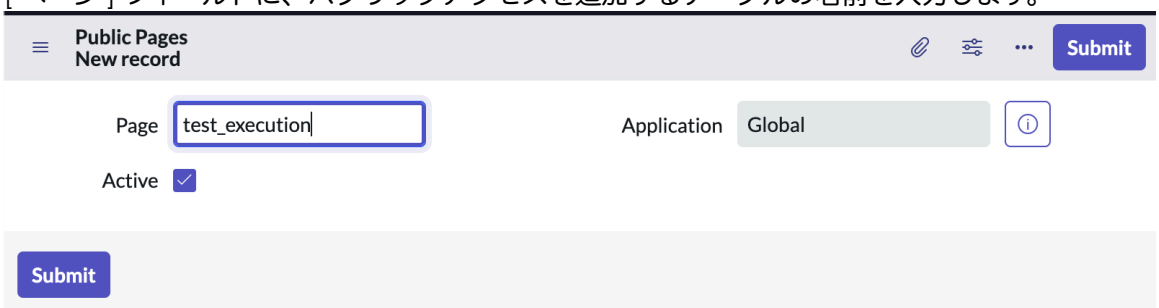
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. パブリックアクセスを有効にするテーブルの公開ページ (sys_public) レコードを作成します。

   a. [すべて] タブの検索バーに「`sys_public.do`」と入力します。

   b. [ページ] フィールドに、パブリックアクセスを追加するテーブルの名前を入力します。



   a. **[Submit** (送信)] を選択します。

2. テーブルに対して公開ロールが有効になっていることを確認します。

   a. ゲスト (パブリック) アクセスを許可するテーブルに移動します。 すべての→システム定義→テーブルで、テーブルを選択します。

   b. [**Controls**] タブを選択します。

   c. [セキュリティルール **(ACL)]** セクションで、[アクセス制御を作成] が選択されていること、およびユーザーロールに`パブリック`が含まれていることを確認します。含まれていない場合は追加します。

3. ゲストアクセスを有効にする CRUD 操作ごとに公開 ACL を作成します。
   パブリックアクセスを追加する各 CRUD 操作には、ACL が既に指定されている必要があります。そうでない場合は、これらの ACL も作成する必要があります。これを行うには、以下の手順に従いますが、[名前] フィールドの 2 番目の部分に「*」を追加したり、必要なロールに公開ロールを追加したりしないでください。

   a. [アクセス制御] タブを選択します。

   b. [新規] を選択します。

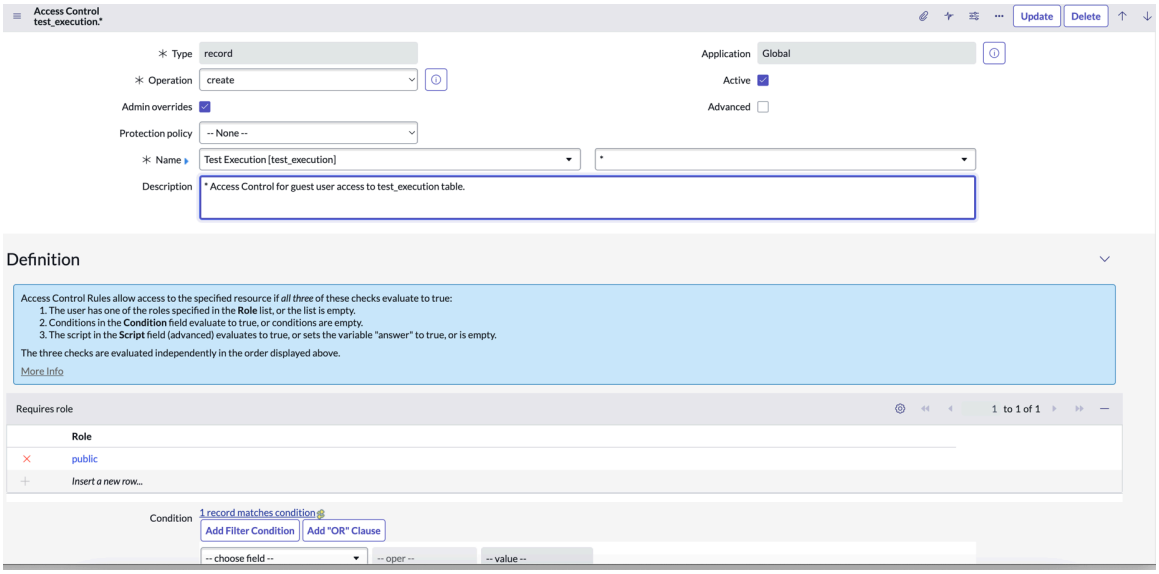
   c. 次の値を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
タイプ	レコード
アプリケーション	グローバル
操作	<読み取りや書き込みなど、ゲストアクセスを許可する操作>
名前 (最初の部分)	<ゲストアクセスを提供するテーブルの名前>
名前 (2 番目の部分)	*

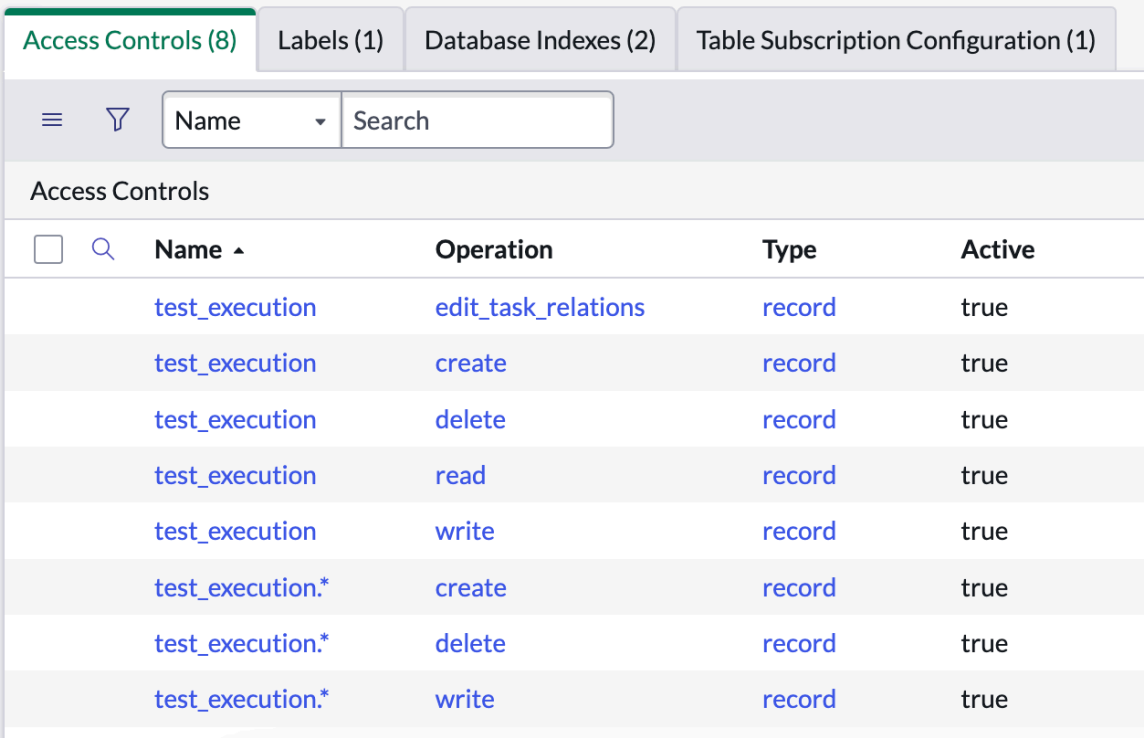
d. [ロールが必要] で、新しい行を挿入し、公開ロールを選択します。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [送信] を選択して変更を保存します。
   完了すると、ゲストユーザー (パブリック) の CRUD 操作ごとに 2 つの ACL が作成されます。テーブル名の末尾に「.*」が付いているものとないものがありま



す。

ServiceNowインスタンスでのパブリック REST API とのやり取り

Mobile SDKは、AndroidアプリケーションがServiceNowインスタンスでパブリック REST API を呼び出せるようにする機能を提供します。

NowAPIService API を使用すると、ベース REST API ServiceNowパブリック REST API のいずれかとやり取りしたり、インスタンス内にカスタム REST API を作成して Android アプリケーションから呼び出したりできます。

ServiceNow REST API を呼び出す前に、makeNowAPIService() メソッドを呼び出してサービスのインスタンスを作成する必要があります。成功した場合はコールバックでサービスインスタンスが返され、そうでない場合はエラーがスローされます。

NowAPIService オブジェクトを初期化する方法は次のとおりです。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances. It has an
 application scope or is Singleton
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {

    private var nowApiService: NowAPIService? = null

    /**
     * Create the NowAPIService once in the lifetime of the application
 inside the Application class or another manager class
     * that will be injected into other classes via dagger/hilt.
     * NowAPIService should be created after initializing the NowSDK
     */
    suspend fun getNowApiService(): NowAPIService? {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        if (nowApiService != null) return nowApiService

        return
 NowDataSDK.makeAPIService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
            .also { this.nowApiService = it }
    }

}
```

NowAPIService オブジェクトが初期化されたら、NowAPIService data() メソッドを使用して、呼び出す REST エンドポイントとそれに関連するすべてのパラメーターを指定します。

```
 suspend fun makeNowApiCall() {
  val apiService = sdkManager.getNowApiService()

  val apiPath = "api/now/table/sn_customerservice_case"
  val endpoint = NowAPIService.Endpoint(HttpMethod.GET, apiPath, true)
  val fieldNames =
 "sys_id,number,short_description,number,priority,state," +
    "opened_at,account.name,account.number,contact.name,contact.email," +
    "contact_type,assignment_group.name,assigned_to.name"

  val queryParamsMap = mapOf("sysparm_fields" to fieldNames,
 "sysparm_limit" to "10")

  val queryParams = QueryParams.Builder().addAll(queryParamsMap).build()

  val response = runCatching {
    apiService?.data(endpoint = endpoint, queryParams =
 queryParams)?.execute()
  }

  if (response.isSuccess) {
    val resultString = response.getOrNull()?.body?.let { String(it) }
  } else {
    // Handle error
  }
}
```

添付ファイルと添付ファイルメタデータを取得

NowAttachmentService API を使用すると、添付ファイルに対して CRUD 操作を実行し、ServiceNow インスタンスから添付ファイルのメタデータを取得できます。

注: *NowAttachment* API は、ベース ServiceNow システムのゲストユーザーに対して機能します。

この API を使用すると、次のことができます。

- 添付ファイルを ServiceNow インスタンスにアップロードし、特定のレコードに関連付けます。
- 1 つ以上の添付ファイルをダウンロードします。
- 添付ファイルを削除します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 添付ファイルの計算されたハッシュを予想されるハッシュと比較して、添付ファイルを検証します。
- 添付ファイルのメタデータをダウンロードします。このメタデータは、添付ファイルがアップロードされたときに ServiceNow インスタンスによって生成されます。

添付ファイルの操作の詳細については、「添付ファイル API」を参照してください。

NowAttachmentService をインスタンス化する方法を次に示します。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances.
 * It has an application scope or is a Singleton.
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {


    private var nowAttachmentService: NowAttachmentService? = null

    /**
     * Create the NowAttachmentService once in the lifetime of the
 application
     * inside the Application class or another manager class
     * that will be injected into other classes via dagger/hilt.
     * NowAttachmentService should be created after initializing the
 NowSDK
     */
    suspend fun getNowAttachmentService(): NowAttachmentService? {
        if (nowAttachmentService != null) return nowAttachmentService

        return
 NowDataSDK.makeAttachmentService(URL("https://
instance-name.service-now.com"))
            .getOrThrow()
            .also { this.nowAttachmentService = it }
    }
}
```

次に、特定の添付ファイルのメタデータを取得する Call オブジェクトを取得する方法を示します。指定された要求を実行し、 `Response<NowAttachmentMetadata>`を返すことができる実行可能オブジェクトを作成します。

```
suspend fun fetchMetadata(sysId: String) {
    val response = runCatching {

 sdkManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadata(sysId)?.execut
e()
    }

    if (response.isSuccess) {
        val nowAttachmentMetadata = response.getOrNull()?.body
    } else {
        Log.e("NowSDK", "result not successful")
    }
}
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の添付ファイルのメタデータを取得する Callオブジェクトを取得する 方法は次のとおりです。指定された要求を実行し、 `Response< List<NowAttachmentMetadata>>`を返すことができる実行可能オブジェクトを作成します。

```
suspend fun fetchMultipleMetadata() {
    val filterQuery = "content_type=text/plain"
    val limit = 5

    val response = runCatching {

 sdkManager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadata(Filter(filterQu
ery), limit)?.execute()
    }

    if (response.isSuccess) {
        val attachmentMetadataList = response.getOrNull()?.body
    } else {
        Log.e("NowSDK", "result not successful")
    }
}
```

添付ファイルメタデータのページネーション

`NowAttachmentService` メソッドを使用して、1 つ以上の添付ファイルの添付ファイルメタデータをダウンロードできます。複数の添付ファイルからメタデータをダウンロードする場合は、NowAttachmentService - attachmentMetadataPaginator(filter: Filter? = null, limit: Int? = null) メソッドを使用して、返される可能性のある大量のデータを簡単に反復処理できる Paginator オブジェクトを返すことができます。

その後、Paginatorメソッドを使用して返されたメタデータを反復処理し、 *`observe()`* コールバックで応答を受け取ることができます。

```
 suspend fun createAttachmentMetadataPaginator() {
  val filterQuery: String = "content_type=text/plain"
  val filter = filterQuery.let(::Filter)
  val limit = 10

  val paginator =
 sdkmanager.getNowAttachmentService()?.attachmentMetadataPaginator(filt
er, limit)
    ?.observe(object : PaginatorCallBack<NowAttachmentMetadata> {
      override fun onSuccess(response:
 Response<List<NowAttachmentMetadata>>) {
        // Handle response
      }

      override fun onFailure(e: NowDataError) {
        // Handle error
      }

    })
    ?: throw Exception("Response is null")

  // Use paginator operators to navigate. Example
  while (paginator.hasNext() && !paginator.isBusy()) {
    paginator.next()
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}
```

返された Paginator オブジェクトは、返されたレコードをページングできるようにする次のメソッドを提供します。Paginatorのコールバックを設定するには、まず *observe()* 関数を呼び出す必要があります。

- *first()*
- *hasNext()*
- *hasPrevious*
- はビジー
- *last()*
- *next()*
- オブザーブ *()*
- *previous()*
- *reset()*

注: 一部の *Paginator* メソッドは、フェッチするページがなくなった場合など、例外をスローする場合があります。

ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページを表示します

ServiceNow インスタンス内でホストされている Web ページをネイティブAndroidアプリケーションで表示できます。

Mobile SDK は必要な認証とセッション管理のシームレスな処理を提供し、NowWebSDK API は ServiceNow インスタンスに存在するページの処理に必要な機能を提供します。これらのWebページには、 ServiceNow プラットフォームで可能なすべての動的なインタラクションがあります。

これらの機能を使用するには、最初に *NowWebService* のインスタンスを作成する必要があります。これを行うには、 makeWebService() メソッドを呼び出し、 ServiceNow インスタンスへの URL と初期化済みの `NowSDK` を指定する必要があります。さらに、アプリケーション内に `NowWeb` をインポートしておく必要があります。`NowWeb` サービスを使用している限り、*NowWebService* への参照を保持する必要があります。

NowWebService オブジェクトを作成する方法の例を次に示します。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances.
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {

    private var nowWebService: NowWebService? = null

    /**
     * Create the NowWebService once in the lifetime of the application
 inside the Application class or
     * another manager class that will be injected into other classes via
 dagger/hilt.
     * NowWebService should be created after initializing the NowSDK
     */
    suspend fun getNowWebService(): NowWebService? {
        if (nowWebService != null) return nowWebService
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        return
 NowWebSDK.makeWebService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
            .also { this.nowWebService = it }
    }
}
```

ページをプリロードして NowWeb のロード時間を短縮する

キャッシュ可能なリソースを含むページをバックグラウンドでプリロードして、 *NowWeb* の初期読み込み時間を短縮できます。次の例は、 *webService.preloadWebCache()* 関数を使用して `mesp` ページをプリロードする方法を示しています。このメソッドは、URI のリストを取得して、より多くのページをプリフェッチします。

```
suspend fun preloadNowWeb() {
  val webService = sdkmanager.getNowWebService()
  webService.preloadWebCache(listOf(URI("mesp")))
}
```

Web コンテンツを表示するビューの作成

NowWebService のインスタンスを作成したら、それを使用してアクティビティを起動し、ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページを表示できます。

次の例は、NowWeb アクティビティを起動する方法を示しています。

```
//Activity that will start the NowWeb
class MainActivity : AppCompatActivity() {

  @Inject
  lateinit var sdkManager: SdkManager

  override fun onCreate(savedInstanceState: Bundle?) {
    super.onCreate(savedInstanceState)

    // Start NowWeb
    lifecycleScope.launch {
      sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme{})
    }
  }
}
```

この例では、 *url* はビュー内に読み込む最初のページの URL です。この URL は、指定された ServiceNow インスタンスでホストされているページを指す必要があります。

NowWeb UI 要素のカラーテーマのサポート

NowWebService launch *()* メソッドを呼び出すときに、ビュー内のすべての UI 要素に適用されるカスタムの配色テーマを指定できます。このカスタムカラーテーマを作成するには、 *NowWebTheme* インタフェースを実装する型を作成し、 *NowWebService.launch()* 呼び出しのthemeパラメータに渡します。

```
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
      // Setting lightColor only. For dark theme default color will be
 used
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK)

    override val primary: NowUIAdaptiveColor
      // Setting both lightColor and darkColor
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

    // Override the rest of color variables
  })
}
```

Web ビュー内でカラー テーマを適用する方法の詳細については、「NowUIColoring を使用して NowWebTheme と NowChatTheme をテーマ化する」を参照してください。

プッシュ通知の構成

プッシュ通知を使用すると、 ServiceNow インスタンスから特定の登録ユーザーおよび ServiceNow Mobile SDK フレームワークを利用するアプリケーションに、一方的なメッセージ (通知) を送信できます。

ServiceNowインスタンスと、通知を受信するアプリケーション内でプッシュ通知を設定する必要があります。

注: 現在のリリースでは、 仮想エージェント サービスのみがプッシュ通知の受信をサポートしています。

ServiceNowインスタンスでのプッシュ通知の設定

仮想エージェント サービスを組み込み、プッシュ通知を利用する Mobile SDK アプリケーションごとに、ServiceNow インスタンスで次の構成プロセスを完了する必要があります。

- Firebaseプッシュサーバーキーを取得します。
- プッシュアプリケーション [sys_push_application] テーブルにプッシュアプリケーションレコードを追加します。
- プッシュ通知メッセージコンテンツ [sys_push_notif_msg_content] テーブルにプッシュ通知メッセージコンテンツレコードを追加します。
- デフォルトのプッシュ登録を追加します。
- プッシュ通知メッセージ [sys_push_notif_msg] テーブルにプッシュ通知メッセージを追加します。
- 通知 [sysevent_email_action] テーブルのプッシュ通知レコードを変更します。

Firebaseプッシュサーバーキーの取得

プッシュ通知を利用するMobile SDKアプリケーションに関連付けることができるように、Firebase アカウントから一意の Google Firebase プッシュサーバーキーを取得する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

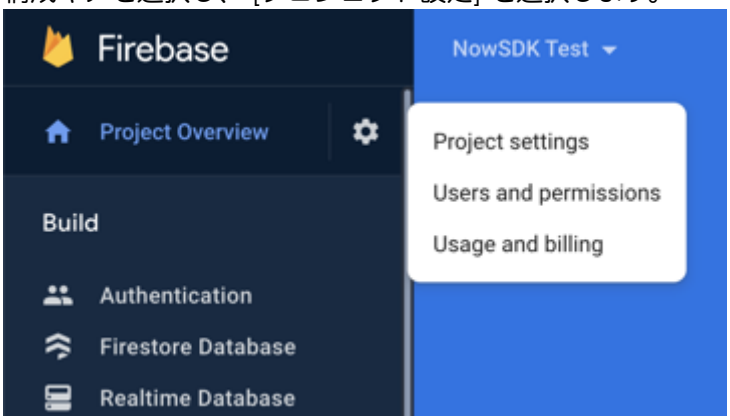
Firebase アカウントが設定されている必要があります。Firebaseアカウントの作成方法と対応するSDKのダウンロード方法については、Google Firebase のWebサイトを参照してください。

自動翻訳

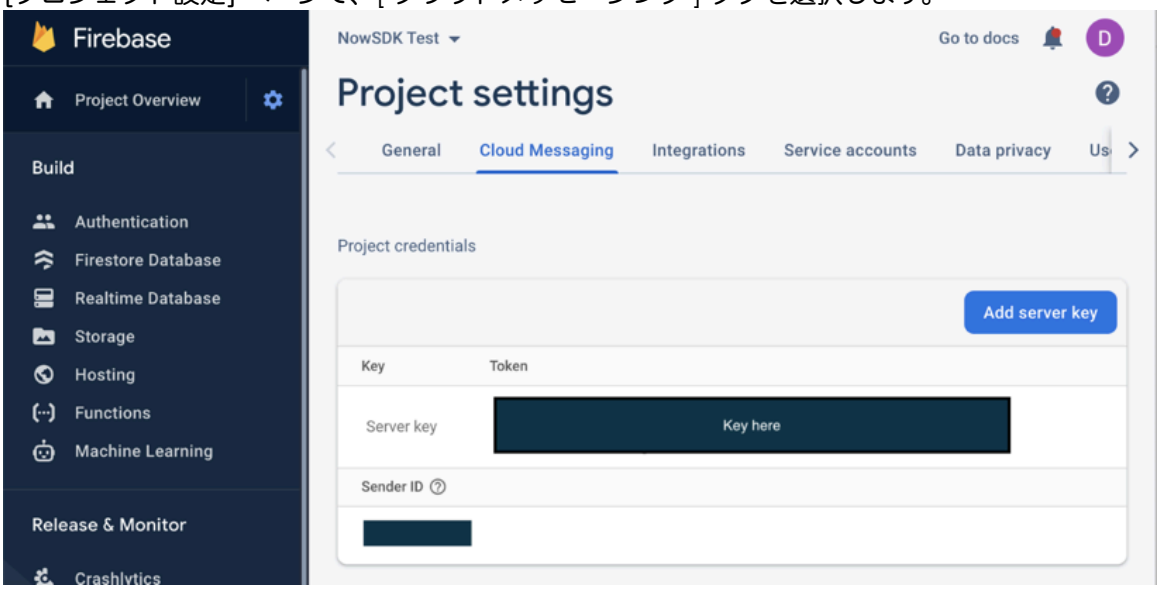
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Firebase アカウントから、左側のナビゲーション バーの [プロジェクトの概要] リンクの横にある構成ギアを選択し、 [プロジェクト設定] を選択します。



2. [プロジェクト設定] ページで、[クラウドメッセージング] タブを選択します。



3. サーバーキートークンを選択してコピーします。

> **注:** セキュリティ上の理由から、このキーは上のスクリーンショットでは表示からブロックされています。「Key here」で覆われています。

プッシュ アプリケーション レコードを追加する

仮想エージェント通知とプッシュ通知を利用するMobile SDKアプリケーションでプッシュ通知を使用するには、プッシュアプリケーションレコードにGoogle Firebase Cloud Messaging サーバーキーを入力する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin
このレコードは、プッシュ アプリケーション [sys_push_application] テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュアプリケーション.
2. 新規 を選択して、新しいレコードを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [表示名] フィールドと [名前] フィールドに、アプリケーションの名前を入力します。
4. [プッシュ]フィールドで、 **[REST API]** から **Direct** に値を変更します。
5. **[Google]** タブで、Google Firebase サーバーキーを **[API** キー] フィールドに貼り付けます。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。

既定のプッシュ登録を追加する

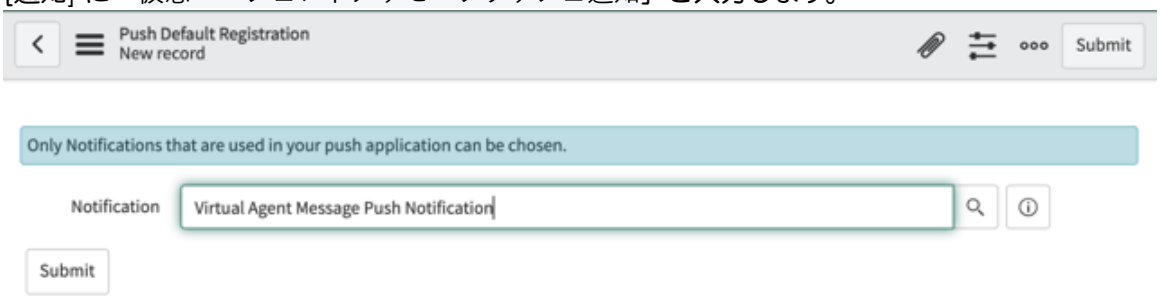
プッシュ通知を登録して、アプリケーションのすべてのユーザーがデフォルトでプッシュ通知を受信するようにします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュアプリケーション.
2. 前に作成したプッシュ通知を見つけて開きます。
3. 関連リストで、[**Push Default Registrations**] タブを選択し、[**New**] を選択します。
4. [通知] に「仮想エージェントメッセージプッシュ通知」と入力します。



5. **[Submit** (送信)] を選択します。

プッシュ通知メッセージコンテンツレコードを追加する

プッシュ通知メッセージコンテンツレコードには、ユーザーが通知をタップしたときの誘導先の場所と、通知の外観とレイアウトが含まれます。

始める前に

必要なロール：admin

プッシュ通知メッセージコンテンツフォームに入力して、次のことを行います。

- 通知に名前を付けます。
- 通知の送信先のモバイルアプリケーションを選択します。
- 必要に応じて、通知メッセージの外観をカスタマイズします。

この情報は、プッシュ通知メッセージコンテンツ [sys_push_notif_msg_content] テーブルに保存されます。

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュメッセージコンテンツ.
2. [新規] を選択します。
3. [プッシュ通知メッセージコンテンツ] フォームの各フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プッシュ通知メッセージコンテンツフォーム

フィールド	説明
名前	プッシュメッセージコンテンツレコードのわかりやすい名前です。 注: この名前は通知には表示されず、構成中に使用する参照にすぎません。
プッシュアプリ	通知の送信先のモバイルアプリケーション。これは、「プッシュ アプリケーション レコードの追加」で追加したアプリケーションです。

プッシュメッセージ生成	通知リンクを含むスクリプトブロック。Mobile SDK 仮想エージェントアプリケーションでプッシュ通知を実装するには、次のスクリプトを使用します。
	`(function buildJSON(/*GlideRecord*/ current, /*String*/ message, /*Object*/ attributes) {`
	
	`var json = {`
	`"aps": {`
	`"alert": {`
	`"title": current.push_title,`
	`"body": sn_cs.VASystemObject.getTextValueForMessage(current.message_id)`
	`},`
	`"sound": "default",`
	`"thread-id": "launch_virtual_agent"`
	`},`
	`"type": "launch_virtual_agent"`
	`};`
	
	`return json;`
	
	`})(current, message, attributes);`

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

プッシュ通知メッセージを追加する

ユーザーがプッシュ通知を受信したときにユーザーに表示するメッセージを構成します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュメッセージ.
2. [新規] を選択します。
3. [プッシュメッセージ] フォームの各フィールドに入力します。

[プッシュメッセージ] フォーム

フィールド	説明
名前	プッシュ通知メッセージレコードのわかりやすい名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: この名前は通知には表示されず、構成中に使用する参照にすぎません。
プッシュアプリ	通知の送信先のモバイルアプリケーション。これは、「プッシュ アプリケーションレコードの追加」で追加したアプリケーションです。
プッシュメッセージ	「プッシュ通知メッセージコンテンツレコードの追加」で作成されたプッシュ通知メッセージコンテンツレコード。
テーブル	メッセージの発信元のテーブル。`プッシュ通知 [sys_cs_message_notification]` を選択します。

4. **[Submit** (送信)] を選択してレコードを作成します。

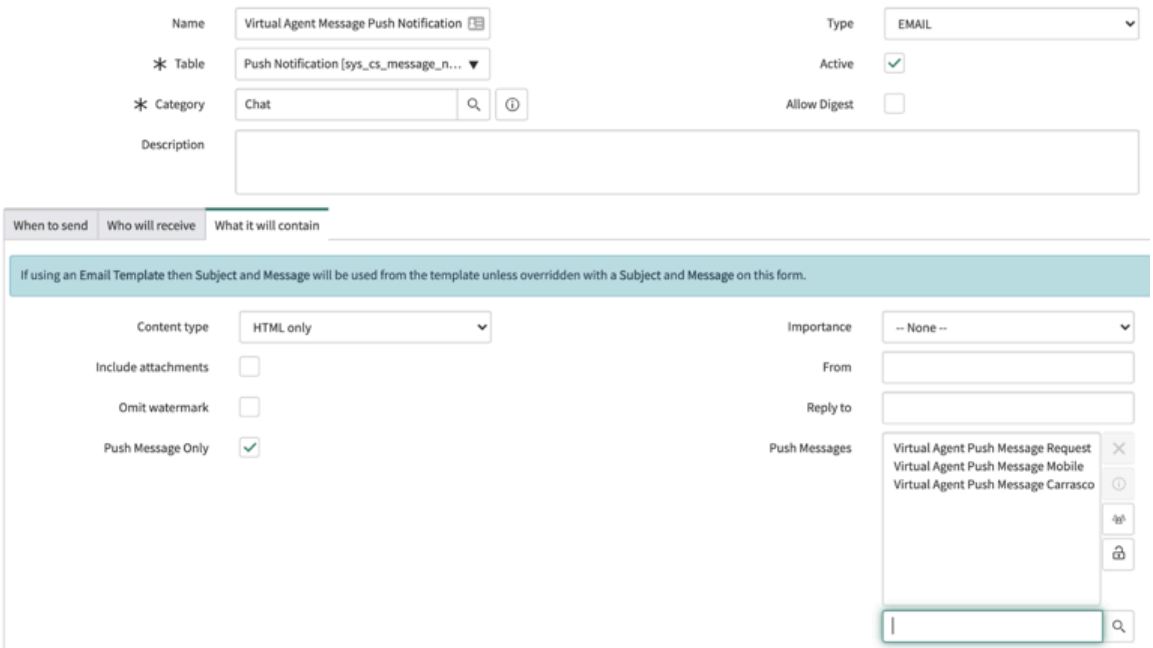
プッシュ通知を変更する

仮想エージェントメッセージプッシュ通知レコードを変更して、アプリケーションを含めます。このレコードは、 仮想エージェントへの通知をトリガーするために使用されます。仮想エージェントに通知をプッシュするすべてのアプリケーションは、このレコードで構成する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュ通知.
2. プッシュ通知「仮想エージェントメッセージプッシュ通知」を見つけて開きます。
   レイアウトが [詳細] ビューに設定されていることを確認します。表示されない場合は、[関連リンク] の下にある関連リンクを選択して詳細ビューに切り替えます。
3. [内容 **(What it will contain)]** タブを選択します。
4. [プッシュメッセージ]に、「プッシュ通知メッセージを追加する」で作成したプッシュメッセージレコードの名前を追加します。



5. [更新] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Android アプリケーションでのプッシュ通知の設定

プッシュ通知を設定するために ServiceNow® インスタンスで実行する必要があるタスクに加えて、Android アプリケーションに特定のコードを含める必要もあります。

NowSDK NowPushService を作成する

アプリケーションで最初に行う必要があることの 1 つは、NowSDK *NowPushService* を取得することです。次のスニペットのようなコードを、メインのコード本文の早い段階に追加します。

```
/**
 * Helper class used to handle different Now service instances.
 */
@Singleton
class SdkManager @Inject constructor() {

    private var nowPushService: NowPushService? = null

    /**
     * Create the NowPushService once in the lifetime of the application
 inside the Application
     * class or another manager class that will be injected into other
 classes via dagger/hilt.
     * NowPushService should be created after initializing the NowSDK
     */
    suspend fun getNowPushService(): NowPushService? {
        if (nowPushService != null) return nowPushService

        return
 NowPushSDK.makePushService(URL("https://
instance-name.service-now.com")).getOrThrow()
            .also { this.nowPushService = it }
    }
}
```

NowPushSDK.makePushService() メソッドの詳細については、「NowPushSDK - makePushService(instanceURL: URL)」を参照してください。

プッシュトークンを登録する

Google Firebase プッシュ通知を受信するデバイスとアプリケーションを識別する一意のプッシュトークンを提供します。アプリケーションがプッシュ通知を受信するには、 *NowPushService* を使用してこのトークンを登録する必要があります。Android アプリケーションに次のコードスニペットのような関数を追加します。*PushAppName*をAndroidアプリケーションの名前に変更してください。このアプリケーションを ServiceNow® インスタンスに登録する必要があります。

```
FirebaseMessaging.getInstance().token.addOnCompleteListener {task ->
  val token = task.result

  if (!task.isSuccessfull || token == null) {
    throw Exception("Unable to fetch token"))
  }

  pushService.registerPushToken(token, "PushAppName", {
      Log.v(TAF, "Successfully registered push token")
  }, { e ->
      Log.e(TAG, "Error registrating push", e)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  })
}
```

registerPushToken() メソッドの詳細については、「NowPushService - registerPushToken(pushToken: String, pushApp: String, successCallback: Runnable, errorCallback: Consumer<Throwable>)」を参照してください。

プッシュトークンの登録解除

ユーザーがログアウトしたときなど、ユーザーがアプリケーションを終了するたびに、プッシュトークンの登録を解除する必要があります。次のコードスニペットのようなコードを使用して、プッシュトークンの登録を解除します。*PushAppName*をAndroidアプリケーションの名前に変更してください。

```
pushService.unregisterPushToken(token, "PushAppName", {
      Log.v(TAG, "Successfully unregistered push token")
}, { e ->
      Log.e(TAG, "Error unregistering push", e)
})
```

unregisterPushToken() メソッドの詳細については、「NowPushService - unregisterPushToken(pushToken: String, pushApp: String, successCallback: Runnable, errorCallback: Consumer<Throwable>)」を参照してください。

FirebaseMessagingService を実装する

アプリケーション内に `FirebaseMessagingService` を実装する必要があります。このサービスをセットアップして実装するには、 Android Firebase のドキュメント の手順に従ってください。

セットアップが完了したら、 *onMessageReceived()* メソッドをオーバーライドし、*RemoteMessage* を `NowPushService` に渡します。`NowPushService` が通知を認識すると、通知が処理され、アプリケーションが処理する通知オブジェクトが返されます。現在、実装されている通知は `NowPushVirtualAgent` のみです。不明な通知は `NotSupportedPushError` オブジェクトを返します。

```
//Custom coroutineScope created in the Firebase service class
private val serviceCoroutineScope = CoroutineScope(Dispatchers.IO)

override fun onMessageReceived(remoteMessage: RemoteMessage) {
  serviceCoroutineScope.launch {
    val result = handleNowPush(remoteMessage)

    if (result.isSuccess) {
      when (val push = result.getOrNull()) {
        is NowPushVirtualAgent -> handleVirtualAgentPush(push)
      }
    } else {
      // Not a NowPush. Handle host app push notification message here
    }
  }
}

private suspend fun handleNowPush(remoteMessage: RemoteMessage):
 Result<NowPushPayload> {
  val nowPushService = sdkManager.getNowPushService()

  return suspendCoroutine { cont ->
    nowPushService?.handlePush(remoteMessage,
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        { cont.resume(Result.success(it)) },
  { cont.resumeWithException(it) })
    }
}
```

handlePush() メソッドの詳細については、「NowPushService - handlePush(remoteMessage: RemoteMessage, successCallback: Consumer<NowPushPayload>, errorCallback: Consumer<Throwable>)」を参照してください。

また、 *onNewToken(token: String)* をオーバーライドする必要があります。「プッシュトークンの登録」セクションで行ったのと同様に、必ずトークンを *pushService.registerPushToken()* に渡してください。

NowUIColoring を使用して NowWebTheme と NowChatTheme をテーマ化する

NowUIColoring インターフェイスには、すべての NowSDK モジュールで使用されるすべての色が含まれています。

複数の SDK モジュール間で同様の色変数を使用するシナリオでは、 *NowUIColoring* インターフェイスを実装できます。このインターフェイスを使用すると、色の値をオーバーライドし、その実装を使用して、テーマクラス NowWebTheme および NowChatTheme内のnowUIColoring値をオーバーライドできます。色変数がオーバーライドされない場合、 *NowUIColoring* インターフェイスはデフォルトの色を使用します。

次のコード例は、Web UI とチャット UI の両方の色を上書きする方法を示しています。

```
// Implement the NowUIColoring and override desired color variables
val nowUIColoringImpl = object : NowUIColoring {
  override val brand: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

  override val textPrimary: NowUIAdaptiveColor
    get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

  //override the rest of color variables

}

// Override the nowUIColoring for NowWeb value using the NowUIColoring
 implementation
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme {
    override val nowUIColoring: NowUIColoring
      get() = nowUIColoringImpl
  })
}

//Override the nowUIColoring for NowChat value using the NowUIColoring
 implementation
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowChatService()?.start(this@MainActivity, object :
 NowChatTheme {
    override val nowUIColoring: NowUIColoring
      get() = nowUIColoringImpl
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  })
}
```

ダークテーマの処理に関する注意

NowUIAdaptiveColor クラス内では、テーマ クラスの色変数をオーバーライドするときに、明るいテーマ用と暗いテーマ用の 2 つの Int *Color* 値を渡すことができます。2 番目のパラメーター *darkColor* はオプションです。色の値を渡さない場合は、デフォルトの色の値が使用されます。使用される既定のテーマ (明または暗) は、ユーザーの電話設定に基づきます。

```
lifecycleScope.launch {
  sdkManager.getNowWebService()?.launch(this@MainActivity,
 URL("https://instance-name.service-now.com"), object : NowWebTheme {
    override val brand: NowUIAdaptiveColor
      //Setting lightColor only. For dark theme, default color are used.
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK)

    override val primary: NowUIAdaptiveColor
      //Setting both lightColor and darkColor
      get() = NowUIAdaptiveColor(lightColor = Color.BLACK, darkColor =
 Color.WHITE)

    // Override the rest of color variables
  })
}
```

Mobile SDK 開発者ガイド - iOS

ServiceNow Mobile SDKを使用すると、スタンドアロンのモバイル iOS アプリケーション内で ServiceNow プラットフォームの機能とリソースを活用できます。

Mobile SDKを使用すると、アプリケーション内で次の操作を実行できます。

- 作成した公開 REST API またはカスタムスクリプト済み REST API を使用して、 ServiceNow インスタンスのデータにアクセスします。
- アプリケーションインターフェイス内に 仮想エージェント を埋め込んで有効にします。
- 分析のためにカスタムアナリティクスイベントを収集して追跡します。
- ServiceNowインスタンス内のレコードにドキュメント (添付ファイル) を添付します。
- ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページをネイティブ Web ビューまたは Cabrillo にロードします。
- サードパーティアプリケーションがユーザーを認証するための JSON Web トークンを使用して、シンプルな認証フローを提供します。

Mobile SDKには、さまざまなMobile SDKモジュールと統合するためのコード例を含むサンプルアプリが用意されています。2.1 リリース以降では、 エンゲージメントメッセンジャー がサンプルアプリに含まれています。 エンゲージメントメッセンジャーの詳細については、「 https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1587276 」を参照してください。

NowSDK アーキテクチャ

NowSDK は、 Mobile SDK クラスフレームワークの最上位エンティティです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これには多数のクラス、構造体、プロトコル、型エイリアス、および関数が含まれており、 Mobile SDK と ServiceNow インスタンスによって提供される重要な機能を活用できます。このドキュメントでは、 Mobile SDK で公開され、 ServiceNow インスタンスとのやり取りを可能にする主要な機能サービスについて説明します。

Mobile SDK によって提供される機能サービスを使用するには、NowSDK ライブラリをコードに統合する必要があります。SDK 機能を使用する前に、コア ライブラリを呼び出して SDK を構成および初期化する必要があります。

NowSDK には次の機能があります。

- SDK の初期化と設定の取得と構成。
- シームレスな認証とユーザーセッション処理。
- ログ記録インターフェイス。NowSDK は、すべての機能サービスにログ記録サービスを提供します。デフォルトでは、ログメッセージはプラットフォーム固有の機能を使用してシステムログに書き込まれます。ログ記録のしきい値は、SDK を構成する呼び出しの一部であるパラメーターを使用して制御できます。また、SDK とそのフィーチャ サービスによって生成されたすべてのログメッセージを抑制するオプションもあります (`ログ レベル = none`)。独自のログ記録ソリューションを既に導入している場合は、 Mobile SDK でそれを使用できます。
- インフラストラクチャを構築してリリースします。

NowSDK は、次の機能サービスと関連 API を提供します。

- NowData

  サードパーティアプリケーションが、 ServiceNow インスタンスによって公開されたパブリック REST API にアクセスできるようにします。NowData は NowSDK が提供する認証およびセッション処理機能を利用するため、開発が簡素化されます。

  - プライマリ API:
    - NowAPIService:この API は、ServiceNow インスタンスで公開されているREST APIとやり取りできるようにする機能を提供します。
    - NowAttachmentService:この API は、iOS アプリケーション内の ServiceNow インスタンスで添付ファイルをアップロードしてクエリする機能を提供します。
    - NowGraphQLService:この API は、GraphQL クエリを使用し、ServiceNow REST *`GraphQL API`* を使用して ServiceNow インスタンス内のテーブルからデータを取得できるようにする機能を提供します。
    - NowTableService:この API は、ServiceNow REST *`Table API`* を介してサービスされる ServiceNow インスタンス内の既存のテーブルに対して、作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 操作を実行できる機能を提供します。
- Now アナリティクス

  モバイルアプリケーション内の利用状況分析を収集して追跡できます。

  - プライマリ API:
    - NowAnalyticsService:この API は、ユーザー分析データを収集し、後で分析および追跡するために ServiceNow プラットフォーム内に保存する機能を提供します。
- NowChat

  ネイティブ 仮想エージェント チャットウィンドウをアプリケーションに埋め込むことができます。このサービスにはUI/UX機能が含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プライマリ API:
  - NowChatService: この API は、iOS アプリケーションに 仮想エージェント および ライブエージェント チャット機能を提供します。アプリケーション内に NowChatService を実装するだけで、 ServiceNow プラットフォームが提供するフルサービスチャット機能を活用します。

- NowPush

  NowChat/仮想エージェント 機能を利用するアプリケーションに未承諾メッセージを送信できます。

  - プライマリ API:
    - NowPushPayload:これは、 `NowSDK` フレームワーク内でプッシュ通知プロトコルを定義するために使用できる汎用プロトコルです。
    - NowPushService: この API は、プッシュ通知サービスとの対話を可能にする関数を提供します。

- ナウウェブ

  Cabrillo をサポートするネイティブ Web ビューで、 ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページをロードできるようにします。ログイン Web ページを介してユーザーにインスタンスへのログインを強制する代わりに、ユーザー認証とセッション管理を自動的に処理します。

  - プライマリ API:
    - NowWebService:この API は、 ServiceNow インスタンス上の Web ページの参照を可能にする機能を提供します。

Mobile SDK を使ってみる - iOS

このセクションで概説するタスクを完了して、 ServiceNow Mobile SDK と統合する iOS アプリケーションの作成をサポートする開発環境を準備する必要があります。

- ServiceNow Mobile SDKライブラリをダウンロードしてインストールします。詳細な手順については、「Mobile SDKライブラリのダウンロードとインストール」を参照してください。
- Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションをインストールして構成します。詳細な手順については、「Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションのインストールと構成」を参照してください。
- プロジェクトを構成します。詳細については、「プロジェクトの構成」を参照してください。
- ServiceNow インスタンスでMobile SDKを有効にして構成します。詳細については、「証明書の設定と OAuth エンティティの作成」を参照してください。
- ゲストユーザーを設定します。詳細については、「ゲストユーザーアクセスの設定」を参照してください。

これらのタスクがすべて完了したら、 ServiceNow インスタンスの大量のリソースを活用するモバイルアプリケーションの作成を開始できます。

Mobile SDKライブラリのダウンロードとインストール

ServiceNowインスタンスとやり取りするモバイルアプリケーションを作成するには、まずServiceNow Mobile SDKライブラリをダウンロードしてインストールする必要があります。

始める前に
必要なロール：なし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダウンロードとインストールのプロセスを開始する前に、開発環境が次の最小要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow インスタンスは Tokyo 以降である必要があります。
- iOS バージョンは 15.0 以降である必要があります。

手順

1. 開発環境で、残りのアプリケーションコードと一緒に、 Mobile SDK iOS ライブラリをダウンロードするフォルダーを作成します。

   ファイル システム上のプロジェクトの場所のルートに `vendor` という名前のフォルダを作成し、解凍した Mobile SDK フォルダをそのフォルダにダウンロードすることをお勧めします。また、SDK の内容をリポジトリにチェックインすることもお勧めします。これにより、移植可能なコードベースが可能になり、SDKへの偶発的な変更が非常に目立つようになります。

2. ServiceNow Store から NowKit という Mobile SDK iOS ライブラリをダウンロードします。
   iOS ライブラリは、次の場所にあります。
   - モバイル SDK: https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/528218468031201010 40fe43e5b9ee8c
   - iOS ライブラリ: https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/application/1539a1f087ea3014970e2178cebb3564

   インスタンスへのアプリケーションのインストールの詳細については、「アプリケーションの管理」を参照してください。
3. packaged_sdk フォルダーに移動し、NowSDK ライブラリを含む `NowKit.zip` ファイルを解凍します。

   注: ServiceNow Mobile SDKファイルやファイル構造を編集しないことが重要です。SDKで問題が発生している場合は、標準の ServiceNow サポート プロセスを使用してサポートの問題を開きます。

Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションのインストールと構成

Mobile SDKを利用するアプリケーションを作成する前に、Mobile SDKスコープ対象のアプリケーションをインストールして構成する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

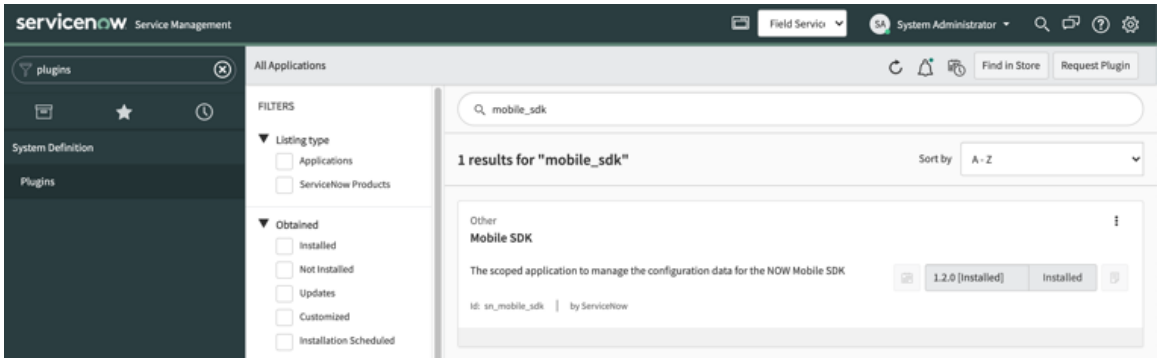
1. ServiceNow Store Web サイトの Mobile SDK ページに移動します。
   詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。
2. [**Request Install** (インストールを要求)] を選択して、 Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションを ServiceNow インスタンスにダウンロードします。
3. Mobile SDK スコープ対象のアプリケーションが ServiceNow インスタンスに正しくインストールされていることを確認します。

   a. プラグインのフォーム [システム定義] > [プラグイン] を開きます。

   b. 検索フィールドに 「mobile_sdk」と入力します。
   次のような画面が表示されます。

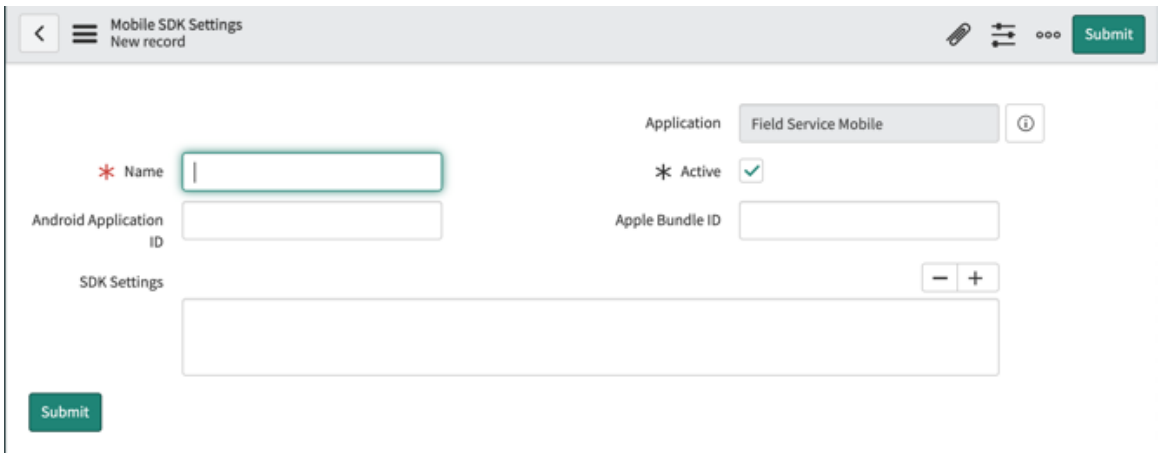
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



c. プラグイン **ID** が `sn_mobile_sdk` であり、バージョンが最新であることを確認します。

4. Mobile SDK設定 [sn_mobile_sdk] テーブルを開き、Mobile SDKを利用するアプリケーションの新しいアプリケーションレコードを作成します。



a. [名前] フィールドに、 Mobile SDKを利用するアプリケーションの名前を入力します。

b. **[Android** アプリケーション **ID]** フィールドと **[Apple** バンドル **ID]** フィールドに、モバイルアプリケーションの ID を入力します。
たとえば、 Mobile SDK がモバイルアプリケーションに追加された場合、これらの ID はモバイルアプリケーションの ID になります。

c. [**SDK** 設定] フィールドに、アプリケーションが利用するすべてのフィーチャ サービスの JSON 構成プロパティを入力し、 `true` に設定します。

例：

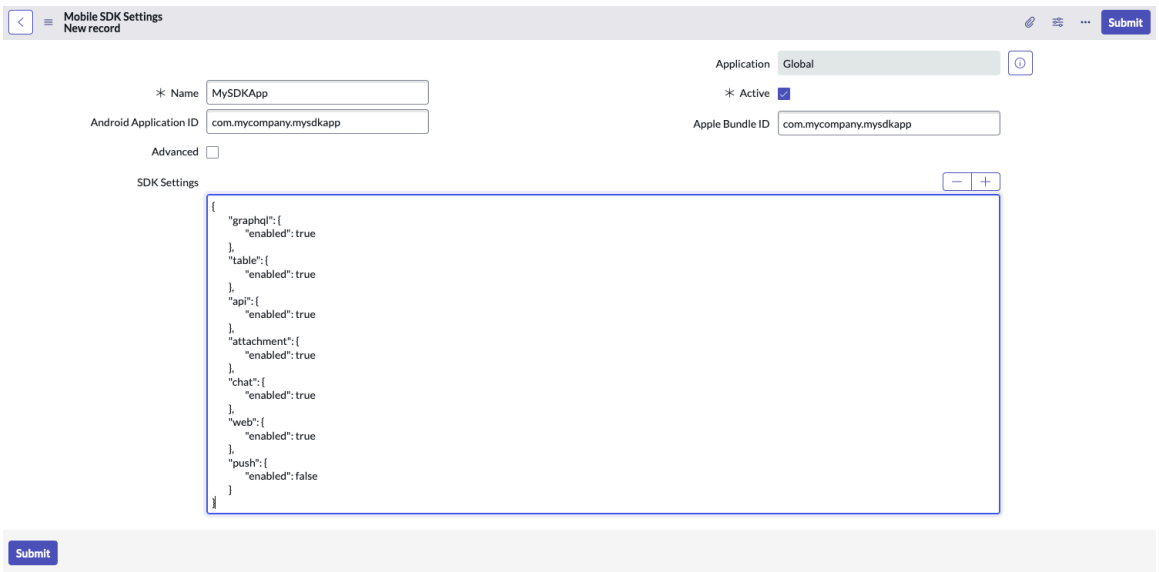
```
{
    "graphql": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "table": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "api": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "attachment": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "chat": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "web": {
        "enabled" : true,
                "allowGuestAccess" : true
    },
    "push": {
        "enabled" : true
    }
}
```

[詳細] チェックボックスがオフになっていることを確認します。これにより、[**SDK** 設定] フィールドに JSON を入力できます。



SDK 設定で追加された適用可能な構成は、ServiceNowインスタンス構成と組み合わせて使用されます。

たとえば、 `chat: enabled = true` の場合、チャット機能を活用するには、 ServiceNow インスタンスに 仮想エージェント プラグインがインストールされている必要があります。仮想エージェント プラグインがインストールされていても、**SDK** 設定に `chat: enabled = false` が含まれている場合、アプリケーションはチャットインターフェイスを活用できません。

d. [送信] を選択して、アプリケーション設定を保存します。

5. オプション。アプリケーションでユーザーエクスペリエンスアナリティクスを利用する場合は、アプリケーションをユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションに登録します。

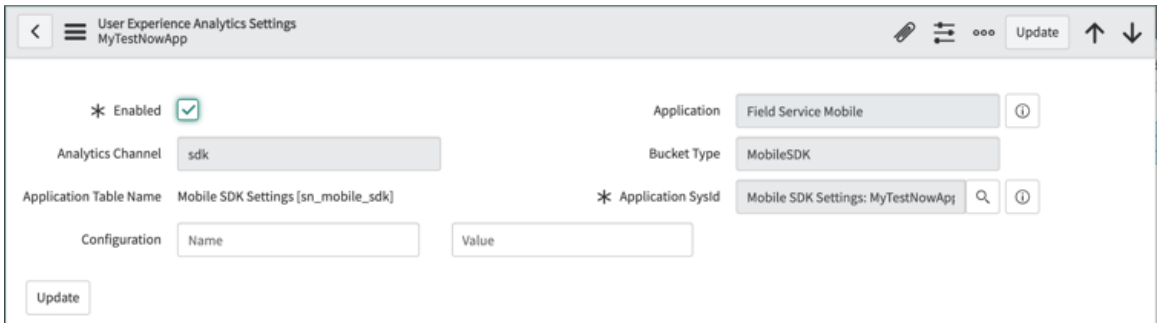
a. アプリケーションの Mobile SDK 設定レコードを再度開きます。

b. 画面の左下にある [アナリティクスに登録] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のような画面が表示されます。



c. [更新] を選択して登録を保存します。

6. SDK 設定を確認します。

a. **REST API Explorer** に移動します。

b. 指定されたフィールドに次のように入力します。

- 名前空間: `sn_mobile_sdk`
- **API** 参照名: `Mobile SDK`
- **API** バージョン: 最新

c. **[Android** アプリ **(GET)** の設定を取得] を選択します。

d. **applicationID** フィールドに、関連する Mobile SDK 設定 レコードに入力した Android アプリケーション ID を入力し、送信 を選択します。
応答は次のようになります。

Response

Status code	200 OK
Execution time (ms)	145

Headers

Content-Encoding	gzip
Content-Type	application/json
Date	Tue, 31 Aug 2021 23:39:45 GMT
Server	ServiceNow
Strict-Transport-Security	max-age=63072000; includeSubDomains
Transfer-Encoding	chunked
X-Content-Type-Options	nosniff
X-Is-Logged-In	true
X-Transaction-Id	556d63b51b1e

Response Body


```
{
  "platformVersion": "Rome",
  "enabled": true,
  "analytics": {
    "AnalyticsEnabled": true,
    "AnalyticsEnabledForUnauthenticatedUser": false,
    "EndpointUrl": "https://my-instance.servicenow.com",
    "InstanceId": "db63a848db9f6091fd3467c8f4879524",
    "ApiKey": "de742fc9db9f6090e03ad7c8f4961923:af0f36b91bc074109a9054a2#032a6bf",
    "ApiAuth": "11ab4240a6d5459c96d2bfb8e1aa3ddd",
    "ConsentSettings": null,
    "AppName": "TestNow App",
    "AppType": "MobileSDK",
    "ChannelType": "sdk",
    "Configuration": {}
  },
  "sdk": {
    "graphql": {
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

JSON 応答本文 は、次のようになります。


```
{
 "platformVersion": "utah",
 "enabled": true,
 "analytics": {
 "AnalyticsEnabled": true,
 "AnalyticsEnabledForUnauthenticatedUser": false,
 "EndpointUrl": "https://my-instance.servicenow.com.com",
 "InstanceId": "db63a848db9f6091fd3467c8f4879524",
 "ApiKey":
 "de742fc9db9f6090e03ad7c8f4961923:af0f36b91bc074109a9054a26032a6bf",
 "ApiAuth": "11ab4240a6d5459c96d2bfb8e1aa3ddd",
 "ConsentSettings": null,
 "AppName": "TestNow App",
 "AppType": "MobileSDK",
 "ChannelType": "sdk",
 "Configuration": {}
 },
 "sdk": {
 "graphql": {
 "enabled": true
 },
 "table": {
 "enabled": true
 },
 "api": {
 "enabled": true
 },
 "attachment": {
 "enabled": true
 },
 "chat": {
 "enabled": true
 },
 "web": {
 "enabled": true
 },
   "push": {
   "enabled": true
 }
}
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

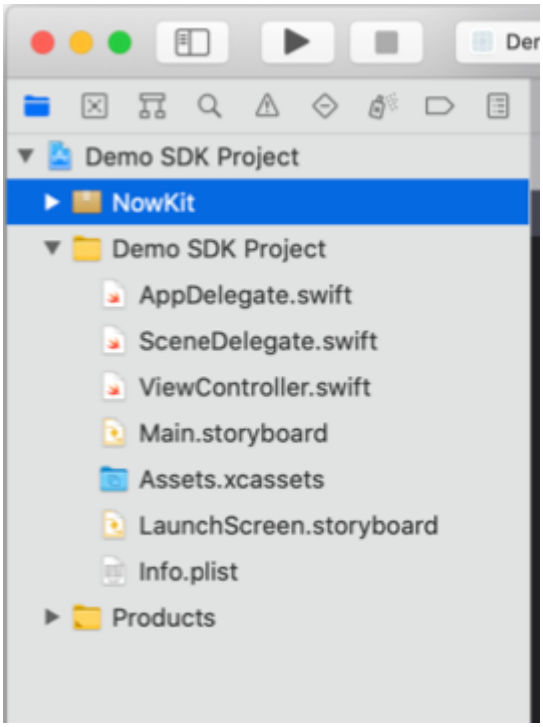
プロジェクトの構成

Mobile SDK for iOS を利用するアプリケーションを作成する前に、SDK を使用するようにプロジェクトを構成する必要があります。

手順

1. プロジェクトに Mobile SDK を追加します。

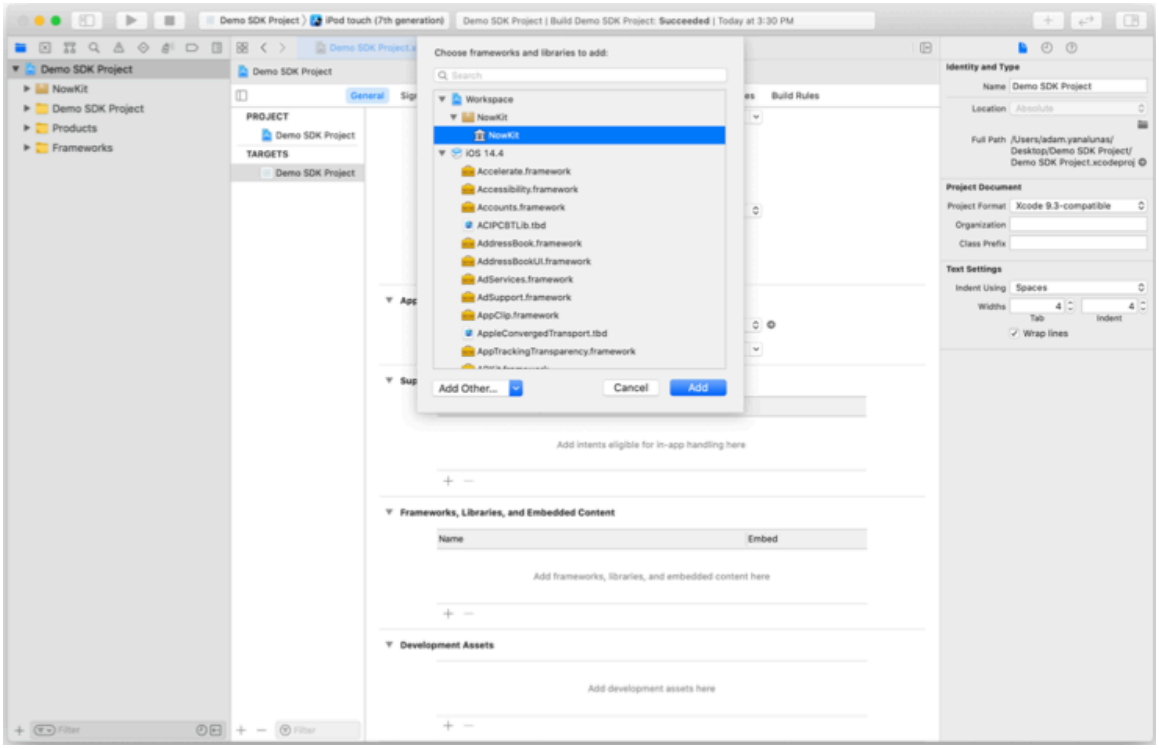
   a. Xcode で、NowKit フォルダーを Finder から [Project Navigator] ペイン (⌘+1) にドラッグします。Xcode はフォルダーを Swift パッケージとして認識し、 **NowKit** の横にフォルダーアイコンを表示します。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. プロジェクトの全般設定の [フレームワーク、ライブラリ、および埋め込みコンテンツ] セクションで、**+** アイコンを押し、表示されたリストから **NowKit** フレームワークを選択して、ターゲットにMobile SDKを追加します。



2. プロジェクト設定を更新します。

SDKは、ユーザー権限を必要とするいくつかのデバイス機能を使用します。次のキーについては、SDK 機能のグループ化されたエントリをプロジェクトの Info.plist に追加する必要があります。

- NowChat
  - NSLocationWhenInUseUsageDescription
  - NSLocationAlwaysAndWhenInUseUsageDescription
  - NSMicrophoneUsageDescription
  - NSSpeechRecognitionUsageDescription
- ナウウェブ
  - NSCameraUsageDescription
  - NSPhotoLibraryUsageDescription

次のような、顧客に役立つメッセージを必ず提供してください。

```
…
<key>NSCameraUsageDescription</key>
<string>[Your App] requires permission to access your camera to take
 attachment photos and scan barcodes.</string>
<key>NSPhotoLibraryUsageDescription</key>
<string>[Your App] requires permission to upload your photos to a
 record.</string>
…
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

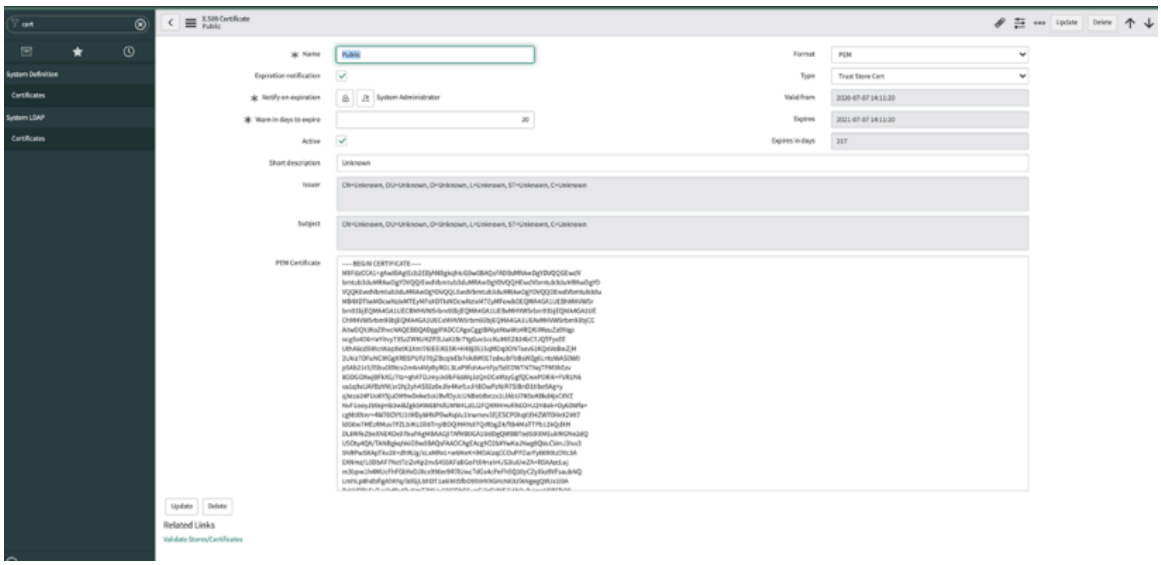
証明書の設定と **OAuth** エンティティの作成

JSON Web トークン (JWT) を受け入れて OAuth アクセストークンと交換するように ServiceNow インスタンスを構成する必要があります。この機能を有効にするには、JWT トークンコンシューマーとして使用する ServiceNow インスタンスに JWT プロバイダーの秘密鍵と一致する証明書をインストールし、そのインスタンスに OAuth エンティティを作成する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. まだ構成されていない場合は、 ServiceNow インスタンスを OAuth JWT プロバイダーとして構成します。
   詳細については、「外部クライアント向けの OAuth JWT API エンドポイントの作成 (マシン間の統合)」を参照してください。
2. 移動先 システム定義 > 証明書.
3. [新規] を選択し、次の図に示すように新しい公開証明書を作成します。



   この証明書の作成の詳細については、「X.509 証明書の更新」を参照してください。

4. OAuth エンティティを作成します。
   詳細については、「外部クライアント向けの OAuth JWT API エンドポイントの作成 (マシン間の統合)」を参照してください。
5. フォームに [公開クライアント] フィールドを追加して選択します。

   注: このフィールドは、デフォルトでは表示されません。

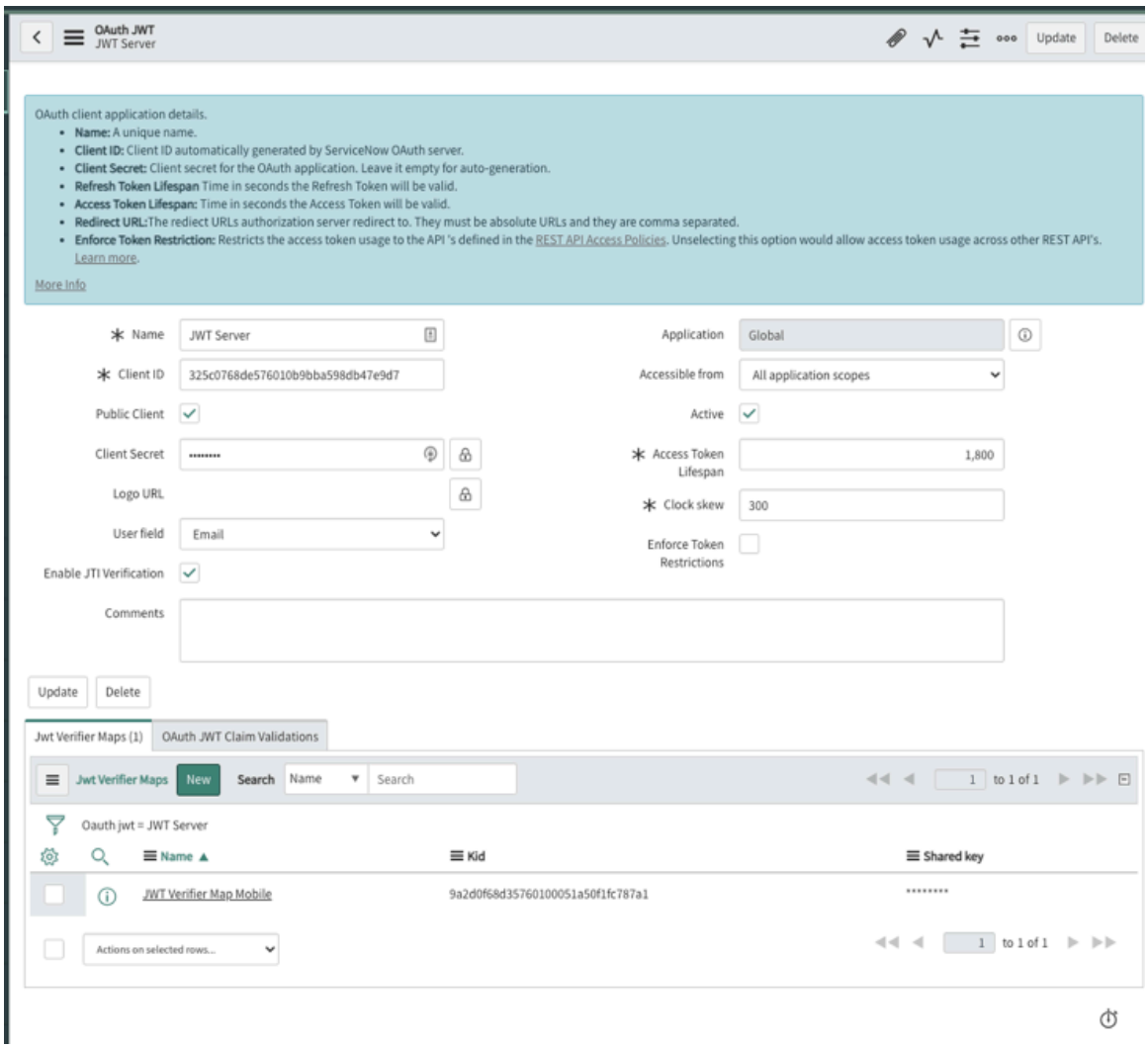
6. レコードを保存します。
7. JWT 検証者マップエントリを追加します。
   レコードが保存されると、[**Jwt** 検証者マップ] という新しいセクションがフォームの下部に表示されます。

   a. [名前] フィールドに名前を追加し (任意の名前にすることができます)、追加された証明書を選択します。
      その他のフィールド **[Kid**] と **[Shared key**] は自動入力されるため、空白のままでもかまいません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 構成が完了したら、フォームに次のような情報が含まれていることを確認します。



ゲストユーザーアクセスの設定

非認証ユーザーが SDK サービスにアクセスできるようにするには、ゲストユーザーアクセスを許可するように ServiceNow インスタンスのMobile SDKを構成する必要があります。ゲストユーザーは、 *NowWeb* を使用してインスタンスでホストされている公開 Web ページを表示し、 *NowChat* を使用してゲストとして会話し、 *NowTableService* と *NowGraphQLService* を使用してインスタンスの公開データにアクセスし、 *NowAPIService* を使用して非認証ユーザー用に構成されたカスタム API サービスにアクセスできます。

始める前に

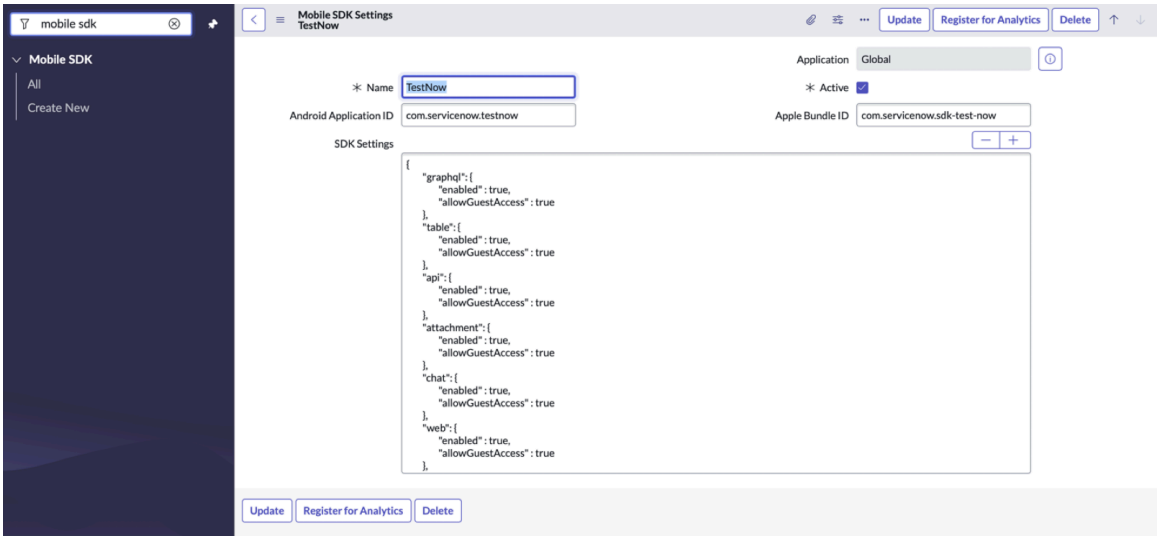
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Mobile SDK** > すべて をクリックし、ゲストアクセスを許可するアプリケーションを選択します。
2. ゲスト アクセスを有効にするサービスごとに、その構成配列に `"allowGuestSccess":true` を追加します。

> **注:** *NowAttachment* サービスは現在、ゲスト アクセスをサポートしていません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [更新] を選択して、変更を保存します。

アプリケーションで **NowSDK** を初期化する

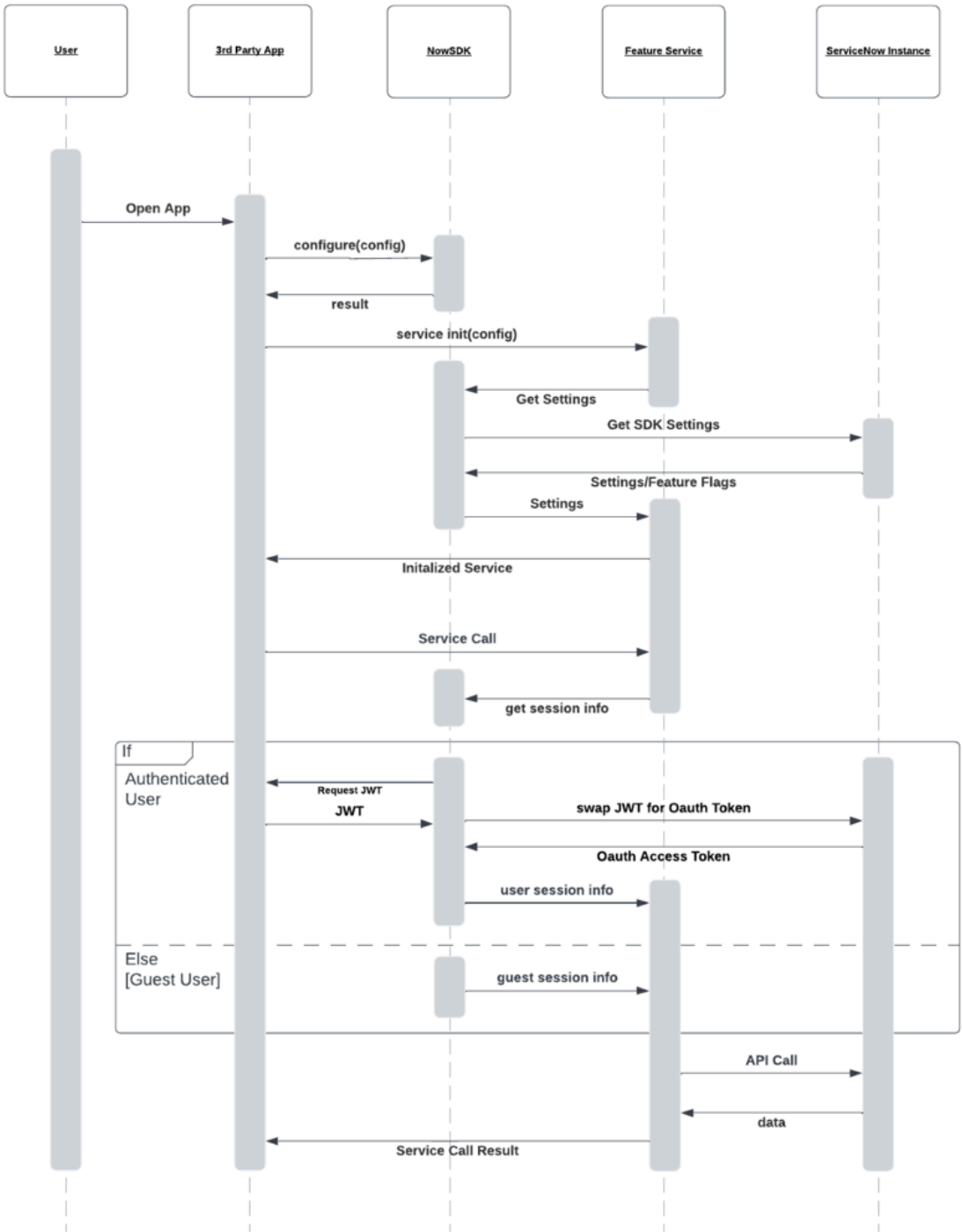
NowSDK によって提供される機能にアクセスするには、まずアプリケーションで NowSDK を初期化する必要があります。

Mobile SDKの初期化は非同期です。初期化プロセスは、アプリケーション デリゲートの `アプリケーション (application:didFinishLaunchingWithOptions:)` 関数など、できるだけ早い段階で開始することをお勧めします。初期化は、アプリケーションの起動ごとに 1 回だけ行う必要があります。フォアグラウンドになったときや新しいシーンが検出されたときに再初期化する必要はありません。

次の図は、NowSDK と機能サービスの初期化シーケンスを示しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

iOS アプリケーションで ServiceNow Mobile SDK を初期化するには、JWT プロバイダー情報を使用する `NowSDKAuthorizationProvending` に準拠する承認プロバイダーと、`DevicePermissionDelegate` に準拠するデリゲートが必要です。

以下は、SDK 初期化の構造の例です。その他のコード例については、 ServiceNow Mobile SDK サンプルアプリケーションを参照してください。

```
//

//  JWTProvider.swift

import Foundation
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
import NowSDK

class JWTProvider: NowSDKAuthorizationProviding {
  let token: String

  init(token: String) {
    self.token = token
  }

  func requestAuthorization(for instanceUrl: URL, completion: @escaping
 ([AuthorizationToken]?) -> Void) {
    completion([AuthorizationToken(type: .jwt, token: token)])
  }
}
```

```
//
//  PermissionProvider.swift

import Foundation
import NowSDK

class PermissionProvider: DevicePermissionDelegate {
  var isUserPermissionAllowed: Bool { Bool.random() }

  func canRequestPermission(_ permission: DevicePermission) -> Bool {
    guard isUserPermissionAllowed else { false }
    return true
  }
}
```

```
//
//  AppDelegate.swift

import Foundation
import NowSDK

@main
class AppDelegate: UIResponder, UIApplicationDelegate {
  func application(_ application: UIApplication,
 didFinishLaunchingWithOptions launchOptions:
 [UIApplication.LaunchOptionsKey: Any]?) -> Bool {

    let jwtProvider = JWTProvider(token: "a_valid_token”)
    let permissionDelegate = PermissionProvider()
    let logLevel: NowLogLevel = .debug

    let config = NowSDKConfiguration(authorizationProvider: jwtProvider,
 permissionDelegate: permissionProvider, logLevel: logLevel)

    do {
      try NowSDK.configure(with: config)
    } catch {
      // Handle 'error'
    }

    return true
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

ゲストユーザー

現在のユーザーが認証されていない場合は、ゲストとして SDK 機能にアクセスできます。現在のユーザーがゲストであることを示すには、次に示すように、承認プロバイダーの *requestAuthorization* 関数を *AuthorizationToken* のゲスト型で完了する必要があります。この場合のトークン値は、 *AuthorizationTokenType* が `.guest` に設定されている限り重要ではありません。ゲストユーザーの詳細については、「ゲストユーザーアクセスの設定」を参照してください。

```
//  GuestTokenProvider.swift
import Foundation
import NowSDK
class GuestTokenProvider: NowSDKAuthorizationProviding {
    func requestAuthorization(for instanceUrl: URL,
        completion: @escaping ([AuthorizationToken]?) -> Void) {
        completion([AuthorizationToken(type: .guest, token: "")])
    }
}
```

SDK からのユーザーのログアウト

ユーザーがホストアプリケーションからログアウトした後、 `NowSDK.logout()` メソッドを呼び出して、そのユーザーの ServiceNow セッションとトークンを SDK からクリアする必要があります。例：

```
func onLogout() {
  NowSDK.logout()
}
```

仮想チャットと ライブエージェント チャットを実装する

この Mobile SDK を使用すると、iOSアプリケーション内に仮想チャットサービスと ライブエージェント チャットサービスを簡単に実装できます。

NowChatService API を使用して、チャットユーザーインターフェイスを作成します。UI が作成されたら、チャットセッションを開始してから、チャットサービスを開始する必要があります。他の Mobile SDK 機能サービスと同様に、 *NowChatService* API は、 *startChat()* メソッドなど、一部のメソッドに 2 つの実装を提供します。1 つの実装は Combine パブリッシャーを返し、もう 1 つの実装は戻り値を使用して完了ハンドラーを呼び出します。

以下は、チャット UI とセッションを初期化して開始する方法を示すサンプル アプリケーションの抜粋です。

```
// Create the chat UI
func makeChatScreen() -> UIViewController? {
  guard let chatService = chatService else { return nil }
  let result = chatService.makeChatUI(theme: CarrascoChatTheme(baseTheme:
 CarrascoTheme()))
  switch result {
  case .success(let chatViewController):
    return chatViewController
  case .failure(let error):
    debugPrint("Chat screen creation failed with error: \(error)")
    return nil
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}

// Start the chat session
func startChat() {
  guard let chatService = chatService else {
    debugPrint("Chat service is invalid")
    viewState = makeViewState()
    return
  }
  chatService.startChat { [weak self] result in
    if case .failure(let error) = result {
      debugPrint("Chat session initialization failed with error:
 \(error)")
      self?.resetChat()
    }
  }
}

// Initialize the chat service
private func initializeChatService() {
  NowChat.makeChatService(instanceUrl: instanceUrl, delegate: self)
 { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }

    switch result {
    case .success(let service):
      self.chatService = service
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating the chat service failed with error: \(error)")
    }
    self.viewState = self.makeViewState()
  }
}
```

アプリケーション内でチャット機能を利用する前に、ServiceNowインスタンス内で仮想エージェントを設定する必要があります。詳細については、「仮想エージェント」を参照してください。

ライブエージェントおよび仮想エージェントチャットへのコンテキスト変数の受け渡し

NowChatService - startChat(contextData: [文字列: 任意]?) 関数または NowChatService - startChat(contextData: [String: Any]? = nil, _ completion: @escaping (結果<Void, NowChatServiceError>)) 関数で *contextData* パラメーターを渡すことで、チャットセッションの開始時にチャットコンテキスト変数を渡すことができます。チャットコンテキスト変数の詳細については、「ライブエージェントチャットのコンテキスト変数」を参照してください。

```
func startChat() {
  guard let chatService = chatService else {
    debugPrint("Chat service is invalid")
    viewState = makeViewState()
    return
  }
  let contextData = ["sys_id": "123456789", "table_name": "wm_task",
 "active": true] as [String: Any]
  chatService.startChat(contextData: contextData) { [weak self] result in
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    if case .failure(let error) = result {
      debugPrint("Chat session initialization failed with error:
 \(error)")
      self?.resetChat()
    }
  }
}
```

チャットユーザーインターフェイスのテーマを設定する

makeChatUI() 呼び出しでテーマオブジェクトを渡すことで、ライブエージェントと仮想エージェントチャット UI の色をカスタマイズできます。カスタマイズできるすべての要素のリストについては、「NowChatColoring プロトコル - iOS」を参照してください。デフォルトでは、チャット UI はすべての NowSDK UI 要素に *NowUIColor* テーマを使用します。チャットUIにテーマを適用する方法に関するサンプルコードスニペットについては、 NowChatThemeable プロトコル: iOS を参照してください。

ServiceNowインスタンス内のテーブルデータの操作

Mobile SDKを使用すると、ServiceNowインスタンスに存在するテーブル内のデータを操作できます。このデータは、REST インターフェイスを直接呼び出す *NowTableService()* API を使用する ServiceNow REST *Table* API を介して、または REST *GraphQL* API に対して指定された GraphQL クエリを実行する *NowGraphQLService()* API を介して操作できます。

1回の呼び出しで複数のテーブルからデータを返す場合は、 *NowGraphQLService()* APIを使用する必要があります。他の ServiceNow REST API とやり取りする必要がある場合は、「ServiceNowインスタンスでのパブリック REST API とのやり取り」を参照してください。

NowGraphQLService を使用した ServiceNow テーブルとのやり取り

NowGraphQLService クラスは、ログインしているユーザーが適切な権限を持っている場合に、ServiceNow インスタンス内の指定されたテーブルで GraphQL クエリを構築して実行できるメソッドを提供します。すべての CRUD 操作を GraphQL クエリ内で定義できます。

NowGraphQLService は、完了ハンドラーを返すことで、クエリの結果のフェッチをサポートします。

```
func execute(_ query: GraphQLQuery, completion: @escaping (Result<Data,
 NowDataError>) → Void)
```

async / await経由:

```
func execute(_ query: GraphQLQuery) async throws -> Data
```

または、 Combine パブリッシャー (現在は非推奨) :

```
func publisher(for query: GraphQlQuery) → AnyPublisher<Data,
 NowDataError>
```

次の例は、NowData フレームワークをインポートし、 ServiceNow インスタンス内のテーブルとのやり取りに使用できる NowGraphQLService オブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
// Import the NowData framework
import NowData

// Initialize a NowGraphQLService
// The makeGraphQLService completion handler returns a result that wraps
// the NowGraphQLService upon success or error.

private func initializeGraphQLService(instanceUrl: URL) {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  makeGraphQLService(instanceUrl: instanceUrl) { [weak self] result in
    switch result {
    case .success(let service):
      self?.graphQLService = service
    case .failure(let error):
      debugPrint("Creating GraphQL service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
      self?.graphQLService = nil
    }
  }
}
```

この例では、最近公開された KB 記事をフェッチして公開する非同期関数を作成する方法を示します。

```
private func fetchArticles() async throws -> [Article] {
    guard let graphQLService = graphQLService else {
        throw ArticleListError.invalidGraphQLService
    }

    do {
        let data = try await graphQLService.execute(GraphQLQuery(query:
 recentlyPublishedQuery))
        let articles = try dataToArticleList(data)
    } catch let error as NowDataError {
        throw ArticleListError.fetchError(error)
    } catch {
        throw error
    }
}
private let recentlyPublishedQuery =
"""

{
  GlideRecord_Query {
    kb_knowledge(queryConditions: "active=true^ORDERBYpublishedDESC"
 pagination: { limit: 10, offset: 0 }) {
      _results {
        sys_id {
          value
        },
        number {
          displayValue
        },
        short_description {
          displayValue
        },
        author {
          displayValue
        }
        published {
          displayValue
        }
      }
    }
  }
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
"""
```

NowTableService を使用した ServiceNow テーブルとの対話

NowTableService クラスは、ServiceNowインスタンスに存在するテーブル内のレコードに対して CRUD 操作を実行するためのメソッドを提供します。このインターフェイスから、ログインしているユーザーが許可されている ServiceNow テーブル内の任意のレコードに直接アクセスできます。*`NowTableService`* は、 参照フィールドのドット連結をサポートしています。たとえば、テーブルにユーザーテーブルへの参照が含まれている場合、ドット連結値 `user.name` はユーザーの名前を返します。

要求されたデータを返すと、該当するすべてのアクセス制御リスト (ACL) がデータに適用されるため、結果が予想よりも少なくなるか、認証されたユーザーが指定されたテーブルへのアクセス権を持っていない場合は認証エラーが発生する可能性があります。

ほとんどの *`NowTableService`* メソッドには、結果データを返すための 3 つの実装が用意されています。1 つは async/await を使用し、もう 1 つは *`Result`* 列挙を使用して完了ハンドラーを呼び出し、もう 1 つは現在非推奨の Combine パブリッシャーを返します。

たとえば、すべての *`createRecord()`* メソッドは、構築されたレコードを指定されたテーブルに挿入しますが、

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions, configuration: FieldReadConfiguration, completion: @escaping (Result<Data, NowDataError>)

メソッドは、 *`Result`* 列挙型を使用して完了ハンドラーを呼び出します (`.success` ケースには、関連付けられた値として結果が含まれます)。

-

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil) 非同期スロー

メソッドは async/await 関数を実行します。一方、

NowTableService - createRecord(with fields: [FieldName: FieldValue], in tableName: String, writeOptions: FieldWriteOptions? = nil, configuration: FieldReadConfiguration? = nil)

メソッドは Combine パブリッシャーを返しますが、現在は非推奨です。

さらに、 *`NowTableService`* には、生データを返すメソッドと Codable モデルを返す CRUD メソッドの 2 つの異なる実装が用意されています。たとえば、 *`update()`* メソッドと *`updateRecord()`* メソッドはどちらも指定されたテーブルの指定されたレコードを更新しますが、 *`update()`* メソッドは Codable モデルを返し、 *`updateRecord()`* メソッドは生データを返します。場合によっては、厳密に型指定された Codable 構造体は生データフィールドのコレクションよりも柔軟性が高いため、Codable メソッドが望ましい場合があります。

次の例は、 *`NowData`* フレームワークをインポートし、 ServiceNow インスタンステーブルとのやり取りに使用できる NowTableService オブジェクトを初期化する方法を示しています。

```
// Import the NowData framework
import NowData

// Initialize a NowTableService
// The makeTableService completion handler returns a result that wraps
// the NowTableService upon success or error.
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
makeTableService(instanceUrl: instanceUrl) { [weak self] result in
  guard let self = self else { return }

  switch result {
  case .success(let tableService):
    debugPrint("Successfully created a table service \(tableService)")
    self.tableService = tableService
  case .failure(let error):
    debugPrint("Creating table service failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
  }
}
```

使用可能な *NowTableService* メソッドを使用するその他のコード例については、NowTableService クラス - iOS API ドキュメントを参照してください。

返却結果データの構成

Mobile SDK内では、REST エンドポイントを介してServiceNowインスタンスからのデータを操作するときに、返される結果で返されるデータを構成できます。

返すデータは、 FetchConfiguration 構造体を使用して構成します。この構造により、以下を設定できます。

- テーブルから返す特定のレコード。
- レコードから返される特定のフィールド。
- 返されるレコードの数。

> **注:** 通常、返されるフィールドを決定するため、特定のモデルの種類のすべての CRUD 操作に同じ FetchConfiguration を使用します。少なくともモデルに必要なプロパティと一致する必要があり、そうでない場合は JSON デコードは失敗します。

返す特定のレコードを構成する

FetchConfiguration 呼び出し内の Filter 構造体を使用すると、ServiceNow インスタンスからフェッチされ、REST エンドポイントから返される結果で返されるレコードをフィルター処理して並べ替えることができます。このフィルターは、REST API エンドポイントの *sysparm_query* パラメーターで渡されます。詳細については、「テーブル API」を参照してください。

フィルター構造は、目的のフィルター処理機能に応じて 4 つの異なる方法で初期化できます。

1. エンコードクエリ でフィルタリング エンコードクエリ 。このタイプのフィルターを使用すると、指定したテーブル内のレコードに適用されるエンコードされたクエリを渡すことができます。

   たとえば、次の呼び出しは、アクティブで、[簡単な説明] フィールドに「broken」という単語が含まれているレコードのみを返します。

   ```
   Filter(query: "active=true^short_descriptionLIKEbroken"
   ```

   この種類のフィルター処理を使用するには、関数 フィルター - init(query: String, queryCategory: String? = nil) を使用して *Filter* 構造体を初期化します。

2. 基準でフィルタリングします。このフィルターを使用すると、OR で結合された 1 つ以上のフィルター基準に基づいてフィルターを適用できます。

   たとえば、マネージャーに PTO 中の従業員 Abel Tuter がいるとします。彼らは、誰にもアサインされていない、または Abel Tuter にアサインされていないアクティブなインシデントがあるかどうかを確認し、それらをアサイン/再アサインできるようにしたいと考えています。また、同じリストで、エスカレーションが高いインシデントや期限切れのインシデントをすべて確認し、それ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

らにも対処できるようにしたいと考えています。次に、このデータを取得するために必要なフィルターを作成する方法を示します。

```
let activeIncidents = Condition.boolean(field: "active", .is(true))

let assignedToEmpty = Condition.string(field: "assigned_to", .isEmpty)

let assignedToAbel = Condition.string(field: "assigned_to", .is("Abel
 Tuter"))

let assignedToAbelOrEmpty = CompoundCondition.or([assignedToEmpty,
 assignedToAbel])

let needToReassign = Criteria(conditions: [activeIncidents,
 assignedToAbelOrEmpty])

let highEscelations = Condition.string(field: "escalation", .is("2"))

let overdueEscelations = Condition.string(field:
 "escalation", .is("3"))

let highORoverdueEscelations = CompoundCondition.or([highEscelations,
 overdueEscelations])

let needToHandleEscalation = Criteria(condition:
 highOrOverdueEscelations)

let myPrioritiesForTodayFilter = Filter(criteria: [needToReassign,
 needToHandleEscalation])
```

この種類のフィルター処理を使用するには、関数 フィルター - init(criteria criteriaList: [Criteria], sortBy: [Sort]? = nil, queryCategory: String? = nil) を使用して *Filter* 構造体を初期化します。

3. キーワードと条件でフィルタリングします。このフィルターを使用すると、AND が組み合わされた特定のキーワードと条件に基づいてレコードをフィルタリングできます。

   たとえば、次の例では、キーワード "iOS13 または iOS 14" を含み、testField でソートされた指定された条件を満たすすべてのレコードをフィルター処理します。

```
testKeywordsAndConditionsAndSort() {
  let keywords = "iOS 13 | iOS 14"
  let conditionA = Condition.boolean(field: testField, .is(true))
  let conditionB = Condition.boolean(field: testField2, .is(false))
  let sortA = Sort.asc(testField)
  let filter = Filter(keywords: keywords, conditions: [conditionA,
 conditionB], sortBy: [sortA])

  XCTAssertEqual(filter.query,
 "123TEXTQUERY321=\(keywords)^\(conditionA.query)^\(conditionB.query)^
EQ^\(sortA.query)")
}
```

   この種類のフィルター処理を使用するには、関数 フィルター - init(keywords: String? = nil, conditions: [Condition], sortBy: [Sort]? = nil) を使用して *Filter* 構造体を初期化します。

4. 条件でフィルタリングします。このフィルターを使用すると、指定したすべての条件 (AND の組み合わせ) を満たすレコードをフィルタリングできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、次のフィルターは、[アクティブ] フィールドが「true」で、[SLA 期限] フィールドの日付値が「今日」または本日より後の任意の日付であるすべてのレコードをフィルタリングします。

```
// Where the record is active
let condition1 = Condition.boolean(field: "active", .is(true))

// AND the date value of the SLA due field is on "today" or any date
 after today.
let condition2 = Condition.dateTime(field:
 "sla_due", .atOrAfter(0, .daysAgoStart))

let filter = Filter(conditions: [condition1, condition2])
```

この種類のフィルター処理を使用するには、関数 フィルター - init(conditions: [QueryProviding], sorts: [Sort]? = nil) を使用して *Filter* 構造体を初期化します。

返す特定のフィールドの構成

FetchConfiguration メソッド呼び出し内のFieldReadConfiguration 構造体 - iOSを使用すると、返される結果で返すフィールドを構成できます。さらに、返されるフィールドの形式/コンテンツを次のように構成できます。

- 表示値
- 実際の値
- 参照リンクを除外

注: Codable モデルに一致するようにフィールドを構成すると、 ServiceNow インスタンスによって返されるペイロードが減り、データ転送が減ることでネットワーク効率が向上する可能性があります。

フィールド書き込みオプションの設定

Mobile SDK内で、REST エンドポイントを介してServiceNowインスタンスにデータを書き込むときに、フィールド書き込みオプションを定義できます。

フィールド書き込みオプションは、 FieldWriteOptions クラス - iOS 構造を使用して設定します。この構造により、以下を設定できます。

- システムフィールドの自動生成を抑制するかどうか。
- 実際の値ではなく表示値 の表示値 を使用してフィールド値を設定するかどうか。

リターン結果レコードセットをページネーション

Mobile SDK内では、*NowTableService* を使用して REST エンドポイントを介して ServiceNow インスタンスからのデータを操作するときに、返される結果のレコードを反復処理できる Paginator オブジェクトを作成できます。

通常、ページ分割された戻り値の結果は、UITableView、UICollectionView (UIKit)、または List (SwiftUI) 内に表示されるテーブル レコードに無限スクロール機能を提供するため、または一般的な結果のページ反復を簡略化するために使用します。

NowTableService クラスには、REST エンドポイント呼び出しからの戻り値を含む Paginator オブジェクトを作成するための 2 つのメソッドが用意されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- NowTableService - paginator(from tableName: String, configuration: FetchConfiguration? = nil)

  このメソッドは、指定されたテーブルの指定されたレコードを含むPaginatorオブジェクトを作成します。FetchConfiguration オブジェクトを含めない場合、返される結果にはすべてのレコードとその関連フィールドが含まれます。このメソッドは生データを返します。

- NowTableService - paginator<Model: Decodable>(from tableName: String, path: String = Constants.resultPath, coder: coder = .default, configuration: FetchConfiguration? = nil)

  このメソッドは、指定されたテーブルの指定されたレコードを含むPaginatorオブジェクトを作成します。FetchConfiguration オブジェクトを含めない場合、返される結果にはすべてのレコードとその関連フィールドが含まれます。このメソッドは Codable モデルを返し、カスタム 復号化を必要とする Codable モデルのカスタム `Coder` を定義できます。カスタム `JSONDecoder` と `JSONEncoder` を含む `NowData.Coder.custom` 列挙値を指定することで、カスタム `JSONDecoder` を指定できます。

ページネータの型は、 ジェネリック とコンパイラ の型の推論によって決定されます 。

次の例では、コンパイラは、 `service.paginator(...)` が `Paginator<[User]>` 型のページネータ (Codable User 構造体などのユーザーのコレクションを Combine パブリッシャーを介して公開するページネータ) を返すと推測します。

```
let paginator: paginator<[ユーザー]> = service.paginator(from: "sys_user",
 path: "result")
```

Paginatorオブジェクトを取得したら、そのパブリッシャをサブスクライブしてデータの受信を開始します。

```
paginator.publisher
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { ... }
  .store(in: &subscriptions)
```

返された Paginator オブジェクトは、返されたレコードをページングできるようにする次のメソッドを提供します。

- *`first()`*
- *`last()`*
- *`next()`*
- *`previous()`*
- *`reset()`*

> **注:** 一部の *`Paginator`* メソッドは、フェッチするページがなくなった場合など、例外をスローする場合があります。

さらに、Paginator オブジェクトには、ページネーションされたデータに関するインサイトを取得できるプロパティが用意されています。これらのプロパティと使用可能なメソッドの詳細については、「 ページネーター API - iOS」を参照してください。

データの変換

`NowData` フレームワークは、データをレコードに簡単に変換する機能を提供します。

プロパティ `sysId` とフィールドを含む NowRecord 便利な構造を使用すると、データをレコードに簡単に変換できます。データラッピング結果またはパブリッシャーを取得す

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

るたびに、*convertToRecord()* メソッドと *convertToRecords()* メソッドを使用して、NowRecord ラッピング結果またはパブリッシャーに簡単に変換できます。詳細については、「NowTableService クラス - iOS」を参照してください。

> **注:** *NowRecord* を使用するとデータをすばやく簡単に取得できますが、ユース ケースによっては、厳密に型指定された Codable 構造体が "任意の" フィールドのコレクションよりも柔軟性が高いため、Codable メソッドが推奨される場合があります。

ServiceNowインスタンスでのパブリック REST API とのやり取り

Mobile SDKは、iOS アプリケーションがServiceNowインスタンスでパブリック REST API を呼び出せるようにする機能を提供します。

NowAPIService API を使用すると、ベース REST API ServiceNowパブリック REST API のいずれかとやり取りしたり、インスタンス内にカスタム REST API を作成して iOS アプリケーションから呼び出したりできます。

添付ファイルと添付ファイルメタデータを取得

NowAttachmentService API を使用すると、添付ファイルに対して CRUD 操作を実行し、ServiceNow インスタンスから添付ファイルのメタデータを取得できます。

この API を使用すると、次のことができます。

- 添付ファイルを ServiceNow インスタンスにアップロードし、特定のレコードに関連付けます。
- 1 つ以上の添付ファイルをダウンロードします。
- 添付ファイルを削除します。
- 添付ファイルの計算されたハッシュを予想されるハッシュと比較して、添付ファイルを検証します。
- 添付ファイルのメタデータをダウンロードします。このメタデータは、添付ファイルがアップロードされたときに ServiceNow インスタンスによって生成されます。

添付ファイルの操作の詳細については、「添付ファイル API」を参照してください。

すべての NowAttachmentService メソッドには、結果データを返すための 3 つの実装が用意されています。1 つは戻り値で完了ハンドラーを呼び出すもので、もう 1 つは async/await をプリフォームし、もう 1 つは Combine パブリッシャー (非推奨) を返します。たとえば、各 *upload()* メソッドは、指定された添付ファイルをアップロードし、指定されたレコードに関連付けます。ただし、 NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate, completion: @escaping (Result<NowAttachmentMetadata, NowDataError>)) メソッドは戻り値を使用して完了ハンドラーを呼び出し、 NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate) async throws メソッドは async/await を実行し、 NowAttachmentService - upload(data: Data, configuration: NowAttachmentUploadConfiguration, progressUpdate: @escaping ProgressUpdate) メソッドは Combine パブリッシャを返します。

NowAttachmentService API を使用するには、*NowData* をインポートし、NowAttachmentService オブジェクトを初期化する必要があります。

```
// Import the NowData framework
import NowData

func makeAttachmentService(instanceUrl: URL,
  completion: @escaping ((Result<NowAttachmentService, NowServiceErrors>)
 → Void))
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

添付ファイルメタデータのページネーション

NowAttachmentService メソッドを使用して、1 つ以上の添付ファイルの添付ファイルメタデータをダウンロードできます。複数の添付ファイルからメタデータをダウンロードする場合は、返される大量のデータを簡単に反復処理できる Paginator オブジェクトを返す NowAttachmentService - attachmentMetadataPaginator(フィルター:フィルター、制限:整数) メソッドを使用できます。通常、ページ分割された戻り値の結果は、UITableView、UICollectionView (UIKit)、または List (SwiftUI) 内に表示されるデータに無限スクロール機能を提供するため、または一般的な結果のページ反復を簡略化するために使用します。

Paginatorオブジェクトを取得したら、そのパブリッシャをサブスクライブしてデータの受信を開始します。

```
paginator.publisher
  .subscribe(on: DispatchQueue.global())
  .receive(on: DispatchQueue.main)
  .sink { ... }
  .store(in: &subscriptions)
```

返された Paginator オブジェクトは、返されたレコードをページングできるようにする次のメソッドを提供します。

- *first()*
- *last()*
- *next()*
- *previous()*
- *reset()*

> **注:** 一部の *Paginator* メソッドは、フェッチするページがなくなった場合など、例外をスローする場合があります。

さらに、Paginator オブジェクトには、ページネーションされたデータに関するインサイトを取得できるプロパティが用意されています。これらのプロパティと使用可能なメソッドの詳細については、「ページネーター API - iOS」を参照してください。

ServiceNowインスタンスでホストされている Web ページを表示します

ServiceNowインスタンス内でホストされている Web ページをネイティブ iOS アプリケーションに表示できます。

Mobile SDKは必要な認証とセッション管理のシームレスな処理を提供し、NowWebService API はServiceNowインスタンスに存在するページの処理に必要な機能を提供します。これらのWebページには、 ServiceNow プラットフォームで可能なすべての動的なインタラクションがあります。

Web ビューは、 ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページを読み込むように要求されると、NowSDK によって提供される OAuth アクセストークンを含む適切なベアラーヘッダーを使用して HTTP 要求を作成します。インスタンスはこの要求を受信すると、新しいユーザーセッションを開始し、そのセッションに関連する Cookie を返します。ユーザーが Web ビューで Web ページを操作すると、インスタンスは Cookie を使用してセッションがまだ有効であることを検証します。この時点で、ベアラーヘッダーは関係なくなり、Cookieのみがセッションの検証に使用されます。ユーザーがタイムアウト期間より長く Web サイトとのやり取りを停止すると、Web セッションは期限切れになります。セッションの有効期限が切れた後、ユーザーが Web ページを操作しようとすると、ログインページに自動的にリダイレクトされます。NowWebViewController はリダイレクトを検出し、NowSDK から更新されたアクセス トークンを要求し、そのトークンを使用して最後に読み込まれた既知のページの HTTP 要求 (ベアラー ヘッダーを含む) を作成することで、新しい Web セッションの開始を試みます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの機能を使用するには、最初に *NowWebService* のインスタンスを作成する必要があります。これを行うには、 *makeWebService()* メソッドを呼び出し、 ServiceNow インスタンスへの URL と初期化済みの NowSDK を指定する必要があります。さらに、アプリケーション内に NowWeb をインポートしておく必要があります。NowWeb サービスを使用している限り、 *NowWebService* への参照を保持する必要があります。

async/await を使用して NowWebService オブジェクトを作成する方法を次に示します。

```
do {
    let service = try await NowWeb.makeWebService(instanceUrl:
 instanceUrl)
    self.webService = service
} catch {
    debugPrint("Web Service creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
}
```

完了ハンドラーを使用して NowWebService オブジェクトを作成する方法を次に示します。

```
import Combine
import NowWeb
import UIKit
...
public func makeWebService(instanceUrl: URL,
  completion: @escaping ((Result<NowWeb.NowWebService,
 NowSDK.NowServiceError>) -> Void))
```

ページをプリロードして **NowWeb** のロード時間を短縮する

キャッシュ可能なリソースを含むページをバックグラウンドでプリロードして、 *NowWeb* の初期読み込み時間を短縮できます。次の例は、 *webService.preloadWebCache()* 関数を使用して、指定したページをプリロードする方法を示しています。

```
private func preloadURLs(urls: [URL]) {
  guard let webService = webService else {
    debugPrint("Web service not initialized")
    return
  }
  do {
       try webService.preloadWebCache(urls: urls) {
         debugPrint("URLs did complete preloading")
       }

  } catch {
      debugPrint(error.localizedDescription)
  }
}
```

Web コンテンツを表示するビューの作成

NowWebService のインスタンスを作成したら、それを使用して、 ServiceNow インスタンスでホストされている Web ページを表示するビューを作成できます。

次の例は、 NowWebViewController ビューを作成する方法を示しています。

```
let result = webService.makeWebViewController(for: url,
  delegate: self, theme: MyWebTheme(nowUITheme: MyUITheme()))
switch result {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
case .success(let viewController):
  return viewController
case .failure(let error):
  debugPrint("Web view creation failed with error:
 \(error.localizedDescription)")
}
```

この例では、 *url* はビュー内に読み込む最初のページの URL です。この URL は、指定された ServiceNow インスタンスでホストされているページを指す必要があります。相対 URL も機能し、NowWebService がターゲットとする ServiceNow インスタンスを基準にしています。

作成したら、NowWebViewController を既存のナビゲーション スタックにプッシュできます。最初のページは、 loadPage() メソッドを呼び出すまでロードされません。

Web ユーザーインターフェイスのテーマ設定

Web UI の色をカスタマイズするには、 *makeWebViewController()* 呼び出しでテーマオブジェクトを渡します。カスタマイズできるすべての要素のリストについては、「 NowWebColoring プロトコル - iOS」を参照してください。デフォルトでは、Web UI はすべての NowSDK UI 要素に NowUIColor テーマを使用します。Web UI にテーマを適用する方法に関するサンプルコードスニペットについては、 NowWebThemeable プロトコル: iOS を参照してください。

プッシュ通知の構成

プッシュ通知を使用すると、 ServiceNow インスタンスから特定の登録ユーザーおよび ServiceNow Mobile SDK フレームワークを利用するアプリケーションに、一方的なメッセージ (通知) を送信できます。

ServiceNowインスタンスと、通知を受信するアプリケーション内でプッシュ通知を設定する必要があります。

注: 現在のリリースでは、 仮想エージェント サービスのみがプッシュ通知の受信をサポートしています。

ServiceNowインスタンスでのプッシュ通知の設定

仮想エージェント サービスを組み込み、プッシュ通知を利用する Mobile SDK アプリケーションごとに、ServiceNow インスタンスで次の構成プロセスを完了する必要があります。

- iOSプッシュ証明書を生成して取得します。
- プッシュアプリケーション [sys_push_application] テーブルにプッシュアプリケーションレコードを追加します。
- プッシュ通知メッセージコンテンツ [sys_push_notif_msg_content] テーブルにプッシュ通知メッセージコンテンツレコードを追加します。
- デフォルトのプッシュ登録を追加します。
- プッシュ通知メッセージ [sys_push_notif_msg] テーブルにプッシュ通知メッセージを追加します。
- 通知 [sysevent_email_action] テーブルのプッシュ通知レコードを変更します。

iOSプッシュ証明書の生成と取得

プッシュ通知を利用する Mobile SDK アプリケーションに関連付けるために、Apple 開発者アカウントから一意のiOSプッシュ証明書を取得する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

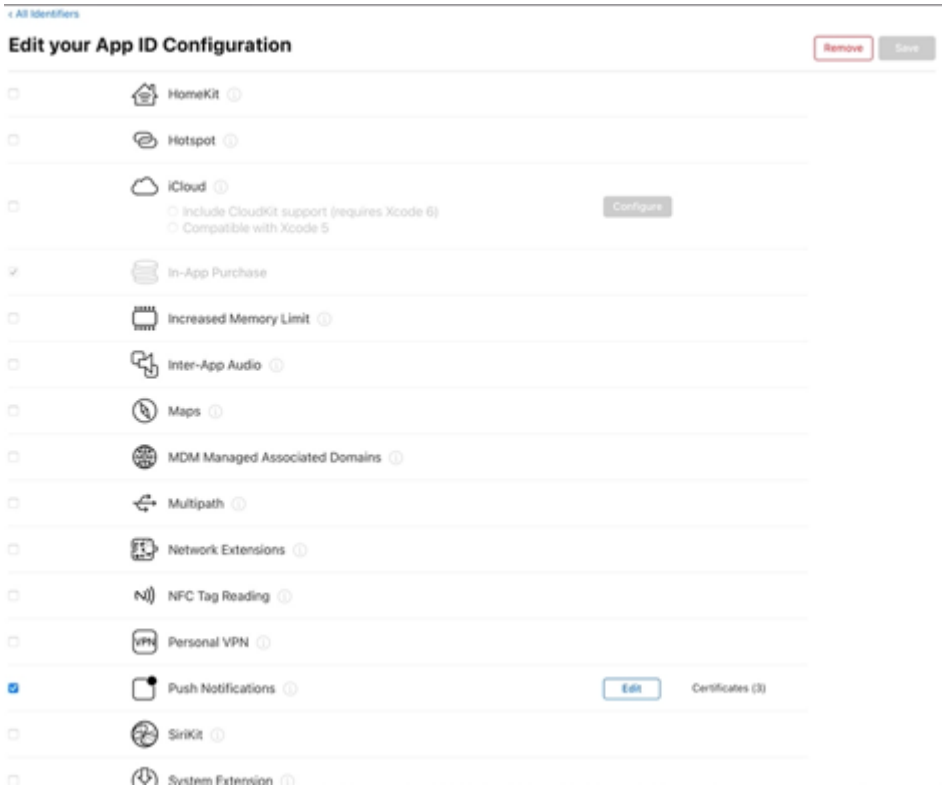
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Apple 開発者アカウントが既に設定されている必要があります。Apple 開発者アカウントを作成し、対応する SDK をダウンロードする方法については、次を参照してください Apple 開発者 Webサイトにあります

手順

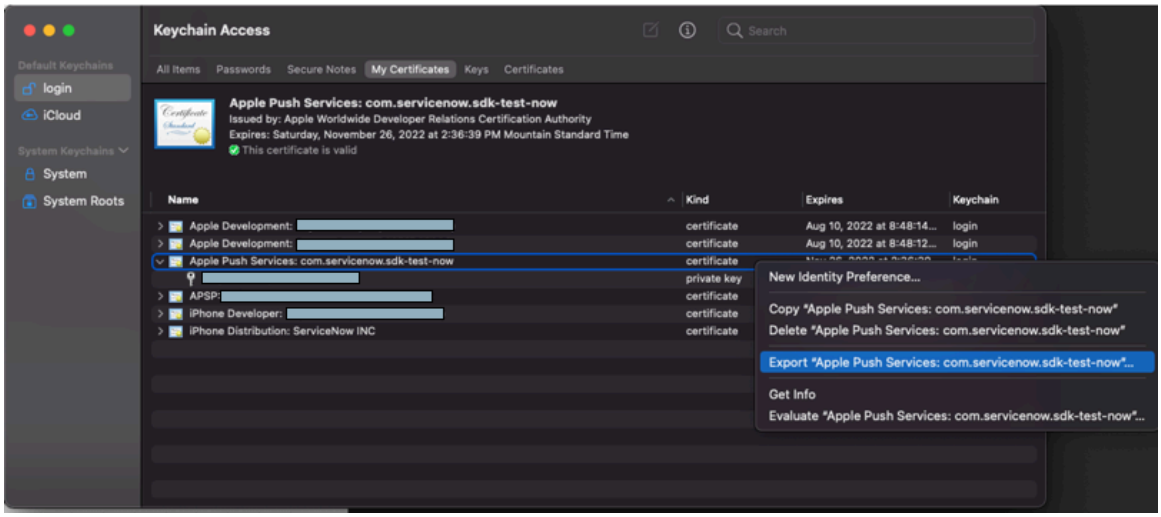
1. Apple 開発者アカウントから [識別子] を選択し、表示された一覧からアプリケーションのバンドル ID を選択します。
   次のような画面が表示されます。



2. [プッシュ通知] チェック ボックスをオンにし、[編集] を選択します。
3. Apple の指示に従って、本番 SSL 証明書を作成します。
4. 作成したら、ダウンロードした証明書をダブルクリックすると、KeyChain Access アプリケーションに保存されます。
5. 「アプリケーション」フォルダから「キーチェーンアクセス」アプリケーションを開き、作成した証明書を見つけます。
6. 証明書を右クリックし、[エクスポート] オプションを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [ファイル形式] フィールドが `[Personal Information Exchange (.p12)]` に設定されていることを確認します。
8. 証明書の安全なパスワードを入力します。

プッシュ証明書レコードの追加

iOS プッシュ証明書を生成したら、プッシュ証明書レコードをインスタンスに保存する必要があります。プッシュ証明書は、X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルに格納されます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 検索フィールドで [名前] を選択し、「`sys_certificate`」と入力します。
3. X.509 証明書 [sys_certificate] テーブルを開きます。
4. [新規] ボタンを選択して証明書レコードを作成します。
5. iOSプッシュ証明書の生成と取得 でエクスポートした Personal Information Exchange (.p12) 証明書を証明書レコードに添付ファイルとして追加します。

   a. 右上隅にある添付ファイルアイコンを選択します。

   b. [名前] フィールドに、証明書の名前を入力します。
   他のチーム メンバーに対して証明書の目的を明確に識別する任意の名前を入力できます。

   c. [タイプ] フィールドで、[`PKCS12 キーストア`] を入力または選択します。

   d. [有効期限時に通知] フィールドで、証明書の有効期限が近づいたときに通知を受け取るユーザーを選択します。

   e. [**Warn in days to expire**] フィールドに、証明書の有効期限が切れる予定の日数を入力して、有効期限に関する通知を送信します。

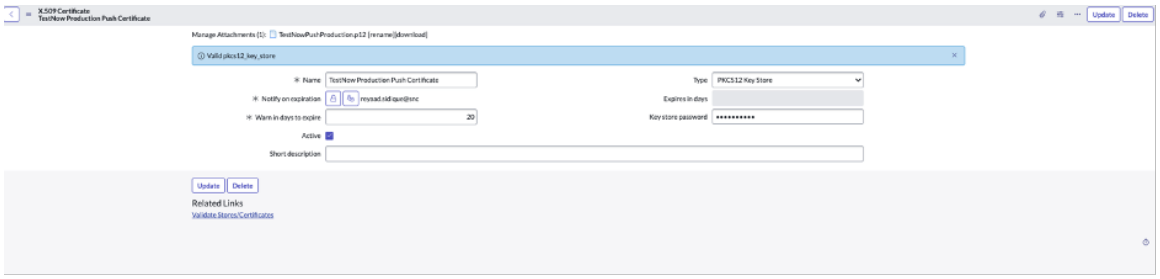
   f. [キーストアパスワード] フィールドに、キーチェーンから証明書をエクスポートするときに使用したパスワードを入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. フォームの左下隅にある **[ValidateStores/Certificates**] リンクを選択します。
添付された証明書が検証されます。

h. 証明書の検証が確認されたら、[更新] を選択してフォームを送信します。



プッシュ アプリケーション レコードを追加する

仮想エージェント通知とプッシュ通知を利用するMobile SDKアプリケーションでプッシュ通知を使用するには、プッシュアプリケーションレコードを作成し、そのレコードにAppleプッシュ通知証明書を入力する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このレコードは、プッシュ アプリケーション [sys_push_application] テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュアプリケーション.
2. 新規 を選択して、新しいレコードを追加します。
3. [表示名] フィールドと [名前] フィールドに、アプリケーションの名前を入力します。
4. [プッシュ]フィールドで、 **[REST API]** から **Direct** に値を変更します。
5. [**iOS**] タブで、[証明書] フィールドの左側にある検索アイコンを選択し、作成した証明書を選択します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。

既定のプッシュ登録を追加する

プッシュ通知を登録して、アプリケーションのすべてのユーザーがデフォルトでプッシュ通知を受信するようにします。

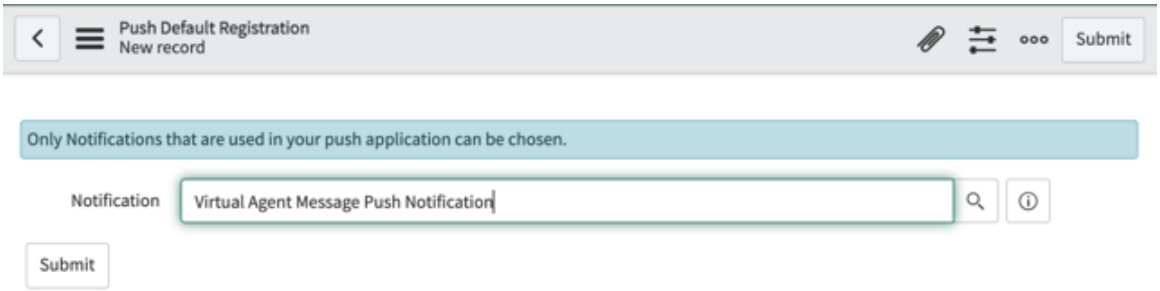
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュアプリケーション.
2. 前に作成したプッシュ通知を見つけて開きます。
3. 関連リストで、[**Push Default Registrations**] タブを選択し、[**New**] を選択します。
4. [通知] に「仮想エージェントメッセージプッシュ通知」と入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. **[Submit** (送信)] を選択します。

プッシュ通知メッセージコンテンツレコードを追加する

プッシュ通知メッセージコンテンツレコードには、ユーザーが通知をタップしたときの誘導先の場所と、通知の外観とレイアウトが含まれます。

始める前に

必要なロール：admin

プッシュ通知メッセージコンテンツフォームに入力して、次のことを行います。

- 通知に名前を付けます。
- 通知の送信先のモバイルアプリケーションを選択します。
- 必要に応じて、通知メッセージの外観をカスタマイズします。

この情報は、プッシュ通知メッセージコンテンツ [sys_push_notif_msg_content] テーブルに保存されます。

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュメッセージコンテンツ.
2. [新規] を選択します。
3. [プッシュ通知メッセージコンテンツ] フォームの各フィールドに入力します。

プッシュ通知メッセージコンテンツフォーム

フィールド	説明
名前	プッシュメッセージコンテンツレコードのわかりやすい名前です。 注: この名前は通知には表示されず、構成中に使用する参照にすぎません。
プッシュアプリ	通知の送信先のモバイルアプリケーション。これは、「プッシュ アプリケーション レコードの追加」で追加したアプリケーションです。

プッシュメッセージ生成	通知リンクを含むスクリプトブロック。Mobile SDK 仮想エージェントアプリケーションでプッシュ通知を実装するには、次のスクリプトを使用します。
	`(function buildJSON(/*GlideRecord*/ current, /*String*/ message, /*Object*/ attributes) {`
	
	`var json = {`
	`"aps": {`
	`"alert": {`
	`"title": current.push_title,`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	"body": sn_cs.VASystemObject.getTextValueForMessage(current.message_id) }, "sound": "default", "thread-id": "launch_virtual_agent" }, "type": "launch_virtual_agent" }; return json; })(current, message, attributes);

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

プッシュ通知メッセージを追加する

ユーザーがプッシュ通知を受信したときにユーザーに表示するメッセージを構成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュメッセージ.
2. [新規] を選択します。
3. [プッシュメッセージ] フォームの各フィールドに入力します。

[プッシュメッセージ] フォーム

フィールド	説明
名前	プッシュ通知メッセージレコードのわかりやすい名前。 注: この名前は通知には表示されず、構成中に使用する参照にすぎません。
プッシュアプリ	通知の送信先のモバイルアプリケーション。これは、「プッシュ アプリケーションレコードの追加」で追加したアプリケーションです。
プッシュメッセージ	「プッシュ通知メッセージコンテンツレコードの追加」で作成されたプッシュ通知メッセージコンテンツレコード。
テーブル	メッセージの発信元のテーブル。プッシュ通知 `[sys_cs_message_notification]` を選択します。

4. **[Submit** (送信)] を選択してレコードを作成します。

プッシュ通知を変更する

仮想エージェントメッセージプッシュ通知レコードを変更して、アプリケーションを含めます。このレコードは、 仮想エージェントへの通知をトリガーするために使用されます。仮想エージェントに通知をプッシュするすべてのアプリケーションは、このレコードで構成する必要があります。

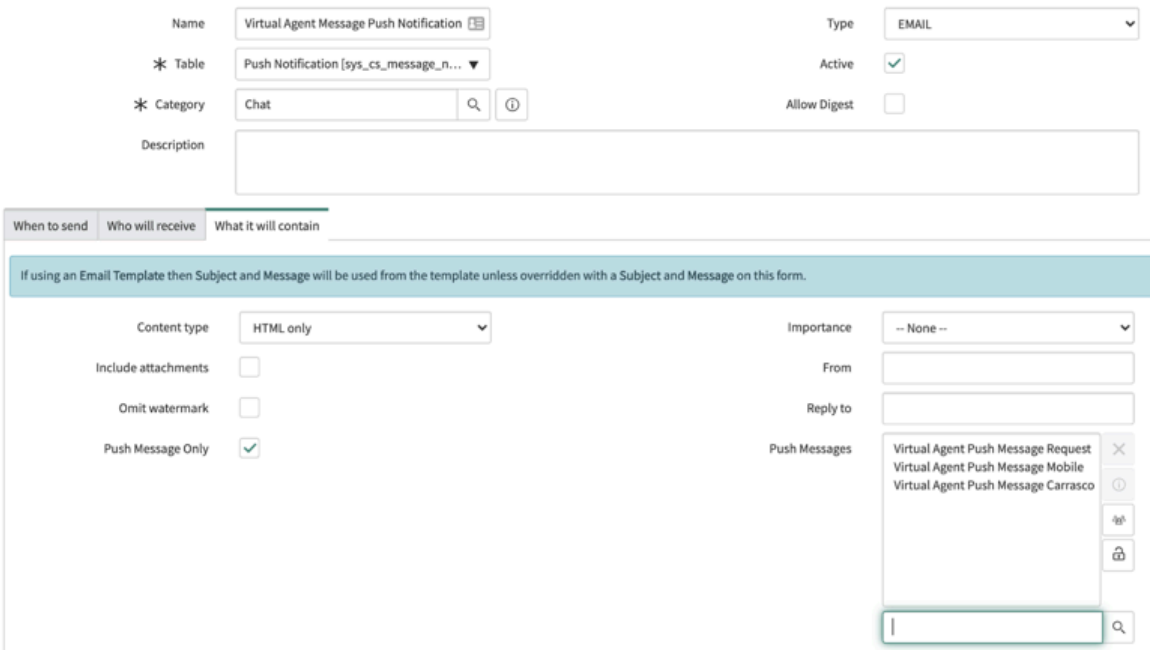
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システム通知 > プッシュ > プッシュ通知.
2. プッシュ通知「仮想エージェントメッセージプッシュ通知」を見つけて開きます。
   レイアウトが [詳細] ビューに設定されていることを確認します。表示されない場合は、[関連リンク] の下にある関連リンクを選択して詳細ビューに切り替えます。
3. [内容 **(What it will contain)]** タブを選択します。
4. [プッシュメッセージ]に、「プッシュ通知メッセージを追加する」で作成したプッシュメッセージレコードの名前を追加します。



5. [更新] を選択します。

iOS アプリケーションでのプッシュ通知の設定

プッシュ通知を設定するために ServiceNow インスタンスで実行する必要があるタスクに加えて、iOS アプリケーションに特定のコードを含める必要もあります。

NowSDK NowPushService を作成する

アプリケーションで最初に行う必要があることの 1 つは、`NowPushService` を作成することです。`NowPush` SDK には、このサービスを作成するためのファクトリ関数が用意されています。次のスニペットのようなコードを、メインのコード本文の早い段階に追加します。

```
func setup(with instanceURL: URL) -> AnyPublisher<NowService,
 ConfigurationError> {
  NowPush.makePushService(instanceUrl: instanceURL)
    .mapError { .sdkError($0) }
    .map { $0 as NowService }
    .eraseToAnyPublisher()
}
```

`NowPush.makePushService()` メソッドの詳細については、「NowPush API - iOS」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プッシュトークンを登録する

Apple プッシュ通知を受信するデバイスとアプリケーションを識別する一意のプッシュ通知トークンを提供します。アプリケーションがプッシュ通知を受信するには、 `NowPushService` を使用してこのトークンを登録する必要があります。iOS アプリケーションに次のコードスニペットのような関数を追加します。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスに登録する必要があります。

```
func registerForPushNotifications(deviceToken: Data) {
  pushService.registerPushToken(deviceToken,
      pushAppName: "TestPushApp", // Modify this to be your iOS
 application name
      environment: environment) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }
    switch result {
    case .success:
      UserDefaults.standard.set(true, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
      self.pushRegistrationState = .registrationSuccess
    case .failure:
      UserDefaults.standard.set(false, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
      self.pushRegistrationState = .registrationFailed
    }
  }
}
```

`registerPushToken()` メソッドの詳細については、「NowPushService - registerPushToken(_token: Data, pushAppName: String, environment: NowPushEnvironment, completion: @escaping (Result<Data, NowPushError>) -> Void)」を参照してください。

プッシュトークンの登録解除

ユーザーがログアウトするときなど、ユーザーがアプリケーションを終了するたびにプッシュトークンの登録を解除する必要があります。次のコードスニペットのようなコードを使用して、プッシュトークンを登録解除します。*`pushAppName`*をiOSアプリケーションの名前に変更してください。

```
func unregisterFromPushNotifications(deviceToken: Data) {
  pushService.unregisterPushToken(deviceToken, pushAppName:
 "TestPushApp", environment: environment) { [weak self] result in
    guard let self = self else { return }
    switch result {
    case .success:
      UserDefaults.standard.set(false, forKey:
 "pushNotificationsRegistered")
      self.pushRegistrationState = .unregisterSuccess
    case .failure:
      self.pushRegistrationState = .unregisterFailed
    }
  }
}
```

`unregisterPushToken()` メソッドの詳細については、「NowPushService - unregisterPushToken(_token: Data, pushAppName: String, environment: NowPushEnvironment, completion: @escaping (Result<Data, NowPushError>) -> Void)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プッシュペイロードを解析

情報を収集し、アプリケーションの他の部分でデータを使用するには、プッシュ通知ペイロードを `NowPushPayload` オブジェクトに解析する必要があります。現在、これは仮想エージェントのプッシュ通知でのみ使用できます。次のようなコードを使用します

```
func userNotificationCenter(_ center: UNUserNotificationCenter,
    didReceive response: UNNotificationResponse,
    withCompletionHandler completionHandler: @escaping () -> Void) {
  guard let pushService = pushService else {
    completionHandler()
    return
  }
  let userInfo = response.notification.request.content.userInfo
  _ = pushService.payloadFromUserInfo(userInfo)
    .flatMap(handleNowPushPayload)
}

func handleNowPushPayload(_ payload: NowPushPayload) -> Result<Void,
 NowPushError> {
  guard payload is NowPushVirtualAgent else {
    return .failure(NowPushError.unsupportedData)
  }
  launchVirtualAgent()
  return .success(())
}
```

コーダーと **Codable** モデルの操作

Mobile SDK の iOS 実装は、コーダーとコード化可能モデルの追加機能を提供します。

コーダー列挙

`Coder` 列挙体は、`JSONEncoder` を付随する `JSONDecoder` でラップして、両方が同じコーディング戦略を提供するようにします。Codable モデルを処理する NowData フレームワーク API の多くは JSON からのコーディングとデコードに依存しているため、`Coder` はエンコーダーとデコーダーを指定する方法を簡素化および標準化します。通常は、`ISO8601UTC` 以外の日付形式を使用して日付をエンコードおよびデコードする既定のコーダー (`.default`) を使用するだけで十分です。`DateFormatter.nonISO8601UTC` は、NowData フレームワークによって提供される静的な日付フォーマッターです。これは、ServiceNow プラットフォームによって UTC (GMT+0) タイムゾーンで保存され、デバイスのロケールとタイムゾーンを考慮して `yyyy-MM-dd HH:MM:SS` 形式でテーブル API によって使用される日付のエンコードとデコードを担当します。

特定の日付形式を処理する場合など、カスタム JSON コーディングが必要な場合は、カスタム Coder の関連型としてカスタム `JSONEncoder` と `JSONDecoder` を指定することで、カスタム `Coder` を作成できます。符号化器と復号化器の両方で、同じ符号化戦略を使用する必要があります。

例：

```
let myEncoder = JSONEncoder()
myEncoder.dateEncodingStrategy = .formatted(.nonISO8601UTC)
let myDecoder = JSONDecoder()
myDecoder.dateDecodingStrategy = .formatted(.nonISO8601UTC)

let myCoder: Coder = .custom(myEncoder, myDecoder)
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

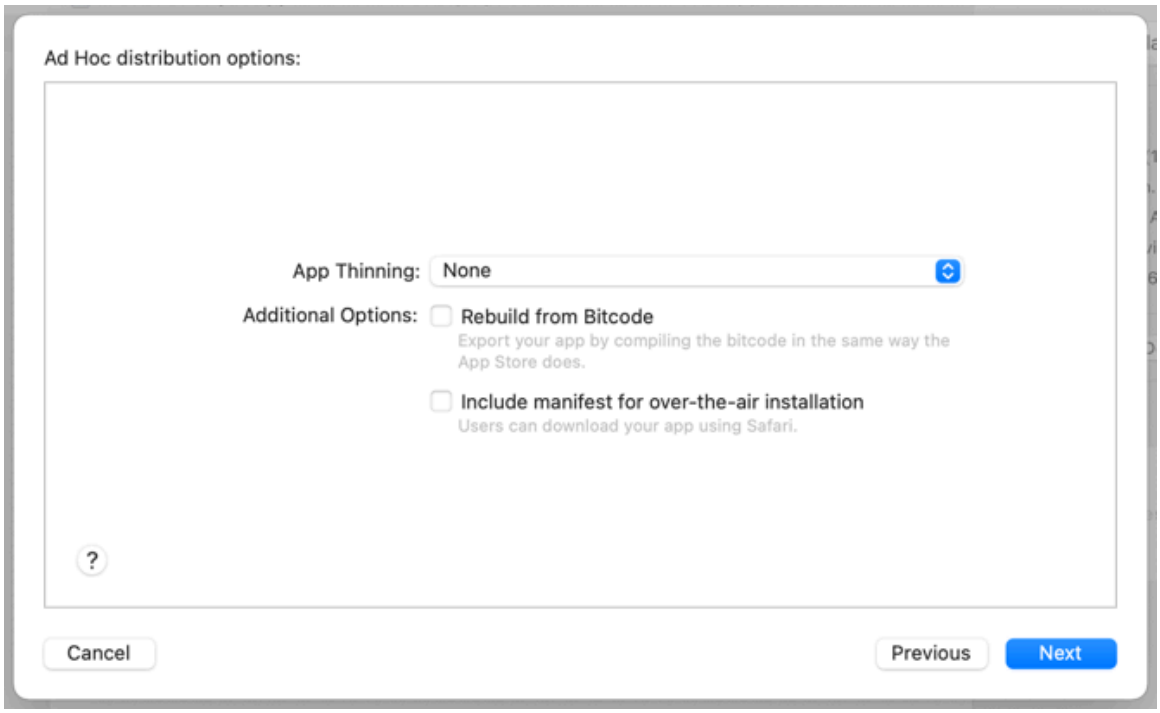
ネスト構造のコード化可能拡張

NowData フレームワークは、ドット区切りのパスでネストされた構造をデコードする機能を提供します。この機能により、ラッパー構造とネストされた JSON デコードを使用する必要がなくなるため、ネストされたデータを簡単に使用できます。

公開のためにアプリケーションをアーカイブする

リリース用に公開するためにアプリケーションをアーカイブするときは、 ビットコードからの再構築を無効にすることが重要です。

ビットコードからのリビルドを無効にするには、プロジェクト設定で **ENABLE_BITCODE** を `NO` に設定するか、Xcode を使用してアプリケーションを配布するときに [**Rebuild from Bitcode**] チェック ボックスをオフにします。



NowWebThemeable と NowChatThemeable のテーマを設定するときに NowUIColoring を使用する

`NowUIColoring` インターフェイスには、すべての NowSDK モジュールで使用されるすべての色が含まれています。

複数の SDK モジュール間で同様の色変数を使用するシナリオでは、 *`NowUIColoring`* インターフェイスを実装できます。このインターフェイスを使用すると、色の値をオーバーライドし、その実装を使用して、テーマクラス NowChatThemeable および NowWebThemeable 内の nowUIColoring 値をオーバーライドできます。色変数がオーバーライドされない場合、 *`NowUIColoring`* インターフェイスはデフォルトの色を使用します。

`NowWebThemeable` プロトコルには NowWeb にのみ関連する特定の色が含まれ、*`NowChatThemeable`* プロトコルには NowChat にのみ関連する特定の色が含まれています。一般的な色は *`NowUIColor`* によって定義されています。*`NowUIColor`* には、すべてのデフォルトの色も含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロデューサーイベント通知フレームワーク開発者ガイド

Producer Event Notification Framework for Telecommunications, Media, and Technology を使用すると、ネットワークに実装された メッセージバス を使用して、トラブルチケットなどのイベントを外部に配信できます。

プロデューサーイベント通知フレームワークは、次の 2 つの異なるメッセージバスユースケースをサポートしています。

1. Hermes メッセージングサービスを介したイベントの公開:Hermes Kafka を使用してイベントを公開する場合は、Kafka メッセージバスのプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する必要があります。このメッセージバスは、クラウドベースのインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「を使用するようにプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する Hermes メッセージングサービス」を参照してください。

   Hermes を使用してトラブルチケット通知を公開する方法の詳細については、「 Hermes を使用した送信トラブルチケット通知の生成 」を参照してください。

   > **注:** このユースケースを実装する前に、 Hermes メッセージングサービス がインスタンスにインストールされ、設定されている必要があります。詳細については、「 Hermes メッセージングサービス 」を参照してください。

2. オープンメッセージバスを介したイベントの公開: インスタンスでカスタムメッセージバスを使用する場合は、オープンメッセージバスを使用して ServiceNow インスタンスからネットワーク上のコンシューマーにイベントを送信するようにプロデューサーイベント通知フレームワークを設定する必要があります。クラウドベースインスタンスとオンプレミス ServiceNow インスタンスの両方で、オープンメッセージバスを介してイベントを公開できます。詳細については、「Open Message Bus を使用するためのプロデューサーイベント通知フレームワークの構成」を参照してください。

   オープンメッセージバスを使用してトラブルチケット通知を発行する方法の詳細については、「 オープン・メッセージ・バスを使用したアウトバウンド・トラブル・チケット通知の生成 」を参照してください。

このドキュメントでは、これらのメッセージ バス実装を ServiceNow エコシステムにデプロイするためにオーバーライドする必要があるスクリプト インクルードを含む、実行する必要があるシステム構成について説明します。

プロデューサーシステムプロパティ

次の表に、プロデューサーイベント通知フレームワークの機能を制御する ServiceNow インスタンス内のプロパティを示します。これらのプロパティのデフォルト値を確認し、必要に応じて特定の実装に合わせて変更します。これらのプロパティを変更するには、 ServiceNow UI で すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.

プロパティ	説明
sn_api_notif_mgmt.event.log	デバッグログに書き込まれるログのレベル。 有効な値： • アラート • クリティカル • debug • エマールグ • Err

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• info • 通知 • 警告 デフォルト:err
sn_api_notif_mgmt.glideミューテックス。スクリプト。マックススピン	受信キュー内のレコードに対するミューテックスロックの取得を試行する最大回数。 デフォルト：100
sn_api_notif_mgmt.glideミューテックス。スクリプト。スピン待機	受信キュー内のレコードのロックを取得する試行間の待機時間。 単位：ミリ秒 デフォルト：100
sn_api_notif_mgmt.inboundqueue.batch.limit	スケジューラーが受信キューから一度に プルして処理 するレコードの数 (1 つのバッチ)。 デフォルト: 200
sn_api_notif_mgmt.inboundqueue.maxrecords	1 回のスケジューラー実行でスケジューラーが受信キューからプルするレコードの最大数。この値は、*sn_api_notif_mgmt.inboundqueue.batch.limit* パラメーターと組み合わせて使用します。 たとえば、バッチ制限が 50 に設定され、maxrecords が 200, に設定され、 受信キュー内のレコードの数が 130 の場合、スケジューラーは 1 回の実行で 3 つの異なるレコードのバッチ (50 レコードの 2 つと 30 レコードの 1 つ) をプルします。受信キューのレコード数が 220 の場合、スケジューラーは 50 レコードの 4 つのバッチをプルし、残りの 20 レコードは次にスケジューラーが実行されるまで処理されません。 この値を設定するときは、スケジューラが複数のバッチを処理するのにかかる時間も考慮し、それに応じて *sn_api_notif_mgmt.schedule.max.runtime* 値を設定する必要があります。 デフォルト: 200
sn_api_notif_mgmt.publisher_message_bus_configuration	メッセージを Hermes メッセージングサービス、オープン・メッセージ・バス、またはその両方のメッセージ・バスのいずれを使用して公開するかを定義します。 有効な値：

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• エルメス= Hermes メッセージングサービス • openMessageBus = オープン・メッセージ・バス • both = イベント/メッセージは両方のメッセージバスで送信されます。 デフォルト:openMessageBus
sn_api_notif_mgmt.schedule。max.runtime	スケジュールジョブが失敗してエラーを報告するまでに実行できる最大時間。 単位：ミリ秒 デフォルト:90,000

を使用するようにプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する **Hermes** メッセージングサービス

インスタンスで Hermes メッセージングサービス を使用している場合は、Kafka メッセージバスのプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

Hermes メッセージングサービスをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Hermes メッセージングサービス のアクティブ化」を参照してください。

次のコード スニペットは、Hermes メッセージングサービス を使用してトピックにメッセージを送信するために必要な要素を構成するために呼び出す必要がある *HermesEventPublisher* メソッドを示しています。その後、 ProducerV2 API が呼び出されてメッセージが送信されます。

```
publishEventToHermesKafka: function(tmfEventPayload) {
  if (gs.nil(tmfEventPayload)) {
    return;
  }
  this.publishMessageThroughProducerV2API(tmfEventPayload)

},

publishMessageThroughProducerV2API: function(message) {
  if (gs.nil(message)) return;
  var comptableTopicSysIds = this.fetchTopicsForMessage(message);
  if (gs.nil(comptableTopicSysIds)) return;

  for (var i = 0; i < comptableTopicSysIds.length; i++) {
    var partitionKey = this.fetchPartionKey(message);
    var headers = this.fetchMessageHeaders(message)
    try {
      var producer = new sn_ih_kafka.ProducerV2();
      producer.send(comptableTopicSysIds[i], partitionKey,
 JSON.stringify(message), false, headers);
    } catch (ex) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Hermes Kafka Failed,
 error is: " + ex);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  }
},
```

手順

1. Hermes メッセージングサービス への安全な接続をセットアップします。
詳細については、「 Hermes メッセージングサービス への安全な接続の設定 」を参照してください。

2. Hermes メッセージングサービスにメッセージを公開するときに、HermesEventPublisherOOB:fetchTopicsForMessage (オブジェクトメッセージ) メソッドのデフォルト機能をカスタムトピックピッカーロジックで上書きします。
HermesEventPublisher - fetchTopicsForMessage() メソッドでは、指定されたメッセージを送信する Kafka トピックを決定するロジックを指定する必要があります。次に、それらのトピックレコードのsys_idsをアレイで返します。

   メッセージペイロードの属性に基づいてトピックを選択することも、実装で単一のトピックのみを使用する場合は、メッセージごとに同じトピックを返すこともできます。

   次の例は、渡されたメッセージごとに同じトピックレコードsys_idを返す方法を示しています。

```
// Return the same topic for all messages if your
 // implementation only supports one kind of topic

fetchTopicsForMessage: function(message) {
// Return the same sys_id for all passed messages which
// implies that all of the messages are published to the same topic.
return ['91564fc087f8351063151f473cbb35f8'];
},
```

   次の例は、メッセージ内のイベントタイプに基づいてメッセージを送信するトピックを識別する方法を示しています。

```
// Fetch the topic based on the message content.
// This could be based on the message domain type or the message event
 type.

fetchTopicsForMessage: function(message) {
// Implement to return topic based on a message content
// Implementor may decide a topic based on 'eventType' or any other
 attribute.

var eventType = message.eventType;

var topicSysIdsArr = this.fetchTopicBasedOnEventType(eventType);
return topicSysIdsArr

},
```

3. HermesEventPublisherOOB:fetchPartionKey (オブジェクトメッセージ) メソッドのデフォルト機能をカスタムロジックでオーバーライドして、Hermes メッセージングサービスにメッセージを発行するときに使用するパーティションキーを返します。
次の一覧には、返される可能性のあるパーティション キーの種類と、それに関連する利点が含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自動生成された一意の ID。この種類のパーティション キーにより、メッセージがトピック パーティション間で均等に発行されます。これはデフォルトの実装です。
- メッセージ・イベント・タイプ (またはその他のメッセージ属性) に基づく一意のキー。このタイプのパーティション キーは、そのイベントの種類 (または他のメッセージ属性) のメッセージの順序付けを保証します。
- 同じパーティション キーであるため、メッセージは同じパーティションで送信されます。このタイプのパーティションキーにより、Kafka コンシューマーグループレベルでのメッセージの厳密な順序付けが保証されます。

次の例は、パーティションキーごとにランダムな ID を返す方法を示しています。

```
fetchPartionKey: function(message) {
// Implement it for custom partition key
// Random message keys ensure better distribution of message across
 partitions.
// Same message keys ensure that message always goes to the same
 partition.
// This ensures strict sequencing of messages at the Kafka consumer
 group level.
return gs.generateGUID();
},
```

次の例は、メッセージ内のイベントの種類に基づいてパーティション キーを返す方法を示しています。

```
// Implementation where the partition key is decided based on the event
 type.
fetchPartionKey: function(message) {

var eventType = message.eventType;
var partionKey = fetchPartionKeyForMessage(eventType);
return partionKey;
},
```

4. HermesEventPublisherOOB:fetchMessageHeaders (オブジェクトメッセージ) メソッドのデフォルト機能をカスタムロジックで上書きして、Hermes メッセージングサービスを介してメッセージを公開する前に、指定されたメッセージのヘッダーをフェッチします。
これらのヘッダーの詳細については、 Apache Kafka のドキュメントを参照してください。

次の例は、メッセージ内のイベントの種類に基づいてヘッダーを返す方法を示しています。

```
fetchMessageHeaders: function(message) {
// Returned headers are based on the event type passed in the message
 object.
  var eventType = message.eventType;
  var headerObject = fetchHeadersBasedOnEventType(eventType);
  return headerObject;
},
```

Open Message Bus を使用するためのプロデューサーイベント通知フレームワークの構成

インスタンスにオープンメッセージバスを展開した、または展開する予定の場合は、このメッセージバスのプロデューサーイベント通知フレームワークを構成する必要があります。このメッセージバスは、クラウドインスタンスとオンプレミスインスタンスの両方に展開できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

オープン メッセージ バス を使用したメッセージのパブリッシングの詳細については、「オープン・メッセージ・バスを使用したアウトバウンド・トラブル・チケット通知の生成」を参照してください。

手順

1. 現在のメッセージバスのトピックを ServiceNow インスタンスと同期します。

   トピックの同期の詳細については、「オープン・メッセージ・バスを使用したアウトバウンド・トラブル・チケット通知の生成」を参照してください。

2. 事前設定された REST アクションにメッセージを直接送信するように OpenMessageBusEventPublisherOOB - publishMessageToComptibleRestProxy(オブジェクト tmfEventPayload, 配列 compatibleTopicArr) メソッドをカスタマイズします。
   このメソッドは、スポークセレクターを使用してカスタムメッセージプラットフォームの REST プロキシにメッセージを送信します。カスタムメッセージプラットフォームは、メッセージが公開されるメッセージバスです。

   次のコード例は、このメソッドをカスタマイズして、スポークセレクターの代わりにスポークセレクターフローとカスタムアクションを使用する方法を示しています。

```
publishMessageToComptibleRestProxy: function(tmfEventPayload,
 compatibleTopicArr) {

  if (gs.nil(tmfEventPayload) || gs.nil(compatibleTopicArr)) {
    return;
  }
  for (var i = 0; i < compatibleTopicArr.length; i++) {

    // Invoking spoke selector flow which will in turn pick the rest
 proxy based on the input condition
    var topicGr = new GlideRecord(Constants.TABLE_TOPIC);
    topicGr.get(compatibleTopicArr[i]);
    if (!topicGr.isValidRecord()) {
      this._logger.debug("Invalid topic sys_id passed to open message
 publisher. Sys_id passed is " + compatibleTopicArr[i]);
      return;
    }

    // NOTE THAT IN THIS IMPLEMENTATION INVOKES A CUSTOM ACTION INSTEAD
 OF SPOKE SELECTOR
    var restProxyResponse = new
 sn_appss.RequestAPI(spokeSelectorRequestTypeId,
 spokeSelectorRequestTypeInputMap,
 spokeSelectorRequestTypeContextObject).execute();

    // var restProxyResponse =
 sn_fd.FlowAPI.executeActionQuick('sn_api_notif_mgmt.demo_topic_rest_pr
oxy_response', spokeSelectorRequestTypeInputMap);
    var responseCode = restProxyResponse.response.code;
    if
 (Constants.REGISTRATION_RESPONSE_SUCCESS_CODES.indexOf(responseCode)
 == -1) {
      this._logger.logErr("Publishing message to Message bus rest proxy
 failed with HTTP response code " + responseCode);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      }
    }
},
```

3. トピックの REST プロキシを構成します。
   スポークが構成されると、スポークで構成されたトピックの指定された REST プロキシでメッセージが公開されます。

   a. 移動先 すべて > スポークセレクター > 要求タイプ

   b. トピック **Rest** プロキシ送信要求を選択します。

   c. [統合要求定義] タブを選択します。

   d. 統合要求定義エントリを作成してスポークを設定します。
      追加のガイダンスについては、「 **Rest** プロキシ応答定義のデモ 」エントリも参照できます。

プロデューサーイベント通知フレームワークを使用したトラブルチケット通知の構成

トラブルチケット通知の基本実装には、システムの機能を示す一連のトラブルチケットイベントが含まれています。

これらのトラブルチケットイベントには、次のものが含まれます。

- トラブルチケットが作成されました (インシデント): `TROUBLE_TICKET_CREATE: 「TroubleTicketCreateEvent」`
- 作成されたトラブルチケット (ケース): `TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE: 「TroubleTicketCreateEventForCase」`
- トラブルチケットステータスの変更(インシデント): `TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE: 「TroubleTicketStatusChangeEvent」`
- トラブルチケット属性値の変更 (インシデント): `TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE: "TroubleTicketAttributeChangeEvent"`

必要に応じて、次の手順を実行して、トラブルチケットイベントを実装に追加できます。

1. 新しい ビジネスルール を追加します。このビジネスルールは、レコード (インシデントまたはケース) が格納されているテーブルに関連付ける必要があります。詳細については、「新しいトラブルチケットイベントのビジネスルールを追加する」を参照してください。
2. 新しいトラブルチケットイベントのペイロード生成を設定します。詳細については、以下を参照してください。 新しいトラブルチケットイベントのペイロードを生成する

既存のトラブルチケットイベントのペイロードを変更することもできます。詳細については、「トラブルチケットイベントペイロードの変更」を参照してください。

新しいトラブルチケットイベントのビジネスルールを追加する

新しいトラブルチケットイベントを実装に追加する場合は、 ServiceNow インスタンスにビジネスルールを追加する必要があります。

このビジネスルールは、対応するインシデントまたはケースレコードの Glide スナップショットをプロデューサー通知フレームワーク受信キューの受信キュー [sn_tmt_core_inbound_queue] テーブルにプッシュする必要があります。このスナップショットは、プロデューサー通知フレームワークによって処理および公開されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のコードスニペットは、インシデント [incident] テーブルの `ResolveTroubleTicketEventForIncident` チケット通知イベントを処理するためのビジネスルールの例を示しています。*`pushEventsToQueue()`* メソッドを呼び出してイベントを受信キューにプッシュする場合は、イベントタイプを渡す必要があります。この例では、`ResolveTroubleTicketEventForIncident` です。このイベントタイプは任意の英数字値にすることができますが、トラブルチケットイベントの処理方法を決定するためにシステムで使用されるため、一意である必要があります。ベースシステムのイベントタイプのリストは、Constants [sn_api_notif_mgmt の *`Constants.EVENT_TYPES`* オブジェクトで定義されています 。定数] スクリプトインクルード。

ビジネスルールの作成の詳細については、「サービスに対するビジネスルールの作成」を参照してください。

```
// Add following lines of code in script section (Advanced tab) of BR for
 pushing 'ResolveTroubleTicketEventForIncident' to the inbound queue.

(function executeRule(current, previous /*null when async*/ ) {

// Note that event needs to be passed at BR level itself as after this
 step, we would be left with glide snapshot only

new
 TroubleTicketNotificationUtil().pushEventsToQueue(current,'ResolveTroubl
eTicketEventForIncident', Constants.TROUBLE_TICKET_TYPE.INCIDENT);

})(current, previous)
```

新しいトラブルチケットイベントのペイロードを生成する

トラブルチケットイベントを実装に追加する場合は、そのイベントタイプに必要な TMF 準拠のペイロードを生成する関数を作成する必要があります。さらに、このタイプのイベントレコードを処理するときは、この関数にロジックを送信する case ステートメントにその関数を追加する必要があります。

新しいトラブルチケットイベントのペイロードを生成するメソッドを作成します

`TroubleTicketNotificationUtil` スクリプトインクルードで、新しいトラブルチケットイベントに必要な TMF 準拠のペイロードをビルドし、そのペイロードを返すメソッドを追加する必要があります。

ベースシステムトラブルチケットイベントのペイロードを作成するメソッドの例については、`TroubleTicketNotificationUtilOOB` スクリプトインクルードの次のメソッドを参照してください。

- *`generateCreateTroubleTicketEventPaylaod()`*
- *`generateCreateTroubleTicketEventPaylaodForCase()`*
- *`generateTroubleTicketAttributeChangePayload()`*
- *`generateTroubleTicketStatusChangePayload()`*

fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent() スイッチ/ケースロジックにイベントを追加する

作成した関数を実行するには、`EventProcessorUtil` スクリプトインクルードの *`fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent()`* メソッド内の `switch/case` ロジックにその関数を追加する必要があります。次のコード スニペットは、このメソッドに `ResolveTroubleTicketEventForIncident` イベントの種類を追加するために必要な更新を示しています。*`fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent()`* メソッドの詳細について

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は、「EventProcessorUtilOOB:fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent(オブジェクト eventSnapshot、文字列、eventType、文字列、eventId)」を参照してください。

```
fetchEventHandlerAndCreateTMFEvent: function(eventSnapshot, eventType,
 eventId) {
  var eventPayload;
  switch (eventType) {
    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_STATUS_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketSt
atusChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaod(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_ATTRIBUTE_CHANGE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateTroubleTicketAt
tributeChangePayload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    case Constants.EVENT_TYPES.TROUBLE_TICKET_CREATE_FOR_CASE:
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateCreateTroubleTi
cketEventPaylaodForCase(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    // Add a new case statement for the
 ResolveTroubleTicketEventForIncident event type
    case 'ResolveTroubleTicketEventForIncident':
      eventPayload = new
 sn_ind_tsm_sdwan.TroubleTicketNotificationUtil().generateResolveTroubleT
icketEventPyaload(eventSnapshot, eventType, eventId);
      break;

    default:
      this._logger.debug("Event with id " + eventId + " could not find
 the matching payload generator");
      eventPayload = null;
  }
  return eventPayload;
},
```

トラブルチケットイベントペイロードの変更

基本的なトラブルチケットイベント通知の実装では、複数のデフォルトのトラブルチケットイベントタイプの例が提供されています。実際のニーズを満たすために、実装内でこれらのイベントのペイロードを変更する必要がある場合があります。また、実装に追加する新しいトラブルチケットイベントのペイロードを設定する必要がある場合もあります。

このセクションでは、「インシデントの属性変更イベント」トラブルチケットイベントのペイロードを変更する方法について説明します。トラブルチケットイベントタイプのペイロードを変更するには、同じ手順を使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべてのトラブルチケットイベントペイロードにイベントヘッダー属性を追加する

すべてのトラブルチケットイベントペイロードにイベントヘッダー属性を追加するには、`TroubleTicketNotificationUtil` スクリプトインクルードの *`addAdditionalEventAttributes()`* メソッドを上書きする必要があります。このメソッドに新しい属性を追加すると、すべてのトラブルチケットイベントペイロードにヘッダーレベルの属性が追加されます。

次のコード例は、すべてのトラブルチケットイベントペイロードに `schemaLocation` 属性を追加する方法を示しています。

```
addAdditionalEventAttributes': function(tmfEventPayload) {
  // Add "schemaLocation" as a header attribute
  TroubleTicketEventObject.schemaLocation =
 "http://xx/Event.schema.json",
}
```

特定のトラブルチケットイベントペイロードに属性を追加する

特定のトラブルチケットイベントペイロードに属性を追加するには、`TroubleTicketNotificationUtil` スクリプトインクルードの *`addAttributeChangeTroubleTicketAttributes()`* メソッドなど、そのイベントに関連付けられたメソッドを上書きする必要があります。このメソッドに新しい属性を追加すると、その特定のトラブルチケットイベントペイロードにイベントレベルの属性が追加されます。

次のコード例は、「インシデントの属性変更イベント」トラブルチケットイベントに属性 `correlationId` を追加する方法を示しています。

```
addAttributeChangeTroubleTicketAttributes: function(troubleTicketGr) {
  var troubleTicketResource = {};
  var troubleTicketAttributesObj = {};
  this.addMandatoryTroubleTicketAttributes(troubleTicketAttributesObj,
 troubleTicketGr);

// Add the new attribute correlation id.
  TroubleTicketAttributesObj.correlationId =
 troubleTicketGr._value.correlation_id;
  troubleTicketResource.troubleTicket = troubleTicketAttributesObj;
  return troubleTicketResource;
},
```

イベント管理トピックオープン **API** 機能の上書き

イベント管理トピックオープン *`API`* を使用すると、トピックペイロードを検証した後にトピックレコードをトピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルに保存できます。

`TopicAPIUtils` API の TopicAPIUtilsOOB API のメソッドを更新することで、トピックレコードの処理を上書きできます。

この API 内で使用可能なメソッドと、それらが提供するデフォルトの機能のリストを次に示します。

- TopicAPIUtilsOOB - createTopicHelper(オブジェクト、topicObject、配列、警告): イベント管理トピックオープン *`API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic`* エンドポイントで渡されたペイロードをトピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルに挿入します。
- TopicAPIUtilsOOB:getCreateTopicSchema():トピックペイロードを検証するために イベント管理トピックオープン *`API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic`* エンドポイントで使用されるペイロードの定義済みスキーマを返します。既定のペイロード スキーマである *`Constants.SCHEMA`* は、 `sn_api_notif_mgmt`にあります。定数スクリプト インクルード。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- TopicAPIUtilsOOB - isValidCreateTopicPayload(オブジェクト topicObject, 文字列スキーマ, アレイ警告): イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントに渡されたペイロードを検証します。この検証は、要求本文とスキーマに対して実行されます。
- TopicAPIUtilsOOB - prepareCreateTopicResponse(オブジェクト topicObject, 文字列 topicSysId, 配列 warnings): イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイント呼び出しへの応答を生成して返します。
- TopicAPIUtilsOOB - processTopicCreation(オブジェクト topicObject): イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントによって行われた要求を処理します。このメソッドは、データの挿入、スキーマ検証、要求本文の検証、および応答オーケストレーションに必要なヘルパー メソッドを呼び出します。イベント管理トピックを開く - POST /sn_api_notif_mgmt/topic要求の基本処理をカスタマイズする必要がある場合は、このメソッドを上書きします。それ以外の場合は、個々のヘルパー メソッドをオーバーライドします。
- TopicAPIUtilsOOB - transformCreateTopicResponse(オブジェクト topicObject, 文字列 topicSysId): イベント管理トピックオープン *API - POST /sn_api_notif_mgmt/topic* エンドポイントに返される応答オブジェクトにカスタムデータを追加する機能を提供します。
- TopicAPIUtilsOOB:validateTopicAttributes(オブジェクト、topicObject、配列 details): イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントペイロードで渡されたトピック名、ヘッダーとクエリ、コンテンツとクエリ、および名前空間の組み合わせが一意かどうかを検証します。エンドポイントは、この属性の組み合わせを使用して、トピック [sn_api_notif_mgmt_topic] テーブルにトピックが現在存在するかどうかを判断します。デフォルトの実装では、デフォルトのトピックペイロードスキーマで必須として定義されている *name* 属性が、渡されるペイロードに含まれているかどうかもチェックします。
- TopicAPIUtilsOOB - validateTopicExternalId(オブジェクト topicObject, 配列 details): イベント管理トピックオープン *API* エンドポイントの要求本文で渡されたトピック外部 ID を検証します。基本実装では、外部 ID が空でないことが検証されるだけです。

製品注文オープン API 開発者ガイド

製品注文オープン *API* を使用して、製品の注文情報を作成、更新、取得します。

この開発者ガイドでは、製品注文オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

製品注文オープン API の拡張

製品注文オープン *API* は、スクリプトインクルードを編集することによって拡張できます。

これらのスクリプトインクルードは、変更の結果を理解した上でのみ編集する必要があります。

- `TMFProductOrderAPIUtil`：POST 要求を処理する関数が含まれています。
- `TMFProductOrderGetAPIUtil`：GET 要求を処理する関数が含まれています。
- `ProductOrderExtensionOOB:TMFProductOrderAPIUtil` と `TMFProductOrderGetAPIUtil` の関数をサポートするヘルパー関数が含まれています。
- `ProductOrderProcessor`：空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを使用して、`ProductOrderExtensionOOB` からオーバーライドする関数を定義します。

製品注文オープン *API* を拡張して、次のカスタマイズを行います。

必要なパラメーター

製品注文の作成に必須または不要な要求本文パラメーターを変更するには、`ProductOrderExtensionOOB` スクリプトインクルードに含まれる関数 `getProductOrderSchema()` を上書きします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数 `getProductOrderSchema()` は、 `TMFOrderAPIConstants` スクリプトインクルードからスキーマを読み取ります。`TMFOrderAPIConstants` は保護されており、編集できないため、スキーマを更新することはできません。代わりに、別のファイルから新しいスキーマを読み取る必要があります。`getProductOrderSchema()` をオーバーライドして、新しいスキーマを読み取ることができます。`getProductOrderSchema()` をオーバーライドするには、`ProductOrderProcessor` スクリプトインクルードに同じ名前の関数を記述します。`ProductOrderProcessor` の新しい関数は `TMFProductOrderAPIUtil` によって呼び出され、`ProductOrderExtensionOOB` のデフォルトの `getProductOrderSchema()` 関数を置き換えます。

この例では、 `getProductOrderSchema()` は、新しい定数ファイルで定義されているカスタムスキーマを返します。

```
// ProductOrderProcessor

var ProductOrderProcessor = Class.create();
ProductOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ProductOrderExtensionOOB, {
   // Define overriding functions here
   // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

   getProductOrderSchema: function() {
     //Define your own custom schema in a new constant file
      return JSON.parse(Constants.SCHEMA.CREATE_PRODUCT_ORDER);
   },

   type: 'ProductOrderProcessor'
});
```

要求本文の検証

要求本文で追加の検証を実行するには、 `ProductOrderExtensionOOB` 関数をオーバーライドします。`ProductOrderExtensionOOB` には、既定で `true` を返す次の 4 つのヘルパー関数が含まれています。

- `validatePostRequest()` - `TMFProductOrderAPIUtil` の `processCreateOrder()` によって呼び出されます。
- `validateProductObj()` - `TMFProductOrderAPIUtil` の `processCreateOrder()` によって呼び出されます。
- `validateRelatedPartyObj()` - `TMFProductOrderAPIUtil` の `processCreateOrder()` によって呼び出されます。
- `validateGetRequest()` - `TMFProductOrderGetAPIUtil` の `processGetOrder()` によって呼び出されます。

ヘルパー関数が `false` を返すと、API の操作が停止します。カスタム検証を適用するには、`ProductOrderProcessor` で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、`ProductOrderExtensionOOB` ヘルパー関数をオーバーライドします。これらの新しい `ProductOrderProcessor` 関数は、デフォルトの `ProductOrderExtensionOOB` ヘルパー関数を置き換えるために、`TMFProductOrderAPIUtil` と `TMFProductOrderGetAPIUtil` によって呼び出されます。

この例では、 `ProductOrderProcessor` の関数が `ProductOrderExtensionOOB` の既定の関数をオーバーライドして、 *`productOrderItem`* 属性の検証を実行します。

```
// ProductOrderProcessor

var ProductOrderProcessor = Class.create();
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
ProductOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ProductOrderExtensionOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    validatePostRequest: function(orderObject, details) {
        // Returning false terminates the POST request
        // Make sure to push error message in details array in case of
 error
        if (gs.nil(orderObject.productOrderItem)) {
            details.push(new
 TMFCommonOrderAPIUtil().getErrorDetailsObj(TMFOrderAPIConstants.MESSAGES
.MISSING_ORDER_ITEM, '/'));
            return false;
        }
        return true;
    },

    type: 'ProductOrderProcessor'
});
```

追加の REST 操作

既存の GET および POST 操作以外に追加の操作を作成するには、*Product Order Open API* 用の追加のスクリプト化された REST リソースを作成します。新しいスクリプト化済み REST リソースのロジックは、既存の操作と一致する必要があります。新しいスクリプトインクルードで新しい操作の関数を定義します。

フィールドマッピング

レコードを作成する際には、API は要求本文パラメーターをレコードのフィールドにマッピングします。レコードを取得する際には、API はレコードのフィールドを応答オブジェクトの属性にマッピングします。

`ProductOrderExtensionOOB` には、POST 要求本文を GlideRecord にマップする次の関数が含まれています。

- `transformOrderGr()`
- `transformOrdLineItemGr()`
- `getLineItemPrice()`
- `transformPriceOrderTypeAndState()`
- `transformCustLineItmContact()`
- `transformOrderItemChar()`

`ProductOrderExtensionOOB` には、GlideRecord を GET または POST 要求の応答オブジェクトにマップするための次の関数が含まれています。

- `transformPostOrderResponse()`
- `transformGetOrderResponse()`
- `transformProductObj()`
- `transformRelatedPartyCustomerLineItem()`
- `transformOrderItemRelationship()`

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- `transformGetOrdLineItmResponse()`
- `transformProductCharacteristics()`
- `transformProductSpecification()`

フィールドマッピングをカスタマイズすると、他のフィールドのデータを追加・取得したり、デフォルトのフィールドのマッピングを変更したりすることが可能です。フィールドマッピングをカスタマイズするには、`ProductOrderProcessor` で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、`ProductOrderExtensionOOB` マッピング関数を上書きします。これらの新しい `ProductOrderProcessor` 関数は、デフォルトの `ProductOrderExtensionOOB` マッピング関数を置き換えるために、`TMFProductOrderAPIUtil` と `TMFProductOrderGetAPIUtil` によって使用されます。

この例では、 `ProductOrderProcessor` の 2 つの関数が `ProductOrderExtensionOOB` の既定の関数をオーバーライドして、 *external_id* フィールドと *sys_id* フィールドのマッピングを作成します。

```
// ProductOrderProcessor

var ProductOrderProcessor = Class.create();
ProductOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ProductOrderExtensionOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    transformOrderGr: function(requestObject, orderGr) {
        orderGr.external_id = requestObject.externalId;
        return orderGr;
    },

    transformPostOrderResponse: function(orderObject, orderGr) {
        orderObject.id = orderGr.getValue('sys_id');
        return orderObject;
    },

    type: 'ProductOrderProcessor'
});
```

リソースインベントリオープン API 開発者ガイド

リソースインベントリオープン *API* を使用して、インターフェイスカード、論理接続と物理接続、ネットワークサイトなどのリソースを作成、取得、更新、および削除します。

この開発者ガイドでは、リソース在庫オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

Resource Inventory Open API の拡張

リソースインベントリオープン *API* は、拡張ポイントとスクリプトインクルードを使用して拡張できます。

拡張ポイント

Resource Inventory Open API には、必要なパラメーターを定義する API の既存のスキーマを変更するために使用できる拡張ポイントが含まれています。拡張ポイントを使用して、新しいパラメーターを追加して Now Platformのフィールドにマップしたり、既存のパラメーターのマッピング

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

を変更したりすることもできます。たとえば、新しいリソース特性を追加し、適切なフィールドにマッピングできます。

`リソースインベントリオープン API`には、次の拡張ポイントが含まれています。

- `TNITMFResourceInventoryAPICreateResource`:リソースを作成するための拡張ポイント。
- `TNITMFResourceInventoryAPIPatchResource`:リソースを更新するための拡張ポイント。
- `TNITMFResourceInventoryAPITransformToIREPayload`:TMF 要求から識別および調整エンジン (IRE) ペイロードを作成するための拡張ポイント。
- `TNITMFResourceInventoryAPITransformToResponse`:リソース`GlideRecord`から TMF 応答を作成する拡張ポイント。
- `TNITMFResourceInventoryAPIValidateCreate`:TMF POST 要求を検証する拡張ポイント。
- `TNITMFResourceInventoryAPIValidatePatch`:TMF PATCH 要求を検証するための拡張ポイント。

スクリプトインクルード

スクリプトインクルードを使用して、デフォルトの検証および変換関数を上書きします。デフォルトの関数はsn_ni_coreで定義されています 。TNITMFResourceInventoryProcessorOOB スクリプトインクルード。デフォルトの関数をオーバーライドするには、sn_ni_core内で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成します 。TNITMFResourceInventoryProcessor スクリプトインクルード。

ScopedCacheManager API 開発者ガイド

スコープ済みキャッシュを使用すると、カスタムデータをメモリーに格納してアクセスを高速化し、さらにいつ無効にするかを定義できます。これは、複数のテーブルにわたるクエリーの結果など、データを最初から取得するのに時間がかかる場合に便利です。`ScopedCacheManager` API を使用して、スコープ対象アプリケーションのキャッシュデータを取得、設定、およびフラッシュします。

このガイドには、 ScopedCacheManager API で使用するスコープ済みキャッシュとテーブルのペアを作成する手順が含まれています。

スコープ指定キャッシュに割り当てることのできるテーブルペアのタイプは次のとおりです。

- テーブルペアキャッシュ：テーブルで更新操作を実行する必要がある場合、キャッシュ内のすべてのエントリもフラッシュされます。
- テーブル行ペアキャッシュ:テーブルで更新操作を実行する必要がある場合、編集されたレコードと同じsys_idを持つエントリのみがキャッシュからフラッシュされます。他のエントリは同じままです。
- テーブルと列のペアのキャッシュ：選択した列のリスト内のフィールドを編集すると、キャッシュ全体がフラッシュされます。
- テーブルの列と行のペアのキャッシュ:選択した列のリストのフィールドを編集すると、編集されたレコードと同じsys_idを持つエントリがキャッシュからフラッシュされます。

スコープ指定キャッシュとテーブルのペアの作成

スコープ指定キャッシュを作成し、そのキャッシュのペアを定義します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. スコープ指定キャッシュを作成します。検索項目 すべて > システム定義 > スコープ済みキャッシュ.
2. [新規] をクリックし、[キャッシュ名] フィールドにわかりやすい名前を入力します。
3. [最大エントリー] フィールドに数字を入力します。この値は、このキャッシュに入力できるエントリーの最大数を表します。最大値は 100 です。

   注: [アプリケーション] フィールドには、このキャッシュが作成されるスコープ対象のアプリケーションの名前が自動的に入力されます。

4. [アクティブ] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
5. スコープ対象のキャッシュ値を圧縮することで占有するメモリ容量を少なくする場合は、[常に圧縮**(Always Compress**)] チェックボックスをオンにします。
6. [送信] をクリックします。
   スコープ指定キャッシュが作成されました。
7. キャッシュのペアを作成します。検索項目 すべて > システム定義 > スコープ済みキャッシュペア.
8. [新規] をクリックし、虫眼鏡をクリックして [スコープ指定キャッシュ] フィールドでキャッシュを選択します。
9. [テーブル] メニューからテーブルを選択します。
10. [ペアタイプ] メニューからオプションを選択します。
    - テーブルペアキャッシュ：テーブルで更新操作を実行する必要がある場合、キャッシュ内のすべてのエントリもフラッシュされます。
    - テーブル行ペアキャッシュ:テーブルで更新操作を実行する必要がある場合、編集されたレコードと同じsys_idを持つエントリのみがキャッシュからフラッシュされます。他のエントリは同じままです。
    - テーブルと列のペアのキャッシュ：選択した列のリスト内のフィールドを編集すると、キャッシュ全体がフラッシュされます。
    - テーブルの列と行のペアのキャッシュ:選択した列のリストのフィールドを編集すると、編集されたレコードと同じsys_idを持つエントリがキャッシュからフラッシュされます。
11. [送信] をクリックします。
    スコープ指定キャッシュテーブルのペアが作成され、`ScopedCacheManager` API で使用できるようになりました。

サービスオーダーオープン API 開発者ガイド

サービス注文オープン *API* を使用して、サービスの注文情報を作成、更新、取得します。

この開発者ガイドでは、サービス注文オープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

サービスオーダーオープン API の拡張

サービスオーダーオープン *API* は、スクリプトインクルードを編集することによって拡張できます。

これらのスクリプトインクルードは、変更の結果を理解した上でのみ編集する必要があります。

- `TMFServiceOrderAPIUtil`：POST 要求を処理する関数が含まれています。
- `TMFServiceOrderGetAPIUtil`：GET 要求を処理する関数が含まれています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- `ServiceOrderExtensionOOB:TMFServiceOrderAPIUtil` および `TMFServiceOrderGetAPIUtil` の関数をサポートするヘルパー関数が含まれています。
- `ServiceOrderProcessor`：空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを使用して、`ServiceOrderExtensionOOB` からオーバーライドする関数を定義します。

サービスオーダーオープン *API* を拡張して、次のカスタマイズを行います。

必要なパラメーター

サービス注文の作成に要求本文のパラメーターが必要かどうかを変更するには、`ServiceOrderExtensionOOB` スクリプトインクルードに含まれる関数 `getServiceOrderSchema()` を上書きします。

関数 `getServiceOrderSchema()` は、 `TMFOrderAPIConstants` スクリプトインクルードからスキーマを読み取ります。`TMFOrderAPIConstants` は保護されており、編集できないため、スキーマを更新することはできません。代わりに、別のファイルから新しいスキーマを読み取る必要があります。`getServiceOrderSchema()` をオーバーライドして、新しいスキーマを読み取ることができます。`getServiceOrderSchema()` をオーバーライドするには、`ServiceOrderProcessor` スクリプトインクルードに同じ名前の関数を記述します。`ServiceOrderProcessor` の新しい関数は `TMFServiceOrderAPIUtil` によって呼び出され、`ServiceOrderExtensionOOB` のデフォルトの `getServiceOrderSchema()` 関数を置き換えます。

この例では、 `getServiceOrderSchema()` は、新しい定数ファイルで定義されているカスタムスキーマを返します。

```
// ServiceOrderProcessor

var ServiceOrderProcessor = Class.create();
ServiceOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ServiceOrderExtensionOOB, {
   // Define overriding functions here
   // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

   getServiceOrderSchema: function() {
     //Define your own custom schema in a new constant file
      return JSON.parse(Constants.SCHEMA.CREATE_SERVICE_ORDER);
   },

   type: 'ServiceOrderProcessor'
});
```

要求本文の検証

要求本文で追加の検証を実行するには、 `ServiceOrderExtensionOOB` 関数をオーバーライドします。`ServiceOrderExtensionOOB` には、デフォルトで `true` を返す次の 4 つのヘルパー関数が含まれています。

- `validatePostRequest()` - `TMFServiceOrderAPIUtil` の `processPostOrder()` によって呼び出されます。
- `validateServiceObj()` - `TMFServiceOrderAPIUtil` の `processPostOrder()` によって呼び出されます。
- `validateRelatedPartyObj()` - `TMFServiceOrderAPIUtil` の `processPostOrder()` によって呼び出されます。
- `validateGetRequest()` - `TMFServiceOrderGetAPIUtil` の `processGetOrder()` によって呼び出されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘルパー関数が `false` を返すと、API の操作が停止します。カスタム検証を適用するには、`ServiceOrderProcessor` で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、`ServiceOrderExtensionOOB` ヘルパー関数をオーバーライドします。これらの新しい `ServiceOrderProcessor` 関数は、デフォルトの `ServiceOrderExtensionOOB` ヘルパー関数を置き換えるために、`TMFServiceOrderAPIUtil` と `TMFServiceOrderGetAPIUtil` によって呼び出されます。

この例では、 `ServiceOrderProcessor` の関数が `ServiceOrderExtensionOOB` のデフォルト関数をオーバーライドして、 *`serviceOrderItem`* 属性の検証を実行します。

```
// ServiceOrderProcessor

var ServiceOrderProcessor = Class.create();
ServiceOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ServiceOrderExtensionOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    validatePostRequest: function(orderObject, details) {
        // Returning false terminates the POST request
        // Make sure to push error message in details array in case of
 error
        if (gs.nil(orderObject.serviceOrderItem)) {
            details.push(new
 TMFCommonOrderAPIUtil().getErrorDetailsObj(TMFOrderAPIConstants.MESSAGES
.MISSING_ORDER_ITEM, '/'));
            return false;
        }
        return true;
    },

    type: 'ServiceOrderProcessor'
});
```

追加の REST 操作

既存の GET および POST 操作以外に追加の操作を作成するには、サービス注文オープン *`API`* のスクリプト化された REST リソースを追加で作成します。新しいスクリプト化済み REST リソースのロジックは、既存の操作と一致する必要があります。新しいスクリプトインクルードで新しい操作の関数を定義します。

フィールドマッピング

レコードを作成する際には、API は要求本文パラメーターをレコードのフィールドにマッピングします。レコードを取得する際には、API はレコードのフィールドを応答オブジェクトの属性にマッピングします。

`ServiceOrderExtensionOOB` には、POST 要求の本文を GlideRecord にマッピングする次の関数が含まれています。

- `transformOrderGr()`
- `transformOrdLineItemGr()`
- `transformCustLineItmContact()`
- `transformOrderItemChar()`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceOrderExtensionOOB には、GlideRecord を GET または POST 要求の応答オブジェクトにマップするための次の関数が含まれています。

- transformPostOrderResponse()
- transformGetOrderResponse()
- transformServiceObj()
- transformRelatedPartyCustomerLineItem()
- transformOrderItemRelationship()
- transformGetOrdLineItmResponse()
- transformServiceCharacteristics()
- transformServiceSpecification()

フィールドマッピングをカスタマイズすると、他のフィールドのデータを追加・取得したり、デフォルトのフィールドのマッピングを変更したりすることが可能です。フィールドマッピングをカスタマイズするには、ServiceOrderProcessor で同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、ServiceOrderExtensionOOB マッピング関数を上書きします。これらの新しい ServiceOrderProcessor 関数は、デフォルトの ServiceOrderExtensionOOB マッピング関数を置き換えるために、TMFServiceOrderAPIUtil と TMFServiceOrderGetAPIUtil によって使用されます。

この例では、 ServiceOrderProcessor の 2 つの関数が ServiceOrderExtensionOOB のデフォルト関数をオーバーライドして、 *external_id* フィールドと *sys_id* フィールドのマッピングを作成します。

```
// ServiceOrderProcessor

var ServiceOrderProcessor = Class.create();
ServiceOrderProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(ServiceOrderExtensionOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    transformOrderGr: function(requestObject, orderGr) {
        orderGr.external_id = requestObject.externalId;
        return orderGr;
    },

    transformPostOrderResponse: function(orderObject, orderGr) {
        orderObject.id = orderGr.getValue('sys_id');
        return orderObject;
    },

    type: 'ServiceOrderProcessor'
});
```

トラブルチケットオープン API 開発者ガイド

トラブルチケットオープン *API* を使用して、外部のチケットシステムと Now Platform の間のチケット情報を管理します。この API は、ケース [sn_customerservice_case] およびインシデント [incident] テーブルのデータを作成、更新、取得します。

この開発者ガイドでは、トラブルチケットオープン API を拡張してさまざまなカスタマイズを行う方法について説明します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トラブルチケットオープン API の拡張

トラブルチケットオープン *API* は、スクリプトインクルードを編集することによって拡張できます。

これらのスクリプトインクルードは、変更の結果を理解した上でのみ編集する必要があります。

- `TMFTroubleTicketAPIConstants`：定数と必要なパラメーター情報が含まれています。
- `TMFTroubleTicketAPIUtil`：POST、GET、および PATCH 要求を処理する関数が含まれています。
- `TroubleTicketProcessorOOB`：TMFTroubleTicketAPIUtil 内の関数をサポートするヘルパー関数が含まれています。
- `TroubleTicketProcessor`：空のスクリプトインクルードファイル。このファイルを使用して、TroubleTicketProcessorOOB から上書きする関数を定義します。

トラブルチケットオープン *API* を拡張して、次のカスタマイズを行います。

必要なパラメーター

必要な要求本文パラメーターと必要でないパラメーターを変更するには、TMFTroubleTicketAPIConstants スクリプトインクルードを更新します。デフォルトでは、チケットを作成するための要求本文 (POST) には *description*、*severity*、および *ticketType* のパラメーターが必要です。デフォルトでは、チケットを更新するための要求本文 (PATCH) に必要なパラメーターはありません。

- `TMFTroubleTicketAPIConstants.TROUBLE_TICKET_CREATION_SCHEMA`：チケットを作成するために必要な要求本文パラメーターを設定します。
- `TMFTroubleTicketAPIConstants.TROUBLE_TICKET_UPDATE_SCHEMA`：チケットを更新するために必要な要求本文パラメーターを設定します。

この例では、チケットを作成するために *description*、*severity*、*status*、および *ticketType* のパラメーターが必要です。

```
// TMFTroubleTicketAPIConstants
TMFTroubleTicketAPIConstants.TROUBLE_TICKET_CREATION_SCHEMA = {
    "title": "CreateTroubleTicket",
    "type": "object",
    "properties": {
        "description": {
            "type": "string"
        },
        "severity": {
            "type": "string"
        },
        "status": {
            "type": "string"
        },
        "ticketType": {
            "type": "string"
        }
    },
    "required": [
        "description",
        "severity",
        "status",
        "ticketType"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    ]
};
```

要求本文の検証

要求本文で追加の検証を実行するには、TroubleTicketProcessorOOB 関数を上書きします。TroubleTicketProcessorOOB には、デフォルトで `true` を返す次の 6 つのヘルパー関数が含まれています。これらの関数は、TMFTroubleTicketAPIUtil で呼び出されます。

- `verifyGetRequestForCase()`：`processGetRequestForCase()` によって呼び出されます。
- `verifyPatchRequestForCase()`：`processPatchRequestForCase()` によって呼び出されます。
- `verifyPostRequestForCase()`：`processPostRequestForCase()` によって呼び出されます。
- `verifyGetRequestForIncident()`：`processGetRequestForIncident()` によって呼び出されます。
- `verifyPatchRequestForIncident()`：`processPatchRequestForIncident()` によって呼び出されます。
- `verifyPostRequestForIncident()`：`processPostRequestForIncident()` によって呼び出されます。

ヘルパー関数が `false` を返すと、API の操作が停止します。カスタムの検証を適用するには、TroubleTicketProcessor のものと同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、TroubleTicketProcessorOOB ヘルパー関数を上書きします。新しく作成した TroubleTicketProcessor 関数は、TMFTroubleTicketAPIUtil によって呼び出され、デフォルトの TroubleTicketProcessorOOB ヘルパー関数を置き換えます。

この例では、TroubleTicketProcessor 内の関数が TroubleTicketProcessorOOB のデフォルト関数を上書きして、name 属性の検証を実行します。

```
// TroubleTicketProcessor
var TroubleTicketProcessor = Class.create();
TroubleTicketProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(TroubleTicketProcessorOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    verifyPostRequestForCase: function(caseObject, apiResponseProcessor){
        // Returning false terminates the POST request
        // Make sure to assign error message and reason
        if (caseObject.name != "Hello world") {

 apiResponseProcessor.setMessage(TMFTroubleTicketAPIConstants.MESSAGES.CA
SE_CREATION_FAILURE);
            apiResponseProcessor.setReason("No reason needed");
            return false;
        }
    },

    type: 'TroubleTicketProcessor'
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

追加の REST 操作

既存の GET、PATCH、および POST 操作以外の操作を作成するには、トラブルチケットオープン API の スクリプト化された REST リソースを追加で作成 します。新しいスクリプト化済み REST リソースのロジックは、既存の操作と一致する必要があります。新しい操作の関数は TMFTroubleTicketAPIUtil で定義します。

フィールドマッピング

レコードを作成したり更新したりする際には、API は要求本文パラメーターをケースとインシデントのレコードのフィールドにマッピングします。レコードを取得する際には、API はレコードのフィールドを応答オブジェクトの属性にマッピングします。

TroubleTicketProcessorOOB には、PATCH または POST 要求の本文をケースやインシデントの GlideRecord にマッピングするための次の関数が含まれています。

- `mapPatchRequestToCase()`
- `mapPostRequestToCase()`
- `mapPatchRequestToIncident()`
- `mapPostRequestToIncident()`

TroubleTicketProcessorOOB には、ケースやインシデントの GlideRecord を GET、PATCH または POST 要求の JSON 応答オブジェクトにマッピングするための次の関数が含まれています。

- `createGetResponseForCase()`
- `createPatchResponseForCase()`
- `createPostResponseForCase()`
- `createGetResponseForIncident()`
- `createPatchResponseForIncident()`
- `createPostResponseForIncident()`

フィールドマッピングをカスタマイズすると、他のケースやインシデントのフィールドのデータを追加・取得したり、デフォルトのフィールドのマッピングを変更することが可能です。フィールドのマッピングをカスタマイズするには、TroubleTicketProcessor のものと同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成して、TroubleTicketProcessorOOB マッピング関数を上書きします。新しく作成した TroubleTicketProcessor 関数は、TMFTroubleTicketAPIUtil によって使用され、デフォルトの TroubleTicketProcessorOOB マッピング関数を置き換えます。

この例では、TroubleTicketProcessor 内の 2 つの関数で TroubleTicketProcessorOOB のデフォルトの関数を上書きして、[説明] フィールドのマッピングの変更と [契約] フィールドのマッピングの追加を行います。

```
// TroubleTicketProcessor
var TroubleTicketProcessor = Class.create();
TroubleTicketProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(TroubleTicketProcessorOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    mapPostRequestToCase: function(caseGr, caseObject){
        // Override default mapping for the Description field
        caseGr.description = "All cases will be created with this
 description";
        // Add new mapping to the Contract field
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        caseGr.contract = caseObject.contract;
     },

    createPostResponseForCase: function(caseGr, caseObject){
        // Override default mapping for the description attribute
        caseObject.description = "This will always be the retrieved
 description";
        // Add new contract attribute to the response object
        caseObject.contract = caseGr.contract;
    },

    type: 'TroubleTicketProcessor'
});
```

選択肢フィールドのマッピングのロジック

[ステータス]、[優先度]、および **[contact_type]** フィールドは選択肢フィールドであり、各選択肢はラベルおよび対応する値で構成されます。例えば、[ステータス] フィールドが [新規]に設定されている場合、ラベルは [新規] で値は **1** です。選択肢のラベルと値の間のマッピングは、選択肢フィールドのマッピング関数を上書きすることで変更できます。

TroubleTicketProcessorOOB には、次の選択肢フィールドのマッピング関数が含まれています。

- `transformCaseSeverity()`
- `transformCaseChannel()`
- `transformCaseStatus()`
- `transformIncidentSeverityToUrgency()`
- `transformIncidentSeverityToImpact()`
- `transformIncidentChannel()`
- `transformIncidentStatus()`

TroubleTicketProcessorOOB の選択肢フィールドのマッピング関数を上書きするには、TroubleTicketProcessor のものと同じ名前とパラメーターを持つ関数を作成します。新しく作成した TroubleTicketProcessor 関数は、TMFTroubleTicketAPIUtil によって使用され、デフォルトの TroubleTicketProcessorOOB 選択肢フィールドマッピング関数を置き換えます。

この例では、TroubleTicketProcessor 内の関数が TroubleTicketProcessorOOB のデフォルトの関数を上書きして、[ステータス] フィールドの選択肢マッピングを変更します。

```
// TroubleTicketProcessor
var TroubleTicketProcessor = Class.create();
TroubleTicketProcessor.prototype =
 Object.extendsObject(TroubleTicketProcessorOOB, {
    // Define overriding functions here
    // Function name and parameters must be identical to the function it
 overrides

    transformCaseStatus: function(status){
        if (status == "Draft")
            return 1;
        else return 10;
    },

    type: 'TroubleTicketProcessor'
});
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳